朝鮮總督府編纂

朝鮮法令輯覽追録

帝國地方行政學會發行

類別一覽表

第一輯	憲法　皇室	憲法　詔書　法例　共通法　公式　令　皇室　王公家　國葬
第二輯	官規	官制　官等等級俸給　諸給　任用　採用　待遇　分限　服務　禮式　忌服
第三輯	服制　徽章	服制　徽章　旗章
第四輯	勳記　褒賞　救恤　恩給	勳記　褒賞　救恤　恩給　退隱料及扶助料
第五輯	文書　統計　國勢調査	文書　官報　統計　報告　國勢調査
第六輯	外事	條約　開港　渡航　在留
第七輯	社寺　宗教	社寺　宗教
第八輯	地方行政	道府郡島　地方費　臨時恩賜金　學校費　鄉校財産　面、府及學校組合
第九輯	衛生　警察　感化	衛生　警察　出版著作權　新聞紙　感化
第十輯	土地　林野　治水　土木	土地　林野　治水　土木
第十一輯	財務	租稅　手數料　專賣　會計　幣制　國債及證券　保管　預金
第十二輯	軍事	要塞地帶　軍港　要港　戒嚴　徵發　召集　演習　補充　兵役　輸送　軍區　軍需工業動員
第十三輯	法務	司法裁判　訴願　供託
第十四輯	民事　刑事	學事　教員養成所　教育費　私立學校　書堂　學校ノ認定、指定及檢定　經學院　文廟　學令講習會　在外研究員、留學生及委託生　教科用圖書　時氣　民曆　博物館　展覽會
第十五輯	學事	農業　移住　拓殖　勸業　特許　意匠　商標　度量衡
第十六輯	產業	商業　鑛業　漁業　狩獵　組合
第十七輯	交通　電氣	通信　運輸　電氣附瓦斯
年別索引		

Digitized by the Internet Archive
in 2010 with funding from
University of Toronto

最新世界戰爭概觀

[illegible]

320
122

朝鮮總督府編纂

朝鮮法令輯覽追録

帝國地方行政學會發行

二四
九八九八

第十四輯

法務

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第十四輯　法務

第一章　司法裁判

第一款　裁判所

○朝鮮總督府裁判所令（第三輯ニ收ム）
○裁判所構成法（明治二三、二、法律六）……一
○司法事務共助法（明治四四、三、法律五二）……七
○司法事務ノ共助ニ關スル裁用竝受刑者及刑事被告人ノ護送ニ關スル件（明治四四、一、勅令二六八）……七
○朝鮮、內地間ニ於テ明治四十四年勅令第二百六十八號ニ依リ受刑者及刑事被告人ヲ護送スル=當リ相互ニ送致スヘキ地點（明治四五、六、總訓七二）……七
○外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法（明治三八、三、法律六三）……七
○**間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル件**（明治四四、三、法律五）……八
○間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律ニ依リ管轄權ヲ有スヘキ朝鮮總督府裁判所（明治四四、四、總令四七）……八
○混合仲裁裁判所ノ囑託ニ因リ司法裁判所ノ爲ス法律上ノ補助ニ關スル件（大正九、四、勅令一〇七）……八
○日淸司法事務共助法（昭和一三、三、法律二六）……八

第二款　執達吏

○執達吏手數料規則（明治二三、七、法律五二）……九
○執達吏規則（明治二三、七、法律五一）……一〇
○執達吏手數料規則ニ依ル手數料及立替金竝額ニ關スル件（大正八、五、制令一四）……二
○大正八年制令第十四號ニ依ル執達吏ノ職務ヲ行フ者ノ手數料及立替金竝額ニ關スル件（大正八、五、總令九八）……二

第三款　辯護士

○朝鮮辯護士令（昭和一一、四、制令四）……二
○法律事務取扱ノ取締ニ關スル件（昭和一一、四、制令五）……二三
○法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律（昭和八、五、法律五四）……二三
○朝鮮辯護士名簿登錄規則（昭和一一、五、總令三九）……二三
○外國人辯護士認可規則（昭和一一、五、總令四〇）……二三
○朝鮮辯護士試驗規則（大正一〇、一二、總令一五三）……二四
○朝鮮辯護士試補考試規則（昭和一一、五、總令三八）……二五
○朝鮮辯護士試補實務修習規則（昭和一一、五、總令三七）……二五
○朝鮮辯護士試驗規則ニ依ル學校認定（大正一一、六、總告一五二）……二六

第四款　公證人

○朝鮮公證令（大正二、三、制令三）……二六
○公證人法（明治四一、四、法律五三）……二六
○朝鮮公證令施行規則（大正二、三、總令二〇）……三〇
○朝鮮公證手數料規則（大正二、三、總令二一）……三三
○公證手數料竝額ニ關スル件（大正八、五、總令九九）……三三
○公證人辯護士令施行規則（大正四、四、總令三八）……三三
○公證人、辯護士、司法書士、辨理士及辨理士ノ懲戒免除ニ關スル件（昭和一三、二、勅令八一）……三四

第五款　司法書士

○朝鮮司法書士令（大正一三、一二、制令五）……三四
○司法書士法（大正八、四、法律四八）……三四
○朝鮮司法書士令施行規則（大正一四、三、總令一三）……三四

第二章　訴願

○【朝鮮關稅令】及明治四十四年制令第二號ニ基ク訴願ニ關スル件（明治四五、三、制令二一）……三六
○訴願法（明治二三、一〇、法律一〇五）……三六
○法律事務取扱ノ取締ニ關スル件（昭和一一、四、制令五）……三三
○法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律（昭和八、五、法律五四）……三三
○朝鮮辯護士名簿登錄規則（昭和一一、五、總令三九）……三三
○外國人辯護士認可規則（昭和一一、五、總令四〇）……三三
○朝鮮辯護士試驗規則（大正一〇、一二、總令一五三）……三四
○朝鮮辯護士試補考試規則（昭和一一、五、總令三八）……三五
○朝鮮辯護士試補實務修習規則（昭和一一、五、總令三七）……三五
○朝鮮辯護士試驗規則ニ依ル學校認定（大正一一、六、總告一五二）……三六

第四款　公證人

○朝鮮公證令（大正二、三、制令三）……三六
○公證人法（明治四一、四、法律五三）……三六
○朝鮮公證令施行規則（大正二、三、總令二〇）……四〇
○朝鮮公證手數料規則（大正二、三、總令二一）……四三
○公證手數料竝額ニ關スル件（大正八、五、總令九九）……四三
○公證人辯護士令施行規則（大正四、四、總令三八）……四三
○公證人、辯護士、司法書士、辨理士及辨理士ノ懲戒免除ニ關スル件（昭和一三、二、勅令八一）……四四

第五款　司法書士

○朝鮮司法書士令（大正一三、一二、制令五）……四四
○司法書士法（大正八、四、法律四八）……四四
○朝鮮司法書士令施行規則（大正一四、三、總令一三）……四四

第三章　供託

○**供託ニ關スル件**（大正元、八、制令一）……四七
○供託法（明治三二、二、法律一五）……四七
○供託法中改正法律施行ニ關スル件（大正一一、二、勅令二八）……四八
○朝鮮總督府供託局供託物取扱規則（大正一一、三、總令三四）……四八
○朝鮮總督府供託局事務取扱手續（大正一一、四、總訓一一）……四九
○朝鮮總督府供託局ノ預金取扱店（大正一一、四、總告九一）……五八
○指定供託所供託物取扱規則（大正元、一二、總令三八）……五八
○供託物ノ還付又ハ取戻ヲ請求スル場合ニ關スル件（大正一一、三、勅令七五）……五九
○供託金ノ利息（大正一一、三、總令三六）……五九
○大正十一年制令第二號ノ施行前ニ爲シタル供託ニ關スル件（大正一一、三、總令三七）……五九
○供託事務取扱店（大正一一、三、總令三八）……五九
○大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所（大正元、一二、總告一一三）……五九
○供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合及供託金カ政府ノ所有ニ歸シタル場合ノ取扱方ニ關スル件（昭和一〇、四、大令八）……五九

第十四輯　法務

第一章　司法裁判

第一款　裁判所

●朝鮮總督府裁判所令（第三輯ニ收ム）

●裁判所構成法

明治二十三年二月十日
法律　第　六　號

改正　朝告三八、半三、四、六、七號、三九、半五、五、六號、四、一、半三、第一〇號、四、四、半四、第三〇號、四、四、半四、第三九號、七、一號、一〇、半五、一〇、一號、一一、半四、第三四號、一〇、半五、一〇、一號、一一、半四、第三四號、一〇、半五、一〇、一號、一一、半四、第三四

第三百十四條　裁判所ハ其ノ管轄ニ屬スル訴訟ニ付キ其ノ裁判ヲ爲スニ必要ナル限度ニ於テ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スコトヲ得

第三百十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百二十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百三十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百四十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百五十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百六十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百七十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百八十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第三百九十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百二十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百三十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百四十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ證據調ヲ爲スノ必要ナキモノ又ハ申立ノ時期ニ關スル規定ニ違反シテ申立テタルモノト認メタルトキハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得

第四百四十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ又ハ職

第
六　官吏ハ職務ヲ行フニ付キ故意又ハ過失ニ因リ法律ニ違背シタルトキハ懲戒ニ付セラルヘシ
七　官吏ハ職務ヲ怠リ又ハ其ノ品位ヲ失フヘキ行為アリタルトキハ懲戒ニ付セラルヘシ
八　官吏ハ職務ノ内外ヲ問ハス其ノ品位ヲ保チ信用ヲ重スヘキ義務ヲ負フ
九　官吏ハ職務上ノ秘密ヲ漏ラシタルトキハ懲戒ニ付セラルヘシ官吏ノ職ヲ退キタル後ト雖モ亦同シ
十　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ利害関係ヲ有スル事件ニ付テハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス
十一　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス
十二　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス
十三　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス
十四　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス
十五　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス
十六　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス
十七　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス
十八　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス
十九　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス
二十　官吏ハ職務ヲ行フニ当リ自己ノ利益ヲ図リ又ハ他人ヲシテ之ヲ図ラシムル為ニ其ノ職権ヲ濫用スルコトヲ得ス

タル法廷ニ於テハ一定ノ制服ヲ著ス

前項ノ開廷ニ於テ審問ニ參與スル辯護士モ亦一定ノ職服ヲ著スルコトヲ要ス

第二章　裁判所ノ用語

第百十五條　裁判所ニ於テハ日本語ヲ用ウ當事者證人又ハ鑑定人ノ中日本語ニ通セサル者アルトキハ通訳法又ハ特別法ニ通セサル場合ニ於テハ通訳ヲ用ヰルコトヲ要ス

第百十六條　通事ノ任命及使用竝ニ通訳手續ニ關スル規則ハ司法大臣之ヲ定ム

第百十七條　通事ノ忌避ニ付テハ民事訴訟ノ例ニ從フ

通事ニ關スル費用ハ裁判費用ノ例ニ從フ

第百十八條　外國人ノ當事者又ハ訴訟ニ關係ヲ有スル者及其ノ訴訟ニ參與スル官吏ノ或ル外國語ニ通スル場合ニ於テ裁判長便利ト認ムルトキハ其ノ外國語ヲ以テ口頭審問又ハ書面ヲ以テ陳述ヲ爲スコトヲ得但シ其ノ審問ノ公正記錄ハ日本語ヲ以テ之ヲ作ル

第三章　裁判ノ評議及言渡

第百十九條　合議裁判所ノ裁判ハ此ノ法律ニ從ヒ定數ノ判事之ヲ評議シ及之ヲ言渡ス

第百二十條　四日以上引續ノヘキ見込ノ刑事ノ審問ニ於テ裁判所長ハ補充判事ヲシテ其ノ審問中或ル判事ノ疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ參與スルコトヲ得サル場合ニ於テ之ニ代リ審問及裁判ヲ完結スルノ權ヲ有ス

第百二十一條　判事ノ評議ハ之ヲ公行セス但シ豫備判事及試補ノ傍聽ヲ許スコトヲ得

判事ノ評議ハ其ノ裁判長之ヲ開キ且之ヲ整理ス其ノ評議ノ順序竝ニ各判事ノ意見及多少ノ數ニ付テハ嚴ニ秘密ヲ守ルコトヲ要ス

第百二十二條　評議ノ際各判事意見ヲ述フルノ順序ハ官等ノ最モ低キ者ヲ始トシ裁判長ヲ終トス官等同キトキハ年少ノ者ヲ始トシ受命ノ事件ニ付テハ受命判事ヲ始トス

第百二十三條　裁判ハ過半數ノ意見ニ依ル

金額ニ付判事ノ意見三說以上ニ分レ其ノ說各〻過半數ニ至ラサルトキハ過半數ニ至ルマテ最多額ノ意見ヲ順次寡額ニ合算ス

前項ノ場合ニ於テ審問ニ參與スル辯護士モ亦一定ノ職服ヲ著スルコトヲ要ス

第四章　地方裁判所ノ管轄

第百二十四條　判事ハ裁判所ノ構成ニ關シ法律ニ定メタル地方裁判所ノ管轄區域內ニ住所ヲ有スルノ故ヲ以テ忌避ヲ申立ツルコトヲ得ス

第百二十五條　裁判所及檢事局ノ標準ト爲スヘキ規則ハ司法大臣之ヲ定ム

控訴院長及檢事長ハ前項ノ規則ニ依リ各自管轄區域內ノ裁判所及檢事局ニ對シテ事務ノ一般ノ取扱ニ關リ成ルヘク統一ヲ圖ラシメ殊ニ裁判所及檢事局ノ開廷時間及開廷ノ時日ニ付訓令ヲ發ス

大審院ハ自ラ其ノ事務章程ヲ定ム但シ之ヲ官報ニ掲載スルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第百二十六條　司法大臣ハ各裁判所及各檢事局ヲ監督ス

第百二十七條　裁判所及檢事局ノ事務ハ此ノ法律又ハ特別法ニ定メタル場合ノ外司法大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ處理ス

第百二十八條　裁判所及檢事局ノ書記課ニ於テ取扱フヘキ事務ハ司法大臣之ヲ定ム

第百二十九條　裁判所及檢事局ノ書記課ニ於テ取扱フヘキ事務ニ付テハ法律上ノ輔助ヲ爲ス

第百三十條　裁判所及檢事局ノ書記課モ亦其ノ權內ノ事件ニ付テハ法律上ノ輔助ヲ爲ス

第百三十一條　裁判所及檢事局ノ書記課ニ於テ取扱フヘキ事務ニ付テハ法律上ノ輔助ヲ爲ス

第百三十二條　檢事局モ亦各自ノ管轄區域內ニ於テ取扱フヘキ事務ニ付テハ法律上ノ輔助ヲ爲ス

第百三十三條　裁判所及檢事局ノ書記課モ亦其ノ權內ノ事件又ハ其ノ配下ノ執達吏ノ權內ノ事件ニ付テハ法律上ノ輔助ヲ爲ス

第四編　司法行政ノ職務及監督權

第百三十四條　合議裁判所長區裁判所ノ判事若ハ監督判事檢事總長檢事長檢事正ハ司法大臣ノ由テ以テ司法行政ノ職務ヲ行フノ官吏トス

第百三十五條　司法行政監督權ノ施行ハ左ノ規程ニ依ル

第一　司法大臣ハ各裁判所及各檢事局ヲ監督ス

第二　大審院長ハ大審院ヲ監督ス

第三　控訴院長ハ其ノ控訴院及其ノ管轄區域內ノ下級裁判所ヲ監督ス

第四　地方裁判所長ハ其ノ裁判所若ハ其ノ支部及其ノ管轄區域內ノ區裁判所ヲ監督ス

第五　區裁判所ノ一人ノ判事若ハ監督判事ハ其ノ裁判所所屬ノ書記及執達吏ヲ監督ス

第六　檢事總長ハ其ノ檢事局及下級檢事局ヲ監督ス

第七　檢事長ハ其ノ檢事局及其ノ局ノ附置セラレタル控訴院管轄區域內ノ檢事局ヲ監督ス

第八　檢事正ハ其ノ檢事局及其ノ局ノ附置セラレタル地方裁判所管轄區域內ノ檢事局ヲ監督ス

前項第四號ニ定メタル地方裁判所長ノ其ノ支部及其ノ管轄區域內ノ區裁判所ニ對スル監督ノ權限ハ民事地方裁判所及刑事地方裁判所ノ區裁判所ニ對スル監督ノ權限ニ準ス

第百三十六條　前條ニ掲ケタル監督權ハ左ノ事項ヲ包含ス

第一　官吏不適當又ハ不充分ニ付取扱ヒタル事務ニ付其ノ注意ヲ促シ竝ニ適當ニ其ノ事務ヲ取扱フコトヲ之ニ訓令スル事

第二　官吏ノ職務上ト雖モ拘ラス其ノ地位ニ不相應ナル行狀ニ付之ニ論告スル事

但シ此ノ論告ヲ爲ス前其ノ官吏ヲシテ辯明ヲ爲スコトヲ得セシムヘシ

第百三十六條ノ二　合議裁判所長檢事總長檢事長檢事正ハ其ノ監督ニ屬スル判事若ハ檢事ヲシテ司法行政事務ノ一部分ヲ取扱ハシムルコトヲ得

第百三十七條　第十八條及第八十四條ニ掲ケタル官吏ハ第百三十五條ニ依リ行フヘキ監督ヲ受クルノ官吏中ニ之ヲ包含ス

第百三十八條　裁判所若ハ檢事局ノ官吏ニシテ適當ニ其ノ職務ヲ行ハサル者又ハ其ノ行狀其ノ地位ニ不相應ナル者ニ付第百三十六條ノ論告ヲ適用スルコト能ハサルトキハ懲戒法ニ從ヒ之ヲ訴追ス

第百三十九條　前數條ニ掲ケタル司法行政ノ職務及監督權ハ判事若ハ檢事其ノ官吏タルノ資格又ハ特別法ニ依リ爲スヘキ場合ニ於テハ其ノ資格ヲ以テ爲スヘシ

第百四十條　司法事務取扱ノ方法ニ關スル抗告ハ此ノ編ニ掲ケタル司法行政ノ職務及監督權ニ依リ之ヲ處分ス

第百四十一條　裁判所及檢事局ハ司法大臣又ハ監督權アル判事若ハ檢事ノ要求アルトキハ法律上ノ事項又ハ司法行政ニ關ル事項ニ付意見ヲ述フ

第百四十二條　司法官廳ニ對シテ起リタル民事ノ訴訟ニ於テハ其ノ訴訟ヲ受ケタル裁判所ノ檢事局ハ司法官廳ヲ代表ス

前項ニ定メタル權限ハ民事地方裁判所ニ關シテハ其ノ管轄區域ヲ同シクスル刑事地方裁判所ノ檢事局之ヲ行フ

第百四十三條　此ノ編ニ掲ケタル前各條ノ規程ハ裁判上執務スル判事ノ裁判權ニ影響ヲ及ホシ又ハ之ヲ制限スルコトナシ

附　則

第百四十四條　此ノ法律ノ施行ニ關ル規程竝ニ從來ノ法律ニシテ此ノ法律ニ牴觸スト雖モ當分ノ內仍ホ效力ヲ有セシムルモノハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

附　則（明治四十二年三月法律第三十九號）

本法ハ刑法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前ニ提起シタル訴訟ニ本法ニ依リ他ノ裁判所ノ權限ニ屬スヘキモノ雖モ受訴裁判所之ヲ裁判スヘシ

本法施行後重禁錮又ハ輕禁錮ニ處スヘキ罪ノ裁判權ニ付テハ重禁錮ヲ懲役ト看做シ輕禁錮ヲ禁錮ト看做ス

附　則（大正三年四月法律第三十九號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ判事檢事又ハ試補タル資格ヲ有スル者ハ本法施行後ト雖仍其ノ資格ヲ有ス（大正三年勅令第七十二號ヲ以テ本法ニ施行期日ヲ定ム、第六十八條及第七十九條ハ同年五月一日ヨリ施行）

附　則（大正十年五月法律第百一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十年五月勅令第二百二十七號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ判事又ハ檢事ノ職ニ在ル者ニシテ本法施行ノ日ニ於テ第七十四條ノ二又ハ第八十條ノ二ニ規定スル年齡ヲ超ユルモノ及本法施行ノ日ヨリ二十日內ニ於テ其ノ年齡ニ達スルモノハ本法施行ノ日ヨリ二十日ヲ經テ退職スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ判事ニ付テハ第七十四條ノ二但書ノ規定ヲ、檢事ニ付テハ第八十條ノ二但書ノ規定ヲ準用スル但シ第七十四條ノ二又ハ第八十條ノ二ニ規定スル年齡ニ三年ヲ加ヘタルモノヲ超エテ在職セシムルコトヲ得ス

附　則（大正十一年四月法律第五十三號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則（大正十二年十一月勅令第四百九十九號）

大正十一年法律第五十三號中裁判所構成法第十四條ノ二、第二十八條、第六十五條第一項及第七十一條ノ二ノ改正ニ關スル規定ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十二年五月勅令第二百十四號）

大正十一年法律第五十三號中裁判所構成法第十四條ノ二及第二十八條ノ改正規定施行前從前ノ管轄裁判所ニ於テ受理シタル事件ハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ完結ス

附　則（大正十二年十一月勅令第四百九十九號）

大正十一年法律第五十三號中裁判所構成法第十四條ノ二、第二十八條、第六十五條第一項及第七十一條ノ二ノ改正ニ關スル規定ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十二年五月勅令第二百十四號）

大正十一年法律第五十三號裁判所構成法第六條、第二十七條、第三十七條及第五十條中改正ニ關スル規定ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十四年三月法律第五號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際從前ノ規定ニ依リ判事檢事又ハ試補タル資格ヲ有スル者ハ本法施行後ト雖仍其ノ資格ヲ有ス（大正三年勅令第七十二號ヲ以テ本法ニ施行期日ヲ定ム、第六十八條及第七十九條ハ同年五月一日ヨリ施行）

附　則（大正十年五月法律第百一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十年五月勅令第二百二十七號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ判事又ハ檢事ノ職ニ在ル者ニシテ本法施行ノ日ニ於テ第七十四條ノ二又ハ第八十條ノ二ニ規定スル年齡ヲ超ユルモノ及本法施行ノ日ヨリ二十日內ニ於テ其ノ年齡ニ達スルモノハ本法施行ノ日ヨリ二十日ヲ經テ退職スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ判事ニ付テハ第七十四條ノ二但書ノ規定ヲ、檢事ニ付テハ第八十條ノ二但書ノ規定ヲ準用スル但シ第七十四條ノ二又ハ第八十條ノ二ニ規定スル年齡ニ三年ヲ加ヘタルモノヲ超エテ在職セシムルコトヲ得ス

附　則（大正十一年四月法律第五十三號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則（大正十二年十一月勅令第四百九十九號）

大正十一年法律第五十三號中裁判所構成法第十四條ノ二、第二十八條、第六十五條第一項及第七十一條ノ二ノ改正ニ關スル規定ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十二年五月勅令第二百十四號）

大正十一年法律第五十三號裁判所構成法第六條、第二十七條、第三十七條及第五十條中改正ニ關スル規定ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十四年三月法律第五號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十四年五月勅令第二百二十七號ヲ以テ同年九月一日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ判事又ハ檢事ノ職ニ在ル者ニシテ本法施行ノ日ニ於テ第七十四條ノ二又ハ第八十條ノ二ニ規定スル年齡ヲ超ユルモノ及本法施行ノ日ヨリ二十日內ニ於テ其ノ年齡ニ達スルモノハ本法施行ノ日ヨリ二十日ヲ經テ退職スルモノトス

前項ノ場合ニ於テハ判事ニ付テハ第七十四條ノ二但書ノ規定ヲ、檢事ニ付テハ第八十條ノ二但書ノ規定ヲ準用スル但シ第七十四條ノ二又ハ第八十條ノ二ニ規定スル年齡ニ三年ヲ加ヘタルモノヲ超エテ在職セシムルコトヲ得ス

附　則（大正十一年四月法律第五十三號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則（大正十二年十一月勅令第四百九十九號）

大正十一年法律第五十三號中裁判所構成法第十四條ノ二、第二十八條、第六十五條第一項及第七十一條ノ二ノ改正ニ關スル規定ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十二年五月勅令第二百十四號）

大正十一年法律第五十三號裁判所構成法第六條、第二十七條、第三十七條及第五十條中改正ニ關スル規定ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十四年三月法律第五號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●司法事務共助法

明治四十四年三月
法律第五十二號

改正　大正一一年三第三號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル司法事務共助法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　內地及樺太、朝鮮、臺灣、關東州、南洋群島又ハ帝國ノ領事裁判權ヲ行フ地域ニ於テ司法事務ヲ取扱フ官廳間ノ司法事務ノ共助ハ本法ニ依ル

第二條　司法事務ヲ取扱フ官廳ハ民事及刑事ニ關シ相互ニ左ノ事項ヲ囑託スルコトヲ得

一　訴訟書類ノ送達

二　證據調

三　令狀ノ發付及執行

四　犯罪ノ搜査

第三條　民事ノ判決ハ其ノ執行力アル正本ニ基キ司法事務ヲ取扱フ他ノ官廳ノ管轄區域內ニ於テ其ノ強制執行ヲ爲スコトヲ得但シ執行地ノ法令ニ依リ許スヘカラサル請求ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ假差押又ハ假處分ノ命令ノ執行ニ之ヲ準用ス

第四條　刑事ノ判決ハ謄本ヲ送付シテ其ノ執行ヲ囑託スルコトヲ得但シ死刑又ハ笞刑ヲ言渡シタル判決ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ囑託ニ依ル執行ニ付テハ刑名同シキモノハ之ヲ同一ノ刑ト看做シ舊韓國法規ノ流刑又ハ禁獄ハ之ヲ禁錮ト看做ス

第五條　前條ノ規定ニ依リテ囑託ヲ受ケタル官廳ハ其ノ管轄區域內ノ監獄ニ於テ刑ノ執行ヲ繼續スルコト能ハサル事由ヲ生シタルトキハ囑託ヲ爲シタル官廳ニ其ノ管轄區域內ノ監獄ニ於テ繼續シテ之ヲ爲スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

第六條　司法事務ノ共助ニ關スル費用竝受刑者及刑事被告人ノ護送ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十四年勅令第二百五十二號ヲ以テ大正十四年七月十日ヨリ施行）

本法施行前裁判所ノ受理シタル訴訟ニ付テハ管轄ニ關スル從前ノ規定ヲ適用ス但シ本法ニ依リ其ノ裁判所ノ管轄ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラス

判事又ハ檢事タル資格ヲ有スル司法省參事官ノ本法施行前ニ於ケル在職ハ裁判所構成法第六十九條乃至第七十一條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ判事ノ在職ト看做ス

附　則（昭和九年三月法律第二號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年勅令第八十號）

本令ハ明治四十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十一年三月勅令第二百六十八號）

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮、內地間ニ於テ明治四十四年勅令第二百六十八號ニ依リ受刑者及刑事被告人ヲ護送スル件ニ當リ相互ニ送致スヘキ地點

明治四十五年六月
總閣第七十二號

改正　大正一四年三勅閣一號

朝鮮總督府裁判所
朝鮮總督府檢事局
朝鮮總督府警察官署
朝鮮憲兵隊

朝鮮、內地間ニ於テ明治四十四年勅令第二百六十八號ニ依リ受刑者及刑事被告人ヲ護送スルトキハ內地ヨリ送致スヘキ地點ハ釜山、朝鮮ヨリ送致スヘキ地點ハ下ノ關ト定ム

●外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法

明治三十八年三月
法律第六十三號

改正　朝治四五年二勅七號、昭和二三年三第七號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　裁判所ハ外國裁判所ノ囑託ニ因リ民事及刑事ノ訴訟事件ニ關スル書類ノ送達及證據調ニ付法律上ノ輔助ヲ爲ス

法律上ノ輔助ハ所要ノ手續ヲ取扱フヘキ地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ之ヲ爲ス

第一條ノ二　法律上ノ輔助ハ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ於テ之ヲ爲ス

一　囑託ハ外交機關ヲ經由シタルモノナルコト

ルコトヲ當該領事官ニ命シ且被告人ヲ朝鮮ニ於ケル監獄ニ移送セシムルコトヲ得

第三條　前條ノ規定ニ依リ被告人ヲ朝鮮ニ於ケル監獄ニ移送セル場合ニ於テ朝鮮總督ハ被告人ノ移送セラルル監獄所在地ヲ管轄スル朝鮮總督府覆審法院ノ檢事ヲシテ裁判管轄指定ノ申請ヲ爲サシムヘシ

前項ノ申請及裁判ニ關シテハ刑事訴訟法第十八條第一項及第二十三條ノ規定ヲ準用ス爲ス法律上ノ輔助ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

●混合仲裁裁判所ノ囑託ニ因リ司法裁判所ノ爲ス法律上ノ輔助ニ關スル件

大正九年四月
勅令第百七號
改正　大正九年一〇勅令八六號、一〇年八勅三七號、一二年一勅三號

第一條　裁判所又ハ檢事局ハ滿洲國ノ法院又ハ檢察廳ニ囑託ヲ爲シ又ハ滿洲國ノ法院又ハ檢察廳ノ囑託ニ因リ民事及刑事ニ關シ左ノ事項ニ付司法事務ノ共助ヲ爲ス

一　訴訟書類ノ送達
二　證據調
三　犯罪ノ捜査
四　被疑者又ハ被告人ニ對スル勾引狀ノ發付又ハ執行
五　逮捕狀ノ發付又ハ執行
六　刑事判決ノ執行

共助ハ所要ノ事務ヲ取扱フベキ地ヲ管轄スル區裁判所又ハ區裁判所檢事局ニ於テ之ヲ爲ス

第二條　受託事項ノ實施ガ法律上許スベカラザルモノナルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アルトキハ之ヲ爲サザルコトヲ得

受託事項ノ實施ガ捜査、裁判又ハ刑ノ執行ノ障礙ト爲ルベキ場合ニ於テハ障礙ナキニ至ル迄之ヲ爲サザルコトヲ得

第三條　囑託ニ因ル勾引狀ノ發付又ハ執行ノ實施ガ不相當ナルトキハ之ヲ爲サザルコトヲ得

第四條　囑託ニ因ル自由刑ノ執行ノ實施ガ著シク不相當又ハ不便ナルトキハ之ヲ爲サザルコトヲ得

第五條　前三條ノ規定ニ依リ受託事項ノ實施ヲ爲サザル場合ニ於テハ速ニ其ノ旨ヲ囑託官廳ニ通知スベシ

第六條　檢事犯罪ノ捜査ノ共助ヲ爲スニ付强制ノ處分ヲ必要トスルトキハ押收、捜索、檢證、被疑者若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ共ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

檢事被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ノ共助ヲ爲スニ付必要アルトキハ其ノ處分ヲ其ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタル判事ハ共ノ處分ニ關シ豫審判事ト同一ノ權ヲ有ス

判事本條ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ之ニ關スル書類及證據物ヲ檢事ニ送付スベシ

第七條　刑事判決ノ執行ノ司法大臣ヲ經由シ判決書ノ謄本ヲ送付シテ囑託アリタルトキハ死刑及法律ノ認メザル刑ヲ除キ之カ共助ヲ爲スベシ

前項ノ囑託ニ因ル執行ニ付テハ刑名同ジキモノハ之ヲ同一ノ刑ト看做シ滿洲國刑法ノ徒刑ハ之ヲ懲役ト看做ス

第八條　囑託ニ因ル受刑者ノ假出獄ニ關シテハ帝國ノ法令ニ依ル

第九條　囑託ニ因リ罰金、科料若ハ沒收ノ刑ヲ執行シ又ハ追徵金ヲ徵收シタルトキハ其ノ金額又ハ物品ヲ滿洲國ニ引渡スベシ但シ沒收物中價値ナキ物ハ之ヲ廢棄シ引渡ニ不

本令ハ大正十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●混合仲裁裁判所ノ囑託ニ因リ司法裁判所ノ爲ス法律上ノ輔助ニ關スル件

大正九年四月
勅令第百七號
改正　大正九年一〇勅令八六號、一〇年八勅三七號、一二年一勅三號

第一條　裁判所又ハ檢事局ハ滿洲國ノ法院又ハ檢察廳ニ囑託ヲ爲シ又ハ滿洲國ノ法院又ハ檢察廳ノ囑託ニ因リ民事及刑事ニ關シ左ノ事項ニ付司法事務ノ共助ヲ爲ス

一　訴訟書類ノ送達
二　證據調
三　犯罪ノ捜査
四　被疑者又ハ被告人ニ對スル勾引狀ノ發付又ハ執行
五　逮捕狀ノ發付又ハ執行
六　刑事判決ノ執行

共助ハ所要ノ事務ヲ取扱フベキ地ヲ管轄スル區裁判所又ハ區裁判所檢事局ニ於テ之ヲ爲ス

第二條　受託事項ノ實施ガ法律上許スベカラザルモノナルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アルトキハ之ヲ爲サザルコトヲ得

受託事項ノ實施ガ捜査、裁判又ハ刑ノ執行ノ障礙ト爲ルベキ場合ニ於テハ障礙ナキニ至ル迄之ヲ爲サザルコトヲ得

第三條　囑託ニ因ル勾引狀ノ發付又ハ執行ノ實施ガ不相當ナルトキハ之ヲ爲サザルコトヲ得

第四條　囑託ニ因ル自由刑ノ執行ノ實施ガ著シク不相當又ハ不便ナルトキハ之ヲ爲サザルコトヲ得

第五條　前三條ノ規定ニ依リ受託事項ノ實施ヲ爲サザル場合ニ於テハ速ニ其ノ旨ヲ囑託官廳ニ通知スベシ

第六條　檢事犯罪ノ捜査ノ共助ヲ爲スニ付强制ノ處分ヲ必要トスルトキハ押收、捜索、檢證、被疑者若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ共ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

檢事被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ノ共助ヲ爲スニ付必要アルトキハ其ノ處分ヲ其ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタル判事ハ共ノ處分ニ關シ豫審判事ト同一ノ權ヲ有ス

判事本條ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ之ニ關スル書類及證據物ヲ檢事ニ送付スベシ

第七條　刑事判決ノ執行ノ司法大臣ヲ經由シ判決書ノ謄本ヲ送付シテ囑託アリタルトキハ死刑及法律ノ認メザル刑ヲ除キ之カ共助ヲ爲スベシ

前項ノ囑託ニ因ル執行ニ付テハ刑名同ジキモノハ之ヲ同一ノ刑ト看做シ滿洲國刑法ノ徒刑ハ之ヲ懲役ト看做ス

第八條　囑託ニ因ル受刑者ノ假出獄ニ關シテハ帝國ノ法令ニ依ル

第九條　囑託ニ因リ罰金、科料若ハ沒收ノ刑ヲ執行シ又ハ追徵金ヲ徵收シタルトキハ其ノ金額又ハ物品ヲ滿洲國ニ引渡スベシ但シ沒收物中價値ナキ物ハ之ヲ廢棄シ引渡ニ不

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル件

明治四十四年四月
總令第四十七號
改正　大正五年一勅二號、八年一〇勅一六五號、二二年六勅九二號

明治四十四年法律第五十一號ニ依リ管轄權ヲ有スヘキ朝鮮總督府裁判所ヲ左ノ通定ム

一　清津地方法院
　京城覆審法院

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行前受理シタル訴訟事件及非訟事件ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十四年三月法律第七號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十四年九月勅令第二百八十六號ヲ以テ同年十一月一日ヨリ施行）

●間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル法律ニ依リ管轄權ヲ有スヘキ朝鮮總督府裁判所

明治四十四年四月
總令第四十七號
改正　大正五年一勅二號、八年一〇勅一六五號、二二年六勅九二號

第一條　間島ニ駐在スル帝國領事官ノ裁判ニ關スル法律ニ依リ左ノ事項ニ付司法事務ノ共助ヲ爲ス

一　訴訟書類ノ送達
二　證據調
三　犯罪ノ捜査
四　被疑者又ハ被告人ニ對スル勾引狀ノ發付又ハ執行
五　逮捕狀ノ發付又ハ執行
六　刑事判決ノ執行

共助ハ所要ノ事務ヲ取扱フベキ地ヲ管轄スル區裁判所又ハ區裁判所檢事局ニ於テ之ヲ爲ス

第二條　受託事項ノ實施ガ法律上許スベカラザルモノナルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アルトキハ之ヲ爲サザルコトヲ得

受託事項ノ實施ガ捜査、裁判又ハ刑ノ執行ノ障礙ト爲ルベキ場合ニ於テハ障礙ナキニ至ル迄之ヲ爲サザルコトヲ得

第三條　囑託ニ因ル勾引狀ノ發付又ハ執行ノ實施ガ不相當ナルトキハ之ヲ爲サザルコトヲ得

第四條　囑託ニ因ル自由刑ノ執行ノ實施ガ著シク不相當又ハ不便ナルトキハ之ヲ爲サザルコトヲ得

第五條　前三條ノ規定ニ依リ受託事項ノ實施ヲ爲サザル場合ニ於テハ速ニ其ノ旨ヲ囑託官廳ニ通知スベシ

第六條　檢事犯罪ノ捜査ノ共助ヲ爲スニ付强制ノ處分ヲ必要トスルトキハ押收、捜索、檢證、被疑者若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ共ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

檢事被疑者ニ對スル勾引狀ノ發付ノ共助ヲ爲スニ付必要アルトキハ其ノ處分ヲ其ノ所屬區裁判所ノ判事ニ請求スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル請求ヲ受ケタル判事ハ共ノ處分ニ關シ豫審判事ト同一ノ權ヲ有ス

判事本條ノ處分ヲ爲シタルトキハ速ニ之ニ關スル書類及證據物ヲ檢事ニ送付スベシ

第七條　刑事判決ノ執行ノ司法大臣ヲ經由シ判決書ノ謄本ヲ送付シテ囑託アリタルトキハ死刑及法律ノ認メザル刑ヲ除キ之カ共助ヲ爲スベシ

前項ノ囑託ニ因ル執行ニ付テハ刑名同ジキモノハ之ヲ同一ノ刑ト看做シ滿洲國刑法ノ徒刑ハ之ヲ懲役ト看做ス

第八條　囑託ニ因ル受刑者ノ假出獄ニ關シテハ帝國ノ法令ニ依ル

第九條　囑託ニ因リ罰金、科料若ハ沒收ノ刑ヲ執行シ又ハ追徵金ヲ徵收シタルトキハ其ノ金額又ハ物品ヲ滿洲國ニ引渡スベシ但シ沒收物中價値ナキ物ハ之ヲ廢棄シ引渡ニ不

便ナル物ハ之ヲ公賣シテ其ノ代價ヲ引渡スコトヲ得

第十條　受託官廳受託事項ニ付權限ヲ有セザルトキハ受託ノ權限アル官廳ニ囑託ヲ移送シタル上速ニ其ノ旨ヲ囑託官廳ニ通知スベシ

第十一條　受託事項ハ帝國ノ法令ニ依リ之ヲ實施ス

第十二條　民事ニ關スル受託事項ノ實施ニ要スル費用ニシテ當事者ノ負擔ト爲ラザルモノハ之ヲ國庫ノ負擔トス

刑事ニ關スル受託事項ノ實施ニ要スル費用ハ之ヲ國庫ノ負擔トス但シ他ノ法令ニ於テ別ニ負擔者ヲ定ムルモノハ之ヲ其ノ者ノ負擔トス

第十三條　裁判所又ハ檢事局ハ滿洲國ノ法院又ハ檢察廳ニ對シ第一條第一項ノ事項ノ囑託ヲ爲スコトヲ得

第十四條　第一條第一項ノ事項ノ囑託ハ裁判所又ハ檢事局ヨリ滿洲國ノ地方法院又ハ地方檢察廳ニ對シ直接之ヲ爲スコトヲ得但シ刑事判決ノ執行ノ囑託ハ司法大臣ヲ經テ之ヲ爲スベシ

第十五條　滿洲國ノ法院又ハ檢察廳ガ囑託ニ因リ爲シタル行爲ハ帝國ノ法令ノ適用ニ關シテハ帝國ノ法令ニ依リ爲シタルモノト同一ノ效力ヲ有ス

第十六條　滿洲國ノ執行名義ニ依リテ强制執行ヲ爲スニハ裁判所ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス

第十七條　前條ノ認可ノ申立ハ債務者ノ普通裁判籍又ハ執行ノ目的タル財産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十八條　前條ノ申立ニ對スル裁判ハ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

民事訴訟法第五百十五條ノ規定ハ前項ノ裁判ニ之ヲ準用ス

第十九條　執行認可ノ裁判ハ執行力アル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

第二十條　第十八條ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス

執行認可ノ裁判ニ對スル即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第二款　執達吏

第二十一條　前五條ノ規定ハ滿洲國法院ノ爲シタル强制執行ノ停止ヲ命ズル裁判ニ依リテ強制執行ノ停止ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

民事訴訟法第五百二十二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十三年四月勅令第二百九十號ヲ以テ昭和十三年五月一日ヨリ施行）

●執達吏手數料規則

明治二十三年七月
法律第五十二號
改正　明治四二年三第三一號、四四年三第五四號、大正三年三第三號、昭和一〇年四第三三號

第二款　執達吏

●執達吏手數料規則

第一條　執達吏ノ此規則ニ從ヒ手數料ヲ受ケ此法律ハ明治二十三年十一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

執達吏手數料規則

第一條　執達吏ハ此規則ニ從ヒ手數料ヲ受ケ第二條　書類送達ノ手數料ハ一通ニ付七錢トス第三條　有體動産及未タ土地ヨリ離レサル果實竝爲替證券其他裏書ヲ以テ移轉スルコトヲ得ル證券ノ差押、假差押ニ付テノ手數料ハ左ノ區別ニ從フ

執行スヘキ債權額　手數料
貳拾圓マテ　四拾錢
五拾圓マテ　六拾錢
百圓マテ　九拾錢
貳百五拾圓マテ　壹圓貳拾錢
五百圓マテ　壹圓五拾錢
千圓マテ　壹圓八拾錢
千圓ヲ超ユルトキハ　貳圓四拾錢トス

假差押ヲ爲シタル物ニ對スル差押ニ付テノ手數料ハ前項ノ手數料ノ半額トス

若シ執務ノ時間以上ニ渉ルトキハ一時間毎ニ本條ニ定メタル手數料ノ十分ノ三ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做ス

第四條　執達吏ハ此規則ニ從ヒ手數料ヲ受ケ又ハ差押物ヲ還付スルコト

第五　職工、役夫ノ手當
第六　有價證券ノ記名書換及流通ヲ止メタル證券ノ流通ノ回復スル爲ノ費用
第七　人及物ノ送致費用
第八　物ノ保存竝監視ノ費用
第九　果實收穫ノ費用

千圓マテ　四圓五拾錢

以上千圓毎ニ壹圓ヲ加フ但千圓ニ滿タサルモ千圓ト看做シテ算定ス

任意競賣ニ付テモ亦前項ニ同シ

第十條　執達吏執行爲ス場所ニ臨マサル以前ニ民事訴訟法第五百五十條ニ依リ又ハ委任ノ消滅ニ依リ强制執行ヲ止メタルトキ又ハ支拂若クハ引渡ニ依リ强制執行ノ委任終了シタルトキハ各本條ニ定メタル手數料ノ半額ヲ受ク但第九條ノ場合ニ於テハ其手數料ヲ六拾錢トス

第十一條　執達吏執行爲ス場所ニ臨ミタル後民事訴訟法第五百五十條ニ依リ又ハ委任ノ消滅ニ依リ强制執行ヲ止メタルトキ又ハ支拂若クハ引渡ニ依リ强制執行ノ委任終了シタルトキハ各本條ニ定メタル手數料ノ十分ノ三ヲ受ク但第九條ノ場合ニ於テハ其手數料ヲ四拾錢トス

第十二條　第三條乃至第十一條ノ手數料ヲ受クヘキ行爲ニハ强制執行ノ場合ニ於ケル左ノ行爲ヲ包含ス

第一　警察上ノ援助ヲ求メ又ハ證人鑑定人ノ立會ヲ爲サシムルコト
第二　執行行爲ニ關スル催告其他ノ通知ヲ爲シ又ハ書類ノ送達ヲ爲スコト
第三　記名證券ヲ買主ノ氏名ニ書換ヘ及必要ナル陳述ヲ債務者ニ代リ爲スコト
第四　支拂其他ノ給付、差押金錢及賣却金ヲ受取リ、交付シ若シ又ハ供託シ又ハ受取證書ヲ交付シ又ハ差押物ヲ還付スルコト

第五　競賣ノ公告ヲ爲スコト

第十三條　執達吏ハ立替金トシテ左ノ費用ノ辨濟ヲ受ク

第一　郵便料、電信料
第二　書記料
第三　公告料
第四　證人、鑑定人ノ手當

第十　旅費宿泊料
第十四條　前條ノ書記料ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ定ムヲ受ク
第一　法律ニ依リ又ハ利害關係人ノ求ニ依リ證書及記錄中ニ存スル書類ノ謄本ヲ作リタルトキ但法律ニ依リ交付スヘキ送達證書ノ謄本ハ此限ニ在ラス
第二　供託ヲ爲スニ際シ執行裁判所ニ差出スヘキ屆書ヲ作リタルトキ
第三　差押命令ノ送達後第三債務者ノ爲ス陳述ヲ筆記シタルトキ
書記料ハ半枚十二行二十字詰ニ付參錢トス但十二行ニ滿タサルモ半枚ト看做シテ算定ス
第十五條　强制執行ニ關セサル告知及催告ヲ爲ストキハ其手數料拾五錢ヲ受ク
第十六條　拒絕證書ヲ作成シ場合ニ於テハ其手數料ヲ五拾錢トス若シ執務一時間以上ニ渉ルトキハ一時間毎ニ貳拾錢ヲ加フ但其執務一時間ニ滿タサルモ一時間ト看做シテ算定ス
第十六條ノ二　執行記錄其他ノ書類ノ閲覽ニ付テノ手數料ハ既濟ノ書類ニ限リ一回ニ付拾錢トス
第十六條ノ三　手數料ノ定ナキ事項ニ付テハ最類似スル事項ト同一ノ手數料ヲ受ク
第十七條　證人ニ支給スヘキ日當ハ五拾錢以下トシ執達吏土地ノ情況ニ從ヒ之ヲ支給ス若シ一里以上ノ地ヨリ呼出シタルトキハ第十八條ノ規定ニ從ヒ旅費ヲ支給ス
第十八條　執達吏自己ノ役場又ハ其出張所ヨリ一里以上ノ地ニ至リ職務ヲ行フトキハ一里毎ニ拾五錢以下ノ旅費ヲ受ク但一里ニ滿タサルモ一里ト看做シテ算定ス
執達吏共職務ヲ執行スル爲宿泊ヲ要シタルトキハ一泊ニ付壹圓貳拾錢以下ノ宿泊料ヲ受ク
右旅費及宿泊料ノ額ハ控訴院長ノ認可ヲ經テ地方裁判所長之ヲ定ム但管轄區域ヲ同シクスル民事地方裁判所及刑事地方裁判所アル場合ニ於テハ控訴院長之ヲ定メ又ハ其指定シタル民事地方裁判所長若クハ刑事地方裁判所長ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム（昭和十年勅令第二百三十三號）

●執達吏規則

明治二十三年七月
法律第五十一號

改正　明治四二年三月第二號、大正三年三月第三〇號、八年四月第四〇號、一〇年三月第二六號、昭和一〇年四月第三一號

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十年四月勅令第八十八號ヲ以テ昭和十年五月一日ヨリ施行）

第一章　執達吏

第一條　執達吏ハ區裁判所ニ屬シ法律ニ從ヒ訴訟ニ關スル書類ノ謄本ヲ作リタルトキ又ハ訴訟上ノ救助ヲ受ケタル者ノ第二條　執達吏ハ當事者ノ一方若クハ第三條　執達吏ハ裁判所書記ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ此限ニ在ラス
第二條　執達吏ハ當事者ノ委任ニ依リ左ノ事務ヲ取扱フコトヲ得
第一　動産不動産ノ任意競賣ヲ爲スコト
第二　拒證書ヲ作ルコト
第三　執達吏ハ法律規則ニ定メル職務ノ外裁判所及檢事局ノ命令ニ依リ其職務ニ應スル事務殊ニ左ノ事務ヲ取扱フノ義務アリ
第一　書類物品ノ送付ヲ爲スコト
第二　用金料料過料ヲ徵收シ及沒收物品ヲ取上ケ若クハ賣却スルコト
第三　令狀ノ執行ヲ爲スコト
第四條　執達吏ハ所屬區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ノ監督ヲ受ケ他ノ判事又ハ檢事ニシテ職務上事務ヲ命シタルトキハ其事務ニ限リ執達吏ニ對シ監督權ヲ有ス
第五條　執達吏ハ所屬區裁判所ノ管轄區域內ニ於テ地方裁判所長ノ指定シタル地ニ役場ヲ設クヘシ
第五條ノ二　區裁判所又ハ其出張所ノ所在地ニ執達吏ナキ場合ニ於テハ地方裁判所長ハ其管轄內ノ執達吏ニ役場ノ出張所ノ設置ヲ命シ又ハ裁判所書記ヲシテ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得
裁判所書記カ執達吏ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ自己ノ責任ヲ以テ第十一條ニ揭ケル者其他適當ト認ムル者ニ臨時其職務ノ執行ヲ委任スルコトヲ得
第五條ノ三　第五條及前條第一項ニ定メタル地方裁判所長ノ權限ハ管轄區域ヲ同シクスル民事地方裁判所及刑事地方裁判所アル場合ニ於テハ控訴院長又ハ其指定シタル民事地方裁判所長若クハ刑事地方裁判所長之ヲ行フ
第六條　執達吏ハ其役場ノ所在地ニ住居ヲ定ムヘシ
第七條　一區裁判所ニ數名ノ執達吏アルトキハ裁判所及檢事局ノ命令ニ依リ執務ヲ擔任スヘキ事務ヲ各執達吏ニ分配スヘシ此分配ハ成ルヘク土地ノ區域ニ從フヘシ
事務分配ハ輪回法年度ノ終ニ於テ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事前以テ之ヲ定ム
執達吏ノ爲シタル事務ハ事務分配上共事務他ノ執達吏ノ爲シタリトノ事實ノミニ因リ其效力ヲ失フコトナシ
第八條　執達吏ハ左ノ場合ニ於テハ其職務施行ヲ除斥セラルヘシ
第一　自己又ハ其婦カ當事者若クハ被害者タルトキ又ハ當事者ノ一方若クハ雙方又ハ被害者ト共同權利者共同義務者若クハ償還義務者タルノ關係ヲ有スルトキ
第二　自己又ハ其婦カ當事者ノ一方若クハ雙方又ハ被害者又ハ共配偶者ト親族ナルトキ但姻族ニ付テハ婚姻ノ解除シタルトキ雖亦同シ
第三　自己カ同一ノ事件ニ付證人若クハ鑑定人ト爲リテ訊問ヲ受ケルトキ又ハ法律上代理人ト爲ルニ權利ヲ有スルトキ若クハ之ヲ有シタルトキ
第九條　執達吏ハ民事訴訟ニ付テ其婦又ハ自己若クハ其婦ノ親族ノ爲ニノミ訴訟代理人及輔佐人トシテ法廷ニ出ルコトヲ得但姻族ニ付テハ婚姻ノ解除シタルトキト雖亦同シ
第十條　執達吏ハ其職務ヲ行フヘキ命令若クハ委任ヲ受ケルトキハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス
第十一條　執達吏ハ特別ノ命令若クハ委任ヲ受ケタル場合ノ外自己ノ責任ヲ以テ左ニ揭ケル者ニ臨時其職務ノ執行ヲ委任スルコトヲ得
第一　執達吏ノ登用試驗ニ及第シタル者
第二　執達吏ノ職務修習ニシテ三箇月以上其職務ヲ修習シタル者
第三　裁判所書記ノ登用試驗ニ及第シタル者

第四條　左ニ揭ケル者ハ辯護士タルノ資格ヲ有セズ
一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
二　懲戒ノ處分ニ因リ免官若ハ免職セラレタル者、辯護士ニ關スル法令ニ依リ除名セラレタル者又ハ辯護士法若ハ計理士法ニ依リ業務ヲ禁止セラレタル者ニシテ免官、免職、除名又ハ業務禁止後二年ヲ經過セサル者
三　禁治產者又ハ準禁治產者
四　破產者ニシテ復權ヲ得サル者
第五條　外國ノ辯護士タルノ資格ヲ有スル外國人ハ相互ノ保證アルトキニ限リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ外國人又ハ外國法ニ關シ第一條揭ケル者ハ此ノ限ニ在ラズ
第十五條第二項、第十七條及第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ前項ノ認可ヲ受ケタル朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ且辯護士名簿ニ登錄セラルルコトヲ要ス
一　辯護士法ニ依ル辯護士タルノ資格ヲ有スル者
二　朝鮮辯護士試補トシテ一年六月以上ノ實務修習ヲ了ヘ考試ヲ經タル者
三　朝鮮總督府判事又ハ朝鮮總督府檢事タリシ者
朝鮮辯護士試補ノ實務修習及考試ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム
第三條　朝鮮辯護士試補ハ辯護士法ニ依ル辯護士試補タル資格ヲ有スル者ナルコトヲ要ス

第四　區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ニ於テ臨時執達吏ノ職務ヲ行フ者ノ手數料及立替金增額ニ關スル件左ノ通定ム
第一條　大正八年制令第十四號ニ依ル執達吏ノ職務ヲ行フ者ノ手數料及立替金ノ增加額ハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外百分ノ五十トス
第二條　執達吏手數料規則第二條ノ手數料ハ三錢、第十四條ノ書記料ハ一錢、第十五條及第十六條ノ二ノ手數料ハ五錢ヲ增加ス
附　則
本令ハ大正八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三款　辯護士

●朝鮮辯護士令

昭和十一年四月
制令　第四號

辯護士規則改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス
辯護士規則左ノ通改正ス
朝鮮辯護士令
第一條　辯護士ハ當事者其ノ他ノ關係人ノ委囑又ハ官廳ノ選任ニ因リ訴訟ニ關スル行爲其ノ他一般ノ法律事務ヲ行フコトヲ職務トス
第二條　辯護士タルニハ左ノ各號ノ一ニ該當スル帝國臣民タル成年者ニシテ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ且辯護士名簿ニ登錄セラルルコトヲ要ス
一　辯護士法ニ依ル辯護士タル資格ヲ有スル者
二　朝鮮辯護士試補トシテ一年六月以上ノ實務修習ヲ了ヘ考試ヲ經タル者
三　朝鮮總督府判事又ハ朝鮮總督府檢事タリシ者
朝鮮辯護士試補ノ實務修習及考試ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム
第三條　朝鮮辯護士試補ハ辯護士法ニ依ル辯護士試補タル資格ヲ有スル者ナルコトヲ要ス

手數料ヲ受ケ及立替金ノ辨濟ヲ受ク
第十九條　執達吏一年間ニ收入セシ手數料六百圓ニ充タサルトキハ國庫ヨリ其不足額ヲ支給ス
第二十條　執達吏死亡シタルトキ又ハ停職免職若クハ勾留セラレタルトキハ區裁判所ノ一人ノ判事若クハ監督判事ハ左ノ處分ヲ爲官、免職、除名又ハ業務禁止後二年ヲ經過セサル者
三　禁治產者又ハ準禁治產者
四　破產者ニシテ復權ヲ得サル者
第五條　外國ノ辯護士タルノ資格ヲ有スル外國人ハ相互ノ保證アルトキニ限リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ外國人又ハ外國法ニ關シ第一條揭ケル者ハ此ノ限ニ在ラズ
第十五條第二項、第十七條及第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ前項ノ認可ヲ受ケタル朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ且辯護士名簿ニ登錄セラルルコトヲ要ス
一　辯護士法ニ依ル辯護士タルノ資格ヲ有スル者
二　朝鮮辯護士試補トシテ一年六月以上ノ實務修習ヲ了ヘ考試ヲ經タル者
三　朝鮮總督府判事又ハ朝鮮總督府檢事タリシ者
朝鮮辯護士試補ノ實務修習及考試ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム
第三條　朝鮮辯護士試補ハ辯護士法ニ依ル辯護士試補タル資格ヲ有スル者ナルコトヲ要ス

大正八年制令第十四號ニ依ル執達吏ノ職務ヲ行フ者ノ手數料及立替金增額ニ關スル件左ノ通定ム
第一條　大正八年制令第十四號ニ依ル執達吏ノ職務ヲ行フ者ノ手數料及立替金ノ增加額ハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外百分ノ五十トス
第二條　執達吏手數料規則第二條ノ手數料ハ三錢、第十四條ノ書記料ハ一錢、第十五條及第十六條ノ二ノ手數料ハ五錢ヲ增加ス
附　則
本令ハ大正八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三款　辯護士

●朝鮮辯護士令

昭和十一年四月
制令　第四號

辯護士規則改正ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス
辯護士規則左ノ通改正ス
朝鮮辯護士令
第一條　辯護士ハ當事者其ノ他ノ關係人ノ委囑又ハ官廳ノ選任ニ因リ訴訟ニ關スル行爲其ノ他一般ノ法律事務ヲ行フコトヲ職務トス
第二條　辯護士タルニハ左ノ各號ノ一ニ該當スル帝國臣民タル成年者ニシテ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ且辯護士名簿ニ登錄セラルルコトヲ要ス
一　辯護士法ニ依ル辯護士タル資格ヲ有スル者
二　朝鮮辯護士試補トシテ一年六月以上ノ實務修習ヲ了ヘ考試ヲ經タル者
三　朝鮮總督府判事又ハ朝鮮總督府檢事タリシ者
朝鮮辯護士試補ノ實務修習及考試ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム
第三條　朝鮮辯護士試補ハ辯護士法ニ依ル辯護士試補タル資格ヲ有スル者ナルコトヲ要ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

二　相手方ノ協議ヲ受ケタル事件ニシテ其ノ協議ノ程度及方法カ信頼關係ニ非ラサルモノト認メラルルモノ

三　公務員トシテ職務上取扱ヒタル事件

四　仲裁人トシテ取扱ヒタル事件

第二十二條　辯護士ハ係爭權利ヲ讓受クルコトヲ得ス但シ帝國議會若ハ地方議會ノ議員ト爲リ又ハ官署若ハ公署ヨリ特ニ命セラレ若ハ囑託セラレタル職務ヲ行フハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　辯護士ハ事件ノ委嘱ヲ承諾セサルトキハ速ニ其ノ旨ヲ委嘱者ニ通告スヘシ若シ通告ヲ怠リタルトキハ之カ爲生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第二十四條　辯護士ハ報酬ノ公務ヲ兼ヌルコトヲ得ス但シ帝國議會若ハ地方議會ノ議員ト爲リ又ハ官署若ハ公署ヨリ特ニ命セラレ若ハ囑託セラレタル職務ヲ行フハ此ノ限ニ在ラス

辯護士ハ檢事正ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ商業其ノ他營利ヲ目的トスル業務ヲ營ミ若ハ之ヲ營ム者ノ使用人ト爲リ又ハ營利ヲ目的トスル法人ノ業務執行社員、取締役若ハ使用人ト爲ルコトヲ得ス

第二十五條　前條ノ規定ハ實務修習中ノ朝鮮辯護士試補ニ之ヲ準用ス

第二十六條　辯護士ハ法人トス

辯護士ハ品位ノ保持及辯護士事務ノ改善進歩ニ關シ以テ目的ト爲ルヘシ

第二十七條　辯護士ハ地方法院ノ管轄區域毎ニ之ヲ設立スヘシ

第二十八條　辯護士ハ之ヲ設立セントスルトキハ會員ト爲ルヘキ辯護士ノ會則ヲ定メ其ノ正ヲ經由シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

辯護士ノ會則ヲ變更セントスルトキハ檢事正ヲ經由シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十九條　朝鮮總督辯護士ノ會則ヲ認可シタルトキハ檢事正ヲ經由シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三十條　辯護士ハ會則ニ從ヒ會費ヲ納ムヘシ

第三十一條　辯護士ハ會則ニ從ヒ役員ヲ選擧スヘシ

第三十二條　辯護士ハ會則ニ從ヒ會議ヲ開クヘシ

辯護士會ハ必要アル場合ニ於テ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第三十三條　辯護士會ハ會議ノ日時、場所及議題ヲ豫メ檢事正ニ申告スヘシ

第三十四條　檢事正ハ辯護士會ノ會議又ハ役員選擧ノ場所ニ臨席シ又ハ所部ノ官吏ヲシテ臨席セシムルコトヲ得

第三十五條　辯護士會ハ遲滯ナク會議ノ決議竝ニ役員ノ就任及退任ヲ檢事正ニ申告スヘシ

第三十六條　辯護士會ハ往年定期總會ヲ開クヘシ

辯護士會ハ必要アル場合ニ於テ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第三十七條　辯護士會ハ會議ノ日時、場所及議題竝ニ役員選擧ノ日時及場所ヲ豫メ檢事正ニ申告スヘシ

第三十八條　檢事正ハ辯護士會ノ會議又ハ役員選擧ノ場所ニ臨席シ又ハ所部ノ官吏ヲシテ臨席セシムルコトヲ得

第三十九條　辯護士會ハ遲滯ナク會議ノ決議竝ニ役員ノ就任及退任ヲ檢事正ニ申告スヘシ

第四十條　左ノ事項ハ總會ノ決議ヲ經ヘシ

一　會則ノ變更

二　豫算及決算

第四十一條　辯護士會ノ會議カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルトキハ檢事正ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ其ノ議事ヲ停止スルコトヲ得

辯護士會ノ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルトキハ檢事正ハ其ノ役員ヲ解任スルコトヲ得

第四十二條　辯護士會ハ辯護士ニ懲戒者トノ間ニ紛議ヲ生シタルトキハ當事者ノ請求ニ因リ其ノ調停ヲ爲スコトヲ得

第四十三條　辯護士會ハ總會ノ決議ニ因リテ解散ス

前項ノ總會ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第七十三條乃至第七十六條、第七十八條乃至第八十條、第八十二條及第八十三條竝ニ民法施行法第二十六條及第二十七條ノ規定ハ辯護士會ノ清算ニ之ヲ準用ス

朝鮮總督辯護士會ノ解散ノ告示ヲ爲スヘシ

第四十四條　辯護士朝鮮辯護士令第四條第一號、第三號又ハ第四號ニ該當スルニ至リタルトキハ裁判所ノ認可ヲ以テ辯護士會ノ會則ニ違反シタルトキハ檢事正ハ其ノ辯護士ノ除名ヲ裁判所ニ請求スヘシ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

第四十五條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士ニ付朝鮮辯護士令第十二條第一號、第二號又ハ第四號ニ該當スル事由生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スヘシ

第四十六條　辯護士其ノ氏名又ハ本籍ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事局ノ辯護士名簿ニ登錄換ヲ受ケタルトキ亦同シ

第四十七條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日、登錄番號其ノ他必要ナル事項ヲ本人、關係アル辯護士會及其ノ辯護士會ノ所在地ヲ管轄スル地方法院長ニ通知スヘシ

第四十八條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ辯護士名簿ニ加入シタル者ハ本令ニ依リ辯護士ノ名簿ニ登錄セラレタルモノト看做ス

第四十九條　本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第五十條　本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依リ辯護士タルノ資格ヲ有スル者ハ本令施行後ト雖モ仍其ノ資格ヲ有ス

第五十一條　從前ノ規定ニ依リ朝鮮辯護士試驗ハ昭和十五年十二月三十一日迄之ヲ存續ス

前項ノ試驗ニ合格シタル者ハ第三條ノ規定ニ拘ラス朝鮮辯護士試補タルノ資格ヲ有ス

第五十二條　舊刑法ノ重罪ノ刑又ハ禁錮ニ處セラレタル者ハ第四條ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

第五十三條　從前ノ規定ニ依ル辯護士名簿ノ登錄ハ之ヲ本令ニ依ル辯護士名簿ノ登錄ト看做ス

第五十四條　本令施行前從前ノ規定ニ依リテ辯護士タルノ認可又ハ辯護士名簿ノ登錄換ノ認可ヲ受ケタル者ニシテ本令施行前辯護士名簿ノ登錄若ハ登錄換ノ申請ヲ爲サス又辯護士會ニ加入セサルモノニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リテ登錄若ハ登錄換ノ請求ヲ爲シ又ハ從前ノ例ニ依リテ辯護士會ニ加入スルニ非サレハ其ノ認可ハ效力ヲ失フ

第五十五條　辯護士會ノ會則ハ本令ニ依ル辯護士會成立スルニ至ル迄ハ仍從前ノ例ニ依ル

第五十六條　本令施行ノ際現ニ存スル辯護士會ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ本令ニ依ル辯護士會ヲ設立スル爲會則ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ朝鮮總督ハ認可ヲ爲サス朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキハ辯護士會ノ名稱、事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スヘシ

第五十七條　本令施行ノ際現ニ同一地方法院ノ管轄區域内ニ二個以上ノ辯護士會存スル場合ニ於テハ第二十七條ノ規定ニ拘ラス各別ニ前條ノ規定ニ依リ辯護士會ヲ設立スルコトヲ得

第五十八條　前二條ノ規定ニ依リテ辯護士會成立シタルトキハ舊辯護士會ノ會員ハ當然新辯護士會ノ會員ト爲リ舊辯護士會ニ屬シタル權利義務ハ新辯護士會之ヲ承繼ス

●法律事務取扱ノ取締ニ關スル件

（昭和十一年四月側令第五號）

法律事務取扱ノ取締ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得タル事項ノ取締ニ關シテハ昭和八年法律第五十四號ニ依ル

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮辯護士名簿登錄規則

（昭和十一年五月總令第三十九號）

朝鮮辯護士名簿登錄規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ請求スル者ハ左ノ事項ヲ記載スヘキ手數料ヲ納ムヘシ

一　登錄　金二十圓

二　登錄換　金十圓

三　登錄ノ取消　金一圓

手數料ノ納付ハ請求書ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ爲スヘシ

第二條　辯護士名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　辯護士ノ氏名、本籍及生年月日

二　事務所

三　所屬辯護士會ノ名稱

四　登錄及登錄換ノ年月日

五　登錄番號

六　登錄取消ノ事由及年月日

七　懲戒

第三條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士ニ付朝鮮辯護士令第十二條第一號、第二號又ハ第四號ニ該當スル事由生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スヘシ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

第四條　辯護士朝鮮辯護士令第四條第一號、第三號又ハ第四號ニ該當スルニ至リタルトキハ裁判所ノ認可ヲ以テ辯護士會ノ會則ニ違反シタルトキハ檢事正ハ其ノ辯護士ノ除名ヲ裁判所ニ請求スヘシ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

第五條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士ニ付朝鮮辯護士令第十二條第一號、第二號又ハ第四號ニ該當スル事由生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スヘシ

第六條　辯護士其ノ氏名又ハ本籍ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事局ノ辯護士名簿ニ登錄換ヲ受ケタルトキ亦同シ

第七條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日、登錄番號其ノ他必要ナル事項ヲ本人、關係アル辯護士會及其ノ辯護士會ノ所在地ヲ管轄スル地方法院長ニ通知スヘシ

第八條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ辯護士名簿ニ加入シタル者ニシテ辯護士會ニ所屬セサルモノハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リテ登錄若ハ登錄換ノ請求ヲ爲シ又ハ從前ノ例ニ依リテ辯護士會ニ加入スルニ非サレハ其ノ認可ハ效力ヲ失フ

第四十條　辯護士會ノ代表者ハ一人トス但シ代表者缺亡又ハ故障アル場合ニ於テ之ニ代リテ辯護士會ヲ代表スヘキ者ヲ豫メ定メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十一條　辯護士會ハ檢事正ノ監督ヲ受ク

第四十二條　辯護士會ハ檢事正ノ檢閱ヲ受ケ其ノ外辯護士名簿ニ登錄又ハ登錄換ヲ受ケタル者ハ當然辯護士會ノ會員ト爲リ登錄換ヲ爲ス場合ニハ舊所屬辯護士會ヲ退會スルモノトス

辯護士辯護士會ヲ退會セントスルトキハ檢事正ニ登錄取消ノ請求ヲ爲スヘシ

辯護士前項ノ規定ニ依リ請求ニ因リ登錄ヲ取消サレタルトキハ當然辯護士會ヲ退會シタルモノトス

第四十三條　辯護士會ハ朝鮮辯護士試補ノ實務修習ヲ擔當ス但シ朝鮮總督別段ノ規定ヲ設ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條　辯護士會ハ官廳若ハ公署ヨリ特ニ命セラレ若ハ囑託セラレタル職務ヲ行フハ此ノ限ニ在ラス

辯護士會ハ檢事正ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ商業其ノ他營利ヲ目的トスル業務ヲ營ミ若ハ之ヲ營ム者ノ使用人ト爲リ又ハ營利ヲ目的トスル法人ノ業務執行社員、取締役若ハ使用人ト爲ルコトヲ得ス

第四十五條　前條ノ規定ハ實務修習中ノ朝鮮辯護士試補ニ之ヲ準用ス

第四十六條　辯護士會ハ法人トス

辯護士會ハ品位ノ保持及辯護士事務ノ改善進歩ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第四十七條　辯護士會ハ地方法院ノ管轄區域毎ニ之ヲ設立スヘシ

第四十八條　辯護士會ヲ設立セントスルトキハ會員ト爲ルヘキ辯護士會ノ會則ヲ定メ其ノ正ヲ經由シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

辯護士會ノ會則ヲ變更セントスルトキハ檢事正ヲ經由シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十九條　朝鮮總督辯護士會ノ會則ヲ認可シタルトキハ檢事正ヲ經由シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第五十條　辯護士會ハ會則ニ從ヒ會費ヲ納ムヘシ

第五十一條　辯護士會ハ會則ニ從ヒ役員ヲ選擧スヘシ

第五十二條　辯護士會ハ會則ニ從ヒ會議ヲ開クヘシ

辯護士會ハ必要アル場合ニ於テ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第五十三條　辯護士會ハ會議ノ日時、場所及議題竝ニ役員選擧ノ日時及場所ヲ豫メ檢事正ニ申告スヘシ

第五十四條　檢事正ハ辯護士會ノ會議又ハ役員選擧ノ場所ニ臨席シ又ハ所部ノ官吏ヲシテ臨席セシムルコトヲ得

第五十五條　辯護士會ハ遲滯ナク會議ノ決議竝ニ役員ノ就任及退任ヲ檢事正ニ申告スヘシ

第五十六條　左ノ事項ハ總會ノ決議ヲ經ヘシ

一　會則ノ變更

二　豫算及決算

第五十七條　辯護士會ノ會議カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルトキハ檢事正ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ其ノ議事ヲ停止スルコトヲ得

辯護士會ノ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルトキハ檢事正ハ其ノ役員ヲ解任スルコトヲ得

第五十八條　辯護士會ハ辯護士ニ懲戒者トノ間ニ紛議ヲ生シタルトキハ當事者ノ請求ニ因リ其ノ調停ヲ爲スコトヲ得

第五十九條　辯護士會ハ總會ノ決議ニ因リテ解散ス

前項ノ總會ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第七十三條乃至第七十六條、第七十八條乃至第八十條、第八十二條及第八十三條竝ニ民法施行法第二十六條及第二十七條ノ規定ハ辯護士會ノ清算ニ之ヲ準用ス

朝鮮總督辯護士會ノ解散ノ告示ヲ爲スヘシ

第六十條　辯護士會ハ會則ニ從ヒ役員ヲ選擧スヘシ

第六十一條　辯護士會ハ會則ニ從ヒ會議ヲ開クヘシ

第六十二條　辯護士會ハ必要アル場合ニ於テ臨時總會ヲ開クコトヲ得

第六十三條　辯護士會ハ會議ノ日時、場所及議題竝ニ役員選擧ノ日時及場所ヲ豫メ檢事正ニ申告スヘシ

第六十四條　檢事正ハ辯護士會ノ會議又ハ役員選擧ノ場所ニ臨席シ又ハ所部ノ官吏ヲシテ臨席セシムルコトヲ得

第六十五條　辯護士會ハ遲滯ナク會議ノ決議竝ニ役員ノ就任及退任ヲ檢事正ニ申告スヘシ

第六十六條　左ノ事項ハ總會ノ決議ヲ經ヘシ

一　會則ノ變更

二　豫算及決算

第六十七條　辯護士會ノ會議カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルトキハ檢事正ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ其ノ議事ヲ停止スルコトヲ得

辯護士會ノ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルトキハ檢事正ハ其ノ役員ヲ解任スルコトヲ得

第六十八條　辯護士會ハ辯護士ニ懲戒者トノ間ニ紛議ヲ生シタルトキハ當事者ノ請求ニ因リ其ノ調停ヲ爲スコトヲ得

第六十九條　辯護士會ハ總會ノ決議ニ因リテ解散ス

前項ノ總會ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第七十三條乃至第七十六條、第七十八條乃至第八十條、第八十二條及第八十三條竝ニ民法施行法第二十六條及第二十七條ノ規定ハ辯護士會ノ清算ニ之ヲ準用ス

朝鮮總督辯護士會ノ解散ノ告示ヲ爲スヘシ

第七十一條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士ニ付朝鮮辯護士令第十二條第一號、第二號又ハ第四號ニ該當スル事由生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スヘシ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

第七十二條　辯護士朝鮮辯護士令第四條第一號、第三號又ハ第四號ニ該當スルニ至リタルトキハ裁判所ノ認可ヲ以テ辯護士會ノ會則ニ違反シタルトキハ檢事正ハ其ノ辯護士ノ除名ヲ裁判所ニ請求スヘシ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

第七十三條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士ニ付朝鮮辯護士令第十二條第一號、第二號又ハ第四號ニ該當スル事由生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スヘシ

第七十四條　辯護士其ノ氏名又ハ本籍ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事局ノ辯護士名簿ニ登錄換ヲ受ケタルトキ亦同シ

第七十五條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日、登錄番號其ノ他必要ナル事項ヲ本人、關係アル辯護士會及其ノ辯護士會ノ所在地ヲ管轄スル地方法院長ニ通知スヘシ

第七十六條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ辯護士名簿ニ加入シタル者ニシテ辯護士會ニ所屬セサルモノハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リテ登錄若ハ登錄換ノ請求ヲ爲シ又ハ從前ノ例ニ依リテ辯護士會ニ加入スルニ非サレハ其ノ認可ハ效力ヲ失フ

第七十七條　辯護士會ノ會則ハ本令ニ依ル辯護士會成立スルニ至ル迄ハ仍從前ノ例ニ依ル

第七十八條　本令施行ノ際現ニ存スル辯護士會ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ本令ニ依ル辯護士會ヲ設立スル爲會則ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ朝鮮總督ハ認可ヲ爲サス朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキハ辯護士會ノ名稱、事務所ノ所在地及設立ノ年月日ヲ告示スヘシ

第七十九條　本令施行ノ際現ニ同一地方法院ノ管轄區域内ニ二個以上ノ辯護士會存スル場合ニ於テハ第二十七條ノ規定ニ拘ラス各別ニ前條ノ規定ニ依リ辯護士會ヲ設立スルコトヲ得

第八十條　前二條ノ規定ニ依リテ辯護士會成立シタルトキハ舊辯護士會ノ會員ハ當然新辯護士會ノ會員ト爲リ舊辯護士會ニ屬シタル權利義務ハ新辯護士會之ヲ承繼ス

●法律事務取扱ノ取締ニ關スル件

（昭和十一年四月側令第五號）

法律事務取扱ノ取締ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得タル事項ノ取締ニ關シテハ昭和八年法律第五十四號ニ依ル

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮辯護士名簿登錄規則

（昭和十一年五月總令第三十九號）

朝鮮辯護士名簿登錄規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ請求スル者ハ左ノ事項ヲ記載スヘキ手數料ヲ納ムヘシ

一　登錄　金二十圓

二　登錄換　金十圓

三　登錄ノ取消　金一圓

手數料ノ納付ハ請求書ニ收入印紙ヲ貼用シテ之ヲ爲スヘシ

第二條　辯護士名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　辯護士ノ氏名、本籍及生年月日

二　事務所

三　所屬辯護士會ノ名稱

四　登錄及登錄換ノ年月日

五　登錄番號

六　登錄取消ノ事由及年月日

七　懲戒

第三條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士ニ付朝鮮辯護士令第十二條第一號、第二號又ハ第四號ニ該當スル事由生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スヘシ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

第四條　辯護士朝鮮辯護士令第四條第一號、第三號又ハ第四號ニ該當スルニ至リタルトキハ裁判所ノ認可ヲ以テ辯護士會ノ會則ニ違反シタルトキハ檢事正ハ其ノ辯護士ノ除名ヲ裁判所ニ請求スヘシ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

第五條　辯護士會ハ其ノ所屬辯護士ニ付朝鮮辯護士令第十二條第一號、第二號又ハ第四號ニ該當スル事由生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事正ニ報告スヘシ

第六條　辯護士其ノ氏名又ハ本籍ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク之ヲ管轄地方法院檢事局ノ辯護士名簿ニ登錄換ヲ受ケタルトキ亦同シ

第七條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ其ノ年月日、登錄番號其ノ他必要ナル事項ヲ本人、關係アル辯護士會及其ノ辯護士會ノ所在地ヲ管轄スル地方法院長ニ通知スヘシ

第八條　地方法院檢事正辯護士名簿ノ登錄、登錄換又ハ登錄取消ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督府判事懲戒委員會辯護士ヲ懲戒シタルトキ亦同シ

本令ハ昭和十一年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ辯護士名簿ニ加入シタル者ニシテ辯護士會ニ所屬セサルモノハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リテ登錄若ハ登錄換ノ請求ヲ爲シ又ハ從前ノ例ニ依リテ辯護士會ニ加入スルニ非サレハ其ノ認可ハ效力ヲ失フ

（別記様式）

辯護士名簿登錄請求書（用紙美濃紙）

第十四編　法務　第一章　司法機関　第三節　辯護士

單以內ニ再ビ辯習ヲ開始シタルトキハ修習期間ハ之ヲ通算ス

第十五條　辯護士試補其ノ修習ヲ辭シタルトキハ辯護士會ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十六條　辯護士會ハ辯護士試補ノ行狀其ノ地位ニ適セズ又ハ修習ノ成績考試ニ合格スベキ見込ナシト認ムルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ其ノ修習ノ辭當ヲ辭スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ判事檢事又ハ裁判所書記ニ之ヲ準用ス但シ第七條ニ依ル手數料、日當及旅費ハ國庫ノ收入トス

第二章　任免及所屬

第十條　公證人ハ地方裁判所ノ所屬トス但シ管轄區域ヲ同シクスル民事地方裁判所及刑事地方裁判所アル場合ニ於テハ民事地方裁判所ノ所屬トス

第十一條　公證人ハ司法大臣之ヲ任シ及其ノ屬スベキ地方裁判所ヲ指定ス

第十二條　左ノ條件ヲ具備スル者ニ非サレハ公證人ニ任セラルコトヲ得ス

一　帝國臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコト

二　一定ノ試驗ニ合格シタル後六月以上公證人見習トシテ實地修習ヲ終ヘタルコト

試驗及實地修習ニ關スル規程ハ司法大臣之ヲ定ム

第十三條　判事、檢事又ハ辯護士タルノ資格ヲ有スル者ハ試驗及實地修習ヲ經スシテ公證人ニ任セラルルコトヲ得

第十四條　左ニ揭ケル者ハ公證人ニ任セラルルコトヲ得ス

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ二年以下ノ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二　破產ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

三　禁治產者及準禁治產者

四　懲戒ノ處分ニ因リ免官若ハ免職セラレタル者又ハ辯護士法ニ依リ除名セラレタル者ニシテ免官、免職又ハ除名後二年ヲ經過セサル者

第十五條　司法大臣ハ左ノ場合ニ於テ公證人ヲ免ルスルコトヲ得

一　公證人免職ヲ願出テタルトキ

二　公證人期間內ニ身元保證金又ハ其ノ補充額ヲ納メサルトキ

三　公證人身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキ

前項第三號ノ場合ニ於テハ所屬地方裁判所ヲ管轄スル控訴院ニ於ケル懲戒委員會ノ議決ヲ經ヘシ

第十六條　公證人第十四條第一號乃至第三號ニ該當スルニ至リタルトキハ當然其ノ職ヲ失フ

第三章　職務執行ニ關スル通則

第十七條　公證人ノ職務執行ノ區域ハ其ノ所屬地方裁判所ノ管轄區域ニ依ル

第十八條　公證人ハ司法大臣ノ指定シタル地ニ其ノ役場ヲ設クヘシ

公證人ハ役場ニ於テ其ノ職務ヲ行フコトヲ要ス但シ事件ノ性質カ之ヲ許ササル場合又ハ法令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

公證人ハ其ノ役場內ニ住居スヘシ但シ司法大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　公證人ハ任命ノ辭令書ノ受ケタル日ヨリ十五日以內ニ所屬地方裁判所ニ身元保證金ヲ納ムヘシ

身元保證金ノ額ハ土地ノ情況ニ從ヒ三百圓以上千圓以下ノ範圍內ニ於テ司法大臣之ヲ定ム

身元保證金ノ額ニ不足ヲ生シ補充ノ命ヲ受ケタルトキハ其ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內ニ其ノ不足額ヲ補充スヘシ

公證人身元保證金ヲ納メサル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十條　身元保證金ヲ還付スヘキ場合ニ於テハ其ノ身元保證金ノ上ニ權利ヲ有スル者ニ對シ六月ヲ下ラサル期間內ニ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ

身元保證金ハ前項ノ期間ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ還付セス

身元保證金ハ他ノ公課及債權ニ先チテ之ヲ

第二十一條　公證人ハ其ノ職印ノ印鑑ニ氏名ヲ自署シ之ヲ所屬地方裁判所ニ差出ササル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十二條　公證人ハ左ノ場合ニ於テ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

一　嘱託人、其ノ代理人又ハ嘱託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ノ配偶者、四親等內ノ親族又ハ同居ノ戶主若ハ家族タルトキ親族關係カ止ミタル後亦同シ

二　嘱託人又ハ其ノ代理人ノ法定代理人又ハ保佐人タルトキ

三　嘱託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スルトキ

四　嘱託セラレタル事項ニ付代理人若ハ輔佐人タルトキ又ハ代理人若ハ輔佐人タリシ者

第二十三條　公證人職務上署名スルトキハ其ノ職名、所屬及役場所在地ヲ記載スヘシ

第二十四條　公證人ハ所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受ケ毕生ヲ證キ執務ノ補助ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ認可ハ必要ナル場合ニ於テハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

第二十五條　公證人ノ作成シタル證書ノ原本、其ノ附屬書類及法令ニ依リ公證人ノ調製シタル帳簿ハ永久ニ役場ヲ遷ス爲ニスル場合ヲ除クノ外之ヲ役場外ニ持出スコトヲ得ス

第二十六條　公證人ハ法令ニ違反シタル事項、無效ノ法律行爲及無能力ニ因リテ取消スコトヲ得ヘキ法律行爲ニ付證書ヲ作成スルコトヲ得ス

第二十七條　公證人ハ日本語ヲ用フル證書ニ非サレハ之ヲ作成スルコトヲ得ス

第二十八條　公證人證書ヲ作成スルニハ嘱託人ノ氏名ヲ知ラス又ハ之ト面識アルコトヲ要ス

公證人嘱託人ノ氏名ヲ知ラス又ハ之ト面識ナキトキハ其ノ本籍地若ハ寄留地ノ市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメ又ハ氏名ヲ知リ且面識アル證人二人ニ依リ其ノ人違ヒナキコトヲ證明セシムルコトヲ要ス但シ嘱託人外國人ナルトキハ警察官吏又ハ帝國ニ駐在スル本國領事ノ證明書ヲ以テ印鑑證明書ニ代フルコトヲ得

急迫ナル場合ニ於テ公證人法律行爲ニ非サル事實ニ付證書ヲ作成スルトキハ前項ノ手續ハ證書ヲ作成シタル後三日內ニ證書ノ作成ニ關スル規定ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ手續ヲ爲スルトキハ證書ハ急迫ナル場合ニ非サルカ爲其ノ效力ヲ妨ケラルルコトナシ

第二十九條　嘱託人日本語ヲ解セサル場合又ハ唖者若ハ唖者其ノ他盲語ヲ發スルコト能ハサル者ニシテ文字ヲ解セサル場合ニ於テハ公證人證書ヲ作成スルニハ通事ヲ立會ハシムルコトヲ要ス

第三十條　嘱託人盲者ナル場合又ハ文字ヲ解セサル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ立會人ヲ立會ハシムルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ嘱託人立會人ヲ立會ハシムルコトヲ請求シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條　代理人ニ依リ嘱託セラレタル場合ニ於テハ前三條ノ規定ハ其ノ代理人ニ之ヲ適用ス

第三十二條　代理人ニ依リ嘱託セラレタル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ代理人ノ權限ヲ證明セシムルコトヲ要ス

前項ノ證書カ認證ヲ受ケサル私署證書ナルトキハ其ノ證書ノ外其ノ署名者ノ本籍地又ハ寄留地ノ市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメ證書ノ眞正ナルコトヲ證明セシムルコトヲ要ス但シ其ノ署名者外國人ナルトキハ第二十八條第二項但書ノ規定ヲ準用ス

證書ノ作成ニ關スル規定ニ依リ代理又ハ其ノ方式ノ欠缺ヲ追完シタルトキハ證書ハ其ノ欠缺アリタルカ爲效力ヲ妨ケラルルコトナシ

第三十三條　第三者ノ許可又ハ同意ヲ要スヘキ法律行爲ニ付公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ許可又ハ同意ヲ證明セシムルコトヲ要ス

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條　通事及立會人ハ嘱託人又ハ其ノ代理人之ヲ選定スルコトヲ要ス

立會人ハ通事ヲ兼ヌルコトヲ得

左ニ揭ケル者ハ立會人タルコトヲ得ス

一　未成年者

二　第十四條ニ揭ケル者

三　自ラ署名スルコト能ハサル者

四　嘱託事項ニ付利害ノ關係ヲ有スル者

五　嘱託事項ニ付代理人若ハ輔佐人タル者又ハ代理人若ハ輔佐人タリシ者

六　公證人又ハ嘱託人若ハ其ノ配偶者、四親等內ノ親族、同居ノ戶主若ハ家族、法定代理人、保佐人、雇人又ハ同居人

七　公證人ノ筆生

第三十五條　公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ聽取シタル陳述、其ノ目擊シタル狀況其ノ他自ラ實驗シタル事實ヲ錄取シ且其ノ實驗ノ方法ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十六條　公證人ノ作成スル證書ニハ其ノ本旨ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　證書ノ番號

以下之ヲ定ム

第八條　區裁判所ノ管轄區域內ニ公證人ナキ場合又ハ公證人其ノ職務ヲ行フコト能ハサル場合ニ於テハ司法大臣ハ其ノ區裁判所ヲシテ管轄區域內ニ於テ公證人ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ判事檢事又ハ裁判所書記ニ之ヲ準用ス但シ第七條ニ依ル手數料、日當及旅費ハ國庫ノ收入トス

第二章　任免及所屬

第九條　本法及他ノ法令中公證人ノ職務ニ關スル規定ハ公證人ノ事務ヲ取扱フ判事又ハ裁判所書記ニ之ヲ準用ス但シ第七條ニ依ル手數料、日當及旅費ハ國庫ノ收入トス

第十條　公證人ハ地方裁判所ノ所屬トス但シ管轄區域ヲ同シクスル民事地方裁判所及刑事地方裁判所アル場合ニ於テハ民事地方裁判所ノ所屬トス

公證人ハ裁判所ノ所屬ニ從ヒ其ノ屬スヘキ地方裁判所ノ管轄區域內ニ於テ其ノ職務ヲ行フ

第十一條　公證人ハ司法大臣之ヲ任シ及其ノ屬スヘキ地方裁判所ヲ指定ス

第十二條　左ノ條件ヲ具備スル者ニ非サレハ公證人ニ任セラルコトヲ得ス

一　帝國臣民ニシテ成年以上ノ男子タルコト

二　一定ノ試驗ニ合格シタル後六月以上公證人見習トシテ實地修習ヲ終ヘタルコト

試驗及實地修習ニ關スル規程ハ司法大臣之ヲ定ム

第十三條　判事、檢事又ハ辯護士タルノ資格ヲ有スル者ハ試驗及實地修習ヲ經スシテ公證人ニ任セラルルコトヲ得

第十四條　左ニ揭ケル者ハ公證人ニ任セラルルコトヲ得ス

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ二年以下ノ禁錮ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラス

二　破產ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者

三　禁治產者及準禁治產者

四　懲戒ノ處分ニ因リ免官若ハ免職セラレタル者又ハ辯護士法ニ依リ除名セラレタル者ニシテ免官、免職又ハ除名後二年ヲ經過セサル者

第十五條　司法大臣ハ左ノ場合ニ於テ公證人ヲ免ルスルコトヲ得

一　公證人免職ヲ願出テタルトキ

二　公證人期間內ニ身元保證金又ハ其ノ補充額ヲ納メサルトキ

三　公證人身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ其ノ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキ

前項第三號ノ場合ニ於テハ所屬地方裁判所ヲ管轄スル控訴院ニ於ケル懲戒委員會ノ議決ヲ經ヘシ

第十六條　公證人第十四條第一號乃至第三號ニ該當スルニ至リタルトキハ當然其ノ職ヲ失フ

第三章　職務執行ニ關スル通則

第十七條　公證人ノ職務執行ノ區域ハ其ノ所屬地方裁判所ノ管轄區域ニ依ル

第十八條　公證人ハ司法大臣ノ指定シタル地ニ其ノ役場ヲ設クヘシ

公證人ハ役場ニ於テ其ノ職務ヲ行フコトヲ要ス但シ事件ノ性質カ之ヲ許ササル場合又ハ法令ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

公證人ハ其ノ役場內ニ住居スヘシ但シ司法大臣ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　公證人ハ任命ノ辭令書ノ受ケタル日ヨリ十五日以內ニ所屬地方裁判所ニ身元保證金ヲ納ムヘシ

身元保證金ノ額ハ土地ノ情況ニ從ヒ三百圓以上千圓以下ノ範圍內ニ於テ司法大臣之ヲ定ム

身元保證金ノ額ニ不足ヲ生シ補充ノ命ヲ受ケタルトキハ其ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ三十日以內ニ其ノ不足額ヲ補充スヘシ

公證人身元保證金ヲ納メサル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十條　身元保證金ヲ還付スヘキ場合ニ於テハ其ノ身元保證金ノ上ニ權利ヲ有スル者ニ對シ六月ヲ下ラサル期間內ニ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ

身元保證金ハ前項ノ期間ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ還付セス

身元保證金ハ他ノ公課及債權ニ先チテ之ヲ

第二十一條　公證人ハ其ノ職印ノ印鑑ニ氏名ヲ自署シ之ヲ所屬地方裁判所ニ差出ササル間ハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

第二十二條　公證人ハ左ノ場合ニ於テ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ス

一　嘱託人、其ノ代理人又ハ嘱託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スル者ノ配偶者、四親等內ノ親族又ハ同居ノ戶主若ハ家族タルトキ親族關係カ止ミタル後亦同シ

二　嘱託人又ハ其ノ代理人ノ法定代理人又ハ保佐人タルトキ

三　嘱託セラレタル事項ニ付利害ノ關係ヲ有スルトキ

四　嘱託セラレタル事項ニ付代理人若ハ輔佐人タルトキ又ハ代理人若ハ輔佐人タリシ者

第二十三條　公證人職務上署名スルトキハ其ノ職名、所屬及役場所在地ヲ記載スヘシ

第二十四條　公證人ハ所屬地方裁判所長ノ認可ヲ受ケ毕生ヲ證キ執務ノ補助ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ認可ハ必要ナル場合ニ於テハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

第二十五條　公證人ノ作成シタル證書ノ原本、其ノ附屬書類及法令ニ依リ公證人ノ調製シタル帳簿ハ永久ニ役場ヲ遷ス爲ニスル場合ヲ除クノ外之ヲ役場外ニ持出スコトヲ得ス

第二十六條　公證人ハ法令ニ違反シタル事項、無效ノ法律行爲及無能力ニ因リテ取消スコトヲ得ヘキ法律行爲ニ付證書ヲ作成スルコトヲ得ス

第二十七條　公證人ハ日本語ヲ用フル證書ニ非サレハ之ヲ作成スルコトヲ得ス

第二十八條　公證人證書ヲ作成スルニハ嘱託人ノ氏名ヲ知ラス又ハ之ト面識アルコトヲ要ス

公證人嘱託人ノ氏名ヲ知ラス又ハ之ト面識ナキトキハ其ノ本籍地若ハ寄留地ノ市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメ又ハ氏名ヲ知リ且面識アル證人二人ニ依リ其ノ人違ヒナキコトヲ證明セシムルコトヲ要ス但シ嘱託人外國人ナルトキハ警察官吏又ハ帝國ニ駐在スル本國領事ノ證明書ヲ以テ印鑑證明書ニ代フルコトヲ得

急迫ナル場合ニ於テ公證人法律行爲ニ非サル事實ニ付證書ヲ作成スルトキハ前項ノ手續ハ證書ヲ作成シタル後三日內ニ證書ノ作成ニ關スル規定ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ手續ヲ爲スルトキハ證書ハ急迫ナル場合ニ非サルカ爲其ノ效力ヲ妨ケラルルコトナシ

第二十九條　嘱託人日本語ヲ解セサル場合又ハ唖者若ハ唖者其ノ他盲語ヲ發スルコト能ハサル者ニシテ文字ヲ解セサル場合ニ於テハ公證人證書ヲ作成スルニハ通事ヲ立會ハシムルコトヲ要ス

第三十條　嘱託人盲者ナル場合又ハ文字ヲ解セサル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ立會人ヲ立會ハシムルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ嘱託人立會人ヲ立會ハシムルコトヲ請求シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條　代理人ニ依リ嘱託セラレタル場合ニ於テハ前三條ノ規定ハ其ノ代理人ニ之ヲ適用ス

第三十二條　代理人ニ依リ嘱託セラレタル場合ニ於テ公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ代理人ノ權限ヲ證明セシムルコトヲ要ス

前項ノ證書カ認證ヲ受ケサル私署證書ナルトキハ其ノ證書ノ外其ノ署名者ノ本籍地又ハ寄留地ノ市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出セシメ證書ノ眞正ナルコトヲ證明セシムルコトヲ要ス但シ其ノ署名者外國人ナルトキハ第二十八條第二項但書ノ規定ヲ準用ス

證書ノ作成ニ關スル規定ニ依リ代理又ハ其ノ方式ノ欠缺ヲ追完シタルトキハ證書ハ其ノ欠缺アリタルカ爲效力ヲ妨ケラルルコトナシ

第三十三條　第三者ノ許可又ハ同意ヲ要スヘキ法律行爲ニ付公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ許可又ハ同意ヲ證明セシムルコトヲ要ス

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條　通事及立會人ハ嘱託人又ハ其ノ代理人之ヲ選定スルコトヲ要ス

立會人ハ通事ヲ兼ヌルコトヲ得ス

左ニ揭ケル者ハ立會人タルコトヲ得ス

一　未成年者

二　第十四條ニ揭ケル者

三　自ラ署名スルコト能ハサル者

四　嘱託事項ニ付利害ノ關係ヲ有スル者

五　嘱託事項ニ付代理人若ハ輔佐人タル者又ハ代理人若ハ輔佐人タリシ者

六　公證人又ハ嘱託人若ハ其ノ配偶者、四親等內ノ親族、同居ノ戶主若ハ家族、法定代理人、保佐人、雇人又ハ同居人

七　公證人ノ筆生

第三十五條　公證人證書ヲ作成スルニハ其ノ聽取シタル陳述、其ノ目擊シタル狀況其ノ他自ラ實驗シタル事實ヲ錄取シ且其ノ實驗ノ方法ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十六條　公證人ノ作成スル證書ニハ其ノ本旨ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　證書ノ番號

二　嘱託人ノ住所、職業、氏名及年齢若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

三　代理人ニ依リ嘱託セラレタルトキハ其ノ旨及其ノ代理人ノ権限ヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ権限ヲ證明セシメタルコト並其ノ代理人ノ住所、職業、氏名及年齢

四　嘱託人又ハ其ノ代理人ノ氏名ヲ知リ且之ト面識アルトキハ其ノ旨

五　第三者ノ許可又ハ同意アリタルコトヲ證スヘキ證書ヲ提出セシメ其ノ許可又ハ同意ヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由並其ノ第三者ノ住所、職業、氏名及年齢若法人ナルトキハ其ノ名稱及事務所

六　市區町村長ノ作成シタル印鑑證明書又ハ警察官吏若ハ領事ノ證明書ヲ提出セシメ人違ナキコト又ハ證書ノ眞正ナルコトヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由並其ノ證人ノ住所、職業、氏名及年齢

七　ナキコトヲ證明セシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由並其ノ證人ノ住所、職業、氏名及年齢

八　急迫ナル場合ニ於テ人違ナキコトヲ證明セシメサリシトキハ其ノ旨

九　通事又ハ立會人ヲ立會ハシメタルトキハ其ノ旨及其ノ事由並其ノ通事又ハ立會人ノ住所、職業、氏名及年齢

十　作成ノ年月日及場所

第三十七條　公證人證書ヲ作成スルニハ普通平易ノ語ヲ用ヰ字畫ヲ明瞭ナラシムヘシ

接續スヘキ字行ニ空白アルトキハ畫線ヲ以テ之ヲ接續セシムヘシ

數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹弐參拾ノ字ヲ用ヰヘシ

第三十八條　證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

前項ノ謄本ニハ抄錄謄本タルコトヲ記載スヘシ

第五十四條　前二條ノ規定ハ證書ノ附屬書類ノ謄本ノ作成ニ之ヲ準用ス

第五十五條　證書又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ヲ請求スル者ハ之ニ記載スヘキ事項ヲ自ラ記載シ公證人ノ署名捺印ノミヲ請求スルコトヲ得

公證人前項ノ謄本ニ署名捺印シタルトキハ其ノ謄本ハ公證人自ラ之ヲ作成シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第五十六條　證書ノ正本若ハ謄本又ハ其ノ附屬書類ノ謄本數葉ニ渉ルトキハ公證人ハ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第三十七條及第三十八條ノ規定ハ證書ノ正本及謄本竝其ノ附屬書類ノ謄本ノ作成ニ之ヲ準用ス

第五十七條　第十八條第二項ノ規定ハ公證人遺言書ヲ作成スル場合ニ、第二十八條乃至第三十二條ノ規定ハ公證人拒絕證書ヲ作成スル場合ニ之ヲ適用セス

第五章　認證

第五十八條　公證人私署證書ニ認證ヲ與フルニハ當事者其ノ面前ニ於テ證書ニ署名若ハ捺印シタルトキ又ハ證書ノ署名若ハ捺印ヲ自認シタルトキ其ノ旨ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

私署證書ノ謄本ニ認證ヲ與フルニハ證書ト對照シ其ノ符合スルコトヲ認メタルトキ其ノ旨ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

私署證書ニ文字ノ挿入、削除、改竄、欄外ノ記載其ノ他ノ附正アルトキ又ハ破損若ハ外見上著シク疵アルトキハ其ノ狀況ヲ認證文ニ記載スルコトヲ要ス

第五十九條　認證ヲ與フヘキ證書ニハ空簿番號、認證ノ年月日及其ノ場所ヲ記載シ公證人及立會人ノ之ニ署名捺印シ且其ノ證書ト認證トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第六十條　第二十六條乃至第三十四條、第三十五條及第五十四條ノ規定ハ認證ニ之ヲ準用ス

三　作成ノ年月日及場所

第五十三條　證書ノ謄本ハ其ノ一部ニ付之ヲ作成スルコトヲ得

前項ノ謄本ニハ抄錄謄本タルコトヲ記載スヘシ

第五十四條　前二條ノ規定ハ證書ノ附屬書類ノ謄本ノ作成ニ之ヲ準用ス

第五十五條　證書又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ヲ請求スル者ハ之ニ記載スヘキ事項ヲ自ラ記載シ公證人ノ署名捺印ノミヲ請求スルコトヲ得

公證人前項ノ謄本ニ署名捺印シタルトキハ其ノ謄本ハ公證人自ラ之ヲ作成シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第五十六條　證書ノ正本若ハ謄本又ハ其ノ附屬書類ノ謄本數葉ニ渉ルトキハ公證人ハ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第三十八條　證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

證書ニ文字ヲ挿入スルトキハ其ノ文字及其ノ箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ公證人、嘱託人又ハ其ノ代理人及立會人之ニ捺印スルコトヲ要ス

公證人前項ノ謄本ニ署名捺印シタルトキハ其ノ謄本ハ公證人自ラ之ヲ作成シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第五十六條　證書ノ正本若ハ謄本又ハ其ノ附屬書類ノ謄本數葉ニ渉ルトキハ公證人ハ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スヘシ

第三十八條　證書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス

證書ニ文字ヲ挿入スルトキハ其ノ文字及其ノ箇所ヲ欄外又ハ末尾ノ餘白ニ記載シ公證人、嘱託人又ハ其ノ代理人及立會人之ニ捺印スルコトヲ要ス

第五十七條　第十八條第二項ノ規定ハ公證人遺言書ヲ作成スル場合ニ、第二十八條乃至第三十二條ノ規定ハ公證人拒絕證書ヲ作成スル場合ニ之ヲ適用ス

第五章　認證

第五十八條　公證人私署證書ニ認證ヲ與フルニハ當事者其ノ面前ニ於テ證書ニ署名若ハ捺印シタルトキ又ハ證書ノ署名若ハ捺印ヲ自認シタルトキ其ノ旨ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

私署證書ノ謄本ニ認證ヲ與フルニハ證書ト對照シ其ノ符合スルコトヲ認メタルトキ其ノ旨ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第五十九條　認證ヲ與フヘキ證書ニハ空簿番號、認證ノ年月日及其ノ場所ヲ記載シ公證人及立會人之ニ署名捺印シ且其ノ證書ト認證トニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第六十條　公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ所屬地方裁判所長必要ト認ムルトキハ其ノ指定シタル官吏ヲシテ遅滯ナク役場ノ書類ニ封印ヲ爲サシムヘシ

第六十七條　公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ直ニ後任者ニ任命セラレサルトキハ所屬地方裁判所長ハ同一區裁判所ノ管轄區域又ハ之ニ鄰接スル區裁判所ノ公證人ニ兼務ヲ命スルコトヲ得

後任者其ノ職務ヲ行フコトヲ得ルニ至リタルトキハ所屬地方裁判所長ハ前項ノ兼務ヲ解クヘシ

第六十八條　公證人ノ免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テハ後任者又ハ兼務者ハ前任者ト立會ヒ遅滯ナク書類ノ授受ヲ爲スヘシ

死亡其ノ他ノ事由ニ因リ書類ノ授受ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ後任者又ハ兼務者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ書類ヲ受取ルヘシ

第六十六條ニ依ル書類ノ封印後ニ命セラレタル後任者又ハ兼務者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ封印ヲ解キ書類ヲ受取ルヘシ

第六十九條　前條ノ規定ハ兼務者カ書類ヲ更ニ他ノ公證人ニ引渡スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第七十條　兼務者職務上署名スルトキハ兼務者タルコトヲ記載スヘシ

前任者又ハ兼務者ノ作成シタル證書ニ依リ後任者カ其ノ正本又ハ謄本ヲ作成スル場合ニ於テ署名スルトキハ後任者タルコトヲ記載スヘシ

第七十一條　公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ定員ノ改正ニ因リ後任者ヲ要セサルトキハ同一區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ書類ノ引繼ヲ命スヘシ

第六十八條及前條第二項ノ規定ハ前項ニ依リ書類ノ引繼ヲ命セラレタル公證人ニ之ヲ準用ス

第七十二條　第六十六條、第六十七條、第六十八條第三項及第七十條第一項ノ規定ハ公證人ノ職務ヲ行フ官吏ニ之ヲ準用ス

第六章　公證人ノ職務ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條　公證人疾病其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ同一區裁判所ノ管轄區域又ハ之ニ鄰接スル區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ代理ヲ嘱託スルコトヲ得

公證人前項ニ依リ代理ヲ嘱託シタルトキハ其ノ旨ヲ所屬地方裁判所長ニ届出ツヘシ其ノ代理ヲ解キタルトキ亦同シ

第六十四條　公證人前條第一項ニ依リ代理ヲ嘱託セラレタルトキハ同一區裁判所ノ管轄區域又ハ之ニ鄰接スル區裁判所ノ管轄區域内ノ公證人ニ於テ署名スルトキハ代理ヲ嘱託スルコトヲ得

第六十五條　公證人ノ代理者前二條ニ依リ其ノ職務ヲ行フノ役場ハ代理セラルル公證人ノ役場トス

公證人ノ代理者職務上署名スルトキハ代理セラルル公證人ノ職氏名、所屬、役場所在地及其ノ代理者タルコトヲ記載スヘシ

第二十二條ノ規定ハ代理セラルル公證人ノ準用ス

第六十六條　公證人死亡、免職、失職、轉屬又ハ兼務ノ場合ニ於テ所屬地方裁判所長必要ト認ムルトキハ其ノ指定シタル官吏ヲシテ遅滯ナク役場ノ書類ニ封印ヲ爲サシムヘシ

公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テ直ニ後任者ニ任命セラレサルトキハ所屬地方裁判所長ハ同一區裁判所ノ管轄區域又ハ之ニ鄰接スル區裁判所ノ公證人ニ兼務ヲ命スルコトヲ得

後任者其ノ職務ヲ行フコトヲ得ルニ至リタルトキハ所屬地方裁判所長ハ前項ノ兼務ヲ解クヘシ

第六十七條　公證人ノ免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テハ後任者又ハ兼務者ハ前任者ト立會ヒ遅滯ナク書類ノ授受ヲ爲スヘシ

死亡其ノ他ノ事由ニ因リ書類ノ授受ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ後任者又ハ兼務者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ書類ヲ受取ルヘシ

第六十五條ニ依ル書類ノ封印後ニ命セラレタル後任者又ハ兼務者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ封印ヲ解キ書類ヲ受取ルヘシ

第六十六條　前條ノ規定ハ兼務者カ書類ヲ更ニ他ノ公證人ニ引渡スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條　兼務者職務上署名スルトキハ兼務者タルコトヲ記載スヘシ

前任者又ハ兼務者ノ作成シタル證書ニ依リ後任者カ其ノ正本又ハ謄本ヲ作成スル場合ニ於テ署名スルトキハ後任者タルコトヲ記載スヘシ

第六十八條　公證人ノ死亡、免職、失職又ハ轉屬ノ場合ニ於テハ後任者又ハ兼務者ハ前任者ト立會ヒ遅滯ナク書類ノ授受ヲ爲スヘシ

死亡其ノ他ノ事由ニ因リ書類ノ授受ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ後任者又ハ兼務者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ書類ヲ受取ルヘシ

第六十四條ニ依ル書類ノ封印後ニ命セラレタル後任者又ハ兼務者ハ所屬地方裁判所長ノ指定シタル官吏ノ立會ヲ以テ封印ヲ解キ書類ヲ受取ルヘシ

第六十五條　前條ノ規定ハ兼務者カ書類ヲ更ニ他ノ公證人ニ引渡スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第六十六條　兼務者職務上署名スルトキハ兼務者タルコトヲ記載スヘシ

前任者又ハ兼務者ノ作成シタル證書ニ依リ後任者カ其ノ正本又ハ謄本ヲ作成スル場合ニ於テ署名スルトキハ後任者タルコトヲ記載スヘシ

第六十七

ノ手續ハ本法ニ依リ之ヲ完結ス

第九十四條　本法施行前ニ公證人ノ事務取扱ニ對シテ爲シタル抗告ハ公證人規則ニ依リ之ヲ完結ス

第九十五條　本法施行前ニ爲シタル公證人ノ行爲ニシテ公證人規則ニ違反スルモノハ本法ニ依リ之ヲ懲戒ニ付スル但シ本法施行前ニ開始シタル懲戒手續ハ公證人規則ニ依リ之ヲ完結ス

附　則（昭和十年四月法律第三十五號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十年四月勅令第八十八號ヲ以テ昭和十年五月一日ヨリ施行）

●朝鮮公證令施行規則

大正二年三月
總令第二十號
改正　大正四年三月府令第二十一號、一〇年一月七號、一三年九月府令第五四號

朝鮮公證令施行規則左ノ通定ム

第一條　公證人ノ職務ノ所屬公證人アル地方法院（支廳ノ管轄區域ヲ除ク）ノ外當分ノ內地方法院ヲシテ之ヲ行ハシム

第二條　公證人其ノ役場ヲ設ケムトスルトキハ位階及建物ノ構造ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ所屬地方法院長ノ認可ヲ受クヘシ

役場ヲ設ケタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三條　公證人ハ其ノ役場ニ公證人某役場ト記載シタル表札ヲ掲ケヘシ

第四條　公證人ノ納ムヘキ身元保證金ノ額ハ左ノ區別ニ從フ

京城府ニ役場ヲ設ケル者　金千圓
平壤府、大邱府及釜山府ニ役場ヲ設ケル者　金七百圓
其ノ他ノ地ニ役場ヲ設ケル者　金五百圓

第五條　公證人ハ朝鮮公證令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年一月總令第七號）

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ身元保證トシテ國債以外ノ有價證券ヲ提供スル者ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ引續キ其ノ有價證券ヲ以テ身元保證ト爲スコトヲ得

附　則（大正十三年九月總令第五十四號）

本令ハ大正十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ六　公證人期間內ニ身元保證金又ハ其ノ補充額ヲ納メサルトキハ所屬地方法院長ハ速ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ具申スヘシ

第一條ノ七　公證人法第二十條第一項ノ公告ハ地方法院之ヲ爲ス

前項ノ公告ハ朝鮮總督府官報ニ之ヲ爲シ且新聞紙ニ少クトモ二回之ヲ爲スヘシ

第一條ノ八　公證人ノ職印ハ方六分ト シ公證人何某ト彫刻スヘシ

第一條ノ九　公證人ノ作ルヘキ證書其ノ他ノ書面ノ用紙ハ某地方法院管內公證人役場ト刻シタル頒布ナル美濃紙ヲ用ヰヘシ

第二條　公證人役場又ハ公證人ノ職務ヲ行フ地方法院ニハ證書原簿、認證簿及確定日附簿ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　受附簿
二　拒絕證書謄本綴込帳

第三條　證書原簿、認證簿及受附簿ハ第一號乃至第三號樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條ノ二　公證人又ハ公證人ノ職務ヲ行フ官吏嘱託ヲ受ケタルトキハ受附簿ニ受附月日、受附番號、件名及嘱託人ノ氏名、住所ヲ記載シ職務ノ完結後證書ノ番號竝手數料、日當及旅費ノ額ヲ記入スヘシ

第四條　受附番號ハ一曆年毎ニ之ヲ更新スヘシ

第五條　證書原簿及受附簿ニ嘱託人ノ氏名、住所ヲ記載スル場合ニ於テ嘱託人多數ナルトキハ當事者雙方各一人ノミノ氏名、住所及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六條　朝鮮公證令ニ依リ提出スヘキ印鑑證明書ニハ氏名、住所ノ外其ノ年齡ヲ記載スヘシ

第七條　同時ニ數箇ノ嘱託ヲ爲ス場合ニ於テハ印鑑證明書又ハ警察官吏若ハ領事ノ證明書ハ一通ヲ提出スルヲ以テ足ル

前項ノ場合ニ於テハ受附番號ノ最少キモノニ其ノ證明書ヲ連綴シ其ノ他ノ嘱託ニハ其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ作リ之ヲ連綴セムヘシ

第八條　法律行爲ニ付證書ヲ作成シ又ハ認證ヲ與フル場合ニ於テ其ノ法律行爲ノ有效ナルヤ否、當事者カ相當ノ考慮ヲ爲シタルヤ否及之ヲ爲スノ能力ヲ欠缺セサルヤ否ニ付疑アルトキハ關係人ニ注意ヲ爲シ且之ヲシテ必要ナル說明ヲ爲サシムヘシ

第九條　法律行爲ニ非サル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テ其ノ事實ニ因リ影響ヲ受クヘキ私權ノ關係ニ付疑アルトキハ關係人ニ注意ヲ爲シ且之ヲシテ必要ナル證明ヲ爲サシムヘシ

第十條　法律行爲ニ付テノ證書ノ正本ノ再度ノ交付ヲ請求スル者アル場合ニ於テハ其ノ正本ヲ要スル事由ヲ疏明セシムヘシ

第十一條　公證人又ハ公證人ノ職務ヲ行フ官吏嘱託ヲ拒ミタル場合ニ於テ嘱託人ノ請求アルトキハ其ノ理由書ヲ交付スヘシ

第十二條　朝鮮人ニ關スル公正證書ノ正本又ハ謄本ヲ朝鮮人ニ交付スル場合ニ於テハ當事者ノ請求ニ因リ其ノ譯文ヲ付與スヘシ

第十三條　證書ノ原本ハ番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴スヘシ

嘱託ニ關シ提出シタル書類ニシテ原本ニ連綴スヘカラサルモノハ之ニ表紙ヲ附シ件名及受附番號ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ從ヒ之ヲ編綴スヘシ

第十四條　公證人ハ其ノ役場ニ附屬スル倉庫又ハ堅牢ナル建物內ニ書類ヲ保存スヘシ

第十五條　公證人法第六十八條、第六十九條及第七十一條乃至第七十三條ニ依リ書類ノ授受ヲ爲ス場合ニ於テハ目錄ヲ作リ其ノ末尾ニ授受ノ事由及年月日ヲ記載シ授受者及立會官吏之ニ署名捺印スヘシ

前項ノ目錄ハ作成ノ日ヨリ一箇月內ニ其ノ謄本ヲ所屬地方法院ニ差出スヘシ

第十六條　公證人法第六十七條第一項ノ彙務者ハ自己ノ役場ニ於テ前任者ノ事務ヲ取扱フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ速ニ朝鮮總督ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

第十七條　代理者又ハ公證人法第七十二條ノ彙務者ハ其ノ職務ヲ行フ役場ノ見易キ場所ニ代理者某又ハ彙務者某ナルコトヲ掲示スヘシ

第十八條　後任者又ハ公證人法第六十七條第一項ノ彙務者ハ其ノ職務ヲ行フ役場ノ見易キ場所ニ公證人某ノ後任又ハ公證人某ノ取扱ヒタル事務ニ付テノ彙務者ナルコトヲ掲示スヘシ但シ後任者ノ爲スヘキ掲示ノ期間ハ一年ト ス

第十九條　後任者ノ作成スル文書ノ番號ハ前任者又ハ彙務者ノ作成シタル文書ノ番號ノ順序ヲ追ヒテ之ヲ記載スヘシ

第二十條　地方法院長ハ公證人名簿ヲ備ヘ之ニ所屬公證人ノ住所、族籍、氏名、年齡及役場所在地ヲ登錄スヘシ

第二十一條　公證人ノ死亡又ハ失職ノ場合ニ於テハ所屬地方法院長ハ速ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ具申スヘシ

第二十二條　公證人朝鮮總督ニ書面ヲ提出スルル場合ニ於テハ所屬地方法院長ヲ經由スヘシ

第一號樣式

證書原簿

何地方法院（何支廳）又ハ（何地方法院所轄區域內公證人役場）

證書ノ番號	證書ノ種類	嘱託人ノ住所及氏名	作成ノ年月日	備考

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

第二號樣式

認證簿

何地方法院（何支廳）又ハ（何地方法院所轄區域內公證人役場）

證書ノ番號	證書ノ種類	嘱託人ノ住所及氏名	作成ノ年月日	備考

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

登簿番號	
嘱託人ノ住所及氏名	
證書ノ種類	
證書ノ署名捺印者	

認證簿

登簿番號		認證ノ方法	
嘱託人ノ住所及氏名		立會人ノ住所及氏名	
證書ノ種類		認證ノ年月日	契印
證書ノ署名捺印者		備考	

第三號樣式

受附簿

何地方法院（何支廳）又ハ（何地方法院所屬公證人兼役場）

月日	受附番號	件名（證書番號又ハ登簿番號）	嘱託人ノ住所及氏名	手數料、日當及旅費	備考
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				

受附簿

月日	受附番號	件名（證書番號又ハ登簿番號）	嘱託人ノ住所及氏名	手數料、日當及旅費	備考
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				
月日	第　號				

●朝鮮公證手數料規則

大正二年三月
總令第二十一號
改正　大正四年三月二十三號

朝鮮公證手數料規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮公證手數料規則第一條　法律行爲ニ付テノ證書作成ノ手數料ハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ從フ

法律行爲ノ目的ノ價額

一圓以上百圓迄	同　五十錢
二百圓以上千圓迄	同　一圓
一千圓以上二千五百圓迄	同　一圓五十錢
二千五百圓以上五千圓迄	同　二圓
五千圓以上一萬圓迄	同　三圓

同五千圓ヲ超過スルトキハ五萬圓迄ハ五千圓毎ニ五十錢ヲ加フ但シ五千圓ニ滿タサルモノヲ五千圓トス

同五萬圓ヲ超過スルトキハ一萬圓毎ニ五十錢ヲ加フ但シ一萬圓ニ滿タサルモノヲ一萬圓トス

第二條　法律行爲ノ目的ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ目的ハ五百圓ノ價額ヲ有スルモノト看做ス但シ其ノ最低價額五百圓ヲ超エ又ハ其ノ最高價額之ニ滿タサルコト明カナルトキハ其ノ最低價額又ハ最高價額ヲ以テ法律行爲ノ目的ノ價額トス

第三條　左ニ掲ケル事項ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於ケル手數料ハ第一條ノ區別ニ從ヒ其ノ十分ノ五トス

一　承認、許可及同意
二　當事者雙方ノ履行セサル契約ノ解除
三　遺言ノ全部又ハ一部ノ取消
四　朝鮮公證令ニ依リ證書ニ作成セラレタル法律行爲ノ補充又ハ更正

第四條　法律行爲ニ付テノ證書作成ノ手數料ハ證書ノ紙數四枚ヲ超過スルトキハ超過シタル部分ニ付一枚毎ニ二十錢ヲ加フ

前項ノ紙數ハ一行二十字詰二十四行ヲ以テ一枚トス但シ一枚ニ滿タサルトキト雖之ヲ一枚トス

第五條　法律行爲ニ非サル事實ニ付テノ證書作成ノ手數料ハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ事實ノ實驗及證書ノ作成ニ要シタル時間一時間ニ付一圓トス但シ一時間ニ滿タサルトキト雖之ヲ一時間トス

第六條　證書ノ作成ニ要シタル時間一時間ニ付一圓トス但シ一時間ニ滿タサルトキハ其ノ時間ヲ超過スルトキハ一時間毎ニ二十錢ヲ加フ但シ一時間ニ滿タサルトキト雖之ヲ一時間トス

第七條　證書ノ作成ニ要シタル時間ハ一時間ニ付五十錢トス但シ一時間ニ滿タサルトキハ其ノ時間ヲ超過スルトキハ一時間毎ニ二十錢ヲ加フ但シ一時間ニ滿タサルトキト雖之ヲ一時間トス

第八條　第二條ノ場合ニ於ケル手數料ハ其ノ價額ニ依ル

第九條　第二條ノ場合ニ於テ法律行爲ノ目的ノ價額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ算定ス

一　地上權ハ其ノ土地ノ價額ノ二分ノ一
二　永小作權ハ其ノ土地ノ價額ノ二十分ノ一
三　地役權ハ要役地ノ價額ノ二十分ノ一
四　留置權、先取特權、質權及抵當權ハ其ノ擔保スル債權ノ價額
五　債權ノ讓渡ハ其ノ債權ノ價額
六　債務ノ引受ハ其ノ債務ノ價額
七　賃貸借ハ其ノ賃料ノ一年分ノ價額
八　雇傭ハ其ノ報酬ノ一年分ノ價額
九　委任ハ其ノ報酬ノ一年分ノ價額
十　組合ハ其ノ出資ノ價額
十一　和解ハ其ノ和解ニ因リ抛棄シ又ハ得タル權利ノ價額

第十條　第二條ノ場合ニ於テ法律行爲ノ目的ノ價額ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ算定ス

一　賃貸借ハ其ノ賃料ノ十年分ノ價額
二　終身定期金ハ其ノ金額ノ十年分ノ價額
三　無期定期金ハ其ノ金額ノ十年分ノ價額
四　存續期間ノ不確定ナル定期金ハ其ノ金額ノ十年分ノ價額

第十一條　法律行爲ノ目的ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ目的ハ五百圓ノ價額ヲ有スルモノト看做ス但シ其ノ最低價額五百圓ヲ超エ又ハ其ノ最高價額之ニ滿タサルコト明カナルトキハ其ノ最低價額又ハ最高價額ヲ以テ法律行爲ノ目的ノ價額トス

第十二條　左ニ掲ケル事項ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於ケル手數料ハ第一條ノ區別ニ從ヒ其ノ十分ノ五トス

一　承認、許可及同意
二　當事者雙方ノ履行セサル契約ノ解除
三　遺言ノ全部又ハ一部ノ取消
四　朝鮮公證令ニ依リ證書ニ作成セラレタル法律行爲ノ補充又ハ更正

第十三條　法律行爲ニ付テノ證書作成ノ手數料ハ證書ノ紙數四枚ヲ超過スルトキハ超過シタル部分ニ付一枚毎ニ二十錢ヲ加フ

前項ノ紙數ハ一行二十字詰二十四行ヲ以テ一枚トス但シ一枚ニ滿タサルトキト雖之ヲ一枚トス

第十四條　法律行爲ニ非サル事實ニ付テノ證書作成ノ手數料ハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ事實ノ實驗及證書ノ作成ニ要シタル時間一時間ニ付一圓トス但シ一時間ニ滿タサルトキト雖之ヲ一時間トス

第十五條　株主總會其ノ他ノ集會ノ決議ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於ケル手數料ハ前條ノ例ニ依ル

第十六條　法律行爲ト共ニ之ト牽連スル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於ケル手數料ハ第十四條ノ例ニ依リ但シ其ノ額カ法律行爲ノミニ付テノ證書作成ノ手數料ノ額ヨリ少キトキハ其ノ多キ額ニ依ル

第十七條　數個ノ牽連セサル事實ニ付證書ヲ作成スル場合ニ於テハ手數料ノ額ハ各事實ニ付之ヲ算定ス

第十八條　秘密證書ニ依ル遺言書ノ方式ニ關スル記載ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ手數料ハ一圓トス

第十九條　委任狀、受取書又ハ拒絕證書ヲ作成スル場合ニ於テハ其ノ手數料ハ五十錢トス

前項ノ場合ニ於テ作成ニ要シタル時間一時間ヲ超過スルトキハ一時間毎ニ二十錢ヲ加フ但シ一時間ニ滿タサルトキト雖之ヲ一時間トス

第二十條　認證ノ手數料ハ證書作成ノ手數料ノ十分ノ五トス

第二十一條　私署證書ニ確定日附ヲ附スル場合ニ於テハ其ノ手數料ハ三十錢トス

第二十二條　證書ノ正本ニ執行文ヲ付與スル場合ニ於テハ其ノ手數料ハ五十錢トス

第二十三條　證書ノ正本若ハ謄本又ハ其ノ附屬書類ノ謄本ノ交付ニ付テノ手數料ハ一枚ニ付十五錢トス但シ公證人法第五十五條第一項ノ場合ニ於テハ一枚ニ付十錢トス

證書ノ朝鮮譯文付與ニ付テノ手數料ハ一枚ニ付五十錢トス

第十三條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條　證書ノ原本及其ノ附屬書類ノ閱覽ニ付テノ手數料ハ一回ニ付十錢トス

第二十五條　手數料ノ定ナキ事項ニ付テノ手數料ハ數類似スル事項ノ手數料ト同一トス

第二十五條ノ二　公證人夜間ニ於テ又ハ病床ニ就キ職務ヲ執行シタルトキハ其ノ手數料ハ各本條ニ定ムル額ニ其ノ十分ノ三ヲ加フ

第二十五條ノ三　公證人職務ノ執行ニ著手シタル後嘱託人ノ請求ニ因リ之ヲ止メタルトキ又ハ嘱託人若ハ列席者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ之ヲ完結スルコト能ハサルトキハ第十四條ノ例ニ依リ手數料ヲ受ク但シ其ノ手數料ハ完結シタル場合ニ於テ受クヘキ手數料ノ額ニ超過スルコトヲ得ス

第二十六條　一里以外ノ地ニ出張シテ公證人ノ職務ヲ取扱フ場合ニ於テハ嘱託人ハ手數料ノ外左ノ費用ヲ負擔スヘシ

日當　二圓
鐵道賃　十錢毎ニ
汽車賃　一海里迄毎ニ
船賃　十五錢
車馬賃　一里迄毎ニ　七十錢
宿泊料　一泊ニ付　三圓五十錢

第二十六條ノ二　公證人ハ手數料、日當及旅費ノ額ヲ減スルコトヲ得ス

第二十七條　數人ノ嘱託人アル場合ニ於テハ手數料、日當及旅費ハ各嘱託人連帶シテ之ヲ支拂フヘキ責ニ任ス

第二十七條ノ二　公證人ハ公正ノ效力ヲ有セサル文書ノ作成ニ付手數料、日當及旅費ヲ受クルコトヲ得ス但シ其ノ文書ノ作成ニ付公證人ニ過失ナカリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條ノ三　公證人ハ嘱託セラレタル事項ニ付其ノ職務ヲ完結シタル後ニ非サレハ手數料、日當及旅費ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十七條ノ四　嘱託人庶尹又ハ面長ノ證明書ヲ以テ支拂ノ資力ナキコトヲ證明シタルトキハ公證人ハ手數料、日當及旅費ノ支拂ヲ假ニ免除スルコトヲ得

第二十八條　手數料、日當及旅費ハ嘱託人ヲシテ其ノ概算額ヲ豫納セシムルコトヲ得

嘱託人ハ豫納ニ代ヘテ前項ノ概算額ヲ供託スルコトヲ得

嘱託人概算額ノ豫納又ハ供託ヲ爲ササルトキハ其ノ嘱託ヲ拒ムコトヲ得

第二十九條　手數料、日當及旅費ヲ納付セシムルトキハ計算書ニ日當及旅費ヲ納付セシ計算書ニハ各項目ニ付本令ノ條項ヲ指示シ其ノ計算ノ明ニスヘシ

第二十九條ノ二　嘱託人手數料、日當及旅費ノ支拂ヲ爲ササルトキハ公證人ハ嘱託セラレタル事項ニ付正本、謄本及執行文ノ付與ヲ拒絕スルコトヲ得

第三十條　地方法院カ公證人ノ職務ヲ行フ場合ニ於ケル手數料、日當及旅費ハ納付書ニ收入印紙ヲ貼付シテ之ヲ納付セシムルコトヲ得

附則

本令ハ朝鮮公證令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●公證手數料增額ニ關スル件

大正八年五月
總令第九十九號

公證手數料增額ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　朝鮮公證手數料規則ニ依ル手數料ハ當分ノ內本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ增額ス

第二條　朝鮮公證手數料規則第一條及第十四條、第十手數料ハ百分ノ三十、第十八條、第十九條、第二十二條及第二十四條ノ手數料ハ五錢ヲ增加ス

第三條　朝鮮公證手數料規則第十三條ノ規定ニ依リテ加フヘキ手數料及第二十三條ノ手數料ハ百分ノ五十ヲ增加ス

第四條　朝鮮公證手數料規則第十二條、第十五條、第十六條、第二十五條ノ二及第二十五條ノ三ノ規定ノ適用ニ付テハ本令ニ依リテ增額シタル手數料ヲ以テ其ノ基準トス

第五條　手數料ニ一錢未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ其ノ端數ハ之ヲ切捨ツ

附　則

本令ハ大正八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●公證人懲戒委員會規則

大正四年四月
總令第三十八號
改正　大正二年九月第五號

公證人懲戒委員會規則左ノ通定ム

第一條　懲戒委員會ハ委員長一人委員四人ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條　委員長ハ懲戒委員會ヲ設置スル覆審法院ノ長ヲ以テ之ニ充ツ

委員ハ當該覆審法院ノ所在地ニ在勤スル朝鮮總督府判事又ハ檢事ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ス

委員會ニ幾個委員ニ人ヲ置キ前項ノ例ニ依リ之ヲ命ス

第三條　委員會ハ委員長及委員ノ全員出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

第四條　委員長事故アルトキハ上席ノ委員之ヲ代理ス

前項ノ場合又ハ委員中事故アルトキ若ハ闕員アルトキハ委員長豫備委員ノ中ヨリ代理ヲ命ス

第五條　委員長及委員ハ自己又ハ其ノ親族ニ對シテハ懲戒ヲ行ハズ

懲戒ニ基ク既成ノ效果ハ免除ニ因リ變更セラルルコトナシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五款　司法書士

●朝鮮司法書士令

大正十三年十二月
制令第五號
改正　昭和二年四月第七號

朝鮮司法代書人令ハ明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮司法書士令

司法書士ニ關シテハ司法書士法ニ依ル但シ同法中司法大臣トアルハ朝鮮總督、地方裁判所トアルハ地方法院、地方裁判所長トアルハ地方法院長、區裁判所判事トアルハ地方法院支廳ノ判事トス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正十四年三月十六日總令第十三號ヲ以テ大正十四年五月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十年四月制令第七號）

本令ハ昭和十年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●司法書士法

大正八年四月
法律第四十八號
改正　昭和二年四月第三六號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル司法代書人法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

司法書士法

第一條　本法ニ於テ司法書士ト稱スルハ他人ノ嘱託ヲ受ケ裁判所及檢事局ニ提出スヘキ書類ノ作製ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第二條　司法書士ハ地方裁判所ノ所屬トス但シ管轄區域ヲ同シクスル民事地方裁判所及刑事地方裁判所アル場合ニ於テハ民事地方裁判所ノ所屬トス

第三條　司法書士ハ認可ヲ受ケタル日ヨリ一月內ニ非サレハ事務所ヲ設ケ遲滯ナク所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第四條　司法書士事務所ヲ移轉セムトスルトキハ所屬地方法院長ノ認可ヲ受ケヘシ

司法書士事務所ヲ移轉シタルトキハ遲滯ナク之ヲ所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第五條　司法書士ハ其ノ事務所ニ樣式第二號ニ依ル表札ヲ揭ケヘシ

第六條　司法書士ハ樣式第三號ニ依リ氏名ヲ自署シ業務上使用スヘキ印鑑ヲ所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第七條　司法書士ハ事務所內賭易キ場所ニ書記料ヲ揭示スヘシ

第八條　司法書士ハ樣式第四號ニ依リ事件簿ヲ調製シ記載前所屬地方法院長ノ契印ヲ請フヘシ

地方法院長前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ事件簿ノ枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ徃葉ノ綴目ニ騎印ヲ以テ契印ヲ爲スヘシ

第九條　司法書士ハ嘱託ニ基キ書類ヲ作製シタルトキハ事件簿ニ嘱託ヲ受ケタル年月日、件名、書類ノ紙數、書記料及嘱託人ノ住所氏名ヲ記載スヘシ嘱託人多數ナルトキハ內一人ノ住所氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十條　司法書士ハ事件簿滅失毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第十一條　司法書士ハ事件簿ヲ記載終了ノ翌年ヨリ五年間保存スヘシ事務ノ禁止若ハ停止ノ處分ヲ受ケ又ハ廢業シタルトキ亦同シ

第十二條　司法書士ハ其ノ作製シタル書類ノ末尾ニ書記料ヲ附記シ署名捺印スヘシ

第十三條　司法書士ハ嘱託人ニ書記料ノ領收證ヲ交付スヘシ

領收證ハ樣式第五號ニ依リ料金額並書類ノ種別及紙數ヲ記載シ署名捺印スヘシ

第十四條　司法書士ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ十日內ニ其ノ旨所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

一　本籍、住所又ハ氏名ヲ變更シタルトキ

二　廢業シタルトキ

司法書士死亡シタル場合ニ於テハ戶主、家族又ハ同居者ヨリ十日內ニ其ノ旨所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第十五條　司法書士ハ左ノ各號ニ規定スル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　書類ノ作製ニ付名義ノ如何ヲ問ハス書記料ノ外報酬ヲ請求シ又ハ之ヲ受クルコト

二　嘱託人ノ印顆又ハ其ノ署名捺印シタル白紙ヲ領置スルコト

三　故意ニ書類ノ紙數ヲ增加シ又ハ不必要ノ書類ヲ作製スルコト

四　住所又ハ事務所ニ於テ他人ヲシテ法律事務ヲ取扱ハシメ又ハ之ヲ他人ノ法律事務所ニ使與スルコト

第十六條　地方法院長ハ樣式第六號ニ依リ司法書士名簿ヲ備ヘ司法書士ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

第十七條　司法書士業務ヲ禁止セラレ又ハ廢業シタルトキハ遲滯ナク認可證ヲ所屬地方法院長ニ返納シ表札ヲ撤去スヘシ司法書士業務ヲ停止セラレタルトキハ停止期間表札ヲ撤去スヘシ

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ處ス

一　認可ヲ受クシテ他人ノ嘱託ヲ受ケ裁判所及檢事局ニ提出スヘキ書類作製ノ業務ニ從事シタル者

二　司法書士ノ業務ノ禁止又ハ停止ノ處分ニ違反シ業務ニ從事シタル者

三　本令ニ違反シタル司法書士

四　事件簿ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者

五　事件簿其ノ他ノ業務ニ關スル書類ノ檢閱ヲ拒絕シ又ハ其ノ提出ノ命令ニ違反シタル者

第十九條　司法書士ハ他人ヲシテ其ノ業務ヲ補助セシメタル場合ニ於テ補助者ノ行爲ニ付自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ本令ニ規定スル罰則ノ適用ヲ免ルルコトヲ得ス

附　則

本令ハ朝鮮司法代書人令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年四月法律第三十六號）

本令ハ昭和十年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

本令ハ大正十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●公證人、辯護士、司法書士、辨理士及計理士ノ懲戒免除ニ關スル件

昭和十三年二月
勅令第八十一號

脫公證人、辯護士、司法書士、辨理士及計理士ノ懲戒免除ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　辯護士、司法書士、辨理士及計理士ニシテ昭和十三年二月十一日前ノ所爲ニ付懲戒ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒ヲ免除ス未タ處分ヲ受ケサル者ニ對シテハ懲戒ヲ行ハズ

第二條　公證人ニシテ昭和十三年二月十一日前ノ所爲ニ付懲戒ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒ヲ免除ス未タ處分ヲ受ケサル者ニ對シテハ懲戒ヲ行ハズ

懲戒ニ基ク既成ノ效果ハ免除ニ因リ變更セラルルコトナシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五款　司法書士

●朝鮮司法書士令

大正十三年十二月
制令第五號
改正　昭和二年四月第七號

朝鮮司法代書人令ハ明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮司法書士令

司法書士ニ關シテハ司法書士法ニ依ル但シ同法中司法大臣トアルハ朝鮮總督、地方裁判所トアルハ地方法院、地方裁判所長トアルハ地方法院長、區裁判所判事トアルハ地方法院支廳ノ判事トス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正十四年三月十六日總令第十三號ヲ以テ大正十四年五月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十年四月制令第七號）

本令ハ昭和十年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●司法書士法

大正八年四月
法律第四十八號
改正　昭和二年四月第三六號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル司法代書人法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

司法書士法

第一條　本法ニ於テ司法書士ト稱スルハ他人ノ嘱託ヲ受ケ裁判所及檢事局ニ提出スヘキ書類ノ作製ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第二條　司法書士ハ地方裁判所ノ所屬トス但シ管轄區域ヲ同シクスル民事地方裁判所及刑事地方裁判所アル場合ニ於テハ民事地方裁判所ノ所屬トス

第三條　司法書士ハ認可ヲ受ケタル日ヨリ一月內ニ非サレハ事務所ヲ設ケ遲滯ナク所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第四條　司法書士事務所ヲ移轉セムトスルトキハ所屬地方法院長ノ認可ヲ受ケヘシ

司法書士事務所ヲ移轉シタルトキハ遲滯ナク之ヲ所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第五條　司法書士ハ其ノ事務所ニ樣式第二號ニ依ル表札ヲ揭ケヘシ

第六條　司法書士ハ樣式第三號ニ依リ氏名ヲ自署シ業務上使用スヘキ印鑑ヲ所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第七條　司法書士ハ事務所內賭易キ場所ニ書記料ヲ揭示スヘシ

第八條　司法書士ハ樣式第四號ニ依リ事件簿ヲ調製シ記載前所屬地方法院長ノ契印ヲ請フヘシ

地方法院長前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ事件簿ノ枚數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ徃葉ノ綴目ニ騎印ヲ以テ契印ヲ爲スヘシ

第九條　司法書士ハ嘱託ニ基キ書類ヲ作製シタルトキハ事件簿ニ嘱託ヲ受ケタル年月日、件名、書類ノ紙數、書記料及嘱託人ノ住所氏名ヲ記載スヘシ嘱託人多數ナルトキハ內一人ノ住所氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第十條　司法書士ハ事件簿滅失毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第十一條　司法書士ハ事件簿ヲ記載終了ノ翌年ヨリ五年間保存スヘシ事務ノ禁止若ハ停止ノ處分ヲ受ケ又ハ廢業シタルトキ亦同シ

第十二條　司法書士ハ其ノ作製シタル書類ノ末尾ニ書記料ヲ附記シ署名捺印スヘシ

第十三條　司法書士ハ嘱託人ニ書記料ノ領收證ヲ交付スヘシ

領收證ハ樣式第五號ニ依リ料金額並書類ノ種別及紙數ヲ記載シ署名捺印スヘシ

第十四條　司法書士ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ十日內ニ其ノ旨所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

一　本籍、住所又ハ氏名ヲ變更シタルトキ

二　廢業シタルトキ

司法書士死亡シタル場合ニ於テハ戶主、家族又ハ同居者ヨリ十日內ニ其ノ旨所屬地方法院長ニ届出ツヘシ

第十五條　司法書士ハ左ノ各號ニ規定スル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　書類ノ作製ニ付名義ノ如何ヲ問ハス書記料ノ外報酬ヲ請求シ又ハ之ヲ受クルコト

二　嘱託人ノ印顆又ハ其ノ署名捺印シタル白紙ヲ領置スルコト

三　故意ニ書類ノ紙數ヲ增加シ又ハ不必要ノ書類ヲ作製スルコト

四　住所又ハ事務所ニ於テ他人ヲシテ法律事務ヲ取扱ハシメ又ハ之ヲ他人ノ法律事務所ニ使與スルコト

第十六條　地方法院長ハ樣式第六號ニ依リ司法書士名簿ヲ備ヘ司法書士ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

第十七條　司法書士業務ヲ禁止セラレ又ハ廢業シタルトキハ遲滯ナク認可證ヲ所屬地方法院長ニ返納シ表札ヲ撤去スヘシ司法書士業務ヲ停止セラレタルトキハ停止期間表札ヲ撤去スヘシ

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金、拘留又ハ科料ニ處ス

一　認可ヲ受クシテ他人ノ嘱託ヲ受ケ裁判所及檢事局ニ提出スヘキ書類作製ノ業務ニ從事シタル者

二　司法書士ノ業務ノ禁止又ハ停止ノ處分ニ違反シ業務ニ從事シタル者

三　本令ニ違反シタル司法書士

四　事件簿ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者

五　事件簿其ノ他ノ業務ニ關スル書類ノ檢閱ヲ拒絕シ又ハ其ノ提出ノ命令ニ違反シタル者ハ本籍、住所、氏名（法人ニ在リテハ名稱及事務所）生年月日及業務所ノ位置ヲ記シタル願書ニ履歷書ヲ添ヘ所屬地方裁判所長ニ差出スヘシ

第二條　地方法院長司法書士タルヘキ認可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第三條　司法書士ハ認可證

様式第五十一（第百十条関係）

（用紙 日本産業規格 A4）

| 受付印 | | |

託規則ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

附　則（大正十年四月法律第六十九號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前爲シタル供託ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

供託局所在地外ニ於テハ司法大臣ハ當分ノ內其ノ適當ト認ムル銀行ヲシテ第一條ノ規定ニ依ル供託事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

●供託法中改正法律施行ニ關スル件

大正十一年二月
勅令第二十八號

朕大正十年法律第六十九號供託法中改正法律施行ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大正十年法律第六十九號ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十年法律第六十九號施行前爲シタル金錢又ハ有價證券ノ供託ニ付テハ供託物ノ還付又ハ下戻、代供託、附屬供託及利札又ハ利息ノ交付ニ關スル事務ハ大正十一年四月一日ヨリ同年十二月二十八日ニ至ル迄ノ間日本銀行ヲシテ之ヲ取扱ハシム

●朝鮮總督府供託局供託物取扱規則

大正十一年三月
總令第三十四號

朝鮮總督府供託局供託物取扱規則左ノ通定ム

朝鮮總督府供託局ニ於テ爲ス金錢及有價證券ノ供託ニ關スル手續ハ本令ニ依ル

第二條　供託ヲ爲サムトスル者ハ第一號書式ノ供託書二通ヲ供託局ニ提出スヘシ但シ辨濟供託ニ付テハ第二號書式ノ供託通知書ヲ添附スヘシ

供託書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　供託ノ目的タル有價證券ノ價還金、利息又ハ配當金ノ代供託又ハ附屬供託ヲ請求セムトスル者ハ第三號書式ノ代供託請求書二通ヲ供託局ニ提出スヘシ

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ前條第一項ノ拂込書及大正十一年大藏省令第九號供託有價證券拂渡請求規程第三條ノ規定ニ依ル供託有價證券拂渡請求書又ハ同令第四條ノ規定ニ依ル供託有價證券利札請求書ヲ作成シ且供託書ニ供託受理ノ旨ヲ記載シテ之ニ捺印シ其ノ一通ヲ拂込書及拂渡請求書又ハ利札請求書ト共ニ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利息ヲ受取ラシムヘシ

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式（用紙半紙罫二枚以上ニ及フ）

供託書（金錢ト有價證券トハ各別ニ作成スルコト）

住　所
供託者　何　某
（第三者ニ於テ供託スルトキハ供託者第三者ト記入スルコト）

一金何圓也
又ハ
一何何公債證書額面何圓也（前金額拂込未濟ノモノハ其ノ拂込額ヲ記載スルコト）

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

但シ何年何月又ハ何期渡以降利札附

又ハ
一何會社株券額面何圓也　同　上

又ハ
一何何　同　上

供託ノ原因タル事實

供託スヘキ法令ノ條項

供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定又ハ之ヲ確知シ得ザル事由

反對給付ノ目的物其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件

裁判所其ノ他官廳ノ名稱及件名

右供託ス

年　月　日

右　何　某㊞

供託局宛

第二號書式

受理書式

供託番號第　號

右日本銀行ニ於ケル供託局口座ニ拂込ムヘシ

年　月　日

何供託局長　何　某㊞

第三號書式

受入書式

右受入ヲ證ス

年　月　日

日本銀行㊞

第四號書式

受領書式

前書金額ノ小切手（拂渡認可ノ奥書アル前書有價證券拂渡請求書）受領候也

年　月　日

住　所
受取人　何　某㊞

供託局宛

第五號書式

內渡書式

內

一金何圓也

右內渡ヲ了ス

年　月　日

何供託局長　何　某㊞

第六號書式

一何何公債證書額面何圓也　同　上

又ハ
一何何　同　上

又ハ
一何會社株券額面何圓也　同　上

又ハ
一何何　同　上

（種類多數ナルトキハ別ニ內譯書ヲ添附スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ別紙內譯書ノ通ト記入シ內譯書ト契印スルコト）

右內渡ヲ證ス

年　月　日

日本銀行㊞

第七號書式

供託書式

一金何圓也

右ハ何何ノ事由ニ因リ何供託局ニ供託致候間御受領相成度此段及通知候也

年　月　日

何供託局長　何　某㊞

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ前項ノ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利息ヲ受取ラシムヘシ

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式（用紙半紙罫二枚以上ニ及フ）

供託書（金錢ト有價證券トハ各別ニ作成スルコト）

住　所
供託者　何　某
（第三者ニ於テ供託スルトキハ供託者第三者ト記入スルコト）

一金何圓也
又ハ
一何何公債證書額面何圓也（前金額拂込未濟ノモノハ其ノ拂込額ヲ記載スルコト）

何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

但シ何年何月又ハ何期渡以降利札附

又ハ
一何會社株券額面何圓也　同　上

又ハ
一何何　同　上

（種類多數ナルトキハ別ニ內譯書ヲ添附スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ別紙內譯書ノ通ト記入シ內譯書ト契印スルコト）

右內渡ヲ證ス

年　月　日

日本銀行㊞

第二號書式

供託通知書

一金何圓也
又ハ
一何何公債證書額面何圓也
又ハ
一何會社株券額面何圓也
又ハ
一何何

右ハ何何ノ事由ニ因リ何供託局ニ供託致候間御受領相成度此段及通知候也

年　月　日

何供託局長　何　某㊞

上爲ス供託ニ付テハ其ノ官公職氏名及所屬官公署ノ名稱、代理人ニ依ル場合ニ於テハ其ノ代理人ノ氏名住所

二　供託金額、有價證券ニ付テハ其ノ種類、記號、番號、枚數、券面額及拂込額

三　供託ノ原因タル事實及法令ノ條項

四　供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定ヲ要スル場合ハ其ノ者ノ表示若ハ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ其ノ事由

五　反對給付ヲ受クルコトヲ要スル場合ハ其ノ反對給付ノ目的物ノ表示其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件

第三條　供託官吏供託ヲ受理スヘキモノト認ムルトキハ大正十一年大藏省令第六號預金部預金取扱規程第四條ノ規定ニ依ル預金部預金拂込書又ハ同年大藏省令第九號供託有價證券寄託書ヲ作成シ且供託書ニ供託受理ノ旨ヲ記載シテ之ニ捺印シ其ノ一通ヲ拂込書又ハ寄託書ト共ニ供託者ニ交付シ供託物ヲ受取ルニ付テノ條件ヲ記載シ之ニ捺印シ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ大正十一年大藏省令第十號日本銀行國庫金取扱規程第五十二條ノ規定ニ依ル預金部預金領收證書又ハ同年大藏省令第十一號日本銀行政府有價證券取扱規程第十七條ノ規定ニ依ル供託有價證券受託證書ノ送付ヲ受ケタルトキハ前條第一項ノ供託通知書ヲ債權者ニ發送スヘシ

第四條　供託ノ目的タル有價證券ノ償還金、利息又ハ配當金ノ代供託又ハ附屬供託ヲ請求セムトスル者ハ第三號書式ノ代供託請求書二通ヲ供託局ニ提出スヘシ

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ前條第一項ノ拂込書及大正十一年大藏省令第九號供託有價證券拂渡請求規程第三條ノ規定ニ依ル供託有價證券拂渡請求書又ハ同令第四條ノ規定ニ依ル供託有價證券利札請求書ヲ作成シ且供託書ニ供託受理ノ旨ヲ記載シテ之ニ捺印シ其ノ一通ヲ拂込書及拂渡請求書又ハ利札請求書ト共ニ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利息ヲ受取ラシムヘシ

第五條　供託物受入ノ記載アル供託書

一　辨濟供託ニ在リテハ供託通知書

二　法令ニ依リテ定マリタル者ハ其ノ受取ルヘキ事由ヲ證スルニ足ル書類

三　裁判ニ依リテ定マリタルトキハ執行力アル裁判ノ正本又ハ裁判所ノ命令書

四　反對給付ヲ爲スヘキトキハ供託法第十條ノ規定ニ依ル證明書類

五　供託物ノ取戻ヲ爲サムトスル者ハ第五號書式ノ供託物取戻請求書（供託物カ有價證券ナルトキハ請求書二通）ニ左ニ掲クル書類ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ提出スヘシ

一　供託物受入ノ記載アル供託書

二　債權者カ供託ヲ受諾セサル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載シタル債權者ノ書面又ハ供託ヲ有效ト宣告シタル確定判決ナキコトヲ證スル書面

三　民法第四百九十六條第二項ノ場合ニ該當セサルコトヲ證スル書面

四　供託ノ原因消滅シ又ハ供託カ錯誤ニ出テタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スルニ足ル裁判ノ正本其ノ他ノ書面

第七條　供託ヲ爲シタル供託局ノ預金取扱店タル日本銀行所在地外ノ日本銀行ニ於テ供託金ノ還付ヲ受ケ又ハ取戻ヲ爲サムトスル者ハ第五條又ハ前條ノ請求書ニ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第八條　供託官吏供託金ノ還付又ハ取戻ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ記名式持參人拂ノ小切手ヲ振出シテ供託書ト引換ニ請求者ニ之ヲ交付スヘシ但シ內渡ノ場合ニ於テハ供託書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ヲ請求者ニ返還スヘシ

供託金ノ還付又ハ取戻ニ付前條ノ請求アリタルトキハ供託官吏ハ大正十一年大藏省令第六號預金部預金取扱規程第十二條ノ規定ニ依ル手續ヲ爲シ第六號書式ノ供託金支拂通知書ヲ請求者ニ交付シ指定ノ日本銀行ヨリ供託金ノ還付又ハ下戻ヲ受ケシムヘシ

第九條　供託官吏供託有價證券ノ還付又ハ取戻ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ供託物還付請求書又ハ供託物取戻請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ有價證券ノ還付又ハ下戻ヲ受ケシムヘシ

第十條　請求者カ第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類ヲ提出スルコト能ハサルトキハ供託局ノ承諾ヲ得タル保證人二人以上ノ連署ヲ以テ供託物ノ還付又ハ下戻ニ因リ供託局ニ生シタル損害ヲ賠償スル責任ヲ負フヘキ旨ヲ記載シタル書面又ハ利害關係人ノ承諾書ヲ以テ其ノ書類ニ代フルコトヲ得

第十一條　配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テ官廳又ハ供託者ハ第七號書式ノ支拂委託書ニ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ送付シ分割拂渡ヲ受クヘキ者ニ第八號書式ノ證明書ヲ交付スヘシ

分割拂渡ヲ受クヘキ者カ供託物拂渡請求書ニ前項ノ證明書ヲ添附シテ供託物拂渡ノ請求ヲ爲シタルトキハ供託官吏ハ第八條及第九條ノ規定ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條　保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル者利札ヲ受取ラムトスルトキハ第九號書式ノ供託有價證券利札請求書二通ヲ供託局ニ提出スヘシ

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利札ヲ受取ラシムヘシ

第十三條　供託金ノ利息ハ元金ト同分ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息ノ受取人トヲ異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ

保證トシテ金錢ヲ供託シタル場合ニ於テ供託カ一年以上繼續スルトキハ其ノ利息ハ毎年六月ニ於テ前月迄ニ生シタル金額ヲ計算シ

第六號預金部預金取扱規程第十二條ノ規定ニ依ル手續ヲ爲シ第六號書式ノ供託金支拂通知書ヲ請求者ニ交付シ指定ノ日本銀行ヨリ供託金ノ還付又ハ下戻ヲ受ケシムヘシ

第九條　供託官吏供託有價證券ノ還付又ハ取戻ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ供託物還付請求書又ハ供託物取戻請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ有價證券ノ還付又ハ下戻ヲ受ケシムヘシ

第十條　請求者カ第五條及第六條ノ規定ニ依ル書類ヲ提出スルコト能ハサルトキハ供託局ノ承諾ヲ得タル保證人二人以上ノ連署ヲ以テ供託物ノ還付又ハ下戻ニ因リ供託局ニ生シタル損害ヲ賠償スル責任スヘキ旨ヲ記載シタル書面又ハ利害關係人ノ承諾書ヲ以テ其ノ書類ニ代フルコトヲ得

第十一條　配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テ官廳又ハ供託者ハ第七號書式ノ支拂委託書ニ供託物受入ノ記載アル供託書ヲ添附シテ之ヲ供託局ニ送付シ分割拂渡ヲ受クヘキ者ニ第八號書式ノ證明書ヲ交付スヘシ

分割拂渡ヲ受クヘキ者カ供託物拂渡請求書ニ前項ノ證明書ヲ添附シテ供託物拂渡ノ請求ヲ爲シタルトキハ供託官吏ハ第八條及第九條ノ規定ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第十二條　保證金ニ代ヘテ有價證券ヲ供託シタル者利札ヲ受取ラムトスルトキハ第九號書式ノ供託有價證券利札請求書二通ヲ供託局ニ提出スヘシ

供託官吏前項ノ請求ヲ理由アリト認ムルトキハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載シ之ニ捺印シテ其ノ一通ヲ請求者ニ交付シ日本銀行ヨリ利札ヲ受取ラシムヘシ

第十三條　供託金ノ利息ハ元金ト同分ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息ノ受取人トヲ異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ

保證トシテ金錢ヲ供託シタル場合ニ於テ供託カ一年以上繼續スルトキハ其ノ利息ハ毎年六月ニ於テ前月迄ニ生シタル金額ヲ計算シ

アジア経済研究所センター
Japan Center for Asian Economic Studies
http://www.ide.go.jp

第四號書式

供託物還付請求書（供託規則第一條ノ二第一項ノ場合ニ於テ還付ヲ請求スルトキハ本書ヲ提出スヘシ）

| | | |

認可書式
右拂渡ヲ認可ス
年　月　日　　何供託局長　何　㊞

受領書式
右受領候也
年　月　日　　住所　何　㊞

日本銀行宛
第十號書式　　供託金利息請求書
供託番號第　　號
供託金何圓ニ對スル利息支拂相成度及請求候也
年　月　日　　住所
受取人　何　㊞
供託局宛

認可書式
一金何圓也
（金何圓ニ對スル何年何月ヨリ何年何月ニ至ル迄ノ年何分何厘ノ割合ニ依ル利息）
右拂渡ヲ認可ス
年　月　日　　何供託局長　何　㊞

受領書式
右受領候也
年　月　日　　住所
受取人　何　㊞

日本銀行宛
第十一號書式　　供託金利息請求書
供託番號第　　號
供託金何圓（但シ何年何月何日供託受入濟）ニ對スル利息支拂相成度及請求候也
年　月　日　　住所
受取人　何　㊞
供託局宛

認可書式
一金何圓也

（金何圓ニ對スル何年何月ヨリ何年何月ニ至ル迄ノ年何分何厘ノ割合ニ依ル利息）
右拂渡ヲ認可ス
年　月　日　　何供託局長　何　㊞

受領書式
右受領候也
年　月　日　　住所
受取人　何　㊞

日本銀行宛

●朝鮮總督府供託局事務取扱手續

大正十一年四月
總訓第十一號
朝鮮總督府供託局

朝鮮總督府供託局事務取扱手續左ノ通定ム

朝鮮總督府供託局事務取扱手續

第一條　朝鮮總督府供託局ニハ左ノ原簿及帳簿ヲ備フヘシ

一　供託金原簿　　樣式第一號
二　供託有價證券原簿　　樣式第二號
三　供託金受拂日計簿　　樣式第三號
四　供託有價證券受拂日計簿　　樣式第四號
五　受附簿　　樣式第五號
六　發送簿　　樣式第六號
七　抗告事件簿　　樣式第七號
八　小切手帳受拂簿　　樣式第八號

第二條　供託金原簿及供託有價證券原簿ハ既濟、未濟ノ二部ニ區別シ各供託番號ノ順序ニ依リ之ヲ筐底ニ納メ保管スヘシ

第三條　受附簿ニハ受附ノ順序ニ從ヒ總テノ文書ヲ登錄シ當該文書ニ受附ノ年月日及番號ヲ記入スヘシ

第四條　發送簿ニハ發行ニ係ル總テノ文書ヲ登錄シ當該書面及原案アルモノニ付テハ其ノ原案ニ發行ノ番號ヲ附記スヘシ

第五條　原簿及進行番號ヲ附スヘキ帳簿ニ付テハ受附ノ順序ニ從ヒテ之ヲ記載シ每年共ノ番號ヲ更新スヘシ

第六條　供託事務ニ關スル書類ハ左ノ區別ニ依リ分類整理スヘシ

一　金錢供託書綴（代供託及附屬供託ノ請求書ヲ含ム）
二　有價證券供託書綴
三　預金部預金領收證書綴
四　供託有價證券受託證書綴
五　供託金拂戻請求書綴
六　供託有價證券拂戻請求書綴
七　供託金內渡領收證書綴
八　供託有價證券內渡領收證書綴
九　小切手領收證書綴
十　供託金支拂委託書綴
十一　供託有價證券支拂委託書綴
十二　供託有價證券利札請求書綴
十三　供託金利息請求書綴
十四　不受理告知書案綴（不受理ノ供託書又ハ拂渡請求書ヲ含ム）
十五　抗告書類綴
十六　郵便物受領證綴
十七　預金部預金月計突合控表綴
十八、供託有價證券月計突合控表綴
十九　雜書綴

第七條　前條ノ書類綴ニハ表紙及目錄ヲ附シ接受又ハ作成ノ順序ニ從ヒテ編綴シ目錄ニ記入スヘシ

編綴シタル書類ニハ每葉表面左肩ニ丁數ヲ附スヘシ

第八條　帳簿及書類綴ハ一年每ニ別冊ト爲ス

ヘシ但シ事件寡少ナルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九條　供託官吏供託、拂渡請求其ノ他ノ書類ヲ受取リタルトキハ遲滯ナク之ニ關スル總テノ事項ヲ調査シ速ニ其ノ處理ヲ爲スヘシ

第十條　供託番號ハ年毎、原簿ノ符號文字及進行番號ニ依ル一號、大正十一年金第二號ノ如シ

第十一條　代供託及附屬供託ハ新ニ供託金原簿ニ之ヲ登錄シ代供託ノ場合ニ於テハ同時ニ供託有價證券原簿ニ拂戻ノ記載ヲ爲スヘシ

第十二條　供託書、拂戻請求書其ノ他ノ書面ニ爲ス各種ノ奧書ハ其ノ書面ノ餘白ニ之ヲ爲スコトヲ得若別紙ニ記載シテ添綴スルトキハ供託局印ヲ以テ契印ヲ爲スヘシ

第十三條　供託書、拂戻請求書其ノ他二通ノ書面ヲ提出シタル場合ニ奧書ヲ爲シテ其ノ一通ヲ交付スルトキハ供託局印ヲ以テ兩箇ノ書面ニ割印ヲ爲スヘシ

第十四條　各種ノ書面ノ成作ニ付テハ金額及數量ノ記載ニ之ヲ訂正スルコトヲ得ス

前項ノ金額及數量ノ記載ニ付テハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ使用スヘシ

第十五條　辨濟供託ニ付其ノ通知書ノ送付ハ郵便ニ依ルヘシ郵便物ノ取扱利用ハ供託者ノ申出ニ從ヒ相當料金額ノ郵便切手ヲ封筒ニ貼付シテ納メシムヘシ

前項ノ通知書ヲ發送スルニ付テハ其ノ書面中適當ノ箇所ニ供託番號及何年何月何日發送ノ旨ヲ記載シテ供託局印ヲ押捺スヘシ

發送シタル通知書ノ郵便物受領證ヲ受ケタルトキハ之ニ供託番號ヲ記載スヘシ

第十六條　代供託及供託物拂戻ノ場合ニ於テ全部拂戻トナルトキハ供託局ニ在ル供託書ハ其ノ綴込ヨリ除キテ代供託又ハ拂戻ノ請求書類ニ合綴スヘシ

第十七條　內渡ノ場合ニ於テハ其ノ領收證書ヲ差出サシメ之ト引換ニ小切手、供託金支拂通知書又ハ拂戻認可ノ奧書アル拂戻請求書ヲ交付スヘシ

第十八條　分割拂戻ノ請求ヲ認可シタルトキハ支拂委託書中受取人ノ氏名上部ニ其ノ旨及年月日ヲ記載スヘシ

第十九條　供託物ノ還付又ハ取戻ノ權利ニ付供託局カ第三債務者トシテ差押ノ命令ヲ受ケタルトキハ原票ニ其ノ旨ヲ赤書スヘシ轉付若ハ取立ノ命令ヲ受ケ又ハ差押ノ取消アリタルトキ亦同シ

第二十條　小切手帳ハ他ノ書類ト區別シテ取扱ヒ其ノ保管ハ金庫ニ藏置シテ之ヲ爲スヘシ

第二十一條　供託局長ハ小切手帳使用ノ始ニ於テ其ノ枚數ヲ調査シ表紙裏面ノ右端ニ之ヲ記載シテ認印ヲ爲スヘシ

書損等ノ爲使用セサル紙葉ヲ生シタルトキハ前項記載ノ次ニ「第何號ノ次何葉何ノ事由ニ因リ不使用何年何月何日」ト記載シテ認印ヲ爲スヘシ

第二十二條　供託又ハ拂戻ノ請求ヲ受理スヘカラサルモノト認ムルトキハ書面ヲ以テ不受理ノ旨ヲ告知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ供託書又ハ拂渡請求書ノ一通及添附書類ヲ供託者又ハ請求者ニ還付スヘシ

第二十三條　預金部預金帳ハ供託金受拂ノ記行代理店ニ提出スヘシ

預金帳ニ受拂ノ記入ヲ受ケタル場合ニ於テ之ト證憑書類トノ對査ハ受ニ付テハ直ニ拂ニ付テハ月計突合ノ際之ヲ爲スヘシ

第二十四條　日本銀行代理店ヨリ月計突合表ノ送付ヲ受ケ證憑書類ト對査シテ其ノ證明ヲ爲スヘシトキハ之カ捺表（樣式第九號）ヲ作成スヘシ

第二十五條　供託局長ハ預金部預金及供託有價證券ニ付預ケ入辨當者トシテ日本銀行代理店ニ對シ其ノ責務ノ屆出及印鑑ノ提出ヲ爲スヘシ

樣式第一號　供託金原票　用紙模造紙　縱三寸五寸　橫八寸　藍色刷

供託番號	第　號	取受人及條件		額金供託	圓	備考	
供託者	年金	官廳名					
受理年月日	年　月　日	原因條項		濟入受	年　月　日		
		法令					

濟付交年月日	摘要	高戻拂	濟戻拂年月	高殘	利子交付額 年月日	事由	額金
		圓		圓			圓

様式第四號

供託有價證券受拂日計簿

年月日	受入高			拂戻高			残高			渡拂札利	備考
	供託番號	枚數	券面額	供託番號	枚數	券面額	件數	枚數	券面額	供託番號	
			圓			圓			圓		

様式第五號　受附簿　縦六寸七分　横八寸三分

進行番號	月	日	提出者	附番號	件名	處理	備考

様式第六號　發送簿　縦六寸七分　横八寸三分　紙幅

進行番號	月	日	ハ者又ハ名宛交付	供託番號	件名	備考

様式第二號　供託有價證券領置紙模造紙　縦三寸五分　横八寸　赤色刷

供託番號	年證第　號	指定受取人及受取條件		種類	枚數	券面額	附屬利札	受入濟年月日
供託者		官廳名		公債證書		圓		
		供託原因		株券				
受理年月日	年　月　日	法令條項		其ノ他證券				
				合計				

年月日	摘要	拂戻高			拂戻濟年月日	残高			備考
		枚數	券面額			枚數	券面額		
			圓				圓		

様式第三號

供託金受拂日計簿

年月日	受入高			拂戻高			残高			利子交付高			備考
	供託番號	金額		供託番號	金額		件數	金額		供託番號	金額		
			圓			圓			圓			圓	

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

様式第七號　抗告事件簿

帶通	帶供	接受	抗告事件簿	局終	年抗月告	渡抗判所	分送原	摘要	帶供	接受	帶通
號行第	號託	年月日	旨要	年月日	年月日	地方法院	旨要	年月日	號託	年月日	號行第
號 記載判決所 非大第正											號 記載判決所 非大第正
號年	號	日	抗告人	日	日	支廳	日	作事	號	日	號年

局終	年抗月告	渡抗判所	分送原	摘要	帶供	接受	帶通
旨要	年月日	地方法院	旨要	年月日	號託	年月日	號行第
							號 記載判決所 非大第正
		支廳			號	日	號年

備考	還送	返記	局終結受未	局終所判及作抗旨要	帶供	氏名	住所	抗告人
朋鮮總督府供託局	大正 年 月 日	大正 年 月 日	大正 年 月 日		大正 年 月 日			

抗告事件簿

朋鮮總督府供託局

月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

受

月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

拂

月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

殘

月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

備考

朋鮮總督府供託局

様式第八號　小切手領受拂簿

月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

小切手領受拂簿

朋鮮總督府供託局

様式第九號甲

大正　年　月中預金部預金月計突合残表

明	大正	年	月	日

受ノ部	金額	金
供託番號		
拂ノ部		
金額	金	
供託番號		
利息ノ部		
金額	金	
供託番號		

朋鮮總督府供託局

様式第九號乙

大正　年　月中供託有價證券月計突合残表

明	大正	年	月	日

受ノ部		
券面額		
公債證書	枚	金
株券	枚	金
其他證券	枚	金
供託番號		
拂ノ部		
券面額		
公債證書	枚	金
株券	枚	金
其他證券	枚	金
供託番號		

朋鮮總督府供託局

●朝鮮總督府供託局ノ預金取扱店

大正十一年四月
總督第九十一號

改正　大正一二年一月一九日
朝鮮總督府供託局ノ預金取扱店左ノ通定ム

左記	預金取扱店
供託局	日本銀行京城代理店
京城供託局	公州代理店
公州供託局	同
成興供託局	同
清津供託局	同
平壤供託局	同
新義州供託局	同
海州供託局	同
大邱供託局	同
釜山供託局	同
光州供託局	同
全州供託局	同

●指定供託所供託物取扱規則

大正元年十二月
總令第三十八號

改正　大正二一年三月三五號
指定供託所供託物取扱規則左ノ通相定ム

第一條　朝鮮總督ノ指定シタル供託所ニ供託ヲ爲サムトスル者ハ左ノ事項ヲ明示シタル第一號書式ノ供託書二通ヲ作リ之ニ供託物ヲ添ヘ供託所ニ提出スヘシ但シ辨濟供託ニ付テハ第十號書式ノ供託通知書ヲ添附スヘシ

一　供託者ノ住所氏名、官吏公吏ノ公務上取扱フ場合ハ其ノ官廳名官氏名又ハ職氏名但シ代人ヲ用フルトキハ本人及代理人ノ住所氏名

二　供託物カ金錢ナルトキハ其ノ金額、有價證券ナルトキハ其ノ種類、記號番號、券面額（金額拂込未濟ノモノハ其拂込額ヲ左側ニ記入スルコトヲ要ス以下同シ）何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚

但何年何月又ハ何期渡以降利札付（以下同シ）

一金何圓也	同
又ハ	記號番號枚數記載方前ニ同シ
一何公債證書額面何圓也（金額拂込未濟ノモノハ其拂込額ヲ左側ニ記入スルコトヲ要ス以下同シ）	何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚
又ハ	同
一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也	同
又ハ	同
一何（金錢、有價證券以外ノ物品ノ名稱、品質、數量、荷造ノ種類、個數、記號等）	同

（種類多數ナルトキハ別ニ內譯書ヲ添附スルモ妨ナシ此場合ニハ外何點別紙內譯書ノ通ト記入シ內譯書ト契印スヘシ）

評價金
保管料

三　供託ノ原因（事實ノ詳細ヲ記載スルノ外同シ）
四　供託スヘキ法令ノ條項
五　供託物ヲ受取ルヘキ者ノ指定ヲ要スル場合ハ其ノ者ノ法律上ノ位置（官廳若ハ公署ナルトキハ其ノ官公署名、官氏名又ハ職氏名若ハ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ記スルヲ要ス）及住所氏名、官公署ナルトキハ其ノ官公署名、官氏名又ハ職氏名若ハ之ヲ確知スルコト能ハサルトキハ其ノ事由
六　供託物ヲ受取ルヘキ者ヨリ反對給付ヲ受クルコトヲ要スル場合ハ其ノ反對給付ノ目的物其ノ他供託物ヲ受取ルニ付テノ條件
七　官廳ニ對スル保證又ハ擔保トシテ供託スルトキハ其ノ官廳名、訴訟ニ關シテ供託スルトキハ其ノ件名及裁判所名

第二條　供託所ニ於テ前條ノ供託ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ其ノ要件ノ具備シタルコトヲ認メタル後供託書ノ一通ニ受領ヲ證シ供託者ニ交付スヘシ

供託所前項ノ手續ヲ終リタルトキハ直ニ前條ノ供託通知書ヲ債權者ニ發送スヘシ

第三條　供託物ハ郵便ニ依リ寄託スルコトヲ得但シ供託物カ金錢ナルトキハ供託者ノ危險負擔ヲ以テ銀行ノ爲替手形又ハ郵便爲替券等ヲ以テ供託書ト共ニ供託所ニ送付スルコトヲ得

第四條　供託所ニ於テ前條ニ依リ爲替手形又ハ爲替券等ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ現金ニ交換シタル後第二條ニ依リ受領ノ手續ヲ爲スヘシ

第五條　供託物ヲ受取ルヘキ者ニ於テ供託ノ目的タル有價證券ノ償還金、利息又ハ配當金ノ受取方ヲ請求セムトスルトキハ第二號書式ノ請求書二通ヲ作リ供託所ニ提出スヘシ

保證金ニ代ヘ利札付有價證券ヲ供託シタル場合ニ於テ前項ノ手續ニ依ラス第三號書式ノ領收證書ヲ作リ利札ノ交付ヲ供託所ニ請求スルコトヲ得

第六條　供託所ニ於テ前條第一項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ償還金、利息又ハ配當金ヲ受取リ償還金ハ代供託物、利息又ハ配當金ハ附屬供託物トシテ之ヲ保管シ請求書ノ一通ニ其ノ受領ヲ證シ請求者ニ交付スヘシ以下同シ

前條第二項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ利札ヲ交付スヘシ

第七條　供託物ノ還付ヲ受ケムトスル者ハ第四號書式ノ請求書ヲ作リ第二條、第六條第一項ノ受領證ヲ添ヘ左ノ書類ト共ニ供託所ヘ提出スヘシ但シ全部ノ還付ヲ要スルトキハ其ノ受領證ニ奥書ヲ爲シ一部ノ還付ヲ要スルトキハ第五號書式ノ領收證書ヲ提出スルコトヲ要ス

一　辨濟供託ニ在リテハ其ノ供託通知書
二　法令ニ依リ定マリタル者ニ在リテハ其ノ受取ルヘキ事由ヲ證スルニ足ル書類
三　裁判ニ依リ定リタル者ニ在リテハ執行力アル判決ノ正本又ハ裁判所ノ命令書

四　反對給付ヲ爲スヘキトキハ供託法第十條ノ規定ニ依ル證明書類

第八條　供託者供託物ノ取戻ヲ爲サムトスルトキハ前條ノ手續ニ依リ左ノ書類ヲ提出シ供託所ニ其ノ請求ヲ爲スヘシ

一　債權者カ供託ヲ受諾セサル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ表示シタル債權者ノ書面
二　供託ヲ有效ト宣告シタル確定判決ナキコトヲ證スル書面
三　前二號ノ場合ニ於テ供託カ質權又ハ抵當權ノ消滅ニ關スルモノナルトキハ其ノ質權又ハ抵當權ノ消滅セサリシコトヲ證明シ得ヘキ書類

四　供託ノ原因カ消滅シ又ハ供託カ錯誤ニ出テタル場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ書類又ハ判決ノ正本

五　前號ノ場合ニ於テ官廳ニ對スル保證又ハ擔保トシテ供託シタルモノナルトキハ其ノ官廳又ハ裁判所ノ證明但シ官吏公吏ノ公務上取扱フモノナルトキハ其ノ事由ヲ表示シタル書面

第九條　前二條ノ規定ニ依リ提出スヘキ書類其ノ他原因ヲ證明スルニ足ルヘキ書類ヲ提出スルコト能ハサル正當ノ理由アル場合ニ於テハ供託所ノ承諾ヲ得タル保證人二人以上ノ連署ヲ以テ其ノ供託物取戻ヲ爲シ供託所ニ損害ヲ生シタルトキハ賠償ノ責ニ任スル旨ヲ記載シタル書面又ハ利害關係人ノ承諾書ヲ以テ其ノ書類ニ代フルコトヲ得

第十條　供託所第七條、第八條ニ依ル還付又ハ取戻ノ請求ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ請求ノ理由アルコトヲ確認シタル後供託物ヲ請求者ニ交付スヘシ但シ一部ノ還付ヲ爲シタルトキハ供託受領證ニ其ノ記入ヲ爲シ請求者ニ返還スヘシ

第十一條　配當其ノ他供託物ノ分割拂渡ヲ爲スヘキ場合ニ於テ官廳又ハ供託者ハ第六號書式ノ請求書ニ第二條、第六條第一項ノ受領證ヲ添ヘ供託所ニ送付シ第七號書式ノ還付證書ヲ受取ル人ニ交付スヘシ

受取人前項ノ還付證書ヲ受ケタルトキハ受領證ト供託物ノ還付ト請求スヘシ

第十二條　供託所前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ還付證書ト引換ニ供託物ヲ受取ル人ニ交付スヘシ但シ供託物ノ一部ヲ還付スルモノナルトキハ供託受領證ニ其ノ記入ヲ爲シ請求官廳又ハ供託者ヘ返還スヘシ

第十三條　供託金ノ利息ハ其ノ元金ト同時ニ拂渡スヘキモノトス但シ元金ノ受取人ト利息受取人トヲ異ニスルトキハ元金拂渡ノ後利息ヲ拂渡スヘシ

保證トシテ金錢ヲ供託シタル場合ニ於テ供託カ一年以上繼續スルトキハ其ノ利息ハ每年六月ニ於テ前月迄ニ生シタル金額ヲ計算シ供託者又ハ之ヲ受取ルヘキ權利アル者ノ請求ニ依リ拂渡ヲ爲スヘシ

第十四條　前條第一項ニ依ル利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第八號書式ノ請求書、前條第二項ニ依ル利息ノ拂渡ヲ受ケムトスル者ハ第九號書式ノ請求書ヲ供託所ニ提出スヘシ

第十五條　供託所前條ノ請求書ヲ受ケタルトキハ利息金額ヲ計算シ受領ヲ證セシメ其ノ現金ヲ交付スヘシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式（用紙半紙數二枚以上ニ及フトキハ契印スヘシ以下同シ）

供託書（金錢、有價證券、物品ニ區別作成スルヲ要ス）

道府（郡）町面洞（里）番戸
供託者　何　某（第三者ニ於テ供託ヲ爲ストキハ供託者第三者ト記入スヘシ）

一金何圓也	何圓券何第何番又ハ何第何番ヨリ第何番マテ何枚
又ハ	同
一何公債證書額面何圓也（金額拂込未濟ノモノハ其拂込額ヲ左側ニ記入スルコトヲ要ス以下同シ）	記號番號枚數記載方前ニ同シ
又ハ	同
一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也	同
又ハ	同
一何（金錢、有價證券以外ノ物品ノ名稱、品質、數量、荷造ノ種類、個數、記號等）	前ニ同シ

（種類多數ナルトキハ別ニ內譯書ヲ添附スルモ妨ナシ此場合ニハ外何點別紙內譯書ノ通ト記入シ內譯書ト契印スヘシ）

評價金
保管料

右　何　某　印

年　月　日
何供託所宛

（受領書式）

第何號
右受領ス
年　月　日　供託所名印

（奥書ノ式）
前書ノ金額（有價證券又ハ物品）正ニ受領候也
年　月　日　供託所名印

第二號書式

供託所

（內譯書式）

內

一金何圓也	同
又ハ	同
一何公債證書額面何圓也	同
又ハ	同
一何銀行又ハ何會社株券額面何圓也	同
又ハ	同
一何（金錢、有價證券以外ノ物品ノ名稱、品質、數量、荷造ノ種類、個數、記號等）	前ニ同シ

（種類多數ナルトキハ別ニ內譯書ヲ添附スルモ妨ナシ此ノ場合ニハ外何點別紙內譯書ノ通ト記入シ內譯書ト契印スヘシ）

評價金
保管料

右　何　某　印

年　月　日
供託所宛

（受領ノ書式）

第何號
右供託物（附屬供託物）トシテ受領ス
年　月　日　供託所名印

（奥書ノ式）
前書ノ金額正ニ領收候也
年　月　日　供託所名印

第三號書式

請求書（代供託物ト附屬供託物トハ各別ニ請求書ヲ作成スルコトヲ要ス）

道府（郡）町面洞（里）番戸
受取人　何　某　印

一金何圓也	同
何公債證書（何銀行株券）（何會社株券）何圓何年何月（何期）渡利息	記號番號枚數記載方前ニ同シ
（配當金）（何年何月償還金）何年何月何日第何號供託受領證ノ分	同
前書金額御受取相成度（別紙委任狀相添ノ請求候也）	同
年　月　日	前ニ同シ
供託所宛	道府（郡）町面洞（里）番戸
	何　某　印

（受領ノ書式）

第何號
右供託物（附屬供託物）トシテ受領ス
年　月　日　供託所名印

（奥書ノ式）
前書ノ金額正ニ領收候也
年　月　日　供託所名印

（内渡ノ式）

一金何円也

右金額何年何月何日内渡済

（受領証ノ俗ニ曰ク渡済ト書キ又ハ領紙ヲ送ルト云フ）

供託

第三號書式

一利札券面額何円也

右公債証書（何銀行又ハ何令社券）額面何円利札券何枚

月分何円也

又ハ元金何號供託受領証ノ分

右ハ何年何月何日限リ相違ナク受領候也

年　月　日　住所　氏名　印

供託

第四號書式

一金何円也（一部ハ元金ノ一部ヲ供託ス）

右ハ何ノ為メ供託ス

何年何月何日

供託者　住所　氏名　印

供託

第五號書式

一何年何月何日第何號受領証ノ内

一金何円也

右ハ何公債証書額面何円也ノ利札券何円何番ヨリ何番マデ何枚

又ハ何銀行又ハ何令社株券額面何円也ノ利札券何円何番ヨリ何番マデ何枚

又ハ

第十五輯

民事刑事監獄

●供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合及供託金ガ政府ノ所有ニ歸シタル場合ノ取扱方ニ關スル件

昭和十年四月
大令第八號

供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合及供託金ガ政府ノ所有ニ歸シタル場合ノ取扱方ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　出納官吏事務規程第三十五條乃至第三十八條及第七十二條ノ規定ハ供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二條　保管金取扱規程第十六條乃至第十八條ノ規定ハ供託金ガ時效其ノ他ノ事由ニ因リ政府ノ所得ニ歸シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三條　前二條ノ規定ニ依リ出納官吏事務規程及保管金取扱規程ノ規定ヲ準用スル場合ニ於テ所管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、關東州ニ在リテハ滿洲國駐劄特命全權大使、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官之ヲ行フ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ規定ハ本令施行前供託官吏ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ振出日附後一年ヲ經過シタルモノニ付之ヲ適用ス

第十五輯　民事　刑事　監獄

第一章　民事

第一款　民事令　民法　商法　民事訴訟法　人事訴訟手續法　非訟事件手續法

○朝鮮民事令（明治四五、三、制令七）……一
○民法第一編第二編第三編（明治二九、四、法律八九）……四
○民法第四編第五編（明治三一、六、法律九）……六
○民法施行法（明治三一、六、法律一一）……三
○民法等施行期日（明治三一、六、勅令一二三）……三
○失火ノ責任ニ關シ民法適用（明治三二、三、法律四〇）……三
○詔名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル件（明治三七、四、法律一七）……三
○年齡計算ニ關スル件（明治三五、一二、法律五〇）……三
○軍人軍屬ノ遺言確認請求ニ關スル件（明治三三、二、法律一三）……三
○救育所ニ在ル孤兒ノ後見職務執行ニ關スル件（明治三三、三、法律五一）……三
○信託法（大正一一、四、法律六二）……三
○有價證券ノ信託財産表示及信託財産ニ屬スル金錢ノ管理ニ關スル件（昭和六、九、總令一六）……三
○信託表示簿及目附アル印章調製ニ關スル件（昭和六、九、總令一一七）……三
○身元保證ニ關スル法律（昭和八、四、法律四二）……三
○外國人土地法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件（昭和一一、一二、勅令四七〇）……三
○外國人土地法（大正一四、四、法律四二）……三
○外國人土地法施行令（大正一五、一一、勅令三三四）……三
○商法（明治三二、三、法律四八）……三
○商法施行法（明治三二、三、法律四九）……三
○商法中改正法律施行法（昭和一三、四、法律七三）……三
○商法中署名スヘキ場合ニ關スル件（明治三三、二、法律一七）……三
○手形法（昭和七、七、法律二〇）……三
○小切手法（昭和七、七、法律二一）……三
○有限會社法（昭和一三、四、法律七四）……三
○拒絕證書規則（昭和八、一二、總令一四六）……三
○小切手ノ呈示期間ノ特例ニ關スル件（昭和八、一二、總令一四七）……三
○小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スヘキ人又ハ施設ニ關スル件（昭和九、一、總令二）……三
○朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル手形法及小切手法ノ規定ニ依ル手形交換所（昭和八、一二、總令一四六）……三
○商事非訟事件印紙法（明治二三、八、法律六）……三
○民事訴訟法（明治二三、四、法律二九）……三
○民事訴訟法中改正法律施行法（大正一五、六）……三
○民事訴訟費用法（明治二三、八、法律六四）……三
○破產法（大正一一、四、法律七一）……三
○和議法（大正一一、四、法律七二）……三
○人事訴訟手續法（明治三一、六、法律一三）……三
○人事訴訟手續法第一條第三項及非訟事件手續法第二條第三項ニ依リ京城府指定（大正七、一、總令一一〇）……三
○明治三十二年法律第六十七號（外國人ノ土地所有權ニ關スル法律）（明治三二、三、法律六七）……三
○競賣法（明治三一、六、法律一五）……三
○非訟事件手續法（明治三一、六、法律一四）……三
○外國人ノ署名捺印及訴訟上無資力證明方（明治三二、三、法律五〇）……三
○小商人、公告、確定日附簿及日附アル印章ニ關スル件（明治四五、三、總令三一）……三
○永代借地登記規則（大正三、五、總令五四）……三
○法人ノ設立及監督ニ關スル規程（明治四五、三、總令七一）……三
○永代借地權ニ關スル件（大正三、五、制令一

○利息制限令（明治四四、一一、制令一三）……一八
○相續人缺ノ場合ニ於テ國庫ニ歸屬シタル財產ノ引渡ニ關スル件（明治三三、一二、勅令四〇九）……一八
○朝鮮總督府及所屬官署ノ民事訴訟ニ關シ國ヲ代表スルノ件（明治三九、七、勅令一八四）……一八
○本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件（明治四三、一一、總令四二）……一八
○政府ノ債務ニ對シ差押命令ヲ受ケル場合竝計上ノ規程（明治二六、一二、勅令二六一）……一八
○政府第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續（明治二七、二、大令二）……一八
○民事訴訟用印紙法（明治二三、八、法律六五）……一八
○民事爭訟調停ニ關スル件（明治四三、一二、制令一一）……一九
○民事爭訟調停事務取扱規則（明治四三、一二、總令六七）……一九
○民事爭訟調停事務取扱手續（明治四三、一二、總訓七一）……一九
○朝鮮財團無償令（大正八、四、制令八）……一九
○工場抵當法（明治三八、三、法律五四）……一九
○鑛業抵當法（明治三八、三、法律五五）……一九
○軌道ノ抵當ニ關スル件（明治四二、四、法律二八）……一九
○鐵道抵當法（明治三八、三、法律五三）……一九
○朝鮮私設鐵道及軌道抵當取扱規則（大正八、五、總令八四）……二〇

第二款　登記

○朝鮮不動產登記令（明治四五、三、制令九）……二〇
○不動產登記法（明治三二、三、法律二四）……二一〇
○朝鮮不動產登記令施行規則（明治四五、三、總令三六）……二一
○朝鮮不動產登記令施行期日及地域（大正三、五、總令五一）……二一
○永代借地登記規則（大正三、五、總令五四）……二一
○法人及夫財產契約登記取扱規則（明治四五、三、總令二九）……二一
○商業登記取扱規則（明治四五、三、總令三〇）……二一

○商業登記事務ノ委任ニ關スル件〔昭和一一、三、總令二四〕……二八
○不動産共ノ他ノ登記簿ノ謄本、抄本ノ請求等ニ關スル手數料及私署證書確定日附ノ手數料ニ關スル件〔明治四五、三、總令三八〕……二八
○朝鮮船舶登記規則〔大正三、五、總令八七〕……二八
○釜山地方法院ヲ朝鮮船舶登記規則第五十四條第二項ノ規定ニ依ル登記所ニ指定〔大正三、六、總告二一一〕……二八
○船舶ノ登記其ノ他ノ手續ニ關スル件〔大正三、八、總訓四四〕……二九
○朝鮮産業組合登記取扱規則〔大正一五、二、總令一六〕……二九
○金融組合登記取扱規則〔大正三、八、總令一七〕……二九
○朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則〔昭和八、八、總令八九〕……二九
○土地調査令ニ依リ査定又ハ裁決ヲ經タル土地ノ登記又ハ證明ニ關スル件〔大正三、五、制令一六〕……二九
○財團抵當登記取扱規則〔大正八、五、總令一〇〕……二九
○殖産契登記取扱規則〔昭和一〇、一二、總令一四九〕……二九
○朝鮮漁業組合登記規則〔昭和五、三、總令一八〕……二九
○朝鮮自動車交通事業財團抵當登記取扱規則〔昭和九、一二、總令一三二〕……二九
○土地改良登記規則〔昭和三、五、總令三一〕……二九
○官廳ノ所管ニ係ル不動産登記ノ嘱託ニ關スル件〔大正一〇、八、總令一二三〕……二九

第三款　戸籍

○朝鮮戸籍令〔大正一一、一二、總令一五四〕……二九
○戸籍法〔大正三、三、法律二六〕……二九
○朝鮮戸籍令施行手續〔大正一一、三、總訓一五〕……二九
○朝鮮人ノ戸籍ニ關スル件〔大正二、三、總訓七〕……二九
○司法警察官吏執務規程〔大正一二、一二、總訓五二〕……二九
○朝鮮總督府裁判所及檢事局令狀取扱規程〔大正一二、一二、總訓五五〕……二九
○司法警察官吏ノ職務ヲ行フヘキ者及其ノ職務ノ範圍〔大正一三、五、總令三三〕……二九
○刑事補償法〔昭和六、四、法律六〇〕……二九
○恩赦令施行規則〔大正元、九、勅令二三〕……二九
○刑事判決ノ正本、原本及抄本ノ手數料ニ關スル件〔大正元、八、總令三〕……二九
○刑法施行前ニ公布シタル命令ニ關スル件〔明治四一、九、勅令二一七〕……二九
○刑法施行後施行ノ命令ニ掲ケタル刑法ノ刑名ニ關スル件〔明治四二、五、勅令一二〇〕……二九
○舊刑法〔明治一三、七、太政官布告三六〕……二九
○朝鮮舊刑所犯ノ罰金ニ對シ大赦ヲ行フノ件〔明治四三、八、勅令三二五〕……二九
○朝鮮舊刑所犯ノ罰金ニ對シ大赦ヲ行フノ件〔大正二、一、勅令七〕……二九
○政治ニ關スル犯罪處刑ノ件〔大正八、四、制令七〕……二九
○刑ノ執行指揮ニ關スル取扱規程〔大正四、二、總訓四〕……二九
○刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程〔明治四五、三、總訓一五〕……二九
○刑ノ執行停止者取締ニ關スル件〔大正二、三、總訓七〕……二九
○司法警察官吏執務規程〔大正一二、一二、總訓五二〕……二九
○朝鮮總督府裁判所及檢事局令狀取扱規程〔大正一二、一二、總訓五五〕……二九
○司法警察官吏ノ職務ヲ行フヘキ者及其ノ職務ノ範圍〔大正一三、五、總令三三〕……二九
○刑事補償法〔昭和六、四、法律六〇〕……二九
○恩赦令施行規則〔大正元、九、勅令二三〕……二九
○刑事判決ノ正本、原本及抄本ノ手數料ニ關スル件〔大正元、八、總令三〕……二九
○刑法施行前ニ公布シタル命令ニ關スル件〔明治四一、九、勅令二一七〕……二九
○刑法施行後施行ノ命令ニ掲ケタル刑法ノ刑名ニ關スル件〔明治四二、五、勅令一二〇〕……二九
○舊刑法〔明治一三、七、太政官布告三六〕……二九
○朝鮮舊刑所犯ノ罰金ニ對シ大赦ヲ行フノ件〔明治四三、八、勅令三二五〕……二九
○朝鮮舊刑所犯ノ罰金ニ對シ大赦ヲ行フノ件〔大正二、一、勅令七〕……二九
○**減刑令**〔昭和一三、二、勅令七六〕……二九一
○**復權令**〔昭和一三、二、勅令七七〕……二九一
○昭和十三年勅令第七十七號復權令ニ依リ復權シタル者ノ證明申出方ノ件〔昭和一三、二、總告一〇二〕……二九三
○大正四年法律第十八號ヲ朝鮮等ニ施行ノ件〔大正四、一二、勅令二三〇〕……二九三
○法人ノ役員處罰ニ關スル件〔大正四、六、法律一八〕……二九三
○明治三十八年法律第六十六號第十條又ハ印紙犯罪處罰法第五條ノ規定ニ依ル官廳ニ關スル件〔大正五、四、總令三四〕……二九三
○政治ニ關スル犯罪處罰ノ件〔大正八、四、制令七〕……二九三

第三章　監獄

第一款　監獄令

○**朝鮮監獄令**〔明治四五、三、制令一四〕……二九五
○監獄法〔明治四一、三、法律二八〕……二九五
○朝鮮監獄令施行規則〔明治四五、三、總令二八〕……二九五
○監獄軍人軍屬逃亡罪處分例〔明治二九、五、勅令四四〕……二九六
○海軍軍人軍屬逃亡罪處分例〔明治二二、一、法律二五〕……二九六
○軍機保護法〔昭和一二、八、法律七二〕……二九六
○軍機保護法施行規則〔昭和一二、一〇、陸海令四三〕……二九七
○同上〔昭和一二、一〇、海令二八〕……二九七
○陸軍軍法會議法、海軍軍法會議法、刑事交渉法等ノ施行期日ニ關スル件〔大正一一、三、勅令七八〕……二九七
○陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法施行前ニ受理セラルル勅令中理事、主理等ノ名稱ニ關スル件〔大正一一、三、勅令八六〕……二九七
○海軍軍法會議法第一條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ者ニ關スル件〔大正一一、三、勅令一〇二〕……二九七
○陸軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件〔大正一一、三、勅令一〇三〕……二九七
○海軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件〔大正一一、三、勅令一〇四〕……二九七
○陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中時效ニ關スル規定等施行期日〔大正一二、六、勅令三〇〇〕……二九七

第二款　四人、刑事被告人及被疑者押送

○四人、被告人及被疑者護送規則〔明治四二、一〇、統令五一〕……二九八

第四章　軍律

○朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件〔大正二、九、勅令二八三〕……二九八
○陸軍刑法〔明治四一、四、法律四六〕……二九八
○陸軍刑法施行法〔明治四一、四、法律四七〕……二九八
○海軍刑法〔明治四一、四、法律四八〕……二九八
○海軍刑法施行法〔明治四一、四、法律四九〕……二九八

○府尹又ハ面長ノ管掌スル戸籍事務ノ費用負擔ニ關スル件〔大正一二、三、總令四三〕……二九八
○朝鮮人ノ姓名改稱ニ關スル件〔明治四四、一〇、總令一二四〕……二九九
○工場法ノ適用ヲ受クル工場ノ職工徒弟等民籍無償證明ノ件〔大正七、八、總令八〇〕……二九九
○土地調査令ニ依ル地番號ノ設定ナキ地ノ統一番號ノ新設、變更ニ關スル件〔大正四、一〇、總訓四一〕……二九九
○外國在留鮮人ノ身分取扱ニ關スル件〔大正二、六、總訓三二〕……二九九

第四款　華族　貴族

○華族令〔明治四〇、五、皇室令二〕……二九九
○**朝鮮貴族令**〔明治四三、八、皇室令一四〕……三〇〇
○朝鮮ニ在ル貴族ニ關スル件〔明治四三、八、皇室令一五〕……三〇〇
○朝鮮貴族世襲財產令〔昭和二、二、制令三〕……三〇一
○華族世襲財產法〔大正九、九、法律四五〕……三〇一
○朝鮮貴族世襲財產令施行規則〔昭和二、七、總令七四〕……三〇二
○朝鮮貴族ニ關スル審查委員令規程〔明治四五、三、總令一七〕……三〇二

第五款　財產管理及處理

○獨逸國等ニ屬スル財產管理ノ件〔大正九、三、勅令四八〕……三〇二
○大正九年勅令第四十八號ニ依ル管理財產ニ關スル取扱手續〔大正九、五、總令六八〕……三〇三
○同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ基ク損害申告ニ關スル件〔大正九、五、總令六八〕……三〇三
○同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件〔大正九、五、勅令一七一〕……三〇三
○同盟及聯合國ト墺地利國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件〔大正九、九、法律四五〕……三〇四
○獨墺國ト匈牙利國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件〔大正九、一一、勅令五三〕……三〇四
○朝鮮ニ於ケル特殊財產管理ニ關スル件〔大正九、一二、勅令四〇〕……三〇五

第二章　刑事

○**朝鮮刑事令**〔明治四五、三、制令一一〕……三一四
○**刑法**〔明治四〇、四、法律四五〕……三一四
○刑法施行法〔明治四一、三、法律二九〕……三一四
○決閉罪ニ關スル件〔明治二二、一二、法律三四〕……三一四
○造犯等ノ防止及處分ニ關スル法律〔昭和五、五、法律九〕……三一五
○大正十五年法律第六十號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件〔大正一五、九、勅令二九九〕……三一五
○暴力行爲等處罰ニ關スル法律〔大正一五、四、法律六〇〕……三一五
○爆發物取締罰則〔明治一七、一二、太政官布告三二〕……三一五
○印紙犯罪處罰法〔明治四二、四、法律三九〕……三一五
○通貨及證券模造取締法〔明治二八、四、法律一八〕……三一五
○外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル件〔明治三八、三、法律六〇〕……三一五
○海底電信線保護萬國聯合條約細則〔大正五、三、法律二〇〕……三一五
○**刑事訴訟法**〔大正一一、五、法律七五〕……三一五
○刑事訴訟費用法〔大正一〇、四、法律六八〕……三一七
○貴位條例施行細則又ハ勳章年金支給細則第十三條ニ依ル申牒及勳章年金支給細則ニ依ル通知ニ關スル件〔大正一〇、二、總訓七〕……三一七
○逃亡犯罪人引渡條例〔明治二〇、八、勅令四二〕……三一七
○外國籍船乘組員ノ逮捕留置ニ關スル援助法〔明治三二、三、法律六八〕……三一九
○**犯罪即決例**〔明治四三、一二、制令一〇〕……三二〇
○犯罪即決例施行手續〔明治四三、一二、總訓七二〕……三二〇
○朝鮮總督府警視、警部ノ地方法院支廳檢事ノ職務取扱ニ關スル件〔明治四五、三、總訓一三〕……三二一
○司法警察事務並令狀執行ニ關スル件〔明治四五、七、制令二六〕……三二一

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第十五輯　民事　刑事　監獄

第一章　民事

第一款　民事令　民法　商法　民事訴訟法　人事訴訟手續法　非訟事件手續法

●朝鮮民事令

明治四十五年三月
制令第七號

改正　大正七年六第八號、一〇年一一第一一號、一二年一二第二四號、一二年三第一號、一二年一二第三三號、昭和四年五第六號、六年六第九號、八年一二第三三號、九年四第一四號、一〇年八第一〇號、一二年一三第一七號、一三年四第一七號、一三年五第二一號

朝鮮民事令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮民事令

第一條　民事ニ關スル事項ハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ法律ニ依ル

一　民法
二　明治三十五年法律第五十號
三　明治三十七年法律第十七號
三ノ二　昭和八年法律第四十二號
四　明治三十二年法律第四十號
五　明治三十三年法律第五十一號
六　明治三十三年法律第十三號
七　民法施行法
七ノ二　信託法
八　商法
八ノ二　手形法
八ノ三　小切手法
九　明治三十三年法律第十七號
十　商法施行法
十一　破産法
十二　和議法
十三　民事訴訟法
十三ノ二　民事訴訟法中改正法律施行法
十四　外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法
十四ノ二　日滿司法事務共助法
十五　明治三十二年法律第五十號
削除
十七　人事訴訟手續法
十八　非訟事件手續法
十九　民事訴訟費用法
十九ノ二　民事訴訟用印紙法
二十　商事非訟事件印紙法
二十一　執達吏手數料規則
二十二　競賣法
二十三　明治三十二年法律第六十七號

第二條　前條ノ法律中勅令ニ委任シタル事項ハ朝鮮總督府令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　第一條ノ法律中主務官廳ニ屬スル職務ハ朝鮮總督、控訴院長ニ屬スル職務ハ覆審法院長、地方裁判所長ニ屬スル職務ハ地方法院長之ヲ行フ

第四條　第一條ノ法律中公證人及執達吏ニ屬スル職務ハ裁判所書記之ヲ行フ

地方法院長ハ弁護士其ノ他適當ト認ムル者ヲシテ執達吏ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第五條　執達吏ノ職務ヲ行フ者ハ執達吏規則第二條及第三條ノ事務ニ亦之ヲ取扱フ

第六條　執達吏ノ職務ヲ行フ者ハ第一條ノ法律ノ適用ニ付テハ之ヲ執達吏ト看做ス但シ國庫ヨリ俸給又ハ給料ヲ受クル者カ執達吏ノ職務ヲ行フ場合ニ於テハ其ノ受クヘキ手數料及旅費ハ國庫ノ收入トス

第七條　執達吏ノ職務ヲ行フ裁判所書記、警察官吏又ハ警察事務ヲ取扱フ官吏ハ書類ノ送達ニ限リ所屬廳ノ吏員ヲシテ臨時其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

官吏ニ非スシテ執達吏ノ職務ヲ行フコトヲ命セラレタル者ハ地方法院長ノ認可ヲ得テ代理者ヲ選クコトヲ得

第八條　第一條ノ法律ノ適用ニ付テハ府縣ハ道ニ、郡ハ郡ニ、市ハ府ニ、町村ハ邑面ニ、該當ス

第九條　第一條ノ法律中官報ニ掲載シテ爲スヘキ公告ハ公示催告手續及失踪ニ關スル事項ニ付テハ官報及朝鮮總督府官報ニ、其ノ他ノ事項ニ付テハ朝鮮總督府官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第十條　朝鮮人相互間ノ法律行爲ニ付テハ法令中公ノ秩序ニ關セサル規定ニ異リタル慣習アル場合ニ於テハ其ノ慣習ニ依ル

第十一條　朝鮮人ノ親族及相續ニ關シテハ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外第一條ノ法律ニ依ラス慣習ニ依ル但シ婚姻年齡、裁判上ノ離婚、認知、親權、後見、保佐人、親族會、相續ノ承認及財産ノ分離ニ關スル規定ハ此ノ限ニ在ラス

分家、組家再興、婚姻、協議上ノ離婚、緣組及協議上ノ離緣ハ之ヲ府尹又ハ邑面長ニ屆出ツルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス但シ遺言ニ依ル緣組ニ付テハ其ノ屆出ハ幾親ノ死亡ノ時ニ遡リテ其ノ效力ヲ生ス

第十一條ノ二　朝鮮人ノ戸籍ニ關シテハ後七條ノ規定ニ依ル

第十一條ノ三　戸籍事務ノ管掌ニ付テハ戸籍法第一條、第二條、第四條及第七條ノ規定ニ、戸籍ノ訂正ニ付テハ戸籍法第百六十四條及第百六十五條ノ規定ニ、戸籍事件ノ抗告ニ付テハ戸籍法第百六十九條乃至第百七十五條ノ規定ニ、過料ニ裁判ニ付テハ戸籍法第百七十九條ノ規定ニ依ル但シ戸籍法中市町村長トアルハ府尹又ハ邑面長ニ、市役所又ハ町村役場トアルハ府廳又ハ邑面事務所ニ、區裁判所トアルハ地方法院ニ該當ス

第十一條ノ四　戸籍事務ハ府廳又ハ邑面事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方法院ノ院長之ヲ監督ス

戸籍事務ノ監督ニ付テハ司法行政ノ監督ニ關スル規定ヲ準用ス

第十一條ノ五　正當ノ理由ナクシテ期間內ニ爲スヘキ屆出又ハ申請ヲ爲ササル者ハ十圓以下ノ過料ニ處ス

第十一條ノ六　朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ府尹又ハ邑面長カ戸籍事務ニ關シ期間ヲ定メテ屆出又ハ申請ノ催告ヲ爲シタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ其ノ期間內ニ屆出又ハ申請ヲ爲ササル者ハ二十圓以下ノ過料ニ處ス

第十一條ノ七　府尹又ハ邑面長ハ左ノ場合ニ於テハ三十圓以下ノ過料ニ處ス

一　正當ノ理由ナクシテ屆出又ハ申請ヲ受理セサルトキ

二　戸籍ノ記載ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三　正當ノ理由ナクシテ戸籍簿、除籍簿又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ閱覽ヲ許シタル書類ノ閱覽ヲ拒ミタルトキ

四　正當ノ理由ナクシテ戸籍若ハ除カレタル戸籍ノ謄本、抄本又ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ交付スヘキ證明書ノ交付ヲ爲ササルトキ

五　其ノ他戸籍事件ニ付職務ヲ怠リタルトキ

第十一條ノ八　戸籍ノ記載ヲ要セサル事項ニ付虛僞ノ屆出ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條ノ九　第十一條ノ三及第十一條ノ四ニ規定スルモノノ外戸籍簿、戸籍ノ記載手續、屆出其ノ他戸籍ニ關シ必要ナル事項ニ付テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

第十二條　不動産ニ關スル物權ノ種類及效力ニ付テハ第一條ノ法律ニ定メタル物權ヲ除クノ外慣習ニ依ル

第十三條　不動産ニ關スル物權ノ得喪及變更ニ付朝鮮不動産登記令ニ於テ登記ノ規定ヲ設ケタルモノハ其ノ登記ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十四條　朝鮮不動産證明令ニ依リ證明ヲ受ケタル典當權ハ第一條ノ法律ノ適用ニ付テハ其ノ性質ニ從ヒ之ヲ不動産質權又ハ抵當權ト看做ス朝鮮不動産登記令ニ依リ不動産質權又ハ抵當權トシテ登記ヲ受ケタルモノ亦同シ

第十五條　民法第四十九條ノ規定ハ朝鮮外ニ住所ヲ有スル法人カ朝鮮ニ事務所ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條ノ二　內地、臺灣、樺太、關東州、南洋群島又ハ朝鮮總督ノ指定スル亞細亞洲

ノ地域ニ於テ拂出シ朝鮮ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ伸張スルコトヲ得

第十六條　地方法院ニ於テ介讓シテ裁判ヲ爲スヘキ事件ニ付テハ第一條ノ法律中其ノ事件ニ付定メタル地方裁判所ノ裁判手續ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ他ノ事件ニ付テハ民裁判所ノ裁判手續ニ關スル規定及非訟事件手續法中地方裁判所ニ關スル規定ヲ準用ス

前項ノ外區裁判所又ハ地方裁判所ニ關スル規定ハ之ヲ地方法院ニ、區裁判所ニ關スル規定ハ之ヲ地方法院判事ニ準用ス

第十七條　地方法院判事ハ事件カ朝鮮總督府裁判所令第四條第一項但書ニ該當スト認ムルトキハ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ合議部ニ移付スヘシ

第十八條　朝鮮總督府裁判所令第四條第一項第一號ノ訴訟物ノ價額ハ訴ヲ以テ主張スル利益ニ依リテ之ヲ算定ス

前項ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ裁判所ノ通知ヲ求メ當ヨリ述フルコトヲ得

第十九條　檢事ハ民事事件ニ付必要ト認ムルトキハ裁判所又ハ裁判長カ職權ヲ以テ訴訟代理人又ハ辯護士ニ非サル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二十條　當事者ハ合議裁判所ニ於テモ許可ヲ得テ辯護士ニ非サル者ヲ訴訟代理人ト爲スコトヲ得

前項ノ許可ハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

第二十二條　削除

第二十三條　削除

第二十四條　裁判所書記其ノ職内ニ於テ送達ヲ受クヘキ者ニ書類ヲ交付シ受取證ヲ徵シタルトキハ送達ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第二十五條　削除

第二十六條　訴訟關係人カ裁判長ノ定メタル期日ニ出頭スヘキ旨ヲ記載シタル書面ヲ差出シタルトキハ期日呼出ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ生ス

第二十七條　削除

第二十八條　民事訴訟法第二百三十二條第五項及第六項ノ規定ハ之ヲ適用セス

第二十九條　當事者雙方カ口頭辯論ノ期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ裁判長ハ更ニ期日ヲ定メ當事者雙方ヲ呼出スヘシ

前項ノ新期日又ハ其ノ後ノ期日ニ當事者雙方カ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ訴ノ取下アリタルモノト看做ス

當事者カ其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ前項ノ期日ニ出頭スルコト能ハサリシ場合ニ於テハ其ノ事由ノ止ミタル後一週間内ニ限リ期日指定ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前三項ノ規定ハ申立人カ最初ノ口頭辯論ヲ爲ササルトキハ之ヲ準用セス但シ上訴審ニ於テハ上訴ノ取下ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十條　削除

第三十一條　削除

第三十二條　裁判所ノ開廷ニ關シテハ裁判所構成法第百四條乃至第百十三條ノ規定ニ依ル

第三十三條　裁判所ノ通譯官、通譯生又ハ書記ヲ通事トシテ爲ス場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ要セス

第三十四條　地方法院ニ於テ判事單獨ニテ裁判ヲ爲ス非件ニ付原告又ハ被告カ最初ニ爲スヘキ口頭辯論ノ期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ出頭シタル當事者ノ陳述ヲ聽キ開席判決ヲ以テ相手方ノ敗訴ヲ言渡スコトヲ得

第三十五條　開席判決ノ言渡ハ口頭辯論終結後直ニ之ヲ爲ス場合ニ限リ其ノ主文ヲ作ラサル前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　開席判決ニ對シテハ開席者ヨリ控訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

故障ノ申立ハ判決ノ送達アリタル日ヨリ一週間内ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ期間前申立テタル故障ノ效力ヲ妨ケス

前項ノ期間ハ之ヲ不變期間トス

第三十七條　故障ノ申立ハ原裁判所ニ之ヲ爲スヘシ

故障ノ申立書ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當事者及法定代理人

二　開席判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ故障ノ申立ヲ爲ス旨

第三十八條　民事訴訟法第二百二十八條ノ規定ハ故障申立書ニ之ヲ準用ス

第三十九條　不適法ナル故障ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナル場合ニ於テハ決定ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第三十八條ノ三　前二條ノ場合ヲ除ノ外裁判所ハ故障申立書ヲ相手方ニ送達シ且故障ニ付口頭辯論期日ヲ定メ當事者雙方ヲ呼出スヘシ

第三十八條ノ四　故障ヲ申立テタル原告又ハ被告カ前條ノ口頭辯論期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ故障ノ取下アリタルモノト看做ス

第三十九條第三項ノ規定ハ故障ヲ申立テタル原告又ハ被告カ其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ前項ノ期日ニ出頭スルコト能ハサリシ場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ五　適法ナル故障ノ申立アリタルトキハ訴訟ハ開席前ノ程度ニ復ス

第三十四條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ開席前ノ程度ニ復シタル訴訟ニ付之ヲ適用ス

第三十八條ノ六　故障後ニ爲スヘキ判決カ開席判決ト符合スルトキハ開席判決ヲ維持シ第三十八條ノ七　控訴權ノ拋棄及控訴ノ取下ニ關スル規定ハ故障ノ爲メ提起シタル控訴ノ取下ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ八　開席判決ニ對シテハ開席者ヨリ控訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三十八條ノ九　民事訴訟法第五百條ノ規定ハ假執行ノ宣言ヲ付シタル開席判決ニ對シ故障ヲ申立テタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　當事者本人ヲ訊問スルコトヲ必要トスル判決ヲ爲シタル裁判所ハ其ノ訊問ヲ裁判長ニ請求スヘシ

第四十條　受命判事又ハ受託判事ハ檢證ヲ爲スニ當リ必要アリト認ムルトキハ證人ヲ訊問スルコトヲ得

第四十一條　朝鮮總督證人ナルトキハ其ノ現在地ヲ管轄スル裁判所ニ於テ之ヲ訊問スヘシ

第四十二條　削除

第四十三條　削除

第四十四條　財產權上ノ請求ニ關スル判決ニ對シテハ控訴ニ因リテ受クヘキ利益ノ價額カ五十圓ヲ超過セサル場合ニ於テハ再審ノ事由アルニ非サレハ控訴ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ハ訴訟ノ目的ノ價額カ五十圓ヲ超過スル事件ニ付裁判所カ訴訟ノ一部ニ付爲シタル判決ニハ之ヲ適用セス

第一項ノ價額ハ控訴提起ノ時ヲ標準トシテ之ヲ定ム

控訴審ニ於テ擴張シタル請求ノ價額ハ第一項ノ價額ニ之ヲ算入セス

第一項ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ハ五十圓ヲ超過スルモノト看做ス

民事訴訟法第二十三條第一項ノ規定ハ第一項ノ價額ノ算定ニ之ヲ準用ス

果實、損害賠償、違約金又ハ費用ノ請求カ訴訟ノ附帶ノ目的ノナルトキハ控訴提起ノ時迄ニ生シタルモノニ限リ其ノ價額ヲ第一項及第二項ノ價額ニ算入ス

第四十五條　被控訴人ハ附帶控訴ニ因リテ受クヘキ利益ノ價額カ五十圓ヲ超過セサル場合ニ於テモ附帶控訴ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　控訴ノ提起ハ控訴狀ヲ原裁判所ニ差出シテ之ヲ爲ス

第四十七條　民事訴訟法民事訴訟法第三百六十七條乃至第三百七十條ノ規定ハ控訴ニ之ヲ準用ス

第四十八條　控訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當事者及法定代理人

二　開席判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ故障ヲ申立ツル旨

第四十九條　控訴狀ニハ控訴ノ理由ヲ記載スルヲ要ス

第五十條　控訴狀ニハ原裁判所ノ判決ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五十一條　控訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一　不動產ニ關スル訴ニ付テハ其ノ不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

二　不動產ニ關スル訴ニ付テハ其ノ不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

三　手形條例第四十二條ノ訴ニ付テハ支拂地ヲ管轄スル區裁判所

四　民事訴訟規則第六條ノ訴ニ付テハ其ノ船舶ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

五　民事訴訟費用規則第六條ノ訴ニ付テハ其ノ船舶ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

六　民事訴訟費用規則第七條ノ訴ニ付テハ其ノ船舶ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

七　臨時三年法律第十五號第八條ノ訴ニ付テハ其ノ船舶ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

第五十二條　控訴狀ニハ控訴ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第五十三條　控訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一　不動產ニ關スル訴ニ付テハ其ノ不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

二　不動產ニ關スル訴ニ付テハ其ノ不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

第五十四條　削除

第五十五條　民事訴訟法第六百四十三條第一項第二號ノ證書ハ左ノ書面ノ一ヲ以テ之ニ充ツ

一　不動產證明簿ニ債務者ノ所有ト認定シ記載シアル不動產ニ付テハ證明官吏ノ認證シタル證明簿ノ抄本

二　不動產證明簿ニ記載シアラサル土地ニ付テハ稅務署長、建物ニ付テハ府尹又ハ郡守ニ於テ債務者ノ所有タルコトヲ證明シタル書面

同條第一項第三號及第四號ノ證書ハ左ノ書面ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

一　土地ニ付テハ稅務署長ニ於テ其ノ所在地名、地番號(字號、四標等)、種目、面積(段別、坪數又ハ斗蒔、卜數等)、價額及其ノ土地ニ付納ムヘキ一年ノ公課ヲ證明シタル書面

二　建物ニ付テハ府尹又ハ郡守ニ於テ其ノ所在地名、敷地番號(字號、四標等)、戶番號、種類、構造、坪坪、價額及其ノ建物ニ付納ムヘキ一年ノ公課ヲ證明シタル書面

前項ノ書面ニハ其ノ土地又ハ建物ノ圖面ヲ添附スヘシ

第五十六條　不動產ニ對スル强制執行ニ付テハ其ノ地域ニ於テ拂出シ朝鮮ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ伸張スルコトヲ得

第十六條　地方法院ニ於テ介讓シテ裁判ヲ爲スヘキ事件ニ付テハ第一條ノ法律中其ノ事件ニ付定メタル地方裁判所ノ裁判手續ニ關スル規定ヲ準用シ其ノ他ノ事件ニ付テハ民裁判所ノ裁判手續ニ關スル規定及非訟事件手續法中地方裁判所ニ關スル規定ヲ準用ス

前項ノ外區裁判所又ハ地方裁判所ニ關スル規定ハ之ヲ地方法院ニ、區裁判所ニ關スル規定ハ之ヲ地方法院判事ニ準用ス

第十七條　地方法院判事ハ事件カ朝鮮總督府裁判所令第四條第一項但書ニ該當スト認ムルトキハ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ合議部ニ移付スヘシ

第十八條　朝鮮總督府裁判所令第四條第一項第一號ノ訴訟物ノ價額ハ訴ヲ以テ主張スル利益ニ依リテ之ヲ算定ス

前項ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ裁判所ノ通知ヲ求メ當ヨリ述フルコトヲ得

第十九條　檢事ハ民事事件ニ付必要ト認ムルトキハ裁判所又ハ裁判長カ職權ヲ以テ訴訟代理人又ハ辯護士ニ非サル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

第二十條　當事者ハ合議裁判所ニ於テモ許可ヲ得テ辯護士ニ非サル者ヲ訴訟代理人ト爲スコトヲ得

前項ノ許可ハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

第二十二條　削除

第二十三條　削除

第二十四條　裁判所書記其ノ職内ニ於テ送達ヲ受クヘキ者ニ書類ヲ交付シ受取證ヲ徵シタルトキハ送達ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ有ス

第二十五條　削除

第二十六條　訴訟關係人カ裁判長ノ定メタル期日ニ出頭スヘキ旨ヲ記載シタル書面ヲ差出シタルトキハ期日呼出ヲ爲シタルト同一ノ效力ヲ生ス

第二十七條　削除

第二十八條　民事訴訟法第二百三十二條第五項及第六項ノ規定ハ之ヲ適用セス

第二十九條　當事者雙方カ口頭辯論ノ期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ裁判長ハ更ニ期日ヲ定メ當事者雙方ヲ呼出スヘシ

前項ノ新期日又ハ其ノ後ノ期日ニ當事者雙方カ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ訴ノ取下アリタルモノト看做ス

當事者カ其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ前項ノ期日ニ出頭スルコト能ハサリシ場合ニ於テハ其ノ事由ノ止ミタル後一週間内ニ限リ期日指定ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前三項ノ規定ハ申立人カ最初ノ口頭辯論ヲ爲ササルトキハ出頭シタル當事者ノ陳述ヲ聽キ開席判決ヲ以テ相手方ノ敗訴ヲ言渡スコトヲ得

第三十條　削除

第三十一條　削除

第三十二條　裁判所ノ開廷ニ關シテハ裁判所構成法第百四條乃至第百十三條ノ規定ニ依ル

第三十三條　裁判所ノ通譯官、通譯生又ハ書記ヲ通事トシテ爲ス場合ニ於テハ宣誓ヲ爲サシムルコトヲ要セス

第三十四條　地方法院ニ於テ判事單獨ニテ裁判ヲ爲ス非件ニ付原告又ハ被告カ最初ニ爲スヘキ口頭辯論ノ期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ出頭シタル當事者ノ陳述ヲ聽キ開席判決ヲ以テ相手方ノ敗訴ヲ言渡スコトヲ得

第三十五條　開席判決ノ言渡ハ口頭辯論終結後直ニ之ヲ爲ス場合ニ限リ其ノ主文ヲ作ラサル前ト雖之ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　開席判決ニ對シテハ開席者ヨリ控訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

故障ノ申立ハ判決ノ送達アリタル日ヨリ一週間内ニ之ヲ爲スヘシ但シ其ノ期間前申立テタル故障ノ效力ヲ妨ケス

前項ノ期間ハ之ヲ不變期間トス

第三十七條　故障ノ申立ハ原裁判所ニ之ヲ爲スヘシ

故障ノ申立書ハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當事者及法定代理人

二　開席判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ故障ヲ申立ツル旨

第三十八條　民事訴訟法第二百二十八條ノ規定ハ故障申立書ニ之ヲ準用ス

第三十九條　不適法ナル故障ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナル場合ニ於テハ決定ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第三十八條ノ三　前二條ノ場合ヲ除ノ外裁判所ハ故障申立書ヲ相手方ニ送達シ且故障ニ付口頭辯論期日ヲ定メ當事者雙方ヲ呼出スヘシ

第三十八條ノ四　故障ヲ申立テタル原告又ハ被告カ前條ノ口頭辯論期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲ササルトキハ故障ノ取下アリタルモノト看做ス

第三十九條第三項ノ規定ハ故障ヲ申立テタル原告又ハ被告カ其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ前項ノ期日ニ出頭スルコト能ハサリシ場合ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ五　適法ナル故障ノ申立アリタルトキハ訴訟ハ開席前ノ程度ニ復ス

第三十四條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ開席前ノ程度ニ復シタル訴訟ニ付之ヲ適用ス

第三十八條ノ六　故障後ニ爲スヘキ判決カ開席判決ト符合スルトキハ開席判決ヲ維持シ第三十八條ノ七　控訴權ノ拋棄及控訴ノ取下ニ關スル規定ハ故障ノ爲メ提起シタル控訴ノ取下ニ之ヲ準用ス

第三十八條ノ八　開席判決ニ對シテハ開席者ヨリ控訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三十八條ノ九　民事訴訟法第五百條ノ規定ハ假執行ノ宣言ヲ付シタル開席判決ニ對シ故障ヲ申立テタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　當事者本人ヲ訊問スルコトヲ必要トスル判決ヲ爲シタル裁判所ハ其ノ訊問ヲ裁判長ニ請求スヘシ

第四十條　受命判事又ハ受託判事ハ檢證ヲ爲スニ當リ必要アリト認ムルトキハ證人ヲ訊問スルコトヲ得

第四十一條　朝鮮總督證人ナルトキハ其ノ現在地ヲ管轄スル裁判所ニ於テ之ヲ訊問スヘシ

第四十二條　削除

第四十三條　削除

第四十四條　財產權上ノ請求ニ關スル判決ニ對シテハ控訴ニ因リテ受クヘキ利益ノ價額カ五十圓ヲ超過セサル場合ニ於テハ再審ノ事由アルニ非サレハ控訴ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ規定ハ訴訟ノ目的ノ價額カ五十圓ヲ超過スル事件ニ付裁判所カ訴訟ノ一部ニ付爲シタル判決ニハ之ヲ適用セス

第一項ノ價額ハ控訴提起ノ時ヲ標準トシテ之ヲ定ム

控訴審ニ於テ擴張シタル請求ノ價額ハ第一項ノ價額ニ之ヲ算入セス

第一項ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ハ五十圓ヲ超過スルモノト看做ス

民事訴訟法第二十三條第一項ノ規定ハ第一項ノ價額ノ算定ニ之ヲ準用ス

果實、損害賠償、違約金又ハ費用ノ請求カ訴訟ノ附帶ノ目的ノナルトキハ控訴提起ノ時迄ニ生シタルモノニ限リ其ノ價額ヲ第一項及第二項ノ價額ニ算入ス

第四十五條　被控訴人ハ附帶控訴ニ因リテ受クヘキ利益ノ價額カ五十圓ヲ超過セサル場合ニ於テモ附帶控訴ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　控訴ノ提起ハ控訴狀ヲ原裁判所ニ差出シテ之ヲ爲ス

第四十七條　民事訴訟法民事訴訟法第三百六十七條乃至第三百七十條ノ規定ニ依ル

第四十八條　控訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當事者及法定代理人

二　開席判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ故障ヲ申立ツル旨

第四十九條　控訴狀ニハ控訴ノ理由ヲ記載スルヲ要ス

第五十條　控訴狀ニハ原裁判所ノ判決ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五十一條　控訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一　不動產ニ關スル訴ニ付テハ其ノ不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

二　不動產ニ關スル訴ニ付テハ其ノ不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

第五十二條　控訴狀ニハ控訴ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第五十三條　控訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

一　不動產ニ關スル訴ニ付テハ其ノ不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

二　不動產ニ關スル訴ニ付テハ其ノ不動產ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所

第五十四條　削除

第五十五條　民事訴訟法第六百四十三條第一項第二號ノ證書ハ左ノ書面ノ一ヲ以テ之ニ充ツ

一　不動產證明簿ニ債務者ノ所有ト認定シ記載シアル不動產ニ付テハ證明官吏ノ認證シタル證明簿ノ抄本

二　不動產證明簿ニ記載シアラサル土地ニ付テハ稅務署長、建物ニ付テハ府尹又ハ郡守ニ於テ債務者ノ所有タルコトヲ證明シタル書面

同條第一項第三號及第四號ノ證書ハ左ノ書面ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

一　土地ニ付テハ稅務署長ニ於テ其ノ所在地名、地番號(字號、四標等)、種目、面積(段別、坪數又ハ斗蒔、卜數等)、價額及其ノ土地ニ付納ムヘキ一年ノ公課ヲ證明シタル書面

二　建物ニ付テハ府尹又ハ郡守ニ於テ其ノ所在地名、敷地番號(字號、四標等)、戶番號、種類、構造、坪坪、價額及其ノ建物ニ付納ムヘキ一年ノ公課ヲ證明シタル書面

前項ノ書面ニハ其ノ土地又ハ建物ノ圖面ヲ添附スヘシ

第五十六條　不動產ニ對スル强制執行ニ付テハ其ノ地域ニ於テ拂出シ朝鮮ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ伸張スルコトヲ得

（大正十一年十二月總令第百五十二號）
大正十一年制令第十三號中朝鮮民事令第一條、第三十八條及第七十二條ノ改正ニ關スル規定ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス
（大正十二年三月總令第六十四號）
大正十一年制令第十三號中朝鮮民事令第十一條乃至第十七條ノ改正ニ關スル規定ハ大正十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス
附　則（昭和四年五月制令第六號）
本令ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和四年六月一日ヨリ施行）
本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和四年十月一日ヨリ施行）
本令施行前ニ生シタル事項ニ付テハ民事訴訟法中改正法律施行法ヲ準用シ其ノ規定ニ依リ舊法ヲ適用スヘキ場合ニ於テハ朝鮮ニ於ケル從來ノ例ニ依ル
本令施行ノ際現ニ繫屬スル訴訟ニ付盲聾唖シタル判決ニ對シテハ上訴ニ因リテ受ケヘキ利益ノ價額カ五十圓ヲ超過セサル場合ニ於テモ上訴ヲ爲スコトヲ得
附　則（昭和六年六月制令第九號）
本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和六年九月一日ヨリ施行）
附　則（昭和八年十二月制令第二十三號）
本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年十二月一日ヨリ施行）
附　則（昭和九年四月制令第十四號）
本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行前ノ規定ニ依リ土地ニ付府尹又ハ郡守ノ爲シタル證明ハ之ヲ改正規定ニ依リ稅務署長ノ爲シタル證明ノ如ク取扱フ
附　則（昭和十三年四月制令第十七號）
本令ハ昭和十三年五月一日ヨリ之ヲ施行ス
附　則（昭和十三年五月制令第二十一號）
本令ハ昭和十三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●民法第一編第二編第三編

明治二十九年四月
法律第八十九號
改正　朝鮮民事令、大正二年制令第三號、大正十五年制令第六號、昭和二年制令第三號、大正十五年制令第六號、昭和二年制令第三號

裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム
民法第一編第二編第三編附則ノ通ヲ定ム（朝鮮民事令ニ關スル件ニ依リ明治三十一年六月勅令第百二十三號ヲ以テ之ヲ定ム（朝鮮民事令ニ關スル件ニ依リ明治三十一年七月十六日ヨリ施行）
此法律施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（朝鮮民事令ニ關スル件ニ依リ明治三十一年七月十六日ヨリ施行）
明治二十三年法律第二十八號民法財産編財産取得編債權擔保編證據編ハ此法律發布ノ日ヨリ廢止ス

（別冊）

民法

第一編　總則

第一章　人

第一節　私權ノ享有
第二節　能力
第三節　住所
第四節　失踪

第二章　法人

第一節　法人ノ設立
第二節　法人ノ管理
第三節　法人ノ解散
第四節　倒閉

第三章　物

第四章　法律行爲

第一節　總則
第二節　意思表示
第三節　代理
第四節　條件及ヒ期限
第五節　無效及ヒ取消
第六章　時效
第一節　總則
第二節　取得時效
第三節　消滅時效

第二編　物權

第一章　總則

第二章　占有權

第一節　占有權ノ取得
第二節　占有權ノ效力
第三節　占有權ノ消滅
第四節　占有權ノ限界

第二節　所有權ノ取得
第三節　共有
第四節　地上權
第五節　永小作權
第六章　地役權
第七章　留置權
第八章　先取特權

第一節　總則
第二節　先取特權ノ種類
第一款　一般ノ先取特權
第二款　動產ノ先取特權
第三款　不動產ノ先取特權
第三節　先取特權ノ順位
第四節　先取特權ノ效力

第九章　質權

第一節　總則
第二節　動產質
第三節　不動產質
第四節　權利質

第十章　抵當權

第一節　總則
第二節　抵當權ノ效力
第三節　抵當權ノ消滅

第三編　債權

第一章　總則

第一節　債權ノ目的
第二節　債權ノ效力
第三節　多數當事者ノ債權

第一款　總則
第二款　不可分債務
第三款　連帶債務
第四款　保證債務
第四節　債權ノ讓渡
第五節　債權ノ消滅

第一款　辨濟
第二款　相殺
第三款　更改
第四款　免除
第五款　混同

第二章　契約

第一節　總則

民法

第一編　總則

第一章　人

第一節　私權ノ享有

第一條　私權ノ享有ハ出生ニ始マル
第二條　外國人ハ法令又ハ條約ニ禁止アル場合ヲ除ク外私權ヲ享有ス

第二節　能力

第三條　滿二十年ヲ以テ成年トス
第四條　未成年者カ法律行爲ヲ爲スニハ其法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但單ニ權利ヲ得又ハ義務ヲ免ルヘキ行爲ハ此限ニ在ラス
前項ノ規定ニ反スル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得
第五條　法定代理人カ目的ノ定メテ處分ヲ許シタル財產ハ其目的ノ範圍內ニ於テ未成年者ノ處置ニ之ヲ處分スルコトヲ得目的ノ定メ

スシテ處分ヲ許シタル財產ヲ處分スル亦同シ
第六條　一種又ハ數種ノ營業ヲ許サレタル未成年者ハ其營業ニ關シテハ成年者ト同一ノ能力ヲ有ス
前項ノ場合ニ於テ未成年者カ未タ其營業ニ堪ヘサル事跡アルトキハ其法定代理人ハ親族編ノ規定ニ從ヒ其許可ヲ取消シ又ハ之ヲ制限スルコトヲ得
第七條　心神喪失ノ常況ニ在ル者ニ付テハ裁判所ハ本人、配偶者、四親等內ノ親族、戶主、後見人、保佐人又ハ檢事ノ請求ニ因リ禁治產ノ宣告ヲ爲スコトヲ得
第八條　禁治產者ハ之ヲ後見ニ付ス
第九條　禁治產者ノ行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得
第十條　禁治產ノ原因止ミタルトキハ裁判所ハ第七條ニ揭ケタル者ノ請求ニ因リ其宣告ヲ取消スコトヲ要ス
第十一條　心神耗弱者、聾者、唖者、盲者及ヒ浪費者ハ準禁治產者トシテ之ニ保佐人ヲ附スルコトヲ得
第十二條　準禁治產者カ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スニハ其保佐人ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
一　元本ヲ領收シ又ハ之ヲ利用スルコト
二　借財又ハ保證ヲ爲スコト
三　不動產又ハ重要ナル動產ニ關スル權利得喪ヲ目的トスル行爲ヲ爲スコト
四　訴訟行爲ヲ爲スコト
五　贈與、和解又ハ仲裁契約ヲ爲スコト
六　相續ノ承認又ハ之ヲ拋棄スルコト
七　贈與若クハ遺贈ヲ拒絕又ハ負擔附ノ贈與若クハ遺贈ヲ受諾スルコト
八　新築、改築、增築又ハ大修繕ヲ爲スコト
九　第六百二條ニ定メタル期間ヲ超エル賃貸借ヲ爲スコト
裁判所ハ場合ニ依リ準禁治產者カ前項ニ揭ケサル行爲ヲ爲スニモ亦其保佐人ノ同意アルコトヲ要スル旨ヲ宣告スルコトヲ得
前二項ノ規定ニ反スル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得
第十三條　第七條及ヒ第十條ノ規定ハ準禁治產ニ之ヲ準用ス
第十四條　妻カ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スニハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
一　第十二條第一項第一號乃至第六號ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコト
二　贈與若クハ遺贈ヲ受諾シ又ハ之ヲ拒絕スルコト
三　身體ニ羈絆ヲ受ケヘキ契約ヲ爲スコト
前項ノ規定ニ反スル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得
第十五條　一種又ハ數種ノ營業ヲ許サレタル妻ハ其營業ニ關シテハ獨立人ト同一ノ能力ヲ有ス
第十六條　夫ハ其與ヘタル許可ヲ取消シ又ハ之ヲ以テ營業ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得
第十七條　左ノ場合ニ於テハ妻ハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ要セス
一　夫ノ生死分明ナラサルトキ
二　夫カ妻ノ遺棄シタルトキ
三　夫カ禁治產者又ハ準禁治產者ナルトキ
四　夫カ瘋癲ノ爲メ病院又ハ私宅ニ監置セラルルトキ
五　夫カ禁錮一年以上ノ刑ニ處セラレ其刑ノ執行中ニ在ルトキ
六　夫婦ノ利益相反スルトキ
第十八條　夫カ未成年者ナルトキハ第四條ノ規定ニ依ル非サレハ妻ノ行爲ノ許可スルコトヲ得ス
第十九條　無能力者ノ相手方ハ其無能力者カ能力者ト爲リタル後之ニ對シテ一个月以上ノ期間內ニ其取消シ得ヘキ行爲ヲ追認スルヤ否ヤヲ確答スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ得若シ無能力者カ其期間內ニ確答ヲ發セサルトキハ其行爲ヲ追認シタルモノト看做ス
無能力者カ未タ能力者トナラサル時ニ於テ夫又ハ法定代理人ニ對シ前項ノ催告ヲ爲スモ其期間內ニ確答ヲ發セサルトキ亦同シ但法定代理人ニ對シテハ其權限內ノ行爲ニ付テノミ此催告ヲ爲スコトヲ得
特別ノ方式ヲ要スル行爲ニ付テハ右ノ期間

不在者ノ生死分明ナラサル場合ニ於テ利害關係人又ハ檢事ノ請求アルトキハ裁判所ハ不在者カ置キタル管理人ニモ前項ノ手續ヲ命スルコトヲ得
右ノ外總テ裁判所カ不在者ノ財產ノ保存ニ必要ト認ムル處分ハ之ヲ管理人ニ命スルコトヲ得
第二十八條　管理人カ第百三條ニ定メタル權限ヲ超ユル行爲ヲ必要トスルトキハ裁判所ノ許可ヲ得テ之ヲ爲スコトヲ得不在者ノ生死分明ナラサル場合ニ於テ其管理人カ不在者ノ定メ置キタル權限ヲ超ユル行爲ヲ必要トスルトキ亦同シ
第二十九條　裁判所ハ管理人ヲシテ財產ノ管理及ヒ返還ニ付キ相當ノ擔保ヲ供セシムルコトヲ得
裁判所ハ管理人ト不在者トノ關係其他ノ事情ニ依リ不在者ノ財產中ヨリ相當ノ報酬ヲ管理人ニ與フルコトヲ得
第三十條　不在者ノ生死カ七年間分明ナラサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ失踪ノ宣告ヲ爲スコトヲ得
戰地ニ臨ミタル者、沈沒シタル船舶中ニ在リタル者其他死亡ノ原因タルヘキ危難ニ遭遇シタル者ノ生死カ戰爭ノ止ミタル後、船舶ノ沈沒シタル後又ハ其他ノ危難ノ去リタル後三个年間分明ナラサルトキ亦同シ
第三十一條　失踪者ノ生存スルコト又ハ前條ノ期間滿了ノ時ニ死亡シタルモノト看做スヘキ時ニ於テ現ニ利益ヲ受クル者又ハ其承繼人ニ對シ其利益ノ返還ヲ爲ス義務ヲ負フ
第三十二條　失踪者ノ生存スルコト又ハ前條ノ期間滿了ノ時ニ死亡シタルモノト看做スヘキ時ニ於テ現ニ利益ヲ受クル者又ハ其承繼人ニ對シ其利益ノ返還ヲ爲ス義務ヲ負フ

第二章　法人

第一節　法人ノ設立

第三十三條　法人ハ本法其他ノ法律ノ規定ニ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

依ルニ非サレハ成立スルコトヲ得ス

第三十四條　祭祀、宗教、慈善、學藝、技藝其他公益ニ關スル社團又ハ財團ニシテ營利ヲ目的トセサルモノハ主務官廳ノ許可ヲ得テ之ヲ法人ト爲スコトヲ得

第三十五條　營利ヲ目的トスル社團ハ商事會社設立ノ條件ニ從ヒ之ヲ法人ト爲スコトヲ得

前項ノ社團法人ニハ總テ商事會社ニ關スル規定ヲ準用ス

第三十六條　外國法人ハ國、國ノ行政區畫及ヒ商事會社ヲ除ク外其成立ヲ認許セス但法律又ハ條約ニ依リテ認許セラレタルモノハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リテ認許セラレタル外國法人ハ日本ニ成立スル同種ノ者ト同一ノ私權ヲ有スル但外國人カ享有スルコトヲ得サル權利及ヒ法律又ハ條約中ニ特別ノ規定アルモノハ此限ニ在ラス

第三十七條　社團法人ノ設立者ハ定款ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　目的
二　名稱
三　事務所
四　資產ニ關スル規定
五　理事ノ任免ニ關スル規定
六　社員タルノ資格ノ得喪ニ關スル規定

第三十八條　社團法人ノ定款ハ總社員ノ四分ノ三以上ノ同意アルトキニ限リ之ヲ變更スルコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

定款ノ變更ハ主務官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其效力ヲ生セス

第三十九條　財團法人ノ設立者カ其目的トスル寄附行爲ヲ以テ第三十七條第一號乃至第五號ニ掲ケタル事項ヲ定ムルコトヲ要ス

第四十條　財團法人ノ設立者カ其名稱、事務所又ハ理事任免ノ方法ヲ定メシテ死亡シタルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第四十一條　生前處分ヲ以テ寄附行爲ヲ爲ス

トキハ贈與ニ關スル規定ヲ準用ス

遺言ヲ以テ寄附行爲ヲ爲ストキハ選爵ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十二條　第四十五條第一項及ヒ前條ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項ニシテ官廳ノ許可ヲ要スルモノハ其許可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第四十三條　法人カ主タル事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間內ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ三週間內ニ其登記ヲ爲スヘシ舊所在地ニ於テハ三週間內ニ移轉ノ登記ヲ爲シタルトキハ舊所在地ニ於テハ三週間內ニ其登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ四週間內ニ第四十六條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域內ニ於テ事務所ヲ移轉シタルトキハ其移轉ノミノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十四條　法人ハ法令ノ規定ニ從ヒ定款又ハ寄附行爲ニ因リテ定マリタル目的ノ範圍內ニ於テ權利ヲ有シ義務ヲ負フ

第四十五條　法人ハ理事其他ノ代理人カ其職務ヲ行フニ付キ他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第四十六條　法人ノ目的ノ範圍內ニ在ラサル行爲ニ因リテ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其事項ノ議決ヲ贊成シタル社員、理事及ヒ之ヲ履行シタル理事其他ノ代理人連帶シテ其賠償ノ責ニ任ス

第四十七條　法人ハ設立ノ日ヨリ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間內ニ其他ノ事務所ノ所在地ニ於テハ二週間內ニ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

法人ノ設立ノ後新ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其事務所ノ所在地ニ於テハ三週間內ニ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十八條　登記スヘキ事項左ノ如シ

一　目的
二　名稱
三　事務所
四　設立許可ノ年月日
五　存立時期ヲ定メタルトキハ其時期
六　資產ノ總額
七　出資ノ方法ヲ定メタルトキハ其方法
八　理事ノ氏名、住所

前項ニ掲ケタル事項中ニ變更ヲ生シタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間、其他ノ事務所ノ所在地ニ於テハ三週間內ニ其變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四十九條　第四十五條第三項、第四十六條及ヒ前條ノ規定ハ外國法人カ日本ニ事務所ヲ設クル場合ニモ亦之ヲ適用ス但外國ニ於テ生シタル事項ニ付テハ其通知ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

外國法人カ始メテ日本ニ事務所ヲ設ケタルトキハ其事務所ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スマテハ他人ハ其法人ノ成立ヲ否認スルコトヲ得

第五十條　法人ノ住所ハ其主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第五十一條　法人ハ設立ノ時及ヒ每年初ノ三个月內ニ財產目錄ヲ作リ常ニ之ヲ事務所ニ備ヘ置クコトヲ要ス但特ニ事業年度ヲ設ケルモノハ設立ノ時及ヒ其年度ノ終ニ於テ之ヲ作ルコトヲ要ス

社團法人ハ社員名簿ヲ備ヘ置キ社員ノ變更アル每ニ之ヲ訂正スルコトヲ要ス

第二節　法人ノ管理

第五十二條　法人ニハ一人又ハ數人ノ理事ヲ置クコトヲ要ス

理事數人アル場合ニ於テ定款又ハ寄附行爲ニ別段ノ定ナキトキハ法人ノ事務ハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五十三條　理事ハ法令ノ規定前ニ在リテハ其職務ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十四條　理事ハ定款ニ從ヒ寄附行爲ヲ以テ法人ノ目的ノ範圍內ニ於テ法人ノ爲メ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ從ヒ忠實ニ法人ノ爲メ其職務ヲ行フヘシ

理事ハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ニ依リテ禁止セラレサルトキニ限リ特定ノ行爲ノ代理ヲ他人ニ委任スルコトヲ得

第五十六條　理事ノ缺ケタル場合ニ於テ遲滯ノ爲メ損害ヲ生スル虞アルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ假理事ヲ選任ス

第五十七條　法人ト理事トノ利益相反スル事項ニ付テハ理事ハ代理權ヲ有セス此場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依リテ特別代理人ヲ選任スルコトヲ要ス

第五十八條　法人ニハ定款、寄附行爲又ハ總會ノ決議ヲ以テ一人又ハ數人ノ監事ヲ置クコトヲ得

第五十九條　監事ノ職務左ノ如シ

一　法人ノ財產ノ狀況ヲ監査スルコト
二　理事ノ業務執行ノ狀況ヲ監査スルコト
三　財產ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付キ不整廉アルコトヲ發見シタルトキハ之ヲ總會又ハ主務官廳ニ報告スルコト
四　前號ノ報告ヲ爲スカ爲メ必要アルトキハ總會ヲ招集スルコト

第六十條　社團法人ノ理事ハ少クトモ每年一回社員ノ通常總會ヲ開クコトヲ要ス

第六十一條　社團法人ノ理事ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

總社員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ臨時總會ヲ招集スルコトヲ要ス但此定數ハ定款ヲ以テ之ヲ增減スルコトヲ得

第六十二條　總會ノ招集ハ少クトモ五日前ニ其會議ノ目的タル事項ヲ示シ定款ニ定メタル方法ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第六十三條　社團法人ノ理事ハ之ヲ總會ニ報告シ其承認ヲ得ルコトヲ要ス

第六十四條　社團法人ハ總社員ノ四分ノ三以上ノ承諾アルニ非サレハ解散ヲ決議スルコトヲ得ス

第六十五條　社團法人ハ前項ノ場合ノ外左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　總會ノ決議
二　社員ノ缺亡
三　破產

第六十六條　社團法人ハ破產ノ場合ノ外左ノ事由ニ因リテ解散ス

一　定款又ハ寄附行爲ヲ以テ定メタル解散事由ノ發生
二　法人ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能

第六十七條　法人ノ總社員ノ四分ノ三以上ノ同意アルトキハ主務官廳ノ許可ヲ得テ其組織ヲ變更スルコトヲ得

第六十八條　社團法人ハ總社員ノ同意アルトキハ其組織ヲ變更シテ新ニ社團法人ヲ設立スルコトヲ得

第六十九條　社團法人ハ其財產ニ付テハ其債務ヲ完濟スルニ非サレハ殘餘財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第七十條　社團法人ハ其解散ノ場合ニ於テハ定款又ハ總會ノ決議ヲ以テ其歸屬スヘキ者ヲ定ムルコトヲ得

第七十一條　社團法人ハ其解散ノ場合ニ於テハ定款又ハ總會ノ決議ヲ以テ其歸屬スヘキ者ヲ定メス又ハ之ヲ定ムル方法ヲ定メサリシトキハ裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ又ハ利害關係人ノ申立ニ依リ其財產ヲ處分スヘキ者ニ歸屬セシムルコトヲ得

第七十二條　解散シタル社團法人ハ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ其清算ノ結了ニ至ルマテ尙ホ存續スルモノト看做ス

第七十三條　法人カ解散シタルトキハ破產ノ場合ヲ除ク外理事其清算人ト爲ル但定款若クハ寄附行爲ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ノ決議ヲ以テ他人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

第七十四條　前條ノ規定ニ依リテ清算人タル理事ハ解散ノ日ヨリ二个月內ニ左ノ事項ヲ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

一　法人カ解散シタル旨及ヒ其事由
二　清算人ノ氏名、住所及ヒ清算人カ法人ナルトキハ其名稱及ヒ代表者ノ氏名、住所
三　債權者ハ一定ノ期間內ニ其請求ノ申出ヲ爲スヘキ旨

前項ノ公告ニハ債權者カ期間內ニ申出ヲ爲ササルトキハ其債權ハ清算ヨリ除斥セラルヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但清算人カ知レタル債權者ニハ各別ニ其申出ヲ催告スルコトヲ要ス

第七十五條　清算人ハ前項ノ期間內ニ申出テタル債權者ニ對シテハ其債務ヲ辨濟スルコトヲ得ス

第七十六條　清算人ハ解散シタル法人ノ財產ヲ以テ其債務ヲ完濟スルニ不足ナルトキハ破產宣告ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第七十七條　清算人ハ破產ノ場合ニ於テ破產管財人ニ其事務ヲ引渡シタルトキハ其任ヲ終ハリタルモノトス

第七十八條　清算人カ其職務ヲ完濟シタルトキハ遲滯ナク其計算ヲ爲シ總會ノ承認ヲ得ルコトヲ要ス

清算人ハ前項ノ承認ヲ得タル後ニ於テハ其職務ニ關シ法人ニ對シ責ヲ免ル

第七十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ故意又ハ過失ニ因リテ他人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ之ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ法人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ之ヲ賠償スル責ニ任ス

清算人カ其職務ヲ行フニ付キ故意又ハ過失ニ因リテ第三者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ其清算人モ亦之ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ其任務ニ違反シ法人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ連帶シテ之ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ過失ニ因リテ生シタル損害ニ付テハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第八十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第八十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第八十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第八十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第八十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第八十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第八十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第九十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百二十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百三十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百四十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百五十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百六十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百七十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百八十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第百九十九條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第二百條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第二百一條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第二百二條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第二百三條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第二百四條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第二百五條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第二百六條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第二百七條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ賠償ノ責ニ任ス

第二百八條　清算人ハ其職務ヲ行フニ付キ悪意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ第三者

ニ付キ過失アリタルトキハ到達ノ效力ヲ生セス

公示ニ關スル手續ハ相手方ヲ知ルコト能ハサル場合ニ於テハ表意者ノ住所地、相手方ノ所在ヲ知ルコト能ハサル場合ニ於テハ相手方ノ最後ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄ニ屬ス

裁判所ハ表意者ヲシテ公示ニ關スル費用ヲ豫納セシメルコトヲ要ス

第九十八條　意思表示ノ相手方カ之ヲ受ケタル時ニ未成年者ヌハ禁治産者ナリシトキハ其意思表示ヲ以テ之ニ對抗スルコトヲ得ス但其法定代理人カ之ヲ知リタル後ハ此限ニ在ラス

第三節　代理

第九十九條　代理人カ其權限内ニ於テ本人ノ爲メニスルコトヲ示シテ爲シタル意思表示ハ直接ニ本人ニ對シテ其效力ヲ生ス

前項ノ規定ハ第三者カ代理人ニ對シテ爲シタル意思表示ニ之ヲ準用ス

第百條　代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示サシテ爲シタルモノト雖モ相手方カ其本人ノ爲メニスルコトヲ知リ又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ前條第一項ノ規定ヲ準用ス

第百一條　意思表示ノ效力カ意思ノ欠缺、詐欺、强迫又ハ或事情ヲ知リタルコト若クハ過失アリタルコトニ因リテ影響ヲ受ケヘキ場合ニ於テ其事實ノ有無ハ代理人ニ付キ之ヲ定ム

特定ノ法律行爲ヲ爲スコトヲ委託セラレタル場合ニ於テ代理人カ本人ノ指圖ニ從ヒ其行爲ヲ爲シタルトキハ本人ハ自己ノ知リタル事情ニ付キ代理人ノ不知ヲ主張スルコトヲ得ス其過失ニ因リテ知ラサリシ事情ニ付キ亦同シ

第百二條　代理人ハ能力者タルコトヲ要セス

第百三條　權限ノ定ナキ代理人ハ左ノ行爲ノミヲ爲ス權限ヲ有ス

一　保存行爲

二　代理ノ目的タル物又ハ權利ノ性質ヲ變セサル範圍内ニ於テ其利用又ハ改良ヲ目的トスル行爲

第百四條　委任ニ因ル代理人ハ本人ノ許諾ヲ得タルトキ又ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキニ非サレハ復代理人ヲ選任スルコトヲ得ス

第百五條　代理人カ前條ノ場合ニ於テ復代理人ヲ選任シタルトキハ選任及ヒ監督ニ付キ本人ニ對シテ其責ニ任ス

代理人カ本人ノ指名ニ從ヒテ復代理人ヲ選任シタルトキハ其不適任又ハ不誠實ナルコトヲ知リテ之ヲ本人ニ通知シ又ハ之ヲ解任スルコトヲ怠リタルニ非サレハ其責ニ任セス

第百六條　法定代理人ハ其責任ヲ以テ復代理人ヲ選任スルコトヲ得但已ムコトヲ得サル事由アリタルトキハ前條第一項ニ定メタル責任ノミヲ負フ

第百七條　復代理人ハ其權限内ノ行爲ニ付キ本人ヲ代表ス

復代理人ハ本人及ヒ第三者ニ對シテ代理人ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第百八條　何人ト雖モ同一ノ法律行爲ニ付キ其相手方ノ代理人ト爲リ又ハ當事者雙方ノ代理人ト爲ルコトヲ得ス但債務ノ履行ニ付テハ此限ニ在ラス

第百九條　第三者ニ對シテ他人ニ代理權ヲ與ヘタル旨ヲ表示シタル者ハ其代理權ノ範圍内ニ於テ其他人ト第三者トノ間ニ爲シタル行爲ニ付キ其責ニ任ス

第百十條　代理人カ其權限外ノ行爲ヲ爲シタル場合ニ於テ第三者カ其權限アリト信スヘキ正當ノ理由ヲ有セシトキハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百十一條　代理權ハ左ノ事由ニ因リテ消滅ス

一　本人ノ死亡

二　代理人ノ死亡、禁治産又ハ破産

此他委任ニ因ル代理權ハ委任ノ終了ニ因リテ消滅ス

第百十二條　代理權ノ消滅ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス但第三者カ過失アリタルトキハ到達ノ效力ヲ生セス

第百十三條　代理權ヲ有セサル者カ他人ノ代理人トシテ爲シタル契約ヲ本人カ其追認ヲ爲スニ非サレハ之ニ對シ其效力ヲ生セス

追認又ハ其拒絕ハ相手方ニ對シテ之ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ其相手方ニ對抗スルコトヲ得ス但相手方カ其事實ヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

第百十四條　前條ノ場合ニ於テ相手方ハ相當ノ期間ヲ定メ其期間内ニ追認ヲ爲スヤ否ヤヲ確答スヘキ旨ヲ本人ニ催告スルコトヲ得若シ本人カ其期間内ニ確答ヲ爲ササルトキハ追認ヲ拒絕シタルモノト看做ス

第百十五條　代理權ヲ有セサル者ノ爲シタル契約ハ本人ノ追認ナキ間ハ相手方ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得但契約ノ當時相手方カ代理權ナキコトヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

第百十六條　追認ハ別段ノ意思表示ナキトキハ契約ノ時ニ遡リテ其效力ヲ生ス但第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

第百十七條　他人ノ代理人トシテ契約ヲ爲シタル者カ其代理權ヲ證明スルコト能ハス且本人ノ追認ヲ得サリシトキハ相手方ノ選擇ニ從ヒ之ニ對シテ履行又ハ損害賠償ノ責ニ任ス

前項ノ規定ハ相手方カ代理權ナキコトヲ知リタルトキ若クハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ之ヲ適用セス

第百十八條　單獨行爲ニ付テハ其行爲ノ當時相手方カ代理人カ權ナクシテ之ヲ爲スコトニ同意シ又ハ其代理權ヲ爭ハサリシトキニ限リ前五條ノ規定ヲ準用ス代理權ヲ有セサル者ニ對シ其同意ヲ得テ單獨行爲ヲ爲シタルトキ亦同シ

第四節　無效及ヒ取消

第百十九條　無效ノ行爲ハ追認ニ因リテ其效力ヲ生セス但當事者カ其無效ナルコトヲ知リテ追認ヲ爲シタルトキハ新ナル行爲ヲ爲

サルコトヲ知リテ之ヲ爲シタル時ヨリ其效力ヲ妨ケラルルコトナシ但相手方カ表意者ノ眞意ヲ知リ又ハ之ヲ知ルコトヲ得ヘカリシトキハ其意思表示ハ無效トス

第百十四條　相手方ト通シテ爲シタル虛僞ノ意思表示ハ無效トス

前項ノ意思表示ノ無效ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十五條　意思表示ハ法律行爲ノ要素ニ錯誤アリタルトキハ無效トス但表意者ニ重大ナル過失アリタルトキハ表意者自ラ其無效ヲ主張スルコトヲ得ス

第百十六條　詐欺又ハ强迫ニ因ル意思表示ハ之ヲ取消スコトヲ得

或人ニ對スル意思表示ニ付キ第三者カ詐欺ヲ行ヒタル場合ニ於テハ相手方カ其事實ヲ知リタルトキニ限リ其意思表示ヲ取消スコトヲ得

詐欺ニ因ル意思表示ノ取消ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百十七條　隔地者ニ對スル意思表示ハ其通知ノ相手方ニ到達シタル時ヨリ其效力ヲ生ス

表意者カ通知ヲ發シタル後ニ死亡シ又ハ能力ヲ失フモ意思表示ハ之カ爲メニ其效力ヲ妨ケラルルコトナシ

第百十八條　意思表示ハ表意者カ相手方ヲ知ルコト能ハス又ハ其所在ヲ知ルコト能ハサルトキハ公示ノ方法ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ公示ハ公示送達ニ關スル民事訴訟法ノ規定ニ從ヒ裁判所ノ揭示場ニ揭示シ且其揭示アリタルコトヲ官報及ヒ新聞紙ニ少クモ一回揭載シテ之ヲ爲ス但裁判所相當ト認ムルトキハ官報及ヒ新聞紙ノ揭載ニ代ヘ市役所、町村役場又ハ之ニ準スヘキ施設ノ揭示場ニ揭示スヘキコトヲ命スルコトヲ得

公示ニ依ル意思表示ハ最後ニ官報若クハ新聞紙ニ揭載シタル日又ハ其揭載ニ代ハル揭示ヲ始メタル日ヨリ二週間ヲ經過シタル時ニ相手方ニ到達シタルモノト看做ス但表意者カ相手方ヲ知ラス又ハ其所在ヲ知ラサル

シタルモノト看做ス

第百二十條　取消シ得ヘキ行爲ハ無能力者若クハ瑕疵アル意思表示ヲ爲シタル者、其代理人又ハ承繼人ニ限リ之ヲ取消スコトヲ得

妻カ爲シタル行爲ハ夫モ亦之ヲ取消スコトヲ得

第百二十一條　取消シタル行爲ハ初ヨリ無效ナリシモノト看做ス但無能力者ハ其行爲ニ因リテ現ニ利益ヲ受ケル限度ニ於テ償還ノ義務ヲ負フ

第百二十二條　取消シ得ヘキ行爲ハ第百二十條ニ揭ケタル者カ之ヲ追認シタルトキハ初ヨリ有效ナリシモノト看做ス但第三者ノ權利ヲ害スルコトヲ得ス

第百二十三條　取消シ得ヘキ行爲ノ相手方カ確定セル場合ニ於テ其取消又ハ追認ハ相手方ニ對スル意思表示ニ依リテ之ヲ爲ス

第百二十四條　追認ハ取消ノ原因タル情況ノ止ミタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

禁治産者カ能力ヲ回復シタル後其行爲ヲ了知シタルトキハ其了知シタル後ニ非サレハ追認ヲ爲スコトヲ得ス

第百二十五條　前條ノ場合ニ於テハ期間ノ末日ノ終了ヲ以テ期間ノ滿了トス

第百二十六條　期間ノ末日カ大祭日、日曜日其他ノ休日ニ當タルトキハ其日ニ取引ヲ爲ササル慣習アル場合ニ限リ期間ハ其翌日ヲ以テ滿了ス

第百二十七條　期間ヲ定ムルニ週、月又ハ年ヲ以テシタルトキハ曆ニ從ヒテ之ヲ算ス

週、月又ハ年ノ始ヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其期間ハ最後ノ週、月又ハ年ニ於テ其起算日ニ應當スル日ノ前日ヲ以テ滿了ス但月又ハ年ヲ以テ期間ヲ定メタル場合ニ於テ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其月ノ末日ヲ以テ滿期日トス

第六章　時效

第一節　總則

第百四十四條　時效ノ效力ハ其起算日ニ遡ル

第百四十五條　時效ハ當事者カ之ヲ援用スルニ非サレハ裁判所之ニ依リテ裁判ヲ爲スコトヲ得ス

第百四十六條　時效ノ利益ハ豫メ之ヲ抛棄スルコトヲ得ス

第百四十七條　時效ハ左ノ事由ニ因リテ中斷ス

一　請求

二　差押、假差押又ハ假處分

三　承認

第百四十八條　前條ノ時效中斷カ當事者及ヒ其承繼人ノ間ニ於テノミ其效力ヲ有ス

第百四十九條　裁判上ノ請求ハ訴ノ却下又ハ取下ノ場合ニ於テハ時效中斷ノ效力ヲ生セス

第百五十條　支拂命令ハ債權者カ法定ノ期間内ニ假執行ノ申立ヲ爲ササルニ因リ其效力ヲ失フトキハ時效中斷ノ效力ヲ生セス

第百五十一條　和解ノ爲メニスル呼出ハ相手方カ出頭セス又ハ和解ノ調ハサルトキハ一个月内ニ訴ヲ提起スルニ非サレハ時效中斷ノ效力ヲ生セス任意出頭ノ場合ニ於テ和解ノ調ハサルトキ亦同シ

第百五十二條　破產手續參加ハ債權者カ之ヲ取消シ又ハ其請求カ却下セラレタルトキハ時效中斷ノ效力ヲ生セス

第百五十三條　催告ハ六个月内ニ裁判上ノ請求、和解ノ爲メニスル呼出若クハ任意出頭、破產手續參加、差押、假差押又ハ假處分ヲ爲スニ非サレハ時效中斷ノ效力ヲ生セス

第百五十四條　差押、假差押及ヒ假處分ハ時效ノ利益ヲ受ケル者ニ對シテ之ヲ爲ササルトキハ之ヲ以テ時效中斷ノ效力ヲ生セス

第百五十五條　差押、假差押及ヒ假處分ハ時效ノ利益ヲ受ケル者ニ對シテ之ヲ爲ササルトキハ之ヲ以テ時效中斷ノ效力ヲ生セス

第百五十六條　時效中斷ノ效力ハ其條件カ單ニ債務者ノ意思ノミニ係ルトキハ無效トス

第百五十七條　中斷シタル時效ハ其中斷ノ事由ノ終了シタル時ヨリ更ニ其進行ヲ始ム

裁判上ノ請求ニ因リテ中斷シタル時效ハ裁判所之ニ依リテ裁判ヲ爲スコトヲ得ス

第百五十八條　時效ハ確定判決ヲ以テ權利ヲ確定シタル時ニ於テ消滅ス

第百五十九條　確定判決ヲ以テ確定シタル權利ニ付テハ十年ヨリ短キ時效ノ定アル場合ト雖モ其時效ハ十年トス

裁判上ノ和解、調停其他裁判所ニ於テ成立シタル權利ニ付亦同シ

第百六十條　時效ノ利益ハ豫メ之ヲ抛棄スルコトヲ得ス

第百六十一條　時效ノ利益ハ其利益ヲ受クル者ノ債權者カ其者ニ代ハリテ訴ヲ以テ其權利ヲ行使スルトキハ其債務者ニ於テ之ヲ援用スルコトヲ得

第百六十二條　債權者カ債務者ニ對スル權利ヲ行使セサルニ因リ其債務者ノ無資力ト爲リタルトキハ債權者ハ其債務者ニ屬スル權利ヲ行使スルコトヲ得但一身ニ專屬スル權利ハ此限ニ在ラス

第百六十三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消サントスルトキハ裁判所ニ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求ハ債權者カ其原因ヲ知リタル時ヨリ二年ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲スコトヲ得ス行爲ノ時ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第百六十四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタルトキハ其行爲ノ目的タル物又ハ權利ハ總債權者ノ爲メニ當然債務者ノ財産ニ復歸ス

第百六十五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ債務者カ其行爲ニ因リ利益ヲ受ケタル者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百六十六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百六十七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百六十八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百六十九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十二條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百七十九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十二條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百八十九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十二條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第百九十九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十二條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百十九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十二條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百二十九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十二條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百三十九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十二條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百四十九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十二條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十三條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十四條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十五條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十六條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十七條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十八條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百五十九條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百六十條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百六十一條　債權者カ詐害行爲ヲ取消シタル場合ニ於テ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ハ其者カ債務者ニ對シテ有スル權利ノ消滅ニ因リテ消滅ス

第二百六十二條　

時ヨリ取得時效ノ進行スルコトヲ妨ケス但權利者カ其時效ノ中斷ヲ爲メ何時ニテモ占有者ノ承認ヲ求ムルコトヲ得

第百六十七條　債權ハ十年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

債權ハ所有權ニ非サル財產權ハ二十年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第百六十八條　定期金ノ債權ハ第一回ノ辨濟期ヨリ二十年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス最後ノ辨濟期ヨリ十年間之ヲ行ハサルトキ亦同シ

定期金ノ債權者ハ時效中斷ノ證ヲ得ル爲メ何時ニテモ其債務者ノ承認書ヲ求ムルコトヲ得

第百六十九條　年又ハ之ヨリ短キ時期ヲ以テ定メタル金錢其他ノ物ノ給付ヲ目的トスル債權ハ五年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第百七十條　左ニ掲ケタル債權ハ三年間之ヲ取得ス

一　醫師、產婆及ヒ藥劑師ノ治術、勤勞及ヒ調劑ニ關スル債權

二　技師、棟梁及ヒ請負人ノ工事ニ關スル債權但此時效ハ其負擔シタル工事終了ノ時ヨリ之ヲ起算ス

第百七十一條　辯護士ハ事件終了ノ時ヨリ公證人及ヒ執達吏ハ其職務執行ノ時ヨリ三年ヲ經過シタルトキハ其職務ニ關シテ受取リタル書類ニ付キ其責ヲ免ル

第百七十二條　辯護士、公證人及ヒ執達吏ノ職務ニ關スル債權ハ其原因タル事件終了ノ時ヨリ二年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス但其事件中ノ各事項終了ノ時ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ右ノ期間內ト雖モ其事項ニ關スル債權ハ消滅ス

第百七十三條　左ニ掲ケタル債權ハ二年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

一　生產者、卸賣商人及ヒ小賣商人カ賣却シタル產物及ヒ商品ノ代價

二　居職人及ヒ製造人カ仕事ニ關スル債權

三　生徒及ヒ習業者ノ教育、衣食及ヒ止宿ノ代料ニ關スル校主、塾主、教師及ヒ師匠ノ債權

第百七十四條　左ニ掲ケタル債權ハ一年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

一　月又ハ之ヨリ短キ時期ヲ以テ定メタル雇人ノ給料

二　勞力者及ヒ藝人ノ賃金竝ニ其供給シタル物ノ代價

三　運送賃

四　旅店、料理店、貸席及ヒ娛遊場ノ宿泊料、飮食料、席料、木戶錢、消費物代價竝ニ立替金

五　動產ノ損料

第百七十四條ノ二　確定判決ニ依リテ確定シタル權利ハ十年ヨリ短キ時效期間ノ定アルモノト雖モ其時效期間ハ之ヲ十年トス裁判上ノ和解、調停其他確定判決ト同一ノ效力ヲ有スルモノニ依リテ確定シタル權利ニ付キ亦同シ

前項ノ規定ハ確定ノ當時未タ辨濟期ノ到來セサル債權ニハ之ヲ適用セス

第二節　物權

第一章　總則

第百七十五條　物權ハ本法其他ノ法律ニ定ムルモノノ外之ヲ創設スルコトヲ得ス

第百七十六條　物權ノ設定及ヒ移轉ハ當事者ノ意思表示ノミニ因リテ其效力ヲ生ス

第百七十七條　不動產ニ關スル物權ノ得喪及ヒ變更ハ登記法ノ定ムル所ニ從ヒ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百七十八條　動產ニ關スル物權ノ讓渡ハ其動產ノ引渡アルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百七十九條　同一物ニ付キ所有權及ヒ他ノ物權カ同一人ニ歸シタルトキハ其物權ハ消滅ス但其物又ハ其物權カ第三者ノ權利ノ目的タルトキハ此限ニ在ラス

所有權以外ノ物權及ヒ之ヲ目的トスル他ノ權利カ同一人ニ歸シタルトキハ其權利ハ消滅ス此場合ニ於テハ前項但書ノ規定ヲ準用ス

前二項ノ規定ハ占有權ニハ之ヲ適用セス

第二章　占有權

第百七十八條　占有權ハ自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ物ヲ所持スルニ因リテ之ヲ取得ス

第百八十一條　占有權ハ代理人ニ依リテ之ヲ取得スルコトヲ得

第百八十二條　占有權ノ讓渡ハ占有物ノ引渡ニ依リテ之ヲ爲ス

讓受人又ハ其代理人カ現ニ占有物ヲ所持スル場合ニ於テハ占有權ノ讓渡ハ當事者ノ意思表示ノミニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得

第百八十三條　代理人カ自己ノ占有物ヲ爾後本人ノ爲メニ占有スヘキ意思ヲ表示シタルトキハ本人ノ之ニ因リテ占有權ヲ取得ス

第百八十四條　代理人ニ依リテ占有權ヲ爲ス場合ニ於テ本人カ其代理人ニ對シ爾後第三者ノ爲メニ其物ヲ占有スヘキ旨ヲ命シ第三者之ヲ承諾シタルトキハ其第三者ハ占有權ヲ取得ス

第百八十五條　權原ノ性質上占有者ニ所有ノ意思アルモノト認ムル場合ニ於テハ其占有者カ自己ニ占有ヲ爲サシメタル者ニ對シ所有ノ意思アルコトヲ表示シ又ハ新權原ニ因リ更ニ所有ノ意思ヲ以テ占有ヲ始ムルニ非サレハ占有ノ性質ヲ變セス

第百八十六條　占有者ハ所有ノ意思ヲ以テ善意ニテ且過失ナカリシモノト推定ス

前後兩時ニ於テ占有ヲ爲シタル證據アルトキハ占有ハ其間繼續シタルモノト推定ス

第百八十七條　占有者ノ承繼人ハ其選擇ニ從ヒ自己ノ占有ニ前占有者ノ占有ヲ併セテ之ヲ主張スルコトヲ得

前主ノ占有ヲ併セテ主張スル場合ニ於テハ其瑕疵モ亦之ヲ承繼ス

第二節　占有權ノ效力

第百八十八條　占有者カ占有物ノ上ニ行使スル權利ハ之ヲ適法ト看做スモノト推定ス

第百八十九條　善意ノ占有者ハ占有物ヨリ生スル果實ヲ取得ス

善意ノ占有者カ本權ノ訴ニ於テ敗訴シタルトキハ其起訴ノ時ヨリ惡意ノ占有者ト看做ス

第百九十條　惡意ノ占有者ハ果實ヲ返還シ且其既ニ消費シ、過失ニ因リテ毀損シ又ハ收取ヲ怠リタル果實ノ代價ヲ償還スル義務ヲ負フ

前項ノ規定ハ强暴又ハ隱祕ニ因ル占有者ニ之ヲ準用ス

第百九十一條　占有物カ占有者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ惡意ノ占有者ハ其回復者ニ對シ其損害ノ全部ヲ賠償スル義務ヲ負ヒ善意ノ占有者ハ其滅失又ハ毀損ニ因リテ現ニ利益ヲ受クル限度ニ於テ賠償ヲ爲ス義務ヲ負フ但所有ノ意思ナキ占有者ハ其善意ナルトキト雖モ全部ノ賠償ヲ爲スコトヲ要ス

第百九十二條　平穩且公然ニ動產ノ占有ヲ始メタル者カ善意ニシテ且過失ナキトキハ即時ニ其動產ノ上ニ行使スル權利ヲ取得ス

第百九十三條　前條ノ場合ニ於テ占有物カ盜品又ハ遺失物ナルトキハ被害者又ハ遺失主ハ盜難又ハ遺失ノ時ヨリ二年間占有者ニ對シテ其物ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

第百九十四條　占有者カ盜品又ハ遺失物ヲ競賣若クハ公ノ市場ニ於テ又ハ其物ト同種ノ物ヲ販賣スル商人ヨリ善意ニテ買受クルトキハ被害者又ハ遺失主ハ占有者カ拂ヒタル代價ヲ辨償スルニ非サレハ其物ヲ回復スルコトヲ得ス

第百九十五條　他人カ偶發ニシテ家畜外ノ動物ヲ占有スルニ非ス且逃失ノ時ヨリ一个月內ニ個羣主ヨリ回復ノ請求ヲ受ケサルトキハ其動物ノ上ニ行使スル權利ヲ取得ス

第百九十六條　占有者カ占有物ヲ返還スル場合ニ於テハ其物ノ保存ノ爲メニ費シタル金額其他ノ必要費ヲ回復者ヨリ償還セシムルコトヲ得但占有者カ果實ヲ取得スル場合ニ於テハ通常ノ必要費ハ其負擔ニ歸ス

占有者カ占有物ノ改良ノ爲メニ費シタル金額其他ノ有益費ニ付テハ其價格ノ增加カ現存スル場合ニ限リ回復者ノ選擇ニ從ヒ其費シタル金額又ハ增價額ヲ償還セシムルコトヲ得但惡意ノ占有者ニ對シテハ裁判所ハ回復者ノ請求ニ因リ之ニ相當ノ期限ヲ許與スルコトヲ得

第百九十七條　占有者ハ後五條ノ規定ニ從ヒ占有ノ訴ヲ提起スルコトヲ得他人ノ爲メニ占有ヲ爲ス者亦同シ

第百九十八條　占有者カ其占有ヲ妨害セラレタルトキハ占有保持ノ訴ニ依リ其妨害ノ停止及ヒ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

第百九十九條　占有者カ其占有ヲ妨害セラルル虞アルトキハ占有保全ノ訴ニ依リ其妨害ノ豫防又ハ損害賠償ノ擔保ヲ請求スルコトヲ得

第二百條　占有者カ其占有ヲ奪ハレタルトキハ占有回收ノ訴ニ依リ其物ノ返還及ヒ損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得

占有回收ノ訴ハ侵奪者ノ特定承繼人ニ對シテハ之ヲ提起スルコトヲ得但其承繼人カ侵奪ノ事實ヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

第二百一條　占有保持ノ訴ハ妨害ノ存スル間又ハ其止ミタル後一年內ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス但工事ニ因リ占有物ニ損害ヲ生シタル場合ニ於テ其工事著手ノ時ヨリ一年ヲ經過シ又ハ其工事ノ竣成シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

占有保全ノ訴ハ妨害ノ危險ノ存スル間ハ之ヲ提起スルコトヲ得但工事ニ依リ占有物ニ損害ヲ生スル虞アルトキハ前項但書ノ規定ヲ準用ス

占有回收ノ訴ハ侵奪ノ時ヨリ一年內ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

第二百二條　占有ノ訴ハ本權ノ訴ヲ妨ケルコトナシ

占有ノ訴ハ本權ニ關スル理由ニ基キテ之ヲ裁判スルコトヲ得ス

第三節　占有權ノ消滅

第二百三條　占有權ハ占有ノ意思ヲ失フニ因リテ消滅ス但占有者カ占有物ノ所持ヲ失フニ因リテ生スル危險カ僅少ナルトキハ此限ニ在ラス

第二百四條　前條ノ場合ニ於テ占有者カ占有物ヲ奪還シタルトキハ占有權ハ消滅セサルモノト看做ス

第四節　準占有

第二百五條　本章ノ規定ハ自己ノ爲メニスル意思ヲ以テ財產權ノ行使ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第三章　所有權

第一節　所有權ノ限界

第二百六條　所有者ハ法令ノ制限內ニ於テ自由ニ其所有物ノ使用、收益及ヒ處分ヲ爲ス權利アリ

第二百七條　土地ノ所有權ハ法令ノ制限內ニ於テ其土地ノ上下ニ及フ

第二百八條　數人ニテ一棟ノ建物ヲ區分シ各其一部ヲ所有スルトキハ建物及ヒ其附屬物ノ共用部分ハ其共有ニ屬スルモノト推定ス

共用部分ノ修繕費其他ノ負擔ハ各自ノ所有部分ノ價格ニ應シテ之ヲ分ツ

第二百九條　土地ノ所有者ハ疆界ヲ又ハ其近傍ニ於テ障壁若クハ建物ヲ築造シ又ハ之ヲ修繕スル爲メ必要ナル範圍內ニ於テ隣地ノ使用ヲ請求スルコトヲ得但隣人ノ承諾アルニ非サレハ其住家ニ立入ルコトヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ隣人カ損害ヲ受ケタルトキハ其償金ヲ請求スルコトヲ得

第二百十條　或土地カ他ノ土地ニ圍繞セラレテ公路ニ通セサルトキハ其土地ノ所有者ハ公路ニ至ル爲メ圍繞地ヲ通行スルコトヲ得

池沼、河渠若クハ海洋ニ由ル非サレハ他ニ通スルコト能ハス又ハ崖岸アリテ土地ト公路トノ高低ヲ爲ストキ亦同シ

第二百十一條　前條ノ場合ニ於テ通行ノ場所及ヒ方法ハ通行權ヲ有スル者ノ爲メニ必要ニシテ且圍繞地ノ爲メニ損害最モ少キモノヲ選フコトヲ要ス通行權ヲ有スル者ハ必要アルトキハ通路ヲ開設スルコトヲ得

第二百十二條　通行權ヲ有スル者ハ通行地ノ損害ニ對シテ償金ヲ拂フコトヲ要ス但通路開設ノ爲メニ生シタル損害ニ對スルモノヲ除ク外一年毎ニ其償金ヲ拂フコトヲ得

第二百十三條　分割ニ因リ公路ニ通セサル土地ヲ生シタルトキハ其土地ノ所有者ハ公路ニ至ル爲メ他ノ分割者ノ所有地ノミヲ通行スルコトヲ得此場合ニ於テハ償金ヲ拂フコトヲ要セス

前項ノ規定ハ土地ノ所有者カ其土地ノ一部ヲ讓渡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百十四條　土地ノ所有者ハ隣地ヨリ水ノ自然ニ流レ來ルヲ妨クルコトヲ得ス

第二百十五條　水流カ事變ニ因リ低地ニ於テ其疏通ニ必要ナル工事ヲ爲スコトヲ得

第二百十六條　甲地ニ於テ貯水、排水又ハ引水ノ爲メニ設ケタル工作物ノ破潰又ハ阻塞ニ因リテ乙地ニ損害ヲ及ホシ又ハ及ホス虞アルトキハ乙地ノ所有者ハ甲地ノ所有者ヲシテ修繕若クハ疏通ヲ爲サシメ又必要アルトキハ豫防工事ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百十七條　前二條ノ場合ニ於テ費用ノ負擔ニ付キ別段ノ慣習アルトキハ其慣習ニ從フ

第二百十八條　土地ノ所有者ハ直チニ雨水ヲ隣地ニ注瀉セシムヘキ屋根其他ノ工作物ヲ設ケルコトヲ得ス

第二百十九條　溝渠其他ノ水流地ノ所有者ハ對岸ノ土地カ他人ノ所有ニ屬スルトキハ其水路又ハ幅員ノ變スルコトヲ得但下ロニ於テ自然ノ水路ニ復スルコトヲ前二項ノ規定ニ異ナリタル慣習アルトキハ其慣習ニ從フ

第二百二十條　高地ノ所有者ハ浸水地ヲ乾カス爲メ又ハ家用若クハ農工業用ノ餘水ヲ排泄スル爲メ公路、公流又ハ下水道ニ至ルマテ低地ニ水ヲ通過セシムルコトヲ得但低地

第二百六十四条（共有の性質を有しない入会権）　各地方の慣習に従い共同して雑草、木竹又は薪炭用若しくは家畜の飼料を採取し、又は農具若しくは家畜を使用する入会権については、各共有者は、その権利を自由に処分することができる。

第二百六十五条（分割請求権）　共有者は、いつでも共有物の分割を請求することができる。ただし、五年を超えない期間内は分割をしない旨の契約をすることを妨げない。

第二百六十六条（裁判による分割）　共有者間で協議が調わないときは、その分割を裁判所に請求することができる。

第二百六十七条（分割の方法）　分割は、現物をもってするを原則とする。

第二百六十八条（裁判による分割の方法）　裁判所が分割を命じたときは、その方法は、次に掲げる順序に従う。

一　各共有者に対し、現物を適当に分割する。

二　一人又は数人に現物を取得させ、その者から他の共有者に対し、持分の価格を賠償させる。

三　共有物を競売し、その代金を分割する。

第二百六十九条（裁判による分割の効力）　裁判所が分割を命じたときは、各共有者は、他の共有者のために、売主と同一の担保責任を負う。

第二百七十条（分割の効力）　各共有者が分割によって取得した物又は権利に瑕疵があったときは、各共有者は、その割合に応じて、担保責任を負う。

第二百七十一条（分割の効力）　分割は、第三者の権利を害することができない。

第二百七十二条（分割の効力）　分割は、共有者の間で、その効力を生ずる。

第二百七十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百七十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百七十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百七十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百七十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百七十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百七十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百八十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第二百九十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百二十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百三十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百四十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百五十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百六十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百七十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百八十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第三百九十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百二十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百三十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百四十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百五十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百六十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百七十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百八十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第四百九十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百二十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百三十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百四十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十五条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十六条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十七条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十八条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百五十九条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百六十条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百六十一条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百六十二条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百六十三条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得する。

第五百六十四条（分割の効力）　分割は、各共有者が、その取得した物又は権利を、分割の時から、単独所有権として取得

共權利ヲ行使スルニ因リテ中斷ス

第二百九十一條　第百六十七條第二項ニ規定セル消滅時效ノ期間ハ不確定地役權ニ付テハ最後ノ行使ノ時ヨリ之ヲ起算シ繼續地役權ニ付テハ其行使ヲ妨クヘキ事實ノ生シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第二百九十二條　要役地カ數人ノ共有ニ屬スル場合ニ於テ其一人ノ爲メニ時效ノ中斷又ハ停止アルトキハ其中斷又ハ停止ハ他ノ共有者ノ爲メニモ其效力ヲ生ス

第二百九十三條　地役權者カ其權利ノ一部ヲ行使セサルトキハ其部分ノミ時效ニ因リテ消滅ス

第二百九十四條　共有ノ性質ヲ有セサル入會權ニ付テハ各地方ノ慣習ニ從フ外本章ノ規定ヲ準用ス

第七章　留置權

第二百九十五條　他人ノ物ノ占有者カ其物ニ關シテ生シタル債權ヲ有スルトキハ其債權ノ辨濟ヲ受クルマテ其物ヲ留置スルコトヲ得但其債權カ辨濟期ニ在ラサルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ占有カ不法行爲ニ因リテ始マリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第二百九十六條　留置權者ハ債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クルマテハ留置物ノ全部ニ付キ其權利ヲ行フコトヲ得

第二百九十七條　留置權者ハ留置物ヨリ生スル果實ヲ收取シ他ノ債權者ニ先チテ之ヲ其債權ノ辨濟ニ充當スルコトヲ得

前項ノ果實ハ元本ニ充當シ尚ホ餘剩アルトキハ之ヲ元本ニ充當スルコトヲ要ス

第二百九十八條　留置權者ハ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ留置物ヲ占有スルコトヲ要ス

留置權者ハ債務者ノ承諾ナクシテ留置物ノ使用若クハ賃貸ヲ爲シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得スト雖其債務者ノ利益ヲ害スヘキトキハ此限ニ在ラス

留置權者カ前二項ノ規定ニ違反シタルトキハ債務者ハ留置權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第二百九十九條　留置權者カ留置物ニ付キ必要費ヲ出タシタルトキハ所有者ヲシテ其償還ヲ爲サシムルコトヲ得

留置權者カ留置物ニ付キ有益費ヲ出タシタルトキハ其價格ノ增加カ現存スル場合ニ限リ所有者ノ選擇ニ從ヒ其費シタル金額又ハ增額ヲ償還セシムルコトヲ得但裁判所ハ所有者ノ請求ニ因リ之ニ相當ノ期限ヲ許與スルコトヲ得

第三百條　留置權ノ行使ハ債權ノ消滅時效ノ進行ヲ妨ケス

第三百一條　債務者ハ相當ノ擔保ヲ供シテ留置權ノ消滅ヲ請求スルコトヲ得

第三百二條　留置權ハ占有ノ喪失ニ因リテ消滅ス但第二百九十八條第二項ノ規定ニ依リ賃貸又ハ質入ヲ爲シタル場合ハ此限ニ在ラス

第八章　先取特權

第一節　總則

第三百三條　先取特權者ハ本法其他ノ法律ノ規定ニ從ヒ其債務者ノ財産ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第三百四條　先取特權ハ其目的物ノ賣却、賃貸、滅失又ハ毀損ニ因リテ債務者カ受クヘキ金錢其他ノ物ニ對シテモ之ヲ行フコトヲ得但先取特權者ハ其拂渡又ハ引渡前ニ差押ヲ爲スコトヲ要ス

第三百五條　第二百九十六條ノ規定ハ先取特權ニ之ヲ準用ス

第二節　先取特權ノ種類

第一款　一般ノ先取特權

第三百六條　左ニ掲ケタル原因ヨリ生シタル債權ヲ有スル者ハ債務者ノ總財産ノ上ニ先取特權ヲ有ス

一　共益ノ費用

二　葬式ノ費用

三　扈人ノ給料

四　日用品ノ供給

第三百七條　共益費用ノ先取特權ハ各債權者ノ共同利益ノ爲メニ爲シタル債務者ノ財産ノ保存、清算又ハ配當ニ關スル費用ニ付キ存在ス

前項ノ費用中競賣債權者ニ有益ナラサリシモノニ付テハ先取特權ハ其費用ノ爲メ利益ヲ受ケタル債權者ニ對シテノミ存在ス

第三百八條　葬式費用ノ先取特權ハ債務者ノ身分ニ應シテ爲シタル葬式ノ費用ニ付キ存在ス

前項ノ先取特權ハ債務者カ共扶養スヘキ親族又ハ家族ノ身分ニ應シテ爲シタル葬式ノ費用ニ付テモ亦存在ス

第三百九條　雇人給料ノ先取特權ハ債務者ノ扈人カ受クヘキ最後ノ六个月間ノ給料ニ付キ存在ス但其金額ハ五十圓ヲ限トス

第三百十條　日用品供給ノ先取特權ハ債務者又ハ其扶養スヘキ同居ノ親族並ニ家族及ヒ其僕婢ノ生活ニ必要ナル最後ノ六个月間ノ飲食品及ヒ薪炭油ノ供給ニ付キ存在ス

第二款　動產ノ先取特權

第三百十一條　左ニ掲ケタル原因ヨリ生シタル債權ヲ有スル者ハ債務者ノ特定動產ノ上ニ先取特權ヲ有ス

一　旅店ノ宿泊

二　旅客又ハ荷物ノ運輸

三　公吏ノ職務上ノ過失

四　動產ノ保存

五　動產ノ賣買

六　種苗又ハ肥料ノ供給

七　農工業ノ勞役

八　賃貸人カ賃借人ノ動產ノ上ニ存在ス

第三百十二條　不動產賃貸ノ先取特權ハ其不動產ノ借賃其他賃貸關係ヨリ生シタル賃借人ノ債務ニ付キ賃借人ノ動產ノ上ニ存在ス

第三百十三條　土地ノ賃貸人ノ先取特權ハ賃借地又ハ其利用ノ爲メニ爲シタル建物ニ備附ケタル動產、其土地ノ利用ニ供シタル動產及ヒ賃借人ノ占有ニ在ル其土地ノ果實ノ上ニモ存在ス

第三百十四條　賃借權ノ讓渡又ハ轉貸ノ場合ニ於テハ賃貸人ノ先取特權ハ讓受人又ハ轉借人ノ動產ニモ及フ讓渡人又ハ轉貸人カ受クヘキ金額ニ付キ亦同シ

第三百十五條　賃借人ノ財產ノ總消算ノ場合ニ於テハ賃貸人ノ先取特權ハ前期、當期及ヒ次期ノ借賃其他ノ債務及ヒ前期並ニ當期ニ於テ生シタル損害ノ賠償ニ付テノミ存在ス

第三百十六條　賃貸人カ敷金ヲ受取リタル場合ニ於テハ其敷金ヲ以テ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノミ先取特權ヲ有ス

第三百十七條　旅店宿泊ノ先取特權ハ旅客、其從者及ヒ牛馬ノ宿泊料並ニ飲食料ニ付キ其旅店ニ存スル手荷物ノ上ニ存在ス

第三百十八條　運輸ノ先取特權ハ旅客又ハ荷物ノ運送賃及ヒ附隨ノ費用ニ付キ運送人ノ手ニ存スル荷物ノ上ニ存在ス

第三百十九條　第百九十二條乃至第百九十五條ノ規定ハ前七條ノ先取特權ニ之ヲ準用ス

第三百二十條　公吏保證金ノ先取特權ハ保證金ヲ供シタル公吏ノ職務上ノ過失ニ因リテ生シタル債權ニ付キ其保證金ノ上ニ存在ス

第三百二十一條　動產保存ノ先取特權ハ動產保存ノ爲メニ債權者ノ共同ノ利益ノ爲メニ爲シタル債務ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有スル者ハ債務者ノ財產ニ付キ其保存ニ關シテ先取特權ヲ有ス

前項ノ先取特權ハ動產ノ賣却ニ因リテ其賣却代金ニ對シテモ存在ス

第三百二十二條　種苗肥料供給ノ先取特權ハ種苗又ハ肥料ノ代價及ヒ其利息ニ付キ其種苗又ハ肥料ヲ用ヰタル後一年內ニ之ヲ用ヰタル土地ヨリ生シタル果實ノ上ニ存在ス

前項ノ先取特權ハ蠶種又ハ蠶ノ飼養ニ供シタル桑葉ノ供給ニ付キ其蠶種又ハ桑葉ヨリ生シタル物ノ上ニモ亦存在ス

第三百二十四條　農工業勞役ノ先取特權ハ農業ノ勞役者ニ付テハ最後ノ一年間工業ノ勞役者ニ付テハ最後ノ三个月間ノ賃金ニ付キ其勞役ニ因リテ生シタル果實又ハ製作物ノ上ニ存在ス

第三百二十五條　運送賃、立替金及ヒ運送品ニ關スル費用ニ付キ運送品ノ上ニ存在ス

第三百二十六條　削除

第三百二十七條　削除

第三百二十八條　削除

第三百二十九條　削除

第三百三十條　削除

第三百三十一條　削除

第三百三十二條　削除

第三百三十三條　削除

第三百三十四條　削除

第三百三十五條　削除

第三百三十六條　削除

第三百三十七條　削除

第三百三十八條　削除

第三百三十九條　削除

第三百四十條　削除

第三百四十一條　削除

第三百四十二條　削除

第三百四十三條　削除

第三百四十四條　削除

第三百四十五條　削除

第三百四十六條　削除

第三百四十七條　削除

第三百四十八條　削除

第三百四十九條　削除

第三百五十條　削除

第三百五十一條　削除

第三百五十二條　削除

第三百五十三條　削除

第三百五十四條　削除

第三百五十五條　削除

第三百五十六條　削除

第三百五十七條　削除

第三百五十八條　削除

第三百五十九條　削除

第三百六十條　削除

第三百六十一條　削除

第三百六十二條　削除

第三百六十三條　削除

第三百六十四條　削除

第三百六十五條　削除

第三百六十六條　削除

第三百六十七條　削除

第三百六十八條　削除

第三百六十九條　削除

第三百七十條　削除

第三百七十一條　削除

第三百七十二條　削除

第三百七十三條　削除

第三百七十四條　削除

第三百七十五條　削除

第三百七十六條　削除

第三百七十七條　削除

第三百七十八條　削除

第三百七十九條　削除

第三百八十條　削除

第三百八十一條　削除

第三百八十二條　削除

第三百八十三條　削除

第三百八十四條　削除

第三百八十五條　削除

第三百八十六條　削除

第三百八十七條　削除

第三百八十八條　削除

第三百八十九條　削除

第三百九十條　削除

第三百九十一條　削除

第三百九十二條　削除

第三百九十三條　削除

第三百九十四條　削除

第三百九十五條　削除

第三百九十六條　削除

第三百九十七條　削除

第三百九十八條　削除

第三百九十九條　削除

第四百條　削除

第四百一條　削除

第四百二條　削除

第四百三條　削除

第四百四條　削除

第四百五條　削除

第四百六條　削除

第四百七條　削除

第四百八條　削除

第四百九條　削除

第四百十條　削除

第四百十一條　削除

第四百十二條　削除

第四百十三條　削除

第四百十四條　削除

第四百十五條　削除

第四百十六條　削除

第四百十七條　削除

第四百十八條　削除

第四百十九條　削除

第四百二十條　削除

第四百二十一條　削除

第四百二十二條　削除

第四百二十三條　削除

第四百二十四條　削除

第四百二十五條　削除

第四百二十六條　削除

第四百二十七條　削除

第四百二十八條　削除

第四百二十九條　削除

第四百三十條　削除

第四百三十一條　削除

第四百三十二條　削除

第四百三十三條　削除

第四百三十四條　削除

第四百三十五條　削除

第四百三十六條　削除

第四百三十七條　削除

第四百三十八條　削除

第四百三十九條　削除

第四百四十條　削除

第四百四十一條　削除

第四百四十二條　削除

第四百四十三條　削除

第四百四十四條　削除

第四百四十五條　削除

第四百四十六條　削除

第四百四十七條　削除

第四百四十八條　削除

第四百四十九條　削除

第四百五十條　削除

第四百五十一條　削除

第四百五十二條　削除

第四百五十三條　削除

第四百五十四條　削除

第四百五十五條　削除

第四百五十六條　削除

第四百五十七條　削除

第四百五十八條　削除

第四百五十九條　削除

第四百六十條　削除

第四百六十一條　削除

第四百六十二條　削除

第四百六十三條　削除

第四百六十四條　削除

第四百六十五條　削除

第四百六十六條　削除

第四百六十七條　削除

第四百六十八條　削除

第四百六十九條　削除

第四百七十條　削除

第四百七十一條　削除

第四百七十二條　削除

第四百七十三條　削除

第四百七十四條　削除

第四百七十五條　削除

第四百七十六條　削除

第四百七十七條　削除

第四百七十八條　削除

第四百七十九條　削除

第四百八十條　削除

第四百八十一條　削除

第四百八十二條　削除

第四百八十三條　削除

第四百八十四條　削除

第四百八十五條　削除

第四百八十六條　削除

第四百八十七條　削除

第四百八十八條　削除

第四百八十九條　削除

第四百九十條　削除

第四百九十一條　削除

第四百九十二條　削除

第四百九十三條　削除

第四百九十四條　削除

第四百九十五條　削除

第四百九十六條　削除

第四百九十七條　削除

第四百九十八條　削除

第四百九十九條　削除

第五百條　削除

第五百一條　削除

第五百二條　削除

第五百三條　削除

第五百四條　削除

第五百五條　削除

第五百六條　削除

第五百七條　削除

第五百八條　削除

第五百九條　削除

第五百十條　削除

第五百十一條　削除

第五百十二條　削除

第五百十三條　削除

第五百十四條　削除

第五百十五條　削除

第五百十六條　削除

第五百十七條　削除

第五百十八條　削除

第五百十九條　削除

第五百二十條　削除

第五百二十一條　削除

第五百二十二條　削除

第五百二十三條　削除

第五百二十四條　削除

第五百二十五條　削除

第五百二十六條　削除

第五百二十七條　削除

第五百二十八條　削除

第五百二十九條　削除

第五百三十條　削除

第五百三十一條　削除

第五百三十二條　削除

第五百三十三條　削除

第五百三十四條　削除

第五百三十五條　削除

第五百三十六條　削除

第五百三十七條　削除

第五百三十八條　削除

第五百三十九條　削除

第五百四十條　削除

第五百四十一條　削除

第五百四十二條　削除

第五百四十三條　削除

第五百四十四條　削除

第五百四十五條　削除

第五百四十六條　削除

第五百四十七條　削除

第五百四十八條　削除

第五百四十九條　削除

第五百五十條　削除

第五百五十一條　削除

第五百五十二條　削除

第五百五十三條　削除

第五百五十四條　削除

第五百五十五條　削除

第五百五十六條　削除

第五百五十七條　削除

第五百五十八條　削除

第五百五十九條　削除

第五百六十條　削除

第五百六十一條　削除

第五百六十二條　削除

第五百六十三條　削除

第五百六十四條　削除

第五百六十五條　削除

第五百六十六條　削除

第五百六十七條　削除

第五百六十八條　削除

第五百六十九條　削除

第五百七十條　削除

第五百七十一條　削除

第五百七十二條　削除

第五百七十三條　削除

第五百七十四條　削除

第五百七十五條　削除

第五百七十六條　削除

第五百七十七條　削除

第五百七十八條　削除

第五百七十九條　削除

第五百八十條　削除

第五百八十一條　削除

第五百八十二條　削除

第五百八十三條　削除

第五百八十四條　削除

第五百八十五條　削除

第五百八十六條　削除

第五百八十七條　削除

第五百八十八條　削除

第五百八十九條　削除

第五百九十條　削除

第五百九十一條　削除

第五百九十二條　削除

第五百九十三條　削除

第五百九十四條　削除

第五百九十五條　削除

第五百九十六條　削除

第五百九十七條　削除

第五百九十八條　削除

第五百九十九條　削除

第六百條　削除

第六百一條　削除

第六百二條　削除

第六百三條　削除

第六百四條　削除

第六百五條　削除

第六百六條　削除

第六百七條　削除

第六百八條　削除

第六百九條　削除

第六百十條　削除

第六百十一條　削除

第六百十二條　削除

第六百十三條　削除

第六百十四條　削除

第六百十五條　削除

第六百十六條　削除

第六百十七條　削除

第六百十八條　削除

第六百十九條　削除

第六百二十條　削除

第六百二十一條　削除

第六百二十二條　削除

第六百二十三條　削除

第六百二十四條　削除

第六百二十五條　削除

第六百二十六條　削除

第六百二十七條　削除

第六百二十八條　削除

第六百二十九條　削除

第六百三十條　削除

第六百三十一條　削除

第六百三十二條　削除

第六百三十三條　削除

第六百三十四條　削除

第六百三十五條　削除

第六百三十六條　削除

第六百三十七條　削除

第六百三十八條　削除

第六百三十九條　削除

第六百四十條　削除

第六百四十一條　削除

第六百四十二條　削除

第六百四十三條　削除

第六百四十四條　削除

第六百四十五條　削除

第六百四十六條　削除

第六百四十七條　削除

第六百四十八條　削除

第六百四十九條　削除

第六百五十條　削除

第六百五十一條　削除

第六百五十二條　削除

第六百五十三條　削除

第六百五十四條　削除

第六百五十五條　削除

第六百五十六條　削除

第六百五十七條　削除

第六百五十八條　削除

第六百五十九條　削除

第六百六十條　削除

第六百六十一條　削除

第六百六十二條　削除

第六百六十三條　削除

第六百六十四條　削除

第六百六十五條　削除

第六百六十六條　削除

第六百六十七條　削除

第六百六十八條　削除

第六百六十九條　削除

第六百七十條　削除

第六百七十一條　削除

第六百七十二條　削除

第六百七十三條　削除

第六百七十四條　削除

第六百七十五條　削除

第六百七十六條　削除

第六百七十七條　削除

第六百七十八條　削除

第六百七十九條　削除

第六百八十條　削除

第六百八十一條　削除

第六百八十二條　削除

第六百八十三條　削除

第六百八十四條　削除

第六百八十五條　削除

第六百八十六條　削除

第六百八十七條　削除

第六百八十八條　削除

第六百八十九條　削除

第六百九十條　削除

第六百九十一條　削除

第六百九十二條　削除

第六百九十三條　削除

第六百九十四條　削除

第六百九十五條　削除

第六百九十六條　削除

第六百九十七條　削除

第六百九十八條　削除

第六百九十九條　削除

第七百條　削除

第七百一條　削除

第七百二條　削除

第七百三條　削除

第七百四條　削除

第七百五條　削除

第七百六條　削除

第七百七條　削除

第七百八條　削除

第七百九條　削除

第七百十條　削除

第七百十一條　削除

第七百十二條　削除

第七百十三條　削除

第七百十四條　削除

第七百十五條　削除

第七百十六條　削除

第七百十七條　削除

第七百十八條　削除

第七百十九條　削除

第七百二十條　削除

第七百二十一條　削除

第七百二十二條　削除

第七百二十三條　削除

第七百二十四條　削除

第七百二十五條　削除

第七百二十六條　削除

第七百二十七條　削除

第七百二十八條　削除

第七百二十九條　削除

第七百三十條　削除

第七百三十一條　削除

第七百三十二條　削除

第七百三十三條　削除

第七百三十四條　削除

第七百三十五條　削除

第七百三十六條　削除

第七百三十七條　削除

第七百三十八條　削除

第七百三十九條　削除

第七百四十條　削除

第七百四十一條　削除

第七百四十二條　削除

第七百四十三條　削除

第七百四十四條　削除

第七百四十五條　削除

第七百四十六條　削除

第七百四十七條　削除

第七百四十八條　削除

第七百四十九條　削除

第七百五十條　削除

第七百五十一條　削除

第七百五十二條　削除

第七百五十三條　削除

第七百五十四條　削除

第七百五十五條　削除

第七百五十六條　削除

第七百五十七條　削除

第七百五十八條　削除

第七百五十九條　削除

第七百六十條　削除

第七百六十一條　削除

第七百六十二條　削除

第七百六十三條　削除

第七百六十四條　削除

第七百六十五條　削除

第七百六十六條　削除

第七百六十七條　削除

第七百六十八條　削除

第七百六十九條　削除

第七百七十條　削除

第七百七十一條　削除

第七百七十二條　削除

第七百七十三條　削除

第七百七十四條　削除

第七百七十五條　削除

第七百七十六條　削除

第七百七十七條　削除

第七百七十八條　削除

第七百七十九條　削除

第七百八十條　削除

第七百八十一條　削除

第七百八十二條　削除

第七百八十三條　削除

第七百八十四條　削除

第七百八十五條　削除

第七百八十六條　削除

第七百八十七條　削除

第七百八十八條　削除

第七百八十九條　削除

第七百九十條　削除

第七百九十一條　削除

第七百九十二條　削除

第七百九十三條　削除

第七百九十四條　削除

第七百九十五條　削除

第七百九十六條　削除

第七百九十七條　削除

第七百九十八條　削除

第七百九十九條　削除

第八百條　削除

第八百一條　削除

第八百二條　削除

第八百三條　削除

第八百四條　削除

第八百五條　削除

第八百六條　削除

第八百七條　削除

第八百八條　削除

第八百九條　削除

第八百十條　削除

第八百十一條　削除

第八百十二條　削除

第八百十三條　削除

第八百十四條　削除

第八百十五條　削除

第八百十六條　削除

第八百十七條　削除

第八百十八條　削除

第八百十九條　削除

第八百二十條　削除

第八百二十一條　削除

第八百二十二條　削除

第八百二十三條　削除

第八百二十四條　削除

第八百二十五條　削除

第八百二十六條　削除

第八百二十七條　削除

第八百二十八條　削除

第八百二十九條　削除

第八百三十條　削除

第八百三十一條　削除

第八百三十二條　削除

第八百三十三條　削除

第八百三十四條　削除

第八百三十五條　削除

第八百三十六條　削除

第八百三十七條　削除

第八百三十八條　削除

第八百三十九條　削除

第八百四十條　削除

第八百四十一條　削除

第八百四十二條　削除

第八百四十三條　削除

第八百四十四條　削除

第八百四十五條　削除

第八百四十六條　削除

第八百四十七條　削除

第八百四十八條　削除

第八百四十九條　削除

第八百五十條　削除

第八百五十一條　削除

第八百五十二條　削除

第八百五十三條　削除

第八百五十四條　削除

第八百五十五條　削除

第八百五十六條　削除

第八百五十七條　削除

第八百五十八條　削除

第八百五十九條　削除

第八百六十條　削除

第八百六十一條　削除

第八百六十二條　削除

第八百六十三條　削除

第八百六十四條　削除

第八百六十五條　削除

第八百六十六條　削除

第八百六十七條　削除

第八百六十八條　削除

第八百六十九條　削除

第八百七十條　削除

第八百七十一條　削除

第八百七十二條　削除

第八百七十三條　削除

第八百七十四條　削除

第八百七十五條　削除

第八百七十六條　削除

第八百七十七條　削除

第八百七十八條　削除

第八百七十九條　削除

第八百八十條　削除

第八百八十一條　削除

第八百八十二條　削除

第八百八十三條　削除

第八百八十四條　削除

第八百八十五條　削除

第八百八十六條　削除

第八百八十七條　削除

第八百八十八條　削除

第八百八十九條　削除

第八百九十條　削除

第八百九十一條　削除

第八百九十二條　削除

第八百九十三條　削除

第八百九十四條　削除

第八百九十五條　削除

第八百九十六條　削除

第八百九十七條　削除

第八百九十八條　削除

第八百九十九條　削除

第九百條　削除

第九百一條　削除

第九百二條　削除

第九百三條　削除

第九百四條　削除

第九百五條　削除

第九百六條　削除

第九百七條　削除

第九百八條　削除

第九百九條　削除

第九百十條　削除

第九百十一條　削除

第九百十二條　削除

第九百十三條　削除

第九百十四條　削除

第九百十五條　削除

第九百十六條　削除

第九百十七條　削除

第九百十八條　削除

第九百十九條　削除

第九百二十條　削除

第九百二十一條　削除

第九百二十二條　削除

第九百二十三條　削除

第九百二十四條　削除

第九百二十五條　削除

第九百二十六條　削除

第九百二十七條　削除

第九百二十八條　削除

第九百二十九條　削除

第九百三十條　削除

第九百三十一條　削除

第九百三十二條　削除

第九百三十三條　削除

第九百三十四條　削除

第九百三十五條　削除

第九百三十六條　削除

第九百三十七條　削除

第九百三十八條　削除

第九百三十九條　削除

第九百四十條　削除

第九百四十一條　削除

第九百四十二條　削除

第九百四十三條　削除

第九百四十四條　削除

第九百四十五條　削除

第九百四十六條　削除

第九百四十七條　削除

第九百四十八條　削除

第九百四十九條　削除

第九百五十條　削除

第九百五十一條　削除

第九百五十二條　削除

第九百五十三條　削除

第九百五十四條　削除

第九百五十五條　削除

第九百五十六條　削除

第九百五十七條　削除

第九百五十八條　削除

第九百五十九條　削除

第九百六十條　削除

第九百六十一條　削除

第九百六十二條　削除

第九百六十三條　削除

第九百六十四條　削除

第九百六十五條　削除

第九百六十六條　削除

第九百六十七條　削除

第九百六十八條　削除

第九百六十九條　削除

第九百七十條　削除

第九百七十一條　削除

第九百七十二條　削除

第九百七十三條　削除

第九百七十四條　削除

第九百七十五條　削除

第九百七十六條　削除

第九百七十七條　削除

第九百七十八條　削除

第九百七十九條　削除

第九百八十條　削除

第九百八十一條　削除

第九百八十二條　削除

第九百八十三條　削除

第九百八十四條　削除

第九百八十五條　削除

第九百八十六條　削除

第九百八十七條　削除

第九百八十八條　削除

第九百八十九條　削除

第九百九十條　削除

第九百九十一條　削除

第九百九十二條　削除

第九百九十三條　削除

第九百九十四條　削除

第九百九十五條　削除

第九百九十六條　削除

第九百九十七條　削除

第九百九十八條　削除

第九百九十九條　削除

第千條　削除

第千一條　削除

第千二條　削除

第千三條　削除

第千四條　削除

第千五條　削除

第千六條　削除

第千七條　削除

第千八條　削除

第千九條　削除

第千十條　削除

第千十一條　削除

第千十二條　削除

第千十三條　削除

第千十四條　削除

第千十五條　削除

第千十六條　削除

第千十七條　削除

第千十八條　削除

第千十九條　削除

第千二十條　削除

第千二十一條　削除

第千二十二條　削除

第千二十三條　削除

第千二十四條　削除

第千二十五條　削除

第千二十六條　削除

第千二十七條　削除

第千二十八條　削除

第千二十九條　削除

第千三十條　削除

第千三十一條　削除

第千三十二條　削除

第千三十三條　削除

第千三十四條　削除

第千三十五條　削除

第千三十六條　削除

第千三十七條　削除

第千三十八條　削除

第千三十九條　削除

第千四十條　削除

第千四十一條　削除

第千四十二條　削除

第千四十三條　削除

第千四十四條　削除

第千四十五條　削除

第千四十六條　削除

第千四十七條　削除

第千四十八條　削除

第千四十九條　削除

第千五十條　削除

第千五十一條　削除

第千五十二條　削除

第千五十三條　削除

第千五十四條　削除

第千五十五條　削除

第千五十六條　削除

第千五十七條　削除

第千五十八條　削除

第千五十九條　削除

第千六十條　削除

第千六十一條　削除

第千六十二條　削除

第千六十三條　削除

第千六十四條　削除

第千六十五條　削除

第千六十六條　削除

第千六十七條　削除

第千六十八條　削除

第千六十九條　削除

第千七十條　削除

第千七十一條　削除

第千七十二條　削除

第千七十三條　削除

第千七十四條　削除

第千七十五條　削除

第千七十六條　削除

第千七十七條　削除

第千七十八條　削除

第千七十九條　削除

第千八十條　削除

第千八十一條　削除

第千八十二條　削除

第千八十三條　削除

第千八十四條　削除

第千八十五條　削除

第千八十六條　削除

第千八十七條　削除

第千八十八條　削除

第千八十九條　削除

第千九十條　削除

第千九十一條　削除

第千九十二條　削除

第千九十三條　削除

第千九十四條　削除

第千九十五條　削除

第千九十六條　削除

第千九十七條　削除

第千九十八條　削除

第千九十九條　削除

第千百條　削除

第千百一條　削除

第千百二條　削除

第千百三條　削除

第千百四條　削除

第千百五條　削除

第千百六條　削除

第千百七條　削除

第千百八條　削除

第千百九條　削除

第千百十條　削除

第千百十一條　削除

第千百十二條　削除

第千百十三條　削除

第千百十四條　削除

第千百十五條　削除

第千百十六條　削除

第千百十七條　削除

第千百十八條　削除

第千百十九條　削除

第千百二十條　削除

第千百二十一條　削除

第千百二十二條　削除

第千百二十三條　削除

第千百二十四條　削除

第千百二十五條　削除

第千百二十六條　削除

第千百二十七條　削除

第千百二十八條　削除

第千百二十九條　削除

第千百三十條　削除

第千百三十一條　削除

第千百三十二條　削除

第千百三十三條　削除

第千百三十四條　削除

第千百三十五條　削除

第千百三十六條　削除

第千百三十七條　削除

第千百三十八條　削除

第千百三十九條　削除

第千百四十條　削除

第千百四十一條　削除

第千百四十二條　削除

第千百四十三條　削除

第千百四十四條　削除

第千百四十五條　削除

第千百四十六條　削除

第千百四十七條　削除

第千百四十八條　削除

第千百四十九條　削除

第千百五十條　削除

第千百五十一條　削除

第千百五十二條　削除

第千百五十三條　削除

第千百五十四條　削除

第千百五十五條　削除

第千百五十六條　削除

第千百五十七條　削除

第千百五十八條　削除

第千百五十九條　削除

第千百六十條　削除

第千百六十一條　削除

第千百六十二條　削除

第千百六十三條　削除

第千百六十四條　削除

第千百六十五條　削除

第千百六十六條　削除

第千百六十七條　削除

第千百六十八條　削除

第千百六十九條　削除

第千百七十條　削除

第千百七十一條　削除

第千百七十二條　削除

第千百七十三條　削除

第千百七十四條　削除

第千百七十五條　削除

第千百七十六條　削除

第千百七十七條　削除

第千百七十八條　削除

第千百七十九條　削除

第千百八十條　削除

第千百八十一條　削除

第千百八十二條　削除

第千百八十三條　削除

第千百八十四條　削除

第千百八十五條　削除

第千百八十六條　削除

第千百八十七條　削除

第千百八十八條　削除

第千百八十九條　削除

第千百九十條　削除

第千百九十一條　削除

第千百九十二條　削除

第千百九十三條　削除

第千百九十四條　削除

第千百九十五條　削除

第千百九十六條　削除

第千百九十七條　削除

第千百九十八條　削除

第千百九十九條　削除

第千二百條　削除

第千二百一條　削除

第千二百二條　削除

第千二百三條　削除

第千二百四條　削除

第千二百五條　削除

第千二百六條　削除

第千二百七條　削除

第千二百八條　削除

第千二百九條　削除

第千二百十條　削除

第千二百十一條　削除

第千二百十二條　削除

第千二百十三條　削除

第千二百十四條　削除

第千二百十五條　削除

第千二百十六條　削除

第千二百十七條　削除

第千二百十八條　削除

第千二百十九條　削除

第千二百二十條　削除

第千二百二十一條　削除

第千二百二十二條　削除

第千二百二十三條　削除

第千二百二十四條　削除

第千二百二十五條　削除

第千二百二十六條　削除

第千二百二十七條　削除

第千二百二十八條　削除

第千二百二十九條　削除

第千二百三十條　削除

第千二百三十一條　削除

第千二百三十二條　削除

第千二百三十三條　削除

第千二百三十四條　削除

第千二百三十五條　削除

第千二百三十六條　削除

第千二百三十七條　削除

第千二百三十八條　削除

第千二百三十九條　削除

第千二百四十條　削除

第千二百四十一條　削除

第千二百四十二條　削除

第千二百四十三條　削除

第千二百四十四條　削除

第千二百四十五條　削除

第千二百四十六條　削除

第千二百四十七條　削除

第千二百四十八條　削除

第千二百四十九條　削除

第千二百五十條　削除

第千二百五十一條　削除

第千二百五十二條　削除

第千二百五十三條　削除

第千二百五十四條　削除

第千二百五十五條　削除

第千二百五十六條　削除

第千二百五十七條　削除

第千二百五十八條　削除

第千二百五十九條　削除

第千二百六十條　削除

第千二百六十一條　削除

第千二百六十二條　削除

第千二百六十三條　削除

第千二百六十四條　削除

第千二百六十五條　削除

第千二百六十六條　削除

第千二百六十七條　削除

第千二百六十八條　削除

第千二百六十九條　削除

第千二百七十條　削除

第千二百七十一條　削除

第千二百七十二條　削除

第千二百七十三條　削除

第千二百七十四條　削除

第千二百七十五條　削除

第千二百七十六條　削除

第千二百七十七條　削除

第千二百七十八條　削除

第千二百七十九條　削除

第千二百八十條　削除

第千二百八十一條　削除

第千二百八十二條　削除

第千二百八十三條　削除

第千二百八十四條　削除

第千二百八十五條　削除

第千二百八十六條　削除

第千二百八十七條　削除

第千二百八十八條　削除

第千二百八十九條　削除

第千二百九十條　削除

第千二百九十一條　削除

第千二百九十二條　削除

第千二百九十三條　削除

第千二百九十四條　削除

第千二百九十五條　削除

第千二百九十六條　削除

第千二百九十七條　削除

第千二百九十八條　削除

第千二百九十九條　削除

第千三百條　削除

第千三百一條　削除

第千三百二條　削除

第千三百三條　削除

第千三百四條　削除

第千三百五條　削除

第千三百六條　削除

第千三百七條　削除

第千三百八條　削除

第千三百九條　削除

第千三百十條　削除

第千三百十一條　削除

第千三百十二條　削除

第千三百十三條　削除

第千三百十四條　削除

第千三百十五條　削除

第千三百十六條　削除

第千三百十七條　削除

第千三百十八條　削除

第千三百十九條　削除

第千三百二十條　削除

第千三百二十一條　削除

第千三百二十二條　削除

第千三百二十三條　削除

第千三百二十四條　削除

第千三百二十五條　削除

第千三百二十六條　削除

第千三百二十七條　削除

第千三百二十八條　削除

第千三百二十九條　削除

第千三百三十條　削除

第千三百三十一條　削除

第千三百三十二條　削除

第千三百三十三條　削除

第千三百三十四條　削除

第千三百三十五條　削除

第千三百三十六條　削除

第千三百三十七條　削除

第千三百三十八條　削除

第千三百三十九條　削除

第千三百四十條　削除

第千三百四十一條　削除

第千三百四十二條　削除

第千三百四十三條　削除

第千三百四十四條　削除

第千三百四十五條　削除

第千三百四十六條　削除

第千三百四十七條　削除

第千三百四十八條　削除

第千三百四十九條　削除

第千三百五十條　削除

第千三百五十一條　削除

第千三百五十二條　削除

第千三百五十三條　削除

第千三百五十四條　削除

第千三百五十五條　削除

第千三百五十六條　削除

第千三百五十七條　削除

第千三百五十八條　削除

第千三百五十九條　削除

第千三百六十條　削除

第千三百六十一條　削除

第千三百六十二條　削除

第千三百六十三條　削除

第千三百六十四條　削除

第千三百六十五條　削除

第千三百六十六條　削除

第千三百六十七條　削除

第千三百六十八條　削除

第千三百六十九條　削除

第千三百七十條　削除

第千三百七十一條　削除

第千三百七十二條　削除

第千三百七十三條　削除

第千三百七十四條　削除

第千三百七十五條　削除

第千三百七十六條　削除

第千三百七十七條　削除

第千三百七十八條　削除

第千三百七十九條　削除

第千三百八十條　削除

第千三百八十一條　削除

第千三百八十二條　削除

第千三百八十三條　削除

第千三百八十四條　削除

第千三百八十五條　削除

第千三百八十六條　削除

第千三百八十七條　削除

第千三百八十八條　削除

第千三百八十九條　削除

第千三百九十條　削除

第千三百九十一條　削除

第千三百九十二條　削除

第千三百九十三條　削除

第千三百九十四條　削除

第千三百九十五條　削除

第千三百九十六條　削除

第千三百九十七條　削除

第千三百九十八條　削除

第千三百九十九條　削除

第千四百條　削除

第千四百一條　削除

第千四百二條　削除

第千四百三條　削除

第千四百四條　削除

第千四百五條　削除

第千四百六條　削除

第千四百七條　削除

第千四百八條　削除

第千四百九條　削除

第千四百十條　削除

第千四百十一條　削除

第千四百十二條　削除

第千四百十三條　削除

第千四百十四條　削除

第千四百十五條　削除

第千四百十六條　削除

第千四百十七條　削除

第千四百十八條　削除

第千四百十九條　削除

第千四百二十條　削除

第千四百二十一條　削除

第千四百二十二條　削除

第千四百二十三條　削除

第千四百二十四條　削除

第千四百二十五條　削除

第千四百二十六條　削除

第千四百二十七條　削除

第千四百二十八條　削除

第千四百二十九條　削除

第千四百三十條　削除

第千四百三十一條　削除

第千四百三十二條　削除

第千四百三十三條　削除

第千四百三十四條　削除

第千四百三十五條　削除

第千四百三十六條　削除

第千四百三十七條　削除

第千四百三十八條　削除

第千四百三十九條　削除

第千四百四十條　削除

第千四百四十一條　削除

第千四百四十二條　削除

第千四百四十三條　削除

第千四百四十四條　削除

第千

第三百五十九條　前三條ノ規定ハ設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ之ヲ適用セス

第三百六十條　不動産質ノ存續期間ハ十年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ不動産質ヲ設定シタルトキハ其期間ハ之ヲ十年ニ短縮ス

不動産質ノ設定ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ十年ヲ超ユルコトヲ得ス

第三百六十一條　不動産質ニハ本節ノ規定ノ外次章ノ規定ヲ準用ス

第四節　質權ノ目的

第三百六十二條　質權ハ財産權ヲ以テ其目的トスルコトヲ得

前項ノ質權ニハ本節ノ規定ノ外前三節ノ規定ヲ準用ス

第三百六十三條　債權ヲ以テ質權ノ目的トスル場合ニ於テ其債權ノ證書アルトキハ質權ノ設定ハ其證書ノ交付ヲ效力ノ生ス

第三百六十四條　指名債權ヲ以テ質權ノ目的トスルトキハ第四百六十七條ノ規定ニ從ヒ第三債務者ニ質權ノ設定ヲ通知シ又ハ第三債務者カ之ヲ承諾スルニ非サレハ之ヲ以テ第三債務者其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ記名ノ株式ニハ之ヲ適用セス

第三百六十五條　記名ノ社債ノ質入ニ付テハ其社債ノ元本ノ債權者ノ名義ヲ以テ質權者ノ氏名及ヒ住所ヲ社債原簿ニ記載スルニ非サレハ之ヲ以テ會社其他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百六十六條　指圖債權ヲ以テ質權ノ目的トスルトキハ其證書ニ質權ノ設定ヲ裏書スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百六十七條　質權者ハ質權ノ目的タル債權ヲ直接ニ取立ツルコトヲ得

債權ノ目的物カ金錢ナルトキハ質權者ハ自己ノ債權額ニ對スル部分ニ限リ之ヲ取立ツルコトヲ得

右ノ債權ノ辨濟期カ質權者ノ債權ノ辨濟期前ニ到來シタルトキハ質權者ハ第三債務者ヨリ辨濟ノ目的物ヲ供託セシムルコトヲ得此場合ニ於テハ質權ハ其供託金ノ上ニ存在スル債權ノ目的物カ金錢ニ非サルトキハ質權者ハ辨濟ヲ受ケタル物ノ上ニ質權ヲ有ス

第三百六十八條　質權者ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ辨濟ヲ受ケタル物ノ上ニ質權ヲ有ス

第三百六十九條　質權者ハ前條ノ通知ヲ受ケタル後ハ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

第十章　抵當權

第一節　總則

第三百七十條　抵當權者ハ債務者又ハ第三者カ占有ヲ移サスシテ債務ノ擔保ニ供シタル不動産ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

地上權及ヒ永小作權モ亦之ヲ抵當權ノ目的トスルコトヲ得此場合ニ於テハ本章ノ規定ヲ準用ス

第三百七十一條　抵當權ハ抵當地ノ上ニ存スル建物ヲ除ク外其目的タル不動産ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ニ及ブ但設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十二條　前條ノ規定ハ果實ニハ之ヲ適用セス但抵當不動産ノ差押アリタル後又ハ第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケタル後ハ此限ニ在ラス

第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケ又ハ第三百七十二條ノ規定ニ從ヒ抵當權ノ消滅ヲ請求シタルトキハ抵當權者ハ其請求ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十三條　抵當權ハ其擔保スル債權ヨリ分離シテ之ヲ讓渡シ又ハ他ノ債權ノ擔保ト爲スコトヲ得ス

第三百七十四條　抵當權ハ抵當地ノ上ニ存スル建物ヲ除ク外共目的タル不動産ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ニ及ブ但設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十一條　前條ノ規定ハ果實ニハ之ヲ適用セス但抵當不動産ノ差押アリタル後又ハ第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケタル後ハ此限ニ在ラス

第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケ又ハ第三百七十二條ノ規定ニ從ヒ抵當權ノ消滅ヲ請求シタルトキハ抵當權者ハ其請求ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十五條　抵當權ハ債務者又ハ第三者カ抵當不動産ニ付キ所有權、地上權又ハ永小作權ヲ取得シタル時ヨリ三箇月ヲ經過シタル後ニ非サレハ之ヲ實行スルコトヲ得ス

第三百七十六條　抵當權者ハ債務者ニ對シテ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

債務者カ前項ノ請求ヲ拒ミタルトキハ抵當權者ハ裁判所ニ其處分ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十七條　抵當權者ハ債務者カ抵當不動産ニ付キ所有權、地上權又ハ永小作權ヲ取得シタル時ヨリ一箇月以内ニ其取得ノ登記ヲ爲ササルトキハ其期間ノ經過後抵當不動産ニ對シ差押、假差押又ハ假處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十八條　抵當不動産ニ付キ所有權、地上權ヲ買受ケタル第三者カ抵當權者ノ請求ニ應シテ之ニ其代價ヲ辨濟シタルトキハ抵當權ハ其第三者ノ爲メニ消滅ス

第三百七十九條　前條ノ辨濟ヲ以テ質權ノ目的トスル債權ノ辨濟期前ニ到來シタルトキハ質權者ハ第三債務者ニ其旨ヲ通知スルコトヲ得

第三百八十條　第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ爲シタル後チ抵當權者ニ對シ其抵當不動産ニ付キ所有權、地上權ヲ取得シタル原因ヲ以テ抵當權者ニ對抗シ得ル所ノ瑕疵又ハ制限ヲ理由トシテ抵當權者ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲シ又ハ其不動産ニ費シタル有益費ノ償還ヲ請求スルトキハ抵當權者ハ其請求ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十一條　抵當權者カ其抵當權ヲ實行スルニハ債務者ニ對シ先チ其債務ノ辨濟ヲ爲スヘキ旨ヲ命シ其債務ヲ辨濟セサルトキハ其不動産ノ競賣ヲ申立ツルコトヲ要ス

第三百八十二條　抵當權者ハ債務者又ハ第三者カ抵當不動産ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

地上權及ヒ永小作權モ亦之ヲ抵當權ノ目的トスルコトヲ得此場合ニ於テハ本章ノ規定ヲ準用ス

第三百七十九條　抵當權ハ抵當地ノ上ニ存スル建物ヲ除ク外共目的タル不動産ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ニ及ブ但設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百八十條　抵當權者ハ債務者又ハ第三者カ抵當不動産ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

地上權及ヒ永小作權モ亦之ヲ抵當權ノ目的トスルコトヲ得此場合ニ於テハ本章ノ規定ヲ準用ス

第三百八十一條　抵當權者ハ債務者又ハ第三者カ占有ヲ移サスシテ債務ノ擔保ニ供シタル不動産ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

第三百八十二條　抵當權者ハ債務者又ハ第三者カ抵當不動産ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

第一節　總則

第三百七十條　抵當權者ハ債務者又ハ第三者カ占有ヲ移サスシテ債務ノ擔保ニ供シタル不動産ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

地上權及ヒ永小作權モ亦之ヲ抵當權ノ目的トスルコトヲ得此場合ニ於テハ本章ノ規定ヲ準用ス

第三百七十一條　抵當權ハ抵當地ノ上ニ存スル建物ヲ除ク外共目的タル不動産ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ニ及ブ但設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十二條　前條ノ規定ハ果實ニハ之ヲ適用セス但抵當不動産ノ差押アリタル後又ハ第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケタル後ハ此限ニ在ラス

第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケ又ハ第三百七十二條ノ規定ニ從ヒ抵當權ノ消滅ヲ請求シタルトキハ抵當權者ハ其請求ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十三條　抵當權ハ債務者又ハ第三者カ抵當不動産ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

地上權及ヒ永小作權モ亦之ヲ抵當權ノ目的トスルコトヲ得此場合ニ於テハ本章ノ規定ヲ準用ス

第三百七十四條　抵當權ハ抵當地ノ上ニ存スル建物ヲ除ク外共目的タル不動産ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ニ及ブ但設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十一條　前條ノ規定ハ果實ニハ之ヲ適用セス但抵當不動産ノ差押アリタル後又ハ第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケタル後ハ此限ニ在ラス

第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケ又ハ第三百七十二條ノ規定ニ從ヒ抵當權ノ消滅ヲ請求シタルトキハ抵當權者ハ其請求ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十五條　抵當權ハ債務者又ハ第三者カ抵當不動産ニ付キ所有權、地上權又ハ永小作權ヲ取得シタル時ヨリ三箇月ヲ經過シタル後ニ非サレハ之ヲ實行スルコトヲ得ス

第三百七十六條　抵當權者ハ債務者ニ對シテ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ請求スルコトヲ得

債務者カ前項ノ請求ヲ拒ミタルトキハ抵當權者ハ裁判所ニ其處分ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十七條　抵當權者ハ債務者カ抵當不動産ニ付キ所有權、地上權ヲ取得シタル時ヨリ一箇月以内ニ其取得ノ登記ヲ爲ササルトキハ其期間ノ經過後抵當不動産ニ對シ差押、假差押又ハ假處分ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十八條　抵當不動産ニ付キ所有權、地上權ヲ買受ケタル第三者カ抵當權者ノ請求ニ應シテ之ニ其代價ヲ辨濟シタルトキハ抵當權ハ其第三者ノ爲メニ消滅ス

第三百七十九條　前條ノ辨濟ヲ以テ質權ノ目的トスル債權ノ辨濟期前ニ到來シタルトキハ質權者ハ第三債務者ニ其旨ヲ通知スルコトヲ得ス

第三百八十條　第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ爲シタル後チ抵當權者ニ對シ其抵當不動産ニ付キ所有權、地上權ヲ取得シタル原因ヲ以テ抵當權者ニ對抗シ得ル所ノ瑕疵又ハ制限ヲ理由トシテ抵當權者ニ對シ損害賠償ノ請求ヲ爲シ又ハ其不動産ニ費シタル有益費ノ償還ヲ請求スルトキハ抵當權者ハ其請求ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十一條　抵當權者カ其抵當權ヲ實行スルニハ債務者ニ對シ先チ其債務ノ辨濟ヲ爲スヘキ旨ヲ命シ其債務ヲ辨濟セサルトキハ其不動産ノ競賣ヲ申立ツルコトヲ要ス

第三百八十二條　第三取得者ハ前條ノ通知ヲ受ケタルマチハ何時ニテモ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得

第三取得者カ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ一箇月内ニ次條ノ送達ヲ爲スニ非サレハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

前條ノ通知アリタル後三箇月ヲ經過シタル後ハ第三取得者ハ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十三條　第三取得者カ抵當權ヲ滌除セントスルトキハ登記ヲ爲シタル各債權者ニ左ノ書類ヲ送達スルコトヲ要ス

一　取得ノ原因、年月日、讓渡人及ヒ取得者ノ氏名、住所、抵當不動産ノ性質、所在、代價其他取得者ノ負擔ヲ記載シタル書面

二　抵當不動産ニ關スル登記簿ノ謄本但既ニ消滅シタル權利ニ關スル登記ハ之ヲ揭ケルコトヲ要セス

三　債權者カ一箇月内ニ次條ノ規定ニ從ヒ增價競賣ヲ請求セサルトキハ第三取得者ハ第一號ニ揭ケタル代價又ハ特ニ辨濟ヲ以テ其抵當不動産ニ付キ負擔スル全部ノ債權者ニ對シ其各債權ノ順位ニ從ヒ辨濟ヲ爲シ又ハ之ヲ供託スヘキ旨ヲ記載シタル書面

第三百八十四條　債權者カ前條ノ送達ヲ受ケタル後一箇月内ニ增價競賣ヲ請求セサルトキハ抵當不動産ノ買受人ハ其代價ヲ以テ抵當權ノ消滅ヲ承諾シタルモノト看做ス

增價競賣ハ若シ競賣ニ於テ第三取得者カ提供シタル金額ヨリ十分ノ一以上高價ニ抵當不動産ヲ買受ケタル者アルトキニ限リ其不動産ヲ買受ケヘキ旨ヲ附言シ第三取得者ニ對シテモ請求スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ債權者ハ代價及ヒ費用ニ付キ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第三百八十五條　債權者カ增價競賣ヲ請求スルニハ前條ノ期間内ニ債務者及ヒ抵當不動産ノ讓渡人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第三百八十六條　增價競賣ヲ請求シタル債權者ハ競賣ヲ爲スニ非サレハ其請求ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十二條　第三取得者ハ前條ノ通知ヲ受ケタルマチハ何時ニテモ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得

第三取得者カ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ一箇月内ニ次條ノ送達ヲ爲スニ非サレハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

前條ノ通知アリタル後三箇月ヲ經過シタル後ハ第三取得者ハ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十三條　第三取得者カ抵當權ヲ滌除セントスルトキハ登記ヲ爲シタル各債權者ニ左ノ書類ヲ送達スルコトヲ要ス

一　取得ノ原因、年月日、讓渡人及ヒ取得者ノ氏名、住所、抵當不動産ノ性質、所在、代價其他取得者ノ負擔ヲ記載シタル書面

二　抵當不動産ニ關スル登記簿ノ謄本但既ニ消滅シタル權利ニ關スル登記ハ之ヲ揭ケルコトヲ要セス

三　債權者カ一箇月内ニ次條ノ規定ニ從ヒ增價競賣ヲ請求セサルトキハ第三取得者ハ第一號ニ揭ケタル代價又ハ特ニ辨濟ヲ以テ其抵當不動産ニ付キ負擔スル全部ノ債權者ニ對シ其各債權ノ順位ニ從ヒ辨濟ヲ爲シ又ハ之ヲ供託スヘキ旨ヲ記載シタル書面

第三百八十四條　債權者カ前條ノ送達ヲ受ケタル後一箇月内ニ增價競賣ヲ請求セサルトキハ抵當不動産ノ買受人ハ其代價ヲ以テ抵當權ノ消滅ヲ承諾シタルモノト看做ス

增價競賣ハ若シ競賣ニ於テ第三取得者カ提供シタル金額ヨリ十分ノ一以上高價ニ抵當不動産ヲ買受ケヘキ旨ヲ附言シ第三取得者ニ對シテモ請求スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ債權者ハ代價及ヒ費用ニ付キ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第三百八十五條　債權者カ增價競賣ヲ請求スルニハ前條ノ期間内ニ債務者及ヒ抵當不動産ノ讓渡人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第三百八十六條　增價競賣ヲ請求シタル債權者ハ競賣ヲ爲スニ非サレハ其請求ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十二條　第三取得者ハ前條ノ通知ヲ受ケタルマチハ何時ニテモ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得

第三取得者カ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ一箇月内ニ次條ノ送達ヲ爲スニ非サレハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

前條ノ通知アリタル後三箇月ヲ經過シタル後ハ第三取得者ハ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十三條　第三取得者カ抵當權ヲ滌除セントスルトキハ登記ヲ爲シタル各債權者ニ左ノ書類ヲ送達スルコトヲ要ス

一　取得ノ原因、年月日、讓渡人及ヒ取得者ノ氏名、住所、抵當不動産ノ性質、所在、代價其他取得者ノ負擔ヲ記載シタル書面

二　抵當不動産ニ關スル登記簿ノ謄本但既ニ消滅シタル權利ニ關スル登記ハ之ヲ揭ケルコトヲ要セス

三　債權者カ一箇月内ニ次條ノ規定ニ從ヒ增價競賣ヲ請求セサルトキハ第三取得者ハ第一號ニ揭ケタル代價又ハ特ニ辨濟ヲ以テ其抵當不動産ニ付キ負擔スル全部ノ債權者ニ對シ其各債權ノ順位ニ從ヒ辨濟ヲ爲シ又ハ之ヲ供託スヘキ旨ヲ記載シタル書面

第三百八十四條　債權者カ前條ノ送達ヲ受ケタル後一箇月内ニ增價競賣ヲ請求セサルトキハ抵當不動産ノ買受人ハ其代價ヲ以テ抵當權ノ消滅ヲ承諾シタルモノト看做ス

增價競賣ハ若シ競賣ニ於テ第三取得者カ提供シタル金額ヨリ十分ノ一以上高價ニ抵當不動産ヲ買受ケヘキ旨ヲ附言シ第三取得者ニ對シテモ請求スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ債權者ハ代價及ヒ費用ニ付キ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第三百八十五條　債權者カ增價競賣ヲ請求スルニハ前條ノ期間内ニ債務者及ヒ抵當不動産ノ讓渡人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第三百八十六條　增價競賣ヲ請求シタル債權者ハ競賣ヲ爲スニ非サレハ其請求ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十七條　抵當權者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ抵當不動産ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十八條　土地及ヒ其上ニ存スル建物カ同一ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其土地又ハ建物ノミヲ抵當ト爲シタルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ於テ同時ニ共ニ競賣セラルヘキコトヲ定メタルモノトシテ其抵當權ノ效力ハ建物ノミニ及フコトヲ得ス

第三百八十九條　抵當權設定後其設定者カ其抵當地ニ建物ヲ築造シタルトキハ抵當權者ハ土地ト共ニ之ヲ競賣スルコトヲ得但其優先權ハ土地ノ代價ニ付テノミ之ヲ行フコトヲ得

第三百九十條　第三取得者ハ競賣人ヨリ買受ケタル者ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第三百九十一條　第三取得者カ抵當不動産ニ付キ必要費又ハ有益費ヲ出タシタルトキハ第百九十六條ノ區別ニ從ヒ不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ共償還ヲ受クルコトヲ得

第三百九十二條　債權者カ同一ノ債權ノ擔保トシテ數個ノ不動産ノ上ニ抵當權ヲ有スル場合ニ於テ同時ニ共代價ヲ配當スヘキトキハ其各不動産ノ價額ニ準シテ共債權ノ負擔ヲ分ツ

或不動産ノ代價ノミヲ配當スヘキトキハ抵當權者ハ其代價ニ付キ債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得此場合ニ於テハ次ノ順位ニ在ル抵當權者ハ前項ノ規定ニ從ヒ右ノ抵當權者カ他ノ不動産ニ付キ辨濟ヲ受クヘキ金額ニ滿ツルマテ之ニ代位シテ抵當權ヲ行フコトヲ得

第三百九十三條　前條ノ規定ニ從ヒ代位ニ因リテ抵當權ノ登記ニ共ニ登記ヲ爲シタル債權者ハ其抵當不動産ノ代價ヲ以テ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テハ前項ノ規定ニ從ヒ抵當權ヲ行フコトヲ得

第三百九十四條　抵當權者ハ其抵當不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ共債權ノ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノミ他ノ財産ヲ以テ辨濟ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ハ抵當不動産ノ代價ニ先チテ他用セス但他ノ各債權者ハ抵當權者ヲシテ前項ノ規定ニ從ヒ辨濟ヲ受ケシムル之ヲ適配當スヘキ金額ノ供託ヲ請求スルコトヲ得ス第三百二條ニ定メタル期間ヲ超エサル貸借ニハ抵當權ノ登記後ニ登記シテ其辨濟ヲ受ケタル債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百九十五條　第三取得者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ其不動産ハ競賣ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十八條　土地及ヒ其上ニ存スル建物カ同一ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其土地又ハ建物ノミヲ抵當ト爲シタルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ於テ同時ニ共ニ競賣セラルヘキコトヲ定メタルモノトシテ其抵當權ノ效力ハ建物ノミニ及フコトヲ得ス

第三百八十九條　抵當權設定後其設定者カ其抵當地ニ建物ヲ築造シタルトキハ抵當權者ハ土地ト共ニ之ヲ競賣スルコトヲ得但其優先權ハ土地ノ代價ニ付テノミ之ヲ行フコトヲ得

第三百九十條　第三取得者カ抵當不動産ニ付キ必要費又ハ有益費ヲ出タシタルトキハ第百九十六條ノ區別ニ從ヒ不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ共償還ヲ受クルコトヲ得

第三百九十一條　債權者カ同一ノ債權ノ擔保トシテ數個ノ不動産ノ上ニ抵當權ヲ有スル場合ニ於テ同時ニ共各不動産ノ價額ニ準シテ共債權ノ負擔ヲ分ツ

或不動産ノミヲ配當スヘキトキハ抵當權者ハ其代價ニ付キ債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得此場合ニ於テハ次ノ順位ニ在ル抵當權者ハ前項ノ規定ニ從ヒ右ノ抵當權者カ他ノ不動産ニ付キ辨濟ヲ受クヘキ金額ニ滿ツルマテ之ニ代位シテ抵當權ヲ行フコトヲ得

第三百九十二條　前條ノ規定ニ從ヒ代位ニ因リテ抵當權ノ登記ニ共ニ登記ヲ爲シタル債權者ハ其抵當不動産ノ代價ヲ以テ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テハ前項ノ規定ニ從ヒ抵當權ヲ行フコトヲ得

第三百九十三條　抵當權者ハ其抵當不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ共債權ノ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノミ他ノ財産ヲ以テ辨濟ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ハ抵當不動産ノ代價ニ先チテ他用セス但他ノ各債權者ハ抵當權者ヲシテ前項ノ規定ニ從ヒ辨濟ヲ受ケシムル之ヲ適配當スヘキ金額ノ供託ヲ請求スルコトヲ得ス第三百二條ニ定メタル期間ヲ超エサル貸借ニハ抵當權ノ登記後ニ登記シテ其辨濟ヲ受ケタル債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百九十四條　抵當權者ハ其抵當不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ共債權ノ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノミ他ノ財産ヲ以テ辨濟ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ハ抵當不動産ノ代價ニ先チテ他用セス但他ノ各債權者ハ抵當權者ヲシテ前項ノ規定ニ從ヒ辨濟ヲ受ケシムル之ヲ適配當スヘキ金額ノ供託ヲ請求スルコトヲ得ス第三百二條ニ定メタル期間ヲ超エサル貸借ニハ抵當權ノ登記後ニ登記シテ其辨濟ヲ受ケタル債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百九十五條　第三取得者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ其不動産ハ競賣ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十八條　土地及ヒ其上ニ存スル建物カ同一ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其土地又ハ建物ノミヲ抵當ト爲シタルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ於テ同時ニ共ニ競賣セラルヘキコトヲ定メタルモノトシテ其抵當權ノ效力ハ建物ノミニ及フコトヲ得ス

第三百八十九條　抵當權設定後其設定者カ其抵當地ニ建物ヲ築造シタルトキハ抵當權者ハ土地ト共ニ之ヲ競賣スルコトヲ得但其優先權ハ土地ノ代價ニ付テノミ之ヲ行フコトヲ得

第三百九十條　第三取得者ハ競賣人ヨリ買受ケタル者ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第三百九十一條　第三取得者カ抵當不動産ニ付キ必要費又ハ有益費ヲ出タシタルトキハ第百九十六條ノ區別ニ從ヒ不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ共償還ヲ受クルコトヲ得

第三百九十二條　債權者カ同一ノ債權ノ擔保トシテ數個ノ不動産ノ上ニ抵當權ヲ有スル場合ニ於テ同時ニ共各不動産ノ價額ニ準シテ共債權ノ負擔ヲ分ツ

或不動産ノミヲ配當スヘキトキハ抵當權者ハ其代價ニ付キ債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得此場合ニ於テハ次ノ順位ニ在ル抵當權者ハ前項ノ規定ニ從ヒ右ノ抵當權者カ他ノ不動産ニ付キ辨濟ヲ受クヘキ金額ニ滿ツルマテ之ニ代位シテ抵當權ヲ行フコトヲ得

第三百九十三條　前條ノ規定ニ從ヒ代位ニ因リテ抵當權ノ登記ニ共ニ登記ヲ爲シタル債權者ハ其抵當不動産ノ代價ヲ以テ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テハ前項ノ規定ニ從ヒ抵當權ヲ行フコトヲ得ス

第三百九十四條　抵當權者ハ其抵當不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ共債權ノ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノミ他ノ財産ヲ以テ辨濟ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ハ抵當不動産ノ代價ニ先チテ他用セス但他ノ各債權者ハ抵當權者ヲシテ前項ノ規定ニ從ヒ辨濟ヲ受ケシムル之ヲ適配當スヘキ金額ノ供託ヲ請求スルコトヲ得ス第三百二條ニ定メタル期間ヲ超エサル貸借ニハ抵當權ノ登記後ニ登記シテ其辨濟ヲ受ケタル債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百九十五條　第三取得者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ其不動産ハ競賣ヲ請求スルコトヲ得

第三百九十六條　抵當權ハ其擔保スル債權ヨリ分離シテ之ヲ讓渡シ又ハ他ノ債權ノ擔保ト爲スコトヲ得ス

第三百九十七條　抵當權ハ債務者又ハ第三者カ抵當不動産ニ付キ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

地上權及ヒ永小作權モ亦之ヲ抵當權ノ目的トスルコトヲ得此場合ニ於テハ本章ノ規定ヲ準用ス

第三百九十八條　抵當權ハ抵當地ノ上ニ存スル建物ヲ除ク外共目的タル不動産ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ニ及ブ但設定行爲ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百九十九條　前條ノ規定ハ果實ニハ之ヲ適用セス但抵當不動産ノ差押アリタル後又ハ第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケタル後ハ此限ニ在ラス

第三取得者カ第三百八十一條ノ通知ヲ受ケ又ハ第三百七十二條ノ規定ニ從ヒ抵當權ノ消滅ヲ請求シタルトキハ抵當權者ハ其請求ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十一條　抵當權者カ其抵當權ヲ實行スルニハ債務者ニ對シ先チ其債務ノ辨濟ヲ爲スヘキ旨ヲ命シ其債務ヲ辨濟セサルトキハ其不動産ノ競賣ヲ申立ツルコトヲ要ス

第三百八十二條　第三取得者ハ前條ノ通知ヲ受ケタルマチハ何時ニテモ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得

第三取得者カ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ一箇月内ニ次條ノ送達ヲ爲スニ非サレハ抵當權ノ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

前條ノ通知アリタル後三箇月ヲ經過シタル後ハ第三取得者ハ滌除ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十三條　第三取得者カ抵當權ヲ滌除セントスルトキハ登記ヲ爲シタル各債權者ニ左ノ書類ヲ送達スルコトヲ要ス

一　取得ノ原因、年月日、讓渡人及ヒ取得者ノ氏名、住所、抵當不動産ノ性質、所在、代價其他取得者ノ負擔ヲ記載シタル書面

二　抵當不動産ニ關スル登記簿ノ謄本但既ニ消滅シタル權利ニ關スル登記ハ之ヲ揭ケルコトヲ要セス

三　債權者カ一箇月内ニ次條ノ規定ニ從ヒ增價競賣ヲ請求セサルトキハ第三取得者ハ第一號ニ揭ケタル代價又ハ特ニ辨濟ヲ以テ其抵當不動産ニ付キ負擔スル全部ノ債權者ニ對シ其各債權ノ順位ニ從ヒ辨濟ヲ爲シ又ハ之ヲ供託スヘキ旨ヲ記載シタル書面

第三百八十四條　債權者カ前條ノ送達ヲ受ケタル後一箇月内ニ增價競賣ヲ請求セサルトキハ抵當不動産ノ買受人ハ其代價ヲ以テ抵當權ノ消滅ヲ承諾シタルモノト看做ス

增價競賣ハ若シ競賣ニ於テ第三取得者カ提供シタル金額ヨリ十分ノ一以上高價ニ抵當不動産ヲ買受ケヘキ旨ヲ附言シ第三取得者ニ對シテモ請求スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ債權者ハ代價及ヒ費用ニ付キ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第三百八十五條　債權者カ增價競賣ヲ請求スルニハ前條ノ期間内ニ債務者及ヒ抵當不動産ノ讓渡人ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第三百八十六條　增價競賣ヲ請求シタル債權者ハ競賣ヲ爲スニ非サレハ其請求ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十七條　抵當權者カ第三百八十二條ニ定メタル期間内ニ第三取得者ヨリ債務ノ辨濟又ハ滌除ノ通知ヲ受ケサルトキハ其不動産ハ競賣ヲ請求スルコトヲ得

第三百八十八條　土地及ヒ其上ニ存スル建物カ同一ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テ其土地又ハ建物ノミヲ抵當ト爲シタルトキハ抵當權設定者ハ競賣ノ場合ニ於テ同時ニ共ニ競賣セラルヘキコトヲ定メタルモノトシテ其抵當權ノ效力ハ建物ノミニ及フコトヲ得ス

第三百八十九條　抵當權設定後其設定者カ其抵當地ニ建物ヲ築造シタルトキハ抵當權者ハ土地ト共ニ之ヲ競賣スルコトヲ得但其優先權ハ土地ノ代價ニ付テノミ之ヲ行フコトヲ得

第三百九十條　第三取得者ハ競賣人ヨリ買受ケタル者ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第三百九十一條　第三取得者カ抵當不動産ニ付キ必要費又ハ有益費ヲ出タシタルトキハ第百九十六條ノ區別ニ從ヒ不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ共償還ヲ受クルコトヲ得

第三百九十二條　債權者カ同一ノ債權ノ擔保トシテ數個ノ不動産ノ上ニ抵當權ヲ有スル場合ニ於テ同時ニ共各不動産ノ價額ニ準シテ共債權ノ負擔ヲ分ツ

或不動産ノミヲ配當スヘキトキハ抵當權者ハ其代價ニ付キ債權ノ全部ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得此場合ニ於テハ次ノ順位ニ在ル抵當權者ハ前項ノ規定ニ從ヒ右ノ抵當權者カ他ノ不動産ニ付キ辨濟ヲ受クヘキ金額ニ滿ツルマテ之ニ代位シテ抵當權ヲ行フコトヲ得

第三百九十三條　前條ノ規定ニ從ヒ代位ニ因リテ抵當權ノ登記ニ共ニ登記ヲ爲シタル債權者ハ其抵當不動産ノ代價ヲ以テ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テハ前項ノ規定ニ從ヒ抵當權ヲ行フコトヲ得ス

第三百九十四條　抵當權者ハ其抵當不動産ノ代價ヲ以テ最モ先ニ共債權ノ辨濟ヲ受ケサル債權ノ部分ニ付テノミ他ノ財産ヲ以テ辨濟ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ハ抵當不動産ノ代價ニ先チテ他用セス但他ノ各債權者ハ抵當權者ヲシテ前項ノ規定ニ從ヒ辨濟ヲ受ケシムル之ヲ適配當スヘキ金額ノ供託ヲ請求スルコトヲ得ス第三百二條ニ定メタル期間ヲ超エサル貸借ニハ抵當權ノ登記後ニ登記シテ其辨濟ヲ受ケタル債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四百十四條　債權者カ任意ニ債務ノ履行ヲ爲ササルトキハ債權者ハ其强制履行ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但債務ノ性質カ强制履行ヲ許ササル場合ニ於テ其債務カ作爲ヲ目的

務者トノ間ニ混同アリタルトキハ其債務者ハ辨
濟ヲ受シタルモノト看做ス
第四百三十九條　連帶債務者ノ一人カ辨濟ヲ爲シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ共同ノ免責ヲ得タルトキハ其債務者ハ他ノ債務者ニ對シ其各自ノ負擔部分ニ付キ求償權ヲ有ス
前項ノ求償ハ辨濟其他免責アリタル日以後ノ法定利息及ヒ避クルコトヲ得サリシ費用ノ損害ノ賠償ヲ包含ス
第四百四十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ヨリ請求ヲ受ケタルコトヲ他ノ債務者ニ通知セシテ辨濟ヲ爲シ其他自己ノ負擔部分ヲ超ユル額ヲ辨濟シタルトキハ其債務者カ取得シタル權利ハ總テノ債務者ニ對シ其各自ノ負擔部分ニ付キ之ヲ以テ共ノ免責ヲ得タル場合ニ於テ他ノ債務者カ債權者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ヲ有セシトキハ其負擔部分ニ付キ之ヲ以テ共ノ債務者ニ對抗スルコトヲ得但相殺ヲ以テ之ニ對抗シタルトキハ過失アル債務者ハ他ノ債務者ニ對シ其負擔部分ニ付キ賠償ヲ爲スコトヲ要ス
第四百四十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對シ債權ヲ有スル場合ニ於テ他ノ債務者カ相殺ヲ援用セサルトキハ其債務者ハ債權者ニ對シ其負擔部分ニ付キ相殺ヲ爲スコトヲ得
第四百四十五條　連帶債務者ノ一人ニ對スル債權ノ讓渡又ハ其者ニ對スル債務ノ免除ハ他ノ債務者ノ利益ノ爲メニモ其效力ヲ生ス
第四百四十六條　連帶債務者ノ一人ニ對スル債權ノ讓渡又ハ其者ニ對スル債務ノ免除ハ他ノ債務者ノ利益ノ爲メニモ其效力ヲ生ス
第四百四十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百四十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百四十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百五十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百九十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第五百條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得

行ヲ請求シタルトキハ保證人ハ先ツ主タル債務者ニ催告ヲ爲スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得但主タル債務者カ破產ノ宣告ヲ受ケ又ハ其行方カ知レサルトキハ此限ニ在ラス
第四百五十四條　數人ノ保證人アル場合ニ於テ主タル債務カ不可分ナル爲メ又ハ各保證人カ金額ヲ辨濟スヘキ特約アル爲メ一人ノ保證人カ金額其他自己ノ負擔部分ヲ超ユル額ヲ辨濟シタルトキハ第四百四十二條乃至第四百四十四條ノ規定ヲ準用ス
第四百五十五條　第四百五十二條及ヒ第四百五十三條ノ規定ニ依リ保證人ノ請求アリタル時ニ於テ主タル債務者カ辨濟ノ資力アリテ且執行ノ容易ナルコトヲ證明シタルトキハ債權者ハ先ツ主タル債務ノ財產ニ付キ執行ヲ爲スコトヲ要ス
第四百五十六條　保證人カ主タル債務者ト連帶シテ債務ヲ負擔シタルトキハ前二條ニ定メタル權利ヲ有セス
第四百五十七條　第四百五十二條及ヒ第四百五十三條ノ規定ニ依リ保證人ノ請求アリタルニ拘ハラス債權者カ催告又ハ執行ヲ爲スコトヲ怠リ其後主タル債務者ヨリ全部ノ辨濟ヲ得サルトキハ保證人ハ債權者カ直チニ催告又ハ執行ヲ爲セハ辨濟ヲ得ヘカリシ限度ニ於テ共義務ヲ免ル
第四百五十八條　數人ノ保證人アル場合ニ於テハ共保證人カ各別ノ行爲ヲ以テ債務ヲ負擔シタルトキ竝第四百四十二條乃至第四百四十四條ノ規定ハ數人ノ保證人カ同一ノ債務ニ付キ各別ノ契約ヲ以テ保證人ト爲リタル場合ニ之ヲ準用ス
第四百五十九條　主タル債務者ニ對スル履行ノ請求其他時效ノ中斷ハ保證人ニ對シテモ共效力ヲ生ス
保證人ハ主タル債務者ノ債權ニ依リ相殺ヲ以テ債權者ニ對抗スルコトヲ得
第四百五十八條　主タル債務者カ保證人ヲ連帶者トシタル場合ニ於テハ第四百四十條ノ規定ヲ適用ス
第四百五十九條　保證人カ主タル債務者ノ委託ヲ受ケテ保證人ト爲リタル場合ニ於テ過失ナクシテ債權者ニ辨濟スヘキ裁判言渡ヲ受ケ又ハ主タル債務者ニ代ハリテ辨濟ヲ爲シ其他自己ノ財產ヲ以テ債務ノ消滅セシメタル時ニ於テ主タル債務者ニ求償權ヲ有ス
保證人カ善意ニテ債權者ニ辨濟ヲ爲シタル後主タル債務者ニ催告ヲ爲シタル後ト雖モ保證人カ主タル債務者ニ辨濟ノ資力アリテ且執行ノ容易ナルコトヲ證明シタルトキハ債權者ハ先ツ主タル債務ノ財產ニ付キ執行ヲ爲スコトヲ要ス
第四百六十條　保證人カ主タル債務者ト連帶シテ債務ヲ負擔シタルトキハ前二條ニ定メタル權利ヲ有セス
第四百六十一條　前二條ノ規定ニ依リ主タル債務者カ保證人ニ對シテ賠償ヲ爲ス場合ニ於テ債權者カ保證人ニ對シテ辨濟ヲ爲ササル間ハ主タル債務者ハ保證人ヲシテ擔保ヲ供セシメヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得
一　主タル債務者カ破產ノ宣告ヲ受ケ又ハ其行方カ知レサルトキ
二　債務カ辨濟期ノ前ニ在ルトキ但保證契約ノ後債權者カ主タル債務者ニ辨濟ノ資力アリテ且執行ノ容易ナルコトヲ證明シタルトキハ此限ニ在ラス
三　債務ノ辨濟期カ不確定ニシテ且其最長期ヲモ確定スルコトヲ能ハサル場合ニ於テ保證契約ノ後十年ヲ經過シタルトキ
第四百六十一條　前二條ノ規定ニ依リ主タル債務者カ保證人ニ對シテ賠償ヲ爲ス場合ニ於テ債權者カ保證人ヲシテ擔保ヲ供セシメサル間ハ主タル債務者ハ保證人ニ對シテ賠償ヲ爲スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得
第四百六十二條　前二條ノ規定ハ保證人カ債權者ニ對シテ辨濟ヲ爲シ其他自己ノ出捐ヲ以テ共同ノ免責ヲ得タル場合ニ於テ他ノ債務者ニ通知スルコトヲ怠リタル間ニ他ノ債務者カ善意ニテ債權者ニ辨濟ヲ爲シ其他有償ニテ免責ヲ得タルトキハ其債務者ハ自己ノ辨濟其他免責ノ行爲ヲ有效ナリシモノト看做スコトヲ得
第四百六十三條　數人ノ保證人アル場合ニ於テ主タル債務カ不可分ナル爲メ又ハ各保證人カ金額ヲ辨濟スヘキ特約アル爲メ一人ノ保證人カ金額其他自己ノ負擔部分ヲ超ユル額ヲ辨濟シタルトキハ其保證人カ取得シタル權利ハ總テノ保證人ニ對シ其各自ノ負擔部分ニ付キ之ヲ以テ共ノ免責ヲ得タル場合ニ於テ他ノ保證人カ債權者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ヲ有セシトキハ其負擔部分ニ付キ之ヲ以テ共ノ保證人ニ對抗スルコトヲ得但相殺ヲ以テ之ニ對抗シタルトキハ過失アル保證人ハ他ノ保證人ニ對シ其負擔部分ニ付キ賠償ヲ爲スコトヲ要ス
第四百六十四條　連帶債務者ノ一人ニ對スル債權ノ讓渡又ハ其者ニ對スル債務ノ免除ハ他ノ債務者ノ利益ノ爲メニモ其效力ヲ生ス
第四百六十五條　連帶債務者ノ一人ニ對スル債權ノ讓渡又ハ其者ニ對スル債務ノ免除ハ他ノ債務者ノ利益ノ爲メニモ其效力ヲ生ス
第四百六十六條　保證人ハ主タル債務者ノ委託ヲ受ケタル場合ニ於テ過失ナクシテ債權者ニ辨濟スヘキ裁判言渡ヲ受ケ又ハ主タル債務者ニ代ハリテ辨濟ヲ爲シ其他自己ノ財產ヲ以テ債務ノ消滅セシメタル時ニ於テ主タル債務者ニ求償權ヲ有ス
第四百六十七條　保證人カ主タル債務者ノ委託ヲ受ケタル場合ニ於テ過失ナクシテ債權者ニ辨濟スヘキ裁判言渡ヲ受ケ又ハ主タル債務者ニ代ハリテ辨濟ヲ爲シ其他自己ノ財產ヲ以テ債務ノ消滅セシメタル時ニ於テ主タル債務者ニ求償權ヲ有ス
債權者ニ對シテ其負擔部分ノミ付キ求償權ヲ有ス
第四百六十五條　數人ノ保證人ハ先ツ主タル債務者ニ催告ヲ爲スヘキ旨ヲ請求スルコトヲ得但主タル債務者カ破產ノ宣告ヲ受ケ又ハ其行方カ知レサルトキハ此限ニ在ラス
第四百六十六條　數人ノ保證人アル場合ニ於テ主タル債務カ不可分ナル爲メ又ハ各保證人カ金額ヲ辨濟スヘキ特約アル爲メ一人ノ保證人カ金額其他自己ノ負擔部分ヲ超ユル額ヲ辨濟シタルトキハ其保證人カ取得シタル權利ハ總テノ保證人ニ對シ其各自ノ負擔部分ニ付キ之ヲ以テ共ノ免責ヲ得タル場合ニ於テ他ノ保證人カ債權者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ事由ヲ有セシトキハ其負擔部分ニ付キ之ヲ以テ共ノ保證人ニ對抗スルコトヲ得但相殺ヲ以テ之ニ對抗シタルトキハ過失アル保證人ハ他ノ保證人ニ對シ其負擔部分ニ付キ賠償ヲ爲スコトヲ要ス
第四百六十七條　連帶債務者ノ一人ニ對スル債權ノ讓渡又ハ其者ニ對スル債務ノ免除ハ他ノ債務者ノ利益ノ爲メニモ其效力ヲ生ス
第四百六十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百六十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十二條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十三條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十四條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十五條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十六條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十七條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十八條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百七十九條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ爲シタルトキハ他ノ債務者ハ其債務ノ全額ニ付キ消滅ヲ主張スルコトヲ得
第四百八十一條　連帶債務者ノ一人カ債權者ニ對スル債權ヲ以テ相殺ヲ

領ノ權限ヲ有セサル者ニ爲シタル辨濟ハ債權者カ之ニ因リテ利益ヲ受ケタル限度ニ於テノミ其效力ヲ有ス

第四百八十條　受取證書ノ持參人ハ辨濟受領ノ權限アルモノト看做シ但辨濟者カ其權限ナキコトヲ知リタルトキ又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス

第四百八十一條　支拂ノ差止ヲ受ケタル第三債務者カ自己ノ債權者ニ辨濟ヲ爲シタルトキハ差押債權者ハ其受ケタル損害ノ限度ニ於テ更ニ辨濟ヲ爲スヘキ旨ヲ第三債務者ニ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ第三債務者ヨリ其債權者ニ對スル求償權ノ行使ヲ妨ケス

第四百八十二條　債務者カ債權者ノ承諾ヲ以テ其負擔シタル給付ニ代ヘテ他ノ給付ヲ爲シタルトキハ其給付ハ辨濟ト同一ノ效力ヲ有ス

第四百八十三條　債權ノ目的カ特定物ノ引渡ナルトキハ辨濟者ハ其引渡ヲ爲スヘキ時ノ現狀ニテ其物ヲ引渡スコトヲ要ス

第四百八十四條　辨濟ヲ爲スヘキ場所ニ付キ別段ノ意思表示ナキトキハ特定物ノ引渡ハ債權發生ノ當時其物ノ存在セシ場所ニ於テ之ヲ爲シ其他ノ辨濟ハ債權者ノ現時ノ住所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四百八十五條　辨濟ノ費用ニ付キ別段ノ意思表示ナキトキハ其費用ハ債務者之ヲ負擔ス

第四百八十六條　辨濟者ハ辨濟受領者ニ對シテ受取證書ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十七條　債權ノ證書アル場合ニ於テ辨濟者カ全部ノ辨濟ヲ爲シタルトキハ其證書ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十八條　債務者カ同一ノ債權者ニ對シテ同種ノ目的ヲ有スル數個ノ債務ヲ負擔スル場合ニ於テ辨濟ノ提供シタル給付カ總債務ヲ消滅セシムルニ足ラサルトキハ辨濟者ハ給付ノ時ニ於テ其辨濟ヲ充當スヘキ債務ヲ指定スルコトヲ得

第四百八十九條　辨濟者カ前項ノ指定ヲ爲ササルトキハ辨濟受領者ハ其受領ノ時ニ於テ其辨濟ノ充當ヲ爲スコトヲ得但辨濟者カ其充當ニ對シテ異議ヲ述ヘタルトキハ此限ニ在ラス

前二項ノ場合ニ於テ辨濟者カ利息ヲ生スル債務ト元本ヲ生セサル債務トヲ負擔スルトキハ辨濟ハ先ツ利息ニ充當シ尚ホ辨濟ノ殘アルトキハ元本ニ充當ス

第四百九十條　一個ノ債務ノ辨濟トシテ數個ノ給付ヲ爲スヘキ場合ニ於テ辨濟者カ其債務ノ全部ヲ消滅セシムルニ足ラサル給付ヲ爲シタルトキハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十一條　債務者カ一個又ハ數個ノ債務ニ付キ元本ノ外利息及ヒ費用ヲ拂フヘキ場合ニ於テ辨濟者カ其債務ノ全部ヲ消滅セシムルニ足ラサル給付ヲ爲シタルトキハ其給付ハ元本ニ充當シ次ニ利息及ヒ費用ニ充當ス

第四百九十一條　辨濟ノ提供ハ其提供ノ時ヨリ不履行ニ因リテ生スヘキ一切ノ責任ヲ免レシム

第四百九十三條　辨濟ノ提供ハ債務ノ本旨ニ從ヒテ現實ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但債權者カ豫メ其受領ヲ拒ミ又ハ債務ノ履行ニ付キ債權者ノ行爲ヲ要スルトキハ辨濟ノ準備ヲ爲シタルコトヲ通知シテ其受領ヲ催告スルヲ以テ足ル

第四百九十四條　債權者カ辨濟ノ受領ヲ拒ミ又ハ受領スルコトヲ得サルトキハ辨濟者ハ債權者ノ爲メニ辨濟ノ目的物ヲ供託シテ其債務ヲ免ルルコトヲ得辨濟者ノ過失ナクシテ債權者ノ確知スルコト能ハサルトキハ亦同シ

第四百九十五條　供託ハ債務履行地ノ供託所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

供託所ニ付キ法令ニ別段ノ定ナキ場合ニ於テハ裁判所ハ辨濟者ノ請求ニ因リ供託所ノ指定及ヒ供託物保管者ノ選任ヲ爲スコトヲ要ス

供託者ハ遲滯ナク債權者ニ供託ノ通知ヲ爲スコトヲ要ス

第四百九十六條　債權者カ供託ヲ受諾セス又ハ供託ヲ有效ト宣告シタル判決カ確定セサル間ハ辨濟者ハ供託物ヲ取戻スコトヲ得此場合ニ於テハ供託ヲ爲ササリシモノト看做ス

前項ノ規定ハ供託ニ因リテ質權又ハ抵當權カ消滅シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第四百九十七條　辨濟ノ目的物カ供託ニ適セス又ハ其物ニ付キ滅失若ハ毀損ノ虞アルトキハ辨濟者ハ裁判所ノ許可ヲ得之ヲ競賣シ其代價ヲ供託スルコトヲ得其物ノ保存ニ付キ過分ノ費用ヲ要スルトキ亦同シ

第四百九十八條　債務者カ債權者ノ給付ニ對シテ辨濟ヲ爲スニ非サレハ供託物ヲ受取ルコトヲ得ス

第四百九十九條　債務者ノ爲メニ辨濟ヲ爲シタル者ハ其辨濟ト同時ニ債權者ノ承諾ヲ得テ之ニ代位スルコトヲ得

第四百六十七條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百條　辨濟ヲ爲ス正當ノ利益ヲ有スル者ハ辨濟ニ因リテ當然債權者ニ代位ス

第五百一條　前二條ノ規定ニ依リテ債權者ニ代位シタル者ハ自己ノ權利ニ基キ求償ヲ爲スコトヲ得但債權者カ有セシ一切ノ權利ヲ行フコトヲ得但左ノ規定ニ從フコトヲ要ス

一　保證人ハ殘人先取特權、不動產質權又ハ抵當權ノ登記ニ其代位ヲ附記シタルニ非サレハ其先取特權、不動產質權又ハ抵當權ノ目的タル不動產ノ第三取得者ニ對シテ債權者ニ代位セス

二　第三取得者ハ保證人ニ對シテ債權者ニ代位セス

三　第三取得者ノ一人ハ各不動產ノ價格ニ應シタルニ非サレハ他ノ第三取得者ニ對シテ債權者ニ代位セス

四　前號ノ規定ハ自己ノ財產ヲ以テ他人ノ債務ノ擔保ニ供シタル者數人アルトキハ保證人ノ負擔部分ヲ除キ其殘額ニ付キ各財產ノ價格ニ應シタルニ非サレハ之ニ對シテ代位ヲ爲スコトヲ得ス

右ノ場合ニ於テ其財產カ不動產ナルトキハ第一號ノ規定ヲ準用ス

第五百二條　債權ノ一部ニ付キ代位辨濟アリタルトキハ代位者ハ其辨濟シタル價額ニ應シテ債權者ト共ニ其權利ヲ行フ

前項ノ場合ニ於テ債務ノ不履行ニ因ル契約ノ解除ハ債權者ノミニ之ヲ請求スルコトヲ得但代位者ニ其辨濟シタル價額及ヒ其利息ヲ償還スルコトヲ要ス

第五百三條　代位辨濟ハ因リテ全部ノ辨濟ヲ受ケタル債權者ノ債權ニ關スル證書及ヒ其占有ニ在ル擔保物ヲ代位者ニ交付スルコトヲ要ス

債權ノ一部ニ付キ代位辨濟アリタル場合ニ於テハ債權者ハ債權證書ニ其代位ヲ記入シ且代位者ヲシテ其占有ニ在ル擔保物ノ保存ヲ監督セシムルコトヲ要ス

第五百四條　第五百條ノ規定ニ依リテ代位ヲ爲スヘキ者アル場合ニ於テ債權者カ故意又ハ懈怠ニ因リテ其擔保ヲ喪失又ハ減少シタルトキハ代位ヲ爲スヘキ者ハ其喪失又ハ減

少ニ因リ依還ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル限度ニ於テ其責ヲ免ル

第三款　相殺

第五百五條　二人互ニ同種ノ目的ヲ有スル債務ヲ負擔スル場合ニ於テ雙方ノ債務カ辨濟期ニ在ルトキハ各債務者ハ對當額ニ付キ相殺ニ因リテ其債務ノ性質カ之ヲ許ササルトキハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ當事者カ反對ノ意思ヲ表示シタル場合ニハ之ヲ適用セス但其意思表示ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百六條　相殺ハ當事者ノ一方ヨリ其相手方ニ對スル意思表示ニ依リテ之ヲ爲ス但其意思表示ニハ條件又ハ期限ヲ附スルコトヲ得ス

前項ノ意思表示ハ雙方ノ債務カ互ニ相殺ヲ爲スニ適シタル始ニ遡リテ其效力ヲ生ス

第五百七條　相殺ハ雙方ノ債務ノ履行地カ異ナルトキト雖モ之ヲ爲スコトヲ得但相殺ヲ爲ス當事者ハ其相手方ニ對シ之ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スルコトヲ要ス

第五百八條　時效ニ因リテ消滅シタル債權カ其消滅以前ニ相殺ニ適シタル場合ニ於テハ其債權者ハ相殺ヲ爲スコトヲ得

第五百九條　債務カ不法ニ因リテ生シタルトキハ其債務者ハ相殺ヲ以テ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百十條　債權カ差押ヲ禁シタルモノナルトキハ其債務者ハ相殺ヲ以テ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百十一條　支拂ノ差止ヲ受ケタル第三債務者ハ其後ニ取得シタル債權ニ依リ相殺ヲ以テ差押債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百十二條　第四百八十八條乃至第四百九十一條ノ規定ハ相殺ニ之ヲ準用ス

第三款　更改

第五百十三條　當事者カ債務ノ要素ヲ變更スル契約ヲ爲シタルトキハ其債務ハ更改ニ因リテ消滅ス

條件附債務ヲ無條件債務トシ、無條件債務ニ條件ヲ附シ又ハ條件ヲ變更スルハ債務ノ要素ヲ變更スルモノト看做ス債務ノ履行ニ代ヘテ爲替手形ヲ發行スル亦同シ

第五百十四條　更改ニ因リテ生シタル債務ハ更改ノ當時ニ於テ履行ヲ爲スヘキ期間ヲ定メタルトキハ其取消權ヲ拋棄シタルモノト推定ス

第五百十五條　債權者ノ交替ニ因ル更改ハ確定目附アル證書ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百十六條　第四百六十八條第一項ノ規定ハ債務者ノ交替ニ因ル更改ニ之ヲ準用ス

第五百十七條　更改ニ因リテ生シタル債務カ不法ノ原因ノ爲メ又ハ當事者ノ知ラサル事由ニ因リテ成立セス又ハ取消サレタルトキハ舊債務ハ消滅セス

第五百十八條　更改ノ當事者ハ舊債務ノ目的ノ限度ニ於テ其債務ノ擔保ニ供シタル質權又ハ抵當權ヲ新債務ニ移スコトヲ得但第三者ノ之ヲ供シタル場合ニ於テハ其承諾ヲ得ルコトヲ要ス

第四款　免除

第五百十九條　債權者カ債務者ニ對シテ債務ヲ免除スル意思ヲ表示シタルトキハ其債權ハ消滅ス

第五款　混同

第五百二十條　債權及ヒ債務カ同一人ニ歸シタルトキハ其債權ハ消滅ス但其債權カ第三者ノ權利ノ目的タルトキハ此限ニ在ラス

第二章　契約

第一節　總則

第一款　契約ノ成立

第五百二十一條　承諾ノ期間ヲ定メテ爲シタル契約ノ申込ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

申込者カ前項ノ期間内ニ承諾ノ通知ヲ受ケサルトキハ申込ハ其效力ヲ失フ

第五百二十二條　前條ノ場合ニ於テ廣告者ハ其指定シタル行爲ヲ完了スル者ナキ間ハ前ノ廣告ト同一ノ方法ニ依リテ其廣告ヲ取消スコトヲ得但其廣告中ニ取消ヲ爲ササル旨ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ニ定メタル方法ニ依リテ取消ヲ爲スコトヲ能ハサル場合ニ於テハ他ノ方法ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得但其取消ハ之ヲ知リタル者ニ對シテノミ其效力ヲ有ス

廣告者カ其指定シタル行爲ヲ爲シタル者ニ對シテノミ其效力ヲ有ス

第五百二十三條　遲延シタル承諾ハ申込者ニ於テ之ヲ新ナル申込ト看做スコトヲ得

第五百二十四條　承諾ノ期間ヲ定メスシテ隔地者ニ爲シタル申込ハ承諾ノ通知ヲ受クルニ相當ナル期間ヲ之ヲ取消スコトヲ得ス

第五百二十五條　第九十七條第二項ノ規定ハ申込者カ反對ノ意思ヲ表示シ又ハ其相手方カ死亡若ハ能力喪失ノ事實ヲ知リタル場合ニハ之ヲ適用セス

第五百二十六條　隔地者間ノ契約ハ承諾ノ通知ヲ發シタル時ニ成立ス

申込者ノ意思表示又ハ取引上ノ慣習ニ依リ承諾ノ通知ヲ必要トセサル場合ニ於テハ契約ハ承諾ノ意思表示ト認ムヘキ事實アリタル時ニ成立ス

第五百二十七條　申込ノ取消ノ通知カ承諾ノ通知ヲ發シタル後ニ到達シタルモ通常ノ場合ニ於テハ其前ニ到達スヘカリシ時ニ發送シタルモノナルコトヲ知リ得ヘキトキハ承諾者ハ遲滯ナク申込者ニ對シテ其延滯ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

承諾者カ前項ノ通知ヲ怠リタルトキハ契約ハ成立セサリシモノト看做ス

第五百二十八條　承諾者カ申込ニ條件ヲ附シ其他變更ヲ加ヘテ之ヲ承諾シタルトキハ其債務ハ相殺ヲ以テ債權者ニ對抗スルコトヲ得

第五百二十九條　申込者カ前項ノ通知ヲ怠リタルトキハ承諾ノ通知ハ延滯セサリシモノト看做ス

第五百三十條　前條ノ場合ニ於テ廣告者ハ其指定シタル行爲ヲ完了スル者ナキ間ハ前ノ廣告ト同一ノ方法ニ依リテ其廣告ヲ取消スコトヲ得但其廣告中ニ取消ヲ爲ササル旨ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラス

前項ニ定メタル方法ニ依リテ取消ヲ爲スコトヲ能ハサル場合ニ於テハ他ノ方法ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得但其取消ハ之ヲ知リタル者ニ對シテノミ其效力ヲ有ス

第五百三十一條　廣告ニ定メタル行爲ヲ爲シタル者數人アル場合ニ於テ其優等者ノミニ報酬ヲ與フヘキトキハ其廣告ハ應募ノ期間ヲ定メタルトキニ限リ其效力ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テハ應募者中何人ノ行爲カ優等ナルカハ廣告中ニ定メタル者之ヲ判定ス若シ廣告中ニ判定者ヲ定メサリシトキハ應募者之ヲ判定ス

第五百三十二條　廣告ニ定メタル行爲ヲ爲シタル者數人カ同時ニ右ノ行爲ヲ爲シタル場合ニ於テハ各平等ノ割合ヲ以テ報酬ヲ受ケル權利ヲ有ス但報酬カ其性質上分割ニ不便ナルトキ又ハ廣告ニ於テ一人ノミニ之ヲ受ケヘキモノトシタルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ受ケヘキ者ヲ定ム

前二項ノ規定ハ廣告中ニ之ニ異ナリタル意思ヲ表示シタルトキハ之ヲ適用セス

第五百三十三條　廣告ニ定メタル行爲ヲ爲シタル者數人アル場合ニ於テ其優等者ノミニ報酬ヲ與フヘキトキハ其廣告ハ應募ノ期間ヲ定メタルトキニ限リ其效力ヲ有ス

前項ノ場合ニ於テハ應募者中何人ノ行爲カ優等ナルカハ廣告中ニ定メタル者之ヲ判定ス若シ廣告中ニ判定者ヲ定メサリシトキハ應募者之ヲ判定ス

第五百三十四條　第二款　契約ノ效力

第五百三十三條　雙務契約當事者ノ一方ハ相手方カ其債務ノ履行ヲ拒ムコトヲ得但相手方ノ債務ノ履行ヲ提供スルマテハ自己ノ債務ノ履行ヲ拒ムコトヲ得ス此限ニ在ラス

第五百三十四條　特定物ニ關スル物權ノ設定又ハ移轉ヲ以テ雙務契約ノ目的トシタル場合ニ於テハ其物ノ債務者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リテ滅失又ハ毀損シタルトキハ其滅失又ハ毀損ハ債權者ノ負擔ニ歸ス不特定物ニ關スル契約ニ付テハ第四百一條第二項ノ規定ニ依リテ其物カ確定シタル時ヨリ前項ノ規定ヲ適用ス

第五百三十五條　前條ノ規定ハ

第五百四十條　前條ノ場合ニ於テ其ノ判決ニ對スル上訴ノ提起アリタルトキハ其ノ判決ハ確定ヲ遮斷ス

第五百四十一條　前條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百四十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百四十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百四十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百四十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百四十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百四十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百四十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百四十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百六十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百七十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百八十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百九十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百二十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百三十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百四十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百五十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百六十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十六條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十七條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十八條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百八十九條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百九十條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百九十一條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百九十二條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百九十三條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百九十四條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ生ジタルトキハ其ノ訴訟ニ付テハ時效ノ中斷ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百九十五條　第五百四十條ノ場合ニ於テ上訴ノ提起ニ因リ訴訟ノ繫屬ヲ

第六百條　契約ノ本旨ニ反スル使用又ハ收益ニ因リテ生シタル損害ノ賠償及ヒ借主カ出タシタル費用ノ償還ヲ受クタル時ヨリ一年内ニ之ヲ請求スルコトヲ要ス

第七節　賃貸借

第一款　總則

第六百一條　賃貸借ハ當事者ノ一方カ相手方ニ或物ノ使用及ヒ收益ヲ爲サシムルコトヲ約シ相手方カ之ニ其賃金ヲ拂フコトヲ約スル二因リテ其效力ヲ生ス

第六百二條　處分ノ能力又ハ權限ヲ有セサル者カ賃貸借ヲ爲ス場合ニ於テハ其賃貸借ハ左ノ期間ヲ超ユルコトヲ得ス

一　樹木ノ栽植又ハ伐採ヲ目的トスル山林ノ賃貸借ハ十年

二　其他ノ土地ノ賃貸借ハ五年

三　建物ノ賃貸借ハ三年

四　動産ノ賃貸借ハ六个月

第六百三條　前條ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間滿了前土地ニ付テハ一年内建物ニ付テハ三个月内動産ニ付テハ一个月内ニ其更新ヲ爲スコトヲ要ス

第六百四條　賃貸借ノ存續期間ハ二十年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ賃貸借ヲ爲シタルトキハ其期間ハ之ヲ二十年ニ短縮ス

前項ノ期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得但更新ノ時ヨリ二十年ヲ超ユルコトヲ得ス

第六百五條　不動産ノ賃貸借ハ之ヲ登記シタルトキハ爾後其不動産ニ付キ物權ヲ取得シタル者ニ對シテモ其效力ヲ生ス

第六百六條　賃貸人ハ賃貸物ノ使用及ヒ收益ニ必要ナル修繕ヲ爲ス義務ヲ負フ

賃貸人カ賃貸物ノ保存ニ必要ナル行爲ヲ爲サントスルトキハ賃借人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第六百七條　賃貸人カ賃借人ノ意思ニ反シテ保存行爲ヲ爲サントスル場合ニ於テ之カ爲メ賃借人カ賃借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百八條　收益ヲ目的トスル土地ノ賃借人カ不可抗力ニ因リ借賃ヨリ少キ收益ヲ得タルトキハ其收益ノ額ニ至ルマテ借賃ノ減額ヲ請求スルコトヲ得但宅地ノ賃貸借ニ付テハ此限ニ在ラス

第六百九條　前條ノ場合ニ於テ賃借人カ不可抗力ニ因リ引續キ二年以上借賃ヨリ少キ收益ヲ得タルトキハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百十條　賃借物ノ一部カ賃借人ノ過失ニ因ラスシテ滅失シタルトキハ賃借人ハ其滅失シタル部分ノ割合ニ應シテ借賃ノ減額ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ殘存スル部分ノミニテハ賃借人カ賃借ヲ爲シタル目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百十一條　賃貸人ハ賃借人ノ承諾アルニ非サレハ其權利ヲ讓渡シ又ハ賃借物ヲ轉貸スルコトヲ得

賃借人カ前項ノ規定ニ反シテ第三者ヲシテ賃借物ノ使用又ハ收益ヲ爲サシメタルトキハ賃貸人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百十三條　賃借人カ適法ニ賃借物ヲ轉貸シタルトキハ轉借人ハ賃貸人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ借賃ノ前拂ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百十四條　借賃ハ動産、建物及ヒ宅地ニ付テハ毎月末ニ其他ノ土地ニ付テハ毎年末ニ之ヲ拂フコトヲ要ス但收穫季節アルモノニ付テハ其季節後遲滯ナク之ヲ拂フコトヲ要ス

第六百十五條　賃借物ノ修繕ヲ要シ又ハ賃借人ノ過失ニ因リテ其修繕ヲ要スル場合ニ於テハ賃貸人ハ遲滯ナク之ヲ請求スルコトヲ要ス但賃貸人カ賃貸人ノ意思ニ反スル保存行爲ヲ爲サントスル場合ニ於テ之カ爲メ賃借人カ賃借ノ目的ヲ達スルコト能ハサルトキハ賃借人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百十六條　賃借人カ賃貸人ノ意思ニ反シテ賃貸物ノ使用又ハ收益ヲ爲シタルトキハ賃貸人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百十七條　賃借人カ賃貸人ノ承諾ヲ得スシテ賃借權ヲ讓渡シ又ハ賃借物ヲ轉貸シタルトキハ賃貸人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百十八條　賃貸人カ賃借物ノ保存ニ必要ナル行爲ヲ爲サントスルトキハ賃借人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第六百十九條　賃貸借ノ期間滿了ノ後賃借人カ賃貸物ノ使用及ヒ收益ヲ繼續スル場合ニ於テ賃貸人カ之ヲ知リテ異議ヲ述ヘサルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト推定ス但各當事者ハ第六百十七條ノ規定ニ依リテ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得

前賃貸借ニ付キ當事者カ擔保ヲ供シタルトキハ其擔保ハ期間ノ滿了ニ因リテ消滅ス但敷金ハ此限ニ在ラス

第六百二十條　賃貸借ヲ解除シタル場合ニ於テハ其解除ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス但當事者ノ一方ニ過失アリタルトキハ之ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ妨ケス

第六百二十一條　賃借人カ賃借物ヲ返還スルニ付テハ其季節後遲滯ナク之ヲ拂フコトヲ要ス

第六百二十二條　賃借物カ一時使用ノ爲ニ賃貸シタルモノナルコトハ賃貸借ノ成立ノ際ニ明カナリシ場合ニ於テハ第六百十六條第二項ノ規定ニ從ヒ其賃還ヲ爲スコトヲ要ス但裁判所ハ賃借人ノ請求ニ因リ之ニ相當ノ期限ヲ許與スルコトヲ得

第六百二十三條　賃借人カ賃借物ヲ返還スル時ニ於テ其賃借物ノ通常ノ用法ニ因リテ生シタル損耗ヲ原狀ニ復スル義務ヲ負フ但其損耗カ賃貸人ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リテ生シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百二十四條　賃借人カ賃借物ヲ附屬セシメタル物ヲ收去スルコトヲ得但賃借物ヨリ分離スルコト能ハサルトキ又ハ分離スルニ過分ノ費用ヲ要スルトキハ賃貸人ノ承諾ヲ得タル場合ニ限リ之ヲ收去スルコトヲ得

第六百二十五條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對スル賃料債權ニ付キ轉借人ニ對シテ直接ノ義務ヲ負フ但轉借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

第六百二十六條　賃借人カ賃貸人ノ承諾ヲ得スシテ賃借權ヲ讓渡シ又ハ賃借物ヲ轉貸シタルトキハ賃貸人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百二十七條　賃貸借ノ期間ノ定アルトキハ當事者ノ一方カ解約ノ申入ヲ爲シタル日ヨリ左ノ期間ヲ經過シタルニ因リテ賃貸借ハ終了ス

一　土地ニ付テハ一年

二　建物ニ付テハ一个月

三　貸席及ヒ動産ニ付テハ一日

收穫季節アル土地ノ賃貸借ニ付テハ其季節後次ノ耕作ニ著手スル前ニ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ要ス

第六百二十八條　當事者カ賃貸借ノ期間ヲ定メタルモ其一方又ハ各自カ其期間内ニ解約ヲ爲ス權利ヲ留保シタルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十九條　賃貸借ノ期間滿了ノ後賃借人カ賃貸借物ノ使用又ハ收益ヲ繼續スル場合ニ於テ賃貸人カ之ヲ知リテ異議ヲ述ヘサルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト推定ス但各當事者ハ第六百十七條ノ規定ニ依リテ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得

前賃貸借ニ付キ當事者カ擔保ヲ供シタルトキハ其擔保ハ期間ノ滿了ニ因リテ消滅ス但敷金ハ此限ニ在ラス

第六百三十條　賃貸借ヲ解除シタル場合ニ於テハ其解除ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス但當事者ノ一方ニ過失アリタルトキハ之ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ妨ケス

第六百三十一條　賃借人カ賃借物ヲ受取リタル後其引渡前ニ生シタル損害ニ付テハ賃貸人ニ過失アリタルトキニ限リ其賠償ヲ請求スルコトヲ得

第六百三十二條　賃借人カ賃借物ニ付キ費用ヲ支出シタルトキハ賃貸人ニ對シテ直接ニ其償還ヲ請求スルコトヲ得但有益費ニ付テハ賃貸人ノ選擇ニ從ヒ其支出シタル金額又ハ增加シタル價額ヲ償還スルコトヲ要ス

賃借人カ賃貸人ノ意思ニ反シテ支出シタル有益費ニ付テハ賃貸人カ賃貸借ノ終了ノ時ニ於テ其價額ノ增加現存スル場合ニ限リ賃貸人ノ選擇ニ從ヒ其支出シタル金額又ハ增加シタル價額ヲ償還スルコトヲ要ス

第六百三十三條　賃借人カ賃貸人ノ意思ニ反シテ賃借物ヲ轉貸シタルトキハ賃貸人ハ賃貸借ヲ解除スルコトヲ得

第六百三十四條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對スル賃料債權ニ付キ賃借人ニ對シテ直接ノ義務ヲ負フ但轉借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百三十五條　借主カ第三者ヲシテ賃借物ヲ使用收益セシメタルトキハ貸主ハ直チニ契約ヲ解除スルコトヲ得

第六百三十六條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百三十七條　賃借人カ賃貸人ノ承諾ヲ得スシテ賃借權ヲ讓渡シ又ハ賃借物ヲ轉貸シタルトキハ賃貸人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百三十八條　賃借人カ賃貸人ノ承諾ヲ得スシテ賃借權ヲ讓渡シ又ハ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百三十九條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百四十條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百四十一條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百四十二條　注文者カ破産ノ宣告ヲ受クタルトキハ請負人又ハ破産管財人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ請負人ハ其既ニ爲シタル仕事ノ報酬及ヒ其報酬中ニ包含セサル費用ニ付キ財團ノ配當ニ加入スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ各當事者ハ相手方ニ對シ解約ニ因リテ生シタル損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第六百四十三條　委任ハ當事者ノ一方カ法律行爲ヲ爲スコトヲ相手方ニ委託シ相手方カ之ヲ承諾スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第六百四十四條　受任者ハ委任ノ本旨ニ從ヒ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ委任事務ヲ處理スルコトヲ要ス

第六百四十五條　受任者ハ委任者ノ請求アルトキハ何時ニテモ委任事務處理ノ狀況ヲ報告シ又委任終了ノ後ハ遲滯ナク其顚末ヲ報告スルコトヲ要ス

第六百四十六條　受任者ハ委任事務ヲ處理スルニ當リテ受取リタル金錢其他ノ物ヲ委任者ニ引渡スコトヲ要ス其收取シタル果實亦同シ

受任者カ委任者ノ爲メニ自己ノ名ヲ以テ取得シタル權利ハ之ヲ委任者ニ移轉スルコトヲ要ス

第六百四十七條　受任者カ委任者ニ引渡スヘキ金額又ハ其利益ノ爲メニ用ユヘキ金額ヲ自己ノ爲メニ消費シタルトキハ其消費シタル日以後ノ利息ヲ拂フコトヲ要ス但尚ホ損害アリハ其賠償ノ責ニ任ス

第六百四十八條　受任者ハ特約アルニ非サレハ委任者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

受任者カ報酬ヲ受クヘキ場合ニ於テハ委任履行ノ後ニ非サレハ之ヲ請求スルコトヲ得ス但期間ヲ以テ報酬ヲ定メタルトキハ第六百二十四條第二項ノ規定ヲ準用ス

委任カ受任者ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ其履行ノ中途ニテ終了シタルトキハ受任者ハ既ニ爲シタル履行ノ割合ニ應シ

テ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第六百四十九條　委任ハ各當事者ノ何時ニテモ之ヲ解除スルコトヲ得

當事者カ之ヲ解除シタルトキハ其解除カ相手方ニ不利ナル時期ニ於テシタルトキ又ハ相手方ノ利益ヲ專ラ目的トスル委任ヲ解除シタルトキハ其損害ヲ賠償スルコトヲ要ス但已ムコトヲ得サル事由アルトキハ此限ニ在ラス

第六百五十條　委任ハ當事者ノ一方カ死亡シ又ハ破産ノ宣告ヲ受クルニ因リテ終了ス

第六百五十一條　委任ハ當事者ノ一方カ死亡シ又ハ破産ノ宣告ヲ受クルニ因リテ終了スルモ急迫ノ事情アルニ於テハ受任者又ハ其相續人若ハ法定代理人ハ委任者又ハ其相續人若ハ法定代理人ニ於テ委任事務ヲ處理スルニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第六百五十二條　委任ハ當事者ノ一方カ相手方ノ爲メ無償ニテ使用及ヒ收益ヲ爲スコトヲ約シ相手方カ之ヲ受諾スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第六百五十三條　使用貸借ハ當事者ノ一方カ無償ニテ使用及ヒ收益ヲ爲スコトヲ約シ相手方ヨリ或物ヲ受取ルニ因リテ其效力ヲ生ス

第六百五十四條　借主カ契約ニ因リテ定マリタル方法又ハ物ノ性質ニ因リテ定マリタル方法ニ從ヒ其物ノ使用及ヒ收益ヲ爲スコトヲ要ス

借主カ貸主ノ承諾アルニ非サレハ第三者ヲシテ借用物ノ使用又ハ收益ヲ爲サシムルコトヲ得ス

借主カ第二項ノ規定ニ反スル使用又ハ收益ヲ爲シタルトキハ貸主ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百五十五條　借主ハ借用物ノ通常ノ必要費ヲ負擔ス

此他ノ費用ニ付テハ第五百八十三條第二項ノ規定ヲ準用ス

第六百五十六條　第五百五十一條ノ規定ハ使用貸借ニ之ヲ準用ス

第六百五十七條　借主ハ契約ニ定メタル時期ニ於テ借用物ノ返還ヲ爲スコトヲ要ス

當事者カ返還ノ時期ヲ定メサリシトキハ借主ハ契約ニ定メタル目的ニ從ヒ使用及ヒ收益ヲ終ハリタル時ニ於テ返還ヲ爲スコトヲ要ス但其以前ト雖モ使用及ヒ收益ヲ爲スニ足ルヘキ期間ヲ經過シタルトキハ貸主ハ直チニ返還ヲ請求スルコトヲ得

當事者カ返還ノ時期ヲ定メサリシトキハ貸主ハ何時ニテモ返還ヲ請求スルコトヲ得

第六百五十八條　使用貸借ハ借主カ死亡シ又ハ破産ノ宣告ヲ受クルニ因リテ其效力ヲ失フ

第六百五十九條　使用貸借ハ貸主カ死亡スルモ其效力ヲ失ハス

第六百六十條　使用貸借ハ貸主カ借主ニ對シテ有スル損害賠償ノ請求ニ付キ借主カ貸主ノ知ラサル間ニ支出シタル費用ニ付キ貸主ニ對スル償還ノ請求ニ付キ第六百二十條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十一條　使用貸借ハ當事者ノ一方カ相手方ニ或物ヲ引渡シ相手方カ受取リテ返還ヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第六百六十二條　使用貸借ハ書面ニ依ルニ非サレハ之ヲ解除スルコトヲ得但書面ニ依ラサル使用貸借ト雖モ當事者カ既ニ其履行ヲ爲シタル部分ニ付テハ此限ニ在ラス

第六百六十三條　借主カ契約ニ定メタル用法又ハ其物ノ性質ニ因リテ定マリタル用法ニ從ヒ使用又ハ收益ヲ爲サスシテ之ニ因リテ損害ヲ生セシメタルトキハ貸主ハ其損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得但貸主カ其返還ヲ受ケタル時ヨリ六个月内ニ之ヲ請求セサルトキハ此限ニ在ラス

第六百六十四條　借主カ借用物ノ返還ヲ爲スニ付キ數人アルトキハ其債務ハ不可分ニシテ各其全部ノ履行ヲ爲スコトヲ要ス

第六百六十五條　借主カ借用物ノ返還ヲ爲スニ付キ數人アルトキハ貸主ハ其中ノ一人ニ對シテ返還ヲ請求スルコトヲ得

第六百六十六條　第五百九十四條第一項、第五百九十七條第一項及ヒ第五百九十八條ノ規定ハ使用貸借ニ之ヲ準用ス

第三款　賃貸借ノ終了

第六百六十七條　當事者カ賃貸借ノ期間ヲ定メサリシトキハ各當事者ハ何時ニテモ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ賃貸借ハ解約ノ申入ノ後左ノ期間ヲ經過シタルニ因リテ終了ス

一　土地ニ付テハ一年

二　建物ニ付テハ一个月

三　貸席及ヒ動産ニ付テハ一日

收穫季節アル土地ノ賃貸借ニ付テハ其季節後次ノ耕作ニ著手スル前ニ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ要ス但賃貸人カ既ニ之ヲ知レルトキハ此限ニ在ラス

第六百六十八條　當事者カ賃貸借ノ期間ヲ定メタルモ其一方又ハ各自カ其期間内ニ解約ヲ爲ス權利ヲ留保シタルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十九條　賃貸借ノ期間滿了ノ後賃借人カ賃貸物ノ使用又ハ收益ヲ繼續スル場合ニ於テ賃貸人カ之ヲ知リテ異議ヲ述ヘサルトキハ前賃貸借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト推定ス但各當事者ハ第六百十七條ノ規定ニ依リテ解約ノ申入ヲ爲スコトヲ得

前賃貸借ニ付キ當事者カ擔保ヲ供シタルトキハ其擔保ハ期間ノ滿了ニ因リテ消滅ス但敷金ハ此限ニ在ラス

第六百七十條　賃貸借ヲ解除シタル場合ニ於テハ其解除ハ將來ニ向テノミ其效力ヲ生ス但當事者ノ一方ニ過失アリタルトキハ之ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ妨ケス

第六百七十一條　賃借人カ賃借物ヲ修繕ヲ要シ又ハ賃借人ノ過失ニ因リテ其修繕ヲ要スル場合ニ於テハ賃貸人ハ遲滯ナク之ヲ修繕スル義務ヲ負フ賃借人カ賃貸人ノ意思ニ反シテ保存行爲ヲ爲サントスルトキハ賃借人ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

賃借人カ賃貸人ノ意思ニ反シテ賃借物ノ使用又ハ收益ヲ爲シタルトキハ賃貸人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百七十二條　賃借人カ賃貸人ノ承諾ヲ得スシテ賃借權ヲ讓渡シ又ハ賃借物ヲ轉貸シタルトキハ賃貸人ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第六百七十三條　賃借人カ賃貸人ノ承諾ヲ得スシテ賃借權ヲ讓渡シ又ハ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百七十四條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百七十五條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百七十六條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百七十七條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百七十八條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百七十九條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十一條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十二條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十三條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十四條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十五條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十六條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十七條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十八條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百八十九條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百九十條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百九十一條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百九十二條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百九十三條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百九十四條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百九十五條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百九十六條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百九十七條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人ニ對抗シ得ヘキ賃借人ノ賃貸人ニ對スル抗辯ヲ以テ賃貸人ニ對抗スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ賃貸人カ賃借人ニ對シテ其權利ヲ行使スルコトヲ妨ケス

第六百九十八條　賃借人カ賃借物ヲ轉貸シタル場合ニ於テハ賃貸人ハ賃借人ニ對シテ直接ニ義務ヲ負フ此場合ニ於テハ賃借人ハ轉貸ノ當時賃貸人

第六百六十條　前項ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百六十一條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百六十二條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百六十三條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百六十四條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百六十五條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百六十六條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百六十七條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百六十八條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百六十九條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十一條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十二條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十三條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十四條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十五條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十六條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十七條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十八條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百七十九條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十一條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十二條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十三條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十四條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十五條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十六條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十七條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十八條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百八十九條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百九十條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百九十一條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百九十二條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百九十三條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百九十四條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

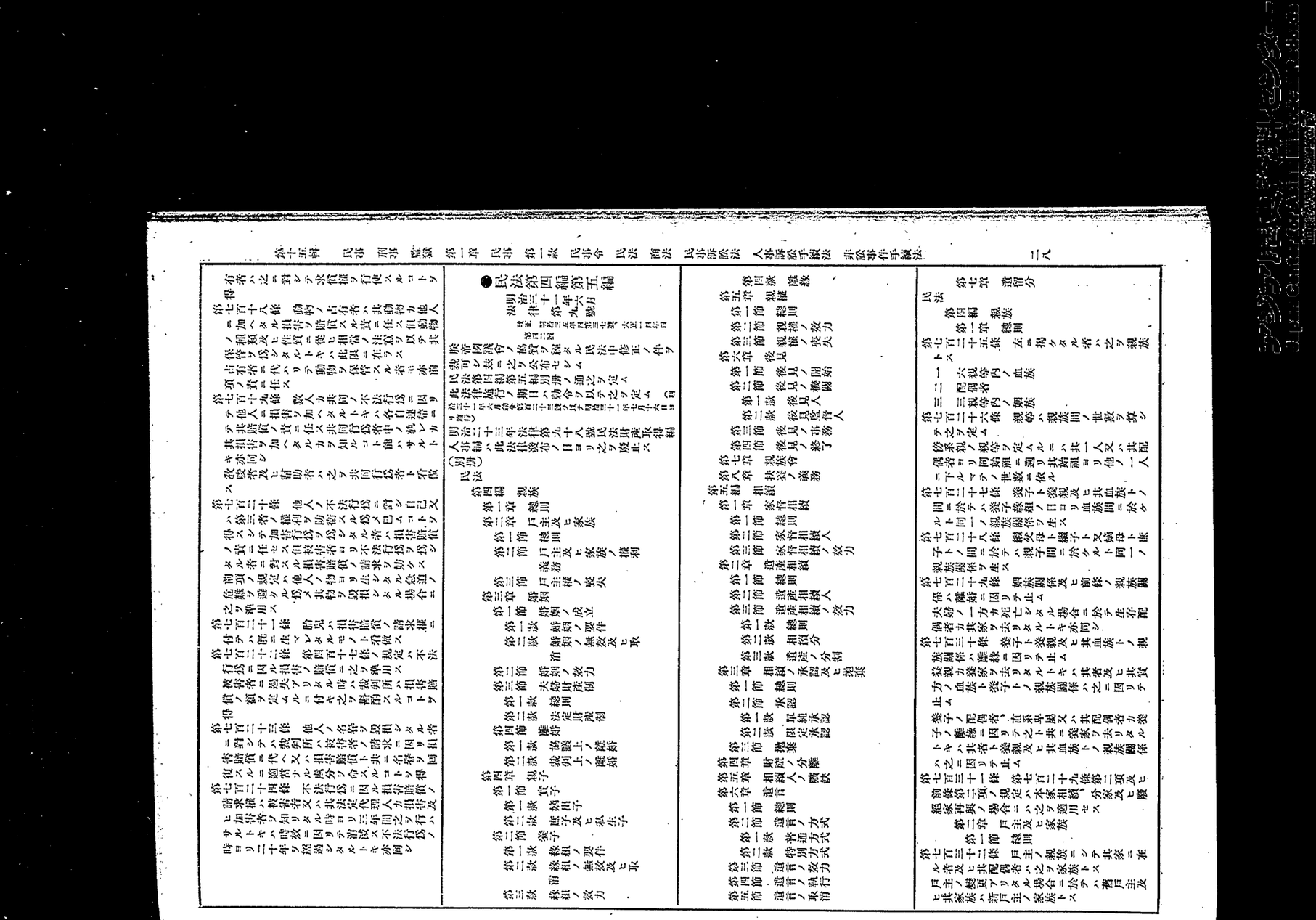
第六百九十五條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百九十六條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百九十七條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百九十八條　第六百五十九條ノ規定ハ人事訴訟ニ關スル事件ニ付テハ之ヲ適用セス

第六百九



第七百七十二條　子カ婚姻ヲ爲スニハ其家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但男カ滿三十年女カ滿二十五年ニ達シタル後ハ此限ニ在ラス

父母ノ一方カ知レサルトキ、死亡シタルトキ、家ヲ去リタルトキ又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ他ノ一方ノ同意ノミヲ以テ足ル

父母共ニ知レサルトキ、死亡シタルトキ、家ヲ去リタルトキ又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキニ非サレハ祖父母カ之ニ代ハリテ同意ヲ與フ

第七百七十三條　繼父母又ハ嫡母カ子ノ婚姻ニ付テハ其家族會ノ同意ヲ得ヘシ

第七百七十四條　禁治産者カ婚姻ヲ爲スニハ其後見人ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス

第七百七十五條　婚姻ノ之ヲ【戸籍吏】ニ届出ツルニ因リテ其效力ヲ生ス

前項ノ届出ハ當事者雙方及ヒ成年ノ證人二人以上ヨリ口頭ニテ又ハ署名シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第七百七十六條　【戸籍吏】カ婚姻カ第七百四十一條第一項、第七百四十四條第一項、第七百五十條第一項、第七百五十四條第一項、第七百六十五條乃至第七百七十三條及ヒ前條第二項ノ規定其他ノ法令ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ其届出ヲ受理スルコトヲ得ス但婚姻カ第七百四十一條第一項又ハ第七百五十條第一項ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テ【戸籍吏】カ注意ヲ爲シタルニ拘ハラス當事者其届出ヲ爲サント欲スルトキハ此限ニ在ラス

第七百七十七條　外國ニ在ル日本人間ニ於テ婚姻ヲ爲サント欲スルトキハ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其届出ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第二款　婚姻ノ無效及ヒ取消

第七百七十八條　婚姻ノ左ノ一ニ該當スルトキハ其無效ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

一　人違其他ノ事由ニ因リ當事者間ニ婚姻ヲ爲ス意思ナキトキ

二　當事者カ婚姻ノ届出ヲ爲ササルトキ但其届出カ第七百七十五條第二項ニ掲ケタル條件ヲ缺クニ止マルトキハ婚姻ハ之カ爲メニ其效力ヲ妨ケラルルコトナシ

第七百七十九條　婚姻ハ後七條ノ規定ニ依ルニ非サレハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第七百八十條　第七百六十五條乃至第七百七十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ各當事者、其戸主、親族又ハ檢事ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但檢事ハ當事者ノ一方カ死亡シタル後ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百六十六條乃至第七百六十八條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ各當事者ノ配偶者又ハ前配偶者ニ亦其取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百八十一條　第七百六十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ不適齡者カ適齡ニ達シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス

不適齡者ハ適齡ニ達シタル後尚ホ三个月間其婚姻ヲ取消ヲ請求スルコトヲ得但適齡ニ達シタル後追認ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第七百八十二條　第七百六十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ前婚ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ六个月ヲ經過シ又ハ女カ再婚後懷胎シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百八十三條　第七百六十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者カ追認ヲ爲シ又ハ強迫ノ狀況止ミタル後六个月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

第七百八十四條　前條ノ取消權ハ左ノ場合ニ於テ消滅ス

一　同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者カ婚姻ノ成立ヲ知リタル後又ハ詐狀ヲ發見シ若クハ強迫ヲ免レタル後六个月ヲ經過シタルトキ

二　同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者カ追認ヲ爲シタルトキ

三　婚姻届出ノ日ヨリ二年ヲ經過シタルトキ

第七百八十五條　詐狀又ハ強迫ニ因リテ婚姻ヲ爲シタル者ハ其婚姻ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ取消權ハ當事者カ詐狀ヲ發見シ若クハ強迫ヲ免レタル後三个月ヲ經過シ又ハ追認ヲ爲シタルトキハ消滅ス

第七百八十六條　婚姻ハ當事者ノ一方カ知レサルトキ、死亡シタルトキ、家ヲ去リタルトキ又ハ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキニ非サレハ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第七百八十七條　第七百六十五條乃至第七百七十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ各當事者ノ親族又ハ檢事ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但檢事ハ當事者ノ一方カ死亡シタル後ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百八十八條　第七百六十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ各當事者ノ配偶者又ハ前配偶者ニ亦其取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百八十九條　第七百六十五條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ不適齡者カ適齡ニ達シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス

不適齡者ハ適齡ニ達シタル後尚ホ三个月間其婚姻ヲ取消ヲ請求スルコトヲ得但適齡ニ達シタル後追認ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第七百九十條　第七百六十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ前婚ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ六个月ヲ經過シ又ハ女カ再婚後懷胎シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百九十一條　第七百六十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者カ追認ヲ爲シ又ハ強迫ノ狀況止ミタル後六个月ヲ經過シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス

不適齡者ハ適齡ニ達シタル後尚ホ三个月間其婚姻ヲ取消ヲ請求スルコトヲ得但適齡ニ達シタル後追認ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第七百九十二條　第七百六十七條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ前婚ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ六个月ヲ經過シ又ハ女カ再婚後懷胎シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百九十三條　第七百六十二條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ同意ヲ爲ス權利ヲ有セシ者カ追認ヲ爲シ又ハ強迫ノ狀況止ミタル後六个月ヲ經過シタルトキハ其取消ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百九十四條　第七百六十五條乃至第七百七十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ各當事者ノ配偶者又ハ前配偶者ニ亦其取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百九十五條　第七百六十五條乃至第七百七十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ各當事者ノ配偶者又ハ前配偶者ニ亦其取消ヲ請求スルコトヲ得

第七百九十六條　第七百六十五條乃至第七百七十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ各當事者、其戸主、親族又ハ檢事ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但檢事ハ當事者ノ一方カ死亡シタル後ハ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第七百九十七條　第七百六十五條乃至第七百七十一條ノ規定ニ違反シタル婚姻ハ各當事者ノ配偶者又ハ前配偶者ニ亦其取消ヲ請求スルコトヲ得

第三章　婚姻

第一節　婚姻ノ成立

第一款　婚姻ノ要件

第七百七十八條　男ハ滿十七年女ハ滿十五年ニ至ラサレハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

第七百七十九條　配偶者アル者ハ重ネテ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

第七百八十條　女ハ前婚ノ解消又ハ取消ノ日ヨリ六个月ヲ經過シタル後ニ非サレハ再婚ヲ爲スコトヲ得ス

但女カ前婚ノ解消又ハ取消ノ時ヨリ懷胎シタル場合ニ於テハ其分娩ノ日ヨリ前項ノ規定ヲ適用セス

第七百八十一條　姦通ニ因リテ離婚又ハ刑ノ宣告ヲ受ケタル者ハ相姦者ト婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

第七百八十二條　直系血族又ハ三親等内ノ傍系血族ノ間ニ於テハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

但養子ト養方ノ傍系血族トノ間ニ在ラス

第七百八十三條　直系姻族ノ間ニ於テハ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス第七百二十九條ノ規定ニ依リ姻族關係ノ止ミタル後亦同シ

第七百八十四條　養子、其配偶者、直系卑屬又ハ其配偶者ト養親又ハ其直系尊屬トノ間ニ於テハ第七百八十四條ノ規定ニ依リ親族關係ノ止ミタル後ト雖モ婚姻ヲ爲スコトヲ得ス

第七百八十五條　養子カ婚姻ノ届出前ニ其財産ニ付キ別段ノ契約ヲ爲ササリシトキハ其財産關係ハ次款ニ定ムル所ニ依ル

第七百八十六條　夫婦カ法定財産制ニ異ナリタル契約ヲ爲シタルトキハ婚姻ノ届出マテニ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ夫婦ノ承繼人及ヒ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七百八十七條　外國人カ夫ノ本國ノ法定財産制ニ異ナリタル契約ヲ爲シタル場合ニ於テ婚姻ノ後日本ノ國籍ヲ取得シ又ハ日本ニ住所ヲ定メタルトキハ一年内ニ其契約ヲ登記スルニ非サレハ日本ニ於テハ之ヲ以テ夫婦ノ承繼人及ヒ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七百八十八條　夫婦ノ財産關係ハ婚姻届出ノ後ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

夫婦ノ一方カ他ノ一方ノ財産ヲ管理スル場合ニ於テ管理ノ失當ニ因リ其財産ヲ危クシタルトキハ他ノ一方ハ自ラ其管理ヲ爲サンコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

共有財産ニ付テハ前項ノ請求ト共ニ共分割ヲ請求スルコトヲ得

第七百八十九條　前條ノ規定又ハ契約ノ結果ニ依リ管理者ヲ變更シ又ハ共有財産ノ分割ヲ爲シタルトキハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ夫婦ノ承繼人及ヒ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二款　法定財産制

第七百九十八條　夫ハ婚姻ヨリ生スル一切ノ費用ヲ負擔ス但主タルトキハ妻之ヲ負擔ス

前項ノ規定ハ第七百九十條及ヒ第八章ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第七百九十九條　夫又ハ女戸主ハ用方ニ從ヒ共配偶者ノ使用及ヒ收益ヲ爲ス權利ヲ有ス

夫又ハ女戸主ハ共配偶者ノ財産ノ果實中ヨリ共債務ノ利息ヲ拂フコトヲ要ス

第八百條　第五百九十五條及ヒ第五百九十八條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百一條　夫ハ妻ノ財産ヲ管理スルコトヲ得ス

夫カ妻ノ財産ヲ管理スルコト能ハサルトキハ妻ハ其財産ヲ管理スル權利ヲ有ス

夫カ管理ノ失當ニ因リテ其財産ヲ危クシタルトキハ妻ハ自ラ其管理ヲ爲サンコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第八百二條　夫カ妻ノ財産ヲ管理シ又ハ妻カ其財産ヲ夫ノ代理人ニ委任シタル場合ニ於テハ妻ハ夫ノ負擔スル債務ヲ辨濟スル爲メ又ハ夫ノ債務ヲ以テ自己ノ債務ト相殺スル爲メ夫ノ財産ヲ處分スルニ付キ夫ノ代理權ヲ有ス

第八百三條　夫カ妻ノ財産ヲ管理シ又ハ妻カ其財産ヲ夫ノ代理人ニ委任シタル場合ニ於テハ妻ハ自己ノ債務ト相殺スル爲メ夫ノ財産ヲ處分スルニ付キ夫ノ代理權ヲ有ス

第八百四條　日常ノ家事ニ付テハ妻ハ夫ノ代理人ト看做ス

夫ハ前項ノ代理權ノ全部又ハ一部ヲ否認スルコトヲ得但之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八百五條　夫カ妻ノ財産ヲ管理シ又ハ妻カ其財産ヲ夫ノ代理人ニ委任シタル場合ニ於テハ自己ノ債務ト相殺スル爲メ夫ノ財産ヲ處分スルニ付キ夫ノ代理權ヲ有ス

第八百六條　第六百五十四條及ヒ第六百五十五條ノ規定ハ夫カ妻ノ財産ヲ管理シ又ハ妻カ夫ノ代理ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八百七條　妻又ハ夫カ婚姻前ヨリ有セル財産及ヒ婚姻中自己ノ名ニ於テ得タル財産ハ共特有財産トス

夫婦ノ孰レニ屬スルカ分明ナラサル財産ハ夫又ハ女戸主ノ財産ト推定ス

第四節　離婚

第一款　協議上ノ離婚

第八百八條　夫婦ハ共協議ヲ以テ離婚ヲ爲スコトヲ得

第八百九條　滿二十五年ニ達セサル者カ協議上ノ離婚ヲ爲スニハ第七百七十二條及ヒ第七百七十三條ノ規定ニ依リ其婚姻ニ付キ同意ヲ爲ス權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百十條　第七百七十四條及ヒ第七百七十五條第一項ノ規定ハ協議上ノ離婚ニ之ヲ準用ス

第八百十一條　【戸籍吏】ハ離婚カ第七百七十五條第二項及ヒ第八百九條ノ規定其他ノ法令ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ其届出ヲ受理スルコトヲ得ス

第八百十二條　第八百二十一條ノ規定ハ協議上ノ離婚ニ之ヲ準用ス

第八百十三條　夫カ妻ノ姦通ヲ理由トシテ離婚ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第八百十四條　妻カ夫ノ姦通ヲ理由トシテ離婚ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百十五條　第八百十三條第四號ニ掲ケタル處刑ノ宣告ヲ受ケタル者ハ其配偶者ニ對シ一ノ事由アルコトヲ理由トシテ離婚ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百十六條　第八百十三條第一號乃至第八號ノ事由ニ因ル離婚ノ訴ハ之ヲ提起スル權利ヲ有スル者カ離婚ノ原因タル事實ヲ知リタル時ヨリ一年ヲ經過シタル後ハ之ヲ提起スルコトヲ得ス其事實發生ノ時ヨリ十年ヲ經過シタル後亦同シ

第八百十七條　第八百十三條第九號ノ事由ニ因ル離婚ノ訴ハ配偶者ノ生死カ分明ナル後ハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百十八條　第八百十三條第十號ノ場合ニ於テ離緣又ハ緣組取消ノ請求アリタルトキハ之ニ附帶シテ離婚ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八百十三條第十號ノ事由ニ因ル離婚ノ訴ハ當事者カ離緣又ハ緣組ノ取消アリタルコトヲ知リタル後三个月ヲ經過シ又ハ離婚請求ノ權利ヲ拋棄シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百十九條　第八百十二條ノ規定ハ裁判上ノ離婚ニ之ヲ準用ス但裁判所ハ子ノ利益ノ爲メ其監護ニ付キ之ニ異ナリタル處分ヲ命スルコトヲ得ス

第四章　親子

第一節　實子

第一款　嫡出子

第八百二十條　妻カ婚姻中ニ懷胎シタル子ハ夫ノ子ト推定ス

婚姻成立ノ日ヨリ二百日後又ハ婚姻ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ三百日内ニ生レタル子ハ婚姻中ニ懷胎シタルモノト推定ス

第八百二十一條　第七百七十七條第一項ノ規定ニ違反シテ再婚ヲ爲シタル女カ分娩シタル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ其子ノ父ヲ定ムルコト能ハサルトキハ裁判所之ヲ定ムス

第八百二十二條　第八百二十一條ノ場合ニ於テ夫ハ子ノ嫡出ナルコトヲ否認スルコトヲ得

第七百七十三條　夫婦カ婚姻ノ届出前ニ其財産ニ付キ別段ノ契約ヲ爲ササリシトキハ其財産關係ハ次款ニ定ムル所ニ依ル

第七百七十四條　夫婦カ法定財産制ニ異ナリタル契約ヲ爲シタルトキハ婚姻ノ届出マテニ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ夫婦ノ承繼人及ヒ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七百七十五條　外國人カ夫ノ本國ノ法定財産制ニ異ナリタル契約ヲ爲シタル場合ニ於テ婚姻ノ後日本ノ國籍ヲ取得シ又ハ日本ニ住所ヲ定メタルトキハ一年内ニ其契約ヲ登記スルニ非サレハ日本ニ於テハ之ヲ以テ夫婦ノ承繼人及ヒ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第七百七十六條　夫婦ノ財産關係ハ婚姻届出ノ後ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

夫婦ノ一方カ他ノ一方ノ財産ヲ管理スル場合ニ於テ管理ノ失當ニ因リ其財産ヲ危クシタルトキハ他ノ一方ハ自ラ其管理ヲ爲サンコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

共有財産ニ付テハ前項ノ請求ト共ニ共分割ヲ請求スルコトヲ得

第七百七十七條　前條ノ規定又ハ契約ノ結果ニ依リ管理者ヲ變更シ又ハ共有財産ノ分割ヲ爲シタルトキハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ夫婦ノ承繼人及ヒ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第二款　法定財産制

第七百七十八條　夫ハ婚姻ヨリ生スル一切ノ費用ヲ負擔ス但主タルトキハ妻之ヲ負擔ス

前項ノ規定ハ第七百九十條及ヒ第八章ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第七百七十九條　夫又ハ女戸主ハ用方ニ從ヒ共配偶者ノ使用及ヒ收益ヲ爲ス權利ヲ有ス

夫又ハ女戸主ハ共配偶者ノ財産ノ果實中ヨリ共債務ノ利息ヲ拂フコトヲ要ス

第八百條　第五百九十五條及ヒ第五百九十八條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百一條　夫ハ妻ノ財産ヲ管理スルコト能ハサルトキハ妻ハ其財産ヲ管理スル權利ヲ有ス

夫カ管理ノ失當ニ因リテ其財産ヲ危クシタルトキハ妻ハ自ラ其管理ヲ爲サンコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第八百二條　夫カ妻ノ財産ヲ管理シ又ハ妻カ其財産ヲ夫ノ代理人ニ委任シタル場合ニ於テハ妻ハ夫ノ負擔スル債務ヲ辨濟スル爲メ又ハ夫ノ債務ヲ以テ自己ノ債務ト相殺スル爲メ夫ノ財産ヲ處分スルニ付キ夫ノ代理權ヲ有ス

第八百三條　夫カ妻ノ財産ヲ管理シ又ハ妻カ其財産ヲ夫ノ代理人ニ委任シタル場合ニ於テハ妻ハ自己ノ債務ト相殺スル爲メ夫ノ財産ヲ處分スルニ付キ夫ノ代理權ヲ有ス

第八百四條　日常ノ家事ニ付テハ妻ハ夫ノ代理人ト看做ス

夫ハ前項ノ代理權ノ全部又ハ一部ヲ否認スルコトヲ得但之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八百五條　夫カ妻ノ財産ヲ管理シ又ハ妻カ其財産ヲ夫ノ代理人ニ委任シタル場合ニ於テハ自己ノ債務ト相殺スル爲メ夫ノ財産ヲ處分スルニ付キ夫ノ代理權ヲ有ス

第八百六條　第六百五十四條及ヒ第六百五十五條ノ規定ハ夫カ妻ノ財産ヲ管理シ又ハ妻カ夫ノ代理ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八百七條　妻又ハ夫カ婚姻前ヨリ有セル財産及ヒ婚姻中自己ノ名ニ於テ得タル財産ハ共特有財産トス

夫婦ノ孰レニ屬スルカ分明ナラサル財産ハ夫又ハ女戸主ノ財産ト推定ス

第四節　離婚

第一款　協議上ノ離婚

第八百八條　夫婦ハ共協議ヲ以テ離婚ヲ爲スコトヲ得

第八百九條　滿二十五年ニ達セサル者カ協議上ノ離婚ヲ爲スニハ第七百七十二條及ヒ第七百七十三條ノ規定ニ依リ其婚姻ニ付キ同意ヲ爲ス權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百十條　第七百七十四條及ヒ第七百七十五條第一項ノ規定ハ協議上ノ離婚ニ之ヲ準用ス

第八百十一條　【戸籍吏】ハ離婚カ第七百七十五條第二項及ヒ第八百九條ノ規定其他ノ法令ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ其届出ヲ受理スルコトヲ得ス

第八百十二條　第八百二十一條ノ規定ハ協議上ノ離婚ニ之ヲ準用ス

第八百十三條　夫カ妻ノ姦通ヲ理由トシテ離婚ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第八百十四條　妻カ夫ノ姦通ヲ理由トシテ離婚ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百十五條　第八百十三條第四號ニ掲ケタル處刑ノ宣告ヲ受ケタル者ハ其配偶者ニ對シ一ノ事由アルコトヲ理由トシテ離婚ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百十六條　第八百十三條第一號乃至第八號ノ事由ニ因ル離婚ノ訴ハ之ヲ提起スル權利ヲ有スル者カ離婚ノ原因タル事實ヲ知リタル時ヨリ一年ヲ經過シタル後ハ之ヲ提起スルコトヲ得ス其事實發生ノ時ヨリ十年ヲ經過シタル後亦同シ

第八百十七條　第八百十三條第九號ノ事由ニ因ル離婚ノ訴ハ配偶者ノ生死カ分明ナル後ハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百十八條　第八百十三條第十號ノ場合ニ於テ離緣又ハ緣組取消ノ請求アリタルトキハ之ニ附帶シテ離婚ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第八百十三條第十號ノ事由ニ因ル離婚ノ訴ハ當事者カ離緣又ハ緣組ノ取消アリタルコトヲ知リタル後三个月ヲ經過シ又ハ離婚請求ノ權利ヲ拋棄シタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百十九條　第八百十二條ノ規定ハ裁判上ノ離婚ニ之ヲ準用ス但裁判所ハ子ノ利益ノ爲メ其監護ニ付キ之ニ異ナリタル處分ヲ命スルコトヲ得ス

第四章　親子

第一節　實子

第一款　嫡出子

第八百二十條　妻カ婚姻中ニ懷胎シタル子ハ夫ノ子ト推定ス

婚姻成立ノ日ヨリ二百日後又ハ婚姻ノ解消若クハ取消ノ日ヨリ三百日内ニ生レタル子ハ婚姻中ニ懷胎シタルモノト推定ス

第八百二十一條　第七百七十七條第一項ノ規定ニ違反シテ再婚ヲ爲シタル女カ分娩シタル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依リ其子ノ父ヲ定ムルコト能ハサルトキハ裁判所之ヲ定ムス

第八百二十二條　第八百二十一條ノ場合ニ於テ夫ハ子ノ嫡出ナルコトヲ否認スルコトヲ得

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第八百二十三條　前條ノ否認權ハ子又ハ其法定代理人ニ對スル訴ニ依リテ之ヲ行フ但夫カ子ノ法定代理人ナルトキハ裁判所ハ特別代理人ヲ選任スルコトヲ要ス

第八百二十四條　夫カ子ノ出生後ニ於テ其嫡出ナルコトヲ承認シタルトキハ其否認權ヲ失フ

第八百二十五條　否認ノ訴ハ夫カ子ノ出生ヲ知リタル時ヨリ一年内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

第八百二十六條　夫カ未成年者ナルトキハ前條ノ期間ハ其成年ニ達シタル時ヨリ之ヲ起算ス但夫カ成年ニ達シタル後ニ子ノ出生ヲ知リタルトキハ此限ニ在ラス

夫カ禁治産者ナルトキハ禁治産ノ取消アリタル後夫カ子ノ出生ヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

第二款　庶子及ヒ私生子

第八百二十七條　私生子ハ其父又ハ母ニ於テ之ヲ認知スルコトヲ得

父カ認知シタル私生子ハ之ヲ庶子トス

第八百二十八條　私生子ノ認知ヲ爲スニハ父又ハ母カ無能力者ナルトキト雖モ其法定代理人ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス

第八百二十九條　私生子ノ認知ヲ爲スニハ父【戶籍吏】ニ屆出ツルニ依リテ之ヲ爲ス

認知ハ證言ニ依リテモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第八百三十條　成年ノ私生子ハ其承諾アルニ非サレハ之ヲ認知スルコトヲ得ス

第八百三十一條　父ハ胎内ニ在ル子ト雖モ之ヲ認知スルコトヲ得此場合ニ於テハ母ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス

父又ハ母ハ死亡シタル子ト雖モ其直系卑屬アルトキニ限リ之ヲ認知スルコトヲ得此場合ニ於テ其直系卑屬カ成年者ナルトキハ其承諾ヲ得ルコトヲ要ス

第八百三十二條　認知ハ出生ノ時ニ遡リテ其效力ヲ生ス但第三者カ既ニ取得シタル權利ヲ害スルコトヲ得ス

第八百三十三條　認知ヲ爲シタル父又ハ母ハ【戶籍吏】ニ屆出ツルニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得

第三款　養子

第八百三十四條　養子ハ養組ノ嫡出子タル身分ヲ取得ス

第八百三十五條　養子ハ養組ノ直系卑屬ニシテ其出生ノ後ニ成立シタル親子關係ヲ有スル者ニ限リ之ヲ養子トスル縁組ヲ爲スコトヲ得

夫ノ嫡出子ニ非サル者ヲ養子トスル縁組ヲ爲スニハ夫ト共ニスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第八百三十六條　養子ハ縁組ノ日ヨリ養親ノ嫡出子タル身分ヲ取得ス

第八百三十七條　養子ハ養親ノ氏ヲ稱ス

第八百三十八條　尊屬又ハ年長者ハ之ヲ養子トスル縁組ヲ爲スコトヲ得ス

第八百三十九條　法定ノ推定家督相續人タル男子又ハ家督ニ在ル女子ハ他ノ家ニ入リテ養子ト爲スコトヲ得ス但女子ハ戶主又ハ其配偶者ノ同意アルニ非サレハ縁組ヲ爲スコトヲ得ス

第八百四十條　後見人ハ被後見人ヲ養子ト爲スコトヲ得ス其任務ノ終了シタル後未タ管理ノ計算ヲ終ラサル間ハ此限ニ在ラス

第八百四十一條　配偶者アル者ハ其配偶者ト共ニスルニ非サレハ縁組ヲ爲スコトヲ得ス

夫婦ノ一方カ他ノ一方ノ子ヲ養子ト爲スニハ他ノ一方ノ同意ヲ得ルヲ以テ足ル

第八百四十二條　前條第一項ノ場合ニ於テ夫婦ノ一方カ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ他ノ一方ノ裁判ヲ以テ縁組ヲ爲スコトヲ得

第八百四十三條　養子ト爲ルヘキ者カ十五年未滿ナルトキハ其家ニ在ル父母之ニ代ハリテ縁組ノ承諾ヲ爲スコトヲ得

第八百四十四條　第八百四十二條ノ場合ニ於テ父カ他ノ一方ノ同意ヲ得ルヲ以テ足ル

第八百四十五條　縁組又ハ婚姻ニ因リテ他家ニ入リタル者カ更ニ養子トシテ他家ニ入ラントスルトキハ實家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但妻カ夫ニ隨ヒテ他家ニ入ルトキハ此限ニ在ラス

第八百四十六條　養子ハ其父母ノ婚姻ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得ス

第八百四十七條　成年ニ達シタル子ハ共ニ縁組ヲ爲スニ非サレハ之ヲ養子トスル縁組ヲ爲スコトヲ得ス

第八百四十八條　尊屬又ハ年長者ハ之ヲ養子トスル縁組ヲ爲スコトヲ得ス

第八百四十九條　【戶籍吏】ハ縁組カ第七百四十一條第一項、第七百五十條第一項及ヒ前十二條ノ規定其他ノ法令ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ其屆出ヲ受理スルコトヲ得ス

第七百七十三條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百五十條　外國ニ在ル日本人間ニ於テ縁組ヲ爲サントスルトキハ其國ニ駐在スル日本ノ公使又ハ領事ニ其屆出ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ第七百七十五條及ヒ前二條ノ規定ヲ準用ス

第二款　縁組ノ無效及ヒ取消

第八百五十一條　縁組ハ左ノ場合ニ限リ無效トス

一　人違其他ノ事由ニ因リ當事者間ニ縁組ヲ爲ス意思ナキトキ

二　當事者カ縁組ノ重要ナル部分ニ付キ錯誤アリタルトキ

第八百五十二條　縁組又ハ婚姻ニ因リテ他家ニ入リタル者カ更ニ養子トシテ他家ニ入ラントスルトキハ實家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但妻カ夫ニ隨ヒテ他家ニ入ルトキハ此限ニ在ラス

第八百五十三條　庶子ハ其父母ノ婚姻ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得ス

婚姻中父母カ認知シタル私生子ハ其認知ノ時ヨリ嫡出子タル身分ヲ取得ス

前二項ノ規定ハ子カ既ニ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二節　養子

第一款　縁組ノ要件

第八百五十四條　成年ニ達シタル者ハ養子ヲ迎フルコトヲ得

第八百五十五條　第八百十條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ養子カ其賞方ノ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第八百五十六條　第八百十四條乃至第八百十六條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ同意ヲ爲シタル者ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第八百五十七條　第八百十四條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但婚姻ノ無效又ハ取消ノ請求ニ附帶シテ縁組ノ取消ヲ請求スルコトヲ妨ケス

前項ノ取消權ハ當事者カ婚姻ノ無效ナルコトヲ知リタル後六箇月ヲ經過シ又ハ追認ヲ爲シタルトキハ消滅ス

第八百五十八條　第七百六十五條及ヒ第七百六十七條ノ規定ハ養子ノ復歸ニ之ヲ準用ス

第八百五十九條　【戶籍吏】ハ縁組カ第七百四十一條第一項、第七百五十條第一項及ヒ前十二條ノ規定其他ノ法令ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ其屆出ヲ受理スルコトヲ得ス

第七百七十三條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百六十條　縁組ノ效力

第八百六十一條　養子ハ縁組ニ因リテ養親ノ家ニ入ル

第四款　離縁

第八百六十二條　縁組ノ當事者ハ其協議ヲ以テ離縁ヲ爲スコトヲ得

養子カ十五年未滿ナルトキハ此離縁ハ養親ト養子ニ代ハリテ縁組ノ承諾ヲ爲ス權利ヲ有スル者ト雖モ協議ヲ以テ之ヲ爲ス

養親カ死亡シタル後養子カ離縁ヲ爲サントスルトキハ戶主ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第八百六十三條　滿二十五年ニ達セサル者カ協議上ノ離縁ヲ爲スニハ第八百四十四條ノ規定ニ依リ其縁組ニ付キ同意ヲ爲ス權利ヲ有スル者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第七百七十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百六十四條　第七百七十七條ノ規定ハ協議上ノ離縁ニ之ヲ準用ス

第八百六十五條　【戶籍吏】ハ離縁カ第七百七十五條第二項、第八百六十二條及ヒ第八百六十三條ノ規定ニ違反セサルコトヲ認メタル後ニ非サレハ其受理ヲ爲スコトヲ得ス

第八百六十六條　第七百七十九條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百六十七條　第七百八十一條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百六十八條　第七百八十二條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百六十九條　第七百八十三條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十條　第七百八十四條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十一條　第七百八十五條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十二條　第七百八十六條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十三條　第七百八十七條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十四條　第七百八十八條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十五條　第七百八十九條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十六條　第七百九十條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十七條　第七百九十一條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十八條　第七百九十二條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百七十九條　第七百九十三條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十條　第七百九十四條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十一條　第七百九十五條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十二條　第七百九十六條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十三條　第七百九十七條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十四條　第七百九十八條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十五條　第七百九十九條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十六條　第八百條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十七條　第八百一條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十八條　第八百二條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百八十九條　第八百三條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十條　第八百四條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十一條　第八百五條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十二條　第八百六條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十三條　第八百七條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十四條　第八百八條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十五條　縁組又ハ婚姻ニ因リテ他家ニ入リタル者カ更ニ養子トシテ他家ニ入ラントスルトキハ實家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但妻カ夫ニ隨ヒテ他家ニ入ルトキハ此限ニ在ラス

第八百九十六條　庶子ハ其父母ノ婚姻ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得ス

婚姻中父母カ認知シタル私生子ハ其認知ノ時ヨリ嫡出子タル身分ヲ取得ス

前二項ノ規定ハ子カ既ニ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二節　養子

第一款　縁組ノ要件

第八百九十七條　成年ニ達シタル者ハ養子ヲ迎フルコトヲ得

第八百九十八條　尊屬又ハ年長者ハ之ヲ養子トスル縁組ヲ爲スコトヲ得ス

第八百九十九條　法定ノ推定家督相續人タル男子又ハ家督ニ在ル女子ハ他ノ家ニ入リテ養子ト爲スコトヲ得ス但女子ハ戶主又ハ其配偶者ノ同意アルニ非サレハ縁組ヲ爲スコトヲ得ス

第九百條　後見人ハ被後見人ヲ養子ト爲スコトヲ得ス其任務ノ終了シタル後未タ管理ノ計算ヲ終ラサル間ハ此限ニ在ラス

第九百一條　配偶者アル者ハ其配偶者ト共ニスルニ非サレハ縁組ヲ爲スコトヲ得ス

夫婦ノ一方カ他ノ一方ノ子ヲ養子ト爲スニハ他ノ一方ノ同意ヲ得ルヲ以テ足ル

第九百二條　前條第一項ノ場合ニ於テ夫婦ノ一方カ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ他ノ一方ノ裁判ヲ以テ縁組ヲ爲スコトヲ得

第九百三條　養子ト爲ルヘキ者カ十五年未滿ナルトキハ其家ニ在ル父母之ニ代ハリテ縁組ノ承諾ヲ爲スコトヲ得

第九百四條　第八百八十七條乃至第八百八十九條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ同意ヲ爲シタル者ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但詐欺ニ因リテ縁組ヲ爲シタル者カ詐欺ヲ發見シタル後三箇月ヲ經過シ又ハ追認ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第九百五條　第八百八十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ養子カ其賞方ノ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百六條　第八百八十八條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第九百七條　第八百八十九條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者カ婚姻ノ無效又ハ取消ヲ理由トシテ縁組ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但婚姻ノ無效又ハ取消ノ請求ニ附帶シテ縁組ノ取消ヲ請求スルコトヲ妨ケス

前項ノ取消權ハ當事者カ婚姻ノ無效ナルコトヲ知リタル後六箇月ヲ經過シ又ハ追認ヲ爲シタルトキハ消滅ス

第九百八條　第七百六十五條及ヒ第七百六十七條ノ規定ハ養子ノ復歸ニ之ヲ準用ス

第九百九條　第七百八十五條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第九百十條　第七百八十六條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第九百十一條　第七百八十七條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第九百十二條　第七百八十八條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第九百十三條　第七百八十九條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第九百十四條　第七百九十條ノ規定ハ養子カ未成年者ナル場合ニ之ヲ準用ス

第九百十五條　縁組又ハ婚姻ニ因リテ他家ニ入リタル者カ更ニ養子トシテ他家ニ入ラントスルトキハ實家ニ在ル父母ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス但妻カ夫ニ隨ヒテ他家ニ入ルトキハ此限ニ在ラス

第九百十六條　庶子ハ其父母ノ婚姻ニ因リテ嫡出子タル身分ヲ取得ス

婚姻中父母カ認知シタル私生子ハ其認知ノ時ヨリ嫡出子タル身分ヲ取得ス

前二項ノ規定ハ子カ既ニ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二節　養子

第一款　縁組ノ要件

第九百十七條　成年ニ達シタル者ハ養子ヲ迎フルコトヲ得

第九百十八條　尊屬又ハ年長者ハ之ヲ養子トスル縁組ヲ爲スコトヲ得ス

第九百十九條　法定ノ推定家督相續人タル男子又ハ家督ニ在ル女子ハ他ノ家ニ入リテ養子ト爲スコトヲ得ス但女子ハ戶主又ハ其配偶者ノ同意アルニ非サレハ縁組ヲ爲スコトヲ得ス

第九百二十條　後見人ハ被後見人ヲ養子ト爲スコトヲ得ス其任務ノ終了シタル後未タ管理ノ計算ヲ終ラサル間ハ此限ニ在ラス

第九百二十一條　配偶者アル者ハ其配偶者ト共ニスルニ非サレハ縁組ヲ爲スコトヲ得ス

夫婦ノ一方カ他ノ一方ノ子ヲ養子ト爲スニハ他ノ一方ノ同意ヲ得ルヲ以テ足ル

第九百二十二條　前條第一項ノ場合ニ於テ夫婦ノ一方カ其意思ヲ表示スルコト能ハサルトキハ他ノ一方ノ裁判ヲ以テ縁組ヲ爲スコトヲ得

第九百二十三條　養子ト爲ルヘキ者カ十五年未滿ナルトキハ其家ニ在ル父母之ニ代ハリテ縁組ノ承諾ヲ爲スコトヲ得ス

第九百二十四條　第九百十七條乃至第九百十九條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ同意ヲ爲シタル者ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但詐欺ニ因リテ縁組ヲ爲シタル者カ詐欺ヲ發見シタル後三箇月ヲ經過シ又ハ追認ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百二十五條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ養子カ其賞方ノ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百二十六條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第九百二十七條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ養子カ其賞方ノ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百二十八條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百二十九條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十一條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十二條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十三條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十四條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十五條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十六條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十七條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十八條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百三十九條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百四十條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百四十一條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百四十二條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百四十三條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百四十四條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百四十五條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百四十六條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百四十七條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第九百四十八條　第九百十七條ノ規定ニ違反シタル縁組ハ各當事者、其戶主又ハ親族ヨリ其取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但管理ノ計算カ終ハリタル後養子カ追認ヲ爲シ又ハ六箇月ヲ經過シタルトキハ此限ニ在ラス

追認ハ養子カ成年ニ達シ又ハ能力ヲ回復シタル後之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

養子カ成年ニ達セス又ハ能力ヲ回復セサル間ニ管理ノ計算カ終ハリタル場合ニ於テハ第一項但書ノ期間ハ養子カ成年ニ達

五十五條ノ規定ハ父又ハ母カ子ノ財産ヲ管理スル場合及ヒ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十四條　親權ヲ行ヒタル父若クハ母又ハ親族會員ト共ニ子ノ爲ニ財產ノ管理ニ付テ生シタル債權ハ共管理權消滅ノ時ヨリ五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

子カ未タ成年ニ達セサル間ニ管理權カ消滅シタルトキハ前項ノ期間ハ共子カ成年ニ達シ又ハ後任ノ決定代理人カ就職シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第八百九十五條　權親ヲ行フ父又ハ母ハ共未成年ノ子ニ代ハリテ戶主權及ヒ親權ヲ行フ

第三節　親權ノ喪失

第八百九十六條　父又ハ母カ親權ヲ濫用シ又ハ著シク不行跡ナルトキハ裁判所ハ子ノ親族又ハ檢事ノ請求ニ因リ其親權ノ喪失ヲ宣告スルコトヲ得

第八百九十七條　親權ヲ行フ父又ハ母カ管理ノ失當ニ因リテ其子ノ財產ヲ危シタルトキハ裁判所ハ子ノ親族又ハ檢事ノ請求ニ因リ其管理權ノ喪失ヲ宣告スルコトヲ得

父カ前項ノ宣告ヲ受ケタルトキハ管理權ハ家ニ在ル母之ヲ行フ

第八百九十八條　前二條ニ定メタル原因カ止ミタルトキハ裁判所ハ本人又ハ其親族ノ請求ニ因リ共權ノ宣告ヲ取消スコトヲ得

第八百九十九條　親權ヲ行フ母カ財產ヲ管理セサルトキハ後見人ノ開始

第六章　後見

第一節　後見ノ開始

第九百條　後見人ノ左ノ場合ニ於テ開始ス

一　未成年者ニ對シテ親權ヲ行フ者ナキトキ又ハ親權ヲ行フ者カ管理權ヲ有セサルトキ

二　禁治產ノ宣告アリタルトキ

第二節　後見人

第一款　後見人ノ被關

第九百一條　未成年者ニ對シテ最後ニ親權ヲ行フ者ハ遺言ヲ以テ後見人ヲ指定スルコトヲ得但管理權ヲ有セサル者ハ此限ニ在ラス

親權ヲ行フ父又ハ母カ管理ノ失當ニ因リテ共子ノ財產ヲ危シタルトキハ裁判所ハ子ノ親族又ハ檢事ノ請求ニ因リ其管理權ノ喪失ヲ宣告スルコトヲ得

第八百九十八條　前二條ニ定メタル原因カ止ミタルトキハ裁判所ハ本人又ハ其親族又ハ檢事ノ請求ニ因リ共權ノ宣告ヲ取消スコトヲ得

第八百九十九條　親權ヲ行フ父又ハ母カ財產ヲ管理セサルトキハ後見人ノ開始

第六章　後見

第一節　後見ノ開始

第九百條　後見人ノ左ノ場合ニ於テ開始ス

一　未成年者ニ對シテ親權ヲ行フ者ナキトキ又ハ親權ヲ行フ者カ管理權ヲ有セサルトキ

二　禁治產ノ宣告アリタルトキ

第二節　後見人

第一款　後見人ノ被關

第九百一條　未成年者ニ對シテ最後ニ親權ヲ行フ者ハ遺言ヲ以テ後見人ヲ指定スルコトヲ得但管理權ヲ有セサル者ハ此限ニ在ラス

親權ヲ行フ父又ハ母カ共任務ヲ懈シ、親權ヲ行ヒタル父若クハ母カ家ヲ去リ又ハ戶主カ隱居ヲ爲シタルニ因リ後見人ヲ選任スル必要ヲ生シタルトキハ共父、母又ハ後見人ニ選滯ナク親族會ヲ招集シ又ハ共招集ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要ス

第九百六條　後見人ハ一人タルコトヲ要ス

第九百七條　後見人ハ婦女ヲ除ク外左ノ事由アル非サレハ其任務ヲ辭スルコトヲ得ス

一　軍人トシテ現役ニ服スルコト

二　被後見人ノ住所ノ市又ハ郡以外ニ於テ公務ニ從事スルコト

三　自己ヨリ先ニ後見人タルヘキ者ニ付キ本條又ハ次條ニ揭ケタル事由ノ存セシ場合ニ於テ其事由カ消滅シタルコト

四　禁治產者ニ付テハ十年以上後見ヲ爲シタルコト但配偶者、直系血族及ヒ戶主ハ此限ニ在ラス

五　此他正當ノ事由

第九百八條　左ニ揭ケタル者ハ後見人タルコトヲ得ス

一　未成年者

二　禁治產者及準禁治產者

三　剝奪公權者及ヒ停止公權者

四　裁判所ニ於テ免黜セラレタル法定代理人又ハ母ト同一ノ權利義務ヲ有スル但親權ヲ行フ父又ハ母カ子ノ財產ヲ管理スル場合及ヒ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十四條　親權ヲ行ヒタル父若クハ母又ハ親族會員ト共ニ子ノ爲ニ財產ノ管理ニ付テモ其責ヲ免ルルコトヲ得ス但母ニ過失カリシトキハ此限ニ在ラス

第八百九十五條　權親ヲ行フ父又ハ母ハ自己ノ爲メニスルト同一ノ注意ヲ以テ其管理權ヲ行フコトヲ要ス

母ハ親族會ノ同意ヲ得テ爲シタル行爲ニ付テモ其責ヲ免ルルコトヲ得ス但母ニ過失カリシトキハ此限ニ在ラス

第八百九十六條　子カ成年ニ達シタルトキハ親權ヲ行ヒタル父又ハ母ハ遲滯ナク其管理ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス但共子ノ財產ノ收益ニ付テハ此限ニ在ラス

第八百九十七條　前條但書ノ規定ハ無償ニテ子ニ財產ヲ與フル第三者カ反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ其財產ニ付テハ之ヲ適用セス

第八百九十八條　無償ニテ子ニ財產ヲ與フル第三者カ親權ヲ行フ父又ハ母ヲシテ之ヲ管理セシメサル意思ヲ表示シタルトキハ其財產ハ父又ハ母ノ管理ニ屬セサルモノトス

前項ノ場合ニ於テ第三者カ管理者ヲ指定セサリシトキハ裁判所カ子、其親族又ハ檢事ノ請求ニ因リ共管理者ヲ選任ス

第三者カ管理者ヲ指定シタルトキ雖モ共管理者ノ權限カ消滅シ又ハ之ヲ改任スル必要アル場合ニ於テ第三者カ更ニ管理者ヲ指定セサリシトキハ亦同シ

第二十七條乃至第二十九條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八百九十九條　第六百四十四條、第九百七條及ヒ第九百八條ノ規定ハ後見人ニ之ヲ準用ス

第三節　後見ノ事務

第九百十條　後見人ハ遲滯ナク被後見人ノ財產ノ調査ニ著手シ一个月內ニ其調査ヲ終ハリ且其目錄ヲ調製スルコトヲ要ス但此期間ハ親族會ニ於テ之ヲ伸長スルコトヲ得

財產ノ調査ニ著手シ一个月內ニ其調査ヲ終ハリ且其目錄ヲ調製スルコトヲ要ス但此期間ハ親族會ニ於テ之ヲ伸長スルコトヲ得

財產ノ調査及ヒ其目錄ノ調製ハ後見監督人ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スニ非サレハ其效ナシ

後見人カ前二項ノ規定ニ從ヒ財產ノ目錄ヲ調製セサルトキハ親族會ハ之ヲ免黜スルコトヲ得

第九百十一條　後見人ハ目錄ノ調製ヲ終ハルマテハ急迫ノ必要アル行爲ノミヲ爲ス權限ヲ有ス但之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ要ス

後見人カ前二項ノ規定ニ從ヒ財產ノ目錄ヲ調製セサルトキハ親族會ハ之ヲ免黜スルコトヲ得

第九百十二條　後見人カ被後見人ニ對シ債權ヲ有シ又ハ債務ヲ負フトキハ財產ノ調査ニ著手スル前ニ之ヲ後見監督人ニ申出ツルコトヲ要ス

後見人カ被後見人ニ對シ債權ヲ有スルコトヲ知リテ之ヲ申出テサルトキハ其債權ヲ失フ

後見人カ被後見人ニ對シ債務ヲ負フコトヲ知リテ之ヲ申出テサルトキハ親族會ハ其後見人ヲ免黜スルコトヲ得

第九百十三條　前三條ノ規定ハ後見人カ就職ノ後被後見人カ包括財產ヲ取得シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四節　後見ノ終了

第九百十四條　後見ノ終了スルトキハ後見人又ハ共相續人ニ其管理ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス但此期間ハ親族會ノ同意ヲ得テ後見人ニ之ヲ定ムル

後見人ハ被後見人ノ財產ヲ管理シ又其財產ニ關スル法律行爲ニ付キ被後見人ヲ代表ス

第九百十五條　後見人ハ其就職ノ初ニ於テ後見監督人ノ同意ヲ得テ被後見人ノ生活、教育又ハ療養看護及ヒ財產ノ管理ノ爲メ毎年費スヘキ金額ヲ豫定スルコトヲ要ス

前項ノ豫定額ハ親族會ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得サル場合ニ於テ豫定額ヲ超ユル金額ヲ支出スルコトヲ妨ケス

第九百十六條　後見人ハ後見人及ヒ被後見人ノ資力ニ應シテ共療養看護ヲ力ムルコトヲ要ス

禁治產者ヲ瘋癲病院ニ入レ又ハ私宅ニ監置スルト否トハ親族會ノ同意ヲ得テ後見人之ヲ定ム

第九百十七條　後見人ハ後見監督人ノ財產ヲ管理シ又其財產ニ關スル法律行爲ニ付キ被後見人ヲ代表ス

第九百十八條　後見人ハ其就職ノ初ニ於テ親族會ノ同意ヲ得テ被後見人ノ生活、教育又ハ療養看護及ヒ財產ノ管理ノ爲メ毎年費スヘキ金額ヲ豫定スルコトヲ要ス

第九百十九條　後見人ハ其就職ノ初ニ於テ後見監督人ノ立會ヲ以テ之ヲ爲ス

第九百二十條　後見人ハ後見監督人ノ更迭アリタル場合ニ於テハ後見人ノ計算ハ親族會ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十一條　禁治產者ノ後見人ハ禁治產者ノ資力ニ應シテ共療養看護ヲ力ムルコトヲ要ス

第九百二十二條　後見人ハ其就職ノ初ニ於テ後見監督人ノ同意ヲ得テ被後見人ノ財產ヲ調查シ且其目錄ヲ調製スルコトヲ要ス

後見人カ前項ノ調查ヲ爲ス前ニ急迫ノ必要アル行爲ヲ爲シタルトキハ其目錄ヲ調製スルコトヲ要ス

第九百二十三條　後見人ハ其就職ノ初ニ於テ後見監督人ノ同意ヲ得テ被後見人ノ財產ヲ管理スル方法及ヒ居所ヲ定ムルコトヲ要ス

後見人ハ後見監督人ノ同意ヲ得ルニ非サレハ被後見人ヲ其居所ヨリ引離シ又ハ其財產ニ付キ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　賃貸借ヲ除ク外被後見人ノ財產ヲ處分スル行爲

二　被後見人ノ爲メニスル債務ヲ引受ケ又ハ保證スル行爲

三　被後見人ノ爲メニスル贈與ヲ受ケ又ハ之ヲ拒絕スル行爲

四　訴ヲ提起シ又ハ和解若クハ仲裁契約ヲ爲ス行爲

五　不動產ニ關スル權利ヲ得喪スル行爲

六　被後見人ノ爲メニ動產ヲ買入レ又ハ賣却スル行爲

七　借財又ハ保證ヲ爲ス行爲

八　不動產ニ關スル賃貸借ヲ爲ス行爲

九　前各號ニ掲ケタル行爲ヲ爲スノ代理權ヲ他人ニ與フル行爲

後見人カ前項ノ規定ニ從ヒ後見監督人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得但善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九百二十四條　後見人ハ其就職ノ初ニ於テ後見監督人ノ立會ヲ以テ之ヲ爲ス

第九百二十五條　後見人ハ後見監督人ノ更迭アリタル場合ニ於テハ後見人ノ計算ハ親族會ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス

第九百二十六條　禁治產者ノ後見人ハ禁治產者ノ資力ニ應シテ共療養看護ヲ力ムルコトヲ要ス

第九百二十七條　後見人ハ其就職ノ初ニ於テ後見監督人ノ同意ヲ得テ被後見人ノ生活、教育又ハ療養看護及ヒ財產ノ管理ノ爲メ毎年費スヘキ金額ヲ豫定スルコトヲ要ス

前項ノ豫定額ハ親族會ノ同意ヲ得ルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得サル場合ニ於テ豫定額ヲ超ユル金額ヲ支出スルコトヲ妨ケス

第九百二十八條　後見人ハ後見監督人ノ同意ヲ得テ被後見人ノ財產ヲ處分スル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　賃貸借ヲ除ク外被後見人ノ財產ヲ處分スル行爲

二　被後見人ノ爲メニスル贈與ヲ受ケ又ハ之ヲ拒絕スル行爲

三　被後見人ノ爲メニスル債務ヲ引受ケ又ハ保證スル行爲

四　訴ヲ提起シ又ハ和解若クハ仲裁契約ヲ爲ス行爲

五　不動產ニ關スル權利ヲ得喪スル行爲

六　被後見人ノ爲メニ動產ヲ買入レ又ハ賣却スル行爲

七　借財又ハ保證ヲ爲ス行爲

八　不動產ニ關スル賃貸借ヲ爲ス行爲

九　前各號ニ掲ケタル行爲ヲ爲スノ代理權ヲ他人ニ與フル行爲

後見人カ前項ノ規定ニ從ヒ後見監督人ノ同意ヲ得スシテ爲シタル行爲ハ之ヲ取消スコトヲ得但善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九百二十九條　後見人ハ後見監督人ノ財產ヲ管理スル場合及ヒ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九百二十四條　後見人ハ

テ親族會員ヲ選定スルコトヲ得

第九百四十六條　遠隔ノ地ニ居住スル者其他正當ノ事由アル者ハ親族會員タルコトヲ辭スルコトヲ得

後見人、後見監督人及ヒ保佐人ハ親族會員タルコトヲ得ス

第九百八條ノ規定ハ親族會員ニ之ヲ準用ス

第九百四十七條　親族會ノ議事ハ會員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

會員ハ自己ノ利害ニ關スル議事ニ付キ表決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第九百四十八條　本人、戸主、家ニ在ル父母、配偶者、未家並ニ分家ノ戸主、後見人、後見監督人及ヒ保佐人ハ親族會ニ於テ其意見ヲ述フルコトヲ得

親族會ノ招集ハ前項ニ揭ケタル者ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

第九百四十九條　無能力者ノ爲メニ設ケタル親族會ハ其者ノ無能力ノ止ムマテ繼續ス但親族會ハ最初ノ招集ノ場合ヲ除ク外本人、其法定代理人、後見監督人、保佐人又ハ會員之ヲ招集ス

第九百五十條　親族會ニ缺員ヲ生シタルトキハ會員ノ補缺員ノ選定ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要ス

第九百五十一條　親族會ノ決議ニ對シテハ一个月内ニ會員又ハ第九百四十四條ニ揭ケタル者ヨリ其不服ヲ裁判所ニ訴フルコトヲ得

第九百五十二條　親族會カ決議ヲ爲スコト能ハサルトキハ會員ノ其決議ニ代ハルヘキ裁判ヲ爲スコトヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第九百五十三條　第六百四十四條ノ規定ハ親族會員ニ之ヲ準用ス

第八章　扶養ノ義務

第九百五十四條　直系血族及ヒ兄弟姉妹ハ互ニ扶養ヲ爲ス義務ヲ負フ

夫婦ノ一方ト他ノ一方ノ直系尊屬ニシテ其家ニ在ル者トノ間亦同シ

第九百五十五條　扶養ノ義務ヲ負フ者數人アル場合ニ於テ其義務ノ履行ノ方法ニ付キ協議ヲ調ハサルトキハ家庭裁判所ハ左ノ順序ニ從ヒ扶養ヲ爲スコトヲ要ス

第一　直系尊屬

第二　直系卑屬

第三　兄弟姉妹

第四　戸主

第五　前條第二項ニ揭ケタル者

第六　兄弟姉妹

直系卑屬又ハ直系尊屬ノ間ニ於テハ其親等ノ最モ近キ者ヲ先ニス前條第二項ニ揭ケタル直系尊屬間亦同シ

第九百五十六條　同順位ノ扶養義務者數人アル場合ニ於テ扶養ヲ受クル權利ヲ有スル者數人アル場合ニ於テ扶養義務者ノ資力カ其余員ヲ扶養スルニ足ラサルトキハ扶養義務者ハ左ノ順序ニ從ヒ扶養ヲ爲スコトヲ要ス

第一　直系尊屬

第二　直系卑屬

第三　配偶者

第四　戸主

第五　前條第二項ニ揭ケタル者

第六　兄弟姉妹

直系卑屬又ハ直系尊屬ノ間ニ於テハ親等ノ最モ近キ者ヲ先ニス前條第二項ニ揭ケタル直系尊屬間亦同シ

第九百五十六條　同順位ノ扶養義務者數人アル場合ニ於テ扶養義務ヲ分擔スル協議ヲ調ハサルトキハ各其資力ニ應シテ其義務ヲ分擔ス

第九百五十七條　扶養ヲ受クル權利ヲ有スル者數人アル場合ニ於テ扶養義務者ノ資力カ其全員ヲ扶養スルニ足ラサルトキハ扶養義務者ハ左ノ順序ニ從ヒ扶養ヲ爲スコトヲ要ス

第一　直系尊屬

第二　直系卑屬

第三　配偶者

第四　第九百五十四條第二項ニ揭ケタル者

第五　兄弟姉妹

第六　前五號ニ揭ケタル者ニ非サル家族

第九百五十五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九百五十八條　同順位ノ扶養權利者數人アルトキハ各其需要ニ應シテ扶養ヲ受クルコトヲ得

第九百五十六條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九百五十九條　扶養ノ義務ハ扶養ヲ受クヘキ者カ自己ノ資産又ハ勞務ニ依リテ生活ヲ爲スコト能ハサルトキニノミ存在ス自己ノ資産ニ依リテ教育ヲ受クルコト能ハサルトキ亦同シ

兄弟姉妹間ニ在リテハ扶養ノ義務ハ扶養ヲ受クル必要カ之ヲ受クヘキ者ノ過失ニ因ラシテ生シタルトキニノミ存在ス俱扶養義務者カ戸主ナルトキハ此限ニ在ラス

第九百六十條　扶養ノ程度又ハ方法カ判決ノ後ニ於テ其判決ノ根據ト爲リタル事情ニ變更ヲ生シタルトキハ當事者ハ其判決ノ變更又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第九百六十一條　扶養ノ程度又ハ方法カ判決ニ因リテ定マリタル場合ニ於テ其判決ノ根據ト爲リタル事情ニ變更ヲ生シタルトキハ當事者ハ其判決ノ變更又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第九百六十二條　扶養ノ程度又ハ方法カ判決ノ後ニ於テ其判決ノ根據ト爲リタル事情ニ變更ヲ生シタルトキハ當事者ハ其判決ノ變更又ハ取消ヲ請求スルコトヲ得

第九百六十三條　扶養ヲ受クル權利ハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第五編　相續

第一章　家督相續

第一節　總則

第九百六十四條　家督相續ハ左ノ事由ニ因リテ開始ス

一　戸主ノ死亡、隱居又ハ國籍喪失

二　戸主カ婚姻又ハ養子緣組ノ取消ニ因リテ其家ヲ去リタルトキ

三　女戸主ノ入夫婚姻又ハ入夫ノ離婚

第九百六十五條　家督相續ハ被相續人ノ住所ニ於テ開始ス

第九百六十六條　家督相續回復ノ請求權ハ家督相續人又ハ其法定代理人カ相續權侵害ノ事實ヲ知リタル時ヨリ五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス相續開始ノ時ヨリ二十年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第九百六十七條　相續財産ニ關スル費用ハ其財産中ヨリ之ヲ支拂ス但家督相續人ノ過失ニ因ルモノハ此限ニ在ラス

前項ニ揭ケタル費用ハ遺留分權利者カ贈與ノ減殺ニ因リテ得タル財産ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ要ス

第二節　家督相續人

第九百六十八條　胎兒ハ家督相續ニ付テハ既ニ生マレタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ胎兒カ死體ニテ生マレタルトキハ之ヲ適用セス

第九百六十九條　左ニ揭ケタル者ハ家督相續人タルコトヲ得ス

一　故意ニ被相續人又ハ家督相續ニ付キ先順位ニ在ル者ヲ死ニ致シ又ハ死ニ致サントシタル爲メ刑ニ處セラレタル者

二　被相續人ノ殺害セラレタルコトヲ知リテ之ヲ告發又ハ告訴セサリシ者但其者ニ是非ノ辨別ナキトキ又ハ殺害者カ自己ノ配偶者若クハ直系血族ナリシトキハ此限ニ在ラス

三　詐欺又ハ强迫ニ因リ被相續人カ相續ニ關スル遺言ヲ爲シ、之ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ妨ケタル者

四　詐欺又ハ强迫ニ因リ被相續人ヲシテ相續ニ關スル遺言ヲ爲サシメ、之ヲ取消サシメ又ハ之ヲ變更セシメタル者

五　相續ニ關スル被相續人ノ遺言書ヲ僞造、變造、毀滅又ハ隱匿シタル者

第九百七十條　被相續人ノ家族タル直系尊屬ハ左ノ規定ニ從ヒ家督相續人タラス

一　親等ノ異ナリタル者ノ間ニ在リテハ近キ者ヲ先ニス

二　親等ノ同シキ者ノ間ニ在リテハ男ヲ先ニス

三　親等ノ同シキ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニス

四　親等ノ同シキ嫡出子、庶子及ヒ私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及ヒ庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス

五　前四號ニ揭ケタル事項ニ付キ相同シキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第九百七十一條　被相續人ノ家族タル直系尊屬ハ左ノ規定ニ從ヒ家督相續人タラス

一　親等ノ異ナリタル者ノ間ニ在リテハ近キ者ヲ先ニス

二　親等ノ同シキ者ノ間ニ在リテハ男ヲ先ニス

三　親等ノ同シキ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニス

四　親等ノ同シキ嫡出子、庶子及ヒ私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及ヒ庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス

五　前四號ニ揭ケタル事項ニ付キ相同シキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第九百七十二條　被相續人ノ家族タル直系尊屬ハ左ノ規定ニ從ヒ家督相續人タラス

一　親等ノ異ナリタル者ノ間ニ在リテハ近キ者ヲ先ニス

二　親等ノ同シキ者ノ間ニ在リテハ男ヲ先ニス

三　親等ノ同シキ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニス

四　親等ノ同シキ嫡出子、庶子及ヒ私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及ヒ庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス

五　前四號ニ揭ケタル事項ニ付キ相同シキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第九百七十三條　法定ノ推定家督相續人ハ其順位ニ於テ家督相續人タルヘキ者カ相續ノ開始前ニ死亡シ又ハ第九百七十條ノ規定ニ依リテ其相續權ヲ失ヒタル場合ニ於テ其者ニ直系卑屬アルトキハ其直系卑屬ノ前條ノ規定ニ從ヒ其者ト同順位ニ於テ遺産相續人タル

第九百七十四條　被相續人ノ直系卑屬ハ左ノ規定ニ從ヒ遺産相續人タルヘキ者ノ間ニ在リテハ其近キ者ヲ先ニス

一　親等ノ同シキ者ハ同順位ニ於テ遺産相續人タル

第九百七十五條　前條ノ規定ニ依リテ遺産相續人タルヘキ者カ相續ノ開始前ニ死亡シ又ハ其相續權ヲ失ヒタル場合ニ於テ其者ニ直系卑屬アルトキハ其直系卑屬ノ前條ノ規定ニ從ヒ其者ト同順位ニ於テ遺産相續人タル

第九百七十六條　前二條ノ規定ニ依リテ遺産相續人タルヘキ者ナキ場合ニ於テ遺産相續ハ被相續人ノ配偶者ニ之ヲ適用ス

第二節　遺産相續人

第九百七十七條　被相續人ノ直系卑屬ハ左ノ規定ニ從ヒ遺産相續人タル

一　親等ノ異ナリタル者ノ間ニ在リテハ近キ者ヲ先ニス

二　親等ノ同シキ者ノ間ニ在リテハ其人數ニ從ヒ均分ス但シ代襲相續人又ハ再代襲相續人アルトキハ其親等ニ拘ハラス被相續人ノ子ニ付キ定メタル相續分ニ從ヒ其相續分ヲ受ケ其相續分ニ付キ更ニ均分ス

第九百七十八條　遺留分ヲ有スル推定遺産相續人カ被相續人ニ對シテ虐待ヲ爲シ又ハ之ニ重大ナル侮辱ヲ加ヘタルトキハ被相續人ハ其推定遺産相續人ノ廢除ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第九百七十九條　被相續人ハ何時ニテモ推定遺産相續人ノ廢除ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第九百八十條　前條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續ノ效力

第九百八十一條　家督相續人ハ相續開始ノ時ヨリ前戸主ノ有セシ權利義務ヲ承繼ス但前戸主ノ一身ニ專屬セルモノハ此限ニ在ラス

第九百八十二條　系譜、祭具及ヒ墳墓ノ所有權ハ家督相續ノ特權ニ屬ス

第九百八十三條　隱居者又ハ入夫婚姻ヲ爲ス女戸主ハ確定日附アル證書ニ依リテ其財産ヲ留保スルコトヲ得但家督相續人ノ遺留分ニ關スル規定ニ違反スルコトヲ得ス

第九百八十四條　隱居又ハ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ其前戸主ニ對シテ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

入夫婚姻ノ取消又ハ入夫ノ離婚ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ入夫カ戸主タリシ間ニ負擔シタル債務ノ辨濟ハ其入夫ニ對シテ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第九百八十五條　前條ノ規定ニ依リテ家督相續人タル者ナキトキハ親族會ハ被相續人ノ親族、家族、分家ノ戸主又ハ本家若クハ分家ノ家族中ヨリ家督相續人ヲ選定ス

前項ニ揭ケタル者ノ中ニ家督相續人タルヘキ者ナキトキハ親族會ハ他人ノ中ヨリ之ヲ選定ス

親族會ハ正當ノ事由アル場合ニ限リ前二項ノ規定ニ拘ハラス裁判所ノ許可ヲ得テ他人ヲ選定スルコトヲ得

第三節　家督相續ノ效力

第九百八十六條　家督相續人ハ相續開始ノ時ヨリ前戸主ノ有セシ權利義務ヲ承繼ス但前戸主ノ一身ニ專屬セルモノハ此限ニ在ラス

第九百八十七條　系譜、祭具及ヒ墳墓ノ所有權ハ家督相續ノ特權ニ屬ス

第九百八十八條　隱居者又ハ入夫婚姻ヲ爲ス女戸主ハ確定日附アル證書ニ依リテ其財産ヲ留保スルコトヲ得但家督相續人ノ遺留分ニ關スル規定ニ違反スルコトヲ得ス

第九百八十九條　隱居又ハ入夫婚姻ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ其前戸主ニ對シテ辨濟ノ請求ヲ爲スコトヲ得

入夫婚姻ノ取消又ハ入夫ノ離婚ニ因ル家督相續ノ場合ニ於テハ入夫カ戸主タリシ間ニ負擔シタル債務ノ辨濟ハ其入夫ニ對シテ之ヲ請求スルコトヲ得ス

第九百九十條　國籍喪失者ノ家督相續人ハ戸主權及ヒ家督相續ノ特權ニ屬スル權利ノミヲ承繼ス但遺留分及ヒ前戸主カ特ニ指定シタル相續財産ヲ承繼スルコトヲ妨ケス

國籍喪失者カ國籍ノ喪失ニ因リテ共有スル權利ヲ享有スルコトヲ得サルニ至リタル場合ニ於テ一年内ニ之ヲ讓渡ササルトキハ其權利ハ家督相續人ニ歸屬ス

第九百九十一條　國籍喪失ニ因ル家督相續人ノ場合ニ於テハ前戸主ノ債權者ハ家督相續人ニ對シテ之ヲ辨濟スル責ニ任ス

第二章　遺産相續

第一節　總則

第九百九十二條　遺産相續ハ家族ノ死亡ニ因リテ開始ス

第九百九十三條　第九百六十五條乃至第九百六十八條ノ規定ハ遺産相續ニ之ヲ準用ス

第二節　遺産相續人

第九百九十四條　被相續人ノ直系卑屬ハ左ノ規定ニ從ヒ遺産相續人タル

一　親等ノ異ナリタル者ノ間ニ在リテハ近キ者ヲ先ニス

二　親等ノ同シキ者ノ間ニ在リテハ其人數ニ從ヒ均分ス但シ代襲相續人又ハ再代襲相續人アルトキハ其親等ニ拘ハラス被相續人ノ子ニ付キ定メタル相續分ニ從ヒ其相續分ヲ受ケ其相續分ニ付キ更ニ均分ス

第九百九十五條　前條ノ規定ニ依リテ遺産相續人タルヘキ者カ相續ノ開始前ニ死亡シ又ハ其相續權ヲ失ヒタル場合ニ於テ其者ニ直系卑屬アルトキハ其直系卑屬ノ前條ノ規定ニ從ヒ其者ト同順位ニ於テ遺産相續人タル

第九百九十六條　前二條ノ規定ニ依リテ遺産相續人タルヘキ者ナキ場合ニ於テ遺産相續ハ被相續人ノ配偶者ニ之ヲ適用ス

第三節　戸主相續

第九百九十七條　戸主カ死亡シタル場合ニ於テハ前項ノ場合ニ於テ其家ニ在ル父母アルトキハ父母共ニ之ヲ相續ス

第九百九十八條　戸主カ婚姻又ハ養子緣組ノ取消ニ因リテ其家ヲ去リタルトキハ其者ハ從前ノ家ニ復ス但妻カ入夫婚姻ニ因リテ他家ニ入リタル場合ハ此限ニ在ラス

第九百九十九條　女戸主カ入夫婚姻ニ因リテ他家ニ入リタルトキハ其者ハ從前ノ家ニ復ス但妻カ入夫婚姻ニ因リテ他家ニ入リタル場合ハ此限ニ在ラス

第一千條　女戸主カ入夫ノ離婚ニ因リテ他家ニ入リタルトキハ其者ハ從前ノ家ニ復ス但妻カ入夫ノ離婚ニ因リテ他家ニ入リタル場合ハ此限ニ在ラス

第一千一條　女戸主カ入夫ノ離婚ニ因リテ他家ニ入リタル場合ニ於テハ其者ハ從前ノ家ニ復スルコトヲ得

第一千二條　第九百七十四條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千三條　第九百七十五條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千四條　第九百七十六條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千五條　第九百七十七條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千六條　第九百七十八條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千七條　第九百七十九條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第四節　姉妹

第一千八條　第九百七十四條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千九條　第九百七十五條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十條　第九百七十六條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十一條　第九百七十七條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十二條　第九百七十八條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十三條　第九百七十九條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十四條　第九百七十四條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十五條　第九百七十五條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十六條　第九百七十六條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十七條　第九百七十七條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十八條　第九百七十八條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千十九條　第九百七十九條ノ規定ハ戸主ノ相續ニ之ヲ準用ス

第二節　遺産相續

第一千二十條　相續ハ被相續人ノ家督相續ニ付キ先順位ニ在ル者ヲ死ニ致シ又ハ死ニ致サントシタル爲メ刑ニ處セラレタル者

二　被相續人ノ殺害セラレタルコトヲ知リテ之ヲ告發又ハ告訴セサリシ者但其者ニ是非ノ辨別ナキトキ又ハ殺害者カ自己ノ配偶者若クハ直系血族ナリシトキハ此限ニ在ラス

三　詐欺又ハ强迫ニ因リ被相續人カ相續ニ關スル遺言ヲ爲シ、之ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ妨ケタル者

四　詐欺又ハ强迫ニ因リ被相續人ヲシテ相續ニ關スル遺言ヲ爲サシメ、之ヲ取消サシメ又ハ之ヲ變更セシメタル者

五　相續ニ關スル被相續人ノ遺言書ヲ僞造、變造、毀滅又ハ隱匿シタル者

第一千二十一條　被相續人又ハ家督相續ニ付キ先順位ニ在ル者ヲ死ニ致シ又ハ死ニ致サントシタル爲メ刑ニ處セラレタル者

二　被相續人ノ殺害セラレタルコトヲ知リテ之ヲ告發又ハ告訴セサリシ者但其者ニ是非ノ辨別ナキトキ又ハ殺害者カ自己ノ配偶者若クハ直系血族ナリシトキハ此限ニ在ラス

三　詐欺又ハ强迫ニ因リ被相續人カ相續ニ關スル遺言ヲ爲シ、之ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ妨ケタル者

四　詐欺又ハ强迫ニ因リ被相續人ヲシテ相續ニ關スル遺言ヲ爲サシメ、之ヲ取消サシメ又ハ之ヲ變更セシメタル者

五　相續ニ關スル被相續人ノ遺言書ヲ僞造、變造、毀滅又ハ隱匿シタル者

第一千二十二條　被相續人ノ直系尊屬ハ左ノ規定ニ從ヒ家督相續人タラス

一　親等ノ異ナリタル者ノ間ニ在リテハ近キ者ヲ先ニス

二　親等ノ同シキ者ノ間ニ在リテハ男ヲ先ニス

三　親等ノ同シキ男又ハ女ノ間ニ在リテハ嫡出子ヲ先ニス

四　親等ノ同シキ嫡出子、庶子及ヒ私生子ノ間ニ在リテハ嫡出子及ヒ庶子ハ女ト雖モ之ヲ私生子ヨリ先ニス

五　前四號ニ揭ケタル事項ニ付キ相同シキ者ノ間ニ在リテハ年長者ヲ先ニス

第一千二十三條　被相續人ノ家族タル直系尊屬ハ左ノ規定ニ從ヒ家督相續人タラス

一　親等ノ異ナリタル者ノ間ニ在リテハ近キ者ヲ先ニス

二　親等ノ同シキ者ノ間ニ在リテハ男ヲ先ニス

第一千二十四條　第一千二十二條ノ規定ハ遺産相續ニ之ヲ準用ス

第一千二十五條　第一千二十三條ノ規定ハ遺産相續ニ之ヲ準用ス

第一千二十六條　第一千二十二條ノ規定ハ遺産相續ニ之ヲ準用ス

第一千二十七條　第一千二十三條ノ規定ハ遺産相續ニ之ヲ準用ス

第三節　姉妹

第一千二十八條　第一千二十四條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千二十九條　第一千二十五條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千三十條　第一千二十六條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千三十一條　第一千二十七條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千三十二條　第一千二十八條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千三十三條　第一千二十九條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千三十四條　第一千三十條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千三十五條　第一千三十一條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千三十六條　第一千三十二條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

第一千三十七條　第一千三十三條ノ規定ハ姉妹ノ相續ニ之ヲ準用ス

コトヲ得

第千條　第九百七十六條及ヒ第九百七十八條ノ規定ハ推定遺産相續人ノ廢除及ヒ其取消ニ之ヲ準用ス

第三節　遺産相續ノ效力

第一款　總則

第千一條　遺産相續人ハ相續開始ノ時ヨリ被相續人ノ財産ニ屬セシ一切ノ權利義務ヲ承繼ス但被相續人ノ一身ニ專屬セシモノハ此限ニ在ラス

第千二條　遺産相續人數人アルトキハ相續財産ハ其共有ニ屬ス

第千三條　各共同相續人ハ其相續分ニ應シテ被相續人ノ權利義務ヲ承繼ス

第二款　相續分

第千四條　同順位ノ相續人數人アルトキハ其各自ノ相續分ハ相均シキモノトス但直系卑屬數人アルトキハ庶子及ヒ私生子ノ相續分ハ嫡出子ノ相續分ノ二分ノ一トス

第千五條　第九百九十五條ノ規定ニ依リテ相續人タル直系卑屬ノ相續分ハ其直系尊屬カ受クヘカリシモノニ同シ但直系卑屬數人アルトキハ其各自ノ直系尊屬カ受クヘカリシ部分ニ付キ前條ノ規定ニ從ヒテ其相續分ヲ定ム

第千六條　被相續人ハ前二條ノ規定ニ拘ハラス遺言ヲ以テ共同相續人ノ相續分ヲ定メ又ハ之ヲ定ムルコトヲ第三者ニ委託スルコトヲ得但被相續人カ共同相續人中ノ一人若クハ數人ノ相續分ノミヲ定メ又ハ之ヲ定メサルトキハ他ノ共同相續人ノ相續分ハ前二條ノ規定ニ依リテ之ヲ定ム

第千七條　共同相續人中被相續人ヨリ遺贈ヲ受ケ又ハ婚姻、養子縁組、分家、廢絶家再興ノ爲メ若クハ生計ノ資本トシテ贈與ヲ受ケタル者アルトキハ被相續人カ相續開始ノ時ニ於テ有セシ財産ノ價額ニ其贈與ノ價額ヲ加ヘタルモノヲ相續財産ト看做シ前三條ノ規定ニ依リテ算定シタル相續分ノ中ヨリ其遺贈又ハ贈與ノ價額ヲ控除シ其殘額ヲ以テ共者ノ相續分トス

遺贈又ハ贈與ノ價額カ相續分ノ價額ニ等シク又ハ之ニ超エルトキハ受遺者又ハ受贈者ハ共相續分ヲ受クルコトヲ得ス

被相續人カ前二項ノ規定ニ異ナリタル意思ヲ表示シタルトキハ其意思表示ハ遺留分ニ關スル規定ニ反セサル範圍内ニ於テ其效力ヲ有ス

第千八條　前條ニ揭ケタル贈與ノ價額ハ受贈者ノ行爲ニ因リ其目的タル財産カ滅失シ又ハ其價格ノ增減アリタルトキト雖モ相續開始ノ當時仍ホ原狀ニ存在スルモノト看做シテ之ヲ定ム

第千九條　共同相續人ノ一人カ分割前ニ共相續分ヲ第三者ニ讓渡シタルトキハ他ノ共同相續人ハ其價額及ヒ費用ヲ償還シテ共相續分ヲ讓受クルコトヲ得

前項ニ定メタル權利ハ一個月内ニ之ヲ行使スルコトヲ要ス

第三款　遺産ノ分割

第千十條　被相續人ハ遺言ヲ以テ分割ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ定ムルコトヲ第三者ニ委託スルコトヲ得

第千十一條　被相續人ハ遺言ヲ以テ相續開始ノ時ヨリ五年ヲ超エサル期間内分割ヲ禁スルコトヲ得

第千十二條　遺産ノ分割ハ相續開始ノ時ニ遡リテ其效力ヲ生ス

第千十三條　各共同相續人ハ相續開始前ヨリ相續人ニ對シ實ニ存スル事由ニ付キ他ノ共同相續人ニ對シ實ニ存スル事由ニ付キ他ノ共同相續人ニ對シ其相續分ニ應シテ擔保ノ責ニ任ス

第千十四條　各共同相續人ハ其相續分ニ應シ他ノ共同相續人カ分割ノ當時ニ於ケル債權ニ付キ分割ノ當時ニ於ケル債務者ノ資力ヲ擔保ス

辨濟期ニ在ラサル債權及ヒ停止條件附債權ニ付テハ各共同相續人ハ辨濟ヲ爲スヘキ時ニ於ケル債務者ノ資力ヲ擔保ス

第千十五條　擔保ノ責ニ任スル共同相續人中償還ヲ爲ス資力ナキ者アルトキハ其償還スルコト能ハサル部分ハ求償者及ヒ他ノ資力アル各其相續分ニ應シテ之ヲ擔ス但求償者ニ過失アルトキハ他ノ共同相續人ニ對シテ分擔ヲ請求スルコトヲ得ス

第千十六條　前三條ノ規定ハ被相續人カ遺言ヲ以テ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ之ヲ適用セス

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第千十七條　相續人ハ自己ノ爲メ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル時ヨリ三个月内ニ單純若クハ限定ノ承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨ヲ要ス但此期間ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ裁判所ニ於テ之ヲ伸長スルコトヲ得

相續人ハ承認又ハ拋棄ヲ爲ス前ニ相續財産ノ調査ヲ爲スコトヲ得

第千十八條　相續人カ承認又ハ拋棄ヲ爲サスシテ死亡シタルトキハ前條第一項ノ期間ハ其者ノ相續人カ自己ノ爲メニ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

第千十九條　相續人カ無能力者タルトキハ第千十七條第一項ノ期間ハ其法定代理人カ無能力者ノ爲メニ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

第千二十條　法定家督相續人ハ拋棄ヲ爲スコトヲ得ス但第九百八十四條ニ揭ケタル者ハ此限ニ在ラス

第千二十一條　相續人ハ其固有財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ相續財産ヲ管理スルコトヲ要ス但限定ノ承認又ハ拋棄ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

裁判所カ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ何時ニテモ相續財産ノ保存ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

裁判所カ管理人ヲ選任シタル場合ニ於テハ裁判所カ管理人ヲシテ相續財産ヲ管理スルコトヲ得

第千二十二條　共同相續人中被相續人ヨリ遺贈ヲ受ケ又ハ婚姻、養子縁組、分家、廢絶家再興ノ爲メ若クハ生計ノ資本トシテ贈與ヲ受ケタル者アルトキハ被相續人カ相續開始ノ時ニ於テ有セシ財産ノ價額ニ其贈與ノ價額ヲ加ヘタルモノヲ相續財産ト看做シ前三條ノ規定ニ依リテ算定シタル相續分ノ中ヨリ其贈與ノ價額ヲ控除シ其殘額ヲ以テ共者ノ相續分トス

遺贈又ハ贈與ノ價額カ相續分ノ價額ニ等シク又ハ之ニ超エルトキハ受遺者又ハ受贈者ハ共相續分ヲ受クルコトヲ得ス

被相續人カ前二項ノ規定ニ異ナリタル意思ヲ表示シタルトキハ其意思表示ハ遺留分ニ關スル規定ニ反セサル範圍内ニ於テ其效力ヲ有ス

第千八條　前條ニ揭ケタル贈與ノ價額ハ受贈者ノ行爲ニ因リ其目的タル財産カ滅失シ又ハ其價格ノ增減アリタルトキト雖モ相續開始ノ當時仍ホ原狀ニ存在スルモノト看做シテ之ヲ定ム

第千九條　共同相續人ノ一人カ分割前ニ共相續分ヲ第三者ニ讓渡シタルトキハ他ノ共同相續人ハ其價額及ヒ費用ヲ償還シテ共相續分ヲ讓受クルコトヲ得

前項ニ定メタル權利ハ一個月内ニ之ヲ行使スルコトヲ要ス

第千十條　被相續人ハ遺言ヲ以テ分割ノ方法ヲ定メ又ハ之ヲ定ムルコトヲ第三者ニ委託スルコトヲ得

第千十一條　被相續人ハ遺言ヲ以テ相續開始ノ時ヨリ五年ヲ超エサル期間内分割ヲ禁スルコトヲ得

第千十二條　遺産ノ分割ハ相續開始ノ時ニ遡リテ其效力ヲ生ス

第千十三條　各共同相續人ハ相續開始前ヨリ相續人ニ對シ實ニ存スル事由ニ付キ他ノ共同相續人ニ對シ實ニ存スル事由ニ付キ他ノ共同相續人ニ對シ其相續分ニ應シテ擔保ノ責ニ任ス

第千十四條　各共同相續人ハ其相續分ニ應シ他ノ共同相續人カ分割ノ當時ニ於ケル債務者ノ資力ヲ擔保ス

辨濟期ニ在ラサル債權及ヒ停止條件附債權ニ付テハ各共同相續人ハ辨濟ヲ爲スヘキ時ニ於ケル債務者ノ資力ヲ擔保ス

第千十五條　擔保ノ責ニ任スル共同相續人中償還ヲ爲ス資力ナキ者アルトキハ其償還スルコト能ハサル部分ハ求償者及ヒ他ノ資力アル各其相續分ニ應シテ之ヲ擔ス但求償者ニ過失アルトキハ他ノ共同相續人ニ對シテ分擔ヲ請求スルコトヲ得ス

第千十六條　前三條ノ規定ハ被相續人カ遺言ヲ以テ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ之ヲ適用セス

第三章　相續ノ承認及ヒ拋棄

第一節　總則

第千十七條　相續人ハ自己ノ爲メニ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル時ヨリ三个月内ニ單純若クハ限定ノ承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨ヲ要ス但此期間ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ裁判所ニ於テ之ヲ伸長スルコトヲ得

相續人ハ承認又ハ拋棄ヲ爲ス前ニ相續財産ノ調査ヲ爲スコトヲ得

第千十八條　相續人カ承認又ハ拋棄ヲ爲サスシテ死亡シタルトキハ前條第一項ノ期間ハ其者ノ相續人カ自己ノ爲メニ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

第千十九條　相續人カ無能力者タルトキハ第千十七條第一項ノ期間ハ其法定代理人カ無能力者ノ爲メニ相續ノ開始アリタルコトヲ知リタル時ヨリ之ヲ起算ス

第千二十條　法定家督相續人ハ拋棄ヲ爲スコトヲ得ス但第九百八十四條ニ揭ケタル者ハ此限ニ在ラス

第千二十一條　相續人ハ其固有財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ相續財産ヲ管理スルコトヲ要ス但限定ノ承認又ハ拋棄ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

裁判所カ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ何時ニテモ相續財産ノ保存ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

裁判所カ管理人ヲ選任シタル場合ニ於テハ裁判所カ管理人ヲシテ相續財産ヲ管理スルコトヲ得

第千二十二條　相續人ハ共固有財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ相續財産ノ管理ヲ爲スヘキ責ニ任ス

第千二十三條　相續人ハ單純承認ヲ爲シタルトキ又ハ相續人ノ總利義務ヲ承繼スル旨ノ規定ヲ爲シタルトキハ左ニ揭ケタル場合ニ於テハ相續人ハ單純承認ヲ爲シタルモノト看做ス

一　相續人カ相續財産ノ全部又ハ一部ヲ處分シタルトキ但保存行爲及ヒ第六百二條ニ定メタル期間ヲ超エサル賃貸ヲ爲スハ此限ニ在ラス

二　相續人カ第千七條第一項ノ期間内ニ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ササリシトキ

三　相續人カ限定承認又ハ拋棄ヲ爲シタル後ト雖モ相續財産ノ全部若クハ一部ヲ隱匿シ、私ニ之ヲ消費シ又ハ惡意ヲ以テ之ヲ財産目録中ニ記載セサリシ時但其相續人カ拋棄ヲ爲シタル者カ承認ヲ爲シタル後ハ此限ニ在ラス

第二款　限定承認

第千二十四條　相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ノ限度ニ於テノミ被相續人ノ債務及ヒ遺贈ヲ辨濟スヘキコトヲ留保シテ承認ヲ爲スコトヲ得

第千二十六條　相續人カ限定承認ヲ爲サント欲スルトキハ第千十七條第一項ノ期間内ニ財産目録ヲ調製シテ之ヲ裁判所ニ提出シ限定承認ヲ爲ス旨ヲ申述スルコトヲ要ス

第千二十七條　相續人カ限定承認ヲ爲シタルトキハ其被相續人ニ對シテ有セシ權利義務ハ消滅セサリシモノト看做ス

第千二十八條　限定承認者ハ共固有財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ相續財産ノ管理ヲ繼續スルコトヲ要ス

第六百四十五條、第六百四十六條、第六百五十條第一項、第二項及ヒ第千二十一條第二項、第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三節　財産ノ分離

第千二十九條　相續人カ限定承認ヲ爲シタルトキハ裁判所カ前項ノ請求ニ因リテ財産ノ分離ヲ命シタル場合ニ於テハ相續人カ相續財産ヲ管理スル權ヲ失フ

第千三十條　相續人ハ相續財産ヲ以テ相續債權者及ヒ受遺者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニ付キ其固有財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ之ヲ辨濟スル責ニ任ス

第千三十一條　相續人カ第千二十九條第一項ノ期間滿了ノ後ハ限定承認者ハ相續財産ヲ以テ其期間内ニ申出テサリシ債權者其他知レサル債權者ニ各其債權額ノ割合ニ應シテ辨濟ヲ爲スヘシ但優先權ヲ有スル債權者ノ權利ヲ害スルコトヲ要ス但裁判所ニ於テ管理人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

第千三十二條　限定承認者ハ辨濟期ニ至リサルモ債權ト雖モ前條ノ規定ニ依リテ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス

條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權ハ裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價ニ從ヒテ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス

第千三十三條　限定承認者ハ前二條ノ規定ニ依リテ各債權者ニ辨濟ヲ爲シタル後ニ非サレハ受遺者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ得ス

第千三十四條　前三條ノ規定ニ從ヒテ辨濟ヲ爲スニ付キ相續財産ノ賣却ヲ必要トスルトキハ限定承認者ハ之ヲ競賣ニ付スルコトヲ要ス但裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價ニ從ヒ相續財産ノ全部又ハ一部ノ價額ヲ辨濟シテ其競賣ヲ止ムルコトヲ得

第千三十五條　相續債權者及ヒ受遺者ハ自己ノ費用ヲ以テ相續財産ノ競賣又ハ鑑定ニ參加スルコトヲ得此場合ニ於テハ第二百六十條第二項ノ規定ヲ準用ス

第千三十六條　限定承認者カ第千二十九條ニ定メタル公告若クハ催告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ同條第一項ノ期間内ニ或債權者若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲シタルニ因リ他ノ債權者若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲スコト能ハサリシ場合ニ限リ相續人ノ固有財産ニ付キ其相續人ノ利ヲ行フコトヲ得此場合ニ於テハ相續人ノ債權者ハ其者ニ先チテ辨濟ヲ受クルコトヲ得ス

第千四十條　第千二十九條第一項ノ期間滿了ノ後相續人ノ固有財産ニ付キ相續財産ニ對シテ權利ヲ行フニ付テハ第千二十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第千四十一條　相續債權者又ハ受遺者ハ相續開始ノ時ヨリ三个月内ニ相續人ノ財産中ヨリ相續財産ヲ分離シテ之ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但第三者カ其權利ヲ害スルコトヲ得ス

第千四十二條　財産分離ノ請求ヲ爲スニハ請求ノ原因ヲ明示シテ之ヲ爲スヘシ

第千四十三條　財産分離ノ請求ヲ爲シタル者及ヒ前條第二項ノ規定ニ依リテ配當加入ノ申出ヲ爲シタル者ハ相續財産ニ付キ相續人ノ債權者ニ先チテ辨濟ヲ受ケ

第千四十四條　財産分離ノ請求ヲ爲シタル者ハ不動産ニ付テハ對抗スルコトヲ得ス

第千四十五條　財産ノ分離ハ不動産ニ付テハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第千四十六條　第三百四條ノ規定ハ財産分離ノ場合ニ之ヲ準用ス

第千四十七條　相續人ハ第千四十一條第一項ノ期間滿了前ニ相續債權者及ヒ受遺者ニ對シテ辨濟ヲ拒ムコトヲ得

第千四十八條　財産分離ノ請求ヲ爲シタル者及ヒ前條第二項ノ規定ニ依リテ配當加入ノ申出ヲ爲シタル者ハ相續財産ニ付キ相續人ノ債權者ニ先チテ辨濟ヲ受ケ

第千四十九條　相續人ハ共固有財産ヲ以テ相續債權者若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ之ニ相當ノ擔保ヲ供シテ財産分離ノ請求ヲ防止シ又ハ其效力ヲ消滅セシムルコトヲ得但相續人ノ債權者カ之ニ因リテ損害ヲ受クヘキコトヲ證明シテ異議ヲ述ヘタルトキハ此限ニ在ラス

第千五十條　相續人カ限定承認ヲ爲スコトヲ得ル間又ハ相續財産カ相續人ノ固有財産ト混合セサル間ハ共債權者ハ財産分離ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三百四條、第千二十七條、第千二十九條乃至第千三十六條、第千四十三條乃至第千四十五條及ヒ第千四十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但第千二十九條ニ定メル公告及ヒ他告ハ財産分離ノ請求ヲ爲シタル債權者之ヲ爲スコトヲ要ス

第五章　相續人ノ廢缺

第千五十一條　相續人アルコト分明ナラサルトキハ相續財産ハ之ヲ法人トス

第千五十二條　前條ノ場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ相續財産ノ管理人ヲ選任スルコトヲ要ス

第千五十三條　第二十七條乃至第二十九條ノ規定ハ相續財産ノ管理人ニ之ヲ準用ス

第千五十四條　管理人ハ相續債權者又ハ受遺者ノ請求ニ因リ何時ニテモ其管理ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス

第千五十五條　第千二十七條乃至第千二十九條ノ規定ハ相續財産ノ管理人ニ之ヲ準用ス

第千五十六條　管理人ハ相續人ノ代理權ヲ相續人カ相續ノ承認ヲ爲シタル時ニ於テ消滅ス

前項ノ場合ニ於テハ管理人ハ遅滯ナク相續人ニ對シテ管理ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス

第千五十七條　第千五十二條第二項ニ定メタル公告アリタル後二个月内ニ相續人アルコト分明ナラサルトキハ管理人ハ至ラサルトキハ亦同シ

第二節　承認

第一款　單純承認

第千二十三條　相續人カ單純承認ヲ爲シタルトキハ無限ニ被相續人ノ總利義務ヲ承繼ス

第千二十四條　左ニ揭ケタル場合ニ於テハ相續人カ相續財産ノ全部又ハ一部ヲ處分シタルトキ但保存行爲及ヒ第六百二條ニ定メタル期間ヲ超エサル賃貸ヲ爲スハ此限ニ在ラス

二　相續人カ第千七條第一項ノ期間内ニ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ササリシトキ

三　相續人カ限定承認又ハ拋棄ヲ爲シタル後ト雖モ相續財産ノ全部若クハ一部ヲ隱匿シ、私ニ之ヲ消費シ又ハ惡意ヲ以テ之ヲ財産目録中ニ記載セサリシ時但其相續人カ拋棄ヲ爲シタル者カ承認ヲ爲シタル後ハ此限ニ在ラス

第二款　限定承認

第千二十五條　相續人ハ相續ニ因リテ得タル財産ノ限度ニ於テノミ被相續人ノ債務及ヒ遺贈ヲ辨濟スヘキコトヲ留保シテ承認ヲ爲スコトヲ得

第千二十六條　相續人カ限定承認ヲ爲サント欲スルトキハ第千十七條第一項ノ期間内ニ財産目録ヲ調製シテ之ヲ裁判所ニ提出シ限定承認ヲ爲ス旨ヲ申述スルコトヲ要ス

第千二十七條　相續人カ限定承認ヲ爲シタルトキハ其被相續人ニ對シテ有セシ權利義務ハ消滅セサリシモノト看做ス

第千二十八條　限定承認者ハ共固有財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ相續財産ノ管理ヲ繼續スルコトヲ要ス

第六百四十五條、第六百四十六條、第六百五十條第一項、第二項及ヒ第千二十一條第二項、第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三節　財産ノ分離

第千二十九條　相續人カ限定承認ヲ爲シタルトキハ裁判所カ前項ノ請求ニ因リテ財産ノ分離ヲ命シタル場合ニ於テハ相續人カ相續財産ヲ管理スル權ヲ失フ

第千三十條　相續人ハ相續財産ヲ以テ相續債權者及ヒ受遺者ニ對スル債務ヲ辨濟スルニ付キ其固有財産ニ於ケルト同一ノ注意ヲ以テ之ヲ辨濟スル責ニ任ス

第千三十一條　相續人カ第千二十九條第一項ノ期間滿了ノ後ハ限定承認者ハ相續財産ヲ以テ其期間内ニ申出テサリシ債權者其他知レサル債權者ニ各其債權額ノ割合ニ應シテ辨濟ヲ爲スヘシ但優先權ヲ有スル債權者ノ權利ヲ害スルコトヲ要ス但裁判所ニ於テ管理人ヲ選任シタルトキハ此限ニ在ラス

第千三十二條　限定承認者ハ辨濟期ニ至リサルモ債權ト雖モ前條ノ規定ニ依リテ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス

條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權ハ裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價ニ從ヒテ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス

第千三十三條　限定承認者ハ前二條ノ規定ニ依リテ各債權者ニ辨濟ヲ爲シタル後ニ非サレハ受遺者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ得ス

第千三十四條　前三條ノ規定ニ從ヒテ辨濟ヲ爲スニ付キ相續財産ノ賣却ヲ必要トスルトキハ限定承認者ハ之ヲ競賣ニ付スルコトヲ要ス但裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價ニ從ヒ相續財産ノ全部又ハ一部ノ價額ヲ辨濟シテ其競賣ヲ止ムルコトヲ得

第千三十五條　相續債權者及ヒ受遺者ハ自己ノ費用ヲ以テ相續財産ノ競賣又ハ鑑定ニ參加スルコトヲ得此場合ニ於テハ第二百六十條第二項ノ規定ヲ準用ス

第千三十六條　限定承認者カ第千二十九條ニ定メタル公告若クハ催告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ同條第一項ノ期間内ニ或債權者若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲シタルニ因リ他ノ債權者若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲スコト能ハサリシ場合ニ限リ相續人ノ固有財産ニ付キ其相續人ノ利ヲ行フコトヲ得此場合ニ於テハ相續人ノ債權者ハ其者ニ先チテ辨濟ヲ受クルコトヲ得ス

第千四十條　第千二十九條第一項ノ期間滿了ノ後相續人ノ固有財産ニ付キ相續財産ニ對シテ權利ヲ行フニ付テハ第千二十七條第二項ノ規定ヲ準用ス

第千四十一條　相續債權者又ハ受遺者ハ相續開始ノ時ヨリ三个月内ニ相續人ノ財産中ヨリ相續財産ヲ分離シテ之ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但第三者カ其權利ヲ害スルコトヲ得ス

第千四十二條　財産分離ノ請求ヲ爲スニハ請求ノ原因ヲ明示シテ之ヲ爲スヘシ

第千四十三條　財産分離ノ請求ヲ爲シタル者及ヒ前條第二項ノ規定ニ依リテ配當加入ノ申出ヲ爲シタル者ハ相續財産ニ付キ相續人ノ債權者ニ先チテ辨濟ヲ受ケ

第千四十四條　財産分離ノ請求ヲ爲シタル者ハ不動産ニ付テハ對抗スルコトヲ得ス

第千四十五條　財産ノ分離ハ不動産ニ付テハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第千四十六條　第三百四條ノ規定ハ財産分離ノ場合ニ之ヲ準用ス

第千四十七條　相續人ハ第千四十一條第一項ノ期間滿了前ニ相續債權者及ヒ受遺者ニ對シテ辨濟ヲ拒ムコトヲ得ス

第千四十八條　財産分離ノ請求ヲ爲シタル者及ヒ前條第二項ノ規定ニ依リテ配當加入ノ申出ヲ爲シタル者ハ相續財産ニ付キ相續人ノ債權者ニ先チテ辨濟ヲ受ケ

第千四十九條　相續人ハ共固有財産ヲ以テ相續債權者若クハ受遺者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ之ニ相當ノ擔保ヲ供シテ財産分離ノ請求ヲ防止シ又ハ其效力ヲ消滅セシムルコトヲ得但相續人ノ債權者カ之ニ因リテ損害ヲ受クヘキコトヲ證明シテ異議ヲ述ヘタルトキハ此限ニ在ラス

第千五十條　相續人カ限定承認ヲ爲スコトヲ得ル間又ハ相續財産カ相續人ノ固有財産ト混合セサル間ハ共債權者ハ財産分離ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三百四條、第千二十七條、第千二十九條乃至第千三十六條、第千四十三條乃至第千四十五條及ヒ第千四十八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス但第千二十九條ニ定メル公告及ヒ他告ハ財産分離ノ請求ヲ爲シタル債權者之ヲ爲スコトヲ要ス

第五章　相續人ノ廢缺

第千五十一條　相續人アルコト分明ナラサルトキハ相續財産ハ之ヲ法人トス

第千五十二條　前條ノ場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ相續財産ノ管理人ヲ選任スルコトヲ要ス

第千五十三條　第二十七條乃至第二十九條ノ規定ハ相續財産ノ管理人ニ之ヲ準用ス

第千五十四條　管理人ハ相續債權者又ハ受遺者ノ請求ニ因リ何時ニテモ其管理ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス

第千五十五條　第千二十七條乃至第千二十九條ノ規定ハ相續財産ノ管理人ニ之ヲ準用ス

第千五十六條　管理人ハ相續人ノ代理權ヲ相續人カ相續ノ承認ヲ爲シタル時ニ於テ消滅ス

前項ノ場合ニ於テハ管理人ハ遅滯ナク相續人ニ對シテ管理ノ計算ヲ爲スコトヲ要ス

第千五十七條　第千五十二條第二項ニ定メタル公告アリタル後二个月内ニ相續人アルコト分明ナラサルトキハ管理人ハ至ラサルトキハ亦同シ

第一章　民事訴訟法　人事訴訟手續法　非訟事件手續法

第一款　民事令

第一節　民法

第一款　民事令

第一節　民法

第一款　民事令

第一節　民

行者タルコトヲ得ス

第千百十二條　遺言執行者ナキトキ又ハ之ナキニ至リタルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リテ選任シタル遺言執行者ハ正當ノ理由アルニ非サレハ就職ヲ拒ムコトヲ得ス

第千百十三條　遺言執行者ハ遅滯ナク相續財産ノ目錄ヲ調製シテ之ヲ相續人ニ交付スルコトヲ要ス

遺言執行者ハ相續人ノ請求アルトキハ其立會ヲ以テ財産目錄ヲ調製シ又ハ公證人ヲシテ之ヲ調製セシムルコトヲ要ス

第千百十四條　遺言執行者ハ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權利義務ヲ有ス

第六百四十四條乃至第六百四十七條及ヒ第五十條ノ規定ハ遺言執行者ニ之ヲ準用ス

第千百十五條　遺言執行者アル場合ニ於テハ相續人ハ相續財産ヲ處分シ其他遺言ノ執行ヲ妨クヘキ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

第千百十六條　前三條ノ規定ハ遺言カ特定財産ニ關スル場合ニ於テハ其財産ニ付テノミ之ヲ適用ス

第千百十七條　遺言執行者ニ之ヲ相續人ノ代理人ト看做ス

第千百十八條　遺言執行者ハ已ムコトヲ得サル事由アルニ非サレハ第三者ヲシテ其任務ヲ行ハシムルコトヲ得ス但遺言者カ其遺言ニ反對ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラス

遺言執行者カ前項但書ノ規定ニ依リ第三者ヲシテ其任務ヲ行ハシメル場合ニ於テハ相續人ニ對シ第百五條ニ定メタル責任ヲ負フ

第千百十九條　數人ノ遺言執行者アル場合ニ於テハ其任務ノ執行ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス但遺言者カ其遺言ニ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ其意思ニ從フ

各遺言執行者ハ前項ノ規定ニ拘ハラス保存行爲ヲ爲スコトヲ得

第千百二十條　遺言執行者ハ之ヲ復任セシムルコトヲ得ス但シ其責任ニ付テハ第百五條ノ規定ヲ準用ス

第千百二十一條　遺言執行者カ其任務ヲ怠リタルトキ其他正當ノ事由アルトキハ利害關係人ハ其解任ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

遺言執行者ハ正當ノ事由アルトキハ就職ノ後ト雖モ其任務ヲ解スルコトヲ得

第千百二十二條　第六百五十四條及ヒ第六百五十五條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務カ終了シタル場合ニ之ヲ準用ス

第千百二十三條　遺言ノ執行ニ關スル費用ハ相續財産ノ負擔トス但之ニ因リテ遺留分ヲ減スルコトヲ得ス

第五節　遺言ノ取消

第千百二十四條　遺言者ハ何時ニテモ遺言ノ方式ニ從ヒテ其遺言ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトヲ得

第千百二十五條　前ノ遺言ト後ノ遺言ト抵觸スルトキハ其抵觸スル部分ニ付テハ後ノ遺言ヲ以テ前ノ遺言ヲ取消シタルモノト看做ス

前項ノ規定ハ遺言ト遺言後ノ生前處分其他ノ法律行爲ト抵觸スル場合ニ之ヲ準用ス

第千百二十六條　遺言者カ故意ニ遺言書ヲ毀滅シタルトキハ其毀滅シタル部分ニ付テハ遺言ヲ取消シタルモノト看做ス故意ニ遺贈ノ目的物ヲ毀滅シタルトキ亦同シ

第千百二十七條　前三條ノ規定ニ依リテ取消サレタル遺言ハ取消ノ取消ニ因リテ其效力ヲ回復セス但其行爲カ詐欺又ハ强迫ニ因ル場合ハ此限ニ在ラス

第千百二十八條　遺言者ハ其遺言ノ取消權ヲ拋棄スルコトヲ得ス

第千百二十九條　負擔附遺贈ヲ受ケタル者カ其負擔シタル義務ヲ履行セサルトキハ相續人ハ相當ノ期間ヲ定メテ其履行ヲ催告シ若シ其期間内ニ履行ナキトキハ遺言ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第七章　遺留分

第千百三十條　法定家督相續人タル直系卑屬ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ半額ヲ受ク

此他ノ家督相續人ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ三分ノ一ヲ受ク

第千百三十一條　遺産相續人タル直系卑屬ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ半額ヲ受ク

遺産相續人タル配偶者又ハ直系尊屬ハ遺留分トシテ被相續人ノ財産ノ三分ノ一ヲ受ク

第千百三十二條　遺留分ハ被相續人カ相續開始ノ時ニ於有セシ財産ノ價額ニ其贈與シタル財産ノ價額ヲ加ヘ其中ヨリ債務ノ全額ヲ控除シテ之ヲ算定ス

條件附權利又ハ存續期間ノ不確定ナル權利ハ裁判所ニ於テ選定シタル鑑定人ノ評價ニ從ヒ其價格ヲ定ム

第千百三十三條　贈與ハ相續開始前一年間ニ爲シタルモノニ限リ前條ノ規定ニ依リテ其價額ヲ算入ス一年前ニ爲シタルモノト雖モ當事者雙方カ遺留分權利者ニ損害ヲ加フルコトヲ知リテ之ヲ爲シタルトキハ亦同シ

第千百三十四條　受贈者及ヒ其承繼人ハ遺留分ヲ保全スルニ必要ナル限度ニ於テ遺贈及ヒ前條ニ掲ケタル贈與ノ減殺ヲ請求スルコトヲ得

第千百三十五條　條件附權利又ハ存續期間ノ不確定ナル權利ヲ以テ贈與又ハ遺贈ノ目的ト爲シタルトキハ遺留分權利者ハ第千百三十二條第二項ノ規定ニ依リテ定メタル價格ニ從ヒ直チニ其殘部ノ價格ヲ受贈者又ハ受遺者ニ給付スルコトヲ要ス

第千百三十六條　贈與ハ遺贈ヲ減殺シタル後ニ非サレハ之ヲ減殺スルコトヲ得ス

附　則（大正十五年四月法律第六十九號）

本法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（第百十四號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（第百十三號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

本法施行前ニ登記ノ事由ノ生シタル場合ニ於テハ其ノ登記ノ期間ハ仍從前ノ例ニ依ル

第百七十四條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ確定シタル權利ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前時效ノ完成シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

●民法施行法

明治三十一年六月
法律第十一號

改正　明治三三年三三號七一號、三四年九四號
三九號、三九年三三號二三號、大正二一年
四號七一號

陛帝國議會ノ協賛ヲ經タル民法施行法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

民法施行法

第一章　通則

第一條　民法施行前ニ生シタル事項ニ付テハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ノ外民法ノ規定ヲ適用セス

第二條　削除

第三條　削除

第四條　證書ニ確定日附アルニ非サレハ第三者ニ對シ其作成ノ日ニ付キ完全ナル證據力ヲ有セス

第五條　證書ニ左ノ場合ニ限リ確定日附アルモノトス

一　公正證書ナルトキハ其日附ヲ以テ確定日附トス

二　登記所又ハ公證人役場ニ於テ私署證書ニ日附アル印章ヲ押捺シタルトキハ其印章ノ日附ヲ以テ確定日附トス

三　私署證書ノ署名者中ニ死亡シタル者アルトキハ其死亡ノ日ヨリ確定日附アルモノトス

四　確定日附アル證書中ニハ私署證書ヲ引用シタルトキハ其證書ノ日附ヲ以テ引用シタル私署證書ノ確定日附トス

五　官廳又ハ公署ニ於テ私署證書ニ或事項ヲ記入シ之ニ日附ヲ記載シタルトキハ其日附ヲ以テ其證書ノ確定日附トス

第六條　私署證書ニ確定日附ヲ附スルコトヲ登記所又ハ公證人役場ニ請求スル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ手數料ヲ納ムルコトヲ要ス

第九條　左ノ法令ハ民法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

一　明治五年第二百九十五號布告

二　明治六年第二十一號布告

三　同年第二十八號布告

四　同年第四十號布告

五　同年第百六十二號布告

六　同年第百七十七號布告

七　同年第二百十五號布告代人規則

八　同年第二百十二號布告

九　同年第三百六號布告動産不動産書入金竝貨借規則

十　同年第三百六十二號布告出訴期限規則

十一　明治七年第二十七號布告

十二　明治八年第六號布告

十三　同年第六十三號布告

十四　同年第百二號布告金穀貨借書入證人辨償規則

十五　同年第百四十八號布告建物書入質規則及ヒ建物賣買讓渡規則

十六　明治九年第十五號布告

十七　同年第九十九號布告

十八　明治十年第五十號布告

十九　明治十四年第七十三號布告

二十　明治十七年第二十號布告

二十一　明治二十三年法律第九十四號財産委棄法

二十二　同年勅令第二百十七號辨濟提供規則

明治六年第十八號布告地所質入書入規則ハ第十一條ヲ除ク外民法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第十條　削除

第十一條　本法ハ民法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二章　總則編ノ關スル規定

第十二條　民法施行前ニ民法第七條又ハ第十一條ニ掲ケタル原因ノ爲メニ後見人ヲ附シタル者ハ其施行ノ日ヨリ禁治産者又ハ準禁治産者ト看做ス

後見人ハ民法施行ノ日ヨリ一箇月内ニ禁治産又ハ準禁治産ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

第十三條　後見人其他民法第七條ニ掲ケタル者カ民法施行ノ日ヨリ一箇月内ニ禁治産又ハ準禁治産ノ請求ヲ爲ササリシトキハ其期間經過ノ後ハ前條第一項ノ規定ヲ適用セス

前項ノ期間内ニ禁治産又ハ準禁治産ノ請求アリタルモ裁判所ニ於テ之ヲ却下シタルトキハ抗告期間經過ノ後、若シ抗告アリタルトキハ裁後ノ抗告棄却ノ時ヨリ又訴ニ於テ禁治産又ハ準禁治産ノ宣告ヲ取消シタルトキハ其判決確定ノ日ヨリ前條第一項ノ規定ヲ適用セス

第十四條【刑法第十條第三號、第三十五條、第三十六條、刑法附則第四十一條、陸軍刑法第十八條第四號及ヒ海軍刑法第九條第四號、第二十二條ハ之ヲ削除ス】

【刑法第五十五條中「行政ノ處分ヲ以テ治産ノ禁ノ幾分ヲ免スルヿヲ得但」ノ二十三字及ヒ陸軍刑法第三十二條中「第三十五條第三十六條ノ十字ハ之ヲ削除ス】

第十五條　民法施行ノ日ニ於テ刑事禁治産者ノ禁ノ幾分ヲ免スルヿヲ得但シ其者カ民法施行前ヨリ刑事禁治産者ノ財産ヲ管理スル者ハ刑事禁治産者又ハ刑事禁治産者ヲ定メタル他ノ管理者カ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルマテ管理ヲ繼續スルコト

前項ノ場合ニ於テ管理者ハ民法第百三條ニ定メタル權限ヲ有ス但刑事禁治産者カ別段ノ意思ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラス

第十六條　民法第二十五條乃至第二十九條ノ規定ハ民法施行前ニ住所又ハ居所ヲ去リタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス

第十七條　民法第三十條及ヒ第三十一條ノ規定ハ民法施行前ヨリ生死分明ナラサル者ニモ亦之ヲ適用ス

第十八條　民法第三十一條ノ規定ハ民法施行前ヨリ生死分明ナラサル者ニモ亦之ヲ適用ス

第十九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第二十條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十一條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十四條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十五條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十七條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十八條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第五十九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十一條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十五條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十六條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十七條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十一條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十二條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十三條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十四條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十五條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十七條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第七十九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十一條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十三條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十四條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十五條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十六條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十七條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十八條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十一條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十二條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十三條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十四條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十五條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十六條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十七條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十八條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九十九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百一條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百二條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百三條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百四條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百五條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百六條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百七條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百八條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百九條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テモ亦之ヲ適用ス但シ本法施行前ニ失踪ノ宣告ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第百十條　民法第三十二條ノ規定ハ民法施行前ニ失踪ノ

民訴第六百十七條第二項第四號ニ掲ケタル場合ニ該當スルモノト謂フヲ得ス

民法第三百六十四條第一項ノ規定ハ記名ノ國債ニハ之ヲ適用セス

●年齢計算ニ關スル件

明治三十五年十二月
法律第五十號

廢帝國議會ノ協贊ヲ經タル年齢計算ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第四條　未成年者、禁治産者、準禁治産者及破産者ハ受託者トナルコトヲ得ス

第五條　未成年者、禁治産者又ハ準禁治産者ノ後見人ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第六條　未成年者ノ孤兒ニ付テハ其ノ救育所在地ノ地方長官ハ後見人ノ職務ヲ行フヘキ者ヲ指定ス

第七條　信託行爲ニ依リ受益者トシテ指定セラレタル者ハ當然信託ノ利益ヲ享受ス但シ信託行爲ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條　不特定ノ受益者又ハ未タ存在セサル受益者アル場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ信託管理人ヲ選任スルコトヲ得但シ信託行爲ヲ以テ信託管理人ヲ指定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

信託管理人ハ前項ノ受益者ノ爲自己ノ名ヲ以テ信託ニ關スル裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

裁判所ハ事情ニ依リ信託財産中ヨリ相當ノ報酬ヲ信託管理人ニ與フルコトヲ得

第九條　受託者ハ共同受益者ノ一人タル場合ヲ除クノ外何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス信託ノ利益ヲ享受スルコトヲ得ス

第十條　法令ニ依リ或ハ信託權ヲ享有スルコトヲ得サル者ハ受益者トシテ其ノ權利ヲ有スルト同一ノ利益ヲ享受スルコトヲ得ス

第十一條　信託ハ訴訟行爲ヲ爲サシムルコトヲ主タル目的トシテ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　債務者カ其ノ債權者ヲ害スルコトヲ知リテ信託ヲ爲シタル場合ニ於テハ債權者ハ受託者カ善意ナルトキト雖民法第四百二十四條第一項ニ規定スル取消權ヲ行フコト

依リ證券ニ信託財産ナルコトヲ表示シ株券及社債券ニ付テハ尚株主名簿又ハ社債原簿ニ信託財産タル旨ヲ記載スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四條　受託者ハ信託行爲ノ定ムル所ニ從ヒ信託財産ノ管理又ハ處分ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　未成年者、禁治産者、準禁治産者及破産者ハ受託者トナルコトヲ得ス

妻カ信託ノ引受ヲ爲スニハ夫ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

民法第十四條第二項及第十五條乃至第二十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六條　信託ノ引受ハ營業トシテ之ヲ爲ストキハ之ヲ商行爲トス

第七條　信託行爲ニ依リ受益者トシテ指定セラレタル者ハ當然信託ノ利益ヲ享受ス但シ信託行爲ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條　不特定ノ受益者又ハ未タ存在セサル受益者アル場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ信託管理人ヲ選任スルコトヲ得但シ信託行爲ヲ以テ信託管理人ヲ指定シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

信託管理人ハ前項ノ受益者ノ爲自己ノ名ヲ以テ信託ニ關スル裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

裁判所ハ事情ニ依リ信託財産中ヨリ相當ノ報酬ヲ信託管理人ニ與フルコトヲ得

第九條　受託者ハ共同受益者ノ一人タル場合ヲ除クノ外何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス信託ノ利益ヲ享受スルコトヲ得ス

第十條　法令ニ依リ或ハ信託權ヲ享有スルコトヲ得サル者ハ受益者トシテ其ノ權利ヲ有スルト同一ノ利益ヲ享受スルコトヲ得ス

第十一條　信託ハ訴訟行爲ヲ爲サシムルコトヲ主タル目的トシテ之ヲ爲スコトヲ得ス

第十二條　債務者カ其ノ債權者ヲ害スルコトヲ知リテ信託ヲ爲シタル場合ニ於テハ債權者ハ受託者カ善意ナルトキト雖民法第四百二十四條第一項ニ規定スル取消權ヲ行フコト

●民法等施行期日

明治三十一年六月
勅令第百二十三號

廢民法例戸籍法及競賣法施行ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

明治二十九年法律第八十九號民法第一編第二編第三編明治三十一年法律第九號民法第四編第五編同年法律第十號法例同年法律第十二號戸籍法及同年法律第十五號競賣法ハ明治三十一年七月十六日ヨリ之ヲ施行ス

●失火ノ責任ニ關シ民法適用

明治三十二年三月
法律第四十號

廢帝國議會ノ協贊ヲ經タル失火ノ責任ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

民法第七百九條ノ規定ハ失火ノ場合ニハ之ヲ適用セス但シ失火者ニ重大ナル過失アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

●記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル件

明治三十七年四月
法律第十七號

廢帝國議會ノ協贊ヲ經タル記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

●軍人軍屬ノ遺言確認請求ニ關スル件

明治三十三年二月
法律第十三號

廢帝國議會ノ協贊ヲ經タル民法第千七十九條及第千八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　民法第千七十九條ノ規定ニ依リ軍人軍屬ノ爲シタル遺言ノ確認ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ請求スヘシ

一　陸軍ニ在リテハ遺言當時遺言者ノ屬シタル陸軍官衙團隊ノ軍法會議ノ理事又ハ遺言ヲ爲シタル地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求スヘシ若其ノ陸軍軍法會議ノ設置ナク若ハ廢セラレタル場合ニ於テハ遺言者ノ住所地又ハ相續開始地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求スヘシ

二　海軍ニ在リテハ遺言當時遺言者ノ屬シタル海軍官衙團隊所在地又ハ其ノ附近ノ軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ若遺言ヲ爲シタル者カ艦船乘込員ナル場合ニ於テハ便宜海軍軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ

第二條　民法第千八十一條本文ノ場合ニ該當スル遺言ノ確認ハ便宜海軍軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ

第三條　民事訴訟法裁判所職員ノ除斥ノ證據定ニ關スル規定非訟事件手續法第六條第八條第九條第十一條第十二條第十四條第十七條乃至第十九條第三十二條第百九條第二項ノ規定及民事訴訟費用法ノ規定ハ本法ノ事

ノ規定ハ其施行前ニ開始シタル相續ニ付テハ其施行ノ日ヨリ之ヲ適用ス

第九十三條　相續財産ノ管理人カ民法第千五十七條ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ハ裁判所カ同法第千五十八條ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十四條　遺言ノ成立及ヒ取消ニ付テハ其當時ノ法律ヲ適用シ其效力ニ付テハ遺言者ノ死亡ノ時ノ法律ヲ適用ス

第九十五條　民法第千百三十二條乃至第千百三十六條及ヒ第千百三十八條乃至第千百四十五條ノ規定ハ民法施行前ニ爲シタル贈與ニモ亦之ヲ適用ス

●民法等施行期日

明治三十一年六月
勅令第百二十三號

廢民法例戸籍法及競賣法施行ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

明治二十九年法律第八十九號民法第一編第二編第三編明治三十一年法律第九號民法第四編第五編同年法律第十號法例同年法律第十二號戸籍法及同年法律第十五號競賣法ハ明治三十一年七月十六日ヨリ之ヲ施行ス

●失火ノ責任ニ關シ民法適用

明治三十二年三月
法律第四十號

廢帝國議會ノ協贊ヲ經タル失火ノ責任ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

民法第七百九條ノ規定ハ失火ノ場合ニハ之ヲ適用セス但シ失火者ニ重大ナル過失アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

●記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル件

明治三十七年四月
法律第十七號

廢帝國議會ノ協贊ヲ經タル記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

●軍人軍屬ノ遺言確認請求ニ關スル件

明治三十三年二月
法律第十三號

廢帝國議會ノ協贊ヲ經タル民法第千七十九條及第千八十一條ノ規定ニ依ル遺言ノ確認ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　民法第千七十九條ノ規定ニ依リ軍人軍屬ノ爲シタル遺言ノ確認ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ請求スヘシ

一　陸軍ニ在リテハ遺言當時遺言者ノ屬シタル陸軍官衙團隊ノ軍法會議ノ理事又ハ遺言ヲ爲シタル地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求スヘシ若其ノ陸軍軍法會議ノ設置ナク若ハ廢セラレタル場合ニ於テハ遺言者ノ住所地又ハ相續開始地ヲ管轄スル陸軍軍法會議ノ理事ニ請求スヘシ

二　海軍ニ在リテハ遺言當時遺言者ノ屬シタル海軍官衙團隊所在地又ハ其ノ附近ノ軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ若遺言ヲ爲シタル者カ艦船乘込員ナル場合ニ於テハ便宜海軍軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ

第二條　民法第千八十一條本文ノ場合ニ該當スル遺言ノ確認ハ便宜海軍軍法會議ノ主理ニ請求スヘシ

第三條　民事訴訟法裁判所職員ノ除斥ノ證據定ニ關スル規定非訟事件手續法第六條第八條第九條第十一條第十二條第十四條第十七條乃至第十九條第三十二條第百九條第二項ノ規定及民事訴訟費用法ノ規定ハ本法ノ事

ヲ得

前項ノ規定ニ依リテ爲シタル取消ハ受益者カ既ニ受ケタル利益ニ影響ヲ及ホサス但シ受益者ノ債權カ辨濟期ニ到ラサルトキ又ハ受益者カ其ノ利益ヲ受ケタル當時債權者ヲ害スヘキ事實ヲ知リタルトキ若ハ重大ナル過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　受託者ハ信託財産ノ占有ニ付委託者ノ占有ノ瑕疵ヲ承繼ス

前項ノ規定ハ金錢其ノ他ノ物又ハ有價證券ノ給付ヲ目的トスル有價證券ニ付之ヲ準用ス

第十四條　信託財産ノ管理、處分、滅失、毀損其ノ他ノ事由ニ因リ受託者ノ得タル財産ハ信託財産ニ屬ス

第十五條　信託財産ハ受託者ノ相續財産ニ屬セス

第十六條　信託財産ニ付信託前ノ原因ニ因リテ生シタル權利又ハ信託事務ノ處理ニ付生シタル權利ニ基ク場合ヲ除クノ外信託財産ニ對シ强制執行ヲ爲シ又ハ之ヲ競賣スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ反シテ爲シタル强制執行又ハ競賣ニ對シテハ委託者、其ノ相續人、受益者及受託者ハ異議ヲ主張スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ民事訴訟法第五百四十九條ノ規定ヲ準用ス

第十七條　信託財産ニ屬スル債權ト信託財産ニ屬セサル債務トハ相殺ヲ爲スコトヲ得ス

第十八條　信託財産カ所有權以外ノ權利ナル場合ニ於テハ受託者カ其ノ目的タル財産ヲ取得スルモ其ノ權利ハ混同ニ因リテ消滅スルコトナシ

第十九條　受託者カ信託行爲ニ因リ受益者ニ對シテ負擔スル債務ニ付テハ信託財産ノ限度ニ於テノミ其ノ履行ノ責ニ任ス

第二十條　受託者ハ信託ノ本旨ニ從ヒ善良ナル管理者ノ注意ヲ以テ信託事務ヲ處理スルコトヲ要ス

第二十一條　信託財産ニ屬スル金錢ノ管理方法ハ委託者ノ指圖ニ從フ

第二十二條　受託者カ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハス信託財産ヲ固有財産ト爲シ又ハ之ニ付權利ヲ取得スルコトヲ得ス但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テ裁判所ノ許可ヲ受ケ信託財産ヲ固有財産ト爲スハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ受託者カ相續其ノ他包括名義ニ因リ信託財産ニ付權利ヲ承繼スルコトヲ妨ケス此ノ場合ニ於テハ第十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條　信託行爲ノ當時豫見スルコトヲ得サリシ特別ノ事情ニ因リ信託財産ノ管理方法カ受益者ノ利益ニ適セサルニ至リタルトキハ委託者、其ノ相續人、受益者又ハ受託者ハ其ノ變更ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

前項ノ規定ハ裁判所ノ定メタル管理方法ニ付之ヲ準用ス

第二十四條　受託者數人アルトキハ信託財産ハ其ノ合有トス

前項ノ場合ニ於テハ信託行爲ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外信託事務ノ處理ハ受託者共同シテ之ヲ爲シタル意思表示ハ他ノ受託者ニ對シテモ其ノ效力ヲ生ス

第二十五條　受託者數人アルトキハ信託行爲ニ因リ受益者ニ對シテ負擔スル債務ニ付テハ受託者共同シテ之ヲ負擔ス

第二十六條　受託者數人アルトキハ信託事務ノ處理ニ付負擔スル債務ハ之ヲ連帶ス信託事務ノ處理ニ付負擔スル債務亦同シ

第二十七條　受託者ハ信託行爲ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外已ムコトヲ得サル事由アルニ非サレハ信託ノ引受ヲ爲ス權限ヲ有ス

第三十條　受託者ハ信託行爲ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外信託事務ノ處理ニ付第三者ヲシテ代リテ信託事務ヲ處理スル者ハ受託者ト同一ノ責任ヲ負フ

第二十八條　受託者カ管理ノ失當ニ因リテ信託財産ニ損失ヲ生シタルトキ又ハ信託財産ニ損失ヲ生セシメタルトキ又ハ信託ノ本旨ニ反シテ信託財産ヲ處分シタルトキハ委託者、其ノ相續人、受益者及他ノ受託者ハ其ノ受託者ニ對シ損失ノ塡補又ハ信託財産ノ復舊ヲ請求スルコトヲ得

第二十八條　信託財産ハ固有財産及他ノ信託財産ト分別シテ之ヲ管理スルコトヲ要ス但シ信託財産タル金錢ニ付テハ各別ニ其ノ計算ヲ明ニスルヲ以テ足ル

第二十九條　第二十七條ノ規定ハ受託者カ前條ノ規定ニ違反シテ信託財産ニ損失ヲ生シタルトキハ受託者カ善意ナルトキト雖受益者ハ其ノ損失ノ塡補ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ受託者ノ相續人ニ對シテモ亦同シ

第三十一條　受託者カ信託ノ本旨ニ反シテ信託財産ヲ處分シタルトキハ受益者ハ相手方又ハ轉得者ニ對シ其ノ處分ヲ取消スコトヲ得但シ信託ノ登記若ハ登錄アリタルトキ又ハ登記若ハ登錄スヘカリサル信託財産ニ付テハ相手方及轉得者ニ於テ其ノ處分カ信託ノ本旨ニ反スルコトヲ知リタルトキ若ハ重大ナル過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキニ限ル

第三十二條　受益者數人アル場合ニ於テ其ノ一人カ前條ノ規定ニ依リテ爲シタル取消ハ他ノ受益者ノ爲ニモ其ノ效力ヲ生ス

第三十三條　第三十一條ニ規定スル取消權ハ受益者又ハ信託管理人カ取消ノ原因アルコトヲ知リタル時ヨリ一月內ニ之ヲ行ハサルトキハ消滅ス處分ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第三十四條　受託者タル法人カ其ノ任務ニ背キタルトキハ之ニ干與シタル理事又ハ之ニ準スヘキ者亦連帶シテ其ノ責ニ任ス

第三十五條　受託者ハ背業トシテ信託ノ引受ヲ爲ス場合ヲ除クノ外特約アルニ非サレハ報酬ヲ受クルコトヲ得ス

第三十六條　受託者ハ信託財産ニ關シテ負擔シタル租稅、公課其ノ他ノ費用又ハ信託事務ノ處理ニ付テハ信託財産ヲ以テ自己ニ過失ナクシテ受ケタル損害ノ補償ニ付テハ信託財産ヲ以テ抑又ハ權利ノ行フコトヲ得

第三十七條　前條ノ規定ハ受託者カ信託財産ヨリ報酬ヲ受クヘキ場合ニ於テハ報酬ニ付之ヲ準用ス受託者カ善意ナルトキト雖民法第四百二十四條第一項ニ規定スル取消權ヲ行フコト

第三十八條　第三十六條又ハ前條ニ規定スル受託者ノ權利ハ受託者カ第二十七條又ハ第二十九條ノ規定ニ依ル損失ノ塡補及信託財産復舊ノ義務ヲ履行シタル後ニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

第三十九條　受託者ハ帳簿ヲ備ヘ各信託ニ付其ノ事務ノ處理及計算ヲ明ニスルコトヲ要ス

受託者ハ信託引受ノ時及毎年一回一定ノ時期ニ於テ各信託ニ付財産目錄ヲ作ルコトヲ要ス

第四十條　利害關係人ハ何時ニテモ前條ノ書

類ノ閲覧ヲ請求スルコトヲ得

委託者、其ノ相續人及受益者ハ信託事務ノ處理ニ關スル書類ノ閲覧ヲ請求シ且信託事務ノ處理ニ付説明ヲ求ムルコトヲ得

第四十一條　信託事務ハ營業トシテ信託ノ引受ヲ爲ス場合ヲ除クノ外裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ信託事務ノ處理ニ付檢査ヲ爲シ且檢査役ヲ選任シ其ノ他必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第四十二條　受託者カ死亡シタルトキ又ハ破產、禁治產若ハ準禁治產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其ノ任務ハ之ニ因リテ終了ス受託者タル法人カ解散シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ受託者ノ相續人、其ノ法定代理人、破產管財人、後見人、保佐人又ハ清算人ハ新受託者カ信託事務ヲ處理スルコトヲ得ル=至ル迄仍受託者ノ權利義務ヲ有ス

第四十三條　受託者カ其ノ任務ニ背キタルトキ其ノ他重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ委託者、其ノ相續人又ハ受益者ノ請求ニ因リ受託者ヲ解任スルコトヲ得

第四十四條　信託行爲ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外受益者及委託者ノ承諾アルニ非サレハ其ノ任務ヲ辭スルコトヲ得ス

第四十五條　第四十三條又ハ前條ノ規定ニ依リ任務終了シタル者ハ新受託者カ信託事務ヲ處理スルコトヲ得ル=至ル迄仍受託者ノ權利義務ヲ有ス

第四十六條　已ムコトヲ得サル事由アルトキハ受託者ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ其ノ任務ヲ辭スルコトヲ得

第四十七條　受託者カ信託財產ニ屬セサル債務ヲ負擔シ又ハ信託財產ヲ以テ信託事務ノ處理上第三者ニ與ヘタル損害ヲ賠償スル場合ニ於テハ其ノ債務ハ信託財產ヲ以テ之ヲ履行スル責ニ任ス

第四十八條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬ス

第四十九條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル損害ハ信託財產ヲ以テ之ヲ補償スル責ニ任ス

第五十條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ過失ニ因リ信託財產ニ損害ヲ生セシメタルトキハ受益者ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス

第五十一條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬ス

第五十二條　受託者ハ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ノ全部又ハ一部ヲ受益者ニ對シ其ノ意思ニ反シテ放棄スルコトヲ得ス

第五十三條　受託者ハ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ノ全部又ハ一部ヲ委託者ニ對シ其ノ意思ニ反シテ放棄スルコトヲ得ス

第五十四條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スル債務ト相殺スルコトヲ得ス

第五十五條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スル債務ト混同シタル場合ニ於テモ信託財產ニ屬スル債務ノ爲ニ質權ノ目タルコトヲ得ス

第五十六條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スル債務ト混同シタル場合ニ於テモ信託財產ニ屬スル債務ノ爲ニ質權ノ目タルコトヲ得ス

第五十七條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スル債務ト混同シタル場合ニ於テモ信託財產ニ屬スル債務ノ爲ニ質權ノ目タルコトヲ得ス

第五十八條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スル債務ト混同シタル場合ニ於テモ信託財產ニ屬スル債務ノ爲ニ質權ノ目タルコトヲ得ス

第五十九條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スル債務ト混同シタル場合ニ於テモ信託財產ニ屬スル債務ノ爲ニ質權ノ目タルコトヲ得ス

第六十條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スル債務ト混同シタル場合ニ於テモ信託財產ニ屬スル債務ノ爲ニ質權ノ目タルコトヲ得ス

第六十一條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スル債務ト混同シタル場合ニ於テモ信託財產ニ屬スル債務ノ爲ニ質權ノ目タルコトヲ得ス

第六十二條　受託者カ信託事務ノ處理ニ付テ受ケタル利益ハ信託財產ニ屬スル債務ト混同シタル場合ニ於テモ信託財產ニ屬スル債務ノ爲ニ質權ノ目タルコトヲ得ス

第六十三條　信託終了ノ場合ニ於テ信託財產ヲ留置スルコトヲ得

第六十四條　受託者更迭ノ場合ニ於テハ信託事務ノ計算ヲ爲シ受益者又ハ信託管理人ノ立會ヲ以テ事務ノ引繼ヲ爲スコトヲ要ス

受益者又ハ信託管理人カ前項ノ計算ヲ承認シタルトキハ前受託者ノ責任ハ之ニ因リテ解除セラルヘシ但シ不正ノ行爲アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十五條　信託行爲ヲ以テ定メタル事由發生シタルトキ又ハ信託ノ目的ヲ達シ若ハ達スルコト能ハサルニ至リタルトキハ信託ハ之ニ因リテ終了ス

第六十六條　受託者ノ更迭アリタルトキハ信託財產ハ前受託者ノ任務終了ノ時ニ於テ新受託者ニ讓渡サレタルモノト看做ス

受託者歿入アル場合ニ於テ其ノ一人ノ任務終了シタルトキハ信託財產ハ當然他ノ受託者ニ歸屬ス

第六十七條　第二十七條又ハ第二十九條ニ規定スル權利ハ新受託者亦之ヲ行フコトヲ得

第五十二條　受託者ノ更迭アリタルトキハ新受託者カ信託行爲ニ因リ受益者ニ對シテ負擔シタル債務ヲ承繼ス

前項ノ規定ハ第五十條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

信託事務ノ處理ニ付生シタル債權ハ信託財產ノ限度ニ於テ新受託者ニ對シテモ亦之ヲ行フコトヲ得

第五十三條　信託財產ニ對スル强制執行又ハ競賣手續ハ新受託者ニ對シテ之ヲ續行スルコトヲ得

第五十四條　前受託者ハ第三十六條第一項ニ規定スル費用若ハ損害ノ補償ヲ受クル權利又ハ第三十七條ニ規定スル報酬ヲ受クル權利ニ基キ新受託者ニ對シ信託財產ニ付强制執行ヲ爲シ又ハ之ヲ競賣スルコトヲ得

第六十八條　公益信託ノ引受ニ付テハ受託者ノ主務官廳ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第六十九條　主務官廳ハ何時ニテモ公益信託事務ノ處理ニ付檢査ヲ爲シ且財產ノ供託其ノ他必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

受託者ハ每年一回一定ノ時期ニ於テ信託事務及財產ノ狀況ヲ公告スルコトヲ要ス

第七十條　公益信託ニ付信託行爲ノ當時豫見スルコトヲ得サリシ特別ノ事情ヲ生シタルトキハ主務官廳ハ信託ノ本旨ニ反セサル限リ信託ノ條項ノ變更ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　公益信託ノ受託者ハ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ主務官廳ノ許可ヲ受ケ其ノ任務ヲ辭スルコトヲ得

第七十二條　公益信託ニ付テハ第八條第一項第三項、第二十二條第一項但書及第四十七條乃至第四十九條ニ規定スル裁判所ノ權限ハ主務官廳ニ屬ス但シ第四十七條及第四十九條ニ規定スル權限ニ付テハ職權ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得

第七十三條　公益信託終了ノ場合ニ於テ信託財產ノ歸屬權利者ナキトキハ主務官廳ハ其ノ信託ノ本旨ニ從ヒ類似ノ目的ノ爲ニ信託ヲ繼續セシムルコトヲ得

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●有價證券ノ信託財產表示及信託財產ニ屬スル金錢ノ管理ニ關スル件

昭和六年九月
總令第百十六號

有價證券ノ信託財產表示及信託財產ニ屬スル金錢ノ管理ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第三條第二項ノ規定ニ依ル信託財產ナルコトノ表示ハ委託者又ハ受託者ノ請求ニ依リ因循、地方債、社債又ハ株式ニ付テハ發行者、公證人又ハ公證人ノ職務ヲ行フ官吏、其ノ他ノ有價證券ニ付テハ公證人又ハ公證人ノ職務ヲ行フ官吏之ヲ爲ス

第二條　公證人又ハ公證人ノ職務ヲ行フ官吏之ヲ爲ス

前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ信託表示簿ニ證券ノ種類及番號竝ニ依託者及受託者ノ氏名ヲ記載シ證券ニハ信託財產ナルコト及登簿番號ヲ記載シテ日附アル印章ヲ押捺シ尚其ノ印章ヲ以テ信託表示簿ト證券トニ割印ヲ爲スヘシ

信託表示簿ニハ豫メ登簿番號ヲ印刷シ請求順ヲ以テ前項ノ規定ニ從ヒ記入ヲ爲スコトヲ要ス

信託表示簿ニハ地方法院長其ノ紙數ヲ表紙ノ裏面ニ記載シ職氏名ヲ署シ職印ヲ押捺シ且職印ヲ以テ每紙ノ綴目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス

第三條　發行者第一條ノ請求ヲ受ケタルトキハ證券ニ信託財產ナルコトヲ記載シ其ノ年月日ヲ附記シ記名捺印スヘシ

第四條　第一條、第二條第一項及前條ノ規定ハ受託者カ信託財產ナルコトノ表示ノ抹消ヲ請求スル場合ニ之ヲ準用ス

前項ニ規定スル表示ノ抹消ハ受益者モ亦之ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スルコトヲ要ス

第五條　信託財產ニ屬スル金錢ノ運用ハ信託行爲ヲ以テ別段ノ定ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外左ノ方法ニ依ルコトヲ要ス但シ受託者カ信託會社ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　國債、地方債及特別ノ法令ニ依リテ設立シタル會社ノ社債ノ應募、引受又ハ買入

二　國債其ノ他前號ニ揭ケル有價證券ヲ擔保トスル貸付

三　郵便貯金

四　銀行又ハ金融組合ヘノ預金

附　則

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●信託表示簿及日附アル印章調製ニ關スル件

昭和六年九月
總令第百十七號

信託表示簿及日附アル印章調製ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　公證人役場又ハ地方法院（支廳）ニ備フヘキ信託表示簿及日附アル印章ハ附屬書式ノ形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條　公證人ニ於テ信託表示簿ヲ調製シタルトキハ之ヲ記入前管轄地方法院長ニ差出スヘシ

公證人ノ職務ヲ行フ官吏ニ於テ使用スヘキ信託表示簿ハ地方法院ニ於テ調製シ其ノ請求ニ依リ之ヲ交付スヘシ

附　則

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（信託表示簿雛形）

信託表示簿

何地方法院（何又ハ何出張所）
（支廳）
又ハ
何地方法院所屬
公證人役場

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

第一條　可帝國臣民ニ關スル法律ニ依リ帝國臣民ト同一ノ權利ヲ有スル者ヲ除クノ外帝國ニ在ル外國人ハ民事ニ關シ法令ニ依リ認メラレタル限ニ於テ私權ヲ享有ス

外國人ノ土地ノ取得ニ關スル法律ハ別ニ之ヲ定ム

第二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ハ相互ノ條件ヲ以テ之ヲ認メ其ノ得喪ハ法令又ハ條約ニ別段ノ規定アルニ非サレハ內國人ニ於ケルト同一ノ例ニ依ル

第三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第二十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第三十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第四十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第五十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第六十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第七十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第八十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第九十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百二十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百三十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百四十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百五十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百六十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十三條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十四條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十五條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十六條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十七條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十八條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百七十九條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百八十條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百八十一條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第百八十二條　外國人ノ土地ニ關スル權利ニシテ登記ニ因リ取得スヘキモノハ其ノ登記ヲ受ケタルトキニ非サレハ之ヲ取得

京都市中京區小結棚町　八仰実況　三神新利　大阪府北区宇縣野町　和歌山縣伊都郡　和歌山縣那賀郡　和歌山縣和歌山市　和歌山縣海草郡　和歌山縣有田郡　和歌山縣日高郡　和歌山縣西牟婁郡　和歌山縣東牟婁郡　和歌山縣東牟婁郡　和歌山縣東

商法

法律第三十二號
明治四十二年三月九日

第一編　總則

第一章　商人

第一條　商人ハ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲ス者トス

第二條　商行爲ニ關スル民法ノ規定ハ商人ノ商行爲ニ之ヲ適用ス

第三條　未成年者カ商人タルトキハ其法定代理人カ其未成年者ノ爲ニ商行爲ノ許可ヲ得タルコトヲ證スルニ非サレハ其商行爲ニ付テハ能力者タルノ責ニ任ス

第四條　未成年者カ其法定代理人ノ許可ヲ得テ商行爲ヲ爲ス場合ニ於テハ其能力ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第五條　未成年者カ商行爲ニ付キ能力者タルノ登記ヲ爲シタルトキハ其商行爲ニ付テハ能力者タルノ責ニ任ス

第六條　後見人カ被後見人ノ爲ニ商行爲ヲ爲スニ付テハ第四條及前條ノ規定ヲ準用ス

第七條　削除

第八條　削除

第九條　商業使用人ハ其ノ商業ノ範圍内ニ於テ裁判上又ハ裁判外ノ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第十條　商業使用人ニ對シ其ノ商業ノ範圍内ニ於テ爲シタル取引ニ付テハ本人ハ善意ノ第三者ニ對シテ其責ニ任ス

第十一條　商業使用人カ本人ノ爲ニ爲シタル取引ニ付キ本人ニ損害ヲ加ヘタルトキハ本人ハ其賠償ノ責ニ任ス

第十二條　商業使用人ハ本人ノ許可ヲ得ルニ非サレハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　自己又ハ第三者ノ爲ニ本人ノ營業ノ部類ニ屬スル取引ヲ爲スコト

二　本人ノ營業ト同種ノ事業ヲ目的トスル會社ノ無限責任社員又ハ取締役ト爲ルコト

三　他ノ商人ノ營業又ハ他ノ會社ノ使用人ト爲ルコト

第十三條　本店又ハ支店ノ所在地ニ於テ其營業ニ關シ他人ト取引ヲ爲シタル者ハ其取引ノ當時本店又ハ支店ニ於テ其取引ヲ爲シタルモノト看做ス

第十四條　商業使用人ノ權限ニ加ヘタル制限ハ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十五條　商業使用人カ其營業ノ部類ニ屬スル取引ヲ爲シタルトキハ其取引ニ因リテ生シタル債務ニ付テハ本人ニ對シ履行ヲ請求スルコトヲ得

第十六條　商人ノ名稱ヲ以テ取引ヲ爲シタル者ハ其名稱ヲ使用スル權利ヲ有ス

第十七條　商號ノ譲渡ハ營業ヲ譲渡スル場合又ハ營業ヲ廢止スル場合ニ限リ其效力ヲ有ス

第十八條　商號ノ譲渡ハ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條　營業ヲ譲渡シタル者カ同一ノ營業ヲ爲ス場合ニ於テ其譲受人ノ爲ニ競業ノ禁止ヲ約シタルトキハ其約定ハ譲渡人カ其營業ヲ譲渡シタル後二十年ノ範圍内ニ於テ其效力ヲ有ス

第二十條　前二條ノ規定ハ營業ヲ賃貸シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條　商號ノ譲渡ハ營業ヲ譲渡シタル後二年内ニ限リ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二十二條　營業ヲ譲渡シタル者カ前條ノ期間内ニ其營業ヲ爲ス場合ニ於テハ其譲受人ノ爲ニ競業ノ禁止ヲ約シタルモノト推定ス

第二十三條　前二條ノ規定ハ營業ヲ賃貸シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二章　商業登記

第二十四條　商人ニ關スル登記ハ本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲ス

第二十五條　登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス但法律ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　登記ハ申請ノ受附ノ後遲滯ナク之ヲ爲スヘシ

第二十七條　登記ハ登記官吏之ヲ爲ス

第二十八條　登記官吏ハ申請ニ關スル事項カ登記スヘキモノニ非サルトキ又ハ申請カ法令ニ違背シタルトキハ申請ヲ却下スヘシ

第二十九條　登記官吏ハ申請ニ關スル事項カ登記スヘキモノニ非サルトキ又ハ申請カ法令ニ違背シタルトキハ職權ヲ以テ其登記ヲ抹消スヘシ

第三十條　登記官吏ハ登記ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其登記ノ要領ヲ公告スヘシ

第三十一條　登記ハ公告ノ日ヨリ十四日ヲ經過スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十二條　登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタルトキハ當事者ハ遲滯ナク變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スヘシ

第三十三條　登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十四條　登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後二年内ニ限リ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第三十五條　登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十六條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第三十七條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第三十八條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第三十九條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十一條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十二條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十三條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十四條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十五條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十六條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十七條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十八條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第四十九條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十一條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十二條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十三條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十四條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十五條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十六條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十七條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十八條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第五十九條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十一條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十二條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十三條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十四條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十五條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十六條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十七條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十八條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第六十九條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十一條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十二條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十三條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十四條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十五條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十六條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十七條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十八條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第七十九條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十一條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十二條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十三條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十四條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十五條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十六條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十七條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十八條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第八十九條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

第九十條　第三十四條ノ規定ハ登記ノ事項ニ變更又ハ消滅アリタル後ニ在リテハ當事者カ其變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタルトキハ之ヲ適用セス

於テ主人之ヲ登記スルコトヲ要ス前條第一項ニ定メタル事項及ヒ其變更竝ニ消滅亦同シ

第三十二條　支配人ハ主人ノ許諾アルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ商行爲ヲ爲シ又ハ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス

第三十三條　商人カ前項ノ規定ニ反シテ自己ノ爲メニ商行爲ヲ爲シタルトキハ主人ハ之ヲ以テ自己ノ爲メニ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ニ定メタル權利ハ主人カ其行爲ヲ知リタル時ヨリ二週間之ヲ行ハサルトキハ消滅ス行爲ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキ亦同シ

第三十四條　商人ハ番頭又ハ手代ヲ選任シ其營業ニ關スル或種類又ハ特定ノ事項ヲ委任スルコトヲ得

番頭又ハ手代ハ其委任ヲ受ケタル事項ニ關シ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第三十五條　前條ノ規定ハ番頭又ハ手代ニ非サル使用人ハ主人ニ代ハリテ法律行爲ヲ爲ス權限ヲ有セサルモノト推定ス

第三十六條　本章ノ規定ハ主人ト商業使用人トノ間ニ生スル雇傭關係ニ付キ民法ノ規定ヲ適用スルコトヲ妨ケス

第七章　代理商

第三十六條　代理商トハ使用人ニ非スシテ一定ノ商人ノ爲メニ平常其營業ノ部類ニ屬スル商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲ス者ヲ謂フ

第三十七條　代理商カ商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク本人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三十八條　代理商ハ本人ノ許諾アルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ本人ノ營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス

第三十九條　代理商ハ本人ノ商業使用人ヲ選任シ其本店又ハ支店ニ於テ其商業ヲ營マシムルコトヲ得

第三十條　支配人ハ主人ニ代ハリテ其營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

支配人ハ番頭又ハ手代ニ非サル使用人ヲ選任シ又ハ解任スルコトヲ得

第三十一條　支配人ノ選任及ヒ其代理權ノ消滅ハ之ヲ登記スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

支配人カ主人ノ爲メニ爲シタル行爲ニ付キ第三者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ主人ニ於テ其賠償ノ責ニ任ス

第三十二條　支配人ハ主人ノ許諾アルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ商行爲ヲ爲シ又ハ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得ス

第三十三條　商人ハ番頭又ハ手代ヲ選任シ其營業ニ關スル或種類又ハ特定ノ事項ヲ委任スルコトヲ得

番頭又ハ手代ハ其委任ヲ受ケタル事項ニ關シ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第三十四條　支配人、番頭又ハ手代ニ非サル使用人ハ主人ニ代ハリテ法律行爲ヲ爲ス權限ヲ有セサルモノト推定ス

第三十五條　本章ノ規定ハ主人ト商業使用人トノ間ニ生スル雇傭關係ニ付キ民法ノ規定ヲ適用スルコトヲ妨ケス

第七章　代理商

第三十六條　代理商トハ使用人ニ非スシテ一定ノ商人ノ爲メニ平常其營業ノ部類ニ屬スル商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲ス者ヲ謂フ

第三十七條　代理商カ商行爲ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク本人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三十八條　代理商ハ本人ノ許諾アルニ非サレハ自己又ハ第三者ノ爲メニ本人ノ營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ無限責任社員トナリ又ハ他ノ會社ノ取締役ト爲ルコトヲ得ス

第三十九條　代理商ハ商人ノ使用人ヲ選任シ其本店又ハ支店ニ於テ其商業ヲ營マシムルコトヲ得

第三十條　支配人ハ主人ニ代ハリテ其營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

支配人ハ番頭、手代其他ノ使用人ヲ選任

一　存立時期ノ滿了其他定款ニ定メタル事由ノ發生
二　會社ノ目的タル事業ノ成功又ハ其成功ノ不能
三　總社員ノ同意
四　會社ノ合併
五　社員カ一人トナリタルコト
六　會社ノ破產
七　裁判所ノ命令

第七十條　前條第一號ノ場合ニ於テハ社員ノ全部又ハ一部ノ同意ヲ以テ會社ヲ繼續スルコトヲ得但同意ヲ爲ササリシ社員ハ退社ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十一條　會社カ裁判所ノ命令ニ因リテ解散シタルトキハ其決議ノ爲シタル時ヨリ二週間內ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七十二條　會社ニ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ其決議ノ日ヨリ二週間內ニ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

會社カ合併ヲ爲シタルトキハ債權者ニ對シ異議アラハ一定ノ期間內ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スルコトヲ要ス但其期間ハ二十月ヲ下ルコトヲ得ス

第七十三條　合併カ合併ニ對シテ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ會社ハ合併ヲ爲スコトヲ得ス但會社カ相當ノ擔保ヲ供シ又ハ其債權ヲ辨濟シ又ハ相當ノ財產ヲ有スルトキハ此限ニ在ラス

第七十四條　合併ハ會社カ總社員ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七十五條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其決議ノ日ヨリ二週間內ニ其債權者ニ對シテハ各別ニ合併ヲ爲シタル旨ヲ通知シ且公告ヲ爲スコトヲ要ス但社債ノ債權者ニ對シテハ公告ヲ爲スヲ以テ足ル

第七十六條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ存續會社又ハ新設會社ハ解散シタル會社ノ權利義務ヲ承繼ス

第七十七條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ存續會社又ハ新設會社ハ解散シタル會社ノ債務ニ付連帶シテ辨濟ノ責ニ任ス

第七十八條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ其決議ノ日ヨリ二週間內ニ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

會社カ合併ヲ爲シタルトキハ債權者ハ其會社ニ對シテ異議ヲ述フルコトヲ得但合併ヲ爲スノ決議ヲ爲シタル日ヨリ二週間內ニ限リ此ノ限ニ在ラス

第七十九條　前條ノ場合ニ於テハ社員ノ全部又ハ一部ノ同意ヲ以テ會社ノ解散ヲ爲スコトヲ得

第八十條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間內ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其變更ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ消滅シタル會社ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ設立シタル會社ニ付テハ第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十一條　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ權利義務ヲ承繼ス

第八十二條　已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各社員ハ會社ノ解散ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但裁判所ハ社員ノ請求ニ因リ會社ノ解散ニ代ヘテ或社員ヲ除名スルコトヲ得

第八十三條　合名會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ其組織ヲ變更シテ之ヲ合資會社ト爲スコトヲ得

第七十八條及ヒ第七十九條第一項、第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十三條ノ三　前條ノ場合ニ於テ會社ハ組織變更ニ付キ債權者ノ承認ヲ得又ハ第七十九條第二項ニ定メタル義務ヲ履行シタル後二週間內ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ合名會社ニ付テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スニ因リテ解散ス

第八十三條ノ四　合名會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ有限責任社員ヲ加入セシメ之ヲ合資會社ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ合資會社ニ付キ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スニ因リテ解散ス

第八十四條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ尙ホ存續スルモノト看做ス

第八十五條　會社カ解散シタルトキハ其清算人ハ會社ノ業務ヲ執行シ且會社ヲ代表ス但清算ノ爲メニスル行爲ニ付テハ此限ニ在ラス

清算人數人アルトキハ清算ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第八十六條　裁判所カ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任シタルトキハ裁判所ハ新ニ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第八十七條　清算人ハ會社ノ財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作リ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ因リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第八十八條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第八十九條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第九十條　社員カ選任シタル清算人ハ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得此解任ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第九十一條　清算人ハ會社ヲ代表ス

清算人數人アルトキハ清算ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第九十二條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟スル前ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第九十三條　清算人ハ會社カ支拂ヲ爲スニ當リ債權者ニ辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十四條　清算人數人アルトキハ清算ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第九十三條ノ二　會社ハ辨濟期ニ至ラサル債權ト雖モ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス

條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權ハ裁判所ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價ニ從ヒテ之ヲ辨濟スルコトヲ要ス

第九十二條　會社ニ現存スル財產カ其債務ヲ完濟スルニ不足ナルトキハ清算人ハ辨濟期ニ拘ハラス社員ヲシテ出資ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十三條　清算人數人アルトキハ清算ニ關スル行爲ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第九十三條ノ二　第六十一條及ヒ第六十一條ノ二ノ規定ハ清算人ノ選任スル場合ニ於テ會社ヲ代表スヘキ者ヲ定メ又ハ數人カ共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定メサルトキハ其清算人ハ各自會社ヲ代表ス

第九十四條　清算人ハ就職ノ後遲滯ナク會社財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作リ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ因リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第九十五條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第九十六條　社員カ選任シタル清算人ハ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得此解任ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第九十七條　第九十條ニ揭ケタル事項ノ外各社員ノ責任ノ有限又ハ無限ナルコトヲ記載スルコトヲ要ス

第九十八條　清算人ハ遲滯ナク計算ヲ爲シテ各社員ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

前項ノ計算ニ對シ社員カ一ケ月內ニ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

第九十九條　清算人ノ任務カ終了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク計算ヲ爲シテ各社員ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

前項ノ計算ニ對シ社員カ一ケ月內ニ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

第百條　清算人ハ會社ノ帳簿、其書類ニ關スル信書及ヒ清算ニ關スル一切ノ書類ハ第八十五條ノ場合ニ在リテハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後其他ノ場合ニ在リテハ清算結了ノ登記ヲ爲シタル後十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス其保存者ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ定ム

第百一條　社員カ死亡シタル場合ニ於テ其相續人數人アルトキハ清算ニ關シテ社員ノ權利ヲ行フヘキ者一人ヲ定ムルコトヲ要ス

第百二條　社員カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ破產管財人カ其職務ヲ行フ

第百三條　第六十三條ニ定メタル社員ノ責任ハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後五年ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第百四條　會社ハ解散ノ後本店ノ所在地ニ於テハ第百條ニ揭ケタル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第百五條　會社カ清算ヲ了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百六條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ尙ホ存續スルモノト看做ス

第百七條　會社ハ定款ニ作リタル日ヨリ二週間內ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ會社ヲ代表スヘキ者ヲ定メス又ハ數人カ共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定メサルトキハ其清算人ハ各自會社ヲ代表ス

第百八條　有限責任社員ハ金錢其他ノ財產ノミヲ以テ其出資ノ目的ト爲スコトヲ得

第百九條　各無限責任社員ハ定款ニ別段ノ定ナキトキハ會社ノ業務ヲ執行シ會社ヲ代表ス

第百十條　各無限責任社員ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第百十一條　有限責任社員ハ營業年度ノ終ニ於テ營業時間內ニ限リ會社ノ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ閱覽ヲ求メ且會社ノ業務及ヒ會社財產ノ狀況ヲ檢查スルコトヲ得

第百十二條　有限責任社員ハ無限責任社員ノ承諾アルトキハ其持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得

第百十三條　有限責任社員ハ自己又ハ第三者ノ爲メニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル商行爲ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員ト爲ルコトヲ得

第百十四條　定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ特ニ會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ヲ定メサルトキハ各無限責任社員ハ會社ヲ代表ス但清算ノ爲メニスル行爲ニ付テハ此限ニ在ラス

第百十五條　有限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルコトヲ得ス

第百十六條　有限責任社員ニ自己ヲ無限責任社員ナリト信セシメヲヒ行爲アリタルトキハ其社員ト同一ノ責任ヲ負フ

第百十七條　有限責任社員カ死亡シタルトキハ其繼承人之ニ代ハリテ社員ト爲ル

有限責任社員ハ禁治產ノ宣告ヲ受クルモ之ニ因リテ退社セス

第百十八條　合資會社ハ無限責任社員又ハ有限責任社員ノ全員カ退社シタルトキハ解散ス但有限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於テ無限責任社員ノ一致ヲ以テ合名會社トシテ會社ヲ繼續スルコトヲ妨ケス

前項但書ノ場合ニ於テハ二週間內ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ合資會社ニ付テハ第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シ合名會社ニ付テハ第百條ニ揭ケタル事項ヲ登記スルコトヲ要ス其變更ヲ登記スルニ因リ清算人ヲ選任スル場合ニ於テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スニ因リテ退社シタル無限責任社員ハ其責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第百十九條　株式會社ノ設立ニハ七人以上ノ發起人アルコトヲ要ス

第百二十條　發起人ハ定款ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載シテ署名スルコトヲ要ス

一　目的
二　商號
三　資本ノ總額
四　一株ノ金額
五　取締役カ有スヘキ株式ノ數
六　本店及ヒ支店ノ所在地
七　會社カ公告ヲ爲ス方法
八　發起人ノ氏名、住所

第百二十一條　前條第五號乃至第七號ニ揭ケタル事項ノ定款ニ記載セサリシトキハ創立總會又ハ株主總會ニ於テ之ヲ補足スルコトヲ得但此場合ニ於テハ解散ノ日ヨリ二週間內ニ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

第百二十一條　會社カ知レタル債權者ニ催告ヲ爲ササシテ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其催告ヲ受ケサリシ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第八十一條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間內ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ合併後存續スル會社ニ付テハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル會社ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル會社ニ付テハ第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十二條　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ權利義務ヲ承繼ス

第八十三條　已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各社員ハ會社ノ解散ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但裁判所ハ社員ノ請求ニ因リ會社ノ解散ニ代ヘテ或社員ヲ除名スルコトヲ得

第八十三條ノ二　合名會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ其組織ヲ變更シテ之ヲ合資會社ト爲スコトヲ得

第七十八條及ヒ第七十九條第一項、第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十三條ノ三　前條ノ場合ニ於テ會社ハ組織變更ニ付キ債權者ノ承認ヲ得又ハ第七十九條第二項ニ定メタル義務ヲ履行シタル後二週間內ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ合名會社ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ合資會社ニ付テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スニ因リテ解散ス

第八十三條ノ四　合名會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ有限責任社員ヲ加入セシメ之ヲ合資會社ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ合資會社ニ付キ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スニ因リテ解散ス

第八十四條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ尙ホ存續スルモノト看做ス

第八十五條　會社カ解散シタルトキハ其清算人ハ會社ノ業務ヲ執行シ且會社ヲ代表ス但清算ノ爲メニスル行爲ニ付テハ此限ニ在ラス

清算人數人アルトキハ清算ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第八十六條　裁判所カ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任シタルトキハ裁判所ハ新ニ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第八十七條　清算人ハ會社ノ財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作リ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ因リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第八十八條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第八十九條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第九十條　社員カ選任シタル清算人ハ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得此解任ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第九十一條　清算人ハ會社ヲ代表ス

清算人數人アルトキハ清算ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第九十二條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟スル前ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第九十三條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第九十四條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ尙ホ存續スルモノト看做ス

第九十五條　會社カ清算ヲ了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第九十六條　會社ハ定款ニ作リタル日ヨリ二週間內ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ會社ヲ代表スヘキ者ヲ定メス又ハ數人カ共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定メサルトキハ其清算人ハ各自會社ヲ代表ス

第九十七條　有限責任社員ハ營業年度ノ終ニ於テ營業時間內ニ限リ會社ノ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ閱覽ヲ求メ且會社ノ業務及ヒ會社財產ノ狀況ヲ檢查スルコトヲ得

第九十八條　有限責任社員ハ無限責任社員ノ承諾アルトキハ其持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得

第九十九條　有限責任社員カ一ケ月內ニ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス

第百條　會社ハ定款ニ作リタル日ヨリ二週間內ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　商號
二　目的
三　資本ノ總額
四　一株ノ金額
五　取締役カ有スヘキ株式ノ數
六　本店及ヒ支店ノ所在地
七　會社カ公告ヲ爲ス方法
八　發起人ノ氏名、住所

第百一條　前條第五號乃至第七號ニ揭ケタル事項ノ定款ニ記載セサリシトキハ創立總會又ハ株主總會ニ於テ之ヲ補足スルコトヲ得但此場合ニ於テハ解散ノ日ヨリ二週間內ニ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

第百二條　會社カ知レタル債權者ニ催告ヲ爲ササシテ合併ヲ爲シタルトキハ其合併ハ之ヲ以テ其催告ヲ受ケサリシ債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第百三條　會社カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間內ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル會社ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル會社ニ付テハ第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百四條　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ權利義務ヲ承繼ス

第百五條　已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各社員ハ會社ノ解散ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但裁判所ハ社員ノ請求ニ因リ會社ノ解散ニ代ヘテ或社員ヲ除名スルコトヲ得

第百六條　合名會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ其組織ヲ變更シテ之ヲ合資會社ト爲スコトヲ得

第百七條及ヒ第百八條第一項、第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六條ノ二　前條ノ場合ニ於テ會社ハ組織變更ニ付キ債權者ノ承認ヲ得又ハ第百八條第二項ニ定メタル義務ヲ履行シタル後二週間內ニ其本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ合名會社ニ付テハ解散ノ登記ヲ爲シ合資會社ニ付テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スニ因リテ解散ス

第百六條ノ三　合名會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ有限責任社員ヲ加入セシメ之ヲ合資會社ト爲スコトヲ得此場合ニ於テハ合資會社ニ付キ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スニ因リテ解散ス

第百七條　會社ハ解散ノ後本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百八條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ尙ホ存續スルモノト看做ス

第百九條　會社カ解散シタルトキハ其清算人ハ會社ノ業務ヲ執行シ且會社ヲ代表ス但清算ノ爲メニスル行爲ニ付テハ此限ニ在ラス

清算人數人アルトキハ清算ハ其過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第百十條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第百十一條　清算人ハ會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ヲ定メサルトキハ各無限責任社員ハ會社ヲ代表ス但清算ノ爲メニスル行爲ニ付テハ此限ニ在ラス

第百十二條　清算人ハ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルコトヲ得ス

第百十三條　有限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルコトヲ得ス

第百十四條　有限責任社員ニ自己ヲ無限責任社員ナリト信セシメヲヒ行爲アリタルトキハ其社員ト同一ノ責任ヲ負フ

第百十五條　有限責任社員カ死亡シタルトキハ其繼承人之ニ代ハリテ社員ト爲ル

有限責任社員ハ禁治產ノ宣告ヲ受クルモ之ニ因リテ退社セス

第百十六條　合資會社ハ無限責任社員又ハ有限責任社員ノ全員カ退社シタルトキハ解散ス但有限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於テ無限責任社員ノ一致ヲ以テ合名會社トシテ會社ヲ繼續スルコトヲ妨ケス

前項但書ノ場合ニ於テハ二週間內ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ合資會社ニ付テハ第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シ合名會社ニ付テハ第百條ニ揭ケタル事項ヲ登記スルコトヲ要ス其變更ヲ登記スルニ因リ清算人ヲ選任スル場合ニ於テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スニ因リテ退社シタル無限責任社員ハ其責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第百十七條　有限責任社員カ死亡シタルトキハ其繼承人ハ其被繼承人ノ有限責任社員ノ持分ヲ承繼ス但定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第百十八條　有限責任社員ハ其持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得但定款ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第百十九條　有限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルコトヲ得ス

第百二十條　有限責任社員ニ自己ヲ無限責任社員ナリト信セシメヲヒ行爲アリタルトキハ其社員ト同一ノ責任ヲ負フ

第百二十一條　有限責任社員カ死亡シタルトキハ其繼承人之ニ代ハリテ社員ト爲ル

有限責任社員ハ禁治產ノ宣告ヲ受クルモ之ニ因リテ退社セス

第百二十二條　合資會社ハ無限責任社員又ハ有限責任社員ノ全員カ退社シタルトキハ解散ス但有限責任社員ノ全員カ退社シタル場合ニ於テ無限責任社員ノ一致ヲ以テ合名會社トシテ會社ヲ繼續スルコトヲ妨ケス

前項但書ノ場合ニ於テハ二週間內ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ合資會社ニ付テハ第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲シ合名會社ニ付テハ第百條ニ揭ケタル事項ヲ登記スルコトヲ要ス其變更ヲ登記スルニ因リ清算人ヲ選任スル場合ニ於テハ第百七條ニ定メタル登記ヲ爲スニ因リテ退社シタル無限責任社員ハ其責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第百二十三條　第六十三條ニ定メタル社員ノ責任ハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後五年ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第百二十四條　定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ特ニ會社ヲ代表スヘキ無限責任社員ヲ定メサルトキハ各無限責任社員ハ會社ヲ代表ス但清算ノ爲メニスル行爲ニ付テハ此限ニ在ラス

第百二十五條　會社ハ定款ニ作リタル日ヨリ二週間內ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ會社ヲ代表スヘキ者ヲ定メス又ハ數人カ共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定メサルトキハ其清算人ハ各自會社ヲ代表ス

第百二十六條　會社ハ解散ノ後本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十七條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ尙ホ存續スルモノト看做ス

第百二十八條　清算人ハ會社ノ財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作リ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ因リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第百二十九條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第百三十條　清算人ハ會社カ支拂ヲ爲スニ當リ債權者ニ辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第百三十一條　清算人ハ會社カ清算ヲ了シタルトキハ遲滯ナク本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百三十二條　社員カ選任シタル清算人ハ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得此解任ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第百三十三條　清算人ハ會社ノ帳簿、其書類ニ關スル信書及ヒ清算ニ關スル一切ノ書類ハ第八十五條ノ場合ニ在リテハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後其他ノ場合ニ在リテハ清算結了ノ登記ヲ爲シタル後十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス其保存者ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ定ム

第百三十四條　社員カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ破產管財人カ其職務ヲ行フ

第百三十五條　會社ハ定款ニ作リタル日ヨリ二週間內ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ會社ヲ代表スヘキ者ヲ定メス又ハ數人カ共同シテ會社ヲ代表スヘキコトヲ定メサルトキハ其清算人ハ各自會社ヲ代表ス但清算ノ爲メニスル行爲ニ付テハ此限ニ在ラス

第百三十六條　會社ハ解散ノ後本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百三十七條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ尙ホ存續スルモノト看做ス

第百三十八條　清算人ハ會社ノ財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作リ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ因リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十九條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第百四十條　清算人ハ會社カ支拂ヲ爲スニ當リ債權者ニ辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第百四十一條　清算人ハ會社カ清算ヲ了シタルトキハ遲滯ナク本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ其登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百四十二條　社員カ選任シタル清算人ハ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得此解任ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第百四十三條　清算人ハ會社ノ帳簿、其書類ニ關スル信書及ヒ清算ニ關スル一切ノ書類ハ第八十五條ノ場合ニ在リテハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後其他ノ場合ニ在リテハ清算結了ノ登記ヲ爲シタル後十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス其保存者ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ定ム

第百四十四條　社員カ破產ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テハ破產管財人カ其職務ヲ行フ

第百二十一條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十二條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十四條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十七條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十一條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十二條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十三條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十四條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十五條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十七條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十八條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十九條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十一條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十二條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十四條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十五條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十六條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十七條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十九條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十一條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十二條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十四條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十七條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十一條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十二條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十三條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十四條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十五條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十七條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十八條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十九條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十一條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十二條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十四條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十五條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十六條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十七條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十九條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十條　第百二十一條ノ規定ハ第百二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十條ハ前ノ二項ノ規定ニ依リ當事者ノ一方ノ缺席ノ場合ニ準用ス

第百八十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百八十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百八十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百八十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百八十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百八十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百八十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百八十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百八十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第百九十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百二十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百三十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百四十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百五十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百六十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百七十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百八十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第二百九十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十七條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十八條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百十九條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百二十條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百二十一條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百二十二條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百二十三條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百二十四條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百二十五條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲセサルトキハ裁判所ニ提出シタル準備書面ニ記載シタル事項ヲ陳述シタルモノト看做ス

第三百二十六條　當事者ハ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキ又ハ出頭スル

第二百十二條ノ三　株式申込證ハ取締役之ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　會社ノ商號

二　增加スヘキ資本ノ總額

三　資本增加ノ決議ノ年月日

四　第一回拂込ノ金額

五　額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ其旨

六　前條ノ規定ニ依リテ決議シタル事項

七　優先株ヲ發行スル場合ニ於テハ其種類及ヒ其各種ノ株式ノ數

八　一定ノ時期マテニ資本增加ノ登記ヲ爲ササルトキハ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得ヘキコト

數種ノ優先株ヲ發行スル場合ニ於テハ株式申込人ハ株式申込證ニ其引受ケヘキ株式ノ種類及ヒ各種ノ株式ノ數ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百十三條　會社カ其資本ヲ增加シタル場合ニ於テ各新株ニ付キ第百二十九條ノ拂込アリタルトキハ取締役ハ遲滯ナク株主總會ヲ招集シテ之ニ新株ノ募集ニ關スル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

第二百十四條　監査役ハ左ニ揭ケタル事項ヲ調査シ之ヲ株主總會ニ報告スルコトヲ要ス

一　新株總數ノ引受アリタルヤ否ヤ

二　各新株ニ付キ第百二十九條ノ拂込アリタルヤ否ヤ

株主總會ハ前項ノ調査及ヒ報告ヲ爲サシムル爲特ニ檢査役ヲ選任スルコトヲ得

第二百十五條　削除

第二百十六條　引受ケナキ株式又ハ第百二十九條ノ拂込ノ未濟ナル株式アルトキハ取締役ハ連帶シテ其株式ヲ引受ケ又ハ其拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ株式ノ申込カ取消サレタルトキ亦同シ

第二百十七條　會社ハ第二百十三條ノ規定ニ依リテ招集シタル株主總會終結ノ日ヨリ二週間内ニ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ記載シテ公告スルコトヲ要ス

一　無限責任社員ト株主及ヒ第三者トノ關係

二　無限責任社員ノ退社

三　無限責任社員ノ氏名、住所

四　無限責任社員ノ株金以外ノ出資ノ種類及ヒ價格又ハ評價ノ標準

第二百三十八條　無限責任社員ハ株主ヲ募集シ株式ヲ引受ケタル者ニ對シ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ交付スルコトヲ要ス

一　第百二十二條、第百二十六條第二項第一號、第四號及ヒ第百二十九條第一項ニ揭ケタル事項

二　無限責任社員ノ氏名、住所

三　各新株ニ付キ拂込ミタル株金額

四　優先株ヲ發行シタルトキハ其種類及ヒ其各種ノ株式ノ數

第五十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ從ヒ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スヘキ事項ハ支店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十九條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第二百三十條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百三十一條　削除

第二百三十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十三條　會社ノ解散、其營業ニ關スル借財及ヒ清算ニ關スル一切ノ爭訟ハ本店ノ所在地ニ於テ清算結了ノ登記ヲ爲シタル後十年間之ヲ保存スルコトヲ要ス其保存者ハ清算人其他ノ利害關係人ノ請求ニ依リ裁判所之ヲ選任ス

第二百三十四條　第八十九條乃至第九十三條、第九十三條ノ二、第百六十三條乃至第百六十五條、第百六十六條ノ二、第百七十條、第百七十一條、第百七十六條乃至第百七十九條、第百八十一條、第百八十三條乃至第百九十三條及ヒ民法第四十九條、第八十條ノ規定ハ株式會社ノ清算ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三十五條　前條第一項及ヒ第二項ノ規定ニ依リ登記スヘキ事項カ外國ニ於テ生シタルトキハ登記ノ期間ハ其通知ノ到達シタル時ヨリ之ヲ起算ス

第二百三十六條　外國會社カ始メテ日本ニ支店ヲ設ケタルトキハ其支店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲スヘシ但シ第三者ハ其會社ノ成立ヲ否認スルコトヲ得

日本ニ本店ヲ設ケ又ハ日本ニ於テ商業ヲ營ムヲ以テ主タル目的トスル會社ハ外國ニ於テ設立スルモノト雖モ日本ニ於テ設立スル會社ト同一ノ規定ニ從フコトヲ要ス

第二百三十七條　第百四十七條、第百四十九條、第百五十條、第百五十一條、第百五十五條第一項、第二百七條及ヒ第二百十七條ノ規定ハ日本ニ於ケル外國會社ノ株券又ハ債券ノ發行及ヒ其株式又ハ社債ノ移轉ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ始メテ日本ニ設ケタル支店ヲ以テ本店ノ所在地ト看做ス

第二百六十條　外國會社カ日本ニ於テ選任シタル清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル者ニ其職務ヲ引繼カシムルコトヲ要ス

第二百六十一條　削除

第二百六十二條　清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百六十三條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十四條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百六十五條　削除

第二百六十六條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十七條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百六十八條　削除

第二百六十九條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第二百七十條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百七十一條　削除

第二百七十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百七十四條　削除

第二百七十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ノ解任ヲ爲スコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第二百七十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第二百七十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百七十八條　削除

第二百七十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百八十一條　削除

第二百八十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百八十四條　削除

第二百八十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第二百八十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第二百八十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百八十八條　削除

第二百八十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百九十一條　削除

第二百九十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百九十四條　削除

第二百九十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第二百九十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第二百九十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二百九十八條　削除

第二百九十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百一條　削除

第三百二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百四條　削除

第三百五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百八條　削除

第三百九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百十一條　削除

第三百十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百十四條　削除

第三百十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百十八條　削除

第三百十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百二十一條　削除

第三百二十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百二十四條　削除

第三百二十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百二十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百二十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百二十八條　削除

第三百二十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百三十一條　削除

第三百三十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百三十四條　削除

第三百三十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百三十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百三十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百三十八條　削除

第三百三十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百四十一條　削除

第三百四十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百四十四條　削除

第三百四十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百四十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百四十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百四十八條　削除

第三百四十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百五十一條　削除

第三百五十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百五十四條　削除

第三百五十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百五十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百五十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百五十八條　削除

第三百五十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百六十一條　削除

第三百六十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百六十四條　削除

第三百六十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百六十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百六十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百六十八條　削除

第三百六十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百七十一條　削除

第三百七十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百七十四條　削除

第三百七十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百七十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百七十八條　削除

第三百七十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百八十一條　削除

第三百八十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百八十四條　削除

第三百八十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百八十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百八十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百八十八條　削除

第三百八十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百九十一條　削除

第三百九十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百九十四條　削除

第三百九十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三百九十六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第三百九十七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百九十八條　削除

第三百九十九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第四百一條　削除

第四百二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第四百四條　削除

第四百五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ監査役又ハ資本ノ十分ノ一以上ニ當タル株主ノ請求ニ因リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第四百六條　殘餘財産ハ定款ニ依リテ拂込ミタル株金額ノ割合ニ應シテ之ヲ株主ニ分配スルコトヲ要ス但會社カ優先株ヲ發行シタル場合ニ於テ之ニ異ナリタル定アルトキハ此限ニ在ラス

第四百七條　清算事務カ終ハリタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第四百八條　削除

第四百九條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第四百十一條　削除

第四百十二條　會社カ事業ニ著手シタル後株主、取締役又ハ監査役カ其設立ノ無效ナルコトヲ發見シタルトキハ訴ヲ以テノミ其無效ヲ主張スルコトヲ得

第九十九條ノ三乃至第九十九條ノ六及ヒ第百六十三條ノ二ノ第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十三條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ之ヲ株主總會ニ提出シテ其承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第四百十四條　削除

第四百十五條　會社カ解散シタルトキハ清算人ハ何時ニテモ株主總會ニ於テ選任シタル清算人ヲ解任スルコトヲ得

重

以上五百圓以下ノ過料ニ處ス但其行爲ニ付キ刑ス科スヘキトキハ此限ニ在ラス

一　本編ニ定メタル公告若クハ通知ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

二　本編ニ定メタル公告若クハ通知ヲ爲スコトヲ怠リタルトキ

三　本編ノ規定ニ依リ閲覽ヲ許スヘキ書類ヲ正當ノ理由ナクシテ閲覽セシメサリシトキ

四　本編ノ規定ニ依リ檢査又ハ調査ヲ妨ケタルトキ

五　第四十六條ノ規定ニ違反シテ開業ノ準備ニ著手シタルトキ

六　第百二十六條第二項、第二百三條第二項、第二百十二條ノ三第一項及ヒ第二百三十八條第二項ノ規定ニ違反シ株式申込證ヲ作ラス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

七　第百四十七條第一項又ハ第二百十七條第三項ノ規定ニ違反シテ株券ヲ發行シタルトキ

八　株券又ハ債券ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

九　定款、株主名簿、社債原簿、總會ノ決議錄、財産目錄、貸借對照表、營業報告書、事務報告書、損益計算書及ヒ準備金竝ニ利益又ハ利息ノ配當ニ關スル議案ヲ本店若クハ支店ニ備ヘ置カス、之ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス又ハ之ニ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

十　第百七十四條第一項又ハ第百九十八條第二項ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ招集セサルトキ

第二百六十三條　左ニ掲ケタル行爲ハ之ヲ商行爲トス

一　利益ヲ得テ讓渡ス意思ヲ以テスル動産、不動産若クハ有價證券ノ有償取得又ハ其取得ヲ目的トスル行爲

二　他人ヨリ取得スヘキ動產又ハ有價證券ノ供給契約及ヒ其履行ノ爲メニスル有償取得ヲ目的トスル行爲

三　取引所ニ於テスル取引

四　手形其ノ他商業證券ニ關スル行爲

第二百六十四條　左ニ掲ケタル行爲ハ營業トシテ之ヲ爲ストキハ之ヲ商行爲トス但專ラ賃金ヲ得ル目的ヲ以テ物ヲ製造シ又ハ勞務ニ服スル者ノ行爲ハ此限ニ在ラス

一　動產又ハ有價取得若クハ其取得若クハ貸借シタルモノヲ賃貸ヲ目的トスル行爲

二　他人ノ爲メニスル製造又ハ加工ニ關スル行爲

三　電氣又ハ瓦斯ノ供給ニ關スル行爲

四　運送ニ關スル行爲

五　出版、印刷又ハ撮影ニ關スル行爲

六　客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ取引

七　兩替其他ノ銀行取引

八　保險

九　寄託ノ引受

十　仲立又ハ取次ニ關スル行爲

十一　商行爲ノ代理ノ引受

十二　商行爲ノ代理人カ本人ノ爲メニスル行爲ハ之ヲ商行爲トス

第二百六十五條　商人カ其營業ノ爲メニスル商行爲ハ之ヲ商行爲トス

第二百六十六條　商行爲ノ代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ示ササルトキト雖モ其行爲ハ本人ニ對シテ其效力ヲ生ス但相手方カ本人ノ爲メニスルコトヲ知ラサリシトキハ代理人ニ對シテ履行ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ケス

第二百六十七條　商行爲ノ受任者ハ委任ノ本旨ニ反セサル範圍内ニ於テ委任ヲ受ケサル

第二百六十八條　商行爲ノ委任ニ因ル代理權ハ本人ノ死亡ニ因リテ消滅セス

第二百六十九條　對話者間ニ於テ契約ノ申込ヲ受ケタル者カ直チニ承諾ヲ爲ササルトキハ申込ハ其效力ヲ失フ

第二百七十條　隔地者間ニ於テ承諾期間ノ定ナクシテ契約ノ申込ヲ受ケタル者カ相當ノ期間内ニ承諾ノ通知ヲ發セサルトキハ申込ハ其效力ヲ失フ

民法第五百二十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十一條　商人カ平常取引ヲ爲ス者ヨリ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク諾否ノ通知ヲ發スルコトヲ怠リタルトキハ申込ヲ承諾シタルモノト看做ス

第二百七十二條　商人カ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタル場合ニ於テ申込ヲ受取リタル物品アルトキハ申込ヲ拒絶シタルトキト雖モ申込者ノ費用ヲ以テ其物品ヲ保管スルコトヲ要ス但其物品ノ價額カ其費用ヲ償フニ足ラサルトキヌ商人カ其保管ニ因リテ損害ヲ受ケヘキトキハ此限ニ在ラス

第二百七十三條　數人カ共ニ一人又ハ全員ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ因リテ債務ヲ負擔シタルトキハ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス

保證人アル場合ニ於テ債務カ主タル債務者ノ商行爲ニ因リテ生シタルトキ又ハ保證カ商行爲ナルトキハ主タル債務者及ヒ保證人カ各別ノ行爲ヲ以テ債務ヲ負擔シタルトキト雖モ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス

第二百七十四條　商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ或行爲ヲ爲スタルトキハ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第二百七十五條　商人間ニ於テ金錢ノ消費貸借ヲ爲シタルトキハ法定利息ヲ請求スルコトヲ得

商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ金錢ノ立替ヲ爲シタルトキハ其立替ノ日以後ノ法定利息ヲ請求スルコトヲ得

第二百六十八條　商行爲ノ委任ニ因ル代理權ハ本人ノ死亡ニ因リテ消滅セス

第二百六十九條　對話者間ニ於テ契約ノ申込ヲ受ケタル者カ直チニ承諾ヲ爲ササルトキハ申込ハ其效力ヲ失フ

第二百七十條　隔地者間ニ於テ承諾期間ノ定ナクシテ契約ノ申込ヲ受ケタル者カ相當ノ期間内ニ承諾ノ通知ヲ發セサルトキハ申込ハ其效力ヲ失フ

民法第五百二十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十一條　商人カ平常取引ヲ爲ス者ヨリ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク諾否ノ通知ヲ發スルコトヲ怠リタルトキハ申込ヲ承諾シタルモノト看做ス

第二百七十二條　商人カ其營業ノ部類ニ屬スル契約ノ申込ヲ受ケタル場合ニ於テ申込ヲ受取リタル物品アルトキハ申込ヲ拒絶シタルトキト雖モ申込者ノ費用ヲ以テ其物品ヲ保管スルコトヲ要ス但其物品ノ價額カ其費用ヲ償フニ足ラサルトキヌ商人カ其保管ニ因リテ損害ヲ受ケヘキトキハ此限ニ在ラス

第二百七十三條　數人カ共ニ一人又ハ全員ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ因リテ債務ヲ負擔シタルトキハ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス

保證人アル場合ニ於テ債務カ主タル債務者ノ商行爲ニ因リテ生シタルトキ又ハ保證カ商行爲ナルトキハ主タル債務者及ヒ保證人カ各別ノ行爲ヲ以テ債務ヲ負擔シタルトキト雖モ其債務ハ各自連帶シテ之ヲ負擔ス

第二百七十四條　商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ或行爲ヲ爲スタルトキハ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第二百七十五條　商人間ニ於テ金錢ノ消費貸借ヲ爲シタルトキハ法定利息ヲ請求スルコトヲ得

商人カ其營業ノ範圍内ニ於テ他人ノ爲メニ金錢ノ立替ヲ爲シタルトキハ其立替ノ日以後ノ法定利息ヲ請求スルコトヲ得

第二百七十六條　商行爲ニ因リテ生シタル債務ニ關シテハ法定利率ハ年六分トス

第二百七十七條　民法第三百四十九條ノ規定ハ商行爲ニ因リテ生シタル債權ヲ擔保スル爲メニ設定シタル質權ニハ之ヲ適用セス

第二百七十八條　商行爲ニ因リテ生シタル債務ノ履行ヲ爲スヘキ場所カ共行爲ノ性質又ハ當事者ノ意思表示ニ因リテ定マラサルトキハ特定物ノ引渡ハ行爲ノ當時其物ノ存在セシ場所ニ於テ之ヲ爲シ其他ノ履行ハ債權者ノ現時ノ營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

指圖債權及ヒ無記名債權ノ辨濟ハ債務者ノ現時ノ營業所、若シ營業所ナキトキハ其住所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

以テ替業所ト看做ス

第二百七十九條　指圖債權又ハ無記名債權ノ債務者ハ其履行ニ付キ期限ノ定アルトキト雖モ其期限カ到來シタル後所持人カ其證券ヲ呈示シテ履行ノ請求ヲ爲シタル時ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

第二百八十條　削除

第二百八十一條　金錢其他ノ物又ハ有價證券ノ給付ヲ目的トスル有價證券ノ所持人カ其證券ヲ喪失シタル場合ニ於テ公示催告ノ申立ヲ爲シタルトキハ債務者ノ申立ニ因リ供託セシメ又ハ相當ノ擔保ヲ供シテ其證券ノ趣旨ニ從ヒ履行ヲ爲サシムルコトヲ得

第二百八十二條　第四百四十一條、第四百四十九條、第二百八十七條、第四百六十一條及ヒ第四百六十四條ノ規定ハ金錢其他ノ物又ハ有價證券ノ給付ヲ目的トスル有價證券ニ之ヲ準用ス

第二百八十三條　法令又ハ慣習ニ依リ取引時間ノ定アルトキハ其取引時間内ニ限リ債務ノ履行ヲ爲シ又ハ其履行ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二百八十四條　當事者カ債權債務ノ各項目ヲ記載シタル計算書ノ承認ヲ爲シタルトキハ其各項目ニ付キ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二百八十四條　商人間ニ於テ其雙方ノ爲メニ商行爲タル行爲ニ因リテ生シタル債權カ辨濟ヲ受ケル

マテ其債務者トノ間ニ於ケル商行爲ニ因リテ自己ノ占有ニ始シタル債務者所有ノ物又ハ有價證券ヲ留置スルコトヲ得但別段ノ意思表示アリタルトキハ此限ニ在ラス

第二百八十五條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ其目的物ヲ受取ルコトヲ拒ミ又ハ之ヲ受取ルコト能ハサルトキハ賣主ハ其物ヲ供託又ハ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲シタル後之ヲ競賣スルコトヲ得此場合ニ於テハ遲滯ナク買主ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

損敗シ易キ物ハ商頂ノ催告ヲ爲サスシテ之ヲ競賣スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ賣主カ賣買ノ目的物ヲ競賣シタルトキハ其代價ヲ供託スルコトヲ要ス但其全部又ハ一部ノ代金ニ充當スルコトヲ妨ケス

第二百八十六條　賣買ノ性質又ハ當事者ノ意思表示ニ依リ一定ノ日時又ハ一定ノ期間内ニ履行ヲ爲スニ非サレハ契約ヲ爲シタル目的ヲ遂スルコト能ハサル場合ニ於テ當事者ノ一方カ履行ヲ爲サスシテ其時期ヲ經過シタルトキハ相手方ハ直チニ其履行ヲ請求スルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做ス

第二百八十七條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ其目的物ヲ受取リタル時ハ直チニ之ヲ檢査シ若シ之ニ瑕疵又ハ其數量ニ不足アルコトヲ發見シタルトキハ直チニ賣主ニ對シテ其通知ヲ發スルニ非サレハ其瑕疵又ハ不足ニ因リテ契約ノ解除又ハ代金減額若シクハ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

賣買ノ目的物ニ直チニ發見スルコト能ハサル

第二百八十八條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ其目的物ヲ受取リタル後ニ在リテハ賣主ハ買主カ其物ヲ受取リタル時ニ於ケル賣主ノ住所ニ於テ其代價ヲ提供スルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十九條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ賣主ノ住所又ハ指定ノ場所ト異ナル場所ニ於テ目的物ヲ受取リタル場合ニ於テハ賣主ハ其場所ニ於テ代價ノ提供ヲ爲スニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ賣主ノ住所又ハ指定ノ場所ト異ナル場所ニ於テ目的物ヲ受取リタル場合ニ於テハ賣主ハ其場所ニ於テ代價ノ提供ヲ爲スニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十一條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ賣主ノ住所又ハ指定ノ場所ト異ナル場所ニ於テ目的物ヲ受取リタル場合ニ於テハ賣主ハ其場所ニ於テ代價ノ提供ヲ爲スニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十二條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ賣主ノ住所又ハ指定ノ場所ト異ナル場所ニ於テ目的物ヲ受取リタル場合ニ於テハ賣主ハ其場所ニ於テ代價ノ提供ヲ爲スニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十三條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ賣主ノ住所又ハ指定ノ場所ト異ナル場所ニ於テ目的物ヲ受取リタル場合ニ於テハ賣主ハ其場所ニ於テ代價ノ提供ヲ爲スニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十四條　商人間ノ賣買ニ於テ買主カ賣主ノ住所又ハ指定ノ場所ト異ナル場所ニ於テ目的物ヲ受取リタル場合ニ於テハ賣主ハ其場所ニ於テ代價ノ提供ヲ爲スニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十五條　相殺ニ因リテ生シタル殘額

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

ルコトヲ要ス但出資カ損失ニ因リテ減シタルトキハ共殘額ヲ返還スルヲ以テ足ル

第三百四條　第百八條、第百十一條及ヒ第百十五條ノ規定ハ匿名組合員ニ之ヲ準用ス

第五章　仲立營業

第三百五條　仲立人トハ他人間ノ商行爲ノ媒介ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百六條　仲立人ハ其媒介シタル行爲ニ付キ當事者ノ爲メニ支拂其他ノ給付ヲ受クルコトヲ得ス但別段ノ慣習アルトキハ此限ニ在ラス

第三百七條　仲立人カ其媒介スル行爲ニ付キ見本ヲ受取リタルトキハ其行爲カ完了スルマテ之ヲ保管スルコトヲ要ス

第三百八條　當事者間ニ於テ行爲カ成立シタルトキハ仲立人ハ遲滯ナク各當事者ノ氏名又ハ商號、行爲ノ年月日及ヒ其要領ヲ記載シタル書面ヲ作リ署名ノ後之ヲ各當事者ニ交付スルコトヲ要ス

當事者カ直チニ履行ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外仲立人ハ各當事者ヲシテ前項ノ書面ニ署名セシメタル後之ヲ其相手方ニ交付スルコトヲ要ス

前二項ノ場合ニ於テ當事者ノ一方カ書面ヲ受領セス又ハ之ニ署名セサルトキハ仲立人ハ遲滯ナク相手方ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三百九條　仲立人ハ其媒介シタル行爲ニ付キ當事者ノ何時ニテモ仲立人カ自己ノ爲メニ當事者ノ一方ノ爲メニ作リタル書面ヲ交付スヘキ旨ヲ仲立人ニ命シタルトキハ仲立人ハ第三百八條ノ書面及ヒ前條第二項ノ謄本ニ其氏名又ハ商號ヲ記載スルコトヲ得ス

仲立人カ當事者ノ一方ノ氏名又ハ商號ヲ記載シタル書面ヲ交付シタルトキハ之ヲ相手方ニ示ササリシトキハ之ニ對シテ自ラ履行ノ爲メ責ニ任ス

第三百十條　仲立人ハ其媒介シタル行爲ニ付キ當事者カ其氏名又ハ商號ヲ相手方ニ示ササルヘキ旨ヲ命シタルトキハ仲立人ハ第三百八條ノ書面及ヒ前條第二項ノ謄本ニ其氏名又ハ商號ヲ記載スルコトヲ得ス

第三百十一條　仲立人カ當事者ノ一方ノ氏名又ハ商號ヲ記載シタル書面ヲ交付シタルトキハ之ニ對シテ自ラ履行ノ爲メ責ニ任ス

第三百十二條　仲立人ハ第三百八條ノ手續ヲ終ハリタル後ニ非サレハ報酬ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百十三條　仲立人ハ各當事者ノ爲メニ各別ニ報酬ヲ算定シタルトキハ其報酬ハ當事者ノ平分ニシテ之ヲ負擔ス

第六章　問屋營業

第三百十四條　問屋トハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ物品ノ販賣又ハ買入ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百十五條　問屋ハ他人ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ因リ相手方ニ對シテ自ラ權利ヲ得ル義務ヲ負フ

問屋ト委託者トノ間ニ於テハ本章ノ規定ノ外委任及ヒ代理ニ關スル規定ノ準用ス

第三百十六條　問屋ハ委託者ノ爲メニ爲シタル販賣又ハ買入ニ付キ相手方カ其債務ヲ履行セサル場合ニ於テ自ラ其履行ヲ爲ス責ニ任ス但別段ノ意思表示又ハ慣習アルトキハ此限ニ在ラス

第三百十七條　問屋カ委託者ノ指定シタル金額ヨリ廉價ニテ販賣ヲ爲シ又ハ高價ニテ買入ヲ爲シタル場合ニ於テ自ラ其差額ヲ負擔スルトキハ其販賣又ハ買入ハ委託者ニ對シテ其效力ヲ生ス

第三百十八條　問屋カ取引所ノ相場アル物品ノ販賣又ハ買入ヲ委託ヲ受ケタルトキハ自ラ買主又ハ賣主ト爲ルコトヲ得此場合ニ於テハ賣買ノ代價ハ問屋カ買主又ハ賣主ト爲リタルコトノ通知ヲ發シタル時ニ於ケル取引所ノ相場ニ依リテ之ヲ定ム

前項ノ場合ニ於テモ問屋ハ委託者ニ對シテ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第三百十九條　第三十七條及ヒ第四十一條ノ規定ハ問屋ニ之ヲ準用ス

第三百二十條　本章ノ規定ハ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲メニ販賣又ハ買入ニ非サル行爲ヲ爲ス業トスル者ニ之ヲ準用ス

第七章　運送取扱營業

第三百二十一條　運送取扱人トハ自己ノ名ヲ以テ物品運送ノ取次ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百二十二條　運送取扱人ハ自己又ハ其使用人カ運送品ノ受取、引渡、保管及ヒ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償ノ責ニ任セス

第三百二十三條　運送取扱人ハ運送品カ到達地ニ達シタル後荷受人カ其引渡ヲ請求シタルトキハ滯滅ス

第三百二十四條　運送品カ到達地ニ達シタル後荷受人カ運送取扱人ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ運送品ノ處分ニ付キ指圖ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルモ荷受人カ其指圖ヲ爲ササルトキハ運送品ヲ競賣スルコトヲ得

第三百二十五條　運送取扱人カ運送品ノ供託又ハ競賣ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク荷受人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第三百二十六條　運送取扱人カ運送品ノ引渡ヲ爲シタル後二週間内ニ荷受人ヨリ其滅失又ハ毀損ノ通知ヲ發セサルトキハ運送取扱人ニ對シ運送品ノ滅失又ハ毀損ノ爲メニ受ケタル損害賠償ノ責ニ任セス

第三百二十七條　運送取扱人ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂ヲ爲シタル場合ニ於テ運送賃ノ全部又ハ一部ヲ受取リタルトキハ之ヲ荷受人ニ返還スルコトヲ要ス

第三百二十八條　運送取扱人カ運送品ノ滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂ヲ爲シタル場合ニ於テ運送賃ノ全部又ハ一部ヲ受取リタルトキハ之ヲ返還スルコトヲ要ス

第三百二十九條　運送取扱人ハ運送賃、立替金及ヒ其處分ニ因リ受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第三百三十條　第三百三十八條及ヒ第三百四十三條ノ規定ハ運送取扱營業ニ之ヲ準用ス

第八章　運送營業

第三百三十一條　運送營業トハ陸上又ハ湖川、港灣ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

第一節　物品運送

第三百三十二條　荷送人ハ運送人ノ請求ニ因リ運送狀ヲ交付スルコトヲ要ス

運送狀ニハ左ノ事項ヲ記載シ荷送人之ニ署名スルコトヲ要ス

一　運送品ノ種類、重量又ハ容積及ヒ其荷造ノ種類、個數竝ニ記號

二　到達地

三　荷受人ノ氏名又ハ商號

四　運送狀ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第三百三十三條　運送人ハ荷送人ノ請求ニ因リ貨物引換證又ハ倉庫證券ニ代ヘ貨物引換證ニ左ノ事項ヲ記載シ運送人之ニ署名スルコトヲ要ス

一　前條第二項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項

二　荷送人ノ氏名又ハ商號

三　運送賃

四　貨物引換證ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第三百三十四條　貨物引換證ヲ作リタルトキハ運送ニ關スル事項ハ運送人ト所持人トノ間ニ於テハ貨物引換證ノ定ムル所ニ依ル

第三百三十四條ノ二　貨物引換證ヲ作リタルトキハ運送品ニ關スル處分ハ貨物引換證ヲ以テスルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十四條ノ三　貨物引換證ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得但貨物引換證ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

第三百三十五條　貨物引換證ニ依リ運送品ヲ受取ルコトヲ得ヘキ者ニ貨物引換證ヲ引渡シタルトキハ其引渡ハ運送品ノ上ニ行使スル權利ノ取得ニ付キ運送品ノ引渡ト同一ノ效力ヲ有ス

第三百三十六條　運送品ノ全部又ハ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ其運送賃ヲ請求スルコトヲ得ス若シ運送人カ既ニ其運送賃ノ全部又ハ一部ヲ受取リタルトキハ之ヲ返還スルコトヲ要ス

運送品ノ全部又ハ一部カ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ運送賃ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第三百三十七條　運送人ハ自己若クハ運送取扱人又ハ其使用人其他運送ノ爲メ使用シタル者カ運送品ノ受取、引渡、保管及ヒ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百三十八條　貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付テハ荷送人カ運送ヲ委託スルニ當タリ其種類及ヒ價額ヲ明告シタルニ非サレハ運送人ハ損害賠償ノ責ニ任セス

第三百三十九條　數人相次テ運送品ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付キ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス

第三百四十條　運送品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ運送人ハ其引渡アルノカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム

運送品ノ一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其引渡アリタル日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム但延著ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス

運送品ノ滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂ヲコトヲ要セサル運送賃其他ノ費用ハ前二項ノ賠償額ヨリ之ヲ控除ス

第三百四十一條　運送品カ運送人ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ滅失、毀損又ハ延著シタルトキハ運送人ハ一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第三百四十二條　荷送人又ハ貨物引換證ノ所持人ハ運送人ニ對シ運送ノ中止、運送品ノ返還其他ノ處分ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ運送人ハ既ニ爲シタル運送ノ剩合ニ應スル運送賃、立替金及ヒ其處分ニ因リ受ケタル利益ヲ控除シタル殘額ヲ返還スルヲ以テ足ル

第三百四十三條　運送品ノ全部又ハ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ其運送賃ヲ請求スルコトヲ得ス若シ運送人カ既ニ其運送賃ノ全部又ハ一部ヲ受取リタルトキハ之ヲ返還スルコトヲ要ス

運送品ノ全部又ハ一部カ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ運送賃ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第三百四十四條　貨物引換證ヲ作リタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百四十五條　荷受人ノ確知スルコト能ハサルトキハ運送人ハ運送品ヲ供託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ運送人カ荷送人ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ運送品ノ處分ニ付キ指圖ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルモ荷送人カ其指圖ヲ爲ササルトキハ運送品ヲ競賣スルコトヲ得

第三百四十六條　運送品カ到達地ニ達シタル後荷受人カ其引渡ヲ請求シタルトキハ滯滅ス

第三百四十三條　運送品カ到達地ニ達シタル後荷受人ニ對シ運送賃其他ノ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ

效力ヲ有ス

第三百三十六條　運送品ノ全部又ハ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ其運送賃ヲ請求スルコトヲ得ス若シ運送人カ既ニ其運送賃ノ全部又ハ一部ヲ受取リタルトキハ之ヲ返還スルコトヲ要ス

運送品ノ全部又ハ一部カ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ運送賃ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第三百三十七條　運送人ハ自己若クハ運送取扱人又ハ其使用人其他運送ノ爲メ使用シタル者カ運送品ノ受取、引渡、保管及ヒ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ運送品ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付キ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百三十八條　貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付テハ荷送人カ運送ヲ委託スルニ當タリ其種類及ヒ價額ヲ明告シタルニ非サレハ運送人ハ損害賠償ノ責ニ任セス

第三百三十九條　數人相次テ運送品ノ滅失、毀損又ハ延著ニ付キ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス

第三百四十條　運送品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ運送人ハ其引渡アルノカリシ日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム

運送品ノ一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其引渡アリタル日ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リテ之ヲ定ム但延著ノ場合ニ於テハ前項ノ規定ヲ準用ス

運送品ノ滅失又ハ毀損ノ爲メ支拂ヲコトヲ要セサル運送賃其他ノ費用ハ前二項ノ賠償額ヨリ之ヲ控除ス

第三百四十一條　運送品カ運送人ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ滅失、毀損又ハ延著シタルトキハ運送人ハ一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第三百四十二條　荷送人又ハ貨物引換證ノ所持人ハ運送人ニ對シ運送ノ中止、運送品ノ返還其他ノ處分ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ運送人ハ既ニ爲シタル運送ノ剩合ニ應スル運送賃、立替金及ヒ其處分ニ因リ受ケタル利益ヲ控除シタル殘額ヲ返還スルヲ以テ足ル

第三百四十三條　運送品ノ全部又ハ一部カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ其運送賃ヲ請求スルコトヲ得ス若シ運送人カ既ニ其運送賃ノ全部又ハ一部ヲ受取リタルトキハ之ヲ返還スルコトヲ要ス

運送品ノ全部又ハ一部カ其性質若クハ瑕疵又ハ荷送人ノ過失ニ因リテ滅失シタルトキハ運送人ハ運送賃ノ全額ヲ請求スルコトヲ得

第三百四十四條　貨物引換證ヲ作リタル場合ニ於テハ之ト引換ニ非サレハ運送品ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百四十五條　荷受人ノ確知スルコト能ハサルトキハ運送人ハ運送品ヲ供託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ運送人カ荷送人ニ對シ相當ノ期間ヲ定メ運送品ノ處分ニ付キ指圖ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルモ荷送人カ其指圖ヲ爲ササルトキハ運送品ヲ競賣スルコトヲ得

第三百四十六條　運送品カ到達地ニ達シタル後荷受人カ其引渡ヲ請求シタルトキハ滯滅ス

第三百四十三條　運送品カ到達地ニ達シタル後荷受人ニ對シ運送賃其他ノ費用ヲ支拂フ義務ヲ負フ

前項ノ規定ハ運送人ニ惡意アリタル場合ニ之ヲ適用セス

第三百四十九條、第三百二十四條、第三百二十五條、第三百二十八條及ヒ第三百二十九條ノ規定ハ運送人ニ之ヲ準用ス

第二節　旅客運送

第三百五十條　旅客ノ運送人ハ自己又ハ其使用人カ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ旅客カ運送人ニ對シテ有スル權利ニ付テハ時效ニ因リテ滅滅ス

第三百五十一條　旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケサル手荷物ニ付テハ特ニ運送賃ヲ請求セサルトキト雖モ物品ノ運送人ト同一ノ責任ヲ負フ

手荷物カ到達地ニ達シタル日ヨリ一週間内ニ旅客カ其引渡ヲ請求セサルトキハ第二百八十六條ノ規定ヲ準用ス但住所又ハ居所ノ知レサル旅客ニハ催告及ヒ通知ヲ爲スコトヲ要セス

第三百五十二條　旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケサル手荷物ノ滅失又ハ毀損ニ付テハ自己又ハ其使用人カ運送ニ關シ注意ヲ怠ラサリシコトヲ證明スルニ非サレハ旅客カ運送人ニ對シテ有スル權利ニ付テハ裁判所ハ被害者及ヒ其家族ノ情況ヲ斟酌スルコトヲ要ス

第三百五十一條　旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケタル手荷物ニ付テハ特ニ運送賃ヲ請求セサルトキト雖モ物品ノ運送人ト同一ノ責任ヲ負フ

第三百五十四條　旅客ノ運送人ハ旅客ヨリ引渡ヲ受ケサルトキハ報酬ヲ受ケサルトキト雖モ善良ナル管理者ノ注意ヲ爲スコトヲ要ス

第三百五十四條　旅店、飲食店、浴場其他客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ主人ハ客ヨリ寄託ヲ受ケタル物品ノ滅失又ハ毀損ニ付キ其不可抗力ニ因リタルコトヲ證明スルニ非サレハ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

保ヲ爲ササルニ因リタルコトヲ證明スルニ非サレハ損害賠償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百五十五條　客カ場屋ニ携帶シタル物品ニ付キ責任ヲ負ハサル旨ヲ告示シタルトキト雖モ場屋ノ主人ハ前二項ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第三百五十六條　貨幣、有價證券其他ノ高價品ニ付テハ客カ其種類及ヒ價額ヲ明告シテ之ヲ前條ノ場屋ノ主人ニ寄託シタルニ非サレハ其場屋ノ主人ハ其物品ノ滅失又ハ毀損ニ因リテ生シタル損害ヲ賠償スル責ニ任セス

第三百五十七條　前二條ノ責任ハ場屋ノ主人カ寄託物ヲ返還シ又ハ客カ携帶品ヲ持去リタル後一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リ消滅ス

前項ノ期間ハ物品ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ客カ場屋ヲ去リタル時ヨリ之ヲ起算ス

前二條ノ規定ハ場屋ノ主人ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三節　倉庫營業

第三百五十七條　倉庫營業者トハ他人ノ爲メニ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ業トスル者ヲ謂フ

第三百五十八條　倉庫營業者ハ寄託者ノ請求ニ因リ寄託物ノ預證券及ヒ質入證券ヲ交付スルコトヲ要ス

第三百五十九條　預證券及ヒ質入證券ニハ左ノ事項及ヒ番號ヲ記載シ倉庫營業者之ニ署名スルコトヲ要ス

一　受寄物ノ種類、品質、數量及ヒ其荷造ノ種類、個數竝ニ記號

二　寄託者ノ氏名又ハ商號

三　保管料

四　保管期間ヲ定メタルトキハ其期間

五　受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號

七　證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第三百六十條　倉庫營業者カ預證券及ヒ質入證券ノ寄託者ニ交付シタルトキハ其帳簿ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　前條第一號、第二號及ヒ第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項

二、證券ノ番號及ヒ其作成ノ年月日

第三百六十一條　預證券及ヒ質入證券ノ所持人ハ倉庫營業者ニ對シ寄託物ヲ分割シ且其各部分ニ對スル預證券及ヒ質入證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ所持人ハ前ノ預證券及ヒ質入證券ヲ倉庫營業者ニ返還スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル費用ハ所持人之ヲ負擔ス

第三百六十二條　預證券及ヒ質入證券ヲ作リタルトキハ寄託ニ關スル事項ハ倉庫營業者ト所持人トノ間ニ於テハ其證券ノ定ムル所ニ依ル

第三百六十三條　削除

第三百六十四條　預證券及ヒ質入證券ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡シ又ハ之ヲ質入スルコトヲ得但證券ニ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

預證券ノ所持人カ未タ質入ヲ爲ササル間ハ預證券及ヒ質入證券ハ各別ニ之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第三百六十五條　第三百三十四條ノ二及ヒ第三百三十五條ノ規定ハ預證券及ヒ質入證券ニ之ヲ準用ス

第三百六十六條　預證券又ハ質入證券カ滅失シタルトキハ其所持人ハ相當ノ擔保ヲ供シ又ハ供シテ更ニ其證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ倉庫營業者ハ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百六十七條　質入證券ニ第一ノ質入裏書ヲ爲スニハ僅額、其利息及ヒ辨濟期ヲ記載スルコトヲ要ス

第一ノ質權者カ前項ニ揭ケタル事項ヲ預證券ニ記載シテ之ニ署名スルニ非サレハ質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第三百六十八條　質入證券ノ所持人ハ寄託物ヲ以テ預證券ニ記載シタル債權額及ヒ利息ヲ辨濟スル義務ヲ負フ

第三百六十九條ノ三　質入證券所持人ノ債權額ニ超過スル辨濟ヲ受ケタル日ヨリ六个月ヲ經過シタル後ハ寄託物ヲ競賣シ且其競賣代金ノ中ヨリ前項ニ揭ケタル費用、租稅、保管料、立替金及ヒ質入證券所持人ノ債權額、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シタル後餘剩アルトキハ倉庫營業者ハ之ヲ預證券ト引換ニ其所持人ニ支拂フコトヲ要ス

消滅ス

前項ノ期間ハ寄託物ノ全部滅失ノ場合ニ於テハ倉庫營業者カ預證券ノ所持人、若シ其所持人カ知レサルトキハ寄託者ニ對シテ其減失ノ通知ヲ發シタル日ヨリ之ヲ起算ス

前二項ノ規定ハ倉庫營業者ニ惡意アリタル場合ニハ之ヲ適用セス

第三百六十三條ノ二　倉庫營業者ハ寄託者ノ請求ニ依リ預證券及ヒ質入證券ニ代ヘテ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

倉荷證券ニハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ス

第三百六十三條　質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セサリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百七十四條　質入證券所持人ノ預證券所持人ニ對スル請求權ハ辨濟期ヨリ一年ヲ經過シタル後ハ寄託者ニ對シテ保管ノ責ヲ免ル

第三百七十一條　競賣代金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ全部ヲ辨濟スルコト能ハサリシトキハ倉庫營業者ハ其支拂ヒタル金額ヲ質入證券ニ記載シテ其證券ヲ返還シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百七十二條　質入證券所持人ハ先ツ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ尚ホ不足アルトキハ其裏書人ニ對シテ不足額ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十七條ノ二乃至第四百八十八條ノ四、第四百九十一條、第四百九十二條及ヒ第四百九十五條ノ規定ハ前項ニ之ヲ準用ス

第三百七十三條　質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セサリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百七十四條　質入證券所持人カ預證券所持人ニ對スル請求權ハ辨濟期ヨリ一年ヲ經過シタル後ハ寄託者ニ對シテ保管ノ責ヲ免ル

第三百七十一條　競賣代金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ全部ヲ辨濟スルコト能ハサリシトキハ倉庫營業者ハ其支拂ヒタル金額ヲ質入證券ニ記載シテ其證券ヲ返還シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百七十二條　質入證券所持人ハ先ツ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ尚ホ不足アルトキハ其裏書人ニ對シテ不足額ヲ請求スルコトヲ得

第三百七十三條　質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セサリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

第三百七十四條　質入證券所持人カ預證券所持人ニ對スル請求權ハ辨濟期ヨリ一年ヲ經過シタル後ハ寄託者ニ對シテ保管ノ責ヲ免ル

第三百七十一條　競賣代金ヲ以テ質入證券ニ記載シタル債權ノ全部ヲ辨濟スルコト能ハサリシトキハ倉庫營業者ハ其支拂ヒタル金額ヲ質入證券ニ記載シテ其證券ヲ返還シ且其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

第三百七十二條　質入證券所持人カ辨濟期ニ至リ支拂ヲ受ケサリシ場合ニ於テ拒絕證書ヲ作ラシメサリシトキ又ハ拒絕證書作成ノ日ヨリ二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セサリシトキハ裏書人ニ對スル請求權ヲ失フ

ニハ其者ノ同意アルコトヲ要ス但被保險者カ保險金額ヲ受取ルヘキ者ナルトキハ此限ニ在ラス

第四百二十一條　貨借人其他他人ノ物ヲ保管スル者カ其支拂フコトアルヘキ損害賠償ノ擔保ニ供シタル物ヲ保險ニ付シタルトキハ所有者ハ保險者ニ對シテ直接ニ其損害ノ塡補ヲ請求スルコトヲ得

第四百二十二條　火災保險證券ニハ第四百三條第二項ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　保險ニ付シタル建物ノ所在、構造及ヒ用方

二　動産ヲ保險ニ付シタルトキハ之ヲ納ル建物ノ所在、構造及ヒ用方

第三款　運送保險

第四百二十三條　保險者ハ特約ナキトキハ運送人カ運送品ヲ受取リタル時ヨリ之ヲ荷受人ニ引渡ス時マテ生スルコトアルヘキ損害ヲ塡補スル責ニ任ス

第四百二十四條　運送品ノ保險ニ付テハ發送ノ地及ヒ時ニ於ケル其價額及ヒ到達地マテ運送費其他ノ費用ヲ以テ保險價額トス

第四百二十五條　運送保險證券ニハ第四百三條第二項ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　運送ノ道筋及ヒ方法

二　運送人ノ氏名又ハ商號

三　運送期間ノ定アルトキハ其期間

四　運送品ヲ受取及ヒ引渡ノ場所

第四百二十六條　保險契約ハ特約アルニ非サレハ運送上ノ必要ニ因リ一時運送ヲ中止シ又ハ運送ノ道筋若ハ方法ヲ變更シタルトキト雖モ其效力ヲ失ハス

第二節　生命保險

第四百二十七條　生命保險契約ハ當事者ノ一方カ相手方又ハ第三者ノ生死ニ關シ一定ノ金額ヲ支拂フヘキコトヲ約シ相手方カ之ニ其報酬ヲ與フルコトヲ約スルニ因リテ其效力ヲ生ス

第四百二十八條　他人ノ死亡ニ因リテ保險金額ノ支拂ヲ爲スヘキコトヲ定ムル保險契約ハ其他人ノ同意アルコトヲ要ス但被保險者カ其同意ヲ與ヘサルトキハ保險者ハ其責ニ任セス

第四百二十九條　保險者ハ保險契約ノ當時保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定シ又ハ其指定ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第四百三十條　保險者カ前項ノ通知ヲ怠リタルトキハ其指定ハ變更ノ效力ヲ生セス

第四百三十一條　左ノ場合ニ於テハ保險者ハ保險金額ヲ支拂フ責ニ任セス

一　被保險者カ自殺、決鬪其他ノ犯罪又ハ死刑ノ執行ニ因リテ死亡シタルトキ

二　保險者カ故意ヲ以テ保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ殺害シタルトキ但其者カ保險金額ノ一部ヲ受取ルヘキ場合ニ於テハ保險者ハ其殘額ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス

三　保險契約者カ故意ニテ被保險者ヲ死ニ致シタルトキ

前項第一號及ヒ第二號ノ場合ニ於テハ保險者カ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ保險契約者ニ拂戻スコトヲ要ス

第四百三十二條　被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ受取ルヘキ者カ被保險者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百三十三條　第三百九十五條、第三百九十七條、第三百九十九條、第四百條、第四百一條、第四百三條第一項、第四百五條乃至第四百七條、第四百十條、第四百十一條、第四百十七條及ヒ第四百十八條ノ規定ハ生命保險ノ之ヲ準用ス

第三百九十五條、第四百五條、第四百七條、第四百十條、第四百十一條ノ場合ニ於テ保險者カ保險金額ヲ支拂フコトヲ要セサルトキハ被保險者ノ爲メニ積立テタル金額ヲ保險契約者ニ拂戻スコトヲ要ス

第四百三十四條乃至第五百二十九條　削除

第四百三十條乃至第五百三十七條　削除

トヲ知リタルトキハ遲滯ナク保險者ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四百十三條　保險ノ目的ニ付キ保險者ノ負擔スヘキ損害カ生シタルトキハ其後ニ至リ其目的カ保險者ノ負擔セサル危險ノ發生ニ因リテ滅失シタルトキト雖モ保險者ハ其損害ヲ塡補スル責ヲ免ルルコトヲ得ス

第四百十四條　被保險者ハ損害ノ防止ヲ力ムルコトヲ要ス但之カ爲メニ必要又ハ有益ナリシ費用及ヒ塡補額カ保險金額ニ超過スルトキト雖モ保險者之ヲ負擔ス

第三百九十一條ノ規定ハ前項但書ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十五條　保險ノ目的ノ全部カ滅失シタル場合ニ於テ保險者カ保險金額ノ全部ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者カ其目的ニ付キ有セル權利ヲ取得ス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ保險者ノ權利ハ保險金額ノ保險價額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ定ム

第四百十六條　損害カ第三者ノ行爲ニ因リテ生シタル場合ニ於テ保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ヲ支拂ヒタルトキハ其支拂ヒタル金額ノ限度ニ於テ保險契約者又ハ被保險者カ之ニ對シテ有セル權利ヲ取得ス

保險者カ被保險者ニ對シ其負擔額ノ一部ヲ支拂ヒタルトキハ保險者ハ前項ノ規定ニ依リ保險者ニ對シテ有スル權利ヲ取得ス

第四百十七條　保險契約者カ契約後保險金額ヲ受取ルヘキ者ヲ指定又ハ變更シタルトキハ保險者ニ其指定又ハ變更ヲ通知スルニ非サレハ之ヲ以テ保險者ニ對抗スルコトヲ得ス

第四百十八條　第一項ノ規定ハ前項ノ指定及ヒ變更ニ之ヲ準用ス

第四百二十九條　保險契約ノ當時保險契約者又ハ被保險者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但保險者カ其事實ヲ知リ又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス

第四百二十條　保險契約ノ當時保險契約者又ハ被保險者カ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ重要ナル事實ヲ告ケス又ハ重要ナル事項ニ付キ不實ノ事ヲ告ケタルトキハ保險者ハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得但保險者カ其事實ヲ知リ又ハ過失ニ因リテ之ヲ知ラサリシトキハ此限ニ在ラス

第四百二十一條　保險契約ノ當時保險契約者又ハ被保險者カ保險事故ノ發生ニ因リテ生スヘキ損害賠償ノ請求權ヲ有スル場合ニ於テ保險金額カ保險價額ニ不足スルトキハ保險者ハ其不足ノ割合ニ應シテ塡補ノ責ニ任ス

第四百二十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百二十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百二十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百二十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百二十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百二十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百二十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百二十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百三十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百四十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百五十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百六十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百七十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百八十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第四百九十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百二十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百三十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百四十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百五十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十八條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百六十九條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百七十條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百七十一條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百七十二條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百七十三條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百七十四條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百七十五條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百七十六條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取得ス

第五百七十七條　保險者カ保險金額ヲ支拂ヒタルトキハ保險價額ニ至ルマテ當然保險金額ノ一部ヲ以テ保險者ノ權利ヲ取

テ共貴ヲ免ルルコトヲ得但利害關係人ニ過失アリタルトキハ此限ニ在ラス

第五百六十六條　船舶衝突ニ於テハ船長ハ航海ノ爲メ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

船舶衝突ニ於テハ船長ハ特ニ委任ヲ受クタル場合ヲ除ク外海員ノ雇入及ヒ雇止ヲ爲ス權限ノミヲ有ス

第五百六十七條　船長ノ代理權ニ加ヘタル制限ハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百六十八條　船長ハ船舶ノ修繕費、救助料其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　船舶ヲ抵當ト爲スコト

二　借財ヲ爲スコト

三　積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコト但第五百六十五條第一項ノ場合ハ此限ニ在ラス

船長カ積荷ヲ賣却又ハ質入シタル場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於ケル陸揚ノ價格ニ依リ之ヲ定ム但其價格中ヨリ支拂フコトヲ要セサル費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第五百六十九條　船長カ特ニ委任ヲ受ケシテ航海ノ爲メニ費用ヲ負擔シタルトキハ船舶所有者ハ船長ニ對シテ其辨償ヲ爲ス

第五百七十條　船籍港外ニ於テ船舶ヲ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキハ船長ハ管海官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ競賣スルコトヲ得

第五百七十一條　左ノ場合ニ於テハ船舶ハ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト看做ス

一　船舶カ其現在地ニ於テ修繕ヲ受クルコト能ハス且其修繕ノ費用ハ著シク船舶ノ價額ヲ超ユルトキ

二　修繕費カ船舶ノ價額ノ四分ノ三ニ超ユルトキ

前項第二號ノ價額ハ船舶カ航海中毀損シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十二條　船長ハ船舶ノ修繕費、救助料其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　船舶ヲ抵當ト爲スコト

二　借財ヲ爲スコト

三　積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコト但第五百六十五條第一項ノ場合ハ此限ニ在ラス

船長カ積荷ヲ賣却又ハ質入シタル場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於ケル陸揚ノ價格ニ依リ之ヲ定ム但其價格中ヨリ支拂フコトヲ要セサル費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第五百七十三條　船長カ特ニ委任ヲ受ケシテ航海ノ爲メニ費用ヲ負擔シタルトキハ船舶所有者ハ船長ニ對シテ其辨償ヲ爲ス

第五百七十四條　船舶所有者ハ船長ノ權限ニ加ヘタル制限ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五百七十五條　船舶所有者ハ船長ノ職務ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ニ付キ責ニ任ス

第五百七十六條　船舶所有者ハ船長ノ選任及ヒ其職務ノ執行ニ付キ相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第五百七十七條　船長ハ船舶ノ爲メ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

船舶衝突ニ於テハ船長ハ特ニ委任ヲ受クタル場合ヲ除ク外海員ノ雇入及ヒ雇止ヲ爲ス權限ノミヲ有ス

第五百七十八條　船長ハ船舶ノ修繕費、救助料其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　船舶ヲ抵當ト爲スコト

二　借財ヲ爲スコト

三　積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコト但第五百六十五條第一項ノ場合ハ此限ニ在ラス

船長カ積荷ヲ賣却又ハ質入シタル場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於ケル陸揚ノ價格ニ依リ之ヲ定ム但其價格中ヨリ支拂フコトヲ要セサル費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第五百七十九條　船長カ特ニ委任ヲ受ケシテ航海ノ爲メニ費用ヲ負擔シタルトキハ船舶所有者ハ船長ニ對シテ其辨償ヲ爲ス

第五百八十條　船籍港外ニ於テ船舶ヲ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキハ船長ハ管海官廳ノ認可ヲ得テ之ヲ競賣スルコトヲ得

第五百八十一條　左ノ場合ニ於テハ船舶ハ修繕スルコト能ハサルニ至リタルモノト看做ス

一　船舶カ其現在地ニ於テ修繕ヲ受クルコト能ハス且其修繕ノ費用ハ著シク船舶ノ價額ヲ超ユルトキ

二　修繕費カ船舶ノ價額ノ四分ノ三ニ超ユルトキ

前項第二號ノ價額ハ船舶カ航海中毀損シタル場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十二條　債權ノ辨濟ヲ受ケタル船長ハ其債權ニ關スル證書ヲ船舶所有者ニ交付スルコトヲ要ス

第五百八十三條　船長ハ船舶所有者ノ爲メ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第五百八十四條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百八十五條　船舶所有者ハ船長ノ職務ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ニ付キ責ニ任ス

第五百八十六條　船舶所有者ハ船長ノ選任及ヒ其職務ノ執行ニ付キ相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第五百八十七條　船長ハ船舶ノ爲メ必要ナル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

船舶衝突ニ於テハ船長ハ特ニ委任ヲ受クタル場合ヲ除ク外海員ノ雇入及ヒ雇止ヲ爲ス權限ノミヲ有ス

第五百八十八條　船長ハ船舶ノ修繕費、救助料其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スル爲メ左ニ揭ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

一　船舶ヲ抵當ト爲スコト

二　借財ヲ爲スコト

三　積荷ノ全部又ハ一部ヲ賣却又ハ質入スルコト但第五百六十五條第一項ノ場合ハ此限ニ在ラス

船長カ積荷ヲ賣却又ハ質入シタル場合ニ於ケル損害賠償ノ額ハ其積荷ノ到達スヘカリシ時ニ於ケル陸揚ノ價格ニ依リ之ヲ定ム但其價格中ヨリ支拂フコトヲ要セサル費用ヲ控除スルコトヲ要ス

第五百八十九條　船長カ特ニ委任ヲ受ケシテ航海ノ爲メニ費用ヲ負擔シタルトキハ船舶所有者ハ船長ニ對シテ其辨償ヲ爲ス

第五百九十條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百九十一條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百九十二條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百九十三條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百九十四條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百九十五條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百九十六條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百九十七條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百九十八條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第五百九十九條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百一條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百二條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百三條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百四條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百五條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百六條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百七條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百八條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百九條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百十條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百十一條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百十二條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百十三條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百十四條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百十五條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百十六條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百十七條　船舶所有者ハ船長ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ得

第六百十八條　船舶所有者ノ傭船者、荷送人又ハ荷受人ニ對スル債權ハ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第六百十九條　運送品ノ重量又ハ容積ヲ以テ運送賃ヲ定メタルトキハ其額ハ運送品引渡ノ當時ニ於ケル重量又ハ容積ニ依リテ之ヲ定ム

第六百二十條　船長ハ傭船者又ハ荷送人ノ請求ニ因リ運送品ノ船積後運送ヲ引受ケタル船荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

第六百二十一條　船舶所有者ハ船長以外ノ者ヲシテ船長ノ職務ヲ行ハシメタルトキハ其者ノ爲シタル行爲ニ付キ責ニ任ス

第六百二十二條　船荷證券ニハ左ノ事項ヲ記載シ船長又ハ之ニ代ハルル者署名スルコトヲ要ス

一　船舶ノ名稱及ヒ國籍

二　船長カ船荷證券ヲ作ラサルトキハ船長ノ氏名

三　運送品ノ種類、重量若クハ容積及ヒ其荷造ノ種類、個數並ニ記號

四　傭船者又ハ荷送人ノ氏名又ハ商號

五　荷受人ノ氏名若クハ商號

六　船積港

七　陸揚港但發航後傭船者又ハ荷送人カ陸揚港ヲ指定スヘキトキハ其之ヲ指定スヘキ港

八　運送賃

九　數通ノ船荷證券ヲ作リタルトキハ其員數

十　船荷證券ノ作成地及ヒ其作成ノ年月日

第六百二十三條　傭船者又ハ荷送人ハ船長又ハ之ニ代ハル者ノ請求ニ因リ船荷證券ノ謄本ニ署名シテ之ヲ交付スルコトヲ要ス

第六百二十四條　陸揚港ニ於テハ船長ハ數通ノ船荷證券中ノ一通ノ所持人カ運送品ノ引渡ヲ請求シタルトキト雖モ其引渡ヲ拒ムコトヲ得ス

第六百二十五條　陸揚港外ニ於テハ船長ハ荷證券ノ各通ノ返還ヲ受クルニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ得ス

第六百二十六條　二人以上ノ船荷證券所持人

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十四條　發航前ニ於テハ傭船者ハ運送賃ノ半額ヲ支拂ヒテ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

往復航海ヲ爲スヘキ場合ニ於テ傭船者カ其ノ陸航ノ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送賃ノ三分ノ二ヲ支拂フコトヲ要ス

他港ヨリ船積港ニ航行スヘキ場合ニ於テ傭船者カ其船積港ヲ發スル前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキ亦同シ

運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタル後前二項ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ其船積及ヒ陸揚ノ費用ハ傭船者之ヲ負擔ス

傭船者カ船積期間内ニ運送品ノ船積ヲ爲ササリシトキハ契約ノ解除ヲ爲シタルモノト看做ス

第五百九十五條　傭船者カ前條ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送賃ノ全額ヲ支拂フヘシ但船舶所有者カ他ノ運送品ヲ船積セサルニ因リテ生シタル費用ヲ支拂ヒ尚ホ船舶所有者ノ請求アルトキハ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第五百九十六條　船舶所有者ハ傭船者又ハ荷送人ニ對シ發航ノ當時船舶カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪フルコト竝保存ニ關シ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ其責ニ任セス

第五百九十七條　船舶所有者ハ傭船者又ハ荷送人ニ對シ發航ノ當時船舶カ安全ニ航海ヲ爲スニ堪フルコト竝保存ニ關シ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ其責ニ任セス

第五百九十八條　傭船者カ前條ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキト雖モ附隨ノ費用及ヒ立替金ヲ支拂フ責ヲ免ルルコトヲ得ス

前條第二項ノ場合ニ於テハ傭船者ハ前項ニ揭ケタルモノノ外運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百條　發航後ニ於テハ傭船者ハ運送賃ノ全額ヲ支拂フ外第六百六條第一項ニ定メタル債務ヲ辨濟シ且陸揚ノ爲メニ生スヘキ損害ヲ賠償シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第六百一條　船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ傭船者カ他ノ傭船者及ヒ荷送人ト共同セシテ發航前ニ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス但船舶所有者カ他ノ運送品ノ全部又ハ一部ヲ船積シタルトキハ此限ニ在ラス

第六百二條　傭船者カ前條ノ規定ニ從ヒテ契約ノ解除ヲ爲シタルトキハ運送賃ノ三分ノ一ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百三條　運送品ノ全部滅失シタル場合ニ於テ運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百四條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百五條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百六條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百七條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百八條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百九條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十一條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十二條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十三條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十四條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十五條　運送賃ノ全額ヲ支拂フヘキ場合ニ於テ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十六條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送品ヲ供託スルコトヲ拒ミタルトキハ船長ハ運送品ヲ供託スルコトヲ要ス此場合ニ於テハ遲滯ナク傭船者又ハ荷送人ニ對シテ其通知ヲ發スルコトヲ要ス

第六百八條　運送品ノ重量又ハ容積ヲ以テ運送賃ヲ定メタルトキハ其額ハ運送品引渡ノ當時ニ於ケル重量又ハ容積ニ依リテ之ヲ定ム

第六百九條　期間ヲ以テ運送賃ヲ定メタルトキハ其額ハ運送品ノ船積著手ノ日ヨリ其陸揚終了ノ日マテノ期間ニ依リテ之ヲ定ム但船舶カ不可抗力ニ因リ發航港若クハ航海ノ途中ニ於テ碇泊ヲ爲スヘキトキ又ハ航海ノ遲中ニ於テ船舶ヲ修繕スヘキトキハ其期間之ヲ算入セス第五百九十四條第二項又ハ第五百五條第二項ノ場合ニ於テ船積期間又ハ陸揚期間經過ノ後運送品ノ船積又ハ陸揚ノ前項ノ場合ニ於テ船積期間又ハ陸揚期間經過ノ後運送品ノ船積又ハ陸揚ノ場合ニ於テハ船長ハ運送品ヲ供託スルコトヲ要ス

第六百十條　船舶所有者ハ第六百六條第一項ニ定メタル金額ノ支拂ヲ受クル爲メ裁判所ノ許可ヲ得テ運送品ヲ競賣スルコトヲ得

船長カ荷受人ノ氏名若クハ其所在ヲ知ルコト能ハサルトキハ船舶所有者ハ其運送品ノ競賣ヲ船長ニ請求スルコトヲ得

第六百十一條　船舶所有者カ前條ノ規定ニ從ヒテ運送品ヲ競賣シタルトキハ其賣得金ヲ以テ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百七條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百十二條　船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ傭船者又ハ荷送人カ運送賃ノ全額ヲ支拂フ前ニ運送品ノ一部滅失シタルトキハ傭船者ハ其滅失ニ付キ責ニ任セス

第六百十三條　船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ傭船者カ運送賃ノ全額ヲ支拂フ前ニ運送品ノ一部滅失シタルトキハ傭船者ハ其滅失ニ付キ責ニ任セス

第六百十四條　船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ傭船者カ運送賃ノ全額ヲ支拂フ前ニ運送品ノ一部滅失シタルトキハ傭船者ハ其滅失ニ付キ責ニ任セス

第六百十五條　第六百十三條第一項第二號及ヒ前條第一項ニ揭ケタル事由カ運送品ノ一部ニ付キ生シタルトキハ傭船者ハ船舶所有者ノ負擔ヲ重カラシメサル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得

傭船者カ前項ノ定メタル權利ヲ行ハント欲スルトキハ運滯ナク運送品ノ陸揚又ハ船積ヲ爲スコトヲ要ス若シ其陸揚又ハ船積ヲ怠リタルトキハ船舶所有者ハ特約ナキトキト雖モ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第六百十六條　第六百十三條及ヒ第六百十四條ノ規定ハ船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六百十七條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃ノ全額ヲ支拂フ前ニ運送品ノ一部滅失シタルトキハ其割合ニ應シ運送賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス

第六百十八條　第六百六條第一項ニ定メタル權利ハ船長ノ運送品ノ陸揚ヲ爲シ且運送賃ノ全額ヲ受取リタル後一箇月ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第六百十九條　第六百六條第一項ニ定メタル權利ハ船舶所有者ノ船舶ヲ以テ運送賃ヲ定メタル場合ニ於テハ其運送賃ノ全額ヲ受取リタル後一箇月ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第六百二十條　船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ傭船者又ハ荷送人カ運送賃ノ全額ヲ支拂フ前ニ運送品ノ一部滅失シタルトキハ傭船者ハ其滅失ニ付キ責ニ任セス

第六百二十一條　船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ傭船者カ運送賃ノ全額ヲ支拂フ前ニ運送品ノ一部滅失シタルトキハ傭船者ハ其滅失ニ付キ責ニ任セス

第六百二十二條　第六百十三條第一項第二號及ヒ前條第一項ニ揭ケタル事由カ運送品ノ一部ニ付キ生シタルトキハ傭船者ハ船舶所有者ノ負擔ヲ重カラシメサル範圍内ニ於テ他ノ運送品ヲ船積スルコトヲ得

傭船者カ前項ノ定メタル權利ヲ行ハント欲スルトキハ運滯ナク運送品ノ陸揚又ハ船積ヲ爲スコトヲ要ス若シ其陸揚又ハ船積ヲ怠リタルトキハ船舶所有者ハ特約ナキトキト雖モ相當ノ報酬ヲ請求スルコトヲ得

第六百二十三條　第六百十三條及ヒ第六百十四條ノ規定ハ船舶ノ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十四條　第六百六條第一項ニ定メタル權利ハ船舶所有者ノ船舶ヲ以テ運送賃ヲ定メタル場合ニ於テハ其運送賃ノ全額ヲ受取リタル後一箇月ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第六百二十五條　船舶所有者ハ船舶ノ全部又ハ一部ヲ以テ運送契約ノ目的ト爲シタル場合ニ於テ傭船者又ハ荷送人カ運送賃ノ全額ヲ支拂フ前ニ運送品ノ一部滅失シタルトキハ傭船者ハ其滅失ニ付キ責ニ任セス

第六百二十六條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百二十七條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ此限ニ在ラス

第六百二十八條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百二十九條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十一條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十二條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十三條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十四條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十五條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十六條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十七條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十八條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百三十九條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十一條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十二條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十三條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十四條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十五條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十六條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十七條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十八條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百四十九條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百五十條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百五十一條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百五十二條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百五十三條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

船長ハ前項ニ定メタル金額ノ支拂ト引換ニ非サレハ運送品ヲ引渡スコトヲ要セス

第六百五十四條　荷受人カ運送品ヲ受取リタルトキハ船長ハ運送賃、附隨ノ費用、立替金、碇泊料及ヒ運送品ノ價格ニ應シ共同海損又ハ救助ノ爲メ負擔スヘキ金額ヲ支拂フ義務

第六百六十一條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲シ且ツ其ノ航海ノ間之ヲ維持スル義務ヲ負フ

第六百六十二條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百六十三條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百六十四條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百六十五條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百六十六條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百六十七條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百六十八條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百六十九條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十一條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十二條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十三條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十四條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十五條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十六條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十七條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十八條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百七十九條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十一條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十二條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十三條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十四條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十五條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十六條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十七條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十八條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百八十九條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十一條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十二條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十三條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十四條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十五條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十六條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十七條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十八條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第六百九十九條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百一條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百五條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百六條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百七條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百八條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百九條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十一條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十二條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十三條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十四條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十五條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十六條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十七條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十八條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百十九條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十一條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十二條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十三條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十四條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十五條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十六條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十七條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十八條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百二十九條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十一條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十二條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十三條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十四條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十五條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十六條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十七條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十八條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百三十九條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十一條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十二條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十三條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十四條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十五條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十六條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十七條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十八條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百四十九條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

第七百五十條　船舶ノ賃貸人ハ其ノ船舶ニ關スル航海ノ準備ヲ爲スニ當リ相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スルニ非サレハ賃借人ニ對シ船舶ノ堪航性ニ付キ擔保ノ責ニ任セス

ルトキ

四　船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ

五　船舶又ハ積荷カ官ノ處分ニ依リテ押收セラレ六个月間解放セラレサルトキ

第六百七十二條　船舶ノ存否カ六个月間分明ナラサルトキハ其船舶ハ行方ノ知レサルモノトス

保險期間ノ定アル場合ニ於テ其期間カ前項ノ期間内ニ經過シタルトキ雖モ被保險者ハ委付ヲ爲スコトヲ得但船舶カ保險期間内ニ滅失セサリシコトノ證明アリタルトキハ此限ニ在ラス

第六百七十三條　船舶債權者ノ先取特權ハ他ノ先取特權ニ劣後スル場合ニ於テハ船舶債權者ノ先取特權ハ他ノ先取特權ニ先ツ

第六百七十四條　船舶所有者カ其船舶ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ讓受人カ其讓渡ヲ登記シタル後先取特權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ一个月ヲ下ルコトヲ得ス

先取特權者カ前項ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲ササリシトキハ其先取特權カ消滅ス

第六百七十五條　船舶債權者ノ先取特權ハ其發生後一年ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第六百七十六條　登記シタル船舶ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

船舶ノ抵當權ニハ不動産ノ抵當權ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十七條　船舶ノ先取特權ハ抵當權ニ先チテ之ヲ行フコトヲ得

第六百七十八條　登記シタル船舶ハ之ヲ以テ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第六百七十九條　本章ノ規定ハ讓渡中ノ船舶ニ之ヲ準用ス

（明治四十四年五月法律第七十三號）

附　則

第一條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六百七十八條　被保險者ハ委付ヲ爲スニ當リテ得ヘキ利益若ハ報酬ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ傭船者、荷送人又ハ荷受人ノ惡意若ハ重大ナル過失ニ因リテ生シタル損害

四　水先案内料、入港料、燈臺料、檢疫料其他船舶又ハ積荷ニ付キ航海ノ爲メニ出タシタル通常ノ費用

第六百七十八條　共同海損ニ非サル損害又ハ費用カ其計算ニ關スル費用ヲ算入セシテ保險價額ノ百分ノ二ヲ超エサルトキハ保險者ハ之ヲ塡補スル責ニ任セス

有ノ損害又ハ費用カ保險價額ノ百分ノ二ヲ超エタルトキハ保險者ハ其全額ヲ支拂フコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ當事者カ契約ヲ以テ保險者ノ負擔セサル損害又ハ費用ノ割合ヲ定メタル場合ニ之ヲ準用ス

前三項ニ定メタル割合ハ各航海ニ付キ之ヲ計算ス

第六百六十九條　保險ノ目的タル積荷カ毀損シテ陸揚港ニ到達シタルトキハ保險者ハ其積荷カ毀損シタル狀況ニ於ケル價額ノ毀損セサル狀況ニ於テ有スヘカリシ價額ニ對スル割合ヲ以テ保險價額ノ一部ヲ塡補スル責任ス

第六百七十條　航海ノ途中ニ於テ不可抗力ニ因リ保險ノ目的タル積荷ヲ賣却シタルトキハ其賣却ニ依リテ得タル代價ノ中ヨリ運送賃其他ノ費用ヲ控除シタルモノト保險價額トノ差ヲ以テ保險者ノ負擔トス但保險價額ノ一部ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ第三百九十一條ノ適用ヲ妨ケス

前項ノ場合ニ於テ買主カ代價ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ其支拂ヲ爲シタルトキハ被保險者ノ買主ニ對シテ有セル權利ヲ取得ス

第六百七十一條　左ノ場合ニ於テハ被保險者ハ保險ノ目的ヲ保險者ニ委付シテ保險金額ノ全部ヲ請求スルコトヲ得

一　船舶カ沈沒シタルトキ

二　船舶ノ行方カ知レサルトキ

三　船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ

四　船舶又ハ積荷カ捕獲セラレタルトキ

五　船舶又ハ積荷カ官ノ處分ニ依リテ押收セラレ六个月間解放セラレサルトキ

第六百七十二條　船舶ノ存否カ六个月間分明ナラサルトキハ其船舶ハ行方ノ知レサルモノトス

保險期間ノ定アル場合ニ於テ其期間カ前項ノ期間内ニ經過シタルトキ雖モ被保險者ハ委付ヲ爲スコトヲ得但船舶カ保險期間内ニ滅失セサリシコトノ證明アリタルトキハ此限ニ在ラス

第六百七十三條　船舶債權者ノ先取特權ハ他ノ先取特權ニ劣後スル場合ニ於テハ船舶債權者ノ先取特權ハ他ノ先取特權ニ先ツ

第六百七十四條　船舶所有者カ其船舶ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ讓受人カ其讓渡ヲ登記シタル後先取特權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス但其期間ハ一个月ヲ下ルコトヲ得ス

先取特權者カ前項ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲ササリシトキハ其先取特權カ消滅ス

第六百七十五條　船舶債權者ノ先取特權ハ其發生後一年ヲ經過シタルトキハ消滅ス

第六百七十六條　登記シタル船舶ハ之ヲ以テ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得

船舶ノ抵當權ニハ不動産ノ抵當權ニ關スル規定ヲ準用ス

第六百七十七條　船舶ノ先取特權ハ抵當權ニ先チテ之ヲ行フコトヲ得

第六百七十八條　登記シタル船舶ハ之ヲ以テ質權ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第六百七十九條　本章ノ規定ハ讓渡中ノ船舶ニ之ヲ準用ス

（明治四十四年五月法律第七十三號）

附　則

第一條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　本法ノ規定ハ本法施行ノ日ヨリ其施行前ニ生シタル事項ニモ亦之ヲ適用ス但從前ノ規定ニ依リテ生シタル效力ヲ妨ケス

第三條　本法施行前ニ會社カ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ第四十四條ノ三第二項及ヒ第三項ノ規定ニ依ルコトヲ要セス

第四條　第九十一條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ清算手了ノ登記ヲ爲シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第五條　第九十九條ノ三第二項及ヒ第九十九條ノ四乃至第九十九條ノ六ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル設立無效ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但其訴ニ付キ爲シタル判決カ本法施行前ニ確定シタルトキハ此限ニ在ラス

第六條　前二條ノ規定ハ會社ニ之ヲ準用ス

第七條　本法施行前ニ株式會社ノ發起人カ定款ヲ作リタル場合ニ於テハ其設立ニハ從前ノ規定ヲ適用ス

前項ノ規定ハ第百二十六條ノ二及ヒ第百四十二條ノ二乃至第百四十二條ノ四ノ規定ノ適用ヲ妨ケス

第八條　第百五十二條第三項及ヒ第百五十三條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ第百五十二條第一項ノ催告ヲ爲シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第九條　第百六十三條及ヒ第百六十三條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル事由ニ基キ其施行後ニモ亦之ヲ適用ス

第十條　第九十九條ノ三第二項、第九十九條ノ四及ヒ第百六十三條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル決議無效ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但其訴ニ付キ爲シタル判決カ本法施行前ニ確定シタルトキハ此限ニ在ラス

第十一條　前二條ノ規定ハ創立總會ノ決議無效ノ訴ニ之ヲ準用ス

第百六十三條ノ三ノ規定ハ本法施行前ニ提起シタル創立總會ノ決議無效ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス

第十二條　第百六十七條ノ二ノ規定ハ本法施行前ニ選任シタル取締役又ハ監査役ノ任務カ本法施行後ニ終了シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十三條　第百七十七條及ヒ第百八十六條ノ規定ハ本法施行前ニ選任シタル取締役又ハ監査役ノ行爲カ本法施行後ニ在リタル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第十四條　本法施行前ニ株式ノ申込カ社債募集ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ從前ノ規定ニ從ヒテ其募集ヲ爲スコトヲ得但未タ社債證券ヲ發行セサル間ハ之ヲ準用ス

第十五條　本法施行前ニ株式會社カ社債ヲ償還シタル場合ニ於テハ從前ノ規定ニ從ヒテ其增加ヲ爲スコトヲ得但未タ社債ノ一部ヲ償還シタル場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第十六條　第二百二十條ノ二乃至第二百二十條ノ五及ヒ第二百二十一條第一項ノ規定ハ本法施行前ニ發行シタル株式ニ之ヲ準用ス

第十七條　第二百二十條ノ二乃至第二百二十條ノ五及ヒ第二百二十一條第一項ノ規定ハ本法施行前ニ發行シタル新株引受權ニ之ヲ準用ス

第十八條　本法施行前ニ株式會社カ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テハ其會社ノ株主ニ對スル割當ニ關スル事項ニモ亦之ヲ適用ス

第十九條　附則第十六條ノ規定ハ會社ノ合併ニ因リ株式併合ノ場合ニモ之ヲ準用ス

第二十條　本法施行前ニ株式會社ノ設立ノ無效ノ訴ニ關スル事項ニモ亦之ヲ適用ス

第二十一條　附則第九條、第十二條及ヒ第十三條ノ規定ハ株式會社ノ清算ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條　附則第四條及ヒ第五條ノ規定ハ本人ノ手形上ノ責任ヲ負フコトヲ記載セシテ手形ニ署名シタル者ニ之ヲ準用ス

第二十三條　前十六條ノ規定ハ株式會社ノ清算ニ因リテ完成シタル場合ニ於テ其優先權ノ順位ハ第二十四條ノ規定ニ從ヒテ定ムル順序ニ從フ但同條ノ規定ニ依リテ生シタル效力ヲ妨ケス

第二十四條　本法施行前ニ會社カ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ債權者ノ異議ニ關スル事項ニモ亦之ヲ適用ス

第二十五條　第百七十四條ノ規定ハ本法施行前ニ株式會社ノ設立ノ無效ノ訴ニ關スル事項ニモ亦之ヲ適用ス

第二十六條　第百七十五條ノ規定ハ本法施行前ニ株式會社ノ設立ノ無效ノ訴ニ關スル事項ニモ亦之ヲ適用ス

第二十七條　第三百六十七條ノ三、第三百八十條ノ二及ヒ第三百八十條ノ三ノ規定ハ本法施行前ニ作リタル預證券又ハ質入證券ニモ亦之ヲ適用ス但其證券ニ別段ノ意思表示アルトキハ此限ニ在ラス

第二十八條　第四百十七條ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル保險料返還ノ義務ニ付キ其施行後ニモ亦之ヲ適用ス

第二十九條　第四百二十八條乃至第四百二十八條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル事由ニ基キ其施行後ニモ亦之ヲ適用ス

第二十條　本法施行前ニ株式會社ノ設立ノ無效ノ訴ニ關スル事項ニモ亦之ヲ適用ス

第二十一條　附則第九條、第十二條及ヒ第十三條ノ規定ハ株式會社ノ清算ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十二條　附則第四條及ヒ第五條ノ規定ハ本人ノ手形上ノ責任ヲ負フコトヲ記載セシテ手形ニ署名シタル者ニ之ヲ準用ス

第二十三條　前十六條ノ規定ハ株式會社ノ清算ニ因リテ完成シタル場合ニ於テ其優先權ノ順位ハ第二十四條ノ規定ニ從ヒテ定ムル順序ニ從フ但同條ノ規定ニ依リテ生シタル效力ヲ妨ケス

第二十四條　本法施行前ニ會社カ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ債權者ノ異議ニ關スル事項ニモ亦之ヲ適用ス

第二十五條　第百七十四條ノ規定ハ本法施行前ニ株式會社ノ設立ノ無效ノ訴ニ關スル事項ニモ亦之ヲ適用ス

第二十六條　第百七十五條ノ規定ハ本法施行前ニ株式會社ノ設立ノ無效ノ訴ニ關スル事項ニモ亦之ヲ適用ス

第二十七條　第三百六十七條ノ三、第三百八十條ノ二及ヒ第三百八十條ノ三ノ規定ハ本法施行前ニ作リタル預證券又ハ質入證券ニモ亦之ヲ適用ス但其證券ニ別段ノ意思表示アルトキハ此限ニ在ラス

第二十八條　第四百十七條ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル保險料返還ノ義務ニ付キ其施行後ニモ亦之ヲ適用ス

第二十九條　第四百二十八條乃至第四百二十八條ノ四ノ規定ハ本法施行前ニ生シタル事由ニ基キ其施行後ニモ亦之ヲ適用ス

（手形法第八十條參照）

第四編　手形

第一章　總則

第四百三十四條　本法ニ於テ手形トハ爲替手形、約束手形及ヒ小切手ヲ謂フ

第四百三十五條　手形ニ署名シタル者ハ其手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四百三十六條　代理人カ本人ノ爲メニスルコトヲ記載セシテ手形ニ署名シタルトキハ本人ノ手形上ノ責任ヲ負フコトヲ記載セシテ手形ニ署名シタル者ニ其文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四百三十七條　僞造又ハ變造シタル手形ニ署名シタル者ハ其僞造又ハ變造シタル手形ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第四百三十八條　手形ニ記載スヘキ事項ノ一部ヲ缺クトキハ其手形ハ左ノ場合ヲ除ク外效力ヲ有セス

一　爲替手形ニ付テハ支拂ヲ爲スヘキ者ノ表示ニ付キ其記載ニ依リテ之ヲ補充スヘキ場合

二　約束手形ニ付テハ振出ノ日ノ記載ニ付キ其記載ニ依リテ之ヲ補充スヘキ場合

三　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ノ記載ニ付キ其記載ニ依リテ之ヲ補充スヘキ場合

四　爲替手形ニ付テハ振出ノ地ノ記載ニ付キ其記載ニ依リテ之ヲ補充スヘキ場合

五　爲替手形ニ付テハ支拂ヲ爲スヘキ地ノ記載ニ付キ其記載ニ依リテ之ヲ補充スヘキ場合

六　爲替手形ニ付テハ支拂ヲ爲スヘキ者ノ表示ニ付キ其記載ニ依リテ之ヲ補充スヘキ場合

七　爲替手形ニ付テハ振出ノ地ト支拂ヲ爲スヘキ地トカ同一ナル場合

八　爲替手形ニ付テハ支拂ヲ爲スヘキ地ト振出ノ地トカ同一ノ國内ニ在ル場合

第四百三十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百五十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十四條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十五條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十六條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十七條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十八條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十九條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百七十條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百七十一條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百七十二條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スルコトヲ得

第五百七十三條　爲替手形ニ付テハ振出ノ日ヨリ一年内ニ支拂ヲ爲スヘキ旨ヲ記載スル

效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ擬出人又ハ引受人ニ対シ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二章　爲替手形

第一節　振出

第四百四十五條　爲替手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人之ニ署名スルコトヲ要ス

一　其爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字

一定ノ金額

二　支拂人ノ氏名又ハ商號

三　受取人ノ氏名又ハ商號

四　單純ナル支拂ノ委託

五　振出ノ年月日

六　一定ノ滿期日

七　支拂地

八　爲替手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第四百四十六條　振出人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得

第四百四十八條　振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十九條　爲替手形ハ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百五十條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第四百五十一條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第四百五十二條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第四百五十二條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第四百五十三條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ對シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第四百五十四條　振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂人ノ場所ヲ記載スルコトヲ得

第二節　裏書

第四百五十五條　爲替手形ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

但振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

第四百五十六條　振出人、引受人又ハ裏書人カ裏書ニ依リテ爲替手形ヲ讓受ケタルトキハ更ニ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

第四百五十七條　裏書ハ爲替手形、其謄本又ハ補箋ニ被裏書人ノ氏名又ハ商號及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス

裏書ハ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ裏書ノミニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

第四百五十八條　裏書ハ條件ヲ附スルトキト雖モ其條件ヲ記スルコトヲ要ス

第四百五十九條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十條　裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲スコトヲ得

第四百六十一條　裏書人カ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ擬出人又ハ引受人ニ対シ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第三章　爲替手形

第一節　振出

第四百四十五條　爲替手形ニハ左ノ事項ヲ記載シ振出人之ニ署名スルコトヲ要ス

一　其爲替手形タルコトヲ示スヘキ文字

一定ノ金額

二　支拂人ノ氏名又ハ商號

三　受取人ノ氏名又ハ商號

四　單純ナル支拂ノ委託

五　振出ノ年月日

六　一定ノ滿期日

七　支拂地

八　爲替手形ノ主タル部分ニ記載シタル金額カ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第四百四十六條　振出人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第四百四十八條　振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百四十九條　爲替手形ハ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百五十條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第四百五十一條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第四百五十二條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第四百五十二條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第四百五十三條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第四百五十四條　振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル支拂人ノ場所ヲ記載スルコトヲ得

第二節　裏書

第四百五十五條　爲替手形ハ其記名式ナルトキト雖モ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

但振出人カ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキハ此限ニ在ラス

第四百五十六條　振出人、引受人又ハ裏書人カ裏書ニ依リテ爲替手形ヲ讓受ケタルトキハ更ニ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

第四百五十七條　裏書ハ爲替手形、其謄本又ハ補箋ニ被裏書人ノ氏名又ハ商號及ヒ裏書ノ年月日ヲ記載シ裏書人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス

裏書ハ裏書人ノ署名ノミヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ裏書ノミニ依リテ之ヲ讓渡スコトヲ得

第四百五十八條　裏書ハ條件ヲ附スルトキト雖モ其條件ヲ記スルコトヲ要ス

第四百五十九條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百六十條　裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲スコトヲ得

第四百六十一條　裏書人カ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ所持人ハ擬出人又ハ引受人ニ対シ其受ケタル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百六十二條　裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其定ニ從ヒ擔保ノ責ヲ負フコトナシ

第四百六十三條　所持人ハ爲替手形ノ滿期日前ニ於テモ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百六十四條　裏書人ハ裏書ヲ禁スル旨ヲ記載シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第四百六十五條　裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第四百六十六條　裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第四百六十七條　裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第四百六十八條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第四百六十九條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百七十一條　裏書人ハ滿期日ヨリ三年所持人ノ共前者ニ対スル償還請求權ハ支拂拒絶證書作成ノ日ヨリ一年裏書人ノ共前者ニ対スル償還請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第四百七十二條　裏書人ハ滿期日前ニ於テモ擔保ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百七十三條　裏書人ハ滿期日ヨリ三年所持人ノ共前者ニ対スル償還請求權ハ支拂拒絶證書ノ日附ヨリ一年裏書人ノ共前者ニ対スル償還請求權ハ償還ヲ爲シタル日ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第四百七十四條　手形ヨリ生シタル債權カ時效又ハ手續ノ欠缺ニ因リテ消滅シタルトキト雖モ裏書人ハ被裏書人ノ後者ニ対シテ手形上ノ責任ヲ負フコトナシ

第四百七十五條　裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其定ニ從ヒ擔保ノ責ヲ負フ

第四百七十六條　裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第四百七十七條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第四百七十八條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百七十九條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百八十條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第四百八十一條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第四百八十二條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第四百八十二條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第四百八十三條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第四百八十四條　振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十五條　振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十六條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第四百八十七條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百八十八條　裏書人ハ裏書ヲ爲スニ當タリ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第四百八十九條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第四百九十條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十一條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百九十二條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第四百九十三條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第四百九十四條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第四百九十四條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第四百九十五條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第四百九十六條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第四百九十七條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第四百九十八條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第四百九十九條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百一條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百二條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百三條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百四條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百五條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第五百六條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第五百七條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百八條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第五百九條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第五百十條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百十一條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百十一條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百十二條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百十三條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百十四條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百十五條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百十六條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第五百十七條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第五百十八條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百十九條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第五百二十條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第五百二十一條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百二十二條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百二十二條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百二十三條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百二十四條　振出人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百二十五條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百二十六條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百二十七條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第五百二十八條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第五百二十九條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第五百三十一條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第五百三十二條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百三十三條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百三十三條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百三十四條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百三十五條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百三十六條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百三十七條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百三十八條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第五百三十九條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第五百四十條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十一條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第五百四十二條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第五百四十三條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百四十四條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百四十四條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百四十五條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百四十六條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百四十七條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百四十八條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百四十九條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第五百五十條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第五百五十一條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十二條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第五百五十三條　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第五百五十四條　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百五十五條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百五十五條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百五十六條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百五十七條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百五十八條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百五十九條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百六十條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第五百六十一條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第五百六十二條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十三條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第五百六十四條　裏書人ハ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百六十五條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百六十五條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百六十六條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百六十七條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百六十八條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百六十九條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百七十條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第五百七十一條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第五百七十二條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百七十三條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第五百七十四條　裏書人ハ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百七十五條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百七十五條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百七十六條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百七十七條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百七十八條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百七十九條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百八十條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第五百八十一條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第五百八十二條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百八十三條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第五百八十四條　裏書人ハ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百八十五條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百八十五條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百八十六條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十七條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百八十八條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百八十九條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百九十條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第五百九十一條　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第五百九十二條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百九十三條　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第五百九十四條　裏書人ハ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第五百九十五條　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第五百九十五條ノ二　支拂人ノ氏名又ハ商號ニ附記シタル地ヲ以テ其營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス

第五百九十六條　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第五百九十七條　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第五百九十八條　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第五百九十九條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第六百條　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第六百條ノ二　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第六百條ノ三　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第六百條ノ四　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第六百條ノ五　滿期日ハ左ニ揭ケタル種類ノ一ニ從ヒ之ヲ定ム

一　一覽後確定セル日

二　日附後確定セル期間ヲ經過シタル日

三　一覽ノ日

四　一覽後確定セル期間ヲ經過シタル日

第六百條ノ六　振出人カ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第六百條ノ七　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第六百條ノ八　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第六百條ノ九　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第六百條ノ十　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第六百條ノ十一　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第六百條ノ十二　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第六百條ノ十三　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第六百條ノ十四　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第六百條ノ十五　裏書人ハ爲替手形ニ其金額三十圓以上ノモノニ限リ之ヲ無記名式ト爲スコトヲ得

第六百條ノ十六　裏書人ハ爲替手形ニ滿期日ヲ記載セサリシトキハ一覽ノ日ヲ以テ其爲替手形ノ滿期日トス

第六百條ノ十七　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第六百條ノ十八　振出人カ爲替手形ニ支拂地ヲ記載セサリシトキハ支拂人ノ氏名又ハ商號ノ側ニ附記シタル地ヲ以テ其支拂地トス

第六百條ノ十九　振出人ハ支拂人ニ非サル者ヲ以テ支拂爲替手形ヲ取得シタル者ニ対シ其手形ノ返還ヲ請求スルコトヲ得

第六百條ノ二十　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第六百條ノ二十一　裏書人ハ爲替手形ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキト雖モ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第六百條ノ二十二　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ一部ニ付キ裏書ヲ爲シタルトキハ其後ノ裏書人ニ対シテモ擔保ノ責ヲ負フ

第六百條ノ二十三　裏書人ハ爲替手形ニ記載シタル金額ノ他ノ部分ニ記載シタル金額ト異ナルトキハ主タル部分ニ記載シタル金額

第六百條ノ二十四　裏書人ハ自己ヲ受取人又ハ支拂人ト定ムルコトヲ得。

第六百條ノ二十五　裏書人ハ爲替手形ニ其支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載スルコトヲ得

第六百條ノ二十六　裏

規定ニ依リテ振出ス爲替手形ハ償還ノ請求
シテ以テ其支拂地ト定メタル一覽拂ノモノタルコ
トヲ要ス
所持人カ振出ス爲替手形ニハ本爲替手形ノ
支拂地ヲ以テ振出地ト定メ裏書人カ振出ス
爲替手形ニハ其督薬所又ハ住所ノ所在地ヲ
以テ振出地ト定ムルコトヲ要ス
第四百九十五條　償還ハ爲替手形、支拂拒絶
證書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ之ヲ
償還ヲ爲ス者ハ之ヲ受クル者ヲシテ償還計
算書ニ署名セシムルコトヲ得
第四百九十六條　削除
保證
第四百九十七條　爲替手形ヨリ生シタル債務
ヲ保證スル爲メ爲替手形、其謄本又ハ補箋
ニ署名シタル者ハ共債務カ無效ナルトキト
雖モ主タル債務者ト同一ノ責任ヲ負フ
第四百九十八條　何人ノ爲メニ保證ヲ爲シタ
ルカ分明ナラサルトキハ引受人ノ
爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做ス
第四百九十九條　保證人カ其債務ヲ履行シタ
ルトキハ所持人カ主タル債務者ニ對シテ有
セシ權利及ヒ主タル債務者カ其前者ニ對シ
テ有スヘキ權利ヲ取得ス
第八節　參加
第一款　參加引受
第五百條　爲替手形ノ所持人カ引受拒絶證書
ヲ作ラシメタル場合ニ於テ豫備支拂人アル
トキハ其豫備支拂人ニ引受ヲ求メタル後ニ
非サレハ其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコ
トヲ得ス
豫備支拂人カ引受ヲ爲ササリシトキハ所持
人ハ其旨ヲ引受拒絶證書ニ記載セシムルコ
トヲ要ス
第五百一條　爲替手形ノ所持人ハ豫備支拂人
ニ非サル者ノ參加引受ヲ拒ムコトヲ得
第五百二條　參加引受ヲ爲サントスル者數人
參加人及ヒ其後者ニ對シ手形上ノ權利ヲ
失フ
第五百九條　爲替手形ノ所持人ハ豫備支拂人
又ハ參加引受人ニ非サル者ノ參加支拂ト雖
モ之ヲ拒ムコトヲ得ス若シ之ヲ拒ミタルト
キハ被參加人及ヒ其後者ニ對スル手形上ノ
權利ヲ失フ
第五百十條　參加支拂ヲ爲サントスル者數人
アルトキハ所持人ハ其選擇ニ從ヒ其一人ヲ
シテ引受ヲ爲サシムルコトヲ得
第五百十一條　參加引受ハ爲替手形ニ其旨ヲ記
載シ參加引受人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス
參加引受人カ爲替手形ニ被參加人ヲ定メサ
リシトキハ其引受ハ振出人ノ爲メニ之ヲ爲
シタルモノト看做ス
第五百十四條　所持人ハ引受拒絶證書ニ參加引
受アリタル旨ノ記載セシメ且證書作成ノ
費用ノ支拂ヲ引換ニ之ノ參加引受人ニ交付
スルコトヲ要ス參加引受人ニ交付シタル
金額ハ償還ノ請求ヲ受ケタル時ノ爲替相場
ニ依リテ之ヲ計算ス若シ支拂地ニ於テ其相場ナキトキハ償
還ノ請求ヲ受クル者ノ督薬所又ハ住所ノ所
在地ニ最モ近キ地ニ宛テ振出シタル一覽拂
ノ爲替手形ノ相場ニ依ル
第四百九十二條　償還ノ請求ヲ受ケタル裏書
人ハ左ノ金額ニ付キ償還ノ請求ヲ爲スコト
ヲ得
一　支拂ヲ爲シタル金額及ヒ支拂ノ日以後ノ
法定利息
二　其支出シタル費用
前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用
ス
第四百九十三條　爲替手形ノ所持人又ハ裏書
人ハ償還ノ請求ヲ爲ス爲メ其前者ヲ支拂人
トシテ更ニ爲替手形ヲ振出スコトヲ得
第四百九十四條　所持人又ハ裏書人カ前條ノ
規定ニ依リテ振出ス爲替手形ハ償還ノ請求
ヲ受クル者ノ住所又ハ其指定シタル場所ニ
於テ支拂ヲ爲シタル一覽拂ノモノタルコト
ヲ要ス
第四百九十五條　償還ハ爲替手形、支拂拒絶
證書及ヒ償還計算書ト引換ニ非サレハ之ヲ
爲スコトヲ要セス
償還ヲ爲ス者ハ之ヲ受クル者ヲシテ償還計
算書ニ償還ヲ受ケタル旨ヲ記載セシメ且之
ニ署名セシムルコトヲ得
第四百九十六條　削除
保證
第四百九十七條　爲替手形ヨリ生シタル債務
ヲ保證スル爲メ爲替手形、其謄本又ハ補箋
ニ署名シタル者ハ共債務カ無效ナルトキト
雖モ主タル債務者ト同一ノ責任ヲ負フ
第四百九十八條　何人ノ爲メニ保證ヲ爲シタ
ルカ分明ナラサルトキハ引受人ノ
爲メニ之ヲ爲シタルモノト看做ス
第四百九十九條　保證人カ其債務ヲ履行シタ
ルトキハ所持人カ主タル債務者ニ對シテ有
セシ權利及ヒ主タル債務者カ其前者ニ對シ
テ有スヘキ權利ヲ取得ス
第八節　參加
第一款　參加引受
第五百條　爲替手形ノ所持人カ引受拒絶證書
ヲ作ラシメタル場合ニ於テ豫備支拂人アル
トキハ其豫備支拂人ニ引受ヲ求メタル後ニ
非サレハ其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコ
トヲ得ス
豫備支拂人カ引受ヲ爲ササリシトキハ所持
人ハ其旨ヲ引受拒絶證書ニ記載セシムルコ
トヲ要ス
第五百一條　爲替手形ノ所持人ハ豫備支拂人
ニ非サル者ノ參加引受ヲ拒ムコトヲ得
第五百二條　參加引受ヲ爲サントスル者數人
アルトキハ所持人ハ其選擇ニ從ヒ其一人ヲ
シテ引受ヲ爲サシムルコトヲ得
第五百三條　參加引受ハ爲替手形ニ其旨ヲ記
載シ參加引受人署名スルニ依リテ之ヲ爲ス
參加引受人カ爲替手形ニ被參加人ヲ定メサ
リシトキハ其引受ハ振出人ノ爲メニ之ヲ爲
シタルモノト看做ス
第五百四條　所持人ハ引受拒絶證書ニ參加引
受アリタル旨ノ記載セシメ且證書作成ノ
費用ノ支拂ヲ引換ニ之ノ參加引受人ニ交付
スルコトヲ要ス參加引受人ニ交付シタル金額
ノ支拂ヲ爲ササリシトキハ所持人ハ其被參加人
ニ對シ支拂アラサリシ手形金額及ヒ費用
ヲ支拂フ義務ヲ負フ但所持人カ支拂拒絶證
書作成ノ期間内ニ支拂ヲ求ムル爲メ爲替手
形ヲ參加引受人ニ呈示セサルトキハ參加引
受人ハ其義務ヲ免ル
第五百六條　爲替手形ノ所持人ハ其他被參加人
ノ後者ハ參加引受ニ因リテ擔保ヲ請求スル
權利ヲ失フ
第五百七條　被參加人ハ其前者ニ對シテ擔保
ヲ請求スルコトヲ得此場合ニ於テハ第四百
七十六條乃至第四百七十九條ノ規定ヲ準用
ス
第二款　參加支拂
第五百八條　爲替手形ノ所持人カ支拂拒絶證
書ヲ作ラシメタル場合ニ於テ豫備支拂人又
ハ參加引受人アルトキハ所持人ハ支拂拒絶
證書作成ノ期間内ニ參加引受人ニ、若シ參
加引受人アルトキハ參加引受人カ支拂ヲ
爲ササリシトキハ豫備又ハ參加引受人ニ爲替手形ヲ
呈示シテ其支拂ヲ求メタル後ニ非サレハ其
前者ニ對シテ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス
參加引受人又ハ豫備支拂人カ支拂ヲ爲サ
リシトキハ所持人ハ其旨ヲ支拂拒絶證書ニ
記載セシムルコトヲ要ス
第五百九條　爲替手形ノ所持人ハ豫備又ハ參
加引受人ニ非サル者ノ參加支拂ヲ拒ムコト
ヲ得
第五百十條　參加支拂ヲ爲サントスル者數人
アルトキハ所持人ハ其選擇ニ從ヒ其一人ヲ
シテ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得
第五百十一條　參加支拂ヲ爲サントスル者ハ
所持人及ヒ其前者ニ對シテ其權利ヲ取得
スヘキ債務者ヲ其順序ニ從ヒテ支拂ヲ爲ス
コトヲ要ス
所持人カ拒ムトキハ其前者ニ對スル權利ヲ失フ
第五百十二條　參加支拂ヲ爲シタル者ハ被參
加人及ヒ其後者ニ對シ手形上ノ權利ヲ取得
ス
第五百十三條　參加支拂ヲ爲シタル者ハ支拂
ヲ爲シタル日及ヒ其後六月内ニ被參加人ノ
住所ノ所在地ニ於テ裁判所ノ證書ヲ以テ
其旨ヲ證明スルコトヲ要ス
第五百十四條　參加支拂ヲ爲シタル者ハ被參
加人及ヒ其前者ニ對シ支拂ノ日以後ノ法定
利息及ヒ其支出シタル費用ノ償還ヲ請求ス
ルコトヲ得
第五百十五條　參加支拂ヲ爲シタル者ハ被參
加人ノ爲メニ振出シタル爲替手形ニ付キ
其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得
第五百十六條　參加支拂ヲ爲シタル者ハ被參
加人ノ爲メニ振出シタル爲替手形ニ付キ
其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得
第五百十七條　參加支拂ヲ爲シタル者ハ被參
加人ノ爲メニ振出シタル爲替手形ニ付キ
其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得
第五百十八條　參加支拂ヲ爲シタル者ハ被參
加人ノ爲メニ振出シタル爲替手形ニ付キ
其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得
第五百十九條　爲替手形ノ複本ニ非サレハ共
引受ヲ爲スコトヲ得ス
爲替手形ノ引受人ハ其複本ニ引受ヲ爲シ
タル者又ハ其前者ニ對シテ擔保ヲ請求スル
コトヲ得
第五百二十條　爲替手形ノ複本ヲ作リタル場
合ニ於テ其數力ヲ有ス
第五百二十一條　爲替手形ノ複本ヲ作リタル場
合ニ於テハ其一通ノ支拂アリタルトキハ他ノ
各通ハ其效力ヲ失フ但引受アルモノハ此限
ニ在ラス
二人以上ニ各別ニ數通ノ爲替手形ノ裏書ヲ
爲シタル者又ハ數通ノ爲替手形ニ引受ヲ爲
シタル者ハ支拂ノ時ニ於テ返還ノ義務ヲ
負フ
第五百二十二條　爲替手形ノ複本ノ所持人カ
引受ヲ求ムル爲メ其一通ヲ送付シタルトキ
ハ他ノ各通ニ其送付先ヲ記載スルコトヲ要
ス
前項ノ記載アル爲替手形ノ所持人ハ引受ヲ
求ムル爲メニ送付シタル一通ノ爲替手形ヲ
受取リタル者ニ對シテ其返還ヲ請求スルコ
トヲ得若シ其者カ之ヲ返還セサルトキハ拒
絶證書ニ依リ其事實及ヒ他ノ一通又ハ數通
ノ爲替手形ヲ以テ引受又ハ支拂ヲ受クルコ
トヲ得ル旨ヲ記載シタル前者ニ對シテ其
前項ノ場合ニ於テ所持人ハ其裏書人又ハ其
前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得
第五百二十三條　爲替手形ノ所持人ハ其複本
ノ數通ノ複本又ハ原本及ヒ謄本ヲ呈示シタル場合ニ於テ支
拂拒絶證書ヲ作ルトキハ其作成ハ一通ノ複
本若クハ原本又ハ附箋ニ依リ之ヲ爲スヲ以
テ足ル
前項ノ規定ニ依リテ支拂拒絶證書ヲ作リタ
ルトキハ他ノ複本又ハ謄本ニ其旨ヲ記載ス
ルコトヲ要ス
第五百十五條ノ四　支拂拒絶ノ場合ヲ除ク外
拒絶證書ノ作成ハ爲替手形若クハ其謄本ノ
寫本又ハ附箋ニ依リテ之ヲ爲ス
第五百十五條ノ五　爲替手形、複本、原本又ハ
爲替手形若クハ其謄本ノ寫本ニ依リテ拒絶
證書ヲ作ル場合ニ於テハ第五百十五條ニ掲
ケタル事項ハ其裏面ニ記載シタル事項ニ接
續シテ之ヲ記載スルコトヲ要ス
附箋ニ依ル場合ニ於テハ公證人又ハ執達吏
ハ其接目ニ契印ヲ爲スコトヲ要ス
第五百十六條　數人ニ到シテ手形上ノ請求ヲ
爲スヘキトキハ共請求ニ付キ一通ノ拒絶證
書ヲ作ラシムルヲ以テ足ル
第五百十七條　公證人又ハ執達吏カ拒絶證書
ヲ作リタルトキハ其謄本ニ左ノ事項ヲ記載
シ之ヲ其役場ニ備フルコトヲ要ス
一　手形金額
二　振出人、支拂人及ヒ受取人ノ氏名又ハ
商號
三　振出ノ年月日
四　滿期日及ヒ支拂地
五　支拂擔當者、豫備支拂人又ハ參加引受
人アルトキハ其氏名又ハ商號
拒絶證書カ滅失シタルトキハ利害關係人ハ
其謄本ノ交付ヲ請求スルコトヲ得此謄本ハ
原本ト同一ノ效力ヲ有ス
第十節　爲替手形ノ複本及ヒ謄本
第五百十八條　爲替手形ノ所持人ハ振出人ニ
對シテ其爲替手形ノ複本ノ交付ヲ請求スル
コトヲ得但所持人カ受取人ニ非サルトキハ
順次ニ其前者ヲ經由シテ之ヲ請求スルコト
ヲ要ス
振出人カ爲替手形ノ複本ヲ作リタルトキハ
本ニ記載シタル滿期日ノ到來シタル後ハ償
還ノ請求ヲ爲スコトヲ得
第三章　約束手形
第五百二十五條　約束手形ニハ左ノ事項ヲ記
載シ振出人之ニ署名スルコトヲ要ス
一　其約束手形タルコトヲ示スヘキ文字
二　一定ノ金額
三　受取人ノ氏名又ハ商號
四　單純ナル支拂ノ約束
五　振出ノ年月日
六　一定ノ滿期日
七　振出地
第五百二十六條　振出人カ約束手形ニ支拂地
ヲ記載セサリシトキハ振出地ヲ以テ其支拂
地トス
第五百二十六條ノ二　振出地ハ之ヲ振出人ノ
營業所又ハ住所ノ所在地ト看做ス
第五百二十七條　一覽後定期拂ノ約束手形ノ
所持人ハ其日附ヨリ一年内ニ振出人ニ約束
手形ヲ呈示スルコトヲ要ス但振出人ハ之ヨ
リ短キ呈示期間ヲ定ムルコトヲ得
所持人カ拒絶證書ニ依リ前項ニ定メタル呈
示ヲ爲シタルコトヲ證明セサルトキハ振出
人以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ失フ
第五百二十八條　所持人カ一覽後定期拂ノ約
束手形ヲ呈示シタル場合ニ於テ振出人カ呈
示ヲ受ケタル旨又ハ其日附ヲ約束手形ニ記
載セサリシトキハ所持人ハ呈示期間内ニ拒
絶證書ヲ作ラシムルコトヲ要ス此場合ニ於
テハ其拒絶證書ヲ作成ノ日ヲ以テ呈示ノ日ト
看做ス
所持人カ拒絶證書ヲ作ラシメサリシトキハ
振出人以外ノ前者ニ對スル手形上ノ權利ヲ
失フ
第五百二十九條　所持人カ爲替手形ノ引受ヲ
求ムル爲メ其原本ヲ送付シタル場合ニ於テ
其謄本ヲ作リタルトキハ之ニ其原本ノ送付
先ヲ記載スルコトヲ要ス
前項ノ記載アル爲替手形ノ所持人ハ引受ヲ
求ムル爲メニ送付シタル一通ノ爲替手形ヲ
受取リタル者ニ對シテ其返還ヲ請求スルコ
トヲ得若シ其者カ之ヲ返還セサルトキハ拒
絶證書ニ依リ其事實及ヒ他ノ一通又ハ數通
ノ爲替手形ヲ以テ引受又ハ支拂ヲ受クルコ
トヲ得ル旨ヲ記載シタル前者ニ對シテ其
前項ノ場合ニ於テ所持人ハ其裏書人又ハ其
前者ニ對シテ擔保ヲ請求スルコトヲ得
第五百三十條　爲替手形ノ複本ノ所持人カ引
受ヲ求ムル爲メ其一通ヲ送付シタルトキ
ハ他ノ各通ニ其送付先ヲ記載スルコトヲ要
ス
第五百二十一條　爲替手形ノ複本ノ所持人カ
引受ヲ求ムル爲メ其一通ヲ送付シタルトキ
ハ他ノ各通ニ其送付先ヲ記載スルコトヲ要
ス
第五百二十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百二十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百二十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百二十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百二十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百二十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百二十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百二十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百三十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百四十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百五十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百六十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百七十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百八十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第五百九十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百二十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十四條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十五條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十六條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十七條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十八條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百三十九條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百四十條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百四十一條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百四十二條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ引受ヲ爲シタル者ノ署名アル裏書ヲ爲ス
コトヲ要ス
第六百四十三條　爲替手形ノ所持人ハ其謄本
ニ

員ハ特約アル場合ヲ除ク外船舶カ完全ニ碇泊シ且積荷ノ陸揚及ヒ旅客ノ上陸カ終ハリタル後ニ非サレハ其届止ヲ請求スルコトヲ得ス

第五百八十七條　海員ノ雇入契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス

一　船舶カ沈没シタルトキ

二　船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ

三　船舶カ捕獲セラレタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ契約終了ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十八條　海員カ雇入港マテノ送還ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テハ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十九條　第五百七十五條ノ規定ハ海員ノ債權ニ之ヲ準用ス

昭和十三年四月
法律第七十二號

於帝國議會ノ協賛ヲ經タル商法中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

商法中左ノ通改正ス

目次第一編ノ第二編ヲ左ノ如ク改メ第四編ノ前ニ第一編　總則　第二編　會社　第三編　外國會社　第四編　商業登記　第五編　商業帳簿　第六編　商業使用人　第七章　代理商　第二編　會社　第一章　總則　第一節　通則　第二節　會社ノ設立　第三節　會社ノ内部ノ關係　第四節　會社ノ外部ノ關係　第五節　會社ノ解散　第六節　會社ノ清算

第一條　商事ニ關シ本法ニ規定ナキモノニ付テハ商慣習法ヲ適用シ商慣習法ナキトキハ民法ヲ適用ス

第二條　公法人ノ商行爲ニ付テハ法令ニ別段ノ定ナキトキニ限リ本法ヲ適用ス

第三條　當事者ノ一方ノ爲ニ商行爲タル行爲ニ付テハ本法ヲ雙方ニ適用ス

當事者ノ一方カ數人アル場合ニ於テ其ノ一人ノ爲ニ商行爲タル行爲ニ付テハ本法ヲ其ノ全員ニ適用ス

第四條　本法ニ於テ商人トハ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

店舗其ノ他之ニ類似スル設備ニ依リテ物品ノ販賣ヲ爲スヲ業トスル者又ハ鑛業者ハ砂鑛業ヲ營ム者ハ商行爲ヲ爲スヲ業トセサルモノト雖モ之ヲ商人ト看做ス

第五條　未成年者又ハ妻カ前條ノ營業ヲ爲スニ付キ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六條　會社ニ關シ別段ノ定アル場合ヲ除ク外無限責任社員タル資格ヲ有スル未成年者又ハ妻ハ社員タル資格ヲ以テ會社ノ業務ヲ執行スル權限ヲ有ス

第七條　法定代理人カ親族會ノ同意ヲ得テ無能力者ノ爲ニ爲シタル營業ニ付テハ其無能力者ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第八條　本法中商業登記、商號及商業帳簿ニ關スル規定ハ小商人ニハ之ヲ適用セズ

第三章　商業登記

第九條　本法ニ依リ登記スベキ事項ハ當事者ノ請求ニ依リ其ノ營業所ノ所在地ヲ管轄スル裁判所ニ備ヘタル商業登記簿ニ之ヲ登記ス

第十條　本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本店ノ所在地ニ於テ登記スベキ事項ハ本店ノ所在地ニ於テモ亦之ヲ登記スルコトヲ要ス

第十一條　登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

公告カ登記ト相違スルトキハ公告ナカリシモノト看做ス

第十二條　登記スベキ事項ハ登記及公告ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ登記及公告ノ後ト雖モ第三者カ正當ノ事由ニ因リテ之ヲ知ラザリシトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　支店ノ所在地ニ於テ登記スベキ事項ヲ登記セザリシトキハ前條ノ規定ハ其ノ支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テノミ之ヲ適用ス

第十四條　故意又ハ過失ニ因リ不實ノ事項ヲ登記シタル者ハ其ノ事項ノ不實ナルコトヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十五條　登記シタル事項ニ變更ヲ生ジ又ハ其ノ事項カ消滅シタルトキハ當事者ハ遲滯ナク變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四章　商號

第三章　會社ノ設立

第一節　通則

第一款　株式會社

第一節　設立

第二節　株式

第三節　會社ノ機關

第一款　株主總會

第二款　取締役

第三款　監査役

第四節　會社ノ計算

第五節　社債

第一款　總則

第二款　社債權者集會

第六節　定款ノ變更

第七節　會社ノ整理

第八節　解散

第九節　清算

第一款　總則

第二款　特別清算

第五章　株式合資會社

第六章　外國會社

第七章　罰則

第一編及第二編（第一條乃至第二百六十二條ノ三）ヲ左ノ如ク改メ第四編ヲ削リ第五編ヲ第四編トス

第一編　總則

第一章　法例

第一條　商事ニ關シ本法ニ規定ナキモノニ付テハ商慣習法ヲ適用シ商慣習法ナキトキハ民法ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テハ其屆出ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第二條　船長ヨリ虐待ヲ受ケタルトキ

三　船舶ノ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ其屆出ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第三條　船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ

二　自己ノ過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ

第四條　海員カ船舶ノ所有者カ變更シタルトキハ海員ハ新所有者ニ對シ雇傭契約ニ因リテ生シタル權利義務ヲ有ス

第五百八十四條　航海中船舶ノ所有者カ變更シタルトキハ海員ハ新所有者ニ對シ雇傭契約ニ因リテ生シタル權利義務ヲ有ス

第五百八十五條　海員ノ雇入期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ海員ヲ雇入レタルトキハ其期間ハ之ヲ一年ニ短縮ス

海員ノ雇入ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五百八十六條　雇入期間ノ定ナキトキハ海

ニ關シ之ニ重大ナル過失アリタルトキ

三　海員カ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

四　海員カ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ

五　不可抗力ニ因リ發航ヲ爲シ又ハ航海ヲ繼續スルコト能ハサルニ至リタルトキ

前項第一號乃至第三號ノ場合ニ於テハ海員ハ其服役シタル期間ニ對スル給料ヲ請求スルコトヲ得

第一項第四號及ヒ第五號ノ場合ニ於テハ海員ハ共ニ其止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得但第四號ノ場合ニ於テ海員ノ過失アルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス

第五百八十二條　海員カ前條第一項ニ掲ケタル事由ニ因ラスシテ雇止メラレタルトキハ其服役シタル期間ニ對スル給料ノ外一个月分ノ給料ヲ請求スルコトヲ得若シ雇入港外ニ於テ雇止メラレタルトキハ雇入港マテ又ハ航海スルニ必要ナル期間ニ對スル給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十三條　左ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ヲ請求スルコトヲ得

一　船舶カ日本ノ國籍ヲ喪失シタルトキ

二　自己ノ過失ニ因ラスシテ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケ其職務ニ堪ヘサルニ至リタルトキ

三　船長ヨリ虐待ヲ受ケタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ其雇止ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十四條　航海中船舶ノ所有者カ變更シタルトキハ海員ハ新所有者ニ對シ雇傭契約ニ因リテ生シタル權利義務ヲ有ス

第五百八十五條　海員ノ雇入期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス若シ之ヨリ長キ期間ヲ以テ海員ヲ雇入レタルトキハ其期間ハ之ヲ一年ニ短縮ス

海員ノ雇入ハ之ヲ更新スルコトヲ得但其期間ハ更新ノ時ヨリ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五百八十六條　雇入期間ノ定ナキトキハ海員ハ何時ニテモ其届止ヲ請求スルコトヲ得但航海ニ在ル間ハ此ノ限ニ在ラス

第五百八十七條　海員ノ雇入契約ハ左ノ事由ニ因リテ終了ス

一　船舶カ沈没シタルトキ

二　船舶カ修繕スルコト能ハサルニ至リタルトキ

三　船舶カ捕獲セラレタルトキ

前項ノ場合ニ於テハ海員ハ契約終了ノ日マテノ給料及ヒ雇入港マテノ送還ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十八條　海員カ雇入港マテノ送還ヲ請求スル權利ヲ有スル場合ニ於テハ送還ニ代ヘテ其費用ヲ請求スルコトヲ得

第五百八十九條　第五百七十五條ノ規定ハ海員ノ債權ニ之ヲ準用ス

昭和十三年四月
法律第七十二號

於帝國議會ノ協賛ヲ經タル商法中改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

商法中左ノ通改正ス

目次第一編ノ第二編ヲ左ノ如ク改メ第四編ノ前ニ第一編　總則　第二編　會社　第三編　外國會社　第四編　商業登記　第五編　商業帳簿　第六編　商業使用人　第七章　代理商　第二編　會社　第一章　總則　第一節　通則　第二節　會社ノ設立　第三節　會社ノ内部ノ關係　第四節　會社ノ外部ノ關係　第五節　會社ノ解散　第六節　會社ノ清算

第一條　商事ニ關シ本法ニ規定ナキモノニ付テハ商慣習法ヲ適用シ商慣習法ナキトキハ民法ヲ適用ス

第二條　公法人ノ商行爲ニ付テハ法令ニ別段ノ定ナキトキニ限リ本法ヲ適用ス

第三條　當事者ノ一方ノ爲ニ商行爲タル行爲ニ付テハ本法ヲ雙方ニ適用ス

當事者ノ一方カ數人アル場合ニ於テハ其ノ一人ノ爲ニ商行爲タル行爲ニ付テハ本法ヲ其ノ全員ニ適用ス

第四條　本法ニ於テ商人トハ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

店舗其ノ他之ニ類似スル設備ニ依リテ物品ノ販賣ヲ爲スヲ業トスル者又ハ鑛業者ハ砂鑛業ヲ營ム者ハ商行爲ヲ爲スヲ業トセサルモノト雖モ之ヲ商人ト看做ス

第五條　未成年者又ハ妻カ前條ノ營業ヲ爲スニ付キ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六條　會社ニ關シ別段ノ定アル場合ヲ除ク外無限責任社員タル資格ヲ有スル未成年者又ハ妻ハ社員タル資格ヲ以テ會社ノ業務ヲ執行スル權限ヲ有ス

第七條　法定代理人カ親族會ノ同意ヲ得テ無能力者ノ爲ニ爲シタル營業ニ付テハ其無能力者ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第八條　本法中商業登記、商號及商業帳簿ニ關スル規定ハ小商人ニハ之ヲ適用セズ

第三章　商業登記

第九條　本法ニ依リ登記スベキ事項ハ當事者ノ請求ニ依リ其ノ營業所ノ所在地ヲ管轄スル裁判所ニ備ヘタル商業登記簿ニ之ヲ登記ス

第十條　本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本店ノ所在地ニ於テ登記スベキ事項ハ本店ノ所在地ニ於テモ亦之ヲ登記スルコトヲ要ス

第十一條　登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

公告カ登記ト相違スルトキハ公告ナカリシモノト看做ス

第十二條　登記スベキ事項ハ登記及公告ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ登記及公告ノ後ト雖モ第三者カ正當ノ事由ニ因リテ之ヲ知ラザリシトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　支店ノ所在地ニ於テ登記スベキ事項ヲ登記セザリシトキハ前條ノ規定ハ其ノ支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テノミ之ヲ適用ス

第十四條　故意又ハ過失ニ因リ不實ノ事項ヲ登記シタル者ハ其ノ事項ノ不實ナルコトヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十五條　登記シタル事項ニ變更ヲ生ジ又ハ其ノ事項カ消滅シタルトキハ當事者ハ遲滯ナク變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四章　商號

第三章　會社ノ設立

第一節　通則

第一款　株式會社

第一節　設立

第二節　株式

第三節　會社ノ機關

第一款　株主總會

第二款　取締役

第三款　監査役

第四節　會社ノ計算

第五節　社債

第一款　總則

第二款　社債權者集會

第六節　定款ノ變更

第七節　會社ノ整理

第八節　解散

第九節　清算

第一款　總則

第二款　特別清算

第五章　株式合資會社

第六章　外國會社

第七章　罰則

第一編及第二編（第一條乃至第二百六十二條ノ三）ヲ左ノ如ク改メ第四編ヲ削リ第五編ヲ第四編トス

第一編　總則

第一章　法例

第一條　商事ニ關シ本法ニ規定ナキモノニ付テハ商慣習法ヲ適用シ商慣習法ナキトキハ民法ヲ適用ス

第二條　公法人ノ商行爲ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本法ヲ適用ス

第三條　當事者ノ一方ノ爲ニ商行爲タル行爲ニ付テハ本法ヲ雙方ニ適用ス

當事者ノ一方カ數人アル場合ニ於テハ其ノ一人ノ爲ニ商行爲タル行爲ニ付テハ本法ヲ其ノ全員ニ適用ス

第四條　本法ニ於テ商人トハ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ

店舗其ノ他之ニ類似スル設備ニ依リテ物品ノ販賣ヲ爲スヲ業トスル者又ハ鑛業者ハ砂鑛業ヲ營ム者ハ商行爲ヲ爲スヲ業トセサルモノト雖モ之ヲ商人ト看做ス

第五條　未成年者又ハ妻カ前條ノ營業ヲ爲スニ付キ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六條　會社ニ關シ別段ノ定アル場合ヲ除ク外無限責任社員タル資格ヲ有スル未成年者又ハ妻ハ社員タル資格ヲ以テ會社ノ業務ヲ執行スル權限ヲ有ス

第七條　法定代理人カ親族會ノ同意ヲ得テ無能力者ノ爲ニ爲シタル營業ニ付テハ其無能力者ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第八條　本法中商業登記、商號及商業帳簿ニ關スル規定ハ小商人ニハ之ヲ適用セズ

第三章　商業登記

第九條　本法ニ依リ登記スベキ事項ハ當事者ノ請求ニ依リ其ノ營業所ノ所在地ヲ管轄スル裁判所ニ備ヘタル商業登記簿ニ之ヲ登記ス

第十條　本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本店ノ所在地ニ於テ登記スベキ事項ハ本店ノ所在地ニ於テモ亦之ヲ登記スルコトヲ要ス

第十一條　登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

公告カ登記ト相違スルトキハ公告ナカリシモノト看做ス

第十二條　登記スベキ事項ハ登記及公告ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ登記及公告ノ後ト雖モ第三者カ正當ノ事由ニ因リテ之ヲ知ラザリシトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　支店ノ所在地ニ於テ登記スベキ事項ヲ登記セザリシトキハ前條ノ規定ハ其ノ支店ニ於テ爲シタル取引ニ付テノミ之ヲ適用ス

第十四條　故意又ハ過失ニ因リ不實ノ事項ヲ登記シタル者ハ其ノ事項ノ不實ナルコトヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十五條　登記シタル事項ニ變更ヲ生ジ又ハ其ノ事項カ消滅シタルトキハ當事者ハ遲滯ナク變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第四章　商號

第三章　會社ノ設立

第一節　通則

第一款　株式會社

第一節　設立

第二節　株式

第三節　會社ノ機關

第一款　株主總會

第二款　取締役

第三款　監査役

第四節　會社ノ計算

第五節　社債

第一款　總則

第二款　社債權者集會

第六節　定款ノ變更

第七節　會社ノ整理

第八節　解散

第九節　清算

第一款　總則

第二款　特別清算

第五章　株式合資會社

第六章　外國會社

第七章　罰則

第一編及第二編（第一條乃至第二百六十二條ノ三）ヲ左ノ如ク改メ第四編ヲ削リ第五編ヲ第四編トス

第一編　總則

第一章　法例

第一條　商事ニ關シ本法ニ規定ナキモノニ付テハ商慣習法ヲ適用シ商慣習法ナキトキハ民法ヲ適用ス

第二條　公法人ノ商行爲ニ付テハ法令ニ別段ノ定ナキトキニ限リ

ヲ準用ス

第四十五條　本章ノ規定ハ營業主ト商業使用人トノ間ノ屑傭關係ニ付民法ヲ適用スルコトヲ妨ゲズ

第七章　代理商

第四十六條　代理商トハ使用人ニ非ズシテ一定ノ商人ノ爲ニ平常其ノ營業ノ部類ニ屬スル取引ノ代理又ハ媒介ヲ爲ス者ヲ謂フ

第四十七條　代理商ガ取引ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク本人ニ對シテ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

第四十八條　代理商ハ本人ノ許諾アルニ非ザレバ自己若ハ第三者ノ爲ニ本人ノ營業ノ部類ニ屬スル取引ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ無限責任社員若ハ取締役トナルコトヲ得ズ

第四十一條第二項及第三項ノ規定ハ代理商カ前項ノ規定ニ違反シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條　物品ノ賣買又ハ其ノ媒介ノ委託ヲ受ケタル代理商ハ賣買ノ目的物ノ瑕疵又ハ數量ノ不足其ノ他賣買ノ履行ニ關スル通知ヲ受ケル權限ヲ有ス

第五十條　當事者カ契約ノ期間ヲ定メザリシトキハ各當事者ハ二月前ニ豫告ヲ爲シテ其ノ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

當事者カ契約ノ期間ヲ定メタルトキト雖モ其ノ一方カ重大ナル過失アリタルトキハ會社ハ何時ニテモ其ノ契約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　代理商ハ取引ノ代理又ハ媒介ヲ爲シタルトキニ限リ自己又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員若ハ取締役トナルコトヲ得ズ

前項ニ違反シテ會社ノ爲ニ爲シタル取引ハ會社ノ承認ヲ得タル場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條　本法ニ於テ會社トハ商行爲ヲ爲スヲ業トスル社團ヲ謂フ

第二編　會社

第一章　總則

第五十三條　本法ニ於テ會社トハ商行爲ヲ爲シ又ハ營業トシテ商行爲ヲ爲スヲ業トスル社團ヲ謂フ

第五十四條　會社ハ之ヲ會社ト稱ス

第五十五條　會社ハ他ノ會社ノ無限責任社員トナルコトヲ得ズ

第五十六條　會社ハ合併ヲ爲スコトヲ得

合併ヲ爲ス會社ノ一方又ハ雙方カ株式會社又ハ株式合資會社ナルトキハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ハ株式會社又ハ株式合資會社ナルコトヲ要ス

合併ニ因リテ會社ヲ設立スル場合ニ於テハ會社ニ於テ選任シタル設立委員共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十八條第一項、第三百四十三條及第四百六十七條ノ規定ハ前項ノ選任ニ之ヲ準用ス

第五十七條　會社ハ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第五十八條　會社カ正當ノ事由ナクシテ其ノ成立後一年內ニ開業ヲ爲サズ又ハ一年以上營業ヲ休止シタルトキハ裁判所ハ利害關係人若ハ檢事ノ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ其ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

會社ノ業務ヲ執行スル社員、取締役又ハ監査役カ法令又ハ公ノ秩序若ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタル場合ニ於テ會社ノ存立ヲ許スベカラザル事由アルトキ亦前項ニ同ジ

前二項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ解散ノ命令前ト雖モ利害關係人若ハ檢事ノ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ管理人ノ選任其ノ他會社財產ノ保全ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第五十九條　利害關係人カ前條第一項又ハ第二項ノ請求ヲ爲シタルトキハ會社ノ請求ニ依リ相當ノ擔保ヲ供スルコトヲ要ス

第六十條　利害關係人ノ爲シタル第五十八條第一項又ハ第二項ノ請求カ却下セラレタル場合ニ於テ其ノ者ニ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

第六十一條　本編ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ニシテ官廳ノ許可ヲ要スルモノハ其ノ許可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第二章　合名會社

第一節　設立

第六十二條　合名會社ヲ設立スルニハ定款ヲ作ルコトヲ要ス

第六十三條　合名會社ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載シ各社員之ニ署名スルコトヲ要ス

一　目的
二　商號
三　社員ノ氏名及住所
四　本店及支店ノ所在地
五　社員ノ出資ノ目的及其ノ價格又ハ評價ノ標準

第六十四條　合名會社ノ設立ノ登記ニ在リテハ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　前條第一號乃至第三號ニ掲ゲル事項
二　本店及支店
三　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

四　社員ノ出資ノ目的、財產ヲ目的トスル出資ニ付テハ其ノ價格及履行ヲ爲シタル部分

五　社員ニシテ會社ヲ代表セザル者アルトキハ會社ヲ代表スベキ者ノ氏名

六　數人ノ社員カ共同シテ會社ヲ代表スベキコトヲ定メタルトキハ其ノ規定

會社ハ設立ノ登記ヲ爲シタル後二週間內ニ支店ノ所在地ニ於テ前項ニ掲ゲル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第六十五條　會社ノ成立後支店ヲ設ケタルトキハ本店ノ所在地ニ於テハ二週間內ニ支店ノ所在地ニ於テハ三週間內ニ前條第一項ニ掲ゲル事項ヲ登記シ他ノ支店ノ所在地ニ於テハ同期間內ニ其ノ支店ノ所在地ニ於テ登記スルコトヲ要ス

第六十六條　會社ノ本店又ハ支店ノ所在地ヲ管轄スル登記所ノ管轄區域內ニ於テ新ニ支店ヲ設ケタルトキハ其ノ支店ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ以テ足ル

第六十七條　會社カ其ノ本店ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ二週間內ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ三週間內ニ第六十四條第一項ニ掲ゲル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域內ニ於テ本店又ハ支店ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第六十八條　會社カ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スニ因リテ成立ス

第六十九條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十一條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十二條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十三條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十四條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十五條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十六條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十七條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十八條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第七十九條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十一條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十二條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十三條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十四條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十五條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十六條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十七條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十八條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第八十九條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十一條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十二條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十三條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十四條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十五條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十六條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十七條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十八條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十九條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第百條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

ザレバ自己若ハ第三者ノ爲ニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル取引ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員若ハ取締役トナルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ違反シテ自己ノ爲ニ取引ヲ爲シタル社員ニ對シテハ會社ハ取引ヲ爲シタルモノト看做ス

前項ノ規定ニ違反シテ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ社員ト爲リタルトキハ會社ハ其ノ社員ニ對シテハ會社ハ取引ヲ爲シタルモノト看做ス

第七十五條　社員ハ他ノ社員ノ過半數ノ決議アリタルトキニ限リ自己又ハ第三者ノ爲ニ會社ト取引ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ民法第百八條ノ規定ヲ適用セズ

第三節　會社ノ外部ノ關係

第七十六條　業務ヲ執行スル社員ハ各自會社ヲ代表スル但シ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ業務執行社員中特ニ會社ヲ代表スベキ者ヲ定ムルコトヲ妨ゲズ

第七十七條　會社ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ數人ノ社員カ共同シテ會社ヲ代表スベキ旨ヲ定ムルコトヲ得

第三十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十八條　會社ヲ代表スベキ社員ハ會社ノ營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

民法第四十四條第一項及第五十四條ノ規定ハ會社ニ之ヲ準用ス

第七十九條　會社カ社員ニ對シ又ハ社員カ會社ニ對シ訴ヲ提起スル場合ニ於テ其ノ訴ニ付會社ヲ代表スベキ社員ナキトキハ他ノ社員ノ過半數ノ決議ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第八十條　會社財產ヲ以テ會社ノ債務ヲ完濟スルコト能ハザルトキハ各社員連帶シテ其ノ辨濟ノ責ニ任ズ

會社財產ニ對スル强制執行カ其ノ效ヲ奏セザルトキ亦前項ニ同ジ

四　會社ヲ代表スルニ當リ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ權利ナクシテ會社ヲ代表シタルコト

五　其ノ他重要ナル義務ヲ懈サザルコト

社員カ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルニ當シ不適任ナルトキハ會社ハ前項ノ規定ニ從ヒ其ノ社員ノ業務執行權又ハ代表權ノ喪失ノ宣告ヲ請求スルコトヲ得但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十一條　社員ハ會社ノ過半數ノ決議ニ依リ之ヲ以テ會社ノ爲ニ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ニ定メタル權利ハ他ノ社員ノ一人ガ其ノ取引ヲ知リタル時ヨリ二週間之ヲ行使セザルトキハ消滅ス取引ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキ亦同ジ

第七十五條　社員ハ他ノ社員ノ過半數ノ決議アリタルトキニ限リ自己又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員若ハ取締役トナルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ民法第百八條ノ規定ヲ適用セズ

第三節　會社ノ外部ノ關係

第七十六條　業務ヲ執行スル社員ハ各自會社ヲ代表スル但シ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ業務執行社員中特ニ會社ヲ代表スベキ者ヲ定ムルコトヲ妨ゲズ

第七十七條　會社ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ數人ノ社員カ共同シテ會社ヲ代表スベキ旨ヲ定ムルコトヲ得

第三十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十八條　會社ヲ代表スベキ社員ハ會社ノ營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

民法第四十四條第一項及第五十四條ノ規定ハ會社ニ之ヲ準用ス

第七十九條　會社カ社員ニ對シ又ハ社員カ會社ニ對シ訴ヲ提起スル場合ニ於テ其ノ訴ニ付會社ヲ代表スベキ社員ナキトキハ他ノ社員ノ過半數ノ決議ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第八十條　會社財產ヲ以テ會社ノ債務ヲ完濟スルコト能ハザルトキハ各社員連帶シテ其ノ辨濟ノ責ニ任ズ

會社財產ニ對スル强制執行カ其ノ效ヲ奏セザルトキ亦前項ニ同ジ

第八十一條　社員ハ會社ノ過半數ノ決議ニ依リ之ヲ以テ會社ノ爲ニ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ニ定メタル權利ハ他ノ社員ノ一人ガ其ノ取引ヲ知リタル時ヨリ二週間之ヲ行使セザルトキハ消滅ス取引ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキ亦同ジ

第八十二條　社員ハ會社ノ承諾アルニ非ザレバ自己若ハ第三者ノ爲ニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル取引ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル會社ノ無限責任社員若ハ取締役トナルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ違反シテ自己ノ爲ニ取引ヲ爲シタル社員ニ對シテハ會社ハ取引ヲ爲シタルモノト看做スコトヲ得

第八十三條　社員ハ他ノ社員ノ過半數ノ決議アリタルトキニ限リ自己又ハ第三者ノ爲ニ會社ト取引ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ民法第百八條ノ規定ヲ適用セズ

第三節　會社ノ外部ノ關係

第八十四條　業務ヲ執行スル社員ハ各自會社ヲ代表スル但シ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ業務執行社員中特ニ會社ヲ代表スベキ者ヲ定ムルコトヲ妨ゲズ

第八十五條　會社ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ數人ノ社員カ共同シテ會社ヲ代表スベキ旨ヲ定ムルコトヲ得

第三十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條　會社ヲ代表スベキ社員ハ會社ノ營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

民法第四十四條第一項及第五十四條ノ規定ハ會社ニ之ヲ準用ス

第八十七條　會社カ社員ニ對シ又ハ社員カ會社ニ對シ訴ヲ提起スル場合ニ於テ其ノ訴ニ付會社ヲ代表スベキ社員ナキトキハ他ノ社員ノ過半數ノ決議ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第八十八條　會社財產ヲ以テ會社ノ債務ヲ完濟スルコト能ハザルトキハ各社員連帶シテ其ノ辨濟ノ責ニ任ズ

會社財產ニ對スル强制執行カ其ノ效ヲ奏セザルトキ亦前項ニ同ジ

第八十九條　會社ヲ代表スベキ社員ハ會社ノ營業ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

民法第四十四條第一項及第五十四條ノ規定ハ會社ニ之ヲ準用ス

第九十條　會社カ社員ニ對シ又ハ社員カ會社ニ對シ訴ヲ提起スル場合ニ於テ其ノ訴ニ付會社ヲ代表スベキ社員ナキトキハ他ノ社員ノ過半數ノ決議ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第九十一條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十二條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十三條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十四條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十五條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十六條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十七條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十八條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第九十九條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

第百條　會社ハ別段ノ定ナキトキハ會社ニ於テ選任シタル設立委員ニ其ノ設立ニ關スル一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

前項ノ規定ハ社員カ會社ニ辨濟ノ資力アリ且執行ヲ以テ會社ニ對抗スルコトヲ證明シタルトキハ之ヲ適用セズ

第八十一條　社員ハ會社ニ屬スル抗辯ヲ以テ會社ノ債權者ニ對抗スルコトヲ得

會社カ其ノ債權者ニ對シ相殺權、取消權又ハ解除權ヲ有スル場合ニ於テハ社員ハ其ノ者ニ對シ債務ノ履行ヲ拒ムコトヲ得

第八十二條　會社ノ成立後加入シタル社員ハ其ノ加入前ニ生ジタル會社ノ債務ニ付テモ亦責任ヲ負フ

第八十三條　社員ニ非ザル者ニ自己ヲ社員ナリト誤認セシムベキ行爲アリタルトキハ其ノ者ハ誤認ニ基キ會社ト取引ヲ爲シタル時ヨリ者ニ對シ社員ト同一ノ責任ヲ負フ

第四節　社員ノ退社

第八十四條　定款ヲ以テ會社ノ存立時期ヲ定メザリシトキ又ハ或社員ノ終身間會社ノ存續スベキコトヲ定メタルトキハ各社員ハ營業年度ノ終ニ於テ退社ヲ爲スコトヲ得但シ六月前ニ其ノ豫告ヲ爲スコトヲ要ス

會社ノ存立時期ヲ定メタルトキト雖モ其ノ已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ各社員ハ何時ニテモ退社ヲ爲スコトヲ得

第八十五條　前條第一號又ハ第二號ノ場合ニ於テハ社員ノ全部又ハ一部ノ同意ヲ以テ會社ヲ繼續スルコトヲ得但シ同意ヲ爲サザリシ社員ハ退社シタルモノト看做ス

前條第四號ノ場合ニ於テハ新ニ社員ヲ加入セシメテ會社ヲ繼續スルコトヲ得

第八十六條　會社カ解散シタルトキハ合併及破產ノ場合ヲ除クノ外本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間內ニ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十七條　會社ハ本店ノ所在地ニ於テ解散ノ登記ヲ爲シタル後ハ雖モ第九十五條ノ規定ニ從ヒテ會社ヲ繼續スルコトヲ妨ゲズ此ノ場合ニ於テハ本店ノ所在地ニ於テ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間內ニ繼續ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第八十八條　會社カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ債權者ニ對シ公告ヲ爲シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スルコトヲ要ス但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ

第八十九條　會社ハ前條ノ期間內ニ其ノ債權者ニ對シ合併ニ異議アラバ一定ノ期間內ニ之ヲ述ブベキ旨ヲ公告シ且知レタル債權者ニハ各別ニ之ヲ催告スルコトヲ要ス但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テ債權者カ前項ノ期間內ニ異議ヲ述ベザリシトキハ合併ヲ承認シタルモノト看做ス

債權者カ異議ヲ述ベタルトキハ會社ハ辨濟ヲ爲シ若ハ相當ノ擔保ヲ供シ又ハ債權者ニ辨濟ヲ受ケシムルコトヲ目的トシテ信託會

因リテ設立シタル會社ニ付テハ解散ノ登記、合併ニ因リテ消滅シタル會社ニ付テハ同復ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百九條　合併ノ無效ハ判決ヲ以テノミ之ヲ主張スルコトヲ得

前項ノ判決ハ會社ノ各社員、清算人、破產管財人又ハ合併ヲ承認セサル債權者ニ限リ之ヲ提起スルコトヲ得

第百十條　合併ノ無效ノ判決ハ第三者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

原告カ敗訴シタル場合ニ於テ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ス

第百十一條　合併ヲ無效トスル判決ハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ニ其ノ效力ヲ有セス

第百十二條　已ムコトヲ得サル事由アルトキハ各社員ハ會社ノ解散ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得

第八十八條及第百九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十三條　合名會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ或社員ヲ有限責任社員トシ又ハ新ニ有限責任社員ヲ加入セシメテ之ヲ合資會社ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ハ第九十五條第二項ノ規定ニ依リ會社ヲ繼續スル場合ニ之ヲ準用ス

第百十四條　合名會社カ前條ノ規定ニ依リ其ノ組織ヲ變更シタルトキハ本店ノ所在地ニ於テハ三週間ノ期間内ニ合名會社ニ付テハ解散ノ登記、合資會社ニ付テハ第百四十九條第一項ニ定ムル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百十五條　第百十三條第一項ノ場合ニ於テ從前ノ社員ニシテ有限責任社員ト爲リタルモノハ本店ノ所在地ニ於テ前條ノ登記ヲ爲スニ因リテ責任社員ノ責任ヲ免ルルコトナシ

第九十三條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六節　清算

第百十六條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第百十七條　解散ノ場合ニ於ケル會社財產ノ處分方法ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ解散ノ日ヨリ二週間内ニ財產目錄及貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ會社カ第九十四條第四號又ハ第六號ノ事由ニ因リテ解散シタル場合ニハ之ヲ適用セス、

第百條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ社員ノ持分ヲ差押ヘタル者アルトキハ其ノ者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第百十八條　會社カ前條第三項ノ規定ニ違反シテ其ノ財產ヲ處分シタルトキハ會社ノ債權者ハ其ノ良分ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但シ其ノ處分カ會社ノ債權者ヲ害セサルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

民法第四百二十四條第一項但書、第四百二十五條及第四百二十六條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百十九條　會社カ第百十七條第四項ノ規定ニ違反シテ其ノ財產ヲ處分シタルトキハ社員ノ持分ヲ差押ヘタル者ハ會社ニ對シ其ノ持分ニ相當スル金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百二十條　第百十七條第一項ノ規定ニ依リテ會社財產ノ處分方法ヲ定メサリシトキハ合併及破產ノ場合ヲ除クノ外第百二十一條乃至第百三十五條ノ規定ニ從ヒテ清算ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十一條　清算ハ業務執行社員之ヲ爲ス

清期ニ拘ラス社員ヲシテ出資ヲ爲サシムルコトヲ得

第百二十七條　清算人カ會社ノ營業ノ全部又ハ一部ヲ讓渡スニハ社員ノ過半數ノ決議アルコトヲ要ス

第百二十八條　清算人數人アルトキハ清算ニ關スル行爲ハ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第百二十九條　第七十六條及第七十七條ノ規定ハ清算人ニ之ヲ準用ス

業務執行社員カ清算人ト爲リタル場合ニ於テハ從前ノ定ニ從ヒテ會社ヲ代表ス

裁判所カ數人ノ清算人ヲ選任シタル場合ニ於テハ會社ヲ代表スヘキ者ヲ定メ又ハ數人カ共同シテ會社ヲ代表スヘキ旨ヲ定ムルコトヲ得

第百三十條　清算人ハ就職ノ後遲滯ナク會社財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及貸借對照表ヲ作リ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ依リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十一條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス但シ會社ノ債務ヲ辨濟シ殘餘財產ヲ以テ之ヲ決ス

第百三十二條　社員カ選任シタル清算人ハ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得此ノ解任ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ依リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第百三十三條　清算人ノ任務カ終了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク計算ヲ爲シテ各社員ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

前項ノ計算ニ對シ社員カ一月内ニ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス但シ清算人ニ不正ノ行爲アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十四條　清算カ結了シタルトキハ清算人ハ前條ノ承認アリタル後未店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ清算結了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百三十五條　第七十五條、第七十八條第二項、第二百五十四條第二項及第二百六十六條ノ規定ハ清算人ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　會社ノ設立ノ無效又ハ其ノ成立ノ日ヨリ二年内ニ訴ヲ以テノミ之ヲ主張スルコトヲ得

前項ノ訴ハ社員ニ限リ之ヲ提起スルコトヲ得

第百三十七條　設立ヲ無效トスル判決カ確定シタルトキハ解散ノ場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ依リ清算人ヲ選任スルコトヲ要ス

第百三十八條　設立ヲ無效トスル判決カ確定シタルトキハ本店及支店ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百三十九條　設立ヲ無效トスル判決カ確定シタルトキハ解散ノ場合ニ準シテ清算ヲ爲スコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ依リ清算人ヲ選任ス

第百四十條　第百十七條、第百十八條第一項及第百二十條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十一條　各無限責任社員ハ定款ニ別段ノ定アルニアラサレハ會社ノ業務ヲ執行スル權利ヲ有シ義務ヲ負フ

無限責任社員數人アルトキハ會社ノ業務執行ハ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第百四十二條　第八十八條、第百五條第三項、第四項、第百九條、第百十條、第百三十六條乃至第百三十九條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス但シ會社ノ債務ヲ辨濟シ殘餘財產ヲ以テ之ヲ決ス

第百四十四條　清算カ結了シタルトキハ清算人ハ前條ノ承認アリタル後未店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ清算結了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百四十五條　第百三十五條、第七十五條、第百三十六條ノ規定ハ清算人ニ之ヲ準用ス

第百四十六條　會社ノ設立ノ無效又ハ其ノ成立ノ日ヨリ二年内ニ訴ヲ以テノミ之ヲ主張スルコトヲ得

前項ノ訴ハ社員ニ限リ之ヲ提起スルコトヲ得

第百四十七條　第百三十七條乃至第百三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　第百三十八條第二項、第百三十九條ノ規定ハ第百四十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十九條　會社カ前條ノ規定ニ依リ其ノ組織ヲ變更シタルトキハ本店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ合資會社ニ付テハ解散ノ登記、合名會社ニ付テハ第百四十九條第一項ニ定ムル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百五十條　第百十三條第一項ノ場合ニ於テ從前ノ社員ニシテ有限責任社員ト爲リタルモノハ本店ノ所在地ニ於テ前條ノ登記ヲ爲スニ因リテ責任社員ノ責任ヲ免ルルコトナシ

第九十三條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六節　清算

第百五十一條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第百五十二條　會社ノ解散ノ場合ニ於テハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ選任ス

第百五十三條　業務執行社員カ清算人ト爲リタルトキハ解散ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ三週間、支店ノ所在地ニ於テハ四週間内ニ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　清算人ノ氏名及住所

二　清算人ニシテ會社ヲ代表スヘキ者ノ氏名

三　數人ノ清算人カ共同シテ會社ヲ代表スヘキ定アルトキハ其ノ規定

清算人ノ選任ヲ裁判所ニ請求シタル者アルトキハ前項ノ場合ニ準ス

第百五十四條　清算人ハ會社ノ財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及貸借對照表ヲ作リ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ依リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第百五十五條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス但シ會社ノ債務ヲ辨濟シ殘餘財產ヲ以テ之ヲ決ス

第百五十六條　清算人カ會社ノ債務ヲ辨濟シ又ハ會社財產ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルニ非サレハ會社ノ財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス

第百五十七條　清算人ハ會社ノ解散ノ日ヨリ二十日内ニ會社ノ債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其ノ債權ヲ申出ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ二月ヨリ短クスルコトヲ得ス

第百五十八條　清算人ハ前項ノ期間内ニハ知レタル債權者ヲ除クノ外會社ノ債務ヲ辨濟スルコトヲ得ス

第百五十九條　清算人ハ前條ノ期間ノ滿了後ニ殘餘財產ヲ各社員ノ持分ニ應シテ分配ス

第百六十條　清算人ハ會社ノ解散ノ日ヨリ十日内ニ會社ノ財產目錄及貸借對照表ヲ作リ之ヲ裁判所ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第百六十一條　清算人ハ會社ノ財產ノ全部ヲ以テ債務ヲ完濟スルニ足ラサルトキハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百六十二條　清算人カ會社ノ營業ノ全部又ハ一部ヲ讓渡スニハ社員ノ過半數ノ決議アルコトヲ要ス

第百六十三條　清算人數人アルトキハ清算ニ關スル行爲ハ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第百六十四條　清算人ハ就職ノ後遲滯ナク會社財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及貸借對照表ヲ作リ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ依リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第百六十五條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス但シ會社ノ債務ヲ辨濟シ殘餘財產ヲ以テ之ヲ決ス

第百六十六條　清算人カ會社ノ債務ヲ辨濟シ又ハ會社財產ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルニ非サレハ會社ノ財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス但シ會社ノ債務ヲ辨濟シ殘餘財產ヲ以テ之ヲ決ス

第百六十七條　清算人カ會社ノ債務ヲ辨濟シ又ハ會社財產ヲ以テ其ノ債務ヲ完濟スルニ足ラサルトキハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百六十八條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百六十九條　清算人カ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十一條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十二條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十三條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十四條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十五條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十六條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十七條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十八條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百七十九條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十一條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十二條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十三條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十四條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十五條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十六條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十七條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十八條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百八十九條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十一條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十二條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十三條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十四條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十五條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十六條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十七條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十八條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百九十九條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百一條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百二條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百三條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百四條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百五條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百六條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百七條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百八條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百九條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十一條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十二條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十三條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十四條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十五條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十六條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十七條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十八條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十九條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百二十條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百二十一條　清算人ハ會社ノ破產ヲ裁判所ニ申立ツヘキ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

務ヲ完濟スルニ不足ナルトキハ清算人ハ辨濟期ニ拘ラズ社員ヲシテ出資ヲ爲サシムルコトヲ得

第百二十七條　清算人カ會社ノ營業ノ全部又ハ一部ヲ讓渡スニハ社員ノ過半數ノ決議アルコトヲ要ス

第百二十八條　清算人數人アルトキハ清算ニ關スル行爲ハ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第百二十九條　第七十六條及第七十七條ノ規定ハ清算人ニ之ヲ準用ス

業務執行社員カ清算人ト爲リタル場合ニ於テハ從前ノ定ニ從ヒテ會社ヲ代表ス

裁判所カ數人ノ清算人ヲ選任シタル場合ニ於テハ會社ヲ代表スヘキ者ヲ定メ又ハ數人カ共同シテ會社ヲ代表スヘキ旨ヲ定ムルコトヲ得

第百三十條　清算人ハ就職ノ後遲滯ナク會社財產ノ現況ヲ調査シ財產目錄及貸借對照表ヲ作リ之ヲ社員ニ交付スルコトヲ要ス

清算人ハ社員ノ請求ニ依リ毎月清算ノ狀況ヲ報告スルコトヲ要ス

第百三十一條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財產ヲ社員ニ分配スルコトヲ得ス但シ會社ノ債務ヲ辨濟シ殘餘財產ヲ以テ之ヲ決ス

第百三十二條　社員カ選任シタル清算人ハ何時ニテモ之ヲ解任スルコトヲ得此ノ解任ハ社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

重要ナル事由アルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ依リ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第百三十三條　清算人ノ任務カ終了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク計算ヲ爲シテ各社員ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

前項ノ計算ニ對シ社員カ一月内ニ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス但シ清算人ニ不正ノ行爲アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第百三十四條　清算カ結了シタルトキハ清算人ハ前條ノ承認アリタル後未店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ清算結了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百三十五條　第百十三條第一項ノ場合ニ於テ從前ノ社員ニシテ有限責任社員ト爲リタルモノハ本店ノ所在地ニ於テ前條ノ登記ヲ爲スニ因リテ責任社員ノ責任ヲ免ルルコトナシ

第九十三條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六節　清算

第百三十六條　會社ハ解散ノ後ト雖モ清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ仍存續スルモノト看做ス

第百三十七條　解散ノ場合ニ於ケル會社財產ノ處分方法ハ定款又ハ總社員ノ同意ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ解散ノ日ヨリ二週間内ニ財產目錄及貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ會社カ第九十四條第四號又ハ第六號ノ事由ニ因リテ解散シタル場合ニハ之ヲ適用セス、

第百條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ社員ノ持分ヲ差押ヘタル者アルトキハ其ノ者ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第百三十八條　會社カ前條第三項ノ規定ニ違反シテ其ノ財產ヲ處分シタルトキハ會社ノ債權者ハ其ノ良分ノ取消ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得但シ其ノ處分カ會社ノ債權者ヲ害セサルモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

民法第四百二十四條第一項但書、第四百二十五條及第四百二十六條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百三十九條　會社カ第百三十七條第四項ノ規定ニ違反シテ其ノ財產ヲ處分シタルトキハ社員ノ持分ヲ差押ヘタル者ハ會社ニ對シ其ノ持分ニ相當スル金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百四十條　第百三十七條第一項ノ規定ニ依リテ會社財產ノ處分方法ヲ定メサリシトキハ合併及破產ノ場合ヲ除クノ外第百四十一條乃至第百五十條ノ規定ニ從ヒテ清算ヲ爲スコトヲ要ス

第百四十一條　社員カ死亡シタル場合ニ於テハ相續人數人アルトキハ清算ニ關シテ社員ニ付テノ規定ニ準シテ其ノ相續人數人ノ中ヨリ清算人ヲ選任スヘキ旨ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要ス

第百四十二條　第百三十五條、第七十五條、第七十八條第二項、第二百五十四條第二項及第二百六十六條ノ規定ハ清算人ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　會社ノ設立ノ無效又ハ其ノ成立ノ日ヨリ二年内ニ訴ヲ以テノミ之ヲ主張スルコトヲ要ス

前項ノ訴ハ社員ニ限リ之ヲ提起スルコトヲ得

第百四十四條　社員カ死亡シタル場合ニ於テハ其ノ相續人數人アルトキハ清算ニ關シテ社員ニ付テノ規定ニ準シテ其ノ相續人數人ノ中ヨリ清算人ヲ選任スヘキ旨ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要ス

第百四十五條　第百三十七條乃至第百三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十六條　第百四十條第一項ノ規定ニ依リ會社財產ノ處分方法ヲ定メサリシトキハ合併及破產ノ場合ヲ除クノ外第百四十一條乃至第百五十條ノ規定ニ從ヒテ清算ヲ爲スコトヲ要ス

第百四十七條　第百四十一條乃至第百四十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　第百四十四條ノ規定ハ第百四十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百四十九條　第百四十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十條　第百四十六條ノ規定ハ第百四十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十一條　各無限責任社員ハ定款ニ別段ノ定アルニアラサレハ會社ノ業務ヲ執行スル權利ヲ有シ義務ヲ負フ

無限責任社員數人アルトキハ會社ノ業務執行ハ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第百五十二條　支配人ノ選任及解任ハ特ニ業務執行社員ヲ定メタルトキト雖モ無限責任社員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第百五十三條　有限責任社員ハ營業年度ノ終ニ於テ營業時間内ニ限リ會社ノ財產目錄及貸借對照表ノ閲覽ヲ求メ且會社ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第百五十四條　有限責任社員ハ會社ノ業務ヲ執行シ又ハ會社ヲ代表スルコトヲ得ス

第百五十五條　有限責任社員ハ其ノ責任ノ限度ヲ誤認セシメヘキ行爲アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第百五十六條　有限責任社員ハ自己ヲ無限責任社員ナリト誤認セシメヘキ行爲アリタルトキハ其ノ社員ハ誤認ニ基キテ會社ト取引ヲ爲シタル者ニ對シ無限責任社員ト同一ノ責任ヲ負フ

前項ノ規定ハ有限責任社員ニ其ノ責任ノ限度ヲ誤認セシメヘキ行爲アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第百五十七條　第八十八條、第百五條第三項第四項、第百七條、第百九條及第百十條ノ規定ハ第一項前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百五十八條　會社ノ設立ノ無效又ハ其ノ成立ノ日ヨリ二年内ニ訴ヲ以テノミ之ヲ主張スルコトヲ得

前項ノ訴ハ社員ニ限リ之ヲ提起スルコトヲ得

第百五十九條　第百三十七條乃至第百三十九條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十條　第百四十條第一項ノ規定ニ依リ會社財產ノ處分方法ヲ定メサリシトキハ合併及破產ノ場合ヲ除クノ外第百四十一條乃至第百五十條ノ規定ニ從ヒテ清算ヲ爲スコトヲ要ス

第百六十一條　第百四十四條ノ規定ハ第百四十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十二條　第百四十五條ノ規定ハ第百四十六條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十三條　第百四十六條ノ規定ハ第百四十七條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十四條　第百四十七條乃至第百四十九條ノ規定ハ第百五十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十五條　第百四十八條ノ規定ハ第百五十一條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十六條　第百五十條ノ規定ハ第百五十二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十七條　第百五十一條乃至第百五十三條ノ規定ハ第百五十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十八條　第百五十五條ノ規定ハ第百五十六條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十九條　第百五十六條ノ規定ハ第百五十七條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十條　第百五十七條ノ規定ハ第百五十八條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十一條　第百五十八條ノ規定ハ第百五十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十二條　第百五十九條ノ規定ハ第百六十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十三條　第百六十條ノ規定ハ第百六十一條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十五條　第百六十二條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十六條　第百六十三條ノ規定ハ第百六十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十七條　第百六十四條ノ規定ハ第百六十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十八條　第百六十五條ノ規定ハ第百六十六條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十九條　第百六十六條ノ規定ハ第百六十七條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十條　第百六十七條ノ規定ハ第百六十八條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十一條　第百六十八條ノ規定ハ第百六十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十二條　第百六十九條ノ規定ハ第百七十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十三條　第百七十條ノ規定ハ第百七十一條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　第百七十一條ノ規定ハ第百七十二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十五條　第百七十二條ノ規定ハ第百七十三條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十六條　第百七十三條ノ規定ハ第百七十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十七條　第百七十四條ノ規定ハ第百七十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十八條　第百七十五條ノ規定ハ第百七十六條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十九條　第百七十六條ノ規定ハ第百七十七條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十條　第百七十七條ノ規定ハ第百七十八條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十一條　第百七十八條ノ規定ハ第百七十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十二條　第百七十九條ノ規定ハ第百八十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十三條　第百八十條ノ規定ハ第百八十一條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十四條　第百八十一條ノ規定ハ第百八十二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十五條　第百八十二條ノ規定ハ第百八十三條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十六條　第百八十三條ノ規定ハ第百八十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十七條　第百八十四條ノ規定ハ第百八十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十八條　第百八十五條ノ規定ハ第百八十六條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百九十九條　第百八十六條ノ規定ハ第百八十七條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百條　第百八十七條ノ規定ハ第百八十八條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百一條　第百八十八條ノ規定ハ第百八十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二條　第百八十九條ノ規定ハ第百九十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百三條　第百九十條ノ規定ハ第百九十一條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四條　第百九十一條ノ規定ハ第百九十二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百五條　第百九十二條ノ規定ハ第百九十三條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百六條　第百九十三條ノ規定ハ第百九十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百七條　第百九十四條ノ規定ハ第百九十五條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百八條　第百九十五條ノ規定ハ第百九十六條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百九條　第百九十六條ノ規定ハ第百九十七條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十條　第百九十七條ノ規定ハ第百九十八條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十一條　第百九十八條ノ規定ハ第百九十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十二條　第百九十九條ノ規定ハ第二百條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十三條　第二百條ノ規定ハ第二百一條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十四條　第二百一條ノ規定ハ第二百二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十五條　第二百二條ノ規定ハ第二百三條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十六條　第二百三條ノ規定ハ第二百四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十七條　第二百四條ノ規定ハ第二百五條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十八條　第二百五條ノ規定ハ第二百六條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十九條　第二百六條ノ規定ハ第二百七條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十條　第二百七條ノ規定ハ第二百八條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十一條　第二百八條ノ規定ハ第二百九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

ニ非ザレバ其ノ效力ヲ有セズ

第百六十八條　左ノ定款ニ記載スルニ非ザレバ其ノ效力ヲ有セズ

一　存立時期又ハ解散ノ事由

二　數種ノ株式ノ發行竝ニ其ノ各種ノ株式ノ內容及數

三　株式ノ額面以上ノ發行

四　發起人ガ受クベキ特別ノ利益及之ヲ受クベキ者ノ氏名

五　現物出資ヲ爲ス者ノ氏名、出資ノ目的、其ノ價格竝ニ之ニ對シテ與フル株式ノ種類及數

六　會社ノ成立後ニ讓受クルコトヲ約シタル財產、其ノ價格及讓渡人ノ氏名

七　會社ノ負擔ニ歸スベキ設立費用及發起人ガ受クベキ報酬ノ額

第百六十九條　各發起人ハ書面ニ依リテ株式ノ引受ヲ爲スコトヲ要ス

第百七十條　發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケ又ハ此ノ場合ニ於テハ第二百四十一條第一項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ選任ハ發起人ノ談決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス此ノ場合ニ於テハ第二百四十一條第一項ノ規定ヲ準用ス

第百七十一條　株式發行ノ價額ハ券面額ヲ下ルコトヲ得ズ

第一回拂込ノ金額ハ株金ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ズ

額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行シタルトキハ其ノ額面ヲ超エル金額ハ第一回ノ拂込ト同時ニ之ヲ拂込ムコトヲ要ス

第百七十二條　現物出資ノ目的ノ出資ノ目的ノ出資者ハ第一回ノ拂込ノ期日ニ出資ノ目的ノ財產ノ全部ヲ給付スルコトヲ要ス但シ登記、登錄其ノ他權利ノ設定又ハ移轉ヲ以テ第三者ニ對抗スル爲必要ナル行爲ハ會社成立後ニ之ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第百七十三條　取締役ハ其ノ選任後遲滯ナク第百六十八條第一項第一號乃至第七號ニ掲ゲル事項竝ニ前三條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付ヲシタルトキハ其ノ效力ヲ有セズ

第百七十四條　取締役ハ其ノ選任後遲滯ナク裁判所ニ請求スルコトヲ要ス

裁判所ハ檢査役ノ報告ヲ聽キ第百六十八條第一項第四號乃至第七號ニ掲ゲル事項ヲ不當ト認メタルトキハ之ヲ變更ヲ加ヘテ各發起人ニ通告スルコトヲ得

前項ノ變更ニ服セザル發起人ハ其ノ株式ノ引受ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ定款ヲ變更シテ設立ニ關スル手續ヲ續行スルコトヲ妨ゲズ

通告後二週間内ニ株式ノ引受ヲ取消シタル者ナキトキハ定款ハ通告ニ從ヒ變更セラレタルモノト看做ス

第百七十四條　發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケザルトキハ株主ヲ募集スルコトヲ要ス

第百七十五條　株式ノ申込ヲ爲サントスル者ハ株式申込證二通ニ其ノ引受クベキ株式ノ數及住所ヲ記載シ之ニ署名スルコトヲ要ス

株式申込證ハ發起人之ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　定款ノ認證ノ年月日及其ノ認證ヲ爲シタル公證人ノ氏名

二　第百六十六條第一項及第百六十八條第一項ニ掲ゲル事項

三　各發起人ガ引受ケタル株式ノ數

四　第一回拂込ノ金額

五　株式ノ讓渡ノ制限、株券ノ裏書ノ禁止又ハ株主ノ譲決權ノ制限ヲ定メタルトキハ其ノ規定

六　株金ノ拂込ヲ取扱フベキ銀行又ハ信託會社及其ノ取扱ノ場所

七　一定ノ時期迄ニ創立總會ガ終結セザルトキハ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得ベキコト

數種ノ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ株式申込證ニ其ノ引受クベキ株式ノ種類ヲ記載シ額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ其ノ引受價額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百七十六條　株式ノ申込ヲ爲サントスル者ハ發起人ノ制當テタル株式ノ數ニ應ジテ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ

第百七十七條　株式總數ノ引受アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク各株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

前項ノ拂込ハ株式申込證ニ記載シタル株金拂込ノ取扱場所ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百七十一條及第百七十二條ノ規定ハ第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百七十八條　株金ノ拂込ヲ取扱フ銀行若ハ信託會社ヲ變更シ又ハ拂込金ノ保管ヲ爲スニハ裁判所ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第百七十九條　株式引受人ガ第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込ヲ爲サザルトキハ發起人ハ期日ヲ定メ其ノ期日迄ニ拂込ヲ爲サザルトキハ其ノ權利ヲ失フベキ旨ヲ其ノ株式引受人ニ通知スルコトヲ得但シ其ノ通知ハ期日ノ二週間前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

發起人ガ前項ノ通知ヲ爲サルトキハ其ノ權利ヲ失フ此ノ場合ニ於テ發起人ハ其ノ者ガ引受ケタル株式ニ付更ニ株主ヲ募集スルコトヲ得前二項ノ規定ハ株式引受人ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ妨ゲズ

第百八十條　第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スルコトヲ要ス

創立總會ハ其ノ半額以上ヲ引受ケタル者出席シ其ノ資本ノ半額以上ヲ引受ケタル者出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ一切ノ決議ヲ爲ス

第二百三十二條第一項第二項、第二百三十三條、第二百三十九條第三項第四項、第二百四十條、第二百四十一條第一項、第二百四十三條、第二百四十四條、第二百四十七條乃至第二百五十三條及第三百四十五條ノ規定ハ創立總會ニ之ヲ準用ス

第百八十一條　第百七十七條第一項第四號乃至第七號ニ掲ゲル事項ヲ定メタルトキハ發起人ハ之ニ關スル調査ヲ爲サシムルコトヲ要ス

前項ノ調査ハ檢査役ノ報告ヲ聽キ第百六十八條第一項第四號乃至第七號ニ掲ゲル事項ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テハ二週間内ニ合資會社ニ付テハ第六十四條ニ定ムル登記ヲ爲シタル後、合名會社ニ付テハ第六十四條ニ定ムル登記ヲ爲シタル後、株式會社ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ合資會社ニ付テハ解散ノ登記、合名會社ニ付テハ第六十四條ニ定ムル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第百六十三條　合資會社ハ總社員ノ同意ヲ以テ其ノ相續人ヲシテ之ヲ合名會社ト爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前條第三項ノ規定ヲ準用ス

第百六十四條　清算ハ業務執行社員之ヲ爲ス但シ無限責任社員ノ過半數ヲ以テ別ニ清算人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四章　株式會社

第一節　設立

第百六十五條　株式會社ノ設立ニハ七人以上ノ發起人アルコトヲ要ス

第百六十六條　發起人ハ定款ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載シテ署名スルコトヲ要ス

一　目的

二　商號

三　資本ノ總額

四　一株ノ金額

五　本店及支店ノ所在地

六　會社ガ公告ヲ爲ス方法

七　發起人ノ氏名及住所

會社ノ公告ハ官報又ハ時事ニ關スル事項ヲ掲載スル日刊新聞紙ニ掲ゲテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百六十七條　發起人ハ會社ノ設立ニ關シ其ノ任務ヲ怠リタルトキハ其ノ發起人ハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

發起人ニ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ其ノ發起人ハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

第百七十四條　取締役及監査役ハ左ノ事項ヲ調査シ之ヲ創立總會ニ報告スルコトヲ要ス

一　株式總數ノ引受ケ及拂込ノ有無

二　第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付アリタルトキハ其ノ履行ノ有無

三　各發起人ガ引受ケタル株式ノ數

四　第一回拂込ノ金額

五　株式ノ讓渡ノ制限、株券ノ裏書ノ禁止又ハ株主ノ譲決權ノ制限ヲ定メタルトキハ其ノ規定

六　株金ノ拂込ヲ取扱フベキ銀行又ハ信託會社及其ノ取扱ノ場所

七　一定ノ時期迄ニ創立總會ガ終結セザルトキハ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得ベキコト

數種ノ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ株式申込證ニ其ノ引受クベキ株式ノ種類ヲ記載シ額面以上ノ價額ヲ以テ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ其ノ引受價額ヲ記載スルコトヲ要ス

第百七十五條　發起人ハ會社ノ設立ニ關シ其ノ任務ヲ怠リタルトキハ其ノ發起人ハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

發起人ニ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ其ノ發起人ハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

第百七十六條　發起人ガ會社ノ設立ニ關シ其ノ任務ヲ怠リタルトキハ其ノ發起人ハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

各株ニ付拂込ミタル株金額

株式ノ讓渡ノ制限又ハ株券ノ裏書ノ禁止ヲ定メタルトキハ其ノ規定

株主ハ株金ノ拂込ニ付相殺ヲ以テ會社ニ對抗スルコトヲ得ズ

第百七十七條　假設人ノ名義ヲ以テ株式ヲ引受ケ又ハ讓受ケタル者ハ株式引受人又ハ株主タル責任ヲ負フ他人ノ承諾ヲ得ズシテ其ノ名義ヲ以テ株式ヲ引受ケ又ハ讓受ケタル者亦同ジ

他人ト通ジテ其ノ名義ヲ以テ株式ヲ引受ケ又ハ讓受ケタル者ハ其ノ他人ト連帶シテ株金ノ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ

第百七十八條　株式ノ引受ニ因ル權利ノ讓渡ハ會社ニ對シテハ效力ヲ生ゼズ

發起人ハ前項ノ權利ヲ讓渡スコトヲ得ズ

第百七十九條　株式ヲ引受ケタル者ハ會社ノ成立後ハ錯誤若ハ株式申込證ノ要件ノ欠缺ヲ理由トシテ其ノ引受ノ無效ヲ主張シ又ハ詐欺若ハ强迫ヲ理由トシテ其ノ引受ヲ取消スコトヲ得ズ創立總會ニ出席シテ其ノ權利ヲ行使シタルトキ亦同ジ

第百八十條　引受ケタル株式又ハ第百七十七條、第百七十一條若ハ第百七十二條ノ規定ニ依ル拂込ノ未濟ナル株式ノ引受人ハ拂込ヲ爲サザル株式ノ引受人ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ妨ゲズ

第百八十一條　株式ノ引受ニ因ル權利ノ讓渡ハ會社ニ對シテハ效力ヲ生ゼズ

發起人ハ前項ノ權利ヲ讓渡スコトヲ得ズ

第百八十二條　株式ハ之ヲ他人ニ讓渡シコトヲ得但シ定款ヲ以テ其ノ讓渡ノ制限ヲ定ムルコトヲ妨ゲズ

第百八十三條　記名株式ノ讓渡ハ株券ノ裏書ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ得但シ定款ヲ以テ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

手形法第十二條、第十三條及第十四條第二項ノ規定ハ株券ノ裏書ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　株券ノ裏書ニ依ル記名株式ノ讓渡ハ株券ヲ交付スルニ非ザレバ之ヲ以テ會社ニ對抗スルコトヲ得ズ

トヲ要ス

前項ノ檢査役ノ報告書ハ之ヲ創立總會ニ提出スルコトヲ要ス

第百七十三條　發起人ハ會社ノ設立ニ關シ其ノ任務ヲ怠リタルトキハ其ノ發起人ハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

發起人ニ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ其ノ發起人ハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

第百七十四條　取締役及監査役ハ左ノ事項ヲ調査シ之ヲ創立總會ニ報告スルコトヲ要ス

一　株式總數ノ引受ケ及拂込ノ有無

二　第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付アリタルトキハ其ノ履行ノ有無

三　取締役及監査役ハ第百八十一條第二項ノ報告書ヲ調査シ之ヲ創立總會ニ報告スルコトヲ要ス

取締役及監査役ハ第百八十一條第二項ノ報告書ヲ調査シ創立總會ニ其ノ意見ヲ報告スルコトヲ要ス

取締役及監査役ハ發起人ヨリ選任セラレタル者アルトキハ創立總會ハ特ニ檢査役ヲ選任シ前二項ノ調査及報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第百八十五條　創立總會ニ於テ第百六十八條第一項第四號乃至第七號ニ掲ゲル事項ヲ不當ト認メタルトキハ之ヲ變更スルコトヲ得

第百七十三條第三項及第四項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百八十六條　前條ノ規定ハ發起人ニ對シテ損害賠償ノ請求ヲ妨ゲズ

第百八十七條　創立總會ニ於テ定款ノ變更又ハ設立ノ廢止ノ決議ヲ爲ス場合ニ於テ會社ガ既ニ成立シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ決議ハ招集ノ通知ニ其ノ旨ノ記載ナカリシトキ又ハ第百七十六條第一項第四號乃至第七號ニ掲ゲル事項ヲ定メタルトキハ之ヲ提起スルコトヲ得ズ

第百八十八條　株式會社ノ設立ノ登記ハ發起人ガ株式ノ總數ヲ引受ケ且各株ニ付第百七十三條第一項ノ拂込ヲ爲シタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

前項ノ登記ニ在リテハ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　第百六十六條第一項第一號乃至第四號及第六號ニ掲ゲル事項

二　本店及支店

三　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

四　數種ノ株式ヲ發行スルトキハ其ノ各種ノ株式ノ內容及數

五　各株ニ付拂込ミタル株金額

六　株式ノ讓渡ノ制限又ハ株券ノ裏書ノ禁止ヲ定メタルトキハ其ノ規定

七　第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付アリタルトキハ其ノ履行ノ有無

八　株主ニ配當スベキ利益ヲ以テ株式ヲ消却スベキコトヲ定メタルトキハ其ノ規定

九　取締役及監査役ノ氏名及住所

十　取締役ガ會社ヲ代表スベキ者アルトキハ會社ヲ代表スベキ者ノ氏名

十一　數人ノ取締役ガ共同シテ會社ヲ代表スベキコトヲ定メタルトキハ其ノ規定

第六十四條第二項及第六十五條乃至第六十七條ノ規定ハ株式會社ニ之ヲ準用ス

第百八十九條　株金ノ拂込ヲ取扱ヒタル銀行又ハ信託會社ハ發起人又ハ取締役ガ請求ニ依リ拂込金ノ保管ニ關シ證明ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ銀行又ハ信託會社ハ其ノ證明シタル拂込金額ヲ付拂込ナカリシコト又ハ其ノ返還ニ關スル制限ヲ以テ會社ニ對抗スルコトヲ得ズ

第百九十條　株式ノ引受ニ因ル權利ノ讓渡ハ會社ニ對シテ效力ヲ生ゼズ

發起人ハ前項ノ權利ヲ讓渡スコトヲ得ズ

第百九十一條　株式ヲ引受ケタル者ハ會社ノ成立後ハ錯誤若ハ株式申込證ノ要件ノ欠缺ヲ理由トシテ其ノ引受ノ無效ヲ主張シ又ハ詐欺若ハ强迫ヲ理由トシテ其ノ引受ヲ取消スコトヲ得ズ創立總會ニ出席シテ其ノ權利ヲ行使シタルトキ亦同ジ

第百九十二條　引受ケタル株式又ハ第百七十條、第百七十一條若ハ第百七十二條ノ規定ニ依ル拂込ノ未濟ナル株式ノ引受人ハ拂込ヲ爲サザル株式ノ引受人ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ妨ゲズ

第百九十三條　發起人ガ會社ノ設立ニ關シ其ノ任務ヲ怠リタルトキハ其ノ發起人ハ會社ニ對シ連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

發起人ニ惡意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ其ノ發起人ハ第三者ニ對シテモ亦連帶シテ損害賠償ノ責ニ任ズ

第百九十四條　株式會社ノ資本ハ之ヲ株式ニ分ツコトヲ要ス

第百九十五條　株主ノ責任ハ其ノ引受ケ又ハ讓受ケタル株金額ヲ限度トス

株主ハ株金ノ拂込ニ付相殺ヲ以テ會社ニ對抗スルコトヲ得ズ

第百九十六條　假設人ノ名義ヲ以テ株式ヲ引受ケ又ハ讓受ケタル者ハ株式引受人又ハ株主タル責任ヲ負フ他人ノ承諾ヲ得ズシテ其ノ名義ヲ以テ株式ヲ引受ケ又ハ讓受ケタル者亦同ジ

他人ト通ジテ其ノ名義ヲ以テ株式ヲ引受ケ又ハ讓受ケタル者ハ其ノ他人ト連帶シテ株金ノ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ

第百九十七條　株式ノ引受ニ因ル權利ノ讓渡ハ會社ニ對シテハ效力ヲ生ゼズ

發起人ハ前項ノ權利ヲ讓渡スコトヲ得ズ

第百九十八條　株式ヲ引受ケタル者ハ會社ノ成立後ハ錯誤若ハ株式申込證ノ要件ノ欠缺ヲ理由トシテ其ノ引受ノ無效ヲ主張シ又ハ詐欺若ハ强迫ヲ理由トシテ其ノ引受ヲ取消スコトヲ得ズ創立總會ニ出席シテ其ノ權利ヲ行使シタルトキ亦同ジ

第百九十九條　引受ケタル株式又ハ第百七十條、第百七十一條若ハ第百七十二條ノ規定ニ依ル拂込ノ未濟ナル株式ノ引受人ハ拂込ヲ爲サザル株式ノ引受人ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ妨ゲズ

第二節　株式

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

トヲ得ズ

前項ノ場合ヲ除クノ外記名株式ノ移轉ハ取得者ノ氏名及住所ヲ株主名簿ニ記載シ且其ノ氏名ヲ株券ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ會社其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

株金ノ滯納アル株式ニ付テハ會社ハ前二項ノ名義書換ヲ拒ムコトヲ得

第二百七條　記名株式ヲ以テ質權ノ目的トスルニハ株券ヲ交付スルコトヲ要ス

質權者ハ繼續シテ株券ヲ占有スルニ非ザレバ其ノ質權ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第二百八條　株式ノ消却、併合又ハ轉換アリタルトキハ從前ノ株式ヲ目的トスル質權ハ消却、併合又ハ轉換ニ因リテ株主ガ受ケベキ金錢又ハ株式ノ上ニ存在ス

第二百十四條第一項又ハ第二百十五條第二項ノ規定ニ依ル株式ノ處分アリタルトキハ其ノ株式ヲ目的トスル質權ハ從前ノ株主ガ第二百十四條第二項ノ規定ニ依リテ拂戻ヲ受ケベキ金錢ノ上ニ存在ス

第二百九條　記名株式ヲ以テ質權ノ目的トスルル場合ニ於テ會社ガ質權設定者ノ請求ニ依リ質權者ノ氏名及住所ヲ株主名簿ニ記載シ且其ノ氏名ヲ株券ニ記載シタルトキハ質權者ハ會社ヨリ利益若ハ利息ノ配當、殘餘財産ノ分配又ハ前條ノ金錢ノ支拂ヲ受ケ他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ニ充ツルコトヲ得

民法第三百六十七條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ質權者ハ會社ニ對シ前條第一項ノ株主ノ受ケベキ株券ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得

第二百十條　會社ハ左ノ場合ヲ除クノ外自己ノ株式ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受クルコトヲ得ズ

一　株式ノ消却ノ爲ニスルトキ

二　合併又ハ他ノ會社ノ營業全部ノ讓受ニ因ルトキ

三　會社ノ權利ノ實行ニ當リ其ノ目的ヲ達スルニ必要ナルトキ

第二百十一條　前條第一號ノ場合ニ於テハ會社ハ遲滯ナク株式失效ノ手續ヲ爲シ第二號及第三號ノ場合ニ於テハ相當ノ時期ニ株式ノ讓渡ヲ爲スニ必要ナル株金ノ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ

第二百十二條　株式ハ資本減少ノ規定ニ從フノ外消却スルコトヲ得ズ

會社ハ數種ノ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ利益若ハ利息ノ配當又ハ殘餘財産ノ分配ニ付株式ノ種類ニ從ヒ格別ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二百十三條　株金ノ拂込ハ其ノ期日ノ二週間前ニ之ヲ各株主ニ催告スルコトヲ要ス

株主ガ拂込ヲ爲サザルトキハ會社ハ更ニ期日ヲ定メ其ノ期日迄ニ拂込ヲ爲サザルトキハ會社ニ於テ株式ヲ處分スベキ旨ノ株主及株主名簿ニ記載アル質權者ニ通知スルコトヲ得但シ其ノ通知ハ期日ノ二週間前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ會社ハ其ノ株主ノ氏名及住所、株券ノ番號並ニ通知事項ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十四條　會社ガ前條第一項及第二項ニ定ムル手續ヲ踐ミザルトキハ株主ガ拂込ヲ爲サザルトキト雖モ會社ハ株式ヲ競賣スルコトヲ要ス但シ裁判所ノ許可ヲ得テ他ノ方法ニ依リ之ヲ賣却スルコトヲ妨ゲズ

會社ガ株式ノ處分ニ依リテ得タル金額ヨリ諸納金額及定款ヲ以テ定メタル違約金ノ額ヲ控除シタル金額ヲ從前ノ株主ニ拂戻スコトヲ要ス

株式ノ處分ニ依リテ得タル金額ガ滯納金額ニ滿タザル場合ニ於テハ會社ハ從前ノ株主ニ對シ不足額ノ辨濟ヲ請求シ若シ從前ノ株主ガ二週間内ニ之ヲ辨濟セザルトキハ讓渡人ニ對シテ其ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得

第二百十五條　會社ハ前條第一項ノ處分ニ著手スルヨリ二週間前ニ株式ノ讓渡人ニシテ第二百十九條ノ規定ニ依リテ責任ヲ負フ者ニ對シ其ノ處分ヲ爲スベキ旨ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

讓渡人ガ株式ノ處分ヲ爲スベキ旨ノ通知ヲ受ケタル後ニ於テ株式ヲ處分シタルトキハ其ノ株式ヲ取得シタル者ニ對シテハ其ノ株式ニ付キ權利ヲ行使スルコトヲ得ズ

第二百十六條　第二百十四條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ競賣ヲ爲シタルモ其ノ結果ヲ得ザルトキハ會社ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百十七條　前三條ノ規定ハ會社ガ損害賠償及定款ヲ以テ定メタル違約金ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第二百十八條　株主ガ第二百十三條第二項ノ期日迄ニ株金ノ拂込ヲ爲サザルトキハ會社ハ其ノ株主及株主名簿ニ記載アル質權者ニ對シ二週間内ニ株券ヲ會社ニ提出スベキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ提出ナキ株券ハ其ノ效力ヲ失フ

前項ノ場合ニ於テハ會社ハ遲滯ナク失效シタル株券ノ番號並ニ其ノ株主ノ氏名及住所ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百十九條　第二百十四條第三項ニ定ムル讓渡人ノ責任ハ株式ノ讓渡ヲ株主名簿ニ記載シタル後二年内ニ會社ガ第二百十三條第一項ノ規定ニ依リ拂込ノ催告ヲ發シタル株金ニ關スルモノニ限ル

發起人ガ會社ノ設立後五年内ニ拂込ノ催告ヲ發シタル株金ニ關シテハ發起人ハ前項ノ規定ニ拘ラズ第二百十四條第三項ニ定ムル讓渡人ノ責任ヲ負フ

第二百二十條　株式ノ讓渡人ガ第二百十四條第三項ノ不足額ヲ辨濟シタルトキハ株券又ハ株主名簿ニ記載アル後者全員ニ對シ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

發起人ガ前條第二項ノ規定ニ依リテ不足額ヲ辨濟シタルトキハ其ノ後者中前條第一項ノ規定ニ依リテ責任ヲ負フ者及其ノ後者全員ニ對シテノミ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得

償還ヲ爲シタル讓渡人ハ更ニ自己ノ後者全員ニ對シ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二百二十一條　前條第一號ノ場合ニ於テハ會社ハ遲滯ナク株式失效ノ手續ヲ爲シ第二號及第三號ノ場合ニ於テハ相當ノ時期ニ株式ノ讓渡ヲ爲スニ必要ナル株金ノ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ

第二百二十二條　株式ハ資本減少ノ規定ニ從フノ外消却スルコトヲ得ズ但シ定款ノ規定ニ基キ株主ニ配當スベキ利益ヲ以テスル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三百七十七條ノ規定ハ株式ヲ消却スル場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十三條　株金ノ拂込ハ其ノ期日ノ二週間前ニ之ヲ各株主ニ催告スルコトヲ要ス

株主ガ拂込ヲ爲サザルトキハ會社ハ更ニ期日ヲ定メ其ノ期日迄ニ拂込ヲ爲サザルトキハ會社ニ於テ株式ヲ處分スベキ旨ノ株主及株主名簿ニ記載アル質權者ニ通知スルコトヲ得但シ其ノ通知ハ期日ノ二週間前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ會社ハ其ノ株主ノ氏名及住所、株券ノ番號並ニ通知事項ヲ公告スルコトヲ要ス

第二百二十四條　會社ガ前條第一項及第二項ニ定ムル手續ヲ踐ミザルトキハ株主ガ拂込ヲ爲サザルトキト雖モ會社ハ株式ヲ競賣スルコトヲ要ス但シ裁判所ノ許可ヲ得テ他ノ方法ニ依リ之ヲ賣却スルコトヲ妨ゲズ

會社ガ株式ノ處分ニ依リテ得タル金額ヨリ諸納金額及定款ヲ以テ定メタル違約金ノ額ヲ控除シタル金額ヲ從前ノ株主ニ拂戻スコトヲ要ス

株式ノ處分ニ依リテ得タル金額ガ滯納金額ニ滿タザル場合ニ於テハ會社ハ從前ノ株主ニ對シ不足額ノ辨濟ヲ請求シ若シ從前ノ株主ガ二週間内ニ之ヲ辨濟セザルトキハ讓渡人ニ對シテ其ノ辨濟ヲ請求スルコトヲ得

第二百十五條　會社ハ前條第一項ノ處分ニ著手スルヨリ二週間前ニ株式ノ讓渡人ニシテ第二百十九條ノ規定ニ依リテ責任ヲ負フ者ニ對シ其ノ處分ヲ爲スベキ旨ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

讓渡人ガ株式ノ處分ヲ爲スベキ旨ノ通知ヲ受ケタル後ニ於テ株式ヲ處分シタルトキハ其ノ株式ヲ取得シタル者ニ對シテハ其ノ株式ニ付キ權利ヲ行使スルコトヲ得ズ

第二百十六條　第二百十四條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ競賣ヲ爲シタルモ其ノ結果ヲ得ザルトキハ會社ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百十七條　前三條ノ規定ハ會社ガ損害賠償及定款ヲ以テ定メタル違約金ノ請求ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第二百十八條　株主ガ第二百十三條第二項ノ期日迄ニ株金ノ拂込ヲ爲サザルトキハ會社ハ其ノ株主及株主名簿ニ記載アル質權者ニ對シ二週間内ニ株券ヲ會社ニ提出スベキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ提出ナキ株券ハ其ノ效力ヲ失フ

第二百十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百十九條　第二百十四條第三項ニ定ムル讓渡人ノ責任ハ株式ノ讓渡ヲ株主名簿ニ記載シタル後二年内ニ會社ガ第二百十三條第一項ノ規定ニ依リ拂込ノ催告ヲ發シタル株金ニ關スルモノニ限ル

發起人ガ會社ノ設立後五年内ニ拂込ノ催告ヲ發シタル株金ニ關シテハ發起人ハ前項ノ規定ニ拘ラズ第二百十四條第三項ニ定ムル讓渡人ノ責任ヲ負フ

第二百二十條　株式ノ讓渡人ガ第二百十四條第三項ノ不足額ヲ辨濟シタルトキハ株券又ハ株主名簿ニ記載アル後者全員ニ對シ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

發起人ガ前條第二項ノ規定ニ依リテ不足額ヲ辨濟シタルトキハ其ノ後者中前條第一項ノ規定ニ依リテ責任ヲ負フ者及其ノ後者全員ニ對シテノミ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得

償還ヲ爲シタル讓渡人ハ更ニ自己ノ後者全員ニ對シ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

於テハ拂込アル毎ニ其ノ金額ヲ株券ニ記載スルコトヲ要ス

第二百二十六條　株券ハ會社ノ成立後ニ非ザレバ之ヲ發行スルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ違反シテ發行シタル株券ハ無效トス但シ株券ヲ發行シタル者ニ對スル損害賠償ノ請求ヲ妨ゲズ

第二百二十七條　記名株式ノ株券ハ定款ニ定アル場合ニ限リ株金全額ノ拂込アリタル株式ニ付之ヲ發行スルコトヲ得

株主ハ何時ニテモ其ノ無記名式ノ株券ヲ記名式ニ、記名式ニ改ムベキ旨ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二百二十八條　無記名式ノ株券ヲ有スル者ハ株券ヲ會社ニ供託スルニ非ザレバ株主ノ權利ヲ行使スルコトヲ得ズ

第二百二十九條　小切手法第二十一條ノ規定ハ株券ニ之ヲ準用ス

株主名簿ニ記載アル株主ノ爲シタル異書ガ眞正ナラザル場合ニ於テ會社ニ就キ調査ヲ爲サバ其ノ眞僞ヲ判別スルコトヲ得ベカリシモノナルトキハ前項ノ規定ヲ適用セズ

第二百三十條　株券ハ公示催告ノ手續ニ依リテ之ヲ無效ト爲スコトヲ得

株券ヲ喪失シタル者ハ除權判決ヲ得ルニ非ザレバ其ノ再發行ヲ請求スルコトヲ得ズ

第三節　會社ノ機關

第一款　株主總會

第二百三十一條　總會ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外取締役之ヲ招集ス

第二百三十二條　總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ二週間前ニ各株主ニ對シテ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ通知ニハ會議ノ目的タル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

會社ガ無記名式ノ株券ヲ發行シタル場合ニ於テハ會日ヨリ三週間前ニ總會ヲ開クベキ旨及會議ノ目的タル事項ヲ公告スルコトヲ要ス

前三項ノ規定ハ議決權ナキ株主ニ付テハ之ヲ適用セズ

第二百三十三條　總會ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本店ノ所在地又ハ之ニ隣接スル地ニ之ヲ招集スルコトヲ要ス

第二百三十四條　定時總會ハ毎年一回一定ノ時期ニ之ヲ招集スルコトヲ要ス

臨時總會ハ必要アル場合ニ隨時之ヲ招集ス

第二百三十五條　取締役又ハ監査役ハ總會ヲ招集スルニハ各其ノ過半數ノ決議アルコトヲ要ス

第二百三十七條　資本ノ十分ノ一以上ニ當ル株主ハ會議ノ目的タル事項及招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ取締役ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタル後二週間内ニ取締役ガ招集ノ手續ヲ爲サザルトキハ請求ヲ爲シタル株主ノ負擔ヲ以テ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ招集ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リテ招集シタル總會ニ於テハ檢査役ノ設置ニ關スル決議ヲ爲スコトヲ得ズ

第二百三十八條　總會ハ取締役又ハ監査役ノ提出シタル書類及監査役ノ報告書ヲ調査セシムル爲特ニ檢査役ヲ選任スルコトヲ得

第二百三十九條　總會ノ決議ハ本法又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル株主ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

無記名式ノ株券ヲ有スル者ハ會社ニ供託スルコトヲ要ス

前項ノ供託ハ會議ノ日ヨリ一週間前ニ株券ヲ會社ニ供託スルコトヲ要ス

株主ハ代理人ヲ以テ其ノ議決權ヲ行使スルコトヲ得但シ代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ會社ニ差出ダスコトヲ要ス

三　他ノ會社ノ營業全部ノ讓受

四　第二百六十六條又ハ第二百八十條ノ規定ニ依ル取締役又ハ監査役ノ責任ノ免除

第二百六十八條又ハ第二百七十九條ノ規定ニ依ル株主ノ訴ノ提起

第二百四十條　前條第四項ノ規定ニ依リテ行使スルコトヲ得ザル議決權ノ數ハ同條第一項ノ議決權ノ數ニ之ヲ算入セズ

第二百四十一條　各株主ハ一株ニ付一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ヲ以テ十一株以上ヲ有スル株主ノ議決權ヲ制限スル株式ノ讓受ニ因リ株主名簿ニ記載シタル後六月ヲ超エザル株主ニ對スル議決權ハ此ノ限ニ在ラズ

會社ハ其ノ有スル自己ノ株式ニ付テハ議決權ヲ有セズ

第二百四十二條　會社ガ數種ノ株式ヲ發行スル場合ニ於テハ定款ヲ以テ其ノ或種類ノ株式ニ付株主ニ議決權ナキモノトスルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ定款ヲ以テ其ノ種類ノ株式ヲ有スル株主ニ第百九十七條第一項、第二百三十二條第一項、第二百六十八條第一項、第二百七十九條第一項、第四百二十六條第二項及第四百三十條第二項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ株式ノ株金總額ハ資本ノ四分ノ一ヲ超エルコトヲ得ズ

第二百四十三條　總會ニ於テハ延期又ハ續行ノ決議ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百三十二條ノ規定ヲ適用セズ

第二百四十四條　總會ノ議事ニ付テハ議事錄ヲ作ルコトヲ要ス

議事錄ニハ議事ノ經過ノ要領及其ノ結果ヲ記載シ議長並ニ出席シタル取締役及監査役之ニ署名スルコトヲ要ス

第二百四十五條　會社ガ左ノ行爲ヲ爲スニハ第三百四十三條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要ス

一　營業ノ全部又ハ一部ノ讓渡

二　營業全部ノ賃貸、其ノ經營ノ委任、他人ト營業上ノ損益全部ヲ共通ニスル契約其ノ他之ニ準ズル契約ノ締結、變更又ハ解約

三　他ノ會社ノ營業全部ノ讓受

四　第二百六十六條又ハ第二百八十條ノ規定ニ依ル取締役又ハ監査役ノ責任ノ免除

第二百六十八條又ハ第二百七十九條ノ規定ニ依ル株主ノ訴ノ提起

第二百四十六條　前條第四項ノ規定ニ依リテ行使スルコトヲ得ザル議決權ノ數ハ同條第一項ノ議決權ノ數ニ之ヲ算入セズ

第二百四十七條　第二百四十一條第一項ノ規定ニ依リテ株式ノ競賣ヲ爲シタルモ其ノ結果ヲ得ザルトキハ會社ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得

第二百四十八條　第二百四十四條第三項ノ規定ハ株金ノ拂込ヲ爲サザルトキハ會社ハ其ノ株主及株主名簿ニ記載アル質權者ニ對シ二週間内ニ株券ヲ會社ニ提出スベキ旨ヲ通知スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ提出ナキ株券ハ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百四十九條　第二百四十四條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ競賣ヲ爲シタルモ其ノ結果ヲ得ザルトキハ會社ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百四十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百五十條　第二百四十四條第一項又ハ第二百四十五條第二項ノ規定ニ依ル株式ノ處分アリタルトキハ其ノ株式ヲ目的トスル質權ハ從前ノ株主ガ第二百四十四條第二項ノ規定ニ依リテ拂戻ヲ受ケベキ金錢ノ上ニ存在ス

第二百五十一條　株式ノ消却、併合又ハ轉換アリタルトキハ從前ノ株式ヲ目的トスル質權ハ消却、併合又ハ轉換ニ因リテ株主ガ受ケベキ金錢又ハ株式ノ上ニ存在ス

第二百十四條第一項又ハ第二百十五條第二項ノ規定ニ依ル株式ノ處分アリタルトキハ其ノ株式ヲ目的トスル質權ハ從前ノ株主ガ第二百十四條第二項ノ規定ニ依リテ拂戻ヲ受ケベキ金錢ノ上ニ存在ス

第二百五十二條　第二百十四條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ競賣ヲ爲シタルモ其ノ結果ヲ得ザルトキハ會社ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百五十三條　第二百十四條第一項又ハ第二百十五條第二項ノ規定ニ依ル株式ノ處分アリタルトキハ其ノ株式ヲ目的トスル質權ハ從前ノ株主ガ第二百十四條第二項ノ規定ニ依リテ拂戻ヲ受ケベキ金錢ノ上ニ存在ス

第二百五十四條　第二百十四條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ競賣ヲ爲シタルモ其ノ結果ヲ得ザルトキハ會社ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百五十五條　第二百十四條第一項又ハ第二百十五條第二項ノ規定ニ依ル株式ノ處分アリタルトキハ其ノ株式ヲ目的トスル質權ハ從前ノ株主ガ第二百十四條第二項ノ規定ニ依リテ拂戻ヲ受ケベキ金錢ノ上ニ存在ス

第二百五十六條　第二百十四條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ競賣ヲ爲シタルモ其ノ結果ヲ得ザルトキハ會社ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百五十七條　第二百十四條第一項又ハ第二百十五條第二項ノ規定ニ依ル株式ノ處分アリタルトキハ其ノ株式ヲ目的トスル質權ハ從前ノ株主ガ第二百十四條第二項ノ規定ニ依リテ拂戻ヲ受ケベキ金錢ノ上ニ存在ス

第二百五十八條　第二百十四條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ競賣ヲ爲シタルモ其ノ結果ヲ得ザルトキハ會社ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百五十九條　第二百十四條第一項又ハ第二百十五條第二項ノ規定ニ依ル株式ノ處分アリタルトキハ其ノ株式ヲ目的トスル質權ハ從前ノ株主ガ第二百十四條第二項ノ規定ニ依リテ拂戻ヲ受ケベキ金錢ノ上ニ存在ス

第二百六十條　第二百十四條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ競賣ヲ爲シタルモ其ノ結果ヲ得ザルトキハ會社ハ資本減少ノ規定ニ從ヒテ其ノ株式ヲ消却スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二百十四條第三項ノ規定ヲ準用ス

第二百六十一條　第二百十四條第一項又ハ第二百十五條第二項ノ規定ニ依ル株式ノ處分アリタルトキハ其ノ株式ヲ目的トスル質權ハ從前ノ株主ガ第二百十四條第二項ノ規定ニ依リテ拂戻ヲ受ケベキ金錢ノ上ニ存在ス

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第二百四十七條　現金ヲ以テ定メタル違約金ハ其ノ全額ヲ支拂フコトヲ要ス
第二百四十八條　違約金ハ損害賠償ノ額ヲ豫定シタルモノト推定ス
第二百四十九條　違約金ハ裁判所ニ於テ相當ト認ムルトキハ減額スルコトヲ得
第二百五十條　債務ノ履行ニ關シ違約金ヲ定メタルトキハ債權者ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百五十一條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百五十二條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百五十三條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百五十四條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百五十五條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百五十六條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百五十七條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百五十八條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百五十九條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十一條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十二條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十三條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十四條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十五條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十六條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十七條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十八條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百六十九條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十一條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十二條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十三條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十四條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十五條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十六條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十七條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十八條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百七十九條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十一條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十二條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十三條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十四條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十五條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十六條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十七條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十八條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百八十九條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十一條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十二條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十三條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十四條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十五條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十六條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十七條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十八條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第二百九十九條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
第三百條　違約金ハ債務ノ不履行ニ因リテ生ジタル損害ノ賠償ニ付テノミ之ヲ定メタルトキハ債權者ハ違約金ノ外ニ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得ス

第三百一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百十九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百二十九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百三十九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四十九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百五十九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百六十九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百七十九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百八十九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十一條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十二條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十三條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十四條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十五條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十六條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十七條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十八條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百九十九條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得
第三百四百條　債權者ハ其ノ選擇ニ從ヒ債務ノ履行ニ代ヘ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得

第三百五十條　株式申込證ハ取締役之ヲ作リ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　會社ノ商號

二　增加スベキ資本ノ額

三　資本增加ノ決議ノ年月日

四　第一回拂込ノ金額

五　第百七十五條第二項第五號第六號及第三百四十八條第一號乃至第三號ニ掲ゲル事項

六　數種ノ株式アルトキハ異種類ノ株式ヲ發行スルトキハ新ニ發行スル株式ノ内容及數

七　一定ノ時期迄ニ第三百五十一條ノ總會ガ終結セザルトキハ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得ベキコト

第三百五十一條　資本增加ノ場合ニ於テ各新株ニ付第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付アリタルトキハ取締役ハ遲滯ナク株主總會ノ招集ヲ之ヲ新株ノ募集ニ關スル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

新株ノ引受人ハ前項ノ總會ニ於テ株主同一ノ權利ヲ有ス

第三百五十二條　新株ノ引受人ハ株金ノ拂込期日ヨリ利益又ハ利息ノ配當ニ付株主ト同一ノ權利ヲ有ス

第三百五十三條　會社ノ成立後二年内ニ其ノ資本ヲ增加スル決議ヲ爲シ又ハ資本ヲ倍額以上ニ增加スル場合ニ於テ第三百四十八條第二號又ハ第三號ニ掲ゲル事項ヲ定メタルトキハ取締役ハ之ニ關スル調査ヲ爲サシムル爲檢査役ノ選任ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ要ス

第百八十一條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十四條　監査役ハ左ノ事項ヲ調査シ之ヲ株主總會ニ報告スルコトヲ要ス

一　新株總數ノ引受アリタルヤ否ヤ

二　第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付アリタルヤ否ヤ

監査役ノ前條第一項ノ檢査役ノ報告書ヲ調査シ株主總會ニ其ノ意見ヲ報告スルコトヲ要ス

第三百五十五條　第百七十四條第一項第二項ノ規定ハ新株ノ發行ニ之ヲ準用ス

第三百五十六條　第百七十五條乃至第百七十八條ノ規定ハ新株ノ發行ニ之ヲ準用ス

第三百五十七條　會社ハ第三百五十一條ノ株主總會終結ノ日又ハ第三百五十五條第二項ノ調査ノ終了ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ資本增加ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ニ在リテハ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　增加シタル資本ノ額

二　資本增加ノ決議ノ年月日

三　數種ノ株式アルトキハ異種類ノ株式ニ付キ發行スル株式ノ内容及數

第六十七條ノ規定ハ第一項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第三百五十八條　資本ノ增加ハ本店ノ所在地ニ於テ登記ヲ爲シタル日ヨリ六月内ニ新株ヲ拂込ミタル株金額ノ全部ニ付キ發行シタル株式ノ内容ニ從ヒ定メタル拂込ノ方法ニ依リテ其ノ拂込ヲ爲サシメタル株主ヲシテ其ノ引受ケタル新株ノ株主タラシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ拂込ヲ爲サシメタル株主ハ其ノ拂込ヲ爲シタル金額ヲ限度トシテ會社ニ對スル債務ト其ノ株金ノ拂込ヲ爲スベキ債務トヲ相殺スルコトヲ得ズ

第三百五十九條　資本增加ノ場合ニ於テ新株ノ引受ノ無效又ハ取消アリタルトキハ其ノ株金ノ拂込ヲ爲サシメタル株主ハ其ノ株金ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ズ

第三百六十條　資本增加ノ場合ニ於テ第三百五十一條ノ株主ニ對スル通知又ハ公告ニ過失ナクシテ知レザリシ者ハ其ノ株主タルコトヲ以テ會社ニ對抗スルコトヲ得ズ

第三百六十一條　資本增加ノ場合ニ於テ第三百五十三條第一項ノ場合ニ於テハ第三百四十三條ノ規定ニ依ル拂込ノ取扱ヲ爲シタル銀行又ハ信託會社ハ株主ニ對スル損害賠償ノ責ニ任ズ

第三百六十二條　資本增加ノ場合ニ於テ各新株ニ付第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付アリタルトキハ取締役ハ遲滯ナク株主總會ノ招集ヲ之ヲ新株ノ募集ニ關スル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

新株ノ引受人ハ前項ノ總會ニ於テ株主同一ノ權利ヲ有ス

第三百六十三條　引受ケ株式又ハ第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込ノ未濟ナル株式アルトキハ取締役ハ遲滯シテ其ノ株式ノ引受及ハ拂込ヲ爲ス義務ヲ負フ株式ノ申込ヲ取消サレタルトキ亦同シ

第百九十二條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十四條　會社ハ第三百五十一條ノ株主總會終結ノ日又ハ第三百五十五條第二項ノ手續終了ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ資本增加ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ニ在リテハ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　增加シタル資本ノ額

二　資本增加ノ決議ノ年月日

三　數種ノ株式アルトキハ異種類ノ株式ニ付キ發行スル株式ノ内容及數

第三百六十五條　資本增加ノ場合ニ於テハ第百七十八條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付アリタルトキハ取締役ハ遲滯ナク株主總會ノ招集ヲ之ヲ新株ノ募集ニ關スル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

新株ノ引受人ハ前項ノ總會ニ於テ株主同一ノ權利ヲ有ス

第三百六十六條　第百七十四條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十七條　第百七十五條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十八條　第百七十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十九條　第百七十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ於テ各新株ニ付第百七十七條ノ規定ニ依ル拂込及現物出資ノ給付アリタルトキハ取締役ハ遲滯ナク株主總會ノ招集ヲ之ヲ新株ノ募集ニ關スル事項ヲ報告スルコトヲ要ス

新株ノ引受人ハ前項ノ總會ニ於テ株主同一ノ權利ヲ有ス

第三百七十條　第百七十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十一條　第百七十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十二條　第百八十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十三條　第百八十一條第二項ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十四條　第百八十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十五條　第百八十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ於テ株式ノ申込ヲ取消スコトヲ得ベキ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十六條　第百八十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十七條　第百八十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十八條　第百八十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十九條　第百八十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十條　第百八十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十一條　第百八十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十二條　第百九十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十三條　第百九十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十四條　第百九十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十五條　第百九十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十六條　第百九十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十七條　第百九十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十八條　第百九十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十九條　第百九十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十條　第百九十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十一條　第百九十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十二條　第二百條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十三條　第二百一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十四條　第二百二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十五條　第二百三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十六條　第二百四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十七條　第二百五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十八條　第二百六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十九條　第二百七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百條　第二百八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百一條　第二百九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二條　第二百十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三條　第二百十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四條　第二百十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五條　第二百十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六條　第二百十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七條　第二百十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八條　第二百十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九條　第二百十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十條　第二百十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十一條　第二百十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十二條　第二百二十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十三條　第二百二十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十四條　第二百二十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十五條　第二百二十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十六條　第二百二十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十七條　第二百二十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十八條　第二百二十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百十九條　第二百二十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十條　第二百二十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十一條　第二百二十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十二條　第二百三十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十三條　第二百三十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十四條　第二百三十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十五條　第二百三十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十六條　第二百三十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十七條　第二百三十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十八條　第二百三十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百二十九條　第二百三十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十條　第二百三十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十一條　第二百三十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十二條　第二百四十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十三條　第二百四十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十四條　第二百四十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十五條　第二百四十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十六條　第二百四十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十七條　第二百四十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十八條　第二百四十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百三十九條　第二百四十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十條　第二百四十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十一條　第二百四十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十二條　第二百五十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十三條　第二百五十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十四條　第二百五十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十五條　第二百五十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十六條　第二百五十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十七條　第二百五十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十八條　第二百五十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十九條　第二百五十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十條　第二百五十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十一條　第二百五十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十二條　第二百六十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十三條　第二百六十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十四條　第二百六十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十五條　第二百六十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十六條　第二百六十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十七條　第二百六十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十八條　第二百六十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十九條　第二百六十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十條　第二百六十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十一條　第二百六十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十二條　第二百七十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十三條　第二百七十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十四條　第二百七十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十五條　第二百七十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十六條　第二百七十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十七條　第二百七十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十八條　第二百七十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百六十九條　第二百七十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十條　第二百七十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十一條　第二百七十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十二條　第二百八十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十三條　第二百八十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十四條　第二百八十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十五條　第二百八十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十六條　第二百八十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十七條　第二百八十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十八條　第二百八十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百七十九條　第二百八十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十條　第二百八十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十一條　第二百八十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十二條　第二百九十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十三條　第二百九十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十四條　第二百九十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十五條　第二百九十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十六條　第二百九十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十七條　第二百九十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十八條　第二百九十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十九條　第二百九十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十條　第二百九十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十一條　第二百九十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十二條　第三百條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十三條　第三百一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十四條　第三百二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十五條　第三百三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十六條　第三百四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十七條　第三百五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十八條　第三百六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百九十九條　第三百七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百條　第三百八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百一條　第三百九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二條　第三百十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三條　第三百十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四條　第三百十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五條　第三百十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六條　第三百十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七條　第三百十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八條　第三百十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九條　第三百十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十條　第三百十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十一條　第三百十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十二條　第三百二十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十三條　第三百二十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十四條　第三百二十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十五條　第三百二十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十六條　第三百二十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十七條　第三百二十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十八條　第三百二十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百十九條　第三百二十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十條　第三百二十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十一條　第三百二十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十二條　第三百三十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十三條　第三百三十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十四條　第三百三十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十五條　第三百三十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十六條　第三百三十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十七條　第三百三十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十八條　第三百三十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百二十九條　第三百三十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十條　第三百三十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十一條　第三百三十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十二條　第三百四十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十三條　第三百四十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十四條　第三百四十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十五條　第三百四十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十六條　第三百四十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十七條　第三百四十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十八條　第三百四十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百三十九條　第三百四十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十條　第三百四十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十一條　第三百四十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十二條　第三百五十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十三條　第三百五十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十四條　第三百五十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十五條　第三百五十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十六條　第三百五十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十七條　第三百五十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十八條　第三百五十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百四十九條　第三百五十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十條　第三百五十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十一條　第三百五十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十二條　第三百六十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十三條　第三百六十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十四條　第三百六十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十五條　第三百六十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十六條　第三百六十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十七條　第三百六十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十八條　第三百六十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百五十九條　第三百六十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十條　第三百六十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十一條　第三百六十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十二條　第三百七十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十三條　第三百七十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十四條　第三百七十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十五條　第三百七十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十六條　第三百七十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十七條　第三百七十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十八條　第三百七十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百六十九條　第三百七十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十條　第三百七十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十一條　第三百七十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十二條　第三百八十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十三條　第三百八十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十四條　第三百八十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十五條　第三百八十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十六條　第三百八十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十七條　第三百八十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十八條　第三百八十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百七十九條　第三百八十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十條　第三百八十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十一條　第三百八十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十二條　第三百九十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十三條　第三百九十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十四條　第三百九十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十五條　第三百九十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十六條　第三百九十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十七條　第三百九十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十八條　第三百九十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百八十九條　第三百九十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十條　第三百九十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十一條　第三百九十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十二條　第四百條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十三條　第四百一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十四條　第四百二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十五條　第四百三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十六條　第四百四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十七條　第四百五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十八條　第四百六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五百九十九條　第四百七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百條　第四百八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百一條　第四百九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二條　第四百十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百三條　第四百十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百四條　第四百十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百五條　第四百十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百六條　第四百十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百七條　第四百十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百八條　第四百十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百九條　第四百十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十條　第四百十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十一條　第四百十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十二條　第四百二十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十三條　第四百二十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十四條　第四百二十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十五條　第四百二十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十六條　第四百二十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十七條　第四百二十五條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十八條　第四百二十六條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百十九條　第四百二十七條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十條　第四百二十八條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十一條　第四百二十九條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十二條　第四百三十條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十三條　第四百三十一條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十四條　第四百三十二條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十五條　第四百三十三條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十六條　第四百三十四條ノ規定ハ第三百六十五條第二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第六百二十七條　第四百三十五條ノ規定ハ第三百六十五條

第
ハ條ノ規定ニ依リ裁判所ノ爲ス處分ニ對スル抗告ニ付テハ其ノ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ一週間ノ不變期間ヲ定ム

第四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條　裁判所ハ職權ヲ以テ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證據ノ申出ヲ爲サシムルコトヲ得

第七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル檢證ヲ爲シ又ハ鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ當事者本人ヲ訊問スルコトヲ得

第九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第二十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第二十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第二十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第三十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第三十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第四十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第四十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第四十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第五十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第五十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第六十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第六十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第六十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第七十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第七十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第八十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第八十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第八十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十一條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十二條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第九十三條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十四條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十五條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十六條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第九十七條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル場所ノ檢證ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十八條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル鑑定ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十九條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル證人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第百條　裁判所ハ當事者ノ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ書類ヲ保管スル者ニ其ノ送付ヲ命ズルコトヲ得

第　條　第　項　第　號　第　款　第　目　第　條ノ　項　第　號　第　款　第　目　第　條ノ　項　第　號　第　款　第　目　第　條ノ

四條」ニ改ム
第四百二十九條ヲ第六百七十八條トシ同條第二項中「第四百二十九條ヲ第六百七十八條トシ同條第一項及ヒ第三百九十九條ノ二ヲ第六百七十九條トシ同條第二項及ヒ第四百十五條」ヲ「第六百四十四條第二項及ヒ第四百十六條」ニ改ム
第四百三十條ヲ第六百七十九條トシ同條中「第四百三十條」ヲ「第六百四十五條」ニ改ム
第四百三十一條ヲ第六百八十條トシ第四百三十二條ヲ第六百八十一條トシ第四百三十三條ヲ第六百八十二條トス
第四百三十四條ヲ第六百八十三條トシ同條第一項中「第三百九十五條、第四百一條、第四百五條乃至第四百七條、第四百十一條、第四百十七條及ヒ第四百二十八條」ヲ「第六百四十三條、第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十八條乃至第六百五十一條、第六百五十三條、第六百五十四條、第六百五十六條、第六百五十八條乃至第六百六十一條、第六百六十三條、第六百六十四條、第六百六十六條、第六百六十八條乃至第六百七十一條、第六百七十三條、第六百七十四條、第六百七十六條、第六百七十八條乃至第六百八十一條、第六百八十三條、第六百八十四條、第六百八十六條、第六百八十八條乃至第六百九十一條、第六百九十三條、第六百九十四條、第六百九十六條、第六百九十八條乃至第七百一條、第七百三條、第七百四條、第七百六條、第七百八條乃至第七百十一條、第七百十三條、第七百十四條、第七百十六條、第七百十八條乃至第七百二十一條、第七百二十三條、第七百二十四條、第七百二十六條、第七百二十八條乃至第七百三十一條、第七百三十三條、第七百三十四條、第七百三十六條、第七百三十八條乃至第七百四十一條、第七百四十三條、第七百四十四條、第七百四十六條、第七百四十八條乃至第七百五十一條、第七百五十三條、第七百五十四條、第七百五十六條、第七百五十八條乃至第七百六十一條、第七百六十三條、第七百六十四條、第七百六十六條、第七百六十八條乃至第七百七十一條、第七百七十三條、第七百七十四條、第七百七十六條、第七百七十八條乃至第七百八十一條、第七百八十三條、第七百八十四條、第七百八十六條、第七百八十八條乃至第七百九十一條、第七百九十三條、第七百九十四條、第七百九十六條、第七百九十八條乃至第八百一條、第八百三條、第八百四條、第八百六條、第八百八條乃至第八百十一條、第八百十三條、第八百十四條、第八百十六條、第八百十八條乃至第八百二十一條、第八百二十三條、第八百二十四條、第八百二十六條、第八百二十八條乃至第八百三十一條、第八百三十三條、第八百三十四條、第八百三十六條、第八百三十八條乃至第八百四十一條、第八百四十三條、第八百四十四條、第八百四十六條、第八百四十八條乃至第八百五十一條、第八百五十三條、第八百五十四條、第八百五十六條、第八百五十八條乃至第八百六十一條、第八百六十三條、第八百六十四條、第八百六十六條、第八百六十八條乃至第八百七十一條、第八百七十三條、第八百七十四條、第八百七十六條、第八百七十八條乃至第八百八十一條、第八百八十三條、第八百八十四條、第八百八十六條、第八百八十八條乃至第八百九十一條、第八百九十三條、第八百九十四條、第八百九十六條、第八百九十八條乃至第九百一條、第九百三條、第九百四條、第九百六條、第九百八條乃至第九百十一條、第九百十三條、第九百十四條、第九百十六條、第九百十八條乃至第九百二十一條、第九百二十三條、第九百二十四條、第九百二十六條、第九百二十八條乃至第九百三十一條、第九百三十三條、第九百三十四條、第九百三十六條、第九百三十八條乃至第九百四十一條、第九百四十三條、第九百四十四條、第九百四十六條、第九百四十八條乃至第九百五十一條、第九百五十三條、第九百五十四條、第九百五十六條、第九百五十八條乃至第九百六十一條、第九百六十三條、第九百六十四條、第九百六十六條、第九百六十八條乃至第九百七十一條、第九百七十三條、第九百七十四條、第九百七十六條、第九百七十八條乃至第九百八十一條、第九百八十三條、第九百八十四條、第九百八十六條、第九百八十八條乃至第九百九十一條、第九百九十三條、第九百九十四條、第九百九十六條、第九百九十八條乃至第千一條、第千三條、第千四條、第千六條、第千八條乃至第千十一條、第千十三條、第千十四條、第千十六條、第千十八條乃至第千二十一條、第千二十三條、第千二十四條、第千二十六條、第千二十八條乃至第千三十一條、第千三十三條、第千三十四條、第千三十六條、第千三十八條乃至第千四十一條、第千四十三條、第千四十四條、第千四十六條、第千四十八條乃至第千五十一條、第千五十三條、第千五十四條、第千五十六條、第千五十八條乃至第千六十一條、第千六十三條、第千六十四條、第千六十六條、第千六十八條乃至第千七十一條、第千七十三條、第千七十四條、第千七十六條、第千七十八條乃至第千八十一條、第千八十三條、第千八十四條、第千八十六條、第千八十八條乃至第千九十一條、第千九十三條、第千九十四條、第千九十六條、第千九十八條乃至第二千一條、第二千三條、第二千四條、第二千六條、第二千八條乃至第二千十一條、第二千十三條、第二千十四條、第二千十六條、第二千十八條乃至第二千二十一條、第二千二十三條、第二千二十四條、第二千二十六條、第二千二十八條乃至第二千三十一條、第二千三十三條、第二千三十四條、第二千三十六條、第二千三十八條乃至第二千四十一條、第二千四十三條、第二千四十四條、第二千四十六條、第二千四十八條乃至第二千五十一條、第二千五十三條、第二千五十四條、第二千五十六條、第二千五十八條乃至第二千六十一條、第二千六十三條、第二千六十四條、第二千六十六條、第二千六十八條乃至第二千七十一條、第二千七十三條、第二千七十四條、第二千七十六條、第二千七十八條乃至第二千八十一條、第二千八十三條、第二千八十四條、第二千八十六條、第二千八十八條乃至第二千九十一條、第二千九十三條、第二千九十四條、第二千九十六條、第二千九十八條乃至第三千一條、第三千三條、第三千四條、第三千六條、第三千八條乃至第三千十一條、第三千十三條、第三千十四條、第三千十六條、第三千十八條乃至第三千二十一條、第三千二十三條、第三千二十四條、第三千二十六條、第三千二十八條乃至第三千三十一條、第三千三十三條、第三千三十四條、第三千三十六條、第三千三十八條乃至第三千四十一條、第三千四十三條、第三千四十四條、第三千四十六條、第三千四十八條乃至第三千五十一條、第三千五十三條、第三千五十四條、第三千五十六條、第三千五十八條乃至第三千六十一條、第三千六十三條、第三千六十四條、第三千六十六條、第三千六十八條乃至第三千七十一條、第三千七十三條、第三千七十四條、第三千七十六條、第三千七十八條乃至第三千八十一條、第三千八十三條、第三千八十四條、第三千八十六條、第三千八十八條乃至第三千九十一條、第三千九十三條、第三千九十四條、第三千九十六條、第三千九十八條乃至第四千一條、第四千三條、第四千四條、第四千六條、第四千八條乃至第四千十一條、第四千十三條、第四千十四條、第四千十六條、第四千十八條乃至第四千二十一條、第四千二十三條、第四千二十四條、第四千二十六條、第四千二十八條乃至第四千三十一條、第四千三十三條、第四千三十四條、第四千三十六條、第四千三十八條乃至第四千四十一條、第四千四十三條、第四千四十四條、第四千四十六條、第四千四十八條乃至第四千五十一條、第四千五十三條、第四千五十四條、第四千五十六條、第四千五十八條乃至第四千六十一條、第四千六十三條、第四千六十四條、第四千六十六條、第四千六十八條乃至第四千七十一條、第四千七十三條、第四千七十四條、第四千七十六條、第四千七十八條乃至第四千八十一條、第四千八十三條、第四千八十四條、第四千八十六條、第四千八十八條乃至第四千九十一條、第四千九十三條、第四千九十四條、第四千九十六條、第四千九十八條乃至第五千一條、第五千三條、第五千四條、第五千六條、第五千八條乃至第五千十一條、第五千十三條、第五千十四條、第五千十六條、第五千十八條乃至第五千二十一條、第五千二十三條、第五千二十四條、第五千二十六條、第五千二十八條乃至第五千三十一條、第五千三十三條、第五千三十四條、第五千三十六條、第五千三十八條乃至第五千四十一條、第五千四十三條、第五千四十四條、第五千四十六條、第五千四十八條乃至第五千五十一條、第五千五十三條、第五千五十四條、第五千五十六條、第五千五十八條乃至第五千六十一條、第五千六十三條、第五千六十四條、第五千六十六條、第五千六十八條乃至第五千七十一條、第五千七十三條、第五千七十四條、第五千七十六條、第五千七十八條乃至第五千八十一條、第五千八十三條、第五千八十四條、第五千八十六條、第五千八十八條乃至第五千九十一條、第五千九十三條、第五千九十四條、第五千九十六條、第五千九十八條乃至第六千一條、第六千三條、第六千四條、第六千六條、第六千八條乃至第六千十一條、第六千十三條、第六千十四條、第六千十六條、第六千十八條乃至第六千二十一條、第六千二十三條、第六千二十四條、第六千二十六條、第六千二十八條乃至第六千三十一條、第六千三十三條、第六千三十四條、第六千三十六條、第六千三十八條乃至第六千四十一條、第六千四十三條、第六千四十四條、第六千四十六條、第六千四十八條乃至第六千五十一條、第六千五十三條、第六千五十四條、第六千五十六條、第六千五十八條乃至第六千六十一條、第六千六十三條、第六千六十四條、第六千六十六條、第六千六十八條乃至第六千七十一條、第六千七十三條、第六千七十四條、第六千七十六條、第六千七十八條乃至第六千八十一條、第六千八十三條、第六千八十四條、第六千八十六條、第六千八十八條乃至第六千九十一條、第六千九十三條、第六千九十四條、第六千九十六條、第六千九十八條乃至第七千一條、第七千三條、第七千四條、第七千六條、第七千八條乃至第七千十一條、第七千十三條、第七千十四條、第七千十六條、第七千十八條乃至第七千二十一條、第七千二十三條、第七千二十四條、第七千二十六條、第七千二十八條乃至第七千三十一條、第七千三十三條、第七千三十四條、第七千三十六條、第七千三十八條乃至第七千四十一條、第七千四十三條、第七千四十四條、第七千四十六條、第七千四十八條乃至第七千五十一條、第七千五十三條、第七千五十四條、第七千五十六條、第七千五十八條乃至第七千六十一條、第七千六十三條、第七千六十四條、第七千六十六條、第七千六十八條乃至第七千七十一條、第七千七十三條、第七千七十四條、第七千七十六條、第七千七十八條乃至第七千八十一條、第七千八十三條、第七千八十四條、第七千八十六條、第七千八十八條乃至第七千九十一條、第七千九十三條、第七千九十四條、第七千九十六條、第七千九十八條乃至第八千一條、第八千三條、第八千四條、第八千六條、第八千八條乃至第八千十一條、第八千十三條、第八千十四條、第八千十六條、第八千十八條乃至第八千二十一條、第八千二十三條、第八千二十四條、第八千二十六條、第八千二十八條乃至第八千三十一條、第八千三十三條、第八千三十四條、第八千三十六條、第八千三十八條乃至第八千四十一條、第八千四十三條、第八千四十四條、第八千四十六條、第八千四十八條乃至第八千五十一條、第八千五十三條、第八千五十四條、第八千五十六條、第八千五十八條乃至第八千六十一條、第八千六十三條、第八千六十四條、第八千六十六條、第八千六十八條乃至第八千七十一條、第八千七十三條、第八千七十四條、第八千七十六條、第八千七十八條乃至第八千八十一條、第八千八十三條、第八千八十四條、第八千八十六條、第八千八十八條乃至第八千九十一條、第八千九十三條、第八千九十四條、第八千九十六條、第八千九十八條乃至第九千一條、第九千三條、第九千四條、第九千六條、第九千八條乃至第九千十一條、第九千十三條、第九千十四條、第九千十六條、第九千十八條乃至第九千二十一條、第九千二十三條、第九千二十四條、第九千二十六條、第九千二十八條乃至第九千三十一條、第九千三十三條、第九千三十四條、第九千三十六條、第九千三十八條乃至第九千四十一條、第九千四十三條、第九千四十四條、第九千四十六條、第九千四十八條乃至第九千五十一條、第九千五十三條、第九千五十四條、第九千五十六條、第九千五十八條乃至第九千六十一條、第九千六十三條、第九千六十四條、第九千六十六條、第九千六十八條乃至第九千七十一條、第九千七十三條、第九千七十四條、第九千七十六條、第九千七十八條乃至第九千八十一條、第九千八十三條、第九千八十四條、第九千八十六條、第九千八十八條乃至第九千九十一條、第九千九十三條、第九千九十四條、第九千九十六條、第九千九十八條乃至第一萬一條、第一萬三條、第一萬四條、第一萬六條、第一萬八條乃至第一萬十一條、第一萬十三條、第一萬十四條、第一萬十六條、第一萬十八條乃至第一萬二十一條、第一萬二十三條、第一萬二十四條、第一萬二十六條、第一萬二十八條乃至第一萬三十一條、第一萬三十三條、第一萬三十四條、第一萬三十六條、第一萬三十八條乃至第一萬四十一條、第一萬四十三條、第一萬四十四條、第一萬四十六條、第一萬四十八條乃至第一萬五十一條、第一萬五十三條、第一萬五十四條、第一萬五十六條、第一萬五十八條乃至第一萬六十一條、第一萬六十三條、第一萬六十四條、第一萬六十六條、第一萬六十八條乃至第一萬七十一條、第一萬七十三條、第一萬七十四條、第一萬七十六條、第一萬七十八條乃至第一萬八十一條、第一萬八十三條、第一萬八十四條、第一萬八十六條、第一萬八十八條乃至第一萬九十一條、第一萬九十三條、第一萬九十四條、第一萬九十六條、第一萬九十八條乃至第二萬一條、第二萬三條、第二萬四條、第二萬六條、第二萬八條乃至第二萬十一條、第二萬十三條、第二萬十四條、第二萬十六條、第二萬十八條乃至第二萬二十一條、第二萬二十三條、第二萬二十四條、第二萬二十六條、第二萬二十八條乃至第二萬三十一條、第二萬三十三條、第二萬三十四條、第二萬三十六條、第二萬三十八條乃至第二萬四十一條、第二萬四十三條、第二萬四十四條、第二萬四十六條、第二萬四十八條乃至第二萬五十一條、第二萬五十三條、第二萬五十四條、第二萬五十六條、第二萬五十八條乃至第二萬六十一條、第二萬六十三條、第二萬六十四條、第二萬六十六條、第二萬六十八條乃至第二萬七十一條、第二萬七十三條、第二萬七十四條、第二萬七十六條、第二萬七十八條乃至第二萬八十一條、第二萬八十三條、第二萬八十四條、第二萬八十六條、第二萬八十八條乃至第二萬九十一條、第二萬九十三條、第二萬九十四條、第二萬九十六條、第二萬九十八條乃至第三萬一條、第三萬三條、第三萬四條、第三萬六條、第三萬八條乃至第三萬十一條、第三萬十三條、第三萬十四條、第三萬十六條、第三萬十八條乃至第三萬二十一條、第三萬二十三條、第三萬二十四條、第三萬二十六條、第三萬二十八條乃至第三萬三十一條、第三萬三十三條、第三萬三十四條、第三萬三十六條、第三萬三十八條乃至第三萬四十一條、第三萬四十三條、第三萬四十四條、第三萬四十六條、第三萬四十八條乃至第三萬五十一條、第三萬五十三條、第三萬五十四條、第三萬五十六條、第三萬五十八條乃至第三萬六十一條、第三萬六十三條、第三萬六十四條、第三萬六十六條、第三萬六十八條乃至第三萬七十一條、第三萬七十三條、第三萬七十四條、第三萬七十六條、第三萬七十八條乃至第三萬八十一條、第三萬八十三條、第三萬八十四條、第三萬八十六條、第三萬八十八條乃至第三萬九十一條、第三萬九十三條、第三萬九十四條、第三萬九十六條、第三萬九十八條乃至第四萬一條、第四萬三條、第四萬四條、第四萬六條、第四萬八條乃至第四萬十一條、第四萬十三條、第四萬十四條、第四萬十六條、第四萬十八條乃至第四萬二十一條、第四萬二十三條、第四萬二十四條、第四萬二十六條、第四萬二十八條乃至第四萬三十一條、第四萬三十三條、第四萬三十四條、第四萬三十六條、第四萬三十八條乃至第四萬四十一條、第四萬四十三條、第四萬四十四條、第四萬四十六條、第四萬四十八條乃至第四萬五十一條、第四萬五十三條、第四萬五十四條、第四萬五十六條、第四萬五十八條乃至第四萬六十一條、第四萬六十三條、第四萬六十四條、第四萬六十六條、第四萬六十八條乃至第四萬七十一條、第四萬七十三條、第四萬七十四條、第四萬七十六條、第四萬七十八條乃至第四萬八十一條、第四萬八十三條、第四萬八十四條、第四萬八十六條、第四萬八十八條乃至第四萬九十一條、第四萬九十三條、第四萬九十四條、第四萬九十六條、第四萬九十八條乃至第五萬一條、第五萬三條、第五萬四條、第五萬六條、第五萬八條乃至第五萬十一條、第五萬十三條、第五萬十四條、第五萬十六條、第五萬十八條乃至第五萬二十一條、第五萬二十三條、第五萬二十四條、第五萬二十六條、第五萬二十八條乃至第五萬三十一條、第五萬三十三條、第五萬三十四條、第五萬三十六條、第五萬三十八條乃至第五萬四十一條、第五萬四十三條、第五萬四十四條、第五萬四十六條、第五萬四十八條乃至第五萬五十一條、第五萬五十三條、第五萬五十四條、第五萬五十六條、第五萬五十八條乃至第五萬六十一條、第五萬六十三條、第五萬六十四條、第五萬六十六條、第五萬六十八條乃至第五萬七十一條、第五萬七十三條、第五萬七十四條、第五萬七十六條、第五萬七十八條乃至第五萬八十一條、第五萬八十三條、第五萬八十四條、第五萬八十六條、第五萬八十八條乃至第五萬九十一條、第五萬九十三條、第五萬九十四條、第五萬九十六條、第五萬九十八條乃至第六萬一條、第六萬三條、第六萬四條、第六萬六條、第六萬八條乃至第六萬十一條、第六萬十三條、第六萬十四條、第六萬十六條、第六萬十八條乃至第六萬二十一條、第六萬二十三條、第六萬二十四條、第六萬二十六條、第六萬二十八條乃至第六萬三十一條、第六萬三十三條、第六萬三十四條、第六萬三十六條、第六萬三十八條乃至第六萬四十一條、第六萬四十三條、第六萬四十四條、第六萬四十六條、第六萬四十八條乃至第六萬五十一條、第六萬五十三條、第六萬五十四條、第六萬五十六條、第六萬五十八條乃至第六萬六十一條、第六萬六十三條、第六萬六十四條、第六萬六十六條、第六萬六十八條乃至第六萬七十一條、第六萬七十三條、第六萬七十四條、第六萬七十六條、第六萬七十八條乃至第六萬八十一條、第六萬八十三條、第六萬八十四條、第六萬八十六條、第六萬八十八條乃至第六萬九十一條、第六萬九十三條、第六萬九十四條、第六萬九十六條、第六萬九十八條乃至第七萬一條、第七萬三條、第七萬四條、第七萬六條、第七萬八條乃至第七萬十一條、第七萬十三條、第七萬十四條、第七萬十六條、第七萬十八條乃至第七萬二十一條、第七萬二十三條、第七萬二十四條、第七萬二十六條、第七萬二十八條乃至第七萬三十一條、第七萬三十三條、第七萬三十四條、第七萬三十六條、第七萬三十八條乃至第七萬四十一條、第七萬四十三條、第七萬四十四條、第七萬四十六條、第七萬四十八條乃至第七萬五十一條、第七萬五十三條、第七萬五十四條、第七萬五十六條、第七萬五十八條乃至第七萬六十一條、第七萬六十三條、第七萬六十四條、第七萬六十六條、第七萬六十八條乃至第七萬七十一條、第七萬七十三條、第七萬七十四條、第七萬七十六條、第七萬七十八條乃至第七萬八十一條、第七萬八十三條、第七萬八十四條、第七萬八十六條、第七萬八十八條乃至第七萬九十一條、第七萬九十三條、第七萬九十四條、第七萬九十六條、第七萬九十八條乃至第八萬一條、第八萬三條、第八萬四條、第八萬六條、第八萬八條乃至第八萬十一條、第八萬十三條、第八萬十四條、第八萬十六條、第八萬十八條乃至第八萬二十一條、第八萬二十三條、第八萬二十四條、第八萬二十六條、第八萬二十八條乃至第八萬三十一條、第八萬三十三條、第八萬三十四條、第八萬三十六條、第八萬三十八條乃至第八萬四十一條、第八萬四十三條、第八萬四十四條、第八萬四十六條、第八萬四十八條乃至第八萬五十一條、第八萬五十三條、第八萬五十四條、第八萬五十六條、第八萬五十八條乃至第八萬六十一條、第八萬六十三條、第八萬六十四條、第八萬六十六條、第八萬六十八條乃至第八萬七十一條、第八萬七十三條、第八萬七十四條、第八萬七十六條、第八萬七十八條乃至第八萬八十一條、第八萬八十三條、第八萬八十四條、第八萬八十六條、第八萬八十八條乃至第八萬九十一條、第八萬九十三條、第八萬九十四條、第八萬九十六條、第八萬九十八條乃至第九萬一條、第九萬三條、第九萬四條、第九萬六條、第九萬八條乃至第九萬十一條、第九萬十三條、第九萬十四條、第九萬十六條、第九萬十八條乃至第九萬二十一條、第九萬二十三條、第九萬二十四條、第九萬二十六條、第九萬二十八條乃至第九萬三十一條、第九萬三十三條、第九萬三十四條、第九萬三十六條、第九萬三十八條乃至第九萬四十一條、第九萬四十三條、第九萬四十四條、第九萬四十六條、第九萬四十八條乃至第九萬五十一條、第九萬五十三條、第九萬五十四條、第九萬五十六條、第九萬五十八條乃至第九萬六十一條、第九萬六十三條、第九萬六十四條、第九萬六十六條、第九萬六十八條乃至第九萬七十一條、第九萬七十三條、第九萬七十四條、第九萬七十六條、第九萬七十八條乃至第九萬八十一條、第九萬八十三條、第九萬八十四條、第九萬八十六條、第九萬八十八條乃至第九萬九十一條、第九萬九十三條、第九萬九十四條、第九萬九十六條、第九萬九十八條乃至第十萬一條、第十萬三條、第十萬四條、第十萬六條、第十萬八條乃至第十萬十一條、第十萬十三條、第十萬十四條、第十萬十六條、第十萬十八條乃至第十萬二十一條、第十萬二十三條、第十萬二十四條、第十萬二十六條、第十萬二十八條乃至第十萬三十一條、第十萬三十三條、第十萬三十四條、第十萬三十六條、第十萬三十八條乃至第十萬四十一條、第十萬四十三條、第十萬四十四條、第十萬四十六條、第十萬四十八條乃至第十萬五十一條、第十萬五十三條、第十萬五十四條、第十萬五十六條、第十萬五十八條乃至第十萬六十一條、第十萬六十三條、第十萬六十四條、第十萬六十六條、第十萬六十八條乃至第十萬七十一條、第十萬七十三條、第十萬七十四條、第十萬七十六條、第十萬七十八條乃至第十萬八十一條、第十萬八十三條、第十萬八十四條、第十萬八十六條、第十萬八十八條乃至第十萬九十一條、第十萬九十三條、第十萬九十四條、第十萬九十六條、第十萬九十八條乃至第十一萬一條、第十一萬三條、第十一萬四條、第十一萬六條、第十一萬八條乃至第十一萬十一條、第十一萬十三條、第十一萬十四條、第十一萬十六條、第十一萬十八條乃至第十一萬二十一條、第十一萬二十三條、第十一萬二十四條、第十一萬二十六條、第十一萬二十八條乃至第十一萬三十一條、第十一萬三十三條、第十一萬三十四條、第十一萬三十六條、第十一萬三十八條乃至第十一萬四十一條、第十一萬四十三條、第十一萬四十四條、第十一萬四十六條、第十一萬四十八條乃至第十一萬五十一條、第十一萬五十三條、第十一萬五十四條、第十一萬五十六條、第十一萬五十八條乃至第十一萬六十一條、第十一萬六十三條、第十一萬六十四條、第十一萬六十六條、第十一萬六十八條乃至第十一萬七十一條、第十一萬七十三條、第十一萬七十四條、第十一萬七十六條、第十一萬七十八條乃至第十一萬八十一條、第十一萬八十三條、第十一萬八十四條、第十一萬八十六條、第十一萬八十八條乃至第十一萬九十一條、第十一萬九十三條、第十一萬九十四條、第十一萬九十六條、第十一萬九十八條乃至第十二萬一條、第十二萬三條、第十二萬四條、第十二萬六條、第十二萬八條乃至第十二萬十一條、第十二萬十三條、第十二萬十四條、第十二萬十六條、第十二萬十八條乃至第十二萬二十一條、第十二萬二十三條、第十二萬二十四條、第十二萬二十六條、第十二萬二十八條乃至第十二萬三十一條、第十二萬三十三條、第十二萬三十四條、第十二萬三十六條、第十二萬三十八條乃至第十二萬四十一條、第十二萬四十三條、第十二萬四十四條、第十二萬四十六條、第十二萬四十八條乃至第十二萬五十一條、第十二萬五十三條、第十二萬五十四條、第十二萬五十六條、第十二萬五十八條乃至第十二萬六十一條、第十二萬六十三條、第十二萬六十四條、第十二萬六十六條、第十二萬六十八條乃至第十二萬七十一條、第十二萬七十三條、第十二萬七十四條、第十二萬七十六條、第十二萬七十八條乃至第十二萬八十一條、第十二萬八十三條、第十二萬八十四條、第十二萬八十六條、第十二萬八十八條乃至第十二萬九十一條、第十二萬九十三條、第十二萬九十四條、第十二萬九十六條、第十二萬九十八條乃至第十三萬一條、第十三萬三條、第十三萬四條、第十三萬六條、第十三萬八條乃至第十三萬十一條、第十三萬十三條、第十三萬十四條、第十三萬十六條、第十三萬十八條乃至第十三萬二十一條、第十三萬二十三條、第十三萬二十四條、第十三萬二十六條、第十三萬二十八條乃至第十三萬三十一條、第十三萬三十三條、第十三萬三十四條、第十三萬三十六條、第十三萬三十八條乃至第十三萬四十一條、第十三萬四十三條、第十三萬四十四條、第十三萬四十六條、第十三萬四十八條乃至第十三萬五十一條、第十三萬五十三條、第十三萬五十四條、第十三萬五十六條、第十三萬五十八條乃至第十三萬六十一條、第十三萬六十三條、第十三萬六十四條、第十三萬六十六條、第十三萬六十八條乃至第十三萬七十一條、第十三萬七十三條、第十三萬七十四條、第十三萬七十六條、第十三萬七十八條乃至第十三萬八十一條、第十三萬八十三條、第十三萬八十四條、第十三萬八十六條、第十三萬八十八條乃至第十三萬九十一條、第十三萬九十三條、第十三萬九十四條、第十三萬九十六條、第十三萬九十八條乃至第十四萬一條、第十四萬三條、第十四萬四條、第十四萬六條、第十四萬八條乃至第十四萬十一條、第十四萬十三條、第十四萬十四條、第十四萬十六條、第十四萬十八條乃至第十四萬二十一條、第十四萬二十三條、第十四萬二十四條、第十四萬二十六條、第十四萬二十八條乃至第十四萬三十一條、第十四萬三十三條、第十四萬三十四條、第十四萬三十六條、第十四萬三十八條乃至第十四萬四十一條、第十四萬四十三條、第十四萬四十四條、第十四萬四十六條、第十四萬四十八條乃至第十四萬五十一條、第十四萬五十三條、第十四萬五十四條、第十四萬五十六條、第十四萬五十八條乃至第十四萬六十一條、第十四萬六十三條、第十四萬六十四條、第十四萬六十六條、第十四萬六十八條乃至第十四萬七十一條、第十四萬七十三條、第十四萬七十四條、第十四萬七十六條、第十四萬七十八條乃至第十四萬八十一條、第十四萬八十三條、第十四萬八十四條、第十四萬八十六條、第十四萬八十八條乃至第十四萬九十一條、第十四萬九十三條、第十四萬九十四條、第十四萬九十六條、第十四萬九十八條乃至第十五萬一條、第十五萬三條、第十五萬四條、第十五萬六條、第十五萬八條乃至第十五萬十一條、第十五萬十三條、第十五萬十四條、第十五萬十六條、第十五萬十八條乃至第十五萬二十一條、第十五萬二十三條、第十五萬二十四條、第十五萬二十六條、第十五萬二十八條乃至第十五萬三十一條、第十五萬三十三條、第十五萬三十四條、第十五萬三十六條、第十五萬三十八條乃至第十五萬四十一條、第十五萬四十三條、第十五萬四十四條、第十五萬四十六條、第十五萬四十八條乃至第十五萬五十一條、第十五萬五十三條、第十五萬五十四條、第十五萬五十六條、第十五萬五十八條乃至第十五萬六十一條、第十五萬六十三條、第十五萬六十四條、第十五萬六十六條、第十五萬六十八條乃至第十五萬七十一條、第十五萬七十三條、第十五萬七十四條、第十五萬七十六條、第十五萬七十八條乃至第十五萬八十一條、第十五萬八十三條、第十五萬八十四條、第十五萬八十六條、第十五萬八十八條乃至第十五萬九十一條、第十五萬九十三條、第十五萬九十四條、第十五萬九十六條、第十五萬九十八條乃至第十六萬一條、第十六萬三條、第十六萬四條、第十六萬六條、第十六萬八條乃至第十六萬十一條、第十六萬十三條、第十六萬十四條、第十六萬十六條、第十六萬十八條乃至第十六萬二十一條、第十六萬二十三條、第十六萬二十四條、第十六萬二十六條、第十六萬二十八條乃至第十六萬三十一條、第十六萬三十三條、第十六萬三十四條、第十六萬三十六條、第十六萬三十八條乃至第十六萬四十一條、第十六萬四十三條、第十六萬四十四條、第十六萬四十六條、第十六萬四十八條乃至第十六萬五十一條、第十六萬五十三條、第十六萬五十四條、第十六萬五十六條、第十六萬五十八條乃至第十六萬六十一條、第十六萬六十三條、第十六萬六十四條、第十六萬六十六條、第十六萬六十八條乃至第十六萬七十一條、第十六萬七十三條、第十六萬七十四條、第十六萬七十六條、第十六萬七十八條乃至第十六萬八十一條、第十六萬八十三條、第十六萬八十四條、第十六萬八十六條、第十六萬八十八條乃至第十六萬九十一條、第十六萬九十三條、第十六萬九十四條、第十六萬九十六條、第十六萬九十八條乃至第十七萬一條、第十七萬三條、第十七萬四條、第十七萬六條、第十七萬八條乃至第十七萬十一條、第十七萬十三條、第十七萬十四條、第十七萬十六條、第十七萬十八條乃至第十七萬二十一條、第十七萬二十三條、第十七萬二十四條、第十七萬二十六條、第十七萬二十八條乃至第十七萬三十一條、第十七萬三十三條、第十七萬三十四條、第十七萬三十六條、第十七萬三十八條乃至第十七萬四十一條、第十七萬四十三條、第十七萬四十四條、第十七萬四十六條、第十七萬四十八條乃至第十七萬五十一條、第十七萬五十三條、第十七萬五十四條、第十七萬五十六條、第十七萬五十八條乃至第十七萬六十一條、第十七萬六十三條、第十七萬六十四條、第十七萬六十六條、第十七萬六十八條乃至第十七萬七十一條、第十七萬七十三條、第十七萬七十四條、第十七萬七十六條、第十七萬七十八條乃至第十七萬八十一條、第十七萬八十三條、第十七萬八十四條、第十七萬八十六條、第十七萬八十八條乃至第十七萬九十一條、第十七萬九十三條、第十七萬九十四條、第十七萬九十六條、第十七萬九十八條乃至第十八萬一條、第十八萬三條、第十八萬四條、第十八萬六條、第十八萬八條乃至第十八萬十一條、第十八萬十三條、第十八萬十四條、第十八萬十六條、第十八萬十八條乃至第十八萬二十一條、第十八萬二十三條、第十八萬二十四條、第十八萬二十六條、第十八萬二十八條乃至第十八萬三十一條、第十八萬三十三條、第十八萬三十四條、第十八萬三十六條、第十八萬三十八條乃至第十八萬四十一條、第十八萬四十三條、第十八萬四十四條、第十八萬四十六條、第十八萬四十八條乃至第十八萬五十一條、第十八萬五十三條、第十八萬五十四條、第十八萬五十六條、第十八萬五十八條乃至第十八萬六十一條、第十八萬六十三條、第十八萬六十四條、第十八萬六十六條、第十八萬六十八條乃至第十八萬七十一條、第十八萬七十三條、第十八萬七十四條、第十八萬七十六條、第十八萬七十八條乃至第十八萬八十一條、第十八萬八十三條、第十八萬八十四條、第十八萬八十六條、第十八萬八十八條乃至第十八萬九十一條、第十八萬九十三條、第十八萬九十四條、第十八萬九十六條、第十八萬九十八條乃至第十九萬一條、第十九萬三條、第十九萬四條、第十九萬六條、第十九萬八條乃至第十九萬十一條、第十九萬十三條、第十九萬十四條、第十九萬十六條、第十九萬十八條乃至第十九萬二十一條、第十九萬二十三條、第十九萬二十四條、第十九萬二十六條、第十九萬二十八條乃至第十九萬三十一條、第十九萬三十三條、第十九萬三十四條、第十九萬三十六條、第十九萬三十八條乃至第十九萬四十一條、第十九萬四十三條、第十九萬四十四條、第十九萬四十六條、第十九萬四十八條乃至第十九萬五十一條、第十九萬五十三條、第十九萬五十四條、第十九萬五十六條、第十九萬五十八條乃至第十九萬六十一條、第十九萬六十三條、第十九萬六十四條、第十九萬六十六條、第十九萬六十八條乃至第十九萬七十一條、第十九萬七十三條、第十九萬七十四條、第十九萬七十六條、第十九萬七十八條乃至第十九萬八十一條、第十九萬八十三條、第十九萬八十四條、第十九萬八十六條、第十九萬八十八條乃至第十九萬九十一條、第十九萬九十三條、第十九萬九十四條、第十九萬九十六條、第十九萬九十八條乃至第二十萬一條、第二十萬三條、第二十萬四條、第二十萬六條、第二十萬八條乃至第二十萬十一條、第二十萬十三條、第二十萬十四條、第二十萬十六條、第二十萬十八條乃至第二十萬二十一條、第二十萬二十三條、第二十萬二十四條、第二十萬二十六條、第二十萬二十八條乃至第二十萬三十一條、第二十萬三十三條、第二十萬三十四條、第二十萬三十六條、第二十萬三十八條乃至第二十萬四十一條、第二十萬四十三條、第二十萬四十四條、第二十萬四十六條、第二十萬四十八條乃至第二十萬五十一條、第二十萬五十三條、第二十萬五十四條、第二十萬五十六條、第二十萬五十八條乃至第二十萬六十一條、第二十萬六十三條、第二十萬六十四條、第二十萬六十六條、第二十萬六十八條乃至第二十萬七十一條、第二十萬七十三條、第二十萬七十四條、第二十萬七十六條、第二十萬七十八條乃至第二十萬八十一條、第二十萬八十三條、第二十萬八十四條、第二十萬八十六條、第二十萬八十八條乃至第二十萬九十一條、第二十萬九十三條、第二十萬九十四條、第二十萬九十六條、第二十萬九十八條乃至第二十一萬一條、第二十一萬三條、第二十一萬四條、第二十一萬六條、第二十一萬八條乃至第二十一萬十一條、第二十一萬十三條、第二十一萬十四條、第二十一萬十六條、第二十一萬十八條乃至第二十一萬二十一條、第二十一萬二十三條、第二十一萬二十四條、第二十一萬二十六條、第二十一萬二十八條乃至第二十一萬三十一條、第二十一萬三十三條、第二十一萬三十四條、第二十一萬三十六條、第二十一萬三十八條乃至第二十一萬四十一條、第二十一萬四十三條、第二十一萬四十四條、第二十一萬四十六條、第二十一萬四十八條乃至第二十一萬五十一條、第二十一萬五十三條、第二十一萬五十四條、第二十一萬五十六條、第二十一萬五十八條乃至第二十一萬六十一條、第二十一萬六十三條、第二十一萬六十四條、第二十一萬六十六條、第二十一萬六十八條乃至第二十一萬七十一條、第二十一萬七十三條、第二十一萬七十四條、第二十一萬七十六條、第二十一萬七十八條乃至第二十一萬八十一條、第二十一萬八十三條、第二十一萬八十四條、第二十一萬八十六條、第二十一萬八十八條乃至第二十一萬九十一條、第二十一萬九十三條、第二十一萬九十四條、第二十一萬九十六條、第二十一萬九十八條乃至第二十二萬一條、第二十二萬三條、第二十二萬四條、第二十二萬六條、第二十二萬八條乃至第二十二萬十一條、第二十二萬十三條、第二十二萬十四條、第二十二萬十六條、第二十二萬十八條乃至第二十二萬二十一條、第二十二萬二十三條、第二十二萬二十四條、第二十二萬二十六條、第二十二萬二十八條乃至第二十二萬三十一條、第二十二萬三十三條、第二十二萬三十四條、第二十二萬三十六條、第二十二萬三十八條乃至第二十二萬四十一條、第二十二萬四十三條、第二十二萬四十四條、第二十二萬四十六條、第二十二萬四十八條乃至第二十二萬五十一條、第二十二萬五十三條、第二十二萬五十四條、第二十二萬五十六條、第二十二萬五十八條乃至第二十二萬六十一條、第二十二萬六十三條、第二十二

第二十一條　商法中代理商ニ關スル規定ハ商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ定メタル代理商ニモ亦之ヲ適用ス

第二十二條　商法中會社ニ關スル規定ハ本法ニ別段ノ定メアル場合ヲ除ク外商法施行ノ日ヨリ其施行前ニ設立シタル會社ニモ亦之ヲ適用ス

第二十三條　商法第四十七條ニ定メタル期間ハ商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル會社ニ付テハ其施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十四條　商法施行前ニ設立シタル合名會社ニシテ未タ設立ノ登記ヲ爲ササルモノハ商法施行ノ日ヨリ一个月内ニ商法ノ規定ニ從ヒテ定款ヲ作リ且商法第五十一條第一項ニ定メタル登記ヲ爲スコトヲ要ス

第二十五條　商法施行前ニ本店ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲シタル合名會社ハ商法施行ノ日ヨリ一个月内ニ本店ノ所在地ニ於テハ支店、支店ノ所在地ニ於テハ本店竝ニ他ノ支店及ヒ社員ノ出資ノ種類竝ニ財産ヲ目的トスル出資ノ價格ヲ登記スルコトヲ要ス

第二十六條　商法第五十一條第二項、第三項及ヒ第五十二條ノ規定ハ合名會社カ設立ノ登記ヲ爲シタル後商法施行前ニ支店ヲ設ケ又ハ其本店若クハ支店ヲ移轉シタル場合ニ之ヲ準用ス但商法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第二十七條　會社ノ業務ヲ執行スル社員カ前二條ノ規定ニ依リ爲スヘキ登記ヲ怠リタルトキハ五圓以上五十圓以下ノ過料ニ處セラル

第二十八條　商法第三百三十四條ノ規定ハ合資會社カ設立ノ登記ヲ爲シタル後商法施行前ニ無限責任社員ノ加入又ハ其出資ノ種類若クハ價額ノ變更アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條　商法第七十一條ノ規定ハ商法施行前ニ設立シタル合名會社ニモ亦之ヲ適用ス

第三十條　合名會社ノ目的タル事業ノ成功カ商法施行前ニ不能トナリタルトキハ裁判所カ解散ヲ命シタル場合ヲ除ク外合名會社ハ商法ノ施行ト同時ニ解散シタルモノト看做ス

第三十一條　合名會社カ商法施行前ニ解散シタル場合ニ於テ未タ清算人ヲ選任セサルトキハ其施行ノ日ヨリ二週間内ニ商法第七十六條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三十二條　合名會社カ商法施行前ニ解散シタル場合ニ於テ既ニ清算人ヲ選任シタルトキハ其施行ノ日ヨリ二週間内ニ商法第七十六條及ヒ第九十條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條　商法第七十八條第二項ノ規定ニ依リ爲スヘキ公告ハ裁判所カ爲スヘキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三十四條　合名會社カ商法施行前ニ解散シタル場合ニ於テ未タ清算人ヲ選任セサルトキハ總社員ノ同意ヲ以テ會社財産ノ處分方法ヲ定ムルコトヲ得此場合ニ於テハ商法施行ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルコトヲ要ス

商法第七十八條第二項、第七十九條及ヒ第八十條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條　合名會社カ商法施行前ニ解散ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ清算ハ舊商法ノ規定ニ依リテ之ヲ爲ス

第三十六條　合名會社ニ於テ商法施行前ニ清算人ノ解任又ハ變更アリタルトキハ其施行ノ日ヨリ二週間内ニ商法第九十七條ノ規定ニ從ヒテ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第三十七條　商法第百三條ノ規定ハ商法施行前ニ解散シタル合名會社ニモ亦之ヲ適用ス

第三十八條　商法施行前ニ設立シタル合資會社ニハ舊商法ノ規定ヲ適用ス

第三十九條　商法施行前ニ設立シタル合資會社ハ其取引ニ關スル一切ノ書類ニ商法施行前ニ設立シタル會社タルコトヲ示スコトヲ要ス

第四十條　商法施行前ニ設立シタル合資會社ハ舊商法第五十一條第二項ノ規定ニ從ヒ其組織ヲ變更シテ之ヲ商法ニ定メタル合資會社ト爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ總會ハ直チニ新會社ノ組織ニ必要ナル事項ヲ決議スルコトヲ要ス

第四十一條　商法第七十八條、第七十九條第一項、第二項及ヒ第二百五十四條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十二條　商法施行前ニ設立シタル合資會社ハ商法ノ規定ニ從ヒテ合併ヲ爲スコトヲ得但合併後存續シ又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ハ商法ニ定メタル種類ノ一タルコトヲ要ス

合併ノ決議ハ舊商法第五十一條第二項ノ規定ニ依ル非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四十三條　商法施行前ニ發起ノ認可ヲ得タル株式會社ニ於テハ其發起人ハ七人以上ナルコトヲ要セス

第四十四條　商法施行前ニ發起ノ認可ヲ得タル株式會社ニ於テハ總會ニ於テ商法施行後ニ新ニ發行スル株式ノ全部又ハ一部ヲ引受ケシムル爲メ新ニ株主ヲ募集スル場合ニ於テハ其會社ノ取締役ハ左ノ事項ヲ定メ且之ヲ公告スルコトヲ要ス

一　發行スル株式ノ數

二　發行ノ價額

三　各株式ニ付キ拂込ムヘキ金額

四　株式ノ引受ノ方法

五　株式ノ引受ケノ期日

六　株金ノ拂込ノ方法

七　株金ノ拂込ヲ怠リタル者ニ對スル失權ノ豫告

八　株券ヲ發行スルトキハ其番號

九　株式ノ讓渡ニ付キ取締役ノ承認ヲ要スルトキハ其旨

十　株式ニ付キ特別ノ利益ヲ與フルトキハ其利益ノ内容及ヒ其與フル理由

十一　株式ニ付キ特別ノ條件アルトキハ其條件

十二　數種ノ株式アルトキハ各種ノ株式ニ付キ發行スヘキ株數

十三　各種ノ株式ニ付キ株主ノ議決權ニ制限アルトキハ其制限ニ關スル事項

十四　株式ノ讓渡ニ付キ取締役ノ承認ヲ要スルトキハ其旨及ヒ株式ヲ讓渡スヘキ相手方ヲ指定スル權ヲ取締役ニ與フルトキハ其旨

十五　株券ヲ發行スルトキハ其旨

十六　株券ヲ發行セサルトキハ其旨

十七　株券ヲ發行スルトキハ其種類

十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

五十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

五十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

五十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

五十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

五十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

五十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

五十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

五十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

五十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

五十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

六十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

六十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

六十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

六十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

六十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

六十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

六十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

六十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

六十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

六十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

七十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

七十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

七十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

七十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

七十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

七十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

七十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

七十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

七十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

七十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

八十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

八十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

八十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

八十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

八十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

八十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

八十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

八十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

八十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

八十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

九十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

九十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

九十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

九十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

九十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

九十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

九十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

九十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

九十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

九十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百二十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百二十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百二十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百二十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百二十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百二十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百二十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百二十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百二十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百二十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百三十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百三十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百三十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百三十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百三十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百三十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百三十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百三十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百三十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百三十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百四十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百四十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百四十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百四十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百四十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百四十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百四十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百四十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百四十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百四十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百五十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百五十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百五十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百五十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百五十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百五十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百五十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百五十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百五十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百五十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百六十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百六十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百六十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百六十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百六十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百六十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百六十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百六十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百六十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百六十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百七十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百七十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百七十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百七十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百七十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百七十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百七十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百七十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百七十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百七十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百八十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百八十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百八十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百八十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百八十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百八十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百八十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百八十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百八十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百八十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百九十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百九十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百九十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百九十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百九十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百九十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百九十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

百九十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

百九十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

百九十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百二十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百二十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百二十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百二十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百二十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百二十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百二十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百二十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百二十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百二十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百三十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百三十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百三十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百三十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百三十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百三十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百三十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百三十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百三十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百三十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百四十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百四十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百四十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百四十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百四十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百四十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百四十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百四十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百四十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百四十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百五十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百五十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百五十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百五十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百五十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百五十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百五十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百五十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百五十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百五十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百六十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百六十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百六十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百六十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百六十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百六十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百六十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百六十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百六十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百六十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百七十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百七十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百七十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百七十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百七十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百七十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百七十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百七十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百七十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百七十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百八十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百八十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百八十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百八十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百八十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百八十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百八十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百八十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百八十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百八十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百九十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百九十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百九十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百九十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百九十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百九十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百九十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

二百九十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

二百九十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

二百九十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百二十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百二十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百二十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百二十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百二十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百二十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百二十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百二十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百二十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百二十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百三十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百三十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百三十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百三十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百三十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百三十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百三十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百三十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百三十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百三十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百四十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百四十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百四十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百四十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百四十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百四十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百四十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百四十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百四十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百四十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百五十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百五十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百五十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百五十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百五十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百五十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百五十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百五十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百五十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百五十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百六十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百六十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百六十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百六十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百六十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百六十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百六十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百六十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百六十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百六十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百七十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百七十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百七十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百七十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百七十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百七十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百七十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百七十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百七十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百七十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百八十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百八十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百八十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百八十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百八十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百八十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百八十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百八十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百八十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百八十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百九十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百九十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百九十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百九十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百九十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百九十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百九十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

三百九十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

三百九十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

三百九十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百二十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百二十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百二十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百二十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百二十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百二十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百二十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百二十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百二十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百二十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百三十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百三十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百三十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百三十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百三十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百三十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百三十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百三十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百三十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百三十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百四十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百四十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百四十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百四十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百四十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百四十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百四十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百四十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百四十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百四十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百五十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百五十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百五十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百五十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百五十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百五十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百五十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百五十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百五十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百五十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百六十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百六十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百六十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百六十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百六十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百六十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百六十六　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百六十七　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百六十八　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百六十九　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百七十　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百七十一　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百七十二　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百七十三　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ方法

四百七十四　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ時期

四百七十五　株券ヲ發行スルトキハ其發行ノ場所

四百七十六　株券ヲ

第百二十一條　第百二十二條　第百二十三條　第百二十四條　第百二十五條　第百二十六條　第百二十七條　第百二十八條　第百二十九條　第百三十條　第百三十一條　第百三十二條　第百三十三條　第百三十四條　第百三十五條　第百三十六條　第百三十七條　第百三十八條　第百三十九條　第百四十條　第百四十一條　第百四十二條　第百四十三條　第百四十四條　第百四十五條　第百四十六條　第百四十七條　第百四十八條　第百四十九條　第百五十條　第百五十一條　第百五十二條　第百五十三條　第百五十四條　第百五十五條　第百五十六條　第百五十七條　第百五十八條　第百五十九條　第百六十條　第百六十一條　第百六十二條　第百六十三條　第百六十四條　第百六十五條　第百六十六條　第百六十七條　第百六十八條　第百六十九條　第百七十條　第百七十一條　第百七十二條　第百七十三條　第百七十四條　第百七十五條　第百七十六條　第百七十七條　第百七十八條　第百七十九條　第百八十條　第百八十一條　第百八十二條　第百八十三條　第百八十四條　第百八十五條　第百八十六條　第百八十七條　第百八十八條　第百八十九條　第百九十條　第百九十一條　第百九十二條　第百九十三條　第百九十四條　第百九十五條　第百九十六條　第百九十七條　第百九十八條　第百九十九條　第二百條　第二百一條　第二百二條　第二百三條　第二百四條　第二百五條　第二百六條　第二百七條　第二百八條　第二百九條　第二百十條　第二百十一條　第二百十二條　第二百十三條　第二百十四條　第二百十五條　第二百十六條　第二百十七條　第二百十八條　第二百十九條　第二百二十條　第二百二十一條　第二百二十二條　第二百二十三條　第二百二十四條　第二百二十五條　第二百二十六條　第二百二十七條　第二百二十八條　第二百二十九條　第二百三十條　第二百三十一條　第二百三十二條　第二百三十三條　第二百三十四條　第二百三十五條　第二百三十六條　第二百三十七條　第二百三十八條　第二百三十九條　第二百四十條　第二百四十一條　第二百四十二條　第二百四十三條　第二百四十四條　第二百四十五條　第二百四十六條　第二百四十七條　第二百四十八條　第二百四十九條　第二百五十條　第二百五十一條　第二百五十二條　第二百五十三條　第二百五十四條　第二百五十五條　第二百五十六條　第二百五十七條　第二百五十八條　第二百五十九條　第二百六十條　第二百六十一條　第二百六十二條　第二百六十三條　第二百六十四條　第二百六十五條　第二百六十六條　第二百六十七條　第二百六十八條　第二百六十九條　第二百七十條　第二百七十一條　第二百七十二條　第二百七十三條　第二百七十四條　第二百七十五條　第二百七十六條　第二百七十七條　第二百七十八條　第二百七十九條　第二百八十條　第二百八十一條　第二百八十二條　第二百八十三條　第二百八十四條　第二百八十五條　第二百八十六條　第二百八十七條　第二百八十八條　第二百八十九條　第二百九十條　第二百九十一條　第二百九十二條　第二百九十三條　第二百九十四條　第二百九十五條　第二百九十六條　第二百九十七條　第二百九十八條　第二百九十九條　第三百條　第三百一條　第三百二條　第三百三條　第三百四條　第三百五條　第三百六條　第三百七條　第三百八條　第三百九條　第三百十條　第三百十一條　第三百十二條　第三百十三條　第三百十四條　第三百十五條　第三百十六條　第三百十七條　第三百十八條　第三百十九條　第三百二十條　第三百二十一條　第三百二十二條　第三百二十三條　第三百二十四條　第三百二十五條　第三百二十六條　第三百二十七條　第三百二十八條　第三百二十九條　第三百三十條　第三百三十一條　第三百三十二條　第三百三十三條　第三百三十四條　第三百三十五條　第三百三十六條　第三百三十七條　第三百三十八條　第三百三十九條　第三百四十條　第三百四十一條　第三百四十二條　第三百四十三條　第三百四十四條　第三百四十五條　第三百四十六條　第三百四十七條　第三百四十八條　第三百四十九條　第三百五十條　第三百五十一條　第三百五十二條　第三百五十三條　第三百五十四條　第三百五十五條　第三百五十六條　第三百五十七條　第三百五十八條　第三百五十九條　第三百六十條　第三百六十一條　第三百六十二條　第三百六十三條　第三百六十四條　第三百六十五條　第三百六十六條　第三百六十七條　第三百六十八條　第三百六十九條　第三百七十條　第三百七十一條　第三百七十二條　第三百七十三條　第三百七十四條　第三百七十五條　第三百七十六條　第三百七十七條　第三百七十八條　第三百七十九條　第三百八十條　第三百八十一條　第三百八十二條　第三百八十三條　第三百八十四條　第三百八十五條　第三百八十六條　第三百八十七條　第三百八十八條　第三百八十九條　第三百九十條　第三百九十一條　第三百九十二條　第三百九十三條　第三百九十四條　第三百九十五條　第三百九十六條　第三百九十七條　第三百九十八條　第三百九十九條　第四百條　第四百一條　第四百二條　第四百三條　第四百四條　第四百五條　第四百六條　第四百七條　第四百八條　第四百九條　第四百十條　第四百十一條　第四百十二條　第四百十三條　第四百十四條　第四百十五條　第四百十六條　第四百十七條　第四百十八條　第四百十九條　第四百二十條　第四百二十一條　第四百二十二條　第四百二十三條　第四百二十四條　第四百二十五條　第四百二十六條　第四百二十七條　第四百二十八條　第四百二十九條　第四百三十條　第四百三十一條　第四百三十二條　第四百三十三條　第四百三十四條　第四百三十五條　第四百三十六條　第四百三十七條　第四百三十八條　第四百三十九條　第四百四十條　第四百四十一條　第四百四十二條　第四百四十三條　第四百四十四條　第四百四十五條　第四百四十六條　第四百四十七條　第四百四十八條　第四百四十九條　第四百五十條　第四百五十一條　第四百五十二條　第四百五十三條　第四百五十四條　第四百五十五條　第四百五十六條　第四百五十七條　第四百五十八條　第四百五十九條　第四百六十條　第四百六十一條　第四百六十二條　第四百六十三條　第四百六十四條　第四百六十五條　第四百六十六條　第四百六十七條　第四百六十八條　第四百六十九條　第四百七十條　第四百七十一條　第四百七十二條　第四百七十三條　第四百七十四條　第四百七十五條　第四百七十六條　第四百七十七條　第四百七十八條　第四百七十九條　第四百八十條　第四百八十一條　第四百八十二條　第四百八十三條　第四百八十四條　第四百八十五條　第四百八十六條　第四百八十七條　第四百八十八條　第四百八十九條　第四百九十條　第四百九十一條　第四百九十二條　第四百九十三條　第四百九十四條　第四百九十五條　第四百九十六條　第四百九十七條　第四百九十八條　第四百九十九條　第五百條　第五百一條　第五百二條　第五百三條　第五百四條　第五百五條　第五百六條　第五百七條　第五百八條　第五百九條　第五百十條　第五百十一條　第五百十二條　第五百十三條　第五百十四條　第五百十五條　第五百十六條　第五百十七條　第五百十八條　第五百十九條　第五百二十條　第五百二十一條　第五百二十二條　第五百二十三條　第五百二十四條　第五百二十五條　第五百二十六條　第五百二十七條　第五百二十八條　第五百二十九條　第五百三十條　第五百三十一條　第五百三十二條　第五百三十三條　第五百三十四條　第五百三十五條　第五百三十六條　第五百三十七條　第五百三十八條　第五百三十九條　第五百四十條　第五百四十一條　第五百四十二條　第五百四十三條　第五百四十四條　第五百四十五條　第五百四十六條　第五百四十七條　第五百四十八條　第五百四十九條　第五百五十條　第五百五十一條　第五百五十二條　第五百五十三條　第五百五十四條　第五百五十五條　第五百五十六條　第五百五十七條　第五百五十八條　第五百五十九條　第五百六十條　第五百六十一條　第五百六十二條　第五百六十三條　第五百六十四條　第五百六十五條　第五百六十六條　第五百六十七條　第五百六十八條　第五百六十九條　第五百七十條　第五百七十一條　第五百七十二條　第五百七十三條　第五百七十四條　第五百七十五條　第五百七十六條　第五百七十七條　第五百七十八條　第五百七十九條　第五百八十條　第五百八十一條　第五百八十二條　第五百八十三條　第五百八十四條　第五百八十五條　第五百八十六條　第五百八十七條　第五百八十八條　第五百八十九條　第五百九十條　第五百九十一條　第五百九十二條　第五百九十三條　第五百九十四條　第五百九十五條　第五百九十六條　第五百九十七條　第五百九十八條　第五百九十九條　第六百條　第六百一條　第六百二條　第六百三條　第六百四條　第六百五條　第六百六條　第六百七條　第六百八條　第六百九條　第六百十條　第六百十一條　第六百十二條　第六百十三條　第六百十四條　第六百十五條　第六百十六條　第六百十七條　第六百十八條　第六百十九條　第六百二十條　第六百二十一條　第六百二十二條　第六百二十三條　第六百二十四條　第六百二十五條　第六百二十六條　第六百二十七條　第六百二十八條　第六百二十九條　第六百三十條　第六百三十一條　第六百三十二條　第六百三十三條　第六百三十四條　第六百三十五條　第六百三十六條　第六百三十七條　第六百三十八條　第六百三十九條　第六百四十條　第六百四十一條　第六百四十二條　第六百四十三條　第六百四十四條　第六百四十五條　第六百四十六條　第六百四十七條　第六百四十八條　第六百四十九條　第六百五十條　第六百五十一條　第六百五十二條　第六百五十三條　第六百五十四條　第六百五十五條　第六百五十六條　第六百五十七條　第六百五十八條　第六百五十九條　第六百六十條　第六百六十一條　第六百六十二條　第六百六十三條　第六百六十四條　第六百六十五條　第六百六十六條　第六百六十七條　第六百六十八條　第六百六十九條　第六百七十條　第六百七十一條　第六百七十二條　第六百七十三條　第六百七十四條　第六百七十五條　第六百七十六條　第六百七十七條　第六百七十八條　第六百七十九條　第六百八十條　第六百八十一條　第六百八十二條　第六百八十三條　第六百八十四條　第六百八十五條　第六百八十六條　第六百八十七條　第六百八十八條　第六百八十九條　第六百九十條　第六百九十一條　第六百九十二條　第六百九十三條　第六百九十四條　第六百九十五條　第六百九十六條　第六百九十七條　第六百九十八條　第六百九十九條　第七百條　第七百一條　第七百二條　第七百三條　第七百四條　第七百五條　第七百六條　第七百七條　第七百八條　第七百九條　第七百十條　第七百十一條　第七百十二條　第七百十三條　第七百十四條　第七百十五條　第七百十六條　第七百十七條　第七百十八條　第七百十九條　第七百二十條　第七百二十一條　第七百二十二條　第七百二十三條　第七百二十四條　第七百二十五條　第七百二十六條　第七百二十七條　第七百二十八條　第七百二十九條　第七百三十條　第七百三十一條　第七百三十二條　第七百三十三條　第七百三十四條　第七百三十五條　第七百三十六條　第七百三十七條　第七百三十八條　第七百三十九條　第七百四十條　第七百四十一條　第七百四十二條　第七百四十三條　第七百四十四條　第七百四十五條　第七百四十六條　第七百四十七條　第七百四十八條　第七百四十九條　第七百五十條　第七百五十一條　第七百五十二條　第七百五十三條　第七百五十四條　第七百五十五條　第七百五十六條　第七百五十七條　第七百五十八條　第七百五十九條　第七百六十條　第七百六十一條　第七百六十二條　第七百六十三條　第七百六十四條　第七百六十五條　第七百六十六條　第七百六十七條　第七百六十八條　第七百六十九條　第七百七十條　第七百七十一條　第七百七十二條　第七百七十三條　第七百七十四條　第七百七十五條　第七百七十六條　第七百七十七條　第七百七十八條　第七百七十九條　第七百八十條　第七百八十一條　第七百八十二條　第七百八十三條　第七百八十四條　第七百八十五條　第七百八十六條　第七百八十七條　第七百八十八條　第七百八十九條　第七百九十條　第七百九十一條　第七百九十二條　第七百九十三條　第七百九十四條　第七百九十五條　第七百九十六條　第七百九十七條　第七百九十八條　第七百九十九條　第八百條　第八百一條　第八百二條　第八百三條　第八百四條　第八百五條　第八百六條　第八百七條　第八百八條　第八百九條　第八百十條　第八百十一條　第八百十二條　第八百十三條　第八百十四條　第八百十五條　第八百十六條　第八百十七條　第八百十八條　第八百十九條　第八百二十條　第八百二十一條　第八百二十二條　第八百二十三條　第八百二十四條　第八百二十五條　第八百二十六條　第八百二十七條　第八百二十八條　第八百二十九條　第八百三十條　第八百三十一條　第八百三十二條　第八百三十三條　第八百三十四條　第八百三十五條　第八百三十六條　第八百三十七條　第八百三十八條　第八百三十九條　第八百四十條　第八百四十一條　第八百四十二條　第八百四十三條　第八百四十四條　第八百四十五條　第八百四十六條　第八百四十七條　第八百四十八條　第八百四十九條　第八百五十條　第八百五十一條　第八百五十二條　第八百五十三條　第八百五十四條　第八百五十五條　第八百五十六條　第八百五十七條　第八百五十八條　第八百五十九條　第八百六十條　第八百六十一條　第八百六十二條　第八百六十三條　第八百六十四條　第八百六十五條　第八百六十六條　第八百六十七條　第八百六十八條　第八百六十九條　第八百七十條　第八百七十一條　第八百七十二條　第八百七十三條　第八百七十四條　第八百七十五條　第八百七十六條　第八百七十七條　第八百七十八條　第八百七十九條　第八百八十條　第八百八十一條　第八百八十二條　第八百八十三條　第八百八十四條　第八百八十五條　第八百八十六條　第八百八十七條　第八百八十八條　第八百八十九條　第八百九十條　第八百九十一條　第八百九十二條　第八百九十三條　第八百九十四條　第八百九十五條　第八百九十六條　第八百九十七條　第八百九十八條　第八百九十九條　第九百條　第九百一條　第九百二條　第九百三條　第九百四條　第九百五條　第九百六條　第九百七條　第九百八條　第九百九條　第九百十條　第九百十一條　第九百十二條　第九百十三條　第九百十四條　第九百十五條　第九百十六條　第九百十七條　第九百十八條　第九百十九條　第九百二十條　第九百二十一條　第九百二十二條　第九百二十三條　第九百二十四條　第九百二十五條　第九百二十六條　第九百二十七條　第九百二十八條　第九百二十九條　第九百三十條　第九百三十一條　第九百三十二條　第九百三十三條　第九百三十四條　第九百三十五條　第九百三十六條　第九百三十七條　第九百三十八條　第九百三十九條　第九百四十條　第九百四十一條　第九百四十二條　第九百四十三條　第九百四十四條　第九百四十五條　第九百四十六條　第九百四十七條　第九百四十八條　第九百四十九條　第九百五十條　第九百五十一條　第九百五十二條　第九百五十三條　第九百五十四條　第九百五十五條　第九百五十六條　第九百五十七條　第九百五十八條　第九百五十九條　第九百六十條　第九百六十一條　第九百六十二條　第九百六十三條　第九百六十四條　第九百六十五條　第九百六十六條　第九百六十七條　第九百六十八條　第九百六十九條　第九百七十條　第九百七十一條　第九百七十二條　第九百七十三條　第九百七十四條　第九百七十五條　第九百七十六條　第九百七十七條　第九百七十八條　第九百七十九條　第九百八十條　第九百八十一條　第九百八十二條　第九百八十三條　第九百八十四條　第九百八十五條　第九百八十六條　第九百八十七條　第九百八十八條　第九百八十九條　第九百九十條　第九百九十一條　第九百九十二條　第九百九十三條　第九百九十四條　第九百九十五條　第九百九十六條　第九百九十七條　第九百九十八條　第九百九十九條　第千條

●商法中改正法律施行法

取締役又ハ清算人ヲ千圓以下ノ過料ニ處ス

第三十八條　株式會社ガ新法施行前ニ株金ノ拂込ヲ仮ニ為シタル場合ニ於テハ其ノ拂込ニ關シテハ舊法第百五十二條第二項第三項及第百五十三條乃至第百五十四條ノ規定ヲ適用ス

前項ノ規定ハ新法第二百二十四條第三項ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第三十九條　新法第二百十九條第二項ノ規定ハ新法施行前ニ株式ヲ引受ケタル發起人ニハ之ヲ適用セズ

第四十條　新法第二百三十條第二項ノ規定ハ新法施行前ニ株券ヲ喪失シタル場合ニモ亦之ヲ準用ス

第四十一條　新法第二百四十七條乃至第二百五十三條ノ規定ハ訴ノ原因タル事實ガ新法施行前ニ生ジタル場合ニモ亦之ヲ適用ス但シ新法第二百五十三條ノ訴ハ新法施行ノ日ヨリ一月内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ創立總會ニ之ヲ準用ス

第四十二條　新法第二百五十一條又ハ第二百五十二條ノ規定ハ新法施行前ニ提起シタル決議無效又ハ決議無效確認ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但シ其ノ訴ニ付為シタル判決ガ新法施行前ニ確定シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ新法施行前ニ提起シタル創立總會ノ決議無效又ハ決議無效確認ノ訴ニモ之ヲ準用ス

第四十三條　新法第二百六十七條第二項ノ規定ハ新法施行前ニ提起シタル訴ニモ亦之ヲ適用ス

第四十四條　新法第二百四十八條第一項ノ規定ハ新法施行前ニ株主總會ニ於テ取締役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ否決シタル場合ニモ亦之ヲ適用ス此ノ場合ニ於テハ訴提起ノ請求ハ新法施行ノ日ヨリ三月内ニ之ヲ為スコトヲ要ス

新法第二百六十八條第三項ノ規定ハ新法施行前ニ提起シタル訴ニモ亦之ヲ適用ス

第四十五條　前二條ノ規定ハ監査役又ハ清算人ニ對シテ提起スル訴ニ之ヲ準用ス

第四十六條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第四十七條　新法第二百八十一條又ハ第四百二十條ニ掲ゲル書類ハ新法施行前ニ株主總會招集ノ通知ヲ發シタル場合ニ於テハ舊法ニ依リ之ヲ提出スルヲ以テ足ル

第四十八條　新法第二百八十一條又ハ第四百二十條ニ掲ゲル書類及監査役ノ報告書ハ新法施行前ニ株主總會招集ノ通知ヲ發シタル場合ニ於テハ舊法ニ依リ之ヲ備置クヲ以テ足ル

第四十九條　株式會社ガ新法施行前ニ新法第二百八十六條ニ掲ゲル金額又ハ稅額ヲ貸借對照表及損益計算書ノ記載方法其ノ他ノ樣式ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十條　新法第二百八十一條又ハ第四百二十條ニ掲ゲル書類ハ新法施行前ニ株主總會ニ於テ舊法ニ依リ之ヲ提出スルヲ以テ足ル

第五十一條　新法第二百八十一條又ハ第四百二十條ニ掲ゲル書類及監査役ノ報告書ハ新法施行前ニ株主總會招集ノ通知ヲ發シタル場合ニ於テハ舊法ニ依リ之ヲ備置クヲ以テ足ル

第五十二條　株式會社ガ新法施行前ニ新法第二百八十六條ニ掲ゲル金額又ハ稅額ヲ貸借對照表ニ記載スル場合ニ於テハ其ノ資本ハ新法施行ノ日ヨリ五年内ニ、若シ新法施行後利息ノ配當ヲ止メタル後五年内ニ同條ノ規定ニ依リ償却ヲ為スコトヲ要ス

第五十三條　株式會社ガ新法施行前ニ新法第二百八十七條ノ差額又ハ第二百九十一條第二項第三項及第百五十二條第二項第三項及第百五十三條乃至第百五十四條ノ規定ヲ適用ス

前項ノ規定ハ新法第二百二十四條第三項ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第五十四條　新法第二百十九條第二項ノ規定ハ新法施行前ニ株式ヲ引受ケタル發起人ニハ之ヲ適用セズ

第五十五條　株式會社ガ新法施行前ニ社債募集ノ決議ヲ為シタル場合ニ於テハ其ノ社債募集ニモ亦之ヲ適用ス

第五十六條　新法第二百三十條第二項ノ規定ハ新法施行前ニ生ジタル債權ニモ亦之ヲ適用ス

第五十七條　新法第三百九條乃至第三百十四條ノ規定ハ新法施行前ニ社債募集ノ委託ヲ受ケタル場合ニハ之ヲ適用セズ

第五十八條　新法第三百十六條ノ規定ハ新法施行前ニ生ジタル債權ニモ亦之ヲ適用ス

第五十九條　新法第二編第四章第五節第二款ノ規定ハ社債募集ノ委託ヲ受ケタル者ノ事務處理ニ關スルモノヲ除クノ外舊法ニ依リテ募集シタル社債ニモ亦之ヲ適用ス

第六十條　新法第三百二十條第四項若ハ第三百二十一條第二項又ハ其ノ準用規定ニ依リ為スベキ供託ハ供託局ニ之ヲ為サザル場合ニ於テハ司法大臣ノ指定スル銀行又ハ信託會社ニ之ヲ為スコトヲ要ス

第六十一條　社債權者集會ノ招集、償還額ノ支拂又ハ償還ニ關スル社債權者集會ノ決議ノ執行ニ當リ為スベキ公告ハ社債ヲ發行シタル會社ノ定款ニ定ムル公告方法ニ依ルコトヲ要ス

第六十二條　新法施行前ニ弦ホ增加ノ為株式ノ募集ニ著手シタル場合ニ於テハ其ノ資本增加ニ付テハ舊法ヲ適用ス

第六十三條　株式會社ガ新法施行前ニ於テハ其ノ資本減少ニ付テハ舊法ヲ適用ス

新法第三百七十六條第三項ノ規定ハ舊法ニ依リ資本減少ノ為メ發行スルヲ要セザル株式ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六十四條　新法施行前ニ為シタル資本ノ增加又ハ減少ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ六月内ニ、新法施行後舊法ニ依リテ為シタル資本ノ增加又ハ減少ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テ資本ノ增加又ハ減少ノ登記ヲ為シタル日ヨリ六月内ニ限リ其ノ無效ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第六十五條　新法第三百七十二條乃至第三百七十四條又ハ第三百八十條第三項ノ規定ハ新法第三百七十一條第二項又ハ第三百八十條第二項ニ掲ゲル者ガ新法施行前ニ提起シタル資本ノ增加又ハ減少ノ無效確認ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但シ其ノ訴ニ付為シタル判決ガ新法施行前ニ確定シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六十六條　合併ニ因リテ設立シタル會社ガ新法施行ノ際合併ニ因リテ承繼シタル社債アルトキハ新法施行ノ日ヨリ一月内ニ新法第四百十四條第二項ノ規定ニ依リ社債ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ會社ノ取締役又ハ清算人ハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第六十八條　第二十九條乃至前條ノ規定ハ株式合資會社ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テ取締役ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任スル場合ニ於テハ舊法ニ依リ之ヲ選任スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第六十九條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第七十條　新法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第七十一條　新法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第七十二條　新法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第七十三條　新法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第七十四條　新法施行前ニ為シタル資本ノ增加又ハ減少ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ六月内ニ、新法施行後舊法ニ依リテ為シタル資本ノ增加又ハ減少ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テ資本ノ增加又ハ減少ノ登記ヲ為シタル日ヨリ六月内ニ限リ其ノ無效ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第七十五條　新法第三百七十二條乃至第三百七十四條又ハ第三百八十條第三項ノ規定ハ新法第三百七十一條第二項又ハ第三百八十條第二項ニ掲ゲル者ガ新法施行前ニ提起シタル資本ノ增加又ハ減少ノ無效確認ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但シ其ノ訴ニ付為シタル判決ガ新法施行前ニ確定シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第七十六條　第六十三條第二項ノ規定ハ株式會社ノ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十七條　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ガ社債ヲ發行スル場合ニ於テハ其ノ社債ノ募集ニ關シテハ舊法ニ依リ之ヲ為スベキ場合ニ於テハ新法ニ依リ之ヲ為スコトヲ要ス

第七十八條　第六十三條第二項ノ規定ハ株式會社ノ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十九條　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ガ社債ヲ發行スル場合ニ於テハ其ノ社債ノ募集ニ關シテハ舊法ニ依リ之ヲ為スベキ場合ニ於テハ新法ニ依リ之ヲ為スコトヲ要ス

第八十條　新法第三百十六條ノ規定ハ新法施行前ニ提起シタル訴ニモ亦之ヲ適用ス

第八十一條　新法第三百十七條第四項若ハ第三百二十一條第二項又ハ其ノ準用規定ニ依リ為スベキ供託ハ供託局ニ之ヲ為サザル場合ニ於テハ司法大臣ノ指定スル銀行又ハ信託會社ニ之ヲ為スコトヲ要ス

第八十二條　社債權者集會ノ招集、償還額ノ支拂又ハ償還ニ關スル社債權者集會ノ決議ノ執行ニ當リ為スベキ公告ハ社債ヲ發行シタル會社ノ定款ニ定ムル公告方法ニ依ルコトヲ要ス

第八十三條　新法施行前ニ弦ホ增加ノ為株式ノ募集ニ著手シタル場合ニ於テハ其ノ資本增加ニ付テハ舊法ヲ適用ス

第八十四條　新法施行前ニ為シタル資本ノ增加又ハ減少ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ六月内ニ、新法施行後舊法ニ依リテ為シタル資本ノ增加又ハ減少ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テ資本ノ增加又ハ減少ノ登記ヲ為シタル日ヨリ六月内ニ限リ其ノ無效ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第八十五條　新法第三百七十二條乃至第三百七十四條又ハ第三百八十條第三項ノ規定ハ新法第三百七十一條第二項又ハ第三百八十條第二項ニ掲ゲル者ガ新法施行前ニ提起シタル資本ノ增加又ハ減少ノ無效確認ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス但シ其ノ訴ニ付為シタル判決ガ新法施行前ニ確定シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八十六條　第六十三條第二項ノ規定ハ株式會社ガ新法施行前ニ新法第二百八十六條ニ掲ゲル金額又ハ稅額ヲ貸借對照表ニ記載スル場合ニ於テハ其ノ資本ハ新法施行ノ日ヨリ五年内ニ、若シ新法施行後利息ノ配當ヲ止メタル後五年内ニ同條ノ規定ニ依リ償却ヲ為スコトヲ要ス

第八十七條　株式會社ガ新法施行前ニ新法第二百八十七條ノ差額又ハ第二百九十一條第二項第三項及第百五十二條第二項第三項及第百五十三條乃至第百五十四條ノ規定ヲ適用ス

前項ノ規定ハ新法第二百二十四條第三項ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第八十八條　新法第二百十九條第二項ノ規定ハ新法施行前ニ株式ヲ引受ケタル發起人ニハ之ヲ適用セズ

第八十九條　新法第二百三十條第二項ノ規定ハ新法施行前ニ株券ヲ喪失シタル場合ニモ亦之ヲ準用ス

第九十條　新法第二百四十七條乃至第二百五十三條ノ規定ハ新法施行前ニ生ジタル場合ニモ亦之ヲ適用ス但シ新法第二百五十三條ノ訴ハ新法施行ノ日ヨリ一月内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ創立總會ニ之ヲ準用ス

第九十一條　新法第二百五十一條又ハ第二百五十二條ノ規定ハ新法施行前ニ提起シタル決議無效又ハ決議無效確認ノ訴ニモ亦之ヲ適用ス

第九十二條　新法第二百六十七條第二項ノ規定ハ新法施行前ニ提起シタル訴ニモ亦之ヲ適用ス

第九十三條　新法第二百六十八條第三項ノ規定ハ新法施行前ニ提起シタル訴ニモ亦之ヲ適用ス

第九十四條　前二條ノ規定ハ監査役又ハ清算人ニ對シテ提起スル訴ニ之ヲ準用ス

第九十五條　新法第四百八十五條ノ規定ハ新法施行前ニ為シタル行為ニ之ヲ適用ス但シ舊法ニ依リテ生ジタル效力ニ影響ヲ及ボサズ

第九十六條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第九十七條　新法第四百八十五條ノ規定ハ新法施行前ニ為シタル行為ニ之ヲ適用ス但シ舊法ニ依リテ生ジタル效力ニ影響ヲ及ボサズ

第九十八條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第九十九條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百一條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百四條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百五條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百六條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百七條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百八條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百九條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十一條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十二條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十三條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十四條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十五條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十六條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十七條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十八條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百十九條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十一條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十二條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十四條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十七條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十一條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十二條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十三條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十四條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十五條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十七條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十八條　新法施行ノ際舊法第百八十四條第一項但書ノ規定ニ依リ取締役ノ職務ヲ行フ監査役ニ付テハ新法施行ノ日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ新法第二百七十六條第二項ノ規定ニ依リ其ノ登記ヲ為スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ新法施行ノ際清算人ノ職務ヲ行フ監査役ニ之ヲ準用ス

第百三十九條　新法施行ノ際舊法第百八十

トキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條　一覽後定期拂ノ爲替手形ハ其ノ日附ヨリ一年内ニ引受ノ爲之ヲ呈示スルコトヲ要ス

振出人ハ前項ノ期間ヲ短縮シ又ハ伸長スルコトヲ得

裏書人ハ前二項ノ期間ヲ短縮スルコトヲ得

第二十四條　支拂人ハ第二ノ呈示ノ翌日ニ第二ノ呈示ヲ爲スベキコトヲ請求スルコトヲ得利害關係人ハ此ノ請求ガ拒絕證書ニ記載セラレタルトキニ限リ之ニ應ズル呈示ナカリシコトヲ主張スルコトヲ得

所持人ハ引受ノ爲ニ呈示シタル手形ヲ支拂人ニ交付スルコトヲ要セズ

第二十五條　引受ヲ爲ス爲替手形ニ之ヲ記載スベシ引受ハ「引受」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ以テ表示シ支拂人署名スベシ手形ノ裏面ニ爲シタル支拂人ノ單ナル署名ハ之ヲ引受ト看做ス

第二十六條　引受ハ單純ナルベシ但シ支拂人ハ之ヲ手形金額ノ一部ニ制限スルコトヲ得

引受ニ依リ爲替手形ノ記載事項ニ加ヘタル他ノ變更ハ引受ノ拒絕タル效力ヲ有スト雖モ支拂人ハ其ノ引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第二十七條　振出人ガ支拂人ノ住所地ト異ル支拂地ヲ爲替手形ニ記載シタル場合ニ於テハ支拂人ハ引受ヲ爲スニ當リ其ノ第三者ヲ定ムルコトヲ得之ヲ定メザリシトキハ其ノ支拂地ニ於テ自ラ支拂ヲ爲ス義務ヲ負ヒタルモノト看做ス

第二十八條　支拂人ハ引受ニ依リ又ハ拒絕證書ノ作成ニ依リ一覽後又ハ一定ノ期間内ニ引受ノ爲ノ呈示ヲ受ケタル爲替手形ニ付テハ於テ所持人ガ呈示ノ日又ハ日附ヲ記載スベキコトヲ請求シタル場合ヲ除クノ外引受ニ付之ヲ定ム

引受ニ依リ支拂ヲ爲シタル日ノ日附ヲ記載スルコトヲ要ス日附ノ記載ナキ引受ハ引受人ニ關スル限リ引受ノ爲ノ呈示期間ノ末日ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十九條　一覽後又ハ一定ノ期間内ニ引受ノ爲ノ呈示ヲ爲スベキ爲替手形ニ於テハ所持人ガ呈示ノ日又ハ日附ヲ記載スベキコトヲ請求シタル場合ヲ除クノ外引受ニ付之ヲ定ム

引受ニ依リ支拂ヲ爲シタル日ノ日附ヲ記載スルコトヲ要ス日附ノ記載ナキ引受ハ引受人ニ關スル限リ引受ノ爲ノ呈示期間ノ末日ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十條　一覽後又ハ一定ノ期間内ニ引受ノ爲ノ呈示ヲ爲スベキ爲替手形ニ於テハ所持人ガ呈示ノ日又ハ日附ヲ記載スベキコトヲ請求シタル場合ヲ除クノ外引受ニ付之ヲ定ム

引受ニ依リ支拂ヲ爲シタル日ノ日附ヲ記載スルコトヲ要ス日附ノ記載ナキ引受ハ引受人ニ關スル限リ引受ノ爲ノ呈示期間ノ末日ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十一條　引受ハ爲替手形ノ所持人又ハ單ナル占有者ハ滿期ニ至ル迄引受ノ爲支拂人ニ其ノ住所ニ於テ之ヲ呈示スルコトヲ得

第二十二條　振出人ハ爲替手形ニ期間ヲ定メ又ハ定メズシテ引受ノ爲之ヲ呈示スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得但シ手形ガ第三者方ニテ若ハ支拂人ノ住所地ニ非ザル地ニ於テ支拂フベキモノナルトキ又ハ一覽後定期拂ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

振出人ハ一定ノ期日前ニハ引受ノ爲ノ呈示ヲ爲スベカラザル旨ヲ記載スルコトヲ得

各裏書人ハ期間ヲ定メズシテ引受ノ爲手形ノ呈示スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得但シ振出人ガ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ジタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條　振出人ハ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ズル旨ヲ記載スルコトヲ得但シ手形ガ第三者方ニテ若ハ支拂人ノ住所地ニ非ザル地ニ於テ支拂フベキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

振出人ハ一定ノ期日前ニハ引受ノ爲ノ呈示ヲ爲スベカラザル旨ヲ記載スルコトヲ得

各裏書人ハ期間ヲ定メズシテ引受ノ爲手形ノ呈示スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得但シ振出人ガ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ジタル旨ヲ記載シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條　振出人ハ爲替手形ニ之ヲ記載スベシ引受ハ「引受」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ以テ表示シ支拂人署名スベシ手形ノ裏面ニ爲シタル支拂人ノ單ナル署名ハ之ヲ引受ト看做ス

第二十五條　引受ヲ爲ス爲替手形ニ之ヲ記載スベシ引受ハ「引受」其ノ他之ト同一ノ意義ヲ有スル文字ヲ以テ表示シ支拂人署名スベシ手形ノ裏面ニ爲シタル支拂人ノ單ナル署名ハ之ヲ引受ト看做ス

第二十六條　引受ハ單純ナルベシ但シ支拂人ハ之ヲ手形金額ノ一部ニ制限スルコトヲ得

引受ニ依リ爲替手形ノ記載事項ニ加ヘタル他ノ變更ハ引受ノ拒絕タル效力ヲ有スト雖モ支拂人ハ其ノ引受ノ文言ニ從ヒテ責任ヲ負フ

第二十七條　振出人ガ支拂人ノ住所地ト異ル支拂地ヲ爲替手形ニ記載シタル場合ニ於テハ支拂人ハ引受ヲ爲スニ當リ其ノ第三者ヲ定ムルコトヲ得之ヲ定メザリシトキハ其ノ支拂地ニ於テ自ラ支拂ヲ爲ス義務ヲ負フ

第二十八條　支拂人ハ引受ニ依リ又ハ拒絕證書ノ作成ニ依リ一覽後又ハ一定ノ期間内ニ引受ノ爲ノ呈示ヲ受ケタル爲替手形ニ付テハ於テ所持人ガ呈示ノ日又ハ日附ヲ記載スベキコトヲ請求シタル場合ヲ除クノ外引受ニ付之ヲ定ム

引受ニ依リ支拂ヲ爲シタル日ノ日附ヲ記載スルコトヲ要ス日附ノ記載ナキ引受ハ引受人ニ關スル限リ引受ノ爲ノ呈示期間ノ末日ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第二十九條　一覽後又ハ一定ノ期間内ニ引受ノ爲ノ呈示ヲ爲スベキ爲替手形ニ於テハ所持人ガ呈示ノ日又ハ日附ヲ記載スベキコトヲ請求シタル場合ヲ除クノ外引受ニ付之ヲ定ム

引受ニ依リ支拂ヲ爲シタル日ノ日附ヲ記載スルコトヲ要ス日附ノ記載ナキ引受ハ引受人ニ關スル限リ引受ノ爲ノ呈示期間ノ末日ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十條　一覽後定期拂又ハ一定ノ期間内ニ引受ノ爲ノ呈示ヲ爲スベキ爲替手形ニ於テハ所持人ガ呈示ノ日又ハ日附ヲ記載スベキコトヲ請求シタル場合ヲ除クノ外引受ニ付之ヲ定ム

引受ニ依リ支拂ヲ爲シタル日ノ日附ヲ記載スルコトヲ要ス日附ノ記載ナキ引受ハ引受人ニ關スル限リ引受ノ爲ノ呈示期間ノ末日ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三十一條　引受ハ爲替手形ノ所持人又ハ單ナル占有者ハ滿期ニ至ル迄引受ノ爲支拂人ニ其ノ住所ニ於テ之ヲ呈示スルコトヲ得

第三十二條　振出人ハ爲替手形ニ期間ヲ定メ又ハ定メズシテ引受ノ爲之ヲ呈示スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得但シ振出人ガ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ジタル旨ヲ記載シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

振出人ハ一定ノ期日前ニハ引受ノ爲ノ呈示ヲ爲スベカラザル旨ヲ記載スルコトヲ得

各裏書人ハ期間ヲ定メズシテ引受ノ爲手形ノ呈示スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得但シ振出人ガ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ジタル旨ヲ記載シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條　振出人ハ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ズル旨ヲ記載シタル場合ニ於テハ各裏書人ハ期間ヲ定メズシテ引受ノ爲手形ノ呈示スベキ旨ヲ記載スルコトヲ得但シ振出人ガ引受ノ爲ノ呈示ヲ禁ジタル旨ヲ記載シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三

第九十一條　爲替手形ノ所持人カ證券ノ振出人又ハ裏書人ニ對シ其ノ受クヘカラサル利益ノ限度ニ於テ償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第九十二條　爲替手形ノ引受ヲ手形金額ノ一部ニ制限シ得ルヤ否ヤ及所持人ニ一部支拂ヲ受諾スル義務アリヤ否ヤハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

前項ノ規定ハ約束手形ノ支拂ニ之ヲ準用スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十三條　拒絕證書ノ方式及作成期間其ノ他爲替手形上及約束手形上ノ權利ノ行使又ハ保存ニ必要ナル行爲ノ方式ハ拒絕證書ヲ作ルヘキ地又ハ其ノ行爲ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十四條　爲替手形上ノ債務ハ引受ニ因リ消滅ス

第九十五條　爲替手形ノ所持人カ證券ノ振出人ノ原因タル債權ヲ取得スルヤ否ヤハ證券ノ振出地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十六條　爲替手形ノ引受ヲ手形金額ノ一部ニ制限シ得ルヤ否ヤ及所持人ニ一部支拂ヲ受諾スル義務アリヤ否ヤハ支拂地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第九十七條　爲替手形ノ所持人カ證券ノ振出地ニ於テ之ヲ支拂フヘキモノトス

第九十八條　爲替手形ノ引受ハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第九十九條　爲替手形上ノ債務ハ時效ニ因リテ消滅ス

時效ノ期間ハ左ノ如シ

一　爲替手形ノ所持人カ振出人、裏書人及其ノ保證人ニ對シテ有スル權利ハ拒絕證書ノ日附ヨリ一年

二　裏書人カ他ノ裏書人又ハ振出人ニ對シテ有スル權利ハ其ノ裏書ヲ爲シタル日又ハ自己カ訴ヲ受ケタル日ヨリ六月

三　振出人カ裏書人ニ對シテ有スル權利ハ振出ノ日ヨリ一年

前項ノ期間ハ裏書人ニ對スル訴ニ付テハ其ノ者カ裏書ヲ爲シタル地ニ於テ訴ヲ受ケタル日ヨリ起算ス

第百條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲サヽリシトキハ其ノ權利ヲ失フ

第百一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百二十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百三十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百四十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百五十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百六十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百七十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百八十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第百九十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十六條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十七條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十八條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十九條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十一條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十二條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十三條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十四條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十五條　爲替手形ノ所持人カ其ノ權利ヲ保存スルニ必要ナル行爲ヲ爲シタルトキト雖モ其ノ者カ支拂ヲ爲スヘキ地ノ屬スル國ノ法律ニ

ル行爲ノ方式ハ相續證書ヲ作ルベキ地又ハ其ノ行爲ヲ爲スベキ地ノ屬スル國ノ法律ニ依リ之ヲ定ム

●有限會社法

昭和十三年四月
法律第七十四號

貴族院議會ノ協賛ヲ經タル有限會社法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

有限會社法目次

第一章　總則
第二章　設立
第三章　社員ノ權利義務
第四章　會社ノ管理
第五章　定款ノ變更
第六章　合併及組織變更
第七章　解散
第八章　外國會社
第九章　罰則
第十章　雜則
附則

有限會社法

第一章　總則

第一條　本法ニ於テ有限會社トハ商行爲其ノ他ノ營利行爲ヲ爲スヲ業トスル目的ヲ以テ本法ニ依リ設立シタル社團ヲ謂フ

有限會社ハ之ヲ法人トス

第二條　有限會社ハ商行爲ヲ爲スヲ業トセザルモ之ヲ商人ト看做ス

第三條　有限會社ノ商號中ニハ有限會社ナル文字ヲ用フルコトヲ要ス

有限會社ニ非ザル者ハ商號中ニ有限會社タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

有限會社ノ營業ヲ讓受ケタルトキト雖モ亦同ジ

第四條　商法第五十四條第二項、第五十五條及第五十七條乃至第六十一條ノ規定ハ有限會社ニ之ヲ準用ス

第二章　設立

第五條　有限會社ヲ設立スルニハ定款ヲ作ルコトヲ要ス

商法第百六十七條ノ規定ハ有限會社ニ之ヲ準用ス

第六條　定款ニハ左ノ事項ヲ記載シ各社員之ニ署名スルコトヲ要ス

一　目的
二　商號
三　資本ノ總額
四　出資一口ノ金額
五　社員ノ氏名及住所
六　各社員ノ出資ノ口數
七　本店及支店ノ所在地

第七條　左ノ事項ハ之ヲ定款ニ記載スルニ非ザレバ其ノ效力ヲ有セズ

一　存立時期又ハ解散ノ事由
二　現物出資ヲ爲ス者ノ氏名、出資ノ目的タル財產、其ノ價格及之ニ對シテ與フル出資口數

第八條　會社ノ成立後ニ讓受クルコトヲ約シタル財產、其ノ價格及讓渡人ノ氏名、
四　會社ノ負擔ニ歸スベキ設立費用
五　社員ノ總數ハ五十人ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ裁判所ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ遺產相續又ハ遺贈ニ因リ社員ノ數ニ變更ヲ生ズル場合ニハ之ヲ適用セズ

第九條　資本ノ總額ハ一萬圓ヲ下ルコトヲ得ズ

第十條　出資一口ノ金額ハ均一トシ百圓ヲ下ルコトヲ得ズ

第十一條　定款ヲ以テ取締役ヲ定メザルトキハ會社成立前社員總會ヲ開キ之ヲ選任スルコトヲ要ス

前項ノ社員總會ハ各社員ニ之ヲ招集スルコトヲ得

第十二條　取締役ハ社員ヲシテ出資金額ノ拂込又ハ現物出資ノ目的タル財產全部ノ給付ヲ爲サシムルコトヲ要ス

商法第百七十二條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條　有限會社ノ設立ノ登記ハ前條ノ拂込又ハ給付アリタル日ヨリ二週間內ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ニ在リテハ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　第六條第一號乃至第四號ニ揭グル事項
二　本店及支店
三　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由
四　取締役ノ氏名及住所
五　取締役ニシテ會社ヲ代表セザル者アルトキハ會社ヲ代表スベキ者ノ氏名
六　數人ノ取締役ガ共同シテ會社ヲ代表スベキコトヲ定メタルトキハ其ノ規定
七　監査役アルトキハ其ノ氏名及住所

商法第九條乃至第十五條、第六十四條第二項及第六十五條乃至第六十七條ノ規定ハ有限會社ニ之ヲ準用ス

第十四條　第七條第二號及第三號ノ財產ノ會社成立當時ニ於ケル實價ガ定款ニ定メタル價格ニ著シク不足スルトキハ會社成立當時ノ社員ハ會社ニ對シ連帶シテ其ノ不足額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第十五條　第十二條第一項ノ規定ニ依ル拂込又ハ給付ノ未濟ナル出資アルトキハ會社成立當時ノ取締役、監査役及社員ハ連帶シテ拂込ヲ爲シ又ハ給付未濟財產ノ價額ノ支拂ヲ爲ス義務ヲ負フ

第十六條　前二條ニ定ムル義務ハ會社成立ノ日ヨリ五年ヲ經過シタル後ニ非ザレバ之ヲ免除スルコトヲ得ズ

第三章　社員ノ權利義務

第十七條　社員ノ責任ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ出資ノ金額ヲ限度トス

第十八條　各社員ハ其ノ出資ノ口數ニ應ジテ持分ヲ有ス

第十九條　社員ハ第四十八條ニ定ムル社員總會ノ決議アルトキニ限リ其ノ持分ノ全部又ハ一部ヲ他人ニ讓渡スコトヲ得但シ定款ヲ以テ讓渡ノ制限ヲ加重スルコトヲ妨ゲズ

讓渡ニ因リ社員ノ總數ガ第八條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユル場合ニ於テハ讓渡ノ效力ヲ生ゼズ

社員相互間ノ持分ノ讓渡ニ付テハ第一項ノ規定ニ拘ラズ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十條　持分ノ移轉ハ取得者ノ氏名及住所竝ニ移轉ス出資口數ヲ社員名簿ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ會社其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第二十一條　有限會社ハ持分ニ付指圖式又ハ無記名式ノ證券ヲ發行スルコトヲ得ズ

第二十二條　商法第二百三條ノ規定ハ持分ガ數人ノ共有ニ屬スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條　持分ハ之ヲ以テ質權ノ目的トスコトヲ得

第二十四條　商法第二百八條第一項及第二十條ノ規定ハ持分ノ質入ニ之ヲ準用ス

第二十五條　商法第二百八條第一項、第二百九條第一項第二項、第二百十條、第二百十一條及第二百十二條乃至第二百十四條第一項及第二項ノ規定ハ社員ノ持分ニ之ヲ準用ス

第二十六條　取締役數人アル場合ニ於テ定款ニ別段ノ定アルトキハ取締役ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス支配人ノ選任及解任亦同ジ

第二十七條　取締役ハ會社ヲ代表ス

第二十八條　取締役ハ定款及社員總會ノ議事錄ヲ本店及支店ニ、社員名簿ヲ本店ニ備置クコトヲ要ス

社員ハ名簿ニハ社員ノ氏名及住所竝ニ其ノ出資ノ口數ヲ記載スルコトヲ要ス

社員及會社ノ債權者ハ營業時間內何時ニテモ第一項ニ揭グル書類ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十九條　取締役ハ社員總會ノ認許アルニ非ザレバ自己若ハ第三者ノ爲ニ會社ノ營業ノ部類ニ屬スル取引ヲ爲シ又ハ同種ノ營業ヲ目的トスル他ノ會社ノ無限責任社員若ハ取締役ト爲ルコトヲ得ズ

取締役ガ前項ノ規定ニ違反シテ自己ノ爲ニ

取引ヲ爲シタルトキハ社員總會ハ之ヲ以テ會社ノ爲ニ爲シタルモノト看做スコトヲ得

前項ニ定ムル權利ハ監査役アルトキハ監査役ノ一人、監査役ナキトキハ他ノ取締役ノ一人ガ其ノ取引ヲ知リタル時ヨリ二月間之ヲ行使セザルトキハ消滅ス取引ノ時ヨリ一年ヲ經過シタルトキ亦同ジ

第三十條　取締役ハ監査役アルトキハ其ノ承認、監査役ナキトキハ社員總會ノ認許ヲ得タルトキニ限リ自己又ハ第三者ノ爲ニ會社ト取引ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ民法第百八條ノ規定ヲ適用セズ

第三十一條　社員總會ニ於テ取締役ニ對シテ訴ヲ提起スルコトヲ否決シタル場合ニ於テ資本ノ十分ノ一以上ニ當ル出資口數ヲ有スル社員カ訴ノ提起ヲ會社ニ請求シタルトキハ會社ハ請求ノ日ヨリ一月內ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第三十二條　商法第二百五十四條、第二百五十七條、第二百五十八條、第二百六十一條、第二百六十二條、第二百六十三條、第二百六十六條、第二百六十八條乃至第五項及第二百六十九條乃至第二百七十二條ノ規定ハ取締役ニ之ヲ準用ス

第三十三條　有限會社ノ定款ニ依リ一人又ハ數人ノ監査役ヲ置クコトヲ得

第十一條ノ規定ハ定款ニ於テ監査役ヲ置クコトヲ定メタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十四條　第三十一條並ニ商法第二百五十四條、第二百五十七條、第二百六十六條、第二百六十七條、第二百六十八條乃至第五項、第二百七十條、第二百七十二條及第二百七十四條乃至第二百七十八條ノ規定ハ監査役ニ之ヲ準用ス

第三十五條　社員總會ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外取締役之ヲ招集ス

第三十六條　總會ヲ招集スルニハ會日ヨリ一週間前ニ各社員ニ對シテ其ノ通知ヲ發スル

コトヲ要ス但シ此ノ期間ハ定款ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ妨ゲズ

第三十七條　資本ノ十分ノ一以上ニ當ル出資口數ヲ有スル社員ハ會議ノ目的タル事項及招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ取締役ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

第三十一條ノ規定ニ依ル決議ニ付テハ前項ノ規定ヲ適用セズ

第三十八條　總會ハ社員ノ同意アルトキハ招集ノ手續ヲ經ズシテ之ヲ開クコトヲ得

第三十九條　各社員ハ出資一口ニ付一個ノ議決權ヲ有ス但シ定款ヲ以テ議決權ノ數ニ付別段ノ定ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第四十條　有限會社ガ左ノ行爲ヲ爲スニハ第四十八條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要ス

一　營業ノ全部又ハ一部ノ讓渡
二　營業全部ノ貸貸、其ノ經營ノ委任、他人ト營業上ノ損益全部ヲ共通ニスル契約其ノ他之ニ準ズル契約ノ締結、變更又ハ解約

三　他ノ會社ノ營業全部ノ讓受

四　取締役又ハ監査役ノ任務懈怠ニ因ル責任ノ免除

第三十一條ノ規定ハ前項第四號ノ決議ニ之ヲ準用ス

第四十一條　商法第二百三十四條乃至第二百三十六條、第二百三十八條、第二百三十九條第一項、第二百四十條、第二百四十一條第二項、第二百四十三條、第二百四十四條及第二百四十七條乃至第二百五十三條ノ規定ハ社員總會ニ之ヲ準用ス

第四十二條　總會ノ決議ヲ爲スニハ社員ノ半數以上ニシテ總社員ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ有スル者ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ議決權ヲ行使スルコトヲ得ザル社員ノ之ヲ總社員ノ數ニ、其ノ行使スルコトヲ得ザル議決權ハ之ヲ議決權ノ數ニ算入セズ

第四十三條　左ノ事項ハ定款ニ別段ノ定アルトキト雖モ資本增加ノ決議ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

一　現物出資ヲ爲ス者ノ氏名、出資ノ目的タル財產、其ノ價格及之ニ對シテ與フル出資口數
二　資本ノ增加後ニ讓受クルコトヲ約シタル財產、其ノ價格及讓渡人ノ氏名
三　增加スル資本ニ付出資ノ引受ヲ爲ス權利ノ與フベキ者及其ノ權利ノ內容

第四十四條　有限會社ガ特定ノ者ニ對シ將來其ノ資本ノ增加スル場合ニ於テ出資ノ引受ヲ爲ス權利ヲ與フベキコトヲ約スルニハ第四十八條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要ス

第四十五條　社員ハ增加スル資本ニ付其ノ持分ニ應ジテ出資ノ引受ヲ爲ス權利ヲ有ス但シ前二條ノ決議ニ依リ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十六條　資本增加ノ場合ニ於テ出資ノ引受ヲ爲サントスル者ハ引受ノ證スル書面ニ其ノ引受ノ數ヲ記載シテ署名スルコトヲ要ス

有限會社ハ廣告其ノ他ノ方法ニ依リ引受人ヲ公募スルコトヲ得ズ

第四十七條　定款ノ變更ヲ爲スニハ社員總會ノ決議アルコトヲ要ス

第四十八條　前條ノ決議ハ總社員ノ半數以上ニシテ總社員ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ有スル者ノ同意ヲ以テ之ヲ爲ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ議決權ヲ行使スルコトヲ得ザル社員ノ之ヲ總社員ノ數ニ、其ノ行使スルコトヲ得ザル議決權ハ之ヲ議決權ノ數ニ算入セズ

第四十九條　左ノ事項ハ定款ニ別段ノ定アルトキト雖モ資本增加ノ決議ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

一　現物出資ヲ爲ス者ノ氏名、出資ノ目的タル財產、其ノ價格及之ニ對シテ與フル出資口數
二　資本ノ增加後ニ讓受クルコトヲ約シタル財產、其ノ價格及讓渡人ノ氏名
三　增加スル資本ニ付出資ノ引受ヲ爲ス權利ノ與フベキ者及其ノ權利ノ內容

第五十條　有限會社ガ特定ノ者ニ對シ將來其ノ資本ノ增加スル場合ニ於テ出資ノ引受ヲ爲ス權利ヲ與フベキコトヲ約スルニハ第四十八條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要ス

第五十一條　社員ハ增加スル資本ニ付其ノ持分ニ應ジテ出資ノ引受ヲ爲ス權利ヲ有ス但シ前二條ノ決議ニ依リ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第五十二條　資本增加ノ場合ニ於テ出資ノ引受ヲ爲シタル者ハ其ノ出資ノ目的タル財產ノ給付ヲ爲スベキ期日ニ於テ其ノ全額ヲ拂込ムベキモノトス

第四十七條ノ規定ニ依リ出資ノ引受ヲ爲シタル者ハ其ノ拂込ヲ爲スベキ期日ニ於テ當然其ノ權利ヲ失フ

第五十三條　有限會社ハ出資金額ノ拂込又ハ現物出資ノ目的タル財產ノ給付アリタル日ヨリ本店ノ所在地ニ於テハ二週間、支店ノ所在地ニ於テハ三週間內ニ資本增加ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ登記ニ在リテハ左ノ事項ヲ登記スルコトヲ要ス

一　增加シタル資本ノ額
二　資本增加ノ決議ノ年月日

第五十四條　第四十九條第一號及第二號ノ財産ノ資本增加當時ニ於ケル實價ガ資本增加ノ決議ニ依リ定メタル價格ニ著シク不足スルトキハ其ノ決議ニ同意シタル社員ハ會社ニ對シ連帶シテ其ノ不足額ヲ支拂フ義務ヲ負フ

第五十五條　引受ケラレタル出資又ハ出資金額ノ拂込若ハ現物出資ノ目的タル財産ノ給付ノ未濟ナル出資アルトキハ取締役及監査役ハ遲滯ナク其ノ引受ヲ爲シ又ハ拂込若ハ給付ヲ爲サシメ其ノ給付ノ價額ヲ調査シ其ノ價額ガ協定ニ定メタル價額ニ不足スルトキハ其ノ不足額ヲ塡補スル責ニ任ス

第五十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ取締役及監査役ハ其ノ調査ノ結果ヲ裁判所ニ報告スルコトヲ要ス

第五十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ裁判所ハ檢査役ヲ選任シ第五十五條ノ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

檢査役ハ其ノ調査ノ結果ヲ裁判所ニ報告スルコトヲ要ス

第五十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ裁判所ハ檢査役ノ報告ニ依リ又ハ其ノ選任ヲ爲サスシテ第五十四條ノ規定ニ依リ取締役ノ調査ヲ爲シタル者ノ報告ニ依リ出資ノ目的タル財産ノ價額ガ協定ニ定メタル價額ニ不足スルトキハ裁判所ハ取締役ニ對シ其ノ不足額ヲ塡補スベキ旨ヲ命ズルコトヲ得

第五十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ裁判所ハ檢査役ノ報告ニ依リ又ハ其ノ選任ヲ爲サスシテ第五十四條ノ規定ニ依リ出資ノ目的タル財産ノ價額ガ協定ニ定メタル價額ニ不足スルトキハ其ノ不足額ヲ塡補スベキ旨ヲ發起人ニ命ズルコトヲ得

第六十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第六十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第六十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第六十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第六十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第六十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第六十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第六十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第六十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第六十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第七十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第八十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第九十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百二十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百三十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百四十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百五十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百六十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百七十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十六條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十七條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十八條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百八十九條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百九十條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百九十一條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百九十二條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百九十三條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百九十四條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百九十五條　第五十四條ノ場合ニ於テハ發起人ハ其ノ選任ニ付キ過失ナカリシコトヲ證明スルニ非ザレバ其ノ任務ヲ怠リタルニ因リテ生ジタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第百九十六條　第五十四條ノ場

二百五十八條第二項、第二百七十條第一項若ハ第二百七十二條第一項ノ職務代行者ガ第六十條第一項ノ規定ニ依リ從フベキ又ハ第六十八條ニ於テ準用スル商法第九十九條又ハ第百條ノ規定ニ違反シテ仆ル又ハ粗鹵ナル處分ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同ジ

第八十六條　第三條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

第十章　雜則

第八十七條　本法ニ依リ署名スベキ場合ニ於テハ記名捺印ヲ以テ署名ニ代フルコトヲ得

第八十八條　第五十八條、第六十三條若ハ第六十八條ニ於テ準用シ若ハ第六十條第一項ノ規定ニ依リ從フベキ商法第百條第一項ノ規定又ハ第七十五條第一項ノ規定ニ於テ準用スル商法第四百二十一條第一項ノ規定ニ依リ爲スベキ公告ハ裁判所ガ爲スベキ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第八十九條　有限會社ハ商法ヲ除ノ外他ノ法律ノ適用ニ付テハ之ヲ商法ノ會社ト看做ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●拒絕證書規則

昭和八年十二月
總令第百四十六號

拒絕證書規則左ノ通定ム

第一條　手形（爲替手形、約束手形）及小切手ノ拒絕證書ハ公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者之ヲ作ル

第二條　拒絕證書ニハ左ノ事項ヲ記載シ公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一　拒絕者及被拒絕者ノ名稱

二　拒絕者ニ對スル請求ノ趣旨及拒絕者ガ其ノ請求ニ應セザリシコト、拒絕者ニ面會スルコト能ハザリシコト又ハ請求シ爲スベキ場所ガ知レザリシコト

三　請求ヲ爲シ又ハ之ヲ爲スコト能ハザリシ地及年月日

四　拒絕證書作成ノ場所及年月日

五　法定ノ場所外ニ於テ拒絕證書ヲ作ルトキハ拒絕者ガ之ヲ承諾シタルコト

支拂人ガ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル手形法第二十四條第一項ノ規定ニ依リ第二ノ呈示ヲ爲スベキコトヲ請求シタルトキハ拒絕證書ニ其ノ旨ヲ記載シ公證人又ハ執達吏ノ職務ヲ行フ者之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第三條　拒絕證書ノ作成ハ手形若ハ小切手又ハ附箋ニ依リテ之ヲ爲ス

一　爲替手形、約束手形ニ在リテハ支拂人又ハ參加引受人アルトキハ其ノ名稱

二　振出人、支拂人及支拂ヲ受ケ又ハ之ヲ受ケル者ヲ指圖スル者ノ名稱

三　振出ノ年月日及振出地

四　滿期及支拂地

五　支拂人又ハ參加指定セラレタル第三者、豫備支拂人又ハ參加引受人アルトキハ其ノ名稱

六　拒絕證書カ滅失シタル場合ニ於テ利害關係人ノ請求アリタルトキハ前項ノ記載ヲ爲シタル謄本ニ依リテ謄本ヲ作リ之ヲ利害關係人ニ交付スルコトヲ要ス此ノ謄本ハ原本ト同一ノ效力ヲ有ス

附　則

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●拒絕證書規則ニ關スル件

昭和八年十二月
總令第百四十七號

小切手ノ呈示期間ノ特例ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　內地、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於テ振出シ朝鮮ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ之ヲ二十日トス

南洋群島ニ於テ振出シ朝鮮ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ之ヲ六十日トス

第二條　日本及滿洲國以外ノ亞細亞洲ノ地域ニ於テ振出シ朝鮮ニ於テ支拂フベキ小切手ノ呈示期間ハ之ヲ六十日トス

附　則

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●小切手法ノ適用ニ付銀行

小切手法ノ適用ニ付銀行ト同視スベキ人又ハ施設ニ關スル件左ノ通定ム

昭和九年一月
總令第二號

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル手形法第八十三條及小切手法第六十九條ノ規定ニ依リ手形交換所別表ノ通指定ス

附　則

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正六年朝鮮總督府令第十七號ハ之ヲ廢止ス

（別表）

名稱	所在地
京城手形交換所	京城府
仁川手形交換所	京畿道仁川府
群山手形交換所	全羅北道群山府
木浦手形交換所	全羅南道木浦府
大邱手形交換所	慶尙北道大邱府
釜山手形交換所	慶尙南道釜山府
平壤手形交換所	平安南道平壤府
鎭南浦手形交換所	平安南道鎭南浦府
咸鏡南道元山手形交換所	咸鏡南道元山府

●商事非訟事件印紙法

明治二十三年八月
法律第六十六號

改正　明治四三年第二六號、大正一五年四號、昭和二年三號三號

第三節　送達
第四節　裁判
第五節　訴訟手續ノ中斷及中止
第二章　地方裁判所ノ訴訟手續
第一節　訴
第二節　辯論ノ準備
第三節　證據
第一款　總則
第二款　證人訊問
第三款　鑑定
第四款　書證
第五款　檢證
第六款　當事者訊問
第七款　證據保全
第三編　上訴
第一章　控訴
第二章　上告
第三章　抗告
第四編　再審
第五編　督促手續
第六編　强制執行
第一章　總則
第二章　金錢ノ債權ニ付テノ强制執行
第一節　動產ニ對スル强制執行
第一款　通則
第二款　有體動產ニ對スル强制執行
第三款　債權及ヒ他ノ財產權ニ對スル强制執行
第四款　配當手續
第二節　不動產ニ對スル强制執行
第一款　通則
第二款　强制競賣
第三款　强制管理
第三節　船舶ニ對スル强制執行
第三章　金錢ノ支拂ヲ目的トセサル債權ニ付テノ强制執行
第四章　假差押及ヒ假處分
第七編　公示催告手續
第八編　仲裁手續

民事訴訟法

明治二十三年四月
法律第二十九號

改正　明治三一年第一一號、四四年四號、一五年四號六一號、大正一一年四號五四號、一五年四號六一號、昭和六年三號七四號、一〇年三號一九號

民事訴訟法ヲ裁可シ之ヲ公布セシム此法律ハ明治二十四年一月一日ヨリ施行スヘキコトヲ命ス

第一編　總則

第一章　裁判所

第一條　訴ハ被告ノ普通裁判籍所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二條　人ノ普通裁判籍ハ住所ニ依リテ定ル

日本ニ住所ナキトキ又ハ住所ノ知レサルトキハ普通裁判籍ハ居所ニ依リ、居所ナキトキ又ハ居所ノ知レサルトキハ最後ノ住所ニ依リテ定ル

第三條　大使、公使其ノ他外國ニ在リテ治外法權ヲ享クル日本人カ前條ノ規定ニ依リ普通裁判籍ヲ有セサルトキハ其ノ者ノ普通裁判籍ハ東京市ニ在ルモノトス

第四條　法人其ノ他ノ社團又ハ財團ノ普通裁判籍ハ其ノ主タル事務所又ハ營業所ニ依リ、事務所又ハ營業所ナキトキハ主タル業務擔當者ノ住所ニ依リテ定ル

國ノ普通裁判籍ハ訴訟ニ付國ヲ代表スル官廳ノ所在地ニ依リテ定ル

第一項ノ規定ハ外國ノ社團又ハ財團ノ普通裁判籍ニ付テハ日本ニ於ケル事務所、營業所又ハ業務擔當者ニ之ヲ適用ス

第五條　財產權上ノ訴ハ義務履行地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第六條　寄留者ニ對スル財產權上ノ訴ハ寄留地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第七條　軍人、軍屬又ハ船員ニ對スル財產權上ノ訴ハ軍事用ノ廳舍ノ所在地又ハ艦船ノ本籍若ハ船籍ノ所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第八條　日本ニ住所ナキ者又ハ住所ノ知レサル者ニ對スル財產權上ノ訴ハ請求若ハ其ノ擔保ノ目的ノ又ハ差押フルコトヲ得ヘキ被告ノ財產ノ所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

第九條　事務所又ハ營業所ヲ有スル者ニ對スル訴ハ其ノ事務所又ハ營業所ニ於ケル業務ニ關スルモノニ限リ其ノ所在地ノ裁判所ニモ之ヲ提起スルコトヲ得

アジア経済文化センター
Japan Center for Asian Economy & Culture
http://www.jacar.go.jp

第十條　船舶又ハ航海ニ關シ船舶所有者其ノ他船舶ノ利用ヲ爲ス者ニ對スル訴ハ船籍ノ所在地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第十一條　船舶債權其ノ他船舶又ハ船舶ノ所在地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第十二條　會社其ノ他ノ社團ヨリ社員ニ對スル訴又ハ社員ヨリ社員ニ對スル訴又ハ社員タル資格ニ基クモノニ限リ會社其ノ他ノ社團ノ普通裁判籍所在地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ規定ハ社團又ハ財團ヨリ役員ニ對スル訴及會社ヨリ設立人又ハ檢査役ニ對スル訴ニ之ヲ準用ス

第十三條　會社其ノ他ノ社團ノ債權者ヨリ社員ニ對スル訴ハ社員タル資格ニ基クモノニ限リ前條ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第十四條　第十二條及前條ノ規定ハ社團、財團、社員又ハ社團ノ債權者ヨリ社員、役員、設立人又ハ檢査役タリシ者ニ對スル訴及社員タリシ者ヨリ社員ニ對スル訴ニ之ヲ準用ス

第十五條　不法行爲ニ關スル訴ハ其ノ行爲アリタル地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

船舶ノ衝突其ノ他海上ノ事故ニ基ク損害賠償ノ訴ハ損害ヲ受ケタル船舶カ最初ニ到達シタル地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第十六條　海蘇救助ニ關スル訴ハ救助アリタル地又ハ救助セラレタル船舶カ最初ニ到達シタル地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第十七條　不動産ニ關スル訴ハ不動産所在地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第十八條　登記又ハ登錄ニ關スル訴ハ登記又ハ登錄ヲ爲スヘキ地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第十九條　相續權ニ關スル訴又ハ遺留分若ハ遺贈其ノ他死亡ニ因リテ效力ヲ生スヘキ行爲ニ關スル訴ハ相續開始ノ時ニ於ケル被相續人ノ普通裁判籍所在地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第二十條　相續債權其ノ他相續財産ノ負擔ニ關スル訴ニシテ前條ノ規定ニ該當セサルモノハ相續財産ノ全部又ハ一部カ前條ノ裁判所ノ管轄區域内ニ在ルトキニ限リ其ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第二十一條　一ノ訴ヲ以テ數個ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ第一條乃至前條ノ規定ニ依リ一ノ請求ニ付管轄權ヲ有スル裁判所ニ其ノ訴ヲ提起スルコトヲ得

第二十二條　裁判所構成法ニ依リ管轄カ訴訟ノ目的ノ價額ニ依リテ定マルトキハ其ノ價額ハ訴ヲ以テ主張スル利益ニ依リテ之ヲ算定スル

前項ノ價額ヲ算定スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ハ千圓ヲ超過スルモノト看做ス

第二十三條　一ノ訴ヲ以テ數個ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ各請求ニ付キ相當ノ價額ヲ有スルトキハ其ノ價額ヲ合算ス

果實、損害賠償、違約金又ハ費用ノ請求カ訴訟ノ附帶ノ目的ノミトキハ其ノ價額ハ之ヲ算入セス

第二十四條　左ノ場合ニ於テハ關係アル裁判所ニ共通スル最近上級裁判所ノ申立ニ因リ決定ヲ以テ管轄裁判所ヲ定ム

一　管轄裁判所及裁判所構成法第十三條第二項ノ規定ニ依リテ之ニ代ルヘキ裁判所カ法律上又ハ事實上裁判權ヲ行フコト能ハサルトキ

二　裁判所ノ管轄區域明確ナラサル爲管轄前項ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十五條　當事者ハ第一審ニ限リ合意ニ依リ管轄裁判所ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ合意ハ一定ノ法律關係ニ基ク訴ニ關シ且書面ヲ以テ之ヲ爲スニ非サレハ其ノ效ナシ

第二十六條　被告カ第一審裁判所ニ於テ管轄違ノ抗辯ヲ提出セシテ本案ニ付辯論ヲ爲シ又ハ準備手續ニ於テ申述ヲ爲シタルトキハ其ノ裁判所ハ管轄權ヲ有ス

第二十七條　第一條、第五條乃至第二十一條、第二十五條及前條ノ規定ハ附屬管轄ノ定アル場合ニハ之ヲ適用セス

第二十八條　裁判所ハ管轄ニ關スル事項ニ付職權ヲ以テ證據調ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　裁判所ノ管轄ハ起訴ノ時ヲ標準トシテ之ヲ定ム

第三十條　裁判所ノ訴訟ノ全部又ハ一部カ其ノ管轄ニ屬セスト認ムルトキハ決定ヲ以テ之ヲ管轄裁判所ニ移送ス

第三十一條　裁判所ハ其ノ管轄ニ屬スル訴訟ニ付著キ損害又ハ遲滯ヲ避ケル爲必要アリト認ムルトキハ其ノ專屬管轄ニ屬スルモノヲ除クノ外申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十二條　移送ノ裁判ハ移送ヲ受ケタル裁判所ヲ羈束ス

移送ヲ受ケタル裁判所ハ更ニ事件ヲ他ノ裁判所ニ移送スルコトヲ得ス

第三十三條　移送ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

移送ノ申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第三十四條　移送ノ裁判確定シタルトキハ訴訟ハ初ヨリ移送ヲ受ケタル裁判所ニ繫屬シタルモノト看做ス

前項ノ場合ニ於テハ移送ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ書記ハ其ノ裁判ノ正本ヲ訴訟記錄ニ添附シ移送ヲ受ケタル裁判所ノ書記ニ之ヲ送付スルコトヲ要ス

第二節　裁判所職員ノ除斥、忌避及回避

第三十五條　判事ハ左ノ場合ニ於テハ法律上其ノ職務ノ執行ヨリ除斥セラル

一　判事又ハ其ノ妻若ハ妻タリシ者カ事件ニ付當事者ノ爲ニ共同權利者、共同義務者若ハ償還義務者タル關係ヲ有スルトキ

二　判事カ當事者ノ四親等内ノ血族若ハ三親等内ノ姻族ナルトキ又ハナリシトキ

三　判事カ當事者ノ後見人、後見監督人、保佐人又ハ戶主若ハ家族ナルトキ

四　判事カ事件ニ付證人又ハ鑑定人ト爲リタルトキ

五　判事カ事件ニ付當事者ノ代理人又ハ輔佐人ナルトキ又ハナリシトキ

六　判事カ事件ニ付仲裁判斷ニ關與又ハ不服ヲ申立テラレタル前審ノ裁判ニ關與シタルトキ但シ他ノ裁判所ノ囑託ニ因リ受託判事トシテ其ノ職務ヲ行フコトヲ妨ケス

第三十六條　除斥ノ原因アルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ除斥ノ裁判ヲ爲ス

當事者カ判事ノ面前ニ於テ辯論ヲ爲シ又ハ準備手續ニ於テ申述ヲ爲シタルトキハ其ノ判事ニ忌避スルコトヲ得ス但シ忌避ノ原因カ其ノ後ニ生シ又ハ當事者カ其ノ原因アルコトヲ知ラサリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條　第三十六條又ハ前條ニ規定スル申立ハ其ノ原因ヲ陳述シ且之ヲ疏明スルコトヲ要ス

前條第三項ノ規定ハ判事ノ除斥又ハ忌避ノ申立ニ之ヲ準用ス

第三十九條　合議裁判所ノ判事ノ除斥又ハ忌避ニ付テハ其ノ裁判所、區裁判所ノ判事ノ除斥又ハ忌避ニ付テハ其ノ裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所決定ヲ以テ裁判ヲ爲ス

第四十條　判事ハ其ノ除斥又ハ忌避ニ付裁判ニ關與スルコトヲ得ス但シ意見ヲ述フルコトヲ得

第四十一條　除斥又ハ忌避ヲ理由アリトスル決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス之ヲ理由ナシトスル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　除斥又ハ忌避ノ申立アリタルトキハ其ノ申立ニ付テノ裁判ノ確定ニ至ル迄訴訟手續ヲ停止スルコトヲ要ス但シ急速ヲ要スル行爲ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　第三十五條及第三十七條第一項ノ場合ニ於テハ判事ハ監督權アル判事ノ許可ヲ得テ回避スルコトヲ得

第四十四條　本節ノ規定ハ裁判所書記ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ裁判ハ書記所屬ノ裁判所之ヲ爲ス

第二章　當事者

第一節　當事者能力及訴訟能力

第四十五條　當事者能力、訴訟能力及訴訟無能力者ノ法定代理ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外民法其ノ他ノ法令ニ從フ訴訟行爲ヲ爲スニ必要ナル授權亦同シ

第四十六條　法人ニ非サル社團又ハ財團ニシテ代表者又ハ管理人ノ定アルモノハ其ノ名ニ於テ訴ヘ又ハ訴ヘラルルコトヲ得

第四十七條　共同ノ利益ヲ有スル多數者ニシテ前條ノ規定ニ該當セサルモノハ其ノ中ヨリ總員ノ爲ニ原告若ハ被告トナルヘキ一人若ハ數人ヲ選定シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得

訴訟ノ繫屬ノ後前項ノ規定ニ依リテ原告又ハ被告トナルヘキ者ヲ定メタルトキハ他ノ當事者ハ當然訴訟ヨリ脫退ス

第四十八條　前條ノ規定ニ依リテ選定セラレタル當事者中死亡其ノ他ノ事由ニ因リ其ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ他ノ當事者ニ於テ總員ノ爲ニ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　未成年者及禁治産者ハ法定代理人ニ依リテノミ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得但未成年者カ獨立シテ法律行爲ヲ爲スコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十條　準禁治産者、妻又ハ法定代理人カ相手方ノ提起シタル訴又ハ上訴ニ付訴訟行爲ヲ爲スニハ保佐人ノ同意、夫ノ許可又ハ親族會ノ同意其ノ他ノ授權ヲ要セス

準禁治産者、妻又ハ法定代理人カ訴、控訴若ハ上告ノ取下、和解、請求ノ拋棄若ハ認諾又ハ第七十二條ノ規定ニ依ル脫退ヲ爲スニハ特別ノ授權アルコトヲ要ス

第五十一條　外國人ハ其ノ本國法ニ依レハ訴訟能力ヲ有セサルトキト雖日本ノ法律ニ依レハ訴訟能力ヲ有スヘキトキハ之ヲ訴訟能力ヲ有スト看做ス

第五十二條　訴訟能力ノ欠缺アル者ノ爲ニ法定代理權又ハ訴訟行爲ヲ爲スニ必要ナル授權ハ書面ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ要ス第四十七條ノ規定ニ依ル當事者ノ選定及變更亦同シ

前項ノ書面ハ訴訟記錄ニ之ヲ添附スルコトヲ要ス

第五十三條　訴訟能力、法定代理權又ハ訴訟行爲ヲ爲スニ必要ナル授權ノ欠缺アルトキハ裁判所ハ期間ヲ定メテ其ノ補正ヲ命シ若遲滯ノ爲損害ヲ生スル虞アルトキハ一時訴訟行爲ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十四條　訴訟能力、法定代理權又ハ訴訟行爲ヲ爲スニ必要ナル授權ノ欠缺アル者カ爲シタル訴訟行爲ハ其ノ欠缺ナキニ至リタル當事者又ハ法定代理人ノ追認ニ因リ行爲ノ時ニ遡リテ其ノ效力ヲ生ス

第五十五條　第五十三條及前條ノ規定ハ第四十七條ノ規定ニ依ル當事者カ訴訟行爲ヲ爲スニ必要ナル授權ヲ欠ク場合ニ之ヲ準用ス

第五十六條　法定代理人ナキ場合又ハ法定代理人カ代理權ヲ行フコト能ハサル場合ニ於テ未成年者又ハ禁治産者ニ對シ訴訟行爲ヲ爲サムトスル者ハ遲滯ノ爲損害ヲ受クル虞アルコトヲ疏明シテ受訴裁判所ノ裁判長ニ特別代理人ノ選任ヲ申請スルコトヲ得

裁判所ハ何時ニテモ特別代理人ヲ改任スルコトヲ得

特別代理人カ訴訟行爲ヲ爲スニハ後見人ト同一ノ授權アルコトヲ要ス

特別代理人ノ選任及改任ノ命令ハ特別代理人ニモ之ヲ送達スルコトヲ要ス

第五十七條　法定代理權ノ消滅ハ本人又ハ代理人ヨリ之ヲ相手方ニ通知スルニ非サレハ其ノ效ナシ

前項ノ規定ハ第四十七條ノ規定ニ依ル當事者ノ變更ニ之ヲ準用ス

第五十八條　本法中法定代理及法定代理人ニ關スル規定ハ法人ノ代表者及法人ニ非シテ其ノ名ニ於テ訴ヘ又ハ訴ヘラルルコトヲ要スル社團又ハ財團ノ代表者又ハ管理人ニ之ヲ準用ス

第三節　共同訴訟

第五十九條　訴訟ノ目的タル權利又ハ義務カ數人ニ付共通ナルトキ又ハ同一ノ事實上及法律上ノ原因ニ基クトキハ其ノ數人ハ共同訴訟人トシテ訴ヘ又ハ訴ヘラルルコトヲ得

訴訟ノ目的タル權利又ハ義務カ同種ニシテ事實上及法律上同種ノ原因ニ基クトキハ亦同シ

第六十條　他人間ノ訴訟ノ目的ノ全部又ハ一部ヲ自己ノ爲ニ請求スル者ハ其ノ訴訟ノ繫屬中當事者變方ヲ共同被告トシ第一審ノ受訴裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

第六十一條　共同訴訟人ノ一人ノ訴訟行爲又ハ之ニ對スル相手方ノ訴訟行爲及其ノ一人ニ付生シタル事項ハ他ノ共同訴訟人ニ影響ヲ及ホサス

第六十二條　訴訟ノ目的カ共同訴訟人ノ全員ニ付合一ノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ一人ノ訴訟行爲ハ全員ノ利益ニ於テノミ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ對スル相手方ノ訴訟行爲ハ全員ニ對シテ其ノ效力ヲ生ス

共同訴訟人ノ一人ニ付訴訟手續ノ中斷又ハ中止ノ原因アルトキハ其ノ中斷又ハ中止ハ全員ニ付其ノ效力ヲ生ス

第六十三條　第五十條第一項ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ於テ共同訴訟人ノ一人カ提起シタル上訴ニ付他ノ共同訴訟人ノ爲スヘキ訴訟行爲ニ之ヲ準用ス

第四節　訴訟參加

第六十四條　訴訟ノ結果ニ付利害關係ヲ有スル第三者ハ其ノ訴訟ノ繫屬中當事者ノ一方ヲ補助スル爲訴訟ニ參加スルコトヲ得

第六十五條　參加ノ申出ハ參加ノ趣旨及理由ヲ具シ參加ニ依リテ訴訟行爲ヲ爲スヘキ裁判所ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

書面ニ依リテ參加ノ申出ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ書面ハ之ヲ當事者雙方ニ送達スルコトヲ要ス

參加ノ申出ハ參加人ヨリテ爲シ得ル訴訟行爲ニ付之ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　當事者カ參加ニ付異議ヲ述ヘタルトキハ參加人ハ參加ニ付攻擊又ハ防禦ノ方法ノ提出、異議ノ申立、上訴ノ提起其ノ他一切ノ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得但シ參加ノ時ニ於ケル訴訟ノ程度ニ從ヒ爲スコトヲ得サルモノハ此ノ限ニ在ラス

參加人ノ訴訟行爲カ被參加人ノ訴訟行爲ト牴觸スルトキハ其ノ效力ヲ有セス

第六十七條　前條ノ規定ニ依リテ參加人カ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得ル場合ト雖被參加人カ之ニ反シテ爲シ又ハ其ノ訴訟行爲カ效力ヲ生セサリシ場合、被參加人カ參加人ノ訴訟行爲ヲ妨ケタル場合及被參加人カ參加人ノ爲スコト能ハサル訴訟行爲ヲ故意又ハ過失ニ因リテ爲ササリシ場合ヲ除クノ外裁判ハ參加人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第六十八條　參加人ノ訴訟ニ付攻擊又ハ防禦ノ方法ノ提出、異議ノ申立、上訴ノ提起其ノ他一切ノ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得但シ參加ノ時ニ於ケル訴訟ノ程度ニ從ヒ爲スコトヲ得サルモノハ此ノ限ニ在ラス

參加人ノ訴訟行爲カ被參加人ノ訴訟行爲ト牴觸スルトキハ其ノ效力ヲ有セス

第六十九條　參加人ノ訴訟ニ付攻擊又ハ防禦ノ方法ノ提出、異議ノ申立、上訴ノ提起其ノ他一切ノ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得但シ參加ノ時ニ於ケル訴訟ノ程度ニ從ヒ爲スコトヲ得サルモノハ此ノ限ニ在ラス

參加人ノ訴訟行爲カ被參加人ノ訴訟行爲ト牴觸スルトキハ其ノ效力ヲ有セス

第七十條　前條ノ規定ニ依リテ參加人カ訴訟行爲ヲ爲スコトヲ得ル場合ト雖被參加人カ之ニ反シテ爲シ又ハ其ノ訴訟行爲カ效力ヲ生セサリシ場合、被參加人カ參加人ノ訴訟行爲ヲ妨ケタル場合及被參加人カ參加人ノ爲スコト能ハサル訴訟行爲ヲ故意又ハ過失ニ因リテ爲ササリシ場合ヲ除クノ外裁判ハ參加人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第七十一條　訴訟ノ結果ニ因リテ權利ヲ害セラルヘキ者ハ主張スル第三者又ハ訴訟ノ目的ノ全部若ハ一部カ自己ノ權利ナルコトヲ主張スル第三者ハ當事者トシテ訴訟ニ參加スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第六十二條及第六十五條ノ規定ヲ準用ス

第七十二條　前條ノ規定ニ依リ自己ノ權利ヲ主張スル爲訴訟ニ參加シタル者ア ル場合ニ於テハ參加前ノ原告又ハ被告ハ相手方ノ承諾ヲ得テ訴訟ヨリ脫退スルコトヲ得但シ判決ハ脫退シタル當事者ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第七十三條　訴訟ノ繫屬中共ノ訴訟ノ目的タル權利ノ全部又ハ一部ヲ譲受ケタルコトヲ

前項ノ書面カ私文書ナルトキハ裁判所ハ當該吏員ノ認證ヲ受ケヘキ旨ヲ訴訟代理人ニ命スルコトヲ得

前二項ノ規定ハ當事者カ口頭ヲ以テ訴訟代理人ヲ選任シ裁判所書記カ調書ニ其ノ陳述ヲ記載シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第八十八條　訴訟代理人ハ委任ヲ受ケタル事件ニ付反訴、參加、强制執行、假差押及假處分ニ關スル訴訟行爲ヲ爲シ且辨濟ヲ受領スルコトヲ得

左ニ揭ケル事項ニ付テハ特別ノ委任ヲ受ケルコトヲ要ス

一　反訴ノ提起

二　訴ノ取下、和解、請求ノ拋棄若ハ認諾又ハ第七十二條ノ規定ニ依ル脫退

三　控訴、上告又ハ其ノ取下

四　代理人ノ選任

訴訟代理權ハ之ヲ制限スルコトヲ得ス但シ辯護士ニ非サル訴訟代理人ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條　前條ノ規定ハ法令ニ依リテ裁判得ル代理人ノ外辯護士ニ非サル訴訟代理人ニ付亦之ヲ準用ス

第八十三條　數人ノ訴訟代理人アルトキハ各自當事者カ前項ノ規定ニ異ル定ヲ爲スモ其ノ效力ヲ生セス

第八十四條　訴訟代理人ノ事實上ノ陳述ハ當事者カ直ニ之ヲ取消シ又ハ更正シタルトキハ其ノ效力ヲ生セス

第八十五條　訴訟代理權ハ當事者ノ死亡若ハ訴訟能力ノ喪失、當事者タル受託者ノ借託ノ任務終了又ハ法定代理人ノ死亡、訴訟能力ノ喪失若ハ代理權ノ消滅、變更ニ因リテ消滅セス

第八十六條　一定ノ資格ヲ有スル者ニシテ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲訴訟ノ當事者タルモノノ訴訟代理人ノ代理權ハ當事者ノ資格ノ喪失ニ因リテ消滅セス

前項ノ規定ハ第四十七條ノ規定ニ依リテ選定セラレタル當事者カ其ノ資格ヲ喪失シタル場合ニ之ヲ準用ス

第八十七條　第五十二條第二項、第五十三條、第五十四條及第五十七條ノ規定ハ訴訟代理ニ之ヲ準用ス

第八十八條　當事者又ハ訴訟代理人ハ裁判所ノ許可ヲ得テ補佐人ト共ニ出頭スルコトヲ得此ノ許可ハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

補佐人ノ陳述ハ當事者又ハ訴訟代理人カ直ニ之ヲ取消シ又ハ更正セサルトキハ自ラ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三章　訴訟費用

第一節　訴訟費用ノ負擔

第八十九條　訴訟費用ハ敗訴ノ當事者ノ負擔トス

第九十條　裁判所ハ事情ニ從ヒ勝訴ノ當事者ヲシテ其ノ權利ノ伸張若ハ防禦ニ必要ナラサル行爲ニ因リテ生シタル訴訟費用又ハ訴訟ノ程度ニ於テ相手方ノ權利ノ伸張若ハ防禦ニ必要ナリシ行爲ニ因リテ生シタル訴訟費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第九十一條　當事者カ適當ノ時期ニ攻擊若ハ防禦ノ方法ヲ提出セサル爲又ハ期日若ハ期間ノ懈怠其ノ他當事者ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ訴訟ヲ遲滯セシメタルトキハ裁判所ハ之ヲシテ其ノ勝訴ノ場合ニ於テモ遲滯ニ因リテ生シタル訴訟費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第九十二條　一部敗訴ノ場合ニ於テ各當事者ノ負擔スヘキ訴訟費用ニ付裁判所ノ意見ヲ以テ之ヲ定ム但シ事情ニ從ヒ當事者ノ一方ヲシテ訴訟費用ノ全部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第九十三條　共同訴訟人ハ平等ノ割合ヲ以テ訴訟費用ヲ負擔ス但シ裁判所ハ事情ニ從ヒ共同訴訟人ヲシテ連帶シテ訴訟費用ヲ負擔セシメ又ハ他ノ方法ニ依リ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

裁判所ハ前項ノ規定ニ拘ラス權利ノ伸張又ハ防禦ニ必要ナラサル行爲ヲ爲シタル當事者ヲシテ其ノ行爲ニ因リテ生シタル費用ヲ負擔セシムルコトヲ得

第九十四條　訴訟費用ハ勝訴ノ當事者ノ一方及第三者ニ付合一ニノミ確定スヘキ場合ニ於テハ其ノ第三者ハ共同訴訟人トシテ訴訟ニ參加スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第六十五條ノ規定ヲ準用ス

第九十五條　當事者又ハ訴訟代理人カ直ニ之ヲ取消シ又ハ更生セサルトキハ自ラ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第三節　訴訟費用ノ負擔

第九十六條　訴訟費用ハ事情ニ從ヒ勝訴ノ當事者ノ負擔ニ歸スヘキ場合ニ於テモ其ノ全部又ハ一部ヲ敗訴ノ當事者ニ負擔セシムルコトヲ得

第九十七條　裁判所ハ訴訟費用ノ負擔ニ付裁判ヲ爲スニ當リ勝訴ノ當事者ノ權利ノ伸張又ハ防禦ニ必要ナラサリシ行爲ニ因リテ生シタル訴訟費用ノ額ヲ知リ且其ノ費用ノ負擔ヲ命スヘキ者ニ之ヲ知ラシメタル後ニ非サレハ其ノ裁判ヲ爲スコトヲ得ス

第九十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ニ至ルマテ之ヲ執行スルコトヲ得ス

第九十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ其ノ審級ニ於テ訴訟ノ完結ヲ告ケサル間ハ之ヲ變更スルコトヲ得

第百條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百二十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百三十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百四十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百五十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百六十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百七十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百八十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第百九十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百二十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十一條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十二條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十三條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十五條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十六條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十七條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十八條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ且其ノ償還ヲ命スルコトヲ得

第二百三十九條　訴訟費用ノ負擔ヲ命スル裁判ハ訴訟ノ完結ヲ告ケタル後ニ於テ其ノ費用ノ額ヲ定メ

爲當事者本人又ハ其ノ法定代理人ノ出頭ヲ命スルコトヲ得

第百三十七條　攻撃又ハ防禦ノ方法ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外裁判長之ヲ陳述セシムルコトヲ要ス

第百三十八條　原告又ハ被告カ最初ニ爲スヘキ口頭辯論ノ期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ本案ノ辯論ヲ爲ササルトキハ其ノ者ノ提出シタル訴狀、答辯書其ノ他ノ準備書面ニ記載シタル事項ハ之ヲ陳述シタルモノト看做シ出頭シタル相手方ニ辯論ヲ命スルコトヲ得

第百三十九條　當事者カ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ時機ニ後レテ提出シタル攻撃又ハ防禦ノ方法ハ之カ爲訴訟ノ完結ヲ遲延セシムヘキモノト認メタルトキハ裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ却下ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第百四十條　攻撃又ハ防禦ノ方法ニシテ其ノ趣旨明瞭ナラサルモノニ付當事者カ必要ナル釋明ヲ爲サス又ハ釋明ヲ爲スヘキ期日ニ出頭セサルトキハ亦前項ニ同シ

第百四十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ相手方ノ主張シタル事實ヲ明ニ爭ハサルトキハ其ノ事實ヲ自白シタルモノト看做シ辯論ノ全趣旨ニ依リ其ノ事實ヲ爭ヒタルモノト認ムヘキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第百四十二條　口頭辯論ニ付テハ裁判所書記ヲシテ期日毎ニ調書ヲ作ラシメ左ノ事項ヲ記載セシムヘシ

一　當事者ノ出頭又ハ其ノ代理人ノ出頭ヲ命スルコトヲ得

二　辯論ノ場所及年月日

三　立會ヒタル檢事ノ氏名

四　出頭シタル當事者、代理人、輔佐人及通事並關係シタル當事者ノ氏名

五　辯論ノ場所及年月日

六　辯論ヲ公開シタルコト又ハ公開セサル場合ニ於テハ其ノ理由

第百四十四條　調書ニハ辯論ノ要領ヲ記載シ殊ニ左ノ事項ヲ明確ニスルコトヲ要ス

一　和解、認諾、拋棄、取下及自白

二　證人、鑑定人ノ宣誓及陳述

三　檢證ノ結果

四　裁判長ノ記載ヲ命シタル事項及當事者請求ニ因リ記載ヲ許シタル事項

五　書面ニ作ラサル裁判

六　裁判ノ言渡

第百四十五條　調書ニハ書面、寫眞其ノ他裁判所ニ於テ適當ト認ムルモノヲ引用シ訴訟記錄ニ添附シテ之ヲ調書ノ一部ト爲スコトヲ得

第百四十六條　調書ノ記載ハ申立ニ因リ法廷ニ於テ關係人ニ之ヲ讀聞カセ又ハ閱覽セシメ且調書ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

調書ノ記載ニ付關係人カ異議ヲ述ヘタルトキハ調書ニ其ノ趣旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第百四十七條　裁判所ハ通事ニ之ヲ準用ス

前項ノ規定ハ檢證ノ結果ノ調書ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　裁判所ハ訴訟關係ヲ明瞭ナラシムル爲必要ナル陳述ヲ爲スコトヲ命シ又ハ補佐人ノ陳述ヲ禁シ辯論ノ制限、分離若ハ併合ヲ命シ又ハ其ノ命ヲ取消スコトヲ得

第百四十九條　裁判所ハ訴訟關係ヲ明瞭ナラシムル爲必要ナル檢證、鑑定及調査ノ嘱託ヲ付テハ證據調ニ關スル規定ヲ準用ス

第百五十條　調書ニハ書面、寫眞其ノ他裁判所ノ許可ヲ得テ提出シタル攻撃又ハ防禦ノ方法ニ關スル事項ヲ記載セシムヘキモノトス

第百五十一條　當事者カ故意又ハ重大ナル過失ニ因リ又ハ職權ヲ以テ却下ノ決定ヲ爲シタル攻撃又ハ防禦ノ方法ニシテ其ノ趣旨明瞭ナラサルモノニ付當事者カ必要ナル釋明ヲ爲サス又ハ釋明ヲ爲スヘキ期日ニ出頭セサルトキ亦前項ニ同シ

第百五十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ相手方ノ主張シタル事實ヲ明ニ爭ハサルトキハ其ノ事實ヲ自白シタルモノト看做シ辯論ノ全趣旨ニ依リ其ノ事實ヲ爭ヒタルモノト認ムヘキ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第百五十三條　期日ハ巳ムコトヲ得サル場合ニ限リ日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ニ之ヲ定ムルコトヲ得

第百五十四條　期日ニ於ケル呼出ハ呼出狀ヲ送達シテ之ヲ爲ス但シ當該事件ニ付出頭シタル者ニ對シテハ期日ヲ告知スルヲ以テ足ル

第百五十五條　期日ハ事件ノ呼上ヲ以テ之ヲ開始ス

第百五十六條　期間ノ計算ハ民法ニ從フ

期間ノ末日カ日曜日其ノ他ノ一般ノ休日ニ當ルトキハ期間ハ其ノ翌日ヲ以テ滿了ス

第百五十七條　期間ヲ定ムル裁判ニ於テ始期ヲ定メサルトキハ其ノ期間ハ裁判カ效力ヲ生シタル時ヨリ進行ヲ始ム

第百五十八條　裁判所ハ法定期間又ハ其ノ定メタル期間ヲ伸長シ又ハ之ヲ短縮スルコトヲ得但シ不變期間ハ此ノ限ニ在ラス

不變期間ニ付テハ裁判所ハ遠隔ノ地ニ住所又ハ居所ヲ有スル者ノ爲附加期間ヲ定ムル

前ニ於テ陳述ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ書記調書ヲ作リ之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

第百五十一條　當事者ハ訴訟記錄ノ閱覽若ハ謄寫又ハ其ノ正本、謄本、抄本若ハ訴訟ニ關スル事項ノ證明書ノ交付ヲ裁判所書記ニ請求スルコトヲ得利害關係ヲ疏明シタル第三者亦同シ

訴訟記錄ノ正本、謄本又ハ抄本ニハ其ノ正本、謄本又ハ抄本ナルコトヲ記載シ書記之ニ署名捺印シ且裁判所ノ印ヲ押捺スルコトヲ要ス

第二節　期日及期間

第百五十二條　期日ハ裁判長之ヲ定ム

受命判事又ハ受託判事ノ審問ノ期日ハ其ノ判事之ヲ定ム

期日ノ指定ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

口頭辯論ニ於ケル最初ノ期日ノ變更ハ顯著ナル事由ノ存セサルトキ雖當事者ノ合意アル場合ニ於テハ之ヲ許ス準備手續ニ於ケル最初ノ期日ノ變更亦同シ

第百五十三條　期日ハ職權ヲ以テ之ヲ變更シ又ハ續行ヲ命スルコトヲ得

第百五十四條　期日ニ於ケル呼出ハ呼出狀ヲ送達シテ之ヲ爲ス但シ當該事件ニ付出頭シタル者ニ對シテハ期日ヲ告知スルヲ以テ足ル

第百五十五條　期日ノ事件ノ呼上ヲ以テ之ヲ開始ス

第百五十六條　期日ハ裁判長之ヲ指揮ス

第百五十七條　當事者ハ期日ニ出頭シ又ハ代理人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第百五十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百五十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百六十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百七十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百八十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第百九十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百二十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百三十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百四十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百五十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百六十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百七十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百八十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第二百九十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十七條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十八條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百二十九條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百三十條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百三十一條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百三十二條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百三十三條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百三十四條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百三十五條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモノト看做ス

第三百三十六條　當事者カ口頭辯論ニ於テ爲シタル陳述ハ其ノ者ノ出頭シタル期日ニ於テ爲シタルモ

第百九十條　判決ノ言渡ハ口頭辯論終結ノ日ヨリ二週間内ニ之ヲ爲ス但シ事件繁雜ナルトキ其ノ他特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

判決ノ言渡ハ當事者カ在廷セサル場合ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第百九十一條　判決ニハ左ノ事項ヲ記載シ判決ヲ爲シタル判事之ニ署名捺印スルコトヲ要ス

一　主文

二　事實及爭點

三　理由

四　當事者及法定代理人

五　裁判所

事實及爭點ノ記載ハ口頭辯論ニ於ケル當事者ノ陳述ニ基キ要領ヲ摘示シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

判決ニハ署名捺印スルニ支障アルトキハ他ノ判事判決ニ其ノ事由ヲ記載シテ署名捺印スルコトヲ要ス

第百九十二條　判決ハ言渡後遲滯ナク之ヲ裁判所書記ニ交付シ書記ハ言渡及交付ノ日ヲ附記シ之ニ捺印スルコトヲ要ス

第百九十三條　判決ハ交付ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ當事者ニ送達スルコトヲ要ス

判決ノ送達ハ正本ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十四條　判決ニ違算、書損其ノ他之ニ類スル明白ナル誤謬アルトキハ裁判所ハ何時ニテモ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ更正決定ヲ爲スコトヲ得

更正決定ハ判決ノ原本及正本ニ之ヲ附記スルコトヲ要ス但シ正本ニ附記スルコト能ハサルトキハ決定ノ正本ヲ作リ之ヲ當事者ニ送達スルコトヲ要ス

更正決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得但シ判決ニ對シ適法ノ抗訴アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百九十五條　裁判所カ請求ノ一部ニ付裁判ヲ脫漏シタルトキハ訴訟費用ニ關スル裁判ノ部分ニ付亦之ヲ爲スコトヲ得

第二百條　訴訟費用ノ負擔ハ敗訴ノ當事者ノ負擔トス

第二百一條　訴訟費用ハ勝訴ノ當事者ノ請求ニ因リ相手方ノ負擔ニ歸セシムヘキ費用ニ限リ之ヲ裁判ス

第二百二條　訴訟費用ノ負擔ノ裁判ハ本案ノ裁判ト同時ニ之ヲ爲スヘシ

第二百三條　和解又ハ請求ノ拋棄若ハ認諾ヲ調書ニ記載シタルトキハ其ノ記載ハ確定判決ト同一ノ效力ヲ有ス

第二百四條　決定及命令ハ相當ト認ムル方法ヲ以テ之ヲ告知スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

裁判所書記ハ告知ノ方法、場所及年月日ヲ裁判ノ原本ニ附記シ之ニ捺印スルコトヲ要ス

第二百五條　訴訟ノ指揮ニ關スル決定及命令ハ何時ニテモ之ヲ取消スコトヲ得

第二百六條　裁判所書記ノ處分ニ對スル異議ニ付テハ其ノ書記所屬ノ裁判所決定ヲ以テ裁判ヲ爲ス

第二百七條　決定及命令ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ判決ニ關スル規定ヲ準用ス

第五節　訴訟手續ノ中斷及中止

第二百八條　當事者カ死亡シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ相續人、相續財産管理人其ノ他法令ニ依リ訴訟ヲ續行スヘキ者ハ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス相續人ハ相續ノ拋棄ヲ爲スコトヲ得ル間ハ訴訟手續ヲ受繼スルコトヲ得ス

第二百九條　當事者タル法人カ合併ニ因リテ消滅シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ合併ニ因リテ設立シタル法人又ハ合併後存續スル法人ハ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ假執行ノ宣言ニ之ヲ準用ス

第二百十條　不適法ナル訴ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサル場合ニ於テハ口頭辯論ヲ經スシテ判決ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第二百三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十一條　一定ノ資格ヲ有スル者カ自己ノ名ヲ以テ他人ノ爲訴訟ノ當事者タル場合ニ於テ其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ法定代理人又ハ同一ノ資格ヲ有スル者訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス當事者ノ死亡ニ因リ訴訟手續カ中斷シタル場合亦同シ

第四十七條ノ規定ニ依リテ原告又ハ被告トナルヘキ者ヲ選定シタル訴訟ニ於テ其ノ選定セラレタル當事者ノ全員カ其ノ資格ヲ喪失シタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ選定ヲ爲シタル者ノ總員又ハ新ニ原告若ハ被告トシテ選定セラレタル者ハ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス

第二百十三條　第二百八條第一項、第二百九條第一項及第二百十條乃至前條ノ規定ハ訴訟代理人カ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百十四條　當事者カ破產ノ宣告ヲ受ケタルトキハ破產財團ニ關スル訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テ破產法ニ依リ受繼アル迄當然訴訟手續ヲ解止アリタルトキハ破產者ハ

第二百十五條　破產法ニ依リテ破產財團ニ關スル訴訟手續ノ受繼アリタル後破產手續ノ解止アリタルトキハ訴訟手續ハ中斷ス此ノ場合ニ於テハ破產者ハ訴訟手續ヲ受繼クコトヲ要ス

第二百十六條　訴訟手續ノ受繼ハ相手方ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ訴訟費用ニ付裁判ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ第百四條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依ル訴訟費用ノ裁判ハ本案判決ニ對シ適法ノ控訴アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ控訴裁判所ハ訴訟ノ總費用ニ付裁判ヲ爲ス

第二百十七條　和解調書ニ記載シタル訴訟費用ニ關スル和解ニ付テハ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ他人ノ爲原告又ハ被告トナリタル者ニ對シテモ效力ヲ有スル確定判決ト其ノ他人ニ對シテモ效力ヲ有ス

前二項ノ規定ハ假執行ノ宣言ニ之ヲ準用ス

第二百十八條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結後ノ承繼人又ハ其ノ者ノ爲ニ請求ノ目的物ヲ所持スル者ニ對シテ其ノ效力ヲ有ス

他人ノ爲原告又ハ被告トナリタル者ニ對スル確定判決ハ其ノ他人ニ對シテモ效力ヲ有ス

第二百十九條　確定判決ハ主文ニ包含スルモノニ限リ既判力ヲ有ス

相殺ノ爲主張シタル請求ノ成立又ハ不成立ノ判斷ハ相殺ヲ以テ對抗シタル額ニ付既判力ヲ有ス

第二百二十條　外國裁判所ノ確定判決ハ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ限リ其ノ效力ヲ有ス

一　法令又ハ條約ニ於テ外國裁判所ノ裁判權ヲ否認セサルコト

二　敗訴ノ被告カ日本人ナル場合ニ於テ公示送達ニ依ラスシテ訴訟ノ開始ニ必要ナル呼出若ハ命令ノ送達ヲ受ケタルコトヲ又ハ之ヲ受ケサルモ應訴シタルコト

三　外國裁判所ノ判決カ日本ニ於ケル公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反セサルコト

四　相互ノ保證アルコト

第二百一條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結後ノ承繼人又ハ其ノ者ノ爲ニ請求ノ目的物ヲ所持スル者ニ對シテ其ノ效力ヲ有ス

他人ノ爲原告又ハ被告トナリタル者ニ對スル確定判決ハ其ノ他人ニ對シテモ效力ヲ有ス

前二項ノ規定ハ假執行ノ宣言ニ之ヲ準用ス

第二百二條　不適法ナル訴ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナル場合ニ於テハ口頭辯論ヲ經スシテ判決ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第二百三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結ノ日ノ狀態ニ基キテ之ヲ爲ス

第二百五條　裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ訴訟費用ニ付裁判ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ第百四條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依ル訴訟費用ノ裁判ハ本案判決ニ對シ適法ノ控訴アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ控訴裁判所ハ訴訟費用ニ付裁判ヲ爲ス

第二百六條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結後ノ承繼人又ハ其ノ者ノ爲ニ請求ノ目的物ヲ所持スル者ニ對シテ其ノ效力ヲ有ス

第二百七條　訴訟費用ノ負擔ハ敗訴ノ當事者ノ負擔トス

第二百八條　不適法ナル訴ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナル場合ニ於テハ口頭辯論ヲ經スシテ判決ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第二百三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百九條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結ノ日ノ狀態ニ基キテ之ヲ爲ス

第二百十條　訴訟費用ノ負擔ハ敗訴ノ當事者ノ負擔トス

第二百十一條　裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ訴訟費用ニ付裁判ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ第百四條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依ル訴訟費用ノ裁判ハ本案判決ニ對シ適法ノ控訴アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ控訴裁判所ハ訴訟費用ニ付裁判ヲ爲ス

第二百十二條　和解調書ニ記載シタル訴訟費用ニ關スル和解ニ付テハ裁判所ハ必要アリト認ムルトキハ他人ノ爲原告又ハ被告トナリタル者ニ對シテモ效力ヲ有ス

前二項ノ規定ハ假執行ノ宣言ニ之ヲ準用ス

第二百十三條　不適法ナル訴ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナル場合ニ於テハ口頭辯論ヲ經スシテ判決ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第二百四條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百十四條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結ノ日ノ狀態ニ基キテ之ヲ爲ス

第二百十五條　確定判決ハ主文ニ包含スルモノニ限リ既判力ヲ有ス

相殺ノ爲主張シタル請求ノ成立又ハ不成立ノ判斷ハ相殺ヲ以テ對抗シタル額ニ付既判力ヲ有ス

第二百十六條　外國裁判所ノ確定判決ハ左ノ條件ヲ具備スル場合ニ限リ其ノ效力ヲ有ス

一　法令又ハ條約ニ於テ外國裁判所ノ裁判權ヲ否認セサルコト

二　敗訴ノ被告カ日本人ナル場合ニ於テ公示送達ニ依ラスシテ訴訟ノ開始ニ必要ナル呼出若ハ命令ノ送達ヲ受ケタルコトヲ又ハ之ヲ受ケサルモ應訴シタルコト

三　外國裁判所ノ判決カ日本ニ於ケル公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反セサルコト

四　相互ノ保證アルコト

第二百一條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結後ノ承繼人又ハ其ノ者ノ爲ニ請求ノ目的物ヲ所持スル者ニ對シテ其ノ效力ヲ有ス

他人ノ爲原告又ハ被告トナリタル者ニ對スル確定判決ハ其ノ他人ニ對シテモ效力ヲ有ス

前二項ノ規定ハ假執行ノ宣言ニ之ヲ準用ス

第二百二條　不適法ナル訴ニシテ其ノ欠缺カ補正スルコト能ハサルモノナル場合ニ於テハ口頭辯論ヲ經スシテ判決ヲ以テ之ヲ却下スルコトヲ得

第二百三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結ノ日ノ狀態ニ基キテ之ヲ爲ス

第二百五條　裁判所ハ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ其ノ訴訟費用ニ付裁判ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ第百四條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ規定ニ依ル訴訟費用ノ裁判ハ本案判決ニ對シ適法ノ控訴アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ控訴裁判所ハ訴訟費用ニ付裁判ヲ爲ス

第二百六條　確定判決ハ當事者、口頭辯論終結後ノ承繼人又ハ其ノ者ノ爲ニ請求ノ目的物ヲ所持スル者ニ對シテ其ノ效力ヲ有ス

他人ノ爲原告又ハ被告トナリタル者ニ對スル確定判決ハ其ノ他人ニ對シテモ效力ヲ有ス

前二項ノ規定ハ假執行ノ宣言ニ之ヲ準用

第三百二十一條　第三百二十條ノ規定ハ第三百十九條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十二條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百二十三條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百二十四條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百二十五條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百二十六條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百二十七條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百二十八條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百二十九條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十一條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十二條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十三條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十四條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十五條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十六條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十七條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十八條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百三十九條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十一條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十二條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十三條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十四條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十五條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十六條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十七條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十八條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百四十九條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十一條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十二條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十三條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十四條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十五條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十六條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十七條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十八條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百五十九條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十一條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十二條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十三條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十四條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十五條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十六條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十七條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十八條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百六十九條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十一條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十二條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十三條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十四條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十五條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十六條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十七條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十八條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百七十九條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十一條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十二條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十三條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十四條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十五條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十六條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十七條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十八條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百八十九條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十一條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十二條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十三條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十四條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十五條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十六條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十七條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十八條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ二　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ三　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ四　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ五　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ六　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ七　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ八　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ九　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十一　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十二　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十三　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十四　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十五　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十六　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十七　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十八　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十九　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

第三百九十九條ノ二十　第三百十九條ノ場合ニ於テ第三百十八條ノ規定ニ依リ相續ヲ承認シタル者ハ其ノ承認ヲ取消スコトヲ得ス

スルコトヲ要ス

第三百二十二條　文書ノ提出又ハ送付ハ原本、正本又ハ認證アル謄本ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

裁判所ハ前項ノ規定ニ拘ラス原本ノ提出ヲ命シ又ハ送付ヲ爲サシムルコトヲ得

裁判所ハ當事者ヲシテ其ノ引用シタル文書ノ謄本又ハ抄本ヲ提出セシムルコトヲ得

第三百二十三條　文書ハ其ノ方式及趣旨ニ依リ官吏其ノ他ノ公務員カ職務上作成シタルモノト認ムヘキトキハ之ヲ眞正ナル公文書ト推定ス

公文書ノ眞否ニ付疑アルトキハ裁判所ハ職權ヲ以テ當該官廳又ハ公署ニ問合ヲ爲スコトヲ得

第三百二十四條　前條ノ規定ハ外國ノ官廳又ハ公署ノ作成ニ係ルモノト認ムヘキ文書ニ之ヲ準用ス

第三百二十五條　私文書ハ其ノ眞正ナルコトヲ證スルコトヲ要ス

第三百二十六條　私文書ハ本人又ハ其ノ代理人ノ署名又ハ捺印アルトキハ之ヲ眞正ナルモノト推定ス

第三百二十七條　文書ノ眞否ハ筆跡又ハ印影ノ對照ニ依リテモ之ヲ證スルコトヲ得

第三百二十八條　第三百十一條、第三百十四條乃至第三百十七條及第三百十九條乃至第三百二十一條ノ規定ハ對照ノ用ニ供スヘキ筆跡又ハ印影ヲ具フル文書其ノ他ノ物件ノ提出又ハ送付ニ之ヲ準用ス

第三百二十九條　前條ノ場合ニ於テ裁判所ハ和解ノ期日ニ出頭シタル當事者雙方ノ申立アルトキハ直ニ訴訟ノ辯論ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ和解ノ申立ヲ爲シタル者ハ其ノ申立ヲ爲シタル時ニ於テ訴ヲ提起シタルモノト看做シ和解ノ費用ハ之ヲ訴訟費用ノ一部トス

申立人又ハ相手方カ和解ノ期日ニ出頭セサルトキハ裁判所ハ和解調ハサルモノト看做スコトヲ得

第三百三十條　口頭辯論ハ書面ヲ以テ之ヲ準備スルコトヲ要セス

相手方カ準備ヲ爲スニ非サレハ陳述ヲ爲スコト能ハスト認ムヘキ事項ハ前項ノ規定ニ拘ラス書面ヲ以テ之ヲ準備スルコトヲ要ス

此ノ場合ニ於テハ準備書面ニ代ヘ口頭辯論前直接ニ相手方ニ其ノ事項ヲ通知スルコトヲ得

第三百三十一條　第百四十七條ノ規定ハ前項ノ通知ヲ爲ササル場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十二條　準備手續ニ關スル規定ハ區裁判所ノ訴訟手續ニモ之ヲ適用ス

第三百三十三條　附帶控訴ハ控訴ノ取下アリタルトキ又ハ不適法控訴ノ棄却アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ但シ控訴ノ要件ヲ具備スルモノハ之ヲ獨立ノ控訴ト看做ス

第三百三十四條　附帶控訴ニ付テハ控訴ニ關スル規定ニ依ル

第三百三十五條　控訴裁判所ハ第一審ノ判決ニ付不服ノ申立ナキ部分ニ限リ申立ニ因リ決定ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條　假執行ニ關スル控訴審ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

前條ノ申立ヲ却下スル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十七條　口頭辯論ハ當事者カ第一審ノ判決ノ變更ヲ求ムル限度ニ於テノミ之ヲ爲ス

當事者ハ第一審ニ於ケル口頭辯論ノ結果ヲ陳述スルコトヲ要ス

第三百三十八條　前編第一章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外控訴審ノ訴訟手續ニ之ヲ準用ス

第三百三十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟行爲ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百四十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

前項ノ合意ハ上告ヲ爲ス權利ヲ留保シテ之ヲ爲スコトヲ得

第二十五條第二項ノ規定ハ第一項ノ合意ニ之ヲ準用ス

第三百五十六條　民事上ノ爭ニ付テハ當事者ハ請求ノ趣旨及原因竝爭ノ實情ヲ表示シテ相手方ノ普通裁判籍所在地ノ區裁判所ニ和解ノ申立ヲ爲スコトヲ得

和解調ハサル場合ニ於テ裁判所ハ和解ノ期日ニ出頭シタル當事者雙方ノ申立アルトキハ直ニ訴訟ノ辯論ヲ命ス此ノ場合ニ於テハ和解ノ申立ヲ爲シタル者ハ其ノ申立ヲ爲シタル時ニ於テ訴ヲ提起シタルモノト看做シ和解ノ費用ハ之ヲ訴訟費用ノ一部トス

申立人又ハ相手方カ和解ノ期日ニ出頭セサルトキハ裁判所ハ和解調ハサルモノト看做スコトヲ得

第三百五十七條　口頭辯論ハ書面ヲ以テ之ヲ準備スルコトヲ要セス

相手方カ準備ヲ爲スニ非サレハ陳述ヲ爲スコト能ハスト認ムヘキ事項ハ前項ノ規定ニ拘ラス書面ヲ以テ之ヲ準備スルコトヲ要ス

此ノ場合ニ於テハ準備書面ニ代ヘ口頭辯論前直接ニ相手方ニ其ノ事項ヲ通知スルコトヲ得

第三百五十八條　附帶控訴ハ控訴ノ取下アリタルトキ又ハ不適法控訴ノ棄却アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ但シ控訴ノ要件ヲ具備スルモノハ之ヲ獨立ノ控訴ト看做ス

第三百五十九條　附帶控訴ニ付テハ控訴ニ關スル規定ニ依ル

第三百六十條　控訴裁判所ハ第一審ノ判決ニ對シテハ控訴ノ理由ニ依リテノミ裁判ヲ爲スコトヲ要ス

第三百六十一條　訴訟費用ノ裁判ニ對シテハ獨立シテ控訴ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十二條　終局判決前ノ裁判ハ控訴裁判所ノ判斷ヲ受ク但シ不服ヲ申立ツルコトヲ得サル裁判及抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ル裁判ハ此ノ限ニ在ラス

第三百六十三條　控訴ハ控訴審ノ終局判決ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ二週間內ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

第二百三十六條第三項乃至第五項、第二百三十七條第一項及第二百三十八條ノ規定ハ控訴ノ取下ニ之ヲ準用ス

第三百六十四條　控訴ヲ爲ス權利ハ之ヲ抛棄スルコトヲ得

第三百六十五條　控訴權ノ抛棄ハ控訴提起前ニ在リテハ控訴裁判所ニ對スル申述ニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

控訴提起後ノ控訴權ノ抛棄ハ控訴ノ取下ト共ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

控訴權抛棄ノ書面ハ之ヲ相手方ニ送達スルコトヲ要ス

第三百六十六條　控訴ハ判決ノ送達アリタル日ヨリ二週間內ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

但シ其ノ期間前提起シタル控訴ノ效力ハ妨ケス

前項ノ期間ハ之ヲ不變期間トス

第三百六十七條　控訴ノ提起ハ控訴狀ヲ第一審裁判所ニ差出シテ之ヲ爲ス

控訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者及法定代理人

二　第一審判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ控訴ノ旨

第三百六十八條　準備書面ニ關スル規定ハ控訴狀ニ之ヲ準用ス

第三百六十九條　第一審裁判所ニ控訴狀ノ提出アリタルトキハ裁判所書記ハ遲滯ナク第一審裁判所ノ書記ニ訴訟記錄ノ送付ヲ求ムルコトヲ要ス

第三百七十條　第二百二十八條ノ規定ハ控訴狀カ第三百六十七條第二項ノ規定ニ從ヒ控訴狀ニ印紙ヲ貼用セサル場合及控訴狀ノ送達ヲ爲スコトヲ能ハサル場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十一條　控訴狀ハ之ヲ被控訴人ニ送達スルコトヲ要ス

第三百七十二條　被控訴人ハ控訴權消滅ノ後ト雖口頭辯論ノ終結ニ至ル迄附帶控訴ヲ爲スコトヲ得

第三百七十三條　附帶控訴ハ控訴ノ取下アリタルトキ又ハ不適法控訴ノ棄却アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ但シ控訴ノ要件ヲ具備スルモノハ之ヲ獨立ノ控訴ト看做ス

第三百七十四條　附帶控訴ニ付テハ控訴ニ關スル規定ニ依ル

第三百七十五條　控訴裁判所ハ第一審ノ判決ニ付不服ノ申立ナキ部分ニ限リ申立ニ因リ決定ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲スコトヲ得

第三百七十六條　假執行ニ關スル控訴審ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

前條ノ申立ヲ却下スル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百七十七條　口頭辯論ハ當事者カ第一審ノ判決ノ變更ヲ求ムル限度ニ於テノミ之ヲ爲ス

當事者ハ第一審ニ於ケル口頭辯論ノ結果ヲ陳述スルコトヲ要ス

第三百七十八條　前編第一章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外控訴審ノ訴訟手續ニ之ヲ準用ス

第三百七十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟行爲ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百八十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百八十一條　控訴審ニ於テハ第一審裁判所ノ判決ヲ取消スニ因リ事件ヲ管轄裁判所ニ移送スル場合ニ於テハ訴訟ハ第一審ニ於テ爲シタル訴訟行爲ノ效力ヲ有ス

第三百八十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百八十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百八十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百八十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百八十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百八十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百八十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百八十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第三百九十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百二十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百三十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百四十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百五十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百六十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百七十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百八十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第四百九十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百二十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百三十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百四十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百五十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百六十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百七十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十三條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十四條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十五條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十六條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十七條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十八條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百八十九條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百九十條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百九十一條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百九十二條　第一審ニ於テ爲シタル訴訟ハ控訴審ニ於テモ其ノ效力ヲ有ス

第五百九十三條　第一審ニ於テ

第三百九十八條、上告狀ニ上告ノ理由ヲ記載セサルトキハ前條ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日内ニ上告理由書ヲ提出スルコトヲ要ス

第三百九十九條　上告人カ前條ノ規定ニ違背シ上告理由書ヲ提出セサルトキハ上告裁判所ハ口頭辯論ヲ經スシテ判決ヲ以テ上告ヲ却下スルコトヲ得

第四百條　裁判長ハ相當ノ期間ヲ定メ答辯書ヲ提出スヘキコトヲ被上告人ニ命スルコトヲ得

第四百一條　上告裁判所カ上告狀、上告理由書、答辯書其ノ他ノ書類ニ依リ上告ヲ理由ナシト認ムルトキハ口頭辯論ヲ經スシテ判決ヲ以テ上告ヲ棄却スルコトヲ得

第四百二條　上告裁判所ハ上告理由ニ基キ不服ノ申立ヲ却下シタル決定又ハ命令ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百三條　原判決ニ於テ適法ニ確定シタル事實ハ上告裁判所ヲ羈束ス

第四百四條　第三百九十三條第二項ノ規定ニ依ル上告アリタル場合ニ於テハ上告裁判所ハ原判決ニ於ケル事實ノ確定カ法律ニ違背シタルコトヲ理由トシテ其ノ判決ヲ破毀スルコトヲ得ス

第四百五條　第四百二條乃至前條ノ規定ハ裁判所カ職權ヲ以テ調査スヘキ事項ニ之ヲ適用セス

第四百六條　上告裁判所ハ原判決ニ付不服ノ申立ナキ部分ニ限リ申立ニ因リ決定ヲ以テ假執行ノ宣言ヲ爲スコトヲ得

第四百七條　上告ヲ理由アリトスルトキハ上告裁判所ハ原判決ヲ破毀シ事件ヲ原裁判所ニ差戻シ又ハ同等ナル他ノ裁判所ニ移送スルコトヲ要ス

差戻又ハ移送ヲ受ケタル裁判所ハ新口頭辯論ニ基キ裁判ヲ爲スコトヲ要ス但シ上告裁判所カ破毀ノ理由ヲ爲シタル事實上及法律上ノ判斷ニ羈束セラル

原判決ニ關與シタル判事ハ前項ノ裁判ニ關與スルコトヲ得ス

第四編　再審

第四百二十條　左ノ場合ニ於テハ確定ノ終局判決ニ對シ再審ノ訴ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得但シ當事者カ上訴ニ依リ其ノ事由ヲ主張シタルトキ又ハ之ヲ知リテ主張セサリシトキハ此ノ限ニ在ラス

一　法律ニ依リ裁判ニ關與スルコトヲ得サル判事カ裁判ニ關與シタルトキ

二　法律ニ依リ裁判ニ關與シタル判事カ事件ニ付職務ニ關スル罪ニ付犯シタルトキ

三　法定代理權、訴訟代理權又ハ代理人カ訴訟行爲ヲ爲スニ必要ナル授權ノ欠缺アリタルトキ

四　裁判ニ關與シタル判事カ事件ニ付職務ニ關シ敵對ノ地位ニ立チタルトキ

五　刑事上罰スヘキ他人ノ行爲ニ因リ自白ヲ爲スニ至リタルトキ又ハ判決ノ影響ヲ及ホスヘキ攻擊若ハ防禦ノ方法ヲ提出スルコトヲ妨ケラレタルトキ

六　判決ノ證據トナリタル文書其ノ他ノ物件カ僞造又ハ變造セラレタルモノナリシトキ

七　證人、鑑定人、通事又ハ宣誓シタル當事者カ法定代理人ノ虚僞ノ陳述ヲ判決ノ證據トナリタル民事若ハ刑事ノ判決其ノ他ノ裁判又ハ行政處分カ後ノ裁判又ハ行政處分ニ依リテ變更セラレタルトキ

八　判決ノ基礎トナリタル民事若ハ刑事ノ判決カ後ノ裁判又ハ行政處分ニ依リテ變更セラレタルトキ

九　判決ニ影響ヲ及ホスヘキ重要ナル事項ニ付判斷ヲ遺脫シタルトキ

十　不服ノ申立アル判決カ前ニ言渡サレタル確定判決ト牴觸スルトキ

前項第四號乃至第七號ノ場合ニ於テハ相手ノ爲シタル裁判所ノ專屬管轄トス

審級ノ異ニスル裁判所カ同一事件ニ付爲シタル判決ニ對スル再審ノ訴ハ上級裁判所ニ併セテ之ヲ管轄ス

第四百二十三條　再審ノ訴訟手續ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ各審級ニ於ケル訴訟手續ニ關スル規定ヲ準用ス

第四百二十四條　再審ノ訴ハ管轄カ判決確定後再審ノ事由ヲ知リタル日ヨリ三十日内ニ之ヲ提起スルコトヲ要ス

前項ノ期間ハ之ヲ不變期間トス

判決確定後五年ヲ經過シタルトキハ再審ノ訴ハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

再審ノ事由カ判決確定後ニ生シタルトキハ前項ノ期間ハ其ノ事由發生ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第四百二十五條　前條ノ規定ハ代理權ノ欠缺ヲ理由トスル再審ノ訴ニハ之ヲ適用セス

第四百二十六條　訴狀ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者及法定代理人

二　不服ノ申立アル判決ノ表示及其ノ判決ニ對シ再審ヲ求ムル旨

三　不服ノ理由

第四百二十七條　本案ノ辯論及裁判ハ不服ノ範圍内ニ於テノミ之ヲ爲スコトヲ得

不服ノ理由ハ之ヲ變更スルコトヲ得

第四百二十八條　再審ノ事由アル場合ニ於テモ判決ヲ正當トスルトキハ裁判所ハ再審ノ訴ヲ却下スルコトヲ要ス

第四百二十九條　即時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

命令ヲ發スルコトヲ得但シ日本ニ於テ公示送達ニ依ラスシテ其ノ命令ノ送達ヲ爲スコトヲ得ヘキ場合ニ限ル

第四百三十條　督促手續ニ債權者カ假執行ノ宣言ヲ附シタル支拂命令送達ノ日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキハ債務者ハ其ノ支拂命令ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四百三十一條　支拂命令ノ申立カ第四百三十條若ハ管轄ニ關スル規定ニ違背スルトキ又ハ申立ノ趣旨ニ依リ請求ノ理由ナキコト明ナルトキハ其ノ申立ノ之ヲ却下スルコトヲ要ス請求ノ一部ニ付支拂命令ヲ發スルコトヲ得サルトキ其ノ一部ニ付亦同シ

申立却下ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四百三十二條　支拂命令ハ債務者ヲ審訊セスシテ之ヲ發ス

債務者ハ支拂命令ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第四百三十三條　支拂命令ニハ當事者、法定代理人竝請求ノ趣旨及原因ヲ記載シ且債務者カ支拂命令送達ノ日ヨリ二週間内ニ異議ヲ申立テサルトキハ債權者ノ申立ニ因リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第四百三十四條　支拂命令ハ債務者ヲ審訊セスシテ之ヲ發ス

第四百三十五條　支拂命令ニハ當事者、法定代理人竝請求ノ趣旨及原因ヲ記載シ且債務者カ支拂命令送達ノ日ヨリ二週間内ニ異議ヲ申立テサルトキハ債權者ノ申立ニ因リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第四百三十六條　支拂命令ハ之ヲ送達スルコトヲ要ス

第四百三十七條　債務者カ假執行ノ宣言前異議ヲ申立テサルトキハ又ハ申立ヲ却下スルコトヲ明ニシタル場合ニ於テハ債權者ノ申立ニ因リ假執行ノ宣言ヲ爲スヘキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス

第四百三十八條　債務者カ支拂命令ヲ送達ヲ受ケタル日ヨリ二週間内ニ異議ヲ申立テサルトキハ裁判所ハ再審ノ訴ヲ却下スルコトヲ要ス

第四百三十九條　即時抗告ヲ以テ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四百四十條　督促手續ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ訴ニ關スル規定ヲ準用ス

第四百四十一條　支拂命令ノ申立ニハ其ノ性質ニ反セサル限リ訴ニ關スル規定ヲ準用ス

第四百四十二條　支拂命令ノ申立カ第四百三十條若ハ管轄ニ關スル規定ニ違背スルトキハ裁判所ハ債務者ノ申立ニ因リ支拂命令ニ手續ノ費用ヲ附記シ假執行ノ宣言ヲ爲スコトヲ要ス但シ其ノ宣言前異議ノ申立アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

假執行ノ宣言ハ支拂命令ノ原本及正本ニ之ヲ記載シ其ノ正本ヲ當事者ニ送達スルコトヲ要ス

假執行ノ申立却下ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百四十三條　債權者カ假執行ノ申立ヲ爲スコトヲ得ル時ヨリ三十日内ニ其ノ申立ヲ爲ササルトキハ支拂命令ハ其ノ效力ヲ失フ

第四百四十四條　假執行ノ宣言ヲ附シタル支拂命令送達ノ日ヨリ二週間ヲ經過シタルトキハ債務者ハ其ノ支拂命令ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第四編　督促手續

總則

第四百四十五條　強制執行ハ確定ノ終局判決又ハ假執行ノ宣言ヲ附シタル終局判決ニ因リテ之ヲ爲ス

第四百四十六條ノ二　判決カ共判決ニ表示シタル當事者以外ノ者ニ對シ效力ヲ有スル可キトキハ共者ニ對シ又ハ共者ノ爲メニモ之ヲ執行スルコトヲ得但第六十四條ノ規定ニ依リ參加人ニ付テハ此限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テ執行アル正本ノ付與ニ付テハ第五百十九條乃至第五百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十七條　強制執行ハ確定ノ終局判決又ハ假執行ノ宣言ヲ附シタル終局判決ニ因リテ之ヲ爲ス

第四百四十八條　執行ハ執行文ノ付與アリタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百四十九條　執行文ハ申立ニ因リ執行裁判所ノ書記之ヲ付與ス

第四百五十條　執行文ノ付與ハ口頭ヲ以テ之ヲ申立ツルコトヲ得

第四百五十一條　執行文ノ付與ハ裁判ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百五十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百五十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百五十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百五十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百五十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百五十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百六十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百六十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百六十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百六十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百六十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百六十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百六十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百六十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百六十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百六十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百七十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百七十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百七十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百七十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百七十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百七十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百七十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百七十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百七十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百七十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百八十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百八十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百八十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百八十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百八十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百八十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百八十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百八十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百八十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百八十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百九十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百九十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百九十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百九十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百九十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四百九十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第四百九十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百二十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百二十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百二十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百二十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百二十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百二十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百二十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百二十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百二十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百二十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百三十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百三十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百三十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百三十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百三十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百三十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百三十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百三十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百三十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百三十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百四十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百四十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百四十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百四十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百四十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百四十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百四十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百四十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百四十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百四十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百五十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百五十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百五十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百五十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百五十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百五十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百五十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百五十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百五十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百五十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百六十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百六十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百六十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百六十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百六十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百六十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百六十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百六十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百六十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百六十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百七十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百七十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百七十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百七十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百七十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百七十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百七十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百七十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百七十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百七十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百八十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百八十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百八十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百八十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百八十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百八十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百八十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百八十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百八十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百八十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百九十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百九十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百九十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百九十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百九十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百九十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百九十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五百九十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百九十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百九十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百二十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百二十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百二十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百二十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百二十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百二十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百二十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百二十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百二十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百二十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百三十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百三十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百三十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百三十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百三十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百三十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百三十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百三十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百三十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百三十九條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百四十條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百四十一條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百四十二條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百四十三條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百四十四條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百四十五條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六百四十六條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六百四十七條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ハ執行ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第六百四十八條　執行文ノ付與ニ關スル裁判ニ對シテハ即時抗告

保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲サシタルコトニ付テハ求ニ因リ證明書ヲ付與スルコトヲ得

第百十二條、第百十三條、第百十五條及ヒ第百十六條ノ規定ハ第一項ノ規定ニ依リ保證ニ付キ之ヲ準用ス

第五百十四條　外國裁判所ノ判決ニ因レル强制執行ハ本邦ノ裁判所ニ於テ執行判決ヲ以テ其適法ナルコトヲ言渡シタルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

執行判決ヲ求ムル訴ニ付テハ債務者ノ普通裁判籍ノ有ル地ノ區裁判所又ハ地方裁判所之ヲ管轄ス

第五百十五條　執行判決ハ裁判ノ當否ヲ調査セスシテ之ヲ爲スコトヲ得

執行判決ヲ求ムル訴ハ左ノ場合ニ於テハ之ヲ却下スヘシ

第一　外國裁判所ノ判決ノ確定ヲ缺クトキ

第二　外國判決カ第二百條ノ條件ヲ具備セサルトキ

第五百十六條　强制執行ハ執行文ヲ付シタル判決ノ正本ニ基キ之ヲ爲ス

執行力アル正本ハ第一審裁判所ノ書記又ハ訴訟代理人ノ作リタル判決ノ書記ニ之ヲ付與ス

第五百十七條　强制執行ハ執行文ヲ付シタル執行力アル正本ヲ以テ債務者ニ送達シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第五百十八條　執行力アル正本ハ判決ニ表示シタル債務者ノ爲ニ强制執行ヲ爲シ又ハ判決ニ表示シタル債務者ノ一般ノ承繼人ニ對シ之ヲ付與スルコトヲ得但其承繼カ裁判所ニ於テ明白ナルトキ又ハ證明書ヲ以テ之ヲ證スルトキニ限ル

此承繼カ裁判所ニ於テ明白ナルトキハ之ヲ執行文ニ記載スヘシ

第五百二十條　第五百十八條第二項及ヒ第五百十九條ノ場合ニ於テハ執行力アル正本ハ裁判長ノ命アルトキニ限リ之ヲ付與スルコトヲ得

第五百二十一條　假執行ノ宣言ヲ付シタル判決ハ其裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五百二十二條　假執行ノ宣言ヲ付シタル判決ニ對シ上訴ヲ提起シタルトキ又ハ假執行ノ宣言ヲ付シタル支拂命令ニ對シ異議ヲ申立テタルトキハ第五百條ノ規定ヲ準用ス

第五百二十三條　本編ノ規定ニ從ヒ原告若クハ被告ニ保證ヲ立ツル義務ヲ負ハシメ若クハ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲スコトヲ許シタル場合ニ於テハ原告若クハ被告ハ共普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所又ハ執行裁判所ニ保證ヲ立テ又ハ供託ヲ爲スコトヲ得

裁判長ハ共裁判前ニ假處分ヲ爲スコトヲ得殊ニ保證ヲ立テシメ若クハ之ヲ立テシメスシテ强制執行ヲ一時停止シ又ハ保證ヲ立テシメテ强制執行ヲ續行スヘキヲ命スルコトヲ得

第五百二十四條　訴訟費用ノ負擔ヲ命シタル裁判ハ其費用ノ額ヲ定メサル間ハ執行力ヲ有セス

第五百二十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ハ其費用ノ負擔ヲ命シタル裁判ノ確定又ハ和解ノ成立ニ因リ其效力ヲ生シタル後ニ非サレハ執行力ヲ有セス

第五百二十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對シ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百二十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有セス

第五百二十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百二十三條ノ規定ヲ準用ス

第五百二十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百二十四條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百二十五條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百二十六條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百二十七條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百二十八條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百二十九條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十一條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十二條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十三條ノ規定ヲ準用ス

第五百三十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十四條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十五條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十六條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十七條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十八條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百三十九條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十一條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十二條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十三條ノ規定ヲ準用ス

第五百四十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十四條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十五條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十六條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十七條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十八條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百四十九條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十一條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十二條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十三條ノ規定ヲ準用ス

第五百五十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十四條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十五條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十六條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十七條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十八條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十一條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十二條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十三條ノ規定ヲ準用ス

第五百六十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十四條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十五條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十六條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十七條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十八條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百六十九條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十一條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十二條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十三條ノ規定ヲ準用ス

第五百七十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十四條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十五條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十六條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十七條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十八條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百七十九條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十一條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十二條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十三條ノ規定ヲ準用ス

第五百八十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十四條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十五條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十六條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十七條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十八條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百八十九條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十一條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十二條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十三條ノ規定ヲ準用ス

第五百九十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十四條ノ規定ヲ準用ス

第六百條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十五條ノ規定ヲ準用ス

第六百一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十六條ノ規定ヲ準用ス

第六百二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第五百九十九條ノ規定ヲ準用ス

第六百五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百條ノ規定ヲ準用ス

第六百六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百一條ノ規定ヲ準用ス

第六百七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二條ノ規定ヲ準用ス

第六百八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三條ノ規定ヲ準用ス

第六百九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四條ノ規定ヲ準用ス

第六百十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五條ノ規定ヲ準用ス

第六百十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六條ノ規定ヲ準用ス

第六百十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七條ノ規定ヲ準用ス

第六百十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八條ノ規定ヲ準用ス

第六百十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九條ノ規定ヲ準用ス

第六百十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十條ノ規定ヲ準用ス

第六百十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十一條ノ規定ヲ準用ス

第六百十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十三條ノ規定ヲ準用ス

第六百十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十四條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十五條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十六條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百十九條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十三條ノ規定ヲ準用ス

第六百二十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十四條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十五條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十六條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百二十九條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十一條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十三條ノ規定ヲ準用ス

第六百三十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十四條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十五條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十六條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百三十九條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十一條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十三條ノ規定ヲ準用ス

第六百四十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十四條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十五條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十六條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百四十九條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十一條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十三條ノ規定ヲ準用ス

第六百五十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十四條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十五條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十六條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十一條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十三條ノ規定ヲ準用ス

第六百六十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十四條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十五條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十六條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百六十九條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十一條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十三條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十四條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十五條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十六條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百七十九條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十一條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十三條ノ規定ヲ準用ス

第六百八十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十四條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十五條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十六條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十八條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百八十九條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十一條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十二條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十三條ノ規定ヲ準用ス

第六百九十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十四條ノ規定ヲ準用ス

第七百條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十五條ノ規定ヲ準用ス

第七百一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十六條ノ規定ヲ準用ス

第七百二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十七條ノ規定ヲ準用ス

第七百三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十八條ノ規定ヲ準用ス

第七百四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第六百九十九條ノ規定ヲ準用ス

第七百五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百條ノ規定ヲ準用ス

第七百六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百一條ノ規定ヲ準用ス

第七百七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二條ノ規定ヲ準用ス

第七百八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百三條ノ規定ヲ準用ス

第七百九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百四條ノ規定ヲ準用ス

第七百十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百五條ノ規定ヲ準用ス

第七百十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百六條ノ規定ヲ準用ス

第七百十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百七條ノ規定ヲ準用ス

第七百十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百八條ノ規定ヲ準用ス

第七百十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百九條ノ規定ヲ準用ス

第七百十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十條ノ規定ヲ準用ス

第七百十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十一條ノ規定ヲ準用ス

第七百十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十二條ノ規定ヲ準用ス

第七百十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十三條ノ規定ヲ準用ス

第七百十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十四條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十五條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十六條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十七條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十八條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百十九條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十二條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十三條ノ規定ヲ準用ス

第七百二十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十四條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十五條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十一條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十六條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十二條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十七條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十三條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十八條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十四條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百二十九條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十五條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百三十條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十六條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百三十一條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十七條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百三十二條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十八條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百三十三條ノ規定ヲ準用ス

第七百三十九條　訴訟費用ノ額ヲ定メタル裁判ニ對スル即時抗告ニ付テハ第七百三十四條ノ

右裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第五百四十九條　第三者カ强制執行ノ目的物ニ付キ所有權ヲ主張シ其他目的物ノ讓渡若クハ引渡ヲ妨クル權利ヲ主張スルトキハ訴ヲ以テ債權者ニ對シ其强制執行ニ對スル異議ヲ主張シ又債務者ニ於テ其異議ヲ正當ナリトセサルトキハ債權者及ヒ債務者ニ對シテモ之ヲ主張スル可シ

右訴ハ執行裁判所ノ管轄ニ屬スル然レトモ訴訟物カ區裁判所ノ管轄ニ屬セサルトキハ執行裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所之ヲ管轄ス

强制執行ノ停止及ヒ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ニ付テハ第五百四十七條及ヒ第五百四十八條ノ規定ヲ準用ス但執行處分ノ取消ハ保證ヲ立テシメシテ之ヲ爲スコトヲ得

第五百五十條　强制執行ハ左ノ書類ヲ提出シタル場合ニ於テ之ヲ停止シ又ハ之ヲ制限ス可シ

第一　執行ス可キ判決若ハ其假執行ヲ取消ス旨又ハ强制執行ヲ許サストシテ宣言シ若クハ其停止ヲ命シタル旨ヲ記載シタル執行力アル裁判ノ正本

第二　執行又ハ執行處分ノ一時ノ停止ヲ命シタル旨ヲ記載シタル裁判ノ正本

第三　執行ヲ免カルル爲メ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面

第四　執行ス可キ判決ノ後ニ債權者カ辨濟シ又ハ業務履行ノ猶豫ヲ承諾シタル旨ヲ記載シタル證書

第五百五十一條　前條第一號及ヒ第三號ノ場合ニ於テハ既ニ爲シタル執行處分ヲモ取消ス可シ第四號ノ場合ニ於テハ既ニ爲シタル執行處分ノ取消ニ付テハ第五百四十七條及ヒ第五百四十八條ノ規定ヲ準用ス但執行處分ノ取消ハ保證ヲ立テシメシテ之ヲ爲スコトヲ得

第五百五十二條　强制執行ハ左ノ書類ヲ提出シタル場合ニ於テハ其終了ヲ宣言シ若クハ其停止ヲ命シタル旨ヲ記載シタル裁判ノ正本

第一　執行ス可キ判決若クハ其假執行ヲ取消ス旨又ハ强制執行ヲ許サストシテ宣言シ若クハ其停止ヲ命シタル旨ヲ記載シタル裁判ノ正本

第二　執行又ハ執行處分ノ一時ノ停止ヲ命シタル旨ヲ記載シタル裁判ノ正本

第三　執行ヲ免カルル爲メ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面

第四　執行ス可キ判決ノ後ニ債權者カ辨濟シ又ハ業務履行ノ猶豫ヲ承諾シタル旨ヲ記載シタル證書

第五百五十一條　前條第一號及ヒ第三號ノ場合ニ於テハ既ニ爲シタル執行處分ヲモ取消ス可シ第四號ノ場合ニ於テハ第五百四十七條及ヒ第五百四十八條ノ規定ヲ準用ス但執行處分ノ取消ハ保證ヲ立テシメシテ之ヲ爲スコトヲ得

第五百五十二條　强制執行ハ左ノ書類ヲ提出シタル場合ニ於テハ其終了ヲ宣言シ若クハ其停止ヲ命シタル旨ヲ記載シタル裁判ノ正本

第一　執行ス可キ判決若クハ其假執行ヲ取消ス旨又ハ强制執行ヲ許サストシテ宣言シ若クハ其停止ヲ命シタル旨ヲ記載シタル裁判ノ正本

第二　執行又ハ執行處分ノ一時ノ停止ヲ命シタル旨ヲ記載シタル裁判ノ正本

第三　執行ヲ免カルル爲メ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面

第四　執行ス可キ判決ノ後ニ債權者カ辨濟シ又ハ業務履行ノ猶豫ヲ承諾シタル旨ヲ記載シタル證書

第五百五十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百五十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百五十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百五十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百五十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百五十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百五十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百六十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百七十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百八十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第五百九十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百二十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百三十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百四十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百五十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百六十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百七十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百八十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第六百九十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百二十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百三十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十四條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十五條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十六條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十七條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十八條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百四十九條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百五十條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百五十一條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百五十二條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

第七百五十三條　强制執行ハ債務者ノ住所又ハ假住所ニ於テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此限ニ

第
債ス人ニ代リ其執行ヲ為サシムルヲ得ル場合ニ於テハ裁判所ハ債務者ノ費用ヲ以テ代人ニ為スヘキ行為ヲ命スルコトヲ得
債務者カ代人ニ為サシムヘキ行為ヲ為ササルトキハ裁判所ハ債務者ニ対シ相当ノ期間ヲ定メ其期間内ニ履行セサルトキハ代人ニ為サシムヘキ旨ヲ債務者ニ通知スヘシ
債務者カ前項ノ期間内ニ履行セサルトキハ裁判所ハ代人ニ為サシムヘキ旨ヲ債務者ニ通知スヘシ
債務者カ第一

第六百三十六條　異議ニ付キ裁判ヲ爲ス判決ニハ配當額ノ係爭部分ヲ如何ナル債權者ニ如何ナル數額ヲ以テ支拂フ可キヤヲ定ム可シ若シ之ヲ定ムルコトヲ適當トセサルトキハ判決ニ於テ新ナル配當表ノ調製及ヒ他ノ配當手續ヲ命ス可シ

第六百三十七條　異議ノ申立テタル債權者カ口頭辯論ノ期日ニ出頭セサルトキハ異議ヲ取下ケタルモノト看做ス

第六百三十八條　第六百三十六條ノ判決ノ確定シタルコトヲ又ハ前條ノ規定ニ從ヒ異議ヲ取下ケタルモノト看做サレタルコトノ證明アルトキハ配當裁判所ハ之ニ基キ支拂ヲ又ハ他ノ配當手續ヲ命ス

第六百三十九條　裁判所ハ配當表ニ依リテ左ノ手續ヲ爲シ配當ヲ實施ス可シ

債權全部ノ配當ヲ受ク可キ債權者ニハ配當額支拂證ヲ交付スルト同時ニ其所持スル執行力アル正本又ハ債權ノ證書ヲ差出サシメ之ヲ債務者ニ交付ス可シ

債權一分ノミノ配當ヲ受ク可キ債權者ニハ執行力アル正本又ハ債權ノ證書ヲ差出サシメ之ニ配當額ヲ記入シテ返還シ且配當額支拂證ヲ交付スルト同時ニ右債權者ヨリ金額ヲ證記シタル受取書ヲ差出サシメ之ヲ債務者ニ交付ス可シ

期日ニ出頭セサル債權者ノ配當額ハ仍ホ之ヲ供託ス可シ

右ノ手續ヲ爲シタルトキハ調書ニ記載シテ之ヲ明確ニス可シ

第二節　不動産ニ對スル強制執行

第一款　通則

第六百四十條　不動産ニ對スル強制執行ハ左ノ方法ヲ以テ之ヲ爲ス

第一　強制競賣

第二　強制管理

第六百四十一條　不動産ニ對スル強制執行ハ其不動産ノ所在地ノ區裁判所之ヲ管轄ス若シ其不動産數箇ノ區裁判所ニテ之ヲ管轄スル時ハ各區裁判所管轄權ヲ有ス此場合ニ於テ裁判所必要アリト認ムルトキハ事件ヲ他ノ管轄區裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二款　強制競賣

第六百四十二條　強制競賣ノ申立ニハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　債權者、債務者及ヒ裁判所ノ表示

第二　不動産ノ表示

第三　競賣ノ原因タル一定ノ債權及ヒ其執行力ヲ有スル債務名義

第六百四十三條　申立ニハ執行力アル正本ノ外左ノ證書ヲ添附ス可シ

第一　登記簿ニ債務者ノ所有トシテ登記シタル不動産ニ付テハ登記判事ノ認證書

第二　登記簿ニ登記アラサル不動産ニ付テハ債務者ノ所有タルコトヲ證スル可キ證書

第三　地目、段別若クハ坪數、土地臺帳ニ登錄シタル賃貸價格及ヒ其地所ニ付キ納ムヘキ一个年ノ租稅其他ノ公課ヲ證スル可キ證書

第四　建物ニ付テハ國郡市町村、字、番地、構造ノ種類、建坪及ヒ其建物ニ付キ納ムヘキ一个年ノ公課ヲ證スル可キ證書

第五　地所、建物ニ付キ賃貸アル場合ニハ於テハ其期限竝ニ借賃及ヒ借賃ノ前拂又ハ敷金ノ差入アルトキハ其額ヲ證スル可キ證書

第二號、第三號及ヒ第四號ノ要件ニ付テハ債權者公簿ヲ主管スル官廳ニ其證明書ヲ求ムルコトヲ得

第四號及ヒ第五號ノ要件ヲ證明スル能ハサルトキハ債權者ハ登記簿ニ申立ノ際其取調ヲ執行裁判所ニ申請スルコトヲ得但此場合ニ於テハ裁判所ハ執達吏ヲシテ其取調ヲ爲サシムル可シ

強制管理ノ爲メ既ニ不動産ヲ差押ヘタル場合ニ於テ其執行記錄ニ第一號乃至第五號ノ要件ヲ記載シタルモノト有ルトキハ其證書ヲ添附スルコトヲ要セス

第六百四十四條　競賣手續ノ開始決定ニハ同時ニ債權者ノ爲メ不動産ヲ差押フルコトヲ宣言ス可シ

差押ハ債務者カ不動産ノ利用及ヒ管理ヲ爲スコトヲ妨ケス

差押ハ其決定ヲ債務者ニ送達スルニ因リ其效力ヲ生ス此送達ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

第六百四十五條　裁判所ハ競賣手續開始ノ決定シタルコトヲ不動産ニ付キ強制競賣ノ申立アリト認ムルトキハ事件ヲ他ノ管轄區裁判所ニ移送スルコトヲ得

強制執行ハ申立ニ因リテ裁判所之ヲ爲ス

第二款　強制競賣

第六百四十二條　強制競賣ノ申立ニハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　債權者、債務者及ヒ裁判所ノ表示

第二　不動産ノ表示

第三　競賣ノ原因タル一定ノ債權及ヒ其執行力アル正本ノ證書ヲ添附ス可シ

第六百四十三條　申立ニハ執行力アル正本ノ外左ノ證書ヲ添附ス可シ

第一　登記簿ニ債務者ノ所有トシテ登記シタル不動産ニ付テハ登記判事ノ認證書

第二　登記簿ニ登記アラサル不動産ニ付テハ債務者ノ所有タルコトヲ證スル可キ證書

第三　地所ニ付テハ國郡市町村、字、番地、地目、段別若クハ坪數、土地臺帳ニ登錄シタル賃貸價格及ヒ其地所ニ付キ納ムヘキ一个年ノ租稅其他ノ公課ヲ證スル可キ證書

第四　建物ニ付テハ國郡市町村、字、番地、構造ノ種類、建坪及ヒ其建物ニ付キ納ムヘキ一个年ノ公課ヲ證スル可キ證書

第五　地所、建物ニ付キ賃貸アル場合ニハ於テハ其期限竝ニ借賃及ヒ借賃ノ前拂又ハ敷金ノ差入アルトキハ其額ヲ證スル可キ證書

第二號、第三號及ヒ第四號ノ要件ニ付テハ債權者公簿ヲ主管スル官廳ニ其證明書ヲ求ムルコトヲ得

第四號及ヒ第五號ノ要件ヲ證明スル能ハサルトキハ債權者ハ登記簿ニ申立ノ際其取調ヲ執行裁判所ニ申請スルコトヲ得但此場合ニ於テハ裁判所ハ執達吏ヲシテ其取調ヲ爲サシムル可シ

強制管理ノ爲メ既ニ不動産ヲ差押ヘタル場合ニ於テ其執行記錄ニ第一號乃至第五號ノ要件ヲ記載シタルモノト有ルトキハ其證書ヲ添附スルコトヲ要セス

第六百四十四條　競賣手續ノ開始決定ニハ同時ニ債權者ノ爲メ不動産ノ

ヲ償フニ足ル可キトキハ他ノ不動産ニ付テハ競落ヲ許サス

此場合ニ於テ債務者ハ其不動産中資却ス可キモノヲ指定スルコトヲ得

第六百七十六條　第六百七十二條及ヒ第六百七十四條ノ規定ニ從ヒ金ク競落ヲ許ササル場合ニ於テ更ニ競落ヲ許ス可キトキハ職權ヲ以テ新競賣期日ヲ定ム可シ

新競賣期日ハ少ナクトモ十四日ノ後タル可シ

第六百七十七條　前條ノ規定ニ從ヒテ新競賣期日ヲ定ムル場合ノ外競落ヲ許シ又ハ許ササル決定ノ言渡ヲ爲ス可シ

競落期日ノ調書ニ付テハ第百四十二條乃至第百四十七條ノ規定ヲ準用ス

第六百七十八條　競賣期日ト競落期日トノ間ニ天災其他ノ事變ニ因リ不動産カ著シク毀損シタルトキハ最高價競買人タル呼上ヲ受ケタル者ハ其競買ヲ取消ス權利アリ其毀損ノ著シキヤ否ヤハ裁判所ノ事情ヲ斟酌シテ之ヲ定ム

第六百七十九條　競落ヲ許ス決定ニハ競賣ヲ爲シタル不動産、競落人及ヒ競落ヲ許シタル競買價額ヲ揭ケ又特別ノ賣却條件アルトキハ其條件ヲモ揭ク可シ

右決定ハ之ヲ言渡ス外尚ホ裁判所ノ揭示板ニ揭示シテ公告ス可シ

第六百八十條　利害關係人ハ競落ノ許否ニ付テノ決定ニ因リ損失ヲ被ムル可キ場合ニ於テハ其決定ニ對シ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

競落ヲ許ス可キ理由ナキコト又ハ決定ニ揭ケタル以外ノ條件ヲ以テ許ス可キコトヲ主張スル競落人又ハ競落ヲ求メ之ヲ許ス可キコトヲ主張スル競買人モ亦卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

有抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第二項ノ場合ニ於テ競落ヲ求メタル競買人ハ其申出テタル價額ニ付キ拘束ヲ受クルモノトス

第六百八十一條　競落ヲ許ササル決定ニ對スル抗告ハ此法律ニ揭ケル總テノ不許ノ原因ヲ引受クルコトヲ得若シ債權者競落人ナルトキハ其債權ノ配當額カ買入代金ノ額ニ滿ツルニ限リ買入代金ト相殺ヲ以テ之ヲ計算スルニ因リテ消滅ス然レトモ引受ク可キ債務又ハ計算ス可キ競落人ノ債權ニ對シ適當ナル異議アルトキハ之ニ相當スル代金ヲ支拂ヒ又ハ保證ヲ立ツ可シ

第七百條　配當表ヲ實施シタル後裁判所ハ配當調書及ヒ競落決定ノ正本ノ登記判事ニ送付シテ左ノ諸件ヲ囑託ス可シ

第一　競落人ノ所有權ノ登記

第二　競落人ノ引受ケサル不動産上負擔記入ノ抹消

第三　第六百五十一條ノ規定ニ從ヒ爲シタル記入ノ抹消

有登記及ヒ抹消ニ關スル總テノ費用ハ競落人之ヲ負擔ス可シ

第七百一條　數多ノ差押債權者ノ爲メ同時ニ爲ス可キ不動産ノ競賣手續ニ付テハ前數條ノ規定ヲ準用ス

第七百二條　裁判所ハ競賣期日ノ公告前利害關係人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ競賣ヲ換ヘテ入札拂ヲ命スルコトヲ得但入札拂ニ付テハ以下數條ニ於テ別段ノ規定ナキモノハ前數條ノ規定ヲ準用ス

第七百三條　入札ハ入札期日ニ於テ執達吏ニ之ヲ差出ス可シ

入札ニハ左ノ諸件ヲ具備スルコトヲ要ス

第一　入札人ノ氏名及ヒ住所

第二　不動産ノ表示

第三　入札價額

第七百四條　執達吏ハ入札人ノ面前ニ於テ入札ヲ開封シ之ヲ朗讀ス可シ

二人以上同價額ノ入札アルトキハ執達吏ハ其者ヲシテ追加ノ入札ヲ爲サシメ最高價入札人ヲ定ム

一定ノ金額ヲ以テ入札價額ヲ表セシテ他ノ入札價額ニ對スル比例ヲ以テ價額ヲ表シタル入札ハ之ヲ許サス

第七百五條　最高價入札人タル呼上ヲ受ケタル者前六百六十四條ノ規定ニ依ル保證ヲ立テサルトキハ次ノ順位ニ從ヒ入札ヲ爲シタル者ニ對シ競落ヲ許ス可シ

左ノモノヲ競落ヲ許サス

第一　代金ヲ納メサル者

第二　不動産カ果實其他金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ヲ生スル場合ニ於テハ競落決定言渡ヨリ代金支拂マテノ利息

代金支拂ハ裁判所ニ之ヲ爲ス可シ

最高競買價額ノ保證ノ爲メ預リタル金額ハ代金ニ之ヲ算入ス

第六百九十五條　裁判所ハ出頭シタル利害關係人及ヒ執行力アル正本ニ因ラスシテ配當ヲ要求スル債權者ヲ訊問シテ配當表ヲ確定ス可シ

第六百九十六條　配當表ハ競落代金、各債權者ノ債權ノ元金、利息、費用及ヒ配當ノ順位竝ニ配當ノ割合ヲ記載ス可シ

若シ出頭シタル總テノ利害關係人及ヒ執行力アル正本ニ因ラスシテ配當ヲ要求スル債權者一致シタルトキハ其一致ニ基キ配當表ヲ作ル可シ

第六百九十七條　配當表ニ對スル異議ノ完結及ヒ配當表ノ實施ニ付テハ第六百三十條以下ノ規定ヲ準用ス但以下數條ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタルモノハ此限ニ在ラス

第六百九十八條　期日ニ出頭シタル債務者ハ各債權者ノ債權ニ對シ又ハ其債權ノ爲メ主張シタル順位ニ對シ異議ヲ申立ツル權利アリ

出頭シタル各債權者ハ自己ノ利害ニ關シテハ他ノ債權者ニ對シ前項ト同一ノ權利アリ

債權ノ一部ニ付キ異議ノ申立アリタルトキハ其債權ノ元金ニ付テハ異議ナキ部分ニ付キ配當ヲ爲ス可シ

第六百九十九條　配當表ニ記載シタル債權ニ付キ異議ノ申立ナキトキハ其債權ハ配當ニ付キ債務者ニ對シ確定ノ效力ヲ有ス

第七百條　執行裁判所ハ前二條ノ申立及ヒ要求アリタルコトヲ債權者、債務者及ヒ管理人ニ通知ス可シ

第七百一條　管理人ハ裁判所ニ之ヲ任命ス但債權者ハ適當ノ人ヲ推薦スルコトヲ得

管理人ハ管理及ヒ收益ノ爲メ自ラ不動産ヲ占有スル權ヲ有ス此場合ニ於テ抵抗ヲ受クルトキハ執達吏ヲシテ尙ホ必要ナル援助ヲ爲サシムルコトヲ得

管理人ノ任命ハ債務者ニ代リ第三者ノ給付ス可キ收益ヲ取立ツル權ヲ授與スルモノトス

第七百二條　裁判所ハ債權者及ヒ債務者ヲ審訊シタル後又適當ト認ムル場合ニ於テハ鑑定人ヲ立會ハシメタル上管理人ニ管理ニ關シ必要ナル指揮ヲ爲シ又管理人ニ與フ可キ報酬ヲ定メ且管理人ノ業務施行ヲ監督ス可シ

裁判所ハ管理人ニ保證ヲ立テシメ又ハ貳拾圓以下ノ過料ヲ言渡シ又ハ其職ヲ免スルコトヲ得

第七百三條　第三者不動産ニ付キ强制管理ヲ許スコトヲ妨クル權利ヲ主張スルトキハ第五百四十九條ノ規定ヲ準用ス

第七百四條　管理人ハ直チニ不動産ニ付キ得ル收益ヨリ其不動産ノ負擔ニ係ル租稅其他ノ公課ヲ扣除シタル後別段ノ手續ヲ要セスシテ管理ノ費用ヲ辨濟シ其殘額ノ配當ニ付キ債權者間ニ協議調ハサルトキハ其旨ヲ裁判所ニ屆出ツ可シ

第七百五條　裁判所ハ强制管理開始ノ決定ヲ爲シタル不動産ニ付キ强制管理ノ申立アル旨更ニ開始決定ヲ爲スコトヲ得ス

右申立ハ執行記錄ニ添附スルニ依リ配當要求ノ效力ヲ生シ又既ニ開始シタル强制管理ノ取消ト爲リタルトキハ開始決定ヲ受ケタル效力ヲ生ス

假差押ノ命令アリタル不動産ニ付テハ本條ノ規定ヲ適用セス

第七百六條　裁判所ハ强制管理開始ノ決定ヲ爲シタル不動産ニ付キ强制管理ノ申立アルモ更ニ開始決定ヲ爲スコトヲ得ス

右申立ハ執行記錄ニ添附スルニ依リ配當要求ノ效力ヲ生シ又既ニ開始シタル强制管理ノ取消ト爲リタルトキハ開始決定ヲ受ケタル效力ヲ生ス

第七百七條　裁判所ハ强制管理開始ノ決定ヲ爲シタル不動産ニ付キ强制管理ノ申立アルモ更ニ開始決定ヲ爲スコトヲ得ス

右申立ハ執行記錄ニ添附スルニ依リ配當要求ノ效力ヲ生シ又既ニ開始シタル强制管理ノ取消ト爲リタルトキハ開始決定ヲ受ケタル效力ヲ生ス

第七百八條　裁判所ハ强制管理開始ノ決定ヲ爲シタル不動産ニ付キ强制管理ノ申立アルモ更ニ開始決定ヲ爲スコトヲ得ス

右申立ハ執行記錄ニ添附スルニ依リ配當要求ノ效力ヲ生シ又既ニ開始シタル强制管理ノ取消ト爲リタルトキハ開始決定ヲ受ケタル效力ヲ生ス

第七百九條　配當要求ハ執行力アル正本ニ因リ此裁判所ノ所在地ニ住居スル債務ノ爲メ其業務施行ノ終了後各債權者、債務者及ヒ裁判所ニ計算ヲ差出ス可シ

各債權者及ヒ債務者ハ計算書ノ送達アリタル日ヨリ七日ノ期間內ニ執行裁判所ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

右期間內ニ異議ノ申立アリタルトキハ計算ニ付キ金ノ異議ナク且管理人ノ卸任ヲ承諾シタルモノト看做ス

異議ノ申立アルトキハ裁判所ハ管理人ヲ審訊シタル後之ヲ裁判ス可シ若シ異議ノ申立ナキ場合ニ於テハ裁判所ハ管理人ヲシテ卸任セシム可シ

第七百十條　裁判所ハ管理人ヲシテ計算ニ付キ必要ナル說明ヲ爲サシメ且證憑ヲ提出セシム可シ

此場合ニ於テハ第三者ニ對スル說明ヲ拒ムコトヲ得ス

第七百十一條　裁判所ハ管理人ヲシテ計算ニ付キ不動産上ノ義務ヲ負フヘキ場合ニ於テハ第六百四十三條第一號第二號ニ依リ提出ス可キ證書ハ不動産ヲ債務者カ占有スルコトヲ疏明スル證書ヲ以テ足ル

第七百十二條　裁判所ハ强制管理開始ノ決定ニ於テ債務者カ管理人ノ事務ニ干涉スルコト及ヒ不動産ノ收益ニ付キ處分スルコトヲ禁シ又不動産ノ收益ノ給付ヲ爲ス可キ第三者アルトキハ其第三者ニ其後ノ給付ヲ管理人ニ爲ス可キコトヲ命ス可シ

既ニ收穫シ若クハ收穫ス可キ又ハ期限ノ到來シ若クハ到來ス可キ果實ハ收益ニ屬ス開始決定ハ第三者ニ對シテハ之ヲ送達スルニ因リ其效力ヲ生ス此送達ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

第七百十三條　裁判所ハ强制管理開始ノ決定ヲ受ケタルトキハ職權ヲ以テ之ヲ辨濟ス

此事項ニ付テハ第六百五十一條乃至第六百五十四條ノ規定ヲ準用ス

不動産カ債權者ノ占有ヲ離レタルトキハ裁判所ハ管理人ヲシテ卸任セシム可シ

第七百十四條　管理人ハ裁判所ノ命令アリタルトキハ何時ニテモ其計算ヲ爲シ又ハ其計算ヲ爲スヘキ旨ノ催告ヲ受ケタル日ヨリ二週間內ニ其計算ヲ爲スヘシ

第七百十五條　管理人ハ每年及ヒ其業務施行ノ終了後各債權者、債務者及ヒ裁判所ニ計算書ヲ差出ス可シ

各債權者及ヒ債務者ハ計算書ノ送達アリタル日ヨリ七日ノ期間內ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

右期間內ニ異議ノ申立アリタルトキハ計算ニ付キ金ノ異議ナク且管理人ノ卸任ヲ承諾シタルモノト看做ス

異議ノ申立アルトキハ裁判所ハ管理人ヲ審訊シタル後之ヲ裁判ス可シ若シ異議ノ申立ナキ場合ニ於テハ裁判所ハ管理人ヲシテ卸任セシム可シ

第七百十六條　裁判所ハ强制管理開始ノ決定ヲ爲シタル不動産ニ付キ强制管理ノ申立アルモ更ニ開始決定ヲ爲スコトヲ得ス

右申立ハ執行記錄ニ添附スルニ依リ配當要求ノ效力ヲ生シ又既ニ開始シタル强制管理ノ取消ト爲リタルトキハ開始決定ヲ受ケタル效力ヲ生ス

第七百十七條　商船其他ノ海船ニ對スル强制執行ハ不動産ノ强制競賣ニ關スル規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但事物ノ性質ニ因リテ差異ノ點アルトキハ又ハ以下數條ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタルトキハ此限ニ在ラス

端舟其他機械ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ機械ヲ以テ運轉スル舟ニハ本節ノ規定ヲ適用セス

第七百十八條　船舶ノ强制競賣ニ付テハ船舶カ差押ノ當時碇泊スル港ノ區裁判所ヲ以テ管轄執行裁判所トス

第七百十九條　船舶ハ執行手續中差押ノ港ニ之ヲ碇泊セシムヘシ然レトモ商業上利益ノ爲メ適當トスル場合ニ於テハ裁判所ハ總テノ利害關係人ノ申立ニ因リ航行ヲ許スコトヲ得

第七百二十條　强制競賣ニ付テノ申立ニハ左ノモノヲ競落代金トス

第一　代金

第二　不動産カ果實其他金錢ニ見積ルコトヲ得ヘキ利益ヲ生スル場合ニ於テハ競落決定言渡ヨリ代金支拂マテノ利息

代金支拂ハ裁判所ニ之ヲ爲ス可シ

最高競買價額ノ保證ノ爲メ預リタル金額ハ代金ニ之ヲ算入ス

第六百九十五條　裁判所ハ出頭シタル利害關係人及ヒ執行力アル正本ニ因ラスシテ配當ヲ要求スル債權者ヲ訊問シテ配當表ヲ確定ス可シ

第六百九十六條　配當表ハ競落代金、各債權者ノ債權ノ元金、利息、費用及ヒ配當ノ順位竝ニ配當ノ割合ヲ記載ス可シ

若シ出頭シタル總テノ利害關係人及ヒ執行力アル正本ニ因ラスシテ配當ヲ要求スル債權者一致シタルトキハ其一致ニ基キ配當表ヲ作ル可シ

第六百九十七條　配當表ニ對スル異議ノ完結及ヒ配當表ノ實施ニ付テハ第六百三十條以下ノ規定ヲ準用ス但以下數條ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタルモノハ此限ニ在ラス

第六百九十八條　期日ニ出頭シタル債務者ハ各債權者ノ債權ニ對シ又ハ其債權ノ爲メ主張シタル順位ニ對シ異議ヲ申立ツル權利アリ

出頭シタル各債權者ハ自己ノ利害ニ關シテハ他ノ債權者ニ對シ前項ト同一ノ權利アリ

債權ノ一部ニ付キ異議ノ申立アリタルトキハ其債權ノ元金ニ付テハ異議ナキ部分ニ付キ配當ヲ爲ス可シ

第六百九十九條　配當表ニ記載シタル債權ニ付キ異議ノ申立ナキトキハ其債權ハ配當ニ付キ債務者ニ對シ確定ノ效力ヲ有ス

第一　債務者カ所有者ナル場合ニ於テハ其所有者トシテ船舶ヲ占有スルコト又船長ナル場合ニ於テハ船長トシテ船舶ヲ指揮スルコトヲ疎明スルニ足ル可キ證書

第二　船舶カ船舶登記簿ニ登記アル場合ニ於テハ其船舶ニ關スル有效ナル各登記事項ヲ包含シタル登記簿ノ抄本

債權者ハ公簿ヲ主管スル官廳カ遠隔ノ地ニ在ルトキハ第二號ノ抄本ノ求アランコトヲ執行裁判所ニ申立ツルコトヲ得

第七百二十一條　裁判所ハ債權者ノ申立ニ因リ船舶ノ監守及ヒ保存ノ爲メ必要ナル處分ヲ爲サシムヘシ

此處分ヲ爲シタルトキハ開始決定ノ送達前ト雖モ差押ノ效力ヲ生ス

若シ此處分ヲ續行スル爲メ債權者カ必要ナル金額ヲ豫納セサルトキハ裁判所ハ之ヲ取消スコトヲ得

第七百二十二條　船長ニ對シ爲シタル判決ニ基キ船舶債權者ノ爲メ船舶ノ差押ヲ爲ストキハ其差押ハ所有者ニ對シテモ效力アリ此場合ニ於テハ所有者モ亦利害關係人トス

差押後所有者若クハ船長ハ之ヲ利害關係人トス此場合ニ於テハ前船長ハ其關係タル責務ヲ免カル

第七百二十三條　船舶カ差押ノ當時其裁判所管轄內ニ存セサルコトノ顯ハルルトキハ其手續ヲ取消スヘシ

第七百二十四條　競賣期日ノ公告ニハ第六百五十八條第一號ニ揭ケタル旨趣ニ換ヘテ船舶ノ表示及ヒ其碇泊ノ場所ヲ揭ケ可シ

第七百二十五條　定繫港ノ區裁判所管轄外ニ於テ差押ヲ爲シタルトキハ執行裁判所ハ競賣期日ノ公告ヲ定繫港ノ區裁判所ニ送付シ其裁判所ノ揭示板ニ揭示ス可キコトヲ嘱託スヘシ

第七百二十六條　船舶ノ競売ヲ以テ船舶管理人ニ送達スルニ因リ債務者ニ送達スル同一ノ效力ヲ生ス

差押ハ此命令ヲ船舶管理人ニ送達スルニ因リ債務者ニ送達スル同一ノ效力ヲ生ス

第七百二十八條　船舶競分ノ競賣代金ノ配當ニ付テハ第六百二十六條以下ノ規定ヲ準用ス

第七百二十九條　外國ノ船舶ヲ差押ヘタルトキ又ハ登記簿ニ登記セサル船舶ヲ差押ヘタルトキハ登記簿ニ記入ス可キ手續ニ關スル規定ヲ適用セス

第三章　金錢ノ支拂ヲ目的トセサル債權ニ付テノ强制執行

第七百三十條　債務者カ特定ノ動產又ハ代替物ノ一定ノ數量ヲ引渡スヘキトキハ執達吏ハ之ヲ債務者ヨリ取上ケテ債權者ニ引渡スヘシ

第七百三十一條　債務者カ不動產又ハ人ノ住居スル船舶ヲ引渡シ又ハ明渡スヘキトキハ執達吏ハ債務者ノ占有ヲ解キ債權者ニ其占有ヲ得セシムヘシ

此强制執行ハ債權者又ハ其代理人カ受取ノ爲メ出頭シタルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

强制執行ノ目的物ニ非サル動產ハ執達吏之ヲ取除キテ債務者ニ引渡スヘシ若シ債務者不在ナルトキハ其代理人又ハ債務者ノ成長シタル家族若クハ雇人ニ之ヲ引渡スヘシ

債務者及ヒ前項ニ揭ケタル者不在ナルトキハ執達吏ハ右ノ動產ヲ債務者ノ費用ニテ保管ニ付スヘシ

第七百三十二條　船舶ノ競分ニ對スル强制執行ハ第六百二十五條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス其執行ニ付テハ定繫港ノ區裁判所之ヲ管轄ス

第七百三十四條　債權者ハ差押命令ノ申請ニ際シ債務者カ船舶ノ競分ヲ有スルコトヲ證スヘキ船舶登記簿ノ抄本又ハ信用ス可キ證明書ヲ添附スヘシ

差押命令ハ債務者ノ外船舶管理人ニモ之ヲ送達スヘシ

第七百三十五條　前二條ノ決定ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得但決定前債務者ヲ審訊スヘシ

第七百三十六條　債務者カ權利關係ノ成立ヲ認諾スヘキコト又ハ其他ノ意思ノ陳述ヲ爲スヘキコトノ判決ヲ受クタルトキハ其判決ノ確定ヲ以テ認諾又ハ意思ノ陳述ヲ爲シタルモノト看做ス反對給付ノ有リタル後認諾又ハ意思ノ陳述ヲ爲ス可キ場合ニ於テハ第五百十八條及ヒ第五百二十條ノ規定ニ從ヒ執行力アル正本ヲ付與シタルトキ其效力ヲ生ス

第四章　假差押及ヒ假處分

第七百三十七條　船舶ノ競分ニ對シ强制執行ハ第六百二十五條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス其執行ニ付テハ定繫港ノ區裁判所之ヲ管轄ス

第七百三十八條　債權者カ船舶ノ競分ヲ有スル債務者ニ對シ强制執行ヲ爲ス可キ證書ヲ有スルトキハ其證書ノ抄本ヲ添附スヘシ

第七百三十九條　債權者ハ差押命令ノ申請ニ際シ債務者カ船舶ノ競分ヲ有スルコトヲ證スヘキ船舶登記簿ノ抄本又ハ信用ス可キ證明書ヲ添附スヘシ

差押命令ハ債務者ノ外船舶管理人ニモ之ヲ送達スヘシ

第七百四十條　假差押ノ命令ハ假ニ差押ヲ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百四十一條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百四十二條　假差押ノ申請ニハ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

請求又ハ假差押ノ理由ヲ疎明セサルトキ雖モ假差押ニ因リ債務者ニ生スヘキ損害ノ賠償ヲ爲ス爲メ債權者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立テタルトキハ裁判所ハ假差押ヲ命スルコトヲ得

保證ヲ立テタルトキハ其保證ヲ立テタル事及ヒ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ立テタルコトヲ假差押ノ命令ニ記載スヘシ

第七百四十三條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スヘシ

第七百四十四條　假差押ノ命令ニハ假ニ差押ヲ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百四十條　假差押ノ命令ハ假ニ差押ヲ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百四十一條　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百四十一條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

請求又ハ假差押ノ理由ヲ疎明セサルトキ雖モ假差押ニ因リ債務者ニ生スヘキ損害ノ賠償ヲ爲ス爲メ債權者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立テタルトキハ裁判所ハ假差押ヲ命スルコトヲ得

保證ヲ立テタルトキハ其保證ヲ立テタル事及ヒ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ立テタルコトヲ假差押ノ命令ニ記載スヘシ

第七百四十二條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

請求又ハ假差押ノ理由ヲ疎明セサルトキ雖モ假差押ニ因リ債務者ニ生スヘキ損害ノ賠償ヲ爲ス爲メ債權者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立テタルトキハ裁判所ハ假差押ヲ命スルコトヲ得

保證ヲ立テタルトキハ其保證ヲ立テタル事及ヒ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ立テタルコトヲ假差押ノ命令ニ記載スヘシ

第七百四十三條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百三十七條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七百三十八條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第七百三十九條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百四十條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百四十一條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

請求又ハ假差押ノ理由ヲ疎明セサルトキ雖モ假差押ニ因リ債務者ニ生スヘキ損害ノ賠償ヲ爲ス爲メ債權者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立テタルトキハ裁判所ハ假差押ヲ命スルコトヲ得

保證ヲ立テタルトキハ其保證ヲ立テタル事及ヒ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ立テタルコトヲ假差押ノ命令ニ記載スヘシ

第七百四十二條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七百四十三條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第七百四十四條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百四十條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百四十一條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

請求又ハ假差押ノ理由ヲ疎明セサルトキ雖モ假差押ニ因リ債務者ニ生スヘキ損害ノ賠償ヲ爲ス爲メ債權者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立テタルトキハ裁判所ハ假差押ヲ命スルコトヲ得

保證ヲ立テタルトキハ其保證ヲ立テタル事及ヒ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ立テタルコトヲ假差押ノ命令ニ記載スヘシ

第七百四十二條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七百四十三條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第七百四十四條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

假差押ノ申請ヲ却下シ又ハ保證ヲ立テシムル裁判ハ債務者ニ之ヲ通知スルコトヲ要セス

第七百四十三條　假差押ノ命令ニハ假差押ノ執行ヲ停止スルコトヲ得ル爲メ又ハ執行シタル假差押ヲ取消スコトヲ得ル爲ニ債務者ヨリ供託ス可キ金額ヲ記載スヘシ

第七百四十四條　債務者ハ假差押決定ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得

此異議ニ付テハ假差押ノ取消又ハ變更ヲ申立ツル理由ヲ開示スヘシ

異議ノ申立ハ假差押ノ執行ヲ停止セス

第七百四十五條　異議ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ口頭辯論ノ爲メ當事者ヲ呼出スヘシ

裁判所ハ終局判決ヲ以テ假差押ノ全部若ハ一分ノ認可、變更又ハ取消ヲ言渡シ又自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立ツ可キコトノ條件ヲ附シテ之ヲ言渡スコトヲ得

第七百四十六條　本案ノ未タ繫屬セサルトキハ假差押裁判所ハ債務者ノ申立ニ因リ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

此期間ヲ徒過シタル後ハ債務者ノ申立ニ因リ終局判決ヲ以テ假差押ヲ取消スヘシ

第七百四十七條　債務者ハ假差押ノ理由消滅シ其他事情ノ變更シタルトキ又ハ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立テントノ提供ヲ爲シタルトキハ假差押ノ認可後ト雖モ假差押ノ取消ヲ申立ツルコトヲ得

此申立ニ付テハ終局判決ヲ以テ之ヲ裁判ス其裁判ハ假差押ノ命令ニ付テハ終局判決ヲ以テ之ヲ裁判所又ハ本案カ既ニ繫屬シタルトキハ本案ノ裁判所之ヲ爲ス

第七百四十八條　假差押ノ執行ニ付キ特別ノ費用ヲ要シ且之カ爲メ必要ナル金額ヲ債權者カ豫納セサルトキハ裁判所ハ假差押ノ取消ヲ命スルコトヲ得

第七百四十九條　假差押ノ命令ハ假差押ノ執行ニ付キ特別ノ費用ヲ要シ且之カ爲メ必要ナル金額ヲ債權者カ豫納セサルトキハ裁判所ハ假差押ノ取消ヲ命スルコトヲ得

第七百五十條　假差押ノ執行ニ付テハ强制管理ノ規定ヲ準用ス但以下數條ニ於テ差異ノ生スルトキハ此限ニ在ラス

第七百五十一條ノ二　假處分ヲ取消ス判決ハ財產權上ノ請求ニ關セサルモノニ付テモ假執行ノ宣言ヲ爲スコトヲ得

第七百五十七條　假處分ノ命令ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

右裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ノ取消ス決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第七百五十五條　係爭物ニ關スル假處分ハ現狀ノ變更ニ因リ當事者一方ノ權利ノ實行ヲ爲スコト能ハス又ハ之ヲ爲スニ著シキ困難ニ生スル恐アルトキニ之ヲ許ス

第七百五十六條　假處分ノ命令其他ノ手續ニ付テハ假差押ノ命令及ヒ手續ニ關スル規定ヲ準用ス但以下數條ニ於テ差異ノ生スルトキハ此限ニ在ラス

第七百五十六條ノ二　假處分ヲ取消ス判決ハ財產權上ノ請求ニ關セサルモノニ付テモ假執行ノ宣言ヲ爲スコトヲ得

第七百五十七條　假處分ノ命令ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

右裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ノ取消ス決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第七百五十八條　裁判所ハ其意見ヲ以テ申立ノ目的ヲ達スル爲メ必要ナル處分ヲ定ム

假處分ハ保管人ヲ監キ又ハ相手方ニ行ヒ又ハ命シ若クハ之ヲ禁シ又ハ給付ヲ命スルコトヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百五十九條　特別ノ事情アルトキニ限リ保證ヲ立テシメテ假處分ノ取消ヲ許スコトヲ得

第七百六十條　假處分ハ爭アル權利關係ニ付キ假ノ地位ヲ定ムル爲ニモ亦之ヲ爲スコトヲ得但其處分ハ殊ニ繼續スル權利關係ニ付發シタル後債權者又ハ債務者ニ於テ永續ス可カラサル事情ヲ生シタルトキハ裁判所ハ債務者ノ申立ニ因リ之ヲ取消スコトヲ得

假差押ノ命令ニ付キ債務者ニ送達前ト雖モ差押ノ效力ヲ生ス

第七百六十一條　假差押ノ執行ハ命令ヲ言渡シ又ハ申立人ニ命令ヲ送達シタル後三十日ノ期間ヲ徒過スルトキハ之ヲ爲サス然レトモ假差押物ニ著シキ價額ノ減少ヲ生スル恐アルトキ又ハ其貯藏ニ付キ不相應ナル費用ヲ生ス可キトキハ執行裁判所ハ申立ニ因リ其物ヲ競賣シ賣得金ヲ供託ス可キ旨ヲ執達吏ニ命スルコトヲ得

第七百六十二條　不動產ニ對スル假差押ノ執行ハ假差押ノ命令ヲ登記簿ニ記入スルニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ執行ニ付テハ假差押ノ命令ヲ發シタル裁判所ヲ以テ管轄執行裁判所トス

第七百六十三條　假差押執行ノ爲メ强制管理ヲ爲ス場合ニ於テハ保全ス可キ債權ニ相當スル金額ヲ取立テ之ヲ供託ス可シ

第七百六十四條　債務ノ性質カ强制履行ヲ許サス場合ニ於テハ第一審ノ受訴裁判所ハ申立ニ因リ決定ヲ以テ相當ノ期間ヲ定メ債務者カ其期間內ニ履行ヲ爲ササルトキハ其遲延ノ期間ニ應シ一定ノ賠償ヲ爲スヘキコトヲ命スル直チニ損害ノ賠償ヲ爲スヘキコトヲ命スルコトヲ要ス

第七百六十五條　前二條ノ決定ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得但決定前債務者ヲ審訊スヘシ

第七百六十六條　債務者カ權利關係ノ成立ヲ認諾スヘキコト又ハ其他ノ意思ノ陳述ヲ爲スヘキコトノ判決ヲ受クタルトキハ其判決ノ確定ヲ以テ認諾又ハ意思ノ陳述ヲ爲シタルモノト看做ス反對給付ノ有リタル後認諾又ハ意思ノ陳述ヲ爲ス可キ場合ニ於テハ第五百十八條及ヒ第五百二十條ノ規定ニ從ヒ執行力アル正本ヲ付與シタルトキ其效力ヲ生ス

第四章　假差押及ヒ假處分

第七百六十七條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七百六十八條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第七百六十九條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百七十條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百七十一條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

請求又ハ假差押ノ理由ヲ疎明セサルトキ雖モ假差押ニ因リ債務者ニ生スヘキ損害ノ賠償ヲ爲ス爲メ債權者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立テタルトキハ裁判所ハ假差押ヲ命スルコトヲ得

保證ヲ立テタルトキハ其保證ヲ立テタル事及ヒ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ立テタルコトヲ假差押ノ命令ニ記載スヘシ

第七百七十二條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百七十三條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七百七十四條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第七百七十五條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百七十六條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百七十七條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

請求又ハ假差押ノ理由ヲ疎明セサルトキ雖モ假差押ニ因リ債務者ニ生スヘキ損害ノ賠償ヲ爲ス爲メ債權者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立テタルトキハ裁判所ハ假差押ヲ命スルコトヲ得

保證ヲ立テタルトキハ其保證ヲ立テタル事及ヒ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ立テタルコトヲ假差押ノ命令ニ記載スヘシ

第七百七十八條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百七十九條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七百八十條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第七百八十一條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百八十二條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百八十三條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

請求又ハ假差押ノ理由ヲ疎明セサルトキ雖モ假差押ニ因リ債務者ニ生スヘキ損害ノ賠償ヲ爲ス爲メ債權者カ裁判所ノ自由ナル意見ヲ以テ定ムル保證ヲ立テタルトキハ裁判所ハ假差押ヲ命スルコトヲ得

保證ヲ立テタルトキハ其保證ヲ立テタル事及ヒ如何ナル方法ヲ以テ之ヲ立テタルコトヲ假差押ノ命令ニ記載スヘシ

第七百八十四條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百八十五條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七百八十六條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第七百八十七條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百八十八條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百八十九條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百九十條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七百九十一條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第七百九十二條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百九十三條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百九十四條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第七百九十五條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第七百九十六條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第七百九十七條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第七百九十八條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第七百九十九條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第八百條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第八百一條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第八百二條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第八百三條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第八百四條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第八百五條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第八百六條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第八百七條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第八百八條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第八百九條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第八百十條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第八百十一條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第八百十二條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第八百十三條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第八百十四條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第八百十五條　假差押ノ金錢ノ債權又ハ金錢ノ債權ニ換フルコトヲ得ヘキ請求ニ付キ動產又ハ不動產ニ對スル强制執行ヲ保全スル爲メ之ヲ爲スコトヲ得

假差押ハ未タ期限ニ至ラサル請求ニ付テモ亦之ヲ爲スコトヲ得

第八百十六條　假差押ハ之ヲ爲ササレハ判決ノ執行ヲ爲スコト能ハス又ハ判決ノ執行ヲ爲スニ著シキ困難ヲ生スル恐アルトキ殊ニ外國ニ於テ判決ノ執行ヲ爲スニ至ル可キトキハ之ヲ爲スコトヲ得

第八百十七條　假差押ノ命令ハ假ニ差押フ可キ物ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ本案ノ管轄裁判所之ヲ管轄ス

第八百十八條　假差押ノ申請ニハ左ノ諸件ヲ揭ケ可シ

第一　請求ノ表示若シ其請求カ一定ノ金額ニ係ラサルトキハ其價額

第二　假差押ノ理由タル事實ノ表示

請求及ヒ假差押ノ理由ハ之ヲ疎明ス可シ

申請ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第八百十九條　假差押ノ申請ニ付テノ裁判ハ口頭辯論ヲ經スシテ之ヲ爲スコトヲ得

第八百二十條　假差押ノ

第七百六十六條　公示催告ニ付テノ公告ハ裁判所ノ掲示板ニ掲示シ及ヒ官報又ハ公報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

裁判所相當ト認ムルトキハ新聞紙ニ公告ヲ爲スコトヲ命スルコトヲ得

第七百六十七條　公示催告ヲ官報又ハ公報ニ掲載シタルトキハ公示催告期日ト公示催告期日トノ間ニハ法律ニ別段ノ規定ヲ設ケサルトキハ少ナクトモ二个月ノ時間ヲ存スルコトヲ要ス

第七百六十八條　公示催告期日ノ終リタル後ト雖モ除權判決前ニ届出ヲ爲ストキハ適當ナル時間ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七百六十九條　除權判決ハ申立ニ因リテ之ヲ爲ス

右判決前ニ詳細ナル探知ヲ爲スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

除權判決ノ申立ヲ却下スル決定及ヒ除權判決ニ付シタル個限又ハ留保ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第七百七十條　申立人ノ申立ノ理由トシテ主張シタル權利ヲ爭フコトノ届出アリタルトキハ其事情ニ從ヒ届出テタル權利ニ付テノ裁判確定スルマテ公示催告手續ヲ中止シ又ハ除權判決ニ於テ届出テタル權利ヲ留保スル旨ヲ命スルコトヲ得

第七百七十一條　申立人カ公示催告期日ニ出頭セサルトキハ其申立ニ因リ新期日ヲ定ム可シ此申立ハ公示催告期日ヨリ六个月ノ期間内ニ限リ之ヲ爲スコトヲ許ス

第七百七十二條　公示催告手續ヲ完結スル爲メ新期日ヲ定メタルトキハ其期日ノ公告ヲ爲スコトヲ要セス

第七百七十三條　裁判所ハ除權判決ノ重要ナル旨趣ヲ官報又ハ公報ニ掲載シテ公告ヲ爲スコトヲ得

第七百七十四條　除權判決ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ得ス

除權判決ニ對シテハ左ノ場合ニ於テ申立人ニ對スル訴ヲ以テ催告裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第一　法律ニ於テ公示催告手續ヲ許ス場合ニ非サルトキ

第二　公示催告ニ付テノ公告ヲ爲サス又ハ法律ニ定メタル方法ヲ以テ公告ヲ爲ササルトキ

第三　公示催告ノ期間ヲ遵守セサルトキ

第四　判決ヲ爲ス判事カ法律ニ依リ職務ノ執行ヨリ除斥セラレタルトキ

第五　請求又ハ權利ノ届出アリタルニ拘ハラス判決ニ於テ其届出ヲ法律ニ從ヒ顧ミサルトキ

第六　第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ許ス條件ノ存スルトキ

第七百七十五條　不服申立ノ訴ハ一个月ノ不變期間内ニ之ヲ起スヘシ此期間ハ原告カ除權判決ヲ知リタル日ヨリ以テ始マル然レトモ前條第四號及ヒ第六號ニ揭ケタル不服申立ノ理由ノ一ニ基キ訴ヲ起シ且原告カ右ノ日ニ共理由ヲ知ラサリシ場合ニ於テハ共期間ハ不服ノ理由ノ原告ニ知レタル日ヨリ以テ始マル

除權判決ノ言渡ノ日ヨリ起算シテ五个年ノ満了後ハ此訴ヲ起スコトヲ得ス

第七百七十六條　裁判所ハ數箇ノ公示催告ノ併合ヲ命スルコトヲ得

第七百七十七條　盜取セラレ又ハ紛失若ハ滅失シタル手形其他商法ニ無效ト爲シ得ヘキコトヲ定メタル證書ノ無效宣言ノ爲ニモ爲ス公示催告手續ニ付テハ以下數條ノ特別規定ヲ適用ス

此規定ハ法律上公示催告手續ヲ許ス他ノ證書ニ付キ其法律中ニ特別規定ヲ設ケサル限リハ之ヲ適用ス

第七百七十八條　無記名證券又ハ裏書ヲ以テ移轉シ得ヘク且終式裏書ヲ付シタル證書ニ付テハ最終ノ所持人公示催告手續ヲ申立ツル權アリ

此他ノ證書ニ付テハ證書ニ因リ權利ヲ主張シ得ヘキ者此申立ヲ爲ス權アリ

第七百七十九條　公示催告手續ハ證書ニ表示シタル履行地ノ裁判所之ヲ管轄ス若シ證書ニ共履行地ヲ表示セサルトキハ發行人カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ裁判所之ヲ管轄ス其裁判籍ナキトキハ發行人ノ営時普通證書ヲ發行スル原因タル請求ヲ登記簿ニ記入シタルトキハ其物ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第七百八十條　申立人ハ申立ノ惡據ト認ムル手續ヲ爲ス可シ

第一　證書ノ謄本ヲ差出シ又ハ證書ノ重要ナル旨趣及ヒ證書ヲ十分ニ認知スルニ必要ナル諸件ヲ開示スルコト

第二　證書ノ盜難、紛失、滅失及ヒ公示催告手續ヲ申立ツルコトヲ得ルノ理由タル事實ヲ疏明スルコト

第七百八十一條　公示催告中ニ公示催告期日マテニ權利ヲ裁判所ニ届出テ且其證書ヲ提出スル可キ旨ヲ證書ノ所持人ニ催告スル可シ又ハ始マラサルモノトス但執行判決ノ確定前ニハ始マラサルモノトス但執行判決ノ確定ト雖モ除權判決ニ於テ届出テタル權利ヲ留保スル旨ヲ命スルコトヲ得

第七百八十二條　公示催告手續ヲ完結スル爲メ新期日ヲ定メタルトキハ其期日ノ公告ヲ爲スコトヲ要セス

第七百八十三條　裁判所ハ除權判決ノ重要ナル旨趣ヲ官報又ハ公報ニ掲載シテ公告ヲ爲スコトヲ得

第七百八十四條　除權判決ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ得ス

除權判決ニ對シテハ左ノ場合ニ於テ申立人ニ對スル訴ヲ以テ届出裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第一　法律ニ於テ公示催告手續ヲ許ス場合ニ非サルトキ

第二　公示催告ニ付テノ公告ヲ爲サス又ハ法律ニ定メタル方法ヲ以テ公告ヲ爲ササルトキ

第三　公示催告ノ期間ヲ遵守セサルトキ

第四　判決ヲ爲ス判事カ法律ニ依リ職務ノ執行ヨリ除斥セラレタルトキ

第五　請求又ハ權利ノ届出アリタルニ拘ハラス判決ニ於テ其届出ヲ法律ニ從ヒ顧ミサルトキ

第六　第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ許ス條件ノ存スルトキ

第七百七十五條　不服申立ノ訴ハ一个月ノ不變期間内ニ之ヲ起スヘシ此期間ハ原告カ除權判決ヲ知リタル日ヲ以テ始マル然レトモ前條第四號及ヒ第六號ニ揭ケタル不服申立ノ理由ノ一ニ基キ訴ヲ起シ且原告カ右ノ日ニ共理由ヲ知ラサリシ場合ニ於テハ共期間ハ不服ノ理由ノ原告ニ知レタル日ヨリ以テ始マル

除權判決ノ言渡ノ日ヨリ起算シテ五个年ノ満了後ハ此訴ヲ起スコトヲ得ス

第七百七十六條　裁判所ハ數箇ノ公示催告ノ併合ヲ命スルコトヲ得

第七百七十七條　盜取セラレ又ハ紛失若ハ滅失シタル手形其他商法ニ無效ト爲シ得ヘキコトヲ定メタル證書ノ無效宣言ノ爲ニモ爲ス公示催告手續ニ付テハ以下數條ノ特別規定ヲ適用ス

此規定ハ法律上公示催告手續ヲ許ス他ノ證書ニ付キ其法律中ニ特別規定ヲ設ケサル限リハ之ヲ適用ス

第七百七十八條　無記名證券又ハ裏書ヲ以テ移轉シ得ヘク且終式裏書ヲ付シタル證書ニ付テハ最終ノ所持人公示催告手續ヲ申立ツル權アリ

此他ノ證書ニ付テハ證書ニ因リ權利ヲ主張シ得ヘキ者此申立ヲ爲ス權アリ

第七百七十九條　公示催告手續ハ證書ニ表示シタル履行地ノ裁判所之ヲ管轄ス若シ證書ニ共履行地ヲ表示セサルトキハ發行人カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ裁判所之ヲ管轄ス其裁判籍ナキトキハ發行人ノ営時普通證書ヲ發行スル原因タル請求ヲ登記簿ニ記入シタルトキハ其物ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ專屬ス

第七百八十條　申立人ハ申立ノ惡據ト認ムル手續ヲ爲ス可シ

第一　證書ノ謄本ヲ差出シ又ハ證書ノ重要ナル旨趣及ヒ證書ヲ十分ニ認知スルニ必要ナル諸件ヲ開示スルコト

第二　證書ノ盜難、紛失、滅失及ヒ公示催告手續ヲ申立ツルコトヲ得ルノ理由タル事實ヲ疏明スルコト

第七百八十一條　公示催告中ニ公示催告期日マテニ權利ヲ裁判所ニ届出テ且其證書ヲ提出スル可キ旨ヲ證書ノ所持人ニ催告スル可シ又ハ始マラサルモノトス但執行判決ノ確定前ニハ始マラサルモノトス但執行判決ノ確定ト雖モ除權判決ニ於テ届出テタル權利ヲ留保スル旨ヲ命スルコトヲ得

第七百八十二條　公示催告手續ヲ完結スル爲メ新期日ヲ定メタルトキハ其期日ノ公告ヲ爲スコトヲ要セス

第七百八十三條　裁判所ハ除權判決ノ重要ナル旨趣ヲ官報又ハ公報ニ掲載シテ公告ヲ爲スコトヲ得

第七百八十四條　除權判決ニ對シテハ上訴ヲ爲スコトヲ得ス

除權判決ニ對シテハ左ノ場合ニ於テ申立人ニ對スル訴ヲ以テ届出裁判所ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所ニ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第一　法律ニ於テ公示催告手續ヲ許ス場合ニ非サルトキ

第二　公示催告ニ付テノ公告ヲ爲サス又ハ法律ニ定メタル方法ヲ以テ公告ヲ爲ササルトキ

第三　公示催告ノ期間ヲ遵守セサルトキ

第四　判決ヲ爲ス判事カ法律ニ依リ職務ノ執行ヨリ除斥セラレタルトキ

第五　請求又ハ權利ノ届出アリタルニ拘ハラス判決ニ於テ其届出ヲ法律ニ從ヒ顧ミサルトキ

第六　第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ許ス條件ノ存スルトキ

第七百八十五條　除權判決アリタルトキハ其申立人ハ證書ニ因リ義務ヲ負擔スル者ニ對シテ證書ニ因レル權利ヲ主張スルコトヲ得

第八條　仲裁手續

第七百八十六條　仲裁人ハ當事者ノ申立ニ因リ管轄裁判所ノ定ムル仲裁人ノ數箇アルトキハ當事者又ハ仲裁人カ最初ニ關係セシメタル裁判所之ヲ管轄ス

附　則（昭和十年三月法律第十五號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十年三月法律第十五號附則）

第七百八十六條　仲裁人ハ當事者カ仲裁手續ヲ許ス可カラサルコト、仲裁判斷ヲ取消スコト又ハ執行判決ヲ爲スコトヲ目的トスル訴ニ付テハ仲裁契約ニ指定シタル區裁判所又ハ地方裁判所之ヲ管轄シ其指定ナキトキハ請求ヲ裁判上主張スル場合ニ於テ管轄ヲ有スル可キ區裁判所又ハ地方裁判所之ヲ管轄ス

前項ニ依リ管轄ヲ有スル裁判所數箇アルトキハ當事者又ハ仲裁人カ最初ニ關係セシメタル裁判所之ヲ管轄ス

附　則（昭和十年三月法律第十五號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十年三月法律第十五號附則）

第七百八十七條　仲裁判斷ニハ其作リタル年月日ヲ記載シテ仲裁人之ニ署名捺印スル可シ

仲裁人ノ署名捺印シタル判斷ノ正本ハ之ヲ當事者ニ送達シ其原本ハ送達ノ證書ヲ添ヘテ管轄裁判所ノ書記課ニ之ヲ預ケ置ク可シ

第八百條　仲裁判斷ハ當事者間ニ於テ確定シ

第二　仲裁人カ共意見ノ可否同數ナル旨ヲ

當事者ニ通知シタルトキ

第七百九十四條　仲裁人ハ仲裁判斷前ニ當事者ヲ審訊シ且必要トスル限リハ爭ノ原因タル事件關係ヲ探知スル可シ

仲裁手續ニ付キ當事者ノ合意アラサル場合ニ於テハ其手續ハ仲裁人ノ意見ヲ以テ之ヲ定ム

第七百九十五條　仲裁人ハ共面前ニ任意ニ出頭スル證人及ヒ鑑定人ヲ訊問スルコトヲ得

仲裁人ハ證人又ハ鑑定人ヲシテ宣誓ヲ爲サシムル權ナシ

第七百九十六條　仲裁人ノ必要ト認ムル判斷上ノ行爲ニシテ仲裁人ノ爲スコトヲ得サルモノハ當事者ノ申立ニ因リ管轄裁判所之ヲ爲スヘシ但共申立ヲ相當ト認メタルトキニ限ル

證人又ハ鑑定人ニ供述ヲ命シタル裁判所ハ證據ヲ違フルコトヲ又ハ鑑定ヲ爲スコトヲ拒ミタル場合ニ於テ必要アル裁判ヲモ亦爲ス權アリ

第七百九十七條　仲裁人ハ當事者カ仲裁手續ヲ許ス可カラサルコトヲ主張スルトキ殊ニ法律上有效ナル仲裁契約ノ成立セサルコト、仲裁契約カ判斷ス可キ爭ニ關係セサルコト又ハ仲裁人カ共職務ヲ施行スル能ハサルコトヲ主張スルトキ雖モ仲裁手續ヲ續行シ且仲裁判斷ヲ爲スコトヲ得

第七百九十八條　數名ノ仲裁人カ仲裁判斷ヲ爲ス可キトキハ過半數ヲ以テ其判斷ヲ爲ス可シ但仲裁契約ニ別段ノ定アルトキハ此限ニ在ラス

第七百九十九條　仲裁判斷ニハ其作リタル年月日ヲ記載シテ仲裁人之ニ署名捺印スル可シ

仲裁人ノ署名捺印シタル判斷ノ正本ハ之ヲ當事者ニ送達シ其原本ハ送達ノ證書ヲ添ヘテ管轄裁判所ノ書記課ニ之ヲ預ケ置ク可シ

第八百條　仲裁判斷ハ當事者間ニ於テ確定シ

タル裁判所ノ判決ト同一ノ效力ヲ有ス

第八百一條　仲裁判斷ハ取消ノ訴ニ因リ之ヲ取消ス旨ノ判決確定シタルトキハ當事者ノ合意アルトキ又ハ仲裁契約ニ別段ノ定アルトキヲ除ク外仲裁手續ニ付キ當事者ニ異議ナキ場合ニ於テ其手續ニ從ヒ仲裁人ノ爲シタル判斷ニ對シ取消ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百二條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第八百三條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百七條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百八條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百九條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十一條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十二條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十三條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十四條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十五條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十六條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十七條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十八條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百十九條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十一條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十二條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十三條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十四條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十五條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十六條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十七條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十八條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百二十九條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十一條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十二條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十三條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十四條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十五條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十六條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十七條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十八條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百三十九條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十一條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十二條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十三條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十四條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十五條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十六條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十七條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十八條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百四十九條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十一條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十二條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十三條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十四條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十五條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十六條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十七條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十八條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百五十九條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十一條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十二條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十三條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十四條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十五條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十六條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十七條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十八條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百六十九條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ起スコトヲ得ス

第八百七十條　仲裁判斷ニ付キ當事者カ民事訴訟法第四百二十條第四號乃至第八號ノ場合ニ於テ再審ノ訴ヲ提起スル場合ニハ其訴ハ仲裁判斷ヲ取消ス判決確定シタル後ニ非サレハ之ヲ

●民事訴訟法

法明治三十三年六月二十日法律第二十九號

第一章　民事訴訟ノ通則

第一節　裁判所ノ管轄

第一條　訴ハ被告ノ普通裁判籍ノ在ル地ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二條　人ノ普通裁判籍ハ其住所ニ依リ之ヲ定ム住所ノ知レサルトキ又ハ住所ヲ日本ニ有セサルトキハ其居所ニ依リ之ヲ定ム

第三條　日本ニ住所ヲ有セス又ハ住所ノ知レサル者ニ對スル訴ニシテ其者ノ日本ニ有スル財産ニ關スルモノハ其財産ノ所在地ノ裁判所ニ之ヲ提起スルコトヲ得

第四條　法人ノ普通裁判籍ハ其主タル事務所ニ依リ之ヲ定ム

第五條　日本ニ事務所ヲ有セス又ハ事務所ノ所在地カ知レサル場合ニ於テ日本ニ住所ヲ有セサルトキハ其代表者ノ住所ニ依リ之ヲ定ム

第六條　第一條乃至前條ノ規定ニ依リ管轄裁判所ヲ定ムルコト能ハサルトキハ最高裁判所ノ指定シタル裁判所ニ於テ之ヲ定ム

第七條　第一條乃至前條ノ規定ニ依リ管轄裁判所ヲ定ムルコト能ハサルトキハ最高裁判所ノ指定シタル裁判所ニ於テ之ヲ定ム

第八條　裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯又ハ損害ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ其管轄ニ屬セサル訴訟ヲ其管轄ニ屬スル他ノ裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九條　裁判所ハ訴訟ノ全部又ハ一部ニ付キ管轄ヲ有セサルコトヲ知リタルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第十條　裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第十一條　第九條第一項ノ規定ニ依リ移送ヲ爲シタル裁判所ハ其移送ノ決定ニ拘束セラル

第十二條　當事者ハ第一審ノ口頭辯論ノ終結ニ至ルマテ合意ニ因リ第一審ノ管轄裁判所ヲ定ムルコトヲ得

第十三條　當事者ハ第一審ノ口頭辯論ノ終結ニ至ルマテ合意ニ因リ第一審ノ管轄裁判所ヲ變更スルコトヲ得

第十四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第十五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第十六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第十七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第十八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第十九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第二十九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第三十九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第四十九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第五十九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第六十九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第七十九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第八十九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第九十九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百四條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百五條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百六條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百七條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百八條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百九條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百十條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百十一條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百十二條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百十三條　第一審ノ管轄裁判所ハ訴訟ノ著シキ遲滯ヲ避ケ又ハ當事者ノ衡平ヲ保ツカ爲必要アリト認ムルトキハ申立ニ依リ又ハ職權ヲ以テ訴訟ノ全部又ハ一部ヲ他ノ管轄裁判所ニ移送スルコトヲ得

第百十四條　第一審ノ管

第四十四條　相續財産及相續人ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續人ノ債權者ノ債權ハ相續人ノ債權者ノ債權ニ付テハ相續財産及受遺者ノ債權ニ付テハ相續債權者ノ債權ニ先ツ

第四十五條　相續財産及前戶主ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ相續開始後ノ前戶主ノ債權者ノ債權ハ前戶主ノ破産財團ニ付テハ相續債權者ノ債權ニ先ツ

第四十六條　法人又ハ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタル場合ニ於テハ債權額ノ割合ニ應シテ各其ノ債權ニ付キ辨濟ヲ受ケル權利ヲ有ス

第四十七條　左ニ揭ケル者ハ破産ノ宣告アリタルトキハ相續人ノ債權者ノ債權ニ付テハ相續財産ニ對シテ破産ノ宣告アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　破産債權者ノ共同ノ利益ノ爲ニスル裁判上ノ費用

二　國稅徵收法又ハ國稅徵收ノ例ニ依リ徵收スルコトヲ得ヘキ請求權但シ破産宣告後ノ原因ニ基ク請求權ハ破産財團ニ關シテ生シタルモノニ限ル

三　破産財團ノ管理、換價及配當ニ關スル費用

四　破産財團ニ關シ破産管財人ノ爲シタル行爲ニ因リテ生シタル請求權

五　事務管理又ハ不當利得ニ因リ破産財團ニ對シテ生シタル請求權

六　委任終了又ハ代理權消滅ノ後急迫ノ必要ノ爲ニ爲シタル行爲ニ因リ破産財團ニ對シテ生シタル請求權

七　第五十九條第一項ノ規定ニ依リ破産管財人カ債務ノ履行ヲ爲ス場合ニ於テ相手方カ有スル請求權

八　破産宣告ニ因リテ雙務契約ニ關シ解約ノ申入アリタル場合ニ於テ其ノ終了ニ至ル間ニ生シタル請求權

九　破産者及之ニ扶養セラルル者ノ扶助料

第四十八條　破産管財人負擔附遺贈ノ履行ヲ受ケタルトキハ負擔ノ利益ヲ受ケヘキ請求權ハ遺贈ノ目的ノ價額ヲ超エサル限度ニ於テ之ヲ財團債權トス

第四十九條　財團債權ハ破産手續ニ依ラスシテ隨時之ヲ辨濟ス

第五十條　財團債權ハ破産財團ヨリ先ツ之ヲ辨濟ス

第五十一條　破産財團カ財團債權ノ總額ヲ辨濟スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ財團債權ノ辨濟ハ法令ニ定メタル優先權ニ拘ラス未タ辨濟セサル債權額ノ割合ニ應シテ之ヲ爲ス但シ財團債權ニ付存スル留置權、特別ノ先取特權、質權及抵當權ノ效力ヲ妨ケス

第五十二條　第一號乃至第七號ノ財團債權ハ他ノ財團債權ニ先ツ

第五十三條　第七條乃至第二十條、第二十二條及第二十三條第一項ノ規定ハ第四十七條第七號及第四十八條ニ規定スル財團債權ニ之ヲ準用ス

第五章　法律行爲ニ關スル破産ノ效力

第五十四條　破産宣告ノ後破産財團ニ屬スル財産ニ關シテ爲シタル法律行爲ハ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十五條　不動産又ハ船舶ニ關シ破産宣告前ニ生シタル登記原因ニ基キ破産宣告ノ後爲シタル登記又ハ不動産登記法第二條第一號ノ規定ニ依ル假登記ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得但シ登記權利者カ破産宣告ノ事實ヲ知ラスシテ爲シタル登記又ハ假登記ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ權利ノ設定、移轉又ハ變更ニ關スル登錄ニ付之ヲ準用ス

第五十六條　破産宣告ノ後破産財團ニ屬スル財産ニ付一般ノ先取特權其ノ他一般ノ優先權アル破産債權ハ他ノ債權ニ先ツ

第五十七條　破産宣告ノ後破産財團ニ屬スル財産ニ關シ破産者ノ法律行爲ニ因ラスシテ權利ヲ取得スルモ其ノ取得ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ取得ニ之ヲ準用ス

第五十八條　破産財團ニ關シ破産宣告前ニ爲シタル登記ノ後破産財團ニ屬スル財産ニ關シ破産者ノ法律行爲ニ因ラスシテ權利ヲ取得スルモ其ノ取得ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十九條　破産財團ニ屬スル財産ニ關シ破産者カ破産宣告ノ後爲シタル法律行爲ハ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

破産者カ破産宣告ノ日ニ於テ爲シタル法律行爲ハ破産宣告後ニ之ヲ爲シタルモノト推定ス

第六十條　前條ノ規定ニ依リ破産管財人カ債務ノ履行ヲ爲ス場合ニ於テ相手方カ有スル請求權

破産宣告ニ因リテ雙務契約ニ關シ解約ノ申入アリタル場合ニ於テ其ノ終了ニ至ル間ニ生シタル請求權

破産者及之ニ扶養セラルル者ノ扶助料

第四十八條　破産管財人負擔附遺贈ノ履行ヲ受ケタルトキハ負擔ノ利益ヲ受ケヘキ請求權ハ遺贈ノ目的ノ價額ヲ超エサル限度ニ於テ之ヲ財團債權トス

第四十九條　財團債權ハ破産手續ニ依ラスシテ隨時之ヲ辨濟ス

第五十條　財團債權ハ破産財團ヨリ先ツ之ヲ辨濟ス

第五十一條　破産財團カ財團債權ノ總額ヲ辨濟スルニ不足ナルコト分明ナルニ至リタルトキハ財團債權ノ辨濟ハ法令ニ定メタル優先權ニ拘ラス未タ辨濟セサル債權額ノ割合ニ應シテ之ヲ爲ス但シ財團債權ニ付存スル留置權、特別ノ先取特權、質權及抵當權ノ效力ヲ妨ケス

第五十二條　第一號乃至第七號ノ財團債權ハ他ノ財團債權ニ先ツ

第五十三條　第七條乃至第二十條、第二十二條及第二十三條第一項ノ規定ハ第四十七條第七號及第四十八條ニ規定スル財團債權ニ之ヲ準用ス

第五章　法律行爲ニ關スル破産ノ效力

第五十四條　破産宣告ノ後破産財團ニ屬スル財産ニ關シ破産者ノ法律行爲ニ因ラスシテ權利ヲ取得スルモ其ノ取得ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得ス

第五十五條　不動産又ハ船舶ニ關シ破産宣告前ニ生シタル登記原因ニ基キ破産宣告ノ後爲シタル登記又ハ不動産登記法第二條第一號ノ規定ニ依ル假登記ハ之ヲ以テ破産債權者ニ對抗スルコトヲ得但シ登記權利者カ破産宣告ノ事實ヲ知ラスシテ爲シタル登記又ハ假登記ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ權利ノ設定、移轉又ハ變更ニ關スル登錄ニ付之ヲ準用ス

第五十六條　破産宣告ノ後破産財團ニ屬スル財産ニ付一般ノ先取特權其ノ他一般ノ優先權アル破産債權ハ他ノ債權ニ先ツ

第五十七條　破産財團ニ屬スル財産ニ關シ破産者カ

第八ノ二行間ニ第十七ノ二ヲ加フ

第八ノ二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二ノ次ニ第十七ノ三ヲ加フ

第十七ノ三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三ノ次ニ第十七ノ四ヲ加フ

第十七ノ四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四ノ次ニ第十七ノ五ヲ加フ

第十七ノ五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五ノ次ニ第十七ノ六ヲ加フ

第十七ノ六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六ノ次ニ第十七ノ七ヲ加フ

第十七ノ七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七ノ次ニ第十七ノ八ヲ加フ

第十七ノ八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八ノ次ニ第十七ノ九ヲ加フ

第十七ノ九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九ノ次ニ第十七ノ十ヲ加フ

第十七ノ十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十ノ次ニ第十七ノ十一ヲ加フ

第十七ノ十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十一ノ次ニ第十七ノ十二ヲ加フ

第十七ノ十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十二ノ次ニ第十七ノ十三ヲ加フ

第十七ノ十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十三ノ次ニ第十七ノ十四ヲ加フ

第十七ノ十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十四ノ次ニ第十七ノ十五ヲ加フ

第十七ノ十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十五ノ次ニ第十七ノ十六ヲ加フ

第十七ノ十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十六ノ次ニ第十七ノ十七ヲ加フ

第十七ノ十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十七ノ次ニ第十七ノ十八ヲ加フ

第十七ノ十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十八ノ次ニ第十七ノ十九ヲ加フ

第十七ノ十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ十九ノ次ニ第十七ノ二十ヲ加フ

第十七ノ二十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十ノ次ニ第十七ノ二十一ヲ加フ

第十七ノ二十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十一ノ次ニ第十七ノ二十二ヲ加フ

第十七ノ二十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十二ノ次ニ第十七ノ二十三ヲ加フ

第十七ノ二十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十三ノ次ニ第十七ノ二十四ヲ加フ

第十七ノ二十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十四ノ次ニ第十七ノ二十五ヲ加フ

第十七ノ二十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十五ノ次ニ第十七ノ二十六ヲ加フ

第十七ノ二十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十六ノ次ニ第十七ノ二十七ヲ加フ

第十七ノ二十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十七ノ次ニ第十七ノ二十八ヲ加フ

第十七ノ二十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十八ノ次ニ第十七ノ二十九ヲ加フ

第十七ノ二十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ二十九ノ次ニ第十七ノ三十ヲ加フ

第十七ノ三十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十ノ次ニ第十七ノ三十一ヲ加フ

第十七ノ三十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十一ノ次ニ第十七ノ三十二ヲ加フ

第十七ノ三十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十二ノ次ニ第十七ノ三十三ヲ加フ

第十七ノ三十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十三ノ次ニ第十七ノ三十四ヲ加フ

第十七ノ三十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十四ノ次ニ第十七ノ三十五ヲ加フ

第十七ノ三十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十五ノ次ニ第十七ノ三十六ヲ加フ

第十七ノ三十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十六ノ次ニ第十七ノ三十七ヲ加フ

第十七ノ三十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十七ノ次ニ第十七ノ三十八ヲ加フ

第十七ノ三十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十八ノ次ニ第十七ノ三十九ヲ加フ

第十七ノ三十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ三十九ノ次ニ第十七ノ四十ヲ加フ

第十七ノ四十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十ノ次ニ第十七ノ四十一ヲ加フ

第十七ノ四十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十一ノ次ニ第十七ノ四十二ヲ加フ

第十七ノ四十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十二ノ次ニ第十七ノ四十三ヲ加フ

第十七ノ四十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十三ノ次ニ第十七ノ四十四ヲ加フ

第十七ノ四十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十四ノ次ニ第十七ノ四十五ヲ加フ

第十七ノ四十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十五ノ次ニ第十七ノ四十六ヲ加フ

第十七ノ四十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十六ノ次ニ第十七ノ四十七ヲ加フ

第十七ノ四十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十七ノ次ニ第十七ノ四十八ヲ加フ

第十七ノ四十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十八ノ次ニ第十七ノ四十九ヲ加フ

第十七ノ四十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ四十九ノ次ニ第十七ノ五十ヲ加フ

第十七ノ五十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十ノ次ニ第十七ノ五十一ヲ加フ

第十七ノ五十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十一ノ次ニ第十七ノ五十二ヲ加フ

第十七ノ五十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十二ノ次ニ第十七ノ五十三ヲ加フ

第十七ノ五十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十三ノ次ニ第十七ノ五十四ヲ加フ

第十七ノ五十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十四ノ次ニ第十七ノ五十五ヲ加フ

第十七ノ五十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十五ノ次ニ第十七ノ五十六ヲ加フ

第十七ノ五十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十六ノ次ニ第十七ノ五十七ヲ加フ

第十七ノ五十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十七ノ次ニ第十七ノ五十八ヲ加フ

第十七ノ五十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十八ノ次ニ第十七ノ五十九ヲ加フ

第十七ノ五十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ五十九ノ次ニ第十七ノ六十ヲ加フ

第十七ノ六十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十ノ次ニ第十七ノ六十一ヲ加フ

第十七ノ六十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十一ノ次ニ第十七ノ六十二ヲ加フ

第十七ノ六十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十二ノ次ニ第十七ノ六十三ヲ加フ

第十七ノ六十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十三ノ次ニ第十七ノ六十四ヲ加フ

第十七ノ六十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十四ノ次ニ第十七ノ六十五ヲ加フ

第十七ノ六十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十五ノ次ニ第十七ノ六十六ヲ加フ

第十七ノ六十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十六ノ次ニ第十七ノ六十七ヲ加フ

第十七ノ六十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十七ノ次ニ第十七ノ六十八ヲ加フ

第十七ノ六十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十八ノ次ニ第十七ノ六十九ヲ加フ

第十七ノ六十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ六十九ノ次ニ第十七ノ七十ヲ加フ

第十七ノ七十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十ノ次ニ第十七ノ七十一ヲ加フ

第十七ノ七十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十一ノ次ニ第十七ノ七十二ヲ加フ

第十七ノ七十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十二ノ次ニ第十七ノ七十三ヲ加フ

第十七ノ七十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十三ノ次ニ第十七ノ七十四ヲ加フ

第十七ノ七十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十四ノ次ニ第十七ノ七十五ヲ加フ

第十七ノ七十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十五ノ次ニ第十七ノ七十六ヲ加フ

第十七ノ七十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十六ノ次ニ第十七ノ七十七ヲ加フ

第十七ノ七十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十七ノ次ニ第十七ノ七十八ヲ加フ

第十七ノ七十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十八ノ次ニ第十七ノ七十九ヲ加フ

第十七ノ七十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ七十九ノ次ニ第十七ノ八十ヲ加フ

第十七ノ八十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十ノ次ニ第十七ノ八十一ヲ加フ

第十七ノ八十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十一ノ次ニ第十七ノ八十二ヲ加フ

第十七ノ八十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十二ノ次ニ第十七ノ八十三ヲ加フ

第十七ノ八十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十三ノ次ニ第十七ノ八十四ヲ加フ

第十七ノ八十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十四ノ次ニ第十七ノ八十五ヲ加フ

第十七ノ八十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十五ノ次ニ第十七ノ八十六ヲ加フ

第十七ノ八十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十六ノ次ニ第十七ノ八十七ヲ加フ

第十七ノ八十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十七ノ次ニ第十七ノ八十八ヲ加フ

第十七ノ八十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十八ノ次ニ第十七ノ八十九ヲ加フ

第十七ノ八十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ八十九ノ次ニ第十七ノ九十ヲ加フ

第十七ノ九十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十ノ次ニ第十七ノ九十一ヲ加フ

第十七ノ九十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十一ノ次ニ第十七ノ九十二ヲ加フ

第十七ノ九十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十二ノ次ニ第十七ノ九十三ヲ加フ

第十七ノ九十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十三ノ次ニ第十七ノ九十四ヲ加フ

第十七ノ九十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十四ノ次ニ第十七ノ九十五ヲ加フ

第十七ノ九十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十五ノ次ニ第十七ノ九十六ヲ加フ

第十七ノ九十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十六ノ次ニ第十七ノ九十七ヲ加フ

第十七ノ九十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十七ノ次ニ第十七ノ九十八ヲ加フ

第十七ノ九十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十八ノ次ニ第十七ノ九十九ヲ加フ

第十七ノ九十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ九十九ノ次ニ第十七ノ百ヲ加フ

第十七ノ百　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百ノ次ニ第十七ノ百一ヲ加フ

第十七ノ百一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百一ノ次ニ第十七ノ百二ヲ加フ

第十七ノ百二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二ノ次ニ第十七ノ百三ヲ加フ

第十七ノ百三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百三ノ次ニ第十七ノ百四ヲ加フ

第十七ノ百四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百四ノ次ニ第十七ノ百五ヲ加フ

第十七ノ百五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百五ノ次ニ第十七ノ百六ヲ加フ

第十七ノ百六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百六ノ次ニ第十七ノ百七ヲ加フ

第十七ノ百七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百七ノ次ニ第十七ノ百八ヲ加フ

第十七ノ百八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百八ノ次ニ第十七ノ百九ヲ加フ

第十七ノ百九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百九ノ次ニ第十七ノ百十ヲ加フ

第十七ノ百十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十ノ次ニ第十七ノ百十一ヲ加フ

第十七ノ百十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十一ノ次ニ第十七ノ百十二ヲ加フ

第十七ノ百十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十二ノ次ニ第十七ノ百十三ヲ加フ

第十七ノ百十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十三ノ次ニ第十七ノ百十四ヲ加フ

第十七ノ百十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十四ノ次ニ第十七ノ百十五ヲ加フ

第十七ノ百十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十五ノ次ニ第十七ノ百十六ヲ加フ

第十七ノ百十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十六ノ次ニ第十七ノ百十七ヲ加フ

第十七ノ百十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十七ノ次ニ第十七ノ百十八ヲ加フ

第十七ノ百十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十八ノ次ニ第十七ノ百十九ヲ加フ

第十七ノ百十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百十九ノ次ニ第十七ノ百二十ヲ加フ

第十七ノ百二十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十ノ次ニ第十七ノ百二十一ヲ加フ

第十七ノ百二十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十一ノ次ニ第十七ノ百二十二ヲ加フ

第十七ノ百二十二　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十二ノ次ニ第十七ノ百二十三ヲ加フ

第十七ノ百二十三　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十三ノ次ニ第十七ノ百二十四ヲ加フ

第十七ノ百二十四　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十四ノ次ニ第十七ノ百二十五ヲ加フ

第十七ノ百二十五　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十五ノ次ニ第十七ノ百二十六ヲ加フ

第十七ノ百二十六　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十六ノ次ニ第十七ノ百二十七ヲ加フ

第十七ノ百二十七　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十七ノ次ニ第十七ノ百二十八ヲ加フ

第十七ノ百二十八　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十八ノ次ニ第十七ノ百二十九ヲ加フ

第十七ノ百二十九　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百二十九ノ次ニ第十七ノ百三十ヲ加フ

第十七ノ百三十　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ価額ニ従ヒ訴訟費用ノ負担ヲ命ズベキ裁判ヲ為スコトヲ得

第十七ノ百三十ノ次ニ第十七ノ百三十一ヲ加フ

第十七ノ百三十一　裁判所ハ訴訟ノ目的ノ価額ヲ算定シ其ノ

第百四十一條　破産決定書ニハ破産宣告ノ年月日時ヲ記載スルコトヲ要ス

第百四十二條　裁判所ハ破産ノ宣告ト同時ニ破産管財人ヲ選任シ且左ノ事項ヲ定ムルコトヲ要ス

一　債權屆出ノ期間但シ其ノ期間ハ破産宣告ノ日ヨリ二週間以上四月以下ナルコトヲ要ス

二　第一回ノ債權者集會ノ期日但シ其ノ期日ハ破産宣告ノ日ヨリ一月内ナルコトヲ要ス

三　債權調査ノ期日但シ其ノ期日ト債權屆出期間ノ末日トノ間ニハ一週間以上一月以下ノ期間ヲ存スルコトヲ要ス

前項第二號及第三號ノ期日ハ之ヲ併合スルコトヲ妨ケス

第百四十三條　裁判所カ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ直ニ左ノ事項ヲ公告スルコトヲ要ス

一　破産決定ノ主文

二　破産管財人ノ氏名及住所

三　前條ノ規定ニ依リ定メタル期間及期日

四　破産者ノ債務者及破産財團ニ屬スル財産ノ所持者ハ破産者ニ辨濟ヲ爲シ又ハ其ノ財産ヲ交付スヘカラサル旨及債務ヲ負擔スルコト、所持者カ別除權ヲ有スルトキハ其ノ債權ヲ有スルコト、一定ノ期間内ニ破産管財人ニ屆出ツヘキ旨ノ命令

知レタル債權者、債務者及財産所持者ニハ前項ニ揭ケル事項ヲ記載シタル書面ヲ送達スルコトヲ要ス

前二項ノ規定ハ第一項第二號乃至第四號ニ揭ケル事項ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス

第一項第四號ノ屆出ヲ怠リタル者ハ之ニ因リテ破産財團ニ生シタル損害ヲ賠償スルコトヲ要ス

第百四十四條　裁判所カ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

第百四十五條　裁判所カ破産財團ヲ以テ破産費用ヲ辨スルコト能ハサルヘキ事實ニ付同意シタル者ノ債權額カ議決權ヲ行フコトヲ得ヘキ出席破産債權者ノ總債權ノ半額ヲ超エルトキハ裁判所ハ決定ヲ以テ決議ニ代ル和解ノ成立ヲ促スコトヲ得

前項ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第百四十六條　破産債權者ハ破産財團ノ狀況ヲ調査シ且破産管財人ノ職務ヲ監督スル爲メ債權者委員會ヲ設ケ又ハ三人以上ノ破産債權者ヲ以テ監査委員ヲ選任スルコトヲ得

第百四十七條　破産管財人ハ破産債權者ノ利益ヲ代表シ且破産財團ニ關スル訴訟ニ付原告又ハ被告トナリ又ハ破産債權者ノ爲メ破産財團ニ關スル訴訟ニ參加スルコトヲ得

第百四十八條　破産債權者ハ破産財團ニ關スル訴訟ニ付裁判所ノ許可ヲ得テ和解ヲ爲スコトヲ得

第百四十九條　破産管財人ハ破産財團ニ屬スル財産ヲ處分スルニ付裁判所ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第百五十條　破産管財人ハ破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル者ニ對シ其ノ權利ノ目的タル財産ヲ換價シ又ハ別除權者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百五十一條　破産管財人ハ破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル者ニ對シ其ノ權利ノ目的タル財産ヲ換價シ又ハ別除權者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百五十二條　破産管財人ハ破産財團ニ屬スル財産ニ付別除權ヲ有スル者ニ對シ其ノ權利ノ目的タル財産ヲ換價シ又ハ別除權者ニ辨濟ヲ爲スコトヲ得

第百五十三條　破産者、其ノ代理人並其ノ理事及之ニ準スヘキ者ハ破産管財人、監査委員又ハ債權者集會ノ請求ニ因リ破産ニ關シ必要ナル說明ヲ爲スコトヲ要ス相續財産ニ對スル破産ニ付テハ相續人、前戸主、相續財産管理人、遺言執行者及相續人及前戸主ノ代理人亦同シ

前項ノ場合ニ於テ破産廢止ノ決定ノ取消カ確定シタルトキハ前三條ノ規定ヲ準用ス

第百五十四條　破産ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ破産宣告前ト雖債務者及第百五十二條ニ規定スル者ノ引致又ハ監守ヲ命スルコトヲ得

第百五十五條　破産ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ破産宣告前ト雖利害關係人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ破産財團ニ關シ假差押、假處分其ノ他ノ必要ナル保全處分ヲ命スルコトヲ得

裁判所ハ前項ノ規定ニ依ル處分ヲ變更シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル裁判ハ決定ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十六條　破産取消ノ決定カ確定シタル場合ニ於テハ裁判所ハ直ニ其ノ主文ヲ公告スルコトヲ要ス

第百四十三條第二項、第百四十四條、第百五十一條第二項、第百五十二條及第三百五十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三章　破産管財人

第百五十七條　破産管財人ハ裁判所ノ監督ニ服ス

第百五十八條　破産管財人ハ裁判所必要ト認ムルトキハ裁判所ニ申立ヲ爲スコトヲ得

第百五十九條　裁判所ハ破産管財人ニ其ノ選任ヲ證スル書面ヲ交付スルコトヲ要ス

破産管財人ハ其ノ書面ヲ利害關係人ノ請求アルトキハ前項ノ書面ヲ示スコトヲ要ス

第百六十條　破産管財人ハ正當ノ事由アルニ非サレハ其ノ任務ヲ辭スルコトヲ得ス

破産管財人カ其ノ任務ヲ辭セムトスルトキハ裁判所ニ申立ヲ爲スコトヲ要ス

第百六十一條　裁判所ハ破産管財人ノ任務終了ノ場合ニ於テ急迫ノ事情アルトキハ破産管財人又ハ其ノ相續人ハ後任ノ破産管財人又ハ破産者カ財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至ル迄必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百六十二條　破産財團ニ關スル訴ハ破産管財人ヲ以テ原告又ハ被告トス

第百六十三條　破産管財人ハ破産者ノ業務及財産ニ關シ裁判所ノ許可ヲ得テ職務ヲ分掌スルコトヲ得

破産管財人數人アルトキハ共同シテ其ノ職務ヲ行フ但シ裁判所ノ許可ヲ得テ職務ヲ分掌スルコトヲ得

第百六十四條　破産ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ破産宣告前ト雖破産者ノ引致又ハ監守ヲ命スルコトヲ得

第百六十五條　破産管財人ハ破産者ノ業務及財産ニ關シ破産者ニ對シ又ハ破産者ノ家族ニ對シ必要ナル報告ヲ求ムルコトヲ得

第百六十六條　破産管財人ハ破産者ノ住所又ハ居所ニ於テ破産者ノ財産ヲ檢索シ又ハ破産者ノ帳簿、書類其他ノ物件ヲ檢査スルコトヲ得

第百六十七條　破産管財人ハ破産者ノ郵便物又ハ電報ヲ受取リ且之ヲ開披スルコトヲ得

第百六十八條　破産者ハ破産管財人ノ職務ヲ行フ爲必要ナル住所ノ移轉ニ付裁判所ノ許可ヲ得ルコトヲ要ス

第百六十九條　破産者カ正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ違反シタルトキハ破産管財人ハ破産者ニ對シ強制ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十條　破産者ハ破産管財人ノ職務ヲ行フ爲必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ許可ヲ得テ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百七十一條　破産者カ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百七十二條　破産者カ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百七十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百七十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百七十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百七十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百七十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百七十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百七十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百八十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百八十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百八十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百八十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百八十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百八十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百八十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百八十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百八十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百八十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百九十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百九十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百九十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百九十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百九十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百九十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百九十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百九十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第百九十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第百九十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百二十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百二十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百二十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百二十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百二十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百二十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百二十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百二十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百二十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百二十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百三十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百三十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百三十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百三十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百三十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百三十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百三十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百三十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百三十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百三十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百四十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百四十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百四十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百四十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百四十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百四十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百四十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百四十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百四十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百四十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百五十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百五十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百五十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百五十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百五十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百五十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百五十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百五十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百五十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百五十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百六十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百六十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百六十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百六十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百六十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百六十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百六十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百六十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百六十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百六十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百七十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百七十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百七十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百七十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百七十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百七十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百七十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百七十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百七十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百七十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百八十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百八十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百八十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百八十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百八十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百八十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百八十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百八十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百八十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百八十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百九十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百九十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百九十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百九十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百九十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百九十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百九十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百九十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第二百九十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第二百九十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百二十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百二十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百二十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百二十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百二十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百二十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百二十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百二十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百二十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百二十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百三十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百三十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百三十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百三十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百三十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百三十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百三十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百三十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百三十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百三十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百四十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百四十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百四十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百四十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百四十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百四十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百四十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百四十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百四十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百四十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百五十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百五十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百五十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百五十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百五十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百五十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百五十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百五十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百五十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百五十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百六十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百六十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百六十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百六十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百六十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百六十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百六十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百六十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百六十八條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百六十九條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百七十條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百七十一條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百七十二條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百七十三條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百七十四條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百七十五條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス

第三百七十六條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ居住地ヲ離ルルコトヲ得ス

第三百七十七條　破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ外人ト面接

第二百四十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其效力ヲ生ス

第二百四十二條　判決ハ之ヲ言渡シタル裁判所ニ於テ更ニ之ヲ變更スルコトヲ得ス但シ法律ニ別段ノ規定アル場合ハ此限ニ在ラス

第二百四十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百四十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百四十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百四十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百四十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百四十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百四十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百五十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百六十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百七十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百八十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第二百九十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百二十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百三十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百四十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百五十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百六十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百七十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百八十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第三百九十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百二十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百三十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百四十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百五十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百六十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百七十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百八十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第四百九十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百二十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百三十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百四十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百五十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百六十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百七十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百八十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第五百九十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百二十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百三十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百四十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十三條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十四條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十五條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十六條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十七條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十八條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百五十九條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百六十條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百六十一條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百六十二條　判決ハ言渡ニ因リテ其裁判所ヲ羈束ス

第六百六十三條　判決ハ

第二百三十一條　裁判ノ謄本ハ裁判所書記之ヲ作成シ其ノ正本ニ認證ヲ附シ裁判所ノ印ヲ押ス

第二百三十二條　裁判ノ正本ハ裁判ヲ言渡シタル裁判所ノ書記ニ之ヲ交付ス

第二百三十三條　裁判ノ謄本又ハ抄本ハ當事者又ハ利害關係ヲ證明シタル第三者ノ請求ニ因リ裁判所ノ書記之ヲ交付ス

第二百三十四條　裁判ノ正本、謄本又ハ抄本ニ關スル費用ハ當事者ノ負擔トス

第二百三十五條　裁判ノ言渡ハ當事者ノ出頭ヲ要セス

第二百三十六條　裁判ハ言渡ニ因リテ其效力ヲ生ス

第二百三十七條　裁判ハ言渡後羈束ヲ離ル

第二百三十八條　裁判ハ法律ニ特別ノ規定アル場合ヲ除ク外判決ヲ爲シタル裁判所ニ於テ之ヲ更正スルコトヲ得

第二百三十九條　裁判ニ計算上ノ誤謬又ハ明白ナル誤記アルトキハ裁判所ハ何時ニテモ更正ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十條　裁判ニ脫漏アルトキハ裁判所ハ何時ニテモ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百四十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對シテハ不服ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ハ其ノ裁判ニ影響ヲ及ホスヘキ場合ニ限リ其ノ效力ヲ有ス

第二百四十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ハ其ノ裁判ニ對スル不服ノ申立ノ例ニ從フ

第二百四十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ハ裁判ノ原本ニ附記シ且正本ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第二百四十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ハ更正又ハ補充ノ裁判ト一體ヲ爲ス

第二百四十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對シテハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ求ムルコトヲ得ス

第二百四十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ハ其ノ決定ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ一週間ノ不變期間内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第二百四十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ハ其ノ裁判ニ影響ヲ及ホスヘキ場合ニ限リ其ノ效力ヲ有ス

第二百四十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ原裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百五十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百六十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百七十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百八十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第二百九十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百二十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百三十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百四十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百五十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百六十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百七十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百八十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第三百九十九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百八條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百九條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百十條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百十一條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百十二條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百十三條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百十四條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

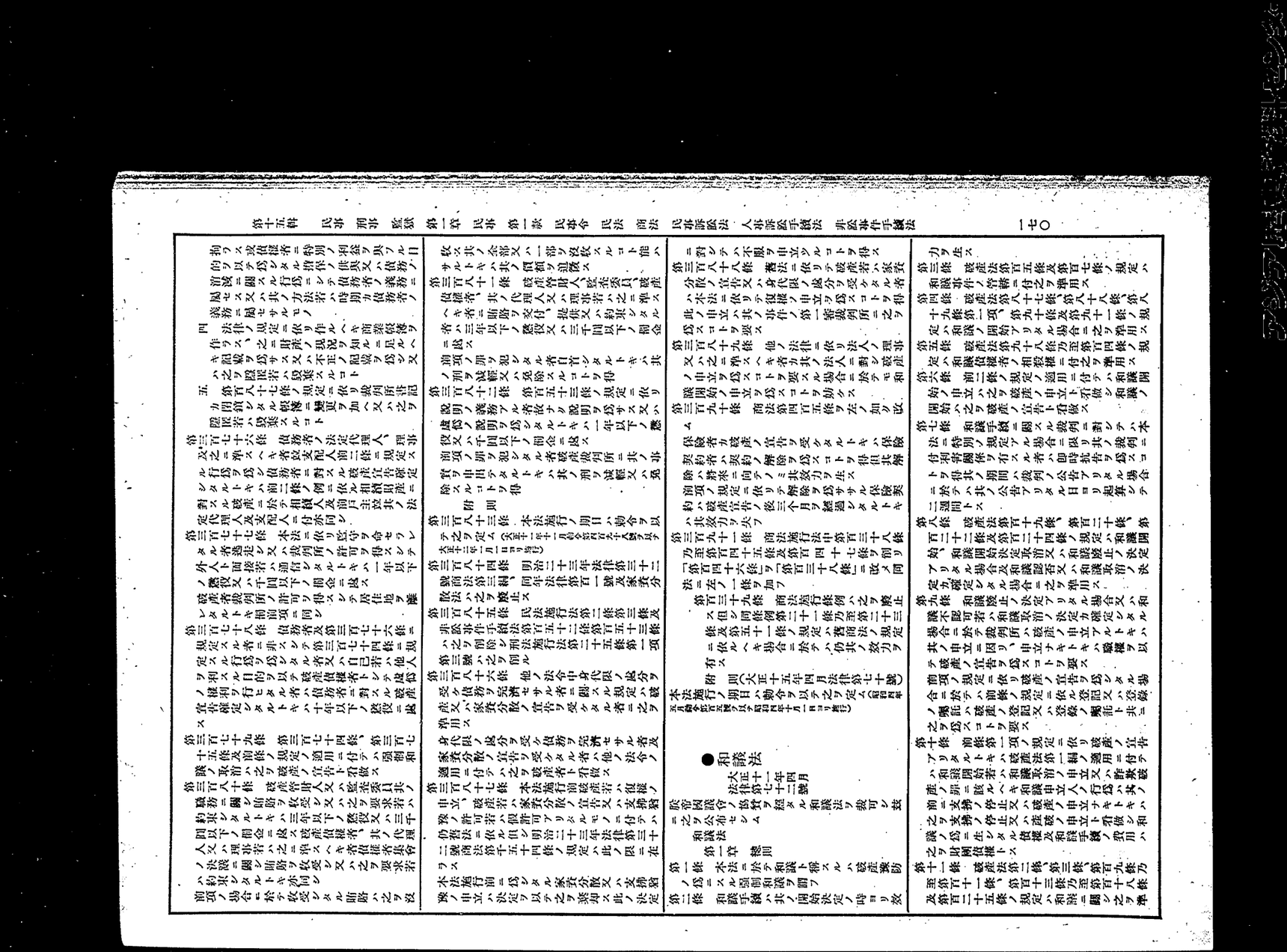
第四百十五條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百十六條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不服ノ申立ニ付テハ抗告裁判所ハ更ニ更正又ハ補充ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條　裁判ノ更正又ハ補充ノ決定ニ對スル不

第三百五條ノ規定ハ第三百四十四條ノ規定ニ依リ差押ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三百六條 第三百四條ノ規定ニ依リ差押ヲ爲シタル場合ニ於テ第三百五



一　和議開始後ノ利息
二　和議開始後ノ不履行ニ因ル損害賠償及違約金
三　和議手續參加ノ費用
四　閲金、科料、刑事訴訟費用、追徵金及過料

前項ノ請求權ハ和議債權ニ後ル

第四十五條　破産法第十七條乃至第二十條、第二十二條乃至第二十七條及第二百二十八條乃至第二百三十條ノ規定ハ和議債權ニ付之ヲ準用シ此ノ場合ニ於テハ和議ノ開始ハ之ヲ破産ノ宣告ト看做ス

第四章　債權者集會

第四十六條　債權者集會ノ期日ニハ届出ヲ爲シタル和議債權者、和議申立人及和議ノ爲ニ保證人ト爲リ其ノ他債務者ト共ニ債務ヲ負擔シ又ハ和議債權者ノ爲ニ擔保ヲ供スル者ヲ呼出スコトヲ要ス

前項ニ規定スル者ニハ和議ノ條件及整理委員ノ意見ノ要領ヲ記載シタル書面ヲ送達スルコトヲ要ス但シ第二十八條第二項第三項ノ規定ニ依リ既ニ送達ヲ受ケタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條　管財人及整理委員ハ届出アリタル各債權ニ付債權者集會ニ於テ議決權ヲ行ハシムヘキカ否及如何ナル金額ニ付之ヲ行ハシムヘキカヲ調査スルコトヲ要ス

第四十八條　管財人及整理委員ハ届出アリタル債權者集會ニ於テ和議ノ開始ニ至リタル事情、債務者及其ノ財産ニ關スル經過及現狀竝前條ノ規定ニ依ル調査ノ結果ニ付報告ヲ爲シ且和議ノ條件ノ適否ニ關シ意見ヲ述フルコトヲ要ス

破産法第百八十二條第二項乃至第四項ノ規定ハ届出アリタル債權ニ付第四十六條第一項ニ規定スル者、管財人又ハ整理委員ノ異議アル場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條　破産法第七十八條、第百八十一條、第二百三十八條但書、第三百一條、第三百二條、第三百六條又第三百七條ノ規定ハ債權者集會ニ付之ヲ準用ス

破産法第三百四條及第三百五條ノ規定ハ和議ノ認否ニ關スル手續ニ之ヲ準用ス

第五章　和議ノ認否

第五十條　債權者集會ニ於テ和議ヲ可決シタルトキハ裁判所ハ其ノ期日又ハ直ニ言渡シタル期日ニ於テ和議ノ認否ニ付決定ヲ爲スコトヲ要ス

第五十一條　裁判所ハ左ノ場合ニ限リ和議不認可ノ決定ヲ爲スコトヲ得

一　和議ノ手續又ハ決議カ法律ノ規定ニ反スル場合ニ於テ其ノ欠缺カ追完スヘカラサルモノナルトキ

二　第十八條第二號又ハ第三號ニ規定スル事由アルトキ

三　和議ノ決議カ不正ノ方法ニ因リテ成立スルニ至リタルトキ

四　和議ノ決議カ和議債權者ノ一般ノ利益ニ反スルトキ

第五十二條　和議認否ノ決定ハ之ヲ言渡シ且其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス但シ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第五十三條　和議認否ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

破産法第三百十九條ノ規定ハ和議債權者ニ之ヲ準用ス

第五十四條　和議ハ認可ノ決定ノ確定ニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第五十五條　和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ裁判所書記ハ和議ノ條件ヲ債權表ニ記載スルコトヲ要ス

第五十六條　和議認可ノ決定カ確定シタルトキハ債務者ハ和議ノ爲ニ生シタル債權、和議ノ履行ノ爲供シタル擔保ノ上ニ存スル先取特權其ノ他一般ノ優先權ヲ債權ノ辨濟ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ債權ニシテ異議アルモノニ付テハ債權者ノ爲供託ヲ爲スコトヲ要ス

第五十七條　破産法第三百二十五條乃至第三百二十七條ノ規定ハ和議ノ認否ニ付之ヲ準用ス

第五十八條　和議ハ債務者ノ財産ニ對シ總債權者ノ爲ニ其ノ效力ヲ生ス

第五十九條　和議ハ破産法第三百二十八條ノ規定ニ依リ中止シタル強制執行、假差押及假處分ハ其ノ效力ヲ失フ

第六十條　和議ノ廢止

第六十一條　左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ職權ヲ以テ和議廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ要ス

一　和議ノ可決ハ和議ノ提供者カ其ノ提供シタル擔保ノ全部又ハ一部ヲ放棄スルコトヲ得サルニ至リタルトキ

二　債權者集會ノ第一期日ヨリ二月内ニ和議ヲ可決セサルトキ

第六十條　左ノ場合ニ於テハ裁判所ハ管財人若ハ整理委員ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ和議廢止ノ決定ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ債務者ヲ密氣スルコトヲ要ス

第二十條第一項第二項ノ規定ニ依リ裁判ノ命令ニ對シ抗告ヲ爲シタルトキ

債務者カ第三十一條又ハ第三十二條第一項第二項ノ規定ニ依ル請求アリタルニ拘ラス自ラ金錢ノ取支ヲ爲シタルトキ

第六十一條　裁判所カ和議廢止ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

第七章　和議ノ取消

第六十二條　破産法第三百二十九條乃至第三百三十一條ノ規定ハ和議ヲ以テ定メタル義務ノ履行ニ之ヲ準用ス

第六十三條　債務者ニ詐欺破産ノ罪ニ該ルヘキ行爲アルトキハ裁判所ハ和議債權者ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ和議取消ノ決定ヲ爲スコトヲ得

第六十四條　破産法第三百三十二條第一項及第二項ノ規定ハ和議ノ取消ニ之ヲ準用ス

和議取消ノ申立ニ必要ナル債權ノ及總債權ニ付キ棄却ノ言渡ヲ受ケタル原告ハ訴若クハ其ノ申立ノ變更又ハ併合ニ依リ主張スルコトヲ得ヘカリシ事實ニ基キテ獨立ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第六十五條　和議ノ取消ハ和議債權者カ和議ニ付之ヲ準用ス

第六十六條　裁判所カ和議取消ノ申立棄却又ハ和議取消ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ主文及理由ノ要領ヲ公告スルコトヲ要ス

前項ノ決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十七條　破産法第三百三十八條、第三百四十條ノ規定ニ依リ破産ノ宣告ニ之ヲ準用ス

第八章　罰則

第六十八條　整理委員又ハ管財人ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス和議債權者、其ノ代理人又ハ理事若ハ之ニ準スヘキ者債權者集會ノ決議ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第六十九條　整理委員、管財人又ハ和議債權者、其ノ代理人、理事若ハ之ニ準スヘキ者ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第七十條　第二十三條又ハ第三十七條ノ規定ニ依リ說明ノ義務アル者故ナク說明ヲ爲サス又ハ虛僞ノ說明ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス和議申立人又ハ債務者第二十一條又ハ第三十六條ノ規定ニ依リ調査若ハ報告ヲ拒ミ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキ亦同シ

前項ノ罪ヲ犯シタル者和議裁判所ニ其ノ事實ヲ申出テタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十一年十二月勅令第四百九十八號ヲ以テ大正十二年一月一日ヨリ施行）

和議手續參加ハ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

●人事訴訟手續法

明治三十一年六月
法律第十三號

改正　大正二年五月第六六號

枢密顧問ノ協賛ヲ經タル人事訴訟手續法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

人事訴訟手續法

第一章　婚姻事件及ヒ養子緣組事件ニ關スル手續

第二章　親子關係事件、相續人廢除事件及ヒ隱居事件ニ關スル手續

第三章　禁治産及ヒ準禁治産ニ關スル手續

第四章　失踪ニ關スル手續

附　則

人事訴訟手續法

第一章　婚姻事件及ヒ養子緣組事件ニ關スル手續

第一條　婚姻ノ無效若ハ取消、離婚又ハ夫婦ノ同居ヲ目的トスル訴ハ夫カ幷ニ通裁判籍ヲ有スル地又ハ其死亡ノ時ニ之ヲ有シタル地ノ地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス但緣組事件ニ附帶シテ婚姻ノ取消又ハ離婚ノ請求ヲ爲ス場合ハ此限ニ在ラス

前項ノ普通裁判籍ハ日本ニ住所ナキトキ又ハ日本ノ住所ノ知レサルトキハ最後ノ住所ニ依リテ定マル最後ノ住所ナキトキ又ハ其住所ノ知レサルトキハ最後ノ住所ニ依リテ定マル

第二條　夫婦ノ一方カ提起スル婚姻ノ無效又ハ取消ノ訴ニ於テハ共配偶者ヲ以テ相手方トス

第三者カ提起スル前項ノ訴ニ於テハ夫婦ヲ以テ相手方トシ夫婦ノ一方カ死亡シタル後ハ其生存者ヲ以テ相手方トス

前二項ノ規定ニ依リテ相手方トスヘキ者カ死亡シタル後ハ檢事ヲ以テ相手方トス

檢事カ當事者ト爲リタルトキハ相手方カ死亡シタル後ノ訴ニ於テモ亦同シ

第四條　婚姻ノ無效ノ訴ニ於テハ夫婦ノ一方カ死亡シタル後ハ其生存者ヲ以テ相手方トス

第五條　婚姻ノ無效ノ訴ニ於テハ夫婦ノ一方カ死亡シタル後ハ檢事ヲ以テ相手方トス

第六條　婚姻ノ取消ノ訴ハ夫婦ノ一方カ提起スルトキハ其一方カ死亡シタル後一年内ニ限リ檢事ヲ以テ相手方トス

第七條　婚姻ノ無效ノ訴、其取消ノ訴、離婚ノ訴及ヒ同居ノ訴ハ之ヲ併合シ又ハ反訴トシテ之ヲ提起スルコトヲ得

他ノ訴ハ之ヲ前項ノ訴ニ併合シ又ハ其反訴トスルコトヲ得ス但扶養ノ請求、訴ノ原因タル事實ニ因リテ生シタル損害賠償ノ請求及ヒ民法ノ規定ニ依リ婚姻事件ニ附帶シテ爲スコトヲ得ル緣組ノ取消又ハ離緣ノ請求ハ此限ニ在ラス

第八條　婚姻事件ニ付テハ第一審又ハ控訴審ニ於ケル辯論ノ終結ニ至ルマテ訴若クハ其事由ヲ變更シ、之ヲ併合シ又ハ反訴ヲ提起スルコトヲ得

第九條　婚姻ノ無效若クハ取消又ハ離婚ノ訴ニ付キ棄却ノ言渡ヲ受ケタル原告ハ訴若クハ其事由ノ變更又ハ併合ニ依リ主張スルコトヲ得ヘカリシ事實ニ基キテ獨立ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第十條　民事訴訟法第百三十九條、第百四十條第一項、第二百五十五條、第三百十六條及ヒ第三百十七條ノ規定ハ婚姻事件ニ之ヲ準用ス

第二百五十五條ノ規定ハ婚姻事件ニ之ヲ適用セス

第十一條　婚姻事件ノ被告カ第一審ニ於ケル最初ノ辯論ノ期日ニ出頭セサリシトキハ更ニ其期日ヲ定ムルコトヲ要ス但被告カ公示送達ニ依リテ呼出ヲ受ケタル場合ハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ反訴ノ被告ニ之ヲ適用ス

第十二條　裁判所ハ婚姻事件ニ付キ當事者ニ自身出頭ヲ命シ當事者又ハ檢事カ提出シタル事實ニ付キ訊問ヲ爲スコトヲ得

當事者カ出頭スルコト能ハサルトキ又ハ遠隔ノ地ニ在ルトキハ受命判事又ハ受託判事ヲシテ訊問ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條　檢事ハ當事者ト爲ラサルトキト雖モ婚姻ヲ維持スル爲メ事實及ヒ證據方法ヲ提出スルコトヲ得

第七條　婚姻ノ無效ノ訴、其取消ノ訴、離婚ノ訴及ヒ同居ノ訴ノ之ヲ併合シ又ハ反訴トシテ之ヲ提起スルコトヲ得

他ノ訴ハ之ヲ前項ノ訴ニ併合シ又ハ反訴トスルコトヲ得ス但扶養ノ請求、訴ノ原因タル事實ニ因リテ生シタル損害賠償ノ請求及ヒ民法ノ規定ニ依リ婚姻事件ニ附帶シテ爲スコトヲ得ル緣組ノ取消又ハ離緣ノ請求ハ此限ニ在ラス

第八條　婚姻事件ニ付テハ第一審又ハ控訴審ニ於ケル辯論ノ終結ニ至ルマテ訴若クハ其事由ヲ變更シ、之ヲ併合シ又ハ反訴ヲ提起スルコトヲ得

第九條　婚姻ノ無效若クハ取消又ハ離婚ノ訴ニ付キ棄却ノ言渡ヲ受ケタル原告ハ訴若クハ其事由ノ變更又ハ併合ニ依リ主張スルコトヲ得ヘカリシ事實ニ基キテ獨立ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第十條　民事訴訟法第百三十九條、第百四十條第一項、第二百五十五條、第三百十六條及ヒ第三百十七條ノ規定ハ婚姻事件ニ之ヲ準用ス

第二百五十五條ノ規定ハ婚姻事件ニ之ヲ適用セス

第十一條　婚姻事件ノ被告カ第一審ニ於ケル最初ノ辯論ノ期日ニ出頭セサリシトキハ更ニ其期日ヲ定ムルコトヲ要ス但被告カ公示送達ニ依リテ呼出ヲ受ケタル場合ハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ反訴ノ被告ニ之ヲ適用ス

第十二條　裁判所ハ婚姻事件ニ付キ當事者ニ自身出頭ヲ命シ當事者又ハ檢事カ提出シタル事實ニ付キ訊問ヲ爲スコトヲ得

當事者カ出頭スルコト能ハサルトキ又ハ遠隔ノ地ニ在ルトキハ受命判事又ハ受託判事ヲシテ訊問ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條　檢事ハ當事者ト爲ラサルトキト雖モ婚姻ヲ維持スル爲メ事實及ヒ證據方法ヲ提出スルコトヲ得

第七條　婚姻ノ無效ノ訴、其取消ノ訴、離婚ノ訴及ヒ同居ノ訴ノ之ヲ併合シ又ハ反訴トシテ之ヲ提起スルコトヲ得

他ノ訴ハ之ヲ前項ノ訴ニ併合シ又ハ其反訴トスルコトヲ得ス但扶養ノ請求、訴ノ原因タル事實ニ因リテ生シタル損害賠償ノ請求及ヒ民法ノ規定ニ依リ婚姻事件ニ附帶シテ爲スコトヲ得ル緣組ノ取消又ハ離緣ノ請求ハ此限ニ在ラス

第八條　婚姻事件ニ付テハ第一審又ハ控訴審ニ於ケル辯論ノ終結ニ至ルマテ訴若クハ其事由ヲ變更シ、之ヲ併合シ又ハ反訴ヲ提起スルコトヲ得

第九條　婚姻ノ無效若クハ取消又ハ離婚ノ訴ニ付キ棄却ノ言渡ヲ受ケタル原告ハ訴若クハ其事由ノ變更又ハ併合ニ依リ主張スルコトヲ得ヘカリシ事實ニ基キテ獨立ノ訴ヲ提起スルコトヲ得ス

第十條　民事訴訟法第百三十九條、第百四十條第一項、第二百五十五條、第三百十六條及ヒ第三百十七條ノ規定ハ婚姻事件ニ之ヲ準用ス

第二百五十五條ノ規定ハ婚姻事件ニ之ヲ適用セス

第十一條　婚姻事件ノ被告カ第一審ニ於ケル最初ノ辯論ノ期日ニ出頭セサリシトキハ更ニ其期日ヲ定ムルコトヲ要ス但被告カ公示送達ニ依リテ呼出ヲ受ケタル場合ハ此限ニ在ラス

前項ノ規定ハ反訴ノ被告ニ之ヲ適用ス

第十二條　裁判所ハ婚姻事件ニ付キ當事者ニ自身出頭ヲ命シ當事者又ハ檢事カ提出シタル事實ニ付キ訊問ヲ爲スコトヲ得

當事者カ出頭スルコト能ハサルトキ又ハ遠隔ノ地ニ在ルトキハ受命判事又ハ受託判事ヲシテ訊問ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條　婚姻ノ無效ノ訴、其取消ノ訴、離婚ノ訴及ヒ同居ノ訴ニ於テハ夫婦ノ一方カ死亡シタル後ハ其生存者ヲ以テ相手方トス

前二項ノ規定ニ依リテ相手方トスヘキ者カ死亡シタル後ハ檢事ヲ以テ相手方トス

檢事カ當事者ト爲リタルトキハ相手方カ死亡シタル後ノ訴ニ於テモ亦同シ

第十四條　裁判所ハ婚姻ヲ維持スル爲メ職權ヲ以テ證據調ヲ爲シ且當事者カ提出セサル事實ヲ斟酌スルコトヲ得但其事實及ヒ證據ノ調ノ結果ニ付キ當事者ヲ訊問スヘシ

第十五條　婚姻ノ無效若クハ取消又ハ離婚ヲ言渡シタル判決ハ職權ヲ以テ之ヲ當事者ニ送達スヘシ

第十六條　扶養若クハ同居ノ義務、子ノ監護其他ノ假處分ニ付テハ民事訴訟法第七百五十六條乃至第七百六十三條ノ規定ヲ準用ス

第十七條　檢事カ敗訴シタル場合ニ於テハ訴訟費用ハ國庫ノ負擔トス

第十八條　婚姻ノ無效若クハ取消又ハ離婚ノ訴ニ付キ言渡シタル判決ハ第三者ニ對シテモ其效力ヲ有ス

民法第七百六十六條ノ規定ニ違反シタルコトヲ理由トシテ婚姻ノ取消ヲ請求シタル場合ニ於テ其訴ヲ棄却シタル判決ハ當事者ノ前配偶者ニ對シテハ其者カ訴訟ニ參加シタルトキニ限リ其效力ヲ有ス

第十九條　檢事カ提起スルコトヲ得ル婚姻事件ノ訴ニ限リ後四條ノ規定ヲ適用ス

第二十條　檢事カ訴ヲ提起スルトキハ夫婦ヲ以テ相手方トス

第二十一條　訴ノ變更若クハ併合又ハ反訴ノ提起ハ檢事カ提起スルコトヲ得ル訴ナルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得但夫婦ノ一方カ死亡シタル後ハ此限ニ在ラス

第二十二條　檢事ハ他ノ者カ訴ヲ提起シタル場合ニ於テモ申立ヲ爲シテ訴訟手續ヲ進行シ又ハ上訴ヲ爲スコトヲ得但夫婦ノ一方カ死亡シタル後ハ此限ニ在ラス

第二十三條　檢事カ上訴ヲ爲ストキハ前審ノ當事者ノ全員ヲ以テ相手方トス

當事者ノ一人カ上訴ヲ爲ストキハ前審ノ他ノ當事者及ヒ當事者タラシメ檢事ヲ以テ相手方トス

第二十四條　妾子緣組ノ無效若クハ取消又ハ離緣ヲ目的トスル訴ハ妾カ普通裁判籍ヲ有スル地又ハ其死亡ノ時ニ之ヲ有シタル地ノ地方裁判所ノ管轄ニ專屬ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第十五編　民事訴訟法　第一章　民事訴訟法　第一節　民事訴訟法　第一款　民事訴訟法　第一目　民事訴訟法　第一項

第一章　令社及ヒ資産ニ關スル事件
第二章　令社ノ清算ニ關スル事件
第三章　商業登記
第一節　通則
第二節　商號ノ登記
第三節　未成年者、妻及ヒ法定代理人ノ登記
第四節　支配人及ヒ令社ノ清算人ノ登記
第五節　合名令社及ヒ合資令社ノ登記
第六節　株式令社ノ登記
第七節　株式合資令社ノ登記
第八節　外國令社ノ登記
附　則
非訟事件手續法
第一編　總則
第一章　裁判所ノ管轄ニ關スル非訟事件ニ付テハ本法其他ノ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外本編ノ規定ヲ適用ス
第二條　裁判所ノ土地ノ管轄カ住所ニ依リテ定マル場合ニ於テ日本ニ住所ナキトキ又ハ日本ノ住所ノ知レサルトキハ居所ノ地ノ裁判所ノ以テ管轄裁判所トス
三　申立人ノ起旨及ヒ其原因タル事實
四　裁判所ノ表示
五　證據書類アルトキハ其原本又ハ謄本ヲ添附スヘシ
第十條　期日、期間、疏明ノ方法、人證及ヒ鑑定ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス
第十一條　裁判所ハ職權ヲ以テ事實ノ探知及ヒ必要ト認ムル證調ヲ爲スヘシ
第十二條　事實ノ探知、呼出、告知及ヒ裁判ノ執行ニ關スル行爲ハ之ヲ嘱託スルコトヲ得
第十三條　審問ハ之ヲ公行セス但裁判所ハ相當ト認ムル者ニ傍聽ヲ許スコトヲ得
第十四條　證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ付テハ調書ヲ作ラシメ其他ノ審問ニ付テハ必要ト認ムル場合ニ限リ之ヲ作ラシムヘシ
第十五條　檢事ノ事件ニ付キ意見ヲ述ヘ審問ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ立會フコトヲ得
前項ノ嘱託ニハ抵當權ノ設定ヲ命シタル裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ
第十六條　裁判所カ財産ノ封印ヲ命シタル場合ニ於テハ管轄區裁判所ノ裁判官又ハ其ノ指定シタル裁判官カ之ヲ爲ス
利害關係人、管理人及ヒ檢事ニ封印ノ手續ニ立會フコトヲ得
第十七條　左ニ揭ケタル物ニハ封印ヲ爲スヘカラス
一　日用品
二　封印ヲ爲スニ適セサル物
三　第三者ノ占有ニ屬スル物但其提出ヲ拒マサルトキハ此限ニ在ラス
第十八條　封印ニハ判事ノ職印ヲ用ユヘシ
民事訴訟法第五百三十六條ノ規定ハ封印ノ手續ニ之ヲ準用ス
第四十九條　裁判所ハ封印ヲ爲シタルトキハ財産ノ保管者ヲ選任スヘシ
第四十條、第四十一條ノ二、民法第六百五十八條第一項、第六百五十九條乃至第六百六十一條及ヒ第六百六十四條ノ規定ハ裁判所カ選任シタル保管者ニ之ヲ準用ス但民法第六百六十條ノ通知ハ之ヲ檢事ニ爲スコトヲ要セス
第五十條　封印ヲ爲シタルトキハ書記ハ直チニ調書ヲ作ルヘシ
調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事、書記及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ
一　封印ヲ命シタル裁判所ノ表示
二　封印ノ手續ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ其事由
三　申立人ノ氏名、住所
四　異議ノ申立ナカリシ又ハ其申立ノ取下若クハ却下アリタルコト
五　財産ノ目錄ヲ調製セシメ又ハ之ヲ調製セシメサリシコト
六　封印ノ狀況及ヒ異狀アルトキハ其事由
調書ハ裁判所ニ之ヲ保存スヘシ
第五十一條　封印ヲ爲シタル裁判ノ表示
一　封印ノ除去ヲ命シタル裁判所、年月日及ヒ其事由
二　封印ノ除去ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ
第五十二條　利害關係人ハ前條ノ報告及ヒ計算ニ關スル書類ノ閲覽ヲ申請シ又ハ手數料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得
第五十三條　民法第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十七條及ヒ第六百五十條ノ規定ハ裁判所カ選任シタル管理人ニ之ヲ準用ス
第五十四條　裁判所ハ管理人ヲシテ其職務上檢事ノ請求ニ因リテ裁判ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外利害關係人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ適當ト認ムル他ノ管轄裁判所ニ事件ヲ移送スルコトヲ得
第四條　管轄裁判所ノ指定ハ裁判所構成法第十條第一號ニ揭ケタル場合ノ外數個ノ裁判所ノ土地ノ管轄ニ付キ疑アルトキハ之ヲ爲ス
管轄裁判所ノ指定ハ關係アル裁判所ニ共通スル直近上級裁判所ノ申立ニ因リ決定ヲ以テ之ヲ爲ス此決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
第五條　裁判所ハ管轄ニ關スル民事訴訟法ノ規定ニ依リ檢事ヲシテ意見ヲ述ヘシムヘキ事件ニ付テハ檢事ニ其ノ申立ヲ通知スヘシ
第六條　事件ノ關係人ハ訴訟能力者ヲシテ代理セシムルコトヲ得但自身出頭ヲ命セラレタルトキハ此限ニ在ラス
裁判所ハ辯護士ニ非スシテ代理ヲ營業トスル者ニ退席ヲ命スルコトヲ得此命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
第七條　民事訴訟法第八十條ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス但私文書ニ認證ヲ受ケヘキ旨ノ命ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
第八條　民事訴訟法第百五十條ノ規定ハ申立及ヒ陳述ニ之ヲ準用ス
第九條　申立ニハ左ノ事項ヲ記載シ申立人又ハ代理人之ニ署名、捺印スヘシ
一　申立人ノ氏名、住所
二　代理人ニ依リテ申立ヲ爲ストキハ其氏名、住所
三　申立ノ起旨及ヒ其原因タル事實
四　年月日
五　裁判所ノ表示
證據書類アルトキハ其原本又ハ謄本ヲ添附スヘシ
第十條　期日、期間、疏明ノ方法、人證及ヒ鑑定ニ關スル民事訴訟法ノ規定ハ非訟事件ニ之ヲ準用ス
第十一條　裁判所ハ職權ヲ以テ事實ノ探知及ヒ必要ト認ムル證調ヲ爲スヘシ
第十二條　事實ノ探知、呼出、告知及ヒ裁判ノ執行ニ關スル行爲ハ之ヲ嘱託スルコトヲ得
第十三條　審問ハ之ヲ公行セス但裁判所ハ相當ト認ムル者ニ傍聽ヲ許スコトヲ得
第十四條　證人又ハ鑑定人ノ訊問ニ付テハ調書ヲ作ラシメ其他ノ審問ニ付テハ必要ト認ムル場合ニ限リ之ヲ作ラシムヘシ
第十五條　檢事ノ事件ニ付キ意見ヲ述ヘ審問ヲ爲ス場合ニ於テハ之ニ立會フコトヲ得
前項ノ嘱託ニハ抵當權ノ設定ヲ命シタル裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ
第十六條　裁判所カ財産ノ封印ヲ命シタル場合ニ於テハ管轄區裁判所ノ裁判官又ハ其ノ指定シタル裁判官カ之ヲ爲ス
利害關係人、管理人及ヒ檢事ニ封印ノ手續ニ立會フコトヲ得
第十七條　左ニ揭ケタル物ニハ封印ヲ爲スヘカラス
一　日用品
二　封印ヲ爲スニ適セサル物
三　第三者ノ占有ニ屬スル物但其提出ヲ拒マサルトキハ此限ニ在ラス
第十八條　封印ニハ判事ノ職印ヲ用ユヘシ
民事訴訟法第五百三十六條ノ規定ハ封印ノ手續ニ之ヲ準用ス
第四十九條　裁判所ハ封印ヲ爲シタルトキハ財産ノ保管者ヲ選任スヘシ
第四十條、第四十一條ノ二、民法第六百五十八條第一項、第六百五十九條乃至第六百六十一條及ヒ第六百六十四條ノ規定ハ裁判所カ選任シタル保管者ニ之ヲ準用ス但民法第六百六十條ノ通知ハ之ヲ檢事ニ爲スコトヲ要セス
第五十條　封印ヲ爲シタルトキハ書記ハ直チニ調書ヲ作ルヘシ
調書ニハ左ノ事項ヲ記載シ判事、書記及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ
一　封印ヲ命シタル裁判所ノ表示
二　封印ノ手續ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ其事由
三　申立人ノ氏名、住所
四　異議ノ申立ナカリシ又ハ其申立ノ取下若クハ却下アリタルコト
五　財産ノ目錄ヲ調製セシメ又ハ之ヲ調製セシメサリシコト
六　封印ノ狀況及ヒ異狀アルトキハ其事由
調書ハ裁判所ニ之ヲ保存スヘシ
第五十一條　封印ヲ爲シタル裁判ノ表示
一　封印ノ除去ヲ命シタル裁判所、年月日及ヒ其事由
二　封印ノ除去ヲ爲シタル場所、年月日及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ
第五十二條　利害關係人ハ前條ノ報告及ヒ計算ニ關スル書類ノ閲覽ヲ申請シ又ハ手數料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得
第五十三條　民法第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十七條及ヒ第六百五十條ノ規定ハ裁判所カ選任シタル管理人ニ之ヲ準用ス
第五十四條　裁判所ハ管理人ヲシテ其職務上檢事ノ請求ニ因リテ裁判ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外利害關係人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ適當ト認ムル他ノ管轄裁判所ニ事件ヲ移送スルコトヲ得

第二十六條　裁判所ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ特ニ其負擔者ヲ定メタル場合ヲ除ク外事件ノ申立人ノ負擔トス但檢事カ申立ヲ爲シタル場合ニ於テハ國庫ノ負擔トス
第二十七條　裁判所ハ前條ノ費用ニ付キ裁判ヲ爲スコトヲ必要ト認ムルトキハ其額ヲ確定シテ其裁判ニ表示スヘシ
第二十八條　裁判所ハ特別ノ事情アルトキハ本法ノ規定ニ依リテ費用ヲ負擔スヘキ者ニ非サル關係人ニ費用ノ全部又ハ一部ノ負擔ヲ命スルコトヲ得
第二十九條　民事訴訟法第九十三條ノ規定ハ共同ニテ費用ヲ負擔スヘキ者數人アル場合ニ之ヲ準用ス
第三十條　費用ノ裁判ニ對シテハ其負擔ヲ命セラレタル者ニ限リ不服ヲ申立ツルコトヲ得但獨立シテ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス
第三十一條　費用ノ償還者ハ費用ノ裁判ニ基キテ强制執行ヲ爲スコトヲ得
民事訴訟法第六編ノ規定ハ前項ノ强制執行ニ之ヲ準用ス但執行ヲ爲ス前裁判ヲ送達スルコトヲ要セス
費用ノ裁判ニ對スル抗告アリタルトキハ民事訴訟法第五百條ノ規定ヲ準用ス
第三十二條　殘據ヲ以テ爲ス探知、證據調、呼出、告知其他必要ナル處分ノ費用ハ國庫ニ於テ之ヲ立替フヘシ
第三十三條　本編ニ於ケル申立ハ申立、申請及ヒ申述ヲ謂フ
第二編　民事非訟事件
第一章　法人ニ關スル事件
第三十四條　民法第四十條ニ定メタル事件ハ法人ノ設立者カ死亡ノ時ニ有シタル住所地ノ區裁判所ノ管轄トス
第三十五條　假理事又ハ特別代理人ノ選任ハ法人ノ主タル事務所在地ノ區裁判所ノ管轄トス
第三十六條　民法第六十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ハ其主タル事務所在地ノ區裁判所ノ管轄トス
第三十七條　民法第六十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第三十八條　民法第六十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第三十九條　民法第六十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第四十條　民法第六十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第四十一條　民法第六十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第四十二條　民法第六十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第四十三條　民法第六十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第四十四條　裁判所ハ管理人ヲシテ其職務上檢事ノ請求ニ因リテ裁判ヲ爲スヘキ場合ヲ除ク外利害關係人ノ申立ニ因リ又ハ職權ヲ以テ適當ト認ムル他ノ管轄裁判所ニ事件ヲ移送スルコトヲ得
第四十五條　民法第六十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第四十六條　民法第六十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第四十七條　民法第七十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第四十八條　民法第七十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第四十九條　民法第七十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十條　民法第七十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十一條　民法第七十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十二條　民法第七十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十三條　民法第七十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十四條　民法第七十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十五條　民法第七十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十六條　民法第七十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十七條　民法第八十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十八條　民法第八十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第五十九條　民法第八十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十條　民法第八十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十一條　民法第八十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十二條　民法第八十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十三條　民法第八十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十四條　民法第八十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十五條　民法第八十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十六條　民法第八十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十七條　民法第九十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十八條　民法第九十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第六十九條　民法第九十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十條　民法第九十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十一條　民法第九十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十二條　民法第九十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十三條　民法第九十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十四條　民法第九十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十五條　民法第九十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十六條　民法第九十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十七條　民法第百條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十八條　民法第百一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第七十九條　民法第百二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十條　民法第百三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十一條　民法第百四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十二條　民法第百五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十三條　民法第百六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十四條　民法第百七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十五條　民法第百八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十六條　民法第百九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十七條　民法第百十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十八條　民法第百十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第八十九條　民法第百十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十條　民法第百十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十一條　民法第百十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十二條　民法第百十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十三條　民法第百十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十四條　民法第百十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十五條　民法第百十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十六條　民法第百十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十七條　民法第百二十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十八條　民法第百二十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第九十九條　民法第百二十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百條　民法第百二十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百一條　民法第百二十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二條　民法第百二十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三條　民法第百二十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四條　民法第百二十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五條　民法第百二十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六條　民法第百二十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七條　民法第百三十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八條　民法第百三十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九條　民法第百三十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十條　民法第百三十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十一條　民法第百三十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十二條　民法第百三十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十三條　民法第百三十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十四條　民法第百三十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十五條　民法第百三十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十六條　民法第百三十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十七條　民法第百四十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十八條　民法第百四十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百十九條　民法第百四十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十條　民法第百四十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十一條　民法第百四十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十二條　民法第百四十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十三條　民法第百四十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十四條　民法第百四十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十五條　民法第百四十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十六條　民法第百四十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十七條　民法第百五十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十八條　民法第百五十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百二十九條　民法第百五十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十條　民法第百五十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十一條　民法第百五十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十二條　民法第百五十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十三條　民法第百五十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十四條　民法第百五十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十五條　民法第百五十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十六條　民法第百五十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十七條　民法第百六十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十八條　民法第百六十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百三十九條　民法第百六十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十條　民法第百六十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十一條　民法第百六十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十二條　民法第百六十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十三條　民法第百六十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十四條　民法第百六十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十五條　民法第百六十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十六條　民法第百六十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十七條　民法第百七十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十八條　民法第百七十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百四十九條　民法第百七十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十條　民法第百七十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十一條　民法第百七十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十二條　民法第百七十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十三條　民法第百七十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十四條　民法第百七十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十五條　民法第百七十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十六條　民法第百七十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十七條　民法第百八十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十八條　民法第百八十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百五十九條　民法第百八十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十條　民法第百八十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十一條　民法第百八十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十二條　民法第百八十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十三條　民法第百八十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十四條　民法第百八十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十五條　民法第百八十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十六條　民法第百八十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十七條　民法第百九十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十八條　民法第百九十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百六十九條　民法第百九十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十條　民法第百九十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十一條　民法第百九十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十二條　民法第百九十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十三條　民法第百九十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十四條　民法第百九十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十五條　民法第百九十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十六條　民法第百九十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十七條　民法第二百條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十八條　民法第二百一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百七十九條　民法第二百二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十條　民法第二百三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十一條　民法第二百四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十二條　民法第二百五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十三條　民法第二百六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十四條　民法第二百七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十五條　民法第二百八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十六條　民法第二百九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十七條　民法第二百十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十八條　民法第二百十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百八十九條　民法第二百十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十條　民法第二百十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十一條　民法第二百十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十二條　民法第二百十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十三條　民法第二百十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十四條　民法第二百十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十五條　民法第二百十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十六條　民法第二百十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十七條　民法第二百二十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十八條　民法第二百二十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第百九十九條　民法第二百二十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百條　民法第二百二十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百一條　民法第二百二十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二條　民法第二百二十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百三條　民法第二百二十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百四條　民法第二百二十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百五條　民法第二百二十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百六條　民法第二百二十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百七條　民法第二百三十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百八條　民法第二百三十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百九條　民法第二百三十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十條　民法第二百三十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十一條　民法第二百三十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十二條　民法第二百三十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十三條　民法第二百三十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十四條　民法第二百三十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十五條　民法第二百三十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十六條　民法第二百三十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十七條　民法第二百四十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十八條　民法第二百四十一條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百十九條　民法第二百四十二條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二十條　民法第二百四十三條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二十一條　民法第二百四十四條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二十二條　民法第二百四十五條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二十三條　民法第二百四十六條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二十四條　民法第二百四十七條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二十五條　民法第二百四十八條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二十六條　民法第二百四十九條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二十七條　民法第二百五十條ノ規定ハ法人ノ解散及ヒ清算ノ監督ニ之ヲ準用ス
第二百二十

ニハ左ノ事項ヲ記載シ管理人及ヒ立會人之ニ署名、捺印スヘシ

一　調製ノ場所、年月日及ヒ其事由

二　申立人ノ氏名、住所

三　不動産ノ表示

四　動産ノ種類及ヒ數量

五　債權及ヒ債務ノ表示

六　帳簿、證書其他ノ書類

財産ノ目錄ハ二通ヲ調製シ其一通ハ管理人之ヲ保管シ其一通ハ之ヲ裁判所ニ提出スヘシ

第四十六條　第二項ノ規定ハ財産ノ目錄ノ調製ニ之ヲ準用ス

第五十六條　民法第二十七條第一項及ヒ第二項ノ場合ニ於テ裁判所ハ公證人ヲシテ財産ノ目錄ヲ調製セシムヘキ旨ヲ管理人ニ命スルコトヲ得管理人カ調製シタル目錄ヲ不充分ト認メタルトキ亦同シ

前項ノ命ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

前條ノ規定ハ本條第一項又ハ第五十三條第二項ノ規定ニ依リテ書記又ハ公證人カ財産ノ目錄ヲ調製スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條　利害關係人ハ財産ノ目錄ノ閱覽ヲ申請シ又ハ手數料ヲ納付シテ其謄本ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

檢事ハ財産ノ目錄ヲ閱覽スルコトヲ得

第五十八條　裁判所ハ不在者ノ財産ヲ競賣法ノ規定ニ依リテ之ヲ競賣スヘキコトヲ命スヘシ

第五十九條　本人カ自ラ其財産ヲ管理スルコトヲ得ルニ至リタルトキ又ハ其死亡カ分明トナリ若クハ失踪ノ宣告アリタルトキハ裁判所ハ本人、利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ其命ヲシタル處分ヲ取消スヘシ

第六十條　利害關係人ハ不在者ノ財産ノ管理若クハ保存ニ付キ處分ヲ命シ、其處分ヲ取消シ又ハ管理人ニ其權限ヲ超ユル行爲ヲ爲スコトヲ許可シタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

不在者カ證キタル管理人ハ其改任ヲ命シタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ管理人カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第六十一條　裁判所カ職權ヲ以テ裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ不服ノ申立ツルコトヲ得ス

第六十二條　裁判ノ手續及ヒ裁判ノ告知ノ費用ハ不在者ノ財産ノ負擔トス裁判所ノ命シタル處分ニ付キ必要ナル費用亦同シ

第六十三條　裁判所カ抗告人ノ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ歸シタル前審ノ費用ハ不在者ノ財産ノ負擔トス

第六十四條　民法第八百九十二條第二項乃至第四項ノ財産ノ管理ニ關スル事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三者カ數人ノ子ニ財産ヲ與ヘタル場合ニ於テ其住所カ異ナルトキハ年少ノ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十五條　民法第千二十一條第二項、第三項及ヒ第千二十二條ノ相續財産ノ管理又ハ保存ニ關スル事件ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第六十六條　民法第九百七十八條ノ遺産ノ管理ニ關スル事件ハ相續人ノ廢除又ハ取消ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄トス

第六十七條　民法第千四十三條ノ相續財産ノ管理ニ關スル事件ハ財産分離ノ請求ニ付キ第一審ニ於テ訴ヲ受ケタル裁判所ノ管轄トス

第六十八條　第三十九條乃至第六十二條ノ規定ハ前五條ニ揭ケタル事件ニ之ヲ準用ス

第六十九條　民法第千五十二條第二項ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　申立人ノ氏名、住所

二　被相續人ノ氏名、身分、職業及ヒ最後ノ住所

三　被相續人ノ出生及ヒ死亡ノ場所竝ニ其年月日

四　管理人ノ氏名、住所

第七十條　民法第千五十八條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　前條第一號乃至第三號ニ揭ケタル事項

二　相續人ハ一定ノ期間内ニ其權利ヲ主張スヘキ旨ノ催告

第七十一條　民事訴訟法第七百六十六條ニ定メタル公告ノ方法ハ前二條ノ公告ニ之ヲ準用ス

第三章　信託ニ關スル事件

第七十二條　信託法第八條第一項第三項、第二十二條第一項但書、第二十三條、第四十一條、第四十六條乃至第四十八條及ヒ第五十八條ニ定メタル事件ハ前受託者又ハ前受託者數人アル場合ニ於テハ其一人ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

信託法第四十九條第二項ニ定メタル事件ハ遺言者ノ最後ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第七十三條　裁判上ノ代位ハ債務者カ普通裁判籍ヲ有スル地ノ區裁判所ノ管轄トス

第七十四條　代位ノ申請ニハ第九條ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　債務者及ヒ第三債務者ノ氏名、住所

二　申請人ノ保全セントスル債權及ヒ其行ハントスル權利ノ表示

第七十五條　裁判所ハ申請ヲ理由アリト認ムルトキハ擔保ヲ供セシメ又ハ供セシメスシテ之ヲ許可スルコトヲ得

第七十六條　申請ヲ許可シタル裁判ハ職權ヲ以テ之ヲ債務者ニ告知スヘシ

前項ノ告知ヲ受ケタル債務者ハ其權利ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第七十七條　申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ス

申請ヲ許可シタル裁判ニ對シテハ債務者ハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ債務者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第七十八條　抗告手續ノ費用及ヒ抗告人ノ負擔ニ關シタル前審ノ費用ニ付テハ申請人及ヒ抗告人ノ當事者ト看做シ民事訴訟法第八十九條ノ規定ニ從ヒテ其負擔者ヲ定ム

第七十九條　第十三條及ヒ第十五條ノ規定ハ本章ノ手續ニ之ヲ適用ス

第五章　保存、供託、保管及ヒ鑑定ニ關スル事件

第八十條　民法第二百六十二條第三項ノ證書保存者ノ指定ハ共有物ノ分割アリタル地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所カ第一項ノ指定ヲ爲ス前共有者ヲ訊問スヘシ

裁判所カ第一項ノ指定ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ共有者ノ全員ノ負擔トス

第八十一條　民法第千五十六條及ヒ第千八十一條但書ニ定メタル遺言ノ確認ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第八十二條　民法第千七十六條及ヒ第千八十一條但書ニ定メタル遺言ノ確認ハ遺言者ノ住所地又ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第百九條　民法第千七十六條及ヒ第千八十一條但書ニ定メタル遺言ノ確認ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第百十條　遺言ノ確認ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

利害關係人ハ遺言執行者ノ選任又ハ其解任ヲ命シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

遺言執行者ハ其解任ヲ命シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ遺言執行者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第百十一條　民法第千七十七條ノ規定ハ遺言ノ撤回ニ之ヲ準用ス

第百十二條　民法第千七十八條ノ規定ハ遺言ノ取消ニ之ヲ準用ス

第百十三條　民法第千七十九條ノ規定ハ遺言ノ撤回又ハ取消ノ取消ニ之ヲ準用ス

第百十四條　民法第千八十一條但書ニ定メタル遺言ノ確認ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第百十五條　民法第千八十二條ノ規定ハ遺言執行者ノ選任ニ之ヲ準用ス

第百十六條　民法第千八十三條ノ規定ハ遺言執行者ノ解任ニ之ヲ準用ス

第百十七條　民法第千八十四條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務ノ終了ニ之ヲ準用ス

第百十八條　民法第千八十五條ノ規定ハ遺言執行者ノ報酬ニ之ヲ準用ス

第百十九條　民法第千八十六條ノ規定ハ遺言執行者ノ費用ニ之ヲ準用ス

第百二十條　民法第千八十七條ノ規定ハ遺言執行者ノ辭任ニ之ヲ準用ス

第百二十一條　民法第千八十八條ノ規定ハ遺言執行者ノ解任ニ之ヲ準用ス

第百二十二條　民法第千八十九條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務ノ終了ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　民法第千九十條ノ規定ハ遺言執行者ノ報酬ニ之ヲ準用ス

第百二十四條　民法第千九十一條ノ規定ハ遺言執行者ノ費用ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　民法第千九十二條ノ規定ハ遺言執行者ノ辭任ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　民法第千九十三條ノ規定ハ遺言執行者ノ解任ニ之ヲ準用ス

第百二十七條　民法第千九十四條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務ノ終了ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　民法第千九十五條ノ規定ハ遺言執行者ノ報酬ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　民法第千九十六條ノ規定ハ遺言執行者ノ費用ニ之ヲ準用ス

第百三十條　民法第千九十七條ノ規定ハ遺言執行者ノ辭任ニ之ヲ準用ス

第百三十一條　民法第千九十八條ノ規定ハ遺言執行者ノ解任ニ之ヲ準用ス

第百三十二條　民法第千九十九條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務ノ終了ニ之ヲ準用ス

第百三十三條　民法第千百條ノ規定ハ遺言執行者ノ報酬ニ之ヲ準用ス

第百三十四條　民法第千百一條ノ規定ハ遺言執行者ノ費用ニ之ヲ準用ス

第百三十五條　民法第千百二條ノ規定ハ遺言執行者ノ辭任ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　民法第千百三條ノ規定ハ遺言執行者ノ解任ニ之ヲ準用ス

第百三十七條　民法第千百四條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務ノ終了ニ之ヲ準用ス

第百三十八條　民法第千百五條ノ規定ハ遺言執行者ノ報酬ニ之ヲ準用ス

第百三十九條　民法第千百六條ノ規定ハ遺言執行者ノ費用ニ之ヲ準用ス

第百四十條　民法第千百七條ノ規定ハ遺言執行者ノ辭任ニ之ヲ準用ス

第百四十一條　民法第千百八條ノ規定ハ遺言執行者ノ解任ニ之ヲ準用ス

第百四十二條　民法第千百九條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務ノ終了ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　民法第千百十條ノ規定ハ遺言執行者ノ報酬ニ之ヲ準用ス

第百四十四條　民法第千百十一條ノ規定ハ遺言執行者ノ費用ニ之ヲ準用ス

第百四十五條　民法第千百十二條ノ規定ハ遺言執行者ノ辭任ニ之ヲ準用ス

第百四十六條　民法第千百十三條ノ規定ハ遺言執行者ノ解任ニ之ヲ準用ス

第百四十七條　民法第千百十四條ノ規定ハ遺言執行者ノ任務ノ終了ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　民法第千百十五條ノ規定ハ遺言執行者ノ報酬ニ之ヲ準用ス

第百四十九條　民法第千百十六條ノ規定ハ遺言執行者ノ費用ニ之ヲ準用ス

第百五十條　相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ニハ第九條第一號、第二號、第四號及ヒ第五號ニ揭ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載シテ申述人又ハ代理人之ニ署名、捺印スヘシ

一　被相續人ノ氏名及ヒ最後ノ住所

二　相續ノ限定承認又ハ拋棄ヲ爲ス旨

第百五十一條　期間ノ伸長ノ申請又ハ相續ノ限定承認若クハ拋棄ノ申述ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第百五十二條　第八章　遺言執行者ノ選任及ヒ解任ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所ニ於テ選任シタル遺言執行者カ其任務ヲ辭セントスルトキ又ハ其就職ヲ拒マントスルトキハ相續開始地ノ區裁判所ニ其申立ヲ爲スヘシ

裁判所カ前二項ニ揭ケタル事件ニ付キ申立ニ相當スル裁判ヲ爲シタル場合ニ於テハ其手續ノ費用ハ相續財産ノ負擔トス

第百六條　遺言執行者ヲ選任シタル裁判又ハ其任務ヲ辭シ若クハ就職ヲ拒ミ申立ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

遺言執行者ハ其解任ヲ命シタル裁判ニ對シテ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ノ期間ハ遺言執行者カ裁判ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ起算ス

第百七條　民法第千五十八條ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　前條第一號乃至第三號ニ揭ケタル事項

二　相續人ハ一定ノ期間内ニ其權利ヲ主張スヘキ旨ノ催告

第百八條　民事訴訟法第七百六十六條ニ定メタル公告ノ方法ハ前二條ノ公告ニ之ヲ準用ス

第四章　信託ニ關スル事件

第百九條　信託法第八條第一項第三項、第二十二條第一項但書、第二十三條、第四十一條、第四十六條乃至第四十八條及ヒ第五十八條ニ定メタル事件ハ前受託者又ハ前受託者數人アル場合ニ於テハ其一人ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

信託法第四十九條第二項ニ定メタル事件ハ遺言者ノ最後ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第百十條　裁判所ハ信託法第八條第一項又ハ同法第四十八條ノ規定ニ依リテ選任シタル信託管理人又ハ信託財産ノ管理人ヲ改任スルコトヲ得

第百十一條　第三十九條、第四十條第二項及ヒ第四十條ノ二ノ規定ハ信託管理人又ハ信託財産ノ管理人ノ選任又ハ改任ニ付キ之ヲ準用ス

第百十二條　裁判所ハ信託法第四十四條第一項又ハ第四十五條ノ規定ニ依リテ裁判所ノ管轄ニ屬スル事件ノ本人ノ住所地ノ區裁判所ニ以テ管轄裁判所トス

第百十三條　第四十條ノ二、民法第六百五十八條第一項、第六百七十九條乃至第六百六十一條及ヒ第六百六十四條ノ規定ハ前條ノ保管者ニ之ヲ準用ス但民法第六百六十條ノ通知ハ辨濟者ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十四條　第四十一條ノ規定ハ民法第四百九十七條ニ揭ケタル者ノ申請ニ之ヲ準用ス

第百十五條　裁判所ハ親族會員又ハ其補欠員ノ選定ニ付キ申請人又ハ民法第九百四十四條ニ揭ケタル者ヲシテ會員タルニ適當ナル者ヲ指名セシムルコトヲ得

第百十六條　親族會員タルコトヲ辭セントスル者ハ裁判所ニ其申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ付キ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第百十七條　親族會員ノ招集又ハ親族會員ノ辭任ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

民法第九百四十四條ニ揭ケタル者ハ親族會員タルコトヲ得サル者ノ選任ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前二項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第百十八條　親族會員其他民法第九百四十四條ニ揭ケタル者ハ親族會ノ決議ニ代ハルヘキ裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ裁判ノ申請ヲ却下シタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第七章　相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

第百三條　民法第千十七條第一項但書ニ定メタル期間ノ伸長ハ相續開始地ノ區裁判所ノ管轄トス

第百四條　相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ハ合ニ於テハ共手續ノ費用ハ無能力者ノ負擔

第八十一條　民法第四百九十五條第二項ノ供託所ノ指定及ヒ供託物保管者ノ選任ハ債務履行地ノ區裁判所ノ管轄トス

裁判所ハ職權ヲ以テ供託物保管者ヲ選任シ又ハ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ不服ノ申立ツルコトヲ得ス

第六章　廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件

第九十條　隱居ノ許可ハ隱居ヲ爲サントスル戶主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第九十一條　廢家ノ許可ハ廢家セントスル戶主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

利害關係人及ヒ檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十二條　子ノ懲戒ニ關スル事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十三條　民法第九百七十八條ノ戶主權ノ行使ニ付キ必要ナル處分ハ第六十六條ニ定メタル裁判所ノ管轄トス

第九十四條　家督相續人ノ選定ニ關スル許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第九十五條　親族及ヒ檢事ハ前條ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第七章　相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

第九十六條　無能力者ノ爲メニ被ヲ親族會ニ關スル事件ハ共者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第九十四條　相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ハ合ニ於テハ共手續ノ費用ハ無能力者ノ負擔

第八十五條　本章ノ規定ニ依リテ指定若クハ選任ヲ爲シ又ハ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ不服ノ申立ツルコトヲ得ス

第六章　隱居、廢家、子ノ懲戒、家督相續人及ヒ親族會ニ關スル事件

第九十條　隱居ノ許可ハ隱居ヲ爲サントスル戶主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第九十一條　廢家ノ許可ハ廢家セントスル戶主ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

利害關係人及ヒ檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十二條　子ノ懲戒ニ關スル事件ハ子ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

檢事ハ前項ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテ抗告ヲ爲スコトヲ得

第七十八條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第九十三條　民法第九百七十八條ノ戶主權ノ行使ニ付キ必要ナル處分ハ第六十六條ニ定メタル裁判所ノ管轄トス

第九十四條　家督相續人ノ選定ニ關スル許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第九十五條　親族及ヒ檢事ハ前條ノ許可ヲ與ヘタル裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第六十二條ノ規定ハ前項ノ抗告ニ之ヲ準用ス

第七章　相續ノ承認及ヒ拋棄ニ關スル事件

第九十六條　無能力者ノ爲メニ被ヲ親族會ニ關スル事件ハ共者ノ住所地ノ區裁判所ノ管轄トス

第九十四條　相續ノ限定承認又ハ拋棄ノ申述ハ合ニ於テハ共手續ノ費用ハ無能力者ノ負擔

財産契約登記簿ヲ備フ

第百二十條　法人設立ノ登記ハ理事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款、理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ主務官廳ノ許可書又ハ共認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十一條　事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其他登記事項ノ變更ノ登記ハ理事、理事ノ缺クヘカラサル場合ニ於テハ假理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ理事又ハ假理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ事務所ノ新設又ハ登記事項ノ變更ノ登記ヲ證スル書面ヲ添附シ主務官廳ノ許可ヲ要スルモノニ付テハ許可書又ハ共認證アルヘカラサル場合ニ於テハ假理事ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

前ニ登記ノ申請ヲ爲シタル理事又ハ假理事カ同一登記所ニ第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第百二十二條　法人ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及ヒ理事カ清算人タラサル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十三條　夫妻財産契約ニ關スル登記ハ契約者雙方ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ夫妻財産契約書又ハ管理者ノ變更若クハ共有財産ノ分割ヲ許可シタル判決ノ謄本又ハ之ニ關スル契約書ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十四條　第百十七條、第二百二條乃至第二百四條ノ規定ハ日本ニ事務所ヲ設ケタル外國法人ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　第百四十一條乃至第百五十條、第百五十四條乃至第百五十七條及ヒ第百七十七條ノ規定ハ本章ニ定メタル登記ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　法人ノ解散又ハ假理事ノ選任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第百二十七條　檢査役ノ選任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第百二十八條　檢査役ノ報告ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ檢査役又ハ其選任ヲ命シタル裁判所ノ裁判官之ニ署名、捺印スヘシ

一　申請ノ目的

二　檢査ノ日

三　年月日

四　裁判所ノ表示

第百二十九條　商法第百二十四條第二項ノ規定ニ依リ裁判所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第百三十條　法人ノ登記ニ付テハ法人ノ事務所所在地ニ於テ登記スヘシ

第百三十一條　法人及ヒ夫婦財産契約ノ登記ニ付テハ法人ノ事務所又ハ其出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第百三十二條　夫婦財産契約ノ登記ニ付テハ夫カ同一登記所ニ第一項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ其資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第百三十三條　法人ノ解散ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面及ヒ理事カ清算人タラサル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百三十四條　清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

申請書ニハ定款、理事ノ資格ヲ證スル書面及ヒ主務官廳ノ許可書又ハ共認證アル謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第百三十五條　清算人ノ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

申請書ニハ解任ノ事由ヲ證スル書面及ヒ理事カ清算人タラサル場合ニ於テハ清算人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百三十六條　清算人ノ職務ニ關スル檢査役ノ選任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス

第百三十七條　清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス裁判所カ銀行又ハ無盡業若ハ無盡管理業ヲ營ム會社ノ清算人ノ監督ニ付キ爲シタル命令ニ對シ亦同シ

第百三十八條　左ニ揭ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス

一　未成年者

二　禁治産者及ヒ準禁治産者

三　破產者

四　裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人

五　株式會社又ハ株式合資會社ニシテ其清算人カ裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人ノ代理人ト爲リタル者

第百三十九條　清算人ハ會社ノ營業ノ爲メ必要ノ一切ノ行爲ヲ爲ス權利ヲ有ス

第百四十條　清算人ハ會社ノ解散ノ日ヨリ二週間内ニ其債權者ニ對シ一定ノ期間内ニ其債權ノ申出ヲ爲スヘキ旨ヲ公告スヘシ

前項ノ公告ニハ債權者カ期間内ニ申出ヲ爲ササルトキハ清算カラ除斥セラルヘキ旨ヲ附記スヘシ

第百四十一條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟スル爲メ會社財産ノ換價ヲ爲スニ當リ競賣ニ依ラサルトキハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第百四十二條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シタル後ニ非サレハ會社財産ノ殘餘ヲ株主ニ分配スルコトヲ得ス

第百四十三條　清算人ハ會社ノ債務ヲ辨濟シ殘餘財産ノ分配ヲ爲シタル後遲滯ナク清算ノ結果ヲ株主總會ニ報告シ其承認ヲ求ムヘシ

第百四十四條　清算人ハ會社ノ帳簿及ヒ重要ナル書類ヲ清算結了ノ時ヨリ十年間保存スヘシ

第百四十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記スルニ付テハ遲滯ナク其ノ職務ニ關スル計算ヲ爲シ株主總會ノ承認ヲ求ムヘシ

第百四十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ定メ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ選任スヘシ

第百四十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百四十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百四十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百五十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百六十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百七十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百八十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第百九十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百二十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百三十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百四十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十四條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十五條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十六條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十七條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十八條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百五十九條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百六十條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百六十一條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百六十二條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因リ之ヲ選任スヘシ

第二百六十三條　清算人ハ會社ノ清算ノ結了ヲ登記シタル後ニ於テ會社ノ帳簿ヲ保存スヘキ者ヲ選任セサルトキハ裁判所ハ利害關係人ノ請求ニ因

サル期間ヲ定メ其期間内ニ異議ノ申立ナキトキハ登記ヲ抹消スヘキ旨ヲ通知スヘシ登記ヲ抹消スヘキ者ノ住所又ハ居所ヲ知レサルトキハ前項ノ通知ニ代ヘ登記事項ノ公告ト同一ノ方法ヲ以テ公告スヘシ

登記所ハ右ノ外相當ト認ムル新聞紙ニ同一ノ公告ヲ掲載セシムルコトヲ得

第百五十一條ノ三　異議ノ申立アリタルトキハ登記所ハ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ其裁判ヲ爲スヘシ

前項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第百五十一條ノ四　異議ノ申立ナキトキ又ハ異議ヲ却下スル裁判カ確定シタルトキハ登記所ハ職權ヲ以テ登記ヲ抹消スヘシ

第百五十一條ノ五　前三條ノ規定ハ本店及ヒ支店ノ所在地ニ於テ登記スヘキ事項ノ登記ニ付テハ本店ノ所在地ニ於テ爲シタル登記ノミヲ以テ適用ス

前項ノ場合ニ於テ本店所在地ノ登記所カ登記ヲ抹消シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ支店所在地ノ登記所ニ通知スヘシ

支店所在地ノ登記所カ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク登記ヲ抹消スヘシ

第百五十一條ノ六　登記所ハ登記ヲ爲シタル後其登記ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク登記ヲ抹消スヘシ

前項ノ規定ハ登記ヲ爲シタル者ニ其旨ヲ通知スヘシ但其錯誤又ハ遺漏カ登記所ノ過誤ニ出テタルトキハ此限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ登記所ハ遲滯ナク地方裁判所長ノ許可ヲ得テ登記ノ更正ヲ爲スヘシ

第百五十二條　削除

第百五十三條　削除

第百五十四條　商業登記簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ司法大臣ハ一定ノ期間ヲ定メテ登記ノ回復ニ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第百五十五條　司法大臣ハ數個ノ登記所ノ管轄ニ屬スヘキ商業登記ノ事務ヲ其一登記所ニ委任スルコトヲ得

第百五十六條　登記簿ノ調製其他登記ニ關スル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第百五十七條　不動産登記法第十條、第十三條、第十八條、第二十條、第二十二條、第二十四條及ヒ第五十九條ノ規定ハ商業登記ニ之ヲ準用ス

第二節　商號ノ登記

第百五十八條　商號ノ登記ハ同市町村内ニ於テハ同一ノ營業ノ爲メ他人カ登記シタルモノト判然區別シ得ルトキニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第百五十九條　商法施行法第十三條第一項ノ規定ニ依リ他人カ登記シタル商號ト同一ノ商號ノ登記ヲ申請スル者ハ商法施行前ヨリ之ヲ使用スルコトヲ證明スルコトヲ要ス

第百六十條　商號ノ登記ノ申請書ニハ第百四十九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外營業ノ種類ヲ記載スヘシ商號ノ變更ノ登記ヲ申請スルトキ亦同シ

第百六十一條　商號ノ登記ヲ爲シタル者カ永續人カ商號ヲ繼用セントスルトキハ其營業ヲ讓受ケ又ハ讓ヲ受ケタル場合ニ於テ其登記ヲ申請スルトキハ此限ニ在ラス

第百六十二條　商號ノ廢止又ハ變更シタルトキハ當事者ハ其登記ヲ申請スヘシ

第百六十三條　商法第二十四條第一項ノ規定ニ依リテ商號登記ノ抹消ヲ申請スル者ハ其登記上利害ノ關係ヲ有スルコトヲ疏明スルコトヲ要ス

第百六十四條　第百五十一條ノ二乃至第百五十一條ノ四ノ規定ハ商號ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百六十五條　登記所カ第百五十一條ノ六第二項ノ規定ニ依リ商號ニ關スル登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク登記ヲ爲シタル施行細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第百七十一條　法定代理人カ無能力者ノ爲メニ商業ヲ營ム場合ニ於テ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ法定代理人タル資格ヲ記載シ親族會ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第四節　支配人及ヒ會社ノ清算人

第百七十二條　支配人ノ選任ノ登記ハ主人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

會社カ申請人ナル場合ニ於テハ前項ノ登記ハ其會社ノ代表スヘキ社員又ハ取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百七十三條　支配人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ第百四十九條第二項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　支配人ノ氏名、住所

二　申請人カ數箇ノ商號ヲ以テ數種ノ商業ヲ營ムトキハ支配人カ代理スヘキ商業及ヒ其用ユヘキ商號

三　支配人ヲ置キタル場所

四　數人ノ支配人カ共同シテ代理權ヲ行フヘキコトヲ定メタルトキハ其代表ニ關スル規定

會社カ申請人ナル場合ニ於テハ申請書ニ其設立ノ登記ノ年月日ヲ記載シ支配人ノ選任及ヒ前項第四號ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百七十四條　第百七十二條ノ規定ハ支配人ノ代理權ノ消滅及ヒ前條第一項第四號ニ掲ケタル事項並ニ其變更、消滅ノ登記ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

會社カ申請人ナル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百七十五條　清算人ニ關スル登記ハ清算ノ爲メ從前ノ登記ヲ爲スヘキ會社ノ登記所ノ管轄ト前項ノ登記ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百七十六條　清算人ノ選任ノ登記ノ申請書ニハ第百九十條第二項ニ掲ケタル事項ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百七十七條　商法第九十條ニ掲ケタル事項ノ變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ現任清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ變更ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百七十八條　清算ノ結了ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ清算人カ共計算ノ承認ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第五節　會名會社及ヒ會費會社ノ登記

第百七十九條　會名會社ノ設立ノ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ定款ヲ添附シ且社員中ニ未成年者又ハ妻アルトキハ其社員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十條　會名會社ノ支店ノ設立、其本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ會社ヲ代表スヘキ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ申請書ニハ其登記事項ニ付キ總社員ノ同意ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十一條　會名會社ノ解散ノ登記ハ總社員又ハ共相續人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且相續人カ社員ノ地位ヲ繼承スルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十二條　會社ノ資本增加ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ增加ノ事由ヲ記載シ且增加ノ全額ノ引受及ヒ各引受人ノ引受ニ係ル金額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十三條　會社ノ資本減少ノ登記ハ債權者ニ對スル公告及ヒ催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ辨償ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十四條　會名會社ノ合併ノ登記ハ合併ヲ爲シタル會社ノ登記所ニ之ヲ申請スヘシ

合併ニ因リテ設立ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ第百八十二條第二項及ヒ第百八十三條第二項ニ掲ケタル書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十五條　會名會社ノ合併ニ因リテ解散スル會社ノ登記ハ合併ニ因リテ設立ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ第百八十二條第二項及ヒ前條第二項ニ掲ケタル書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十六條　第百七十九條乃至第百八十四條ノ三ノ規定ハ合資會社ノ登記ニ之ヲ準用ス但合名會社ニ於テ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百八十七條　株式會社ノ設立ノ登記ハ總取締役及ヒ總監査役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス

一　株式ノ引受ヲ證スル書面

二　株式申込證

三　取締役及ヒ監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及ヒ其附屬書類

四　取締役及ヒ監査役又ハ檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其謄本

五　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其謄本

六　發起人カ取締役及ヒ監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

七　創立總會ノ決議錄

第百八十八條　支店ノ設立、本店又ハ支店ノ移轉其他變更ノ登記ハ總取締役ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ登記事項ニ付キ株主總會ノ決議ヲ要スル場合ニ於テハ其決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十九條　第百七十九條第一項ノ規定ハ合名會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　合名會社カ社員ノ請求ニ因リテ解散シタルトキハ各社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

共登記ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ判決ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十五條　第百八十一條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ合名會社ノ設立取消ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ三　第百八十二條ノ規定ハ合名會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ四　商法第八十三條ノ三又ハ第八十三條ノ四ノ規定ニ依リ合資會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百八十五條　商法第百十八條第二項ノ規定ニ依リ合名會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百八十二條　會社ノ解散ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ株主總會ノ決議又ハ合併ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十三條　會社ノ解散ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ其決議又ハ合併ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十四條　會社ノ資本減少ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ變更ノ事由ヲ記載シ且減少ノ全額ノ引受及ヒ各引受人ノ引受ニ係ル金額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十五條　商法第百十八條第二項ノ規定ニ依リ合名會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百八十六條　會社ノ解散ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ其決議又ハ合併ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十七條　會社ノ資本減少ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ商法第七十八條第二項ニ依ル公告及ヒ催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ辨償ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十八條　會社ノ合併ノ登記ハ合併ヲ爲シタル會社ノ登記所ニ之ヲ申請スヘシ

合併ニ因リテ設立ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ第百八十二條第二項及ヒ前條第二項ニ掲ケタル書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十九條　第百七十九條第一項ノ規定ハ合名會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　合名會社カ社員ノ請求ニ因リテ解散シタルトキハ其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ申請書ニハ判決ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

第百九十條　會社ノ資本減少ノ登記ハ申請書ニハ之ニ關スル株主總會ノ決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十二條　第百八十一條ノ二乃至第百八十一條ノ四ノ規定ハ資本減少ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九十一條　會社カ社員ノ請求ニ因リテ解散シタルトキハ其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記ハ會社ノ登記所ノ管轄ト

第百九十二條　會社ノ解散ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議錄ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十三條　第百八十一條第一項及ヒ第百八十二條第一項ノ規定ハ合名會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　合名會社カ社員ノ請求ニ因リテ解散シタルトキハ其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記ハ會社ノ登記所ノ管轄ト

第百八十五條　第百八十一條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ合名會社ノ設立取消ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ三　第百八十二條ノ規定ハ合名會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ四　商法第八十三條ノ三又ハ第八十三條ノ四ノ規定ニ依リ合資會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百八十五條　商法第百十八條第二項ノ規定ニ依リ合名會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百八十二條　會社ノ解散ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ其決議又ハ合併ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十三條　會社ノ解散ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ其決議又ハ合併ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十四條　會社ノ資本增加ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ增加ノ事由ヲ記載シ且增加ノ全額ノ引受及ヒ各引受人ノ引受ニ係ル金額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十五條　商法第百十八條第二項ノ規定ニ依リ合名會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第百八十六條　會社ノ解散ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ且會社カ株主總會ノ決議又ハ合併ニ因リテ解散シタルトキハ其決議又ハ合併ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十七條　會社ノ資本減少ノ登記ハ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

申請書ニハ商法第七十八條第二項ニ依ル公告及ヒ催告ヲ爲シタルコト、若シ異議ヲ述ヘタル債權者アルトキハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ辨償ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十八條　會社ノ合併ノ登記ハ合併ヲ爲シタル會社ノ登記所ニ之ヲ申請スヘシ

合併ニ因リテ設立ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ第百八十二條第二項及ヒ前條第二項ニ掲ケタル書類ヲ添附スルコトヲ要ス

第百八十九條　第百七十九條第一項ノ規定ハ合名會社ノ合併ニ因ル變更又ハ設立ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　合名會社カ社員ノ請求ニ因リテ解散シタルトキハ其登記ヲ爲スヘシ

前項ノ登記ハ會社ノ登記所ノ管轄ト

第百八十五條　第百八十一條第一項及ヒ第二項ノ規定ハ合名會社ノ設立取消ノ登記ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ三　第百八十二條ノ規定ハ合名會社ノ組織變更ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第百八十四條ノ四　商法第八十三條ノ三又ハ第八十三條ノ四ノ規定ニ依リ合資會社ニ付キ爲スヘキ登記ハ總社員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲

第百九十四條　削除
第百九十四條ノ二　舊商法ノ規定ニ依リテ設立シタル株式會社カ商法施行法第五十條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス
一　定款
二　株主名簿
三　各株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面
四　設立免許書
五　創業總會ノ決議錄
第百八十七條第一項ノ規定ハ前項ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス
第百九十四條ノ三　舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ增加シタル場合ニ於テ會社カ商法施行法第八十五條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス
一　株主名簿
二　新株主ノ株式ノ申込ヲ證スル書面
三　資本ノ增加ニ關スル株主總會ノ決議錄及ヒ假決議錄
第百九十四條ノ四　舊商法ノ規定ニ依リ資本ヲ減少シタル場合ニ於テ會社カ資本減少ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス
一　舊商法第二百七條ニ依ル通知及ヒ催告ヲ爲シタルコト及ヒ異議ヲ申出テタル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面
二　資本ノ減少ニ關スル株主總會ノ決議錄及ヒ假決議錄
第百九十四條ノ五　舊法ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於テ會社カ商法施行法第七十九條及ヒ第八十條ノ登記ヲ申請スルニハ申請書ニ左ノ書類ヲ添附スルコトヲ要ス
一　株金ノ拂込金額ヲ證スル書面
二　債券原簿
三　主務官ノ認許書又ハ其認證アル謄本
四　債券ノ發行ニ關スル株主總會ノ決議錄
第百九十五條　資本ノ增加並ニ減少、解散及ヒ合併ニ因ル變更並ニ設立ノ登記ハ總テ株式會社登記簿ニ、資本ノ減少ニ因ル變更ノ登記ハ株式會社登記簿ノ一部トシテ共效力ヲ有ス
後見人登記簿ハ法定代理人登記簿ノ一部トシテ共效力ヲ有シ督利ヲ目的トスル社團法人ノ登記簿ハ其法人ノ種類ニ從ヒ合名會社登記簿、合資會社登記簿又ハ株式會社登記簿ノ一部トシテ共效力ヲ有ス
附　則（大正十一年四月法律第六十三號）
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
小切手法第六十五條ノ規定ニ依リ商法第五百三十六條ノ規定ニ適用スヘキ場合ニ付テハ從前ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十一年勅令第三百四十一號）
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十一年勅令第三百四十一號）
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十一年勅令第三百四十一號）
附　則（昭和二年三月法律第三十三號）
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和二年勅令第百十一號）
附　則（昭和四年四月法律第六十號）
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年勅令第百十一號）
附　則（昭和九年三月法律第三號）
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
小切手法第六十五條ノ規定ニ依リ商法第五百三十六條ノ規定ニ適用スヘキ場合ニ付テハ從前ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス
過料ノ裁判ノ執行ハ民事訴訟法第六編ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲ス但執行ヲ爲ス前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス
第二百九條　非訟事件手續法其他從前ノ法令ニシテ本法ノ規定ト牴觸シ又ハ重複スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
本法施行前ニ裁判所カ申立ヲ受ケ又ハ著手シタル事件ハ舊法令ニ依ル
第二百九條ノ二　外國人ニ關スル非訟事件手續ニシテ條約ニ因リ特ニ定メルコトヲ要スルモノハ司法大臣之ヲ定ム
第二百十條　本法ハ民法及ヒ商法ノ施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（舊法例二條ノ二ノ規定ニ依リ明治三十二年六月十六日ヨリ施行）
附　則（明治四十四年法律第七十四號）
本法ハ商法中改正法律施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（明治四十四年法律第七十三號ノ規定ニ依リ明治四十四年十月一日ヨリ施行）
本法施行前ニ裁判所ノ受理シタル事件ニハ從前ノ規定ヲ適用ス
商法中改正法律附則ノ規定ニ依リ舊法ノ規定ハ其效力ヲ有ス
後見人登記簿ハ法定代理人登記簿ノ一部トシテ共效力ヲ有シ督利ヲ目的トスル社團法人ノ登記簿ハ其法人ノ種類ニ從ヒ合名會社登記簿、合資會社登記簿又ハ株式會社登記簿ノ一部トシテ共效力ヲ有ス
附　則（大正十一年四月法律第六十三號）
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス（大正十一年勅令第三百四十一號）
附　則（大正十四年五月法律第七十一號）
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十四年勅令第百十二號）
附　則（昭和二年三月法律第三十三號）
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和二年勅令第百十一號）
附　則（昭和四年四月法律第六十號）
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年勅令第百十一號）
附　則（昭和九年三月法律第三號）
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
小切手法第六十五條ノ規定ニ依リ商法第五百三十六條ノ規定ニ適用スヘキ場合ニ付テハ從前ノ規定ハ仍其ノ效力ヲ有ス

●外國人ノ署名捺印及訴訟上無資力證明方

明治三十二年三月
法律第五十號

改正　大正二五年四月第七一號

於帝國議會ノ協賛ヲ經タル外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム
御名御璽
第一條　法令ノ規定ニ依リ署名、捺印スヘキ場合ニ於テ外國人ノ署名ハ之ヲ以テ足ル
捺印ノミヲ爲スヘキ場合ニ於テハ外國人ハ署名ヲ以テ捺印ニ代フルコトヲ得
第二條　削除
附　則
第三條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十二年七月勅令第三百二十七號ヲ以テ明治三十三年七月一日ヨリ施行）
附　則（大正十五年四月法律第七十一號）
本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年五月勅令第百五號ヲ以テ昭和四年七月一日ヨリ施行）

●小商人、公告、確定日附簿及日附アル印章ニ關スル件

明治四十五年三月
勅令第三十一號

商行爲ヲ爲スヲ業トスル資本金額五百圓ニ滿タサル者ハ小商人トス
小商人ノ所在地ノ地方法院カ選定シタル新聞紙上ニ掲載シテ之ヲ爲スヘシ但シ上級裁判所ノ公告ハ其ノ所在地ノ地方法院カ選定シタル新聞紙上ニ掲載シテ之ヲ爲スヘシ
前項ノ新聞紙サキトキハ新聞紙上ノ公告ニ代ヘ裁判所ノ指示ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
登記所ニ備フヘキ確定日附簿ハ附錄第一號雛形、日附アル印章ハ附錄第二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ
登記所ニ備フヘキ確定日附簿ハ地方法院ニ於テ調製シ登記所ノ請求ニ因リテ之ヲ交付スヘシ

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號

確定日附簿

何地方法院（何支廳）

紙數表紙ヲ除キ　枚

第壹號	署名者ノ氏名	
	件名	

日附アル印章及雛印

【沿革】昭和　何地方法院何支廳　年　月　日

第貳號	署名者ノ氏名	
	件名	

日附アル印章及雛印

【沿革】何地方法院（何支廳）　年　月　日

第參號	署名者ノ氏名	
	件名	

日附アル印章及雛印

第四號	署名者ノ氏名	
	件名	

日附アル印章及雛印

第三百六十五條 第三百六十條ノ規定ハ第三百六十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十六條 第三百六十一條ノ規定ハ第三百六十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十七條 第三百六十二條ノ規定ハ第三百六十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十八條 第三百六十三條ノ規定ハ第三百六十四條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ルトキハ其ノ期間ハ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ヨリ進行ス

第三百七十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百六十六條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百七十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百六十七條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百七十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百六十八條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百七十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百六十九條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百七十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百七十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十一條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百七十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十二條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百七十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十三條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百七十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十四條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百七十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十五條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十六條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十七條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十八條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百七十九條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十一條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十二條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十三條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十四條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百八十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十五條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十六條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十七條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十八條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百八十九條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十一條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十二條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十三條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十四條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十五條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ二 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十六條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ三 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十七條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ四 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十八條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ五 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ六 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ七 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ八 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ九 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十一 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十二 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第三百九十九條ノ十三 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ十九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ二十九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百二十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ三十九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百三十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ四十九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百四十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ五十九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百五十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ六十九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百六十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ七十九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百七十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ八十九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百八十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ九十九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十一條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百一ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十二條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百二ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十三條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百三ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十四條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百四ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十五條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百五ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十六條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百六ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十七條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百七ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十八條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百八ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ提起スルコトヲ得ス

第四百九十九條 第三百六十四條ノ場合ニ於テ第三百六十五條ノ規定ニ依リ上告ヲ提起スルコトヲ得ル時ハ第三百九十九條ノ百九ノ規定ニ依リ附帶上告ヲ

第十五條　各庫又ハ各官廳ノ代理人ニ付テハ第十三條ノ規定ヲ準用ス

第十六條　訴訟ニ關スル書類ノ送達ハ送達吏之ヲ爲ス

送達吏ハ送達ヲ爲スヘキ場所ニ於テ送達ヲ受クヘキ者ニ出會ハサルトキハ其同居者又ハ雇人ニ送達スヘキモノヲ交付スヘシ

送達ヲ受クヘキ者又ハ其同居者又ハ雇人カ正當ノ理由ナクシテ送達ヲ受ケサルトキハ送達吏ハ送達スヘキモノヲ其場所ニ差置クコトヲ得

第十七條　送達ヲ受クヘキ者ノ住所、居所、營業所又ハ事務所カ知レサルトキハ送達吏ハ其者ノ最後ノ住所ニ於テ送達ヲ爲スコトヲ得

第十八條　送達ヲ受クヘキ者カ日本ノ官廳又ハ公署ニ勤務スル場合ニ於テハ送達吏ハ其官廳又ハ公署ニ於テ送達ヲ爲スコトヲ得

第十九條　第十八條ノ場合ニ於テハ送達吏ハ送達ヲ受クヘキ者ニ出會ハサルトキハ其官廳又ハ公署ノ適當ト認ムル者ニ送達スヘキモノヲ交付スヘシ

第二十條　送達ヲ受クヘキ者カ日本ノ官廳又ハ公署ニ勤務スル場合ニ於テ其官廳又ハ公署ニ於テ送達ヲ爲スヘキ場所ニ出會ハサルトキハ送達吏ハ其官廳又ハ公署ニ送達スヘキモノヲ交付スヘシ

第二十一條　送達ヲ受クヘキ者カ船舶ニ乘組ミ又ハ旅行ニ出テントスル場合ニ於テ送達吏ハ其者ニ送達スヘキモノヲ船長又ハ旅行ノ指揮者ニ交付スヘシ

第二十二條　送達ヲ受クヘキ者カ日本ニ住所ヲ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ日本ニ居所ヲ有スルトキハ送達ハ其居所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十三條　送達ヲ受クヘキ者カ日本ニ住所モ居所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ日本ニ營業所ヲ有スルトキハ送達ハ其營業所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十四條　送達ヲ受クヘキ者カ日本ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ日本ニ最後ノ住所ヲ有シタルトキハ送達ハ其最後ノ住所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十五條　送達ヲ受クヘキ者カ日本ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ日本ニ最後ノ居所ヲ有シタルトキハ送達ハ其最後ノ居所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十六條　送達ヲ受クヘキ者カ日本ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ日本ニ最後ノ營業所ヲ有シタルトキハ送達ハ其最後ノ營業所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十七條　送達ヲ受クヘキ者カ日本ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ日本ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所ヲ有スル場合ニ於テハ送達ハ其者ニ送達スヘキモノヲ其住所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第二十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ居所ヲ有スル場合ニ於テハ送達ハ其者ニ送達スヘキモノヲ其居所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ營業所ヲ有スル場合ニ於テハ送達ハ其者ニ送達スヘキモノヲ其營業所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所ヲ有シタルトキハ送達ハ其最後ノ住所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ居所ヲ有シタルトキハ送達ハ其最後ノ居所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ營業所ヲ有シタルトキハ送達ハ其最後ノ營業所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ日本ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ日本ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第三十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第四十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第五十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第六十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第八十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第九十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十五條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十六條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十七條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十八條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百二十九條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百三十條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百三十一條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百三十二條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

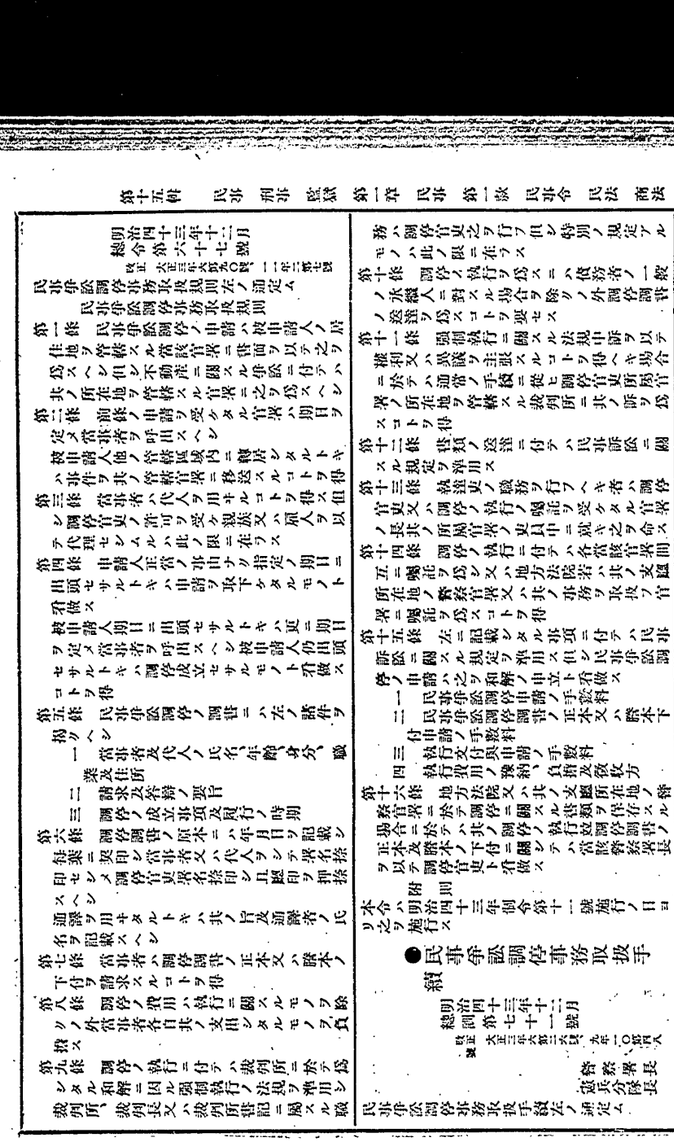
第百三十三條　送達ヲ受クヘキ者カ外國ニ住所モ居所モ營業所モ有セス又ハ住所カ知レサル場合ニ於テ其者カ外國ニ最後ノ住所モ居所モ營業所モ有シタルコトナキトキハ送達ハ裁判所ノ定ムル場所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

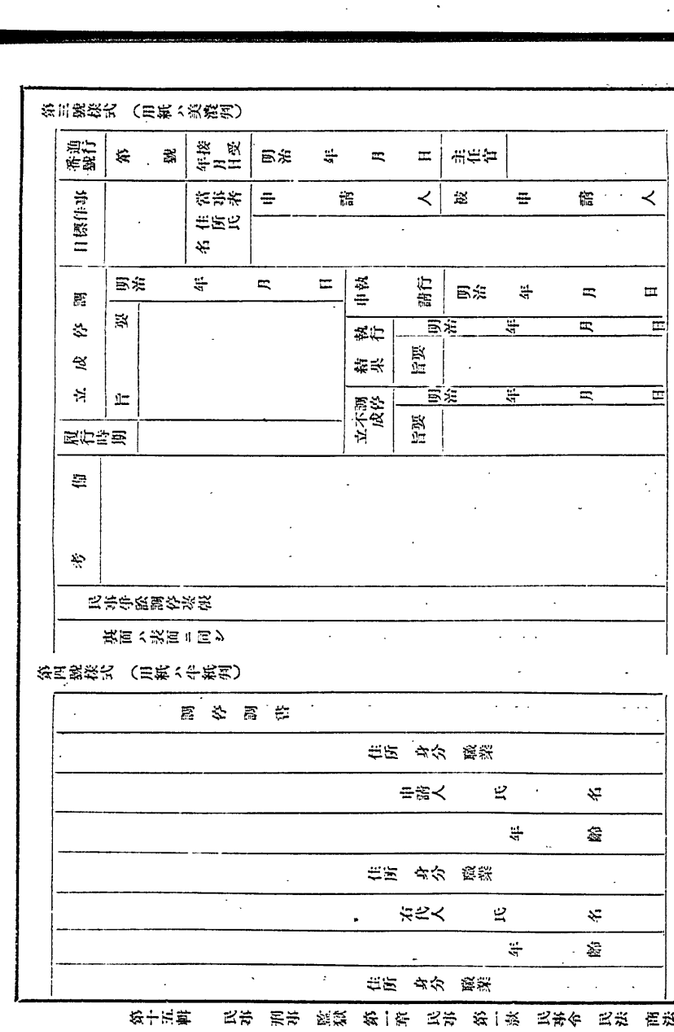
第百三十四條　送達ヲ受クヘキ者カ外

（第四號書式）（用紙美濃二ツ切）

何地金額
證書

右者
年　月　日　何廳（縣）何地
現金額
引渡
何地金額
右ノ內金（全額）





第　號　第　號

民事爭訟調停事件索引簿

記號番號	進行調停ノ成否	事件名	申請人一般申請人ノ氏名	傭	考
第　號					
第　號					
第　號					
第　號					
第　號					
第　號					
第　號					
第　號					
第　號					
第　號					

第六號樣式（用紙ハ美濃判）

進行番號	明治　年	納人住所氏名			
月　日	豫納額	摔出額	殘額	傭	考
月　日	圓	圓	圓		
月　日					
月　日					
月　日					
月　日					
月　日					
月　日					
月　日					
合計					

豫納費用受拂簿

裏面ハ表面ニ同シ

朝鮮人ノ爲メニスル民事訴訟ニ關スル件（大正八年四月制令第八號）

改正　大正九年六月一〇號　昭和三年五月五號

朝鮮財團抵當令（明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス）

朝鮮財團抵當令

第一條　工場ニ屬スル土地又ハ建物及工場財團ノ抵當ニ關シテハ工場抵當法ニ依ル但シ同法中採掘權トアルハ鑛業權者、鑛山監督署長トアルハ朝鮮總督トス

第二條　鑛業財團抵當ニ關シテハ鑛業抵當法ニ依ル但シ同法中採掘權トアルハ鑛業權、採掘權者トアルハ鑛業權者、鑛山監督署長トアルハ朝鮮總督トス

第三條　鐵道及軌道ノ抵當ニ關シテハ明治四十二年法律第二十八號ニ依ル但シ同法中軌道トアルハ鐵道又ハ軌道、軌道營業者トアルハ鐵道營業者又ハ軌道營業者、特許トアルハ許可、勅令トアルハ朝鮮總督府令トス

第三條ノ二　私設鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲本令ニ於テ依ルコトヲ定メタル明治四十二年法律第二十八號ニ依リ準用スル鐵道抵當法第六條ニ規定スル制限ヲ超エテ鐵道財團ヲ抵當ト爲ス債務ヲ負擔スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債務ヲ負擔スル場合ニ於テハ本令ニ依ル債務ノ總額ハ社債ノ額ト合セテ總株金拂込額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ス但シ蓄積償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス

最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財產カ總株金拂込額ニ滿タサルトキハ前二項ノ規定ニ依リ債務ヲ負擔スルコトヲ得ス

第四條　鐵道財團又ハ軌道財團ニ對スル强制執行ハ其ノ財團ノ所有者タル會社ノ本店ノ所在地ヲ管轄スル地方法院又ハ其ノ支廳ノ管轄裁判所ノ專屬ス

鐵道財團又ハ軌道財團ノ所有者タル會社カ朝鮮外ニ本店ヲ有スル場合ニ於テハ前項ノ管轄裁判所ハ京城地方法院トス

第五條　鐵道抵當原簿及軌道抵當原簿ノ調製、鐵道財團目錄及軌道財團目錄ノ様式其ノ他登錄ニ關スル規程ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六條　本令ニ依リ官報ニ掲載シテ爲スヘキ公告ハ朝鮮總督府官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正八年四月朝鮮總督府令第七十八號ヲ以テ同年五月一日ヨリ施行）

附　則（大正九年六月制令第十號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正九年十一月朝鮮總督府令第百八十三號ヲ以テ同年同月十二日ヨリ施行）

附　則（昭和三年五月制令第二號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和三年七月朝鮮總督府令第七十四號ヲ以テ同年同月十日ヨリ施行）

●工場抵當法

明治三十八年三月
法律第五十四號

施行期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（明治三十八年勅令第百二十一號）

改正　大正九年法律第四十一號

第一章　總則

第一條　本法ニ於テ工場ト稱スルハ營業ノ爲ニ物品ノ製造若ハ加工又ハ印刷若ハ撮影ノ目的ニ使用スル場所ヲ謂フ

營業ノ爲ニ電氣又ハ瓦斯ノ供給ノ目的ニ使用スル場所ハ之ヲ工場ト看做ス

第二條　工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地ノ上ニ設定シタル抵當權ハ建物ヲ除ク外其ノ土地ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物及其ノ土地ニ備附ケタル機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ニ及フ但シ設定行爲ニ別段ノ定アルトキ及民法第四百二十四條ノ規定ニ依リ債權者カ債務者ノ行爲ヲ取消スコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ハ工場ノ所有者カ工場ニ屬スル土地又ハ建物ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ニ之ヲ準用ス

第三條　工場ノ所有者カ工場抵當法ヲ準用スル場合ニ於テハ其ノ工場ニ屬スル土地又ハ建物ニ備附ケタル機械、器具ノ他工場ノ用ニ供スル物ニ抵當權ノ效力ノ及フコトヲ妨ケス

第四條　工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ其ノ土地又ハ建物ニ備附ケタル機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ヲ分離シタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス

工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ土地又ハ建物ニ備附ケタル機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ヲ分離シタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス

第五條　抵當權ハ第二條ノ規定ニ依リテ其ノ目的タル物カ第三取得者ニ引渡サレタル後ト雖其ノ物ニ付之ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ民法第百九十二條乃至第百九十四條ノ適用ヲ妨ケス

第六條　工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ土地又ハ建物ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ヲ土地又ハ建物ト分離シタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス

工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ土地又ハ建物ニ備附ケタル機械、器具其ノ他工場ノ備附ヲ止メタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス

工場ノ所有者カ抵當權者ノ爲差押、假差押又ハ假處分アル前ニ於テ正當ナル事由ニ因リ前二項ノ同意ヲ求メタルトキハ抵當權者ハ其ノ同意ヲ拒ムコトヲ得ス

第七條　抵當權ノ目的タル土地又ハ建物ノ差押、假差押又ハ假處分ハ第二條ノ規定ニ依リテ抵當權ノ目的タル物ニ及フ

第二條ノ規定ニ依リテ抵當權ノ目的タル物ハ土地又ハ建物ト共ニスルニ非サレハ差押、假差押又ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第八條　工場ノ所有者ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲一箇又ハ數箇ノ工場ヲ設クルコトヲ得數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スルトキ亦同シ

工場財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ財團ニ屬スルコトヲ得ス

機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ニシテ前條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タルモノノ目錄ヲ提出スヘシ

第二十二條第二項、第三十五條及第三十八條乃至第四十二條ノ規定ハ前項ノ目錄ニ之ヲ準用ス

第四條　第二條第一項但書ニ掲ケタル別段ノ定アルトキハ抵當權設定ノ登記ノ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

第五條　抵當權ハ第二條ノ規定ニ依リテ其ノ目的タル物カ第三取得者ニ引渡サレタル後ト雖其ノ物ニ付之ヲ行フコトヲ得

前項ノ規定ハ民法第百九十二條乃至第百九十四條ノ適用ヲ妨ケス

第六條　工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ土地又ハ建物ニ附加シテ之ト一體ヲ成シタル物ヲ土地又ハ建物ト分離シタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス

工場ノ所有者カ抵當權者ノ同意ヲ得テ土地又ハ建物ニ備附ケタル機械、器具其ノ他工場ノ備附ヲ止メタルトキハ抵當權ハ其ノ物ニ付消滅ス

工場ノ所有者カ抵當權者ノ爲差押、假差押又ハ假處分アル前ニ於テ正當ナル事由ニ因リ前二項ノ同意ヲ求メタルトキハ抵當權者ハ其ノ同意ヲ拒ムコトヲ得ス

第七條　抵當權ノ目的タル土地又ハ建物ノ差押、假差押又ハ假處分ハ第二條ノ規定ニ依リテ抵當權ノ目的タル物ニ及フ

第二條ノ規定ニ依リテ抵當權ノ目的タル物ハ土地又ハ建物ト共ニスルニ非サレハ差押、假差押又ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第八條　工場ノ所有者ハ抵當權ノ目的ト爲ス爲一箇又ハ數箇ノ工場ヲ設クルコトヲ得數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スルトキ亦同シ

工場財團ニ屬スルモノハ同時ニ他ノ財團ニ屬スルコトヲ得ス

民法第二百八十一條ノ規定ハ要役地カ抵當權ノ目的タル工場財團ニ屬スル場合ニ之ヲ準用ス

民法第三百九十八條ノ規定ハ地上權カ抵當權ノ目的タル工場財團ニ屬スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　工場財團ノ登記ニ付テハ工場所在地ノ區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

不動產登記法第八條第二項ノ規定ハ工場カ數箇ノ登記所ノ管轄地ニ跨カリ又ハ工場財團ヲ組成スル數箇ノ工場カ數箇ノ登記所ノ管轄地内ニ在ル場合ニ之ヲ準用ス

第十八條　工場財團登記簿ハ一箇ノ工場財團ニ付一用紙ヲ備フ

第十九條　工場財團登記簿ハ共ノ一用紙ヲ登記番號欄、表題部及甲乙ノ二區ニ分チ表題部ニ表示欄、表示番號欄ヲ設ケ各區ニ事項欄、順位番號欄ヲ設ク

登記番號欄ニハ各財團ニ付登記簿ニ始メテ登記ヲ爲シタル順序ヲ記載ス

表示欄ニハ工場財團ノ表示ヲ爲シ及其ノ變更ニ關スル事項ヲ記載シ表示番號欄ニハ表示欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

甲區事項欄ニハ所有權ニ關スル事項ヲ記載ス

乙區事項欄ニハ抵當權ニ關スル事項ヲ記載ス

順位番號欄ニハ事項欄ニ登記事項ヲ記載シタル順序ヲ記載ス

第二十一條　登記ノ申請書ニハ不動產登記法第三十六條第三號乃至第八號ノ事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　工場ノ名稱及位置

二　主タル營業所

三　營業ノ種類

第二十二條　工場財團ニ付所有權保存ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ不動產登記法第三十五條ノ規定ニ拘ラス其ノ工場財團ニ屬スル土地又ハ建物ノ登記用紙ヲ提出スルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ登記官吏ハ職權ヲ以テ其ノ登記用紙中相當區事項欄ニ工場財團ニ屬スヘキモノトシテ其ノ財團ニ付所有權保存ノ登記アリタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

前項ニ掲ケタルモノカ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ前項ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ヲ遲滯ナク管轄登記所ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所ハ第一項ノ手續ヲ爲シ其ノ登記簿ノ謄本ヲ通知ヲ爲シタル登記所ニ送付スヘシ但シ其ノ謄本ニハ抹消ニ係ル事項ヲ記載スルコトヲ要セス

前三項ノ規定ハ工業所有權カ工場財團ニ屬スヘキ場合ニ之ヲ準用ス但シ通知ハ之ヲ特許局ニ爲スヘシ

第二十四條　前條ノ場合ニ於テ登記官吏ハ官報ヲ以テ工場財團ニ屬スヘキ動產ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者ハ一定ノ期間内ニ其ノ權利ヲ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ但シ其ノ期間ハ一箇月以上三箇月以下トス

前項ノ公告ハ所有權保存ノ登記ノ申請カ期間ノ滿了前ニ却下セラレタルトキハ遲滯ナク之ヲ取消スヘシ

第二十五條　前條第一項ノ期間内ニ權利ノ申出ナキトキハ其ノ權利ハ存在セサルモノト看做シ差押、假差押又ハ假處分ハ其ノ效力ヲ失フ但シ所有權保存ノ登記ノ申請カ却下セラレタルトキ又ハ其ノ登記カ效力ヲ失ヒタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　第二十四條第一項ノ期間内ニ權利ノ申出アリタルトキハ其ノ旨ヲ所有權保存ノ登記ノ申請人ニ通知スヘシ

第二十七條　所有權保存ノ登記ノ申請ハ不動産登記法第四十九條ニ掲ケタル場合ノ外左ノ場合ニ於テ之ヲ却下スヘシ

一　登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ニ依リ工場財團ニ屬スヘキモノカ他人ノ權利ノ目的タルコト又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルコト明白ナルトキ

二　工場財團目錄ニ掲ケタルモノノ表示カ登記簿若ハ其ノ謄本又ハ登錄ニ關スル原簿ノ謄本ニ依リ工場財團ニ屬スヘキ動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者カ其ノ權利ヲ申出テタル場合ニ於テ遲クトモ第二十四條第一項ノ期間滿了後一週間内ニ其ノ申出ノ取消アラサルトキ又ハ其ノ申出ノ理由ナキコトノ證明アラサルトキ

第二十八條　登記官吏カ所有權保存ノ登記ノ申請ヲ却下シタルトキハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

他ノ登記所又ハ特許局ニ所有權保存ノ登記ノ申請アリタル旨ヲ通知シタル場合ニ於テハ其ノ申請ヲ却下シタル旨ヲ遲滯ナク通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所又ハ特許局ハ第二十三條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

第二十九條　工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノハ第二十三條ノ記載アリタル後ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十條　第二十三條ノ記載アリタル後競賣申立ノ登記アリタル場合ニ於テハ所有權保存ノ登記ニ至リタル場合ニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨ヲ記載シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得

第三十一條　第二十三條ノ記載アリタル後競賣ノ申立ノ登記アリタル場合ニ於テハ所有權保存ノ登記ニ至リタル場合ニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨ヲ記載シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得

第三十二條　第二十三條ノ記載アリタル後競賣ノ申立ノ登記アリタル場合ニ於テハ所有權保存ノ登記ニ至リタル場合ニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ日錄ノ末尾ニ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第三十三條　工場財團ニ屬シタル動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者カ其ノ權利ヲ申出テタル場合ニ於テ遲クトモ第二十四條第一項ノ期間滿了後一週間内ニ其ノ申出ノ取消アラサルトキ又ハ其ノ申出ノ理由ナキコトノ證明アラサルトキ

第二十八條　登記官吏カ所有權保存ノ登記ノ申請ヲ却下シタルトキハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

他ノ登記所又ハ特許局ニ所有權保存ノ登記ノ申請アリタル旨ヲ通知シタル場合ニ於テハ其ノ申請ヲ却下シタル旨ヲ遲滯ナク通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル登記所又ハ特許局ハ第二十三條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

第二十九條　工場財團ニ屬スヘキモノニシテ登記又ハ登錄アルモノハ第二十三條ノ記載アリタル後ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十條　第二十三條ノ記載アリタル後競賣申立ノ登記アリタル場合ニ於テハ所有權保存ノ登記ニ至リタル場合ニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨ヲ記載シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得ス

第三十一條　第二十三條ノ記載アリタル後競賣申立ノ登記アリタル場合ニ於テハ所有權保存ノ登記ニ至リタル場合ニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第三十二條　第二十三條ノ記載アリタル後競賣申立ノ登記アリタル場合ニ於テハ所有權保存ノ登記ニ至リタル場合ニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ日錄ノ末尾ニ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第三十三條　工場財團ニ屬シタル動産ニ付權利ヲ有スル者又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ債權者カ其ノ權利ヲ申出テタル場合ニ於テハ前項ノ日錄中其ノモノノ表示ノ側ニ其ノモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　工場財團ニ屬シタルモノニシテ登記アルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨ヲ記載シ第二十三條及第三十四條ノ規定ヲ準用ス

第四十五條　工場財團ニ屬シタル動産ニ付テハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

他ノ登記所又ハ特許局ニ所有權保存ノ登記ノ申請アリタル旨ヲ通知シタル場合ニ於テハ其ノ申請ヲ却下シタル旨ヲ遲滯ナク通知スヘシ

第四十六條　工場財團ニ屬シタルモノニシテ登記アルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ其ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第四十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條　工場財團ニ屬シタル動産ニ付テハ第二十三條第一項ノ規定ニ依リテ爲シタル記載ヲ抹消スヘシ

第四十九條　工場財團ニ屬シタルモノニシテ登記アルモノカ滅失シ又ハ財團ニ屬セサルニ至リタルニ因リ變更ノ登記ノ申請アリタルトキハ前ノ日錄ノ末尾ニ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタル旨、申請書受付ノ年月日及受付番號ヲ記載スヘシ

第五十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第五十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第六十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第八十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第九十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百三十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百四十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百五十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百六十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十一條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十二條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十三條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十四條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十五條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十六條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十七條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十八條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百七十九條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬セシメタルニ因リ變更ノ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第百八十條　第二十三條乃至第三十四條及第三十七條ノ規定ハ新ニ他ノモノヲ財團ニ屬

供給ノ業ヲ營ム場合ニ於テハ其ノ供給ノ爲ニ要スル第二號乃至第五號及第七號ニ掲ケタルモノニシテ鐵道財團ノ所有者ニ屬スルモノハ之ヲ鐵道財團ニ屬セシムルコトヲ得

第四條　鐵道財團ニ屬セサル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第三十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第四十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第五十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第六十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第七十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第八十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第九十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百二十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百三十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百四十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百五十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百六十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百七十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百八十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第百九十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十二條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十三條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十四條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十五條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十六條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十七條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十八條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百十九條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百二十條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同一ノ順位ヲ有ス

第二百二十一條　鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ハ鐵道財團ニ屬スル財産ニ關スル權利ト同

達スル入札ナキトキハ裁判所ハ競權ヲ以テ更ニ競賣期日ヲ定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ鑑定人ノ意見ヲ聽キ最低競賣價額ヲ低減スルコトヲ得

第五十六條　入札ハ其ノ入札ヲ爲シタル競賣人ヲ以外ノ者ニ競落ヲ許ス決定カ確定シタルトキ又ハ競落ヲ許ササル決定カ確定シタルトキ又ハ競落人其ノ效力ヲ失フ

第五十七條　裁判所ハ最高價競賣人ノ名稱及其ノ競買價額ヲ表示シ競賣ノ終局ヲ告知スヘシ

第五十八條　裁判所ハ競賣ニ關スル調書ヲ作成スヘシ

第六十條　強制競賣申立人ノ取下若ハ強制執行ノ取消アリタル場合又ハ第四十八條乃至第五十三條若ハ第五十七條ノ規定ニ違反シテ競賣ヲ爲シタル場合ニ限リ債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者又ハ競賣人ハ競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲ササルトキ又ハ抵當權者ノ同意アル場合ニ限リ競賣ニ付シタル鐵道財團ヲ箇箇ノモノトシテ競賣ニ付スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ抵當權者ノ意見ヲ聽キ鐵道財團ニ屬スルモノヲ分割シテ競賣ニ付スルコトヲ得

第六十一條　裁判所ハ異議ノ申立ヲ正當トスル場合ニ於テ更ニ競賣ヲ許スヘキトキハ職權ヲ以テ競賣期日ヲ定ムヘシ

前項ニ依リ競賣期日ヲ定ムル場合ノ外競落ノ許可ニ付異議ノ申立アリタル場合ニ於テ裁判所カ競賣手續ニ重大ナル瑕疵アリト認ムルトキハ職權ヲ以テ競賣期日ヲ定ムヘシ

第六十二條　競賣期日ニ於テ入札ナキトキ、又ハ競落ノ許可ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ競賣期日ヲ變更シテ競賣ヲ爲サシムヘシ

第六十三條　競賣ノ手續ハ競賣期日ノ終局ヲ告知シタル時ヨリ少ナキトキハ其ノ不足額及手續ノ費用ヲ賠償スヘシ

第六十四條　裁判所ハ競落代金ノ中ヨリ順次ニ競賣ノ費用及租稅其ノ他ノ公課ヲ控除シ殘額アルトキハ抵當權者ニ配當シ仍殘餘アルトキハ之ヲ鐵道財團ノ所有者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ旨ヲ監督官廳ニ通知シ競賣申立ノ登錄ノ抹消ヲ囑託スヘシ

監督官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ左ノ手續ヲ爲スヘシ

一　第四十六條第二項ニ依リテ爲シタル登錄及抵當權ノ登錄ヲ抹消スルコト

二　競落ヲ許ス決定アリタルコトヲ管轄登記所ニ通知シ競落人又ハ競落人ニ依リテ發起セラレタル會社カ取得シタル不動產ニ關スル權利ノ登記並第十一條第二項ニ依リ效力ヲ失ヒタル登記ノ抹消ヲ囑託スルコト

第六十九條・競落ヲ爲サシテ競賣手續ヲ終了シタルトキハ裁判所ハ其ノ旨ヲ監督官廳ニ通知シ競賣申立ノ登錄ノ抹消ヲ囑託スヘシ

監督官廳ニ於テ前項ノ囑託ヲ受ケタルトキハ第四十六條第二項ニ依リテ爲シタル登錄ノ抹消スヘシ

第七十條　裁判所ハ二回以上競賣期日ヲ開始シタルモ入札ナキトキ、許ス入札ナキトキ又ハ最低競賣價額ニ達スル入札ナキトキハ抵當權者ノ同意アル場合ニ限リ競賣ニ付シタル鐵道財團ヲ箇箇ノモノトシテ競賣ニ付スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ裁判所ハ抵當權者ノ意見ヲ聽キ鐵道財團ニ屬スルモノヲ分割シテ競賣ニ付スルコトヲ得

第七十一條　前條ノ競賣ニ關シテハ第四十八條、第四十九條、第五十二條乃至第六十六條、第六十七條第一項、第三項、第六十八條

第四十七條　裁判所カ競賣手續開始ノ決定ヲ爲シタルトキハ官報ヲ以テ租稅其ノ他ノ公課ヲ主管スル官廳及公署ニ對シ一定ノ期間內ニ鐵道財團ノ所有者ニ對スル權利ノ有無及其ノ限度ヲ申出ツヘキ旨ヲ公告スヘシ

第四十八條　裁判所ハ監督官廳ノ意見ヲ聽キ鑑定人ヲ選定シ競賣ニ付スヘキ鐵道財團ヲ評價セシメ其ノ評價額ヲ以テ最低競賣價額ヲ爲スヘシ

第四十九條　裁判所ハ競賣期日ヲ定メ官報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

前項ノ公告ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　競賣ニ付スヘキ鐵道財團ノ表示

二　最低競賣價額

三　競落期日ノ場所及日時

四　執行記錄ヲ閱覽シ得ヘキ場所

五　執行記錄ヲ閱覽シ得ヘキ場所

第五十條　〔削除〕

第五十一條　鐵道事業ヲ營ム者ニ非スシテ競賣ニ加入スル者ハ競賣ノ申込ト共ニ保證トシテ最低競賣價額百分ノ五ニ相當スル金額ヲ現金又ハ有價證券ヲ以テ供託スヘシ

前項ノ規定ハ競賣人ニシテ抵當權者カ之ニ加ハルモノニ付テハ其ノ債權額カ最低競賣價額ノ百分ノ五以上ニ相當スル場合ニ限リ之ヲ適用セス

第五十二條　競賣入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フ

第五十三條　裁判所ハ競買人ノ面前ニ於テ入札ヲ開封スヘシ

競落ヲ爲スヘキ同價額ノ入札二個以上アルトキハ裁判所ハ同價額ノ競買人ヲシテ直ニ再度ノ入札ヲ爲サシムヘシ

再度ノ入札ヲ爲スモ仍同價額ノ入札アルトキハ裁判所ハ直ニ抽籤ヲ以テ最高價競買人ヲ定ムヘシ

第五十四條　〔削除〕

第五十五條　競賣期日ニ於テ入札ナキトキ、又ハ許スヘキ入札ナキトキ又ハ最低競賣價額ニ達スル入札ナキトキハ裁判所ハ競賣期日ヲ變更シテ競賣ヲ爲サシムヘシ

第五十六條　強制競賣申立人ノ取下若ハ強制執行ノ取消アリタル場合又ハ第四十八條乃至第五十三條若ハ第五十七條ノ規定ニ違反シテ競賣ヲ爲シタル場合ニ限リ債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者又ハ競買人ハ競落ノ許可ニ付異議ノ申立ヲ爲サシムヘシ

第六十條　強制競賣申立人ノ取下若ハ強制執行ノ取消アリタル場合又ハ第四十八條乃至第五十三條若ハ第五十七條ノ規定ニ違反シテ競賣ヲ爲シタル場合ニ限リ債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及競買人ニ競落ノ許可ニ付陳述ヲ爲サシムヘシ

第六十一條　裁判所ハ競落期日ニ出頭シタル債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及競買人ニ競落ノ許可ニ付陳述ヲ爲サシムヘシ

第六十二條　監督官廳カ管理人ヲ任免シタルトキハ其ノ旨ヲ債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及裁判所ニ通知スヘシ

第六十三條　鐵道財團ノ所有者カ管理人選任ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ鐵道財團ヲ管理人ニ引渡スヘシ

管理人ハ鐵道財團ノ所有者ニ對シ管理ニ必要ナル書類其ノ他ノ物ノ引渡ヲ求ムルコトヲ得

鐵道財團ノ所有者カ前二項ノ引渡ヲ爲ササルトキハ裁判所ハ管理人ノ申立ニ因リ執達吏ヲシテ其ノ引渡ヲ爲サシムヘシ

第六十四條　強制管理ノ申立人ハ管理人ノ請求ニ因リ管理ノ費用ヲ立替支辨スヘシ

第六十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理及收益ニ付必要ナル裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲スヘシ

第六十六條　鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對スル取締從ノ責任ハ管理人之ヲ負フ

第六十七條　管理人ハ毎營業年度ノ終ニ於テ鐵道財團ノ收入ヨリ順次ニ管理ノ費用、管理人ノ報酬及租稅其ノ他ノ公課ヲ控除シ其ノ殘額ヲ抵當權者ニ交付スヘシ

第六十八條　管理人ハ毎營業年度ノ終ニ於テ計算報告書ヲ監督官廳ニ差出スヘシ

監督官廳ハ前項計算報告書ノ謄本ヲ債務者、鐵道財團ノ所有者及抵當權者ニ送付シ且一定ノ期間內ニ異議アラハ之ヲ申出ツヘキ旨ノ催告ヲ爲サシムヘシ

前項ノ期間內ニ異議ヲ申出テサリシ者ハ計算ヲ承認シタルモノト看做ス

異議ヲ申出テタル者アリタルトキハ監督官廳ハ管理人ノ陳述ヲ聽キタル後之ヲ裁定ス

此ノ裁定ハ終局ト

第六十九條　管理人ハ前條第二項ノ期間ヲ過キタル後ニ非サレハ抵當權者ノ爲メ鐵道財團ニ對シ配當額ノ交付ヲ爲ササルトキ又ハ第六十七條第一項ノ規定ニ依リ配當額ノ交付ヲ爲シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十條　鐵道財團ノ管理ニ付債務者、鐵道財團ノ所有者、抵當權者及裁判所ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第七十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第七十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第七十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第七十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第七十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第七十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第七十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第七十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第七十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第八十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第九十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百二十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百三十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百四十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百五十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百六十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百七十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百八十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第百九十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百二十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百三十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百四十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百五十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百六十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百七十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十六條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十七條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十八條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百八十九條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百九十條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百九十一條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百九十二條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百九十三條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百九十四條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百九十五條　管理人ハ鐵道財團ノ管理ニ付官廳ニ對シ其ノ權利ヲ行フ

第二百九十六條　管理人ハ

第八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十一條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十二條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十三條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十四條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十五條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十六條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十七條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第十九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十一條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十二條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十三條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十四條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十五條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十六條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十七條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第二十九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十一條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十二條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十三條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十四條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十五條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十六條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十七條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第三十九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十一條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十二條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十三條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十四條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十五條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十六條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十七條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第四十九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十一條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十二條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十三條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十四條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十五條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十六條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十七條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第五十九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十一條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十二條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十三條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十四條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十五條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十六條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十七條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第六十九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十一條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十二條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十三條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十四條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十五條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十六條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十七條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第七十九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十一條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十二條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十三條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十四條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十五條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十六條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十七條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第八十九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十一條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十二條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十三條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十四條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十五條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十六條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十七條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十八條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第九十九條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

第百條　抵當權ノ設定ハ其登記ヲ爲シタル後ト雖モ同一ノ不動産ニ付キ更ニ抵當權ヲ設定スルコトヲ妨ケス

（別記）

（第一號樣式）

號三第	號二第	號一第	表	登錄番號	第	號
一名册例及有作業所ノ	許可年作	册例所及檢路	題			
			部			

鐵道（軌道）抵當權

朝鮮

（第二號樣式）

號三第	號二第	號一第	表	登錄番號	第	號
一名册例及有作業所ノ	許可年作	册例所及檢路	題			
			部			

鐵道（軌道）抵當權

非鐵道（軌道）準式令ノ

（第三號樣式）

號五第	號四第	號三第	號二第	號一第	表	登錄番號	第	號
年以上月ヲ經過シタル日ノ	シ抵當權ヲ設定スルノ	認可年月日ノ	抵當權ヲ設定スルノ	册例所及檢路	題			
					部			

鐵道（軌道）沿ノ國ノ

非鐵道（軌道）準式令ノ

名稱	位置	數量	種類	構造	用途	附帶物	備考
川	郡、市、町、村、字、番地	一、五六五、五	工場用地	木造瓦葺二階建	事務所		

名稱	位置	數量	種類	構造	用途	附帶物	備考

名稱	位置	數量	種類	構造	用途	附帶物	備考

名稱	位置	數量	種類	構造	用途	附帶物	備考

名稱	位置	數量	種類	構造	用途	附帶物	備考

名稱	位置	數量	種類	構造	用途	附帶物	備考

名稱	位置	數量	種類	構造	用途	附帶物	備考

名稱	位置	數量	種類	構造	用途	附帶物	備考

第二款　登記

●朝鮮不動産登記令

（明治四十五年三月九日勅令第三十號）

（昭和五年一〇月一日勅令第二四〇號改正）

（昭和一〇年一〇月一日勅令第二四〇號改正）

（昭和一〇年一〇月一日勅令第二四〇號改正）

第一條　朝鮮ニ於ケル不動産ニ關スル登記ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　朝鮮ニ於ケル不動産ニ關スル登記ハ不動産ノ所在地ヲ管轄スル地方法院ノ權限ニ屬ス

第三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百二十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百三十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百四十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百五十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十四條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十五條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十六條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十七條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十八條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百六十九條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百七十條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百七十一條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百七十二條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百七十三條　登記ハ登記官吏ノ申請ニ依リ又ハ官庁ノ嘱託ニ因リテ之ヲ爲ス但シ本令ニ

帝國議會ノ協賛ヲ經タル法律ハ明治二十三年十一月一日ヨリ施行ス
法律勅令其ノ他ノ公文ニ年ヲ記スルニハ西暦紀元ヲ用ユヘシ
●不動産ニ關スル權利ノ得喪及變更ハ登記ノ完了ニ因リテ其效力ヲ生ス
●不動産ニ關スル權利ニ付テハ本法ニ別段ノ規定アルニ非サレハ當事者ノ意思表示ノミニ因リテ其效力ヲ生ス
●不動産ニ關スル權利ノ得喪及變更

第

日ヨ記起個ト＝受所ノ名号簿條四スト次個四名、場承十通義於許十建ヲ四ル前ル建務四ス者ニ
及ヒ得ス乙規定ハ不六搭印ニ場ノ不ノテ要ニ附ヲ登ス者ノ足ヲ記ヲ四ル登務三ル者ノ記ニ
受所ノ年月日及ヒ＝ノ号原ニ同シ登ス登記ニ移ス登ス＝ハ登登ス＝ハ登ス＝ハ登ス＝ハ

第
紙於八川項第ヲルヲシ第ルル甲ス第ミ登頭翌又百ノ規定三登記ハ官ノ規定ニ登記ハ官ノ規定ニ登記ハ官ノ規定ニ

第三百十四條　前條ノ場合ニ於テ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アルトキハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ登記ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

第三百十五條　登記ノ抹消ハ登記ノ更正ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百二十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百三十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百四十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百五十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百六十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百七十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百八十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第三百九十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百二十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百三十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十一條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十二條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十三條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十四條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十五條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十六條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十七條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十八條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百四十九條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第四百五十條　登記ノ更正ハ登記ノ抹消ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル第三者アル場合ニ於テハ其ノ第三者ノ承諾アルトキニ限リ之ヲ申請スルコトヲ得

第五十二條　申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第五十三條　不動産登記法第七十六條第一項ノ場合ニ於テハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其ノ番號ノ第二ナルコトヲ附記シ前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字ヲ追記スヘシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第五十四條　不動産登記法第五十一條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番號ヲ記載シ氏名、住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所ヲ記載シ登記官吏捺印シ前項ノ記載シタル事項ニ朱抹スヘシ

第五十五條　共同人名簿ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所幷ニ其ノ變更ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第五十六條　共同人名簿ニ記載シタル登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所ノ變更又ハ持分ノ移轉若ハ變更ニ付登記簿ニ登記ノ目的タル新ナル事項、申請書受附ノ年月日、受附番號及順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印シ前ニ記載シタル事項ニ朱抹スヘシ

第五十七條　前條ノ場合ニ於テ殘存者ナキトキハ新ニ番號欄ニ前番號ノ轉寫ヲ爲シ其ノ左側ニ第二ノ文字、前番號ノ用紙ヲ綰綴セル共同人名簿ノ册數、丁數及其ノ繼續用紙ナルコトヲ記載シ氏名、住所ノ變更ヲ爲シタル上之ヲ申請人ニ還付スヘシ

第五十八條　不動産登記法第百二十六條ノ二ノ規定ニ依リ共同擔保目錄ニ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スニハ第四十五條ノ四ノ規定ニ依ル共同擔保目錄ニ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スニハ前項ノ規定ニ依リ共同擔保目錄ニ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テハ共同擔保目錄ノ番號ヲ記載スヘシ

第五十八條ノ二　不動産登記法第百二十四條ノ二ノ規定ニ依ル記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ登記用紙中相當區事項欄ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載スヘシ

第五十八條ノ三　申請書ニ共同擔保目錄ノ番號ヲ記載セサルトキハ登記官吏ハ申請ニ因リ共同擔保目錄ヲ調製シ且申請書ニ共同擔保目錄ノ番號ヲ記載スヘシ

第五十八條ノ四　不動産登記法第百二十六條ノ二ノ規定ニ依リ共同擔保目錄ニ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スニハ第四十五條ノ四ノ規定ニ依ル番號ヲ用井テ之ヲ豫備欄ニ記載シ登記官吏捺印シ其ノ變更又ハ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スヘシ

第五十八條ノ五　前條ノ手續ヲ爲シタルトキハ豫備欄ニ繰線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第五十八條ノ六　共同擔保目錄用紙中豫備欄カ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載シ登記官吏捺印スヘキ餘白ナキトキハ登記官吏ハ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第五十八條ノ七　不動産登記法第百四條ノ二ノ規定ニ依ル記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ登記用紙中相當區事項欄ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第五十八條ノ八　信託ノ登記ヲ爲ストキハ信託原簿ノ番號ヲ記載スヘシ

第五十八條ノ九　朝鮮不動産登記令ニ於テ依ルコトヲ定メタル不動産登記法第百四條ノ五、第百二十七條ノ二又ハ第百四十三條ノ二第一項及第二項ノ規定ニ依ル登記ノ申請アリタルトキハ其ノ登記ハ登記用紙中同一順位ノ事項欄ニ之ヲ爲シ繰線ヲ以テ各登記ノ分界スヘシ

第五十八條ノ十　信託原簿ノ記載ヲ變更スヘキトキハ登記官吏ハ附錄第十二號縮形ノ變更用用紙ヲ綰綴シテ契印ヲ爲シ之ニ記載スヘシ

第五十八條ノ十一　信託原簿ノ變更ニ因リ記載ヲ爲シタルトキハ繰線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第五十九條　登記シタル權利ノ順位ヲ讓渡シ又ハ拋棄シタル場合ニ於テ變更登記ヲ爲シタルトキハ其ノ權利ノ登記ノ順位番號ノ左側ニ變更登記ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第六十條　附記登記ヲ爲シタルトキハ主登記ノ順位番號ノ左側ニ附記番號ヲ記載スヘシ

第六十一條　登記簿ノ余部又ハ一部カ滅失シタルニ因リ登記回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ前登記ノ登記濟證ニ不動産登記法第六十條第一項ノ手續ヲ爲シタル上之ヲ申請人ニ還付スヘシ

第六十二條　不動産登記法第百四十九條ノ五ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由及登記ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第六十三條　不動産カ二以上ノ登記所ノ管轄ニ跨ル場合ニ於テ裁判所ノ指定ニ因リ登記ヲ爲シタルトキハ登記所ハ速ニ其ノ旨ヲ他ノ登記所ニ通知スヘシ

第六十四條　地役權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク其ノ登記所ニ變更又ハ消滅ノ事由及申請書受附ノ年月日ヲ通知スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙ノ番號ノ左側ニ第一ノ文字、繼續用紙ヲ綰綴セル共同人名簿ノ册數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　不動産登記法第百二十四條第一項ノ規定ニ依リ登記用紙中相當區事項欄ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第六十六條　不動産登記法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テハ豫備欄ニ繰線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第六十七條　不動産登記法第四十八條第二項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テ共同擔保目錄ノ番號ヲ記載スヘシ

第六十八條　不動産登記法第四十八條第三項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ二人以上ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六十九條　不動産登記法第四十七條第二項ノ受領證ハ登記濟證ヲ交付スルトキニ之ヲ還納セシムヘシ

還納ヲ受ケタル受領證ハ之ヲ保存スヘシ

第七十條　不動産登記法第百二十六條第二項ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　申請人ノ氏名、住所

二　申請人カ登記官吏ナルコト又ハ登記官吏ノ妻若ハ登記官吏ノ四親等内ノ親族ナルコト

三　登記ヲ爲スヘキ不動産ノ表示及登記ノ目的

四　申請書受附ノ年月日及受附番號

五　立會人ノ氏名、住所及年齡

六　立會人カ其ノ登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及年月日又ハ登記番號

第七十一條　不動産登記法第九條第一項ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ行政區畫若ハ洞里之ニ接續スルモノヲ含ム又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルコト及其ノ年月日ヲ記載シ其ノ表紙ニ登記ヲ爲シタル行政區畫若ハ洞里之ニ接續スルモノヲ含ム又ハ其ノ名稱ヲ變更スヘシ

第七十二條ノ二　登記官吏カ其ノ職務上擔保附社債信託法第百九條第十四號ノ規定ニ依リテ過料ニ處セラルヘキ者アルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク其ノ事件ヲ管轄地方法院長ニ通知スヘシ

附　則

第七十三條　本令ハ朝鮮不動産登記令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正三年五月總令第五十號）

本令ハ朝鮮不動産登記令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

舊登記簿、證明簿又ハ證明表幀ノ整本ハ從前ノ規定ニ依ル謄本用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

朝鮮不動産登記令第八條ノ規定ニ依リ舊登記簿、證明簿又ハ證明表幀ヨリ登記簿ニ移記シタルトキハ其表示欄及事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ舊登記簿、證明簿又ハ證明表幀第何册第何丁ヨリ移シタル旨及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタル旨、新登記番號及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ且第六十五條ノ手續ヲ爲スヘシ

附　則（大正十五年二月總令第十號）

本令ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル帳簿及用紙ハ本令施行後ト雖之ヲ使用スヘシ

昌出帳ハ之ヲ改製スル迄ハ仍從前ノ雛形ニ依ル

附　則（昭和二年七月總令第七十五號）

本令ハ朝鮮貴族世襲財産令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和三年七月總令第四十三號）

本令ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年八月總令第百六號）

本令ハ昭和六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年九月總令第百十八號）

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記）

附錄第一號

土地（建物）登記簿

何地方法院（支廳又ハ出張所）

紙質表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

登記	順位	第　頁　部（不動産表示）					
		表示番號	表示	表示欄	表示番號	表示	表示欄
丁							

甲

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄
丁					

區　（所有權）

第五十二條　申請書ニ記載シタル代理人ノ氏名、住所ハ登記簿ニ之ヲ記載スルコトヲ要セス

第五十三條　不動産登記法第七十六條第一項ノ場合ニ於テハ新用紙中登記番號ノ左側ニ其ノ番號ノ第二ナルコトヲ附記シ前用紙中登記番號ノ左側ニ第一ノ文字ヲ追記スヘシ

前項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第五十四條　不動産登記法第五十一條ノ規定ニ依リ共同人名簿ニ記載ヲ爲スニハ番號欄ニ番號ヲ記載シ氏名、住所欄ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所ヲ記載シ登記官吏捺印シ前ニ記載シタル事項ニ朱抹スヘシ

第五十五條　共同人名簿ニ登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所幷ニ其ノ變更ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第五十六條　共同人名簿ニ記載シタル登記權利者又ハ登記義務者ノ氏名、住所ノ變更又ハ持分ノ移轉若ハ變更ニ付登記簿ニ登記ノ目的タル新ナル事項、申請書受附ノ年月日、受附番號及順位番號ヲ記載シ登記官吏捺印シ前ニ記載シタル事項ニ朱抹スヘシ

第五十七條　前條ノ場合ニ於テ殘存者ナキトキハ新ニ番號欄ニ前番號ノ轉寫ヲ爲シ其ノ左側ニ第二ノ文字、前番號ノ用紙ヲ綰綴セル共同人名簿ノ册數、丁數及其ノ繼續用紙ナルコトヲ記載シ氏名、住所ノ變更ヲ爲シタル上之ヲ申請人ニ還付スヘシ

第五十八條　不動産登記法第百二十六條ノ二ノ規定ニ依リ共同擔保目錄ニ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲スニハ第四十五條ノ四ノ規定ニ依ル番號ヲ用井テ之ヲ豫備欄ニ記載シ登記官吏捺印シ其ノ變更又ハ消滅ニ係ル事項ヲ朱抹スヘシ

第五十八條ノ五　前條ノ手續ヲ爲シタルトキハ豫備欄ニ繰線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第五十八條ノ六　共同擔保目錄用紙中豫備欄カ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載シ登記官吏捺印スヘキ餘白ナキトキハ登記官吏ハ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第五十八條ノ七　不動産登記法第百四條ノ二ノ規定ニ依ル記載ヲ爲シタル場合ニ於テハ登記官吏ハ登記用紙中相當區事項欄ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第五十八條ノ八　信託ノ登記ヲ爲ストキハ信託原簿ノ番號ヲ記載スヘシ

第五十八條ノ九　朝鮮不動産登記令ニ於テ依ルコトヲ定メタル不動産登記法第百四條ノ五、第百二十七條ノ二又ハ第百四十三條ノ二第一項及第二項ノ規定ニ依ル登記ノ申請アリタルトキハ其ノ登記ハ登記用紙中同一順位ノ事項欄ニ之ヲ爲シ繰線ヲ以テ各登記ノ分界スヘシ

第五十八條ノ十　信託原簿ノ記載ヲ變更スヘキトキハ登記官吏ハ附錄第十二號縮形ノ變更用用紙ヲ綰綴シテ契印ヲ爲シ之ニ記載スヘシ

第五十八條ノ十一　信託原簿ノ變更ニ因リ記載ヲ爲シタルトキハ繰線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第五十九條　登記シタル權利ノ順位ヲ讓渡シ又ハ拋棄シタル場合ニ於テ變更登記ヲ爲シタルトキハ其ノ權利ノ登記ノ順位番號ノ左側ニ變更登記ノ順位番號ヲ記載スヘシ

第六十條　附記登記ヲ爲シタルトキハ主登記ノ順位番號ノ左側ニ附記番號ヲ記載スヘシ

第六十一條　登記簿ノ余部又ハ一部カ滅失シタルニ因リ登記回復ノ登記ヲ爲シタルトキハ前登記ノ登記濟證ニ不動産登記法第六十條第一項ノ手續ヲ爲シタル上之ヲ申請人ニ還付スヘシ

第六十二條　不動産登記法第百四十九條ノ五ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由及登記ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第六十三條　不動産カ二以上ノ登記所ノ管轄ニ跨ル場合ニ於テ裁判所ノ指定ニ因リ登記ヲ爲シタルトキハ登記所ハ速ニ其ノ旨ヲ他ノ登記所ニ通知スヘシ

第六十四條　地役權ノ變更又ハ消滅ノ登記ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ要役地カ他ノ登記所ノ管轄ニ屬スルトキハ遲滯ナク其ノ登記所ニ變更又ハ消滅ノ事由及申請書受附ノ年月日ヲ通知スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ前用紙ノ番號ノ左側ニ第一ノ文字、繼續用紙ヲ綰綴セル共同人名簿ノ册數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設ケル場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　不動産登記法第百二十四條第一項ノ規定ニ依リ登記用紙中相當區事項欄ニ登記ヲ爲シタル旨ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

第六十六條　不動産登記法第四十七條第二項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テハ豫備欄ニ繰線ヲ劃シテ餘白ト分界スヘシ

第六十七條　不動産登記法第四十八條第二項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テ共同擔保目錄ノ番號ヲ記載スヘシ

第六十八條　不動産登記法第四十八條第三項ノ規定ニ依リ受領證ヲ交付スル場合ニ於テ登記權利者又ハ登記義務者カ二人以上ナルトキハ申請書ニ掲ケタル筆頭ノ者ノミノ氏名及他ノ人員ヲ記載スルヲ以テ足ル

第六十九條　不動産登記法第四十七條第二項ノ受領證ハ登記濟證ヲ交付スルトキニ之ヲ還納セシムヘシ

還納ヲ受ケタル受領證ハ之ヲ保存スヘシ

第七十條　不動産登記法第百二十六條第二項ノ調書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　申請人ノ氏名、住所

二　申請人カ登記官吏ナルコト又ハ登記官吏ノ妻若ハ登記官吏ノ四親等内ノ親族ナルコト

三　登記ヲ爲スヘキ不動産ノ表示及登記ノ目的

四　申請書受附ノ年月日及受附番號

五　立會人ノ氏名、住所及年齡

六　立會人カ其ノ登記所ニ於テ登記ヲ受ケタル不動産ノ表示及年月日又ハ登記番號

第七十一條　不動産登記法第九條第一項ノ場合ニ於テハ登記簿ノ表紙ニ行政區畫若ハ洞里之ニ接續スルモノヲ含ム又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルコト及其ノ年月日ヲ記載シ其ノ表紙ニ登記ヲ爲シタル行政區畫若ハ洞里之ニ接續スルモノヲ含ム又ハ其ノ名稱ヲ變更スヘシ

第七十二條ノ二　登記官吏カ其ノ職務上擔保附社債信託法第百九條第十四號ノ規定ニ依リテ過料ニ處セラルヘキ者アルコトヲ知リタルトキハ遲滯ナク其ノ事件ヲ管轄地方法院長ニ通知スヘシ

附　則

第七十三條　本令ハ朝鮮不動産登記令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正三年五月總令第五十號）

本令ハ朝鮮不動産登記令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

舊登記簿、證明簿又ハ證明表幀ノ整本ハ從前ノ規定ニ依ル謄本用紙ヲ以テ之ヲ作成スヘシ

朝鮮不動産登記令第八條ノ規定ニ依リ舊登記簿、證明簿又ハ證明表幀ヨリ登記簿ニ移記シタルトキハ其表示欄及事項欄ニ移シタル登記ノ末尾ニ舊登記簿、證明簿又ハ證明表幀第何册第何丁ヨリ移シタル旨及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタル旨、新登記番號及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ且第六十五條ノ手續ヲ爲スヘシ

附　則（大正十五年二月總令第十號）

本令ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル帳簿及用紙ハ本令施行後ト雖之ヲ使用スヘシ

昌出帳ハ之ヲ改製スル迄ハ仍從前ノ雛形ニ依ル

附　則（昭和二年七月總令第七十五號）

本令ハ朝鮮貴族世襲財産令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和三年七月總令第四十三號）

本令ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年八月總令第百六號）

本令ハ昭和六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年九月總令第百十八號）

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記）

附錄第一號

土地（建物）登記簿

何地方法院（支廳又ハ出張所）

紙質表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

登記	順位	第　頁　部（不動産表示）					
		表示番號	表示	表示欄	表示番號	表示	表示欄
丁							

甲

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄
丁					

區　（所有權）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

乙

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

丁

附錄第二號

土地（建物）共同人名簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

區	所有（權外利ノ權）

番號	申請人ノ氏名、住所	持分	琭	備	番號	申請人ノ氏名、住所	持分	琭	備

丁

附錄第三號

土地（林野）登記見出帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

土地ノ番號	登記簿	舊登記簿又ハ證明簿	備考
符號本番	符號冊數丁數	登記繼續用紙番號ノ冊數	冊數番號

丁

附錄第四號

土地・分合登記見出帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

土地ノ番號	登記簿	舊登記簿又ハ證明簿	備考
符號本番	符號冊數丁數	登記繼續用紙番號ノ冊數	冊數番號

土地ノ番號 | 登記簿 | 備考

符號 | 本番 | 番符號 | 册數 | 丁數 | 登記續用紙番號ノ册數 | 舊登記簿又ハ證明簿 册數 | 番號

部ノ

丁

土地ノ番號 | 登記簿 | 備考

符號 | 本番 | 番符號 | 册數 | 丁數 | 登記續用紙番號ノ册數

部ノ

丁

附錄第五號

建物登記見出帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

敷地ノ番號 | 建物登記簿 | 備考

符號 | 本番 | 番符號 | 番號 | 册數 | 丁數 | 登記續用紙番號ノ册數 | 舊登記簿又ハ證明簿 册數 | 番號

部ノ

丁

附錄第六號

不動產登記受附帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

敷地ノ番號 | 建物登記簿 | 備考

符號 | 本番 | 番符號 | 番號 | 册數 | 丁數 | 登記續用紙番號ノ册數 | 舊登記簿又ハ證明簿 册數 | 番號

部ノ

丁

附錄第七號

不動產評價事件簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

受附ノ年月日 | 受附番號 | 登記ノ目的 | 申請人ノ氏名 | 備考

丁

附錄第八號（用紙厚薄竪五寸橫一寸）

㊞印鑑

住所
氏名
何年何月何日生

（注意）法人ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ事務所又ハ營業所ノ所在地、法人ノ名稱竝代表者ノ資格ヲ記載スヘシ

附錄第九號

不動產共同擔保目錄

| 評價請求者ノ氏名、住所及請求ノ年月日 | | |

●朝鮮不動産登記令施行期日及地域

大正三年五月
總令第五十一號

朝鮮不動産登記令ヲ大正三年五月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道京城府、仁川府、水原郡水原面、開城郡松都面
一　忠清北道清州郡清州面
一　忠清南道公州郡公州面、大田郡大田面、論山郡江景面
一　全羅北道群山府、全州郡全州面
一　全羅南道木浦府、光州郡光州面、羅州郡羅州面
一　慶尚北道大邱府、金泉郡金泉面
一　慶尚南道統山府、馬山府、晉州郡晉州面
一　黄海道海州郡海州面
一　平安南道平壌府、鎮南浦府
一　平安北道新義州府、義州郡義州面
一　咸鏡南道元山府、咸興郡咸興面
一　咸鏡北道清津府、會寧郡會寧面ノ内一里、二里、三里、四里、五里、鏡城郡梧村面ノ内勝岩洞、壽星洞、一里洞、羅南町、生駒町、初瀬町、美吉町、城津郡鵜城面ノ内舊各國居留地ニ屬セシ地域

大正四年三月
總令第十五號

朝鮮不動産登記令ヲ大正四年四月一日ヨリ左ノ地域ニ施行ス

一　京畿道始興郡、富川郡、金浦郡、江華郡
一　忠清南道天安郡、牙山郡、溫山郡
一　慶尚北道達城郡、清道郡、慶山郡、高靈郡
一　慶尚南道密陽郡

大正四年八月
總令第十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正四年九月一日ヨリ左ノ地域ニ施行ス

一　京畿道楊州郡、抱川郡、加平郡
一　忠清北道丹陽郡、永同郡
一　全羅北道益山郡、全州郡（全州面ヲ除ク）、茂朱郡、淳昌郡
一　慶尚南道陜川郡、統營郡
一　平安南道龍岡郡、大同郡

大正六年一月
總令第二號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年二月一日ヨリ左ノ地域ニ施行ス

一　忠州郡
一　全羅北道錦山郡、金堤郡、高敞郡、鎮安郡、長水郡、扶安郡
一　慶尚南道居昌郡、河東郡、固城郡
一　黄海道殷栗郡

大正六年二月
總令第六號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年三月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅北道井邑郡
一　全羅南道順天郡、光州郡（光州面）、和順郡、求禮郡、光陽郡

大正六年三月
總令第十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年四月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道坡州郡、開城郡（松都面ヲ除ク）
一　忠清南道天安郡、牙山郡、溫陽郡（天安面ノ内鳳鳴里ヲ除ク）
一　論山郡（江景面ヲ除ク）
一　慶尚北道星州郡、義城郡、盈德郡、英陽郡、安東郡
一　慶尚南道金海郡、
一　慶尚南道安東郡、平原郡
一　平安南道安州郡、
大正六年五月
總令第十一號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年六月一日ヨリ全羅南道濟州島ニ施行ス

大正六年六月
總令第四十七號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年十二月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅南道南原郡
一　黄海道遂安郡、新溪郡、載寧郡、信川郡、
一　平安南道价川郡
一　江原道襄陽郡、金化郡、鐵原郡、杆城郡、蔚珍郡、旌善郡、原州郡、橫城郡

大正七年一月
總令第七號

朝鮮不動産登記令ヲ大正七年二月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　平安南道　中和郡
一　慶尚北道　聞慶郡、醴泉郡
一　慶尚南道　宜寧郡、咸安郡
一　平安南道　江西郡

大正六年八月
總令第二十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年六月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠清北道沃川郡、報恩郡、永同郡
一　忠清南道燕岐郡、唐津郡、瑞山郡

大正五年一月
總令第四號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠清北道清州郡（清州面ヲ除ク）
一　忠清南道公州郡（公州面ヲ除ク）
一　慶尚北道星州郡、盈德郡、英陽郡、安東郡
一　慶尚南道金海郡、
一　慶尚南道東萊郡、昌寧郡、梁山郡、蔚山郡
一　江原道春川郡

大正五年三月
總令第十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年四月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道坡州郡、開城郡（松都面ヲ除ク）
一　忠清南道天安郡、青陽郡（天安面ノ内鳳鳴里ヲ除ク）
一　論山郡（江景面ヲ除ク）
一　慶尚北道星州郡、義城郡、盈德郡、英陽郡、安東郡
一　慶尚南道安州郡、迎日郡、永川郡、金泉郡（金泉面ヲ除ク）
一　平安南道安州郡、
大正五年一月
總令第一號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年一月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　高陽郡、長湍郡、扶餘郡、
一　忠清南道　洪城郡、保寧郡
一　平安南道　中和郡

大正六年十一月
總令第八十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年十二月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　黄海道長淵郡、甕津郡
一　平安南道江東郡
一　江原道麟蹄郡、鼎峙郡、華川郡、楊口郡、平昌郡

大正六年十一月
總令第八十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年十二月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅南道順天郡、珍島郡、羅州郡（羅州面ヲ除ク）
一　黄海道長淵郡、甕津郡
一　平安南道江東郡
一　江原道麟蹄郡、鼎峙郡、華川郡、楊口郡、平昌郡

大正六年九月
總令第五十七號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年九月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅南道順天郡、珍島郡、羅州郡（羅州面ヲ除ク）
一　黄海道長淵郡、甕津郡
一　平安南道江東郡
一　江原道麟蹄郡、鼎峙郡、華川郡、楊口郡、平昌郡

大正六年八月
總令第五十一號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年八月十日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅南道靈巖郡、潭陽郡、長城郡、靈光郡、海南郡、務安郡、咸平郡、康津郡、長興郡、高興郡
一　黄海道金川郡、延白郡、安岳郡
一　平安南道寧遠郡、孟山郡
一　江原道春川郡

大正六年五月
總令第四十一號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年六月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　全羅北道任實郡
一　全羅南道靈巖郡、潭陽郡、長城郡、靈光郡、海南郡、務安郡、咸平郡、康津郡、長興郡、高興郡
一　黄海道金川郡、延白郡、安岳郡
一　平安南道寧遠郡、孟山郡
一　江原道春川郡

大正六年四月
總令第二十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年五月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠清南道　南原郡
一　全羅北道　海州郡（海州面ヲ除ク）、松禾郡、瑞興郡
一　黄海道

大正六年二月
總令第十七號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年三月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　陽平郡、抱川郡、加平郡
一　忠清北道　楊平郡、抱川郡、加平郡
一　全羅北道　丹陽郡、永同郡
一　慶尚南道　益山郡、全州郡（全州面ヲ除ク）、茂朱郡、淳昌郡
一　平安南道　陜川郡、統營郡
一　黄海道　龍岡郡、大同郡

大正六年一月
總令第二號

朝鮮不動産登記令ヲ大正六年二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠州郡
一　全羅北道　錦山郡、金堤郡、高敞郡、鎮安郡、長水郡、扶安郡
一　慶尚南道　居昌郡、河東郡、固城郡
一　黄海道　殷栗郡

大正五年十一月
總令第九十七號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年十二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　楊平郡、抱川郡、加平郡
一　忠清北道　丹陽郡、永同郡
一　全羅北道　益山郡、全州郡（全州面ヲ除ク）、茂朱郡、淳昌郡
一　慶尚南道　陜川郡、統營郡
一　平安南道　龍岡郡、大同郡

大正五年八月
總令第六十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年九月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠清北道沃川郡、槐山郡
一　忠清南道　舒川郡
一　全羅北道　沃溝郡
一　慶尚北道　榮州郡、寒花郡
一　慶尚南道　晋州郡、昌原郡、泗川郡、山清郡、咸陽郡

大正五年十一月
總令第九十七號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年十二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　陽平郡、抱川郡、加平郡
一　忠清北道　丹陽郡、永同郡
一　全羅北道　益山郡、全州郡（全州面ヲ除ク）、茂朱郡、淳昌郡
一　慶尚南道　陜川郡、統營郡
一　平安南道　龍岡郡、大同郡

大正五年十一月
總令第八十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年十二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　楊平郡、抱川郡、加平郡
一　忠清北道　丹陽郡、永同郡
一　全羅北道　益山郡、全州郡（全州面ヲ除ク）、茂朱郡、淳昌郡
一　慶尚南道　陜川郡、統營郡
一　平安南道　龍岡郡、大同郡

大正五年八月
總令第六十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年九月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠清北道沃川郡、槐山郡
一　忠清南道　舒川郡
一　全羅北道　沃溝郡
一　慶尚北道　榮州郡、寒花郡
一　慶尚南道　晋州郡、昌原郡、泗川郡、山清郡、咸陽郡

大正五年六月
總令第四十七號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年七月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　高陽郡、長湍郡、扶餘郡、
一　忠清南道　洪城郡、保寧郡
一　平安南道　中和郡

大正五年五月
總令第二十七號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年六月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　高陽郡、長湍郡、扶餘郡、
一　忠清南道　洪城郡、保寧郡
一　平安南道　中和郡

大正五年三月
總令第二十七號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年四月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　高陽郡、長湍郡、扶餘郡、
一　忠清南道　洪城郡、保寧郡
一　平安南道　中和郡

大正五年二月
總令第十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年三月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道　高陽郡、長湍郡、扶餘郡、
一　忠清南道　洪城郡、保寧郡
一　平安南道　中和郡

大正四年十一月
總令第百十四號

朝鮮不動産登記令ヲ大正四年十二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠清北道沃川郡、報恩郡、永同郡
一　忠清南道燕岐郡、唐津郡、瑞山郡

大正五年一月
總令第四號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年二月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　忠清北道清州郡（清州面ヲ除ク）
一　忠清南道公州郡（公州面ヲ除ク）
一　慶尚北道星州郡、盈德郡、英陽郡、安東郡
一　慶尚南道金海郡、
一　慶尚南道東萊郡、昌寧郡、梁山郡、蔚山郡
一　江原道春川郡

大正五年三月
總令第十九號

朝鮮不動産登記令ヲ大正五年四月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　京畿道坡州郡、開城郡（松都面ヲ除ク）
一　忠清南道天安郡、青陽郡（天安面ノ内鳳鳴里ヲ除ク）
一　論山郡（江景面ヲ除ク）
一　慶尚北道星州郡、義城郡、盈德郡、英陽郡、安東郡
一　慶尚南道安州郡、迎日郡、永川郡、金泉郡（金泉面ヲ除ク）
一　平安南道安州郡、

●永代借地登記規則

大正三年五月
總令第五十四號

大正七年六月
總令第六十四號

朝鮮不動産登記令ヲ大正七年七月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　平安北道　義山郡、龍川郡、江界郡、博川郡、慈城郡、厚昌郡
一　咸鏡南道　長津郡、三水郡
一　咸鏡北道　明川郡、鏡城郡、穩城郡

大正七年七月
總令第六十四號

朝鮮不動産登記令ヲ大正七年八月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　咸鏡北道　吉州郡、慶源郡、茂山郡、富寧郡、會寧郡（會寧面ノ内二洞ヲ除ク）、慶興郡、鏡城郡（鏡城面ノ内茂山町、花園町、元町、末廣町、若葉町ヲ除ク）

大正七年六月
總令第六十四號

朝鮮不動産登記令ヲ大正七年七月一日ヨリ左記ノ地域ニ施行ス

一　平安北道　義山郡、龍川郡、江界郡、博川郡、慈城郡、厚昌郡
一　咸鏡南道　長津郡、三水郡
一　咸鏡北道　明川郡、鏡城郡、穩城郡

第一條　永代借地ノ登記ニ付テハ本令ニ定ムル所ニ依ル

第二條　永代借地ノ登記ハ其ノ借地ニ付テノ所有權ノ登記ヲ爲シタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三條　永代借地ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ借地ニ付テノ所有權ノ登記ヲ爲シタル登記官吏ニ對シ其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第四條　永代借地ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ借地ニ付テノ所有權ノ登記ヲ爲シタル登記官吏ニ對シ其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第五條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第六條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第七條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第八條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第九條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第十條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第十一條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第十二條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第十三條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第十四條　永代借地ノ登記ヲ爲シタル後其ノ借地ニ付テノ所有權ノ移轉ヲ爲シタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第十五條　本令ノ施行前外國領事廳ニ於テ永代借地又ハ其ノ上ニ存スル建物ニ關シ爲シタル登記ハ其ノ登記簿ノ謄本ノ引繼ヲ受ケタルモノニ限リ帝國法令ニ依リ爲シタル登記ト看做ス

第十六條　本令施行前外國領事廳ニ於テ永代借地又ハ其ノ上ニ存スル建物ニ關シ爲シタル登記ハ其ノ登記簿ノ謄本ノ引繼ヲ受ケタルモノニ限リ帝國法令ニ依リ爲シタル登記ト看做ス

第十七條　外國領事廳ヨリ引繼ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ハ帝國法令ニ依ル登記簿ト看做ス

第十八條　前條ノ登記簿ノ謄本及其ノ譯文ニハ登記官吏ノ認印ヲ押捺シ且每葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲シ之ヲ登記所ニ交付スヘシ

地方法院長ハ前項ノ登記簿ノ謄本ノ譯文ヲ作リ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十九條　第十六條ノ登記ヲ受ケタル永代借地又ハ建物ニ付登記ヲ爲スヘキトキハ外國領事廳ヨリ引繼ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ノ譯文ヲ中必要ナル事項ヲ永代借地登記簿又ハ建物登記簿ニ移記シタル後登記ヲ爲シ其ノ謄本及譯文ヲ閉鎖スヘシ但シ滅失又ハ抹消ノ登記ハ謄本及譯文ヲ閉鎖シテ之ヲ爲スヘシ

第二十條　本令施行前外國領事廳ノ爲シタル登記ニ關シ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求アリタルトキハ其ノ謄本ノ譯文ニ依リ之ヲ作成シ交付スヘシ

第二十一條　帝國ノ臣民又ハ法人カ舊日本居留地及各國居留地ニ於テ所有シタル永代借地ニ關スル登記簿ハ朝鮮不動産登記令第八條ニ規定スル舊登記簿ト看做ス

附　則

第十五條　本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條　本令施行前外國領事廳ニ於テ永代借地又ハ其ノ上ニ存スル建物ニ關シ爲シタル登記ハ其ノ登記簿ノ謄本ノ引繼ヲ受ケタル者ハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スヘキ旨ヲ通知スヘシ

第十七條　前條ノ登記簿ノ謄本及其ノ譯文ニハ登記官吏ノ認印ヲ押捺シ且每葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲シ之ヲ登記所ニ交付スヘシ

第十八條　前條ノ登記簿ノ謄本及其ノ譯文ニハ登記官吏ノ認印ヲ押捺シ且每葉ノ綴目ニ職印ヲ以テ契印ヲ爲シ之ヲ登記所ニ交付スヘシ

第十九條　第十六條ノ登記ヲ受ケタル永代借地又ハ建物ニ付登記ヲ爲スヘキトキハ外國領事廳ヨリ引繼ヲ受ケタル登記簿ノ謄本ノ譯文ヲ中必要ナル事項ヲ永代借地登記簿又ハ建物登記簿ニ移記シタル後登記ヲ爲シ其ノ謄本及譯文ヲ閉鎖スヘシ但シ滅失又ハ抹消ノ登記ハ謄本及譯文ヲ閉鎖シテ之ヲ爲スヘシ

第二十條　本令施行前外國領事廳ノ爲シタル登記ニ關シ謄本又ハ抄本ノ交付ノ請求アリタルトキハ其ノ謄本ノ譯文ニ依リ之ヲ作成シ交付スヘシ

第二十一條　帝國ノ臣民又ハ法人カ舊日本居留地及各國居留地ニ於テ所有シタル永代借地ニ關スル登記簿ハ朝鮮不動産登記令第八條ニ規定スル舊登記簿ト看做ス

附錄第一號

永代借地登記簿

何地方法院（何支廳）

（裡）

甲

番號	非項欄
番號	非項欄
番號	非項欄
番號	非項欄

永代借地登記簿

丁

（表）

表示欄	表題部（表示地代）	表示欄
表示欄		表示欄
表示欄		表示欄
表示欄		表示欄

（裡）

乙

番號	非項欄
番號	非項欄
番號	非項欄
番號	非項欄

永代借地登記簿

丁

（表）

（權利ノ種類）　區

附錄第二號

永代借地登記簿

何地方法院（何支廳）

紙數

紙ノ數

何地方法院長　㊞

附錄第三號

永代借地登記見出帳

（權利ノ種類）　區

番號	非項欄
番號	非項欄
番號	非項欄
番號	非項欄

永代借地登記簿

丁

永代借地登記見出帳

番號	土地ノ所在	地號ノ數	登記ノ部別	登記ノ種類	登記ノ順位番號	登記ノ年月日	備考

丁

土地ノ登記簿ノ册数ノ丁数番号	登記簿登記ノ順序ニ依リ編入シタル登記番号ヲ記載シ又ハ登記ノ順序ニ依リ編入シタル登記番号ノ丁数ヲ記載スルモノトス	備考

●法人及夫婦財産契約登記取扱規則

明治四十五年三月
總令第二十九號

改正　大正二年一二月一五號、一五年二節、一二設

法人及夫婦財産契約登記取扱規則左ノ通定ム

第一條　法人及夫婦財産契約登記ハ登記簿、附錄登記簿、附錄第一號雛形、夫婦財産契約登記簿ハ附錄第二號雛形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スヘシ

第二條　法人登記見出帳及夫婦財産契約登記見出帳ハ附錄第三號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第三條　登記所ニハ登記簿、見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　印鑑簿

二　申請書類綴込帳

三　決定原本綴込帳

四　抗告書類綴込帳

五　登記濟證交付帳

六　謄本抄本證明書交付帳

七　受領證原符元帳

第四條　前條第二號乃至第七號ノ帳簿ハ一年毎ニ別冊ト爲スヘシ但シ分冊スルコトヲ妨ケス

第四條ノ二　夫婦財産契約登記見出帳中名稱欄ニハ夫ノ氏名ヲ記載シ備考欄ニ妻ノ氏名ヲ記載スヘシ

第四條ノ三　法人設立ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中名稱欄ニ法人ノ種類ヲモ記載スヘシ

第五條　外國法人ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ登記スヘキ事項ノ名稱カ或欄ノ表示ニ適合セサルトキハ最之ニ類似スル欄ニ記載シ其ノ名稱ヲ附記スヘシ

第六條　外國法人ノ事務所ノ廢止ノ登記ハ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲シ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第七條　夫婦財産契約カ夫婦ノ一方ノ死亡ニ因リテ終了シタルトキハ他ノ一方ノ者ノミニテ登記ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ申請書ニ其ノ事由ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

第八條　夫婦財産契約ニ關シ登記シタル事項ノ變更ノ登記又ハ夫婦財産契約ノ登記ノ更正ハ登記用紙中管理者ノ變更及共有財産ノ分割欄ニ之ヲ爲スヘシ

第九條　商業登記取扱規則第二十四條第四項、第二十六條及第二十九條ノ規定ハ法人ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十條　朝鮮不動産登記令施行規則第四條、第五條、第十二條、第十三條、第二十一條乃至第二十五條、第三十六條ノ二、第三十七條、第三十八條、第四十一條、第四十九條、第五十二條及商業登記取扱規則第四條乃至第六條、第九條乃至第二十三條、第二十七條、第三十二條乃至第三十五條、第六十條ノ規定ハ法人及夫婦財産契約ノ登記ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前法人又ハ夫婦財産契約ノ登記ヲ爲シタルモノニ付テハ登記所ハ本令ニ依ル登記簿ニ其ノ登記ヲ移スヘシ

前項ニ依リ登記ヲ移スニハ登記番號欄ニ其ノ登記簿ニ於ケル登記ノ順序ヲ逐ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ前登記番號ヲ記載シ各相當欄ニ舊登記簿ニ依リ登記ヲ移シ登記ノ末尾ニ舊登記簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

前項ノ手續ヲ爲シタルトキハ法人登記ニ在リテハ舊登記簿ノ變更欄ノ登記ノ末尾ニ夫婦財産契約登記ニ在リテハ舊登記簿ノ消滅欄ニ新登記簿第何冊第何丁ニ移シタル旨新登記番號及年月日ヲ記載シ登記官吏捺印シ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

附　則（大正十五年二月總令第十一號）

本令ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル根簿及用紙ハ本令施行後ト雖之ヲ使用スヘシ

見出帳ハ之ヲ調製スル迄ハ仍從前ノ雛形ニ依ルヘシ

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

第　號							登記ノ年月及ヒ第一頁ヨリ第六頁マテ	登記官吏印
一	名稱						大正年月日登記	
二	事務所							
三	目的							
四	設立許可ノ年月日							
五	存立時期							
六	出資ノ方法	資産ノ總額	人ノ氏名、住所	解散ノ原因及ヒ年月日	清算人ノ氏名住所	理事ノ氏名、住所		
七								
			八	九	十	八		

丁

變更	備考

丁

附錄第一號

法人登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

附錄第二號

夫婦財産契約登記簿

何地方法院（何支廳）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

登記番號　第　號

契約者ノ氏名、住所	夫　婦　財　産　契　約

夫　婦　財　産　契　約

丁

管理者ノ變更及共有財産ノ分割

消滅	管理者ノ變更及共有財産ノ分割

附錄第三號

法人（夫婦財産契約）登記見出帳

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

名稱	登記簿	登記繼續用紙ノ數	備考
	冊數丁數番號冊		

丁

名稱	登記簿	登記繼續用紙ノ數	備考
	冊數丁數番號冊		

丁

●商業登記取扱規則

明治四十五年三月
勅令　第三十號

改正　大正三年五月第五三號、七年六月第六六號、
一二年一月第一四號、一五年二月第二二號、昭和
八年五月第五四號、一一年一二月第二三號

商業登記取扱規則左ノ通定ム

商業登記取扱規則

第一條　商業登記簿ハ附錄第一號乃至第九號雛形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スヘシ但シ會社登記簿ハ附錄第七號雛形ノ第一欄乃至變更欄ノ用紙ト社員ノ氏名、住所等ヲ記載スヘキ用紙トヲ別チ初ニ第一欄乃至變更欄ノ用紙ヲ綴メ其ノ末尾ニ社員ノ氏名、住所等ヲ記載スヘキ用紙ヲ綴メテ之ヲ綴級スヘシ

外國會社登記簿ノ雛形ハ附錄第六號乃至第九號ニ依ルヘシ

第二條　商業登記簿ハ府邑面毎ニ別冊トス但シ數ヘシ

第三條　商業登記簿ノ見出帳ハ附錄第十號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第四條　受附帳ハ附錄第十一號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五條　法令ニ依リ登記ノ申請書ニ捺印スヘキ者ハ幾メ其ノ印鑑ヲ登記所ニ提出スヘシ改印ヲ爲シタルトキ亦同シ但シ委任ニ因ル代理人ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　印鑑ハ附錄第十二號雛形ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第七條　登記所ニハ登記簿、見出帳及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　印鑑簿
二　申請書類綴込帳
三　決定原本綴込帳
四　抗告書類綴込帳
五　登記濟證交付帳
六　謄本抄本證明書交付帳
七　受領證原符元帳
八　還納受領證綴込帳

第八條　前條第二號乃至第八號ノ帳簿ハ一年毎ニ別冊ト爲スヘシ但シ分冊スルコトヲ妨ケス

第九條　申請書、嘱託書、通知書、届書、許可書、管轄轉屬ニ因リ移送ヲ受ケタル登記簿謄本其ノ他附屬書類ハ之ニ登記簿ノ冊數及共ノ丁數ヲ記載シ受附番號ノ順序ニ依リテ申請書類綴込帳ニ之ヲ綴綴スヘシ

登記簿ノ種類ニ依リ前項ノ綴込帳ヲ分冊シタルトキハ其ノ表紙ニ登記簿ノ種類ヲ示スヘキ文字ヲ記載スヘシ

第十條　印鑑簿ハ永久之ヲ保存スヘシ

受附帳ハ十年間之ヲ保存スヘシ

決定原本綴込帳及抗告書類綴込帳ハ五年間之ヲ保存スヘシ

登記濟證交付帳、謄本抄本證明書交付帳、受領證原符元帳及還納受領證綴込帳ハ三年間之ヲ保存スヘシ

第十一條　登記簿若ハ附屬書類ノ閲覽又ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ申請書ヲ提出スヘシ

第十二條　登記簿又ハ附屬書類ノ閲覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ但シ附屬書類ノ閲覽ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ利害ノ關係ヲ疏明スルニ足ルヘキ事由ヲ記載シ又ハ之ニ其ノ關係ヲ疏明スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ

一　登記簿ノ種類
二　閲覽ヲ請求スル登記事項
三　登記所ノ表示
四　年月日

第十三條　登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

一　登記簿ノ種類
二　謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル登記事項
三　手數料ノ金額
四　登記所ノ表示
五　年月日

登記簿ノ抄本ノ交付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ニ掲ケタル事項ノ外抄本ノ交付ヲ請求スル部分ヲモ記載スヘシ

第十四條　登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ申請書二通ヲ提出スヘシ

前項ノ申請書ニハ證明ヲ請求スル事項及年月日ヲ記載シ申請人署名捺印スヘシ

登記官吏ハ申請書ノ一通ニ證明文ヲ附シ年月日ヲ記載シテ署名捺印シ且登記所ノ印ヲ押捺シテ之ヲ申請人ニ交付スヘシ

第十五條　登記ノ申請ハ申請人又ハ其ノ代理人登記所ニ出頭シテ之ヲ爲スヘシ

第十五條ノ二　代理人ニ依リテ申請又ハ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　官廳ノ許可ヲ要スル事項ニ付登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ官廳ノ許可書ノ到達シタル年月日ヲ記載スヘシ

前項ノ規定ハ商法第二百四條ノ三第三項又ハ第二百五十六條ノ規定ニ依リ外國ニ於テ生シタル事項ノ登記ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　登記官吏申請書ヲ受取リタルトキハ受附帳ニ登記ノ目的、申請人ノ氏名、會社ニ在リテハ其ノ商號、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ申請書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ

第十八條　申請書其ノ他ノ書面ノ受領證ニハ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ

第十九條　登記官吏ハ受附番號ノ順序ニ從ヒテ登記ヲ爲スヘシ

第二十條　登記ヲ爲スニハ登記用紙中相當欄ニ登記事項及登記ノ年月日ヲ記載シ登記官吏捺印スヘシ

登記用紙中或欄ニ登記事項ヲ記載スルコトナクシテ登記ヲ完了シタルトキハ其ノ空欄ニ朱線ヲ交叉スヘシ但シ後日登記スルコトアルヘキ事項ノ爲設ケタル欄ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

登記用紙中登記事項ヲ記載シタル欄內ニ餘白アルトキハ其ノ餘白ニ朱線ヲ交叉スヘシ

變更欄ニ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ左側ニ縱線ヲ畫シテ餘白ト分界スヘシ

第二十一條　變更ノ登記又ハ登記ノ更正ヲ爲シタルトキハ變更又ハ更正シタル登記事項ヲ朱抹スヘシ

第二十二條　抹消ノ登記ヲ爲シタルトキハ抹消スヘキ登記事項ヲ朱抹スヘシ但シ抹消ノ登記ヲ爲シタルニ因リ登記用紙ヲ閉鎖スヘキ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　登記用紙ヲ閉鎖スルニハ登記番號ヲ朱抹スヘシ

第二十四條　會社ノ設立ノ場合ヲ除ク外商法第五十一條第一項、第百七條、第百四十一條第一項又ハ第二百四十二條ニ定メタル登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ會社ノ合併又ハ組織變更ニ因ル設立ノ登記ヲ爲シタルトキ亦同シ

非訟事件手續法第百十五條ノ二及第百三十五條ノ二ニ定メタル營業ノ禁止又ハ外國會社ノ支店ノ閉鎖ノ登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

非訟事件手續法第百七十條第二項ノ規定ニ依リ商業登記ニ記載スヘキ事項ハ豫備欄ニ之ヲ記載スヘシ

破產法第百二十二條及和議法第八條ノ規定ニ依ル登記ハ豫備欄ニ之ヲ爲スヘシ

第二十四條ノ二　擔保附社債信託法ニ依リ社債ノ登記ハ登記用紙中變更欄ニ之ヲ爲スヘシ

第二十四條ノ三　擔保附社債信託法ニ依ル社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ第二回以後ノ發行ノ登記ヲ爲スニハ信託證書ヲ表示シ之ニ基ク第何回ノ發行ナルコト及第一回ノ發行ノ登記ニ表示シタル擔保ノ目的物カ同時ニ其ノ回ノ社債ノ擔保ノ目的タルコトヲ記載スヘシ

第二十四條ノ四　登記官吏カ擔保附社債信託法第百十五條ノ規定ニ依リ主務官廳ヨリ登記ノ囑託ヲ受ケタルトキハ左ノ規定ニ從フヘシ

一　囑託カ信託會社ノ事業ノ停止ニ關スル場合ニ於テハ登記用紙中豫備欄ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

二　信託ヲ銀行事業ヲ兼ネル信託會社ノ免許ノ取消ニ關スル場合ニ於テハ日的變更ノ登記ヲ爲スヘシ

三　信託ヲ信託事業ヲ專業トスル信託會社ノ免許ノ取消ニ關スル場合ニ於テハ解散ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十五條　貴族又ハ株金若ハ社債ノ增加ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ事項ニ付更ニ登記ヲ爲スヘキトキハ變更欄ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十六條　非訟事件手續法第百四十八條ノ規定ニ依リ登記更正ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十七條　登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ次ニ番號ノ第二ナル旨ヲ記シ前用紙ノ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナル旨ヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ次側ニ第一ノ文字竝新用紙ノ編綴セル旨ヲ登記簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第二十八條　登記ヲ爲シ又ハ申請書其ノ他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ字ヲ用ユヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ何箇得ヘキヲ爲字體ヲ存スヘシ

第二十九條　登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名稱及其ノ判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載スヘシ

第五十六條　會社ノ設立取消ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及年月日欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第五十七條　裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於テハ登記ノ申請書ニハ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第五十八條　會社ヲ代表スヘキ清算人ノ登記及清算人ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ始テ清算人ノ選任ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中清算人ノ氏名住所欄ニ之ヲ爲スヘシ

第五十九條　會社登記簿ニ清算結了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第五十九條ノ二　非訟事件手續法第百五十一條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スヘシ

第五十九條ノ三　非訟事件手續法第百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及許可ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第五十九條ノ五　會社登記簿ニ合併又ハ組織變更ニ因ル解散ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

破產手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ規定ハ强制和議認可決定ノ確定ニ因リ破產手續終結シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第六十條　登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏ニ於テ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本ト相違ナキ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第六十一條　外國會社ノ登記ハ其ノ會社ト同一種ノ會社ノ登記ノ外本章ノ規定ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第六十二條　會社ノ設立無效ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及年月日欄ニモ之ヲ爲スヘシ

此ノ場合ニ於テハ設立無效ノ判決ノ確定シタル裁判所ノ名稱及其ノ判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載スヘシ

第五十六條　會社ノ設立取消ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及年月日欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第五十七條　裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於テハ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第五十八條　會社ヲ代表スヘキ清算人ノ登記及清算人ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ始テ清算人ノ選任ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中清算人ノ氏名住所欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第五十九條　會社登記簿ニ清算結了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第五十九條ノ二　非訟事件手續法第百五十一條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スヘシ

第五十九條ノ三　非訟事件手續法第百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及許可ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第五十九條ノ五　會社登記簿ニ合併又ハ組織變更ニ因ル解散ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

破產手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ規定ハ强制和議認可決定ノ確定ニ因リ破產手續終結シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第六十條　登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏ニ於テ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本ト相違ナキ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第六十一條　外國會社ノ登記ハ其ノ會社ト同一種ノ會社ノ登記ノ外本章ノ規定ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第二十條　非訟事件手續法第百四十八條ノ規定ニ依リ登記更正ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第二十六條　登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ次ニ番號ノ第二ナル旨ヲ記シ前用紙ノ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナル旨ヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ次側ニ第一ノ文字竝新用紙ヲ編綴セル旨ヲ登記簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第二十八條　登記ヲ爲シ又ハ申請書其ノ他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ字ヲ用ユヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ何箇得ヘキヲ爲字體ヲ存スヘシ

第二十九條　登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名稱及其ノ判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載スヘシ

第五十六條　會社ノ設立取消ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及年月日欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第五十七條　裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於テハ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第五十八條　會社ヲ代表スヘキ清算人ノ登記及清算人ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ始テ清算人ノ選任ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中清算人ノ氏名住所欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第五十九條　會社登記簿ニ清算結了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第五十九條ノ二　非訟事件手續法第百五十一條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スヘシ

第五十九條ノ三　非訟事件手續法第百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及許可ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第五十九條ノ五　會社登記簿ニ合併又ハ組織變更ニ因ル解散ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

破產手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ規定ハ强制和議認可決定ノ確定ニ因リ破產手續終結シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第六十條　登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏ニ於テ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本ト相違ナキ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第六十一條　外國會社ノ登記ハ其ノ會社ト同一種ノ會社ノ登記ノ外本章ノ規定ニ依リ之ヲ爲スヘシ

附錄第一號

商號登記簿

何地方法院（何支廳）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

第三十五條　會社ノ設立無效ノ登記ハ登記用紙ニ之ヲ爲スヘシ

此ノ場合ニ於テハ設立無效ノ判決ノ確定シタル裁判所ノ名稱及其ノ判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載スヘシ

第三十六條　會社ノ設立取消ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及年月日欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第三十七條　裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於テハ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第三十八條　會社ヲ代表スヘキ清算人ノ登記及清算人ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ始テ清算人ノ選任ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中清算人ノ氏名住所欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第三十九條　會社登記簿ニ清算結了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第三十九條ノ二　非訟事件手續法第百五十一條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スヘシ

第三十九條ノ三　非訟事件手續法第百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及許可ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第三十九條ノ五　會社登記簿ニ合併又ハ組織變更ニ因ル解散ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

破產手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ規定ハ强制和議認可決定ノ確定ニ因リ破產手續終結シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第四十條　登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏ニ於テ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本ト相違ナキ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第四十一條　外國會社ノ登記ハ其ノ會社ト同一種ノ會社ノ登記ノ外本章ノ規定ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第四十二條　非訟事件手續法第百四十八條ノ規定ニ依リ登記更正ノ申請アリタルトキハ登記用紙中變更欄ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ

第四十三條　登記用紙中或欄カ登記ヲ爲スヘキ餘白ナキニ至リタルトキハ新用紙中登記番號ノ次ニ番號ノ第二ナル旨ヲ記シ前用紙ノ編綴セル登記簿ノ冊數、丁數及其ノ繼續用紙ナル旨ヲ記載シ且前用紙中登記番號ノ次側ニ第一ノ文字竝新用紙ヲ編綴セル旨ヲ登記簿ノ冊數、丁數及之ニ繼續スル旨ヲ記載スヘシ

前用紙中他ノ欄ニ餘白アルトキハ其ノ欄ニ登記スヘキ事項ニ付テハ仍之ニ登記ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ハ第三以下ノ繼續用紙ヲ設クル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　登記ヲ爲シ又ハ申請書其ノ他登記ニ關スル書面ヲ作ルニハ字畫ヲ明瞭ニスヘシ

金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ字ヲ用ユヘシ

文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ス若訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ何箇得ヘキヲ爲字體ヲ存スヘシ

第四十五條　登記ノ公告ハ登記ヲ爲シタル登記所ノ名稱及其ノ判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載スヘシ

第四十六條　會社ノ設立取消ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及年月日欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第四十七條　裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於テハ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第四十八條　會社ヲ代表スヘキ清算人ノ登記及清算人ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ始テ清算人ノ選任ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中清算人ノ氏名住所欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第四十九條　會社登記簿ニ清算結了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第四十九條ノ二　非訟事件手續法第百五十一條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スヘシ

第四十九條ノ三　非訟事件手續法第百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及許可ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第四十九條ノ五　會社登記簿ニ合併又ハ組織變更ニ因ル解散ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

破產手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ規定ハ强制和議認可決定ノ確定ニ因リ破產手續終結シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第五十條　登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏ニ於テ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本ト相違ナキ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第五十一條　外國會社ノ登記ハ其ノ會社ト同一種ノ會社ノ登記ノ外本章ノ規定ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第五十二條　會社ノ設立無效ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及年月日欄ニモ之ヲ爲スヘシ

此ノ場合ニ於テハ設立無效ノ判決ノ確定シタル裁判所ノ名稱及其ノ判決ノ確定シタル年月日ヲモ記載スヘシ

第五十三條　會社ノ設立取消ノ登記ハ登記用紙中解散ノ事由及年月日欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第五十四條　裁判所カ清算人ヲ選任又ハ解任シタル場合ニ於テハ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第五十五條　會社ヲ代表スヘキ清算人ノ登記及清算人ノ共同代表ニ關スル規定ノ登記ハ始テ清算人ノ選任ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ登記用紙中清算人ノ氏名住所欄ニモ之ヲ爲スヘシ

第五十六條　會社登記簿ニ清算結了ノ登記ヲ爲シタルトキハ其ノ登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

第五十六條ノ二　非訟事件手續法第百五十一條ノ二第一項ノ通知ニハ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事由ヲモ記載スヘシ

第五十六條ノ三　非訟事件手續法第百五十一條ノ四ノ規定ニ依リ抹消ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ許可ヲ爲シタル裁判所ノ名稱及許可ノ年月日ヲモ記載スヘシ

第五十六條ノ五　會社登記簿ニ合併又ハ組織變更ニ因ル解散ノ登記ヲ爲シタルトキハ其登記用紙ヲ閉鎖スヘシ

破產手續終結ノ登記ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

前項ノ規定ハ强制和議認可決定ノ確定ニ因リ破產手續終結シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第五十七條　登記ノ申請書ニ添附シタル書類ノ原本ノ還付ヲ請求スル場合ニ於テハ申請人ハ其ノ原本ニ相違ナキ旨ヲ記載シタル謄本ヲ添附スヘシ

登記官吏ニ於テ還付スルトキハ其ノ謄本ニ原本ト相違ナキ旨ヲ記載シテ捺印スヘシ

第五十八條　外國會社ノ登記ハ其ノ會社ト同一種ノ會社ノ登記ノ外本章ノ規定ニ依リ之ヲ爲スヘシ

頁	號	第	番
	官及年登印登月記日ノ	住民若使商所名ノ用業	四 三所得業 二 頃ノ得種業 一 商號
	右明治　年　月　日登記		
謄滴 明治　年　月　日登記	頁	備考	號

何地方法院長

紙數　枚ヲ除キ

附錄第二號

未成年者登記簿

何地方法院（何支廳）

備考	謄滴 明治　年　月　日登記	頁	官及年登印登月記日ノ	號 三所得業	二頃ノ得種業	一住名ノ所氏若成	第 番
			右明治　年　月　日登記				
	謄滴 明治　年　月　日登記	頁	變				

備考	謄滴 明治　年　月　日登記	頁	官及年登印登月記日ノ	號 三所得業	二頃ノ得種業	一住名ノ所氏若成	第 番
			右明治　年　月　日登記				
	謄滴 明治　年　月　日登記	頁	變				

何地方法院長

紙數　枚ヲ除キ

附錄第三號

妻登記簿

何地方法院（何支廳）

備考	謄滴 明治　年　月　日登記	頁	官及年登印登月記日ノ	號 三所得業	二頃ノ得種業	一住民若所名ノ	第 番
			右明治　年　月　日登記				
	謄滴 明治　年　月　日登記	頁	變				

備考	謄滴 明治　年　月　日登記	頁	官及年登印登月記日ノ	號 三所得業	二頃ノ得種業	一住民若所名ノ	第 番
			右明治　年　月　日登記				
	謄滴 明治　年　月　日登記	頁	變				

何地方法院（何支廳）

紙數　枚ヲ除キ

附錄第四號

法定代理人登記簿

何地方法院（何支廳）

何地方法院長

親族表紙ヲ除ク　枚

親族第六號

仲右脅甫盈登記證書

何地方法院（何支廳）

備考	第	號	第	號
更	要	更	要	
更	要	更	要	

備考	第	號	第	號	第	號
更	要	更	要	更	要	
更	要	更	要	更	要	

備考	第	號	第	號	第	號
更	要	更	要	更	要	
更	要	更	要	更	要	

何地方法院（何支廳）

親族第五號

仲右脅甫盈登記證書

何地方法院長

親族表紙ヲ除ク　枚

何地方法院民事　款

紙數表示ヲ除キ　枚

刑發第八號

株式會社登記簿

何地方法院(何支廳)

何地方法院民事　款

紙數表示ヲ除キ　枚

刑發第八號

株式會社登記簿

何地方法院(何支廳)

順號	登記ノ事由	登記ノ年月日	登記ノ番號	摘要
一	設立	明治四十二年三月一日	第一號	
二	本店移轉	明治四十二年三月一日	第一號	
三	支店設置	明治四十二年三月一日	第一號	
四	目的變更	明治四十二年三月一日	第一號	
五	解散	明治四十二年三月一日	第一號	
六	名稱變更	明治四十二年三月一日	第一號	

順號	登記ノ事由	登記ノ年月日	登記ノ番號	摘要
一	設立	明治四十二年三月一日	第一號	
二	本店移轉	明治四十二年三月一日	第一號	
三	支店設置	明治四十二年三月一日	第一號	
四	目的變更	明治四十二年三月一日	第一號	
五	解散	明治四十二年三月一日	第一號	
六	名稱變更	明治四十二年三月一日	第一號	

附錄

紙數
紙式
合資會社登記簿
何地方法院何支廳

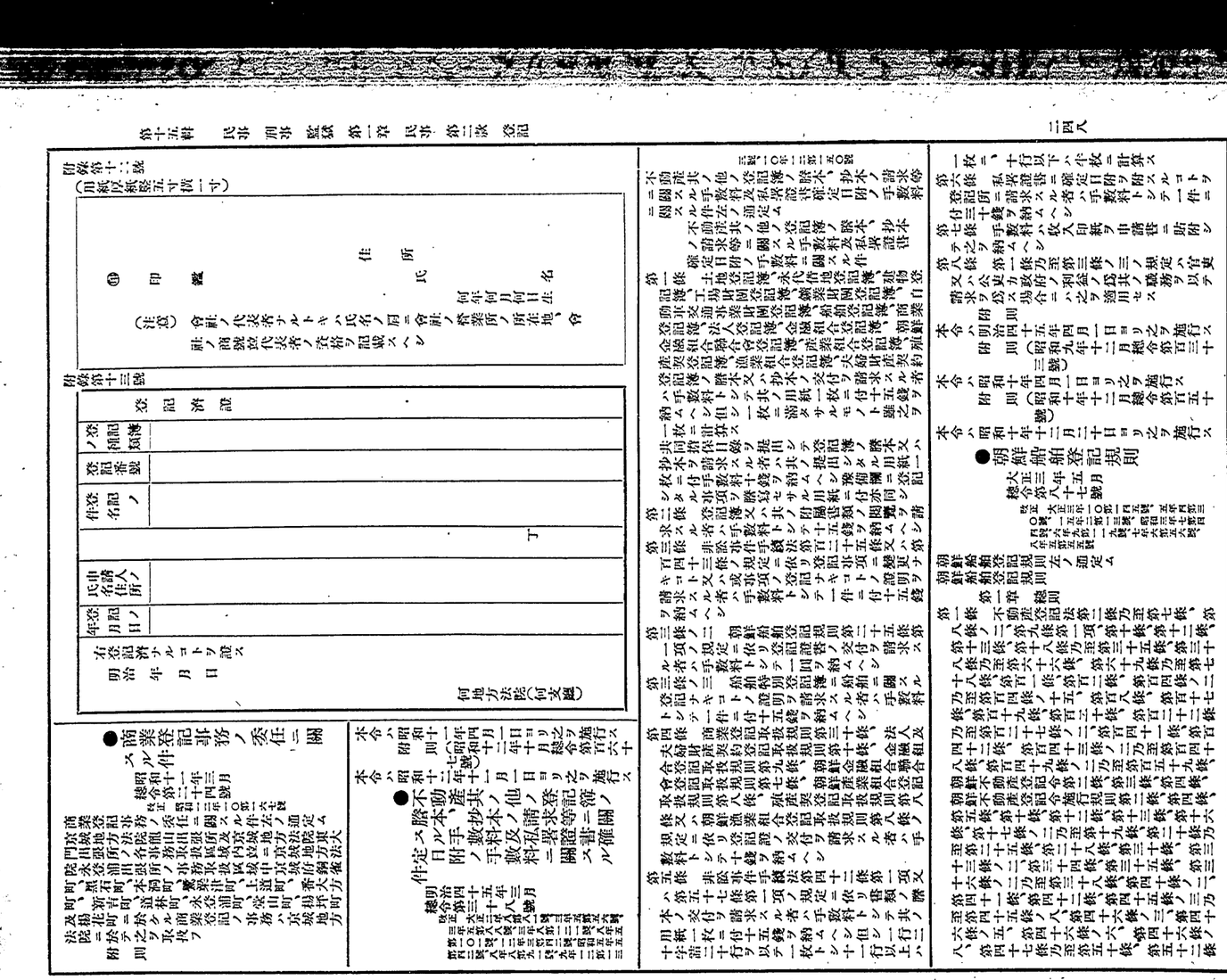
紙數
何地方法院
紙ヲ除キ
以上
何地方法院何支廳

附錄第十號

何何登記所ニ出ス印鑑
何地方法院（又ハ何出張所）

附錄第十一號

商業登記受附帳
何地方法院（又ハ何出張所）



第十五條　民事訴訟法第四百九十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第十六條　民事訴訟法第四百九十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第十七條　民事訴訟法第四百九十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第十八條　民事訴訟法第四百九十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第十九條　民事訴訟法第四百九十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十條　民事訴訟法第五百條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十一條　民事訴訟法第五百一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十二條　民事訴訟法第五百二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十三條　民事訴訟法第五百三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十四條　民事訴訟法第五百四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十五條　民事訴訟法第五百五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十六條　民事訴訟法第五百六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十七條　民事訴訟法第五百七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十八條　民事訴訟法第五百八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二十九條　民事訴訟法第五百九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十條　民事訴訟法第五百十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十一條　民事訴訟法第五百十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十二條　民事訴訟法第五百十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十三條　民事訴訟法第五百十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十四條　民事訴訟法第五百十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十五條　民事訴訟法第五百十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十六條　民事訴訟法第五百十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十七條　民事訴訟法第五百十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十八條　民事訴訟法第五百十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第三十九條　民事訴訟法第五百十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十條　民事訴訟法第五百二十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十一條　民事訴訟法第五百二十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十二條　民事訴訟法第五百二十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十三條　民事訴訟法第五百二十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十四條　民事訴訟法第五百二十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十五條　民事訴訟法第五百二十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十六條　民事訴訟法第五百二十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十七條　民事訴訟法第五百二十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十八條　民事訴訟法第五百二十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第四十九條　民事訴訟法第五百二十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十條　民事訴訟法第五百三十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十一條　民事訴訟法第五百三十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十二條　民事訴訟法第五百三十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十三條　民事訴訟法第五百三十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十四條　民事訴訟法第五百三十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十五條　民事訴訟法第五百三十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十六條　民事訴訟法第五百三十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十七條　民事訴訟法第五百三十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十八條　民事訴訟法第五百三十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第五十九條　民事訴訟法第五百三十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十條　民事訴訟法第五百四十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十一條　民事訴訟法第五百四十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十二條　民事訴訟法第五百四十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十三條　民事訴訟法第五百四十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十四條　民事訴訟法第五百四十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十五條　民事訴訟法第五百四十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十六條　民事訴訟法第五百四十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十七條　民事訴訟法第五百四十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十八條　民事訴訟法第五百四十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第六十九條　民事訴訟法第五百四十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十條　民事訴訟法第五百五十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十一條　民事訴訟法第五百五十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十二條　民事訴訟法第五百五十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十三條　民事訴訟法第五百五十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十四條　民事訴訟法第五百五十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十五條　民事訴訟法第五百五十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十六條　民事訴訟法第五百五十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十七條　民事訴訟法第五百五十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十八條　民事訴訟法第五百五十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第七十九條　民事訴訟法第五百五十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十條　民事訴訟法第五百六十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十一條　民事訴訟法第五百六十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十二條　民事訴訟法第五百六十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十三條　民事訴訟法第五百六十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十四條　民事訴訟法第五百六十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十五條　民事訴訟法第五百六十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十六條　民事訴訟法第五百六十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十七條　民事訴訟法第五百六十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十八條　民事訴訟法第五百六十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第八十九條　民事訴訟法第五百六十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十條　民事訴訟法第五百七十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十一條　民事訴訟法第五百七十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十二條　民事訴訟法第五百七十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十三條　民事訴訟法第五百七十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十四條　民事訴訟法第五百七十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十五條　民事訴訟法第五百七十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十六條　民事訴訟法第五百七十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十七條　民事訴訟法第五百七十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十八條　民事訴訟法第五百七十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第九十九條　民事訴訟法第五百七十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百條　民事訴訟法第五百八十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百一條　民事訴訟法第五百八十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二條　民事訴訟法第五百八十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三條　民事訴訟法第五百八十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四條　民事訴訟法第五百八十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五條　民事訴訟法第五百八十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六條　民事訴訟法第五百八十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七條　民事訴訟法第五百八十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八條　民事訴訟法第五百八十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九條　民事訴訟法第五百八十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十條　民事訴訟法第五百九十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十一條　民事訴訟法第五百九十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十二條　民事訴訟法第五百九十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十三條　民事訴訟法第五百九十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十四條　民事訴訟法第五百九十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十五條　民事訴訟法第五百九十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十六條　民事訴訟法第五百九十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十七條　民事訴訟法第五百九十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十八條　民事訴訟法第五百九十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百十九條　民事訴訟法第五百九十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十條　民事訴訟法第六百條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十一條　民事訴訟法第六百一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十二條　民事訴訟法第六百二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　民事訴訟法第六百三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十四條　民事訴訟法第六百四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　民事訴訟法第六百五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　民事訴訟法第六百六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十七條　民事訴訟法第六百七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　民事訴訟法第六百八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　民事訴訟法第六百九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十條　民事訴訟法第六百十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十一條　民事訴訟法第六百十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十二條　民事訴訟法第六百十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十三條　民事訴訟法第六百十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十四條　民事訴訟法第六百十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十五條　民事訴訟法第六百十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　民事訴訟法第六百十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十七條　民事訴訟法第六百十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十八條　民事訴訟法第六百十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百三十九條　民事訴訟法第六百十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十條　民事訴訟法第六百二十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十一條　民事訴訟法第六百二十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十二條　民事訴訟法第六百二十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　民事訴訟法第六百二十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十四條　民事訴訟法第六百二十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十五條　民事訴訟法第六百二十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十六條　民事訴訟法第六百二十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十七條　民事訴訟法第六百二十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　民事訴訟法第六百二十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百四十九條　民事訴訟法第六百二十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十條　民事訴訟法第六百三十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十一條　民事訴訟法第六百三十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十二條　民事訴訟法第六百三十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十三條　民事訴訟法第六百三十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十四條　民事訴訟法第六百三十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十五條　民事訴訟法第六百三十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十六條　民事訴訟法第六百三十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十七條　民事訴訟法第六百三十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十八條　民事訴訟法第六百三十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百五十九條　民事訴訟法第六百三十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十條　民事訴訟法第六百四十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十一條　民事訴訟法第六百四十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十二條　民事訴訟法第六百四十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十三條　民事訴訟法第六百四十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十四條　民事訴訟法第六百四十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十五條　民事訴訟法第六百四十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十六條　民事訴訟法第六百四十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十七條　民事訴訟法第六百四十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十八條　民事訴訟法第六百四十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百六十九條　民事訴訟法第六百四十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十條　民事訴訟法第六百五十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十一條　民事訴訟法第六百五十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十二條　民事訴訟法第六百五十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十三條　民事訴訟法第六百五十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十四條　民事訴訟法第六百五十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十五條　民事訴訟法第六百五十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十六條　民事訴訟法第六百五十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十七條　民事訴訟法第六百五十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十八條　民事訴訟法第六百五十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百七十九條　民事訴訟法第六百五十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十條　民事訴訟法第六百六十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十一條　民事訴訟法第六百六十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十二條　民事訴訟法第六百六十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十三條　民事訴訟法第六百六十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　民事訴訟法第六百六十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十五條　民事訴訟法第六百六十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十六條　民事訴訟法第六百六十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十七條　民事訴訟法第六百六十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十八條　民事訴訟法第六百六十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百八十九條　民事訴訟法第六百六十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十條　民事訴訟法第六百七十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十一條　民事訴訟法第六百七十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十二條　民事訴訟法第六百七十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十三條　民事訴訟法第六百七十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十四條　民事訴訟法第六百七十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十五條　民事訴訟法第六百七十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十六條　民事訴訟法第六百七十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十七條　民事訴訟法第六百七十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十八條　民事訴訟法第六百七十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第百九十九條　民事訴訟法第六百七十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百條　民事訴訟法第六百八十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百一條　民事訴訟法第六百八十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百二條　民事訴訟法第六百八十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百三條　民事訴訟法第六百八十三條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百四條　民事訴訟法第六百八十四條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百五條　民事訴訟法第六百八十五條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百六條　民事訴訟法第六百八十六條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百七條　民事訴訟法第六百八十七條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百八條　民事訴訟法第六百八十八條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百九條　民事訴訟法第六百八十九條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百十條　民事訴訟法第六百九十條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百十一條　民事訴訟法第六百九十一條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ登記ヲ爲スコトヲ命ズル判決ニ之ヲ準用ス

第二百十二條　民事訴訟法第六百九十二條第一項ノ規定ハ不動産ニ關スル權利ニ付キ

移記スヘシ

前項ノ移記ヲ爲スニハ登記番號欄ニ登記ノ順序ヲ追ヒテ新ナル番號ヲ記載シ其ノ左側ニ船舶原簿ノ番號ヲ附記シ表示欄ニ船舶ノ表示ヲ移シ順位番號欄ニ新ナル番號ヲ附シ事項欄ニ相當事項ヲ移スヘシ

第七十四條　登記官吏前條ノ移記ヲ爲シタルトキハ第三十四條ノ規定ニ準シ登記證書ヲ作リ之ヲ船舶所有者ニ交付スヘシ

第三十五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ登記證書ニハ抹消ニ係ヲサル抵當權又ハ賃借權ニ關スル事項ヲモ記載スヘシ

附　則（大正三年十月總令第百四十五號）

第一條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條　船舶積拭測度法第十二條ノ規定ニ依リ積拭ノ改測ヲ受ケタル船ニ付其ノ改測ニ因ル變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ船舶原簿ノ謄本又ハ第三十三條第一項第二號ノ事項ヲ除クノ外同條ニ掲ケル事項及改測ノ事實ヲ記載シタル船舶原簿ノ抄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ變更後ノ事項ノ記載ハ第三十三條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三條　前條ノ規定ニ依ル變更ノ登記ヲ受ケサル船舶ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第四條　石數ヲ以テ積拭ヲ表示スル船舶ニ付テハ從前ノ規定ニ依リ登記簿ニ記載シタル石數ヲ以テ積拭ヲ表示スル船舶ニ付テハ從前ノ規定ニ依リ登記簿ニ記載シタル船舶ノ表示ハ本令ニ依ル表示ニ當然變更シタルモノト看做ス

附　則（大正十五年二月總令第十三號）

本令ハ大正十五年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前調製シタル帳簿及用紙ハ本令施行後ト雖之ヲ使用スヘシ

現用ノ帳ハ之ヲ改製スル迄ハ仍從前ノ雛形ニ依ル

附　則（昭和三年七月總令第四十四號）

本令ハ昭和三年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年九月總令第百十九號）

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年六月總令第五十六號）

第一條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條　石數ヲ以テ積拭ヲ表示シタル船舶ニシテ昭和六年法律第六號ニ依リ積拭ノ改測ヲ受ケタルモノニ付其ノ改測ニ因ル變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請者ニ船舶原簿ノ謄本又ハ第三十三條第一項（第二號及第六號ヲ除ク）ニ掲ケル事項及改測ノ事實ヲ記載シタル抄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ登記ノ申請アリタル場合ニ於テ登記ヲ爲ストキハ變更後ノ事項ノ記載ハ第三十三條ノ規定ニ從ヒテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三條　石數ヲ以テ積拭ヲ表示シタル船舶ニシテ前條ノ規定ニ依ル變更ノ登記ヲ受ケサルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

第四條　石數ヲ以テ積拭ヲ表示シタル船舶ニシテ昭和六年法律第六號ニ依リ積拭ノ改測ヲ受ケ登記スヘキモノト爲リタルモノニ付始メテ所有權ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載シ且第三十一條及第三十二條ニ規定スル書面ニ代ヘ船籍札臺帳ノ謄本及改測ノ事實ヲ記載シタル船舶件名書ノ謄本ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ申請アリタル場合ニ於テハ從前ノ規定ニ依リ登記簿ニ記載シタル船舶ノ表示欄ノ記載中「登簿噸數」又ハ「汽機ノ種類及數」トアルハ夫々「純噸數」又ハ「汽關ノ種類及數」ニ當然變更セラレタルモノト看做ス但シ其ノ記載ヲ變更スルヲ妨ケズ

附錄第一號

船舶登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

| 第　號 | | |

附錄第六號

（用紙改良）

登記	證記	計

附錄第七號

（用紙改良）

登記ノ番號	番號	順位	登記ノ目的	摘要

朝鮮第二號

朝鮮産業組合登記見出樣

何地方法院（何支廳）何出張所

更	變	更	變
更	變	更	變

丁

更	變	更	變
更	變	更	變

丁

名稱	部ノ	名稱	部ノ
坪數	丁數	坪數	丁數
登記番號	綴込用紙ノ枚數	登記番號	綴込用紙ノ枚數
備考		備考	

丁

金融組合登記取扱規則

●大正三年十月七日總令第一五五號

第一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院之ヲ取扱フ

第二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル判事ノ職務ニ屬ス

第三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル書記之ヲ取扱フ

第四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル通譯生之ヲ取扱フ

第五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル執達吏之ヲ取扱フ

第六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル使丁之ヲ取扱フ

第十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル小使之ヲ取扱フ

第十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル看守之ヲ取扱フ

第十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第三十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第三十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第三十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第三十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第三十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第三十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第三十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第三十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第三十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第三十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第四十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第四十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第四十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第四十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第四十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第四十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第四十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第四十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第四十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第四十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第五十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第五十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第五十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第五十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第五十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第五十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第五十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第五十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第五十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第五十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第六十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第六十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第六十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第六十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第六十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第六十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第六十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第六十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第六十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第六十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第七十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第七十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第七十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第七十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第七十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第七十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第七十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第七十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第七十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第七十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第八十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第八十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第八十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第八十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第八十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第八十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第八十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第八十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第八十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第八十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第九十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第九十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第九十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第九十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第九十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第九十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第九十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第九十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第九十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第九十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百二十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百二十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百二十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百二十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百二十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百二十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百二十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百二十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百二十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百二十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百三十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百三十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百三十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百三十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百三十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百三十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百三十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百三十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百三十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百三十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百四十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百四十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百四十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百四十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百四十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百四十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百四十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百四十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百四十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百四十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百五十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百五十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百五十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百五十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百五十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百五十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百五十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百五十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百五十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百五十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百六十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百六十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百六十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百六十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百六十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百六十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百六十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百六十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百六十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百六十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百七十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百七十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百七十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百七十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百七十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百七十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百七十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百七十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百七十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百七十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百八十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百八十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百八十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百八十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百八十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百八十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百八十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百八十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百八十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百八十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百九十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百九十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百九十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百九十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百九十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百九十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百九十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第百九十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第百九十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第百九十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百二十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百二十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百二十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百二十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百二十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百二十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百二十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百二十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百二十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百二十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百三十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百三十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百三十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百三十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百三十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百三十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百三十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百三十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百三十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百三十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百四十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百四十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百四十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百四十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百四十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百四十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百四十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百四十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百四十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百四十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百五十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百五十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百五十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百五十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百五十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百五十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百五十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百五十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百五十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百五十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百六十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百六十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百六十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百六十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百六十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百六十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百六十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百六十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百六十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百六十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百七十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百七十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百七十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百七十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百七十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百七十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百七十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百七十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百七十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百七十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百八十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百八十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百八十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百八十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百八十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百八十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百八十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百八十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百八十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百八十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百九十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百九十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百九十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百九十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百九十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百九十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百九十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第二百九十七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第二百九十八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第二百九十九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第三百條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第三百一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第三百二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第三百三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第三百四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第三百五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第三百六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第三百七條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第三百八條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第三百九條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第三百十條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第三百十一條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

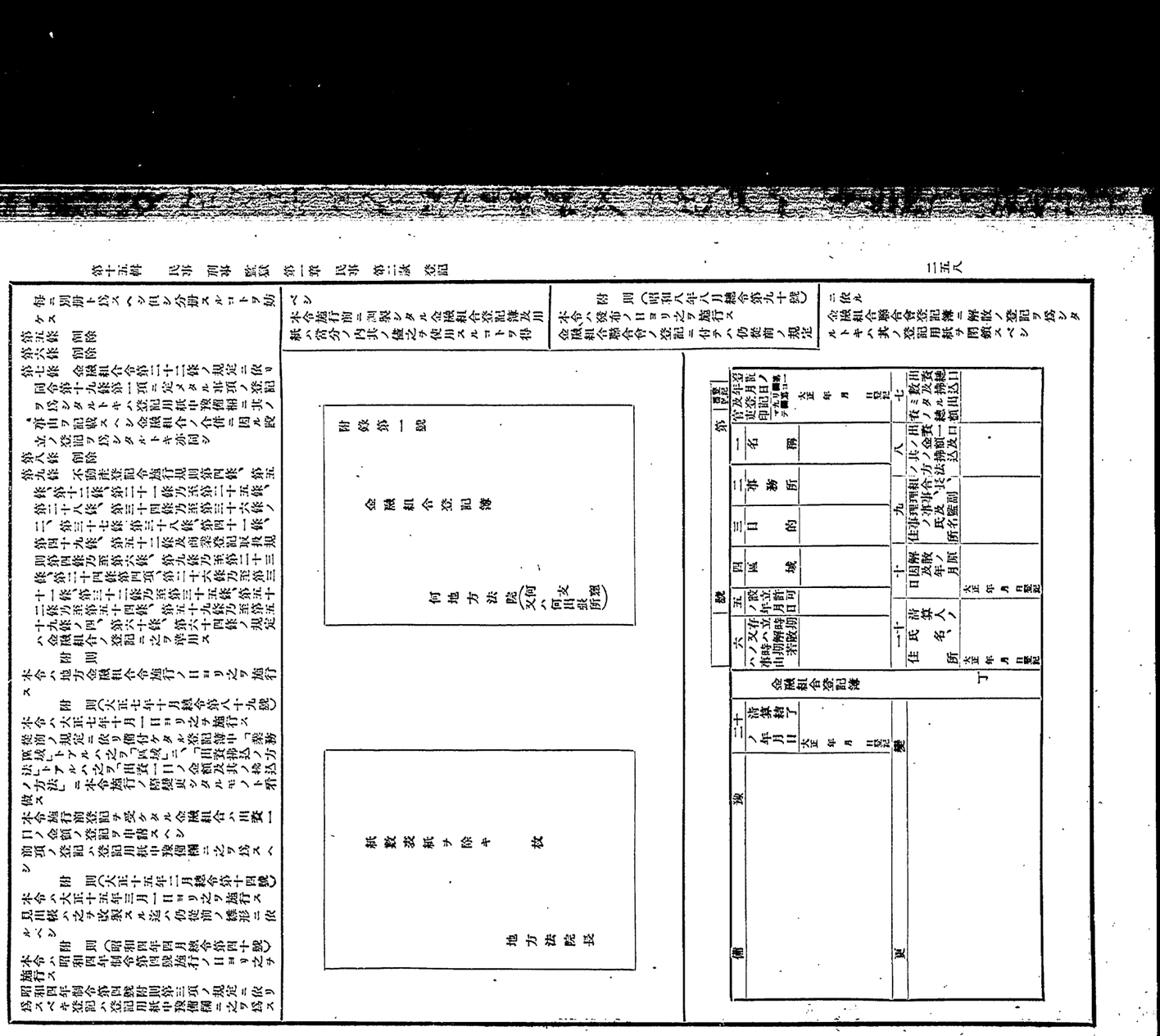
第三百十二條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第三百十三條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル雇員之ヲ取扱フ

第三百十四條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル用務員之ヲ取扱フ

第三百十五條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ法院ノ指定スル給仕之ヲ取扱フ

第三百十六條　金融組合ノ登記ニ關スル事務ハ



●朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則

昭和八年八月
總令第八十九號

朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則形ニ依リ地方法院ニ於テ之ヲ調製スベシ

第二條　登記簿ニハ登記簿及受附帳ノ外左ノ帳簿ヲ備フベシ

一　印鑑簿
二　申請書類綴込帳
三　決定原本綴込帳
四　抗告書類綴込帳
五　登記濟證交付帳
六　謄本抄本證明書交付帳
七　受領證原符元帳

第三條　前條第二號乃至第七號ノ帳簿ハ一年毎ニ之ヲ別冊ト爲スベシ但シ分冊スルコトヲ妨ゲズ

第四條　朝鮮金融組合聯合會令第三十四條ニ於テ準用スル金融組合令第二十二條ノ規定ニ依リ朝鮮金融組合聯合會令第四十五條ニ掲グル事項ノ登記ヲ爲シタルトキハ登記用紙中摘要欄ニ其ノ事由ヲ記載スベシ

第五條　朝鮮金融債券ノ登記ヲ爲シタル後同一ノ事項ニ付更ニ登記ヲ爲スベキトキハ變更欄ニ其ノ登記ヲ爲スベシ

第六條　朝鮮金融債券ノ登記ノ囑託書ニハ其ノ登記ノ囑託ニ必要ナル事項ノ外登錄稅額ヲ記載スベシ但シ朝鮮登錄稅令第三條ノ二ノ規定ニ依リテ受クル同令第三條第一項第八號ノ登記ニ付テハ課稅標準ノ價格ヲモ記載スベシ

第七條　朝鮮不動產登記令施行規則第四條、第五條、第十二條、第二十一條乃至第二十五條、第二十八條、第三十四條乃至第三十六條ノ二、第三十七條、第三十八條、第四十一條、第四十九條、第五十二條及商業登記取扱規則第四條乃至第六條、第九條乃至第二十三條、第二十四條第四項、第二十六條乃至第三十條、第三十四條、第三十五條、第五十二條乃至第五十四條、第五十九條乃至第五十九條ノ四、第六十條、第六十四條ノ規定ハ朝鮮金融組合聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄

朝鮮金融組合聯合會登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

枚

何地方法院長

枚數表紙ヲ除キ

第	登記番號	登記ノ年月日第一欄ヨリ第九欄迄及登記第十欄ヨリ第十七欄迄	一 名稱	二 事務所	三 目的	四 設立許可ノ年月日	五 出資總口數及出資ノ一口ニ付拂込ミタル金額	六 出資ノ拂込方法	九 監事ノ氏名、住所	十 朝鮮金融債券ノ總額	十一 各朝鮮金融債券ノ金額	十二 朝鮮金融債券ノ利率	十三 朝鮮金融債券償還ノ方法及期限	十四 各朝鮮金融債券ニ付拂込ミタル金額	十五 解散ノ原因及年月日	年月日登記

七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七
會長ノ氏名、住所	理事ノ氏名、住所		清算人ノ氏名、住所	清算結了ノ年月日						
			年月日登記	年月日登記						

備考

變更	變更
變更	變更

丁

變更	變更
變更	變更

●土地調査令ニ依リ査定又ハ裁決ヲ經タル土地ノ登記又ハ證明ニ關スル件

大正三年五月
制令第十六號
改正　大正一〇年一勅二號

土地調査令ニ依リ査定又ハ裁決ヲ經タル土地ノ登記又ハ證明ニ關スル件ハ明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　土地ノ所有權カ土地調査令ニ依リ査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

不動産登記法第百一條及第百二條ノ規定ハ第一項ノ申請ニ因ル登記又ハ證明ニ之ヲ準用ス

第二條　既登記又ハ既證明ノ土地ノ一部ニ關シ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル所有權カ登記又ハ證明ノ名義人ニ代リ土地分割ノ登記又ハ證明ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第四十六條ノ二及第五十條第三項ノ規定ハ前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第三條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果土地ノ分合、面積ノ增減又ハ地目番號若ハ面積ノ單位ノ變更ヲ生シタル場合ニ於テハ各其ノ方位、形狀及間尺竝重要ナル附屬物ノ配置ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

地主權ノ目的タル土地、賃借權ノ目的タル土地及工作物竝永小作權ニ付テハ各其ノ方位、形狀及間尺ヲ記載スヘシ

工場ノ一部ヲ以テ工場財團ヲ設ケル場合ニ於テハ財團ニ屬スル部分ト之ニ屬セサル部分トヲ區分スヘシ

第十八條　登記官吏カ工場抵當法第二十條第二項ニハ工場ノ名稱、位置、主タル營業所及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第四條ノ場合ニ於テハ所有者ノ氏名又ハ名稱ヲモ記載スヘシ

第十九條　登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ工場財團目錄及工場ノ關面ニ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ不動産登記法第八十一條ノ書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第三條ノ二　土地調査令ニ依ル調査ノ結果甲地カ乙地ニ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルニ因リ其ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テ乙地ノ登記用紙ニ現存スル登記ヲ移記スル場合ニ於テハ登記ノ目的及受附番號ノ同一ナル甲地ノ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ヲ記載シ其ノ部分ニ付同一ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第四條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果既登記ノ土地ト未登記ノ土地カ未登記又ハ未證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタル場合ニ於テ合併ノ登記又ハ證明ヲ申請スルニハ土地所有者ハ先ツ未登記又ハ未證明ノ部分ニ付テ本令ニ於テハ申請書ニ土地ノ全部ニ對スル土地裏帳ノ謄本及既登記又ハ既證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタル旨ヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果土地ノ分合、面積ノ增減又ハ地目番號若ハ面積ノ單位ノ變更ヲ生シタルトキハ登記又ハ證明ノ名義人ハ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ申請書ニ第三條第一項ノ書面ヲ添附スヘシ

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ抹消ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者アルトキハ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第六條　登記官吏又ハ證明官吏第一條乃至第三條又ハ第五條ノ登記又ハ證明ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ其ノ抹消又ハ變更ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知スヘシ

第七條　既登記又ハ既證明ノ土地ニ付土地裏帳調製後初テ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ第八條　第二條乃至第五條ニ規定スル登記又ハ證明ニ付テハ登錄稅ヲ課セス第五條ノ規定ニ依リ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ニ付同一ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第九條　本令ハ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第一條　土地ノ所有權カ土地調査令ニ依リ査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第二條　既登記又ハ既證明ノ土地ノ一部ニ關シ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル所有權カ登記又ハ證明ノ名義人ニ代リ土地分割ノ登記又ハ證明ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第四十六條ノ二及第五十條第三項ノ規定ハ前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第三條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果土地ノ分合、面積ノ增減又ハ地目番號若ハ面積ノ單位ノ變更ヲ生シタルトキハ各其ノ方位、形狀及間尺竝重要ナル附屬物ノ配置ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

地主權ノ目的タル土地、賃借權ノ目的タル土地及工作物竝永小作權ニ付テハ各其ノ方位、形狀及間尺ヲ記載スヘシ

工場ノ一部ヲ以テ工場財團ヲ設ケル場合ニ於テハ財團ニ屬スル部分ト之ニ屬セサル部分トヲ區分スヘシ

第十八條　登記官吏カ工場抵當法第二十條第二項ニハ工場ノ名稱、位置、主タル營業所及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第四條ノ場合ニ於テハ所有者ノ氏名又ハ名稱ヲモ記載スヘシ

第十九條　登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ工場財團目錄及工場ノ關面ニ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ不動産登記法第八十一條ノ書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第三條ノ二　土地調査令ニ依ル調査ノ結果甲地カ乙地ニ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルニ因リ其ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙ニ現存スル登記ヲ移記スル場合ニ於テハ登記ノ目的及受附番號ノ同一ナル甲地ノ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ニ付同一ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第四條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果既登記ノ土地ト未登記ノ土地カ未登記又ハ未證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタル場合ニ於テハ合併ノ登記又ハ證明ヲ申請スルニハ土地所有者ハ先ツ未登記又ハ未證明ノ部分ニ付本令ニ於テハ申請書ニ土地ノ全部ニ對スル土地裏帳ノ謄本及既登記又ハ既證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタル旨ヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果土地ノ分合、面積ノ增減又ハ地目番號若ハ面積ノ單位ノ變更ヲ生シタルトキハ登記又ハ證明ノ名義人ハ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ申請書ニ第三條第一項ノ書面ヲ添附スヘシ

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ抹消ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者アルトキハ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第六條　登記官吏又ハ證明官吏第一條乃至第三條又ハ第五條ノ登記又ハ證明ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ其ノ抹消又ハ變更ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知スヘシ

第七條　既登記又ハ既證明ノ土地ニ付土地裏帳調製後初テ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地裏帳ノ謄本ヲ添附スヘシ

第八條　第二條乃至第五條ニ規定スル登記又ハ證明ニ付テハ登錄稅ヲ課セス第五條ノ規定ニ依リ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ニ付同一ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第九條　本令ハ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十條　本令ハ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第二條　既登記又ハ既證明ノ土地ノ一部ニ關シ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル所有權カ登記又ハ證明ノ名義人ニ代リ土地分割ノ登記又ハ證明ヲ申請スルコトヲ得

不動産登記法第四十六條ノ二及第五十條第三項ノ規定ハ前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第三條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果土地ノ分合、面積ノ增減又ハ地目番號若ハ面積ノ單位ノ變更ヲ生シタルトキハ各其ノ方位、形狀及間尺竝重要ナル附屬物ノ配置ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

地主權ノ目的タル土地、賃借權ノ目的タル土地及工作物竝永小作權ニ付テハ各其ノ方位、形狀及間尺ヲ記載スヘシ

工場ノ一部ヲ以テ工場財團ヲ設ケル場合ニ於テハ財團ニ屬スル部分ト之ニ屬セサル部分トヲ區分スヘシ

第十八條　登記官吏カ工場抵當法第二十條第二項ニハ工場ノ名稱、位置、主タル營業所及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第四條ノ場合ニ於テハ所有者ノ氏名又ハ名稱ヲモ記載スヘシ

第十九條　登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ工場財團目錄及工場ノ關面ニ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ不動産登記法第八十一條ノ書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第三條ノ二　土地調査令ニ依ル調査ノ結果甲地カ乙地ニ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルニ因リ其ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙ニ現存スル登記ヲ移記スル場合ニ於テハ登記ノ目的及受附番號ノ同一ナル甲地ノ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ニ付同一ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第四條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果既登記ノ土地ト未登記ノ土地カ未登記又ハ未證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタル場合ニ於テハ合併ノ登記又ハ證明ヲ申請スルニハ土地所有者ハ先ツ未登記又ハ未證明ノ部分ニ付本令ニ於テハ申請書ニ土地ノ全部ニ對スル土地裏帳ノ謄本及既登記又ハ既證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタル旨ヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果土地ノ分合、面積ノ增減又ハ地目番號若ハ面積ノ單位ノ變更ヲ生シタルトキハ登記又ハ證明ノ名義人ハ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ申請書ニ第三條第一項ノ書面ヲ添附スヘシ

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ抹消ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者アルトキハ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第六條　登記官吏又ハ證明官吏第一條乃至第三條又ハ第五條ノ登記又ハ證明ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ其ノ抹消又ハ變更ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知スヘシ

第七條　既登記又ハ既證明ノ土地ニ付土地裏帳調製後初テ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地裏帳ノ謄本ヲ添附スヘシ

第八條　第二條乃至第五條ニ規定スル登記又ハ證明ニ付テハ登錄稅ヲ課セス第五條ノ規定ニ依リ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ニ付同一ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第九條　本令ハ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十條　本令ハ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十一條　本令ハ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十二條　工場財團目錄及工場ノ關面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第十三條　工場抵當法第三條ノ場合ニ於テハ工場ノ土地又ハ建物カ同法第一條ノ工場ニ屬スルモノナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スヘシ

第十四條　前條ノ場合ニ於テ土地又ハ建物ノ登記用紙中抵當區事欄ニ其ノ登記ヲ爲ストキハ工場抵當法第三條ニ依リテ目錄ノ提出アリタルコトヲ記載スヘシ

第十五條　第八條、第十五條、第十六條、第十九條及第二十二條ノ規定ハ工場抵當法第三條ノ目錄ニ之ヲ準用ス

第二十六條　鑛業抵當法ニ依ル鑛業財團ノ登記ニ付テハ後六條ニ規定スルモノヲ除クノ外本令中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十七條　鑛業財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ鑛業抵當法第三條及工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外工作物ノ配置ヲ記載シタル圖面ヲ提出スヘシ

前項ノ圖面ニハ申請人署名捺印スヘシ

第二十八條　鑛業財團目錄ニ掲ケヘキ鑛業權ニ付テハ鑛區ノ位置、鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權設定ノ年月日及其ノ登錄番號ヲ鑛業權ニ付期限アルモノニ付テハ其ノ期限ヲモ記載スヘシ

第二十九條　鑛業財團目錄ニ掲ケヘキ土地ノ使用權ニ付テハ土地所在ノ府、郡、島、廳、町、洞里、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數及用方ヲ記載スヘシ

第三十條　鑛業財團目錄ニ掲ケヘキ鑛業權ニ付テハ鑛區ニ關スル事項ノ要旨、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ但シ通知事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ旨ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ

第三十一條　登記官吏カ鑛業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ鑛業財團ノ表示ヲ爲スニハ鑛區ノ位置、鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權ノ種類、名稱、番號及原簿登記ノ年月日ヲ記載スヘシ

工業所有權ニ關スル實施權ニ付テハ實施權ノ範圍竝本權ノ種類、名稱、番號、原簿登記ノ年月日及其ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十四條　數箇ノ工場ニ付工場財團ヲ設ケル場合ニ於テハ各工場ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ

數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テハ各所有者ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ

第十五條　工場財團目錄ヲ作成スルニハ美濃判大ノ紙料ヲ用ヰヘシ

第十六條　工場財團目錄ニハ其ノ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ申請人カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第十七條　工場ノ關面ニハ工場ニ屬スル土地及工作物ノ方位、形狀及間尺竝重要ナル附屬物ノ配置ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

地主權ノ目的タル土地、賃借權ノ目的タル土地及工作物竝永小作權ニ付テハ各其ノ方位、形狀及間尺ヲ記載スヘシ

工場ノ一部ヲ以テ工場財團ヲ設ケル場合ニ於テハ財團ニ屬スル部分ト之ニ屬セサル部分トヲ區分スヘシ

第十八條　登記官吏カ工場抵當法第二十條第二項ニハ工場ノ名稱、位置、主タル營業所及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第四條ノ場合ニ於テハ所有者ノ氏名又ハ名稱ヲモ記載スヘシ

第十九條　登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ工場財團目錄及工場ノ關面ニ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ不動産登記法第八十一條ノ書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第三條ノ二　土地調査令ニ依ル調査ノ結果甲地カ乙地ニ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルニ因リ其ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙ニ現存スル登記ヲ移記スル場合ニ於テハ登記ノ目的及受附番號ノ同一ナル甲地ノ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ニ付同一ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第四條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果既登記ノ土地ト未登記ノ土地カ未登記又ハ未證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタル場合ニ於テハ合併ノ登記又ハ證明ヲ申請スルニハ土地所有者ハ先ツ未登記又ハ未證明ノ部分ニ付本令ニ於テハ申請書ニ土地ノ全部ニ對スル土地裏帳ノ謄本及既登記又ハ既證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタル旨ヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果土地ノ分合、面積ノ增減又ハ地目番號若ハ面積ノ單位ノ變更ヲ生シタルトキハ登記又ハ證明ノ名義人ハ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ申請書ニ第三條第一項ノ書面ヲ添附スヘシ

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ抹消ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者アルトキハ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第六條　登記官吏又ハ證明官吏第一條乃至第三條又ハ第五條ノ登記又ハ證明ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ其ノ抹消又ハ變更ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知スヘシ

第七條　既登記又ハ既證明ノ土地ニ付土地裏帳調製後初テ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地裏帳ノ謄本ヲ添附スヘシ

第八條　第二條乃至第五條ニ規定スル登記又ハ證明ニ付テハ登錄稅ヲ課セス第五條ノ規定ニ依リ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ニ付同一ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第九條　本令ハ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十條　本令ハ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十一條　本令ハ土地調査令ニ依ル査定又ハ裁決ヲ經テ確定シタル場合ニ於テ之ト牴觸スル登記又ハ證明アルトキハ土地所有者ハ其ノ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ申請書ニ牴觸ヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ添附スヘシ所有權以外ノ權利ニ關スル登記又ハ證明アルトキハ申請書ニ其ノ登記又ハ證明ノ名義人ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十二條　工場財團目錄及工場ノ關面ハ永久ニ之ヲ保存スヘシ

第十三條　工場抵當法第三條ノ場合ニ於テハ工場ノ土地又ハ建物カ同法第一條ノ工場ニ屬スルモノナルコトヲ證スルニ足ルヘキ書面ヲ提出スヘシ

第十四條　前條ノ場合ニ於テ土地又ハ建物ノ登記用紙中抵當區事欄ニ其ノ登記ヲ爲ストキハ工場抵當法第三條ニ依リテ目錄ノ提出アリタルコトヲ記載スヘシ

第十五條　第八條、第十五條、第十六條、第十九條及第二十二條ノ規定ハ工場抵當法第三條ノ目錄ニ之ヲ準用ス

第二十六條　鑛業抵當法ニ依ル鑛業財團ノ登記ニ付テハ後六條ニ規定スルモノヲ除クノ外本令中工場財團ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十七條　鑛業財團所有權保存ノ登記ヲ申請スルニハ鑛業抵當法第三條及工場抵當法第二十二條ニ掲ケタル書面ノ外工作物ノ配置ヲ記載シタル圖面ヲ提出スヘシ

前項ノ圖面ニハ申請人署名捺印スヘシ

第二十八條　鑛業財團目錄ニ掲ケヘキ鑛業權ニ付テハ鑛區ノ位置、鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權設定ノ年月日及其ノ登錄番號ヲ鑛業權ニ付期限アルモノニ付テハ其ノ期限ヲモ記載スヘシ

第二十九條　鑛業財團目錄ニ掲ケヘキ土地ノ使用權ニ付テハ土地所在ノ府、郡、島、廳、町、洞里、土地ノ番號、地目、段別又ハ坪數及用方ヲ記載スヘシ

第三十條　鑛業財團目錄ニ掲ケヘキ鑛業權ニ付テハ鑛區ニ關スル事項ノ要旨、通知ヲ爲シタル登記所ノ名稱、受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ但シ通知事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其ノ旨ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スヘシ

第三十一條　登記官吏カ鑛業財團登記簿ノ用紙中表示欄ニ鑛業財團ノ表示ヲ爲スニハ鑛區ノ位置、鑛物ノ名稱、鑛區ノ面積、鑛業權ノ種類、名稱、番號及原簿登記ノ年月日ヲ記載スヘシ

工業所有權ニ關スル實施權ニ付テハ實施權ノ範圍竝本權ノ種類、名稱、番號、原簿登記ノ年月日及其ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所ヲ記載スヘシ

第十四條　數箇ノ工場ニ付工場財團ヲ設ケル場合ニ於テハ各工場ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ

數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スル場合ニ於テハ各所有者ニ屬スルモノヲ區分シテ記載スヘシ

第十五條　工場財團目錄ヲ作成スルニハ美濃判大ノ紙料ヲ用ヰヘシ

第十六條　工場財團目錄ニハ其ノ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ但シ申請人カ多數ナルトキハ其ノ一人ノ契印ヲ以テ足ル

第十七條　工場ノ關面ニハ工場ニ屬スル土地及工作物ノ方位、形狀及間尺竝重要ナル附屬物ノ配置ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スヘシ

地主權ノ目的タル土地、賃借權ノ目的タル土地及工作物竝永小作權ニ付テハ各其ノ方位、形狀及間尺ヲ記載スヘシ

工場ノ一部ヲ以テ工場財團ヲ設ケル場合ニ於テハ財團ニ屬スル部分ト之ニ屬セサル部分トヲ區分スヘシ

第十八條　登記官吏カ工場抵當法第二十條第二項ニハ工場ノ名稱、位置、主タル營業所及營業ノ種類ヲ記載スヘシ

第四條ノ場合ニ於テハ所有者ノ氏名又ハ名稱ヲモ記載スヘシ

第十九條　登記官吏カ登記ヲ爲シタルトキハ工場財團目錄及工場ノ關面ニ申請書受附ノ年月日、受附番號及登記番號ヲ記載スヘシ

前項ノ登記ノ申請書ニハ不動産登記法第八十一條ノ書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第三條ノ二　土地調査令ニ依ル調査ノ結果甲地カ乙地ニ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルニ因リ其ノ登記ヲ爲ス場合ニ於テハ乙地ノ登記用紙ニ現存スル登記ヲ移記スル場合ニ於テハ登記ノ目的及受附番號ノ同一ナル甲地ノ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ニ付同一ノ登記アル旨ヲ附記スルヲ以テ足ル

第四條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果既登記ノ土地ト未登記ノ土地カ未登記又ハ未證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタル場合ニ於テハ合併ノ登記又ハ證明ヲ申請スルニハ土地所有者ハ先ツ未登記又ハ未證明ノ部分ニ付本令ニ於テハ申請書ニ土地ノ全部ニ對スル土地裏帳ノ謄本及既登記又ハ既證明ノ土地トヲ合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタル旨ヲ證スル第一項ノ保存ノ登記又ハ證明ニ付テハ未登記又ハ未證明ノ部分ニ對スル土地裏帳ノ謄本ヲ既登記又ハ既證明ノ土地ト合シテ一筆ノ土地ト爲リタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第五條　土地調査令ニ依ル調査ノ結果土地ノ分合、面積ノ增減又ハ地目番號若ハ面積ノ單位ノ變更ヲ生シタルトキハ登記又ハ證明ノ名義人ハ登記又ハ證明ノ抹消ヲ申請スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ申請書ニ第三條第一項ノ書面ヲ添附スヘシ

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ抹消ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者アルトキハ其ノ承諾書又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ申請書ニ添附スヘシ

第六條　登記官吏又ハ證明官吏第一條乃至第三條又ハ第五條ノ登記又ハ證明ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其旨ヲ其ノ抹消又ハ變更ニ付登記又ハ證明上利害ノ關係ヲ有スル者ニ通知スヘシ

第七條　既登記又ハ既證明ノ土地ニ付土地裏帳調製後初テ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ土地裏帳ノ謄本ヲ添附スヘシ

第八條　第二條乃至第五條ニ規定スル登記又ハ證明ニ付テハ登錄稅ヲ課セス第五條ノ規定ニ依リ登記又ハ證明ヲ其ノ用紙ニ移ストキハ移記又ハ轉寫ノ手續ヲ要セス其ノ用紙ニ甲地タリシ部分ニ付同一ノ登

附錄第二號

工場財團共同人名簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

地方法院長

登記番號	第　號											
表示番號	表題部（財團表示）		甲　區（所有權）				乙				區（抵當權）	
	順位番號	表示欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄		

●朝鮮漁業組合登記規則

第一條　漁業組合ノ登記ニ關シテハ朝鮮漁業法施行令及朝鮮漁業法施行規則ニ定ムルモノノ外本令ノ定ムル所ニ依リ漁業組合ノ地ノ地方法院ノ登記官吏之ヲ取扱フ

第二條　漁業組合ノ登記ハ組合ノ設立、變更、解散、合併及清算ノ結了ニ付之ヲ爲ス

第三條　漁業組合ノ設立ノ登記ハ組合ノ定款ヲ添附シ組合長ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第四條　漁業組合ノ變更ノ登記ハ變更ノ決議ヲ爲シタル總會ノ議事錄ヲ添附シ組合長ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第五條　漁業組合ノ解散ノ登記ハ解散ノ事由ヲ定メタル總會ノ議事錄ヲ添附シ清算人ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第六條　清算ノ結了ノ登記ハ清算ノ終了ヲ證スル總會ノ議事錄ヲ添附シ清算人ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第七條　組合ノ設立ノ登記ハ左ノ事項ヲ登記スヘシ

一　組合ノ名稱

二　事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ所在場所

三　組合ノ地區

四　組合員ノ住所及氏名又ハ名稱

五　組合員ノ出資ノ種類及其ノ口數ヲ定メタルトキハ其ノ口數

六　組合員ノ責任ヲ制限シタルトキハ其ノ制限ノ方法

七　組合ノ存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

八　組合ノ代表權ヲ有スル者ノ住所及氏名

第八條　組合ノ變更ノ登記ハ左ノ事項ヲ登記スヘシ

一　前條第一項第一號乃至第三號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更

二　前條第一項第四號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三　前條第一項第五號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日及變更後ノ口數

四　前條第一項第六號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日及變更後ノ制限ノ方法

五　前條第一項第七號ニ掲ケタル事項ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日及變更後ノ時期又ハ事由

六　組合ノ代表權ヲ有スル者ノ住所及氏名ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日及變更後ノ住所及氏名

第九條　組合ノ解散ノ登記ハ解散ノ事由及其ノ年月日ヲ登記スヘシ

第十條　清算ノ結了ノ登記ハ清算ノ終了ヲ證スル總會ノ議事錄ヲ添附シ清算人ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第十一條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第十二條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十三條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十四條　第八條第一項第四號乃至第六號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十五條　第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十六條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第十七條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第十八條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第十九條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第二十條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第二十一條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第二十二條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第二十三條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第二十四條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第二十五條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第二十六條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第二十七條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第二十八條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第二十九條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第三十條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第三十一條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第三十二條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第三十三條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第三十四條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第三十五條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第三十六條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第三十七條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第三十八條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第三十九條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第四十條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第四十一條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第四十二條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第四十三條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第四十四條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第四十五條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第四十六條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第四十七條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第四十八條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第四十九條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第五十條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第五十一條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第五十二條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第五十三條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第五十四條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第五十五條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第五十六條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第五十七條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第五十八條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第五十九條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第六十條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第六十一條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第六十二條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第六十三條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第六十四條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第六十五條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第六十六條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第六十七條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第六十八條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第六十九條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第七十條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第七十一條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第七十二條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第七十三條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第七十四條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第七十五條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第七十六條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第七十七條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第七十八條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第七十九條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第八十條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第八十一條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第八十二條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第八十三條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第八十四條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第八十五條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第八十六條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第八十七條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第八十八條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第八十九條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第九十條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第九十一條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第九十二條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第九十三條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第九十四條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第九十五條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第九十六條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第九十七條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第九十八條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第九十九條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百一條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百二條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百三條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百四條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百五條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百六條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百七條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百八條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百九條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百十條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百十一條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百十二條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百十三條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百十四條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百十五條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百十六條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百十七條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百十八條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百十九條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百二十條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百二十一條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百二十二條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百二十三條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百二十四條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百二十五條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百二十六條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百二十七條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百二十八條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百二十九條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百三十條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百三十一條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百三十二條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百三十三條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百三十四條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百三十五條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百三十六條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百三十七條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百三十八條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百三十九條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百四十條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百四十一條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百四十二條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百四十三條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百四十四條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百四十五條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百四十六條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百四十七條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百四十八條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百四十九條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百五十條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百五十一條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百五十二條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百五十三條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百五十四條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百五十五條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百五十六條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百五十七條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百五十八條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百五十九條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百六十條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百六十一條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百六十二條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百六十三條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百六十四條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百六十五條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百六十六條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百六十七條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百六十八條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百六十九條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百七十條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百七十一條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百七十二條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百七十三條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百七十四條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百七十五條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百七十六條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百七十七條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百七十八條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百七十九條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百八十條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百八十一條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百八十二條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百八十三條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百八十四條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百八十五條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百八十六條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百八十七條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百八十八條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百八十九條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百九十條　第七條第一項第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第八條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第七號ノ變更ノ登記ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル事項ニ付之ヲ爲スヘシ

第百九十一條　第七條第一項第四號、第八條第一項第四號及第八條第二項ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者ノ申請ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第百九十二條　第七條第一項第八號ノ登記ハ組合ノ代表權ヲ有スル者之ヲ爲スヘシ

第百九十三條　第七條第一項第一號乃

項、第百五十三條第二項ノ通知事項ノ要旨、通知ヲ受ケル者及通知ヲ發スル年月日ヲ記載スベシ

第十九條　自動車交通事業法第四十六條第三項第一號ノ規定ニ依ル通知書ニハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載スベシ

一　財團ノ表示

二　財團所有者ノ名稱及住所

三　抵當權者ノ氏名又ハ名稱及住所

四　債權額、辨濟期及利息

五　登記ノ年月日

自動車交通事業法第四十六條第三項第二號ノ規定ニ依ル通知書ニハ前項第一號及第二號ニ掲ゲル事項並ニ閉鎖ノ事由及其ノ年月日ヲ記載スベシ

第二十條　登記官吏ガ自動車交通事業法第四十七條第一項ニ於テ準用スル工場抵當法第二十三條第二項、第二十八條第二項、第三十四條第二項、第三十七條第二項、第四十三條、第四十四條第二項及第四十八條第二項ノ規定ニ依ル通知書ヲ受附ケタルトキハ不動產登記受附帳ニ通知事項ノ要旨、通知ヲ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載シ通知書ニ受附ノ年月日及受附番號ヲ記載スベシ

前項ノ通知事項ノ要旨ハ登記ノ目的欄ニ、通知ヲ發シタル登記所ノ名稱ハ申請人ノ氏名欄ニ之ヲ記載スベシ

第二十一條　自動車交通事業財團目錄ハ永久ニ之ヲ保存スベシ

附　則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄

自動車交通事業財團登記簿

何地方法院（何支廳又ハ何出張所）

紙數表紙ヲ除キ　枚

何地方法院長

表

登記番號	第　號

表示番號	題部（財團表示）	表示番號	表示欄	表示番號	表示欄	表示番號	表示欄

甲　區（所有權）

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

乙　區（抵當權）

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄

丁

●土地改良登記規則

昭和三年五月
總令第三十一號

土地改良登記規則左ノ通定ム

土地改良登記規則

第一條　朝鮮土地改良令（以下單ニ土地改良令ト稱ス）第二十九條ノ規定ニ依ル土地及建物ニ關スル登記ノ特例ニ付テハ本令ニ依ル

第二條　土地改良ニ依ル土地ニ關スル登記（以下單ニ土地ニ關スル登記ト稱ス）ハ土地改良施行地區內ノ從前ノ土地既登記（朝鮮土地改良令施行規則第七條ノ規定ニ依リ同令ニ依リタルモノト看做サレタル既登記ヲ含ム以下同ジ）ナルカ又ハ從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テ其ノ數箇ノ土地中ニ既登記ノモノアルトキ換地ニ付之ヲ爲ス土地改良施行後其ノ上ニ既登記ノ地役權存續スベキ換地ニ付亦同ジ

換地ノ交付ヲ爲サザルモ土地改良ニ因リ既登記ノ土地ノ表示ニ變更ヲ來シタルトキハ其ノ土地ニ付土地ニ關スル登記ヲ爲スコトヲ得

第三條　嘱託ニ因ル登記ノ手續ニ付テハ申請ニ因ル登記ニ關スル規定ヲ準用ス

第四條　土地ニ關スル登記ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ土地改良施行者又ハ其ノ代理人之ニ署名捺印スベシ

一　從前ノ土地及換地ノ表示並換地ノ交付ヲ受ケタル者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱及主タル事務所ノ所在地以下同ジ）又ハ變更前ノ土地及變更後ノ土地ノ表示並土地所有者ノ氏名及住所

二　土地改良ニ因リテ登記ヲ申請スル旨

三　登記所ノ表示

四　年月日

第五條　第二條第二項ノ規定ニ依リ土地ノ表示ノ變更ノ登記ヲ申請スル場合ニ於テハ登記ノ申請書ニ不動產登記法第八十一條ノ書面ヲ添附スルコトヲ要セズ

前項ノ場合ニ於テ土地改良施行地區ノ全部ニ付同一ノ申請書ヲ以テ之ヲ爲スベシ但シ規約ヲ以テ土地改良施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ其ノ各區毎ニ之ヲ爲スベシ

前條ノ規定ハ換地ニ付權利ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ必要トスルトキ其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ土地改良施行地區內ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請ヲ爲スコトヲ妨ゲズ前項ノ規定ニ依リ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ

十五條ノ規定ニ依ル通知アリタルトキハ登記ノ申請書ニ不動產登記法第八十條ノ書面ヲ添附スルコトヲ要セズ

第六條　換地ノ上ニ既登記ノ地役權存續スル場合ニ於テハ申請書ニ第四條ニ掲ゲル事項ノ外左ニ掲ゲル事項ヲ記載シ何地役權換地ノ一部ニ付存スルトキハ其ノ部分ヲ表示シタル圖面ヲ添附スベシ

一　土地改良施行前ニ於ケル換地ノ表示

二　土地改良施行前ニ於ケル換地ノ所有者ノ氏名及住所

三　地役權換地ノ一部ニ付存スルトキハ其ノ部分及符號

第七條　前條ノ規定ニ依リ登記ノ申請書ニ添附スベキ圖面ニハ方位、換地ノ所在ノ府、郡、島、面、町、洞里及土地ノ番號並地役權ノ存スル換地ノ部分ノ坪數及其ノ部分ノ符號ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印スベシ

第八條　從前ノ土地ノ全部又ハ一部ニ付既登記ノ所有權以外ノ權利又ハ處分ノ制限アルトキハ申請書ニ其ノ權利又ハ處分ノ制限ノ目的タル土地又ハ其ノ部分ヲ指定シテ交付シタル換地ノ部分及其ノ部分ノ符號ヲ記載スベシ

第九條　從前ノ土地ニ對シ換地ヲ交付セザル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スベシ

第十條　從前ノ土地數箇ニ對シ一箇ノ換地ヲ交付シタル場合ニ於テハ方位、從前ノ土地ノ番號並ニ其ノ部分ノ坪數及符號ヲ記載スベシ

第十一條　第二條第一項ノ登記ノ申請ハ土地改良施行地區ノ全部ニ付同一ノ申請書ヲ以テ之ヲ爲スベシ但シ規約ヲ以テ土地改良施行地區ヲ數區ニ分チタル場合ニ於テハ其ノ各區毎ニ之ヲ爲スベシ

前條ノ規定ハ換地ニ付權利ノ設定又ハ移轉ノ登記ヲ必要トスルトキ其ノ他特別ノ事由アル場合ニ於テ土地改良施行地區內ノ一部ノ土地ニ付登記ノ申請ヲ爲スコトヲ妨ゲズ前項ノ規定ニ依リ登記ノ申請ヲ爲ス場合ニ

第
登記ハ登記官吏カ登記簿ニ登記事項ヲ記載スルニ因リテ其効力ヲ生ス
登記官吏ハ登記ヲ為スニ付キ故意又ハ過失ニ因リ法令ニ違背シタルトキハ其ノ者ニ対シ損害賠償ノ責ニ任

ノ場合亦同シ

第三十三條　本籍ヲ定メントスル者ハ其ノ地ノ戸長ニ屆出ツヘシ

第三十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第三十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第三十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第三十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第三十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第三十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第四十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第五十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第六十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第七十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第八十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第九十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百二十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百三十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百四十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百五十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百六十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百六十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百六十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百六十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第百六十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ本人ノ申出ニ因リ又ハ戸籍ノ訂正ヲ爲ス場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ戸長ハ本人ニ對シ證書ノ提出ヲ求ム

歟ナラシムル爲必要ナルモノハ之ヲ記載スヘシ

第四十四條　第十八條第一項及第三項ノ規定ハ届書ニ付之ヲ準用ス

第四十五條　二以上ノ府縣又ハ兩事務所ニ於テ戸籍ノ編製ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ府縣又ハ兩事務所ノ數ト同數ノ届書ヲ提出スヘシ

本籍地外ニ於テ届出ヲ爲ストキハ前項ノ規定ニ依ルモノノ外尚一通ノ届書ヲ提出スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ相當ト認ムルトキハ府尹又ハ兩長ハ届書ノ謄本ヲ作リ之ヲ以テ届書ニ代フルコトヲ得

第四十六條　戸頭ヲ以テ届出ヲ爲スニハ届出人ノ府縣又ハ兩事務所ニ出頭シ届書ニ記載スヘキ事項ヲ陳述スヘシ

府尹又ハ兩長ハ届出人ノ陳述ヲ筆記シ届出ノ年月日ヲ記載シテ届出人ニ讀聞カセ且届出人ヲシテ其ノ書面ニ署名、捺印セシムヘシ

第四十七條　届出事件ニ付戸主、父母、後見人、親族會其ノ他ノ者ノ同意又ハ承諾ヲ要スル場合ニ於テハ届書ニ其ノ同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ但シ同意又ハ承諾ヲ爲シタル者ヲシテ届書ニ其ノ旨ヲ附記シ署名、捺印セシムルヲ以テ足ル

第四十八條　届書ニ關スル規定ハ第四十六條第二項及前條第一項ノ書面ニ付之ヲ準用ス

第四十九條　外國ニ在ル朝鮮人カ其ノ國ニ駐在スル日本人ノ大使、公使又ハ領事ニ本令ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ府尹又ハ兩長ニ届出ヲ爲スコトヲ得

第五十條　外國ニ在ル朝鮮人ハ其ノ國ノ方式ニ從ヒ届出事件ニ關スル證書ヲ作ラシメタルトキハ一月内ニ其ノ國ニ駐在スル日本ノ大使、公使又ハ領事ヲシテ其ノ證書ニ本令ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シタルトキハ府尹又ハ兩長ニ届出ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　届出期間ハ届出事件發生ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第五十二條　府尹又ハ兩長カ届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタルトキハ相當ノ期間ヲ定メ届出義務者ニ對シ其ノ期間内ニ届出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ

届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ府尹又ハ兩長ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スコトヲ得

第二十八條第二項ノ規定ハ前二項ノ催告ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　府尹又ハ兩長カ届出ヲ受理シタル場合ニ於テ届書ニ欠缺アル爲戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサルトキハ届出義務者ヲシテ其ノ過完ヲ爲サシムヘシ此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第五十四條　届出期間經過後ノ届出ト雖府尹又ハ兩長ハ之ヲ受理スヘシ

第五十五條　届出人ノ届出ノ受理又ハ不受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得但シ受理ノ證明書ヲ請求スル場合ニ於テハ手數料ヲ納付スヘシ

手數料ニ關スル事項ハ府縣又ハ兩事務所ノ定ムル所ニ依ル

第五十六條　届出人其ノ他ノ者カ署名、捺印スヘキ場合ニ於テハ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルトキハ姓名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル署名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル前項ノ場合ニ於テハ書面ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第五十七條　出生ノ届出ハ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

第二節　出生

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　子カ私生子又ハ庶子ナルトキハ其ノ旨

二　子カ私生子又ハ庶子ナルトキハ父ノ氏名、本籍及男女ノ別

三　出生ノ年月日時及場所

四　父母ノ氏名、本籍及職業

五　子カ入ルヘキ家ノ戸主ノ姓名及本籍

六　子カ一家ヲ創立スルトキハ其ノ旨竝創立ノ原因及場所

第五十八條　出生ノ届出ハ出生地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第五十九條　汽車又ハ航海日誌ノ備ヘサル船舶中ニテ出生アリタル場合ニ於テハ到著地ニ於テ届出ヲ爲スコトヲ得

第六十條　嫡出子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ父カ届出ヲ爲シ能ハサル場合ニ於テハ母之ヲ爲スヘシ

庶子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ私生子出生ノ届出ハ母之ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スヘキ者カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ左ニ掲ケル者ハ其ノ順序ニ從ヒ届出ヲ爲スヘシ

一　戸主

二　同居者

三　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

四　分娩ヲ介抱シタル者

第六十一條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキハ嫡出生ノ届出ヲ爲スヘシ

第六十二條　航海中ニ出生アリタルトキハ船長ハ二十四時内ニ第五十七條第二項ニ掲ケル事項ヲ航海日誌ニ記載シテ署名、捺印ス

第五十六條　届出人其ノ他ノ者カ署名、捺印スヘキ場合ニ於テハ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルトキハ姓名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル署名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル前項ノ場合ニ於テハ書面ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第二節　出生

第五十七條　出生ノ届出ハ十四日内ニ之ヲ爲スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　子カ私生子又ハ庶子ナルトキハ其ノ旨

二　子カ私生子又ハ庶子ナルトキハ父ノ氏名、本籍及男女ノ別

三　出生ノ年月日時及場所

四　父母ノ氏名、本籍及職業

五　子カ入ルヘキ家ノ戸主ノ姓名及本籍

六　子カ一家ヲ創立スルトキハ其ノ旨竝創立ノ原因及場所

第五十八條　出生ノ届出ハ出生地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第五十九條　汽車又ハ航海日誌ノ備ヘサル船舶中ニテ出生アリタル場合ニ於テハ到著地ニ於テ届出ヲ爲スコトヲ得

第六十條　嫡出子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ父カ届出ヲ爲シ能ハサル場合ニ於テハ母之ヲ爲スヘシ

庶子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ私生子出生ノ届出ハ母之ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スヘキ者カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ左ニ掲ケル者ハ其ノ順序ニ從ヒ届出ヲ爲スヘシ

一　戸主

二　同居者

三　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

四　分娩ヲ介抱シタル者

第六十一條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキハ嫡出生ノ届出ヲ爲スヘシ

第六十二條　航海中ニ出生アリタルトキハ船長ハ二十四時内ニ第五十七條第二項ニ掲ケル事項ヲ航海日誌ニ記載シテ署名、捺印ス

三　届出人ノ出生ノ年月日及本籍

届出事件ニ因リ届出事件ノ本人ニ隨ヒテ家ヲ去リ、他家ニ入リ其ノ他身分ニ變更ヲ生スル者アル場合ニ於テハ届書ニ其ノ者ノ姓名、出生ノ年月日及本籍竝身分變更ノ事由ヲ記載スヘシ

第三十七條　届出人ト届出事件ノ本人ト異ルトキハ届書ニ其ノ續柄ヲ記載スヘシ

届出人カ家族ナルトキハ届書ニ戸主ノ姓名及届出人ト戸主トノ續柄ヲ記載スヘシ

第三十八條　届出ヲ爲スヘキ者カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ親權ヲ行フ者又ハ後見人ヲ以テ届出義務者トシ出生、死亡其ノ他單純ノ事實ニ關スル届出ハ未成年者又ハ禁治産者亦之ヲ爲スコトヲ得

親權ヲ行フ者又ハ後見人カ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　届出ヲ爲スヘキ者ノ姓名、出生ノ年月日及本籍

二　無能力ノ原因

三　届出人カ親權ヲ行フ者又ハ後見人ナルコト

第三十九條　無能力者カ其ノ法定代理人ノ同意ヲ得スシテ爲スコトヲ得ヘキ行爲ニ付テハ無能力者之ヲ届出ヲ爲スヘシ

第六十三條　病院、監獄其ノ他ノ公設所ニ於テ出生アリタル場合ニ於テ父母共ニ届出ヲ爲スコト能ハサルトキハ公設所ノ長又ハ管理人届出ヲ爲スヘシ

第六十四條　出生ノ届出前ニ子カ死亡シタルトキハ死亡ノ届出ト共ニ出生ノ届出ヲ爲スヘシ

第六十五條　棄兒ヲ發見シタル者又ハ棄兒發見ノ申告ヲ受ケタル警察官ハ二十四時内ニ其ノ旨ヲ府尹又ハ兩長ニ申出ツヘシ

前項ノ申出アリタルトキハ府尹又ハ兩長ハ姓名ヲ命シ本籍ヲ定メ且附屬品發見ノ場所、年月日時其ノ他ノ狀況及姓名、男女ノ別、出生ノ推定年月日竝本籍ヲ調書ニ記載スヘシ其ノ調書ハ之ヲ戸籍ニ附ス

第六十六條　父又ハ母カ棄兒ヲ引取ルトキハ一月内ニ第五十七條第二項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲シ且戸籍ノ訂正ヲ申請スヘシ

第六十七條　第六十五條第一項又ハ前條ノ手續ヲ爲ス前ニ棄兒カ死亡シタルトキハ死亡ノ届出ト共ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第三節　認知

第六十八條　私生子認知ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　子ノ姓名、男女ノ別、出生ノ年月日及本籍

二　死亡シタル子ヲ認知スル場合ニ於テハ死亡ノ年月日

三　父カ認知ヲ爲ス場合ニ於テハ母ノ姓名及本籍竝父ノ職業

四　子カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名、本籍及戸主ト子トノ續柄

第六十九條　胎内ニ在ル子ヲ認知スル場合ニ於テハ届書ニ其ノ旨、母ノ姓名及本籍ヲ記載シ認知者ノ本籍地ニ於テ之ヲ届出ツヘシ

第七十條　父カ庶子出生ノ届出ヲ爲シタルトキハ其ノ届出ハ認知届出ノ效力ヲ有ス民法第八百三十六條第二項ノ規定ニ依リ嫡出子タル身分ヲ取得シタル子カ戸籍ニ入ラサルトキハ前項ノ届出ヲ爲シタル者ハ同時ニ其ノ子ノ入ルヘキ戸籍ヲ定メ又ハ新ニ一家ヲ創立スヘキ旨ヲ届出ツヘシ

第七十一條　認知ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第六十八條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スヘシ其ノ届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スヘシ

第七十二條　遺言ニ依ル認知ノ場合ニ於テハ遺言執行者ハ其ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ認知ニ關スル遺言ノ謄本又ハ遺言ノ抄本ヲ添附シ第六十八條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スヘシ其ノ届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スヘシ

第七十三條　認知セラレタル胎兒カ死體ニテ生レタルトキハ出生届出義務者カ其ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十四日内ニ認知ノ届出ヲ爲スヘシ但シ遺言執行者カ前條ノ届出ヲ爲シタル場合ニ於テハ遺言執行者カ其ノ届出ヲ爲スヘシ

第七十四條　第四十六條第三項ノ規定ハ第六十八條及第六十九條ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第四節　養子緣組

第七十五條　緣組ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當事者ノ姓名、本貫、出生ノ年月日、本籍及職業

二　養子ノ實父母ノ姓名及本籍

三　當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名、本籍及戸主ト子トノ續柄

四　新ニ家ヲ立テタル者カ養子ナルトキハ其ノ旨

前項ノ届出ハ當事者雙方及成年ノ證人二人以上ヨリ之ヲ爲スヘシ

第七十六條　父母カ他ノ者カ養子ト爲ルヘキ者ニ代リテ緣組ノ意思ヲ表示シタル場合ニ於テハ届出ハ其ノ意思表示ヲ爲シタル者又ハ養子ノ選定ヲ爲シタル者之ヲ爲スヘシ

第七十七條　遺言ニ依ル緣組ニ付テハ遺言執行者及養子ト爲ルヘキ者ハ遺言效力ヲ生シタル後遅滯ナク緣組ノ届出ヲ爲シ前項ノ手續ヲ爲シタル後船舶ノ朝鮮ノ港ニ著シタルトキハ船長ハ遅滯ナク出生ニ關スル航海日誌ノ謄本ヲ其ノ地ノ府尹又ハ兩長ニ發送スヘシ

第七十八條　緣組ノ届出ハ養親ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第七十九條　第四十六條第三項ノ規定ハ緣組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第五節　養子離緣

第八十條　離緣ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當事者ノ姓名、本貫、本籍及職業

二　養子ノ實父母ノ姓名及本籍

三　當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名及本籍

四　養子ノ復籍スヘキ家ノ戸主ノ姓名及本籍

五　養子カ一家ヲ創立スルトキハ其ノ旨竝創立ノ原因及場所但シ實家ヲ再興スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十一條　父母共ノ他ノ者カ養子ニ代リテ離緣ノ協議ヲ爲シタル場合ニ於テハ届出ハ其ノ協議ヲ爲シタル者之ヲ爲スヘシ養親カ死亡シタル後離緣ヲ爲ス場合ニ於ケル届出ニ付亦同シ

第八十二條　離緣ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第八十條第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ爲スヘシ其ノ届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スヘシ

第八十三條　第四十六條第三項ノ規定ハ第八十條ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第八十四條　婚姻ノ届出ハ婚姻ノ日ヨリ一月内ニ之ヲ爲スヘシ

第六節　婚姻

第九十八條　死亡ノ届出ハ届出義務者カ死亡ノ事実ヲ知リタル日ヨリ七日内ニ診断書若ハ検案書又ハ検視調書ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ爲スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　死亡者ノ姓名、本籍及職業

二　死亡ノ年月日時及場所

三　死亡者カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名及戸主ト死亡者ノ續柄

第九十九條　左ニ掲ケル者ハ其ノ順序ニ從ヒ死亡ノ届出ヲ爲スヘシ但シ順序ニ拘ラス届出ヲ爲スコトヲ得

一　戸主

二　同居者

三　家主、地主又ハ家屋若ハ土地ノ管理人

第百條　死亡ノ届出ハ死亡地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第百一條　水難、火災其ノ他ノ事變ニ因リ死亡シタル者アル場合ニ於テハ其ノ取調ヲ爲シタル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ戸籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スヘシ

第百二條　死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遅滞ナク監獄所在地ノ戸籍吏ニ死亡ノ報告ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ハ在監中死亡シタル者ノ引取人ナキ場合ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ報告書ニ診断書又ハ検案書ヲ添附スヘシ

第百三條　前二條ノ報告書ニハ第九十八條第二項ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

第百四條　死亡者ノ本籍分明ナラス又ハ死亡者ヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ検視調書ヲ作リ之ヲ添附シテ遅滞ナク死亡地ノ戸籍吏又ハ面長ニ死亡ノ報告ヲ爲スヘシ

死亡者ノ本籍地分明ナルニ至リ又ハ死亡者ヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ遅滞ナク其ノ旨ヲ報告スヘシ

第一項ノ報告アリタル後第九十九條第一號及第二號ニ掲ケル者カ死亡者ヲ認識シタルトキハ十日内ニ死亡ノ届出ヲ爲スヘシ

第百五條　第五十九條、第六十二條及第六十三條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ付之ヲ準用ス

第百六條　失踪宣告取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其ノ旨ヲ届出ツヘシ其ノ届書ニハ裁判確定ノ日ヲ記載スヘシ

第百七條　後見開始ノ届出ハ後見人其ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　後見人及被後見人ノ姓名、出生ノ年月日及本籍

二　被後見人カ家族ナルトキハ戸主ノ姓名及本籍

三　後見開始ノ原因及年月日

四　後見人ノ就職ノ年月日

第百八條　後見人更迭ノ場合ニ於テハ後任者ハ就職ノ日ヨリ十日内ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百九條　遺言ニ依ル後見人指定ノ場合ニ於テハ指定ニ關スル遺言ノ謄本又ハ遺言アリタルコトヲ證スル書面ヲ届書ニ添附スヘシ

後見人選任ノ場合ニ於テハ選任ヲ證スル書面ヲ届書ニ添附スヘシ

第百十條　後見終了ノ届出ハ後見人ノ十日内ニ之ヲ爲スヘシ

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　被後見人ノ姓名及本籍

二　後見終了ノ原因及年月日

第百十一條　前二條ノ届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ後見人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ

第百十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ保佐人ニ付之ヲ準用ス

第百十三條　保佐人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外保佐人ニ付之ヲ準用ス

第百十四條　保佐人ノ代理スル行爲カ利益相反スル場合ニ於テハ保佐人ハ臨時保佐人ノ選任ヲ家庭裁判所ニ請求スヘシ

第百十五條　後見人ノ代理スル行爲カ利益相反スル場合ニ於テハ後見人ハ臨時後見人ノ選任ヲ家庭裁判所ニ請求スヘシ

第百十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百十七條　後見人ノ代理スル行爲カ利益相反スル場合ニ於テハ後見人ハ臨時後見人ノ選任ヲ家庭裁判所ニ請求スヘシ

第百十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百二十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百三十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百四十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百五十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百六十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百七十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百八十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第百九十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百二十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百三十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百四十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百五十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百六十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百七十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百八十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第二百九十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十五條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十六條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十七條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十八條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百十九條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百二十條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百二十一條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百二十二條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル事項ノ外後見人ニ付之ヲ準用ス

第三百二十三條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ第九百四十八條第二項ニ掲ケル

第四百九十六條　戸主ノ変更ハ届出ニ因リテ其効力ヲ生ス

第四百九十七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ左ノ場合ニ限リ之ヲ以テ戸籍ニ記載スルコトヲ得

一　戸主ノ死亡又ハ失踪ノ宣告ニ因リ相続ノ開始シタルトキ

二　戸主ノ国籍ヲ失ヒタルトキ

三　戸主ノ入夫婚姻又ハ入夫縁組ニ因リ其ノ氏ヲ変スルトキ

四　戸主ノ婚姻又ハ縁組ニ因リ配偶者ヲ其ノ家ニ入ルルトキ

五　戸主ノ離縁又ハ婚姻ノ取消ニ因リ其ノ家ヲ去ルトキ

六　戸主ノ隠居ニ因リ其ノ家ヲ去ルトキ

七　戸主ノ分家ニ因リ其ノ家ヲ去ルトキ

第四百九十八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタルトキハ相続人ハ其ノ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為スコトヲ要ス

第四百九十九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ相続ノ承認又ハ放棄ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ相続ノ承認又ハ放棄ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十四條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十五條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十六條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百十九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十四條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十五條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十六條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百二十九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十四條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十五條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十六條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百三十九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十四條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十五條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十六條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百四十九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十四條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十五條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十六條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百五十九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十四條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十五條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十六條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百六十九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十四條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十五條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十六條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百七十九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十四條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十五條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十六條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十七條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十八條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百八十九條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百九十條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百九十一條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百九十二條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又ハ失踪ノ宣告ヲ受ケタル場合ニ於テ相続ノ開始ヲ知リタル時ヨリ一箇月内ニ届出ヲ為サスシテ単純ノ承認ヲ為シタルトキハ其ノ相続ニ付戸主ノ変更ノ効力ヲ生ス

第五百九十三條　戸主ノ変更ハ届出ノ受理前ト雖モ戸主カ死亡シ又

ハ其遡及又ハ爰付ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第六十四條　市町村長カ届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタルトキハ相當ノ期間ヲ定メ届出義務者ニ對シ其期間内ニ届出ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス

届出義務者カ前項ノ期間内ニ届出ヲ爲ササルトキハ市町村長ハ更ニ相當ノ期間ヲ定メテ催告ヲ爲スコトヲ得

第三十九條第二項ノ規定ハ前二項ノ催告ヲ爲スコト能ハサル場合及ヒ催告ヲ爲スモ届出ヲ爲ササル場合ニ、同條第三項ノ規定ハ裁判所其他ノ官廳、檢事又ハ吏員カ届出ヲ怠リタル者アルコトヲ知リタル場合ニ之ヲ準用ス

第六十五條　市町村長カ届出ヲ受理シタル場合ニ於テ届書ニ欠缺アル爲メ戸籍ノ記載ヲ爲スコト能ハサルトキハ届出義務者ヲシテ其追完ヲ爲サシムルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第六十六條　届出期間經過後ノ届出ト雖モ市町村長ハ之ヲ受理スルコトヲ要ス

第六十七條　届出人ハ届出ノ受理又ハ不受理ノ證明書ヲ請求スルコトヲ得但受理ノ證明書ヲ請求スル場合ニ於テハ手數料ヲ納付スルコトヲ要ス

利害關係人ハ手數料ヲ納付シテ第三十六條ノ書類ノ閲覽ヲ請求シ又ハ其書類ニ記載シタル事項ニ付キ證明書ヲ請求スルコトヲ得

第十四條第二項ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

利害關係人ハ特別ノ理由アル場合ニ限リ第三十七條ノ書類ノ閲覽ヲ請求スルコトヲ得

第六十八條　届出人其他ノ者カ署名、捺印スヘキ場合ニ於テ印ヲ有セサルトキハ署名スルヲ以テ足ル署名スルコト能ハサルトキハ氏名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル署名スル且印ヲ有セサルトキハ氏名ヲ代署セシメ捺印スルヲ以テ足ル

前項ノ場合ニ於テハ書面ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十九條　届出ノ届出ハ十四日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第一節　戸主

第二節　同居者

第三節　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四節　分娩ヲ介抱シタル者

第七十三條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキト雖モ出生ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條　民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ第六十九條第二項ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一節　戸主

届出ハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　子ノ氏名及ヒ男女ノ別

二　子カ私生子又ハ庶子ナルトキハ其旨

三　出生ノ年月日時及ヒ場所

四　父母ノ氏名、本籍及ヒ職業

五　子ノ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

六　子カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因並ニ場所

七　日本ノ國籍ヲ有セサル者ノ子ナルトキハ其旨

第七十條　出生ノ届出ハ出生地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　汽車又ハ航海日誌ヲ備ヘサル船舶中ニ於テ出生アリタル場合ニ於テハ到著地ニ於テ届出ヲ爲スコトヲ得

第七十二條　嫡出子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ父カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合又ハ民法第七百三十四條第一項、第二項但書ノ場合ニ於テハ母之ヲ爲スコトヲ要ス

庶子出生ノ届出ハ父之ヲ爲シ私生子出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス

前二項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スヘキ者カ届出ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ左ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一　同居者

第二　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第三　分娩ヲ介抱シタル者

第四　届出義務者ニ非サレハ届出ヲ爲スコトヲ得

第七十三條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキハ其判決確定ノ日ヨリ十日内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條　民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ第六十九條第二項ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一節　戸主

第二節　同居者

第三節　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四節　分娩ヲ介抱シタル者

第七十三條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキハ其判決確定ノ日ヨリ十日内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條　民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ第六十九條第二項ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一節　戸主

第二節　同居者

第三節　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四節　分娩ヲ介抱シタル者

第七十三條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキハ其判決確定ノ日ヨリ十日内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條　民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ第六十九條第二項ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一節　戸主

第二節　同居者

第三節　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四節　分娩ヲ介抱シタル者

第七十三條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキハ其判決確定ノ日ヨリ十日内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條　民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ第六十九條第二項ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一節　戸主

第二節　同居者

第三節　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四節　分娩ヲ介抱シタル者

第七十三條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキハ其判決確定ノ日ヨリ十日内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條　民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ第六十九條第二項ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一節　戸主

第二節　同居者

第三節　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四節　分娩ヲ介抱シタル者

第七十三條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキハ其判決確定ノ日ヨリ十日内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條　民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ第六十九條第二項ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第一節　戸主

第二節　同居者

第三節　分娩ニ立會ヒタル醫師又ハ産婆

第四節　分娩ヲ介抱シタル者

第七十三條　嫡出子否認ノ訴ヲ提起シタルトキハ其判決確定ノ日ヨリ十日内ニ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第七十四條　民法第八百二十一條ノ規定ニ依リ裁判所カ父ヲ定ムヘキトキハ出生ノ届出ハ母之ヲ爲スコトヲ要ス此場合ニ於テハ届書ニ父ノ未定ナル事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第七十二條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　航海中ニ出生アリタルトキハ艦長又ハ船長ハ二十四時内ニ第六十九條第二項ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ届出ヲ爲スコトヲ要ス

家ノ戸主、前養親ノ氏名及ヒ本籍ヲ記載スルコトヲ要ス

第八十九條　配偶者ノ一方カ雙方ノ名義ヲ以テ縁組ヲ爲ス場合ニ於テハ届書ニ其事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第九十條　民法第八百四十三條ノ規定ニ依リテ縁組ノ氷消ヲ爲シタル場合ニ於テハ届出ハ其氷消ヲ爲シタル者之ヲ爲スコトヲ得

第九十一條　民法第八百四十八條ノ規定ニ依リ縁組ノ届出ヲ爲ストキハ縁組ニ關スル遺言ノ謄本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第九十二條　縁組ノ届出ハ養親ノ本籍地又ハ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十三條　縁組取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者ノ氏名及ヒ本籍

二　養子ノ實父母ノ氏名及ヒ本籍

三　養子ノ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

四　養子カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因並ニ場所但實家ヲ廢スルトキハ其旨及ヒ再興ノ場所

五　裁判確定ノ日

第九十四條　第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第五節　養子離縁

第九十五條　離縁ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者ノ氏名、本籍及ヒ職業

二　養子ノ實父母ノ氏名及ヒ本籍

三　當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

四　養子カ一家ヲ創立スルトキハ其旨及ヒ創立ノ原因並ニ場所但實家ヲ廢スルトキハ其旨及ヒ再興ノ場所

五　裁判確定ノ日

第九十六條　第五十七條第三項ノ規定ハ縁組ノ届出ニハ之ヲ適用セス

第六節　親權及ヒ後見

第九十七條　後見開始ノ原因及ヒ年月日

二　後見人就職ノ年月日

三　後見人ノ氏名、本籍及ヒ職業

四　後見人カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

五　後見人ノ住所

第九十八條　後見開始ノ届出ハ後見人ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍

二　後見人カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

第九十九條　後見開始ノ届出ハ後見人ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百條　後見人ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス此場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第百一條　遺言ニ依ル後見人ノ指定ノ場合ニ於テハ指定ニ關スル遺言ノ謄本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第百二條　後見人ノ變更ノ場合ニ於テハ後任者ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百三條　後見人ノ辭任ノ場合ニ於テハ後任者ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百四條　離縁ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　當事者ノ氏名、本籍及ヒ職業

二　養子ノ實父母ノ氏名及ヒ本籍

三　當事者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ本籍

四　後見開始ノ原因及ヒ年月日

五　後見人ノ住所

第百五條　後見人ノ變更ノ場合ニ於テハ後任者ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百六條　後見人ノ辭任ノ場合ニ於テハ後任者ノ就職ノ日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百七條　後見人ノ變更又ハ辭任ノ場合ニ於テハ後見監督人ノ代理ニ關スル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百八條　後見人ノ變更又ハ辭任ノ届出ハ後見監督人ノ代理ニ關スル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百九條　後見終了ノ届出ハ後見人ノ氏名、本籍及ヒ職業

二　後見終了ノ原因及ヒ年月日

第百十條　後見終了ノ届出ハ後見人ノ本籍地又ハ後見人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十一條　後見終了ノ届出ハ後見人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十二條　後見終了ノ届出ハ後見人ニ關スル本節ノ規定ニ依ル後見人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十三條　前四條ノ届出ハ被後見人ノ本籍地又ハ後見人ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第百十四條　後見人ニ關スル本節ノ規定ハ保佐人ニ之ヲ準用ス

第九節　隠居

第百十五條　隠居ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　隠居者ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍

二　家督相續人ノ氏名、出生ノ年月日及ヒ本籍及ヒ家督相續人ト隠居者トノ續柄

三　隠居ノ原因

第十節　死亡及ヒ失踪

第百十六條　死亡ノ届出ハ届出義務者カ死亡ノ事實ヲ知リタル日ヨリ七日内ニ診斷書若クハ檢案書又ハ檢視調書ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　死亡者ノ氏名、本籍及ヒ職業

二　死亡ノ年月日時及ヒ場所

三　死亡者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ戸主ト死亡者トノ續柄

第百十七條　左ニ揭ケタル者ハ其順序ニ從ヒ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス但順序ニ拘ハラス届出ヲ爲スコトヲ得

第一　同居者

第二　家主、地主又ハ家屋若クハ土地ノ管理人

第三　家主、地主又ハ家屋若クハ土地ノ管理人

第百十八條　死亡ノ届出ハ死亡地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第百十九條　水難、火災其他ノ事變ニ因リ死亡シタル者アル場合ニ於テハ其取調ヲ爲シ

タル官廳又ハ公署ハ死亡者ノ本籍地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十條　死刑ノ執行アリタルトキハ監獄ノ長ハ遲滯ナク監獄所在地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ在監中死亡シタル者ノ引取人ナキ場合ニ之ヲ準用ス此場合ニ於テハ報告書ニ診斷書又ハ檢案書ヲ添附スルコトヲ要ス

第百二十一條　前二條ノ報告書ニハ第百十六條第二項ニ揭ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第百二十二條　死亡者ノ本籍分明ナラス又ハ死亡者ヲ認識スルコト能ハサル場合ニ於テハ警察官ハ檢視書ヲ作リ之ヲ添附シテ遲滯ナク死亡地ノ市町村長ニ死亡ノ報告ヲ爲スコトヲ要ス

死亡者ノ本籍分明ナルニ至リ又ハ死亡者ヲ認識スルコトヲ得ルニ至リタルトキハ警察官ハ遲滯ナク其旨ヲ報告スルコトヲ要ス

第一項ノ報告アリタル後第百十七條第一號及ヒ第二號ニ揭ケタル者カ死亡者ヲ認識シタルトキハ十日内ニ死亡ノ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十三條　第七十一條、第七十五條及ヒ第七十六條ノ規定ハ死亡ノ届出ニ之ヲ準用ス

第百二十四條　失踪宣告ノ届出ハ其宣告ヲ請求シタル者裁判ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

一　失踪者ノ氏名及ヒ本籍

二　民法第三十條ニ定メタル期間滿了ノ日

三　失踪者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名及ヒ戸主ト失踪者トノ續柄

第百二十五條　家督相續ノ届出ハ戸主ト爲リタル者相續人ノ事實ヲ知リタル日ヨリ一个月内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但相續人カ其以前ニ家督相續人ト爲リタルトキハ此限ニ在ラス

一　家督相續人カ胎兒ナルコト

二　前戸主ノ氏名及ヒ前戸主ト家督相續人トノ續柄

三　前戸主カ其家族タリシ者ノ復籍ヲ拒マントスルトキハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一　復籍ヲ拒マルヘキ者ノ氏名及ヒ本籍

二　復籍ヲ拒マルヘキ者カ家族ナルトキハ戸主ノ氏名

三　復籍拒絕ノ原因

第百二十六條　家督相續回復ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ一个月内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第百二十五條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第百三十條　第百二十五條及ヒ前三條ノ届出ハ被相續人ノ本籍地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十二節　推定家督相續人ノ廢除

第百三十一條　推定家督相續人カ廢除ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ第百二十五條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スコトヲ要ス

第百三十二條　廢除取消ノ裁判カ確定シタルトキハ訴ヲ提起シタル者ハ裁判確定ノ日ヨリ十日内ニ裁判ノ謄本ヲ添附シ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百三十三條　家督相續人ノ指定ハ戸主カ左ノ事項ヲ記載シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

一　指定ヲ受ケタル者ノ氏名及ヒ本籍

二　指定ノ事由

第百三十四條　家督相續人指定ノ届書ニハ指定ヲ受ケタル者ノ承諾書ヲ添附スルコトヲ要ス

第百三十五條　指定家督相續人カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其指定ヲ取消スコトヲ得

一　指定ヲ受ケタル者カ推定家督相續人ノ廢除ノ裁判ヲ受ケタルトキ

二　指定ヲ受ケタル者カ家督相續ノ單純承認ヲ爲シタルトキ

三　指定ヲ受ケタル者カ家督相續ノ限定承認ヲ爲シタルトキ

四　指定ヲ受ケタル者カ相續ノ財産ヲ隱匿シ又ハ消費シタルトキ

五　指定ヲ受ケタル者カ戸主ノ指定ニ關シ詐欺又ハ强迫ヲ爲シタルトキ

六　指定ヲ受ケタル者カ戸主ニ對シ又ハ其家族ニ對シ犯罪ノ處分ヲ受ケタルトキ

七　指定ヲ受ケタル者カ戸主ニ對シ又ハ其家族ニ對シ重大ナル侮辱ヲ爲シタルトキ

八　指定ヲ受ケタル者カ戸主ニ對シ又ハ其家族ニ對シ扶養ノ義務ヲ盡ササルトキ

第百三十六條　指定家督相續人カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ戸主ハ其指定ヲ取消スコトヲ得

一　指定ヲ受ケタル者カ推定家督相續人ノ廢除ノ裁判ヲ受ケタルトキ

二　指定ヲ受ケタル者カ家督相續ノ單純承認ヲ爲シタルトキ

三　指定ヲ受ケタル者カ家督相續ノ限定承認ヲ爲シタルトキ

四　指定ヲ受ケタル者カ相續ノ財産ヲ隱匿シ又ハ消費シタルトキ

五　指定ヲ受ケタル者カ戸主ノ指定ニ關シ詐欺又ハ强迫ヲ爲シタルトキ

六　指定ヲ受ケタル者カ戸主ニ對シ又ハ其家族ニ對シ犯罪ノ處分ヲ受ケタルトキ

七　指定ヲ受ケタル者カ戸主ニ對シ又ハ其家族ニ對シ重大ナル侮辱ヲ爲シタルトキ

八　指定ヲ受ケタル者カ戸主ニ對シ又ハ其家族ニ對シ扶養ノ義務ヲ盡ササルトキ

第百三十七條　遺言ニ依ル家督相續人ノ指定又ハ指定取消ノ場合ニ於テハ指定又ハ指定取消ニ關スル遺言ノ謄本ヲ届書ニ添附スルコトヲ要ス

第百三十八條　指定家督相續人カ死亡シタルトキハ指定者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第十四節　入籍、離籍及ヒ復籍拒絕

第百三十九條　民法第七百三十七條ノ規定ニ依リ家族トシテ入ラントスル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一　入籍スヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二　入籍スヘキ家ノ戸主ト入籍スヘキ者トノ續柄

三　戸主入籍スヘキ者トノ續柄

第百四十條　民法第七百三十八條ノ規定ニ依リ自己ノ親族ヲ家族トシテ入籍セシメントスル者ハ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ前條ニ揭ケタル事項ノ外入籍スヘキ者ノ氏名及ヒ出生ノ年月日ヲ記載スルコトヲ要ス

第百四十一條　民法第七百三十九條ノ規定ニ依リ入籍ヲ爲サントスル者ハ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

届書ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　入籍セントスル家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍

二　入籍セントスル家ノ戸主ト入籍セントスル者トノ續柄

第百四十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百四十三條　廢家ヲ爲サントスル者ハ其者カ入ルヘキ家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス但家督相續ニ因リテ戸主ト爲リタル者ニ非サルトキハ其旨ヲ届書ニ記載スルコトヲ要ス

第百四十四條　絕家ノ家族ハ絕家ノ事實ヲ知リタル日ヨリ十日内ニ一家創立ノ届出ヲ爲サントスルトキハ此限ニ在ラス

第百四十五條　分家ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

一　分家ノ戸主ト爲ラントスル者ノ氏名及ヒ本籍

二　分家ノ戸主ト分家トノ續柄

第百四十六條　廢絕家ノ再興ハ其家ノ戸主ノ氏名及ヒ本籍ヲ届書ニ記載シテ其旨ヲ届出ツルコトヲ要ス

第百四十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百四十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百四十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百五十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百六十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百七十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百八十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第百九十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百二十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百三十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百四十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百五十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百六十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百七十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百八十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第二百九十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百二十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百三十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百四十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百五十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百六十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百七十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百八十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第三百九十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百二十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百三十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百四十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十三條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十四條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十五條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十六條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十七條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十八條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百五十九條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百六十條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百六十一條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百六十二條　離籍ハ戸主ノ意思ヲ以テ之ヲ爲ス

第四百

ヲ爲シタル者亦同シ

附　則

第百八十一條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第百八十二條　本法ノ施行ニ關スル細則ハ司法大臣之ヲ定ム

第百八十三條　本法ノ規定ハ本法施行前ノ届出其他ノ事由ニ因リテ戸籍ノ記載ヲ爲シ又ハ新ニ戸籍ヲ編製スル場合ニモ亦之ヲ適用ス

第百八十四條　舊法ノ規定ニ依リ戸籍ハ本法ノ規定ニ依リ戸籍トシテ其效力ヲ有ス但本法ノ規定ニ依リ戸籍ニ記載ヲ爲スヘキ事項ニシテ舊法ノ規定ニ依リ戸籍ニ記載ナキモノハ身分發生ノ届ニ依リ之ヲ記載スルコトヲ得

第百八十五條　舊法ノ規定ニ依リテ改製セサリシ戸籍ハ司法大臣ノ命スル所ニ依リ本法ノ規定ニ依リテ之ヲ改製スルコトヲ要ス但其事實ヲ知ルコト能ハサルモノハ其記載ヲ省クコトヲ得

第百八十六條　身分登記簿及ヒ舊法ニ依存期間ノ定アル帳簿竝ニ書類ノ保存期間ハ司法大臣之ヲ定ム（大正三年勅令第百二十一號ヲ以テ大正四年一月一日ヨリ施行）

附　則（大正十年四月法律第四十八號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附　則（大正十三年七月法律第二十七號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十三年勅令第二百六十三號ヲ以テ大正十四年一月一日ヨリ施行）

●朝鮮戸籍令施行手續

大正十二年三月
總督第十五號

朝鮮戸籍令施行手續左ノ通定ム

第一條　戸籍用紙ハ强靱ナル美濃紙ヲ用キ附錄第一號樣式ニ依リ之ヲ調製ス

第二條　戸籍ハ數戸ヲ以テ之ヲ編製スルモノトス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ハ總テ之ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ハ戸主ニ關スルモノヲ除ノ外朝鮮人ノ戸籍ニ在リテハ戸主ノ父母祖父母ニ關スルモノヲ先ニシ其ノ他ノ者ニ關スルモノヲ後ニシ内地人ノ戸籍ニ在リテハ戸主ノ父母ニ關スルモノヲ先ニシ其ノ他ノ者ニ關スルモノヲ後ニシ各其ノ出生ノ前後ニ依リテ之ヲ記載ス

第五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第二十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十二條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十三條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十四條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十五條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十六條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十七條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十八條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第三十九條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第四十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第四十一條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニシテ其ノ原因ニ關スルモノアルトキハ其ノ原因ヲ戸籍ニ記載スヘシ

第四十二條　廢棄簿ノ保存期間ハ第五條ノ規定ニ依リ戸籍ノ副本ノ送付アリタル翌年ヨリ三年トス

第四十三條　朝鮮戸籍令第百三十三條ノ規定ニ依ル民籍ノ副本ハ新戸籍ノ副本ノ送付アルニ迄之ヲ保存スヘシ

第四十四條　前條ニ掲ケルモノヲ除ノ外朝鮮戸籍令施行前ノ帳簿及書類ノ保存期間ハ左ノ區別ニ依ル

一　除籍簿　五十年

二　申告書　五年

三　其ノ他ノ書類　三年

前項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

第四十五條　府尹又ハ面長ハ保存期間ヲ經過シタル帳簿又ハ書類ヲ廢棄セムトスルトキハ自發ノ行リ監督裁判所ノ認可ヲ受クヘシ

附　則

本令ハ朝鮮戸籍令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附錄目錄

第一號　戸籍ノ樣式
　附圖
第二號　雛形
第三號　戸籍簿表紙ノ樣式
第四號　受附帳ノ樣式
第五號　戸籍記載例
第六號　戸籍ノ抹消ノ樣式
第七號　全部抹消ノ樣式
第八號　戸籍ノ訂正ノ樣式
第九號　一部抹消ノ訂正ノ樣式
第十號　全部ノ訂正
第十一號　本籍ノ更正ノ樣式
第十二號　謄本又ハ抄本ノ附記ノ樣式
　告知書ノ書式
　受理又ハ不受理ノ證明書ノ書式
第一　記載事項證明書ノ書式
第二　届出又ハ申請ノ催告狀ノ書式
第三　同上完了ノ催告狀ノ書式
　同上以後ノ催告狀ノ書式

第十七條　離緣又ハ離婚ニ因リ實家ニ復籍シタル者ニ付テハ戸籍ニ離緣又ハ離婚ニ關スル事項ノ外實家ノ戸籍又ハ除カレタル戸籍ニ現ニ在リ其ノ者ニ關スル一切ノ事項ヲ記載スヘシ但シ實家ノ本籍地ノ府廳又ハ面事務所ニ保存スル戸籍及除カンメル戸籍ニ記載ナキ事項ハ此ノ限ニ在ラス

第十八條　前條ノ規定ハ緣組又ハ婚姻ノ無效其ノ他ノ事由ニ因リ戸籍ノ記載ヲ回復スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條　戸籍ノ全部又ハ一部ヲ抹消スルニハ附錄第五號樣式ニ依リ之ヲ朱抹スヘシ

第二十條　戸籍ノ訂正ヲ爲スニハ訂正ノ趣旨及事由ヲ記載シ附錄第六號樣式ニ依リ訂正スヘキ記載ヲ朱抹スヘシ

第二十一條　行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ更正ヲ爲スニハ事項欄ニ更正ノ事由ヲ記載シ附錄第七號樣式ニ依リ更正スヘキ事項ノ記載ヲ訂正スヘシ

行政區畫又ハ土地ノ名稱ヲ更正スル場合ニ於テハ戸籍簿ノ表紙ニ記載シタル名稱ヲ更正シ裏紙ノ裏面ニ其ノ事由ヲ記載スヘシ

第二十二條　府尹又ハ面長ノ代理者戸籍ノ記載ヲ爲ストキハ其ノ文末ニ代理資格ヲ記載シテ認印スヘシ

第二十三條　朝鮮戸籍令第二十七條ノ書類ニシテ非本籍人ニ關スルモノハ其ノ書類ヲ受理シタル府廳又ハ面事務所ノ區別ニ從ヒ年毎ニ各別ニ之ヲ編綴スヘシ但シ分綴スルコトヲ妨ケス

第二十四條　朝鮮戸籍令第二十六條第二項ノ書類ノ保存期間ハ年毎ニ各別ニ之ヲ編綴スヘシ但シ分綴スルコトヲ妨ケス

第二十五條　裁判所ハ新戸籍ノ副本及第五條ノ戸籍ノ副本ノ送付ヲ受クルトキハ前ニ送付ヲ受クル戸籍ノ副本ハ其ノ戸籍ニ關スル届書其ノ他ノ書類ト共ニ別ニ編綴ジ之ヲ廢棄簿ト爲スヘシ但シ第六條ノ規簿ニ編綴スヘキモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　府尹又ハ面ノ區域ノ變更アリタル場合ニ於テ戸籍及之ニ關スル書類ノ引繼完了シタルトキハ引繼ヲ受クル府尹又ハ面長ハ其ノ旨ヲ監督裁判所ニ報告スヘシ

第二十七條　廢棄簿ノ保存期間ハ第五條ノ規定ニ依リ戸籍ノ副本ノ送付アリタル翌年ヨリ三年トス

第二十八條　非現ヲ避ケル爲戸籍簿又ハ除籍簿ヲ府廳又ハ面事務所外ニ持出シタルトキハ府尹又ハ面長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ監督裁判所ニ報告スヘシ

第二十九條　戸籍簿又ハ除籍簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキハ府尹又ハ面長ハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シテ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第三十條　戸籍簿又ハ除籍簿ノ全部又ハ一部及其申ヲ爲スヘシ

第三十一條　戸籍簿、除籍簿又ハ届書其ノ他ノ書類ノ閲覽ノ係員ノ面前ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ

第三十二條　戸籍又ハ除カレタル戸籍ノ謄本又ハ抄本ハ原本ト同一樣式ノ用紙ヲ以テ之ヲ作ルヘシ

謄本又ハ抄本ニハ其ノ記載ニ接續シテ附錄第八號樣式ニ依リ附記ヲ爲スヘシ

謄本又ハ抄本ヲ敎示ニ供スルトキハ職印ヲ以テ每葉ノ綴目ニ契印スヘシ

前項ノ規定ハ謄本又ハ抄本ニ掛紙ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條　前條第二項及第三項ノ規定ハ府尹又ハ面長ノ作ルヘキ届書其ノ他ノ書類ノ謄本ニ付之ヲ準用ス

第三十四條　朝鮮戸籍令第八條第三項ノ規定ニ依ル告知ノ書面ハ附錄第九號書式ニ依リ每年ノ綴目ニ契印スヘシ

従前ノ規定ニ依ル民籍ノ用紙ヲ用キ盡シタル場合ニ於テハ其ノ表紙ニ番號ヲ記載シ地區ニ依リ分冊シタルトキハ其ノ地區ノ名稱ヲモ記載スヘシ

第四條　除籍簿ハ年毎ニ之ヲ別冊トシ其ノ表紙ニ「大正何年除籍簿」ト記載スヘシ

前條ノ規定ハ除籍簿ニ付之ヲ準用ス

府尹又ハ面長ハ相當ト認ムルトキハ數箇年ノ除籍簿ヲ合綴スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ更ニ表紙ヲ附シ「自大正何年至大正何年除籍簿綴」ト記載スヘシ

第五條　戸籍ノ全部ヲ抹消シタルトキハ府尹又ハ面長ハ遲滯ナク其ノ戸籍ノ副本ヲ監督裁判所ニ送付スヘシ

第六條　裁判所カ前條ノ規定ニ依リテ送付ヲ受ケタル副本ハ府尹又ハ面ノ區別ニ從ヒ之ヲ編綴シ除籍簿ノ副本トシテ之ヲ保存スヘシ

第四條ノ規定ハ前項ノ帳簿ニ付之ヲ準用ス

第七條　府尹又ハ面長ハ戸籍簿及除籍簿ニ付各別ニ見出帳ヲ調製シ之ニ戸主ノ姓名及本籍ヲ記載スヘシ

前項ノ記載ハ戸主ノ姓ノ(イ)(ロ)(ハ)順ニ依リテ之ヲ爲スヘシ

第八條　府尹又ハ面長ハ届書其ノ他ノ書類ヲ受理シタルトキハ其ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ書類ニ受附ノ番號及年月日ノ外本籍人及非本籍人ノ區別ニ從ヒ受附ノ順序ニ依リ種類番號ヲ記載スヘシ

府尹又ハ面長ハ朝鮮戸籍令第二十八條第二項又ハ第五十二條第三項ノ規定ニ依リ監督裁判所ノ許可ヲ得テ戸籍ノ訂正又ハ記載ヲ爲スヘキ事項ニ付テハ前項ニ掲ケル事項ハ許可書ニ之ヲ記載スヘシ

第九條　事件ノ種類ハ朝鮮戸籍令第四章第二節乃至第十四節ニ揭ケル事件ノ區別ニ從ヒテ之ヲ定ムヘシ

届出又ハ申請若クハ除カレタル戸籍ノ謄本、抄本又ハ第六十七條ノ證明書ヲ添附セサルトキ

四　正當ノ理由ナクシテ戸籍簿、除籍簿又ハ第三十六條ノ書類ノ閲覽ヲ拒ミタルトキ

正當ノ理由ナクシテ届書ノ受理又ハ不受理ノ證明書ハ附錄第十號書式ニ依リ届書、申請書其ノ他ノ書類ニ記載シタル事項ノ證明書ハ附錄第十一號書式ニ依リテ之ヲ作ルヘシ但シ府尹又ハ面長ハ證明ヲ求ムル事項ノ記載シタル書面又ハ其ノ符箋ニ證明ノ趣旨及年月日ヲ記載シテ署名、捺印シ之ヲ以テ證明書ニ代フルコトヲ得

符箋ニ依リテ前項ノ證明ヲ爲ス場合ニ於テハ職印ヲ以テ接目ニ契印スヘシ

第三十六條　府尹又ハ面長ハ届出、申請又ハ其ノ追完ヲ怠リタル者ニ對シ朝鮮戸籍令第五十二條、第五十三條又ハ第百二十七條ノ規定ニ依リ過怠金ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十七條　府尹又ハ面長ハ届出、申請又ハ其ノ追完ヲ怠リタル者ハ朝鮮戸籍令第五十二條ノ規定ニ依リ過怠金ヲ徵收スヘキ場合ニ於テハ其ノ事由ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十八條　同一ノ府又ハ面ニ於テ二以上ノ戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ監督裁判所ノ指定シタル府尹又ハ面長ハ受理シタル届書又ハ申請書ニ代フルコトヲ得但シ府尹又ハ面長ハ命スルコトヲ得但シ府尹又ハ面長ハ受理シタル届書又ハ申請書ノ謄本ヲ作リ之ヲ以テ届書又ハ申請書ニ代フルコトヲ得

第三十九條　同一ノ戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ監督裁判所ノ指定シタル府尹又ハ面長ハ受理シタル届書又ハ申請書ノ謄本ヲ作リ之ヲ以テ届書又ハ申請書ニ代フルコトヲ得

第四十條　府尹又ハ面ハ朝鮮戸籍令第二十七條ノ規定ニ從ヒ之ヲ監督裁判所ニ送付スヘシ

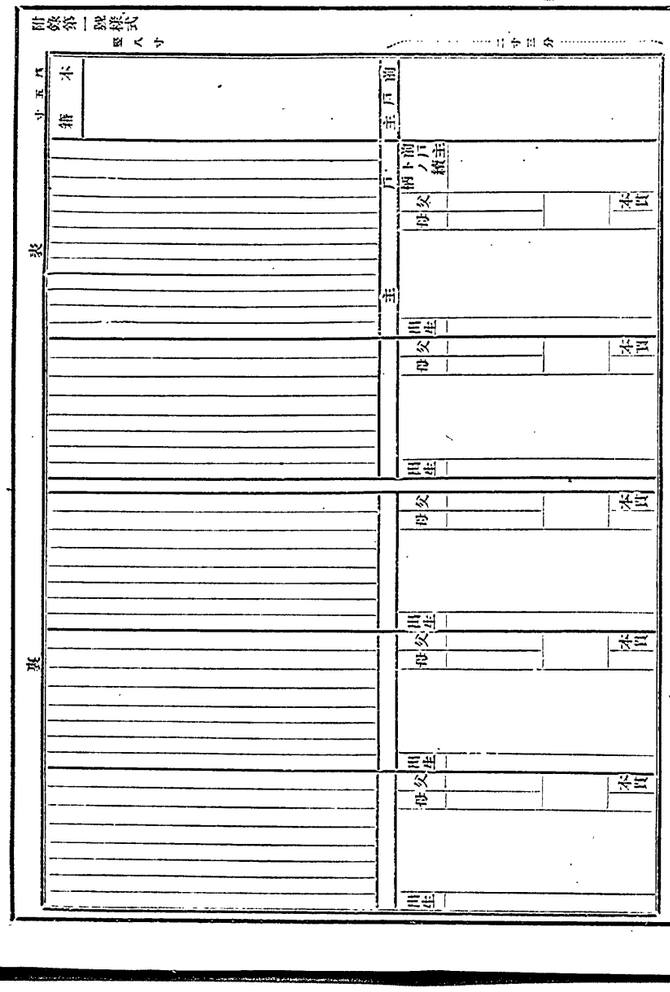
第三十九條　戸籍登記簿ノ保存期間ハ戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ監督裁判所ニ送付シタル日ヨリ起算ス

第四十一條　前項ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ之ヲ起算ス

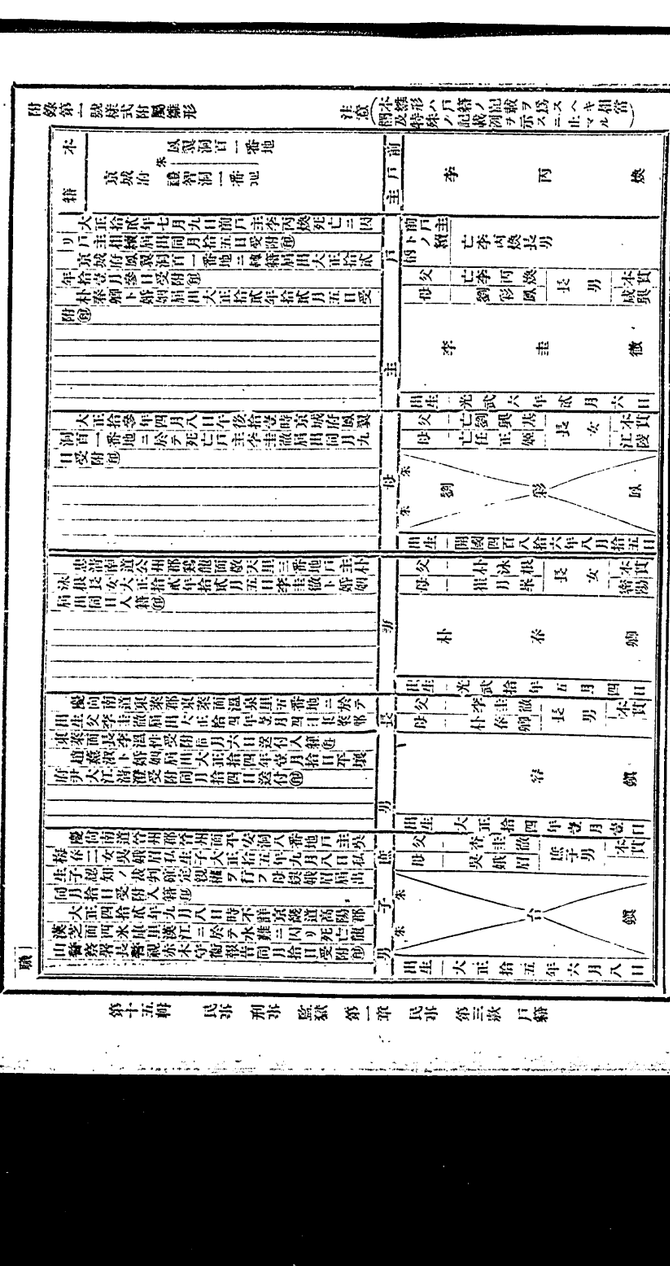
第四十條　戸籍ニ記載スヘキ事項ニ付テハ監督裁判所ニ送付シタル日ヨリ起算ス

第四十一條　受附帳ノ保存期間ハ當該年度ノ翌年ヨリ五年トス

附錄第一號樣式



附錄第一號樣式　特殊ノ戶籍ニ關スル注意



附録第四號

戸籍訂正例

附録第三號樣式　戸籍謄本式

附録第三號樣式　戸籍謄抄本式

四　同上入籍（父ノ戸籍ニ入リタルノ旨ノ記載アリ）
大正拾貳年七月參日夫李泳烈從籍シタル＝付共＝入籍㊞

五　實家ノ本籍地外ニ於テ届出テタル協議離縁＝因ル復籍（父ノ戸籍ニ在リ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月貳日仁川府弁中川清明受附同月五日送付復籍㊞

六　養子ニ代リ父母カ永諾ヲ爲ス離縁＝因ル除籍（父ノ戸籍ニ在リ）
養父李容鎭ト協議離縁同人竝離縁協議者趙蕙淑ト共＝届出大正拾貳年七月參日受附除籍㊞

七　養親ノ死亡後＝爲ス離縁＝因ル除籍（同上）
養父李容鎭死亡後協議離縁協議者趙蕙淑ト共＝届出大正拾貳年七月參日受附除籍㊞

八　裁判上ノ離縁＝因リ養子ノ除籍（同上）
大正拾貳年七月參日離縁ノ裁判確定養父李容鎭届出同月拾日受附㊞同月拾參日入籍通知＝因リ除籍㊞

九　協議離縁一家創立＝關スル記載（養子ハ新ニ一家ヲ創立シタルモノ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日京城府尹園府政雄受附同月拾四日入籍通知＝因リ除籍㊞

十　養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附貨家絕家＝付一家創立届出同月貳拾日入籍通知＝因リ除籍㊞

十一　離縁及離縁ノ後養家ノ本籍地＝於テ届出テタル一家創立＝關スル記載（養子ハ新ニ一家ヲ創立シタルモノ）
養父京城府仁義洞二番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日京城府尹園府政雄受附同月貳拾壹日送付貨家絕家＝付一家創立届出同月貳拾九日同府尹園府政雄受附同年八月壹日送付㊞

十二　養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附㊞貨家絕家＝付仁川府花平里七番地＝一家創立届出同月貳拾九日受附㊞同年八月參日入籍通知＝因リ除籍㊞

十三　離縁及離縁ノ後養家ノ本籍地＝於テ届出テタル一家創立＝關スル記載（養子ハ新ニ一家ヲ創立シタルモノ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日京城府尹園府政雄受附同月參拾壹日送付貨家絕家＝付一家創立届出同月貳拾九日開城郡松都面長人見參太郎受附同月參拾壹日送付㊞

十四　同上除籍（養子ノ戸籍ニ在リ）
養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附㊞貨家絕家＝付仁川府花平里七番地＝一家創立届出同月貳拾九日送付復籍㊞
同上ノ復籍（養子ノ戸籍ニ在リ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附除籍㊞

十五　養子＝離縁ニ因リ實家ノ戸籍ニ復スル場合＝於ケル協議離縁＝因ル養子ノ除籍（養子ノ戸籍ニ在リ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附除籍㊞
實家ノ本籍地外ニ於テ届出テタル協議離縁＝因ル復籍（養子ノ戸籍ニ在リ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日仁川府弁中川清明受附同月五日送付復籍㊞

六　養子ニ代リ父母カ永諾ヲ爲ス離縁＝因ル除籍（同上）
養父李容鎭ト協議離縁同人竝離縁協議者趙蕙淑ト共＝届出大正拾貳年七月參日受附除籍㊞

七　養親ノ死亡後＝爲ス離縁＝因ル除籍（同上）
養父李容鎭死亡後協議離縁協議者趙蕙淑ト共＝届出大正拾貳年七月參日受附除籍㊞

八　裁判上ノ離縁＝因リ養子ノ除籍（同上）
大正拾貳年七月參日離縁ノ裁判確定養父李容鎭届出同月拾日受附㊞同月拾參日入籍通知＝因リ除籍㊞

九　協議離縁一家創立＝關スル記載（養子ハ新ニ一家ヲ創立シタルモノ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日京城府尹園府政雄受附同月五日送付貨家絕家＝付一家創立届出同月參拾壹日受附㊞

十　養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附貨家絕家＝付仁川府花平里七番地＝一家創立㊞同月六日入籍通知＝因リ除籍㊞

十一　離縁及離縁ノ後養家ノ本籍地＝於テ届出テタル一家創立＝關スル記載（養子ハ新ニ一家ヲ創立シタルモノ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日京城府尹園府政雄受附貨家絕家＝付一家創立届出同月貳拾九日同府尹園府政雄受附同年八月壹日送付㊞

十二　養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附㊞貨家絕家＝付仁川府花平里七番地＝一家創立届出同月貳拾九日受附㊞同年八月參日入籍通知＝因リ除籍㊞

十三　離縁及離縁ノ後養家ノ本籍地＝於テ届出テタル一家創立＝關スル記載（養子ハ新ニ一家ヲ創立シタルモノ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日京城府尹園府政雄受附貨家絕家＝付一家創立届出同月貳拾九日同府尹園府政雄受附同年八月壹日送付㊞

十四　同上除籍（養子ノ戸籍ニ在リ）
養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附㊞貨家絕家＝付仁川府花平里七番地＝一家創立届出同月貳拾九日送付復籍㊞
同上ノ復籍（養子ノ戸籍ニ在リ）
養父京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附除籍㊞

十五　養子＝離縁ニ因リ實家ノ戸籍ニ復スル場合＝於ケル協議離縁＝因ル養子ノ除籍（養子ノ戸籍ニ在リ）
養父李容鎭ト協議離縁届出大正拾貳年七月參日受附㊞貨家絕家＝付仁川府花平里七番地＝再興㊞同月五日入籍通知＝因リ除籍㊞

婚姻

一　夫ニ付婚姻ニ關スル記載（夫ノ戸籍）
趙蕙淑ト婚姻届出大正拾貳年七月貳日受附㊞

二　婚姻ニ因ル妻ノ入籍（妻ノ戸籍ニ在リ）
協議離婚ニ因ル妻ノ除籍（同上）
趙蕙淑高陽郡漢芝面漢江里六番地戸主趙徳順二女大正拾年七月貳日李容鎭ト婚姻届出同日入籍㊞

三　同上除籍（妻ノ戸籍ニ在リ）
同上復籍（妻ノ戸籍ニ在リ）
夫京城府仁義洞一番地李容鎭ト協議離婚届出㊞同月六日入籍通知＝因リ除籍㊞

四　婚姻證書ノ謄本ノ送付ヲ受クヘキ場合＝關スル記載（夫ノ戸籍）
マリヤ、ベルナールト婚姻大正拾貳年七月貳日何國何縣何某婚姻證書作製右謄本提出同月拾日同國駐在大使大和武雄受附同年九月貳拾日送付㊞

五　妻ニ付招堺ニ關スル記載（妻ノ戸籍）
李明鎭ト婚姻（招堺）届出大正拾貳年七月貳日受附㊞

六　招堺ニ因ル夫ノ入籍（養家ノ戸籍ニ在リ）
京城府仁義洞一番地戸主李圭徹三男大正拾貳年七月貳日趙蕙淑ト婚姻（招堺）届出同日入籍㊞

七　同上夫ノ除籍（生家ノ戸籍ニ在リ）
京畿道高陽郡漢芝面漢江里六番地趙蕙淑ト婚姻（招堺）届出大正拾貳年七月貳日高陽郡漢芝面長郭斗榮受附同月五日送付除籍㊞

八　父ノ家ニ在ル庶子カ父母ノ婚姻ニ因リ嫡出子ノ身分取得＝關スル記載（庶子カ父ノ戸籍ニ在リ）
大正拾貳年七月貳日父李容鎭母趙蕙淑ノ婚姻ニ因リ嫡出子ト爲ル㊞

九　本籍不明ノ夫カ婚姻ヲ爲シタル後本籍分明ノ届出ヲ爲シタル場合＝於ケル夫ニ付テノ記載（夫ノ戸籍）
趙蕙淑ト婚姻届出大正拾貳年七月貳日高陽郡漢芝面長郭斗榮受附李明鎭本籍分明届出同年九月八日同面長呂禧受附同月拾日送付㊞

十　同上妻ノ入籍（妻ノ戸籍ニ在リ）
京畿道高陽郡漢芝面漢江里六番地戸主趙徳順二女大正拾貳年七月貳日李明鎭ト婚姻届出同年九月拾日入籍㊞

十一　同上除籍（妻ノ戸籍ニ在リ）
本籍不明李明鎭ト婚姻届出大正拾貳年七月貳日受附㊞李明鎭本籍京城府仁義洞一番地分明届出同年九月八日受附㊞同月拾貳日入籍通知＝因リ除籍㊞
婚家ヨリ更ニ婚姻ニ因リ他家ニ入ル場合＝於ケル妻ノ入籍（婚家ノ戸籍ニ在リ）
京城府仁義洞一番地戸主李圭徹亡弟李圭泰ノ妻（實家戸主金雇南道濟州島右面西歸里五番地金敬煥）大正拾貳年七月貳日洪鍾慶ト婚姻届出同日入籍㊞
婚家ノ戸主ト爲レル女カ更ニ婚姻ニ因リ他家ニ入ル場合＝於ケル妻ノ入籍（同上）
京城府黃金町三丁目百三番地戸主（實家戸主黃海道延百郡銅川面凝川里百八十三番地

離縁

一　夫ニ付協議離縁ニ關スル記載（夫ノ戸籍）
妻趙蕙淑ト婚姻届出大正拾貳年七月貳日受附㊞

二　協議離縁ニ因ル妻ノ除籍（同上）
大正拾貳年七月參日夫李容鎭ト協議離婚届出㊞同月六日入籍通知＝因リ除籍㊞

三　同上復籍（妻ノ戸籍ニ在リ）
夫京城府仁義洞一番地李容鎭ト協議離婚届出大正拾貳年七月貳日京城府尹園府政雄受附同月四日送付復籍㊞

四　夫ニ付裁判上ノ離縁ニ關スル記載（夫ノ戸籍）
大正拾貳年七月參日離縁ノ裁判確定夫李容鎭届出同月拾壹日受附㊞

五　裁判上ノ離縁ニ因ル妻ノ除籍（妻ノ戸籍ニ在リ）
大正拾貳年七月參日離縁ノ裁判確定㊞同月拾四日入籍通知＝因リ除籍㊞

六　同上復籍（妻ノ戸籍ニ在リ）
大正拾貳年七月參日離縁ノ裁判確定夫京城府仁義洞一番地戸主李圭徹長男李容鎭届出同月拾壹日京城府尹園府政雄受附同月拾貳日送付復籍㊞

七　婚姻入籍後實家カ轉籍シタル場合＝於ケル離婚ニ因ル妻ノ除籍（實家ノ戸籍ニ在リ）
大正拾貳年七月參日夫李容鎭ト協議離婚届出京畿道水原郡水原面南昌里九番地戸主趙徳順方ヘ復籍㊞同月六日入籍通知＝因リ除籍㊞

親權及後見

一　親權（管理權）ノ喪失ニ關スル記載（子ノ戸籍）
大正拾貳年七月壹日父李容鎭親權（管理權）喪失ノ裁判確定ニ因リ母趙蕙淑親權（管理權）ヲ行フ旨届出同月八日受附㊞

二　失權宣告ノ取消ニ關スル記載（同上）
大正拾貳年七月貳日失權宣告取消ノ裁判確定訴提起者李容鎭届出同月八日受附㊞

三　後見ノ開始ニ關スル記載（後見ノ戸籍ニ在リ）
同年九月八日同面長呂禧受附同月拾日送付㊞

四　後見人ノ更迭ニ關スル記載（同上）
大正拾貳年七月拾日親權ヲ行フ母財産ノ管理ヲ辭シタルニ因リ後見開始同月參拾日後見人京城府龍洞八十三番地李圭泰就職ニ付届出同年八月五日受附㊞

五　後見ノ終了ニ關スル記載（同上）
大正拾貳年七月五日被後見人成年ニ達シタルニ付後見終了届出同月八日受附㊞

六　保佐人ニ關スル記載（同上）
大正拾貳年七月壹日準禁治産宣告ノ效力發生同月參拾日保佐人京城府仁義洞一番地李圭徹就職ニ付届出同月參拾壹日受附㊞

七　保佐人ノ任務終了ニ關スル記載（同上）
大正拾貳年七月貳日準禁治産宣告取消ノ裁判確定ニ因リ保佐人ノ任務終了届出同月八日受附㊞

死亡及失踪

一　本籍地ニ於テ届出テタル死亡ニ關スル記載（死亡ノ部項關）
大正拾貳年七月八日午後拾壹時京城府鳳翼洞百壹番地ニ於テ死亡届出ニ因リ同月九日受附㊞

二　水難ニ付水難官廳ノ報告ヲ受ケタル場合ニ關スル記載（同上）
大正拾貳年七月八日時不詳京畿道高陽郡漢江ニ於テ水難ニ因リ死亡龍山警察署長幹視赤木守衛報告同月拾壹日受附㊞

三　本籍姓名不明ノ死亡者ニ付本籍姓名ノ報告アリタル場合ニ關スル記載（同上）
大正拾貳年七月八日午前拾壹時京城府惠化洞七番地先道路ニ於テ本籍姓名不詳ノ者死亡ニ付東大門警察署長幹視市井則光ノ報告同日京城府尹國府政雄受附同警察署長幹視水野强正ノ死亡者ノ本籍姓名ノ報告同年八月貳日同府尹國府政雄受附兩報告書謄本同月七日送付㊞

四　死亡ニ關シ疑義ヲ以テ爲ス記載（同上）
大正拾貳年七月貳日時及場所不詳死亡届出ヲ以テ爲ス者ナキニ付大正拾貳年九月壹日京城地方法院ノ許可ニ因リ同月六日除籍㊞

五　失踪ニ關スル記載（失踪者ノ戸主ノ部項關）
大正拾貳年七月八日失踪宣告大正拾貳年貳月七日死亡ト看做サル右本人妻崔新月届出

戸主相續

一　戸主死亡ニ因ル相續ニ關スル記載（前戸主ノ部項關）
大正拾貳年七月九日前戸主李丙煥死亡ニ因リ戸主相續届出同月拾五日受附㊞

二　前戸主ノ戸籍ノ抹消（前戸主ノ部項關）
大正拾貳年七月拾五日李圭徹ノ戸主相續届出アリタルニ因リ本戸籍ヲ抹消ス㊞

三　死後養子緣組ニ因ル相續ニ關スル記載（前戸主ノ部項關）
大正拾貳年七月貳日前戸主趙龍淑ノ前戸主亡夫李容鎭トノ死後養子緣組ニ因リ戸主相續親權ヲ行フ爲届出同月五日受附㊞

四　戸主相續ノ回復ニ付新戸籍ノ記載（同上）
大正拾貳年七月九日前戸主李丙煥死亡ニ因リ戸主相續大正拾參年四月八日戸主相續回復ノ裁判確定届出同月拾日受附㊞

五　戸主相續回復ノ場合ニ於テ戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ戸籍ノ抹消（戸主ノ名義ヲ有セシ者ノ部項關）
大正拾參年四月拾日李圭徹ノ戸主相續回復届出アリタルニ因リ本戸籍ヲ抹消ス㊞

親族入籍

一　家族ノ親族ノ入籍ニ關スル記載（入リタル家ノ戸主ノ部項關）
京城府梨花洞七番地戸主張鵬植二女親族入籍戸主李圭徹届出大正拾貳年七月拾參日受附㊞

二　同上除籍（出リタル家ノ戸主ノ部項關）
京畿道高陽郡延禧面新村里六番地ヨリ轉籍届出大正拾貳年七月拾參日受附除籍㊞

分家及絕家

一　分家ニ因ル新戸籍ノ記載（戸主ノ部項關）
京城府鳳翼洞百壹番地戸主李圭徹姪分家届出大正拾貳年七月五日受附㊞

二　分家ノ戸主ニ隨ヒテ其ノ家ニ入ル者ノ入籍（入ル者ノ戸主ノ部項關）
大正拾貳年七月五日父李春鎔分家ニ付共ニ入籍㊞

三　分家者ノ除籍（本家ノ戸主ノ部項關）
京城府忠信洞貳番地ニ分家届出大正拾貳年七月五日受附除籍㊞

四　分家ノ戸主ニ隨ヒテ其ノ家ニ入ル者ノ除籍（同上）
大正拾貳年七月五日父李春鎔分家ニ付共ニ除籍㊞

五　絕家ニ關スル記載（我家ノ戸主ノ部項關）
戸主相續人ナキニ因リ絕家李圭泰届出大正拾貳年七月壹日受附㊞

六　絕家ニ因ル一家創立ニ關スル記載（一家創立ノ部項關）
京城府鳳翼洞百壹番地戸主李圭徹第大正九年五月拾五日李圭徹死亡戸主相續人ナキニ付絕家ニ因リ一家創立届出大正拾貳年七月壹日受附㊞

七　絕家ノ家族ノ一家創立ニ因ル除籍（絕家ノ家族ノ戸主ノ部項關）
京城府孝悌洞五拾參番地ニ於テ一家創立届出大正拾貳年七月壹日受附除籍㊞

八　職權ヲ以テスル絕家ノ戸籍ノ抹消（我家ノ戸主ノ部項關）
相續人ナキニ因リ絕家大正拾貳年八月壹日京城地方法院ノ許可ニ因リ同月參日本戸籍ヲ抹消ス㊞

九　絕家再興ニ因ル新戸籍ノ記載（戸主ノ部項關）
京城府鳳翼洞百壹番地戸主李圭徹弟絕家李圭範家再興届出大正拾貳年七月壹日受附㊞

十　絕家再興者ノ除籍（去リタル家ノ戸主ノ部項關者ノ部項關）
京城府隊龍洞八拾參番地ニ於テ絕家李圭範家再興届出大正拾貳年七月壹日受附除籍㊞

改名、族稱ノ得喪及襲爵

一　改名ニ關スル記載（名ノ變更ノ部項參照）
大正拾貳年七月八日許可ニ因リ其ノ名海榮ヲ泳植ト改名届出同月拾日受附㊞

二　族稱取得ニ關スル記載（朝鮮貴族ニ列セラレタル者ノ部項關）
大正拾貳年七月壹日朝鮮貴族ニ列セラル右届出同月八日受附㊞

三　襲爵ニ關スル記載（爵ノ襲キタル部）
大正拾貳年七月拾壹日襲爵仰付ラル右届出同月拾五日受附㊞

四　處刑ニ因ル族稱褒失ニ關スル記載（族稱褒失者ノ部項關）
大正拾貳年七月七日京城地方法院ニ於テ懲役ノ刑ニ處セラレ朝鮮貴族ノ族稱褒失右同法院ノ報告同月拾參日受附㊞

轉籍及就籍

一　他ノ府又ハ面ヨリノ轉籍ニ關スル記載（新戸籍中ノ戸主ノ部項關）
京畿道高陽郡延禧面新村里六番地ヨリ轉籍届出大正拾貳年七月拾參日受附入籍㊞

二　他ノ府又ハ面ニ轉籍ノ場合ニ關スル記載（除籍中ニ轉籍ノ事項關）
京城府松月洞百參番地ニ轉籍届出大正拾貳年七月貳日京城府尹國府政雄受附同月五日送付全戸籍除籍㊞

三　同一府、面内ニ於ケル轉籍ニ關スル記載（戸主ノ事項關）
京城府鳳翼洞百壹番地ニ轉籍届出大正拾貳年七月參日受附㊞

四　本籍地ニ於ケル土地ノ名稱及地番號ノ更正ニ關スル記載（同上）
大正拾貳年七月貳拾壹日土地ノ名稱及地番號變更ニ付本籍欄中「黃金町參丁目百參番地」ヲ「永樂町壹丁目九拾六番地」ニ更正㊞

五　就籍ニ關スル記載（就籍者ノ事項關）
大正拾貳年七月拾七日京城地方法院恭川支廳ノ就籍許可ノ裁判ニ因リ戸主李鳳九届出同月貳拾壹日受附就籍㊞

戸籍ノ訂正

一　許可ノ裁判ニ因ル出生ノ月ノ訂正（子ノ事項關）
大正拾貳年七月六日京城地方法院ノ許可ノ裁判ニ因リ父李圭泰戸籍訂正申請同月拾日受附出生ノ月ヲ「拾日」ト訂正ス㊞

二　朝鮮戸籍令第二十九條ノ規定ニ依ル出生ノ月ノ訂正（同上）
同居者ノ命届出ニ係ル出生届出ハ大正拾貳年七月四日東萊郡東萊面長李溫性受附同月六日送付出生ノ月ヲ「貳月」ト訂正ス㊞

三　養子緣組無效ノ確定判決ニ因ル戸籍ノ訂正（養家ノ戸籍中養子ノ事項關）
大正拾貳年七月六日確定京城地方法院ノ養子緣組無效ノ判決ニ因リ養父鄭容鎭戸籍訂正申請同月拾日京城府尹國府政雄受附同月拾四日送付入籍㊞

四　同上（養家ノ戸籍中養子ノ事項關）
大正拾貳年七月六日確定京城地方法院ノ養子緣組無效ノ判決ニ因リ養父李容鎭戸籍訂正申請同月拾日受附㊞同月拾四日入籍通知ニ因リ除籍㊞

五　緣組無效ニ付許可ノ裁判ニ依ル戸籍ノ訂正（養子ノ戸籍中養子ノ事項關）
緣組無效ニ付大正拾貳年七月六日京城地方法院ノ許可ノ裁判ニ因リ李容鎭戸籍訂正申請同月拾日受附㊞同月拾四日入籍通知ニ因リ除籍㊞

六　同上（養家ノ戸籍中）
緣組無效ニ付大正拾貳年七月六日京城地方法院ノ許可ノ裁判ニ因リ李容鎭戸籍訂正申請同月拾日京城府尹國府政雄受附同月拾四日送付入籍㊞

七　失踪宣告取消ノ確定判決ニ因ル戸籍ノ訂正（戸主ノ名義ヲ有シタル者）
大正拾貳年七月六日確定京城地方法院ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ妻朴春卿戸籍訂正申請同月拾日受附本戸籍ヲ抹消ス㊞

八　同上（失踪宣告ヲ取消サレタル者ノ事項關）
大正拾貳年七月六日確定京城地方法院ノ失踪宣告取消ノ判決ニ因リ妻朴春卿戸籍訂正申請同月拾日受附㊞

九　職權ヲ以テスル戸籍ノ訂正（訂正スヘキ記載アル者ノ事項關）
戸主トノ續柄ノ記載ニ錯誤アルモ戸籍訂正ノ申請ヲ爲ス者ナキニ付大正拾貳年七月六日京城地方法院ノ許可ニ因リ同月拾日共ノ續柄ヲ「第」ト訂正ス㊞

附錄第五號樣式　戸籍ノ抹消
第一　全部抹消

本籍　京城府鳳翼洞百一番地

前戸主　李丙煥

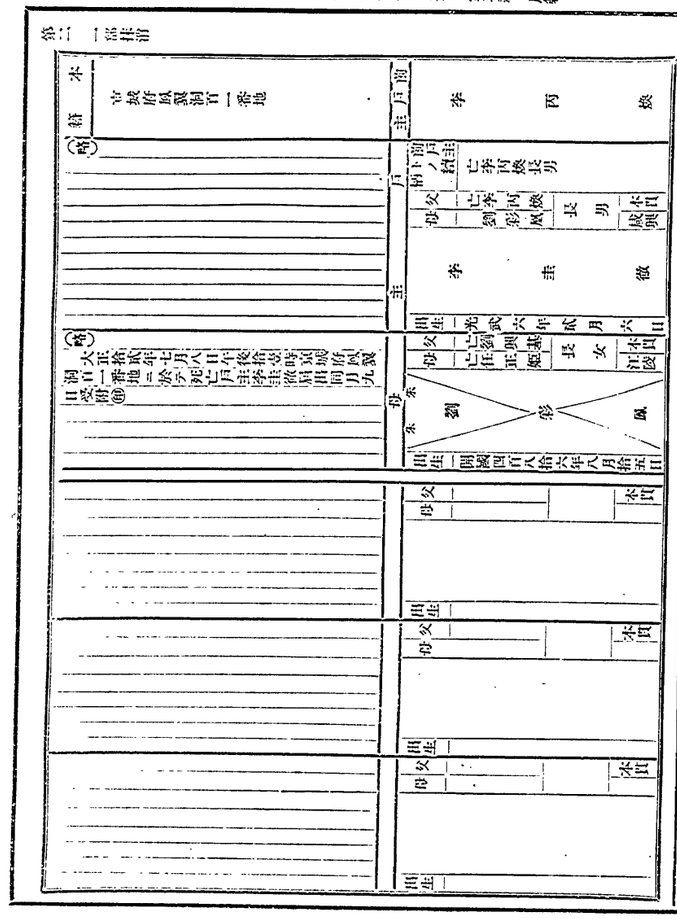
戸主

柄	氏名	出生	父母	本貫
主	李圭徹	光武六年貳月六日	父亡李丙煥 母劉彩鳳	本貫 長男 咸興
母	劉彩鳳	略	父亡劉興基 母亡任正姬	本貫 長女 江陵
妻	朴春卿	光武拾年五月四日	父李圭茲 母崔月峯	本貫 長女 密陽
長男	容鎭	大正拾四年壹月壹日	父李圭徹 母吳娥眉	本貫 庶子男 本貫
庶子男	台鎭	大正拾貳年七月八日	父朴泳根 母崔月峯	本貫 長女 密陽

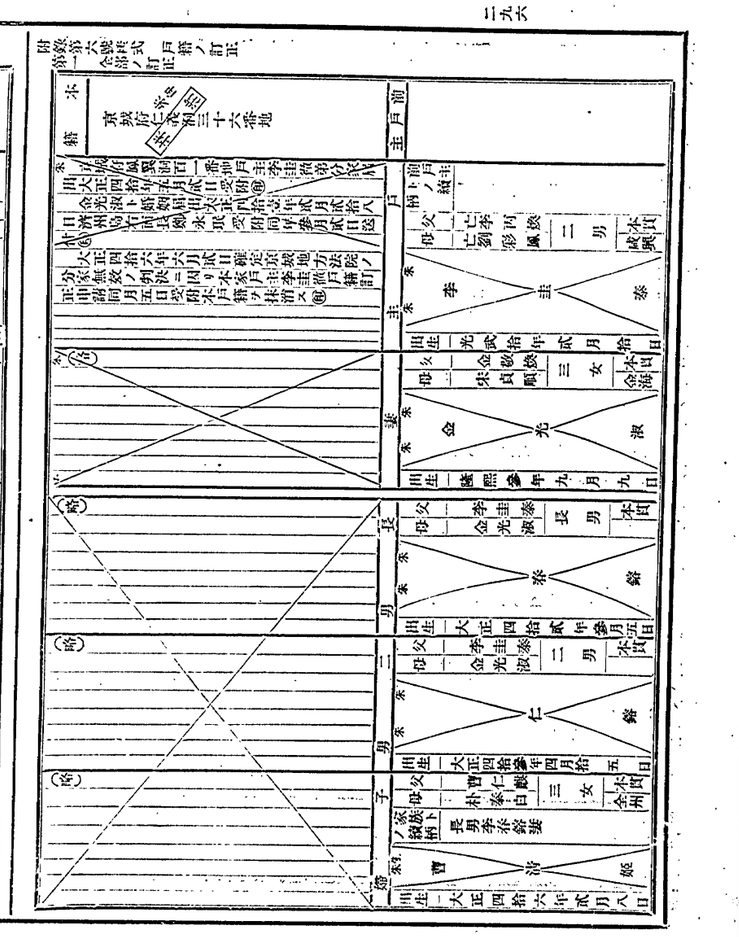
前戸主ノ續柄　亡李丙煥長男

（略）大正拾六年七月拾五日李容鎭ノ戸主相續届出アリタルニ因リ本戸籍ヲ抹消ス㊞

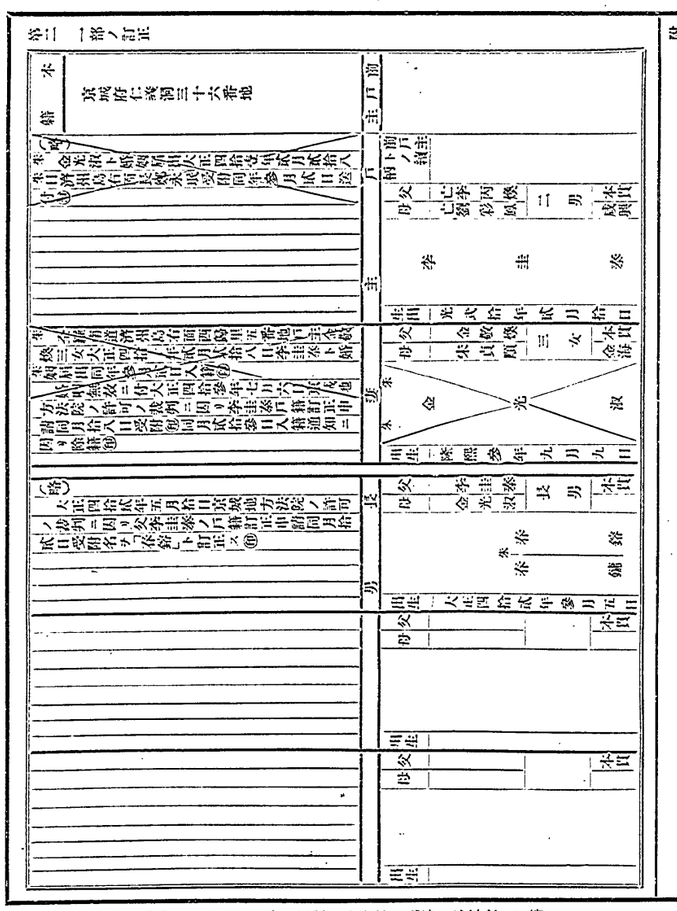
第三二一部ノ訂正



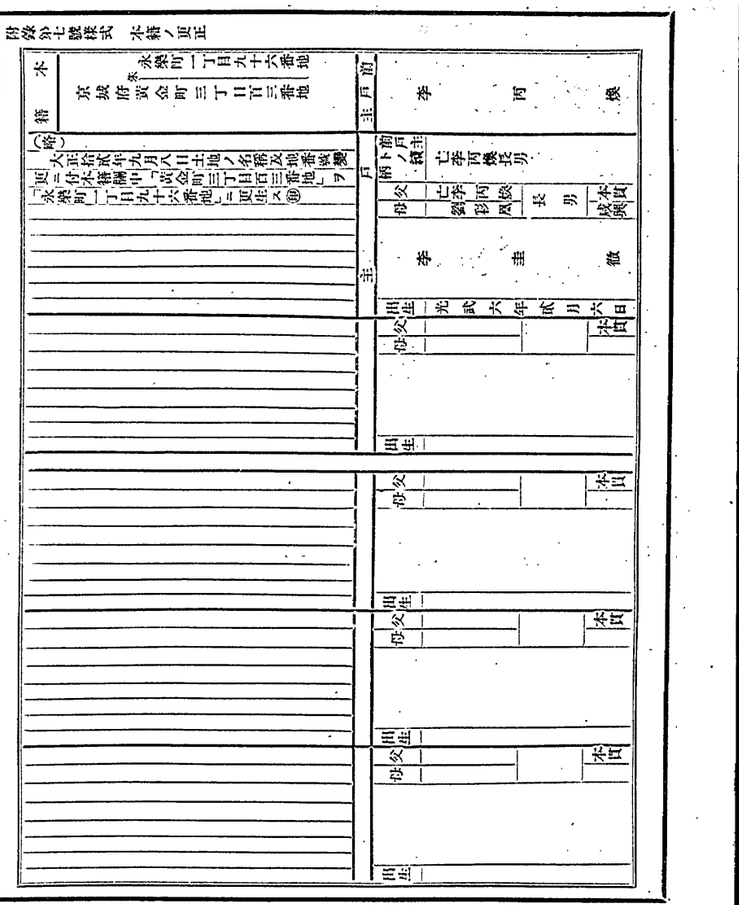
附錄第六號部內式ノ訂正戶籍ノ訂正



第三二一部ノ訂正



附錄第七號樣式　本籍ノ更正



第三十九條　朝鮮貴族世襲財産審議會ノ議長ハ審議會ノ決議書ニ議事錄ヲ添ヘ朝鮮總督ニ答申スベシ

第五章　權利ノ申出

第四十條　華族世襲財産法第八條ノ規定ニ依ル權利ノ申出ヲ爲スニハ申出書ニ左ノ揭ゲル書類其ノ他權利ヲ證スベキ書類ヲ添附スベシ

一　申出ヅル權利ニ關スル登記簿ノ抄本

二　公告ニ揭ゲル財産ガ民事上ノ强制執行、假差押若ハ假處分又ハ競賣ノ手續中ニ在ルトキハ其ノ事實ヲ證スベキ公正ノ證明書

第四十一條　前條ノ申出アリタルトキハ朝鮮總督ハ世襲財産設定ノ認可ノ申請者ニ其ノ申出ノ要旨ヲ通證スベシ

申請者前項ノ通證ヲ受ケタルトキハ申出ヲ承認スル手續ヲ爲スベシ

第四十二條　前二條ノ規定ハ華族世襲財産法第十四條ノ規定ニ依ル權利ノ申出ニ之ヲ準用ス

第六章　臺帳

第四十三條　世襲財産ニ關スル臺帳ハ朝鮮貴族世襲財産臺帳及管理財産臺帳ノ二種トス

臺帳ハ財産所有者毎ニ別冊トス但シ登錄事項簡多ナルトキハ更ニ之ヲ分冊トス

第四十四條　臺帳ニハ表紙ノ裏面ニ紙數及調製ノ年月日ヲ記入シ朝鮮總督官房秘書課長之ニ捺印スベシ前條第二項ノ規定ニ依リ分冊トス爲シタルトキ其ノ各冊ニ付亦同ジ

第四十五條　臺帳ニ登錄スベキ事項及登錄ノ方式ハ附錄樣式ノ定ムル所ニ依ル

第四十六條　世襲財産設定ノ登錄ハ認可ノ當日之ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ管理ヲ命ジタル場合ニ於テ其ノ登錄ニ付之ヲ準用ス

第四十七條　臺帳ノ登錄事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ遲滯ナク其ノ登錄ヲ抹消スベシ

第四十八條　世襲財産ノ廢止アリタルトキハ廢止ノ認可ノ當日、其ノ失效アリタルトキハ遲滯ナク其ノ登錄ヲ抹消スベシ

第四十九條　華族世襲財産法第二十三條又ハ第二十八條ノ規定ニ依リ命ジタル管理終了シタルトキハ終了ノ認可ノ當日其ノ登錄ヲ抹消スベシ

第五十條　臺帳ノ登錄ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク之ヲ更正シ且年月日ヲ記シテ朝鮮總督官房秘書課長之ニ捺印スベシ

第五十一條　抹消ハ朱線ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七章　世襲財産ノ異動

第五十二條　世襲財産ニ付相續ノ開始アリタルトキハ家ノ相續人ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第五十三條　土地收用ニ依リ世襲財産タル土地ヲ收用スル場合ニ於テ協議ニ依リ補償金ヲ定メ得ベキトキハ起業者ハ協議成立前其ノ協議ノ要旨ヲ朝鮮總督ニ申出ヅベシ

地方長官裁決ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ裁決ノ要旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

土地所有者ハ土地收用令第二十條ノ規定ニ依リ地方長官ノ裁決ガ其ノ效力ヲ失ヒタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第五十四條　前條ノ規定ハ世襲財産ヲ公益ノ爲ニスル收用、徵發又ハ制限ニ關スル法令ニシテ土地收用令以外ノモノノ適用ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條　世襲財産ニ對シ假差押若ハ假處分ヲ爲シ又ハ强制執行若ハ競賣手續ニ著手シタルトキハ當該官署ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ手續ノ停止、變更又ハ消滅アリタルトキ亦同ジ

第五十六條　滯納處分ニ依リ世襲財産ヲ差押ヘ之ヲ賣却セントスルトキハ當該官公署ハ賣却手續ノ開始前其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

前項ノ報告ニ於テ差押ノ解除アリタルトキハ當該官公署ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十七條　前二條ノ場合ニ於テ世襲財産ヲ換價シ賣得金ニ剩餘アルコト確定シタルトキハ當該官公署ハ遲滯ナク其ノ金額ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十八條　世襲財産ノ保險者ハ保險金ヲ支拂フベキコト確定シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ申出ヅベシ

第五十九條　世襲財産ノ所有者ハ收用、滯納處分、滅失、競賣其ノ他ノ事由ニ因リ其ノ世襲財産ニ代リテ自己ニ歸スベキ財産アルトキハ殘餘其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第五十三條第二項及第五十四條乃至第五十六條ノ規定ニ依リ前項ニ揭ゲル事由ノ變更又ハ消滅アリタル場合ニ於テモ所有者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第六十條　世襲財産ニ付左ニ揭ゲル事實アリタルトキハ所有者ハ遲滯ナク其ノ時期、事由其ノ他必要ナル事項ヲ詳記シテ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　第四條ノ規定ニ依リ提出シタル財産目錄其ノ他ノ添附書類ノ記載事項ニ異動アリタルトキ

二　世襲財産ノ全部又ハ一部ガ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

三　世襲財産ノ全部又ハ一部ガ滅失シタルトキ

四　收用、滯納處分、滅失、競賣其ノ他ノ事由ニ因リ世襲財産ニ代リテ其ノ所有者ニ歸シタル財産アルトキ

第六十一條　世襲財産廢止ノ認可ノ申請書ニハ廢止セントスル財産ノ目錄及廢止ノ事由ヲ詳記シタル書類ヲ添附スベシ

他ノ世襲財産ニ換フル爲世襲財産ヲ廢止セントスル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ依ル外之ニ代ルベキ財産ニ關スル詳細ナル說明書ヲ添附スベシ

第六十二條　第八條第一項ノ規定ハ有爵者ノ法定代理人又ハ保佐人ガ前條ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

家政協議員會アルベキ場合ニ於テ有爵者ガ世襲財産廢止ノ認可ヲ申請セントスルトキハ申請書ニ家政協議員定數ノ全員ノ同意書ヲ添附スベシ

第六十三條　第九條乃至第十一條ノ規定ハ世襲財産廢止ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八章　管理財産

第六十四條　他ノ世襲財産ニ換フル爲世襲財産ヲ廢止セントスル者華族世襲財産法第二十三條第一項ノ規定ニ依リ管理ノ開始セラレンコトヲ欲スルトキハ廢止ノ認可ノ申請ト共ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ申出ヅベシ

第六十五條　前條ノ規定ハ收用、滯納處分、滅失、競賣其ノ他ノ事由ニ因リ世襲財産ニ代リテ其ノ所有者ニ歸スル財産ノ所有者ニ之ヲ準用ス

條第一項ノ規定ニ依ル管理ノ開始セラレンコトヲ欲スル場合ニ之ヲ準用ス華族世襲財産法第二十七條第一項ノ規定ニ依リ世襲財産タル效力ヲ失ヒタル財産アルトキ其ノ財産ノ所有者ガ華族世襲財産法第二十八條第一項ノ規定ニ依ル管理ノ開始セラレンコトヲ欲スル場合亦同ジ

前項ノ申出ハ所有者ガ第五十九條第一項又ハ第六十條第三項ノ規定ニ依ル屆出ヲ爲ス際之ヲ爲スベシ

第六十六條　朝鮮總督管理人ヲ選任スルトキハ管理人ハ世襲財産設定ノ認可アル迄前項ノ財産ヲ管理スベシ

第六十七條　第五十三條乃至第五十六條、第五十八條及第五十九條ノ規定ニ依ル報告、屆出又ハ申出アリタル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ豫メ管理人ヲ選任スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル管理人ノ選任ハ之ヲ報告、屆出又ハ申出アリタル場合ニ於テ準用ス

第六十八條　管理人ハ遲滯ナク財産目錄ヲ調製シ之ニ署名捺印スベシ

財産目錄ハ二通ヲ調製シ之ヲ朝鮮總督ニ提出シテ其ノ承認ヲ受ケ其ノ一通ハ管理人之ヲ保管スベシ

朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ財產目錄ノ調製ニ立會ハシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ立會官吏ハ財產目錄ニ署名捺印スベシ

第六十九條　管理人民法第百三條ニ定メタル權限ヲ超ユル行爲ヲ爲サントスルトキハ豫メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第七十條　朝鮮總督ハ管理財產ノ所有者ニ對シ相當ノ報酬ヲ管理人ニ與フルコトヲ命ズルコトヲ得

第七十一條　管理財產ニ異動アリタルトキハ管理人ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ此ノ場合ニハ第五十二條及第六十條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ屆出書ニハ異動ニ係ル財產ノ目錄ヲ添附スベシ此ノ場合ニハ第六十八條ノ規定ヲ準用ス

第七十二條　管理ヲ繼續スベキ事由生ミタルトキハ管理人ハ遲滯ナク管理調書ヲ添ヘ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ具申シ管理終了ノ認可ヲ申請スベシ管理人ノ改任アリタルトキ前任管理人ニ付亦同ジ

前項ノ場合ニ於テ管理調書ヲ調製スルコトヲ能ハザルトキハ朝鮮總督ハ特ニ指定シタル者ヲシテ之ヲ調製セシムベシ

第六十八條ノ規定ハ管理調書ノ調製及其ノ提出ニ付之ヲ準用ス

第九章　雜則

第七十三條　本令中世襲財產ノ設定ニ關スル規定ハ其ノ增加ノ場合ニ付之ヲ準用ス

第七十四條　朝鮮總督ハ華族世襲財產法第三十一條ノ規定ニ依ル費用ヲ算定シ名義人ニ對シ納入告知書ヲ發スベシ

第七十五條　第十一條ノ規定ハ華族世襲財產法第三十二條第一項ノ規定ニ依リ世襲財產ノ檢查ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ朝鮮貴族世襲財產令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮貴族世襲財產臺帳

（附錄樣式）

氏（姓）名表示部

所有者	設定、增加、廢止、申請者			
姓名	設定認可相續開始年月日	備考	所有者	申請者	認可年月日	備考

朝鮮貴族世襲財產臺帳　朝鮮總督府

| 氏（姓）名表示部 | | |

數量、價額、權利狀態其ノ他管理ニ必要ナル事項ノ申告ヲ命スルコトヲ得

第三條　當該官吏又ハ吏員ハ第一條ノ財產ニ關シ調查ノ爲必要ナル場所ニ立入リ若ハ檢查ヲ爲シ又ハ其ノ財產ノ所有者、保管者其ノ他關係者ニ對シ調查資料ノ提供ヲ命シ若ハ供述ヲ求ムルコトヲ得

第四條　第一條ノ財產ノ管理ハ當該官廳ノ管理命令ヲ以テ之ヲ開始ス

管理命令ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第五條　當該官廳ハ管理財產ニシテ登記又ハ登錄ノ規定アルモノニ付テハ管理財產タル旨ノ登記又ハ登錄ヲ關係ノ官廳其ノ他ニ囑託又ハ請求スヘシ

當該官廳ハ管理財產權ナルトキハ管理財產タル旨ヲ債務者ニ通知スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル手續ヲ爲スヘキ財產ノ管理ハ登記若ハ登錄又ハ通知アルニ非サレハ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第六條　前二條ノ規定ハ財產ノ管理ヲ終了スル場合ニ之ヲ準用ス

第七條　當該官廳ハ管理財產ノ所有者又ハ保管者ニ對シ其ノ引渡ヲ命スルコトヲ得

第八條　管理ニハ財產ノ換價其ノ他ノ處分ヲ包含ス

政府カ擔保權ノ目的タル管理財產ヲ換價シタルトキハ擔保權ハ代金ノ上ニ存在ス此ノ場合ニ於テハ其ノ代金ハ別ニ之ヲ保管スヘシ

第九條　第一條ノ國、國人又ハ法人ハ其ノ者ニ屬スル管理財產ニ關シ處分其ノ他ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第十條　管理財產ハ管理ニ依リテ生シタル權利ニ基ク場合ヲ除クノ外民事上ノ强制執行又ハ競賣ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條　財產ノ管理ニ要スル費用ハ本人ニ屬スル管理財產ヲ以テ之ヲ支辨スルコトヲ得

第十二條　財產ノ管理ヲ免ルルノ目的ヲ以テ財產ノ隱匿、虛分、毀棄ヲ爲シ若ハ爲サムトスル行爲アリタル者又ハ情ヲ知リテ其ノ虛分ヲ受諾シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役若ハ百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

一　第二條ノ規定ニ依リ命セラレタル申告ヲ爲サス又ハ虛僞ノ申告ヲ爲シタル者

二　第三條ノ規定ニ依ル當該官吏又ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ拒ミ妨ケ若ハ忌避シ、調查資料ノ提供ヲ爲サス若ハ虛僞ノ調查資料ヲ提供シ又ハ供述ヲ拒ミ若ハ虛僞ノ供述ヲ爲シタル者

三　第七條ノ規定ニ依ル引渡ノ命令ニ應セサル者

附　則

本令ハ大正八年勅令第三百四號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正九年勅令第四十八號
ニ依ル管理財產タル國債ニ關スル取扱手續

大正九年三月
大令第十一號

大正九年勅令第四十八號ニ依ル管理財產タル國債ニ關スル取扱手續左ノ通定ム

第一條　當該官廳ニ於テ管理財產タル旨ノ登錄ヲ受ケムトスルトキハ國債ノ種別、登錄ノ金額、記號、番號（記名證券ノ發行アルモノニ限リ、記名式ニ變更アリタルモノニ限ル）及記名ヲ記載シタル請求書ヲ取扱店ニ提出スヘシ

第二條　取扱店ニ於テ國債登錄簿ニ管理財產タル旨ノ登錄ヲ爲シタルトキハ請求書記載ノ事項及登錄濟年月日ヲ記載シタル登錄濟通知書ヲ當該官廳ニ交付スヘシ

第三條　前二條ノ規定ハ登錄國債ノ管理財產タルノ登錄ヲ變更シ又ハ抹消スル場合ニ之ヲ準用ス

同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ基ク損害申告ニ關スル件

大正九年五月
總令第六十八號

同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ基ク損害申告ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約第八編（賠償）第一款第一附屬書第一號、第二號、第三號、第八號、第九號又ハ第十號ニ該當スル損害ヲ受ケタル帝國臣民（帝國法人ヲ含ム）ニシテ朝鮮ニ居住スルモノハ本令ニ依リ其ノ損害ヲ朝鮮總督ニ申告スヘシ

第二條　前條ノ申告ハ別記樣式ニ依リ大正九年七月十日迄ニ申告者ノ居住地ヲ管轄スル道知事ニ之ヲ提出スヘシ

第三條　申告書ハ三通ヲ作成シ且損害ヲ證スル書類三通ヲ添附スヘシ

第四條　道知事前條ノ申告書ヲ受理シタルトキハ調查ノ上意見ヲ附シ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ送達スヘシ

第五條　虛僞ノ申告ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別記）

第一號樣式

損害申告書

申告者	被害者ノ氏名及年齡	被害者ノ住所	被害ノ場所及年月日	被害ノ種類及程度	損害ノ項目	損害額	備考
居住地							
職業							

申告者	損害					備考
居住地	損及ノ總算額					
右申告候也 年　月　日 朝鮮總督殿 申告者　氏　名印						

第二號樣式

損害申告書

申告者	損害				害		備考
居住地	被害ノ數	被害財類及	保及ノ金額受取	被害情程ノ發及度	損額及ノ總算		
職業	被害年月及場所	被害ノ項	當該	被害生ノ	損害ノ總算		
右申告候也 年　月　日 朝鮮總督殿 申告者　氏　名印							

第三號樣式

損害申告書

申告者	損害					害			備考
現住所	被害船舶ノ	船籍港	被害船舶ノ種類及名稱號數	船舶ノ總噸數及運水力年月	被害生ノ場所	被害生ノ年月日及	被害ノ種類及程度	損害額ノ總算及基礎	
職業					損害該當ノ項	當該			
右申告候也 年　月　日 朝鮮總督殿 申告者　氏　名印									

凡例

一、平和條約第八編第一附屬書一、二、三、八、十號ノ損害ハ第一號樣式ニ依リ九號ノ損害（船舶ノ損害ヲ除ク）ハ第二號樣式ニ依リ船舶ノ損害ハ第三號樣式ニ依ルコト

一、申告書ハ一事件每ニ別ニスルコト

一、第一附屬書ノ八、九及十ノ損害ニシテ被害者死亡シ其ノ相續人ヨリ之ヲ申告スルトキ竝同附屬書一、二、三ニ依リ生存被扶養者ノ損害ヲ申告スルトキハ戶籍謄本ヲ添附スルコト

一、被扶養者多數アル場合ニ於テハ之ヲ一括シテ申告スルコト

●同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依ル財産處理ニ關スル件

大正九年五月
勅令第百七十一號

枢密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依ル財産處理ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

第一條　獨逸國又ハ其ノ國人若ハ法人ニ屬スル政府管理財産ヲ以テ同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約第二百九十七條ニ規定スル支拂ニ充ツルハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　前條ノ政府管理財産ノ上ニ存スル抵當權、質權、其ノ他ノ擔保權ヲ實行セムトスルトキハ其ノ擔保權者ハ第三條乃至第六條ノ規定ニ依リテ之ヲ爲スヘシ

第三條　前條ノ擔保權者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ其ノ擔保權ヲ特殊財産管理局ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ依ル届出ニハ擔保權ノ性質及原因竝債權ノ額ヲ表示シ且證據書類又ハ其ノ謄本ヲ提出スヘシ

第四條　前條ニ規定スル期間ヲ經過シタル後届出ヲ爲シタル擔保權者ハ擔保權ノ目的タリシ財産ノ殘餘價額ノ限度ニ於テノミ政府管理財産ニ付擔保權ヲ實行スルコトヲ得

第五條　第二條ノ擔保權ハ辨濟ノ日ニ至ラサル債權、條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權ニ付テモ之ヲ實行スルコトヲ得

條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權ニ付テハ擔保權ノ實行ハ特殊權利審査會ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價額ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第六條　特殊財産管理局ハ届出アリタル擔保權ノ目的タル財産管理財産ノ賣却代金ノ中ヨリ管理ノ費用ヲ控除シ其ノ殘金ヲ以テ其ノ擔保權者及之ニ優先スル權利ヲ有スル者ニ民法其ノ他ノ法令ノ規定ニ依ル順位ニ從ヒテ支拂ヲ爲スヘシ

第七條　第一條ニ規定スル支拂ヲ受ケムトスル者ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ其ノ權利ニ付特殊權利審査會ニ審査ヲ請求スヘシ

特殊權利審査會ハ前項ニ規定スル期間滿了後ニ於テモ仍審査ノ請求ヲ受理スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ラサル審査ノ請求ハ前二項ノ規定ニ依ル請求者ニ對シ支拂ヲ爲シ仍政府管理財産ニ殘餘アリト認ムル場合ニ限リ支拂ヲ爲スコトヲ條件トシテ之ヲ受理スルコトヲ得

特殊權利審査會前三項ノ規定ニ依リ審査ノ請求ヲ受理シタルトキハ其ノ請求ハ之ヲ特殊財産管理局ニ對スル支拂ノ請求ト看做ス

第八條　賠償請求ノ目的ヲ財産回收ニ依リ達セムトスル者ハ本令施行ノ日ヨリ五月内ニ其ノ希望ヲ表示シ其ノ權利ニ付特殊權利審査會ニ審査ヲ請求スヘシ

第九條　第七條ニ規定スル審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第十條　特殊權利審査會審査ノ爲必要ト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

前項ノ證據調ハ裁判所其ノ他ノ官廳ニ嘱託シテ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ證據調ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第十一條　特殊權利審査會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條　特殊權利審査會ハ賠償請求ニ關スル審査ノ請求ヲ理由ナシト認ムル場合ヲ除リノ外同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依リ事件ヲ管轄スル機關ニ其ノ事件ヲ送付スヘシ

第十三條　第八條ノ規定ニ依ル財産回收ノ希望ノ表示アリタル場合ニ於テハ前條ニ規定スル手續ハ其ノ回收行ハレタルトキ、回收不能ト認メタルトキ又ハ一部ニ付回收行ハレ他ノ部分ニ付回收不能ト認メタルトキ之ヲ爲スヘシ

第十四條　特殊權利審査會カ金錢債權ニ關スル審査ノ請求ニ付爲シタル決定ニ不服アル者ハ其ノ決定告知ノ日ヨリ起算シ三月内ニ通常裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

第十五條　内地ニ住居ヲ有セサル者ニ對スル前條ノ訴ハ政府管理財産ノ所在地ノ裁判所之ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ政府管理財産ノ所在地ハ東京市トス

第十六條　朝鮮、臺灣、樺太、關東州及從前ノ占領地ニ存スル政府管理財産ハ特殊財産管理局之ヲ管理ス

第十七條　第一條ニ規定スル支拂ハ本令ニ規定スル手續ニ從ヒ確定シタル金額ニ依リ特殊財産管理局之ヲ爲ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●同盟及聯合國ト墺地利國トノ平和條約ニ依ル財産處理ニ關スル件

大正九年十一月
勅令第五百三十四號

於茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ同盟及聯合國ト墺地利國トノ平和條約ニ依ル財産處理ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

第一條　墺地利國又ハ其ノ國人若ハ法人ニ屬スル政府管理財産ヲ以テ同盟及聯合國ト墺地利國トノ平和條約第二百九十九條ニ規定スル支拂ニ充ツルハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　前條ノ政府管理財産ノ上ニ存スル抵當權、質權、其ノ他ノ擔保權ヲ實行セムトスルトキハ其ノ擔保權者ハ第三條乃至第六條ノ規定ニ依リテ之ヲ爲スヘシ

第三條　前條ノ擔保權者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ其ノ擔保權ヲ特殊財産管理局ニ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ依ル届出ニハ擔保權ノ性質及原因竝債權ノ額ヲ表示シ且證據書類又ハ其ノ謄本ヲ提出スヘシ

第四條　前條ニ規定スル期間ヲ經過シタル後届出ヲ爲シタル擔保權者ハ擔保權ノ目的タリシ財産ノ殘餘價額ノ限度ニ於テノミ政府管理財産ニ付擔保權ヲ實行スルコトヲ得

第五條　第二條ノ擔保權ハ辨濟ノ日ニ至ラサル債權、條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權ニ付テモ之ヲ實行スルコトヲ得

條件附債權又ハ存續期間ノ不確定ナル債權ニ付テハ擔保權ノ實行ハ特殊權利審査會ニ於テ選任シタル鑑定人ノ評價額ニ從ヒテ之ヲ爲スヘシ

第六條　特殊財産管理局ハ届出アリタル擔保權ノ目的タル財産管理財産ノ賣却代金ノ中ヨリ管理ノ費用ヲ控除シ其ノ殘金ヲ以テ其ノ擔保權者及之ニ優先スル權利ヲ有スル者ニ民法其ノ他ノ法令ノ規定ニ依ル順位ニ從ヒテ支拂ヲ爲スヘシ

第七條　第一條ニ規定スル支拂ヲ受ケムトスル者ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ其ノ權利ニ付特殊權利審査會ニ審査ヲ請求スヘシ

特殊權利審査會ハ前項ニ規定スル期間滿了後ニ於テモ仍審査ノ請求ヲ受理スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ラサル審査ノ請求ハ前二項ノ規定ニ依ル請求者ニ對シ支拂ヲ爲シ仍政府管理財産ニ殘餘アリト認ムル場合ニ限リ支拂ヲ爲スコトヲ條件トシテ之ヲ受理スルコトヲ得

特殊權利審査會前三項ノ規定ニ依リ審査ノ請求ヲ受理シタルトキハ其ノ請求ハ之ヲ特殊財産管理局ニ對スル支拂ノ請求ト看做ス

第八條　賠償請求ノ目的ヲ財産回收ニ依リ達セムトスル者ハ本令施行ノ日ヨリ五月内ニ其ノ希望ヲ表示シ其ノ權利ニ付特殊權利審査會ニ審査ヲ請求スヘシ

第九條　第七條ニ規定スル審査ノ請求ハ時效ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第十條　特殊權利審査會審査ノ爲必要ト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調ヲ爲スコトヲ得

前項ノ證據調ハ裁判所其ノ他ノ官廳ニ嘱託シテ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ證據調ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

第十一條　特殊權利審査會ノ組織及審査ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十二條　特殊權利審査會ハ賠償請求ニ關スル審査ノ請求ヲ理由ナシト認ムル場合ヲ除リノ外同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依リ事件ヲ管轄スル機關ニ其ノ事件ヲ送付スヘシ

第十三條　第八條ノ規定ニ依ル財産回收ノ希望ノ表示アリタル場合ニ於テハ前條ニ規定スル手續ハ其ノ回收行ハレタルトキ、回收不能ト認メタルトキ又ハ一部ニ付回收行ハレ他ノ部分ニ付回收不能ト認メタルトキ之ヲ爲スヘシ

第十四條　特殊權利審査會カ金錢債權ニ關スル審査ノ請求ニ付爲シタル決定ニ不服アル者ハ其ノ決定告知ノ日ヨリ起算シ三月内ニ通常裁判所ニ訴ヲ提起スルコトヲ得

第十五條　内地ニ住居ヲ有セサル者ニ對スル前條ノ訴ハ政府管理財産ノ所在地ノ裁判所之ヲ提起スルコトヲ得

前項ノ政府管理財産ノ所在地ハ東京市トス

第十六條　朝鮮、臺灣、樺太、關東州及從前ノ占領地ニ存スル政府管理財産ハ特殊財産管理局之ヲ管理ス

第十七條　第一條ニ規定スル支拂ハ本令ニ規定スル手續ニ從ヒ確定シタル金額ニ依リ特殊財産管理局之ヲ爲ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

理ニ關スル件

大正十年二月
内令第三號

朝鮮ニ於ケル特殊財産管理ニ關スル件左ノ通定ム

朝鮮ニ於ケル特殊財産管理ニ關スル件

第一條　財産ノ所有者、保管者其ノ他關係者ニ本令施行ノ際ニ於ケル財産ニ付テハ本令施行後十日内ニ本令施行後生シタル財産ニ付テハ其ノ都度特殊財産管理局長ニ別記樣式ニ依リ財産ニ關スル申告ヲ爲スヘシ但シ獨逸國又ハ其ノ國人若ハ法人ニ屬スル財産ニシテ大正九年一月十一日以後墺地利國又ハ其ノ國人若ハ法人ニ屬スル財産ニシテハ此ノ限ニ在ラス

第二條　管理財産ノ所有者及保管者ハ管理財産ニ付キ滅失、毀損若ハ變更アリタルトキ又ハ修理ヲ要スト認ムルトキハ其ノ旨直ニ特殊財産管理局長ニ届出ツヘシ

第三條　當該官吏又ハ吏員其ノ職務ヲ執行セムトスルトキハ證票ヲ携帶スヘシ

第四條　特殊財産管理局長ニ提出スヘキ書面ハ財産所在地所轄道廳ニ在ル特殊財産管理局職員ニ差出スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前大正九年朝鮮總督府令第五十號ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ別ニ規定スル場合ヲ除ク外之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

（別記）

第一樣式

番號	國籍	權利者別	住所又ハ所在地	職業	姓名又ハ名稱	所有者	保管者又ハ代表者

第二樣式

番號	種別	價額又ハ金高	備考
	財産 土地		
	財産 建物		
	財産 預金及現金		
	財産 外國貨幣		
	財産 有價證券		
	財産 債權		
	財産 商品		
	財産 特許權		
	財産 其他		
	財産 合計		
	參考事項		

第三樣式

番號	土地ニ關スル權利							
	權利ノ種別	登記年月日番號	所在地	地積	地價	權利ノ價額	所有權者ノ住所地姓名	權利ノ備考

番號	建物ニ關スル權利						
	所在地	種類	坪數	價額	備考		

第四樣式

番號	預金及現金				
	預入保管又ハ所持ノ別	金高	保管者又ハ銀行所在地	姓名又ハ名稱	備考

參考事項	合計

第十一條　第十條ノ外法律ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ハ總テノ刑事ニ關スル他ノ法律ニ適用ス

第十二條　本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ施行ス

第二章　刑事

●第一節　刑事令

明治四十五年一月
（明治四十五年勅令第十號）

第一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第三十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第四十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第五十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第六十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第七十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第八十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第九十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百二十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百三十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百四十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百五十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百六十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百七十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百八十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第百九十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百二十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十七條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十八條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百三十九條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百四十條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百四十一條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百四十二條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百四十三條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百四十四條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百四十五條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力ヲ有スル勅令ニ之ヲ適用ス

第二百四十六條　本令ハ非令ニ依リ勃發シタル刑事ニ關スル法律ノ效力

第一節　刑法

第一款　總則

第一章　通則

第一條　凡罪ヲ犯シタル者ハ本法ニ依リテ處罰ス

第二條　本法ハ帝國臣民ノ帝國外ニ於テ犯シタル罪ニ適用ス

第三條　帝國外ニ於テ帝國臣民ニ對シ犯シタル罪ハ本法ニ依リテ處罰ス

第四條　帝國外ニ於テ外國人ニ對シ帝國又ハ帝國臣民ニ向テ犯シタル罪ハ本法ニ依リテ處罰ス

第五條　犯罪ノ後法律ニ因リ刑ノ變更アリタルトキハ輕キ法律ニ依ル

第六條　本法ニ規定シタル罪ニ付テハ特別ノ規定ヲ適用ス

第七條　本法ニ規定シタル罪ニ付テハ特別ノ規定ヲ適用ス

第八條　本法ニ規定シタル罪ニ付テハ特別ノ規定ヲ適用ス

第二章　刑

第九條　刑ヲ分チテ主刑ト附加刑トノ二種トス

第十條　主刑ヲ分チテ左ノ五種トス

一　死刑

二　懲役

三　禁錮

四　罰金

五　科料

第十一條　附加刑ヲ分チテ左ノ二種トス

一　剥奪公權

二　沒收

第十二條　重罪ハ死刑又ハ無期若ハ長期十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第十三條　輕罪ハ長期五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第十四條　拘留ハ一日以上三十日未滿トス

第十五條　科料ハ一錢以上二十圓未滿トス

第十六條　罪ヲ犯シタル者ハ其ノ情狀ニ因リ主刑ニ附加シテ剥奪公權ヲ附加シ又ハ沒收ヲ附加スルコトヲ得

第十七條　主刑ノ重キニ從テ處斷スヘキ罪ニ付テハ其ノ輕キ罪ニ對シテモ亦同シ

第十八條　主刑ノ輕キニ從テ處斷スヘキ罪ニ付テハ其ノ重キ罪ニ對シテモ亦同シ

第十九條　主刑ノ輕重ハ第一死刑ヲ最重キモノトシ第二以下ハ順次ニ其ノ輕キモノトス

第二十條　主刑ノ輕重ハ同種ニ在リテハ刑期ノ長キニ從ヒ刑期ノ同シキトキハ犯情ノ重キニ從フ

第二十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第五十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第六十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第七十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第八十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第九十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百二十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百三十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百四十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百五十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百六十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百七十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百八十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第百九十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百二十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百三十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百四十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百五十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百六十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百七十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百八十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第二百九十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百二十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百三十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百四十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百五十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百六十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百七十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百八十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第三百九十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百二十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百三十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百四十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百五十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十三條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十四條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十五條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十六條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十七條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十八條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百六十九條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百七十條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百七十一條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百七十二條　主刑ノ輕重ハ犯情ノ重キニ從フ

第四百七十三條　主刑ノ輕重

トヲ得

二個以上ノ役牧ハ之ヲ併科ス

第五十條　併合罪中既ニ裁判ヲ經タル罪トシテ未タ裁判ヲ經サル罪トアルトキハ更ニ裁判ヲ經サル罪ニ付キ處斷ス

第五十一條　併合罪ニ付キ二個以上ノ裁判アリタルトキハ其刑ヲ併セテ之ヲ執行ス但死刑ヲ執行スヘキトキハ役牧ヲ除ク外他ノ刑ヲ執行セス無期ノ懲役又ハ禁錮ヲ執行スヘキトキハ閒金、科料及ヒ沒牧ヲ除ク外他ノ刑ヲ執行セス有期ノ懲役又ハ禁錮ノ執行ハ其最モ重キ罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ニ其半數ヲ加ヘタルモノニ超エルコトヲ得ス

第五十二條　併合罪ニ付キ處斷セラレタル者或罪ニ付キ大赦ヲ受ケタル場合ニ於テハ特ニ大赦ヲ受ケサル罪ニ付キ刑ヲ定ム

第五十三條　拘留又ハ科料ヲ併科ス但沒牧ヲ併科スヘキ場合ニ於テハ此限ニ在ラス

二個以上ノ拘留又ハ科料ハ之ヲ併科ス

第五十四條　一個ノ行爲ニシテ數個ノ罪名ニ觸レ又ハ犯罪ノ手段若クハ結果タル行爲ニシテ他ノ罪名ニ觸ルルトキハ其最モ重キ刑ヲ以テ處斷ス

第四十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ適用ス

第五十五條　連續シタル數個ノ行爲ニシテ同一ノ罪名ニ觸ルルトキハ一罪トシテ之ヲ處斷ス

第十章　累犯

第五十六條　懲役ニ處セラレタル者其執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル日ヨリ五年內ニ更ニ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處スル可キトキハ之ヲ再犯トス

懲役ニ該ル罪ト同質ノ罪ニ因リ死刑ニ處セラレタル者其執行ノ免除アリタル日ヨリ又ハ減刑ニ因リ懲役ニ減輕セラレ其執行ヲ終リ若クハ執行ノ免除アリタル日ヨリ前項ノ期間內ニ更ニ罪ヲ犯シ有期懲役ニ處スル可キトキハ亦同シ

併合罪ニ付キ處斷セラレタル者其併合罪中懲役ニ處スル可キ罪アリタルトキハ其罪最重キ罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ニ其半數ヲ加ヘタルモノヲ以テ長期トス但各罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ヲ合算シタルモノニ超エルコトヲ得ス

第五十七條　再犯ノ刑ハ其罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ニ其半數ヲ加ヘタルモノヲ以テ長期トス但各罪ニ付キ定メタル刑ノ長期ヲ合算シタルモノニ超エルコトヲ得ス

第五十八條　三犯以上ノ者ト雖モ仍ホ再犯ノ例ニ同シ

第十一章　共犯

第五十九條　二人以上共同シテ犯罪ヲ實行シタル者ハ各正犯トス

第六十條　二人以上共同シテ犯罪ヲ實行シタル者ハ各正犯ニ準ス

第六十一條　人ヲ教唆シテ犯罪ヲ實行セシメタル者ハ正犯ニ準ス

教唆者ヲ教唆シタル者亦同シ

第六十二條　正犯ヲ幇助シタル者ハ從犯トス

從犯ヲ教唆シタル者ハ從犯ニ準ス

第六十三條　從犯ノ刑ハ正犯ノ刑ニ照シテ減輕ス

第六十四條　拘留又ハ科料ノミニ處スル可キ罪ノ教唆者及ヒ從犯ハ特別ノ規定アルニ非サレハ之ヲ罰セス

第六十五條　犯人ノ身分ニ因リ構成ス可キ犯罪行爲ニ加功シタルトキハ其身分ナキ者ト雖モ仍ホ共犯トス

身分ニ因リ特ニ刑ノ輕重アルトキハ其身分ナキ者ニハ通常ノ刑ヲ科ス

第六十六條　犯罪ノ情狀憫諒ス可キモノハ酌量シテ其刑ヲ減輕スルコトヲ得

第六十七條　法律ニ依リ刑ヲ加重又ハ減輕スル場合ト雖モ仍ホ酌量減輕ヲ爲スコトヲ得

第十三章　加減例

第六十八條　法律ニ依リ刑ヲ減輕スル可キ一個又ハ數個ノ原由アルトキハ左ノ例ニ依ル

一　死刑ヲ減輕ス可キトキハ無期又ハ十年以上ノ懲役若クハ禁錮トス

二　無期ノ懲役又ハ禁錮ヲ減輕ス可キトキハ七年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮トス

三　有期ノ懲役又ハ禁錮ヲ減輕ス可キトキハ其刑期ノ二分ノ一ヲ減ス

四　閒金ヲ減輕ス可キトキハ其金額ノ二分ノ一ヲ減ス

五　拘留ヲ減輕ス可キトキハ其長期ノ二分ノ一ヲ減ス

六　科料ヲ減輕ス可キトキハ其多額ノ二分ノ一ヲ減ス

第六十九條　法律ニ依リ刑ヲ減輕ス可キ場合ニ於テ各本條ニ二個以上ノ刑名アルトキハ先ツ適用ス可キ刑ヲ定メ其刑ヲ減輕ス

第七十條　懲役、禁錮又ハ拘留ヲ減輕スルニ因リ一日ニ滿タサル時間ヲ剩ストキハ之ヲ除棄ス

閒金又ハ科料ヲ減輕スルニ因リ一錢ニ滿タサル金額ヲ剩ストキ亦同シ

第七十一條　酌量減輕ヲ爲ス可キトキ亦第六十八條及ヒ前條ノ例ニ依ル

第七十二條　同時ニ刑ヲ加重減輕ス可キトキハ左ノ順序ニ依ル

一　再犯加重

二　法律上ノ減輕

三　併合罪ノ加重

四　酌量減輕

第二編　罰

第一章　皇室ニ對スル罪

第七十三條　天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子又ハ皇太孫ニ對シ危害ヲ加ヘ又ハ加ヘントシタル者ハ死刑ニ處ス

第七十四條　天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子又ハ皇太孫ニ對シ不敬ノ行爲アリタルトキハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

神宮又ハ皇陵ニ對シ不敬ノ行爲アリタルトキ亦同シ

第七十五條　皇族ニ對シ危害ヲ加ヘタル者ハ死刑ニ處シ危害ヲ加ヘントシタル者ハ無期懲役ニ處ス

第七十六條　皇族ニ對シ不敬ノ行爲アリタル者ハ二月以上四年以下ノ懲役ニ處ス

第二章　內亂ニ關スル罪

第七十七條　政府ヲ顚覆シ又ハ邦土ヲ僭竊シ

其他朝憲ヲ紊亂スルコトヲ目的トシテ暴動ヲ爲シタル者ハ內亂ノ罪ト爲シ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　首魁ハ死刑又ハ無期禁錮ニ處ス

二　謀議ニ參與シ又ハ群衆ノ指揮ヲ爲シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ禁錮ニ處シ其他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス

三　附和隨行シ其他單ニ暴動ニ干與シタル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス但前項第三號ニ記載シタル者ハ此限ニ在ラス

第七十八條　內亂ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ禁錮ニ處ス

第七十九條　兵器、金穀ヲ資給シ又ハ其他ノ行爲ヲ以テ前二條ノ罪ヲ幇助シタル者ハ七年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十條　前二條ノ罪ヲ犯シ又ハ豫モ未タ暴動ニ至ラサル前自首シタル者ハ其刑ヲ免除ス

第三章　外患ノ罪

第八十一條　外國ニ通謀シテ帝國ニ對シ戰端ヲ開カシメ又ハ敵國ニ與シテ帝國ニ抗敵シタル者ハ死刑ニ處ス

第八十二條　要塞、陣營、軍隊、艦船其他軍用ニ供スル場所又ハ建造物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑ニ處ス

兵器、彈藥其他軍用ニ供スル物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十三條　敵國ヲ利スル爲メ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥、汽車、電車、鐵道、電線其他軍用ニ供スル場所又ハ物ヲ損壞シ若クハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第八十四條　帝國ノ軍用ニ供セサル兵器、彈藥其他直接ニ戰鬪ノ用ニ供スヘキ物ヲ敵國ニ交付シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第八十五條　敵國ノ爲メニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幇助シタル者ハ死刑又ハ無期若クハ五年以上ノ懲役ニ處ス

軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄シタル者亦同シ

第八十六條　前五條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

第八十七條　第八十條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八十八條　第八十一條乃至第八十六條ニ記載シタル豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第八十九條　本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第四章　國交ニ關スル罪

第九十條　帝國ニ滯在スル外國ノ君主又ハ大統領ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

帝國ニ滯在スル外國ノ君主又ハ大統領ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス但外國政府ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第九十一條　帝國ニ派遣セラレタル外國ノ使節ニ對シ侮辱ヲ加ヘタル者ハ二年以下ノ懲役ニ處ス但被害者ノ請求ヲ待テ其罪ヲ論ス

第九十二條　外國ニ對シ侮辱ヲ加フル目的ヲ以テ其國ノ國旗其他ノ國章ヲ損壞、除去又ハ汚穢シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ閒金ニ處ス但公共ノ危險ヲ生セシメタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十三條　外國ニ對シ私ニ戰鬪ヲ爲ス目的ヲ以テ其豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ禁錮ニ處ス但自首シタル者ハ其刑ヲ免除ス

第九十四條　外國交戰ノ際局外中立ニ關スル命令ニ違背シタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ閒金ニ處ス

第五章　公務ノ執行ヲ妨害スル罪

第九十五條　公務員ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シテ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

公務員ヲシテ或處分ヲ爲サシメ若クハ爲ササラシムル爲メ又ハ其職ヲ辭セシムル爲メニ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者亦同シ

第九十六條　前五條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ公務員ノ職務ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ逃走セシムル目的ヲ以テ器具ヲ給與シ其他逃走ヲ容易ナラシム可キ行爲ヲ爲シタル者ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

前項ノ目的ヲ以テ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百一條　法令ニ因リ拘禁セラレタル者ヲ看守又ハ護送スル者被拘禁者ヲ逃走セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六章　犯人藏匿及ヒ證憑湮滅ノ罪

第百三條　閒金以上ノ刑ニ該ル罪ヲ犯シタル者又ハ拘禁中逃走シタル者ヲ藏匿又ハ隱避セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ閒金ニ處ス

第百四條　他人ノ刑事被告事件ニ關スル證憑ヲ湮滅シ又ハ僞造、變造シ若クハ僞造、變造ノ證憑ヲ使用シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ閒金ニ處ス

第百五條　本章ノ罪ハ犯人又ハ逃走者ノ親族ニシテ犯人又ハ逃走者ノ利益ノ爲メニ犯シタルトキハ之ヲ罰セス

第八章　藏匿ノ罪

第百六條　多衆集合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ騷擾ノ罪ト爲シ左ノ區別ニ從テ處斷ス

第百十四條　火災ノ際鎖火用ノ物ヲ隠匿又ハ損壊シ若ハ其他ノ方法ヲ以テ鎮火ヲ妨害シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百十五條　第百九條第一項及ヒ第百十條第一項ニ記載シタル物自己ノ所有ニ係ルト雖モ差押ヲ受ケ、物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シ若ハ保險ニ付シタルモノヲ燒燬シタル者ノ例ニ同シ

第百十六條　火ヲ失シテ第百八條ニ記載シタル物又ハ他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ燒燬シタル者亦同シ

第百十七條　火藥、汽罐其他激發ス可キ物ヲ破裂セシメテ第百八條ニ記載シタル物又ハ他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ損壊シタル者ハ放火ノ例ニ同シ自己ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物又ハ第百十條ニ記載シタル物ヲ損壊シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタルトキハ失火ノ例ニ同シ

第百十八條　瓦斯、電氣又ハ蒸汽ヲ漏出若ハ流出セシメ又ハ之ヲ遮斷シ因テ人ノ生命、身體又ハ財産ニ危險ヲ生セシメタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

瓦斯、電氣又ハ蒸汽ヲ漏出若ハ流出セシメ又ハ之ヲ遮斷シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キ者ニ從テ處斷ス

第百十九條　溢水又ハ水利ヲ壅塞シ用シ又ハ人ノ現在スル建造物、汽車、電車若ハ鑛坑ヲ浸害シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十條　溢水セシメテ前條ニ記載シタル他人ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物ヲ損壊シタル者ハ放火ノ例ニ同シ自己ノ所有ニ係ル第百九條ニ記載シタル物又ハ第百十條ニ記載シタル物ヲ損壊シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者ハ失火ノ例ニ同シ

第百二十一條　水害ノ際防水用ノ物ヲ隠匿又ハ損壊シ若ハ其他ノ方法ヲ以テ水防ヲ妨害シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百二十二條　過失ニ因リ溢水セシメテ第百十九條ニ記載シタル物ヲ浸害シタル者又ハ第百二十條ニ記載シタル物ヲ浸害シ因テ公共ノ危險ヲ生セシメタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十三條　堤防ヲ決潰シ、水閘ヲ破壊シ其他水利ノ妨害ト爲ル可キ行爲又ハ溢水セシメタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一章　往來ヲ妨害スル罪

第百二十四條　陸路、水路又ハ橋梁ヲ損壊又ハ壅塞シテ往來ノ妨害ヲ生セシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第百二十五條　鐵道又ハ其標識ヲ損壊シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ汽車又ハ電車ノ往來ノ危險ヲ生セシメタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第百二十六條　人ノ現在スル汽車又ハ電車ヲ顚覆又ハ破壊シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第百二十七條　人ノ現在スル艦船ヲ覆沒又ハ破壊シタル者亦同シ

前二項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第百二十八條　第百二十七條ノ罪ヲ犯シ因テ汽車又ハ電車ヲ顚覆若ハ破壊シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

人ノ現在スル艦船ヲ覆沒又ハ破壊シタル者亦同シ

第百二十九條　過失ニ因リ汽車、電車又ハ艦船ノ往來ヲ危險ニ陷レタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百三十條　業務上必要ナル注意ヲ怠リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮若ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二章　住居ヲ侵ス罪

第百三十一條　故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ニ侵入シ又ハ要求ヲ受ケテ其場所ヨリ退去セサル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十二條　故ナク皇居、禁苑、離宮又ハ行在所ニ侵入シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

神宮又ハ皇陵ニ侵入シタル者亦同シ

第百三十三條　故ナク封鎖シタル官署ヲ開披シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十四條　醫師、藥劑師、藥種商、產婆、辯護士、辯護人、公證人又ハ此等ノ職ニ在リシ者故ナク其業務上取扱ヒタルコトニ付キ知得タル人ノ秘密ヲ漏泄シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

宗教若ハ祭祀ノ職ニ在ル者又ハ此等ノ職ニ在リシ者故ナク其業務上取扱ヒタルコトニ付キ知得タル人ノ秘密ヲ漏泄シタルトキ亦同シ

第百三十五條　本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第百三十六條　官府ノ證券、會社ノ株券其他ノ有價證券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

偽造、變造ノ外國ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ行使シ若ハ輸入シタル者亦同シ

第百三十七條　行使ノ目的ヲ以テ有價證券ヲ偽造、變造シタル者亦同シ

第百三十八條　偽造、變造ノ有價證券ヲ虚偽ノ記入ヲ爲シタル後其偽造又ハ變造ナルコトヲ知テ之ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタル者ハ其名價三倍以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但一個以下ニ降スコトヲ得ス

第百三十九條　行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ偽造シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル者亦同シ

第百四十條　行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ偽造シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ不正ニ使用シタル者亦同シ

第百四十一條　本章ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第百四十二條　人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十三條　水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ヲ汚穢シ因テ之ヲ用フルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十四條　人ノ飲料ニ供スル淨水ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者又ハ其水源ヲ混入シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十五條　前三條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第百四十六條　水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水又ハ其水源ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ二年以上ノ有期懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

人ノ現在スル艦船ヲ覆沒又ハ破壊シタル者亦同シ

第百四十七條　水道ニ由リ公衆ニ供給スル飲料ノ淨水ニ毒物其他人ノ健康ヲ害ス可キ物ヲ混入シタル者ハ六月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第百四十八條　行使ノ目的ヲ以テ通用ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第百四十九條　通貨偽造ノ罪

第百五十條　官吏又ハ公吏其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ虚偽ノ文書若ハ圖畫ヲ作リ又ハ偽造若ハ變造シタル文書若ハ圖畫ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタルトキハ印章、署名ノ有無ニ別シ前二條ノ例ニ依ル

第百五十一條　公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シ其申立ノ虚偽ナルコトヲ知リテ證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シ免狀、鑑札又ハ旅券ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十二條　公務員其職務ニ關シ行使ノ目的ヲ以テ虚偽ノ文書若ハ圖畫ヲ作リ又ハ偽造若ハ變造シタル文書若ハ圖畫ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタルトキハ印章、署名ノ有無ニ別シ前二條ノ例ニ依ル

第百五十三條　公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シ證明ニ關スル公正證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

公務員ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シ免狀、鑑札又ハ旅券ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百五十四條　前二項ニ記載シタル文書又ハ圖畫ヲ行使シタル者ハ其文書又ハ圖畫ヲ作リ又ハ偽造若ハ變造シタル文書若ハ圖畫ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタル者ニ準ス

第百五十五條　前三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百五十六條　行使ノ目的ヲ以テ官庁ノ證券、會社ノ株券其他ノ有價證券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

偽造、變造ノ外國ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ行使シ若ハ輸入シタル者亦同シ

第百五十七條　行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ偽造シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル者亦同シ

第百五十八條　行使ノ目的ヲ以テ私人ノ印章若ハ署名ヲ偽造シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

私人ノ印章若ハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル者亦同シ

第百五十九條　行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ使用シテ權利、義務又ハ事實證明ニ關スル文書若ハ圖畫ヲ偽造シ又ハ虚偽ノ文書若ハ圖畫ヲ作リ又ハ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第百六十條　前二條ニ記載シタル文書又ハ圖畫ヲ行使シタル者ハ其文書若ハ圖畫ヲ作リ又ハ偽造若ハ變造シタル者ニ準ス

第百六十一條　法律ニ依リ宣誓シタル證人又ハ通譯人ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シタルトキハ前二條ノ例ニ同シ

第百六十二條　證人ヲシテ刑事又ハ懲戒ノ處分ヲ受ケシムル目的ヲ以テ虚偽ノ申告ヲ爲シタル者ハ第百六十九條ノ例ニ同シ

第百六十三條　前條ノ罪ヲ犯シタル者申告シタル事件ノ裁判確定前又ハ懲戒處分前自白シタルトキハ其刑ヲ輕減又ハ免除スルコトヲ得

第百六十四條　公然猥褻ノ行爲ヲ爲シタル者ハ科料ニ處ス

第百六十五條　猥褻ノ文書、圖畫其他ノ物ヲ頒布若ハ販賣シ又ハ公然之ヲ陳列シタル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス販賣ノ目的ヲ以テ之ヲ所持シタル者亦同シ

第百六十六條　十三歳以上ノ男女ニ對シ暴行ヲ爲シ又ハ脅迫ヲ以テ十三歳以上ノ婦女ヲ姦淫シタル者ハ強姦ノ罪ト爲シ二年以上有期懲役ニ處ス十三歳ニ滿タサル婦女ヲ姦淫シタル者亦同シ

第百六十七條　人ノ心神喪失若ハ抗拒不能ニ乘シ又ハ之ヲシテ心神ヲ喪失セシメ若ハ抗拒不能ナラシメテ猥褻ノ行爲ヲ爲シ又ハ姦淫シタル者ハ前二條ノ例ニ同シ

第百六十八條　第百六十四條第二項、第百六十五條第二項及ヒ前條第二項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十三章　偽證ノ罪

第百六十九條　法律ニ依リ宣誓シタル證人又ハ通譯人ニシテ虚偽ノ申立ヲ爲シタルトキハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十條　官府ノ證券、會社ノ株券其他ノ有價證券ヲ偽造又ハ變造シタル者ハ三月以上十年以下ノ懲役ニ處ス

偽造、變造ノ外國ノ貨幣、紙幣又ハ銀行券ヲ行使シ若ハ輸入シタル者亦同シ

第百七十一條　行使ノ目的ヲ以テ有價證券ヲ偽造、變造シタル者亦同シ

第百七十二條　偽造、變造ノ有價證券又ハ虚偽ノ記入ヲ爲シタル後其偽造又ハ變造ナルコトヲ知テ之ヲ行使シ又ハ行使ノ目的ヲ以テ之ヲ人ニ交付シタル者ハ其名價三倍以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但一個以下ニ降スコトヲ得ス

第百七十三條　行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ偽造シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル者亦同シ

第百七十四條　行使ノ目的ヲ以テ公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ偽造シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

公務所又ハ公務員ノ印章若ハ署名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル者亦同シ

第百七十五條　行使ノ目的ヲ以テ御璽、國璽又ハ御名ヲ偽造シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

御璽、國璽又ハ御名ヲ不正ニ使用シ又ハ偽造シタル者亦同シ

第十四章　文書偽造ノ罪

第百七十六條　文書偽造ノ罪ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ處罰ス

一　行使ノ目的ヲ以テ官庁、公吏又ハ公署ノ文書ヲ偽造シ又ハ變造シタルトキ

二　行使ノ目的ヲ以テ権利、義務又ハ事實證明ニ關スル他人ノ文書ヲ偽造シ又ハ變造シタルトキ

三　行使ノ目的ヲ以テ免狀、鑑札又ハ旅券ヲ偽造シ又ハ變造シタルトキ

四　行使ノ目的ヲ以テ他人ノ印章若ハ署名ヲ偽造シタルトキ

第百七十七條　行使ノ目的ヲ以テ官庁、公吏又ハ公署ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ三月以上五年以下ノ懲役ニ處ス

第百七十八條　行使ノ目的ヲ以テ権利、義務又ハ事實證明ニ關スル他人ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百七十九條　第百七十六條第一項ノ場合ニ於テ行使ノ目的ヲ以テ自己ノ文書ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百八十條　第百七十六條第二項ノ場合ニ於テ行使ノ目的ヲ以テ自己ノ文書ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百八十一條　第百七十六條第三項ノ場合ニ於テ行使ノ目的ヲ以テ自己ノ文書ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百八十二條　第百七十六條第四項ノ場合ニ於テ行使ノ目的ヲ以テ自己ノ文書ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第百八十三條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百七十八條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第百八十四條　第百七十六條第二項、第百七十九條又ハ第百八十條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス但官吏又ハ公吏其職務ニ關シ犯シタルトキハ此限ニ在ラス

第百八十五條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第百八十六條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百八十七條　第百七十六條第二項、第百七十九條又ハ第百八十條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百八十八條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百八十九條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十一條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十二條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十三條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十四條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十五條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十六條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十七條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十八條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第百九十九條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百一條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百四條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百五條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百六條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百七條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百八條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百九條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十一條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十二條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十三條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十四條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十五條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十六條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十七條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十八條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百十九條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十一條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十二條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十三條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十四條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十五條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十六條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十七條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十八條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百二十九條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十一條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十二條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十三條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十四條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十五條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十六條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十七條　第百七十六條第一項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十八條　第百七十六條第二項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタル者ハ其文書又ハ圖畫ノ偽造又ハ變造シタル者ノ住所ニ於テ犯シタルモノト看做ス

第二百三十九條　第百七十六條第三項、第百七十六條第四項、第百七十七條又ハ第百八十一條ノ罪ハ其文書又

第十五條　現役　兵事　刑事　監獄

第二章　刑事

第三章　刑事

第四章　刑事

第五章　刑事

第十五條　現役　兵事　刑事　監獄

第二章　刑事

第三章　刑事

第四章　刑事

第五章　刑事

● 刑法施行法

| 法則 | 律治 | 二十一年 | 二十二年 | 二十三年 | 二十四年 | 二十五年 | 二十六年 | 二十七年 | 二十八年 | 二十九年 | 三十年 | 三十一年 | 三十二年 | 三十三年 | 三十四年 | 三十五年 | 三十六年 | 三十七年 | 三十八年 | 三十九年 | 四十年 | 四十一年 | 四十二年 | 四十三年 | 四十四年 | 四十五年 | 四十六年 | 四十七年 | 四十八年 | 四十九年 | 五十年 | 五十一年 | 五十二年 | 五十三年 | 五十四年 | 五十五年 | 五十六年 | 五十七年 | 五十八年 | 五十九年 | 六十年 | 六十一年 | 六十二年 | 六十三年 | 六十四年 | 六十五年 | 六十六年 | 六十七年 | 六十八年 | 六十九年 | 七十年 | 七十一年 | 七十二年 | 七十三年 | 七十四年 | 七十五年 | 七十六年 | 七十七年 | 七十八年 | 七十九年 | 八十年 | 八十一年 | 八十二年 | 八十三年 | 八十四年 | 八十五年 | 八十六年 | 八十七年 | 八十八年 | 八十九年 | 九十年 | 九十一年 | 九十二年 | 九十三年 | 九十四年 | 九十五年 | 九十六年 | 九十七年 | 九十八年 | 九十九年 | 百年 | 百一年 | 百二年 | 百三年 | 百四年 | 百五年 | 百六年 | 百七年 | 百八年 | 百九年 | 百十年 | 百十一年 | 百十二年 | 百十三年 | 百十四年 | 百十五年 | 百十六年 | 百十七年 | 百十八年 | 百十九年 | 百二十年 | 百二十一年 | 百二十二年 | 百二十三年 | 百二十四年 | 百二十五年 | 百二十六年 | 百二十七年 | 百二十八年 | 百二十九年 | 百三十年 | 百三十一年 | 百三十二年 | 百三十三年 | 百三十四年 | 百三十五年 | 百三十六年 | 百三十七年 | 百三十八年 | 百三十九年 | 百四十年 | 百四十一年 | 百四十二年 | 百四十三年 | 百四十四年 | 百四十五年 | 百四十六年 | 百四十七年 | 百四十八年 | 百四十九年 | 百五十年 | 百五十一年 | 百五十二年 | 百五十三年 | 百五十四年 | 百五十五年 | 百五十六年 | 百五十七年 | 百五十八年 | 百五十九年 | 百六十年 | 百六十一年 | 百六十二年 | 百六十三年 | 百六十四年 | 百六十五年 | 百六十六年 | 百六十七年 | 百六十八年 | 百六十九年 | 百七十年 | 百七十一年 | 百七十二年 | 百七十三年 | 百七十四年 | 百七十五年 | 百七十六年 | 百七十七年 | 百七十八年 | 百七十九年 | 百八十年 | 百八十一年 | 百八十二年 | 百八十三年 | 百八十四年 | 百八十五年 | 百八十六年 | 百八十七年 | 百八十八年 | 百八十九年 | 百九十年 | 百九十一年 | 百九十二年 | 百九十三年 | 百九十四年 | 百九十五年 | 百九十六年 | 百九十七年 | 百九十八年 | 百九十九年 | 二百年 | 二百一年 | 二百二年 | 二百三年 | 二百四年 | 二百五年 |
|---|---|---

昭和五年五月
法律第九號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　左ノ各號ノ場合ニ於テ自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險ヲ排除スル爲犯人ヲ殺傷シタルトキハ刑法第三十六條第一項ノ防衛行爲アリタルモノトス

一　盜犯ヲ防止シ又ハ逮捕ヲ取還セントスルトキ

二　兇器ヲ携帶シテ又ハ門戸牆壁等ヲ踰越損壞シ若ハ鎖鑰ヲ開キテ人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入スル者ヲ防止セントスルトキ

三　故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入シタル者又ハ要求ヲ受ケテ此等ノ場所ヨリ退去セザル者ヲ排斥セントスルトキ

前項各號ノ場合ニ於テ自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險アルニ非ズト雖モ行爲者恐怖、驚愕、興奮又ハ狼狽ニ因リ現場ニ於テ犯人ヲ殺傷スルニ至リタルトキハ之ヲ罰セズ

第二條　常習トシテ左ノ各號ノ方法ニ依リ刑法第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條若ハ第二百三十九條ノ罪又ハ共ニ未遂罪ヲ犯シタル者ニ對シ竊盜ヲ以テ論ズベキトキハ三年以上、强盜ヲ以テ論ズベキトキハ七年以上ノ有期懲役ニ處ス

一　兇器ヲ携帶シテ犯シタルトキ

二　二人以上現場ニ於テ共同シテ犯シタルトキ

三　門戸牆壁等ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キ人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ニ侵入シテ犯シタルトキ

四　夜間人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ艦船ニ侵入シテ犯シタルトキ

第三條　常習トシテ前條ニ揭ゲタル刑法各條ノ罪又ハ其ノ未遂罪ヲ犯シタル者ニシテ其ノ行爲前十年內ニ此等ノ罪又ハ此等ノ罪ト他ノ罪トノ併合罪ニ付三回以上六月ノ懲役以上ノ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ其ノ執行ノ免除ヲ得タルモノニ對シ刑ヲ科スベキトキハ前條ノ例ニ依ル

第四條　常習トシテ刑法第二百四十條前段ノ罪又ハ第二百四十一條前段ノ罪ヲ犯シ未遂ニ終リタル者又ハ其ノ未遂罪ヲ犯シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

●大正十五年法律第六十號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

大正十五年九月
勅令第二百九十九號

朕大正十五年法律第六十號ノ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

樞密院議長子爵　清浦奎吾
樞密院書記官長　男爵　倉富勇三郎
樞密院書記官　男爵　平山成信
樞密院書記官　男爵　入江貫一
樞密院書記官　男爵　鈴木富士彌
樞密院書記官　男爵　大木遠吉
樞密院書記官　男爵　松平康國
樞密院書記官　男爵　有吉忠一
樞密院書記官　男爵　池田宗墨
樞密院書記官　男爵　二荒芳德
樞密院書記官　男爵　大谷正男
樞密院書記官　男爵　松平慶民
樞密院書記官　男爵　松平直亮
樞密院書記官　男爵　松平恒雄
樞密院書記官　男爵　松平康昌
樞密院書記官　男爵　松平康平
樞密院書記官　男爵　松平康春
樞密院書記官　男爵　松平康國
樞密院書記官　男爵　松平康民
樞密院書記官　男爵　松平康直
樞密院書記官　男爵　松平康德
樞密院書記官　男爵　松平康春
樞密院書記官　男爵　松平康國
樞密院書記官　男爵　松平康民
樞密院書記官　男爵　松平康直
樞密院書記官　男爵　松平康德

朕樞密院ノ諮詢ヲ經テ大正十五年法律第六十號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

大正十五年九月十五日

內閣總理大臣　子爵　山本權兵衛
樞密院議長　子爵　清浦奎吾
內務大臣　伯爵　水野錬太郎
司法大臣　男爵　小橋一太
文部大臣　岡田良平
農商務大臣　男爵　山崎達之輔
遞信大臣　勅任　床次竹二郎
拓務大臣　勅任　川村竹治
鐵道大臣　勅任　江木翼

大正十五年法律第六十號

朕樞密院ノ諮詢ヲ經タル暴力行爲等處罰ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

大正十五年四月十五日

內閣總理大臣　子爵　山本權兵衛
樞密院議長　子爵　清浦奎吾
內務大臣　伯爵　水野錬太郎
司法大臣　男爵　小橋一太
文部大臣　岡田良平
農商務大臣　男爵　山崎達之輔
遞信大臣　勅任　床次竹二郎
拓務大臣　勅任　川村竹治
鐵道大臣　勅任　江木翼

●暴力行爲等處罰ニ關スル法律

大正十五年四月
法律第六十號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル暴力行爲等處罰ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　團體若ハ多衆ノ威力ヲ示シ又ハ兇器ヲ示シ若ハ數人共同シテ刑法第二百八條第一項、第二百二十二條又ハ第二百六十一條ノ罪ヲ犯シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

常習トシテ前項ノ揭ゲル刑法各條ノ罪ヲ犯シタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第二條　財產上不正ノ利益ヲ得又ハ得シムル目的ヲ以テ前條第一項ノ方法ニ依リ面會ヲ强請シ又ハ强請威迫ノ行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

常習トシテ故ナク面會ヲ强請シ又ハ强請威迫ノ行爲ヲ爲シタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第三條　第一

第三條ニ依リ本件ハ第一審ノ管轄ニ屬スルモノトス

第四條　訴訟ハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ法律ニ別段ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第二十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第二十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第二十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第二十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第二十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第三十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第三十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第三十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第三十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第三十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第三十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第三十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第三十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第三十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第三十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第四十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第四十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第四十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第四十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第四十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第四十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第五十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第五十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第五十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第五十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第五十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第六十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第六十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第六十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第六十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第六十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第六十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第七十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第七十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第七十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第七十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第七十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第七十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第七十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第七十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第七十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第七十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第八十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第八十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第八十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第八十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第八十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第八十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第八十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第八十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第八十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第八十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第九十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第九十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第九十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第九十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第九十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第九十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第九十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第九十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第九十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第九十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百二十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百二十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百二十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百二十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百二十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百二十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百二十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百二十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百二十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百二十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百三十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百三十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百三十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百三十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百三十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百三十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百三十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百三十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百三十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百三十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百四十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百四十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百四十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百四十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百四十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百四十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百四十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百四十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百四十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百四十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百五十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百五十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百五十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百五十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百五十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百五十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百五十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百五十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百五十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百五十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百六十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百六十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百六十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百六十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百六十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百六十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百六十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百六十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百六十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百六十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百七十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百七十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百七十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百七十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百七十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百七十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百七十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百七十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百七十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百七十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百八十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百八十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百八十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百八十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百八十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百八十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百八十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百八十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百八十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百八十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百九十條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百九十一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百九十二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百九十三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百九十四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百九十五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百九十六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百九十七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第百九十八條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第百九十九條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二百條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第二百一條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二百二條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第二百三條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二百四條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第二百五條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ不動産ノ所在地ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第二百六條　訴訟ハ動産ニ關スルトキハ被告ノ住所ヲ管轄スル裁判所ノ管轄ニ屬ス但シ動産ノ所在地ニ於テ訴ヲ提起スルコトヲ妨ケス

第二百七條　訴訟ハ不動産ニ關スルトキハ其ノ

月及年ノ所ニ従ヒ之ヲ計算ス
期間ニ朔ニ始マル場合ニ於テハ一月ハ之ヲ三十日ト為シ一年ハ之ヲ三百六十五日ト為ス
一　時ヲ以テ定メタル期間ハ即時ヨリ起算ス
二　日ヲ以テ定メタル期間ハ翌日ヨリ起算ス
三　週、月又ハ年ヲ以テ定メタル期間ハ起算日ニ応当スル翌週、翌月又ハ翌年ノ応当日ノ前日ヲ以テ満了ス但シ月ヲ以テ定メタル期間ニ於テ最後ノ月ニ応当日ナキトキハ其月ノ末日ヲ以テ満了ス
第十六條　期間ノ末日ガ日曜日又ハ其他ノ休日ニ当タルトキハ其翌日ヲ以テ期間ノ満了ト為ス
第十七條　期間ノ計算ニ付テハ裁判所ノ休暇ハ之ヲ算入セス
第十八條　裁判所ハ職権ヲ以テ又ハ当事者ノ申立ニ因リ訴訟ノ遅滞ヲ防ク為メ又ハ訴訟ノ状況ニ因リ必要アリト認ムルトキハ期日ヲ定メ又ハ期日ヲ変更スルコトヲ得
第十九條　期日ハ裁判所ノ構内ニ於テ之ヲ開ク但シ裁判所ニ於テ相当ト認メタルトキハ構内ノ他ノ場所ニ於テ之ヲ開クコトヲ得
第二十條　期日ハ当事者ノ呼出ニ因リ之ヲ開ク
第二十一條　当事者ハ期日ニ出頭スルコトヲ要ス
第二十二條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第二十三條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第二十四條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第二十五條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第二十六條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第二十七條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第二十八條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第二十九條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十一條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十二條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十三條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十四條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十五條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十六條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十七條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十八條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第三十九條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十一條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十二條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十三條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十四條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十五條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十六條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十七條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十八條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第四十九條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十一條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十二條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十三條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十四條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十五條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十六條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十七條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十八條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第五十九條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十一條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十二條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十三條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十四條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十五條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十六條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十七條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十八條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第六十九條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十一條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十二條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十三條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十四條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十五條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十六條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十七條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十八條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第七十九條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十一條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十二條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十三條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十四條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十五條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十六條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十七條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十八條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第八十九條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十一條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十二條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十三條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十四條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十五條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十六條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十七條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十八條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第九十九條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得
第百條　当事者ハ期日ニ出頭セサルトキハ訴訟ニ関シ準備ヲ為サス又ハ期日ニ出頭セサル為メ訴訟ノ遅滞ヲ来スヘキ行為ヲ為スコトヲ得

三　裁判長ハ左ノ事項ヲ調書ニ記載セシムヘシ
一　裁判官ノ除斥又ハ忌避ノ申立アリタルトキハ其ノ事由及ヒ之ニ対スル意見
二　裁判官ノ交代
三　裁判官ノ命令ニ因リ又ハ当事者ノ申立ニ因リ裁判所ノ為シタル決定
四　証人ノ宣誓
五　検証ノ結果
六　鑑定人ノ意見
七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述
八　訴ノ取下、和解、請求ノ認諾、訴訟ノ完結
九　其ノ他裁判長ニ於テ必要ト認メタル事項
四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ裁判長ニ於テ必要ト認メタルトキハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十一　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十二　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十三　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
十九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十一　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十二　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十三　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
二十九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十一　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十二　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十三　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
三十九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十一　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十二　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十三　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
四十九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十一　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十二　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十三　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
五十九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十一　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十二　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十三　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
六十九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十一　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十二　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十三　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
七十九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十一　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十二　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十三　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
八十九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十一　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十二　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十三　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十四　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十五　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十六　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十七　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十八　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
九十九　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得
百　裁判官ノ面前ニ於ケル当事者ノ陳述ハ速記ヲ為サシムルコトヲ得

ブラウザ拡張機能を一時的に無効にしてください

第百三十一條　第九十七條及第百十一條ノ外死刑ニ當リ又ハ無期若ハ長期三年以上ノ懲役ニ當ルヘキ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百三十二條　犯人カ自己ノ意思ニ因リ犯罪ヲ中止シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百三十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百三十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百三十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百三十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百三十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百三十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百三十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百四十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百五十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百六十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百七十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百八十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第百九十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百二十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百三十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百四十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百五十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百六十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百七十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百八十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第二百九十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百二十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百三十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百四十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百五十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十一條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十二條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十三條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十四條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十五條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十六條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十七條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十八條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百六十九條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ其刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三百七十條　第百三十條ノ罪ヲ犯シ未タ發覺セサル間ニ自首シタルトキハ

第百六十四條　第百六十三條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第百六十五條　第百六十三條ノ規定ハ第百六十一條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百六十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百六十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百六十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百六十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百七十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百八十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第百九十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百二十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百三十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百四十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百五十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百六十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百七十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百八十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第二百九十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百二十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百三十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百四十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十八條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百五十九條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百六十條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百六十一條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百六十二條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百六十三條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百六十四條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百六十五條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百六十六條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ之ヲ準用ス

第三百六十七條　第百六十一條ノ規定ハ第百六十三條ノ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付キ公訴ノ提起アリタル後ニ

ルナキハ占有ノ始ニ善意ナリシモノト推定ス（第一九二条）

第二百七十八條　動産ノ占有カ盜ニ因リテ始マリタル場合ニ於テハ被害者ハ盜ノ時ヨリ二年間ニ限リ占有ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

第二百七十九條　動産ノ占有カ詐欺又ハ強迫ニ因リテ始マリタル場合ニ於テハ被害者ハ詐欺又ハ強迫ノ時ヨリ一年間ニ限リ占有ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

第二百八十條　動産ノ占有カ遺失又ハ盜ニ因リテ始マリタル場合ニ於テハ被害者ハ遺失又ハ盜ノ時ヨリ二年間ニ限リ占有ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

第二百八十一條　動産ノ占有カ公ノ競賣ニ因リテ始マリタル場合ニ於テハ被害者ハ競賣ノ時ヨリ一年間ニ限リ占有ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

第二百八十二條　動産ノ占有カ公ノ市場又ハ公ノ市場ニ於ケル同種ノ物ノ販賣ニ因リテ始マリタル場合ニ於テハ被害者ハ代價ヲ辨償シテ其物ノ回復ヲ請求スルコトヲ得

第二百八十三條　動産ノ占有カ盜ニ因リテ始マリタル場合ニ於テハ被害者ハ盜ノ時ヨリ二年間ニ限リ其動産ヲ追及シテ之ヲ取戻スコトヲ得

第二百八十四條　動産ノ占有カ遺失ニ因リテ始マリタル場合ニ於テハ被害者ハ遺失ノ時ヨリ二年間ニ限リ其動産ヲ追及シテ之ヲ取戻スコトヲ得

第二百八十五條　動産ノ占有カ詐欺又ハ強迫ニ因リテ始マリタル場合ニ於テハ被害者ハ詐欺又ハ強迫ノ時ヨリ一年間ニ限リ其動産ヲ追及シテ之ヲ取戻スコトヲ得

第二百八十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百八十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ悪意ナリシトキハ其者カ現ニ善意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百八十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百八十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第二百九十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百二十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百三十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百四十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百五十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百六十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百七十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百八十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第三百九十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百二十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百三十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十一條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十二條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十三條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十四條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十五條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十六條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十七條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十八條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百四十九條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復ヲ拒ムコトヲ得ス

第四百五十條　占有ノ回復ヲ請求セラレタル者カ占有ノ始ニ於テ善意ナリシトキハ其者カ現ニ悪意ナルニ非サレハ其回復

第三百二十四條 檢察官於偵查中得命被告提出保證金或具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十五條 檢察官於偵查中得命被告具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十六條 檢察官於偵查中得命被告具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十七條 檢察官於偵查中得命被告具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十八條 檢察官於偵查中得命被告具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十九條 檢察官於偵查中得命被告具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十條 檢察官於偵查中得命被告具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十一條 檢察官於偵查中得命被告具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十二條 檢察官於偵查中得命被告具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十三條 檢察官於偵查中得命被告具保書限制其住居或為其他適當之處分

第三百二十四條 檢察官於偵查中得命被告

第三百二十七條　第三百二十六條之規定於前條之未遂犯準用之

第三百二十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之未遂犯準用之

第三百二十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之預備犯準用之

第三百三十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之陰謀犯準用之

第三百三十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之教唆犯準用之

第三百三十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之幫助犯準用之

第三百三十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百三十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百三十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百三十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百三十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百三十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百三十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百四十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百五十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百六十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百七十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百八十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第三百九十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百二十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百三十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百四十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百五十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百六十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百七十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百八十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第四百九十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百二十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百三十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百四十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百五十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百六十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百七十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百八十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十一條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十二條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十三條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十四條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十五條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十六條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十七條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十八條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第五百九十九條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第六百條　第三百二十六條之規定於第三百二十七條之從犯準用之

第
ノ料ス百必ト廿サ廿反百契十一
理ス百必ト廿サ廿反百契十一
由ヘキ十二條ル一條ル一
トヲ二ヨコトルニ
恐風條ノ
ス來ノ
コナル刑ノ
トルノ
ヲ得ル
得ル由
ル由
ヲ思

第四百四十八條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十九條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十一條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十二條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十三條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十四條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十五條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十六條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十七條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十八條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百五十九條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十一條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十二條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十三條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十四條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十五條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十六條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十七條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十八條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百六十九條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十一條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十二條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十三條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十四條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十五條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十六條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十七條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十八條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百七十九條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十一條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十二條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十三條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十四條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十五條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十六條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十七條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十八條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百八十九條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九十條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九十一條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九十二條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九十三條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九十四條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九十五條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九十六條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九十七條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九十八條 第四百四十六條ノ規定ハ第四百四十七條ノ場合ニ於テ檢事ノ指揮ニ從ヒ檢事ノ職務ヲ行フ司法警察官ニ之ヲ準用ス

第四百九

第五百三十條　正式裁判ノ請求ハ第一審ノ判決アル迄ヲ取下クルコトヲ得

第五百三十一條　正式裁判ノ請求法律上ノ方式ニ違反シ又ハ請求權消滅後ニ爲シタルモノナルトキハ檢事ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ此ノ決定ニ對シテハ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百三十二條　正式裁判ノ請求ニ因リ判決ヲ爲シタルトキハ略式命令ハ其ノ效力ヲ失フ

第五百三十三條　略式命令ハ正式裁判ノ請求ノ取下ニ因リ確定判決ト同一ノ效力ヲ生ス正式裁判ノ請求ヲ棄却スル裁判確定シタルトキ亦同シ

第八編　裁判ノ執行

第五百三十四條　裁判ハ確定シタル後之ヲ執行ス但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第五百三十五條　裁判ノ執行ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ檢事之ヲ指揮ス但シ其ノ性質上裁判所又ハ裁判長之ヲ命ス可キモノハ此ノ限ニ在ラス

上訴ノ裁判又ハ上訴ノ取下ニ因リ下級裁判所ノ裁判ヲ執行スヘキ場合ニ於テハ上訴裁判所ノ檢事其ノ執行ヲ指揮ス但シ訴訟記錄ハ下級裁判所ニ在ルトキハ其ノ裁判所ノ檢事之ヲ指揮ス

第五百三十六條　裁判執行ノ指揮ハ書面ヲ以テ之ヲ爲シ之ニ裁判書又ハ裁判ヲ記載シタル調書ノ謄本又ハ抄本ヲ添附スヘシ但シ刑ノ執行ヲ指揮スル場合ヲ除クノ外裁判書ノ原本、謄本若ハ抄本又ハ調書ノ謄本若ハ抄本ニ認印シテ之ヲ爲スコトヲ得

第五百三十七條　二以上ノ主刑ノ執行ハ倒金及科料ヲ除クノ外其ノ重キモノヲ先ニス但シ檢事ノ重キ刑ノ執行ヲ停止シ他ノ刑ノ執行ヲ爲サシムルコトヲ得

第五百三十八條　死刑ノ執行ハ司法大臣ノ命令ニ依ル

第五百三十九條　死刑ヲ言渡シタル判決確定シタルトキハ檢事ハ速ニ訴訟記錄ヲ司法大臣ニ差出スヘシ

第五百四十條　司法大臣死刑ノ執行ヲ命シタルトキハ五日內ニ其ノ執行ヲ爲スヘシ

第五百四十一條　死刑ノ執行ハ檢事及裁判所書記ノ立會ノ上之ヲ爲スヘシ

第五百四十二條　死刑ノ執行ハ立會ヒタル裁判所書記ノ作リタル檢事及監獄ノ長ノ共ニ之ニ署名捺印スヘシ

第五百四十三條　死刑ノ言渡ヲ受ケタル者心神喪失ノ狀態ニ在ルトキハ司法大臣ノ命令ニ因リ執行ヲ停止ス

死刑ノ言渡ヲ受ケタル者心神喪失ノ狀態ニ在ルトキハ司法大臣ノ命令ニ因リ死刑ノ執行ヲ停止シタル場合ニ於テハ檢事ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ監護義務者又ハ市町村長ニ引渡シ病院其ノ他適當ノ場所ニ入レシムルコトヲ得

刑ノ執行ヲ停止セラレタル者ハ前項ノ處分アル迄之ヲ監獄ニ留置シ其ノ期間ヲ刑期ニ算入ス

第五百四十四條　懲役、禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付左ニ揭ケル事由アルトキハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ現在地ヲ管轄スル地方裁判所ノ檢事ノ指揮ニ因リ刑ノ執行ヲ停止スルコトヲ得

一　刑ノ執行ニ因リ著シク健康ヲ害スルトキ又ハ生命ヲ保ツコト能ハサル虞アルトキ

二　七十歲以上ナルトキ

三　受胎後百五十日以上ナルトキ

四　分娩後六十日ヲ經過セサルトキ

五　刑ノ執行ニ因リ回復スヘカラサル不利益ヲ生スル虞アルトキ

六　祖父母又ハ父母七十歲以上又ハ疾篤疾ニシテ侍養ノ子孫ナキトキ

七　其ノ他重大ナル事由アルトキ

第五百四十五條　死刑、懲役、禁錮又ハ拘留ノ執行ヲ停止シタル者逃亡シタルトキ又ハ逃亡スル虞アルトキハ檢事ハ直ニ逮捕狀ヲ發シ又ハ司法警察官ヲシテ之ヲ發セシムルコトヲ得

第五百四十六條　死刑、懲役、禁錮又ハ拘留ノ言渡ヲ受ケタル者ノ現在地ヲ覺知スルコト能ハサルトキハ檢事ハ檢事長ニ人相書ヲ送付シ其ノ逮捕ヲ請求スルコトヲ得

請求ヲ受ケタル檢事長ハ其ノ管內ノ檢事ヲシテ逮捕狀ヲ發シ逮捕ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第五百五十條　逮捕狀ニハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ氏名、住居、年齡、刑名、刑期其ノ他逮捕ニ必要ナル事項ヲ記載シ檢事又ハ司法警察官之ニ記名捺印スヘシ

必要アル場合ニ於テハ逮捕狀ニ人相書ヲ添附スヘシ

第五百五十一條　逮捕狀ハ勾引狀ト同一ノ效力ヲ有ス

第五百五十二條　逮捕狀ノ執行ニ付テハ勾引狀ノ執行ニ關スル規定ヲ準用ス

第五百五十三條　罰金、科料、沒收、追徵、過料、沒取、訴訟費用又ハ費用賠償ノ裁判ハ檢事ノ命令ニ因リ之ヲ執行ス此ノ命令ハ執行力アル債務名義ト同一ノ效力ヲ有ス

前項ノ裁判ノ執行ニ付テハ民事訴訟法ヲ準

用ス但シ執行前裁判ノ送達ヲ爲スコトヲ要セス

第五百五十四條　沒收又ハ追徵ノ外他ノ公課若ハ專賣ニ關スル法令ノ規定ニ依リ言渡シタル罰金若ハ追徵ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ裁判決確定後死亡シタル場合ニ於テハ相續財產ニ就キ之ヲ執行スルコトヲ得

刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ死亡ニ非サル事由ニ因リ相續開始シタルトキハ罰金、沒收又ハ追徵ハ相續財產ニ就キ之ヲ執行スルコトヲ得

第五百五十五條　法人ニ對シ罰金、科料、沒收又ハ追徵ヲ言渡シタル場合ニ於テ其ノ裁判確定後合併ニ因リ法人消滅シタルトキハ合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リ設立シタル法人ニ對シテ執行ヲ爲スコトヲ得

第五百五十六條　上訴申立後ノ未決勾留ノ日數ハ左ノ例ニ依リ之ヲ本刑ニ通算ス

一　檢事ノ上訴ナルトキハ勾留日數ノ全部

二　檢事ニ非サル者ノ上訴ニシテ其ノ理由アルトキハ勾留日數ノ全部

前項ノ規定ニ依ル通算ニ付テハ未決勾留一日ヲ刑期ノ一日又ハ金額ノ一圓ニ折算ス

上告裁判所判決ヲ破毀シタル後ノ未決勾留ハ上告申ノ未決勾留日數ニ準シ之ヲ通算ス

第五百五十七條　沒收物ハ檢事之ヲ處分スヘシ

第五百五十八條　沒收ノ執行後三月內ニ權利ヲ有スル者ヨリ沒收物ノ返付ヲ請求シタルトキハ檢事ハ破壞又ハ廢棄スヘキ物ヲ除クノ外之ヲ交付スヘシ

沒收物ヲ處分シタル後前項ノ請求アリタル場合ニ於テハ檢事ハ公費ニ因リ手續ヲ爲シタル代價ヲ交付スヘシ

第五百五十九條　偽造又ハ變造ニ係ル物ヲ返還スル場合ニ於テハ偽造又ハ變造ノ部分ヲ其ノ物ニ表示スヘシ

偽造又ハ變造ニ係ル物押收セラレサルトキハ之ヲ提出セシメテ前項ニ規定スル手續ヲ爲スヘシ但シ其ノ物公務所ニ屬スルトキハ公務所ニ通知シテ相當ノ處分ヲ爲サシムヘシ

第二章　刑事

第五百六十條　押收物ノ還付ヲ受クヘキ者ノ所在不明ナル爲又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ其ノ物ヲ還付スルコト能ハサル場合ニ於テハ檢事ハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

公告ヲ爲シタル時ヨリ六月內ニ還付ノ請求ナキトキハ其ノ物ハ國庫ニ歸屬ス

前項ノ期間內ト雖價值ナキ物ハ之ヲ廢棄シ保管ニ不便ナル物ハ之ヲ公賣シテ其ノ代價ヲ保管スルコトヲ得

第五百六十一條　刑ノ言渡ヲ受ケタル者裁判ノ解釋ニ付疑アルトキハ言渡ヲ爲シタル裁判所ニ疑義ノ申立ヲ爲シタル裁判所ニ疑義ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第五百六十二條　裁判ノ執行ヲ受ケル者又ハ其ノ法定代理人、保佐人若ハ夫執行ニ關シ檢事ノ爲シタル處分ニ不當アリトシテ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第五百六十三條　疑義又ハ異議ノ申立ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

疑義又ハ異議ノ申立ハ決定アル迄之ヲ取下クルコトヲ得

疑義又ハ異議ノ取下ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三百九十一條ノ規定ハ疑義又ハ異議ノ申立及其ノ取下ニ之ヲ準用ス

第五百六十四條　疑義又ハ異議ノ申立ハ決定アル迄之ヲ取下クルコトヲ得

第五百六十五條　疑義又ハ異議ノ申立ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ卽時抗告ヲ爲スコトヲ得

第五百六十六條　原告公判期日ニ出頭シ訴狀ニ記載シタル事項ニ付陳述ヲ爲シタル後ニ非サレハ訴ヲ取下クルコトヲ得ス

第五百六十七條　公訴ノ公判期日ニハ私訴ノ關係人ヲ召喚スヘシ

第五百六十八條　原告公判期日ニ出頭シ訴狀ニ記載シタル事項ニ付陳述ヲ爲シタル後ニ非サレハ訴ヲ取下クルコトヲ得ス

第五百六十九條　訴狀其ノ他對手人ニ交付スヘキ書類ハ裁判所ニ差出スモノノ外對手人ノ數ニ應シテ之ヲ差出スヘシ

第五百七十條　裁判所ハ訴狀ヲ受取リタルトキハ速ニ之ヲ被告人ニ送達スヘシ

第五百七十一條　訴狀ニハ被告人ニ對シ公判廷ニ於テ訴狀ヲ交付シタルトキハ送達アリタルモノト看做ス

第五百七十二條　公訴ノ公判期日ニハ私訴關係人ヲ召喚スヘシ

第五百七十三條　原告公判期日ニ出頭シ訴狀ヲ差出サス且ノ期日ニモ出頭セス又ハ其ノ出頭スルモ訴狀ニ記載シタル事項ニ付陳述ヲ爲サス且ノ期日ニモ出頭セサル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第五百七十四條　公訴ノ取調ハ公訴ノ審理ヲ終ヘタル後之ヲ爲スヘシ但シ裁判長ハ公訴ノ審理中ト雖職權ヲ以テ私訴ニ付取調ヲ爲スコトヲ得

第五百七十五條　裁判所ハ相當ノ陳述ヲ爲スヘシ

第五百七十六條　公訴ニ付取調ヘタル證據ハ私訴ニ付取調ヘタルモノト看做ス

第五百七十七條　裁判所ハ私訴判決ヲ受ケヘキ事項ノ申立ノ範圍內ニ於テハ請求ノ原因タル事實ニ關スル原告ノ陳述ニ拘束セラルヘカラス

第五百七十八條　裁判長ハ訴訟關係人ニ對シ事件ニ關スル事項ニ付問ヲ發シ又ハ陪席裁判官ヲシテ問ヲ發セシムルコトヲ得

第五百七十九條　裁判長ハ訴訟關係人ノ陳述ヲ中止セシメ又ハ其ノ順序ヲ變更スルコトヲ得

第五百八十條　裁判長ハ訴訟關係人ノ陳述ニシテ事件ニ關スル事項ニ非サルモノ又ハ重複ニ渉ルモノヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第五百八十一條　裁判長ハ訴訟關係人ノ陳述ニシテ風俗ヲ害スルモノ又ハ裁判ノ威信ヲ害スルモノアルトキハ之ヲ禁止スルコトヲ得

第五百八十二條　訴訟關係人ハ裁判長ノ許可ヲ得テ證人、鑑定人ニ對シ直接ニ問ヲ發スルコトヲ得

第五百八十三條　訴訟關係人ハ裁判長ニ申請シテ證人、鑑定人ノ訊問ヲ爲サシムルコトヲ得

第五百八十四條　訴訟關係人ハ裁判長ニ申請シテ檢證ヲ爲サシムルコトヲ得

第五百八十五條　訴訟關係人ハ裁判長ニ申請シテ書類又ハ證據物ヲ提出スルコトヲ得

第五百八十六條　公訴ニ付取調ヘタル證據ハ私訴ニ付取調ヘタルモノト看做ス

第五百八十七條　裁判所ハ私訴判決ヲ受ケヘキ事項ノ申立ノ範圍內ニ於テハ請求ノ原因タル事實ニ關スル原告ノ陳述ニ拘束セラルヘカラス

第五百八十八條　私訴ハ公訴ニ付第一審ノ辯論終結スル迄其ノ提起ヲ爲スコトヲ得

但シ豫審中ハ之ヲ提起スルコトヲ得ス

第五百八十九條　公訴ニ付第三條、第四條、第六條、第七條、第九條第二項、第十條第二項、第二十三條又ハ第三百五十六條但書ノ決定アリタルモノト看做ス

公訴ニ付管轄違ノ言渡ヲ爲シタルトキハ私訴ニ付亦同一ノ言渡ヲ爲スヘシ

第五百七十條　私訴ノ判決ハ公訴ノ判決ニ於テ認メタル事實ニ基キ之ヲ爲スヘシ

第五百七十一條　救助ノ申立ハ訴訟ノ繫屬中ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

第五百七十二條　訴訟費用ハ敗訴ノ被告人ノ負擔トス

第五百七十三條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百七十四條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百七十五條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百七十六條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百七十七條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百七十八條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百七十九條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十一條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十二條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十三條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十四條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十五條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十六條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十七條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十八條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

第五百八十九條　訴訟費用ハ判決ヲ以テ之ヲ定ム

ルコトナシ

第五百八十八條　檢事ハ私訴ノ審判ニ立會フコトヲ要セス

檢事私訴ノ審判ニ立會セサル場合ニ於テハ當事者ノ辯論終リタル後意見ヲ陳述スルコトヲ得

第五百八十九條　裁判所ハ訴訟ノ如何ナル程度ニ在ルヲ問ハス數多ノ日時ヲ費スニ非サレハ私訴ノ審判ヲ終結シ難キモノト認ムルトキハ決定ヲ以テ私訴ヲ却下スヘシ此ノ決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ス

第五百九十條　公訴ニ付無罪、免訴又ハ公訴棄却ノ判決アリタルトキハ判決ヲ以テ私訴ヲ却下スヘシ

公訴ニ付公訴棄却ノ決定アリタルトキハ決定ヲ以テ私訴ヲ却下スヘシ

前二項ノ規定ニ依リ私訴ヲ却下シタル判決又ハ決定ニ對シテハ公訴ニ付上訴アリタルトキニ非サレハ上訴ヲ爲スコトヲ得ス

第五百九十一條　略式命令確定判決ト同一ノ效力アル和解ニ至リタルトキハ決定ヲ以テ私訴ヲ却下スヘシ此ノ決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ス

第五百九十二條　裁判所ハ公訴ノ判決ト同時ニ私訴ノ判決ヲ爲スヘシ

第五百九十三條　當事者召喚ヲ受ケテ期日ニ出頭セス又ハ出頭スルモ辯論ヲ爲サス若ハ秩序維持ノ爲退廷ヲ命セラレタルトキハ其ノ陳述ヲ聽カスシテ判決ヲ爲スコトヲ得

第五百九十四條　上訴ニ付テハ私訴ニ付テモ裁判ノ宣告ヲ爲シタル地ノ地方裁判所ニ於テ爲シタル第一審ノ判決ニ對シテハ控訴ヲ爲シタル地ノ高等裁判所ニ於テ爲シタル第二審ノ判決ニ對シテハ上告ヲ爲スコトヲ得

第五百九十五條　公訴ノ第一審判決ニ對シテハ控訴ヲ爲シタル當事者ニ付上告ヲ爲シタル當事者ニ共ノ旨ヲ通知スヘシ

控訴ヲ爲シタル當事者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日內ニ上告ヲ爲スコトヲ得此ノ上告ハ控訴ニ付前條第三項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

第五百九十六條　公訴ノ第一審判決ニ對シテハ控訴ノ申立アリタルトキハ私訴ノ判決ニ對シテモ上告ヲ爲スコトヲ得

公訴ノ第一審判決ニ對シテ控訴ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ私訴ニ付上告ヲ爲シタル當事者ニ共ノ旨ヲ通知スヘシ

上告ヲ爲シタル當事者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日內ニ控訴ヲ爲スコトヲ得此ノ控訴ハ上告ニ付前條第三項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テ其ノ效力ヲ失フ

第五百九十七條　公訴ノ第一審判決ニ對シテハ控訴ヲ爲シタル當事者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日內ニ控訴ヲ爲スコトヲ得此ノ控訴ハ上告ニ付前條第三項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テ其ノ效力ヲ失フ

第五百九十八條　公訴ノ第一審判決ニ對シテハ控訴ヲ爲シタル當事者ニ付上告ヲ爲シタル當事者ニ共ノ旨ヲ通知スヘシ

上告ヲ爲シタル當事者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日內ニ控訴ヲ爲スコトヲ得此ノ控訴ハ上告ニ付前條第三項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テ其ノ效力ヲ失フ

第五百九十九條　公訴ノ第一審判決ニ對シテハ控訴ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ私訴ニ付テモ上告ヲ爲シタル當事者ニ共ノ旨ヲ通知スヘシ

上告ヲ爲シタル當事者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日內ニ控訴ヲ爲スコトヲ得此ノ控訴ハ上告ニ付前條第三項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テ其ノ效力ヲ失フ

第六百條　公訴ノ第一審判決ニ對シテハ控訴ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ私訴ニ付上告ノ申立アリタルトキハ私訴ノ判決ニ對シテハ控訴ヲ爲シタル地ノ高等裁判所ニ於テ上告ヲ爲シタル地ノ大審院ニ於テ其ノ審判ヲ爲スコトヲ得ス

第六百一條　公訴ノ判決ニ對シ上告アリタル場合ニ於テハ公訴ニ付原判決ニ對シ上告ヲ爲シタル當事者ニ付上告趣意書ヲ差出ササルコトヲ得

第六百二條　上告裁判所ニ於ケル辯論ハ辯護士ヨリ選任シタル訴訟代理人ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第六百三條　當事者訴訟代理人ヲ選任セサルトキ又ハ訴訟代理人出頭セサルトキハ辯論ヲ聽カスシテ判決ヲ爲スコトヲ得

第六百四條　公訴ノ第一審判決ニ對シテ控訴ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ私訴ニ付上告ヲ爲シタル當事者ニ共ノ旨ヲ通知スヘシ

控訴ヲ爲シタル當事者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日內ニ上告ヲ爲スコトヲ得此ノ上告ハ控訴ニ付前條第三項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テ其ノ效力ヲ失フ

第六百五條　公訴ノ第一審判決ニ對シテ控訴ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ私訴ニ付上告ヲ爲シタル當事者ニ共ノ旨ヲ通知スヘシ

上告ヲ爲シタル當事者ハ前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日內ニ上告ヲ爲スコトヲ得此ノ上告ハ控訴ニ付前條第三項ノ規定ノ適用アル場合ニ於テ其ノ效力ヲ失フ

第六百六條　第四百四十條第四百四十三條ノ規定ニ依リ公訴ニ付上告棄却ノ判決ヲ爲ス場合ニ於テ私訴ニ付上告ノ理由ヲ陳述スヘキ法令ノ違反アルトキハ第六百七條ノ場合ヲ除クノ外判決ヲ以テ原判決ヲ破毀シ事件ニ付更ニ裁判ヲ爲スヘシ

第六百七條　前條ノ場合ニ於テ事件ニ付更ニ判決ヲ爲ス爲事實ノ審理ヲ必要トスルトキハ事件ノ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百八條　公訴ニ付原判決ヲ破毀シ被告事件ニ付更ニ判決ヲ爲シタル場合ニ於テハ左ノ區別ニ從ヒ私訴ニ付判決ヲ爲スヘシ

一　公訴ノ判決私訴ニ影響ヲ及ホスヘキ點ヲ破毀シタルトキ又ハ私訴ニ付上告ノ理由ヲ爲シタルヘキ法令ノ違反アルトキハ原判決ヲ破毀ス

二　公訴ノ判決私訴ニ影響ヲ及ホスヘキ點ヲ破毀スル場合ニ於テハ第六百十條ノ場合ヲ除クノ外事件ニ付更ニ判決ヲ爲スヘシ

第六百十條　第六百八條ノ規定ニ依リ私訴ニ付原判決ヲ破毀スル場合ニ於テ事件ニ付更ニ必要トスルトキハ事件ヲ原裁判所ノ同等ナル他ノ裁判所ニ差戻シ又ハ原裁判所ト同等ナル他ノ裁判所ニ移送スヘシ

第六百十一條　公訴ニ付原判決ヲ破毀シ差戻又ハ移送ノ判決ヲ爲ス場合ニ於テハ私訴ニ付同一ノ判決ヲ爲スヘシ

第六百十二條　上訴裁判所私訴ノミニ付審判ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ決定ヲ以テ事件ヲ其ノ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ此ノ決定ニ對シテハ抗告ヲ爲スコトヲ得ス

第六百十三條　第六百八條ノ規定ニ依リ公訴ニ付原判決ヲ破毀シ事件ヲ其ノ裁判所ニ差戻シ又ハ移送シタル場合ニ於テハ其ノ裁判所ハ公訴ニ付テモ裁判ヲ爲スヘシ

第六百十四條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百十五條　明治二十三年法律第九十六號刑事訴訟法及刑事訴訟法ノ施行ニ關スル法律ハ之ヲ廢止ス

第六百十六條　本法ハ本法施行前ニ生シタル事件ニ亦之ヲ適用ス

前項ノ規定ハ本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ效力ヲ妨ケス

本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ關シテ本法ニ之ニ相當スル規定アルモノハ之ヲ本法ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第六百十七條　本法施行前裁判所構成法第十條第一號ノ規定ニ依リ爲シタル管轄指定ノ申請ハ之ヲ管轄移轉ノ請求ト看做ス

第六百十八條　本法施行前忌避ノ申請ヲ爲シ其ノ原由ノ疏明ヲ爲ササリシ者ハ本法施行ノ日ヨリ三日內ニ之ヲ爲スヘシ

第六百十九條　本法施行前法人ヲ代表スル者ヲ被告人ト爲シタル事件ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ法人ヲ被告人トス

第六百二十條　本法施行前始リタル法定期間ニ付訴訟行爲ヲ爲スヘキ者ノ住居又ハ事務所ノ所在地ト裁判所在地トノ距離ニ從ヒ加フヘキ期間ハ仍從前ノ規定ニ依ル

第六百二十一條　本法施行前開廷判決ヲ受ケタル者ニ對シテハ從前ノ規定ニ依リ逮捕狀ヲ發スルコトヲ得

第六百二十二條　本法施行前保釋ヲ許ササル從前ノ規定ニ依リ裁判ヲ爲スヘシ

第六百二十三條　第二百六十五條ニ規定スル期間ハ本法施行前犯人ヲ知リ又ハ蹤跡ノ無效若ハ取消ノ裁判確定シタル場合ニ於テハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第六百二十四條　本法施行前免訴ノ決定確定シタル事件ニ付明治二十三年法律第九十六號刑事訴訟法第百七十五條第二項ノ規定ニ依リ爲シタル請求ニシテ未タ決定ナキモノハ其ノ效力ヲ失フ

第六百二十五條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百二十六條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百二十七條　明治二十三年法律第九十六號刑事訴訟法及刑事訴訟法ノ施行ニ關スル法律ハ之ヲ廢止ス

第六百二十八條　本法ハ本法施行前ニ生シタル事件ニ亦之ヲ適用ス

前項ノ規定ハ本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ效力ヲ妨ケス

本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ關シテ本法ニ之ニ相當スル規定アルモノハ之ヲ本法ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第六百二十九條　本法施行前裁判所構成法第十條第一號ノ規定ニ依リ爲シタル管轄指定ノ申請ハ之ヲ管轄移轉ノ請求ト看做ス

第六百三十條　本法ハ本法施行前忌避ノ申請ヲ爲シ其ノ原由ノ疏明ヲ爲ササリシ者ハ本法施行ノ日ヨリ三日內ニ之ヲ爲スヘシ

第六百三十一條　本法施行前始リタル法定期間ニ付訴訟行爲ヲ爲スヘキ者ノ住居又ハ事務所ノ所在地ト裁判所在地トノ距離ニ從ヒ加フヘキ期間ハ仍從前ノ規定ニ依ル

第六百三十二條　本法施行前開廷判決ヲ受ケタル者ニ對シテハ從前ノ規定ニ依リ逮捕狀ヲ發スルコトヲ得

第六百三十三條　本法施行前保釋ヲ許ササル從前ノ規定ニ依リ裁判ヲ爲スヘシ

第六百三十四條　第二百六十五條ニ規定スル期間ハ本法施行前犯人ヲ知リ又ハ蹤跡ノ無效若ハ取消ノ裁判確定シタル場合ニ於テハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第六百三十五條　明治二十三年法律第九十六號刑事訴訟法及刑事訴訟法ノ施行ニ關スル法律ハ之ヲ廢止ス

第六百三十六條　本法ハ本法施行前ニ生シタル事件ニ亦之ヲ適用ス

前項ノ規定ハ本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ效力ヲ妨ケス

本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ關シテ本法ニ之ニ相當スル規定アルモノハ之ヲ本法ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第六百三十七條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百三十八條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百三十九條　明治二十三年法律第九十六號刑事訴訟法及刑事訴訟法ノ施行ニ關スル法律ハ之ヲ廢止ス

第六百四十條　本法ハ本法施行前ニ生シタル事件ニ亦之ヲ適用ス

前項ノ規定ハ本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ效力ヲ妨ケス

本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ關シテ本法ニ之ニ相當スル規定アルモノハ之ヲ本法ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第六百四十一條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百四十二條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百四十三條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百四十四條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百四十五條　本法施行前ニ生シタル事件ニ亦之ヲ適用ス

前項ノ規定ハ本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ效力ヲ妨ケス

本法施行前ニ於ケル訴訟手續ニ關シテ本法ニ之ニ相當スル規定アルモノハ之ヲ本法ニ依リ爲シタルモノト看做ス

第六百四十六條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百四十七條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百四十八條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百四十九條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百五十條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百五十一條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百五十二條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百五十三條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百五十四條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百五十五條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百五十六條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百五十七條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百五十八條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百五十九條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百六十條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百六十一條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百六十二條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百六十三條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百六十四條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百六十五條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百六十六條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百六十七條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百六十八條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百六十九條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百七十條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百七十一條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百七十二條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百七十三條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百七十四條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百七十五條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百七十六條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百七十七條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百七十八條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百七十九條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百八十條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百八十一條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百八十二條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百八十三條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百八十四條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百八十五條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百八十六條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百八十七條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百八十八條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百八十九條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百九十條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百九十一條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百九十二條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百九十三條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百九十四條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百九十五條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百九十六條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百九十七條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百九十八條　本編第二章ノ規定ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外上訴ノ審判ニ付之ヲ準用ス

附　則

第六百九十九條　本法ハ本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十五年五月勅令第二百五十五號ヲ以テ大正十五年七月一日ヨリ施行）

第六百七條　本法施行前ニ生シタル本案前ノ判決ニシテ未タ確定セサルモノハ其ノ效力ヲ失フ

第六百八條　本法施行前明治二十三年法律第九十六號刑事訴訟法第二百四十一條第二項又ハ同法第二百六十四條第一項ノ規定ニ依リ取調ヲ命セラレタル受命判事ハ第三百五十一條ノ規定ニ準シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第六百九條　本法施行前管轄シタル判決ニ對シテハ控訴ノ申立アリタルトキハ從前ノ規定ニ依リ故障ヲ申立ツルコトヲ得

本法施行前開廷判決ニ對シテ爲シタル故障申立ヲ不適法トシタルトキハ從前ノ規定ニ依リ裁判ヲ爲スヘシ

第六百十條　本法施行前爲シタル抗告ハ之ヲ本法ニ依リ爲シタル即時抗告ト看做ス

第六百十一條　本法施行前爲シタル再審ノ決定ニ對シテ上告裁判所ノ判決ヲ經タルモノハ本法ニ依リ管轄裁判所ニ再審ノ請求ヲ爲シタルモノト看做シ此ノ場合ニ於テハ上告裁判所ハ書類及證據物ヲ管轄裁判所ニ送付スヘシ

第六百十二條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百十三條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百十四條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百十五條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百十六條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百十七條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百十八條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百十九條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百二十條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百二十一條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百二十二條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百二十三條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百二十四條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百二十五條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百二十六條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百二十七條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百二十八條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百二十九條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百三十條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百三十一條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百三十二條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百三十三條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百三十四條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百三十五條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百三十六條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百三十七條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百三十八條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百三十九條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百四十條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百四十一條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百四十二條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百四十三條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百四十四條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百四十五條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百四十六條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百四十七條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百四十八條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百四十九條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百五十條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百五十一條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百五十二條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百五十三條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百五十四條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百五十五條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百五十六條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百五十七條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百五十八條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百五十九條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百六十條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百六十一條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百六十二條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百六十三條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百六十四條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百六十五條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百六十六條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百六十七條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百六十八條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百六十九條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百七十條　本法施行前逃行ヲ始メタル私訴ノ時效ハ從前ノ規定ニ從フ

第六百七十一條　本法施行前提起シタル要償ノ訴訟ニ付訴訟費用ニ關スル法律ヲ經サルモノハ其ノ訴訟ニ付テモ上告裁判所ニ移送スヘキ裁判所ノ民事部ニ移送スヘシ

第六百七十二條　

第九條　司法大臣ハ外務大臣ノ請求ニ依リ一名若クハ二名以上ノ上席檢事ニ命シ逃亡犯人ヲ假ニ逮捕スル爲メ附錄第一號書式ニ依リ假逮捕狀ヲ發セシムルコトヲ得、外務大臣ハ締約國ヨリ相當ノ順序ヲ經由シ書面又ハ電信ヲ以テ逃亡犯罪人ヲ逮捕スル爲メ既ニ逮捕狀ヲ發シタルコトノ通知ト共ニ引渡ハ正式ニ依リ請求スヘキ旨ノ保證トニ接シタル後ニ限リ本條ノ請求ヲ爲スヘシ

第十條　假逮捕狀ニ據リ逃亡犯人ヲ逮捕シタル場合ニ於テ二月ヲ過キサル相當ノ期限內ニ其引渡ノ請求ナキトキハ之ヲ釋放スヘシ但此場合ニ於テ逮捕シタル者ヲ引渡請求アリタルトキハ更ニ附錄第二號書式ノ逮捕狀ヲ發シ假逮捕狀ト交換スヘシ

第十一條　第九條ニ定メタル例外ノ場合ヲ除クノ外ハ引渡請求ヲ爲シタル國トノ條約ニ定メタル相當ノ順序ヲ經由シ左ノ書類ヲ添ヘテ引渡ノ請求アリタル後ニアラサレハ何人ヲモ引渡ノ目的ヲ以テ逮捕スルコトヲ得ス

一　告訴告發ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ其所犯ニ付訴アリタル國ノ相當官吏ニ於テ發シタリト認メ得ヘキ逮捕狀ノ公寫及該逮捕狀ヲ發スルノ根據ト爲リタル口供書若クハ陳述書ノ公寫

二　有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ其宣告ヲ爲シタル裁判所ノ證印アル宣告書ノ寫

第十二條　外務大臣引渡請求書ニ接シ犯罪人引渡條約ノ條款ニ適合シタリト思惟スルトキハ該請求書ニ其關係書類ヲ添ヘ之ヲ司法大臣ニ送付スヘシ

司外大臣本條ノ請求ニ接シ爲當ノ事由アルニ請求ト思惟スルトキハ逃亡犯罪人ノ所在又ハ其到著スヘシト認ムル地ノ上席檢事ニ命シ逮捕狀ヲ發セシムヘシ

第十三條　上席檢事前條ニ揭ケタル司法大臣ノ命令ニ接シタルトキハ附錄第二號書式ニ依リ逮捕狀ヲ發スヘシ

第十四條　請求ニ係ル逃亡犯罪人ヲ逮捕シ若ハ假逮捕シタルトキハ其逮捕狀ヲ發シタル上席檢事又ハ之ヲ逮捕シタル地ノ上席檢事ニ引渡スヘシ

上席檢事ハ逃亡犯罪人逮捕ノ顚末ヲ直ニ司法大臣ニ具申スヘシ

上席檢事ハ逃亡犯罪人ヲ逮捕シタルトキ引渡請求書アレハ其寫及附屬書類ヲ速ニ該檢事ニ送付スヘシ但被告人ヲ釋放スヘキノ命ヲ發スルトキハ此手續ヲ爲スニ及ハス

第十五條　告訴告發ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ上席檢事ハ速ニ之ヲ訊問シ其人違ナキコト及引渡請求書ニ附屬セル書類ノ確實公正ナルコトヲ認定スヘシ但上席檢事該書類ノミニテハ證據不充分ナリト認ムルトキハ仍ホ被告人ノ犯罪ニ對スル證據ヲ取ルコトヲ得

有罪ノ宣告ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ上席檢事ハ速ニ之ヲ訊問シ其人違ナキコト及其引渡ヲ請求シタル締約國ノ相當裁判所ニ於テ宣告ヲ爲シタルノ確實ナルコトヲ認定スヘシ

第十六條　上席檢事被告人ノ訊問ヲ結了シタルトキハ訊問書ニ其處分方ニ關スル意見書ヲ添ヘ之ヲ司法大臣ニ具申スヘシ但上席檢事ハ之ヲ司法大臣ニ具申スヘシ但上席檢事ハ之ヲ卻スヘシ

司法大臣該檢事ノ具申ニ接シタルトキハ附錄第三號書式ニ依リ引渡狀ヲ發スルカ又ハ逮捕シタル者ノ釋放スヘシ

第十七條　逃亡犯罪人ハ逮捕狀ニ據リ逮捕セラレタル後二月以上留置セラルルコトナカルヘシ

第十八條　司法大臣ハ左ノ場合ニ限リ引渡狀ヲ發スルコトヲ得

一　引渡犯罪ニ付告訴告發ヲ受ケタル者ノ場合ニ於テハ若シ其告訴告發ヲ受ケタル犯罪ニ付帝國內ニ於テ犯シタルモノトセハ帝國內ニ於テ正當ノ事由ヲ示スニアラサレハ釋放スヘシ

第二十二條　逃亡犯罪人ヲ引渡シタルトキハ其逮捕ノ際差押ヘタル本人ノ携帶品ハ正當ノ理由アルニアラサレハ共引渡ノ節本人ト共ニ悉ク之ヲ交付スヘシ

第二十三條　司法大臣ハ外務大臣ノ請求ニ依リ一外國ヨリ他ノ外國ニ引渡シタル者ノ帝國內海陸ノ通行ヲ認可スルコトヲ得

本條ノ請求ハ引渡ヲ受ケヘキ國ノ政府ヨリ引渡狀ノ公寫ヲ添ヘ相當ノ順序ヲ經由シタル照會書ヲ外務大臣ニ於テ受領シタルトキニ限ル但帝國ト請求國トノ間ニ特別ノ約款ナキトキハ該照會書ノ外仍ホ請求國ノ政府ニ於テ之ト同一ノ場合卽チ第三國ヨリ帝國ニ逃亡犯罪人ヲ引渡シタル場合ニ該請求國內海陸ノ通行ヲ均シク認可スヘキノ保證ヲ爲シタルトキニ限ル

附錄

第一號書式

假逮捕狀

逮捕セラルヘキ者ノ氏名
年齡本貫住所

司法大臣ノ命令ヲ受ケ逃亡犯罪人引渡條例ニ據リ此假逮捕狀ヲ發シ右ニ揭ケタル犯罪ニ付（告訴ノ宣告ノ有無ノ記入ヘシ）ヲ受ケタル、國ニ於テ、ノ犯罪ニ付（告訴ノ宣告ノ有無ノ記入ヘシ）ヲ受ケタル逃亡犯罪人トシテ【明治】、年、月、日附ノ（逮捕狀ノ發セラレタル裁判所ノ名稱ヲ記入ヘシ）ニ據リ、年、月、日逮捕シタル右、ヲ受取コトヲ相當ニ命セラレタルヘシ

【檢事局ノ印】【明治】年　月　日　上席檢事署名捺印

裁判所書記署名捺印

右ノ通執行候也

【明治】年　月　日　巡査又ハ憲兵署名捺印

（此狀ヲ送達シ一葉ヲ受取人ニ渡スヘシ）

（英譯文ヲ此狀ノ裏面ニ記スヘシ）

第二號書式

逮捕狀

逮捕セラルヘキ者ノ氏名
年齡本貫住所

司法大臣ノ命令ヲ受ケ逃亡犯罪人引渡條例ニ據リ此逮捕狀ヲ發シ右ニ揭ケタル犯罪ニ付（告訴ノ宣告ノ有無ノ記入ヘシ）ヲ受ケタル、國ノ逃亡犯罪人、、、ヲ法律ニ遵ヒ處分スル爲メ逮捕スヘキコトヲ命スルモノ也

【檢事局ノ印】【明治】年　月　日　上席檢事署名捺印

裁判所書記署名捺印

右ノ通執行候也

【明治】年　月　日　巡査又ハ憲兵署名捺印

（此狀ヲ送達シ一葉ヲ受取人ニ渡スヘシ）

（英譯文ヲ此狀ノ裏面ニ記スヘシ）

第三號書式

引渡狀

引渡サルヘキ者ノ氏名
年齡本貫住所

逃亡犯罪人引渡條例ニ據リ此引渡狀ヲ發シ【明治】、年、月、日附ノ（逮捕狀ノ發セラレタル裁判所ノ名稱ヲ記入ヘシ）ニ據リ、國ニ於テ、ノ犯罪ニ付（告訴ノ宣告ノ有無ノ記入ヘシ）ヲ受タル逃亡犯罪人トシテ【明治】、年、月、日逮捕シタル右、ヲ受取コトヲ相當ニ命セラレタルニ之ヲ引渡スヘキコトヲ命ス因テ該受取人、ニ於テ右、ヲ監禁シ、國ノ管轄內ニ送致シ相當官吏ニ交付スルコトヲ命スルモノ也

【明治】年　月　日　司法大臣、、、印

（此狀ヲ送達シ一葉ヲ受取人ニ渡スヘシ）

（英譯文ヲ此狀ノ裏面ニ記スヘシ）

執行狀

引渡サルヘキ者ノ氏名
年齡本貫住所

司法大臣ノ命令ヲ受ケ逃亡犯罪人引渡條例ニ據リ此引渡狀ヲ發シ【明治】、年、月、日附ノ（逮捕狀ノ發セラレタル裁判所ノ名稱ヲ記入ヘシ）ニ據リ、國ニ於テ、ノ犯罪ニ付（告訴ノ宣告ノ有無ノ記入ヘシ）ヲ受タル逃亡犯罪人トシテ【明治】、年、月、日逮捕シタル右、ヲ受取リ之ヲ引渡スヘキコトヲ命ス因テ該受取人、ニ於テ右、ヲ監禁シ、國ノ管轄內ニ送致シ相當官吏ニ交付スルコトヲ命スルモノ也

【明治】年　月　日　司法大臣、、、印

（此狀ヲ送達シ一葉ヲ受取人ニ渡スヘシ）

（英譯文ヲ此狀ノ裏面ニ記スヘシ）

執行狀

引渡サルヘキ者ノ氏名
年齡本貫住所

逃亡犯罪人引渡條例ニ據リ此引渡狀ヲ發シ【明治】、年、月、日附ノ（逮捕狀ノ發セラレタル裁判所ノ名稱ヲ記入ヘシ）ニ據リ、國ニ於テ、ノ犯罪ニ付（告訴ノ宣告ノ有無ノ記入ヘシ）ヲ受タル、國ノ逃亡犯罪人、、、ヲ法律ニ遵ヒ處分スル爲メ逮捕スヘキコトヲ命スルモノ也

【檢事局ノ印】【明治】年　月　日　上席檢事署名捺印

裁判所書記署名捺印

右ノ通執行候也

【明治】年　月　日　巡査又ハ憲兵署名捺印

（此狀ヲ送達シ一葉ヲ受取人ニ渡スヘシ）

（英譯文ヲ此狀ノ裏面ニ記スヘシ）

執行狀

引渡サルヘキ者ノ氏名
年齡本貫住所

逃亡犯罪人引渡條例ニ據リ此引渡狀ヲ發シ【明治】、年、月、日附ノ（逮捕狀ノ發セラレタル裁判所ノ名稱ヲ記入ヘシ）ニ據リ、國ニ於テ、ノ犯罪ニ付（告訴ノ宣告ノ有無ノ記入ヘシ）ヲ受タル逃亡犯罪人トシテ【明治】、年、月、日逮捕シタル右、ヲ受取リ之ヲ引渡スヘキコトヲ命ス因テ該受取人、ニ於テ右、ヲ監禁シ、國ノ管轄內ニ送致シ相當官吏ニ交付スルコトヲ命スルモノ也

【明治】年　月　日　司法大臣、、、印

執行狀

年　月　日　時

執行ノ場所

受取人ノ署名

右ノ通執行候也

【明治】年　月　日　巡査又ハ憲兵署名捺印

引渡サルヘキ者ヲ留置シタル監獄ノ長官名捺印

執行狀

年　月　日　時

執行ノ場所

執行ノ手續

右ノ通執行候也

【明治】年　月　日　巡査又ハ憲兵署名捺印

執行狀

年　月　日　時

執行ノ場所

執行ノ手續

右ノ通執行候也

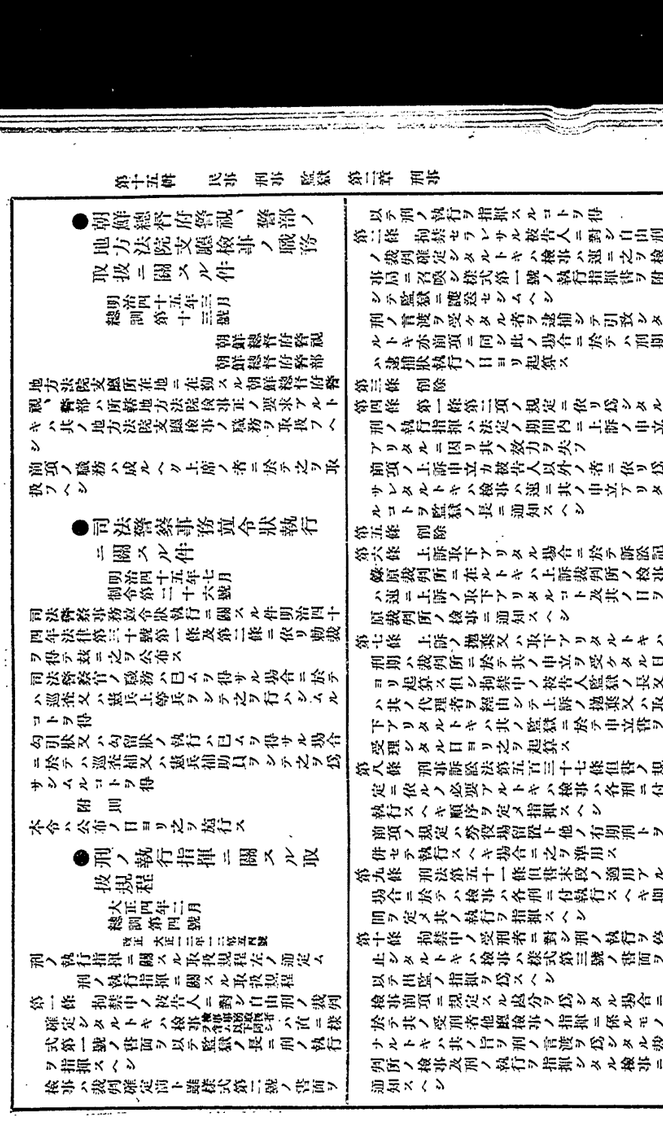
【明治】年　月　日　巡査又ハ憲兵署名捺印

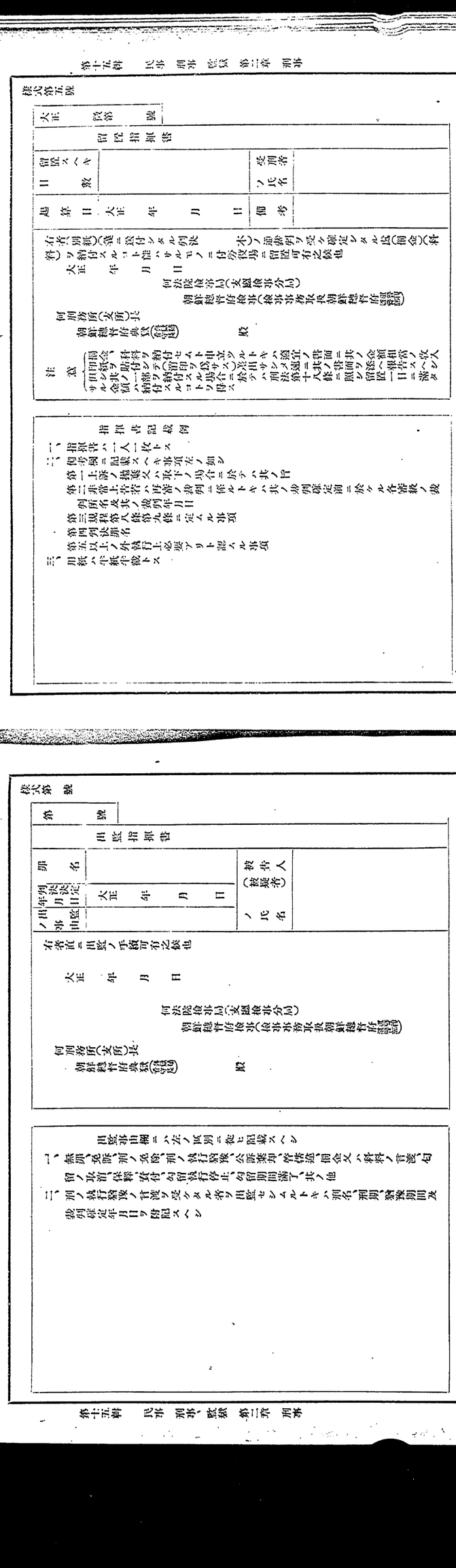
逮捕セラルヘキ者ノ氏名ヲ記入ヘシ

第三號樣式（用紙ハ半紙判）

| 第　號 | | |

第六號樣式（第十八條ノ二、第二百四十條ノ二、第二百四十一條ノ二、第二百四十二條ノ二、第二百四十三條ノ二、第二百四十四條ノ二、第二百四十五條ノ二、第二百四十六條ノ二、第二百四十七條ノ二、第二百四十八條ノ二、第二百四十九條ノ二、第二百五十條ノ二、第二百五十一條ノ二、第二百五十二條ノ二、第二百五十三條ノ二、第二百五十四條ノ二、第二百五十五條ノ二、第二百五十六條ノ二、第二百五十七條ノ二、第二百五十八條ノ二、第二百五十九條ノ二、第二百六十條ノ二、第二百六十一條ノ二、第二百六十二條ノ二、第二百六十三條ノ二、第二百六十四條ノ二、第二百六十五條ノ二、第二百六十六條ノ二、第二百六十七條ノ二、第二百六十八條ノ二、第二百六十九條ノ二、第二百七十條ノ二、第二百七十一條ノ二、第二百七十二條ノ二、第二百七十三條ノ二、第二百七十四條ノ二、第二百七十五條ノ二、第二百七十六條ノ二、第二百七十七條ノ二、第二百七十八條ノ二、第二百七十九條ノ二、第二百八十條ノ二、第二百八十一條ノ二、第二百八十二條ノ二、第二百八十三條ノ二、第二百八十四條ノ二、第二百八十五條ノ二、第二百八十六條ノ二、第二百八十七條ノ二、第二百八十八條ノ二、第二百八十九條ノ二、第二百九十條ノ二、第二百九十一條ノ二、第二百九十二條ノ二、第二百九十三條ノ二、第二百九十四條ノ二、第二百九十五條ノ二、第二百九十六條ノ二、第二百九十七條ノ二、第二百九十八條ノ二、第二百九十九條ノ二、第三百條ノ二、第三百一條ノ二、第三百二條ノ二、第三百三條ノ二、第三百四條ノ二、第三百五條ノ二、第三百六條ノ二、第三百七條ノ二、第三百八條ノ二、第三百九條ノ二、第三百十條ノ二、第三百十一條ノ二、第三百十二條ノ二、第三百十三條ノ二、第三百十四條ノ二、第三百十五條ノ二、第三百十六條ノ二、第三百十七條ノ二、第三百十八條ノ二、第三百十九條ノ二、第三百二十條ノ二、第三百二十一條ノ二、第三百二十二條ノ二、第三百二十三條ノ二、第三百二十四條ノ二、第三百二十五條ノ二、第三百二十六條ノ二、第三百二十七條ノ二、第三百二十八條ノ二、第三百二十九條ノ二、第三百三十條ノ二、第三百三十一條ノ二、第三百三十二條ノ二、第三百三十三條ノ二、第三百三十四條ノ二、第三百三十五條ノ二、第三百三十六條ノ二、第三百三十七條ノ二、第三百三十八條ノ二、第三百三十九條ノ二、第三百四十條ノ二、第三百四十一條ノ二、第三百四十二條ノ二、第三百四十三條ノ二、第三百四十四條ノ二、第三百四十五條ノ二、第三百四十六條ノ二、第三百四十七條ノ二、第三百四十八條ノ二、第三百四十九條ノ二、第三百五十條ノ二、第三百五十一條ノ二、第三百五十二條ノ二、第三百五十三條ノ二、第三百五十四條ノ二、第三百五十五條ノ二、第三百五十六條ノ二、第三百五十七條ノ二、第三百五十八條ノ二、第三百五十九條ノ二、第三百六十條ノ二、第三百六十一條ノ二、第三百六十二條ノ二、第三百六十三條ノ二、第三百六十四條ノ二、第三百六十五條ノ二、第三百六十六條ノ二、第三百六十七條ノ二、第三百六十八條ノ二、第三百六十九條ノ二、第三百七十條ノ二、第三百七十一條ノ二、第三百七十二條ノ二、第三百七十三條ノ二、第三百七十四條ノ二、第三百七十五條ノ二、第三百七十六條ノ二、第三百七十七條ノ二、第三百七十八條ノ二、第三百七十九條ノ二、第三百八十條ノ二、第三百八十一條ノ二、第三百八十二條ノ二、第三百八十三條ノ二、第三百八十四條ノ二、第三百八十五條ノ二、第三百八十六條ノ二、第三百八十七條ノ二、第三百八十八條ノ二、第三百八十九條ノ二、第三百九十條ノ二、第三百九十一條ノ二、第三百九十二條ノ二、第三百九十三條ノ二、第三百九十四條ノ二、第三百九十五條ノ二、第三百九十六條ノ二、第三百九十七條ノ二、第三百九十八條ノ二、第三百九十九條ノ二、第四百條ノ二、第四百一條ノ二、第四百二條ノ二、第四百三條ノ二、第四百四條ノ二、第四百五條ノ二、第四百六條ノ二、第四百七條ノ二、第四百八條ノ二、第四百九條ノ二、第四百十條ノ二、第四百十一條ノ二、第四百十二條ノ二、第四百十三條ノ二、第四百十四條ノ二、第四百十五條ノ二、第四百十六條ノ二、第四百十七條ノ二、第四百十八條ノ二、第四百十九條ノ二、第四百二十條ノ二、第四百二十一條ノ二、第四百二十二條ノ二、第四百二十三條ノ二、第四百二十四條ノ二、第四百二十五條ノ二、第四百二十六條ノ二、第四百二十七條ノ二、第四百二十八條ノ二、第四百二十九條ノ二、第四百三十條ノ二、第四百三十一條ノ二、第四百三十二條ノ二、第四百三十三條ノ二、第四百三十四條ノ二、第四百三十五條ノ二、第四百三十六條ノ二、第四百三十七條ノ二、第四百三十八條ノ二、第四百三十九條ノ二、第四百四十條ノ二、第四百四十一條ノ二、第四百四十二條ノ二、第四百四十三條ノ二、第四百四十四條ノ二、第四百四十五條ノ二、第四百四十六條ノ二、第四百四十七條ノ二、第四百四十八條ノ二、第四百四十九條ノ二、第四百五十條ノ二、第四百五十一條ノ二、第四百五十二條ノ二、第四百五十三條ノ二、第四百五十四條ノ二、第四百五十五條ノ二、第四百五十六條ノ二、第四百五十七條ノ二、第四百五十八條ノ二、第四百五十九條ノ二、第四百六十條ノ二、第四百六十一條ノ二、第四百六十二條ノ二、第四百六十三條ノ二、第四百六十四條ノ二、第四百六十五條ノ二、第四百六十六條ノ二、第四百六十七條ノ二、第四百六十八條ノ二、第四百六十九條ノ二、第四百七十條ノ二、第四百七十一條ノ二、第四百七十二條ノ二、第四百七十三條ノ二、第四百七十四條ノ二、第四百七十五條ノ二、第四百七十六條ノ二、第四百七十七條ノ二、第四百七十八條ノ二、第四百七十九條ノ二、第四百八十條ノ二、第四百八十一條ノ二、第四百八十二條ノ二、第四百八十三條ノ二、第四百八十四條ノ二、第四百八十五條ノ二、第四百八十六條ノ二、第四百八十七條ノ二、第四百八十八條ノ二、第四百八十九條ノ二、第四百九十條ノ二、第四百九十一條ノ二、第四百九十二條ノ二、第四百九十三條ノ二、第四百九十四條ノ二、第四百九十五條ノ二、第四百九十六條ノ二、第四百九十七條ノ二、第四百九十八條ノ二、第四百九十九條ノ二、第五百條ノ二、第五百一條ノ二、第五百二條ノ二、第五百三條ノ二、第五百四條ノ二、第五百五條ノ二、第五百六條ノ二、第五百七條ノ二、第五百八條ノ二、第五百九條ノ二、第五百十條ノ二、第五百十一條ノ二、第五百十二條ノ二、第五百十三條ノ二、第五百十四條ノ二、第五百十五條ノ二、第五百十六條ノ二、第五百十七條ノ二、第五百十八條ノ二、第五百十九條ノ二、第五百二十條ノ二、第五百二十一條ノ二、第五百二十二條ノ二、第五百二十三條ノ二、第五百二十四條ノ二、第五百二十五條ノ二、第五百二十六條ノ二、第五百二十七條ノ二、第五百二十八條ノ二、第五百二十九條ノ二、第五百三十條ノ二、第五百三十一條ノ二、第五百三十二條ノ二、第五百三十三條ノ二、第五百三十四條ノ二、第五百三十五條ノ二、第五百三十六條ノ二、第五百三十七條ノ二、第五百三十八條ノ二、第五百三十九條ノ二、第五百四十條ノ二、第五百四十一條ノ二、第五百四十二條ノ二、第五百四十三條ノ二、第五百四十四條ノ二、第五百四十五條ノ二、第五百四十六條ノ二、第五百四十七條ノ二、第五百四十八條ノ二、第五百四十九條ノ二、第五百五十條ノ二、第五百五十一條ノ二、第五百五十二條ノ二、第五百五十三條ノ二、第五百五十四條ノ二、第五百五十五條ノ二、第五百五十六條ノ二、第五百五十七條ノ二、第五百五十八條ノ二、第五百五十九條ノ二、第五百六十條ノ二、第五百六十一條ノ二、第五百六十二條ノ二、第五百六十三條ノ二、第五百六十四條ノ二、第五百六十五條ノ二、第五百六十六條ノ二、第五百六十七條ノ二、第五百六十八條ノ二、第五百六十九條ノ二、第五百七十條ノ二、第五百七十一條ノ二、第五百七十二條ノ二、第五百七十三條ノ二、第五百七十四條ノ二、第五百七十五條ノ二、第五百七十六條ノ二、第五百七十七條ノ二、第五百七十八條ノ二、第五百七十九條ノ二、第五百八十條ノ二、第五百八十一條ノ二、第五百八十二條ノ二、第五百八十三條ノ二、第五百八十四條ノ二、第五百八十五條ノ二、第五百八十六條ノ二、第五百八十七條ノ二、第五百八十八條ノ二、第五百八十九條ノ二、第五百九十條ノ二、第五百九十一條ノ二、第五百九十二條ノ二、第五百九十三條ノ二、第五百九十四條ノ二、第五百九十五條ノ二、第五百九十六條ノ二、第五百九十七條ノ二、第五百九十八條ノ二、第五百九十九條ノ二、第六百條ノ二、第六百一條ノ二、第六百二條ノ二、第六百三條ノ二、第六百四條ノ二、第六百五條ノ二、第六百六條ノ二、第六百七條ノ二、第六百八條ノ二、第六百九條ノ二、第六百十條ノ二、第六百十一條ノ二、第六百十二條ノ二、第六百十三條ノ二、第六百十四條ノ二、第六百十五條ノ二、第六百十六條ノ二、第六百十七條ノ二、第六百十八條ノ二、第六百十九條ノ二、第六百二十條ノ二、第六百二十一條ノ二、第六百二十二條ノ二、第六百二十三條ノ二、第六百二十四條ノ二、第六百二十五條ノ二、第六百二十六條ノ二、第六百二十七條ノ二、第六百二十八條ノ二、第六百二十九條ノ二、第六百三十條ノ二、第六百三十一條ノ二、第六百三十二條ノ二、第六百三十三條ノ二、第六百三十四條ノ二、第六百三十五條ノ二、第六百三十六條ノ二、第六百三十七條ノ二、第六百三十八條ノ二、第六百三十九條ノ二、第六百四十條ノ二、第六百四十一條ノ二、第六百四十二條ノ二、第六百四十三條ノ二、第六百四十四條ノ二、第六百四十五條ノ二、第六百四十六條ノ二、第六百四十七條ノ二、第六百四十八條ノ二、第六百四十九條ノ二、第六百五十條ノ二、第六百五十一條ノ二、第六百五十二條ノ二、第六百五十三條ノ二、第六百五十四條ノ二、第六百五十五條ノ二、第六百五十六條ノ二、第六百五十七條ノ二、第六百五十八條ノ二、第六百五十九條ノ二、第六百六十條ノ二、第六百六十一條ノ二、第六百六十二條ノ二、第六百六十三條ノ二、第六百六十四條ノ二、第六百六十五條ノ二、第六百六十六條ノ二、第六百六十七條ノ二、第六百六十八條ノ二、第六百六十九條ノ二、第六百七十條ノ二、第六百七十一條ノ二、第六百七十二條ノ二、第六百七十三條ノ二、第六百七十四條ノ二、第六百七十五條ノ二、第六百七十六條ノ二、第六百七十七條ノ二、第六百七十八條ノ二、第六百七十九條ノ二、第六百八十條ノ二、第六百八十一條ノ二、第六百八十二條ノ二、第六百八十三條ノ二、第六百八十四條ノ二、第六百八十五條ノ二、第六百八十六條ノ二、第六百八十七條ノ二、第六百八十八條ノ二、第六百八十九條ノ二、第六百九十條ノ二、第六百九十一條ノ二、第六百九十二條ノ二、第六百九十三條ノ二、第六百九十四條ノ二、第六百九十五條ノ二、第六百九十六條ノ二、第六百九十七條ノ二、第六百九十八條ノ二、第六百九十九條ノ二、第七百條ノ二、第七百一條ノ二、第七百二條ノ二、第七百三條ノ二、第七百四條ノ二、第七百五條ノ二、第七百六條ノ二、第七百七條ノ二、第七百八條ノ二、第七百九條ノ二、第七百十條ノ二、第七百十一條ノ二、第七百十二條ノ二、第七百十三條ノ二、第七百十四條ノ二、第七百十五條ノ二、第七百十六條ノ二、第七百十七條ノ二、第七百十八條ノ二、第七百十九條ノ二、第七百二十條ノ二、第七百二十一條ノ二、第七百二十二條ノ二、第七百二十三條ノ二、第七百二十四條ノ二、第七百二十五條ノ二、第七百二十六條ノ二、第七百二十七條ノ二、第七百二十八條ノ二、第七百二十九條ノ二、第七百三十條ノ二、第七百三十一條ノ二、第七百三十二條ノ二、第七百三十三條ノ二、第七百三十四條ノ二、第七百三十五條ノ二、第七百三十六條ノ二、第七百三十七條ノ二、第七百三十八條ノ二、第七百三十九條ノ二、第七百四十條ノ二、第七百四十一條ノ二、第七百四十二條ノ二、第七百四十三條ノ二、第七百四十四條ノ二、第七百四十五條ノ二、第七百四十六條ノ二、第七百四十七條ノ二、第七百四十八條ノ二、第七百四十九條ノ二、第七百五十條ノ二、第七百五十一條ノ二、第七百五十二條ノ二、第七百五十三條ノ二、第七百五十四條ノ二、第七百五十五條ノ二、第七百五十六條ノ二、第七百五十七條ノ二、第七百五十八條ノ二、第七百五十九條ノ二、第七百六十條ノ二、第七百六十一條ノ二、第七百六十二條ノ二、第七百六十三條ノ二、第七百六十四條ノ二、第七百六十五條ノ二、第七百六十六條ノ二、第七百六十七條ノ二、第七百六十八條ノ二、第七百六十九條ノ二、第七百七十條ノ二、第七百七十一條ノ二、第七百七十二條ノ二、第七百七十三條ノ二、第七百七十四條ノ二、第七百七十五條ノ二、第七百七十六條ノ二、第七百七十七條ノ二、第七百七十八條ノ二、第七百七十九條ノ二、第七百八十條ノ二、第七百八十一條ノ二、第七百八十二條ノ二、第七百八十三條ノ二、第七百八十四條ノ二、第七百八十五條ノ二、第七百八十六條ノ二、第七百八十七條ノ二、第七百八十八條ノ二、第七百八十九條ノ二、第七百九十條ノ二、第七百九十一條ノ二、第七百九十二條ノ二、第七百九十三條ノ二、第七百九十四條ノ二、第七百九十五條ノ二、第七百九十六條ノ二、第七百九十七條ノ二、第七百九十八條ノ二、第七百九十九條ノ二、第八百條ノ二、第八百一條ノ二、第八百二條ノ二、第八百三條ノ二、第八百四條ノ二、第八百五條ノ二、第八百六條ノ二、第八百七條ノ二、第八百八條ノ二、第八百九條ノ二、第八百十條ノ二、第八百十一條ノ二、第八百十二條ノ二、第八百十三條ノ二、第八百十四條ノ二、第八百十五條ノ二、第八百十六條ノ二、第八百十七條ノ二、第八百十八條ノ二、第八百十九條ノ二、第八百二十條ノ二、第八百二十一條ノ二、第八百二十二條ノ二、第八百二十三條ノ二、第八百二十四條ノ二、第八百二十五條ノ二、第八百二十六條ノ二、第八百二十七條ノ二、第八百二十八條ノ二、第八百二十九條ノ二、第八百三十條ノ二、第八百三十一條ノ二、第八百三十二條ノ二、第八百三十三條ノ二、第八百三十四條ノ二、第八百三十五條ノ二、第八百三十六條ノ二、第八百三十七條ノ二、第八百三十八條ノ二、第八百三十九條ノ二、第八百四十條ノ二、第八百四十一條ノ二、第八百四十二條ノ二、第八百四十三條ノ二、第八百四十四條ノ二、第八百四十五條ノ二、第八百四十六條ノ二、第八百四十七條ノ二、第八百四十八條ノ二、第八百四十九條ノ二、第八百五十條ノ二、第八百五十一條ノ二、第八百五十二條ノ二、第八百五十三條ノ二、第八百五十四條ノ二、第八百五十五條ノ二、第八百五十六條ノ二、第八百五十七條ノ二、第八百五十八條ノ二、第八百五十九條ノ二、第八百六十條ノ二、第八百六十一條ノ二、第八百六十二條ノ二、第八百六十三條ノ二、第八百六十四條ノ二、第八百六十五條ノ二、第八百六十六條ノ二、第八百六十七條ノ二、第八百六十八條ノ二、第八百六十九條ノ二、第八百七十條ノ二、第八百七十一條ノ二、第八百七十二條ノ二、第八百七十三條ノ二、第八百七十四條ノ二、第八百七十五條ノ二、第八百七十六條ノ二、第八百七十七條ノ二、第八百七十八條ノ二、第八百七十九條ノ二、第八百八十條ノ二、第八百八十一條ノ二、第八百八十二條ノ二、第八百八十三條ノ二、第八百八十四條ノ二、第八百八十五條ノ二、第八百八十六條ノ二、第八百八十七條ノ二、第八百八十八條ノ二、第八百八十九條ノ二、第八百九十條ノ二、第八百九十一條ノ二、第八百九十二條ノ二、第八百九十三條ノ二、第八百九十四條ノ二、第八百九十五條ノ二、第八百九十六條ノ二、第八百九十七條ノ二、第八百九十八條ノ二、第八百九十九條ノ二、第九百條ノ二、第九百一條ノ二、第九百二條ノ二、第九百三條ノ二、第九百四條ノ二、第九百五條ノ二、第九百六條ノ二、第九百七條ノ二、第九百八條ノ二、第九百九條ノ二、第九百十條ノ二、第九百十一條ノ二、第九百十二條ノ二、第九百十三條ノ二、第九百十四條ノ二、第九百十五條ノ二、第九百十六條ノ二、第九百十七條ノ二、第九百十八條ノ二、第九百十九條ノ二、第九百二十條ノ二、第九百二十一條ノ二、第九百二十二條ノ二、第九百二十三條ノ二、第九百二十四條ノ二、第九百二十五條ノ二、第九百二十六條ノ二、第九百二十七條ノ二、第九百二十八條ノ二、第九百二十九條ノ二、第九百三十條ノ二、第九百三十一條ノ二、第九百三十二條ノ二、第九百三十三條ノ二、第九百三十四條ノ二、第九百三十五條ノ二、第九百三十六條ノ二、第九百三十七條ノ二、第九百三十八條ノ二、第九百三十九條ノ二、第九百四十條ノ二、第九百四十一條ノ二、第九百四十二條ノ二、第九百四十三條ノ二、第九百四十四條ノ二、第九百四十五條ノ二、第九百四十六條ノ二、第九百四十七條ノ二、第九百四十八條ノ二、第九百四十九條ノ二、第九百五十條ノ二、第九百五十一條ノ二、第九百五十二條ノ二、第九百五十三條ノ二、第九百五十四條ノ二、第九百五十五條ノ二、第九百五十六條ノ二、第九百五十七條ノ二、第九百五十八條ノ二、第九百五十九條ノ二、第九百六十條ノ二、第九百六十一條ノ二、第九百六十二條ノ二、第九百六十三條ノ二、第九百六十四條ノ二、第九百六十五條ノ二、第九百六十六條ノ二、第九百六十七條ノ二、第九百六十八條ノ二、第九百六十九條ノ二、第九百七十條ノ二、第九百七十一條ノ二、第九百七十二條ノ二、第九百七十三條ノ二、第九百七十四條ノ二、第九百七十五條ノ二、第九百七十六條ノ二、第九百七十七條ノ二、第九百七十八條ノ二、第九百七十九條ノ二、第九百八十條ノ二、第九百八十一條ノ二、第九百八十二條ノ二、第九百八十三條ノ二、第九百八十四條ノ二、第九百八十五條ノ二、第九百八十六條ノ二、第九百八十七條ノ二、第九百八十八條ノ二、第九百八十九條ノ二、第九百九十條ノ二、第九百九十一條ノ二、第九百九十二條ノ二、第九百九十三條ノ二、第九百九十四條ノ二、第九百九十五條ノ二、第九百九十六條ノ二、第九百九十七條ノ二、第九百九十八條ノ二、第九百九十九條ノ二、第千條ノ二、第千一條ノ二、第千二條ノ二、第千三條ノ二、第千四條ノ二、第千五條ノ二、第千六條ノ二、第千七條ノ二、第千八條ノ二、第千九條ノ二、第千十條ノ二、第千十一條ノ二、第千十二條ノ二、第千十三條ノ二、第千十四條ノ二、第千十五條ノ二、第千十六條ノ二、第千十七條ノ二、第千十八條ノ二、第千十九條ノ二、第千二十條ノ二、第千二十一條ノ二、第千二十二條ノ二、第千二十三條ノ二、第千二十四條ノ二、第千二十五條ノ二、第千二十六條ノ二、第千二十七條ノ二、第千二十八條ノ二、第千二十九條ノ二、第千三十條ノ二、第千三十一條ノ二、第千三十二條ノ二、第千三十三條ノ二、第千三十四條ノ二、第千三十五條ノ二、第千三十六條ノ二、第千三十七條ノ二、第千三十八條ノ二、第千三十九條ノ二、第千四十條ノ二、第千四十一條ノ二、第千四十二條ノ二、第千四十三條ノ二、第千四十四條ノ二、第千四十五條ノ二、第千四十六條ノ二、第千四十七條ノ二、第千四十八條ノ二、第千四十九條ノ二、第千五十條ノ二、第千五十一條ノ二、第千五十二條ノ二、第千五十三條ノ二、第千五十四條ノ二、第千五十五條ノ二、第千五十六條ノ二、第千五十七條ノ二、第千五十八條ノ二、第千五十九條ノ二、第千六十條ノ二、第千六十一條ノ二、第千六十二條ノ二、第千六十三條ノ二、第千六十四條ノ二、第千六十五條ノ二、第千六十六條ノ二、第千六十七條ノ二、第千六十八條ノ二、第千六十九條ノ二、第千七十條ノ二、第千七十一條ノ二、第千七十二條ノ二、第千七十三條ノ二、第千七十四條ノ二、第千七十五條ノ二、第千七十六條ノ二、第千七十七條ノ二、第千七十八條ノ二、第千七十九條ノ二、第千八十條ノ二、第千八十一條ノ二、第千八十二條ノ二、第千八十三條ノ二、第千八十四條ノ二、第千八十五條ノ二、第千八十六條ノ二、第千八十七條ノ二、第千八十八條ノ二、第千八十九條ノ二、第千九十條ノ二、第千九十一條ノ二、第千九十二條ノ二、第千九十三條ノ二、第千九十四條ノ二、第千九十五條ノ二、第千九十六條ノ二、第千九十七條ノ二、第千九十八條ノ二、第千九十九條ノ二、第千百條ノ二、第千百一條ノ二、第千百二條ノ二、第千百三條ノ二、第千百四條ノ二、第千百五條ノ二、第千百六條ノ二、第千百七條ノ二、第千百八條ノ二、第千百九條ノ二、第千百十條ノ二、第千百十一條ノ二、第千百十二條ノ二、第千百十三條ノ二、第千百十四條ノ二、第千百十五條ノ二、第千百十六條ノ二、第千百十七條ノ二、第千百十八條ノ二、第千百十九條ノ二、第千百二十條ノ二、第千百二十一條ノ二、第千百二十二條ノ二、第千百二十三條ノ二、第千百二十四條ノ二、第千百二十五條ノ二、第千百二十六條ノ二、第千百二十七條ノ二、第千百二十八條ノ二、第千百二十九條ノ二、第千百三十條ノ二、第千百三十一條ノ二、第千百三十二條ノ二、第千百三十三條ノ二、第千百三十四條ノ二、第千百三十五條ノ二、第千百三十六條ノ二、第千百三十七條ノ二、第千百三十八條ノ二、第千百三十九條ノ二、第千百四十條ノ二、第千百四十一條ノ二、第千百四十二條ノ二、第千百四十三條ノ二、第千百四十四條ノ二、第千百四十五條ノ二、第千百四十六條ノ二、第千百四十七條ノ二、第千百四十八條ノ二、第千百四十九條ノ二、第千百五十條ノ二、第千百五十一條ノ二、第千百五十二條ノ二、第千百五十三條ノ二、第千百五十四條ノ二、第千百五十五條ノ二、第千百五十六條ノ二、第千百五十七條ノ二、第千百五十八條ノ二、第千百五十九條ノ二、第千百六十條ノ二、第千百六十一條ノ二、第千百六十二條ノ二、第千百六十三條ノ二、第千百六十四條ノ二、第千百六十五條ノ二、第千百六十六條ノ二、第千百六十七條ノ二、第千百六十八條ノ二、第千百六十九條ノ二、第千百七十條ノ二、第千百七十一條ノ二、第千百七十二條ノ二、第千百七十三條ノ二、第千百七十四條ノ二、第千百七十五條ノ二、第千百七十六條ノ二、第千百七十七條ノ二、第千百七十八條ノ二、第千百七十九條ノ二、第千百八十條ノ二、第千百八十一條ノ二、第千百八十二條ノ二、第千百八十三條ノ二、第千百八十四條ノ二、第千百八十五條ノ二、第千百八十六條ノ二、第千百八十七條ノ二、第千百八十八條ノ二、第千百八十九條ノ二、第千百九十條ノ二、第千百九十一條ノ二、第千百九十二條ノ二、第千百九十三條ノ二、第千百九十四條ノ二、第千百九十五條ノ二、第千百九十六條ノ二、第千百九十七條ノ二、第千百九十八條ノ二、第千百九十九條ノ二、第千二百條ノ二、第千二百一條ノ二、第千二百二條ノ二、第千二百三條ノ二、第千二百四條ノ二、第千二百五條ノ二、第千二百六條ノ二、第千二百七條ノ二、第千二百八條ノ二、第千二百九條ノ二、第千二百十條ノ二、第千二百十一條ノ二、第千二百十二條ノ二、第千二百十三條ノ二、第千二百十四條ノ二、第千二百十五條ノ二、第千二百十六條ノ二、第千二百十七條ノ二、第千二百十八條ノ二、第千二百十九條ノ二、第千二百二十條ノ二、第千二百二十一條ノ二、第千二百二十二條ノ二、第千二百二十三條ノ二、第千二百二十四條ノ二、第千二百二十五條ノ二、第千二百二十六條ノ二、第千二百二十七條ノ二、第千二百二十八條ノ二、第千二百二十九條ノ二、第千二百三十條ノ二、第千二百三十一條ノ二、第千二百三十二條ノ二、第千二百三十三條ノ二、第千二百三十四條ノ二、第千二百三十五條ノ二、第千二百三十六條ノ二、第千二百三十七條ノ二、第千二百三十八條ノ二、第千二百三十九條ノ二、第千二百四十條ノ二、第千二百四十一條ノ二、第千二百四十二條ノ二、第千二百四十三條ノ二、第千二百四十四條ノ二、第千二百四十五條ノ二、第千二百四十六條ノ二、第千二百四十七條ノ二、第千二百四十八條ノ二、第千二百四十九條ノ二、第千二百五十條ノ二、第千二百五十一條ノ二、第千二百五十二條ノ二、第千二百五十三條ノ二、第千二百五十四條ノ二、第千二百五十五條ノ二、第千二百五十六條ノ二、第千二百五十七條ノ二、第千二百五十八條ノ二、第千二百五十九條ノ二、第千二百六十條ノ二、第千二百六十一條ノ二、第千二百六十二條ノ二、第千二百六十三條ノ二、第千二百六十四條ノ二、第千二百六十五條ノ二、第千二百六十六條ノ二、第千二百六十七條ノ二、第千二百六十八條ノ二、第千二百六十九條ノ二、第千二百七十條ノ二、第千二百七十一條ノ二、第千二百七十二條ノ二、第千二百七十三條ノ二、第千二百七十四條ノ二、第千二百七十五條ノ二、第千二百七十六條ノ二、第千二百七十七條ノ二、第千二百七十八條ノ二、第千二百七十九條ノ二、第千二百八十條ノ二、第千二百八十一條ノ二、第千二百八十二條ノ二、第千二百八十三條ノ二、第千二百八十四條ノ二、第千二百八十五條ノ二、第千二百八十六條ノ二、第千二百八十七條ノ二、第千二百八十八條ノ二、第千二百八十九條ノ二、第千二百九十條ノ二、第千二百九十一條ノ二、第千二百九十二條ノ二、第千二百九十三條ノ二、第千二百九十四條ノ二、第千二百九十五條ノ二、第千二百九十六條ノ二、第千二百九十七條ノ二、第千二百九十八條ノ二、第千二百九十九條ノ二、第千三百條ノ二、第千三百一條ノ二、第千三百二條ノ二、第千三百三條ノ二、第千三百四條ノ二、第千三百五條ノ二、第千三百六條ノ二、第千三百七條ノ二、第千三百八條ノ二、第千三百九條ノ二、第千三百十條ノ二、第千三百十一條ノ二、第千三百十二條ノ二、第千三百十三條ノ二、第千三百十四條ノ二、第千三百十五條ノ二、第千三百十六條ノ二、第千三百十七條ノ二、第千三百十八條ノ二、第千三百十九條ノ二、第千三百二十條ノ二、第千三百二十一條ノ二、第千三百二十二條ノ二、第千三百二十三條ノ二、第千三百二十四條ノ二、第千三百二十五條ノ二、第千三百二十六條ノ二、第千三百二十七條ノ二、第千三百二十八條ノ二、第千三百二十九條ノ二、第千三百三十條ノ二、第千三百三十一條ノ二、第千三百三十二條ノ二、第千三百三十三條ノ二、第千三百三十四條ノ二、第千三百三十五條ノ二、第千三百三十六條ノ二、第千三百三十七條ノ二、第千三百三十八條ノ二、第千三百三十九條ノ二、第千三百四十條ノ二、第千三百四十一條ノ二、第千三百四十二條ノ二、第千三百四十三條ノ二、第千三百四十四條ノ二、第千三百四十五條ノ二、第千三百四十六條ノ二、第千三百四十七條ノ二、第千三百四十八條ノ二、第千三百四十九條ノ二、第千三百五十條ノ二、第千三百五十一條ノ二、第千三百五十二條ノ二、第千三百五十三條ノ二、第千三百五十四條ノ二、第千三百五十五條ノ二、第千三百五十六條ノ二、第千三百五十七條ノ二、第千三百五十八條ノ二、第千三百五十九條ノ二、第千三百六十條ノ二、第千三百六十一條ノ二、第千三百六十二條ノ二、第千三百六十三條ノ二、第千三百六十四條ノ二、第千三百六十五條ノ二、第千三百六十六條ノ二、第千三百六十七條ノ二、第千三百六十八條ノ二、第千三百六十九條ノ二、第千三百七十條ノ二、第千三百七十一條ノ二、第千三百七十二條ノ二、第千三百七十三條ノ二、第千三百七十四條ノ二、第千三百七十五條ノ二、第千三百七十六條ノ二、第千三百七十七條ノ二、第千三百七十八條ノ二、第千三百七十九條ノ二、第千三百八十條ノ二、第千三百八十一條ノ二、第千三百八十二條ノ二、第千三百八十三條ノ二、第千三百八十四條ノ二、第千三百八十五條ノ二、第千三百八十六條ノ二、第千三百八十七條ノ二、第千三百八十八條ノ二、第千三百八十九條ノ二、第千三百九十條ノ二、第千三百九十一條ノ二、第千三百九十二條ノ二、第千三百九十三條ノ二、第千三百九十四條ノ二、第千三百九十五條ノ二、第千三百九十六條ノ二、第千三百九十七條ノ二、第千三百九十八條ノ二、第千三百九十九條ノ二、第千四百條ノ二、第千四百一條ノ二、第千四百二條ノ二、第千四百三條ノ二、第千四百四條ノ二、第千四百五條ノ二、第千四百六條ノ二、第千四百七條ノ二、第千四百八條ノ二、第千四百九條ノ二、第千四百十條ノ二、第千四百十一條ノ二、第千四百十二條ノ二、第千四百十三條ノ二、第千四百十四條ノ二、第千四百十五條ノ二、第千四百十六條ノ二、第千四百十七條ノ二、第千四百十八條ノ二、第千四百十九條ノ二、第千四百二十條ノ二、第千四百二十一條ノ二、第千四百二十二條ノ二、第千四百二十三條ノ二、第千四百二十四條ノ二、第千四百二十五條ノ二、第千四百二十六條ノ二、第千四百二十七條ノ二、第千四百二十八條ノ二、第千四百二十九條ノ二、第千四百三十條ノ二、第千四百三十一條ノ二、第千四百三十二條ノ二、第千四百三十三條ノ二、第千四百三十四條ノ二、第千四百三十五條ノ二、第千四百三十六條ノ二、第千四百三十七條ノ二、第千四百三十八條ノ二、第千四百三十九條ノ二、第千四百四十條ノ二、第千四百四十一條ノ二、第千四百四十二條ノ二、第千四百四十三條ノ二、第千四百四十四條ノ二、第千四百四十五條ノ二、第千四百四十六條ノ二、第千四百四十七條ノ二、第千四百四十八條ノ二、第千四百四十九條ノ二、第千四百五十條ノ二、第千四百五十一條ノ二、第千四百五十二條ノ二、第千四百五十三條ノ二、第千四百五十四條ノ二、第千四百五十五條ノ二、第千四百五十六條ノ二、第千四百五十七條ノ二、第千四百五十八條ノ二、第千四百五十九條ノ二、第千四百六十條ノ二、第千四百六十一條ノ二、第千四百六十二條ノ二、第千四百六十三條ノ二、第千四百六十四條ノ二、第千四百六十五條ノ二、第千四百六十六條ノ二、第千四百六十七條ノ二、第千四百六十八條ノ二、第千四百六十九條ノ二、第千四百七十條ノ二、第千四百七十一條ノ二、第千四百七十二條ノ二、第千四百七十三條ノ二、第千四百七十四條ノ二、第千四百七十五條ノ二、第千四百七十六條ノ二、第千四百七十七條ノ二、第千四百七十八條ノ二、第千四百七十九條ノ二、第千四百八十條ノ二、第千四百八十一條ノ二、第千四百八十二條ノ二、第千四百八十三條ノ二、第千四百八十四條ノ二、第千四百八十五條ノ二、第千四百八十六條ノ二、第千四百八十七條ノ二、第千四百八十八條ノ二、第千四百八十九條ノ二、第千四百九十條ノ二、第千四百九十一條ノ二、第千四百九十二條ノ二、第千四百九十三條ノ二、第千四百九十四條ノ二、第千四百九十五條ノ二、第千四百九十六條ノ二、第千四百九十七條ノ二、第千四百九十八條ノ二、第千四百九十九條ノ二、第千五百條ノ二、第千五百一條ノ二、第千五百二條ノ二、第千五百三條ノ二、第千五百四條ノ二、第千五百五條ノ二、第千五百六條ノ二、第千五百七條ノ二、第千五百八條ノ二、第千五百九條ノ二、第千五百十條ノ二、第千五百十一條ノ二、第千五百十二條ノ二、第千五百十三條ノ二、第千五百十四條ノ二、第千五百十五條ノ二、第千五百十六條ノ二、第千五百十七條ノ二、第千五百十八條ノ二、第千五百十九條ノ二、第千五百二十條ノ二、第千五百二十一條ノ二、第千五百二十二條ノ二、第千五百二十三條ノ二、第千五百二十四條ノ二、第千五百二十五條ノ二、第千五百二十六條ノ二、第千五百二十七條ノ二、第千五百二十八條ノ二、第千五百二十九條ノ二、第千五百三十條ノ二、第千五百三十一條ノ二、第千五百三十二條ノ二、第千五百三十三條ノ二、第千五百三十四條ノ二、第千五百三十五條ノ二、第千五百三十六條ノ二、第千五百三十七條ノ二、第千五百三十八條ノ二、第千五百三十九條ノ二、第千五百四十條ノ二、第千五百四十一條ノ二、第千五百四十二條ノ二、第千五百四十三條ノ二、第千五百四十四條ノ二、第千五百四十五條ノ二、第千五百四十六條ノ二、第千五百四十七條ノ二、第千五百四十八條ノ二、第千五百四十九條ノ二、第千五百五十條ノ二、第千五百五十一條ノ二、第千五百五十二條ノ二、第千五百五十三條ノ二、第千五百五十四條ノ二、第千五百五十五條ノ二、第千五百五十六條ノ二、第千五百五十七條ノ二、第千五百五十八條ノ二、第千五百五十九條ノ二、第千五百六十條ノ二、第千五百六十一條ノ二、第千五百六十二條ノ二、第千五百六十三條ノ二、第千五百六十四條ノ二、第千五百六十五條ノ二、第千五百六十六條ノ二、第千五百六十七條ノ二、第千五百六十八條ノ二、第千五百六十九條ノ二、第千五百七十條ノ二、第千五百七十一條ノ二、第千五百七十二條ノ二、第千五百七十三條ノ二、第千五百七十四條ノ二、第千五百七十五條ノ二、第千五百七十六條ノ二、第千五百七十七條ノ二、第千五百七十八條ノ二、第千五百七十九條ノ二、第千五百八十條ノ二、第千五百八十一條ノ二、第千五百八十二條ノ二、第千五百八十三條ノ二、第千五百八十四條ノ二、第千五百八十五條ノ二、第千五百八十六條ノ二、第千五百八十七條ノ二、第





| 本籍 | | |

第七十四條　裁判ノ執行ハ檢事之ヲ指揮ス
檢事ハ執行ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
第七十五條　裁判ノ執行ハ檢事ノ立會ヲ以テ之ヲ爲ス但急迫ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
第七十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第七十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第七十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第七十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第八十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第九十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百二十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百三十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百三十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百四十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百五十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百五十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百六十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百六十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百七十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百八十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九十條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十一條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九十二條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九十三條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九十四條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九十五條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九十六條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九十七條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九十八條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第百九十九條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得
第二百條　裁判ノ執行ニ關シ檢事ハ其ノ職務ヲ行フ爲メ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

様式第一號

規參照程照六條七支

何	被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ如何	問	一、刑事訴訟法第百九十三條ノ規定ニ依リ裁判所ノ構成ヲ變更シタルコトノ有無	答
				右
				大正　年　月　日
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名
				何ノ事件ニ付公訴ヲ以テ何裁判所ニ對スル何年何月何日附起訴狀ニ記載ノ通リ
				公訴ヲ提起スルコトヲ求ム
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名

（注意）一、被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ知ルコトヲ要ス

様式第二號

規參照程照六條七支

何	被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ如何	問	一、刑事訴訟法第百九十三條ノ規定ニ依リ裁判所ノ構成ヲ變更シタルコトノ有無	答
				右
				大正　年　月　日
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名
				何ノ事件ニ付公訴ヲ以テ何裁判所ニ對スル何年何月何日附起訴狀ニ記載ノ通リ
				公訴ヲ提起スルコトヲ求ム
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名

（注意）一、被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ知ルコトヲ要ス

様式第三號

規參照程照六條七支

何	被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ如何	問	一、刑事訴訟法第百九十三條ノ規定ニ依リ裁判所ノ構成ヲ變更シタルコトノ有無	答
				右
				大正　年　月　日
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名
				何ノ事件ニ付公訴ヲ以テ何裁判所ニ對スル何年何月何日附起訴狀ニ記載ノ通リ
				公訴ヲ提起スルコトヲ求ム
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名

（注意）一、被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ知ルコトヲ要ス

様式第四號

規參照程照六條七支

何	被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ如何	問	一、刑事訴訟法第百九十三條ノ規定ニ依リ裁判所ノ構成ヲ變更シタルコトノ有無	答
				右
				大正　年　月　日
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名
				何ノ事件ニ付公訴ヲ以テ何裁判所ニ對スル何年何月何日附起訴狀ニ記載ノ通リ
				公訴ヲ提起スルコトヲ求ム
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名

（注意）一、被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ知ルコトヲ要ス

様式第一號

規參照程照六條七支

何	被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ如何	問	一、刑事訴訟法第百九十三條ノ規定ニ依リ裁判所ノ構成ヲ變更シタルコトノ有無	答
				右
				大正　年　月　日
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名
				何ノ事件ニ付公訴ヲ以テ何裁判所ニ對スル何年何月何日附起訴狀ニ記載ノ通リ
				公訴ヲ提起スルコトヲ求ム
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名

（注意）一、被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ知ルコトヲ要ス

様式第二號

規參照程照六條七支

何	被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ如何	問	一、刑事訴訟法第百九十三條ノ規定ニ依リ裁判所ノ構成ヲ變更シタルコトノ有無	答
				右
				大正　年　月　日
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名
				何ノ事件ニ付公訴ヲ以テ何裁判所ニ對スル何年何月何日附起訴狀ニ記載ノ通リ
				公訴ヲ提起スルコトヲ求ム
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名

（注意）一、被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ知ルコトヲ要ス

様式第三號

規參照程照六條七支

何	被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ如何	問	一、刑事訴訟法第百九十三條ノ規定ニ依リ裁判所ノ構成ヲ變更シタルコトノ有無	答
				右
				大正　年　月　日
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名
				何ノ事件ニ付公訴ヲ以テ何裁判所ニ對スル何年何月何日附起訴狀ニ記載ノ通リ
				公訴ヲ提起スルコトヲ求ム
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名

（注意）一、被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ知ルコトヲ要ス

様式第四號

規參照程照六條七支

何	被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ如何	問	一、刑事訴訟法第百九十三條ノ規定ニ依リ裁判所ノ構成ヲ變更シタルコトノ有無	答
				右
				大正　年　月　日
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名
				何ノ事件ニ付公訴ヲ以テ何裁判所ニ對スル何年何月何日附起訴狀ニ記載ノ通リ
				公訴ヲ提起スルコトヲ求ム
				何裁判所（何檢事局）何檢事
				官職氏名

（注意）一、被疑者ノ本籍、住居、職業、氏名、年齢ハ知ルコトヲ要ス

様式第五號

規參照程二條五支

答	何	亮	詭	罪	怒	万	起	訴	豁	段	又	ハ	劃	殺	放	免	ヲ	受	ケ	タ	ル	コ	ト	ナ	キ	ヤ
問	非	庭	サ	在	ル	或	ヤ	訊	常	ヲ	有	シ	年	令	恩	給	ヲ	受	ケ	ク	ル	ヤ	公	務	員	ノ	職	ニ	在	ル	モ	ノ	ニ
答	何																																
問	何																																
答	何																																

注意	次項ノ二ノ何ヲ問ハス犯罪ノ時ヨリ裁判ノ時マテニ住所ヲ變更シタル者ニ對シテハ其ノ住所ニ於テ召喚狀ヲ送達スルコトヲ得ス又其ノ者ニ對シテハ何年何月何日何時何處ニ出頭スヘキ旨ヲ記載シタル召喚狀ヲ送達スルコトヲ要ス

規參照程二條五支

シ	ム	ル	爲	訴	調	ヲ	爲	ス	コ	ト	左	ノ	如	シ
問	何													
答	何													
問	何													
答	何													

右ノ何某ニ對スル何罪告訴（告發）何罪自首ニ付キ變更（取消）ノ致度旨申立ツルニ依リ取調ヲ爲スコト左ノ如シ
問　何
答　何
問　何
答　何

告訴（告發）自首相定調書
住居職業
告訴人（告發人）自首人　氏名　年齢
右ノ何某ニ對スル何罪告訴（告發）自首ニ付キ變更（取消）ノ致度旨申立ツルニ依リ取調ヲ爲スコト左ノ如シ
問　何
答　何
問　何
答　何

注意

一　内地人ニ付テハ本籍欄ノ有無ヲ取調ヘ記載スヘシ

二　犯罪ノ時及ニ係リ居ラサルヤ否ヲ明確ナラシムヘシ

様式第六號

告訴（告發）自首相定調書
住居職業
告訴人（告發人）自首人　氏名
右ノ何某ニ對スル何罪告訴（告發）何罪自首ニ付キ其ノ趣旨ヲ則脱ナラ
問　何
答　何
問　何
答　何

注意	住居作業ヲ知ラサルトキハ相手人ノ他被疑者ヲ訊ムヘキ資料ヲ

問　被疑者ト親族同居等ノ關係ナキヤ
答　何
問　告訴（告發）ノ非實ヲ述ヘヨ
答　何
問　何
答　何

注意	犯罪ノ時ヨリ裁判ノ時マテニ住所ヲ變更シタル者ニ對シテハ其ノ住所ニ於テ召喚狀ヲ送達スルコトヲ得ス又其ノ者ニ對シテハ何年何月何日何時何處ニ出頭スヘキ旨ヲ記載シタル召喚狀ヲ送達スルコトヲ要ス

問　白首ノ非實ヲ詳述セヨ
答　何

問　被疑者ト親族同居ノ關係ナキヤ
答　何

注意	本件ノ犯罪ニ付放免ヲ受ケタルトキハ其ノ赦免ノ月日ヲ記載シ若シ赦免ニ條件アルトキハ其ノ條件ヲ

様式第七號

規參照程三條六支

立ツルニ依リ取調ヲ爲スコト左ノ如シ
問　何
答　何
問　何
答　何

告訴（告發）自首變更（取消）ノ事件ニ付キ右ノ何某ニ對スル何罪告訴（告發）自首變更（取消）ノ致度旨申
住居職業
告訴人（告發人）自首人　氏名　年齢

様式第八號

規參照程三條九支

一、犯罪ノ事實　何
一、逮捕ノ狀況　何

逮捕始末書
住居職業
一、犯人　氏名　年齢
右ノ何某ニ對スル何罪告訴（告發）自首ニ付キ其ノ趣旨ヲ則脱ナラ
問　何
答　何
問　何
答　何

注意	變更（取消）ノ事由ヲ詳述セシムルコトヲ要ス

様式第九號

規參程照三條二支

注意　逮捕ノ狀況ニ關係アル原因、逮捕ノ日時、場所及現行犯ト認メタル狀況ヲ詳記スヘシ

一、犯人ノ明示セサル逮捕及告發（告訴）ノ中立テヲ爲シタル年月日午前（後）何時逃盡又ハ何所何某ヘ不驗ニ何罪現

逮捕之告發（告訴）國書

一、犯人　住居、職業　氏　年齢

一、犯罪ノ非實　何

一、逮捕ノ狀況　何

六正　年　月　日

何警察署（何分署）何警察官駐在所）

逮捕者（告發者）（告訴人）　司法警察官　司法警察官　氏　名

年齢

氏名

様式第十一號

規參程照三條六支

一　何

一　何

右當（何所）ニ出頭シ左ノ通任意供述ヲ爲シタリ

住居、身分、職業

氏名　年齢

聽取書（何回ト雖モ以後ノ分ニハ必ス記載ヘシ）

様式第十二號

規參程照三條二支

右逮捕者（告發）（告訴）ノ非實ニ付取調ヘタル巡査ノ中立前後ノ通相違ナキニ付共ニ署名捺印ス

六正　年　月　日

於某署

逮捕人　氏　名

逮捕者（告發）（告訴）　氏　名

（逮捕人ヨリ申述ヘキ事由ヲ聽キ其ノ手續ヲ作リタル上之ヲ讀聞ケ又ハ閲覽セシメタル旨ニ依リ更ニ如ク逮捕ノ狀況ヲ記載ス告發（告訴）ヘシ）

様式第十二號

規參程照三條二支

一、犯罪非實　何

一、逮捕ノ狀況　何

六正　年　月　日

何警察署（何分署）何警察官駐在所）

逮捕者（告發者）（告訴人）　司法警察官　司法警察官　氏　名

年齢

氏名

住居、職業　氏　年齢

逮捕ノ日時、場所及現行犯ト認メタル狀況ヲ詳記スヘシ

逮捕ノ狀況ニハ發覺原因、

行犯人ノ明示セサル逮捕及告發（告訴）ノ中立テヲ爲シタル

注意　非實ノ結論ニ關スルモノハ其ノ供述ノ必要ヲ認ムル項參ニ記スルヲ妨ケス

様式第十三號

注意　内地人ニ付テハ罪證關係ノ有無ヲ取調記載スヘシ

刑　刑參
令一一ノ三五號
四二九三六支

規參程照三條二支

一　何

一　何

右當（何所）ニ出頭シ左ノ通任意供述ヲ爲シタリ

住居、身分、職業

氏名　年齢

聽取書（何回ト雖モ以後ノ分ニハ必ス記載ヘシ）

問　何

答　何

問　氏名、年齢、身分、職業、住居及本籍地ハ如何

答　何

問　貸付、賣渡、記名ヲ爲シ年金、恩給ヲ受ケ又ハ公務員ニ非サルヤ

答　何

問　是非刑罪ニ處セラルヘキ事實ナルヤ

答　何　注意　罰則ニ因リ刑罪ニ處セラルヘキ事實ナルヤ何回ニ分ケ處セラルヘキヤ何年何月何日ヨリ何年何月何日迄ノ間ニ於テ犯シタル事實ナルヤ

被疑者　右何某ニ付キ大正　年　月　日何警察署（何分署）何警察官駐在所）ニ於テ司法警察吏巡査何某ヲ立會セシメ尚ホ引續キ被疑者ニ對シ訊問ヲ爲スヤ

被疑者訊問調書

様式第十五號

刑參照
刑令——派照
——一九八五條
四二五六交

何某ニ對スル何非作ニ付大正　年　月　日何察某（何察某）何察某官	證人	證人訊問調書

様式第十四號

刑參照
刑令——派照
——一九八五條
四二五六交

駐在所ニ於テ司法警察吏巡査何某ヲ立會セシメ訊問ヲ受ケタル如シ	何某ニ對スル何非作ニ付大正　年　月　日何察某（何察某）何察某官	證人	證人訊問調書（第二回）

問	何
訊問ヲ受ケタル左ノ如シ	

答	何

様式第十七號

刑參照
刑令二派照
——一二五條
四二六六交

通非（稱謀）人訊問調書	通非（稱謀）人	何某ニ對スル何非作ニ付大正　年　月　日何察某（何察某）何察某官	駐在所ニ於テ司法警察吏巡査何某ヲ立會セシメ訊問ヲ受ケタル如シ

問	住居、職業、氏名、年齢ハ如何
答	何

刑參照
刑令二派照
——一二五條
四二六六交

駐在所ニ於テ司法警察吏巡査何某ヲ立會セシメ訊問ヲ受ケタル如シ	何某ニ對スル何非作ニ付大正　年　月　日何察某（何察某）何察某官	證人	證人訊問調書

問	住居、職業、氏名、年齢ハ如何
答	何

其ニ於テ刑非訴訟法第百八十六條第一項ニ記載シタル者ナリヤ否ヤヲ問ヒ其ノ	該當セサルコトヲ認メ通非（稱謀）人トシテ訊問スヘキ旨ヲ告ケタル上	問	何
		答	何

一、何	一、死後經過シタル時間	一、兇器方法及用ヒタル藥品ノ名稱	一、他殺、自殺ノ區別	一、實ノ氏名不詳ナルトキハ死體ノ創傷ノ位置、形狀、大小、深淺及致死ノ原因	定ヲ以テ非ス、鑑定ヲ作成シ提出スヘキ旨ヲ命シタリ	該當セサルコトヲ認メ鑑定人トシテ訊問スヘキ旨ヲ告ケタル上、左ノ非訴ノ鑑	其ニ於テ刑非訴訟法第百八十六條第一項ニ記載シタル者ナリヤ否ヤヲ問ヒ其ノ	駐在所ニ於テ司法警察吏巡査何某ヲ立會セシメ訊問ヲ受ケタル如シ

様式第十八號

觀參
程照
三一條
三六交

司法警察官官氏名	司法警察官官氏名	何察某（何察某）何察某官駐在所	通非ヲ介シテ本人ニ就キ問ヲセ（聞セシメタルニ相違ナキ旨申立テ通非ト	共ニ署名捺印シタリ	通非氏名	作證者氏名	大正　年　月　日	通非（稱謀）人	通非（稱謀）人訊問調書

様式第二十號

参照程第四條第二項

大正　年　月　日	此ノ見分ハ未ダ半熟ノ後ノ何時ニ始メ何時ニ終ル	テ之ヲ領置ク	何所ニ於テ發見シタル物件何ハ何ニ依リ本件證據トシテ何某ノ承諾ヲ得	一　何	二　何	テ何場所（物件）ノ實況ヲ見分スルコト左ノ如シ	大正　年　月　日何某本件ニ付何所何某方ニ臨ミ戸主何某（何某）ノ承諾ヲ得	實況見分書

注意

一　檢察官以外ノ場所ニ於テ作成シタルトキハ何所ニ於テ作成シタルヤヲ記載スヘシ

様式第十九號

参照程第三一條第三六條

右本人ニ讀聞カセ（閲覽セシメ）タルニ相違ナキ旨申立テ署名指印シタリ	作述者　氏　名	大正　年　月　日	何檢察官（何檢察官何檢察官何檢察官駐在所）	司法檢察官　官　氏　名	司法檢察吏　官　氏　名

注意

一　檢察官以外ノ場所ニ於テ作成シタルトキハ何所ニ於テ記載スヘシ

二　檢察官以外ノ場所ニ於テ作成シタルトキハ何所ニ於テ記載スヘシ

様式第二十一號

刑訴參照一一一條一項二號四〇一ノ二

記	物件提出命令	左記物件ハ何某ニ對スル何某事件ニ付差押ノ必要存之候條提出可相成候也	大正　年　月　日	何檢察官（何檢察官何檢察官何檢察官駐在所）	司法檢察官　官　氏　名

注意

一　添附圖面又ハ領收目錄アルトキハ之ト契印スヘシ

様式第二十二號

刑訴參照一一一條一項二號四〇一ノ二

差押目錄	物件番號	品目	員數	住所持主又ハ保管者名称	住所氏名	備考

注意

一　本目錄ハ差押ヲ爲シタル物件ノ品目員數價額ニ從ヒ各別ニ記入スヘシ

二　物件ノ品質種類ニ從ヒ各別ニ記入スヘシ

様式第二十三號

刑訴參照一一一條一項二號四〇一ノ二

押收目錄	物件番號	品目	員數	住所持主又ハ保管者名称	住所氏名	備考

規参
程照
四条
三文

様式第二十五號

物件番號	品目	員数	提出者住居氏名	領置目録
				司法警察官　官　氏　名

注意
一　一品毎ニ別ニ記入スルコト
二　物件ノ番號ハ一ヨリ始メ順次ニ記入スルコト
三　領置ノ目録ハ白紙ニ作ルコト
四　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
五　同一ノ物件ニ付キ數回ニ領置ヲ爲シタルトキハ其ノ都度別ニ目録ヲ作ルコト
六　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
七　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
八　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
九　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十一　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十二　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十三　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十四　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十五　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十六　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十七　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十八　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
十九　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト
二十　物件ノ番號ハ一品毎ニ別ニ記入スルコト

様式第二十六號

刑令――――　刑参照
二七七四五六
三四一〇三八七条

捜索ノ時間	及物件所在ノ場所	立会人	捜索ノ場所	何某ニ対スル何事件ニ付捜索差分ヲ要スルコト左ノ如シ
終了　午前　時　分				捜索調書

大正　年　月　日

何裁判所ニ於テ
何検事
何警察官
何警察官駐在所
司法警察官　官　氏　名

様式第二十七號

刑参
訴照
一一
八八五七
〇三七七

検証ノ時間	立会人	死体ノ有無及損傷ノ状況	係官ノ作為又ハ過失ノ有無及死因	発見ノ原因	指紋ノ有無及証拠品	死体ノ処置	死亡ノ年月日時及死体ノ場所	死体ノ検視ヲ為スコト左ノ如シ
終了　午前　時　分								検証調書

大正　年　月　日

何裁判所
何警察署
何警察官駐在所
司法警察官　官　氏　名

注意
一　検証調書ハ中ニ入ルヘキ事項ヲ記入スルノ必要ナキ部分ハ之ヲ削除スヘシ
二　図面又ハ写真ヲ検証調書ニ添附スルトキハ其ノ旨ヲ調書ニ記載スヘシ

様式第二十八號

刑参
訴照
一一
八八五七
〇三七七

検証ノ時間	立会人	犯所ノ状況	被害者ノ状態	創傷ハ何ノ方向ヨリ其ノ位置形状ハ別紙図面ノ如シ	何ノ創傷ヲ検スルニ何レモ何ヲ以テ何シタルモノト認メラレ何	裁判官ニ於テ死体（創傷）ノ鑑定ヲ為サシメタリ	何所ニ於テ犯罪ノ用ニ供シタルモノト認ムヘキ何品ヲ領収シタルヲ以テ	之ヲ差押ヘタリ	此ノ検証ハ本日午前（後）何時何分ヨリ始メ何時何分ニ終ル
終了　午前　時　分									検証調書

大正　年　月　日

何裁判所
何警察署
何警察官駐在所
司法警察官　官　氏　名

注意
一　図面又ハ写真ヲ検証調書ニ添附スルトキハ其ノ旨ヲ調書ニ記載スヘシ
二　図面ハ白紙ニ作ルコト

様式第二十九號

（甲）
（乙）川川駅便ニ付き）

二刑規参
訴程照
一七条
八文

死体ノ検視ヲ為スコト左ノ如シ	死亡ノ年月日時及死体ノ場所	死体ノ発見ノ原因	死体ノ有無及損傷ノ状況	係官ノ作為又ハ過失ノ有無及死因	死体ノ検視ヲ為スコト左ノ如シ
					検視調書

大正　年　月　日

何裁判所
何警察署
何警察官駐在所
司法警察官　官　氏　名

刑令一九九〇　新照條次
四二

令狀	喚	召	人	證
月 日	大正 年 月 日	押送ニ付シタル日付	大正 年 月 日	

被疑者	住居	職業	氏名	年齢

罪名	年月日時場所	犯罪ノ方法	被害ノ程度	其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

證人	住居	職業	氏名	年齢	宣誓ノ有無	證言ノ要領

押收ヲ爲シタル物件	押收ノ場所	押收ノ年月日	押收ヲ爲シタル者ノ住居職業氏名	押收ノ理由

檢證ノ場所	檢證ノ年月日	檢證ノ結果

鑑定人	住居	職業	氏名	年齢	鑑定ノ事項	鑑定ノ結果

通譯人	住居	職業	氏名	年齢	通譯ノ事項	通譯ノ結果

證人ノ宣誓ヲ爲サシメサル理由	證人ノ宣誓ヲ爲サシメサル理由

被疑者ノ供述ノ要領	被疑者ノ供述ノ要領

| 參考事項 | 參考事項

様式第四十二號

提參
程照
六拾
七支

何裁判所何檢事局檢察官駐在
何裁判所何檢察官駐在
何裁判所何檢察官駐在
何裁判所何

様式第四十五號

規參程照六條ノ二

品進走常時ノ狀態	進走常時ノ容衣	特徴	疵瑕	鬚	眉	頭髮	耳	口	齒	手足	氏名、年齡、職業、住居、本籍	第　人　號 相貌
									右齒	四		
									左齒	四		

住所トスル勿レ　年ハ年齢ヲ記スヘシ　身體ノ特徴ハ其ノ著シキモノヲ記載スヘシ　氏名ハ通稱ヲ用ユルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ　逃走ノ概要ハ逃走ノ場所、逃走ノ方法、逃走ノ原因、逃走ノ際ニ於ケル犯罪ノ有無、逃走ノ後ニ於ケル犯罪ノ有無、逃走ノ後ニ於ケル被逮捕ノ狀況、逃走ノ際ニ於ケル被害ノ有無、逃走ノ際ニ於ケル被害ノ程度、逃走ノ際ニ於ケル犯人ノ氏名、年齡、職業、住居、本籍ヲ記載スヘシ

住所又ハ居所、年齡、職業、本籍、氏名	逃走ノ概要	逃走ノ原因	逃走ノ狀況	逃走ノ年月日及時刻	逃走ノ場所	逃走ノ方法	逃走ノ際ニ於ケル犯罪ノ有無、逃走ノ後ニ於ケル犯罪ノ有無、逃走ノ後ニ於ケル被逮捕ノ狀況、逃走ノ際ニ於ケル被害ノ程度、逃走ノ際ニ於ケル犯人ノ氏名、年齡、職業、住居、本籍	備考

規參程照七條ノ二

様式第四十六號

住所	氏名、年齡	本籍、住居、職業	罪名	犯罪ノ概要	罰條	備考
			訓誡、放免、報告、警戒			

注意

一　犯人ノ住所ハ住居ト異ナル場合ニ限リ之ヲ記載スヘシ

二　犯罪ノ概要ハ犯罪ノ日時、場所、方法、犯人ノ行爲ノ狀況、被害ノ狀況、犯人ノ逃走ノ狀況、犯人ノ逮捕ノ狀況、犯人ノ逮捕ニ關スル警察官ノ職務執行ノ狀況、犯人ノ逮捕ニ關スル警察官ノ職務執行ニ對スル犯人又ハ第三者ノ抵抗ノ狀況、犯人ノ逮捕ニ關スル警察官ノ職務執行ニ對スル犯人又ハ第三者ノ抵抗ニ因リ警察官又ハ犯人若ハ第三者ニ生シタル損害ノ狀況、犯人ノ逮捕ニ關スル警察官ノ職務執行ニ對スル犯人又ハ第三者ノ抵抗ニ因リ警察官又ハ犯人若ハ第三者ニ生シタル損害ノ程度ヲ以テ必要トスル限度ニ於テ之ヲ記載スヘシ

三　犯罪現場、現場ニ於ケル證據物件ノ有無、犯罪ノ目擊者ノ有無、犯罪ノ被害者ノ有無、犯罪ノ被害者ノ住所、氏名、年齡、職業、本籍、犯罪ノ被害者ト犯人トノ關係、犯罪ノ被害者ト犯人トノ關係ニ關スル警察官ノ職務執行ニ對スル犯人又ハ第三者ノ抵抗ノ有無、犯罪ノ被害者ト犯人トノ關係ニ關スル警察官ノ職務執行ニ對スル犯人又ハ第三者ノ抵抗ニ因リ警察官又ハ犯人若ハ第三者ニ生シタル損害ノ有無、犯罪ノ被害者ト犯人トノ關係ニ關スル警察官ノ職務執行ニ對スル犯人又ハ第三者ノ抵抗ニ因リ警察官又ハ犯人若ハ第三者ニ生シタル損害ノ程度ヲ以テ必要トスル限度ニ於テ之ヲ記載スヘシ

様式第四十七號

規參程照六條ノ二

| 前科ノ有無及ビ其ノ年月日及ビ罪名 | 思想關係ノ有無及ビ其ノ年月日及ビ罪名 | 共犯者ノ有無及ビ其ノ氏名 | 犯罪ノ概要 | 犯罪ノ動機 | 犯罪ノ場所 | 犯罪ノ年月日時 | 犯罪ノ方法 | 犯罪ノ結果 | 犯罪ノ原因 | 犯罪ノ狀況 | 犯罪ノ被害者ノ住所、氏名、年齡、職業、本籍 | 犯罪ノ被害者ノ種類 | 犯罪ノ被害者ノ數 | 犯罪ノ被害者ノ性別 | 犯罪ノ被害者ノ年齡

様式第四十九號

注意

一　本人ノ署名、実印ノ年月日、及行印様先其ノ他参考トナルヘキ事項ハ備考欄ニ記入セラレンヿヲ要ス

備考	年月日	本籍	住所	裁判言渡及確定日	裁判所名	刑名、刑期、金額	度数加減	罪数	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年月日	職業	氏名											
	年月日	年	月	日										

地方法院何支廳ヘ嘱託ノ件非分ノ点ニ関シ相成度及照会候也

年　月　日

何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
司法裁判官　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
官職氏名　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳

御中

右之通嘱託ニ相成度追而何地方法院何地方法院支廳ヘ嘱託ノ儀ハ何裁判所何裁判所何裁判所何支廳ヘ御照会ノ上御取計相成度此段及照会候也

年　月　日

何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
司法裁判官　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
官職氏名　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳

御中

様式第五十條

備考	年月日	裁判言渡及確定日	裁判所名	罪名	刑名、刑期、金額	度数加減	罪数	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年月日												

右及回答候也

大正　年　月　日

何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
司法裁判官　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
官職氏名　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳

御中

刑参一第二一七
刑令三二一七
六八四〇

様式第五十一號

備考	年月日	本籍	住所	罪名	刑名	番号	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年月日	職業	氏名									
	年月日	年	月	日								

右及嘱託（命令）候也

大正　年　月　日

何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
司法裁判官　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
官職氏名　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳

御中

右及回答候也

大正　年　月　日

何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
司法裁判官　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
官職氏名　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳

御中

様式第五十一號

備考	年月日	裁判言渡及確定日	裁判所名	罪名	刑名、刑期、金額	度数加減	罪数	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年月日												

過料処分ノ件嘱託（命令）候也

大正　年　月　日

何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
司法裁判官　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
官職氏名　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳

御中

証人（鑑定人）通訳人ニ対スル訴訟費用ノ件嘱託ノ儀ハ何裁判所何裁判所何裁判所何支廳ヘ御照会ノ上御取計相成度此段及照会候也

年　月　日

何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
司法裁判官　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
官職氏名　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳

御中

有ハ何ニ対スル何非ヲ付大正　年　月　日午　時常裁（何庭）ニ

於テ証人（鑑定人）通訳人トシテ召喚ヲ受ケ（訊問セラルニ）当リ正当ノ理由ナクシテ出頭セサル（証言（通訳）ヲ拒ミタル）ニ因リ刑訴

正当ノ理由ナクシテ出頭セサル（証言（通訳）ヲ拒ミタル）ニ因リ刑訴第二百十七條ノ決定相成度此段及照会候也

大正　年　月　日

何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
司法裁判官　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
官職氏名　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳

御中

刑非二一二一
非令三二一七
六八四〇

様式第五十二號

備考	年月日	本籍	住所	罪名	刑名	番号	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	年月日	職業	氏名									
	年月日	年	月	日								

右及回答候也

大正　年　月　日

何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
司法裁判官　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳
官職氏名　何裁判所何裁判所何裁判所何支廳

御中

様式第五十四號

號　　券票收押

| 月年日 | 月年日 | 月年日 |

様式第五十八號

検視名簿

番號	年月日	変死者又ハ変死ノ疑アル者ノ住居、職業、身分、氏名、年齢	検視ノ結果			処分		備考
			検視	変死ノ死場所	変死ノ死因	年月日	要旨	
大正　年　第　號	年　月　日					年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日					年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日					年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日					年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日					年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日					年　月　日		大正　年　第　號

過料請求簿

番號	年月日	事件標目	被疑者	請求	被請求者ノ住居、職業、氏名、年齢	請求ノ事由	決定		備考
			氏名	年月日			年月日	要旨	
大正　年　第　號	年　月　日			年　月　日			年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日			年　月　日			年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日			年　月　日			年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日			年　月　日			年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日			年　月　日			年　月　日		大正　年　第　號
大正　年　第　號	年　月　日			年　月　日			年　月　日		大正　年　第　號

●朝鮮總督府裁判所及檢事局令狀取扱規程

大正十二年十二月
總訓第五十五號

朝鮮總督府裁判所
同　檢事局

朝鮮總督府裁判所及檢事局令狀取扱規程左ノ通定ム

朝鮮總督府裁判所及檢事局令狀取扱規程

第一條　本規程ニ於テ令狀トハ勾引狀、勾留狀、逮捕狀及假逮捕狀ヲ謂フ

第二條　令狀ノ執行ヲ指揮スルニハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外執行指揮書ヲ添附スルヲ要セス

檢事判事ノ發シタル令狀又ハ執行ノ嘱託ヲ受ケタル令狀ノ執行ヲ指揮スルニハ其ノ右側上部ニ認印シテ之ヲ捺スヘシ

第三條　令狀ニハ裁判所内又ハ檢證ノ現場等ニ於テ即時執行セシムルモノヲ除クノ外其ノ右側面外ニ指揮又ハ嘱託ヲ爲シタル官署名ヲ記載スヘシ同一人ニ對シ二通以上ノ令狀ヲ發シ其ノ執行ノ指揮又ハ嘱託ヲ爲シタル官署ヲ異ニスル場合ニ於テハ各令狀毎ニ其ノ總テノ官署名ヲ記載スヘシ

第四條　外國人（支那人ヲ除ク）ニ對シ發スル令狀ニハ成ルヘク譯文ヲ添附スヘシ

第五條　共犯者又ハ通謀ノ虞アル者ニ對シ令狀ヲ發スル場合ニ於テハ必要ニ應シ其ノ旨ヲ令狀ニ附箋シ又ハ入監前監獄ノ長ニ通知スヘシ

第六條　受託官署ハ勾引若ハ逮捕ノ嘱託ヲ受ケタル令狀ノ執行ヲ指揮スルニハ其ノ右側上部ニ認印シテ之ヲ捺スヘシ

第七條　受託官署ハ令狀ノ執行ヲ受ケヘキ者押送ヲ要スルモノナルトキハ令狀ニ押送指揮書ヲ添附スヘシ

第八條　受託官署ハ令狀ノ執行シタルトキハ遅ニ令狀執行ノ年月日及押送指揮ヲ爲シタルモノニ付テハ其ノ旨ヲ嘱託官署ニ通知スヘシ但シ刑ノ執行ヲ併セテ嘱託シタル逮捕狀ノ執行シタルトキハ此ノ限ニ在ラス令狀ニ押送指揮ヲ添附シタル場合ニ於テ其ノ押送ヲ爲シタルトキ亦同シ

第九條　令狀執行ノ必要止ミタルトキハ遅ニ其ノ旨ヲ發付及執行又ハ執行ノ指揮又ハ嘱託ヲ爲シタル官署ニ通知シ令狀ヲ送付セシムヘシ

第十條　逮捕狀ハ特別ノ事由アル場合ヲ除ノ外犯罪地、住居地、徘徊ノ見込アル地ノ司法警察官署及事件ヲ送致シタル司法警察官署ニ送付シテ執行セシムヘシ

前項ノ司法警察官署管轄區域外ナルトキハ其ノ管轄廳ノ檢事ニ逮捕ノ嘱託ヲ爲スヘシ

第十一條　逮捕ノ嘱託ヲ爲ス場合ハ成ルヘク刑ノ執行ヲ併セテ嘱託スヘシ

第十二條　受託檢事刑ノ執行ヲ指揮シタルトキハ刑期起算日ヲ嘱託檢事ニ通知スヘシ

第十三條　受託檢事ハ逮捕狀發付後一年ヲ經過シ執行ノ見込ナキトキハ之ヲ取消シ逮捕狀ヲ添ヘ其ノ旨ヲ嘱託檢事ニ通知スヘシ但シ管内在留者及死刑又ハ無期刑ノ者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　假釋決院檢事長ノ指揮ニ依リ發付スヘキ勾引狀及逮捕狀ニ付テハ嘱託ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條　檢事局ハ毎年一月管内司法警察官ヨリ前年中未執行ニ係ル逮捕狀取調書ヲ送付セシメ原簿ト照合スヘシ

附　則

本規程ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

移送ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ嘱託官署ニ通知スヘシ令狀ノ執行ヲ轉嘱シタルトキ亦同シ

第七條　受託官署ハ令狀ノ執行ヲ受ケヘキ者押送ヲ要スルモノナルトキハ令狀ニ押送指揮書ヲ添附スヘシ

第八條　受託官署ハ令狀ノ執行シタルトキハ遅ニ令狀執行ノ年月日及押送指揮ヲ爲シタルモノニ付テハ其ノ旨ヲ嘱託官署ニ通知スヘシ但シ刑ノ執行ヲ併セテ嘱託シタル逮捕狀ノ執行シタルトキハ此ノ限ニ在ラス令狀ニ押送指揮ヲ添附シタル場合ニ於テ其ノ押送ヲ爲シタルトキ亦同シ

第九條　令狀執行ノ必要止ミタルトキハ遅ニ其ノ旨ヲ發付及執行又ハ執行ノ指揮又ハ嘱託ヲ爲シタル官署ニ通知シ令狀ヲ送付セシムヘシ

第十條　逮捕狀ハ特別ノ事由アル場合ヲ除ノ外犯罪地、住居地、徘徊ノ見込アル地ノ司法警察官署及事件ヲ送致シタル司法警察官署ニ送付シテ執行セシムヘシ

前項ノ司法警察官署管轄區域外ナルトキハ其ノ管轄廳ノ檢事ニ逮捕ノ嘱託ヲ爲スヘシ

第十一條　逮捕ノ嘱託ヲ爲ス場合ハ成ルヘク刑ノ執行ヲ併セテ嘱託スヘシ

第十二條　受託檢事刑ノ執行ヲ指揮シタルトキハ刑期起算日ヲ嘱託檢事ニ通知スヘシ

第十三條　受託檢事ハ逮捕狀發付後一年ヲ經過シ執行ノ見込ナキトキハ之ヲ取消シ逮捕狀ヲ添ヘ其ノ旨ヲ嘱託檢事ニ通知スヘシ但シ管内在留者及死刑又ハ無期刑ノ者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　假釋決院檢事長ノ指揮ニ依リ發付スヘキ勾引狀及逮捕狀ニ付テハ嘱託ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條　檢事局ハ毎年一月管内司法警察官ヨリ前年中未執行ニ係ル逮捕狀取調書ヲ送付セシメ原簿ト照合スヘシ

附　則

本規程ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

岡席判決ニ關スル令狀ノ取扱ハ仍從前ノ例ニ依ル

●司法警察官吏ノ職務ヲ行フヘキ者及其ノ職務ノ範圍

大正十三年五月
總令第十三號

改正　大正二年六月三號、昭和二年七號、七年八號、七年九號、八年八號、七年八號、一三年八號、二五號

司法警察官吏ノ職務ヲ行フヘキ者及其ノ職務ノ範圍左ノ通定ム

第一條　地方法院檢事局又ハ其ノ管内地方法院支廳檢事分局勅務ノ書記又ハ雇員ニシテ檢事正ノ指命シタル者ハ其ノ局ニ於テ受理シタル事件ニ付書記ニ在リテハ朝鮮刑事令第五條ニ規定スル司法警察官ノ職務ヲ、雇員ニ在リテハ司法警察吏ノ職務ヲ行フ

第二條　朝鮮ニ於ケル監獄又ハ分監ノ長ハ監獄又ハ分監ニ於ケル犯罪ニ付朝鮮刑事令第五條ニ規定スル司法警察官ノ職務ヲ行フ

第三條　左ニ掲ル者ニシテ其ノ所屬長官共ノ者ノ勅務地ヲ管轄スル地方法院ノ檢事正ト協議シテ指命シタルモノハ第一號乃至第七號ニ掲ル者ニ在リテハ朝鮮刑事令第五條ニ規定スル司法警察官ノ職務ヲ、第八號乃至第十四號ニ掲ル者ニ在リテハ司法警察吏ノ職務ヲ行フ

一　朝鮮ニ於ケル監獄又ハ分監ノ長タラサル朝鮮總督府典獄補及看守長

二　朝鮮總督府營林署山林事務官、技師、屬、技手及森林主事

三　朝鮮總督府林業試驗場ノ試驗林保護ノ事務ニ從事スル朝鮮總督府林業試驗場技師、屬及技手

四　道ニ勅務シ國有林野ノ保護及經營ノ事務ニ從事スル技師、屬及技手

五　朝鮮總督府郡島森林主事

六　府郡島ニ勅務シ林業ニ關スル技術ニ從事スル産業技手

七　道ノ所有スル林野ノ所在地ニ勅務シ其ノ林業ニ關スル技術ニ從事スル産業技手

八　朝鮮總督府省守

九　朝鮮總督府營林署森林主事補及屬員

十　朝鮮總督府林業試驗場ノ試驗林保護ノ事務ニ從事スル屬員

十一　朝鮮總督府郡島森林主事補

十二　道ニ勅務シ國有林野ノ保護及經營ノ事務ニ從事スル屬員

十三　府郡島ニ勅務シ公有又ハ私有ノ林野ノ保護ニ從事スル道吏員

十四　府郡島ニ勅務シ林業事務ニ從事スル屬員

第四條　前條ノ規定ニ依リ司法警察官吏ノ職務ヲ行フ者ノ職務ノ範圍ハ左ニ掲ル罪ニ關スルモノニ限ル

一　前條第一號及第八號ニ掲ル者ニ在リテハ監獄又ハ分監ニ於ケル犯罪

二　前條第二號及第九號ニ掲ル者ニ在リテハ營林署長保管ノ國有林野、第四號及第十二號ニ掲ル者ニ在リテハ道知事所屬及保管ノ國有林野、第五號及第十一號ニ掲ル者ニ在リテハ營林署長保管ノ國有林野以外ノ林野、第六號、第十三號及第十四號ニ掲ル者ニ在リテハ國有林野以外ノ林野ニ於ケル森林若ハ其ノ産物又ハ狩獵ニ關スル罪

三　前條第三號及第十號ニ掲ル者ニ在リテハ朝鮮總督府林業試驗場ノ試驗林ニ於ケル森林又ハ其ノ産物ニ關スル罪

四　前條第七號ニ掲ル者ニ在リテハ道ノ所有スル林野ニ於ケル森林若ハ其ノ産物又ハ狩獵ニ關スル罪

第五條　海船（沿海航路以上ノ航路ヲ航路定限トスル總噸數二十噸以上又ハ積石數二百石以上ノモノ）ノ船長ハ其ノ船内ニ於テ朝鮮刑事令第五條ニ規定スル司法警察官ノ職務ヲ行フ

前項ノ海船内ニ於ケル司法警察吏ノ職務ハ甲板部、機關部又ハ事務部ノ海員中其ノ各部ニ於テ職掌ノ上位ニ在ル者之ヲ行フ

●刑事補償法

昭和六年四月
法律第六十號

於帝國議會ノ協賛ヲ經タル刑事補償法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

刑事補償法

第一條　刑事訴訟法ニ依ル通常手續又ハ再審若ハ非常上告ノ手續ニ於テ無罪ノ言渡ヲ受ケタル者又ハ同法第三百十三條ノ規定ニ依リ免訴ノ言渡ヲ受ケタル者未決勾留ヲ受ケタル場合ニ於テハ國ハ其ノ者ニ對シ勾留ニ因ル補償ヲ爲ス

再審又ハ非常上告ノ手續ニ於テ無罪ノ言渡ヲ受ケタル者原判決ニ因リ既ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ刑法第十一條第二項ノ規定ニ依リ拘置ヲ受ケタル場合ニ於テハ國ハ其ノ者ニ對シ刑ノ執行又ハ拘置ニ因ル補償ヲ爲ス

第二條　前條ノ規定ニ依リ補償ヲ受クヘキ者死亡シタル場合ニ於テハ本人ノ遺族ニ對シ前條ノ補償ヲ爲ス死亡シタル者ニ付再審又ハ非常上告ノ手續ニ於テ無罪ノ言渡アリタル場合亦同シ

補償ヲ受クヘキ遺族死亡シタルトキハ次順位ノ遺族ニ對シ其ノ補償ヲ爲ス

第三條　本法ニ於テ遺族ト稱スルハ本人ノ配偶者、子、孫、父、母、祖父及祖母ニシテ本人死亡ノ當時之ト戸籍ヲ同ジウシ引續キ其ノ戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

補償ヲ受クヘキ遺族ノ順位ハ前項ニ記載スル順序ニ依ル父母及祖父母ニ付テハ養方ヲ先ニシ實方ヲ後ニス

子及孫數人アルトキハ其ノ順位ハ本人ヲ被相續人トシタル家督相續ノ順位ニ準ジ之ヲ定ム

第四條　無罪又ハ免訴ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付左ノ事由アルトキハ補償ヲ爲サズ

一　刑法第三十九條乃至第四十一條ニ規定スル事由ニ因リ無罪又ハ免訴ノ言渡アリタルトキ

二　起訴セラレタル行爲カ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反シ著シク非難スヘキモノナルトキ

本人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ル行爲カ

起訴、勾留ヲ付シ又ハ裁判ニ付スル處分又ハ再審請求ノ原由ト爲リタルトキハ第一條第一項ノ補償ヲ爲サズ

本人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ル行爲ガ原有刑判決ノ還ル原因ト爲リタルトキハ第一條第二項ノ補償ヲ爲サズ

一個ノ裁判ニ依リ併合刑ノ一部ニ付無罪又ハ免訴ノ言渡ヲ受ケルモ他ノ部分ニ付有罪ノ言渡ヲ受ケル者ニ對シテハ補償ヲ爲サザルコトヲ得

第五條　勾留ニ因ル補償ニ於テハ勾引狀又ハ勾留狀執行後ノ拘禁日數ニ對シテ一日五圓以内ノ補償金ヲ交付ス

懲役、禁錮又ハ拘留ノ執行ニ因ル補償ニ於テハ其ノ日數ニ對シテ一日五圓以内ノ補償金ヲ交付ス拘置ニ因ル補償ニ付亦同シ

死刑ノ執行ヲ受ケタル者ノ遺族ニ對スル補償ニ於テハ拘置ニ因ル補償ノ外裁判所ノ相當ト認ムル補償金ヲ交付ス

罰金又ハ科料ノ執行ニ因ル補償ニ於テハ既ニ徵收シタル罰金又ハ科料ニ等シキ金額ヲ還付ス勞役場留置ノ執行ヲ爲シタルトキハ

第二項ノ規定ニ準シ補償金ヲ交付ス

沒收ノ執行ニ因ル補償ニ於テハ破壞若ハ廢棄ニ係ラザル沒收物又ハ沒收物ノ處分ニ因リテ得タル代價若ハ價收シタル追徵金ニ等シキ金額ヲ還付ス

第六條　補償ヲ受ケントスル者ハ無罪ノ言渡ヲ爲シタル裁判所又ハ免訴ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ニ對シ補償ノ請求ヲ爲スベシ

前項ノ請求ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ請求書ニハ戶籍謄本ヲ添附スベシ

補償ヲ受クベキ者請求ヲ爲シタル後死亡シタルトキハ其ノ請求ハ順次次順位ニ於テ補償ヲ受クベキ者ヨリ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七條　補償ヲ受クベキ者ハ先順位者ノ明示シタル意思ニ反シ補償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

補償ヲ受クベキ者請求ヲ取消シタルトキハ其ノ取消ヲ爲シタル者及後順位者ニ於テ更ニ請求ヲ爲スコトヲ得ズ

第八條　補償ノ請求ハ代理人ニ依リテモ之ヲ爲スコトヲ得

第九條　補償ノ請求ハ無罪又ハ免訴ノ裁判確定ノ日ヨリ六十日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十條　補償ノ請求アリタルトキハ裁判所ハ檢事ノ意見ヲ聽キ請求ニ付決定ヲ爲スベシ

決定ノ謄本ハ檢事及請求人ニ送達スベシ

第十一條　請求理由アルトキハ補償ヲ爲ス旨ノ決定ヲ爲スベシ

請求理由ナキトキ又ハ期間經過後ニ係ルトキハ之ヲ棄却スベシ

第十二條　刑ノ執行又ハ拘置ニ因ル補償ノ請求ト同時ニ勾留ニ因ル補償ノ請求アリタルトキハ主文ヲ區別シテ決定ヲ爲スベシ

第十一條　補償ノ決定ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

補償ノ請求ヲ棄却スル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第十二條　補償ノ決定アリタル後之ニ依リテ補償ヲ受ベキ者共ノ拂渡ヲ受ケズシテ死亡シタルトキハ其ノ決定ハ順次次順位ニ於テ補償ヲ受クベキ者ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做シ受ケズシテ其ノ家ヲ去リタルトキ亦同シ

第十三條　補償ノ拂渡ヲ受ケシメ又ハ其ノ決定ヲ爲シタル裁判所ニ請求書ヲ差出スベシ

補償ノ請求書ニハ戶籍謄本ヲ添附スベシ

補償ノ決定ノ送達アリタル後一年ヲ經過スルトキハ權利ヲ失フ

第十四條　補償拂渡ノ請求ハ檢事ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得ズ

補償ノ請求又ハ刑事訴訟法第三百十七條ノ規定ニ依ル公訴ノ提起アリタルトキハ其ノ裁判確定ニ至ル迄決定ノ手續ヲ停止スベシ

前項ノ場合ニ於テ被告人ニ對シテ有罪ノ判決アリタルトキハ補償ノ請求ハ其ノ效力ヲ失フ

第十六條　補償ノ決定アリタル後再審ノ請求又ハ刑事訴訟法第三百十七條ノ規定ニ依ル公訴ノ提起アリタルトキハ其ノ裁判確定ニ至ル迄補償拂渡ノ手續ヲ停止スベシ

前項ノ場合ニ於テ被告人ニ對シテ有罪ノ判決アリタルトキハ補償ノ決定ハ其ノ效力ヲ失フ

第十七條　前條第二項ノ場合ニ於テ既ニ補償ノ拂渡アリタルトキハ第一條第一項ノ補償ノ裁判所ハ檢事ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ補償ノ返還ヲ命ズベシ此ノ決定ノ執行ニ付テハ刑事訴訟法第五百五十三條乃至第五百五十五條ノ規定ヲ準用ス

第十八條　本法ノ決定及之ニ對スル即時抗告ニ付テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外刑事訴訟法ヲ準用ス期間ニ付亦同シ

第十九條　裁判所補償ノ決定ヲ爲シタルトキハ其ノ決定ヲ受ケタル者ノ申立ニ因リ速ニ無罪又ハ免訴ノ裁判ノ主文及要旨竝ニ補償ヲ爲シタル旨ヲ官報ニ掲載スベシ

第二十條　本法ハ軍法會議ニ於テ無罪ノ言渡アリタル場合ニ之ヲ準用ス但シ補償ノ請求ヲ棄却スル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得ズ

軍法會議ニ於テ補償ノ返還ヲ命ズル決定ノ執行ニ付テハ陸軍法會議法第五百十八條乃至第五百二十二條又ハ海軍法會議法第五百二十條乃至第五百二十二條ノ規定ヲ準用ス

軍法會議ニ於テ補償ニ關スル決定ヲ爲ス場合ノ判士ノ區別ニ付テハ陸軍法會議法第五十九條第一項又ハ海軍法會議法第五十九條第一項ノ規定ヲ準用ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年十月勅令第二百十八號ヲ以テ昭和七年一月一日ヨリ施行）

●刑事補償事務取扱規程

昭和八年一月
總訓第三號

朝鮮總督府裁判所
朝鮮總督府檢事局

刑事補償事務取扱規程左ノ通定ム

刑事補償事務取扱規程

第一條　補償請求書ニハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載セシムベシ

一　請求人ノ氏名、住居、職業及年齡

二　無罪又ハ免訴ノ言渡ノ年月日、裁判所名及被告事件ノ表示

三　勾留若ハ拘置ノ日數又ハ執行ヲ受ケタル刑名、刑期及金額

四　補償ヲ請求スル旨ノ表示及請求ノ年月日

前項ノ補償請求書ニハ請求人又ハ代理人記名捺印シ戶籍謄本ノ外無罪又ハ免訴ノ裁判ノ謄本及代理人ニ依リ補償ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テハ委任狀ヲモ添附セシムベシ

第二條　朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑事補償法第六條第三項ノ場合ニ於テハ補償ノ請求ヲ受理シタル檢事ニ於テ之ヲ爲ス

第三條　補償請求ノ取消アリタルトキハ其ノ旨ヲ表示シタル文書ヲ徵シ檢事ニ通知スベシ

第四條　補償拂渡請求書ニハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載セシムベシ

一　第一條第一項第一號ノ事項

二　補償決定ノ年月日及裁判所名

三　裁判ノ金額及種別

四　拂渡ヲ受ケベキ旨ノ表示及請求ノ年月日

前項ノ拂渡請求書ニハ請求人又ハ代理人記名捺印シ戶籍謄本ノ外補償決定ノ謄本及代理人ニ依リ拂渡ノ請求ニ關スル場合ニ於テハ委任狀ヲモ添附セシムベシ

第五條　朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑事補償法第十二條ノ場合ニ於テハ拂渡ノ請求ヲ受繼スル旨ノ文書及次順位者ヨリタルコトヲ證スベキ文書ヲ提出セシムベシ

第六條　補償拂渡請求書ノ提出アリタルトキハ事件主任官ハ之ヲ調査シ過誤ナキトキハ該請求書ヲ添ヘ拂渡方ヲ所管支出官ニ請求スベシ

第七條　朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑事補償法第十五條及第十六條ノ場合ニ於テハ檢事ハ速ニ公訴提起アリタル旨ヲ裁判所ニ通知スベシ

第八條　朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑事補償法第十九條ノ申立ヲ爲サントスル者アルトキハ申立書ヲ提出セシムベシ

前項ノ申立ハ拂渡請求書中ニ掲記セシムルコトヲ得

第九條　前條ノ申立アリタルトキハ裁判所ハ速ニ管轄原檢ヲ法務局ニ送付スベシ

●恩赦令

大正元年九月
勅令第二十三號
改正　昭和二年二月一〇日、九年一二月三九日三號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ恩赦令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

恩赦令

第一條　大赦、特赦、減刑及復權ハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　大赦ハ勅令ヲ以テ罪ノ種類ヲ定メ之ヲ行フ

第三條　大赦ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外大赦アリタル罪ニ付左ノ效力ヲ有ス

一　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付テハ其ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ對シ之ヲ行フ

二　未タ刑ノ言渡ヲ受ケサル者ニ付テハ公訴權ハ消滅ス

第四條　特赦ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ對シ之ヲ行フ

第五條　特赦ハ刑ノ執行ヲ免除ス但シ特別ノ事情アルトキハ將來ニ向テ刑ノ言渡ノ效力ヲ失ハシムルコトヲ得

第六條　減刑ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シ勅令ヲ以テ罪若ハ刑ノ種類ヲ定メ之ヲ行ヒ又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ對シ之ヲ行フ

第七條　勅令ニ依ル減刑ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外將來ニ向テ刑ヲ變更ス

特定ノ者ニ對スル減刑ハ刑ノ執行ヲ減輕ス但シ特別ノ事情アルトキハ刑ヲ變更スルコトヲ得

第八條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテハ刑ノ言渡ノ效力ヲ失ハシム減刑ヲ行ヒ又ハ其ノ減刑若ハ刑ヲ變更スル減刑ヲ行ヒタル場合ニ於テハ監獄ニ在ル者ニ付テハ監獄ノ長ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第九條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテハ刑ノ言渡ノ效力ヲ失ハシム減刑ヲ行ヒ又ハ其ノ減刑若ハ刑ヲ變更スル減刑ヲ行ヒタル場合ニ於テハ監獄ニ在ル者ニ付テハ監獄ノ長ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十條　復權ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シ勅令ヲ以テ之ヲ行フ

第十一條　勅令ニ依ル減刑ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外將來ニ向テ刑ヲ變更ス

特定ノ者ニ對スル減刑ハ刑ノ執行ヲ減輕ス但シ特別ノ事情アルトキハ刑ヲ變更スルコトヲ得

第十二條　刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテハ刑ノ言渡ノ效力ヲ失ハシム減刑ヲ行ヒ又ハ其ノ減刑若ハ刑ヲ變更スル減刑ヲ行ヒタル場合ニ於テハ監獄ニ在ル者ニ付テハ監獄ノ長ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十三條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ同復スベキ資格ノ種類ヲ明記スベシ

第十四條　特赦又ハ減刑ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

檢事假出獄中ノ者ニ恩赦狀ヲ下付シタルトキハ其ノ旨ヲ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ト共ニ窮治ス

第十五條　特赦ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シ勅令ヲ以テ罪若ハ刑ノ種類ヲ定メ之ヲ行ヒ又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ對シ之ヲ行フ

第十六條　減刑ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シ勅令ヲ以テ罪若ハ刑ノ種類ヲ定メ之ヲ行ヒ又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ對シ之ヲ行フ

第十七條　勅令ニ依ル減刑ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外將來ニ向テ刑ヲ變更ス

特定ノ者ニ對スル減刑ハ刑ノ執行ヲ減輕ス但シ特別ノ事情アルトキハ刑ヲ變更スルコトヲ得

第十八條　大赦、特赦、減刑又ハ復權ノ效力ニ關シテハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付テハ其ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十九條　本令ニ定ムルモノノ外大赦、特赦、減刑又ハ復權ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ司法大臣ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年勅令第二百十五號、第二百十六號ノ外將來ニ向テ之ヲ廢止ス

恩赦令施行規則ヲ定ム

●恩赦令施行規則

大正元年十月
總令第二十號

恩赦令施行規則左ノ通定ム

恩赦令施行規則

第一條　恩赦令第十三條ニ依リ監獄ノ長特赦又ハ減刑ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ申立書ノ送付ヲ受ケタル檢事ハ必要ナル事項ニ付調査ヲ爲シタル上意見ヲ附シ之ヲ速ニ送致スヘシ

第二條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ同復スヘキ資格ノ種類ヲ明記スヘシ

第三條　特赦、減刑又ハ復權ノ申立ヲ理由ナシト認ムルトキハ其ノ旨ヲ檢事又ハ檢事ヲ經由シテ監獄ノ長ニ通知ス

第四條　恩赦狀ノ送付ヲ受ケタル檢事ハ直ニ之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

檢事假出獄中ノ者ニ恩赦狀ヲ下付シタルトキハ其ノ旨ヲ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ト共ニ窮治ス

第五條　恩赦狀ノ送付ヲ受ケタル檢事ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ本人ニ下付セシムヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第四條　恩赦狀ノ送付ヲ受ケタル檢事ハ直ニ之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

檢事假出獄中ノ者ニ恩赦狀ヲ下付シタルトキハ其ノ旨ヲ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ト共ニ窮治ス

第六條　減刑ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第七條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第八條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第九條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ理由ナシト認ムルトキハ其ノ旨ヲ檢事又ハ檢事ヲ經由シテ監獄ノ長ニ通知ス

第十條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十一條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第十二條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ理由ナシト認ムルトキハ其ノ旨ヲ檢事又ハ檢事ヲ經由シテ監獄ノ長ニ通知ス

第十三條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十四條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第十五條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十六條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第十七條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ理由ナシト認ムルトキハ其ノ旨ヲ檢事又ハ檢事ヲ經由シテ監獄ノ長ニ通知ス

第十八條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十九條　本令ニ定ムルモノノ外恩赦、特赦、減刑又ハ復權ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ司法大臣ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年勅令第二百十五號、第二百十六號ノ外將來ニ向テ之ヲ廢止ス

恩赦令施行規則ヲ定ム

●恩赦令施行規則

大正元年十月
總令第二十號

恩赦令施行規則左ノ通定ム

恩赦令施行規則

第一條　恩赦令第十三條ニ依リ監獄ノ長特赦又ハ減刑ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ申立書ノ送付ヲ受ケタル檢事ハ必要ナル事項ニ付調査ヲ爲シタル上意見ヲ附シ之ヲ速ニ送致スヘシ

第二條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ同復スヘキ資格ノ種類ヲ明記スヘシ

第三條　特赦、減刑又ハ復權ノ申立ヲ理由ナシト認ムルトキハ其ノ旨ヲ檢事又ハ檢事ヲ經由シテ監獄ノ長ニ通知ス

第四條　恩赦狀ノ送付ヲ受ケタル檢事ハ直ニ之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

檢事假出獄中ノ者ニ恩赦狀ヲ下付シタルトキハ其ノ旨ヲ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ト共ニ窮治ス

第五條　恩赦狀ノ送付ヲ受ケタル檢事ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ本人ニ下付セシムヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第六條　減刑ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第七條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第八條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第九條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ理由ナシト認ムルトキハ其ノ旨ヲ檢事又ハ檢事ヲ經由シテ監獄ノ長ニ通知ス

第十條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十一條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第十二條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ理由ナシト認ムルトキハ其ノ旨ヲ檢事又ハ檢事ヲ經由シテ監獄ノ長ニ通知ス

第十三條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十四條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第十五條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十六條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　判決ノ謄本又ハ抄本

二　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタルコトヲ證スル書類

三　刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除アリタル後ニ於ケル本人ノ行狀、現在及將來之ヲ本人ニ下付スヘシ但シ本人在監中ナルトキハ監獄ノ長ヲ經由スヘシ

第十七條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ理由ナシト認ムルトキハ其ノ旨ヲ檢事又ハ檢事ヲ經由シテ監獄ノ長ニ通知ス

第十八條　恩赦令第十條第二項ニ依ル復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

第十九條　本令ニ定ムルモノノ外恩赦、特赦、減刑又ハ復權ニ關シ必要ナル事項ハ之ヲ司法大臣ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年勅令第二百十五號、第二百十六號ノ外將來ニ向テ之ヲ廢止ス

●刑事判決ノ正本、謄本及抄本ノ手數料ニ關スル件

大正元年八月
總令第三號

刑事判決ノ正本、謄本及抄本ヲ求ムル者ハ其ノ用紙一枚ニ付手數料トシテ三錢ヲ納付スヘシ其ノ一枚ニ滿タサルトキ亦同シ

附　則

本令ハ大正元年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

●刑法施行前ニ公布シタル命令ニ關スル件

明治四十一年九月
勅令第二百十七號

朕刑法施行前ニ公布シタル命令ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

刑法施行法中他ノ法律ニ關スル規定ハ刑法施行前ニ公布シタル命令ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十九年勅令第百五十五號ハ之ヲ廢止ス

●刑法施行後施行ノ命令ニ關スル件

明治四十二年五月
勅令第百二十號

朕刑法施行後施行ノ命令ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

刑法施行後施行ノ命令ニ於テ人ノ資格其ノ他ノ事項ニ關シ揭ケタル刑法ノ刑名ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

本人ノ出願ニ依リ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ前項ノ書類ノ外共ノ願書ヲ添附スヘシ

第十七條　特赦、減刑又ハ復權ノ申立ヲ爲ス場合ニ於テハ刑ノ言渡ヲ受ケタル特定ノ者ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ、其ノ他ノ者ニ付テハ檢事ニ通知ス

本人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ル行爲ガ原有刑判決ノ還ル原因ト爲リタルトキハ第一條第二項ノ補償ヲ爲サズ

本人ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ル行爲ガ原有刑判決ノ還ル原因ト爲リタルトキハ第一條第二項ノ補償ヲ爲サズ

定アル場合ヲ除クノ外左ノ例ニ從ヒ對照シタル舊刑法、舊陸軍刑法及舊海軍刑法ノ刑名ヲ包含ス

刑法ノ刑　舊刑法、舊陸軍刑法及舊海軍刑法ノ刑

死刑　死刑

懲役　無期徒刑、有期徒刑、重懲役、輕懲役、重禁錮

禁錮　無期流刑、有期流刑、重禁錮、輕禁錮、輕禁獄

罰金　罰金

拘留　拘留

科料　科料

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第三十六號

●舊刑法

明治十三年七月

太政官布告第三十六號

（現行刑法施行ニ關スル法律第四十五條ニ依リ廢止ノ件ニ依リ明治四十年法律第二十九號ニ依リ同年四月一日ヨリ施行ノ條項ヲ存ス）

刑法別册ノ通改定候條此旨布告候事

（別册）

刑法（抄錄）

刑法目錄

第一編　總則

第二章　刑例

第三節　附加刑處分

第二編　公益ニ關スル重罪輕罪

第四章　信用ヲ害スル罪

第九節　公選ノ投票ヲ僞造スル罪

〔第五章　健康ヲ害スル罪〕

第三節　傳染病像防規則ニ關スル罪

〔第三節　傳染病像防規則ニ關スル罪〕

第三編〔身體ニ財産ニ對スル重罪輕罪

第二章　財産ニ對スル重罪輕罪

第四節　家資分散ニ關スル罪

刑法

第一編　總則

第二章　刑例

第三節　附加刑處分

第一條　刺奪公權ハ左ノ權ヲ剝奪ス

一　國民ノ特權

二　官吏トナルノ權

三　勳章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權

四　外國ノ勳章ヲ佩用スルノ權

五　裁判所ニ於テ證人トナルノ權但單ニ事實ヲ陳述スルハ此限ニ在ラス

六　後見人トナルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ後見人トナルノ權ハ此限ニ在ラス

七　子孫ノ爲メニスルハ此限ニ在ラス

八　分散者ノ管財人トナリ又ハ會社及ヒ共有財產ヲ管理スルノ權

九　學校長及ヒ教師學監トナルノ權

第三十三條　禁錮ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用ヒス現在ノ官職ヲ失ヒ及ヒ其刑期間公權ノ行フコトヲ停止ス

第二編　公益ニ關スル重罪輕罪

第四章　信用ヲ害スル罪

第九節　公選ノ投票ヲ僞造スル罪

第二百三十三條　公選ノ投票ヲ僞造シ又ハ其效力ヲ增減シタル者ハ一月以上一年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ〔二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加〕ス

第二百三十四條　賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ〔三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加〕ス

第二百三十五條　投票ヲ檢查シ及ヒ其數ヲ計算スル者其投票ヲ僞造シ又ハ增減シタル時ハ六月以上三年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ〔四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加〕ス

第二百三十六條　選舉ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル者其數ヲ增減シ其他詐僞ノ所爲アル時ハ一年以上五年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ〔五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加〕ス

〔第五章　健康ヲ害スル罪〕

〔第三章　傳染病像防規則ニ關スル罪〕

第二百四十六條　〔傳染病像防ノ爲メ設ケタル規則ニ違背シテ入港ノ船ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス〕

第二百四十七條　〔船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ犯スコトヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ〕

第二百四十八條　〔傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス〕

第二百四十九條　獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ〔輕禁錮〕ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三編〔身體ニ財産ニ對スル重罪輕罪

第二章　財産ニ對スル重罪輕罪

第四節　家資分散ニ關スル罪

第三百八十條　家資分散ノ際其財產ヲ藏匿脫漏シ又ハ虛僞ノ負債ヲ增加シタル者ハ二月以上四年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス

情ヲ知テ虛僞ノ契約ヲ承諾シ若クハ其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十九條　家資分散ノ際帳簿ノ類ヲ滅匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月以上二年以下ノ〔重禁錮〕ニ處ス

●朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件

明治四十三年八月

勅令第三百二十五號

朝鮮ニ於ケル統治ノ始ニ方リ惠澤ヲ施サムカ爲左ノ條項ニ依リ特ニ大赦ヲ行ハシム

第一條　本令公布前ニ於テ左ニ記載シタル舊韓國法令ノ罰ヲ犯シタル者ハ赦免ス

一　刑法大全第百九十一條ノ罰、同罰ニ關スル第百九十二條及第百九十三條ノ罰竝當スル犯人ノ情ヲ知リテ藏匿シ又ハ隱秘セシメタル罰

二　刑法大全第百九十四條乃至第百九十九條ノ罰

三　刑法大全第百十六條乃至第百九十九條ノ罰

四　刑法大全第二百條ノ罰

五　刑法大全第二百一條ノ罰

六　刑法大全第二百二條ノ罰

七　刑法大全第二百六條ノ罰

八　刑法大全第二百六十二條乃至第二百六十四條ノ罰

九　刑法大全第二百六十五條乃至第二百六十八條ノ罰

十　刑法大全第二百七十五條及第二百八十條ノ罰但シ人ヲ殺シタル罰ヲ除ク

十一　刑法大全第二百八十九條及第二百九十條ノ罰但シ人ヲ殺シタル罰ヲ除ク

十二　刑法大全第二百九十三條、第二百九十四條及第二百九十六條ノ罰

十三　刑法大全第二百九十八條、第三百條、第三百二條及第三百四條ノ罰但シ第三百四條ノ罰ヲ除ク

十四　刑法大全第三百六條ノ罰

十五　刑法大全第三百十二條ノ罰

十六　刑法大全第三百十五條ノ罰

十七　刑法大全第三百十八條乃至第三百二十條ノ罰但シ第三百十九條ノ罰ヲ除ク

十八　刑法大全第三百二十二條乃至第三百二十七條ノ罰但シ死ニ致シタル罰ヲ除ク

十九　刑法大全第三百三十四條乃至第三百三十七條ノ罰但シ死ニ致シタル罰ヲ除ク

二十　刑法大全第三百四十六條ノ罰

二十一　刑法大全第三百五十三條乃至第三百六十一條ノ罰但シ因リテ所犯アリタル者ニシテ其ノ所犯本令ニ依リ赦免スヘカラサル罰ニ該當スルトキハ之ヲ除ク

二十二　刑法大全第三百六十七條乃至第三百七十條ノ罰

二十三　刑法大全第三百七十二條、第三百八十三條及第三百八十六條ノ罰

二十四　刑法大全第四百條乃至第四百三條ノ罰

二十五　刑法大全第四百四條乃至第四百七條ノ罰

第二條　前條ノ外舊韓國陸軍二年法律第十六號及第十九號施行前同法律ヲ以テ廢止又ハ削除シタル法律ノ條項ニ依リ又ハ其ノ條項ヲ比附援引シテ處斷セラレタル者ハ之ヲ赦免ス

第三條　二罰以上俱發ニ依リ處斷セラレタル者赦重ノ罰前二條ニ該當スルトキハ他ノ罰亦之ヲ赦免ス

第四條　赦免ヲ得ルト雖既ニ徵收シタル罰金、科料、敎贖金、追徵金及沒入シタル物件ハ之ヲ還付セス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件施行手續

明治四十三年八月

統訓第十七號

統監府裁判所檢事局

統監府監獄

統監府警察官署

本年勅令第三百二十五號ニ依リ赦免ヲ得ヘキ罰ヲ犯シタル者ハ既ニ判決ヲ經タルト否トヲ問ハス又既ニ刑ノ執行ヲ終リタルト否トヲ別タス總テ赦免ヲ得ルモノトス

第一條　本年勅令第三百二十五號ニ依リ赦免ヲ得ヘキ罰ヲ犯シタル者ハ既ニ判決ヲ經タルト否トヲ問ハス又既ニ刑ノ執行ヲ終リタルト否トヲ別タス總テ赦免ヲ得ルモノトス

第二條　赦免ヲ得ヘキ罰ニ付刑ノ言渡ヲ受ケ其ノ言渡未タ確定セサル者、言渡確定セサルモ未タ其ノ執行ニ著手セサル者及其ノ執行中ニ係ル者ニ對シテハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ヨリ速ニ赦免ヲ得タル旨ヲ通知シ在監中ノ者ハ之ヲ放免スヘシ

第三條　赦免ヲ得ヘキ者刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ管轄地外ノ監獄ニ在ルトキハ監獄ノ長ヨリ其ノ罰名、刑名、刑期、刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所名、言渡年月日及氏名ヲ其ノ監獄所在地ヲ管轄スル地方裁判所又ハ地方裁判所支部ノ檢事ニ通知スヘシ

檢事前項ノ通知ヲ受シタルトキハ第二條ノ處分ヲ爲シ其ノ旨刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ通知スヘシ

第四條　大赦ノ施行ニ關スル處分ハ檢事ヨリ迅速且明細ニ統監ニ報告スヘシ

●減刑令

昭和十三年二月

勅令第十七號

朕減刑令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

減刑令

二十六　刑法大全第四百八條及第四百九條ノ罰

二十七　刑法大全第四百十三條乃至第四百十六條ノ罰

二十八　刑法大全第四百二十條乃至第四百二十八條ノ罰

二十九　刑法大全第四百三十條乃至第四百三十六條ノ罰

三十　刑法大全第四百三十七條ノ罰

三十一　刑法大全第四百三十九條乃至第四百四十二條ノ罰但シ因リテ所犯アリタル者ニシテ其ノ所犯本令ニ依リ赦免スヘカラサル罰ニ該當スルトキハ之ヲ除ク

三十二　刑法大全第四百四十八條乃至第四百五十四條、第四百五十六條及第四百五十七條ノ罰但シ人ヲ殺シタル罰ヲ除ク

三十三　刑法大全第四百五十八條乃至第四百六十條、第四百六十三條及第四百六十四條ノ罰

三十四　刑法大全第四百六十六條、第四百六十七條及第四百六十九條乃至第四百七十二條ノ罰

三十五　刑法大全第四百八十三條ノ罰

三十六　刑法大全第四百八十四條ノ罰

三十七　刑法大全第四百九十三條ノ罰

三十八　刑法大全第四百九十五條及第四百九十六條ノ罰

三十九　刑法大全第四百九十八條第二號及第四百九十九條第六號乃至第八號ノ罰

四十　刑法大全第五百二條及第五百十五條ノ罰

四十一　刑法大全第五百二十條及第五百二十一條ノ罰

四十二　刑法大全第五百三十條乃至第五百三十二條ノ罰

四十三　刑法大全第五百三十三條ノ罰

四十四　刑法大全第五百三十四條及第五百四十條ノ罰

四十五　刑法大全第五百四十三條ノ罰

四十六　刑法大全第五百四十四條乃至第五百四十八條ノ罰

四十七　刑法大全第五百五十一條乃至第五百五十四條ノ罰

四十八　刑法大全第五百五十六條乃至第五百五十八條ノ罰

四十九　刑法大全第五百六十一條乃至第五百六十三條ノ罰

五十　刑法大全第五百六十五條乃至第五百六十七條ノ罰

五十一　刑法大全第五百六十九條乃至第五百七十一條ノ罰

五十二　刑法大全第五百七十三條乃至第五百七十五條ノ罰

五十三　刑法大全第五百七十七條乃至第五百七十九條ノ罰

五十四　刑法大全第五百八十一條乃至第五百八十三條ノ罰

五十五　刑法大全第五百八十五條乃至第五百八十七條ノ罰

五十六　刑法大全第五百八十九條乃至第五百九十一條ノ罰

五十七　刑法大全第五百九十三條乃至第五百九十五條ノ罰

五十八　刑法大全第五百九十七條乃至第五百九十九條ノ罰

五十九　刑法大全第六百一條乃至第六百三條ノ罰

六十　刑法大全第六百五條乃至第六百七條ノ罰

六十一　陸軍法律ノ罰但シ第二百七十八條、第二百八十一條、第二百八十九條、第二百九十一條、第二百九十六條、第二百九十七條及第三百九條中死刑ニ該當スル罰ヲ除ク

六十二　會計法違犯ノ罰

六十三　開國五百四年法律第十九號違犯ノ罰

六十四　電報事項犯罪人處斷例ノ罰

六十五　郵遞事項犯罪人處斷例ノ罰

六十六　典當舖規則違犯ノ罰

六十七　鐵道事項犯罪人處斷例ノ罰但シ第三條ノ罰及同例ノ罰ヲ犯スニ因リ人ヲ死ニ致シタル罰ヲ除ク

六十八　度量衡法及度量衡法施行規則違犯ノ罰

六十九　新聞紙法違犯ノ罰

七十　保安法違犯ノ罰

七十一　銃砲及火藥類顧東法違犯ノ罰

七十二　森林法違犯ノ罰但シ第十五條ノ罰ヲ除ク

七十三　人蔘稅法違犯ノ罰

七十四　紅蔘專賣法違犯ノ罰

七十五　漁業法及漁業法施行細則違犯ノ罰

七十六　家屋稅法違犯ノ罰

七十七　酒稅法違犯ノ罰

七十八　煙草稅法違犯ノ罰

七十九　國稅徵收法違犯ノ罰

八十　出版法違犯ノ罰

八十一　民籍法違犯ノ罰

八十二　漁業稅法違犯ノ罰

八十三　屠獸規則違犯ノ罰

八十四　船舶法及船舶法施行細則違犯ノ罰

八十五　船舶檢查法及船舶檢查法施行細則違犯ノ罰

八十六　檢疫規則違犯ノ罰

八十七　銀行條例違犯ノ罰

八十八　農工銀行條例違犯ノ罰

八十九　鹽稅規程違犯ノ罰

九十　寄附金募集取締規則違犯ノ罰

九十一　種痘規則違犯ノ罰

九十二　檢疫停船規則違犯ノ罰

九十三　救科用圖書檢定規程違犯ノ罰

九十四　痘苗賣下規則違犯ノ罰

九十五　水道給水規則違犯ノ罰

九十六　船舶規則違犯ノ罰

九十七　警務廳令、警視廳令及各道令違犯ノ罰

九十八　前記法令ヲ比附援引シテ處刑シタル罰及處刑スヘキ罰

第二條　前條ノ外舊韓國陸軍二年法律第十六號及第十九號施行前同法律ヲ以テ廢止又ハ削除シタル法律ノ條項ニ依リ又ハ其ノ條項ヲ比附援引シテ處斷セラレタル者ハ之ヲ赦免ス

第三條　二罰以上俱發ニ依リ處斷セラレタル者赦重ノ罰前二條ニ該當スルトキハ他ノ罰亦之ヲ赦免ス

第四條　赦免ヲ得ルト雖既ニ徵收シタル罰金、科料、敎贖金、追徵金及沒入シタル物件ハ之ヲ還付セス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件施行手續

明治四十三年八月

統訓第十七號

統監府裁判所檢事局

統監府監獄

統監府警察官署

本年勅令第三百二十五號ニ依リ赦免ヲ得ヘキ罰ヲ犯シタル者ハ既ニ判決ヲ經タルト否トヲ問ハス又既ニ刑ノ執行ヲ終リタルト否トヲ別タス總テ赦免ヲ得ルモノトス

第一條　本年勅令第三百二十五號ニ依リ赦免ヲ得ヘキ罰ヲ犯シタル者ハ既ニ判決ヲ經タルト否トヲ問ハス又既ニ刑ノ執行ヲ終リタルト否トヲ別タス總テ赦免ヲ得ルモノトス

第二條　赦免ヲ得ヘキ罰ニ付刑ノ言渡ヲ受ケ其ノ言渡未タ確定セサル者、言渡確定セサルモ未タ其ノ執行ニ著手セサル者及其ノ執行中ニ係ル者ニ對シテハ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ヨリ速ニ赦免ヲ得タル旨ヲ通知シ在監中ノ者ハ之ヲ放免スヘシ

第三條　赦免ヲ得ヘキ者刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ管轄地外ノ監獄ニ在ルトキハ監獄ノ長ヨリ其ノ罰名、刑名、刑期、刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所名、言渡年月日及氏名ヲ其ノ監獄所在地ヲ管轄スル地方裁判所又ハ地方裁判所支部ノ檢事ニ通知スヘシ

檢事前項ノ通知ヲ受シタルトキハ第二條ノ處分ヲ爲シ其ノ旨刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事ニ通知スヘシ

第四條　大赦ノ施行ニ關スル處分ハ檢事ヨリ迅速且明細ニ統監ニ報告スヘシ

●減刑令

昭和十三年二月

勅令第十七號

朕減刑令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

減刑令

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第一條　昭和十三年二月十一日前左ニ掲ゲル罪ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ執行前、執行猶豫中、執行中、執行停止中又ハ假出獄中ノモノハ本令ニ依リ其ノ刑ノ減輕ス但シ其ノ執行ヲ遁ルル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一　刑法第七十七條乃至第七十九條ノ罪

二　刑法第九十五條及第九十六條ノ罪

三　刑法第百六條及第百七條ノ罪

四　陸軍刑法第二十五條、第二十六條及第三十條ノ罪ニ付其ノ未遂罪及豫備又ハ陰謀ノ罪

五　陸軍刑法第百三條ノ罪

六　海軍刑法第二十條、第二十一條及第二十五條ノ罪ニ付其ノ未遂罪及豫備又ハ陰謀ノ罪

七　海軍刑法第百四條ノ罪

八　治安警察法違反ノ罪但シ風俗ニ關スルモノヲ除ク

九　新聞紙法違反ノ罪但シ風俗ニ關スルモノヲ除ク

十　出版法違反ノ罪但シ風俗ニ關スルモノヲ除ク

十一　請願令違反ノ罪

十二　衆議院議員選舉法違反ノ罪及法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員ノ選舉ニ關シ同法ノ罰則ヲ準用スル法令違反ノ罪但シ衆議院議員選舉法第百十二條ノ二ノ罪及法令ヲ以テ組織シタル議會ノ議員ノ選舉ニ關シ同法條ヲ準用スル法令違反ノ罪ヲ除ク

十三　前號本文ニ掲ゲル罪ト性質ヲ同ジクスル舊法ノ罪

十四　朝鮮、臺灣、關東州又ハ南洋群島ニ行ハルル法令ノ罪ニシテ第一號乃至第十一號及第十二號本文ニ掲ゲル罪ト性質ヲ同ジクスルモノ

第二條　併合罪ニ付併合シテ一個ノ刑ノ言渡アリタル場合ニ於テ其ノ併合罪中前條ニ掲ゲザル罪アルトキハ減刑ヲ爲サズ

前條ニ掲ゲル罪名ニ觸ルル行爲ニシテ同時ニ前條ニ掲ゲザル罪名ニ觸ルルトキ又ハ前條ニ掲ゲザル罪ノ手段若ハ結果タルトキ亦同

第三條　前二條ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニシテ昭和十三年二月十一日前十五年以内ニ大赦、特赦、減刑又ハ勅令ニ依リ其ノ刑ノ執行ヲ免レタル爲後七年以内ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルモノニ付テハ其ノ刑ヲ減輕セズ

第四條　死刑ハ之ヲ無期懲役トス

第五條　無期懲役ハ之ヲ二年ノ有期懲役トシ無期禁錮ハ之ヲ二年ノ有期禁錮トス

第六條　有期ノ懲役又ハ禁錮ニ付テハ左ノ例ニ依リ刑期ヲ變更ス

一　刑ノ執行ヲ始メザル者ニ付テハ刑期ノ四分ノ一ヲ減ズ

二　刑ノ執行ヲ始メタル者ニ付テハ殘刑期ノ二分ノ一ヲ減ズ但シ刑ノ執行カ刑期ノ二分ノ一ニ至ラザル者ニ付テハ前號ノ例ニ依ル

三　昭和十三年二月十一日ニ於テ七十歳以上ノ者及犯時十六歳未滿ノ者ニ付テハ前二號ノ例ニ依ラズ刑期ノ三分ノ一ヲ減ズ

短期ト長期トヲ定メテ言渡シタル刑ニ付テハ短期及長期ニ付前項ノ例ニ依リ但シ犯時十六歳以上ノ者ニシテ短期ヲ經過シタルモノニ付テハ長期ニ付前項第二號ノ例ニ依ル

前二項ノ計算ヲ爲スニ當リ年、月又ハ日ノ端數ヲ生ズルトキハ一年ハ之ヲ十二月、一月ハ之ヲ三十日トシ日ノ端數ハ之ヲ除棄ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●復權令

昭和十三年二月
勅令第七十七號

朕復權令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　閣令以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケタル爲資格ヲ喪失又ハ停止セラレタル者ニシテ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除ヲ得タル日ヨリ昭和十三年二月十一日ノ前日迄ニ十年以上ヲ經過シタルモノハ復權ス但シ昭和十三年二月十一日ノ前日迄ニ其ノ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ノ免除ヲ得タルモノハ其ノ刑ニ處セラレタル爲喪失シ又ハ停止セラレタル資格ニ付復權ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十三年勅令第七十七號復權令ニ依リ復權シタル者ノ證明申出方ノ件

昭和十三年二月
總告第百二號

昭和十三年勅令第七十七號復權令ニ依リ復權シタル者ニシテ其ノ刑ノ言渡ヲ受ケントスルモノハ其ノ刑ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ檢事（證明ヲ受ケントスル者カ犯罪即決ノ言渡ヲ受ケタルモノナルトキハ當該犯罪即決官署ニ）之ヲ申出ヅベシ

●大正四年法律第十八號ヲ朝鮮等ニ施行ノ件

大正四年十二月
勅令第二百三十號

朕大正四年法律第十八號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大正四年法律第十八號ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●法人ノ役員處罰ニ關スル件

大正四年六月
法律第十八號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル法人ノ役員處罰ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

法人ノ業務ヲ執行スル社員、取締役、理事、監査役又ハ監事ニシテ刑事訴追又ハ刑ノ執行ヲ免レシムル爲合併其ノ他ノ方法ニ依リ法人ヲ消滅セシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

附　則

本法ハ大正四年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●明治三十八年法律第六十六號第十條又ハ印紙犯罪處罰法第五條ノ規定ニ依ル官沒ニ關スル件

大正五年四月
總令第三十四號

明治三十八年法律第六十六號第十條ノ規定又ハ印紙犯罪處罰法第五條ノ規定ニ依ル官沒ハ警察署長又ハ警察署ノ事務ヲ取扱フ巡査分隊若ハ巡査分遣所ノ長ニ於テ命令書ヲ交付シテ之ヲ爲スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●政治ニ關スル犯罪處罰ノ件

大正八年四月
制令第七號

政治ニ關スル犯罪處罰ノ件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　政治ノ變革ヲ目的トシテ多數共同シ安寧秩序ヲ妨害又ハ妨害セムトシタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス但シ刑法第二編第二章ノ規定ニ該當スルトキハ本令ヲ適用セス

前項ノ行爲ヲ爲サシムル目的ヲ以テ煽動ヲ爲シタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第二條　前條ノ罪ヲ犯シタル者發覺前自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除ス

第三條　本令ハ帝國外ニ於テ第一條ノ罪ヲ犯シタル帝國臣民ニ亦之ヲ適用ス

第三章　監獄

第一款　監獄令

●朝鮮監獄令

明治四十五年三月
制令第十四號

朝鮮監獄令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮監獄令

第一條　監獄ニ關スル事項ハ本令其ノ他ノ法令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除ノ外監獄法ニ依ル

第二條　監獄法中主務大臣ノ職務ハ朝鮮總督之ヲ行フ

第三條　拘置監ニハ笞刑ノ執行ヲ受クヘキ者ヲ留置スルコトヲ得

第四條　新ニ入監スル者傳染病ニ罹リタルモノトキハ入監セシメサルコトヲ得

第五條　在監者ニハ糧食ノ自辨ヲ許スコトヲ得

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●監獄法

明治四十一年三月
法律第二十八號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル監獄法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

監獄法

第一章　總則

第一條　監獄ハ之ヲ左ノ四種トス

一　懲役監　懲役ニ處セラレタル者ヲ拘禁スル所トス

二　禁錮監　禁錮ニ處セラレタル者ヲ拘禁スル所トス

三　拘留場　拘留ニ處セラレタル者ヲ拘禁スル所トス

四　拘置監　刑事被告人及ヒ死刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ拘禁スル所トス

拘置監ニハ懲役、禁錮又ハ拘留ニ處セラレタル者ヲ一時拘禁スルコトヲ得

警察官署ニ附屬スル留置場ハ之ヲ監獄ニ代用スルコトヲ得但懲役又ハ禁錮ニ處セラレタル者ヲ一月以上繼續シテ拘禁スルコトヲ得ス

第二條　二月以上ノ懲役ニ處セラレタル十八歳未滿ノ者ハ特ニ設ケタル監獄又ハ監獄内ニ於テ特ニ分界ヲ設ケタル場所ニ之ヲ拘禁ス

前項ノ規定ニ依ル者ハ滿二十歳ニ至ルマテ又滿二十歳ニ至リタル後三月内ニ刑期終了スヘキ者ハ其殘刑期間仍ホ繼續シテ之ヲ拘禁スルコトヲ得

第三條　監獄ニ男監及ヒ女監ヲ設ケ之ヲ分隔ス

懲役監、禁錮監、拘留場及ヒ拘置監ノ同一區劃内ニ在ルモノハ之ヲ分界ス

第四條　主務大臣ハ少クトモ二年毎ニ一回官吏ヲシテ監獄ヲ巡閱セシムヘシ

刑事及ヒ檢事ハ監獄ヲ巡視スルコトヲ得

第五條　監獄ノ參觀ヲ請フ者アルトキハ學術ノ研究其他正當ノ理由アリト認ムル場合ニ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ許スコトヲ得

第六條　本法ニ依リ設入シ又ハ國庫ニ歸屬シタル物ハ之ヲ監獄慈惠ノ用ニ充ツ

第七條　在監者監獄ノ處置ニ對シ不服アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣又ハ巡閲官吏ニ情願ヲ爲スコトヲ得

第八條　勞役場ハ之ヲ監獄ニ附設ス

第九條　本法中別段ノ規定アルモノヲ除ク外刑事被告人ニ適用スヘキ規定ハ死刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス懲役因ニ適用スヘキ規定ハ勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第十條　本法ハ陸海軍ニ屬スル監獄ニ之ヲ適用セス

第二章　收監

第十一條　新ニ入監スル者アルトキハ令狀又ハ判決書及ヒ執行指揮書其他適法ノ文書ヲ查閲シタル後入監セシムヘシ

新ニ入監スル婦女其子ヲ携帶センコトヲ請フトキハ必要ト認ムル場合ニ限リ滿一歳ニ至ルマテ之ヲ許スコトヲ得

監獄ニ於テ分娩シタル子ニ付テモ亦前項ノ例ニ依ル

第十三條　新ニ入監スル者傳染病豫防法ニ依リ豫防方法ノ施行ヲ必要トスル傳染病ニ罹リタルモノナルトキハ之ヲ入監セシメサルコトヲ得

第十四條　新ニ入監スル者アルトキハ其身體及ヒ衣類ノ檢查ヲ爲スヘシ但シ在監中ノ者ニ付キ必要ト認ムルトキ亦同シ

第三章　拘禁

第十五條　在監者ハ心身ノ狀況ニ因リ不適當ト認ムルモノヲ除ノ外之ヲ獨居拘禁ニ付スルコトヲ得

第十六條　雜居拘禁ニ在テハ在監者ノ罪質、性格、犯數、年齡等ヲ斟酌シテ共監房ヲ別異ス

第一條第二項及ヒ第三項ノ場合ニ於テハ在監者ノ種類ニ依リ共監房ヲ別異ス

十八歳未滿ノ者ハ第二條第二項ノ場合ヲ除ノ外十八歳以上ノ者ト共監房ヲ別異ス但心身發育ノ狀況ニ因リ共必要ナシト認ムルトキハ此限ニ在ラス

前三項ノ規定ハ工場ニ於ケル就業ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　刑事被告人ニシテ被告事件ノ相關連スルモノハ互ニ共監房ヲ別異ノ監房外ニ於テモ共交通ヲ遮斷ス

第十八條　懲役監、禁錮監、拘留場、拘置監及ヒ勞役場ノ同一區劃内ニ在ル場合ニ於テハ同性者ニ付キ同一ノ病監又ハ教誨堂ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ在監者ノ種類ニ因リ監房若ノハ座席又ハ診察若ノハ教誨ノ時間ヲ異ニスルコトヲ得

第十九條　在監者逃走、暴行若ノハ自殺ノ虞アルトキ又ハ監外ニ在ルトキハ戒具ヲ使用スルコトヲ得

戒具ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條　法令ニ依リ監獄官吏ノ携帶スル劍又ハ銃ハ左ノ各號ノ一ニ該ル場合ニ限リ在監者ニ對シ之ヲ使用スルコトヲ得

一　人ノ身體ニ對シ危險ナル暴行ヲ爲シ又ハ爲ス可キ脅迫ヲ加フルトキ

二　危險ナル暴行ノ用ニ供シ得可キ物ヲ所持シ其放棄ヲ肯セサルトキ

三　逃走ノ目的ヲ以テ多衆騷擾スルトキ

四　逃走シ企テタル者暴行ヲ爲シテ捕拿ヲ免カレントシ又ハ制止ニ從ハスシテ逃走セントスルトキ

第二十一條　天災事變ニ際シ必要ト認ムルトキハ在監者ヲシテ應急ノ用務ニ就カシムルコトヲ得

前項ノ用務ニ就キタル者ニハ第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第二十二條　天災事變ニ際シ監獄内ニ於テ避難ノ手段ヲナシ認ムルトキハ在監者ヲ他所ニ護送スル事ヲ得

前項ノ場合ニ於テ護送スルノ遑ナキトキハ一時之ヲ解放スルコトヲ得

解放セラレタル者ハ監獄又ハ警察官署ニ出頭スル可シ解放後二十四時間内ニ出頭セサルトキハ刑法第九十七條ニ依リ處斷ス

第二十三條　在監者逃走シタルトキハ監獄官吏ハ逃走後四十八時間内ニ限リ之ヲ逮捕スルコトヲ得

前項ノ規定ハ刑事訴訟法第六十條ノ適用ヲ妨ケス

第四章　作業

第二十四條　作業ハ衛生、經濟及ヒ在監者ノ刑期、健康、技能、職業、將來ノ生計等ヲ斟酌シテ之ヲ課ス

十八歳未滿ノ者ニ課スヘキ作業ニ付テハ前項ノ外特ニ教養ニ關スル事項ヲ斟酌ス

第二十五條　大祭祝日、一月一日、二月及ヒ十

第二十二條　死刑ノ執行ハ一月ノ內ニ之ヲ爲ス

第二十三條　死刑ノ執行ハ監獄ニ於テ絞首ヲ以テ之ヲ爲ス

第二十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第二十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第二十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第二十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第二十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第二十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第三十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第四十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第五十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第六十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第七十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第八十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第九十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百二十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百三十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百四十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百五十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百六十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百七十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百八十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十一條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十二條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十三條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十四條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十五條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十六條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十七條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十八條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第百九十九條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第二百條　死刑ノ執行ハ檢事ノ指揮ニ依リ其ノ面前ニ於テ之ヲ爲ス

第二十三條　獨居拘禁ニ付セラレタル者ハ他ノ在監者ト交通ヲ遮斷シ習慣、運動、入浴、接見、教誨、診療又ハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除クノ外常ニ一房ノ內ニ獨居セシムヘシ

第二十四條　刑事被告人ハ之ヲ獨居拘禁ニ付スヘシ

第二十五條　受刑者ハ本令ニ規定スル場合ヲ除クノ外成ルヘク左ノ順序ニ從ヒ之ヲ獨居拘禁ニ付スヘシ

一　刑期二月未滿ノ者

二　二十五歲未滿ノ者

三　初犯者

四　入監後二月ヲ經過セサル者

但第又ハ刑期限內ノ犯罪ニ因リ審問中ニ在ル受刑者ハ成ルヘク之ヲ獨居拘禁ニ付スヘシ

獨居監房ニ殘餘アルトキハ前二項ニ該當セサル受刑者ト雖之ヲ獨居拘禁ニ付スルコトヲ得

第二十六條　在監者ノ精神又ハ身體ニ害アリト認ムルトキハ獨居拘禁ニ付スルコトヲ得

第二十七條　獨居拘禁ノ期間ハ二年ヲ超ユルコトヲ得但シ特ニ繼續ノ必要アル場合ニ於テハ爾後六月毎ニ其ノ期間ヲ更新スルコトヲ妨ケス

十八歲未滿ノ者ハ特ニ必要アリト認メタル場合ヲ除クノ外六月以上繼續シテ之ヲ獨居拘禁ニ付スルコトヲ得ス

第二十八條　典獄及監獄掌吏ハ毎日數次獨居拘禁ニ付セラレタル在監者ヲ巡視スヘシ

第二十九條　典獄、監獄醫、教誨師及女監取締ヲ除クノ外監獄官吏ハ單獨ニテ獨居拘禁ニ付セラレタル婦女ヲ巡視スルコトヲ得ス

第三十條　獨居拘禁ニ付セラレタル婦女ノ巡視ニ付亦同シ

第三十一條　獨居拘禁ノ期間滿了後必要アリト認ムルモノハ之ヲ夜間獨居監房ニ拘禁スヘシ

第二十五條第三項ノ規定ハ夜間獨居監房ニ之ヲ準用ス

第三十二條　夜間獨居監房ニ拘禁セラレタル者作業ニ就カサルトキハ晝間ト雖仍在房セシムヘシ

第三十三條　勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタル者ト受刑者トハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除クノ外之ヲ同一ノ監房又ハ工場ニ雜居セシムルコトヲ得

第三十四條　病者又ハ不具者ト健康者トハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除クノ外之ヲ同一監房ニ拘禁スルコトヲ得ス但シ看護ニ從事スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條　雜居監房ニハ三人以上ヲ拘禁スヘシ但シ擦業其ノ他已ムコトヲ得サル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　雜居監房、工場、教場及教誨堂ニ於テハ在監者ノ席次ヲ定メ教誨ヲ禁止スヘシ

第三十七條　監房ニハ晝ヲ敷クコトヲ得ス但シ拘置監、女監及病監ハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條　雜居監房ハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除クノ外之ヲ工場ニ代用スルコトヲ得ス

第三十九條　監房ノ前ニハ小札ヲ掲ケ其ノ上部ニ在房者ノ氏名、年齡、罪質、刑名、刑期、留置期間及犯數其ノ下部ニ番號及入監ノ年月日ヲ記載シ上部ハ之ヲ蔽掩シ監吏ヘシ

第四十條　雜居監房ニハ其ノ容積、定員及現在人員ヲ記載シタル小札ヲ掲ケ監吏ヘシ

第四章　戒護

第四十一條　監獄ニ於テハ出入ノ弊戒ヲ嚴シ必要アリト認ムルトキハ出入者ノ携帶品ヲ檢查スヘシ

開監前閉監後ハ典獄ノ許可ヲ受ケルニ非サレハ監獄官吏以外ノ者ヲ出入セシムルコトヲ得ス

第四十二條　監獄ノ外門、各出入口、監房、工場及現ニ在監者ヲ拘禁スル場所ハ之ヲ閉鎖シ監吏ヘシ若必要ニ因リ一時開放スルトキハ其ノ要所ヲ守衞スヘシ

鎗砲ハ一定ノ監獄官吏之ヲ保管シ必要アル場合ヲ除クノ外其ノ授受ヲ禁スルコトヲ得ス

第四十三條　夜間ノ巡視ハ監獄官吏之ヲ行フ但シ病監ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第四十四條　監獄ノ構內ニ於テハ常ニ視察ノ便ヲ計リ觀望ヲ妨ケサル樣適當ノ設備ヲ爲スヘシ

巳ムコトヲ得サル場合ニ於テハ格子其ノ他ノ障礙ヲ設ケ又ハ監吏ヲシテ常ニ之ヲ監視セシムヘシ

第四十五條　典獄ハ監獄官吏ヲシテ少クトモ毎日一回監房ノ檢查ヲ爲サシムヘシ

第四十六條　典獄ハ監獄官吏ヲシテ工場又ハ監外ヨリ還房スル在監者ノ身體及衣類ノ檢查ヲ爲サシムヘシ

第四十七條　在監者ニシテ戒護ノ爲隣房ノ必要アルモノハ之ヲ獨居拘禁ニ付スヘシ

第四十八條　戒具ハ左ノ六種トス

一　罨衣

二　釱

三　手錠

四　足錠

五　鞣鎖

六　捕繩

釱ヲ使用スルニハ鐵丸ヲ繫シタル鐵索ヲ之ニ貫キ腰間ニ縰帶セシメ縰帶ノ所ニ下鍵ス

鞣鎖ヲ使用スルニハ之ヲ腰間ニ縰帶セシメ縰帶ノ所ニ下鍵シ二人毎ニ連絆ス

第四十九條　戒具ハ典獄ノ命令アルニ非サレハ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第五十條　罨衣ハ危險ナル暴行ヲ爲ス懲役囚、釱ハ逃走又ハ暴行ノ虞アル懲役囚、手錠足鎖及捕繩ハ暴行、逃走若ハ自殺ノ虞アル在監者、鞣鎖ハ監房外ノ作業ニ就ク在監者ニシテ必要アリト認ムルモノニ限リ之ヲ使用スルコトヲ得

一脚施釱ハ一年以上繼續シテ之ヲ使用スルコトヲ得ス

護送中ノ者ニハ罨衣、釱及足鎖ヲ使用スルコトヲ得ス

第五十一條　監獄官吏在監者ニ對シテ劒又ハ銃ヲ使用シタルトキハ典獄ハ直ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ申報スヘシ

第五十二條　典獄ハ刑期一年以上ノ懲役囚ニシテ刑期ノ半ヲ經過シタル者ノ中ニ就キ獄メ消防ノ用務ニ就カシムヘキモノヲ指定スルコトヲ得

第五十三條　監獄法第二十二條ニ依リ在監者ヲ解放スルトキハ出頭スヘキ時期及場所ヲ告知スヘシ

第五十四條　在監者ヲ他所ニ護送スヘキ場合ニ於テハ監獄醫ヲシテ之ヲ診斷セシメ健康ニ害アリト認ムルトキハ其ノ護送ヲ停止スヘシ

護送ヲ停止シタルトキハ其ノ旨ヲ關係官廳ニ通報スヘシ

第五十五條　護送中ハ男女ヲ同行セシムヘカラス刑事被告人及十八歲未滿ノ者ハ護送ノ際他ノ在監者ト區分スヘシ

第五十六條　在監者逃走シタルトキハ典獄ハ遠ニ監獄所在地及其ノ附近竝逃走者ノ立寄ルヘキ見込アル地方ノ警察官署ニ逃走者ノ人相書ヲ添ヘ逃走ノ事實ヲ通報スヘシ

第五十七條　前條ノ場合ニ於テハ典獄ハ其ノ事實ヲ朝鮮總督ニ申報スヘシ逃走者ヲ逮捕シタルトキ亦同シ

逃走者刑事被告人ナルトキハ前項ノ外逃走及逮捕ノ事實ヲ檢事ニ通報スヘシ

第五章　作業

第五十八條　在監者ノ作業時間ハ左ノ如シ但シ典獄ハ地方ノ狀況、監獄ノ構造又ハ作業ノ種類ニ因リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ伸縮スルコトヲ得

請求ニ因リ作業ニ就ク者ノ作業時間ハ二時間以內之ヲ短縮スコトヲ得、

十一月（十二月）	七時間	二月（十一月） 八時間
三月（九月）	九時間	四月（五月） 十時間
六月（十月）	十一時間	八月

教育、教誨及運動ニ要スル時間ハ之ヲ作業時間ニ通算スルコトヲ得

第五十九條　作業ノ種類ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第六十條　在監者ニ課スル作業ハ其ノ種類及一日ノ科程ヲ指定シ之ヲ本人ニ告知スヘシ

第六十一條　作業科程ハ普通一人ノ仕上高及第五十八條第一項ノ作業時間ヲ標準トシテ等一ニ之ヲ定ムヘシ

仕上高ヲ標準トスルコト能ハサル作業ニ付テハ第五十八條第一項ノ作業時間ヲ以テ作業科程トス

十八歲未滿ノ受刑者、老者、病弱者及不具者ハ前二項ニ依ラス各其業者ニ付相當ノ作業科程ヲ定ムルコトヲ得

第六十二條　作業時間ノ全部ヲ通シテ就業セシムルコト能ハサル作業ハ之ヲ他ノ作業ト併課スルコトヲ得

第六十三條　一日ノ作業科程ヲ終了シタル者ト雖作業時間內ハ繼續シテ作業ニ就カシムヘシ

第六十四條　請求ニ因リ作業ニ就ク者ハ正當ノ事由アルニ非サレハ其ノ作業ヲ中止シ若ハ之ヲ廢止シ又ハ作業ノ種類ヲ變更スルコトヲ得ス

第六十五條　典獄ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ在監者ヲ受負作業ニ就カシムルコトヲ得

第六十六條　刑事被告人ハ之ヲ監外ノ作業ニ就カシムルコトヲ得ス

第六十七條　典獄ハ監獄官吏ヲシテ毎日一回各就業者ニ就キ作業ノ成績ヲ檢查セシムヘシ

第六十八條　仕上高ハ毎月末日ニ共ノ月分ヲ積算シ一日ノ平均高ト一日ノ科程トヲ對照シ作業科程ノ了否ヲ定ムヘシ

第六十一條第二項ノ作業ニ付テハ一月毎ニ其ノ作業時間ヲ積算シ前項ニ準シ之ヲ定ムヘシ

第六十九條　作業賞與金計算高ヲ有スル刑事被告人其ノ父、母、妻又ハ子ノ扶助其ノ他正當ノ費用ヲ要スル場合ニ於テハ情狀ニ因リ在監中ト雖之ニ作業賞與金ヲ給スルコトヲ得

第七十條　作業賞與金計算高ヲ有スル刑事被告人其ノ父、母、妻又ハ子ノ扶助其ノ他正當ノ費用ヲ要スル場合ニ於テハ情狀ニ因リ在監中ト雖之ニ作業賞與金ヲ給スルコトヲ得

第七十一條　刑事被告人ニハ其ノ居所ニ就キ教誨ヲ爲スヘシ

第七十二條　刑事被告人ニハ其ノ居所ニ拘禁スル受刑者及刑事被告人ニハ其ノ居所ニ就キ教誨ヲ爲スヘシ

第七十三條　受刑者父母ノ計ニ接シ就業ヲ免セラレタルトキハ之ヲ獨居拘禁ニ付シ每日教誨ヲ爲スヘシ

第七十四條　作業賞與金計算高ヲ有スル在監者逃走後六月內ニ其ノ居所分明セサルトキハ其ノ計算高ヲ扶助スヘシ

第七十五條　監獄法第二十一條及第二十八條ニ依リ手當金ヲ給スヘキ情狀アリト認ムルトキハ典獄ハ調査書類ヲ添ヘ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ具申スヘシ

第六章　教誨及教育

第七十六條　教誨ハ休業日又ハ日曜日ニ於テ之ヲ爲スヘシ

典獄ハ必要アリト認ムルトキハ休業日又ハ日曜日以外ノ日ニ於テモ教誨ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十七條　作業賞與金計算高ヲ有スル刑事被告人其ノ父、母、妻又ハ子ノ扶助其ノ他正當ノ費用ヲ要スル場合ニ於テハ情狀ニ因リ在監中ト雖之ニ作業賞與金ヲ給スルコトヲ得

第七十八條　作業賞與金計算高ヲ有スル在監者逃走後六月內ニ其ノ居所分明セサルトキハ其ノ計算高ヲ扶助スヘシ

第七十九條　監獄法第二十一條及第二十八條ニ依リ手當金ヲ給スヘキ情狀アリト認ムルトキハ典獄ハ調査書類ヲ添ヘ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ具申スヘシ

第六章　教誨及教育

第八十條　教誨ハ休業日又ハ日曜日ニ於テ之ヲ爲スヘシ

典獄ハ必要アリト認ムルトキハ休業日又ハ日曜日以外ノ日ニ於テモ教誨ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十一條　病監又ハ獨居監房ニ拘禁スル受刑者及刑事被告人ニハ其ノ居所ニ就キ教誨ヲ爲スヘシ

第八十二條　受刑者父母ノ計ニ接シ就業ヲ免セラレタルトキハ之ヲ獨居拘禁ニ付シ每日教誨ヲ爲スヘシ

第八十三條　愚劣、假出獄若ハ假出場ノ申渡ヲ爲シ又ハ賞表ヲ付與スルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ具申スヘシ

第七章　給養

第八十四條　受刑者死亡シタルトキハ本人ト緣故アル受刑者ヲ集メ棺前ニ於テ教誨ヲ爲スヘシ

第八十五條　監獄法第三十條ニ依リ教育ヲ施スヘキ受刑者ニハ每日四時間以內其ノ教育ノ程度ニ應シ修身、讀書、算術、習字其ノ他必要ノ學科ヲ教授スヘシ

第八十六條　交替圍碁ノ開廢ハ監獄ノ紀律ニ牴觸セサルモノニ限リ之ヲ許ス

新聞紙及時事ノ論說ヲ記載スルモノハ其ノ閱讀ヲ許サス

第八十七條　作業賞與金計算高ヲ有スル刑事被告人其ノ父、母、妻又ハ子ノ扶助其ノ他正當ノ費用ヲ要スル場合ニ於テハ情狀ニ因リ在監中ト雖之ニ作業賞與金ヲ給スルコトヲ得

第八十八條　獨居拘禁ニ付セラレタル在監者ニハ同時ニ三個以上ノ文書圖畫ヲ閱讀セシムルコトヲ得但シ字書ハ必要ニ因リ其ノ册數ヲ增加スルコトヲ得

第八十八條　獨居拘禁ニ付セラレタル在監者ニハ情狀ニ因リ其ノ監房內ニ於テ自辨ニ係ル筆墨紙ノ使用ヲ許スコトヲ得

第七章　給養

第八十九條　在監者ノ使用ニ供スル衣類、臥具及雜具ノ品目左ノ如シ

衣類

一　單衣
二　給入
三　綿入
四　襯衣
五　帶
六　褌
七　脛引

婦女ニハ脛引ニ代ヘ前垂ヲ用ヰシム

臥具

一　油筒又ハ毛布
二　敷布
三　蒲薦
四　枕
五　蚊帳

雜具

一　手巾
二　雨具
三　冠物
四　履物

脛引又ハ前垂ハ作業ニ就ク者ニ限リ之ヲ交付ス

用紙ノ之ヲ給與ス

典獄ニ於テ必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ雜具ノ品目ヲ增加スルコトヲ得

第九十條　在監者ノ使用ニ供スル衣類臥具及雜具ノ數ハ一人ニ付一箇トス但シ蚊帳ハ此ノ限ニ在ラス

作業ニ就ク者ニハ別ニ作業衣一組ヲ交付ス

用紙ノ數量ハ典獄ニ於テ適宜之ヲ定ム病者ノ使用ニ供スル衣類臥具及雜具ノ數ハ必要

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ因リ之ヲ増減スルコトヲ得
巳ムコトヲ得サル事情アルトキハ典獄ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第一項及第二項ニ定メタル筒數ヲ増減スルコトヲ得
第九十一條　受刑者ニ著用セシムル衣類ハ赭左ニ掲ケル衣類具ハ漆葱色トス
一　刑事被告人ニ貸與スル衣類
二　勞役場留置ノ言渡ヲ受ケタル者ニ貸與スル衣類
三　十八歳未滿ノ受刑者ニ著用セシムル衣類

第四　衛生

第九十二條　自辨ノ衣類臥具ハ時季ニ適シ且監獄ノ紀律及衛生ニ有ヤキ物ニ限ル
自辨ノ衣類臥具ノ品目及箇數ハ典獄之ヲ定ム
第九十三條　自辨ノ衣類臥具ハ時時之ヲ交換、補綴又ハ消濁セシムヘシ
監獄ニ於テ自辨ノ衣類臥具ヲ補綴又ハ消濁シタルトキハ其ノ費用ハ本人ノ負擔トス
第九十四條　在監者ニ給與スル攝食ノ種類及分量ハ左ノ如シ

	朝	夕
一　飯	五合	四分ノ一
二　菜	十分ノ六	一人一回五錢以下

地方ノ狀況若ハ物價ノ高低ニ因リ又ハ在監者ノ健康保全ノ爲必要アルトキハ典獄ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ攝食ノ種類ヲ變更スルコトヲ得
作業ノ種類ニ因リ必要アルトキハ典獄ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ飯ノ分量ヲ增加スルコトヲ得
第九十五條　在監者ニ給與スル飲料ハ白湯ヲ用ウ但シ必要アルトキハ麥湯又ハ茶ヲ用ウルコトヲ得
第九十六條　在監者ニハ酒類又ハ煙草ヲ用ウルコトヲ許サス
第九十七條　病者ノ攝食及飲料ハ典獄ニ於テ適宜之ヲ定ムルコトヲ得
第九十八條　自辨攝食ノ種類及分量ハ典獄之ヲ定ム

第九十九條　自辨攝食ノ販賣又ハ取授ヲ爲ス者不正ノ行爲アリト認ムルトキハ典獄ハ其ノ者ノ自辨ヲ禁止スヘシ
典獄ハ必要ニ因リ自辨攝食ノ販賣又ハ取授ヲ爲ス者ヲ指名スルコトヲ得
第百條　自辨攝食ハ監獄官吏立會ノ上監獄醫ヲシテ其ノ衛生ヲ檢査セシムヘシ
第百一條　雜居拘禁ニ付セラレタル者ノ自辨攝食ハ成ルヘク一定ノ場所ニ於テ之ヲ用ヰシムヘシ

第八章　衛生及醫療

第百二條　監獄ニ於テハ清潔ヲ旨トシ衣類臥具及雜具ハ期限ヲ定メ蒸汽其ノ他適當ノ方法ヲ用ヰテ之ヲ清淨ナラシムヘシ
第百三條　受刑者ノ頭髮ハ少クトモ一月毎ニ一回、雜居拘禁ニ付セラレタル者ノ頭髮ハ必要アル場合ノ外其ノ監房ニ於テ之ヲ理髮セシムヘシ
第百四條　頭髮、鬚髯ノ剃刻セシメサル場合ニ於テハ常ニ之ヲ梳理セシムヘシ
容油ノ使用ヲ許スコトヲ得
第百五條　在監者ノ入浴ノ度數ハ作業ノ種類及其ノ他ノ事情ヲ斟酌シテ典獄之ヲ定ム但シ六月ヨリ九月迄ハ毎週一回ヲ下ルコトヲ得ス
第百六條　在監者ハ衛生ノ爲毎日三十分以內ニ戶外ニ於テ運動ヲ爲サシムヘシ但シ作業ノ種類ニ因リ必要ナシト認ムヘキ者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ運動時間ハ獨居拘禁ニ付セラレタル者ニ限リ一時間以內ニ伸長スルコトヲ得
受刑者ニハ戶外運動ヲシテ體操ヲ爲サシムルコトヲ得
第百七條　獨居拘禁ニ付セラレタル在監者ニシテ十八歳未滿ノモノハ少クトモ三十日毎ニ一回、其ノ他ノモノハ少クトモ三月毎ニ一回、雜居拘禁ニ付セラレタル受刑者ニシテ刑期一年以上ノモノハ少クトモ六月毎ニ一回監獄醫ヲシテ健康診斷ヲ爲サシムヘシ
第百八條　十八歳未滿ノ者ハ成ルヘク治療ノ時間及病監ニ於ケル居室ヲ其ノ他ノ者ト異ニスヘシ
第百九條　獨居拘禁ニ付セラレタル者疾病ノ者ノ他入監止スヘシ
第百十條　傳染病流行ノ兆アルトキハ其ノ豫防ヲ嚴ニシ流行地ヲ發シ又ハ其ノ地方ヲ經過シタル入監者ハ一週日以上他ノ者ト離隔シ其ノ携帶物ニハ消毒方法ヲ行ヒ其ノ狀況ヲ檢閱シ且其ノ衣類臥具ヲ消毒スヘシ
第百十一條　傳染病豫防ノ爲必要アル場合ニ於テハ在監者ニ種痘又ハ血精注射ヲ施スコトヲ得
第百十二條　傳染病流行ノ際ニハ飲食物ノ差入及購求ヲ停止スルコトヲ得
第百十三條　在監者傳染病ニ罹リタルトキハ直ニ之ヲ隔離シ嚴ニ消毒方法ヲ行ヒ其ノ狀況ヲ朝鮮總督ニ申報スヘシ
前項ノ場合ニ於テハ監獄所在地ノ警察官署ニ其ノ事實ヲ通報スヘシ
第百十四條　監獄法第四十三條ニ依リ在監者ヲ病院ニ移送スヘキトキハ典獄ハ監獄醫ノ診斷書及移送スヘキ病院トノ協議書ヲ添ヘ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
第百十五條　在監者ヲ病院ニ移送シタルトキハ典獄ハ監獄官吏ヲシテ每日其ノ狀況ヲ視察セシムヘシ
第百十六條　病院ニ移送シタル者在院ノ必要ナキニ至リタルトキハ典獄ハ速ニ之ヲ還送セシメ朝鮮總督ニ其ノ旨ヲ申報スヘシ
第百十七條　治療ノ爲特ニ必要アリト認ムルトキハ典獄ハ監獄醫ニ非サル醫師ヲシテ治療ヲ補助セシムルコトヲ得
分娩ノ際必要アリト認ムルトキハ典獄ハ産婆ヲ附スルコトヲ得
第百十八條　在監者ノ疾病危篤ナルトキハ其ノ旨ヲ本人ノ家族又ハ親族ニ通知シ刑事被告人ナルトキハ仍檢事ニ通報スヘシ
第百十九條　妊婦ハ受胎後七月以上ノ者産婦ハ分娩後一月ヲ經過セサル者ニ限リ之ヲ病者ニスヘシ
第百二十條　十四歳未滿ノ者ハ在監者ト接見ヲ爲スコトヲ許サス
第百二十一條　接見ノ時間ハ三十分以內トス但シ辯護人ノ接見ハ此ノ限ニ在ラス
第百二十二條　接見ハ執務時間內ニ非サレハ之ヲ許サス
第百二十三條　接見ノ度數ハ拘留囚ニ付テハ十日毎ニ一回、禁錮囚ニ付テハ一月毎ニ一回、懲役囚ニ付テハ二月毎ニ一回トス
第百二十四條　典獄ニ於テ已ムコトヲ得サル事情アリト認ムルトキハ前四條ノ制限ニ依ラサルコトヲ得
第百二十五條　在監者ニ接見センコトヲ請フ者アルトキハ其ノ氏名、身分、職業、住所、年齡、在監者トノ續柄及面談ノ要旨ヲ聞取リ許可ヲ與ヘタル者ニハ接見者心得事項ヲ告知スヘシ
接見センコトヲ請フ者辯護人ナルトキハ其ノ氏名、職業及住所ノミヲ聞取リ裁判所ノ允許ヲ得テ辯護人ト爲リタル者ニハ仍其ノ旨ヲ證明セシムヘシ
第百二十六條　接見ハ接見室ニ於テ之ヲ爲サシムヘシ
在監者疾病ノ爲接見室ニ赴クコト能ハサルトキハ其ノ居所ニ於テ接見ヲ爲サシムルコトヲ得
第百二十七條　接見ニハ監獄官吏之ニ立會フヘシ
第百二十八條　外國語ハ典獄ノ許可アルニ非サレハ接見ノ際之ヲ使用スルコトヲ得ス
第百二十九條　受刑者ノ發受スル信書ノ數ハ拘留囚ニ付テハ十日毎ニ各一通、懲役囚ニ付テハ一月毎ニ各一通ヲ超ユルコトヲ得ス
第百三十條　在監者ノ發受スル信書ハ典獄之ヲ檢閱スルコトヲ得
第百三十一條　外國語ニ渉ル信書ハ檢閱ノ上之ヲ發送ス

ノ爲在監者ノ費用ヲ以テ之ヲ翻譯セシムルコトヲ得
在監者前項ノ費用ヲ負擔スル能力ナク又ハ其ノ負擔ヲ肯セサルトキハ信書ノ發受ヲ許ササルコトヲ得
第百三十二條　受刑者ノ發送スル信書ハ急速ヲ要スル場合ヲ除クノ外日曜日休業日又ハ休憩時間內ニ非サレハ之ヲ作成セシムルコトヲ得ス
第百三十三條　在監者信書ヲ自書スルコト能ハサルトキハ本人ノ求ニ因リ監獄官吏之ヲ代書スヘシ
第百三十四條　在監者ノ發送スル信書ノ郵便及ハ自辨トス裁判所其ノ他公務所ニ對シ返信ヲ要スル場合ニ於テ郵便稅ヲ自辨スルコト能ハサルトキハ監獄ニ於テ之ヲ支辨スヘシ
書信用紙及封筒ハ監獄ニ於テ之ヲ給與スルコトヲ得
第百三十五條　在監者ニ交付シタル信書及其ノ他ノ文書ハ必要ニ因リ十日以內本人ノ手ニ留保セシムルコトヲ得
第百三十六條　信書ノ檢閱、發送及交付ノ手續ハ成ルヘク速ニ之ヲ爲スヘシ
第百三十七條　信書ノ發送、交付及廢棄ノ年月日ハ之ヲ本人ノ身分帳簿ニ記載スヘシ
第百三十八條　第百二十九條ニ定メタル度數ヲ超エタル信書ニシテ發信ニ係ルモノハ直ニ之ヲ本人ニ返付シ其ノ受信ニ係ルモノハ假ニ身分帳簿ニ添附シ置キ次ノ期間ニ於テ順次之ヲ本人ニ交付スヘシ
監獄法第四十七條第一項ニ依リ發受ヲ許ササル信書ハ身分帳簿ニ添附シ置キ廢棄スヘキモノヲ除クノ外釋放ノ際之ヲ本人ニ交付スヘシ
第百三十九條　接見ノ立會及信書ノ檢閱ノ際行刑上參考ト爲ルヘキ事項ヲ發見シタルトキハ共ノ要旨ヲ本人ノ身分帳簿ニ記載スヘシ

第十章　領置

第百四十條　領置物ハ其ノ品目及數量ヲ領置金品券帳ニ記載シ領置品基帳ニハ典獄之ニ證印スヘシ
第百四十一條　金錢ニ非サル領置物ハ本人ノ請求ニ因リ之ヲ資却シテ其ノ代金ヲ領置スル事ヲ得
領置ヲ爲サス又ハ領置ヲ解キタル物ニ付本人相當ノ處分ヲ爲ササルトキハ請求ナキトキト雖前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得
第百四十二條　在監者ニハ新聞紙、時事ノ論說ヲ記載シタル文書及監獄ノ紀律ヲ告スヘキ物ノ差入ヲ爲スコトヲ得ス
第百四十三條　受刑者ニハ法令其ノ他典獄ニ於テ有益ト認ムル文書、筆墨紙、印紙、郵便切手、郵便葉書、金錢、飲食物及朝鮮總督ニ於テ認可シタル物ヲ除クノ外差入ヲ爲スコトヲ得ス但シ自辨ヲ許シタル物ハ此ノ限ニ在ラス
第百四十四條　刑事被告人ニハ前條ニ揭ケタル物ノ外衣類、臥具、手巾及履物ニ限リ差入ヲ爲スコトヲ得
第百四十五條　衣類臥具ノ差入ニ付テハ第九十二條、飲食物ノ差入ニ付テハ第九十八條ノ規定ヲ準用ス
第百四十六條　在監者ニ差入ヲ爲サンコトヲ請フ者アルトキハ其ノ氏名、身分、職業及住所ヲ調査スヘシ
第百四十七條　在監者ニ宛テ送致シ來リタル物及差入ヲ爲シタル物ハ看守長立會ノ上看守之ヲ檢査スヘシ
飲食物ノ檢査ニハ監獄醫ヲシテ立會ハシムヘシ
第百四十八條　自辨又ハ差入ヲ許シタル物ハ本人ニ交付セサルトキト雖携有物ノ例ニ依リ領置ノ手續ヲ爲スヘシ
第百四十九條　飲食物ニ付テハ領置ニ關スル規定ヲ適用セス
第百五十條　沒入又ハ廢棄ノ處分ヲ爲シタルトキハ沒入ノ際其ノ品目、數量及處分ヲ爲シタル理由及年月日ヲ記載シ典獄之ニ證印スヘシ
第百五十一條　死亡者ノ遺留物ノ交付ヲ受ケヘキ者遠隔地ニ在ルトキハ其ノ請求ニ因リ遺留物ヲ賣却シテ代金ヲ送付スルコトヲ得
第百五十二條　賞罰ヲ爲スヘキ者ニ賞表ヲ付與スヘシ
賞表ハ加ヘテ三箇ヲ超エルコトヲ得ス
第百五十三條　賞表ハ曲尺二寸幅一寸ノ白色ノ布ヲ用ヰ共ノ左袖肩臂間ノ表面ニ縫著セシムヘシ
第百五十四條　賞遇ハ左ノ如シ
一　第百二十三條ニ定メタル接見ノ度數及第百二十九條ニ定メタル信書發受ノ度數ヲ一回宛增加スルコト
二　襯衣ノ白辨ヲ許スコト
三　作業ノ變更ヲ許スコト
四　第七十一條ニ定メタル作業賞與金計算高ノ制合ヲ賞表一箇每ニ十分ノ一宛增加スルコト
五　賞表一箇ヲ有スル者ニハ一週間ニ一回、賞表二箇ヲ有スル者ニハ一週間ニ二回、賞表三箇ヲ有スル者ニハ一週間ニ三回菜ヲ增給スルコト但シ其ノ代價ハ一回三錢以下トス
第百五十五條　賞遇ヲ廢止セラレタル者ニハ賞表ヲ褫奪シ賞遇ヲ停止セラレタル者ニハ其ノ期間賞表ヲ除去スヘシ
第百五十六條　在監者左ノ各號ニ該ル行爲アルトキハ五十錢以下ノ賞金ヲ給スルコトヲ得
一　在監者ノ逃走セントスルヲ密告シタルトキ
二　人命ヲ救護シ又ハ在監者ノ逃走セントスル者ヲ捕獲シタルトキ
三　天災事變又ハ傳染病流行ノ際監獄ノ用務ニ服シ功勞アリタルトキ
第百五十七條　減食ハ本人ニ給與スル攝食ノ一回ノ分量ヲ二分ノ一乃至三分ノ一ニ減ス
第百五十八條　懲罰事犯ニ付取調中ノ者ハ成ルヘク之ヲ獨居拘禁ニ付シ又ハ夜間獨居監房ニ拘禁スヘシ
第百五十九條　懲罰ノ言渡ハ典獄之ヲ爲スヘシ
第百六十條　懲罰ハ言渡ノ後直ニ之ヲ執行スヘシ
第百六十一條　獨居拘禁ニ付セラレタル者疾病ノ爲必要アリト認ムルトキハ典獄ハ其ノ者ノ拘禁ヲ停止スルコトヲ得
第百六十二條　傳染病流行ノ兆アルトキハ其ノ豫防ヲ嚴ニシ流行地ヲ發シ又ハ其ノ地方ヲ經過シタル入監者ハ一週日以上他ノ者ト離隔シ其ノ携帶物ニハ消毒方法ヲ行ヒ其ノ狀況ヲ檢閱シ且其ノ衣類臥具ヲ消毒スヘシ
第百六十三條　在監者傳染病ニ罹リタルトキハ其ノ獨居拘禁ヲ停止スルコトヲ得
第百六十四條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ親族又ハ其ノ指定シタル者ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ
第百六十五條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ親族又ハ其ノ指定シタル者ニ其ノ遺骸ヲ引渡スヘシ
第百六十六條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百六十七條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百六十八條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百六十九條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十一條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十二條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十三條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十四條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十五條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十六條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十七條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十八條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百七十九條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十一條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十二條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十三條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十四條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十五條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十六條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十七條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十八條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百八十九條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十一條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十二條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十三條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十四條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十五條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十六條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十七條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十八條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第百九十九條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百一條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百三條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百四條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百五條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百六條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百七條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百八條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百九條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十一條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十二條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十三條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十四條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十五條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十六條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十七條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十八條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百十九條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十一條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十二條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十三條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十四條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十五條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十六條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十七條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十八條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百二十九條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百三十條　在監者ノ死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ遺骸ヲ解剖スヘキ旨ノ遺言ヲ爲シタル者ニ非サレハ其ノ遺骸ヲ解剖スルコトヲ得ス
第二百三十一條　外國交ヲ用ヰタル信書ハ檢閱

戶外運動ノ停止、減食又ハ屏禁ニ處セラレタル者ニ付テハ監獄醫ヲシテ本人ヲ診斷セシメ其ノ健康ヲ害ナシト認メタルトキニ非サレハ懲罰ヲ執行スルコトヲ得ス
第百六十四條　懲罰ニ處セラレタル者ヲ移監ニ因リ受個シタル監獄ノ典獄ハ收監後三日以內ニ懲罰ノ執行ヲ開始スヘシ
收監後執行開始ニ至ル迄ノ日數ハ之ヲ懲罰期間ニ算入セス
第百六十五條　在監者運送ノ途中ニ於テ紀律違反ノ行爲アリタルトキハ本人ヲ受個シタル監獄ノ典獄ニ於テ之ヲ懲罰ニ處スルコトヲ得
第百六十六條　在監者ノ賞罰ニ關スル事項ハ身分帳簿及懲罰簿ニ記載スヘシ

第十二章　釋放

第百六十七條　刑期ノ終了ニ因リ釋放セラルヘキ受刑者ハ成ルヘク釋放前三日以內獨居拘禁ニ付シ典獄自ラ釋放後ノ心得ニ付諭告ヲ爲スヘシ
第百六十八條　刑期ノ終了ニ因リ釋放セラルヘキ受刑者ニハ釋放ノ日前迄ニ釋放後ノ保護ニ關スル事項ヲ調査スヘシ
第百六十九條　典獄ニ於テ必要アリト認メタルトキハ釋放セラルヘキ者ノ性格及行狀竝保護ニ關スル意見ヲ本人居住地ノ警察官署又ハ本人ノ保護ヲ引受クヘキ者ニ通報スヘシ

第百七十條　釋放セラルヘキ者ノ領置物及作業賞與金ハ豫メ交付ノ準備ヲ爲シ置クヘシ

第百七十一條　釋放ノ際署用スヘキ衣類ヲ有セサル者ニハ豫メ本人ノ領置金若ハ作業賞與金又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ調達セシメ若調達スルコト能ハサルトキハ監獄ニ於テ之ヲ給與スヘシ

第百七十二條　受刑者ヲ釋放シタル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ典獄ハ監獄官吏ヲシテ停車場又ハ乘船所迄同行セシメ本人ニ代リ其ノ歸住地又ハ歸住地ニ最近ノ場所ニ至ル迄ノ乘車券又ハ乘船切符ヲ購求シ之ヲ本人ニ交付セシムヘシ

第百七十三條　受刑者ニ付假出獄ヲ許スヘキ事情アリト認ムルトキハ典獄ハ判決書及執行指揮書ノ謄本竝行狀錄及身上調査書類ヲ添ヘ朝鮮總督ニ具申スヘシ

第百七十四條　假出獄ニ因リ釋放スヘキ場合ニ於テハ一定ノ式ニ依リ典獄釋放ノ申渡ヲ爲シ本人ニ證票ヲ交付スヘシ

第百七十五條　假出獄ニ因リ釋放セラレタル者刑法第二十九條第一號乃至第三號ニ該ルコトヲ知リタルトキハ典獄ニ速ニ意見ヲ具シ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ申報スヘシ

第百七十六條　第百七十三條及第百七十四條ノ規定ハ刑法第三十條ニ依ル假出場ノ場合之ヲ準用ス

第十三章　死亡

第百七十七條　在監者死亡シタルトキハ典獄ハ其ノ死體ヲ檢視スヘシ

病死ノ場合ニ於テハ監獄醫ハ其病名、病歷、死因及死亡ノ年月日時ヲ死亡帳ニ記載シ之ニ署名スヘシ

自殺其ノ他變死ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ警察官署ニ通報シテ檢視ヲ受ケ檢視者及立會者ノ官氏名竝檢視ノ結果ヲ死亡帳ニ記載スヘシ

第百七十八條　死亡者ノ病名、死因及死亡ノ年月日時ハ遲ニモ之ヲ死亡者ノ家族又ハ親族ニ通報スヘシ死亡者刑事被告人ナルトキハ仍檢事ニ通報スヘシ

第百七十九條　受刑者ノ死體ハ死亡後二十四時ヲ經テ交付ヲ請フ者ナキ場合ニ限リ解剖ノ爲監督公立ノ病院、學校又ハ其ノ他ノ公務所ニモ之ヲ送付スルコトヲ得

死亡後二十四時間ヲ經テ交付ヲ請フ者ナキ場合ト雖其ノ後ニ至リ交付ヲ請フ者アリト思料スヘキトキ又ハ本人カ生前ニ於テ解剖ヲ肯セサル意思ヲ表示シタルトキハ前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第百八十條　死體ヲ請求ス者ニ交付シ又ハ解剖ノ爲送付シタルトキハ其ノ旨ヲ死亡帳ニ記載スヘシ

第百八十一條　死亡後二十四時間ヲ經テ死體ノ交付ヲ請フ者ナキトキハ第百七十九條ノ場合ヲ除クノ外之ヲ監獄ノ墓地ニ假埋葬スヘシ

火葬ニ付シタル場合ニ於テハ其ノ遺骨ニ付亦同シ

假埋ノ場所ニハ死亡者ノ氏名及死亡ノ年月日ヲ記シタル木標ヲ立ツヘシ

第百八十二條　死體又ハ遺骨ヲ合葬シタルトキハ墓域シ合葬ノ氏名及死亡ノ年月日ヲ合葬簿ニ記載シ合葬ノ場所ニハ墓標ヲ立ツヘシ

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●警察官署ニ拘禁セラルル者ノ食料ニ關スル件

大正八年七月
勅令第三百五十四號

改正　昭和九年一二第三五號、一二年一二第六八五號

警察官署ニ拘禁セラルル者ノ食料ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

警察官署ニ拘禁セラルル者ノ食料ハ內地ニ於テハ內務大臣、朝鮮、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於テハ內務大臣、朝鮮總督、臺灣總督、樺太廳長官又ハ滿洲國駐劄特命全權大使ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年勅令第二百六十三號ハ之ヲ廢止ス

●留置中ノ囚人及刑事被告人ニ給與スル食料額

明治四十四年八月
總訓第六十九號

改正　大正七年九月五日、八年九月三五號

警察官署

留置中ノ囚人及刑事被告人ニ給與スル食料ハ一食二十錢以內ニ於テ一日三食トス但シ特別ノ事情アル場合ニハ一日一食分追ヲ增加スルコトヲ得

●監獄職員銃器携帶ニ關スル件

明治四十二年十月
統令第四十八號

改正　朝治四年五號令第五號

朝鮮總督府監獄職員ニシテ巡警、監外ノ作業ニ就ク受刑者ノ戒護、要所ノ警衛及護送ニ從事スル者ニハ當ニ銃ヲ携帶セシム

前項ノ外典獄ニ於テ必要ト認メタル場合ニ於テハ戒護ニ從事スル監獄職員ニ臨時ニ銃ヲ携帶セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●監獄ニ於テ入監簿其ノ他備付ノ件

大正四年二月
總訓第六號

朝鮮總督府監獄

監獄ニ於テハ入監簿、出監簿、共犯簿、教誨簿、教育簿、健康診斷簿及診療簿ヲ備フヘシ

朝鮮監獄令施行規則及前項ノ規定ニ依ル帳簿ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外別冊ノ樣式ニ依ルヘシ

第一款　監獄

第一目　通則

第一條　受刑者ノ教育ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ニ依ル

第二條　本令ニ依ル教育ハ受刑者ニ日常生活上必須ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國民道德ノ理解及實踐ニ資スルヲ以テ目的トス

第三條　年齡二十歲未滿刑期六月以上ノ受刑者ニハ教育ヲ施スヘシ但シ性能低劣ナル者ハ此ノ限ニ在ラス

年齡三十歲未滿刑期一年以上ノ受刑者ニシテ學力普通學校第四學年修業程度ニ至ラサルモノ及其ノ他ノ刑務所長ニ於テ教育ノ必要アリト認ムル者ニハ教育ヲ施スコトヲ得

第四條　教育ハ簡易普通科及普通科ノ二科ニ分チ少年刑務所ニハ別ニ補習科ヲ置ク

第五條　簡易普通科ノ學科課程ハ簡易學校ノ程度トシ其ノ教科書ニ依リテ修身、國語、算術及朝鮮語ノ四科目ヲ教授ス但シ內地人ニハ朝鮮語ヲ除セサルコトヲ得

簡易普通科ヲ第一學級乃至第四學級ニ編制ス

第六條　普通科ノ學科課程ハ普通學校第五學年及第六學年ノ程度トシ其ノ教科書ニ依リテ修身、國語、算術及職業ノ四科目ヲ教授ス

普通科ヲ第五學級及第六學級ニ編制ス

第七條　補習科ノ修業年限ハ一年トシ二學期ニ分ツ

補習科ノ學科課程ハ高等小學校ノ程度トシ其ノ教科書ニ依リテ國語、算術、地理、國史及職業ノ五科目ヲ教授ス

（別冊略ス）

●朝鮮行刑教育規程

昭和十二年五月
總訓第三十五號

朝鮮總督府監獄

朝鮮行刑教育規程左ノ通定ム

第一條　受刑者ノ教育ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ニ依ル

第二條　本令ニ依ル教育ハ受刑者ニ日常生活上必須ナル普通ノ知識技能ヲ授ケ國民道德ノ理解及實踐ニ資スルヲ以テ目的トス

第三條　年齡二十歲未滿刑期六月以上ノ受刑者ニハ教育ヲ施スヘシ但シ性能低劣ナル者ニハ此ノ限ニ在ラス

年齡三十歲未滿刑期一年以上ノ受刑者ニシテ學力普通學校第四學年修業程度ニ至ラサルモノ及其ノ他ノ刑務所長ニ於テ教育ノ必要アリト認ムル者ニハ教育ヲ施スコトヲ得

第四條　教育ハ簡易普通科及普通科ノ二科ニ分チ少年刑務所ニハ別ニ補習科ヲ置ク

第五條　簡易普通科ノ學科課程ハ簡易學校ノ程度トシ其ノ教科書ニ依リテ修身、國語、算術及朝鮮語ノ四科目ヲ教授ス但シ內地人ニハ朝鮮語ヲ除セサルコトヲ得

簡易普通科ヲ第一學級乃至第四學級ニ編制ス

第六條　普通科ノ學科課程ハ普通學校第五學年及第六學年ノ程度トシ其ノ教科書ニ依リテ修身、國語、算術及職業ノ四科目ヲ教授ス

普通科ヲ第五學級及第六學級ニ編制ス

第七條　補習科ノ修業年限ハ一年トシ二學期ニ分ツ

補習科ノ學科課程ハ高等小學校ノ程度トシ其ノ教科書ニ依リテ國語、算術、地理、國史及職業ノ五科目ヲ教授ス

補習科ヲ第七學級及第八學級ニ編制ス

高等小學校卒業程度以上ノ學力ヲ有スル者ノ爲特別學級ヲ編制スルコトヲ得

第八條　刑務所長ハ前三條ニ規定スル教科目ノ外ニ特ニ必要ト認ムル科目ヲ加フルコトヲ得但シ其ノ教授時數ハ第十一條ノ標準時數內ニ於テ按配スルモノトス

第九條　各學期ハ六箇月トシ每年四月一日及十月一日ニ始マリ九月三十日及翌年三月三十一日ニ終ル

第十條　免業日、日曜日其ノ他刑務所長ニ於テ特ニ必要ト認ムル場合ニ於テハ教授ヲ休止スルコトヲ得

第十一條　各科ノ教科目每週教授時數ノ標準左ノ如シ

	修身	國語	算術	職業	朝鮮語	地理	國史	計
簡易普通科	二	八	四	一	一	一	一	一六
普通科	二	六	四	二	一	一	一	一六
補習科	一	四	二	二	一	一	一	一二

第十二條　教育ヲ施スヘキ者ハ其ノ學力ニ從ヒ相當ト認ムル學級ニ編入ス

簡易普通科ヲ修業シタル者ハ普通科ニ、普通科ヲ修業シタル者ハ補習科ニ編入セラルル資格ヲ有スルモノトス

第十三條　教授ノ都合ニ依リ必要アルトキハ同一學級ニ付二以上ノ學組ヲ設ケ又ハ數學級ヲ就學人員少キトキハ二以上ノ學級ニ付複式教授ヲ行フコトヲ得

第十四條　各學期末ニハ考査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ハ進級又ハ修業セシム

前項ノ考査ニハ平素ノ學業成績ヲ參酌スヘシ成績ハ甲乙丙丁ニ分チ丙以上ヲ合格トス

第十五條　學期中途ト雖學業成績優秀ナル者ハ臨時ニ進級又ハ修業セシムルコトヲ得

第十六條　行狀不良其ノ他ノ事由ニ因リ他ノ就學者ノ教育ニ妨アリト認ムル者ニ對シテハ就學ヲ停止スルコトヲ得

第十七條　就學者ニハ監房內ニ於テ自習時間ヲ與ヘ適當ニ指導スヘシ

第十八條　教科書其ノ他ノ學用品ハ給與又ハ貸與スヘシ

第十九條　教師又ハ教誨師ハ教育ヲ擔任シ教育簿、教案簿及出席簿ヲ整理スヘシ

教育簿、教案簿及出席簿ハ別記第一號樣式乃至第三號樣式ニ依リ調製スヘシ

第二十條　刑務所長ハ教師又ハ教誨師ノ外ニ適當ト認ムル職員ヲシテ教育ニ當ラシムルコトヲ得

第二十一條　學期ノ開始及終了ハ相當ノ式ヲ以テ告知スヘシ

學期ノ開始及終了アリタルトキハ刑務所長ハ其ノ概要ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

前項ノ報告ハ別記第四號樣式及第五號樣式ニ依リ作成スヘシ

第二十二條　刑務所長ハ本令施行ノ爲必要ナル細則ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條　刑務所支所ニ於ケル教育事務ハ刑務所支所長ニ專行セシム

●假出獄取締規則

明治四十五年三月
總令第三十三號

假出獄取締規則左ノ通定ム

假出獄取締規則

第一條　假出獄ヲ許サレタル者ノ監督ハ釋放ノ當時其ノ者ノ住居ノ地ヲ管轄スル警察署長ニ於テ之ヲ爲シ其ノ者ノ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ノ檢事、刑務所長又ハ其ノ指揮ヲ受ケタル者ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

第二條　典獄假出獄ヲ許サレタル者ヲ釋放スルトキハ其ノ旨ヲ假出獄ヲ許サレタル者ノ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ノ檢事、刑務所長又ハ其ノ指揮ヲ受ケタル裁判所ノ檢事及監督警察署長ニ通報スヘシ

釋放セラルヘキ者ニ交付スル證票ニハ住居ノ地及監督警察署ニ到著スヘキ期限ヲ定メ之ヲ記載スヘシ

第三條　假出獄ヲ許サレタル者ハ前條ニ依リ證票ニ記載セラレタル期限迄ニ監督警察署ニ出頭シ證票ニ證印ヲ受クヘシ

天災、疾病其ノ他ノ事故ニ因リ前項ノ規定ニ從フコト能ハサルトキ又ハ其ノ責ニアラサルニ拘ハラス期ニ後レテ出頭シタル者ハ其ノ事由ヲ監督警察署ニ申立テ證明書ヲ受クヘシ

前項ノ證明書ハ監督警察署ニ提出スヘシ

第四條　假出獄ヲ許サレタル者ハ遲滯ナク監督警察署ニ職業其ノ他生計ニ關スル見込ヲ立テ之ヲ屆出ツヘシ

假出獄ヲ許サレタル者ノ保護ヲ引受ケタルモノトス

第五條　監督警察署ハ假出獄ヲ許サレタル者ヲシテ正業ニ就キ善良ヲ保タシムル爲必要ナル訓示ヲ爲シ又ハ之カ爲必要ナル行爲ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ヲ發シタルトキハ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ノ檢事及釋放シタル監獄ニ通報スヘシ

第六條　監督警察署ハ六月毎ニ假出獄ヲ許サレタル者ノ行狀ノ良否、職業ノ種別及勉否、生活ノ狀況、親族トノ關係其ノ他ノ事項ニ付キ調査書ヲ作リ之ヲ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ノ檢事及釋放シタル監獄ニ通報スヘシ

第七條　假出獄ヲ許サレタル者ノ監督ハ釋放シタル監獄ノ典獄ノ意見ヲ聽キ適當ナル者ニ之ヲ委任スルコトヲ得

前項ニ依リ委任ヲ受ケタル者ハ每月末日前條ニ揭ケタル事項ヲ監督警察署ニ屆出ツヘシ

第八條　假出獄ヲ許サレタル者轉住又ハ十日以上ノ旅行ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨ヲ監督警察署ニ屆出ツヘシ

第九條　轉住又ハ十日以上ノ旅行ヲ許可シタルトキハ監督警察署ハ旅券ヲ交付スヘシ但シ監督警察署ノ管轄區域內ニ轉住又ハ旅行スル場合ハ此ノ限ニ非ラス

第二條第二項及第三條ノ規定ハ前項ノ場合之ヲ準用ス

第十條　轉住ヲ許可シタルトキハ監督警察署ハ其ノ旨ヲ第二條第一項ノ檢事、釋放シタル監獄竝新ニ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ノ檢事及警察署ニ通報スヘシ

前項ノ場合ニハ關係書類ヲ新ニ監督警察署ニ送致スヘシ

第十一條　假出獄ヲ許サレタル者旅行ヲ爲シ住居ノ地ニ歸著シタルトキハ遲滯ナク監督警察署ニ屆出ツヘシ

第十二條　假出獄ヲ許サレタル者朝鮮外ニ轉住又ハ旅行ヲ爲サムトスルトキハ其ノ事由、轉住地又ハ行先地及旅行日數ヲ記載シテ監督警察署ノ許可ヲ受クヘシ

第九條ノ轉住又ハ旅行ヲ許可シタルトキハ監督警察署ハ旅券ヲ交付スヘシ但シ監督警察署ノ管轄區域內ニ轉住又ハ旅行スル場合ハ此ノ限ニ非ラス

第十三條　朝鮮外ニ轉住又ハ旅行ヲ許可セラレタルトキハ監督警察署ハ其ノ旨ヲ第二條第一項ノ檢事及釋放シタル監獄ニ通報スヘシ

第十四條　朝鮮外ニ轉住又ハ旅行ヲ許可セラレタル者轉住又ハ旅行ヲ中止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ監督警察署ニ屆出ツヘシ

第十五條　朝鮮外ニ旅行シタル者住居ノ地ニ歸著シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ監督警察署ニ屆出ツヘシ

朝鮮外ニ轉住シタル者再ヒ朝鮮ニ來リタルトキハ遲滯ナク住居ヲ定メ前項ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條　前二條ノ屆出ヲ受ケタル警察署ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告シ且第二條第一項

ノ檢事及釋放シタル監獄ニ通報スヘシ

第十七條　檢事及警察官ハ假出獄ヲ許サレタル者刑法第二十九條第一項ニ該ルコトヲ知リタルトキハ意見ヲ具シ朝鮮總督ニ報告スヘシ

警察署ノ爲ス報告ハ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院ノ檢事ヲ經由スヘシ

第十八條　朝鮮總督假出獄ノ處分ヲ取消シタルトキハ假出獄ヲ許サレタル者ノ所在ノ地又ハ住居ノ地ヲ管轄スル地方法院若ハ地方法院支廳ノ檢事又ハ其ノ在監スル監獄ニ通報シテ其ノ執行ヲ爲サシム

前項ノ場合ニ於テハ證票ヲ還納セシムヘシ

第十九條　假出獄ヲ取消サレタル者在監者ニ非サルトキハ檢事ハ刑事訴訟法第三百十九條第三項ニ依リ逮捕狀ヲ發スヘシ

第二十條　第十八條ノ執行ヲ爲シタル檢事又ハ監獄ハ其ノ旨ヲ第二條第一項ノ檢事、監督警察署及釋放シタル監獄ニ通報スヘシ

第二十一條　假出獄ヲ許サレタル者死亡シタルトキハ監督警察署ハ之ヲ第二條第一項ノ檢事及釋放シタル監獄ニ通報スヘシ

前項ノ通報ヲ受ケタル監獄ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第二十二條　本令ニ依リ交付スヘキ證明書及旅券ハ別記樣式ニ依ルヘシ

附　則

本令ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年統監府令第十九號ハ之ヲ廢止ス

第一號樣式（第三條及第九條ニ依リ交付スルモノ）用紙寸法適宜

假出獄者滯在證明書

本籍
住所（假出獄後住居ノ地）
氏　名
年月日生

一滯在ノ事由
一滯在ノ場所
一滯在ニ到著シタル　年　月　日
一滯在期間
假出獄取締規則第　條ニ依リ此ノ證明書ヲ交付ス
年　月　日
警察署名
官氏　名印

第二號樣式（第三條ニ依リ交付スルモノ）用紙縱四寸五分橫七寸

假出獄者旅券

本籍
住所（假出獄後住居ノ地）
氏　名
年月日生

一罪名
一刑名刑期
一假出獄期間　年　月　日【自明治　年　月　日至明治】
一旅行許可　年　月　日
一行先地名
一出發　年　月　日
【明治】　年　月　日迄ニ（行先地）ニ到著シ同　年　月　日迄ニ歸著スヘシ
假出獄取締規則第八條ニ依リ此ノ旅券ヲ交付ス
警察署名
官氏　名印
年　月　日

第三號樣式（第三條ニ依リ交付スルモノ）用紙寸法同上

假出獄者旅券

本籍
住所（假出獄後住居ノ地）
氏　名
年月日生

一罪名
一刑名刑期
一假出獄期間　年　月　日【自明治　年　月　日至明治】
一旅行許可　年　月　日
一行先地名
一出發　年　月　日
【明治】　年　月　日迄ニ（何地「最終地點」）ヲ出發スヘシ
假出獄取締規則第十二條ニ依リ此ノ證明書ヲ交付ス
警察署名
官氏　名印
年　月　日
注意事項
一途中天災、疾病其ノ他ノ事故ニ依リ豫定ノ旅行ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ其ノ處アルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ最寄ノ地ノ警察官ニ具申スヘシ
一朝鮮內ニ於テ此ノ證明書ヲ毀損亡失シタルトキハ速ニ所在地ノ警察署ニ具申スヘシ
一轉住ヲ止メタルトキハ遲滯ナク此ノ旅券ヲ還納スヘシ

一此ノ旅券ヲ毀損亡失シタルトキハ速ニ所在地ノ警察官署ニ具申スヘシ

一旅行ヲ止メ又ハ歸著シタルトキハ遲滯ナク此ノ旅券ヲ還納スヘシ

第四號樣式（第十三條ニ依リ朝鮮外ニ交付スルモノ）用紙寸法同上

證明書

本籍
住所（假出獄後住居ノ地）
氏　名
年月日生

一罪名
一刑名刑期
一假出獄期間　年　月　日【自明治　年　月　日】
一轉住許可　年　月　日
一移轉先地名
一出發　年　月　日
【明治】　年　月　日迄ニ（何地「最終地點」）ヲ出發スヘシ
假出獄取締規則第十二條ニ依リ此ノ證明書ヲ交付ス
警察署名
官氏　名印
年　月　日
注意事項
一朝鮮內旅行途中天災、疾病其ノ他ノ事故ニ依リ豫定ノ旅行ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ其ノ處アルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ最寄ノ地ノ警察官ニ具申スヘシ
一朝鮮內ニ於テ此ノ證明書ヲ毀損亡失シタルトキハ速ニ所在地ノ警察署ニ具申スヘシ
一轉住ヲ止メタルトキハ遲滯ナク住居ヲ定メ其ノ旨ヲ監督警察署ニ屆出ツヘシ

第五號樣式（第十三條ニ依リ朝鮮外ニ交付スルモノ）用紙寸法同上

證明書

本籍
住所（假出獄後住居ノ地）
氏　名
年月日生

一罪名
一刑名刑期
一假出獄期間　年　月　日【自明治　年　月　日】
一旅行許可　年　月　日
一旅行先地名
一旅行日數
一出發　年　月　日
【明治】　年　月　日迄ニ（何地「最終地點」）ヲ出發スヘシ
假出獄取締規則第十二條ニ依リ此ノ證明書ヲ交付ス
警察署名
官氏　名印
年　月　日
注意事項
一朝鮮內旅行途中天災、疾病其ノ他ノ事故ニ依リ豫定ノ旅行ヲ爲スコト能ハサルトキ又ハ其ノ處アルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ最寄ノ地ノ警察官ニ具申スヘシ
一朝鮮內ニ於テ此ノ證明書ヲ毀損亡失シタルトキハ速ニ所在地ノ警察署ニ具申スヘシ
一轉住ヲ止メタルトキハ遲滯ナク住居ヲ定メ其ノ旨ヲ監督警察署ニ屆出ツヘシ

●假出獄思想犯處遇規程

昭和十二年四月
總令第四十九號

假出獄思想犯處遇規程左ノ通定ム

假出獄思想犯處遇規程

第一條　治安維持法ノ罪ヲ犯シタル者ノ假出獄ニ付テハ本令ニ定ムルモノノ外一般ノ例ニ依ル

第二條　刑務所ノ長朝鮮總督ニ對シ假出獄ノ具申ヲ爲シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ本人ノ住居地ヲ管轄スル保護觀察所ニ通知スヘシ

第三條　釋放セラルヘキ者ニ交付スル證票ニハ住居地ニ到著スヘキ期限ヲ定メ之ヲ記載スヘシ

第四條　本人ヲ釋放スル場合ニ於テハ成ルヘク保護司又ハ保護ヲ引受ケタル者ニ之ヲ引渡スヘシ

第五條　假出獄ヲ許サレタル者ハ朝鮮思想犯保護觀察令ニ依ル保護觀察ニ付セラレザルコト確定シタル者ヲ除クノ外其ノ住居地ヲ管轄スル保護觀察所ノ監督ヲ受ク

假出獄ヲ許サレタル者保護觀察ニ付セラレザルコト確定シタルトキハ保護觀察所ハ速ニ其ノ旨ヲ本人ノ住居地ヲ管轄スル警察署ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ本人ハ遲滯ナク其ノ住居地ヲ管轄スル警察署ニ出頭シテ證票ニ認印ヲ受ケヘシ

第六條　保護觀察所ノ監督ヲ受ケル者ノ處遇ニ關シテハ第七條乃至第二十一條ノ規定ニ依ル

第七條　本人ハ證票ニ記載セラレタル期限迄ニ住居地ニ到著シ遲滯ナク證票ヲ保護司ニ呈示シテ認印ヲ受クヘシ

天災、疾病其ノ他ノ事由ニ依リ前項ノ規定ニ從フコト能ハサルトキハ遲滯ナク其ノ事由ヲ最寄ノ地ノ警察官ニ具申シ證明書ヲ受ケ之ヲ保護司ニ提出スヘシ

第八條　保護觀察所本人ニ對シ思想犯保護觀察法第三條又ハ第四條ノ處分ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ處分ヲ取消シタルトキハ其ノ旨ヲ本人ノ住居地ヲ管轄スル警察署ニ通知スヘシ

第十五條　本人ノ特別ノ請求ニ因リ又ハ其ノ利益ノ為メ必要アリト認ムルトキハ監獄官吏ハ本人ニ代リ又ハ本人ト共ニ其ノ親族又ハ保護者ニ対シ本人ノ身上ニ関スル事項ヲ通知スルコトヲ得

第十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄官吏ハ速ニ其ノ親族又ハ保護者ニ対シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄官吏ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄長ニ報告スヘシ

第十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル地方裁判所検事正ニ報告スヘシ

第十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第二十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第三十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第四十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第五十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第六十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第七十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第八十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第九十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百二十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百三十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百四十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百五十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百六十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百七十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十二條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十三條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十四條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十五條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十六條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十七條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十八條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百八十九條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百九十條　本人ノ疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ監獄長ハ速ニ其ノ旨ヲ監獄ノ所在地ヲ管轄スル区裁判所ニ報告スヘシ

第百九十一條　本人ノ疾病ニ罹リ又

第二號書式（用紙規定第五條）

（表）

拘留又ハ役場留置期間

住所

氏名

年　月　日生

假出獄証票

（裏）

（五寸五分）

（八）

假出獄期間

假出獄期間ノ許可ヲ受ケ又ハ其ノ期間ヲ延長セラレタル者ハ假出獄期間中ニ於テ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一　假出獄中ハ假出獄証票ヲ常ニ所持スヘシ

二　假出獄中ハ住居ヲ移転シ又ハ旅行セントスルトキハ豫メ監獄ノ長ノ許可ヲ受クヘシ

三　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ住ミ且ツ其ノ住居ニ於テ善良ノ行状ヲ保持スヘシ

四　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

五　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

六　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

七　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

八　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

九　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十一　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十二　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十三　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十四　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十五　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十六　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十七　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十八　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十九　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

二十　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

假出獄期間ノ許ヲ受ケ又ハ其ノ期間ヲ延長セラレタル者ハ假出獄期間中ニ於テ左ノ事項ヲ遵守スヘシ

一　假出獄中ハ假出獄証票ヲ常ニ所持スヘシ

二　假出獄中ハ住居ヲ移転シ又ハ旅行セントスルトキハ豫メ監獄ノ長ノ許可ヲ受クヘシ

三　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ住ミ且ツ其ノ住居ニ於テ善良ノ行状ヲ保持スヘシ

四　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

五　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

六　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

七　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

八　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

九　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十一　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十二　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十三　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十四　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十五　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十六　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十七　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十八　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

十九　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

二十　假出獄中ハ假出獄証票ニ記載シタル住居ニ於テ常ニ生計ヲ営ムヘシ

朝鮮監獄令

第一章　総則

第一條　朝鮮ニ於ケル監獄ノ種類ハ左ノ如シ

一　刑務所

二　監獄署

第二條　刑務所ハ懲役、禁錮又ハ拘留ノ執行ヲ為ス所トス

監獄署ハ未決囚ヲ拘禁シ又ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ刑務所ニ送致スル迄ノ間拘禁スル所トス

第三條　刑務所ニ収容スヘキ者ハ監獄署ニ収容スヘキ者ヲ除クノ外総テ之ヲ収容ス

第四條　刑務所ニ収容スヘキ者ト雖モ病ノ為メ刑務所ニ収容スルヲ不適当ト認ムルトキハ監獄署ニ収容スルコトヲ得

第五條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第六條　刑務所ニ収容スヘキ者ト雖モ監獄署ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ監獄署ニ収容スルコトヲ得

第七條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第八條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第九條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十一條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十二條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十三條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十四條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十五條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十六條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十七條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十八條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第十九條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第二十條　監獄署ニ収容スヘキ者ト雖モ刑務所ニ収容スルヲ適当ト認ムルトキハ刑務所ニ収容スルコトヲ得

第二章　監獄

第一節　監獄官吏

第二十一條　監獄ニ左ノ官吏ヲ置ク

典獄　一人

看守長　一人

看守　数人

第二十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ掌理シ所属官吏ヲ指揮監督ス

第二十三條　看守長ハ典獄ノ命ヲ受ケ庶務ヲ掌リ且ツ看守ヲ指揮監督ス

第二十四條　看守ハ上官ノ命ヲ受ケ囚人ノ戒護ニ従事ス

第二十五條　典獄ハ判任官ヲ以テ充ツ

看守長ハ判任官又ハ奏任官ヲ以テ充ツ

看守ハ判任官ヲ以テ充ツ

第二十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第二十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第二節　監獄官吏ノ職務

第二十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第二十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第三十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第四十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第五十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第六十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第七十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第八十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第九十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十一條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十二條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十三條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十四條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十五條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十六條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十七條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十八條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百十九條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

第百二十條　典獄ハ監獄ノ事務ヲ処理スル為メ必要ト認ムルトキハ他ノ監獄ノ官吏ヲ兼掌セシムルコトヲ得

様式第一號

男女	氏名	族称	備考
原籍出生地住所	年齢 寸 分	年 月 日生	指紋番號

指示	指	中	指	親	指	小	指	拇	指
左手									
右手									

折　大正　年　月　日　作成　大正　年　月　日決務局檢査

様式第二號

氏名	身分	職業	稱呼又ハ雅名	本籍住所ノ別	分類番號

原籍　出生地

住所　(折)　年齢　年月日生

1, 示指	2, 中指	3, 親指	4, 小指	5, 拇指
(折)				

左手

6, 示指	7, 中指	8, 親指	9, 小指	10, 拇指
(折)				

右手

大正　年　月　日　=於テ作成　㊞
(折)
大正　年　月　日　=於テ分類　備考
大正　年　月　日　=於テ檢査

様式第三號

指示手左	日其ノ出監執刑言渡年出獄月及ノ猶豫ノ	刑ノ言渡年月日	罰金又ハ科料ノ言渡年月日	刑名	名罰	判決ヲ受ケタル氏名ヲ
名氏人囚番						
徴特						
考備						

右手拇指

白	尺寸分	總八寸六分　横六寸一分
紙	尺寸分	
考	留	

言渡ヲ受ケタル判決ノ年月日	言渡官署	罪名	刑名刑期	執行官署	出監年月日	摘要

様式第四號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

指紋押捺未濟者數　名　收收　分

指紋原紙送付ノ件　月分

第一號指紋原紙	第二號指紋原紙	第三號指紋原紙
追加ノ分	收收	收收

監獄　又ハ分監

様式第五號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

何某前科發見ニ關シ指紋番號存否ノ件

年　監獄　又ハ分監

監獄作成日

様式第六號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

指紋押捺未濟者數　名　收收　分

指紋原紙受刑追加ノ旨

番號	氏名	年月日監獄作成	罪名	刑名刑期	出獄年月日

監獄　又ハ分監

様式第七號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

指紋押捺者刑期終了前出監ノ旨

番號	氏名	年月日監獄作成	罪名	刑名刑期	出獄事由	出獄年月日
				～依刑ノキヲノ年出獄ス月終了ニ日		

監獄　又ハ分監

様式第八號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

指紋押捺者受刑中左ノ異動報告

番號	氏名	年月日監獄作成	原罪名	刑名刑期	言渡年月日	出獄事由	出獄年月日	備考
			刑ノ執行中其ノ刑ヲ變更ニ非ズシテ出獄シタル			變更		

監獄　又ハ分監

様式第四號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

指紋押捺未濟者數	指紋原紙受刑追加ノ旨	第一號指紋原紙	第二號指紋原紙	第三號指紋原紙
名	收收	追加ノ分	收收	收收

指紋原紙送付ノ件　月分

監獄　又ハ分監

様式第五號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

何某前科發見ニ關シ指紋番號存否ノ件

年　監獄　又ハ分監

監獄作成日

様式第六號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

指紋押捺未濟者數　名　收收　分

指紋原紙受刑追加ノ旨

第一號指紋原紙	第二號指紋原紙	第三號指紋原紙
追加ノ分	收收	收收

指紋原紙送付ノ件　月分

監獄　又ハ分監

様式第七號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

指紋押捺者刑期終了前出監ノ旨

番號	氏名	年月日監獄作成	罪名	刑名刑期	出獄事由	出獄年月日
				～依刑ノキヲノ年出獄ス月終了ニ日		

監獄　又ハ分監

様式第八號（用紙半紙形）

朝鮮總督府卿中　年　月　日

大正

指紋押捺者受刑中左ノ異動報告

番號	氏名	年月日監獄作成	原罪名	刑名刑期	言渡年月日	出獄事由	出獄年月日	備考
			刑ノ執行中其ノ刑ヲ變更ニ非ズシテ出獄シタル			變更		

監獄　又ハ分監

第十五條　第十條ノ規定ハ刑事訴訟法ニ依リ拘禁セラレタル者ニ之ヲ準用ス

第十條　第一審ノ裁判ニ不服アル者ハ控訴ヲ申立ツルコトヲ得

第三章　監獄

第一款　監獄ノ種類

第一條　監獄ハ未決監、既決監、懲治監、女監、病監ノ五種トス

第二條　未決監ハ刑事訴訟法ニ依リ拘禁セラレタル者ヲ収容スル所トス

第三條　既決監ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ収容スル所トス

第四條　懲治監ハ懲治処分ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ収容スル所トス

第五條　女監ハ女子ヲ収容スル所トス

第六條　病監ハ病者ヲ収容スル所トス

第七條　未決監ト既決監トハ之ヲ区別シ男女ハ之ヲ分離ス

第八條　女監ニハ男子ヲ入ルルコトヲ得ス

第九條　病監ニハ病者ノ外之ヲ入ルルコトヲ得ス

第十條　懲治監ニハ懲治処分ノ言渡ヲ受ケタル者ノ外之ヲ入ルルコトヲ得ス

第十一條　監獄ニ入ルル者ハ身体ヲ検査シ及ヒ所持品ヲ領置ス

第十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ健康ノ検査ヲ為ス

第十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ氏名、年齢、職業、住居、罪名、刑期、犯罪ノ原因及ヒ前科ノ有無ヲ調査ス

第十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ指紋ヲ採取ス

第十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ写真ヲ撮影ス

第十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ人相、体格、特徴、刺青、痣、黒子、疵痕、癖、言語、挙動、経歴、家族、資産、交友、性行、嗜好、学業、技能、思想、宗教、犯罪ノ動機、犯罪後ノ情況、改悛ノ状況、再犯ノ虞ノ有無、釈放後ノ生計ノ方法、帰住ノ地方、引受人ノ有無其ノ他参考ニ資スヘキ事項ヲ調査ス

第十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持品ヲ領置ス

第十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第三十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第三十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第三十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第三十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第三十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第三十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第三十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第三十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第三十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第三十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第四十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第四十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第四十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第四十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第四十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第四十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第四十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第四十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第四十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第四十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第五十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第五十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第五十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第五十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第五十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第五十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第五十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第五十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第五十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第五十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第六十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第六十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第六十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第六十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第六十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第六十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第六十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第六十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第六十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第六十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第七十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第七十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第七十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第七十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第七十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第七十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第七十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第七十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第七十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第七十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第八十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第八十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第八十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第八十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第八十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第八十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第八十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第八十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第八十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第八十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第九十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第九十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第九十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第九十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第九十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第九十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第九十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第九十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第九十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第九十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百二十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百二十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百二十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百二十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百二十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百二十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百二十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百二十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百二十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百二十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百三十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百三十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百三十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百三十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百三十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百三十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百三十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百三十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百三十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百三十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百四十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百四十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百四十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百四十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百四十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百四十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百四十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百四十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百四十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百四十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百五十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百五十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百五十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百五十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百五十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百五十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百五十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百五十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百五十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百五十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百六十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百六十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百六十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百六十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百六十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百六十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百六十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百六十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百六十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百六十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百七十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百七十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百七十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百七十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百七十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百七十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百七十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百七十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百七十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百七十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百八十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百八十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百八十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百八十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百八十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百八十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百八十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百八十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百八十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百八十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百九十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百九十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百九十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百九十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百九十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百九十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第百九十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第百九十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第百九十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第百九十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百二十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百二十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百二十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百二十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百二十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百二十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百二十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百二十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百二十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百二十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百三十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百三十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百三十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百三十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百三十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百三十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百三十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百三十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百三十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百三十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百四十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百四十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百四十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百四十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百四十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百四十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百四十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百四十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百四十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百四十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百五十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百五十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百五十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百五十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百五十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百五十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百五十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百五十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百五十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百五十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百六十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百六十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百六十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百六十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百六十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百六十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百六十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百六十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百六十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百六十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百七十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百七十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百七十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百七十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百七十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百七十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百七十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百七十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百七十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百七十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百八十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百八十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百八十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百八十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百八十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百八十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百八十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百八十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百八十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百八十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百九十條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百九十一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百九十二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百九十三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百九十四條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百九十五條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第二百九十六條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第二百九十七條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第二百九十八條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第二百九十九條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル衣類ヲ領置ス

第三百條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル書籍ヲ領置ス

第三百一條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル物品ヲ領置ス

第三百二條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持スル金品ヲ領置ス

第三百三條　監獄ニ入ルル者ハ入監ノ時ニ於テ其ノ所持ス

第十五條 非現役ノ刑事監獄第三款第一款監獄令

第十五條 非現役ノ刑事監獄第三款第一款監獄令

附表第一號　身體診査基準表

區別	等位	甲	乙	丙	丁	戊
身長	（男）（女）	一・六〇以上 一・五一以上	一・五〇以上 一・四四以上	一・四五以上 一・四一以上	一・四五未滿	繼續的ニ休養ヲ要スルモノ
身長ヲ以テ（男）（女）重ヲ除シ（女）タル商		〇・三二以上	〇・三〇以上 〇・二七以上	〇・三〇未滿 〇・二七未滿		
胸圍	身長ノ半以上ノモノ	同上	身長ノ半ニ達セザルモノ			
榮養良否		稍良	普通	不良		
視力及辨色力	各眼共裸眼ノ視力一・〇以上	各眼共裸眼ノ視力〇・四以上ニシテ矯正ニ依リ視力一・〇以上	裸眼ノ視力〇・三以上、色ヲ辨ズルモノ	裸眼ノ視力〇・三ニ達セザルモノ		
聽力		個耳ノ聾聽	兩耳ノ聾聽	個耳ノ聾		
齒牙	上下顎ヲ合シ四筒以内ノ高度ノ齲齒ヲ有スルモノ	上下顎ヲ合シ八筒以内ノ高度ノ齲齒又ハ缺齒	上下顎ヲ合シ十二筒以内ノ齲齒又ハ缺齒	上下顎ヲ合シ十三筒以上ノ齲齒又ハ缺齒		
疾病及ノ他ノ共通 眼ノ部		輕キ斗ラホーム夜盲	中等度ノトラホーム 重キトラホーム盲			
鼻耳ノ部		輕度ノ鼻腔又ハ副鼻腔ノ慢性病	鼻腔又ハ副鼻腔ノ慢性病中等度ノ慢性疾病	重症ノ中耳又ハ內耳ノ慢性疾病		
頭頸ノ部		吃吶ノ甚シキモノ	鼻ノ缺損、口蓋破裂ノ顏面神經麻痺			
頸部ノ慢性疾病ニテ機能障碍ヲ來スモノ		慢性腹膜炎ニテ腹水ヲ證スルモノ	慢性病ニテ榮養狀態ノ著シキ斜頸ニテ運動障碍アルモノ	重キヘルメニヤ又ハ脫肛ニテ勞役ニ堪ヘザルモノ		
胸廓ノ變形ニテ呼吸ニ妨ゲナキモノ		輕キ脊柱側彎又ハ後彎ニテ障碍ノ認メラルモノ				
胸膜心臟大血管ノ慢性疾病ニテ勞役ニ堪ヘザルモノ		慢性腹膜炎又ハ肺結核ニテ勞役ニ堪ヘザルモノ		病ニテ榮養狀態ノ著シキ者又ハ脫肛ニテ勞役ニ堪ヘザルモノ		
知覺		稍不完全ナルモノ	不完全ナルモノ	缺亡シ又ハ著シク鈍麻セルモノ		
領會		稍不良ナルモノ	不良ナルモノ	良ナル錯誤ノ著シキモノ	缺亡シ又ハ著シク錯誤ヲ有スルモノ	
注意		稍不良ナルモノ	不良ナルモノ	良ナル散亂ノ著シキモノ	缺亡シ又ハ著シク散亂ヲ有スルモノ	
記憶		稍薄弱ナルモノ	薄弱ナルモノ	減退ノ著シキモノ	缺亡シ又ハ著シク減退ヲ有スルモノ	
聯想		輕キ遲滯ナルモノ	遲滯ナルモノ	著シキ遲滯ナルモノ	著シク遲滯ヲ有スルモノ	
思索		稍薄弱ナルモノ	薄弱ナルモノ	著シキ薄弱ナルモノ	著シク薄弱ヲ有スルモノ	
判斷		稍鈍ナルモノ	遲鈍ナルモノ	著シク錯誤ヲ有スルモノ	著シク錯誤ヲ有スルモノ	
感情		稍減弱又ハ亢進ノ傾アルモノ	輕キ減弱又ハ亢進ノ傾アルモノ	重キ減退又ハ亢進ノ傾アルモノ	著シク減退又ハ亢進ノ傾アルモノ	
意志			減弱又ハ亢進ノ傾アルモノ	著シク減退又ハ亢進ノ傾アルモノ	著シク昏迷又ハ興奮ノ傾アルモノ	
其ノ他病的症狀			躁病性、憂鬱性、昏迷性、妄想性、錯亂性、其ノ他ノ異常性狀ヲ有スルモノ			

異常	四肢	掛指又ハ他ノ四指强剛又ハ缺損ノ爲大ナル關節ニ強剛又ハ著シク勞作ニ堪ヘザル程度ノ畸形ヲ有スルモノ	一手一足全指又ハ全趾ヲ缺キ又ハ著シク勞作ニ堪ヘザル程度ノ畸形ヲ有スルモノ		
	其ノ他	筋肉又ハ神經ノ疾病ニテ著シク勞作ニ堪ヘザル程度ノ花柳病ニテ大ナル勞作ニ堪ヘザルモノ	皮膚病ニテ著シク勞作ニ堪ヘザルモノ 脂肪過多		

備考

一　等位ノ決定ハ此ノ標準ニ據ルモノナルモ概略ニ過キザルヲ以テ各機能障碍ノ程度ハ類似ノ各項ヲ斟酌シテ相入ルモノトス

二　未丁年者ノ身長・體重・胸圍ノ標準ハ其ノ年齡ニ從ヒ適當ニ判斷シテ定ムルコト

附表第二號　精神診査基準表

區別	等位	普通	稍異常	異常
知覺		稍不完全ナルモノ	不完全ナルモノ	缺亡シ又ハ著シク鈍麻セルモノ
領會		稍不良ナルモノ	不良ナルモノ	良ナル錯誤ノ著シキモノ
注意		稍不良ナルモノ	不良ナル散亂ノ著シキモノ	良ナル散亂ノ著シキモノ
記憶		稍薄弱ナルモノ	薄弱ナル減退ノ著シキモノ	著シキ減退ヲ有スルモノ
聯想		輕キ遲滯ナルモノ	遲滯ナル錯誤ノ著シキモノ	著シキ遲滯ヲ有スルモノ
思索		稍薄弱ナルモノ	薄弱ナル雜亂ノ著シキモノ	著シク雜亂ヲ有スルモノ
判斷		稍鈍ナルモノ	遲鈍ナル錯誤ノ著シキモノ	著シク錯誤ヲ有スルモノ
感情		稍減弱又ハ亢進ノ傾アルモノ	輕キ減弱又ハ亢進ノ傾アルモノ	重キ減退又ハ亢進ノ傾アルモノ
意志			減弱又ハ亢進ノ傾アルモノ	著シク減退又ハ亢進ノ傾アルモノ
其ノ他病的症狀			躁病性、憂鬱性、昏迷性、妄想性、錯亂性、其ノ他ノ異常性狀ヲ有スルモノ	

參考事項

遺傳　直系、傍系血族中、精神異常、精神病、神經病、異常氣質、大酒、自殺、犯罪、難聞、畸形、等ノ血族結婚ノ有無

發育狀態　少年期　夜驚、夢遊、遺尿、痙攣、疾病、生活程度等

發育及生殖	學事	教育程度、修業ノ勤惰、修得困難ノ科目、好ム科目等
	職業	種類、業務態否、職業ノ轉換、其ノ理由等
	性癖	處世、躁暴、小心、意思薄弱、忿怒、氣儘等
現在狀態	體格	視覺、歩行ノ狀態、體格等
	嗜癖	酒、女等
既往病歷	經過	生計ノ良否、兩親ノ有無、教育ノ資缺、朋友、土地ノ風習等
	病名	經過、輕重、治療法等
其ノ他		

●朝鮮行刑累進處遇規則

昭和十二年十一月總督令第百七十八號

朝鮮行刑累進處遇規則左ノ通定ム

朝鮮行刑累進處遇規則

第一章　總則

第一條　本令ハ受刑者ノ改悛ヲ促シ其ノ更生ヲ得セシムル爲奮勵努力ノ程度ニ從ヒ累進的ニ處遇ヲ緩和シ受刑者ヲシテ漸次社會生活ニ適應セシムルヲ以テ其ノ目的トス

第二條　本令ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヲ除クノ外懲役受刑者ニ之ヲ適用ス

一　執行スベキ刑期一年ニ滿タザル者

二　滿六十五歲以上ニシテ立業ニ堪ヘザル者

三　雜居婦

四　不具廢疾其ノ他心身ノ障礙ニ因リ共同動作ヲ爲ス能ハズ且作業ニ適セザル者

五　說諭スルニ思想ノ抱懷者ニシテ其ノ思想ヲ拋棄スルニ至ラザル者

第三條　本令ノ適用ヲ受クル者ノ處遇ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外朝鮮監獄令施行規則ニ依ル

第二章　受刑者ノ分類

第四條　新ニ入監スル者アルトキハ其ノ個性、心身ノ狀況、境遇、經歷、教育程度其ノ他身上ニ關スル調査ヲ爲シ成ルベク之ヲ獨居拘禁ニ付スベシ

前項ノ規定ニ依ル調査ノ期間ハ二月ヲ超ユルコトヲ得ズ

第五條　受刑者ノ個性及心身ノ狀況ニ付テハ醫學、心理學、教育學、社會學等其ノ判斷ヲ爲スニ必要ナル知識ヲ基礎トシテ之ヲ調査スベシ

第六條　身上調査中ノ受刑者ノ取扱ハ左ノ各號ニ據ルベシ

一　成ルベク個性ノ發現ヲ阻止セザルコトニ注意スルコト

二　手工作業ヲ課シ適性、能力等ヲ賦課スベキ作業ヲ定ムルニ必要ナル事項ヲ觀察スルコト

三　作業ノ賦課及轉業ニ關スル希望ハ之ヲ許サザルコト

第七條　刑務所長ハ身上調査上必要アルトキハ訴訟記錄ヲ借覽シ又ハ府廳、邑面事務所、裁判所、檢事局、警察官署、學校、保護團體、親族、雇傭關係者等ニ照會シテ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第八條　身上調査ニ付テハ身上調査表ヲ備ヘ之ニ必要事項ヲ記入スベシ

第九條　身上調査ヲ了リタルトキハ刑務所長ハ本人ニ對シ本令ヲ適用スベキヤ否ヲ決定スベシ

刑務所長ハ本令ノ適用ヲ受クル者ニ對シ本令ノ趣旨ヲ說示スベシ

第十條　本令ヲ適用スベキ受刑者ハ之ヲ初犯者及累犯者ニ分類シ又仍犯、年齡、刑期其ノ他身上調査ニ依リ記メタル結果ニ基キ處遇上相當ナル分類ヲ爲スベシ

第十一條　第一項ニ掲ゲル第二級以上ノ受刑者ニ付テハ前項ノ規定ニ依ル分類ヲ爲サザルコトヲ得

第三章　累進處遇

第一節　階級及編入

第十一條　處遇ハ左ノ階級ニ分チテ之ヲ爲ス

第四級

第三級

第二級

第一級

前項ノ階級ヲ表示スル爲各受刑者ニ徽章ヲ使用セシム

第十二條　受刑者ハ第四級ヨリ順次各階級ヲ經テ之ヲ進級セシム

責任觀念ニ厚ク共同生活ニ適スル見込アル者ハ刑務官會議ノ議ヲ經テ前項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ上位ノ階級ニ進級セシムルコトヲ得

第十三條　本令ノ處遇ヲ受クル受刑者ノ移送ヲ受ケタルトキハ之ヲ前刑務所ニ於ケルト同一ノ階級ニ編入スベシ但シ刑務所長必要アリト認メタルトキハ刑務官會議ノ議ヲ經テ別ニ其ノ所屬階級ヲ定ムルコトヲ得

第十四條　刑ノ執行停止ノ取消ニ因リ收容シタル受刑者又ハ第二條第三號乃至第五號ノ事由止マタル者ニシテ更ニ本令ノ規定ニ依ル處遇ヲ爲スニ至リタル者ノ階級編入ニ付テハ前條ノ規定ヲ準用ス

假釋放ノ取消ニ因リ收容シタル受刑者ハ新ニ入監シタル者ト看做ス

第二節　累進

第十五條　階級ノ累進ハ各階級ニ付定メタル一定ノ責任點數ノ全部ヲ第十七條ノ規定ニ依ル毎月ノ行刑成績ニ因ル所得點數ヲ以テ消却シタルトキ之ヲ行フ但シ人格點ノ合計點數カ其ノ階級ニ於ケル責任點數ノ二分ノ一ニ滿タザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條　各階級ニ於ケル責任點數ハ左ノ區分ニ從ヒ之ヲ定ム

一　初犯者　刑期ヲ月ニ換算シタルモノヲ以テ各階級ノ責任點數トス

二　累犯者　刑期ヲ月ニ換算シタルモノヲ二・五點ニ乘ジテ得タル積ヲ以テ各階級ノ責任點數トス

前項ノ規定ニ依ル決定ハ直ニ之ヲ本人ニ告知スベシ

第二十條　進級シタル者ニ對シテハ其ノ所屬階級ニ於ケル處遇ノ內容ヲ開示シ各自ノ負擔スベキ責任ヲ付之カ遂行ヲ誓約セシムベシ

第二十一條　刑務所長ハ責任點數ヲ全部消却セザル受刑者ニ對シ情狀ニ因リ刑務官會議ノ議ヲ經テ一定ノ條件ノ下ニ假ニ進級セシムルコトヲ得受刑者其ノ條件ヲ履行セザルトキハ原級ニ復セシメ其ノ條件ヲ履行シタルトキハ進級ヲ確定スベシ

第二十二條　責任點數ヲ全部消却シタル受刑者ニ對シ進級ヲ尙早ト認メタルトキハ刑務官會議ノ議ヲ經テ六月以內ニ於テ滯級セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ所得點數ノ計算ヲ爲サズ

第二十三條　受刑者ニ對シテハ一定ノ得點表ヲ交付シ本人ヲシテ毎月所得點數ヲ記入セシムベシ

第四章　拘禁及戒護

第二十四條　第四級及第三級ノ受刑者ハ之ヲ雜居拘禁ニ付ス但シ特別ノ必要アル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條　第二級以上ノ受刑者ハ晝間之ヲ雜居セシメ夜間ハ成ルベク之ヲ獨居拘禁ニ付ス

第二十六條　第一級ノ受刑者ハ之ヲ特別ノ場所ニ收容スルコトヲ得

前項ノ場所ニ於テハ其ノ居房ニ施錠セザルコトヲ得

第二十七條　第一級ノ受刑者ニ對シテハ特別ノ事情ナキ限リ檢身及居房搜檢ヲ行フコトナシ

第二十八條　第一級ノ受刑者ハ刑務所ノ規律ニ違ヒザル範圍內ニ於テ交談ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　第一級ノ受刑者ニ對シテハ休憩時間中刑務所內ノ指定シタル場所ニ於テ自由ニ遊歩セシムルコトヲ得

第三十條　第一級ノ受刑者ハ刑務所長ニ對シ共ノ階級ニ於ケル秩序維持ニ關シ全責任ヲ負ヲ

受刑者中前項ノ點ノ決定ニ依ル責任ヲ履行セザル者アルトキハ其ノ全員又ハ一部ニ對シ一定ノ期間本令ニ定メタル處遇ノ全部又ハ一部ヲ停止スルコトヲ得

第三十一條　身上調査ヲ終リタル受刑者ニ對シテハ其ノ受刑期間中就業セシムベキ作業ヲ課ス

第三十二條　第四級及第三級ノ受刑者ニ對シテハ輕業ヲ許サズ但シ處遇上其ノ他特ニ必要アリト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條　受刑者ニ對シテハ每月作業賞與金月額計算高中左ノ範圍內ニ於テ之ヲ自己ノ用途ニ使用セシムルコトヲ得

一　第三級ノ受刑者ニ對シテハ四分ノ一以內

二　第二級ノ受刑者ニ對シテハ三分ノ一以內

三　第一級ノ受刑者ニ對シテハ二分ノ一以內

第三十四條　第二級以上ノ受刑者ニ對シテハ自己ノ作業用具ヲ使用セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル作業用具ヲ購入スル爲必要アルトキハ休業賞與金計算高ヲ使用セシムルコトヲ得

第三十五條　第二級以上ノ受刑者ニシテ其ノ課セラレタル作業ニ修熟シタル者ニ對シテハ必要ニ依リ特ニ輕業ヲ許スコトヲ得

第三十六條　第一級ノ受刑者ノ就業ニ付テハ戒護者ヲ付セザルコトヲ得

第六章　敎化

第三十七條　第四級及第一級ノ受刑者ニ對シテハ主トシテ筒別敎誨ヲ行フベシ

第三十八條　ラヂオ及蓄音器ノ聽取ハ第三級以上ノ受刑者ニ限リ之ヲ許シ其ノ回數ハ第三級ニ於テハ每月二回ヲ加フルモノトス

每月一回ヲ加フルモノトス

敎化上特ニ必要アリト認メタルトキハ前項ノ規定ニ依ル制限ニ依ラザルコトヲ得

第三十九條　第二級以上ノ受刑者ニ對シテハ每月二回以內ニ於テ集會ヲ爲サシムルコトヲ得但少年受刑者ニ付テハ回數ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

集會ニハ刑務所長、敎誨師、敎師其ノ他ノ職員之ニ立會フベシ

第四十條　第一級ノ受刑者ニ對シテハ圖書室ニ於テ文書圖畫ノ閱讀ヲ許ス

圖書室ハ適當ナル新聞紙及雜誌ヲ備付クルコトヲ得

第四十一條　第二級以上ノ受刑者ニ對シテハ每月二回以內ニ於テ鏡技、遊戲又ハ運動ヲ行ハシムルコトヲ得但少年受刑者ニ付テハ回數ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第四十二條　第三級以上ノ少年受刑者ニ對シテハ自己ノ學用品ヲ使用セシムルコトヲ得

第七章　作業

第四十三條　受刑者ノ給養ハ階級ノ進ムニ從ヒ之ニ相應セシム但シ其ノ糧食、飲料其ノ他健康ヲ保持スルニ必要ナルモノハ階級ニ依リ之ヲ區別スルコトナシ

第四十四條　第二級以上ノ受刑者ニ著用セシムベキ衣類ハ淺葱色トス

第四十五條　第一級ノ受刑者ニ對シテハ其ノ居房ニ花卉又ハ書畫ノ備付ヲ許スコトヲ得

第二級以下ノ少年受刑者ニ付亦同ジ

第五十條　自己ノ用途ニ使用セシムルコトヲ得ル物品ノ品目及數量ニ付テハ各階級ノ區分ニ從ヒ刑務所長朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムルモノトス

第九章　累進ノ審査

第五十一條　累進ニ關シ刑務官會議ノ議ニ付スベキ事項ヲ審査スル爲刑務所ニ累進準備會ヲ置ク

累進準備會ハ每月一回以上定時及臨時ニ之ヲ開催シ主トシテ受刑者ノ身上關係及人格竝ニ所得點數ヲ審査シ且受刑者ノ分類、階級ノ編入、進級、進級ノ停止及階級ノ低下ニ關スル意見ヲ定ムベシ

第五十二條　累進準備會ハ看守長、保健技手、敎誨師、敎師、作業技師、作業技手及看守ヲ以テ之ヲ組織ス

第五十三條　累進準備會ノ決議ハ多數決ニ依ル

前項ノ決議ハ速ニ刑務所長ニ之ヲ報告スベシ

第五十四條　本章ニ規定スルモノノ外累進準備會ニ關シ必要ナル事項ハ刑務所長之ヲ定ムベシ

第十章　進級ノ停止及階級ノ低下

第一節　進級ノ停止

第五十五條　受刑者紀律ニ違ヒタルトキハ情狀ニ因リ刑務官會議ノ議ヲ經テ三月以內ニ於テ進級ヲ停止スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ所得點數ノ計算ヲ爲サズ

第五十六條　刑務所長進級ノ停止ヲ爲サントスルニ當リ情狀顯著スベキモノアルトキハ相當期間ヲ定メ進級ノ停止ノ言渡ヲ猶豫スルコトヲ得猶豫期間中再ビ紀律ニ違ヒタルトキハ其ノ進級停止ノ言渡ヲ爲シ紀律ニ違フコトナク其ノ期間ヲ經過シタルトキハ其ノ言渡ヲ爲サズ

第五十七條　進級停止ノ處分ヲ受ケタル者特ニ悔悟ノ狀顯著ナルトキハ情狀ニ因リ其ノ

處分ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

第二節　階級ノ低下

第五十八條　受刑者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ情狀ニ因リ一階級又ハ數階級ヲ低下セシムルコトヲ得

一　進級停止ニ處セラレタル者再ビ紀律ニ違ヒタルトキ

二　所屬階級ニ滯留セシムルコトニ因リ特ニ其ノ階級ノ秩序ヲ紊スニ至アルトキ

第五十九條　第四級ノ受刑者ニシテ紀律ヲ紊シ累進處遇ヲ爲スニ適セザルモノト認メタルトキハ本令ノ適用ヲ爲サザルコトヲ得

第六十條　階級ヲ低下セラレタル者特ニ悔悟ノ狀顯著ナルトキハ所得點數ノ計數ニ依ラズシテ原階級ニ復セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ原階級ニ復シタル者ニ付テハ其ノ復シタル日ヨリ新ニ所得點數ヲ計算ス

前二項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ本令ノ適用ヲ爲サザル者ニ付之ヲ準用ス

第六十一條　本節ノ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ刑務官會議ノ議ヲ經ルコトヲ要ス

第十一章　假釋放

第六十二條　第一級ノ受刑者ニシテ假釋放ニ適スルモノト認メタルトキハ速ニ其ノ手續ヲ爲スベシ

第六十三條　第二級以下ノ受刑者ト雖モ改悛ノ狀顯著ニシテ社會生活ニ適應シ得ルモノト認メタルトキハ特ニ假釋放ノ手續ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二款　因人、刑事被告人及被疑者押送

●因人、被告人及被疑者護送規則

明治四十二年十月
統令第五十一號
改正　大正八年六月統令第一二號、九年六月八月號、一二年一二第一三月號

第一條　因人、被告人及被疑者ノ護送ハ警察官吏ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

官吏ヲシテ之ヲ行ハシムル特ニ必要アル場合ニ於テハ憲兵下士卒ヲシテ行ハシムルコトヲ得

監獄間ニ於ケル因人ノ護送ハ看守長、看守ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第二條　護送ハ總テ被護送者ノ交付ヲ受ケヘキ官署又ハ出頭若ハ留置スヘキ場所ニ直送スヘキモノトス但シ時宜ニ依リ沿道警察官署ノ護傳ヲ付スルコトヲ得

第三條　護送ヲ爲ストキハ發送官署ハ別紙樣式ノ護送狀ヲ作リ必要ノ書類ヲ添ヘ被護送者ト共ニ護送官吏ニ交付スヘシ但シ直送ノ方法ニ依リ因人ノ監獄間ノ護送ヲ爲ス場合ニ於テハ身分狀其ノ他ノ書類ヲ以テ護送狀ニ代フルコトヲ得

第四條　官署間ニ於テ護送ヲ爲ストキハ發送官署ハ豫メ被護送者ノ交付ヲ受ケヘキ官署ニ其ノ氏名、發送ノ日時、護送ノ事由及方法ヲ通報スヘシ

第五條　被護送者ノ所持スル金品ハ左ノ例ニ依リ之ヲ取扱フ

一　金錢ハ發送官署ヨリ被護送者ノ交付ヲ受ケヘキ官署ニ之ヲ直送ス但シ金額五圓ニ滿タサルトキ、即日ニ護送ヲ終了スヘキトキ又ハ被告人ニ限スル金錢ニシテ本人ノ請求アルトキハ護送官吏ニ依リ託送スルコトヲ得

二　物品ハ護送官吏ニ依リ之ヲ託送ス但シ危險ノ虞アル物品又ハ護送官吏ノ携帶ニ適セサル物品ハ發送官署ヨリ被護送者ノ交付ヲ受ケヘキ官署ニ通報スヘシ疾病治癒シテ更ニ護送者ノ交付ヲ受ケヘキ官署ニ直送スルコトヲ得

第六條　護送ハ日出前日沒後ニ於テハ之ヲ爲スコトヲ得但シ汽車、汽船ニ依ル場合若ハ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　被護送者ハ汽車、汽船中ニ在ル場合ノ外警察官署ニ宿泊セシム但シ時宜ニ依リ監獄ニ宿泊セシムルコトヲ得

警察官署又ハ監獄ニ宿泊セシメ難キトキハ他ニ宿所ヲ定ムルコトヲ得

第八條　被告人及被疑者護送ノ場合ニ於テハ監獄ノ規程ニ從ヒ護送中ニ必要ナル物品又ハ飮食物ノ勝求若ハ差入ヲ許スコトヲ得

前項ニ依リ勝求シタル物品又ハ飮食物ノ代價ハ保管ノ金錢ヲ以テ之ヲ支辨シ本人ノ證認書ヲ徵スヘシ

第九條　護送中逃走者アルトキハ護送官吏ハ直ニ其ノ地ノ警察官吏、憲兵及附近ノ警察官署竝護送官署ニ通報シ護送官署ハ之ヲ所轄地方法院檢事正、事件所管廳ノ檢事、護送ヲ命シタル官署、發送官署及被護送者ノ交付ヲ受ケヘキ官署ニ通報スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ書類及金品ハ之ヲ發送官署ニ返付ス

第十條　護送中被護送者疾病ニ罹リタルトキハ相當ノ手當ヲ加ヘ若シ護送ヲ繼續スヘカラサルモノト認メタルトキハ被護送者ヲ書類及金品ト共ニ附近ノ警察官署ニ交付スヘシ但シ時宜ニ依リ之ヲ附近ノ監獄ニ交付スルコトヲ得

前項ニ依リ交付ヲ受ケタル官署ハ直ニ疾病ノ狀況ヲ發送官署及被護送者ノ交付ヲ受ケヘキ官署ニ通報スヘシ疾病治癒シテ更ニ護送ニ付シタルトキ亦同シ

第十一條　護送中被護送者死亡シタルトキハ其ノ死體ヲ書類及金品ト共ニ附近ノ警察官署ニ交付スヘシ

汽車、汽船中ニ於テ死亡シタルトキハ其ノ死體ハ最初ノ停車地又ハ著船地ノ警察官署ニ交付スヘシ但シ已ムヲ得サル場合ニ於テハ其ノ他ノ停車地又ハ著船地ノ警察官署ニ交付スルコトヲ得

死體ノ交付ヲ受ケタル警察官署ハ發送官署及被護送者ノ交付ヲ受クヘキ官署竝本人ノ住所地ヲ管轄スル警察官署ニ死亡ノ日時、原因等ヲ通報シ護送ニ關スル書類ハ之ヲ發送官署ニ返付スヘシ

死亡後二十四時間內ニ交付ヲ受ケル者ナキトキハ死體ニ假ニ之ヲ埋葬シ遺留ノ金品ハ之ヲ發送官署ニ返付スヘシ

第十二條　護送官吏ノ旅費及被護送者ニ要スル護送ノ費用ハ護送官署ノ負擔トス但シ被護送者ヲ監獄又ハ警察官署ニ留置スル場合ニ於ケル費用ハ其ノ監獄又ハ警察官署ノ負擔トス

第十三條　被護送者ヲ監獄又ハ警察官署以外ニ宿泊若ハ休養セシメタル場合ニ於テハ其ノ費用ハ實費額ニ依リ但シ宿泊ノ費用ハ一夜金八十錢、休養ノ費用ハ一回金五十錢ヲ超ユルコトヲ得ス

附　則

本令ハ明治四十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十二年十二月總令第百三十四號）

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別紙様式）

護送狀

罪名		本籍地		氏名及年齡
刑名刑期		住所		
被告事件		身分		
共犯者氏名		職業		
相丈	體格	髮眉	額	
腮	耳	目	齒	
容貌		口	特徵	
鼻	顏色	文身		

本人ハ何何ノ事由ニ依リ（何官署ニ交付スル力爲メ某所ニ出頭セシムル力爲メ某所ニ留置スル力爲メ）左記ノ書類、金錢及物品ト共ニ及別護條護送方御取計相成度候也

年　月　日　發送官署

書類

本櫃ニハ本書ニ添附ノ書類ノ名稱、通數（若ハ括數）ヲ記載ス

金錢

本櫃ニハ護送官吏ニ託送ノ金錢ノ俘虜高仕拂高現殘高仕拂ノ月日及事由ヲ記載ス

物品

本櫃ニハ護送官吏ニ託送ノ物品ノ名稱、員數、護送中ニ生シタル物品ノ增減ニ關スル事由等ヲ記載ス

護送官署名及主任官吏ノ認印	發送又ハ到著日時	護送ノ方法及注意スヘキ事項	被護送者ノ身體ノ狀況	備考
				本櫃ニハ物品購入ノ許可、逃走、疾病、死亡其ノ他ノ事故ヲ記載ス

第四章　軍律

●朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件

大正二年九月勅令第二百八十三號

左ニ揭ケル法律ハ之ヲ朝鮮ニ施行ス

一　陸軍刑法
二　陸軍刑法施行法
三　海軍刑法
四　海軍刑法施行法
五　海軍治罰法
六　陸海軍軍法會議私訴裁判頒制執行法
七　陸軍軍人軍屬逆聲罪處分例
八　海軍軍人軍屬逆聲罪處分例
九　戒嚴令
十　軍機保護法
十一　軍用電信法
附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍刑法

明治四十一年四月法律第四十六號

廢帝國議會ノ協贊ヲ經タル陸軍刑法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍刑法

第一編　總則
第二編　罪

第一章　叛亂ノ罪
第二章　擅權ノ罪
第三章　曠職ノ罪
第四章　抗命ノ罪
第五章　暴行脅迫ノ罪
第六章　侮辱ノ罪
第七章　逃亡ノ罪
第八章　軍用物損壞ノ罪
第九章　掠奪ノ罪
第十章　俘虜ニ關スル罪
第十一章　違令ノ罪

陸軍刑法

第一編　總則

第一條　本法ハ陸軍軍人ニシテ罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

第二條　本法ハ陸軍軍人ニ非スト雖左ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ニ之ヲ適用ス

一　軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所、建造物其ノ他ノ物ヲ敵國ニ交付スルコト
二　敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幇助スルコト
三　軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄スルコト
四　敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示スルコト
五　敵國ニ降ラシムル爲守命官ヲ强要スルコト
六　敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪取シ又ハ之ヲ逃走セシムルコト

第二十八條　敵國ヲ利スル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一　要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所、建造物其ノ他ノ物ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシムルコト
二　水陸ノ通路、橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ軍隊、艦船ノ往來ノ妨害ヲ生セシムルコト
三　司令官軍隊ヲ率キテ守地若ハ配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離ルルコト
四　隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ沿走混亂ヲ誘起シ又ハ其ノ連絡集合ヲ妨害スルコト
五　兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ缺乏セシムルコト
六　命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ虛僞ノ命令、通報若ハ報告ヲ爲スコト
七　造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪スルコト

第二十九條　前二條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第三十條　反亂者又ハ內亂者ヲ利スル爲前三條ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十一條　前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十二條　第二十五條乃至第三十條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十三條　第二十五條又ハ第二十六條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者未タ事ヲ行ハサル前自首シタルトキハ其ノ刑ヲ免除ス

第三十四條　本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二章　擅權ノ罪

第三十五條　司令官外國ニ對シ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十六條　司令官休戰又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十七條　司令官擅ニ外國ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ軍隊ヲ通退シタルトキハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第三十八條　命令ヲ待タス故ナク戰鬪ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第三十九條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三章　曠職ノ罪

第四十條　司令官其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ敵ニ降リ又ハ要塞ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十一條　司令官野戰ノ時ニ在リテ隊兵ヲ率キ敵ニ降リタルトキハ其ノ盡スヘキ所ヲ盡シタル場合ト雖六月以下ノ禁錮ニ處ス

第四十二條　司令官敵前ニ於テ其ノ盡スヘキ所ヲ盡サスシテ隊兵ヲ率キ逃避シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十三條　司令官軍隊ヲ率キ故ナク守地若ハ配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス
二　戰時、軍中又ハ戒嚴地境ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス
三　其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十四條　司令官出兵ヲ要求スル權アル官憲ヨリ其ノ要求ヲ受ケ故ナク之ニ應セサルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

一　陸軍所屬ノ學生、生徒
二　陸軍軍屬
三　陸軍ノ勤務ニ服スル海軍軍人

前項第一號ニ記載シタル者ノ中特ニ除外スヘキ者アルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條　陸軍將校相當官、陸軍准士官、海軍將校、同相當官、海軍候補生及海軍准士官ハ陸軍將校ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者亦同シ

第十一條　陸軍士官ノ候補者ニシテ下士ノ階級ニ在リ士官ノ勤務ニ服セサル者ハ陸軍下士ニ準ス

第十二條　陸軍ノ兵役ニ在リテ官等、等級ヲ有セサル者ハ兵卒ニ準ス陸軍士官ノ候補者ニシテ兵卒ノ階級ニ在ル者亦同シ

第十三條　在鄉軍人ト稱スルハ陸軍ノ現役以外ノ役ニ在ル者、陸軍ノ現役ニ在リテ未タ入營セサル者、陸軍ノ歸休兵及退役陸軍將校、同相當官ニ準ス士官ヲ謂フ

第十四條　陸軍屬ト稱スルハ陸軍文官、同待遇者及官費ヲ以テ陸軍ノ勤務ニ服スル者ヲ謂フ但シ俸給又ハ退職ノ文官ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　海軍軍人ト稱スルハ海軍刑法ニ於テ海軍軍人ト爲ス者ヲ謂フ

第十六條　上官ト稱スルハ命令關係アル陸軍軍人間ニ於テ命令權ヲ有スル者ヲ謂フ命令關係ナキ者ノ間ニ於テハ官等、等級又ハ階級ノ上ナル者ハ之ヲ上官ニ準ス但シ兵卒ハ下士勤務上尊兵ヲ除クノ外總テ同等トス

第十七條　司令官ト稱スルハ軍隊ノ司令ニ任スル陸軍軍人ヲ謂フ

第十八條　哨兵ト稱スルハ俯伏又ハ跪坐ノ爲守地ニ在ル陸軍軍人ヲ謂フ

第十九條　部隊ト稱スルハ陸軍ノ軍隊、官衙、學校、特務機關及戰時ニ於ケル陸軍ノ特設機關ヲ謂フ

第二十條　軍中ト稱スルハ左ニ記載シタル部隊ニ在ル場合ヲ謂フ

一　戰時ノ體勢ヲ執リタル部隊但シ留守部隊、編成勤務ニ服スル假令又ハ國民諸隊、戰地以外ノ地ニ在ル輸送又ハ補給諸機關ニシテ對敵狀態ニ在ラサルモノヲ除ク
二　戰時ノ體勢ヲ執ラサルモ對敵狀態ニ在ル部隊
三　軍艦又ハ一地方ノ嚴重ニ際シ其ノ鎭定ニ從事スル部隊

第二十一條　陸軍ニ於テ死刑ヲ執行スルトキハ陸軍法務ヲ管轄スル長官ノ定ムル場所ニ於テ銃殺ス

第二十二條　多衆共同ノ暴行ヲ以テ歷ス又ハ敵前ニ在ル部隊ノ急迫ニ臨ミ軍紀ヲ保持スル爲已ムコトヲ得サルニ出テタル行爲ハ之ヲ罰セス

必要ノ程度ヲ超エタル行爲ハ情狀ニ因リ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十三條　前條ノ規定ハ刑法又ハ他ノ法令ノ罰ト爲スヘキ行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二十四條　本法及海軍刑法ニ於テ俱ニ懲ス死刑ニ處ス

第二十五條　前條ノ場合ニ於テ共ニ懲スヘキ所ヲ盡シタル場合ト雖海軍軍人ニ對シテハ海軍刑法ヲ適用ス

第二編　罪

第一章　叛亂ノ罪

第二十六條　蒸ヲ結ヒ兵器ヲ執リ反亂ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　首魁ハ死刑ニ處ス
二　謀議ニ參與シ又ハ群集ノ指揮ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ五年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處シ其ノ他諸般ノ職務ニ從事シタル者ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス
三　附和隨行シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二十七條　左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一　軍隊又ハ要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所、建造物其ノ他ノ物ヲ敵國ニ交付スルコト
二　敵國ノ爲ニ間諜ヲ爲シ又ハ敵國ノ間諜ヲ幇助スルコト
三　軍事上ノ機密ヲ敵國ニ漏泄スルコト
四　敵國ノ爲ニ嚮導ヲ爲シ又ハ地理ヲ指示スルコト
五　敵國ニ降ラシムル爲守命官ヲ强要スルコト
六　敵國ノ爲ニ俘虜ヲ奪取シ又ハ之ヲ逃走セシムルコト

第二十八條　敵國ヲ利スル爲左ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ處ス

一　要塞、陣營、艦船、兵器、彈藥其ノ他軍用ニ供スル場所、建造物其ノ他ノ物ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシムルコト
二　水陸ノ通路、橋梁ヲ損壞又ハ壅塞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ軍隊、艦船ノ往來ノ妨害ヲ生セシムルコト
三　司令官軍隊ヲ率キテ守地若ハ配置ノ地ニ就カス又ハ其ノ地ヲ離ルルコト
四　隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ沿走混亂ヲ誘起シ又ハ其ノ連絡集合ヲ妨害スルコト
五　兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ缺乏セシムルコト
六　命令、通報若ハ報告ヲ詐リ傳ヘ又ハ虛僞ノ命令、通報若ハ報告ヲ爲スコト
七　造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪スルコト

第二十九條　前二條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第三十條　反亂者又ハ內亂者ヲ利スル爲前三條ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑、無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第三十一條　前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三十二條　第二十五條乃至第三十條ノ罪ノ

第四百七十七條　犯罪ノ性質、動機、犯罪ノ手段、犯罪ノ結果、犯罪後ノ態度、犯人ノ年齢、境遇、素行、智識、環境、犯人ト被害人トノ關係、犯人ノ生活狀況、犯人ノ改悛ノ情ノ有無ヲ審査シ刑ヲ量定スヘシ

第四百七十八條　死刑ハ犯罪ノ情狀特ニ重キモノニ限リ之ヲ科ス

第四百七十九條　死刑ハ滿二十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十條　死刑ハ滿七十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百八十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第四百九十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百二十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百三十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百四十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百五十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百六十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百七十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百八十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第五百九十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百二十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百三十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百四十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百五十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百六十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百七十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百八十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第六百九十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百二十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百三十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百四十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百五十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百六十九條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七十條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七十一條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七十二條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七十三條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七十四條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七十五條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七十六條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七十七條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ之ヲ科スルコトヲ得ス

第七百七十八條　死刑ハ滿八十年ニ滿タサル者ニ對シテハ

国立国会図書館デジタルコレクション
https://dl.ndl.go.jp/

兵ヲ除ク）　第九章　捕虜ニ関スル罪
第二十六條　陸軍ニ於テ軍律ニ違ヒ又ハ軍律ニ違フノ虞アリテ捕縛シタル者ニ対シ軍律会議ヲ開カスシテ之ヲ処断シタルトキハ其ノ軍律会議ノ構成員ニ対シ本法ヲ適用ス
第二十七條　捕虜ニ対シ暴行ヲ加ヘ又ハ侮辱ヲ与ヘタル者ハ二年以下ノ懲役ニ処ス
第二十八條　捕虜ヲ虐使シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ処ス
第二十九條　捕虜ヲ利用シテ作戦ノ行為ヲ為サシメタル者ハ一年以下ノ懲役ニ処ス
第三十條　捕虜ヲ利用シテ危険ナル業務ニ従事セシメタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第三十一條　捕虜ニ対シ其ノ国籍ヲ離脱セシメ又ハ敵国軍隊ニ入ラシメタル者ハ一年以下ノ懲役ニ処ス
第三十二條　捕虜ニ対シ其ノ宗教上ノ儀式ヲ行フヲ妨ケタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第三十三條　捕虜ニ対シ其ノ名誉ヲ害スル行為ヲ為シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第三十四條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ掠奪シ又ハ毀棄シタル者ハ一年以下ノ懲役ニ処ス
第三十五條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第三十六條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第三十七條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第三十八條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第三十九條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十一條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十二條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十三條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十四條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十五條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十六條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十七條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十八條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第四十九條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十一條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十二條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十三條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十四條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十五條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十六條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十七條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十八條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第五十九條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十一條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十二條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十三條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十四條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十五條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十六條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十七條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十八條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第六十九條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十一條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十二條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十三條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十四條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十五條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十六條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十七條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十八條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第七十九條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十一條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十二條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十三條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十四條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十五條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十六條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十七條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十八條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第八十九條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十一條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十二條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十三條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十四條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十五條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十六條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十七條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十八條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第九十九條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス
第百條　捕虜ニ対シ其ノ財産ヲ没収シタル者ハ六月以下ノ懲役ニ処ス

第十五輯　民事　判事　監獄　第四章　東條

第十五輯　民事　判事　監獄　第四章　東條

四　糧隊、隊兵ヲ解散シ又ハ其ノ遺走混亂ヲ誘起シ又ハ糧船、隊兵ノ連絡集合ヲ妨害スルコト

五　兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ缺乏セシムルコト

六　命令、通報若ハ報告ヲ昨リ傳ヘ又ハ虚偽ノ命令、通報若ハ報告ヲ爲スコト

七　造言飛語シ又ハ敵前ニ於テ叫呼喧噪スルコト

第二十四條　前二條ニ記載シタル以外ノ方法ヲ以テ敵國ニ軍事上ノ利益ヲ與ヘ又ハ帝國ノ軍事上ノ利益ヲ害シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第二十五條　反亂者又ハ內亂者ヲ利スル爲前三條ニ記載シタル行爲ヲ爲シタル者ハ死刑ニ、無期若ハ三年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二十六條　前六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二十七條　第二十條乃至第二十五條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第二十八條　第二十條又ハ第二十一條ノ罪ノ豫備又ハ陰謀ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第二十九條　本章ノ規定ハ戰時同盟國ニ對スル行爲ニ亦之ヲ適用ス

第二章　擅權ノ罪

第三十條　指揮官外國ニ對シ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十一條　指揮官休戰又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十二條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十三條　命令ヲ待タス故ナク戰鬪ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第三十四條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第三章　職職ノ罪

第三十五條　指揮官其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ其ノ收受ヲ約シタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

二　戰時又ハ事變ニ際シ敵ニ內應シ又ハ敵ニ內應スル目的ヲ以テ間諜ヲ入レ又ハ敵ノ間諜ヲ藏匿シ若ハ其ノ情ヲ知テ故ラニ之ヲ放縱シタルトキハ死刑又ハ無期若ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

三　戰時又ハ事變ニ際シ敵ニ內應シ又ハ敵ニ內應スル目的ヲ以テ敵ニ軍用ニ供スル艦船、航空機、兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ヲ交付シ又ハ之ヲ收受シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十六條　指揮官戰時又ハ事變ニ際シ敵ニ內應シ又ハ敵ニ內應スル目的ヲ以テ艦船ヲ敵ニ降シ又ハ其ノ艦船若ハ守所ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十七條　指揮官敵前ニ於テ其ノ盡スヘキ所ヲ盡サス又ハ艦船、軍隊ヲ率ヰ逃避シタルトキハ死刑ニ處ス

第三十八條　指揮官敵前ニ於テ艦船、軍隊ヲ率ヰ逃避シタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死ニ致シタル者ハ無期又ハ五年以上ノ懲役ニ處ス

第三十九條　指揮官敵前ニ於テ帝國又ハ帝國ノ艦船ヲ敵ニ降シ又ハ敵ニ降ス可キ旨ヲ命シタル者ハ死刑ニ處ス

第四十條　指揮官敵前ニ於テ帝國又ハ帝國ノ艦船危急ノ時ニ當リ故ナク救護ノ方法ヲ盡サス又ハ衆ニ先チテ其ノ艦船ヲ退去シタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ三年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十一條　指揮官其ノ艦船、軍隊ヲ率ヰ故ナク守所ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　戰時ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十二條　指揮官敵前ニ於テ帝國又ハ帝國ノ艦船ヲ救護スヘキ場合ニ於テ故ナク之ヲ救護セサルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　戰時ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十三條　指揮官其ノ艦船、軍隊ヲ率ヰ故ナク守所ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　戰時ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十四條　指揮官其ノ艦船、軍隊ヲ率ヰ故ナク守所ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　戰時ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第四十五條　指揮官敵前ニ於テ帝國又ハ帝國ノ艦船ヲ救護スヘキ場合ニ於テ故ナク之ヲ救護セサルトキハ一年以上ノ有期禁錮ニ處ス

第四十六條　指揮官敵前ニ於テ故ナク戰鬪ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第四十七條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十八條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第四十九條　戰時又ハ事變ニ際シ偵察ノ勤務ニ服スル者虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

戰時又ハ事變ニ際シ軍事ニ關スル命令、通報又ハ報告ヲ昨リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルトキハ亦前項ニ同シ

第五十條　軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十一條　戰時又ハ事變ニ際シ兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第五十二條　健康ヲ害ス可キ飲食物ヲ配給シ又ハ其ノ他作爲ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十三條　從軍ヲ免レ又ハ危險ナル勤務ヲ避ケル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十四條　第三十五條乃至第三十七條、第四十條乃至第四十二條、第四十六條、第四十九條及第五十一條乃至第五十三條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四章　抗命ノ罪

第五十五條　上官ノ命令ニ反抗シ又ハ之ニ服從セサル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　戰時又ハ艦船救護ノ爲緊要ノ方略ヲ爲スニ際シテナルトキハ一年以上七年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十六條　指揮官其ノ艦船、軍隊ヲ率ヰ故ナク守所若ハ配置ノ場所ニ就カス又ハ其ノ場所ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　戰時ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第五十七條　指揮官敵前ニ於テ帝國又ハ帝國ノ艦船ヲ救護スヘキ場合ニ於テ故ナク之ヲ救護セサルトキハ一年以上ノ有期禁錮ニ處ス

第五十八條　指揮官敵前ニ於テ故ナク戰鬪ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第五十九條　戰時又ハ事變ニ際シ敵ニ內應シ又ハ敵ニ內應スル目的ヲ以テ艦船ヲ敵ニ降シ又ハ其ノ艦船若ハ守所ヲ敵ニ委シタルトキハ死刑ニ處ス

第六十條　前二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六十一條　戰時又ハ事變ニ際シ敵ニ內應シ又ハ敵ニ內應スル目的ヲ以テ艦船ヲ敵ニ降シ又ハ其ノ艦船若ハ守所ヲ敵ニ委シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ三年以上ノ禁錮ニ處ス

第六十二條　指揮官敵前ニ於テ艦船、軍隊ヲ率ヰ逃避シタル者ハ死刑ニ處ス

第六十三條　指揮官敵前ニ於テ其ノ盡スヘキ所ヲ盡サス又ハ艦船、軍隊ヲ率ヰ逃避シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

第六十四條　守兵ニ對シ兵器又ハ鹵獲ヲ用ヰテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以上ノ有期禁錮ニ處ス

第六十五條　守兵以外ノ海軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十六條　上官又ハ守兵以外ノ海軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十七條　上官又ハ守兵以外ノ海軍軍人其ノ他ノ者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十八條　多衆集合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第六十九條　脅迫シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

附和隨行シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十條　海軍ノ艦船、工場、戰鬪ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第七十一條　竊盜シタル兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　戰時ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第七十二條　火藥、汽罐其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第七十三條　海軍ノ艦船ヲ覆沒又ハ破壞シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第七十四條　第七十一條ニ記載シタル物又ハ海軍戰鬪ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第七十五條　兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十六條　第七十四條乃至第八十二條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五章　掠奪ノ罪

第七十七條　上官ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

交書、圖畫若ハ偶像ヲ公示シ又ハ演說ヲ爲シ其ノ他公然ノ方法ヲ以テ上官ヲ侮辱シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十八條　戰時又ハ事變ニ際シ兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第七十九條　健康ヲ害ス可キ飲食物ヲ配給シ又ハ其ノ他作爲ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第八十條　從軍ヲ免レ又ハ危險ナル勤務ヲ避ケル目的ヲ以テ疾病ヲ作爲シ、身體ヲ毀傷シ其ノ他詐僞ノ行爲ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ五年以上ノ有期懲役ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第八十一條　指揮官敵前ニ於テ故ナク之ヲ拿捕セサルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十二條　指揮官敵前ニ於テ帝國又ハ帝國ノ艦船危急ノ時ニ當リ故ナク救護ノ請求ヲ受ケ故ナク之ヲ應セサルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十三條　部下多衆共同シテ罪ヲ犯スニ當リ糾定ノ方法ヲ盡ササル者ハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十四條　艦船當直將校、睡眠又ハ酩酊シテ其ノ職務ヲ怠リタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二　戰時又ハ航海中ナルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十五條　守兵其ノ他緊要ナル勤務ニ服スル者前條ノ罪ヲ犯シタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

二　戰時又ハ航海中ナルトキハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

三　其ノ他ノ場合ナルトキハ六月以下ノ禁錮ニ處ス

第八十六條　艦船當直將校、守兵其ノ他緊要ナル勤務ニ服スル者故ナク其ノ勤務ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ三年以上ノ禁錮ニ處ス

第八十七條　艦船危急ノ時ニ當リ故ナク救護ノ請求ヲ受ケ故ナク之ヲ應セサルトキハ二年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十八條　艦船當直將校、守兵其ノ他緊要ナル勤務ニ服スル者故ナク其ノ勤務ヲ離レタルトキハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第八十九條　戰時又ハ事變ニ際シ偵察ノ勤務ニ服スル者虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキハ七年以下ノ懲役ニ處ス

戰時又ハ事變ニ際シ軍事ニ關スル命令、通報又ハ報告ヲ昨リ傳ヘ又ハ故ナク之ヲ傳達セサルトキハ亦前項ニ同シ

第九十條　軍事機密ノ圖書、物件ヲ保管スル者危急ノ時ニ當リ之ヲ敵ニ委セサル方法ヲ盡ササルトキハ五年以下ノ禁錮ニ處ス

第九十一條　戰時又ハ事變ニ際シ兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他軍用ニ供スル物ノ運搬又ハ支給ヲ掌ル者故ナク之ヲ缺乏セシメタルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第九十二條　指揮官敵前ニ於テ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第九十三條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第九十四條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第九十五條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第九十六條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第九十七條　指揮官敵前ニ於テ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第九十八條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第九十九條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第百條　指揮官敵前ニ於テ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第百一條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第百二條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第百三條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第百四條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第百五條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第百六條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第百七條　指揮官敵前ニ於テ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第百八條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第百九條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第百十條　指揮官敵前ニ於テ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第百十一條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第百十二條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

第百十三條　指揮官敵前ニ於テ故ナク戰鬪ヲ開始シタルトキハ死刑ニ處ス

第百十四條　指揮官休職又ハ媾和ノ告知ヲ受ケタル後故ナク戰鬪ヲ爲シタルトキハ死刑ニ處ス

第百十五條　指揮官權外ノ事ニ於テ已ムコトヲ得サル理由ナクシテ擅ニ艦船、軍隊ヲ退シタルトキハ死刑ニ處ス

タル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

第七十條　第五十八條乃至第六十八條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第六章　侮辱ノ罪

第七十一條　上官ヲ其ノ面前ニ於テ侮辱シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第七十九條　鹵獲ニシテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ首魁ハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十條　上官ノ命令ヲ待タス故ナク戰鬪ヲ爲シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ七年以上ノ禁錮ニ處ス

第八十一條　鹵獲ニシテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ首魁ハ無期若ハ十年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス其ノ他ノ者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十二條　守兵ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十三條　鹵獲ニシテ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十四條　守兵ニ對シ兵器又ハ鹵獲ヲ用ヰテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　敵前ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ五年以上ノ有期懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十五條　守兵以外ノ海軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十六條　上官又ハ守兵以外ノ海軍軍人其ノ職務ヲ執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十七條　上官又ハ守兵以外ノ海軍軍人其ノ他ノ者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ死刑、無期若ハ七年以上ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十八條　多衆集合シテ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

首魁ハ三年以上ノ有期ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第八十九條　脅迫シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ一年以上十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

附和隨行シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第九十條　海軍ノ艦船、工場、戰鬪ノ用ニ供スル建造物、汽車、電車若ハ橋梁又ハ海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ貯藏スル倉庫ヲ燒燬シタル者ハ死刑又ハ無期若ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

第九十一條　竊盜シタル兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ燒燬シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一　戰時ナルトキハ死刑ニ處ス

二　其ノ他ノ場合ナルトキハ無期又ハ三年以上ノ有期禁錮ニ處ス

第九十二條　火藥、汽罐其ノ他激發スヘキ物ヲ破裂セシメテ前二條ニ記載シタル物ヲ損壞シタル者ハ燒燬ノ例ニ同シ

第九十三條　海軍ノ艦船ヲ覆沒又ハ破壞シタル者ハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第九十四條　第九十一條ニ記載シタル物又ハ海軍戰鬪ノ用ニ供スル鐵道、電線若ハ水陸ノ通路ヲ損壞シ又ハ使用スルコト能ハサルニ至ラシメタル者ハ無期又ハ二年以上ノ懲役ニ處ス

第九十五條　兵器、彈藥、糧食、被服其ノ他海軍ノ軍用ニ供スル物ヲ毀棄又ハ傷害シタル者ハ十年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第九十六條　第八十四條乃至第八十六條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第七章　掠奪ノ罪

第九十七條　戰地又ハ帝國軍ノ占領地ニ於テ住民ノ財物ヲ掠奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ三箇條以上ノ懲役ニ處ス

第九十八條　戰場ニ於テ戰死者又ハ戰傷病者ノ衣服其ノ他ノ財物ヲ緩奪シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス

第九十九條　前二條ノ罪ヲ犯ス者人ヲ傷シタルトキハ無期又ハ七年以上ノ懲役ニ處シ死ニ致シタルトキハ死刑又ハ無期懲役ニ處ス

第百條　本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第十條　本法ハ明治四十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第三十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第四十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第五十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第六十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第七十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第八十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第九十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百二十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百三十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百四十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百五十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百六十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百七十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百八十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第百九十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百二十九條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三十條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三十一條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三十二條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三十三條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三十四條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三十五條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三十六條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三十七條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ終リタル者ニ對シテハ本法ヲ適用セス

第二百三十八條　本法施行ノ際現ニ刑ノ執行ヲ受ケ又ハ執行ヲ

第八條　軍法會議ヲ設クルコト左ノ如シ
一　高等軍法會議
二　師團軍法會議
三　軍軍法會議
四　獨立師團軍法會議
五　獨立混成旅團軍法會議
六　兵站軍法會議
七　合圍地軍法會議
八　臨時軍法會議
第九條　高等軍法會議及師團軍法會議ハ之ヲ常設ス
軍軍法會議、獨立師團軍法會議、獨立混成旅團軍法會議及兵站軍法會議ハ戰時事變ニ際シ必要ニ因リ之ヲ特設ス
合圍地軍法會議ハ戒嚴ノ宣告アリタルトキ合圍地境ニ之ヲ特設ス
臨時軍法會議ハ戰時事變ニ際シ必要ニ因リ特設又ハ分置シタル陸軍ノ部隊ニ之ヲ特設ス
第十條　高等軍法會議ハ陸軍大臣ヲ以テ長官トス
師團軍法會議ハ師團長ヲ以テ長官トス
特設軍法會議ハ軍法會議ヲ設置シタル部隊又ハ地域ノ司令官ヲ以テ長官トス
第十一條　高等軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス
一　陸軍ノ將官、將官相當官、勅任文官及勅任文官待遇者竝海軍ノ將官、勅任文官及勅任文官待遇者ニ對スル被告事件
二　非常上告
三　第十二條　師團軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス
一　師團長ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件
二　師管內ニ在ル陸軍ノ部隊ニ屬スル者及其ノ部隊ノ長ノ監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件但シ其ノ部隊ニ軍法會議ヲ設ケ
サル場合ニ限ル
三　師管內ニ在リ又ハ師管內ニ於テ罪ヲ犯シタル第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件但シ被告人ノ所屬部隊ノ軍法會議師管內ニ在ラサル場合ニ限ル
第十三條　軍軍法會議、獨立師團軍法會議又ハ獨立混成旅團軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス
一　軍、獨立師團又ハ獨立混成旅團ノ長ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件
二　作戰地域ニ在ル第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件但シ被告人ノ所屬部隊ノ軍法會議其ノ地域ニ在ラサル場合ニ限ル
三　作戰地域ニ在ル第六條記載ノ者ニ對スル被告事件
第十四條　兵站軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス
一　兵站ノ長ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件
二　兵站地域若ハ兵站ノ屬スル軍隊ノ作戰地域ニ在リ又ハ此等ノ地域ニ於テ罪ヲ犯シタル第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件但シ被告人ノ所屬部隊ノ軍法會議此等ノ地域ニ在ラサルトキニ限ル
三　兵站地域又ハ兵站ノ屬スル軍隊ノ作戰地域ニ在ル第六條記載ノ者ニ對スル被告事件
第十五條　合圍地軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス
一　合圍地司令官ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件
二　合圍地境ニ在リ又ハ合圍地境ニ於テ罪ヲ犯シタル第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件
三　第四條及第五條ニ定メタル裁判權ニ屬スル被告事件
第十六條　臨時軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス
一　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ長ノ部下ニ屬スル者及監督ヲ受クル者ニ對スル被告事件
二　臨時軍法會議ノ設置セラレタル部隊ノ管轄地域若ハ守備地域ニ在リ又ハ此等ノ地域ニ於テ罪ヲ犯シタル第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件但シ被告人ノ現在地又ハ犯罪地ノ附近ニ在ル軍法會議之ヲ管轄ス
三　管轄ヲ異ニスル數個ノ事件牽連スルトキハ一個ノ事件ニ付管轄權ヲ有スル軍法會議併セテ他ノ事件ヲ管轄スルコトヲ得
但シ高等軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件及第四條乃至第六條ニ記載シタル事件ハ牽連ノ事由ニ因リ併セテ之ヲ管轄スルコトヲ得ス
第十九條　軍法會議牽連事件ニ付公訴ヲ受クタル場合ニ於テ併セテ審判スルコトヲ必要トセサルモノアルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ管轄權ヲ有スル他ノ軍法會議ニ之ヲ移送スルコトヲ得
第二十條　數個ノ軍法會議牽連事件ニ付各別ニ公訴ヲ受クタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ之ヲ一ノ軍法會議ニ併合スルコトヲ得
第二十一條　高等軍法會議牽連事件ニ付公訴ヲ受クタル場合ニ於テ併セテ審判スルコトヲ必要トセサルモノアルトキハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ管轄權ヲ有スル他ノ軍法會議ニ之ヲ移送スルコトヲ得
第二十二條　高等軍法會議及他ノ軍法會議牽連事件ニ付各別ニ公訴ヲ受クタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ其ノ一ノ軍法會議ニ併合スルコトヲ得
第二十三條　數個ノ軍法會議牽連事件ニ付各別ニ公訴ヲ受クタル場合ニ於テ其ノ一ノ軍法會議ニ併合スルコトヲ得ス
第二十四條　第一條乃至第三條ニ記載シタル者ニ對スル被告事件ニ付管轄軍法會議ヲ除ク外最初ニ公訴ヲ受クタル軍法會議之ヲ審判ス
前項ノ場合ニ於テ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ後ニ公訴ヲ受ケタル事件ヲ併セテ審判スルコトヲ得ス
第二十五條　高等軍法會議及他ノ軍法會議同一事件ニ付公訴ヲ受ケタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ管轄權ヲ有スル他ノ軍法會議ヲシテ其ノ事件ヲ審判セシメルコトヲ得
第二十六條　管轄ハ公訴提起後ニ於テハ被告人ノ轉屬、失官其ノ他管轄ヲ定ムル事由ノ變更ニ因リ變更セラルルコトナシ但シ被告人第十一條第一號ニ記載シタル身分ヲ取得シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第二十七條　第十一條第一號ニ記載シタル者被告人ナル場合ニ於テ其ノ現在地高等軍法會議ノ所在地ト交通斷絕シタルトキ又ハ其ノ所在地ト著シク離隔シ且審判急速ヲ要スルトキハ被告人ノ現在地又ハ其ノ附近ニ在ル軍法會議被告事件ヲ管轄スルコトヲ得
第二十八條　管轄軍法會議ニ於テ法律上ノ理由又ハ特別ノ事情ニ因リ裁判權ヲ行フコト能ハサルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請

求ニ因リ管轄移轉ノ決定ヲ爲スヘシ
第二十九條　軍法會議ヲ廢シタルトキハ陸軍大臣ハ後續軍法會議ヲ指定スヘシ
第三十條　訴訟手續ハ管轄違ノ理由ニ因リ其ノ效力ヲ失ハス

第三章　軍法會議ノ職員

第三十一條　軍法會議ニ判士、陸軍法務官、陸軍錄事及陸軍幹查ヲ置ク
第三十二條　判士ハ陸軍ノ將校ヲ以テ之ニ充ツ
第三十三條　將官ヲ以テ判士ト爲ストキハ陸軍大臣ノ奏請ニ因リ之ヲ命ス
特設軍法會議ニ於テハ長官又ハ其ノ直系上官ハ急遽ヲ要スル場合ニ限リ部下ノ將官中ヨリ判士ヲ命スルコトヲ得
第三十四條　佐官以下ノ將校ヲ以テ判士ト爲ストキハ長官之ヲ命ス
長官ノ部下ニ非サル將校ヲ以テ判士ト爲スコトヲ要スルトキハ陸軍大臣之ヲ命ス特設軍法會議ニ於テハ急遽ヲ要スル場合ニ限リ長官ノ直系上官ハ部下ノ將校中ヨリ之ヲ命スルコトヲ得
第三十五條　法務官ハ終身官トシ勅任又ハ奏任トス
第三十六條　法務官ハ在職中左ノ諸件ヲ爲スコトヲ得ス
一　公然政事ニ關係スルコト
二　政黨ノ黨員又ハ政社ノ社員トナルコト
三　帝國議會ノ議員又ハ道、府、縣、郡、市、區、町、村會ノ議員トナルコト
四　報酬アル公務ニ就クコト
五　商業ヲ營ムコト
第三十七條　法務官ハ刑事裁判又ハ懲戒處分ニ因ルニ非サレハ其ノ意ニ反シテ免官又ハ轉官セラルルコトナシ
第三十八條　法務官身體又ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルニ至リタルトキハ陸軍大臣ハ高等軍法會議總會ノ決議ニ因リ之ニ退職ヲ命スルコトヲ得
第三十九條　陸軍大臣ハ左ノ場合ニ於テハ法務官ニ現俸ノ半額ヲ給シテ休職ヲ命スルコトヲ得
一　懲戒令ニ依リ懲戒委員會ノ審査ニ付セラレタルトキ
二　刑事事件ニ關シ起訴セラレタルトキ
三　官制又ハ定員ノ改正ニ因リ過員ヲ生シタルトキ
四　戰時又ハ事變ニ際シ臨時設員シタル場合ニ於テ其ノ必要止ミタル後一年ヲ過ヘサルトキ
五　病氣ノ爲執務セサルコト六月ニ至リタルトキ
休職ノ期間ハ前項第一號及第二號ノ場合ニ於テハ其ノ事件ノ繫屬中ニシテ第三號乃至第五號ノ場合ニ於テハ三年ヲ第四十條　法務官前條第一項第三號乃至第五號ノ規定ニ依リ休職ヲ命セラレ滿期ト爲リタルトキハ退職トス
第四十一條　法務官ノ任用及懲戒ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
第四十二條　錄事ハ判士ヲ置ク
第四十三條　幹查ハ長官之ヲ命ス
第四十四條　特設軍法會議ニ於テハ長官ハ陸軍ノ准士官又ハ下士ヨリシテ錄事ノ職務ヲ行ハシメ陸軍ノ下士又ハ兵卒ヲシテ幹查ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得
第四十五條　合圍地軍法會議ニ於テハ長官ハ合圍地境ニ在ル判任文官ヲシテ錄事ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得
第四十六條　軍法會議ハ審判ヲ爲スニ付他ノ判士ノ干涉ヲ受クルコトナシ
第四十七條　審判ハ裁判官五人ヲ以テ構成シタル會議ニ於テ之ヲ爲ス
裁判官ハ判士及法務官ヲ以テ之ニ充テ上席判士ヲ裁判長トス
特設軍法會議ニ於テハ上席判士及法務官ヲ除クノ外裁判官二人又ハ減スルコトヲ得
第四十八條　法務官ハ判士ノ裁判官ハ長官之ヲ定ム
第四十九條　師團軍法會議及特設軍法會議ニ於テハ判士四人及法務官一人ヲ以テ裁判官トス
前項ノ判士ハ左ノ區別ニ從フ
一　被告人ノ下士又ハ兵卒ナルトキハ佐官一人大尉二人
二　被告人ノ中尉、少尉又ハ准士官ナルトキハ佐官一人少佐一人大尉二人
三　被告人ノ大尉ナルトキハ少佐一人中佐二人大尉一人
四　被告人ノ少佐ナルトキハ大佐一人中佐二人少佐一人
五　被告人ノ中佐ナルトキハ少將一人少佐三人中佐一人
六　被告人ノ大佐ナルトキハ中將一人少將二人大佐一人
七　被告人ノ將官ナルトキハ被告人ト同等以上ノ將官四人
交通斷絕シタル地ニ在ル軍法會議ニ於テハ被告人ト同等以上ノ判士ヲ以テ裁判官ト爲スコトヲ得
第五十條　合圍地軍法會議ニ於テハ長官ハ軍ノ將校又ハ合圍地境ニ在ル高等交官ヲシテ法務官ニ代リ裁判官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得
第五十一條　高等軍法會議ニ於テハ判士三人及法務官二人ヲ以テ裁判官トス
前項ノ判士ハ左ノ區別ニ從フ
一　被告人下士又ハ兵卒ナルトキハ佐官一人大尉二人
二　被告人中尉、少尉又ハ准士官ナルトキハ佐官一人少佐一人大尉一人
三　被告人大尉ナルトキハ大佐一人中佐一人大尉一人
四　被告人少佐ナルトキハ大佐一人中佐二人少佐一人
五　被告人中佐ナルトキハ少將一人大佐二人中佐一人
六　被告人大佐ナルトキハ中將一人少將二人大佐一人
七　被告人將官ナルトキハ被告人ト同等以上ノ將官五人
第五十二條　被告人官等又ハ等級ヲ有セサル士官ノ候補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者ナルトキハ少尉ニ準シ士官ノ勤務ニ服セサル者ナルトキハ下士ニ準シ判士ヲ區別ス
被告人准士官又ハ下士タル士官ノ候補者ニシテ士官ノ勤務ニ服スル者ナルトキハ少尉ニ準シ判士ヲ區別ス
第五十三條　被告人將校相當官、軍屬、海軍軍人又ハ海軍軍屬ナルトキハ其ノ官等、等級又ハ階級ニ從ヒ將校、准士官、下士又ハ兵卒ニ準シ判士ヲ區別ス
第五十四條　被告人第四十九條及第五十一條乃至第五十三條ニ記載シタル者ニ非サルトキハ下士又ハ兵卒ニ準シ判士ヲ區別ス
前項ノ場合ニ於テ長官ハ事情ニ因リ判士ノ區別ヲ變更スルコトヲ得
第五十五條　被告人俘虜ナルトキハ第四十九條及第五十一條乃至前條ノ規定ニ準シ判士ヲ區別ス
第五十六條　二個以上ノ異ル官等、等級又ハ階級ノ者ニ付テハ其ノ最高官等、等級又ハ階級ニ從ヒ判士ヲ區別ス
第五十七條　官等、等級又ハ階級ヲ異ニスル共同被告人ニ付テハ其ノ官等、等級又ハ階級ノ最高キ者ニ從ヒ判士ヲ區別ス
第五十八條　判士ノ區別ハ被告人ノ身分ニ異動アルモ官等、等級又ハ階級ノ高キ身分ヲ取得シタル場合ヲ除クノ外變更セラルルコトナシ
第五十九條　上告ハ非常上告又ハ再審ノ審判ヲ爲ス場合ノ判士ノ區別ハ原軍法會議ノ裁判官ヲ定メタル當時ノ被告人ノ身分ニ從フ但シ被告人官等、等級又ハ階級ノ高キ身分ヲ取得シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
前項ノ規定ハ第百七十三條第三項、第四百七十五條、第四百七十六條、第四百七十八條又ハ第五百三十條ノ決定ヲ爲ス場合ノ判士ノ區別ニ之ヲ準用ス
第六十條　上告、非常上告又ハ再審ノ審判ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判長ノ官等ハ原軍法會議ノ裁判長ヨリ下ルコトヲ得ス

第四章　軍律

第十六條　師團軍法會議ハ左ノ事件ニ付管轄權ヲ有ス
一　師管內ニ在リ又ハ師管內ニ於テ罪ヲ犯シタル第一條乃至第三條記載ノ者ニ對スル被告事件但シ被告人ノ所屬部隊ノ軍法會議師管內ニ在ラサル場合ニ限ル
二　數人共ニ同一又ハ別個ノ罪ヲ犯シタルトキ
三　數人通謀シテ各別ニ罪ヲ犯シタルトキ
四　數人同時ニ同一場所ニ於テ各別ニ罪ヲ犯シタルトキ
犯人藏匿ノ罪、證憑湮滅ノ罪、僞證ノ罪、虛僞ノ鑑定通譯ノ罪及贓物ニ關スル罪ト其ノ本犯ノ罪トハ共ニ犯シタルモノト看做ス
第二十四條　數個ノ軍法會議同一事件ニ付公訴ヲ受クタルトキハ第二十五條ニ規定シタル場合ヲ除クノ外最初ニ公訴ヲ受クタル軍法會議之ヲ審判ス
前項ノ場合ニ於テ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ後ニ公訴ヲ受ケタル事件ヲ併セテ審判スルコトヲ得ス
第二十五條　高等軍法會議及他ノ軍法會議同一事件ニ付公訴ヲ受ケタルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ後ニ公訴ヲ受ケタル事件ヲ併セテ審判スルコトヲ得ス
第二十六條　管轄ハ公訴提起後ニ於テハ被告人ノ轉屬、失官其ノ他管轄ヲ定ムル事由ノ變更ニ因リ變更セラルルコトナシ但シ被告人第十一條第一號ニ記載シタル身分ヲ取得シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第二十七條　第十一條第一號ニ記載シタル者被告人ナル場合ニ於テ其ノ現在地高等軍法會議ノ所在地ト交通斷絕シタルトキ又ハ其ノ所在地ト著シク離隔シ且審判急速ヲ要スルトキハ被告人ノ現在地又ハ其ノ附近ニ在ル軍法會議被告事件ヲ管轄スルコトヲ得ス
第二十八條　管轄軍法會議ニ於テ法律上ノ理由又ハ特別ノ事情ニ因リ裁判權ヲ行フコト能ハサルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ請

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

二一付部ヲ設ケ其部ニ部長ヲ置キ部長ハ判事ヲ以テ之ニ充ツ
第七十四條　地方裁判所ニ於テハ民事ニ關スル訴訟ヲ受理シ及ヒ其訴訟ニ關スル和解ヲ調ヘ又ハ督促手續ヲ行フ
第七十五條　地方裁判所ニ於テハ刑事ニ關スル訴訟ヲ受理シ及ヒ其訴訟ニ關スル豫審ヲ行フ
第七十六條　地方裁判所ニ於テハ非訟事件ヲ取扱フ
第七十七條　地方裁判所ニ於テハ登記ニ關スル事務ヲ取扱フ
第七十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第七十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百五十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ

二一付部ヲ設ケ其部ニ部長ヲ置キ部長ハ判事ヲ以テ之ニ充ツ
第七十四條　地方裁判所ニ於テハ民事ニ關スル訴訟ヲ受理シ及ヒ其訴訟ニ關スル和解ヲ調ヘ又ハ督促手續ヲ行フ
第七十五條　地方裁判所ニ於テハ刑事ニ關スル訴訟ヲ受理シ及ヒ其訴訟ニ關スル豫審ヲ行フ
第七十六條　地方裁判所ニ於テハ非訟事件ヲ取扱フ
第七十七條　地方裁判所ニ於テハ登記ニ關スル事務ヲ取扱フ
第七十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第七十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第八十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第九十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百二十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百三十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十一條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十二條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十三條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十四條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十五條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十六條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十七條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十八條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百四十九條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ
第百五十條　地方裁判所ニ於テハ第七十四條乃至第七十七條ニ掲ケタル事務ノ外法律ニ於テ地方裁判所ノ權限ニ屬スルモノヲ取扱フ

第百六十三條　裁判ノ執行ハ檢察官之ヲ指揮ス

第百六十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第百六十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百六十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百六十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百六十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百六十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百七十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百八十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第百九十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百二十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百三十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百四十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百五十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百六十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百七十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百八十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第二百九十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百二十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百三十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百四十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百五十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十六條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十七條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十八條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十九條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百八十條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百八十一條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百八十二條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百八十三條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百八十四條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第四百八十五條　檢察官ハ裁判ノ執行ニ關シ

第
有テハ看守ヲシテ其ノ動作ヲ監視セシムルコトヲ得
第
看守ハ前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ被告人ノ身体ヲ検査シ又ハ其ノ所持品ヲ領置スルコトヲ得
第
被告人ニ対シテハ其ノ自由ヲ不当ニ拘束スルノ虞アル処置ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ拘束ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ戒護ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ制限ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ監視ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ検査ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ捜索ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ差押ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ仮差押ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ仮処分ヲ為スコトヲ得ス
第
被告人ニ対シテハ其ノ防禦ニ必要ナル限度ヲ超エテ強制

第二百四十三條　被告人ハ檢察官ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ裁判所ノ決定ヲ經テ保釋ヲ許スコトヲ得

第二百四十四條　保釋ヲ許スニハ保證金ヲ納メシムルカ又ハ被告人ノ住所、居所又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百四十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百四十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百四十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百四十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百四十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百五十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百六十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百七十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百八十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第二百九十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百二十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百三十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百四十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百五十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百六十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百七十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十一條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十二條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十三條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十四條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十五條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十六條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十七條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十八條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第三百八十九條　保釋ヲ許スニハ裁判所ハ保證金ノ額ヲ定メ又ハ被告人ト認ムヘキ者ノ住所ニ於テ被告人ヲ監督スヘキ旨ヲ誓約セシムルニ止ムルコトヲ得

第

第二百九十五條　親告罪ニ付共犯ノ一人又ハ數人ニ對シテ為シタル告訴又ハ共ノ取消ハ他ノ共犯ニ對シ亦其ノ效ヲ生ス

第二百九十六條　何人ニ限ラス犯罪アリト思料スルトキハ告發ヲ為スコトヲ得

第二百九十七條　告訴又ハ告發ハ代理人ニ依リテ之ヲ為スコトヲ得

第二百九十八條　告訴又ハ告發ハ書面又ハ口頭ヲ以テ檢察官、陸軍司法警察官、檢事若ハ司法警察官又ハ之ニ相當スル官署ニ之ヲ為スヘシ

第二百九十九條　檢察官、陸軍司法警察官、檢事若ハ司法警察官又ハ相當官署口頭ノ告發ヲ受ケタルトキハ調書ヲ作ルヘシ

第三百條　第百八條第三項乃至第五項及第百十一條ノ規定ハ檢察官又ハ陸軍司法警察官ノ作ルヘキ前項ノ調書ニ之ヲ準用ス

第三百一條　檢事若ハ司法警察官又ハ相當官署告訴又ハ告發ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ關スル書類及證據物ヲ檢察官又ハ陸軍司法警察官ノ指定セル檢察官ニ送付スヘシ

第三百二條　檢察官ハ陸軍司法警察官ノ捜査ニ付テハ共ノ目的ヲ達スルニ必要ナル取調ヲ為スコトヲ得但シ强制ノ處分ハ別段ノ規定ヲ待タス之ヲ為スコトヲ得ス

第三百三條　檢察官又ハ陸軍司法警察官捜査ヲ為スニ付テハ共ノ目的ヲ達スルニ必要ナル取調ヲ為スコトヲ得但シ强制ノ處分ハ別段ノ規定ヲ待タス之ヲ為スコトヲ得ス

捜査ニ付テハ公務所ニ照會シテ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第三百四條　檢察官捜査ヲ為スニ付强制ノ處分ヲ必要トスルトキハ豫審請求前又ハ公訴提起ノ後ニ限リ豫審判事ニ其ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

第三百五條　豫審官前條ノ處分ヲ為スニハ檢察官ノ意見ヲ聽カサルヘカラス

第三百六條　陸軍司法警察官捜査ヲ為シタル時ハ其ノ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七條　檢察官捜査ヲ為シタルトキハ書類及證據物ヲ豫審官ニ送付スヘシ

第三百八條　檢察官捜査ノ報告ヲ受ケタルトキハ豫審請求ノ要否ヲ決定シ豫審請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ豫審請求ヲ取消スコトヲ得

第三百九條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ被告事件ニ付檢察官ノ捜査ヲ為スコトヲ得

第三百十條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百十一條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百十二條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百十三條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百十四條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百十五條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百十六條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百十七條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百十八條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百十九條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十一條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十二條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十三條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十四條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十五條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十六條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十七條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十八條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百二十九條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百三十條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百三十一條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百三十二條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百三十三條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百三十四條　檢察官捜査ヲ為スニ付テハ豫審ノ規定ニ依リ檢證、被告人ノ勾留、被告人若ハ證人ノ訊問又ハ鑑定ノ處分ヲ豫審ニ請求スルコトヲ得

第三百三十五條　檢察官事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ檢察官ノ捜査ヲ為スコトヲ得

第三百三十六條　檢察官捜査ヲ為シタル時ハ其ノ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百三十七條　檢察官捜査ヲ為シタルトキハ書類及證據物ヲ豫審官ニ送付スヘシ

第三百三十八條　檢察官捜査ヲ為スニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百三十九條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十一條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十二條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十三條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十四條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十五條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十六條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十七條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十八條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百四十九條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十一條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十二條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十三條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十四條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十五條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十六條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十七條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十八條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百五十九條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十一條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十二條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十三條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十四條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十五條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十六條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十七條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十八條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百六十九條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十一條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十二條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十三條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十四條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十五條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十六條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十七條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十八條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百七十九條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十一條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十二條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十三條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十四條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十五條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十六條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十七條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十八條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百八十九條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十一條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十二條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十三條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十四條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十五條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十六條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十七條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十八條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第三百九十九條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百一條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百二條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百三條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百四條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百五條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百六條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百七條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百八條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百九條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時ニテモ捜査ノ報告書ヲ檢察官ニ送付スヘシ

第四百十條　檢察官捜査ヲ為シタル場合ニ於テ被告事件ニ付豫審ノ請求ヲ為サス又ハ公訴ヲ提起セス又ハ豫審請求ヲ為シ若ハ公訴ヲ提起シタル後ト雖モ豫審ノ終結ニ至ル迄ハ何時

期日ハ之ヲ檢察官ニ通知スヘシ

第三百五十三條　第一回ノ期日ト被告人ニ對スル召喚狀ノ送達トノ間ニハ少クトモ三日ノ猶豫期間ヲ存スヘシ但シ特設軍法會議ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

被告人異議ナキトキハ前項ノ猶豫期間ヲ存セサルコトヲ得

第三百五十四條　裁判長ハ期日ヲ變更スルコトヲ得

期日ノ變更ニ關スル請求ヲ却下スル命令ハ之ヲ送達スルコトヲ要セス

第三百五十五條　軍法會議ハ第一回ノ期日ニ於ケル取調準備ノ爲期日前被告人ノ訊問ヲ爲シ又ハ受命裁判官ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得

第三百五十六條　軍法會議ハ第一回ノ期日ニ於ケル取調ノ爲期日前證據物若ハ證據書類ノ提出ヲ命シ又ハ證人、鑑定人、通事若ハ翻譯人ニ對シ期日ニ出頭スヘキ旨ノ召喚狀ヲ發スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ召喚スル證人、鑑定人、通事又ハ翻譯人ノ氏名ハ直ニ之ヲ訴訟關係人ニ通知スヘシ

檢察官、被告人又ハ辯護人ハ第一項ノ處分ヲ軍法會議ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ却下スルトキハ決定ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

前四項ノ規定ハ第二回以後ノ期日ニ於ケル取調ニ關シ之ヲ準用ス

第三百五十七條　檢察官、被告人又ハ辯護人ハ期日前證據物又ハ證據書類ヲ軍法會議ニ提出スルコトヲ得

第三百五十八條　軍法會議ハ證人疾病其ノ他事由ニ因リ期日ニ出頭スルコト能ハスト思料スルトキハ期日前之ヲ訊問シ又ハ受命檢察官及辯護人ハ前項ノ訊問ニ立會フコトヲ得

第二百八條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十九條　軍法會議ハ急速ヲ要スル場合ニ於テハ期日前鑑定若ハ翻譯ヲ爲サシメ又ハ押收、搜索若ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第三百六十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第三百六十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第三百六十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第三百六十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第三百六十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第三百六十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第三百六十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第三百六十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第三百六十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第三百六十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第三百七十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第三百七十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第三百七十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第三百七十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第三百七十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第三百七十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第三百七十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第三百七十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第三百七十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第三百七十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第三百八十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第三百八十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第三百八十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第三百八十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第三百八十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第三百八十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第三百八十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第三百八十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第三百八十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第三百八十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第三百九十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第三百九十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第三百九十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第三百九十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第三百九十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第三百九十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第三百九十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第三百九十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第三百九十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第三百九十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百二十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百二十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百二十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百二十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百二十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百二十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百二十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百二十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百二十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百二十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百三十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百三十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百三十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百三十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百三十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百三十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百三十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百三十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百三十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百三十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百四十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百四十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百四十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百四十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百四十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百四十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百四十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百四十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百四十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百四十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百五十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百五十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百五十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百五十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百五十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百五十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百五十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百五十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百五十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百五十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百六十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百六十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百六十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百六十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百六十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百六十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百六十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百六十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百六十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百六十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百七十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百七十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百七十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百七十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百七十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百七十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百七十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百七十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百七十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百七十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百八十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百八十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百八十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百八十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百八十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百八十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百八十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百八十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百八十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百八十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第四百九十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第四百九十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第四百九十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第四百九十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第四百九十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第四百九十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第四百九十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第四百九十七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第四百九十八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第四百九十九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第五百條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第五百一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第五百二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第五百三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第五百四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第五百五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第五百六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

裁判長ハ被告人ヲシテ在廷セシムル爲相當ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第五百七條　死刑又ハ無期若ハ短期一年以上ノ懲役若ハ禁錮ニ該ル事件ニ付テハ辯護人ナクシテ開廷スルコトヲ得ス但シ判決ノ宣告ヲ爲ス場合ハ此ノ限ニ在ラス

辯護人ハ退廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ裁判長ハ職權ヲ以テ辯護人ヲ附スヘシ

第五百八條　左ノ場合ニ於テ辯護人出廷セサルトキ又ハ辯護人ノ選任ナキトキハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ辯護人ヲ附スルコトヲ得

第五百九條　裁判長ハ檢證ヲ爲スコトヲ得

第五百十條　軍法會議ハ期日前公務所ニ照會シ必要ナル事項ノ報告ヲ求ムルコトヲ得

第五百十一條　期日ニ於ケル取調ハ公判廷ニ於テ之ヲ爲ス

公判廷ハ裁判官、檢察官及錄事列席シテ之ヲ開ク

第五百十二條　公判數日引續クヘキ見込アル事件ニ付テハ長官ハ同一人又ハ二人ニ補充裁判官ヲ命シ公判ニ立會ハシムルコトヲ得

補充裁判官ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

裁判長以外ノ判士疾病其ノ他ノ事故ニ因リ引續キ干與スルコトヲ得サル場合ニ於テハ裁判長ハ第四十九條又ハ第五十一條乃至第五十五條ニ規定スル區別ニ拘ラス補充裁判官ヲシテ之ニ代ラシムヘシ

第五百十三條　被告人期日ニ出頭セサルトキハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外開廷スルコトヲ得ス

第五百十四條　個金以下ノ刑ニ該ル事件ノ被告人ハ代人ヲシテ出頭セシムルコトヲ得

第五百十五條　被告人ハ公判廷ニ於テ身體ノ拘束ヲ受クルコトナシ但シ之ニ看守者ヲ附スルコトヲ得

第五百十六條　被告人ハ裁判長ノ許可アルニ非サレハ退廷スルコトヲ得ス

第三章　上告及非常上告

第四百十八條　上告ハ師團軍法會議ノ判決ニ對シテノ之ヲ爲スコトヲ得

第四百十九條　上告ハ判決ノ一部ニ對シテ之ヲ爲スコトヲ得其ノ部分ヲ限ラサルトキハ判決ノ全部ニ對シテ爲シタルモノトス

第四百二十條　上告ハ檢察官又ハ被告人之ヲ爲スコトヲ得

第四百二十一條　被告人ノ法定代理人、保佐人又ハ夫ハ被告人ノ爲獨立シテ上告ヲ爲スコトヲ得

第四百二十二條　原審ノ辯護人又ハ代人ハ被告人ノ爲上告ヲ爲スコトヲ得但シ被告人ノ明示シタル意思ニ反スルコトヲ得ス

第四百二十三條　上告ハ法令違反ヲ理由トスルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

第四百二十四條　左ノ場合ニ於テハ當ニ上告ノ理由アルモノトス

一　法律ニ從ヒ軍法會議ヲ構成セサリシトキ

二　法律ニ依リ職務ノ執行ヨリ除斥セラルヘキ裁判官審判ニ干與シタルトキ

三　審理ニ干與セサリシ裁判官判決ニ干與シタルトキ

四　軍法會議不當ニ管轄又ハ管轄違ヲ認メタルトキ

五　軍法會議不當ニ公訴ヲ受理シ又ハ之ヲ棄却シタルトキ

六　審判ノ公開ニ關スル規定ニ違ヒタルトキ

七　法律ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外被告人ノ出廷ナクシテ審判ヲ爲シタルトキ

八　公判廷ニ於テ被告人ノ身體ヲ拘束シタルトキ

九　法律ニ依リ辯護人ヲ要スル事件又ハ決定ニ依リ辯護人ヲ附シタル事件ニ付其ノ出廷ナクシテ審理ヲ爲シタルトキ

十　檢察官ノ爲ス被告事件ノ陳述ヲ聽カスシテ審判ヲ爲シタルトキ

十一　法律ニ依リ公判ニ於テ取調フヘキ證據ノ取調ヲ爲ササリシトキ

十二　公判ニ於テ爲シタル證據調ノ請求ニ付決定ヲ爲スヘキ場合ニ於テ之ヲ爲ササリシトキ

十三　法律ニ依リ公判手續ヲ停止又ハ更新スヘキ事由アル場合ニ於テ之ヲ停止又ハ更新セサリシトキ

十四　辯論ノ最終ニ被告人又ハ辯護人ヲシテ陳述ヲ爲サシメサリシトキ

十五　請求ヲ受ケタル事項ニ付判決ヲ爲サス又ハ請求ヲ受ケサル事項ニ付判決ヲ爲シタルトキ

十六　判決ニ理由ヲ附セス又ハ理由ニ齟齬アルトキ

十七　判決書ニ裁判官ノ署名若ハ捺印又ハ契印ヲ缺キタルトキ

第四百二十五條　前條ノ場合ヲ除クノ外法令ニ違反シタルコトアリト雖判決ニ影響ヲ及ホササルコト明白ナルトキハ之ヲ上告ノ理由ト爲スコトヲ得ス

第四百二十六條　判決アリタル後刑ノ廢止若ハ變更又ハ大赦アリタルトキハ之ヲ上告ノ理由ト爲スコトヲ得

第四百二十七條　上告ノ提起期間ハ三日トス

前項ノ期間ハ判決告知ノ時ヨリ以テ始ル

第四百二十八條　檢察官又ハ被告人ハ上告ノ拋棄又ハ取下ヲ爲スコトヲ得但シ被告人第四百二十一條ニ記載シタル者ノ同意ヲ得タル場合ニ非サレハ拋棄又ハ取下ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十九條　第四百二十一條ニ記載シタル者ハ被告人ノ同意ヲ得テ上告ノ取下ヲ爲スコトヲ得

第四百三十條　上告ハ對手人ノ同意アルニ非サレハ之ヲ取下ルコトヲ得ス

第四百三十一條　上告拋棄ノ申立ハ原審法令違反ノ場合ニ於テハ尚上告趣意書ニ表示スヘシ

第四百三十二條　上告拋棄ノ申立ハ原審法令違反ノ場合ニ於テハ尚上告趣意書ニ表示スヘシ但シ別段ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第四百三十三條　法令ノ適用セサルコト、法令ノ適用ヲ誤リタルコト、判決アリタル後刑由トシテ原判決ヲ破毀スル場合ニ於テ被告事件ノ非實原判決ニ依リテリトルトキハ高等軍法會議ノ決定ヲ以テ其ノ事件ヲ原軍法會議ニ差戻スヘシ但シ原判決ヲ破毀スルトキハ判決ヲ以テ其ノ事件ヲ原軍法會議ニ移送スヘシ

第四百三十四條　被告人上告ヲ爲シ又ハ被告人ノ利益ノ爲上告ヲ爲シタル事件ニ付テハ高等軍法會議ハ原判決ヲ破毀スルトキハ判決ヲ以テ其ノ事件ヲ原軍法會議ニ移送スヘシ

第四百三十五條　上告ノ趣意及重要ナル答辯ノ要旨ハ之ヲ判決書ニ記載スヘシ

第四百三十六條　不當ニ管轄ヲ認メタルコトヲ理由トシテ原判決ヲ破毀スルトキハ判決ヲ以テ其ノ事件ヲ原軍法會議ニ差戻シ又ハ原軍法會議ニ移送スヘシ但シ原判決ヲ破毀スルトキ亦同シ

第四百三十七條　不當ニ管轄違ヲ認メ又ハ公訴ヲ棄却シタルコトヲ理由トシテ原判決ヲ破毀スルトキハ判決ヲ以テ其ノ事件ヲ原軍法會議ニ差戻シ又ハ原軍法會議ニ移送スヘシ但シ原判決ヲ破毀スルトキ亦同シ

第四百三十八條　高等軍法會議ハ軍法會議ノ要旨ヲ記載シタル書面ヲ以テ上告ヲ棄却スヘシ

第四百三十九條　監獄ニ在ル者上告ヲ爲シタルトキハ監獄ノ長又ハ其ノ代理者ノ經由シテ其ノ申立書ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ上告ノ提起期間内ニ申立書ヲ監獄ノ長又ハ其ノ代理者ニ差出シタルトキハ上告申立ノ效力ヲ生ス

監獄ニ在ル者ヨリ申立書ヲ作ルコト能ハサルトキハ監獄ノ長又ハ其ノ代理者ハ之ヲ代書シ又ハ所屬官吏ヲシテ之ヲ代書セシムヘシ

監獄ノ長又ハ其ノ代理者ハ原軍法會議ニ申立書ヲ送付シ且之ヲ受取リタル年月日時ヲ通知スヘシ

第四百四十條　前條ノ規定ハ上告ノ拋棄若ハ取下又ハ上告權回復ノ請求ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百四十一條　上告ノ申立、拋棄若ハ取下又ハ上告權回復ノ請求ヲ爲サントスル者ハ速ニ之ヲ對手人ニ通知スヘシ

第四百四十二條　上告ノ申立法律上ノ方式ニ違ヒタルトキハ高等軍法會議ノ判決確定後其ノ事件ニ付テハ原軍法會議ニ於テ其ノ犯罪ニ付公訴ヲ實行スルコト能ハサルトキハ其ノ事由及犯罪事實ヲ證明シテ再審ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百四十三條　前條ノ場合ヲ除クノ外原軍法會議ハ書類ヲ具ノ軍法會議ノ檢察官ニ送付シ檢察官ハ之ヲ高等軍法會議ノ檢察官ニ送付スヘシ

高等軍法會議ノ檢察官ハ書類ヲ其ノ軍法會議ニ送付スヘシ

第四百四十四條　高等軍法會議ハ遲クトモ最初ニ定メタル公判期日ノ三十日前ニ其ノ期日ヲ上告人及對手人ニ通知スヘシ

最初ニ公判期日ヲ定ムル前辯護人ノ選任アリタルトキハ被告人ニ對シ之ヲ爲スヘシ

第四百四十五條　上告人ハ遲クトモ最初ニ定メタル公判期日ノ十四日前ニ上告趣意書ヲ高等軍法會議ニ差出スヘシ

第四百四十六條　上告ノ對手人ハ最初ニ定メタル公判期日ノ十四日前迄上告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ上告ハ上告趣意書ヲ高等軍法會議ニ差出スニ依リテ之ヲ爲ス

第四百四十七條　上告趣意書ニハ法令違反ノ理由ヲ明示スヘシ

訴訟手續ニ違反スルコトヲ理由トスル場合ニ於テハ尚違反ニ關スル事實ヲ表示スヘシ

第四百四十八條　高等軍法會議ハ上告趣意書ヲ受取リタルトキハ速ニ其ノ謄本ヲ對手人ニ送達スヘシ

第四百四十九條　上告人期間内ニ上告趣意書ヲ差出ササルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ上告ヲ棄却スヘシ

第四百五十條　前條ノ規定ハ上告ノ拋棄若ハ取下又ハ上告權回復ノ請求ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百五十一條　上告ノ申立、拋棄若ハ取下又ハ上告權回復ノ請求ヲ爲サントスル者ハ速ニ之ヲ對手人ニ通知スヘシ

第四百五十二條　上告ノ申立法律上ノ方式ニ違ヒタルトキハ高等軍法會議ハ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百五十三條　上告權回復ノ請求ニ付テハ高等軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百五十四條　第四百二十條乃至第四百二十二條ニ記載シタル者自己又ハ代人ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ上告ノ提起期間内ニ上告ヲ爲スコト能ハサリシトキハ原軍法會議ニ上告權回復ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百五十五條　上告權回復ノ請求ハ事由ノ止ミタル時ヨリ三日内ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

上告權回復ノ原因タル事實ハ之ヲ疏明スヘシ

上告權回復ノ請求ヲ爲ス者ハ其ノ請求ト同時ニ原軍法會議ニ上告ノ申立書ヲ差出スヘシ

第四百五十六條　上告權回復ノ請求ニ付テハ高等軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百五十七條　上告權回復ノ請求アリタルトキハ前條ノ決定ヲ爲ス迄裁判ノ執行ヲ停止スル決定ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ裁判ノ執行ヲ停止スル決定ヲ爲ストキハ被告人ニ對シ勾留狀ヲ發スルコトヲ得

第四百五十八條　上告ヲ爲スニハ申立書ヲ原軍法會議ニ差出スヘシ

第四百五十九條　監獄ニ在ル者上告ヲ爲スニハ監獄ノ長又ハ其ノ代理者ヲ經由シテ其ノ申立書ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ上告ノ提起期間内ニ申立書ヲ監獄ノ長又ハ其ノ代理者ニ差出シタルトキハ上告申立ノ效力ヲ生ス

監獄ニ在ル者ヨリ申立書ヲ作ルコト能ハサルトキハ監獄ノ長又ハ其ノ代理者ハ之ヲ代書シ又ハ所屬官吏ヲシテ之ヲ代書セシムヘシ

監獄ノ長又ハ其ノ代理者ハ原軍法會議ニ申立書ヲ送付シ且之ヲ受取リタル年月日時ヲ通知スヘシ

第四百六十條　非常上告ヲ爲スニハ其ノ理由ヲ記載シタル申立書ヲ高等軍法會議ニ差出スヘシ

第四百六十一條　期日ニハ檢察官ハ申立書ニ基キ陳述ヲ爲スヘシ

第四百六十二條　高等軍法會議非常上告ヲ理由ナシトスルトキハ判決ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百六十三條　上告ノ趣意及重要ナル答辯ノ要旨ハ之ヲ判決書ニ記載スヘシ

第四百六十四條　被告人上告ヲ爲シ又ハ被告人ノ利益ノ爲上告ヲ爲シタル事件ニ付テハ高等軍法會議ハ原判決ヲ破毀スルトキハ判決ヲ以テ其ノ事件ヲ原軍法會議ニ移送スヘシ

第四百六十五條　上告ノ趣意及重要ナル答辯ノ要旨ハ之ヲ判決書ニ記載スヘシ

第四百六十六條　師團軍法會議不當ニ公訴棄却ノ決定ヲ爲スヘキ場合ニ於テ之ヲ爲ササリシトキハ高等軍法會議ハ決定ヲ以テ公訴ヲ棄却スヘシ

第四百六十七條　事件ノ差戻又ハ移送ヲ受ケタル軍法會議ハ其ノ事件ニ付高等軍法會議ノ表示シタル法律上ノ意見ニ羈束セラル

第四百六十八條　軍法會議ノ判決確定後其ノ判決法律ニ於テ側セサル所爲ニ對シ刑ヲ言渡シ又ハ相當ノ刑ヨリ重キ刑ヲ言渡シタルトキハ高等軍法會議ノ長官ハ檢察官ヲシテ高等軍法會議ニ非常上告ヲ爲サシムルコトヲ得

始審ノ確定判決ニ對シテ再審ヲ請求シタル事件ニ付再審ノ判決アリタル後上告棄却ノ判決ニ對シテ再審ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第四百六十六條　前三條ノ規定ニ從ヒ確定判決ニ因リ犯罪ノ證明セラレタルコトヲ再審ノ原由トシ爲スヘキ場合ニ於テ其ノ犯罪ニ付公訴ヲ實行スルコト能ハサルトキハ其ノ事由及犯罪事實ヲ證明シテ再審ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百六十七條　再審ノ請求ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外原判決ヲ爲シタル軍法會議ニ之ヲ爲スヘシ

第四百六十八條　再審ノ請求ハ左ノ場合ニ於テ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲之ヲ爲スコトヲ得

一　原判決ノ證據トシタル證書又ハ證據物確定判決ニ因リ僞造又ハ變造ナリシコト證明セラレタルトキ

二　原判決ノ證據トシタル證言、鑑定、通譯又ハ翻譯確定判決ニ因リ僞證又ハ虛僞ノ鑑定、通譯若ハ翻譯ナリシコト證明セラレタルトキ

三　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ誣告シタル罪確定判決ニ因リ證明セラレタルトキ但シ誣告ニ因リ刑ノ言渡ヲ受ケタルトキニ限ル

四　原判決ノ證據トシタル裁判確定裁判ニ因リ變更セラレタルトキ

五　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテ無罪又ハ免訴ヲ言渡スヘキ明確ナル證據又ハ原判決ニ於テ認メタル罪ヨリ輕キ罪ヲ認ムヘキ明確ナル證據ヲ新ニ發見シタルトキ

第四百六十九條　非常上告ヲ爲スハ其ノ理由ヲ記載シタル申立書ヲ高等軍法會議ニ差出スヘシ

第四百七十條　期日ニハ檢察官ハ申立書ニ基キ陳述ヲ爲スヘシ

第四百七十一條　高等軍法會議非常上告ヲ理由ナシトスルトキハ判決ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百七十二條　高等軍法會議非常上告ヲ理由アリトスルトキハ原判決ヲ破毀シ更ニ判決ヲ爲スヘシ但シ原判決ヲ破毀スルトキ亦同シ

第四百七十三條　再審ノ請求ハ左ノ場合ニ於テ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲之ヲ爲スコトヲ得

一　原判決ノ證據トシタル證書又ハ證據物確定判決ニ因リ僞造又ハ變造ナリシコト證明セラレタルトキ

二　原判決ノ證據トシタル證言、鑑定、通譯又ハ翻譯確定判決ニ因リ僞證又ハ虛僞ノ鑑定、通譯若ハ翻譯ナリシコト證明セラレタルトキ

三　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ誣告シタル罪確定判決ニ因リ證明セラレタルトキ但シ誣告ニ因リ刑ノ言渡ヲ受ケタルトキニ限ル

四　原判決ノ證據トシタル裁判確定裁判ニ因リ變更セラレタルトキ

五　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテ無罪又ハ免訴ヲ言渡スヘキ明確ナル證據又ハ原判決ニ於テ認メタル罪ヨリ輕キ罪ヲ認ムヘキ明確ナル證據ヲ新ニ發見シタルトキ

第四百七十四條　前三條ノ場合ヲ除クノ外原軍法會議ハ書類ヲ具ノ軍法會議ノ檢察官ニ送付シ檢察官ハ之ヲ高等軍法會議ノ檢察官ニ送付スヘシ

高等軍法會議ノ檢察官ハ書類ヲ其ノ軍法會議ニ送付スヘシ

第四百七十五條　高等軍法會議ハ遲クトモ最初ニ定メタル公判期日ノ三十日前ニ其ノ期日ヲ上告人及對手人ニ通知スヘシ

最初ニ公判期日ヲ定ムル前辯護人ノ選任アリタルトキハ被告人ニ對シ之ヲ爲スヘシ

第四百七十六條　上告人ハ遲クトモ最初ニ定メタル公判期日ノ十四日前ニ上告趣意書ヲ高等軍法會議ニ差出スヘシ

第四百七十七條　上告ノ對手人ハ最初ニ定メタル公判期日ノ十四日前迄上告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ上告ハ上告趣意書ヲ高等軍法會議ニ差出スニ依リテ之ヲ爲ス

第四百七十八條　上告趣意書ニハ法令違反ノ理由ヲ明示スヘシ

訴訟手續ニ違反スルコトヲ理由トスル場合ニ於テハ尚違反ニ關スル事實ヲ表示スヘシ

第四百七十九條　高等軍法會議ハ上告趣意書ヲ受取リタルトキハ速ニ其ノ謄本ヲ對手人ニ送達スヘシ

第四百八十條　上告人期間内ニ上告趣意書ヲ差出ササルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ上告ヲ棄却スヘシ

第四百八十一條　前條ノ規定ハ上告ノ拋棄若ハ取下又ハ上告權回復ノ請求ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十二條　上告ノ申立、拋棄若ハ取下又ハ上告權回復ノ請求ヲ爲サントスル者ハ速ニ之ヲ對手人ニ通知スヘシ

第四百八十三條　上告ノ申立法律上ノ方式ニ違ヒタルトキハ高等軍法會議ハ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百八十四條　上告權回復ノ請求ニ付テハ高等軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百八十五條　上告權回復ノ請求ニ付決定ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ尚上告ノ提起期間内ニ上告ヲ爲スコト能ハサリシトキハ原軍法會議ニ上告權回復ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百八十六條　原軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ上告權回復ノ請求ヲ許スヘキカ否ヲ決定スヘシ

第四百八十七條　上告權回復ノ請求アリタルトキハ前條ノ決定ヲ爲ス迄裁判ノ執行ヲ停止スル決定ヲ爲スヘシ

第四百八十八條　上告權回復ノ請求ヲ許スヘキカ否ヲ決定スル迄上告ノ提起期間ハ進行セス

第四百八十九條　上告權回復ノ請求ヲ許サス又ハ之ヲ棄却シタルトキハ上告ノ提起期間ハ其ノ請求ヲ爲シタル時ヨリ進行ス

第四百九十條　上告ノ提起期間内ニ上告ヲ爲サス又ハ上告ヲ棄却シタルトキハ判決ハ確定ス

第四百九十一條　上告ノ提起期間内ニ上告ヲ爲シタルトキハ判決ハ確定ヲ遮斷ス

第四百九十二條　上告ノ拋棄又ハ取下アリタルトキハ判決ハ確定ス

第四百九十三條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス但シ第四百二十九條ニ記載シタル者ノ拋棄又ハ取下ハ此ノ限ニ在ラス

第四百九十四條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ公判廷ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十五條　上告ノ拋棄又ハ取下ヲ爲シタル者ハ上告ヲ爲シタル裁判所ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第四百九十六條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第四百九十七條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ上告ノ效力ヲ消滅セシムル行爲ニ對シテハ之ヲ取消スコトヲ得ス

第四百九十八條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ公判廷ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十九條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ公判廷ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十九條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ公判廷ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第四百六十九條　非常上告ヲ爲スニハ其ノ理由ヲ記載シタル申立書ヲ高等軍法會議ニ差出スヘシ

第四百七十條　期日ニハ檢察官ハ申立書ニ基キ陳述ヲ爲スヘシ

第四百七十一條　高等軍法會議非常上告ヲ理由ナシトスルトキハ判決ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百七十二條　高等軍法會議非常上告ヲ理由アリトスルトキハ原判決ヲ破毀シ更ニ判決ヲ爲スヘシ但シ原判決ヲ破毀スルトキ亦同シ

第四章　再審

第四百七十三條　再審ノ請求ハ左ノ場合ニ於テ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ利益ノ爲之ヲ爲スコトヲ得

一　原判決ノ證據トシタル證書又ハ證據物確定判決ニ因リ僞造又ハ變造ナリシコト證明セラレタルトキ

二　原判決ノ證據トシタル證言、鑑定、通譯又ハ翻譯確定判決ニ因リ僞證又ハ虛僞ノ鑑定、通譯若ハ翻譯ナリシコト證明セラレタルトキ

三　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ヲ誣告シタル罪確定判決ニ因リ證明セラレタルトキ但シ誣告ニ因リ刑ノ言渡ヲ受ケタルトキニ限ル

四　原判決ノ證據トシタル裁判確定裁判ニ因リ變更セラレタルトキ

五　刑ノ言渡ヲ受ケタル者ニ對シテ無罪又ハ免訴ヲ言渡スヘキ明確ナル證據又ハ原判決ニ於テ認メタル罪ヨリ輕キ罪ヲ認ムヘキ明確ナル證據ヲ新ニ發見シタルトキ

第四百七十四條　前三條ノ場合ヲ除クノ外原軍法會議ハ書類ヲ具ノ軍法會議ノ檢察官ニ送付シ檢察官ハ之ヲ高等軍法會議ノ檢察官ニ送付スヘシ

高等軍法會議ノ檢察官ハ書類ヲ其ノ軍法會議ニ送付スヘシ

第四百七十五條　高等軍法會議ハ遲クトモ最初ニ定メタル公判期日ノ三十日前ニ其ノ期日ヲ上告人及對手人ニ通知スヘシ

最初ニ公判期日ヲ定ムル前辯護人ノ選任アリタルトキハ被告人ニ對シ之ヲ爲スヘシ

第四百七十六條　上告人ハ遲クトモ最初ニ定メタル公判期日ノ十四日前ニ上告趣意書ヲ高等軍法會議ニ差出スニ依リテ之ヲ爲ス

第四百七十七條　上告ノ對手人ハ最初ニ定メタル公判期日ノ十四日前迄上告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ上告ハ上告趣意書ヲ高等軍法會議ニ差出スニ依リテ之ヲ爲ス

第四百七十八條　上告趣意書ニハ法令違反ノ理由ヲ明示スヘシ

訴訟手續ニ違反スルコトヲ理由トスル場合ニ於テハ尚違反ニ關スル事實ヲ表示スヘシ

第四百七十九條　高等軍法會議ハ上告趣意書ヲ受取リタルトキハ速ニ其ノ謄本ヲ對手人ニ送達スヘシ

第四百八十條　上告人期間内ニ上告趣意書ヲ差出ササルトキハ高等軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ上告ヲ棄却スヘシ

第四百八十一條　前條ノ規定ハ上告ノ拋棄若ハ取下又ハ上告權回復ノ請求ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百八十二條　上告ノ申立、拋棄若ハ取下又ハ上告權回復ノ請求ヲ爲サントスル者ハ速ニ之ヲ對手人ニ通知スヘシ

第四百八十三條　上告ノ申立法律上ノ方式ニ違ヒタルトキハ高等軍法會議ハ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百八十四條　上告權回復ノ請求ニ付テハ高等軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第四百八十五條　上告權回復ノ請求ニ付決定ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ尚上告ノ提起期間内ニ上告ヲ爲スコト能ハサリシトキハ原軍法會議ニ上告權回復ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第四百八十六條　原軍法會議ハ檢察官ノ意見ヲ聽キ決定ヲ以テ上告權回復ノ請求ヲ許スヘキカ否ヲ決定スヘシ

第四百八十七條　上告權回復ノ請求アリタルトキハ前條ノ決定ヲ爲ス迄裁判ノ執行ヲ停止スル決定ヲ爲スヘシ

第四百八十八條　上告權回復ノ請求ヲ許サス又ハ之ヲ棄却シタルトキハ上告ノ提起期間ハ其ノ請求ヲ爲シタル時ヨリ進行ス

第四百八十九條　上告ノ提起期間内ニ上告ヲ爲サス又ハ上告ヲ棄却シタルトキハ判決ハ確定ス

第四百九十條　上告ノ提起期間内ニ上告ヲ爲シタルトキハ判決ハ確定ヲ遮斷ス

第四百九十一條　上告ノ拋棄又ハ取下アリタルトキハ判決ハ確定ス

第四百九十二條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス但シ第四百二十九條ニ記載シタル者ノ拋棄又ハ取下ハ此ノ限ニ在ラス

第四百九十三條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ公判廷ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十四條　上告ノ拋棄又ハ取下ヲ爲シタル者ハ上告ヲ爲シタル裁判所ニ對シ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第四百九十五條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ之ヲ撤回スルコトヲ得ス

第四百九十六條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ公判廷ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第四百九十七條　上告ノ拋棄又ハ取下ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ但シ公判廷ニ於テハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第
逮捕ハ他ノ証拠ニ依リ犯罪ノ嫌疑アル者ニ対シ其ノ逃亡ヲ防ギ又ハ証拠ノ湮滅ヲ防ク為メ之ヲ為スモノトス
逮捕ハ必要ノ場合ニ限リ之ヲ為スコトヲ得
逮捕ヲ為ス場合ニ於テ犯罪ノ現行者ニ非サルトキハ逮捕状ヲ示スコトヲ要ス
逮捕状ニハ被疑者ノ氏名年齢若シ之ヲ知ラサルトキハ其ノ人相体貌被疑事実ノ要旨及ヒ逮捕ノ場所ヲ記載シ検事之ニ署名捺印スルモノトス
逮捕状ハ被疑者ニ対シ之ヲ示スコトヲ要

第五百四十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百四十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百五十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百六十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百七十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百八十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第五百九十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百二十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百三十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百四十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百五十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百六十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百七十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百八十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十一條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十二條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十三條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十四條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十五條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十六條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十七條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十八條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第六百九十九條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ免除ヲ得タル後ト雖モ其ノ軍人タル間ニ犯シタル罪ニ付テハ軍法會議ニ於テ之ヲ審判ス

第七百條　軍人ニ對シ刑ノ執行ヲ終ヘ又ハ其ノ

一　懲戒令ニ依リ懲戒委員會ノ審査ニ付セラレタルトキ
二　刑事事件ニ關シ起訴セラレタルトキ
三　官制又ハ定員ノ改正ニ因リ過員ヲ生シタルトキ
四　戰時又ハ事變ニ際シ臨時增員シタル場合ニ於テ其ノ必要止ミ過員ヲ生シタルトキ
五　病氣ノ爲執務セサルコト六月ニ亘リタルトキ

第五十條　特設軍法會議及要港部軍法會議ニ於テハ長官ハ海軍ノ將校相當官ヲシテ法務官ニ代リ裁判官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第五十一條　合圍地軍法會議ニ於テハ長官ハ合圍地境ニ在ル判任文官ヲシテ法務官ニ代リ裁判官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第五十二條　高等軍法會議ニ於テハ判士三人及法務官二人ヲ以テ裁判官トス

前項ノ判士ハ左ノ區別ニ從フ

一　被告人下士官又ハ兵ナルトキハ佐官二人尉官一人

二　士官ナルトキハ將官一人佐官二人

三　被告人佐官ナルトキハ將官二人佐官一人又ハ將官三人

四　被告人將官ナルトキハ將官四人

前項ノ判士ハ其ノ官等被告人ヨリ下ルコトヲ得ス

第五十三條　被告人軍屬、陸軍軍人又ハ陸軍軍屬ナルトキハ其ノ官等、等級又ハ階級ニ從ヒ第四十九條又ハ前條ノ例ニ依リ判士ヲ區別ス

第五十四條　被告人第四十九條、第五十二條及前條ニ記載シタル者ニ非サルトキハ下士官又ハ兵ニ準シ判士ヲ區別ス

前項ノ場合ニ於テ長官ハ事情ニ因リ判士ノ區別ヲ變更スルコトヲ得

第五十五條　被告人佯病ナルトキハ第四十九條及第五十二條乃至前條ノ規定ニ準シ判士ヲ區別ス

第五十六條　長官ハ所管軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件ニ付他ノ軍法會議ニ於テ裁判官ヲ以テ之ヲ充テ上席判士ヲ裁判長トス

特設軍法會議ニ於テハ上席判士及法務官ヲ除ノ外裁判官二人ヲ減スルコトヲ得

第五十七條　審判官ハ裁判官五人ヲ以テ構成シタル會議ニ於テ之ヲ爲ス

裁判官ハ判士及法務官ヲ以テ之ヲ充テ上席判士ヲ裁判長トス

第五十八條　法務官ハ事件ノ審判ニ關スル規程ニ從ヒ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十九條　上告、非常上告又ハ再審ノ審判ヲ爲ス場合ニ於テハ裁判長ノ官等ハ原軍法會議ノ裁判長ヨリ下ルコトヲ得ス

第六十條　豫審ハ豫審官之ヲ行フ

第六十一條　豫審官ハ法務官ヲシテ豫審ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第六十二條　豫審ノ法務官中ヨリ長官之ヲ命ス

第六十三條　特設軍法會議及要港部軍法會議ニ於テハ長官ハ海軍ノ將校又ハ將校相當官ヲシテ豫審官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第六十四條　合圍地軍法會議ニ於テハ長官ハ合圍地境ニ在ル高等交官ヲシテ豫審官ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第六十五條　海軍大臣ハ公訴及搜査ヲ指揮監督ス

第六十六條　長官ハ所管軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件ニ付公訴ヲ指揮ス

長官ハ所管軍法會議ノ管轄ニ屬スル事件、之ト牽連スル事件及所管部隊内ノ犯罪事件ニ付搜査ヲ指揮ス

第六十七條　檢察官ハ長官ニ隸屬シ搜査ヲ爲シ公訴ヲ行フ

第六十八條　檢察官ハ法務官中ヨリ長官之ヲ命ス

第六章　檢察機關

第六十九條　軍法會議ハ審判ヲ以テ構成ス

審判ハ判士三人ヲ以テ構成ス

第七十條　審判ハ判士五人ヲ以テ構成ス

第七十一條　審判ハ判士七人ヲ以テ構成ス

第七十二條　審判ハ判士九人ヲ以テ構成ス

第七十三條　審判ハ判士十一人ヲ以テ構成ス

第七十四條　審判ハ判士十三人ヲ以テ構成ス

第七十五條　審判ハ判士十五人ヲ以テ構成ス

第七十六條　審判ハ判士十七人ヲ以テ構成ス

第七十七條　審判ハ判士十九人ヲ以テ構成ス

第七十八條　審判ハ判士二十一人ヲ以テ構成ス

第七十九條　審判ハ判士二十三人ヲ以テ構成ス

第八十條　審判ハ判士二十五人ヲ以テ構成ス

第八十一條　審判ハ判士二十七人ヲ以テ構成ス

第八十二條　審判ハ判士二十九人ヲ以テ構成ス

第八十三條　審判ハ判士三十一人ヲ以テ構成ス

第八十四條　審判ハ判士三十三人ヲ以テ構成ス

第八十五條　審判ハ判士三十五人ヲ以テ構成ス

第八十六條　審判ハ判士三十七人ヲ以テ構成ス

第八十七條　審判ハ判士三十九人ヲ以テ構成ス

第八十八條　審判ハ判士四十一人ヲ以テ構成ス

第八十九條　審判ハ判士四十三人ヲ以テ構成ス

第九十條　審判ハ判士四十五人ヲ以テ構成ス

第九十一條　審判ハ判士四十七人ヲ以テ構成ス

第九十二條　審判ハ判士四十九人ヲ以テ構成ス

第九十三條　審判ハ判士五十一人ヲ以テ構成ス

第九十四條　審判ハ判士五十三人ヲ以テ構成ス

第九十五條　審判ハ判士五十五人ヲ以テ構成ス

第九十六條　審判ハ判士五十七人ヲ以テ構成ス

第九十七條　審判ハ判士五十九人ヲ以テ構成ス

第九十八條　審判ハ判士六十一人ヲ以テ構成ス

第九十九條　審判ハ判士六十三人ヲ以テ構成ス

第百條　審判ハ判士六十五人ヲ以テ構成ス

第百一條　審判ハ判士六十七人ヲ以テ構成ス

第百二條　審判ハ判士六十九人ヲ以テ構成ス

第百三條　審判ハ判士七十一人ヲ以テ構成ス

第百四條　審判ハ判士七十三人ヲ以テ構成ス

第百五條　審判ハ判士七十五人ヲ以テ構成ス

第百六條　審判ハ判士七十七人ヲ以テ構成ス

第百七條　審判ハ判士七十九人ヲ以テ構成ス

第百八條　審判ハ判士八十一人ヲ以テ構成ス

第百九條　審判ハ判士八十三人ヲ以テ構成ス

第百十條　審判ハ判士八十五人ヲ以テ構成ス

第百十一條　審判ハ判士八十七人ヲ以テ構成ス

第百十二條　審判ハ判士八十九人ヲ以テ構成ス

第百十三條　審判ハ判士九十一人ヲ以テ構成ス

第百十四條　審判ハ判士九十三人ヲ以テ構成ス

第百十五條　審判ハ判士九十五人ヲ以テ構成ス

第百十六條　審判ハ判士九十七人ヲ以テ構成ス

第百十七條　審判ハ判士九十九人ヲ以テ構成ス

第百十八條　審判ハ判士百一人ヲ以テ構成ス

第百十九條　審判ハ判士百三人ヲ以テ構成ス

第百二十條　審判ハ判士百五人ヲ以テ構成ス

第百二十一條　審判ハ判士百七人ヲ以テ構成ス

第百二十二條　審判ハ判士百九人ヲ以テ構成ス

第百二十三條　審判ハ判士百十一人ヲ以テ構成ス

第百二十四條　審判ハ判士百十三人ヲ以テ構成ス

第百二十五條　審判ハ判士百十五人ヲ以テ構成ス

第百二十六條　審判ハ判士百十七人ヲ以テ構成ス

第百二十七條　審判ハ判士百十九人ヲ以テ構成ス

第百二十八條　審判ハ判士百二十一人ヲ以テ構成ス

第百二十九條　審判ハ判士百二十三人ヲ以テ構成ス

第百三十條　審判ハ判士百二十五人ヲ以テ構成ス

第百三十一條　審判ハ判士百二十七人ヲ以テ構成ス

第百三十二條　審判ハ判士百二十九人ヲ以テ構成ス

第百三十三條　審判ハ判士百三十一人ヲ以テ構成ス

第百三十四條　審判ハ判士百三十三人ヲ以テ構成ス

第百三十五條　審判ハ判士百三十五人ヲ以テ構成ス

第百三十六條　審判ハ判士百三十七人ヲ以テ構成ス

第百三十七條　審判ハ判士百三十九人ヲ以テ構成ス

第百三十八條　審判ハ判士百四十一人ヲ以テ構成ス

第百三十九條　審判ハ判士百四十三人ヲ以テ構成ス

第百四十條　審判ハ判士百四十五人ヲ以テ構成ス

第百四十一條　審判ハ判士百四十七人ヲ以テ構成ス

第百四十二條　審判ハ判士百四十九人ヲ以テ構成ス

第百四十三條　審判ハ判士百五十一人ヲ以テ構成ス

第百四十四條　審判ハ判士百五十三人ヲ以テ構成ス

第百四十五條　審判ハ判士百五十五人ヲ以テ構成ス

第百四十六條　審判ハ判士百五十七人ヲ以テ構成ス

第百四十七條　審判ハ判士百五十九人ヲ以テ構成ス

第百四十八條　審判ハ判士百六十一人ヲ以テ構成ス

第百四十九條　審判ハ判士百六十三人ヲ以テ構成ス

第百五十條　審判ハ判士百六十五人ヲ以テ構成ス

第百五十一條　審判ハ判士百六十七人ヲ以テ構成ス

第百五十二條　審判ハ判士百六十九人ヲ以テ構成ス

第百五十三條　審判ハ判士百七十一人ヲ以テ構成ス

第百五十四條　審判ハ判士百七十三人ヲ以テ構成ス

第百五十五條　審判ハ判士百七十五人ヲ以テ構成ス

第百五十六條　審判ハ判士百七十七人ヲ以テ構成ス

第百五十七條　審判ハ判士百七十九人ヲ以テ構成ス

第百五十八條　審判ハ判士百八十一人ヲ以テ構成ス

第百五十九條　審判ハ判士百八十三人ヲ以テ構成ス

第百六十條　審判ハ判士百八十五人ヲ以テ構成ス

第百六十一條　審判ハ判士百八十七人ヲ以テ構成ス

第百六十二條　審判ハ判士百八十九人ヲ以テ構成ス

第百六十三條　審判ハ判士百九十一人ヲ以テ構成ス

第百六十四條　審判ハ判士百九十三人ヲ以テ構成ス

第百六十五條　審判ハ判士百九十五人ヲ以テ構成ス

第百六十六條　審判ハ判士百九十七人ヲ以テ構成ス

第百六十七條　審判ハ判士百九十九人ヲ以テ構成ス

第百六十八條　審判ハ判士二百一人ヲ以テ構成ス

第百六十九條　審判ハ判士二百三人ヲ以テ構成ス

第百七十條　審判ハ判士二百五人ヲ以テ構成ス

第百七十一條　審判ハ判士二百七人ヲ以テ構成ス

第百七十二條　審判ハ判士二百九人ヲ以テ構成ス

第百七十三條　審判ハ判士二百十一人ヲ以テ構成ス

第百七十四條　審判ハ判士二百十三人ヲ以テ構成ス

第百七十五條　審判ハ判士二百十五人ヲ以テ構成ス

第百七十六條　審判ハ判士二百十七人ヲ以テ構成ス

第百七十七條　審判ハ判士二百十九人ヲ以テ構成ス

第百七十八條　審判ハ判士二百二十一人ヲ以テ構成ス

第百七十九條　審判ハ判士二百二十三人ヲ以テ構成ス

第百八十條　審判ハ判士二百二十五人ヲ以テ構成ス

第百八十一條　審判ハ判士二百二十七人ヲ以テ構成ス

第百八十二條　審判ハ判士二百二十九人ヲ以テ構成ス

第百八十三條　審判ハ判士二百三十一人ヲ以テ構成ス

第百八十四條　審判ハ判士二百三十三人ヲ以テ構成ス

第百八十五條　審判ハ判士二百三十五人ヲ以テ構成ス

第百八十六條　審判ハ判士二百三十七人ヲ以テ構成ス

第百八十七條　審判ハ判士二百三十九人ヲ以テ構成ス

第百八十八條　審判ハ判士二百四十一人ヲ以テ構成ス

第百八十九條　審判ハ判士二百四十三人ヲ以テ構成ス

第百九十條　審判ハ判士二百四十五人ヲ以テ構成ス

第百九十一條　審判ハ判士二百四十七人ヲ以テ構成ス

第百九十二條　審判ハ判士二百四十九人ヲ以テ構成ス

第百九十三條　審判ハ判士二百五十一人ヲ以テ構成ス

第百九十四條　審判ハ判士二百五十三人ヲ以テ構成ス

第百九十五條　審判ハ判士二百五十五人ヲ以テ構成ス

第百九十六條　審判ハ判士二百五十七人ヲ以テ構成ス

第百九十七條　審判ハ判士二百五十九人ヲ以テ構成ス

第百九十八條　審判ハ判士二百六十一人ヲ以テ構成ス

第百九十九條　審判ハ判士二百六十三人ヲ以テ構成ス

第二百條　審判ハ判士二百六十五人ヲ以テ構成ス

第二百一條　審判ハ判士二百六十七人ヲ以テ構成ス

第二百二條　審判ハ判士二百六十九人ヲ以テ構成ス

第二百三條　審判ハ判士二百七十一人ヲ以テ構成ス

第二百四條　審判ハ判士二百七十三人ヲ以テ構成ス

第二百五條　審判ハ判士二百七十五人ヲ以テ構成ス

第二百六條　審判ハ判士二百七十七人ヲ以テ構成ス

第二百七條　審判ハ判士二百七十九人ヲ以テ構成ス

第二百八條　審判ハ判士二百八十一人ヲ以テ構成ス

第二百九條　審判ハ判士二百八十三人ヲ以テ構成ス

第二百十條　審判ハ判士二百八十五人ヲ以テ構成ス

第二百十一條　審判ハ判士二百八十七人ヲ以テ構成ス

第二百十二條　審判ハ判士二百八十九人ヲ以テ構成ス

第二百十三條　審判ハ判士二百九十一人ヲ以テ構成ス

第二百十四條　審判ハ判士二百九十三人ヲ以テ構成ス

第二百十五條　審判ハ判士二百九十五人ヲ以テ構成ス

第二百十六條　審判ハ判士二百九十七人ヲ以テ構成ス

第二百十七條　審判ハ判士二百九十九人ヲ以テ構成ス

第二百十八條　審判ハ判士三百一人ヲ以テ構成ス

第二百十九條　審判ハ判士三百三人ヲ以テ構成ス

第二百二十條　審判ハ判士三百五人ヲ以テ構成ス

第二百二十一條　審判ハ判士三百七人ヲ以テ構成ス

第二百二十二條　審判ハ判士三百九人ヲ以テ構成ス

第二百二十三條　審判ハ判士三百十一人ヲ以テ構成ス

第二百二十四條　審判ハ判士三百十三人ヲ以テ構成ス

第二百二十五條　審判ハ判士三百十五人ヲ以テ構成ス

第二百二十六條　審判ハ判士三百十七人ヲ以テ構成ス

第二百二十七條　審判ハ判士三百十九人ヲ以テ構成ス

第二百二十八條　審判ハ判士三百二十一人ヲ以テ構成ス

第二百二十九條　審判ハ判士三百二十三人ヲ以テ構成ス

第二百三十條　審判ハ判士三百二十五人ヲ以テ構成ス

第二百三十一條　審判ハ判士三百二十七人ヲ以テ構成ス

第二百三十二條　審判ハ判士三百二十九人ヲ以テ構成ス

第二百三十三條　審判ハ判士三百三十一人ヲ以テ構成ス

第二百三十四條　審判ハ判士三百三十三人ヲ以テ構成ス

第二百三十五條　審判ハ判士三百三十五人ヲ以テ構成ス

第二百三十六條　審判ハ判士三百三十七人ヲ以テ構成ス

第二百三十七條　審判ハ判士三百三十九人ヲ以テ構成ス

第二百三十八條　審判ハ判士三百四十一人ヲ以テ構成ス

第二百三十九條　審判ハ判士三百四十三人ヲ以テ構成ス

第二百四十條　審判ハ判士三百四十五人ヲ以テ構成ス

第二百四十一條　審判ハ判士三百四十七人ヲ以テ構成ス

第二百四十二條　審判ハ判士三百四十九人ヲ以テ構成ス

第二百四十三條　審判ハ判士三百五十一人ヲ以テ構成ス

第二百四十四條　審判ハ判士三百五十三人ヲ以テ構成ス

第二百四十五條　審判ハ判士三百五十五人ヲ以テ構成ス

第二百四十六條　審判ハ判士三百五十七人ヲ以テ構成ス

第二百四十七條　審判ハ判士三百五十九人ヲ以テ構成ス

第二百四十八條　審判ハ判士三百六十一人ヲ以テ構成ス

第二百四十九條　審判ハ判士三百六十三人ヲ以テ構成ス

第二百五十條　審判ハ判士三百六十五人ヲ以テ構成ス

第二百五十一條　審判ハ判士三百六十七人ヲ以テ構成ス

第二百五十二條　審判ハ判士三百六十九人ヲ以テ構成ス

第二百五十三條　審判ハ判士三百七十一人ヲ以テ構成ス

第二百五十四條　審判ハ判士三百七十三人ヲ以テ構成ス

第二百五十五條　審判ハ判士三百七十五人ヲ以テ構成ス

第二百五十六條　審判ハ判士三百七十七人ヲ以テ構成ス

第二百五十七條　審判ハ判士三百七十九人ヲ以テ構成ス

第二百五十八條　審判ハ判士三百八十一人ヲ以テ構成ス

第二百五十九條　審判ハ判士三百八十三人ヲ以テ構成ス

第二百六十條　審判ハ判士三百八十五人ヲ以テ構成ス

第二百六十一條　審判ハ判士三百八十七人ヲ以テ構成ス

第二百六十二條　審判ハ判士三百八十九人ヲ以テ構成ス

第二百六十三條　審判ハ判士三百九十一人ヲ以テ構成ス

第二百六十四條　審判ハ判士三百九十三人ヲ以テ構成ス

第二百六十五條　審判ハ判士三百九十五人ヲ以テ構成ス

第二百六十六條　審判ハ判士三百九十七人ヲ以テ構成ス

第二百六十七條　審判ハ判士三百九十九人ヲ以テ構成ス

第二百六十八條　審判ハ判士四百一人ヲ以テ構成ス

第二百六十九條　審判ハ判士四百三人ヲ以テ構成ス

第二百七十條　審判ハ判士四百五人ヲ以テ構成ス

第二百七十一條　審判ハ判士四百七人ヲ以テ構成ス

第二百七十二條　審判ハ判士四百九人ヲ以テ構成ス

第二百七十三條　審判ハ判士四百十一人ヲ以テ構成ス

第二百七十四條　審判ハ判士四百十三人ヲ以テ構成ス

第二百七十五條　審判ハ判士四百十五人ヲ以テ構成ス

第二百七十六條　審判ハ判士四百十七人ヲ以テ構成ス

第二百七十七條　審判ハ判士四百十九人ヲ以テ構成ス

第二百七十八條　審判ハ判士四百二十一人ヲ以テ構成ス

第二百七十九條　審判ハ判士四百二十三人ヲ以テ構成ス

第二百八十條　審判ハ判士四百二十五人ヲ以テ構成ス

第二百八十一條　審判ハ判士四百二十七人ヲ以テ構成ス

第二百八十二條　審判ハ判士四百二十九人ヲ以テ構成ス

第二百八十三條　審判ハ判士四百三十一人ヲ以テ構成ス

第二百八十四條　審判ハ判士四百三十三人ヲ以テ構成ス

第二百八十五條　審判ハ判士四百三十五人ヲ以テ構成ス

第二百八十六條　審判ハ判士四百三十七人ヲ以テ構成ス

第二百八十七條　審判ハ判士四百三十九人ヲ以テ構成ス

第二百八十八條　審判ハ判士四百四十一人ヲ以テ構成ス

第二百八十九條　審判ハ判士四百四十三人ヲ以テ構成ス

第二百九十條　審判ハ判士四百四十五人ヲ以テ構成ス

第二百九十一條　審判ハ判士四百四十七人ヲ以テ構成ス

第二百九十二條　審判ハ判士四百四十九人ヲ以テ構成ス

第二百九十三條　審判ハ判士四百五十一人ヲ以テ構成ス

第二百九十四條　審判ハ判士四百五十三人ヲ以テ構成ス

第二百九十五條　審判ハ判士四百五十五人ヲ以テ構成ス

第二百九十六條　審判ハ判士四百五十七人ヲ以テ構成ス

第二百九十七條　審判ハ判士四百五十九人ヲ以テ構成ス

第二百九十八條　審判ハ判士四百六十一人ヲ以テ構成ス

第二百九十九條　審判ハ判士四百六十三人ヲ以テ構成ス

第三百條　審判ハ判士四百六十五人ヲ以テ構成ス

第三百一條　審判ハ判士四百六十七人ヲ以テ構成ス

第三百二條　審判ハ判士四百六十九人ヲ以テ構成ス

第三百三條　審判ハ判士四百七十一人ヲ以テ構成ス

第三百四條　審判ハ判士四百七十三人ヲ以テ構成ス

第三百五條　審判ハ判士四百七十五人ヲ以テ構成ス

第三百六條　審判ハ判士四百七十七人ヲ以テ構成ス

第三百七條　審判ハ判士四百七十九人ヲ以テ構成ス

第三百八條　審判ハ判士四百八十一人ヲ以テ構成ス

第三百九條　審判ハ判士四百八十三人ヲ以テ構成ス

第三百十條　審判ハ判士四百八十五人ヲ以テ構成ス

第三百十一條　審判ハ判士四百八十七人ヲ以テ構成ス

第三百十二條　審判ハ判士四百八十九人ヲ以テ構成ス

第三百十三條　審判ハ判士四百九十一人ヲ以テ構成ス

第三百十四條　審判ハ判士四百九十三人ヲ以テ構成ス

第三百十五條　審判ハ判士四百九十五人ヲ以テ構成ス

第三百十六條　審判ハ判士四百九十七人ヲ以テ構成ス

第三百十七條　審判ハ判士四百九十九人ヲ以テ構成ス

第三百十八條　審判ハ判士五百一人ヲ以テ構成ス

第三百十九條　審判ハ判士五百三人ヲ以テ構成ス

第三百二十條　審判ハ判士五百五人ヲ以テ構成ス

第三百二十一條　審判ハ判士五百七人ヲ以テ構成ス

第三百二十二條　審判ハ判士五百九人ヲ以テ構成ス

第三百二十三條　審判ハ判士五百十一人ヲ以テ構成ス

第三百二十四條　審判ハ判士五百十三人ヲ以テ構成ス

第三百二十五條　審判ハ判士五百十五人ヲ以テ構成ス

第三百二十六條　審判ハ判士五百十七人ヲ以テ構成ス

第三百二十七條　審判ハ判士五百十九人ヲ以テ構成ス

第三百二十八條　審判ハ判士五百二十一人ヲ以テ構成ス

第三百二十九條　審判ハ判士五百二十三人ヲ以テ構成ス

第三百三十條　審判ハ判士五百二十五人ヲ以テ構成ス

第三百三十一條　審判ハ判士五百二十七人ヲ以テ構成ス

第三百三十二條　審判ハ判士五百二十九人ヲ以テ構成ス

第三百三十三條　審判ハ判士五百三十一人ヲ以テ構成ス

第三百三十四條　審判ハ判士五百三十三人ヲ以テ構成ス

第三百三十五條　審判ハ判士五百三十五人ヲ以テ構成ス

第三百三十六條　審判ハ判士五百三十七人ヲ以テ構成ス

第三百三十七條　審判ハ判士五百三十九人ヲ以テ構成ス

第三百三十八條　審判ハ判士五百四十一人ヲ以テ構成ス

第三百三十九條　審判ハ判士五百四十三人ヲ以テ構成ス

第三百四十條　審判ハ判士五百四十五人ヲ以テ構成ス

第三百四十一條　審判ハ判士五百四十七人ヲ以テ構成ス

第三百四十二條　審判ハ判士五百四十九人ヲ以テ構成ス

第三百四十三條　審判ハ判士五百五十一人ヲ以テ構成ス

第三百四十四條　審判ハ判士五百五十三人ヲ以テ構成ス

第三百四十五條　審判ハ判士五百五十五人ヲ以テ構成ス

第三百四十六條　審判ハ判士五百五十七人ヲ以テ構成ス

第三百四十七條　審判ハ判士五百五十九人ヲ以テ構成ス

第三百四十八條　審判ハ判士五百六十一人ヲ以テ構成ス

第三百四十九條　審判ハ判士五百六十三人ヲ以テ構成ス

第三百五十條　審判ハ判士五百六十五人ヲ以テ構成ス

第三百五十一條　審判ハ判士五百六十七人ヲ以テ構成ス

第三百五十二條　審判ハ判士五百六十九人ヲ以テ構成ス

第三百五十三條　審判ハ判士五百七十一人ヲ以テ構成ス

第三百五十四條　審判ハ判士五百七十三人ヲ以テ構成ス

第三百五十五條　審判ハ判士五百七十五人ヲ以テ構成ス

第三百五十六條　審判ハ判士五百七十七人ヲ以テ構成ス

第三百五十七條　審判ハ判士五百七十九人ヲ以テ構成ス

第三百五十八條　審判ハ判士五百八十一人ヲ以テ構成ス

第三百五十九條　審判ハ判士五百八十三人ヲ以テ構成ス

第三百六十條　審判ハ判士五百八十五人ヲ以テ構成ス

第三百六十一條　審判ハ判士五百八十七人ヲ以テ構成ス

第三百六十二條　審判ハ判士五百八十九人ヲ以テ構成ス

第三百六十三條　審判ハ判士五百九十一人ヲ以テ構成ス

第三百六十四條　審判ハ判士五百九十三人ヲ以テ構成ス

第三百六十五條　審判ハ判士五百九十五人ヲ以テ構成ス

第三百六十六條　審判ハ判士五百九十七人ヲ以テ構成ス

第三百六十七條　審判ハ判士五百九十九人ヲ以テ構成ス

第三百六十八條　審判ハ判士六百一人ヲ以テ構成ス

第三百六十九條　審判ハ判士六百三人ヲ以テ構成ス

第三百七十條　審判ハ判士六百五人ヲ以テ構成ス

第三百七十一條　審判ハ判士六百七人ヲ以テ構成ス

第三百七十二條　審判ハ判士六百九人ヲ以テ構成ス

第三百七十三條　審判ハ判士六百十一人ヲ以テ構成ス

第三百七十四條　審判ハ判士六百十三人ヲ以テ構成ス

第三百七十五條　審判ハ判士六百十五人ヲ以テ構成ス

第三百七十六條　審判ハ判士六百十七人ヲ以テ構成ス

第三百七十七條　審判ハ判士六百十九人ヲ以テ構成ス

第三百七十八條　審判ハ判士六百二十一人ヲ以テ構成ス

第三百七十九條　審判ハ判士六百二十三人ヲ以テ構成ス

第三百八十條　審判ハ判士六百二十五人ヲ以テ構成ス

第三百八十一條　審判ハ判士六百二十七人ヲ以テ構成ス

第三百八十二條　審判ハ判士六百二十九人ヲ以テ構成ス

第三百八十三條　審判ハ判士六百三十一人ヲ以テ構成ス

第三百八十四條　審判ハ判士六百三十三人ヲ以テ構成ス

第三百八十五條　審判ハ判士六百三十五人ヲ以テ構成ス

第三百八十六條　審判ハ判士六百三十七人ヲ以テ構成ス

第三百八十七條　審判ハ判士六百三十九人ヲ以テ構成ス

第三百八十八條　審判ハ判士六百四十一人ヲ以テ構成ス

第三百八十九條　審判ハ判士六百四十三人ヲ以テ構成ス

第三百九十條　審判ハ判士六百四十五人ヲ以テ構成ス

第三百九十一條　審判ハ判士六百四十七人ヲ以テ構成ス

第三百九十二條　審判ハ判士六百四十九人ヲ以テ構成ス

第三百九十三條　審判ハ判士六百五十一人ヲ以テ構成ス

第三百九十四條　審判ハ判士六百五十三人ヲ以テ構成ス

第三百九十五條　審判ハ判士六百五十五人ヲ以テ構成ス

第三百九十六條　審判ハ判士六百五十七人ヲ以テ構成ス

第三百九十七條　審判ハ判士六百五十九人ヲ以テ構成ス

第三百九十八條　審判ハ判士六百六十一人ヲ以テ構成ス

第三百九十九條　審判ハ判士六百六十三人ヲ以テ構成ス

第四百條　審判ハ判士六百六十五人ヲ以テ構成ス

第四百一條　審判ハ判士六百六十七人ヲ以テ構成ス

第四百二條　審判ハ判士六百六十九人ヲ以テ構成ス

第四百三條　審判ハ判士六百七十一人ヲ以テ構成ス

第四百四條　審判ハ判士六百七十三人ヲ以テ構成ス

第四百五條　審判ハ判士六百七十五人ヲ以テ構成ス

第四百六條　審判ハ判士六百七十七人ヲ以テ構成ス

第四百七條　審判ハ判士六百七十九人ヲ以テ構成ス

第四百八條　審判ハ判士六百八十一人ヲ以テ構成ス

第四百九條　審判ハ判士六百八十三人ヲ以テ構成ス

第四百十條　審判ハ判士六百八十五人ヲ以テ構成ス

第四百十一條　審判ハ判士六百八十七人ヲ以テ構成ス

第四百十二條　審判ハ判士六百八十九人ヲ以テ構成ス

第四百十三條　審判ハ判士六百九十一人ヲ以テ構成ス

第四百十四條　審判ハ判士六百九十三人ヲ以テ構成ス

第四百十五條　審判ハ判士六百九十五人ヲ以テ構成ス

第四百十六條　審判ハ判士六百九十七人ヲ以テ構成ス

第四百十七條　審判ハ判士六百九十九人ヲ以テ構成ス

第四百十八條　審判ハ判士七百一人ヲ以テ構成ス

第四百十九條　審判ハ判士七百三人ヲ以テ構成ス

第四百二十條　審判ハ判士七百五人ヲ以テ構成ス

第四百二十一條　審判ハ判士七百七人ヲ以テ構成ス

第四百二十二條　審判ハ判士七百九人ヲ以テ構成ス

第四百二十三條　審判ハ判士七百十一人ヲ以テ構成ス

第四百二十四條　審判ハ判士七百十三人ヲ以テ構成ス

第四百二十五條　審判ハ判士七百十五人ヲ以テ構成ス

第四百二十六條　審判ハ判士七百十七人ヲ以テ構成ス

第四百二十七條　審判ハ判士七百十九人ヲ以テ構成ス

第四百二十八條　審判ハ判士七百二十一人ヲ以テ構成ス

第四百二十九條　審判ハ判士七百二十三人ヲ以テ構成ス

第四百三十條　審判ハ判士七百二十五人ヲ以テ構成ス

第四百三十一條　審判ハ判士七百二十七人ヲ以テ構成ス

第四百三十二條　審判ハ判士七百二十九人ヲ以テ構成ス

第四百三十三條　審判ハ判士七百三十一人ヲ以テ構成ス

第四百三十四條　審判ハ判士七百三十三人ヲ以テ構成ス

第四百三十五條　審判ハ判士七百三十五人ヲ以テ構成ス

第四百三十六條　審判ハ判士七百三十七人ヲ以テ構成ス

第四百三十七條　審判ハ判士七百三十九人ヲ以テ構成ス

第四百三十八條　審判ハ判士七百四十一人ヲ以テ構成ス

第四百三十九條　審判ハ判士七百四十三人ヲ以テ構成ス

第四百四十條　審判ハ判士七百四十五人ヲ以テ構成ス

第四百四十一條　審判ハ判士七百四十七人ヲ以テ構成ス

第四百四十二條　審判ハ判士七百四十九人ヲ以テ構成ス

第四百四十三條　審判ハ判士七百五十一人ヲ以テ構成ス

第四百四十四條　審判ハ判士七百五十三人ヲ以テ構成ス

第四百四十五條　審判ハ判士七百五十五人ヲ以テ構成ス

第四百四十六條　審判ハ判士七百五十七人ヲ以テ構成ス

第四百四十七條　審判ハ判士七百五十九人ヲ以テ構成ス

第四百四十八條　審判ハ判士七百六十一人ヲ以テ構成ス

第四百四十九條　審判ハ判士七百六十三人ヲ以テ構成ス

第四百五十條　審判ハ判士七百六十五人ヲ以テ構成ス

第四百五十一條　審判ハ判士七百六十七人ヲ以テ構成ス

第四百五十二條　審判ハ判士七百六十九人ヲ以テ構成ス

第四百五十三條　審判ハ判士七百七十一人ヲ以テ構成ス

第四百五十四條　審判ハ判士七百七十三人ヲ以テ構成ス

第四百五十五條　審判ハ判士七百七十五人ヲ以テ構成ス

第四百五十六條　審判ハ判士七百七十七人ヲ以テ構成ス

第四百五十七條　審判ハ判士七百七十九人ヲ以テ構成ス

第四百五十八條　審判ハ判士七百八十一人ヲ以テ構成ス

第四百五十九條　審判ハ判士七百八十三人ヲ以テ構成ス

第四百六十條　審判ハ判士七百八十五人ヲ以テ構成ス

第四百六十一條　審判ハ判士七百八十七人ヲ以テ構成ス

第四百六十二條　審判ハ判士七百八十九人ヲ以テ構成ス

第四百六十三條　審判ハ判士七百九十一人ヲ以テ構成ス

第四百六十四條　審判ハ判士七百九十三人ヲ以テ構成ス

第四百六十五條　審判ハ判士七百九十五人ヲ以テ構成ス

第四百六十六條　審判ハ判士七百九十七人ヲ以テ構成ス

第四百六十七條　審判ハ判士七百九十九人ヲ以テ構成ス

第四百六十八條　審判ハ判士八百一人ヲ以テ構成ス

第四百六十九條　審判ハ判士八百三人ヲ以テ構成ス

第四百七十條　審判ハ判士八百五人ヲ以テ構成ス

第四百七十一條　審判ハ判士八百七人ヲ以テ構成ス

第四百七十二條　審判ハ判士八百九人ヲ以テ構成ス

第四百七十三條　審判ハ判士八百十一人ヲ以テ構成ス

第四百七十四條　審判ハ判士八百十三人ヲ以テ構成ス

第四百七十五條　審判ハ判士八百十五人ヲ以テ構成ス

第四百七十六條　審判ハ判士八百十七人ヲ以テ構成ス

第四百七十七條　審判ハ判士八百十九人ヲ以テ構成ス

第四百七十八條　審判ハ判士八百二十一人ヲ以テ構成ス

第四百七十九條　審判ハ判士八百二十三人ヲ以テ構成ス

第四百八十條　審判ハ判士八百二十五人ヲ以テ構成ス

第四百八十一條　審判ハ判士八百二十七人ヲ以テ構成ス

第四百八十二條　審判ハ判士八百二十九人ヲ以テ構成ス

第四百八十三條　審判ハ判士八百三十一人ヲ以テ構成ス

第四百八十四條　審判ハ判士八百三十三人ヲ以テ構成ス

第四百八十五條　審判ハ判士八百三十五人ヲ以テ構成ス

第四百八十六條　審判ハ判士八百三十七人ヲ以テ構成ス

第四百八十七條　審判ハ判士八百三十九人ヲ以テ構成ス

第四百八十八條　審判ハ判士八百四十一人ヲ以テ構成ス

第四百八十九條　審判ハ判士八百四十三人ヲ以テ構成ス

第四百九十條　審判ハ判士八百四十五人ヲ以テ構成ス

第四百九十一條　審判ハ判士八百四十七人ヲ以テ構成ス

第四百九十二條　審判ハ判士八百四十九人ヲ以テ構成ス

第四百九十三條　審判ハ判士八百五十一人ヲ以テ構成ス

第四百九十四條　審判ハ判士八百五十三人ヲ以テ構成ス

第四百九十五條　審判ハ判士八百五十五人ヲ以テ構成ス

第四百九十六條　審判ハ判士八百五十七人ヲ以テ構成ス

第四百九十七條　審判ハ判士八百五十九人ヲ以テ構成ス

第四百九十八條　審判ハ判士八百六十一人ヲ以テ構成ス

第四百九十九條　審判ハ判士八百六十三人ヲ以テ構成ス

第五百條　審判ハ判士八百六十五人ヲ以テ構成ス

第五百一條　審判ハ判士八百六十七人ヲ以テ構成ス

第五百二條　審判ハ判士八百六十九人ヲ以テ構成ス

第五百三條　審判ハ判士八百七十一人ヲ以テ構成ス

第五百四條　審判ハ判士八百七十三人ヲ以テ構成ス

第五百五條　審判ハ判士八百七十五人ヲ以テ構成ス

第五百六條　審判ハ判士八百七十七人ヲ以テ構成ス

第五百七條　審判ハ判士八百七十九人ヲ以テ構成ス

第五百八條　審判ハ判士八百八十一人ヲ以テ構成ス

第五百九條　審判ハ判士八百八十三人ヲ以テ構成ス

第五百十條　審判ハ判士八百八十五人ヲ以テ構成ス

第五百十一條　審判ハ判士八百八十七人ヲ以テ構成ス

第五百十二條　審判ハ判士八百八十九人ヲ以テ構成ス

第五百十三條　審判ハ判士八百九十一人ヲ以テ構成ス

第五百十四條　審判ハ判士八百九十三人ヲ以テ構成ス

第五百十五條　審判ハ判士八百九十五人ヲ以テ構成ス

第五百十六條　審判ハ判士八百九十七人ヲ以テ構成ス

第五百十七條　審判ハ判士八百九十九人ヲ以テ構成ス

第五百十八條　審判ハ判士九百一人ヲ以テ構成ス

第五百十九條　審判ハ判士九百三人

第百四十一条　裁判ハ検察官ノ指揮ニ因リ之ヲ執行ス但シ法律ニ特別ノ規定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百四十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ニ対シ執行ニ関スル照会ヲ為シ又ハ執行ノ状況ヲ通知スヘキコトヲ求ムルコトヲ得

第百四十三条　裁判ノ執行ニ付キ疑アルトキハ裁判所ハ検察官ノ請求ニ因リ又ハ職権ヲ以テ決定ヲ為スコトヲ得

第百四十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル指揮ヲ為スコトヲ得

第百四十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ司法警察職員ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百四十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百四十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百四十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執達吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百四十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百五十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百六十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百七十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百八十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百九十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百二十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百三十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百四十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百五十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百六十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百七十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百八十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二百九十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百二十九条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十一条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十二条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十三条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十四条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十五条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ書記ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十六条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ廷吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十七条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ執行吏ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十八条　検察官ハ裁判ノ執行ニ付キ必要ナル場合ニ於テハ裁判所ノ看守ヲシテ其ノ職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第三百三十九条　検察官ハ裁判

第百九十七條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第百九十八條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第百九十九條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百一條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百五條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百六條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百七條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百八條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百九條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十一條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十二條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十三條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十四條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十五條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十六條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十七條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十八條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十九條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十一條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十二條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十三條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十四條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十五條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十六條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十七條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十八條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百二十九條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十一條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十二條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十三條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十四條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十五條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十六條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十七條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十八條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百三十九條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十一條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十二條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十三條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十四條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十五條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十六條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十七條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十八條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百四十九條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百五十條 軍人ニ對シ刑ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ刑ノ執行ヲ終ルマテニ軍人ニ非サルニ至リタルトキハ其ノ刑ノ言渡ハ將來ニ向テ其ノ效力ヲ失フ

第二百十二條　軍律會議ハ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百十三條　軍律會議ハ軍司令官之ヲ設置ス

第二百十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百二十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百二十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百二十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百二十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百二十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百二十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百二十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百二十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百二十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百二十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百三十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百三十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百三十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百三十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百三十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百三十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百三十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百三十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百三十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百三十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百四十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百四十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百四十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百四十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百四十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百四十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百四十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百四十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百四十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百四十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百五十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百五十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百五十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百五十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百五十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百五十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百五十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百五十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百五十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百五十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百六十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百六十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百六十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百六十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百六十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百六十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百六十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百六十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百六十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百六十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百七十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百七十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百七十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百七十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百七十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百七十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百七十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百七十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百七十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百七十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百八十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百八十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百八十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百八十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百八十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百八十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百八十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百八十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百八十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百八十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百九十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百九十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百九十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百九十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百九十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百九十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百九十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百九十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第二百九十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第二百九十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百二十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百二十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百二十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百二十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百二十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百二十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百二十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百二十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百二十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百二十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百三十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百三十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百三十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百三十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百三十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百三十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百三十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百三十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百三十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百三十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百四十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百四十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百四十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百四十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百四十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百四十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百四十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百四十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百四十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百四十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百五十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百五十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百五十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百五十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百五十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百五十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百五十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百五十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百五十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百五十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百六十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百六十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百六十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百六十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百六十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百六十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百六十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百六十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百六十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百六十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百七十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百七十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百七十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百七十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百七十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百七十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百七十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百七十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百七十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百七十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百八十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百八十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百八十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百八十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百八十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百八十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百八十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百八十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百八十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百八十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百九十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百九十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百九十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百九十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百九十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百九十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百九十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百九十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第三百九十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第三百九十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百二十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百二十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百二十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百二十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百二十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百二十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百二十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百二十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百二十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百二十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百三十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百三十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百三十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百三十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百三十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百三十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百三十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百三十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百三十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百三十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百四十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百四十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百四十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百四十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百四十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百四十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百四十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百四十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百四十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百四十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百五十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百五十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百五十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百五十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百五十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百五十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百五十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百五十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百五十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百五十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百六十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百六十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百六十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百六十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百六十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百六十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百六十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百六十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百六十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百六十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百七十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百七十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百七十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百七十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百七十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百七十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百七十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百七十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百七十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百七十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百八十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百八十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百八十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百八十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百八十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百八十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百八十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百八十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百八十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百八十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百九十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百九十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百九十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百九十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百九十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百九十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百九十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百九十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第四百九十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第四百九十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百二十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百二十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百二十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百二十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百二十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百二十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百二十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百二十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百二十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百二十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百三十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百三十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百三十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百三十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百三十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百三十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百三十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百三十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百三十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百三十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百四十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百四十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百四十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百四十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百四十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百四十五條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百四十六條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百四十七條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百四十八條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百四十九條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百五十條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百五十一條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百五十二條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務ヲ行フ

第五百五十三條　軍律會議ハ軍司令官ノ命令ニ依リ之ヲ開廷ス

第五百五十四條　軍律會議ハ軍司令官ノ指揮ニ依リ軍法會議ノ職務

第二百四十一條　第二百四十條ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付強制執行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付仮差押ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付仮処分ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付強制管理ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付担保権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付債権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付動産ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百四十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付不動産ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付船舶ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付航空機ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付自動車ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付建設機械ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付鉱業権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付漁業権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付特許権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付著作権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付出版権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百五十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付著作隣接権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付回路配置利用権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付育成者権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付営業秘密ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付限定提供データノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付営業秘密又ハ限定提供データノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付特定商取引ニ関スル法律第二十一条第一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電気通信事業法第二十六条第一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付預託法第二条第二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付金融商品取引法第二条第二十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百六十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付社債、株式等の振替に関する法律第二条第一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付信託受益権ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付金融商品取引法第二条第二十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付商品先物取引法第二条第十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付外国金融商品取引法第二条第二十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付外国商品先物取引法第二条第二十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付外国為替証拠金取引ニ関スル法律第二条第二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付外国為替証拠金取引ニ関スル法律第二条第三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付暗号資産ニ関スル法律第二条第五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録移転権ニ関スル法律第二条第二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百七十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百八十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第二百九十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第二十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第三十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第四十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百二十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第五十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百三十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第六十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百四十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第七十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百五十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第八十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百六十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第九十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百七十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百八十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十五條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十七項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十六條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十八項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十七條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百十九項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十八條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百二十項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第三百九十九條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百二十一項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百二十二項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百一條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百二十三項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百二條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百二十四項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百三條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百二十五項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百四條　第二百四十條ノ規定ハ第二百四十一條ノ場合ニ於テ其ノ財産ニ付電子記録債権法第二条第百二十六項ニ規定スル権利ノ実行ヲ為ス場合ニ之ヲ準用ス

第四百五條

第十五編 訴訟

第四章 訴訟

第一節 訴訟ノ提起

第三百四十四條 訴ハ訴狀ヲ裁判所ニ提出シテ之ヲ提起ス

訴狀ニハ當事者及法定代理人ヲ表示シ請求ノ趣旨及原因ヲ記載シ且訴ノ提起ニ關スル手數料ヲ納付シタル旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第三百四十五條 訴狀ニ記載スヘキ事項ニ付テハ民事訴訟規則ヲ以テ之ヲ定ム

第三百四十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百四十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百四十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百四十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百五十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百六十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百七十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百八十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第三百九十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百二十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百三十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百四十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百五十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百六十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百七十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百八十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十一條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十二條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十三條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十四條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十五條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十六條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十七條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十八條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第四百九十九條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第五百條 訴狀ニ記載シタル事項ニ付テハ裁判所ハ其ノ訴狀ヲ受取リタル日ヨリ一週間以内ニ相手方ニ送達スヘシ

第
定ル百ノ場合ニ於テハ裁判所ハ其ノ決定ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得
第三百十一條　裁判ハ判決ヲ以テスル場合ノ外決定ヲ以テスル場合ニ於テハ口頭辯論ヲ經ルコトヲ要セス
第三百十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百二十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百三十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百四十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百五十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百六十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百七十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百八十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第三百九十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百二十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百三十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百四十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百五十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百六十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百七十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百八十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十一條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十二條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十三條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十四條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十五條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十六條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十七條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十八條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第四百九十九條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス
第五百條　裁判ハ其ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ管轄ニ屬スル事項ニ付テハ其ノ裁判所ニ於テ之ヲ爲ス

第五條　軍法會議ハ軍人軍屬ノ犯罪ニ關スル裁判ヲ行フ

第六條　軍法會議ハ軍人軍屬ニ對スル刑ノ執行ヲ指揮ス

第七條　軍法會議ハ軍人軍屬ニ對スル監獄ノ事務ヲ管理ス

第八條　軍法會議ハ陸軍大臣ノ管轄ニ屬ス

第九條　軍法會議ニ軍法會議長官及判士ヲ置ク

第十條　軍法會議長官ハ將官ヲ以テ之ニ充ツ

第十一條　軍法會議長官ハ軍法會議ヲ統轄シ其ノ事務ヲ監督ス

第十二條　軍法會議長官ハ軍法會議ヲ代表シ其ノ名ヲ以テ文書ヲ發ス

第十三條　軍法會議長官ハ判士ヲ指揮シ裁判ノ評決ニ參與セシム

第十四條　軍法會議長官ハ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第十五條　軍法會議長官ハ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ委任シテ處理セシムルコトヲ得

第十六條　軍法會議長官ハ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第十七條　軍法會議長官ハ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシムルコトヲ得

第十八條　軍法會議長官ハ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシムルコトヲ得

第十九條　軍法會議長官ハ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二十條　軍法會議ニ判士ヲ置ク

第二十一條　判士ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第二十二條　判士ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二十三條　判士ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二十四條　判士ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二十五條　判士ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二十六條　判士ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二十七條　判士ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシム

第二十八條　判士ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二十九條　判士ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシム

第三十條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第三十一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第三十二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第三十三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第三十四條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシム

第三十五條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第三十六條　軍法會議ニ軍法會議看守ヲ置ク

第三十七條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第三十八條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第三十九條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第四十條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第四十一條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第四十二條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第四十三條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第四十四條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第四十五條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第四十六條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第四十七條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第四十八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第四十九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第五十條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシム

第五十一條　軍法會議ニ軍法會議檢察官ヲ置ク

第五十二條　軍法會議檢察官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第五十三條　軍法會議檢察官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第五十四條　軍法會議檢察官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第五十五條　軍法會議檢察官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第五十六條　軍法會議檢察官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第五十七條　軍法會議檢察官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第五十八條　軍法會議檢察官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第五十九條　軍法會議檢察官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第六十條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第六十一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第六十二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第六十三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第六十四條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第六十五條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第六十六條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシム

第六十七條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第六十八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第六十九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第七十條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第七十一條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第七十二條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第七十三條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシム

第七十四條　軍法會議ニ軍法會議看守ヲ置ク

第七十五條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第七十六條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第七十七條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第七十八條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第七十九條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第八十條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第八十一條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第八十二條　軍法會議ニ豫審官ヲ置ク

第八十三條　豫審官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第八十四條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ行フ

第八十五條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ判士ニ分掌セシム

第八十六條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第八十七條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第八十八條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第八十九條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第九十條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第九十一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第九十二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第九十三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第九十四條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第九十五條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第九十六條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第九十七條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第九十八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第九十九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百一條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百二條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百三條　軍法會議ニ軍法會議看守ヲ置ク

第百四條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第百五條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第百六條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百七條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百八條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百九條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百十條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百十一條　軍法會議ニ豫審官ヲ置ク

第百十二條　豫審官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第百十三條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ行フ

第百十四條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ判士ニ分掌セシム

第百十五條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百十六條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百十七條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百十八條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第百十九條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第百二十條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第百二十一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百二十二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百二十三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百二十四條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百二十五條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第百二十六條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第百二十七條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第百二十八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百二十九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百三十條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百三十一條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百三十二條　軍法會議ニ軍法會議看守ヲ置ク

第百三十三條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第百三十四條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第百三十五條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百三十六條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百三十七條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百三十八條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百三十九條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百四十條　軍法會議ニ豫審官ヲ置ク

第百四十一條　豫審官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第百四十二條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ行フ

第百四十三條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ判士ニ分掌セシム

第百四十四條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百四十五條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百四十六條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百四十七條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第百四十八條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第百四十九條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第百五十條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百五十一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百五十二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百五十三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百五十四條　軍法會議ニ軍法會議看守ヲ置ク

第百五十五條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第百五十六條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第百五十七條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百五十八條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百五十九條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百六十條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百六十一條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百六十二條　軍法會議ニ豫審官ヲ置ク

第百六十三條　豫審官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第百六十四條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ行フ

第百六十五條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ判士ニ分掌セシム

第百六十六條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百六十七條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百六十八條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百六十九條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第百七十條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第百七十一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第百七十二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百七十三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百七十四條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百七十五條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百七十六條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第百七十七條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第百七十八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第百七十九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百八十條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百八十一條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百八十二條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百八十三條　軍法會議ニ軍法會議看守ヲ置ク

第百八十四條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第百八十五條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第百八十六條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第百八十七條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第百八十八條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百八十九條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百九十條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百九十一條　軍法會議ニ豫審官ヲ置ク

第百九十二條　豫審官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第百九十三條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ行フ

第百九十四條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ判士ニ分掌セシム

第百九十五條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第百九十六條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第百九十七條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第百九十八條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第百九十九條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百四條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百五條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第二百六條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百七條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百十條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百十一條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百十二條　軍法會議ニ軍法會議看守ヲ置ク

第二百十三條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百十四條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百十五條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百十六條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百十七條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百十八條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百十九條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百二十條　軍法會議ニ豫審官ヲ置ク

第二百二十一條　豫審官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第二百二十二條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ行フ

第二百二十三條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百二十四條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百二十五條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百二十六條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百二十七條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第二百二十八條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百二十九條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百三十條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百三十一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百三十二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百三十三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百三十四條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第二百三十五條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百三十六條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百三十七條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百三十八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百三十九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百四十條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百四十一條　軍法會議ニ豫審官ヲ置ク

第二百四十二條　豫審官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第二百四十三條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ行フ

第二百四十四條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百四十五條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百四十六條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百四十七條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百四十八條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第二百四十九條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百五十條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百五十一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百五十二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百五十三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百五十四條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百五十五條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第二百五十六條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百五十七條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百五十八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百五十九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百六十條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百六十一條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百六十二條　軍法會議ニ軍法會議看守ヲ置ク

第二百六十三條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百六十四條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百六十五條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百六十六條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百六十七條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百六十八條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百六十九條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百七十條　軍法會議ニ豫審官ヲ置ク

第二百七十一條　豫審官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第二百七十二條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ行フ

第二百七十三條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百七十四條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百七十五條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百七十六條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百七十七條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第二百七十八條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百七十九條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百八十條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百八十一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百八十二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百八十三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百八十四條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第二百八十五條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第二百八十六條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第二百八十七條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第二百八十八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百八十九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百九十條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百九十一條　軍法會議ニ豫審官ヲ置ク

第二百九十二條　豫審官ハ將官又ハ佐官ヲ以テ之ニ充ツ

第二百九十三條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ行フ

第二百九十四條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ判士ニ分掌セシム

第二百九十五條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第二百九十六條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第二百九十七條　豫審官ハ軍法會議長官ノ命ニ從ヒ豫審ニ關スル職務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第二百九十八條　軍法會議ニ軍法會議書記ヲ置ク

第二百九十九條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第三百條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第三百一條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第三百二條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第三百三條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議通譯ニ取扱ハシム

第三百四條　軍法會議書記ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第三百五條　軍法會議ニ軍法會議通譯ヲ置ク

第三百六條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第三百七條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第三百八條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ處理ス

第三百九條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ判士ニ分掌セシム

第三百十條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議書記ニ取扱ハシム

第三百十一條　軍法會議通譯ハ判士ノ命ニ從ヒ軍法會議ノ事務ヲ軍法會議看守ニ取扱ハシムルコトヲ得

第三百十二條　軍法會議ニ軍法會議看守ヲ置ク

第三百十三條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ裁判ニ參與ス

第三百十四條　軍法會議看守ハ判士ノ命ニ從ヒ豫審ニ參與ス

第三百

第十五章　民非　刑罪　監獄

第四款　犯罪　犯律

寫、模造若ハ鉄取又ハ其ノ複寫若ハ複製ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第一號ニ掲ゲルモノニ付テハ當該要塞司令官（陸軍築城部本部長）ノ、第二號ニ掲ゲルモノニ付テハ當該船舶又ハ軍事施設ノ管轄スル部隊長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　第二條又ハ前條第二項ニ規定スル行爲ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ樣式ノ許可願書（二通ノヲ當該行爲地ノ最寄憲兵隊長（分隊長ヲ置カザル憲兵隊ニ在リテハ郡守又ハ支廳長ヲ含ム以下之ニ同ジ）又ハ警察署長（京城ニ在リテハ當該要塞司令官（陸軍築城部本部長）又ハ當該部隊長ニ提出スベシ

測其（撮影、模寫、模造、鉄取、複寫、複製）許可願

年　月　日

要塞司令官（陸軍築城本部長）
軍司令官
師團長　殿

住所
職業
氏名　㊞
年齡

本籍（外國人ニ在リテハ國籍）

左記ノ通測量（撮影、模寫、模造、鉄取、複寫、複製）致度軍機保護法施行規則第二（三）條ノ規定ニ依リ許可相成度候也

記

一　目的
二　區域（物件）
三　方法
四　使用器具類ノ名稱
五　日時（期間）
六　作業者ノ住所、氏名
七　作業ノ場所
八　員數
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意

一　用紙適宜
二　目的ニ付テハ境界確定ノ爲等許可ヲ受クベキ行爲ノ目的ヲ記載スルモノトス
三　區域（物件）ニ付テハ區域ハ何縣何郡何村字何全部又ハ何縣何郡何村字何ヨリ同村字何間一帶等其ノ地名、區間等ヲ、物件ハ模寫、模造スベキ何縣何郡何村字何一帶ノ寫眞、模型等其ノ物件ノ名稱等ヲ記載スルモノトス
四　方法ニ付テハ平面測量、油繪等ノ方法ヲ記載スルモノトス
五　使用器具類ノ名稱ニ付テハ何測量器、何寫眞機等ノ使用器具ヲ記載スルモノトス
六　日時（期間）ニ付テハ何年何月何日午前十時頃又ハ何年何月何日ヨリ同月何日迄等日時又ハ期間ヲ記載スルモノトス
七　作業者ノ住所氏名ニ付テハ現ニ作業ニ從事セシムル者ノ住所氏名ヲ記載スルモノトス
八　作業ノ場所ニ付テハ何縣何郡何村字何何番地等測量、測量圖番ノ作成、撮影、現像、燒付、模寫、模造又ハ鉄取スル場所ノ地名ヲ記載スルモノトス
九　員數ニ付テハ測量、成果、寫眞原畫、複寫圖畫等何部、何枚等其ノ員數ヲ記載スルモノトス

第五條　軍機保護法第十二條第一項ノ規定ニ依リ左ニ掲ゲル行爲ノ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第一號又ハ第二號ニ掲ゲル行爲ニ付テハ陸軍大臣ノ、第三號又ハ第四號ニ掲ゲル行爲ニ付テハ行爲地要塞地帶内ニ在ルトキハ當該要塞司令官、宇品港域ニ在ルトキハ陸軍運輸部長、其ノ他ノ場合ニ在リテハ行爲地ヲ管轄スル防衛司令官又ハ師團長（防衛司令官ノ管轄地域内ノ師團長ヲ除キ朝鮮ニ在リテハ朝鮮軍司令官、臺灣ニ在リテハ臺

一　要塞地帶（地帶第三區外方三千五百間ヲ含ム）
二　東經百四十四度以東ノ北海道（島嶼ヲ含ム）及千島列島
三　北緯四十五度以北ノ北海道（島嶼ヲ含ム）及樺太（島嶼ヲ含ム）
四　伊豆七島中八丈島及小島
五　小笠原群島ノ大部
六　神奈川縣
　橫濱市　磯子區ノ大部、中區ノ一部
　橫須賀市ノ全域
　三浦郡ノ全域
七　東京灣要塞近傍
　北緯三十五度十分以南東經百四十度以西及北緯三十五度二十分以南東經百三十九度五十六分以西ノ千葉縣及同縣君津郡青堀町ノ全域
　北緯三十五度以南東經百三十九度以東ノ靜岡縣
　東京府伊豆大島ノ全域
八　伊豆七島中八丈島及小島
　小笠原群島ノ大部
九　鮮鷄要塞近傍
　東經百三十五度以東北緯三十五度四十分以北、東經百三十五度十分三十秒以東北緯三十五度二十分以北、東經百三十五度三十六分以西ノ京都府（與謝郡上宮津町、宮津町、府中村、世屋村、野間村、吉津村、岩滿町、日置村及中郡五十河村ノ各一部ヲ除ク）及福井縣福井縣、大飯郡本郷村、大島村、和田村ノ一部
十　由良要塞近傍
　北緯三十四度十分以北東經百三十五度十四分以西ノ和歌山縣及大阪府（泉南郡下莊村、西鳥取村ノ各一部ヲ除ク）
　北緯三十四度八分以北東經百三十四度三十分以東ノ德島縣
　德島縣那賀郡椿村ノ一部（辨天島、棚子島及其ノ附近ノ島嶼ヲ含ム）
　兵庫縣津名郡安乎村平安浦ヨリ同縣三原郡津井村旛來岬突端ヲ連ヌル線以南ノ淡路島
十一　島前近傍
　北緯三十六度十分以南東經百三十三度十五分以西島前ノ全域及島後ノ一部
　北緯三十四度二十分以南、北緯三十三度五十分以北東經百三十二度十五分以東、東經百三十二度四十五分以西ノ廣島縣、山口縣（大島郡前島附近ヲ除ク）愛媛縣（四國本土ヲ除ク）
　廣島縣
　廣島市ノ一部
　佐伯郡
十二　呉要塞近傍
　廿日市町、平良村ノ各全域、五日市町、八幡村、井口村、觀音村、原村、宮內村、地御前村、大野村、友和村、砂谷村、玖島村ノ各一部
　安藝郡
　熊野町、矢野町、熊越町、海田市町、府中町、昭和村、坂村、奥海田村ノ各一部
　賀茂郡
　中黒瀨村、下黒瀨村、熊野跡村ノ各一部
十三　宇品港域第一區及第二區
　廣島縣豐田郡忠海町大久野島並ニ其ノ地先三海里以内ノ海面及其ノ海面内ノ島嶼
十四　豐豫要塞近傍
　北緯三十三度三十分以南、北緯三十二度五十分以北東經百三十二度三十分以西ノ愛媛縣
　北緯三十三度二十分以南、北緯三十二度五十分以北東經百三十一度四十五分以東及東經百三十一度五十二分三十秒以東北緯三十二度四十五分以北ノ大分縣

湾軍司令官）ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一　左ニ掲ゲル區域ニ於ケル航空
イ　要塞地帶（地帶第三區外方三千五百間ヲ含ム）
ロ　東經百四十四度以東ノ北海道（島嶼ヲ含ム）及千島列島
ハ　北緯四十五度以北ノ北海道（島嶼ヲ含ム）及樺太（島嶼ヲ含ム）
ニ　伊豆七島、小笠原群島及硫黄列島
ホ　廣島縣豐田郡忠海町大久野島並ニ其ノ地先三海里以内ノ海面及其ノ海面内ノ島嶼
ヘ　宇品港域第一區及第二區
ト　北緯三十一度以南ノ鹿兒島縣及沖繩縣ノ諸島
チ　成鏡北道、成鏡南道、平安北道、慶尚南道、全羅南道（島嶼ヲ含ム）及鬱陵島
リ　樺太北部近傍（北緯四十六度十分以南ノ樺太
　北緯四十五度十分以北東經百四十二度十五分以西ノ北海道本土
　北緯四十二度二十六分三十秒以南東經百四十一度七分以西ノ室蘭市、有珠郡及幌別郡
ヌ　島前近傍（北緯三十六度十分以南ノ樺太
　北緯四十五度十分以北東經百四十二度十五分以西ノ北海道本土
ル　室蘭近傍
　北海道
　函館市ノ全域
　亀田郡
　戸井村、銭亀澤村ノ各全域、湯川町、七飯村、亀田村、大野村、尻岸內村、椴法華村ノ各大部
　森町、尾札部村、鹿部村、臼尻村ノ各一部
　茅部郡
　木古內村ノ全域、上磯町、茂別村、知內村ノ各大部
　上磯郡
　松前郡
　檜山郡
　上ノ國村、厚澤部村ノ各一部
ヲ　青森縣
　下北郡ノ大部（田名部町及東通村ノ各一部ヲ除ク）
　北津輕郡　小泊村ノ大部、內潟村ノ一部
　東津輕郡　一本木村、平館村ノ各全域、蟹田村、三厩村、今別村ノ各大部、蓬田村、小湊町ノ各一部
ワ　宇品港域第一區及第二區
　廣島縣豐田郡忠海町大久野島並ニ其ノ地先三海里以内ノ海面及其ノ島嶼
カ　豐豫要塞近傍
　北緯三十三度三十分以南、北緯三十二度五十分以北東經百三十二度三十分以西ノ愛媛縣
　北緯三十三度二十分以南、北緯三十二度五十分以北東經百三十一度四十五分以東及東經百三十一度五十二分三十秒以東北緯三十二度四十五分以北ノ大分縣

北緯三十四度三十分以南東經百三十一度以西ノ山口縣
山口縣
下關市ノ一部
阿武郡見島村ノ全域
豐浦郡　小月町、清末村、王司村ノ各一部
福岡縣
八幡市、戸畑市、若松市、門司市、小倉市ノ各全域、直方市ノ一部
企救郡ノ大部（中谷村及東谷村ノ各一部ヲ除ク）
遠賀郡ノ大部（岡垣村ノ一部ヲ除ク）
宗像郡
神湊町、大島村（沖ノ島ヲ含ム）鐘ノ村、勝浦村ノ各全域、
津屋崎町、池野村、河東村、田島村ノ各一部
宮都郡
刈田町、白川村ノ各全域、小波瀬村、椿市村ノ各一部
田川郡
上野村、方城村ノ各一部
木屋ノ瀬町、植木町、劍村、古月村ノ各全域
鞍手郡
西川村ノ一部

ヨ　下關要塞近傍

對馬要塞近傍（長崎縣上縣郡及同縣下縣郡ノ全域）

タ

北緯三十四度以南、北緯三十三度二十分以北東經百三十度以西ノ
長崎縣、佐賀縣及福岡縣
福岡縣糸島郡北崎村小呂ノ島

レ　壹岐要塞近傍

北緯三十三度二十分以南、北緯三十二度三十分以北東經百二十九
度四十五分以西ノ長崎縣（西彼杵郡黒崎村及同郡三重村ノ各一部
ヲ除ク）
長崎縣西彼杵郡式見村大崎—時津村鳥帽子岳—長與村高田—矢上
村黒岳—日見村小崎ヲ連ヌル線以南ノ長崎縣

ソ　長崎要塞近傍

佐世保市ノ一部
北松浦郡
大串村ノ一部
上志佐村、世知原村、楠木村ノ各一部
西彼杵郡
早岐町、折尾瀬村、江上村ノ各全域、上波佐見町、川棚
町、下波佐見村、宮村、崎針尾村ノ各一部
佐賀縣
西松浦郡
有田村、二里村、大山村、曲川村、東山代村ノ各一部
東彼杵郡

ツ　南西諸島近傍

北緯三十度五十一分以南ノ鹿兒島縣及沖繩縣

ネ　基隆要塞近傍

（東經百二十一度三十六分以東北緯二十五度四分以北及東經百二十
一度四十二分以東北緯二十五度以北ノ臺灣

ナ　高雄要塞近傍

北緯二十二度五十分以南東經百二十度三十七分三十秒以西ノ臺灣
（高雄州旗山街鳳儀坑—同州同郡田寮庄南安老—同州岡山郡
阿蓮庄石案潭—同州同郡湖內庄白砂崙—同州同郡同庄頂茄苳ヲ連
ヌル線ト北緯二十二度五十分ノ間ノ地域
北緯二十二度二十四分以南、北緯二十二度十六分以北東經百二十
度四十二分以西ノ臺灣及高雄州潮州郡鵝仙門附近

ラ　澎湖島要塞近傍

（澎湖列島（一部ヲ除ク）
（北緯四十二度以北東經百二十九度三十分以東國境以南ノ朝鮮（咸
鏡北道富寧郡三海面沙津鎭及其ノ附近ノ島嶼ヲ含ム）

ム　羅津要塞近傍

ウ　永興灣要塞近傍（北緯三十九度四十分以南、北緯三十九度以北東經百二十七度以東、東經百二十七度四十五分以西ノ朝鮮
（東經百二十八度以南、北緯三十八度以南、北緯三十七度四十分以北東經百二十四度三十分以西ノ朝鮮）

キ　巡威島近傍

ノ　仁川近傍（北緯三十七度三十分以南、北緯三十七度十分以北東經百二十六度十五分以東、東經百二十六度四十五分以西ノ朝鮮）

オ　八口浦近傍（北緯三十五度以南、北緯三十四度三十分以北東經百二十五度四十五分以東、東經百二十六度十五分以西ノ朝鮮）

リ　鬱陵島近傍（慶尚北道鬱陵島）

十　鎭海灣要塞近傍（北緯三十五度二十分以南、東經百二十八度十五分以東、北緯三十五度十分以南東經百二十七度四十五分以東、北緯三十五度以南東經百二十七度三十分以東ノ朝鮮）

マ　イ號乃至ル號及カ號乃至ヨ號ニ掲グル陸地ノ地先三海里以內ノ海面

四　左ニ掲グル區域內ノ水陸ノ形狀又ハ施設物ノ狀況ノ空中、高所ヨリノ撮影又ハ其ノ複寫若ハ複製但シ校寫體ヨリノ高サ一〇〇メートル以下ノ場合ヲ除ク

イ　第一號ロ號ニ掲グル區域

ロ　第一號ハ號ニ掲グル區域
前號ハ號ニ掲グル區域

ニ　前號ホ號ニ掲グル區域

ホ　京濱地方（東京市、橫濱市、川崎市、橫須賀市、呉市、吳海軍工廠、廣島市、川尻町、安藝郡、府中町、海田市、中河內町、矢野町、三篠町、瀨戸市、西宮市、尼崎市、武庫郡及兵庫縣）

ヘ　前號ヘ號ニ掲グル區域

ト　第一號ヘ號ニ掲グル區域

チ　磐井縣、石川縣、富山縣及新潟縣
名古屋市

リ　前號チ號ニ掲グル區域

ヌ　京阪神地方（大阪市、堺市、岸和田市、中河內町、三篠町、瀨戸市、西宮市、尼崎市、武庫郡及兵庫縣）

ル　京阪神地方ノ前號ヌ號ニ掲グル區域

ヲ　前號ヲ號ニ掲グル區域

ワ　前號ヲ號ニ掲グル區域
第一號ヘ號ニ掲グル區域

カ　前號カ號ニ掲グル區域

ヨ　前號ヨ號ニ掲グル區域

レ　前號レ號ニ掲グル區域

ソ　前號ソ號ニ掲グル區域

ネ　前號ネ號ニ掲グル區域

ナ　第一號ト號ニ掲グル區域

ラ　朝鮮（島嶼ヲ含ム）

ム　第一號リ號ニ掲グル區域

前項第三號イ號乃至ヲ號及第四號イ號乃至ナ號ニ掲グル區域ニ付テハ關係人ノ閱覽ニ供スル爲其ノ圖面ヲ當該區域ヲ管轄スル市、町、村役場（朝鮮ニ在リテハ府廳、邑面事務所、臺灣ニ在リテハ郡役所、支廳ヲ含ム）又ハ憲兵隊ニ備付ク

第六條　前條第一項ニ規定スル行爲ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ樣式ノ許可願書（二通）ヲ其ノ出發地ノ最寄憲兵隊長又ハ警察署長ヲ經テ（要塞地帶又ハ宇品港域ニ關スルモノニ在リテハ更ニ當該要塞司令官又ハ陸軍運輸部長ヲ經テ）陸軍大臣ニ提出スベシ

本籍（外國人ニ在リテハ國籍）
住所
職業

航空許可願

年　月　日

陸軍大臣殿

左記ノ通航空飛行機保護法施行規則第五條ノ規定ニ依リ許可相成度候也

左記

一　目的
二　出發地、出發日時（期間）
三　通過地（著陸地）
四　到著地、到著豫定日時
五　航空機ノ種類、機體ノ型式
六　發動機ノ型式及馬力
七　國籍記號、登錄記號
八　乘員ノ住所、氏名竝ニ乘員ノ技倆證明及免狀ノ種類
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

氏名　年齡　㊞

注意

一　用紙適宜
二　目的ニ付テハ運送ノ爲等許可ヲ受クベキ行爲ノ目的ヲ記載スルモノトス
三　出發地、出發日時（期間）ニ付テハ何縣何飛行場等航空機出發離陸ノ場所名及其ノ日時（定期航空ニ在リテハ其ノ期間）ヲ記載スルモノトス
四　通過地（著陸地）ニ付テハ航空機ノ通過スベキ主要地名（途中著陸ノ場合何縣何飛行場等ハ其ノ場所名）ヲ記載スルモノトス
五　到著地、到著豫定日時ニ付テハ最終ノ目的地ヲ記載スルモノトス
六　航空機ノ種類、機體ノ型式ニ付テハ飛行機、航空船、氣球等ノ區別及其ノ型式ヲ記載スルモノトス
七　發動機ノ型式及馬力ニ付テハ航空機備付ノ發動機ノ型式及馬力ヲ記載スルモノトス
第七條　第五條第二號乃至第四號ニ規定スル行爲ノ許可願ニ關シテハ第四條ノ規定ヲ準用ス
第八條　軍機保護法第十三條第一項ノ規定ニ依リ主地又ハ水面及其ノ周圍ノ地域ニ付區域及期間ヲ定メタルトキハ陸軍大臣ノ指定シタル區域ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
第九條　前條第三項ニ規定スル航空ノ許可願ニ關シテハ第六條ノ規定ヲ準用ス
第十條　軍機保護法第十四條第一項ノ規定ニ依リ外國船舶ハ第五條第三號ヲ號ニ揭グル海面（開港港則第一條ニ大正四年朝鮮總督府令第七十二號開港取締規則第一條及昭和二年臺灣總督府令第六十二號臺灣開港規則第一條ニ規定スル經界內ヲ除ク）ニ入ルコトヲ得ズ
第十一條　前條第三項ニ規定スル航空ノ許可願ニ關シテハ第六條ノ規定ヲ準用ス
第十二條　陸軍以外ノ官廳ニ於テ第二條、第三條第二項、第五條又ハ第八條第三項ニ規定スル行爲ヲ爲サントスルトキハ主務大臣、朝鮮總督又ハ臺灣總督ニ在リテハ陸軍大臣ニ協議シ其ノ他ノ官廳ニ在リテハ第四條、第六條、第七條又ハ第九條ノ規定ニ準ジ承認ヲ受クベシ
第十三條　第四條、第六條、第七條又ハ第九條ニ規定スル許可願書ハ縣、市、町、村其ノ他ノ公共團體及法人ニ在リテハ其ノ代表者ヨリ之ヲ提出スベシ
第十四條　第六條、第七條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依リ陸軍大臣ニ許可願書又ハ承認申請書ヲ提出スル場合ニ於テ其ノ許可又ハ承認ヲ受ケントスル行爲ガ要塞地帶法ニ依リ要塞司令官又ハ陸軍大臣ノ、宇品港域軍事取締法ニ依リ陸軍運輸部長又ハ陸軍大臣ノ許可又ハ承認ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ許可又ハ承認ヲ受クベシ但シ海難又ハ捕獲ヲ避クル爲已ムコトヲ得ズシテ前項ニ揭グル水面ニ出入シタルトキハ船舶ノ長又ハ其ノ職務ヲ執ル者ハ事後遲滯ナク最寄憲兵隊長又ハ警察署長ヲ經テ陸軍大臣ニ其ノ事情ヲ屆出ヅベシ
第十一條　前條ニ規定スル行爲ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル許可願書（二通）ヲ其ノ本國管轄官廳若ハ日本ニ在ル外交官、領事官ヲ通ジ外務大臣ヲ經由シ又ハ最寄憲兵隊長若ハ警察署長ヲ經テ陸軍大臣ニ提出スベシ

一　目的
二　船種
三　船籍
四　國籍
五　船籍港
六　總噸數
七　船主ノ氏名及國籍
八　傭船者ノ氏名及國籍
九　船長（其ノ職務ヲ執ル者）ノ氏名及國籍
十　碇泊豫定期間
第十二條　陸軍以外ノ官廳ニ於テ第二條、第三條第二項、第五條又ハ第八條第三項ニ規定スル行爲ヲ爲サントスルトキハ主務大臣、朝鮮總督又ハ臺灣總督ニ在リテハ陸軍大臣ニ協議シ其ノ他ノ官廳ニ在リテハ第四條、第六條、第七條又ハ第九條ノ規定ニ準ジ承認ヲ受クベシ
第十三條　第四條、第六條、第七條又ハ第九條ニ規定スル許可願書ハ縣、市、町、村其ノ他ノ公共團體及法人ニ在リテハ其ノ代表者ヨリ之ヲ提出スベシ
第十四條　第六條、第七條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依リ陸軍大臣ニ許可願書又ハ承認申請書ヲ提出スル場合ニ於テ其ノ許可又ハ承認ヲ受ケントスル行爲ガ要塞地帶法ニ依リ要塞司令官又ハ陸軍大臣ノ、宇品港域軍事取締法ニ依リ陸軍運輸部長又ハ陸軍大臣ノ許可又ハ承認ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ許可又ハ承認ヲ受クベシ但シ海難又ハ捕獲ヲ避クル爲已ムコトヲ得ザルトキハ同一ノ書類ニ依リ申請スルコトヲ得
第十五條　第四條、第六條、第七條、第九條、第十一條及第十二條ノ規定ニ依リ許可又ハ承認ヲ受ケル場合ニ於テ他ノ法令ノ定ムル所ニ依リ主務官廳ノ許可又ハ承認ヲ要スル行爲ニ付テハ先ヅ其ノ許可又ハ承認ヲ受ケタル後ニ非ザレバ許可證若ハ承認證ノ寫ニ許可願書又ハ許可證若ハ承認證ノ寫ヲ添附スベシ但シ昭和十二年海軍省令第二十八號軍機保護法施行規則ニ依リ許可又ハ承認ヲ要スル行爲ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
第十六條　第四條、第六條、第七條、第九條及第十一條乃至前條ノ規定ハ許可又ハ承認ヲ得タル事項ヲ變更セントスル場合ニ之ヲ準用ス
第十七條　憲兵隊長又ハ警察署長第四條、第七條又ハ第十二條ノ規定ニ依リ許可願書又ハ承認申請書ヲ受ケタルトキハ意見ヲ附シ當該要塞司令官（陸軍築城部本部長、陸軍運輸部長、師團長又ハ鎭守府司令官ニ於テ宇品港域第一區及第二區內ニ於ケル航空及航行ニ關スルモノハ陸軍運輸部長ニ送致スベシ
第十八條　陸軍大臣、要塞司令官、陸軍築城部本部長、陸軍運輸部長、師團長又ハ部隊長許可若ハ承認ヲ爲シ又ハ條件ヲ附シテ許可若ハ承認ヲ爲シタルトキハ許可證又ハ承認證ヲ交付ス
第十九條　前條ノ許可證ハ現場ニ於テ行爲ヲ爲ス者必ズ之ヲ攜帶シ何時ニテモ憲兵、衛戍服務ノ軍人、警察官吏及陸軍防禦營造物、陸軍用船舶又ハ軍事施設當該部隊ノ職員ノ閱覽ニ供スベシ
第二十條　許可證ヲ失ヒタル場合ニ於テハ速

滯ナク其ノ事由ヲ具シ再下付ヲ申請スベシ

許可證ヲ失ヒタル者ハ直ニ最寄憲兵隊長又ハ警察署長ニ其ノ旨ヲ届出テ其ノ行爲ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ届出ヲ受ケタル憲兵隊長又ハ警察署長ハ其ノ旨許可證ヲ交付シタル官廳ニ報告又ハ通報スベシ

第二十一條　軍機保護法第十九條ノ規定ニ依ル沒取處分ハ陸軍大臣ノ認可ヲ受ケ憲兵隊長又ハ警察署長之ヲ行フ

前項ノ沒取處分ハ憲兵隊長又ハ警察署長命令書ヲ交付シテ之ヲ爲スベシ

第二十二條　第二條第二號及第三條第一項ニ規定スル標識ハ附圖第一、第八條第一項ニ規定スル標識ハ附圖第二ニ依ル

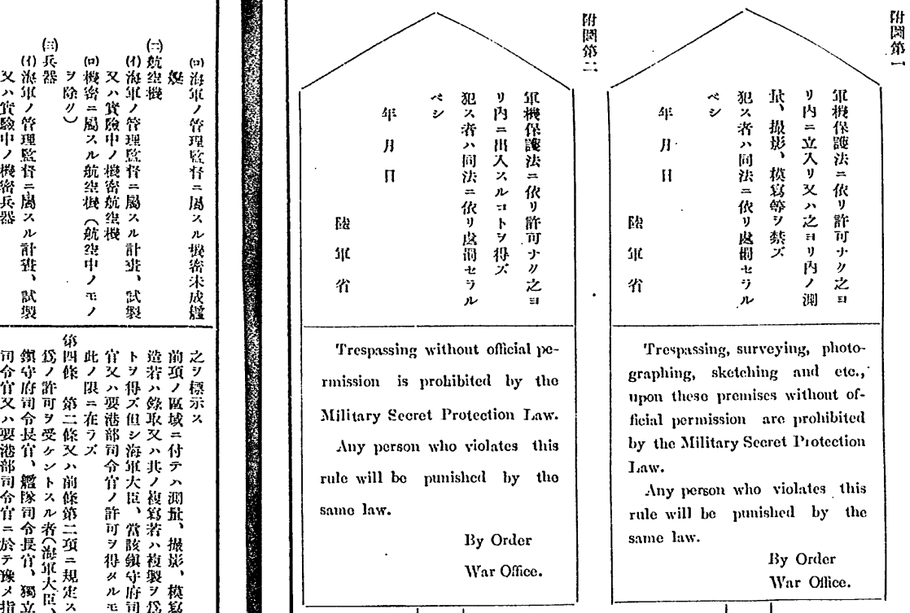
第二十三條　第二條第二號、第三條第一項又ハ第八條第一項ノ規定ニ依リ設置シタル標識ヲ損壞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ無效ナラシメタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十四條　許可證ヲ所持スベキ者第十九條ノ規定ニ依ル閲覽ヲ拒ミタルトキハ十圓以下ノ科料ニ處ス

附　則

本令ハ軍機保護法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附圖第一



附圖第二

●同　上

昭和十二年十月
海令第二十八號

軍機保護法施行規則左ノ通定ム

軍機保護法施行規則

第一條　軍機保護法第一條第二項ノ規定ニ依ル海軍ノ軍事上秘密ノ要スル事項又ハ圖書物件（圖書ニ在リテハ其ノ秘密ノ程度ニ從ヒ「軍機」又ハ「軍極秘」ノ標記ヲ爲シ物件ニ在リテハ之ニ準ズ）ノ種類範圍左ノ如シ

一　國防、作戰又ハ用兵ニ關スル事項

(一)　國防、作戰又ハ用兵ニ關スル計畫

(二)　兵要地誌ノ調査ニ關スル計畫、實施又ハ其ノ成果

(三)　軍港、要港、防禦港其ノ他作戰要地ノ防備ノ方針又ハ計畫

(四)　戰時又ハ事變ノ際ニ於ケル通商保護ノ方針又ハ計畫

(五)　戰時又ハ事變ノ際ニ於ケル艦船部隊ノ用兵上ノ任務、行動計畫又ハ其ノ實施ノ狀況

(六)　軍事ニ關スル外國トノ約定

二　出師準備ニ關スル事項

(一)　出師準備ノ方針又ハ計畫

(二)　出師準備整備ノ狀況

(三)　海軍大臣所管ノ軍需品工場ノ能力

(四)　戰時、事變又ハ之ニ準ズル事件ノ際ニ於ケル出師準備ニ關スル諸令達又ハ之ニ基ク出師準備造捗ノ狀況

三　軍備ニ關スル事項

(一)　軍備ノ方針、計畫又ハ造捗狀況

(二)　水陸設備ノ方針又ハ計畫

(三)　艦船部隊、官衙又ハ學校ノ戰時編制

四　諜報又ハ防諜ニ關スル事項

(一)　諜報又ハ防諜ニ關スル方針、計畫又ハ其ノ實施ノ狀況

(二)　諜報又ハ防諜ノ方法又ハ機關ノ組織、所在若ハ任務

五　艦船部隊、學校ニ於ケル機密（「軍機」又ハ「軍極秘」ニ屬スルモノニ限ル以下同ジ）ニ屬スル教育訓練、演習又ハ研究

實驗ノ計畫、實施又ハ其ノ成果

六　通信ニ關スル事項

(一)　軍用通信ノ組織又ハ計畫ノ内容

(二)　軍用ノ秘密通信又ハ暗號

七　艦船、航空機、兵器又ハ軍需品ニ關スル事項

(一)　「軍機」ニ屬スル現用若ハ計畫、試製、實驗中ノ船體、機關、兵器、航空機、液體燃料、火藥又ハ「軍機」ノ標記ヲ爲シタル計畫圖ニ依リ製作中ノ物件ノ機構、性能、要目若ハ規格

(二)　艦船ノ機密ニ屬スル要目

八　「軍機」又ハ「軍極秘」ノ標記ヲ爲シタル圖書

九　機密ニ屬スル物件

前項ノ種類範圍ニ屬スル事項又ハ圖書物件ト雖モ法規ヲ以テ公示セラレタルモノ又ハ海軍ニ於テ公表シタルモノハ之ヲ除ク

第二條　軍機保護法第八條第一項ノ規定ニ依リ左ニ揭グルモノニ付テハ測量（船舶ノ運航ニ必要ナル測深、測距、方位測定等ヲ除ク以下同ジ）、撮影、模寫、模造若ハ鹼取又ハ其ノ複製ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第一號及第二號ニ揭グルモノニ付テハ當該鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ノ、第三號及第四號ニ揭グルモノニ付テハ海軍大臣、當該鎭守府司令長官、鑵隊司令長官又ハ要港部司令官ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一　軍港、要港又ハ防禦港

二　砲臺、防備衝所其ノ他國防ノ爲建設シタル海軍防禦督造物

三　海軍ノ艦船、航空機又ハ兵器ニシテ左ニ記載シタルモノ

(一)　艦船

(イ)　戰艦及航空母艦

(ロ)　海軍ノ管理監督ニ屬スル機密未成艦艇

(二)　航空機

(イ)　海軍ノ管理監督ニ屬スル計畫、試製又ハ實驗中ノ機密航空機

(ロ)　機密ニ屬スル航空機（航空中ノモノヲ除ク）

(三)　兵器

(イ)　海軍ノ管理監督ニ屬スル計畫、試製又ハ實驗中ノ機密兵器

(ロ)　機密ニ屬スル兵器

四　現場ニ標識ヲ設ケテ標示シタル海軍大臣所管ノ飛行場、砲臺通信所、軍需品工場、軍需品貯藏所其ノ他ノ軍事施設

第三條　軍機保護法第九條ノ規定ニ依リ前條第二號ニ揭グル海軍防禦督造物又ハ同條第四號ニ規定スル軍事施設ノ周圍ノ地域ニ付區域ヲ定メタルトキハ現場ニ標識ヲ設ケテ之ヲ標示ス

前項ノ區域ニ付テハ測量、撮影、模寫、模造若ハ鹼取又ハ其ノ複寫者ハ複製ヲ爲スコトヲ得ズ但シ海軍大臣、當該鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　第二條又ハ前條第二項ニ規定スル行爲ノ許可ヲ受ケントスル者（海軍大臣、當該鎭守府司令長官、鑵隊司令長官、獨立鑵隊司令官又ハ要港部司令官ニ於テ豫メ指定シテ許可シタル者ヲ除ク）ハ左ノ樣式ノ許可申請書（二通）ヲ當該行爲地ノ最寄憲兵隊長（分隊長及分遣隊長ヲ含ム以下同ジ）又ハ警察署長（臺灣ニ在リテハ郡守又ハ支廳長ヲ含ム以下同ジ）ヲ經テ海軍大臣、當該鎭守府司令長官、鑵隊司令長官、獨立鑵隊司令官又ハ要港部司令官ニ提出スベシ

測量（撮影、模寫、模造、鹼取）許可申請書

本籍（外國人ニ在リテハ國籍）
住所
職業
氏名　印
年齢

年　月　日

海軍大臣（鎭守府司令長官、警備隊司令長官、要港部司令官）殿

左記ノ通測量（撮影、模寫、模造、鹼取）致度軍機保護法施行規則第二（三）條ニ依リ此段及許可申請候也

記

一　目的

二　區域（物件）

三　方法

四　使用器具類ノ名稱

五　日時（期間）

六　作業者ノ住所氏名

七　作業ノ場所

八　員數

九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意

一　用紙適宜

二　目的ニ付テハ境界確定ノ爲等許可ヲ受ケベキ行爲ノ目的ヲ記載スルモノトス

三　區域（物件）ニ付テハ區域ハ何縣何郡何村字何金部又ハ何縣何郡何村字何ヨリ同村字何間一帶等其ノ地名、區間等ヲ、物件ハ模寫、模造スベキ何縣何郡何村何字一帶ノ寫眞、模型等其ノ物件ノ名稱等ヲ記載スルモノトス

四　方法ニ付テハ平面測量、油繪等ノ方法ヲ記載スルモノトス

五　使用器具類ノ名稱ニ付テハ何測量器、何寫眞機等使用器具ヲ記載スルモノトス

六　日時（期間）ニ付テハ何年何月何日午前十時頃又ハ何月何日ヨリ同月何日迄等日時又ハ期間ヲ記載スルモノトス

七　作業者ノ住所氏名ニ付テハ測量者何縣何郡何村何番地何某等現ニ作業ニ從事セシムル者ノ住所氏名ヲ記載スルモノトス

八　作業ノ場所ニ付テハ何縣何郡何村字何何番地等測量、測景關係ノ作成、撮影、現像、燒附、模寫、模造、鉉取等ヲ爲ス場所ノ地名ヲ記載スルモノトス

九　員數ニ付テハ測量ノ成果、寫眞原畫、複寫圖書等何部、何枚等其ノ員數ヲ記載スルモノトス

第五條　軍機保護法第十二條第一項ノ規定ニ依リ左ニ揭グル行爲ハ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ第一號又ハ第二號ニ揭グル行爲ニ付テハ海軍大臣ノ、第三號又ハ第四號ニ揭グル行爲ニ付テハ當該鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　左ニ揭グル區域ニ於ケル航空

(一)　軍港、要港又ハ防禦港

(二)　平塚市及神奈川縣中郡大野村

(三)　東經百四十四度以東ノ北海道及千島列島竝ニ其ノ地先三海里以内ノ海面

(四)　伊豆七島、小笠原諸島及硫黄列島竝ニ其ノ地先三海里以内ノ海面

(五)　北緯三十一度以南ノ鹿兒島縣及沖繩縣ノ諸島竝ニ其ノ地先三海里以内ノ海面

二　左ニ揭グル區域内ノ雲ノ高サ、雲ノ厚サ、霧、煙霧若ハ大氣ノ透明度又ハ同區域ノ地面上百メートル若ハ海面上百メートル以上ノ空域ニ於ケル氣流、溫度若ハ濕度ノ器具機械ヲ以テスル觀測（觀測成果ノ作成ヲ含ム）又ハ觀測成果ノ複寫若ハ複製但シ船舶若ハ航空機ノ航行若ハ航空ニ必要ナル氣象ノ觀測所ニ於テ行フモノ又ハ法規ニ依リ官公立ノ氣象ノ觀測所ニ報告若ハ通報スル爲行フモノヲ除ク

(一)　前號(三)乃至(五)ニ揭グル區域

(二)　北緯五十度以南ノ樺太及其ノ地先三海里以内ノ海面

(三)　東經百二十七度以東北緯三十九度以北ノ朝鮮及其ノ地先三海里以内ノ海面

(四)　臺灣及其ノ地先三海里以内ノ海面

三　第一號(二)乃至(四)ニ揭グル區域内ノ水陸ノ形狀若ハ施設物ノ狀況ノ測量（測景成果ノ作成ヲ含ム）又ハ測量成果ノ複寫若ハ複製但シ地目地類ノ變換、土地ノ分合、境界ノ確定若ハ家屋、倉庫ノ新築、改築、增築ノ爲必要ナルモノヲ除ク

四　前號ノ區域内ノ水陸ノ形狀又ハ施設物ノ狀況ノ空中、高所ヨリノ撮影又ハ其ノ複寫若ハ複製但シ被寫體ヨリノ高サ百メートル以下ノ場合ヲ除ク

前項第三號又ハ第四號ノ區域ニ付テハ必要ニ依リ現場ニ標識ヲ設ケテ之ヲ標示

第六條　前條第一號ニ規定スル行爲ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ樣式ノ許可申請書（二通）ヲ其ノ出發地ノ最寄憲兵隊長又ハ警察署長ヲ經テ海軍大臣ニ提出スベシ

航空許可申請書

本籍地（外國人ニ在リテハ國籍）
住所
職業　　氏名　　印　　年齢

海軍大臣殿

左記ノ通航空及度軍機保護法施行規則第五條ニ依リ此段及許可申請候也

記

一　目的
二　出發地、出發日時（期間）
三　通過地（著陸地）
四　到著地、到著豫定日時
五　航空機ノ種類、機體ノ型式
六　發動機ノ型式及馬力
七　國籍記號、登錄記號
八　乘員ノ住所氏名竝ニ乘員ノ技倆證明及免狀ノ種類
九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注意

一　用紙適宜
二　目的ニ付テハ運送ノ爲等許可ヲ受クベキ行爲ノ目的ヲ記載スルモノトス
三　出發地、出發日時（期間）ニ付テハ何縣何飛行場等航空機出發離陸ノ場所名及其ノ日時（定期航空ニ在リテハ其ノ期間）ヲ記載スルモノトス
四　通過地（著陸地）ニ付テハ航空機ノ通過スベキ主要地名（途中著陸ノ場合何縣何飛行場等其ノ場所名）ヲ記載スルモノトス
五　到著地、到著豫定日時ハ最終ノ目的地タル場所名及其ノ到著豫定日時ヲ記載スルモノトス
六　航空機ノ種類、機體ノ型式ニ付テハ飛行機、航空船、氣球等ノ區別及其ノ型式ヲ記載スルモノトス
七　發動機ノ型式及馬力ニ付テハ航空機備附ノ發動機ノ型式及馬力ヲ記載スルモノトス

第七條　第五條第二號乃至第四號ニ規定スル行爲ノ許可申請ニ關シテハ第四條ノ規定ヲ準用ス

第八條　軍機保護法第十三條第一項ノ規定ニ依リ土地又ハ水面及其ノ周圍ノ地域ニ特區域及期間ヲ定メルトキハ現場ニ標識ヲ設ケテ之ヲ標示シ區域ニ付區域及期間ヲ定メタルトキハ海軍大臣ハ之ヲ選信大臣（朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ樺太ニ在リテハ樺太廳長官）ニ通報ス

前項ノ期間ニ於テハ其ノ區域内ニ出入スルコトヲ得ズ但シ航空ニ付テハ演習又ハ實驗等ヲ行フ可ヲ其ノ他ニ付テハ演習又ハ學校ノ長ノ定ムル所ニ依ル許可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第九條　前條第二項ニ規定スル航空ノ許可申請ニ關シテハ第六條ノ規定ヲ準用ス

第十條　軍機保護法第十四條第一項ノ規定ニ依リ外國船舶ハ左ニ揭ゲル區域ニ出入スルコトヲ得ズ但シ外國船舶ノ長又ハ其ノ職務ヲ執ル者海軍大臣ノ許可ヲ受ケタルトキ又ハ止ムヲ得ザル事由アリテ豫メ許可ヲ受クル暇ナキトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　軍港、要港又ハ開港場ニ非ザル防禦港
二　多數艦船在泊中ノ左ニ揭ゲル水面
（一）有明灣（火埼郡非岬ヲ連結スル一線以内）
（二）宇毛灣（高茂崎ヨリ姫島ニ引キタル一線、姫島ヨリ櫛ケ鼻ニ引キタル一線、櫛ケ鼻ヨリ淺瀨埼ニ引キタル一線以内）
（三）館山灣（洲ノ埼大房鼻ヲ連結スル一線以内）
（四）佐伯灣（浦戸埼鵜見埼ヲ連結スル一線以内）
（五）油谷灣（角島牧ケ鼻川尻岬ヲ連結スル一線以内）
（六）寺島水道（串島ヲ中心トシテ五海里ノ半徑ヲ有スル圓周ノ一弧内）
海難又ハ捕獲ヲ避クル爲已ムコトヲ得ズシテ前項ニ揭ゲル水面ニ出入シタルトキハ船舶ノ長又ハ其ノ職務ヲ執ル者ハ事後速ニ最寄憲兵隊長又ハ警察署長ヲ經テ海軍大臣ニ其ノ事情ヲ屆出ヅベシ

第十一條　前條ニ規定スル行爲ノ許可ヲ受ケントスル者ハ船舶法第三條（朝鮮ニ在リテハ朝鮮船舶令第二條、臺灣ニ在リテハ海軍諸法臺灣施行令第二條、樺太ニ在リテハ大正十三年勅令第九十三號）又ハ國規法第九十八條ノ規定ニ依ル主務官廳ヲ經テ左ノ事項ヲ記載シタル許可申請書（二通）ヲ海軍大臣ニ提出スベシ

一　目的
二　船名
三　船種
四　國籍
五　船籍港
六　總噸數
七　船主氏名及其ノ國籍
八　傭船者氏名及其ノ國籍
九　船長（其ノ職務ヲ執ル者）氏名及其ノ國籍
十　碇泊豫定期間

第十二條　海軍以外ノ官廳ニ於テ第二條、第三條第二項、第五條第一項又ハ第八條第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第十三條　第二條第四號、第三條第一項、第五條第二項又ハ第八條第一項ノ規定ニ依リ設置シタル標識ヲ損壞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ無效ナラシメタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十四條　許可證ヲ所持スベキ者第十九條ノ規定ニ依ル閱覽ヲ拒ミタルトキハ十圓以下ノ科料ニ處ス

附則

本令ハ昭和十二年法律第七十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

認ヲ爲シタルトキハ許可證又ハ承認證ヲ交付ス

第十九條　前條ノ許可證ハ現場ニ於テ行政ノ爲ス者必ズ之ヲ携帶シ其ノ附近ヲ警衛スル海軍ノ軍人、軍屬若ハ憲兵又ハ警察官吏ノ要求アルトキハ何時ニテモ其ノ閱覽ニ供スベシ

第二十條　許可證ヲ失ヒタル場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シ再下付ヲ申請スベシ

許可證ヲ失ヒタル者ハ直ニ最寄憲兵隊長又ハ警察署長ニ其ノ旨ヲ屆出デ承認ヲ受クルニ非ザレバ其ノ行爲ヲ繼續スルコトヲ得ズ

前項ノ屆出ヲ受ケタル憲兵隊長又ハ警察署長ハ其ノ旨許可證ヲ交付シタル官廳ニ報告又ハ通報スベシ

第二十一條　軍機保護法第十九條ノ規定ニ依ル沒取處分ハ海軍大臣ノ認可ヲ受ケ憲兵隊長又ハ警察署長之ヲ行フ

前項ノ沒取處分ハ憲兵隊長又ハ警察署長命令書ヲ交付シテ之ヲ爲スベシ

第二十二條　第二條第四號、第三條第一項ニ規定スル標識ハ附圖第一、第五條第二項ニ規定スル標識ハ附圖第二、第八條第一項ニ規定スル標識ハ附圖第三ノ如シ

第二十三條　第二條第四號、第三條第一項、第五條第二項又ハ第八條第一項ノ規定ニ依リ設置シタル標識ヲ損壞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ之ヲ無效ナラシメタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十四條　許可證ヲ所持スベキ者第十九條ノ規定ニ依ル閱覽ヲ拒ミタルトキハ十圓以下ノ科料ニ處ス

附則

本令ハ昭和十二年法律第七十二號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附圖第一

注意

軍機保護法ニ依リ許可ナク之ヨリ内ニ立入リ又ハ之ヨリ内ノ測量、撮影、模寫、模造等ヲ爲スコトヲ禁ズ

犯ス者ハ同法ニ依リ處罰セラルベシ

年　月　日

海軍省

Notice

Trespassing, surveying, photographing, sketching, modelling, etc., upon or of these premises without previous official permission are prohibited by the Military Secrets Protection Law.

Any offender in this regard will be punished by the same law.

Ministry of the Navy.

Sept. ,1937.

附圖第二

注意

軍機保護法ニ依リ許可ナク之ヨリ内、水陸ノ形狀若ハ施設物ノ狀況ノ測量又ハ寫中、高所ヨリノ撮影等ヲ禁ズ

犯ス者ハ同法ニ依リ處罰セラルベシ

年　月　日

海軍省

Notice

Surveying of the features of the land or the water or of the establishments within the premises, or photographing, etc., of the same from the air or a height, without previous official permission are prohibited by the Military Secrets Protection Law.

Any offender in this regard will be punished by the same law.

Ministry of the Navy.

Sept. ,1937.

附圖第三

注意

軍機保護法ニ依リ許可ナク之ヨリ内ニ出入スルコトヲ禁ズ

犯ス者ハ同法ニ依リ處罰セラルベシ

年　月　日

海軍省

Notice

Trespassing here without previous official permission is prohibited by the Military Secrets Protection Law.

Any offender in this regard will be punished by the same law.

Ministry of the Navy.

Sept. ,1937.

第十六輯

學事

●陸軍軍法會議法、海軍軍法會議法、刑事交涉法等ノ施行期日ニ關スル件

大正十一年三月
勅令第七十八號

陸軍軍法會議法、海軍軍法會議法、刑事交涉法等ノ施行期日ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

左ニ掲ケル法律ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十年法律第六號
陸軍軍法會議法但シ第二編第二章中親告罪ノ告訴、請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求及時效ニ關スル規定ヲ除ク

大正十年法律第八十九號
大正十年法律第九十號
海軍軍法會議法但シ第二編第二章中親告罪ノ告訴、請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求及時效ニ關スル規定ヲ除ク

刑事交涉法
大正十年法律第九十三號
大正十年法律第九十四號

●陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法施行前ヨリ施行セラルル勅令中理事、主理等ノ名稱ニ關スル件

大正十一年三月
勅令第八十六號

陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法施行前ヨリ施行セラルル勅令中理事、主理等ノ名稱ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法施行前ヨリ施行セラルル勅令中陸軍ノ理事トアルハ陸軍法務官、理事試補トアルハ陸軍法務官試補、錄事トアルハ陸軍錄事、脩守トアルハ陸軍脩查トシ海軍ノ主理トアルハ海軍法務官、主理試補トアルハ海軍法務官試補、錄事トアルハ海軍錄事トス

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍軍法會議法第一條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ者ニ關スル件

大正十一年三月
勅令第百二號

陸海軍軍法會議法第一條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ者ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

海軍軍法會議法第一條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ者ハ海軍各部除所屬ノ職工トス

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件

大正十一年三月
勅令第百三號

陸軍軍法會議法ニ依リ市町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ市町村吏員ニ準スル吏員、朝鮮ニ於テハ府邑面ノ官吏吏員、臺灣ニ於テハ市街庄又ハ區ニ在リテハ其ノ官吏吏員、樺太ニ於テハ市町村吏員、關東州ニ於テハ民政署ノ官吏之ヲ行フ

（改正　昭和九年一二第三九五號、一二年六第三八四號）

陸軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍軍法會議法ニ依リ市町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ市町村吏員ニ準スル吏員、朝鮮ニ於テハ府邑面ノ官吏吏員、臺灣ニ於テハ市街庄又ハ區ニ在リテハ其ノ官吏吏員、樺太ニ於テハ市町村吏員、關東州ニ於テハ民政署ノ官吏之ヲ行フ

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍軍法會議法ニ依リ市町村吏員ノ行フヘキ職務ニ關スル件

大正十一年三月
勅令第百四號

（改正　昭和九年一二第三九五號、一二年六第三八四號）

陸海軍軍法會議法ニ依リ市町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ市町村吏員ニ準スル吏員、朝鮮ニ於テハ市街庄又ハ區ニ在リテハ其ノ官吏吏員、臺灣ニ於テハ市街庄又ハ區ニ在リテハ其ノ官吏吏員、樺太ニ於テハ市町村吏員、關東州ニ於テハ民政署ノ官吏之ヲ行フ

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中時效ニ關スル規定等施行期日

大正十二年六月
勅令第三百號

陸海軍軍法會議法及海軍軍法會議法中時效ニ關スル規定等施行期日ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍軍法會議法第二編第二章中親告罪ノ告訴、請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求及時效ニ關スル規定竝海軍軍法會議法第二編第二章中親告罪ノ告訴、請求ヲ待チテ受理スヘキ事件ニ付テノ請求及時效ニ關スル規定ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十六輯　學事

第一章　學事

第一款　勅語及御影

○勅語（明治二三、一〇）……一
○勅語謄本頒布ノ件（明治四五、一、總訓一）……一
○御影竝　勅語謄本奉戴心得（明治四二、五、統訓一四）……一

第二款　通則

○國體ノ本義ノ徹ニ關スル件（昭和一〇、四、總訓一四）……一
○朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學委員學事視察規程（昭和三、一〇、總訓二九）……一
○學校身體檢査規程（昭和一二、四、總令四五）……二
○學校身體檢査規程（昭和一二、一、文令二）……五
○官立學校授業料規則（大正三、三、總令一七）……八
○教員心得（大正五、一、總訓二）……八
○學校儀則（大正八、四、總令五九）……九
○學校消毒方法（大正八、四、總訓一一）……九
○教育效績者選奬規程（大正一一、八、總令一一六）……一〇
○文部大臣所轄外ノ學校ニ陸軍現役將校ヲ配屬スルノ件（大正一四、七、勅令二四六）……一〇
○陸軍現役將校學校配屬令（大正一四、四、勅令一三五）……一〇
○陸軍現役將校學校配屬令施行規程（大正一四、四、陸令一五、九、陸令一九）……一二
○學校教練檢定規程（昭和一〇、一一、陸令二二）……一三
○陸軍現役將校ノ配屬ヲ受ケタル學校ノ教練教授要目（大正一五、六、總訓一五）……一四
○陸軍現役將校學校配屬令及文部大臣所轄外ノ學校ニ陸軍現役將校ヲ配屬スルノ件ノ特例ニ關スル件（昭和一二、八、勅令四一一）……一六
○海軍現役武官商船學校等配屬令（昭和一一、一一、勅令三九四）……一六
○海軍現役武官配屬商船學校等ノ教練檢閱規程（昭和一二、一、海令一）……一六
○野球ノ統制竝ニ施行ニ關スル件（昭和七、九、總訓五六）……一八
○國語ノローマ字綴方統一ノ件（昭和一二、九、閣訓三）……一八

第三款　朝鮮教育令

○朝鮮教育令（昭和一三、三、勅令一〇三）……二一
○朝鮮教育令ニ依リ設置セル學校ノ生徒兒童竝卒業者ノ他ノ學校ヘ入學轉學ニ關スル規程（大正一二、一、文令一）……二五

第四款　小學校　幼稚園

○小學校令（明治三三、八、勅令三四四）……二九
○小學校規程（昭和一三、三、總令二四）……三三
○公立幼稚園保姆ノ資格、俸給等ニ關スル件（大正一一、八、總令一一〇）……三三
○他學校ヘ入學轉學ノ關係ニ就キ朝鮮公立小學校兒童及卒業者ノ取扱方（明治四五、五、文令一二）……三五
○幼稚園規程（大正一一、二、總令一一）……三五

第五款　高等女學校

○高等女學校令（明治三二、二、勅令三一）……三八
○高等女學校規程（昭和一三、三、總令二六）……三八

第六款　中學校

○中學校令（明治三二、二、勅令二八）……四二
○中學校規程（昭和一三、三、總令二五）……四二

第七款　師範學校

○師範學校規程（昭和一三、三、總令二七）……四五
○官立師範學校生徒ノ學資及其ノ支給方法（大正一二、四、總告一二一）……四七
○京城師範學校ニ女子演習科及講習科設置（大正一四、四、總告七二）……四八

第八款　大學

○大學令（大正七、一二、勅令三八八）……五一
○京城帝國大學ニ關スル件（大正一三、五、勅令一〇五）……五二
○京城帝國大學學部（大正一三、五、勅令一〇四）……五二
○京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件（大正一五、四、勅令四七）……五三
○京城帝國大學法文學部ニ法學科、哲學科、史學科及文學科設置（大正一五、四、總令三一）……五三
○大學規程（大正一五、四、總令三〇）……五三
○京城帝國大學澁科規程（大正一三、五、總令二一）……五四

第九款　專門學校

○專門學校令（明治三六、三、勅令六一）……五六
○公立私立專門學校規程（大正一一、三、總令二一）……五六
○京城法學專門學校規程（大正一一、四、總令四九）……五七
○京城醫學專門學校規程（大正一一、四、總令五〇）……五八
○京城高等工業學校規程（大正一一、四、總令五一）……五九
○水原高等農林學校規程（大正一一、四、總令五二）……六四
○京城高等商業學校規程（大正一一、四、總令五三）……六七

第十款　實業學校

○實業學校令（明治三二、二、勅令二九）……六八
○實業學校規程（大正一一、二、總令九）……六九
○實業補習學校規程（昭和一〇、四、總令五二）……七七

第十一款　學位

○朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル學位授與ニ關スル件（昭和六、一一、勅令二六八）……七一
○學位令（大正九、七、勅令二〇〇）……七二

第十二款　青年訓練所

○青年訓練所規程（昭和一三、三、總令五四）……七二
○青年訓練手帳樣式（昭和一三、一、總告四五）……七五
○青年學校教練科等檢閱令（昭和一〇、八、勅令二四九）……七七
○青年學校教練科等檢閱規程（昭和一〇、八、陸令八）……七七
○青年學校課程修得者檢定規程（昭和一〇、一一、陸令二三）……七八
○兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定ニ關スル件（昭和一〇、六、陸支令一）……七九
○兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定（昭和九、一〇、陸支告九）……七九

第十三款　陸軍兵志願者訓練所

○朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所規程（昭和一三、四、總令七〇）……八〇
○朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所生徒採用規則（昭和一三、四、總令七一）……八三
○朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所生徒採用手續（昭和一三、四、總訓一八）……八五

第二章　養成所　講習所

○水原高等農林學校附屬農業教員養成所規程（昭和一一、七、總令五四）……八七
○道立醫學講習所規程（昭和四、六、總令五四）……八七
○朝鮮總督府地方官更養成所規程（昭和一一、九、總令八七）……八八
○朝鮮總督府遞信局遞信吏員養成所規程（昭和一三、三、總訓七）……八九
○朝鮮總督府遞信局海員養成所規程（大正八、七、總令一二二）……九一
○朝鮮總督府鐵道從事員養成所規程（大正一四、四、總令二七）……九四

第三章　教育費　（第九科ニ收ム）

第四章　私立學校　書堂

○私立學校規則（大正九、三、總令二一）……九八
○私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程（大正一一、三、總告四五）……一〇五
○私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程ニ依リ私立學校教員ノ資格ヲ有スル者指定（大正一一、四、總告一〇五）……一〇七
○書堂規則（大正七、二、總令一八）……一〇九
○書堂規則發布ニ關スル件（大正七、二、總訓九）……一〇九

第五章　學校ノ認定、指定及檢定

○公立私立學校認定ニ關スル規則（明治三二、六、文告三四）……一一六
○文官任用令上學校認定（大正二、文告二）……一一六
○釜山公立商業專修學校ヲ徵兵令ニ依リ認定（明治四四、一、文告一）……一一六
○京城中學校附屬臨時小學校教員養成所、京城高等普通學校附設臨時教員養成所第二部ヲ文官任用令ニ依リ認定（大正二、五、文告一三〇）……一一六
○專門學校入學者檢定規程（大正一〇、四、陸文告一五）……一一八
○高等試驗令第八條ニ依ル指定學校（大正一三、五、文告二九〇）……一二〇
○藥品及藥品營業取締令施行規則ニ依リ學校指定（大正一四、三、總告四一）……一二〇
○セブラシス聯合醫學專門學校ヲ醫師規則ニ依リ指定（大正一二、二、總告三四）……一二六
○京城齒科醫學校ヲ齒科醫師規則ニ依リ指定（大正一四、二、總告二八）……一二六
○京城齒科醫學專門學校ヲ齒科醫師規則ニ依リ指定（昭和五、一、總告一二）……一二六
○明治四十三年勅令第三百九十六號第五條ニ依ル認定學校（明治四五、總告二四）……一二六
○明治四十三年勅令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校（明治四四、一、總告七）……一二六
○專門學校入學者檢定規程（大正一四、四、總令四九）……一二六
○專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗免除ノ學科目（大正一四、四、總告八六）……一二八
○專門學校入學者檢定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程（昭和三、五、總令二六）……一二八
○專門學校入學者檢定規定ニ依リ指定シタル者（大正一〇、四、總告一〇五）……一二八
○朝鮮、臺灣、樺太又ハ關東州ニ於テ專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ行フ檢定ノ效力ニ關スル件（大正一五、一、文令五）……一二九
○大學規程第五條第二號ノ規程ニ依ル指定（昭和九、三、總告一四九）……一二九
○私立學校教員資格認定ニ關スル件（大正一二、一一、總令一二八）……一二九
○徵兵令ニ依リ學校認定（大正一〇、四、陸文告一五）……一三〇
○高等試驗令第八條ニ依ル指定學校（大正一三、五、文告二九〇）……一三〇
○藥品及藥品營業取締令施行規則ニ依リ學校指定（大正一四、三、總告四一）……一三〇

第六章　經學院　文廟　學會　講習會

○經學院規程（明治四四、六、總令七三）……一三〇
○經學院ニ關スル件（明治四四、八、總訓六五）……一三一
○經學院ノ院務ニ關スル件（大正二、三、總訓一三）……一三一

第七章　在外研究員、留學生及委託生

○在外研究員規程（大正一一、一、勅令六）……一三三
○在外研究員規程施行細則（大正一一、九、總令一三〇）……一三五
○准內地給費生規程（大正一一、四、總令四四）……一三六
○中等教員委託生規則（大正九、六、總令八九）……一三七
○朝鮮人留學生ノ特別入學ニ關スル件（明治四四、四、文令一六）……一三七
○文部省直轄學校外國人特別入學規程（明治三四、一一、文令一五）……一三七

第八章　教科用圖書

○教科用圖書檢定規程（明治四五、六、總令一二）……一三八
○教科用圖書等ノ翻刻及發行ニ關スル件（大正一二、三、總告九四）……一三九

第九章　時　氣象　民曆

○朝鮮ノ標準時（明治四四、一一、總告三三八）……一三九
○木村子午線經度計算方及標準時ノ件（明治一九、七、勅令五一）……一三九
○測候所規程（大正一四、五、總令六一）……一三九
○朝鮮總督府簡易氣象觀測規程（大正三、四、總令三七）……一三〇
○朝鮮總督府簡易氣象觀測規程ニ依リ簡易氣象觀測ヲ施行スヘキ府郡（大正三、四、總告一〇八）……一三〇
○朝鮮船舶氣象觀測報告規則（昭和一一、九、總令八四）……一三〇
○氣象信號特種昭和及氣象特報ニ關スル件（昭和一〇、一一、總令一三七）……一三〇
○天氣豫報、氣象特報及暴風警報規程（昭和一〇、一一、總告六六）……一三一
○地方天氣豫報、地方氣象特報及地方暴風警報信號標式（昭和一〇、一一、總告六六七）……一三二
○暴風雨標竝暴風警報信號所及其ノ揭揚ス可キ府郡（昭和一〇、七、總告三八九）……一三五
○朝鮮總督府觀測所天氣圖ノ發行及發賣ニ關スル件（大正一〇、八、總告一七二）……一三七
○朝鮮民斛ノ製造竝販賣ニ關スル件（大正一二、四、總告一二二）……一三七

第十章　博物館　展覽會

○朝鮮總督府博物館設置ノ件（大正四、一一、勅令二六）……一三七
○朝鮮總督府博物館陳列品寄託心得（大正六、總訓四）……一三七
○朝鮮總督府博物館觀覽時間（大正一五、六、總告一九三）……一三八
○慶州博物館分館觀覽時間（大正一五、六、總告一九三）……一三八
○朝鮮美術展覽會規程（大正一一、一、總告三）……一三八

第十一章　寶物古蹟名勝　天然記念物

○朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令（昭和八、八、勅令二）……一四〇
○朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行規則（昭和八、一二、總令一三六）……一四一
○朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續（昭和八、一二、總訓四二）……一四二
○朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行規則（昭和八、一二、總訓四三）……一四四

第十六輯　學事

第一章　學事

第一款　勅語及御影

●勅語

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ倶ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト倶ニ拳々服膺シテ咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名御璽

●勅語謄本頒布ノ件

明治四十五年一月
總訓第一號

道
官立學校

謹テ惟フニ我カ天皇陛下ハ臣民ノ教育ニ軫念シタマヒ嘗ニ教育ニ關スル勅語ヲ宣セラレ今又之ヲ朝鮮ニ下シ賜フ是レ帝國教育ノ本義ヲ明ニシ一視同仁民衆ヲ子愛シタマフ聖旨ニ外ナラサルナリ正毅勅語ヲ拜戴シテ感激ノ至ニ堪ヘス謹テ其ノ謄本ヲ作リ管內ノ學校ニ頒ツ荷モ教育ノ職ニ在ル者ハ常ニ之ヲ奉體シテ生徒ノ薰陶ニ努メ殊ニ學校ノ式日ニハ恭シク之ヲ奉讀シ生徒ヲシテ夙夜服膺セシメ以テ教化ノ實ヲ擧ケ　聖旨ニ奉答セムコトヲ期スヘシ

●御影竝　勅語謄本奉置心得

明治四十二年五月
秘訓第十四號

管內學校ニ下付セラレタル
天皇陛下
皇后陛下ノ　御影竝教育ニ關シ下シタマヒタル　勅語謄本奉置心得左ノ通定ム

御影竝　勅語謄本奉置心得

第一條　御影ハ學校內ニ特別ナル奉置所ヲ設ケ若ハ校舍內ニ最清淨ナル場所ヲ選ヒ一室又ハ一區域ヲ設ケ唐櫃等ニ納メ最尊重ニ奉置スヘシ

學校ニ適當ナル場所ナキトキハ【理事廳民憲ヲ生セシムルカ如キ言說ハ嚴ニ之ヲ戒メ常ニ其ノ精華ノ發揚ヲ念トシ之ニ由テ自己ノ研鑽ニ努メ子弟ノ敎導ニ勵ミ以テ其ノ任務ヲ達成センコトヲ期スベシ

道　知事
京城帝國大學總長
官立諸學校長
公私立專門學校長

方今內外ノ情勢ヲ稽フルニ刻下ノ急務ハ實ニ建國ノ大義ニ基キ日本精神ヲ作興シ國民的敎養ノ完成ヲ期シ由テ以テ國本ヲ不拔ニ培フニ在リ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルニ及ヤ深ク國體ノ本義ヲ明徵ニシ之ニ基キテ敎育ノ大則ヲ垂レ給ヒシヲ以テ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ實ニ我カ國體ノ精華ニシテ敎育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ倶ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト倶ニ拳々服膺シテ咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名御璽

●勅語謄本頒布ノ件

明治四十五年一月
總訓第一號

道
官立學校
公立學校

謹テ惟フニ我カ天皇陛下ハ臣民ノ教育ニ軫念シタマヒ嘗ニ教育ニ關スル勅語ヲ宣セラレ今又之ヲ朝鮮ニ下シ賜フ是レ帝國教育ノ本義ヲ明ニシ一視同仁民衆ヲ子愛シタマフ聖旨ニ外ナラサルナリ正毅勅語ヲ拜戴シテ感激ノ至ニ堪ヘス謹テ其ノ謄本ヲ作リ管內ノ學校ニ頒ツ荷モ教育ノ職ニ在ル者ハ常ニ之ヲ奉體シテ生徒ノ薰陶ニ努メ殊ニ學校ノ式日ニハ恭シク之ヲ奉讀シ生徒ヲシテ夙夜服膺セシメ以テ教化ノ實ヲ擧ケ　聖旨ニ奉答セムコトヲ期スヘシ

●御影竝　勅語謄本奉置心得

明治四十二年五月
秘訓第十四號

管內學校ニ下付セラレタル
天皇陛下
皇后陛下ノ　御影竝教育ニ關シ下シタマヒタル　勅語謄本奉置心得左ノ通定ム

御影竝　勅語謄本奉置心得

第一條　御影ハ學校內ニ特別ナル奉置所ヲ設ケ若ハ校舍內ニ最清淨ナル場所ヲ選ヒ一室又ハ一區域ヲ設ケ唐櫃等ニ納メ最尊重ニ奉置スヘシ

學校ニ適當ナル場所ナキトキハ【理事廳民憲ヲ生セシムルカ如キ言說ハ嚴ニ之ヲ戒メ常ニ其ノ精華ノ發揚ヲ念トシ之ニ由テ自己ノ研鑽ニ努メ子弟ノ敎導ニ勵ミ以テ其ノ任務ヲ達成センコトヲ期スベシ

第二款　通則

●國體ノ本義明徵ニ關スル件

昭和十年四月
總訓第十四號

道　知事
京城帝國大學總長
官立諸學校長
公私立專門學校長

方今內外ノ情勢ヲ稽フルニ刻下ノ急務ハ實ニ建國ノ大義ニ基キ日本精神ヲ作興シ國民的敎養ノ完成ヲ期シ由テ以テ國本ヲ不拔ニ培フニ在リ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルニ及ヤ深ク國體ノ本義ヲ明徵ニシ之ニ基キテ敎育ノ大則ヲ垂レ給ヒシヲ以テ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ實ニ我カ國體ノ精華ニシテ敎育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭儉己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ倶ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト倶ニ拳々服膺シテ咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名御璽

●朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學委員學事視察規程

昭和三年十月
總訓第二十九號

朝鮮總督府
道
官立學校
公立學校

朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學委員學事視察規程左ノ通定ム

朝鮮總督府視學官及朝鮮總督府視學委員學事視察規程

第一條　視學官學事視察ヲ命セラレタルトキハ左ノ事項ニ就キ視察スヘシ

一　教育行政ノ狀況
二　學校教育ノ狀況
三　國語普及ノ狀況及其ノ施設
四　學校衞生ノ狀況
五　學校經濟ノ狀況
六　學校ト其ノ所在地トノ關係
七　書堂及私設學術講習會ノ狀況
八　社會教育其ノ他教育學藝ニ關スル諸施設ノ狀況
九　學事關係職員執務ノ狀況
十　特ニ指命ヲ承ケタル事項
十一　前各號ノ外必要ト認ムル事項

第二條　視學官視察上必要ト認ムルトキハ日課ヲ變更シテ授業ヲ爲サシメ又ハ生徒兒童ノ學力ヲ試驗スルコトヲ得

第三條　視學官ハ學事視察ノ際左ノ事項ニ就キ關係者ニ對シ注意ヲ與フヘシ

一　法規ニ牴觸シタル事項
二　圓滑ノ決定ニ反シタル事項
三　教授訓育ニ關スル事項
四　其ノ他特ニ指命ヲ承ケタル事項

前項ノ注意中後日參考ト爲ルヘキ事項ハ學校ノ記錄ニ留メシメ視學官之ニ認印スヘシ

第四條　視學官ハ視察上差支ナキトキハ成ルヘク關係道知事ニ視察ノ狀況ヲ陳述スヘシ

視學官ハ前項ノ外學事ニ關スル施設ニ就キ關係道知事ニ對シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第五條　視學官歸廳シタルトキハ遲滯ナク視察ノ大要ヲ復命スヘシ但シ急ヲ要スル事項ハ出張先ヨリ其ノ要領ヲ申報スヘシ

第六條　視學委員ハ朝鮮總督ノ命ヲ承ケ特ニ指命セラレタル學事ヲ視察ス

視學委員視察ヲ終リタルトキハ一月以內ニ復命書ヲ提出スヘシ

第七條　第二條、第四條及第五條ノ規定ハ視學委員ノ視察ニ關シ之ヲ準用ス

第八條　視學官及視學委員ニ非サル者朝鮮總督ノ命ヲ承ケ學事ヲ視察スル場合ハ第一條乃至第三條及第五條ノ規定ヲ準用ス

㊸ 學校身體檢查規程

昭和十二年四月
總令第四十五號

改正　昭和一三年三月六號

學校身體檢查規程左ノ通定ム

學校身體檢查規程

第一條　學校ニ於テハ學生生徒兒童ノ身體ノ發達狀態ニ適切ニシテ體位ノ向上ト健康ノ增進トヲ圖ル爲本令ニ依リ身體檢查ヲ施行スベシ

第二條　身體檢查ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムベシ

學校醫ナキトキ又ハ學校醫身體檢查ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ臨時ニ檢查醫ヲ嘱託シテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校職員、學校看護婦其ノ他適當ナル者ヲシテ身體檢查ノ一部ヲ補助セシムルコトヲ得

第三條　身體檢查ハ每年四月ニ之ヲ施行スベシ但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ身長、體重、胸圍及坐高ノ測定ヲ除キ六月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得

第四條　身體檢查ハ左ノ項目ニ付之ヲ施行スベシ

身長、體重、胸圍、坐高、榮養、脊柱、胸廓、眼、耳、鼻及咽頭、皮膚、齒牙、其ノ他ノ疾病及異常

前項ニ揭グル項目ノ外必要アリト認ムル事項ニ付テハ特ニ檢查ヲ行フコトヲ得

第五條　身體檢查ハ左ノ各號ニ準據シテ之ヲ施行スベシ

一　身長、胸圍及坐高ハセンチメートル、體重ハキログラムヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒ單位ノ下一位ニ止ムベシ

二　身長ハ足袋、靴等ヲ脫シ兩踵ヲ密接シ背、臀部及踵ヲ尺柱ニ接シテ直立シ兩上肢ヲ體側ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保チ之ヲ測定スベシ

三　體重ハ薄衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ衣服ノ重量ヲ控除スベシ

四　胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ背面ハ肩胛骨ノ直下部、前面ハ乳頭ノ直上部ニ尺帶ヲ當テ安靜呼息ノ終レルトキ之ヲ行フベシ乳房ノ著シク發達セル女子ニ在リテハ尺帶ヲ少シク其ノ上方ニ當テ測定スルモノトス

五　坐高ハ腰掛ニ正坐セシメ上體ヲ垂直ニ保チ身長ノ測定方法ニ準ジ坐面ヨリ顱頂マデノ距離ヲ測定スベシ

六　榮養ハ皮膚ノ色澤、皮下脂肪ノ充實、筋骨ノ發達等ニ付檢查スベシ榮養ノ狀態普通以下ニシテ衞生上特ニ注意ヲ要スト認ムルモノヲ「要注意」トシ共ノ他ノモノヲ「可」トシ之ヲ記入スベシ

七　脊柱ハ形態及疾病ニ付檢查スベシ

形態ハ生理的彎曲ヲ有スル者ヲ「正」トシ異常アル者ニ付テハ平背、圓背、亀背、側彎等ヲ區別スベシ

疾病ハ特ニ「カリエス」ニ注意スベシ

八　胸廓ハ形態、發育等ニ付檢查スベシ

異常アル者ニ付テハ扁平胸、鳩胸等ヲ區別スベシ

九　眼ハ視力、屈折異常、色神及眼疾ニ付檢查スベシ

視力ハ萬國式試視力表ニ依リ左右ヲ各別ニ檢查シ裸眼視力ヲ記入スベシ但シ眼鏡ヲ常用スル者ニ付テハ裸眼視力ノ外更ニ其ノ眼鏡ヲ裝用シタル儘左右ノ視力ヲ檢查シ括弧內ニ記入スベシ

弱視、失明等モ各眼ニ付記入スベシ

屈折異常アル者ニ付テハ近視、遠視、亂視ノ種別ヲ各眼ニ付記入スベシ

色神ハ異常ノ有無ヲ記入スベシ

眼疾ハ特ニ「トラホーム」ニ注意スベシ

初等學校第二學年以下ノ兒童ニ在リテハ視力、屈折異常及色神ノ檢查ヲ省略スルコトヲ得

十　耳ハ聽力及耳疾ニ付檢查スベシ

聽力ハ適當ナル方法ニ依リ檢查シ障碍ノ有無ヲ記入スベシ

耳疾ハ特ニ中耳炎ニ注意シ耵聹栓塞アルトキハ耳疾線ニ記入スベシ初等學校第二學年以下ノ兒童ニ在リテハ聽力ノ檢查ヲ省略スルコトヲ得

十一　鼻及咽頭ハ鼻炎、鼻茸、蓄膿症、腺樣增殖症、扁桃腺肥大等ニ注意スベシ

皮膚ハ白癬、疥癬其ノ他ノ傳染性皮膚疾患、濕疹、頭蝨等ニ注意スベシ

十二　齒牙ハ齲齒ニ付檢查シ處置齒、未處置齒ニ分チテ其ノ數ヲ記入スベシ

十三　其ノ他ノ疾病及異常ニ付テハ呼吸器、循環器、消化器、神經系等ヲ檢查シ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患、貧血、脚氣、脫腸、神經衰弱、言語障碍、精神障碍、骨ノ關節ノ異常、四肢運動障碍等ノ發見ニ力ムベシ

第六條　前條ノ檢查ヲ終了シタルトキハ全身ノ狀態ヲ綜合考察シ身體虛弱、精神薄弱又ハ疾病及異常ノ有ル者ニシテ學校衞生上特別養護ノ必要アリト認ムルモノヲ「要養護」トシ然ラザル者ヲ「可」トシ摘要欄ニ記入スベシ但シ大學、專門學校及之ト同等程度以上ノ學校ニ在リテハ之ヲ省略スルコトヲ得

第七條　身體檢查ヲ施行シタルトキハ學校長ハ其ノ結果ヲ本人又ハ其ノ保護者ニ通知スベシ授業免除、就學猶豫、休學、治癒、保護、矯正等ヲ要スル者アルトキハ本人又ハ其ノ保護者ニ注意ヲ與ヘ適切ナル處置ヲ講ゼシムベシ

學校ニ於テ必要アルトキハ健康相談、豫防處置其ノ他適當ナル保健養護ノ施設ヲ講ズベシ

第八條　身體檢查ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ別記第一號樣式ノ身體檢查票ニ記入シ本人在學中之ヲ使用スベシ轉學シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其ノ身體檢查票ノ交付ヲ受ケ使用スベシ

第九條　身體檢查票ハ學校長ニ於テ之ヲ保管スベシ

第十條　身體檢查ヲ施行シタルトキハ學校長ハ別記第二號樣式ノ身體檢查統計表ヲ調製シ其ノ年八月末日迄ニ官立學校及公私立專門學校ニ在リテハ之ヲ朝鮮總督ニ、其ノ他ノ學校ニ在リテハ之ヲ道知事ニ送付スベシ

道知事前項ノ統計表ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ初等學校以外ノ學校ニ付テハ其ノ年九月末日迄ニ、初等學校ニ付テハ別記第二號樣式ニ準ジ道內身體檢查集計表（內地人、朝鮮人別）ヲ調製添附シ其ノ年十一月末日迄ニ朝鮮總督ニ送付スベシ

第十一條　監督官廳若ハ學校長ニ於テ必要アリト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ適當ナル項目ニ付臨時身體檢查ヲ行フコトヲ得

第十二條　幼稚園幼兒ノ身體檢查ニ付テハ本令ヲ準用ス

第十三條　大學ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ本令ノ檢查項目ニ據ラザル身體檢查ヲ施行スルコトヲ得

第十四條　道知事又ハ官立學校若ハ公私立專門學校ノ長ハ學校職員、傭人等ノ身體檢查ニ關シ必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得

第十五條　道知事ハ本令ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

第十六條　特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體檢查ヲ行ハザルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

學校生徒兒童身體檢查規程ハ之ヲ廢止ス

附　則（昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス號）

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別記）

第一號樣式

身體檢查票

學校名														
氏名							男・女		年　月　日生		現在ノ家族			
年齡				年		年		年		年		年		年
檢查年月日														
身體	長			Cm・		Cm・		Cm・		Cm・		Cm・		Cm・
	重			Kg・		Kg・		Kg・		Kg・		Kg・		Kg・
胸圍				Cm・		Cm・		Cm・		Cm・		Cm・		Cm・
坐高				Cm・		Cm・		Cm・		Cm・		Cm・		Cm・
比體重														
比胸圍														
比坐高														
榮養														
脊柱	形態													
	疾病													
胸廓														
眼	視力		左	（）		（）		（）		（）		（）		（）
			右	（）		（）		（）		（）		（）		（）
	屈折異常		左											
			右											
	色神													
	眼疾													
耳	聽力													
	耳疾													
鼻及咽頭														
皮膚														
齒牙	齲齒	處置		（）		（）		（）		（）		（）		（）
		未置		（）		（）		（）		（）		（）		（）
	疾病ノ他ノ齒牙ニ異常及病ノ他ノ疾病													
榮養														
本人ニ對スル注意事項														
備考														
檢查印														

注意事項

一　用紙ノ大サハ日本標準規格ニ依ル紙ノ仕上ゲ寸法A列第四號ニシテ縱二九・七センチメートル橫二一センチメートルトス

二　縱ノ區劃ハ全學年ノ數ヨリ一欄多クシ尙不足ヲ生ジタルトキハ符箋ヲ以テ之ヲ補フコト

三　年齡ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其ノ他之ニ準ズルコト

四　轉校先ノ學校名ハ適宜學校名ノ欄ノ傍白ニ記入スルコト

五　疾病其ノ他ノ毆檢查ヲ受ケザル場合ハ當該區劃ニ其ノ旨ヲ記入スルコト

六　本人ニ對スル注意事項欄ニハ日常衞生上注意スベキ具體的事項ヲ記入スルコト

七　檢查項目中異常ナキ場合ニモ其ノ旨ヲ記入シ空欄ヲ殘サザルコト

八　比體重ノ欄ニハ身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ニ、比胸圍ノ欄ニハ身長ヲ以テ胸圍ヲ除シタル商ニ、比坐高ノ欄ニハ身長ヲ以テ坐高ヲ除シタル商ニ夫々百ヲ乘ジタル數ヲ記入シ孰レモ四捨五入法ニ依リ小數點以下一位ニ止ムルコト

九　齲齒ヲ乳齒ト永久齒ニ分ツ場合ニハ乳齒ニ付テハ括弧內ニ記入スルコト

十　其ノ他ノ齒疾ニ付檢查ヲ行ハザル場合ハ該當欄ニ斜線ヲ引クコト

十一　弱視失明アル場合ニハ視力欄括弧ノ右ニ記入スルコト

第二號様式

表計統査検体身（男女）（校名）　年度

年齢		計	年	年	年	年	年	年	年	年	年	年
身長	總長											
	平均											
體重	總重											
	平均											
胸圍	總長											
	平均											
坐高	總長											
	平均											
榮養	要注意者											
脊柱	正											
	異常アル者											
	カリエス											
胸廓	異常アル者											
視力	視力（兩眼）											
屈折異常	近視											
	遠視											
	亂視											
眼疾	トラホーム											
	其ノ他											
聽力	聽得アル者											
耳疾	中耳											
	其ノ他											
鼻及咽頭	鼻疾											
	齒牙											
	扁桃腺肥大											
	腺樣增殖症											
皮膚	傳染性皮膚病											
	其ノ他ノ皮膚病											
齒牙	齲齒アル者	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	其ノ他ノ齒疾											
其ノ他ノ疾病及異常	結核性疾患											
	腺病											
	肺炎											
	心臟疾患											
	貧血											
	脚脫											
	神經衰弱											
	言語障礙											
	精神異常											
	骨關節運動障礙											
	四肢運動障礙											
備考												
檢査評議	學校醫											
	養護人											

注意事項

一　用紙ノ大サハ日本標準規格ニ依ル紙ノ仕上ゲ寸法B列四號ニシテ縦三六・四センチメートル、横二五・七センチメートルトス

二　本表ハ男女別ニ調製スルコト

三　身長、胸圍、坐高ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ満レモ同一年齢ニ於ケル各檢査人員ノ身長、胸圍、坐高又ハ體重ノ各合計ヲ揭ゲ平均ノ各欄ニハ其ノ檢査人員ヲ以テ總長又ハ總重ヲ除シタル商ヲ揭グルコト

四　弱視（兩眼）ハ兩眼ノ視力〇・三ニ達セザル者ニツキ記入スルコト

五　初等學校第二學年以下ノ兒童及幼稚園ノ幼兒ニ在リテハ弱視（兩眼）、屈折異常、色神及聽力ノ之ヲ本表ニ計入スルヲ要セズ

六　齲齒アル者ニシテ特ニ處置ノ完了セルモノハ括弧内ニ其ノ數ヲ記入スルコト

七　其ノ他ノ疾病及異常ニ關シ第五條第十四號ノ病名ニ據リ尚不足ヲ生ジタルトキハ符號ヲ以テ之ヲ補フコト

八　本表ニ記入スベキ項目ノ一部ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入セザルコト

九　外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入セザルコト

十　備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ說明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スルコト

十一　本表ノ成績ニ關シ學校醫ニ於テ學校衛生上意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スルコト

●學校身體檢査規程

昭和十二年一月
文部省令第二號

學校身體檢査規程左ノ通定ム

學校身體檢査規程

第一條　學校ニ於テハ學生徒兒童ノ身體ノ發達狀態ニ適切ニシテ體位ノ向上ト健康ノ增進トヲ圖ルガ爲本令ニ依リ身體檢査ヲ施行スベシ

第二條　身體檢査ハ學校醫ヲシテ之ヲ行ハシムベシ

學校醫ナキトキ又ハ學校醫身體檢査ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校歯科醫ヲ置キタル學校ニ在リテハ歯牙ノ檢査ハ學校歯科醫ヲシテ之ヲ行ハシムベシ

學校職員、學校看護婦其ノ他適當ナル者ヲシテ身體檢査ノ一部ヲ補助セシムルコトヲ得

第三條　身體檢査ハ每年四月ニ之ヲ施行スベシ但シ止ムヲ得ザル場合ニ於テハ身長、體重、胸圍、坐高ノ測定ヲ除キ六月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得

第四條　身體檢査ハ左ノ項目ニ就キ之ヲ施行スベシ

身長、體重、胸圍、坐高、榮養、脊柱、胸廓、眼、耳、鼻及咽頭、皮膚、齒牙、其ノ他ノ疾病及異常

前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ檢査ヲ行フコトヲ得

第五條　身體檢査ハ左ノ各號ニ準據シテ之ヲ施行スベシ

一　身長、胸圍及坐高ハ「センチメートル」、體重ハ「キログラム」ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒ單位ノ下一位ニ止ムベシ

二　身長ノ測定ハ足袋、靴等ヲ脫シ兩踵ヲ密接シ背、臀部及踵ヲ尺柱ニ接シテ直立シ頭上肢ヲ體側ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保チ之ヲ測定スベシ

三　體重ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ衣服ノ重量ヲ控除スベシ

四　胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ背面ハ眉間骨ノ直下部、前面ハ乳頭ノ直上部ニ尺帶ヲ當テ安靜呼息ノ終レルトキ之ヲ行フベシ乳房ノ著シク膨隆セル女子ニ在リテハ尺帶ヲ少シク其ノ上方ニ當テ測定スルモノトス

五　坐高ハ腰掛ニ正坐セシメ上體ヲ垂直ニ保チ身長ノ測定方法ニ準ジ坐面ヨリ頭頂マデノ距離ヲ測定スベシ

六　榮養ハ皮膚ノ色澤、皮下脂肪ノ充實、筋骨ノ發達等ニ就キ檢査スベシ榮養ノ狀態普通以下ニシテ衞生上特ニ注意ヲ要ト認ムルモノヲ「要注意」トシ其ノ他ノモノヲ「可」トシ之ヲ記入スベシ

七　脊柱ハ形態及疾病ニ就キ檢査スベシ形態ハ生理的彎曲ヲ有スル者ヲ「正」トシ異常アル者ニ就テハ平背、圓背、亂背、側彎等ヲ區別スベシ

疾病ハ特ニ「カリエス」ニ注意スベシ

八　胸廓ハ形態、發育等ニ就キ檢査スベシ異常アル者ニ就テハ扁平胸、漏斗胸、鳩胸等ヲ區別スベシ

九　眼ハ視力、屈折異常、色神及眼疾ニ就キ檢査スベシ

視力ハ萬國式試視力表ニ就キ左右ヲ各別ニ檢査シ裸眼視力ヲ記入スベシ但シ眼鏡ヲ常用スル者ニ就テハ裸眼視力ノ外更ニ其ノ眼鏡ヲ裝用シタル儘左右ノ視力ヲ檢査シ括弧内ニ記入スベシ

弱視失明等モ各眼ニ就キ記入スベシ

屈折異常アル者ニ就テハ近視、遠視、亂視ノ種別ヲ各眼ニ就キ記入スベシ

色神ノ異常ノ有無ヲ記入スベシ

眼疾ハ特ニ「トラホーム」ニ注意スベシ

殊常小學校第二學年以下ノ兒童ニ在リテハ聽力ノ檢査ヲ省略スルコトヲ得

一一　鼻及咽頭ハ鼻炎、鼻茸、蓄膿症、腺樣增殖症、扁桃腺肥大等ニ注意スベシ

一二　皮膚ハ白癬、疥癬其ノ他ノ傳染性皮膚疾患、濕疹、頭蝕等ニ注意スベシ

一三　齒牙ハ齲齒ニ就キ檢査シ處置齒、未處置齒ニ分チテ其ノ數ヲ記入スベシ

學校齒科醫ヲ置キタル學校ニ在リテハ齲齒ノ數ノ更ニ乳齒、永久齒ニ分チテ記入シ又齒列異常其ノ他ノ齒疾ニ就テモ注意スベシ

一四　其ノ他ノ疾病及異常ニ就テハ呼吸器、循環器、消化器、神經系等ヲ檢査シ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患、貧血、脚氣、脫腸、神經衰弱、言語障碍、精神障碍等ノ發見ニ力ムベシ

骨・關節ノ異常、四肢運動障碍等ノ發見ニ力ムベシ

第六條　前條ノ檢査ヲ終了シタルトキハ全身ノ狀態ヲ綜合考察シ身體虛弱、精神薄弱又ハ疾病及異常ヲ有スル者ニシテ學校衞生上特別養護ノ必要アリト認ムルモノヲ「要養護」トシ然ラザルモノヲ「可」トシ所見欄ニ記入スベシ但シ大學、高等學校、專門學校ニ在リテハ之ヲ省略スルコトヲ得

第七條　身體檢査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ其ノ結果ヲ本人又ハ其ノ保護者ニ通知スベシ授業免除、就學猶豫、休學又ハ治癒、保護、矯正等ヲ要スル者アルトキハ本人又ハ其ノ保護者ニ注意ヲ與ヘ適切ナル處置ヲ講ゼシムベシ

學校ニ於テ必要アルトキハ健康相談、傳染病豫防處置、其ノ他適當ナル保健養護ノ施設ヲ講ズベシ

第八條　身體檢査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ第一號樣式ノ身體檢査票ニ記入シ本人在學中之ヲ使用スベシ轉學シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其ノ身體檢査票ノ交付ヲ受ケ使用スベシ

身體檢査票ハ學校長ニ於テ之ヲ保管スベシ

第九條　身體檢査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ第二號樣式ノ身體檢査結果計表ヲ調製シ其ノ年八月末日迄ニ直轄學校、公私立大學、高等學校、專門學校ニ在リテハ文部大臣ニ、其ノ他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ報告スベシ

地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纒メ小學校以外ノ學校ニ就テハ其ノ年九月末日迄ニ、小學校ニ就テハ第二號樣式ニ準ジ道府縣身體檢査集計表ヲ調製添附シ其ノ年十二月末日迄ニ文部大臣ニ送付スベシ

第十條　監督官廳若ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ學校醫若ハ學校歯科醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ適當ナル項目ニ就キ臨時身體檢査ヲ行フコトヲ得

第十一條　前各條ニ依ル身體檢査ノ外就學、入學ニ關シ身體檢査ヲ行フコトヲ得

第十二條　幼稚園幼兒ノ身體檢査ニ就テハ本令ヲ準用ス

第十三條　大學ニ於テハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ノ檢査項目ニ據ラザル身體檢査ヲ施行スルコトヲ得

第十四條　地方長官又ハ直轄學校、公私立大學、高等學校、專門學校ノ長ハ學校職員、備人等ノ身體檢査ニ關シ必要アル事項ヲ定ムルコトヲ得

第十五條　地方長官ハ本令ノ施行上必要アル細則ヲ設グルコトヲ得

第十六條　特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體檢査ヲ行ハザルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

道府縣ニ於テ第九條第二項ノ集計表ヲ調製シ難キ事情アルトキハ當分ノ內之ヲ省略スルコトヲ得

特別ノ事情アルトキハ地方長官ノ認可ヲ受ケ第三條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ內每年九月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第九條第一項ノ期限ハ十一月末日迄、同條第二項ノ期限ハ十二月末日迄トス

學生徒兒童身體檢査規程ハ之ヲ廢止ス

第一號樣式

身　體　檢　查　票

學校名								
氏名			男　女	年　月　日生		家ノ職業		
年齢		年	年	年	年	年	年	年
檢査年月日								
身長		Cm・	Cm・	Cm・	Cm・	Cm・	Cm・	Cm・
體重		Kg・	Kg・	Kg・	Kg・	Kg・	Kg・	Kg・
胸圍		Cm・	Cm・	Cm・	Cm・	Cm・	Cm・	Cm・
坐高		Cm・	Cm・	Cm・	Cm・	Cm・	Cm・	Cm・
比體重								
比胸圍								
比坐高								
榮養								
脊柱	形態							
	疾病							
胸廓								
眼	視力	左	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		右	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	屈折異常	左							
		右							
	色神								
	眼疾								
耳	聽力								
	耳疾								
鼻及咽頭									
皮膚									
齒牙	齲齒	處置	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
		未處置	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	其ノ他ノ齒疾								
其ノ他ノ疾病及異常									
概評									
本人ニ對スル注意事項									
備考									
檢査醫印									

注意事項

一、用紙ノ大サハ日本標準規格ニ依ル紙ノ仕上ゲ寸法A列第四號ニシテ縦二九・七「センチメートル」、横二一・〇「センチメートル」トス

二、縦ノ區劃ハ全學年ノ數ヨリ一欄多クシ尚不足ヲ生ジタルトキハ符箋ヲ以テ之ヲ補フコト

三、年齢ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其ノ他之ニ準ズルコト

四、轉校先ノ學校名ハ適宜學校名ノ欄ノ餘白ニ記入スルコト

五、疾病其ノ他ノ爲檢査ヲ受ケザル場合ハ當該區劃ニ其ノ旨ヲ記入スルコト

六、本人ニ對スル注意事項欄ニハ日常衛生上注意スベキ具體的事項ヲ記入スルコト

七、檢査項目中異常ナキ場合ニモ其ノ旨ヲ記入シ空欄ヲ殘サザルコト

八、比體重ノ欄ニハ身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ニ、比胸圍ノ欄ニハ身長ヲ以テ胸圍ヲ除シタル商ニ、比坐高ノ欄ニハ身長ヲ以テ坐高ヲ除シタル商ニ夫々百ヲ乘ジタル數ヲ記入シ孰レモ四捨五入法ニ依リ小數點以下一位ニ止ムルコト

九、齲齒ヲ乳齒ト永久齒ニ分ツ場合ニハ乳齒ニ就テハ括弧内ニ記入スルコト

一〇、其ノ他ノ齒疾ニ就キ檢査ヲ行ハザル場合ハ該當欄ニ斜線ヲ引クコト

一一、弱視共明アル場合ニハ視力欄括弧ノ右ニ記入スルコト

第二號樣式

年度　（校名）　身體檢査統計表　（男　女）

年齢		年	年	年	年	年	年	年	年	年	年	計
身長	總數											
	平均											
體重	總數											
	平均											
胸圍	總數											
	平均											
坐高	總數											
	平均											
榮養要注意者												
脊柱	正											
	異常アル者											
	カリエス											
胸廓異常アル者												
弱視（兩眼）												
屈折異常	近視											
	遠視											
	亂視											
眼疾	トラホーム											
	其ノ他											
聽力障碍アル者												
耳疾	中耳炎											
	其ノ他											
鼻及咽頭	鼻疾											
	蓄膿症											
	扁桃腺肥大症											
	腺樣增殖症											
皮膚	傳染性皮膚病											
	其ノ他ノ皮膚病											
齒牙	齲齒アル者	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
	其ノ他ノ齒疾											
其ノ他ノ疾病及異常	結核性疾患											
	腺病											
	肋膜炎											
	心臟疾患											
	貧血											
	脚氣											
	腹膜											
	神經衰弱											
	言語障碍											
	精神障碍											
	骨關節ノ異常											
	四肢運動障碍											
概評	要養護者											
檢査人員												
備考												

注意事項

一、用紙ノ大サハ日本標準規格ニ依ル紙ノ仕上ゲ寸法B列第四號ニシテ縦三六・四「センチメートル」、横二五・七「センチメートル」トス

二、本表ハ男女別ニ調製スルコト

三、身長、胸圍、坐高ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ孰レモ同一年齢ニ於ケル各檢査人員ノ身長、胸圍、坐高又ハ體重ノ各合計ヲ揭ゲ平均ノ各欄ニハ其ノ檢査人員ヲ以テ總長又ハ總重ヲ除シタル商ヲ揭グルコト

四、弱視（兩眼）ハ兩眼ノ視力〇・三ニ達セザル者ニツキ記入スルコト

五、尋常小學校第二學年以下ノ兒童及幼稚園ノ幼兒ニ在リテハ弱視（兩眼）、屈折異常、色神並聽力ハ之ヲ本表ニ計入スルヲ要セズ

六、齲齒アル者ニシテ特ニ處置ノ完了セルモノハ括弧内ニ其ノ數ヲ記入スルコト

七、其ノ他ノ疾病及異常欄ニ於ケル疾病及異常ノ分類ハ成ルベク規程第五條第十四號ノ病名ニ據リ尚不足ヲ生ジタルトキハ符箋ヲ以テ之ヲ補フコト

八、前項ノ外本表ニ記入スベキ項目ノ一部ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入セザルコト

九、外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入セザルコト

一〇、備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ說明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スルコト

一一、本表ノ成績ニ關シ學校醫、學校歯科醫ニ於テ學校衛生上意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スルコト

●官立學校授業料規則

大正三年三月
總令第十七號

改正　大正四年三月勅令第三一號、同年四月勅令第一四一號、同年同月勅令第一四二號、同年五月勅令第一九一號、同年同月勅令第二一四號、同年六月勅令第二四九號、同年七月勅令第二八八號、同年十二月勅令第三四八號

官立學校授業料規則左ノ通定ム

第一條　官立學校授業料ハ左ノ區別ニ依リ授業料ヲ徴收ス

大學豫科	一學年	七十五圓	
專門學校	一學年	五十　圓	
實業學校	一　月	四十錢	
附屬小學校	一　月	二　圓	

第二條　授業料ハ大學豫科及專門學校ニ在リテハ左ノ三期ニ分納セシメ其ノ他ノ學校ニ在リテハ毎月之ヲ納付セシム

大學豫科　專門學校	第一期	四月一日ヨリ八月三十一日迄	三十圓　二十圓
	第二期	九月一日ヨリ十二月三十一日迄	三十圓　二十圓
	第三期	一月一日ヨリ三月三十一日迄	十五圓　十　圓

第三條　附屬小學校ノ兒童ニシテ授業料ヲ納付シ能ハサル者ニ付テハ學校長ハ情狀ニ依リ其ノ授業料ヲ減額又ハ免除スルコトヲ得

第三條ノ二　戰時事變ニ際シ公務ニ依リ從軍シタル者ノ爲死亡シタルトキ、一月以上生死分明ナラサルトキ又ハ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ恩給法ニ依ル扶助令、傷人扶助令ニ依ル扶助金（療治料ヲ除ク）ヲ給セラルルトキハ其ノ者ノ同一戶籍內ニ在ル子及弟妹ニ付テハ學校長ハ當該事實ヲ恩給若ハ扶助金ヲ給セラルヘキ事由ノ生シタル月ノ翌月ヨリ附屬小學校ニ於ケル授業料ヲ免除スヘシ

戰時又ハ平時ニ拘ラス下士官以下ノ軍人公務ノ爲死亡シタルトキ、一月以上生死分明ナラサルトキ又ハ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ恩給法ニ依ル恩給ヲ給セラルルトキハ其ノ者ノ同一戶籍內ニ在ル子及弟妹ニ付亦同シ

戰時事變ニ際シ公務ニ依リ從軍シタル者ノ同一戶籍內ニ在ル子及弟妹ニ付テハ本令施行前大學豫科ニ入學シタル生徒ニ付テハ其ノ學期ノ終ニ於ケル授業料ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

第四條　大學豫科又ハ專門學校ノ生徒ニシテ休學スル者ノ授業料ハ次期以後ノ分納額ヲ免除ス

休學ノ事故止ミ各分納期ノ半途ヨリ出席シタルトキハ當該期ノ分納額ハ休學一月ニ付キ一月ヲ以テ之ヲ免除ス

大學豫科又ハ專門學校以外ノ學校ニ在リテハ夏季休業日又ハ學校ノ都合ニ依リ休業引續キ一月ニ渉ルトキハ其ノ月ノ授業料ヲ徴收セス引續キ一月ニ渉リ休學シタルトキ亦同シ

授業料ハ缺席又ハ出席停止ノ爲減額又ハ免除セス

第五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七條　授業料ハ豫定ノ分納期日ハ總長又ハ學校長之ヲ定ム但シ大學豫科及專門學校ニ在リテハ開明ニシテ學術ノ進歩ニ適應スル學科ニ付テハ學期ノ中途ニ於テ之ヲ變更スルコトヲ得

第八條　總長又ハ學校長ハ授業料徴收期日後願出ノ者ニ付キ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

第九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第十條　授業料ハ缺席又ハ出席停止ノ爲減額又ハ免除セス

第十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第十二條　休學ノ事故止ミ各分納期ノ半途ヨリ出席シタルトキハ當該期ノ分納額ハ休學一月ニ付キ一月ヲ以テ之ヲ免除ス

大學豫科及專門學校以外ノ學校ニ在リテハ夏季休業日又ハ學校ノ都合ニ依リ休業引續キ一月ニ渉ルトキハ其ノ月ノ授業料ヲ徴收セス引續キ一月ニ渉リ休學シタルトキ亦同シ

第十三條　授業料ハ缺席又ハ出席停止ノ爲減額又ハ免除セス

第十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第三十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第四十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第五十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第六十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第七十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第八十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第九十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百二十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百三十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百四十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百五十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百六十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百七十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百八十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第百九十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百二十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百三十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百四十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百五十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十七條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十八條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百六十九條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百七十條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百七十一條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百七十二條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百七十三條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百七十四條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百七十五條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百七十六條　既ニ納付シタル授業料ハ過誤納ニ因ル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第二百

ナルヲ以テ今般左ノ道學校清潔方法ノ標準ヲ定ム各學校ニ於テハ其ノ校舍ノ設備、經費及季節ノ關係等ヲ斟酌シ取捨宜シキヲ制シ以テ衛生上遺憾ナキヲ期スヘシ

學校清潔方法

學校清潔方法ヲ分チテ日常清潔方法、定期清潔方法ノ二トス

甲　日常清潔方法

一　教室及寄宿舍ハ毎日人無キ時ニ於テ先ツ窓戸ヲ開キ如斯ノ類ヲ以テ少シク牀板及階段ヲ洞ホシ又ハ濕リタル木屑、粗笈等ヲ以テ疎具、校具等ヲ拭フヘシ

掃除ノ爲室内ヲ潤ホスハ生徒ノ再ヒ之ニ入ル迄ニ充分乾燥シ了ルヲ度トスヘシ

二　教室及寄宿舍ニハ其ノ人員ニ應シ紙屑籠ト少量ノ水又ハ藥液（多數ノ際ハ水ノミ）ヲ盛レル唾壺トヲ備ヘ紙片其ノ他ノ塵芥物ハ必ス紙屑籠ニ投入シ唾痰ハ必ス唾壺ニ於テ決シテ室内廊下等ニ放下セシムヘカラス

紙屑籠及唾壺ハ毎日之ヲ掃除スヘシ

唾壺内ノ唾痰ハ大正七年朝鮮總督府令第四號ニ依リ消毒ノ後投棄スヘシ

三　寄宿舍内ニハ於テハ戸外ニ於テ用ヰル履物ヲ禁スヘシ但シ已ムヲ得サル事情アリテ特ニ之ヲ許ストキハ適宜ノ方法ヲ設ケテ室内ヲ不潔ニ陷ラシメサラムコトヲ務ムヘシ

四　靴ノ儘昇校スル校令ノ出入口ニハ人員ニ應シ靴拭ヲ備フヘシ

五　寢具ハ屋ノ日光ニ曝シ掛布及敷布等ハ得ル限リ之ヲ洗濯セシムヘシ宿直員用ノ掛布及敷布等ハ監督之ヲ備付ケ成ルヘク宿直員ノ交替毎ニ洗濯シタルモノヲ用ウヘシ

六　便所ノ尿溝及注壁等ハ毎日一回水ヲ以テ之ヲ洗ヒ固形漏布ヲ以テ拭フヘシ

七　糞壺内ニハ防臭藥トシテ粗製過燐酸加里、木炭末、灰等ヲ撒布シ期ヲ愆ラス汲取ラシムヘシ

八　時時窓戸ヲ開キテ空氣ヲ通シ惡臭、煙氣又ハ湯氣ノ鬱滯ナキヲ務メ且掃除ヲ怠ルカラス殊ニ食堂、炊事場ハ常ニ清潔ニシ夏季ニ於テハ出入口及窓戸ニ蝇又ハ寒冷紗ヲ張リテ蝇族ノ侵入ヲ防キ倘相當ノ驅蟲法ヲ講スヘシ

六　芥塵場ノ不潔物ハ期ヲ愆ラス撤出セシムヘシ殊ニ夏季ニ於テハ時後漂シ木炭末、灰等ヲ撒布シ蝿族ノ發生及群集ヲ防止スヘシ

七　浸水等ノ爲校舍、寄宿舍、校具等ヲ汚染シタルトキハ前各號ヲ參照シ適當ノ清潔法ヲ施行スヘシ

●教育效績者選奬規程

大正十一年八月
總令第百十六號
改正　昭和八年二第七號、十三年三第四七號

教育效績者選奬規程左ノ通定ム

第一條　師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、小學校若ハ盲啞學校ノ學校長若ハ教員又ハ幼稚園ノ園長若ハ保姆ニシテ其ノ效績顯著ナル者ハ朝鮮總督之ヲ選奬ス

第二條　效績者ノ選奬ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ教育效績狀ヲ授與シテ之ヲ公示ス

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二　破産又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキ

三　懲戒ニ依リ免官又ハ免職ノ處分ヲ受ケタルトキ

四　私立學校規則第十四條ノ規定ニ依ル處分ヲ受ケタルトキ

五　不正ノ所爲アリテ其ノ情狀重シト認メタルトキ

第三條　教育效績者ノ選奬ハ各學校ニ付少クモ二回夏期又ハ其ノ他ノ休業中ニ之ヲ行フモノトス

第四條　第一條ノ效績ヲ審査スル爲朝鮮總督府ニ委員ヲ設ケ朝鮮總督府官吏ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年三月總令第四十七號）

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●文部大臣所轄外ノ學校ニ陸軍現役將校ヲ配屬スルノ件

大正十四年七月
勅令第二百四十六號

改正　昭和九年二第三九五號

朕文部大臣所轄外ノ學校ニ陸軍服役將校ヲ配屬スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍大臣ハ宮内大臣、文部大臣以外ノ各省大臣、朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使又ハ樺太廳長官ト協議アリタルトキハ各其ノ所轄學校ニ於ケル男生徒ノ教練ヲ掌ラシムル爲陸軍現役將校ヲ當該學校ニ配屬スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ陸軍現役將校學校配屬令ヲ準用ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●陸軍現役將校學校配屬令

大正十四年四月
勅令第百三十五號

改正　昭和四年五第一三五號、一〇年八第二四八號

朕陸軍現役將校學校配屬令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍現役將校學校配屬令

第一條　師團長ハ關係ノ地方長官（地方長官ノ管轄セサル學校ニ在リテハ當該學校長）又ハ樺太廳長官、第十九又ハ第二十師團長ハ朝鮮總督、臺灣軍司令官ハ滿洲國駐劄特命全權大使（滿洲國駐劄特命全權大使ノ管轄ニ屬セサル學校ニ在リテハ當該學校長）、支那駐屯軍司令官ハ當該學校長ト協議シテ教練查閱日割表ヲ作製シ之ヲ查閱ヲ受クヘキ學校長ニ通知シ且陸軍大臣ニ報告スヘシ

前項ノ通知及報告ハ查閱ヲ開始スル日ヨリ三十日前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

師團長又ハ軍司令官ハ教練查閱ニ先チ前項ノ教練查閱日割表及查閱ノ要領其ノ他必要ナル事項ヲ教練查閱官ニ指示スヘシ

第八條　教練查閱官學校ノ教練ヲ查閱シタルトキハ當該學校長立會ノ上配屬將校ニ對シ所見ヲ開示スヘシ

第九條　教練查閱官ハ查閱ヲ終了シタルトキ其ノ結果ニ基キ左ノ事項ヲ記載シタル教練查閱報告書ヲ調製シ其ノ終了後二十日以内ニ師團長又ハ軍司令官ニ提出スヘシ

一　學校別教練成績ノ概要

二　各配屬將校ニ關示シタル所見

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

五　前條ノ報告書ニ基キ左ノ事項ヲ記載シタル管内教練查閱報告書ヲ調製シ四月二十五日迄ニ陸軍大臣ニ提出スヘシ

一　第七條第三項ノ規定ニ依リ其ノ年度ニ於テ特ニ指示シタル事項

二　管内教練一般ノ成績

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十一條　教練ノ成果ヲ擧ケル見込ナシト認メタルトキ

第四條　第一條ノ教練ヲ審査スル爲朝鮮總督府ニ委員ヲ設ケ朝鮮總督府官吏ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年三月總令第四十七號）

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

成所又ハ青年學校教員養成所ニ於ケル男生徒ノ教練ヲ掌ラシムル爲陸軍現役將校ヲ當該學校ニ配屬スル場合ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ陸軍現役將校ヲ之ニ配屬スルコトヲ得

●陸軍現役將校學校配屬令施行規程

大正十四年四月
陸軍省令

改正　昭和二〇年六第一〇號

陸軍現役將校學校配屬令施行規程左ノ通定ム

第一條　陸軍現役將校學校配屬令第一條ニ依リ陸軍現役將校學校配屬令第二條ノ規定ニ依リ陸軍現役將校ノ配屬ヲ受ケムトスルトキハ大學ニ在リテハ總長又ハ學長其ノ他ノ學校ニ在リテハ當該學校長ニ於テ左ノ事項ヲ具シ陸軍大臣及支部大臣ニ宛テタル申請書ヲ支部ニ提出スヘシ

一　名稱

二　位置

三　入學資格、修業年限

四　學生生徒定員、現在學生生徒學年別及學科別員數

五　屋外體操場ノ區域及面積

六　武器及其ノ附屬物ノ種類並員數

七　現在體操科教員ノ氏名略歷

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ現役將校ノ配屬ヲ止ムルコトアルヘシ

一　兵役法施行令第百條第三號ノ規定ニ依リ認定セラレタル學校ニシテ其ノ認定ヲ取消サレタルトキ

二　教練ノ成果ヲ擧ケル見込ナキトキ

三　生徒ノ數著シク減少シタルトキ

四　學生生徒定員、現在學生生徒學年別及學科別員數ニ變更ヲ生シタルトキ

五　屋外體操場ノ區域及面積ニ著シキ變更ヲ生シタルトキ

六　武器及其ノ附屬物ノ種類並員數ニ著シキ變更ヲ生シタルトキ

七　現在體操科教員ノ氏名略歷ニ變更アリタルトキ

第三條　陸軍大臣及支部大臣ハ特別ノ事由アルトキハ本令ニ依ル將校ノ配屬ヲ止ムルコトヲ得

第四條　陸軍大臣ハ現役將校ヲシテ本令ニ依リテ將校ヲ配屬シタル學校ニ於ケル教練實施ノ旅ノ狀況ヲ查閱セシムルコトヲ得

第五條　官立又ハ公立ノ商船專門學校及商船學校ニハ第一條ノ規定ニ拘ラス將校ヲ配屬セサルコトヲ得

陸軍小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノ實業學校又ハ之ト同等以上ノ實業學校以外ノ實業學校、修業年限二年未滿ノ青年學校教員養成所及教員養成ヲ目的トスル學校ニ付テハ第一條及第二條ノ規定ヲ適用セス

第六條　配屬將校傷病疾病其ノ他已ムヲ得サル事故ニ因リ服務シ難キトキハ陸軍大臣ハ文部大臣ト協議シテ他ノ現役將校ヲシテ其ノ職務ヲ代理セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條又ハ第二條ニ規定スル學校ニシテ大正十四年二月一日以後ニ於テ設立シタルモノニハ當分ノ內將校ヲ配屬セサルコトヲ得

●陸軍現役將校學校配屬令

大正十四年四月
勅令

改正　昭和二〇年六第一〇號

朕陸軍現役將校學校配屬令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍現役將校學校配屬令

第一條　陸軍現役將校學校配屬令第一條ニ依リ陸軍現役將校學校配屬令第二條ノ規定ニ依リ陸軍現役將校ノ配屬ヲ受ケムトスル學校ノ教練ヲ查閱セシムル將校ヲ教練查閱官ト稱ス

第二條　教練查閱官ハ師團長又ハ軍司令官（朝鮮軍司令官ヲ除ク以下之ニ同シ）隷下將校ノ中ヨリ之ヲ命ス

陸軍大臣ハ臨時ニ教練查閱官ヲ命シ查閱スヘキ學校ヲ指定シテ共ノ教練ヲ查閱セシムルコトアルヘシ

第三條　教練ノ查閱ハ師團司令部附將校ヲ配屬シタル學校ニ在リテハ師管區司令官附將校又ハ官衙附將校ヲ配屬シタル學校ニ在リテハ當該聯隊又ハ官衙毎ニ一名ノ教練查閱官ヲ從キ當該師團司令部又ハ聯隊若ハ官衙附ノ將校ヲ配屬シタル學校ニ付之ヲ行ハシム但シ學校多數ナルトキハ二名以上ノ教練查閱官ヲシテ分擔查閱セシムルコトヲ得

第一師管内ニ在ル學校ニシテ近衛師團長ノ隷下ノ將校ヲ配屬シタルモノニ在リテハ近衛師團長ニ於テ、臺灣軍司令官、關東軍司令官又ハ支那駐屯軍司令官ノ隷下ノ將校ヲ配屬シタル學校ニ在リテハ當該軍司令官ニ於テ、第十九又ハ第二十師團ノ管區（陸軍召集規則第百九十六條ノ管區ヲ謂フ以下之ニ同シ）内ニ在ル學校ニ在リテハ第十九又ハ第二十師團長ニ於テ前項ノ規定ニ準シ教練查閱官ヲ命ス

第四條　師團長又ハ軍司令官ハ前條ノ規定ニ依ル外臨時ニ教練查閱官ヲ命シ查閱スヘキ學校ヲ指定シテ共ノ教練ヲ查閱セシムルコトヲ得

第五條　師團長ハ共ノ師管内ノ教練ノ查閱ヲ指揮監督ス

近衛師團長、臺灣軍司令官、關東軍司令官又ハ支那駐屯軍司令官ハ共ノ隷下ノ將校ヲ配屬シタル學校、第十九又ハ第二十師團長ハ共ノ管區内ノ學校ノ教練ノ查閱ヲ指揮監督ス

第六條　教練ノ查閱ハ毎年度（四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄）内ニ於テ各學校ニ付少クモ一回之ヲ行フヲ例トス

第七條　師團長ハ關係ノ地方長官（地方長官ノ管轄セサル學校ニ在リテハ當該學校長）又ハ樺太廳長官、第十九又ハ第二十師團長ハ朝鮮總督、臺灣軍司令官ハ滿洲國駐劄特命全權大使（滿洲國駐劄特命全權大使ノ管轄ニ屬セサル學校ニ在リテハ當該學校長）、支那駐屯軍司令官ハ當該學校長ト協議シテ教練查閱日割表ヲ作製シ之ヲ查閱ヲ受クヘキ學校長ニ通知シ且陸軍大臣ニ報告スヘシ

前項ノ通知及報告ハ查閱ヲ開始スル日ヨリ三十日前ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

師團長又ハ軍司令官ハ教練查閱ニ先チ前項ノ教練查閱日割表及查閱ノ要領其ノ他必要ナル事項ヲ教練查閱官ニ指示スヘシ

第八條　教練查閱官學校ノ教練ヲ查閱シタルトキハ當該學校長立會ノ上配屬將校ニ對シ所見ヲ開示スヘシ

第九條　教練查閱官ハ查閱ヲ終了シタルトキ其ノ結果ニ基キ左ノ事項ヲ記載シタル教練查閱報告書ヲ調製シ其ノ終了後二十日以内ニ師團長又ハ軍司令官ニ提出スヘシ

一　學校別教練成績ノ概要

二　各配屬將校ニ關示シタル所見

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

五　前條ノ報告書ニ基キ左ノ事項ヲ記載シタル管内教練查閱報告書ヲ調製シ四月二十五日迄ニ陸軍大臣ニ提出スヘシ

一　第七條第三項ノ規定ニ依リ其ノ年度ニ於テ特ニ指示シタル事項

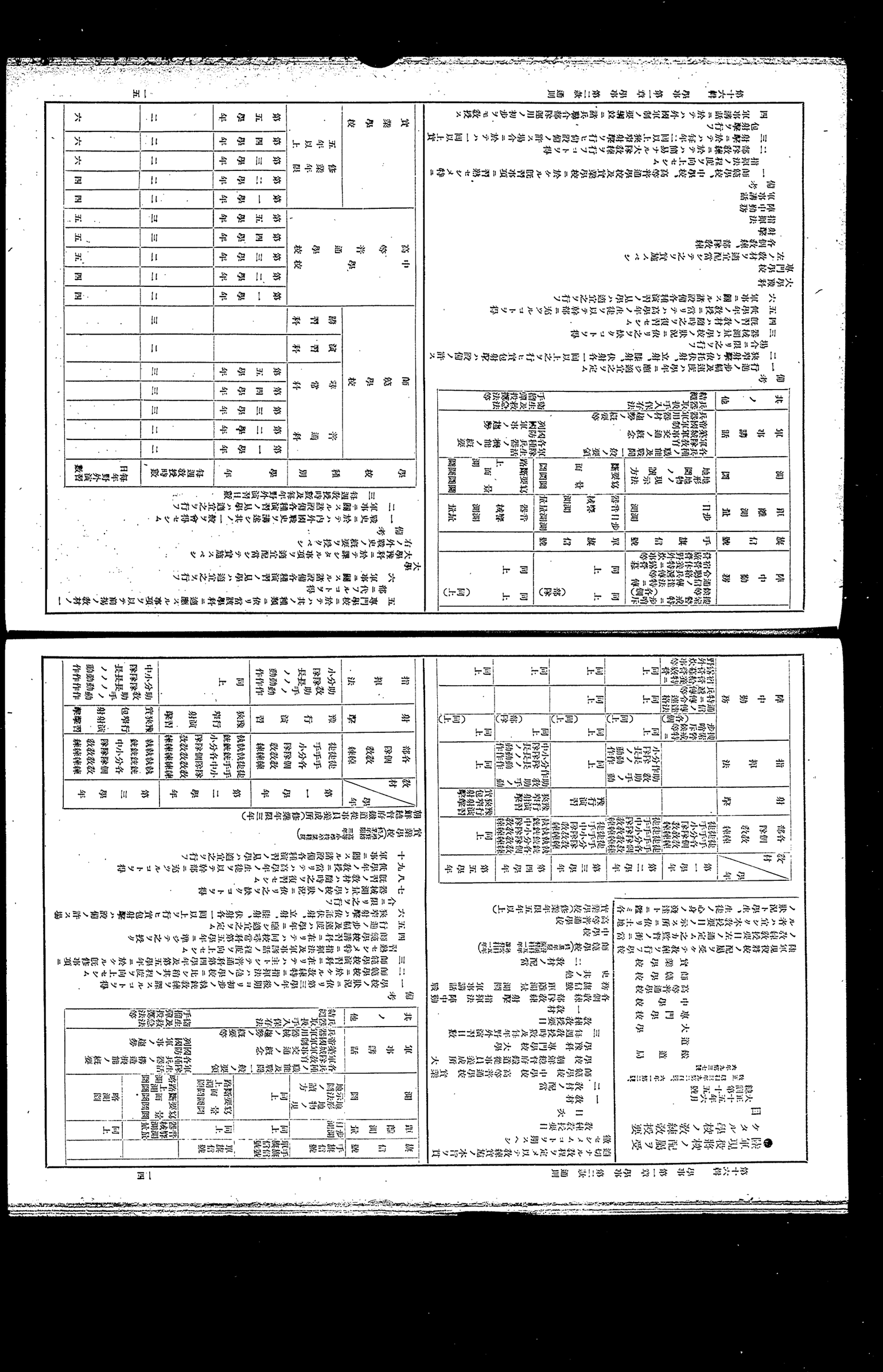
二　管内教練一般ノ成績

三　將來ニ關スル意見

四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十一條　教練ノ成果ヲ擧ケル見込ナシト認メタルトキハ當分ノ內將校ヲ配屬セサルコトヲ得

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp



	第一學年	第二學年	第三學年
修業年限三年	第一學年	二	六
	第二學年	二	六
	第三學年	二	六
朝鮮總督府鐵道從事員養成所	第一學年	二	六
	第二學年	二	六
	第三學年	二	六
大學豫科及專門學校	大學	一・五	四
	學	適宜	

備考

一　師範學校ニ在リテハ普通科第五學年ニ於テ一週間、演習科ニ於テ二週間、專當科第五學年ニ於テ三週間、講習科ニ於テ二週間ノ軍事講習ヲ兵營又ハ野營地ニ於テ行フ但シ專當科ノ軍事講習ハ其ノ一週間以内ヲ第四學年ニ繰上ゲ之ヲ行フコトヲ得

二　本表ノ日時數ハ最少限度ヲ示ス

●陸軍現役將校學校配屬令及文部大臣所轄外ノ學校ニ陸軍現役將校ヲ配屬スルノ件ノ特例ニ關スル件

昭和十二年八月
勅令第四百十一號

陸軍現役將校學校配屬令第二百四十六號ノ特例ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

陸軍現役將校學校配屬令及大正十四年勅令第二百四十六號ニ依リ配屬スル陸軍現役將校ハ當分ノ内昭和八年勅令第十二號ニ依リ充用シタル陸軍ノ豫備役又ハ後備役ノ各兵科佐、尉官ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍現役武官商船學校等配屬令

昭和十一年十一月
勅令第三百九十四號

海軍現役武官商船學校等配屬令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

海軍現役武官商船學校等配屬令

第一條　公立商船學校又ハ朝鮮總督府遞信局海員養成所ニ於ケル生徒ノ教練ヲ掌ラシムル爲海軍現役武官ヲ當該學校又ハ海員養成所ニ配屬スル但シ戰時事變ノ際其ノ他特別ノ事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依ル武官ノ配屬ハ海軍大臣又ハ朝鮮總督ノ協議ヲ經テ之ヲ行フ

第二條　海軍大臣ハ現役將校ヲシテ本令ニ依リテ武官ヲ配屬シタル學校又ハ海員養成所ニ於ケル教練實施ノ狀況ヲ查閱セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍現役武官配屬商船學校等ノ教練ニ關スル件

昭和十二年一月
海令第一號

海軍現役武官配屬商船學校等ノ教練查閱規程左ノ通定ム

海軍現役武官配屬商船學校等ノ教練查閱規程

第一條　海軍現役武官商船學校等配屬令第二條ノ規定ニ依リ公立商船學校又ハ朝鮮總督府遞信局海員養成所（以下海員養成所ト稱ス）ノ教練ヲ查閱セシムル海軍將校ヲ教練查閱官ト稱ス

第二條　教練查閱官ハ公立商船學校ニ在リテハ當該鎭守府司令長官又ハ其ノ命ズル將官タル海軍將校トシテ海員養成所ニ在リテハ鎭海要港部司令官トス

第三條　教練ノ查閱ハ各公立商船學校又ハ海員養成所ニ就キ每年四月一日ヨリ其ノ翌年三月三十一日迄ノ間ニ於テ少クトモ一回之ヲ行フモノトス

第四條　海軍大臣ハ前二條ノ規定ニ依ル外必要ニ應ジ將官タル海軍將校ニ教練查閱官ノ命ヲ以テ公立商船學校又ハ海員養成所ヲ指定シテ其ノ教練ヲ查閱セシムルコトアルベシ

第五條　鎭守府司令長官ハ關係地方長官、鎭海要港部司令官ハ朝鮮總督ト協議シテ教練查閱日程ヲ定メ查閱ヲ受クベキ各公立商船學校長又ハ海員養成所長ニ之ヲ通知シ且海軍大臣ニ報告スベシ

前項ノ通知及報告ハ查閱實施期日ヨリ二週間前ニ之ヲ爲スモノトス

第六條　教練查閱官ハ公立商船學校又ハ海員養成所ノ教練ヲ查閱シタルトキハ當該學校長又ハ海員養成所長立會ノ上查閱ノ成績ニ付配屬武官ニ訓示スベシ

第七條　海軍大臣又ハ鎭守府司令長官ノ命ズル教練查閱官ハ查閱ヲ終了シタルトキハ其ノ結果ヲ鎭守府司令長官ニ報告スベシ

第八條　鎭守府司令長官又ハ鎭海要港部司令官ハ查閱ノ結果又ハ前條ノ報告ニ基キ左ノ事項ヲ記載シタル報告書ヲ作製シ查閱終了後二十日以内ニ海軍大臣ニ之ヲ提出スベシ

一　查閱實施ノ要領
二　成績概要
三　所見
四　其ノ他必要ト認ムル事項

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●野球ノ統制竝ニ施行ニ關スル件

昭和七年九月
總訓第五十六號

官立學校
道
私立專門學校

野球ノ統制竝ニ施行ニ關スル件

近時朝鮮ニ於ケル運動競技ノ著シク普及盛until
ンタルハ曾ニ體育ノ爲ノミナラズ國民ノ資質向上ノ見地ヨリシテモ亦大ニ欣ブベキノ事タリ

抑運動競技ガ國民ノ健康ヲ增進シ體位ヲ向上セシムル點ヨリ言ヘバ敢テ更ニヲ俟タザル所ニシテ更ニ各人ノ元氣ヲ振作シ氣宇ヲ明朗快濶ナラシメ其ノ態度ヲ公明正大ナラシムル等運動精神涵養ノ結果ニ對シ不知不識ノ間ニ人格修養上裨益スル所大ナルハ則チ疑ナキ事實ニシテ體育運動ガ現代ノ教育上重要ナル地位ヲ占ムルニ至リタル理由亦此ニ存スル點ヨリ言フモ各種運動競技中野球ハ比較的簡易ニシテ且ツ廣ク大衆ニ普及シ得ル特質ヲ具有シ而モ其ノ技術ノ巧拙ハ全ク練習ノ如何ニ依リテ定マルヲ以テ體育運動ヲ振興セシムル爲ニハ先ヅ野球ノ健全ナル發達ヲ圖ルノ要アリ而シテ學生生徒等ニ依リテ行ハルル野球ガ一般野球界ノ中心タルノ實情ニ鑑ミルトキハ第一著手トシテ此ノ方面ノ適正健全ナル發達ヲ圖ルヲ以テ緊急ノ要務ト爲スル是レ今回特ニ學生生徒等ニ依ル野球ノ施行ニ關シ其ノ據ルベキ基準ヲ示スニ至リタル所以ナリ

凡ソ學生野球ノ要諦ハ敎育ノ本義ニ則リテ運動競技ノ精華ヲ發揮セシムルニ在リ卽チ之ヲ行フ者當ニ克ク各自ノ本分ヲ體シ純正ナル心情ヲ持スルヲ念ハザルベカラザルニ拘ラズ往往ニシテ之ニ伴フ弊アルヲ遺憾トス彼ノ野球ヲ行フ者又ハ野球ヲ觀ル者熱狂ノ餘勢モスレバ常軌ヲ逸シ正道ヲ去ルコト遠キモノアルヲ免レズ此ノ如キハ互ニ相戒メ又自ラ抑制シテ

正道ニ由ラシメザルベカラズ是ヲ以テ其ノ施行ニ關スル相統ヲ整備シ其ノ統制ヲ確立セバ之カ成果ヲ收ムルコト敢テ難シトセザルベシ蓋シ朝鮮野球界ノ現狀ハ之カ統制ヲ行フニ方リ諸種ノ困難ノ伴フヤモ保セザルベシト雖官民協力以テ非ズバ必ズヤ成果ヲ收メ得ベキヲ信ズ

茲ニ學生生徒等ニ依リ野球ノ施行ニ關シ須要ナル規矩ヲ揭ゲテ其ノ遵由ヲ促シ以テ之カ適正健全ナル發達ヲ期センコトヲ期シ併セテ其ノ目的ノ達成ニ努メラルベシ此ノ趣旨ヲ體シ其ノ目的ノ達成ニ努メラルベシ

第一　初等學校ノ野球ニ關スル事項

一　初等學校ノ野球ハ之ヲ校內兒童ノ間ニ行ハシムルヲ旨トシ對外試合ニ熱中スルガ如キ弊ニ陷ラシメザルコト

二　兒童ヲシテ對外試合ニ參加セシムル必要アル場合ハ左記ニ準據スベキコト

(一)　對外試合ノ開催ハ左記ニ依ルコト

イ　同一道內ニ在スル二校間ノ試合ハ關係學校長ノ協定ノ下ニ開催セラルルモノタルコト

ロ　同一道內ニ在スル三校以上ノ小學校カ參加スル試合又ハ三校以上ノ普通學校ガ參加スル試合ハ參加學校長ノ承認アル場合ニ限リ左記ニ依リ開催セラルルモノタルコト

1　參加學校カ同一府、郡、島內ニ在スル場合ハソレゾレ當該府、郡、島ノ體育團體ニ於テ主催スルカ又ハ關係府、郡、島ノ體育團體ノ共同主催ノ下ニ開催スルコト

2　參加學校カ前記ノ範圍ヲ超エ且同一道內ニ在スル場合ハ道體育團體ニ於テ主催スルカ又ハ關係府、郡、島ノ體育團體ノ共同主催ノ下ニ開催スルコト

(二)　試合參加ノ爲兒童ヲシテ宿泊セシメザルコト

(三)　試合ハ總テ之ヲ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ對外試合ハ原則トシテ土曜日ノ午後又ハ休業日ニ行フコト

(四)　對外試合ニ出場スル兒童ハ第五學年以上ノ兒童ニシテ父兄ノ承認竝ニ學校醫ノ健康證明アル者ニ就キ學校長之ヲ選定スルコト

九　生徒ハ個人ノ資格ニ於テ入場料ヲ徵收スル試合ニ出場スルヲ得ザルコト

十　選手ハ「グラウンチーム」ニ加ハリ試合ニ出

ルコト

(四)　兒童ヲシテ「リラアチーム」ノ試合ニ參加セシメザルコト

(五)　對外試合ニ於テ同一兒童ガ一日ニ行フ試合回數ハ一回ヲ原則トシ已ムコトヲ得ザル場合ハ二回行フモ妨ゲザルコト

(六)　試合ニ要スル經費ハ當該試合ノ主催者ニ於テ負擔スルコト

(七)　試合ノ主催者ハ入場料又ハ參加料ヲ徵收シ又ハ督利宣傳等ニ利用セラルル廣告、寄附金等ヲ收受セザルコト

(八)　對外試合ニ於テハ當該學校職員以外ノ者ヲシテ一切關與セシメザルコト

(九)　試合ノ主催者ハ一切使用球ヲ指定セザルコト

三　野球ノ指導ハ當該學校職員主トシテ之ニ當リ特ニ指導者ヲ招聘セザルコト

四　野球ニ關シ特ニ後援奬勵等ヲ組織シ又ハ其ノ支援ヲ受ケザルコト

第二　中等學校ノ野球ニ關スル事項

一　中等學校ノ野球ニ關シテハ道ノ體育團體ニ於テ適當ニ統制スルコト但シ當該團體ノ設置ナキ道ニ在リテハ當局者竝ニ中等學校長ト密接ナル聯絡ヲ有スル中等學校體育聯盟又ハ中等學校野球聯盟ノ設置アリテ道內中等學校ノ野球ヲ統制セル場合ニ在リテハ右團體ヲシテ統制ニ當ラシムルモ妨ゲザルコト

二　試合ハ總テ之ヲ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ對外試合ハ原則トシテ土曜日ノ午後又ハ休業日ニ行フコト

三　試合ハ出場スル選手ハ當該學年ニ於テ原級ニ止リタル者ニ非ザルコト轉入學又ハ中途入學ノ者ハ入學後一箇年以上ヲ經過セルモノニ限ルコト

四　選手ハ父兄ノ承認ヲ學校醫ノ健康證明アルモノニ就キ學校長之ヲ選定スルコト

五　前項ニ依リ入場料ヲ徵收セントスルトキハ主催者ハ豫メ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

六　入場料ヲ徵收シタル場合ハ試合終了後遲滯ナク其ノ收支決算ヲ朝鮮總督府學務局ニ報告スルコト但シ其ノ使途ニ關シ入場料ニ關スル事項中(二)(四)ニ定ムルニ依ルコト

七　試合參加ニ關シ旅費、滯在費等ヲ受クル場合ハ必ズ當該學校ノ屬スル道ノ體育團體ヲシテ經費收受ヲシ當該學校ハ直接之ニ與ラザルコト

(一)　試合ニ出場スル選手ハ當該學年ニ於テ原級ニ止リタル者ニ非ザルコト轉入學又ハ中途入學ノ者ハ入學後一箇年以上ヲ經過セルモノニ限ルコト

(二)　試合ハ總テ之ヲ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ對外試合ハ原則トシテ土曜日ノ午後又ハ休業日ニ行フコト

(三)　前項ニ依リ入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ道體育團體ノ主催又ハ關係學校共同主催ノ下ニ道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

ロ　同一道內ニ在スル二校間ノ試合ハ兩校共同主催ノ下ニ開催セラルルモノタルコト

ホ　道ヲ異ニスル二校間ノ試合ハソレゾレ當該學校主催ノ下ニ其ノ屬スル道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

試合ハ總テ所定ノ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ特ニ對外試合ハ土曜日ノ午後又ハ休業日、其ノ他ノ日ニ在リテハ午後四時以後ニ限リ行フコト但シ荒天等ノ爲之ニ據リ難キ場合ハ全鮮的優勝大會ニ在リテハ朝鮮總督府學務局其他ノ大會ニ在リテハ關係道體育團體ノ承認ヲ得ルコト

四　入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ道體育團體ニ於テ主催スルカ又ハ朝鮮總督府學務局ニ於テ公認シタルモノニ限ルコト

五　前項ニ依リ入場料ヲ徵收セントスルトキハ主催者ハ豫メ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

六　入場料ヲ徵收シタル場合ハ試合終了後遲滯ナク其ノ收支決算ヲ朝鮮總督府學務局ニ報告スルコト但シ其ノ使途ニ關シ入場料ニ關スル事項中(二)(四)ニ定ムルニ依ルコト

七　試合參加ニ關シ旅費、滯在費等ヲ受クル場合ハ必ズ當該學校ノ屬スル道ノ體育團體ヲシテ經費收受ヲシ當該學校ハ直接之ニ與ラザルコト

(一)　試合ニ出場スル選手ハ當該學年ニ於テ原級ニ止リタル者ニ非ザルコト轉入學又ハ中途入學ノ者ハ入學後一箇年以上ヲ經過セルモノニ限ルコト

(二)　試合ハ總テ之ヲ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ對外試合ハ原則トシテ土曜日ノ午後又ハ休業日ニ行フコト

(三)　前項ニ依リ入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ道體育團體ノ主催又ハ關係學校共同主催ノ下ニ道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

ホ　同一道內ニ在スル二校間ノ試合ハ兩校共同主催ノ下ニ開催セラルルモノタルコト

ヘ　道ヲ異ニスル二校間ノ試合ハソレゾレ當該學校主催ノ下ニ其ノ屬スル道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

試合ハ總テ所定ノ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ特ニ對外試合ハ土曜日ノ午後又ハ休業日、其ノ他ノ日ニ在リテハ午後四時以後ニ限リ行フコト但シ荒天等ノ爲之ニ據リ難キ場合ハ全鮮的優勝大會ニ在リテハ朝鮮總督府學務局其他ノ大會ニ在リテハ關係道體育團體ノ承認ヲ得ルコト

四　入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ道體育團體ニ於テ主催スルカ又ハ朝鮮總督府學務局ニ於テ公認シタルモノニ限ルコト

五　前項ニ依リ入場料ヲ徵收セントスルトキハ主催者ハ豫メ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

六　入場料ヲ徵收シタル場合ハ試合終了後遲滯ナク其ノ收支決算ヲ朝鮮總督府學務局ニ報告スルコト但シ其ノ使途ニ關シ入場料ニ關スル事項中(二)(四)ニ定ムルニ依ルコト

七　試合參加ニ關シ旅費、滯在費等ヲ受クル場合ハ必ズ當該學校ノ屬スル道ノ體育團體ヲシテ經費收受ヲシ當該學校ハ直接之ニ與ラザルコト

(一)　試合ニ出場スル選手ハ當該學年ニ於テ原級ニ止リタル者ニ非ザルコト轉入學又ハ中途入學ノ者ハ入學後一箇年以上ヲ經過セルモノニ限ルコト

(二)　試合ハ總テ之ヲ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ對外試合ハ原則トシテ土曜日ノ午後又ハ休業日ニ行フコト

(三)　前項ニ依リ入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ道體育團體ノ主催又ハ關係學校共同主催ノ下ニ道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

ホ　同一道內ニ在スル二校間ノ試合ハ兩校共同主催ノ下ニ開催セラルルモノタルコト

ヘ　道ヲ異ニスル二校間ノ試合ハソレゾレ當該學校主催ノ下ニ其ノ屬スル道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

試合ハ總テ所定ノ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ特ニ對外試合ハ土曜日ノ午後又ハ休業日、其ノ他ノ日ニ在リテハ午後四時以後ニ限リ行フコト但シ荒天等ノ爲之ニ據リ難キ場合ハ全鮮的優勝大會ニ在リテハ朝鮮總督府學務局其他ノ大會ニ在リテハ關係道體育團體ノ承認ヲ得ルコト

四　入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ道體育團體ニ於テ主催スルカ又ハ朝鮮總督府學務局ニ於テ公認シタルモノニ限ルコト

五　前項ニ依リ入場料ヲ徵收セントスルトキハ主催者ハ豫メ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

六　入場料ヲ徵收シタル場合ハ試合終了後遲滯ナク其ノ收支決算ヲ朝鮮總督府學務局ニ報告スルコト但シ其ノ使途ニ關シ入場料ニ關スル事項中(二)(四)ニ定ムルニ依ルコト

七　試合參加ニ關シ旅費、滯在費等ヲ受クル場合ハ必ズ當該學校ノ屬スル道ノ體育團體ヲシテ經費收受ヲシ當該學校ハ直接之ニ與ラザルコト

(一)　試合ニ出場スル選手ハ當該學年ニ於テ原級ニ止リタル者ニ非ザルコト轉入學又ハ中途入學ノ者ハ入學後一箇年以上ヲ經過セルモノニ限ルコト

(二)　試合ハ總テ之ヲ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ對外試合ハ原則トシテ土曜日ノ午後又ハ休業日ニ行フコト

(三)　前項ニ依リ入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ道體育團體ノ主催又ハ關係學校共同主催ノ下ニ道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

ホ　同一道內ニ在スル二校間ノ試合ハ兩校共同主催ノ下ニ開催セラルルモノタルコト

ヘ　道ヲ異ニスル二校間ノ試合ハソレゾレ當該學校主催ノ下ニ其ノ屬スル道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

試合ハ總テ所定ノ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ特ニ對外試合ハ土曜日ノ午後又ハ休業日、其ノ他ノ日ニ在リテハ午後四時以後ニ限リ行フコト但シ荒天等ノ爲之ニ據リ難キ場合ハ全鮮的優勝大會ニ在リテハ朝鮮總督府學務局其他ノ大會ニ在リテハ關係道體育團體ノ承認ヲ得ルコト

四　入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ道體育團體ニ於テ主催スルカ又ハ朝鮮總督府學務局ニ於テ公認シタルモノニ限ルコト

五　前項ニ依リ入場料ヲ徵收セントスルトキハ主催者ハ豫メ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

六　入場料ヲ徵收シタル場合ハ試合終了後遲滯ナク其ノ收支決算ヲ朝鮮總督府學務局ニ報告スベキコト

地方的大會ノ道豫選ノ之ヲ含マズ）開催セラルルモノタルコト

同一道內ニ在シ近接セル三校以上ノ學校間ニテ行フ試合ハ道體育團體ノ主催又ハ關係學校共同主催ノ下ニ道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

同一道內ニ在スル二校間ノ試合ハ兩校共同主催ノ下ニ開催セラルルモノタルコト

ホ　道ヲ異ニスル二校間ノ試合ハソレゾレ當該學校主催ノ下ニ其ノ屬スル道體育團體ノ公認ヲ得テ開催セラルルモノタルコト

試合ハ總テ所定ノ學業ニ支障ナキ時ニ行フベシ特ニ對外試合ハ土曜日ノ午後又ハ休業日、其ノ他ノ日ニ在リテハ午後四時以後ニ限リ行フコト但シ荒天等ノ爲之ニ據リ難キ場合ハ全鮮的優勝大會ニ在リテハ朝鮮總督府學務局其他ノ大會ニ在リテハ關係道體育團體ノ承認ヲ得ルコト

四　入場料ヲ徵收シ得ル試合ハ道體育團體ニ於テ主催スルカ又ハ朝鮮總督府學務局ニ於テ公認シタルモノニ限ルコト

五　前項ニ依リ入場料ヲ徵收セントスルトキハ主催者ハ豫メ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

六　入場料ヲ徵收シタル場合ハ試合終了後遲滯ナク其ノ收支決算ヲ朝鮮總督府學務局ニ報告スベキコト

場スルヲ得ザルコト但シ學校ヲ背景トスル「グラアチーム」ニシテ道體育團體ノ承認ヲ得タルモノニ加ハリ學校長ノ許可ヲ受ケテ收入ヲ伴ハザル試合ニ出場スル場合ハ此ノ限ニ在ラザルコト

第三　大學、大學豫科及專門學校ノ野球ニ關スル事項

一　全鮮的大會、地方的大會又ハ聯盟試合ヲ開催スル當該團體ハ其ノ役員中ニ關係學校又ハ其ノ體育會（又ハ運動會）ノ責任者若ハ野球部長ヲ加ヘ豫メ團體ノ代表者ニ於テ左記事項ヲ具シ朝鮮總督府學務局ニ報告シ其ノ公認ヲ受クベキコト但シ關係學校多數ノ場合ハ適當ノ員數ニ制限スルモ妨ゲナキコト

(一)　團體ノ名稱
(二)　事務所ノ所在地
(三)　團體代表者ノ氏名
(四)　團體組織ニ關スル規定
(五)　事業施行ニ關スル規定
(六)　經理ニ關スル詳細ナル規定

前記各號ノ事項ニ變更ヲ生ジタル場合ハ其ノ都度朝鮮總督府學務局ニ報告シ其ノ承認ヲ得ベキコト

二　前項ノ當該團體ハ每年度ノ始ニ於テ其ノ年度ノ事業豫定及收支豫算ヲ前年度ノ事業概要及收支決算ヲ朝鮮總督府學務局ニ報告スベキコト

三　第一項ノ當該團體以外ノ團體ニ於テ全鮮的大會、地方的大會、聯盟試合又ハ之ニ準ズル試合ヲ開催セントスルトキハ參加學校長承認ノ下ニ試合ノ施行及經理方法ヲ具シ試合開催前豫メ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

四　兩校對抗試合ハ當該學校長承認ノ下ニ行ハルルモノタルコト但シ入場料ヲ徵收スル場合及當該學校カ其ノ所在スル道ヲ離レ試合ヲ行フ場合ハ豫メ當該學校ニ於テ朝鮮總督府學務局ノ承認ヲ受クベキコト

入場料ヲ徵收シタル場合ハ試合終了後遲滯ナク其ノ收支決算ヲ朝鮮總督府學務局ニ報告スベキコト

第十六章　学校

第一節　通則

第二款　学令

第一項　学齢

第二項　学令

五　学齢ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ニ関スル規定ヲ準用ス

四　学齢ハ満六年ニ達シタル翌日ヨリ始マリ満十四年ニ達シタル日ヲ以テ終ル

三　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

二　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

一　学校ニ就学スル義務ハ学令ニ始マリ学令ニ終ル

第二款　学令

第三款　通則

第一項　学齢

第二項　学令

五　学齢ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ニ関スル規定ヲ準用ス

四　学齢ハ満六年ニ達シタル翌日ヨリ始マリ満十四年ニ達シタル日ヲ以テ終ル

三　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

二　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

一　学校ニ就学スル義務ハ学令ニ始マリ学令ニ終ル

第十六章　学校

第一節　通則

第二款　学令

第一項　学齢

第二項　学令

五　学齢ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ニ関スル規定ヲ準用ス

四　学齢ハ満六年ニ達シタル翌日ヨリ始マリ満十四年ニ達シタル日ヲ以テ終ル

三　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

二　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

一　学校ニ就学スル義務ハ学令ニ始マリ学令ニ終ル

第三款　通則

●朝鮮教育令

第一項　学齢

第二項　学令

第一節　通則

第十六章　学校

五　学齢ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ニ関スル規定ヲ準用ス

四　学齢ハ満六年ニ達シタル翌日ヨリ始マリ満十四年ニ達シタル日ヲ以テ終ル

三　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

二　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

一　学校ニ就学スル義務ハ学令ニ始マリ学令ニ終ル

第二款　学令

第三款　通則

第一項　学齢

第二項　学令

五　学齢ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ニ関スル規定ヲ準用ス

四　学齢ハ満六年ニ達シタル翌日ヨリ始マリ満十四年ニ達シタル日ヲ以テ終ル

三　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

二　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

一　学校ニ就学スル義務ハ学令ニ始マリ学令ニ終ル

第十六章　学校

第一節　通則

第二款　学令

第一項　学齢

第二項　学令

五　学齢ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ニ関スル規定ヲ準用ス

四　学齢ハ満六年ニ達シタル翌日ヨリ始マリ満十四年ニ達シタル日ヲ以テ終ル

三　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

二　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

一　学校ニ就学スル義務ハ学令ニ始マリ学令ニ終ル

第三款　通則

第一項　学齢

第二項　学令

五　学齢ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ニ関スル規定ヲ準用ス

四　学齢ハ満六年ニ達シタル翌日ヨリ始マリ満十四年ニ達シタル日ヲ以テ終ル

三　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

二　学令ハ学齢ノ始マル年ノ四月一日ニ始マリ学齢ノ終ル年ノ三月三十一日ニ終ル

一　学校ニ就学スル義務ハ学令ニ始マリ学令ニ終ル

明治三十三年八月
勅令第三百四十四號

改正　明治三六年三號、三六年四第七
四號、四〇年三第五二號、四四年七第二一六
號、大正二年七第二五八號、八年二第二〇
號、一二年八第三七六號、一五年四第七三
號、一五年六第二四二號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ小學校令ノ改正ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

小學校令

第一章　總則

第一條　小學校ハ兒童身體ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並其ノ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス

第二條　小學校ハ之ヲ分テ尋常小學校及高等小學校トス

尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ一校ニ併設スルモノヲ尋常高等小學校トス

市町村、町村學校組合若ハ其ノ學區又ハ市町村學校組合ノ負擔ヲ以テ設置スルモノヲ市町村立小學校トシ私人ノ負擔ヲ以テ設置スルモノヲ私立小學校トス

第三條　尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ尋常小學校ノ規定ヲ準用シ高等小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ高等小學校ノ規定ヲ準用ス但シ文部大臣ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ一校ニ併設スルモノヲ尋常小學校ノ教科ト同程ニ於テ共同處分スルモノハ之ヲ一町村ト同視ス

第四條　町村組合ニシテ共ノ區域内ノ學齡兒童ヲ就學セシムルニ足ルヘキ尋常小學校ヲ設ケシトキハ府縣知事ハ一町村ニ於テ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキヲ以テ例ト依ルヘシ

第五條　小學校ニ類スル各種學校ノ規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第二章　設置

第六條　市町村ハ其ノ區域内ノ學齡兒童ヲ就學セシムルニ足ルヘキ尋常小學校ヲ設ケサルヘシ

第七條　府縣知事ハ一町村ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘスト認メタルトキハ其ノ町村ヲシテ尋常小學校設置ノ義務ヲ負擔セシメサルコトヲ得

第八條　府縣知事ハ一町村ニ於テ尋常小學校ノ規定ヲ準用シ難キ特別ノ事情アルトキハ其ノ他非常變災アルトキハ府縣知事ニ於テ臨時小學校ノ閉鎖ヲ命スルノ急迫ノ事情アル場合ニ於テハ市町村立小學校ニ在リテハ管理者、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ之ヲ閉鎖スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ府縣知事ニ報告スヘシ

第九條　市町村立尋常小學校ノ校數竝位置ハ府縣知事ニ於テ市町村又ハ町村學校組合ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ

第十條　第七條又ハ第八條ニ依リ府縣知事ニ於テ町村學校組合ヲ設ケシメムトスルトキハ組合規約ヲ定メ關係町村ノ意見ヲ聞クヘシ組合規約ヲ變更シ組合町村ノ數ヲ增減シ又ハ組合ヲ解カシメムトスルトキ亦同シ

第八條又ハ第八條ノ二ニ依リ府縣知事ニ於テ兒童教育事務ヲ委託セシメ又ハ其ノ委託ヲ止メシメムトスルトキハ關係市町村、町村學校組合及學區ノ意見ヲ聞クヘシ

第十一條　府縣知事ハ市町村若ハ町村學校組合ニ於テ設置スヘキ尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキ、兒童數尋常小學校ヲ以テ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ

一　其ノ町村ヲシテ尋常小學校設置ノ義務ヲ負擔セシムルコト

二　其ノ町村ヲシテ就學セシムヘキ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ他ノ町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコト

府縣知事ハ町村ノ一部ニシテ前項ノ事情アルモノハ其ノ町村ノ尋常小學校ニ對シ適度ノ通學路程内ニ在ラスト認メタルトキハ亦前項ノ例ニ依ルヘシ

府縣知事ハ町村學校組合ノ一部ニシテ前項ノ準スヘキ事情アリト認メタルトキハ第一項第二號ノ例ニ準スヘシ

第八條ノ二　府縣知事ハ町村、町村學校組合又ハ其ノ一部ニシテ前條各項ノ一ニ該當スル事情アル場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ市町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

府縣知事ハ市町村ノ一部ニシテ前項ノ事情アルモノハ其ノ町村ノ尋常小學校ニ對シ適度ノ通學路程内ニ在ラスト認メタルトキハ亦前項ノ例ニ依ルヘシ

府縣知事ハ町村學校組合ノ一部ニシテ前項ノ準スヘキ事情アリト認メタルトキハ第一項第二號ノ例ニ準スヘシ

第八條ノ二　府縣知事ハ町村、町村學校組合又ハ其ノ一部ニシテ前條各項ノ一ニ該當スル事情アル場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ市町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

府縣知事ハ市町村ノ一部ニシテ前項ノ事情アルモノハ其ノ町村ノ尋常小學校ニ對シ適度ノ通學路程内ニ在ラスト認メタルトキハ亦前項ノ例ニ依ルヘシ

府縣知事ハ町村學校組合ノ一部ニシテ前項ノ準スヘキ事情アリト認メタルトキハ第一項第二號ノ例ニ準スヘシ

第八條ノ二　府縣知事ハ町村、町村學校組合又ハ其ノ一部ニシテ前條各項ノ一ニ該當スル事情アル場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ市町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

府縣知事ハ

市町村又ハ町村學校組合ノ教育事務ノ爲條例ノ規定ニ依リ其ノ學區ニ學務委員ヲ置クコトヲ得

學務委員ニハ市町村立小學校男教員ヲ加フヘシ

委員ヨリ出ツル者ハ市町村長、市町村學校組合管理者又ハ町村學校組合管理者之ヲ任免ス

第六十三條　學務委員ノ職務其ノ他學務委員ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六十四條　削除

第六十五條　市町村立小學校長及教員ノ執行ス

ル國ノ教育事務ハ府縣知事之ヲ監督ス

第六十六條　私立小學校ハ府縣知事之ヲ監督ス

第九章　附則

第六十七條　本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

授業料ノ徴收ニ關シテハ明治三十四年三月三十一日ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

第六十八條　本令ハ市制町村制ヲ施行シタル地ニ之ヲ施行ス

第六十九條　明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三十三條ニ依リ設ケタル町村學校組合ハ明治三十八年三月三十一日ニ至ル迄之ヲ存續スルコトヲ得

第七十條　明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三條及第四條ニ依リ小學校ニ於テ加設シタル教科目中本令ノ規定ニ牴觸スルモノ又ハ同令第六條ニ依リ高等小學校ニ於テ專修科ヲ置キタルモノハ明治三十三年九月一日ニ於テ現ニ學習スル兒童ノ卒業スルニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第四條ニ依リ體操科ヲ闕クル場合ニ於テハ明治三十六年三月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第七十一條　既設ノ尋常小學校ニシテ體操場ノ設備ナキモノハ明治三十八年三月三十一日迄其ノ設備ヲ猶豫ノ期間內體操科ヲ闕クコトヲ得

第七十二條　本令施行前ニ授與シタル小學校教員免許狀ハ本令施行後仍其ノ效力ヲ有ス

例ノ規定ニ依リ其ノ學區ニ學務委員ヲ置クコトヲ得

學務委員ニハ市町村立小學校男教員ヲ加フヘシ

第七十三條　明治二十六年勅令第百四號及明治二十六年勅令第三百十六號ハ之ヲ廢止ス

明治二十六年勅令第三十四號及明治三十年勅令第四百七號ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

附　則（明治三十六年四月勅令第七十四號）

本令ハ明治三十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十七年四月一日前第二十四條第二項又ハ同條第三項ニ依リ探定ヲ爲ス場合ニ於テハ本令施行前ニ於ケル指查探定及本令施行前ニ共ノ他ノ規程ヲ適用シ但シ使用ヲ始メタル後四箇年ヲ經タル圖書ハ探定ノ效力ヲ失フ

附　則（明治四十年勅令第五十二號）

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十三條及第三十六條第一項ノ改正ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村立尋常小學校ニ代用シタル私立小學校ニ關シテハ其ノ代用期間ノ滿了スルニ至ル迄仍其ノ代用ヲ存續スルコトヲ得

第六十八條ノ規定ニ依リ探定ヲ爲ス場合ニ於テハ本令施行前ニ於ケル指查探定及本令施行前ニ共ノ他ノ規程ヲ適用シ但シ使用ヲ始メタル後四箇年ヲ經タル圖書ハ探定ノ效力ヲ失フ

附　則（明治四十一年勅令第百二號）

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十三條及第三十六條第一項ノ改正ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村立尋常小學校ニ代用シタル私立小學校ニ關シテハ其ノ代用期間ノ滿了スルニ至ル迄仍其ノ代用ヲ存續スルコトヲ得

特別ノ事情ニ依リ第十八條第一項ニ依リ難キ場合ニ於テハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村又ハ町村學校組合ニ於テ、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ期間ヲ定メテ府縣知事ノ認可ヲ受ケ當分ノ內尋常小學校ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市町村又ハ町村學校組合ニ於テ、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ期間ヲ定メテ府縣知事ノ認可ヲ受ケ當分ノ內尋常小學校ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

前項ニ依ル尋常小學校ノ教科目ニ關シテハ文部大臣之ヲ定ム

第七十四條　削除

第七十五條　市町村立小學校長及教員ノ執行ス

ル國ノ教育事務ノ府縣知事之ヲ監督ス

第七十六條　私立小學校ノ府縣知事之ヲ監督ス

第九章　附則

第六十七條　本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

授業料ノ徴收ニ關シテハ明治三十四年三月三十一日ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

第六十八條　本令ハ市制町村制ヲ施行シタル地ニ之ヲ施行ス

第六十九條　明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三十三條ニ依リ設ケタル町村學校組合ハ明治三十八年三月三十一日ニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第七十條　明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三條及第四條ニ依リ小學校ニ於テ加設シタル教科目中本令ノ規定ニ牴觸スルモノ又ハ同令第六條ニ依リ高等小學校ニ於テ專修科ヲ置キタルモノハ明治三十三年九月一日ニ於テ現ニ學習スル兒童ノ卒業スルニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第四條ニ依リ體操科ヲ闕クル場合ニ於テハ明治三十六年三月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第七十一條　既設ノ尋常小學校ニシテ體操場ノ設備ナキモノハ明治三十八年三月三十一日迄其ノ設備ヲ猶豫ノ期間內體操科ヲ闕クコトヲ得

第七十二條　本令施行前ニ授與シタル小學校教員免許狀ハ本令施行後仍其ノ效力ヲ有ス

例ノ規定ニ依リ其ノ學區ニ學務委員ヲ置クコトヲ得

學務委員ニハ市町村立小學校男教員ヲ加フヘシ

第七十三條　明治二十六年勅令第百四號及明治二十六年勅令第三百十六號ハ之ヲ廢止ス

明治二十六年勅令第三十四號及明治三十年勅令第四百七號ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

附　則（明治三十六年四月勅令第七十四號）

本令ハ明治三十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十七年四月一日前第二十四條第二項又ハ同條第三項ニ依リ探定ヲ爲ス場合ニ於テハ本令施行前ニ於ケル指查探定及本令施行前ニ共ノ他ノ規程ヲ適用シ但シ使用ヲ始メタル後四箇年ヲ經タル圖書ハ探定ノ效力ヲ失フ

附　則（明治四十年勅令第五十

第

コ閑ル近苫帝一閑跋ノトキ亦野、常ト点ト末ノ二閑ヲ小ヲ上ル小ヲ下ル時ハ其ノ小ヲ上ル小ヲ下ル時ハ其ノ小ヲ上ル小ヲ下ル時ハ其ノ

第四讀本 巻四 第二課 第三課 第四課 第五課 第六課 第七課 第八課 第九課 第十課 第十一課 第十二課 第十三課 第十四課 第十五課 第十六課 第十七課 第十八課 第十九課 第二十課 第二十一課 第二十二課 第二十三課 第二十四課 第二十五課 第二十六課 第二十七課 第二十八課 第二十九課 第三十課 第三十一課 第三十二課 第三十三課 第三十四課 第三十五課 第三十六課 第三十七課 第三十八課 第三十九課 第四十課 第四十一課 第四十二課 第四十三課 第四十四課 第四十五課 第四十六課 第四十七課 第四十八課 第四十九課 第五十課 第五十一課 第五十二課 第五十三課 第五十四課 第五十五課 第五十六課 第五十七課 第五十八課 第五十九課 第六十課 第六十一課 第六十二課 第六十三課 第六十四課 第六十五課 第六十六課 第六十七課 第六十八課 第六十九課 第七十課 第七十一課 第七十二課 第七十三課 第七十四課 第七十五課 第七十六課 第七十七課 第七十八課 第七十九課 第八十課 第八十一課 第八十二課 第八十三課 第八十四課 第八十五課 第八十六課 第八十七課 第八十八課 第八十九課 第九十課 第九十一課 第九十二課 第九十三課 第九十四課 第九十五課 第九十六課 第九十七課 第九十八課 第九十九課 第百課 第百一課 第百二課 第百三課 第百四課 第百五課 第百六課 第百七課 第百八課 第百九課 第百十課 第百十一課 第百十二課 第百十三課 第百十四課 第百十五課 第百十六課 第百十七課 第百十八課 第百十九課 第百二十課 第百二十一課 第百二十二課 第百二十三課 第百二十四課 第百二十五課 第百二十六課 第百二十七課 第百二十八課 第百二十九課 第百三十課 第百三十一課 第百三十二課 第百三十三課 第百三十四課 第百三十五課 第百三十六課 第百三十七課 第百三十八課 第百三十九課 第百四十課 第百四十一課 第百四十二課 第百四十三課 第百四十四課 第百四十五課 第百四十六課 第百四十七課 第百四十八課 第百四十九課 第百五十課 第百五十一課 第百五十二課 第百五十三課 第百五十四課 第百五十五課 第百五十六課 第百五十七課 第百五十八課 第百五十九課 第百六十課 第百六十一課 第百六十二課 第百六十三課 第百六十四課 第百六十五課 第百六十六課 第百六十七課 第百六十八課 第百六十九課 第百七十課 第百七十一課 第百七十二課 第百七十三課 第百七十四課 第百七十五課 第百七十六課 第百七十七課 第百七十八課 第百七十九課 第百八十課 第百八十一課 第百八十二課 第百八十三課 第百八十四課 第百八十五課 第百八十六課 第百八十七課 第百八十八課 第百八十九課 第百九十課 第百九十一課 第百九十二課 第百九十三課 第百九十四課 第百九十五課 第百九十六課 第百九十七課 第百九十八課 第百九十九課 第二百課 第二百一課 第二百二課 第二百三課 第二百四課 第二百五課 第二百六課 第二百七課 第二百八課 第二百九課 第二百十課 第二百十一課 第二百十二課 第二百十三課 第二百十四課 第二百十五課 第二百十六課 第二百十七課 第二百十八課 第二百十九課 第二百二十課 第二百二十一課 第二百二十二課 第二百二十三課 第二百二十四課 第二百二十五課 第二百二十六課 第二百二十七課 第二百二十八課 第二百二十九課 第二百三十課 第二百三十一課 第二百三十二課 第二百三十三課 第二百三十四課 第二百三十五課 第二百三十六課 第二百三十七課 第二百三十八課 第二百三十九課 第二百四十課 第二百四十一課 第二百四十二課 第二百四十三課 第二百四十四課 第二百四十五課 第二百四十六課 第二百四十七課 第二百四十八課 第二百四十九課 第二百五十課 第二百五十一課 第二百五十二課 第二百五十三課 第二百五十四課 第二百五十五課 第二百五十六課 第二百五十七課 第二百五十八課 第二百五十九課 第二百六十課 第二百六十一課 第二百六十二課 第二百六十三課 第二百六十四課 第二百六十五課 第二百六十六課 第二百六十七課 第二百六十八課 第二百六十九課 第二百七十課 第二百七十一課 第二百七十二課 第二百七十三課 第二百七十四課 第二百七十五課 第二百七十六課 第二百七十七課 第二百七十八課 第二百七十九課 第二百八十課 第二百八十一課 第二百八十二課 第二百八十三課 第二百八十四課 第二百八十五課 第二百八十六課 第二百八十七課 第二百八十八課 第二百八十九課 第二百九十課 第二百九十一課 第二百九十二課 第二百九十三課 第二百九十四課 第二百九十五課 第二百九十六課 第二百九十七課 第二百九十八課 第二百九十九課 第三百課 第三百一課 第三百二課 第三百三課 第三百四課 第三百五課 第三百六課 第三百七課 第三百八課 第三百九課 第三百十課 第三百十一課 第三百十二課 第三百十三課 第三百十四課 第三百十五課 第三百十六課 第三百十七課 第三百十八課 第三百十九課 第三百二十課 第三百二十一課 第三百二十二課 第三百二十三課 第三百二十四課 第三百二十五課 第三百二十六課 第三百二十七課 第三百二十八課 第三百二十九課 第三百三十課 第三百三十一課 第三百三十二課 第三百三十三課 第三百三十四課 第三百三十五課 第三百三十六課 第三百三十七課 第三百三十八課 第三百三十九課 第三百四十課 第三百四十一課 第三百四十二課 第三百四十三課 第三百四十四課 第三百四十五課 第三百四十六課 第三百四十七課 第三百四十八課 第三百四十九課 第三百五十課 第三百五十一課 第三百五十二課 第三百五十三課 第三百五十四課 第三百五十五課 第三百五十六課 第三百五十七課 第三百五十八課 第三百五十九課 第三百六十課 第三百六十一課 第三百六十二課 第三百六十三課 第三百六十四課 第三百六十五課 第三百六十六課 第三百六十七課 第三百六十八課 第三百六十九課 第三百七十課 第三百七十一課 第三百七十二課 第三百七十三課 第三百七十四課 第三百七十五課 第三百七十六課 第三百七十七課 第三百七十八課 第三百七十九課 第三百八十課 第三百八十一課 第三百八十二課 第三百八十三課 第三百八十四課 第三百八十五課 第三百八十六課 第三百八十七課 第三百八十八課 第三百八十九課 第三百九十課 第三百九十一課 第三百九十二課 第三百九十三課 第三百九十四課 第三百九十五課 第三百九十六課 第三百九十七課 第三百九十八課 第三百九十九課 第四百課 第四百一課 第四百二課 第四百三課 第四百四課 第四百五課 第四百六課 第四百七課 第四百八課 第四百九課 第四百十課 第四百十一課 第四百十二課 第四百十三課 第四百十四課 第四百十五課 第四百十六課 第四百十七課 第四百十八課 第四百十九課 第四百二十課 第四百二十一課 第四百二十二課 第四百二十三課 第四百二十四課 第四百二十五課 第四百二十六課 第四百二十七課 第四百二十八課 第四百二十九課 第四百三十課 第四百三十一課 第四百三十二課 第四百三十三課 第四百三十四課 第四百三十五課 第四百三十六課 第四百三十七課 第四百三十八課 第四百三十九課 第四百四十課 第四百四十一課 第四百四十二課 第四百四十三課 第四百四十四課 第四百四十五課 第四百四十六課 第四百四十七課 第四百四十八課 第四百四十九課 第四百五十課 第四百五十一課 第四百五十二課 第四百五十三課 第四百五十四課 第四百五十五課 第四百五十六課 第四百五十七課 第四百五十八課 第四百五十九課 第四百六十課 第四百六十一課 第四百六十二課 第四百六十三課 第四百六十四課 第四百六十五課 第四百六十六課 第四百六十七課 第四百六十八課 第四百六十九課 第四百七十課 第四百七十一課 第四百七十二課 第四百七十三課 第四百七十四課 第四百七十五課 第四百七十六課 第四百七十七課 第四百七十八課 第四百七十九課 第四百八十課 第四百八十一課 第四百八十二課 第四百八十三課 第四百八十四課 第四百八十五課 第四百八十六課 第四百八十七課 第四百八十八課 第四百八十九課 第四百九十課 第四百九十一課 第四百九十二課 第四百九十三課 第四百九十四課 第四百九十五課 第四百九十六課 第四百九十七課 第四百九十八課 第四百九十九課 第五百課 第五百一課 第五百二課 第五百三課 第五百四課 第五百五課 第五百六課 第五百七課 第五百八課 第五百九課 第五百十課 第五百十一課 第五百十二課 第五百十三課 第五百十四課 第五百十五課 第五百十六課 第五百十七課 第五百十八課 第五百十九課 第五百二十課 第五百二十一課 第五百二十二課 第五百二十三課 第五百二十四課 第五百二十五課 第五百二十六課 第五百二十七課 第五百二十八課 第五百二十九課 第五百三十課 第五百三十一課 第五百三十二課 第五百三十三課 第五百三十四課 第五百三十五課 第五百三十六課 第五百三十七課 第五百三十八課 第五百三十九課 第五百四十課 第五百四十一課 第五百四十二課 第五百四十三課 第五百四十四課 第五百四十五課 第五百四十六課 第五百四十七課 第五百四十八課 第五百四十九課 第五百五十課 第五百五十一課 第五百五十二課 第五百五十三課 第五百五十四課 第五百五十五課 第五百五十六課 第五百五十七課 第五百五十八課 第五百五十九課 第六百課 第六百一課 第六百二課 第六百三課 第六百四課 第六百五課 第六百六課 第六百七課 第六百八課 第六百九課 第六百十課 第六百十一課 第六百十二課 第六百十三課 第六百十四課 第六百十五課 第六百十六課 第六百十七課 第六百十八課 第六百十九課 第六百二十課 第六百二十一課 第六百二十二課 第六百二十三課 第六百二十四課 第六百二十五課 第六百二十六課 第六百二十七課 第六百二十八課 第六百二十九課 第六百三十課 第六百三十一課 第六百三十二課 第六百三十三課 第六百三十四課 第六百三十五課 第六百三十六課 第六百三十七課 第六百三十八課 第六百三十九課 第六百四十課 第六百四十一課 第六百四十二課 第六百四十三課 第六百四十四課 第六百四十五課 第六百四十六課 第六百四十七課 第六百四十八課 第六百四十九課 第六百五十課 第六百五十一課 第六百五十二課 第六百五十三課 第六百五十四課 第六百五十五課 第六百五十六課 第六百五十七課 第六百五十八課 第六百五十九課 第六百六十課 第六百六十一課 第六百六十二課 第六百六十三課 第六百六十四課 第六百六十五課 第六百六十六課 第六百六十七課 第六百六十八課 第六百六十九課 第六百七十課 第六百七十一課 第六百七十二課 第六百七十三課 第六百七十四課 第六百七十五課 第六百七十六課 第六百七十七課 第六百七十八課 第六百七十九課 第六百八十課 第六百八十一課 第六百八十二課 第六百八十三課 第六百八十四課 第六百八十五課 第六百八十六課 第六百八十七課 第六百八十八課 第六百八十九課 第六百九十課 第六百九十一課 第六百九十二課 第六百九十三課 第六百九十四課 第六百九十五課 第六百九十六課 第六百九十七課 第六百九十八課 第六百九十九課 第七百課 第七百一課 第七百二課 第七百三課 第七百四課 第七百五課 第七百六課 第七百七課 第七百八課 第七百九課 第七百十課 第七百十一課 第七百十二課 第七百十三課 第七百十四課 第七百十五課 第七百十六課 第七百十七課 第七百十八課 第七百十九課 第七百二十課 第七百二十一課 第七百二十二課 第七百二十三課 第七百二十四課 第七百二十五課 第七百二十六課 第七百二十七課 第七百二十八課 第七百二十九課 第七百三十課 第七百三十一課 第七百三十二課 第七百三十三課 第七百三十四課 第七百三十五課 第七百三十六課 第七百三十七課 第七百三十八課 第七百三十九課 第七百四十課 第七百四十一課 第七百四十二課 第七百四十三課 第七百四十四課 第七百四十五課 第七百四十六課 第七百四十七課 第七百四十八課 第七百四十九課 第七百五十課 第七百五十一課 第七百五十二課 第七百五十三課 第七百五十四課 第七百五十五課 第七百五十六課 第七百五十七課 第七百五十八課 第七百五十九課 第七百六十課 第七百六十一課 第七百六十二課 第七百六十三課 第七百六十四課 第七百六十五課 第七百六十六課 第七百六十七課 第七百六十八課 第七百六十九課 第七百七十課 第七百七十一課 第七百七十二課 第七百七十三課 第七百七十四課 第七百七十五課 第七百七十六課 第七百七十七課 第七百七十八課 第七百七十九課 第七百八十課 第七百八十一課 第七百八十二課 第七百八十三課 第七百八十四課 第七百八十五課 第七百八十六課 第七百八十七課 第七百八十八課 第七百八十九課 第七百九十課 第七百九十一課 第七百九十二課 第七百九十三課 第七百九十四課 第七百九十五課 第七百九十六課 第七百九十七課 第七百九十八課 第七百九十九課 第八百課 第八百一課 第八百二課 第八百三課 第八百四課 第八百五課 第八百六課 第八百七課 第八百八課 第八百九課 第八百十課 第八百十一課 第八百十二課 第八百十三課 第八百十四課 第八百十五課 第八百十六課 第八百十七課 第八百十八課 第八百十九課 第八百二十課 第八百二十一課 第八百二十二課 第八百二十三課 第八百二十四課 第八百二十五課 第八百二十六課 第八百二十七課 第八百二十八課 第八百二十九課 第八百三十課 第八百三十一課 第八百三十二課 第八百三十三課 第八百三十四課 第八百三十五課 第八百三十六課 第八百三十七課 第八百三十八課 第八百三十九課 第八百四十課 第八百四十一課 第八百四十二課 第八百四十三課 第八百四十四課 第八百四十五課 第八百四十六課 第八百四十七課 第八百四十八課 第八百四十九課 第八百五十課 第八百五十一課 第八百五十二課 第八百五十三課 第八百五十四課 第八百五十五課 第八百五十六課 第八百五十七課 第八百五十八課 第八百五十九課 第八百六十課 第八百六十一課 第八百六十二課 第八百六十三課 第八百六十四課 第八百六十五課 第八百六十六課 第八百六十七課 第八百六十八課 第八百六十九課 第八百七十課 第八百七十一課 第八百七十二課 第八百七十三課 第八百七十四課 第八百七十五課 第八百七十六課 第八百七十七課 第八百七十八課 第八百七十九課 第八百八十課 第八百八十一課 第八百八十二課 第八百八十三課 第八百八十四課 第八百八十五課 第八百八十六課 第八百八十七課 第八百八十八課 第八百八十九課 第八百九十課 第八百九十一課 第八百九十二課 第八百九十三課 第八百九十四課 第八百九十五課 第八百九十六課 第八百九十七課 第八百九十八課 第八百九十九課 第九百課 第九百一課 第九百二課 第九百三課 第九百四課 第九百五課 第九百六課 第九百七課 第九百八課 第九百九課 第九百十課 第九百十一課 第九百十二課 第九百十三課 第九百十四課 第九百十五課 第九百十六課 第九百十七課 第九百十八課 第九百十九課 第九百二十課 第九百二十一課 第九百二十二課 第九百二十三課 第九百二十四課 第九百二十五課 第九百二十六課 第九百二十七課 第九百二十八課 第九百二十九課 第九百三十課 第九百三十一課 第九百三十二課 第九百三十三課 第九百三十四課 第九百三十五課 第九百三十六課 第九百三十七課 第九百三十八課 第九百三十九課 第九百四十課 第九百四十一課 第九百四十二課 第九百四十三課 第九百四十四課 第九百四十五課 第九百四十六課 第九百四十七課 第九百四十八課 第九百四十九課 第九百五十課 第九百五十一課 第九百五十二課 第九百五十三課 第九百五十四課 第九百五十五課 第九百五十六課 第九百五十七課 第九百五十八課 第九百五十九課 第九百六十課 第九百六十一課 第九百六十二課 第九百六十三課 第九百六十四課 第九百六十五課 第九百六十六課 第九百六十七課 第九百六十八課 第九百六十九課 第九百七十課 第九百七十一課 第九百七十二課 第九百七十三課 第九百七十四課 第九百七十五課 第九百七十六課 第九百七十七課 第九百七十八課 第九百七十九課 第九百八十課 第九百八十一課 第九百八十二課 第九百八十三課 第九百八十四課 第九百八十五課 第九百八十六課 第九百八十七課 第九百八十八課 第九百八十九課 第九百九十課 第九百九十一課 第九百九十二課 第九百九十三課 第九百九十四課 第九百九十五課 第九百九十六課 第九百九十七課 第九百九十八課 第九百九十九課 第千課

第二種郵便物認可　大正十一年十一月廿五日印刷　大正十一年十二月一日發行　定價金拾錢

東京市麻布區飯倉町二丁目十番地　編輯兼發行者　下中彌三郎

東京市麻布區飯倉町二丁目十番地　印刷者　下中彌三郎

東京市麻布區飯倉町二丁目十番地　印刷所　同盟印刷社

東京市麻布區飯倉町二丁目十番地　發行所　同盟通信社

大阪市東區北久太郎町四丁目　大阪出張所

振替口座東京一二一番　電話芝二〇〇番

大阪朝日新聞廣告部　大阪毎日新聞廣告部　東京朝日新聞廣告部　東京日日新聞廣告部　時事新報廣告部　國民新聞廣告部　萬朝報廣告部　讀賣新聞廣告部　中外商業新報廣告部　報知新聞廣告部　都新聞廣告部　日本廣告株式會社　日本電報通信社廣告部　電通廣告社　博報堂　廣告社　廣告會社　廣告代理業者

廣告料金表進呈

廣告は同盟通信社へ

同盟通信社廣告部

電話芝二〇〇番　振替口座東京一二一番

東京市麻布區飯倉町二丁目十番地　同盟通信社

大阪市東區北久太郎町四丁目　大阪出張所

第十條ノ六　專攻科及補習科ニ關スル規則ハ本令ニ定ムルモノヲ除クノ外文部大臣之ヲ定ム

第十一條　高等女學校ニ於テハ主トシテ家政ニ關スル學科目ヲ修メムトスル者ノ爲ニ實科ヲ置キ又ハ實科ノミヲ置クコトヲ得實科ノミヲ置ク高等女學校ノ名稱ニハ實科ノ文字ヲ冠スヘシ

前項ノ高等女學校ニハ第十條ノ二中高等科又ハ專攻科ニ關スル規定ヲ適用セス

第十一條ノ二　實科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者、高等小學校第一學年ヲ修了シタル者若ハ修業年限二箇年ノ高等小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者タルヘシ

第十一條ノ三　實科ノ修業年限ハ左ノ例ニ依ルヘシ但シ第三號ノ場合ニ於テハ一箇年ヲ延長スルコトヲ得

一　尋常小學校卒業程度ヲ以テ第一學年ノ入學資格トスル場合ニ於テハ四箇年

二　高等小學校第一學年修了程度ヲ以テ第一學年ノ入學資格トスル場合ニ於テハ三箇年

三　修業年限二箇年ノ高等小學校卒業程度ヲ以テ第一學年ノ入學資格トスル場合ニ於テハ二箇年

第十一條ノ四　修業年限二箇年ノ實科高等女學校ノ設置ニ關シテハ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル

第十二條　高等女學校ノ學科及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十三條　高等女學校ノ教科書ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ地方長官ノ認可ヲ經サル教科書ヲ使用スルヲ必要トセス但シ文部大臣ノ認可ヲ經タル教科書ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　高等女學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル教員免許狀ヲ有スル者タルヘシ但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ本文ノ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

高等女學校教員ノ免許ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十五條　高等女學校ノ編制及設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十七條　公立高等女學校ニ於テハ授業料ヲ徴收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

第十八條　本令ノ規定ニ依ラサル學校ハ高等女學校ノ名稱ヲ用ユルコトヲ得ス

第十九條　本令施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

附　則

第二十條　本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

地方長官ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令施行ノ日ヨリ四箇年以内第二條ノ設置ヲ延期スルコトヲ得

●高等女學校規程

昭和十三年三月
總令第二十六號
改正

高等女學校規程左ノ通改正ス

高等女學校規程

第一章　總則
第二章　設立及廢止
第三章　修業年限、學科及其ノ程度
第四章　學年、學期、教授日數及式日
第五章　編制
第六章　設備
第七章　入學、在學、退學及懲戒
第八章　授業料

高等女學校規程

第一章　總則

第一條　高等女學校ハ女子ニ須要ナル高等普通教育ヲ施シ特ニ國民道徳ノ涵養、婦徳ノ養成ニ意ヲ用ヒ良妻賢母タルノ資質ヲ得シメ以テ忠良至醇ナル皇國女性ヲ養成スルニ力ムベキモノトス

第二條　本令ニ依ラザル學校ハ高等女學校ノ名稱ヲ用ユルコトヲ得ズ

第三條　高等女學校ノ設立、教科書、教員及授業料ニ關シテハ高等女學校令ノ規定ヲ適用セズ

第二章　設立及廢止

第四條　高等女學校ハ道、府、學校費若ハ學校組合ノ負擔ヲ以テ設立スルコトヲ得

第五條　高等女學校ヲ設立セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　名稱及位置
二　各學科ノ修業年限
三　各學科ノ生徒定員、學級數
四　開校年月日
五　學則
六　校地、校舍、寄宿舍等ノ平面圖（昭和十三年文部省令第二十五號ニ依リ追加）及位置ノ情況ヲ記載スベシ
七　維持方法
八　一年ノ收支概算ノ明細書ヲ添附スベシ

第六條　高等女學校ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第七條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

一　休業日ニ關スル事項
二　學科課程、教授時數ニ關スル事項
三　課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項
四　入學、退學、懲戒ニ關スル事項
五　授業料、入學料等ニ關スル事項
六　寄宿舍ニ關スル事項
七　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

第八條　高等女學校ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第三章　修業年限、學科及其ノ程度

第九條　高等女學校ニ高等科、專攻科又ハ補習科ヲ置クコトヲ得

高等科ハ精深ナル程度ニ於テ高等普通教育ヲ爲スモノトス

專攻科ハ精深ナル程度ニ於テ高等女學校ノ學科目中一科目又ハ數科目ヲ專攻セシムルモノトス

第十條　高等女學校ノ修業年限ハ五年又ハ四年トス但シ土地ノ情況ニ依リ三年ト爲スコトヲ得

高等科及專攻科ノ修業年限ハ二年又ハ三年トス

補習科ノ修業年限ハ二年以下トス

第十一條　高等女學校ノ學科目ハ修身、公民科、教育、國語、歷史、地理、外國語、數學、理科、實業、圖畫、家事、裁縫、音樂、體操トス

外國語ハ支那語、佛語又ハ英語トス

外國語ハ之ヲ缺キ又ハ隨意科目ト爲スコトヲ得

土地ノ情況ニ依リ第一項ノ學科目ノ外朝鮮語又ハ手藝ヲ加ヘ其ノ他朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ必要ナル學科目ヲ加フルコトヲ得

前項ノ學科目ノ之ヲ隨意科目又ハ選擇科目ト爲スコトヲ得

生徒ノ特別ノ事情ニ依リ學習スルコト能ハザル學科目ハ之ヲ其ノ生徒ニ課セザルコトヲ得

第十二條　高等女學校ニ於テハ常ニ左ノ事項ニ留意シテ生徒ヲ教養スベシ

一　教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ國民道徳ノ養成、婦徳ノ涵養ニ意ヲ用ヒ我カ肇國ノ本義ト國體ノ尊嚴ナル所以トヲ會得セシメ忠孝ノ大義ヲ明ニシ其ノ信念ヲ鞏固ナラシメンコトヲ期シ常ニ生徒ヲシテ實踐躬行セシメ以テ皇運扶翼ノ道ニ徹セシメンコトヲ力ムベシ

二　品性ノ陶冶、情操ノ涵養ニ意ヲ用ヒ貞

操ヲ重ンシ順良貞淑ニシテ溫情嘉猷ニ富ミ醇風美俗ヲ尚ビ家ニ對スル任務ヲ重ンシ國家社會ニ奉仕スルノ素地ヲ得シメンコトヲ力ムベシ

三　質實ヲ尚ビ勤勞ヲ好愛スルノ志念ヲ養フト共ニ責任ヲ重ンジ協同ヲ尚ビ內鮮一體、內鮮融和ノ美風ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

四　知識技能ハ生徒ノ特性限度ニ應ジ將來ノ生活上適切ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授クベシ

五　生徒ノ身體ヲ健全ニ發達セシメ明朗快活ナル氣風ト忍苦持久ノ體力ヲ養ヒ特ニ健康ヲ重ンズルノ念ヲ養成センコトヲ力ムベシ

六　女性ノ心身ノ特質ヲ知ラシメ結婚生活及育兒ニ關スル事項ヲ理會セシムベシ

七　國語ノ使用ヲ正確ニシ且其ノ應用ヲ自在ナラシメテ國語教育ノ徹底ヲ期シ以テ皇國臣民タルノ性格ヲ涵養センコトヲ力ムベシ

八　各學科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ力メ將來家庭ノ主婦タルベキ自覺ヲ促シテ女性ノ貴務ヲ理會セシメ家庭生活上殊ニ須要ナル事項ニ關シテハ常ニ反覆シテ知能ノ練磨ヲ圖ルト共ニ國家社會ノ進運ニ順應スル皇國女性ノ養成ニ力ムベシ

第十三條　修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ヲ奉體シテ我カ國體ノ本義ヲ明徵ニシテ國民道徳ノ特質ヲ會得セシメ特ニ皇國ノ女性トシテ須要ナル品格ト情操ノ陶冶ニ意ヲ用ヒ意志ノ鍛錬ニ力メ殊ニ我カ國體ニ對スル確乎タル信念ヲ養ヒ以テ忠良至醇ナル皇國女性タラシメンコトヲ期シ實踐躬行ニ導クヲ以テ要旨トス

修身ハ教育ニ關スル勅語ヲ始メ其ノ他ノ箇條ノ聖訓ニ基キ皇國臣民ノ自覺ヨリ出發シテ國民道徳ノ實踐ニ關スル要領及普通ノ作法ヲ授ケ通シテハ國民道徳ノ由來及特質ヲ會得セシムルト共ニ時代ノ思想ニ對スル正シキ批判力ヲ與ヘ皇國臣民タルノ信念ヲ鞏固ナラシムルト共ニ自己、家族、社會及國家ニ對スル責務ヲ知ラシメテ皇國女性ノ格遵スベキ本分ヲ知ラシメ大國民タルノ資質ヲ養ヒ以テ皇運扶翼ノ道ニ徹セシメンコトヲ力ムベシ

國民タルノ資質ヲ育成センコトヲ力ムベシ

歷史ヲ授クルニハ事實ノ羅列ニ流ルルコトナク特ニ修身、公民科其ノ他關係ノ科目ト聯絡セシメ其ノ精神ヲ重視シ努メテ偉人ノ言行、詩歌等ヲ引用シテ生徒ノ感銘ヲ深カラシメ常ニ現代生活トノ聯絡ニ留意シテ國民精神ノ喚起ニ力ムルヲ要ス

第十四條　地理ハ自然及人類生活ノ情態ヲ理會セシメ兩者ノ相互關係ヲ明ニシ人類カ自然ヲ利用開發シテ世界各地ノ文化ヲ形成セル所以ヲ知ラシメテ我カ國民性、國民生活、國勢發展ノ因由ヲ明瞭ニシ諸外國トノ比較ニ依リテ我カ國ノ特性及地位ヲ正シク把握セシメ以テ皇國心ヲ養成シ國民ノ進取發展ノ志氣ヲ涵養シ國家ノ興隆ニ資セシムルヲ以テ要旨トス

地理ハ日本地理、外國地理及地理概說トシ日本地理ニ於テハ我カ國ノ國土ノ情勢並ニ國勢發達ノ由來ヲ明ニシ外國地理ニ於テハ之ト我カ國トノ密接ナル關係ヲ有スル地方ニ及ホシ我カ國ト比較セシメテ國民的自覺ノ喚起ニ力メ地理概說ニ於テハ我カ國ニ關スル事項ニ立脚シテ地理的理法ヲ知ラシムルト共ニ我カ國勢ヲ詳ニシ以テ我カ國ノ特性及世界ニ於ケル地位ヲ正シク理會セシメ我カ國ノ發展ニ貢獻スベキ識見ヲ育成センコトヲ力ムベシ

地理ヲ授クルニハ常ニ教材ノ異動ニ留意シテ適切ナル知識ヲ與ヘンコトヲ力メ尙在外邦人ノ活動狀況ヲ知ラシメテ海外發展ノ精神ヲ養成セシメンコトヲ要ス

第十九條　外國語ハ普通ノ支那語、佛語又ハ英語ヲ了解シ運用スルノ能ヲ得シメ知徳ヲ增進シ國民性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、稜字、聽方、讀方及解釋、語方及作文、書取、文法ノ大要並ニ習字ヲ授クベシ

外國語ヲ授クルニハ平易ナル現代文ヲ主トシ其ノ理解及應用ヲ容易ナラシメ外國トノ比較ニ依リテ我カ國民性ノ特異ナル所以ヲ知ラシメ皇國女性タル德操ノ涵養ニ資セシコトヲ力ムルヲ要ス

第二十條　數學ハ數量ニ關スル知識ヲ與ヘ計算ニ習熟セシメ應用自在ナラシメ兼ネテ思考ヲ精確ナラシムルヲ以テ要旨トス

數學ハ算術トシ必要ニ應ジ代數、幾何ヲ授クルコトヲ得

計算ハ暗算、筆算、珠算ヲ用ウベシ

數學ヲ授クルニハ成ルベク各事項ヲ綜合シテ之ヲ取扱ヒ教材ハ日常ノ生活ニ適切ナルモノヲ選ビ且實驗、實測ヲ爲サシメンコトニ留意スルヲ要ス

第二十一條　理科ハ自然物及自然ノ現象ニ關スル知識ヲ得シメ其ノ人生ニ對スル關係及利用厚生ノ途ヲ理會セシムルト共ニ觀察、工夫及創作ノ能ヲ養成シ日常ノ生活ニ資セシムルヲ以テ要旨トス

理科ハ重要ナル植物、動物及鑛物ニ關スル一般ノ知識、人體ノ構造、生理及衛生ノ大要並ニ重要ナル物理上及化學上ノ現象及定律、器械ノ構造及作用、元素及化合物ニ關スル知識ヲ授クベシ

理科ヲ授クルニハ成ルベク實地ノ經驗ヲ得シメ又實驗實習ヲ重ンジテ其ノ人生ニ對スル關係ノ緊密ナル所以ヲ會得セシメ家事ト聯絡シ日常ノ生活上有用ナル知能ノ啓培ニ力ムルヲ要ス

第二十二條　實業ハ實業ニ關シ日常ノ生活上必要ナル知識技能ヲ得シメ職業ノ尊重スベキ所以ヲ知ラシメ勤勞ヲ尙ブノ念ヲ養フヲ以テ要旨トス

實業ハ農業、工業、商業ノ中ニ就キ當該地方ニ必要ニシテ且女子ニ適切ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授クベシ

實業ヲ授クルニハ實習ヲ重ンジ理科、家事ト聯絡シ日常ノ生活ニ適切ナラシメンコトヲ力ムルヲ要ス

第二十三條　圖畫ハ形象ヲ精密ニ觀察シ正確且自由ニ之ヲ畫ク技能ヲ得シメ工夫創作ノ能力ヲ養フヲ以テ要旨トス

圖畫ハ自在畫トシ寫生畫、臨畫及考案畫ヲ授クベシ

前項ノ外幾何畫ノ初步又ハ簡易ナル彫塑ヲ授クルコトヲ得

圖畫ヲ授クルニハ美術ノ發達ニ關スル概略ノ知識ヲ得シメ名作品等ニ就キ美術鑑賞ノ方法ヲ會得セシメ美術ニ對スル理解ト趣味トヲ養フニ力メ特ニ我カ國ノ美術ニ留意シテ指導スルヲ要ス

第二十四條　家事ハ家政上必要ナル知識技能ヲ得シメ家ニ對スル任務ヲ重ンジ勤勉、節儉、秩序、周密、清潔ヲ尙ブノ念ヲ養フヲ以テ要旨トス

家事ハ衣食住、業老、看病、育兒、家計簿記、祭祀、一家ノ整理、經濟其ノ他家政ニ關スル事項ヲ授ケ特ニ一家ノ經濟ト國家經濟トノ關係ヲ知ラシメ又實習ヲ課スベシ

家事ヲ授クルニハ地方ノ實情ニ適切ナラシメンコトニ留意シ又理論ニ偏スルコトナク實習ヲ重ンズルト共ニ他ノ學科目ニ於テ授ケタル事項ハ力メテ之ヲ家事ノ實際ニ應用セシメンコトヲ力ムルヲ要ス

第二十五條　裁縫ハ裁縫ニ關スル知識技能ヲ得シメ兼ネテ節約及利用ノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

裁縫ハ普通ノ衣類ノ縫ヒ方、裁チ方及繕ヒ方ヲ授クベシ

裁縫ヲ授クルニハ家事及圖畫ト聯絡シ力メテ實用ニ適切ナラシメンコトニ留意スルヲ要ス

第二十六條　音樂ハ音樂ニ關スル知識技能ヲ得シメ美感ヲ養ヒ心情ヲ高潔ニシ兼ネテ德性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

音樂ハ單音唱歌及重音唱歌ヲ授ケ且樂器使用法ヲ授クベシ

歌曲ハ高尙優雅ニシテ生徒ノ心情ヲ快活醇美ナラシムルモノトシ歌詞ハ成ルベク皇國女性タルノ情操ヲ涵養スルニ適切ナルモノニ就キ之ヲ選フベシ

第二十七條　體操ハ身體ノ各部ヲ均齊ニ發育セシメ姿勢ヲ端正ニシ身體ヲ强健ニシ且其ノ動作ヲ機敏ナラシメ容儀ヲ整ヘ快活明朗ナル氣風ト忍苦持久ノ體力トヲ養成シ特ニ女性ノ健康ノ重要ナル所以ヲ會得セシメ規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ體操、教練、遊戲及競技ヲ授クベシ

又劍道又ハ柔道ノ基本動作、弓道、薙刀、水泳、雪滑、氷滑ヲ加フルコトヲ得

體操ヲ授クルニハ其ノ一部ニ偏シ又ハ技巧ノ末節ニ捉ハルルコトナク常ニ身體ノ練成、精神ノ統一ヲ旨トシテ皇國女性タルノ氣魄ノ涵養ニ資センコトヲ力ムルト共ニ姿態ノ端正典雅ナラシメンコトヲ力ムルヲ要ス

第二十八條　朝鮮語ハ普通ノ言語、文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ得シメ兼ネテ智德ノ啓發ニ資スルヲ以テ要旨トス

朝鮮語ハ普通ノ朝鮮文ヲ講讀セシメ實用簡易ナル朝鮮文ヲ作ラシメ又朝鮮語文法ノ大要ヲ授クベシ生徒ノ情況ニ依リテハ初ハ發音、談文ヨリ之ヲ授クルコトヲ得

朝鮮語ヲ授クルニハ成ルベク日常ノ生活ニ關聯セシメ常ニ國語ト聯絡ヲ保チ皇國臣民タルノ信念ヲ涵養センコトヲ力ムルヲ要ス

第二十九條　手藝ハ手藝ニ關スル知識技能ヲ得シメ兼ネテ意匠ヲ練リ美感ヲ養ヒ節約利用ノ習慣ヲ養成スルヲ以テ要旨トス

手藝ハ刺繍、造花、袋物、編物等ノ中ニ就キ適切ナル事項ヲ選擇シテ之ヲ授クベシ

第三十條　各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ其ノ修業年限ニ依リ甲號表、乙號表又ハ丙號表ニ依ルベシ

甲號表

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年
修身	二	二	二	一	一
公民科					一
教育					一
國語	六	六	六	五	五
朝鮮語	二	二	一	一	一
外國語	三	三	三	三	三
地理	三				
歷史		三	二	二	二
數學	二	二	二	二	二
理科			二	二	二
實業					一
圖畫	一	一	一	一	一
家事					二
裁縫	四	四	四	四	四
音樂	二	二	二	二	二
體操	三	三	三	三	三
計	三二	三二	三二	三二	三二

乙號表

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
修身	二	二	一	一
公民科				一
教育				一
國語	六	六	五	五
朝鮮語	二	二	一	一
外國語	三	三	三	三
地理	三			
歷史		三	二	二
數學	二	二	二	二
理科			二	二
實業				一
圖畫	一	一	一	一
家事				二
裁縫	四	四	四	四
音樂	二	二	二	二
體操	三	三	三	三
計	三二	三二	三二	三二

丙號表

學科目＼學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身	二	二	一
公民科			一
教育			一
國語	六	六	五
朝鮮語	二	二	一
外國語	三	三	三
地理	二		
歷史		二	二
數學	二	二	二
理科			二
實業			一
圖畫	一	一	一
家事			一
裁縫	四	四	四
音樂	二	二	一
體操	三	三	三
計	三二	三二	三二

特別ノ事情アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前各表中各學科目ノ每週教授時數ヲ增加シ又ハ之ヲ減少スルコトヲ得

第十一條第四項ノ規定ニ依ル加設科目中朝鮮語ヲ除クノ他ノ學科目ニ充ツル爲各學年ノ每週教授時數ヲ增加スルコトヲ得

學校長ハ季節ニ依リ各學科目ノ一學年間ニ於ケル教授時數ノ總計ヲ增減セザル範圍內ニ於テ每週教授時數ヲ變更スルコトヲ得

各學年ノ每週教授時數ノ總計ハ三十四時ヲ超ユルコトヲ得ズ

實業又ハ家事ノ實習及音樂ノ樂器使用法ハ前項ノ總教授時數外ニ於テ之ヲ課スルコトヲ得

第三十一條　特別ノ事情アル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ生徒ノ全部又ハ一部ニ對シ各學年ノ學科目及其ノ程度ニ付前條各表ニ依ラザルコトヲ得但シ甲號表及乙號表ニ依ル學校ノ第二學年以下ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第三十二條　高等科及專攻科ノ學科目竝ニ其ノ程度ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムベシ

高等科及專攻科ノ每週教授時數ノ總計ハ三十三時ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三十三條　高等女學校ニ主トシテ家政ニ關

甲號表

學科目	學年	修身	公民科	歷史	地理	數學	理科及家事	圖畫	唱歌	體操	計	朝鮮語	國語	漢文	外國語	裁縫	手藝	農業	商業	英語	隨意科目
第一學年	第一學年	二		二	二	二						二	六								
	第二學年	二		二	二	二						二	六								
	第三學年	一	一	二	二	二	四	一	一	一	三三	一	五			八	九				
	第四學年	一	一	二	二	二	四	一	一	一	三三	一	四			八	九				

第三款　學科及其程度

第三十九條　高等女學校ノ學科ハ修身國語朝鮮語漢文外國語歷史地理數學理科及家事圖畫唱歌體操裁縫手藝農業商業英語及隨意科目トス

第四十條　修身ハ徳性ノ涵養ニ留意シ女子ノ特性ニ鑑ミ殊ニ貞淑ノ美徳ヲ養ヒ婦人ノ節操ヲ重ンジ人倫ノ大義ヲ弁ヘシメ兼テ国民タルノ性格ヲ涵養スルヲ以テ要旨トス

第四十一條　国民科ハ公民科及法制経済ノ大要ヲ授ケ国家ノ観念ヲ養ヒ国民タルノ自覚ヲ得シムルヲ以テ要旨トス

第四十二條　歴史ハ本国ノ歴史ヲ授ケ国体ノ精華ヲ知ラシメ国民タルノ性格ヲ涵養スルヲ以テ要旨トス

第四十三條　地理ハ本国ノ地理ヲ授ケ国土ノ観念ヲ養ヒ国民タルノ性格ヲ涵養スルヲ以テ要旨トス

第四十四條　数学ハ算術ヲ授ケ思考ヲ精確ニシ処理ヲ適正ニスルノ能力ヲ養フヲ以テ要旨トス

第四十五條　理科及家事ハ理科ノ大要ヲ授ケ家事ニ関スル知識技能ヲ養ヒ生活ノ改善ニ資スルヲ以テ要旨トス

第四十六條　図画ハ眼ト手トヲ練リ観察ト発表トノ能力ヲ養フヲ以テ要旨トス

第四十七條　唱歌ハ音楽ノ基礎ヲ授ケ歌唱ニ習熟セシメ兼テ徳性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

第四十八條　体操ハ身体ノ発達ニ留意シ健全ナル精神ヲ涵養シ兼テ規律ノ観念ヲ養フヲ以テ要旨トス

第四十九條　裁縫ハ裁縫ノ技術ヲ授ケ勤倹ノ美風ヲ養フヲ以テ要旨トス

第五十條　手藝ハ手藝ノ技術ヲ授ケ勤労ヲ愛スルノ風ヲ養フヲ以テ要旨トス

第五十一條　農業ハ農業ノ大要ヲ授ケ勤労ヲ愛スルノ風ヲ養フヲ以テ要旨トス

第五十二條　商業ハ商業ノ大要ヲ授ケ商業ノ実務ニ習熟セシメ兼テ商業道徳ヲ養フヲ以テ要旨トス

第五十三條　英語ハ平易ナル英語ヲ理解シ発音ニ注意シテ正確ニ之ヲ発表スル能力ヲ養フヲ以テ要旨トス

第五十四條　隨意科目ハ土地ノ情況ニ依リ女子ニ必要ナル事項ヲ授ケ又ハ特ニ其ノ才能ヲ伸ベシムル為ニ之ヲ設ケ其ノ程度ハ適宜ニ之ヲ定ム

第五十五條　高等女學校ニ於テハ第三十九條ニ掲ケタル科目ノ外実業科目ヲ設ケ又ハ第四十條乃至第五十四條ニ掲ケタル科目ノ一部ヲ省キ又ハ其ノ程度ヲ減ジ又ハ第四十條乃至第五十四條ニ掲ケタル科目ノ外ニ適宜ノ科目ヲ設ケ又ハ第四十條乃至第五十四條ニ掲ケタル科目ノ一部ヲ省キ且適宜ノ科目ヲ設ケ又ハ第四十條乃至第五十四條ニ掲ケタル科目ノ程度ヲ減ジ且

三　朝鮮總督又ハ文部大臣ニ於テ指定シタル者

前項ノ資格試驗ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第五十八條　專攻科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ高等女學校ヲ卒業シタル者タルベシ

第五十九條　修業年限四年ノ實科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ第五十六條第一項ノ例ニ依ル但シ試驗科目中ニ裁縫ヲ加フ

修業年限三年ノ實科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ高等小學校第一學年ヲ修了シタル者又ハ年齡十三年以上ニシテ國語、算術、國史、地理、理科、裁縫ニ就キ高等小學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認メタル場合ニ限リ其ノ生徒ノ在學證明書、成績表及其ノ學校ノ學科課程表ヲ移轉先學校ニ送付スベシ

移轉先學校ニ於テハ缺員アル場合ニ限リ前項生徒ノ轉學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ轉學ヲ許可スル生徒ハ試驗ヲ行ハズシテ同一學年ニ之ヲ編入スルコトヲ得

第六十條　他ノ高等女學校ニ轉學ヲ志願スルモノニハ學校長ハ正當ノ事由アリト認メタル場合ニ限リ其ノ生徒ノ在學證明書、成績表及其ノ學校ノ學科課程表ヲ移轉先學校ニ送付スベシ

第六十一條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セザル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ズ

第六十二條　學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ高等女學校ノ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スベシ

第六十三條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ學年ヲ修了シタル者ト認ムルコトヲ得

一　修業年限五年ノ高等女學校第四學年ヲ修了シタル者及修業年限三年ノ高等女學校第二學年ヲ修了シタル者

二　專門學校入學者檢定ニ關スル規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

三　朝鮮總督又ハ文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ修業年限四年ノ高等女學校ノ卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

修業年限二年ノ高等科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限五年若ハ三年ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルベシ

一　修業年限三年ノ高等科第一學年ヲ修了シタル者

二　高等女學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者

第六十四條　修業年限四年ノ實科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ第五十六條第二項ノ例ニ依ル但シ試驗科目中ニ裁縫ヲ加フ

第六十五條　修業年限三年ノ實科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ第五十六條第一項ノ例ニ依ル但シ試驗科目中ニ裁縫ヲ加フ

修業年限三年ノ實科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ高等小學校第一學年ヲ修了シタル者又ハ年齡十三年以上ニシテ國語、算術、國史、地理、理科、裁縫ニ就キ高等小學校第一學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認メタル場合ニ限リ其ノ生徒ノ在學證明書、成績表及其ノ學校ノ學科課程表ヲ移轉先學校ニ送付スベシ

移轉先學校ニ於テハ缺員アル場合ニ限リ前項生徒ノ轉學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ轉學ヲ許可スル生徒ハ試驗ヲ行ハズシテ同一學年ニ之ヲ編入スルコトヲ得

第六十六條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了セザル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ズ

第六十七條　學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ高等女學校ノ全學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スベシ

第六十八條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ學年ヲ進ムルコトヲ得ズ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　成業ノ見込ナシト認メタル者

三　出席常ナラザル者

第七十條　生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クベシ

第七十一條　學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第八章　授業料

第七十二條　公立高等女學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スベシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

公立高等女學校ニ在リテハ入學料ヲ徵收スベシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

女子高等普通學校規程ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ高等女學校ニ在學スル生徒ニ關スベキ學科目、教授ノ程度及毎週教授時數ニ關シテハ其ノ卒業ニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依リ又ハ之ヲ斟酌スルコトヲ得

本令施行ノ際高等女學校ニ於テ從前ノ規定ニ依リ使用ノ認可ヲ受ケタル教科書ニ付テハ第四十條ノ規定ニ依ル朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第六款　中學校

●中學校令

明治三十二年二月
勅令第二十八號
改正　朝令四〇年七月二八〇號・大正八年二月一一號

第一條　中學校ハ男子ニ須要ナル高等普通教育ヲ爲スヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ養成ニ力ムルモノトス

第二條　北海道及府縣ニ於テハ土地ノ情況ニ應シ一箇以上ノ中學校ヲ設置スベシ

交部大臣ハ必要ト認ムル場合ニ於テ北海道及府縣ニ中學校ノ增設ヲ命ズルコトヲ得

第三條　前條ノ中學校ノ增設ヲ命ズルコトヲ得

又ハ府縣ノ負擔トス

第四條　郡市町村（北海道ニ於テハ區又ハ町村）ノ負擔ヲ以テ市町村學校組合ヲ設クルコトヲ得

市町村學校組合ハ土地ノ情況ニ依リ須要ニシテ其ノ區域內小學教育ノ施設上妨ナキ場合ニ限リ中學校ヲ設置スルコトヲ得

第五條　私人ハ本令ノ規定ニ依リ中學校ヲ設置スルコトヲ得

第六條　土地ノ情況ニ依リ中學校ノ分校ヲ必要トスルトキハ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ設置スルコトヲ得但シ一校ニ付一分校ニ限ル

第七條　中學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

中學校ノ設置廢止ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條　公立中學校ノ位置ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ地方長官之ヲ定ム

第九條　中學校ノ修業年限ハ五年トス

中學校ニハ補習科ヲ置クコトヲ得

補習科及豫科ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　中學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、特常小學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者タルヘシ

第十一條　中學校ノ學科及其ノ程度ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條　中學校ノ教科書ハ文部大臣ノ檢定シタルモノニ就キ地方長官ノ認可ヲ經テ學校長之ヲ定ム但シ文部大臣ノ檢定ヲ經サル教科書ヲ使用スルトキハ地方長官ハ文部大臣ノ認可ヲ經テ一時其ノ使用ヲ認可スルコトヲ得

中學校教科書ノ檢定ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十三條　中學校ノ教員ハ文部大臣ノ授與シタル教員免許狀ヲ有スル者タルヘシ但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ本文ノ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

中學校教員免許狀ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十四條　削除

第十五條　中學校ノ編制及設備ニ關スル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十六條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

授業料入學料等ノ額ハ公立學校ニ在リテハ地方長官ニ於テ私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第十七條　本令ノ規定ニ依ラサル學校ハ中學校ト稱スルコトヲ得ス

第十八條　本令施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

附　則

第十九條　本令ハ明治三十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十條　既設ノ特常中學校分校ニシテ第六條ノ制限ニ超過スルモノハ文部大臣ノ認可ヲ經テ本令施行ノ日ヨリ五箇年以內存置スルコトヲ得

第二十一條　明治十九年勅令第十五號中學校令第十二條ニ依リ設置シタル農業工業商業等ノ專修科ハ本令施行ノ日ニ於テ現ニ在學スル生徒ノ卒業スル迄之ヲ存置スルコトヲ得

第二十二條　既設ノ公私立特常中學校ハ本令施行ノ日ヨリ中學校ト改稱ス

他ノ法令中特常中學校トアルハ本令施行ノ日ヨリ當然中學校ト看做ス

附　則（明治四十年七月勅令第二百八十號）

本令ハ明治四十年八月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十條ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

修業年限四箇年ノ特常小學校ノ課程ヲ卒リタル者ノ入學ニ付テハ第十條施行後ト雖仍從前ノ例ニ依ル

●中學校規程

昭和十三年三月
總令第二十五號

中學校規程左ノ通改正ス

第一章　總則

第二章　設立及廢止

第三章　修業年限、學科及其ノ程度

第四章　學年、學期、教授日數及式日

第五章　編制

第六章　設備

第七章　入學、在學、休學、退學及懲戒

第八章　授業料

第一章　總則

第一條　中學校ハ男子ニ須要ナル高等普通教育ヲ施シ特ニ國民道德ノ涵養ニ力ムベキモノトス

第二條　本令ノ規定ニ依ラザル學校ハ中學校ト稱シ又ハ其ノ名稱中ニ中學校タルコトヲ示スベキ文字ヲ用ヰルコトヲ得ズ

第三條　中學校ノ設立、教科書、教員及授業料ニ關シテハ中學校令ノ規定ヲ適用セズ

第二章　設立及廢止

第四條　中學校ハ道、府、學校組若ハ學校組合ノ負擔ヲ以テ設立スルモノヲ公立中學校トシ私人ノ費用ヲ以テ設立スルモノヲ私立中學校トス

第五條　中學校ヲ設立セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　名稱及位置

二　各學年ノ生徒定員、學級數

三　開校年月日

四　學則

五　校地、校舍、寄宿舍等ノ平面圖（附屬設備及附屬施設ノ概況ノ記載スベシ）及收料水ノ定性分析表

六　一年ノ收支概算（初年度ニ於ケル設立ノ爲ノ臨時費ハ別ニ之ヲ記載スベシ）

七　維持方法

第六條　中學校ハ於テ前條第一號、第二號、第四號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第七條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

一　補習科ヲ置ク場合ニ於テハ其ノ修業年限

二　休業日ニ關スル事項

三　學科課程、教授時數ニ關スル事項

四　課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項

五　入學、退學、懲戒ニ關スル事項

六　授業料、入學料等ニ關スル事項

七　寄宿舍ニ關スル事項

八　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

第八條　中學校ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第三章　修業年限、學科及其ノ程度

第九條　中學校ノ修業年限ハ五年トス

中學校ニハ修業年限一年以下ノ補習科ヲ置クコトヲ得

中學校ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ修業年限二年ノ豫科ヲ置クコトヲ得

第十條　中學校ノ學科目ハ修身、公民科、國語漢文、歷史、地理、外國語、數學、理科、實業、圖畫、音樂、體操トス

前項ノ學科目ノ外朝鮮語ヲ加フルコトヲ得

外國語ハ支那語、獨語、佛語又ハ英語トス

朝鮮語ハ之ヲ隨意科トシ爲スコトヲ得

第十一條　中學校ニ於テハ常ニ左ノ事項ニ留意シテ生徒ノ教養ニ努ムベシ

一　教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ國民道德ノ養成ニ意ヲ用ヒ我カ肇國ノ本義ト國體ノ尊嚴ナル所以トヲ會得セシメ忠孝ノ大義ヲ明ニシ其ノ信念ヲ鞏固ナラシメンコトヲ期シ常ニ生徒ヲシテ實踐躬行セシメ以テ鼎運扶翼ノ道ニ徹セシムルコトヲ力ムベシ

二　生徒ノ德性ヲ涵養シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ通シテ國家社會ニ奉仕スルノ念ヲ厚クシ內鮮一體、同胞融和ノ美風ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

三　自强自律ノ精神ヲ養ヒ勤勞ヲ好愛スルノ習慣ヲ育成シ且協同ヲ尙ビ責任ヲ重ンズルノ觀念ヲ涵養センコトヲ力ムベシ

四　專ラ心力ノ啓發ヲ旨トシ生徒ニ學術ノ體系ニ泥ムコトナク國民生活上適切有用

ナル知能ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

五　知識技能ハ生徒ノ特性環境ニ應ジ將來ノ生活上適切ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授クベシ

六　生徒ノ身體ヲ强健ナラシムルト共ニ精神ヲ鍛錬シ剛健濶達ナル氣風ヲ忍苦持久ノ德力トヲ養ハンコトヲ旨トスベシ

七　國語ノ使用ヲ正確ニシ且其ノ應用ヲ自在ナラシメテ國語敎育ノ徹底ヲ期シ以テ皇國臣民タルノ性格ヲ涵養センコトヲ力ムベシ

八　各學科目ノ敎授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センコトヲ力ムベシ

第十二條　修身ハ敎育ニ關スル勅語ノ旨趣ヲ奉體シテ我カ國體ノ本義ヲ明徵ニシ國民道徳ヲ會得セシメ竪固ナル意志ヲ鍛錬シ殊ニ我カ國體ニ對スル確乎タル信念ヲ養ヒ以テ健全有爲ノ皇國臣民タラシメンコトヲ期シ實踐躬行ニ導クヲ以テ要旨トス

修身ハ敎育ニ關スル勅語ヲ始メ其ノ他ノ詔勅ノ聖訓ニ基キ皇國臣民ノ自覺ヨリ出發シテ國民道徳ノ實踐ニ關スル要領及普通ノ作法ヲ授ケ進ンテハ國民道徳ノ由來及特質ヲ會得セシムルト共ニ時代ノ思想ニ對スル正シキ批判力ヲ與ヘ皇國臣民タルノ信念ヲ鞏固ナラシムルト共ニ其ノ本分ヲ體認セシメ大國民タルノ資質ヲ養ヒ以テ皇運扶翼ノ道ニ徹セシメンコトヲ力ムベシ

修身ヲ授クルニハ常ニ訓練ニ重キヲ置キ情操ノ涵養ト意志ノ鍛錬トニ留意シ理論ト實踐トヲ合一シテ鞏固ナル皇國臣民タルノ志操ヲ養ハンコトヲ力ムルヲ要ス

第十三條　公民科ハ我カ國體及國憲ニ基キ國民ノ公民的生活ヲ完ウスル上ニ於テ須要ナル事項ヲ會得セシメ特ニ邊法寒公ノ志念ヲ涵養シテ健全ナル皇國臣民タルノ資質ヲ養成スルヲ以テ要旨トス

公民科ニ於テハ國體及國憲ノ本義ヲ知ラシメテ我カ國統治ノ特質ヲ明ニシ之ニ基キテ立憲政治ノ大要ヲ會得セシメ殊ニ邊法寒公ノ志念ノ涵養ニ力ムルト共ニ國民生活上須要ナル經濟ノ現狀ニ付キ知ラシメ勤勉力行ノ氣風ヲ助長シテ我カ國産業ノ開發ニ資セシムルヲ以テ要旨トス

實業ハ農業、工業、商業ニ就キ地方ノ實情ニ應ジ適宜按排シテ之ヲ授ケ進ンテハ國力ノ充實トノ關係及我カ國産業ノ現勢ト共ノ趨向トヲ理會セシムベシ

實業ヲ授クルニハ實習ヲ重ンジ理會ヲ確實ナラシムト共ニ之ヲ實地ニ應用スルノ能ヲ得シメ率實勤勉ノ習慣ヲ養ヒ併セテ生徒ノ職業指導ニ資セシムルコトヲ要ス

第二十一條　剛毅ハ形象ヲ精密ニ觀察シ正確且自由ニ之ヲ敍ブノ技能ヲ得シメ工夫創作ノ能力ヲ陶冶シ美感ヲ養フヲ以テ要旨トス

剛毅ハ自在毅及用器毅トシ自在毅ニ於テハ寫生毅、臨毅及考案毅ヲ授ケ用器毅ニ於テハ幾何毅ヲ授クベシ又簡易ナル彫塑ヲ授クルコトヲ得

剛毅ヲ授クルニハ美術ノ發達ニ關スル概略ノ知識ヲ得シメ名作品等ニ就キ美術鑑賞ノ方法ヲ會得セシメ美術ニ對スル理解ト趣味ノ涵養ニ力メ特ニ我カ國ノ美術ニ留意シテ指導スルヲ要ス

第二十二條　音樂ハ歌曲ヲ唱フコトヲ得シメ美感ヲ養ヒ心情ヲ高潔ニシ兼ネテ德性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

音樂ハ單音唱歌及重音唱歌ヲ授ケ又樂典ノ大要ヲ授クベシ

歌詞及樂譜ハ生徒ノ心情ヲ快活醇美ナラシメ勤勉力行ノ氣風ヲ助長シテ我カ國産業ノ開發ニ資セシムルヲ以テ要旨トス

第二十三條　體操ハ身體ノ各部ヲ均齊ニ發育セシメ姿勢ヲ矯正ニシ身體ヲ强健ニシ且其ノ動作ヲ機敏ナラシメ快活、剛毅、確固不拔ノ精神ト忍苦持久ノ體力トヲ養成シ規律ヲ守リ協同ヲ尚ブノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

體操ハ體操、敎練、劍道及柔道、遊戲及競技ヲ授クベシ又弓道、相撲、水泳、雪滑、氷滑ヲ加フルコトヲ得

體操ヲ授クルニハ其ノ一部ニ偏シ又ハ技巧ノ末節ニ捉ハルルコトナク常ニ身體ノ練成、精神ノ統一ヲ旨トシテ我カ國傳統ノ武道ノ精神ヲ體得セシメンコトニ留意シ以テ皇國臣民タルノ氣魄ノ涵養ニ資センコトヲ力ムルヲ要ス

第二十四條　朝鮮語ハ普通ノ言語、文章ヲ了解シ正確且自由ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ得シメ兼ネテ知徳ノ啓發ニ資スルヲ以テ要旨トス

朝鮮語ハ普通ノ朝鮮文ヲ講讀セシメ實用簡易ナル朝鮮文ヲ作ラシメ又朝鮮語文法ノ大要ヲ授クベシ生徒ノ情況ニ依リテハ初ハ發音、誂文ヨリ之ヲ授クルコトヲ得

朝鮮語ヲ加ヘザル學校ニ於テハ其ノ毎週敎授時數ヲ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ當該學年ノ他ノ學科目ニ配當スルコトヲ得

實業及體操ハ前表ノ敎授時數ヲ適宜增加シテ之ヲ課スルコトヲ得

學校長ハ季節ニ依リ各學科目ノ一學年間ニ於ケル敎授時數ノ總計ヲ增減セザル範圍内ニ於テ每週敎授時數ヲ變更スルコトヲ得

第二十六條　補習科ノ學科目ハ第十條ノ學科目中ニ就キ之ヲ定ムベシ

補習科ノ各學科目ハ隨意科目又ハ選擇科目トス

第二十七條　豫科ノ學科目、敎授上ノ注意、學科目ノ要旨及其ノ程度竝每週敎授時數ニ關シテハ小學校規程第十三條、第十六條乃至第二十七條、第二十九條及第三十條ノ規定ヲ準用ス

第二十八條　中學校ノ敎科書ハ朝鮮總督若ハ文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノヲ又ハ朝鮮總督府ニ於テ編纂シタルモノニ就キ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ム但シ特別ノ事情アルトキハ學校長ノ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ一時他ノ敎科書ヲ使用シムルコトヲ得

第二十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ小學校規程第六十四條ノ規定ヲ準用ス

特別ノ事情アルトキハ道知事ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第三十條　第二十八條又ハ第二十九條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ圖書ノ名稱、卷冊ノ記號、使用スル學年、著譯者及發行者ノ氏名、發行年月日竝ニ檢定ノ年月日ヲ具シ申請スベシ

第二十八條但書ノ場合ニ在リテハ前項ニ揭ゲル事項ノ外使用期間ヲ具シ申請スベシ

第三十一條　生徒ノ特別ノ事情ニ依リ學習スルコト能ハザル學科目ハ之ヲ其ノ生徒ニ課セザルコトヲ得

第三十二條　學校長ニ於テ必要ト認メタル生徒ニ對シテハ國語漢文ノ敎授時數ニ付第三學年以下ニ於テ各學年二時以内ヲ增加シ又ハ第四學年以上ニ於テ一時以内ヲ增加スルコトヲ得

第三十三條　學校長ニ於テ必要ト認メタル生徒ニ對シテハ第二十七條ノ規定ニ依リ豫科ノ學科目ノ一部ヲ課スルコトヲ得

第三十四條　學校長ニ於テ必要ト認メタル生徒ニ對シテハ第二十七條ノ規定ニ依リ補習科ノ學科目ノ一部ヲ課スルコトヲ得

第三十五條　學校長ニ於テ必要ト認メタル生徒ニ對シテハ第二十七條ノ規定ニ依リ豫科又ハ補習科ノ學科目ノ一部ヲ課スルコトヲ得

第三十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第三十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二十九條ノ規定ヲ準用ス

第三十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十條ノ規定ヲ準用ス

第三十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十一條ノ規定ヲ準用ス

第四十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十二條ノ規定ヲ準用ス

第四十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十三條ノ規定ヲ準用ス

第四十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十四條ノ規定ヲ準用ス

第四十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十五條ノ規定ヲ準用ス

第四十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十六條ノ規定ヲ準用ス

第四十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十七條ノ規定ヲ準用ス

第四十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十八條ノ規定ヲ準用ス

第四十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第三十九條ノ規定ヲ準用ス

第四十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十條ノ規定ヲ準用ス

第四十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十一條ノ規定ヲ準用ス

第五十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第五十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十三條ノ規定ヲ準用ス

第五十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十四條ノ規定ヲ準用ス

第五十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十五條ノ規定ヲ準用ス

第五十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十六條ノ規定ヲ準用ス

第五十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十七條ノ規定ヲ準用ス

第五十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十八條ノ規定ヲ準用ス

第五十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第五十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十條ノ規定ヲ準用ス

第五十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十一條ノ規定ヲ準用ス

第六十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十二條ノ規定ヲ準用ス

第六十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十三條ノ規定ヲ準用ス

第六十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十四條ノ規定ヲ準用ス

第六十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十五條ノ規定ヲ準用ス

第六十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十六條ノ規定ヲ準用ス

第六十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十七條ノ規定ヲ準用ス

第六十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十八條ノ規定ヲ準用ス

第六十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第五十九條ノ規定ヲ準用ス

第六十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十條ノ規定ヲ準用ス

第六十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十一條ノ規定ヲ準用ス

第七十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十二條ノ規定ヲ準用ス

第七十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十三條ノ規定ヲ準用ス

第七十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十四條ノ規定ヲ準用ス

第七十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十五條ノ規定ヲ準用ス

第七十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十六條ノ規定ヲ準用ス

第七十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十七條ノ規定ヲ準用ス

第七十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十八條ノ規定ヲ準用ス

第七十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第六十九條ノ規定ヲ準用ス

第七十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十條ノ規定ヲ準用ス

第七十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十一條ノ規定ヲ準用ス

第八十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十二條ノ規定ヲ準用ス

第八十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十三條ノ規定ヲ準用ス

第八十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十四條ノ規定ヲ準用ス

第八十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十五條ノ規定ヲ準用ス

第八十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十六條ノ規定ヲ準用ス

第八十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十七條ノ規定ヲ準用ス

第八十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十八條ノ規定ヲ準用ス

第八十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第七十九條ノ規定ヲ準用ス

第八十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十條ノ規定ヲ準用ス

第八十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十一條ノ規定ヲ準用ス

第九十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十二條ノ規定ヲ準用ス

第九十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十三條ノ規定ヲ準用ス

第九十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十四條ノ規定ヲ準用ス

第九十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十五條ノ規定ヲ準用ス

第九十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十六條ノ規定ヲ準用ス

第九十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十七條ノ規定ヲ準用ス

第九十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十八條ノ規定ヲ準用ス

第九十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第八十九條ノ規定ヲ準用ス

第九十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十條ノ規定ヲ準用ス

第九十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十一條ノ規定ヲ準用ス

第百條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十二條ノ規定ヲ準用ス

第百一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十三條ノ規定ヲ準用ス

第百二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十四條ノ規定ヲ準用ス

第百三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十五條ノ規定ヲ準用ス

第百四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十六條ノ規定ヲ準用ス

第百五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十七條ノ規定ヲ準用ス

第百六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十八條ノ規定ヲ準用ス

第百七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第九十九條ノ規定ヲ準用ス

第百八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百條ノ規定ヲ準用ス

第百九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百一條ノ規定ヲ準用ス

第百十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二條ノ規定ヲ準用ス

第百十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三條ノ規定ヲ準用ス

第百十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四條ノ規定ヲ準用ス

第百十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五條ノ規定ヲ準用ス

第百十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六條ノ規定ヲ準用ス

第百十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七條ノ規定ヲ準用ス

第百十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八條ノ規定ヲ準用ス

第百十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九條ノ規定ヲ準用ス

第百十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十條ノ規定ヲ準用ス

第百十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十一條ノ規定ヲ準用ス

第百二十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十二條ノ規定ヲ準用ス

第百二十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十三條ノ規定ヲ準用ス

第百二十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十四條ノ規定ヲ準用ス

第百二十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十五條ノ規定ヲ準用ス

第百二十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十六條ノ規定ヲ準用ス

第百二十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十七條ノ規定ヲ準用ス

第百二十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十八條ノ規定ヲ準用ス

第百二十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百十九條ノ規定ヲ準用ス

第百二十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十條ノ規定ヲ準用ス

第百二十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十二條ノ規定ヲ準用ス

第百三十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十三條ノ規定ヲ準用ス

第百三十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十四條ノ規定ヲ準用ス

第百三十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十五條ノ規定ヲ準用ス

第百三十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十六條ノ規定ヲ準用ス

第百三十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十七條ノ規定ヲ準用ス

第百三十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十八條ノ規定ヲ準用ス

第百三十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百二十九條ノ規定ヲ準用ス

第百三十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十條ノ規定ヲ準用ス

第百三十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十二條ノ規定ヲ準用ス

第百四十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十三條ノ規定ヲ準用ス

第百四十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十四條ノ規定ヲ準用ス

第百四十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十五條ノ規定ヲ準用ス

第百四十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十六條ノ規定ヲ準用ス

第百四十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十七條ノ規定ヲ準用ス

第百四十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十八條ノ規定ヲ準用ス

第百四十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百三十九條ノ規定ヲ準用ス

第百四十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十條ノ規定ヲ準用ス

第百四十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十二條ノ規定ヲ準用ス

第百五十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十三條ノ規定ヲ準用ス

第百五十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十四條ノ規定ヲ準用ス

第百五十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十五條ノ規定ヲ準用ス

第百五十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十六條ノ規定ヲ準用ス

第百五十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十七條ノ規定ヲ準用ス

第百五十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十八條ノ規定ヲ準用ス

第百五十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百四十九條ノ規定ヲ準用ス

第百五十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十條ノ規定ヲ準用ス

第百五十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十二條ノ規定ヲ準用ス

第百六十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十三條ノ規定ヲ準用ス

第百六十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十四條ノ規定ヲ準用ス

第百六十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十五條ノ規定ヲ準用ス

第百六十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十六條ノ規定ヲ準用ス

第百六十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十七條ノ規定ヲ準用ス

第百六十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十八條ノ規定ヲ準用ス

第百六十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第百六十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十條ノ規定ヲ準用ス

第百六十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十二條ノ規定ヲ準用ス

第百七十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十三條ノ規定ヲ準用ス

第百七十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十四條ノ規定ヲ準用ス

第百七十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十五條ノ規定ヲ準用ス

第百七十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十六條ノ規定ヲ準用ス

第百七十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十七條ノ規定ヲ準用ス

第百七十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十八條ノ規定ヲ準用ス

第百七十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百六十九條ノ規定ヲ準用ス

第百七十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十條ノ規定ヲ準用ス

第百七十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十二條ノ規定ヲ準用ス

第百八十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十三條ノ規定ヲ準用ス

第百八十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十四條ノ規定ヲ準用ス

第百八十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十五條ノ規定ヲ準用ス

第百八十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十六條ノ規定ヲ準用ス

第百八十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十七條ノ規定ヲ準用ス

第百八十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十八條ノ規定ヲ準用ス

第百八十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百七十九條ノ規定ヲ準用ス

第百八十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十條ノ規定ヲ準用ス

第百八十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十二條ノ規定ヲ準用ス

第百九十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十三條ノ規定ヲ準用ス

第百九十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十四條ノ規定ヲ準用ス

第百九十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十五條ノ規定ヲ準用ス

第百九十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十六條ノ規定ヲ準用ス

第百九十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十七條ノ規定ヲ準用ス

第百九十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十八條ノ規定ヲ準用ス

第百九十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百八十九條ノ規定ヲ準用ス

第百九十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十條ノ規定ヲ準用ス

第百九十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十四條ノ規定ヲ準用ス

第二百三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十五條ノ規定ヲ準用ス

第二百四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十六條ノ規定ヲ準用ス

第二百五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第百九十九條ノ規定ヲ準用ス

第二百八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百條ノ規定ヲ準用ス

第二百九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二條ノ規定ヲ準用ス

第二百十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三條ノ規定ヲ準用ス

第二百十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四條ノ規定ヲ準用ス

第二百十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五條ノ規定ヲ準用ス

第二百十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六條ノ規定ヲ準用ス

第二百十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七條ノ規定ヲ準用ス

第二百十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第二百十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百九條ノ規定ヲ準用ス

第二百十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十條ノ規定ヲ準用ス

第二百十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十四條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十五條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十六條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百十九條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十四條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十五條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十六條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百二十九條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十四條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十五條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十六條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百三十九條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十四條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十五條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十六條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百四十九條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十四條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十五條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十六條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百五十九條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十四條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十五條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十六條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百六十九條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十四條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十五條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十六條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百七十九條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十二條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十三條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十四條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十五條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十六條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十七條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十六條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十八條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十七條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百八十九條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十八條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百九十條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十九條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百九十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百九十二條ノ規定ヲ準用ス

第三百一條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百九十三條ノ規定ヲ準用ス

第三百二條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百九十四條ノ規定ヲ準用ス

第三百三條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百九十五條ノ規定ヲ準用ス

第三百四條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百九十六條ノ規定ヲ準用ス

第三百五條　豫科ノ敎科書ニ關シテハ第二百九十七條ノ規定ヲ準用ス

第三百六條　豫科ノ敎科書

同ノ命令ニ依リ中學校ヲ閉鎖シタルトキ亦同シ

前項ノ學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存スルモノトス

第四十四條　土地ノ情況ニ依リ學校長、舍監及教員ノ住宅ヲ設クベシ

第四十五條　中學校ノ校舍又ハ寄宿舍ノ新築、增築若ハ改築又ハ校地ノ擴張若ハ縮少ハ開申ヲ具シ道知事ノ認可ヲ受クベシ但シ道立中學校ニ在リテハ開申ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

前項ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ認可ヲ爲シタルトキハ開面ヲ具シ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第七章　入學、在學、休學、退學及懲戒

第四十六條　生徒ヲ入學セシムベキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以內トス但シ缺員アルトキハ第二學期ノ始ヨリ十日以內ニ臨時入學セシムルコトヲ得

前項ノ規定ハ補習科ノ生徒入學ニ關シテハ之ヲ適用セズ

第五學年ニハ轉學又ハ當該學年ニ於テ退學シタル者ノ再入學ヲ除クノ外新ニ生徒ノ入學ヲ許スコトヲ得ズ

第四十七條　中學校第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該學校豫科ヲ修了シタル者、修業年限六年ノ尋常小學校ヲ卒業シタル者又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノタルベシ

一　他ノ中學校又ハ高等學校ノ豫科ヲ修了シタル者

二　修業年限六年ノ尋常小學校卒業ノ程度ニ依ル試驗ニ合格シタル者

前項ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ル者ハ年齡十二年以上ノ者タルベシ但シ尋常小學校ノ第五學年ノ課程ヲ修了シ學業優秀且身體ノ發育十分ニシテ中學校ノ課程ヲ修ムルニ足ルコトヲ當該學校長ニ於テ證明シタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十八條　豫科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限六年ノ尋常小學校ノ第四學年ノ課程ヲ修了シタル者又ハ年齡十年以上ニシテ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルベシ

第四十九條　當該中學校ノ豫科ヲ修了シタル者以外ノ第一學年入學志願者ノ數入學セシムベキ人員ヲ超過スルトキハ試驗ニ依リテ入學者ヲ選拔スベシ但シ修業年限六年ノ尋常小學校又ハ修業年限五年ノ尋常小學校ノ卒業シタル者又ハ第四十七條第一項第一號ニ該當スル者ニシテ其ノ在學中ノ成績優良ト認メタルトキハ試驗ニ依ラズシテ入學ヲ許可スルコトヲ得

第四十七條第一項第二號ノ試驗ハ同一學科目ニ限リ前項ノ試驗ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第五十條　第二學年以上又ハ豫科第二學年ニ入學ヲ許スベキ者ハ相當年齡ニ達シ前各學年ノ課程ヲ卒リタル者ト同等ノ學力ヲ有スルモノタルベシ

前項ノ學力ハ前各學年ノ程度ニ於テ其ノ各學科目ニ就キ試驗ニ依リテ檢定スベシ

第五十一條　中學校生徒ニシテ退學シタル者退學シタルトキヨリ一年以內ニ於テ其ノ中學校又ハ他ノ中學校ニ入學ヲ志願シタルトキハ原學年以下ノ學年ニ入學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ退學シタル中學校ニ再入學ヲ志願シタル者ニ限リ試驗ニ依ラザルコトヲ得

第五十二條　他ノ中學校ニ轉學ヲ志願スル生徒アルトキハ學校長ハ正當ノ事由アリト認メタル場合ニ限リ其ノ生徒ノ在學證明書及成績表ヲ移轉先學校ニ送付スベシ

移轉先學校ニ於テハ缺員アル場合ニ限リ前項生徒ノ轉學ヲ許可スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ轉學ヲ許可シタル生徒ハ試驗ヲ行ハズシテ同一學年ニ之ヲ編入スルコトヲ得

第五十三條　各學年ノ課程ノ修了又ハ全學科ノ卒業ニ關スルニハ平素ノ學業成績ヲ考査シテ之ヲ定ムベシ

第五十四條　學校長ハ一學年ノ課程ヲ修了シタル者又ハ年齡十年以上ニシテ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルベシ

第五十五條　學校ハ同學科同學年ノ生徒ヲ以テ之ヲ編制スベシ

一學級ノ生徒數ハ五十人以下トス

第五十六條　實業、音樂、體操ハ教授上支障ナキ場合ニ限リ學年又ハ學級ノ異ナル生徒ノ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第五十七條　第六章　設備ニ於テハ校地、校舍、寄宿舍、體操場、實習場及校具ヲ備フベシ但シ特別ノ事情アルトキハ寄宿舍又ハ實習場ハ之ヲ設ケザルコトヲ得

第五十八條　校地、校舍及體操場ハ學校ノ規模ニ適應スルコトヲ要ス校地ハ教育上及衛生上害ナキ所タルベシ

校舍ハ教授上、管理上及衛生上適當ニシテ實用上堅牢ナランコトヲ要ス

第五十九條　校具ハ圖書、器械、器具、標本、模型、表簿等トス

第六十條　中學校ニ於テ備フベキ表簿ノ種類左ノ如シ

一　學則、日課表、教科書配當表及學校暦

二　職員ノ名簿、履歷書、出勤簿並ニ擔任學科目及時間表

三　生徒ノ學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表及兵役ニ關スル書類

四　入學試驗及學業成績考査ニ關スル書類

五　賞恤原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿並ニ圖書、器械、器具、標本及模型ノ目錄

六　往復書類

學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學、退學ノ事由、兵役關係、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スベシ

第一項ノ表簿中學籍簿ハ十五年以上其ノ他ノ表簿ハ五年以上之ヲ保存スベシ

中學校ヲ廢止シタルトキハ三十日以內ニ生徒ノ學籍簿ヲ監督官廳ニ提出スベシ監督官廳シテハ其ノ卒業ニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依リ又ハ之ヲ斟酌スルコトヲ得

本令施行ノ際中學校ニ於テ從前ノ規定ニ依リ使用ノ認可ヲ受ケタル教科書ニ付テハ第二十八條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第七款　師範學校

●師範學校規程

昭和十三年三月總令第二十七號

師範學校規程左ノ通改正ス

師範學校規程

第一章　設立及廢止

第二章　生徒敎養ノ要旨

第三章　普通科、演習科及特別科

第一節　普通科ノ程度

第二節　演習科ノ程度

第三節　特別科ノ程度

第四節　學年、學期、敎授日數及式日

第五節　編制

第六節　敎科書

第七節　入學、退學、休學及懲戒

第八節　學費及卒業後ノ服務

第四章　講習科及研究科

第五章　附屬小學校及附屬幼稚園

第六章　設備

師範學校規程

第一章　設立及廢止

第一條　師範學校設立ノ認可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　名稱及位置

二　學科、研究科ノ修業年限及講習科第八十三條第二項ノ期間ノ講習期間

三　學則

四　生徒及兒童ノ定員

五　學級ノ編制

六　附屬幼稚園ヲ設クルトキハ幼兒ノ定員及其ノ組ノ編制

七　開校年月日

八　校地、校舍、寄宿舍、實習地等ノ平面圖（縮尺及記載スベキ事項ニ付テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル）並ニ供料水ノ定性分析表竝ニ經費

九　師範學校ニ於テ前條第一號乃至第四號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第五號乃至第七號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第三條　學年、學期及休業日ニ關スル事項

二　學科目、學科課程及敎授時數ニ關スル事項

三　課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項

四　入學、退學及懲戒ニ關スル事項

五　學資及授業料ニ關スル事項

六　寄宿舍ニ關スル事項

七　講習科ニ關スル事項

八　研究科ニ關スル事項

九　附屬小學校及附屬幼稚園ニ關スル事項

十　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

女生徒ヲ敎容スル師範學校ニハ成ルベク幼稚園ヲ設クベシ但シ公立又ハ私立ノ幼稚園ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

第四條　幼稚園ノ敎育ハ生徒ノ心身ノ發達ヲ圖リ善良ナル習慣ヲ養ヒ德性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

第二章　生徒敎養ノ要旨

第五條　師範學校ニ於テハ常ニ左ノ事項ニ留意シテ生徒ヲ敎養スベシ

一　敎育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ國民道德ヲ涵養シ我カ肇國ノ本義ト國體ノ尊嚴ナル所以トヲ會得セシメ忠孝ノ大義ヲ明ニシ其ノ信念ヲ鞏固ナラシメ皇國臣民タルノ志操ヲ振起セシメンコトニ留意スルト共ニ敎育者タルノ精神ヲ涵養振作セシメンコトニ意ヲ用ヒ常ニ生徒ヲシテ實踐躬行セシメ以テ皇運扶翼ノ道ニ徹セシメンコトヲ力ムベシ

二　德性ノ涵養ニ留意シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ師表タルベキ品格ヲ具ヘシメ進ンテ國家社會ニ奉仕スルノ念ヲ厚クシ內鮮一體、同胞輯睦ノ美風ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

三　生徒ノ性行ヲ察シ個性ニ應ジテ其ノ長所ヲ發揮セシメ短所ヲ矯正スルニ努メ特ニ剛健ニシテ中正ヲ失ハザラシムルニ留意スベシ

四　生徒ノ學術ヲ授クルニ當リテハ常ニ之ヲ實際ニ應用スル能ヲ養ヒ殊ニ實踐的ノ訓練ヲ重ンジ理論ニ偏スルノ弊ニ陷ラザルヲ要ス

五　生徒ヲシテ自重自律ノ精神ヲ養ヒ勤勞ヲ尙ビ之ヲ好愛スルノ習慣ヲ成シ且協同ヲ尙ビ責任ヲ重ンズルノ觀念ヲ涵養センコトヲ力ムベシ

六　女生徒ニ在リテハ殊ニ貞實ニシテ勤儉ヲ尙ブノ志念ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

國語ノ使用ヲ正確ニシ其ノ應用ヲ自在ナラシメ常ニ之ガ熟達ニ留意シテ國語敎育ノ徹底ヲ期シ以テ皇國臣民タルノ性格ヲ涵養センコトヲ力ムベシ

知識技能ハ生活上適切ナル事項竝ニ將來修學ノ根基タルベキ事項ヲ選ビテ之ヲ敎授シ自ラ學識ヲ進メ技能ヲ硏ク習慣ヲ養ハンコトヲ力ムベシ產業ニ關スル事項ニ就キテハ特ニ留意シテ授ケンコトヲ要ス

七　何レノ學科目ニ於テモ小學校ノ各敎科目ノ敎授ニ必要ナル知識技能ヲ得シメ之ガ敎授ノ方法ヲ會得セシメンコトヲ力ムベシ

八　身體ヲ強健ナラシムルト共ニ精神ヲ鍛錬シ剛健闊達ナル氣風ト忍苦持久ノ體力ヲ養ハンコトヲ旨トシ常ニ體育及衛生ニ留意セシメンコトヲ力ムベシ

女生徒ニ在リテハ殊ニ明快活潑ナル氣風ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

九　男女ノ別ハ勿論生徒ノ境遇及特性ニ留意シテ各適當ノ敎育ヲ施サンコトヲ力ムベシ

女生徒ニ在リテハ殊ニ女性ノ心身ノ特質ヲ知ラシメ結髮生活及育兒ニ關スル事項ヲ理會セシメンコトヲ力ムベシ

十　生徒及兒童ノ定員

第三章　普通科、演習科及特別科

第一節　普通科ノ程度

ザル生徒ノ學年ノ進ムルコトヲ得ズ

第五十五條　學校長ハ修業年限ノ終リニ於テ中學校ノ余學科ヲ卒業セリト認メタル者ニハ卒業證書、殘科ノ全學科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ

第五十六條　補習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者タルベシ

補習科生徒ノ在學期間ハ中學校ノ卒業シタル日ヨリ起算シ二年ヲ超エルコトヲ得ズ

補習科ヲ修了シ又ハ退學シタル者補習科ニ再入學スルトキハ其ノ修了又ハ退學前ニ於ケル補習科在學ノ期間ハ之ヲ前項ノ期間ニ算入ス

學校長ハ補習科ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書ヲ授與スルコトヲ得

第五十七條　學校長ハ兵役ニ服スル生徒ニ對シテハ其ノ期間休學ヲ許可スベシ

第五十八條　學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ズベシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラザル者

第五十九條　生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クベシ

第六十條　學校長ハ敎育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第八章　授業料

第六十一條　公立中學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スベシ但シ特別ノ場合ニ於テハ之ヲ減免スルコトヲ得

公立中學校ニ於テハ入學料ヲ徵收スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

高等普通學校規程ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ中學校ニ在學スル生徒ニ關スベキ學科目、敎授ノ程度及每週敎授時數ニ

第
夫用ル十測常ベ數珠應趾ヲ數思等ニ七ム知北シ外要知語十セヲ況解課テ地トガ及トル喚及之
及厄知八ヲ通法知ヲ識ヲ習修ニ校學ノ何ニ校ノ外ス作ス外工地修生外國歷修六
前生ノ作ノ名ノ名ヲ男ヲ用ヲ切ベ川ヲ物路セ要ス國ヲ校ノ校ヲ校ヲ校ヲ

第四號表

教	公	修	學科目	學年
	民			
官	科	身		
六	一	二	第	一
			學	年
			第	二
			學	年
			第	三
			學	年
			第	四
			學	年
六	一	二	計	

第一表

讀	寫	算術	地理	歷史	朝鮮語	國語	漢文	作文	習字	圖畫	唱歌	體操	手工	農業	商業	英語	法制及經濟	倫理	教育	教授及管理	學科目	學年
																					第	一
																					學	年
																					第	二
																					學	年
																					第	三
																					學	年
																					第	四
																					學	年
																					計	

第二號表

讀	寫	算術	地理	歷史	朝鮮語	國語	漢文	作文	習字	圖畫	唱歌	體操	手工	農業	商業	英語	法制及經濟	倫理	教育	教授及管理	學科目	學年
																					第	一
																					學	年
																					第	二
																					學	年
																					第	三
																					學	年
																					第	四
																					學	年
																					計	

第三號表

讀	寫	算術	地理	歷史	朝鮮語	國語	漢文	作文	習字	圖畫	唱歌	體操	手工	農業	商業	英語	法制及經濟	倫理	教育	教授及管理	學科目	學年
																					第	一
																					學	年
																					第	二
																					學	年
																					計	

第四號表

體操	唱歌	繪畫	裁縫	農業	商業	英語	法制及經濟	倫理	教育及管理	學科目	學年
										第	一
										學	年
										第	二
										學	年
										第	三
										學	年
										第	四
										學	年
										計	

第一表

讀	寫	算術	地理	歷史	朝鮮語	國語	漢文	作文	習字	圖畫	唱歌	體操	手工	農業	商業	英語	法制及經濟	倫理	教育	教授及管理	學科目	學年
																					第	一
																					學	年
																					第	二
																					學	年
																					第	三
																					學	年
																					第	四
																					學	年
																					計	

第二表

讀	寫	算術	地理	歷史	朝鮮語	國語	漢文	作文	習字	圖畫	唱歌	體操	手工	農業	商業	英語	法制及經濟	倫理	教育	教授及管理	學科目	學年
																					第	一
																					學	年
																					第	二
																					學	年
																					第	三
																					學	年
																					第	四
																					學	年
																					計	

第三表

讀	寫	算術	地理	歷史	朝鮮語	國語	漢文	作文	習字	圖畫	唱歌	體操	手工	農業	商業	英語	法制及經濟	倫理	教育	教授及管理	學科目	學年
																					第	一
																					學	年
																					第	二
																					學	年
																					計	

第六號表

學科目＼學年	計	講義	實習	手工	圖畫	數學	理科	地理	歷史	朝鮮語	國語漢文	教育	公民科	修身
第一學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	八	三		二
第二學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	八	三		二
第三學年	三四	五	二	三	三	三	三	三	三	二	六	三		二
第四學年	三四	五	二	三	三	三	三	三	三	一	五	四	二	二
第五學年	三五	五	二	三	四	三	三	三	一	五	四	二	二	二

第五號表

學科目＼學年	計	講義	實習	手工	圖畫	數學	理科	地理	歷史	朝鮮語	國語漢文	教育	公民科	修身
第一學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	八	三		二
第二學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	七			二
第三學年	三四	五	二	三	三	三	二	三	三	二	六	三		二
第四學年	四四	五	二	三	三	三	二	三	三	二	五	四	二	二
第五學年	四四	五	二	三	四	三	二	三	二	二	五	五	一	二

第六號表

學科目＼學年	計	講義	實習	手工	圖畫	數學	理科	地理	歷史	朝鮮語	國語漢文	教育	公民科	修身
第一學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	八	三		二
第二學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	八	三		二
第三學年	三四	五	二	三	三	三	三	三	三	二	六	三		二
第四學年	三四	五	二	三	三	三	三	三	三	一	五	四	二	二
第五學年	三五	五	二	三	四	三	三	三	一	五	四	二	二	二

第十六冊　學非　第一章　學非　第七款　師範學校

第五號表

學科目＼學年	計	講義	實習	手工	圖畫	數學	理科	地理	歷史	朝鮮語	國語漢文	教育	公民科	修身
第一學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	八	三		二
第二學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	八	三		二
第三學年	三四	五	二	三	三	三	三	三	三	二	六	三		二
第四學年	三四	五	二	三	三	三	三	三	三	一	五	四	二	二
第五學年	三五	五	二	三	四	三	三	三	一	五	四	二	二	二

第五號表

學科目＼學年	計	講義	實習	手工	圖畫	數學	理科	地理	歷史	朝鮮語	國語漢文	教育	公民科	修身
第一學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	八	三		二
第二學年	三三	五	二	三	三	三	二	三	三	二	七			二
第三學年	三四	五	二	三	三	三	二	三	三	二	六	三		二
第四學年	四四	五	二	三	三	三	二	三	三	二	五	四	二	二
第五學年	四四	五	二	三	四	三	二	三	二	二	五	五	一	二

ノ支給ヲ受ケ卒業シタル者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ引續キ左ノ各號ノ一ニ規定スル期間朝鮮内ニ於テ小學校ノ教員ノ職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ次條ノ義務ヲ終リタル者ハ學事ニ關スル他ノ職務ニ從事スルコトヲ得

一　普通科及演習科ヲ經タル官費男子卒業者ハ七年

二　普通科及演習科ヲ經タル官費女子卒業者ハ六年

三　普通科及演習科ヲ經タル私費卒業者ハ四年

四　演習科ノミヲ經タル官費卒業者ハ三年

五　演習科ノミヲ經タル私費卒業者ハ二年

六　師範科官費男子卒業者ハ五年

七　師範科官費女子卒業者ハ四年

八　師範科私費卒業者ハ二年

第七十七條　官費卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ引續キ左ノ各號ノ一ニ規定セル期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ其ノ職ニ從事スル義務ヲ有ス

一　普通科及演習科ヲ經タル男子卒業者ハ三年

二　普通科及演習科ヲ經タル女子卒業者ハ二年

三　演習科ノミヲ經タル卒業者ハ一年

四　師範科卒業者ハ二年

特別ノ事情アルトキハ私費卒業者ニ對シ二年以内ノ期間ヲ限リ小學校ノ教員就職指定ニ關スル義務ヲ附スルコトアルベシ

第七十八條　第七十六條及第七十七條ニ於テ官費卒業者トハ學資トシテ在學中ヲ通ジ食費、手當及被服費ノ全部又ハ之ニ相當スル額ノ支給ヲ受クタル者ヲ謂フ

第七十四條ノ規定ニ依リ學資ノ增額セラレタル者ノ服務期間ニ關シテハ學資ヲ增額セラレザルモノト看做ス

第七十九條　官立師範學校ニ於テ學資ノ一部ヲ給與シタル者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ引續キ左ノ各號ノ一ニ規定スル期間朝鮮總督ノ指定スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一　普通科及演習科ヲ經タル卒業者ハ一年

二　演習科ノミヲ經タル卒業者ハ二年

三　師範科卒業者ハ二年

第八十一條　短期現役兵トシテ服務スル期間ハ第七十六條、第七十七條、第七十九條及第八十條ノ服務義務期間ニ算入セズ

第八十二條　特別ノ事情アルトキハ第七十六條及第七十九條ノ服務義務期間内ニ於テ小學校令ニ依リ又ハ小學校令若ハ朝鮮教育令ノ旨趣ニ準ジテ設立セル朝鮮外ノ學校ノ教員ノ職ニ從事スルコトヲ許可スルコトアルベシ

前項ノ在職期間ハ第七十六條及第七十九條ノ服務期間ト看做ス

第八十三條　第七十六條及第七十九條ノ服務期間内ニ於テ教員業成ノ目的トスル官公立學校ニ入學セントズル者アルトキハ時宜ニ依リ之ヲ許可スルコトアルベシ

前項ノ學校ニ入學シタル場合ニ於テハ在學中第七十六條及第七十九條ノ服務義務ヲ有スル外ニ學校ノ規則ニ依リ定メタル年限ノ服務義務ヲ有ス

第八十四條　第七十六條及第七十九條ノ服務義務ヲ履行スルコト能ハザル事由ヲ生ジタル者又ハ外國政府ノ聘ニ應ジ教員ノ職ニ從事セントスル者アルトキハ必要ト認ムル期間内ノ服務義務ヲ猶豫シ又ハ之ヲ免除スルコトアルベシ

第八十五條　第七十六條及第七十九條ノ服務期間内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ官費卒業者ニ在リテハ授業費及其ノ在學中支給シタル學資、私費卒業者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

一　正當ノ事由ナクシテ服務義務ヲ履行セザルトキ

二　懲戒免官若ハ懲戒免職ニ處セラレ又ハ私立學校規則第十四條ノ處分ヲ受ケタルトキ

三　前條前段ノ事由ニ因リ服務義務ヲ免除セラレタルトキ

前項授業費ノ金額ハ年額五十圓以下ニ於テ之ヲ定ム

第八十六條　第七十三條乃至第七十八條及第八十一條乃至前條ノ規定ハ公立師範學校ノ生徒及卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第七十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第八十七條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小學校ノ教員タラントスル者ニ必要ナル講習ヲ爲ス爲講習科ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル講習科ノ講習期間ハ小學校教員タラントスル者ニ對シテハ一年以上三年以内ノ期間トス

第八十八條　前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ卒業者又ハ年齡十四年以上ニシテ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス

特別ノ必要アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシムルコトヲ得

第八十九條　研究科ハ師範學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシメ師範學校卒業以上ノ程度ニ於テ更ニ精深ナル學修ヲ爲サシムルモノトス

研究科ノ修業年限ハ一年又ハ二年トス

第九十條　學校長ハ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ

第九十一條　第七十三條及第七十五條ノ規定ハ官立師範學校ノ講習科又ハ研究科ノ生徒ノ學資ノ給與及償還ニ付之ヲ準用ス

第九十二條　官立師範學校ニ於テ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ヲ修了シタル者ニ在リテハ規定ノ修業期間ニ一年ヲ加ヘタル期間、私費修了者ニ在リテハ規定ノ修業期間ト同一ノ期間朝鮮内ニ於テ學事ニ關スル義務ヲ有スル但シ學費ノ支給ヲ受ケタル修了者ニ在リテハ規定ノ期間朝鮮内ニ於テ朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ其ノ學資ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

第九十三條　第八十八條ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限一年ノ師範學校ノ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス

特別ノ必要アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシムルコトヲ得

第九十四條　第七十六條及第七十九條ノ服務義務ヲ履行スルコト能ハザル事由ヲ生ジタル者又ハ外國政府ノ聘ニ應ジ教員ノ職ニ從事セントスル者アルトキハ必要ト認ムル期間内ノ服務義務ヲ猶豫シ又ハ之ヲ免除スルコトアルベシ

第九十五條　第七十六條及第七十九條ノ服務期間内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ官費卒業者ニ在リテハ授業費及其ノ在學中支給シタル學資、私費卒業者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

一　正當ノ事由ナクシテ服務義務ヲ履行セザルトキ

二　懲戒免官若ハ懲戒免職ニ處セラレ又ハ私立學校規則第十四條ノ處分ヲ受ケタルトキ

三　前條前段ノ事由ニ因リ服務義務ヲ免除セラレタルトキ

前項授業費ノ金額ハ年額五十圓以下ニ於テ之ヲ定ム

第九十六條　第七十三條乃至第七十八條及第八十一條乃至前條ノ規定ハ公立師範學校ノ生徒及卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第七十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第八十七條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小學校ノ教員タラントスル者ニ必要ナル講習ヲ爲ス爲講習科ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル講習科ノ講習期間ハ小學校教員タラントスル者ニ對シテハ一年以上三年以内ノ期間トス

第八十八條　前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ教員ノ職ニ從事スル義務ヲ有シ又ハ外國政府ノ聘ニ應ジ教員ノ職ニ從事スル義務ヲ有シ但シ次條ノ義務ヲ終リタル者ハ學事ニ關スル他ノ職務ニ從事スルコトヲ得

一　普通科及演習科ヲ經タル男子卒業者ハ五年

二　普通科及演習科ヲ經タル女子卒業者ハ四年

三　演習科ノミヲ經タル卒業者ハ四年

四　師範科男子卒業者ハ三年

五　師範科女子卒業者ハ二年

第八十條　前條ニ規定スル卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ引續キ左ノ各號ノ一ニ規定スル期間朝鮮總督ノ指定スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一　普通科及演習科ヲ經タル卒業者ハ二年

二　演習科ノミヲ經タル卒業者ハ一年

三　師範科卒業者ハ一年

第八十一條　短期現役兵トシテ服務スル期間ハ第七十六條、第七十七條、第七十九條及第八十條ノ服務義務期間ニ算入セズ

第八十二條　特別ノ事情アルトキハ第七十六條及第七十九條ノ服務義務期間内ニ於テ小學校令ニ依リ又ハ小學校令若ハ朝鮮教育令ノ旨趣ニ準ジテ設立セル朝鮮外ノ學校ノ教員ノ職ニ從事スルコトヲ許可スルコトアルベシ

前項ノ在職期間ハ第七十六條及第七十九條ノ服務期間ト看做ス

第八十三條　第七十六條及第七十九條ノ服務義務ヲ履行スルコト能ハザル事由ヲ生ジタル者又ハ外國政府ノ聘ニ應ジ教員ノ職ニ從事セントスル者アルトキハ必要ト認ムル期間内ノ服務義務ヲ猶豫シ又ハ之ヲ免除スルコトアルベシ

第八十四條　第七十六條及第七十九條ノ服務期間内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ官費卒業者ニ在リテハ授業費及其ノ在學中支給シタル學資、私費卒業者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

一　正當ノ事由ナクシテ服務義務ヲ履行セザルトキ

二　懲戒免官若ハ懲戒免職ニ處セラレ又ハ私立學校規則第十四條ノ處分ヲ受ケタルトキ

三　前條前段ノ事由ニ因リ服務義務ヲ免除セラレタルトキ

前項授業費ノ金額ハ年額五十圓以下ニ於テ之ヲ定ム

第八十五條　第七十三條乃至第七十八條及第八十一條乃至前條ノ規定ハ公立師範學校ノ生徒及卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第七十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第八十七條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小學校ノ教員タラントスル者ニ必要ナル講習ヲ爲ス爲講習科ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル講習科ノ講習期間ハ小學校教員タラントスル者ニ對シテハ一年以上三年以内ノ期間トス

第八十八條　前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ教員ノ職ニ從事スル義務ヲ有シ又ハ外國政府ノ聘ニ應ジ教員ノ職ニ從事スル義務ヲ有シ但シ次條ノ義務ヲ終リタル者ハ學事ニ關スル他ノ職務ニ從事スルコトヲ得

一　普通科及演習科ヲ經タル官費男子卒業者ハ七年

二　普通科及演習科ヲ經タル官費女子卒業者ハ六年

三　普通科及演習科ヲ經タル私費卒業者ハ四年

四　演習科ノミヲ經タル官費卒業者ハ三年

五　演習科ノミヲ經タル私費卒業者ハ二年

六　師範科官費男子卒業者ハ五年

七　師範科官費女子卒業者ハ四年

八　師範科私費卒業者ハ二年

第八十九條　官費卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ引續キ左ノ各號ノ一ニ規定セル期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ其ノ職ニ從事スル義務ヲ有ス

一　普通科及演習科ヲ經タル男子卒業者ハ三年

二　普通科及演習科ヲ經タル女子卒業者ハ二年

三　演習科ノミヲ經タル卒業者ハ一年

四　師範科卒業者ハ二年

特別ノ事情アルトキハ私費卒業者ニ對シ二年以内ノ期間ヲ限リ小學校ノ教員就職指定ニ關スル義務ヲ附スルコトアルベシ

第九十條　第八十六條及第八十七條ニ於テ官費卒業者トハ學資トシテ在學中ヲ通ジ食費、手當及被服費ノ全部又ハ之ニ相當スル額ノ支給ヲ受クタル者ヲ謂フ

第八十四條ノ規定ニ依リ學資ノ增額セラレタル者ノ服務期間ニ關シテハ學資ヲ增額セラレザルモノト看做ス

第九十一條　官立師範學校ニ於テ學資ノ一部ヲ給與シタル者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ引續キ左ノ各號ノ一ニ規定スル期間朝鮮總督ノ指定スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一　普通科及演習科ヲ經タル卒業者ハ一年

二　演習科ノミヲ經タル卒業者ハ二年

三　師範科卒業者ハ二年

第九十二條　短期現役兵トシテ服務スル期間ハ第八十六條、第八十七條、第八十九條及第九十條ノ服務義務期間ニ算入セズ

第九十三條　特別ノ事情アルトキハ第八十六條及第八十九條ノ服務義務期間内ニ於テ小學校令ニ依リ又ハ小學校令若ハ朝鮮教育令ノ旨趣ニ準ジテ設立セル朝鮮外ノ學校ノ教員ノ職ニ從事スルコトヲ許可スルコトアルベシ

前項ノ在職期間ハ第八十六條及第八十九條ノ服務期間ト看做ス

第九十四條　第八十六條及第八十九條ノ服務義務ヲ履行スルコト能ハザル事由ヲ生ジタル者又ハ外國政府ノ聘ニ應ジ教員ノ職ニ從事セントスル者アルトキハ必要ト認ムル期間内ノ服務義務ヲ猶豫シ又ハ之ヲ免除スルコトアルベシ

第九十五條　第八十六條及第八十九條ノ服務期間内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ官費卒業者ニ在リテハ授業費及其ノ在學中支給シタル學資、私費卒業者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

一　正當ノ事由ナクシテ服務義務ヲ履行セザルトキ

二　懲戒免官若ハ懲戒免職ニ處セラレ又ハ私立學校規則第十四條ノ處分ヲ受ケタルトキ

三　前條前段ノ事由ニ因リ服務義務ヲ免除セラレタルトキ

前項授業費ノ金額ハ年額五十圓以下ニ於テ之ヲ定ム

第九十六條　第八十三條乃至第八十八條及第九十一條乃至前條ノ規定ハ公立師範學校ノ生徒及卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第八十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第九十七條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小學校ノ教員タラントスル者ニ必要ナル講習ヲ爲ス爲講習科ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル講習科ノ講習期間ハ小學校教員タラントスル者ニ對シテハ一年以上三年以内ノ期間トス

第九十八條　前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス

特別ノ必要アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシムルコトヲ得

第九十九條　研究科ハ師範學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシメ師範學校卒業以上ノ程度ニ於テ更ニ精深ナル學修ヲ爲サシムルモノトス

研究科ノ修業年限ハ一年又ハ二年トス

第百條　學校長ハ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ

第百一條　第七十三條及第七十五條ノ規定ハ官立師範學校ノ講習科又ハ研究科ノ生徒ノ學資ノ給與及償還ニ付之ヲ準用ス

第百二條　官立師範學校ニ於テ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ヲ修了シタル者ニ在リテハ規定ノ修業期間ニ一年ヲ加ヘタル期間、私費修了者ニ在リテハ規定ノ修業期間ト同一ノ期間朝鮮内ニ於テ學事ニ關スル義務ヲ有スル但シ學費ノ支給ヲ受ケタル修了者ニ在リテハ規定ノ期間朝鮮内ニ於テ朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ其ノ學資ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

第百三條　第八十三條乃至第八十八條及第九十一條乃至前條ノ規定ハ官立師範學校卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第八十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第百四條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小學校ノ教員タラントスル者ニ必要ナル講習ヲ爲ス爲講習科ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル講習科ノ講習期間ハ小學校教員タラントスル者ニ對シテハ一年以上三年以内ノ期間トス

第百五條　第八十八條ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス

特別ノ必要アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシムルコトヲ得

第百六條　研究科ハ師範學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシメ師範學校卒業以上ノ程度ニ於テ更ニ精深ナル學修ヲ爲サシムルモノトス

研究科ノ修業年限ハ一年又ハ二年トス

第百七條　學校長ハ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ

第百八條　第七十三條及第七十五條ノ規定ハ官立師範學校ノ講習科又ハ研究科ノ生徒ノ學資ノ給與及償還ニ付之ヲ準用ス

第百九條　官立師範學校ニ於テ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ヲ修了シタル者ニ在リテハ規定ノ修業期間ニ一年ヲ加ヘタル期間、私費修了者ニ在リテハ規定ノ修業期間ト同一ノ期間朝鮮内ニ於テ學事ニ關スル義務ヲ有スル但シ學費ノ支給ヲ受ケタル修了者ニ在リテハ規定ノ期間朝鮮内ニ於テ朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ其ノ學資ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

第百十條　第八十三條乃至第八十八條及第九十一條乃至前條ノ規定ハ官立師範學校卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第八十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第百十一條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小學校ノ教員タラントスル者ニ必要ナル講習ヲ爲ス爲講習科ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル講習科ノ講習期間ハ小學校教員タラントスル者ニ對シテハ一年以上三年以内ノ期間トス

第百十二條　第八十八條ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス

特別ノ必要アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシムルコトヲ得

第百十三條　研究科ハ師範學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシメ師範學校卒業以上ノ程度ニ於テ更ニ精深ナル學修ヲ爲サシムルモノトス

研究科ノ修業年限ハ一年又ハ二年トス

第百十四條　學校長ハ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ

第百十五條　第七十三條及第七十五條ノ規定ハ官立師範學校ノ講習科又ハ研究科ノ生徒ノ學資ノ給與及償還ニ付之ヲ準用ス

第百十六條　官立師範學校ニ於テ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ヲ修了シタル者ニ在リテハ規定ノ修業期間ニ一年ヲ加ヘタル期間、私費修了者ニ在リテハ規定ノ修業期間ト同一ノ期間朝鮮内ニ於テ學事ニ關スル義務ヲ有スル但シ學費ノ支給ヲ受ケタル修了者ニ在リテハ規定ノ期間朝鮮内ニ於テ朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ其ノ學資ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

第百十七條　第八十三條乃至第八十八條及第九十一條乃至前條ノ規定ハ官立師範學校卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第八十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第百十八條　前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ教員ノ職ニ從事スル義務ヲ有シ又ハ外國政府ノ聘ニ應ジ教員ノ職ニ從事スル義務ヲ有シ但シ次條ノ義務ヲ終リタル者ハ學事ニ關スル他ノ職務ニ從事スルコトヲ得

一　普通科及演習科ヲ經タル官費男子卒業者ハ五年

二　普通科及演習科ヲ經タル官費女子卒業者ハ四年

三　普通科及演習科ヲ經タル卒業者ハ三年

四　師範科男子卒業者ハ四年

五　師範科女子卒業者ハ三年

第百十九條　前條ニ規定スル卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ引續キ左ノ各號ノ一ニ規定スル期間朝鮮總督ノ指定スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

一　普通科及演習科ヲ經タル卒業者ハ二年

二　演習科ノミヲ經タル卒業者ハ一年

三　師範科卒業者ハ一年

第百二十條　第百十七條及第百十八條ノ服務義務ヲ履行スルコト能ハザル事由ヲ生ジタル者又ハ外國政府ノ聘ニ應ジ教員ノ職ニ從事セントスル者アルトキハ必要ト認ムル期間内ノ服務義務ヲ猶豫シ又ハ之ヲ免除スルコトアルベシ

第百二十一條　第百十七條及第百十八條ノ服務期間内ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ官費卒業者ニ在リテハ授業費及其ノ在學中支給シタル學資、私費卒業者ニ在リテハ授業費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

一　正當ノ事由ナクシテ服務義務ヲ履行セザルトキ

二　懲戒免官若ハ懲戒免職ニ處セラレ又ハ私立學校規則第十四條ノ處分ヲ受ケタルトキ

三　前條前段ノ事由ニ因リ服務義務ヲ免除セラレタルトキ

前項授業費ノ金額ハ年額五十圓以下ニ於テ之ヲ定ム

第百二十二條　第百十三條乃至第百十八條及第百二十一條乃至前條ノ規定ハ公立師範學校ノ生徒及卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第百十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第百二十三條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小學校ノ教員タラントスル者ニ必要ナル講習ヲ爲ス爲講習科ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル講習科ノ講習期間ハ小學校教員タラントスル者ニ對シテハ一年以上三年以内ノ期間トス

第百二十四條　第八十八條ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス

特別ノ必要アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシムルコトヲ得

第百二十五條　研究科ハ師範學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシメ師範學校卒業以上ノ程度ニ於テ更ニ精深ナル學修ヲ爲サシムルモノトス

研究科ノ修業年限ハ一年又ハ二年トス

第百二十六條　學校長ハ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ

第百二十七條　第七十三條及第七十五條ノ規定ハ官立師範學校ノ講習科又ハ研究科ノ生徒ノ學資ノ給與及償還ニ付之ヲ準用ス

第百二十八條　官立師範學校ニ於テ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ヲ修了シタル者ニ在リテハ規定ノ修業期間ニ一年ヲ加ヘタル期間、私費修了者ニ在リテハ規定ノ修業期間ト同一ノ期間朝鮮内ニ於テ學事ニ關スル義務ヲ有スル但シ學費ノ支給ヲ受ケタル修了者ニ在リテハ規定ノ期間朝鮮内ニ於テ朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ其ノ學資ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

第百二十九條　第八十三條乃至第八十八條及第九十一條乃至前條ノ規定ハ官立師範學校卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第八十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第百三十條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小學校ノ教員タラントスル者ニ必要ナル講習ヲ爲ス爲講習科ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル講習科ノ講習期間ハ小學校教員タラントスル者ニ對シテハ一年以上三年以内ノ期間トス

第百三十一條　第八十八條ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス

特別ノ必要アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシムルコトヲ得

第百三十二條　研究科ハ師範學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシメ師範學校卒業以上ノ程度ニ於テ更ニ精深ナル學修ヲ爲サシムルモノトス

研究科ノ修業年限ハ一年又ハ二年トス

第百三十三條　學校長ハ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ

第百三十四條　第七十三條及第七十五條ノ規定ハ官立師範學校ノ講習科又ハ研究科ノ生徒ノ學資ノ給與及償還ニ付之ヲ準用ス

第百三十五條　官立師範學校ニ於テ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ヲ修了シタル者ニ在リテハ規定ノ修業期間ニ一年ヲ加ヘタル期間、私費修了者ニ在リテハ規定ノ修業期間ト同一ノ期間朝鮮内ニ於テ學事ニ關スル義務ヲ有スル但シ學費ノ支給ヲ受ケタル修了者ニ在リテハ規定ノ期間朝鮮内ニ於テ朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ其ノ學資ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

第百三十六條　第八十三條乃至第八十八條及第九十一條乃至前條ノ規定ハ官立師範學校卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第八十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第百三十七條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小學校ノ教員タラントスル者ニ必要ナル講習ヲ爲ス爲講習科ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル講習科ノ講習期間ハ小學校教員タラントスル者ニ對シテハ一年以上三年以内ノ期間トス

第百三十八條　第八十八條ノ規定ニ依ル講習科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ修業年限二年ノ高等小學校ノ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者トス

特別ノ必要アルトキハ前條第二項ノ規定ニ依ル講習科ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシムルコトヲ得

第百三十九條　研究科ハ師範學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲ入學セシメ師範學校卒業以上ノ程度ニ於テ更ニ精深ナル學修ヲ爲サシムルモノトス

研究科ノ修業年限ハ一年又ハ二年トス

第百四十條　學校長ハ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ

第百四十一條　第七十三條及第七十五條ノ規定ハ官立師範學校ノ講習科又ハ研究科ノ生徒ノ學資ノ給與及償還ニ付之ヲ準用ス

第百四十二條　官立師範學校ニ於テ第八十七條第二項ノ規定ニ依ル講習科又ハ研究科ヲ修了シタル者ニ在リテハ規定ノ修業期間ニ一年ヲ加ヘタル期間、私費修了者ニ在リテハ規定ノ修業期間ト同一ノ期間朝鮮内ニ於テ學事ニ關スル義務ヲ有スル但シ學費ノ支給ヲ受ケタル修了者ニ在リテハ規定ノ期間朝鮮内ニ於テ朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ其ノ學資ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

第百四十三條　第八十三條乃至第八十八條及第九十一條乃至前條ノ規定ハ官立師範學校卒業者ニ付之ヲ準用ス但シ第八十六條ノ服務ハ其ノ道内ニ於テ之ヲ履行スルモノトス

學資ノ一部ノ支給ヲ受ケタル公費卒業者ノ服務期間ハ道知事ニ於テ之ヲ定ムベシ

第八十二條ノ規定ハ公立師範學校卒業者ニシテ他ノ道ニ於テ教員ノ職ニ從事スル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　講習科及研究科

第百四十四條　講習科ハ小學校教員ノ學力補充ニ必要ナル講習ヲ爲スモノトス特別ノ必要アルトキハ小

ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上其ノ他ノ者ニ在リテハ三年以上當該學部ニ在學シ其ノ他相當ノ學力ヲ具ヘタル者ニシテ當該學部ニ於テ適當ト認メタルモノトス

第十二條　大學ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得

大學豫科ハ高等學校高等科ノ程度ニ依リ高等普通教育ヲ爲スヘシ

第十三條　大學豫科ノ修業年限ハ三年又ハ二年トス

修業年限三年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

修業年限二年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十四條　大學豫科ノ設備、編制、教員及教科書ニ付テハ高等學校高等科ニ關スル規程ヲ準用ス

第十五條　大學豫科ノ生徒定數ハ每年ノ豫科修了者ノ員數ヲ超過セサル程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十六條　大學及大學豫科ノ學則ハ法令ノ範圍內ニ於テ當該大學之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　公立及私立ノ大學ニハ相當員數ノ專任教員ヲ置クヘシ

第十八條　私立大學ノ教員ノ採用ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ公立大學ノ教員ニシテ官吏ノ待遇ヲ受ケサル者ニ付亦同シ

第十九條　公立及私立ノ大學ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第二十條　文部大臣ハ公立及私立ノ大學ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　本令ニ依ヲサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除ノ外大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ユル學校ニハ當分ノ內第二十一條ノ規定ヲ適用セス

●京城帝國大學ニ關スル件

大正十三年五月
勅令第百五號

第一條　京城帝國大學ニ法文學部、醫學部ヲ置ク

第二條　京城帝國大學ニ豫科ヲ置ク

第三條　京城帝國大學ニ大學院ヲ置ク

第四條　京城帝國大學ニ大學豫科ヲ置ク

第五條　京城帝國大學ニ講座ヲ置キ教授ヲシテ之ヲ擔任セシム

第六條　京城帝國大學ニ助教授ヲ置キ勅任トス

第七條　京城帝國大學ニ講師ヲ置キ敕任又ハ奏任トス

第八條　京城帝國大學ニ助手ヲ置キ奏任トス

第九條　京城帝國大學ニ書記ヲ置キ判任トス

第十條　京城帝國大學ニ技手ヲ置キ判任トス

第十一條　京城帝國大學ニ技師ヲ置キ奏任トス

第十二條　京城帝國大學ニ囑託ヲ置キ敕任又ハ奏任トス

第十三條　京城帝國大學ニ學生ヲ置キ選科生、研究生及豫科生ヲ入學セシムルコトヲ得

第十四條　京城帝國大學ニ學生ノ定員ヲ定メス

第十五條　京城帝國大學ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十六條　京城帝國大學ニ入學スルコトヲ得ル者ハ京城帝國大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十七條　學部ニ三年以上在學シ一定ノ試驗ヲ受ケ之ニ合格シタル者ハ學士ト稱スルコトヲ得

前項ノ在學年限ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上トス

第十八條　研究科ニ入ルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第十九條　學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第二十條　大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第二十一條　研究科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第二十二條　學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第二十三條　大學豫科ノ修業年限ハ三年又ハ二年トス

修業年限三年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

修業年限二年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

第二十四條　大學豫科ノ設備、編制、教員及教科書ニ付テハ高等學校高等科ニ關スル規程ヲ準用ス

第二十五條　大學豫科ノ生徒定數ハ每年ノ豫科修了者ノ員數ヲ超過セサル程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第二十六條　大學及大學豫科ノ學則ハ法令ノ範圍內ニ於テ當該大學之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第二十七條　公立及私立ノ大學ニハ相當員數ノ專任教員ヲ置クヘシ

第二十八條　私立大學ノ教員ノ採用ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ公立大學ノ教員ニシテ官吏ノ待遇ヲ受ケサル者ニ付亦同シ

第二十九條　公立及私立ノ大學ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第三十條　文部大臣ハ公立及私立ノ大學ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　本令ニ依ヲサル學校ハ勅定規程ニ別段ノ定アル場合ヲ除ノ外大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ユルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ユル學校ニ於テハ當分ノ內第二十一條ノ規定ヲ適用セス

●京城帝國大學ニ關スル件

大正十三年五月
勅令第百五號

京城帝國大學ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大正十三年勅令第百四號中左ノ通改正ス

「醫學部」ノ次ニ「理工學部」ヲ加フ

附　則

本令ハ昭和十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件

大正十五年四月
勅令第四十七號

改正　昭和二年六月一五日號、三年四月第五八號、四年四月第八一號、六年四月第六六號

京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

京城帝國大學各學部ニ於ケル講座ノ種類及其ノ數左ノ如シ

法文學部

憲法、行政法	二講座
民法、民事訴訟法	四講座
商法	二講座
刑法、刑事訴訟法	二講座
國際公法	一講座
國際私法	一講座
經濟學	二講座
政治學、政治史	二講座
外交史	一講座
財政學	一講座
羅馬法	一講座
法理學	一講座
法制史	一講座
統計學	一講座
哲學、哲學史	二講座
支那哲學	一講座

倫理學	二講座
心理學	二講座
宗教學、宗教史	一講座
美學、美術史	二講座
教育學	二講座
社會學	一講座
國史學	二講座
朝鮮史學	二講座
東洋史學	二講座
西洋史學	一講座
國語學、國文學	二講座
朝鮮語學、朝鮮文學	二講座
支那語學、支那文學	一講座
外國語學、外國文學	二講座
醫學部	
解剖學	三講座
生理學	二講座
醫化學	一講座
藥理學	二講座
病理學	二講座
微生物學	二講座
衞生學、豫防醫學	一講座
法醫學	一講座
內科學	三講座
外科學	二講座
整形外科學	一講座
產科學、婦人科學	一講座
皮膚科學、泌尿器科學	一講座
眼科學	一講座
耳鼻咽喉科學	一講座
小兒科學	一講座
神經科學、精神科學	一講座

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●京城帝國大學法文學部ニ法學科、哲學科、史學科及文學科設置

大正十五年四月
總令第三十一號

改正　昭和二年三月一五號

京城帝國大學法文學部ニ法學科、哲學科、史學科及文學科ヲ置キ大正十五年五月一日ヨリ授業ヲ開始ス

京城帝國大學醫學部ハ大正十五年五月一日ヨリ授業ヲ開始ス

附　則（昭和二年三月總令第十五號）

本令ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●大學規程

大正十五年四月
總令第三十號

改正　昭和九年三月一四號

大學規程左ノ通定ム

大學規程

第一條　大學ノ設立ニ付認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

一　大學ノ名稱
二　學部ノ種類及名稱
三　大學院ノ設否
四　學則
五　位置及校地
六　校舍ノ圖面及建設ノ設計
七　各學部及大學豫科在學者定數
八　各學部專任教員數
九　學部、學科及大學豫科開設ノ期日
十　經費及維持ノ方法

前項第五號ニ關シテハ校地ノ地質、面積及附近ノ情況ヲ記載シタル圖面效依用水ノ定性分析表ヲ添附スヘシ

第一項各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケサルヘシ

第二條　大學ノ廢止ニ付認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由及在學者ノ處分方法ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ學部ノ廢止ニ付亦同シ

第三條　大學ハ其ノ目的及規模ニ應シ敎授上及研究上必要ナル設備ヲ爲スヘシ

第四條　學部ノ入學ニ關シ大學豫科ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ムヘキ者ハ當該大學ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ大學豫科ノ入學ニ關シ中學校第四學年ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

一　高等普通學校第四學年ヲ修了シタル者
二　朝鮮總督ニ於テ大學豫科入學ニ關シ指定シタル者
三　高等學校高等科ニ入學スル資格ヲ有スル者

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ大學豫科ノ入學ニ關シ中學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト認ム

一　專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者
二　朝鮮總督ニ於テ一般專門學校ノ入學ニ關シ中學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者
三　朝鮮總督ニ於テ特種ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校ヲ卒業シタル者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項第三號ニ該當スル者ノ進入シ得ヘキ大學ノ學部又ハ學科ニ關シテハ大學ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ

第七條　大學ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學部ニ入學スル資格ヲ有スル者ニ就キ入學ノ順位ヲ定ムルコトヲ得

第八條　同順位ニ在ル學部入學志願者ノ數收容シ得ヘキ人員ニ超過スル場合ニ於テ行フヘキ選拔ノ方法ニ關シテハ大學ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第九條　大學令第十八條ノ規定ニ依リ敎員ノ採用ニ付朝鮮總督ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ申請書ニ擔任科目ヲ記載シ本人ノ履歷書及戶籍抄本ヲ添附スヘシ

第十條　大學ハ敎育上必要アリト認ムルトキハ在學者ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十一條　學則ニ規定スヘキ事項凡左ノ如シ

一　學部及大學豫科ノ學科課程ニ關スル事項
二　研究科又ハ大學院ニ關スル事項
三　學部ノ在學年限及大學豫科ノ修業年限ニ關スル事項
四　學士ノ稱號ニ關スル事項
五　試驗及課程修了ノ認定ニ關スル事項
六　學年、學期及休業日ニ關スル事項
七　入學、退學及懲戒ニ關スル事項
八　授業料、入學料等ニ關スル事項

第十二條　大學ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除ノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則及敎科時間配等表
二　職員ノ名簿及履歷書
三　在學者ノ學籍簿及入營延期又ハ徵兵猶豫ニ關スル書類
四　試驗ノ問題及成績表

在學者學籍簿ニハ在學者ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學、轉學、退學、除名、除籍及試驗合格ノ年月日、徵兵事故效父兄又ハ保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

第十三條　外國人ニシテ帝國大學ノ學部ニ入學セムトスル者アルトキハ學部ノ定ムル所ニ依リ定員外ニ入學ヲ許可スルコトヲ得

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年三月總令第三十四號）

本令ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●京城帝國大學豫科規程

大正十三年五月
總令第二十一號

改正　昭和二年二第一二七號、三年二第五號、三年七第五一號、三年九第五九號、九年三第三五號、一二年二第六號、一三年三第四一號、一三年四第八四號

京城帝國大學豫科規程左ノ通定ム

京城帝國大學豫科規程

第一章　總則

第一條　京城帝國大學豫科ハ同大學各學部ニ入學セムトスル者ニ對シテ高等普通教育ヲ完成シ特ニ國民道德ノ充實ニ力ムルヲ以テ目的トス

第二條　大學豫科ハ修業年限ヲ三年トス

大學豫科ハ文科及理科トシ各科ヲ各甲類及乙類ニ分ツ

第二章　學科課程

第三條　文科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、英語、獨語、歷史、地理、哲學概說、心理及論理、法制及經濟、數學、自然科學、體操トス

理科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、英語、獨語、羅甸語、數學、物理、化學、植物及動物、鑛物及地質、心理、歷史、法制及經濟、圖畫、體操トス

第四條　文科及理科ノ各學科目ノ教授要旨及教授上ノ注意ニ關シテハ高等學校規程第五條乃至第十八條ノ規定ヲ準用ス

第五條　文科甲類及乙類ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學年 / 學科目 / 類別	第一學年		第二學年		第三學年	
	甲類	乙類	甲類	乙類	甲類	乙類
修身	一	一	一	一	一	一
國語及漢文	五	五	五	五	六	六
英語	一〇	四	九	五	九	四
獨語	四	九	四	九	四	九
歷史	三	三	五	五	四	四
地理	二	二	一	一	一	一
哲學概說	一	一	一	一	一	一

體操中ノ教練ノ爲行フ野外演習ハ第一項ノ表ノ時數外トス

第三章　學年、教授日數及式日

第七條　學年ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第八條　教授日數ハ每學年二百日以上トス但シ第九條ノ場合及特別ノ事情ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

試驗及修學旅行ニ充ツル日數ハ前項ノ日數ニ算入セス

第九條　傳染病豫防又ハ非常變異ノ爲必要アルトキハ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第十條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ殿員及生徒ハ學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フヘシ

第四章　入學、轉學、休學、退學及懲戒

第十一條　生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始ヨリ三十日以內トス

第十二條　大學豫科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者トス

一　中學校又ハ高等普通學校第四學年ヲ修了シタル者

二　朝鮮總督ニ於テ大學豫科入學ニ關シ中學校第四學年修了者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

三　高等學校尋常科ヲ修了シタル者

四　大學豫科又ハ高等學校高等科入學資格試驗ニ合格シタル者

五　專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

六　朝鮮總督ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者

前項第四號ノ大學豫科入學資格試驗ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條　入學志願者ニ對シテハ身體檢査ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ限リ入學セシムヘシ

必要アリト認ムルトキハ人物考査ヲ行フコトヲ得

第十四條　入學志願者ノ數募集人員ニ超過スルトキハ中學校第四學年修了ノ程度ニ依リ選拔試驗ヲ行フヘシ

入學者ノ選拔ニハ從來ノ學業成績及性行ヲ參酌スルモノトス

第十五條　削除

第十六條　入學志願者ハ其ノ入學後修學セムトスル科ヲ指定スヘシ

第十七條　大學豫科ヲ退學シタル者退學ノ時ヨリ一年以內ニ再入學ヲ志願シタル時ハ同一學年以下ノ學年ニ限リ試驗ニ依ラス入學ヲ許可スルコトヲ得

第十八條　生徒ハ豫科部長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ學校ノ入學試驗ヲ受ルコトヲ得

前項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

第十九條　各學年ノ課程ノ修了ハ平素ノ學業及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ認ムヘシ但シ正當ノ事由ニ依リ試驗ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ成績ノミヲ考査シテ之ヲ認ムルコトヲ得

第二十條　豫科部長ハ一學年ノ課程ヲ修了セサル生徒ノ學年ヲ進ムルコトヲ得ス

第二十一條　大學豫科ヲ修了シタル者ニハ修了證書ヲ授與スヘシ

第二十二條　豫科部長ハ正當ノ事由アリト認ムルトキハ生徒ノ休學ヲ許可スルコトヲ得

第二十三條　豫科部長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認ムル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

五　出席常ナラサル者

第二十四條　生徒退學セムトスルトキハ豫科部長ノ許可ヲ受クヘシ

第二十五條　豫科部長ハ教育上必要アリト認ムルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第五章　雜則

第二十六條　大學豫科ニ於テハ國語及漢文、外國語、數學ヲ教授スル場合ノ除クノ外朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ學級ノ異ナル生徒ヲ合シテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得

第二十七條　大學豫科ニ於テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外左ノ表簿ヲ備フヘシ

一　學則、日課表及教科用圖書配當表

二　職員ノ名簿及履歷書並擔任學科目及時間表

三　生徒學籍簿、出席簿、身體檢査ニ關スル表簿及入學延期ニ關スル書類

四　試驗ノ問題、答案及成績表

五　資產原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル報告並圖書、機械、器具、標本及模型ノ目錄

生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ學年、卒業ノ年月日、入學試驗ノ有無、轉學、退學ノ事由及徵兵事故並保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年三月總令第三十五號）

本令ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第二學年ニ在學スル生徒ノ修業年限及學科課程ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ昭和十年三月三十一日迄ニ其ノ課程ヲ修了セサル生徒ニハ本改正規定ヲ適用シ第二學年ニ編入ス

從前ノ規定ニ依リ入學シタル生徒ニシテ本令施行ノ際現ニ第一學年ニ在學スルモノハ之ヲ本改正規定ニ依ル第一學年ニ編入ス

附　則（昭和十二年二月總令第六號）

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ昭和十二年度ニ限リ理科第三學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和十三年三月總令第四十一號）

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年四月總令第八十四號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ文科ニ於テ英語ヲ第一外國語トシテ學修中ノ者ハ之ヲ文科甲類ニ、獨語ヲ第一外國語トシテ學修中ノ者ハ之ヲ文科乙類ニ編入シ理科ニ於テ獨語ヲ第一外國語トシテ學修中ノ者ハ之ヲ理科乙類ニ編入ス

第六條　理科甲類及乙類ノ各學年ニ於ケル各學科目ノ每週教授時數ハ左表ニ依ルヘシ

學年 / 學科目 / 類別	第一學年		第二學年		第三學年	
	甲類	乙類	甲類	乙類	甲類	乙類
修身	一	一	一	一	一	一
國語及漢文	四	四	二	二	一	一
英語	七	七	三	三	六	六
獨語	四	一〇	四	九	四	九
羅甸語	一	一	一	一	一	一
數學	四	四	五	四	三	三
物理	二	二	二	二	二	二
化學	二	二	二 講義 二 實驗	二 講義 二 實驗	二 講義 二 實驗	二 講義 二 實驗
植物及動物	植物 二	植物 二	動物 二 講義 二 實驗	動物 二 講義 二 實驗	動物 二 講義 二 實驗	動物 二 講義 二 實驗
鑛物及地質	一	一	一	一	一	一
心理	一	一	一	一	一	一
歷史	二	二	一	一	一	一
法制及經濟	一	一	一	一	一	一
計	三三	三三	三四	三四	三四	三四
體操	二	二	二	二	二	二

體操中ノ教練ノ爲行フ野外演習ハ第一項ノ表ノ時數外トス

第九款　專門學校

●專門學校令

明治三十六年三月
勅令第六十一號
改正　昭和三年一勅八號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ專門學校令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

專門學校令

第一條　高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス

第二條　專門學校ハ特別ノ規定アル場合ノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第三條　私人ハ專門學校ヲ設置スルコトヲ得

第四條　公立又ハ私立ノ專門學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五條　專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術、音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條　專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條　專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度竝豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度竝豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第九條　公立又ハ私立ノ專門學校ノ教員ノ資格ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　公立又ハ私立ノ專門學校ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

文部大臣ハ公立又ハ私立ノ專門學校ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十一條　公立ノ專門學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニハ之ヲ減免シ又ハ徵收セサルコトヲ得

第十二條　第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

附則

第十三條　本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條　明治二十年勅令第四十八號ハ之ヲ廢止ス

第十五條　既設ノ公立又ハ私立ノ學校ニシテ本令ニ依ルヘキモノハ本令施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ第四條ニ準シ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ手續ヲ爲ササルモノハ前項ノ期間ノ滿了ト共ニ廢校シタルモノト看做ス

第一項ノ手續ヲ爲スモ不認可ノ命令ヲ受ケタルモノハ其ノ命令ヲ受ケタル日ニ於テ廢校シタルモノト看做ス

第十六條　千葉醫學專門學校、仙臺醫學專門學校、岡山醫學專門學校、金澤醫學專門學校、長崎醫學專門學校、東京外國語學校、東京美術學校及東京音樂學校ハ本令施行ノ日ヨリ專門學校トス

●公立私立專門學校規程

大正十一年三月
總令第二十一號

公立私立專門學校規程左ノ通定ム

第一條　道地方費ハ土地ノ情況ニ依リ必要アル場合ニ限リ專門學校ヲ設立スルコトヲ得

私人ハ專門學校ヲ設立スルコトヲ得

第二條　專門學校ヲ設立セムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　目的
二　名稱、位置
三　生徒定員
四　開校年月日
五　學則
六　校地、校舍、寄宿舍等ノ平面圖（拂下及附近ノ概況ヲ記入スルコト）
七　經費及維持ノ方法

第三條　專門學校ハ校地、校舍、校具其ノ他必要ノ設備ヲ爲スヘシ

第四條　校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道德上及衛生上害アキ所タルヘシ

第五條　校舍ニハ左ノ諸室ヲ備フヘシ

一　教室
二　事務室
三　其ノ他必要ナル實驗室、實習室、研究室、圖書室、器械室、標本室、藥品室、製煉室等ノ諸室

校舍ハ教授上管理上及衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス

第六條　校具ハ教授上必要ナル圖書、器械、器具、標本、模型等トス

第七條　專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條　官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度竝豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度竝豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム

第九條　公立又ハ私立ノ專門學校ノ教員ノ資格ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　公立又ハ私立ノ專門學校ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

文部大臣ハ公立又ハ私立ノ專門學校ニ對シ報告ヲ徵シ檢閱ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十一條　公立ノ專門學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ但シ特別ノ場合ニハ之ヲ減免シ又ハ徵收セサルコトヲ得

第十二條　第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

附則

第十三條　本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條　明治二十年勅令第四十八號ハ之ヲ廢止ス

第十五條　既設ノ公立又ハ私立ノ學校ニシテ本令ニ依ルヘキモノハ本令施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ第四條ニ準シ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ手續ヲ爲ササルモノハ前項ノ期間ノ滿了ト共ニ廢校シタルモノト看做ス

第一項ノ手續ヲ爲スモ不認可ノ命令ヲ受ケタルモノハ其ノ命令ヲ受ケタル日ニ於テ廢校シタルモノト看做ス

第十六條　千葉醫學專門學校、仙臺醫學專門學校、岡山醫學專門學校、金澤醫學專門學校、長崎醫學專門學校、東京外國語學校、東京美術學校及東京音樂學校ハ本令施行ノ日ヨリ專門學校トス

●公立私立專門學校規程

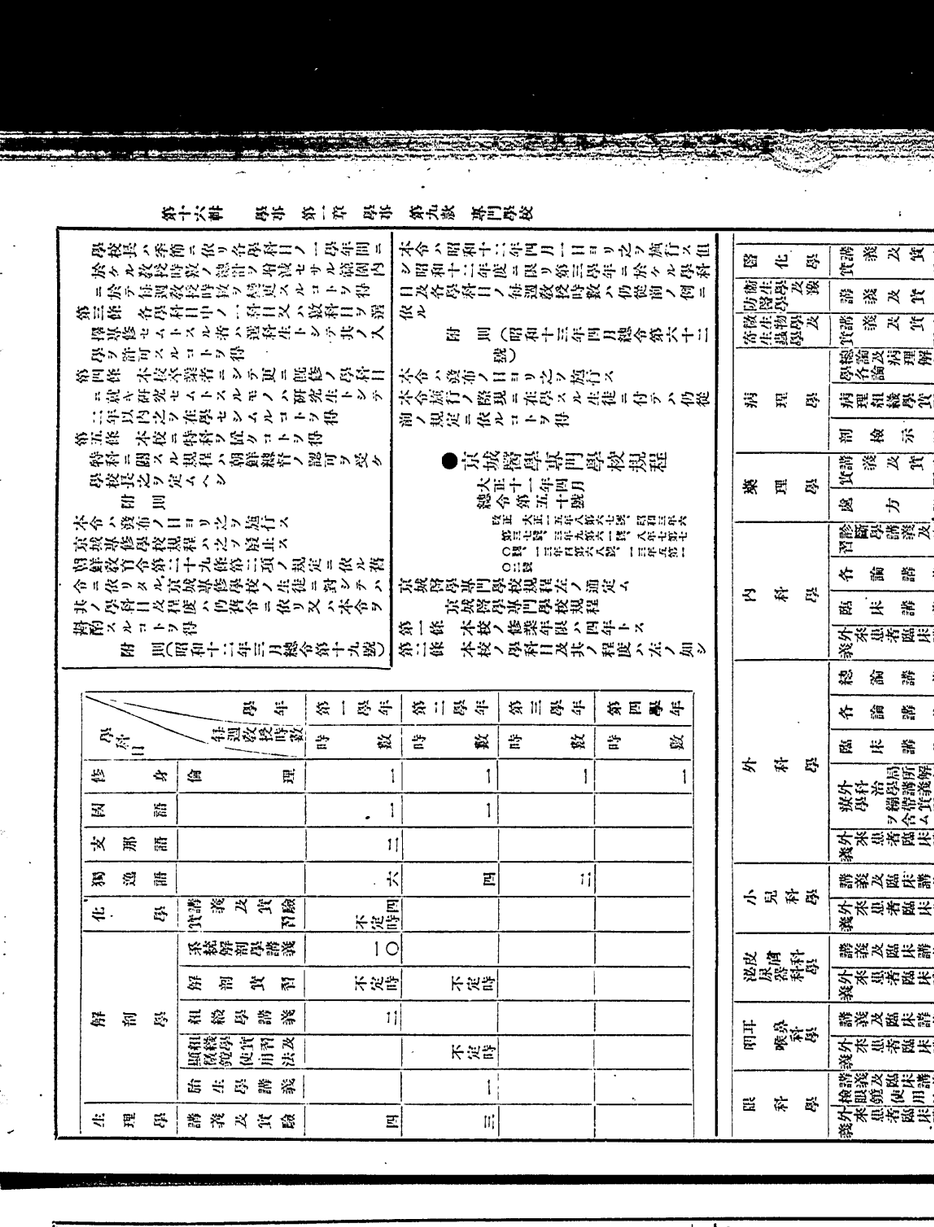
大正十一年三月
總令第二十一號

公立私立專門學校規程左ノ通定ム

第一條　道地方費ハ土地ノ情況ニ依リ必要アル場合ニ限リ專門學校ヲ設立スルコトヲ得

私人ハ專門學校ヲ設立スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ設立スル公立專門學校トシ第二項ノ規定ニ依リ設立スルモノヲ私立專門學校トス



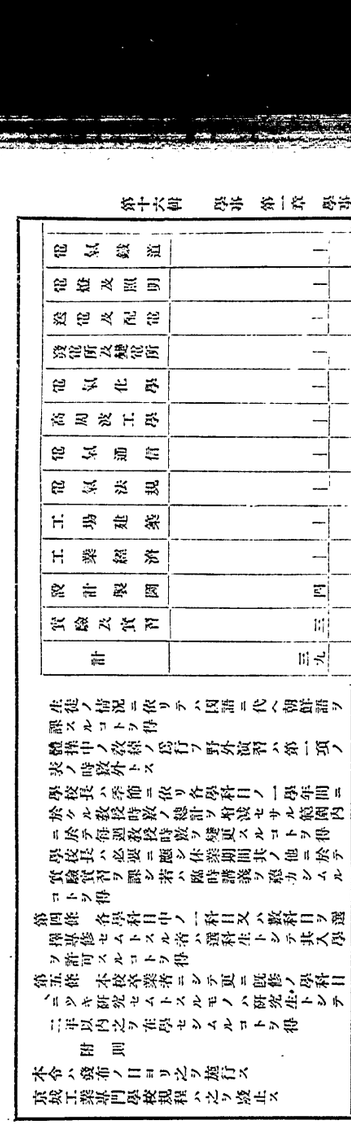
應用化學科

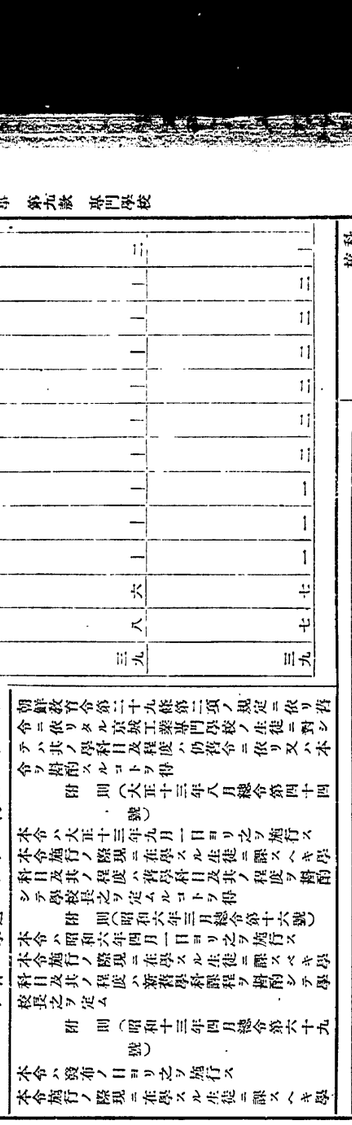
學科目 ＼ 每週教授時數 ＼ 學年	第一學年 時	第一學年 數	第二學年 時	第二學年 數	第三學年 時	第三學年 數
修身		一		一		一
英語		三		三		三
支那語		一		一		一
獨逸語		三		三		三
數學		三		三		三
物理學及實驗		三		三		三
化學		三		三		三
應用化學部						
製圖		一				
染織物仕上法		一				
染織試驗法		一				
染織機械				二		二
紡績及織物						
漂白及晒染						
捺染及注染						
媒染及色素						
工業經濟						
工業簿記及商業算術						
工業衛生						
工業法令						
應用化學						
染織實習						
應用化學實習						
染織實習						
染織意匠

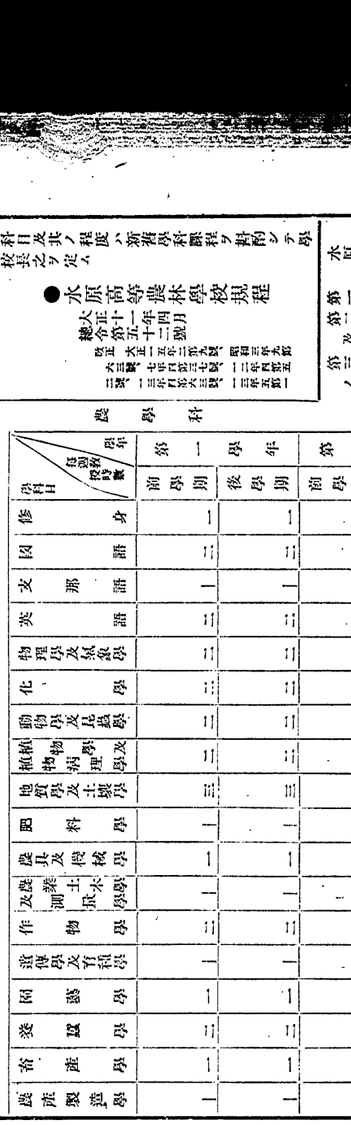
鑛山學科

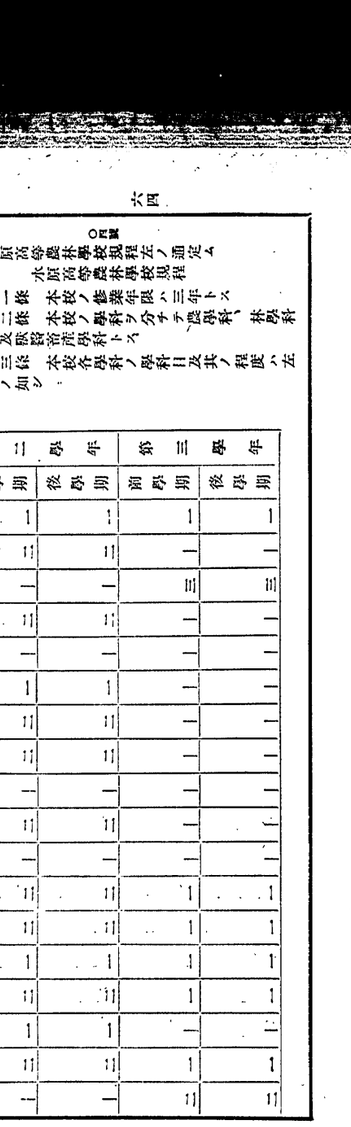
學科目	每週授課時數	第一學年 時數	第二學年 時數	第三學年 時數
修身		一	一	一
英語		二	二	二
支那語		三	三	三
國語		三	三	三
體操		三	三	三
物理學及實驗		三	二	二
數學		五	二	二
逸語		一	一	一
英語		二	二	二
支那語		一	一	一
圖畫		三	二	二
體操		三	三	三
修身		一	一	一
計		三九	三九	三九

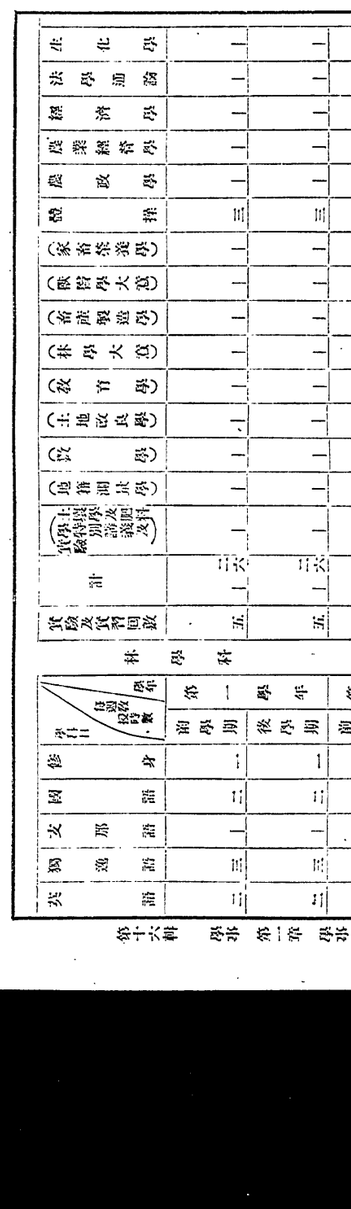
學科目	每週授課時數	第一學年 時數	第二學年 時數	第三學年 時數
實驗及實習		六	七	八
設計製圖		七	七	八
電氣工學及實驗		一	三	二
工業經濟		一	一	一
計		三九	三九	三九

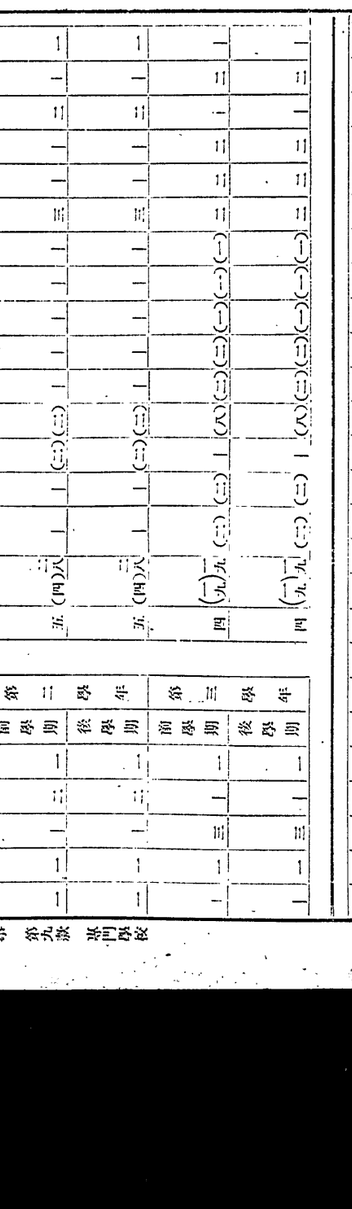


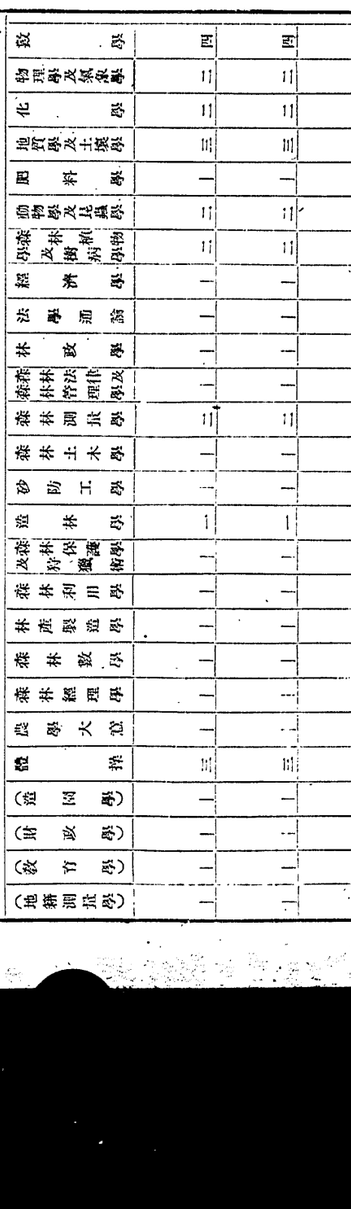


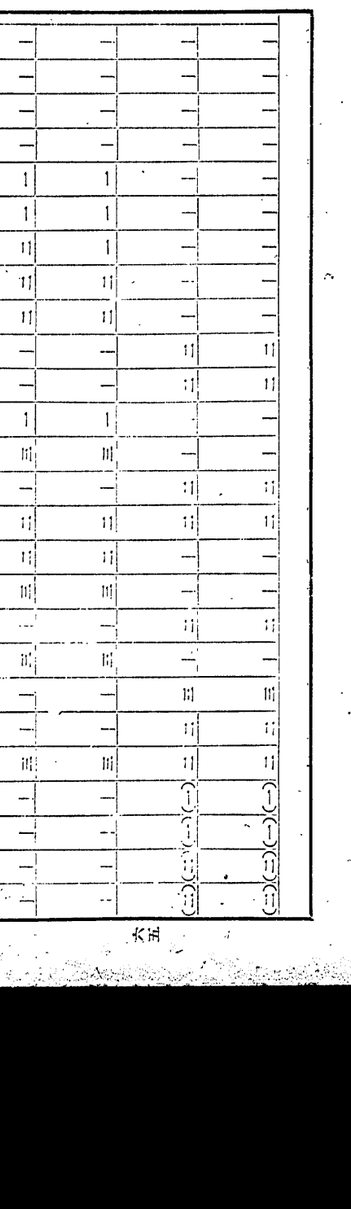












科目	學年	修身	國語	外國語	歷史	地理	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	農業	工業	簿記	圖畫	手工	唱歌	體操	計	每週教授時數
豫科	第一學年	二	六	六	三	三	四	三	三						一	一	一	二	三二	三二
	第二學年	二	六	六	三	三	四	三	三						一	一	一	二	三二	三二
	第三學年	二	六	六	三	三	四	三	三						一	一	一	二	三二	三二
本科	第一學年	二	四	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	二	三〇	三〇
	第二學年	二	四	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	二	三〇	三〇
	第三學年	二	四	四	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	一	一	一	二	三〇	三〇
豫科及本科	第一學年	二	五	五	三	三	三	三	三	二	二	二	二	二	一	一	一	二	三二	三二
	第二學年	二	五	五	三	三	三	三	三	二	二	二	二	二	一	一	一	二	三二	三二
	第三學年	二	五	五	三	三	三	三	三	二	二	二	二	二	一	一	一	二	三二	三二

豫科各部學科

學科目	學年	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
第一部	第一學年	前學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
		後學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
	第二學年	前學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
		後學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
	第三學年	前學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
		後學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
第二部	第一學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
	第二學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
	第三學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

豫科各部學科

學科目	學年	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計	實驗及其預習復習	作業	實驗及其預習復習	計	余科商業第(一)部
第一部	第一學年	前學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
		後學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
	第二學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
	第三學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	

民法	法學通論	財政學	商業史	商工政策	經濟原論	東洋經濟史	商業地理	商業實務	商品學	商業實踐	商業文	簿記	會計學	原價計算	銀行簿記	商業	海上保險論	交通論	取引所論	銀行論	商業通論	實務及會社法論	計	英語	支那語
	三										一	三												八	三
	三										一	三												八	三
	三										一	三												八	三
	三										一	三												八	三
	三																							八	二
	三																							七	二
	三																							七	二
	三																							六	二

豫科及本科

學科目	學年	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計	實驗及其預習復習	作業	實驗及其預習復習	計	余科商業第(一)部
第一部	第一學年	前學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
		後學期	一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
	第二學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
	第三學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	

第一部　第一學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第一部　第二學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第一部　第三學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第一部　第一學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第一部　第二學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第一部　第三學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第一學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第二學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第三學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第一學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第二學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第三學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　豫科及本科

學科目	學年	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計	實驗及其預習復習	作業	實驗及其預習復習	計	余科商業第(一)部
第二部	第一學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
	第二學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
	第三學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	

第十六條　學則第一章　學則第九條　專門學校

第二部　豫科及本科

學科目	學年	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計	實驗及其預習復習	作業	實驗及其預習復習	計	余科商業第(一)部
第二部	第一學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
	第二學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
	第三學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	

第二部　第一學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第二學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第三學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第一學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第二學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第二部　第三學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　豫科及本科

學科目	學年	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計	實驗及其預習復習	作業	實驗及其預習復習	計	余科商業第(一)部
第三部	第一學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
	第二學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
	第三學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	

第三部　第一學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第二學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第三學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第一學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第二學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第三學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　豫科及本科

學科目	學年	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計	實驗及其預習復習	作業	實驗及其預習復習	計	余科商業第(一)部
第三部	第一學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	二八	
	第二學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	五	不定時	五	三〇	
	第三學年	前學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	
		後學期	一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六	四	不定時	四	二六(一二)	

第三部　第一學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第二學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第三學年　前學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第一學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第二學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

第三部　第三學年　後學期

學科目	每週教授時數	修身	國語	外國語	數學	物理及化學	博物	法制及經濟	商業	圖畫	唱歌	體操	計
豫科		一	六	六	三	三	三			一	一	三	二六
本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六
豫科及本科		一	六	六	三	三	三	二	二	一	一	三	二六

五　資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿及證書、器械、器具、標本及模型ノ目錄

六　往復書類

學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第九條　實業補習學校ノ修業年限ハ二年乃至三年ヲ標準トシ但シ農業ヲ授クル實業補習學校ニ在リテハ入學資格、教授時數等ニ應ジ一年以内之ヲ短縮スルコトヲ得

第十條　實業補習學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢十二年以上ニシテ尋常小學校ノ教科ヲ卒ヘタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルベシ但シ土地ノ情況ニ依リ必要アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

第十一條　實業補習學校ノ總教授時數（實習ヲ含ム）ハ六百時以上トス

第十二條　實業補習學校ニハ於テハ尋常ニ左ノ事項ニ留意シテ生徒ヲ敎養スベシ

一　敎育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ國民道德ノ養成ニ意ヲ用ヒ我カ國國體ノ尊嚴ナル所以トヲ會得セシメ忠孝ノ大義ヲ明ニシ其ノ信念ヲ鞏固ナラシメンコトヲ期シ常ニ生徒ノ言行ニ躬行セシメ以テ皇運扶翼ノ道ニ徹セシメンコトヲ力ムベシ

二　德性ノ涵養ニ留意シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ特ニ職實ニシテ用ヲ重ンジ勤儉ニシテ公益ニ力ヲ盡スノ氣風ヲ長ジ內鮮一體、同胞相睦ノ美風ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

三　總テ敎材ハ鄉土的事象ノ中ニ之ヲ求メ敎授ハ力メテ生活ノ實踐ニ即セシメ實習ヲ重ンジ勤勞好愛ノ美風ヲ助致スルコトヲ力ムルト共ニ農業、工業、商業、水產等ニ關シ實際經營上必要ナル技能ヲ體得セシメンコトヲ旨トスベシ

四　生徒心身ノ發達ニ應ジ身體ヲ練磨シ心

八　寄宿舍ニ關スル事項

九　前各號ノ外學校ニ於テ必要トスル事項

第八條　實業補習學校ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第九條　實業補習學校ノ修業年限ハ二年乃至三年ヲ標準トシ但シ農業ヲ授クル實業補習學校ニ在リテハ入學資格、教授時數等ニ應ジ一年以內之ヲ短縮スルコトヲ得

第十條　實業補習學校ニ入學スルコトヲ得ル者ハ年齢十二年以上ニシテ尋常小學校ノ教科ヲ卒ヘタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者タルベシ但シ土地ノ情況ニ依リ必要アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得

第十一條　實業補習學校ノ總教授時數（實習ヲ含ム）ハ六百時以上トス

第十二條　實業補習學校ニハ於テハ尋常ニ左ノ事項ニ留意シテ生徒ヲ敎養スベシ

一　敎育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ國民道德ノ養成ニ意ヲ用ヒ我カ國國體ノ尊嚴ナル所以トヲ會得セシメ忠孝ノ大義ヲ明ニシ其ノ信念ヲ鞏固ナラシメンコトヲ期シ常ニ生徒ノ言行ニ躬行セシメ以テ皇運扶翼ノ道ニ徹セシメンコトヲ力ムベシ

二　德性ノ涵養ニ留意シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ特ニ職實ニシテ用ヲ重ンジ勤儉ニシテ公益ニ力ヲ盡スノ氣風ヲ長ジ內鮮一體、同胞相睦ノ美風ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

三　總テ敎材ハ鄉土的事象ノ中ニ之ヲ求メ敎授ハ力メテ生活ノ實踐ニ即セシメ實習ヲ重ンジ勤勞好愛ノ美風ヲ助致スルコトヲ力ムルト共ニ農業、工業、商業、水產等ニ關シ實際經營上必要ナル技能ヲ體得セシメンコトヲ旨トスベシ

四　生徒心身ノ發達ニ應ジ身體ヲ練磨シ心

力ノ涵成シテ國健測達ナル氣風ト忍苦持久ノ體力ヲ養ハンコトヲ旨トスベシ

女生徒ニ在リテハ殊ニ明朗快活ナル氣風ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

五　國語ノ使用ヲ正確ニシ其ノ應用ヲ自在ナラシメ國敎育ノ徹底ヲ期シ以テ皇國臣民タルノ性格ヲ涵養センコトヲ力ムベシ

六　各學科目ノ綜合的指導ニ留意シ互ニ相關聯シテ補益センコトヲ力ムベシ

第十三條　實業補習學校ノ學科目ハ修身及公民科、國語、職業トス但シ生徒ノ情況ニ依リテハ國語ニ代ヘ朝鮮語ヲ課スルコトヲ得

女子ニハ前項ノ學科目ノ外家事及裁縫ヲ加フ

前二項ノ學科目ノ外必要ニ應ジ歷史、地理、數學、理科、體操其ノ他ノ學科目中ヨリ適宜選擇シテ之ヲ加設スルコトヲ得

前項ノ加設科目ハ適宜之ヲ綜合シテ課スルコトヲ得

第十三條ノ二　職業ヲ除ノ外實業補習學校ノ學科目ノ敎授ノ要旨ニ關シテハ實業學校規程第十四條ノ規定ヲ準用ス

第十四條　實業補習學校ノ敎科書ハ道知事ノ認可ヲ受ケ學校長之ヲ定ムベシ

前項ノ認可ヲ受ケントスルトキハ其ノ書名、著者及發行者ノ氏名、發行年月日ヲ具シ道知事ニ申請スベシ

朝鮮總督ハ於テ必要シタル實業補習學校敎科書アルトキハ之ヲ使用セシムベシ

第十五條　實業補習學校ノ課程ヲ卒ヘ更ニ學習セントスル者ノ爲ニ適當ノ課程ヲ設ケ又ハ之ヲ一定ノ期間之ヲ在學セシムルコトヲ得

第十六條　學年、學期及敎授ノ季節ハ土地ノ狀況又ハ學校ノ種類ニ依リ適宜之ヲ定ムベシ

第十七條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ職員及生徒學校ニ參集シテ祝賀ノ式ヲ行フベシ

第十八條　學校長ハ訓育上必要ト認ムルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十九條　生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クベシ

第二十條　學校長ハ金課程ノ卒業ヲ認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スベシ

第二十一條　實業補習學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十二條　實業補習學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備フベシ

一　學則、日課表、敎科書配當表及學校管理簿

二　職員ノ名簿、履歷書、出勤簿竝擔任學科目及時間表

三　生徒ノ學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル表及兵役ニ關スル書類

四　學年、學期及敎授ノ季節ニ關スル事項

五　休業日ニ關スル事項

六　入學、退學及懲戒ニ關スル事項

七　維持方法

第四條　實業補習學校ニ於テ前條第一號、第二號、第四號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第五條　第三條ノ規定ハ公立實業補習學校ノ設立者變更ノ場合之ヲ準用ス

第六條　實業補習學校ノ校舍若ハ寄宿舍ヲ新築、增築若ハ改築シ又ハ校地ヲ擴張若ハ縮少セントスルトキハ開而ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ實業補習學校ノ設備ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

一　修業年限及入學資格ニ關スル事項

二　學科目、學科課程及敎授時數ニ關スル事項

三　學年、學期及敎授ノ季節ニ關スル事項

四　休業日ニ關スル事項

五　入學、退學及懲戒ニ關スル事項

六　生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル書類

七　授業料ニ關スル事項

第八條　實業補習學校ニハ校長ヲ置キ校務ヲ掌理セシム

第九條　實業補習學校ニハ敎員ヲ置キ生徒ヲ敎授セシム

第十條　實業補習學校ニハ書記ヲ置クコトヲ得

第十一條　實業補習學校ニハ敎員ノ外助手ヲ置クコトヲ得

第十二條　實業補習學校ニハ敎員ノ外實習地等ノ平面圖ハ農業ニ關スル事項ヲ授クル實業補習學校ニ限リ記載スベシ

六　一年ノ收支概算（初年度ニ在リテハ設立ノ分ニ付追加豫算ヲ含ム）

七　維持方法

第四條　實業補習學校ニ於テ前條第一號、第二號、第四號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第五條　第三條ノ規定ハ公立實業補習學校ノ設立者變更ノ場合之ヲ準用ス

第六條　實業補習學校ノ校舍若ハ寄宿舍ヲ新築、增築若ハ改築シ又ハ校地ヲ擴張若ハ縮少セントスルトキハ開而ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ實業補習學校ノ設備ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七條　學則ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

一　修業年限及入學資格ニ關スル事項

二　學科目、學科課程及敎授時數ニ關スル事項

三　學年、學期及敎授ノ季節ニ關スル事項

四　休業日ニ關スル事項

五　入學、退學及懲戒ニ關スル事項

六　生徒學籍簿、出席簿、身體檢查ニ關スル書類

七　授業料ニ關スル事項

第八條　實業補習學校ニハ校長ヲ置キ校務ヲ掌理セシム

第九條　實業補習學校ニハ敎員ヲ置キ生徒ヲ敎授セシム

第十條　實業補習學校ニハ書記ヲ置クコトヲ得

第十一條　實業補習學校ニハ敎員ノ外助手ヲ置クコトヲ得

第十二條　實業補習學校ニハ敎員ノ外實習地等ノ平面圖ハ農業ニ關スル事項ヲ授クル實業補習學校ニ限リ記載スベシ

第十三條　實業補習學校ニハ於テハ尋常ニ左ノ事項ニ留意シテ生徒ヲ敎養スベシ

一　敎育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キ國民道德ノ養成ニ意ヲ用ヒ我カ國國體ノ尊嚴ナル所以トヲ會得セシメ忠孝ノ大義ヲ明ニシ其ノ信念ヲ鞏固ナラシメンコトヲ期シ常ニ生徒ノ言行ニ躬行セシメ以テ皇運扶翼ノ道ニ徹セシメンコトヲ力ムベシ

二　德性ノ涵養ニ留意シテ醇良ナル人格ヲ陶冶シ特ニ職實ニシテ用ヲ重ンジ勤儉ニシテ公益ニ力ヲ盡スノ氣風ヲ長ジ內鮮一體、同胞相睦ノ美風ヲ養ハンコトヲ力ムベシ

三　總テ敎材ハ鄉土的事象ノ中ニ之ヲ求メ敎授ハ力メテ生活ノ實踐ニ即セシメ實習ヲ重ンジ勤勞好愛ノ美風ヲ助致スルコトヲ力ムルト共ニ農業、工業、商業、水產等ニ關シ實際經營上必要ナル技能ヲ體得セシメンコトヲ旨トスベシ

四　生徒心身ノ發達ニ應ジ身體ヲ練磨シ心

第十九條　生徒退學セントスルトキハ學校長ノ許可ヲ受クベシ

第二十條　學校長ハ金課程ノ卒業ヲ認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スベシ

第二十一條　實業補習學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第二十二條　實業補習學校ニハ於テハ左ノ表簿ヲ備フベシ

一　學則、日課表及敎科書配當表

二　職員ノ履歷書、出勤簿及擔任學科目表

三　生徒ノ學籍簿、出席簿及成績表

四　設備原簿、出納簿及經費ノ收支ニ關スル帳簿

五　往復書類

前項ノ表簿中履歷書及學籍簿ハ十五年以上之ヲ保存シ其ノ他ハ五年以上之ヲ保存スベシ

第二十三條　實業補習學校ニ於テハ短期特殊ノ事項ヲ授クル爲臨時講習ヲ爲スコトヲ得

第二十四條　實業補習學校ハ之ヲ他ノ學校、試驗場、講習所等ニ併設スルコトヲ得

第二十五條　本令中朝鮮總督トアルハ道立ノ實業補習學校ニ係ル場合及第十條但書ノ場合ヲ除クノ外道知事トス

前項ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ認可シタル事項及屆出ヲ受クル事項ハ選擇ナク之ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十一年勅令第三百十四號學位令及博士會規則ハ之ヲ廢止ス但シ從令ニ依リ授與シタル學位ハ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行前論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シタル者ニ對シテハ舊令ニ依リ學位ヲ授與ス

舊令ニ依ル學位ヲ有スル者其ノ榮登ヲ汚辱スル行爲アルトキハ文部大臣其ノ學位ヲ褫奪ス

第十二款　青年訓練所

●青年訓練所規程

昭和十三年三月
總令第五十四號

青年訓練所規程左ノ通改正ス

第一條　青年訓練所ハ青年ニ對シ國體觀念ヲ明徵ニシ皇國臣民タルノ資質ヲ向上シ五ニ信愛協力以テ團結ヲ固クセシムルト共ニ其ノ心身ヲ鍛錬シ職業及實際生活ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トス

第二條　青年訓練所ニ普通科及本科ヲ置ク但シ土地ノ情況ニ依リ普通科又ハ本科ノミヲ置クコトヲ得

第三條　青年訓練所ノ敎授及訓練期間ハ普通科ニ在リテハ二年、本科ニ在リテハ四年トス

研究科ノ敎授及訓練期間ハ一年以上トス

第四條　普通科ニハ入所スルコトヲ得ル者ハ尋常小學校卒業者又ハ之ニ相當スル素養アル者トス

研究科ニハ入所スルコトヲ得ル者ハ本科卒業者又ハ之ニ相當スル素養アル者トス

第五條　青年訓練所ハ入所期ハ每年四月トス但シ特別ノ事情アル者ハ中途之ヲ入所セシムルコトヲ得

第六條　特別ノ事情アル者ハ其ノ年齡及素養ヲ應シ之ヲ普通科第二年又ハ本科若ハ研究

科ノ第二年以上ニ入所セシムルコトヲ得

第七條　他ノ青年訓練所ノ生徒ニシテ轉所ヲ志望スルモノアルトキハ之ヲ相當科ノ相當年ニ入所セシムルコトヲ得

第八條　主事ハ生徒ニシテ特別ノ事由ニ依リ一時他ノ青年訓練所ニ於テ教授及訓練ヲ受クルコトヲ志望スルモノアルトキハ其ノ期間其ノ生徒ノ教授及訓練ヲ他ノ青年訓練所ニ委託スルコトヲ得

第九條　府邑面ハ青年訓練所ヲ設立スルコトヲ得

私人ハ工場、商店等ニ於テ青年訓練ヲ受クルコトヲ得ル者ヲ多數ニ使傭スル場合ニ限リ青年訓練所ヲ設立スルコトヲ得

第十條　青年訓練所ヲ設立セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　名稱
二　位置
三　規則
四　生徒定數
五　開所年月日
六　經費及維持方法

前項第一號及第二號ノ變更ハ朝鮮總督ニ屆出デ第三號及設立者ノ變更ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十一條　青年訓練所ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由及生徒ノ處分方法ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十二條　青年訓練所ノ教授及訓練科目ハ普通科ニ在リテハ修身及公民科、體操科、普通學科並ニ職業科トシ本科ニ在リテハ修身及公民科、教練科、普通學科並ニ職業科トス

研究科ノ教授及訓練科目ハ本科ノ教授及訓練科目ニ就キ適宜之ヲ定ムベシ但シ修身及公民科ハ之ヲ缺クコトヲ得ズ

第十三條　修身及公民科ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ヲ基礎トシテ我カ國體ノ本義ヲ明徵ニシ國民道德ヲ會得セシメ忠良ナル國民ノ資質ヲ啓培スルニ務ムベシ

第十四條　體操科ハ身體ノ各部ヲ均齊ニ發育セシメ身體ヲ强健ニシ其ノ動作ヲ輕快敏捷ナラシメ容儀ヲ端正ニシ剛毅、快活、堅忍持久ノ精神ト規律ヲ重ンジ協同ヲ尙ブノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

體操科ニ於テハ體操、教練、競技、遊戲等ニ就キ適宜之ヲ授クベシ

第十五條　教練科ハ意志ヲ練磨シ身體ヲ鍛錬シ堅忍剛毅ノ精神ト規律ヲ重ンジ協同ヲ尙ブノ習慣トヲ養フヲ以テ要旨トス

教練科ニ於テハ教練及體操ヲ授ケ尙土地ノ情況ニ依リ適宜武道及競技ヲ加フベシ

第十六條　普通學科ハ日常生活ニ須要ナル普通ノ知識技能ヲ增進シ一般的敎養ヲ高ムルヲ以テ要旨トス

普通學科ニ於テハ國語及國史ニ關スル事項ヲ授クルノ外地理、數學、理科、音樂等ニ關スル事項ニ就キ土地ノ情況ニ應ジテ適宜之ヲ授クベシ

第十七條　職業科ハ職業ニ須要ナル知識技能ヲ修練セシムルト共ニ職業ニ對スル趣味ト勤勞ヲ重ンズル習慣トヲ養ヒ兼ネテ職業生活ノ社會的意義ヲ體得セシムルヲ以テ要旨トス

職業科ニ於テハ農業、工業、商業、水產其ノ他ノ職業ノ中ニ就キ土地ノ情況ニ適切ナル事項ヲ授ケシメ特ニ遵法寒公ノ志念ヲ涵養シテ健全有爲ナル皇國臣民タラシメンコトヲ期シ實踐躬行ニ勉ムヲ以テ要旨トス

第十八條　教授及訓練ハ各科目相互ノ聯絡ヲ密接ニシ且各事項ノ綜合ニ留意シテ之ヲ爲スベシ

第十九條　青年訓練所ノ教授及訓練時數ハ左ノ時數以上ニ於テ土地ノ情況ニ依リ適宜之ヲ定ムベシ

科目	修身及公民科	體操科	教練科	普通學科	職業科	合計
普通科本科	五〇	一〇〇		三〇〇	二五〇	七〇〇
教授及訓練科目						
研究科	一〇〇		三五〇			四五〇

第二十條　現ニ學校ニ在學スル者若ハ相當ノ學力アリト認メタル者又ハ特別ノ事由アル者ニ對シテハ一部ノ教授及訓練科目ヲ課セザルコトヲ得

第二十一條　現ニ學校ニ在學シ朝鮮總督ニ於テ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムル課程ヲ修ムル者ハ青年訓練所ノ教授及訓練ヲ受クル者ト看做ス

第二十二條　青年訓練所ノ教授及訓練ハ土地ノ情況ニ應ジ適當ナル時刻及季節ニ於テ之ヲ行フベシ

第二十三條　青年訓練所ニ主事及指導員ヲ置キ主事ハ道知事ノ監督ヲ承ケ所務ヲ掌理シ指導員ハ主事ノ指揮ヲ受ケ教授及訓練ヲ擔當ス

第二十四條　公立青年訓練所ノ主事ハ實業補習學校長又ハ小學校長ヲ以テ之ニ充ツ

實業補習學校又ハ小學校ノ教員、在鄉軍人其ノ他適當ト認メタル者ニ道知事之ヲ囑託ス

私立青年訓練所ノ主事及指導員ハ設立者ニ於テ道知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムベシ

第二十五條　青年訓練所ニ於テハ生徒ヨリ費用ヲ徵收スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條　青年訓練所ハ第一號樣式ニ依ル學籍簿ヲ調製スベシ

第二十七條　青年訓練所ハ生徒ノ出席簿ヲ作リ其ノ出席缺席ヲ明ニスベシ

第二十八條　青年訓練所ハ生徒ヲシテ第二號樣式ニ依ル青年訓練手帳ヲ所持セシムベシ

第二十九條　主事ハ普通科ノ課程ヲ修了シタル者ニハ修了證ヲ、本科ノ課程ヲ卒業シタル者ニハ卒業證ヲ授與スベシ但シ本科ニ於テ訓練ヲ受クルコト概ネ四年ニシテ第十九條第一項ニ定メタル時數ノ訓練ヲ受ケタル後入營スル者ニ對シテハ卒業證ヲ授與スベシ

附　則

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル青年訓練所ハ本令ニ依リ設立シタル本科ノミヲ置ケル青年訓練所ト看做ス

在鄉軍人分會其ノ他朝鮮總督ノ適當ト認ムル團體ハ當分ノ間青年訓練所ヲ設立スルコトヲ得

中途退所年月日

免除科目	修身及公民科	體操	教練	普通學科	職業科

出席時數	科目	修身及公民科	體操	教練	普通學科	職業科	計
	第一年						
	第二年						
	第三年						
	第四年						
	計						

退所事由

備考

第二號樣式

一　手帳ノ大サ等ハ左ノ通トス

表裝ハ「布張」トシ水氣ニ堪ヘ且ツ汚損シ難キモノヲ用フルコト

表

青年訓練手帳

名氏

85mm

130mm

裏

二　卷頭ニハ敎育ニ關スル勅語ヲ奉記スルコト

三　青年訓練手帳ニ關スル心得トシテ左記事項及其ノ他必要ナル事項ヲ揭グルコト

青年訓練手帳ニ關スル心得

一　本手帳ハ青年訓練所ニ出席ノ際必ズ之ヲ携帶スベシ

二　本手帳ハ細心ノ注意ヲ以テ之ヲ取扱ヒ汚損又ハ紛失等ノコトナキヲ期スベシ

三　本手帳中在所關係欄、出席時數欄、身體情況欄、備考欄及證明書欄ハ青年訓練所ニ於テ夫夫記入證明ヲ受ケ其ノ他ノ各欄ハ青年訓練所生徒ニ於テ適宜之ヲ記入スベシ

四　轉所セントスルトキハ本手帳ヲ青年訓練所ニ提出シ出席時數其ノ他必要ナル事項ノ記入證明ヲ受ケ移轉先青年訓練所ニ之ヲ提示スベシ

五　徵兵檢査（海軍志願兵志願者ニ在リテハ徵募檢査）又ハ入營ノ際本手帳ヲ携行スベシ

四　修學情況其ノ他必要ナル事項ヲ記入スル爲左ノ各欄ヲ設ケルコト但シ各欄ノ紙數ハ適宜トスルコト

（一）

氏名及科	科	年月日生	本籍地
			現居住所
戶主及戶主トノ續柄			職業

現居住所及職業ノ異動

	年月日	
昭和	年	月 日
昭和	年	月 日
昭和	年	月 日
昭和	年	月 日
昭和	年	月 日
昭和	年	月 日

（二）

氏名及科	科	年月日生	原籍	
		現住所		職業
戶主トノ關係				

入所年月日	入所前ノ經歷	學歷
終了又ハ卒業年月日		其ノ他

（備考）
職業ハ自己ノ職業及履修関係等ヲ記入スルコト

(一)

| 青年訓練所入所前ノ經歷 | | |

(一)

氏名		年月日生	本籍地
戸主及戸主トノ續柄			現居住所
現居住所及職業ノ異動			職業
昭和　年　月　日			
昭和　年　月　日			
昭和　年　月　日			
昭和　年　月　日			
昭和　年　月　日			
昭和　年　月　日			
昭和　年　月　日			

(二)

青年訓練所入所前ノ經歷	
年　月　日	入學、卒業、就職、退職等
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	
年　月　日	

(備考)
職業ハ自己ノ營業及雇傭關係等ヲ記入スルコト

(三)

| 在所關係 | | |

令官ハ部下ニ非ザル將校ニ當該將校ノ在職スル部隊ノ長ト協議シ青年教練査閲官ヲ命ズルコトヲ得

第四條　青年學校ニ於ケル教練科ニ關スル査閲ハ聯隊區(朝鮮、臺灣、關東州、滿洲國又ハ支那ニ在リテハ兵役法施行規則第百八十一條ニ揭ゲル上欄ノ地域ニ從ヒ各其ノ下欄ノ師團長又ハ軍司令官ニ於テ適宜定ムル區域以下同シ)毎ニ若干名ノ青年教練査閲官ヲシテ分擔シテ之ヲ行ハシム

第五條　師團長又ハ軍司令官ハ當該師管(第十二師團長ニ在リテハ當該師管ニ上海、漢口ヲ加ヘタル地域、兵役法施行規則第百八十一條ニ揭ゲル下欄ノ師團長(第十二師團長ヲ除ク)又ハ軍司令官ニ在リテハ各其ノ上欄ニ揭ゲル地域以下同シ)内ニ於ケル教練科ニ關スル査閲ヲ指揮監督ス

第六條　師團長又ハ軍司令官ハ教練科ニ關スル査閲ニ關シ査閲ノ要領其ノ他必要ナル事項ヲ青年教練査閲官ニ指示スベシ

第七條　教練科ニ關スル査閲ハ各青年學校ニ付二年以内ニ少クトモ一回之ヲ行フヲ例トス

第八條　師團長又ハ軍司令官ハ教練科ニ關スル査閲ノ時期ニ關係ノ地方長官(朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ朝鮮總督、關東州ニ在リテハ關東州廳長官、南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ滿洲國駐劄特命全權大使、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、滿洲國(南滿洲鐵道附屬地ヲ含マズ)及支那ニ在リテハ領事官(明治三十二年法律第七十號第十九條ニ規定スル領事官ヲ謂フ)以下同シ)ト協議スベシ

師團長(第十九、第二十師團長ヲ除ク)ハ前項ノ協議ノ結果及青年教練査閲官ノ官氏名ヲ聯隊區司令官ニ通知スベシ

第九條　聯隊區司令官ハ第十九、第二十師團長又ハ軍司令官ノ青年教練査閲日割表ノ調製及査閲場ノ選定ニ關シ要スレバ支廳長、管理者、學校長、設置者、道知事、州知事又ハ廳長ト協議スベシ

第十條　聯隊區司令官ハ青年教練査閲官ノ擔任スベキ青年學校、査閲ノ場所及査閲日割ヲ定メテ査閲ノ日ヨリ概ネ二十日前ニ之ヲ地方長官、道知事、州知事、廳長及青年教練査閲官ニ通知スベシ但シ聯隊區司令官ニ在リテハ該通知前豫メ師團長ノ認可ヲ受クルモノトス

第十一條　師團長又ハ軍司令官ハ豫メ聯隊區毎ニ分チタル青年教練査閲日割表ヲ聯隊區司令官ニ報告スベシ

第十二條　青年教練査閲官教練科ニ關スル査閲ヲ爲シタルトキハ當該青年學校ノ管理者(道府縣立學校ニ在リテハ設置者又ハ其ノ代表者)立會ノ上學校長(道府縣立學校ノ學校長ヲ除ク)又ハ青年訓練所主事並ニ教練科ヲ擔任スル教員、助教諭及指導員ニ對シ所見ヲ開示スベシ

第十三條　青年教練査閲官ハ査閲ノ結果ニ基キ其ノ全般及各青年學校ノ教練科ニ付左ノ事項ヲ記載シタル報告書ニ通ヲ調製シ査閲終了後二十日以内ニ師團長又ハ軍司令官ニ提出スベシ

一　教練科成績ノ概要
二　査閲ノ結果ニ付開示シタル所見ノ要旨
三　將來ニ關スル意見
四　其ノ他必要ト認ムル事項

第十四條　師團長又ハ軍司令官ハ前條ノ報告書ノ内一通ヲ當該青年學校所管ノ地方長官、道知事、州知事及廳長ニ送付シ師團長(第十九、第二十師團長ヲ除ク)ニ在リテハ他ノ一通ヲ當該青年學校所在地ノ聯隊區司令官ニ交付スベシ

第十五條　師團長又ハ軍司令官ハ毎年左ノ事項ヲ記載シタル管内青年教練査閲報告書ヲ調製シ五月十日迄ニ陸軍大臣ニ提出スベシ

一　第六條ノ規定ニ依リ指示シタル査閲ノ要領其ノ他ノ事項
二　教練科一般ノ成績
三　將來ニ關スル意見

●青年學校課程修得者檢定規程

昭和十年十一月
陸令第二十三號

青年學校課程修得者檢定規程左ノ通定ム

青年學校ノ課程(昭和十年勅令第　號ニ依リ青年學校ノ課程ト同等以上ト認ムル課程ヲ含ム以下之ニ同シ)ヲ修メ兵役法施行規則第五十二條ノ三ニ規定スル證明書(學校教練檢定合格證明書ヲ除ク)ヲ有スル者現役歩兵トシテ各師團(臺灣軍ヲ含ム以下之ニ同シ)ノ歩兵聯隊ニ入營シタルトキハ入營後成ルベク速ニ所屬中隊長(中隊長ニ準ズル部隊長ヲ含ム以下之ニ同シ)ニ於テ檢定ヲ行ヒ其ノ結果ニ付聯隊長ノ認可ヲ受ケ合否ノ決定スベシ

學校教練檢定規程第五條第一項ニ規定スル教練檢定合格證明書ヲ有スル者ハ前項ニ規定スル檢定ニ合格シタルモノト看做ス

第二條　師團長(臺灣軍ニ在リテハ軍司令官以下之ニ同シ)ハ前條ニ規定スル檢定ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ豫メ歩兵聯隊長ニ指示スルコトヲ得

第三條　歩兵聯隊長ハ各中隊(中隊ニ準ズル部隊ヲ含ム)ニ於ケル檢定實施ノ統一ヲ爲ス必要ナル處置ヲ講ズベシ

第四條　歩兵聯隊長ハ檢定實施ノ期日ヲ定メ其ノ期日ノ概ネ二十日前迄ニ到著スル如ク師團長ニ報告シ師團長ハ之ヲ取纏メ檢定實施期日ノ概ネ十日前迄ニ陸軍大臣ニ報告スベシ

第五條　檢定合否ノ決定ニ當リテハ一般ニ受檢者ノ德性ニ重キヲ置キ尚之ニ教練ノ成績ヲ參酌スベシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ合格ト爲スコトヲ得ズ

一　青年學校ノ課程ヲ修メタル間ノ德性及入營後ノ狀況ニ依リ將來進歩ノ見込ナシト認メタル者
二　教練ノ成績不良ナル者

中隊長檢定ノ合否ヲ決定シタルトキハ之ヲ本人ニ通告スベシ

第六條　檢定ノ課目ハ概ネ左ノ各號ニ依リ其ノ程度ハ附表ニ依ル

一　教練ニ關スル試問應答但シ必要ニ應ジテ一部ヲ筆記答解セシムルコトヲ得

第七條　歩兵聯隊長ハ毎年初年兵入營後五十日以内ニ左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ師團ノ關係聯隊區司令官ニ提出シ且同一ノ事項ヲ關係聯隊長ニ通知スベシ

一　檢定ノ方法
二　青年學校課程修得者檢定調査表(附錄第一樣式)
三　青年學校課程修得者檢定結果表(附錄第二樣式)
四　將來ニ關スル意見
五　其ノ他必要ト認ムル事項

第八條　師團長ハ毎年初年兵入營後七十日以内ニ到著スル如ク左ノ事項ヲ記載シタル檢定報告書ヲ調製シテ陸軍大臣ニ提出シ且前條ノ檢定結果表ヲ關係ノ地方長官又ハ樺太廳長官ニ送付スベシ

一　第二條ノ規定ニ依リ指示シタル事項
二　前條ノ規定ニ依リ檢定ニ關シ各聯隊長ヨリ提出シタル報告書(檢定結果表ヲ除ク)
三　將來ニ關スル意見
四　其ノ他必要ト認ムル事項

第九條　本規程ニ爲ス歩兵隊ニ召集セラレタル者ニシテ第一條第一項ノ證明書ヲ有スルモノニ之ヲ準用ス

第十條　各師團ノ歩兵聯隊ニ入營シタル歩兵、衛生部兵及輜重兵特務兵以外ノ陸軍兵トシテ徵集セラレタル者ニシテ第一條第一項ノ證明書ヲ有スルモノニ付テハ同條ニ規

定スル檢定ニ合格シタル者ト看做ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

學校教練及青年訓練修了者檢定規程第二章ノ規定ニ依リ檢定ヲ受ケ合格シタル者ハ本規程ニ依リ檢定ヲ受ケ合格シタルモノト看做ス

附錄第一樣式

教練課度表

教材	程度
各個教練	一　各個教練ハ略完全ニ修得シ居ルコト
	二　射擊ノ姿勢ハ徒手又ハ執銃ニ於ケル各種ノ姿勢ヲ略完全ニ、据銃、照準、擊發ハ其ノ概要ヲ修得シ居ルコト
部隊教練	三　部隊教練ハ密集ノ動作ニ付分隊、小隊教練共略確實ニ、疎開ノ動作ニ付分隊教練ハ略確實ニ、小隊教練ハ其ノ概要ヲ會得シ居ルコト
陣中勤務	四　陣中勤務ハ捜索及警戒ニ關シ斥候及複哨動作ニ付其ノ概要ヲ、距離測量ニ關シ歩測及目測ノ要領ヲ略正確ニ、救急法ニ關シ應急ノ處置ニ付其ノ概要ヲ、其ノ他ハ各個ノ動作ヲ會得シ居ルコト
軍事講話	五　軍事講話ハ平時團隊ノ配置、各兵科ノ性能、武官ノ階級、軍隊生活、服役ノ大意、典令綱中必要ノ事項等ニ付其ノ概要ヲ會得シ居ルコト
體操	六　體操ハ基本體操ニ付略完全ニ、其ノ他ハ概要ヲ會得シ居ルコト

備考	教材ハ青年學校教練科教材配當及進度參考表中ノ教材ヲ標準トス

青年學校課程修得者檢定調査表　　歩兵第　聯隊

(イ)	第一條ニ規定スル檢定ヲ受ケタル者	(イ)	學校教練檢定合格證明書ヲ有スル者	(ホ) 青年學校ノ課程ヲ修メタル者
				(ヘ) 青年學校ノ課程ヲ修メタル證明書ヲ有スル者
		(ロ)	不合格者	
	檢定當時在營初年兵總人員		合格者	摘要

入營總人員	檢定人員	檢定合格人員	檢定不合格人員

（何府縣ノ分）　　歩兵第　聯隊

註記

本表ハ入營者ノ本籍ニ付府縣毎ノ人員ヲ計上スルモノトス

附錄第二樣式

青年學校課程修得者檢定結果表

年學校ノ課程	七　現役將校ヲ配屬セシタル學校ノ課程
	八　現役將校ヲ配屬セザル官立又ハ公立ノ商船專門學校及商船學校ノ課程
	九　陸軍大臣及文部大臣ニ於テ指定シタル學校ノ課程

第二條　前條各號ニ揭ゲル課程中地方長官、朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使、關東州廳長官又ハ樺太廳長官ニ於テ認定シタルモノハ其ノ認定ニ關シ課程ノ認定ヲ受ケタル學校所在地所管ノ師團長、臺灣軍司令官又ハ關東軍司令官ニ協議シタルモノタルベシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

青年學校令施行前ニ於テ青年訓練所規程第八條ノ規定ニ依リ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認メラレタル課程ハ之ヲ本令第一條第一號ニ揭ゲル課程ト看做ス

昭和三年勅令第　號ヲ以テ左ノ通改正ス

●兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定

昭和十年六月
陸令第一號

改正　昭和一〇年八月第二號

兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　左ノ各號ニ揭ゲルモノハ青年學校ノ課程ト同等以上ト認ムル課程トス

一　地方長官ニ於テ青年學校ノ課程ト同等以上ノ課程ト認メタル課程

二　昭和四年朝鮮總督府令第八十九號青年訓練所規程ニ依ル青年訓練所ノ課程(同規程第十三條第二項ノ規定ニ依ルモノヲ除ク)及同規程第十五條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ於テ之ト同等以上ト認メタル課程

三　昭和六年臺灣總督府令第七十三號ニ依ル公立ノ青年訓練施設ノ課程及臺灣總督ニ於テ之ト同等以上ト認メタル課程

四　長官ニ於テ昭和十年勅令第九十一號ニ依ル青年學校ノ課程ト同等以上ト認メタル課程

五　樺太青年訓練所規程ニ依ル青年訓練所ノ課程及同規程第九條ノ規定ニ依リ樺太廳長官ニ於テ之ト同等以上ト認メタル課程

六　昭和十年外務省令第七號ニ依ル在外青

●兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依ル認定

昭和九年十月
陸文告第九號

改正　昭和一〇年陸文告示第一號

昭和十年陸文告示第一號ヲ左ノ通改正ス

註記

一　隊附看護兵ハ本表ヨリ除クモノトス

二　不合格者ニ付テハ其ノ事由ヲ總括シテ摘要欄ニ記入スルモノトス

兵役法施行令第三十一條第三項ノ規定ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ青年訓練所ノ訓練ヲ修了シタル者ト認定ス

一　畢業小學校卒業程度ヲ入學資格トスル修業年限三年以上ノ實業學校（實業補習學校ヲ除ク）又ハ之ト同等以上ノ學校ノ課程ニシテ青年訓練所規程第六條ニ必要ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授ケ特ニ訓育ト聯絡ニ留意シ皇國精神ノ陶冶ニ力ムベシ

二　前號ニ掲ゲル學校以外ノ學校ノ課程ニシテ青年訓練所規程第八條、昭和四年朝鮮總督府令第八十九號青年訓練所規程第十五條、關東州及南滿洲鐵道附屬地青年訓練所規則第八條又ハ樺太青年訓練所規程第九條ノ規定ニ依リ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認メラレタルモノヲ青年訓練所ノ訓練ヲ受ケルコトヲ得ル年齢ニ於テ四年間修メ其ノ證明書ヲ有スル者

三　昭和四年朝鮮總督府令第八十九號青年訓練所規程ニ依ル青年訓練所ノ課程（同規程第十三條第二項ノ規定ニ依ルモノヲ除ク）又ハ樺太青年訓練所規程ニ依ル青年訓練所ノ課程ヲ修了シ其ノ修了證ヲ有スル者

四　慈濟ニ於テ青年訓練所令及青年訓練所規程ノ定ムル所ニ準ジ設立スル訓練所ニシテ慈濟總督ニ於テ其ノ課程ヲ青年訓練所ノ課程ト同等以上ト認ムルモノノ課程ヲ修了シ其ノ修了證ヲ有スル者

五　現役將校ヲ配屬シタル陸軍小學校卒業程度ヲ入學資格トスル學校ノ第四學年（高等小學校第二學年修了程度ヲ入學資格トスル學校ノ第二學年修了程度ヲ入學資格トスル學校ニ在リテハ第二學年其ノ他之ニ準ズ）程度以上ノ教練ヲ修メ其ノ證明書ヲ有スル者

六　年齢十四歳以上青年訓練所ノ訓練ヲ受クルコトヲ得ル最高年齢迄ニ於テ第一號ニ掲ゲル課程ヲ修メタル期間、青年訓練所ノ訓練ヲ受ケシタル者ト認定ス

第六條　衛科ハ體操、教練、武道其ノ他軍隊ニ必要ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授ケ特ニ訓育ノ聯絡ニ留意シ皇國精神ノ陶冶ニ力ムベシ

第七條　志願者訓練所ノ入所期ハ毎年概ネ六月及十二月トス

第八條　休業日ハ左ノ如シ

一月一日及昭和二年勅令第二十五號ニ依リ休日ト定メラレタル祭日、祝日

日曜日

朝鮮總督府始政記念日

特別ノ事情アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲナスコトヲ得

第九條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ親賀ノ式ヲ行フベシ

第十條　志願者訓練所生徒ハ之ヲ所内ニ宿泊セシムベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ志願者訓練所長ハ願ニ依リ所外ノ宿泊ヲ許可スルコトヲ得

第十一條　志願者訓練所生徒ニハ糧食ヲ給シ被服ヲ貸與ス

第十二條　志願者訓練所生徒トシテ入所ヲ命セラレタル者ハ父兄又ハ親族ノ中ヨリ本人ノ身上ニ關シ一切ノ事項ヲ引受クルニ足ルベキ保證人ヲ定メ入所ノ際保證書（樣式第一號）及誓約（樣式第二號）ヲ差出スベシ

第十三條　志願者訓練所長ハ生徒ニシテ所規ニ違ヒ風紀ヲ紊シ其ノ他生徒タルノ本分ニ背戻シタルモノニ對シテハ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退所ヲ命ズベシ

一　志操中正ヲ缺キ又ハ品行不良若ハ怠慢ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セザル者

二　學科及術科ノ成績不良ニシテ課程ヲ修了スル見込ナキ者

三　疾病其ノ他身體又ハ精神ノ異常ニ因リ兵トシテノ役務ニ堪ヘズト認ムル者

四　陸軍特別志願兵令施行規則第十條ノ規定ニ依リ兵役免除ノ處分アリタル者

五　前各號ニ掲ゲル者ノ外志願兵タルニ適セズト認ムル者

志願者訓練所長生徒ニ退所ヲ命ズル場合ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十五條　退所ヲ命セラレタル者ニ對シテハ在所中要シタル食費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ一部若ハ全部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

食費ハ一箇月十四ノ割合ニ依リ之ヲ算定ス

第十六條　志願者訓練所生徒ハ自己ノ便宜ニ依リ退所スルコトヲ得ズ

第十七條　訓練ヲ修了シタリト認ムル者ニハ修了證書ヲ授與スベシ但シ必要ト認ムル者ニ對シテハ次期一定ノ期間訓練ノ上其ノ成績ヲ考査シ修了證書ヲ授與スルコトアルベシ

訓練成績優良ナル者ニ對シテハ優良證書ヲ授與スルコトヲ得

第十八條　志願者訓練所生徒ニハ訓練手牒（樣式第三號）ヲ所持セシムベシ

第十九條　志願者訓練所長ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ生徒ノ訓練上必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十三年四月三日ヨリ之ヲ施行ス

樣式第一號

保證書

本籍　氏　生年月日　名

右者今般貴所ヘ入所許可相成候ニ付テハ在所中本人身上ニ關スル一切ノ事項ハ勿論本人ニ於テ朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所規程第十五條ノ規定ニ依ル償還義務ヲ履行シ能ハザル場合ハ拙者ニ引受ケ處辨可仕候仍テ證書差出候也

年　月　日

本籍
住所

第十三款　朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所

●朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所規程

昭和十三年四月
總令第七十號

朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所規程左ノ通定ム

第一條　朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所（以下單ニ志願者訓練所ト稱ス）ニ入所セシムベキ者ハ戶籍法ノ適用ヲ受ケザル年齢十七年以上ノ帝國臣民タル男子ニシテ陸軍ノ兵役ニ服スルコトヲ志願スルモノノ中ヨリ別ニ定ムル所ニ依リ銓衡ノ上之ヲ採用ス

前項ニ規定スル年齢ハ志願ノ年ノ十二月一日ニ於ケル年齢トス

第二條　志願者訓練所ニ於ケル訓練項目ハ訓育、普通學科及術科トス

第三條　志願者訓練所ニ於テハ教育ニ關スル勅語並ニ軍人ニ賜リタル勅諭ノ趣旨ニ基キ皇國精神ヲ涵養シ之ヲ實踐躬行ニ導クヲ以テ要旨トス

訓育ハ特ニ國體觀念ヲ明徵ナラシメ皇國臣民トシテノ資質ヲ完カラシムルニ必要ナル事項ニ留意シテ之ヲ授ケシムベシ

第四條　訓育ハ教育ニ關スル勅語並ニ軍人ニ賜リタル勅諭ノ趣旨ニ基キ皇國精神ヲ涵養シ之ヲ實踐躬行ニ導クヲ以テ要旨トス

普通學科ハ國語、國史、地理、數學、理科等ニ關スル事項ニ付高等小學校ノ程度ヲ基準トシ實際生活及軍隊生活ニ必要ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授ケ特ニ訓育トノ聯絡ニ留意シ皇國精神ノ陶冶ニ力ムベシ

第五條　術科ハ體操、教練、武道其ノ他軍隊ニ必要ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授ケ特ニ訓育ノ聯絡ニ留意シ皇國精神ノ陶冶ニ力ムベシ

第六條　衛科ハ體操、教練、武道其ノ他軍隊ニ必要ナル事項ヲ選ビテ之ヲ授ケ特ニ訓育ノ聯絡ニ留意シ皇國精神ノ陶冶ニ力ムベシ

第七條　志願者訓練所ノ入所期ハ毎年概ネ六月及十二月トス

第八條　休業日ハ左ノ如シ

一月一日及昭和二年勅令第二十五號ニ依リ休日ト定メラレタル祭日、祝日

日曜日

朝鮮總督府始政記念日

特別ノ事情アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲナスコトヲ得

第九條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ニハ親賀ノ式ヲ行フベシ

第十條　志願者訓練所生徒ハ之ヲ所内ニ宿泊セシムベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ志願者訓練所長ハ願ニ依リ所外ノ宿泊ヲ許可スルコトヲ得

第十一條　志願者訓練所生徒ニハ糧食ヲ給シ被服ヲ貸與ス

第十二條　志願者訓練所生徒トシテ入所ヲ命セラレタル者ハ父兄又ハ親族ノ中ヨリ本人ノ身上ニ關シ一切ノ事項ヲ引受クルニ足ルベキ保證人ヲ定メ入所ノ際保證書（樣式第一號）及誓約（樣式第二號）ヲ差出スベシ

第十三條　志願者訓練所長ハ生徒ニシテ所規ニ違ヒ風紀ヲ紊シ其ノ他生徒タルノ本分ニ背戻シタルモノニ對シテハ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退所ヲ命ズベシ

一　志操中正ヲ缺キ又ハ品行不良若ハ怠慢ニシテ訓戒ヲ加フルモ改悛セザル者

二　學科及術科ノ成績不良ニシテ課程ヲ修了スル見込ナキ者

三　疾病其ノ他身體又ハ精神ノ異常ニ因リ兵トシテノ役務ニ堪ヘズト認ムル者

四　陸軍特別志願兵令施行規則第十條ノ規定ニ依リ兵役免除ノ處分アリタル者

五　前各號ニ掲ゲル者ノ外志願兵タルニ適セズト認ムル者

志願者訓練所長生徒ニ退所ヲ命ズル場合ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十五條　退所ヲ命セラレタル者ニ對シテハ在所中要シタル食費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ其ノ一部若ハ全部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

食費ハ一箇月十四ノ割合ニ依リ之ヲ算定ス

第十六條　志願者訓練所生徒ハ自己ノ便宜ニ依リ退所スルコトヲ得ズ

第十七條　訓練ヲ修了シタリト認ムル者ニハ修了證書ヲ授與スル但シ必要ト認ムル者ニ對シテハ次期一定ノ期間訓練ノ上其ノ成績ヲ考査シ修了證書ヲ授與スルコトアルベシ

訓練成績優良ナル者ニ對シテハ優良證書ヲ授與スルコトヲ得

第十八條　志願者訓練所生徒ニハ訓練手牒（樣式第三號）ヲ所持セシムベシ

第十九條　志願者訓練所長ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ生徒ノ訓練上必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十三年四月三日ヨリ之ヲ施行ス

樣式第一號

保證書

本籍　氏　生年月日　名

右者今般貴所ヘ入所許可相成候ニ付テハ在所中本人身上ニ關スル一切ノ事項ハ勿論本人ニ於テ朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所規程第十五條ノ規定ニ依ル償還義務ヲ履行シ能ハザル場合ハ拙者ニ引受ケ處辨可仕候仍テ證書差出候也

年　月　日

本籍
住所

（裏）

保證人　本人トノ關係　氏　名㊞

朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所長殿

樣式第二號

誓　書

今般朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所生徒トシテ採用セラレ入所スルニ當リ訓練所諸規則ヲ嚴守スルハ勿論左記條條堅ク相守リ誓テ違反仕間敷候事

一　誠心ヲ本トシ忠節ヲ盡シ專心訓練ニ勉勵スベキコト

一　長上ニ敬禮ヲ盡シ等輩ニ信義ヲ致シ相暴餘做ノ所爲アルベカラザル事

一　長上ノ命令ハ共事ノ如何ヲ問ハズ直ニ服從スベキ事

一　言行ヲ愼ミ質素ヲ尙ブベキ事

一　名譽アル陸軍軍籍ニ加ハルベキ光榮ヲ感ジ苟クモ體面ヲ汚損スルガ如キ所爲アルマジキ事

右宣誓如件

年　月　日　氏　名捺印

朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所長殿

樣式第三號

訓練手牒

一　手牒ノ大サ型式ハ左ノ通トシ表紙及裏表紙共「褐色」布張トス

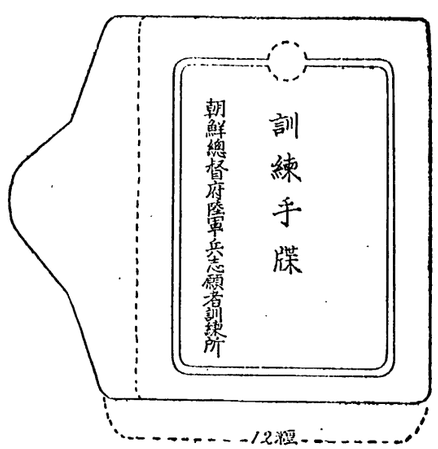
（表）

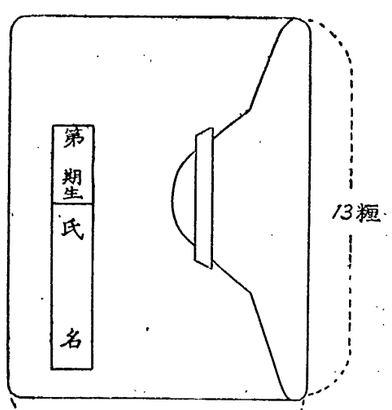
訓練手牒

朝鮮總督府陸軍兵志願者訓練所

（裏）

（注意）（表）點線四ノ位置ニ帽章ヲ附ス





一　寫紙一枚ヲ貼キ第一丁ヨリ勅語（明治二十三年十月三十日教育ニ關スル勅語）
勅諭（明治十五年一月四日軍人ニ賜リタル勅諭）
勅諭（大正元年七月三十一日下賜）
勅諭（昭和元年十二月二十七日下賜）
詔書（大正九年一月十三日下賜）
詔書（大正十二年十一月十日國民精神作興ニ關スル詔書）
以下ヲ寒載ス

二　皇國臣民ノ誓詞
生徒宣誓文五綱目
以上ノ揭載ス

三　次ニ生徒取扱上ノ心得、生徒氏名、入所前略歷、褒賞、善行、個科、學科成績表、術科成績表及缺勤表ノ各欄ヲ設クベシ

四　◎手牒取扱上ノ心得
一　訓練手牒ハ軍人ハ勿論一般國民ノ常ニ服膺スベキ勅語、勅諭、詔書ヲ奉載シ生徒ニシテ胸底ニ銘刻スベキ誓詞誓文其他訓練ニ關スル重要事項ヲ揭記シ又ハ記入スルモノナレバ最モ丁寧ニ所持シ破損セザル樣細心注意スベキコト

二　生徒ハ每朝此ノ手牒ヲ取出シ勅語、勅諭、詔書ヲ捧拜シ皇國臣民ノ誓詞及生徒宣誓文五綱目ヲ誦スベキコト

每日曜日朝ニハ勅語、勅諭、詔書ヲ東方ニ向ヒ必ズ捧讀スベキコト

三　此ノ手牒ハ自ラ保管ノ責アリ重大ナル過失若ハ故意ニ之ヲ破損紛失シタルモノアリタルトキハ之ヲ賠償セシムルノミナラズ懲罰ニ處スベキコト

四　生徒ハ此ノ手牒ヲ常ニ所持シ長上ノ求メアリタルトキハ直ニ呈示スベキコト

五　此ノ手牒ハ學科及術科ノ成績表、缺勤表竝ニ個科ノ外ハ生徒ニ於テ適宜記入スベキコト

(一)

表式、兵、身体、行、面、外、欄	入所前略歴欄
歴 略 歴 所 入	

(二)

品	別	貸	年誕	男	医術免許
他其	官	有		昭和	
賞	特志	学	生	氏	
賞	所住	学	身	名	
俸	分	学	年 月 日	死	
給	加	学			
号	級	学			

7.5糎

(三)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四)

各学部教務	中等学校	官立高等学校	官立専門学校	官立師範学校	官立諸学校	官立大学	官吏	軍人	表績成科修
									要
									日
									月
									及
									日
									月
									賞与
									評点

(五)

以上各欄ノ外生徒ニ於テ適宜必要ト認ムル事項ヲ記入スベキモノトス	六　各欄ノ記式左ノ如シ

(六)

表		績	成	科	修
操行	体操	武道	要		
			日		
			月		
			及		
			日		
			月		
			賞与		
			評点		

(七)

表績成科修	要	各学部教務	中等学校	官立高等学校	官立専門学校	官立師範学校	官立諸学校	官立大学	官吏	軍人
操行	日									
体操	月									
武道	及									
学科	日									
学科	月									
学科	賞与									
学科	評点									

(八)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(九)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十一)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十二)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十三)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十四)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十五)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十六)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十七)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十八)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(十九)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二十)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二一)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二二)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二三)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二四)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二五)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二六)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二七)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二八)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(二九)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三〇)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三一)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三二)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三三)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三四)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三五)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三六)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三七)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三八)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(三九)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四〇)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四一)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四二)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四三)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四四)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四五)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四六)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四七)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四八)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(四九)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五〇)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五一)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五二)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五三)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五四)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五五)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五六)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五七)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五八)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(五九)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六〇)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六一)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六二)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六三)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六四)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六五)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六六)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六七)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六八)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(六九)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(七〇)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(七一)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

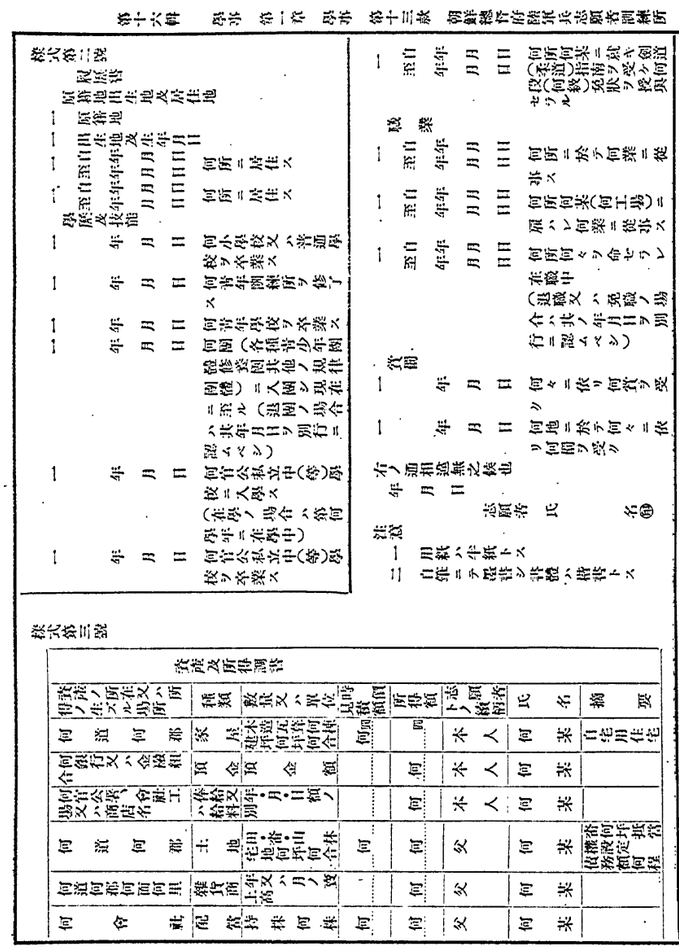
表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	
			日	
			月	
			及	
			日	
			月	
			賞与	
			評点	

(七二)

学科成績表	
科目	学
学科	学
国語	学
国史	学
地理	学
数学	学
理科	学

表	績	成	科	修
操行	体操	武道	要	

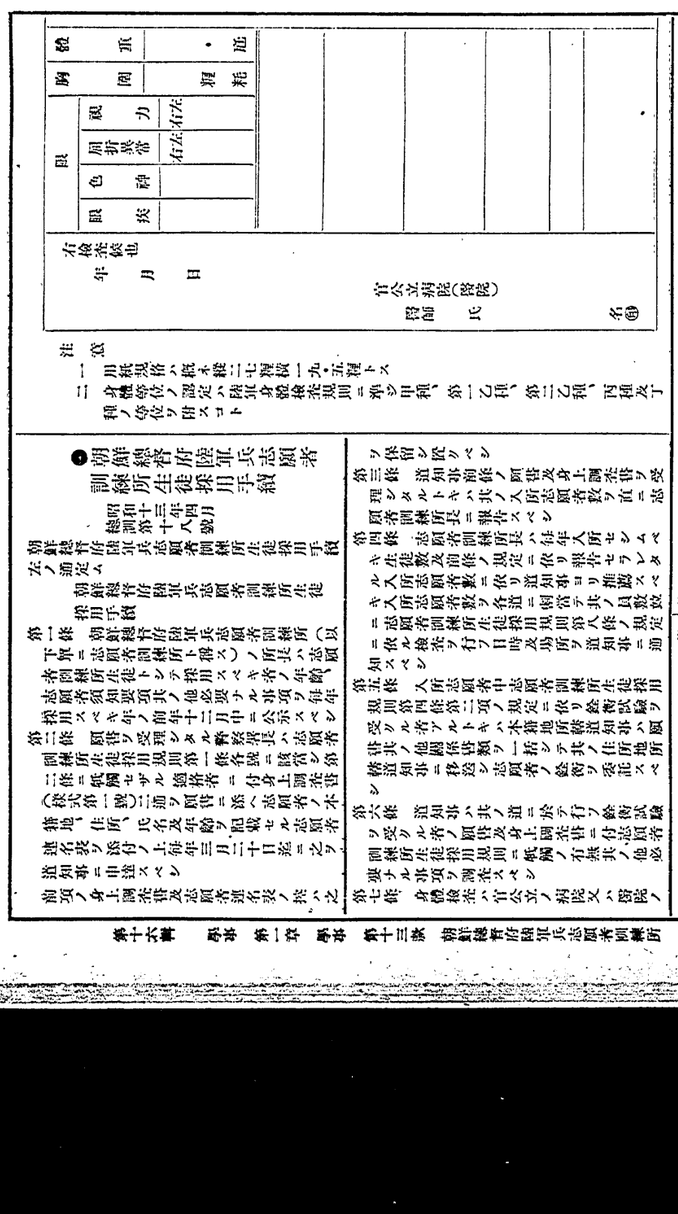
様式第三號



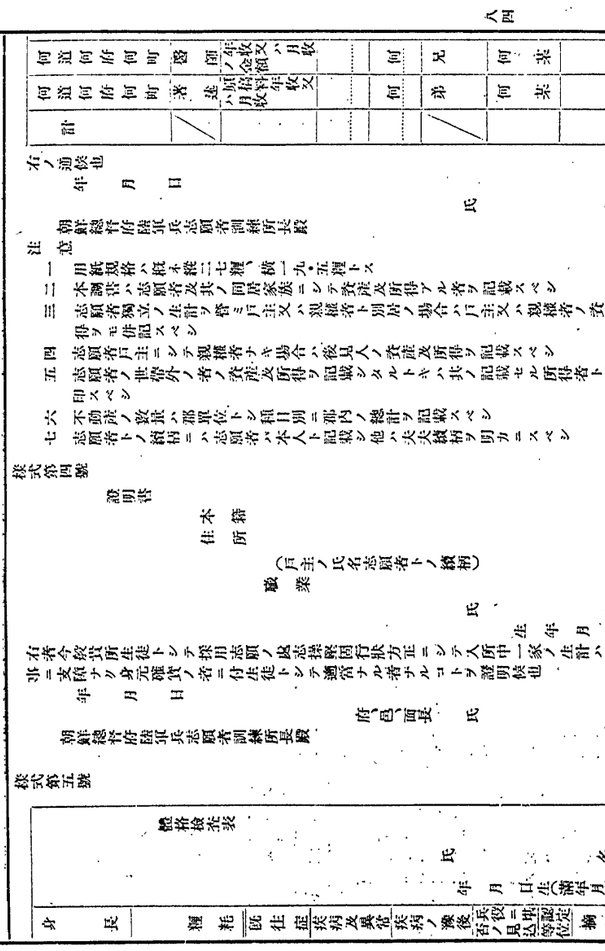
様式第四號

様式第五號

様式第一號



様式第二號



様式第三號

様式第四號

様式第五號

第二章　養成所講習

第一節　道立農業講習所規程

第一款　道立農業講習所

●道立農業講習所規程

昭和五年四月一日　樺太令第四号

（趣旨）

第一条　樺太ニ於ケル農業ニ関スル講習ハ本令ノ定ムル所ニ依リ道立農業講習所ニ於テ之ヲ行フ

（講習ノ種別）

第二条　講習ハ之ヲ分チテ左ノ二種トス

一　農業者ニ対スル講習

二　農業者ノ子弟ニ対スル講習

（講習ノ期間）

第三条　講習ノ期間ハ左ノ通リトス

一　農業者ニ対スル講習ハ一年以内ニ於テ之ヲ定ム

二　農業者ノ子弟ニ対スル講習ハ一年ヲ超エザル期間ニ於テ之ヲ定ム

（入所資格）

第四条　講習ニ入所スルコトヲ得ル者ハ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ニ限ル

一　農業者ニ対スル講習ニ入所スル者ハ年齢十七年以上ニシテ農業ニ従事スル者

二　農業者ノ子弟ニ対スル講習ニ入所スル者ハ年齢十五年以上ニシテ尋常小学校ノ課程ヲ卒リタル者

（入所手続）

第五条　入所ヲ願ヒ出ツル者ハ入所願書ニ履歴書ヲ添ヘ毎年三月三十一日迄ニ之ヲ提出スベシ

（入所ノ許否）

第六条　入所ノ許否ハ選考ノ上之ヲ定ム

（入所ノ時期）

第七条　入所ノ時期ハ毎年四月一日トス

（入所ノ制限）

第八条　入所ノ定員ハ毎年之ヲ定ム

（学費）

第九条　学費ハ之ヲ徴収セズ

（寄宿）

第十条　寄宿ヲ許可シタル者ニ対シテハ寄宿料ヲ徴収ス

（退所）

第十一条　左ノ各号ノ一ニ該当スル者ハ退所ヲ命ズ

一　正当ノ理由ナクシテ出席常ナラザル者

二　学業ノ成績不良ト認メラルル者

三　性行不良ト認メラルル者

四　疾病ニ罹リ又ハ身体虚弱ニシテ修業ニ堪ヘザル者

五　其ノ他講習ノ目的ヲ達シ難キ事由アル者

（修了）

第十二条　講習ヲ修了シタル者ニハ修了証書ヲ授与ス

（講習科目）

第十三条　講習科目ハ左ノ通リトス

一　農業者ニ対スル講習

修身、農業及農業経営ニ関スル事項、農業ニ関スル法規、農業ニ関スル簿記、農業ニ関スル調査及実習、農業ニ関スル実験、農業ニ関スル実地見学、農業ニ関スル講話、体操

二　農業者ノ子弟ニ対スル講習

修身、国語、算術、地理、歴史、理科、農業ニ関スル事項、農業ニ関スル実習、体操

（教育ノ方法）

第十四条　教育ハ本所ノ教職員之ヲ担任シ講義、討論、実習、実験、見学等ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

（教科書）

第十五条　教科書ハ本所ニ於テ之ヲ定ム

（講習ノ期間）

第十六条　講習ノ期間ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

（休業）

第十七条　休業ハ左ノ通リトス

一　夏季休業　七月二十日ヨリ八月十日迄

二　冬季休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月五日迄

（学則）

第十八条　本令ニ規定スルモノノ外本所ノ学則ハ長官之ヲ定ム

（準用）

第十九条　樺太公立学校教員養成所規程ノ規定ハ本所ニ之ヲ準用ス

（施行期日）

第二十条　本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●水原高等農林学校附属農業教員養成所規程

昭和五年勅令第十七号

（目的）

第一条　水原高等農林学校附属農業教員養成所ハ農業教員ニ必要ナル学術技芸ヲ教授シ且ツ其ノ人物ヲ陶冶スルヲ以テ目的トス

（修業年限）

第二条　修業年限ハ一年トス

（入所資格）

第三条　入所スルコトヲ得ル者ハ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ニ限ル

一　農業ニ従事スル者ニシテ年齢十七年以上ノ者

二　農業学校ヲ卒業シタル者

三　前二号ニ掲ゲタル者ト同等以上ノ学力ヲ有スル者ト認メラルル者

（入所願書）

第四条　入所ヲ願ヒ出ツル者ハ入所願書ニ履歴書ヲ添ヘ毎年三月三十一日迄ニ之ヲ提出スベシ

（入所ノ許否）

第五条　入所ノ許否ハ選考ノ上之ヲ定ム

（入所ノ時期）

第六条　入所ノ時期ハ毎年四月一日トス

（入所ノ制限）

第七条　入所ノ定員ハ毎年之ヲ定ム

（学費）

第八条　学費ハ之ヲ徴収セズ

（寄宿）

第九条　寄宿ヲ許可シタル者ニ対シテハ寄宿料ヲ徴収ス

（退所）

第十条　左ノ各号ノ一ニ該当スル者ハ退所ヲ命ズ

一　正当ノ理由ナクシテ出席常ナラザル者

二　学業ノ成績不良ト認メラルル者

三　性行不良ト認メラルル者

四　疾病ニ罹リ又ハ身体虚弱ニシテ修業ニ堪ヘザル者

五　其ノ他講習ノ目的ヲ達シ難キ事由アル者

（修了）

第十一条　講習ヲ修了シタル者ニハ修了証書ヲ授与ス

（講習科目）

第十二条　講習科目ハ左ノ通リトス

一　農業者ニ対スル講習

修身、農業及農業経営ニ関スル事項、農業ニ関スル法規、農業ニ関スル簿記、農業ニ関スル実習、農業ニ関スル実験、農業ニ関スル実地見学、農業ニ関スル講話、体操

二　農業者ノ子弟ニ対スル講習

修身、国語、算術、地理、歴史、理科、農業ニ関スル事項、農業ニ関スル実習、体操

（教育ノ方法）

第十三条　教育ハ本所ノ教職員之ヲ担任シ講義、討論、実習、実験、見学等ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

（教科書）

第十四条　教科書ハ本所ニ於テ之ヲ定ム

（講習ノ期間）

第十五条　講習ノ期間ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

（休業）

第十六条　休業ハ左ノ通リトス

一　夏季休業　七月二十日ヨリ八月十日迄

二　冬季休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月五日迄

（学則）

第十七条　本令ニ規定スルモノノ外本所ノ学則ハ長官之ヲ定ム

（準用）

第十八条　樺太公立学校教員養成所規程ノ規定ハ本所ニ之ヲ準用ス

（施行期日）

第十九条　本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一章　学事

第一節　道立

第一款　道立

●道立農業講習所規程

昭和五年勅令第四号　樺太令第一号

（趣旨）

第一条　樺太ニ於ケル農業ニ関スル講習ハ本令ノ定ムル所ニ依リ道立農業講習所ニ於テ之ヲ行フ

（講習ノ種別）

第二条　講習ハ之ヲ分チテ左ノ二種トス

一　農業者ニ対スル講習

二　農業者ノ子弟ニ対スル講習

（講習ノ期間）

第三条　講習ノ期間ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

（入所資格）

第四条　講習ニ入所スルコトヲ得ル者ハ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ニ限ル

一　農業者ニ対スル講習ニ入所スル者ハ年齢十七年以上ニシテ農業ニ従事スル者

二　農業者ノ子弟ニ対スル講習ニ入所スル者ハ年齢十五年以上ニシテ尋常小学校ノ課程ヲ卒リタル者

（入所願書）

第五条　入所ヲ願ヒ出ツル者ハ入所願書ニ履歴書ヲ添ヘ毎年三月三十一日迄ニ之ヲ提出スベシ

（入所ノ許否）

第六条　入所ノ許否ハ選考ノ上之ヲ定ム

（入所ノ時期）

第七条　入所ノ時期ハ毎年四月一日トス

（入所ノ制限）

第八条　入所ノ定員ハ毎年之ヲ定ム

（学費）

第九条　学費ハ之ヲ徴収セズ

（寄宿）

第十条　寄宿ヲ許可シタル者ニ対シテハ寄宿料ヲ徴収ス

（退所）

第十一条　左ノ各号ノ一ニ該当スル者ハ退所ヲ命ズ

一　正当ノ理由ナクシテ出席常ナラザル者

二　学業ノ成績不良ト認メラルル者

三　性行不良ト認メラルル者

四　疾病ニ罹リ又ハ身体虚弱ニシテ修業ニ堪ヘザル者

五　其ノ他講習ノ目的ヲ達シ難キ事由アル者

（修了）

第十二条　講習ヲ修了シタル者ニハ修了証書ヲ授与ス

（講習科目）

第十三条　講習科目ハ左ノ通リトス

一　農業者ニ対スル講習

修身、農業及農業経営ニ関スル事項、農業ニ関スル法規、農業ニ関スル簿記、農業ニ関スル実習、農業ニ関スル実験、農業ニ関スル実地見学、農業ニ関スル講話、体操

二　農業者ノ子弟ニ対スル講習

修身、国語、算術、地理、歴史、理科、農業ニ関スル事項、農業ニ関スル実習、体操

（教育ノ方法）

第十四条　教育ハ本所ノ教職員之ヲ担任シ講義、討論、実習、実験、見学等ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

（教科書）

第十五条　教科書ハ本所ニ於テ之ヲ定ム

（講習ノ期間）

第十六条　講習ノ期間ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

（休業）

第十七条　休業ハ左ノ通リトス

一　夏季休業　七月二十日ヨリ八月十日迄

二　冬季休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月五日迄

（学則）

第十八条　本令ニ規定スルモノノ外本所ノ学則ハ長官之ヲ定ム

（準用）

第十九条　樺太公立学校教員養成所規程ノ規定ハ本所ニ之ヲ準用ス

（施行期日）

第二十条　本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

五　資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル報告及關書、器械、器具、標本、模型等ノ目錄

學籍簿ニハ講習生ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入所前ノ學歷、入所轉所退所ノ年月日及學年、卒業ノ年月日、入所試驗ノ有無、轉所退所ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スベシ

第八條　醫學講習所ノ講師タルコトヲ得ベキ者ニ付テハ公立私立專門學校規程第八條ノ規定ニ依ル

第九條　醫學講習所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退所ヲ命ズベシ

一　性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二　學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三　引續キ一年以上缺席シタル者

四　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

第十條　醫學講習所長ハ講習上必要ト認メタルトキハ講習生ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十一條　醫學講習所ノ學則ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

一　入所資格、修業年限、學科、學科目及學科程度ニ關スル事項

二　學年、學期及休業日ニ關スル事項

三　入所、退所、進級、卒業等ニ關スル事項

四　懲戒ニ關スル事項

五　授業料、入所料等ニ關スル事項

六　寄宿舍ニ關スル事項

七　前各號ノ外醫學講習所ニ於テ必要トスル事項

第十二條　醫學講習所ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、講習生ノ處分方法、廢止期日及資産ノ處分ニ關スル事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

私儀今般貴府地方官吏養成所ニ入所許可相成候ニ付テハ在所中御規則等遵守仕ルベキハ勿論卒業ノ上ハ服務ニ關スル規定ヲ遵守シ行政事務ニ從事可致仍テ誓書差出候也

年　月　日

本籍　氏名印

朝鮮總督殿

第三號書式

番號　卒業證書

本籍　氏名　生年月日

右者朝鮮總督府地方官吏養成所ニ於テ成規ノ課程ヲ履修シ方ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年　月　日

朝鮮總督府

●朝鮮總督府遞信局遞信吏員養成所規程

昭和十三年三月
總訓第七號

朝鮮總督府遞信局遞信吏員養成所規程左ノ通定ム

朝鮮總督府遞信局遞信吏員養成所ハ遞信官署ノ必要ナル智識技能ヲ教授シ心身ヲ鍊磨シ德性ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第二條　吏員養成ニ關スル事務ハ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）之ヲ管理ス

第三條　本所ニ左ノ五科ヲ設ク

普通科
高等科
無線科
工務科
航路標識科

普通科ハ之ヲ第一部及第二部ニ分ツ

普通科第一部ハ主トシテ郵便局ノ電信事務、普通科第二部ハ主トシテ郵便所ノ電信事務、高等科ハ主トシテ郵便局ノ電信事務、無線科ハ無線電信ノ通信事務、工務科ハ電信電話ノ保守及建設、航路標識科ハ航路標識ノ保守、運用及管理ニ從事スル者ヲ養成スル必要アル場合ニ於テハ朝鮮總督府遞信部内ノ吏員ニ對シ學術又ハ業務ノ講習ヲ行フコトアルベシ

第四條　各科ノ養成期間ハ一年トス但シ普通科ニ在リテハ之ヲ九月トス

前項ノ期間ハ必要アルトキハ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第五條　各科ノ入所期日及生徒定員ハ遞信局長之ヲ定ム

第六條　休業日ハ左ノ如シ

祭日及祝日
日曜日
朝鮮總督府始政記念日
開所記念日　一月二十一日
夏期休業　七月二十五日ヨリ八月七日ニ至ル
冬期休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月五日ニ至ル

遞信局長必要アリト認ムルトキハ休業日ト雖モ生徒ニ實習其ノ他ノ課業ヲ課シ又ハ臨時休業ヲ爲サシムルコトヲ得

第二章　入所

第七條　本所ニ入所ヲ許可スベキ者ハ左ノ第一號乃至第六號ノ一ニ該當シ且第七號乃至第十號ノ條件ヲ具備スル者ニ限ル

一　普通科第一部ニ在リテハ十四年以上十八年以下ノ男子又ハ女子

二　普通科第二部ニ在リテハ十四年以上二十三年以下ノ男子又ハ女子

三　高等科ニ在リテハ十六年以上二十五年以下ノ男子ニシテ普通科ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ資格ヲ有シ現ニ朝鮮總督府遞信部内ニ一年以上在職スルモノ

四　無線科ニ在リテハ十六年以上二十五年以下ノ男子ニシテ將來普通科ヲ卒業シ又ハ之ト卜同等以上ノ資格ヲ有スル者

第八條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ハ祝賀式ヲ行フ

第九條　講習生ノ休業日ニ於テ入所試驗ヲ行フ

第十條　講習生ノ身體健全志操堅實品行方正ナル年齡二十歲以上三十歲以下ノ者ニシテ文官任用令第六條第一號乃至第四號ノ一又ハ第七號ニ該當スルモノニ付試驗ノ上之ヲ命ズ

第十一條　入所ヲ命セラレタル者ハ父兄、親戚等ノ中ニ就キ本人ノ身上ニ關シ一切ノ事項ヲ引受クルニ足ルベキ保證人ヲ定メ入所ノ際第一號書式ノ保證書及第二號書式ノ誓書ヲ差出スベシ

第十二條　養成所ニ寄宿舍ヲ置キ講習生ヲ入舍セシムルコトアルベシ

第十三條　講習生ハ自己ノ便宜ニ依リ退所スルコトヲ得ズ

第十四條　講習生ハ學費トシテ手當及旅行手當ヲ給ス

手當ハ月額二十圓以内ニ於テ之ヲ定メ其ノ支給ニ關シテハ文官俸給支給ノ例ニ依ル

旅行手當ノ額ハ旅行ノ都度之ヲ定ム

第十五條　課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ム但シ學科目ノ種類ニ依リ試驗ヲ行ハザルコトアルベシ

第十六條　試驗ヲ分チテ學期試驗及卒業試驗トシ學期試驗ハ第一學期及第二學期ニ之ヲ行ヒ卒業試驗ハ修業期末ニ之ヲ行フ

第十七條　課程ヲ修了シタリト認ムル者ニハ第三號書式ノ卒業證書ヲ授與ス但シ必要ト認ムルトキハ一定ノ期間實務ヲ修習セシメ其ノ成績ヲ考査シ卒業證書ヲ授與スルコトアルベシ

第十八條　卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ三年間朝鮮總督ノ指定シタル行政官廳ニ奉職スルノ義務ヲ負フ

第十九條　卒業者特別ノ事情ニ因リ前條ノ義務ヲ履行スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ請願スルコトヲ得

第二十條　卒業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ給與シタル學費ヲ償還セシム但シ情狀ニ因リ其ノ一部又ハ全部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

一　第十八條ノ義務ヲ履行セザルトキ

二　義務年限又ハ其ノ猶豫期間中免職セラレ若ハ懲戒處分ニ依リ免官セラレ又ハ刑事裁判ニ依リ失官シタルトキ

三　前條ノ規定ニ依リ第十八條ノ義務ヲ免除セラレタルトキ

第二十一條　本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年度ニ於テ行フ地方官吏養成ニ付テハ本令ニ依ラザルコトヲ得

第一號書式（用紙美濃紙）

保證書

本籍
住所
職業
本人ノ之ニ對スル關係
氏名　生年月日

右者今般貴府地方官吏養成所ニ入所許可相成候ニ付テハ在所中本人身上ニ關スル一切ノ事項ハ勿論本人ニ於テ朝鮮總督府地方官吏養成所規程第十三條又ハ第二十條ノ規定ニ依ル償還義務ヲ履行シ能ハザル場合ハ損害引受ケ處辨可仕候仍テ證書差出候也

年　月　日

保證人　印

朝鮮總督殿

第二號書式（用紙美濃紙）

参錢收入印紙貼用

普通科第一部ハ主トシテ郵便局ノ電信事務、普通科第二部ハ主トシテ郵便所ノ電信事務、高等科ハ主トシテ郵便局ノ電信事務、無線科ハ無線電信ノ通信事務、工務科ハ電信電話ノ保守及建設、航路標識科ハ航路標識ノ保守、運用及管理ニ從事スル者ヲ養成スル必要アル場合ニ於テハ朝鮮總督府遞信部内ノ吏員ニ對シ學術又ハ業務ノ講習ヲ行フコトアルベシ

第四條　各科ノ養成期間ハ一年トス但シ普通科ニ在リテハ之ヲ九月トス

前項ノ期間ハ必要アルトキハ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第五條　各科ノ入所期日及生徒定員ハ遞信局長之ヲ定ム

第六條　休業日ハ左ノ如シ

祭日及祝日
日曜日
朝鮮總督府始政記念日　一月二十一日
夏期休業　七月二十五日ヨリ八月七日ニ至ル
冬期休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月五日ニ至ル

遞信局長必要アリト認ムルトキハ休業日ト雖モ生徒ニ實習其ノ他ノ課業ヲ課シ又ハ臨時休業ヲ爲サシムルコトヲ得

第二章　入所

第七條　本所ニ入所ヲ許可スベキ者ハ左ノ第一號乃至第六號ノ一ニ該當シ且第七號乃至第十號ノ條件ヲ具備スル者ニ限ル

一　普通科第一部ニ在リテハ十四年以上十八年以下ノ男子又ハ女子

二　普通科第二部ニ在リテハ十四年以上二十三年以下ノ男子又ハ女子

三　高等科ニ在リテハ十六年以上二十五年以下ノ男子ニシテ普通科ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ資格ヲ有シ現ニ朝鮮總督府遞信部内ニ一年以上在職スルモノ

四　無線科ニ在リテハ十六年以上二十五年以下ノ男子ニシテ將來普通科ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ資格ヲ有スル者

第八條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ハ祝賀式ヲ行フ

第九條　講習生ノ休業日ニ於テ入所試驗ヲ行フ

第十條　講習生ノ身體健全志操堅實品行方正ナル年齡二十歲以上三十歲以下ノ者ニシテ文官任用令第六條第一號乃至第四號ノ一又ハ第七號ニ該當スルモノニ付試驗ノ上之ヲ命ズ

第十一條　入所ヲ命セラレタル者ハ父兄、親戚等ノ中ニ就キ本人ノ身上ニ關シ一切ノ事項ヲ引受クルニ足ルベキ保證人ヲ定メ入所ノ際第一號書式ノ保證書及第二號書式ノ誓書ヲ差出スベシ

第十二條　養成所ニ寄宿舍ヲ置キ講習生ヲ入舍セシムルコトアルベシ

第十三條　講習生ハ自己ノ便宜ニ依リ退所スルコトヲ得ズ

第十四條　講習生ハ學費トシテ手當及旅行手當ヲ給ス

手當ハ月額二十圓以内ニ於テ之ヲ定メ其ノ支給ニ關シテハ文官俸給支給ノ例ニ依ル

旅行手當ノ額ハ旅行ノ都度之ヲ定ム

第十五條　課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ム但シ學科目ノ種類ニ依リ試驗ヲ行ハザルコトアルベシ

第十六條　試驗ヲ分チテ學期試驗及卒業試驗トシ學期試驗ハ第一學期及第二學期ニ之ヲ行ヒ卒業試驗ハ修業期末ニ之ヲ行フ

第十七條　課程ヲ修了シタリト認ムル者ニハ第三號書式ノ卒業證書ヲ授與ス但シ必要ト認ムルトキハ一定ノ期間實務ヲ修習セシメ其ノ成績ヲ考査シ卒業證書ヲ授與スルコトアルベシ

第十八條　卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ三年間朝鮮總督ノ指定シタル行政官廳ニ奉職スルノ義務ヲ負フ

第十九條　卒業者特別ノ事情ニ因リ前條ノ義務ヲ履行スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ請願スルコトヲ得

第二十條　卒業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ給與シタル學費ヲ償還セシム但シ情狀ニ因リ其ノ一部又ハ全部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

一　第十八條ノ義務ヲ履行セザルトキ

二　義務年限又ハ其ノ猶豫期間中免職セラレ若ハ懲戒處分ニ依リ免官セラレ又ハ刑事裁判ニ依リ失官シタルトキ

三　前條ノ規定ニ依リ第十八條ノ義務ヲ免除セラレタルトキ

第二十一條　本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年度ニ於テ行フ地方官吏養成ニ付テハ本令ニ依ラザルコトヲ得

第一號書式（用紙美濃紙）

保證書

本籍
住所
職業
本人ノ之ニ對スル關係
氏名　生年月日

右者今般貴府地方官吏養成所ニ入所許可相成候ニ付テハ在所中本人身上ニ關スル一切ノ事項ハ勿論本人ニ於テ朝鮮總督府地方官吏養成所規程第十三條又ハ第二十條ノ規定ニ依ル償還義務ヲ履行シ能ハザル場合ハ損害引受ケ處辨可仕候仍テ證書差出候也

年　月　日

保證人　印

朝鮮總督殿

第二號書式（用紙美濃紙）

参錢收入印紙貼用

卜同等以上ノ資格ヲ有シ現ニ朝鮮總督府遞信部内ニ一年以上在職スルモノハ勿論卒業ノ上ハ服務ニ關スル規定ヲ遵守シ行政事務ニ從事可致仍テ誓書差出候也

年　月　日

本籍　氏名印

朝鮮總督殿

第三號書式

番號　卒業證書

本籍　氏名　生年月日

右者朝鮮總督府地方官吏養成所ニ於テ成規ノ課程ヲ履修シ方ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年　月　日

朝鮮總督府

●朝鮮總督府遞信局遞信吏員養成所規程

昭和十三年三月
總訓第七號

朝鮮總督府遞信局遞信吏員養成所規程左ノ通定ム

朝鮮總督府遞信局遞信吏員養成所ハ遞信業務従事員タルニ必要ナル智識技能ヲ教授シ心身ヲ鍊磨シ德性ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第二條　吏員養成ニ關スル事務ハ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）之ヲ管理ス

第三條　本所ニ左ノ五科ヲ設ク

普通科
高等科
無線科
工務科
航路標識科

普通科ハ之ヲ第一部及第二部ニ分ツ

普通科第一部ハ主トシテ郵便局ノ電信事務、普通科第二部ハ主トシテ郵便所ノ電信事務、高等科ハ主トシテ郵便局ノ電信事務、無線科ハ無線電信ノ通信事務、工務科ハ電信電話ノ保守及建設、航路標識科ハ航路標識ノ保守、運用及管理ニ從事スル者ヲ養成スル必要アル場合ニ於テハ朝鮮總督府遞信部内ノ吏員ニ對シ學術又ハ業務ノ講習ヲ行フコトアルベシ

第四條　各科ノ養成期間ハ一年トス但シ普通科ニ在リテハ之ヲ九月トス

前項ノ期間ハ必要アルトキハ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第五條　各科ノ入所期日及生徒定員ハ遞信局長之ヲ定ム

第六條　休業日ハ左ノ如シ

祭日及祝日
日曜日
朝鮮總督府始政記念日
開所記念日　一月二十一日
夏期休業　七月二十五日ヨリ八月七日ニ至ル
冬期休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月五日ニ至ル

遞信局長必要アリト認ムルトキハ休業日ト雖モ生徒ニ實習其ノ他ノ課業ヲ課シ又ハ臨時休業ヲ爲サシムルコトヲ得

第二章　入所

第七條　本所ニ入所ヲ許可スベキ者ハ左ノ第一號乃至第六號ノ一ニ該當シ且第七號乃至第十號ノ條件ヲ具備スル者ニ限ル

一　普通科第一部ニ在リテハ十四年以上十八年以下ノ男子又ハ女子

二　普通科第二部ニ在リテハ十四年以上二十三年以下ノ男子又ハ女子

三　高等科ニ在リテハ十六年以上二十五年以下ノ男子ニシテ普通科ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ資格ヲ有シ現ニ朝鮮總督府遞信部内ニ一年以上在職スルモノ

四　無線科ニ在リテハ十六年以上二十五年以下ノ男子ニシテ將來普通科ヲ卒業シ又ハ之ト同等以上ノ資格ヲ有スル者

第八條　紀元節、天長節、明治節及一月一日ハ祝賀式ヲ行フ

第九條　講習生ノ休業日ニ於テ入所試驗ヲ行フ

第十條　講習生ノ身體健全志操堅實品行方正ナル年齡二十歲以上三十歲以下ノ者ニシテ文官任用令第六條第一號乃至第四號ノ一又ハ第七號ニ該當スルモノニ付試驗ノ上之ヲ命ズ

第十一條　入所ヲ命セラレタル者ハ父兄、親戚等ノ中ニ就キ本人ノ身上ニ關シ一切ノ事項ヲ引受クルニ足ルベキ保證人ヲ定メ入所ノ際第一號書式ノ保證書及第二號書式ノ誓書ヲ差出スベシ

第十二條　養成所ニ寄宿舍ヲ置キ講習生ヲ入舍セシムルコトアルベシ

第十三條　講習生ハ自己ノ便宜ニ依リ退所スルコトヲ得ズ

第十四條　講習生ハ學費トシテ手當及旅行手當ヲ給ス

手當ハ月額二十圓以内ニ於テ之ヲ定メ其ノ支給ニ關シテハ文官俸給支給ノ例ニ依ル

旅行手當ノ額ハ旅行ノ都度之ヲ定ム

第十五條　課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書及試驗ノ成績ヲ考査シテ之ヲ定ム但シ學科目ノ種類ニ依リ試驗ヲ行ハザルコトアルベシ

第十六條　試驗ヲ分チテ學期試驗及卒業試驗トシ學期試驗ハ第一學期及第二學期ニ之ヲ行ヒ卒業試驗ハ修業期末ニ之ヲ行フ

第十七條　課程ヲ修了シタリト認ムル者ニハ第三號書式ノ卒業證書ヲ授與ス但シ必要ト認ムルトキハ一定ノ期間實務ヲ修習セシメ其ノ成績ヲ考査シ卒業證書ヲ授與スルコトアルベシ

第十八條　卒業者ハ卒業證書受得ノ日ヨリ三年間朝鮮總督ノ指定シタル行政官廳ニ奉職スルノ義務ヲ負フ

第十九條　卒業者特別ノ事情ニ因リ前條ノ義務ヲ履行スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ具シ義務ノ猶豫又ハ免除ヲ請願スルコトヲ得

第二十條　卒業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ給與シタル學費ヲ償還セシム但シ情狀ニ因リ其ノ一部又ハ全部ノ償還ヲ免除スルコトアルベシ

一　第十八條ノ義務ヲ履行セザルトキ

二　義務年限又ハ其ノ猶豫期間中免職セラレ若ハ懲戒處分ニ依リ免官セラレ又ハ刑事裁判ニ依リ失官シタルトキ

三　前條ノ規定ニ依リ第十八條ノ義務ヲ免除セラレタルトキ

第二十一條　本令ニ規定スルモノノ外必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年度ニ於テ行フ地方官吏養成ニ付テハ本令ニ依ラザルコトヲ得

第一號書式（用紙美濃紙）

保證書

本籍
住所
職業
本人ノ之ニ對スル關係
氏名　生年月日

右者今般貴府地方官吏養成所ニ入所許可相成候ニ付テハ在所中本人身上ニ關スル一切ノ事項ハ勿論本人ニ於テ朝鮮總督府地方官吏養成所規程第十三條又ハ第二十條ノ規定ニ依ル償還義務ヲ履行シ能ハザル場合ハ損害引受ケ處辨可仕候仍テ證書差出候也

年　月　日

保證人　印

朝鮮總督殿

第二號書式（用紙美濃紙）

参錢收入印紙貼用

五　電氣通信術

程　度

中學校第三學年修了程度但シ電氣通信術ニ在リテハ普通科第一部卒業以上ノ程度

無線科　目

一　國語
二　作文
三　英語（英文和譯、和文英譯）
四　數學（代數、幾何）
五　電氣通信術

程　度

中學校第三學年修了程度但シ電氣通信術ニ在リテハ普通科第一部卒業以上ノ程度

工務科　目

一　國語
二　作文
三　英語（英文和譯、和文英譯）
四　數學（代數、幾何）
五　物理
六　化學

程　度

中學校卒業程度

航路標識科　目

一　國語
二　作文
三　算術
四　地理（內國、外國）
五　理科（物理、化學）

程　度

中學校第三學年修了程度

普通科ニ在リテハ前項ニ規定スルモノノ外適性檢査ヲ行フ

普通科ニ在リテハ中學校ヲ卒業シタル者ニ對シテハ入所試驗中筆記試驗ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトアルベシ

第十一條　入所試驗ハ本所及遞信局長ノ定ムル遞信官署ノ所在地ニ於テ之ヲ行フ

第十二條　入所ヲ許可セラレタル者ハ速ニ身

| | | |

法	図	無線電信通信士	無線電信通信士	海上運送法	船舶	航海	造船	機関	原動機	亜鉛	鋼	物理及化学	歴史	地理	英語	数学	国語	公民	修身	学科目 / 学年	第一学年	第二学年	第三学年	第四学年
則	画	級	級	級	船	海	船	機	原	亜	鋼	物	歴	地	英	数	国	公	修	毎週教授時数 / 第一学年	毎週教授時数	毎週教授時数	毎週教授時数	毎週教授時数
第十六条																				第一学年	毎週教授時数	毎週教授時数	毎週教授時数	毎週教授時数
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
																				二	二	二	二	二
																				三	三	三	三	三
																				四	四	四	四	四
																				五	五	五	五	五
																				六	六	六	六	六
																				七	七	七	七	七
																				八	八	八	八	八
																				九	九	九	九	九
																				十	十	十	十	十
																				十一	十一	十一	十一	十一
																				十二	十二	十二	十二	十二
																				十三	十三	十三	十三	十三
																				十四	十四	十四	十四	十四
																				十五	十五	十五	十五	十五
																				十六	十六	十六	十六	十六
																				十七	十七	十七	十七	十七
																				十八	十八	十八	十八	十八
																				十九	十九	十九	十九	十九
																				二十	二十	二十	二十	二十
																				二十一	二十一	二十一	二十一	二十一
																				二十二	二十二	二十二	二十二	二十二
																				二十三	二十三	二十三	二十三	二十三
																				二十四	二十四	二十四	二十四	二十四
																				二十五	二十五	二十五	二十五	二十五
																				二十六	二十六	二十六	二十六	二十六
																				二十七	二十七	二十七	二十七	二十七
																				二十八	二十八	二十八	二十八	二十八
																				二十九	二十九	二十九	二十九	二十九
																				三十	三十	三十	三十	三十
																				三十一	三十一	三十一	三十一	三十一
																				三十二	三十二	三十二	三十二	三十二
																				三十三	三十三	三十三	三十三	三十三
																				三十四	三十四	三十四	三十四	三十四
																				三十五	三十五	三十五	三十五	三十五
																				三十六	三十六	三十六	三十六	三十六
																				三十七	三十七	三十七	三十七	三十七
																				三十八	三十八	三十八	三十八	三十八
																				三十九	三十九	三十九	三十九	三十九
																				四十	四十	四十	四十	四十
																				四十一	四十一	四十一	四十一	四十一
																				四十二	四十二	四十二	四十二	四十二
																				四十三	四十三	四十三	四十三	四十三
																				四十四	四十四	四十四	四十四	四十四
																				四十五	四十五	四十五	四十五	四十五
																				四十六	四十六	四十六	四十六	四十六
																				四十七	四十七	四十七	四十七	四十七
																				四十八	四十八	四十八	四十八	四十八
																				四十九	四十九	四十九	四十九	四十九
																				五十	五十	五十	五十	五十
																				五十一	五十一	五十一	五十一	五十一
																				五十二	五十二	五十二	五十二	五十二
																				五十三	五十三	五十三	五十三	五十三
																				五十四	五十四	五十四	五十四	五十四
																				五十五	五十五	五十五	五十五	五十五
																				五十六	五十六	五十六	五十六	五十六
																				五十七	五十七	五十七	五十七	五十七
																				五十八	五十八	五十八	五十八	五十八
																				五十九	五十九	五十九	五十九	五十九
																				六十	六十	六十	六十	六十
																				六十一	六十一	六十一	六十一	六十一
																				六十二	六十二	六十二	六十二	六十二
																				六十三	六十三	六十三	六十三	六十三
																				六十四	六十四	六十四	六十四	六十四
																				六十五	六十五	六十五	六十五	六十五
																				六十六	六十六	六十六	六十六	六十六
																				六十七	六十七	六十七	六十七	六十七
																				六十八	六十八	六十八	六十八	六十八
																				六十九	六十九	六十九	六十九	六十九
																				七十	七十	七十	七十	七十
																				七十一	七十一	七十一	七十一	七十一
																				七十二	七十二	七十二	七十二	七十二
																				七十三	七十三	七十三	七十三	七十三
																				七十四	七十四	七十四	七十四	七十四
																				七十五	七十五	七十五	七十五	七十五
																				七十六	七十六	七十六	七十六	七十六
																				七十七	七十七	七十七	七十七	七十七
																				七十八	七十八	七十八	七十八	七十八
																				七十九	七十九	七十九	七十九	七十九
																				八十	八十	八十	八十	八十
																				八十一	八十一	八十一	八十一	八十一
																				八十二	八十二	八十二	八十二	八十二
																				八十三	八十三	八十三	八十三	八十三
																				八十四	八十四	八十四	八十四	八十四
																				八十五	八十五	八十五	八十五	八十五
																				八十六	八十六	八十六	八十六	八十六
																				八十七	八十七	八十七	八十七	八十七
																				八十八	八十八	八十八	八十八	八十八
																				八十九	八十九	八十九	八十九	八十九
																				九十	九十	九十	九十	九十
																				九十一	九十一	九十一	九十一	九十一
																				九十二	九十二	九十二	九十二	九十二
																				九十三	九十三	九十三	九十三	九十三
																				九十四	九十四	九十四	九十四	九十四
																				九十五	九十五	九十五	九十五	九十五
																				九十六	九十六	九十六	九十六	九十六
																				九十七	九十七	九十七	九十七	九十七
																				九十八	九十八	九十八	九十八	九十八
																				九十九	九十九	九十九	九十九	九十九
																				百	百	百	百	百

法	図	無線電信通信士	無線電信通信士	海上運送法	船舶	航海	造船	機関	原動機	亜鉛	鋼	物理及化学	歴史	地理	英語	数学	国語	公民	修身	学科目 / 学年	第一学年	第二学年	第三学年	第四学年
則	画	級	級	級	船	海	船	機	原	亜	鋼	物	歴	地	英	数	国	公	修	毎週教授時数 / 第一学年	毎週教授時数	毎週教授時数	毎週教授時数	毎週教授時数
第十六条																				第一学年	毎週教授時数	毎週教授時数	毎週教授時数	毎週教授時数
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
																				二	二	二	二	二
																				三	三	三	三	三
																				四	四	四	四	四
																				五	五	五	五	五
																				六	六	六	六	六
																				七	七	七	七	七
																				八	八	八	八	八
																				九	九	九	九	九
																				十	十	十	十	十
																				十一	十一	十一	十一	十一
																				十二	十二	十二	十二	十二
																				十三	十三	十三	十三	十三
																				十四	十四	十四	十四	十四
																				十五	十五	十五	十五	十五
																				十六	十六	十六	十六	十六
																				十七	十七	十七	十七	十七
																				十八	十八	十八	十八	十八
																				十九	十九	十九	十九	十九
																				二十	二十	二十	二十	二十
																				二十一	二十一	二十一	二十一	二十一
																				二十二	二十二	二十二	二十二	二十二
																				二十三	二十三	二十三	二十三	二十三
																				二十四	二十四	二十四	二十四	二十四
																				二十五	二十五	二十五	二十五	二十五
																				二十六	二十六	二十六	二十六	二十六
																				二十七	二十七	二十七	二十七	二十七
																				二十八	二十八	二十八	二十八	二十八
																				二十九	二十九	二十九	二十九	二十九
																				三十	三十	三十	三十	三十
																				三十一	三十一	三十一	三十一	三十一
																				三十二	三十二	三十二	三十二	三十二
																				三十三	三十三	三十三	三十三	三十三
																				三十四	三十四	三十四	三十四	三十四
																				三十五	三十五	三十五	三十五	三十五
																				三十六	三十六	三十六	三十六	三十六
																				三十七	三十七	三十七	三十七	三十七
																				三十八	三十八	三十八	三十八	三十八
																				三十九	三十九	三十九	三十九	三十九
																				四十	四十	四十	四十	四十
																				四十一	四十一	四十一	四十一	四十一
																				四十二	四十二	四十二	四十二	四十二
																				四十三	四十三	四十三	四十三	四十三
																				四十四	四十四	四十四	四十四	四十四
																				四十五	四十五	四十五	四十五	四十五
																				四十六	四十六	四十六	四十六	四十六
																				四十七	四十七	四十七	四十七	四十七
																				四十八	四十八	四十八	四十八	四十八
																				四十九	四十九	四十九	四十九	四十九
																				五十	五十	五十	五十	五十
																				五十一	五十一	五十一	五十一	五十一
																				五十二	五十二	五十二	五十二	五十二
																				五十三	五十三	五十三	五十三	五十三
																				五十四	五十四	五十四	五十四	五十四
																				五十五	五十五	五十五	五十五	五十五
																				五十六	五十六	五十六	五十六	五十六
																				五十七	五十七	五十七	五十七	五十七
																				五十八	五十八	五十八	五十八	五十八
																				五十九	五十九	五十九	五十九	五十九
																				六十	六十	六十	六十	六十
																				六十一	六十一	六十一	六十一	六十一
																				六十二	六十二	六十二	六十二	六十二
																				六十三	六十三	六十三	六十三	六十三
																				六十四	六十四	六十四	六十四	六十四
																				六十五	六十五	六十五	六十五	六十五
																				六十六	六十六	六十六	六十六	六十六
																				六十七	六十七	六十七	六十七	六十七
																				六十八	六十八	六十八	六十八	六十八
																				六十九	六十九	六十九	六十九	六十九
																				七十	七十	七十	七十	七十
																				七十一	七十一	七十一	七十一	七十一
																				七十二	七十二	七十二	七十二	七十二
																				七十三	七十三	七十三	七十三	七十三
																				七十四	七十四	七十四	七十四	七十四
																				七十五	七十五	七十五	七十五	七十五
																				七十六	七十六	七十六	七十六	七十六
																				七十七	七十七	七十七	七十七	七十七
																				七十八	七十八	七十八	七十八	七十八
																				七十九	七十九	七十九	七十九	七十九
																				八十	八十	八十	八十	八十
																				八十一	八十一	八十一	八十一	八十一
																				八十二	八十二	八十二	八十二	八十二
																				八十三	八十三	八十三	八十三	八十三
																				八十四	八十四	八十四	八十四	八十四
																				八十五	八十五	八十五	八十五	八十五
																				八十六	八十六	八十六	八十六	八十六
																				八十七	八十七	八十七	八十七	八十七
																				八十八	八十八	八十八	八十八	八十八
																				八十九	八十九	八十九	八十九	八十九
																				九十	九十	九十	九十	九十
																				九十一	九十一	九十一	九十一	九十一
																				九十二	九十二	九十二	九十二	九十二
																				九十三	九十三	九十三	九十三	九十三
																				九十四	九十四	九十四	九十四	九十四
																				九十五	九十五	九十五	九十五	九十五
																				九十六	九十六	九十六	九十六	九十六
																				九十七	九十七	九十七	九十七	九十七
																				九十八	九十八	九十八	九十八	九十八
																				九十九	九十九	九十九	九十九	九十九
																				百	百	百	百	百

第十六條 第二號 第三號 第四號 第五號 第六號 第七號 第八號 第九號 第十號 第十一號 第十二號 第十三號 第十四號 第十五號 第十六號 第十七號 第十八號 第十九號 第二十號 第二十一號 第二十二號 第二十三號 第二十四號 第二十五號 第二十六號 第二十七號 第二十八號 第二十九號 第三十號 第三十一號 第三十二號 第三十三號 第三十四號 第三十五號 第三十六號 第三十七號 第三十八號 第三十九號 第四十號 第四十一號 第四十二號 第四十三號 第四十四號 第四十五號 第四十六號 第四十七號 第四十八號 第四十九號 第五十號 第五十一號 第五十二號 第五十三號 第五十四號 第五十五號 第五十六號 第五十七號 第五十八號 第五十九號 第六十號 第六十一號 第六十二號 第六十三號 第六十四號 第六十五號 第六十六號 第六十七號 第六十八號 第六十九號 第七十號 第七十一號 第七十二號 第七十三號 第七十四號 第七十五號 第七十六號 第七十七號 第七十八號 第七十九號 第八十號 第八十一號 第八十二號 第八十三號 第八十四號 第八十五號 第八十六號 第八十七號 第八十八號 第八十九號 第九十號 第九十一號 第九十二號 第九十三號 第九十四號 第九十五號 第九十六號 第九十七號 第九十八號 第九十九號 第百號

	學年	第一學年			第二學年			第三學年		
學科目	學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	時數及課程	道徳ノ要旨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
讀書		國漢讀法	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
作文		普通文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
英語		文典	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
數學		算術	同上	同上	代數	同上	同上	代數幾何	同上	同上
物理					物理	同上	同上	同上	同上	同上
化學								同上	同上	同上
地理歷史		内外交通地理歷史	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
圖畫		自在畫	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
製圖		四則珠算	同上	同上	同上	同上	同上	機械製圖	同上	同上
鐵道		概論	同上	同上						
運動機		汽罐	同上	同上						
車輛										
應用力學										
機構學										

	學年	第一學年			第二學年			第三學年		
學科目	學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
簿記	時數及課程	商業簿記	同上	同上						
鐵道		概論旅客	同上	同上	八					
法規經濟					二	同上	同上	法規經濟	同上	同上
體操		教練體操	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
實習					四	通信術	同上	同上	同上	同上
計								算術練習	同上	同上

本科運轉科學科課程及每週教授時數表

（別表）

本科業務科學科課程及每週教授時數表

學科目	學年	第一學年			第二學年			第三學年		
	學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	時數及課程	道徳ノ要旨	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
讀書		國漢讀法	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
作文		普通文	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
英語		文典	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
數學		算術	八	同上	代數	同上	同上	代數幾何	同上	同上
物理					物理	同上	同上	同上	同上	同上
化學								同上	同上	同上
地理歷史		内外交通地理歷史	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
圖畫		自在畫	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
製圖		四則珠算	同上	同上	同上	同上	同上	機械製圖	同上	同上
鐵道		概論	同上	同上						
運動機		汽罐	同上	同上						
車輛										
應用力學										
機構學										

第二十八條　削除

第二十九條　工作科ニ入學シタル者ハ鐵道局従事員ニ採用シ鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ手當ヲ支給ス

前項ノ規定ハ第十二條第二項ノ規定ニ依リ適性考査中ノ者ニ之ヲ準用ス

第三十條　電信科生徒ニハ鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ被服及技術練習ニ必要ナル機械類ヲ貸與ス

第三十一條　電信科生徒ニシテ鐵道局従事員以外ヨリ入學セシメラレ者ハ鐵道局従事員ニ採用シ鐵道局長ノ定ムル所ニヨリ手當ヲ支給ス

第三十二條　所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル生徒ニ對シ之ヲ褒賞スルコトヲ得

一　精勤篤學ノ者

二　善行アリタル者

第三十三條　教育上必要アリト認ムルトキハ所長ハ生徒及講習員ニ對シ左ノ懲戒ヲ行フコトヲ得

一　戒飭

二　謹慎

三　停學

第三十四條　本所ニ寄宿舍ヲ附置ス

生徒ハ寄宿舍ニ入ルヲ本則トス

保證人若ハ保護者ト同居スル者又ハ特別ノ事由ニ依リ入舍シ難キ者ハ所長ノ認可ヲ受ケ入舍セサルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際京城鐵道學校ニ在學スル者ハ本所ノ相當科及學年ニ之ヲ編入ス但シ本科驛務科ハ本科業務科、徒弟科ハ工作科、夜學部ハ講習科トス

附　則（昭和三年三月總令第十一號）

本令ハ昭和三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮總督府鐵道從事員養成所規程

大正十四年四月總令第二十七號

改正　昭和三年三月第一一號、五年八第六六號

朝鮮總督府鐵道從事員養成所規程左ノ通定ム

第一條　朝鮮總督府鐵道從事員養成所ハ鐵道從事員ニ必要ナル知識技能ヲ授ケ身體ヲ鍛錬シ德性ヲ涵養スル所トス

第二條　本所ニ本科、工作科、電信科及講習科ヲ置ク

本科ヲ分チテ業務科、運轉科及土木科トシ業務科ハ主トシテ鐵道ノ運輸業務ニ關スル事項、運轉科ハ主トシテ機關車ノ運轉ニ關スル事項、土木科ハ主トシテ鐵道線路ノ建設及保存ノ技術ニ關スル事項ヲ授ク

工作科ハ鐵道工場ノ技術ニ關スル事項ヲ授ク

電信科ハ鐵道ノ電氣通信技術ニ關スル事項ヲ授ク

講習科ハ鐵道業務上必要ナル事項ヲ講習ス

第三條　本科、工作科及電信科ノ修業期間左ノ如シ

本科　三年

工作科　二年

電信科及講習科ノ修業期間ハ朝鮮總督府鐵道局長之ヲ定ム

第四條　本科及工作科ノ生徒ノ定員左ノ如シ

本科　四百五十人以内

工作科　二百人以内

電信科及講習科ノ定員ハ鐵道局長之ヲ定ム

第五條　本科、工作科及電信科ノ學科課程及每週教授時數ハ別表ニ依ル

講習科ノ學科課程及每週教授時數ハ鐵道局長之ヲ定ム

第六條　所長ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ前條第一項ノ規定ニ依リ教授時數外ニ於テ教練ノ課シ又ハ夏季ニ於テ四十日以内ノ每週教授時數ヲ減少シ若ハ實習ノミヲ課スルコトヲ得

第七條　本科及工作科ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

前項ノ學年ヲ分チテ左ノ三期トス

第一學期　四月一日ヨリ七月三十一日ニ至ル

第二學期　八月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第八條　電信科及講習科ノ始業ノ期日ハ鐵道局長之ヲ定ム

第九條　本科及工作科ノ休業日左ノ如シ

一　祭日、祝日

二　日曜日

三　朝鮮總督府始政記念日

四　夏季休業日　八月一日ヨリ同月二十一日ニ至ル

五　冬季休業日　十二月二十六日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

六　學年末休業日　學年末試驗終了後若干日

電信科及講習科ノ休業日ニ關シテハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ鐵道局長ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

所長ハ休業日ト雖生徒ニ實習其ノ他ノ課業ヲ課スルコトヲ得

第十條　傳染病豫防其ノ他非常變災ノ爲必要アリトキハ所長ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第十一條　入學期ハ本科及工作科ニ在リテハ每學年ノ始ト雖生徒ノ入舍ニ關シ特ニ必要アリト認ムルトキハ所長ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ每始業ノトキトス

第十二條　本科及工作科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ニ該當スル者ヲ要ス

一　身體ノ發達順當ニシテ本所所定ノ身體檢査ニ合格シタル者

二　年齡十四年以上十八年未滿ノ男子

三　高等小學校第二學年ノ課程ヲ修了シタル者又ハ所長ニ於テ之ト同等以上ノ學力有リト認メタル者

工作科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ前項ノ規定ノ外鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ適性考査ヲ行フヘシ

第十三條　電信科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者トス

一　鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ鐵道工場ノ從事員ノ子弟ニシテ他ノ入學者ニ優先セシムルコト

二　鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ鐵道局ノ從事員ニシテ他ノ入學者ニ優先セシムルコト

三　鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ鐵道局ノ從事員ニシテ他ノ入學者ニ優先セシムルコト

四　高等小學校第二學年ノ課程ヲ修了シタル者又ハ所長ニ於テ之ト同等以上ノ學力有リト認メタル者

第十四條　入學志願者ノ數入學セシムヘキ人員ヲ超過スルトキハ選拔試驗ヲ行フヘシ

前項ノ試驗科目ハ鐵道局長之ヲ定ム

第十五條　本科及工作科ノ入學志願者ハ入學願書（第一號樣式）ニ履歷書（第二號樣式）戶籍抄本、本人ノ寫眞（手札形シ半身脫帽ニテ出願前六月以内ニ撮影シ裏紙ニ貼附セシモノ）及氏名（姓名）ヲ記載シ裏ニ撮影年月日及受驗人ノ一寸ヲ添ヘ所長ニ差出スヘシ

本科及工作科ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ保證人二人ヲ定メ始業期日迄ニ保證書（第三號樣式）ヲ所長ニ差出スヘシ

保證人ハ本人ノ父母又ハ後見人ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル

第十六條　電信科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者トス

一　鐵道局長之ヲ定ム

二　普通學校ノ課程ヲ修了シタル者

三　逓信官吏練習所ノ入學試驗ニ及第シタル者

四　逓信官吏練習所ノ入學試驗ニ及第シタル者

五　出願當時滿十四年以上滿十八年未滿ノ男子

六　入學ニ付氏名（姓名）、年齡若ハ履歷書ニ僞リ又ハ不正行爲アリタル者

第十七條　入學ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日迄ニ入舍スヘシ

第十八條　入舍ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日迄ニ入舍スヘシ

第十九條　入舍ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日迄ニ入舍スヘシ

第二十條　生徒ハ在學中ノ學費ヲ納ムヘシ

第二十一條　生徒及講習員ニ對シテハ授業料ヲ徵收セサルモノトス

第二十二條　退學ヲ命セラレタル者、第十九條ノ規定ニ依リ退學ヲ命セラレタル者又ハ第二十五條ニ規定スル義務年限内ニ於テ退職シ若ハ退職ノ命セラレタル者ニ對シテハ鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ在學中ノ費用ヲ辨償セシムル者ハ保證人ニ入ヲ定メ始業期日迄ニ保證書（第三號樣式）ヲ所長ニ差出スヘシ

保證人ハ本人ノ父母又ハ後見人ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル

第十七條　本科及工作科ノ外鐵道局長之ヲ定ム

第十八條　第十四條ノ外電信科及講習科ノ入學ニ關スル事項ハ鐵道局長之ヲ定ム

第十九條　所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル生徒ニ對シ退學ヲ命スヘシ

一　學力技能劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者

二　引續キ一年以上缺席シタル者

三　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

四　入學ノ際常ナラサル者

第二十條　生徒ハ修業年限ノ終ニ於テ業ヲ卒ヘタル者ニ對シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十一條　本科及工作科ハ修業年限ノ終ニ於テ各學年ノ修業ヲ認定シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十二條　電信科ハ學年末ニ於テ成績ヲ考査シ卒業ヲ認定シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十三條　電信科ハ平素ノ學習及試驗ニ依リ卒業ヲ認定シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十四條　講習科ハ試驗ニ依リ成績ヲ考査シ講習證書（第五號樣式）ヲ授與ス

第二十五條　本所ヲ卒業シタル者ハ左ノ期間鐵道局長ニ勤務スル義務ヲ負フモノトス

本科　三年

工作科　三年

電信科　三年

講習科ノ修業期間ハ朝鮮總督府鐵道局長之ヲ定ム

第四條　本科及工作科ノ生徒ノ定員左ノ如シ

本科　四百五十人以内

工作科　二百人以内

電信科及講習科ノ定員ハ鐵道局長之ヲ定ム

第五條　本科、工作科及電信科ノ學科課程及每週教授時數ハ別表ニ依ル

講習科ノ學科課程及每週教授時數ハ鐵道局長之ヲ定ム

第六條　所長ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ前條第一項ノ規定ニ依リ教授時數外ニ於テ教練ヲ課シ又ハ夏季ニ於テ四十日以内ノ每週教授時數ヲ減少シ若ハ實習ノミヲ課スルコトヲ得

第七條　本科及工作科ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

前項ノ學年ヲ分チテ左ノ三期トス

第一學期　四月一日ヨリ七月三十一日ニ至ル

第二學期　八月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第八條　電信科及講習科ノ始業ノ期日ハ鐵道局長之ヲ定ム

第九條　本科及工作科ノ休業日左ノ如シ

一　祭日、祝日

二　日曜日

三　朝鮮總督府始政記念日

四　夏季休業日　八月一日ヨリ同月二十一日ニ至ル

五　冬季休業日　十二月二十六日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

六　學年末休業日　學年末試驗終了後若干日

電信科及講習科ノ休業日ニ關シテハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ鐵道局長ニ於テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

所長ハ休業日ト雖生徒ニ實習其ノ他ノ課業ヲ課スルコトヲ得

第十條　傳染病豫防其ノ他非常變災ノ爲必要アリトキハ所長ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ臨時休業ヲ爲スコトヲ得

第十一條　入學期ハ本科及工作科ニ在リテハ每學年ノ始ト雖生徒ノ入舍ニ關シ特ニ必要アリト認ムルトキハ所長ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ每始業ノトキトス

第十二條　本科及工作科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ニ該當スル者トス

一　身體ノ發達順當ニシテ本所所定ノ身體檢査ニ合格シタル者

二　年齡十四年以上十八年未滿ノ男子

三　高等小學校第二學年ノ課程ヲ修了シタル者又ハ所長ニ於テ之ト同等以上ノ學力有リト認メタル者

工作科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ前項ノ規定ノ外鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ適性考査ヲ行フヘシ

第十三條　電信科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者トス

一　鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ鐵道工場ノ從事員ノ子弟ニシテ他ノ入學者ニ優先セシムルコト

二　鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ鐵道局ノ從事員ニシテ他ノ入學者ニ優先セシムルコト

三　鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ鐵道局ノ從事員ニシテ他ノ入學者ニ優先セシムルコト

四　高等小學校第二學年ノ課程ヲ修了シタル者又ハ所長ニ於テ之ト同等以上ノ學力有リト認メタル者

第十四條　入學志願者ノ數入學セシムヘキ人員ヲ超過スルトキハ選拔試驗ヲ行フヘシ

前項ノ試驗科目ハ鐵道局長ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ム

第十五條　本科及工作科ノ入學志願者ハ入學願書（第一號樣式）ニ履歷書（第二號樣式）戶籍抄本、本人ノ寫眞（手札形シ半身脫帽ニテ出願前六月以内ニ撮影シ裏紙ニ貼附セシモノ）及氏名（姓名）ヲ記載シ裏ニ撮影年月日及受驗人ノ一寸ヲ添ヘ所長ニ差出スヘシ

本科及工作科ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ保證人二人ヲ定メ始業期日迄ニ保證書（第三號樣式）ヲ所長ニ差出スヘシ

保證人ハ本人ノ父母又ハ後見人ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル

第十六條　電信科ニ入學ヲ許可スヘキ者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者トス

一　鐵道局長之ヲ定ム

二　普通學校ノ課程ヲ修了シタル者

三　逓信官吏練習所ノ入學試驗ニ及第シタル者

四　逓信官吏練習所ノ入學試驗ニ及第シタル者

五　出願當時滿十四年以上滿十八年未滿ノ男子

六　入學ニ付氏名（姓名）、年齡若ハ履歷書ニ僞リ又ハ不正行爲アリタル者

第十七條　本科及工作科ノ外鐵道局長之ヲ定ム

第十八條　第十四條ノ外電信科及講習科ノ入學ニ關スル事項ハ鐵道局長之ヲ定ム

第十九條　所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル生徒ニ對シ退學ヲ命スヘシ

一　學力技能劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者

二　引續キ一年以上缺席シタル者

三　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

四　入學ノ際常ナラサル者

第二十條　生徒ハ修業年限ノ終ニ於テ業ヲ卒ヘタル者ニ對シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十一條　本科及工作科ハ修業年限ノ終ニ於テ各學年ノ修業ヲ認定シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十二條　電信科ハ學年末ニ於テ成績ヲ考査シ卒業ヲ認定シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十三條　電信科ハ平素ノ學習及試驗ニ依リ卒業ヲ認定シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十四條　講習科ハ試驗ニ依リ成績ヲ考査シ講習證書（第五號樣式）ヲ授與ス

第二十五條　本所ヲ卒業シタル者ハ左ノ期間鐵道局長ニ勤務スル義務ヲ負フモノトス

本科　三年

工作科　三年

電信科　三年

第二十六條　生徒及講習員ニ對シテハ授業料ヲ徵收セサルモノトス

第二十七條　退學ヲ命セラレタル者、第十九條ノ規定ニ依リ退學ヲ命セラレタル者又ハ第二十五條ニ規定スル義務年限内ニ於テ退職シ若ハ退職ノ命セラレタル者ニ對シテハ鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ在學中ノ費用ヲ辨償セシムル者ハ保證人ニ入ヲ定メ始業期日迄ニ保證書（第三號樣式）ヲ所長ニ差出スヘシ

保證人ハ本人ノ父母又ハ後見人ニシテ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ限ル

第十七條　本科及工作科ノ外鐵道局長之ヲ定ム

第十八條　第十四條ノ外電信科及講習科ノ入學ニ關スル事項ハ鐵道局長之ヲ定ム

第十九條　所長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル生徒ニ對シ退學ヲ命スヘシ

一　學力技能劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認ムル者

二　引續キ一年以上缺席シタル者

三　正當ノ事由ナクシテ引續キ一月以上缺席シタル者

四　入學ノ際常ナラサル者

第二十條　生徒ハ修業年限ノ終ニ於テ業ヲ卒ヘタル者ニ對シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十一條　本科及工作科ハ修業年限ノ終ニ於テ各學年ノ修業ヲ認定シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十二條　電信科ハ學年末ニ於テ成績ヲ考査シ卒業ヲ認定シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十三條　電信科ハ平素ノ學習及試驗ニ依リ卒業ヲ認定シ卒業證書（第四號樣式）ヲ授與ス

第二十四條　講習科ハ試驗ニ依リ成績ヲ考査シ講習證書（第五號樣式）ヲ授與ス

第二十五條　本所ヲ卒業シタル者ハ左ノ期間鐵道局長ニ勤務スル義務ヲ負フモノトス

本科　三年

工作科　三年

電信科　三年

第二十六條　生徒及講習員ニ對シテハ授業料ヲ徵收セサルモノトス

第二十七條　退學ヲ命セラレタル者、第十九條ノ規定ニ依リ退學ヲ命セラレタル者又ハ第二十五條ニ規定スル義務年限内ニ於テ退職シ若ハ退職ノ命セラレタル者ニ對シテハ鐵道局長ノ定ムル所ニ依リ在學中ノ費用ヲ辨償セシムル者ハ保證人二人

學科目	第一期	第二期	第三期	第四期	第五期	第六期	第七期	第八期	第九期	第十期	第十一期	第十二期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
國語	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
算術	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
理科	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
工作	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
圖畫	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
唱歌	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
計	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
毎週教授時數	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

備考

一 工作ハ男兒ニ對スルモノトス

二 理科ハ第一學年ニ於テ自然物ノ觀察ニ關スル事項ヲ授ケ第二學年ニ於テ理科ノ初歩ヲ授ケ第三學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ第四學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ第五學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ第六學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ第七學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ第八學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ第九學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ第十學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ第十一學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ第十二學年ニ於テ物理及化學ノ初歩ヲ授ケ

三 工作科ハ第一學年中適宜ナル期ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

四十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

五十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

六十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

七十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

八十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

九十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百二十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百三十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百四十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百五十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百六十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百七十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百八十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

百九十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百二十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百三十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百四十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百五十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百六十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百七十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百八十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十四 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十五 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十六 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十七 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十八 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

二百九十九 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三百 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三百一 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三百二 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四時間ヲ課スルモノトス

三百三 第三學年ヨリ第十二學年ニ至ル間ニ於テ毎週四

保證書

本籍
現住所　　姓　　名印

年　月　日生

右者今般御所へ入學御許可相成候ニ付テハ御規則ヲ相守ラセ候ハ勿論本人ニ關スル一切ノ事件ハ拙者共ニ於テ引受ケ聊無弁可致候也

年　月　日

本籍
現住所
職業及生徒トノ關係　　姓　　名印

本籍
現住所
職業及生徒トノ關係　　姓　　名印

朝鮮總督府鐵道從事員養成所長殿

第四號樣式

卒業證書

姓　　名

年　月　日生

本所何科ノ課程ヲ履修シ其ノ業ヲ卒ヘタルコトヲ證ス

年　月　日　朝鮮總督府鐵道從事員養成所長　姓　　名印

第五號樣式

講習證書

姓　　名

年　月　日生

本所何何講習科（又ハ講習科何何）ノ課程ヲ修了シタルコトヲ證ス

年　月　日　朝鮮總督府鐵道從事員養成所長　姓　　名印

第三章　教育費

（第九輯ニ收ム）

第四章　私立學校

書堂

●私立學校規則

大正九年三月
總令第二十一號

改正　大正一一年三月第二七號、一四年五月第六三號、昭和四年三月第三七號、七年四月第三九號、一〇年四月第三七號、一二年七月第九〇號、一三年三月第四二號

私立學校規則左ノ通改正ス

私立學校規則

第一條　私立ノ小學校、實業補習學校、中學校、高等女學校、實業學校及專門學校ノ設立認可ノ申請書ニハ設立者ノ履歷書（財團法人ニ在リテハ寄附行爲）基本財產ノ目錄及寄附金ニ關スル證憑書類ヲ添附スヘシ

第二條　前條以外ノ私立學校ヲ設置セムトスルトキハ左記各號ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　目的
二　名稱、位置
三　學則
四　開校年月日
五　校地、校舍、寄宿舍ノ平面圖（坪數及附近ノ狀況ヲモ記載ス）
六　一年ノ收支概算（初年度ヨリ完成年度ニ至ル迄ノ分ニ付キ記載ス）
七　維持方法但シ基本財產、寄附金ニ付テハ證憑書類ヲ添附スヘシ
八　設立者ノ履歷書（財團法人ニ在リテハ寄附行爲トス）

前項第一號、第二號又ハ第七號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第四號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第二條ノ二　私立學校ノ設立者ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第三條　第二條第三號ノ學則ニハ左ノ事項ヲ規定スヘシ

一　修業年限、教科目、教科課程及每週教授時數ニ關スル事項
二　生徒ノ定數
三　學年、學期ニ關スル事項
四　休業日ニ關スル事項
五　入學者ノ資格及生徒ノ入學ニ關スル事項
六　生徒ノ退學、懲戒ニ關スル事項
七　課程ノ修了及卒業ニ關スル事項
八　授業料、入學料ニ關スル事項
九　寄宿舍ニ關スル事項
十　前各號ノ外學校ニ於テ必要ト認ムル事項

前項第一號、第二號、第四號、第五號又ハ第八號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第六號、第七號、第九號又ハ第十號ノ事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第四條　私立ノ專門學校、中學校、高等女學校又ハ職業學校以外ノ實業學校ノ設立者ハ其ノ學校ヲ設立維持スルニ足ルヘキ財產ヲ有スル財團法人ナルコトヲ要ス

第五條　私立學校ヲ廢止セントスルトキハ其ノ事由、生徒ノ處分方法及廢止期日ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第六條　普通教育ヲ爲ス學校ニ類スル私立ノ各種學校ハ其ノ程度ニ應シ小學校規程、中學校規程又ハ高等女學校規程ノ定ムル各教科目ノ要旨竝教授上ノ注意ニ依リ教授スヘシ

前項ノ學校ニ於テハ教科目中ニ修身及國語ヲ加フヘシ

第七條　削除

第八條　私立學校ニハ學校長ヲ置クヘシ

學校長ハ學校ヲ代表シ校務ヲ掌理スルコトヲ要ス

第九條　私立學校ノ教科用圖書ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外朝鮮總督府ノ編纂シタルモノ、朝鮮總督ノ檢定ヲ經タルモノ又ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルモノヲ用ユヘシ

第十條　前條ノ規定ニ依リ教科用圖書ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ圖書ノ名稱、卷册ノ記號、使用セムトスル學年、著譯者及發行者ノ氏名、發行年月日ヲ具シ申請スヘシ

第十一條　普通教育、實業教育又ハ專門教育ヲ爲ス學校ニ類スル私立ノ各種學校ノ教員ハ當該學校ノ程度ニ應スル學力ヲ有シ且國語ニ通達スルコトヲ證明シ得ル者タルヲ要ス但シ專ラ朝鮮語及漢文、外國語、專門學科又ハ特種ノ技術ヲ教授スル者ニ限リ國語ニ通達セサルモ之ヲ妨ケス

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ私立學校ノ設立者、學校長又ハ教員トナルコトヲ得ス

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者但シ特赦、復權セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス
二　破產又ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ

辨償ヲ終ヘサル者

三　懲戒ニ依リ免職ニ處セラレ二年ヲ經過セサル者但シ懲戒ヲ免除セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

四　教員免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケ又ハ第十四條ノ規定ニ依リ解職ヲ命セラレ若ハ認可ヲ取消サレ二年ヲ經過セサル者

五　性行不良ト認ムヘキ者

第十三條　設立者ニ於テ學校長ヲ採用又ハ解職セントスルトキハ專門學校、中學校、高等女學校竝ニ職業學校以外ノ實業學校ニ在リテハ朝鮮總督、其ノ他ノ學校ニ在リテハ道知事ノ認可ヲ受ケ教員ヲ採用又ハ解職セントスルトキハ專門學校ニ在リテハ朝鮮總督、其ノ他ノ學校ニ在リテハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ採用ノ認可申請書ニハ小學校及之ニ類スル各種學校ニ在リテハ本人ノ履歷書、其ノ他ノ學校ニ在リテハ本人ノ履歷及擔任敎科目ヲ記載シタル書類ヲ添附シ前項ノ解職ノ認可申請書ニハ解職ヲ必要トスル理由ヲ記載シタル書類ヲ添附ベシ

第一項ノ採用ノ認可ヲ申請スル場合ニ於テ私立學校敎員ノ資格及員數ニ關スル規程第十一條ノ規定ニ依ラムトスルトキハ前項ノ書類ノ外其ノ敎員ノ採用期間竝現在敎員ノ氏名及資格ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

私立學校敎員ノ資格及員數ニ關スル規程第十五條第一項第二號又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭和五年四月總令第三十七號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル高等女學校、女子高等普通學校及實業補習學校以外ノ實業學校ニシテ敎育上有害ナリト認メタルトキハ監督官廳ハ之カ變更ヲ命スルコトヲ得

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ私立學校ノ閉鎖ヲ命スルコトヲ得

一　第二條ノ二ノ規定ニ違反シタルトキ
二　安寧秩序ヲ紊亂又ハ風俗ヲ壞亂スルノ虞アルトキ
三　六月以上所定ノ授業ヲ爲ササルトキ
四　第十四條、第十五條ノ命令ニ違反シタルトキ

第十六條ノ二　監督官廳ニ於テ學校ノ事業ヲ爲スモノト認メタルトキハ其ノ旨ヲ關係者ニ通告シテ本令ノ規定ニ依ラシメ又ハ之ヲ禁止スベシ

第十七條　私立學校ニ於テハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外道知事ノ監督ニ屬ス

府尹、郡守又ハ島司ハ私立ノ小學校又ハ之ニ類スル各種學校ニ對シ必要ト認ムルトキハ實地ノ調査ヲ爲シ又ハ報告ヲ徵シ且意見ヲ監督官廳ニ具申スルコトヲ得

第十八條ノ二　小學校ニ類スル私立ノ各種學校ニ付テハ本令中第九條ノ規定ヲ除クノ外朝鮮總督トアルハ道知事ト

第十九條　外國人ヲ敎育スル學校ニハ第六條、第九條乃至第十一條ノ規定ヲ適用セス

第二十條　第八條、第十一條乃至第十六條ノ規定ハ之ヲ私立幼稚園ニ準用ス

特別ノ事情アルトキハ第十一條ニ該當セサル者ヲ保姆ニ採用スルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第六條ノ規定ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前認可ヲ受ケタル私立學校ニ關シテハ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（大正十一年三月總令第二十七號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル高等女學校、女子高等普通學校及實業補習學校以外ノ實業學校ニシテ敎育上有害ナリト認メタルトキハ監督官廳ハ之カ變更ヲ命スルコトヲ得

附　則（大正十一年三月總令第二十八號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル外國人ヲ敎育スル學校ハ之ヲ本令ニ依リ設立ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭和十三年三月總令第四十二號）

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ採用ノ認可ヲ受ケタル私立學校ノ學校長又ハ敎員ニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ職ニ在ル者ハ之ヲ本令施行ノ日ニ於テ本令ニ依ル採用ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

●私立學校敎員ノ資格及員數ニ關スル規程

大正十一年三月
總令第二十八號

改正　昭和一〇年四月第五號、一三年三第五一號

私立學校敎員ノ資格及員數ニ關スル規程左ノ通定ム

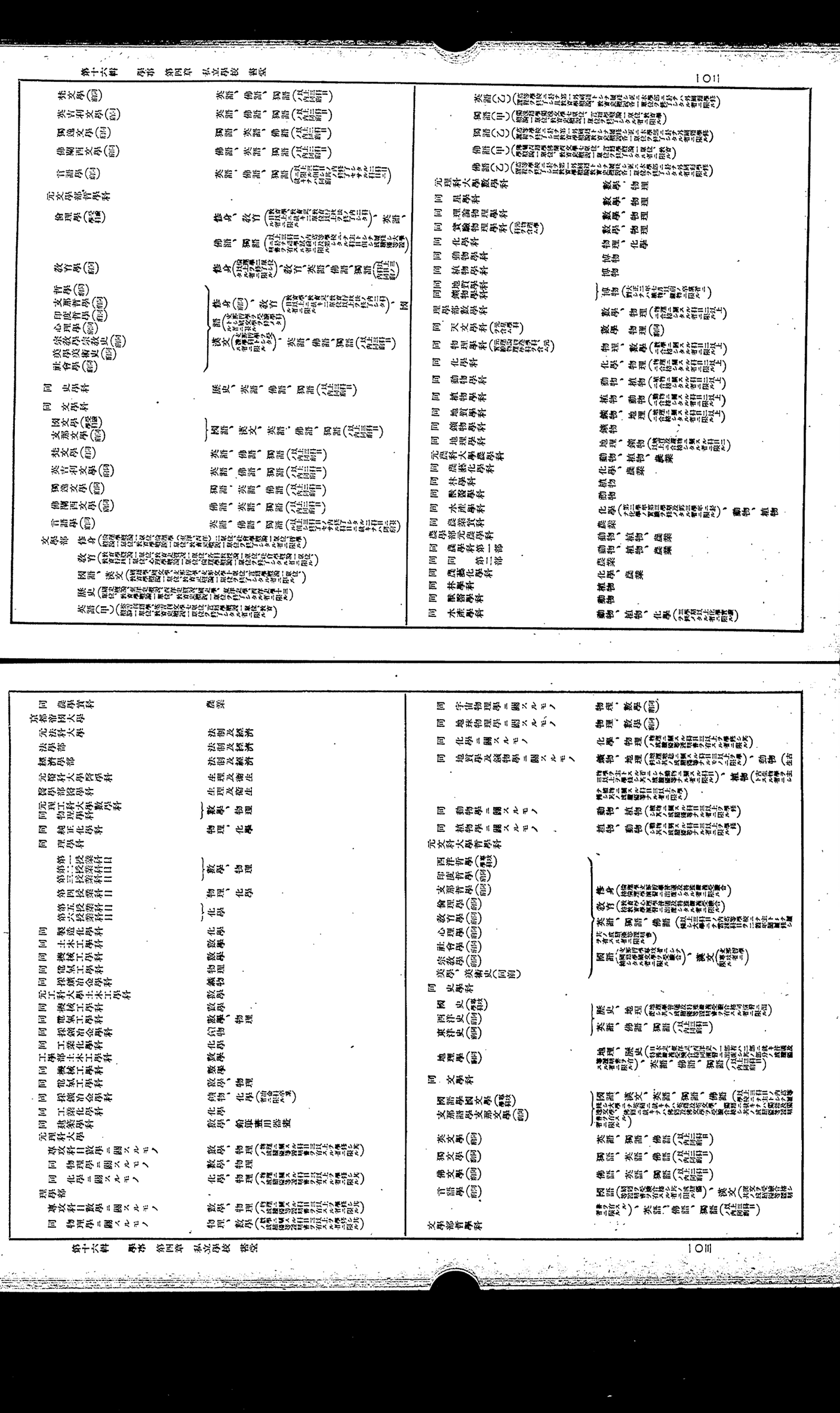
私立學校敎員ノ資格及員數ニ關スル規程

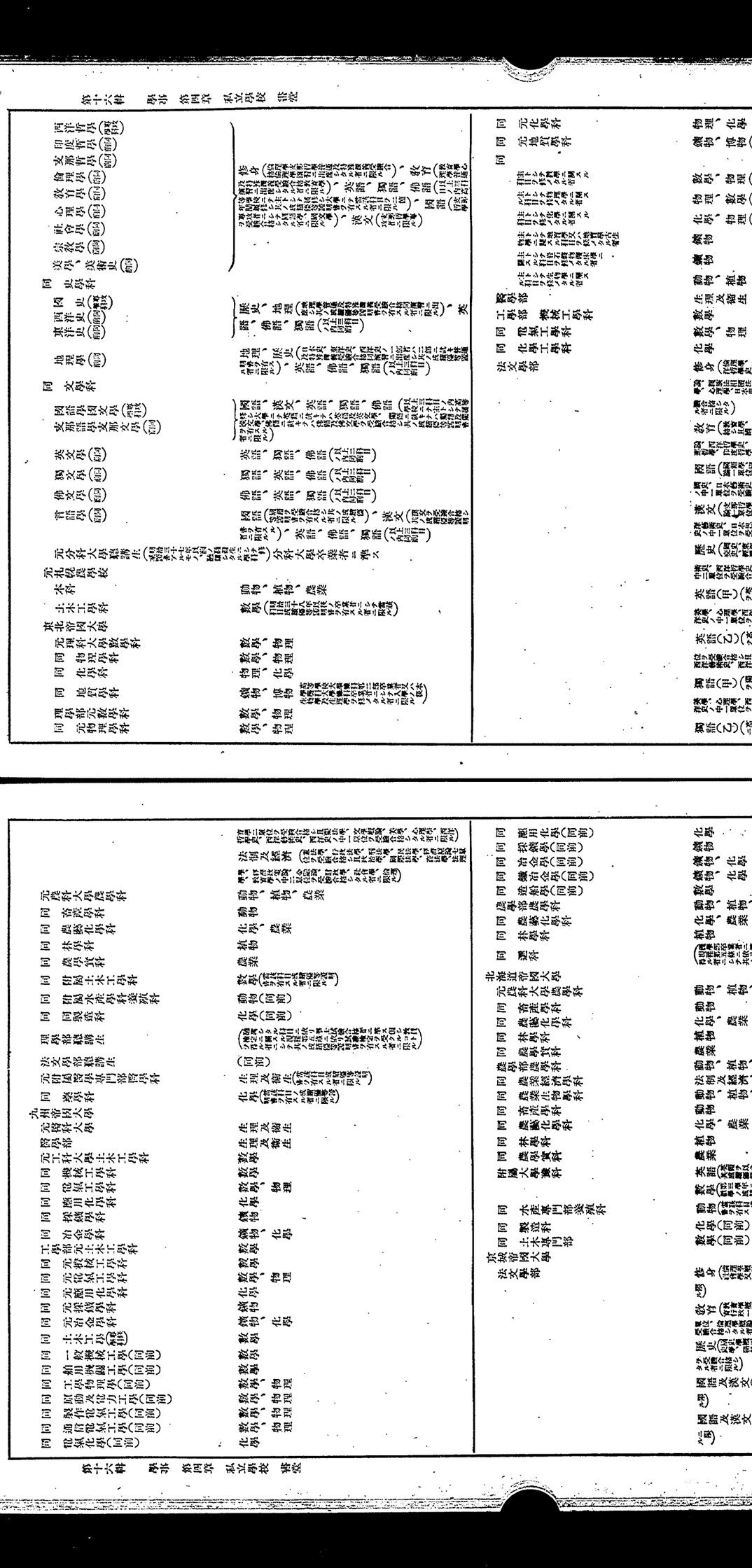
第一條　私立學校ノ敎員ノ資格及員數ニ關シテハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外本令ニ依リ認可ヲ受ケタル私立學校ノ敎員ニ之ヲ準用ス

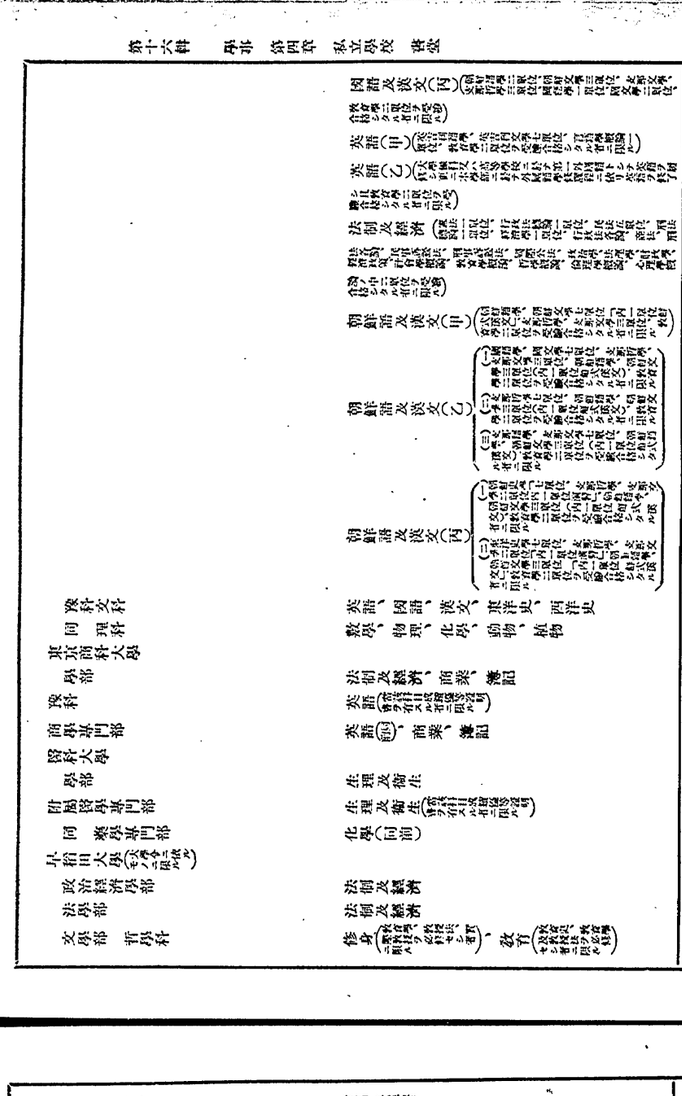
第二條　小學校ノ敎員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者タルコトヲ要ス

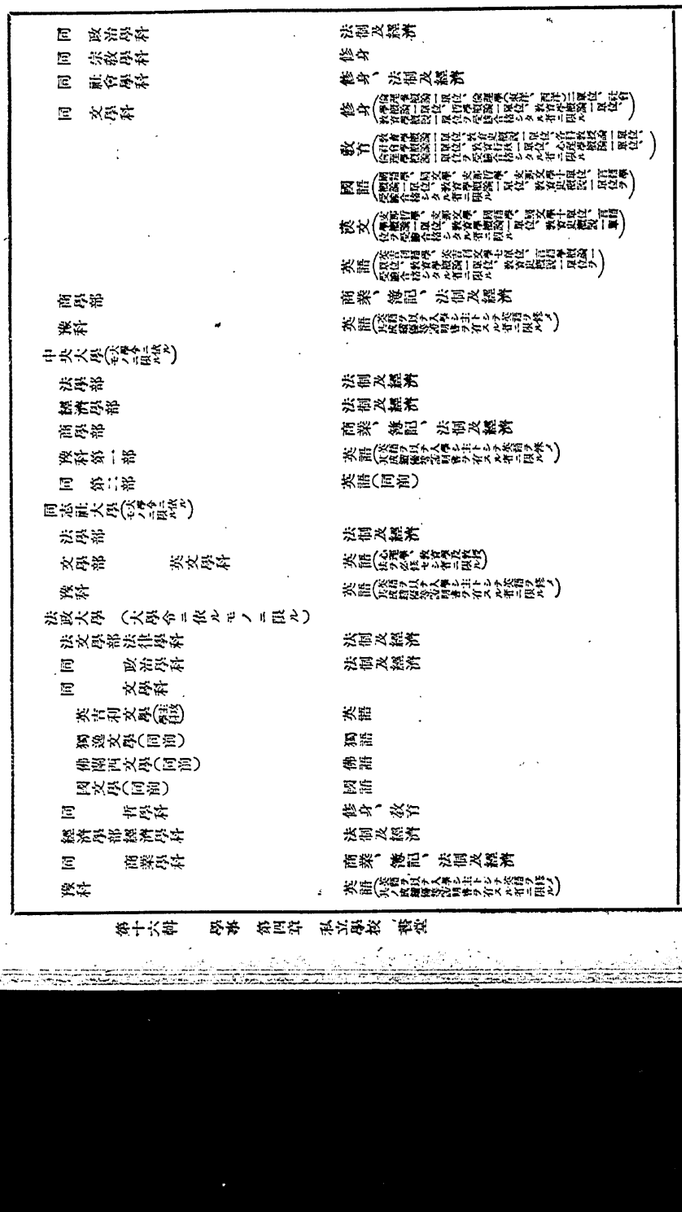
一　小學校ノ正敎員ノ免許狀ヲ有スル者
二　小學校令施行規則第百七條第一項第一號乃至第五號ノ一ニ該當スル者
三　小學校敎員試驗規則又ハ小學校及普通學校敎員試驗規則ニ依ル第一種試驗ニ合格シタル者

四　敎員養成ヲ目的トスル朝鮮ノ官公立學校ノ卒業シタル者（高等科設置ノ公立普通學校ノ卒業者ニ在リテハ大正二年朝鮮總督府令第一號朝鮮總督府公立普通學校規則第二十條ノ規定ニ依リ同規則ノ適用ヲ受ケタル者及大正二年朝鮮總督府令第一號朝鮮總督府公立普通學校規則第二十條ノ規定ニ依リ同規則ノ適用ヲ受ケタル者ニ在リテハ同









| | | |

私立早稻田大學	元大學部文學科	哲學科	修身、教育	明治三十一年八月四日學則ヲ改正シテ「英文學科」ヲ「英文學科第一部」ニ改稱	明治三十年九月三十日以降
		英文學科	英語		
		國語漢文科	國語、漢文	明治四十一年八月四日「國語漢文科」ヲ「國語漢文及歷史科」ト改稱	明治四十年九月十日以降
		歷史地理科	歷史、地理	明治四十一年八月四日「國語漢文及歷史科」ヲ「國語漢文科」ト改稱	明治四十年五月十六日以降
		英語科	英語		
	大學部文學科	哲學科（第一部）	修身、教育	明治四十一年八月四日「哲學科」ヲ「哲學及心理學科」ト改稱	明治四十年九月十日以降
		英文學科（第二部）	英語	明治四十年九月「英文學科」ヲ「英語及英文學科」ト改稱	明治三十年九月十日以降
		國文學科（第三部）	國語、漢文	明治四十年九月「國文學科」ヲ「國語及漢文學科」ト改稱	明治三十年九月十日以降
		歷史地理科	歷史、地理	明治四十年九月「歷史地理科」ヲ「歷史學科」ト改稱	明治三十年九月十日以降
		英語科	英語		
	高等師範部	英國國語及歷史科	國語、漢文	明治三十年九月「英國國語及歷史科」ヲ「國語及漢文科」ト改稱	明治三十年九月十日以降
		國語及漢文科	國語、漢文		
		英語科	英語		
私立國學院	師範部	國語漢文歷史科甲種	國語、漢文、歷史	明治三十年十一月二十日「日本歷史」ヲ「國語及漢文」ニ變更	明治三十年一月十日師範部ノ組織ヲ變更シテ同年九月ヨリ專門學校令ニ依リ專門學校ト認可セラレタル者及ビ明治三十年九月ニ入學シタル者ニ限リ明治三十三年三月三十一日迄ニ卒業スル者ニ對シテハ從來ノ規程ニ依リ卒業證書ヲ授與ス
		日本歷史、國語科	日本歷史、國語		
	國學院大學	大學部本科	國史科	明治三十年十月「國史科」ヲ「歷史科」ト改稱	明治三十年一月十日師範部ノ組織ヲ變更シテ同年九月ヨリ專門學校令ニ依リ專門學校ト認可セラレタル者及ビ明治三十年九月ニ入學シタル者ニ限リ明治三十三年三月三十一日迄ニ卒業スル者ニ對シテハ從來ノ規程ニ依リ卒業證書ヲ授與ス
			國文科	明治三十年十月「國文科」ヲ「國語漢文科」ト改稱	明治八年十月以降
			國語、漢文		
		國語漢文科	國語、漢文	明治三十年十月「國語漢文科」ヲ「國文科」ト改稱	明治三十年十月以降
		歷史科	歷史	明治三十年十月「歷史科」ヲ「歷史地理科」ト改稱	明治三十年十月以降
		歷史地理科	歷史		

私立青山學院	元高等學部	高等科	英語	明治三十年九月八日以降	明治三十一年八月四日學則ヲ改正シテ「英文學科」ヲ「英文學科第一部」ニ改稱
	英語師範科				
廣島縣立廣島高等女學校	專攻科第一部	甲種家事裁縫	家事、裁縫	大正十三年以降	
	乙種				
京都府立第一高等女學校	專攻科	國語、漢文、裁縫	國語、漢文、裁縫	明治三十年三月十三日以降	明治三十七年一月二十五日「京都府立高等女學校」ヲ改稱
	家事及裁縫科				
元山私立日本法律學校	高等師範科	修身、法制及經濟	明治三十年十月九日以降	明治三十六年八月十四日「高等師範科」ヲ「高等師範部」ト改稱	
私立日本大學	高等師範部	修身、法制及經濟	明治三十年八月十九日以降	明治三十六年八月十四日「高等師範部」ト改稱	
私立女子英學塾	元師範科	英語	明治三十年八月十七日「師範科」ヲ「本科」ト改稱	明治四十二年七月二十八日「師範科」ヲ「高等師範部」ト改稱	
私立東京高等師範科理化學部數學部	物理、化學		大正九年三月以降		
私立東洋大學	第一部	文學科	倫理、教育、漢文、英語、歷史、簿記、歷史	明治三十三年三月以降	明治三十三年三月「哲學科」ヲ「倫理學及教育學科」ト改稱
	第二部	理財科		明治三十三年三月以降	明治三十三年三月「理財科」ヲ「財政學及經濟學科」ト改稱
	大學部	元大學部文學科	修身、教育、英語	明治三十年七月一日以降	明治三十年七月「英語科」ヲ「英文學科」ト改稱
	哲文學部	元英文學科	英語	明治四十年四月十五日以降	明治四十年四月「英文學科」ヲ「英語及英文學科」ト改稱
		大學部文學科	修身、教育	明治四十年四月十五日以降	明治四十年四月「文學科」ヲ「英語及英文學科」ト改稱
元私立哲學館	教育部	倫理科甲種	修身、教育	自明治三十年十二月至同三十一年七月	明治三十一年六月二十日「倫理學及教育學科」ヲ「倫理科甲種」ト改稱
		漢文科甲種	漢文	明治三十一年七月十三日至同三十二年三月	明治三十一年六月二十日「漢文學科」ヲ「漢文科甲種」ト改稱
	第一部	修身、教育	修身、教育	明治三十二年四月十四日以降	明治三十二年四月「教育部」ヲ「第一部」ト改稱
	第二部	修身、國語、漢文	修身、國語、漢文	明治三十二年四月十四日以降	明治三十二年四月「教育部」ヲ「第二部」ト改稱
私立神戸女學院	大學部英文科第二部	英語	大正十五年三月以降		
同	專門學部國文科	國語	大正十四年三月以降		
帝國女學校	家政專攻科	家事	大正十二年三月以降		
婦人協會女子高等學校	技藝專攻科	裁縫			
私立戸板裁縫學校	高等師範科	裁縫	大正十年三月以降		
私立東北學院	專門部師範科	英語	大正十一年三月以降		
大日本武德會武道專門學校	本科	劍術、柔術	大正七年三月以降	大正八年八月一日私立大日本武德會武道專門學校ヲ改稱同年同月更ニ改稱	
實踐女學校	家政專攻科	家事	大正二年三月以後ノ卒業者ヨリ取扱ヲ廢ス		
	師範專攻科	裁縫	大正六年三月以降	大正十年四月「女學部」ヲ「女子部」ト改稱大正八年八月私立同志社大學ヲ改稱	
私立同志社大學	元英文部	英語	大正五年七月以降	大正八年一月二十八日「文學部」ヲ「英文部」ト改稱	
和洋裁縫女學校	元高等裁縫教員養成科	裁縫	大正三年三月以降	大正十年二月二十二日高等師範科ト改稱	
共立女子職業學校	元甲部高等師範科	裁縫	大正十三年三月以降	明治四十五年一月甲部ヲ改稱シ大正八年四月專門部ト改稱	
	專門學校	裁縫		大正十四年四月專門部ヲ高等師範部ニ改ム	
東京裁縫女學校	高等師範科	裁縫	明治四十四年四月二十七日以降	大正八年九月私立裁縫女學校ヲ改稱	
日本女子大學校	實學科師範家政學科（第一部）	家事	大正二年三月以降	大正六年三月「實學科」ヲ「家政學科」ト改稱	
	文學科英文學科	英語	大正十年三月以降	大正十二年三月以降ノ卒業者ニシテ教育學及教授法ヲ修メタル者ニ限ル	
宗教大學	教育部	國語、漢文	大正十四年三月以降		
元教育學部家政科（第二部）	家事				
私立關西學院	文學部英文學科	英語	大正十三年三月以降		
	高等商業學部	英語	大正十四年三月以降		
私立明治學院高等學部	商業科	商業簿記	大正十四年三月以降		

第四條　左ニ掲ケル者ハ實業學校ノ教員タル資格ヲ有ス

一　第三條ニ該當スル者但シ其ノ擔任學科目ニ付テハ制限ヲ設ケス

二　舊朝鮮教育令ニ依ル官立專門學校卒業者

三　元私立京城高等商業學校卒業者

四　元私立東洋協會植民專門學校京城分校卒業者

五　元私立東洋協會專門學校京城分校卒業者

六　私立延禧專門學校卒業者

七　私立セブランス聯合醫學專門學校卒業者

八　延禧專門學校卒業者

（昭和十三年三月勅令第二百七十號ニ依リ昭和十三年四月一日ヨリ施行）

選科修了者ニ在リテハ文部省令教員檢定ニ關スル規程第五條ニ依リ試驗ヲ受クルコトヲ得ル資格ヲ有スル者ニ限ル但シ國語ヲ常用セサル者ニ在リテハ當分ノ內前記ノ資格ヲ有セサルモ之ヲ妨ケス

三　外國ノ大學又ハ之ニ準スヘキ學校ニ於テ其ノ擔任セムトスル學科目ヲ修メ學位若ハ卒業證書ヲ受領シタル者但シ國語ヲ常用スル者ニ在リテハ文部省令教員檢定ニ關スル規程第五條第一號乃至第八號ニ該當スル者、國語ヲ常用セサル者ニ在リテハ國語ニ通達スルコト證明シ得ル者ニ限ル

四　專門學校、師範學校、中學校、高等普通學校、高等女學校又ハ女子高等普通學校（以上夏期講習教育ノミヲ行フモノヲ除ク）ニ於テ五年以上其ノ擔任セムトスル學科目ヲ教授シ朝鮮總督ニ於テ私立學校教員ノ資格及員數ニ關スル規程第六條第一號ニ準スヘキ者ト認定シタル者

●書堂規則

大正七年二月
總令第十八號
改正　昭和四年六月總令第五五號

書堂規則左ノ通定ム

第一條　書堂ヲ開設セントスルトキハ左ノ掲ゲル事項ヲ具シ道知事ノ認可ヲ受ケベシ

一　名稱及位置
二　學童ノ定數
三　教授事項及教授用圖書名
四　維持方法
五　開設者及教師ノ氏名竝ニ其ノ履歴
六　開設年月日
七　季節ヲ定メテ授業ヲ爲スモノニ在リテハ其ノ季節

前項第一號、第三號、第四號及第五號ニ掲ゲル事項ヲ變更セントスルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ第二號、第六號及第七號ニ掲ゲル事項ヲ變更シタルトキハ道知事ニ屆出ヅベシ

第一條ノ二　書堂ニ於テ國語、朝鮮語、算術等ヲ教授スル場合ニ於テハ其ノ教授用圖書ハ朝鮮總督府編纂教科書ヲ使用スベシ

第二條　書堂ヲ廢止シタルトキハ開設者ニ於テ遅滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツベシ

第三條　書堂ノ名稱ニハ學校ニ類スル文字ヲ用ヰルコトヲ得ズ

書堂ハ名稱ヲ記シタル標札ヲ見易キ場所ニ掲ゲベシ

第四條　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ性行不良ナル者ハ書堂ノ開設者又ハ教師トナルコトヲ得ズ

第五條　左ノ場合ニ於テハ道【長官】ハ書堂ノ閉鎖又ハ教師ノ變更其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルコトヲ得

一　法令ノ規定ニ違反シタルトキ
二　公安ヲ害シ又ハ教育上有害ナリト認メタルトキ

第六條　書堂ハ道知事ノ監督ニ屬ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際存在スル書堂ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ第一條ノ事項ヲ府尹、郡守又ハ島司ニ屆出ツベシ

附　則（昭和四年六月總令第五十五號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル書堂ハ本令ニ依リ道知事ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

●書堂規則發布ニ關スル件

大正七年二月
總訓第九號

道府郡島

書堂教師中往往ニシテ偏見固陋時勢ヲ解セサル者アリ是等ニ付テハ平素其ノ思想ノ啓發ニ努ムルト共ニ其ノ言動ニ注意シ相當取締ヲ怠ラサラムコトヲ要ス尚公立普通學校長ヲシテ隨時書堂ノ視察ヲ行ハシメ又時時書堂教師ヲ集メ講習其ノ他ノ方法ニ依リ必要ナル事項ヲ訓諭スル等指導誘掖ニ力ヲ致ササルヘカラス

書堂ニ於テ教授スル書籍ハ從來ノ慣例ニ依リヲ妨ケスト雖就中時勢竝學堂ノ能力等ニ比シ不適當ナルモノ拠カラス依テ左ニ適當ト認ムヘキモノヲ列舉シテ之ヲ示ス須ラク書堂ヲシテ此ノ内ヨリ選擇使用セシメ彼ノ發賣頒布禁止其ノ他不良書籍ヲ用ユルカ如キコト莫ラシムヘシ

千字文　類合　啓蒙編　撃蒙要訣
小學　孝經　四書、三經　通鑑　古文眞寶　明心寶鑑　文章軌範　唐宋八家文　唐詩、唐詩、法帖　朝鮮總督府編纂教科書

第五章　學校ノ認定、指定及檢定

●公立私立學校認定ニ關スル規則

明治三十二年六月
文令第三十四號
改正　明治三四年三第五號、三六年八第三〇號、三七年三第二一號、四〇年二第三三號、四三年三第二一號、大三年三第七號、同年八第三五號、九年四第二一號、一〇年四第二三號

公立私立學校認定ニ關スル規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

公立私立學校認定ニ關スル規則

第一條　公立私立學校ニシテ文官任用令第六條ニ關シ中學校ト同等以上トシテ文部大臣ノ認定ヲ受ケントスルトキハ公立學校ニ在リテハ其管理者、私立學校ニ在リテハ其設立者ニ於テ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添ヘ申請スヘシ但特別ノ規定ニ依リ文部大臣ニ開申シ若クハ其認可ヲ得タル事項ハ之ヲ省略スルコトヲ得

一　名稱
二　位置
三　學校ノ沿革
四　學則
五　學校長、學校長ナキトキハ其學校代表者ノ履歴
六　教員ノ氏名、資格、學業經歷分擔學科及專任兼任ノ區別
七　生徒定員、現在生徒學年及學級別員數
八　卒業生ノ員數及卒業後ノ情況
九　校地、校舍及寄宿舍ノ圖面
十　經費及維持ノ方法
十一　教科書目錄
十二　教授用器具、器械及標本目錄

特別ノ規定アル場合ヲ除ク外學則ニ規定スヘキ事項ニ關シテハ中學校令施行規則第五十四條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二條　前條ノ申請ニ基キ文部大臣ニ於テ認定ヲ爲スヘキ學校ハ其管理及維持ノ方法確實ニシテ所定ノ學科ヲ教授スルニ足ルヘキ相當ノ教員及設備ヲ具ヘ左ノ一ニ該當スルモノニ限ル

一　專門學校（別科ヲ除ク）及實業專門學校（別科ヲ除ク）ニ在リテハ其ノ入學者ハ中學校ヲ卒業シタル者、專門學校令第二條ニ非ラス之ヲ以テ書堂ノ學童竝ニ多クモ三十人ヲ超エサル範圍ニ於テ之ヲ定メシムヘク且現ニ存在スル書堂ニ對シテモ漸次勸奬シテ之ニ準據セシムルコトヲ期スヘシ又書堂ノ教授ハ從來概シテ唯漢文ノ素讀ニ止レリト雖土地ノ狀況竝書堂ノ實情ニ依リ漸次勸奬シテ國語及算術ヲ教授セシムルヲ要ス若夫レ名ヲ書堂ニ藉リテ私立學校規則ノ適用ヲ免カレムトスルモノノ如キハ特ニ留意シテ取締ノ實效ヲ擧ケムコトヲ期スヘシ

書堂教師中往往ニシテ偏見固陋時勢ヲ解セサル者アリ是等ニ付テハ平素其ノ思想ノ啓發ニ努ムルト共ニ其ノ言動ニ注意シ相當取締ヲ怠ラサラムコトヲ要ス尚公立普通學校長ヲシテ隨時書堂ノ視察ヲ行ハシメ又時時書堂教師ヲ集メ講習其ノ他ノ方法ニ依リ必要ナル事項ヲ訓諭スル等指導誘掖ニ力ヲ致ササルヘカラス

書堂ニ於テ教授スル書籍ハ從來ノ慣例ニ依リヲ妨ケスト雖就中時勢竝學堂ノ能力等ニ比シ不適當ナルモノヲ拠カラス依テ左ニ適當ト認ムヘキモノヲ列舉シテ之ヲ示ス須ラク書堂ヲシテ此ノ内ヨリ選擇使用セシメ彼ノ發賣頒布禁止其ノ他不良書籍ヲ用ユルカ如キコト莫ラシムヘシ

千字文　類合　啓蒙編　撃蒙要訣
小學　孝經　四書、三經　通鑑　古文眞寶　明心寶鑑　文章軌範　唐宋八家文　唐詩、唐詩、法帖　朝鮮總督府編纂教科書

五條ノ檢定ニ合格シタル者、又ハ當該學校ノ豫科ヲ修了シタル者ヌルコト

二　實業學校ニ在リテハ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノモノ、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年ノモノ又ハ之ト同等以上ノ學科程度ヲ具ヘ修業年限三年以上ノモノ

三　其ノ他ノ學校ニ在リテハ其ノ學科程度、入學規則、編制及設備等中學校ノ規定ニ準スルモノ

前項第三號ノ學校ニ在リテハ其ノ教員全數ノ三分ノ一以上ハ專任タルヘク且中學校ノ程度ニ準シ中學校ト同種ノ學科目ヲ教授スル教員ニ就キテハ中學校ノ教員免許狀ヲ有セサル者ノ數之ヲ有スル者ノ數ヲ超過スルヲ得ズ

專門學校及實業專門學校ニ於テ中學校ト同等程度ノ豫科ヲ置キタル場合ハ前項ノ要件ニ適合スルモノタルヘシ

第三條　文部大臣又ハ地方長官ハ必要ト認メタルトキハ主務官吏ヲシテ認定ヲ受ケタル學校ノ入學試驗ニ立會ハシメ又ハ入學試驗ノ問題及其答按ヲ查閱セシムヘシ

前項ノ場合ニ於テ試驗ノ問題又ハ方法中不適當ト認メタルモノアルトキハ當該官吏ハ其變更ヲ命スルコトヲ得

第四條　認定ヲ受ケタル學校ニ於テ名稱、位置、學則、生徒定員、校地、校舍及學校維持ノ方法ヲ變更セントスルトキハ第三條ノ例ニ依リ第二條第二項又ハ第三項ノ規定ニ依リ難キトキハ公立學校ニ在リテハ其管理者、私立學校ニ在リテハ其設立者ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ受ケヘシ但特別ノ規定ニ依リ文部大臣ニ屆出スヘキ事項ニ關シテハ各〻其ノ規定ニ依ルヘシ

設立者變更ノ場合ニ於テモ前項ノ規定ニ依ルヘシ

第五條　中學校令施行規則第三十四條、第三十九條第二項、第四十八條、第五十一條及第五十二條ノ規定ヲ受ケタル學校ニ關シシ之ヲ準用ス

第六條　認定ヲ受ケタル學校ニ於テ第二條ノ規定ニ該當セサル生徒ヲ入學セシムルトキハ其生徒ニ特別ノ名稱ヲ附シ且其學籍簿ヲ別冊トナスヘシ但認定ノ效力ハ本文ノ生徒ニ及ハス

前項ノ生徒ニ關シテハ第五條ノ表簿ヲ便宜省略スルコトヲ得

第七條　削除

第八條　認定ヲ受ケタル學校ニシテ此規則ニ違背シ又ハ共成績不良ナリト認メタルトキハ文部大臣ハ將來ニ向テ其認定ヲ取消スコトアルヘシ

第九條　此規則ニ依リ文部大臣ニ提出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スルヲ要ス

地方長官ニ於テ前項ノ書類ヲ受ケタルトキハ其書類及實況ヲ精査シ意見ヲ附シテ進達スヘシ

附　則

第十條　本令ハ明治三十二年七月十五日ヨリ施行ス

第十一條　明治二十六年文部省令第十五號ハ本令施行ノ日ヨリ廢止ス

第十二條　本令施行前ニ竝シタル認定ハ尚其效力ヲ有ス但本令ニ牴觸スル事項アルトキハ當該學校ニ於テ本令施行ノ日ヨリ六箇月内ニ文部大臣ノ認可ヲ受ケシヲ修正スヘシ

附　則（明治四十三年六月文令第十五號）

本令ハ明治四十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依リ認定ヲ受ケタル學校ニシテ未タ文官任用令ニ依リ認定ヲ受ケサルモノハ本令施行ノ日ニ於テ文官任用令ニ依リ之ヲ認定ス

前項ニ依ル認定ノ效力ハ徵兵令ニ依リ認定ヲ受ケタル時ニ溯ル

第二條　大正三年十二月一日以前ニ於テ文官任用令ニ依リ認定ヲ受ケタル學校ニシテ其ノ認定前既ニ徵兵令ニ依リ認定ヲ受ケタルモノニ在リテハ文官任用令ニ依ル認定ノ效力ハ徵兵令ニ依リ認定ヲ受ケタル時ニ溯ル

第三條　前二條ニ依ル認定ノ效力ハ徵兵令ニ依ル認定ニ於テ除外シタルモノニ及ハス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●釜山公立商業專修學校ヲ徵兵令竝文官任用令ニ依リ認定

明治四十一年四月
文告第百四十三號

【釜山居留民團立釜山商業學校】

右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

●京城中學校附屬臨時小學校教員養成所、京城高等普通學校附設臨時教員養成所第二部ヲ文官任用令ニ依リ認定

大正二年五月
文告第百三十號

京城中學校附屬臨時小學校教員養成所
京城高等普通學校附設臨時教員養成所第二部

右ハ文官任用令第三條第三號ニ依リ認定ス

●善隣商業學校ヲ徵兵令竝文官任用令ニ依リ認定

大正四年三月
文告第三十三號

注意　大正十一年七月文部省告示第四百九十五號ヲ以テ廢止ス　私立善隣商業學校ヲ改稱

右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第六條第一項ニ依リ認定ス但シ認定ノ效力ハ第二部生及夜學科生ニ及ハス

●仁川公立商業專修學校ヲ文官任用令ニ依リ認定

大正四年六月
文告第百十八號

朝鮮仁川公立商業專修學校

右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第六條第一號ニ依リ認定ス

●京城高等普通學校附設臨時教員養成所ヲ文官任用令ニ依リ認定

大正五年六月
文告第九十五號

京城高等普通學校附設臨時教員養成所

右ハ文官任用令第六條第一號ニ依リ認定ス

●私立東洋協會京城專門學校ヲ徵兵令竝文官任用令ニ依リ認定

大正七年四月
文告第百十八號

朝鮮京畿道京城府私立東洋協會京城專門學校

右ハ徵兵令第十三條竝文官任用令第六條ニ依リ中學校ト同等以上ト認定ス

●朝鮮總督府鐵道從事員養成所ヲ文官任用令ニ依リ認定

大正十四年九月
文告第三百二十七號

朝鮮總督府鐵道従事員養成所

右ハ文官任用令第六條ニ依リ認定ス但認定ノ效力ハ本科ニ限ル

●朝鮮敎育令ニ依ル中學校、高等普通學校、師範學校、專門學校ヲ文官任用令ニ依リ認定

大正十二年二月
文告第三十四號

大正十一年勅令第十九號朝鮮敎育令ニ依ル

中學校
高等普通學校
師範學校
專門學校

右ハ文官任用令第六條第一號ニ依リ認定ス但シ認定ノ效力ハ師範學校特科及講習科、專門學校特科並舊令ニ依リ卒業スル高等普通學校生ニ及ハス

●セブランス聯合醫學專門學校ヲ醫師規則ニ依リ指定

大正十二年二月
總告第三十四號

醫師規則第一條第一項第二號ニ依リ左ノ醫學校ヲ指定ス但シ本指定ハ大正十二年以後ノ本科卒業者ニ對シ效力ヲ有ス

セブランス聯合醫學專門學校

●京城齒科醫學校ヲ齒科醫師規則ニ依リ指定

大正十四年二月
總告第二十八號

齒科醫師規則第一條第一項第二號ノ齒科醫學校ヲ左ノ通指定ス

京城齒科醫學校

●京城齒科醫學專門學校ヲ齒科醫師規則ニ依リ指定

昭和五年一月
總告第十二號

齒科醫師規則第一條第一項第二號ノ齒科醫學校ヲ左ノ通指定ス

京城齒科醫學專門學校（現ニ在學スル別科生ノ卒業ニ至ル迄別科ヲ含ム）

●明治四十三年勅令第三百九十六號第五條ニ依ル認定學校

明治四十五年五月
總告第二百四十二號

改正、大正五年五月第二三號、七年五月二五號、二三年五月第二二號

明治四十三年勅令第三百九十六號第五條ニ依リ左記學校ヲ京城專修學校又ハ官立高等普通學校ト同等以上ト認定ス

朝鮮總督府農林學校　但シ認定ノ效力ハ本科卒業者ニ限ル

京城高等普通學校附設臨時敎員養成所

朝鮮總督府醫院附屬醫學講習所　但シ認定ノ效力ハ醫科卒業者ニ限ル

仁川公立商業學校

釜山公立商業學校

私立進隆商業學校　但シ認定ノ效力ハ明治四十四年以後ノ本科卒業者ニ限ル

元法學校　但シ認定ノ效力ハ明治四十四年卒業者ニ限ル

元成均館　但シ認定ノ效力ハ明治四十四年卒業者ニ限ル

元官立漢城高等學校　但シ認定ノ效力ハ明治四十四年卒業者ニ限ル

元官立平壤高等學校　但シ認定ノ效力ハ明治四十四年卒業者ニ限ル

元官立漢城師範學校　但シ認定ノ效力ハ明治四十四年本科卒業者ニ限ル

元官立漢城外國語學校　但シ認定ノ效力ハ明治四十四年本科卒業者ニ限ル

元官立仁川實業學校　但シ認定ノ效力ハ明治四十四年本科卒業者ニ限ル

京城醫學專門學校
京城工業專門學校
水原農林專門學校
專門學校ニ依リ設置スルモノ

大正十一年勅令第十九號朝鮮敎育令ニ依ル專門學校

●明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校

明治四十四年一月
總告第七號

私立中央大學
私立明治大學
私立法政大學
私立京都法政大學
私立關西大學
私立慶應義塾大學部
私立日本大學
私立早稻田大學

右明治四十三年制令第七號第一條ニ依リ指定ス

大正二年四月
總告第九十九號

京城專修學校

右明治四十三年制令第七號第一條ニ依リ指定ス

昭和二年一月
總告第十八號

私立普成專門學校

右明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依リ指定ス

●專門學校入學者檢定規程

大正十四年四月
總令第四十九號
改正　昭和四年二月第九號、一〇年一〇第二二號

專門學校入學者檢定規程左ノ通改正ス

專門學校入學者檢定規程

第一條　本令ニ依リ檢定ヲ受ケタル者ハ專門學校ノ入學ニ關シテハ中學校又ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シ又ハ昭和五年一月總告第十二號ヲ以テ指定シタル者ニ限ル

前項ノ指定ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條　本令ニ依リ納付スヘキ手數料ハ收入印紙ヲ用ヰ之ヲ願書ニ貼附スヘシ其ノ既ニ納付シタル後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第十三條　大正十三年文部省令第二十二號ニ依ル試驗檢定又ハ文部大臣ニ於テ之ト同一ノ效力ヲ認メタル試驗檢定ハ本令ニ依ル試驗檢定ト同一ノ效力ヲ有ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ專門學校入學者試驗檢定施行ニ關スル手續ヲ開始シタルモノニ在リテハ當該試驗檢定ニ關シ仍從前ノ規程ニ依ル

附　則（昭和十年十月總令第百二十四號）

本令ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

定規程ニ依リ試驗檢定ノ學科目中一科目又ハ數科目ノ試驗ヲ免除スル者ニ對シテハ當該學科目ノ試驗ヲ免除ス

第九條　合格證書ヲ有スル者其ノ氏名本籍ヲ變更シ又ハ合格證書ヲ亡失毀損シタルトキハ其ノ書換又ハ再交付ヲ出願スルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ合格證書ノ書換又ハ再交付ヲ出願スル者ハ手數料トシテ金一圓ヲ納付スヘシ

第十條　試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタル者ニ對シテハ其ノ試驗ヲ停止又ハ試驗後發覺シタルトキハ既ニ交付シタル合格證書又ハ證明書ハ其ノ效力ヲ失フ

第十一條　無試驗檢定ハ當該專門學校ニ於テ入學ノ際之ヲ行フ

無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ朝鮮總督ニ於テ專門學校入學ニ關シ中學校又ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定シ又ハ昭和五年一月總告第十二號ヲ以テ指定シタル者ニ限ル

前項ノ指定ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條　本令ニ依リ納付スヘキ手數料ハ收入印紙ヲ用ヰ之ヲ願書ニ貼附スヘシ其ノ既ニ納付シタル後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

第十三條　大正十三年文部省令第二十二號ニ依ル試驗檢定又ハ文部大臣ニ於テ之ト同一ノ效力ヲ認メタル試驗檢定ハ本令ニ依ル試驗檢定ト同一ノ效力ヲ有ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ專門學校入學者試驗檢定施行ニ關スル手續ヲ開始シタルモノニ在リテハ當該試驗檢定ニ關シ仍從前ノ規程ニ依ル

附　則（昭和十年十月總令第百二十四號）

本令ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式（用紙半紙）

受驗願書

收入印紙

本籍
現住所
外國語ノ種類

免除學科目

私儀專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗相受度書類ヲ具シ此段相願候也

年　月　日

右

氏　名印

年　月　日生

朝鮮總督殿

（記載注意）

一　外國語受驗ノ場合ハ其ノ種類（英語、獨語、佛語又ハ支那語）ヲ明記スヘシ

二　免除學科目ヲ記載スヘシ

三　出願者氏名ノ漢字ニハ振假名ヲ附スヘシ

四　願書ニ貼附セル收入印紙ハ出願者ニ於テ消印スヘカラス

第二號書式（用紙半紙）

履歷書

本籍
氏　名
年　月　日生

學業

一年　月何學校何科第何學年ニ入學年月卒業（目下在學中）

一年　月何年度施行專門學校入學者試驗檢定ニ於テ何學科目證明書受領

一年　月何敎員免許狀受領

一年　月何官職拜命又ハ何業ニ從事、年月何事由ニ依リ退官職又ハ廢業

賞罰

一年　月何事由ニ依リ何賞又ハ何罰ヲ受ク

身上ニ關スル事項

一年　月何事由ニ依リ何ト改氏名等

（記載注意）

一　業務ハ現在又ハ最近ノ經歷ニ限リ記載スヘシ

二　賞罰ハ經歷上特ニ重要ナル事項ニ限リ記載スヘシ

三　身上ニ關スル事項ハ本籍氏名ノ變更等身上ノ異動ヲ詳記スヘシ

第三號書式

大正　年第　合格證書

本籍
氏　名
年　月　日生

右ハ專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタルコトヲ證ス

年　月　日

證明書

本籍
氏　名
年　月　日生

朝鮮總督府印

第四號書式

試驗檢定施行年月

合格點ヲ得タル學科目

年　月　日

朝鮮總督府印

右ハ專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ於テ左ノ學科目ニ就キ合格點ヲ得タルコトヲ證明ス

●専門學校入學者検定規程ニ依リ試驗免除ノ學科目

大正十四年四月
總督第八十六號

専門學校入學者検定規程第八條ノ規定ニ依リ左ノ通學科目ノ試驗ヲ免除ス

資格	試驗免除學科目
小學校敎員試驗規則又ハ小學校及普通學校敎員試驗規則ニ依ル第一種試驗合格者	外國語ヲ除ク外ノ學科目
私立學校敎員資格認定ニ關スル規程ニ依リ認定ヲ受ケタル者	認定證書ニ記載シタル學科目
中學校又ハ高等普通學校ノ第四學年修了者	博物
大學豫科ノ入學ニ關シ指定セラレタル者	博物
師範學校竝專科卒業者（昭和十三年三月總督第二百七十六號ハ昭和十三年四月一日ヨリ施行）	外國語ヲ除ク外ノ學科目

●専門學校入學者検定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程

昭和三年五月
總令第二十六號

改正　昭和一三年三月第五號

専門學校入學者検定規程第十一條ノ規定ニ依ル指定ニ關スル規程左ノ通定ム

専門學校入學者検定規程第十一條ノ規定ニ依リ指定ニ關スル規程

第一條　専門學校入學者検定規程第十一條ノ規定ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校ノ入學ニ關シ中學校又ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノトシテ朝鮮總督ノ指定（高等女學校ノ部ニ之ヲ記ス）ヲ受ケントスルトキハ學校設立者ニ於テ左ニ揭ゲル事項ヲ具シ申請スベシ

一　目的
二　名稱
三　位置
四　學校ノ沿革
五　學則
六　生徒定員
七　校地、校舎、寄宿舍等ノ平面圖（建築及增築ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ記載スベシ）
八　設立者ノ履歷（財團ノ場合ニ於テハ其ノ基本財産ノ種類及價額ヲ記載スベシ）及飲食水ノ定性分析表
九　學校長ノ履歷竝敎員ノ氏名、資格、學業經歷、擔任學科及專任兼任ノ區別
十　現在生徒ノ學年及學級別員數
十一　卒業者ノ員數及卒業後ノ狀況
十二　經費及維持ノ方法
十三　敎科書目錄
十四　參考書竝敎授用ノ器具、機械、模型及標本ノ目錄
十五　學校ノ資産目錄

第二條　指定ヲ受ケタル學校ニシテ本令ニ違反シ又ハ其ノ成績不良ナリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ其ノ指定ヲ取消スコトアルベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年三月總令第四十五號）

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●専門學校入學者検定規程ニ依リ指定シタル者

大正十年四月
總令第百五號

改正　大正一一年一月第一號、一二年一月第一號、一二年三月第三號、一二年四月第四號、一二年五月第五號、一二年六月第六號、一二年七月第七號、一二年八月第八號、一二年九月第九號、一二年一〇月第一〇號、一二年一一月第一一號、一二年一二月第一二號、一三年一月第一號、一三年二月第二號、一三年三月第三號、一三年四月第四號、一三年五月第五號、一三年六月第六號、一三年七月第七號、一三年八月第八號、一三年九月第九號、一三年一〇月第一〇號、一三年一一月第一一號、一三年一二月第一二號、一四年一月第一號、一四年二月第二號、一四年三月第三號、一四年四月第四號、一四年五月第五號、一四年六月第六號、一四年七月第七號、一四年八月第八號、一四年九月第九號、一四年一〇月第一〇號、一四年一一月第一一號、一四年一二月第一二號、一五年一月第一號、一五年二月第二號、一五年三月第三號、一五年四月第四號、一五年五月第五號、一五年六月第六號、一五年七月第七號、一五年八月第八號、一五年九月第九號、一五年一〇月第一〇號、一五年一一月第一一號、一五年一二月第一二號、一六年一月第一號、一六年二月第二號、一六年三月第三號、一六年四月第四號、一六年五月第五號、一六年六月第六號、一六年七月第七號、一六年八月第八號、一六年九月第九號、一六年一〇月第一〇號、一六年一一月第一一號、一六年一二月第一二號、一七年一月第一號、一七年二月第二號、一七年三月第三號、一七年四月第四號、一七年五月第五號、一七年六月第六號、一七年七月第七號、一七年八月第八號、一七年九月第九號、一七年一〇月第一〇號、一七年一一月第一一號、一七年一二月第一二號、一八年一月第一號、一八年二月第二號、一八年三月第三號、一八年四月第四號、一八年五月第五號、一八年六月第六號、一八年七月第七號、一八年八月第八號、一八年九月第九號、一八年一〇月第一〇號、一八年一一月第一一號、一八年一二月第一二號、一九年一月第一號、一九年二月第二號、一九年三月第三號、一九年四月第四號、一九年五月第五號、一九年六月第六號、一九年七月第七號、一九年八月第八號、一九年九月第九號、一九年一〇月第一〇號、一九年一一月第一一號、一九年一二月第一二號、二〇年一月第一號、二〇年二月第二號、二〇年三月第三號、二〇年四月第四號、二〇年五月第五號、二〇年六月第六號、二〇年七月第七號、二〇年八月第八號、二〇年九月第九號、二〇年一〇月第一〇號、二〇年一一月第一一號、二〇年一二月第一二號、二一年一月第一號、二一年二月第二號、二一年三月第三號、二一年四月第四號、二一年五月第五號、二一年六月第六號、二一年七月第七號、二一年八月第八號、二一年九月第九號、二一年一〇月第一〇號、二一年一一月第一一號、二一年一二月第一二號、二二年一月第一號、二二年二月第二號、二二年三月第三號、二二年四月第四號、二二年五月第五號、二二年六月第六號、二二年七月第七號、二二年八月第八號、二二年九月第九號、二二年一〇月第一〇號、二二年一一月第一一號、二二年一二月第一二號、二三年一月第一號、二三年二月第二號、二三年三月第三號、二三年四月第四號、二三年五月第五號、二三年六月第六號、二三年七月第七號、二三年八月第八號、二三年九月第九號、二三年一〇月第一〇號、二三年一一月第一一號、二三年一二月第一二號、二四年一月第一號、二四年二月第二號、二四年三月第三號、二四年四月第四號、二四年五月第五號、二四年六月第六號、二四年七月第七號、二四年八月第八號、二四年九月第九號、二四年一〇月第一〇號、二四年一一月第一一號、二四年一二月第一二號、二五年一月第一號、二五年二月第二號、二五年三月第三號、二五年四月第四號、二五年五月第五號、二五年六月第六號、二五年七月第七號、二五年八月第八號、二五年九月第九號、二五年一〇月第一〇號、二五年一一月第一一號、二五年一二月第一二號、二六年一月第一號、二六年二月第二號、二六年三月第三號、二六年四月第四號、二六年五月第五號、二六年六月第六號、二六年七月第七號、二六年八月第八號、二六年九月第九號、二六年一〇月第一〇號、二六年一一月第一一號、二六年一二月第一二號、二七年一月第一號、二七年二月第二號、二七年三月第三號、二七年四月第四號、二七年五月第五號、二七年六月第六號、二七年七月第七號、二七年八月第八號、二七年九月第九號、二七年一〇月第一〇號、二七年一一月第一一號、二七年一二月第一二號、二八年一月第一號、二八年二月第二號、二八年三月第三號、二八年四月第四號、二八年五月第五號、二八年六月第六號、二八年七月第七號、二八年八月第八號、二八年九月第九號、二八年一〇月第一〇號、二八年一一月第一一號、二八年一二月第一二號、二九年一月第一號、二九年二月第二號、二九年三月第三號、二九年四月第四號、二九年五月第五號、二九年六月第六號、二九年七月第七號、二九年八月第八號、二九年九月第九號、二九年一〇月第一〇號、二九年一一月第一一號、二九年一二月第一二號、三〇年一月第一號、三〇年二月第二號、三〇年三月第三號、三〇年四月第四號、三〇年五月第五號、三〇年六月第六號、三〇年七月第七號、三〇年八月第八號、三〇年九月第九號、三〇年一〇月第一〇號、三〇年一一月第一一號、三〇年一二月第一二號、三一年一月第一號、三一年二月第二號、三一年三月第三號、三一年四月第四號、三一年五月第五號、三一年六月第六號、三一年七月第七號、三一年八月第八號、三一年九月第九號、三一年一〇月第一〇號、三一年一一月第一一號、三一年一二月第一二號、三二年一月第一號、三二年二月第二號、三二年三月第三號、三二年四月第四號、三二年五月第五號、三二年六月第六號、三二年七月第七號、三二年八月第八號、三二年九月第九號、三二年一〇月第一〇號、三二年一一月第一一號、三二年一二月第一二號、三三年一月第一號、三三年二月第二號、三三年三月第三號、三三年四月第四號、三三年五月第五號、三三年六月第六號、三三年七月第七號、三三年八月第八號、三三年九月第九號、三三年一〇月第一〇號、三三年一一月第一一號、三三年一二月第一二號、三四年一月第一號、三四年二月第二號、三四年三月第三號、三四年四月第四號、三四年五月第五號、三四年六月第六號、三四年七月第七號、三四年八月第八號、三四年九月第九號、三四年一〇月第一〇號、三四年一一月第一一號、三四年一二月第一二號、三五年一月第一號、三五年二月第二號、三五年三月第三號、三五年四月第四號、三五年五月第五號、三五年六月第六號、三五年七月第七號、三五年八月第八號、三五年九月第九號、三五年一〇月第一〇號、三五年一一月第一一號、三五年一二月第一二號、三六年一月第一號、三六年二月第二號、三六年三月第三號、三六年四月第四號、三六年五月第五號、三六年六月第六號、三六年七月第七號、三六年八月第八號、三六年九月第九號、三六年一〇月第一〇號、三六年一一月第一一號、三六年一二月第一二號、三七年一月第一號、三七年二月第二號、三七年三月第三號、三七年四月第四號、三七年五月第五號、三七年六月第六號、三七年七月第七號、三七年八月第八號、三七年九月第九號、三七年一〇月第一〇號、三七年一一月第一一號、三七年一二月第一二號、三八年一月第一號、三八年二月第二號、三八年三月第三號、三八年四月第四號、三八年五月第五號、三八年六月第六號、三八年七月第七號、三八年八月第八號、三八年九月第九號、三八年一〇月第一〇號、三八年一一月第一一號、三八年一二月第一二號、三九年一月第一號、三九年二月第二號、三九年三月第三號、三九年四月第四號、三九年五月第五號、三九年六月第六號、三九年七月第七號、三九年八月第八號、三九年九月第九號、三九年一〇月第一〇號、三九年一一月第一一號、三九年一二月第一二號、四〇年一月第一號、四〇年二月第二號、四〇年三月第三號、四〇年四月第四號、四〇年五月第五號、四〇年六月第六號、四〇年七月第七號、四〇年八月第八號、四〇年九月第九號、四〇年一〇月第一〇號、四〇年一一月第一一號、四〇年一二月第一二號、四一年一月第一號、四一年二月第二號、四一年三月第三號、四一年四月第四號、四一年五月第五號、四一年六月第六號、四一年七月第七號、四一年八月第八號、四一年九月第九號、四一年一〇月第一〇號、四一年一一月第一一號、四一年一二月第一二號、四二年一月第一號、四二年二月第二號、四二年三月第三號、四二年四月第四號、四二年五月第五號、四二年六月第六號、四二年七月第七號、四二年八月第八號、四二年九月第九號、四二年一〇月第一〇號、四二年一一月第一一號、四二年一二月第一二號、四三年一月第一號、四三年二月第二號、四三年三月第三號、四三年四月第四號、四三年五月第五號、四三年六月第六號、四三年七月第七號、四三年八月第八號、四三年九月第九號、四三年一〇月第一〇號、四三年一一月第一一號、四三年一二月第一二號、四四年一月第一號、四四年二月第二號、四四年三月第三號、四四年四月第四號、四四年五月第五號、四四年六月第六號、四四年七月第七號、四四年八月第八號、四四年九月第九號、四四年一〇月第一〇號、四四年一一月第一一號、四四年一二月第一二號、四五年一月第一號、四五年二月第二號、四五年三月第三號、四五年四月第四號、四五年五月第五號、四五年六月第六號、四五年七月第七號、四五年八月第八號、四五年九月第九號、四五年一〇月第一〇號、四五年一一月第一一號、四五年一二月第一二號、四六年一月第一號、四六年二月第二號、四六年三月第三號、四六年四月第四號、四六年五月第五號、四六年六月第六號、四六年七月第七號、四六年八月第八號、四六年九月第九號、四六年一〇月第一〇號、四六年一一月第一一號、四六年一二月第一二號、四七年一月第一號、四七年二月第二號、四七年三月第三號、四七年四月第四號、四七年五月第五號、四七年六月第六號、四七年七月第七號、四七年八月第八號、四七年九月第九號、四七年一〇月第一〇號、四七年一一月第一一號、四七年一二月第一二號、四八年一月第一號、四八年二月第二號、四八年三月第三號、四八年四月第四號、四八年五月第五號、四八年六月第六號、四八年七月第七號、四八年八月第八號、四八年九月第九號、四八年一〇月第一〇號、四八年一一月第一一號、四八年一二月第一二號、四九年一月第一號、四九年二月第二號、四九年三月第三號、四九年四月第四號、四九年五月第五號、四九年六月第六號、四九年七月第七號、四九年八月第八號、四九年九月第九號、四九年一〇月第一〇號、四九年一一月第一一號、四九年一二月第一二號、五〇年一月第一號、五〇年二月第二號、五〇年三月第三號、五〇年四月第四號、五〇年五月第五號、五〇年六月第六號、五〇年七月第七號、五〇年八月第八號、五〇年九月第九號、五〇年一〇月第一〇號、五〇年一一月第一一號、五〇年一二月第一二號、五一年一月第一號、五一年二月第二號、五一年三月第三號、五一年四月第四號、五一年五月第五號、五一年六月第六號、五一年七月第七號、五一年八月第八號、五一年九月第九號、五一年一〇月第一〇號、五一年一一月第一一號、五一年一二月第一二號、五二年一月第一號、五二年二月第二號、五二年三月第三號、五二年四月第四號、五二年五月第五號、五二年六月第六號、五二年七月第七號、五二年八月第八號、五二年九月第九號、五二年一〇月第一〇號、五二年一一月第一一號、五二年一二月第一二號、五三年一月第一號、五三年二月第二號、五三年三月第三號、五三年四月第四號、五三年五月第五號、五三年六月第六號、五三年七月第七號、五三年八月第八號、五三年九月第九號、五三年一〇月第一〇號、五三年一一月第一一號、五三年一二月第一二號、五四年一月第一號、五四年二月第二號、五四年三月第三號、五四年四月第四號、五四年五月第五號、五四年六月第六號、五四年七月第七號、五四年八月第八號、五四年九月第九號、五四年一〇月第一〇號、五四年一一月第一一號、五四年一二月第一二號、五五年一月第一號、五五年二月第二號、五五年三月第三號、五五年四月第四號、五五年五月第五號、五五年六月第六號、五五年七月第七號、五五年八月第八號、五五年九月第九號、五五年一〇月第一〇號、五五年一一月第一一號、五五年一二月第一二號、五六年一月第一號、五六年二月第二號、五六年三月第三號、五六年四月第四號、五六年五月第五號、五六年六月第六號、五六年七月第七號、五六年八月第八號、五六年九月第九號、五六年一〇月第一〇號、五六年一一月第一一號、五六年一二月第一二號、五七年一月第一號、五七年二月第二號、五七年三月第三號、五七年四月第四號、五七年五月第五號、五七年六月第六號、五七年七月第七號、五七年八月第八號、五七年九月第九號、五七年一〇月第一〇號、五七年一一月第一一號、五七年一二月第一二號、五八年一月第一號、五八年二月第二號、五八年三月第三號、五八年四月第四號、五八年五月第五號、五八年六月第六號、五八年七月第七號、五八年八月第八號、五八年九月第九號、五八年一〇月第一〇號、五八年一一月第一一號、五八年一二月第一二號、五九年一月第一號、五九年二月第二號、五九年三月第三號、五九年四月第四號、五九年五月第五號、五九年六月第六號、五九年七月第七號、五九年八月第八號、五九年九月第九號、五九年一〇月第一〇號、五九年一一月第一一號、五九年一二月第一二號、六〇年一月第一號、六〇年二月第二號、六〇年三月第三號、六〇年四月第四號、六〇年五月第五號、六〇年六月第六號、六〇年七月第七號、六〇年八月第八號、六〇年九月第九號、六〇年一〇月第一〇號、六〇年一一月第一一號、六〇年一二月第一二號、六一年一月第一號、六一年二月第二號、六一年三月第三號、六一年四月第四號、六一年五月第五號、六一年六月第六號、六一年七月第七號、六一年八月第八號、六一年九月第九號、六一年一〇月第一〇號、六一年一一月第一一號、六一年一二月第一二號、六二年一月第一號、六二年二月第二號、六二年三月第三號、六二年四月第四號、六二年五月第五號、六二年六月第六號、六二年七月第七號、六二年八月第八號、六二年九月第九號、六二年一〇月第一〇號、六二年一一月第一一號、六二年一二月第一二號、六三年一月第一號、六三年二月第二號、六三年三月第三號、六三年四月第四號、六三年五月第五號、六三年六月第六號、六三年七月第七號、六三年八月第八號、六三年九月第九號、六三年一〇月第一〇號、六三年一一月第一一號、六三年一二月第一二號、六四年一月第一號、六四年二月第二號、六四年三月第三號、六四年四月第四號、六四年五月第五號、六四年六月第六號、六四年七月第七號、六四年八月第八號、六四年九月第九號、六四年一〇月第一〇號、六四年一一月第一一號、六四年一二月第一二號、六五年一月第一號、六五年二月第二號、六五年三月第三號、六五年四月第四號、六五年五月第五號、六五年六月第六號、六五年七月第七號、六五年八月第八號、六五年九月第九號、六五年一〇月第一〇號、六五年一一月第一一號、六五年一二月第一二號、六六年一月第一號、六六年二月第二號、六六年三月第三號、六六年四月第四號、六六年五月第五號、六六年六月第六號、六六年七月第七號、六六年八月第八號、六六年九月第九號、六六年一〇月第一〇號、六六年一一月第一一號、六六年一二月第一二號、六七年一月第一號、六七年二月第二號、六七年三月第三號、六七年四月第四號、六七年五月第五號、六七年六月第六號、六七年七月第七號、六七年八月第八號、六七年九月第九號、六七年一〇月第一〇號、六七年一一月第一一號、六七年一二月第一二號、六八年一月第一號、六八年二月第二號、六八年三月第三號、六八年四月第四號、六八年五月第五號、六八年六月第六號、六八年七月第七號、六八年八月第八號、六八年九月第九號、六八年一〇月第一〇號、六八年一一月第一一號、六八年一二月第一二號、六九年一月第一號、六九年二月第二號、六九年三月第三號、六九年四月第四號、六九年五月第五號、六九年六月第六號、六九年七月第七號、六九年八月第八號、六九年九月第九號、六九年一〇月第一〇號、六九年一一月第一一號、六九年一二月第一二號、七〇年一月第一號、七〇年二月第二號、七〇年三月第三號、七〇年四月第四號、七〇年五月第五號、七〇年六月第六號、七〇年七月第七號、七〇年八月第八號、七〇年九月第九號、七〇年一〇月第一〇號、七〇年一一月第一一號、七〇年一二月第一二號、七一年一月第一號、七一年二月第二號、七一年三月第三號、七一年四月第四號、七一年五月第五號、七一年六月第六號、七一年七月第七號、七一年八月第八號、七一年九月第九號、七一年一〇月第一〇號、七一年一一月第一一號、七一年一二月第一二號、七二年一月第一號、七二年二月第二號、七二年三月第三號、七二年四月第四號、七二年五月第五號、七二年六月第六號、七二年七月第七號、七二年八月第八號、七二年九月第九號、七二年一〇月第一〇號、七二年一一月第一一號、七二年一二月第一二號、七三年一月第一號、七三年二月第二號、七三年三月第三號、七三年四月第四號、七三年五月第五號、七三年六月第六號、七三年七月第七號、七三年八月第八號、七三年九月第九號、七三年一〇月第一〇號、七三年一一月第一一號、七三年一二月第一二號、七四年一月第一號、七四年二月第二號、七四年三月第三號、七四年四月第四號、七四年五月第五號、七四年六月第六號、七四年七月第七號、七四年八月第八號、七四年九月第九號、七四年一〇月第一〇號、七四年一一月第一一號、七四年一二月第一二號、七五年一月第一號、七五年二月第二號、七五年三月第三號、七五年四月第四號、七五年五月第五號、七五年六月第六號、七五年七月第七號、七五年八月第八號、七五年九月第九號、七五年一〇月第一〇號、七五年一一月第一一號、七五年一二月第一二號、七六年一月第一號、七六年二月第二號、七六年三月第三號、七六年四月第四號、七六年五月第五號、七六年六月第六號、七六年七月第七號、七六年八月第八號、七六年九月第九號、七六年一〇月第一〇號、七六年一一月第一一號、七六年一二月第一二號、七七年一月第一號、七七年二月第二號、七七年三月第三號、七七年四月第四號、七七年五月第五號、七七年六月第六號、七七年七月第七號、七七年八月第八號、七七年九月第九號、七七年一〇月第一〇號、七七年一一月第一一號、七七年一二月第一二號、七八年一月第一號、七八年二月第二號、七八年三月第三號、七八年四月第四號、七八年五月第五號、七八年六月第六號、七八年七月第七號、七八年八月第八號、七八年九月第九號、七八年一〇月第一〇號、七八年一一月第一一號、七八年一二月第一二號、七九年一月第一號、七九年二月第二號、七九年三月第三號、七九年四月第四號、七九年五月第五號、七九年六月第六號、七九年七月第七號、七九年八月第八號、七九年九月第九號、七九年一〇月第一〇號、七九年一一月第一一號、七九年一二月第一二號、八〇年一月第一號、八〇年二月第二號、八〇年三月第三號、八〇年四月第四號、八〇年五月第五號、八〇年六月第六號、八〇年七月第七號、八〇年八月第八號、八〇年九月第九號、八〇年一〇月第一〇號、八〇年一一月第一一號、八〇年一二月第一二號、八一年一月第一號、八一年二月第二號、八一年三月第三號、八一年四月第四號、八一年五月第五號、八一年六月第六號、八一年七月第七號、八一年八月第八號、八一年九月第九號、八一年一〇月第一〇號、八一年一一月第一一號、八一年一二月第一二號、八二年一月第一號、八二年二月第二號、八二年三月第三號、八二年四月第四號、八二年五月第五號、八二年六月第六號、八二年七月第七號、八二年八月第八號、八二年九月第九號、八二年一〇月第一〇號、八二年一一月第一一號、八二年一二月第一二號、八三年一月第一號、八三年二月第二號、八三年三月第三號、八三年四月第四號、八三年五月第五號、八三年六月第六號、八三年七月第七號、八三年八月第八號、八三年九月第九號、八三年一〇月第一〇號、八三年一一月第一一號、八三年一二月第一二號、八四年一月第一號、八四年二月第二號、八四年三月第三號、八四年四月第四號、八四年五月第五號、八四年六月第六號、八四年七月第七號、八四年八月第八號、八四年九月第九號、八四年一〇月第一〇號、八四年一一月第一一號、八四年一二月第一二號、八五年一月第一號、八五年二月第二號、八五年三月第三號、八五年四月第四號、八五年五月第五號、八五年六月第六號、八五年七月第七號、八五年八月第八號、八五年九月第九號、八五年一〇月第一〇號、八五年一一月第一一號、八五年一二月第一二號、八六年一月第一號、八六年二月第二號、八六年三月第三號、八六年四月第四號、八六年五月第五號、八六年六月第六號、八六年七月第七號、八六年八月第八號、八六年九月第九號、八六年一〇月第一〇號、八六年一一月第一一號、八六年一二月第一二號、八七年一月第一號、八七年二月第二號、八七年三月第三號、八七年四月第四號、八七年五月第五號、八七年六月第六號、八七年七月第七號、八七年八月第八號、八七年九月第九號、八七年一〇月第一〇號、八七年一一月第一一號、八七年一二月第一二號、八八年一月第一號、八八年二月第二號、八八年三月第三號、八八年四月第四號、八八年五月第五號、八八年六月第六號、八八年七月第七號、八八年八月第八號、八八年九月第九號、八八年一〇月第一〇號、八八年一一月第一一號、八八年一二月第一二號、八九年一月第一號、八九年二月第二號、八九年三月第三號、八九年四月第四號、八九年五月第五號、八九年六月第六號、八九年七月第七號、八九年八月第八號、八九年九月第九號、八九年一〇月第一〇號、八九年一一月第一一號、八九年一二月第一二號、九〇年一月第一號、九〇年二月第二號、九〇年三月第三號、九〇年四月第四號、九〇年五月第五號、九〇年六月第六號、九〇年七月第七號、九〇年八月第八號、九〇年九月第九號、九〇年一〇月第一〇號、九〇年一一月第一一號、九〇年一二月第一二號、九一年一月第一號、九一年二月第二號、九一年三月第三號、九一年四月第四號、九一年五月第五號、九一年六月第六號、九一年七月第七號、九一年八月第八號、九一年九月第九號、九一年一〇月第一〇號、九一年一一月第一一號、九一年一二月第一二號、九二年一月第一號、九二年二月第二號、九二年三月第三號、九二年四月第四號、九二年五月第五號、九二年六月第六號、九二年七月第七號、九二年八月第八號、九二年九月第九號、九二年一〇月第一〇號、九二年一一月第一一號、九二年一二月第一二號、九三年一月第一號、九三年二月第二號、九三年三月第三號、九三年四月第四號、九三年五月第五號、九三年六月第六號、九三年七月第七號、九三年八月第八號、九三年九月第九號、九三年一〇月第一〇號、九三年一一月第一一號、九三年一二月第一二號、九四年一月第一號、九四年二月第二號、九四年三月第三號、九四年四月第四號、九四年五月第五號、九四年六月第六號、九四年七月第七號、九四年八月第八號、九四年九月第九號、九四年一〇月第一〇號、九四年一一月第一一號、九四年一二月第一二號、九五年一月第一號、九五年二月第二號、九五年三月第三號、九五年四月第四號、九五年五月第五號、九五年六月第六號、九五年七月第七號、九五年八月第八號、九五年九月第九號、九五年一〇月第一〇號、九五年一一月第一一號、九五年一二月第一二號、九六年一月第一號、九六年二月第二號、九六年三月第三號、九六年四月第四號、九六年五月第五號、九六年六月第六號、九六年七月第七號、九六年八月第八號、九六年九月第九號、九六年一〇月第一〇號、九六年一一月第一一號、九六年一二月第一二號、九七年一月第一號、九七年二月第二號、九七年三月第三號、九七年四月第四號、九七年五月第五號、九七年六月第六號、九七年七月第七號、九七年八月第八號、九七年九月第九號、九七年一〇月第一〇號、九七年一一月第一一號、九七年一二月第一二號、九八年一月第一號、九八年二月第二號、九八年三月第三號、九八年四月第四號、九八年五月第五號、九八年六月第六號、九八年七月第七號、九八年八月第八號、九八年九月第九號、九八年一〇月第一〇號、九八年一一月第一一號、九八年一二月第一二號、九九年一月第一號、九九年二月第二號、九九年三月第三號、九九年四月第四號、九九年五月第五號、九九年六月第六號、九九年七月第七號、九九年八月第八號、九九年九月第九號、九九年一〇月第一〇號、九九年一一月第一一號、九九年一二月第一二號、一〇〇年一月第一號、一〇〇年二月第二號、一〇〇年三月第三號、一〇〇年四月第四號、一〇〇年五月第五號、一〇〇年六月第六號、一〇〇年七月第七號、一〇〇年八月第八號、一〇〇年九月第九號、一〇〇年一〇月第一〇號、一〇〇年一一月第一一號、一〇〇年一二月第一二號、一〇一年一月第一號、一〇一年二月第二號、一〇一年三月第三號、一〇一年四月第四號、一〇一年五月第五號、一〇一年六月第六號、一〇一年七月第七號、一〇一年八月第八號、一〇一年九月第九號、一〇一年一〇月第一〇號、一〇一年一一月第一一號、一〇一年一二月第一二號、一〇二年一月第一號、一〇二年二月第二號、一〇二年三月第三號、一〇二年四月第四號、一〇二年五月第五號、一〇二年六月第六號、一〇二年七月第七號、一〇二年八月第八號、一〇二年九月第九號、一〇二年一〇月第一〇號、一〇二年一一月第一一號、一〇二年一二月第一二號、一〇三年一月第一號、一〇三年二月第二號、一〇三年三月第三號、一〇三年四月第四號、一〇三年五月第五號、一〇三年六月第六號、一〇三年七月第七號、一〇三年八月第八號、一〇三年九月第九號、一〇三年一〇月第一〇號、一〇三年一一月第一一號、一〇三年一二月第一二號、一〇四年一月第一號、一〇四年二月第二號、一〇四年三月第三號、一〇四年四月第四號、一〇四年五月第五號、一〇四年六月第六號、一〇四年七月第七號、一〇四年八月第八號、一〇四年九月第九號、一〇四年一〇月第一〇號、一〇四年一一月第一一號、一〇四年一二月第一二號、一〇五年一月第一號、一〇五年二月第二號、一〇五年三月第三號、一〇五年四月第四號、一〇五年五月第五號、一〇五年六月第六號、一〇五年七月第七號、一〇五年八月第八號、一〇五年九月第九號、一〇五年一〇月第一〇號、一〇五年一一月第一一號、一〇五年一二月第一二號、一〇六年一月第一號、一〇六年二月第二號、一〇六年三月第三號、一〇六年四月第四號、一〇六年五月第五號、一〇六年六月第六號、一〇六年七月第七號、一〇六年八月第八號、一〇六年九月第九號、一〇六年一〇月第一〇號、一〇六年一一月第一一號、一〇六年一二月第一二號、一〇七年一月第一號、一〇七年二月第二號、一〇七年三月第三號、一〇七年四月第四號、一〇七年五月第五號、一〇七年六月第六號、一〇七年七月第七號、一〇七年八月第八號、一〇七年九月第九號、一〇七年一〇月第一〇號、一〇七年一一月第一一號、一〇七年一二月第一二號、一〇八年一月第一號、一〇八年二月第二號、一〇八年三月第三號、一〇八年四月第四號、一〇八年五月第五號、一〇八年六月第六號、一〇八年七月第七號、一〇八年八月第八號、一〇八年九月第九號、一〇八年一〇月第一〇號、一〇八年一一月第一一號、一〇八年一二月第一二號、一〇九年一月第一號、一〇九年二月第二號、一〇九年三月第三號、一〇九年四月第四號、一〇九年五月第五號、一〇九年六月第六號、一〇九年七月第七號、一〇九年八月第八號、一〇九年九月第九號、一〇九年一〇月第一〇號、一〇九年一一月第一一號、一〇九年一二月第一二號、一一〇年一月第一號、一一〇年二月第二號、一一〇年三月第三號、一一〇年四月第四號、一一〇年五月第五號、一一〇年六月第六號、一一〇年七月第七號、一一〇年八月第八號、一一〇年九月第九號、一一〇年一〇月第一〇號、一一〇年一一月第一一號、一一〇年一二月第一二號、一一一年一月第一號、一一一年二月第二號、一一一年三月第三號、一一一年四月第四號、一一一年五月第五號、一一一年六月第六號、一一一年七月第七號、一一一年八月第八號、一一一年九月第九號、一一一年一〇月第一〇號、一一一年一一月第一一號、一一一年一二月第一二號、一一二年一月第一號、一一二年二月第二號、一一二年三月第三號、一一二年四月第四號、一一二年五月第五號、一一二年六月第六號、一一二年七月第七號、一一二年八月第八號、一一二年九月第九號、一一二年一〇月第一〇號、一一二年一一月第一一號、一一二年一二月第一二號、一一三年一月第一號、一一三年二月第二號、一一三年三月第三號、一一三年四月第四號、一一三年五月第五號、一一三年六月第六號、一一三年七月第七號、一一三年八月第八號、一一三年九月第九號、一一三年一〇月第一〇號、一一三年一一月第一一號、一一三年一二月第一二號、一一四年一月第一號、一一四年二月第二號、一一四年三月第三號、一一四年四月第四號、一一四年五月第五號、一一四年六月第六號、一一四年七月第七號、一一四年八月第八號、一一四年九月第九號、一一四年一〇月第一〇號、一一四年一一月第一一號、一一四年一二月第一二號、一一五年一月第一號、一一五年二月第二號、一一五年三月第三號、一一五年四月第四號、一一五年五月第五號、一一五年六月第六號、一一五年七月第七號、一一五年八月第八號、一一五年九月第九號、一一五年一〇月第一〇號、一一五年一一月第一一號、一一五年一二月第一二號、一一六年一月第一號、一一六年二月第二號、一一六年三月第三號、一一六年四月第四號、一一六年五月第五號、一一六年六月第六號、一一六年七月第七號、一一六年八月第八號、一一六年九月第九號、一一六年一〇月第一〇號、一一六年一一月第一一號、一一六年一二月第一二號、一一七年一月第一號、一一七年二月第二號、一一七年三月第三號、一一七年四月第四號、一一七年五月第五號、一一七年六月第六號、一一七年七月第七號、一一七年八月第八號、一一七年九月第九號、一一七年一〇月第一〇號、一一七年一一月第一一號、一一七年一二月第一二號、一一八年一月第一號、一一八年二月第二號、一一八年三月第三號、一一八年四月第四號、一一八年五月第五號、一一八年六月第六號、一一八年七月第七號、一一八年八月第八號、一一八年九月第九號、一一八年一〇月第一〇號、一一八年一一月第一一號、一一八年一二月第一二號、一一九年一月第一號、一一九年二月第二號、一一九年三月第三號、一一九年四月第四號、一一九年五月第五號、一一九年六月第六號、一一九年七月第七號、一一九年八月第八號、一一九年九月第九號、一一九年一〇月第一〇號、一一九年一一月第一一號、一一九年一二月第一二號、一二〇年一月第一號、一二〇年二月第二號、一二〇年三月第三號、一二〇年四月第四號、一二〇年五月第五號、一二〇年六月第六號、一二〇年七月第七號、一二〇年八月第八號、一二〇年九月第九號、一二〇年一〇月第一〇號、一二〇年一一月第一一號、一二〇年一二月第一二號、一二一年一月第一號、一二一年二月第二號、一二一年三月第三號、一二一年四月第四號、一二一年五月第五號、一二一年六月第六號、一二一年七月第七號、一二一年八月第八號、一二一年九月第九號、一二一年一〇月第一〇號、一二一年一一月第一一號、一二一年一二月第一二號、一二二年一月第一號、一二二年二月第二號、一二二年三月第三號、一二二年四月第四號、一二二年五月第五號、一二二年六月第六號、一二二年七月第七號、一二二年八月第八號、一二二年九月第九號、一二二年一〇月第一〇號、一二二年一一月第一一號、一二二年一二月第一二號、一二三年一月第一號、一二三年二月第二號、一二三年三月第三號、一二三年四月第四號、一二三年五月第五號、一二三年六月第六號、一二三年七月第七號、一二三年八月第八號、一二三年九月第九號、一二三年一〇月第一〇號、一二三年一一月第一一號、一二三年一二月第一二號、一二四年一月第一號、一二四年二月第二號、一二四年三月第三號、一二四年四月第四號、一二四年五月第五號、一二四年六月第六號、一二四年七月第七號、一二四年八月第八號、一二四年九月第九號、一二四年一〇月第一〇號、一二四年一一月第一一號、一二四年一二月第一二號、一二五年一月第一號、一二五年二月第二號、一二五年三月第三號、一二五年四月第四號、一二五年五月第五號、一二五年六月第六號、一二五年七月第七號、一二五年八月第八號、一二五年九月第九號、一二五年一〇月第一〇號、一二五年一一月第一一號、一二五年一二月第一二號、一二六年一月第一號、一二六年二月第二號、一二六年三月第三號、一二六年四月第四號、一二六年五月第五號、一二六年六月第六號、一二六年七月第七號、一二六年八月第八號、一二六年九月第九號、一二六年一〇月第一〇號、一二六年一一月第一一號、一二六年一二月第一二號、一二七年一月第一號、一二七年二月第二號、一二七年三月第三號、一二七年四月第四號、一二七年五月第五號、一二七年六月第六號、一二七年七月第七號、一二七年八月第八號、一二七年九月第九號、一二七年一〇月第一〇號、一二七年一一月第一一號、一二七年一二月第一二號、一二八年一月第一號、一二八年二月第二號、一二八年三月第三號、一二八年四月第四號、一二八年五月第五號、一二八年六月第六號、一二八年七月第七號、一二八年八月第八號、一二八年九月第九號、一二八年一〇月第一〇號、一二八年一一月第一一號、一二八年一二月第一二號、一二九年一月第一號、一二九年二月第二號、一二九年三月第三號、一二九年四月第四號、一二九年五月第五號、一二九年六月第六號、一二九年七月第七號、一二九年八月第八號、一二九年九月第九號、一二九年一〇月第一〇號、一二九年一一月第一一號、一二九年一二月第一二號、一三〇年一月第一號、一三〇年二月第二號、一三〇年三月第三號、一三〇年四月第四號、一三〇年五月第五號、一三〇年六月第六號、一三〇年七月第七號、一三〇年八月第八號、一三〇年九月第九號、一三〇年一〇月第一〇號、一三〇年一一月第一一號、一三〇年一二月第一二號、一三一年一月第一號、一三一年二月第二號、一三一年三月第三號、一三一年四月第四號、一三一年五月第五號、一三一年六月第六號、一三一年七月第七號、一三一年八月第八號、一三一年九月第九號、一三一年一〇月第一〇號、一三一年一一月第一一號、一三一年一二月第一二號、一三二年一月第一號、一三二年二月第二號、一三二年三月第三號、一三二年四月第四號、一三二年五月第五號、一三二年六月第六號、一三二年七月第七號、一三二年八月第八號、一三二年九月第九號、一三二年一〇月第一〇號、一三二年一一

一　體格
一　身長
一　體重
一　胸圍
一　中心視力
　　色盲
　　眼病
一　聾
　　耳疾
一　呼吸器
一　神經系
一　皮膚
一　官語
一　既往現在ノ疾病又ハ畸形
右檢查候處相違無之候也
年　月　日　檢查
何學校醫（學校醫ニアラサルトキハ何學校職員ニアラサル醫師ヲ記載スヘシ）　何某㊞

（別記）
身體檢查書記載方ハ明治四十一年文部省令第三二號教員檢定ニ關スル規程第四條第三號別記身體檢查書記載方心得ニ依ル

●徵兵令ニ依リ學校認定

大正十年四月
陸、文告第十五號

注意　大正十一年六月文部省告示第四百五十八號ヲ以テ私立京城鐵道學校ヲ改稱京城鐵道學校ト爲シ

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス但シ認定ノ效力ハ本科以外ノモノニ及ハス

大正十二年十二月
陸、文告第二十四號

釜山第一公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

大正十三年七月
陸、文告第二十八號

新義州公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

大正十五年十一月
陸、文告第十八號

光州公立農業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

昭和二年一月
陸、文告第一號

鎭南浦公立商工學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス但シ認定ノ效力ハ研究生、撰科生及講習生ニ及ハス

昭和二年六月
陸、文告第二十六號

開城公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス但シ認定ノ效力ハ昭和二年三月卒業ノ者ヨリ之ヲ適用ス

昭和二年八月
陸、文告第三十一號

大邱公立商業學校

右ハ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ノ學校ト認定ス

昭和七年五月
文告第百五十七號

大正七年文部省令第三號第二條ニ依リ左記ノ學校ヲ高等學校高等科若ハ大學豫科ト同等以上ト指定ス（抄）

一九、朝鮮總督府專門學校
但シ本科卒業者ニ限ル

昭和七年五月
文告第百五十七號

大正七年文部省令第三號第二條ニ依リ左記ノ學校ヲ高等學校高等科若ハ大學豫科ト同等以上ト指定ス

一　延禧專門學校
但シ昭和二年三月以後ノ商科本科卒業者及昭和三年三月以後ノ文科本科卒業者ニ限ル

昭和七年五月
文告第百五十八號

大正七年文部省令第三號第二條ニ依リ左記ノ學校ヲ高等學校高等科若ハ大學豫科ト同等以上ト指定ス

一　中央佛教專門學校
但シ昭和八年三月以後ノ本科卒業者ニ限ル

●藥品及藥品營業取締令施行規則ニ依リ學校指定

大正十四年三月
總督令第四十一號

藥品及藥品營業取締令施行規則第一條第二項ノ藥學校ヲ左ノ通指定ス

本指定ハ大正十四年三月以降ノ卒業者ニ對シ效力ヲ有ス但シ特別科卒業者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

朝鮮藥學校

昭和五年九月
總督令第三百八十四號

藥品及藥品營業取締令施行規則第一條第二項ノ藥學校ヲ左ノ通指定ス

本指定ハ昭和六年三月以降ノ本科及別科卒業者ニ對シ效力ヲ有ス

京城藥學專門學校

第六章　經學院　文廟　學會　講習會

●經學院規程

明治四十四年六月
總令　第七十三號
改正　大正十二年二月第四號

經學院規程左ノ通定ム

經學院規程

第一條　經學院ハ朝鮮總督ノ監督ニ屬シ經學ノ講究ヲ爲シ風敎德化ノ裨補スルコトヲ目的トス

第二條　經學院ハ之ヲ京城ニ置ク

第三條　朝鮮總督ハ各道ニ於テ學識德望アル者ヲ講士ニ擧ケ經學院ニ列セシム

第四條　經學院ハ每年春秋二回文廟ノ祭祀ヲ擧行ス

祭祀ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ承ケ大提學之ヲ行ヒ經學院講士之ニ列ス

第五條　經學院ニ左ノ職員ヲ置ク

大提學　一人
副提學　二人
祭酒　五人
司成　若干人
直員　若干人

前項職員ノ進退ハ朝鮮總督之ヲ行フ

第六條　大提學ハ朝鮮總督ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ總理ス

第七條　副提學ハ大提學ヲ補佐シ大提學事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第八條　祭酒ハ上職ノ命ヲ承ケ院務ヲ分掌ス

第九條　司成ハ上職ノ指揮ヲ承ケ院務ニ從事ス

直員ハ上職ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第十條　經學院ノ講士及職員ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

京城以外ニ在住スル講士ニシテ經學院ニ列スル者ニハ旅費ヲ給ス

第十一條　削除

第十二條　第十條ノ手當及旅費額竝其ノ支給方法ニ付テハ別ニ定ムル處ニ依ル

第十三條　經學院ノ職員及講士ノ手當、旅費其ノ他ノ經費ハ基本財産ヨリ生スル收入及第十四條　經學院ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第十五條　基本財産ハ土地、建物、國債證券又ハ確實ナル有價證券若ハ銀行預金トシテ之ヲ保管スヘシ

基本財産ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非レハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第十六條　大提學ニ每會計年度歲入歲出豫算ヲ調製シ年度前朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲サムトスルトキ亦同シ

大提學ハ每會計年度歲入歲出決算ヲ其ノ年度後三月以內ニ朝鮮總督ニ報告スヘシ

前二項ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第十七條　本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ大提學之ヲ定ム

●經學院ニ關スル件

明治四十四年八月
總訓第六十五號

經學院

今回經學院ヲ殿立シタル趣旨ハ其ノ規程ノ示スカ如ク經學ヲ講シ文廟ヲ祀リ敎化ノ裨補セシムルニ在リ之ニ依リテ曾テ高麗朝ノ頃學ヲ重スルノ美風ヲ推奬セムトスルニ止マラス又進テ泰倫ノ扶持人心ノ啓發ニ資スル所アラシメムトス其ノ責任重且大ナリト謂フヘシ

惟フニ孔孟ノ道ハ仁義忠孝ヲ主トシ實踐躬行ヲ尙フ後世斯道ヲ唱フル者往往無益徒食ニ陷リ空論橫議ノ弊ニ過キサルノミナラス天皇陛下國幣貳拾五萬圓ヲ賜ヒ經學院ノ基金ニ充テシメラル聖旨ノ優渥ナル感激ニ堪ヘサルヤ其ノ職員竝講士タル者ハ徒ニ晉ヲ讀ミ祭ヲ司ルヲ以テ足レリトセス宜ク身ヲ以テ隣里鄕黨ノ儀表ト爲リ其ノ矯正ニ其ノ良俗ノ助長ニ以テ一般敎化ノ裨補ニ努ムルニ於テ遺憾ナキヲ期スヘシ

●經學院ノ院務ニ關スル件

大正二年三月
總訓第十三號

經學院ハ其ノ創設以來方サニ二年ニ垂トシ儒林ノ率ヰ風敎ノ扶持スル所見ルヘキモノ少シトセス今回更ニ院務ヲ宏擴シテ月次必ス經典ノ講究ヲ舂秋二季ノ釋奠ヲ期シテ特ニ講筵ヲ開キ又講士ヲ地方ニ派シテ巡回講演セシメ且院誌ノ發刊ヲ以テ益益敎化裨補ノ實ヲ擧ケシメムトス職員ニ須ラク此ノ意ヲ體シ一層勉勵シ可ヲ受クヘシ

第四條　明倫學院ハ學則ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第五條　明倫學院ニ於テ遺憾ナキヲ期セサルヘカラス

抑儒林ノ要ハ經學ヲ講明シ人倫ヲ正スニアリ夫ノ本ヲ忘レテ末ニ趨リ朋黨比周シテ人ト相怪マサリシカ如キ是レ豈儒學ノ本旨ナラムヤ然ルニ今日尙昔日ノ餘弊ヲ受ケ箇箇分立シテ各ト稱シ敎ト名ツケ隱然相對峙スルモノ少ナシトセサルモ畢竟孔孟ヲ宗トシテ僅ニ其ノ末ヲ異ニセルノミ而シテ經學院ハ特ニ文廟ノ享祀ヲ掌リ儒學ノ中軸ニシテ敎化ノ機關タリ今日以降小會分立シテ經費スル所ノモノ擧テ之ヲ院務ニ移シ以テ一般士林ヲシテ適從スル所ヲ知ラシメ和衷贊助ノ美ヲ濟サシムヘシ職自盤シ潛心硏鑽ノ序シ儒流ヲ濟人心ヲ啓發シ以テ國家ニ貢獻スル所アルヲ期スヘシ

●明倫學院規程

昭和五年二月
總令第十三號

改正　昭和七年四月第三五號、八年二月第二四號、一二年三月第一五號

明倫學院規程左ノ通定ム

明倫學院規程

第一條　明倫學院ハ儒學ヲ講究シ國民道德ノ本義ヲ闡明シ併セテ人格ヲ陶冶スルヲ以テ目的トス

第二條　明倫學院ハ之ヲ經學院ニ附置ス

第三條　明倫學院ニ本科及研究科ヲ置ク

本科ノ修業年限ハ三年、研究科ノ研究期間ハ二年乃至三年トス

明倫學院ハ必要ニ應シ隨時講習會ヲ開催スルコトヲ得

第四條　經學院ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第五條　基本財産ハ土地、建物、國債證券又ハ確實ナル有價證券若ハ銀行預金トシテ之ヲ保管スヘシ

基本財産ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ處分スルコトヲ得ス

第六條　大提學ニ每年計年度歲入歲出豫算ヲ調製シ年度前朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ豫算ノ追加又ハ更正ヲ爲サムトスルトキ亦同シ

大提學ハ每會計年度歲入ニ屬スル其ノ年度後三月以內ニ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第七條　明倫學院ニ左ノ職員ヲ置ク

總裁　一人
學監　若干人
講師　若干人
幹事　若干人
書記　若干人

前項ノ職員ハ朝鮮總督之ヲ任免ス

第八條　總裁ハ朝鮮總督ノ指揮監督ヲ承ケ院務ヲ統理ス

學監ハ總裁ノ命ヲ承ケ敎務ヲ掌ル

講師ハ生徒ノ敎授ヲ掌ル

幹事ハ上職ノ命ヲ承ケ庶務ヲ掌ル

書記ハ上職ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第九條　明倫學院ニ評議員會ヲ置キ議長及評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

議長ハ經學院大提學ヲ以テ之ニ充ツ

評議員ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ス

評議員會ハ明倫學院ニ關スル重要ナル事項ヲ審議ス

第十條　總裁ハ庶務ニ關スル規程共ノ他本令ノ施行上必要ナル事項ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　經學院ノ經費中明倫學院ノ經費ハ之ヲ特別會計ト爲シ補助金、寄附金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和八年二月總令第二十四號）

本令ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ在學スル生徒ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

附　則（昭和十一年三月總令第十五號）

本令ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●地方文廟職員ニ關スル件

大正十二年四月
總令第六十八號

地方文廟職員ニ關スル件左ノ通定ム

地方文廟中京畿道開城郡松都面所在ノ文廟ニハ司成一人、直員一人ヲ置キ其ノ他ノ地方ニ於ケル文廟ニハ直員一人ヲ置ク

司成ノ進退ハ道知事ノ申請ニ依リ朝鮮總督之ヲ行フ

司成ハ名譽職トシ郡守ノ指揮ヲ承ケ文廟ノ享祀及管守ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬直員ヲ監督ス

直員ノ進退ハ府尹、郡守、島司ノ申請ニ依リ道知事之ヲ行フ

直員ハ名譽職トシ府尹、郡守、島司及司成ノ指揮ヲ承ケ文廟ヲ管守シ庶務ニ從事ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十四年朝鮮總督府令第百二十七號ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際文廟直員ノ職ニ在ル者ハ本令ニ依リ任命セラレタルモノトス

●學會令

（隆熙二年九月勅令第六十三號）

朕學會ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ頒布セシム

學會令

第一條　本會ニ學會ト稱スルハ名稱ノ如何ヲ問ハス教育學藝ノ普及發達ヲ圖ルヲ目的トスル團體ヲ謂フ

第二條　學會ヲ設立セムトスル者ハ其ノ請願書ニ設立者ノ履歷書及左ノ事項ヲ記載シタル會則ヲ添附シ【學部大臣】ノ認可ヲ受クヘシ

一　目的名稱

二　事業

三　事務所ノ位置

四　會員ノ資格

五　會員ノ加入及退會ニ關スル事項

六　任員選定ニ關スル事項

七　經費收支及資產ニ關スル事項

八　支會ヲ設クル者ハ名稱、位置其ノ他支會ニ關スル事項

九　學會ヲ解散シタルトキハ即時學部大臣ニ報告スヘシ

第三條　會則ヲ變更セムトスルトキハ【學部大臣】ノ認可ヲ受クヘシ

第四條　學會ニハ會員ヲ置クヘシ

會長ハ學會ヲ代表シ會務ヲ掌理スヘキ者トス

會長ノ新任及退任ハ每度【學部大臣】ニ報告スヘシ新任者ノ報告ハ履歷書ヲ添附スヘシ

第五條　學會ハ普利事業ヲ爲シ又ハ政事ニ關渉スルコトヲ得ス

第六條　學會ハ其ノ事務所ニ會員名簿及資產及收支ノ計算ニ關スル書類ヲ備ヘ會員ノ異動及財產ノ狀況ヲ明記スヘシ

第七條　會長ハ每年一月ニ其ノ前年ノ財產及收支ノ狀況竝會員數ヲ【學部大臣】ニ報告スヘシ

第八條　學會ニ於テ本令又ハ設立認可ノ條件ニ違背シ若ハ其ノ他公益ヲ害スト認ムル行爲有ルトキハ【學部大臣】ハ其ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第九條　設立認可ヲ受クシテ學會ト認ムヘキ事業ヲ爲ス者ニ對シテハ【學部大臣】ハ其ノ禁止ヲ命スヘシ

第十條　地方官ハ【學部大臣】ノ指揮ヲ承ケ所管內ノ學會ヲ監督ス

第十一條　本令ニ依リ【學部大臣】ニ提出スヘキ文書ハ事務所在地所轄ノ地方官ヲ經由スヘシ

地方長官前項文書ヲ受ケタルトキハ意見ヲ付シ提示スヘシ

附　則

第十二條　本令ハ隆熙二年十月一日ヨリ施行ス

第十三條　既設ノ學會ハ其ノ設立認可ヲ受ケタルト否トヲ問ハス總テ本令施行ノ日ヨリ二箇月以內ニ本令ノ規定ニ準シ【學部大臣】ノ認可ヲ受クヘシ

●學會ニ關スル件

（隆熙二年十月　訓學二發第百五號）

本年八月二十六日勅令第六十三號ヲ以テ學會令ヲ頒布セラレ本月一日ヨリ之ヲ實施セラレタルハ既ニ各位ノ知悉セラルル所ニシテ嚮ニハ苟モ教育學藝ノ普及發達ヲ圖ルヲ目的トスル團體ハ其ノ名稱ノ如何ヲ問ハス總テ學會令ノ支配ヲ受クヘク且ツ地方官ハ其ノ所轄內學會ヲ監督スヘキ規定セラレタルヲ以テ各位ハ能ク本令ノ趣旨ニ則リ苟モ學會ニシテ之カ本然ノ目的ニ背馳シテ普利事業ヲナシ又ハ政事ニ關渉スルカ如キコトアリタルトキ若クハ學會又ハ設立認可ノ際ニ於ケル條件ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スルモノト認ムヘキ行爲アリタル時或ハ設立認可ヲ受クシテ學會ト認ムヘキ事業ヲ爲ス者アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ本部ニ報告シテ以テ處分ノ機宜ヲ愆ラサラシメムコトヲ期スヘシ尙既設ノ學會ト雖總テ本令施行ノ日ヨリ二箇月以內ニ同令ノ規定ニ準シ認可ヲ受ケヘキコトハ是亦同令附則ノ規定セル所ナルヲ以テ所轄內ニ於ケル之ニ該當スルモノアラハ豫メ其ノ學會ニ通告シテ本令ノ規定ニ依ラシムヘシ是レ特ニ本令ノ施行ヲ圓滑ナラシムル所以ニシテ行政上適當ノ措置タルナリ

之ヲ要スルニ學會ヲ善導シテ健全ナル發達ヲ遂ケシメムルハ教育ノ普及上與テ力アルモノタルヲ信スト雖苟モ其ノ事業ノ範圍ヲ逸脫シテ其ノ目的ヲ沒却スルモノノ如キハ百害アツテ一利ナキヲ以テ各位ハ緩急其ノ宜ヲ制シ監督上適算ナカラシムルコトヲ期スヘシ

追テ學會令ト同時ニ私立學校其ノ他學事ニ關スル各種ノ法令頒布セラレ就中私立學校令ニ關シテハ特ニ訓令ニ及ヒ從タルヲ以テ治ノ所管內ニ術諳シテ圓滿ナル施行ヲ見ル樣取計ハルヘシ

●私設學術講習會ニ關スル件

（大正二年一月　總令第三號）

私設學術講習會ニ關スル件左ノ通定ム

私立學術講習會ニ關スル件ハ第一條ニ私人ニシテ學術研究ノ爲講習會ヲ開催セムトスルトキハ左記各號ノ事項ヲ具シ道長官ノ認可ヲ受クヘシ

一　講習ノ目的

二　講習ノ期間及場所

三　講習ノ事項

四　講習員ノ資格及定數

五　講師ノ住所、氏名及經歷

六　經費支辨ノ方法

第二條　道長官ハ特ニ講師ノ選定又ハ派遣ニ付便宜ノ與フヘシ

第三條　道長官ハ講習會ニシテ其ノ方法不適當又ハ有害ナリト認メタルトキハ之カ變更ヲ命シ又ハ第一條ノ認可ヲ取消スコトヲ得

第四條　第一條ノ認可ヲ受ケシテ講習會ヲ開催シタル者アルトキハ道長官ハ其ノ閉鎖ヲ命スルコトヲ得

第七章　在外研究員、留學生及委託生

●在外研究員規程

（大正十一年一月　勅令第六號　改正　昭和九年一二第三九五號）

私設學術講習會ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

朕在外研究員ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

大正十一年一月十日

內閣總理大臣　子爵　寺內正毅

在外研究員規程

第一條　主管大臣ハ其ノ主管事項ニ關シ須要ノ學術技藝ノ研究ヲシム爲在外研究員ヲ外國ニ派遣スルコトヲ得

第二條　在外研究員ハ選拔ニ依リ主管大臣之ヲ命ス

第三條　在外研究員ノ研究事項、在留國、在留期間其ノ他必要ナル事項ハ主管大臣之ヲ指定ス

第四條　在外研究員ニハ本令ノ定ムル所ニ依リ學資金、巡歷手當及旅費ヲ支給ス

特別ノ事由アルトキハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ前項ニ定ムルモノノ外特別手當ヲ支給スルコトヲ得

第五條　在外研究員ニ關スル事務ハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ掌理ス

第六條　在外研究員ハ在留地ニ到著シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第七條　在外研究員ハ在留地ヲ出發シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第八條　在外研究員ハ在留地ヲ出發シ又ハ歸朝シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第九條　在外研究員ハ在留地ヲ出發シ又ハ歸朝シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第十條　在外研究員ハ在留地ヲ出發シ又ハ歸朝シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第十一條　在外研究員ハ在留地ヲ出發シ又ハ歸朝シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第十二條　在外研究員ハ在留地ヲ出發シ又ハ歸朝シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第十三條　在外研究員ハ在留地ヲ出發シ又ハ歸朝シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第十四條　在外研究員ハ歸朝ノ日ヨリ外國在留期間ノ二倍ニ相當スル期間主管大臣ノ指定シタル職務ニ從事スル義務ヲ負フモノトス但シ歸朝ヲ爲サムトシテ直ニ外國ニ在勤ヲ命シタル場合ニ於テハ其ノ期間ハ在勤ヲ命シタル日ヨリ之ヲ起算ス

第十五條　在外研究員ハ主管大臣ノ命ニ違背シタルトキ又ハ成業ノ目途ナキニ至リタルトキハ之ヲ免スルコトヲ得

第十六條　第十四條ノ義務ヲ履行セス又ハ前條ノ規定ニ依リ研究員ヲ免セラレタル者ノ受ケタル學資金、巡歷手當、特別手當及旅費ハ之ヲ償還セシム但シ特別ノ事情アルトキハ其ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得

第十七條　特別ノ事情ニ因リ本令ニ依リ難キ場合ニ於テハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ學資金及巡歷手當ニ關シ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十八條　本令中主管大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、滿洲ニ在リテハ滿洲總督、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ在リテハ滿洲及費用見積額ヲ添附シテ第六號書式ニ準シタル特別手當給與願書ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

第七條　朝鮮總督府在外研究員ハ第七號書式ノ在留國追加願ヲ朝鮮總督ニ差出シ其ノ許可ヲ受クルニ非サレハ指定在留國以外ニ轉スルコトヲ得ス

第八條　朝鮮總督府在外研究員ハ自己ノ便宜ニ依リ滿期前歸朝スルコトヲ得ス但シ疾病ニ因リ研究ニ堪ヘサルトキハ第八號書式ノ滿期前歸朝願ニ醫師ノ診斷書ヲ添附シ朝鮮總督ニ差出シ其ノ許可ヲ受クヘシ

前項但書ノ場合ニ於テ特ニ急症ニシテ許可ヲ受クルノ暇ナキトキハ當該國駐在帝國大使、公使又ハ最寄駐在帝國領事ノ證明ヲ得歸朝ノ後第九號書式ノ滿期前歸朝道認願ヲ差出スヘシ

第九條　朝鮮總督府在外研究員ハ每年四月及十月ノ二回ニ第十號書式ニ依リ其ノ研究事

協議シテ前項ニ定ムルモノノ外特別手當ヲ支給スルコトヲ得

第五條　學資金及巡歷手當ハ別表ニ依ル但シ官吏ニ非サル者ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議シ別表ニ準シテ之ヲ定ム

第六條　學資金ハ最初ノ在留地到著ノ翌日ヨリ歸朝ノ途ニ就ク前日迄月割ヲ以テ之ヲ支給ス

在留國間移轉ノ場合ニ於テハ前在留地ヲ出發シタル日ノ翌日ヨリ後在留地ニ付定メタル學資金ヲ支給ス

第七條　各地ヲ巡歷研究スル場合ニ於テハ旅費ヲ支給ス巡歷手當ヲ支給ス

第八條　旅費ハ本邦在留國往返ノ場合又ハ在留國間移轉ノ場合ニ於テ外國旅費規則ノ定ムル所ニ依リ本人相當ノ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料、食卓料及支度料ヲ支給ス

第九條　外國在留中特別ノ任務ニ從事スル場合ニ於テハ外國旅費規則ノ定ムル所ニ依リ旅費ヲ支給スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ旅費ヲ支給スル場合ニ於テハ學資金及巡歷手當ハ之ヲ支給セス

第十條　外國旅費規則中死亡手當ニ關スル規定ハ在外研究員ニ付之ヲ準用ス

第十一條　學資金及巡歷手當ハ前金拂ヲ爲スコトヲ得但シ學資金ニ付テハ六月分ヲ超ユルコトヲ得ス

第十二條　在外研究員ヲ命セラレタル官吏ハ本邦出發ノ日ヨリ歸朝ノ日迄之ヲ定員外ト爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ定員外ト爲リタル者ニハ俸給ヲ支給セス但シ時宜ニ依リ其ノ俸給ノ三分ノ二以內ヲ支給スルコトヲ得

第十三條　特別ノ事情アルトキハ官吏ニ非ス千五百圓以內ノ家族手當ヲ支給スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ定員外ト爲リタル者ニハ俸給ヲ支給セス但シ時宜ニ依リ其ノ俸給ノ三分ノ二以內ヲ支給スルコトヲ得

第十三條　特別ノ事情アルトキハ官吏ニ非ス千五百圓以內ノ家族手當ヲ支給スルコトヲ得

第十四條　朝鮮總督府在外研究員ハ留學ノ目的ヲ變更シ又ハ其ノ目的ヲ達シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第三十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第四十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第五十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第六十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第七十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第八十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第九十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百二十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百三十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百四十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百五十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百六十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百七十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百八十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第百九十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十一條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十二條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十三條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十四條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十五條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十六條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十七條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十八條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府ニ於テ之ヲ監督ス

第二百十九條　朝鮮總督府在外研究員ニハ朝鮮總督府

第四號書式

（表紙）

朝鮮總督何某殿

第一號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

送付ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第二號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

巡廻手當給與ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第三號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

巡廻手當給與ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第四號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

巡廻手當給與ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第五號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

巡廻手當給與ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第六號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

巡廻手當給與ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第七號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

巡廻手當給與ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第八號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

巡廻手當給與ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第九號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

巡廻手當給與ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第十號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

巡廻手當給與ノ件

今般別紙ノ通リ巡廻手當給與相成度此段相願候也

追テ何月何日ヨリ何月何日迄ノ間巡廻ノ予定ニ付此段及御通知候也

第十一號書式

旅行中私費ノ件

朝鮮總督何某殿

年　月　日

宿所（郵便宛先）（原籍併書）

朝鮮總督府在外所勤務

何某　印

（職名）

（併書）

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十二號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

旅行中私費ノ件

今般別紙ノ通リ旅行中私費ヲ以テ旅行仕度此段相願候也

追テ旅行中ノ給与ニ関シ意見ヲ具申候也

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十三號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

旅行中私費ノ件

今般別紙ノ通リ旅行中私費ヲ以テ旅行仕度此段相願候也

追テ旅行中ノ給与ニ関シ意見ヲ具申候也

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十四號書式

朝鮮總督何某殿

（別紙）

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十五號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

（前略ニ記載スルニ同シ）

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十六號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

旅行中私費ノ件

今般別紙ノ通リ旅行中私費ヲ以テ旅行仕度此段相願候也

追テ旅行中ノ給与ニ関シ意見ヲ具申候也

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第八號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

旅行中私費ノ件

今般別紙ノ通リ旅行中私費ヲ以テ旅行仕度此段相願候也

追テ旅行中ノ給与ニ関シ意見ヲ具申候也

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第九號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

旅行中私費ノ件

今般別紙ノ通リ旅行中私費ヲ以テ旅行仕度此段相願候也

追テ旅行中ノ給与ニ関シ意見ヲ具申候也

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

旅行中私費ノ件

今般別紙ノ通リ旅行中私費ヲ以テ旅行仕度此段相願候也

追テ旅行中ノ給与ニ関シ意見ヲ具申候也

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十一號書式

旅行中私費ノ件

朝鮮總督何某殿

年　月　日

宿所（郵便宛先）（原籍併書）

朝鮮總督府在外所勤務

何某　印

（職名）

（併書）

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十二號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

旅行中私費ノ件

今般別紙ノ通リ旅行中私費ヲ以テ旅行仕度此段相願候也

追テ旅行中ノ給与ニ関シ意見ヲ具申候也

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十三號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

旅行中私費ノ件

今般別紙ノ通リ旅行中私費ヲ以テ旅行仕度此段相願候也

追テ旅行中ノ給与ニ関シ意見ヲ具申候也

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十四號書式

朝鮮總督何某殿

（別紙）

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十五號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

（前略ニ記載スルニ同シ）

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

第十六號書式

朝鮮總督何某殿

年　月　日

旅行中私費ノ件

今般別紙ノ通リ旅行中私費ヲ以テ旅行仕度此段相願候也

追テ旅行中ノ給与ニ関シ意見ヲ具申候也

休業	旅行	旅券ノ有効期間	旅行先	旅行ノ目的	旅費	旅行中ノ給与	旅行中ノ給与ニ関スル意見
何年何月何日ヨリ何年何月何日迄	何年何月何日出発何年何月何日帰着	何年何月何日迄	何地	何ノ為	何円	何円	何

在外研究始末書

一往返發著

何年何月何日何港解纜何洋ヲ經(何年何月何日迄何地ニ滯在何年何月何日最初ノ在留地何國何所ニ到著

何年何月何日滿期(病氣或ハ何何ノ事故ニ付歸朝ヲ命セラレ或ハ何何ノ事故ニ依リ歸朝願濟)ニ依リ何年何月何日何所出發何洋ヲ經(何年何月何日ヨリ何年何月何日迄何地滯在)何年何月何日何港(本邦何港)ニ到著

一修學狀況

何年何月何日何國何所ニ於テ教師何某氏ニ從ヒ何年何月何日迄左ノ學科ヲ研修ス

學科　何何

何年何月何日ヨリ何何ノ爲何校ニ轉シ教師何某氏ニ從ヒ何年何月何日迄左ノ學科(又ハ事項)ヲ研修ス

學科　何何(又ハ事項何何)

何年何月何日ヨリ何年何月何日迄何所ニ於テ(又ハ何地ヘ巡歷)左ノ事項ヲ研究(又ハ實驗)ス

事項何何

一右ノ外緊要ノ事項

年　月　日

朝鮮總督府在外研究員　何　某　印

朝鮮總督何某殿

●在内地給費生規程

大正十一年四月
總令第四十四號

第一條　在内地給費生規程左ノ通定ム

在内地給費生ハ内地ニ於テ學習ヲ必要トスル學術、技藝ヲ履修セシムル爲品行方正、學力優秀、身體健全ナル者ニ付朝鮮總督之ヲ命ス

第二條　在内地給費生ノ入學スヘキ學校、履修學科及學資給與期間ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第三條　在内地給費生ヲ命セラレタル者ハ第一號書式ノ誓約書ヲ提出スヘシ

第四條　在内地給費生ニハ學資ノ一部ヲ給與ス

前項ノ規定ニ依リ給與スル學資ハ月額三十圓以内トス但シ必要ト認ムル場合ニ於テハ之ヲ增加スルコトアルヘシ

第五條　前條ノ學資ハ在内地給費生ヲ命シタル日ヨリ指定期間滿了ノ日迄之ヲ給與スル但シ情狀ニ依リ指定期間滿了ノ日ヨリ一箇月以内ノ日ヲ以テ其ノ給與ヲ終了スルコトアルヘシ

第六條　在内地給費生ハ朝鮮總督ノ定ムル監督者ノ指示ニ從フヘシ

第七條　在内地給費生ヲ辭セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

前項ニ依リ許可ヲ與ヘタルトキハ其ノ情狀ニ從ヒ既ニ給與シタル學資ノ全部又ハ一部ヲ償還セシムルコトアルヘシ

第八條　在内地給費生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ノ在内地給費生ヲ免シ且第一號乃至第三號ノ場合ニ於テ既ニ給與シタル學資ノ全部又ハ一部ヲ償還セシムルコトアルヘシ

一　學業ヲ怠リ成業ノ見込アラサルト認メタルトキ

二　品行不良ニシテ在内地給費生タルノ體面ヲ汚辱スヘキ行爲アリタルトキ

三　監督者ノ指示ニ服從セス又ハ學校ノ規程ニ違反シ其ノ情狀重キトキ

四　疾病ノ爲又ハ學業ノ成績不良ニシテ成業ノ見込ナシト認メタルトキ

第九條　在内地給費生指定期間滿了シタルトキハ其ノ翌日ヨリ二十日以内ニ在學地ヲ出發シ歸鮮スヘシ

歸鮮シタルトキハ遲滯ナク第二號書式ノ修學始末書ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

第十條　在内地給費生ハ指定期間滿了ノ日ヨリ當該期間ノ二分ノ一ニ當ル期間朝鮮總督ノ指定スル職務ニ從事スル義務ヲ有ス

前項ノ義務ヲ盡ササルトキハ既ニ給與シタル學資ノ全部又ハ一部ヲ償還セシム但シ情狀ニヨリ償還義務ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

在内地官費朝鮮學生規程ハ之ヲ廢止ス

本令施行ノ際現ニ在内地官費朝鮮學生タル者ハ本令ニ依リ在内地給費生ヲ命セラレタル者ト看做ス但シ學資ノ額、指定期間滿了ニ因リ歸鮮スル場合ノ旅費、現ニ治療ヲ受ケルモノノ治療費及指定期間滿了後ノ義務ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

本令施行前在内地官費朝鮮學生ノ指定期間滿了シタル者ニシテ未タ其ノ義務ヲ完了セサルモノノ義務ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

第一號書式

誓約書

族籍
某長(次)男　氏名
生年月日

右者今般在内地給費生規程ヲ遵守シ熟心勉學致スヘキ勿論卒業歸鄉ノ上ハ御指定ノ職務ニ服シ可申且本人同規程ニ依リ既ニ御給與相成候學資金償還ノ命セラレ候場合ニ於テハ本人及保證人連帶ノ上速ニ償還可致候仍テ誓約書提出候也

年　月　日

住所
在内地給費生　氏　名印

住所職業
本人トノ關係　保證人　氏　名印

住所職業
本人トノ關係　保證人　氏　名印

第二號書式

修學始末書

何年何月受命在内地給費生
履修學科何科　氏　名
生年月日

出發　何年何月何日學校ヲ卒業シ何月何日何地ヲ發シ何月何日何港ヲ解纜ス(何月何日ヨリ何月何日迄何事由ニ因リ何地ニ滯留ス)

附　則(大正十二年四月總令第六十九號)

本令ハ大正十二年度以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

歸鄉　何年何月何日何港ニ投錨シ何月何日何地ニ歸著ス

一修學狀況

進級　何年何月何日第何學年ニ進級ス

轉學　何年何月何日何事故ニ因リ何地官(公、私)立何學校何科第何學年ニ轉學ス

卒業　何年何月何日何地官(公、私)立何學校何科ヲ卒業ス在學中研修シタル學科目ハ左記ノ如シ

休學　何年何月何日ヨリ何月何日迄疾病又ハ何事故ニ因リ休學ス

一褒賞及卒業證等

何年何月何日何學校第何學年修業ノ際成績優等ニ依リ賞狀又ハ何賞品ヲ受ク

證書　卒業證書(卒業證書ナキ者ハ修業證書)ノ謄本別紙ノ如シ

一　前項以外ノ重要事項　何何

右ノ通相違無之候也

年　月　日

住所
氏名　印

朝鮮總督宛

●中等教員委託生規則

大正九年六月
總令第八十九號
改正　大正一二年百號九號

中等教員委託生規則左ノ通定ム

中等教員委託生規則

第一條　中等教員委託生ハ朝鮮ニ於ケル中等學校ノ教諭ニ從事セシムル目的ヲ以テ高等師範學校其ノ他朝鮮總督ノ適當ト認ムル學校ノ學生生徒ノ中ニ就キ朝鮮總督之ヲ命ス

第二條　委託生ヲ命セラレタル者ハ別記樣式ノ誓約書ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

第三條　委託生ニハ月額三十圓ノ學費及年額四十七圓ノ被服費ヲ給與ス

第四條　學費ハ委託生ヲ命セラレタル月ヨリ卒業ノ月迄毎月二十五日迄ニ其ノ月分ヲ給與ス

被服費ハ每學年ノ初ニ其ノ學年分ヲ給與スル但シ學年ノ中途ニ於テ委託生ヲ命セラレタルル者ニ對シテハ其ノ際之ヲ給與ス

第五條　委託生死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ百四以内ノ葬儀料ヲ給與スルコトアルヘシ

第六條　委託生左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ委託生ヲ免シ其ノ翌月分ヨリ學費ノ給與ヲ廢止ス

一　懲戒ニ因リ退學處分ヲ受ケタルトキ

二　學業不進又ハ身體虛弱ニシテ成業ノ見込ナキトキ其ノ他教員タルニ適セサルニ至リタルトキ

前項各號ノ一ニ該當スルトキハ既ニ給與シタル學費、被服費ヲ本人又ハ保證人ヨリ償還セシム但シ第二號ノ場合ニ於テハ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第七條　委託生ヲ命セラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ給費ヲ辭シ又ハ退學スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ違反シタルトキハ既ニ給與シタル學費及被服費ノ全部又ハ一部ヲ償還セシムルコトアルヘシ

第八條　委託生ハ卒業後學費ノ給與ヲ受ケタル期間ト同一期間朝鮮總督ノ指定ニ從ヒ學校ニ就職スルノ義務アルモノトス

就職義務年限中禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ、懲戒免官トナリタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ在學中給與シタル學費、被服費ヲ償還セシム但シ情狀ニ依リ償還義務ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第二十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第三十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第四十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第五十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第六十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第七十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第八十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第九十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百二十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百三十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百四十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百五十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十五條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十六條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十七條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十八條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百六十九條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百七十條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百七十一條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百七十二條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百七十三條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ於テ教育ノ實地ヲ練習スヘシ

第百七十四條　委託生ハ在學中ト雖モ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ朝鮮ニ

施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第八章　教科用圖書

●教科用圖書檢定規程

明治四十五年六月
總令第百十二號

改正　大正二年三節四二號、昭和八年七節六七號、一三年三節四四號

教科用圖書檢定規程左ノ通定ム

教科用圖書檢定規程

第一條　教科用圖書ノ檢定ハ朝鮮教育令及師範學校規程、中學校規程、高等女學校規程、實業學校規程、小學校規程又ハ私立學校規則ノ旨趣ニ合シ教科用ニ適スルコトヲ認定スルモノトス

本規程ニ於テ教科用圖書ト稱スルハ師範學校、中學校、高等女學校及之ニ類スル私立ノ各種學校ニ關シテハ生徒用圖書、實業學校及之ニ類スル私立ノ各種學校ニ關シテハ普通學科目ノ生徒用圖書、小學校及之ニ類スル私立ノ各種學校ニ關シテハ教師用圖書及兒童用圖書トス

前項ノ教師用圖書トハ教授スヘキ事項、教授上ノ注意及應用ニ關スル事項等ヲ記載シタル圖書又ハ該圖書ニ附屬シテ生徒ニ示スヲ目的トスル掛圖類ヲ云フ

第二條　教科用圖書ノ發行者ハ其ノ圖書ノ檢定ヲ朝鮮總督ニ出願スルコトヲ得但シ職業學校ノ專攻科及高等科並ニ實業補習學校ノ教科用圖書ニ關シテハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ出願者ニシテ朝鮮內ニ住所ヲ有セサルトキハ檢定ニ關スル一切ノ事項ヲ代理セシムルカ爲朝鮮內ニ住所ヲ有スル者ニ就キ代理人ヲ定ムヘシ但シ此ノ場合ニ於テハ檢定願書ニ委任狀寫ヲ添ヘテ提出スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ發行者數名アルトキハ其ノ中ニ就キ代表者ヲ定ムヘシ

第三條　第二條ニ依リ檢定ヲ出願スル者ハ第一號書式ノ願書ニ檢定料及圖書刊本二部ヲ添ヘテ提出スヘシ

檢定ヲ出願スルトキハ第三號書式ノ願書ニ圖書刊本二部ヲ添ヘ提出スヘシ此ノ場合ニハ檢定料ヲ要セス但シ其ノ圖書ノ定價ヲ有スル教科用圖書ニシテ第三條第三項ニ準シ其ノ差額ヲ納付スヘシ

第四條　檢定ヲ得タル圖書ニ署名セル著作者又ハ發行者住所姓名ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ事項ヲ屆出ツヘシ

前項ノ屆出アリタルトキハ朝鮮總督府官報ニ之ヲ公告スヘシ

第五條　第二條ニ依リ檢定ヲ出願シタル圖書中瑣少ノ修正ヲ加フレハ檢定ヲ與フルコトヲ得ヘシト認ムルモノアルトキハ其ノ修正ヲ要スヘキ箇所ヲ檢定出願者ニ指示スヘシ

第六條　前條ニ依リ圖書中修正スヘキ箇所ヲ指示セラレタルトキハ一年以內ニ修正ヲ加ヘテ出版シ第二號書式ニ依リ該圖書二部ヲ添ヘ其ノ圖書ノ檢定ヲ追願スヘシ但シ極メテ輕易ノ修正ニ過キサルモノハ正誤表ヲ添附セシメ又ハ修正紙ヲ貼付セシメテ本項ノ手續ヲ略スルコトアルヘシ

前項ノ期限內ニ修正追願ヲ爲ササルトキハ檢定ノ出願ヲ取下ケタルモノト看做ス

第七條　檢定ヲ得タル圖書ハ朝鮮總督府官報ニ其ノ名稱、冊數、定價、目的トスル學校及學科ノ種類、生徒用又ハ教師用ノ區別、發行及檢定年月日、該圖書ニ署名セル著作者及發行者ノ住所姓名ヲ公告スヘシ

第八條　檢定ヲ得タル圖書ハ每冊表紙又ハ扉等ノ見易キ所ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　檢定年月日
二　朝鮮總督府檢定濟
三　目的トスル學校
四　小學校又ハ之ニ類スル私立ノ各種學校ニ在リテハ兒童用教師用ノ區別（掛圖ニ限リ之ヲ省ク）

第九條　檢定ヲ得タル圖書ヲ出版シタルトキハ其ノ都度發行後三日內ニ該圖書二部ヲ納付スヘシ

第十條　檢定ヲ得タル圖書ノ名稱、冊數、定價及其ノ內容ニ變更アリタルトキハ檢定ハ其ノ效力ヲ失フ

第十一條　前條ノ場合ニ於テ更ニ其ノ圖書ノ檢定ヲ出願スルトキハ第三號書式ノ願書ニ圖書刊本二部ヲ添ヘ提出スヘシ此ノ場合ニハ檢定料ヲ要セス但シ其ノ圖書ノ定價ヲ有スル教科用圖書ニシテ第三條第三項ニ準シ其ノ差額ヲ納付スヘシ

第十二條　檢定ヲ得タル圖書ニ署名セル著作者又ハ發行者住所姓名ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ事項ヲ屆出ツヘシ

前項ノ屆出アリタルトキハ朝鮮總督府官報ニ之ヲ公告スヘシ

第十三條　朝鮮總督ニ於テ必要ト認ムルトキハ檢定シタル圖書ノ修正ヲ命スルコトアルヘシ

第十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ圖書ノ檢定ヲ取消スコトアルヘシ

一　第八條、第九條又ハ第十二條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ
二　第十三條ノ命令ニ從ハサルトキ
三　檢定圖書ニシテ朝鮮總督府ニ納付シタル圖書ニ比シ紙質、印刷又ハ製本粗惡ナルモノヲ發賣シタルトキ
四　其ノ內容教科用ニ不適當トナリタルトキ
五　檢定ヲ與ヘタル圖書ニシテ當該學科目若ハ其ノ程度ノ變更又ハ教授要旨若ハ教授要目ノ制定若ハ變更アリタルトキ

第十五條　圖書ノ檢定ヲ取消シタルトキハ朝鮮總督府官報ニ之ヲ公告ス

第十六條　檢定ヲ得サル圖書又ハ檢定ノ效力ヲ失ヒタル圖書ニ朝鮮總督府檢定濟其ノ他之ニ類スル文字ヲ記載シテ發行シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ情ヲ知リテ受託販賣シタル者亦同シ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ提出シタル教科用圖書檢定願書ニシテ處分未濟ノモノハ本令施行ノ日ニ於テ本令ニ依リ提出シタルモノト看做ス

明治四十三年十月一日以前ニ檢定シタル圖書ハ明治四十七年三月三十一日限、未發行ノモノニ在リテハ本令施行ノ日ヨリ六月ヲ經過シタルトキハ其ノ檢定ノ效力ヲ失フ

前項ノ刊本圖書ニシテ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ五十日以內ニ更ニ檢定ヲ出願スルトキハ檢定料ヲ要セス

明治四十三年十月一日以降檢定シタル刊本圖書ハ本令ニ依リ檢定シタルモノト看做ス

前項ニ依リ檢定シタル圖書ニシテ本令施行ノ日ヨリ一年以內ニ發行セサルモノハ其ノ檢定ハ效力ヲ失フ

附　則（大正十一年三月總令第四十二號）

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年四月一日以前ニ檢定シタル圖書ハ本令施行ノ日ヨリ六月ヲ經過シタルトキハ其ノ檢定ノ效力ヲ失フ

前項ノ圖書ニシテ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ五十日以內ニ更ニ檢定ヲ出願スルトキハ檢定料ヲ要セス

附　則（昭和十三年三月總令第四十四號）

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ提出シタル高等普通學校、女子高等普通學校又ハ普通學校ノ教科用圖書檢定願書ニシテ處分未濟ノモノハ各之ヲ本令ニ依リ檢定シタル刊本圖書ト看做ス

前項ノ規定ニ依リ高等普通學校、女子高等普通學校又ハ普通學校ノ教科用圖書トシテ檢定シタル刊本圖書ハ各之ヲ本令ニ依リ檢定シタル中學校、高等女學校又ハ小學校ノ教科用圖書ト看做ス

從前ノ規定ニ依リ高等普通學校、女子高等普通學校又ハ普通學校ノ教科用圖書トシテ檢定シタル刊本圖書ハ各之ヲ本令ニ依リ檢定シタル中學校、高等女學校又ハ小學校ノ教科用圖書ト看做ス

本令施行前ニ提出シタル高等普通學校、女子高等普通學校又ハ普通學校ノ教科用圖書檢定願書ニシテ處分未濟ノモノハ各之ヲ本令ニ依リ檢定シタル中學校、高等女學校又ハ小學校ノ教科用圖書ト看做ス

前項ノ圖書ニシテ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ五十日以內ニ更ニ檢定ヲ出願スルトキハ檢定料ヲ要セス

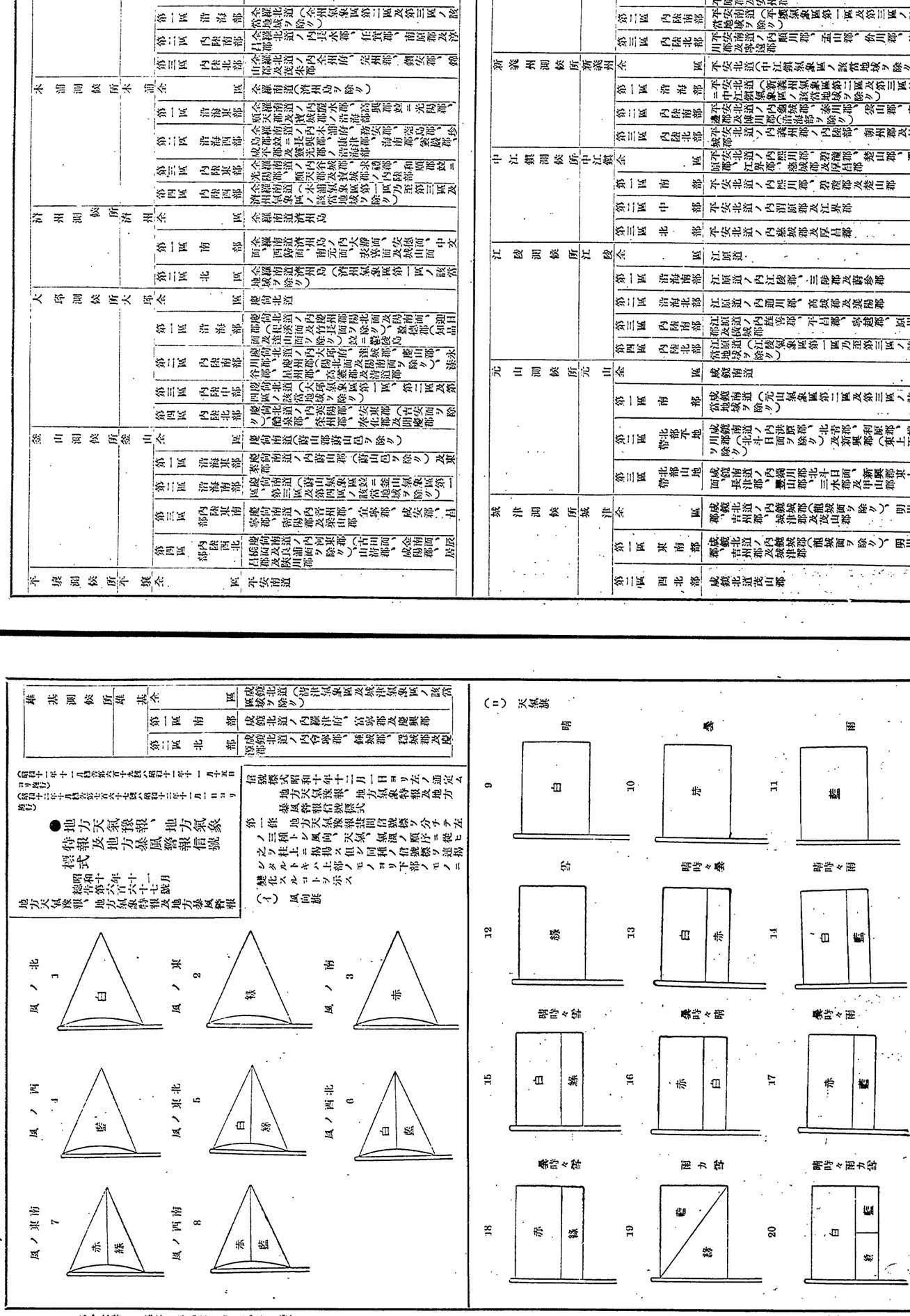
附　則（昭和十三年四月總令第四十四號）

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ提出シタル高等普通學校、女子高等普通學校又ハ普通學校ノ教科用圖書檢定願書ニシテ處分未濟ノモノハ各之ヲ本令ニ依リ檢定シタル中學校、高等女學校又ハ小學校ノ教科用圖書ト看做ス

前項ノ圖書ニシテ其ノ效力ヲ失ヒタル日ヨリ五十日以內ニ更ニ檢定ヲ出願スルトキハ檢定料ヲ要セス

附　則（昭和十三年三



第十六條　第九條ノ二　第九條　第八條　第七條　第六條　第五條　第四條　第三條　第二條　第一條

第十六條　第九條ノ二　第九條　第八條　第七條　第六條　第五條　第四條　第三條　第二條　第一條

慶尚南道蔚山郡溫山面唐月里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道蔚山郡西生面新岩里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道東萊郡沙下面多大里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道東萊郡機張面大逸里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道東萊郡日光面伊川里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道昌原郡鎭海邑慶和里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道昌原郡鎭東面古縣里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道昌原郡熊川面齊德里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道昌原郡天加面大項里(加德島燈臺)	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道統營郡統營邑吉野町	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道統營郡山陽面道南里(岡山村神社境內)	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道統營郡遠梁面琴坪里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道統營郡遠梁面老大里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道統營郡遠梁面東港里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道統營郡閑山面秋峰里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道統營郡長木面樽湖里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道統營郡二運面長承浦里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道統營郡一運面舊助羅里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道固城郡三山面豆布里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道泗川郡三千浦邑西里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道泗川郡三千浦邑仙臺里(三千浦)	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道南海郡三東面知足里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道南海郡三東面勿巾里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道南海郡三東面彌勒里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道南海郡仝南面燒巢里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道南海郡南面松笠里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道南海郡三東面德島里(龍島燈臺)	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道河東郡仝南面燒巢里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道泗川郡三千浦邑仙臺里(三千浦)	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道南海郡三東面知足里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道南海郡三東面勿巾里	第一種、第二種、第三種	
慶尚南道南海郡三東面彌勒里

（裏面）

朝鮮總督府博物館陳列品寄託心得摘要

一　寄託ハ總テ無報酬トス

一　寄託者住所若ハ氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ朝鮮總督府ニ届出テ受託證書ノ書換ヲ受ケヘシ

一　寄託品ノ所有者ニ變更アリタルトキハ新所有者ヨリ書面ヲ以テ朝鮮總督府ニ届出テ受託證書ノ書換ヲ受ケヘシ但死亡ニ因ル相續ノ場合ノ外舊所有者ノ連署ヲ要ス

一　受託證書ヲ紛失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ書面ヲ以テ朝鮮總督府ニ申出テ再交付ヲ受ケヘシ

一　寄託品ノ亡失ニ對スル賠償金額ハ寄託者ト協定ス但其ノ協定調ハサルトキハ總務局長ノ選定スル二人以上ノ鑑定人ノ評價ニ依ル

一　受託品ノ紛失ニ對シ賠償ヲ爲シタル後二年内ニ之ヲ發見シタルトキハ其ノ賠償金ヲ返還セシメ現品ヲ寄託者ニ還付ス

一　受託期間特ニ協定シタル場合ヲ除クノ外一年トス

一　寄託者ハ寄託品ノ撮影ニ付異議ヲ述フルコトヲ得ス博物館ニ於テ模寫又ハ模造スルトキ亦同シ

一　寄託者寄託品ノ返還ヲ受ケムトスルトキハ書面ヲ以テ朝鮮總督府ニ申出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ寄託者ハ受託證書ニ受領ノ旨ヲ記載シ署名捺印シ之ト引換ニ物品ノ返還ヲ受ケヘシ

表記ノ寄託品返還相成正ニ受領候也

大正年月日

住所
姓氏名　㊞

●慶州博物館分館觀覽時間

大正十五年六月
總督第百九十三號

改正　昭和二年一二第八六月號

朝鮮總督府博物館慶州分館ヲ慶尚北道慶州郡慶州面東部里ニ設置シ大正十五年六月二十日ヨリ開館一般ノ觀覽ヲ許ス

觀覽時間

五月一日ヨリ九月三十日迄
午前八時ヨリ午後四時ニ至ル

十月一日ヨリ翌年四月三十日迄
午前九時ヨリ午後四時ニ至ル

祭日又ハ祝日ノ翌日、月曜日及十二月二十六日ヨリ翌年一月三日迄ハ休館トス

●朝鮮美術展覽會規程

大正十一年一月
總告第三號

改正　大正二一年五第一九號、一二年四第一〇四號、第一二一號、一三年四第八五號、一五年五第一四九號、昭和三年四第二五五號、九年四第二七三號、一〇年三第一八四號、一〇年五第二九五號、一一年三第二〇七號、一二年四第二七五號

朝鮮美術展覽會規程左ノ通定ム

朝鮮美術展覽會規程

第一章　總則

第一條　朝鮮ニ於ケル美術ノ發達ヲ裨補スル爲毎年一回朝鮮美術展覽會ヲ開ク

會場、事務所及會期ハ其ノ都度之ヲ公告ス

第二條　本會ハ之ヲ左ノ三部ニ分ツ

第一部　東洋畫
第二部　西洋畫
第三部　彫塑及工藝

第三條　出品ハ鑑査ヲ經タルモノニ限リ之ヲ陳列ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル出品ハ鑑査外トス

一　朝鮮美術審査委員會委員（以下委員ト稱ス）又ハ委員タリシ者ノ出品

二　朝鮮美術展覽會參與又ハ參與タリシ者ノ出品但シ一點ニ限ル

三　朝鮮美術審査委員會委員長ニ於テ推薦シタル者ノ出品但シ一點ニ限ル

四　前回ノ朝鮮美術展覽會ニ於テ特選セラレタル者ノ出品但シ一點ニ限ル

第四條　出品ノ荷造及運送費ハ總テ出品人ノ負擔トス

第五條　本會ハ出品ノ保管ニ關シ十分ノ注意ヲ爲スト雖出品ノ紛失又ハ損害ニ對シ一切其ノ責ニ任セス

第六條　出品人ノ承諾ヲ得且本會ノ許可ヲ得ルニ非サレハ出品ノ撮影又ハ模寫ヲ爲スコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ得タル者會場ニ於テ出品ノ撮影又ハ模寫ヲ爲サムトスルトキハ許可證ヲ事務員ニ提示シテ其ノ指揮ヲ受ケヘシ

本會ハ出品ヲ撮影模寫シ又ハ之ヲ刊行スルコトアルヘシ

第六條ノ二　朝鮮美術展覽會ニ評議員及參與ヲ置クコトアルヘシ

評議員ハ朝鮮美術展覽會ニ關シ朝鮮總督ノ諮問ニ應シテ意見ヲ陳述ス

參與ハ朝鮮美術審査委員會委員長ノ指揮ヲ承ケ出品ノ鑑査及審査ノ事務ヲ補助ス

評議員ハ朝鮮ニ於ケル美術ニ關シ功勞アル者又ハ美術ニ關シ學識經驗アル者ノ中ヨリ朝鮮總督之ヲ囑託ス

參與ハ朝鮮美術展覽會ニ於テ選賞セラレタル者ノ中ヨリ其ノ都度朝鮮總督之ヲ囑託ス

第二章　出品

第七條　出品人ハ出品ノ製作者、製作者死亡シタルトキハ其ノ家族ニ限ルモノトス

第三條　事務所ニ於テ出品ヲ受理シタルトキハ直ニ受領證ヲ交付ス

第四條　出品ノ額面ト爲シ又ハ枠、軸ヲ附スル等出品人ニ於テ適宜ノ裝飾設備ヲ爲スヘシ

第五條　鑑査ノ結果陳列セサルモノト決定シタルモノニ付テハ第二十三條第三項ノ公告アリタル日ヨリ十日内ニ出品人ニ於テ之ヲ撤出スヘシ十日ヲ經ルモ之ヲ撤出セサルトキハ本會ニ於テ相當ト認ムル處置ヲ爲ス

第六條　出品ニ對シテハ賣買ノ周旋ヲ爲サス

第七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第四十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第五十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第六十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第七十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第八十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第九十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百二十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百三十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百四十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百五十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百六十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百七十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百八十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第百九十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百二十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百三十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百四十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百五十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百六十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百七十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百八十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第二百九十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百二十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百三十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十二條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十三條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十四條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十五條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十六條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十七條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十八條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百四十九條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百五十條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ得

第三百五十一條　出品ハ陳列中ト雖モ賣却ヲ爲スコトヲ

縦一尺三寸、横二尺　用紙ハ局紙トス

第　號

朝鮮　道　何　某

回朝鮮美術展覽會出品

第　東洋畫　何　何

西洋畫　何　何

彫　塑　何　何

工　藝　何　何

審査委員　何　某㊞

何　某㊞

何　某㊞

審査委員長　何　某㊞

右審査委員長ノ處告ヲ領シ玆ニ特選狀（及賞牌又ハ賞金）ヲ授與ス

年　月　日

朝鮮總督　何　某㊞

第十一章　寶物古蹟名勝天然記念物

●朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令

昭和八年八月制令第六號

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令

第一條　建造物、典籍、書蹟、繪畫、彫刻、工藝品其ノ他ノ物件ニシテ特ニ歷史ノ證徵又ハ美術ノ模範ト爲ルベキモノハ朝鮮總督之ヲ寶物トシテ指定スルコトヲ得

貝塚古墳寺址城址窯址其ノ他ノ遺蹟、景勝ノ地又ハ動物植物地質鑛物其ノ他學術研究ノ資料ト爲ルベキ物ニシテ保存ノ必要アリト認ムルモノハ朝鮮總督之ヲ古蹟、名勝又ハ天然記念物トシテ指定スルコトヲ得

第二條　朝鮮總督前條ノ指定ヲ爲サントスル

トキハ朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會（以下單ニ保存會ト稱ス）ニ諮問スベシ

前條ノ指定以前ニ於テ急施ヲ要シ保存會ニ諮問スル暇ナシト認ムルトキハ朝鮮總督ハ假ニ指定スルコトヲ得

第三條　朝鮮總督ハ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ立入リ、調査ニ必要ナル物件ノ提供ヲ求メ、測量調査ヲ爲スハ土地ノ發掘、障碍物ノ變更除却其ノ他調査ニ必要ナル行爲ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

第四條　寶物ノ之ヲ輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

朝鮮總督前項ノ許可ヲ爲サントスルトキハ保存會ニ諮問スベシ

第五條　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關シ共ノ現狀ヲ變更シ又ハ共ノ保存ニ影響ヲ及ボスベキ行爲ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第六條　朝鮮總督ハ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關シ必要アリト認ムルトキハ保存會ニ諮問スベシ

第七條　朝鮮總督ハ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關シ必要ナル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第八條　朝鮮總督ハ國ノ所有ニ屬スル寶物ノ管理ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第九條　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ保存ニ關シ必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ保存會ノ議ヲ經テ其ノ所有者ニ對シ其ノ保存ニ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十條　前條ノ規定ニ依リ寶物ヲ輸出シ又ハ移出セントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ其ノ寶物ニ付キ朝鮮總督ノ指定スル輸出港ヨリ輸出又ハ移出スベシ

第十一條　朝鮮總督ハ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ關スル調査ヲ爲ス爲必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ必要ナル場所ニ立入リ、調査ニ必要ナル物件ノ提供ヲ求メ、測量調査ヲ爲スハ土地ノ發掘、障碍物ノ變更除却其ノ他調査ニ必要ナル行爲ヲ爲サシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

第十二條　第九條ノ規定ニ依リテ出陳シタル寶物ニ付其ノ出陳中所有者ノ變更アリタルトキハ新所有者ハ當該寶物ニ關シ本令ニ規定スル舊所有者ノ權利義務ヲ承繼ス

第十三條　朝鮮總督ハ地方公共團體ヲ指定シテ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ管理ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ管理ニ要スル費用ハ當該公共團體ノ負擔トス

前項ノ費用ニ對シテハ國庫ヨリ豫算ノ範圍內ニ於テ其ノ一部ヲ補助スルコトヲ得

第十四條　公益上其ノ他特殊ノ事由ニ依リ必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ保存會ニ諮問シ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ

一　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數
二　補助ヲ必要トスル事由
三　維持修理ニ關スル工費豫算、設計仕様書、計畫圖及竣工
四　著手及竣功ノ豫定時期
第二十四條　第十一條又ハ前條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ施設又ハ維持修理ニ關シテハ朝鮮總督之ヲ監督ス
第二十五條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ
一　遺蹟ト認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地
二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由
三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕様書及計畫圖
四　著手及竣工ノ豫定時期
五　土地ノ所有者又ハ土地ノ所有者及關係人ノ承諾ヲ得タルコトヲ證スルニ足ル書面
六　由來又ハ傳說
前項ニ掲ゲル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケベシ
第二十六條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ト認ムベキモノヲ發見シタル者ハ其ノ事項ヲ具シ直ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
一　遺蹟ト認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地
二　構造及現狀
第三十四條　寺剎其ノ所有ニ屬スル寶物ヲ謄拓、模寫若ハ模造シ又ハ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ
一　寶物ノ指定番號、名稱及員數
二　維持修理ノ必要トスル事由
三　維持修理ニ關スル工費豫算、設計仕様書、計畫圖及寫眞
四　揭拓、模寫又ハ模造ノ期間
五　揭拓、模寫又ハ模造ニ從事スル者ノ氏名及住所
前項ニ揭ゲル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ
第三十五條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ト認ムベキモノヲ發掘シ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ
一　遺蹟ト認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地
二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由
三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕様書及計畫圖
四　著手及竣工ノ豫定時期
五　土地ノ所有者又ハ土地ノ所有者及關係人ノ承諾ヲ得タルコトヲ證スルニ足ル書面
六　由來又ハ傳說
前項ニ揭ゲル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ
第三十六條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ト認ムベキモノヲ發掘シ其ノ他現狀ヲ變更シ又ハ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第三十七條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ト認ムベキモノヲ發掘シ其ノ他現狀ヲ變更シ又ハ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第三十八條　寺剎其ノ所有ニ屬スル寶物ヲ謄拓、模寫若ハ模造シ又ハ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第三十九條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十一條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十二條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十三條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十四條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十五條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十六條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十七條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十八條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第四十九條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十一條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十二條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十三條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十四條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十五條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十六條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十七條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十八條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第五十九條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十一條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十二條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十三條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十四條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十五條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十六條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十七條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十八條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第六十九條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十一條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十二條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十三條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十四條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十五條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十六條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十七條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十八條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第七十九條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十一條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十二條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十三條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十四條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十五條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十六條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十七條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十八條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第八十九條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十一條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十二條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十三條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十四條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十五條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十六條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十七條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十八條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第九十九條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第百條　第三十四條又ハ第三十五條ノ規定ニ依リ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスル者ハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ補助金ノ全部若ハ一部ノ交付ヲ停止若ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ
一　保存令若ハ本令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ
二　工事竣工ノ見込ナキニ至リタルトキ
三　詐欺其ノ他不正ノ手段ヲ以テ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ
第三十條　第六條、第八條及第十二條乃至第十四條ノ規定ニ依リ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ管理ヲ爲サシムルトキハ之ヲ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ通知スベシ
第二十條　保存令第十三條第一項ノ規定ニ依リ管理スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物滅失若ハ毀損シ又ハ其ノ現狀ニ變更アリタルトキハ當該地方公共團體ハ其ノ事由、實況竝ニ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告シ且當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ所有者、管理者又ハ占有者ニ通知スベシ
第二十一條　保存令第十三條第一項ノ規定ニ依リ寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ管理ヲ爲ス地方公共團體ハ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ付觀覽料ヲ徵收スルコトヲ得
第二十二條　保存令第十三條第三項ノ規定ニ依リ補助ヲ受ケントスルトキハ當該地方公共團體ハ其ノ事由及當該年度管理費豫算竝ニ當該寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ
第二十三條　寺剎其ノ所有ニ屬スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ヲ維持修理スルコトヲ得ハザルトキハ朝鮮總督ハ之ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得
朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ寺剎以外ノ者ノ所有ニ屬スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ニ付前項ノ規定ヲ準用ス
前二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ
一　寶物ノ指定番號、名稱及員數
二　維持修理ニ關スル工費豫算、設計仕様書、計畫圖及寫眞
三　著手及竣功ノ豫定時期
第二十四條　第十一條又ハ前條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ施設又ハ維持修理ニ關シテハ朝鮮總督之ヲ監督ス
第二十五條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ道知事ノ指示ニ從ヒ之ヲ管理スベシ
第二十六條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者設計仕様書又ハ著手若ハ竣工ノ豫定時期ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由竝ニ變更ノ設計仕様書及計畫圖ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ
第二十七條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ設計仕様書ノ變更ヲ命ジ又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ設計仕様書ノ變更ヲ命ズルコトヲ得
第二十八條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ施設又ハ維持修理ニシテ政府ノ會計年度内ニ其ノ工事ヲ終ラザルモノニ在リテハ朝鮮總督ニ於テ翌年度工費ノ收支計算及工事ノ進行狀況ヲ會計年度經過後二月内ニ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第二十九條　第十一條又ハ第二十三條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ施設又ハ維持修理ノ工事ヲ終リタルトキハ實施仕様書竝ニ埋藏物ノ類ヲ發見シタルトキハ其ノ狀況ヲ具シ二月内ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第三十條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ト認ムベキモノヲ發掘シ其ノ他現狀ヲ變更シ又ハ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第三十一條　寺剎ノ所有ニ屬スル物件ニ付寶物ノ指定アリタルトキハ其ノ管理方法ヲ定メ指定ノ日ヨリ一月内ニ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
朝鮮總督前項ノ管理方法不適當ト認ムルトキハ其ノ變更ヲ命ジ又ハ別ニ管理方法ヲ指定スルコトヲ得
第三十二條　寺剎ノ所有ニ屬スル寶物ヲ該寺剎外ニ搬出セントスルトキハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケベシ但シ保存令第九條ノ規定ニ依リ寶物ヲ李王家、官立又ハ公立ノ博物館又ハ美術館ニ出陳スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
一　寶物ノ指定番號、名稱及員數
二　搬出ヲ必要トスル事由
三　搬出ノ期間
四　搬出先
五　荷造運搬ノ方法
搬出期間中ニ於ケル保管ノ方法
前項ニ揭ゲル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケベシ
第三十三條　前條第一項ノ規定ニ依リ搬出シタル寶物ヲ當該寺剎内ニ搬入シタルトキハ寺剎ハ七日内ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第三十四條　寺剎其ノ所有ニ屬スル寶物ヲ謄拓、模寫若ハ模造シ又ハ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第三十五條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ト認ムベキモノヲ發掘シ其ノ他現狀ヲ變更セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スベシ
一　遺蹟ト認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地
二　發掘其ノ他現狀變更ヲ必要トスル事由
三　發掘其ノ他現狀變更ニ關スル設計仕様書及計畫圖
四　著手及竣工ノ豫定時期
五　土地ノ所有者又ハ土地ノ所有者及關係人ノ承諾ヲ得タルコトヲ證スルニ足ル書面
六　由來又ハ傳說
前項ニ揭ゲル事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケベシ
第三十六條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ト認ムベキモノヲ發掘シ其ノ他現狀ヲ變更シ又ハ揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認セントスルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第三十七條　貝塚、古墳、寺址、城址、窯址其ノ他ノ遺蹟ト認ムベキモノヲ發見シタル者其ノ事項ヲ具シ直ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
一　遺蹟ト認ムベキモノノ種類、名稱、員數及所在地
二　構造及現狀

三　由來又ハ傳說
四　發見ノ年月日
第三十八條　寺剎左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一　第三十一條第一項ノ規定ニ依リ同條第二項ノ規定ニ依リ命ジ若ハ指定シタル管理方法ニ依ラズシテ寶物ノ管理ヲ爲シタルトキ
二　怠慢ニ因リ寶物ヲ滅失又ハ毀損スルニ至ラシメタルトキ
三　許可ヲ受ケズシテ寶物ヲ寺剎外ニ搬出シタルトキ
四　許可ヲ受ケズシテ寶物ヲ揭拓、模寫若ハ模造シ、揭拓、模寫若ハ模造ヲ承認シタルトキ
第三十九條　第八條、第十條、第三十一條第一項、第三十三條又ハ第三十六條ノ規定ニ違反シ同條ヲ爲サザル者ハ科料ニ處ス
第四十條　本令ノ罰則ヲ適用スベキ者寺剎ナルトキハ住持又ハ寺剎令施行規則第一條ノ規定ニ依リ寺剎ノ事務ヲ取扱フ者ニ之ヲ適用ス
附　則
本令ハ朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
古蹟及遺物保存規則ハ之ヲ廢止ス
別記様式
十センチメートル
六センチメートル

表

第　號
寶物古蹟名勝
天然記念物
官　氏　名

裏

年　月　日
朝鮮總督府印

面

●朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續

昭和八年十二月
總訓第四十二號

朝鮮總督府所屬官署
朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續
朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行ノ日ヨリ左ノ通定ム

朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續

第一條　道知事朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令（以下單ニ保存令ト稱ス）第一條ノ規定ニ依リ指定ノ必要アリト認ムル物アルトキハ左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

一　名稱、員數及所在地
二　所有者、管理者及占有者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱及主タル事務所ノ所在地）
三　品質、形狀、構造及大サ
四　現狀
五　由來又ハ傳說
六　保存上必要ト認メラルル事項
七　保存上必要ト認ムベキ事項
八　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第二條　道知事保存令第六條第一項ノ規定ニ依リ一定ノ行爲ノ禁止若ハ制限ヲ爲シ又ハ必要ナル施設ヲ命ズルノ必要アリト認ムルトキハ左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

一　寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ指定番號、名稱及員數
二　所有者、管理者及占有者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱及主タル事務所ノ所在地）
三　品質、形狀、構造及大サ
四　現狀
五　保存上必要ト認メラルル事項
六　保存上必要ト認ムベキ事項
七　其ノ他參考ト爲ルベキ事項
八　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三條　道知事朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行規則（以下單ニ規則ト稱ス）第二十九條ノ規定ニ依リ補助金ノ全部若ハ一部ノ交付ヲ停止若ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルノ必要アリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四條　朝鮮總督府ノ所有ニ屬スル物件又ハ土地ヲ寶物、古蹟、名勝若ハ天然記念物トシテ指定又ハ其ノ指定ノ解除ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ朝鮮總督府所屬官署ノ長ニ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

第五條　左ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ保管者ニ通知スベシ

一　國ノ所有ニ屬スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ヲ管理スル者ノ變更アリタルトキ
二　國ノ所有ニ屬スル寶物、古蹟、名勝又ハ天然記念物ノ管理ヲ爲ス者ノ變更アリタルトキ
三　所有者、管理者及占有者ノ氏名又ハ住所ニ變更アリタルトキ
四　工作物其ノ他ノ物件ノ名稱、員數、品

官吏ニ命ジタルトキ

第十條　左ノ場合ニ於テハ道知事ハ其ノ要項ヲ所轄警察署長ニ通知スベシ

一　保存令第十五條又ハ規則第二條ノ規定ニ依ル通知ヲ傳達スルトキ

二　保存令第四條第一項、第五條、第六條第一項、第九條、第十三條第一項若ハ第十八條第一項又ハ規則第三十二條若ハ第三十四條ノ規定ニ依ル指令ヲ傳達スルトキ

三　規則第三十一條第二項ノ規定ニ依ル管理方法ノ變更命令又ハ管理方法ノ指定ヲ傳達スルトキ

四　規則第八條、第十二條乃至第十四條、第二十條、第三十一條第一項、第三十三條又ハ第三十七條ノ規定ニ依ル届出又ハ報告ヲ通達スルトキ

五　前條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキ

第十一條　警察官署ニ於テ埋藏物ニシテ石器、骨角器、土器、陶磁器、玉飾、頸飾、帶金具、勾玉、刀劍、馬具、鏡鑑、古錢、佛像、銅鐘、舍利盒、石塔、石燈、石碑、墓誌、繪畫、彫刻、瓦塼其ノ他學術技藝又ハ考古ノ資料ニ供スベキモノト認メラルル物件發見ノ届出ヲ受ケタルトキハ警察署長ハ左ノ事項ヲ具シ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

一　種類及員數

二　構造及品質

三　現狀

四　發見ノ場所

五　發見ノ事情

六　發見ノ年月日及届出ノ年月日

七　發見シタル土地ノ所有者ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱及主タル事務所ノ所在地）

八　發見者ノ氏名及住所

九　由來又ハ傳說

第十二條　前條ノ報告アリタルトキハ審査ノ上學術技藝又ハ考古ノ資料ニ供スベキモノナルヤ否ヤヲ決定シ其ノ旨ヲ當該警察署長ニ通知ス

前項ノ審査上必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ當該警察署長ニ現品ノ送付ヲ命ズルコトアルベシ

第十三條　前條第一項ノ規定ニ依リ學術技藝又ハ考古ノ資料ニ供スベキモノト決定シタル物件ニシテ國庫ニ歸屬シタルモノハ當該警察署長ニ於テ之ヲ朝鮮總督ニ送付スベシ

第十四條　沒收、還付不能其ノ他ノ事由ニ依リ國庫ニ歸屬シタル石器、骨角器、土器、陶磁器、玉飾、頸飾、帶金具、勾玉、刀劍、馬具、鏡鑑、古錢、佛像、銅鐘、舍利盒、石塔、石燈、石碑、墓誌、繪畫、彫刻、瓦塼其ノ他學術技藝又ハ考古ノ資料ニ供スベキモノト認メラルル物件ニ付テハ檢事局ノ長（檢事分局ノ長ヲ含ム）又ハ警察署長ニ於テ其ノ概況ヲ朝鮮總督ニ報告シ其ノ通知ニ依テ之ヲ處分スベシ

●朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會議事規則

昭和八年十二月
總訓第四十三號

朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會ノ議事ニ關シテハ朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會官制施行ノ日ヨリ左ノ規則ニ依ルベシ

古蹟調査委員會規程ハ之ヲ廢止ス

保存會議事規則

第一條　朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會ニ第一部及第二部ヲ置ク

第一部ニ於テハ寶物及古蹟ニ關スル事項ヲ掌ル

第二部ニ於テハ名勝及天然記念物ニ關スル事項ヲ掌ル

第二條　部ノ議決ハ之ヲ保存會ノ議決ト看做ス

第三條　委員及臨時委員ノ部屬ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第四條　總會及部會ハ會長之ヲ招集ス但シ部會ニ於ケル議決スベキ事件ニシテ輕易ナルモノニ付テハ會議ヲ開カズ書面ヲ以テ其ノ部ノ委員及臨時委員ノ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ之ヲ其ノ部ノ意見ト看做スコトヲ得

會長ハ總會及部會ノ議長トナリ會議ヲ開閉シ議事ヲ整理ス

第五條　總會ハ各部ノ委員及臨時委員ヲ合セ各其ノ半數以上、部會ハ其ノ部ノ委員及臨時委員ヲ合セ其ノ半數以上出席スルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ズ但シ急ヲ要スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　議事ハ出席シタル委員及臨時委員ヲ合セ其ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第七條　委員又ハ臨時委員建議案ヲ具シ總會ニ在リテハ五人以上、部會ニ在リテハ三人以上ノ贊成者ト連署シテ之ヲ議長ニ差出スベシ

第八條　幹事ハ會議錄ヲ作製シ關係書類ト共ニ之ヲ保存スベシ

第九條　本令ニ規定スルモノノ外保存會ノ議事ニ關シ必要ナル事項ハ會長之ヲ定ム

第十七輯

産業

第十七輯　産業

第一章　農業

第一款　農事

○自作農民ノ保護培殖ニ關スル件（大正元、一一、總訓一三）……一
○米作ノ改良奬勵ニ關スル件（明治四五、三、總訓一〇）……一
○陸地棉栽培奬勵ニ關スル件（明治四五、三、總訓八）……一
○水稻採種奬勵補助規程（大正一一、六、總令九九）……二
○植桑奬勵補助規程（大正一四、六、總令七一）……二
○朝鮮農地令（昭和九、四、勅令五）……三
○朝鮮農地令施行規則（昭和九、九、總令九三）……四

第二款　農會

○朝鮮農會令（大正一五、一、勅令一）……五
○農會法（大正一一、四、法律四〇）……五
○朝鮮農會令施行規則（大正一五、一、總令三）……八

第三款　農業倉庫

○朝鮮農業倉庫令（昭和六、七、制令一四）……九
○朝鮮農業倉庫業令施行規則（昭和六、七、總令九六）……一一
○朝鮮農業倉庫業令第二條第二項ノ物品指定（昭和六、九、總告四一八）……一三
○移出米穀倉庫證券補助規則（昭和六、一一、總令一四九）……一三

第四款　害蟲驅除豫防

○害蟲驅除豫防規則（大正二、一、總令一）……一三
○害蟲驅除豫防規則第二條第一項ニ依リ驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法（大正二、一、總告九）……一三

第五款　肥料

○朝鮮肥料取締令（昭和二、九、制令一四）……一三
○肥料取締法（明治四一、四、法律五一）……一四
○朝鮮肥料取締令施行規則（昭和二、九、總令八七）……一四
○朝鮮肥料取締令ニ依ル肥料又ハ製造原料ノ敎去、分析及鑑定方ニ關スル件（昭和二、一二、總訓三七）……一六
○朝鮮總督府農事試驗場肥料又ハ製造原料分析及鑑定規則（昭和三、二、總令六）……一七
○朝鮮重要肥料業統制令施行規則（昭和一二、一、制令一）……一八
○朝鮮重要肥料業統制令施行規則第二十三條ニ規定スル指定地（昭和一一、一二、總告六九七）……一九
○朝鮮臨時肥料配給統制令（昭和一二、一、勅令一八）……二〇
○朝鮮臨時肥料配給統制令第二條第二項ノ證票（昭和一三、一、總令六）……二〇
○硫酸アンモニア輸出入許可規則（昭和一二、一三、一、總令一五）……二〇

第六款　米穀

○米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、樺太及關東州ニ施行スルノ件（昭和八、一、勅令二七九）……二一
○米穀統制法（昭和八、三、法律二四）……二二
○米穀統制法施行令（昭和八、一〇、勅令二八〇）……二二
○米穀統制法第九條ノ規定ニ依リ米穀共ノ他ノ輸入稅增加ノ件（昭和八、一〇、勅令二八三）……二四
○米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル米穀ノ輸入又ハ輸出ノ制限ニ關スル件（昭和八、一一、總令一二九）……二五
○米穀自治管理法（昭和一一、五、法律二二）……二六
○米穀自治管理法施行令（昭和一一、九、勅令三二五）……二六
○米穀自治管理法施行規則（昭和一一、九、總令八九）……二七
○米穀自治管理法第五十一條第一項ノ規定ニ依ル土地ノ指定（昭和一二、一、總令四）……二三
○米穀自治管理法施行規則第八十三條ノ條件（昭和一一、一〇、總告五八九）……二三

第七款　穀物及叺檢查

○朝鮮穀物檢查令（昭和七、九、制令二〇）……二三
○朝鮮穀物檢查令施行規則（昭和七、九、總令九一）……二三
○朝鮮穀物檢查令施行規則第十三條第三項ノ記號（昭和一二、五、總告四三九）……二四
○朝鮮穀物檢查令第一條ニ規定スル指定地及當該指定地ニ於テ檢查ヲ受クヘキ穀物（昭和一一、一二、總告六九六）……二四
○朝鮮穀物檢查令施行規則第二十三條ニ規定スル指定地（昭和一一、一二、總告六九七）……二五
○朝鮮叺檢查規則（昭和七、九、總令一〇〇）……二五
○朝鮮叺檢查規則第一條第一項ニ規定スル指定地區及指定地（昭和一一、一二、總告六九八）……二三

第八款　蠶絲業

○朝鮮蠶業令（大正八、四、制令一〇）……二六
○朝鮮蠶業令施行規則（大正八、四、總令八〇）……二五
○朝鮮蠶業令施行事務取扱規程（大正八、四、總訓一四）……二七
○朝鮮蠶業令施行心得（大正八、四、總告九八）……二七
○原蠶種配付規程（大正一〇、六、總告一四二）……二九
○道原蠶種製造所及蠶業取締所設置ニ關スル件（大正八、四、總令八三）……二七
○蠶業改良奬勵ニ關スル件（明治四五、三、總訓一）……二七
○朝鮮製絲業令（昭和一〇、八、制令一一）……二八
○朝鮮製絲業令施行規則（昭和一〇、一〇、總令一二七）……二八

第九款　畜産

○畜牛ノ改良增殖ニ關スル件（明治四五、三、總訓九）……三〇
○牛種ノ保存及改良ニ關スル件（大正三、一二、總訓七〇）……三〇

○保護牛規則（大正五、七、總令五五）……四〇

第十款　競馬

○朝鮮競馬令（昭和七、一〇、制令三）……八一
○朝鮮競馬令施行規則（昭和七、一二、總令一二九）……八三

第十一款　植物檢查

○朝鮮輸移出入植物檢查規則（昭和八、八、總令七九）……八三
○朝鮮輸移出入植物檢查規則ニ依リ檢查ヲ行フ稅關（昭和八、八、總告三九五）……八六
○朝鮮輸移出入植物檢查規則第一條ニ依リ檢查ヲ受クベキ植物（昭和八、八、總告三九四）……八七
○朝鮮輸移出入植物檢查規則ニ依リ許可ヲ受クベキ植物及病菌又ハ害蟲ノ附著セル虞アル物（昭和八、九、總告四五六）……八七
○輸出柑橘ノ取締ニ關スル件（昭和一〇、一一、總令一三九）……八七

第二章　商業　工業

第一款　銀行　金融組合　無盡業

○銀行令（昭和三、一二、制令六）……八九
○銀行令施行規則（昭和三、一二、總令八〇）……八九
○銀行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例（昭和三、一二、總令八一）……一〇三
○朝鮮銀行法（明治四四、三、法律四八）……一〇四
○朝鮮銀行法第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ヲ朝鮮總督ヨシテ行ハシムルノ件（大正一三、八、勅令二〇二）……一〇五
○朝鮮殖產銀行令（大正七、六、制令七）……一〇五
○朝鮮殖產銀行令第二十六條ノ銀行指定（大正八、七、總告一八四）……一〇八
○朝鮮不動產融資及損失補償金（昭和七、一制令四）……一〇八
○朝鮮不動產融資及損失補償金第一條ニ依ル資金融通ニ關スル件（昭和八、二、總令二〇）……一〇八
○朝鮮信託業令施行規則第八條ニ規定スル補足契約ノ最高利益歩合（昭和六、九、總告四四五）……一九五
○擔保附社債信託法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件（大正九、一一、勅令五三三）……一九五
○擔保附社債信託法（明治三八、三、法律五二）……一九五
○擔保附社債信託法施行規則（大正九、一一、總令一八四）……一九五
○朝鮮商品券取締令（昭和八、一、制令一）……二〇三
○商品券取締法（昭和七、九、法律二八）……二〇三
○朝鮮商品券取締令施行規則（昭和八、一、總令五）……二〇四
○朝鮮商品券取締令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商品券取締法第二條第一項ニ規定スル權利ノ實行ニ關スル件（昭和一三、一、總令八）……二〇四
○朝鮮商品券取締令施行規則第八條第二項ニ依ル百貨店（昭和八、二、總告四九）……二〇四

第七款　輸出品檢查　不正競爭防止

○朝鮮重要輸出品檢查規則（昭和一〇、四、總令六五）……二〇五
○朝鮮重要輸出品檢查規則ノ規定ニ依ル重要輸出品指定（昭和一〇、四、總告二六九）……二〇五
○朝鮮重要輸出品檢查規則第三條ノ檢查標準（昭和一二、四、總告二五〇）……二〇五
○朝鮮不正競爭防止令（昭和九、一二、制令二四）……二〇五
○不正競爭防止法（昭和九、三、法律一四）……二〇九
○朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章等指定ニ關スル件（昭和一〇、三、總告一四三）……二一〇
○朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章及旗章指定（昭和一〇、三、總告一四四）……二一〇
○朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章指定（昭和一〇、三、總告一四五）……二一三
○恭利ヲ目的トスル賞買ノ取締ニ關スル件（昭和一二、八、總令八九）……二一四
○保護牛規則（大正五、七、總令五五）……四〇

第十款　競馬

○朝鮮競馬令（昭和七、一〇、制令三）……八一
○朝鮮競馬令施行規則（昭和七、一二、總令一二九）……八三

第十一款　植物檢查

○朝鮮輸移出入植物檢查規則（昭和八、八、總令七九）……八三
○朝鮮輸移出入植物檢查規則ニ依リ檢查ヲ行フ稅關（昭和八、八、總告三九五）……八六
○朝鮮輸移出入植物檢查規則第一條ニ依リ檢查ヲ受クベキ植物（昭和八、八、總告三九四）……八七
○朝鮮輸移出入植物檢查規則ニ依リ許可ヲ受クベキ植物及病菌又ハ害蟲ノ附著セル虞アル物（昭和八、九、總告四五六）……八七
○輸出柑橘ノ取締ニ關スル件（昭和一〇、一一、總令一三九）……八七

第二章　商業　工業

第一款　銀行　金融組合　無盡業

○銀行令（昭和三、一二、制令六）……八九
○銀行令施行規則（昭和三、一二、總令八〇）……八九
○銀行令第三十七條ノ規定ニ依ル銀行ノ特例（昭和三、一二、總令八一）……一〇三
○朝鮮銀行法（明治四四、三、法律四八）……一〇四
○朝鮮銀行法第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ヲ朝鮮總督ヨシテ行ハシムルノ件（大正一三、八、勅令二〇二）……一〇五
○朝鮮殖產銀行令（大正七、六、制令七）……一〇五
○朝鮮殖產銀行令第二十六條ノ銀行指定（大正八、七、總告一八四）……一〇八
○朝鮮不動產融資及損失補償金（昭和七、一制令四）……一〇八
○朝鮮不動產融資及損失補償金第一條ニ依ル資金融通ニ關スル件（昭和八、二、總令二〇）……一〇八
○朝鮮信託業令施行規則第八條ニ規定スル補足契約ノ最高利益歩合（昭和六、九、總告四四五）……一九五
○擔保附社債信託法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件（大正九、一一、勅令五三三）……一九五
○擔保附社債信託法（明治三八、三、法律五二）……一九五
○擔保附社債信託法施行規則（大正九、一一、總令一八四）……一九五
○朝鮮商品券取締令（昭和八、一、制令一）……二〇三
○商品券取締法（昭和七、九、法律二八）……二〇三
○朝鮮商品券取締令施行規則（昭和八、一、總令五）……二〇四
○朝鮮商品券取締令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商品券取締法第二條第一項ニ規定スル權利ノ實行ニ關スル件（昭和一三、一、總令八）……二〇四
○朝鮮商品券取締令施行規則第八條第二項ニ依ル百貨店（昭和八、二、總告四九）……二〇四

第七款　輸出品檢查　不正競爭防止

○朝鮮重要輸出品檢查規則（昭和一〇、四、總令六五）……二〇五
○朝鮮重要輸出品檢查規則ノ規定ニ依ル重要輸出品指定（昭和一〇、四、總告二六九）……二〇五
○朝鮮重要輸出品檢查規則第三條ノ檢查標準（昭和一二、四、總告二五〇）……二〇五
○朝鮮不正競爭防止令（昭和九、一二、制令二四）……二〇五
○不正競爭防止法（昭和九、三、法律一四）……二〇九
○朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章等指定ニ關スル件（昭和一〇、三、總告一四三）……二一〇
○朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章及旗章指定（昭和一〇、三、總告一四四）……二一〇
○朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章指定（昭和一〇、三、總告一四五）……二一三
○恭利ヲ目的トスル賞買ノ取締ニ關スル件（昭和一二、八、總令八九）……二一四
○昭和八年朝鮮總督府令第二十號第四條ノ利率及遲延利息ノ制合（昭和八、二、總告三〇）……一九九

第八款　貿易調節

○昭和九年法律第四十五號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（昭和九、勅令二一二）……二一五
○貿易調節及通商擁護ニ關スル法律（昭和四、法律四五）……二一五
○昭和九年法律第四十五號第一條ノ羊毛ノ輸入制限等ニ關スル件（昭和一二、勅令四七四）……二一七
○昭和十一年勅令第四百七十四號ノ規定ニ關スル件（昭和一二、勅令四七四）……二一七
○昭和十一年朝鮮總督府令第百三十一號（昭和一二、總告七四九）……二一七
○貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（昭和一二、勅令七二一）……二一八
○貿易及關係產業ノ調整ニ關スル件（昭和一二、八、法律七三）……二一八
○輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律（昭和一二、八、法律九一）……二一九
○當給調整協議會令（昭和一二、五、勅令一六〇）……二二〇
○輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件（昭和一二、八、總令八四）……二二〇
○輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律第二條ノ規定ニ依ル鐵鋼工作物築造ノ制限（昭和一二、一〇、總令一六〇）……二二一
○輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件（昭和一二、一〇、總令一六一）……二二一
○輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律第二條ノ規定ニ依ル銅ノ使用制限（昭和一二、一〇、總令一六二）……二二二
○輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律第二條ノ規定ニ依ル鉛鐵屬物ノ製造制限（昭和一二、一〇、總令一六三）……二二二
○昭和十三年朝鮮總督府令第九十四號ニ依ル物品指定（昭和一三、五、總告三九九）……二二三
○昭和十三年朝鮮總督府令第九十四號ニ依ル總督ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スルノ件（昭和六、六、總令七五）……二二八

第二款　會社

○會社令廢止ニ關スル件（大正九、四、制令七）……二二八
○會社令（明治四三、一二、制令一二）……二二九
○會社令施行規則（明治四三、一二、總令六六）……二二九
○日本產金振興株式會社法（昭和一三、三、法律三六）……二三〇

第三款　取引所　市場

○朝鮮取引所令（昭和六、五、制令五）……二三三
○朝鮮取引所令施行規則（昭和六、九、總令一八）……二三四
○朝鮮取引所令施行規則ニ依ル取引所ノ地區指定（昭和七、一、總告一七）……二三五
○市場規則（大正三、九、總令一三六）……二三五
○朝鮮正米市場規則（昭和六、九、總令一一〇）……二三七

第四款　商工會議所

○朝鮮商工令議所令（昭和五、五、制令四）……二三八
○朝鮮商工會議所令施行規則（昭和五、一一、總令九五）……二四〇
○朝鮮商工令議所令施行規則ニ依リ特別議員ヲ置ク商工令議所及其ノ定數（昭和五、一二、總告五二〇）……二四一
○朝鮮商工令議所議員選舉規則（昭和五、一二、總令一一〇）……二四一
○朝鮮物價調查規則（昭和一二、一二、總令二〇九）……二四二
○朝鮮物價調查規則第一條ノ規定ニ依ル物價ノ調查ヲ爲スベキ商工令議所竝ニ商品ノ品目、建物及單位（昭和一二、一二、總告九二三）……二四二

第五款　信託業

○朝鮮信託業令（昭和六、六、制令八）……二四七
○朝鮮信託業令施行規則（昭和六、九、總令一一五）……二四七
○昭和八年朝鮮總督府令第二十號第四條ノ利率及遲延利息ノ制合（昭和八、二、總告三〇）……一九九
○貯蓄銀行令施行規則（昭和四、六、總令六二）……一一〇
○韓國銀行條例ニ定メタルモノノ外政府ノ認可ヲ受クヘキ事項ニ付命令（隆熙三、一一、度令六七）……一一二
○日本銀行特別融通及損失補償法（昭和二、五、法律五五）……一一三
○日本銀行特別融通及損失補償法第一條ニ依ル特別融通ニ關スル規程（昭和二、五、大令一二）……一一三
○金融組合令（大正三、五、制令二二）……一一三
○金融組合業務監督規程（昭和四、四、總令三八）……一一六
○金融組合令第五條第二項ノ規定ニ依ル市街地指定（昭和六、九、總告四五一）……一二二
○金融組合令第九條ニ依ル指定銀行（大正七、總告二三〇）……一二二
○金融組合業務監督規程ニ依ル有價證券指定（昭和四、六、總告二二〇）……一二二
○金融組合理事及副理事ノ保證金（昭和二、一、總訓二）……一二三
○金融組合員ノ負債整理ニ關スル件（昭和八、八、總令一一一）……一二四
○朝鮮金融組合聯合會令（昭和八、八、總令八三）……一二四
○朝鮮金融組合聯合會令第三條ノ規定ニ依ル法人指定（昭和八、八、總告八〇九）……一二四
○朝鮮金融組合聯合會令第十七條ノ規定ニ依ル事業ニ關スル件（昭和八、八、總告八〇九）……一二四
○朝鮮金融組合聯合會令施行規則（昭和八、八、總令八四）……一二五
○昭和十一年風水害復舊資金ノ融通ニ關スル件（昭和一二、一、總令一）……一二六
○朝鮮無盡業令（昭和六、六、制令七）……一二六
○朝鮮無盡業令施行規則（昭和六、九、總令一一四）……一二七

第八款　貿易調節

○昭和九年法律第四十五號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（昭和九、勅令二一二）……二一五
○貿易調節及通商擁護ニ關スル法律（昭和四、法律四五）……二一五
○昭和九年法律第四十五號第一條ノ羊毛ノ輸入制限等ニ關スル件（昭和一二、勅令四七四）……二一七
○昭和十一年勅令第四百七十四號ノ規定ニ關スル件（昭和一二、勅令四七四）……二一七
○昭和十一年朝鮮總督府令第百三十一號（昭和一二、總告七四九）……二一七
○貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件（昭和一二、勅令七二一）……二一八
○貿易及關係產業ノ調整ニ關スル件（昭和一二、八、法律七三）……二一八
○輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律（昭和一二、八、法律九一）……二一九
○當給調整協議會令（昭和一二、五、勅令一六〇）……二二〇
○輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件（昭和一二、八、總令八四）……二二〇
○輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律第二條ノ規定ニ依ル銅ノ使用制限（昭和一二、一〇、總令一六二）……二二二
○輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律第二條ノ規定ニ依ル鉛鐵屬物ノ製造制限（昭和一二、一〇、總令一六三）……二二二
○昭和十三年朝鮮總督府令第九十四號ニ依ル物品指定（昭和一三、五、總告三九九）……二二三
○昭和十三年朝鮮總督府令第九十四號ニ依ル總督ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スルノ件（昭和六、六、總令七五）……二二八

第二款　會社

○會社令廢止ニ關スル件（大正九、四、制令七）……二二八
○會社令（明治四三、一二、制令一二）……二二九
○會社令施行規則（明治四三、一二、總令六六）……二二九
○日本產金振興株式會社法（昭和一三、三、法律三六）……二三〇

第三款　取引所　市場

○朝鮮取引所令（昭和六、五、制令五）……二三三
○朝鮮取引所令施行規則（昭和六、九、總令一八）……二三四
○朝鮮取引所令施行規則ニ依ル取引所ノ地區指定（昭和七、一、總告一七）……二三五
○市場規則（大正三、九、總令一三六）……二三五
○朝鮮正米市場規則（昭和六、九、總令一一〇）……二三七

第四款　商工會議所

○朝鮮商工令議所令（昭和五、五、制令四）……二三八
○朝鮮商工會議所令施行規則（昭和五、一一、總令九五）……二四〇
○朝鮮商工令議所令施行規則ニ依リ特別議員ヲ置ク商工令議所及其ノ定數（昭和五、一二、總告五二〇）……二四一
○朝鮮商工令議所議員選舉規則（昭和五、一二、總令一一〇）……二四一
○朝鮮物價調查規則（昭和一二、一二、總令二〇九）……二四二
○朝鮮物價調查規則第一條ノ規定ニ依ル物價ノ調查ヲ爲スベキ商工令議所竝ニ商品ノ品目、建物及單位（昭和一二、一二、總告九二三）……二四二

第五款　信託業

○朝鮮信託業令（昭和六、六、制令八）……二四七
○朝鮮信託業令施行規則（昭和六、九、總令一一五）……二四七

第三章　鑛業

○朝鮮鑛業令（大正四、一二、制令八）……二五七
○朝鮮鑛業令施行規則（大正五、二、總令九）……二五八

○朝鮮産金令（昭和一二、九、制令一六）……二七三
○朝鮮産金令施行規則（昭和一二、九、總令一三八）……二七三
○朝鮮鑛業令第十二條ノ規定ニ依ル金ノ使用ニ關スル件（昭和一三、一、總令一）……二七七
○朝鮮重要鑛物增産令（昭和一三、一、勅令二）……二七八
○大正十五年制令第八號附則第三項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付同附則第四項ノ規定ニ依ル出願手續（大正一五、五、總令四六）……二七八
○昭和八年制令第二號附則第二項ノ規定ニ依ル出願手續（昭和八、一、總令二）……二七八
○採掘奬勵金交付規則（昭和七、八、總令七八）……二七八
○低品位金鑛石買鑛奬勵金交付規則（昭和三、五、總令一一〇）……二七二
○低品位金鑛石買鑛奬勵金交付規則ニ依リ奬勵金ヲ交付スベキ金鑛石ノ含金品位及奬勵金額（昭和八、六、總告二五七）……二七二
○鑛業警察規則（大正五、二、總令一〇）……二七三
○朝鮮鑛業登錄規則（大正五、二、總令一〇）……二七五
○鑛業ノ出願ヲ許可スル地域及鑛物ノ種類（大正五、二、總告三七）……二七五
○國有土石採取規則（隆熙二、八、勅令五八）……二七五
○鑛業地質技術員派遣規則（大正一二、一、總令八）……二七六
○鑛業技術實習生規程（昭和一三、二、總告一五三）……二七六
○朝鮮鑛業警察規則（昭和一三、一、總令一）……二七六
○朝鮮總督府鑛業技術員養成所規程（昭和一三、五、總告四四四）……二七七
○燃料選鑛研究所分析、試驗及鑑定規則（昭和七、四、總令四二）……二七七
○石油業法ヲ朝鮮、樺太ニ施行スル件（昭和九、六、勅令一九八）……二七八
○石油業法（昭和九、三、法律二六）……二七八
○石油業法施行令（昭和九、六、勅令一九六）……二七八
○石油業法施行規則（昭和九、六、總令六八）……二七八
○石油保有補助金交付規則（昭和一一、八、總令七四）……二七八
○人造石油製造事業法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件（明治四五、法律二二）……二七三

第六章　組合

○朝鮮産業組合令（大正一五、一、制令二）……二七三
○朝鮮産業組合令施行規則（大正一五、一、總令四）……二七七
○朝鮮重要物産同業組合令（大正四、七、制令三）……二七八
○朝鮮重要物産同業組合規則（大正四、七、總令八一）……二七九
○朝鮮漁業組合規則（昭和四、一二、總令一一）……二八〇
○朝鮮漁業組合業務規程（昭和四、一二、總令一一五）……二八二
○朝鮮漁業組合規則第十五條第三項ノ規定ニ依ル漁業組合（昭和四、一二、總告一）……二八四
○朝鮮漁業組合規則ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル漁業組合ノ理事及理事ノ身元保證ニ關スル件（昭和六、五、總令六一）……二八六
○朝鮮漁業組合補助規則（大正一一、四、總令七四）……二八六
○朝鮮水産組合規則（昭和四、一二、總令一一七）……二八六
○朝鮮水産組合規則第六條第三項ノ規定ニ依ル水産組合指定（昭和一〇、二、總告四八）……二八九
○殖産奬勵令（昭和一〇、八、制令一二）……二八九
○殖産奬勵令施行規則（昭和一〇、一二、總令一四五）……二九〇

第七章　移住拓殖

○農地移住奬勵補助規則（昭和一〇、五、總令七四）……二九一
○東洋拓殖株式會社法（明治四一、八、法律六三）……二九三
○朝鮮拓殖株式會社令（昭和一一、六、制令七）……二九四
○朝鮮林業開發株式會社令（昭和一二、六、制令一三）……二九五

第八章　勸業

第一款　商工奬勵館

○朝鮮總督府商工奬勵館規則（昭和四、一二、總告四六七）……二九七

第二款　奬勵

○製鐵事業法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル件（明治四三、勅令三五九）……二九八
○製鐵事業法施行令（昭和一二、八、法律六八）……二九八
○製鐵事業法施行規則（昭和一二、九、總令一四五）……二九九
○製鐵事業法（昭和一二、九、勅令五〇七）……三〇〇
○製鐵事業法ニ依ル製鐵事業者及人造石油製造事業法ニ依ル人造石油製造會社ニ對スル地方稅ノ免除ニ關スル件（昭和一三、一、總令一二）……三〇一

第九章　特許意匠商標

第一款　特許

○特許法等ヲ朝鮮ニ施行スルノ件（明治四三、八、勅令三三五）……三〇二
○特許法（大正一〇、四、法律九六）……三〇二
○特許法等改正法律施行期日（大正一〇、四、勅令四五九）……三〇三
○特許法施行令（大正一〇、一二、勅令四六一）……三〇三
○特許法施行規則（大正一〇、一二、農商令臨七）……三〇三
○特許登錄令（大正一〇、一二、勅令五二）……三〇五
○特許登錄令施行規則（大正一〇、一二、農商令臨八）……三〇五
○特許收用令（昭和一三、一、勅令三九）……三〇七
○特許法ヲ朝鮮及樺太ニ施行スル件（大正一〇、一二、勅令九）……三〇七
○辨理士法（大正一〇、四、法律一〇〇）……三〇八
○辨理士法施行令（大正一〇、一二、勅令四六）……三〇八

○朝鮮産金令（昭和一三、一、勅令四四）……三〇八
○人造石油製造事業法（昭和一二、八、法律五二）……三〇八
○人造石油製造事業法施行規則（昭和一三、一、總令一）……三〇九
○人造石油製造事業法施行令（昭和一三、一、勅令四一）……三一〇
○人造石油製造事業用品ノ輸入稅免除ノ件（昭和一三、一、總令一五）……三一三

第四章　漁業

第一款　漁業

○朝鮮漁業令（昭和四、一、制令一）……三一三
○朝鮮漁業令施行規則（昭和四、一二、總令一）……三一六
○朝鮮漁業保護取締規則（昭和四、一二、總令一〇九）……三二一
○外國人ノ漁業ニ關スル規程（昭和四、一二、總令一一〇）……三二二
○朝鮮漁業令施行規則第九條及第十五條第二項ノ漁業ノ名稱（昭和四、一二、總告四七七）……三二四
○明治四十四年朝鮮總督府告示第二百四十五號ノ改正ニ伴フ漁業ノ免許及漁業權ノ效果（昭和五、一、總令七）……三二六
○朝鮮漁業令施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依ル漁業ノ指定（昭和四、一二、總告四八一）……三二六
○捕鯨漁業ノ操業區域及許可ノ定限數（昭和四、一二、總令一）……三二六
○飛船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限數（昭和四、一二、總告五七七）……三二七
○漬水器漁業ノ操業區域及許可ノ定限數（昭和四、一二、總告四八〇）……三二七
○工船漁業ノ操業區域及許可ノ定限數（昭和四、一二、總告一七八）……三二七
○漁業ニ關スル手數料規程（昭和四、一二、總令一一〇）……三二七
○朝鮮漁業令施行規則ニ依リ交付スベキ許可狀及鐵札ノ樣式（昭和四、一二、總告四八三）……三二八

○朝鮮漁業令施行規則ニ依リ行政官廳ニ差出スベキ漁業ニ關スル願書、申請書、屆書及屆出ノ調製心得竝ニ其ノ書式及圖式（昭和四、一二、總告四八二）……三二〇
○漁業監督官吏ニ關スル規程（昭和四、一二、總令一一）……三二二
○朝鮮漁業令施行規則ニ依ル鐵定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給規程（昭和四、一二、總令一一三）……三二四
○朝鮮漁業登錄規則（昭和四、一二、總令一〇八）……三二四
○朝鮮漁業登錄規則ニ依リ登錄官廳ニ差出スベキ漁業ニ關スル登錄申請書ノ調製心得及書式（昭和五、四、總告一八五）……三二八
○朝鮮漁業經營費低減施設補助規則（昭和一二、一、總令一七三）……三二九
○朝鮮總督府水產試驗場分析及鑑定規則（昭和七、一、總令一一五）……三二九

第二款　水產製品及水產物

○水產製品檢查規則（大正七、五、總令五六）……三三二
○水產製品檢查規則第十八條ノ規定ノ特例ニ關スル件（昭和一三、四、總令七三）……三三三
○朝鮮水產物纖維製造營業取締規則（昭和五、九、總令七九）……三三五

第三款　水產會

○朝鮮水產會令（大正一二、一、制令一）……三三五
○水產令（大正一〇、四、法律六〇）……三三六
○朝鮮水產令施行規則（大正一二、二、總令二七）……三三七

第五章　狩獵

○狩獵規則（明治四四、四、總令四六）……三三八
○狩獵規則取扱手續（昭和二、九、總訓二三）……三四二
○明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル件（明治四五、六、勅令一三五）……三四三

○朝鮮産業組合令（大正一五、一、制令二）……二七三
○朝鮮産業組合令施行規則（大正一五、一、總令四）……二七七
○朝鮮重要物産同業組合令（大正四、七、制令三）……二七八
○朝鮮重要物産同業組合規則（大正四、七、總令八一）……二七九
○朝鮮漁業組合規則（昭和四、一二、總令一一）……二八〇
○朝鮮漁業組合業務規程（昭和四、一二、總令一一五）……二八二
○朝鮮漁業組合規則第十五條第三項ノ規定ニ依ル漁業組合（昭和四、一二、總告一）……二八四
○朝鮮漁業組合規則ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル漁業組合ノ理事及理事ノ身元保證ニ關スル件（昭和六、五、總令六一）……二八六
○朝鮮漁業組合補助規則（大正一一、四、總令七四）……二八六
○朝鮮水産組合規則（昭和四、一二、總令一一七）……二八六
○朝鮮水産組合規則第六條第三項ノ規定ニ依ル水産組合指定（昭和一〇、二、總告四八）……二八九
○殖産奬勵令（昭和一〇、八、制令一二）……二八九
○殖産奬勵令施行規則（昭和一〇、一二、總令一四五）……二九〇
○農地移住奬勵補助規則（昭和一〇、五、總令七四）……二九一
○東洋拓殖株式會社法（明治四一、八、法律六三）……二九三
○朝鮮拓殖株式會社令（昭和一一、六、制令七）……二九四
○朝鮮林業開發株式會社令（昭和一二、六、制令一三）……二九五
○朝鮮産金令（昭和一三、一、勅令四四）……二九八
○人造石油製造事業法（昭和一二、八、法律五二）……二九八
○人造石油製造事業法施行規則（昭和一三、一、總令一）……二九九
○人造石油製造事業法施行令（昭和一三、一、勅令四一）……三〇〇
○人造石油製造事業用品ノ輸入稅免除ノ件（昭和一三、一、總令一五）……三〇三
○朝鮮鑛業令（昭和一三、一、勅令四四）……三〇八
○朝鮮鑛業令施行規則（昭和一三、一、總令一）……三〇八
○人造石油製造事業法施行規則（昭和一三、一、總令一）……三〇九
○人造石油製造事業法施行令（昭和一三、一、勅令四一）……三一〇
○朝鮮漁業令施行規則ニ依リ行政官廳ニ差出スベキ漁業ニ關スル願書、申請書、屆書及屆出ノ調製心得竝ニ其ノ書式及圖式（昭和四、一二、總告四八二）……三二〇
○漁業監督官吏ニ關スル規程（昭和四、一二、總令一一）……三二二
○朝鮮漁業令施行規則ニ依ル鐵定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給規程（昭和四、一二、總令一一三）……三二四
○朝鮮漁業登錄規則（昭和四、一二、總令一〇八）……三二四
○朝鮮漁業登錄規則ニ依リ登錄官廳ニ差出スベキ漁業ニ關スル登錄申請書ノ調製心得及書式（昭和五、四、總告一八五）……三二八
○朝鮮漁業經營費低減施設補助規則（昭和一二、一、總令一七三）……三二九
○朝鮮總督府水產試驗場分析及鑑定規則（昭和七、一、總令一一五）……三二九
○朝鮮漁業令施行規則ニ依リ交付スベキ漁業ニ關スル願書、申請書、屆書及屆出ノ調製心得竝ニ其ノ書式及圖式（昭和四、一二、總告四八二）……三二〇
○人造石油製造事業法（昭和一二、八、法律五二）……三〇八
○人造石油製造事業法施行規則（昭和一三、一、總令一）……三〇九
○人造石油製造事業法施行令（昭和一三、一、勅令四一）……三一〇
○人造石油製造事業用品ノ輸入稅免除ノ件（昭和一三、一、總令一五）……三一三

第四章　漁業

第一款　漁業

○朝鮮漁業令（昭和四、一、制令一）……三一三
○朝鮮漁業令施行規則（昭和四、一二、總令一）……三一六
○人造石油製造事業法施行規則（昭和一三、一、總令一）……三〇九
○人造石油製造事業法施行令（昭和一三、一、勅令四一）……三一〇
○朝鮮漁業令施行規則ニ依ル鐵定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給規程（昭和四、一二、總令一一三）……三二四
○朝鮮漁業登錄規則（昭和四、一二、總令一〇八）……三二四
○朝鮮漁業登錄規則ニ依リ登錄官廳ニ差出スベキ漁業ニ關スル登錄申請書ノ調製心得及書式（昭和五、四、總告一八五）……三二八
○朝鮮漁業經營費低減施設補助規則（昭和一二、一、總令一七三）……三二九
○朝鮮總督府水產試驗場分析及鑑定規則（昭和七、一、總令一一五）……三二九
○朝鮮漁業令施行規則ニ依リ交付スベキ漁業ニ關スル願書、申請書、屆書及屆出ノ調製心得竝ニ其ノ書式及圖式（昭和四、一二、總告四八二）……三二〇

第二款　水產製品及水產物

○水產製品檢查規則（大正七、五、總令五六）……三三二
○水產製品檢查規則第十八條ノ規定ノ特例ニ關スル件（昭和一三、四、總令七三）……三三三
○朝鮮水產物纖維製造營業取締規則（昭和五、九、總令七九）……三三五

第三款　水產會

○朝鮮水產會令（大正一二、一、制令一）……三三五
○水產令（大正一〇、四、法律六〇）……三三六
○朝鮮水產令施行規則（大正一二、二、總令二七）……三三七

第五章　狩獵

○狩獵規則（明治四四、四、總令四六）……三三八
○狩獵規則取扱手續（昭和二、九、總訓二三）……三四二
○明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル件（明治四五、六、勅令一三五）……三四三

第六章　組合

○朝鮮産業組合令（大正一五、一、制令二）……二七三
○朝鮮産業組合令施行規則（大正一五、一、總令四）……二七七
○朝鮮重要物産同業組合令（大正四、七、制令三）……二七八
○朝鮮重要物産同業組合規則（大正四、七、總令八一）……二七九
○朝鮮漁業組合規則（昭和四、一二、總令一一）……二八〇
○朝鮮漁業組合業務規程（昭和四、一二、總令一一五）……二八二
○朝鮮漁業組合規則第十五條第三項ノ規定ニ依ル漁業組合（昭和四、一二、總告一）……二八四
○朝鮮漁業組合規則ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル漁業組合ノ理事及理事ノ身元保證ニ關スル件（昭和六、五、總令六一）……二八六
○朝鮮漁業組合補助規則（大正一一、四、總令七四）……二八六
○朝鮮水産組合規則（昭和四、一二、總令一一七）……二八六
○朝鮮水産組合規則第六條第三項ノ規定ニ依ル水産組合指定（昭和一〇、二、總告四八）……二八九
○殖産奬勵令（昭和一〇、八、制令一二）……二八九
○殖産奬勵令施行規則（昭和一〇、一二、總令一四五）……二九〇

第七章　移住拓殖

○農地移住奬勵補助規則（昭和一〇、五、總令七四）……二九一
○東洋拓殖株式會社法（明治四一、八、法律六三）……二九三
○朝鮮拓殖株式會社令（昭和一一、六、制令七）……二九四
○朝鮮林業開發株式會社令（昭和一二、六、制令一三）……二九五

第八章　勸業

第一款　商工奬勵館

○朝鮮總督府商工奬勵館規則（昭和四、一二、總告四六七）……二九七

第二款　奬勵

○製鐵事業法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル件（明治四三、勅令三五九）……二九八
○製鐵事業法施行令（昭和一二、八、法律六八）……二九八
○製鐵事業法施行規則（昭和一二、九、總令一四五）……二九九
○製鐵事業法（昭和一二、九、勅令五〇七）……三〇〇
○製鐵事業法ニ依ル製鐵事業者及人造石油製造事業法ニ依ル人造石油製造會社ニ對スル地方稅ノ免除ニ關スル件（昭和一三、一、總令一二）……三〇一

第九章　特許意匠商標

第一款　特許

○特許法等ヲ朝鮮ニ施行スルノ件（明治四三、八、勅令三三五）……三〇二
○特許法（大正一〇、四、法律九六）……三〇二
○特許法等改正法律施行期日（大正一〇、四、勅令四五九）……三〇三
○特許法施行令（大正一〇、一二、勅令四六一）……三〇三
○特許法施行規則（大正一〇、一二、農商令臨七）……三〇三
○特許登錄令（大正一〇、一二、勅令五二）……三〇五
○特許登錄令施行規則（大正一〇、一二、農商令臨八）……三〇五
○特許收用令（昭和一三、一、勅令三九）……三〇七
○特許法ヲ朝鮮及樺太ニ施行スル件（大正一〇、一二、勅令九）……三〇七
○辨理士法（大正一〇、四、法律一〇〇）……三〇八
○辨理士法施行令（大正一〇、一二、勅令四六）……三〇八

第二款　意匠

○意匠法（大正一〇、四、法律九八）……三一四

○意匠法施行規則（大正一〇、一二、農商令三五）……五六
○意匠登錄規則（大正一〇、一二、農商令四一）……五七
○意匠ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件（大正一〇、一二、勅令四六三）……五七

第三款　實用新案

●實用新案法（大正一〇、四、法律九七）……五七
○實用新案法施行規則（大正一〇、一二、農商令三四）……五九
○實用新案ノ登錄ニ關スル件（大正一〇、一二、農商令四〇）……五九
○軍事上秘密ヲ要スル實用新案竝實用新案ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件（大正一〇、一二、勅令四六二）……五九

第四款　商標

●商標法（大正一〇、四、法律九九）……五九
○商標法施行規則（大正一〇、一二、農商令三六）……五三
○商標登錄規則（大正一〇、一二、農商令四二）……五三
○商標ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件（大正一〇、一二、勅令四六四）……五六
○商標法ノ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件（明治四三、八、勅令三三七）……五六
○關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ於ケル特許權、意匠權、商標權及著作權ノ保護ニ關スル件（明治四四、五、勅令一六七）……五六

第十章　度量衡

●朝鮮度量衡令（大正一五、二、制令六）……五六
○朝鮮度量衡令施行規則（大正一五、三、總令二五）……五六
○度量衡器及計量器構造規則（大正一五、五、總令四三）……五六
○朝鮮度量衡令施行規則第三十四條ニ依リ道長官ノ定ムル度量衡器ノ種類、名稱、價格（昭和二、一、總告一）……五八
○政府ニ於テ販賣スル度量衡器ノ修覆材料及計量器ノ種類、名稱、價格（昭和二、三、總告二八五）……五八
○朝鮮度量衡令施行規則第十三條ノ委託證樣式（昭和三、四、總告一一〇）……五九
○朝鮮ニ輸入又ハ移入シタル度量衡器ノ檢定ニ關スル件（昭和三、九、總告三七一）……五九
○修覆瓦斯メートル檢查費用徵收ノ件（昭和五、三、總告一三七）……五九
○水道メートルノ檢定費用ニ關スル件（昭和五、一一、總告四二五）……五九

第十七輯　產業

第一章　農業

第一款　農事

●自作農民ノ保護增殖ニ關スル件

大正元年十一月
總訓第十三號

道　長官

朝鮮ニ於ケル農事ノ改良ハ地方官當ノ指導奬勵ト農家各自ノ覺醒トニ依テ漸次其ノ歩武ヲ進ムルニ至リタルコト洵ニ喜フヘシト雖此ノ際自作農民ノ保護增殖ニ就キ特ニ留意ヲ要スルモノアリ由來朝鮮農家ノ多數ハ小作及大地主ノ二階級ニ分レ多少ノ田畓ヲ有シテ自ラ耕種セル自作農民甚タ少ナリ所謂社會組織ノ中堅ヲ缺如シ爲ニ產業ノ隆興ト社會ノ發展トヲ阻碍シ來レリ故ニ農事ヲ奬勵シテ堅實ナル發展ヲ促進セムト欲セハ勉メテ自作農民ノ保護ヲ圖リ若ハ增殖セサルヘカラス然ルニ近時土地兼併ノ弊漸ク滋生シ瓦賃ノ擡騰シテ農事經營ノ標榜ヲ缺如シ爲ニ土地ヲ買收スル者アリ或ハ投機ノ目的ヲ以テ奇利ヲ射ラムトシ徒ラニ田ツモノアリ地價爲ニ昂騰シ一時ノ安逸ヲ貪ラムトスル中小農民ハ眼前ノ小利ニ惑ハサレテ百年ノ長計ヲ誤リ往往祖先傳襲ノ田畓ヲ放賣スルモノ逐日多カラムトスルノ傾向アリ是レ實ニ寒心スヘキノ至リナリ想フニ交通日ニ開ケ產業月ニ加ハルノ今日ニ際シテハ中小ノ農民ダルモノ專ラ土地ノ保有ニ努メ一意孜孜ト勵マハ期セスシテ自家ノ富力ヲ倍蓰スルヲ得ヘシ事此ニ出テスシテ一時ノ小利ニ眩惑シ恢產ヲ失ヒ居處ヲ離レ自ラ求メテ流浪ノ徒ニ至ラハ啻ニ農民各自ノ不幸ノミナラス延テ一般農業ヲ萎靡シ益社會ノ組織ヲ薄弱ナラシメムトス故ニ地方長官ハ能ク此ノ辺ノ消息ニ鑑ミ兼テヨリ抑ヘ小農ヲ勵マシ就中耕者ニ從事セムトスル移住農民ニ對シテハ便宜保護ヲ與ヘ徒ラニ惠隋ヲ專用シ又ハ大地主ヲ勸誘シ適宜ニ販賣肥料購入施用ノ方法ヲ講セシメ類リテ以テ優良品種栽培ノ效果ヲ擧クルニ遺憾ナカラシムルコト

●米作ノ改良奬勵ニ關スル件

明治四十五年三月
總訓第十號

道（慶尚南道、平安南道、平安北道、咸鏡北道ヲ除ク）

勸業模範場

朝鮮ノ風土ハ殆ト全般ニ亙リテ棉花ノ栽培ニ適スト雖在來ノ品種良好ナラサルニ依リ概ネ當局者ハ之カ改良ヲ圖ルノ目的ヲ以テ棉花栽培協令ト相應シ紡績原料トシテ優良ナル陸地棉ヲ南部地方ニ試作シ鋭意其ノ實績ヲ擧クルコトニ勉メタル結果陸地棉ノ品質收量稼綿歩合共ニ遙ニ在來棉ニ優レルヲ認メタルヲ以テ漸來幾多ノ試驗ヲ重ヌルト共ニ奬勵方法ヲ講シ數年ナラスシテ良好ナル成績ヲ觀ルニ至レリ乃チ明治三十九年ニ於ケル陸地棉作付段別四十五町歩其ノ栽培者僅ニ三百餘人ヲ出テサリシニ明治四十四年ニ至リ約二千七百町歩其ノ栽培者實ニ四萬餘人ノ多キニ達セリ若夫レ良好ナル種子ノ供給豐ニシテ之カ栽培指導其ノ宜シキヲ得ルニ於テハ陸地棉ノ擴張期シテ待ツヘキナリ

仍テ日本內地ニ於ケル棉紡績業ノ狀況ヲ觀ルニ近年顯著ナル發達ヲ爲シ工業中第一位ヲ占ムルニ至リタルニ拘ラス之カ原綿ハ殆ント擧ケテ外國ノ供給ニ俟ツノ狀態ニ在リテ其ノ輸入額ハ近年實ニ一億五千萬圓ノ多キニ上レリ故ニ朝鮮ニ於テ陸地棉ヲ多ク產出スルニ至ラハ內地ノ需用ヲ補充スルト同時ニ朝鮮農民ノ利益ヲ增進シ延イテ國家經濟ノ伸張ニ資スル所多大ナルヘキヲ疑ハス依テ來年度ニ於テハ從來勸業模範場木浦支場ニ屬セシ棉採種圃ノ數ヲ增加スルト同時ニ奬勵ノ周到ト便宜ヲ圖ラムカ爲之ヲ其ノ所在道廳ノ所管ニ移シ勸業模範場木浦支場ハ專ラ棉作ニ關スル試驗調查及新規輸入ノ陸地棉種子ノ馴化ニ勉メシメ又棉作者ノ利益ヲ保護セムカ爲ニ棉花ノ輸

一　乾燥調製ノ改良　從來ノ米穀調製法ハ徒ニ米質ヲ損シ且土砂其ノ他ノ夾雜物ヲ混スルコト多ク又其ノ乾燥ハ極メテ不充分ナルヲ以テ輸移出米トシテ適當ナラス現ニ群山ニ於ケル實例ニ徵スルニ早神力等ノ調製完全ニシテ乾燥充分ナルモノハ在來籾ノ在來調製法ニ據リタルモノニ比シ常ニ一石二圓以上ノ高價ニ在リ依テ調製上ニハ宜シク蔗及籾扱器ヲ使用セシメ又籾收穫ノ際能ク平乾ヲ爲シ殊ニ乾燥ニハ蔗ヲ用ヰ以テ漸次其ノ改良ヲ圖ラシメ殊ニ輸移出米產出ノ地方ニ於テハ最速ニ之カ實行ヲ期スルコト

一　灌漑水ノ供給　水稻作ノ灌漑水ヲ以テ生命トスルコト論ヲニモ拘ハラス朝鮮ノ畓ハ之カ適當量以上ノ供給ヲ有スルモノハ僅ニ全畓面積ノ二割以內ニシテ之ヲ內地ノ適當量以上ノ灌漑水ヲ有スル畓カ全畓面積ノ八割强ヲ占ムルニ比シ實ニ非常ノ相違アリ加斯クムハ如何ニ氣候上ノ天惠多大ナルモノアルモ其ノ眞價ヲ發揮セシムルニ由ナシ故ニ荒廢セル溜池ノ復舊工事ニ關シテハ從前別ニ國庫ヨリ補助金ヲ支出シテ之ヲ修理セシメシカ來年度以降ニ於テハ一府國庫補助金ヲ增加シ大ニ之ヲ奬勵スルノ計畫アルニヨリ該復舊工事中共ノ夫役ヲ以テ爲シ得ル部分ハ關係地主及小作人ニ於テ自ラ進テ其ノ勞ニ服シ以テ迅速ニ之カ復舊ヲ遂ケシメ長ク灌漑ノ便ヲ開キ安全ニ稻作ノ利ヲ享ケシムルコト

施肥ノ奬勵　優良品種ノ栽培ハ其ノ收穫ノ多額ナルト共ニ肥料ヲ要スルコトハ亦多キヲ以テ從前ニ比シ宜シク之カ施肥量ヲ增加セサルヘカラス朝鮮ノ農家ハ未タ肥料ヲ重要視セサルノ弊習存スルカ故ニ自今著著之ヲ覺醒セシメ苟モ農家各自ノ力ニ由リテ製造シ得ヘキ廐肥、堆肥、綠肥等ノ類ハ勉メテ多量ニ製造施用セシメ尙農契若ハ地方金融機關ヲ準用シ又ハ大地主ヲ勸誘シ適宜ニ販賣肥料購入施用ノ方法ヲ講セシメ類リテ以テ優良品種栽培ノ效果ヲ擧クルニ遺憾ナカラシムルコト

●陸地棉栽培奬勵ニ關スル件

明治四十五年三月
總訓第八號

道（慶尚南道、平安南道、平安北道、咸鏡北道ヲ除ク）

勸業模範場

朝鮮ノ風土ハ殆ト全般ニ亙リテ棉花ノ栽培ニ適スト雖在來ノ品種良好ナラサルニ依リ概ネ當局者ハ之カ改良ヲ圖ルノ目的ヲ以テ棉花栽培協令ト相應シ紡績原料トシテ優良ナル陸地棉ヲ南部地方ニ試作シ鋭意其ノ實績ヲ擧クルコトニ勉メタル結果陸地棉ノ品質收量稼綿歩合共ニ遙ニ在來棉ニ優レルヲ認メタルヲ以テ漸來幾多ノ試驗ヲ重ヌルト共ニ奬勵方法ヲ講シ數年ナラスシテ良好ナル成績ヲ觀ルニ至レリ乃チ明治三十九年ニ於ケル陸地棉作付段別四十五町歩其ノ栽培者僅ニ三百餘人ヲ出テサリシニ明治四十四年ニ至リ約二千七百町歩其ノ栽培者實ニ四萬餘人ノ多キニ達セリ若夫レ良好ナル種子ノ供給豐ニシテ之カ栽培指導其ノ宜シキヲ得ルニ於テハ陸地棉ノ擴張期シテ待ツヘキナリ

仍テ日本內地ニ於ケル棉紡績業ノ狀況ヲ觀ルニ近年顯著ナル發達ヲ爲シ工業中第一位ヲ占ムルニ至リタルニ拘ラス之カ原綿ハ殆ント擧ケテ外國ノ供給ニ俟ツノ狀態ニ在リテ其ノ輸入額ハ近年實ニ一億五千萬圓ノ多キニ上レリ故ニ朝鮮ニ於テ陸地棉ヲ多ク產出スルニ至ラハ內地ノ需用ヲ補充スルト同時ニ朝鮮農民ノ利益ヲ增進シ延イテ國家經濟ノ伸張ニ資スル所多大ナルヘキヲ疑ハス依テ來年度ニ於テハ從來勸業模範場木浦支場ニ屬セシ棉採種圃ノ數ヲ增加スルト同時ニ奬勵ノ周到ト便宜ヲ圖ラムカ爲之ヲ其ノ所在道廳ノ所管ニ移シ勸業模範場木浦支場ハ專ラ棉作ニ關スル試驗調查及新規輸入ノ陸地棉種子ノ馴化ニ勉メシメ又棉作者ノ利益ヲ保護セムカ爲ニ棉花ノ輸

移出稅ヲ全廢セムトス是レ皆陳地棉ノ普及ヲ奬勵セムトスル趣旨ニ外ナラス依テ左記要項ヲ實行シ官民步調ヲ一ニシテ棉作ノ奬勵殊ニ陸地棉ノ普及ニ努メヘシ

一　陸地棉栽培ノ奬勵　棉作ニ關スル講話講習ヲ催シ或ハ品評會ヲ開キ以テ陸地棉ノ栽培ヲ勸誘スルハ勿論率先シテ陸地棉ヲ栽培セムトスル者ニハ種子ヲ給與シ或ハ熱心ニ陸地棉ノ栽培ニ從事スル篤農者ノ表彰シ或ハ販賣ニ不便ナル地方ノ陸地棉ニ對シテハ便宜ノ市場迄運賃ノ補助シ或ハ肥料ヲ給與シテ施肥ノ效果ヲ證知セシムル等地方ニ適切ナル奬勵方法ヲ講スルコト

一　陸地棉種子ノ保存　朝鮮ノ風土ニ馴化セル陸地棉ノ種子ハ其ノ作付段別ノ擴張ニ伴ヒ得易キヲ以テ其ノ栽培者ヲシテ自家播種用種子ノ保存ニ勉メシムルコト

一　陸地棉栽培ノ指導　陸地棉ノ栽培ヲ直接指導スルノ任ニ當ル者ハ勿論道廳、府郡衙及面事務所ノ職員ヲシテ懇切丁寧ニ栽培ノ方法及利益ヲ說示シ以テ農民ノ疑惑ヲ憑カシメサル樣注意スルコト

一　陸地棉栽培地ノ擴張　從來陸地棉栽培ノ中心トナレル全羅南道ニ於テ極力之カ奬勵ヲ圖ルハ勿論全羅北道、慶尙南北道、忠淸南北道ノ如キ陸地棉ノ栽培ニ適セル地域多キ地方ニ於テハ速ニ該棉ノ普及ヲ圖ラサルヘカラス然レトモ陸地棉種子ノ供給充分ナル場合ニ至ラサレハ在來棉ノ作付ヲ奬勵シ棉作段別ヲ擴張シ以テ他日陸地棉栽培ノ素地ヲ作ラシムルコト

一　朝鮮在來棉ノ栽培改良　朝鮮在來棉ハ其ノ收量及繰綿步合ニ於テ陸地棉ニ劣ルト雖打綿トシテ需用カラサルヲ以テ陸地棉ノ栽培ニ適セサル地方ニ於テハ其ノ栽培法ノ改良ヲ奬勵スルコト

●水稻採種審補助規程

大正十一年六月
總令第九十九號

水稻採種審補助規程

第一條　水稻優良品種ノ普及及種子ノ更新ヲ奬勵スル爲本邦人ニ對シ補助金ヲ交付スル場合ニ於テハ道地方費ニ對シ之ヲ交付ス

第二條　補助金ハ農業者ニ配付スヘキ種子ノ育成ヲ目的トスル採種審ノ經營者ニ道地方費ノ交付スル補助金ニ對シ之ヲ交付ス

第三條　補助金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ道知事ニ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ每年度開始前ニ朝鮮總督ニ提出スヘシ

一　第一號樣式ニ依ル其ノ年度ニ於ケル採種審本數其ノ他

二　前號ニ掲クル事項ニ關スル道地方費收支豫算

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十四年六月
總令第七十一號

植桑奬勵補助規程

大正十四年度ニ限リ第三條ノ申請書ノ提出期限ハ大正十一年七月末日迄トス

●植桑奬勵補助規程

第一條　桑樹ノ栽培普及ヲ奬勵スル爲本令ニ依リ每年度豫算ノ範圍內ニ於テ道地方費ニ對シ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ハ道地方費ニ於テ「植桑補助金ノ交付」ヲ爲ス場合ニ道地方費ニ對シ之ヲ交付ス

第三條　補助金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ道知事ハ申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ每年度開始前ニ朝鮮總督ニ提出スヘシ

一　第一號樣式ニ依ル其ノ年度ニ於ケル植桑本數其ノ他

二　前號ニ掲クル事項ニ關スル道地方費收支豫算

第一號樣式　植桑桑苗本數其ノ一

府郡島名	增加桑田段別	所要桑苗本數								活着見込歩合	當桑本數	備考
		計	補植用					計				
	根刈純桑田他	根刈純桑田用其ノ他	接木苗	實生苗	接木苗	實生苗	接木苗	實生苗	計			
	町段	本	本	本	本	本	本	本	本	%	本	
計												

第一號樣式　植桑桑苗本數其ノ二

府郡島名	桑苗價額	桑苗單價	桑樹種類名	備考
	接木苗實生苗　計	接木苗實生苗	根刈桑田用	其ノ他桑田用
	圓錢	圓錢		
計				

第二號樣式　前年度植桑成績

其ノ一

府郡島名	增加桑田段別	所要桑苗本數								活着見込歩合	當桑本數	備考
		計	補植用					計				
	根刈純桑田他	根刈純桑田用其ノ他	接木苗	實生苗	接木苗	實生苗	接木苗	實生苗	計			
	町段	本	本	本	本	本	本	本	本	%	本	
計												

其ノ二

府郡島名	桑苗價額	桑苗單價	桑樹種類名	備考
	接木苗實生苗　計	接木苗實生苗	根刈桑田用	其ノ他桑田用
	圓錢	圓錢		
計				

備考

一　植栽桑樹種類名ノ根刈桑田用ト其ノ他桑田用トニ區別シ餘白ニ附記スルコト

二　桑苗ヲ內地ヨリ移入シタル場合ハ接木及實生(砧木ヲ除ク)苗ニ區別シ主ナル種類、數量及價格ヲ附記スルコト

其ノ二

桑苗價格	桑苗單價	桑苗補助金額	同上內譯		
接木苗實生苗　計	接木苗實生苗	接木苗實生苗　計	國費	道地方費	面積
圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	圓錢	町段

備考

道地方費額ニハ國費ヲ含マサルモノヽ、面費額ニハ面自體ノ負擔ニ係ルモノヽ、郡農會(農業組合)費額ニハ郡農會(農業組合)自體ノ負擔ニ係ルモノヲ夫レ掲記スルコト

●朝鮮農地令

昭和九年四月
制令第五號

朝鮮農地令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮農地令

第一條　本令ハ耕作ヲ目的トスル土地ノ賃貸借ニ之ヲ適用ス

本令ニ於テ小作地ト稱スルハ前項ノ賃貸借ノ目的タル土地ヲ謂フ

第二條　土地ノ耕作ヲ目的トスル諸負其ノ他ノ契約ハ之ヲ賃貸借ト看做ス但シ本令ノ適用ヲ免ルル目的ニ出デサルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ賃貸借ノ條件ハ當事者ノ協議ニ依リ之ヲ定ム協議調ハサルトキハ申立ニ依リ裁判所之ヲ定ム

昭和九年四月
制令第五號

朝鮮農地令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮農地令

第一條　本令ハ耕作ヲ目的トスル土地ノ賃貸借ニ之ヲ適用ス

本令ニ於テ小作地ト稱スルハ前項ノ賃貸借ノ目的タル土地ヲ謂フ

第二條　土地ノ耕作ヲ目的トスル諸負其ノ他ノ契約ハ之ヲ賃貸借ト看做ス但シ本令ノ適用ヲ免ルル目的ニ出デサルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ賃貸借ノ條件ハ當事者ノ協議ニ依リ特約ニシテ賃借人ニ不利ナルモノハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

第七條　小作地ノ賃貸借ノ期間ハ三年ヲ下ルコトヲ得ズ但シ永年作物ノ栽培ヲ目的トスル賃貸借ニ在リテハ七年ヲ下ルコトヲ得ズ

前項ノ期間ヨリ短キ期間ヲ以テ賃貸借ヲ爲シタルトキハ其ノ期間ハ前項ノ規定ニ依リ之ヲ三年又ハ七年トス

當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間ヲ定メザリシトキハ第一項ノ規定ニ依リ三年又ハ七年ノ期間ヲ定メタルモノト看做ス

第一項但書ノ永年作物ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第八條　小作地ノ賃貸借ニ付期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルトキハ前條第一項ノ規定ニ依リ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第九條　前二條ノ規定ハ小作地ノ賃貸借ノ期間ヲ更新スル場合ニ之ヲ準用ス但シ七年トアルハ新ニ永年作物ヲ栽培スルコトヲ目的トシテ更新スル場合ヲ除クノ外三年トス

第十條　前三條ノ規定ハ傷痍、疾病其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ賃貸人又ハ其ノ同居ノ親族ニシテ主トシテ耕作ニ從事スル者カ耕作ヲ爲スコト能ハサル爲又ハ土地使用ノ目的ノ變更其ノ他特別ノ事由ニ依リテ第七條第一項若ハ前條但書ニ規定スル期間以上賃貸スルコト能ハザル事情存スル爲一時土地ヲ賃貸スル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十一條　賃貸借ノ當事者ノ相續人ハ相續開始ノ時ヨリ被相續人ノ小作地ノ賃貸借ニ基ク一切ノ權利義務ヲ承繼ス

第十二條　小作地ノ賃貸借ハ其ノ登記ナキモ小作地ノ引渡アリタルトキハ爾後其ノ小作地ニ付物權ヲ取得シタル者ニ對シ其ノ效力ヲ生ズ

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第五百六十六條第一項及第三項ノ規定ハ賃借ノ登記ナキモ引渡アリタル小作地ノ賃貸人ノ目的物ナル場合ニ之ヲ準用ス

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第五百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條　賃借人ハ賃貸人ノ承諾アルトキハ賃借權ヲ小作地ヲ轉貸スルコトヲ得ズ但シ傷痍、疾病其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ賃借人又ハ其ノ同居ノ親族ニシテ主トシテ耕作ニ從事スル者カ耕作ヲ爲スコト能ハザル爲一時轉貸スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ賃貸人ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ轉貸ヲ拒ムコトヲ得ズ

第一項但書ノ規定ニ依ル轉賃借ノ終了ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第一項但書ノ規定ニ依ル小作地ノ轉借人ハ更ニ之ヲ轉貸シ又ハ其ノ權利ヲ讓渡スコトヲ得ズ

第十四條　前條ノ規定ハ產業組合其ノ他營利ヲ目的トセザル法人又ハ團體カ賃借シタル小作地ヲ更ニ其ノ團體員ニ使用又ハ收益ヲ爲サシメタル場合ニハ之ヲ適用セズ府邑面カ賃借シタル小作地ヲ更ニ其ノ住民ニ使用又ハ收益セシメタル場合亦同シ

前條及第二十條ノ規定ハ前項ノ團體員又ハ住民カ第三者ニ小作地ノ使用又ハ收益ヲ爲サシメタル場合ニ之ヲ適用ス

第十五條　賃借人カ小作料ノ一部ヲ支拂ヲ爲サントスル場合ニ於テハ賃貸人ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ其ノ受領ヲ拒ムコトヲ得ズ

賃貸人ハ小作料ノ一部ヲ受領スルモ之カ爲小作料ノ減額其ノ他ノ申出ヲ承諾シタルモノト推定セラルルコトナシ

第十六條　不可抗力ニ因リ收穫高ニ著シキ減少アリタルトキハ賃借人ハ賃貸人ニ對シ小作料ノ輕減又ハ免除ヲ申出ヅルコトヲ得

前項ノ申出ハ遲クトモ收穫著手ノ日ヨリ十五日前ニヲ爲スコトヲ要ス但シ當事者カ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ時期ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ宥恕スベキ事由アルトキハ相當ノ時期ニ於テ申出ヲ爲スコトヲ得

第十七條　契約又ハ慣習ニ依リ檢見ノ上小作料ノ額ヲ定ムル場合ノ檢見及前條ノ申出ニ依リ爲ス檢見ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　第十條ノ規定ニ依ル賃貸借ヲ除クノ外本章ノ規定ニ反スル特約ニシテ賃借人ニ不利ナルモノハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

第七條　小作地ノ賃貸借ノ期間ハ三年ヲ下ルコトヲ得ズ但シ永年作物ノ栽培ヲ目的トスル賃貸借ニ在リテハ七年ヲ下ルコトヲ得ズ

前項ノ期間ヨリ短キ期間ヲ以テ賃貸借ヲ爲シタルトキハ其ノ期間ハ前項ノ規定ニ依リ之ヲ三年又ハ七年トス

當事者カ小作地ノ賃貸借ノ期間ヲ定メザリシトキハ第一項ノ規定ニ依リ三年又ハ七年ノ期間ヲ定メタルモノト看做ス

第一項但書ノ永年作物ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第八條　小作地ノ賃貸借ニ付期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルトキハ前條第一項ノ規定ニ依リ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第九條　前二條ノ規定ハ小作地ノ賃貸借ノ期間ヲ更新スル場合ニ之ヲ準用ス但シ七年トアルハ新ニ永年作物ヲ栽培スルコトヲ目的トシテ更新スル場合ヲ除クノ外三年トス

第十條　前三條ノ規定ハ傷痍、疾病其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ賃貸人又ハ其ノ同居ノ親族ニシテ主トシテ耕作ニ從事スル者カ耕作ヲ爲スコト能ハザル爲又ハ土地使用ノ目的ノ變更其ノ他特別ノ事由ニ依リテ第七條第一項若ハ前條但書ニ規定スル期間以上賃貸スルコト能ハザル事情存スル爲一時土地ヲ賃貸スル場合ニハ之ヲ適用セズ

第十一條　賃貸借ノ當事者ノ相續人ハ相續開始ノ時ヨリ被相續人ノ小作地ノ賃貸借ニ基ク一切ノ權利義務ヲ承繼ス

第十二條　小作地ノ賃貸借ハ其ノ登記ナキモ小作地ノ引渡アリタルトキハ爾後其ノ小作地ニ付物權ヲ取得シタル者ニ對シ其ノ效力ヲ生ズ

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第五百六十六條第一項及第三項ノ規定ハ賃借ノ登記ナキモ引渡アリタル小作地ノ賃貸人ノ目的物ナル場合ニ之ヲ準用ス

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第五百三十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十三條　賃借人ハ賃貸人ノ承諾アルトキハ賃借權ヲ小作地ヲ轉貸スルコトヲ得ズ但シ傷痍、疾病其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ賃借人又ハ其ノ同居ノ親族ニシテ主トシテ耕作ニ從事スル者カ耕作ヲ爲スコト能ハザル爲一時轉貸スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ賃貸人ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ轉貸ヲ拒ムコトヲ得ズ

第一項但書ノ規定ニ依ル轉賃借ノ終了ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第一項但書ノ規定ニ依ル小作地ノ轉借人ハ更ニ之ヲ轉貸シ又ハ其ノ權利ヲ讓渡スコトヲ得ズ

第十四條　前條ノ規定ハ產業組合其ノ他營利ヲ目的トセザル法人又ハ團體カ賃借シタル小作地ヲ更ニ其ノ團體員ニ使用又ハ收益ヲ爲サシメタル場合ニハ之ヲ適用セズ府邑面カ賃借シタル小作地ヲ更ニ其ノ住民ニ使用又ハ收益セシメタル場合亦同シ

前條及第二十條ノ規定ハ前項ノ團體員又ハ住民カ第三者ニ小作地ノ使用又ハ收益ヲ爲サシメタル場合ニ之ヲ適用ス

第十五條　賃借人カ小作料ノ一部ヲ支拂ヲ爲サントスル場合ニ於テハ賃貸人ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ其ノ受領ヲ拒ムコトヲ得ズ

賃貸人ハ小作料ノ一部ヲ受領スルモ之カ爲小作料ノ減額其ノ他ノ申出ヲ承諾シタルモノト推定セラルルコトナシ

第十六條　不可抗力ニ因リ收穫高ニ著シキ減少アリタルトキハ賃借人ハ賃貸人ニ對シ小作料ノ輕減又ハ免除ヲ申出ヅルコトヲ得

前項ノ申出ハ遲クトモ收穫著手ノ日ヨリ十五日前ニヲ爲スコトヲ要ス但シ當事者カ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ時期ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ宥恕スベキ事由アルトキハ相當ノ時期ニ於テ申出ヲ爲スコトヲ得

第十七條　契約又ハ慣習ニ依リ檢見ノ上小作料ノ額ヲ定ムル場合ノ檢見及前條ノ申出ニ依リ爲ス檢見ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　第十條ノ規定ニ依ル賃貸借ヲ除クノ外本章ノ規定ニ反スル特約ニシテ賃借人ニ不利ナルモノハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

第十三條　賃借人ハ賃貸人ノ承諾アルトキハ賃借權ヲ小作地ヲ轉貸スルコトヲ得ズ但シ傷痍、疾病其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ賃借人又ハ其ノ同居ノ親族ニシテ主トシテ耕作ニ從事スル者カ耕作ヲ爲スコト能ハザル爲一時轉貸スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ賃貸人ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ轉貸ヲ拒ムコトヲ得ズ

第一項但書ノ規定ニ依ル轉賃借ノ終了ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第一項但書ノ規定ニ依ル小作地ノ轉借人ハ更ニ之ヲ轉貸シ又ハ其ノ權利ヲ讓渡スコトヲ得ズ

第十四條　前條ノ規定ハ產業組合其ノ他營利ヲ目的トセザル法人又ハ團體カ賃借シタル小作地ヲ更ニ其ノ團體員ニ使用又ハ收益ヲ爲サシメタル場合ニハ之ヲ適用セズ府邑面カ賃借シタル小作地ヲ更ニ其ノ住民ニ使用又ハ收益セシメタル場合亦同シ

前條及第二十條ノ規定ハ前項ノ團體員又ハ住民カ第三者ニ小作地ノ使用又ハ收益ヲ爲サシメタル場合ニ之ヲ適用ス

第十五條　賃借人カ小作料ノ一部ヲ支拂ヲ爲サントスル場合ニ於テハ賃貸人ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ其ノ受領ヲ拒ムコトヲ得ズ

賃貸人ハ小作料ノ一部ヲ受領スルモ之カ爲小作料ノ減額其ノ他ノ申出ヲ承諾シタルモノト推定セラルルコトナシ

第十六條　不可抗力ニ因リ收穫高ニ著シキ減少アリタルトキハ賃借人ハ賃貸人ニ對シ小作料ノ輕減又ハ免除ヲ申出ヅルコトヲ得

前項ノ申出ハ遲クトモ收穫著手ノ日ヨリ十五日前ニヲ爲スコトヲ要ス但シ當事者カ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ時期ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ宥恕スベキ事由アルトキハ相當ノ時期ニ於テ申出ヲ爲スコトヲ得

第十七條　契約又ハ慣習ニ依リ檢見ノ上小作料ノ額ヲ定ムル場合ノ檢見及前條ノ申出ニ依リ爲ス檢見ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　第十條ノ規定ニ依ル賃貸借ヲ除クノ外本章ノ規定ニ反スル特約ニシテ賃借人ニ不利ナルモノハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

第十三條　賃借人ハ賃貸人ノ承諾アルトキハ賃借權ヲ小作地ヲ轉貸スルコトヲ得ズ但シ傷痍、疾病其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ依リ賃借人又ハ其ノ同居ノ親族ニシテ主トシテ耕作ニ從事スル者カ耕作ヲ爲スコト能ハザル爲一時轉貸スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ賃貸人ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ轉貸ヲ拒ムコトヲ得ズ

第一項但書ノ規定ニ依ル轉賃借ノ終了ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第一項但書ノ規定ニ依ル小作地ノ轉借人ハ更ニ之ヲ轉貸シ又ハ其ノ權利ヲ讓渡スコトヲ得ズ

第十四條　前條ノ規定ハ產業組合其ノ他營利ヲ目的トセザル法人又ハ團體カ賃借シタル小作地ヲ更ニ其ノ團體員ニ使用又ハ收益ヲ爲サシメタル場合ニハ之ヲ適用セズ府邑面カ賃借シタル小作地ヲ更ニ其ノ住民ニ使用又ハ收益セシメタル場合亦同シ

前條及第二十條ノ規定ハ前項ノ團體員又ハ住民カ第三者ニ小作地ノ使用又ハ收益ヲ爲サシメタル場合ニ之ヲ適用ス

第十五條　賃借人カ小作料ノ一部ヲ支拂ヲ爲サントスル場合ニ於テハ賃貸人ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ其ノ受領ヲ拒ムコトヲ得ズ

賃貸人ハ小作料ノ一部ヲ受領スルモ之カ爲小作料ノ減額其ノ他ノ申出ヲ承諾シタルモノト推定セラルルコトナシ

第十六條　不可抗力ニ因リ收穫高ニ著シキ減少アリタルトキハ賃借人ハ賃貸人ニ對シ小作料ノ輕減又ハ免除ヲ申出ヅルコトヲ得

前項ノ申出ハ遲クトモ收穫著手ノ日ヨリ十五日前ニヲ爲スコトヲ要ス但シ當事者カ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ其ノ時期ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ宥恕スベキ事由アルトキハ相當ノ時期ニ於テ申出ヲ爲スコトヲ得

第十七條　契約又ハ慣習ニ依リ檢見ノ上小作料ノ額ヲ定ムル場合ノ檢見及前條ノ申出ニ依リ爲ス檢見ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　第十條ノ規定ニ依ル賃貸借ヲ除クノ外本章ノ規定ニ反スル特約ニシテ賃借人ニ不利ナルモノハ之ヲ爲サザルモノト看做ス

外當事者ヵ小作地ノ賃貸借ノ期間滿了前三月乃至一年内ニ相手方ニ對シ更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ賃貸借ヲ更新セザル旨ノ通知ヲ爲サザルトキハ前賃借ト同一ノ條件ヲ以テ更ニ賃貸借ヲ爲シタルモノト看做ス

第十九條　賃貸人ハ賃借人ニ背信ノ行爲アリタル場合ニ於テハ賃貸借ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第二十條　賃借人第十三條一項ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テハ其ノ判定ヲ求メタル爲シタル場合ニ於テハ調停ノ終了スル迄賃貸人ハ當該小作料ノ履行遲滯ヲ理由トシテ賃貸借ノ解除ヲ爲スコトヲ得ス

第二十一條　小作地返還ノ場合ニ於テ小作地ニ契約ニ從ヒ作付シタル作物アルトキハ賃借人ハ賃貸人ニ對シ相當ノ價格ヲ以テ之ヲ買取ルベキコトヲ請求スルコトヲ得但シ賃借人又ハ轉借人カ信義ニ反シ買取ヲシタル目的ヲ以テ作付ヲ爲シタル作物ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條　第十五條乃至第十七條ノ規定ハ賃貸人ト轉借人トノ關係ニ之ヲ準用ス

第二十四條　當事者ハ合意ヲ以テ關係地ノ所在スル府郡島小作委員會ニ對シ小作料其ノ他小作關係ニ付判定ヲ求ムルコトヲ得

第二十五條　前條ノ規定ニ依リ判定ヲ求メタル事件ニ付訴訟ヵ繫屬スルトキ又ハ朝鮮小作調停令ニ依ル調停ノ申立ノ受理アリタルトキハ判定アル迄當該裁判所ハ決定ヲ以テ訴訟手續又ハ調停手續ヲ中止スルコトヲ得

第二十六條　裁判所ハ當事者又ハ小作官ノ申立ニ依リ府郡島小作委員會ノ判定著シク不當ナリト認ムルトキハ之ヲ取消スコトヲ得

此ノ申立ハ府郡島小作委員會ノ判定ノ通知アリタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スニ非ザレバ其ノ效力ナシ

府郡島小作委員會ノ判定ヲ取消ス裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ズ

申立却下ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　府郡島小作委員會ノ判定ハ取消ノ申立ナクシテ前條第一項ノ期日ヨリ當事者間ノ契約トシテ其ノ效力ヲ有ス

第二十八條　第二條第二項又ハ第二十六條第一項ノ規定ニ依ル裁判ハ小作地ノ所在地ノ府尹、郡守又ハ島司ニ對シ小作地管理者ニ對シ小作料ノ供託ヲ命ズルコトヲ得

第二十九條　府郡島小作委員會ノ判定ハ取消ノ申立ナクシテ前條第一項ノ期日ヨリ當事者間ノ契約トシテ其ノ效力ヲ有ス

第三十條　府郡島小作委員會ノ出席シタル者故ナク會議ノ顏末、小作委員ノ意見若ハ其ノ多少ノ數又ハ小作官ノ意見ヲ漏泄シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條　賃貸人第三條ノ規定ニ違反シ周旋ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ周旋ヲ爲シタルトキ又ハ第四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタルトキハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

第三十二條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和九年九月總督府令第九十二號ヲ以テ昭和九年十月一日ヨリ施行）

第三十三條　本令施行ノ際現ニ存在スル小作地ノ管理者タル者ニ付テハ賃貸人ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ府尹、郡守又ハ島司ニ屆出ヅベシ

第三十四條　本令施行ノ際現ニ存スル土地ノ耕作ヲ目的トスル請負ニ付テハ賃貸人ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ賃貸ト看做ス

第二條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十五條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ賃貸借ニシテ三年未滿ノ期間ノ定アルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ノ期間ノ定アルモノト看做ス

本令施行ノ際現ニ存スル第七條第四項ニ規定スル永年作物ノ栽培ヲ目的トスル小作地ノ賃貸借ニシテ七年未滿ノ期間ノ定アルモノハ本令施行ノ日ヨリ、期間ノ定ナキモノハ本令施行ノ日ヨリ七年ノ期間ノ定アルモノト看做ス

第三十六條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ賃貸借ニシテ期間ノ定アリヤ否ヤ明ナラザルモノハ第七條第一項ノ規定ニ依リ契約ノ日ヨリ三年又ハ七年ノ定アルモノト推定ス

第三十七條　前二條ノ規定ハ第十條ノ規定ニ該當スル場合ノ之ヲ準用ス

第三十八條　本令施行ノ際現ニ存スル第十三條第一項但書ノ規定ニ該當セザル小作地ノ轉貸借ニシテ期間ノ定アルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年ヲ超エザル範圍内ニ於テ其ノ殘期間、期間ノ定ナキモノハ本令施行ノ日ヨリ三年間仍其ノ效力ヲ有ス

第三十九條　本令施行ノ際現ニ存スル小作地ノ賃貸借ニシテ本令施行後一年内ニ其ノ期間滿了スベキモノニ付當事者カ其ノ滿了前一年内ニ相手方ニ對シテ爲シタル更新拒絶ノ通知又ハ條件ヲ變更スルニ非ザレバ更新セザルモノト雖モ之ヲ同條ノ期間内ニ爲シタルモノト看做ス

第四十條　貸貸人第三十三條ノ規定ニ違反シ屆出ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ屆出ヲ爲シタルトキハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

●朝鮮農地令施行規則

昭和九年九月
總令第九十三號

朝鮮農地令施行規則左ノ通定ム

朝鮮農地令施行規則

第一條　舍晉其ノ他小作地ノ管理者（以下單ニ小作地管理者ト稱ス）ヲ置キタルトキハ賃貸人ハ小作地管理者ニ付左ニ揭グル事項ヲ具シ十五日内ニ小作地ノ所在地ヲ管轄スル府尹、郡守又ハ島司ニ屆出ヅベシ其ノ屆出ヲ變更シタルトキ亦同シ

一　住所、氏名及職業

二　管理スル小作地ノ所在地、地目及面積

三　管理ニ關スル契約ノ年月日

四　管理事務ノ範圍及管理事務ヲ行フ期間

五　報酬及其ノ支給方法

第二條　前條ノ規定ハ小作地管理者カ更ニ小作地管理者ヲ置キタル場合ニ之ヲ準用ス

第三條　府尹、郡守又ハ島司必要アリト認ムルトキハ貸貸人又ハ小作地管理者ニ對シ小作地ノ管理ニ關スル事項ノ報告ヲ命ズルコトヲ得

第四條　小作地管理者カ更ニ小作地管理者ヲ置キタル場合ニ於テ府尹、郡守又ハ島司其ノ小作地管理者ヲ不適當ト認ムルトキハ府尹、郡守又ハ島司ハ小作委員會ノ意見ヲ聽キ小作地管理者ニ對シ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第五條　府尹、郡守又ハ島司ニ於テ小作地ノ管理ニ關スル契約ヲ不適當ト認ムルトキハ府郡島小作委員會ノ意見ヲ聽キ貸貸人又ハ小作地管理者ニ對シ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第六條　朝鮮農地令第七條第四項ノ永年作物ハ桑樹、果樹、苧麻及楮トス

第七條　朝鮮農地令第十三條第一項但書ノ規定ニ依ル轉貸借ノ承諾ニ付テハ賃貸人ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ府尹、郡守又ハ島司ニ屆出ヅベシ

前項ノ轉貸ノ事由消滅ノ際現ニ小作地ニ契約ニ從ヒ作付シタル作物ニシテ轉貸ノ事由消滅ノ時ヨリ一年内ニ收穫スベキモノアルトキハ轉借人カ信義ニ反シ轉貸借ノ終了ヲ妨グル目的ヲ以テ作付シタル場合ヲ除クノ外其ノ收穫終了スル迄轉貸借人ハ仍存續スルモノト看做ス但シ轉借人ニ於テ其ノ存續ヲ欲セザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第一項ノ轉貸ノ事由消滅シタルトキハ轉貸人ノ遲滯ナク其ノ旨ヲ貸貸人及轉借人ニ通知スルコトヲ要ス

第八條　朝鮮農地令第十六條ノ申出アリタル場合ニ於テ當事者ノ一方カ相手方ニ對シ檢ヲ具シ十五日内ニ小作地ノ所在地ヲ管轄スル府尹、郡守又ハ島司ニ屆出デベシ其ノ屆出デタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一　住所、氏名及職業

二　管理スル小作地ノ所在地、地目及面積

三　管理ニ關スル契約ノ年月日

四　管理事務ノ範圍及管理事務ヲ行フ期間

五　報酬及其ノ支給方法

第二條　前條ノ規定ハ小作地管理者カ更ニ小作地管理者ヲ置キタル場合ニ之ヲ準用ス

第三條　府尹、郡守又ハ島司必要アリト認ムルトキハ貸貸人又ハ小作地管理者ニ對シ小作地ノ管理ニ關スル事項ノ報告ヲ命ズルコトヲ得

第四條　小作地管理者カ更ニ小作地管理者ヲ置キタル場合ニ於テ府尹、郡守又ハ島司其ノ小作地管理者ヲ不適當ト認ムルトキハ府郡島小作委員會ノ意見ヲ聽キ小作地管理者ニ對シ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第五條　府尹、郡守又ハ島司ニ於テ小作地ノ管理ニ關スル契約ヲ不適當ト認ムルトキハ府郡島小作委員會ノ意見ヲ聽キ貸貸人又ハ小作地管理者ニ對シ其ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第六條　朝鮮農地令第七條第四項ノ永年作物ハ桑樹、果樹、苧麻及楮トス

第七條　朝鮮農地令第十三條第一項但書ノ規定ニ依ル轉貸借ノ承諾ニ付テハ賃貸人ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ府尹、郡守又ハ島司ニ屆出ヅベシ其ノ屆出ヲ變更シタルトキ亦同シ

第八條　朝鮮農地令第十六條ノ申出アリタル場合ニ於テ當事者ノ一方カ相手方ニ對シ檢

見ノ申出ヲ爲サントスルトキハ遲クトモ同條ノ申出アリタル日ヨリ八日内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス但シ若シ豫メ申出アルトキハ相當ノ時期ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ檢見ノ申出ヲ受ケタル者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第九條　朝鮮農地令第十七條ノ檢見ハ當事者又ハ代理人立會ノ上之ヲ爲スコトヲ要ス

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　小作地管理者第二條ノ規定ニ違反シ屆出ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ屆出ヲ爲シタルトキ

二　貸貸人又ハ小作地管理者第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ報告ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキ

三　小作地管理者第四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタルトキ

四　貸貸人又ハ小作地管理者第五條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタルトキ

附　則

第十一條　本令ハ昭和九年十月二十日ヨリ之ヲ施行ス

第十二條　本令施行ノ際現ニ小作地管理者タル者ニ付テハ貸貸人又ハ小作地管理者ハ本令施行ノ日ヨリ十五日内ニ第一條又ハ第二條ノ規定ニ準シ屆出ヅベシ

第十三條　小作地管理者前條ノ規定ニ違反シ屆出ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ屆出ヲ爲シタルトキハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二款　農會

●朝鮮農會令

大正十五年一月
制令第一號

朝鮮農會令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮農會令

第一條　農會ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外農會法ニ依ル但シ同法第八條乃至第十一條、第十三條、第十四條、第十七條乃至第二十條、第二十五條但書、第二十六條、第三十七條、第三十四條、第三十五條、第三十八條第一項但書及第四十一條ノ規定ニ依リ府郡島農會ニ關シテハ府郡島農會法中町村農會及市農會トアルハ府郡島農會、議員トアルハ通常議員トス

第二條　農會ハ府郡島農會、道農會及朝鮮農會ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第三條　農會ノ地區ハ府郡島農會ニ在リテハ府郡島、道農會ニ在リテハ道、朝鮮農會ニ在リテハ朝鮮ノ區域ニ依ル

特別ノ事由アルトキハ府郡島農會ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

第一項ノ區域ニ增減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル農會ノ地區モ亦之ニ應シテ增減アリタルモノトス

第四條　農會ノ名稱ハ府、郡若ハ島農會、道農會又ハ朝鮮農會ナル文字ヲ用フヘシ但シ府郡島農會ノ地區カ府、郡又ハ島ノ區域ニ依ラサルトキハ其ノ名稱中ニ此等ノ區域ヲ示スヘキ文字ヲ用ヒサルコトヲ得

本令ニ依リ設立シタル農會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ揭グル文字ヲ用フルコトヲ得ス

第五條　農會ハ府郡島農會ニ在リテハ園、公共團體及朝鮮總督ノ定ムル者ヲ除クノ外其ノ地區內ノ耕地、牧場又ハ原野ノ所有スル者及其ノ地區內ニ於テ農業ヲ營ム以テ、道農會ニ在リテハ其ノ地區內ノ府郡島農會ヲ以テ、朝鮮農會ニ在リテハ道農會ヲ以テ其ノ會員トス

第六條　農會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長、副會長、通常議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

通常議員ハ府郡島農會ニ在リテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ會員ニ於テ會員中ヨリ選出シタル者ニ就キ、道農會及朝鮮農會ニ在リテハ其ノ會員タル農會ノ總會ニ於テ之ヲ組織スル者ノ中ヨリ選出シタル者ニ就キ行政官廳之ヲ命ス

特別議員ハ府郡島農會ニ在リテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ物件ヲ以テ經費ノ負擔ヲ爲サシムルコトヲ得

府郡島農會ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テハ其ノ會長ノ請求アルトキハ府面ハ國稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ農會ハ其ノ徵收金額ノ百分ノ五ヲ府面ニ交付スヘシ

前項ニ規定スル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ府面ノ徵收金ニ次キ其ノ時效ニ付テハ國稅ノ例ニ依ル

經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立及裁決ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第十一條　行政官廳ハ農會ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ役員、通常議員若ハ特別議員ヲ解任シ、農會ノ事業ヲ停止シ又ハ農會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第十二條　農會解散又ハ合併ヲ爲サムトスルトキハ其ノ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得尙合併ノ場合ニ在リテハ會則ヲ變更シ事由ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

農會分割ヲ爲サムトスルトキハ前項ノ規定ニ準スル同意ノ外分割ノ各農會ノ會員又ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得農會ノ權利義務ノ限度ヲ定メ且會則ヲ議定シ事由ヲ具シ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

農會法第十二條第二項及第十五條ノ規定ハ前二項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正十五年一月總令第六號ヲ以テ大正十五年三月一日ヨリ施行）

●農會法

大正十一年四月
法律第四十號

（改正　昭和六年一〇第六九號、九年四第四二號）

施帝國議會ノ協贊ヲ經タル農會法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

農會法

第一條　農會ハ農業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　農會ハ法人トス

第三條　農會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

一　農業ノ指導奬勵ニ關スル施設

二　農業ニ從事スル者ノ福利增進ニ關スル施設

三　農業ニ關スル研究及調査

四　農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

五　其ノ他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業

第四條　農會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第五條　農會ハ農業ニ關スル事項ニ付行政廳ニ建議スルコトヲ得

第六條　農會ハ行政廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

農會ハ行政官廳ハ農會ニ對シ農業ニ關スル報告書ノ提出及農業ニ關シ命スルコトヲ得

第七條　政府ハ農會ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得

第八條　農會ハ町村農會、市農會、郡農會、道府縣農會及帝國農會トス

第九條　農會ノ地區ハ町村農會ニ在リテハ町村又ハ町村組合、市農會ニ在リテハ市、郡農會ニ在リテハ郡、道府縣農會ニ在リテハ道府縣、帝國農會ニ在リテハ内地ノ區域ニ依ル

特別ノ事由アルトキハ農會ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラサルコトヲ得

町村、市又ハ府縣ノ廢置分合其ノ他命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外第一項ノ區域ニ準ジ設立サルヘキ農會ノ地區モ亦之ニ應ジテ增減アリタルモノトス

町村カ市トナリタルトキハ其ノ町村ノ區域ヲ地區トスル町村農會ハ市農會トナリタルモノトス

第十條　農會ノ名稱ニハ町若ハ村農會、市農會、郡農會、道、府若ハ縣農會又ハ帝國農會ナル文字ヲ用ヰサルコトヲ得ス

第十一條　農會ハ町村農會及市農會ニ在リテハ國、公共團體及命令ヲ以テ規定シタル者ヲ除クノ外其ノ地區内ノ耕地、牧場又ハ原野ヲ所有スル者及其ノ地區内ニ於テ農業ヲ營ム者、郡農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ町村農會、道府縣農會ニ在リテハ其ノ地區内ノ市農會、郡農會及郡農會ノ會員ニ非サル後任ノ會長又ハ副會長ノ中一人就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フ

第二十八條　會長ハ農會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

副會長ハ會長ノ補助機關ニシテ會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス

第二十九條　總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總代會又ハ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ次ノ總代會又ハ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十條　農會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ職務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ竝會務執行及財產ノ狀況ニ關シ會長ノ監督ニ屬ス

第二十八條ノ二　會長ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ行政官廳ハ會員又ハ議員若ハ特別議員ノ中ヨリ指定シテ會長ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第三十一條　總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總代會又ハ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ次ノ總代會又ハ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第三十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ノ一部ヲ副會長又ハ評議員ニ分掌セシムルコトヲ得

第三十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ職務ノ一部ヲ會員ニ委任スルコトヲ得

第三十四條　會長ハ總代會又ハ總會ニ於テ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得、出席ノ評議員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得且會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ旨ヲ行政官廳ニ報告シ仍半數ニ滿タサルトキハ此ノ限ニ在ラス

特別議員第十九條第四項ノ規定ニ依リ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ前項ノ總會ヲ組織スル者ノ中ニ算入セス

第二十三條　總代會ノ議事ノ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

特別議員第十九條第四項ノ規定ニ依リ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ前項ノ總會ヲ組織スル者ノ中ニ算入セス

第二十四條　總代會又ハ總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

特別議員ハ議長ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ議長ノ指名シタル者之ニ代ル

第二十五條　總代會又ハ總會ノ議事ニ付テハ會則ノ定ムル所ニ依リ議事錄ヲ調製シ議長及議事錄ニ署名スヘシ

第二十六條　總代會又ハ總會ノ議事ニ付テハ會則ノ定ムル所ニ依リ傍聽ヲ許スコトヲ得

第二十七條　總代會又ハ總會ノ議事ニ付テハ會則ノ定ムル所ニ依リ速記錄ヲ調製スヘシ

第二十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ノ狀況ヲ總代會又ハ總會ニ報告スヘシ

第二十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ調製シ之ヲ保存スヘシ

第三十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢査スヘシ

第三十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第三十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第三十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第三十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第三十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第三十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第三十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第三十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第三十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第四十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第五十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第六十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第七十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第八十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第九十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百二十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百三十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百四十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百五十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百六十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百七十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百八十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第百九十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百二十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百三十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百四十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十八條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百五十九條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百六十條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百六十一條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百六十二條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百六十三條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百六十四條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百六十五條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百六十六條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書類及帳簿ヲ檢閱スヘシ

第二百六十七條　會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會務ニ關スル書

期中仍其ノ職ニ在ルモノトス

附　則（昭和九年四月法律第四十二號）

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年七月勅令第二百三十號ヲ以テ昭和九年十月一日ヨリ施行ス、第二十五條、第二十八條ノ二、第三十五條、第三十八條ノ二、第三十五條及第四十二條ノ改正規定ハ昭和九年八月一日ヨリ施行ス、其ノ他ノ規定ハ昭和十年四月一日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ總會ヲ置ク町村農會及市農會ハ當分ノ內第十七條第一項ノ改正規定ニ拘ラズ命令ノ定ムル所ニ依リ仍從前ノ例ニ依リ總會ヲ置クコトヲ得

前項ノ農會カ總代會ヲ置ク場合ニ於ケル令則ノ變更ニ關シテハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

●朝鮮農會令施行規則

大正十五年一月
總令第三號
改正　昭和九年一〇第一〇改號

朝鮮農會令施行規則左ノ通定ム

第一條　府郡島農會ノ地區內ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル農業ノミヲ營ム者ハ其ノ農會ノ會員ヨリ之ヲ除外ス

一　三段歩未滿ノ他人ノ土地ニ於テ耕種

二　一年ノ通シテ栃製蠶種一枚未滿又ハ之ニ相當スル蠶種ヲ掃立テテ行フ養蠶

三　前二號ニ掲ケル者ノ外道知事ニ於テ特ニ府郡島農會ノ會員ヨリ除外スルノ必要アリト認メルル者アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二條　府郡島農會ノ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區內ニ居住セル會員（法人ノ會員ニ在リテハ其ノ地區內ニ事務所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ代理人ヲ含ム）ヲシテ其ノ地區內ニ代理人ヲ設ケシムルコトヲ得

農會ハ前項ノ代理人ニ對スル通知ヲ以テ本人ニ對スル通知ニ代フルコトヲ得

第三條　農會ノ設立セムトスルトキハ會員タル資格ヲ有スル者ニ於テ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

第四條　創立總會ハ府郡島農會ニ在リテハ其ノ會員タル資格ヲ有スル者、其ノ他ノ農會ニ在リテハ其ノ會員タル資格ヲ有スル農會ノ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ヲ招集ス

第五條　發起人創立總會ヲ招集セムトスルトキハ朝鮮農會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、其ノ他ノ農會ニ在リテハ少クトモ十四日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會ノ組織スヘキ者ニ通知シ尚府郡島農會ニ在リテハ之ヲ公告スヘシ

第六條　創立總會ノ議事ハ之ヲ組織スル者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議定スルコトヲ得ス

府郡島農會ノ創立總會ニ在リテハ會員タル資格ヲ有スル者ハ他ノ會員タル資格ヲ有スル者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ差出スヘシ

創立總會ノ議長ハ出席者中ヨリ之ヲ互選スヘシ

第七條　農會ノ負擔ニ歸スヘキ創立費用及其ノ償却方法ハ創立總會ノ承認ヲ經タル後遲滯ナク設立認可申請書ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

第八條　創立總會終了シタルトキハ發起人ハ選擧ノ設立認可申請書ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ會則、設立ニ付法定ノ同意アリタルコトヲ證スル書面、創立費用ノ明細書及議事錄ノ謄本ヲ添附スヘシ

第九條　會則ニハ本令及朝鮮農會令ニ規定スルモノノ外左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

一　名稱

二　事業

三　事務所

四　朝鮮農會令第三條第一項ノ區域ニ依ラサル農會ニ在リテハ其ノ地區

五　評議員ノ定數及選擧ノ方法

六　通常議員ノ定數及通常議員候補者缺員ノ方法

七　會議ニ關スル規定

八　財産ニ關スル規定

九　會計ニ關スル規定

第十條　農會ノ設立ニ認可シタルトキハ行政官廳ハ其ノ農會ノ名稱、地區、事務所ノ所在地及認可ノ年月日ヲ告示スヘシ其ノ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

第十一條　府郡島農會ハ會員名簿ヲ調製シ之ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

會員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　會員ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所ノ所在地及代表者ノ氏名）

二　會員タル資格

三　地稅納額其ノ他經費賦課ノ基礎ト爲ルヘキ事項

四　代理人ノ氏名及住所

會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ農會ハ遲滯ナク之ヲ訂正スヘシ

會員名簿ノ閱覽ヲ求ムル者アリタルトキハ農會ハ正當ノ事由アル場合ヲ除ノ外之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條　府農會ノ通常議員ノ定數ハ二十人以下ニ於テ、郡島農會ノ通常議員ノ定數ハ其ノ地區內ノ會員ノ數ノ二倍以下ニ於テ會則ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

道農會及朝鮮農會ノ通常議員ノ定數ハ其ノ會員タル農會ノ數トス

第十三條　前條ノ通常議員ノ定數ハ郡島農會ニ在リテハ其ノ地區內ノ各面ニ、道農會及朝鮮農會ニ在リテハ其ノ會員タル各農會ニ之ヲ配當スヘシ

第十四條　通常議員ノ候補者ノ定數ハ通常議員ノ定數ノ二倍トス

第十五條　通常議員ノ候補者ハ府郡島農會ニ在リテハ會員ニ於テ地區內ノ會員ノ中ヨリ、道農會及朝鮮農會ニ在リテハ其ノ會員タル農會ノ總會ニ於テ其ノ總會ヲ組織スル者ノ中ヨリ本令ノ定ムルモノノ外會則ノ定ムル方法ニ依リ之ヲ選出スヘシ

第十六條　通常議員ノ候補者ヲ選出スル順位ハ各會員ノ平等トス

前項ノ權利ハ代理人ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得

代理人ハ會員又ハ同居ノ親族ナルコトヲ要ス

第一項ノ權利ハ未成年者及禁治產者ニ在リテハ法定代理人ヲ以テ之ヲ行フヘシ第二條ノ代理人ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第十七條　農會ノ通常議員ノ候補者ノ選出ニ關スル事務ハ會長之ヲ管理ス

第十八條　通常議員、特別議員及役員ノ任期ハ農會ノ事業年度ニ從ヒ四年トス但シ補闕ノ評議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十九條　總會ヲ招集セムトスルトキハ朝鮮農會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、道農會ニ在リテハ少クトモ十四日前ニ、府郡島農會ニ在リテハ少クトモ七日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會ヲ組織スル者ニ通知スヘシ

前項ノ期間ハ會則ヲ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第二十條　總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノミ議決スルコトヲ得

但シ會則ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　總會ノ議長ハ議事錄ヲ作リ左ニ掲ケル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名スヘシ

一　開會ノ日時及場所

二　總會ヲ組織スル者ノ定數

三　出席者ノ員數

四　議事ノ要領

五　議決シタル事項及賛否ノ數

第二十二條　農會ニハ會則ノ定ムル所ニ依リ理事、主事、技師、技手、書記其ノ他ノ職員ヲ置クコトヲ得

理事、主事及技師ノ命免ハ之ヲ行政官廳ニ屆出ツヘシ

第二十三條　農會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第二十四條　府郡島農會ノ經費ヲ分賦セムトスルトキハ左ノ賦課方法及金額ノ制限ニ依ルヘシ

一　會員割　（會員ノ資產狀態ニ應シ適當ニ賦課スル標準ヲ定ム）　平均一人ニ付三十錢以內

二　地稅納額百分ノ八以內

原野ニシテ農業ニ利用セサル土地ニ付テハ地稅割ヲ賦課スルコトヲ得ス

特別ノ事由アル場合ニ於テハ府郡島農會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第一項ノ賦課方法又ハ金額ノ制限ニ依ラスシテ經費ヲ分賦スルコトヲ得

第二十五條　府郡島農會ハ其ノ會員ニ對シ總會ノ議決ニ依リ穀物、繭其ノ他ノ農産物ヲ以テ經費ヲ負擔セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ物品ノ價格ハ經費ノ賦課額ニ相當スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ經費ヲ負擔セシメラレタル會員ハ金錢ヲ以テ物件ノ納付ニ代フルコトヲ得

第二十六條　會長ハ府郡島農會ノ經費ヲ分賦セラレタル者ニテ特別ノ事情アルモノニ限リ其ノ延納ヲ許可シ又ハ其ノ分賦ヲ減免スルコトヲ得但シ分賦ノ減免ニ付テハ總會ノ議決ヲ經ルコトヲ要ス

第二十七條　農會ノ經費ヲ徵收セムトスルトキハ會長ハ納入義務者ニ對シ納金額、納期日及納付ノ場所ヲ記載シタル納入告知書ヲ發スヘシ過怠金ヲ徵收セムトスルトキ亦同シ

第二十八條　經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ納入告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日內ニ其ノ農會ノ會長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ノ申立アリタルトキハ會長ハ評議員ニ諮リ會則ノ定ムル所ニ依リ朝鮮農會令第十一條ノ規定ニ依ル解任ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　府尹、郡守又ハ島司ハ府郡島農會ノ通常議員及特別議員ヲ命免シタルトキハ道知事ニ報告スヘシ

第三十七條　左ノ場合ニ於テハ道知事ハ朝鮮總督ニ報告スヘシ

一　府郡島農會ノ設立、解散、合併又ハ分割ノ認可ヲ爲シタルトキ

二　朝鮮農會令第十一條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シ又ハ農會法第三十二條ノ規定ニ依リ會則、收支豫算若ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命シタルトキ

三　府郡島農會ノ會長及副會長竝道農會ノ通常議員及特別議員ヲ命免シタルトキ

前項第二號ノ場合ニ於テハ其ノ報告書ニ事由書ヲ添附スヘシ

第三十八條　第八條、第十條、第二十二條、第二十九條、第三十一條、第三十三條乃至第三十五條、朝鮮農會令第七條、同令第八條、同令第十二條、農會法第十二條、同法第十六條、同法第二十一條、同法第三十二條及同法第三十八條乃至第四十條ニ於テハ行政官廳ト稱スルハ府郡島農會ニ在リテハ道知事、道農會及朝鮮農會ニ在リテハ朝鮮總督トス

朝鮮農會令第六條ニ於テ行政官廳ト稱スルハ府郡島農會ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、道農會ニ在リテハ道知事、朝鮮農會ニ在リテハ朝鮮總督トス

前項ノ場合ニ於テ府郡島農會ノ地區カ二郡以上又ハ府郡ニ渉ルトキハ道知事ハ其ノ行政官廳タル府尹又ハ郡守ヲ指定スヘシ

附　則

本令ハ朝鮮農會令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年十月勅令第百六號）

本令ハ昭和十年度分地稅割ヨリ之ヲ適用ス

昭和九年度分地稅割ニ付テハ地稅納額ノ百分ノ七・五以內トス

第三款　農業倉庫

●朝鮮農業倉庫業令

昭和六年七月
勅令第十四號

朝鮮農業倉庫業令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮農業倉庫業令

第一條　本令ニ於テ農業倉庫業者ト稱スルハ農業ヲ營ム者カ其ノ生產シタル米穀其ノ他朝鮮總督ノ指定スル物品ヲ所有スル場合又ハ土地ニ付權利ヲ有スル者カ小作料トシテ受ケタル米穀其ノ他朝鮮總督ノ指定スル物品ヲ所有スル場合ニ於テ其ノ者ノ爲ニ本令ニ依リ之ヲ倉庫ニ保管スル者ヲ謂フ

前項ニ規定スル寄託物ニ付所有權ノ移轉アリタルトキト雖モ農業倉庫業者ハ其ノ寄託物ノ保管期間ノ滿了ニ至ル迄之ヲ保管スルコトヲ得

農業倉庫業者ハ前二項ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限リ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前二項ノ規定ニ依ラヌ物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得

第二條　農業倉庫業者ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ前條ノ事業ノ外左ノ事業ヲ爲スコトヲ得

一　受寄物ノ調製、改裝又ハ荷造ヲ爲スコト

二　受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立ヲ爲スコト

三　受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次ヲ爲スコト

四　寄託セントスル小作料ノ受領ノ代理ヲ爲スコト

前項第一號乃至第三號ノ事業ハ業務規程ノ定ムル所ニ依リ受寄物ニ非サル米穀其ノ他朝鮮總督ノ指定スル物品ニ付之ヲ爲スコトヲ得

第三條　農業倉庫業者ハ營利ヲ目的トシテ其ノ事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　農會、產業組合及農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人ニ非ザレバ農業倉庫業者タルコトヲ得ズ

第五條　農業倉庫業者タル產業組合ハ朝鮮產業組合ニ規定スル事業ヲ目的トスルコトヲ得

前項ノ產業組合ハ組合員ノ爲ニ前項ノ事業ヲ爲スノ外附帶トシテ組合員ニ非サル者ノ爲ニモ之ヲ爲スコトヲ得

第六條　農業倉庫業者タラントスル者ハ業務規程ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

ムル方法ニ依リ之ヲ選出スヘシ

第十六條　通常議員ノ候補者ヲ選出スルノ權利ハ各會員ヲ平等トス

前項ノ權利ハ代理人ヲ以テ之ヲ行フコトヲ得

代理人ハ會員又ハ同居ノ親族ナルコトヲ要ス

第一項ノ權利ハ未成年者及禁治產者ニ在リテハ法定代理人ヲ以テ之ヲ行フヘシ第二條ノ代理人ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

第十七條　農會ノ通常議員ノ候補者ノ選出ニ關スル事務ハ會長之ヲ管理ス

第十八條　通常議員、特別議員及役員ノ任期ハ農會ノ事業年度ニ從ヒ四年トス但シ補闕ノ評議員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第十九條　總會ヲ招集セムトスルトキハ朝鮮農會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、道農會ニ在リテハ少クトモ十四日前ニ、府郡島農會ニ在リテハ少クトモ七日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總會ヲ組織スル者ニ通知スヘシ

前項ノ期間ハ會則ヲ以テ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第二十條　總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノミ議決スルコトヲ得

但シ會則ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　總會ノ議長ハ議事錄ヲ作リ左ニ掲ケル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名スヘシ

一　開會ノ日時及場所

二　總會ヲ組織スル者ノ定數

三　出席者ノ員數

四　議事ノ要領

五　議決シタル事項及賛否ノ數

第二十二條　農會ニハ會則ノ定ムル所ニ依リ理事、主事、技師、技手、書記其ノ他ノ職員ヲ置クコトヲ得

理事、主事及技師ノ命免ハ之ヲ行政官廳ニ屆出ツヘシ

第二十三條　農會ノ事業年度ハ毎年四月一日

第一條　朝鮮農業倉庫令（以下令ト稱ス）第二條ノ規定ニ依リ農業倉庫（以下倉庫ト稱ス）ヲ設立セムトスル者ハ定款ヲ具シ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱

二　事務所ノ位置

三　組合員ノ資格

四　組合員ノ出資口數ノ最高及最低

五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル割合

六　組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル割合

七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合

八　組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合

九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差

十　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低

十一　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最高

十二　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差

十三　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高

十四　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差

十五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

十六　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

十七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

十八　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

十九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十一　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十二　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十三　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十四　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十六　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十八　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

二十九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十一　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十二　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十三　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十四　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十六　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十八　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

三十九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十一　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十二　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十三　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十四　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十六　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十八　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

四十九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十一　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十二　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十三　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十四　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十六　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十八　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

五十九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十一　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十二　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十三　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十四　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十六　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十八　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

六十九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十一　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十二　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十三　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十四　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十六　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十八　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

七十九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十一　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十二　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十三　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十四　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十六　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十八　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

八十九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十一　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十二　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十三　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十四　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十五　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十六　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十七　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十八　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

九十九　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

百　組合員ノ出資口數ノ最高ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最低ノ割合ト組合員ノ出資口數ノ最低ニ對スル組合員ノ出資口數ノ最高ノ割合トノ差ノ最低ト最高トノ差ノ最高ト最低トノ差ノ最高

業倉庫業者ニ之ヲ準用ス但シ同條中道知事トアルハ朝鮮總督トス

附　則

本令ハ朝鮮農業倉庫業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則(昭和十三年二月總令第十九號)

本令ハ昭和十三年二月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮農業倉庫業令第二條第二項ノ物品指定

昭和六年九月
總督令第四百十八號
改正　昭和一二年七月令第一七號

朝鮮農業倉庫業令第二條第二項ノ物品ヲ左ノ通指定ス

大麥、小麥、裸麥、燕麥、大豆、小豆、粟、玉蜀黍、蜀黍、黍、蕎麥、胡麻、繭、蠶蛹、綿、麻苧、麻屑、繰綿、種子、肥料

●移出米穀倉庫營業補助規則

昭和六年十一月
總令第百四十九號

移出米穀倉庫營業補助規則左ノ通定ム

移出米穀倉庫營業補助規則

第一條　倉庫營業者ニシテ移出セラルベキ米穀ノ保管ヲ目的トスルモノニ對シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍內ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ノ額ハ左ニ揭グル費用ノ六割以內トス

一　倉庫及附屬建物ノ新築、增築、改築、移築、買入又ハ借入ニ要スル費用

二　倉庫營業總督ニ要スル敷地ノ買入又ハ借入ニ要スル費用

三　附屬設備ニ要スル費用

第三條　補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ揭グル書類ヲ添附シ政府ノ命ズル年度開始ノ一月前迄ニ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ特別ノ事情アリト認ムルトキハ期限經過後ト雖モ之ヲ受理スルコトアルベシ

一　本店及支店其ノ他ノ營業所ノ所在地ヲ記載シタル書面

二　定款又ハ組合規約及營業規則

三　最近ノ營業狀況報告書

四　營業ニ付決議ヲ要スルモノニ在リテハ之ヲ證スル書面

五　倉庫及附屬建物ノ位置、棟數、建坪、收容力及構造概要竝ニ敷地ノ面積ヲ記載シタル書面

六　借入倉庫ニ在リテハ其ノ借入ニ關スル契約書ノ謄本

七　事業計畫書

八　新築又ハ移築ニシテ其ノ倉庫及附屬建物ノ豫定地、增築改築買入又ハ借入ニシテ其ノ倉庫及附屬建物ノ所在地竝ニ其ノ附近地ノ略圖

九　新築、增築、改築、移築、買入又ハ借入ニシテ其ノ倉庫及附屬建物ノ棟數、建坪、收容力及敷地ノ面積ヲ記載シタル書面竝ニ工事設計書又ハ構造概要書

十　買入又ハ借入ニシテ其ノ倉庫及附屬建物ノ所有者其ノ他ノ權利者ノ住所氏名及契約ニシテ其ノ敷地ノ概要ヲ記載シタル書面

十一　附屬設備ニ關スル事項ヲ記載シタル書面

十二　工事費、買收費又ハ借庫料ノ概算書及三年間ノ各年度別收支概算見込書

十三　工事ノ着手及竣功又ハ倉庫及附屬建物ノ敷地ノ買入若ハ借入ノ豫定年月日ヲ記載シタル書面

第四條　朝鮮總督前條ノ申請書ヲ受理シ補助金ヲ交付スベキモノト認メタルトキハ補助金額、補助金交付ノ方法其ノ他ノ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

第五條　補助金ヲ受クル者ハ工事ノ竣功又ハ倉庫及附屬建物若ハ敷地ノ買入若ハ借入ノ終了後一月內ニ費用額算書ヲ朝鮮總督ニ提出シ補助金ノ交付ヲ請求スベシ

第六條　補助金ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケベシ

一　營業所ヲ新設シ又ハ其ノ所在地ヲ變更シ又ハ營業ヲ休止シ若ハ廢止シタルトキ

二　第三條第二號、第五號乃至第十三號ニ揭グル事項ニ重大ナル變更ヲ加ヘントスルトキ

三　利益金ノ處分ヲ爲サントスルトキ

四　營業ヲ讓渡セントスルトキ

五　他ノ法人ト合併セントスルトキ

第七條　朝鮮總督前條第二號ノ認可ヲ爲スニ際シテハ其ノ變更ノ程度ニ應ジ補助金額又ハ補助金交付ノ方法其ノ他ノ條件ヲ變更スルコトアルベシ

第八條　相續又ハ第六條第四號若ハ第五號ノ規定ニ依リ營業ノ承繼アリタル場合ニ於テハ其ノ營業ヲ承繼シタル者ヲ以テ補助金ヲ受クル者ト看做ス

第九條　工事竣功シ又ハ倉庫及附屬建物若ハ敷地ノ買入若ハ借入ヲ了シタルトキハ檢査ヲ行フ

第十條　費用精算額ヲ補助金額算出ノ基礎トシ爲シタル費用額ニ比シ增減アリタルトキハ其ノ增減ノ程度ニ應ジ補助金額ヲ變更スルコトアルベシ

第十一條　第六條第三號ノ規定ニ依ル利益金處分ノ認可申請書ニハ左ニ揭グル書類ヲ添附スベシ

一　財產目錄

二　貸借對照表

三　營業報告書

四　損益計算書

五　利益金處分案

認可ヲ受ケントスル者株式會社ナルトキハ定時總會開會前ニ前項ノ規定ニ依リ認可申請書ヲ提出スベシ

第十二條　補助金ヲ受ケル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　補助金ヲ受ケル者ニ工事ノ竣功シタルトキ

二　倉庫及附屬建物又ハ敷地ノ買入又ハ借入ヲ了シタルトキ

三　營業ヲ開始シタルトキ(休止シタル營業ヲ開始シタル場合ヲ含ム)

四　相續ニ依リ營業ヲ承繼シタルトキ

五　營業規則ヲ除ク外營業ニ關スル規程ヲ設ケ又ハ之ヲ變更若ハ廢止シタルトキ

第十三條　補助金ヲ受ケル者營業ヲ休止又ハ廢止セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十四條　補助金ヲ受ケル者ハ移出セラルベキ米穀ノ保管ニ支障ナキ場合ニ非ザレバ他ノ物品ノ保管ヲ爲スコトヲ得ズ

第十五條　補助金ヲ受ケル者ハ每營業年度終了後三月內ニ利益金處分明細書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十六條　朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ補助金ヲ受ケル者ニ對シ其ノ指定スル穀物ノ寄託ヲ受ケ、受寄物ノ檢查其ノ他ノ行爲ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトアルベシ

第十七條　朝鮮總督ハ補助金ヲ受ケル者ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ倉庫、書類、帳簿又ハ業務執行若ハ財產ノ狀況ヲ檢查シ營業規則ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル處分ヲ爲スコトアルベシ

第十八條　補助金ヲ受ケル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ補助金ノ全部若ハ一部ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ

二　工事竣功ノ見込ナキニ至リタルトキ

三　倉庫及附屬建物又ハ敷地ノ買入又ハ借入ヲ爲サザルニ至リタルトキ

四　營業ノ全部又ハ一部ヲ休止又ハ廢止シタルトキ

五　前條ノ規定ニ依ル檢查ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ

六　昨獄其ノ他不正ノ手段ヲ以テ補助金交付ノ指令ヲ受ケ又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ニ規定スル補助金交付ノ申請期限ハ昭和六年度ニ限リ十二月末日迄トス

第四款　害蟲驅除豫防

●害蟲驅除豫防規則

大正二年一月
總令第一號

害蟲驅除豫防規則左ノ通定ム

害蟲驅除豫防規則

第一條　本規則ニ於テ害蟲ト稱スルハ農作物ヲ害スル各種ノ蟲類ヲ謂フ

第二條　驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法ハ之ヲ告示ス

前項ノ種類以外ノ害蟲發生シ急遽ノ處分ヲ要スルトキハ地方長官ハ臨時驅除豫防ノ方法ヲ定メ之ヲ施行スルコトヲ得

第三條　田、畝其ノ他ノ地ノ耕作人又ハ所有者ニ於テ害蟲其ノ地ニ發生シ又ハ發生ノ虞アルコトヲ知リタルトキハ直ニ口頭又ハ書面ヲ以テ面長ニ屆出ツヘシ

前項ノ屆出ヲ受ケタル面長ハ府尹又ハ郡守ニ、府尹又ハ郡守ハ地方長官ニ急報スヘシ

第四條　害蟲田、畝ニ發生シ又ハ發生ノ虞アルトキハ該田、畝ノ耕作人又ハ所有者ハ地方長官ノ命ズル所ニ依リ其ノ費用ヲ徵收スルコトヲ得

第五條　害蟲田、畝ニ蔓延シタルトキ若ハ蔓延ノ虞アルトキ又ハ害蟲田、畝以外ノ地ニ發生シタルトキ若ハ發生ノ虞アルトキハ地方長官ハ地方費ヲ以テ一定區域內ノ驅除豫防ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ田、畝及其ノ以外ノ地ノ耕作人又ハ所有者ニ賦課スルコトヲ得

第六條　地方長官ハ驅除豫防ノ爲必要アルトキハ巢滯ヲ設ケ又ハ農作物、樹木、藁稈、刈株、雜草ヲ拔棄、燒棄若ハ埋沒スルコトヲ得

第七條　土地所有者、管理者又ハ使用者ハ官吏及其ノ指揮ヲ承ケル者ノ其ノ地ニ入リ驅除豫防ニ從事スルヲ拒ムコトヲ得ス

第八條　害蟲發生若ハ發生ノ虞アルトキ又ハ蔓延シ若ハ蔓延ノ虞アルトキハ地方長官又ハ直ニ報告スヘシ

第九條　害蟲發生若ハ蔓延ノ虞アルトキハ地方長官ニ急報スヘシ

第十條　害蟲二道以上ニ跨リ蔓延シタルトキ若ハ蔓延ノ虞アルトキハ關係地方長官ハ驅除豫防ノ方法及施行區域ヲ協定シ驅除豫防ヲ行フヘシ

第十一條　地方長官ハ第二條第二項、第四條第一項及第五條ノ驅除豫防ノ準手及終了ヲ其ノ都度報告スヘシ

第十二條　第三條第一項ノ屆出ヲ爲ササル者、第四條第一項ノ驅除豫防ヲ行ハサル者又ハ第七條ニ依レル官吏若ハ其ノ指揮ヲ承ケル者ノ行爲ヲ妨害スル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ大正二年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●害蟲驅除豫防規則第二條第一項ニ依リ驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法

大正二年二月一日
總告第九號
改正　大正六年三月三日、昭和五年九月三日

害蟲驅除豫防規則第二條第一項ニ依リ驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法左ノ通定ム

第一　害蟲ノ種類

一　浮塵子(ウンカ)　主ナル被害作物　稻

一　蝽(カメムシ)蟲　同

一　夜盜蟲(ヤガムシ)　同

一　綿蟲(ワタガラ)　同

一　發蛾蟲(ハマキガ)　同　栗、蕎麥

一　介殼蟲(カイガラムシ)　同　苹果樹

一　浮塵子　方言蝗(ハンヒ)虫(ヨコ)　稻

一　蝽蟲　方言蝽虫(ヨコ)　雜植物

一　同　同

一　同　方言吉丁(キチヤウ)蟲　苹果樹

一　同　方言滅口(メルキヤウ)蟲　同

第二　驅除豫防ノ方法

一　浮塵子

(一)　畦ニ水ヲ湛ヘ一段歩一升以上ノ割合ニテ石油(魚油、荏油、豆油ノ類ニテモ可ナリ以下同シ)ヲ滴下シ藁箒ノ類ニテ叮嚀ニ油水ヲ稻株ニ灌キ掛ケ蟲ヲ水面ニ拂ヒ落シテ驅殺スヘシ

(二)　灌水缺乏ノ畓(畓面ニ少量ノ水アル場合)ニ於テハ九尺以內ノ距離ニ細溝ヲ設ケ水ヲ溝中ニ湛ヘ溝路十間ニ付石油一合五勺以上ノ割合ニテ滴下シ油水ヲ稻株ニ灌キ掛ケ蟲ヲ洗ヒ落シテ驅殺スヘシ

(三)　水ナキ畓又ハ陸稻田ニ於テハ捕蟲網ヲ用キテ捕殺シ或ハ適宜ノ受蟲器ニ少量ノ石油ヲ容レ之ニ蟲ヲ拂ヒ落スヘシ

一　蝽蟲

苗代ニテ探卵ヲ行ヒ且成蝽ヲ捕殺スヘシ

(一)　白穗ノ現ハルル際ニ根際ヨリ摘取リ一定ノ場所ニ集メテ燒却スルカ或ハ堆肥ニ積ムカ或ハ深キ穴ヲ掘リ埋沒シテ害蟲ノ散逸ヲ防クヘシ

(二)　被害莖シキ者ニ在リテハ收穫ノ際成ルヘク低ク刈取リ其ノ藁ハ他ノモノト區分シ置キ屋根葺等ニ使用スルコトナク燃料ニ供スヘシ

一　夜盜蟲

(一)　被害田ノ周圍又ハ田中各處ニ朝五寸位深一尺位ノ細溝ヲ設ケ幼蟲ノ際落セルモノヲ壓殺スヘシ

(二)　早朝又ハ夜間ニ葉上ノ幼蟲ヲ受蟲器ヲ用キテ捕殺スヘシ

一　綿蟲

(一)　發芽前ニハ石油乳劑(石油二升、水五合ヲ加ヘ攪拌シテ製スルモノニシテ其ノ使用ニ當リテハ水ニ十倍乃至二十倍ヲ加フルヲ要ス)ニ五倍液乃至十倍液ヲ枝幹ニ塗抹シ發芽後ニハ石油乳劑ノ十倍液乃至十五倍液ヲ被害部ニ塗抹又ハ灌注スヘシ

(二)　根部被害ノ場合ニハ掘取燒却シ其ノ跡ニハ苹果樹ヲ栽植スヘカラス

(三)　被害甚シキ樹ハ之ヲ掘取燒却スルカ或ハ其ノ枝ヲ剪取燒却又ハ發芽前青酸瓦斯ノ燻蒸ヲ行フヘシ

一　介殼蟲

(一)　發芽前ニハ石灰硫黃合劑(生石灰百匁、硫黃百匁、水一斗ヲ以テ煮沸シ硫黃ヲ溶解シ一斗ニ百匁ト水一斗ヲ以テ煮沸シ生石灰ヲ溶解シ二斗ニ百匁ト水一斗ヲ以テ煮沸シ硫黃ヲ溶解シ一斗ニ百匁ノ割合ニテ混合シ煮沸スルモノトス)ノ原液ヲ比重四度乃至四度半液又ハ石油乳劑ノ五倍液乃至十倍液ヲ枝幹ニ灌注又ハ塗抹シ發芽後ニハ石油乳劑ノ十倍液乃至十五倍液ヲ被害部ニ塗抹又ハ灌注スヘシ

(二)　被害甚シキ樹ハ之ヲ掘取燒却スルカ或ハ其ノ枝ヲ剪取燒却又ハ發芽前青酸瓦斯ノ燻蒸ヲ行フヘシ

一　黑金龜子

夜間成蟲來襲ノ際ヲ見計ラヒ適宜ノ受蟲器ヲ樹下ニ置キ拂ヒ落シテ石油又ハ熱湯ヲ注キ殺スヘシ

一　果蠹蟲

(一)　袋掛方法ニ依リ果蠹蟲ノ果實中ニ噴入スルヲ防止スヘシ

(二)　藥劑ハ硫酸鉛、硫酸ニコチン、ネオトン、デリス石鹼液ヲ使用シ時期ニ應シ適宜之ヲ薄ク噴霧器ヲ以テ撒布スベシ

第五款　肥料

●朝鮮肥料取締令

昭和二年九月
制令第十四號

朝鮮肥料取締令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮肥料取締令

第一條　肥料ノ取締ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外肥料取締法ニ依ル但シ同法第五條及第十一條第二號ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

肥料取締法中主務大臣トアルハ朝鮮總督トシ

第二條　朝鮮總督ハ肥料營業者ヲ除クノ外自家用ニ非ザル肥料ノ製造、輸入、移入又ハ賣買ヲ爲ス者ニ對シ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ本令ノ全部又ハ一部ヲ適用スルコトヲ得

第三百五十一條 肥料ノ種類ハ左ノ如シ

一 人糞尿
二 厩肥
三 下水汚泥
四 塵芥
五 灰
六 木炭粉
七 骨粉
八 魚肥
九 油粕
十 大豆粕
十一 種粕
十二 藁灰
十三 石灰
十四 過燐酸石灰
十五 硫酸アンモニア
十六 硫酸アンモニア石灰
十七 硫酸加里
十八 硝酸加里
十九 硝酸ソーダ
二十 塩化加里
二十一 硫酸苦土
二十二 苦土石灰
二十三 過燐酸苦土
二十四 苦土過燐酸石灰
二十五 苦土過燐酸加里
二十六 苦土過燐酸石灰加里
二十七 苦土過燐酸アンモニア
二十八 苦土過燐酸アンモニア石灰
二十九 苦土過燐酸アンモニア加里
三十 苦土過燐酸アンモニア石灰加里
三十一 硫酸苦土
三十二 硫酸苦土加里
三十三 硫酸苦土アンモニア
三十四 硫酸苦土アンモニア加里
三十五 硫酸苦土石灰
三十六 硫酸苦土石灰加里
三十七 硫酸苦土アンモニア石灰
三十八 硫酸苦土アンモニア石灰加里
三十九 硫酸マンガン
四十 硫酸マンガン加里
四十一 硫酸マンガン石灰
四十二 硫酸マンガン石灰加里
四十三 硫酸マンガンアンモニア
四十四 硫酸マンガンアンモニア加里
四十五 硫酸マンガンアンモニア石灰
四十六 硫酸マンガンアンモニア石灰加里
四十七 硫酸亜鉛
四十八 硫酸亜鉛加里
四十九 硫酸亜鉛石灰
五十 硫酸亜鉛石灰加里
五十一 硫酸亜鉛アンモニア
五十二 硫酸亜鉛アンモニア加里
五十三 硫酸亜鉛アンモニア石灰
五十四 硫酸亜鉛アンモニア石灰加里
五十五 硫酸銅
五十六 硫酸銅加里
五十七 硫酸銅石灰
五十八 硫酸銅石灰加里
五十九 硫酸銅アンモニア
六十 硫酸銅アンモニア加里
六十一 硫酸銅アンモニア石灰
六十二 硫酸銅アンモニア石灰加里
六十三 硫酸鉄
六十四 硫酸鉄加里
六十五 硫酸鉄石灰
六十六 硫酸鉄石灰加里
六十七 硫酸鉄アンモニア
六十八 硫酸鉄アンモニア加里
六十九 硫酸鉄アンモニア石灰
七十 硫酸鉄アンモニア石灰加里
七十一 硫酸ニッケル
七十二 硫酸ニッケル加里
七十三 硫酸ニッケル石灰
七十四 硫酸ニッケル石灰加里
七十五 硫酸ニッケルアンモニア
七十六 硫酸ニッケルアンモニア加里
七十七 硫酸ニッケルアンモニア石灰
七十八 硫酸ニッケルアンモニア石灰加里
七十九 硫酸コバルト
八十 硫酸コバルト加里
八十一 硫酸コバルト石灰
八十二 硫酸コバルト石灰加里
八十三 硫酸コバルトアンモニア
八十四 硫酸コバルトアンモニア加里
八十五 硫酸コバルトアンモニア石灰
八十六 硫酸コバルトアンモニア石灰加里
八十七 硫酸ニッケルコバルト
八十八 硫酸ニッケルコバルト加里
八十九 硫酸ニッケルコバルト石灰
九十 硫酸ニッケルコバルト石灰加里
九十一 硫酸ニッケルコバルトアンモニア
九十二 硫酸ニッケルコバルトアンモニア加里
九十三 硫酸ニッケルコバルトアンモニア石灰
九十四 硫酸ニッケルコバルトアンモニア石灰加里
九十五 硫酸ニッケルコバルト亜鉛
九十六 硫酸ニッケルコバルト亜鉛加里
九十七 硫酸ニッケルコバルト亜鉛石灰
九十八 硫酸ニッケルコバルト亜鉛石灰加里
九十九 硫酸ニッケルコバルト亜鉛アンモニア
百 硫酸ニッケルコバルト亜鉛アンモニア加里
百一 硫酸ニッケルコバルト亜鉛アンモニア石灰
百二 硫酸ニッケルコバルト亜鉛アンモニア石灰加里
百三 硫酸ニッケルコバルト銅
百四 硫酸ニッケルコバルト銅加里
百五 硫酸ニッケルコバルト銅石灰
百六 硫酸ニッケルコバルト銅石灰加里
百七 硫酸ニッケルコバルト銅アンモニア
百八 硫酸ニッケルコバルト銅アンモニア加里
百九 硫酸ニッケルコバルト銅アンモニア石灰
百十 硫酸ニッケルコバルト銅アンモニア石灰加里
百十一 硫酸ニッケルコバルト鉄
百十二 硫酸ニッケルコバルト鉄加里
百十三 硫酸ニッケルコバルト鉄石灰
百十四 硫酸ニッケルコバルト鉄石灰加里
百十五 硫酸ニッケルコバルト鉄アンモニア
百十六 硫酸ニッケルコバルト鉄アンモニア加里
百十七 硫酸ニッケルコバルト鉄アンモニア石灰
百十八 硫酸ニッケルコバルト鉄アンモニア石灰加里
百十九 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛
百二十 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛加里
百二十一 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛石灰
百二十二 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛石灰加里
百二十三 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛アンモニア
百二十四 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛アンモニア加里
百二十五 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛アンモニア石灰
百二十六 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛アンモニア石灰加里
百二十七 硫酸ニッケルコバルト銅亜鉛
百二十八 硫酸ニッケルコバルト銅亜鉛加里
百二十九 硫酸ニッケルコバルト銅亜鉛石灰
百三十 硫酸ニッケルコバルト銅亜鉛石灰加里
百三十一 硫酸ニッケルコバルト銅亜鉛アンモニア
百三十二 硫酸ニッケルコバルト銅亜鉛アンモニア加里
百三十三 硫酸ニッケルコバルト銅亜鉛アンモニア石灰
百三十四 硫酸ニッケルコバルト銅亜鉛アンモニア石灰加里
百三十五 硫酸ニッケルコバルト鉄銅
百三十六 硫酸ニッケルコバルト鉄銅加里
百三十七 硫酸ニッケルコバルト鉄銅石灰
百三十八 硫酸ニッケルコバルト鉄銅石灰加里
百三十九 硫酸ニッケルコバルト鉄銅アンモニア
百四十 硫酸ニッケルコバルト鉄銅アンモニア加里
百四十一 硫酸ニッケルコバルト鉄銅アンモニア石灰
百四十二 硫酸ニッケルコバルト鉄銅アンモニア石灰加里
百四十三 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛
百四十四 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛加里
百四十五 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛石灰
百四十六 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛石灰加里
百四十七 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛アンモニア
百四十八 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛アンモニア加里
百四十九 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛アンモニア石灰
百五十 硫酸ニッケルコバルト鉄亜鉛アンモニア石灰加里

第三百五十二條 肥料ノ種類ニ依リ其ノ成分ノ含有量ニ著シキ差異アルトキハ其ノ種類ニ依リ之ヲ区別シテ販売スルコトヲ得

第三百五十三條 肥料ニ関スル取締ニ付テハ本款ノ規定ニ依ルノ外農業ニ関スル法律ニ定ムル所ニ依ル

第十七條　保證票ニハ前條ニ規定スル事項、肥料ノ正味量、商標及商號ヲ除クノ外他ノ事項ヲ記載スルコトヲ得ズ但シ前條第二項第三號ヲ以テ拘束セラレザル肥料ニシテ水ニ溶解セズシテ枸櫞酸「アンモニア」液ニ溶解スル燐酸ノ量百分ノ一以上ヲ含有スルモノニ在リテハ其ノ最少量ヲ記載スルコトヲ妨ゲズ

第十八條　當該官吏カ檢查ノ爲必要ナル肥料又ハ製造原料ヲ收去セントスルトキハ其ノ肥料又ハ製造原料所在ノ場所ノ所有者、借主若ハ管理者、從業者、同居者又ハ隣佑ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スベシ

收去シタル肥料又ハ製造原料ハ之ヲ容器ニ密封シ之ニ肥料又ハ製造原料ノ名稱、肥料營業者ノ氏名竝收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏及立會人之ニ署名封印セシメ立會人署名封印セザルトキハ其ノ旨附記スベシ

第十九條　朝鮮肥料取締令第三條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル臨檢、捜索、質問及差押ニ關シテハ朝鮮關稅犯則者處分施行規則第二條乃至第五條、第八條及第十三條ノ規定ヲ準用ス

第二十條　肥料營業者カ肥料ヲ輸入若ハ移入シタルトキ又ハ輸入地若ハ移入地ニ於テ輸入若ハ移入ノ肥料ノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ陸揚又ハ荷卸後遲滯ナク肥料ノ名稱、數量、仕入先竝陸揚又ハ荷卸ノ場所及年月日ヲ陸揚又ハ荷卸地ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

第二十一條　肥料營業者ハ各營業所ニ根簿ヲ備ヘ肥料ヲ讓受ケ又ハ肥料營業者ニ之ヲ讓渡ス毎ニ其ノ名稱、數量、價額、年月日竝相手方ノ氏名及住所（住所ニ在リテハ其ノ所在地）ヲ記載スベシ

肥料製造營業者ハ前項ノ外其ノ製造場ニ帳簿ヲ備ヘ肥料ヲ製造スル毎ニ其ノ名稱、數量及年月日ヲ記載スベシ

前二項ノ規簿ハ之ニ最終ノ記載ヲ爲シタル日ヨリ二年以上之ヲ保存スベシ

第二十二條　肥料製造營業者ハ各製造場ニ於テ前年中ニ製造シタル肥料ニ付名稱別ノ數量及價額ヲ每年二月末日迄ニ其ノ製造場所在ノ場所ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

本令ハ朝鮮肥料取締令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ製造、輸入又ハ移入シタル肥料ヲ所有スル者ニシテ肥料取締法第二條ニ規定スル肥料ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ本令施行ノ日ヨリ一月以内ニ肥料ノ名稱及數量ヲ肥料所在ノ場所ヲ管轄スル道知事ニ届出ヅベシ

本令ニ依リ保證票ノ添附ヲ要スルモノニ在リテハ尙之ヲ添附

ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

朝鮮總督監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ肥料製造業者ノ事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務及財産ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第三條第一項ノ規定ニ違反シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケズシテ統制協定ヲ爲シ又ハ之ヲ變更シタル者

二　正當ノ事由ナクシテ第三條第二項又ハ同條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

三　第四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四　第五條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シ肥料ノ輸出又ハ輸入ヲ爲シタル者

前項第四號ノ場合ニ於テハ其ノ肥料ハ之ヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵スルコトヲ得

第八條　正當ノ事由ナクシテ第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ其ノ他朝鮮總督ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條　當該官吏又ハ其ノ職ニ在リタル者本令ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル個人又ハ法人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

職務上前項ノ秘密ヲ知得シタル他ノ公務員又ハ公務員タリシ者其ノ秘密ヲ漏洩シ又ハ竊用シタルトキ亦前項ニ同シ

第十條　肥料製造業者其ノ他肥料ニ關スル業ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ヲ其ノ業務ニ關シ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十一條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和十二年總令第十三號ヲ以テ昭和十二年三月十日ヨリ施行）

●朝鮮重要肥料業統制令施行規則

昭和十二年三月
總令第十四號

朝鮮重要肥料業統制令施行規則左ノ通定ム

朝鮮重要肥料業統制令施行規則

第一條　朝鮮重要肥料業統制令（以下單ニ重要肥料業統制令トイフ）第二條第一項ノ肥料ノ種類ハ左ニ揭グルモノトス

一　硫酸アンモニア

二　石灰窒素

三　過燐酸石灰（重過燐酸石灰ヲ含ム）

硫酸アンモニア八割以上含有スル肥料ハ重要肥料業統制令中輸出又ハ輸入ニ關スル規定ノ適用ニ付テハ之ヲ前項第一號ノ肥料ト看做ス

第二條　重要肥料業統制令第二條第二項ノ肥料製造業ハ前條第一項各號ノ一ニ該當スル肥料ヲ製造スル事業トス但シ副產物トシテ硫酸アンモニアヲ製造スル事業ニシテ其ノ製造數量常時月額千噸ニ達セザルモノヲ除ク

第三條　肥料製造業者ハ事業ヲ開始シタル後一月以內ニ左ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　氏名及住所（法人ニ在リテハ名稱、事務所ノ所在地、定款竝ニ役員ノ氏名及住所）

二　當該肥料ノ製造工場ノ所在地、製造方法及一年間ノ工場別製造能力

三　當該肥料ノ販賣方法

四　兼營事業又ハ附帶事業ノ概要

肥料製造業者事業開始後前項第四號ノ事業ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第一項各號ニ揭グル事項ニ變更アリタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四條　肥料製造業者重要肥料業統制令第三條第一項ノ許可ヲ受ケントスルトキハ協定事項及統制ノ組織又ハ變更セントスル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

前項ノ許可申請書ニハ統制協定又ハ其ノ變更ヲ必要トスル事由ヲ記載シタル書面、統制協定又ハ其ノ變更ヲ證スル書面及協定事項ノ基礎ヲ明ニスル書面ヲ添附スベシ

第五條　肥料製造業者重要肥料業統制令第三條第二項ノ命令ニ依リ統制協定ヲ爲シタルトキハ其ノ實施前豫メ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ協定事項及統制ノ組織ヲ記載シタル書面、統制協定ヲ證スル書面竝ニ協定事項ノ基礎

ヲ明ニスル書面ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

肥料製造業者ハ第一項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ承認ヲ受クルニ非ザレバ其ノ協定ニ基キ肥料ノ生產、販賣等ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第六條　肥料製造業者重要肥料業統制令第三條第三項ノ命令ニ依リ統制協定ノ全部又ハ一部ノ變更又ハ取消ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第七條　肥料製造業者ハ每年六月末日迄ニ其ノ年八月一日ヨリ翌年七月末日迄ノ間ニ於ケル月別製造豫定數量ヲ定メ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ月別豫定數量ヲ變更セントスルトキハ其ノ實施期日ノ一月前迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

前二項ニ規定スル期日及期間ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ之ヲ變更スルコトヲ得

第一項及第二項ノ届書ニハ當該期間內ニ於ケル需給推算其ノ他月別製造豫定數量ノ決定又ハ其ノ變更ニ關スル基礎資料及說明書ヲ添附スベシ

第八條　肥料製造業者ハ肥料ノ販賣ニ關シ左ニ揭グル事項ヲ定メ其ノ實施期日ハ一月前迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

一　受渡月別ノ包裝物一箇當朝鮮內各驛著渡貨込價格（第一條第一項第三號ノ肥料ニ付テハ工場渡價格ニ依ルコトヲ得）及撒物一駄當工場渡價格

二　前號ノ價格ヲ以テ行フ取引條件（入日又ハ增日代金決濟方法等）

三　特別ノ事由ニ因リ前二號ノ販賣條件ト異ル販賣條件ニ依ル取引ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ販賣價格及取引條件

四　第一號又ハ第三號ノ價格中ニ算入セラレタル割戻手數料ノ額竝ニ第一號又ハ第三號ノ價格中ニ包裝費、出荷費又ハ運賃諸掛ヲ含ムモノニ在リテハ各其ノ額

五　實施期日

六　實施期間

第九條　肥料製造業者ハ每年六月末日及十二月末日ニ於ケル業務ノ狀況ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

肥料製造業者ハ每督業期ニ於ケル業務ノ狀況ヲ其ノ營業別經過後遲滯ナク朝鮮總督ニ報告スベシ

肥料製造業者ハ每督業期經過後遲滯ナク財產目錄、貸借對照表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十條　重要肥料業統制令第六條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

別記樣式

表

第　號

朝鮮重要肥料業統制令第六條第二項ノ證票

官職氏名

年　月　日交付

朝鮮總督府印

裏

朝鮮重要肥料業統制令摘要

第六條第二項　朝鮮總督監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ肥料製造業者ノ事務所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務及財產ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第八條　正當ノ事由ナクシテ第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ檢查ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ其ノ他朝鮮總督ノ命令又ハ處分ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條　第五條第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ昭和十二年三月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ肥料製造業ヲ營ム者ハ本令施行ノ日ヨリ十日以內ニ左ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　本令施行ノ日ヨリ昭和十二年七月末日迄ノ間ニ於ケル當該肥料ノ月別製造豫定數量

二　第三條第一項各號及第八條第一項各號ニ揭グル事項

第七條第二項、同條第四項、第八條第一項後段及同條第二項ノ規定ハ前項ノ届出ニ付之ヲ準用ス

●朝鮮臨時肥料配給統制令

昭和十二年十二月
制令第十八號

朝鮮臨時肥料配給統制令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮臨時肥料配給統制令

第一條　朝鮮總督ハ支那事變ニ關聯シ肥料ノ需給ノ調濟及價格ノ公正ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ肥料ノ販賣、使用、消費、移動又ハ輸出入ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二條　朝鮮總督又ハ道知事必要アリト認ムルトキハ肥料ノ製造、取引、保管又ハ運送ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ爲ス命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第三條　本令ノ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　第一條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五條　肥料製造業者其ノ他肥料ニ關スル業ヲ爲ス者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ爲ス命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得

第六條　本令ノ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和十三年一月總令第五號ヲ以テ昭和十三年一月十五日ヨリ施行）

本令ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス

●朝鮮臨時肥料配給統制令

第二條第二項ノ證票

昭和十三年一月
總令　第六號

朝鮮臨時肥料配給統制令第二條第二項ノ證票ヲ別記樣式ノ通定ム

（別記樣式）

第　號　　年　月　日交付

朝鮮臨時肥料配給統制令第二條第二項ノ證票

官職　氏　名　朝鮮總督府（道）印

縦九糎横十二糎中央線ノ所ヨリ二ツ折トス

附　則

本令ハ昭和十三年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●硫酸アンモニア輸出入許可規則

昭和十二年三月
總令第十五號

硫酸アンモニア輸出入許可規則左ノ通定ム

硫酸アンモニア輸出入許可規則

第一條　硫酸アンモニアハ朝鮮重要肥料業統制令第五條ノ規定ニ依リ昭和十三年十二月三十一日迄ノ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸出シ又ハ輸入スルコトヲ得ズ但シ帝國法令ニ依リ設立シタル會社ノ製造ニ係ル硫酸アンモニアヲ輸入スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　硫酸アンモニアノ輸出ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　數量
二　輸出地
三　仕向港及仕向地
四　輸出時期
五　製造者ノ氏名又ハ名稱

朝鮮重要肥料業統制令施行規則第一條第二項ノ肥料ノ輸出ノ許可ヲ申請スル場合ニ於テハ前項ニ揭グル事項ノ外輸出許可申請書ニ肥料ノ名稱及硫酸アンモニアヲ含有スル割合ヲ記載シ尙前項第一號ノ數量ハ肥料ノ名稱別ニ之ヲ記載スベシ

第三條　硫酸アンモニアノ輸入ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル輸入許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　數量
二　積出地
三　輸入地
四　積出時期
五　輸入時期
六　製造地

前條第二項ノ規定ハ朝鮮重要肥料業統制令施行規則第一條第二項ノ肥料ノ輸入ノ許可ヲ申請スル場合之ヲ準用ス

第四條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ第二條ノ輸出許可申請書又ハ前條ノ輸入許可申請書ノ提出時期ヲ指定スルコトアルベシ

前項ノ指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第五條　朝鮮總督硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ヲ許可スルトキハ輸出ノ場合ニ在リテハ輸出ノ期間ヲ、輸入ノ場合ニ在リテハ積出及輸入ノ期間ヲ指定ス

朝鮮總督ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限リ前項ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトアルベシ

硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者前二項ノ期間内ニ輸出又ハ積出若ハ輸入ヲ爲サザルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第六條　硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者第二條第一項第一號若ハ第三號又ハ第三條第一項第一號若ハ第二號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ許可ヲ受ケベシ

第七條　硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者輸出地又ハ輸入地ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第八條　硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者ハ輸出又ハ輸入ヲ爲ス場合ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸出許可書又ハ輸入許可書ヲ輸出又ハ輸入ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

第九條　硫酸アンモニアノ輸入ノ許可ヲ受ケタル者ハ硫酸アンモニアノ積出アリタルトキハ其ノ都度遲滯ナク積出ノ數量、積出地、船名又ハ列車番號及載出ノ年月日ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第十條　硫酸アンモニアノ輸出又ハ輸入ノ許可ヲ受ケタル者輸出又ハ輸入ヲ爲ス場合ニ於テハ前項第一號ノ數量ハ同第二號ノ數量及價額ハ肥料ノ名稱別ニ之ヲ記載スベシ

第十一條　第一條但書ノ規定ニ依リ硫酸アンモニアヲ輸入セントスル者ハ當該硫酸アンモニアガ帝國法令ニ依リ設立シタル會社ノ製造ニ係ルモノナルコトヲ證スル書面ヲ輸入ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

前項ノ證明書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル當該硫酸アンモニアノ製造地ノ帝國領事館其ノ他ノ帝國官廳ノ證明アルコトヲ要ス

一　輸入者ノ氏名又ハ名稱及住所
二　數量
三　製造シタル會社ノ商號及本店ノ所在地
四　製造地
五　積出地及積出時期
六　輸入地

第十二條　第一條但書ノ規定ニ依リ硫酸アンモニアノ輸入ヲ爲シタル者ハ輸入ノ都度遲滯ナク左ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　數量及價額
二　製造シタル會社ノ商號及本店ノ所在地
三　製造地
四　輸入地
五　輸入ノ年月日

第十三條　硫酸アンモニアノ移出又ハ移入ヲ爲シタル者ハ移出又ハ移入ノ都度遲滯ナク其ノ數量、移出港又ハ移入港、仕向港又ハ積出港及移出又ハ移入ノ年月日ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第十四條　第七條、第九條、第十條、第十一條、前條又ハ附則第三項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ場合ニ於テ之ヲ爲サズ又ハ不實ノ届出ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前輸出ノ目的ヲ以テ既ニ賣買契約（國內取引ヲ除ク）ヲ爲シタル硫酸アンモニアヲ昭和十二年四月十五日迄ニ輸出スル場合又ハ本令施行ノ際現ニ保稅地域ニ在ル硫酸アンモニア若ハ朝鮮ニ向ケ輸送ノ途ニ在ル硫酸アンモニアヲ輸入スル場合ニ於テ本令施行後十五日以內ニ第二條又ハ第三條ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ届出テタル者ハ第一條ノ規定ニ拘ラズ輸入ヲ爲スコトヲ得

第十五條　本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

後十五日以內ニ第十一條第二項各號ニ揭グル事項ヲ朝鮮總督ニ届出テタル場合ニ於テハ第十一條第一項ノ規定ニ拘ラズ輸入ヲ爲スコトヲ得

第六款　米穀

●米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

昭和八年十月
勅令第二百七十九號

朕米穀統制法ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

米穀統制法第九條及第十二條竝ニ附則第三項及第四項ノ規定ハ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附　則

本令ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●米穀統制法

昭和八年三月
法律第二十四號

改正　昭和一一年五月二三號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル米穀統制法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

米穀統制法

第一條　政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節シ米穀ノ統制ヲ圓ルガ爲本法ニ依リ米穀ノ買入及賣渡ヲ行フ

第二條　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ毎年米穀ノ最低價格及最高價格ヲ公定シ之ヲ告示ス

前項ノ最低價格及最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生產費、家計費及物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

政府ハ第一項ノ最低價格ノ決定ニ付テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ金利及保管料ヲ加算スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ定メラルル最低價格又ハ最高價格ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ物價ノ變動著シキ場合又ハ米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ若ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テハ之ヲ改定スルコトヲ得

第三條　政府ハ前條ノ最低價格又ハ最高價格ヲ維持スル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ最低價格ニ依ル賣渡ノ申込又ハ最高價格ニ依ル買入ノ申込ニ應ジテ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス

第四條　政府ハ道府縣ヨリ筑地域外ニ又ハ朝鮮若ハ臺灣ヨリ內地ニ移出スル米穀ノ數量ヲ月別平均的ナラシムル爲勅令ノ定ムル所ニ依リ出廻期ニ於テ米穀ノ買入ヲ爲シ出廻期後ニ於テ米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第四條ノ二　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ災害、事變其ノ他避クベカラザル事由アル場合ニ於テ米穀ノ配給上特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀ノ市價ニ惡影響ヲ及ボサザル場合ニ限リ所有米穀ノ總數量ヨリ最高價格第十條ノ規定ニ依リ賣渡ヲ爲スベキ數量ヲ控除シタル數量ノ範圍內ニ於テ道府縣ニ對シ米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第五條　政府ハ必要ニ應ジ所有米穀ノ貯藏、買換、委換、加工及整理ノ爲ニスル賣渡竝ニ輸入ヲ目的トスル米穀ノ買入及輸出ヲ目的トスル米穀ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

前項ノ買入又ハ賣渡ノ價格ハ時價ニ準據シテ之ヲ定ム

第六條　政府ハ米穀ノ買換ヲ爲サントスル場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ買換ニ代ヘ買換ノ爲賣渡ヲ爲サントスル米穀ヲ道府縣ニ對シ代付スルコトヲ得

第七條　米穀ノ輸入又ハ輸出ハ勅令ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外政府ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

政府ハ第一項ノ許可ヲ爲スニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ輸入シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ米穀、粟、高粱、黍、小麥又ハ小麥粉ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

營業者未成年者又ハ禁治產者ノトキハ前項ノ罰金ハ其ノ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第七條ノ規定又ハ第八條ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

法人ノ代表者又ハ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第七條ノ規定又ハ第八條ノ規定ニ違反シタルトキハ其ノ法人ニ適用ス

第十三條　第十一條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ當該官吏若ハ吏員ノ職務ノ執行ヲ妨ゲタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

第九條　政府ハ米穀ノ統制ヲ圓ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀、粟、高粱、黍、小麥又ハ小麥粉ノ輸入稅ヲ減又ハ免除スルコトヲ得

第十條　米穀生產業、家計費竝ニ米穀其ノ他ノ穀物ノ生產高、現在高、移動及價格ノ調査ニ關シ必要アルトキハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十一條　政府ハ前條ニ規定スル事項其ノ他米穀ノ統制ニ關シ必要ナル事項ヲ調査スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ米穀其ノ他ノ穀物ノ生產者、取引業者、倉庫業者其ノ他占有者ニ對シ必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ官吏若ハ吏員ヲシテ其ノ營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏又ハ吏員ハ其ノ身分ヲ證明スル證票ヲ携帶スベシ

第十二條　第七條ノ規定ニ違反シテ米穀ノ輸入若ハ輸出シ又ハ第八條ノ規定ニ違反シテ米穀ノ輸入ヲ爲シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年十月勅令第二百八十號ヲ以テ昭和八年十一月一日ヨリ施行）

米穀法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前米穀法第三條ノ規定ニ依リ爲シタル許可ハ本法第七條ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

本法施行前ニ米穀法ノ規則ヲ適用スベキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ仍其ノ規則ヲ適用ス

附　則（昭和十一年五月法律第二十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年十月勅令第二百八十號ヲ以テ昭和八年十一月一日ヨリ施行）

米穀法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前米穀法第三條ノ規定ニ依リ爲シタル許可ハ本法第七條ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

本法施行前ニ米穀法ノ規則ヲ適用スベキ行爲アリタルトキハ本法施行ノ後ト雖モ仍其ノ規則ヲ適用ス

附　則（昭和十一年五月法律第二十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年十月勅令第二百八十號ヲ以テ昭和八年十一月一日ヨリ施行）

第四條ノ二ノ規定ニ依ル米穀ノ賣渡ニ關スル一切ノ歲入歲出ハ米穀需給調節特別會計ニ屬セシム

●米穀統制法施行令

昭和八年十月
勅令第二百八十號

改正　昭和一〇年一二月三〇勅、一一年九勅三三七號

朕米穀統制法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

米穀統制法施行令

第一條　米穀統制法第三條ノ最低價格及最高價格ハ每年十二月東京市及大阪市ニ於ケル價格ニ付之ヲ公定ス

前項ノ最低價格及最高價格ハ當該年產ノ內地米ニシテ農林大臣ノ告示スル銘柄及等級ノ各ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　最低價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最低價格ヲ農林大臣ノ指定スル銘柄及等級ノ米穀ノ最低價格ノ總平均タラシムル計算ノ下ニ命令ノ定ムル所ニ依リ格差ニ從ヒ各銘柄及等級ノ米穀ニ之ヲ定ム

前項ノ標準最低價格ハ當該年產米穀ノ生產費ニ運賃諸掛ヲ加ヘタル額ト米價指數トヲ基ニ農林大臣ノ定ムル價格ノ範圍內ニ於テ之ヲ定ム

前項ノ農林大臣ノ定ムル價格ハ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ニ基キ

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

価一割ニ相當スル價格ト下値二割ニ相當スル價格トノ範圍内ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

一月ヨリ三月迄ノ間ニ於テハ前年十二月定メタル第一項ノ最低價格ニ農林大臣ノ定ムル金利及保管料ニ相當スル金額ヲ毎月加算シタルモノヲ以テ最低價格トス

四月ヨリ十月迄ノ間ニ於テハ三月ニ於ケル最低價格ヲ以テ最低價格トス

第四項ノ金利ハ米穀證券ノ割引歩合ヲ、同項ノ保管料ハ農業倉庫ノ保管料ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第三條　最高價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最高價格ト前條第一項ノ標準最低價格トノ差額ヲ前條第一項ノ規定ニ依リ定メタル各銘柄及等級ノ米穀ノ最低價格ニ加ヘ之ヲ定ム

前項ノ標準最高價格ハ當該年ニ調査シタル家計費ヲ基礎トシテ算出シタル價格（家計米價）ト米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ニ基キ農林大臣ノ定ムル價格トノ範圍内ニ於テ之ヲ定ム

前項ノ農林大臣ノ定ムル價格ハ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ト上值三割ニ相當スル價格トノ範圍内ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第四條　米穀統制法第二條ノ米穀生產費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ毎年調査シタル各農家ノ玄米一石當生產費（例外ト認ムルモノヲ除ク）ヲ平均シテ之ヲ算出ス

前項ノ玄米一石當生產費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ニ揭ゲル費用ノ合計額ヨリ副收入ノ金額ヲ控除シタルモノヲ米穀收益ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

一　種籾代
二　肥料代
三　勞賃
四　畜力費
五　諸材料費
六　農具費
七　農具費
八　租稅共ノ他ノ公課
九　部落協議費又ハ之ニ準ズルモノ（水利費又ハ病蟲害驅除豫防費ヲ含ムモノヲ）
十　土地資本利子
十一　小作料
十二　米穀檢查手數料

前項各號ニ揭ゲル事項、副收入及米穀收益ノ調査方法ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　第二條第二項ノ運賃割掛ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ揭ゲル費用ノ合計額ヲ平均シテ之ヲ算出ス

一　農林大臣ノ指定スル地方主要米穀集散地ヨリ第一條ノ地迄ノ鐵道又ハ船舶ノ運賃

二　前號ノ地方主要米穀集散地ヨリ第一條ノ地迄ノ鐵道又ハ船舶ノ運賃

三　第一條ノ地ニ於テ要スル積卸賃及小運送費

第六條　第三條第二項ノ家計米價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ白米一石當價格ヲ玄米一石當價格ニ換算シテ之ヲ定ム

前項ノ白米一石當價格ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ毎年調査シタル各世帶ノ家計費（例外ト認ムルモノヲ除ク）ニ依リ算定スル平均家計費中ノ米代ト平均家計費中ノ副食物費、嗜好品費、交際費、修養娛樂費、旅行費及貯金額ト合計額トノ合計額ヲ平均一世帶當白米消費量ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

第七條　米穀統制法第二條第四項ノ規定ニ依ル最低價格又ハ最高價格ノ改定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第二條又ハ第三條ノ規定ニ準ジテ之ヲ行フ

第八條　米穀統制法第三條ノ規定ニ依リ米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ又ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テ最低價格又ハ最高價格ヲ改定スルハ九月一日以後ニ限ル

米穀統制法第三條ノ規定ニ依リ米穀ノ賣入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テ東京市及大阪市以外ノ地ヨリ東京市又ハ大阪市ニ至ル迄ノ運賃諸掛ノ範圍内ニ於テ農林大臣ノ定ムル金額ヲ參酌シテ賣入又ハ賣渡ノ代金ヲ定ムルコトヲ得

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ政府ハ米穀統制法第三條ノ規定ニ依ル賣渡又ハ買入ノ申込ニ應セザルコトヲ得

一　申込數量カ命令ノ定ムル數量ニ達セザルトキ

二　買古共ノ他不當ノ利得ヲ圖ル目的ヲ以テ申込ヲ爲シタルモノト認メタルトキ

四月ヨリ十月迄ノ間ニ於テハ三月ニ於ケル最低價格ヲ以テ最低價格トス

第四項ノ金利ハ米穀證券ノ割引歩合ヲ、同項ノ保管料ハ農業倉庫ノ保管料ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第三條　最高價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最高價格ト前條第一項ノ標準最低價格トノ差額ヲ前條第一項ノ規定ニ依リ定メタル各銘柄及等級ノ米穀ノ最低價格ニ加ヘ之ヲ定ム

前項ノ標準最高價格ハ當該年ニ調査シタル家計費ト共ニ基礎トシテ算出シタル價格（家計米價）ト米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ニ基キ農林大臣ノ定ムル價格トノ範圍内ニ於テ之ヲ定ム

前項ノ農林大臣ノ定ムル價格ハ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ト上值三割ニ相當スル價格トノ範圍内ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ム

第四條　米穀統制法第二條ノ米穀生產費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ毎年調査シタル各農家ノ玄米一石當生產費（例外ト認ムルモノヲ除ク）ヲ平均シテ之ヲ算出ス

前項ノ玄米一石當生產費ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ各號ニ揭ゲル費用ノ合計額ヨリ副收入ノ金額ヲ控除シタルモノヲ米穀收益ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

一　種籾代
二　肥料代
三　勞賃
四　畜力費
五　諸材料費
六　農具費
七　農具費
八　租稅共ノ他ノ公課
九　部落協議費又ハ之ニ準ズルモノ（水利費又ハ病蟲害驅除豫防費ヲ含ムモノヲ）
十　土地資本利子
十一　小作料
十二　米穀檢查手數料

前項各號ニ揭ゲル事項、副收入及米穀收益ノ調査方法ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第五條　第二條第二項ノ運賃割掛ハ命令ノ定ムル所ニ依リ左ニ揭ゲル費用ノ合計額ヲ平均シテ之ヲ算出ス

一　農林大臣ノ指定スル地方主要米穀集散地ヨリ第一條ノ地迄ノ鐵道又ハ船舶ノ運賃

二　前號ノ地方主要米穀集散地ヨリ第一條ノ地迄ノ鐵道又ハ船舶ノ運賃

三　第一條ノ地ニ於テ要スル積卸賃及小運送費

第六條　第三條第二項ノ家計米價ハ命令ノ定ムル所ニ依リ白米一石當價格ヲ玄米一石當價格ニ換算シテ之ヲ定ム

前項ノ白米一石當價格ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ毎年調査シタル各世帶ノ家計費（例外ト認ムルモノヲ除ク）ニ依リ算定スル平均家計費中ノ米代ト平均家計費中ノ副食物費、嗜好品費、交際費、修養娛樂費、旅行費及貯金額ト合計額トノ合計額ヲ平均一世帶當白米消費量ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

第七條　米穀統制法第二條第四項ノ規定ニ依ル最低價格又ハ最高價格ノ改定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ第二條又ハ第三條ノ規定ニ準ジテ之ヲ行フ

第八條　米穀統制法第三條ノ規定ニ依リ米穀ノ需給狀況ニ著シキ變動ヲ生ジ又ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テ最低價格又ハ最高價格ヲ改定スルハ九月一日以後ニ限ル

米穀統制法第三條ノ規定ニ依リ米穀ノ賣入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テ東京市及大阪市以外ノ地ヨリ東京市又ハ大阪市ニ至ル迄ノ運賃諸掛ノ範圍内ニ於テ農林大臣ノ定ムル金額ヲ參酌シテ賣入又ハ賣渡ノ代金ヲ定ムルコトヲ得

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ政府ハ米穀統制法第三條ノ規定ニ依ル賣渡又ハ買入ノ申込ニ應セザルコトヲ得

一　申込數量カ命令ノ定ムル數量ニ達セザルトキ

二　買古共ノ他不當ノ利得ヲ圖ル目的ヲ以テ申込ヲ爲シタルモノト認メタルトキ

第十條　最高價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最高價格ノ範圍内ニ於テ買入ノ申込アリタル銘柄及等級ノ米穀ヲ所有セザルトキハ政府ハ買入申込者ニ於テ申込ノ際反對ノ意思ヲ表示シタル場合ヲ除クノ外他ノ銘柄及等級ノ米穀ヲ賣渡スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第三條ノ規定ニ依ル最高價格ノ定ナキ銘柄及等級ノ米穀ヲ賣渡ス場合ニ於テハ其ノ價格ハ農林大臣之ヲ定メ公示ス

第十一條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル內地米ノ買入數量ハ當該米穀年度ニ於ケル年推算移出數量ヲ月平均シタルモノノ四月分ヲ當該米穀年度ニ於ケル十一月ヨリ二月ニ亞ル各月推算移出數量ノ合計額ヨリ控除シタル數量ヲ限度トス

前項ノ年推算移出數量ハ命令ヲ以テ定ムル各道府縣別ノ第二回米穀豫想收穫高ニ當該道府縣產米ノ地域外移出數量ノ割合ヲ前五年ニ付平均シタルモノヲ乘ジ算出シタルモノノ合計額トス

第一項ノ各月推算移出數量ハ各月ニ於ケル各道府縣產米ノ地域外移出數量ノ年移出數量ニ乘ジタル數量ニ對スル割合ヲ前五年ニ付平均シタルモノヲ當該道府縣ノ年推算移出數量ニ乘ジタル數量ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

第十二條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依リ買入レタル米穀ノ數量ニ相當スル米穀ハ當該米穀年度內ニ於テ內地ニ於ケル賣渡ヲ爲スモノトス但シ農林大臣ノ指定スル條件ヲ具スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ賣入ヲ爲ス場合ニ於テハ第十二條第一項但書ノ平均價格ガ標準最高價格ヲ現ニ超エ又ハ超エントスルノ虞アルトキハ賣入ヲ爲サズ

第十三條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル米穀ノ賣渡ハ命令ノ定ムル所ニ依リ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テハ賣渡ヲ爲ス旨ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ起算シ十日以內ニ於テ賣渡ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テハ賣渡ヲ爲ス數量ノ全部又ハ一部ニ付賣渡ヲ爲スノ必要ナキニ至リタルトキハ政府ハ賣渡ヲ爲スノ通知ヲ爲シタル日ヨリ起算シ十日以內ニ於テ賣渡ヲ爲スノ通知ヲ爲シタル數量ノ全部又ハ一部ニ付賣渡ヲ爲サザルコトヲ得

第十四條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル賣渡又ハ買入ハ同時期ニ於テ之ヲ行フ但シ八月ヨリ十月迄ノ間ニ於テ賣渡ヲ行フ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル米穀ノ賣付ハ道府縣ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合、農會等ニ對シ農林大臣ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ貸付又ハ賣渡ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ行フ

第十六條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依リ米穀ノ貸付ヲ受ケタル道府縣ハ貸付ヲ受ケタル米穀ト同一數量ノ米穀ヲ貸付ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ於テ農林大臣ノ指定スル時期ニ返還スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ返還スベキ米穀ハ農林大臣ノ指定スル所ニ從ヒ返還スベキ時期ノ屬スル年當該年產又ハ其ノ前年產ノ米穀ニシテ貸付ヲ受ケタル米穀ト同一ノ銘柄及等級ノ米穀ノ又ハ之ト同格ノ

第十七條　貸付又ハ返還ニ爲ス米穀ノ受渡ハ農林大臣ノ指定スル倉庫ニ於テ之ヲ行フ

第十八條　米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル米穀ノ輸入又ハ輸出ノ許可ハ農林大臣、朝鮮ニ於テハ朝鮮總督、臺灣ニ於テハ臺灣總督、樺太ニ於テハ樺太廳長官之ヲ行フ

朝鮮總督、臺灣總督及樺太廳長官ハ豫メ農林大臣ト協議シ每年許可ニ依リ輸入セラルベキ米穀ノ數量ヲ定ム其ノ數量ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル許可ハ之ヲ受クルコトヲ要セズ

一　通商航海條約ニ別段ノ定アルトキ

二　政府カ米穀統制法ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ委託ヲ受ケ米穀ヲ輸入又ハ輸出スルトキ

三　船用品又ハ旅客ノ携帶品タル米穀、標本其ノ他之ニ準ズベキ米穀ヲ輸入又ハ輸出スルトキ

前項第三號ニ規定スル米穀ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條　主務大臣ハ米穀生產費、家計費竝ニ米穀其ノ他ノ穀物ノ生產高、現在高、移動及價格ノ調査ノ爲道府縣、市町村及市町村長ニ對シ調査上必要ナル事務ヲ行フベキコトヲ命ジ又ニ適當ト認ムル者ニ對シ記帳及報告ヲ命ズルコトヲ得

第二十一條　農林大臣ノ指定シタル市場ノ開設者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ市場ニ於テ每日取引セラレタル米穀ノ相場及數量ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第二十二條　日本銀行ハ卸賣物價ニ關スル調査ノ結果ヲ每月農林大臣ニ報告スベシ

第二十三條　本令中米穀年度ト稱スルハ前年ノ十一月一日ヨリ其ノ年ノ十月三十一日迄ヲ謂フ

附　則

本令ハ米穀統制法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

米穀法施行令ハ之ヲ廢止ス

米穀統制法第二條ノ最低價格及最高價格ハ昭和八年ニ限リ十一月及十二月ニ之ヲ公定ス

前項ノ最低價格ノ決定ニ付參酌スベキ米穀生產費ハ十一月ニ公定スルモノニ付テハ米穀法施行令第五條ノ規定ニ依リ算出シタル昭和七年產米穀ノ生產費、十二月ニ公定スルモノニ付テハ昭和八年產米穀ノ生產費ヲ以テ昭和八年產米穀ノ生產費ニ付本令施行前米穀法施行令ニ依リ調査シタルモノハ本令ニ依リ米穀統制法第二條ノ最高價格ハ當分ノ內第三條ノ規定ニ揭ゲズ米價指數ト物價指數トノ關係ヨリ算出シタル價格ト上值二割ニ相當スル價格トノ範圍內ニ於テ經濟事情ヲ參酌シテ之ヲ定ムルコトヲ得

第六條　米穀統制法施行令第十九條第一項第一號ノ場合ニ於テ米穀ヲ輸入又ハ輸出スル者ハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲ輸入地又ハ輸出地ノ稅關ニ提出スベシ

一　輸入ノ場合ニ在リテハ仕向地

二　積出地、輸出ノ場合ニ在リテハ仕向地

三　種類別（發芽勢、異物混入ノ有無、產地、產年又ハ品種ノ別）數量

四　輸入又ハ輸出ノ時期

五　用途

三　輸入ノ場合ニ在リテハ積出地及輸入地、輸出ノ場合ニ在リテハ積出地及仕向地

四　輸入又ハ輸出ノ時期

前項第四號ノ輸入ノ時期ハ許可申請ノ日ヨリ七十日內ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ要ス

輸入又ハ輸出セントスル米穀ノ數量千五百キログラム未滿ナルトキハ口頭ヲ以テ前項ノ許可ヲ申請スルコトヲ得

第二條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ一定期間內ニ輸入スベキ米穀ニ付輸入許可申請書ノ提出時期ヲ指定スルコトヲ得

朝鮮總督前項ノ指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

特別ノ事由ニ依リ米穀ヲ輸入セントスル者ハ第一項ノ指定ニ拘ラズ隨時米穀輸入許可申請書ヲ提出スルコトヲ得

第三條　第一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ハ輸入又ハ輸出申告ノ際其ノ許可書ヲ稅關ニ提出スベシ

第四條　米穀ノ輸入又ハ輸出ノ許可ヲ受ケタル者許可書記載事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第五條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ變更セントスル事項及變更ノ理由ヲ記載シタル申請書ヲ輸入地又ハ輸出地ノ稅關ヲ經由シテ朝鮮總督ニ提出スベシ此ノ場合ニ於テハ申請書ノ寫ヲ輸入地又ハ輸出地ノ稅關ニ提出スルコトヲ要ス

第六條　米穀統制法施行令第十九條第一項第一號ノ場合ニ於テ米穀ヲ輸入又ハ輸出スル者ハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲ輸入地又ハ輸出地ノ稅關ニ提出スベシ

一　輸入ノ場合ニ在リテハ仕向地

二　積出地、輸出ノ場合ニ在リテハ仕向地

三　種類別（發芽勢、異物混入ノ有無、產地、產年又ハ品種ノ別）數量

四　輸入又ハ輸出ノ時期

五　用途

第七條　米穀統制法施行令第十九條第一項第一號ノ場合ニ於テ米穀ヲ輸入スル者ハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書面及其ノ米穀ガ政府ノ委託ニ依リ輸入又ハ輸出セラルルモノナルコトヲ證スルニ足ル書面ヲ輸入地又ハ輸出地ノ稅關ニ提出スベシ

第七條　米穀統制法施行令第十九條第一項第三號ニ規定スル米穀ノ範圍左ノ如シ

一　外國貿易船ガ沿海通航船ト爲リ又ハ沿海通航船ガ外國貿易船ト爲リタル場合ニ於ケル船用品タル米穀

二　朝鮮內ニ於テ外國貿易船ニ積込マルル船用品タル米穀

三　旅客ノ携帶品タル米穀ニシテ六十キログラムヲ超エザルモノ

四　標本米穀ニシテ郵便物又ハ十キログラム以內ノ鐵道小荷物タルモノ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和六年朝鮮總督府令第百二十六號ハ之ヲ廢

●米穀統制法第九條ノ規定ニ依リ米穀其ノ他ノ輸入稅增加ノ件

昭和八年十月
勅令第二百八十三號

改正　昭和八年一二勅二一九號、九年三勅三號、九年三勅三五號、一〇年三勅三二號、一〇年一二勅二一九號、一一年三勅三六號、一一年一二勅二一九號、一二年三勅三二號、一二年一二勅二七七號

朝鮮米穀統制法第九條ノ規定ニ依リ米穀及籾ノ輸入稅增加ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　朝鮮米穀統制法第九條ノ規定ニ依リ米穀及籾ノ輸入稅ハ昭和十三年十二月三十一日迄每百斤二圓トシ粟ノ輸入稅ハ昭和十三年三月三十一日迄

均價格ガ標準最低價格ノ上值五分ニ相當スル價格以下ニ在ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ平均價格ハ前項ノ市場ニ於テ每日取引セラレタル米穀ノ總額ヲ平均シテ之ヲ算出ス

第十條　最高價格ハ農林大臣ノ定ムル標準最高價格ノ範圍內ニ於テ買入ノ申込アリタル銘柄及等級ノ米穀ヲ所有セザルトキハ政府ハ買入申込者ニ於テ申込ノ際反對ノ意思ヲ表示シタル場合ヲ除クノ外他ノ銘柄及等級ノ米穀ヲ賣渡スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ第三條ノ規定ニ依ル最高價格ノ定ナキ銘柄及等級ノ米穀ヲ賣渡ス場合ニ於テハ其ノ價格ハ農林大臣之ヲ定メ公示ス

第十一條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル內地米ノ買入數量ハ當該米穀年度ニ於ケル年推算移出數量ヲ月平均シタルモノノ四月分ヲ當該米穀年度ニ於ケル十一月ヨリ二月ニ亞ル各月推算移出數量ノ合計額ヨリ控除シタル數量ヲ限度トス

前項ノ年推算移出數量ハ命令ヲ以テ定ムル各道府縣別ノ第二回米穀豫想收穫高ニ當該道府縣產米ノ地域外移出數量ノ割合ヲ前五年ニ付平均シタルモノヲ乘ジ算出シタルモノノ合計額トス

第一項ノ各月推算移出數量ハ各月ニ於ケル各道府縣產米ノ地域外移出數量ノ年移出數量ニ乘ジタル數量ニ對スル割合ヲ前五年ニ付平均シタルモノヲ當該道府縣ノ年推算移出數量ニ乘ジタル數量ヲ以テ除シテ之ヲ算出ス

第十二條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依リ買入レタル米穀ノ數量ニ相當スル米穀ハ當該米穀年度內ニ於テ內地ニ於ケル賣渡ヲ爲スモノトス但シ農林大臣ノ指定スル條件ヲ具スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ賣入ヲ爲ス場合ニ於テハ第十二條第一項但書ノ平均價格ガ標準最高價格ヲ現ニ超エ又ハ超エントスルノ虞アルトキハ賣入ヲ爲サズ

第十三條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル米穀ノ賣渡ハ命令ノ定ムル所ニ依リ賣渡ヲ爲ス旨ノ通知ヲ爲シタル日ヨリ起算シ十日以內ニ於テ賣渡ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ賣渡ヲ爲ス場合ニ於テハ賣渡ヲ爲ス數量ノ全部又ハ一部ニ付賣渡ヲ爲スノ必要ナキニ至リタルトキハ政府ハ賣渡ヲ爲スノ通知ヲ爲シタル日ヨリ起算シ十日以內ニ於テ賣渡ヲ爲スノ通知ヲ爲シタル數量ノ全部又ハ一部ニ付賣渡ヲ爲サザルコトヲ得

第十四條　米穀統制法第四條ノ規定ニ依ル賣渡又ハ買入ハ同時期ニ於テ之ヲ行フ但シ八月ヨリ十月迄ノ間ニ於テ賣渡ヲ行フ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依ル米穀ノ貸付ハ道府縣ニ於テ米穀ヲ市町村、產業組合、農會等ニ對シ農林大臣ノ適當ト認ムル條件ヲ以テ貸付又ハ賣渡ヲ爲サントスル場合ニ之ヲ行フ

第十六條　米穀統制法第六條ノ規定ニ依リ米穀ノ貸付ヲ受ケタル道府縣ハ貸付ヲ受ケタル米穀ト同一數量ノ米穀ヲ貸付ヲ受ケタル日ヨリ一年以內ニ於テ農林大臣ノ指定スル時期ニ返還スルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ返還スベキ米穀ハ農林大臣ノ指定スル所ニ從ヒ返還スベキ時期ノ屬スル年當該年產又ハ其ノ前年產ノ米穀ニシテ貸付ヲ受ケタル米穀ト同一ノ銘柄及等級ノ米穀ノ又ハ之ト同格ノ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第五條　米穀統制組合ノ地區ハ内地ニ在リテハ市町村、朝鮮ニ在リテハ府郡島、臺灣ニ在リテハ廳又ハ郡市ノ區域ニ依リ特別ノ事情アルトキハ米穀統制組合ノ地區ハ前項ノ區域ニ依ラザルコトヲ得

命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外市町村等ノ區域ヲ增減アリタルトキハ其ノ區域ヲ地區トスル米穀統制組合ノ地區モ亦之ニ應ジテ增減アリタルモノトス

第六條　米穀統制組合ノ名稱中ニハ米穀統制組合ナル文字ヲ用フベシ

本法ニ依リ設立シタル米穀統制組合ニ非ザレバ其ノ名稱中ニ米穀統制組合タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第七條　米穀統制組合ハ命令ヲ以テ其ノ組合員トス

米穀統制組合ヲ設立スルトキハ其ノ地區内ノ第二條ニ掲ゲル者ヲ以テ其ノ組合員トス

第八條　米穀統制組合ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ地區内ノ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第九條　行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ區域ヲ指定シ組合員タルベキ資格ヲ有スル者ニ對シ米穀統制組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命セラレタル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

設立ヲ命セラレタル者命令ノ定ムル期間内ニ設立ノ認可ヲ申請セザルトキハ行政官廳ハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十條　米穀統制組合ハ設立ノ認可アリタルトキハ成立ス

前項ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ遲滯ナク組合設立ノ旨竝ニ組合長及副組合長ノ住所及氏名ヲ告示スベシ

第十一條　米穀統制組合成立シタルトキハ其ノ地區内ノ組合員タル資格ヲ有スル者ハ總會ノ議決ヲ經テ其ノ組合員トス

第十二條　總代會ハ組合長、副組合長及總代ヲ以テ之ヲ組織ス

第十三條　米穀統制組合ノ組合員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ組合員中ヨリ總代ヲ選擧スベシ

第十四條　左ニ掲ゲル事項ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

一　收支豫算

二　經費ノ分賦收入方法

三　事業報告及收支決算

四　借入金

五　定款ノ變更

六　第三十七條ニ於テ準用スル第八條ノ同意

七　第四十三條（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ剩當

前項第一號、第二號、第四號及第五號ニ掲ゲル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十五條　定款ノ變更ハ總代會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ議決ス

定款ノ變更ガ地區ノ增減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ組入セラレ又ハ除名セラルベキ區域内ノ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十六條　本法ニ規定スルモノヲ除クノ外總代會及役員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十七條　特別ノ事情アル米穀統制組合ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ設ケズ組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得

總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第十八條　米穀統制組合ニ左ノ役員ヲ置ク

組合長　一人

副組合長　一人

評議員　數人

役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選任シ但シ組合長及副組合長ハ其ノ他ノ者ヨリモ之ヲ選任スルコトヲ妨ゲズ

役員ノ選任及解任ハ總代會ニ於テ之ヲ行フ

役員ノ解任ハ第二項ノ規定ニ依ル組合長及副組合長ノ選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

組合長ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ行政官廳ハ總代ヲ指定シ組合長ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十九條　組合長ハ組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ總理ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應ジ竝ニ組合ノ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十條　總代會ハ總代會ノ議決ヲ經ベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ命令ノ定ムル場合ヲ除クノ外組合長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ組合長ハ次ノ總代會ニ之ヲ報告スベシ、

第二十一條　米穀統制組合ハ第十八條ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ職員ヲ置クコトヲ得

前項ノ職員ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　米穀統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第二十三條　米穀統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員ニ對シ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第二十四條　使用料及手數料ノ徵收、米穀ノ寄託其ノ他米穀統制組合ト組合員トノ間ニ於ケル權利義務ニ關シテハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十五條　行政官廳ハ米穀統制組合ニ對シ組合ノ事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、組合ノ業務執行又ハ財產ノ狀況ヲ檢査シ、定款、收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ノ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十六條　行政官廳ハ米穀統制組合ノ決議若ハ選擧又ハ役員ノ行爲カ法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ著シク其ノ權衡ヲ失スト認ムルトキハ決議、選擧若ハ當選ヲ取消シ、役員ヲ解任シ、總代ノ改選ヲ命ジ、組合ノ事業ヲ停止シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第二十七條　米穀統制組合解散又ハ合併ヲ爲サントスルトキハ總代會ノ議決ヲ經且其ノ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得尚合併ノ場合ニ在リテハ定款ヲ議定シ其ノ他必要ナル事項ヲ定メ行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ規定ハ米穀統制組合聯合會又ハ其ノ區域内ニ於ケル米穀販賣組合聯合會ハ其ノ區域内ニ於ケル米穀販賣組合又ハ所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ所屬組合ノ各組合員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ定メ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコトヲ得

第二十八條　米穀ヲ取扱フ販賣組合（以下米穀販賣組合ト稱ス）ノ存スル市町村ニ於テハ特別ノ事情アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合ノ事業ヲ行政官廳ノ許可ヲ受ケ米穀販賣組合ニ於テ之ヲ行フコトヲ得

米穀統制組合ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル前項ノ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第二十九條　米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ團體員ニ非ズシテ其ノ區域内ニ於テ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體員ニ準ジ第四條第一項ニ掲ゲル事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第四條第一項ニ掲ゲル事業ヲ行フ團體ハ前項ニ規定スル者ヨリ團體員ノ例ニ準ジ使用料及手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第三十條　米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ團體員ニ非ズシテ其ノ區域内ニ於テ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ團體員ニ準ジ第四條第一項ニ掲ゲル事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ第四條第一項ニ掲ゲル事業ヲ行フ團體ハ前項ニ規定スル者ヨリ團體員ノ例ニ準ジ使用料及手數料ヲ徵收スルコトヲ得

第三十一條　米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體相互ノ聯絡ヲ圖リ米穀ノ自治管理ヲ行フ目的ヲ以テ地方米穀統制組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

第三十二條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第三十三條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第三十五條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第三十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第三十七條　第四條第一項、第六條、第八條乃至第十條、第十一條第一項、第十四條乃至第十六條、第十八條第三項乃至第七項、第十九條乃至第二十一條、第二十二條第一項及第二十三條乃至第二十六條ノ規定ハ地方米穀統制組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三十八條　勅令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケ道府縣ヲ區域トスル米穀販賣組合聯合會（以下道府縣米穀販賣組合聯合會ト稱ス）ハ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フ場合ニ於ケル前項ノ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第三十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ事業ヲ行フコトヲ得

第四十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第四十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第四十二條　地方米穀統制組合聯合會ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ府、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第四十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第四十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第四十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第四十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第四十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第四十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第四十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第五十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第五十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第五十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第五十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第五十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第五十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第五十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第五十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第五十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第六十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第六十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第六十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第六十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第六十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第六十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第六十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第六十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第七十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第七十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第七十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第七十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第七十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第七十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第七十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第七十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第七十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第七十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第八十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第八十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第八十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第八十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第八十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第八十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第八十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第八十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第八十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第八十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第九十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第九十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第九十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第九十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第九十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第九十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第九十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第九十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第九十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第九十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百二十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百二十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百二十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百二十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百二十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百二十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百二十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百二十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百二十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百二十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百三十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百三十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百三十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百三十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百三十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百三十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百三十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百三十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百三十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百三十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百四十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百四十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百四十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百四十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百四十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百四十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百四十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百四十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百四十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百四十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百五十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百五十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百五十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百五十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百五十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百五十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百五十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百五十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百五十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百五十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百六十條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百六十一條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百六十二條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百六十三條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百六十四條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテハ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第百六十五條　地方米穀統制組合聯合會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第百六十六條　地方米穀統制組合聯合會ハ法人トス

第百六十七條　地方米穀統制組合聯合會ノ地區ハ内地ニ在リテハ道府縣、朝鮮ニ在リテハ道、臺灣ニ在リテハ州ノ區域ニ依リ總會ヲ以テ之ヲ定ム

第百六十八條　地方米穀統制組合聯合會ニ總會ノ外役員トシテ會長一人、副會長若干人及監事若干人ヲ置ク

總會ハ會長、副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第百六十九條　地方米穀統制組合聯合會ノ議員ハ命令ノ定ムル所ニ依リ總代會ノ議決ヲ經且其ノ事業ヲ行フ團體ノ監督及總會又ハ總代會ニ關シテ

ノ事業ヲ行フ道府縣米穀販賣組合聯合令ハ其ノ割當テラレタル數量ヲ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ割當ツルコトヲ要ス

米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ其ノ割當テラレタル數量ヲ團體員及第二十九條ニ規定スル者ニ對シ割當ツルコトヲ要ス

朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムベキ米穀ノ數量ノ割當ニ付テハ前二項ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第四十四條　地方米穀統制組合聯合令若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體前條ノ規定ニ依リ割當ヲ爲スヤサザル場合ニ於テハ政府ハ之ニ代リ割當ヲ爲スコトヲ得

第四十五條　前二條ノ割當ニ關シ必要ナル事項ハ命ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ其ノ割當テラレタル數量ノ米穀ヲ貯藏スルコトヲ要ス但シ其ノ貯藏ヲ解除シタルモノ及第四十九條又ハ第五十條ノ規定ニ依リ政府ノ買入ヲ爲シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ團體員ハ第四十三條又ハ第四十四條ノ規定ニ依リ割當テラレタル數量ノ米穀ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ寄託スルコトヲ要ス

第四十八條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ第二項ノ場合及勅令ノ定ムル場合ヲ除ノ外第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ爲スコトヲ得ズ政府ハ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第四十六條ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニ付其ノ貯藏ノ解除ヲ命ズルコトヲ得

第四十九條　政府ハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ヲ買入スルトキハ第六十四條ノ規定ニ依リ政府ノ買入ヲ爲シタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ヲ其ノ事業ヲ行フ團體ニ賣渡スコトヲ得

第五十一條　命令ヲ以テ指定スル地ニ於ケル米穀取扱業者ハ米穀商統制組合ヲ設立スルコトヲ得

前項ノ米穀取扱業者ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條　米穀商統制組合ハ法人トシ第一條ノ自治管理ヲ行フヲ以テ目的トス

第五十三條　第四條第一項、第六條及第八條乃至第二十七條ノ規定ハ米穀商統制組合ニ之ヲ準用ス

第五十四條　勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀取扱業者ノ組織又ハ商業組合又ハ重要物産同業組合法ニ依リ朝鮮重要物産同業組合ノ設立ヲ命ゼラレタル場合ニ於テハ其ノ組織ハ同業組合ノ組織ニ關シ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十五條　勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ハ第四十一條ノ統制ヲ爲スモ米穀ノ供給過剩ニ因リ米穀統制法ニ基キテ發スル命令ニ定ムル標準最低價格ヲ下ラントスル農アリト認ムルトキハ米穀自治管理委員會ニ諮問シテ一定數量ノ米穀ヲ內地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムルコトヲ得

第五十六條　前條ノ場合ニ於ケル政府ハ各內地、朝鮮及臺灣ニ於ケル地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ前條ノ一定數量ヲ割當テ其ノ米穀ニ付統制ヲ爲スベキ旨ヲ命ズ

第五十七條　第五十四條乃至第五十六條ノ規定ハ米穀商統制組合ニ之ヲ準用ス

第五十八條　勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ハ第四十一條ノ統制ヲ爲スモ米穀ノ供給過剩ニ因リ米穀統制法第二條ノ最低價格、朝鮮米又ハ臺灣米ニ在リテハ勅令ノ定ムル一定價格以內ニ於テ時價ニ準據シテ定メタル價格トス

第五十八條、朝鮮及臺灣ニ於テハ第十二條、第十八條、第十九條及第三十六條ノ規定（第三十七條又ハ第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第五十九條　地方米穀統制組合聯合令又ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第六十條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第六十一條　米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體第四十六條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキハ其ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員又ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

一　收支豫算

二　經費ノ分賦收入方法

三　事業報告及收支決算

四　借入金（一時借入金ヲ除ク）

五　米穀自治管理法第三十七條ニ於テ準用スル同法第八條ノ同意

前項第一號、第二號及第四號ニ揭グル事項ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第一項各號ニ揭グル事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總會若ハ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ定款又ハ會則ノ定ムル所ニ依リ理事又ハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ理事又ハ會長ハ次ノ總會又ハ總代會ニ之ヲ報告スベシ

第十一條　米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ其ノ事業ニ關スル會計ハ區分シ之ヲ經理スベシ

第十二條　米穀自治管理法第三十條第一項ノ總會ハ左ニ揭グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一　團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者

二　米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者

三　地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十三條　米穀自治管理法第三十條第二項ノ總代會ハ左ニ揭グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一　團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者

二　米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者

三　地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十四條　米穀自治管理法第三十條第一項ノ總代會ハ左ニ揭グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一　團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者

二　米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者

三　地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十五條　商法第三百七十五條第一項、第三百七十六條及第三百七十七條乃至第三百八十一條乃至第三百八十三條ノ規定ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ組合ニ之ヲ準用ス

第六條　自治管理倉庫證券ノ發行ハ政府ノ認可ヲ受ケタル倉庫ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

第七條　自治管理倉庫證券ノ所持人ハ其ノ米穀ニ付米穀自治管理法第四十八條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル貯藏ノ解除アリタルトキハ證券ノ發行者ニ對シ其ノ證券ニ貯藏ノ解除アリタル旨ノ記載ヲ請求スルコトヲ得

自治管理倉庫證券ノ所持人ニ證券ニ前項ノ記載ヲ爲シテ之ヲ讓渡又ハ質入スルコトヲ得

第八條　地方長官ハ米穀統制組合ニシテ其ノ區域內ニ於ケル米穀統制組合ノ組合員トスルモノニ限リ米穀自治管理法第二十八條第一項ノ規定ニ依ル許可ヲ爲スコトヲ得

前項ノ許可ハ地方ノ事情及其ノ組合ノ事業ノ狀況等ヲ參酌シテ之ヲ爲スベシ

地方長官ハ市農會又ハ町村農會ニ對シ其ノ市町村ニ於テ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ヲ除アリタル旨ノ記載ヲ請求スルコトヲ得

自治管理倉庫證券ノ所持人ハ證券ニ前項ノ記載ヲ爲シテ之ヲ讓渡又ハ質入スルコトヲ得

第九條　地方長官ハ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體又ハ其ノ事業ニ關スル決議ニ付テハ之ヲ取消スコトヲ得

第十條　米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ其ノ事業ニ關スル左ニ揭グル事項ハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

一　收支豫算

二　經費ノ分賦收入方法

三　事業報告及收支決算

四　借入金（一時借入金ヲ除ク）

五　米穀自治管理法第三十七條ニ於テ準用スル同法第八條ノ同意

前項第一號、第二號及第四號ニ揭グル事項ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第一項各號ニ揭グル事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總會若ハ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ定款又ハ會則ノ定ムル所ニ依リ理事又ハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ理事又ハ會長ハ次ノ總會又ハ總代會ニ之ヲ報告スベシ

第十一條　米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ其ノ事業ニ關スル會計ハ區分シ之ヲ經理スベシ

第十二條　米穀自治管理法第三十條第一項ノ總會ハ左ニ揭グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一　團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者

二　米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者

三　地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十三條　米穀自治管理法第三十條第二項ノ總代會ハ左ニ揭グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一　團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者

二　米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者

三　地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十四條　米穀自治管理法第三十條第一項ノ總代會ハ左ニ揭グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一　團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者

二　米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者

三　地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十五條　商法第三百七十五條第一項、第三百

モノニ付當該團體ヨリ賣渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ內地ニ在リテハ米穀統制法第二條ノ最低價格、朝鮮及臺灣ニ在リテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀生產費、物價其ノ他ノ經濟事情ヲ參酌シテ定メタル價格トス

第五十條　政府ハ必要アリト認ムルトキハ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ規定ニ依リ貯藏シタル米穀ニシテ當該米穀年度ヲ超ユルモ其ノ貯藏ヲ解除セラレザルモノニ付買入ヲ爲ス

前項ノ買入價格ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十一條　命令ヲ以テ指定スル地ニ於ケル米穀取扱業者ハ米穀商統制組合ヲ設立スルコトヲ得

前項ノ米穀取扱業者ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十二條　米穀商統制組合ハ法人トシ第一條ノ自治管理ヲ行フヲ以テ目的トス

第五十三條　第四條第一項、第六條及第八條乃至第二十七條ノ規定ハ米穀商統制組合ニ之ヲ準用ス

第五十四條　勅令ノ定ムル所ニ依リ米穀取扱業者ノ組織又ハ商業組合又ハ重要物產同業組合法ニ依リ朝鮮重要物產同業組合ノ設立ヲ命ゼラレタル場合ニ於テハ其ノ組織ハ同業組合ノ組織ニ關シ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十五條　勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ハ第四十一條ノ統制ヲ爲スモ米穀ノ供給過剩ニ因リ米穀統制法ニ基キテ發スル命令ニ定ムル標準最低價格ヲ下ラントスル農アリト認ムルトキハ米穀自治管理委員會ニ諮問シテ一定數量ノ米穀ヲ內地、朝鮮及臺灣ニ於テ統制セシムルコトヲ得

第五十六條　前條ノ場合ニ於ケル政府ハ各內地、朝鮮及臺灣ニ於ケル地方米穀統制組合聯合會若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ前條ノ一定數量ヲ割當テ其ノ米穀ニ付統制ヲ爲スベキ旨ヲ命ズ

第五十七條　第五十四條乃至第五十六條ノ規定ハ米穀商統制組合ニ之ヲ準用ス

第五十八條　勅令ノ定ムル所ニ依リ政府ハ第四十一條ノ統制ヲ爲スモ米穀ノ供給過剩ニ因リ米穀統制法第二條ノ最低價格、朝鮮米又ハ臺灣米ニ在リテハ勅令ノ定ムル一定價格以內ニ於テ時價ニ準據シテ定メタル價格トス

第五十八條、朝鮮及臺灣ニ於テハ第十二條、第十八條、第十九條及第三十六條ノ規定（第三十七條又ハ第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ關シ命令ヲ以テ特例ヲ設クルコトヲ得

第五十九條　地方米穀統制組合聯合令又ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ役員命令ノ定ムル第四十三條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ割當ヲ爲スニ必要ナル行爲ヲ爲サザルトキハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第六十條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ之ヲ準用ス

第六十一條　米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體第四十六條ノ規定（第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ違反シタルトキハ其ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員又ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

一　收支豫算

二　經費ノ分賦收入方法

三　事業報告及收支決算

四　借入金（一時借入金ヲ除ク）

五　米穀自治管理法第三十七條ニ於テ準用スル同法第八條ノ同意

前項第一號、第二號及第四號ニ揭グル事項ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第一項各號ニ揭グル事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總會若ハ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ定款又ハ會則ノ定ムル所ニ依リ理事又ハ會長之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ理事又ハ會長ハ次ノ總會又ハ總代會ニ之ヲ報告スベシ

第十一條　米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ノ其ノ事業ニ關スル會計ハ區分シ之ヲ經理スベシ

第十二條　米穀自治管理法第三十條第一項ノ總會ハ左ニ揭グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一　團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者

二　米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者

三　地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十三條　米穀自治管理法第三十條第二項ノ總代會ハ左ニ揭グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一　團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者

二　米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者

三　地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十四條　米穀自治管理法第三十條第一項ノ總代會ハ左ニ揭グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

一　團體員ニシテ米穀統制組合ノ組合員タル資格ヲ有スル者

二　米穀自治管理法第二十九條ニ規定スル者

三　地方長官ニ於テ任命シタル特別議員

第十五條　商法第三百七十五條第一項、第三百

米穀自治管理法施行令

第一條　米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體米穀自治管理法第四條第一項第五號ノ倉庫證券（自治管理倉庫證券）ヲ發行セントスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

第二條　前條ノ認可ヲ受ケタル米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合ノ發行セントスル倉庫證券ハ左ノ事項ヲ具シ記名捺印スルコトヲ要ス

一　自治管理倉庫證券ナル文字

二　寄託ヲ受ケタル米穀ノ種類、銘柄、等級、數量竝ニ其ノ荷造ノ種類、個數及記號

三　寄託者ノ氏名又ハ名稱

四　保管ノ場所

五　第二十一條ノ規定ニ依リ受寄物ヲ再保管セシメタルトキハ再保管者ノ氏名又ハ名稱

六　保管料ヲ徵收スルトキハ其ノ保管料

七　受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ其ノ保險金額、保險期間及保險者ノ商號

八　證券ノ作成地及作成ノ年月日

第四條　自治管理倉庫證券ハ記名式ナルコトヲ要ス

自治管理倉庫證券ノ所持人ハ證券ノ發行者ノ承認アルニ非ザレバ之ヲ讓渡又ハ質入スルコトヲ得ズ

前項ノ承諾ヲ爲シタル發行者ハ證券ニ其ノ旨ヲ記載スルコトヲ要ス

第五條　商法第三百七十五條第一項、第三百

ル總代

二　其ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合及所屬組合ニ非ズシテ米穀統制組合ノ業ヲ行フ團體ノ代表者ヨリ選出シタル總代

三　農林大臣ニ於テ任命シタル特別議員

第十九條　米穀自治管理法第四十一條第一項ノ米穀需給推算ハ毎年内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジ米穀豫想收穫高（臺灣ノ第一期作ニ付テハ推定高）、十一月一日ノ米穀現在高、過去ノ消費狀況ヲ參酌シタル米穀消費見込高及次ノ米穀年度ニ持越サルルヲ適當ト認ムル米穀ノ數量ヲ基準トシテ之ヲ行フ

第二十條　朝鮮總督又ハ臺灣總督ハ地方米穀統制組合聯合會ヲシテ統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ直接制裁ヲ加ヘシムルコトヲ得

第二十一條　米穀統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體又ハ米穀商統制組合若ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ米穀自治管理法第四十七條ノ規定（同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ寄託ヲ受ケ貯藏スベキ米穀ノ保管ニ關スル規程ヲ定メ道知事ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

前項ノ規程ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

一　保管料ニ關スル事項

二　保管期間ニ關スル事項

三　入庫及出庫ニ關スル事項

四　證券ヲ發行スル場合ニ在リテハ證券發行ニ關スル事項

五　保險ニ關スル事項

第二條　自治管理倉庫證券發行ノ認可申請書ニハ定款又ハ會則及前條ノ保管ニ關スル規程ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

一　申請ノ理由

二　倉庫ノ所在地

三　倉庫ノ棟數、建坪、構造及收容力

四　倉庫及敷地ノ使用ノ權利ニ關スル事項

五　附屬ノ設備ニ關スル事項

前項第二號及第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ道知事ノ認可ヲ受クベシ

第三條　米穀統制組合又ハ其ノ組合員タル資格ヲ有スル者ヲ以テ之ヲ組織ス

第四條　米穀統制組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員（法人タル組合員ニ在リテハ其ノ地區内ニ事務所ヲ有セザルモノ）ヲシテ其ノ地區内ニ於ケル米穀ノ生産者ヲシテ其ノ地區内ニ於ケル米穀ノ生産者ヲシテ其ノ地區内ニ於ケル米穀ノ生産者

第五百二十一条　米穀ノ売買ハ当事者ノ意思表示ノミニ因リテ其効力ヲ生ス

第五百二十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ引渡スコトヲ要ス

第五百二十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百二十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百二十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百二十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百二十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百二十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百二十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百三十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百四十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百五十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百六十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百七十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百八十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第五百九十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百二十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百三十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百四十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百五十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百六十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百七十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百八十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第六百九十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百二十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百三十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百四十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百五十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十二条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十三条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十四条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十五条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十六条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十七条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十八条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百六十九条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百七十条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ検査スルコトヲ得

第七百七十一条　米穀ノ売主ハ買主ニ対シ其指定シタル場所ニ於テ売買ノ目的物ヲ

付道知事ノ認可ヲ受ケタル者

第八十四條ノ三　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ再保管セシメタル米穀ニ付再保管者ニ對シ倉庫證券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得ズ

第八十四條ノ四　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ再保管ノ目的タル米穀ニ付貯藏ノ解除アリタルトキハ再保管者及寄託者又ハ自治管理倉庫證券ノ所持人ニ對シ遲滯ナク解除セラレタル米穀ノ數量及解除ノ年月日ヲ通知スベシ

第八十五條　米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ハ寄託者又ハ自治管理倉庫證券ノ所持人ノ請求アルトキハ再保管者ニ對スル貯藏解除米穀ノ出庫指圖書ヲ交付スベシ但シ當該米穀ニ付發行セラレタル自治管理倉庫證券アルトキハ之ト引換ニ非ザレバ交付スルコトヲ得ズ

第八十四條ノ五　再保管者ハ前條第二項ノ貯藏解除米穀ノ出庫指圖書ノ提出アリタル場合ヲ除クノ外米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ノ請求ニ依ラズシテ再保管ノ目的タル米穀ノ出庫ヲ爲スコトヲ得ズ

再保管者前項ノ規定ニ違反シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十五條　米穀自治管理法施行令第二十七條ニ規定スル卸賣商（問屋ヲ含ム）ハ朝鮮總督ノ定ムル一定數量ノ米穀ヲ取扱ヒタル者ニ對シ前項ノ數量ハ米穀自治管理法第五十一條ノ規定ニ依リ指定シタル地毎ニ之ヲ定メ告示ス

第八十六條　本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ關スル規定ハ米穀商統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ之ヲ準用ス

第八十七條　左ノ場合ニ於テハ道知事ハ朝鮮總督ニ報告スベシ

一　米穀統制組合ノ設立、解散、合併又ハ分割ニ關シ認可ヲ爲シタルトキ

二　地方米穀統制組合聯合會ノ設立又ハ解散ノ認可ヲ爲シタルトキ

●米穀自治管理法施行規則

昭和十一年十月
總督令第五百八十九號

米穀自治管理法施行規則第八十三條ノ條件左ノ通定ム

第一條　朝鮮産ナルコト

二　當該年産ナルコト

三　叚ニ在リテハ其ノ品質、乾燥及調製ノ程度ガ朝鮮穀物檢查令施行規則第十一條ニ規定スル三等品以上ノモノナルコト

四　玄米ニ在リテハ其ノ品質、乾燥及調製ノ程度ガ朝鮮穀物檢查令施行規則第十一條ニ規定スル合格品以上ノモノナルコト

第七款　穀物及叺檢查

●朝鮮穀物檢查令

昭和七年九月
制令第二號

朝鮮穀物檢查令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮穀物檢查令

第一條　朝鮮穀物檢查ニ關スル事務ハ朝鮮總督之ヲ管掌ス

第二條　朝鮮總督ハ指定スル地ヨリ又ハ指定スル地ヲ經テ穀物ヲ搬出セントスル者ハ其ノ穀物ノ品質、乾燥、調製、容積又ハ重量及包裝ニ付朝鮮總督府穀物檢查所ノ檢查ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ檢查ヲ受クベキ穀物ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三條　前條第二項ニ規定スル穀物ハ同條第一項ノ檢查ニ合格シタルモノニ非ザレバ之ヲ檢出又ハ移出スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ檢查ヲ受クベキ穀物ハ朝鮮總督ノ指定スル地ヨリ又ハ指定スル地ヲ經テ穀物ヲ搬出セントスル者ハ其ノ穀物ノ品質、乾燥、調製、容積又ハ重量及包裝ニ付朝鮮總督府穀物檢查所ノ檢查ヲ受クベシ

第四條　當該官吏ハ第一條第二項ニ規定スル穀物ノ取引業者、倉庫業者、所有者其ノ他必要アリト認ムル者ニ對シ檢查ニ關シ必要ナル事項ノ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　當該官吏ハ檢查ノ爲必要アリト認ムルトキハ店舖、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ穀物、帳簿其ノ他ノ物件ノ檢查ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ證票ヲ携帶スベシ

第六條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反スト認ムルトキハ當該官吏ハ第一條第二項ニ規定スル穀物ノ取引業者、倉庫業者、所有者其ノ他占有者ニ對シ穀物ノ運搬停止又ハ積戻ヲ命ジ其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　檢查ヲ受ケズシテ第一條第二項ニ規定スル穀物ヲ朝鮮總督ノ指定スル地ヨリ又ハ指定スル地ヲ經テ搬出シタル者

二　第二條第一項又ハ第二項ノ規定ニ違反シテ檢查ニ合格セザル穀物ヲ輸出又ハ移出シタル者

三　詐欺ノ行爲ヲ以テ檢查ヲ受ケタル者

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八條　第六條ノ規定ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第四條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虚僞ノ報告ヲ爲シタル者

二　正當ノ理由ナクシテ第五條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢檢查ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタル者

第十條　第一條第二項ニ規定スル穀物ノ取引業者、倉庫業者、所有者其ノ他占有者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得

第十一條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル罰則ヲ適用スベキ者法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ督業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和七年九月制令第九號ヲ以テ昭和七年十月一日ヨリ施行）

本令施行前從前ノ規程ニ依リ第一條第二項ニ規定スル穀物ニ付爲シタル檢查ハ之ヲ本令ニ依リ爲シタル檢查ト看做ス

二　白米

既納ノ檢查手數料ハ之ヲ還付セズ

第五條　檢查請求人檢查ヲ受クベキ地ニ居住セザルトキハ檢查ニ關シ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ヲ選定シ第三號樣式ニ依リ所轄穀物檢查所ニ之ヲ屆出ヅベシ

第六條　檢查ハ穀物檢查所ノ指定スル場所ニ於テ之ヲ行フ

檢查ニ支障ナキ場合ニ限リ穀物檢查令第一條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地以外ノ地ニ出張シテ檢查ヲ行フコトヲ得

前項ニ規定スル出張檢查ヲ受ケントスル者ハ豫メ第四號樣式ノ申請書ヲ所轄穀物檢查所支所ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第七條　檢查請求人ハ檢查ヲ受クベキ穀物ノ包裝ニ第五號樣式ノ票箋ヲ附スベシ但シ穀物檢查所長ニ於テ其ノ必要ナシト認メタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　檢查請求人又ハ其ノ代理人ハ檢查ニ立會フベシ

檢查請求人又ハ其ノ代理人前項ノ規定ニ違反スルトキハ檢查ヲ拒ムコトアルベシ

第九條　檢查ノ爲必要ナル穀粁、運搬、解裝、復裝等ニ要スル費用ハ檢查請求人ノ負擔トス

第六條第二項ニ規定スル出張檢查ニ要スル費用ハ檢查請求人ノ負擔トス但シ地主ノ米穀ヲ貯藏スル倉庫ノ所在地、叚ノ共同販賣ヲ行フ場所其ノ他叚ノ集散スル場所ニ於ケル叚ノ出張檢查ニ要スル費用ハ穀物檢查所長ニ於テ之ヲ免除スルコトヲ得

前項ニ規定スル費用ハ別ニ定ムル所ニ依リ第四條第二項ノ檢查請求書ニ收入印紙ヲ貼附シテ所轄穀物檢查所ニ之ヲ納ムベシ

第十條　檢查ヲ受クベキ穀物ノ容量又ハ重量及包裝ハ左ノ標準ニ依ルベシ但シ特別ノ事由ニ依リ穀物檢查所長ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

容量又ハ重量

一　叺入玄米、大豆、小豆、菜豆、豌豆

一　筒二付四斗（口栓五合乃至八合ヲ添加スベシ）

二　白米

三　米穀自治管理法第九條第三項ノ規定（同法第三十七條及第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依ル處分ヲ爲シタルトキ

四　第三十一條又ハ第三十三條ノ規定（第八十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ認可ヲ爲シタルトキ

五　米穀統制組合ノ組合長及副組合長ヲ命ジタルトキ

六　米穀自治管理法第二十五條ノ規定（同法第三十七條及第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ定款、軟支豫算若ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命ジ又ハ米穀自治管理法第二十六條ノ規定（同法第三十七條及第五十三條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ

七　第五十六條（第八十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ許可ヲ爲シタルトキ

八　米穀統制組合ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ其ノ事業ノ休止若ハ廢止ノ許可ヲ爲シ又ハ第五十六條ノ許可ヲ取消シタルトキ

九　第六十一條第四號（第八十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ特別議員ヲ任命シタルトキ

十　第八十一條ノ規定ニ依リ米穀統制組合又ハ其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ制當ヲ爲シタルトキ

十一　地方米穀統制組合聯合會ヨリ第八十二條ノ規定ニ依リ届出アリタルトキ

十二　第五十八條（第八十六條ニ於テ準用スル場合ヲ含ム）ノ處分ヲ爲シタルトキ

十三　米穀自治管理法施行令第二十三條第四號ニ該當スル場合ニ於テ解除ノ許可ヲ爲シタルトキ

附　則

本令ハ米穀自治管理法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七條、第十二條及第二十三條ノ期間ハ昭和十一年ニ限リ道知事ノ定ムル所ニ依ル

●米穀自治管理法第五十一條ノ指定ニ依ル土地ノ指定

昭和十二年一月
總令第四號

米穀自治管理法第五十一條第一項ノ規定ニ依リ左ノ地ヲ指定ス

京畿道　京城府
仁川府
忠淸南道　論山郡江景邑
論山郡論山面
舒川郡馬東面
群山府
全羅北道　金堤郡金堤邑
木浦府
慶尙北道　大邱府
金泉郡金泉邑
釜山府
慶尙南道　馬山府
海州郡海州邑
平壤府
黃海道　鎭南浦府
平安南道　新義州府
成興府
咸鏡南道　元山府

コトヲ得

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　檢查ヲ受ケズシテ第一條第二項ニ規定スル穀物ヲ朝鮮總督ノ指定スル地ヨリ又ハ指定スル地ヲ經テ搬出シタル者

二　第二條第一項又ハ第二項ノ規定ニ違反シテ檢查ニ合格セザル穀物ヲ輸出又ハ移出シタル者

三　詐欺ノ行爲ヲ以テ檢查ヲ受ケタル者

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第八條　第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ又ハ虚僞ノ報告ヲ爲シタル者

二　正當ノ理由ナクシテ第五條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢檢查ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタル者

第九條　第一條第二項ニ規定スル穀物ノ取引業者、倉庫業者、所有者其ノ他占有者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得

第十條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル罰則ヲ適用スベキ者法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ督業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和七年九月制令第九號ヲ以テ昭和七年十月一日ヨリ施行）

本令施行前從前ノ規程ニ依リ第一條第二項ニ規定スル穀物ニ付爲シタル檢查ハ之ヲ本令ニ依リ爲シタル檢查ト看做ス

●朝鮮穀物檢查令施行規則

昭和七年九月
總令第九十一號

改正　昭和七年一二月一二號、九年一二號、一〇七號、一〇年八號九號

朝鮮穀物檢查令施行規則左ノ通定ム

朝鮮穀物檢查令施行規則

第一條　朝鮮穀物檢查令（以下單ニ穀物檢查令ト稱ス）第一條第一項ノ規定ニ依リ檢查ヲ受クベキ穀物ハ叺、玄米、白米、小麥、大豆、小豆、菜豆及豌豆トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ檢查ヲ受クルコトヲ要セズ

一　商品見本ニシテ一口一斗以內ノモノ

二　自家用品ニシテ一口四斗以內ノモノ

三　軍ノ所有穀物ニシテ其ノ證明アルモノ

四　官廳、碾米等ニシテ朝鮮總督府穀物檢查所支所又ハ其ノ出張所（以下單ニ穀物檢查所ト稱ス）ノ證明アルモノ

五　試驗調查若ハ種子ノ用ニ供シ又ハ博覽會、共進會、品評會等ノ出品ノ用ニ供スルモノニシテ官公署ノ證明アルモノ

叺ニシテ小作料トシテ納付スルモノ

第二條　檢查官吏其ノ職務ヲ行フトキハ第一號樣式ノ證票ヲ携帶スベシ

第三條　朝鮮總督府穀物檢查所長（以下單ニ穀物檢查所長ト稱ス）ハ必要アリト認ムルトキハ部下ノ官吏ノ中ヨリ檢查監督官ヲ命ズルコトヲ得

第四條　檢查ヲ請求スル者ハ左ノ檢查手數料ヲ納ムベシ但シ第十六條又ハ第十七條ニ該當スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　叺入ノモノ（籾ヲ除ク）、麻袋百斤入小豆及麻袋百封度入菜豆　一箇ニ付五錢

二　叺入籾及布袋入白米　一箇ニ付三錢

三　麻袋百五十斤入小豆、菜豆、豌豆　一箇ニ付十錢

四　第十條ニ規定スル容量、重量又ハ包裝ノ標準ニ依ラザルモノ　一箇ニ付五錢

前項ノ檢查手數料ハ第二號樣式ノ檢查請求書ニ收入印紙ヲ貼附シテ所轄穀物檢查所ニ之ヲ納ムベシ

第十七條　産業　第一章　農業

第七條　穀物及麁検査

ニ依ルコトヲ得

重量

一　在來俵

(イ)　一箇ニ付九十斤（口枡二斤ヲ添加スベシ）

(ロ)　一箇ニ付百二十斤（口枡二斤ヲ添加スベシ）

(ハ)　一箇ニ付百五十斤（口枡三斤ヲ添加スベシ）

(ニ)　一箇ニ付百八十斤（口枡三斤ヲ添加スベシ）

二　麻袋

一箇ニ付百斤（口枡一斤ヲ添加スベシ）

包裝

一　在來俵

(イ)　掛繩ハ直徑四分乃至四分五厘ノモノヲ用フベシ

(ロ)　縦繩ハ五箇所（九十斤入ニ在リテハ三箇所）ニ施シ各二廻トシ男結ニテ結フベシ

(ハ)　横繩ハ二箇所ニ施シ各二ツ折繩ヲ以テ中部ノ縦繩ニ戻シ掛ケ兩端ノ縦繩ニ本掛トシ男結ニテ結フベシ

(ニ)　側繩ハ一箇所（九十斤入ニ在リテハ之ヲ要セズ）ニ施シ二ツ折繩ヲ以テ縦繩ト横繩ニ各戻シ掛トシ中央ノ縦繩ト共ニ男結ニテ結フベシ

二　麻袋

(イ)　掛繩ハ直徑四分乃至四分五厘ノモノヲ用フベシ

(ロ)　縦繩ハ一箇所ニ施シ二ツ折繩ヲ以テ横繩ニ本掛トシ其ノ繩ノ折目ニ引掛ケテ男結ニテ結フベシ

(ハ)　横繩ハ一箇所ニ施シ二廻トシ男結ニテ結フベシ

前項ノ規定ニ依リ檢査ヲ請求スル者ハ第四條第一項第四號ノ規定ニ拘ラズ左ノ檢査手數料ヲ納ムベシ

一　在來俵九十斤入ノモノ　一箇ニ付四錢

二　在來俵百二十斤入ノモノ　一箇ニ付五錢

三　在來俵百五十斤入ノモノ　一箇ニ付六錢

四　在來俵百八十斤入ノモノ　一箇ニ付七錢

五　麻袋百斤入ノモノ　一箇ニ付四錢

第一號樣式

檢査官證票

表　面

第　號

檢査官之證

官氏名

三寸　二寸

裏　面

年　月　日

朝鮮總督府穀物檢査所

所印

第二號樣式

（用紙ハ美濃判模造紙ノ全紙トス種類生産年度及容（重）量ヲ異ニスル毎ニ別紙ニ依リ請求スルコト）

穀物檢査請求書

〔表〕

生産年別	種類及品種名	叺又ハ袋數	一箇ノ容（重）量	原料生産地	調製地	仕向地	出荷又ハ檢査ヲ受ケント定メタル年月日	檢査ヲ受ケント定メタル場所

時間　後精撰米搗精ノ經過時間

右檢査相受度候也

年　月　日

住所

請求人　何　某㊞

〔裏〕

收入印紙貼附欄

檢査手數料　金

收入印紙ノ幅トス

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所御中

第三號樣式

一　住所

一　氏名

一　年齡

一　職業

一　代理期間

右ノ通代理人ヲ定メ受檢上一切ノ行爲ヲ委任候ニ付此段及御屆候也

年　月　日

住所

屆出人　何　某㊞

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所何々出張所御中

第四號樣式

指定地外出張檢査申請書

一、檢査ヲ受ケントスル場所

一、一箇年ノ受檢見込數量

一、一回ノ受檢見込數量

一、檢査ヲ受ケントスル期間

右ノ通指定地外出張檢査相受度及申請候也

年　月　日

住所

申請人　何　某㊞

第五號樣式　票簽（用紙模造紙）

第六號樣式　檢査證印（肉色　玄米、黒、糀及白米、赤、小麥稍青、小豆、緑、豌豆、紫、茶、菜豆、青、大豆）括弧内ハ布袋入ノ分

○

檢査地

住所

受檢者氏名

重量　斤

掛目

第七號樣式　檢査所記號（肉色　檢査證印ニ同ジ）括弧内ハ布袋入ノ分

釜山　ワ

群山　ク

鎭南浦　ナ

木浦　木

仁川　仁

元山　元

（以下同寸法）

第八號樣式　陸稻檢査證印（肉色赤）

陸

第九號樣式　搗小豆檢査證印（肉色茶）

ミガキ

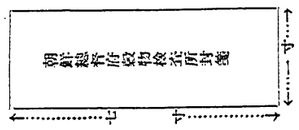
特等　一等　二等　三等　四等　五等　不合格

第十二格下級品　第十一格合格　第十格不合格

等外

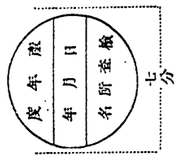
第十號樣式　石投檢查證印（肉色小麥ハ紺、大豆ハ赤）

第十一號樣式　封緘紙

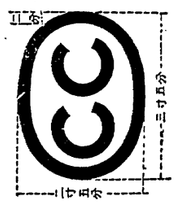


（白米ノ他ニ在リテハ赤色紙）
（ハ白色紙）

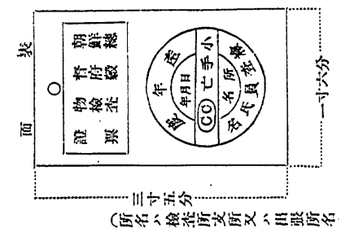
第十二號樣式　檢查日附印（肉色黒）



第十三號樣式　玄米檢查證印（俵入精選品ニ限ル肉色黒）



第十四號樣式　玄米檢查證印（俵入精選品ニ限ル）

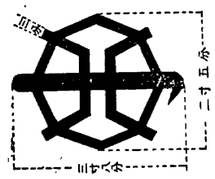


（所名ハ檢查所又ハ出張所名トス）

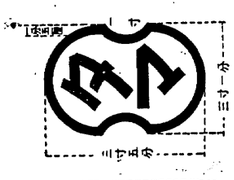
第十五號樣式　特別俵組

一　玄米（肉色赤色伯ノ多摩錦組及陸羽一三三號種ハ紺、在來種ハ黒）

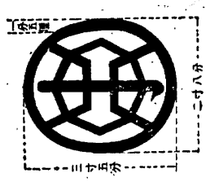
（イ）　亀ノ尾種



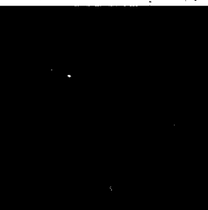
（ロ）　多摩錦種



（ハ）　陸羽一三三號種

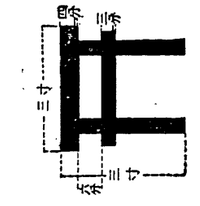


（ロ）　ノ二級内種

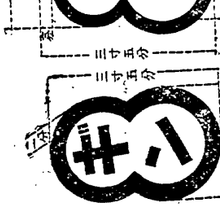


（ハ）　中生種

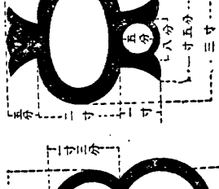
（ニ）　晩生種



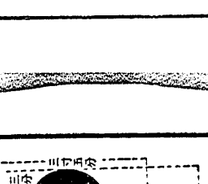
（ホ）　早生種



（ヘ）　晩稲種

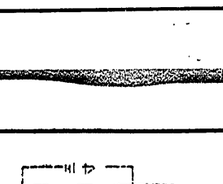


（ト）　糯種



二　大豆（肉色茶目種ハ黒小粒種ハ赤、オイアルコン種ノ子種及金剛種ハ青）

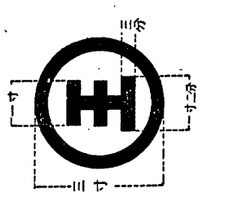
（イ）　茶目種



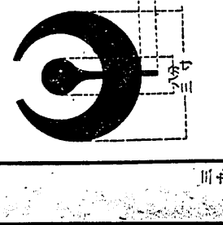
（ロ）　小粒種

（ハ）　赤種

（ニ）　オイアルコン種



（ホ）　鶴ノ子種

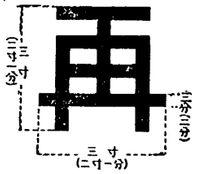


(甲)　企剛種

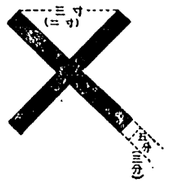
第十六號樣式　再檢査證印（肉色青）

括弧内ハ布袋入ノ分

第十七號樣式　再檢査目附印（肉色赤）



第十八號樣式　消印（肉色黒）



括弧内ハ布袋入ノ分

第十九號樣式

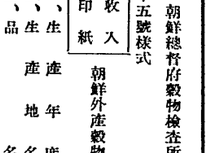
商標承認申請書

受檢穀物ノ包裝ニ對シ別紙雛形圖ノ通商標使用致度候ニ付承認相受度此段及申請候也

年　月　日

住所
申請人　何　某㊞

第二十號樣式　責任番號雛形



朝鮮穀物檢査所何々支所長殿

第二十一號樣式

責任番號使用承認申請書

本籍地
現住所
營業所
商標

氏名
年月日生

朝鮮穀物檢査令施行規則第二十條ノ規定ニ依リ責任番號ノ使用方承認相受度此段及申請候也

年　月　日

右氏名㊞

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所長殿

第二十二號樣式

<table>
<tr><td>收入印紙</td></tr>
</table>

菜豆檢査證明書下附願

一、品種名
二、所在箇所
三、生産年度
四、一袋ノ正味重量
五、數量
六、等級
七、包裝
八、責任番號

九、積込船名
十、積出港及出帆年月日
十一、仕向地
十二、抽出見本箇數
十三、積出人
右證明書御下附相成度此段及御願候也

年　月　日

住所
願出人　何　某㊞

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所長殿

第二十三號樣式

檢査濟穀物移出屆

<table>
<tr><td>生産年度</td><td>品種類及等級</td><td>數量（叺又ハ袋）</td><td>仕向地</td><td>出荷豫定月日</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

右屆出候也

年　月　日

住所
屆出人　何　某㊞

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所長殿

第二十四號樣式　（品名欄ニハ籾、玄米、白米、大豆、小豆、茶豆、豌豆、小麥、碎米、長粒、丸粒、糯、糀ノ別ニ種類ヲ記載スルコト）

朝鮮外産穀物輸（移）入屆

<table>
<tr><td>生産年別</td><td>生産地名</td><td>品名</td><td>數量　一箇ノ容（重）量</td><td>包裝ノ種類</td><td>仕出地</td><td>入荷月日</td><td>用途</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

右屆出候也

年　月　日

住所
屆出人　何　某㊞

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所長殿

第二十五號樣式

<table>
<tr><td>收入印紙</td></tr>
</table>

朝鮮外産穀物又ハ屑物碎米等輸（移）出承認申請書

一、生産年度
二、生産地名
三、品名
四、數量
五、一箇ノ容（重）量
六、包裝ノ種類及方法
七、積出地
八、仕向地
九、出荷豫定月日
十、事由

右輸（移）出致度候條御承認相成度候也

年　月　日

住所
申請人　何　某㊞

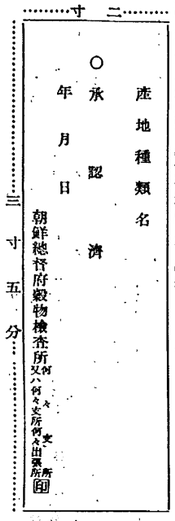
朝鮮總督府穀物檢査所何々支所長殿

第二十六號樣式

朝鮮外産穀物又ハ屑物等輸（移）出承認證印（肉色黒）

第二十七號樣式

朝鮮外産穀物又ハ碎米屑物等輸（移）出承認證票



昭和十三年五月
總令第百六號

朝鮮穀物檢査令施行規則中左ノ通改正ス

第四條第一項ヲ左ノ如ク改ム

檢査ヲ請求スル者ハ左ノ檢査手數料ヲ納ムベシ但シ第十六條又ハ第十七條ノ規定ニ依リ檢査ヲ請求スル者ハ此ノ限ニ在ラズ

一　叺入穀物（籾ヲ除ク）　一箇ニ付五錢
二　叺入籾及布袋入白米　一箇ニ付三錢
三　麻袋入小豆、菜豆、豌豆　一箇ニ付十錢
四　第十條ニ規定スル容量、重量又ハ包裝ノ標準ニ依ラザル穀物　一箇ニ付五錢

第九條第二項但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ特別ノ事由アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ穀物檢査所長ニ於テ之ヲ免除スルコトヲ得

第十條中容量又ハ重量ノ部ヲ左ノ如ク改ム

容量又ハ重量　一　叺入玄米、小豆、菜豆、豌豆　一箇ニ付四斗（日枡五合乃至八合ヲ添加スベシ）
二　白米　叺入一箇ニ付六十キログラム（日枡四百グラムヲ添加スベシ）　布袋入一箇ニ付三十キログラム（日枡百二十グラムヲ添加スベシ）又ハ十五キログラム（日枡百グラムヲ添加スベシ）
三　籾、小麥、大豆　叺入一箇ニ付九十斤（日枡籾ニ在リテハ一斗、小麥ニ在リテハ一・五斤、大豆ニ在リテハ二、五斤ヲ添加スベシ）　四　麻袋入小豆、菜豆、豌豆　一箇ニ付百五十斤（日枡二・五斤ヲ添加スベシ）

同條包裝ノ部第一號(1)中「叺檢査規則」ヲ「朝鮮叺檢査規則」ニ改ム

第十一條第二項籾ノ部中「百分ノ三以内」ヲ「百分ノ二以内」ニ、「百分ノ六以内」ヲ「百分ノ四以内」ニ、「百分ノ八以内」ヲ「百分ノ六以内」ニ、同項白米ノ部中「百分ノ十二以内」ヲ「百分ノ十以内」ニ、「百分ノ十五以内」ヲ「百分ノ十二以内」ニ改メ同項大豆ノ部ヲ左ノ如ク改ム

大豆
特等　品質及乾燥　特等標準品以上ノモノ　調製　種皮色ノ異リタルモノノ混入ナキモノ
一等　品質及乾燥　一等標準品以上ノモノ　調製　種皮色ノ異リタルモノノ混入ナキモノ　夾雜物ノ混入百分ノ〇・五以内ノモノ
二等　品質及乾燥　二等標準品以上ノモノ　調製　種皮色ノ異リタルモノノ混入ナキモノ　夾雜物ノ混入百分ノ一以内ノモノ
三等　品質及乾燥　三等標準品以上ノモノ　調製　種皮色ノ異リタルモノノ混入ナキモノ　夾雜物ノ混入百分ノ二以内ノモノ
四等　品質及乾燥　四等標準品以上ノモノ　調製　種皮色ノ異リタルモノノ混入ナキモノ　夾雜物ノ混入百分ノ三以内ノモノ

第十二條第一項第一號中「異年度産」ヲ「異年産」ニ改メ同項第四號ヲ削ル

同條第二項中「不合格」ノ下ニ「及等外」ヲ加フ

第十三條　檢査ヲ了シタル穀物ニハ其ノ包裝ノ表面ニ假ニ在リテハ第六號樣式ノ檢査證印ヲ、其ノ他ノ穀物ニ在リテハ同號樣式ノ檢査證印及第七號樣式ノ檢査所記號ヲ押捺シ且簡裕ニ在リテハ第八號樣式ノ證印ヲ、磨小豆ニ在リテハ第九號樣式ノ證印ヲ、石拔小麥及石拔大豆ニ在リテハ第十號樣式ノ證印ヲ押捺ス

檢査ヲ了シタル穀物ニハ第十一號樣式ノ封簽ニ第十二號樣式ノ日附印ヲ押捺シタルモノヲ以テ叺ニ在リテハ口取紐ニ、布袋入ニ在リテハ縫繩ノ各結止ノ餘部ニ、麻袋入ニ在リテハ口縫絲ノ中央部ニ卷封ヲ施シ之ニ封印ス

第十一條第一項ノ規定ニ依リ等級ヲ附シタル穀物ニシテ特別ノ標記ヲ必要トスルモノニハ叺ニ在リテハ第五號樣式ノ票簽ニ其ノ品種名ヲ表示シ其ノ他ノ穀物ニ在リテハ其ノ包裝ノ表面ニ朝鮮總督ノ定ムル記號ヲ押捺ス

第十六條第一項第二號中「過年度産」ヲ「過年産」ニ改メ同項第六號中「及」ヲ「、」ニ改メ「ナキトキ又ハ」ヲ削リ、同項第七號中「封簽紙」ヲ「封簽」ニ改メ「、證票」ヲ削ル

第十八條第一項中「第十六號樣式」ヲ「第十三號樣式」ニ、「封簽紙」ヲ「封簽」ニ、「第十七號樣式」ヲ「第十四號樣式」ニ改ム

同條第二項中「第十八號樣式」ヲ「第十五號樣式」ニ改ム

第二十條第二項中「第十九號樣式」ヲ「第十六號樣式」ニ改ム

同條第三項及第四項ヲ削ル

第二十一條中「又ハ責任番號」ヲ削ル

第二十二條　削除

第二號樣式（用紙ハ美濃判模造紙ノ全紙トス）

生産年種類及品種名　叺又ハ袋數　一箇ノ容量（重量）　調製地　出荷豫定月日　檢査ヲ受クベキ場所

右檢査相受度候也

年　月　日

住所
請求人　何某
印

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所（何々支所何々出張所）長殿

（裏面）

叺入印紙貼附欄

檢査手數料　金　圓

出張檢査費用　金　圓

第二十三條中「穀物檢査令第四條ニ揭グル者」ヲ削リ「移出セントスルトキ」ヲ「移出セントスル者」ニ、「第二十三號樣式」ヲ「第十七號樣式」ニ改ム

第二十四條中「第二十四號樣式」ヲ「第十八號樣式」ニ改ム

第二十五條第一項中「第二十五號樣式」ヲ「第二十九號樣式」ニ改ム

同條第二項ヲ左ノ如ク改ム

穀物檢査所前項ノ承認ヲ與ヘタルトキハ其ノ包裝ノ表面ニ第二十號樣式ノ證印ヲ押捺シ第二十一號樣式ノ證票ニ第十二號樣式ノ日附印ヲ押捺シタルモノヲ附スベシ

第二十六條中「檢査ニ合格シタル穀物」ヲ「檢査ヲ了シタル穀物」ニ改ム

第二十八條第一項中「又ハ第四項」及「又ハ責任番號」ヲ削ル

附則第四項中「封簽紙」ヲ「封簽」ニ改ム

附則（昭和十年朝鮮總督府令第九十六號）中第五項及第六項ヲ削ル

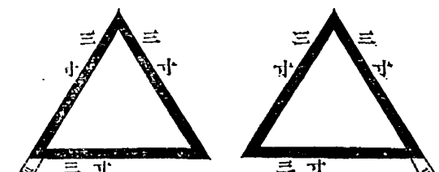
第二號樣式ヲ左ノ如ク改ム

第三號樣式中「行爲ヲ」ノ下ニ「爲ス權限ヲ」ヲ加ヘ「何々支所（何々支所何々出張所）御中」ヲ「何々支所（何々支所何々出張所）長殿」ニ改ム

第四號樣式中「及申請候也」ノ上ニ「此段」ヲ加フ

第六號樣式中「大豆　赤、小麥　紺青」ヲ「小麥　紺青、大豆　赤」ニ改メ「第十二條第二項」ヲ削リ等外ノ次ニ左ノ如ク加フ

等外下級品

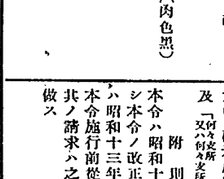


第七號樣式中「檢査證印」ノ上ニ「第六號樣式ノ一」ヲ加フ

第十一號樣式中「封簽紙」ヲ「封簽」ニ改ム

第十二號樣式

檢査日附印又ハ承認日附印（肉色黒）



第十三號樣式、第十四號樣式及第十五號樣式ヲ削ル

第十六號樣式ヲ第十三號樣式トス

第十七號樣式ヲ第十四號樣式トシ「檢査所名」ヲ「穀物檢査所名」ニ改ム

第十八號樣式ヲ第十五號樣式トス

第十九號樣式ヲ第十六號樣式トシ同號樣式中「商標承認」ヲ「商標使用承認」ニ改メ「承認相受度」ノ上ニ「御」ヲ加ヘ「何々支所」ヲ削ル

第二十號樣式、第二十一號樣式及第二十二號樣式ヲ削ル

第二十三號樣式ヲ第十七號樣式トシ同號樣式中「輸（移）出」ニ、「生産年度」ヲ「生産年」ニ、「（何々支所　又ハ何々支所何々出張所）御中」ヲ「何々支所（何々支所何々出張所）長殿」ニ改ム

第二十四號樣式ヲ第十八號樣式トシ同號樣式中「大豆、小豆、菜豆、豌豆、小麥」ヲ「小麥、大豆、小豆、菜豆、豌豆」ニ、「生産年別」ヲ「生産年」ニ、「（何々支所　又ハ何々支所何々出張所）御中」ヲ「何々支所（何々支所何々出張所）長殿」ニ改ム

第二十五號樣式ヲ第十九號樣式トシ同號樣式中「生産年度」ヲ「生産年」ニ、「右輸（移）出致度候條御承認相受度候也」ヲ「右輸（移）出致度候ニ付御承認相受度此段及申請候也」ニ改メ「及方法」ヲ削リ「何々支所」ノ下ニ「（何々支所　又ハ何々支所何々出張所）」ヲ削ル

第二十六號樣式ヲ第二十號樣式トシ同號樣式中「碎米屑物」ヲ「屑物碎米」ニ改ム

第二十七號樣式ヲ第二十一號樣式トシ同號樣式中「碎米屑物」ヲ「屑物碎米」ニ改メ「年月日」及「（何々支所　又ハ何々支所何々出張所）」ヲ削ル

附則

本令ハ昭和十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本令ノ改正規定中白米及大豆ニ關スル部分ハ昭和十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前發前ノ規定ニ依リ爲シタル檢査及其ノ請求ハ之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス

●朝鮮穀物檢査令施行規則第十三條第三項ノ記號

昭和十三年五月
總告第四百三十九號

朝鮮穀物檢査令施行規則第十三條第三項ノ規定ニ依ル記號左ノ通定ム

一　玄米

（一）多摩錦種

（二）陸羽一三二號種

（三）福坊主種

（四）雄町種

(二)
小
粒
稲

(一)
白
目
稲

三
大
豆

二
小
麥

(十四)
准
米
稲

(十三)
赤
碑
力
稲

(十二)
穀
良
都
稲

(二)
小
粒
稲

(一)
白
目
稲

(十一)
早
生
禍
稲

(十)
目
遊
稲

(九)
粂
光
稲

(八)
粟
玉
稲

(七)
璃
光
稲

(六)
中
生
稚
力
稲

(五)
銀
坊
主
稲

(十一)
早
生
禍
稲

(十)
目
遊
稲

(九)
粂
光
稲

(八)
粟
玉
稲

(七)
璃
光
稲

(六)
中
生
稚
力
稲

(五)
銀
坊
主
稲

●朝鮮総督府告示第一百二十六号ヲ以テ指定ス

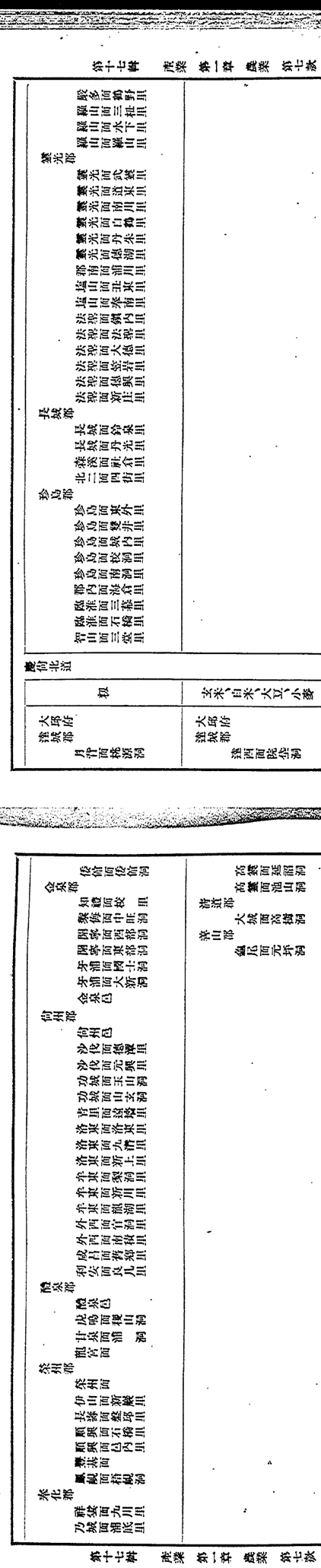
穀物

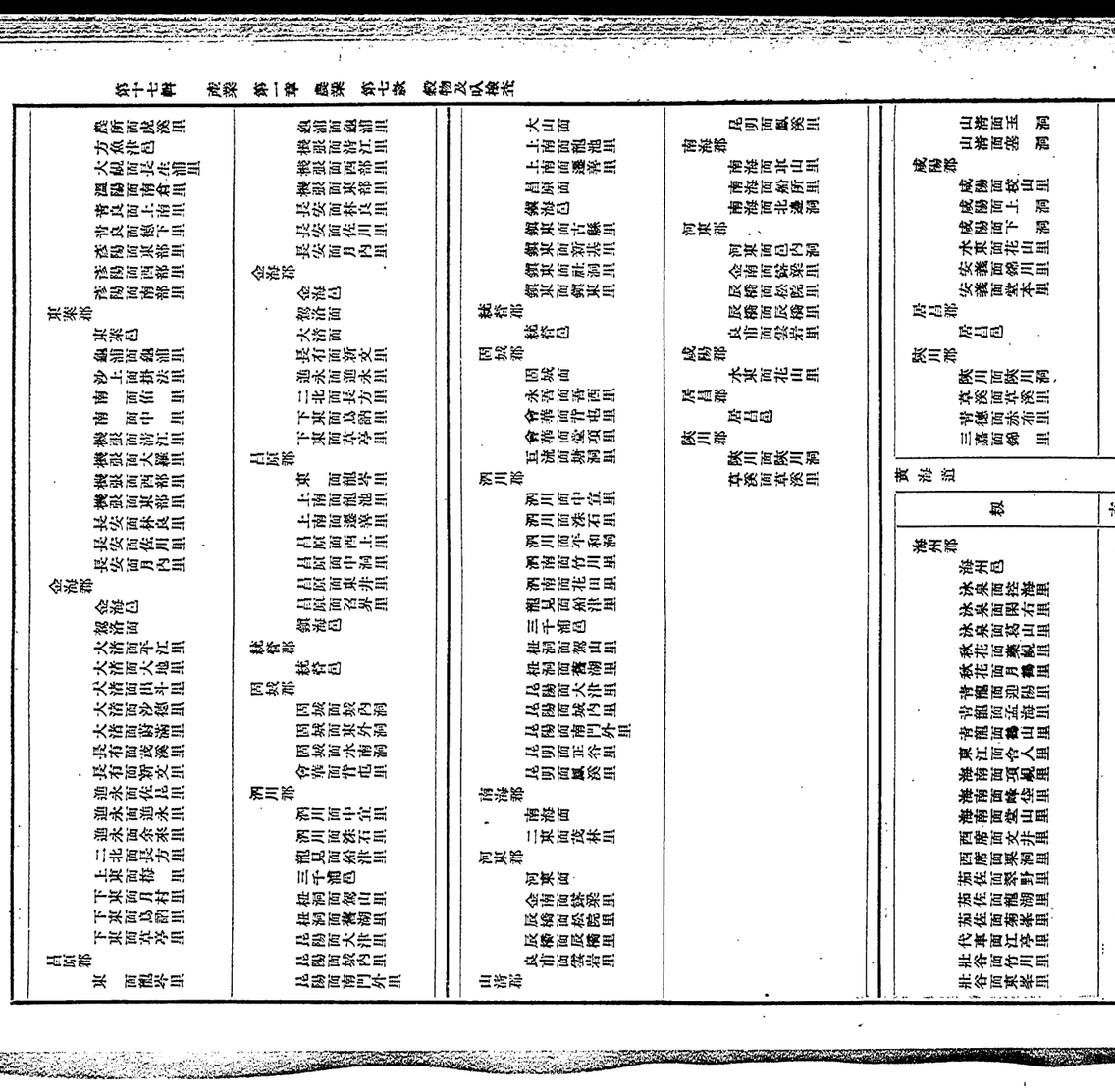
昭和十二年九月十六日

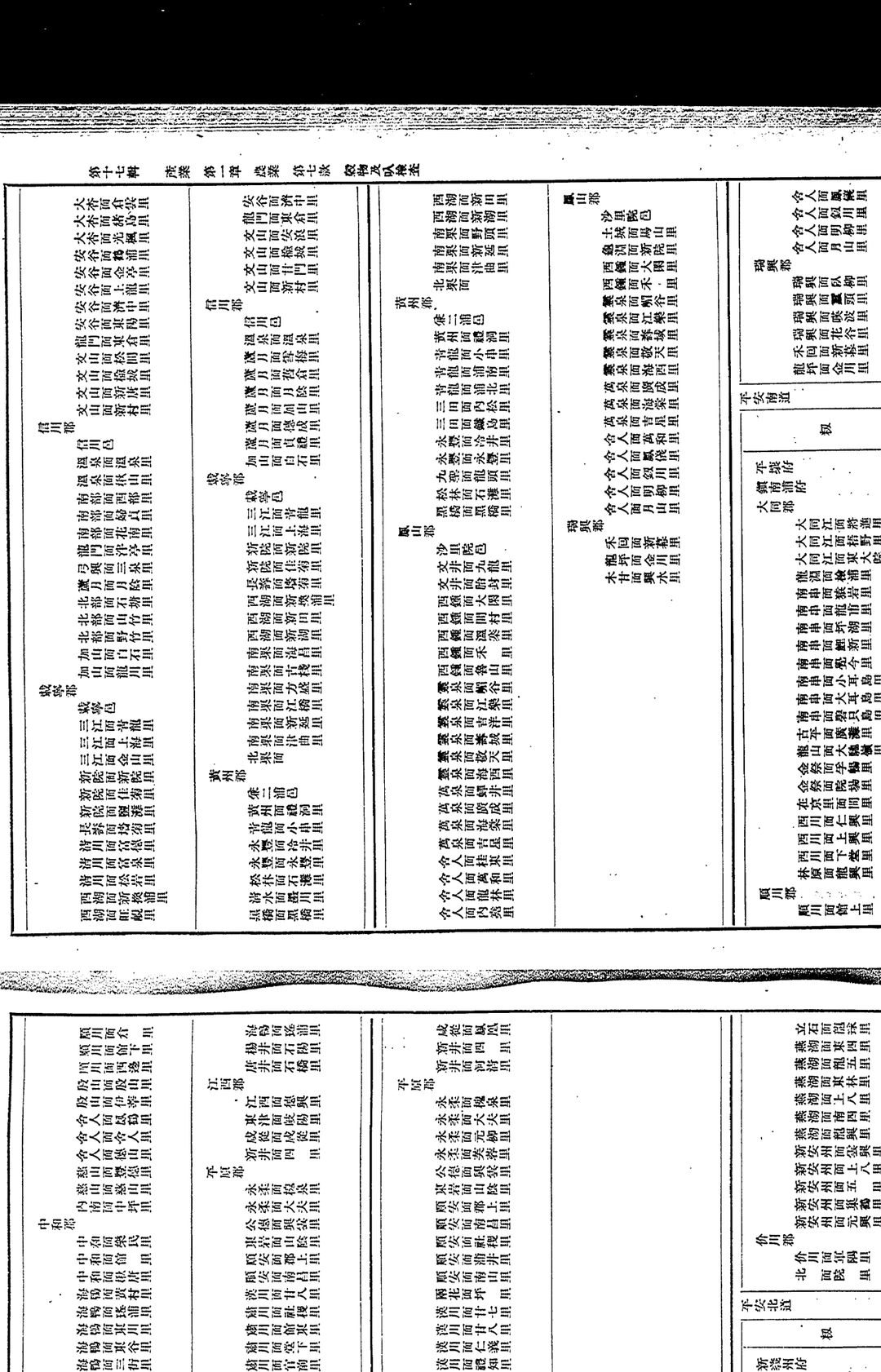
穀物ノ収穫ニ関スル調査ハ左ノ通定ム

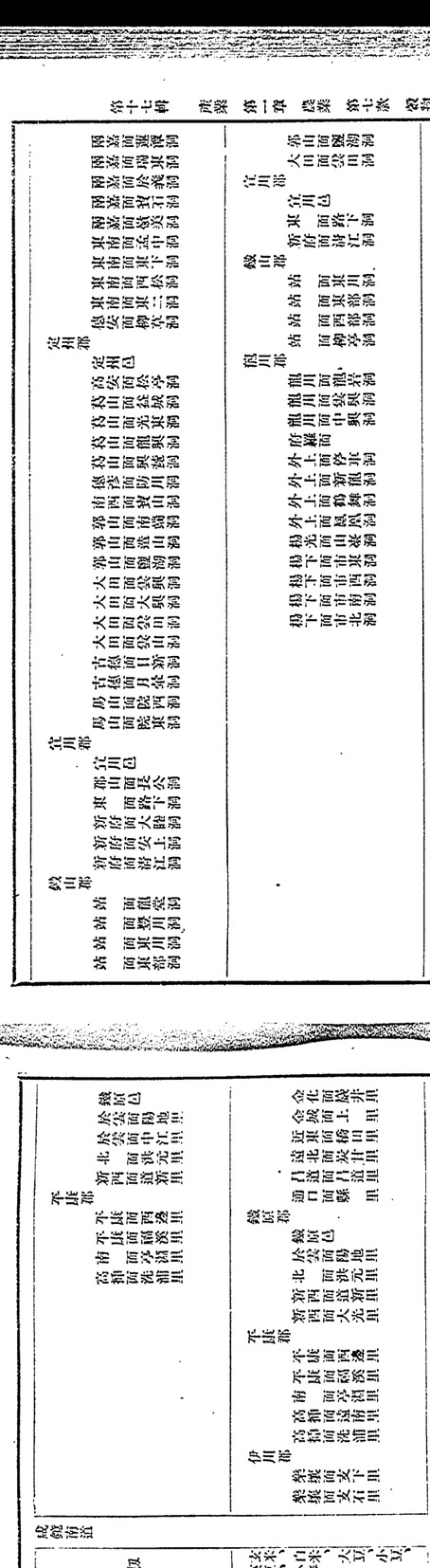
昭和十二年十一月十日

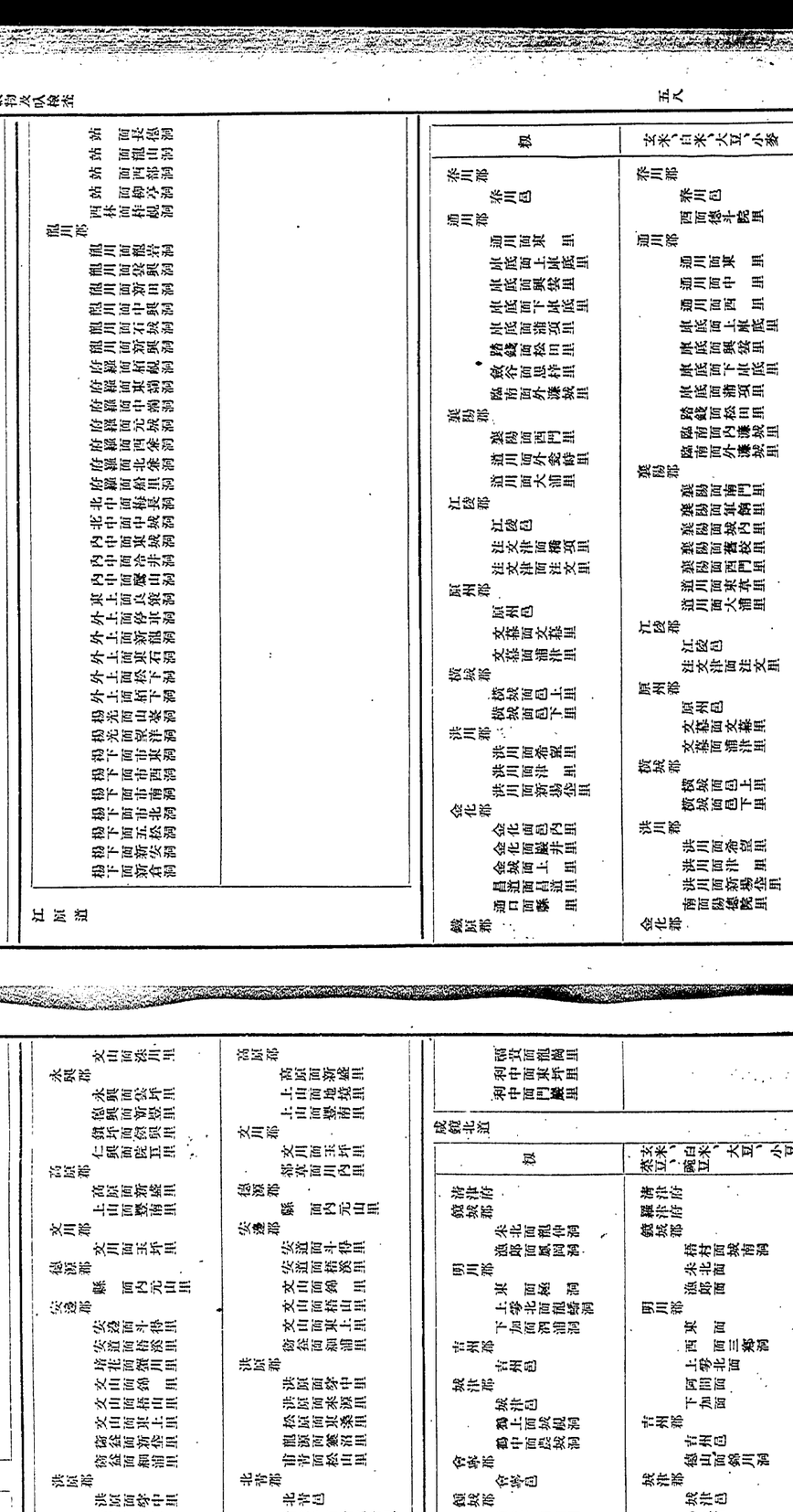
穀物ノ収穫ニ関スル調査ハ左ノ通定ム

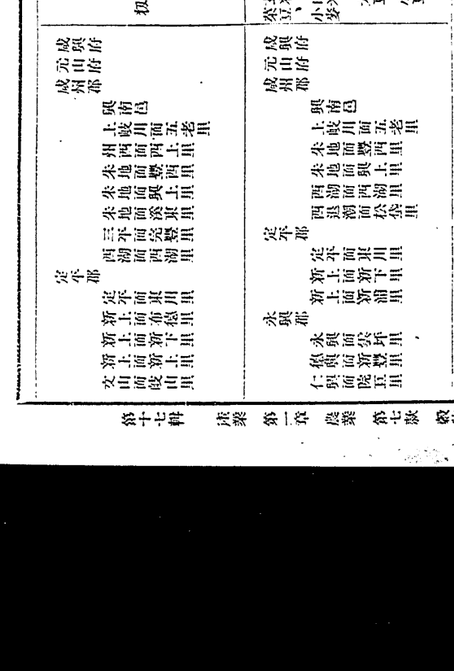


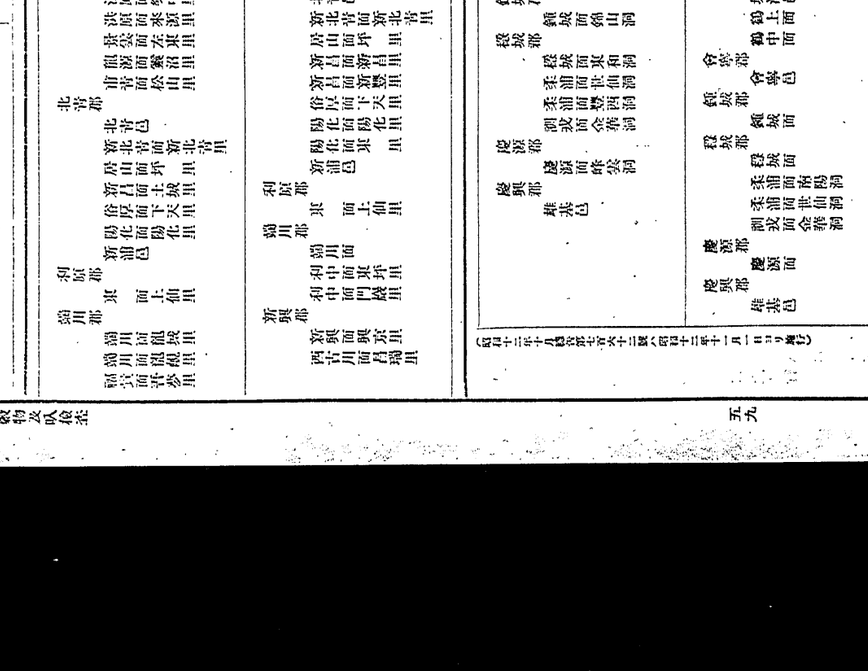

昌原郡
東
金海郡
東萊郡
金海郡
昌原郡
耽羅郡
河東郡
南海郡
陜川郡
咸陽郡
居昌郡
晉州郡
泗川郡
固城郡
巨濟島
南海郡
河東郡
泗川郡
固城郡
耽羅郡
陜川郡
咸陽郡
居昌郡
晉州郡
泗川郡
固城郡
巨濟島
南海郡
河東











●朝鮮穀物檢査令施行規則第二十三條ニ規定スル指定地

昭和十一年十二月
總督令第六百九十七號

朝鮮穀物檢査令施行規則第二十三條ニ規定スル指定地昭和十一年十二月十日ヨリ左ノ通定ム

京畿道仁川府
忠清南道論山郡江景邑
忠清南道舒川郡馬東面
忠清南道舒川郡馬南面
忠清南道藍山府
全羅北道扶安郡蝟浦面
全羅北道益山郡望城面
全羅南道木浦府
全羅南道靈水郡靈水邑
慶尚北道迎日郡鳥川面
慶尚北道迎日郡東海面
慶尚北道迎日郡大松面
慶尚南道迎日郡浦項邑
慶尚南道釜山府
慶尚南道馬山府
慶尚南道昌原郡昌原面
慶尚南道昌原郡內西面
黃海道海州郡海州邑
黃海道安岳郡大寺面
黃海道安岳郡西河面
平安南道鎭南浦府
平安南道龍岡郡大代面
平安北道新義州府
平安北道龍川郡龍川面
平安北道龍川郡龍岩面
平安北道龍川郡楊下面
咸鏡南道元山府
咸鏡南道咸州郡興南邑
咸鏡南道咸州郡西湖面
咸鏡北道清津府
咸鏡北道羅津府
咸鏡北道羅津郡羅津邑
咸鏡北道慶興郡雄基邑

●朝鮮叺檢査規則

昭和七年九月
總令第百號

朝鮮叺檢査規則左ノ通定ム

朝鮮叺檢査規則

第一條　朝鮮産叺ヲ別ニ指定スル地區內ニ於テ賣利ノ目的ヲ以テ讓渡シ若ハ其ノ地區外ヘ移送シ又ハ別ニ指定スル地ヨリ若ハ其ノ地ヲ經テ撥出セントスル者ハ第二條第二項又ハ第三項ニ規定スル事項ニ付朝鮮總督府穀物檢査所支所又ハ其ノ出張所（以下單ニ穀物檢査所ト稱ス）ノ檢査ヲ受クベシ但シ試驗若ハ調査ノ用ニ供シ又ハ博覽會、共進會、品評會等ノ出品ノ用ニ供スルモノニシテ官公署ノ證明アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ檢査ハ穀用叺、鹽用叺及肥料用叺ニ付之ヲ行フ但シ必要アリト認ムルトキハ其ノ他ノ叺ニ付テモ之ヲ行フコトヲ得

第二條　檢査ハ生産檢査及撥出檢査ノ二種トス

生産檢査ハ前條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地區內ニ於テ賣利ノ目的ヲ以テ讓渡シ又ハ其ノ地區外ニ移送セントスル叺ノ品質、構造及重量ニ付之ヲ行フ

撥出檢査ハ生産檢査ヲ了シタル叺ニシテ前條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地ヨリ又ハ其ノ地ヲ經テ撥出セントスル叺ノ個包ニ付之ヲ行フ

第三條　檢査官吏其ノ職務ヲ行フトキハ朝鮮穀物檢査令施行規則第二條ニ規定スル證票ヲ攜帶スベシ

第四條　檢査ヲ請求スル者ハ左ノ檢査手數料ヲ納ムベシ

一　生産檢査　一枚ニ付五厘
　撥出檢査　一個包ニ付十五錢

二　前項ノ檢査手數料ハ第一號又ハ第二號樣式ノ檢査請求書ニ收入印紙ヲ貼附シテ所轄穀物檢査所ニ之ヲ納ムベシ

第五條　撥出檢査ノ請求人檢査ヲ受クベキ地ニ居住セザルトキハ檢査ニ關シ一切ノ行爲ヲ爲スノ權限ヲ有スル代理人ヲ選定シ第三號樣式ニ依リ所轄穀物檢査所ニ之ヲ屆出ヅベシ

第六條　檢査ハ請求ノ順序ニ從ヒ穀物檢査所ノ指定スル場所ニ於テ之ヲ行フ

第七條　生産檢査ヲ受クベキ叺ノ規格ハ左ノ標準ニ依ルベシ但シ特別ノ事由アルトキハ其ノ標準ニ依ラシメザルコトヲ得

區別	穀用叺（四斗入）	鹽用叺	肥料用叺又ハ穀用叺（二斗入）
織組	直徑一分五厘乃至二分 綯目一尺ニ付二十內外	直徑一分五厘內外 綯目一尺ニ付十八內外	同上
縒繩ノ數	三十八筋又ハ四十筋	三十六筋	三十二筋又ハ三十四筋
耳組數	五本以內ノ丸耳	同上	同上
表裏ノ差	二寸	三寸	二寸
底部折込ノ深サ	一寸五分乃至一寸七分	同上	縫付ノ兩端一寸三分乃至一寸五分（折込ヲ弓形トス）
親縄	直徑四分乃至四分五厘內外 綯目一尺ニ付十七內外	直徑三分五厘內外 綯目一尺ニ付十五內外	同上
縫繩	直徑二分乃至二分五厘 綯目一尺ニ付十八內外	直徑一分五厘乃至二分 同上	同上
縫目	親縄ニ逆掛片側二十七以上	親縄ニ逆掛片側二十三以上	同上
口取繩	一尺五寸	一尺 （穀用叺ヲ在リテハ一尺トス）	
叺ノ幅	外側二尺七寸	外側二尺六寸五分	外側二尺四寸
叺ノ長（底部折込ノ中心迄）	表面三尺一寸 裏面二尺九寸	表面三尺一寸五分 裏面二尺八寸五分	表面二尺七寸五分 裏面二尺五寸五分
重量	七百匁乃至八百五十匁	五百匁乃至七百匁	四百五十匁乃至五百五十匁但シ穀用叺ニ在リテハ五百五十匁乃至七百匁トス
縫方	縦縄ノ二筋目ト三筋目ノ間ニ親縄ヲ當テ縫合	同上	同上

第八條　生産檢査ニ於テハ朝鮮總督府穀物檢査所長ノ定ムル標準叺ニ依リ天位、地位又ハ人位ノ等級ヲ附ス

第一條第二項但書ニ規定スル叺ニ付必要アルトキハ前項ノ等級ト異ル等級ヲ定ムルコトヲ得

第九條　撥出檢査ヲ受クベキ叺ノ個包ハ左ノ標準ニ依ルベシ

一　締縄ハ直徑五分以上ノモノヲ用ヒ一個所ニ卷乃至三卷トシ四箇所掛トス

二　一個包ハ穀用叺（四斗入）ニ在リテハ二折三十枚締、高サ三尺以內トシ、鹽用叺ニ在リテハ二折三十枚締、高サ二尺七寸以內トシ、肥料用叺及穀用叺（三斗入）ニ在リテハ五十枚締、高サ三尺三寸以內トス

第一條第二項但書ニ規定スル叺ノ個包ニ付テハ前項ノ標準ニ依ラシメザルコトヲ得

第十條　撥出檢査ニ於テハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ不合格トス

一　檢査ヲ了セザル叺又ハ等級ノ異リタル叺ノ混合スルモノ

二　損傷其ノ他異狀ヲ呈シタルモノ

三　前條ニ規定スル標準ニ該當セザルモノ

四　個包不完全ナルモノ

第十一條　不合格ト叺ハ之ヲ撥出スルコトヲ得ズ

第十二條　生産檢査ヲ了シタル穀用叺、鹽用叺及第一條第二項但書ニ規定スル叺ニハ其ノ裏面右下部ニ、肥料用叺ニハ裏面ノ上部中央ニ第四號樣式ノ檢査證印ヲ押捺ス

撥出檢査ニ合格シタル叺ニハ個包ノ表面ニ第五號樣式ノ檢査證印ヲ押捺シ第六號樣式ノ封緘紙ヲ以テ締綯ノ結止ニ卷封ヲ爲シ之ニ第七號樣式ノ日附印ヲ押捺ス

第十三條　檢査ノ決定ニ對シテハ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

第十四條　當該官吏必要アリト認ムルトキハ再檢査ヲ行フコトヲ得

前項ノ檢査ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十五條　檢査ヲ了シタル叺ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ第一條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地區內ニ於テ賣利ノ目的ヲ以テ讓渡シ若ハ其ノ地區外ニ移送シ又ハ同項ノ規定ニ依リ指定スル地ヨリ若ハ其ノ地ヲ經テ撥出セントスル者ハ更ニ檢査ヲ受クベシ

一　檢査證印ノ磨滅、汚損其ノ他ノ事由ニ依リ之ヲ識別シ難キモノ

二　損傷其ノ他異狀ヲ呈シタルモノ

三　個包ヲ更メタルモノ

四　封緘紙ヲ毀損シタルモノ

第十六條　前二條ニ規定スル檢査ノ結果前檢査ノ決定ヲ變更シタルトキハ第八號樣式ノ證印ヲ以テ前檢査ノ檢査證印ヲ抹消シ更ニ第十二條ノ規定ニ準ジ必要ナル檢査證印ヲ押捺ス

第十七條　第一條ニ規定スル叺及其ノ個包ニハ第十二條ニ規定スル檢査證印及日附印ニ類似スル標記ヲ附スルコトヲ得ズ

第十八條　本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反スト認ムルトキハ當該官吏ハ叺ノ占有者ニ對シ其ノ運搬停止又ハ穀戻ノ命ヲ爲シ其ノ他必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

第十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第一條第一項又ハ第十五條ノ規定ニ違反シ檢査ヲ受クズシテ叺ヲ第一條第一項ノ規定ニ依リ指定スル地區內ニ於テ賣利ノ目的ヲ以テ讓渡シ若ハ其ノ地區外ニ移送シ又ハ同項ノ規定ニ依リ指定スル地ヨリ又ハ其ノ地ヲ經テ撥出シタル者

二　第一條第一項又ハ第十五條ノ規定ニ依ル生産檢査ヲ受ケザル叺ヲ讓受ケタル者

三　第十一條ノ規定ニ違反シタル者

四　陳狀ノ行爲ヲ以テ檢査ヲ受ケタル者

第二十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第十二條又ハ第十六條ノ規定ニ依リ押捺シタル檢査證印又ハ日附印ヲ僞ニ抹消シタル者

二　第十四條第二項又ハ第十七條ノ規定ニ違反シタル者

三　第十八條ノ規定ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者

第二十一條　第一條ニ規定スル叺ノ生産者、取引業者、倉庫業者、所有者其ノ他占有者、其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人、其ノ他ノ從業者カ本令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

附　則

本令ハ昭和七年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

叺檢査規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前叺檢査規則ニ依リ爲シタル處分ニ付テハ本令施行後モ尙從前ノ例ニ依リ爲シタルモノト看做ス

本令施行前叺檢査規則ニ依リ道知事ニ於テ定メタル生産檢査手數料カ第四條ニ規定スル手數料ノ額以下ナル場合ニ在リテハ當分ノ內其ノ差額ニ限リ同條ノ規定ニ拘ラズ其ノ手數料ハ仍從前ノ額ニ依ル

第一號樣式

叺（後用穀用鹽用肥料用）生産檢査請求書

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所何々出張所　御中

右檢査相受度候
昭和　年　月　日

住所
請求人　何　某印

生産年別	受檢枚數	檢査手數料	受檢場所	備考
	枚	圓錢厘		

第二號樣式

叺（後用穀用鹽用肥料用）撥出檢査請求書

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所何々出張所　御中

右檢査相受度候
昭和　年　月　日

住所
請求人　何　某印

生産年別	受檢枚數	生産地	仕向地	受檢場所	備考
	枚				

第三號樣式

叺受檢代理人選定屆

一　住所
一　氏名
一　年齡
一　職業
一　代理期間

右ノ通リ代理人ヲ定メ檢査上一切ノ行爲ヲ委任候ニ付此段及御屆候也

昭和　年　月　日

住所
屆出人　何　某印

朝鮮總督府穀物檢査所何々支所何々出張所　御中

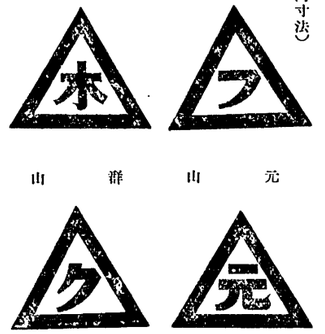
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第四號樣式　檢査證印（肉色天位吉　地位赤　人位黒）

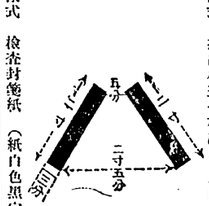
仁川　鎭南浦　釜山　木浦　元山　群山

（以下同寸法）

第五號樣式　撤出檢査合格證印（肉色赤）



第六號樣式　檢査封緘紙（紙白色黒字）



朝鮮總督府穀物檢査所叺撤出檢査封緘

第七號樣式　檢査日附印（肉色黒）

二寸　七分　尺

第八號樣式　消印（肉色黒）

●朝鮮叺檢査規則第一條第一項ニ規定スル指定地區及指定地

昭和十一年十二月總督令第六百九十八號

朝鮮叺檢査規則第一條第一項ニ規定スル指定地區及指定地昭和十一年十二月十日ヨリ左ノ通定ム

生産檢査指定地區

京畿道
京城府
仁川府
開城府
高陽郡一圓
廣州郡
　樂生面
楊州郡
　榮范面
　蘆海面
通川郡
　郡內面
　積城面
　毘湜面
　百鶴面
　嶺斤面
驪州郡
　州內面
　古東面
　加南面
　金沙面
利川郡一圓

龍仁郡
　水餘面
　駒城面
　水枝面
　器興面
　南四面
　二東面
　外四面
安城郡一圓
振威郡一圓
水原郡一圓
始興郡一圓
富川郡
　文鶴面
　南洞面
　慕莱面
　素砂面
　吾丁面
　桂陽面
　富內面
　西串面
金浦郡一圓
江華郡
　府內面
　仙源面
　佛恩面
　吉祥面
　下道面
　良道面
　內可面
　可岾面
　兩寺面
　松海面

三山面
坡州郡一圓
長湍郡
　長南面
　津南面
開豐郡
　中西面
　道風面
　中面
　臨漢面
　興敎面
　大理面

忠淸北道
淸州郡
　海州邑
　米院面
　芙蓉面
　江外面
　梧倉面
　北一面
報恩郡
　報恩面
　馬老面
　三外面
　慷北面
沃川郡一圓
永同郡一圓
錦川郡
　錦川面
　萬外面
槐山郡
　槐山面
　上芼面
　延豐面
　靑川面
　淸安面
　曾坪面
　佛頂面
陰城郡
　陰城面
　遠南面
　三成面

金旺面
甘谷面
忠州郡
　忠州邑
　周愁面
　薪尼面
　嚴政面
堤川郡
　堤川面
　淸風面
丹陽郡
　丹陽面

忠淸南道
大田府
大德郡一圓
燕岐郡
　鳥致院邑
　南面
　錦南面
　金義面
公州郡一圓
論山郡一圓
扶餘郡一圓
舒川郡一圓
保寧郡一圓
靑陽郡一圓
洪城郡一圓
禮山郡一圓
瑞山郡一圓
唐津郡一圓
牙山郡一圓
天安郡
　天安邑
　葛田面
　成歡面
　笠場面

全羅北道
全州府
完州郡一圓
金堤郡一圓
錦山郡一圓
茂朱郡一圓

光陽面
鳳岡面
玉龍面
骨若面
玉谷面
龍水郡
　麗水面
　三日面
順天郡
　順天邑
　海龍面
　西面
　別良面
　道沙面
　上沙面
高興郡
　高興面
　過嶺面
　大西面
寶城郡
　寶城面
　蘆洞面
　彌力面
　朱白面
　稧內面
　筏橋邑
　鳥城面
　得粮面
　谷泉面
和順郡
　和順面
　寒泉面
　春陽面
　梨陽面
　綾州面
　道谷面
　道厳面

全羅南道
光州府
木浦府
光山郡一圓
潭陽郡
　潭陽面
　鳳山面
　月山面
金城郡
　金城面
　武良面
　昌平面
　古西面
　水北面
　大田面
谷城郡
　谷城面
　玉果面
求禮郡
　求禮面
　山洞面
光陽郡

長水郡
　長水面
　山西面
　嬉岩面
　溪內面
任實郡一圓
南原郡一圓
淳昌郡
　淳昌面
　仁溪面
　東溪面
　豐山面
　金果面
　八德面
　赤城面
　柳等面
井邑郡一圓
高敞郡一圓
扶安郡一圓
金堤郡一圓
沃溝郡一圓
益山郡一圓

全羅南道
光州府
木浦府
光山郡一圓
潭陽郡
　潭陽面
　鳳山面
　月山面
金城郡
　金城面
　武良面
　昌平面
　古西面
　水北面
　大田面
谷城郡
　谷城面
　玉果面
求禮郡
　求禮面
　山洞面
光陽郡

金華府

永康縣　光祿山　在縣西南一百里
武義縣　光祿山　在縣東南一百里
浦江縣　抹谷　在縣西南一百四十里
蘭谿縣　抹谷　在縣西南一百四十里
東陽縣　抹谷　在縣西南一百四十里
義烏縣　抹谷　在縣西南一百四十里
永康縣　金山　在縣東南一百里
武義縣　大陽　在縣東南一百里
浦江縣　羅大陽　在縣東南一百里
蘭谿縣　羅大陽　在縣東南一百里
東陽縣　羅大陽　在縣東南一百里
義烏縣　羅大陽　在縣東南一百里
永康縣　羅大陽　在縣東南一百里
武義縣　羅大陽　在縣東南一百里
浦江縣　羅大陽　在縣東南一百里
蘭谿縣　羅大陽　在縣東南一百里
東陽縣　羅大陽　在縣東南一百里
義烏縣　羅大陽　在縣東南一百里

衢州府

西安縣　金山　在縣西南一百里
龍遊縣　金山　在縣西南一百里
常山縣　金山　在縣西南一百里
開化縣　金山　在縣西南一百里
江山縣　金山　在縣西南一百里

嚴州府

淳安縣　金山　在縣西南一百里
遂安縣　金山　在縣西南一百里
桐廬縣　金山　在縣西南一百里
建德縣　金山　在縣西南一百里
壽昌縣　金山　在縣西南一百里
分水縣　金山　在縣西南一百里

寧紹台道

紹興府

會稽縣　金山　在縣東南一百里
山陰縣　金山　在縣東南一百里
蕭山縣　金山　在縣東南一百里
諸暨縣　金山　在縣東南一百里
餘姚縣　金山　在縣東南一百里
上虞縣　金山　在縣東南一百里
嵊縣　金山　在縣東南一百里
新昌縣　金山　在縣東南一百里

寧波府

鄞縣　金山　在縣西南一百里
慈谿縣　金山　在縣西南一百里
奉化縣　金山　在縣西南一百里
定海縣　金山　在縣西南一百里
象山縣　金山　在縣西南一百里
南田縣　金山　在縣西南一百里
鎮海縣　金山　在縣西南一百里
昌國縣　金山　在縣西南一百里

台州府

臨海縣　金山　在縣西南一百里
黃巖縣　金山　在縣西南一百里
太平縣　金山　在縣西南一百里
寧海縣　金山　在縣西南一百里
仙居縣　金山　在縣西南一百里
天台縣　金山　在縣西南一百里

溫州府

永嘉縣　金山　在縣西南一百里
瑞安縣　金山　在縣西南一百里
平陽縣　金山　在縣西南一百里
樂清縣　金山　在縣西南一百里
玉環廳　金山　在縣西南一百里

金衢嚴道

金華府

金華縣　金山　在縣西南一百里
蘭谿縣　金山　在縣西南一百里
東陽縣　金山　在縣西南一百里
義烏縣　金山　在縣西南一百里
永康縣　金山　在縣西南一百里
武義縣　金山　在縣西南一百里
浦江縣　金山　在縣西南一百里

衢州府

西安縣　金山　在縣西南一百里
龍遊縣　金山　在縣西南一百里
常山縣　金山　在縣西南一百里
開化縣　金山　在縣西南一百里
江山縣　金山　在縣西南一百里

嚴州府

淳安縣　金山　在縣西南一百里
遂安縣　金山　在縣西南一百里
桐廬縣　金山　在縣西南一百里
建德縣　金山　在縣西南一百里
壽昌縣　金山　在縣西南一百里
分水縣　金山　在縣西南一百里

寧紹台道

紹興府

會稽縣　金山　在縣東南一百里
山陰縣　金山　在縣東南一百里
蕭山縣　金山　在縣東南一百里
諸暨縣　金山　在縣東南一百里
餘姚縣　金山　在縣東南一百里
上虞縣　金山　在縣東南一百里
嵊縣　金山　在縣東南一百里
新昌縣　金山　在縣東南一百里

寧波府

鄞縣　金山　在縣西南一百里
慈谿縣　金山　在縣西南一百里
奉化縣　金山　在縣西南一百里
定海縣　金山　在縣西南一百里
象山縣　金山　在縣西南一百里
南田縣　金山　在縣西南一百里
鎮海縣　金山　在縣西南一百里
昌國縣　金山　在縣西南一百里

台州府

臨海縣　金山　在縣西南一百里
黃巖縣　金山　在縣西南一百里
太平縣　金山　在縣西南一百里
寧海縣　金山　在縣西南一百里
仙居縣　金山　在縣西南一百里
天台縣　金山　在縣西南一百里

溫州府

永嘉縣　金山　在縣西南一百里
瑞安縣　金山　在縣西南一百里
平陽縣　金山　在縣西南一百里
樂清縣　金山　在縣西南一百里
玉環廳　金山　在縣西南一百里

金衢嚴道

金華府

金華縣　羅大陽　在縣東南一百里
蘭谿縣　羅大陽　在縣東南一百里
東陽縣　羅大陽　在縣東南一百里
義烏縣　羅大陽　在縣東南一百里
永康縣　羅大陽　在縣東南一百里
武義縣　羅大陽　在縣東南一百里
浦江縣　羅大陽　在縣東南一百里

衢州府

西安縣　羅大陽　在縣東南一百里
龍遊縣　羅大陽　在縣東南一百里
常山縣　羅大陽　在縣東南一百里
開化縣　羅大陽　在縣東南一百里
江山縣　羅大陽　在縣東南一百里

嚴州府

淳安縣　羅大陽　在縣東南一百里
遂安縣　羅大陽　在縣東南一百里
桐廬縣　羅大陽　在縣東南一百里
建德縣　羅大陽　在縣東南一百里
壽昌縣　羅大陽　在縣東南一百里
分水縣　羅大陽　在縣東南一百里

寧紹台道

紹興府

會稽縣　羅大陽　在縣東南一百里
山陰縣　羅大陽　在縣東南一百里
蕭山縣　羅大陽　在縣東南一百里
諸暨縣　羅大陽　在縣東南一百里
餘姚縣　羅大陽　在縣東南一百里
上虞縣　羅大陽　在縣東南一百里
嵊縣　羅大陽　在縣東南一百里
新昌縣　羅大陽　在縣東南一百里

寧波府

鄞縣　羅大陽　在縣東南一百里
慈谿縣　羅大陽　在縣東南一百里
奉化縣　羅大陽　在縣東南一百里
定海縣　羅大陽　在縣東南一百里
象山縣　羅大陽　在縣東南一百里
南田縣　羅大陽　在縣東南一百里
鎮海縣　羅大陽　在縣東南一百里
昌國縣　羅大陽　在縣東南一百里

台州府

臨海縣　羅大陽　在縣東南一百里
黃巖縣　羅大陽　在縣東南一百里
太平縣　羅大陽　在縣東南一百里
寧海縣　羅大陽　在縣東南一百里
仙居縣　羅大陽　在縣東南一百里
天台縣　羅大陽　在縣東南一百里

溫州府

永嘉縣　羅大陽　在縣東南一百里
瑞安縣　羅大陽　在縣東南一百里
平陽縣　羅大陽　在縣東南一百里
樂清縣　羅大陽　在縣東南一百里
玉環廳　羅大陽　在縣東南一百里

金衢嚴道

金華府

金華縣　始稷　在縣西南一百里
蘭谿縣　始稷　在縣西南一百里
東陽縣　始稷　在縣西南一百里
義烏縣　始稷　在縣西南一百里
永康縣　始稷　在縣西南一百里
武義縣　始稷　在縣西南一百里
浦江縣　始稷　在縣西南一百里

衢州府

西安縣　始稷　在縣西南一百里
龍遊縣　始稷　在縣西南一百里
常山縣　始稷　在縣西南一百里
開化縣　始稷　在縣西南一百里
江山縣　始稷　在縣西南一百里

嚴州府

淳安縣　始稷　在縣西南一百里
遂安縣　始稷　在縣西南一百里
桐廬縣　始稷　在縣西南一百里
建德縣　始稷　在縣西南一百里
壽昌縣　始稷　在縣西南一百里
分水縣　始稷　在縣西南一百里

寧紹台道

紹興府

會稽縣　始稷　在縣西南一百里
山陰縣　始稷　在縣西南一百里
蕭山縣　始稷　在縣西南一百里
諸暨縣　始稷　在縣西南一百里
餘姚縣　始稷　在縣西南一百里
上虞縣　始稷　在縣西南一百里
嵊縣　始稷　在縣西南一百里
新昌縣　始稷　在縣西南一百里

寧波府

鄞縣　始稷　在縣西南一百里
慈谿縣　始稷　在縣西南一百里
奉化縣　始稷　在縣西南一百里
定海縣　始稷　在縣西南一百里
象山縣　始稷　在縣西南一百里
南田縣　始稷　在縣西南一百里
鎮海縣　始稷　在縣西南一百里
昌國縣　始稷　在縣西南一百里

台州府

臨海縣　始稷　在縣西南一百里
黃巖縣　始稷　在縣西南一百里
太平縣　始稷　在縣西南一百里
寧海縣　始稷　在縣西南一百里
仙居縣　始稷　在縣西南一百里
天台縣　始稷　在縣西南一百里

溫州府

永嘉縣　始稷　在縣西南一百里
瑞安縣　始稷　在縣西南一百里
平陽縣　始稷　在縣西南一百里
樂清縣　始稷　在縣西南一百里
玉環廳　始稷　在縣西南一百里

金衢嚴道

金華府

金華縣　宮川　在縣西南一百里
蘭谿縣　宮川　在縣西南一百里
東陽縣　宮川　在縣西南一百里
義烏縣　宮川　在縣西南一百里
永康縣　宮川　在縣西南一百里
武義縣　宮川　在縣西南一百里
浦江縣　宮川　在縣西南一百里

衢州府

西安縣　宮川　在縣西南一百里
龍遊縣　宮川　在縣西南一百里
常山縣　宮川　在縣西南一百里
開化縣　宮川　在縣西南一百里
江山縣　宮川　在縣西南一百里

嚴州府

淳安縣　宮川　在縣西南一百里
遂安縣　宮川　在縣西南一百里
桐廬縣　宮川　在縣西南一百里
建德縣　宮川　在縣西南一百里
壽昌縣　宮川　在縣西南一百里
分水縣　宮川　在縣西南一百里

寧紹台道

紹興府

會稽縣　宮川　在縣西南一百里
山陰縣　宮川　在縣西南一百里
蕭山縣　宮川　在縣西南一百里
諸暨縣　宮川　在縣西南一百里
餘姚縣　宮川　在縣西南一百里
上虞縣　宮川　在縣西南一百里
嵊縣　宮川　在縣西南一百里
新昌縣　宮川　在縣西南一百里

寧波府

鄞縣　宮川　在縣西南一百里
慈谿縣　宮川　在縣西南一百里
奉化縣　宮川　在縣西南一百里
定海縣　宮川　在縣西南一百里
象山縣　宮川　在縣西南一百里
南田縣　宮川　在縣西南一百里
鎮海縣　宮川　在縣西南一百里
昌國縣　宮川　在縣西南一百里

台州府

臨海縣　宮川　在縣西南一百里
黃巖縣　宮川　在縣西南一百里
太平縣　宮川　在縣西南一百里
寧海縣　宮川　在縣西南一百里
仙居縣　宮川　在縣西南一百里
天台縣　宮川　在縣西南一百里

溫州府

永嘉縣　宮川　在縣西南一百里
瑞安縣　宮川　在縣西南一百里
平陽縣　宮川　在縣西南一百里
樂清縣　宮川　在縣西南一百里
玉環廳　宮川　在縣西南一百里

金衢嚴道

金華府

金華縣　金浦　在縣西南一百里
蘭谿縣　西宕　在縣西南一百里
東陽縣　桂窠　在縣西南一百里
義烏縣　抹谷　在縣西南一百里
永康縣　抹谷　在縣西南一百里
武義縣　抹谷　在縣西南一百里
浦江縣　抹谷　在縣西南一百里

衢州府

西安縣　抹谷　在縣西南一百里
龍遊縣　抹谷　在縣西南一百里
常山縣　抹谷　在縣西南一百里
開化縣　抹谷　在縣西南一百里
江山縣　抹谷　在縣西南一百里

嚴州府

淳安縣　抹谷　在縣西南一百里
遂安縣　抹谷　在縣西南一百里
桐廬縣　抹谷　在縣西南一百里
建德縣　抹谷　在縣西南一百里
壽昌縣　抹谷　在縣西南一百里
分水縣　抹谷　在縣西南一百里

寧紹台道

紹興府

會稽縣　抹谷　在縣西南一百里
山陰縣　抹谷　在縣西南一百里
蕭山縣　抹谷　在縣西南一百里
諸暨縣　抹谷　在縣西南一百里
餘姚縣　抹谷　在縣西南一百里
上虞縣　抹谷　在縣西南一百里
嵊縣　抹谷　在縣西南一百里
新昌縣　抹谷　在縣西南一百里

寧波府

鄞縣　抹谷　在縣西南一百里
慈谿縣　抹谷　在縣西南一百里
奉化縣　抹谷　在縣西南一百里
定海縣　抹谷　在縣西南一百里
象山縣　抹谷　在縣西南一百里
南田縣　抹谷　在縣西南一百里
鎮海縣　抹谷　在縣西南一百里
昌國縣　抹谷　在縣西南一百里

台州府

臨海縣　抹谷　在縣西南一百里
黃巖縣　抹谷　在縣西南一百里
太平縣　抹谷　在縣西南一百里
寧海縣　抹谷　在縣西南一百里
仙居縣　抹谷　在縣西南一百里
天台縣　抹谷　在縣西南一百里

溫州府

永嘉縣　抹谷　在縣西南一百里
瑞安縣　抹谷　在縣西南一百里
平陽縣　抹谷　在縣西南一百里
樂清縣　抹谷　在縣西南一百里
玉環廳　抹谷　在縣西南一百里

金衢嚴道

金華府

金華縣　光祿山　在縣西南一百里
蘭谿縣　光祿山　在縣西南一百里
東陽縣　光祿山　在縣西南一百里
義烏縣　光祿山　在縣西南一百里
永康縣　光祿山　在縣西南一百里
武義縣　光祿山　在縣西南一百里
浦江縣　光祿山　在縣西南一百里

衢州府

西安縣　光祿山　在縣西南一百里
龍遊縣　光祿山　在縣西南一百里
常山縣　光祿山　在縣西南一百里
開化縣　光祿山　在縣西南一百里
江山縣　光祿山　在縣西南一百里

嚴州府

淳安縣　光祿山　在縣西南一百里
遂安縣　光祿山　在縣西南一百里
桐廬縣　光祿山　在縣西南一百里
建德縣　光祿山　在縣西南一百里
壽昌縣　光祿山　在縣西南一百里
分水縣　光祿山　在縣西南一百里

寧紹台道

紹興府

會稽縣　光祿山　在縣西南一百里
山陰縣　光祿山　在縣西南一百里
蕭山縣　光祿山　在縣西南一百里
諸暨縣　光祿山　在縣西南一百里
餘姚縣　光祿山　在縣西南一百里
上虞縣　光祿山　在縣西南一百里
嵊縣　光祿山　在縣西南一百里
新昌縣　光祿山　在縣西南一百里

寧波府

鄞縣　光祿山　在縣西南一百里
慈谿縣　光祿山　在縣西南一百里
奉化縣　光祿山　在縣西南一百里
定海縣　光祿山　在縣西南一百里
象山縣　光祿山　在縣西南一百里
南田縣　光祿山　在縣西南一百里
鎮海縣　光祿山　在縣西南一百里
昌國縣　光祿山　在縣西南一百里

台州府

臨海縣　光祿山　在縣西南一百里
黃巖縣　光祿山　在縣西南一百里
太平縣　光祿山　在縣西南一百里
寧海縣　光祿山　在縣西南一百里
仙居縣　光祿山　在縣西南一百里
天台縣　光祿山　在縣西南一百里

溫州府

永嘉縣　光祿山　在縣西南一百里
瑞安縣　光祿山　在縣西南一百里
平陽縣　光祿山　在縣西南一百里
樂清縣　光祿山　在縣西南一百里
玉環廳　光祿山　在縣西南一百里

忠清北道

忠州

忠州　大平　在州東南一百里
清風縣　大平　在縣東南一百里
槐山縣　大平　在縣東南一百里
延豐縣　大平　在縣東南一百里
陰城縣　大平　在縣東南一百里
堤川縣　大平　在縣東南一百里

清道

清道縣　大平　在縣東南一百里
雲門縣　大平　在縣東南一百里
金山縣　大平　在縣東南一百里

慶尚左道

慶州府

慶州　大平　在府東南一百里
永川縣　大平　在縣東南一百里
慶山縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
河陽縣　大平　在縣東南一百里
興海縣　大平　在縣東南一百里
清河縣　大平　在縣東南一百里
延日縣　大平　在縣東南一百里
迎日縣　大平　在縣東南一百里
長鬐縣　大平　在縣東南一百里
慶州縣　大平　在縣東南一百里

大邱府

大邱縣　大平　在府東南一百里
河陽縣　大平　在縣東南一百里
仁同縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
慈仁縣　大平　在縣東南一百里
非安縣　大平　在縣東南一百里
軍威縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里
永川縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
慈仁縣　大平　在縣東南一百里
非安縣　大平　在縣東南一百里
軍威縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里

慶尚右道

晉州府

晉州　大平　在州東南一百里
昆陽郡　大平　在郡東南一百里
泗川縣　大平　在縣東南一百里
固城縣　大平　在縣東南一百里
南海縣　大平　在縣東南一百里
河東縣　大平　在縣東南一百里
丹城縣　大平　在縣東南一百里
山陰縣　大平　在縣東南一百里
單城縣　大平　在縣東南一百里
三嘉縣　大平　在縣東南一百里
宜寧縣　大平　在縣東南一百里
陜川縣　大平　在縣東南一百里
草溪縣　大平　在縣東南一百里
咸安縣　大平　在縣東南一百里
昌寧縣　大平　在縣東南一百里
玄風縣　大平　在縣東南一百里
漆原縣　大平　在縣東南一百里
靈山縣　大平　在縣東南一百里

金山縣　大平　在縣東南一百里

慶尚前道

大邱府

大邱　大平　在府東南一百里
仁同縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
慈仁縣　大平　在縣東南一百里
非安縣　大平　在縣東南一百里
軍威縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里
永川縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
慈仁縣　大平　在縣東南一百里
非安縣　大平　在縣東南一百里
軍威縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里

慶州府

慶州　大平　在府東南一百里
永川縣　大平　在縣東南一百里
慶山縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
河陽縣　大平　在縣東南一百里
興海縣　大平　在縣東南一百里
清河縣　大平　在縣東南一百里
延日縣　大平　在縣東南一百里
迎日縣　大平　在縣東南一百里
長鬐縣　大平　在縣東南一百里
慶州縣　大平　在縣東南一百里

安東府

安東縣　大平　在縣東南一百里
禮安縣　大平　在縣東南一百里
寧海縣　大平　在縣東南一百里
真寶縣　大平　在縣東南一百里
榮川縣　大平　在縣東南一百里
奉化縣　大平　在縣東南一百里
龍宮縣　大平　在縣東南一百里
豐基縣　大平　在縣東南一百里
醴泉縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里
永川縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
慈仁縣　大平　在縣東南一百里
非安縣　大平　在縣東南一百里
軍威縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里

慶尚後道

尚州府

尚州　大平　在州東南一百里
咸昌縣　大平　在縣東南一百里
青松縣　大平　在縣東南一百里
安陰縣　大平　在縣東南一百里
延安縣　大平　在縣東南一百里
慶源縣　大平　在縣東南一百里
興德縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里
永川縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
慈仁縣　大平　在縣東南一百里
非安縣　大平　在縣東南一百里
軍威縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里

星州牧

星州　大平　在州東南一百里
知禮縣　大平　在縣東南一百里
開寧縣　大平　在縣東南一百里
金山縣　大平　在縣東南一百里
咸寧縣　大平　在縣東南一百里
善山縣　大平　在縣東南一百里
金陵縣　大平　在縣東南一百里
高靈縣　大平　在縣東南一百里
玄風縣　大平　在縣東南一百里
漆原縣　大平　在縣東南一百里
靈山縣　大平　在縣東南一百里

金山縣　大平　在縣東南一百里

慶尚左道

慶州府

慶州　大平　在府東南一百里
永川縣　大平　在縣東南一百里
慶山縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
河陽縣　大平　在縣東南一百里
興海縣　大平　在縣東南一百里
清河縣　大平　在縣東南一百里
延日縣　大平　在縣東南一百里
迎日縣　大平　在縣東南一百里
長鬐縣　大平　在縣東南一百里
慶州縣　大平　在縣東南一百里

安東府

安東縣　大平　在縣東南一百里
禮安縣　大平　在縣東南一百里
寧海縣　大平　在縣東南一百里
真寶縣　大平　在縣東南一百里
榮川縣　大平　在縣東南一百里
奉化縣　大平　在縣東南一百里
龍宮縣　大平　在縣東南一百里
豐基縣　大平　在縣東南一百里
醴泉縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里
永川縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
慈仁縣　大平　在縣東南一百里
非安縣　大平　在縣東南一百里
軍威縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里

慶尚後道

尚州府

尚州　大平　在州東南一百里
咸昌縣　大平　在縣東南一百里
青松縣　大平　在縣東南一百里
安陰縣　大平　在縣東南一百里
延安縣　大平　在縣東南一百里
慶源縣　大平　在縣東南一百里
興德縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里
永川縣　大平　在縣東南一百里
新寧縣　大平　在縣東南一百里
慈仁縣　大平　在縣東南一百里
非安縣　大平　在縣東南一百里
軍威縣　大平　在縣東南一百里
義興縣　大平　在縣東南一百里

星州牧

星州　大平　在州東南一百里
知禮縣　大平　在縣東南一百里
開寧縣　大平　在縣東南一百里
金山縣　大平　在縣東南一百里
咸寧縣　大平　在縣東南一百里
善山縣　大平　在縣東南一百里
金陵縣　大平　在縣東南一百里
高靈縣　大平　在縣東南一百里
玄風縣　大平　在縣東南一百里
漆原縣　大平　在縣東南一百里
靈山縣　大平　在縣東南一百里

金山縣　大平　在縣東南一百里

全羅北道

全州府

完山　大平　在府東南一百里
參判村　大平　在村東南一百里
金溝縣　大平　在縣東南一百里
萬頃縣　大平　在縣東南一百里
扶安縣　大平　在縣東南一百里
金堤郡　大平　在郡東南一百里
龜浦　大平　在浦東南一百里
古阜郡　大平　在郡東南一百里
泰仁縣　大平　在縣東南一百里
興德縣　大平　在縣東南一百里
井邑縣　大平　在縣東南一百里
高敞縣　大平　在縣東南一百里
茂長縣　大平　在縣東南一百里
靈光郡　大平　在郡東南一百里
長城府　大平　在府東南一百里
珍原縣　大平　在縣東南一百里
龍潭縣　大平　在縣東南一百里
南原府　大平　在府東南一百里
求禮縣　大平　在縣東南一百里
雲峯縣　大平　在縣東南一百里
谷城縣　大平　在縣東南一百里
淳昌縣　大平　在縣東南一百里
鎮安縣　大平　在縣東南一百里
龍安縣　大平　在縣東南一百里
任實縣　大平　在縣東南一百里
茂朱縣　大平　在縣東南一百里
錦山郡　大平　在郡東南一百里
珍山郡　大平　在郡東南一百里
礪山郡　大平　在郡東南一百里
益山郡　大平　在郡東南一百里
扶安縣　大平　在縣東南一百里
金堤郡　大平　在郡東南一百里
龜浦　大平　在浦東南一百里
古阜郡　大平　在郡東南一百里
泰仁縣　大平　在縣東南一百里
興德縣　大平　在縣東南一百里
井邑縣　大平　在縣東南一百里
高敞縣　大平　在縣東南一百里
茂長縣　大平　在縣東南一百里
靈光郡　大平　在郡東南一百里
長城府　大平　在府東南一百里
珍原縣　大平　在縣東南一百里
龍潭縣　大平　在縣東南一百里
南原府　大平　在府東南一百里
求禮縣　大平　在縣東南一百里
雲峯縣　大平　在縣東南一百里
谷城縣　大平　在縣東南一百里
淳昌縣　大平　在縣東南一百里
鎮安縣　大平　在縣東南一百里
龍安縣　大平　在縣東南一百里
任實縣　大平　在縣東南一百里
茂朱縣　大平　在縣東南一百里

二　化性、化期、品種名及其ノ系統
三　蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱及住所
四　原蠶種、普通蠶種ノ別
五　蠶種ノ數量、母蛾アルモノハ母蛾ノ數量
第四十條　朝鮮蠶業令第十三條第二項ノ檢查ハ原蠶種ニ在リテハ母蛾アルモノハ其ノ母蛾ニ付、母蛾ナキモノハ一卵圓又ハ一容器毎ニ其ノ卵ニ付、普通蠶種ニ在リテハ母蛾アルモノハ其ノ母蛾ニ付、母蛾ナキモノハ蠶蛆及其ノ蛹ノ數逸ヲ防ク爲ニ足ルヘキ構造ノ室又ハ容器ニ蠶ノ保存スル場合ニ於テハ前項ノ設備ヲ爲スコトヲ要セス
床下ニ蠶蛆又ハ其ノ蛹ノ潜伏ノ虞アルトキハ床下掃除ヲ行ヒ其ノ糞屑ノ處理ヲ爲スヘシ但シ床下ノ周圍ニ蠶蛆蠅ノ飛散ヲ防ク爲足ル設備ヲ有スルトキハ此ノ限ニ在ラス
第四十一條　前條ニ規定スル原蠶種又ハ普通蠶種檢查合格ノ蠶種ニハ第三十條第三項又ハ第三十二條第二項ニ規定スル原蠶種又ハ普通蠶種檢查合格證印ヲ押捺ス
第四十二條　前條ニ依リ檢查ニ合格シタル蠶種ニハ第三十條第三項又ハ第三十二條第二項ニ規定スル原蠶種又ハ普通蠶種檢查合格證印ヲ押捺ス
第四十三條　【道長官】ハ錯誤ニ依リ又ハ不法ニ押捺セラレタル證印ヲ發見シタルトキハ第十一號樣式ノ消印ヲ其ノ證印ノ上ニ押捺スヘシ
第四十四條　朝鮮蠶業令第十二條第二項ノ許可ヲ受ケタル者又ハ同令第十五條第一項ノ適用ヲ免レタル者又ハ同令第十五條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル原書ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ
一　氏名又ハ名稱及住所
二　研究ノ場所
三　研究ノ目的
四　研究ノ期間
五　研究ノ方法
六　研究ニ從事スル者ノ氏名及履歷ノ大要
七　蠶種ヲ製造セムトスルトキハ其ノ幾定數量
八　朝鮮蠶業令第十三條第二項ノ檢查前項第一號ノ事項ヲ變更シタルトキハ其ノ旨朝鮮總督ニ屆出テ、第二號乃至第七號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ
第四十五條　地方費ヲ以テ經營スル學校又ハ講習所等ニシテ蠶業ニ關スル學藝經驗アル專任職員二名以上ヲ有シ蠶試十反以上ヲ飼育スルニ適當ナル設備ヲ有スルモノハ朝鮮蠶業令第十二條第二項ノ許可ヲ得テ製造シ蠶種ヲ配付スルコトヲ得
朝鮮總督必要ト認ムルトキハ前項ニ依リ配付スヘキ蠶種ヲ制限スルコトヲ得
第一項ニ依リ蠶種ヲ配付スル學校又ハ講習所等ハ每年三月末日迄ニ前年ノ成績表ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ
第四十六條　生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ左ノ事項ヲ生繭取扱場所ノ所在ヲ管轄スル【道長官】ニ屆出ツヘシ
一　氏名又ハ名稱、住所及職業
二　生繭取扱場所
三　生繭取扱豫定期間
四　生繭取扱豫定數量
生繭ノ取扱ヲ爲ス者自ラ其ノ取扱場所ヲ管理セサルトキハ自己ニ代ルヘキ管理者ヲ定メ其ノ氏名及住所ヲ【道長官】ニ屆出ツヘシ
前二項ノ規定ハ蠶業者、蠶種製造者又ハ自家用ノ爲ニスル生繭取扱者ニ之ヲ適用セス
第四十七條　蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者蠶蛆又ハ其ノ蛹若ハ蛹ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ捕殺スヘシ
第四十八條　蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者病患アリト認ムル蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ燒棄シ又ハ「フオルマリン」、昇汞水若ハ石灰水中ニ投入シ死籠繭又ハ薄皮繭ハ煮繭後直ニ之ヲ乾燥シ又ハ熱湯中ニ投入シテ其ノ病原體ヲ滅殺スヘシ
第四十九條　生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散又ハ保存スル室ニ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防ク爲足ルヘキ目張ヲ爲シ又ハ緻密ナル目ノ敷物ヲ布キ且室ノ內圍ニ高サ二寸ヲ下ラサル障板ヲ設ケヘシ但シ繭ノ障板ニ接觸スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨリ二寸以上ノ高サヲ保タシムヘシ
第五十條　生繭ノ取扱ヲ爲ス者生繭ヲ選擇シ又ハ運搬セシメムトスルトキハ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防ク爲足ルヘキ容器ニ之ヲ納ムヘシ
第五十一條　死籠繭ヲ除ク外化蛹セサル生繭ハ之ヲ賣買スルコトヲ得ス但シ化蛹前其ノ生繭ヲ搬出セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第五十二條　他人ニ養蠶渡スル目的ヲ以テ桑苗ノ仕立ヲ業トスル者ハ每年五月末日迄ニ左ノ事項ヲ桑苗仕立ノ場所ノ所在ヲ管轄スル【道長官】ニ屆出ツヘシ
一　氏名又ハ名稱及住所
二　桑苗ノ品種別生產豫定數
三　桑苗ノ品種別生產豫定數
四　仕立法別桑苗個ノ面積
前項ノ期日ハ實生苗ニ付テハ七月末日迄トス
第五十三條　【道長官】ハ仕立場所ニ在ル桑苗ノ葉ノ摘採ヲ制限スルコトヲ得
第五十四條　病菌又ハ害蟲ノ附著セル桑苗ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得
第五十五條　蠶種ノ賣買ヲ業トスル者ハ每年左ノ事項ヲ原賣所ノ所在ヲ管轄スル【道長官】ニ屆出ツヘシ
一　氏名又ハ名稱及住所
二　內地產、朝鮮產ノ別
三　蠶種ノ品種別賣買豫定數

檢查ヲ受ケムトスル旨ヲ附記シ前項ノ手續ヲ省略スルコトヲ得
第三十四條　前條第二項ニ依リ行フ檢查ニハ第三十條ノ規定ヲ準用シ之ニ合格シタル蠶種ニハ第三十二條第二項ノ規定ヲ準用ス
第三十五條　蠶種製造者ハ母蛾ニ熱又ハ藥液ヲ加ヘ其ノ他變死ヲ速ナラシムヘキ方法ヲ施スコトヲ得ス但シ不越年蠶種ニシテ已ムヲ得サル場合ハ此ノ限ニ在ラス
【道長官】ハ第十八條若ハ前項ニ違反シタルモノ、故意若ハ過失ニ因リ微粒子ノ檢出ヲ困難ナラシメタルモノ又ハ母蛾ノ檢查ヲ拒ムコトヲ得
第三十六條　蠶種製造者第三十條第二項ニ依リ除却セラレ又ハ自ラ除却シタル卵匿ニ檢查合格ノ卵匿ヲ填補セムトスルトキハ蠶業取締所ニ於テ之ヲ行フヘシ
前項ニ依リ填補シタル卵匿ニハ第十號樣式ノ鑑印ノ押捺ヲ受クヘシ
第三十七條　蠶種製造者蠶種ヲ分割シテ讓渡セムトスルトキハ其ノ意味ノ裏面ニ裁斷スヘキ部分ヲ匿劃シ各部ニ第十四條及第十八條ニ規定スル事項ヲ記載シ第三十條第三項又ハ第三十二條第二項ニ規定スル蠶種檢查合格證印ノ押捺ヲ受クヘシ
第三十八條　蠶種製造者蠶種製造用蠶兒ノ掃立ヲ終リタル後ニ於テ蠶種製造ノ全部ヲ廢止シタルトキハ其ノ旨ヲ、其ノ一部ヲ廢止シタルトキハ其ノ廢止シタル蠶兒又ハ繭ニ付第二十三條各號ノ事項ヲ記載シタル屆書ヲ【道長官】ニ提出スヘシ但シ第十五條又ハ第十六條ノ手續ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第三十九條　朝鮮蠶業令第十三條第一項ノ許可ハ【道長官】之ヲ行フヘシ
前項ノ許可及朝鮮蠶業令第十三條第二項ノ檢查ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ原賣又ハ飼育セムトスル地方ヲ管轄スル【道長官】ニ提出スヘシ
一　輸入又ハ移入セムトスル者ノ氏名又ハ名稱及住所
二　第四十二條ニ依リ原蠶種檢查合格印ヲ押捺シタル蠶種
普通蠶種
一　勸業模範場又ハ道原蠶種製造所ニ於テ製絲用ノ繭生產用トシテ配付スル蠶種
地方費ヲ以テ經營スル學校又ハ講習所
停二於テ第四十五條第一項ニ依リ製絲用繭ノ生產用トシテ配付スル蠶種
三　第四十二條ニ依リ普通蠶種檢查合格印ヲ押捺シタル蠶種
第六十一條　左ノ蠶種ニ非サレハ朝鮮ニ於テ之ヲ製造スルコトヲ得ス但シ輸出又ハ移出ノ目的ヲ以テ道知事ノ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限ニ在ラス
一代交雜種
一　日七號ト支一〇六號トノ交雜
二　歐一八號ト支一〇六號トノ交雜
三　朝五蠶一號ト歐一八號トノ交雜
四　支一六號ト朝四蠶一號トノ交雜
五　支一七號ト歐一九號トノ交雜
六　支一七號ト支一〇六號トノ交雜
七　日一一〇號ト支一〇六號トノ交雜
八　日八號ト支一七號トノ交雜
九　朝四蠶一〇一號ト朝四蠶一〇二號トノ交雜
十　日一一號ト支一〇七號トノ交雜
十一　日九號ト支一七號トノ交雜
十二　日九號ト支一〇七號トノ交雜
十三　日九號ト支一〇八號トノ交雜
前項ノ交雜種製造ノ用ニ供スヘキ原蠶種ハ前項ノ規定ニ拘ラス之ヲ製造スルコトヲ得
第一項但書ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ提出スヘシ
一　化性、化期、品種名及ビ雄蛾ノ數
二　蠶種製造者ノ氏名又ハ名稱及住所
三　原蠶種、普通蠶種ノ別
四　蠶種ノ數量、母蛾アルモノハ母蛾ノ數量
五　研究ノ方法
六　研究ニ從事スル者ノ氏名及履歷ノ大要
七　蠶種ヲ製造セムトスルトキハ其ノ幾定數量
八　朝鮮蠶業令第十條第一項ノ適用ヲ免レムトスルトキハ其ノ範圍
前項第一號ノ事項ヲ變更シタルトキハ其ノ旨朝鮮總督ニ屆出テ、第二號乃至第七號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ
第四十五條　地方費ヲ以テ經營スル學校又ハ講習所等ニシテ蠶業ニ關スル學藝經驗アル專任職員二名以上ヲ有シ蠶試十反以上ヲ飼育スルニ適當ナル設備ヲ有スルモノハ朝鮮蠶業令第十二條第二項ノ許可ヲ得テ製造シ蠶種ヲ配付スルコトヲ得
朝鮮總督必要ト認ムルトキハ前項ニ依リ配付スヘキ蠶種ヲ制限スルコトヲ得
第一項ニ依リ蠶種ヲ配付スル學校又ハ講習所等ハ每年三月末日迄ニ前年ノ成績表ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ
第四十六條　生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ左ノ事項ヲ生繭取扱場所ノ所在ヲ管轄スル【道長官】ニ屆出ツヘシ
一　氏名又ハ名稱、住所及職業
二　生繭取扱場所
三　生繭取扱豫定期間
四　生繭取扱豫定數量
生繭ノ取扱ヲ爲ス者自ラ其ノ取扱場所ヲ管理セサルトキハ自己ニ代ルヘキ管理者ヲ定メ其ノ氏名及住所ヲ【道長官】ニ屆出ツヘシ
前二項ノ規定ハ蠶業者、蠶種製造者又ハ自家用ノ爲ニスル生繭取扱者ニ之ヲ適用セス
第四十七條　蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者蠶蛆又ハ其ノ蛹若ハ蛹ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ捕殺スヘシ
第四十八條　蠶兒ノ飼育又ハ生繭ノ取扱ヲ爲ス者病患アリト認ムル蠶兒、蠶蛹、蠶蛾又ハ其ノ屍體ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ燒棄シ又ハ「フオルマリン」、昇汞水若ハ石灰水中ニ投入シ死籠繭又ハ薄皮繭ハ煮繭後直ニ之ヲ乾燥シ又ハ熱湯中ニ投入シテ其ノ病原體ヲ滅殺スヘシ
第四十九條　生繭ノ取扱ヲ爲ス者ハ生繭ヲ集散又ハ保存スル室ニ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防ク爲足ルヘキ目張ヲ爲シ又ハ緻密ナル目ノ敷物ヲ布キ且室ノ內圍ニ高サ二寸ヲ下ラサル障板ヲ設ケヘシ但シ繭ノ障板ニ接觸スル場合ニ於テハ其ノ繭ノ表面ヨリ二寸以上ノ高サヲ保タシムヘシ
第五十條　生繭ノ取扱ヲ爲ス者生繭ヲ選擇シ又ハ運搬セシメムトスルトキハ蠶蛆及其ノ蛹ノ散逸ヲ防ク爲足ルヘキ容器ニ之ヲ納ムヘシ
第五十一條　死籠繭ヲ除ク外化蛹セサル生繭ハ之ヲ賣買スルコトヲ得ス但シ化蛹前其ノ生繭ヲ搬出セサル場合ハ此ノ限ニ在ラス
第五十二條　他人ニ養蠶渡スル目的ヲ以テ桑苗ノ仕立ヲ業トスル者ハ每年五月末日迄ニ左ノ事項ヲ桑苗仕立ノ場所ノ所在ヲ管轄スル【道長官】ニ屆出ツヘシ
一　氏名又ハ名稱及住所
二　桑苗ノ品種別生產豫定數
三　桑苗ノ品種別生產豫定數
四　仕立法別桑苗個ノ面積
前項ノ期日ハ實生苗ニ付テハ七月末日迄トス
第五十三條　【道長官】ハ仕立場所ニ在ル桑苗ノ葉ノ摘採ヲ制限スルコトヲ得
第五十四條　病菌又ハ害蟲ノ附著セル桑苗ハ之ヲ讓渡スルコトヲ得
第五十五條　蠶種ノ賣買ヲ業トスル者ハ每年左ノ事項ヲ原賣所ノ所在ヲ管轄スル【道長官】ニ屆出ツヘシ
一　氏名又ハ名稱及住所
二　內地產、朝鮮產ノ別
三　蠶種ノ品種別賣買豫定數

第五十六條　賣買製造者及第四十六條ノ屆出ヲ爲ス蠶兒飼育場所、蠶種製造場所又ハ生繭取扱場所等ニ第十二號樣式ノ標札ヲ掲クヘシ
第五十二條ノ屆出ヲ爲シタル者ハ桑苗圃每ニ第十三號樣式ノ標木ヲ建ツヘシ
第五十七條　蠶種製造者又ハ蠶種ノ賣買ヲ業トスル者自ラ蠶種ノ行商ヲ爲シ又ハ從業者ヲシテ之ヲ爲サシメムトスルトキハ【道長官】ニ願出テ鑑札ヲ受クヘシ
前項ノ鑑札ハ本人又ハ從業者從業中之ヲ携帶スヘシ
第一項ノ鑑札ハ第十四號樣式又ハ第十五號樣式ニ依ル
第五十八條　蠶種製造者、第四十六條、第五十二條又ハ第五十五條ノ屆出ヲ爲シタル者死亡シ、業務ヲ廢止シ又ハ第八條、第四十六條、第五十二條若ハ第五十五條ニ依リ屆出ヲ爲シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ【道長官】ニ屆出ツヘシ
前項死亡ノ場合ニ於ケル屆出ハ其ノ相續人又ハ戶主若ハ家族ヨリ之ヲ爲スヘシ
第五十八條ノ二　蠶種製造者死亡シタル場合ニ於テ其ノ相續人蠶種製造ノ業務ヲ承繼セムトスルトキハ被相續人死亡ノ日ヨリ十五日內ニ免許ヲ出願スヘシ
前項ノ出願ヲ爲シタル者ハ許否ノ處分アル迄被相續人ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ業務ヲ繼續シ期間內ハ蠶種製造ノ免許ヲ受ケタル者ト看做ス
第五十九條　左ノ蠶種ハ朝鮮蠶業令第六條但書ノ規定ニ依リ之ヲ指定ス
一　勸業模範場又ハ道原蠶種製造所ニ於テ蠶種製造用トシテ配付スル蠶種
二　地方費ヲ以テ經營スル學校又ハ講習所停二於テ第四十五條第一項ニ依リ蠶種製造ノ免許ヲ受ケタル者ト看做ス
三　蠶種製造者ニ於テ製造スル原蠶種
第六十條　朝鮮蠶業令第十條ニ依リ原蠶種及普通蠶種ヲ指定スルコト左ノ如シ

蠶種ノ種類	指定ノ範圍
原蠶種	日七號ト支一〇六號トノ交雜
普通蠶種	日七號ト支一〇六號トノ交雜 日一一號ト支一〇七號トノ交雜 日九號ト支一〇七號トノ交雜 日九號ト支一〇八號トノ交雜

第六十一條　朝鮮蠶業令第十一條ニ依リ物品ノ輸出ヲ禁止スル場合ハ左ノ如シ

物品	禁止ノ範圍
蠶種	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ
繭	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ
蛹	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ
蛾	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ
蠶種ノ包裝	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ

第六十二條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ヲ敎示セムトスルトキハ當業者、其ノ從業者若ハ同居者又ハ隣保ニシテ成年ニ達シタル者ノ立會ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
第六十三條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ヲ收去シタル場合ニハ之ヲ容器ニ收メ又ハ結束シ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏吏員及立會人ノ署名捺印セシ又ハ署名捺印セシムルコトヲ能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ
第六十三條　當該官吏吏員其ノ職務ヲ行ハムトスルトキハ第十六號樣式ノ證票ヲ携帶スヘシ
第六十四條　道原蠶種製造所又ハ第四十五條第一項ニ依リ蠶種ヲ配付スル學校又ハ講習所等ハ原蠶種タルヘキ蠶種ニ第十七號樣式ノ證印ヲ押捺スヘシ
第六十五條　道長官ハ蠶種又ハ繭ノ賣買ニ關シ取締上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得
第六十六條　道長官朝鮮蠶業令又ハ本令ノ施行ニ關スル規定ヲ變更メムトキハ朝鮮總督ニ報告スヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ
第六十七條　道長官ハ朝鮮蠶業令施行ニ關スル事務ヲ處理スル爲蠶業取締所ヲ設クヘシ
第六十八條　朝鮮蠶業令第十九條第二項ノ檢查手數料ハ金部ノ母蛾ノ檢查ヲ行フ場合ニ於テハ蠶種一枚ニ付五錢以內其ノ他ノ場合ニ於テハ三錢以內トス
第六十九條　第一條第二項、第三項、第八條、第九條、第十二條乃至第十三條、第十五條、第十六條、第十七條第二項、第十九條第一項、第二十條第一項、第二十一條第二項、第二十五條乃至第三十八條、第四十六條第一項、第二項、第五十一條、第五十二條、第五十四條乃至第五十七條第一項、第二項、第五十八條第一項、第二項、第五十九條、第六十一條第一項、第二項、第六十二條、第六十三條、第六十四條、第六十五條、第六十六條、第六十七條、第六十八條、第六十九條ノ規定ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ニ對シ蠶種製造ノ取締ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得
第七十條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ノ輸出ヲ禁止スル場合ハ左ノ如シ

物品	禁止ノ範圍
蠶種	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ
繭	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ
蛹	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ
蛾	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ
蠶種ノ包裝	朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造免許ヲ與ヘラレタル者ノ製造シタル蠶種ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ 一　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造地方ノ區域外ニ於テ製造シタルモノ 二　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間外ニ於テ製造シタルモノ 三　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ數量ヲ超過シテ製造シタルモノ 四　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ方法ニ違反シテ製造シタルモノ 五　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ條件ニ違反シテ製造シタルモノ 六　蠶種製造免許證ニ記載シタル製造ノ期間內ニ於テ製造シタルモノ

第七十一條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ノ輸出ヲ禁止スル場合ニ於テ蠶種ヲ輸出スル者ハ其ノ蠶種ヲ收去シ又ハ其ノ蠶種ノ價額ニ相當スル金額ヲ追徵ス
第七十二條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ノ輸出ヲ禁止スル場合ニ於テ繭、蛹又ハ蛾ヲ輸出スル者ハ其ノ繭、蛹又ハ蛾ヲ收去シ又ハ其ノ繭、蛹又ハ蛾ノ價額ニ相當スル金額ヲ追徵ス
第七十三條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ノ輸出ヲ禁止スル場合ニ於テ蠶種ノ包裝ヲ輸出スル者ハ其ノ包裝ヲ收去シ又ハ其ノ包裝ノ價額ニ相當スル金額ヲ追徵ス
第七十四條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ノ輸出ヲ禁止スル場合ニ於テ蠶種ヲ輸出スル者ハ其ノ蠶種ヲ收去シ又ハ其ノ蠶種ノ價額ニ相當スル金額ヲ追徵スル外左ノ區別ニ從ヒ罰金ニ處ス
一　第六十一條ニ違反シタル者ハ五百圓以下
二　第六十二條ニ違反シタル者ハ三百圓以下
三　第六十三條ニ違反シタル者ハ二百圓以下
第七十五條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ノ輸出ヲ禁止スル場合ニ於テ蠶種ノ包裝ヲ輸出スル者ハ其ノ包裝ヲ收去シ又ハ其ノ包裝ノ價額ニ相當スル金額ヲ追徵ス
第七十六條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ノ輸出ヲ禁止スル場合ニ於テ繭、蛹又ハ蛾ヲ輸出スル者ハ其ノ繭、蛹又ハ蛾ヲ收去シ又ハ其ノ繭、蛹又ハ蛾ノ價額ニ相當スル金額ヲ追徵ス
第七十七條　朝鮮蠶業令第二十條ニ依リ物品ノ輸出ヲ禁止スル場合ニ於テ蠶種ノ包裝ヲ輸出スル者ハ其ノ包裝ヲ收去シ又ハ其ノ包裝ノ價額ニ相當スル金額ヲ追徵ス
第七十八條　第七十一條乃至第七十七條ノ場合ニ於テ收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ收メ又ハ結束シ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏吏員及立會人ノ署名捺印セシ又ハ署名捺印セシムルコトヲ能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ
第七十九條　第七十一條乃至第七十七條ノ場合ニ於テ收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ收メ又ハ結束シ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏吏員及立會人ノ署名捺印セシ又ハ署名捺印セシムルコトヲ能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ
第八十條　第七十一條乃至第七十七條ノ場合ニ於テ收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ收メ又ハ結束シ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏吏員及立會人ノ署名捺印セシ又ハ署名捺印セシムルコトヲ能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ
第八十一條　第七十一條乃至第七十七條ノ場合ニ於テ收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ收メ又ハ結束シ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏吏員及立會人ノ署名捺印セシ又ハ署名捺印セシムルコトヲ能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ
第八十二條　第七十一條乃至第七十七條ノ場合ニ於テ收去シタル物品ハ之ヲ容器ニ收メ又ハ結束シ封緘ヲ施シ其ノ品名、物品ヲ收去シ之ニ封緘ヲ施シ其ノ品名、收去ノ年月日及場所ヲ記載シ當該官吏吏員及立會人ノ署名捺印セシ又ハ署名捺印セシムルコトヲ能ハサルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第一號樣式（縱四寸　橫六寸）

第　號
蠶種製造免許證
住所
氏名又ハ名稱
朝鮮蠶業令第三條ニ依リ蠶種製造者タルコトヲ免許ス
年　月　日　道　印

第二號

證印押捺	記號	化性	品種名	年產	何道何郡何面何里
番號		（不）			氏名又ハ名稱
	月日	越年種	製造場所	何道何郡何面何里	
	名色	卵			

第十七號

表面

（表）

第　號

縣　郡　村　大字　小字　番地

地目　地種　等級　地價

（裏）

賣渡人　住所　氏名

買受人　住所　氏名

右賣渡證書ニ相違ナキヲ證ス

年　月　日

登記濟

第十六號

表面

（表）

第　號

縣　郡　村　大字　小字　番地

地目　地種　等級　地價

（裏）

賣渡人　住所　氏名

買受人　住所　氏名

右賣渡證書ニ相違ナキヲ證ス

年　月　日

登記濟

消毒ニ用ウヘキ室ヲ密閉シ溫度ヲ華氏七十五度以上攝度ヲ七十五「パーセント」以上ノ下ラシ皆川達ハ四枚、厚筵ハ二枚、蠶網ハ十枚ヲ限度トシテ重積シ室ノ立方積一千立方尺ニ對シ八百枚以下ノ蠶箔及皆川達ヲ納メタルトキハ三五「パーセント」ノ「フオルマリン」ヲ五百八十三瓦卿三合二勺以上ヲ蒸發セシメ後六時間以上其ノ室ヲ密閉シ置ケヘシ

四

蠶室ノ消毒法

蠶室ヲ消毒スルニハ千分中五分ノ昇汞水及十分ノ昷酸ヲ含有スル液ヲ雜巾ノ類ニ含マシメ蠶室ノ天井、四圍及床板ヲ擦拭シ又ハ細霧ノ類ヲ以テ撒布シ全面ノ表分潤ヲ程度トシ三十分間以上之ヲ放置スヘシ

蠶具ヲ消毒スルニハ蠶網、蠶蔟及蠶箔ノ類ニ在リテハ千分中二分ノ昇汞及十分ノ昷酸ヲ含有スル液ニ之ヲ浸漬シ內部ニ滲透セシメ後三十分間以上濕潤ノ狀態ニ在ラシメ、蠶架ノ如キ浸漬シ難キモノニ在リテハ蠶室ノ昇汞水消毒ニ準シ之ヲ行フヘシ

第二條　朝鮮蠶業令施行規則第十八條第三號ノ繭色ハ黃、金黃、白、雜及紅ニ區別シ其ノ蠶種ヨリ生産スヘキ繭ニ依リ之ヲ記載スヘシ

第三條　朝鮮蠶業令施行規則ニ依ル品種名ハ日本種又ハ支那種ニシテ從來慣用ノ支字アルモノハ之ニ依リ新ニ用ウヘキモノハ漢字ニ依リ、歐羅巴種ハ其ノ發音ニ從ヒ片假名ヲ以テ之ヲ記載スヘシ

第四條　朝鮮蠶業令施行規則第四十八條ニ依リ蠶兒、蠶繭、蠶蛾又ハ其ノ屍體及死蠶繭又ハ薄皮繭ノ處理スルニ當リ燒棄以外ノ方法左ノ如シ

一　「フオルマリン」ヲ用ヰル場合ニ在リテハ百分中一分以上ノ蟻酸「アルデヒード」ヲ含有シ華氏七十五度以上ノ溫度ヲ保テル液ニ投入シ六十時間以上之ヲ放置スヘシ

二　昇汞水ヲ用ヰル場合ニ在リテハ百分中十分ノ生石灰ヲ含有スル液ニ投入シ百十五時間以上之ヲ放置スヘシ

三　石灰水ヲ用ヰル場合ニ在リテハ百分中十分ノ生石灰ヲ含有スル液ニ投入シ百十五時間以上之ヲ放置スヘシ

四　乾燥ヲ行フ場合ニ在リテハ華氏百六十度以上ノ火熱又ハ蒸氣熱ヲ用ヰ生繭重量百ニ對シ四十以內ニ至ラシムヘシ

第五條　朝鮮蠶業令施行規則第四十九條第三項ニ依リ擇芽ヲ處理スル方法ハ之ヲ燒棄シ又ハ水液中ニ百二十時間以上浸漬スヘシ

第六條　朝鮮蠶業令施行規則第五十四條ノ病蛹ト外觀ノ異ナル繭トハ之ヲ除去シ又ハ病蛹ヲ穿孔シ若ハ壓潰シ置ケヘシ

第七條　朝鮮蠶業令施行規則第五十四條ノ病蛹ト外觀ノ異ナル繭トハ之ヲ除去シ又ハ病蛹ヲ穿孔シ若ハ壓潰シ置ケヘシ

第八條　朝鮮蠶業令施行規則第五十四條ノ病蛹ト外觀ノ異ナル繭トハ之ヲ除去シ又ハ病蛹ヲ穿孔シ若ハ壓潰シ置ケヘシ

第九條　朝鮮蠶業令施行規則第五十四條ノ病蛹ト外觀ノ異ナル繭トハ之ヲ除去シ又ハ病蛹ヲ穿孔シ若ハ壓潰シ置ケヘシ

●原蠶種配付規程

大正十年六月
總督令第百四十二號
改正　昭和二年六月一八日號、六年四月三五

第一條　朝鮮總督府農事試驗場ニ於テ製造スル原蠶種ハ原蠶種製造用原種トシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シ無償ニテ之ヲ配付ス

一　道原蠶種製造所

二　原蠶種ヲ製造スル官公立學校

第二條　原蠶種製造ノ設備ヲ有スル蠶種製造者ニシテ朝鮮總督府農事試驗場長（昭和六年四月改正ニ於テ適當ト認ムルモノニ對シテハ原蠶種ノ有償配付ヲ爲スコトアルヘシ

第三條　第一條又ハ第二條ニ依リ原蠶種ノ配付ヲ受ケムトスル者ハ每年一月十五日迄ニ翌年ノ所要數量ヲ樣式第一號ニ依リ農事試驗場長ニ請求スヘシ

第四條　農事試驗場長ハ原蠶種配付請求者ニ對シ配付スヘキ品種及蠶數ヲ十一月三十日迄ニ通知スヘシ

第五條　原蠶種配付請求者ハ前條ノ通知ヲ受ケタル後ニ於テ其ノ品種及數量ノ變更ヲ求ムルコトヲ得ス

第六條　第一條又ハ第二條ニ依リ原蠶種ノ配付ヲ受ケタル者ハ樣式第二號ニ依リ原蠶種ノ飼育成績報告書ヲ提出スヘシ

第一表

品種名	飼育場所別	飼育法	掃立蠶數	掃立月日時	上蔟月日時	飼育日時數	給桑回數	飼育溫濕度 溫度(℃)	濕度(%)

備考

一　飼育別ノ欄ニハ一蠶育混合育ノ別ヲ記入スヘシ

二　飼育法ノ欄ニハ剝桑育、全芽育、條育等ノ方法ヲ記入スヘシ

三　掃立蠶數ノ欄ニハ混合育ニ在リテハ一蠶ノ平均蠶量ニ依リテ換算シタルモノヲ記入スヘシ

第二表

品種名	飼育場所別	飼育法	掃立蠶數	掃立月日時	上蔟月日時	飼育日時數	種繭用紙（元）	種繭用紙（元）	原蠶種製造蠶數	對種繭一立	種繭重量（元）	種繭重量	種病蛾歩合（%）

備考

一　收繭量、種繭用紙、原蠶種製造蠶數ハ掃立一蠶ニ對スルモノヲ記入スヘシ

二　原蠶種製造蠶數及蠶種病毒歩合ノ外各項目ニ付テノ調査時期ハ春蠶ニ在リテハ上蔟後八日目、夏秋蠶ニ在リテハ同七日目トシテ計算ハ五未滿ハ切捨トス

三　原蠶種製造蠶數ノ欄ニハ整理蠶數ヲ記入シ小數點四位以下ハ切捨トス

四　蠶種病毒歩合ハ小數點四位以下ハ切捨トス

●道原蠶種製造所及蠶業取締所設置ニ關スル件

大正八年四月
總令第十三號

道原蠶種製造所及蠶業取締所設置ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　本令ニ於テ道原蠶種製造所ト稱スルハ地方費ヲ以テ設置スルモノヲ謂フ

第二條　道原蠶種製造所ヲ設置セムトスルトキハ道長官ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

一　名稱及位置

二　業務ノ種類

三　用地ノ種類及其ノ面積

四　建物ノ種類及其ノ坪數

五　用地及建物ノ平面圖

六　職員ノ數名及ノ具數及俸給額

七　支出豫算書

第三條　前條第一號乃至第四號ニ揭ケタル事項ヲ變更シタルトキハ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第四條　道原蠶種製造所ハ繭質ノ改良、蠶種ノ純一ヲ圖ル爲原蠶種ノ製造及配付ヲ爲ス

ヘシ

道原蠶種製造所ハ蠶業ニ關スル試驗、調査、請習、講話、實地指導其ノ他蠶業奬勵上必要ナル事業ヲ行フコトヲ得

前項ノ試驗又ハ調査ニ關スル事項ハ其ノ目的及方法ヲ記載シ每年三月末日限リ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第五條　朝鮮總督ハ道原蠶種製造所ニ對シ試驗又ハ調査ヲ爲スヘキ事項ヲ指定スルコトアルヘシ

第六條　道長官必要ト認ムルトキハ朝鮮蠶業令施行規則第六十七條ニ依リ設置スヘキ蠶業取締所ノ支所又ハ臨時出張所ヲ設置スルコトヲ得

蠶業取締所、支所又ハ臨時出張所ノ管轄區域及臨時出張所ノ開閉月日ハ道長官之ヲ告示スヘシ

第七條　道原蠶種製造所及蠶業取締所ニ所長ヲ置キ道長官ノ指揮ヲ受ケ所務ヲ掌理セシムルヘシ

第八條　道長官蠶業取締吏員ヲ命免シタルトキハ其ノ氏名ヲ告示スヘシ

第九條　道長官ハ每年六月末日迄ニ原蠶種製造所及蠶業取締所ノ前年度ノ業務成績ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

附　則

本令ハ朝鮮蠶業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前地方費ヲ以テ設置シタル原蠶種製造所ハ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

道長官ハ前項ノ原蠶種製造所ニ付第二條各號ニ揭ケル事項ヲ大正八年六月末日迄ニ朝鮮總督ニ報告スヘシ

●蠶業改良奬勵ニ關スル件

明治四十五年三月
總訓第十一號

道

勸業模範場

朝鮮ニ於ケル蠶業ハ今尙幼稚ノ域ニ在リテ其ノ產額亦微微タリト雖土質ハ桑樹ノ栽培ニ適シ乾燥セル氣候ハ最良蠶ニ可ナルヲ以テ適切ナル改良方法ヲ施ストキハ副業中主要ナル位置ヲ占メ當業者ニ多大ノ利益ヲ與フルハ勿論一般經濟ノ發達ニ資スル所尠カラサルヘシ是ヲ以テ從來蠶業教育ヲ奬勵セムカ爲各地ニ蠶業傳習所ヲ設置セシメ栽桑、育蠶、製絲ニ關シ適步シタル知識技術ヲ授ケ以テ其ノ周知普及ヲ圖リ殊ニ各府郡ニ分與セラレタル息民企ニ依リ授產事業トシテ奬勵スルヲ得タルヲ以テ漸次良好ナル效果ヲ收ムルニ至レリト雖今尙雜駁ニシテ劣等ナル在來蠶種ノ飼育ヲ行ヒ又ハ育蠶ノ方法ニ於テ其ノ舊慮ヲ改メサルモノアリ之カ爲殊期ノ收繭ヲ得サルノミナラス其ノ品質モ亦劣惡ナルヲ免カレス是レ最留意スヘキ所ナル故ニ本府ハ來年度ヨリ原蠶種ノ製造ニ著手シ朝鮮ノ氣候ニ馴化セル蠶種ヲ得テ之ヲ各道ニ配付シ以テ漸次不良蠶種ノ驅逐ト產繭ノ統一ヲ計ルヘシ左ニ蠶業改良奬勵ニ關スル要項ヲ列舉シ當業者ノ協力ヲ知ラシメムトス其ノ趣旨ノ周知徹底ヲ圖ルニ於テ須臾ナキヲ期スヘシ

一

優良蠶種ノ普及　蠶業ノ改良發達ニ最緊要ナルハ優良蠶種ノ普及ニ在リ從來ノ蠶種ハ極メテ雜駁劣等ニシテ產繭ノ統一ヲ缺キ又內地ヨリ移入スル蠶種ノ多クハ性質虛弱ニシテ育蠶術ノ未熟ナル朝鮮人ノ飼育ニ適セス依テ道農蠶業技術者及種苗場、蠶業傳習所等ノ如キ地方農蠶業奬勵ヲシテ專ラ蠶種ノ雜駁ニ流レサルコトニ勉メシメ又內地ヨリ蠶種ヲ購入スル場合ニハ克ク其ノ原巢ヲ精查シ奉蠶ニ在リテハ又昔、小石丸又ハ青熟、夏蠶ニ在リテハ新民、秋蠶ニ在リテハ白龍等ニ就キ選擇シ本府製造ノ原蠶種配付ノ時期ニ至ラハ地方農蠶業機關ヲシテ之ヲ原種トシ蠶種ヲ製造セシメ當業者ニ洽ク配付スルノ方法ヲ講シ以テ產繭ノ統一ヲ期スルコト

一

稚蠶共同飼育所ノ設置　稚蠶共同飼育ハ單ニ養蠶ノ方法ヲ傳習シ技術ノ錬磨ヲ圖ルノ利アルノミナラス育蠶中ニ於ケル幾多ノ缺點ヲ補足シ成繭ノ品質ヲ一定ナラシメ兼テ當業者ヲシテ共同ノ必要ヲ感知セシムル等朝鮮ノ現狀ニ鑑ミ頗ル適切ナル事業ナルカ故ニ本府ハ來年度ヨリ更ニ本事業ニ對スル補助金ヲ增加シ大ニ之ヲ奬勵セムトス依テ之カ實行ニ際シテハ從來ノ養蠶地又ハ將來蠶業ノ主要地タルヘキ地方ニ之ヲ設ケ蠶業技術者若ハ地方農蠶業機關ヲシテ懇切ニ指導監督セシメ以テ十全ノ效果ヲ收ムルコトニ努ムルコト

一

婦女子ノ蠶業奬勵　蠶業ハ細心緻密ナル婦女子ニ最適當ナル業務ナリ本府カ女子蠶業講習所ニ於テ各道ヨリ女生徒ヲ募集シ蠶業教育ヲ計ラムトスル所以ノモノハ一定ノ職業ヲ有セサル多數ノ婦女子ヲシテ之ニ從事セシメムトスルノ意ニ外ナラス故ニ各道推選ニ係ル女生徒ノ卒業者ヲ利用シ其ノ地ニ於ケル一般婦女子ヲ誘導シテ蠶業ノ奬勵ヲセシムルコト

一

產繭販賣ノ斡旋　產繭販賣ノ便宜ヲ計リ品質相當ノ價格ヲ保持セシムルハ蠶業發達上須要缺クヘカラサル所ナリ然ルニ從來往往優良ナル內地種繭ヲ生產ヲ作リ各品種ニ付種繭用紙ヨリ五十顆ヲ採取シテ之ヲ添附シ十一月末日迄ニ農事試驗場長ニ差出スヘシ

シナカラ其ノ販路ナキニ苦ミ遂ニ在來蔬ト同價ニ買却スルノ止ムナキニ至ルモノアルカ如シ斯ノテハ如何ニ優良ナル蠶種ヲ配付シ繭質ノ改善ヲ圖ルモ其ノ效ヲ擧ゲシ斯業ノ發達ヲ得ヲ望ムヘカラサルカ故ニ速ニ之ノ改善ヲ圖シテハ自今一層周到ナル注意ヲ以テ農蠶業團體又ハ農蠶業取締ノ利用スルヲ勿論其ノ他荀モ之カ指導奬勵ノ任ニ當ル者ヲシテ懇切ニ普及ノ勞ヲ執ラシメ以テ當業者ニ於テ容易ニ其ノ販路ヲ發見シ得ルノ途ヲ開クコト

●朝鮮製絲業令

昭和十年八月
制令第十一號

朝鮮製絲業令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮製絲業令

第一條　本令ニ於テ製絲業者ト稱スルハ朝鮮總督ノ定ムル者ヲ除クノ外本令ノ適用ニ付テハ之ヲ製絲業者ト看做ス

第二條　製絲業者ヲシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ朝鮮總督ノ免許ヲ受ケシメ前項ノ免許ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三條　朝鮮總督ハ製絲業者ニ對シ製絲業ノ統制上必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第四條　製絲業者免許ヲ受ケタル日ヨリ二年以内ニ事業ヲ開始セサルトキハ朝鮮總督ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

製絲業者引續キ一年以上其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ爲ササルトキハ朝鮮總督ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ事業ヲ制限スルコトヲ得

第五條　製絲業者ノ所爲ニシテ本令ニ基キテ發スル命令若ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ其ノ免許ヲ取消シ又ハ其ノ事業ヲ制限シ若ハ停止スルコトヲ得

第六條　朝鮮總督ハ製絲業者ニ對シ製絲業ノ統制上必要アリト認ムルトキハ製絲業者ニ對シ事業ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ事務所、營業所、製造場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ若ハ帳簿物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帶スヘシ

第七條　第二條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二　第四條第二項ノ規定ニ依ル制限又ハ第五條ノ規定ニ依ル制限若ハ停止ノ處分ニ違反シタル者

三　正當ノ理由ナクシテ第六條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サス若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ臨檢若ヲ拒ミ、妨ケ、忌避シ若ハ其ノ尋問ニ對シ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者

第九條　製絲業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其他ノ從業者カ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルコトヲ得ス

第十條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ製絲業者ニ適用スヘキ間則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行ノ際現ニ製絲業者タル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ本令ニ依リ免許ヲ受ケタル者ト看做ス（昭和十年十月勅令第三十六號ヲ以テ昭和十年十二月一日ヨリ施行）

●朝鮮製絲業令施行規則

昭和十年十月
總令第百二十七號

朝鮮製絲業令施行規則左ノ如ク定ム

第一條　朝鮮製絲業令（以下單ニ製絲業令ト稱ス）第一條ノ規定ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ同令ノ製絲業者ヨリ除外ス

一　五釜未滿ノ設備ヲ以テ生絲ノ製造ヲ業トスル者

二　揚返又ハ東裝以後ノ工程ノミヲ行フ者ニ委託シテノミ生絲ノ製造ヲ業トスル者

三　他ノ者ニ委託シテノミ生絲ノ製造ヲ業トスル者

四　產業組合ノ有スル製絲場ヲ利用シ又ハ產業組合ニ委託シテノミ生絲ノ製造ヲ業トスル者

五　五釜未滿ノ設備ノ製絲場ヲ有スル產業組合

六　揚返又ハ東裝以後ノ工程ノミヲ行フ產業組合

第二條　製絲業者タラントスル者ハ製絲場毎ニ免許ノ申請ヲ爲スヘシ

第三條　前條ノ規定ニ依ル免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　申請者ノ氏名、住所及履歷（法人ニ在リテハ名稱、事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名、住所及履歷）

二　製絲場ノ所在地

三　器械製絲、足踏製絲又ハ座繰製絲ノ別

四　繰絲實ノ名稱、釜數及繰數

五　一日ノ平均操業時間

六　一年間ノ原料繭消費見込數量

七　一年間ノ目的繼度別生絲製造見込數量

八　事業ノ經營ニ要スル資本ノ見込額及其ノ出資方法

九　管理人（以下單ニ管理人ト稱ス）ヲ置カントスルトキハ其ノ者ノ氏名、住所及履歷

第四條　前條ノ規定ニ依ル免許申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　製絲場ノ所有權ニ移轉アリタルトキ

二　相續（法人ニ在リテハ合併）ニ因リ製絲業ヲ承繼シタルトキ

三　製絲場ノ所在地ヲ變更シタルトキ

四　製絲場ノ名稱ヲ變更シタルトキ

五　製絲場ノ釜數又ハ繰數ヲ增減シ又ハ新ニ繰絲機ヲ設置シタルトキ

六　製絲場ノ廢止又ハ休止シタルトキ

七　製絲場ノ廢止又ハ休止ヲ再開シタルトキ

八　第五條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ實行シタルトキ

九　製絲業者ノ名稱ヲ定メ又ハ之ヲ變更シタルトキ

十　直接製絲ノ用ニ供スル建物ヲ新築、改築、增築又ハ廢棄シタルトキ

十一　繰絲機ヲ廢棄シタルトキ

十二　製絲場ノ全部又ハ一部滅失シタルトキ

十三　製絲場ノ所有權ニ移轉アリタルトキ

十四　相續（法人ニ在リテハ合併）ニ因リ製絲業ヲ承繼シタルトキ

十五　製絲業者死亡（法人ニ在リテハ解散）シタルトキ

前項第十四號ノ規定ニ依リ朝鮮總督ハ合併アリタルコトヲ證スル書類及相續人ノ戶籍謄本又ハ合併後存續スル法人又ハ合併ニ因リテ設立シタル法人ノ戶籍謄本、財產目錄、貸借對照表及事業報告書

第五條　製絲業者產業組合ナルトキハ職業別組合員數、出資口數及組合員ノ一年間ノ產繭見込額ヲ記載シタル書類

十四　製絲業者產業組合ナルトキハ職業別組合員數、出資口數及組合員ノ最近一年間ノ產繭額ヲ記載シタル書類

十五　二人以上共同シテ事業ヲ行フ者ニ在リテハ之ニ關スル各共同者ノ出資額及權利義務ノ關係ヲ記載シタル書類

十六　二人以上共同シテ事業ヲ行フ者ニ在リテハ內一人ヲ代表者ト定メ其ノ氏名ヲ前項第一號ノ書類ニ附記スヘシ

朝鮮總督ハ第一項ノ書類ノ外承認ニ關シ必要ナル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第六條　前條第一項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ承認ヲ受クヘキ事項ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ定ム

一　製絲業者ノ氏名、住所及履歷（法人ニ在リテハ名稱、事務所ノ所在地並ニ代表者ノ氏名、住所及履歷）ヲ記載シタル書類

二　事業ヲ廢止シタルトキ

三　製絲場滅失シタルトキ

第七條　左ニ揭ケル場合ニ於テハ製絲業者ハ遲滯ナク朝鮮總督ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

一　製絲業者ノ氏名又ハ住所（法人ニ在リテハ名稱又ハ事務所ノ所在地又ハ代表者ノ氏名若ハ住所）ニ變更アリタルトキ

二　第三條第二項ノ代表者ニ變更アリタルトキ

三　製絲業者事業ヲ開始シ又ハ廢止シタルトキ

四　製絲業者引續キ三十日以上事業ノ全部若ハ一部ヲ休止シ又ハ休止シタル事業ヲ開始シタルトキ

五　製絲ノ委託ヲ受ケタルトキ

六　製絲業者製絲業以外ノ事業ヲ新ニ兼營シ又ハ兼營事業ヲ廢止シタルトキ

七　二人以上共同シテ免許ヲ受ケタル場合ニ於テ各共同者ノ出資額又ハ權利義務ノ關係ニ異動アリタルトキ

第八條　製絲業者個人ナルトキハ資產ノ概要ヲ記載シタル書類

十　起業費ノ收支概算

十一　事業開始ノ豫定時期

二人以上共同シテ事業ヲ行ハントスルトキハ內一人ヲ代表者ト定メ其ノ氏名ヲ免許申請書ニ附記スヘシ

第四條　第二條ノ規定ニ依ル免許申請書ニハ左ニ揭ケル書類ヲ添附スヘシ

一　製絲場ノ敷地ノ面積竝ニ建物ノ種類、而積及構造ノ概要ヲ記載シタル書類

二　製絲場ノ敷地內ノ建物及設備ノ配置圖竝ニ敷地附近ノ概況圖

三　繭ノ乾燥ニ關スル設備ノ名稱、能力及乾燥ヲ記載シタル書類

四　煮繭概ノ名稱、能力及煮數竝ニ揚返機ノ窓數ヲ記載シタル書類

五　生絲ノ整理及檢査ニ關スル設備ノ種類及員數ヲ記載シタル書類

六　從業者ノ業務別員數表

七　自家用生絲ノ製造ヲ行ハントスル場合ニ於テハ其ノ製造ニ係ル生絲ノ加工品ノ種類、加工設備ノ所在地及一年間ノ原料生絲ノ消費見込數量ヲ記載シタル書類

八　製絲業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ其ノ事業ノ概要ヲ記載シタル書類

九　事業ノ收支概算書

十　申請者個人ナルトキハ資產ノ概要ヲ記載シタル書類

十一　申請者法人ナルトキハ定款、登記簿ノ謄本、財產目錄、貸借對照表及事業報告書

十二　申請者產業組合ナルトキハ職業別組合員數、出資口數及組合員ノ一年間ノ產繭見込額ヲ記載シタル書類

十三　二人以上共同シテ申請ヲ爲ストキハ事業ニ關スル各共同者ノ出資額及權利義務ノ關係ヲ記載シタル書類

朝鮮總督ハ前項ノ書類ニ關シ必要ナル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第五條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ製絲業者ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ

一　製絲場ノ敷地ノ面積竝ニ建物ノ種類、構造又ハ繰絲機ノ增設又ハ改設ヲ爲サントスルトキ

二　繰絲機ノ釜數ヲ增減シ又ハ繰絲機ノ種類ヲ變更シタルトキ

三　繰絲機ノ廢棄シタルトキ

四　繰絲機ノ揚返機ノ窓數ヲ增減シ又ハ揚返機ノ種類ヲ變更シタルトキ

五　煮繭機ノ增設又ハ改設ヲ爲サントスルトキ

六　煮繭機ノ種類ヲ變更シタルトキ

七　乾燥機ノ增設又ハ改設ヲ爲サントスルトキ

八　乾燥機ノ種類ヲ變更シタルトキ

九　繰絲機、揚返機、煮繭機ノ他ノ設備ノ增設又ハ改設ヲ爲サントスルトキ

十　前各號ノ外朝鮮總督ニ於テ特ニ認可ヲ受ケシムル必要アリト認ムル事項ヲ實行シタルトキ

第六條　製絲業者ハ前條第一項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ實行シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

第七條　製絲業者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニハ遲滯ナク朝鮮總督ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

一　製絲業者ノ氏名又ハ住所（法人ニ在リテハ名稱又ハ事務所ノ所在地又ハ代表者ノ氏名若ハ住所）ニ變更アリタルトキ

二　第三條第二項ノ代表者ニ變更アリタルトキ

三　製絲業者事業ヲ開始シ又ハ廢止シタルトキ

四　製絲業者引續キ三十日以上事業ノ全部若ハ一部ヲ休止シ又ハ休止シタル事業ヲ開始シタルトキ

五　製絲ノ委託ヲ受ケタルトキ

六　製絲業者製絲業以外ノ事業ヲ新ニ兼營シ又ハ兼營事業ヲ廢止シタルトキ

七　二人以上共同シテ免許ヲ受ケタル場合ニ於テ各共同者ノ出資額又ハ權利義務ノ關係ニ異動アリタルトキ

第八條　製絲業者個人ナルトキハ資產ノ概要ヲ記載シタル書類

十　起業費ノ收支概算

十一　事業開始ノ豫定時期

二人以上共同シテ事業ヲ行ハントスルトキハ內一人ヲ代表者ト定メ其ノ氏名ヲ免許申請書ニ附記スヘシ

第四條　第二條ノ規定ニ依ル免許申請書ニハ左ニ揭ケル書類ヲ添附スヘシ

一　製絲場ノ敷地ノ面積竝ニ建物ノ種類、構造ノ概要ヲ記載シタル書類

二　製絲場ノ敷地內ノ建物及設備ノ配置圖竝ニ敷地附近ノ概況圖

三　繭ノ乾燥ニ關スル設備ノ名稱、能力及乾燥ヲ記載シタル書類

四　煮繭概ノ名稱、能力及煮數竝ニ揚返機ノ窓數ヲ記載シタル書類

五　生絲ノ整理及檢査ニ關スル設備ノ種類及員數ヲ記載シタル書類

六　從業者ノ業務別員數表

七　自家用生絲ノ製造ヲ行ハントスル場合ニ於テハ其ノ製造ニ係ル生絲ノ加工品ノ種類、加工設備ノ所在地及一年間ノ原料生絲ノ消費見込數量ヲ記載シタル書類

八　製絲業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ其ノ事業ノ概要ヲ記載シタル書類

九　事業ノ收支概算書

十　申請者個人ナルトキハ資產ノ概要ヲ記載シタル書類

十一　申請者法人ナルトキハ定款、登記簿ノ謄本、財產目錄、貸借對照表及事業報告書

十二　申請者產業組合ナルトキハ職業別組合員數、出資口數及組合員ノ一年間ノ產繭見込額ヲ記載シタル書類

十三　二人以上共同シテ申請ヲ爲ストキハ事業ニ關スル各共同者ノ出資額及權利義務ノ關係ヲ記載シタル書類

朝鮮總督ハ前項ノ書類ノ外免許ニ關シ必要ナル書類ノ提出ヲ命ズ

第九款　畜産

●畜牛ノ改良増殖ニ關スル件

明治四十五年三月
總訓第九號
道
勸業模範場

畜牛ハ朝鮮ノ農業組織上缺ク可カラサル要素ニシテ其ノ飼育ノ多少ハ農業ノ盛衰ニ重大ナル關係アルノミナラス運移出品中額ル重要ノ位置ヲ占ムルモノナルヲ以テ其ノ改良増殖ハ一日モ怠ニス可ラサルナリ

從來朝鮮ノ農民ハ畜牛ヲ愛養シ風土亦之カ飼育ニ適スルヲ以テ育牛業ハ他ノ産業ニ比シ比較的進歩ノ蹟ヲ觀ルト雖尚其改良増殖上力ヲ用ウヘキ點尠カラス乃チ蕃殖上種牛ノ選擇ニ重キヲ置カサルカ如キ又野草ノ保護及貯藏ニ意ヲ用ヰサルカ如キ又ハ豫防ヲ誇セスシテ多數ノ畜牛ヲ失フカ如キ或レモ畜牛ノ増殖ヲ妨ケ且其ノ體格ヲ劣變セシムルノ原因ナラサルハナシ加之近年内地及外國ニ多數優良ナル畜牛ヲ輸移出シ將來益増加セムトスル趨勢ナルカ故ニ今ニ於テ改良増殖ノ途ヲ講セスムハ朝鮮牛ハ漸ヲ以テ劣變浅少シ内ハ農業經濟上外ハ貿易上ニ於テ兩ナカラ其ノ弊ヲ受クルニ至ルヘシ蓋シ優良ナル種牛ヲ各地ニ配付シ種牛ノ保護狀及購買狀ヲ補助シ又牛疫侵入ノ門戸タル咸鏡北道北部ニ於テ本年ヨリ畜牛ニ豫防注射ヲ行ハシメ著シ必要ナル施設ヲ遂行シタルハ皆畜牛ノ改良増殖ヲ圖ラムトスルノ意ニ外ナラサルナリ依テ左記要項ニ據リ懇切ニ農民ヲ指導シ以テ所期ノ成績ヲ舉クルニ努ムヘシ

一　種牡牛ノ選擇　畜牛改良上選擇スヘキ種牡牛ハ乳牛ヲ除クノ外先ツ朝鮮在來種ヲ本位トシ可成北部産ノ優良ナルモノヲ採擇スルコト

一　種牡牛ノ配置及種付　畜牛ヲ改良セムニハ優良ナル種牡牛ヲ備ヘ其ノ種付ヲ行フニアリ依テ道自ラ種牡牛ヲ備育スルカ或ハ篤農家ニ貸付飼養セシメ適當ナル管理ノ下ニ巡回種付ヲ行ヒ又ハ附近ノ牝牛ニ種付セシムルコト　從來體格完全ナル牡牛種牡牛ノ保護

一　牡牛ノ保護　從來體格完全ナル牡牛アルモ特ニ之ヲ種牛トシテ使用スル慣行ナシ是レ種牛ノ劣變ヲ來セル原因ノ一ナリ故ニ種牡牛普ク配置セラレサル間ハ各地方ニ於テ優良ナル牡牛ヲ選拔シ其ノ所有者ニ若干ノ飼養料ヲ補助スルカ又ハ他ニ便宜ノ方法ヲ講シ一定ノ期間之ヲ其ノ地ニ保留シテ種付ニ供セシメ以テ漸次種牛ノ優劣ノ別ヲ致セシムルコト

一　牝牛ノ貸付　畜牛ノ増殖ヲ圖ラムカ爲ニハ牝牛ヲ飼育スル者ヲ多數ナラシメサルヘカラス故ニ畜牛ヲ所有セサル農民ニ牝牛ヲ貸付シ以テ蕃殖用ニ供セシムルコト

一　畜牛頭数ノ奨勵　小農ハ畜牛ヲ贍ヘスルノ資力ナキニ依リ農繁ノ期ニ入レトキハ不廉ナル料金ヲ支出シテ他人ヨリ畜牛ヲ貨借スル狀態ナルヲ以テ資産者ハ利殖ノ方法トシテ畜牛ノ頭数ヲ爲ス慣習各地ニ行ハル此ノ良慣習ヲ誘掖指導スルトキハ能ク畜牛ノ數ヲ増加シ得ヘキニ依リ畜牛ノ頭数ヲ爲ス者ニハ地方金融機關ヲシテ可成低利ノ資金ヲ融通シテ頭数ノ増殖ヲ圖ラシムルコト

一　飼料ノ供給　畜牛ノ主要ナル飼料ハ野草ナリ然ルニ多年草生地ノ保護ヲ等閑ニ付シタル結果往往野草ノ醗シク衰耗セル地方アルヲ以テ野草ノ保護ニハ周到ナル注意ヲ拂ハシムル樣人民ヲ誘導スルト同時ニ牧草ノ栽培ヲ試ミ風土ニ適應セル種類ヲ普及セシメ又夏季青草ヲ刈取リ乾燥貯藏シテ冬季ノ飼料ニ充テシムルコト

一　去勢ノ奨勵　去勢ハ牡牛ノ性質ヲ溫順ニシ生長ヲ遠カニシ肉質ヲ良好ナラシメ體質ヲ肥臃セシムルノミナラス又劣乳用ニ供スルモノヲ除クノ外一切之ヲ飼養セシメサルハ勿論此等牛種ト朝鮮牛種トノ血液混淆スルコトナカラシムルニ努メ以テ朝鮮牛種ノ保存改良上遺漏ナキヲ期スヘシ

●保護牛規則

大正五年七月
總令第五十五號

保護牛規則左ノ通定ム

第一條　畜牛ヲ改良シ其ノ増殖ヲ圖ル爲地方長官ハ保護牛ヲ設定スヘシ

第二條　地方長官ハ其ノ管内ニ於ケル畜牛ニシテ左記各號ノ資格ヲ具備スルモノニ就キ保護牛ヲ選定スヘシ

一　種類　朝鮮種
二　年齢　牡ハ二歳以上十歳以下、牝ハ二歳以上八歳以下
三　體尺　牡ハ四尺二寸以上、牝ハ四尺以上但シ四歳以下ノモノニ在リテハ五歳迄ニ牡ハ四尺二寸ニ、牝ハ四尺ニ達スル見込アルモノ
四　體格　各部ノ均稱宜シキヲ得テ姿勢正シク且蹄質堅靱ニシテ步履確實ナルモノ
五　體質　强健ニシテ蕃殖能力ニ故障ナキモノ

第三條　保護牛ニ選定セラレタル四歳以上ノ牡牛ノ所有者又ハ管理者ハ左ノ場合ヲ除クノ外種付ノ請求ヲ受ケタルトキ之ヲ拒ムコトヲ得ス

一　牡牛ニ疾患アルトキ
二　種付ヲ受ケムトスル牝牛ニ疾患アルトキ
三　一日ノ種付二頭ニ及ヒタルトキ
四　前各號ノ外正當ナル事由アルトキ

第四條　保護牛ニ選定セラレタル牝牛ハ前條第一條ノ牡牛又ハ地方長官ニ於テ種牛ニ指定シタルモノヲ除クノ外交配セシムルコトヲ得ス

第五條　保護牛ニハ左角ニ、角ナキモノニハ前肢左蹄ニ第一號樣式ノ烙印ヲ爲スヘシ

第六條　保護牛ノ所有者ニハ保護料ヲ支給ス保護料ハ地方費ノ支辨トシ其ノ額及支給ノ方法ハ地方長官之ヲ定ム

第七條　保護牛ノ所有者ハ地方長官ノ承認ヲ受クルニ非サレハ之ヲ讓渡シ又ハ其ノ管理者ヲ變更スルコトヲ得ス

第八條　地方長官ハ保護牛左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ解除スヘシ

一　第二條ノ要件ヲ缺キタルトキ
二　所有者又ハ管理者ヲ不適當ト認メタルトキ
三　保護ノ必要ナシト認メタルトキ

前項ノ解除ヲ爲シタルトキハ第五條ノ烙印ノ側ニ第二號樣式ノ烙印ヲ爲スヘシ

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ保護牛ノ所有者ハ十日以内ニ地方長官ニ届出ツヘシ

一　所有者又ハ管理者ノ住所氏名ヲ變更シタルトキ
二　管理者ヲ變更シタルトキ
三　保護牛ヲ讓受ケタルトキ
四　保護牛ノ斃死又ハ他ニ亡失シタルトキ

第十條　地方長官ハ保護牛ヲ選定シ、解除シ又ハ前條ノ届出アリタルトキハ道報又ハ他ノ適當ナル方法ヲ以テ之ヲ公示スヘシ

第十一條　第三條、第四條、第七條若ハ第八條ノ規定ニ違反シ又ハ據ニ第五條若ハ第八條第二項ノ烙印ヲ抹消シタル者ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ大正五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

京畿　道保護牛烙印樣式

忠清北道同上
忠清南道同上
全羅北道同上
全羅南道同上
慶尚北道同上

慶尚南道同上
黃海　道同上
平安南道同上
平安北道同上
江原　道同上
咸鏡南道同上
咸鏡北道同上

備考　烙印ハ直徑六分緣及文字ノ太サ五厘トス

第二號樣式

備考　烙印ハ直徑六分緣及文字ノ太サ五厘トス

第十款　競馬

●朝鮮競馬令

昭和七年十月
制令第三號
朝鮮競馬令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮競馬令

第一條　馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ヲ圖ルコトヲ目的トスル朝鮮民事令ニ於テ依テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルモノハ本令ニ依ル競馬ヲ行フコトヲ得

第二條　競馬ノ開催ハ年二回ヲ超ユルコトヲ得但シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタルトキハ年三回開催スルコトヲ得

第三條　競馬開催ノ期間ハ每回八日以内トス

第四條　競馬ノ開催スルトキハ入場者ヨリ入場料ヲ徵收スヘシ但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五條　第一條ノ法人ハ入場者ニ對シ券面金額二圓以上二十圓以下ノ勝馬投票券ヲ券面金額ヲ以テ發賣スルコトヲ得

勝馬投票券ノ發賣ハ競馬一競走ニ付一人一枚ヲ限リ單勝式勝馬投票券及複勝式勝馬投票券ヲ發賣スル場合ニ於テハ競馬一競走ニ付一人各一枚ヲ限ル

勝馬投票券ノ之ヲ讓渡スコトヲ得ス

第六條　學生生徒又ハ未成年者ニ對シ勝馬投票券ヲ發賣スルコトヲ得ス

當該競馬ヲ開催スル第一條ノ法人ノ役員又ハ當該競馬ニ關スル開催執務委員、調教師、騎手、馬丁其ノ他競馬ノ事務ニ從事スル者ニ對シ亦前項ニ同シ

第七條　第一條ノ法人ハ勝馬投票的中者ニ對シ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ當該競走ニ付テノ勝馬投票券ノ賣得金ノ額ヲ超エサル範圍内ニ於テ勝馬投票券ノ發賣ニ要スル諸費及共ノ金額ハ勝馬投票券ノ券面金額ノ十倍ヲ超ユルコトヲ得ス

勝馬投票的中者無キ場合ニ於ケル賣得金又ハ前項但書ノ規定ニ依リ生シタル超過金ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ勝馬投票券ノ購買シタル者ニ拂戻スヘシ

前二項ノ拂戻金ノ債權ハ一年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ依リテ消滅ス

第八條　入場料ノ金額、勝馬投票券ノ券面金額及發賣方法竝ニ前條ノ拂戻金ノ支給方法ニ付テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ

第九條　勝馬投票券ヲ發賣シタルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ賣得金ノ額ノ百分ノ五以内ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付スヘシ

前項ノ規定ニ依ル納付金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次ガモノトス

第十條　競馬場ノ開設又ハ維持、競走馬ノ出場登錄又ハ出場、競馬ノ觀覽、勝馬投票券ノ發賣又ハ購買、拂戻金又ハ競馬賞金ノ交付又ハ受領其ノ他競馬ノ施行又ハ開催ニ關シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ

第十條　朝鮮總督ハ第一條ノ法人ニ對シ馬ノ改良増殖及馬事思想ノ普及ノ爲必要ナル施設ヲ命ズルコトヲ得

第十一條　第一條ノ法人ハ豫算ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第一條ノ法人ハ每事業年度終了後三月以内ニ朝鮮總督ニ決算報告ヲ爲スヘシ

第十二條　第一條ノ法人ノ理事及監事ノ就任ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十三條　朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第一條ノ法人ノ定款其ノ他ノ規則ノ改正ヲ命シ又ハ其ノ總會ノ決議ヲ取消スコトヲ得

第十四條　朝鮮總督ハ第一條ノ法人又ハ其ノ役員ノ行爲ガ法令若ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　競馬ノ停止
二　勝馬投票券發賣ノ停止又ハ制限
三　役員ノ解任

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三年以下ノ懲役若ハ五千圓以下ノ罰金ニ處シ又ハ其ノ刑ヲ併科ス

一　第一條ノ法人ニ非ズシテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者
二　前條第二號ノ停止又ハ制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者
三　第一條ノ法人ノ開催スル競馬ノ競走ニ關シ業トシテ多數ノ者ニ對シ財物ヲ以テ賭事ヲ爲シタル者

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ發賣シタル者

二　第五條第二項ニ揭ゲル者ニシテ勝馬投票券ヲ購買シタルモノ

三　第六條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ拂戻金ヲ交付シタル者

四　第七條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタルニ非ザル券面金額ノ勝馬投票券ヲ發賣シタ

ル者
六前條各號ノ一ニ規定スル行爲ノ相手方トナリタル者
第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一　第四條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル制限ニ違反シテ勝馬投票券ヲ購買シタル者
二　第五條第一項ニ掲ゲル者ニシテ勝馬投票券ヲ購買シタルモノ
三　勝馬投票券ヲ讓渡シ又ハ讓受ケタル者
四　第六條ノ規定ニ依ル制限ニ違反シタル勝馬投票券ヲ購買シタル者
附　則
本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和七年十二月総令一四四号ヲ以テ昭和八年一月一日ヨリ施行）

●朝鮮競馬令施行規則

昭和七年十二月
總令第百二十九號
改正　昭和八年九月第七號、九年二月第二六號、
〇年七月第八號、二年九月第八五號

朝鮮競馬令施行規則左ノ通定ム

朝鮮競馬令施行規則

第一條　本令ニ於テ競馬會ト稱スルハ朝鮮競馬會（以下單ニ競馬會ト稱ス）第一條ノ規定ニ依リ競馬施行ノ認可ヲ受ケタル法人ヲ謂フ

第二條　競馬會第一條ノ規定ニ依ル認可申請書ニハ定款ノ外左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ
一　競馬場及其ノ附近ノ見取圖
二　競馬場、馬見所、下見所、檢量所、入場券發賣所、勝馬投票券發賣所、拂戻金交付所、厩舍其ノ他ノ工作物ノ位置、構造、設備及圖面
四　競馬場ノ設備ニ要スル費用ノ見積額及其ノ支辨方法
五　競走ノ種類
六　入場料ノ金額
七　無料入場者ノ徽章ニ關スル事項
八　入場者ノ徽章ニ關スル事項

九　勝馬投票法ノ種類
十　勝馬投票券ノ券面金額、樣式及發賣ニ關スル事項
十一　第二十條ノ規定ニ依リ競馬會ノ定ムル賣得金ノ支拂方法
十二　競馬會第六條第一項及第二項ノ規定ニ依ル拂戻金ノ支給方法
前項第九號ノ勝馬投票法ノ種類ニハ單勝式勝馬投票法及複勝式勝馬投票法ノ別ヲ記載スベシ
第一項第十號ノ勝馬投票券ノ發賣ニ關スル事項ニハ競馬會第四條第二項及第三項ニ規定スル事項ノ取締ニ關スル方法ヲ詳記スベシ
競馬會第一條ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケタル者ハ競馬會第三條但書及第七條ノ規定ニ依リ競馬ノ開催ニ關シ認可アリタルモノト看做ス
第一項第一號及第三號乃至第十二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ
朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ第一項第一號及第三號乃至第十二號ニ掲ゲル事項ノ變更ヲ命ズルコトヲ得
第三條　馬場ハ其ノ長千六百メートル以上、幅三十メートル以上ナルコトヲ要ス
第四條　勝馬投票券發賣所及拂戻金交付所ハ競馬場內ニ之ヲ設ケ且競馬會第四條第二項及第三項ニ規定スル事項ノ取締ニ必要ナル設備ヲ爲スベシ
第五條　競走ノ種類ハ駈歩競走、速歩競走及障碍競走トス
第六條　競走ノ距離ハ駈歩競走ニ在リテハ千六百メートル以上、速歩競走ニ在リテハ三千二百メートル以上、障碍競走ニ在リテハ二千メートル以上トス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第七條　男ケ三歳以下ノ馬及馬ノ改良增殖ニ裨益ナキ馬ハ之ヲ競走ニ用フルコトヲ得ズ
第八條　競馬會ハ朝鮮產馬ノミヲ以テスル競走ニ對シテハ賞ヲ厚クスベシ
第九條　競馬會ハ左ニ掲ゲル事項ニ付競馬施行規程ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

一　番組編成ニ關スル事項
二　開催執務委員ノ執務ニ關スル事項
三　競走馬ニ關スル事項
四　負擔重量ニ關スル事項
五　發走及審判ニ關スル事項
六　馬ノ所有者及騎手ニ關スル事項
七　登錄料ニ關スル事項
八　場內ノ取締ニ關スル事項
競馬ヲ開催セントスルトキハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ出馬登錄締切期日ノ二月前迄ニ朝鮮總督ニ提出スベシ
一　開催ノ日時
二　番組ノ要項
三　開催執務委員
前項第二號ノ番組ノ要項ニハ各競走ノ番號、種類、名稱、距離、賞金額、賞品ノ種類及負擔重量ノ條件ヲ記載スベシ
競馬會第二條但書ノ規定ニ依リ競馬ヲ開催セントスルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル許可申請書及第一項ノ認可申請書ヲ出馬登錄締切期日ノ一月前迄ニ朝鮮總督ニ提出スベシ
第十一條　朝鮮總督前條第一項ノ認可ヲ爲ス場合ニ於テ別段ノ意思ヲ表示セザルトキハ其ノ競馬ニ於テ明ケ七歲ヲ超エザル朝鮮產新馬三十頭以上ノ出馬登錄馬數ヲ有スベキ條件ヲ附シタルモノトス但シ競馬會第二條但書ノ規定ニ依リ競馬ヲ開催スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
第十二條　競馬會ハ左ニ掲ゲル者ニ豫メ朝鮮總督ニ屆出デタル各別ノ徽章ヲ交付シ競馬場內ニ於テ常ニ之ヲ領用セシムベシ
一　有料入場者
二　無料入場者
三　競馬會第五條第一項ニ掲ゲル者
四　競馬會第五條第二項ニ掲ゲル者
五　勝馬投票券發賣所及拂戻金交付所ノ係員
第十三條　勝馬投票券ノ發賣及拂戻金ノ交付ハ競馬會自ラ之ヲ爲スベシ

第十四條　競馬會ハ勝馬投票券ノ受拂及勝馬投票券ノ發賣金ノ出納ヲ明瞭ナラシムル爲必要ナル帳簿ヲ別ニ備フベシ
第十五條　競馬會ハ競馬終了後十五日以內ニ左ニ掲ゲル事項ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ
一　出馬登錄馬數及入場馬數
二　馬場ニ出デタル馬ノ名稱、新古ノ別、種類、性、毛色、年齡、體高、胸圍、管圍、特徵、產地、血統及所有者
三　各競走ニ於ケル受賞馬ノ名稱、著順、競走距離、速度、負擔重量、騎手及生產者
四　第十二條第一號乃至第三號ニ掲ゲル者ノ別及其ノ等級別入場者ノ員數及入場料ノ金額
五　各競走ニ於ケル勝馬投票券ノ發賣金額及發賣枚數、第十五條ノ規定ニ依リ賣戻ニ應ズベキ金額、賣得金額竝ニ第二十一條及第二十二條ノ規定ニ依リ交付スベキ拂戻金ノ總額
六　競馬場內諸般ノ狀況
七　競馬開催ニ關スル收支計算
前項第五號ニ掲ゲル事項ハ單勝式勝馬投票法及複勝式勝馬投票法ヲ併セ用フル競馬會ニ在リテハ勝馬投票券ノ種類別ニ之ヲ記載スベシ
第十六條　本令ニ於テ賣得金額ト稱スルハ勝馬投票券ノ發賣金額ヨリ第十五條ノ規定ニ依リ賣戻ニ應ズベキ金額ヲ控除シタルモノヲ謂フ
第十七條　競馬會ハ其ノ事業年度開始一月前ニ豫算ノ認可ヲ朝鮮總督ニ申請スベシ
競馬會豫算ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ
第十八條　本令ニ於テ競馬會ト稱スルハ朝鮮競馬會ノ外勝馬投票券ノ發賣及拂戻金交付ノ事務ニ從事スル者ノ氏名ヲ豫メ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ
第十四條　勝馬投票券ノ發賣ハ當該競走ニ參加スベキ馬ノ確定シタル後之ヲ開始シ馬カ競走ノ出發點ヲ出發スル前之ヲ締切ルベシ
第十五條　勝馬投票券發賣ノ後當該競走ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル事由ヲ生ジタルトキハ其ノ投票ヲ無效トシ競馬會ハ拂面金額ヲ以テ勝馬投票券ノ買戻ニ應ズベシ發賣シタル勝馬投票券ニ表示セラレタル馬場ニ出デザルトキハ其ノ馬ニ對スル勝馬投票券ニ付亦同シ
一　馬場ニ出デタル馬一頭ノミト爲リタルトキ
二　競走成立セザルトキ
三　競走ニ勝馬ナキトキ
第十六條　競馬會ハ各競走ニ付勝馬投票券ノ發賣ヲ締切リタルトキハ還ラ各馬ニ對スル勝馬投票法及複勝式勝馬投票法ヲ併セ用フル場合ニ於テハ其ノ各ニ區分シタルモノ）ヲ掲示スベシ
第十七條　單勝式勝馬投票法ニ在リテハ第一著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トシ複勝式勝馬投票法ニ在リテハ第一著、第二著及第三著ト爲リタル馬（勝馬投票券發賣開始ノ時ニ於テ競走ニ參加スベキ馬七頭以下五頭以上ナルトキハ第一著及第二著ト爲リタル馬、勝馬投票券發賣開始ノ時ニ於テ競走ニ參加スベキ馬四頭以下ナルトキハ第一著ト爲リタル馬）ヲ以テ勝馬トス
第一著、第二著及第三著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トスル場合ニ於テ第一著又ハ第二著ト爲リタル馬二頭アルトキハ次著順以下ノ馬ハ之ヲ一著順（二頭ヲ超エルトキハ其ノ超エタル頭數一頭毎ニ更ニ一著順）冤絰下ダタル著順ノ馬ト看做ス第一著及第二著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トスル場合ニ於テ第一著ト爲リタル馬二頭以上アルトキ亦同シ
第十八條　單勝式勝馬投票法及複勝式勝馬投票法ヲ併セ用フル競馬會ハ勝馬投票券發賣開始ノ時ニ於テ競走ニ參加スベキ馬四頭以

下アルトキハ其ノ競走ニ付複勝式勝馬投票券ヲ發賣スルコトヲ得ズ
第十九條　競馬會第八條第一項ノ規定ニ依リ政府ニ納付スベキ金額ハ其ノ季ノ競馬ニ於ケル勝馬投票券ノ賣得金額ノ百分ノ五トス但シ競馬會第二條但書ノ規定ニ依リ開催スル競馬ニ付テハ其ノ都度之ヲ定ム
第二十條　競馬會ハ勝馬投票券ノ賣得金額ニ對シ其ノ定ムル歩合ノ金額ヲ賣得歩合金トシテ收入スルコトヲ得但シ政府ニ納付スベキ金額ト賣得歩合金額トノ合計ハ賣得金額ノ百分ノ二十ヲ超エルコトヲ得ズ
第二十一條　勝馬投票券ノ賣得金（單勝式勝馬投票法及複勝式勝馬投票法ヲ併セ用フル場合ニ於テハ其ノ各ニ區分シタルモノ）ニ付附錄ニ定ムル算式ニ依リ各勝馬ニ對スル勝馬投票券ノ拂戻金總額ヲ算出シ之ヲ當該勝馬ニ對スル各勝馬投票券ノ券面金額ニ按分シタルモノヲ勝馬投票的中者ニ對シ勝馬投票券引換ニ交付スベシ但シ其ノ金額ハ勝馬投票券ノ券面金額ノ十倍ヲ超エルコトヲ得ズ
前項ノ規定ニ依リ拂戻金ノ算出ヲ爲ス場合ニ於テ勝馬投票的中者無キ勝馬アルトキハ其ノ算出ニ付テハ之ヲ勝馬ニ非ザルモノト看做ス
第二十二條　競馬會第六條第二項ノ規定ニ依リ拂戻スベキ賣得金又ハ超過金アル場合ニ於テハ賣得金ニ在リテハ其ノ金額ヨリ政府ニ納付スベキ金額及賣得歩合金ヲ控除シタル殘額ヲ勝馬投票券ヲ購買シタル者ニ對シ、超過金ニ在リテハ其ノ金額ヲ勝馬ニ出デタル馬ニシテ勝馬以外ノモノニ對シ投票シタル者ニ對シ其ノ勝馬投票券ノ券面金額ニ應ジ拂戻金トシテ勝馬投票券引換ニ交付スベシ
第二十三條　勝馬投票券ノ拂戻金ヲ交付スル場合ニ於テ交付上ノ基礎タル金額五圓以上ナルトキハ五十錢未滿ナルトキハ之ヲ切捨テ之ヲ交付シ五圓未滿ナルトキハ十錢未滿ノ端數ヲ切捨テ拂戻金ヲ交付スルコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依リ拂戻金ヲ交付スル場合ニ於テ交付上ノ基礎タル金額五圓以上ナルトキハ五十錢未滿ノ端數ヲ切捨テ拂戻金ヲ交付スルコトヲ得

交付スル場合ニ於テハ交付上ノ基礎タル金額五圓未滿ナルトキト雖モ五十錢未滿ノ端數ヲ切捨テ之ヲ交付スルコトヲ得
前項ノ端數切捨ニ依リ生ジタル金額ハ競馬會ノ收入トス
第二十四條　競馬會ハ勝馬投票券ノ受拂及勝馬投票券ノ發賣金ノ出納ヲ明瞭ナラシムル爲必要ナル帳簿ヲ別ニ備フベシ
第二十五條　競馬會ハ競馬終了後十五日以內ニ左ニ掲ゲル事項ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ
一　出馬登錄馬數及入場馬數
二　馬場ニ出デタル馬ノ名稱、新古ノ別、種類、性、毛色、年齡、體高、胸圍、管圍、特徵、產地、血統及所有者
三　各競走ニ於ケル受賞馬ノ名稱、著順、競走距離、速度、負擔重量、騎手及生產者
四　第十二條第一號乃至第三號ニ掲ゲル者ノ別及其ノ等級別入場者ノ員數及入場料ノ金額
五　各競走ニ於ケル勝馬投票券ノ發賣金額及發賣枚數、第十五條ノ規定ニ依リ賣戻ニ應ズベキ金額、賣得金額竝ニ第二十一條及第二十二條ノ規定ニ依リ交付スベキ拂戻金ノ總額
六　競馬場內諸般ノ狀況
七　競馬開催ニ關スル收支計算
前項第五號ニ掲ゲル事項ハ單勝式勝馬投票法及複勝式勝馬投票法ヲ併セ用フル競馬會ニ在リテハ勝馬投票券ノ種類別ニ之ヲ記載スベシ
第二十六條　本令ニ於テ賣得金額ト稱スルハ勝馬投票券ノ發賣金額ヨリ第十五條ノ規定ニ依リ賣戻ニ應ズベキ金額ヲ控除シタルモノヲ謂フ
第二十七條　競馬會ハ其ノ事業年度開始一月前ニ豫算ノ認可ヲ朝鮮總督ニ申請スベシ
競馬會豫算ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ
第二十八條　競馬會ハ其ノ事業年度開始一月前ニ事業計畫ヲ定メ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

朝鮮總督ノ指定スル競馬會ニ在リテハ第七條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ內蒙古騎馬ヲ競走ニ用フルコトヲ得

附　錄

$$(W+P-)\times(1-R)$$

W　ハ當該勝馬ニ對スル勝馬投票券ノ總券面金額トス
D　ハ馬場ニ出デタル馬ニシテ勝馬以外ノモノニ對スル勝馬投票券ノ總券面金額トス
R　ハ政府ニ納付スベキ金額及競馬會ノ收入スルコトヲ得ベキ賣得歩合金額ノ合計額ノ勝馬投票券ノ賣得金額ニ對スル割合
P　ハ左表ノ場合ヲ除クノ外勝馬ノ數トス

摘要	P
第一著ノ勝馬	第二著ノ勝馬ノ數
第二著ノ勝馬	第三著ノ勝馬ノ數
第三著ノ勝馬	P'ハ勝馬ノ數 $\times\frac{N}{2}$
第一著及第二著ノ勝馬ヲ以テ第一著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トスル場合	P'ハ勝馬ノ數 $\times N$
第二著及第三著ノ勝馬ヲ以テ第一著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トスル場合	P'ハ勝馬ノ數 $\times N$
第一著及第二著ノ勝馬ヲ以テ第一著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トスル場合	P'ハ勝馬ノ數 $\times N$

摘要	P
第一著ノ勝馬	第二著ノ勝馬ノ數 $\times\frac{N-2}{2}$
第二著及第三著ト爲リタル馬ヲ以テ第一著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トスル場合	P'ハ勝馬ノ數 $\times\frac{N-2}{2}$
第一著及第二著ノ勝馬ヲ以テ第一著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トスル場合	P'ハ勝馬ノ數 $\times(N-1)$
第二著及第三著ノ勝馬ヲ以テ第一著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トスル場合	P'ハ勝馬ノ數 $\times(N-1)$
第一著及第二著ノ勝馬ヲ以テ第一著ト爲リタル馬ヲ以テ勝馬トスル場合	P'ハ勝馬ノ數 $\times(N-1)\times N$

第十一款　植物檢查

●朝鮮輸移出入植物檢查規則

昭和八年八月
總令第七十九號

朝鮮輸移出入植物檢查規則左ノ通定ム

朝鮮輸移出入植物檢查規則

第一條　植物ヲ輸入、移入、輸出又ハ移出セントスル者ハ本令ニ依リ稅關ノ檢查ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ檢查ヲ受クベキ植物ノ種類及檢查ヲ行フ稅關ハ別ニ之ヲ告示ス
第二條　前條第一項ノ檢查ハ輸入、移入、輸出又ハ移出セントスル植物及其ノ容器又ハ其ノ包裝ニ用フル物ニ付之ヲ行フ
稅關官吏ハ檢查ヲ爲ス場合ニ於テ植物ヲ害スル菌類又ハ蟲類（以下單ニ病菌又ハ害蟲ト稱ス）ノ附著セル虞アリト認ムルトキハ前項ニ掲ゲザル者ニ付テモ檢查ヲ爲スコト

ヲ得

第三條　第一條ノ規定ニ依リ檢査ヲ受クベキ植物ヲ輸入又ハ移入セントスル者ハ其ノ植物ヲ積載シタル船車又ハ航空機ノ到著後遲滯ナク第一號樣式ノ書面ヲ以テ稅關ニ檢査ノ申請ヲ爲スベシ但シ旅客ノ携帶ニ係ルモノニ付テハ口頭ヲ以テ稅關官吏ニ檢査ノ申請ヲ爲スコトヲ得

輸出又ハ移出地ノ官廳ニ於テ病菌又ハ害蟲ノ附著セザルコトヲ證明シタル檢査證ヲ有スル植物ニ付テハ輸入又ハ移入ノ檢査ハ之ヲ省略スルコトアルベシ

第四條　第一條ノ規定ニ依リ檢査ヲ受クベキ植物ヲ輸出又ハ移出セントスル者ハ第二號樣式ノ書面ヲ以テ稅關ニ檢査ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第五條　病菌又ハ害蟲ヲ輸入又ハ移入セントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ第三號樣式ノ申請書ヲ輸入又ハ移入セントスル稅關ヲ經由シテ朝鮮總督ニ差出スベシ

病菌又ハ害蟲ハ通常郵便ニ依リ輸入又ハ移入スルコトヲ得ズ

第六條　前條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クタル病菌又ハ害蟲ヲ輸入又ハ移入セントスルトキハ其ノ病菌又ハ害蟲ノ到著後遲滯ナク稅關ノ檢査ヲ受クベシ

前項ノ檢査ヲ受ケントスル者ハ第四號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ提出スベシ

第七條　稅關官吏ハ第三條第一項又ハ前條第二項ノ申請前ト雖モ檢査ヲ爲スコトヲ得

第八條　第三條第一項、第四條又ハ第六條第二項ノ申請ヲ爲シタル者ハ稅關官吏ノ指揮ニ從ヒ檢査ヲ受クベキ物又ハ檢査ヲ受ケタル物ノ運搬、荷解、荷造其ノ他ノ處置ヲ爲スベシ

第九條　檢査ノ結果病菌又ハ害蟲附著スト認メタル植物其ノ他ノ物ハ之ヲ輸入、移入、輸出又ハ移出スルコトヲ得ズ但シ稅關ニ於テ消毒ヲ爲シタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

稅關官吏ハ病菌又ハ害蟲傳播ノ虞アリト認ムルトキハ植物其ノ他ノ物ニ對シ消毒其ノ他必要ナル處置ヲ爲スコトヲ得但シ當事者ニ於テ病菌又ハ害蟲傳播ノ虞ナキ方法ニ依リ處置セントコトヲ請フトキハ之ヲ許可スルコトヲ得

第十條　稅關官吏ハ本令ノ檢査ヲ受クベキ植物其ノ他ノ物ヲ積載シ又ハ積載セル疑アル船車又ハ航空機ニ臨檢スルコトヲ得

第十一條　別ニ告示スル地ヨリ移送シ又ハ之ヲ經由スル植物又ハ病菌若ハ害蟲ノ附著セル虞アル物ヲ輸入又ハ移入セントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ許可ヲ受クベキ植物及病菌又ハ害蟲ノ附著セル虞アル物ハ別ニ之ヲ告示ス

第十二條　稅關官吏檢査ノ結果支障ナシト認ムルトキハ輸入又ハ移入スルモノニ在リテハ第五號樣式ノ證票又ハ證印ヲ附シ輸出スルモノニ在リテハ第六號樣式、移出スルモノニ在リテハ第七號樣式ノ證明書ヲ交付スベシ

稅關官吏第三條第二項ノ規定ニ依リ檢査ヲ省略シタルトキハ第八號樣式ノ證票又ハ證印ヲ附スベシ

第十三條　郵便物ノ通關手續ヲ爲スベキ郵便局又ハ鐵道小荷物ノ通關手續ヲ爲スベキ鐵道驛ハ本令ノ規定ニ依リ輸入又ハ移入ニ付檢査ヲ受クベキ物ヲ包容スル小包郵便物又ハ鐵道小荷物ノ運送ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ稅關ニ通知スベシ

前項ノ郵便物又ハ鐵道小荷物ノ檢査ハ郵便局員又ハ鐵道驛員ノ立會ノ上之ヲ行フベシ

第十四條　稅關官吏第九條第二項ノ規定ニ依ル處置ノ爲植物其ノ他ノ物ヲ著シク毀損シタルトキハ第三條第一項、第四條若ハ第六條第二項ノ申請ヲ爲シタル者又ハ通關手續ヲ爲スベキ郵便物又ハ鐵道小荷物ノ運送ヲ受ケタルトキハ其ノ旨ヲ稅關官吏ニ通知スベシ

第十五條　第九條第二項ノ處置ニ必要ナル費用ハ當事者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　詐僞ノ行爲ヲ以テ檢査ヲ免レタル者

二　檢査ヲ受クルニ當リ詐僞ノ行爲アリタル者

三　第九條第二項但書ノ場合ニ於テ許可ノ條件ニ違反シタル者

四　第九條第一項又ハ第十一條第一項ノ規定ニ違反シタル者

第十七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第一條第一項ノ規定ニ違反シタル者

二　第五條第二項ノ規定ニ違反シタル者

三　第五條第一項ノ許可ノ條件ニ違反シタル者

四　本令ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ之ヲ妨ゲ又ハ忌避シタル者

第十八條　第三條第一項、第六條又ハ第八條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十九條　未成年者又ハ禁治産者カ本令ニ違反シタルトキハ本令ニ定メタル罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　法人ノ代表者、法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者又ハ人ノ戶主、家族若ハ同居者カ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ本令ニ違反シタルトキハ本令ニ定メタル罰則ハ之ヲ行爲者ニ適用スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シテモ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正九年朝鮮總督府令第百三十四號（果樹及樹樹輸移入取締ニ關スル件）ハ之ヲ廢止ス

第一號樣式

植物檢（移）入檢査申請書

左記ノ通輸（移）入致度候ニ付檢査相成度此段申請候也

年　月　日

何稅關（何稅關支署）御中

住所
職業
氏名　㊞

| 積載船車又ハ航空機名 | | |

第七號樣式

移出植物檢查證

第　號

植物檢查合格證印

（外記ノ地在所關稅）
Custom House
JAPAN
3.6c.m
4.5c.m

第六號樣式

Original Certificate of Examination of Plants,
Agricultural products.

To Whom it May Concern:

This is to certify that the plants or agricultural products included in this shipment described below were throughly inspected by ……, a duly authorized official of the customs, on ……19……; and were found to the best of his knowledge to be free from dangerous insect and plant diseases.

……
Plant Inspector
…… Custom House
Chosen (Korea) Japan

Issued Date……19……

(1) Number of Permit: No.……
(2) Number and Description of Packages in Consignment……
(3) Distinguishing Marks:……
(4) Description of Plants, Agricultural Products;……
(5) District or Locality where grown:……
(6) Name and Address of Exporter:……
(7) Name and Address of Consignee:……
(8) Name of Vessel:……
(9) Date of Shipment:……
(10) Port of Shipment:……
(11) Port of Landing:……

植物檢查合格證印　3.5c.m

第八號樣式

植物檢查合格證

植物檢查省略證

植物檢查省略證印　3.5c.m

植物檢查省略證　年　月　日

何稅關（何稅關支署）

植物檢查證印　3.5c.m

植物檢查證　年　月　日

何稅關

植物檢查證印　6c.m

植物檢查證　年　月　日

何稅關

植物檢查證印　21.5c.m

右ノ通昭和　年　月　日檢查ノ結果病菌及害蟲ノ附著セザルコトヲ證ス

何稅關（何稅關支署）印

右ノ植物檢查證交付ヲ受ケタキ旨申請ス

昭和　年　月　日

住所
氏名　印

植物檢查證交付申請書

何稅關長殿

●朝鮮ヨリ移出入植物ノ檢查ニ關スル朝鮮總督府令第三百九十八號昭和十五年十二月

第一條　朝鮮ヨリ移出入植物ノ檢查ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　植物ノ檢查ハ左ノ場所ニ於テ之ヲ行フ

一　釜山、馬山、鎭海、木浦、群山、仁川、鎭南浦、新義州、元山、淸津、羅津、城津、雄基、會寧、上三峰、惠山鎭、滿浦鎭

二　前項ノ場所ニ於テ檢查ヲ行フ植物ニシテ檢查ヲ經タルモノニ非ザレバ移出入ヲ爲スコトヲ得ズ

第三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四條　植物ノ檢查ヲ行フ場所ニ於テハ檢查ニ關スル稅關ノ官吏ノ指揮ニ從ヒ植物ノ荷造ヲ解キ又ハ之ヲ改造シ又ハ檢查ノ爲必要ナル物件ヲ提出スベシ

第五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第三十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第四十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第五十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第六十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第七十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第八十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第九十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百二十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百三十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百四十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百五十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百六十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百七十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百八十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第百九十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百二十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百三十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百四十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十七條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十八條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百五十九條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百六十條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百六十一條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百六十二條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百六十三條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百六十四條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百六十五條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ行ハシム

第二百六十六條　植物ノ檢查ハ其ノ移出入ニ關スル稅關ノ官吏ヲシテ之ヲ

ニ關シ代理店ノ出張所其ノ他ノ従タル營業所又ハ代理店ヲ設ケシムルコトヲ得ズ

銀行ノ代理店主ハ其ノ代理事務ニ關シ代理店ノ出張所其ノ他ノ従タル營業所又ハ代理店ヲ設ケシムルコトヲ得ズ

第九條　銀行ハ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當スル毎ニ準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ一以上ヲ積立ツベシ

第十條　銀行ハ預金ノ拂戻準備金トシテ預金總額ノ十分ノ一以上ヲ備ヘ置クベシ

前項ノ拂戻準備金ハ現金、地金銀、外國通貨、郵便振替貯金、國債其ノ他朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ニテ之ヲ保有シ又ハ朝鮮總督ノ指定シタル銀行ニ預入ルベシ

銀行ハ第一項ノ拂戻準備金ガ預金總額ノ十分ノ一ニ滿タザルニ至リタルトキハ之ヲ補塡スル迄ハ新規ノ貸付若ハ手形ノ割引ヲ爲シ又ハ利益配當金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得ズ

第十一條　銀行ノ營業年度ハ一月ヨリ六月迄及七月ヨリ十二月迄ト ス

第十二條　銀行ハ毎月ノ營業報告書及毎營業年度ノ業務報告書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十三條　銀行ハ朝鮮總督ノ定メタル樣式ニ依リ毎營業年度ノ貸借對照表ヲ作成シテ之ヲ公告スベシ

第十四條　銀行ノ監査役ハ銀行ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ檢査ノ結果ヲ記載シタル監査書ヲ毎營業年度二回作成シテ之ヲ本店ニ備ヘ置クベシ

第十五條　銀行ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人カ營利ヲ目的トスル他ノ業務ニ從事セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十六條　銀行ノ合併ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十七條　銀行カ合併ニ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第二項ノ規定ニ依リテ爲スベキ催告ハ預金者ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ要セズ

第十八條　銀行カ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第二項ノ規定ニ依リテ爲スベキ催告ハ預金者ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ要セズ

第十九條　銀行カ合併ニ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第二項ノ規定ニ依リテ爲スベキ催告ハ預金者ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ要セズ

第二十條　銀行カ其ノ目的ヲ變更シ他ノ業務ヲ營ム會社トシテ存續スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ其ノ會社カ預金債務ヲ完濟スル迄財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得合併ニ因リ銀行ニ非ザル會社カ銀行ノ預金債務ヲ承繼シタル場合亦同ジ

第二十一條及第二十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條　銀行カ營業ノ免許ヲ取消サレタル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ清算ヲ爲サシメ又ハ朝鮮總督ノ指定シタル銀行ニ預入ルベシ

朝鮮總督ハ清算事務及財産ノ狀況ヲ檢査シ、財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他清算ノ監督ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　銀行カ營業免許ヲ取消ニ因リテ解散シタルトキハ朝鮮總督ハ清算人ヲ選任ス

第三十二條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法ニ依リ裁判所カ檢事若ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任スベキトキ又ハ清算人ナキトキハ朝鮮總督ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ之ヲ選任ス

第三十三條　朝鮮總督清算人ヲ選任シタルトキハ銀行ヲシテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其ノ額ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十四條　重要ナル事由アルトキハ朝鮮總督ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三十五條　銀行ノ和議、破産又ハ强制和議ノ場合ニ於テ裁判所ハ銀行ノ檢査監督ニ從事シ官吏ニ對シ意見ヲ求メ又ハ檢査若ハ調査ヲ囑託スルコトヲ得

第三十六條　銀行ノ和議、破産又ハ强制和議ノ場合ニ於テ銀行ノ檢査監督ニ從事シ官吏ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第三十七條　本令施行地外ニ本店ヲ有スル銀行カ本令施行地内ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業ヲ營マントスルトキハ各營業所又ハ代理店毎ニ代表者ヲ定メ第二條ノ規定ニ依ル免許ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依ル免許ヲ受ケタルトキハ該營業所又ハ代理店ハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ銀行ト看做スベシ

第二十九條ニ依リテ解散シタル場合ニ於テハ第三條、第四條、第七條、第九條、第十條、第十四條乃至第十九條、第二十七條及第二十九條乃至前條ノ規定ハ拘ラズ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設ケルコトヲ得

第五條ノ規定ハ第一項ノ免許ニ之ヲ準用ス

第一項ノ免許ニ付テハ朝鮮總督ハ特ニ必要ナル制限ヲ附スルコトヲ得

第三十八條　朝鮮總督ハ免許ヲ受クズシテ銀行業ヲ營ミタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條　第六條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人、代理店主（代理店主ガ法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他法人ノ代表者又ハ外國會社ノ代表者ヲ、清算人又ハ本令施行地外ニ本店ヲ有スル銀行ノ本令施行地ニ於ケル代表者ヲ十圓以下ノ過料ニ處シ但シ其ノ行爲ニ付刑ヲ科スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　第七條乃至第十條又ハ第十五條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　第十九條ニ於テ準用スル貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ違反シタルトキ

三　本令ニ依ル檢査ニ際シ報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタルトキ

四　第十一條又ハ第十二條ノ規定ニ依ル業務報告書ヲ提出セズ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキ

五　第十三條ノ規定ニ依ル貸借對照表ヲ作成セズ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキ

六　第十四條ノ規定ニ依ル監査書ヲ作成セズ又ハ虚偽ノ記載ヲ爲シタルトキ

七　第二十條ノ規定ニ依ル清算ヲ爲サズ又ハ清算人ノ職務ヲ妨ケタルトキ

八　第二十一條ノ規定ニ違反シテ營業ヲ爲シタルトキ

第四十一條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人、代理店主（代理店主ガ法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他法人ノ代表者又ハ外國會社ノ代表者ヲ、清算人又ハ本令施行地外ニ本店ヲ有スル銀行ノ本令施行地ニ於ケル代表者ヲ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處シ但シ其ノ行爲ニ付刑ヲ科スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　營業報告書、業務報告書又ハ監査書ノ不實ノ記載、虚偽ノ公告其ノ他ノ方法ニ依リ官廳又ハ公衆ヲ欺罔シタルトキ

二　本令ニ依ル檢査ニ際シ帳簿書類ノ隱蔽、不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ檢査ヲ妨ゲタルトキ

第四十二條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役、支配人、代理店主（代理店主ガ法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員、取締役其ノ他法人ノ代表者又ハ外國會社ノ代表者ヲ、清算人又ハ本令施行地外ニ本店ヲ有スル銀行ノ本令施行地ニ於ケル代表者ヲ十圓以下ノ過料ニ處シ但シ其ノ行爲ニ付刑ヲ科スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　第七條乃至第十條又ハ第十五條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　第十九條ニ於テ準用スル貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ違反シタルトキ

三　本令ニ依リ銀行ニ備ヘ置クベキ書類ノ備附若ハ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ノ提出ヲ怠リ又ハ之ニ不實ノ記載ヲ爲シタルトキ

四　本令ニ定メタル屆出若ハ公告ヲ怠リ又ハ不實ノ屆出若ハ公告ヲ爲シタルトキ

五　第二十四條、第二十五條、第二十八條又ハ第三十條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

六　本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

前項ノ過料ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第四十二條　銀行カ本令ニ依リ爲スベキ公告ハ新聞紙ニ依ルベシ

附　則

本令ハ昭和四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リテ免許ヲ受ケタル株式會社以外ノ銀行ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ本令施行後五年ノ限リ仍ホ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

從前ノ規定ニ依リテ免許ヲ受ケタル銀行ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノノ資本金ニ付テハ第三條ノ規定ノ適用ヲ伸長スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ第一項第八號ノ書面ニ記載シタル免許申請書ニ記載シタル他ノ業務ノ兼營ニ付之ヲ準用ス

從前ノ規定ニ依リテ受ケタル事業兼營ノ免許ハ之ヲ第六條ノ銀行ノ本店及支店以外ノ營業所ニハ出張所ナル名稱ヲ附スベシ

第七條　代理店設置ノ認可ハ代理店ノ位置ニ變更アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ但シ已ムヲ得ザル事由アル場合ニ於テ豫メ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　銀行ハ第十條第一項ノ規定ニ依リ銀行カ備ヘ置クベキ預金拂戻準備金ハ毎日ノ現在ニ依リ之ヲ計算ス

前項ノ規定ニ依リ計算シタル預金拂戻準備金カ銀行令第十條第一項ノ規定ニ依ル額ニ滿タザルニ至リタルトキハ銀行ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第九條　銀行カ銀行令第十條第二項ノ規定ニ依リ保有スベキ有價證券ニ付認可ヲ受ケンガ爲メ其ノ種類ヲ記載シ第四條第三號ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第三條　銀行カ營業ノ免許ヲ受ケントスルトキハ其ノ營業セントスル業務ノ種類ヲ記載シ第四條第三號ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第四條　銀行カ銀行令第七條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　定款

二　株式ノ引受ヲ證スル足ル書面

三　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面

四　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告及其ノ附屬書類

五　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本

六　發起人カ取締役及監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

七　創立總會ノ決議錄

八　會社設立ノ際ニ設立スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面

九　免許申請前日ニ於ケル財産表

十　預金先ノ預金證明書

十一　事業目論見書

株式會社カ其ノ目的ヲ變更シテ銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一　會社登記謄ノ謄本

二　免許申請前日ニ於ケル財産表

三　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面

四　最終ノ財産目錄及貸借對照表

五　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面

六　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面

七　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面

八　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面

九　事業目論見書

第五條　銀行ノ業ノ免許申請ヲ爲ス者他ノ業務ヲ兼營セントスルトキハ免許申請書ニ兼營セントスル業務ノ種類ヲ記載シ第四條第三號ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　履歷書

二　銀行ニ於ケル從事セントスル他ノ業務ノ處理方法ヲ記載シタル書面

三　從事セントスル他ノ業務ノ種類及性質竝ニ最近ニ於ケル財産及損益ノ狀況ヲ知ルニ足ル書面

出ヲ怠リ、之ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ又ハ之ニ不實ノ記載ヲ爲シタルトキ

四　本令ニ定メタル屆出若ハ公告ヲ怠リ又ハ不實ノ屆出若ハ公告ヲ爲シタルトキ

五　第二十四條、第二十五條、第二十八條又ハ第三十條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

六　本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

前項ノ過料ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第四十二條　銀行カ本令ニ依リ爲スベキ公告ハ新聞紙ニ依ルベシ

附　則

本令ハ昭和四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リテ免許ヲ受ケタル株式會社以外ノ銀行ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ本令施行後五年ノ限リ仍ホ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

從前ノ規定ニ依リテ免許ヲ受ケタル銀行ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノノ資本金ニ付テハ第三條ノ規定ノ適用ヲ伸長スルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リテ第一項第八號ノ書面ニ記載シタル免許申請書ニ記載シタル他ノ業務ノ兼營ニ付之ヲ準用ス

從前ノ規定ニ依リテ受ケタル事業兼營ノ免許ハ之ヲ第六條ノ銀行ノ本店及支店以外ノ營業所ニハ出張所ナル名稱ヲ附スベシ

第七條　代理店設置ノ認可ハ代理店ノ位置ニ變更アリタルトキハ其ノ效力ヲ失フ但シ已ムヲ得ザル事由アル場合ニ於テ豫メ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　銀行ハ第十條第一項ノ規定ニ依リ銀行カ備ヘ置クベキ預金拂戻準備金ハ毎日ノ現在ニ依リ之ヲ計算ス

前項ノ規定ニ依リ計算シタル預金拂戻準備金カ銀行令第十條第一項ノ規定ニ依ル額ニ滿タザルニ至リタルトキハ銀行ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第九條　銀行カ銀行令第十條第二項ノ規定ニ依リ保有スベキ有價證券ニ付認可ヲ受ケンガ爲メ其ノ種類ヲ記載シ第四條第三號ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第三條　銀行カ營業ノ免許ヲ受ケントスルトキハ其ノ營業セントスル業務ノ種類ヲ記載シ第四條第三號ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第四條　銀行カ銀行令第七條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスルトキハ左ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　定款

二　株式ノ引受ヲ證スル足ル書面

三　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面

四　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告及其ノ附屬書類

五　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本

六　發起人カ取締役及監査役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

七　創立總會ノ決議錄

八　會社設立ノ際ニ設立スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面

九　免許申請前日ニ於ケル財産表

十　預金先ノ預金證明書

十一　事業目論見書

株式會社カ其ノ目的ヲ變更シテ銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ノ書類ヲ添附スベシ

一　會社登記謄ノ謄本

二　免許申請前日ニ於ケル財産表

三　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面

四　最終ノ財産目錄及貸借對照表

五　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面

六　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面

七　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面

八　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面

九　事業目論見書

第五條　銀行ノ業ノ免許申請ヲ爲ス者他ノ業務ヲ兼營セントスルトキハ免許申請書ニ兼營セントスル業務ノ種類ヲ記載シ第四條第三號ニ揭ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　履歷書

二　銀行ニ於ケル從事セントスル他ノ業務ノ處理方法ヲ記載シタル書面

三　從事セントスル他ノ業務ノ種類及性質竝ニ最近ニ於ケル財産及損益ノ狀況ヲ知ルニ足ル書面

第十七輯　産業　第二章　商業　工業　第一款　銀行　金融組合　無盡業

●銀行令施行規則

昭和三年十二月
總令第八十二號

大正元年朝鮮總督府令第二十六號銀行令施行規則左ノ通改正ス

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

五　銀行ト従事セントスル他ノ業務トノ取引其ノ他ノ関係ヲ記載シタル書面

前項ノ規定ハ現ニ営利ヲ目的トスル他ノ業務ニ従事スル者ガ銀行ノ常務ニ従事スル取締役又ハ支配人ニ就任セントスル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　銀行ガ合併ノ決議ヲ為シタルトキハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條ノ規定ニ依ル手續ヲ了シタル後銀行ノ總取締役ノ署名シタル認可申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　株主總會ノ決議錄及社員ノ同意アリタルコトヲ知ルニ足ル書面

二　合併ニ關スル契約書

三　合併後存續スル銀行又ハ合併ニ因リ設立スル銀行ノ定款

四　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ作成シタル貸借對照表

五　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第二項ノ規定ニ依ル公告、催告及同法第二百二十條ノ二ノ規定ニ依ル通知ヲ為シタルコトヲ知ルニ足ル書面

第十五條　銀行ノ營業時間ハ四月一日ヨリ十一月三十日迄ハ午前九時ヨリ午後三時迄、十二月一日ヨリ三月三十一日迄ハ午前十時ヨリ午後四時迄トス但シ土曜日ニ限リ午後一時迄之ヲ短縮スルコトヲ得

銀行ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ前項ノ營業時間ヲ變更スルコトヲ得

第十六條　銀行カ預金ノ拂戻ヲ停止スルトキハ直ニ銀行令第二十一條ノ規定ニ依ル届出ヲ為シタル後遲滯ナク左ニ掲グル書類ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　預金拂戻停止前日ノ日計表及各種預金ノ口數ヲ記載シタル書面

二　預金ノ拂戻ヲ停止スルニ至リタル經過ヲ記載シタル書面

三　資産負債ノ實情ヲ明ニシタル書面

四　預金拂戻ニ關シ執ラントスル處置又ハ方針ヲ記載シタル書面

第十七條　銀行カ銀行業ノ廢止又ハ解散ノ決議ヲ為シタルトキハ認可申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　理由書

二　株主總會ノ決議錄

三　最近ノ日計表

四　資産負債ノ内容ヲ明ニシタル書面

五　預金ノ支拂方法ヲ記載シタル書面

第十八條　銀行カ支店其ノ他ノ營業所又ハ代理店ヲ廢止シタルトキハ廢止ノ年月日、廢止ノ理由及預金者ニ對スル處置ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第十九條　銀行ハ左ニ掲グル場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ事由ヲ具シテ朝鮮總督ニ届出ベシ

一　定款ヲ變更シタルトキ

二　銀行令第七條及第十六條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル事項ヲ變更シタルトキ

三　營業ヲ他ノ業務ヲ廢止シタルトキ

四　銀行ヲ代表スル取締役又ハ銀行ノ常務ニ從事スル取締役若ハ支配人ノ就任又ハ退任アリタルトキ

五　銀行ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人ニシテ營利ヲ目的トスル他ノ業務ニ從事スルモノガ該業務ニ從事セザルニ至リタルトキ

六　代理店契約ノ變更、消滅又ハ更新アリタルトキ

七　預金拂戻停止中ノ銀行カ預金ノ拂戻ヲ開始シタルトキ

八　和議開始ノ申立ヲ為シ、和議認可ノ決定カ確定シ又ハ和議カ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

九　破産ノ宣告ヲ受ケ、破産宣告ニ對シ抗告ヲ為シ又ハ抗告ニ對シ裁判所ノ決定ヲ受ケタルトキ

十　强制和議認可ノ決定カ確定シ又ハ强制和議カ其ノ效力ヲ失ヒタルトキ

十一　銀行カ合併ノ方法ニ依ラズシテ他人ノ營業ヲ讓受ケタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ株主總會ノ決議錄、第一號及第六號ノ場合ニ於テハ變更シタル條項ヲ記載シタル書面、第七號ノ場合ニ於テハ預金拂戻開始前日ノ日計表、第八號ノ場合ニ於テハ和議ノ條件ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

銀行令第二十條第二項ノ事由ニ因リ休業シタル銀行カ開業シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ道知事ニ届出ヅベシ

第二十條　銀行令第三十二條及第三十四條ノ請求ハ書面ヲ以テ之ヲ為スベシ

前項ノ規定ニ依ル請求書ニハ請求者カ利害關係ヲ有スル事實ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第二十一條　銀行ノ清算人ハ就職後遲滯ナク銀行財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作成シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

清算人ハ毎月清算事務報告書及貸借對照表ヲ作成シテ翌月十日迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

清算結了シタルトキハ遲滯ナク決算書ヲ添附シテ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第一項ノ財産目錄及貸借對照表並ニ第二項ノ貸借對照表ハ附屬業務報告書雛形ニ準シテ之ヲ作成スベシ

第二十二條　銀行令施行地外ニ本店ヲ有スル令社カ銀行令施行地内ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業ヲ營マントスルトキハ其ノ營業所又ハ代理店ノ位置並ニ該營業所又ハ代理店ニ付定メタル代表者ノ氏名及住所ヲ記載シタル免許申請書ニ令社代表者署名シ左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ既ニ免許ヲ受ケテ銀行業ヲ營メル營業所又ハ代理店存スル場合ニ於テハ第一號、第二號、第四號、第六號及第八號ニ掲グル書類ハ之ヲ添附スルコトヲ要セズ

一　本店ノ存在ヲ認ムルニ足ル書面

二　令社ノ代表者タル資格ヲ證スル書面

三　代理店ヲ設クルトキハ代理店契約書

四　令社ノ定款又ハ令社ノ性質ヲ知ルニ足ル書面

五　營業所又ハ代理店ノ設置ガ他ノ官廳（外國官廳ヲ含ム）ノ認可ヲ要スルモノナルトキハ其ノ認可書ノ謄本

六　令社ノ最終ノ財産目錄、貸借對照表、損益計算書、利益ノ處分ニ關スル書面其ノ他令社ノ營業狀態ヲ知ルニ足ル書面

七　事業目論見書

八　令社ノ重ナル出資者及役員ノ氏名、國籍及住所ヲ記載シタル書面

前項ノ規定ハ令社ニ非ズシテ銀行令施行地外ニ本店ヲ有スルモノガ銀行令施行地内ニ支店、出張所又ハ代理店ヲ設ケ銀行業ヲ營マントスル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條　銀行令、昭和三年府令第八十一號又ハ本令ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ銀行ノ本店又ハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理ノ所在地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スルコトヲ要ス但シ銀行令第十二條ノ規定ニ依リ提出スベキ毎月ノ營業報告書、銀行令第二十二條ノ規定ニ依リ提出ヲ命ゼラレタル書類及銀行令第二十三條ノ規定ニ依ル檢査ニ關スル書類ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條　第六條ノ規定ハ外國銀行ノ銀行令第三十七條第一項ノ營業所ニ付之ヲ適用セズ

第二十五條　本令ニ依リ届出若ハ書類ノ提出ヲ怠リ又ハ其ノ届出若ハ提出書類ニ虚僞ノ記載ヲ為シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ取締役、監査役、支配人又ハ銀行令第三十七條第一項ノ營業所又ハ代理店ノ代表者ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ銀行令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令中取締役ニ關スル規定ハ銀行令附則第二項ノ銀行ニ付テハ其ノ業務ヲ執行スル社員ニ之ヲ準用ス

（業務報告書雛形）

第何期業務報告書

昭和　年　月　日ヨリ同　年　月　日ニ至ル間業務ノ成績左ノ通及報告候也

昭和　年　月　日

何道何郡府何地

株式会社何銀行

取締役氏名印

取締役氏名印

取締役氏名印

監査役氏名印

朝鮮總督

目次

一　第何期營業報告書
二　第何期末貸借對照表
三　第何期損益計算書
四　第何期準備金及利益ノ配當ニ關スル書面

備考

一　本報告書雛形記載以外ノ勘定アルトキハ其ノ性質最モ近似セルモノノ例ニ準シ別ニ項目ヲ設ケ適當ノ場所ニ之ヲ記載スベシ

二　本報告書ハ之ヲ横書シ數字ハ亞拉比亞數字ヲ用フルコトヲ得

三　他業ヲ兼營スル銀行ニ在リテハ他業ニ關スル勘定ヲモ記載スベシ

一　第何期昭和　年自　月　日至　月　日營業報告書

株式会社何銀行

第一項　營業ノ景況

（本項ニハ本支店ニ於ケル營業日數、金融ノ繁閑、貨借金利及割引歩合ノ高低、取引ノ增減、各種勘定ノ伸縮、資金ノ運用及預金ノ拂戻準備其ノ他重要ナル事項ニ關スル狀況ヲ記載スベシ）

第二項　營業所及代理店

一　當期間營業所及代理店ノ增減

支店	前期末現在數	當期增加數	當期減少數	當期末現在數

二　當期末現在營業所及代理店ノ位置

店名	位置
何々	何道何府何地
、	、
、	、
、	、
、	、
、	、
、	、
、	、
、	、
、	、
、	、

第三項　株主總會

（本項ニハ總會ノ種類、總會開會ノ年月日及總會ニ於テ決議シタル事項其ノ他總會ニ關スル重要ナル事項ノ要領ヲ記載スベシ）

第四項　庶務ノ要件

（本項ハ商業登記簿ニ登記ヲ受ケタル事項、官廳ニ申請又ハ届出ヲ為シタル事項、監査書備付年月日及評價ニ關スル他ノ重要ナル事項ノ要領ヲ記載スベシ）

第五項　資本金

一　當期間ニ於ケル增減

出張所	前期末現在高	當期增加高	當期減少高	當期末現在高
代理店				
計				

二　當期末現在株式ノ種類（一株ノ金額何圓）

株式種類	拂込濟ノモノ	拂込未濟ノモノ	計
	一株何圓拂込ノモノ		
普通株	株數	株	株
	拂込高	圓	圓
優先株	株數	株	株
	拂込高	圓	圓
合計	株數	株	株
	拂込高	圓	圓

（無記名ノ株式ヲ發行シタルモノアルトキハ該當事項ヲ各欄ノ左傍ニ内書スベシ）

三　當期間中株式ノ移轉

一　常期ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	常期增加高	常期減少高	常期末現在高
手形貸付	四	四	四	四
當座貸越	四	四	四	四
割引手形	四	四	四	四
當座預金	四	四	四	四
通知預金	四	四	四	四
別段預金	四	四	四	四
定期預金	四	四	四	四
積金	四	四	四	四
同上口數	口數	口數	口數	口數

二　常期末現在高ノ內譯

種類	計	同一店	同一市	同一府縣	他府縣	他市	他店
手形貸付	四	四	四	四	四	四	四
當座貸越	四	四	四	四	四	四	四
割引手形	四	四	四	四	四	四	四
當座預金	四	四	四	四	四	四	四
通知預金	四	四	四	四	四	四	四
別段預金	四	四	四	四	四	四	四
定期預金	四	四	四	四	四	四	四
積金	四	四	四	四	四	四	四
同上口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數

一　常期ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	常期貸增高	常期貸減少高	常期末現在高
當座貸越	四	四	四	四
手形貸付	四	四	四	四
當座預金	四	四	四	四
通知預金	四	四	四	四
別段預金	四	四	四	四
定期預金	四	四	四	四
積金	四	四	四	四
同上口數	口數	口數	口數	口數

（前三項ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

第十八項　他店代理店ニ於ケル貸付金ノ例ニ準ジテ記載スベシ

（未收利息ヲ生ズル貸付金ニ關シテハ第十四項ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

第十九項　外國爲替ニ關スル貸付金ノ例ニ準ジテ記載スベシ

二　常期末現在高ノ內譯

種類	計	同一店	同一市	同一府縣	他府縣	他市	他店
當座貸越	四	四	四	四	四	四	四
手形貸付	四	四	四	四	四	四	四
當座預金	四	四	四	四	四	四	四
通知預金	四	四	四	四	四	四	四
別段預金	四	四	四	四	四	四	四
定期預金	四	四	四	四	四	四	四
積金	四	四	四	四	四	四	四
同上口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數

（銀行令第十條第二項ノ規定ニ依リテ別紙積立金ノ指定シタル銀行ノ預金ハ其ノ金額ヲ控除シテ記載スベシ）

一　常期ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	常期借增高	常期返濟高	現常在期末高
借入金	四	四	四	四
割引手形	四	四	四	四
當座預金	四	四	四	四
通知預金	四	四	四	四
別段預金	四	四	四	四
定期預金	四	四	四	四
積金	四	四	四	四
同上口數	口數	口數	口數	口數

二　常期末現在高ノ內譯

種類	計	同一店	同一市	同一府縣	他府縣	他市	他店
借入金	四	四	四	四	四	四	四
割引手形	四	四	四	四	四	四	四
當座預金	四	四	四	四	四	四	四
通知預金	四	四	四	四	四	四	四
別段預金	四	四	四	四	四	四	四
定期預金	四	四	四	四	四	四	四
積金	四	四	四	四	四	四	四
同上口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數	口數

（銀行令第十條第二項ノ規定ニ依リテ別紙積立金ノ指定シタル銀行ノ預金ハ其ノ金額ヲ控除シテ記載スベシ）

三　常期末現在支拂承諾引受又ハ裏書ニ依ル擔保ノ內譯

種類	計	保證	信用	合計	動產	不動產	有價證券	擔保ノ種類及價額	未見返還ノ現在高	求償力ノ有無
支拂承諾	四	四	四	四	四	四	四		四	
引受	四	四	四	四	四	四	四		四	
裏書	四	四	四	四	四	四	四		四	

（求償力ノ有無ハ第十九項ノ規定ニ準ジテ記載スベシ）

第二十七項　地金銀、外國通貨

一　常期ニ於ケル狀況

常期繰越高	常期買入高	常期賣渡高	常期價額增減高	常期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

種類	地金			外國通貨		
	延棒	小粒	計	紙幣	銀貨	計
內地ヘ向ケル分						
銚內各地ヘ向ケル分						

第二十八項　營業用土地建物什器

一　常期ニ於ケル狀況

前期繰越高	常期增加高	常期減少高	常期增減價額	常期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

種類	數量	價額
土地	何坪	圓
建物	何棟何坪	
什器	何點	

第二十九項　所有動產不動產

（本項ハ營業用以外ノ動產不動產ヲ營業用土地建物什器ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

第三十項　現金

（現金ハ通貨及通貨ト同一視シ得ベキ小切手、利札ノ類ヲ指稱シ常期入金高及常期出金高ノ析ニハ振替決濟ニ係ルモノヲ含ミ記載スベシ）

一　常期ニ於ケル狀況

前期繰越高	常期入金高	常期出金高	常期末現在高
圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

常期末現在高	內譯			
	貨幣	銀行券	小切手、利札ノ類	
圓	圓	圓	圓	

第三十一項　內國爲替取扱高

種類	送金爲替		代金取立	
	口數	金額	口數	金額
內地ヘ向ケル分	口	圓	口	圓
銚內各地ヘ向ケル分				

一　常期ニ於ケル狀況

常期繰越高	常期買入高	常期賣渡高	常期價額增減高	常期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

（本項ハ內國通貨ノ外ニ外國通貨ヲ記載スベシ）

第二十七項　地金銀、外國通貨

（本項ハ貸借對照表ニ掲ゲタル現金ノ內譯ヲ記載スベシ）

種類	地金			外國通貨		
	延棒	小粒	計	紙幣	銀貨	計
內地ヘ向ケル分						
銚內各地ヘ向ケル分						

第二十八項　營業用土地建物什器

一　常期ニ於ケル狀況

前期繰越高	常期增加高	常期減少高	常期增減價額	常期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

種類	數量	價額
土地	何坪	圓
建物	何棟何坪	
什器	何點	

第二十九項　所有動產不動產

（本項ハ營業用以外ノ動產不動產ヲ營業用土地建物什器ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

第三十項　現金

（現金ハ通貨及通貨ト同一視シ得ベキ小切手、利札ノ類ヲ指稱シ常期入金高及常期出金高ノ析ニハ振替決濟ニ係ルモノヲ含ミ記載スベシ）

一　常期ニ於ケル狀況

前期繰越高	常期入金高	常期出金高	常期末現在高
圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

常期末現在高	內譯			
	貨幣	銀行券	小切手、利札ノ類	
圓	圓	圓	圓	

第三十一項　內國爲替取扱高

種類	送金爲替		代金取立	
	口數	金額	口數	金額
內地ヘ向ケル分	口	圓	口	圓
銚內各地ヘ向ケル分				

一　常期ニ於ケル狀況

（本項ハ借入ノ方法ニ依リ所有ニ歸シタル有價證券ニ付記載スベシ）

第二十五條　借入有價證券

前期繰越高	常期借入高	常期返濟高	常期價額增減高	現在	同上日數
				高	
圓	圓	圓	圓	圓	日

二　常期末現在借入有價證券種類內譯

（本項ハ有價證券種類內譯ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

第二十六項　依貸付有價證券

（本項ハ貸付ノ方法ニ依リ所有ニ歸シタル有價證券ニ付借入有價證券ノ例ニ準ジテ記

常期繰越高	常期買入高	常期賣渡高	常期價額增減高	常期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

種類	地金			外國通貨		
	延棒	小粒	計	紙幣	銀貨	計
內地ヘ向ケル分						
銚內各地ヘ向ケル分						

第二十七項　地金銀、外國通貨

（本項ハ貸借對照表ニ掲ゲタル現金ノ內譯ヲ記載スベシ）

第二十八項　營業用土地建物什器

一　常期ニ於ケル狀況

前期繰越高	常期增加高	常期減少高	常期增減價額	常期末現在高
圓	圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

種類	數量	價額
土地	何坪	圓
建物	何棟何坪	
什器	何點	

第二十九項　所有動產不動產

（本項ハ營業用以外ノ動產不動產ヲ營業用土地建物什器ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

第三十項　現金

（現金ハ通貨及通貨ト同一視シ得ベキ小切手、利札ノ類ヲ指稱シ常期入金高及常期出金高ノ析ニハ振替決濟ニ係ルモノヲ含ミ記載スベシ）

一　常期ニ於ケル狀況

前期繰越高	常期入金高	常期出金高	常期末現在高
圓	圓	圓	圓

二　常期末現在高內譯

常期末現在高	內譯			
	貨幣	銀行券	小切手、利札ノ類	
圓	圓	圓	圓	

第三十一項　內國爲替取扱高

種類	送金爲替		代金取立	
	口數	金額	口數	金額
內地ヘ向ケル分	口	圓	口	圓
銚內各地ヘ向ケル分				

科目	常期穏当貸金	内前期穏当貸金	内前期繰越貸金	当期利益金	当期損失金	常期穏当割引手形	内前期繰越割引手形	当座貸越	未収利息	未収手数料	仮払金	支店	計
前期繰越金													
何期利益金													
何期利息													
何期手数料													
何期雑収入													
何期割引料													
何期手形売却益													
何期有価証券売却益													
何期有価証券償還益													
何期雑益													
合計													

科目	当期純損失	内前期繰越損失	当期利益金処分積立金	内前期繰越積立金	当期利益金処分配当金	内前期繰越配当金	当期利益金処分役員賞与金	内前期繰越役員賞与金	当期利益金処分従業員賞与金	内前期繰越従業員賞与金	当期利益金処分特別積立金	内前期繰越特別積立金	当期利益金処分後期繰越金	内前期繰越後期繰越金	計
前期繰越金															
何期利益金															
何期利息															
何期手数料															
何期雑収入															
何期割引料															
何期手形売却益															
何期有価証券売却益															
何期有価証券償還益															
何期雑益															
合計															

科目	当期純損失	内前期繰越損失	当期利益金処分積立金	内前期繰越積立金	当期利益金処分配当金	内前期繰越配当金	当期利益金処分役員賞与金	内前期繰越役員賞与金	当期利益金処分従業員賞与金	内前期繰越従業員賞与金	当期利益金処分特別積立金	内前期繰越特別積立金	当期利益金処分後期繰越金	内前期繰越後期繰越金	計
前期繰越金															
何期利益金															
何期利息															
何期手数料															
何期雑収入															
何期割引料															
何期手形売却益															
何期有価証券売却益															
何期有価証券償還益															
何期雑益															
合計															

甲號附屬表ノ一　割引手形明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

債務者(借主)氏名又ハ商號ノ關係	手形關係人氏名		割引手形振出人ト債務者トノ關係	當初割引年月日	割引歩合	金額	擔保種類	擔保物 數量	擔保物 單價	擔保物 價額	承認當座貸越先ニ於ケル順位	當季間ニ於ケル最高殘高	備考
	約束手形振出人又ハ裏書人	約束手形被裏書人											
計						四					四		

備考
(一)商業手形、銀行引受手形及荷付爲替手形ニ付テハ氏名及金額ノ外ハ之ヲ省略スルコトヲ得但シ以外ノ手形ニ付テハ各口毎ニ之ヲ記載シ同一債務者ニ對スル數口ノ手形ニ付テハ其ノ合計額ヲ記載スルコトヲ得
(二)本表ハ各口毎ニ之ヲ記載シ同一債務者ニ對スル數口ノ手形ニ付テハ其ノ合計額ヲ記載スルコトヲ得
(三)債務者(借主)ノ欄ニ於ケル手形關係人ノ欄ニ於テ其ノ氏名又ハ商號ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
(四)擔保物ノ欄中ハ不動産ニ付テハ其ノ土地ニ付テハ其ノ地目ヲ、船舶ニ付テハ其ノ種別ヲ記載スベシ
(五)第三項ハ以下各號表ニ付亦同ジ

甲號附屬表ノ二　手形貸付明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

債務者(借主)ノ氏名又ハ商號ノ關係	手形關係人氏名		當初貸付年月日	貸付高	利息割合	金額	擔保種類	擔保物 數量	擔保物 單價	擔保物 價額	承認當座貸越先ニ於ケル順位	當季間ニ於ケル最高殘高	備考
	約束手形振出人又ハ裏書手形受取人	貸付先											
計						四					四		

備考
(一)商業手形、銀行引受手形及荷付爲替手形ニ付テハ氏名及金額ノ外ハ之ヲ省略スルコトヲ得但シ以外ノ手形ニ付テハ各口毎ニ之ヲ記載シ同一債務者ニ對スル數口ノ手形ニ付テハ其ノ合計額ヲ記載スルコトヲ得
(二)本表ハ各口毎ニ之ヲ記載シ同一債務者ニ對スル數口ノ手形ニ付テハ其ノ合計額ヲ記載スルコトヲ得
(三)債務者(借主)ノ欄ニ於ケル手形關係人ノ欄ニ於テ其ノ氏名又ハ商號ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
(四)擔保物ノ欄中ハ不動産ニ付テハ其ノ土地ニ付テハ其ノ地目ヲ、船舶ニ付テハ其ノ種別ヲ記載スベシ
(五)第三項ハ以下各號表ニ付亦同ジ

甲號附屬表ノ三　證書貸付明細表　昭和　年第何季末　月　日現在調　株式會社　何　銀　行

債務者(借主)ノ氏名又ハ商號	保證人	當初貸付年月日	辨濟期日	當初貸付高	現在貸付高	利息割合	擔保ノ有無	擔保物 種類	擔保物 數量	擔保物 單價	擔保物 價額	擔保ノ有無 同上ノ内擔保不足金額	擔保ノ有無 無擔保金額	承認當座貸越先ニ於ケル順位	當季間ニ於ケル最高殘高	備考
計																

甲號附屬表ノ四　當座貸越明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

債務者(借主)ノ氏名又ハ商號	保證人	契約年月日	契約期限	契約極度額	貸越殘高	利息割合	擔保種類	擔保物 數量	擔保物 單價	擔保物 價額	承認當座貸越先ニ於ケル順位	當季間ニ於ケル最高殘高	備考
計													

備考
(一)支店ヲ有スル銀行ニ在リテハ本支店分合算シテ記載スベシ以下各號諸表ニ付亦同ジ
(二)新舊役員トハ現任取締役、監査役及支配人並ニ退任後五年ヲ經過セザル取締役、監査役及支配人ヲ指稱シ此等ノ關係先トハ其ノ家族、親族、使用人又ハ關係會社等ヲ指稱ス
(三)割引手形及手形貸付ニ付テハ銀行ヨリ實際貸出ヲ受ケタル者ヲ債務者(借主)ノ欄ニ掲ゲルモノトス以下手形ニ關スル各號諸表ニ付亦同ジ
(四)本表ニハ債務者(借主)毎ニ各口ヲ合算シタルモノヲ記載スベシ
(五)銀行ガ新舊役員及此等關係先ニ對スル支拂承諾ヲ爲シタルモノアルトキハ該役員及此等ノ關係先毎ニ其ノ金額ヲ備考欄ニ記載スベシ
(六)債務者(借主)ニシテ銀行ニ對シテ現金ヲ有スルモノアルトキハ備考欄ニ之ガ種類及金額ヲ記載スベシ

丁　不良ト認ムル債権調

丁號表　　株式會社　何　銀　行　　昭和　年第何季末　月　日現在

(第一)　分ノ見込ノ不能回收債権

債務者(借主) 氏名	職業	割引手形 現在高	割引手形 回收不能見込額	手形貸付 現在高	手形貸付 回收不能見込額	證書貸付 現在高	證書貸付 回收不能見込額	當座貸越 現在高	當座貸越 回收不能見込額	、、、、 現在高	、、、、 回收不能見込額	合計 現在高	合計 回收不能見込額	當季末ニ於ケル増減	摘要	備考
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円			
計																

(第二)　分難困回收回收債権　(回收上特ニ手數費用又ハ年月ヲ要スルモノ)

債務者(借主) 氏名	職業	割引手形 現在高	割引手形 回收困難額	手形貸付 現在高	手形貸付 回收困難額	證書貸付 現在高	證書貸付 回收困難額	當座貸越 現在高	當座貸越 回收困難額	、、、、 現在高	、、、、 回收困難額	合計 現在高	合計 回收困難額	當季末ニ於ケル増減	摘要	備考
		円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円			
計																

備考　(一)本表ニハ各債権ニ付其期限ノ到来セザルト否トニ拘ラズ債務者保證人ノ資産信用擔保物ノ現狀ヲ斟酌シ殆ンド回收不能ト認ムル債権ニ付キ特ニ其ノ見込額又ハ回收困難額ヲ記載スベシ

(二)本表ニハ債務者(借主)毎ニ各口ヲ合算シタルモノヲ記載スベシ

乙　大口債権調

乙號表　　株式會社　何　銀　行　　昭和　年第何季末　月　日現在調

拂込資本金及準備金ノ合計額　回

債務者(借主) 職業	氏名	同一利害關係者ノ關係	割引手形	手形貸付	證書貸付	當座貸越	頂ケ金	社債	其ノ他ノ債権	保證及裏書	合計	擔保ノ有無 擔保付金額	擔保ノ有無 擔保ノ内譯 同上ノ内譯不動産	擔保ノ有無 無擔保金額	當季末ニ於ケル増減	摘要	備考
			円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円			
	某甲乙、、、	甲ノ妻															
	計																
	某丙丁會社、、、	丙ノ經營スル會社															
	計																
	、、、、、、、、																
	計																

備考

(一)大口債権トハ同一債務者及之ト同一利害關係ヲ有スル者ニ對スル債権合計額カ拂込資本金及準備金合計額ノ十分ノ一ヲ超ユルモノヲ指稱ス

(二)本表ニハ債務者(借主)毎ニ各口ヲ合計シタルモノヲ記載スベシ

(三)銀行カ債務者(借主)ニ對シ支拂承諾ヲ爲シタルモノアルトキハ其ノ金額ヲ各人ニ付備考欄ニ記載スベシ

(四)債務者(借主)ニシテ銀行ニ對シ預金ヲ有スルモノアルトキハ其ノ種類及金額ヲ備考欄ニ記載スベシ

乙號附屬表ノ一　割引手形明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

(本表以下各表ハ甲號附屬各表ノ例ニ準シテ作成シ備考欄ノ前ニ回收不能見込額(丁號表第一ニ相當スルモノ)及回收困難額(丁號表第二ニ相當スルモノ)ノ關スル欄ヲ設ケ該當事項ヲ明細ニ記載スベシ)

乙號附屬表ノ二　手形貸付明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

乙號附屬表ノ三　證書貸付明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

乙號附屬表ノ四　當座貸越明細表　昭和　年第何季末　月　日現在　株式會社　何　銀　行

丙　大口ノ所有又ハ擔保株式調

丙號表　　株式會社　何　銀　行　　昭和　年第何季末　月　日現在調

會社名	會社ノ公稱資本金	一株金額	會社總株數及單價 一株ニ對スル拂込區別	會社ノ總株數	一株ノ普通實價額	所有株式 株數	所有株式 時價	債權ノ擔保トシテ受入レタル株式 株數	債權ノ擔保トシテ受入レタル株式 時價	合計 株數	合計 時價	合計株數ノ會社株數ニ對スル割合	當季末ニ於ケル増減	摘要	備考
	円	円			円	円		円		円					
			全額拂込												
			何圓拂込												
			計												
			全額拂込												
			何圓拂込												
			計												

備考　大口ノ所有又ハ擔保株式トハ銀行ノ所有シ若ハ債權ノ擔保トシテ受入レタル一會社ノ株式カ該會社ノ總株式ノ五分ノ一ヲ超ユルモノヲ指稱ス

丁號附屬表ノ一　不良ト認ムル割引手形明細表　株式會社　何　銀　行　昭和　年第何季末　月　日現在

(毎月ノ營業報告書樣式)

丁號附屬表ノ二　不良ト認ムル手形貸付明細表　株式會社　何　銀　行　昭和　年第何季末　月　日現在

丁號附屬表ノ三　不良ト認ムル證書貸付明細表　株式會社　何　銀　行　昭和　年第何季末　月　日現在

丁號附屬表ノ四　不良ト認ムル當座貸越明細表　株式會社　何　銀　行　昭和　年第何季末　月　日現在

備考

一　本營業報告書ハ本店、支店及代理店分ヲ合算シテ作成シタル總括表ノ外本店、支店及代理店分内譯表ヲ添附シテ本店ヨリ之ヲ提出スベシ

二　銀行令施行地外ニ本店ヲ有スル銀行中外國銀行以外ノ銀行ニ在リテハ銀行令施行地内ニ於ケル營業所又ハ代理店中本報告書ヲ提出スベキ總括店ヲ定メ前項ニ準シテ作成シタル總括表ノ外各營業所及代理店分内譯表ヲ添附シテ該總括店ヨリ之ヲ提出スベシ

三　本報告書第二項ハ之ヲ横書シ數字ハ亞拉比亞數字ヲ用フルコトヲ得

●銀行ノ規定

二　依リ特例ノ規定

銀行ハ第三十七条ノ規定ニ依リ特例ヲ設ケ又ハ銀行ニ関スル規定ヲ適用セサルコトヲ得

三　銀行ノ定義

第三十八条　銀行ト称スルハ左ニ掲クル業ヲ営ムモノヲ謂フ

一　預金ヲ受ケ資金ヲ貸付ケ又ハ手形ヲ割引スル業

二　為替取組ヲ為ス業

三　紙幣ヲ発行スル業

四　銀行ノ営業ノ制限

第三十九条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ株式ヲ取得スル業

二　土地ヲ取得シ又ハ建物ヲ建築スル業

三　動産ヲ取得スル業

四　商品ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ業務ノ代理ヲ為ス業

六　他ノ銀行ノ業務ノ代理ヲ為サシムル業

七　他ノ銀行ノ代理ヲ為ス業

八　他ノ銀行ノ代理ヲ為サシムル業

五　銀行ノ営業ノ制限

第四十条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

六　銀行ノ営業ノ制限

第四十一条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

七　銀行ノ営業ノ制限

第四十二条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

八　銀行ノ営業ノ制限

第四十三条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

九　銀行ノ営業ノ制限

第四十四条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十　銀行ノ営業ノ制限

第四十五条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十一　銀行ノ営業ノ制限

第四十六条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十二　銀行ノ営業ノ制限

第四十七条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十三　銀行ノ営業ノ制限

第四十八条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十四　銀行ノ営業ノ制限

第四十九条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十五　銀行ノ営業ノ制限

第五十条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十六　銀行ノ営業ノ制限

第五十一条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十七　銀行ノ営業ノ制限

第五十二条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十八　銀行ノ営業ノ制限

第五十三条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

十九　銀行ノ営業ノ制限

第五十四条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十　銀行ノ営業ノ制限

第五十五条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十一　銀行ノ営業ノ制限

第五十六条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十二　銀行ノ営業ノ制限

第五十七条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十三　銀行ノ営業ノ制限

第五十八条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十四　銀行ノ営業ノ制限

第五十九条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十五　銀行ノ営業ノ制限

第六十条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十六　銀行ノ営業ノ制限

第六十一条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十七　銀行ノ営業ノ制限

第六十二条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十八　銀行ノ営業ノ制限

第六十三条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

二十九　銀行ノ営業ノ制限

第六十四条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十　銀行ノ営業ノ制限

第六十五条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十一　銀行ノ営業ノ制限

第六十六条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十二　銀行ノ営業ノ制限

第六十七条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十三　銀行ノ営業ノ制限

第六十八条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十四　銀行ノ営業ノ制限

第六十九条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十五　銀行ノ営業ノ制限

第七十条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十六　銀行ノ営業ノ制限

第七十一条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十七　銀行ノ営業ノ制限

第七十二条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十八　銀行ノ営業ノ制限

第七十三条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

三十九　銀行ノ営業ノ制限

第七十四条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十　銀行ノ営業ノ制限

第七十五条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十一　銀行ノ営業ノ制限

第七十六条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十二　銀行ノ営業ノ制限

第七十七条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十三　銀行ノ営業ノ制限

第七十八条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十四　銀行ノ営業ノ制限

第七十九条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十五　銀行ノ営業ノ制限

第八十条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十六　銀行ノ営業ノ制限

第八十一条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十七　銀行ノ営業ノ制限

第八十二条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十八　銀行ノ営業ノ制限

第八十三条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

四十九　銀行ノ営業ノ制限

第八十四条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十　銀行ノ営業ノ制限

第八十五条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十一　銀行ノ営業ノ制限

第八十六条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十二　銀行ノ営業ノ制限

第八十七条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十三　銀行ノ営業ノ制限

第八十八条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十四　銀行ノ営業ノ制限

第八十九条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十五　銀行ノ営業ノ制限

第九十条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十六　銀行ノ営業ノ制限

第九十一条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十七　銀行ノ営業ノ制限

第九十二条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十八　銀行ノ営業ノ制限

第九十三条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五十九　銀行ノ営業ノ制限

第九十四条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

六十　銀行ノ営業ノ制限

第九十五条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

六十一　銀行ノ営業ノ制限

第九十六条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

六十二　銀行ノ営業ノ制限

第九十七条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

六十三　銀行ノ営業ノ制限

第九十八条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

六十四　銀行ノ営業ノ制限

第九十九条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

六十五　銀行ノ営業ノ制限

第百条　銀行ハ左ニ掲クル業ヲ営ムコトヲ得ス

一　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

二　他ノ銀行ノ発行シタル無記名社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

三　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ引受ケ又ハ売出ス業

四　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

五　他ノ銀行ノ発行シタル社債ヲ売買スル業

何年何月分営業報告書

昭和何年何月末現在　株式会社　何銀行　印

預金		貸付金	
種類	金高	種類	金高
	円		円
何勘定		何勘定	
何		何	
計		計	

摘要	残高	摘要	残高
	円		円

離權スルコトヲ得ス

第二章　重役

第七條　朝鮮銀行ニ總裁、副總裁各一人理事三人以上監事二人以上ヲ置ク

第八條　總裁ハ朝鮮銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

副總裁ハ總裁事故アルトキ其ノ職務ヲ代理シ總裁闕員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副總裁及理事ハ總裁ヲ補佐シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ朝鮮銀行ノ業務ヲ分掌ス

第九條　總裁及副總裁ハ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ百株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ選舉シ其ノ任期ヲ三年トス

監事ハ五十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第十條　總裁、副總裁及理事ハ何等ノ名稱ヲ以テスルニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章　株主

第十一條　通常株主總會ハ定款ニ定メタル時期ニ於テ總裁之ヲ招集ス

第十二條　臨時株主總會ハ臨時必要アルトキ總裁之ヲ招集ス

第十三條　監事ノ全員又ハ資本ノ五分ノ一以上ニ當ル株主ハ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ臨時株主總會ノ招集ヲ總裁ニ請求スルコトヲ得

總裁前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ臨時株主總會ヲ招集スヘシ

第十四條　株主ノ議決權ハ一株ニ付一箇トス但シ十一株以上ハ十株ヲ超ヘサル毎ニ一箇ヲ加フ

第十五條　株主ハ株主ニ非サル者ヲ代理人トシ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得ス但シ法定代理人ハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　定款ノ變更ハ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第四章　營業

第十七條　朝鮮銀行ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　爲替手形其ノ他商業手形ノ割引

二　平常取引スル諸會社銀行又ハ商人ノ爲替手形金ノ取立

三　爲替及荷爲替

四　確實ナル擔保アル貸付

五　諸預リ金及當座貸越期定金銀貨、貴金屬及諸證券ノ保護預リ

六　地金銀ノ賣買及貨幣ノ交換

七　借証ノ業務

前項ノ外營業ノ都合ニ依リ國債證券、地方債證券其ノ他大藏大臣ノ指定スル確實ナル有價證券ノ買入ヲ爲スコトヲ得

第十八條　朝鮮銀行ハ前條ニ掲ルモノノ外大藏大臣ノ認可ヲ受ケ左ノ業務ヲ營ムコトヲ得

一　公共團體ニ對スル無擔保貸付

二　他銀行ノ業務代理

第十九條　朝鮮銀行ハ營業ノ爲必要ナル物件ヲ取得シ又ハ債務辨濟ノ爲物件ヲ引受クル場合ヲ除クノ外動産及不動産ヲ所有スルコトヲ得ス

第二十條　朝鮮銀行ハ本法ニ記載セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス但シ大藏大臣ノ命令ニ基ク場合ハ此ノ限ニ在ラス

銀行券

第二十一條　朝鮮銀行ハ銀行券ヲ發行スルコトヲ得但シ銀行券ノ樣式及種類ニ關シテハ前項ノ銀行券ハ朝鮮銀行ノ本店及支店ニ於テ營業時間中何時ニテモ金貨又ハ日本銀行兌換券引換ノ準備金ノ到達スヘキ時間其ノ引換ヲ延期スルコトヲ得

第二十二條　朝鮮銀行ハ銀行券發行高ニ對シ同額ノ金貨、地金銀又ハ日本銀行兌換券ヲ置キ其ノ仕拂準備ニ充ツヘシ但シ銀地金ハ仕拂準備總額ノ四分ノ一ヲ超過スルコトヲ得ス

一億圓ヲ限リ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ銀行券ヲ發行スルコトヲ得

前二項ニ規定スルモノノ外市場ノ狀況ニ依リ銀行券ノ發行ヲ必要トスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受ケ國債證券其ノ他確實ナル證券又ハ商業手形ヲ保證トシテ其ノ發行ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ノ命スル所ニ依リ其ノ發行高ニ對シ一年百分ノ三ヲ下ラサル割合ヲ以テ發行稅ヲ納ムヘシ

第二十三條　朝鮮銀行ノ發行スル銀行券ハ朝鮮總督ノ管轄地域内ニ於テ無制限ニ通用スルモノトス

第二十四條　朝鮮銀行ハ銀行券ノ發行額及仕拂準備ニ關スル每週平均高表ヲ官報ニ公告スヘシ

第二十五條　銀行券ノ製造、發行、損券引換及銷却等ノ手續ハ大藏大臣之ヲ定ム

第六章　積立金及納付金

第二十六條　朝鮮銀行ハ每營業年度ニ於テ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第二十七條　株主ニ對シ配當ヲ得ヘキ利益金額カ拂込資本ニ對シ一年百分ノ十二ノ割合ヲ超過スルトキハ朝鮮銀行ハ該超過額ノ二分ノ一ヲ政府ニ納付スヘシ

第二十八條　政府ハ朝鮮銀行ノ業務ヲ監督ス

第二十九條　朝鮮銀行ハ其ノ定款ヲ變更セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十條　朝鮮銀行ハ株主ニ配當金ヲ分配セムトスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第三十一條　大藏大臣ハ必要アリト認ムルトキハ銀行券ノ種類、發行高、貸付割引ノ金額方法利子若ハ歩合、爲替料又ハ正貨準備若ハ保證準備ニ關シ制限ヲ付スルコトヲ得

第三十二條　朝鮮銀行ノ營業上法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル事項アリト認ムルトキハ大藏大臣ハ之ヲ制止スルコトヲ得

第三十三條　朝鮮銀行ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ營業ニ關スル諸般ノ景況及計算ノ報告書ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ

第三十四條　政府ハ特ニ朝鮮銀行監理官ヲ置キ朝鮮銀行ノ業務ヲ監視セシム

第三十五條　朝鮮銀行監理官ハ何時ニテモ朝鮮銀行ノ金庫帳簿及諸般ノ文書ヲ檢査スルコトヲ得

朝鮮銀行監理官ハ監視上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ朝鮮銀行ニ命シ營業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

朝鮮銀行監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十六條　朝鮮銀行ノ利益配當金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ一年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ政府持株ニ配當ヲ爲スコトヲ要セス

第三十七條　朝鮮銀行ノ剩餘金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ一年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ政府持株ニ配當ヲ爲スコトヲ要セス

第三十八條　朝鮮銀行ニ於テ左ノ事犯アルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス其ノ事犯ニシテ副總裁又ハ理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ副總裁又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　第十九條、第二十條、第二十二條第一項又ハ第二十六條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　本法ニ依リ認可ヲ受クヘキ事項ニ關シ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

第三十九條　朝鮮銀行ノ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁第十一條又ハ第十三條第二項ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ招集セサルトキハ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

第四十條　朝鮮銀行ノ總裁、副總裁又ハ理事ノ報告書ヲ差出スヘシ

第三十四條　政府ハ特ニ朝鮮銀行監理官ヲ置キ朝鮮銀行ノ業務ヲ監視セシム

第三十五條　朝鮮銀行監理官ハ何時ニテモ朝鮮銀行ノ金庫帳簿及諸般ノ文書ヲ檢査スルコトヲ得

朝鮮銀行監理官ハ監視上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ朝鮮銀行ニ命シ營業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

朝鮮銀行監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十六條　朝鮮銀行ノ利益配當金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ一年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ政府持株ニ配當ヲ爲スコトヲ要セス

第三十七條　朝鮮銀行ノ剩餘金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ一年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ政府持株ニ配當ヲ爲スコトヲ要セス

第三十八條　朝鮮銀行ニ於テ左ノ事犯アルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス其ノ事犯ニシテ副總裁又ハ理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ副總裁又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　第十九條、第二十條、第二十二條第一項又ハ第二十六條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　本法ニ依リ認可ヲ受クヘキ事項ニ關シ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

第三十九條　朝鮮銀行ノ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁第十一條又ハ第十三條第二項ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ招集セサルトキハ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

第四十條　朝鮮銀行ノ總裁、副總裁又ハ理事ノ報告書ヲ差出スヘシ

第三十四條　政府ハ特ニ朝鮮銀行監理官ヲ置キ朝鮮銀行ノ業務ヲ監視セシム

第三十五條　朝鮮銀行監理官ハ何時ニテモ朝鮮銀行ノ金庫帳簿及諸般ノ文書ヲ檢査スルコトヲ得

朝鮮銀行監理官ハ監視上必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ朝鮮銀行ニ命シ營業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

朝鮮銀行監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得但シ議決ノ數ニ加ハルコトヲ得ス

第三十六條　朝鮮銀行ノ利益配當金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ一年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ政府持株ニ配當ヲ爲スコトヲ要セス

第三十七條　朝鮮銀行ノ剩餘金ニシテ政府持株以外ノ株式ニ對シ每營業年度ニ於テ一年百分ノ六ノ割合ニ達スル迄ハ政府持株ニ配當ヲ爲スコトヲ要セス

第三十八條　朝鮮銀行ニ於テ左ノ事犯アルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス其ノ事犯ニシテ副總裁又ハ理事ノ分擔業務ニ係ルトキハ副總裁又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　第十九條、第二十條、第二十二條第一項又ハ第二十六條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　本法ニ依リ認可ヲ受クヘキ事項ニ關シ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

第三十九條　朝鮮銀行ノ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁第十一條又ハ第十三條第二項ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ招集セサルトキハ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス

第四十條　朝鮮銀行ノ總裁、副總裁又ハ理事

第十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十一條　前三條ノ過料ニ關シテハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ニ依ル

附　則

第四十二條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和四年七月一日ヨリ施行）

第四十三條　舊慣國際第三年法律第二十二號ニ依リ韓國銀行ヲ設立ノ日ニ於テ本法ニ依リ設立シタルモノト看做シ韓國銀行ノ爲シタル行爲ハ朝鮮銀行ノ爲シタルモノト看做ス

韓國銀行ニ付爲シタル登記ハ朝鮮銀行ニ付爲シタル登記ト看做シ登記簿ニ於ケル銀行ノ名稱ハ當然變更セラレタルモノトス

第四十四條　韓國銀行ノ總裁、理事及監事ハ朝鮮銀行ノ總裁、理事及監事ト看做ス

第四十五條　韓國銀行ノ發行シタル韓國銀行券及其ノ發行ニ依リ發生シタル株式會社第一銀行ノ銀行券ハ朝鮮銀行ニ於テ發行シタルモノト看做ス

附　則（大正十三年七月法律第二十一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十三年勅令第三百二十一號ヲ以テ大正十三年四月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十年三月法律第一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十年勅令第三百二十一號ヲ以テ昭和十年四月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十二年八月法律第六十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十二年八月勅令第四百十三號ヲ以テ昭和十二年八月一日ヨリ施行）

朝鮮銀行法第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ左ニ掲ル事項ハ朝鮮總督ヲシテ之ヲ行ハシム但シ第七號ノ檢査ハ準官ニ依リ大藏大臣ニ於テ之ヲ行フ

一　朝鮮銀行法第二條第一項ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル支店若ハ代理店ノ設置又ハ朝鮮ニ於ケル他銀行トノコルレスポンデンス」ノ締約ヲ認可スルコト

朝鮮銀行法第三條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル他銀行ノ業務ヲ代理スルコト

二　朝鮮銀行法第三十一條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル貨付若ハ割引ノ金額、方法、利子若ハ歩合又ハ爲替料ニ關シ制限ヲ付スルコト

三　朝鮮銀行法第十八條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル公共團體ニ對スル無擔保貸付ヲ爲スコト

四　朝鮮銀行法第二十條但書ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於テ同法ニ記載セサル業務ヲ營マシムルコト

五　朝鮮銀行法第三十一條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル貨付若ハ割引ノ金額、方法、利子若ハ歩合又ハ爲替料ニ關シ制限ヲ付スルコト

六　朝鮮銀行法第三十二條ノ規定ニ依リ朝鮮ニ於ケル營業上法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル事項アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ制止スルコト

七　朝鮮ニ於ケル朝鮮銀行ノ業務及財産ノ狀況ヲ檢査スルコト

附　則

本令ハ大正十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮殖産銀行令

大正七年六月
制令第七號
改正　大正一三年三第一號、昭和六年六第一三號、八年八第九號、一二年七第二一號

朝鮮殖産銀行令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮殖産銀行

第一章　總則

第一條　朝鮮殖産銀行ハ株式會社トシ其ノ本店ヲ京城ニ置ク

第二條　朝鮮殖産銀行ノ資本金ハ一千萬圓トシ之ヲ二十萬株ニ分チ一株ノ金額ヲ五十圓トス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ資本金ヲ增加スルコトヲ得

第三條　朝鮮殖産銀行ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ百年トス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第四條　朝鮮殖産銀行ノ株券ハ記名式トス

帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル法人ニ非サレハ朝鮮殖産銀行ノ株主タルコトヲ得ス

第五條　政府又ハ公共團體ハ朝鮮殖産銀行ノ株主トナルコトヲ得

第二章　重役

第六條　朝鮮殖産銀行ニ頭取副頭取各一人理事三人以上監事二人以上ヲ置ク

第七條　頭取ハ朝鮮殖産銀行ヲ代表シ其ノ事務ヲ總理ス

頭取事故アルトキハ副頭取其ノ職務ヲ代理シ頭取缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副頭取及理事ハ頭取ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ監査ス

第八條　頭取及副頭取ハ朝鮮總督之ヲ命シ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ五十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選舉シタル二倍ノ候補者中ヨリ朝鮮總督之ヲ命シ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ三十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第九條　頭取、副頭取及理事ハ何等ノ名稱ヲ以テスルニ拘ラス他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ大藏大臣ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章　株主總會

第十條　通常株主總會ハ定款ニ定メタル時期ニ於テ頭取之ヲ招集ス

第十一條　臨時株主總會ハ臨時必要アルトキ頭取之ヲ招集ス

第十二條　監事ノ全員又ハ資本ノ五分ノ一以上ニ當ル株主ハ會議ノ目的タル事項及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ頭取ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

頭取前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ臨時株主總會ヲ招集スヘシ

第十三條　株主ノ議決權ハ一株ニ付一箇トス但シ十一株以上ハ十株ヲ增ス毎ニ一箇ヲ加フ

第十四條　株主ハ株主ニ非サル者ヲ代理人トシ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得但シ法定代理人ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　定款ノ變更ハ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第四章　營業

第十六條　朝鮮殖産銀行ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　五十年以内ノ年賦償還又ハ五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依リ不動産又ハ不動産上ノ權利ヲ擔保トスル貸付

二　五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依リ漁業權ヲ擔保トスル貸付

三　法令ノ規定ニ依リ設定シタル財團ヲ擔保トスル第一號ノ方法ニ依ル貸付

四　農業者又ハ工業者十人以上連帶シテ債務ヲ負フ者ニ對スル五年以内ノ定期償還ノ方法ニ依ル無擔保貸付

五　公共團體ニ對スル第一號ノ方法ニ依ル無擔保貸付

六　金融組合、漁業組合其ノ他營利ヲ目的トセサル産業法人ニ對スル第一號ノ方法ニ依ル無擔保貸付

七　朝鮮總督ノ産業上必要ナル貨物ヲ買トスル貸付

八　國債證券又ハ朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ヲ買トスル貸付

九　公共團體ノ債券、朝鮮金融債券又ハ朝鮮ニ於テ殖産事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ社債券ノ應募又ハ引受

十　擔保附社債ニ關スル信託事業

前項ニ揭ケル貸付ニシテ一年以内ノモノハ手形割引ノ方法ニ依ルコトヲ得

第十七條　朝鮮殖産銀行ハ頭取ノ認可ヲ受ケ定期ヲ以テ貸付ケ又ハ地金銀有價證券ノ保護預リヲ爲スコトヲ得

第十八條　朝鮮殖産銀行ニ於テ抵當ヲ徵スルトキハ總テ第一抵當ナルコトヲ要ス但シ舊債ヲ以テ新債ヲ借入ルトキハ舊債ノ償還ヲ以テ其ノ舊債ニ對スル抵當權ヲ新債ニ移スコトヲ得

第十九條　朝鮮殖産銀行ニ於テ抵當トシテ徵スル土地ハ永續スヘキ確實ナル收益ノ見込アルモノニ限ル

朝鮮殖産銀行ニ於テ抵當トシテ徵スル建物又ハ前項ノモノニ限ル

第二十條　不動産、不動産上ノ權利、漁業權又ハ財團ヲ抵當トシテ貸付ケル金額ハ朝鮮殖産銀行ニ於テ鑑定シタル價格ノ三分ノ二以内トス

第二十一條　年賦償還ノ方法ヲ以テ借入ヲ爲シタル債務者ハ償還期限前ニ借用金ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮殖産銀行ハ定款ノ定ムル所ニ依リ相當ノ手數料ヲ請求スルコトヲ得

第二十二條　債務者ハ借用金ノ五分ノ一以上ヲ償還シタルトキハ其ノ割合ニ應シテ抵當物ノ一部ノ解除ヲ請求スルコトヲ得殘額ニ付借用金ノ五分ノ一以上ヲ償還シタルトキ亦同シ

第二十三條　朝鮮殖産銀行ハ年賦金ノ拂込ヲ遲延シタル債務者ニ對シ償還期限前ト雖貸付金全部ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

第二十四條　朝鮮殖産銀行ハ抵當物ノ價格減少シ貸付金償還殘額ハ第二十條ノ割合ニ不足ヲ生シタルトキハ增抵當ヲ請求シ又ハ其ノ不足ニ相當スル貸付金額ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

債務者前項ノ請求ニ應セサルトキハ朝鮮殖産銀行ハ償還期限前ト雖貸付金全部ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

第二十五條　無擔保ニテ借入ヲ爲シタル公共團體其ノ他ノ法人カ年賦金、定期償還金若ハ利子ノ拂込ヲ遲延シ又ハ期限前ノ償還請求ニ對シ拂込ヲ遲延シタルトキハ朝鮮殖産銀行ハ其ノ法人ノ監督官廳ニ拂込ニ關スル催告ヲ請求スルコトヲ得

第二十六條　朝鮮殖産銀行ハ國債證券、地方債證券若ハ朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ノ應募、引受若ハ買入ヲ爲シ又ハ朝鮮總督ノ指定シタル銀行ニ預入ヲ爲ス場合ヲ除クノ外營業上ノ餘裕金ヲ使用スルコトヲ得ス

第二十七條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ他ノ銀行又ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ代理スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ貸付ノ代理ヲ爲シタル場合ニ於テハ朝鮮殖産銀行ハ債務者ノ爲ニ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　朝鮮殖産銀行ハ公共團體ノ爲ニ其ノ金錢出納ノ取扱ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　朝鮮殖産銀行ハ本令ニ規定セサル業務ヲ營ムコトヲ得ス

第五章　朝鮮殖産債券

第三十條　朝鮮殖産銀行ハ拂込資本金額ノ十五倍ヲ限リ債券ヲ發行スルコトヲ得但シ年賦償還貸付金總高、定期償還貸付金總高竝第十六條第十號ノ規定ニ依リ應募又ハ引受ケタル債券及社債券現在高ヲ超過スルコトヲ得ス

債券ヲ發行スル場合ニ於テ應募總額カ社債申込證ニ記載シタル社債總額ニ達セサルトキハ銀行ハ朝鮮殖産銀行成立シタル旨ヲ社債申込證ニ記載シタルトキハ其ノ應募總額ヲ以テ社債總額トス

第三十一條　債券ハ券面金額ヲ十圓以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名トス

第三十二條　朝鮮殖産銀行ハ債券ヲ發行シタルトキハ其ノ金額、條件竝發行及償還ノ方法ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ

第三十三條　朝鮮殖産銀行ハ券面金額二十圓以下ノ債券ヲ發行スル場合ニ於テハ賣出ノ方法ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ賣出期間ヲ定ムルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ社債申込證ヲ作ルコトヲ要セス

第一項ノ規定ニ依リ發行スル債券ニハ商號及商法第百七十三條第二號、第四號乃至第六號ニ揭ケタル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

商法第二百四條ノ第一項ノ期間滿了ノ日ヨリ之ヲ起算シ其ノ登記スヘキ事項ハ賣出期間內ニ於ケル債券ノ賣上總額及商法第百七十三條第四號乃至第六號ニ揭ケタル事項トス

賣出ノ方法ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於ケル社債ノ登記ノ申請書ニハ賣出期間內ニ於ケル債券ノ賣上總額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第三十四條　朝鮮殖産銀行ハ賣出ノ方法ニ依リ債券ヲ發行シタルトキハ賣出期間及商法第二百三條第二項第一號乃至第三號ニ揭ケタル事項ヲ公告スヘシ

第三十五條　朝鮮殖産銀行ハ債券借換ノ爲一時第十條ノ制限ニ依ラス低利ノ債券ヲ發行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ債券ヲ發行シタル場合ニ於テハ發行後一月內ニ其ノ發行券面金額ニ相當スル舊債券ヲ買入消却ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　朝鮮殖産銀行ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ債券ノ買入消却ヲ爲シタルトキハ其ノ金額ヲ公告スヘシ

第三十七條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ發行ヲ爲シタル場合ニ於テハ發行ノ日ヨリ六箇月以內ニ其ノ債券ニ付テ抽籤ヲ以テ償還ヲ爲スヘシ

抽籤ハ朝鮮殖産銀行ノ役員及朝鮮總督ノ指定シタル官吏ノ立會ノ上之ヲ行フヘシ

第三十八條　抽籤ハ償還期日ノ十日前ニ之ヲ行ヒ其ノ日時及場所ヲ公告スヘシ

第三十九條　抽籤ニ依リ償還スヘキ債券ノ番號ハ抽籤ノ日ヨリ十日以內ニ之ヲ公告スヘシ

第四十條　抽籤ニ依リ償還スヘキ債券ニ付テハ抽籤ノ日ヨリ六箇月ヲ經過シタル後ハ其ノ權利ヲ失フ

第四十一條　償還期日ニ至リタル債券ハ其ノ利息ノ支拂ヲ停止スルコトヲ得

第四十二條　償還期日ニ至リタル債券ハ其ノ利息ノ支拂ヲ停止スルコトヲ得

第四十三條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第四十四條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第四十五條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第四十六條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第四十七條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第四十八條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第四十九條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十一條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十二條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十三條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十四條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十五條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十六條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十七條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十八條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第五十九條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十一條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十二條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十三條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十四條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十五條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十六條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十七條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十八條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第六十九條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十一條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十二條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十三條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十四條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十五條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十六條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十七條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十八條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第七十九條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十一條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十二條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十三條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十四條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十五條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十六條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十七條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十八條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第八十九條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第九十條　朝鮮殖産銀行ハ債券ノ償還ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ債券ヲ朝鮮殖産銀行ニ於テ消却スヘシ

第三十七條　債券ノ元金ノ請求權ハ十五年間之ヲ行ハサルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第三十八條　債券ノ模造ニ關シテハ通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第六章　準備金

第三十九條　朝鮮殖産銀行ハ每營業年度準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益ノ百分ノ八以上及利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘシ

第七章　監督

第四十條　朝鮮總督ハ朝鮮殖産銀行ノ業務ヲ監督ス

第四十一條　定款ノ變更ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第四十二條　朝鮮殖産銀行カ支店又ハ代理店ヲ設置セムトスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ朝鮮殖産銀行ニ命シ營業上ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

朝鮮殖産銀行監理官ハ株主總會其ノ他ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第八章　閉鎖

第四十七條　左ノ場合ニ於テハ朝鮮殖産銀行ノ頭取又ハ頭取ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副頭取ノ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス副頭取又ハ理事ノ分掌事務ニ係ルトキハ副頭取又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　認可ヲ受クヘキ事項ニ關シ認可ヲ受ケ

二　サルトキ

三　第十條又ハ第十二條第二項ノ規定ニ違反シ株主總會ヲ招集セサルトキ

第十六條、第十八條乃至第二十條ノ規定ニ違反シ貸付又ハ割引ヲ爲シタルトキ

四　第十七條第二項ノ規定ニ違反シ預リ金ヲ使用シタルトキ

五　第二十六條ノ規定ニ違反シ營業上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ

六　第二十九條ノ規定ニ違反シ本令ニ規定セサル業務ヲ營ミタルトキ

七　第三十條第一項、第三十三條第一項、第三項又ハ第三十四條ノ規定ニ違反シ前項ノ規定ニ依リ株主カ其ノ權利ヲ失ヒタルトキハ朝鮮殖産銀行カ其ノ株主ノ氏名、住所及株券ノ番號ヲ公告スヘシ

第五十六條　設立委員ハ前條第一項ノ規定ニ依リ權利ヲ失ヒタル株主ニ對シテハ其ノ株式ヲ賣却シ代金ヲ交付スヘシ

農工銀行令第三條ノ規定ハ前項ノ株式ノ買受人ニ之ヲ適用セス

第五十七條　設立委員ハ前條ノ株式ノ買受人ニ對シ第五十三條第一項ノ規定ニ依リ直ニ株式ノ割當ヲ爲スヘシ

前項ノ規定ニ依リ割當ヲ爲スコトヲ得サル株式ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ農工銀行ニ於テ之ヲ銷却スヘシ

第五十八條　農工銀行ノ株式ノ目的トスル買權ハ第五十三條第一項ノ規定ニ依リ割當ヲ爲スヘキ株式ノ一項ノ規定ニ依リ割當ヲ爲シ得ヘキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スヘシ

商法第百二十六條乃至第百三十條ノ規定ハ前項ノ募集ニ付之ヲ準用ス

第一回ノ拂込金額ハ各株式ニ付二十圓トス

株式申込證ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第五十九條　設立委員ハ朝鮮殖産銀行ノ株式總數ヨリ第五十三條第一項及第五十七條第一項ノ規定ニ依リ割當ヲ爲シ得ヘキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スヘシ

商法第百二十六條乃至第百三十條ノ規定ハ前項ノ募集ニ付之ヲ準用ス

第一回ノ拂込金額ハ各株式ニ付二十圓トス

株式申込證ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十條　設立委員ハ朝鮮殖産銀行ノ株式ノ引受ケ及拂込ヲ終リタルトキハ遲滯ナク其ノ株主ノ氏名、住所及株券ノ番號ヲ公告スヘシ

第六十一條　第五十九條第一項ノ規定ニ依リ募集シタル各株ニ付第一回ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

創立總會ハ第五十三條第一項及第五十七條第一項ノ規定ニ依リ株式ノ割當ヲ受ケタル農工銀行ノ株主竝第五十九條第一項ノ規定ニ依リ募集シタル株式ノ引受人ニシテ資本ノ半額以上ニ當タル者出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ一切ノ決議ヲ爲ス

第六十二條　創立總會ニ於テハ第八條ノ規定ニ準シ設立ノ初度ノ理事候補者ノ選舉及監事ノ選任ヲ行フヘシ

第六十三條　創立總會ニ於テハ第八條ノ規定ニ準シ設立ノ初度ノ理事候補者ノ選舉及監事ノ選任ヲ行フヘシ

第六十四條　朝鮮殖産銀行ハ創立總會ノ終結ニ因リテ成立ス

設立委員ハ朝鮮殖産銀行成立シタルトキハ直ニ其ノ事務ヲ朝鮮殖産銀行頭取ニ引渡スヘシ

第六十五條　農工銀行令ニ依リ設立シタル農工銀行ハ朝鮮殖産銀行成立ノ日ニ於テ解散

朝鮮銀行

昭和二年六月
總督第百七十九號

左記銀行ヲ朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行ニ指定ス

記

日本銀行

●朝鮮不動産融資及損失補償令

昭和七年十月
制令第四號
改正　昭和一〇年七第九號

朝鮮不動産融資及損失補償令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

朝鮮不動産融資及損失補償令

第一條　朝鮮殖産銀行ハ銀行ヨリ左ノ方法ニ依ル不動産資金融通ノ請求アリタル場合ニ於テ金融ノ疏通ヲ圖ル爲必要ト認ムルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ當該銀行又ハ其ノ債務者ニ對シ資金ノ融通ヲ爲スコトヲ得

一　當該銀行ノ不動産又ハ不動産抵當附債權ヲ擔保トスル貸付

二　當該銀行ニ對スル不動産ヲ抵當トスル貸付

第二條　朝鮮殖産銀行ガ前條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲スハ昭和十三年九月末日迄トシ其ノ融通ノ期限ハ本令施行ノ日ヨリ十五年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條　朝鮮殖産銀行ガ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲ス場合ニ於ケル貸付金額ハ朝鮮殖産銀行令第二十條ノ規定ニ拘ラズ其ノ擔保タル不動産又ハ其ノ擔保タル權利ニ附隨スル抵當權ノ目的タル不動産ニ付鑑定シタル價格以内トス

第四條　朝鮮殖産銀行令第十六條第一項第一號ノ規定中貸付年限及償還方法ニ關スルモノハ第一條ノ規定ニ依ル融通ニハ之ヲ適用セズ

第五條　朝鮮殖産銀行ハ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲ス爲必要アルトキハ朝鮮殖産銀行令第三十條第一項ノ制限ニ拘ラズ債券ヲ發行スルコトヲ得

朝鮮殖産銀行ガ第一條ノ規定ニ依リ融通以外ノ融通ヲ爲ス爲債券ヲ發行スル場合ニ於テ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲ス爲發行スル債券ノ額ハ朝鮮殖産銀行令第三十條第一項ニ規定スル債券發行額ノ制限ノ計算上之ヲ算入セズ

第六條　政府ハ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲シタル爲リテ朝鮮殖産銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ朝鮮殖産銀行ニ對シ三百萬圓ヲ限リ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第七條　第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲シタル爲リテ朝鮮殖産銀行ガ受ケタル損失及其ノ額ノ決定ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年七月一日ヨリ施行）

●朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行指定

大正八年七月
總督第百八十四號

左記銀行ヲ朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行ニ指定ス

記

日本銀行

●朝鮮不動産融資及損失補償令第一條ニ依ル資金融通ニ關スル件

昭和八年二月
總令第二十號
改正　昭和一〇年八第一〇三號

朝鮮不動産融資及損失補償令第一條ニ依ル資金融通ニ關スル件左ノ通定ム

朝鮮總督ハ朝鮮不動産融資及損失補償令第一條ノ規定ニ依リ朝鮮殖産銀行ノ不動産資金ノ融通ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　朝鮮總督ハ不動産融資及損失補償令第一條第一號ノ不動産融資及不動産抵當附債權並ニ同條第二號ノ當該銀行ガ債務者ヨリ辨濟ヲ受ケ又ハ不動産ニ關スル權利ヲ有スル場合ニ於テ其ノ債務ノ辨濟ヲ受ケ又ハ其ノ權利ヲ行フニ付必要アリト認ムルトキハ朝鮮殖産銀行ニ對シ其ノ融通ニ關シ必要ナル指揮ヲ爲スコトヲ得

第三條　朝鮮總督ハ前條ノ指揮ヲ爲ス場合ニ於テハ朝鮮殖産銀行ノ不動産融資及損失補償令第一條第一號ノ不動産融資及不動産抵當附債權並ニ同條第二號ノ當該銀行ガ債務者ヨリ辨濟ヲ受ケ又ハ其ノ權利ヲ行フニ付必要アリト認ムル事項ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ職員ヲシテ檢査セシムルコトヲ得

第四條　朝鮮總督ハ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲ス爲必要アリト認ムルトキハ朝鮮殖産銀行ニ對シ其ノ融通ニ關シ必要ナル指揮ヲ爲スコトヲ得

第五條　朝鮮殖産銀行ハ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲ス爲必要アルトキハ朝鮮殖産銀行令第三十條第一項ノ制限ニ拘ラズ債券ヲ發行スルコトヲ得

朝鮮殖産銀行ガ第一條ノ規定ニ依リ融通以外ノ融通ヲ爲ス爲債券ヲ發行スル場合ニ於テ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲ス爲發行スル債券ノ額ハ朝鮮殖産銀行令第三十條第一項ニ規定スル債券發行額ノ制限ノ計算上之ヲ算入セズ

第六條　政府ハ第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲シタル爲リテ朝鮮殖産銀行ガ損失ヲ受ケタルトキハ朝鮮殖産銀行ニ對シ三百萬圓ヲ限リ其ノ損失ヲ補償スルノ契約ヲ爲スコトヲ得

前項ノ損失ヲ決定スル基準ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第七條　第一條ノ規定ニ依ル融通ヲ爲シタル爲リテ朝鮮殖産銀行ガ受ケタル損失及其ノ額ノ決定ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年七月一日ヨリ施行）

●朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行指定

大正八年七月
總督第百八十四號

左記銀行ヲ朝鮮殖産銀行令第二十六條ノ銀行ニ指定ス

記

日本銀行

●昭和八年朝鮮總督府令第二十號第四條ノ利率及遲延利息ノ割合

昭和八年二月
總督府令三十號
改正　昭和九年二第六九號、一〇年五第三一號

昭和八年朝鮮總督府令第二十號（朝鮮不動産融資及損失補償令第一條ニ依ル資金融通ニ關スル件）第四條ノ利率及遲延利息ノ割合左ノ通定ム

利率　昭和十一年五月一日以後ノ融資ニ付テハ年四分九厘、昭和十一年四月三十日以前ノ融資ニ付テハ同年七月一日以後年五分二厘

遲延利息ノ割合　百圓ニ付日歩四錢

●貯蓄銀行令

昭和三年十二月
制令第七號
改正　昭和八年八第二〇號、一一年八第二二號

貯蓄銀行令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ茲ニ之ヲ公布ス

貯蓄銀行令

第一條　左ニ掲グル業務ヲ營ム者ハ之ヲ貯蓄銀行トス

一　複利ノ方法ニ依リ貯金ヲ受入ルルコト

二　一回五圓未滿ノ金額ヲ頂金トシテ受入ルルコト

三　幾ノ拂戻ノ期限ヲ定メ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ預金ヲ受入ルルコト

四　期限ヲ定メテ一定金額ヲ給付ヲ爲スコトヲ約シ定期ニ又ハ一定ノ期間内ニ於テ數回ニ金錢ヲ受入ルルコト

貯蓄銀行ニ非ザルモノハ前項ノ業務ヲ營ムコトヲ得ズ但シ貯蓄銀行ヲ頂金及其ノ銀行ノ引受ケタル手形ノ買入高ノ總額ハ第一條第一項竝ニ第五條第一號及第五號ニ規定スル受入金ノ十分ノ一ヲ限度トシ且該銀行ノ拂込ミ資本金及準備金ノ四分ノ一ヲ超ユル預金ヲ受入ルルコトヲ得ズ

第二條　貯蓄銀行ハ朝鮮總督ノ免許ヲ受ケルニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ

前項ノ免許ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ定款ニ業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第三條　貯蓄銀行ハ資本金百萬圓以上ノ株式會社ニ非ザレバ之ヲ營ムコトヲ得ズ

第四條　貯蓄銀行ハ其ノ商號中ニ貯蓄銀行ナル文字ヲ用フベシ

貯蓄銀行ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ貯蓄銀行タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第五條　貯蓄銀行ハ第一條第一項ノ業務ノ外左ニ掲グル業務ヲ併セ營ムコトヲ得

一　第一條第一項各號ニ掲グル方法ニ依リ貯蓄セラレタル金額ヲ定期預金トシテ受入ルルコト

二　保護預リ

三　債權ノ取立

四　公共團體又ハ産業組合ノ金錢出納事務ノ取扱

五　公共團體又ハ産業組合ヨリ預金ヲ受入ルルコト

第六條　貯蓄銀行ハ本令ニ規定セザル業務ヲ營ムコトヲ得ズ

第七條　貯蓄銀行ガ合併ニ因リテ貯蓄銀行ノ營ムベキ業務ヲ營ミタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條　第四條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十九條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監査役又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ニ過料ニ處ス

第六條、第八條、第九條、第十一條乃至第十四條又ハ第十六條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

二　第十六條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

前項ノ過料ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第二十條　本令ニ別段ノ規定ヲ設ケザル事項ニ付テハ銀行令ニ依ル但シ銀行令第十條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

銀行令第十七條ノ規定ノ適用ニ付テハ第一條第一項第四號ノ規定ニ依ル給付金ハ之ヲ頂金ト看做ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和四年七月一日ヨリ施行）

貯蓄銀行ニ非ザル銀行ガ本令施行前ニ爲シタル契約ニシテ第一條第一項ノ業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍ホ其ノ契約ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得

附　則（昭和八年八月制令第十號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年八月三十一日ヨリ施行）

●貯蓄銀行令施行規則

昭和四年六月總令第六十二號

改正　昭和八年八月八日、二年八月六日

貯蓄銀行令施行規則左ノ通定ム

第一條　貯蓄銀行令施行規則ハ免許申請書ニ總取締役署名シ左ニ掲ゲル書類ノ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ定款

二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

三　株式ノ引受ヲ證スル見込書面

四　株式申込證ノ雛形竝ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載セル書面

五　取締役及監査役又ハ檢査役ノ調査報告書及其ノ附屬書類

六　檢査役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本

七　發起人カ取締役及監査役ノ選任シタルトキハ之ニ關スル書類

八　創立總會ノ決議錄

九　會社設立ノ際ニ設置スル支店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ記載シタル書面

十　免許申請前日ニ於ケル日計表

十一　預ケ先ノ預金證明書

十二　事業目論見書

株式會社ガ其ノ目的ヲ變更シテ貯蓄銀行業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ左ニ掲ゲル書面ヲ添附スベシ

一　定款

二　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

三　會社登記簿ノ謄本

四　免許申請前日ニ於ケル日計表

五　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ性質ヲ知ルニ足ル書面

六　最終ノ財產目錄及貸借對照表

七　最終ノ損益計算書及利益處分ニ關スル書面

八　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面

九　支店其ノ他ノ營業所ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置ヲ記載シタル書面

十　事業目論見書

第二條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ左ノ區分ニ依リ其ノ營ム業務ノ種類ヲ記載スベシ

一　普通貯金（貯蓄銀行令第一條第一項第一號及第二號ノ預金）

二　據置貯金（貯蓄銀行令第一條第一項第三號ノ預金）

三　定期積金（貯蓄銀行令第一條第一項第四號ノ受入金）

四　定期預金（貯蓄銀行令第五條第一號ノ預金）

五　保護預リ

六　債權ノ取立

七　公共團體又ハ產業組合ノ金錢出納事務ノ取扱

八　公共團體又ハ產業組合ヨリノ預金

第三條　業務ノ方法ヲ記載スル書面ニハ業務ノ種類及方法ニ付左ニ掲ゲル事項ヲ記載スベシ

一　預金拂戻ノ豫告期間ニ關スル事項

二　預金者又ハ積金者ニ對スル利益ノ分配

又ハ特別利益ノ提供ニ關スル事項

三　預金者又ハ積金者ニ對スル貸付ノ特約ニ關スル事項

四　保護預リ品ノ種類及保管ノ方法

五　預金利子計算ノ方法

六　其ノ他重要ナル事項

據置貯金又ハ定期積金ニ付テハ前項ニ掲ゲタルモノノ外左ニ掲ゲル事項ヲ記載スベシ

一　預ケ入又ハ拂込ノ時期、回數及金額

二　契約ノ不履行、契約ノ解除又ハ契約ニ基ク權利義務ノ讓渡ニ關スル事項

三　利息支拂備金又ハ給付補塡備金ニ關スル事項

四　勸誘又ハ集金ノ方法及經費ニ關スル事項

第四條　拂戻ニ付期限ヲ定ムル預金契約ノ期間ハ五年ヲ超ユルコトヲ得ズ定期積金ノ契約期間ニ付亦同ジ

第五條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依ル供託ハ本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スベシ

第六條　貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依リ供託スル國債及有價證券ノ供託價格ハ每半年末日ノ時價ヲ超ユルコトヲ得ズ

第七條　貯蓄銀行カ貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依ル供託ヲ爲シタルトキハ供託受領證ノ寫ヲ添附シテ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第八條　貯蓄銀行カ貯蓄銀行令第九條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債又ハ有價證券ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケベシ

貯蓄銀行カ前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由竝ニ國債又ハ有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價格ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第九條　貯蓄銀行カ貯蓄銀行令第十一條第二項ノ規定ニ依ル認可ヲ受ケントスルトキハ認可申請書ニ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　滿洲國公債以外ノ有價證券ニ在リテハ發行者及其ノ住所

二　社債ニ在リテハ利率竝ニ擔保ノ有無及其ノ種類

三　取引所ニ於ケル最近ノ相場其ノ他實價ヲ知ルニ足ル事實

第十條　貯蓄銀行カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル後貯蓄銀行ノ總取締役ノ署名シタル認可申請書ニ左ニ掲ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　株主總會ノ決議錄及社員ノ同意アリタルコトヲ知ルニ足ル書面

二　合併ニ關スル契約書

三　合併後存續スル貯蓄銀行又ハ合併ニ因リテ設立スル貯蓄銀行ノ定款竝ニ業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

四　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ作成シタル貸借對照表

五　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第二項ノ規定ニ依ル公告、催告及同法第二百二十條ノ二ノ規定ニ依ル通知ヲ爲シタルコトヲ知ルニ足ル書面

第十一條　貯蓄銀行カ定款ヲ變更セントスルトキハ認可申請書ニ理由書及株主總會ノ決議錄ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

資本減少ノ關スル定款ノ變更セントスル場合ニ於テハ尙前條第四號及第五號ニ掲ゲタル書類ヲ添附スベシ

第十二條　貯蓄銀行カ業務ノ種類又ハ方法ヲ變更セントスルトキハ認可申請書ニ理由書ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十三條　貯蓄銀行カ左ニ掲ゲル場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ理由ヲ具シテ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　銀行令第七條第二號乃至第六號ニ掲ゲタル事項ニ付定款變更ノ認可ヲ受ケテ之ヲ實行シタルトキ

二　取締役ノ就任又ハ退任アリタルトキ

第十四條　貯蓄銀行ノ每月ノ營業報告書及每營業年度ノ業務報告書ハ附屬雛形ニ依リ作成スベシ

第十五條　貯蓄銀行ノ監査役カ作成スベキ監査書ハ附屬雛形ニ依ルベシ

第十六條　本令ニ依ル屆出若ハ提出書類ニ虛僞ノ記載ヲナシ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ取締役又ハ監査役ヲ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十七條　本令ニ別段ノ規定ヲ設ケザル事項ニ付テハ銀行令施行規則ニ依ル

附　則

本令ハ貯蓄銀行令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（業務報告書雛形）

第何期業務報告書

昭和　年　月　日ヨリ同年　月　日ニ至ル間業務ノ成績左ノ通及報告候也

昭和　年　月　日

何道何府何地

株式會社何貯蓄銀行

取締役　氏　名印
取締役　氏　名印
取締役　氏　名印
監査役　氏　名印

朝鮮總督　殿

目　次

一　第何期營業報告書
二　第何期末貸借對照表
三　第何期損益計算書
四　第何期準備金及利益ノ配當ニ關スル書面

備　考

一　本報告書雛形記載以外ノ勘定アルトキハ銀行令施行規則附屬業務報告書雛形ニ記載アルモノハ其ノ例ニ依リ之ニ記載ナキモノハ其ノ性質最モ近似セルモノノ例ニ準ジ各一項ヲ設ケ適當ノ場所ニ之ヲ記載スベシ

二　本報告書ハ之ヲ撰書シ數字ハ亞拉比亞數字ヲ用フルコトヲ得

一　第何期昭和　年　自月　日　至月　日　營業報告書

株式會社何貯蓄銀行

第一項　營業ノ景況

（本項ニハ本支店ニ於ケル營業日數、金融ノ繁閑、貸借金利ノ高低、各種勘定ノ伸縮、資金ノ運用其ノ他重要ナル事項ニ關スル狀況ヲ記載スベシ）

第二項　營業所及代理店

一　當期間營業所及代理店ノ增減

	前期末現在數	當期增加數	當期減少數	當期末現在數
支店				
出張所				
代理店				
計				

二　當期末現在營業所及代理店ノ位置

店名	位置

第三項　株主總會

（本項ニハ總會ノ種類、總會開會ノ年月日及總會ニ於テ決議シタル事項其ノ他總會ニ關スル重要ナル事項ノ要領ヲ記載スベシ）

第四項　庶務ノ要件

（本項ニハ商業登記簿ニ登記ヲ受ケタル事項、官廳ニ申請又ハ屆出ヲ爲シタル事項、監査書備付年月日及訴訟其ノ他重要ナル事項ノ要領ヲ記載スベシ）

第五項　資本金

一　當期間ニ於ケル增減

	前期末現在高	當期增加高	當期減少高	當期末現在高
資本金	円	円	円	円
內拂込高	円	円	円	円
譯拂込未濟高	円	円	円	円

二　當期末現在株式ノ種類（一株ノ金額何圓）

株式種類	拂込濟ノモノ	拂込未濟ノモノ	計
	一株何圓拂込ノモノ		
普通株	株數 株	株數 株	株數 株
	拂込高 円	拂込高 円	
優先株	株數 株	株數 株	株數 株
	拂込高 円	拂込高 円	
合計	株數 株	株數 株	株數 株
	拂込高 円	拂込高 円	

（無記名ノ株式ノ發行シタルモノアルトキハ該當事項ノ各欄ノ左傍ニ內書スベシ）

三　當期間中株式ノ移轉

株式種類	一株ノ拂込額	賣買	共ノ他ノ方法ニ依ル移轉株數
	株數	一株ノ價格	
普通株	株	普通價格 円	株
同	株	円	株
優先株	株	円	株
同	株	円	株
計			

（一株ノ普通價格ハ實買ノ實例ニ依リ難キトキハ見込ニ依リ之ヲ記載スベシ）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

一　常期間ニ於ケル増減

種類	前期繰越高	常期増加高	常期減少高	常期末現在高	同上口数
普通貯金	円	円	円	円	口
据置貯金					
定期積金					
定期預金					
当座預金					
特別当座預金					
通知預金					
、、、					
、、、					
計					

（第六項常期末現在株主ノ氏名及其ノ持株ニ準ジ記載スベシ）

何回払込済	何回払込済	合計	住所	氏名
株	株	株		何某
計	計			

（第七項ニ表記スベキ場合ノ外準備スベキ金額ハ記載スルコトヲ要セス）

準備金ノ種類	前期末現在高	常期増加高	常期減少高	常期末現在高
法定準備金	円	円	円	円
何準備金				
何積立金				
何引当金				
、、、、				
、、、、				
計				

二　常期末現在ノ株金若ハ醸業ニ依リ区別スレバ左ノ如シ

	口数	金額
農業	口	円
商業		
工業		
雑業		
計		

三　常期末現在ノ貯金若ハ醸業ニ依リ区別スレバ左ノ如シ

	口数	金額
農業	口	円
商業		
工業		
雑業		
計		

四　常期末現在ノ貯金ヲ利率ニ依リ区別スレバ左ノ如シ

	口数	金額
年利何厘以上	口	円
年利何厘以上何厘未満		
計		

五　定期積金ノ六月元加掛利計算ニ依ル利廻リ左ノ如シ

	口数	金額
年利何厘以上	口	円
年利何厘以上何厘未満		
計		

（第九項ニ掲ケタル利息支払備金ノ記載スベシ）

前期繰越高	常期増加高	常期減少高	常期末現在高
円	円	円	円

（第十項ニ掲ケタル積立金ノ前項ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

（第十一項ニ掲ケタル積立金ノ前項ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

一　常期間ニ於ケル増減

種類	前期繰越高	常期増加高	常期減少高	常期末現在高	同上口数
普通積金	円	円	円	円	口
定期積金					
掛捨積金					
、、、					
、、、					
計					

二　常期末現在ノ積金若ハ醸業ニ依リ区別スレバ左ノ如シ

	口数	金額
農業	口	円
商業		
工業		
雑業		
計		

三　常期末現在ノ積金ヲ利率ニ依リ区別スレバ左ノ如シ

	口数	金額
年利何厘以上	口	円
年利何厘以上何厘未満		
計		

四　常期末現在ノ積金ヲ期限ノ長短ニ依リ区別スレバ左ノ如シ

	口数	金額
一年以上三年未満	口	円
三年以上五年未満		
計		

（第十二項ニ掲ケタル積立金ノ利息支払備金ノ記載スベシ）

前期繰越高	常期増加高	常期減少高	常期末現在高
円	円	円	円

（第十三項ニ掲ケタル積立金ノ前項ノ例ニ準ジテ記載スベシ）

一　常期間ニ於テハ第十六項　預ケ金及郵便貯金

種類	前期繰越高	常期預ケ入高	常期引出高	常期利息高	常期末現在高
何銀行					
常座預ケ金					
通知預ケ金					
定期預ケ金					
積立預ケ金					
別段預ケ金					
郵便貯金					
計					

二　常期末現在預ケ内譯

預ケ先	金額	内譯			
		定期積金受入高ニ相当スル金額	定期積金受入高ノ超過スル金額	担保ノ目的タル金額	担保ノ目的タル定期積金受入高ノ超過スル金額
何銀行					
何々					
計					

一　常期間ニ於テハ第十七項　銀行引受手形

引受銀行名	金額	超過貯蓄銀行法第一條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ニ	同上超過額ニ対スル担保				
			種類	数量	評価額		
何銀行							
計							

二　常期末現在引受銀行別

引受銀行名	金額	超過貯蓄銀行法第一條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ニ	同上超過額ニ対スル担保				
			種類	数量	評価額		
何銀行							
計							

（貯蓄銀行令第十四條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ニ掲ゲス）

一　常期間ニ於テハ第十七項　銀行引受手形

何銀行	前期繰越高	常期受入高	常期決済高	常期割引高	常期末現在高	同上口数
計						

二　常期末現在代理店別

代理店名	金額	有価証券ノ種類	
		有価証券ノ種類	不動産ノ種類
何々			
計			

一　常期間ニ於テハ第十五項　代理店貸

前期繰越高	常期貸高	常期決済高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

二　常期末現在代理店別

代理店名	金額	有価証券ノ種類	
		有価証券ノ種類	不動産ノ種類
何々			
計			

一　常期間ニ於テハ第十四項　定期積金

（一）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第五號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

（二）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第四號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

（三）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第三號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

（四）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第二號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

（五）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第一號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

（六）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第五號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

（七）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第四號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

（八）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第三號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

（九）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第二號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

（十）未払ノ積金ハ貯蓄銀行令第十一條第一項第一號ノ規定ニ適合スル貸付金ヲ記載スベシ）

前期繰越高	常期貸付高	常期回収高	常期割引高	常期末現在高	同上口数

二　常期末現在内譯

預ケ先	金額	内譯			
		定期積金受入高ニ相当スル金額	定期積金受入高ノ超過スル金額	担保ノ目的タル金額	担保ノ目的タル定期積金受入高ノ超過スル金額
何銀行					
何々					
計					

一　常期間ニ於テハ第十七項　銀行引受手形

何銀行	前期繰越高	常期買入高	常期引受ケ又ハ立替ケ高	常期割引高	常期末現在高	同上枚数

（貯蓄銀行令第十四條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ニ掲ゲス）

二　常期末現在引受銀行別

引受銀行名	金額	超過貯蓄銀行法第一條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ニ	同上超過額ニ対スル担保				
			種類	数量	評価額		
何銀行							
計							

（貯蓄銀行令第十四條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ニ掲ゲス）

一　常期間ニ於テハ第十六項　預ケ金及郵便貯金

種類	前期繰越高	常期預ケ入高	常期引出高	常期割引高	常期末現在高
何銀行					
常座預ケ金					
通知預ケ金					
定期預ケ金					
積立預ケ金					
別段預ケ金					
郵便貯金					
計					

二　常期末現在預ケ内譯

預ケ先	金額	内譯			
		定期積金受入高ニ相当スル金額	定期積金受入高ノ超過スル金額	担保ノ目的タル金額	担保ノ目的タル定期積金受入高ノ超過スル金額
何銀行					
何々					
計					

一　常期間ニ於テハ第十七項　銀行引受手形

何銀行	前期繰越高	常期買入高	常期引受ケ又ハ立替ケ高	常期割引高	常期末現在高	同上枚数

（貯蓄銀行令第十四條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ニ掲ゲス）

二　常期末現在引受銀行別

引受銀行名	金額	超過貯蓄銀行法第一條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ニ	同上超過額ニ対スル担保				
			種類	数量	評価額		
何銀行							
計							

（貯蓄銀行令第十四條第一項ノ規定ニ依ル制限ヲ超ユルモノアルトキハ其ノ超過額ヲ左ニ掲ゲス）

二　常用末現在高内譯

常用末現在高	内				
	貸	借	銀行券	小切手、利札ノ類	
圓	圓	圓	圓	圓	

第二十五項　借換手形ノ受話

一　常用末現在高　第二十七項　保證頁ヲ

計	、	、	、	、	府郡島面公金	道公金	常用末現在高 種類	口數

二　拔封頁ヲ物件種類別

計	貨渡保證面	封緘頁ヲ	拔封頁ヲ	種類	口數

第二十六項　保管金

計	、	、	、	、	府郡島面公金	道公金	常用末現在高 種類	金額	口數

計	、	、	、	、	、	、	常用末現在高 種類	枚數	金額

計	、	、	、	、	、	、	常用末現在高 種類	枚數	金額

供四　供託以上ニ非ノ債權ニ付テハ第二十八項第一ノ三ニ準ス
供託シタル金額中國以外ノ債權ニ付テハ第二十八項第一ノ二ニ準ス
國債及有價證券ノ種類金額左ノ如シ

何公債	國	種類	券面總額	價額		總額
				單價	價	
			圓	圓		圓

二　本支店合併貸借對照表作成ニ當リ本店及各支店間並ニ各支店相互間ニ於ケル勘定中未達ノ爲期末ニ於テ整理ヲ了セザルモノアルトキハ之ヲ調査シ其ノ性質ニ從ヒ相當科目ニテ整理記載スベシ若シ本表作成前ニ之ヲ調査スルコトヲ得ザリシモノアルトキハ未達勘定ノ科目ヲ以テ之ヲ記載スベシ尙本支店別貸借對照表ノ勘定ノ各合計金額ニシテ未達ノ爲本支店合併貸借對照表ノ各當該勘定ノ金額ニ符合セザルモノアルトキハ其ノ差額及整理ノ結果ヲ說明シタル書面（各店間勘定差額說明書）ヲ作成シ之ヲ本店貸借對照表ニ添附スベシ

三　總括科目及其ノ金額ハ「ゴシック」式活字若ハ大型ノ文字ヲ用フル等識別シ易キ方法ニ依リ之ヲ記載スベシ

三　第何期昭和　年自　月　日至　月　日損益計算書

株式會社何貯蓄銀行

利益金額	計	損失金額	計
國債利息		普通貯金利息	
地方債利息		利息支拂備金繰入	
社債利息		給付補填備金繰入	
株式配當金		定期預金利息	
滿洲國有價證券利息及配當金		其ノ他ノ利息	
貸付金利息		手數料	
預ケ金其ノ他ノ利息		何賣買損	
手數料		何貸金銷却	
何賣買益		何價額銷却	
何償還益		土地建物貸借料	
償却債權取立益		稅金	
、、、		行員恩給及一時給與金	
、、、		給料	
未拂利息其ノ他戻入		當手數料	
計		旅費	
商期繰越金		營繕費	
何積立金戻入		、、、	
		、、、	
		未經過利益ノ戻入	
		計	
		當期利益金	
		（內當期純益金）	
合計		合計	

備考　本計算書ニハ本店及各支店間並ニ各支店相互間ニ於ケル勘定相互ノ合成ノ方法ヲ記載スベシ

四　第何期昭和　年自　月　日至　月　日準備金及利益ノ配當ニ關スル書面

株式會社何貯蓄銀行

當期純益金　何圓

前期繰越金　何圓

何積立金戻入　何圓

合計當期利益金　何圓

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

法定準備金　何圓

何準備金　何圓

何積立金　何圓

何基金　何圓

賞與金　何圓

配當金（一株ニ付何圓）　何圓

後期繰越金　何圓

（監査書雛形）

監査書（昭和　年第何季　自　月　日至　月　日）

何道何郡何地

株式會社何貯蓄銀行

監査役　氏名印

、、、

、、、

昭和　年　月　日作成

昭和　年　月　日備付

（本書ニハ監査役全員署名スベシ）

（監査書ハ毎年一月ヨリ三月迄ヲ第一季、四月ヨリ六月迄ヲ第二季、七月ヨリ九月迄ヲ第三季、十月ヨリ十二月迄ヲ第四季トス）

（本書ニハ各季末現在ノ日計表ヲ添附スベシ）

第一　總況

（本項ニハ銀行ノ業務及財產ノ狀況ニ付當時調査シタル結果ノ概要ヲ記載スベシ但シ第二季及第四季ノ監査書ニハ各營業年度ノ決算ニ關スル調査ノ結果ヲモ記載スベシ）

第二　調査表

（調査表ハ左記樣式ニ依リ各別表トスベシ）

調在現日　昭和　年第何季末　月　日

甲　新舊役員及此等ノ關係ニ先ダツ債權ニ對スル債務者

行銀蓄貯何ノ式株會社　　甲號表

備考	債務者（借）（主）名又ハ商號	職業	其ノ有債權ニ付券面金額又ハ保證金額	不動產抵當金	貨物ニ對スル預金	積金ニ對スル定期貯金	保證金額	擔保ノ價額	擔保ノ同上ニ付不足金額	擔保ノ種類	債務ノ保證又ハ裏書	間接ニ顯著ナル大ノ當於テ減	摘要
			圓	圓	圓	圓	圓	圓			圓		
	計												

備考

（一）　支店ヲ有スル銀行ニ在リテハ本支店分ヲ合算シテ記載スベシ以下各號諸表ニ付亦同シ

（二）　新舊役員トハ現任取締役、監査役及支配人並ニ退任後五年ヲ經過セザル取締役、監査役及支配人ヲ指稱シ此等ノ關係先トハ其ノ家族、親族、使用人又ハ關係會社等ヲ指稱ス

（三）　本表ニハ債務者（借主）毎ニ各口ヲ合算シタルモノヲ記載スベシ

（四）　債務者（借主）シテ銀行ニ對シ預金ヲ有スルモノアルトキハ備考欄ニ之ガ種類及金額ヲ記載スベシ

表細明金付貸保證券擔價有他ノ其債國

行銀蓄貯何ノ式株會社　　一ノ表附屬甲號

在現日　昭和　年第何季末　月　日

備考	債務者（借）（主）名又ハ商號	初付日ノ貸年月	辨濟期日	初當付高	貸現付高	利合割息	擔保物 種類	數量	單價	價額	監查役認氏名	間接ニ顯著ナル大ノ當於テ減	承認
				圓	圓					圓			
	計												

備考

（一）　本表ハ各口毎ニ之ヲ記載シ同一債務者ニ屬スルモノハ同一場所ニ列記スベシ

（二）　擔保物ノ種類欄ニハ有價證券ノ銘柄ヲ揭ゲ其ノ價額ヲ揭ゲ不動產ニ付テハ其ノ種類ヲ揭ゲスベシ

表細明金付貸當抵產動不

行銀蓄貯何ノ式株會社　　二ノ表附屬甲號

在現日　昭和　年第何季末　月　日

備考	債務者（借）（主）名又ハ商號	初付日ノ貸年月	辨濟期日	初當付高	貸現付高	利合割息	抵當物 種類	數量	單價	價額	監查役認氏名	間接ニ顯著ナル大ノ當於テ減	承認
				圓	圓					圓			
	計												

備考

ズ準ニ之他ノ其ヲ揭ヲ價時ノ當坪ハ又段ハ價單ヲ目地ノ其ハテ付ニ地土ハ類種欄ノ物當抵

乙號附屬表ノ一　　擔保貸付金（不良ト認ムル分）明細調

昭和　年第何季末　月　日現在　　株式会社何貯蓄銀行

（本表以下各表ハ甲號附屬各表ノ例ニ準ジテ作成シ備考欄ノ前ニ回收不能見込額（乙號表第一ニ相當スルモノ）及回收困難額（乙號表第二ニ相當スルモノ）ニ關スル欄ヲ設ケ該當事項ヲ明細ニ記載スベシ）

乙號附屬表ノ二　　不動産抵當貸付金（不良ト認ムル分）明細調

昭和　年第何季末　月　日現在　　株式会社何貯蓄銀行

乙號附屬表ノ三　　預金者ニ對スル貸付金（不良ト認ムル分）明細調

昭和　年第何季末　月　日現在　　株式会社何貯蓄銀行

乙號附屬表ノ四　　定期積金者ニ對スル貸付金（不良ト認ムル分）明細調

昭和　年第何季末　月　日現在　　株式会社何貯蓄銀行

（毎月ノ營業報告雛形）

昭和何年何月分　營業報告書

昭和何年何月末現在

株式会社何貯蓄銀行印

摘要	負債（貸方）殘高	負債（貸方）金高	摘要	資産（借方）殘高	資産（借方）金高
		圓			圓
株主勘定			株主資本金		
法定積立金			拂込未濟資本金		
何準備積立金					
何基金積立金					
前期損益勘定					
有價證券勘定					
國債其ノ他有價證券					
地方債					
株式社債					
滿洲國有價證券					
貸付金勘定					
國債其ノ他有價證券擔保貸付金					
不動産抵當貸付金					
預金者ニ對スル貸付金					
定期積金者ニ對スル貸付金					
預ケ金勘定					
預ケ金勘定					
郵便貯金勘定					
預金積金勘定					
普通貯金勘定					
據置貯金勘定					
定期積金勘定					
當座預金					
特別當座預金					
通知預金					
銀行引受手形					

甲號附屬表ノ三　　預金者ニ對スル貸付金明細表

昭和　年第何季末　月　日現在　　株式会社何貯蓄銀行

債務者（借主）又ハ商號	氏名	職業	當初貸付年月日	辨濟期日	當初貸付高	現貸付高	利息割合	預金現在高 通常貯金	預金現在高 据置貯金	預金現在高 ヽヽヽヽ	預金現在高 合計	當季末ニ於ケル減ノ大要	當季末ニ於ケル減ノ大要	備考
					圓	圓		圓	圓	圓	圓			
計														

甲號附屬表ノ四　　定期積金者ニ對スル貸付金明細表

昭和　年第何季末　月　日現在　　株式会社何貯蓄銀行

債務者（借主）又ハ商號	氏名	職業	當初貸付年月日	辨濟期日	當初貸付高	現貸付高	利息割合	給付契約高	積金受入濟高 貸付當時ノ額	積金受入濟高 現在高	擔保 種類	擔保 數量	擔保 單價	擔保 價額	保證人 氏名	保證人 職業	保證人 債務者トノ關係	當季末ニ於ケル減ノ大要	當季末ニ於ケル減ノ大要	備考
					圓	圓		圓	圓	圓				圓						
計																				

備考

擔保物ノ欄種類又ハ單價ノ欄ニ付テハ甲號附屬表ノ一又ハ二ノ備考ヲ參照スベシ

乙　不良ト認ムル債權調

乙號表　　昭和　年第何季末　月　日現在　　株式会社何貯蓄銀行

（第一）　債權回收不能見込ノ分

債務者（借主）	氏名	職業	國債其ノ他有價證券擔保貸付金 現在高	國債其ノ他有價證券擔保貸付金 回收不能見込額	不動産抵當貸付金 現在高	不動産抵當貸付金 回收不能見込額	預金者ニ對スル貸付金 現在高	預金者ニ對スル貸付金 回收不能見込額	定期積金者ニ對スル貸付金 現在高	定期積金者ニ對スル貸付金 回收不能見込額	ヽヽヽヽ 現在高	ヽヽヽヽ 回收不能見込額	合計 現在高	合計 回收不能見込額	當季末ニ於ケル減ノ大要	備考
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		
計																

（第二）　債權回收困難分（回收上特ニ手數費用又ハ年月ヲ要スルモノ）

債務者（借主）	氏名	職業	國債其ノ他有價證券擔保貸付金 現在高	國債其ノ他有價證券擔保貸付金 回收困難額	不動産抵當貸付金 現在高	不動産抵當貸付金 回收困難額	預金者ニ對スル貸付金 現在高	預金者ニ對スル貸付金 回收困難額	定期積金者ニ對スル貸付金 現在高	定期積金者ニ對スル貸付金 回收困難額	ヽヽヽヽ 現在高	ヽヽヽヽ 回收困難額	合計 現在高	合計 回收困難額	當季末ニ於ケル減ノ大要	備考
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓		
計																

備考

一　本表ニハ各債權ニ付其ノ期限ノ到來セルト否トニ拘ラズ債務者、保證人ノ資産信用、擔保物ノ現狀ヲ斟酌シ嚴正ニ査定シテ回收不能見込額又ハ回收困難額ヲ記載スベシ

二　本表ニハ債務者毎ニ各口ヲ合算シタルモノヲ記載スベシ

六　五　四　三　二　一

●勅令第百号銀行条例

銀行ノ免許ヲ受ケントスル者ハ資本金ヲ定メ発起人ニ於テ其ノ全額ヲ引受ケ又ハ他ニ引受人ヲ定メ其ノ払込ヲ為サシムヘシ

銀行ノ資本金ハ一万円以上ニ限ル

銀行ハ資本金ノ四分ノ一以上ヲ払込ミタル後ニ非サレハ営業ヲ開始スルコトヲ得ス

銀行ハ資本金ノ払込ヲ為サシメタル後ニ非サレハ其ノ設立ノ登記ヲ為スコトヲ得ス

銀行ハ其ノ設立ノ登記ヲ為スマテハ株券ヲ発行スルコトヲ得ス

銀行ハ其ノ設立ノ登記ヲ為スマテハ営業ヲ開始スル

第三之組合ハ其ノ組合員ノ受ケ得ヘキ利益ヲ平等ニ分配スルヲ目的トスルモノニシテ其ノ組合員ハ組合ノ事業ニ付キ無限ノ責任ヲ負フモノトス

第三ノ組合ハ組合員ノ出資ニ依リ其ノ資本ヲ造成シ組合員ノ事業ニ必要ナル物資ヲ供給シ又ハ組合員ノ生産シタル物資ヲ販売スルヲ以テ其ノ目的トス

第三ノ組合ハ組合員ノ貯蓄ヲ奨励シ組合員ニ対シ低利ニテ資金ヲ貸付ケ又ハ組合員ノ為メニ有利ニ貯蓄ヲ為スノ便ヲ図ルヲ以テ其ノ目的トス

第三ノ組合ハ組合員ノ為メニ共同施設ヲ為シ又ハ組合員ノ為メニ物資ヲ購入シ若クハ組合員ノ生産シタル物資ヲ販売スルヲ以テ其ノ目的トス

第三ノ組合ハ組合員ノ為メニ保険ヲ為スヲ以テ其ノ目的トス

第三ノ組合ハ組合員ノ為メニ信用ヲ供与スルヲ以テ其ノ目的トス

第三ノ組合ハ組合員ノ為メニ信用ヲ供与シ又ハ組合員ノ為メニ保険ヲ為ス

第九十五條　左ノ場合ニ於テハ金融組合ノ組合長、理事、副理事、監事又ハ清算人ヲ五人以上五百人以下ノ過料ニ處ス

一　監督官廳ノ認可ヲ受ケヘキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二　登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

三　官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

四　第九條乃至第十一條、第十八條、第二十一條第二項、第二十九條第二項、第三十九條、第五十條ノ二、第五十三條、第五十四條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

第四十六條第一項若ハ第四十九條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ第四十九條第一項若ハ第四十九條第一項ニ掲ケタル書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス、不正ノ記載ヲ爲シ若ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ閲覽セシメサルトキ

第四十七條、第六十五條又ハ第八十四條第二項ノ規定スル報告ヲ爲サス又ハ書類ヲ提出セサルトキ

公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

清算ノ場合ニ於テ第八十一條乃至第八十三條、民法第七十九條若ハ第八十一條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ債權申出期間滿了前ニ債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シタルトキ

監督官廳ノ檢査ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタルトキ

本令ニ基キテ發スル命令又ハ處分ニ從ハサルトキ

第九十六條　非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ定ムル過料ニ處ス

本令施行ノ際現ニ在ル清算人ニ對スル過料ノ處分ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則

本令ハ昭和四年四月一日ヨリ施行ス

第九十七條　本令ニ依リ設立シタル地方金融組合ハ本令ニ依リ設立シタル法人ト看做ス

前項ノ地方金融組合ハ本令施行後三月以内ニ定款ヲ改正シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第十八條及第十九條ノ規定ニ準シ出資ノ拂込及登記ノ手續ヲ爲スヘシ

附　則（大正七年六月制令第十三號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正七年九月總令第百十七號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

附　則（大正七年六月制令第十三號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正七年九月總令第百十七號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ在ル地方金融組合ハ本令ニ依ル金融組合ト看做ス

附　則（昭和三年十二月制令第八號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和四年五月總令第四十三號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行）

附　則（昭和四年四月制令第四號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和四年四月總令第三十七號ヲ以テ同年五月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ組合員ニ貸付ケル資金ノ爲リテ解散シタルトキハ登記所ハ其ノ嘱託ニ因リテ登記ヲ爲スヘシ

第九十二條　金融組合ニ關シ登記ヲ爲スヘキ事項ヲ本令施行後三月内ニ第二十條第一項ノ規定ニ準シ登記スヘシ

本令施行ノ際現ニ組合員ノ有スル出資口數カ百口ヲ超ユル場合ニ於テハ其ノ百口ヲ超ユル部分ニ付テハ第二十三條第二項ノ規定ヲ適用セス

本令施行前金融組合ノ爲シタル契約ニシテ本令ニ依リ金融組合ノ爲スコトヲ得サル業務ニ關スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍ホ其ノ契約ニ關スル業務ニ限リ之ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ在職スル理事ニシテ總會ニ於テ選任セラレタルモノハ第三十一條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督之ヲ任命シタルモノト看做ス

附　則（昭和六年六月制令第十二號）

本令ハ昭和六年六月一日ヨリ施行ス

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和六年九月總令第百十二號ヲ以テ同年十月一日ヨリ施行）

附　則（昭和八年八月制令第八號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年八月總令第百十二號ヲ以テ同年八月三十一日ヨリ施行）

金融組合聯合會所屬ノ組合又ハ法人ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ朝鮮金融組合聯合會成立ノ日ニ之ヲ解散ス

●金融組合業務監督規程

昭和四年四月
總令第三十八號

改正　昭和四年九月第八二號、五年八月第七三號、五年一二月第八八號、六年一〇月一三號、七年一二月第一八號、八年八月第一三號、一〇年一二月第一二號、一二年四月第六〇號

大正三年朝鮮總督府令第百十五號金融組合業務監督規程左ノ通改正ス

金融組合業務監督規程

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ組合ト稱スルハ金融組合、都市組合ト稱スルハ金融組合令第五條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ手形ノ割引ヲ爲ス金融組合、村落組合ト稱スルハ其ノ他ノ金融組合、聯合會ト稱スルハ朝鮮金融組合聯合會ヲ謂フ

第二條　組合カ其ノ業務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

組合設立ニ關スル費用ハ組合成立ノ後組合ヲシテ支辨スヘシ

第三條　組合カ從タル事務所ヲ設置セントスルトキハ其ノ名稱、所在地、區域及業務ノ種類ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ之ヲ變更シ又ハ事務所ヲ廢止セントスルトキ亦同シ

前項ノ事務所ニ於テ業務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第四條　組合ノ業務時間ハ四月一日ヨリ十一月三十日迄ハ午前九時ヨリ午後四時迄、十二月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ハ午前十

時ヨリ午後四時迄トス

組合ハ道知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ時間ヲ變更スルコトヲ得

第五條　組合ノ各事務所ノ業務ハ一月一日、一月二日、五月三十日、十月一日、祭日、祝日及日曜日並ニ各事務所ノ所在地ニ於ケル定例ノ休日ニ之ヲ休止ス但シ村落組合ニ在リテハ一月一日、五月三十日、紀元節、天長節及明治節ヲ除クノ外其ノ事務所ノ所在地ニ於ケル市場開設日ニ相當スルトキハ業務ヲ休止スルコトヲ得

前項ノ外組合休業ノ必要アルトキハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

第六條　組合ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條　金融組合令第五十三條ノ三ノ規定ニ依ル管理ハ主タル事務所ニ於テ之ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テ預ケ金又ハ有價證券ノ保護預ケヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ道知事ニ屆出ツヘシ法定ノ最低管理金額ヲ超過スル部分ヲ引出シタルトキ亦同シ

超過スル部分ニ付テハ有價證券ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第八條　組合カ業務、給與、服務、身元保證及懲戒ニ關スル諸規則ヲ制定セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

前項ノ諸規則ニシテ朝鮮總督又ハ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケ道知事ノ定ムル準則ニ依リ制定又ハ變更スルモノハ認可ヲ受ケルコトヲ要セス

前項ノ規定ニ依リ諸規則ヲ制定又ハ變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第九條　組合ハ毎事業年度ニ於ケル資金ノ運轉其ノ他業務上ノ計畫ヲ定メ年度始迄ニ道知事ニ屆出ツヘシ

第十條　組合ハ毎事業年度ノ經費豫算ヲ定メ年度始迄ニ道知事ノ認可ヲ受クヘシ豫算ヲ追加更正セントスルトキ亦同シ

豫算ニ定メタル各項ノ金額ノ彼是流用スルコトヲ得ス

左ノ種類ノ費目ニハ道知事ノ承認ヲ經ルニ非ラレハ其ノ費目以外ノ費目ノ金額ヲ流用スルコトヲ得ス

一　事務員ノ給料及手當

二　消耗品費

三　會議、接待及寄附ニ要スル經費

四　第十一條左ノ場合ニ於テハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ

一　創　除

二　業務用土地、建物ヲ取得若ハ賣却又ハ業務用建物ヲ新築、改築、增築若ハ移築セントスルトキ

三　國債證券、地方債證券其ノ他ノ有價證券ヲ買入レ又ハ賣却セントスルトキ

四　預金及貸付金ノ利子歩合、定期積金ノ掛引歩合ヲ定メ又ハ變更セントスルトキ

五　法定準備金以外ノ積立金ヲ損失ノ補塡以外ノ用途ニ使用セントスルトキ

六　財産目錄ニ掲記シタル財産ノ價額ヲ增加セントスルトキ

道知事ハ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケタル標準ノ範圍内ニ於テ前項第四號ノ利率又ハ利子若ハ割引ノ歩合ヲ認可スヘシ

道知事ハ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケ本令ニ定ムルモノノ外必要アリト認ムル事項ニ付組合ノ爲シテ其ノ認可又ハ承認ヲ受ケシムルコトヲ得

第十二條　組合カ總代會ヲ設ケントスルトキハ定款ニ總代ノ員數、任期及選任ニ關スル規定ヲ設クヘシ

第十三條　理事及副理事ノ給料及手當ハ朝鮮總督ノ指定ヲ受ケサルヘカラス

組合長、監事及評議員ハ定款ノ規定又ハ總會若ハ總代會ノ決議ニ依リ非ラレハ報酬ヲ受クルコトヲ得ス

第十四條　總會又ハ總代會ヲ開カントスルトキハ開會十日前ニ其ノ旨ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第十五條　組合ハ第一號樣式ニ依リ毎月實際報告表ヲ作成シ翌月五日迄ニ道知事ニ提出スヘシ

第十六條　財産目錄、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ハ第二號樣式ニ依リ作成スヘシ

第十七條　組合ノ公告ハ所轄道廳ノ發行スル道報及組合事務所ニ於ケル掲示場ニ之ヲ爲スヘシ

第十八條　組合ノ監事ハ毎年二回以上組合ノ財産及業務執行ノ狀況ヲ監査シ其ノ結果ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第十九條　出資一口ノ金額減少ノ認可申請書及總會ノ決議ニ因ル解散ノ認可申請書ニハ財産目錄及貸借對照表ヲ添附スヘシ

第二十條　合併ノ認可申請書ニハ合併契約書、財産目錄、貸借對照表及合併後存續スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル組合ノ定款ヲ添附スヘシ

第二十一條　組合カ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第二十二條　組合ノ清算人ハ金融組合令第八十一條ノ規定ニ依リ總會ノ承認ヲ得タルトキハ財産目錄及貸借對照表ヲ朝鮮總督ニ提出スヘシ

清算人ハ每月清算事務報告書及貸借對照表ヲ作成シ翌月十日迄ニ朝鮮總督ニ提出スヘシ

第二十三條　道知事ハ金融組合令第六十六條又ハ第六十七條ノ規定ニ依リ命令又ハ處分ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第二十四條　金融組合令又ハ本令ニ依リ朝鮮總督又ハ道知事ニ提出スル書類ニシテ總會若ハ總代會又ハ評議員會ノ決議ヲ經ヘキ事項ニ係ルモノニハ其決議錄ノ寫ヲ添附スヘシ

前項ノ書類ハ之ヲ提出スル組合ノ主タル事務所ノ所在地ヲ業務區域トスル聯合會ノ從タル事務所ヲ經由スヘシ

第二十五條　組合ハ新ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徴シ又ハ新ニ出資口數ヲ增加スル者ヨリ增口金ヲ徴スルコトヲ得ス

第二十六條　損失ノ補塡ハ先ツ法定準備金以外ノ積立金ヲ以テシ次ニ法定準備金ヲ以テスヘシ

第二十七條　組合カ金融組合令第五十三條ノ二第二號ノ規定ニ依リ剩餘與其ノ他ノ寄附ヲ受ケタルトキハ其ノ財産ノ之ヲ法定準備金ニ組入ルヘシ缺損金ノ填補ニ對シ其ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲ササルトキ亦同シ

第二十八條　每事業年度ニ於ケル損益計算上未拂利子及未收利子ハ本令ニ別段ノ定ヲ爲スモノノ外左ノ二號ニ依リ之ヲ處理スヘシ

一　定期預金及借入金ノ未拂利子ニシテ其ノ年度ノ負擔ニ屬スヘキ額ハ之ヲ支出ス

二　未收利子ハ收入ニ立ツルコトヲ得ス但シ預ケ金及所有有價證券ノ利子ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二章　貸付及手形割引

第二十九條　都市組合ニ在リテハ一組合員ニ對スル貸付及手形割引ノ總額ハ千圓ヲ超ユルコトヲ得ス（以下之ヲ準用ス）但シ不動產、動產、有價證券ヲ擔保トスルトキハ總額千圓ヲ超ユル拂戻ニ付期限ノ定アル預金證書又ハ定期積金證書ヲ擔保トスルトキハ其ノ預金額又ハ積金受入額ヲ限度トシ之ヲ爲スコトヲ得（以下之ヲ擔保貸付ト稱ス）

村落組合ニ在リテハ一組合員ニ對スル貸付ノ總額ハ二百圓ヲ超ユルコトヲ得ス（以下之ヲ無擔保貸付ト稱ス）但シ不動產、動產、有價證券ヲ擔保トスルトキハ總額千圓迄ト拂戻ニ付期限ノ定アル預金證書又ハ定期積金證書ヲ擔保トスルトキハ其ノ預金額又ハ積金受入額ヲ限度トシ之ヲ爲スコトヲ得（以下之ヲ擔保貸付ト稱ス）

組合員カ預產契ヲ以テスル貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ預產契ニ對スル貸付及手形割引ノ總額ハ三十圓ニ其ノ契約ノ數ヲ乘シタル額迄トシ但シ特別ノ事由アルトキハ道知事ノ認可ヲ受ケ此ノ制限ヲ超ユルコトヲ得

（第一號樣式）

毎月貸借報告表

昭和　年　月　日

組合長

理事

何　金融組合

貸借（借方）				摘要	貸借（貸方）			
金額	殘高	殘高	金額		金額	殘高	殘高	金額
円			円	組合員勘定	円			円
				出資金				
				非出資組合借入金				

借入金勘定	
（特別借入金）	
無利子借入金	
特別低利借入金	
農事改良資金長期借入金	
何資金長期借入金	
農事改良資金短期借入金	
何資金短期借入金	
（普通借入金）	
普通長期借入金	
普通短期借入金	
當座借越	
預金及積金勘定	
（組合員預金及定期積金）	
定期預金	
据置預金	
貯蓄預金	
當座預金	
定期積金	
（非組合員預金及定期積金）	
政府下付基本金	
法定準備金	
何積立金	
配當金	
前年度繰越金	
前年度損益金	
借入金勘定	
（特別借入金）	
無利子借入金	
特別低利借入金	
農事改良資金長期借入金	
何資金長期借入金	
農事改良資金短期借入金	
何資金短期借入金	
（普通借入金）	
普通長期借入金	
普通短期借入金	
當座借越	
預金及積金勘定	
（組合員預金及定期積金）	
定期預金	
据置預金	
貯蓄預金	
當座預金	
定期積金	
（非組合員預金及定期積金）	

非組合員定期預金
非組合員何預金
非組合員定期積金
身元保證金勘定
職員身元保證金
供託金勘定
供託金
貸出金勘定
（特別貸付金）
農事改良資金長期貸付金
何資金長期貸付金
農事改良資金短期貸付金
何資金短期貸付金
（普通貸付金）
長期擔保貸付金
長期無擔保貸付金
短期擔保貸付金
短期保證貸付金
擔保手形貸付金
無擔保手形貸付金
擔保當座貸越
保證當座貸越
（割引手形）
擔保附割引手形
無擔保割引手形
銀行及他組合勘定

組合員ノ部

區別	當月末現在員數	本月增加員數	本月減少員數	本月末現在員數
內地人				
朝鮮人				
計				

（注意）本表科目ニシテ必要ナキモノハ之ヲ省キ不足スルモノハ追加スルモノトス

組合員ノ部

區別	當月末現在員數	本月增加員數	本月減少員數	本月末現在員數
內地人				
朝鮮人				
計				

（注意）本表科目ニシテ必要ナキモノハ之ヲ省キ不足スルモノハ追加スルモノトス

為替貸付金
取立金
振込金
預ケ金勘定
特別預ケ金
定期預ケ金
特別當座預ケ金
當座預ケ金
郵便貯金
振替貯金
聯合會勘定
聯合會出資金
聯合會拂込未濟出資金
損益整理勘定
給付補塡備金
據置預金其ノ他ノ未拂利息
預ケ金其ノ他ノ未收利息
未決算勘定
假受金
假拂金
損益勘定
收入利子
收入割引料
收入手數料
保管料
鑑定料

聯合會出資配當金
雜給
事務補助費
支拂利息
給付補塡備金繰入
再割引歩合
支拂手數料
給料及手當
旅費
事務費
營繕費
當座貸金額超過額
所有物價額增減
雜損
所有物勘定
土地
建物
什器
有價證券
金錢勘定
金錢
計

（第二號樣式）

（甲）第何期末（昭和　年三月末日現在）財産目錄

資産

種類	摘要	金額	圓	
拂込未濟出資金	組合員何名何口			
（特別貸付金）		（		）
農事改良資金長期貸付金	證書何通			
何資金長期貸付金	同何通			
農事改良資金短期貸付金	證書何通			
何資金短期貸付金	手形證書何通 何通 何通			
（普通貸付金）		（		）
長期擔保貸付金	證書何通			
長期無擔保貸付金	同何通			
短期擔保貸付金	同何通			
短期保證貸付金	同何通			
擔保手形貸付金	約束手形何口 約束手形何口			
無擔保手形貸付金	約束手形何口 約束手形何口			
擔保當座貸越	何口			
保證當座貸越	何口			
（割引手形）		（		）
擔保附割引手形	約束手形何口			
無擔保割引手形	約束手形何口			
銀行何口				

負債

特別低利借入金	無利子借入金	特別借入金	配當金	何種積立金	法定準備金	政府下付諸税金	出資金	固定資産	摘要	金額
同	募令令	(一)	何口			何口	組合員何名何口		綴	
	何口	(二)							計	
		(三)								

(乙) 第何期末(前期)三月末日現在貸借対照表

資産	金額	負債	金額
未拂込出資金	圓	出資金	圓
預ケ金及組合員ニ対スル貸付金		借入金	
有価証券		預リ金	
土地建物及什器		積立金	
現金		当期利益金	
本年度剰余金		本年度剰余金	
計		計	

注意 「損失金其ノ他ノ未払利息」ノ外未経過利子割引料等ノ未経過額ヲ本年度ニ経過セシムヘキハ「未経過利子割引料其ノ他ノ一件ニ付キ設ケテ之ヲ掲ケヘシ貸借対照表亦之ニ準ス

(甲) 第何期末(前期)三月末日現在貸借対照表

資産	金額	負債	金額
未収入金		組合員ノ預金	
有価証券		借入金	
土地建物及什器		積立金	
現金		当期利益金	
本年度剰余金		本年度剰余金	
計		計	

(注意) 地方別ハ村落組合ハ役小行政区劃ニ依リ都市組合ハ町ノ区分ニ依リ之ヲ掲ケヘシ

(イ) 組合員ノ増減

地方別		何面	何面	何面	何面ノ内訳	計
現在年度末組数						
増加年度組数						
減少年度組数						
現在年度末組数						
世帯総数						
一組平均人員						

(注意) 一 本表ハ本年度中ニ於テ事務所ノ位置ニ変更アリタル場合ニ於テハ之ヲ記載スヘシ

二 支所(組合員ニ対スル事務所ノ外ニ設ケタル事務所)ヲ有スルトキハ之ニ準ス

三 第二項ニ掲ケタル事務所ノ位置ニ変更アリタル場合ニ於テハ事務所別ニ本年度中ノ変更ヲ記載スヘシ

(ロ) 第何期(自昭和年月日至昭和年月日)事業報告

第一項 事務所及区域

事務所別	事務所ノ位置	区域	備考
本所			
何支所			
、			

第二項 組合員

	綴	計	(内前年度繰越金)	本年度剰余金

第八項　積立金

第十七項　政府ノ下付並ニ寄金

第六項　出資

第五項　農業ノ兼作

第四項　穀令ノ規定ニ依リ設ケタル區域内ノ金融組合ニ關スル事項

第三項　非農業ノ設況

第二項　本年度ニ現在スル組合員ノ職業ニ依ル區分

第一項　組合員ノ家族ノ人數

第十一項　組合員ノ預金及定期積金ノ增減

第十二項　非組合員ノ預金及定期積金

職業別 / 種別	農業者		商工業者		水産業者		其ノ他ノ者		計	
	員数	金額	員数	金額	員数	金額	員数	金額	員数	金額
定期預金										
据置預金										
貯蓄預金										
定期積金										
當座預金										
計										

（注意）　掛替ヨリノ預金ハ「其ノ他ノ者」欄ニ含マシムベシ

第十三項　職員身元保證

身元保證金及代用有價證券ノ受拂

種別	前年度繰越高	本年度受入高	本年度拂出高	本年度末現在高 提供者員數	本年度末現在高 金額
身元保證金					
代用有價證券					
計					

（注意）　一　代用有價證券ニ付テハ其ノ代用價額ヲ記載スベシ

二　退職者ノ提供ニ係ルモノハ左傍ニ括弧内書スベシ

第十四項　供託

種別	前年度繰越高	本年度受入高	本年度拂出高	本年度末現在高	
				口數	金額
供託金					
供託有價證券					
計					

（注意）　供託有價證券ニ付テハ其ノ券面額ヲ記載スベシ

第十五項　貸出金

一　貸出金ノ増減

種別	年度繰越高		本年度貸出高	本年度回收高	本年度貸出金銷却高	本年度末現在高	
	口數	金額				口數	金額
擔保附							
無擔保							
計							

二　貸出金本年度末現在高ノ借主及割引依頼人ノ居住地及職業ニ依ル區分

職業別 / 地方別	農業者		商工業者		水産業者		其ノ他ノ者		殖産契		計	
	員數	金額	員數	金額	員數	金額	員數	金額	員數	金額	員數	金額
何面												
何面												
何面												
何面ノ内何箇里洞												
計												

三　貸出金本年度末現在高ノ借主及割引依頼人ノ居住地及職業ニ依ル區分

貸出種別 / 使途別	長期貸付		短期（證書及手形）貸付		當座貸越		割引手形		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
（農業資金）										
自作地購入										
農舍建設										
農業器具購入										
農業牛馬購入										
肥料購入										
農業勞銀支拂										
農業糧食購入										
養蠶										
、、										
農業ニ充テタル舊借ノ償還										
（商工業資金）										
唐紙設備										
計										

四　普通貸付金及割引手形本年度末現在高ノ貸出使途ニ依ル區分

商品仕入	
原料購入	
、、	
、、	
商工業ニ充テタル舊借ノ償還	
（水産業資金）	
漁業設備	
漁具購入	
漁業勞銀支拂	
漁業糧食購入	
、、	
、、	
水産業ニ充テタル舊借ノ償還	
（雜資金）	
住宅設備	
、、	
、、	
計	

五　各種貸出金本年度末現在高ノ貸出金額ノ大小ニ依ル區分

種別	千圓以上		五百圓以上		百圓以上		五十圓以上		五十圓未滿		一口當平均額
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	
特別											
普通											
計											

六　各種擔保貸出金本年度末現在高ノ擔保種別ニ依ル區分

貸出種別 / 擔保種別	長期貸付		短期（證書及手形）貸付		當座貸越		割引手形		計	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
不動産										

（特別貸付金）

種別	特別貸付金		普通貸出金		計	
	擔保附	無擔保	擔保附	無擔保	擔保附	無擔保
長期貸付						
短期貸付						

二　各種貸出金本年度末現在高ノ期間ノ長短及擔保ノ有無ニ依ル區分

種別	長期貸付				短期貸付			
	擔保附		無擔保		擔保附		無擔保	
	口數	金額	口數	金額	口數	金額	口數	金額
（特別貸付金）								
農事改良資金長期貸付金								
擔保附負債整理資金貸付金								
無擔保負債整理資金貸付金								
何資金長期貸付金								
農事改良資金短期貸付金								
何資金短期貸付金								
（普通貸付金）								
長期擔保貸付								
長期無擔保貸付								
短期擔保貸付								
短期無擔保貸付								
擔保附割引手形								
無擔保割引手形								
當座貸越								
擔保當座貸越								
（割引手形）								
擔保附割引手形								
無擔保割引手形								
計								

（注意）　特別貸付金中無擔保貸付金（保證貸付ヲ含ム）ハ左傍ニ括弧内書スベシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

三　本年度末現在代金取立受託手形内訳

計	、	、	、	、	種別	数	本年度末現在評価額	摘要
					単名		円	
					裏書		円	
					保証		円	
					同上		円	
					保管		円	
					其他		円	

二　手形代金ノ他取立金ノ受渡

計	、	、	、	、	種別	本年度受入高	本年度渡高	前年度繰越高
					口数			
					金額	円	円	円

一　銀行及他組合業ノ代理媒介

計	、	、	、	、	種別	本年度加高	本年度減少高	本年度末現在高
					口数			
					金額	円	円	円

（注意）
一　保険金額ノ内訳ハ保険金額ノ種類別ニ依リ之ヲ記載スヘシ
二　保険金額ノ種類別ニ依リ難キトキハ其ノ主タルモノニ依リ之ヲ記載スヘシ

三　本年度末現在貸付金未収利息

計	常座貸越	短期貸付	長期貸付	種別	貸付金額	未経過利息	摘要
				口数			
				金額	円	円	

二　本年度末現在貸付金

計	割引手形	常座貸越	短期貸付	長期貸付	特別貸付金	普通貸出金	短期貸付	長期貸付	特別貸付金	貸出命令別	貸付金種別	本年度末現在貸付金未収利息
										口数	日ノ期限ノ	
										金額	未経過利息	
										口数	金期限ノ	
										金額	未経過利息	
										口数	計	
										金額	計	

一　貸付金ノ内訳

計	、	、	、	、	種別	本年度末現在評価額	摘要
					単名	円	
					裏書	円	
					保証	円	
					同上	円	
					保管	円	
					其他	円	

二　本年度末現在預金（特別預金及郵便貯金ヲ除ク）ノ預入先ニ依ル分

計	何銀行	取引所	種別 / 預入先別	定期預ケ金	特別当座預ケ金	何預ケ金	計
			口数				
			金額	円	円	円	円

一　給付補塡金及未拂利息ノ交拂

計	種別	前年度繰越高	本年度受入高	本年度拂出高	本年度末現在高
		円	円	円	円

二　出資口数、出資拂込高

前年度末現在高		本年度拂込高			本年度末現在高	
出資口数	出資拂込高	現金拂込高	配当ヲ以テ拂込ミタル金高	計	出資口数	出資拂込高
口	円	円	円	円	口	円

一　預ケ金ノ拂戻

種別	前年度繰越高		本年度預入高	本年度引出高	本年度末現在高	
	口数	金額			口数	金額
特別預ケ金		円	円	円		円
定期預ケ金						
当座預ケ金						
郵便貯金						
振替貯金						
計						

（注意）
一　預ケ金中金融組合令第十三條ノ三ノ規定ニ依リ管理スヘキモノハ左ノ例ニ之ヲ掲ケヘシ

一 保管貨物ノ入出庫 第三十二項 倉庫貨物保管

種別		何			前年度繰越高			本年度預入高			本年度引出高			本年度末現在高		
					口数	金額		口数	金額		口数	金額		口数	金額	
計							四			四			四			四
	、															
	、															
	、															
	、															

二 假拂金

種別		前年度繰越高			本年度拂出高			本年度受入高			本年度末現在高		
		口数	金額		口数	金額		口数	金額		口数	金額	
計				四			四			四			四
、	公股退社持分合拂員戻三分利												
、													
、													
、													

三 假拂金

種別		前年度繰越高			本年度受入高			本年度拂出高			本年度末現在高		
		口数	金額		口数	金額		口数	金額		口数	金額	
計				四			四			四			四
、	公股退社持分合拂員戻三分利												
、													
、													
、													

第三十一項 未決算

種別		前年度繰越高			本年度受入高			本年度拂出高			本年度末現在高		
		口数	金額		口数	金額		口数	金額		口数	金額	
計				四			四			四			四
、	公股退社持分合拂員戻三分利												
、													
、													
、													

二 未収利息ノ受拂

種別		計	有価証券利息	定期預ケ金利息	何預ケ金利息	借入金利息	計	定期預金利息	現金利息
計									
、									
、									
、									
、									

二 本年度末現在業務用土地、建物及什器内譯

種別		計	什器	建物	土地	種別		土地、建物及什器ノ増減
事務所敷地	土地					繰前	迄年	高度
						取本	得年	高度
						減本	少年	高度
						翌本	期年	高度
						現本	在年	高度
種別	数量							
取得価額								
評価未現在額								
備考								

一 土地、建物及什器ノ増減

第二十三項 所有土地、建物及什器

種別		計	土地	建物	什器	種別		本年度末現在品内譯	前年度繰越高			本年度受入高			本年度引出高			本年度末現在高		
						数量	評価額		数量	評価額		数量	評価額		数量	評価額		数量	評価額	
計								四			四			四			四			四
、																				
、																				
、																				
、																				
種別						現本年在評価額														
数量																				
評価額																				
備考																				

二 本年度末現在流込ノ他ノ有価證券内譯

第二十五項 本年度損益計算

種別		計	何何社債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債
計					四		五		四		四		四		四		四		四		四
、																					
、																					
、																					
、																					
種別																					
数量																					
評価額																					
備考																					

三 本年度末現在流込ノ他ノ有価證券内譯

種別		計	何何社債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債	何何公債	国債
計					四		五		四		四		四		四		四		四		四
、																					
、																					
、																					
、																					
種別																					
数量																					
評価額																					
備考																					

（注意）有価證券中金融組合令第五十三條ノ三ノ規定ニ依リ管理スルモノハ左ノ三之ヲ拓ク

長ト爲ル

理事ハ會長ノ補佐シ定款ノ定ムル所ニ依リ會ノ業務ヲ分掌シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

從タル事務所ノ長タル理事ハ前項ノ外從タル事務所ノ業務ヲ關シ會ノ代表スル但シ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ權限ヲ制限ヲ加フルコトヲ妨ゲズ

監事ハ會ノ財産及業務執行ノ狀況ヲ監査ス

第七條　前條第四項但書ノ規定ニ依リ會員ノ之ヲ以テ準意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第八條　會長及理事ハ朝鮮總督之ヲ任命ス

監事ハ總會ニ於テ會員ノ代表者中ヨリ之ヲ選任ス

會長ノ任期ハ五年、理事ノ任期ハ三年、監事ノ任期ハ二年トス但シ監事ノ任期ハ付テハ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第九條　會長及理事ハ何等ノ名稱ヲ以テスルニ拘ラズ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十條　總會ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會員ノ代表者中ヨリ選出シタル議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十一條　定時總會ハ毎年一回定款ニ定ムル時期ニ於テ會長之ヲ招集ス

臨時總會ハ必要アルトキ會長之ヲ招集ス

第十二條　議員ハ總議員五分ノ一以上ノ同意ヲ得總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ會長ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ會長ハ二週間內ニ總會招集ノ手續ヲ爲スベシ

第一項ノ請求アリタル日ヨリ二週間內ニ正當ノ事由ナクシテ會長招集ノ手續ヲ爲サザルトキハ監事其ノ總會ヲ招集スベシ

第十三條　議員ノ議決權ハ平等トス

第十四條　監事ノ選任ハ總議員ノ半數以上出席シタル總會ニ於テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十五條　聯合會ハ左ノ業務ヲ行フモノトス

一　會員ニ必要ナル資金ノ貸付ヲ爲スコト

二　會員ノ對シ手形ノ割引ヲ爲スコト

三　會員ノ爲ニ爲替業務ヲ爲スコト

四　會員ヨリ預リ金ヲ爲スコト

五　會員ニ對シ業務上ノ指導ヲ爲スコト

六　會員組五ノ聯絡及業務上ノ便宜ヲ圖ルコト

七　會員ノ職員ノ教養其ノ他會員ノ共同ノ利益ヲ增進スル爲必要ナル業務ヲ爲スコト

聯合會ハ左ノ貯蓄銀行、信託會社又ハ公共團體其ノ他替利ヲ目的トセザル法人ヨリ預リ金ヲ爲スコトヲ得

第十六條　聯合會ハ本會ニ記載セザル業務ヲ行フコトヲ得ズ

朝鮮總督ハ必要ト認ムルトキハ聯合會ノ業務ヲ制限スルコトヲ得

第十七條　聯合會ハ左ノ方法ニ依ルノ外業務上ノ餘裕金ヲ使用スルコトヲ得ズ

一　朝鮮總督ノ指定シタル銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト

二　國債證券、地方債證券又ハ朝鮮總督ノ認可シタル有價證券ノ買入ヲ爲スコト

三　公共團體其ノ他替利ヲ目的トセザル法人ノ一時借入ニ對シ貸付ヲ爲スコト

第十八條　聯合會ハ本會ニ記載セザル業務及財產ノ狀況ヲ調査スルコトヲ得

第十九條　聯合會ハ拂込出資金額ノ十五倍ヲ限リ朝鮮金融債券ヲ發行スルコトヲ得但シ貸付金現在高及割引手形現在高ヲ超過スルコトヲ得ズ

朝鮮金融債券ノ發行ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二十條　朝鮮金融債券ハ拂込出資金額ノ十倍以上トシ無記名利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

第二十一條　聯合會ハ朝鮮金融債券借換ノ爲ニスル場合ニ於テ使用スル金融債券ヲ發行スルコトヲ得

一時第十九條ノ制限ニ依ラズ朝鮮金融債券前項ノ規定ニ依リ朝鮮金融債券ヲ發行シタルトキハ發行後一月內ニ其ノ發行券面金額ノ償還ヲ完了スル爲償還積立金ヲ設ケ毎決算期ニ於テ發行額ニ對スル割合ヲ以テ積立ツルコトヲ要ス

第二十二條　聯合會ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ラズシテ朝鮮金融債券ヲ發行スルコトヲ得

第二十三條　朝鮮金融債券ノ消滅時效ハ元金ニ在リテハ十五年、利子ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第二十四條　朝鮮金融債券ノ模造ニ關シテハ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第二十五條　會員ハ其ノ解散ニ因リ脫退ス會員ノ除名セラレタルトキ亦同シ

第二十六條　定款ノ變更ハ總議員ノ半數以上出席シタル總會ノ決議ヲ經朝鮮總督ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十七條　聯合會ハ朝鮮總督之ヲ監督ス

第二十八條　朝鮮總督ハ聯合會ニ對シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第二十九條　聯合會ガ本令、本令ニ基キテ發スル命令、本會ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スル虞アルトキハ朝鮮總督ハ總會ノ決議ヲ取消シ、會長若ハ理事ヲ解任シ又ハ監事ノ改選ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ朝鮮總督ハ聯合會ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第三十條　朝鮮總督ハ朝鮮金融組合聯合會監理官ヲ置キ聯合會ノ業務ヲ監視セシム

第三十一條　朝鮮金融組合聯合會監理官ハ總會其ノ他ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十二條　朝鮮總督ハ其ノ定ムル所ニ依リ本會ニ定ムル其ノ職權ノ一部ヲ道知事ニシテ行ハシムルコトヲ得

第三十三條　登記所ニ朝鮮金融組合聯合會登記簿ヲ備フ

第三十四條　金融組合會第三條、第十一條ノ三、第十六條、第二十條乃至第二十二條、第二十五條、第二十六條第一項第三項、第二十七條乃至第四十四條、第四十六條第一項、第三十七條乃至第四十三條、第四十五條ノ二、第四十七條、第四十九條、第五十條ノ二、第五十一條乃至第五十三條、第五十五條ノ二、第五十六條、第五十八條第一號、第五十九條乃至第六十三條、第六十八條第一號乃至第四號乃至第六號、第六十九條、第七十條、第七十一條乃至第八十六條、第八十九條、第九十條第一項及第九十一條乃至第百四十一條之ヲ準用ス但シ同會第四十六條、第四十七條及第四十八條第一項若ハ第二十一條第二項ノ規定又ハ第三十四條ニ於テ準用スル金融組合令第三十三條若ハ第七十五條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

五　第三十四條ニ於テ準用スル金融組合令第四十六條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ同項ニ掲ゲル書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ、不正ノ記載ヲ爲シ若ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ閱覽セシメザルトキ

六　第三十四條ニ於テ準用スル金融組合令第四十七條又ハ第八十四條第二項ニ規定

スル報告ヲ爲サズ又ハ書類ヲ提出セザルトキ

七　公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

八　第三十四條ニ於テ準用スル金融組合令第八十一條乃至第八十三條若ハ第八十五條ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ清算ノ場合ニ於テ債權申出期間滿了前ニ債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シタルトキ

九　本令ニ基キテ發スル命令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ從ハザルトキ

第三十六條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前條ノ過料ニ付之ヲ準用ス

第三十七條　聯合會ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ朝鮮金融組合聯合會ヲ用フルコトヲ禁ズ

前項ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

第三十八條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（當時四八年總令第七十八號ヲ以テ昭和八年八月一日ヨリ施行）

第三十九條　朝鮮總督ハ設立委員ヲ命シ朝鮮金融組合聯合會設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

設立委員ハ定款ヲ作リ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第四十條　設立委員ハ金融組合聯合會所屬ノ組合又ハ法人ニシテ本會設立ノ際現ニ存スルモノニ對シ出資口數ヲ割當ツベシ

前項ノ出資口數ハ金融組合聯合會ニ對スル前項ノ組合又ハ法人ノ拂込出資金及金融組合聯合會ガ金融組合第五十三條第一項ノ規定ニ依リ積立テタル準備金ニ對スル拂込ノ割合ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條　前條ノ割當ヲ終リタルトキハ設立委員ハ監事ヲ選任シ朝鮮金融組合聯合會設立ニ付朝鮮總督ノ許可ヲ申請スベシ

前項ノ申請書ニハ金融組合聯合會ノ最近ノ財產目錄及貸借對照表、所屬ノ組合又ハ法人ノ名簿並ニ其ノ組合又ハ法人ノ出資口數、拂込出資金額、金融組合令第五十三條第一項ノ規定ニ依リ積立テタル準備金ニ對スル持分及前條ノ規定ニ依リ割當テタル出資口數ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

第四十二條　前條第一項ノ許可アリタルトキハ朝鮮金融組合聯合會ハ成立ス

設立委員ハ朝鮮金融組合聯合會成立シタルトキハ直ニ其ノ事務ヲ朝鮮金融組合聯合會會長ニ引繼グベシ

第四十三條　朝鮮金融組合聯合會成立シタルトキハ金融組合聯合會ハ解散シ其ノ權利義務ハ朝鮮金融組合聯合會ニ於テ清算ヲ爲スコトヲ要セズ

第四十四條　朝鮮金融組合聯合會ニ對スル出資金ノ拂込ハ金融組合聯合會所屬ノ組合又ハ法人カ金融組合聯合會ニ拂込ミタル出資金及金融組合聯合會ガ金融組合令第五十三條第一項ノ規定ニ依リ積立テタル準備金ニ對スル組合又ハ法人ノ持分ヲ以テ之ニ充ツ

第四十五條　朝鮮金融組合聯合會ハ會員ノ貸借ニ關スル事務ヲ朝鮮金融組合聯合會ニ委託スルコトヲ得

第四十六條　朝鮮金融組合聯合會ハ朝鮮金融組合聯合會ニ對スル組合又ハ法人ノ持分ヲ以テ之ニ充ツ

第四十七條　朝鮮金融組合聯合會ハ朝鮮金融組合聯合會ニ對スル出資口數ヲ增加スル會員ヨリ增口金ヲ徵スルコトヲ得ズ

第四十八條　朝鮮金融組合聯合會ハ毎月一日ヨリ十一月三十日迄ハ午前九時ヨリ午後四時迄、十二月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ハ午前十時ヨリ午後四時迄ヲ以テ營業時間ト定ム但シ土曜日ニ限リ午後一時迄ノ短縮スルコトヲ得

聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ前項ノ時間ヲ變更スルコトヲ得

第四十九條　聯合會ノ各事務所ノ業務ハ一月一日、一月二日、五月三十日、十月一日、祭日、祝日及日曜日竝ニ各事務所ノ所在地ニ於ケル定例ノ休日ニ之ヲ休止ス

前項ノ外聯合會ハ休業ノ必要アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケベシ但シ從タル事務所ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ノ認可ヲ受ケベシ

第五十條　聯合會ハ毎年度ノ豫算ヲ定メ年度始迄ニ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ豫算ヲ追加更正セントスルトキ亦同シ

第五十一條　左ノ場合ニ於テハ聯合會ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケベシ

一　業務、給與、服務、身元保證、懲戒其ノ他ノ事項ニ關スル諸規則ヲ制定シ又ハ變更セントスルトキ

二　預リ金及貸付金ノ利子歩合、手形ノ割引歩合又ハ手數料ノ割合ヲ定メ又ハ變更セントスルトキ

三　賚金ノ借入ヲ爲サントスルトキ

第五十二條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケベシ

第五十三條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第五十四條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第五十五條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第五十六條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第五十七條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第五十八條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第五十九條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十一條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十二條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十三條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十四條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十五條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十六條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十七條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十八條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第六十九條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十一條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十二條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十三條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十四條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十五條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十六條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十七條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十八條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第七十九條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十一條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十二條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十三條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十四條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十五條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十六條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十七條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十八條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第八十九條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十一條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十二條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十三條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十四條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十五條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十六條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十七條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十八條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第九十九條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百一條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百二條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百三條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百四條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百五條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百六條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百七條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百八條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百九條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十一條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十二條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十三條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十四條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十五條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十六條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十七條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十八條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百十九條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利益金ヲ左ノ順序ニ從ヒ處分スベシ

一　法定積立金ノ積立

二　前年度ニ繰越シタル損失ノ補塡

三　第一號ノ積立ニ超過スル利益金ハ總會ノ決議ヲ經テ之ヲ處分スベシ

第百二十條　聯合會ハ毎事業年度ノ決算ニ付テハ其ノ利

ノ持分ノ全部又ハ一部ノ拂戻ヲ爲サザルトキハ其ノ金額ハ之ヲ法定準備金ニ組入ルベシ

第二十條　聯合會ハ毎月業務ノ狀況ヲ翌月十五日迄ニ朝鮮總督ニ報告スベシ

但シ從タル事務所ニ在リテハ其ノ業務ノ狀況ヲ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ニ報告スベシ

第二十一條　聯合會ハ總會、協議會、講習會其ノ要領ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第二十二條　聯合會ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ業務及財産ノ狀況ヲ調査シ其ノ結果ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

前項ノ調査ニ關シ必要アリト認ムルトキハ聯合會ヲシテ總會ニ從タル事務所ヲ有スル會員ノ業務及財産ノ狀況ヲ調査セシムルコトヲ得

第二十三條　聯合會ガ朝鮮總督ニ提出スル書類ニ在リテハ其ノ決議ヲ經ベキ事項ニ係ルモノニ在リテハ其ノ決議錄ノ寫ヲ添附スベシ

第二十四條　聯合會ガ朝鮮總督ニ提出スル書類ニ付テハ別ニ法令ニ定ムルモノノ外總督ノ指定スル書類ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條　聯合會ノ公告ハ朝鮮總督府官報及各事務所ニ於ケル揭示場ニ之ヲ爲スベシ

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

聯合會ガ其ノ業務ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

●朝鮮金融組合聯合會令第三條ノ規定ニ依ル産業ニ關スル法人指定

昭和八年八月總督府令第四百八號

朝鮮金融組合聯合會令第三條ノ規定ニ依ル産業ニ關スル法人ヲ左ノ通指定ス

一　朝鮮漁業組合及水産組合

●朝鮮金融組合聯合會令第十七條ノ規定ニ依ル指定銀行

昭和八年八月總督府令第四百九號

朝鮮金融組合聯合會令第十七條ノ規定ニ依リ朝鮮金融組合聯合會ノ爲替ヲ取組ム銀行ヲ左ノ通定ム

一　朝鮮銀行

一　株式會社朝鮮殖産銀行

●朝鮮金融債券規則

昭和八年八月總令第八十四號

朝鮮金融債券規則左ノ通定ム

朝鮮金融債券規則

第一條　朝鮮金融組合聯合會ノ朝鮮金融債券（以下單ニ金融債券ト稱ス）ノ發行ハ募集又ハ賣出ノ方法ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

第二條　朝鮮金融組合聯合會ガ金融債券ヲ發行セントスルトキハ認可申請書ニ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　名稱

二　金融債券ノ總額

三　各金融債券ノ金額

四　金融債券ノ利率

五　金融債券償還ノ方法及期限

六　數回ニ分チテ金融債券ノ拂込ヲ爲サシムルトキハ其ノ拂込ノ金額及時期

七　金融債券發行ノ價額又ハ其ノ最低價額

八　朝鮮金融組合聯合會ノ拂込ミタル出資ノ總額

九　最終ノ貸借對照表ニ依リ朝鮮金融組合聯合會ノ現存スル財産ノ額

十　前ニ金融債券ヲ發行シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額

第三條　朝鮮金融組合聯合會ハ前ニ募集シタル金融債券ノ總額ノ拂込前ト雖モ更ニ金融債券ヲ發行スルコトヲ得

第四條　金融債券ノ募集ニ應セントスル者ハ朝鮮金融債券申込證二通ニ其ノ引受ケベキ金融債券ノ數及住所ヲ記載シ之ニ署名又ハ記名捺印スベシ

朝鮮金融組合聯合會ノ會員及債權者ハ業務時間内何時ニテモ朝鮮金融債券原簿ヲ閱覽シ又ハ謄本ノ交付ヲ求ムルコトヲ得

第五條　金融債券ノ募集ヲ完了シタルトキハ聯合會長ハ遲滯ナク各金融債券ニ付其ノ全額又ハ第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

第六條　金融債券募集ノ委託ヲ受ケタル者ハ自己ノ名ヲ以テ朝鮮金融組合聯合會ノ爲ニ第四條第二項及前條ニ定ムル行爲ヲ爲スコトヲ得

第七條　金融債券ノ賣出ヲ爲サントスルトキハ聯合會長ノ左ニ揭ゲル事項ヲ公告スベシ

一　賣出期間

二　金融債券發行ノ價額

三　第二條第一號乃至第五號及第八號乃至第十號ニ揭ゲル事項

四　第十條ニ規定スル事項

第八條　賣出期間内ニ賣上ゲタル金融債券ノ總額ガ前條ノ規定ニ依リ公告シタル金融債券ノ總額ニ達セザルトキハ其ノ賣上總額ヲ以テ金融債券ノ總額ト

第九條　金融債券ノ總額ヲ超エテ拂込ミタル金額ヲ超過シ契約給付金額ヲ限度トスル貸付

四　拂込者ニ對シ既ニ拂込ミタル金額ヲ超エテ拂込ミタル金額ヲ限度トスル貸付

五　銀行若ハ金融組合ヘノ預ケ金、信託會社ヘノ金錢信託又ハ郵便貯金

前項ニ規定スル社債及株式ニ付テハ其ノ種類ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十條　無盡會社ハ未拂無盡給付金ノ總額ヲ現金、銀行若ハ金融組合ヘノ預ケ金、信託會社ヘノ金錢信託又ハ郵便貯金ニテ保有スルコトヲ要ス但シ拂込者ガ給付ヲ受クルコトヲ留保シタル金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條　無盡會社ハ左ノ方法ニ依ルノ外其ノ資金ヲ運用スルコトヲ得ズ

一　國債、地方債、社債又ハ株式ノ買入

二　國債其ノ他前號ニ揭ゲル有價證券又ハ不動産ヲ擔保トスル貸付

三　拂込者ニ對シ既ニ拂込ミタル金額ヲ限度トスル貸付

第十二條　無盡會社ハ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第十三條　無盡會社ハ毎事業年度毎ニ業務報告書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十四條　無盡會社ハ毎事業年度毎ニ朝鮮總督ノ定ムル樣式ニ依リ貸借對照表ヲ作成シ新聞紙ニ依リ之ヲ公告スベシ

第十五條　無盡會社ハ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ自己ノ計算ニテ其ノ經營スル無盡ニ加入スルコトヲ得ズ

第十六條　無盡會社ノ取締役、監督役、使用人及代理店主竝ニ法人タル代理店主ノ業務ニ關シ不正ノ行爲アリタル場合ニ於テ其ノ情ヲ知リテ之ヲ看過シタル者ハ朝鮮總督ニ於テ其ノ解職ヲ命ズルコトヲ得

第十七條　無盡會社ハ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第三十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第四十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第五十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第六十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第七十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第八十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第九十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百二十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百三十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百四十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百五十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百六十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百七十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百八十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十三條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十四條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十五條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十六條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十七條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十八條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第百九十九條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二百條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二百一條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ資本ノ總額ニ達スル迄ハ利益ノ配當ヲ爲サズ

第二百二條　無盡會社ハ毎事業年度ノ終ニ於テ其ノ

ヲ執行スル社員、取締役其ノ他代表者ハ何人ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ自己ノ計算ニ於テ其ノ會社ノ經營スル無盡ニ加入スルコトヲ得ズ

第十七條　無盡會社ノ當務ニ從事スル取締役又ハ支配人カ營利ヲ目的トスル他ノ業務ニ從事センントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十八條　無盡會社ノ合併ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十八條ノ二　無盡會社カ合併ノ決議ヲ爲シタル場合ニ於テ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第二項ノ規定ニ依リテ爲スベキ催告ハ掛金者ニ對シテハ之ヲ爲スコトヲ要セズ

第十九條　無盡會社ハ左ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

一　定款ヲ變更セントスルトキ

二　事業方法又ハ無盡契約款ヲ變更センントスルトキ

三　本店及支店以外ノ營業所又ハ代理店ヲ設置センントスルトキ

四　本店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ變更センントスルトキ

第二十條　朝鮮總督ハ何時ニテモ無盡會社ヲシテ其ノ業務及財産ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ書類帳簿ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十一條　朝鮮總督ハ何時ニテモ部下ノ官吏ニ命ジテ無盡會社ノ業務及財産ノ狀況ヲ檢査セシムルコトヲ得

第二十二條　朝鮮總督ハ無盡會社ノ業務若ハ財産ノ狀況ニ依リ又ハ掛金者ノ利益ヲ保護スル爲必要アリト認ムルトキハ事業方法若ハ無盡契約款ノ變更、業務ノ停止又ハ財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　無盡會社ヲ法令、定款若ハ朝鮮總督ノ命令ニ違反シ又ハ公益ヲ害スベキ行爲ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ業務ノ停止若ハ取締役、監査役ノ改任ヲ命ジ又ハ營業免許ヲ取消スコトヲ得

第二十四條　朝鮮總督ハ業務ノ停止ヲ命ゼラレタル無盡會社ニ對シ其ノ整理ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ營業ノ免許ヲ取消シ、清算スコトヲ得

第二十五條　無盡業ノ廢止又ハ無盡會社ノ解散ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十六條　無盡會社カ其ノ目的ヲ變更シ他ノ業務ヲ營ムベキトシテ存續スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ其ノ會社カ掛金者ニ對スル債務ヲ完濟スルニ至ル迄財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　無盡會社カ其ノ目的ヲ變更シ他ノ業務ヲ營ムベキトシテ存續スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ其ノ會社カ掛金者ニ對スル債務ヲ完濟スルニ至ル迄財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　無盡會社ノ清算事務及財産ノ狀況ヲ檢査シ、財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他清算ノ監督ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　無盡會社ガ營業免許ノ取消ニ因リテ解散シタルトキハ朝鮮總督ハ清算人ヲ選任ス

第三十條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法ニ依リ裁判所カ檢事若ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任スベキトキ又ハ清算人ナキトキハ朝鮮總督ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ之ヲ選任スベキトキハ無盡會社ヲシテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其ノ額ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十一條　朝鮮總督ハ清算事務ノ監督ニ關シ必要ト認ムルトキハ檢事若ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三十二條　無盡會社ノ和議、破産又ハ强制和議ノ場合ニ於テ裁判所ノ無盡會社ノ檢査監督ニ從事スル官吏ニ對シ意見ヲ求メ又ハ檢査若ハ整理ノ爲必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ清算人ヲシテ其ノ業務ノ停止ヲ命ゼラレタル無盡會社ニ對シ其ノ整理ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ營業ノ免許ヲ取消シ、清算スコトヲ得

第三十三條　無盡業ノ廢止又ハ無盡會社ノ解散ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第三十四條　本令中無盡會社ノ清算人ニ關スル規定ハ無盡會社ノ合併ニ因リテ解散スル場合ニ於テ存續スル會社ノ爲ニ選任セラレタル清算人ニ之ヲ準用ス

第三十五條　朝鮮總督ハ無盡會社ノ業務若ハ財産ノ狀況ヲ檢査シ又ハ掛金者ノ利益ヲ保護スル爲必要アリト認ムルトキハ事業方法若ハ無盡契約款ノ變更、業務ノ停止又ハ財産ノ供託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル報告ヲ爲サシメ又ハ帳簿書類ヲ提出セシムルコトヲ得

第三十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第三十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第三十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第四十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第五十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第六十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第七十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第八十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第九十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百二十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百三十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百四十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百五十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百六十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百七十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百八十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第百九十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百二十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百三十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百四十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百五十九條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百六十條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百六十一條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百六十二條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百六十三條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百六十四條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

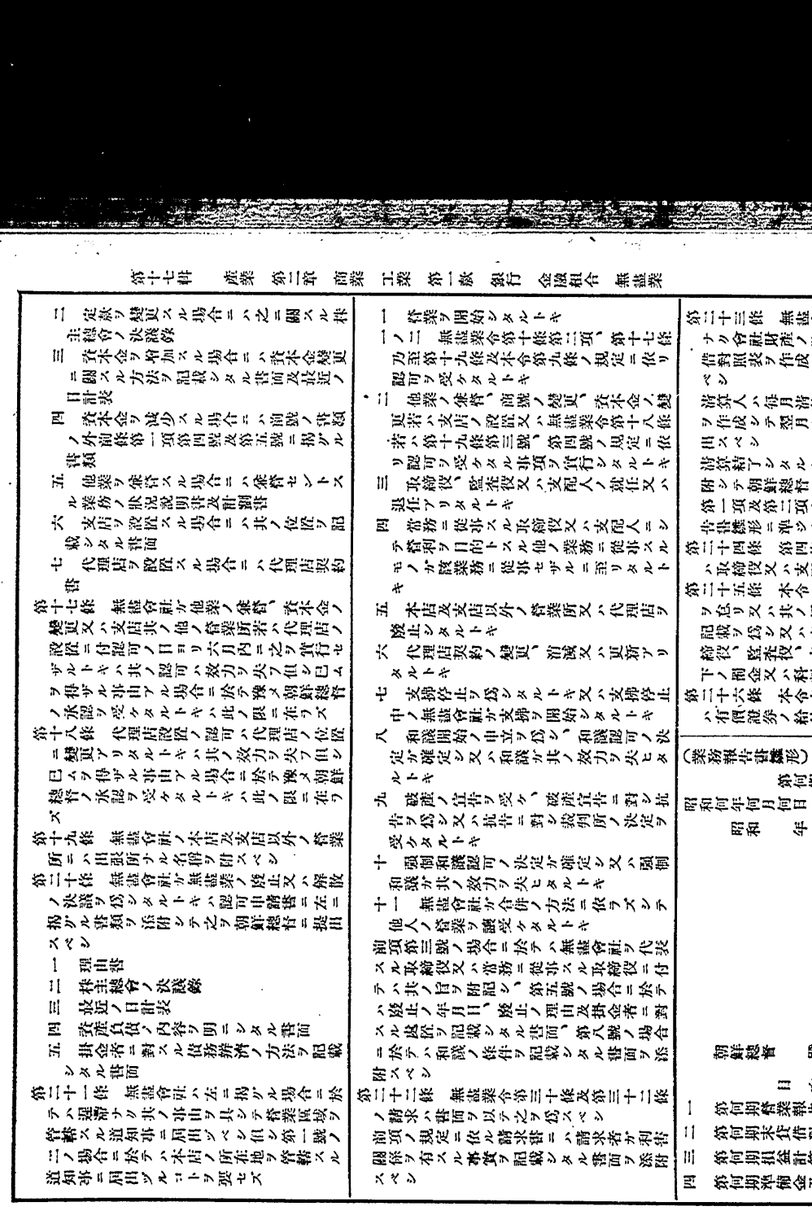
第二百六十五條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

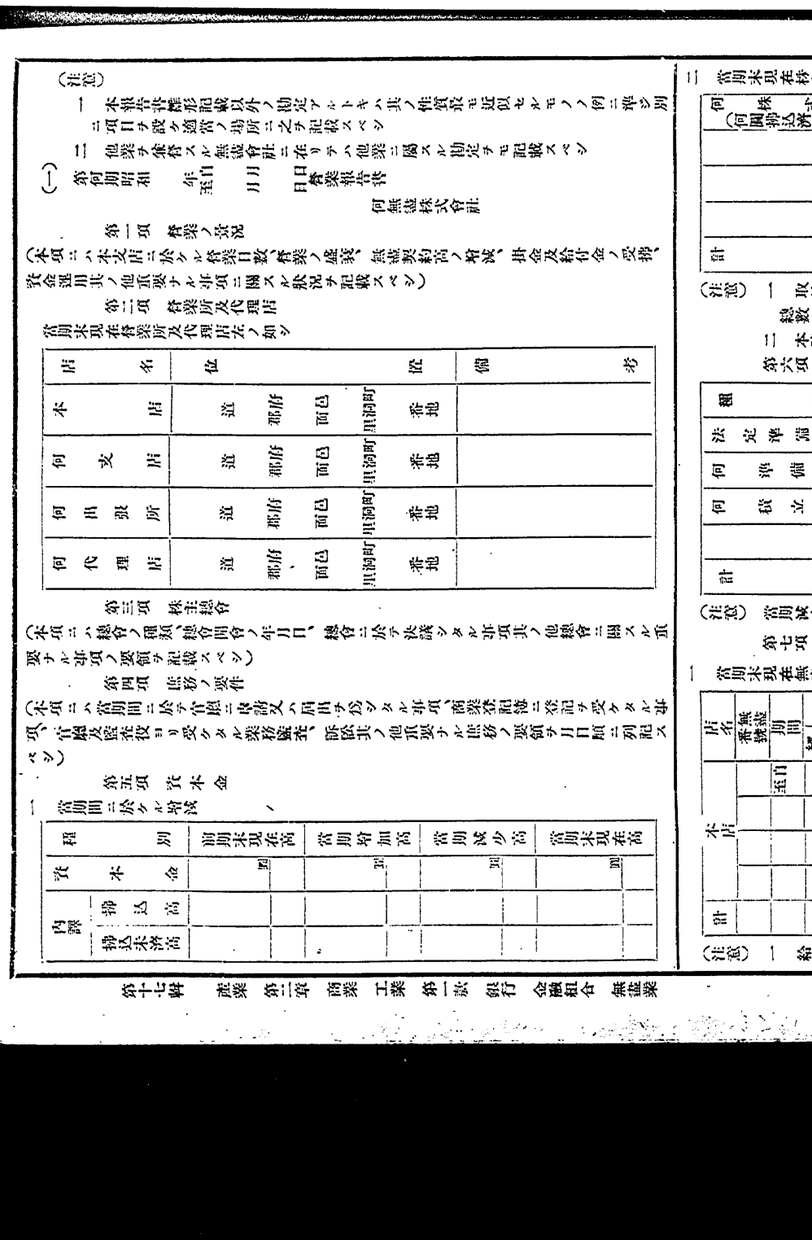
第二百六十六條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百六十七條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百六十八條　朝鮮總督ハ清算人ヲシテ檢査ノ爲必要ナル書類ヲ作成セシムルコトヲ得

第二百六十九條





二　常期未現在無盡契約ノ区分

種別	口数	給付金契約高	掛金契約高
内地人	口	円	円
朝鮮人			
外国人			
計			

三　常期未現在無盡契約ノ実約期間ノ長短ニ依ル区分

期間別	口数	給付金契約高	掛金契約高
一年迄	口	円	円
二年迄			
三年迄			
四年迄			
五年迄			
計			

四　常期未現在無盡契約ノ給付金額ノ大小ニ依ル区分

給付金額別	口数	給付金契約高	掛金契約高
百円迄	口	円	円
三百円迄			
五百円迄			
千円迄			
計			

（注意）契約期間五年ヲ超ユルモノニ在リテハ一年ヲ增ス毎ニ右ノ例ニ準ジ記載スベシ

五　常期未現在無盡契約ノ給付金額ノ大小ニ依ル区分

給付金額別	口数	給付金契約高	掛金契約高
百円迄	口	円	円
七十口迄			
五十口迄			
三十口迄			
計			

（注意）給付金額千円ヲ超ユルモノニ在リテハ千円ヲ超ス毎ニ右ノ例ニ準ジ記載スベシ

六　常期未現在無盡契約ノ掛金ノ多寡ニ依ル区分

掛金別	口数	給付金契約高	掛金契約高
百口迄	口	円	円
七十口迄			
五十口迄			
三十口迄			
計			

（注意）口数百ヲ超ユルモノニ在リテハ十口ヲ增ス毎ニ右ノ例ニ準ジ記載スベシ

七　常期未現在無盡契約ノ同一掛金ノ給付金契約高ノ大小ニ依ル区分

給付金契約高ノ別	口数	給付金契約高	掛金契約高
千円迄	口	円	円
二千円迄			
三千円迄			
四千円迄			
五千円迄			
六千円迄			
七千円迄			
四千円超			
計			

（注意）一　農業者ヲ、工業ハ工業、土木業及鑛業ヲ各々商業及交通業ヲ各々指ス

二　給付済高ノ項ニハ入札差金ヲ控除セザル給付金額ヲ掲ゲベシ

三　戻給付金契約高一萬円ヲ超エルモノニ在リテハ超エル毎ニ右ノ例ニ準ジ記載スベシ

四　満存無盡者ニハ一口ノ給付期ニ達シタル場合ノ外加入口ヲ增サズ

五　常期未現在受入済掛金高内訳

常期未現在受入済掛金高	内訳 給付未済口掛金	内訳 給付済口掛金
円	円	円

六　常期未現在無盡契約ノ掛金ノ多寡ニ依ル区分

掛金別	口数	給付金契約高	掛金契約高
百口迄	口	円	円
七十口迄			
五十口迄			
三十口迄			
計			

（注意）給付金額千円ヲ超ユルモノニ在リテハ千円ヲ超ス毎ニ右ノ例ニ準ジ記載スベシ

七　常期未現在無盡契約ノ同一掛金ノ給付金契約高ノ大小ニ依ル区分

給付金契約高ノ別	口数	給付金契約高	掛金契約高
千円迄	口	円	円
二千円迄			
三千円迄			
四千円迄			
五千円迄			
六千円迄			
七千円迄			
四千円超			
計			

（注意）一　農業者ヲ、工業ハ工業、土木業及鑛業ヲ各々商業及交通業ヲ各々指ス

二　給付済高ノ項ニハ入札差金ヲ控除セザル給付金額ヲ掲ゲベシ

三　戻給付金契約高一萬円ヲ超エルモノニ在リテハ超エル毎ニ右ノ例ニ準ジ記載スベシ

四　満存無盡者ニハ一口ノ給付期ニ達シタル場合ノ外加入口ヲ增サズ

五　常期未現在受入済掛金高内訳

常期未現在受入済掛金高	内訳 給付未済口掛金	内訳 給付済口掛金
円	円	円

六　常期未現在無盡契約ノ掛金ノ多寡ニ依ル区分

掛金別	口数	給付金契約高	掛金契約高
百口迄	口	円	円
七十口迄			
五十口迄			
三十口迄			
計			

（注意）口数百ヲ超ユルモノニ在リテハ十口ヲ增

一　未拂入札差金ノ增減

第十項　未拂入札差金

種別	區分	金無拂現在高ノ内除入札差金モノ合計	給未拂金額ノ内除入札差金モノ合計
日數金額未滿	未拂	口	口
	三月以內	數	數
	同三月以上一月以內	金額	金額
	同一月以上一年以內	口	口
	同一年以上	數	數
	計	金額	金額

（注意）常期受入高ノ欄ニハ入札差金ノ確定額ヲ、常期支出高ノ欄ニハ各口ニ分配シタル拂ヒ戻金高及利息ヲ合計シタル拂ヒ戻金高ヲ夫々記載スヘシ

二　常期未現在未拂入札差金內譯

種別	前期末現在高	常期受入高	常期支出高	常期末現在高
	口數	口數	口數	口數
	金額	金額	金額	金額

（注意）常期受入高ノ欄ニハ入札差金ノ確定額ヲ、常期支出高ノ欄ニハ各口ニ分配シタル拂ヒ戻金ノ外利息ヲモ合計シテ記載スヘシ

三　常期末現在未拂入札差金內譯

種別	區分	金無拂現在高ノ内除入札差金モノ合計	給未拂金額ノ内除入札差金モノ合計
日數金額未滿	未拂	口	口
	三月以內	數	數
	同三月以上一月以內	金額	金額
	同一月以上一年以內	口	口
	同一年以上	數	數
	計	金額	金額

第十一項　未拂戻金利息

種別	前期末現在高	常期受入高	常期支出高	常期末現在高
	口數	口數	口數	口數
	金額	金額	金額	金額

（注意）常期受入高ノ欄ニハ入札差金及利息ノ合計額ヲ、常期支出高ノ欄ニハ各口ニ分配シタル拂ヒ戻金ノ外利息ヲモ合計シタル拂ヒ戻金高ヲ夫々記載スヘシ

二　常期末現在未拂入札差金內譯

種別	區分	金無拂現在高ノ内除入札差金モノ合計	給未拂金額ノ内除入札差金モノ合計
日數金額未滿	未拂	口	口
	三月以內	數	數
	同三月以上一月以內	金額	金額
	同一月以上一年以內	口	口
	同一年以上	數	數
	計	金額	金額

三　常期末現在同一人ニ對スル擔保貨付金ノ貨付金高ノ大小ニ依ル區分

限度貸付金額	契約貸付金額	種別	借受人カ拂戻ヲ請求シタル入札差金額	常期末現在貨付金高
四	四	契約貸付金高	四	四
		同上ヨリ除シタル入札差金額		
		常期末現在貨付金高		

貨付金額	種別	借受人カ拂戻ヲ請求シタル入札差金額ヲ除シタル常期末現在貨付金高
四	込當ミ受ヌ人ルカ	四
	拂同除上ヨリ入札差金ヲ	
	常期末現在貨付金高	

（ロ）擔保不動產內譯

種別	評價額	常期末現在貨付金高
宅地	四	四
田畑		
家屋		
計		

（イ）擔保有價證券別內譯

種別	評價額	常期末現在貨付金高
株式	四	四
社債		
地方債		
國債		
計		

（注意）一　本表ニハ無盡業令第十條第一項第二號ノ規定ニ依ル有價證券又ハ不動產ヲ擔保トスル貨付金ヲ記載スヘシ
二　同一人ニ對シ二口以上ノ貨付金アル場合ハ之ヲ合算シテ貨付金高ノ大小ニ依リ區分シ掲ケヘシ
三　分スルモノトス以下之ニ準ス

四　常期末現在同一人ニ對スル掛込金限度貨付金ノ貨付金高ノ大小ニ依ル區分

金同一人ニ對スル高掛込限度貨付	百	三百	四百	五百	千	二千	三千	四千	五千	七千	萬	二萬	三萬	四萬	五萬	七萬	十萬	二十萬	三十萬	四十萬	五十萬	百萬	二百萬	三百萬	四百萬	五百萬	千萬	二千萬	三千萬	四千萬	五千萬	億	二億	三億	四億	五億	計
人數																																				
口數																																				
常期末現在貨付金																																				

（注意）一　本表ニハ無盡業令第十條第一項第二號ノ規定ニ依ル有價證券又ハ不動產ヲ擔保トスル貨付金ヲ記載スヘシ
二　保トスル貨付金ヲ貨付金高ノ大小ニ依リ區分シ掲ケヘシ
三　同一人ニ對シ二口以上ノ貨付金アル場合ハ之ヲ合算シテ貨付金高ノ大小ニ區別ヲ超ユルモノニ在リテハ千圓ヲ增ス每ニ右ノ例ニ準シ記載スヘシ

五　常期末現在同一人ニ對スル契約貸付金限度貨付金ノ貸付金高ノ大小ニ依ル區分

六　貸付金利率

種別	最高	最低	普通
抵当貸付金証券			
不動産抵当金			
限度約束貸付金			
度外貸付金			

第十五項　預ケ金

種別	常時預ケ高	常時引出高	常時未現在高
前期未現在高			
常時預ケ高			
常時引出高			
常時未現在高			

第十六項　代理店

何代理店	定期預金	通知預金	当座預金
計			

第十七項　保管

種別	数量	評価額
土地	何坪	
建物	何坪	
什器	何點	
計		

二　当期未現在高内訳

種別	当期引出高	当期未現在高
土地		
建物		
什器		
計		

第十八項　借受金

種別	当期引出高	当期未現在高
株主勘定		
似受金		
地方入札預金		
国庫預金		
有価証券勘定		
未払金		
現金		
未払利息		
計		

第十九項　所有土地建物及什器

種別	当期取得高	当期減少高	当期引(△)上額	当期償却高	当期未現在高
土地					
建物					
什器					
計					

第二十項　現金

種別	当期入金高	当期出金高	当期未現在高
現金			
預ケ金			
未払利息			
計			

第二十一項　預リ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第二十二項　借入金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
株主勘定				
似拂土地建物什器				
代理店貨拂金				
契約金限度貸付金				
掛込金限度貸付金				
不動産抵当貸付金				
有価證券抵当貸付金				
貸付金勘定				
未払利息				
計				

第二十三項　郵便貯金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
郵便貯金				
合計				

第二十四項　現金

種別	当期入金高	当期出金高	当期未現在高
前期未現在高			
当期入金高			
当期出金高			
当期未現在高			

第二十五項　預ケ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第二十六項　預リ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
株主勘定				
似拂土地建物什器				
代理店貨拂金				
契約金限度貸付金				
掛込金限度貸付金				
不動産抵当貸付金				
有価證券抵当貸付金				
貸付金勘定				
未払利息				
計				

第二十七項　借入金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
株主勘定				
似拂土地建物什器				
代理店貨拂金				
契約金限度貸付金				
掛込金限度貸付金				
不動産抵当貸付金				
有価證券抵当貸付金				
貸付金勘定				
未払利息				
計				

第二十八項　預ケ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第二十九項　預リ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第三十項　現金

種別	当期入金高	当期出金高	当期未現在高
前期未現在高			
当期入金高			
当期出金高			
当期未現在高			

第三十一項　預リ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第三十二項　借入金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
株主勘定				
似拂土地建物什器				
代理店貨拂金				
契約金限度貸付金				
掛込金限度貸付金				
不動産抵当貸付金				
有価證券抵当貸付金				
貸付金勘定				
未払利息				
計				

第三十三項　郵便貯金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
郵便貯金				
合計				

六　貸付金利率

種別	最高	最低	普通
抵当貸付金証券			
不動産抵当金			
限度約束貸付金			
度外貸付金			

第十五項　預ケ金

種別	前期未現在高	当期預ケ高	当期引出高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
計				

第十六項　代理店

何代理店	定期預金	通知預金	当座預金
計			

第十七項　保管

種別	数量	評価額
土地	何坪	
建物	何坪	
什器	何點	
計		

二　当期未現在高内訳

種別	当期引出高	当期未現在高
土地		
建物		
什器		
計		

第十八項　借受金

種別	当期引出高	当期未現在高
株主勘定		
似受金		
地方入札預金		
国庫預金		
有価証券勘定		
未払金		
現金		
未払利息		
計		

第十九項　所有土地建物及什器

種別	当期取得高	当期減少高	当期引(△)上額	当期償却高	当期未現在高
土地					
建物					
什器					
計					

第二十項　現金

種別	当期入金高	当期出金高	当期未現在高
前期未現在高			
当期入金高			
当期出金高			
当期未現在高			

第二十一項　預リ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第二十二項　借入金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
株主勘定				
似拂土地建物什器				
代理店貨拂金				
契約金限度貸付金				
掛込金限度貸付金				
不動産抵当貸付金				
有価證券抵当貸付金				
貸付金勘定				
未払利息				
計				

第二十三項　郵便貯金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
郵便貯金				
合計				

第二十四項　現金

種別	当期入金高	当期出金高	当期未現在高
前期未現在高			
当期入金高			
当期出金高			
当期未現在高			

第二十五項　預ケ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第二十六項　預リ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
株主勘定				
似拂土地建物什器				
代理店貨拂金				
契約金限度貸付金				
掛込金限度貸付金				
不動産抵当貸付金				
有価證券抵当貸付金				
貸付金勘定				
未払利息				
計				

第二十七項　借入金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
株主勘定				
似拂土地建物什器				
代理店貨拂金				
契約金限度貸付金				
掛込金限度貸付金				
不動産抵当貸付金				
有価證券抵当貸付金				
貸付金勘定				
未払利息				
計				

第二十八項　預ケ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第二十九項　預リ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第三十項　現金

種別	当期入金高	当期出金高	当期未現在高
前期未現在高			
当期入金高			
当期出金高			
当期未現在高			

第三十一項　預リ金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
当座預金				
通知預金				
定期預金				
未払利息				
計				

第三十二項　借入金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
株主勘定				
似拂土地建物什器				
代理店貨拂金				
契約金限度貸付金				
掛込金限度貸付金				
不動産抵当貸付金				
有価證券抵当貸付金				
貸付金勘定				
未払利息				
計				

第三十三項　郵便貯金

種別	当期増加高	当期減少高	当期償却高	当期未現在高
郵便貯金				
合計				

貸付金利息			未收無盡掛金銷却					
預ケ金利息			貸付金銷却					
有價證券利息及配當金			所有物價額銷却					
解約手數料			借入金利息					
其ノ他ノ手數料			給料					
雜益			旅費					
計			勸誘費					
前期繰越金			集金費					
何積立金戻入			事務費					
計			稅金					
			營繕費					
			雜費					
			計					
			當期利益金					
			（內當期純益金（　））					
			何積立金					
合計			合計					

（注意）本計算書ニハ本店及各支店間竝ニ各支店相互間ニ於ケル利息其ノ他ノ損益ヲ控除シテ記載スベシ

（四）第何期（昭和　年自　月　日至　月　日）準備金及利益ノ配當ニ關スル書面

當期純益金	何	圓
前期繰越金	何	圓
何積立金戻入	何	圓
合計當期利益金之ヲ處分スルコト左ノ如シ		
法定準備金（當期純益金ノ何分ノ何）	何	圓
何積立金	何	圓
何無盡株式會社		

●朝鮮無盡業令第四十三條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スルノ件

昭和六年六月
總令第七十五號
改正　昭和一二年五第三五號

朝鮮無盡業令第四十三條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スルノ件左ノ通定ム

朝鮮無盡業令第四十三條ノ規定ニ依リ左ニ掲グル事項ハ無盡會社ノ本店ノ所在地ヲ管轄スル道知事ニ之ヲ委任シ第四號乃至第六條ニ掲グル事項ニシテ本店ノ所在地ノ屬スル道ノ區域外ニ於ケル營業所ニ關スルモノハ當該營業所ノ所在地ヲ管轄スル道知事ニ之ヲ委任ス但シ第四號乃至第六號ニ掲グル事項ハ事宜ニ依リ朝鮮總督之ヲ行フ

一　朝鮮無盡業令（以下單ニ無盡業令ト稱ス）第十七條ノ規定ニ依リ無盡會社ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人カ督利ヲ目的トスル他ノ業務ニ從事スルコトヲ認可スルコト

二　無盡業令第十九條第一號ノ規定ニ依リ定款ノ變更ヲ認可スルコト但シ目的、商號、資本金、本店所在地、支店所在地若ハ營業區域ノ變更又ハ支店ノ設置ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

三　無盡業令第十九條第二號ノ規定ニ依リ事業方法又ハ無盡契約款ノ變更ヲ認可スルコト但シ朝鮮無盡業令施行規則第二條第一項第一號乃至第四號、第六號及第七號ニ掲グル事項ノ變更ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

四　無盡業令第二十條ノ規定ニ依リ無盡會社又ハ書類帳簿ヲ提出セシメ又ハ營業ノ狀況ヲ報告セシメ

五　無盡業令第二十一條ノ規定ニ依リ部下ノ官吏ニ命シテ其ノ會社ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢查セシムルコト

附　則

本令ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年朝鮮總督府令第八十六號（無盡業法第二十九條ニ依リ朝鮮總督ノ職權ニ屬スル事項ヲ地方長官ヲシテ行ハシムルノ件）ハ之ヲ廢止ス

第二款　會社

●會社令廢止ニ關スル件

大正九年四月
制令第七號
改正　大正一一年六第七號、昭和六年五第六號

會社令廢止ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

會社令之ヲ廢止ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

舊令ニ依リテ設立シタル會社ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ朝鮮民事令ニ依リテ設立シタルモノト看做ス

本令施行前舊令ニ依リテ發起ノ認可ヲ受ケタル會社ニ付テハ舊令ニ依リテ之ヲ發起ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第七條　第一條又ハ第二條ノ許可カ效力ヲ失ヒ又ハ取消サレタルトキハ支店設置ノ許可ニ關スル場合ヲ除ノ外會社ハ解散ス

第八條　第五條又ハ前條ノ規定ニ依リ會社カ解散シタルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス

第九條　督利ヲ目的トスル社團法人ハ總テ之ヲ會社ト看做ス

第十條　會社ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ會社タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第十一條　會社ニ關シテハ本令及朝鮮總督府令ニ規定スルモノノ外商法中會社ニ關スル規定ニ依ル但シ商法中日本トアルハ朝鮮トス

第十二條　第一條ノ許可ヲ受ケシテ會社ノ設立行爲ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス不實ノ申告ヲ爲シテ其ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

第十三條　會社ノ業務ヲ執行スル役員又ハ外國會社ノ朝鮮ニ於ケル代表者ハ左ノ場合ニ於テ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二條ノ許可ヲ受ケシテ本店又ハ支店ヲ設ケタルトキ

二　不實ノ申告ヲ爲シテ第二條ノ許可ヲ受ケタルトキ

三　第三條ノ規定ニ違反シテ事業ヲ開始シタルトキ

四　第五條ノ規定ニ依ル事業ノ停止、禁止又ハ支店閉鎖ノ命令ニ違反シテ事業ヲ營ミタルトキ

第十四條　第十條ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　本令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

準用ス

會社令第十九條第二項又ハ第二十條ニ規定スル會社ニ付テハ當分ノ內仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和六年五月制令第六號）

本令ハ朝鮮取引所令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス從前ノ規定ニ依リ設立シタル會社組織ノ取引所ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノニ付テハ大正九年制令第七號附則第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

（參照）

●會社令

明治四十三年十二月
制令第十三號
改正　大正七年六第二二號

會社令明治四十三年【勅令第三百二十四號第一條及第二條】ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

會社令

第一條　會社ノ設立ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

第二條　朝鮮外ニ於テ設立シタル會社カ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設ケントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

第三條　朝鮮外ニ於テ設立シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル會社カ其ノ事業ヲ營ムニハ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設クヘシ

商法第二百五十五條乃至第二百五十七條、第二百五十九條、第二百六十條、第二百六十二條及第二百六十三條ノ二ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ朝鮮ニ支店ヲ設ケタル外國會社ニ之ヲ準用ス

第四條　第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル後一年內ニ會社成立セス又ハ本店若ハ支店ヲ設ケサルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

朝鮮總督ハ正當ノ事由アルトキハ申請ニ因リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第五條　會社カ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令、許可ノ條件ニ違反シ又ハ公ノ秩序若ハ善良ノ風俗ニ反スル行爲ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ事業ノ停止、禁止、支店ノ閉鎖又ハ會社ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第六條　不實ノ申告ヲ爲シテ第一條又ハ第二條ノ許可ヲ受ケタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第七條　第一條又ハ第二條ノ許可カ效力ヲ失ヒ又ハ取消サレタルトキハ支店設置ノ許可ニ關スル場合ヲ除ノ外會社ハ解散ス

第八條　第五條又ハ前條ノ規定ニ依リ會社カ解散シタルトキハ裁判所ハ利害關係人又ハ檢事ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任ス

第九條　督利ヲ目的トスル社團法人ハ總テ之ヲ會社ト看做ス

第十條　會社ニ非サルモノハ其ノ名稱中ニ會社タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス

第十一條　會社ニ關シテハ本令及朝鮮總督府令ニ規定スルモノノ外商法中會社ニ關スル規定ニ依ル但シ商法中日本トアルハ朝鮮トス

第十二條　第一條ノ許可ヲ受ケシテ會社ノ設立行爲ヲ爲シタル者ハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス不實ノ申告ヲ爲シテ其ノ許可ヲ受ケタル者亦同シ

第十三條　會社ノ業務ヲ執行スル役員又ハ外國會社ノ朝鮮ニ於ケル代表者ハ左ノ場合ニ於テ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二條ノ許可ヲ受ケシテ本店又ハ支店ヲ設ケタルトキ

二　不實ノ申告ヲ爲シテ第二條ノ許可ヲ受ケタルトキ

三　第三條ノ規定ニ違反シテ事業ヲ開始シタルトキ

四　第五條ノ規定ニ依ル事業ノ停止、禁止又ハ支店閉鎖ノ命令ニ違反シテ事業ヲ營ミタルトキ

第十四條　第十條ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　本令ニ定ムルモノノ外必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

附　則

本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十六條　本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十七條　舊韓國政府ノ免許ヲ受ケ本令施行ノ際事業ヲ營ム會社ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

前項ノ會社ニシテ商法ノ定ムル會社ハ何レノ種類ニモ適合セサルモノニ付テハ最類似スル會社ニ關スル規定ヲ準用ス

第十八條　本令施行前商法ニ依リ朝鮮ニ於テ設立シタル會社ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第十九條　朝鮮外ニ於テ設立シタル會社ノ本店又ハ支店ニシテ本令施行ノ際朝鮮ニ存在スルモノハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

外國ニ於テ設立シタル會社ニシテ本令施行ノ際朝鮮ニ本店ヲ有スルモノニ付テハ當分ノ內從前ノ例ニ依ル

第二十條　外國ニ於テ設立シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル會社ニシテ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設ケシテ本令施行ノ際其ノ事業ヲ營ムモノニ付テハ當分ノ內第三條ノ規定ヲ適用セス

（參照）

●會社令施行規則

明治四十三年十二月
總令第六十六號
改正　大正三年一第一六二號

會社令施行規則左ノ通定ム

會社令施行規則

第一條　會社令第一條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ無限責任社員タルヘキ者又ハ發起人全員ノ署名捺印シタル申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　會社ノ目的

二　會社ノ種類

三　會社ノ商號又ハ名稱

四　資本ノ總額

五　合名會社ニ在リテハ其ノ社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額、合資會社ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者ノ氏名、住所及其ノ出資額

六　株式會社又ハ株式合資會社ニ在リテハ發起人ノ氏名、住所、其ノ引受クヘキ株式ノ數及其ノ受クヘキ特別ノ利益竝報酬額、金錢以外ノ財產ヲ以テ出資ノ目的トスル者ノ氏名、其ノ財產ノ種類、價格及之ニ對シテ與フル株式ノ數竝會社ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用

七　第二條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニシテ朝鮮ニ支店ノミヲ設クルモノニ在リテハ朝鮮ニ於ケル支店ノ所在地

第二條　會社令第二條ノ許可ヲ受ケムトスルトキハ申請書ニ左記事項ヲ記載シタル書面及事業目論見書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニシテ朝鮮ニ支店ノミヲ設クルモノニ在リテハ朝鮮ニ於ケル支店ノ所在地

一　前條第一號乃至第四號ニ掲ケタル事項

二　合名會社ニ在リテハ其ノ社員ノ氏名、住所、合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ氏名、住所、合資會社ニ在リテハ株式合資會社ニ在リテハ其ノ社員ノ氏名、住所

三　株式會社ニ在リテハ役員ノ氏名、住所

四　本店及支店ノ所在地

第三條　會社令第一條ノ許可ヲ受ケタル者會社成立前第一條第一號、第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ但シ無限責任社員タルヘキ者又ハ發起人ノ改氏名若ハ住所ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス

前項但書ノ場合ニ於テハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ第一條第二號、第三號又ハ第七號ニ揭ケタル事項ヲ變更シタルトキ亦同シ

第三條ノ二　會社令第一條ノ許可ヲ受ケ設立シタル會社又ハ同令第二條ノ許可ヲ受ケタル會社カ第一條第一號又ハ第四號ニ揭ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニシテ朝鮮ニ支店ノミヲ設クルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三條ノ三　會社令第一條ノ許可ヲ受ケ設立

シタル會社又ハ同會第二條ノ許可ヲ受ケタル會社ハ遅滞ナク左ノ事項ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

一　第一條第二號、第三號又ハ第七號ニ掲ケタル事項ノ變更但シ前條但書ノ會社ノ朝鮮外ニ於ケル支店ノ設置又ハ其ノ變更ヲ除ク

二　無限責任社員ノ異動、取締役、監査役又ハ朝鮮ニ於ケル代表者ノ選任若ハ異動

三　無限責任社員、取締役、監査役又ハ朝鮮ニ於ケル代表者ノ改氏名若ハ住所ノ變更

前條但書ノ會社カ第一條第一號又ハ第四號ニ掲ケタル事項ヲ變更シタルトキ亦前項ニ同シ

第四條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ會社ノ業務、財産ノ狀況ヲ檢査シ又ハ會社ヲシテ業務、財産ノ狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

朝鮮總督ハ會社ニ對シ監督上必要ナル措置ヲ命スルコトヲ得

第五條　會社ノ成立、解散、本店若ハ支店ノ開設、閉鎖又ハ事業ノ開始、中止、廢止ハ遅滞ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ツヘシ

第六條　會社令第十七條ノ會社ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ発許狀、定款及左記事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シタル届書ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　設立後ノ經過

二　業務ヲ執行スル役員ノ氏名、住所

三　業務ヲ執行スル役員ノ氏名、住所

前項ノ會社ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ其ノ本店及支店ノ所在地ニ於テ商法第五十一條、第百七條、第百四十一條又ハ第二百四十二條ニ依ル登記ヲ爲スヘシ

前項ニ依リ爲シタル登記ハ本令施行ノ日ニ於テ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第七條　會社令第十八條ノ會社ハ前條第一項ニ準シ本令施行ノ日ヨリ一月内ニ届出ツヘシ

第八條　朝鮮外ニ於テ設立シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル會社ニシテ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設ケタルモノ外國ニ於テ設立シタルモノヲ除ク）ノ外本令施行ノ際其ノ事業ヲ營ムモノハ外國ニ於テ設立シタルモノヲ除ク）ノ外本令施行ノ日ヨリ二月内ニ朝鮮ニ於ケル代表者ノ住所地ヲ轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第十一條　會社ノ業務ヲ執行スル役員又ハ朝鮮外ニ於テ設立シタル會社ノ朝鮮ニ於ケル代表者ハ第一號乃至第三號ニ該當スルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金、第四號又ハ第五號ニ該當スルトキハ二百圓以下ノ罰金ニ處シ但シ第一號ノ場合ニ於テ會社成立前ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者又ハ發起人ヲ處罰ス

一　第三條第一項ハ規定ニ違反シテ第一條第一號、第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ變更シ又ハ第三條ノ二ノ規定ニ違反シテ第一條第一號若ハ第四號ニ掲ケタル事項ヲ變更シタルトキ

第八條　朝鮮外ニ於テ設立シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル會社ニシテ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設ケタルモノ外第六條第一項ニ準シ本令施行ノ日ヨリ二月内ニ届出ツヘシ但シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トセサル會社ニシテ朝鮮ニ支店ノ設置ノ登記ヲ爲シタルモノニ付テハ第六條第一項第一號及第二號ノ事項ハ其ノ支店ニ關スルモノニ限ルコトヲ得

前項ノ會社ニシテ其ノ既ニ爲シタル登記ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス其ノ本店ハ未タ登記ヲ爲ササルモノハ第六條第二項ニ準シ本令施行ノ日ヨリ二月内ニ登記ヲ爲スヘシ

第九條　朝鮮外ニ於テ設立シ朝鮮ニ於テ事業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル會社ニシテ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設ケシテ本令施行ノ際其ノ事業ヲ營ムモノハ外國ニ於テ設立シタルモノヲ除ク）ノ外本令施行ノ日ヨリ二月内ニ會社令第二條ノ許可ヲ申請スヘシ前項ノ許可ヲ受ケタル會社ハ許可ノ日ヨリ三月内ニ朝鮮ニ本店又ハ支店ヲ設ケヘシ第一項ノ申請ヲ爲シタル會社ハ許否ノ指令ヲ受クルマテ前ノ例ニ依リ事業ノ繼續スルコトヲ得許可ヲ受ケタル會社カ其ノ本店又ハ支店ヲ設クルマテ亦同シ

第十條　本令ニ依リ朝鮮總督ニ差出スヘキ書類ハ會社ノ本店所在地又ハ朝鮮ニ於ケル代表者ノ住所地ヲ轄スル地方長官ヲ經由スヘシ

第十一條　會社ノ業務ヲ執行スル役員又ハ朝鮮外ニ於テ設立シタル會社ノ朝鮮ニ於ケル代表者ハ第一號乃至第三號ニ該當スルトキハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金、第四號又ハ第五號ニ該當スルトキハ二百圓以下ノ罰金ニ處シ但シ第一號ノ場合ニ於テ會社成立前ニ在リテハ無限責任社員タルヘキ者又ハ發起人ヲ處罰ス

一　第三條第一項ハ規定ニ違反シテ第一條第一號、第四號乃至第六號ニ掲ケタル事項ヲ變更シ又ハ第三條ノ二ノ規定ニ違反シテ第一條第一號若ハ第四號ニ掲ケタル事項ヲ變更シタルトキ

第十二條　日本産金振興株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一　金鑛又ハ砂鑛ノ探鑛、採鑛、精鍊若ハ砂金又ハ砂鑛ノ採取ノ事業（以下金鑛業ト總稱ス）

二　金鑛業又ハ金鑛業若ハ金製錬業ノ用ニ供スル器具、機械類ノ製造業ニ對スル資金ノ融通又ハ投資

三　金鑛業又ハ金製錬業

四　金鑛業又ハ金製錬業ノ爲必要ナル營

具、機械、材料又ハ設備ノ賣買

四　合金鑛産物ノ賣買

五　委託ニ依ル金鑛山ニ關スル調査又ハ鑑定

日本産金振興株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ前項ノ事業ノ外本會社ノ目的達成上必要ナル諸事業ヲ營ムコトヲ得

第十三條　日本興業銀行、朝鮮殖産銀行又ハ東洋拓殖株式會社ハ前條第一項第一號ノ事業ニ關シ日本産金振興株式會社ノ業務ノ一部ヲ代理スルコトヲ得

日本産金振興株式會社前項ノ銀行又ハ會社ヲシテ業務ノ一部ヲ代理セシメントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條　日本産金振興債券

第十四章　産金振興債券

日本産金振興株式會社ハ拂込ミタル株金額ノ五倍ヲ限リ産金振興債券ヲ發行スルコトヲ得

産金振興債券ヲ發行スル場合ニ於テハ商法第二百九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

第十五條　産金振興債券ヲ發行セントスル場合ニ於テハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條　政府ハ産金振興債券ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ニ付保證スルコトヲ得

第十七條　産金振興債券ハ無記名式トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式トス

第十八條　産金振興債券ノ所有者ハ日本産金振興株式會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第十九條　日本産金振興株式會社ハ社債借換ノ爲一時第十四條ノ制限ニ依ラズ産金振興債券ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ發行後一月以内ニ其ノ社債總額ニ相當スル舊産金振興債券ヲ償還スベシ

第五章　準備金

第二十條　日本産金振興株式會社ハ每營業年度ニ準備金トシテ貸本ノ缺損ヲ補フ爲利益金額ノ百分ノ八以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得シムル爲利益金額ノ百分ノ二以上ヲ積立ツベシ

ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ達セザルトキハ政府ハ初營業年度及爾後五年間ヲ限リ之ニ達セシムベキ金額ヲ補給スベシ但シ其ノ額ハ初營業年度ヲ除キ每營業年度ニ於テハ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ相當スル額及當該營業年度ニ於テ支拂ヒタル産金振興債券ノ利息額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ズ

每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ二分ノ一ヲ配當準備ノ爲別ニ積立ツベシ

第二項ノ規定ニ依リ補給金ヲ償還シ尚殘餘アリタルトキハ之ヲ前項ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過シタル當該營業年度ノ利益金ト看做ス

第三十一條　日本産金振興株式會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テハ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ヲ超過スル部分ノ二分ノ一ヲ配當スルコトヲ得

第三十二條　日本産金振興株式會社ニハ開業年度及其ノ翌年ヨリ十年間所得稅及營業收益稅ヲ免除ス

第三十三條　北海道、府縣及市町村其ノ他ノ

ニ準ズベキモノハ前條ノ期間日本産金振興株式會社ノ業務ニ對シ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ但シ公益ヲ害スト認ムル分若ハ定款ニ違反シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第二十條　日本産金振興株式會社ハ每營業年度ニ於テ政府以外ノ者ノ所有スル株式ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ達セザルトキハ其ノ不足ヲ補フ爲利益金額ノ百分ノ八以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得シムル爲利益金額ノ百分ノ二以上ヲ積立ツベシ

第二十一條　政府ハ日本産金振興株式會社ノ業務ヲ監督ス

第二十二條　日本産金振興株式會社借入金ヲ爲サントスルトキハ政府ノ認可ヲ受クベシ

第二十三條　定款ノ變更、利益金ノ處分、合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生セズ

第二十四條　日本産金振興株式會社ハ每營業年度ノ事業計畫ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第二十五條　政府ハ日本産金振興株式會社ノ業務ニ關シ監督上又ハ産金事業ノ振興上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十六條　政府ハ日本産金振興株式會社監理官ヲ置キ日本産金振興株式會社ノ業務ヲ監視セシム

第二十七條　日本産金振興株式會社監理官ハ何時ニテモ日本産金振興株式會社ニ命シ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

日本産金振興株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十八條　政府ハ日本産金振興株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令、法令ニ基キテ爲シタル命令又ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第二十九條　日本産金振興株式會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ヲ以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年百分ノ四ノ割合ニ達スル迄政府ハ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ一五

第三十條　日本産金振興株式會社ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトノ制合ヲ以テ之ヲ配當スベシ

第三十一條　日本産金振興株式會社ニハ開業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額

第三十八條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十九條　政府ハ設立委員ヲ命シ日本産金振興株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第四十條　設立委員ハ定款ヲ作成シ政府ノ認可ヲ受クベシ

第四十一條　前條ノ認可アリタルトキハ設立委員ハ株式總數ヨリ政府ニ割當ツベキ株式ヲ控除シタル殘餘ノ株式ニ付株主ヲ募集スベシ

第四十二條　株式申込證ニハ定款認可ノ年月

込前ト雖モ其ノ玄本ヲ增加スルコトヲ得

第五條　日本産金振興株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國臣民又ハ帝國法人ニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

第六條　日本産金振興株式會社ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ三十年トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第七條　日本産金振興株式會社ニ非ザルモノハ日本産金振興株式會社又ハ之ニ類似ノ名稱ヲ以テ其ノ商號ト爲スコトヲ得ズ

第二章　役員

第八條　日本産金振興株式會社ニ社長副社長各一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

第九條　社長ハ日本産金振興株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

副社長ハ社長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ社長缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

副社長及理事ハ社長ヲ補助シ日本産金振興株式會社ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ日本産金振興株式會社ノ業務ヲ監査ス

第十條　社長及副社長ハ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ四年トス

理事ハ株主中ヨリ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選擧シ政府其ノ中ヨリ之ヲ命ジ其ノ任期ヲ三年トス

監事ハ株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第十一條　社長、副社長及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ズ但シ政府ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三章　營業

第十二條　日本産金振興株式會社ハ左ノ事業ヲ營ムモノトス

一　金鑛又ハ砂鑛ノ探鑛、採鑛、精鍊若ハ砂金又ハ砂鑛ノ採取ノ事業（以下金鑛業ト總稱ス）

二　金鑛業又ハ金製錬業若ハ金製錬業ノ用ニ供スル器具、機械類ノ製造業ニ對スル資金ノ融通又ハ投資

三　金鑛業又ハ金製錬業

四　金鑛業又ハ金製錬業ノ爲必要ナル營

●日本産金振興株式會社法

昭和十三年三月
法律第三十六號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル日本産金振興株式會社法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

日本産金振興株式會社法

第一章　總則

第一條　日本産金振興株式會社ハ産金事業ノ振興ヲ圖ル爲必要ナル事業ヲ營ムコトヲ目的トスル株式會社トス

第二條　日本産金振興株式會社ハ其ノ本店ヲ東京市ニ、支店ヲ京城府ニ置ク

日本産金振興株式會社ハ前項ノ外政府ノ認可ヲ受ケ支店又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得

第三條　日本産金振興株式會社ノ資本ハ五千萬圓トシ內二千五百萬圓ハ政府ノ出資トス

日本産金振興株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得

第四條　日本産金振興株式會社ニ關スル登記ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス其ノ本店ハ未タ登記ヲ爲ササルモノハ第六條第二項ニ準シ本令施行ノ日ヨリ二月内ニ登記ヲ爲スヘシ

第三條　取引所ノ名稱中ニハ取引所ナル文字ヲ用フベシ

第四條　取引所ニ付テハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法中社團法人ニ關スル規定ヲ準用ス

第五條　取引所ノ設立ハ朝鮮總督ノ免許ヲ受クルヲ要ス

第六條　同種ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ハ一地區一箇所ニ限リ設立スルコトヲ得

第七條　取引所ノ免許年限ハ十年トス但シ朝鮮總督ハ出願ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第八條　有價證券ヲ賣買取引スル市場ハ取引所ト看做シ本令ニ依ルニ非ザレバ之ヲ設立スルコトヲ得ズ

第九條　同一取引所ニ於テ有價證券ノ賣買取引ト米其ノ他ノ商品ノ賣買取引トヲ併セ行フコトヲ得ズ

第十條　取引所ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ取引所ノ賣買取引ニ關スル倉庫業其ノ他ノ業務ヲ行フコトヲ得

取引所カ倉庫業ヲ行フ場合ニ於テ寄託者ノ請求アルトキハ寄託物ノ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第三百八十三條ノ二第二項及第三百八十三條ノ三ノ規定ハ前項ノ倉荷證券ニ之ヲ準用ス

第二章　取引所ノ會員

第十一條　取引所ニ於テハ其ノ會員ニ限リ賣買取引ヲ爲スコトヲ得

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ取引所ノ會員ト爲ルコトヲ得ズ

一　帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル會社ニ非ザル者

二　無能力者

三　破産者ニシテ復權ヲ得ザル者

四　一年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ五年ヲ經過セザル者

五　第四十六條乃至第五十條ノ規定ニ依リ一年未滿ノ懲役又ハ相當ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケルコトナキニ至リタル日ヨリ三年ヲ經過セザル者

六　第十三條第二項又ハ第四十一條ノ規定ニ依リ除名セラレ除名ノ日ヨリ三年ヲ經過セザル者

七　合名會社、合資會社又ハ株式合資會社ニシテ其ノ無限責任社員中帝國臣民ニ非ザル者又ハ第二號乃至前號ノ一ニ該當スル者アルモノ

八　株式會社ニシテ其ノ資本ノ半額以上及議決權ノ過半數カ帝國臣民若ハ帝國法令ニ依リテ設立シタル法人ニ屬セザルモノ又ハ其ノ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員中帝國臣民ニ非ザル者若ハ第二號乃至第六號ノ一ニ該當スル者アルモノ

第十三條　會員前條第一號乃至第四號、第七號及第八號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ取引所ヨリ脫退ス但シ會員タル會社ノ無限責任社員又ハ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員中前條第五號ニ該當スル者アルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

朝鮮總督ハ不正ノ手段ニ依リ又ハ第一項第十一號中「又ハ煙料興業債券」ヲ「、煙料興業債券又ハ產金振興債券」ニ改ム

第四十九條　產金產金特別會計法第四條中「又ハ國債」ヲ「、國債、產金振興債券又ハ總額二千五百萬圓ヲ限リ日本產金振興株式會社株式」ニ改ム

第三款　取引所　市場

●朝鮮取引所令

昭和六年五月
制令第五號

朝鮮取引所令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮取引所令

第一章　取引所ノ組織及設立

第一條　取引所ハ法人トシ會員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條　取引所ハ營利ノ目的ヲ以テ業務ヲ行フコトヲ得ズ

第三條　取引所ノ設立ニハ朝鮮總督ノ免許ヲ受クルコトヲ要ス

第四條　取引所ニ付テハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法中社團法人ニ關スル規定ヲ準用ス

第五條　取引所ノ設立ハ朝鮮總督ノ免許ヲ受クベシ

第六條　同種ノ物件ヲ賣買取引スル取引所ハ一地區一箇所ニ限リ設立スルコトヲ得

第七條　取引所ノ免許年限ハ十年トス但シ朝鮮總督ハ出願ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第八條　有價證券ヲ賣買取引スル市場ハ取引所ト看做シ本令ニ依ルニ非ザレバ之ヲ設立スルコトヲ得ズ

第九條　同一取引所ニ於テ有價證券ノ賣買取引ト米其ノ他ノ商品ノ賣買取引トヲ併セ行フコトヲ得ズ

第十條　取引所ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ取引所ノ賣買取引ニ附帶スル倉庫業其ノ他ノ業務ヲ行フコトヲ得

取引所カ倉庫業ヲ行フ場合ニ於テ寄託者ノ請求アルトキハ寄託物ノ倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第三百八十三條ノ二第二項及第三百八十三條ノ三ノ規定ハ前項ノ倉荷證券ニ之ヲ準用ス

第二章　取引所ノ會員

第十一條　取引所ニ於テハ其ノ會員ニ限リ賣買取引ヲ爲スコトヲ得

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ取引所ノ會員ト爲ルコトヲ得ズ

一　帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル會社ニ非ザル者

二　無能力者

三　破産者ニシテ復權ヲ得ザル者

四　一年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ五年ヲ經過セザル者

五　第四十六條乃至第五十條ノ規定ニ依リ前項ノ代表者ハ會社ノ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ登記シタル支配人ニシテ帝國臣民タルコトヲ要ス

六　第十三條第二項又ハ第四十一條ノ規定ニ依リ除名セラレ除名ノ日ヨリ三年ヲ經過セザル者

七　合名會社、合資會社又ハ株式合資會社ニシテ其ノ無限責任社員中帝國臣民ニ非ザル者又ハ第二號乃至前號ノ一ニ該當スル者アルモノ

八　株式會社ニシテ其ノ資本ノ半額以上及議決權ノ過半數カ帝國臣民若ハ帝國法令ニ依リテ設立シタル法人ニ屬セザルモノ又ハ其ノ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員中帝國臣民ニ非ザル者若ハ第二號乃至第六號ノ一ニ該當スル者アルモノ

第十三條　會員前條第一號乃至第四號、第七號及第八號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ取引所ヨリ脫退ス但シ會員タル會社ノ無限責任社員又ハ取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル役員中前條第五號ニ該當スル者アルニ至リタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

朝鮮總督ハ不正ノ手段ニ依リ會員タルニ必要ナル條件ヲ缺クニ至リタル場合又ハ之ヲ缺ク者ニシテ會員タラントスル者アルコトヲ發見シタル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ取引所ヨリ脫退セシムルコトヲ得

朝鮮總督ハ會員カ前項ノ場合ニ該當スルトキハ之ヲ取引所ヨリ脫退セシムルコトヲ得

第十五條　取引所會員ヲ加入セシメントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

解散シタル取引所ノ財產處分ニ付必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六章　罰則

第四十六條　第二十條ノ規定ニ違反シタル者ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十七條　取引所ノ役員又ハ職員其ノ取引所ノ賣買取引ニ關スル職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第四十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　取引所ノ役員又ハ職員ニ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者

二　取引所ニ於ケル相場ヲ僞リテ公ニシタル者

三　公示若ハ頒布ノ目的ヲ以テ虛僞ノ相場ヲ記載シタル文書ヲ作製シタル者又ハ之ヲ頒布シタル者

四　免許ヲ受ケズシテ取引所ヲ設立シタル者又ハ第四十條ノ規定ニ違反シタル者

前項第一號ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第四十九條　取引所ニ於ケル相場ノ變動ヲ圖ル目的ヲ以テ虛僞ノ風說ヲ流布シ、偽計ヲ用ヒ又ハ暴行若ハ脅迫ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十條　取引所ニ依ラズシテ取引所ノ相場ニ依リ差金ノ授受ヲ目的トスル行爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑法第百八十六條ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第五十一條　取引所ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ取引所ナル文字ヲ用フル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十二條　會員ハ其ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從事者カ其ノ業務ニ關シ第二十條ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第五十三條　本令ニ別ニ法人ニ在リテハ其ノ行爲ヲ爲シタル理事、取締役其ノ他ノ業務ヲ執行スル社員若ハ役員又ハ登記シタル支配人ニ之ヲ適用ス

附　則

第五十四條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和六年十二月朝令第百三十七號ヲ以テ昭和七年一月一日ヨリ施行）

第五十五條　從前ノ規定ニ依リ設立シタル會社組織ノ取引所ニシテ本令公布ノ際現ニ存スルモノハ現ニ認可セラレタル營業繼續期間滿了ノ日迄其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

役員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ二年以内ノ任期ヲ以テ會員中ヨリ會員總會ニ於テ之ヲ選任スル但シ理事長及理事ハ會員ニ非ザル者ヨリ之ヲ選任スルヲ妨ゲズ

一人ニシテ二以上ノ取引所ノ理事長又ハ理事ヲ爲ルコトヲ得ズ

役員ノ選任ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第二十五條　第十二條各號ノ一ニ該當スル者ハ取引所ノ役員ト爲ルコトヲ得ズ

朝鮮總督ハ前條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ會員タルニ必要ナル條件ヲ缺クニ至リタルトキハ之ヲ取引所ヨリ脫退セシムルコトヲ得

第二十六條　會員ハ其ノ取引所ノ業務ヲ依ク之ヲ解職スルコトヲ得

第二十七條　朝鮮總督ハ役員ノ職務ヲ行フ者ナキ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ假ニ役員ヲ選任スルコトヲ得

第二十八條　取引所ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ取引所ニ關スル重要ナル事項ヲ付議スル爲商議員會ヲ設置スルコトヲ得

第二十九條　取引所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會員ヲシテ取引所ノ業務又ハ財產ニ關シ檢査又ハ監督上必要ナル處分ヲ爲サシムルコトヲ得

朝鮮總督ハ會員カ前項ノ場合ニ該當スルトキハ之ヲ取引所ヨリ脫退セシムルコトヲ得

第三十條　取引所ハ賣買取引ニ關スル責任ヲ履行セザル會員又ハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第三十一條　取引所ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第三十二條　取引所ノ賣買取引ニ關スル責任ヲ履行セザル會員又ハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得ズ

第三十三條　取引所ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第三十四條　取引所ハ賣買取引ニ關スル責任ヲ履行セザル會員又ハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第三十五條　取引所ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第三十六條　取引所ノ賣買取引ニ關スル責任ヲ履行セザル會員又ハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第三十七條　朝鮮總督ハ役員ノ職務ヲ行フ者ナキ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ假ニ役員ヲ選任スルコトヲ得

第二十八條　取引所ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ取引所ニ關スル重要ナル事項ヲ付議スル爲商議員會ヲ設置スルコトヲ得

第二十九條　取引所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會員ヲシテ取引所ノ業務又ハ財產ニ關シ檢査又ハ監督上必要ナル處分ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　取引所ハ賣買取引ニ關スル責任ヲ履行セザル會員又ハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第三十一條　取引所ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第三十二條　取引所ノ賣買取引ニ委託者ハ委託契約ニ基キテ生ズル債權ニ關シ當該會員ノ身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第三十三條　取引所ハ賣買取引ニ關スル責任ヲ履行セザル會員又ハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第三十四條　取引所ハ賣買取引ニ關スル責任ヲ履行セザル會員又ハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第三十五條　取引所ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第三十六條　取引所ノ賣買取引ニ委託者ハ委託契約ニ基キテ生ズル債權ニ關シ當該會員ノ身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第三十七條　朝鮮總督ハ役員ノ職務ヲ行フ者ナキ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ假ニ役員ヲ選任スルコトヲ得

第二十八條　取引所ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ取引所ニ關スル重要ナル事項ヲ付議スル爲商議員會ヲ設置スルコトヲ得

第二十九條　取引所ハ定款ノ定ムル所ニ依リ會員ヲシテ取引所ノ業務又ハ財產ニ關シ檢査又ハ監督上必要ナル處分ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　取引所ハ賣買取引ニ關スル責任ヲ履行セザル會員又ハ其ノ證據金及身元保證金ヲ以テ損害賠償ノ用ニ供スルコトヲ得

第三十一條　取引所ハ證據金及身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權ヲ有ス

第三十二條　取引所ノ賣買取引ニ委託者ハ委託契約ニ基キテ生ズル債權ニ關シ當該會員ノ身元保證金ニ付他ノ債權者ニ對シ優先權

ハ使用人ハ何人ノ名ヲ以テスルヲ問ハズ其ノ取引所ノ取引物件ニ付取引所ニ於ケル売買取引ヲ為シ又ハ其ノ委託ヲ為スコトヲ得

株式会社組織ノ取引所ノ役員又ハ使用人ハ其ノ取引所ノ取引員トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ分配其ノ他取引員ノ営業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スルコトヲ得ズ

第六十六條　朝鮮総督ハ第六十四條ノ規定ニ違反シテ役員ヲ為リタル者又ハ其ノ役員ニシテ前條第二項ノ規定ニ違反シタル者アリト認メタルトキハ之ヲ解職スルコトヲ得

第六十七條　第六十五條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ同條第二項ノ特別ノ利害關係ヲ生ズルコトヲ目的トスル行為ヲ為シタル者ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十八條　株式会社組織ノ取引所及其ノ取引員ニ付テハ第三條、第十六條、第十八條、第二十二條乃至第二十五條、第二十七條乃至第三十九條、第四十一條乃至第四十四條、第四十六條乃至第四十九條、第五十二條及第五十三條ノ規定ヲ準用ス

第六十九條　本令ニ規定スルモノノ外本令施行ノ際株式会社組織ノ取引所及其ノ取引員ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮総督之ヲ定ム

●朝鮮取引所令施行規則

昭和六年九月
總令第百九號

朝鮮取引所令施行規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮取引所令施行規則ニ於テ取引所ト称スルハ朝鮮取引所令第十條第一項及第三十三條第一項ノ業務ノ細目ニ關スル事項ヲ定ムルヲ目的トス

第二條　取引所ノ設立免許申請書ニハ左ノ書類ヲ添附シ之ヲ朝鮮総督ニ提出スベシ

一　定款及業務規程

二　会員ノ氏名又ハ名稱、營業種目及営業所ヲ記載シタル書面

三　会員ノ履歴書及資産調書並ニ会員会社タル場合ニ於テハ其ノ定款、貸借対照表、財産目録、総会又ハ株主総会ノ決議ヲ証スル書面

四　一年間ノ営業年度ノ收支概算書

五　売買取引ヲ為シ又ハ其ノ委託ヲ為スコトヲ得ル集散ノ状況及取引所ニ於ケル売買高ノ見込ヲ記載シタル書面

第三條　定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

一　名稱及所在地

二　会員ノ出資ニ關スル事項

三　会員ノ入退ニ關スル事項

四　資産ニ關スル事項

五　会員ノ入退ニ關スル事項

六　会計ニ關スル事項

七　役員ノ職務權限、定數、任期及任免ニ關スル事項

八　取引所ノ地區ハ朝鮮総督之ヲ告示スル事項

第四條　取引所ノ設立ノ免許アリタルトキハ遅滞ナク会員總会ヲ開キ役員ヲ選任スベシ

第五條　取引所設立ノ免許アリタルトキハ遅滞ナク会員總会ヲ開キ役員ヲ選任スベシ

第六條　役員選任ノ認可申請書ニハ履歴書ヲ添附スベシ但シ再選ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條　取引所免許年限更新ノ出願ヲ為サントスルトキハ免許年限満了ノ日ヨリ五月以前ニ其ノ願書ヲ朝鮮総督ニ提出スベシ

第八條　取引所ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ其ノ剰餘金、積立金其ノ他ノ財産ヲ会員ニ分配スルコトヲ得ズ但シ会員脱退シタル場合又ハ取引所解散シタル場合ニ於テ其ノ出資金ヲ返還スルハ此ノ限ニ在ラズ

第九條　取引所ハ其ノ取引銀行並ニ所有財産及諸預リ財産ノ保管方法ヲ定メ朝鮮総督ノ認可ヲ受ケベシ取引所有價證券ヲ所有セントスルトキ亦同ジ

朝鮮総督必要アリト認ムルトキハ前項ノ取引銀行又ハ保管方法ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十條　朝鮮取引所令第十條第一項ノ規定ニ依リ認可申請書ニハ業務ノ種類之ニ要スル資金、事業計畫ノ概要及收支概算ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

第十一條　会員ハ加入ノ認可申請書ニハ加入者ノ履歴書及資産調書ヲ、加入者会社タル場合ニ於テハ其ノ定款、貸借対照表、財産目録、社員名簿及代表者タルベキ者ノ履歴書ヲ添附スベシ

第十二條　会員ノ取引所ニ納ムベキ身元保證金ノ額ハ一萬圓ヲ下ラザル範圍内ニ於テ定メ之ヲ定ムベシ但シ商品ノ貨物市場ニ於ケル売買取引及銘柄又ハ等級別ニ相對売買ノ方法ニ依リテ決済ヲ為シ得ル商品ノ清算市場ニ於ケル売買取引ノミヲ営ムモノニ付テハ之ヲ三千圓迄下スコトヲ得

第十三條　会員ハ身元保證金ハ取引所ニ於ケル売買取引ノ種類又ハ代用價格ヲ以テ之ヲ定ムベシ

取引所ニ於ケル売買取引ノ期限ハ十五日以内ニ代用スルコトヲ得ズ

第十四條　身元保證金ハ有價證券ノ種類又ハ代用價格ヲ決定又ハ變更シタルトキハ其ノ有價證券ノ時價ヲ附記シ遅滞ナク之ヲ朝鮮総督ニ届出ヅベシ

第十五條　商議員ノ任期、選舉方法及定數其ノ他商議員会ノ組織、權限、会議ニ關スル事項等ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第十六條　取引所ニ於ケル売買取引ノ期限ハ三箇月ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十七條　取引所ニ於ケル売買取引ハ実物市場ニ於ケル売買取引及清算市場ニ於ケル売

第五十六條　従前ノ規定ニ依リ設立シ本令公布ノ際現ニ存スル会社ニシテ有價證券ヲ売買取引スル市場ヲ経営スルモノハ現ニ認可セラレタル営業繼続期間満了ノ日迄有價證券ヲ売買取引スル取引所ノ営業ヲ繼続スルコトヲ得

第五十七條　前二條ノ規定ニ依ル取引所ハ朝鮮総督ノ認可ヲ受ケ合併スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ合併シタル取引所ハ前二條ノ規定ニ依ル各取引所ノ営業ニ付本令公布ノ際現ニ存スル営業所ノ所在地ニ於テ各其ノ営業繼続期間満了ノ日迄其ノ営業ヲ繼続スルコトヲ得

第五十八條　前三條ニ規定スル取引所ノ営業繼続期間満了ノ際ニ於テ朝鮮総督ニ必要アリト認ムルトキハ前三條ノ規定ニ依ル営業繼続期間満了ノ日ヨリ十年以内ノ期間ヲ限リ更ニ其ノ営業ノ繼続ヲ許可スルコトヲ得

第五十九條　第五十五條乃至第五十七條ノ規定ニ依ル取引所（以下株式会社組織ノ取引所ト稱ス）ノ定款ノ變更ハ朝鮮総督ノ認可ヲ受クベシ

第六十條　株式会社組織ノ取引所ニ於テハ其ノ取引員ニ限リ賣買取引ヲ為スコトヲ得

取引員ニ為リ賣買取引ヲ為スコトヲ受クベシ

第六十一條　取引員取引所ノ役員タル認可ヲ受ケタルトキハ其ノ免許ハ效力ヲ失フ

第六十二條　株式会社組織ノ取引所ノ役員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ二年以内ノ任期ヲ以テ株主中ヨリ之ヲ選任ス

第二十四條第一項、第三項及第四項並ニ第二十五條ノ規定ハ前項ノ役員ニ付之ヲ準用ス

第六十三條　取引所ノ役員取引員ノ免許ヲ受ケタルトキハ其ノ職ヲ失フ

第六十四條　取引員トノ間ニ資金ノ供與、損益ノ分配其ノ他取引員ノ営業ニ付特別ノ利害關係ヲ有スル者ハ其ノ取引所ノ役員ト為ルコトヲ得ズ

第六十五條　取引所ノ役員取引員ノ免許ヲ受ケタルトキハ其ノ職ヲ失フ

第六十六條　朝鮮総督必要アリト認ムルトキハ取引所ノ役員ヲ解職スルコトヲ得

第六十七條　取引所ノ役員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ報酬ヲ受ケ又ハ職務上ノ費用ノ弁償ヲ受クベシ

第六十八條　取引所ハ何等ノ名義ヲ以テスルヲ問ハズ其ノ剰餘金、積立金其ノ他ノ財産ヲ会員ニ分配スルコトヲ得ズ但シ会員脱退シタル場合又ハ取引所解散シタル場合ニ於テ其ノ出資金ヲ返還スルハ此ノ限ニ在ラズ

第六十九條　取引所ハ其ノ取引銀行並ニ所有財産及諸預リ財産ノ保管方法ヲ定メ朝鮮総督ノ認可ヲ受クベシ

取引所ニ於ケル売買取引ノ期限ハ十五日以内ニ代用スルコトヲ得ズ

第七十條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ資産ニ關スル調査ヲ為シ又ハ報告ヲ徵スルコトヲ得

第七十一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ノ實行ヲ確保スル為必要ナル命令ヲ為スコトヲ得

第七十二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第七十三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ戒告又ハ譴責ヲ為スコトヲ得

第七十四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ一定ノ期間ヲ限リ取引ノ停止ヲ為スコトヲ得

第七十五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ除名ヲ為スコトヲ得

第七十六條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ一定ノ期間ヲ限リ取引ノ為ニ取引所ニ出入スルヲ禁ズルコトヲ得

第七十七條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第七十八條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第七十九條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十六條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十七條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十八條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第八十九條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十六條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十七條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十八條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第九十九條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百六條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百七條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百八條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百九條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十六條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十七條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十八條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百十九條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十六條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十七條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十八條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百二十九條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十六條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十七條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十八條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百三十九條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十六條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十七條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十八條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百四十九條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十六條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十七條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十八條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百五十九條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百六十條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百六十一條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百六十二條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百六十三條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百六十四條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

第百六十五條　取引所ハ会員ニ対シ其ノ営業ニ關シ命令又ハ定款ニ違反シタル場合ニ於テハ前條ノ処分ニ代ヘ又ハ之ニ附加シテ過怠金ヲ科スルコトヲ得

●朝鮮取引所令施行規則ニ依ル取引所ノ地區指定

昭和七年一月
總督令第十七號

朝鮮取引所令施行規則第四條ノ規定ニ依リ取引所ノ地域ヲ左ノ通指定ス

京城北道一圓
京畿道一圓
全羅北道一圓
全羅南道一圓
慶尚南道一圓
慶尚北道一圓
平安南道一圓
平安北道一圓
咸鏡南道一圓
咸鏡北道一圓

●市場規則

大正三年九月
總令第百三十六號

改正　大正九年四月第三八號、一三年九第五二號、昭和二年三第一八號、五年五第五三號、六年九第一〇九號

市場規則

第一條　本令ニ於テ市場ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ

一　場屋ヲ設ケ又ハ場屋ヲ設ケサルモ區劃シタル地域ニ於テ毎日又ハ定期ニ多數ノ需要者及供給者來集シ貨物ノ賣買交換ヲ行フ場所

二　二十人以上ノ營業者一場屋ニ於テ主トシテ穀物食料品ノ販賣業ヲ行フ場所

三　委託ヲ受ケ競賣ノ方法ニ依リ貨物ノ販賣業ヲ行フ場所

第二條　市場ハ公共團體又ハ之ニ準スヘキモノニ非サレハ之ヲ經營スルコトヲ得ス

第三條　市場ヲ設置セムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ道知事ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

一　名稱
二　位置
三　面積
四　設備
五　開市日又ハ休業日及市場ノ開閉時刻
六　取引スヘキ主ナル貨物ノ種類
七　府面ニ於テ經營スル場合ヲ除クノ外使用料ヲ徴收セムトスルトキハ其ノ率及徴收方法
八　管理方法
九　設置ノ理由
前項ノ願書ニハ市場ノ設備位置及其ノ附近ノ狀況ヲ記載シタル圖面ヲ添附スヘシ

第四條　市場ヲ開始シタルトキハ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第一條ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキ亦同シ

第五條　第三條第一項第一號乃至第八號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クヘシ

第六條　市場ヲ廢止シタルトキハ其ノ理由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第七條　道知事ハ公益上必要アリト認ムルトキハ第三條第一項又ハ第五條ノ許可ヲ取消シ又ハ市場ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命スルコトヲ得

第八條　委託ヲ受ケ競賣ノ方法ニ依リ貨物ヲ販賣スル營業ヲ爲サムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ市場經營者ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附シ道知事ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

一　商號、氏名
二　資本金額
三　營業期間
四　營業規程
五　營業所ノ位置
六　貨物ノ種類
七　一年間ノ原賣見込數量及金額
八　一年間ノ損益見込計算

營業者其ノ營業上必要ナル設備ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ設備ヲ記載シタル書面及圖面ヲ前項ノ願書ニ添附スヘシ

第九條　前條ノ營業規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　貨物ノ保管及販賣ノ方法ニ關スル事項
二　仲買人ヲ置クトキハ其ノ資格及加入脫退ニ關スル事項
三　販賣手數料ノ率及取立方法、委託者ニ對スル代金支拂方法其ノ他委託ニ關スル事項
四　營業時間及休業日ニ關スル事項
五　前各號ノ外營業ニ關シ必要ナル事項

第十條　第八條第一項第三號ノ營業期間ハ十年ヲ超ユルコトヲ得ス但シ申請ニ依リ之ヲ更新スルコトヲ得

第十一條　第八條ニ依リ許可ヲ受ケタル營業ハ相續ニ依リ之ヲ繼承スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ相續人ヨリ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第十二條　第八條ノ許可ヲ受ケタル者同條第一項第三號、第五號、第六號ノ事項、同條第二項ノ設備又ハ營業規程ヲ變更セムトスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クヘシ

第八條第一項第一號ノ事項ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク道知事ニ屆出ツヘシ

第十三條　第八條ノ許可ヲ受ケタル者ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外休業日以外ニ其ノ營業ヲ休止スルコトヲ得ス

第十四條　第八條ノ許可ヲ受ケタル者ハ營業規程ニ依ル場合ヲ除クノ外其ノ營業貨物ノ販賣委託ヲ拒ムコトヲ得ス

第十五條　第八條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ營業ヲ開始シ廢止シ又ハ休業日以外ニ休止シタルトキハ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ但シ營業休止ノ場合ハ其ノ事由ヲ屆書ニ記載スヘシ

營業者死亡シタルトキ又ハ解散ニ依リ營業ヲ廢止シタルトキハ相續人又ハ清算人ヨリ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第十六條　道知事又ハ警察署長必要アリト認ムルトキハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者ヲシテ營業ノ狀況及出納計算ノ報告ヲ爲サシメ又ハ之ニ關スル書類帳簿ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第十七條　第八條ノ許可ヲ受ケタル者許可ヲ受ケタル日ヨリ六月內ニ營業ヲ開始セス又ハ營業休止一月ヲ超ユルトキハ道知事ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

第十八條　委託ヲ受ケ競賣ノ方法ニ依リ貨物ヲ販賣スル營業ヲ爲サムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル願書ニ市場經營者ノ同意ヲ得タルコトヲ證スル書面ヲ添附シ道知事ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

一　商號、氏名
二　資本金額
三　營業期間
四　營業規程
五　營業所ノ位置
六　貨物ノ種類
七　一年間ノ原賣見込數量及金額
八　一年間ノ損益見込計算

營業者其ノ營業上必要ナル設備ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ設備ヲ記載シタル書面及圖面ヲ前項ノ願書ニ添附スヘシ

第十九條　前條ノ營業規程ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　商號、氏名
二　資本金額
三　營業期間
四　營業規程
五　營業所ノ位置
六　貨物ノ種類
七　一年間ノ原賣見込數量及金額
八　一年間ノ損益見込計算

營業者其ノ營業上必要ナル設備ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ設備ヲ記載シタル書面及圖面ヲ前項ノ願書ニ添附スヘシ

第二十條　第十八條ニ依ル營業ニ關シ必要アリト認ムルトキハ道知事ハ營業者ニ對シ許可ヲ取消シ又ハ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命スルコトヲ得

第二十一條　警察官必要アリト認ムルトキハ市場ニ於テ營業ヲ爲ス者又ハ市場ニ入ル者ニ對シ公安ヲ維持又ハ衛生ノ取締ニ關シ臨時必要ナル措置ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　第十八條ノ許可ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第十二條第一項ノ規定ニ違反シ又ハ不實ノ申告ヲ爲シ第十二條第一項ノ許可ヲ受クルトキ
二　許可ノ條件又ハ營業規程ニ違反シタルトキ
三　第十六條ニ規定スル檢査ヲ拒ミ營業ノ狀況若ハ出納計算ノ報告ヲ爲サス又ハ報告ニ不實ノ記載ヲ爲シ若ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
四　營業ニ關スル書類帳簿ニ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ故意ニ必要ノ事項ヲ記載セサルトキ

第二十一條　第十八條ニ依ル警察官ノ命令ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第二十二條　第十一條、第十二條第二項又ハ第十五條ニ規定スル屆出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第二十三條　法人ノ代表者又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令ニ規定ス

ル罰ヲ犯シタルトキハ其ノ關則ヲ法人ニ適用ス

法人ヲ處罰スヘキ場合ニ於テハ法人ノ代表者ヲ以テ被告人トス

第二十四條　第八條ニ規定スル營業者ハ其ノ代理人戶主家族同居者雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本令ニ規定シタル罪ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

第二十四條ノ二　本令ハ主トシテ米ノ賣買取引ヲ爲ス市場ニハ之ヲ適用セズ

附　則

第二十五條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條　委託ヲ受ケ競賣ノ方法ニ依リ貨物ヲ販賣スル市場ハ當分ノ內公共團體又ハ之ニ準スヘキモノ以外ノ者ニ對シ期限ヲ附シ其ノ設置ヲ許可スルコトヲ得

第二十七條　本令施行ノ際現ニ存在スル市場ニシテ會社又ハ個人ノ經營ニ屬セサルモノハ道長官ノ指定スル公共團體又ハ之ニ準スヘキモノニ於テ設置シタルモノヲ引續キ之ヲ經營スルコトヲ得

前項ノ市場ニハ第四條第二項、第五條乃至第七條ノ規定ヲ準用ス

第二十九條　第二十六條ノ市場經營者及前條ノ市場ヲ經營スル會社又ハ個人ニハ第十一條、第十三條、第十五條第二項、第十六條ノ規定ヲ準用ス

前項ニ依リ準用シタル規定ニ關スル本令ノ關則ハ前項ノ市場經營者ニ之ヲ準用ス

第三十條　不實ノ申告ヲ爲シ第二十六條ノ市場ノ許可ヲ受ケタル者又ハ市場ヲ經營スル會社又ハ個人ニシテ第七條ノ命令ニ違反シタルトキハ一年以下ノ懲役禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

市場ヲ經營スル會社又ハ個人ニシテ許可ノ條件ニ違反シタルトキ、第五條若ハ第六條ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ不實ノ申告ヲ爲シ第七條ノ命令ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

市場ヲ經營スル會社又ハ個人ニシテ許可ノ條件ニ違反シタルトキ、第五條若ハ第六條ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ不實ノ申告ヲ爲シ第七條ノ命令ニ違反シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

前項ノ場合ニ於テハ情狀ニ因リ懲役又ハ禁錮ヲ併科スルコトヲ得

第三十一條　本令施行ノ際現ニ第八條ノ營業ヲ爲ス者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第三十二條　第二十八條ノ市場又ハ前條ノ營業ニ付期間ノ定ナキモノハ其ノ期間ヲ本令施行ノ日ヨリ十年ヲ期間ノ定アルモノハ其ノ期間ヲ存續スルコトヲ得

第三十二條ノ二　第二十八條ノ市場中第一條第二號ニ該當スルモノハ其ノ存續期間滿了ノ場合ニ於テハ其ノ市場ヲ存續スル必要アリ且公共團體又ハ之ニ準スヘキモノハ其ノ經營ヲ爲サムル場合ニ限リ道知事ハ十年以內ノ期間ヲ定メ其ノ經營ノ存續ヲ許可スルコトヲ得

第三十三條　第二十七條及第二十八條ノ市場經營者ハ第三條ニ掲ケタル事項第三十一條ノ營業者ハ第八條ニ掲ケタル事項ヲ本令施行ノ日ヨリ六月內ニ道長官ニ屆出ツヘシ

第二十七條及第二十八條ノ市場經營者ニシテ其ノ市場ニ付許可ヲ受ケタル者又ハ第三十一條ノ營業者ハ許可ノ官廳許可年月日及期間ヲ前項ノ屆出ト同時ニ道長官ニ屆出ツヘシ

前二項ノ屆出ヲ怠リタルトキハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則(大正九年四月總令第三十八號)

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第一條第四號ノ市場ヲ經營スル者及其ノ仲買人ハ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

前項ニ依リ許可ヲ願出テタル者ハ其ノ許否決定スル迄從前ノ例ニ依リ事業ヲ繼續スルコトヲ得

第十一條　朝鮮總督ハ道知事必要アリト認ムルトキハ正米市場ノ業務ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ官吏ヲシテ正米市場ノ經營者又ハ其ノ市場ニ於テ賣買若ハ仲立ヲ爲ス者ノ業務、書類、帳簿又ハ財產ヲ檢査セシムルコトヲ得

第十二條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ業務規程ノ變更其ノ他監督上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十三條　朝鮮總督ハ正米市場ノ經營者若ハ市場管理者又ハ賣買若ハ仲立ヲ爲ス者ノ行爲カ法令若ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第十四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ營業ニ關シ必要アリト認ムルトキハ道知事ハ營業者ニ對シ許可ヲ取消シ又ハ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命スルコトヲ得

第十五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ正當ノ事由アル場合ヲ除クノ外休業日以外ニ其ノ營業ヲ休止スルコトヲ得ス

第十六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ營業規程ニ依ル場合ヲ除クノ外其ノ營業貨物ノ販賣委託ヲ拒ムコトヲ得ス

第十七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク營業ノ開始、廢止又ハ休業日以外ニ於ケル休止ヲ道知事ニ屆出ツヘシ但シ營業休止ノ場合ハ其ノ事由ヲ屆書ニ記載スヘシ

第十八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ營業ノ狀況若ハ出納計算ノ報告ヲ爲サシメ又ハ之ニ關スル書類帳簿ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第十九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三條第一項第一號乃至第八號ニ掲ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クヘシ

第二十條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五條ノ規定ニ準シ營業ノ位置ノ移轉ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六條ノ規定ニ準シ營業ヲ廢止スルコトヲ得

第二十二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七條ノ規定ニ準シ營業ヲ休止シ又ハ營業ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第二十三條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八條ノ規定ニ準シ營業ノ方法ヲ變更スルコトヲ得

第二十四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九條ノ規定ニ準シ營業規程ヲ變更スルコトヲ得

第二十五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第十條ノ規定ニ準シ營業ノ期間ヲ更新スルコトヲ得

第二十六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第十一條ノ規定ニ準シ營業ヲ繼承スルコトヲ得

第二十七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第十二條ノ規定ニ準シ營業ヲ廢止スルコトヲ得

第二十八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第十三條ノ規定ニ準シ營業ヲ休止スルコトヲ得

第二十九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第十四條ノ規定ニ準シ營業ヲ停止スルコトヲ得

第三十條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第十五條ノ規定ニ準シ營業ヲ開始シ廢止シ又ハ休業日以外ニ休止シタルトキハ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ但シ營業休止ノ場合ハ其ノ事由ヲ屆書ニ記載スヘシ

第三十一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第十六條ノ規定ニ準シ營業ノ狀況若ハ出納計算ノ報告ヲ爲サシメ又ハ之ニ關スル書類帳簿ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第三十二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第十七條ノ規定ニ準シ營業ヲ廢止シタルトキハ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ツヘシ

第三十三條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第十八條ノ規定ニ準シ營業ノ狀況若ハ出納計算ノ報告ヲ爲サス又ハ報告ニ不實ノ記載ヲ爲シ若ハ事實ヲ隱蔽シタルトキハ第十九條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第三十四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第三十五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十一條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第三十六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十二條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第三十七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十三條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第三十八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十四條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第三十九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十五條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十六條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十七條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十八條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十三條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二十九條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十一條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十二條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十三條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十四條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第四十九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十五條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十六條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十七條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十八條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十三條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第三十九條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十一條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十二條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十三條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十四條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第五十九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十五條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十六條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十七條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十八條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十三條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第四十九條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十一條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十二條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十三條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十四條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第六十九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十五條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十六條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十七條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十八條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十三條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第五十九條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十一條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十二條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十三條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十四條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第七十九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十五條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十六條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十七條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十八條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十三條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第六十九條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十一條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十二條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十三條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十四條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第八十九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十五條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十六條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十七條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十八條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十三條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第七十九條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十一條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十二條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十三條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十四條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第九十九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十五條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十六條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十七條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十八條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百三條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第八十九條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百四條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九十條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百五條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九十一條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百六條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九十二條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百七條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九十三條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百八條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九十四條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百九條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九十五條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百十條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九十六條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百十一條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九十七條ノ規定ニ準シ營業ノ停止、營業所ノ位置ノ移轉其ノ他適當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得

第百十二條　第十一條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第九

シ又ハ公益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ第二條ノ許可ヲ取消シ、市場管理者ノ解任ヲ命ジ又ハ市場ニ於ケル賣買若ハ仲立ノ禁止若ハ停止ヲ命ズルコトヲ得

第十四條　許可ヲ受ケズシテ正米市場ヲ設ケシメルル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム（昭和六年十一月總令第百三十七號ヲ以テ昭和七年一月一日ヨリ施行）

第四款　商工會議所

●朝鮮商工會議所令

昭和五年五月
制令第　四號

朝鮮商工會議所令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮商工會議所令

第一條　商工會議所ハ商工業ノ改善發達ヲ圖ルコトヲ以テ目的トス

第二條　商工會議所ハ法人トス

第三條　商工會議所ノ地區ハ府ノ區域ニ依ル但シ商工業ノ狀況ニ依リ必要アル場合ニ於テハ府ノ區域ニ依ルコトヲ得

特別ノ事情アル場合ニ於テハ府ト面若ハ其ノ一部又ハ面ト面若ハ共ノ一部ヲ合シテ一地區トス

第四條　商工會議所ノ名稱中ニハ商工會議所ナル文字ヲ用フベシ

第五條　商工會議所ヲ設立セントスルトキハ商工會議所ノ議員ノ被選舉權ヲ有スベキ者三十人以上發起人トス

發起人トス但シ會社ニ在リテハ資本ノ一部又ハ面ト面若ハ共ノ一部ヲ合シテ一地區トス

第四條　商工會議所ノ名稱中ニハ商工會議所ナル文字ヲ用フベシ

第五條　商工會議所ヲ設立セントスルトキハ商工會議所ノ議員ノ被選舉權ヲ有スベキ者三十人以上

ノ際必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

●朝鮮商工會議所令施行規則

昭和五年十一月
總令第九十五號

朝鮮商工會議所令施行規則左ノ通定ム

朝鮮商工會議所令施行規則

第一條　商工會議所ヲ設立セントスルトキハ發起人ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ會員タルベキ者ニ對シ設立ノ同意ヲ求ムベシ

一　設立ノ理由
二　地區
三　事業計畫ノ概要
四　一事業年度ノ經費ノ收支概算
五　一事業年度ノ經費ノ收支概算ヲ以テ會員ニ賦課スル場合ニ於テハ各府面及面ノ一部ニ付共ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條　創立總會ニ於テハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得但シ會員タルベキ者ニ非ザレバ代理人タルコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テハ代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ提出スベシ

第五條　創立總會終了シタルトキハ發起人ハ法定ノ設立同意者ヲシテ創立總會ノ議事錄ノ謄本及左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シ設立認可申請書ヲ遲滯ナク朝鮮總督ニ差出スベシ

一　設立ノ理由
二　地區
三　會員タルベキ者ノ營業種目別ノ數
四　事業年度ノ經費ノ收支概算
五　一事業年度ノ經費ノ收支概算ヲ以テ地區ヲ爲サントスルトキハ其ノ地區ニ於ケル商工業ノ狀況
六　府ト面若ハ其ノ一部又ハ面ト面若ハ其ノ一部ヲ合シテ一地區ヲ爲サントスルトキハ其ノ特別ノ事情
七　府ト面若ハ其ノ一部又ハ面ト面若ハ其ノ一部ヲ合シテ一地區ヲ爲サントスルトキハ其ノ名稱、地區、事務所ノ所在地及認可ノ年月日ヲ告示ス其ノ告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ

第七條　商工會議所ノ設立ノ認可アリタルトキハ發起人ハ六月以內ニ議員ノ選舉ヲ行フベシ

前項ノ期間內ニ其ノ選舉ヲ行ハザルトキハ設立ノ認可ハ其ノ效力ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ其ノ旨ヲ告示ス

第八條　發起人ハ議員ノ選舉ヲ爲シタル後遲滯ナク議員總會ヲ開キ其ノ執行シタル事務ヲ報告シ且創立費及其ノ償却方法ノ承認ヲ求ムベシ

前項ノ議員總會ニ於テハ役員ヲ選任シ竝ニ經費ノ豫算及賦課徵收方法ヲ決スベシ

役員ノ選任アリタルトキハ發起人ハ一切ノ事務ヲ遲滯ナク役員ニ引繼グベシ

商工會議所ハ第一項ノ承認ヲ經タル創立費及其ノ償却方法ヲ朝鮮總督ニ届出づベシ

第九條　朝鮮商工會議所令第八條第一項第三號ノ納稅額ヲ左ノ通定ム

商工會議所　營業稅又ハ鑛產稅　取引所稅
京城府ニ事務所ヲ有スルモノ　十五圓　百圓
大邱府、釜山府、平壤府ニ事務所ヲ有スルモノ　十圓　同
其ノ他ノモノ　七圓　同

第十條　商工會議所ノ地區外ニモ營業稅ヲ有スル者ニ付テハ商工會議所ノ地區ノ屬スル府面ニ於ケル營業稅附加稅又ハ營業稅割ノ賦課ニ付歩合ノ定アルトキハ其ノ歩合ニ依ル本稅額ヲ以テ其ノ地區內ニ於ケル納稅額ト看做ス

前項ノ歩合ノ定ナキトキハ商工會議所ハ其ノ地區內ニ於ケル納稅額ヲ看做スベキ金額ヲ定メ道知事ノ認可ヲ受クベシ

第十一條　特別議員ヲ置ク商工會議所ノ名稱及其ノ定數ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

特別議員ノ任命及解任ハ道知事之ヲ爲スベシ但シ朝鮮商工會議所令第四十六條ノ規定ニ依ル解任ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

道知事特別議員ヲ任命シタルトキハ其ノ履歷書ヲ添ヘ解任シタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十二條　商工會議所ハ朝鮮商工會議所令第二十條第四項ニ定ムル事項ノ外左ノ事項ニ付定款ヲ以テ特別議員ノ議決權ヲ制限スルコトヲ得

一　事業報告ノ承認
二　借入金
三　過怠金ノ徵收
四　朝鮮商工會議所ノ設立ノ同意
五　朝鮮商工會議所令第四十二條ノ裁決

第十三條　役員ノ選任アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ履歷書ヲ、役員會社ナルトキハ其ノ代表者ノ履歷書ヲ添附シ其ノ旨ヲ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出づベシ

第十四條　議員、特別議員又ハ役員ノ氏名又ハ退任アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ氏名又ハ退任ノ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出づベシ但シ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ解任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條　理事ノ任命アリタルトキハ事由ヲ具シ商工會議所ハ其ノ旨ヲ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出づベシ

第十六條　商工會議所ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十七條　商工會議所ノ地區ノ屬スル府面ニ於ケル營業稅附加稅又ハ營業稅割ノ賦課ニ付歩合ノ定アルトキハ其ノ歩合ニ依ル本稅額ヲ以テ其ノ地區內ニ於ケル納稅額ト看做ス

前項ノ歩合ノ定ナキトキハ商工會議所ハ其ノ地區內ニ於ケル納稅額ヲ看做スベキ金額ヲ定メ道知事ノ認可ヲ受クベシ

第十一條　特別議員ヲ置ク商工會議所ノ名稱及其ノ定數ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

特別議員ノ任命及解任ハ道知事之ヲ爲スベシ但シ朝鮮商工會議所令第四十六條ノ規定ニ依ル解任ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

道知事特別議員ヲ任命シタルトキハ其ノ履歷書ヲ添ヘ解任シタルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十二條　商工會議所ハ朝鮮商工會議所令第二十條第四項ニ定ムル事項ノ外左ノ事項ニ付定款ヲ以テ特別議員ノ議決權ヲ制限スルコトヲ得

一　事業報告ノ承認
二　借入金
三　過怠金ノ徵收
四　朝鮮商工會議所ノ設立ノ同意
五　朝鮮商工會議所令第四十二條ノ裁決

第十三條　役員ノ選任アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ履歷書ヲ、役員會社ナルトキハ其ノ代表者ノ履歷書ヲ添附シ其ノ旨ヲ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出づベシ

第十四條　議員、特別議員又ハ役員ノ氏名又ハ退任アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ氏名又ハ退任ノ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出づベシ但シ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ解任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條　理事ノ任命アリタルトキハ事由ヲ具シ商工會議所ハ其ノ旨ヲ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出づベシ

第十六條　商工會議所ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十七條　商工會議所ノ

營業稅、取引所稅又ハ鑛產稅ノ地區內ニ於テ定ムル納稅額ヲ標準トシ左ノ割合ヲ以テ賦課スルコトヲ得

一　營業稅　百分ノ五十
二　取引所稅　百分ノ二十
三　鑛產稅　百分ノ四十

前項ノ納稅額決定以前ニ於テハ其ノ最近ニ決定セラレタル一年間ノ納稅額ヲ以テ其ノ納稅額ト看做ス

特別ノ必要アル場合ニ於テハ商工會議所ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ第一項ノ割限ヲ超過シテ其ノ經費ヲ賦課スルコトヲ得

第十八條　商工會議所ハ經費負擔義務者ニ對シ其ノ負擔義務ノ發生シタル月ヨリ其ノ消滅シタル月迄ノ月割額ヲ超エテ經費ヲ賦課スルコトヲ得ズ但シ既ニ徵收シタル經費ハ定款ノ定ムル所ニ依リ之ヲ還付セザルコトヲ得

事業年度一年ニ滿チザル場合ニ於テハ前條ノ賦課率ハ其ノ年度ノ開始シタル月ヨリ其ノ終了シタル月迄ノ月割ヲ以テ計算ス

第十九條　商工會議所ハ每年一月末日迄ニ次年度ノ經費ノ豫算及賦課徵收方法ノ議決ノ認可申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ但シ商工會議所ヲ新ニ設立シタル場合ニ於テハ議決アリタル日ヨリ七日以內ニ差出スコトヲ得

初年度ノ經費ノ豫算及賦課徵收方法ノ議決ノ認可申請書ハ前決アリタル日ヨリ七日以內ニ之ヲ添附スベシ

經費ノ豫算及賦課徵收方法ノ變更ノ議決ノ認可申請書ハ議決アリタル日ヨリ七日以內ニ之ヲ差出スベシ

前三項ノ認可申請書ニハ議事錄ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十條　商工會議所ノ經費ノ賦課又ハ過怠金ノ徵收ノ通知ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ意見ヲ具シ朝鮮總督ノ處分ヲ請フコトヲ得

道知事必要アリト認ムルトキハ商工會議所ノ決定ヲ解除シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得

第二十一條　商工會議所ハ定款ノ變更及解散ノ議決ノ認可申請書ニハ議事錄ノ謄本ヲ添附スベシ

第二十二條　商工會議所ハ定款ノ變更及解散ノ議決ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出づベシ

第二十三條　朝鮮商工會議所ハ每年七月末日迄ニ前年度ノ收支決算及事業成績ノ報告書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

前項ノ報告書ニハ前年度末日現在ニ依リ調製シタル財產目錄及貸借對照表ヲ添附スベシ

第二十四條　商工會議所ノ定款ノ變更及解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ意見ヲ具シ朝鮮總督ノ處分ヲ請フコトヲ得

道知事必要アリト認ムルトキハ商工會議所ノ決定ヲ解除シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得

第二十五條　商工會議所ハ每年七月末日迄ニ前年度ノ經費ノ收支決算及事業成績ノ報告書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

前項ノ報告書ニハ前年度末日現在ニ依リ調製シタル財產目錄及貸借對照表ヲ添附スベシ

第二十六條　商工會議所ノ定款ノ變更及解散ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服アルトキハ意見ヲ具シ朝鮮總督ノ處分ヲ請フコトヲ得

道知事必要アリト認ムルトキハ商工會議所ノ決定ヲ解除シ又ハ之ヲ變更スルコトヲ得

第二十七條　商工會議所ハ定款ノ變更及解散シタルトキハ其ノ旨ヲ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出づベシ

第二十八條　商工會議所ニ於テ清算人ヲ選任シタルトキハ其ノ履歷書ヲ添附シ遲滯ナク認可申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

清算人タル者ナキトキハ道知事之ヲ選任スベシ

清算人ノ退任アリタルトキハ商工會議所ハ其ノ氏名及退任ノ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遲滯ナク道知事ニ届出づベシ但シ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ解任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條　商工會議所ハ解散ノ場合ニ於テハ商工會議所ノ清算人ヲ選任シタルトキハ其ノ氏名及住所ヲ告示スベシ清算人ノ退任アリタルトキ亦同ジ

第二十九條　商工會議所ハ解散ノ場合ニ於テハ商工會議所ノ清算人ハ就職ノ日ヨリ六月以內ニ清算及財產處分ノ方法ヲ定メ議員總會ノ議決ヲ經ベシ

前項ノ清算及財產處分ノ方法ニシテ議員總會ノ議決ヲ經タルトキハ財產目錄及貸借對照表ヲ添附シ七日以內ニ認可申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ

議員總會第一項ノ期間內ニ議決ヲ爲サズ又ハ爲スコト能ハザルトキハ清算人ハ其ノ事由ヲ具シ清算及財產處分ノ方法ヲ定メ期間經過後七日以內ニ認可申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ此ノ場合ニ於テハ財產目錄及貸借對照表ヲ添附スベシ

第三十條　第十七條、第二十條乃至第二十三條ノ規定ハ商工會議所ノ解散ノ後其ノ債務ヲ完濟スルニ必要ナル金額ヲ賦課徵收スル場合ニ之ヲ準用シ同ジク共ノ賦率ハ第十七條第一項ノ制限ニ依リ清算人之ヲ定ム

第三十一條　清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク朝鮮總督ニ届出づベシ

第三十二條　道知事ハ其ノ管內ニ於ケル商工會議所ノ監督上必要アリト認ムルトキハ意見ヲ具シ朝鮮總督ノ處分ヲ請フコトヲ得

道知事必要アリト認ムルトキハ商工會議所ニ對シ其ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ財產ヲ處分スベキ旨ヲ命ジ又ハ其ノ處分ヲ爲シ若ハ其ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ財產ヲ處分スベキ者ヲ選任シ若ハ其ノ選任ヲ取消スコトヲ得

第三十三條　朝鮮總督ハ本令ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ道知事ニ委任スルコトヲ得

第三十四條　商工會議所又ハ朝鮮商工會議所ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ商工會議所又ハ朝鮮商工會議所ト紛ハシキ文字ヲ用ヒタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（朝鮮總督府令第五十一號ヲ以テ昭和五年十二月二十五日ヨリ施行）

朝鮮商業會議所令ハ之ヲ廢止ス

朝鮮商業會議所令ニ依リ設立セラレ本令ニ依リ設立シタル商工會議所ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル商工會議所ニ付テハ舊令ニ依ル評議員總會、議員及特別議員ト看做ス

本令ニ依ル議員總會、議員及特別議員ノ選舉ニ付テハ舊令ニ依ル評議員及特別評議員ノ名之ヲ準用ス

第三項ノ規定ニ依ル商工會議所ニ付テハ議員ノ選舉ニ關スル規定ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行シ其ノ施行前ニ於ケル議員ノ選舉ニ關スル事項ハ仍舊令ニ依ル

第三項ノ規定ニ依ル商工會議所ニ付本令施行ノ際現ニ存スル商業會議所ノ之ヲ本令ニ依リ設立シタル商工會議所ト看做ス

前項ノ規定ニ依ル商工會議所ニ付テハ舊令ニ依ル評議員總會、議員及特別評議員ノ名之ヲ本令ニ依ル議員總會、議員及特別議員ト看做

商工會議所特別議員ノ定數及選擧規則

第一章　總則

第一節　商工會議所ノ設置

第一條　商工會議所ハ商業、工業ノ改良發達ヲ圖リ兼テ商事ニ關スル調査ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル意見ヲ地方廳又ハ帝國議會ニ建議スルコトヲ得

第三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ地方廳又ハ帝國議會ノ諮問ニ應ジ又ハ意見ヲ具申スルコトヲ得

第四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ地方廳又ハ帝國議會ニ建議シ又ハ諮問ニ應ジ又ハ意見ヲ具申スルコトヲ得

第五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第五十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第六十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第七十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第八十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二章　商工會議所ノ設立

第百一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十一條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十二條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十三條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十四條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十五條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十六條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十七條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十八條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十九條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

第百二十條　商工會議所ハ其ノ地ノ商業、工業ニ關シ必要ト認ムル事項ヲ調査シ又ハ調査ヲ爲サシムルコトヲ得

朝鮮商工會議所令第九條各號又ハ同令第十八條各號ニ揭ゲル者ニ該當スル=因リ被選舉權ヲ有セザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ決定ヲ受ケタル者其ノ決定ニ不服アルトキハ決定書ノ謄本ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ道知事ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第二十九條　第四條第一項ノ異議ノ申立竝ニ第四條第二項及前條第二項ノ裁決ノ申請ハ文書ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十條　議員ハ選舉若ハ當選ノ取消又ハ第二十八條第一項ノ決定ノ確定若ハ同條第二項ノ裁決アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第三十一條　總選舉後一年以内ニ議員ニ闕員ヲ生ジタル場合ニ於テ第十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選者トナラザリシ者アルトキハ商工會議所ハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムベシ

前項ノ規定ノ適用ヲ受ケル者ナキトキ又ハ前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍議員ノ數其ノ定數ニ滿チザル場合ニ於テ得票者ニシテ當選者トナラザリシ者アルトキハ商工會議所ハ直ニ選舉會ヲ開キ其ノ者ノ中ニ就キ當選者ヲ定ムルコトヲ得

前二項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルモ仍議員ノ闕員其ノ定數ノ五分ノ一ヲ超ユルニ至リタルトキハ商工會議所ハ三月以内ニ補闕選舉ヲ行フベシ

前二項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定メザル場合又ハ前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定數ノ五分ノ一ヲ超ユルトキ亦同ジ

商工會議所必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ補闕選舉ヲ行フコトヲ得

補闕議員ハ前任者ノ選舉セラレタル等級ニ於テ選舉スベシ

第三十二條　議員ハ名譽職トス

第三十三條　第二十三條第二項、第二十四條第一項及第二項竝ニ前條第三項ノ規定ハ議員ニ之ヲ準用ス

第三十四條　第二十三條第二項、第二十四條第一項及第二項竝ニ前條第三項ノ規定ハ當選ノ取消ニ之ヲ準用ス

第三十五條　議員ハ名譽ニ關係アル事件ニ付テハ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第三十六條　議員ハ自己又ハ第三者ノ爲ニ商工會議所ト請負ヲ爲シ又ハ其ノ所有ニ屬スル動産ヲ賣與スルコトヲ得ズ

第三十七條　議員ハ商工會議所ノ職員ヲ兼ヌルコトヲ得ズ

第三十八條　議員ハ商工會議所ノ職務ニ關シ報酬ヲ受ケルコトヲ得ズ

第三十九條　議員ハ職務ニ關シ知得シタル秘密ヲ漏ラシ又ハ窃用スルコトヲ得ズ

第四十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第四十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第四十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第四十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第四十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第四十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第四十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第四十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第四十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第四十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第五十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第六十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第七十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第八十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第九十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百二十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百三十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百四十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百五十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百六十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百七十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百八十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第百九十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百二十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十四條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十五條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十六條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十七條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十八條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百三十九條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百四十條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百四十一條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百四十二條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二百四十三條　議員ハ會議ニ於テ自己又ハ第三者ノ利害ニ關スル事件ニ付テハ其ノ議決ニ參與スルコトヲ得ズ

第二

雜品	燃料	建築材料	金屬類	衣料
洗濯石鹸　歯磨粉　石炭酸　硫酸　護謨製品　ペイント　ワニス　硝子　セメント　煉瓦　タイル　石灰　石膏　大理石　人造石　漆喰　ペンキ　ブリキ板　トタン板　鉄板　鉄管　鉄線　針金　釘　鋲　ボルト　ナット　蝶番　ブリキ製品　銅線　真鍮線　鉛管　ガス管　水道管　ポンプ　ストーブ　煉瓦　瓦　セメント　石材　木材　建具　畳表　襖紙　障子紙　壁紙　荒物　ブラシ類　ゴム製品　ロープ　ベルト　ホース　ゴム靴　ゴム長靴　ゴム底布　ゴム引布　ゴム引防水布　ゴム引合羽　ゴム引前掛　ゴム引手袋　ゴム引長靴　ゴム引雨具　ゴム引帽子　ゴム引鞄　ゴム引袋　ゴム引敷物　ゴム引風呂敷　ゴム引エプロン　ゴム引ズック　ゴム引シート　ゴム引ホース　ゴム引ベルト　ゴム引パッキング　ゴム引ロープ　ゴム引靴　ゴム引長靴　ゴム引雨具　ゴム引帽子　ゴム引鞄　ゴム引袋　ゴム引敷物　ゴム引風呂敷　ゴム引エプロン　ゴム引ズック　ゴム引シート　ゴム引ホース　ゴム引ベルト　ゴム引パッキング　ゴム引ロープ	石炭　薪　木炭　練炭　豆炭　コークス　ガソリン　灯油　重油　軽油　揮発油　ベンジン　ガス　電気　水力　火力　風力　原子力　太陽熱　地熱　潮力　波力　人力　天然ガス　石油　石炭　木材　薪

三　動産ヲ擔保トスル貸付
四　不動産ノ買入
五　不動産又ハ法令ニ依リテ設定シタル財團ヲ以テ常トスル貸付
六　公共團體ニ對スル貸付
七　銀行若ハ朝鮮金融組合聯合會ヘノ預ケ金又ハ郵便貯金
八　銀行又ハ信託會社ノ引受ブル手形ノ買入

前項ニ規定スル社債、株式及動産ニ付テハ其ノ種類ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第一項第四號ノ規定ニ依ル不動産ノ買入價格ノ總額ハ拂込資本金及準備金ノ三分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十二條　信託會社ハ信託業務ノ遂行ニ因リテ受益者ニ生ズルコトアルベキ損害ノ擔保トシテ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ資本金ノ十分ノ一以上ノ金額ニ相當スル國債ヲ供託スベシ但シ其ノ金額ハ百萬圓ヲ超ユルコトヲ要セズ

前項ノ供託金額中其ノ五分ノ三ヲ超ユル額ニ付テハ前條第一項第一號ニ規定スル有價證券ヲ以テ國債ニ代フルコトヲ得

第十三條　受益者ハ信託會社カ前條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ニ付他ノ債權者ニ先チ辨濟ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第十四條　信託會社ハ資本ノ總額ニ達スル迄毎ニ準備金トシテ其ノ利益ノ十分ノ一以上ヲ積立ツベシ

第十五條　信託會社ノ營業年度ハ六月ヨリ十一月迄及十二月ヨリ翌年五月迄トス

第十六條　信託會社ハ每月ノ營業報告書及每營業年度ノ業務報告書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十七條　信託會社ハ朝鮮總督ノ定ムル樣式ニ依リ每營業年度ノ貸借對照表ヲ作成シ新聞紙ニ依リ之ヲ公告スベシ

第十八條　信託會社ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人カ營利ヲ目的トスル他ノ業務ニ從事セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ兼職ヲ受ケルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十條　信託會社ノ左ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ノ定ニ依リ變更セントスルトキ
一　業務ノ種類ヲ變更セントスルトキ
二　營業所ノ位置ヲ變更セントスルトキ
三　本店及支店以外ノ營業所又ハ代理店ヲ設置セントスルトキ
四　本店其ノ他ノ營業所ノ位置ヲ變更セントスルトキ

第二十二條　朝鮮總督ハ何時ニテモ信託會社ヨシテ其ノ業務及財產ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ書類帳簿ヲ提出セシムルコトヲ得

第二十三條　朝鮮總督ハ何時ニテモ部下ノ官吏ニ命ジテ信託會社ノ業務及財產ノ狀況ヲ檢查セシムルコトヲ得

第二十四條　朝鮮總督ハ信託會社ノ業務又ハ財產ノ狀況ニ依リ必要アリト認ムルトキハ業務ノ種類若ハ方法ノ變更又ハ業務ノ停止ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十五條　信託會社カ法令、定款若ハ朝鮮總督ノ命令ニ違反又ハ公益ヲ害スベキ行爲ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ業務ノ停止若ハ取締役、監查役ノ改任ヲ命ジ又ハ營業ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第二十六條　朝鮮總督ハ信託會社ノ解散ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十八條　信託會社カ其ノ目的ヲ變更シ他ノ業務ヲ營ム會社トシテ存續スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ其ノ會社カ信託ニ關スル債務ヲ完濟スルニ至ル迄其ノ信託ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲シ又ハ合併ニ因リテ消滅シタル信託會社ハ合併ニ因リ信託會社ニ非ザル會社カ信託會社ノ任務終了ニ因リ必要ナル事務ヲ處理スル間亦同ジ

第二十二條及第二十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十九條　信託會社カ營業ノ免許ヲ取消サレタルトキハ之ニ因リテ解散ス

第三十條　信託會社ノ清算ハ朝鮮總督ノ監督ニ屬ス

朝鮮總督ハ清算事務及財產ノ狀況ヲ檢查シ、財產ノ供託ヲ命ジ其ノ他清算ノ監督ニ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三十一條　信託會社カ營業免許ノ取消ニ因リテ解散シタルトキハ朝鮮總督ハ清算人ヲ選任ス

第三十二條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法ニ依リ裁判所カ檢事若ハ利害關係人ノ請求ニ因リ清算人ヲ選任スベキトキ又ハ清算人ナキトキハ朝鮮總督ハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ之ヲ選任ス

第三十三條　朝鮮總督清算人ヲ選任シタルトキハ信託會社ヨシテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其ノ額ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十四條　朝鮮總督ハ重要ナル事由アルトキハ利害關係人ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第三十五條　信託會社ノ和議、破產又ハ强制和議ノ場合ニ於テ裁判所ハ信託會社ノ檢查監督ニ從事スル官吏ニ對シ意見ヲ求メ又ハ檢查若ハ調查ヲ囑託スルコトヲ得

第三十六條　信託會社ノ和議、破產又ハ强制和議ノ場合ニ於テ信託會社ノ檢查監督ニ從事スル官吏ハ裁判所ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第三十七條　朝鮮總督ハ免許ヲ受ケズシテ信託業ヲ營ミタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條　第五條第二項ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條　信用信託會社ニ付テハ本款ノ規定ニ依ル外命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四十條　左ノ場合ニ於テハ取締役、監查役、支配人、代理店主（代理店主法人ナルトキハ其ノ業務ヲ執行スル社員）、取締役其ノ他法人ノ代表者又ハ清算人ヲ十圓以上千圓以下ノ過料ニ處ス但シ其ノ行爲ニ付刑ヲ科スベキトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　第六條、第七條、第十條第一項、第十一條、第十二條、第十四條、第十六條乃至第十八條又ハ第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキ

二　第八條ノ規定又ハ同條ニ基ク命令ニ違反シテ信託ニ付補塡又ハ補足ノ契約ヲ爲シタルトキ

三　第九條第二項ノ規定ニ違反シテ信託財產ヲ固有財產ト爲シタルトキ

四　第二十二條又ハ第二十八條第二項ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サズ又ハ書類帳簿ヲ提出セザルトキ

五　第二十四條、第二十五條、第二十八條第一項又ハ第三十條第二項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

六　本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

七　信託會社カ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第二十八條ノ規定ニ依リテ爲スベキ信託財產ノ管理ヲ爲サザルトキ

八　信託會社カ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第三十九條ニ規定スル事務ノ處理若ハ計算ヲ爲サズ又ハ財產目錄ヲ作ラザルトキ

九　信託會社カ正當ノ理由ナクシテ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第四十條ノ規定ニ依ル閱覽ノ請求ヲ拒ミ又ハ謄明ヲ爲サザルトキ

前項ノ過料ニ關シテハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和六年九月總令第百十四號ヲ以テ昭和六年十二月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ信託業ヲ營ム株式會社ニシテ本令施行後一月內ニ信託業ノ免許ヲ申請スルモノニハ第二條ノ規定ヲ適用セズ

信託會社ニシテ前項ノ規定ノ適用ヲ受クルモノノ資本金ハ本令施行後五年內ニ百萬圓以上ト爲スコトヲ要ス

本令施行ノ際現ニ信託業ヲ營ム株式會社ニシテ本令ニ依リ營業ノ免許ヲ受クルモノニハ本令施行後五年ヲ限リ第十一條第三項ノ規定ヲ適用セズ

本令施行ノ際現ニ信託業ヲ營ム株式會社ニシテ本令ニ依リ營業ノ免許ヲ受クルモノハ本令施行前其ノ爲シタル契約ニシテ本令ニ依リ信託會社ノ爲スコトヲ得ザル業務ニ屬スルモノニ付テハ其ノ契約ノ完了スル迄仍之ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ信託業ヲ營ム者ハ本令ニ依リ營業ノ免許ヲ受ケザル者ト雖モ本令施行前其ノ爲シタル信託ノ引受ニ付テハ其ノ信託ノ完了スル迄其ノ信託ノ引受ニ關スル業務ニ限リ仍之ヲ繼續スルコトヲ得

第二十二條、第二十三條、第二十八條第一項、第三十九條及第四十條第一項第四號及第五號ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

附（昭和八年八月制令第十一號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和八年八月制令第十一號ヲ以テ昭和八年八月三十一日ヨリ施行）

●朝鮮信託業令施行規則

昭和六年九月總令第百十五號

改正　昭和八年八月八日

朝鮮信託業令施行規則左ノ通定ム

朝鮮信託業令施行規則

第一條　信託業ヲ營マントスル株式會社ハ免許申請書ニ總取締役署名左ニ掲グル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面
二　株式ノ引受ヲ證スル足ル書面
三　株式申込證ノ樣形並ニ株式申込人ノ氏名又ハ商號、住所及申込株式數ヲ記載シタル書面
四　株式申込證ノ攜帶ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
五　發起人カ取締役及監查役ヲ選任シタルトキハ之ニ關スル書類
六　檢查役ノ報告ニ關スル裁判アリタルトキハ其ノ謄本
七　發起人カ取締役及監查役ヲ選任シタルトキハ其ノ氏名又ハ商號及住所ヲ記載シタル書面
八　創立總會ノ決議錄
九　營業所ノ位置ヲ記載シタル目錄
十　免許申請前日ニ於ケル目錄
十一　頂ケ先ノ頂金證明書
株式會社カ其ノ目的ヲ變更シテ信託業ヲ營マントスル場合ニ於ケル免許申請書ニハ前項第一號、第二號、第九號及第十號ニ掲グル書類ノ外左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ
一　會社登記簿ノ謄本
二　免許申請ノ際現ニ存スル取引ノ狀況ヲ知ルニ足ル書面
三　最終ノ財產目錄及貸借對照表
四　最終ノ損益計算及利益處分ニ關スル書面

第三條　株主ノ氏名又ハ商號及其ノ持株數ヲ記載シタル書面
六　代理店ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ位置、代理店主ノ氏名又ハ商號及住所ヲ記載スベシ
二　信託引受ノ際受入ルル動產ノ種類
三　信託事務ノ處理ニ依リ取得スベキ財產ノ種類
朝鮮信託業令（以下單ニ信託業令ト稱ス）第八條ノ規定ニ依ル信託業務ノ種類及方法ヲ記載スベシ

第三條　業務ノ種類及方法ヲ記載スル書面ニハ其ノ營ム信託業務ノ方法ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ
一　信託引受ノ際受入ルル動產ノ種類
二　信託事務ノ處理ニ依リ取得スベキ財產ノ種類
三　朝鮮信託業令（以下單ニ信託業令ト稱ス）第八條ノ規定ニ依ル補塡又ハ補足ニ關スル事項

四　信託業令第九條ノ規定ニ依リ信託財產ヲ固有財產ト爲ス場合ニ於ケル財產ノ種類及價格算定ノ方法
五　信託會社カ受クベキ報酬額ノ計算方法
六　金錢信託ニ付朝鮮民事令（以下單ニ民事令ト稱ス）ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第五十七條ノ規定ニ依ル信託ノ解除ニ關スル事項
七　委託者又ハ受益者ニ對スル特別利益ノ提供ニ關スル事項
八　其ノ他重要ナル事項

第四條　信託契約ヲ爲スニハ書面ヲ用フベシ
第五條　信託契約書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載シ委託者及信託會社ノ代表者之ニ署名スベシ
一　委託者、受益者及信託會社ノ氏名又ハ商號
二　不特定ノ受益者又ハ未ダ存在セザル受益者アルトキハ其ノ範圍、資格其ノ他受益者ト爲ルベキ者ヲ知ルコトヲ得ベキ事項
三　受益權ノ發生ニ付受益者カ信託ノ利益ヲ享受スル意思ヲ表示スルヲ要件トスルコトヲ又ハ委託者カ受益者ヲ指定若ハ變更スル權利ヲ有スルコトヲ定メタルトキハ之ニ關スル事項
四　信託ノ目的
五　信託契約締結ノ際ニ於ケル信託財產ノ種類、數量及價格
六　民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第三條ノ規定ニ依ル登記、登錄又ハ信託財產ナルコトノ表示及記載ニ關スル事項
七　契約ノ期間
八　信託事務ノ處理ニ依リ取得スベキ財產ヲ特定スル旨ノ指定ヲ以テ其ノ種類
九　受益者ニ交付スベキ信託財產ノ種類竝ニ其ノ交付ノ方法及時期
十　信託財產タル金錢ト他ノ信託財產タル金錢又ハ固有財產タル金錢トノ合同運用ニ關スル事項
十一　信託業令第八條ノ規定ニ依ル補塡又

ハ補足ノ契約ヲ爲ス場合ニ於テハ補塡補足ノ割合其ノ他之ニ關スル事項

十二　信託業令第九條ノ規定ニ依リ信託財産ヲ固有財産ト爲シ得ベキコトヲ定メタルトキハ其ノ財産ノ種類及價格算定ノ方法

十三　信託會社ガ受クベキ報酬ニ付其ノ額又ハ其ノ計算方法、支拂義務者並ニ支拂ノ方法及時期

十四　信託財産ニ關スル租稅、公課、修繕費其ノ他ノ毀損ニ關スル事項

十五　金錢信託ニ付民事ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第五十七條ノ規定ニ依ル信託ノ解除ニ關スル事項

十六　信託終了ノ場合ニ於ケル最終計算及其ノ報告ニ關スル事項

十七　左ニ掲ゲル事項ニ付信託契約ニ別段ノ定ヲ爲シタルトキハ之ニ關スル事項

イ　民事ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第八條第一項但書ノ規定ニ依ル信託財産ニ關スル公告及催告ノ事項

ロ　受託者數人アル場合ニ於ケル信託事務ノ處理

ハ　受託者ノ辭任

ニ　任務終了ノ場合ニ於ケル新受託者ノ選任

ホ　信託終了ノ事由

ヘ　金錢信託以外ノ信託ニ付民事ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第五十七條ノ規定ニ依ル解除

ト　民事ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第五十八條ノ規定ニ依ル信託ノ解除

十八　證書作成ノ年月日

十九　其ノ他重要ナル事項

第六條　信託會社ハ三百圓未滿ノ金錢信託ノ引受ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條　信託會社ハ信託期間一年ヲ下ル金錢信託ノ引受ヲ爲スコトヲ得ズ但シ運用方法ノ特定セルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　信託會社ガ信託業令第八條ノ規定ニ依リ豫メ一定シタル額ノ利益ヲ補足スベキ契約ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ利益歩合ハ朝鮮總督ノ定ムル歩合ヲ超エルコトヲ得ズ

第九條　信託會社ハ信託業令第十一條第一項第一號乃至第三號及第五號乃至第八號ニ規定スル方法ニ依ルノ外運用方法ノ特定セザル金錢信託ノ信託財産ニ屬スル金錢ヲ運用スルコトヲ得ズ

信託財産ニ屬スル金錢ニシテ前項ノ金錢以外ノモノノ運用ニ付テハ信託行爲ヲ以テ別段ノ定ヲ爲シタル場合ヲ除ノ外前項ノ規定ニ依ルベシ

第十條　信託會社ハ其ノ貸ニ任ズベキ限度ノ確定セザル債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得ズ

第十一條　信託會社ノ保證スル債務ノ總額ハ其ノ拂込資本金及準備金ノ總額ヲ超エルコトヲ得ズ

第十二條　同一人ノ爲ニ保證スル債務ノ總額ハ拂込資本金及準備金ノ十分ノ一ヲ超エルコトヲ得ズ

第十三條　債務者ガ會社ナルトキハ信託會社ガ其ノ爲ニ保證スル債務ノ總額ハ該會社ノ拂込資本金及準備金ノ二分ノ一ヲ超エルコトヲ得ズ

第十四條　債務者ガ會社ニ非ザルトキハ信託會社ノ物上擔保ヲ徵スルニ非ザレバ保證ヲ爲スコトヲ得ズ但シ債務者ガ公共團體ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十五條　信託會社ハ信託業令第十一條第一項第一號ニ規定スル有價證券、不動產又ハ法令ニ依リ設定シタル財團ヲ擔保トシテ保證シタル債務額ハ第十一條乃至第十三條ノ規定ノ適用ニ付テハ信託會社ノ保證スル債務ノ總額ヨリ之ヲ除算ス

第十六條　信託會社ハ信託業令第十一條第二項ノ規定ニ依リ認可申請書ニ理由書ヲ添附シ尙社債及株式ニ付テハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル書面ヲモ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　發行者及其ノ住所

二　社債ニ在リテハ利率並ニ擔保ノ有無及其ノ種類

三　取引所ニ於ケル最近ノ相場其ノ他實價ヲ知ルニ足ル事實

第十七條　信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依ル信託額ガ資本金ノ二十分ノ一（資本金千萬圓以上ナルトキハ五十萬圓）ニ達スル迄ハ毎營業年度末日ヨリ二十日以內ニ資本金ノ二百分ノ一以上（資本金千萬圓以上ナルトキハ五萬圓以上）ノ金額ニ相當スル供託ヲ爲スベシ

信託會社ハ營業年度末日ニ於ケル信託財産ノ價額ガ資本金ノ額ニ達シタルトキハ該營業年度末日ヨリ二十日以內ニ前項ノ規定ニ拘ラズ資本金ノ十分ノ一以上（資本金千萬圓以上ナルトキハ百萬圓以上）ノ金額ニ相當スル供託ヲ爲スコトヲ要ス

第十八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ハ本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スベシ

信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託スル國債及有價證券ノ供託價額ハ每營業年度末日ノ時價ヲ超エルコトヲ得ズ

第二十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託スル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債又ハ有價證券ノ換ノ目的ノ爲ニ供託シタル國債及有價證券ノ供託價額以下ノ部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條　信託會社ガ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債又ハ有價證券ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

第十九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託スル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十三條　信託會社ハ信託業令第十六條ノ業務報告書、貸借對照表、損益計算書竝ニ準備金及利益ノ配當ニ關スル書面ニ分チ

ヲ作成シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十四條　信託會社ガ信託業令第十七條ノ規定ニ依リ公告スベキ貸借對照表ハ前條ノ貸借對照表ト同一ノ樣式ニ依ルベシ

第二十五條　信託會社ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人カ營利ヲ目的トスル他ノ業務ニ從事セントスルトキハ認可申請書ニ左ニ掲ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　理由書

二　信託會社ニ於ケル常務及從事セントスル他ノ業務ノ處理方法ヲ記載シタル書面

三　從事セントスル他ノ業務ノ狀況說明書

四　信託會社ト從事セントスル他ノ業務トノ取引其ノ他ノ關係ヲ記載シタル書面

第二十六條　信託會社カ合併ノ決議ヲ爲シタルトキハ民事ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條ノ規定ニ依ル手續ヲ了シタル後信託會社ノ總取締役ノ署名シタル認可申請書ニ左ニ掲ゲル書類ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　株主總會ノ決議錄及社員ノ同意アリタルコトヲ知ルニ足ル書面

二　合併ニ關スル契約書

三　合併後存續スル信託會社又ハ合併ニ因リ設立スル信託會社ノ定款竝ニ業務ノ種類及方法ヲ記載シタル書面

四　民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ作成シタル貸借對照表

五　民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第七十八條第二項ノ規定ニ依ル公告及催告竝ニ同法第二百二十條ノ二ノ規定ニ依ル通知ヲ爲シタルコトヲ知ルニ足ル書面

第二十七條　信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依ル信託額ガ資本金ノ二十分ノ一（資本金千萬圓以上ナルトキハ五十萬圓）ニ達スル迄ハ每營業年度末日ヨリ二十日以內ニ資本金ノ二百分ノ一以上（資本金千萬圓以上ナルトキハ五萬圓以上）ノ金額ニ相當スル供託ヲ爲スベシ

信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ハ本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スベシ

信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託スル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ每營業年度末日ノ時價ヲ超エルコトヲ得ズ

第二十八條　信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ヲ爲スコトヲ得ズ但シ供託シタル國債及有價證券ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

第二十九條　信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第三十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第三十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第三十二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第三十三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第三十四條　信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第三十五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第三十六條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第三十七條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第三十八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第三十九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十四條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十六條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十七條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第四十九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十四條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十六條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十七條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第五十九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十四條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十六條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十七條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第六十九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十四條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十六條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十七條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第七十九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十四條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十六條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十七條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第八十九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十四條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十六條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十七條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第九十九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百四條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百六條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百七條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十四條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十六條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十七條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十八條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百十九條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百二十條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百二十一條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百二十二條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百二十三條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百二十四條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル供託ニ付テハ信託會社ハ信託業令第十二條ノ規定ニ依リテ供託シタル國債及有價證券ノ種類、記號、番號、枚數、券面額、拂込額及供託價額ヲ記載シタル書面ヲ作成スベシ

第百二十五條　信託業令第十二條ノ規定ニ依ル

（注意）
一　二　二項ニ本邦普通ノ場合ヲ掲ケタルモノニシテ本邦以外ノ地ニ於テハ之ニ適当ナル修正ヲ加フルモノトス

（一）　二　二項ニ本邦普通ノ場合ヲ掲ケタルモノニシテ本邦以外ノ地ニ於テハ之ニ適当ナル修正ヲ加フルモノトス

第何期末現在株数　百株
第何期中増加株数　百株
第何期中減少株数　百株
第何期末現在株数　百株

（注意）
一　二　二項ニ本邦普通ノ場合ヲ掲ケタルモノニシテ本邦以外ノ地ニ於テハ之ニ適当ナル修正ヲ加フルモノトス

（一）　二　二項ニ本邦普通ノ場合ヲ掲ケタルモノニシテ本邦以外ノ地ニ於テハ之ニ適当ナル修正ヲ加フルモノトス

第何期末現在株数　百株
第何期中増加株数　百株
第何期中減少株数　百株
第何期末現在株数　百株

（注意）
一　二　二項ニ本邦普通ノ場合ヲ掲ケタルモノニシテ本邦以外ノ地ニ於テハ之ニ適当ナル修正ヲ加フルモノトス

（一）　二　二項ニ本邦普通ノ場合ヲ掲ケタルモノニシテ本邦以外ノ地ニ於テハ之ニ適当ナル修正ヲ加フルモノトス

第何期末現在株数　百株
第何期中増加株数　百株
第何期中減少株数　百株
第何期末現在株数　百株

一　常則第十一項金銭信託ニ関スル特別規定ヲ除ク外信託業法ノ規定ハ左ノ如シ

現在高	計	金銭	土地賃借権	〃	〃	〃	外国証券	地方債証券	国債	地方債	社債	株式	証券投資信託ノ受益証券	外国証券	貸付信託ノ受益証券	金銭債権	土地賃借権	土地ノ上ノ権利	有価証券	金銭ノ信託	金銭信託以外ノ金銭ノ信託	合同運用金銭信託	金銭信託以外ノ金銭ノ信託	土地及土地ノ上ノ権利ノ信託	土地ノ賃借権ノ信託	有価証券ノ信託	包括信託	他ノ財産ト共ニスル信託	他ノ財産ト共ニセザル信託	区分

（注意）
常則第十一項ノ内容ニ関シ必要ナル細則ハ信託業法施行規則ヲ以テ之ヲ定ム

計	土地賃借権ノ信託	地上権ノ信託	立木ノ信託	動産ノ信託	金銭債権ノ信託	有価証券ノ信託	金銭信託以外ノ金銭ノ信託	種類	口数	金額	十年以上	五年以上	一年以上	一年未満	期ナキモノ又ハ期間ヲ定メサルモノ	計	口数	金額
								信託ノ引受ノ際信託財産トシテ受入レタル動産ノ種類ニ依リ区分シ各種類ニ付其ノ信託ノ引受ノ時ニ於ケル価額ヲ記載スヘシ									

（注意）
各項ニハ其ノ合計ヲ記載スヘシ

二　常則第十一項ノ信託ニ於テ信託財産ノ種類ニ依リ区分シ各種類ニ付其ノ信託ノ引受ノ際ノ価額ヲ記載スヘシ

種類	口数	金額

三　常則第十一項ノ信託ニ於テ信託財産トシテ受入レタル動産ノ種類ニ依リ区分シ各種類ニ付其ノ信託ノ引受ノ際ノ価額ヲ記載スヘシ

種類	口数	数量	金額
計			
何々			

四　常則第十一項ノ信託ニ於テ信託財産トシテ土地及其ノ定着物ノ種類ニ依リ区分シ各種類ニ付其ノ信託ノ引受ノ際ノ価額ヲ記載スヘシ

種類	口数	数量	金額
計			
其ノ他ノ定着物			
建物		坪	
其ノ他ノ土地		歩	
畑		歩	
畜		頭	

五　合同運用金銭信託ニ関スル特別規定ヲ除ク外信託業法ノ規定ハ左ノ如シ

最高	年	最低	年	利回	年	最高	分	最低	厘

（注意）
各項ニハ其ノ最高及最低ヲ記載スヘシ

(ロ) 常期未現在種類別

種類	株数	券面総額	拂込総額	單價	價額
國債		圓	圓	圓	圓
何公債					
地方債					
何府債					
、、、					
外國證券					
何國何公債					
何何市何町債					
、、、					
社債					
何會社株式					
、、、					
株式					
何會社社債					
、、、					
社債					
何會社社債					
、、、					
計					

種類	評價額	貸付金額
工場財團	圓	圓
鐵道財團		
軌道財團		
、、、		
計		

種類	評價額	貸付金額
建物		
、		
計		

五　貯蓄預リ金

(イ) 常期間ニ於ケル增減

(注二號(イ)ノ例ニ準ジテ記載スベシ)

(ロ) 常期未現在高種別

種類	評價額	貸付金額
工場財團	圓	圓
鐵道財團		
軌道財團		
、、、		
計		

六　信託財產貸付金

(イ) 常期間ニ於ケル增減

(注二號(イ)ノ例ニ準ジテ記載スベシ)

(ロ) 常期未現在高ニ對スル擔保ノ評價額

七　保證貸付金

(注二號(イ)ノ例ニ準ジテ常期間ニ於ケル增減ヲ記載スベシ)

八　銀行及類似會社合併ニ因リ承繼ヒタル金錢並ニ郵便貯金

(イ) 常期間ニ於ケル增減

種類	前期繰越高	常期入額	常期引出高	常期利息高	常期未現在高
當座預金	圓	圓	圓	圓	圓
通知預金					
、、、					
預金計					
郵便貯金					
合計					

二　國債其ノ他有價證券擔保貸付金

(イ) 常期間ニ於ケル增減

前期繰越高	常期貸付高	常期回收高	常期銷却高	常期未現在高	同上口數
圓	圓	圓	圓	圓	

(ロ) 常期未現在高擔保別

種類	評價額	貸付金額
國債	圓	圓
地方債		
外國證券		
一億圓以上ノ資金ヲ運用スル株式會社ノ發行シタル社債及株式		
其ノ他ノ社債及株式		
、、、		
計		

三　動產擔保貸付金

(イ) 常期間ニ於ケル增減

(注二號(イ)ノ例ニ準ジテ記載スベシ)

(ロ) 常期未現在高擔保別

種類	評價額	貸付金額
何々	圓	圓
、、		
計		

四　不動產擔保貸付金

(イ) 常期間ニ於ケル增減

(注二號(イ)ノ例ニ準ジテ記載スベシ)

(ロ) 常期未現在高擔保別

種類	評價額	貸付金額
宅地	圓	圓
田畑		

(ロ) 常期未現在百ヶ金百ヶ先別

百ヶ先金額	擔保 種類	數量	評價額
何銀行	圓		圓
、、、、			
合名會社合資會社			
計			

九　貸付信託證券

(イ) 常期間ニ於ケル增減

前期繰越高	常期貸付高	常期回收高	却常期引償上額高	常期未現在高	同上口數
圓	圓	圓	圓	圓	

ロ　常期未現在貸付信託證券種類別

(注二號(ロ)ノ例ニ準ジテ記載スベシ)

十　動產

(イ) 常期間ニ於ケル增減

前期繰越高	常期增加高	常期減少高	却常期引償上額高	常期未現在高
圓	圓	圓	圓	圓

(ロ) 常期未現在高內譯

種類	數量	評價額
何々		圓
、、		
計		

十一　不動產

(イ) 常期間ニ於ケル增減

(注十號(イ)ノ例ニ準ジテ記載スベシ)

(ロ) 常期未現在高內譯

種類	數量	評價額
宅地	坪	圓
田畑	坪	

一　當期第十六項保證依務ノ前期繰越高ニ於ケル增減

| 區分 | 株券 | 社債券 | 投資信託及投資法人ノ投資證券 | 新株予約權證券 | 外國ノ證券又ハ證書ニ表示スベキ權利 | 券面額ヲ有スル株式ノ株數、社債ノ金額又ハ新株予約權ノ數 | 券面額ヲ有スル株式ノ株數、社債ノ金額又ハ新株予約權ノ數ニ準ズルモノ | 株券ノ株數、社債ノ金額又ハ新株予約權ノ數ニ準ズルモノ | 株券ノ株數、社債ノ金額又ハ新株予約權ノ數ニ準ズルモノ以外ノ有價證券 | 有價證券ノ數ニ準ズルモノ | 有價證券ノ數ニ準ズルモノ以外ノ有價證券

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期引受高	常期取立済高	常期未現在取立未済高
円	円	円	円

第二十四項　債務履行ノ代理取扱

前期繰越高	常期引受高	常期履行高	常期未現在履行未済高
円	円	円	円

第二十三項　依託取立ノ代理取扱

前期繰越高	常期引受高	常期取立済高	常期未現在取立未済高
圓	口	口	口

第二十二項　財産管理ノ代理取扱ニ係ル常期末現在管理財産

種類	数量	評価額
、	、	
建物	坪棟	円
企	坪	円
計		

第二十一項　信託業令施行前ノ信託ニ関スル常期末現在件数ヲ依託者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	件数
計	
其ノ他	
個人	
会社	

一　常期末現在件数

前期繰越件数	常期引受件数	常期終了件数	常期未現在件数

第二十項　信託業令第二十一項第一号ノ検査

第二十五項　保険ノ代理取扱

保険ノ種類	前期繰越高	常期引受高	常期増加高	常期減少高	常期末現在高
	保険金額 口数	保険金額 口数	保険金額 口数	保険金額 口数	保険金額 口数
生命保険	円 口	円 口	円 口	円 口	円 口
火災保険					
、、、					
計					

（注意）
信託業令施行前ノ信託ニ関スル損害賠償ノ責任ニ関スル保険ニシテ信託業令第十一条第一項第一号ニ掲ゲタルモノ及其ノ他ノ保険ニシテ同項第二号ニ掲ゲタルモノハ之ヲ計上スルコトヲ要セズ

（参照）
第二十六項第一号ニ掲ゲタル保険ニシテ同項第二号ニ掲ゲタルモノハ之ヲ計上スルコトヲ要セズ

第二十六項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	件数
計	
其ノ他	
個人	
会社	

第二十七項　信託業令第二十一条第一項第二号ノ検査

一　常期同三於ケル增減

前期繰越件数	常期引受件数	常期終了件数	常期未現在件数

二　常期末現在件数ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	件数
計	
其ノ他	
個人	
会社	

第二十八項　財産管理ノ代理取扱ニ係ル常期末現在管理財産

種類	数量	評価額
、	、	
建物	坪棟	円
企	坪	円
計		

第二十九項　保険ノ代理取扱

保険ノ種類	前期繰越高	常期引受高	常期履行高	常期末現在履行未済高
	円	円	円	円

第三十項　債務履行ノ代理取扱

前期繰越高	常期引受高	常期取立済高	常期末現在取立未済高
圓	口	口	口

第三十一項　依託取立ノ代理取扱

前期繰越高	常期引受高	常期取立済高	常期末現在取立未済高
圓	口	口	口

第三十二項　財産管理ノ代理取扱ニ係ル常期末現在管理財産

種類	数量	評価額
、	、	
建物	坪棟	円
企	坪	円
計		

第三十三項　保険ノ代理取扱

保険ノ種類	前期繰越高	常期引受高	常期履行高	常期末現在履行未済高
	円	円	円	円

第三十四項　債務履行ノ代理取扱

前期繰越高	常期引受高	常期取立済高	常期末現在取立未済高
圓	口	口	口

第三十五項　保険ノ代理取扱

保険ノ種類	前期繰越高	常期引受高	常期増加高	常期減少高	常期末現在高
	保険金額 口数	保険金額 口数	保険金額 口数	保険金額 口数	保険金額 口数
生命保険	円 口	円 口	円 口	円 口	円 口
火災保険					
、、、					
計					

（注意）
信託業令施行前ノ信託ニ関スル損害賠償ノ責任ニ関スル保険ニシテ信託業令第十一条第一項第二号ニ掲ゲタルモノハ之ヲ計上スルコトヲ要セズ

（参照）
第二十六項第一号ニ掲ゲタル保険ニシテ同項第二号ニ掲ゲタルモノハ之ヲ計上スルコトヲ要セズ

（注意）
信託業令施行前ノ信託ニ関スル損害賠償ノ責任ニ関スル保険ニシテ信託業令第十一条第一項第二号ニ掲ゲタルモノハ之ヲ計上スルコトヲ要セズ

（参照）
第二十六項第一号ニ掲ゲタル保険ニシテ同項第二号ニ掲ゲタルモノハ之ヲ計上スルコトヲ要セズ

第三十項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

（注意）
信託業令施行前ノ信託ニ関スル損害賠償ノ責任ニ関スル保険ニシテ信託業令第十一条第一項第二号ニ掲ゲタルモノハ之ヲ計上スルコトヲ要セズ

（参照）
第二十六項第一号ニ掲ゲタル保険ニシテ同項第二号ニ掲ゲタルモノハ之ヲ計上スルコトヲ要セズ

（参照）
第二十六項第一号ニ掲ゲタル保険ニシテ同項第二号ニ掲ゲタルモノハ之ヲ計上スルコトヲ要セズ

第三十一項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第三十二項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第三十三項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第三十四項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第三十五項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第三十六項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第三十七項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第三十八項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第三十九項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十一項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十二項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十三項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十四項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十五項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十六項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十七項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十八項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第四十九項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十一項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十二項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十三項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十四項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十五項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十六項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十七項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十八項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第五十九項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十一項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十二項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十三項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十四項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十五項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十六項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十七項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十八項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第六十九項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第七十項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第七十一項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第七十二項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第七十三項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第七十四項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第七十五項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第七十六項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		
認可ヲ受ケタル動産		円
何	々	
、	、	
計		

第七十七項　銀行ノ例ニ準ジテ為ス信託ノ代理取扱

一　常期同三於ケル增減

前期繰越高	常期受入高	常期解約高	常期満了高	常期末現在高
円	口	口	口	口

二　常期末現在高ヲ依頼者ノ種類ニ依リ区分スレバ左ノ如シ

種類	数量	評価額
、	、	
何々		

（注意）一　取締役又ハ監査役タルヘキ株数ヲ有セザル株主ニ付テハ其ノ員数及持株ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

二　株主ノ住所ノ記載ニ付テハ之ニ準ジ株主ニ止ムルコトヲ得

三　本項ハ之ヲ以テ株主ノ程度ニ止ムルコトヲ得

（二）

第　何期末（昭和　年　月　日現在）貸借對照表

何株式（何回拂込済）	株	何株式（何回拂込済）	株	合計	住所	氏名
						何某
計		計				

（注意）一　支店ノ配列ハ第二項第三號記載ノ順序ニ依ルヘシ

第四十九項　當期末現在株主氏名及持株

二　何支店

三　何支店

（注意）一　未拂金繰入及「其ノ他」トスヘシ

一　本店

二　（ロ）（ハ）（ニ）（ホ）（ヘ）（ト）（チ）（リ）（ヌ）（ル）

三　（ロ）（ハ）（ニ）（ホ）（ヘ）（ト）（チ）（リ）（ヌ）（ル）

（注意）支店ノ配列ハ第二項第三號記載ノ順序ニ依ルヘシ

第四十九項　當期末現在株主氏名及持株

何株式（何回拂込済）	株	何株式（何回拂込済）	株	合計	住所	氏名
						何某
計		計				

（注意）一　取締役又ハ監査役タルヘキ株数ヲ有セザル株主ニ付テハ其ノ員数及持株ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

二　株主ノ住所ノ記載ニ付テハ之ニ準ジ株主ニ止ムルコトヲ得

三　本項ハ之ヲ以テ株主ノ程度ニ止ムルコトヲ得

（二）

第　何期末（昭和　年　月　日現在）貸借對照表

何信託株式令社

科目	金額	科目	金額
現金		資本金	
預ケ金		法定準備金	
有價證券		別途積立金	
貸付金		當期未處分利益	
不動產			
其他ノ財產			
計		計	

（注意）一　本店ト支店トノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ支店ヲ有スルノ勘定ヲ、支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二　本店ト支店トノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ支店ヲ有スルノ勘定ヲ、支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三　本店ト支店トノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ支店ヲ有スルノ勘定ヲ、支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

二十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

三十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

四十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

五十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

六十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

七十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

八十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

九十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十四　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十五　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十六　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十七　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十八　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百二十九　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百三十　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百三十一　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百三十二　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ記載スヘシ

百三十三　本店及各支店ノ貸借ハ之ヲ相殺シテ本店ノ貸借ニ於テハ各支店ヲ有スルノ勘定ヲ、各支店ノ貸借ニ於テハ本店ヲ有スルノ勘定ヲ各相對シテ

キ権利ノ表示
十　第三十二條ニ依ル社債ナルトキハ其ノ事實及各会社ノ負擔部分
十一　委託及受託ノ表示
十二　證書作成ノ年月日
第十九條ノ二　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ信託證書ニハ前條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項ニ代ヘ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨ノ表示
二　社債ノ利率ノ最高限度
信託契約ニ於テ第一回又ハ其ノ後ニ發行スル社債ニ付發行金額及前條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項ヲ定メタルトキハ其ノ事項ヲモ記載スヘシ
第十九條ノ三　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ信託契約ニ前條第二項ノ事項ヲ定メサルトキハ受託會社ハ受託會社トノ契約ヲ以テ其ノ發行毎ニ之ヲ定ムヘシ
前項ノ契約ハ信託契約ト同一ノ效力ヲ有ス
第十九條ノ四　前條第一項ノ契約ニ委託會社及受託會社ノ代表者ノ署名シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ
第七十七條第二項ノ規定ハ前項ノ契約證書ニ之ヲ準用ス
第十九條ノ五　各社債ノ金額ハ社債ノ總額ニ付均一ナルカ又ハ最低額ヲ以テ整除シ得ヘキモノナルコトヲ要ス
第二十條　信託證書ハ委託會社及受託會社ニ於テ各自其ノ一通ヲ保存スヘシ
前項ノ信託證書ハ其ノ原本ヲ本店ニ、其ノ謄本ヲ各支店ニ備置クヘシ
第二十一條　信託證書ノ原本又ハ謄本ハ委託會社ノ株主、債權者又ハ社債應募者ノ請求アルトキハ營業時間内何時ニテモ之ヲ閲覽セシムヘシ

第三章　社債募集

第二十二條　信託契約ニ依リ物上擔保附社債ノ募集スル會社ハ左ノ事項ヲ公告スヘシ
一　第十九條第一號乃至第七號及第十號ニ掲ケタル事項
二　物上擔保附社債ナルコト
三　信託證書ノ表示
四　前號ニ掲ケタル契約證書若ハ其ノ謄本ヲ應募者ノ閲覽ニ供スヘキ時及場所
社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲモ公告スヘシ但シ第十九條第三號乃至第七號ニ掲ケタル事項ハ其ノ回ニ發行スル社債ニ關スルモノトス
一　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨ノ表示及其ノ回ノ發行金額
既ニ發行ニ係ル毎回ノ金額、其ノ未償還又未償還額ノ利率及償還期限
二　其ノ回ノ發行ニ付第十九條ノ四第一項ノ契約證書アルトキハ其ノ證書ノ表示
三　前號ニ掲ケタル契約證書若ハ其ノ謄本ヲ應募者ノ閲覽ニ供スヘキ時及場所
四　前二項ノ公告ハ受託會社ノ承認ヲ得テ之ヲ爲スヘシ
社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ前項ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲモ公告スヘシ但シ第十九條第三號乃至第七號ニ掲ケタル事項ハ其ノ回ニ發行スル社債ニ關スルモノトス
一　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル旨ノ表示及其ノ回ノ發行金額
既ニ發行ニ係ル毎回ノ金額、其ノ未償還又未償還額ノ利率及償還期限
二　其ノ回ノ發行ニ付第十九條ノ四第一項ノ契約證書アルトキハ其ノ證書ノ表示
三　前號ニ掲ケタル契約證書若ハ其ノ謄本ヲ應募者ノ閲覽ニ供スヘキ時及場所
四　前二項ノ公告ハ受託會社ノ承認ヲ得テ之ヲ爲スヘシ
第二十三條　委託會社ハ信託契約ニ依リ社債ノ募集ヲ受託會社ニ委任スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ信託契約ニ別段ノ定ナキトキハ受託會社ハ債券ノ發行、社債ノ償還及利息ノ支拂ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス
第二十四條　前條ノ場合ニ於テハ第二十二條ニ掲ケタル公告ハ受託會社ニ於テ之ヲ爲シ商法第二百七十五條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲモ公告スヘシ
一　第十九條第一號乃至第四號及第十號ニ掲ケタル事項
二　第三十四條第一項第二號乃至第四號ニ掲ケタル事項
前項ノ公告ニハ受託會社ノ承認ヲ得タル旨ヲ附記スヘシ
第二十五條　委託會社ハ信託契約ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ハ其ノ引受ケタル社債ノ總額ニ付發行金額及前條第三號乃至第八號ニ掲ケタル事項ヲ定メタルトキハ其ノ事項ヲモ記載スヘシ
第二十六條　前條第一項ノ場合ニ於テ受託會社ハ其ノ引受ケタル社債ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ信託契約ニ前條第二項ノ事項ヲ定メサルトキハ受託會社ハ受託會社トノ契約ヲ以テ其ノ發行毎ニ之ヲ定ムヘシ
前項ノ契約ハ信託契約ト同一ノ效力ヲ有ス
第二十七條　受託會社カ第二十五條第一項ニ依リ引受ケタル社債ヲ讓渡サムトスルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ
前項ノ公告ニ記載スヘキ事項ニ付テハ第二十二條ノ規定ヲ準用ス
受託會社ハ社債ヲ讓受ケムトスル者ノ請求アルトキハ營業時間内何時ニテモ信託證書又ハ其ノ謄本ヲ閲覽セシムヘシ
第二十八條　受託會社カ信託契約ニ依リ引受ケタル社債ヲ讓渡シタル場合ニ於テハ委託會社ハ受託會社ノ契約ニ依リ社債ノ讓渡シタル場合ニ於テハ委託會社ニ依リ社債ノ讓渡シタル場合ニ於テハ委託會社ハ信託契約ニ依リ引受ケタル社債ノ總額ヲ引受ケシムルコトヲ得
前項ニ依ル社債總額ノ引受ハ之ヲ商行爲トス
第二十九條　委託會社ハ信託契約ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ハ其ノ引受ケタル社債ヲ分割シテ之ヲ相當スル債券ノ發行ヲ委託會社ニ請求スルコトヲ得
受託會社カ信託契約ニ依リ債券發行ノ權限ヲ有スルトキハ受託會社ニ對シテ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得
第三十條　第二十五條第二項、第二十七條第一項、第二項及第二十八條ノ規定ハ前條第一項ニ依リ第三者カ社債ノ總額ヲ引受ケタル場合ニ之ヲ準用ス
前條第一項ニ依リ第三者カ社債ノ總額ヲ引受ケタル場合ニ於テハ其ノ第三者カ擔保ノ價格ニ付調査シタル結果ノ表示ヲ以テ第二十二條第一項第四號ノ二ニ掲ケタル事項ニ代フルコトヲ得
第三十一條　委託會社又ハ受託會社ハ信託證書ノ謄本ヲ第二十九條第一項ニ依リ社債ノ概要ノ表示ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
前項ノ謄本ハ委託會社又ハ受託會社ノ代表者之ニ署名シテ原本ト相違ナキコトヲ認證スヘシ
第二十七條第三項ノ規定ハ第一項ノ謄本ニ之ヲ準用ス
第三十一條ノ二　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ其ノ最終ノ回ノ發行ハ信託證書作成ノ日ヨリ五年内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス
第三十一條ノ三　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テ未タ發行セサルモノアルトキハ委託會社ハ受託會社トノ契約ヲ以テ社債ノ總額ヲ其ノ既ニ發行シタル額ニ至マテ減額スルコトヲ得受託會社ハ正當ノ事由ナクシテ契約ノ締結ヲ拒ムコトヲ得ス
前項ノ契約ノ締結ニ因リ受託會社ノ受ケタル損害ハ委託會社ニ之ヲ賠償スルコトヲ要ス
第十九條ノ三第二項及第七十七條ノ規定ハ第一項ノ契約ニ之ヲ準用ス
第三十二條　會社ハ合同シテ社債ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ社債ノ募集ヲ受託會社ニ委任シ又ハ受託會社ヲシテ社債ノ總額ヲ引受ケシムヘシ
第三十三條　前條ノ場合ニ於テハ受託會社ハ債券ノ發行、社債ノ償還及利息ノ支拂ニ關スル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス
第三十三條ノ二　社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ第二十九條第一項ノ規定ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ハ其ノ引受ケタル社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ其ノ各回ノ發行金額ノ引受ヲ以テ社債ノ總額ノ引受トス
第三十四條　委託會社ハ商法第二百四條ノ三第一項ノ規定ニ從ヒ左ノ事項ヲ登記スヘシ
一　第十九條第一號乃至第三號、第五號乃至第七號、第十號及第十二號ニ掲ケタル事項
二　第二十二條第一項第二號乃至第四號ニ掲ケタル事項
第三十四條　委託會社ハ商法第二百四條ノ三第一項ノ規定ニ從ヒ左ノ事項ヲ登記スヘシ
一　第十九條第一號乃至第三號、第五號乃至第七號ニ掲ケタル事項
二　第二十二條第一項第二號乃至第四號ニ掲ケタル事項
第三十五條　委託會社ハ商法第二百六條ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ノ請求アルトキハ營業時間内何時ニテモ社債權者名簿ヲ閲覽セシムヘシ
第三十六條　受託會社ハ委託會社カ信託契約ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ハ必要アルトキハ何時ニテモ社債權者名簿ヲ招集スルコトヲ得
第三十七條　委託會社又ハ社債總額ノ十分ノ一ニ當ル社債權者ハ會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ受託會社又ハ第二十九條第一項ノ規定ニ從ヒ委託會社ニ交付シテ社債權者集會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ヲ受ケタル者カ其ノ請求ノ日ヨリ二週間内ニ集會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ヲ爲シタル者ハ主務官廳ノ許可ヲ受ケ其ノ招集ヲ爲スコトヲ得
第三十八條　第十五條第二項、第八十九條、第九十四條又ハ第九十九條ニ定メタル集會ハ社債總額ノ十分ノ一ニ當ル社債權者ニ於テ自ラ之ヲ招集スルコトヲ得
前項ノ招集ハ信託契約ニ別段ノ定ナキトキハ受託會社本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ
第三十九條　委託會社又ハ社債總額ノ十分ノ一ニ當ル社債權者ハ集會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ受託會社ニ交付シテ社債權者集會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ヲ受ケタル者カ其ノ請求ノ日ヨリ二週間内ニ集會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ヲ爲シタル者ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ其ノ招集ヲ爲スコトヲ得
第四十條　會社カ物上擔保附社債ヲ發行シタルトキハ社債原簿ニ商法第百七十三條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　第十九條第一號、第七號、第九號及第十號ニ掲ケタル事項
二　第三十四條第一項第二號乃至第四號ニ掲ケタル事項
社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ前項ノ外第二十二條第一項第一號及第三號ニ掲ケタル事項ヲモ記載スヘシ
第四十一條　委託會社ハ社債原簿ノ謄本ヲ作成シテ之ヲ委託會社ニ交付スヘシ
前項ノ謄本ハ委託會社ノ取締役又ハ之ヲ代表スル社員之ニ署名シテ原本ト相違ナキコトヲ認證スヘシ
第四十二條　受託會社ハ前條ノ謄本ヲ其ノ本店ニ備置キ社債權者ノ請求アルトキハ營業時間内何時ニテモ之ヲ閲覧セシムヘシ
第四十三條　社債原簿ノ記載ニ變更ヲ生シタル者カ社債原簿ノ記載ニ變更ヲ生スヘキ取扱ヲ爲シタルトキハ其ノ都度書面ヲ以テ社債原簿ヲ備フル會社ニ之ヲ通知スヘシ
第六章　社債權者集會
第四十四條　受託會社又ハ第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ハ必要アルトキハ何時ニテモ社債權者集會ヲ招集スルコトヲ得
第四十五條　委託會社又ハ社債總額ノ十分ノ一ニ當ル社債權者ハ集會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ受託會社又ハ第二十九條第一項ノ規定ニ從ヒ委託會社ニ交付シテ社債權者集會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ヲ受ケタル者カ其ノ請求ノ日ヨリ二週間内ニ集會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ヲ爲シタル者ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ其ノ招集ヲ爲スコトヲ得
第四十六條　第十五條第二項、第八十九條、第九十四條又ハ第九十九條ニ定メタル集會ハ社債總額ノ十分ノ一ニ當ル社債權者ニ於テ自ラ之ヲ招集スルコトヲ得
前項ノ招集ハ信託契約ニ別段ノ定ナキトキハ受託會社本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ
第四十七條　社債權者集會ハ招集ノ手續又ハ其ノ議決ノ方法カ本法又ハ信託契約ノ條款ニ違反スルトキハ委託會社、受託會社又ハ各社債權者ハ其ノ決議ノ無效ノ宣告ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ之ヲ爲スヘシ
社債權者カ第一項ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ債券ヲ供託シ且招集ヲ爲シタル者ノ請求ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘシ
第五十八條　社債權者集會ハ委託會社又ハ受託會社カ社債原簿ヲ作成シ又ハ第二百六條ニ依ル記載ハ受託會社ニ於テ之ヲ爲シ商法第二百七條ニ依ル請求ハ受託會社ニ對シテ之ヲ爲ス
第五章　社債原簿
第四十條　會社カ物上擔保附社債ヲ發行シタルトキハ社債原簿ニ商法第百七十三條ニ掲ケタル事項ノ外左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　第十九條第一號、第七號、第九號及第十號ニ掲ケタル事項
二　第三十四條第一項第二號乃至第四號ニ掲ケタル事項
社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行スル場合ニ於テハ前項ノ外第二十二條第一項第一號及第三號ニ掲ケタル事項ヲモ記載スヘシ
第四十一條　委託會社ハ社債原簿ノ謄本ヲ作成シテ之ヲ委託會社ニ交付スヘシ
前項ノ謄本ハ委託會社ノ取締役又ハ之ヲ代表スル社員之ニ署名シテ原本ト相違ナキコトヲ認證スヘシ
第四十二條　受託會社ハ前條ノ謄本ヲ其ノ本店ニ備置キ社債權者ノ請求アルトキハ營業時間内何時ニテモ之ヲ閲覧セシムヘシ
第四十三條　社債原簿ノ記載ニ變更ヲ生シタル者カ社債原簿ノ記載ニ變更ヲ生スヘキ取扱ヲ爲シタルトキハ其ノ都度書面ヲ以テ社債原簿ヲ備フル會社ニ之ヲ通知スヘシ
第六章　社債募集
第四十四條　受託會社又ハ第二十九條第一項ニ依リ社債ノ總額ヲ引受ケタル者ハ必要アルトキハ何時ニテモ社債權者集會ヲ招集スルコトヲ得
第四十五條　委託會社又ハ社債總額ノ十分ノ一ニ當ル社債權者ハ集會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ受託會社又ハ第二十九條第一項ノ規定ニ從ヒ委託會社ニ交付シテ社債權者集會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ヲ受ケタル者カ其ノ請求ノ日ヨリ二週間内ニ集會招集ノ手續ヲ爲ササルトキハ其ノ請求ヲ爲シタル者ハ裁判所ノ許可ヲ受ケ其ノ招集ヲ爲スコトヲ得
第四十六條　第十五條第二項、第八十九條、第九十四條又ハ第九十九條ニ定メタル集會ハ社債總額ノ十分ノ一ニ當ル社債權者ニ於テ自ラ之ヲ招集スルコトヲ得
前項ノ招集ハ信託契約ニ別段ノ定ナキトキハ受託會社本店ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スヘシ
第四十七條　社債權者集會ハ招集ノ手續又ハ其ノ議決ノ方法カ本法又ハ信託契約ノ條款ニ違反スルトキハ委託會社、受託會社又ハ各社債權者ハ其ノ決議ノ無效ノ宣告ヲ裁判所ニ請求スルコトヲ得
前項ノ請求ハ決議ノ日ヨリ一箇月内ニ之ヲ爲スヘシ
社債權者カ第一項ノ請求ヲ爲スニ

第六條 信託ハ委託者ト受託者トノ間ノ信託契約ニ依リテ之ヲ生ス

第七條 信託ハ委託者ノ指定シタル財産ヲ受託者ニ移転シ受託者ヲシテ信託ノ本旨ニ従ヒ其ノ財産ヲ管理又ハ処分セシムルモノトス

第八條 信託ハ左ノ財産ニ限リ之ヲ為スコトヲ得

一 金銭

二 有価証券

三 金銭ニ見積ルコトヲ得ル財産権

第九條 信託ハ委託者ノ生存中又ハ其ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第二十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第三十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第四十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第五十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第六十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第七十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第八十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第九十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百一條 信託ハ委託者ト受託者トノ間ノ信託契約ニ依リテ之ヲ生ス

第百二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百二十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百三十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十一條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十二條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十三條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十四條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十五條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十六條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十七條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十八條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百四十九條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

第百五十條 信託ハ委託者ノ死亡ノ後ニ於テ受益者ヲシテ信託ノ利益ヲ享ケシムルヲ目的トスルモノトス

附則

銀行法施行規則

●銀行法施行規則（大正九年四月一日勅令第百六十四號）

第一條　銀行法（以下法ト稱ス）第二條第二項ノ命令ヲ定ムル權ハ主務大臣ニ屬ス

第二條　銀行ハ其ノ營業ニ關シ左ノ事項ヲ定メ主務大臣ニ屆出ヅベシ

一　銀行ノ名稱

二　銀行ノ營業所ノ名稱及所在場所

三　銀行ノ營業ノ種類

四　銀行ノ營業ノ開始ノ日

五　銀行ノ營業ノ方法

六　銀行ノ營業ノ時間

七　銀行ノ營業ノ休日

八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第一項第一號乃至第三號ニ掲ゲタル事項

九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第一項第四號乃至第六號ニ掲ゲタル事項

十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第一號乃至第三號ニ掲ゲタル事項

十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四號乃至第六號ニ掲ゲタル事項

十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七號乃至第十號ニ掲ゲタル事項

十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第十一號乃至第十三號ニ掲ゲタル事項

十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第十四號ニ掲ゲタル事項

十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第十五號ニ掲ゲタル事項

十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第十六號ニ掲ゲタル事項

十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第十七號ニ掲ゲタル事項

十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第十八號ニ掲ゲタル事項

十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第十九號ニ掲ゲタル事項

二十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十號ニ掲ゲタル事項

二十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十一號ニ掲ゲタル事項

二十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十二號ニ掲ゲタル事項

二十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十三號ニ掲ゲタル事項

二十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十四號ニ掲ゲタル事項

二十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十五號ニ掲ゲタル事項

二十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十六號ニ掲ゲタル事項

二十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十七號ニ掲ゲタル事項

二十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十八號ニ掲ゲタル事項

二十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二十九號ニ掲ゲタル事項

三十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十號ニ掲ゲタル事項

三十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十一號ニ掲ゲタル事項

三十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十二號ニ掲ゲタル事項

三十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十三號ニ掲ゲタル事項

三十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十四號ニ掲ゲタル事項

三十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十五號ニ掲ゲタル事項

三十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十六號ニ掲ゲタル事項

三十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十七號ニ掲ゲタル事項

三十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十八號ニ掲ゲタル事項

三十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三十九號ニ掲ゲタル事項

四十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十號ニ掲ゲタル事項

四十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十一號ニ掲ゲタル事項

四十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十二號ニ掲ゲタル事項

四十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十三號ニ掲ゲタル事項

四十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十四號ニ掲ゲタル事項

四十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十五號ニ掲ゲタル事項

四十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十六號ニ掲ゲタル事項

四十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十七號ニ掲ゲタル事項

四十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十八號ニ掲ゲタル事項

四十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第四十九號ニ掲ゲタル事項

五十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十號ニ掲ゲタル事項

五十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十一號ニ掲ゲタル事項

五十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十二號ニ掲ゲタル事項

五十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十三號ニ掲ゲタル事項

五十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十四號ニ掲ゲタル事項

五十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十五號ニ掲ゲタル事項

五十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十六號ニ掲ゲタル事項

五十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十七號ニ掲ゲタル事項

五十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十八號ニ掲ゲタル事項

五十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第五十九號ニ掲ゲタル事項

六十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十號ニ掲ゲタル事項

六十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十一號ニ掲ゲタル事項

六十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十二號ニ掲ゲタル事項

六十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十三號ニ掲ゲタル事項

六十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十四號ニ掲ゲタル事項

六十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十五號ニ掲ゲタル事項

六十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十六號ニ掲ゲタル事項

六十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十七號ニ掲ゲタル事項

六十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十八號ニ掲ゲタル事項

六十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第六十九號ニ掲ゲタル事項

七十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十號ニ掲ゲタル事項

七十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十一號ニ掲ゲタル事項

七十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十二號ニ掲ゲタル事項

七十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十三號ニ掲ゲタル事項

七十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十四號ニ掲ゲタル事項

七十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十五號ニ掲ゲタル事項

七十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十六號ニ掲ゲタル事項

七十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十七號ニ掲ゲタル事項

七十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十八號ニ掲ゲタル事項

七十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第七十九號ニ掲ゲタル事項

八十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十號ニ掲ゲタル事項

八十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十一號ニ掲ゲタル事項

八十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十二號ニ掲ゲタル事項

八十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十三號ニ掲ゲタル事項

八十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十四號ニ掲ゲタル事項

八十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十五號ニ掲ゲタル事項

八十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十六號ニ掲ゲタル事項

八十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十七號ニ掲ゲタル事項

八十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十八號ニ掲ゲタル事項

八十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第八十九號ニ掲ゲタル事項

九十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十號ニ掲ゲタル事項

九十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十一號ニ掲ゲタル事項

九十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十二號ニ掲ゲタル事項

九十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十三號ニ掲ゲタル事項

九十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十四號ニ掲ゲタル事項

九十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十五號ニ掲ゲタル事項

九十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十六號ニ掲ゲタル事項

九十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十七號ニ掲ゲタル事項

九十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十八號ニ掲ゲタル事項

九十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第九十九號ニ掲ゲタル事項

百　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百號ニ掲ゲタル事項

百一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百一號ニ掲ゲタル事項

百二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二號ニ掲ゲタル事項

百三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三號ニ掲ゲタル事項

百四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四號ニ掲ゲタル事項

百五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五號ニ掲ゲタル事項

百六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六號ニ掲ゲタル事項

百七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七號ニ掲ゲタル事項

百八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八號ニ掲ゲタル事項

百九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九號ニ掲ゲタル事項

百十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十號ニ掲ゲタル事項

百十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十一號ニ掲ゲタル事項

百十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十二號ニ掲ゲタル事項

百十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十三號ニ掲ゲタル事項

百十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十四號ニ掲ゲタル事項

百十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十五號ニ掲ゲタル事項

百十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十六號ニ掲ゲタル事項

百十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十七號ニ掲ゲタル事項

百十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十八號ニ掲ゲタル事項

百十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百十九號ニ掲ゲタル事項

百二十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十號ニ掲ゲタル事項

百二十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十一號ニ掲ゲタル事項

百二十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十二號ニ掲ゲタル事項

百二十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十三號ニ掲ゲタル事項

百二十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十四號ニ掲ゲタル事項

百二十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十五號ニ掲ゲタル事項

百二十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十六號ニ掲ゲタル事項

百二十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十七號ニ掲ゲタル事項

百二十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十八號ニ掲ゲタル事項

百二十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百二十九號ニ掲ゲタル事項

百三十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十號ニ掲ゲタル事項

百三十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十一號ニ掲ゲタル事項

百三十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十二號ニ掲ゲタル事項

百三十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十三號ニ掲ゲタル事項

百三十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十四號ニ掲ゲタル事項

百三十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十五號ニ掲ゲタル事項

百三十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十六號ニ掲ゲタル事項

百三十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十七號ニ掲ゲタル事項

百三十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十八號ニ掲ゲタル事項

百三十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百三十九號ニ掲ゲタル事項

百四十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十號ニ掲ゲタル事項

百四十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十一號ニ掲ゲタル事項

百四十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十二號ニ掲ゲタル事項

百四十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十三號ニ掲ゲタル事項

百四十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十四號ニ掲ゲタル事項

百四十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十五號ニ掲ゲタル事項

百四十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十六號ニ掲ゲタル事項

百四十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十七號ニ掲ゲタル事項

百四十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十八號ニ掲ゲタル事項

百四十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百四十九號ニ掲ゲタル事項

百五十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十號ニ掲ゲタル事項

百五十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十一號ニ掲ゲタル事項

百五十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十二號ニ掲ゲタル事項

百五十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十三號ニ掲ゲタル事項

百五十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十四號ニ掲ゲタル事項

百五十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十五號ニ掲ゲタル事項

百五十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十六號ニ掲ゲタル事項

百五十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十七號ニ掲ゲタル事項

百五十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十八號ニ掲ゲタル事項

百五十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百五十九號ニ掲ゲタル事項

百六十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十號ニ掲ゲタル事項

百六十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十一號ニ掲ゲタル事項

百六十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十二號ニ掲ゲタル事項

百六十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十三號ニ掲ゲタル事項

百六十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十四號ニ掲ゲタル事項

百六十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十五號ニ掲ゲタル事項

百六十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十六號ニ掲ゲタル事項

百六十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十七號ニ掲ゲタル事項

百六十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十八號ニ掲ゲタル事項

百六十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百六十九號ニ掲ゲタル事項

百七十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十號ニ掲ゲタル事項

百七十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十一號ニ掲ゲタル事項

百七十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十二號ニ掲ゲタル事項

百七十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十三號ニ掲ゲタル事項

百七十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十四號ニ掲ゲタル事項

百七十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十五號ニ掲ゲタル事項

百七十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十六號ニ掲ゲタル事項

百七十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十七號ニ掲ゲタル事項

百七十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十八號ニ掲ゲタル事項

百七十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百七十九號ニ掲ゲタル事項

百八十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十號ニ掲ゲタル事項

百八十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十一號ニ掲ゲタル事項

百八十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十二號ニ掲ゲタル事項

百八十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十三號ニ掲ゲタル事項

百八十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十四號ニ掲ゲタル事項

百八十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十五號ニ掲ゲタル事項

百八十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十六號ニ掲ゲタル事項

百八十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十七號ニ掲ゲタル事項

百八十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十八號ニ掲ゲタル事項

百八十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百八十九號ニ掲ゲタル事項

百九十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十號ニ掲ゲタル事項

百九十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十一號ニ掲ゲタル事項

百九十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十二號ニ掲ゲタル事項

百九十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十三號ニ掲ゲタル事項

百九十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十四號ニ掲ゲタル事項

百九十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十五號ニ掲ゲタル事項

百九十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十六號ニ掲ゲタル事項

百九十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十七號ニ掲ゲタル事項

百九十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十八號ニ掲ゲタル事項

百九十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第百九十九號ニ掲ゲタル事項

二百　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百號ニ掲ゲタル事項

二百一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百一號ニ掲ゲタル事項

二百二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二號ニ掲ゲタル事項

二百三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三號ニ掲ゲタル事項

二百四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四號ニ掲ゲタル事項

二百五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五號ニ掲ゲタル事項

二百六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六號ニ掲ゲタル事項

二百七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七號ニ掲ゲタル事項

二百八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八號ニ掲ゲタル事項

二百九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九號ニ掲ゲタル事項

二百十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十號ニ掲ゲタル事項

二百十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十一號ニ掲ゲタル事項

二百十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十二號ニ掲ゲタル事項

二百十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十三號ニ掲ゲタル事項

二百十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十四號ニ掲ゲタル事項

二百十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十五號ニ掲ゲタル事項

二百十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十六號ニ掲ゲタル事項

二百十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十七號ニ掲ゲタル事項

二百十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十八號ニ掲ゲタル事項

二百十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百十九號ニ掲ゲタル事項

二百二十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十號ニ掲ゲタル事項

二百二十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十一號ニ掲ゲタル事項

二百二十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十二號ニ掲ゲタル事項

二百二十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十三號ニ掲ゲタル事項

二百二十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十四號ニ掲ゲタル事項

二百二十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十五號ニ掲ゲタル事項

二百二十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十六號ニ掲ゲタル事項

二百二十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十七號ニ掲ゲタル事項

二百二十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十八號ニ掲ゲタル事項

二百二十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百二十九號ニ掲ゲタル事項

二百三十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十號ニ掲ゲタル事項

二百三十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十一號ニ掲ゲタル事項

二百三十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十二號ニ掲ゲタル事項

二百三十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十三號ニ掲ゲタル事項

二百三十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十四號ニ掲ゲタル事項

二百三十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十五號ニ掲ゲタル事項

二百三十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十六號ニ掲ゲタル事項

二百三十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十七號ニ掲ゲタル事項

二百三十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十八號ニ掲ゲタル事項

二百三十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百三十九號ニ掲ゲタル事項

二百四十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十號ニ掲ゲタル事項

二百四十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十一號ニ掲ゲタル事項

二百四十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十二號ニ掲ゲタル事項

二百四十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十三號ニ掲ゲタル事項

二百四十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十四號ニ掲ゲタル事項

二百四十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十五號ニ掲ゲタル事項

二百四十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十六號ニ掲ゲタル事項

二百四十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十七號ニ掲ゲタル事項

二百四十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十八號ニ掲ゲタル事項

二百四十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百四十九號ニ掲ゲタル事項

二百五十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十號ニ掲ゲタル事項

二百五十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十一號ニ掲ゲタル事項

二百五十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十二號ニ掲ゲタル事項

二百五十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十三號ニ掲ゲタル事項

二百五十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十四號ニ掲ゲタル事項

二百五十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十五號ニ掲ゲタル事項

二百五十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十六號ニ掲ゲタル事項

二百五十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十七號ニ掲ゲタル事項

二百五十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十八號ニ掲ゲタル事項

二百五十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百五十九號ニ掲ゲタル事項

二百六十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十號ニ掲ゲタル事項

二百六十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十一號ニ掲ゲタル事項

二百六十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十二號ニ掲ゲタル事項

二百六十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十三號ニ掲ゲタル事項

二百六十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十四號ニ掲ゲタル事項

二百六十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十五號ニ掲ゲタル事項

二百六十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十六號ニ掲ゲタル事項

二百六十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十七號ニ掲ゲタル事項

二百六十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十八號ニ掲ゲタル事項

二百六十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百六十九號ニ掲ゲタル事項

二百七十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十號ニ掲ゲタル事項

二百七十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十一號ニ掲ゲタル事項

二百七十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十二號ニ掲ゲタル事項

二百七十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十三號ニ掲ゲタル事項

二百七十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十四號ニ掲ゲタル事項

二百七十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十五號ニ掲ゲタル事項

二百七十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十六號ニ掲ゲタル事項

二百七十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十七號ニ掲ゲタル事項

二百七十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十八號ニ掲ゲタル事項

二百七十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百七十九號ニ掲ゲタル事項

二百八十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十號ニ掲ゲタル事項

二百八十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十一號ニ掲ゲタル事項

二百八十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十二號ニ掲ゲタル事項

二百八十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十三號ニ掲ゲタル事項

二百八十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十四號ニ掲ゲタル事項

二百八十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十五號ニ掲ゲタル事項

二百八十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十六號ニ掲ゲタル事項

二百八十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十七號ニ掲ゲタル事項

二百八十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十八號ニ掲ゲタル事項

二百八十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百八十九號ニ掲ゲタル事項

二百九十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十號ニ掲ゲタル事項

二百九十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十一號ニ掲ゲタル事項

二百九十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十二號ニ掲ゲタル事項

二百九十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十三號ニ掲ゲタル事項

二百九十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十四號ニ掲ゲタル事項

二百九十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十五號ニ掲ゲタル事項

二百九十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十六號ニ掲ゲタル事項

二百九十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十七號ニ掲ゲタル事項

二百九十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十八號ニ掲ゲタル事項

二百九十九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第二百九十九號ニ掲ゲタル事項

三百　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百號ニ掲ゲタル事項

三百一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百一號ニ掲ゲタル事項

三百二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百二號ニ掲ゲタル事項

三百三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百三號ニ掲ゲタル事項

三百四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百四號ニ掲ゲタル事項

三百五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百五號ニ掲ゲタル事項

三百六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百六號ニ掲ゲタル事項

三百七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百七號ニ掲ゲタル事項

三百八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百八號ニ掲ゲタル事項

三百九　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百九號ニ掲ゲタル事項

三百十　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百十號ニ掲ゲタル事項

三百十一　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百十一號ニ掲ゲタル事項

三百十二　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百十二號ニ掲ゲタル事項

三百十三　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百十三號ニ掲ゲタル事項

三百十四　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百十四號ニ掲ゲタル事項

三百十五　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百十五號ニ掲ゲタル事項

三百十六　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百十六號ニ掲ゲタル事項

三百十七　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百十七號ニ掲ゲタル事項

三百十八　銀行ノ營業ノ種類ニ應ジ法第十條第二項第三百十八號ニ掲ゲタル事項

三百十九　銀行ノ營業ノ種

ハ命令ノ定ムル所ニ依リ分割シテ之ヲ爲スコトヲ得

●朝鮮商品券取締令施行規則

昭和八年一月
總令　第五號
改正　昭和一二年一總令第七號

朝鮮商品券取締令施行規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮商品券取締令（以下單ニ商品券取締法ト稱ス）第一條ノ規定ニ依ル供託ハ毎年三月三十一日及九月三十日現在ニ於ケル商品券發行額ニ依リ翌月末日迄ニ之ヲ爲スベシ

第二條　商品券取締法第一條但書ノ商品券發行額ハ三千圓トス

第三條　朝鮮商品券取締令ニ依ル供託ハ朝鮮ニ本店ヲ有セザル場合ニ於テハ朝鮮ニ於ケル主タル營業所ノ所在地ニ於テ、朝鮮ニ本店ヲ有セザル者ニ在リテハ朝鮮ニ於ケル主タル營業所ノ所在地ニ於テ之ヲ爲スベシ

第四條　商品券取締法第一條ノ規定ニ依リ供スル國債ノ供託價格ハ毎年三月三十一日又ハ九月三十日ノ時價ヲ超エルコトヲ得ズ

第五條　商品券ノ發行者朝鮮商品券取締令ニ依リ供託ヲ爲シタルトキハ供託物受入ノ記載アル供託書ノ寫及供託價格ヲ記載シタル書面ヲ添附シ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ前項ノ供託ヲ爲シタル商品券ノ發行者ニ對シ供託物受入ノ記載ヅルル供託書ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第六條　商品券ノ發行者朝鮮商品券取締令ニ依リ供託シタル國債ノ下戻ヲ受ケントスルトキハ朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

商品券ノ發行者前項ノ承認ヲ受ケントスルトキハ其ノ事由ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ重要輸出品ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第二條　組合若ハ其ノ聯合會、公益法人又ハ道ニ於テ行フ檢査ニ合格シタルモノニ非ザレバ營利ノ目的ヲ以テ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ重要輸出品ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第二條　組合若ハ其ノ聯合會、公益法人又ハ道ニ於テ商標第一項ノ檢査ヲ行ハントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第三條　第一條第一項ノ檢査ハ朝鮮總督ノ定ムル檢査標準ニ依リ之ヲ行フベシ

第四條　前三條ノ規定ハ保稅工場ニ於テ加工シ又ハ製造シタル貨物ノ積戻ニ付之ヲ準用ス

第五條　第一條又ハ前條ノ規定ニ違反シテ重要輸出品ヲ輸出シ又ハ積戻シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

附　則

本令施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム（昭和十年五月一總令第七十三號ヲ以テ同年五月一日ヨリ施行）

第七款　輸出品檢査、不正競爭防止

●朝鮮重要輸出品檢査規則

昭和十年四月
總令第六十五號

朝鮮重要輸出品檢査規則左ノ通定ム

第一條　重要輸出品ハ本令ニ依リ組合若ハ其ノ聯合會、公益法人又ハ道ニ於テ行フ檢査ニ合格シタルモノニ非ザレバ營利ノ目的ヲ以テ之ヲ輸出スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ重要輸出品ハ朝鮮總督之ヲ指定ス

第二條　組合若ハ其ノ聯合會、公益法人又ハ道ニ於テ商標第一項ノ檢査ヲ行ハントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第三條　第一條第一項ノ檢査ハ朝鮮總督ノ定ムル檢査標準ニ依リ之ヲ行フベシ

第四條　前三條ノ規定ハ保稅工場ニ於テ加工シ又ハ製造シタル貨物ノ積戻ニ付之ヲ準用ス

第五條　第一條又ハ前條ノ規定ニ違反シテ重要輸出品ヲ輸出シ又ハ積戻シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

附　則

本令施行ノ期日ハ別ニ之ヲ定ム（昭和十年五月一總令第七十三號ヲ以テ同年五月一日ヨリ施行）

●朝鮮重要輸出品檢査規則ノ規定ニ依ル重要輸出品指定

昭和十年四月
總告第二六六號
改正　昭和一〇年一二總告六八號、一二年一四總告二四九號、一三年一四總告三二七號

朝鮮重要輸出品檢査規則第一條第二項ノ規定ニ依リ重要輸出品ヲ左ノ通指定ス

電球
琺瑯鐵器
ゴム靴並ニ同甲被及同底
靴下
人造絹織物
亞米利加合衆國向綿天鵞絨並ニ比律賓諸島又ハ香港向綿織物

（昭和一二年四月一總告第二二四號ヲ同月二十一日ヨリ施行）
（昭和一三年一月一總告第二一號ヲ同月十一日ヨリ施行）
（昭和一三年四月一總告第二二四號ヲ同月二十五日ヨリ施行）

●朝鮮重要輸出品檢査規則ノ規定ニ依ル重要輸出品指定

昭和十年四月
總告第二六六號
改正　昭和一〇年一二總告六八號、一二年一四總告二四九號、一三年一四總告三二七號

朝鮮重要輸出品檢査規則第一條第二項ノ規定ニ依リ重要輸出品ヲ左ノ通指定ス

電球
琺瑯鐵器
ゴム靴並ニ同甲被及同底
靴下
人造絹織物
亞米利加合衆國向綿天鵞絨並ニ比律賓諸島又ハ香港向綿織物

（昭和一二年四月一總告第二二四號ヲ同月二十一日ヨリ施行）
（昭和一三年一月一總告第二一號ヲ同月十一日ヨリ施行）
（昭和一三年四月一總告第二二四號ヲ同月二十五日ヨリ施行）

●朝鮮重要輸出品檢査規則第三條ノ檢査標準

昭和十二年四月
總告第二百五十號

昭和十年朝鮮總督府告示第二百七十號（朝鮮重要輸出品檢査標準）第二項ノ規定ニ依ル重要輸出品檢査規則第三條ノ檢査標準ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ之ヲ合格ト爲スコトヲ得ズ

電球

一　硝子球、口金若ハ纖條ノ形體不整ナルモノ又ハ之等ノ取附位置正シカラザルモノ

二　硝子球ニシテ氣泡、不熔解物其ノ他ノ瑕疵又ハ汚染著シキモノ

三　口金ニシテ纖弱ナルモノ又ハ錆其ノ他ノ瑕疵若ハ汚染著シキモノ

四　纖條ノ光度不均一ナルモノ又ハ導入線ニシテ電氣抵抗大ナルモノ又ハ其ノ膨脹係數封入部分ノ硝子ノ膨脹係數ニ比シ著シク異ルモノ

六　口金離脫シ易キモノ

七　口金、導入線、纖條間ノ接續不良ナルモノ

八　絕緣不良ナルモノ

九　眞空電球ニシテ排氣不十分ナルモノ又ハ瓦斯入電球ニシテ排氣不十分ナルモノ

十　瓦斯入電球ニシテ纖條ニ有害ナル酸素其ノ他ノ不純物ノ混入セル瓦斯又ハ不適當ナル瓦斯ヲ保有スルモノ

十一　硝子球ノ容積消費電力ニ比シ不適當ナルモノ

十二　家庭電球ニシテ之ニ適合スル電壓並ニ消費電力若ハ燭光ヲ表示セザルモノ

十三　家庭電球以外ノ電球ニシテ使用ニ耐ヘ得ル電壓ノ範圍ヲ表示セザルモノ

十四　タングステン纖條家庭電球ニシテ其ノ消費電力表示ノモノニ比シ左ノ如ク著異アルモノ但シ別表ニ標準能率ノ記載ナキモノハ此ノ限ニ在ラズ

眞空電球　七・五パーセント以上
六〇ワット以下ノ瓦斯入電球　一二・〇パーセント以上

六〇ワットヲ超ユル瓦斯入電球　一〇・〇パーセント以上

燭光ヲ表示シタルモノニ在リテハ別表ヲ基準トシ表示燭光ヨリ消費電力ヲ算出シ前項ノ規定ヲ準用スルモノトス

十五　タングステン纖條家庭電球ニシテ其ノ能率別表ノ標準能率ノ八六パーセント未滿又ハ一四パーセントヲ超ユルモノ能率ノ測定ハ表示電壓ノ一二〇パーセントノ電壓ノ下ニ三〇分間點燈シタル後之ヲ行フモノトス

十六　タングステン纖條家庭電球ニシテ表示電壓ノ一五〇パーセントノ電壓ノ下ニ點燈シタルトキ三・五時間以內ニ斷線スル虞アルモノ

十七　タングステン纖條家庭電球以外ノ電球ニシテ其ノ消費電力表示ノモノニ比シ著シク差異アルモノ、能率不良ナルモノ又ハ壽命短キ虞アルモノ

十八　裝飾用電球ニシテ彩色不良ナルモノ

十九　前各號ノ一ニ該當セザル不良ト認メラルルモノ

（別表）

タングステン纖條家庭電球能率標準（單位ワット當ルーメン）

表示電壓（ボルト）＼表示消費電力（ワット）	一〇〇ボルトヲ超エ一三〇ボルト以下ノモノ	一三〇ボルトヲ超エ一五〇ボルト以下ノモノ	一五〇ボルトヲ超エ二一五ボルト以下ノモノ	二一五ボルトヲ超エ二六〇ボルト以下ノモノ	二三五ボルトヲ超ユルモノ
七五	六・〇〇				
一〇〇	六・六六	六・一五			
一二五	七・一〇	六・六六	六・三〇		
一五〇	七・四五	七・一〇	六・七三		
二〇〇	七・八五	七・五〇	七・二五	六・九五	六・六〇
二五〇	八・二〇	七・八五	七・六三	七・〇〇	六・七五
三〇〇	八・三七	八・一〇	七・九〇	七・三五	七・一八
四〇〇	八・八〇	八・五〇	八・三〇	七・七七	七・六五

東京市日本橋區駿河町貳番地
株式會社三越
京城府本町壹丁目四拾五番地
株式會社三中井呉服店
京城府南大門通貳丁目百貳拾參番地
株式會社丁子屋商店
京城府本町壹丁目五拾壹番地
株式會社平田百貨店
京城府鐘路貳丁目參番地
株式會社和信商會

| 成ノ | 二 | 二 | 二

造	絹	絞	物

| ノモノヲ含ム） | 銀波 | 共ノ他 | | | | | | | | 他ノ | | | | | | | |

●朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章等指定ニ關スル件

昭和十年三月
總督府令第百四十三號

朝鮮不正競爭防止令ニ於テ依ルコトヲ定メタル不正競爭防止法第四條第一項ノ規定ニ依リ外國ノ國ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章ヲ指定シタルトキ又ハ同法第四條第三項ノ規定ニ依リ外國ノ官ノ監督用若ハ證明用ノ印章若ハ記號ヲ指定シタルトキハ其ノ紋章、旗章其ノ他ノ徽章又ハ印章若ハ記號ハ朝鮮總督府商工奬勵館ニ於テ之ヲ縱覽ニ供ス

●朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ國ノ紋章及旗章指定

昭和十年三月
總督府令第百四十四號

改正　昭和一〇年八月府令第百七十七號、一〇年一二月府令第百九十三號、一一年四月府令第二五七號、一二年七月府令第百四〇號

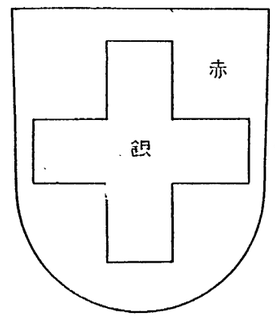
朝鮮不正競爭防止令ニ於テ依ルコトヲ定メタル不正競爭防止法第四條第一項ノ規定ニ依リ外國ノ國ノ紋章又ハ旗章ヲ指定スルコト左ノ如シ

一　瑞西聯邦ノ紋章（別記ノ一）
二　「グレート・レバノン」國ノ國旗（別記ノ二）
三　獨逸國ノ旗章（別記ノ三）
四　獨逸國ノ主權章（別記ノ四）
五　「エーゴースラヴィア」國ノ紋章及旗章（別記ノ五）
六　「エーゴースラヴィア」國ノ國旗（別記ノ六）
七　「モロッコ」國ノ紋章及旗章（別記ノ七）
八　「モロッコ」國ノ國旗（別記ノ八）

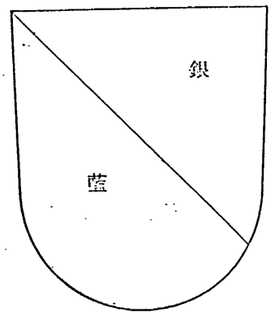
（昭和十年八月府令第百四十七號ハ同年同月十日ヨリ施行）
（昭和十一年四月府令第二百五十七號ハ同年同月二十日ヨリ施行）
（昭和十一年八月府令第百九十四號ハ同年同月十二日ヨリ施行）

別記

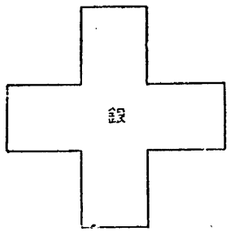
一　瑞西聯邦



チューリッヒ

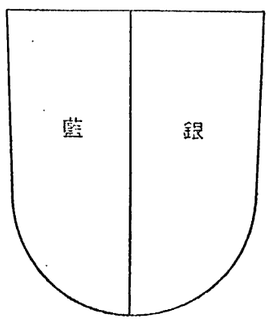


二

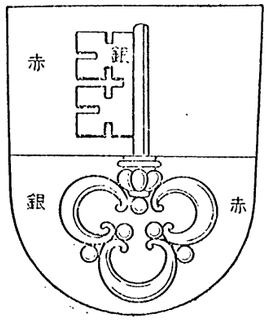


ベルン

ルツェルン

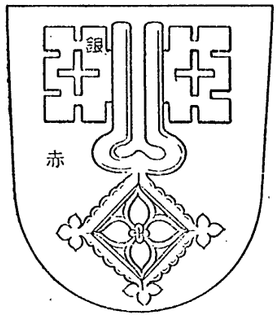


オブワルデン

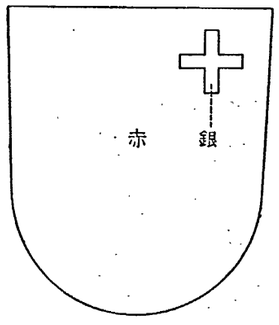


ウーリ

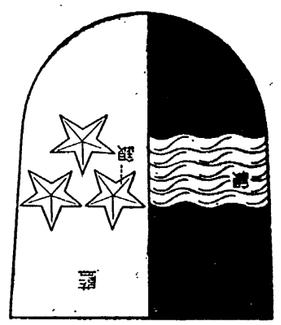
ニドワルデン



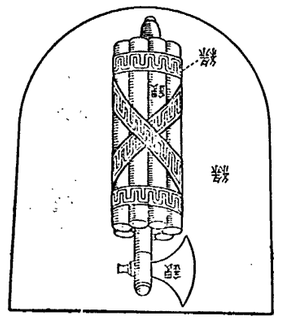
シュウイツ



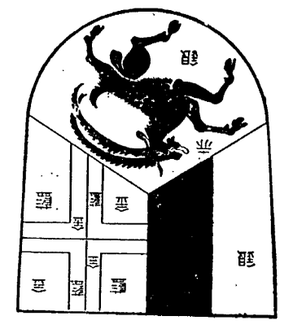
グラルス



マーク



ページ・ナンバー



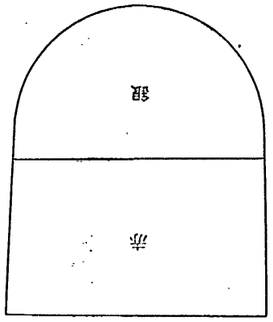
マーク

ページ・ナンバー・マーク

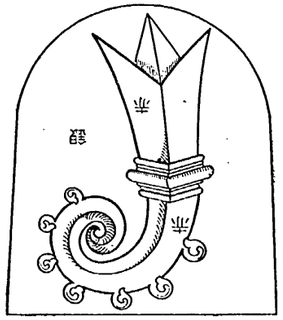
マーク

ページ・ナンバー・マーク

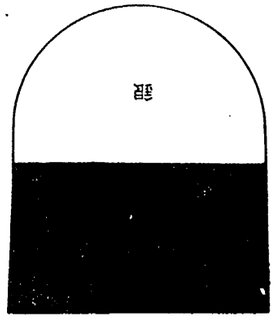
マーク



ページ・ナンバー

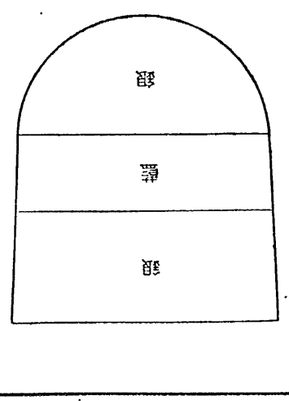


マーク

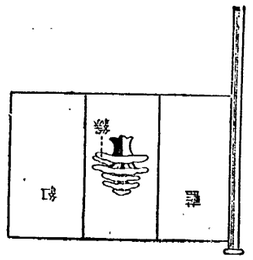


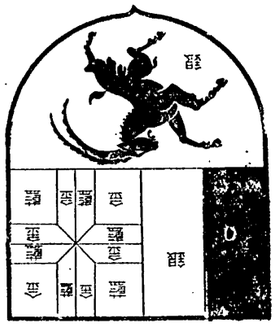
ページ・ナンバー・マーク

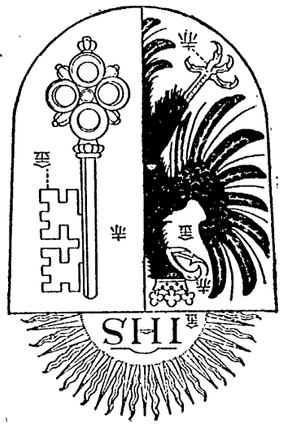
マーク

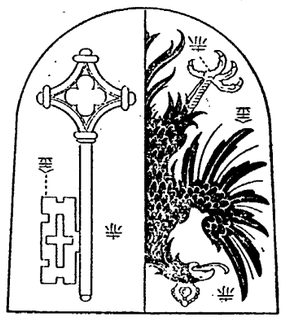


ページ・ナンバー

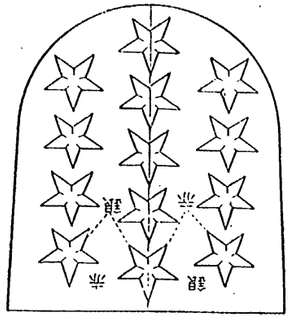

緑
白
赤


銀
青
緑
黄
橙
赤
紫
黒
白


IHS
赤
銀

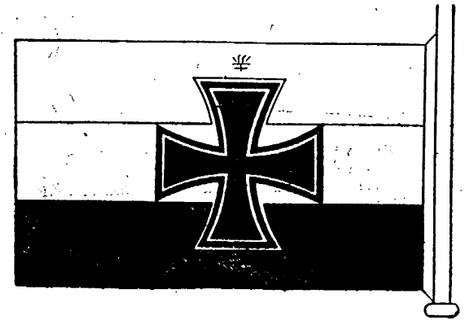

赤
緑
銀

LIBERTÉ
ET
PATRIE
緑

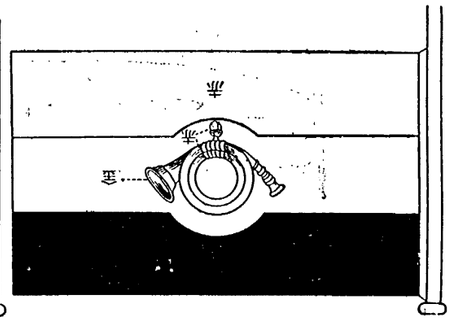

銀
赤
緑

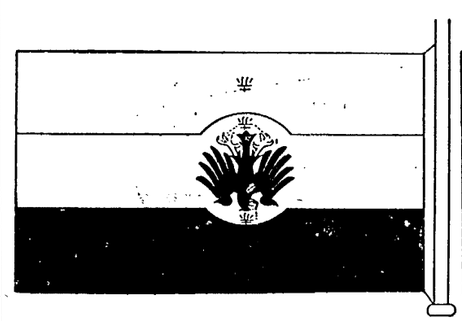
赤
緑

赤
銀
緑



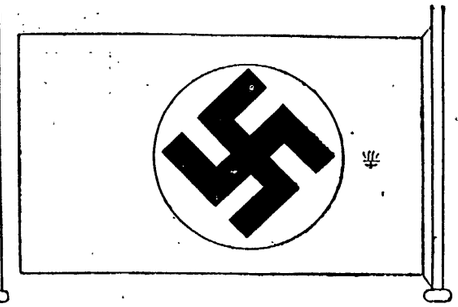
獨逸陸軍及海軍

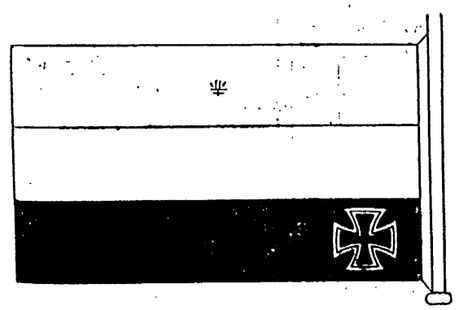




獨逸海軍

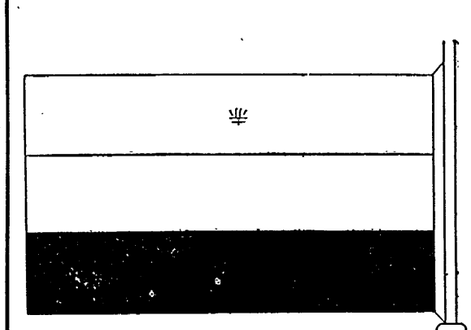
獨逸商船



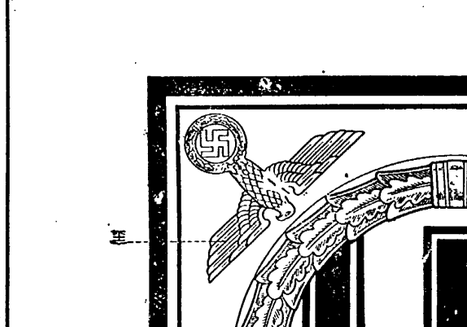


獨逸海軍旗及海軍用船舶標識旗

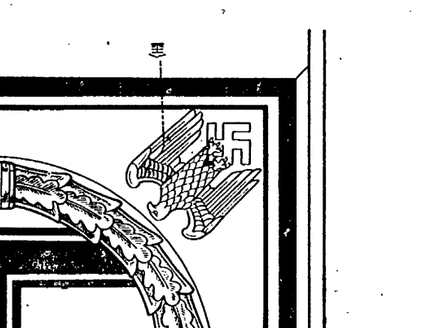
獨逸商船



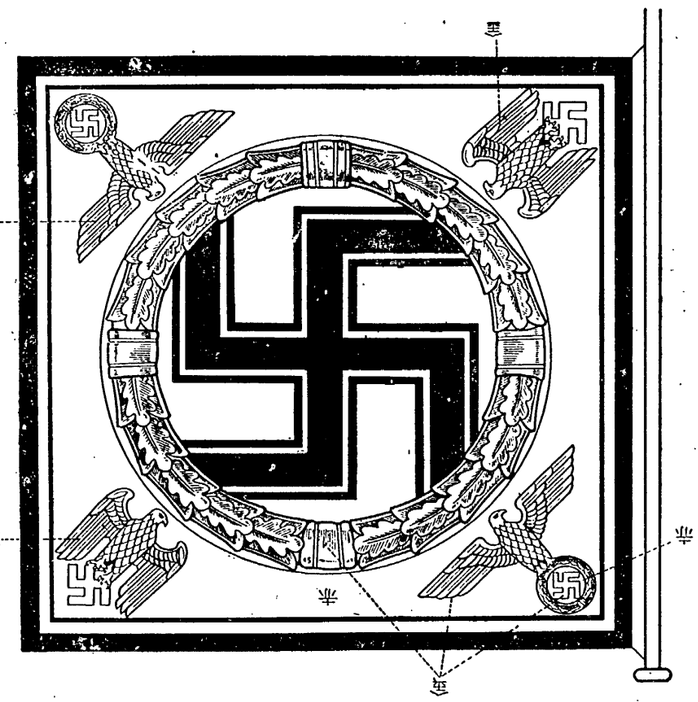
獨逸帝國旗



獨逸赤白黒



獨逸白赤黒

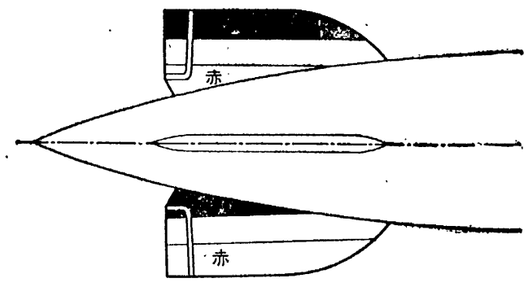


三

獨逸帝國艦旗

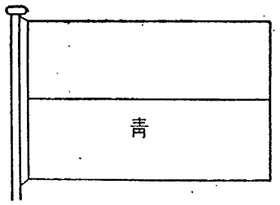
飛行船ノ主標章（識標籍國）

側　右

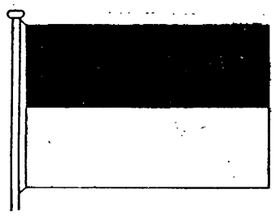


側　左

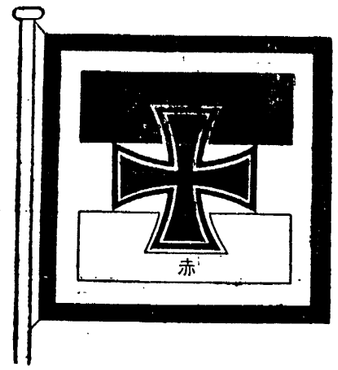
色州　バイエルン



旗州及色州　プロイセン

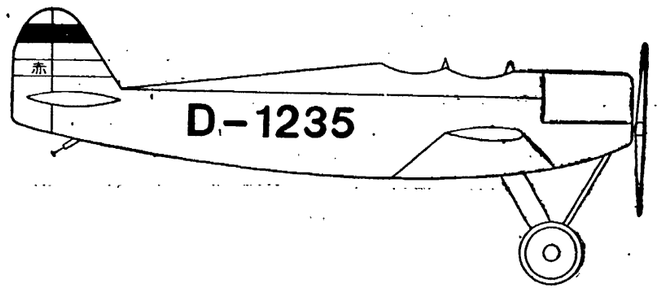


國防火匡旗

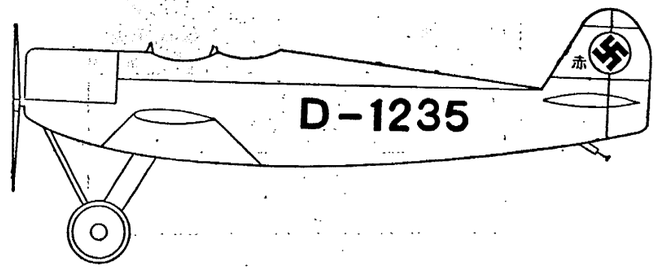


飛行旗ノ主標章（識標籍國）

側　右



側　左

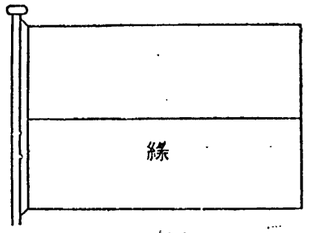


プロイセン

国旗及通商交渉関係用勅令旗

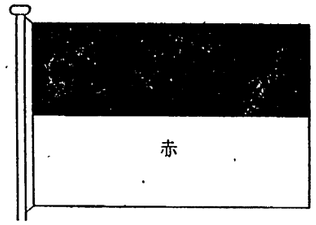
ザクセン

州色



ウュルテンベルグ

州色

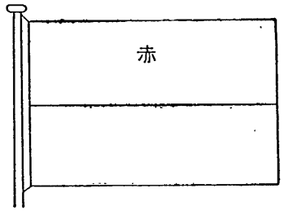


バーデン

州旗

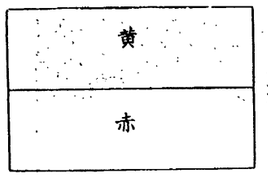
ヘッセン

州色及一般州旗



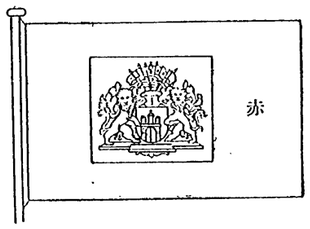
バーデン

州色



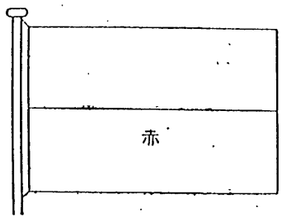
ハンブルグ

国旗



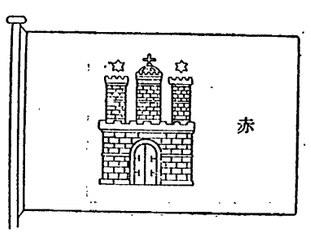
チューリンゲン

州色



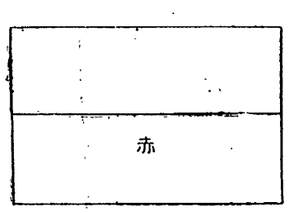
ハンブルグ

州旗



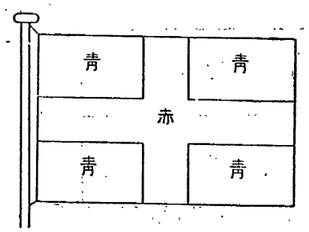
ハンブルグ

州色



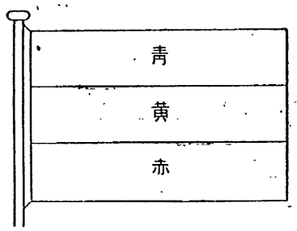
オルデンブルグ

州旗



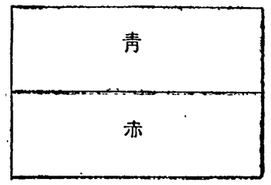
メクレンブルグーシュウェーリン

州色及旗



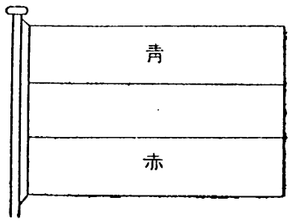
オルデンブルク

色　　州



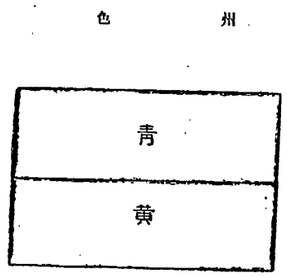
メクレンブルグシュウェーリン

船舶用州旗



プラウンシュワイグ

色　　州

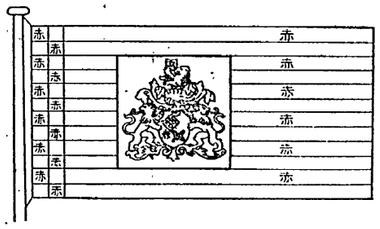


アンハルト

色　　州

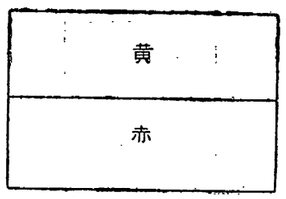
プレーメン

大　國　旗



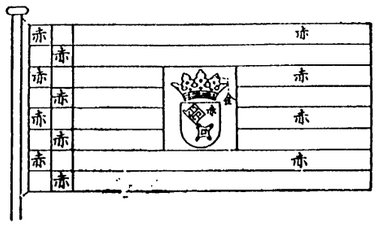
リッペ

色　　州

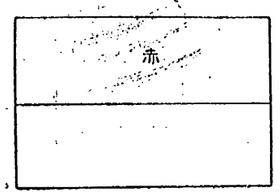


プレーメン

小　國　旗



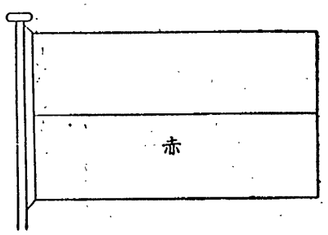
色　　州



リューベック

國　旗

州色及州旗

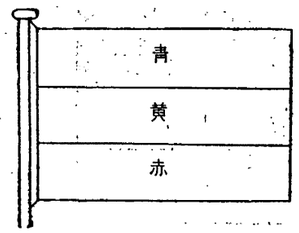


プロイセン

沿海國ノ海上勤務旗

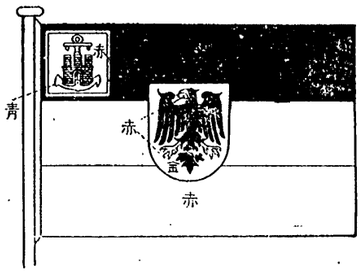
メクレンブルグシュトレリッツ

州色及州旗



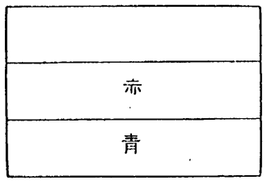
ハンブルグ

旗務勤上海ノ國海沿



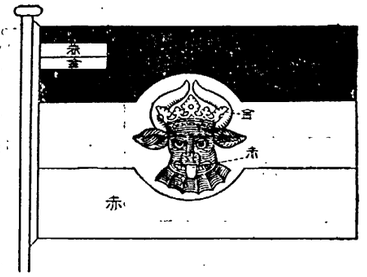
シャウムブルグーリッペ

色　　州



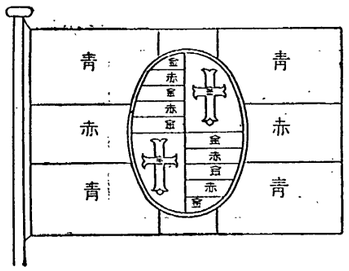
メクレンブルグーシュウェーリン

旗務勤上海ノ國海沿



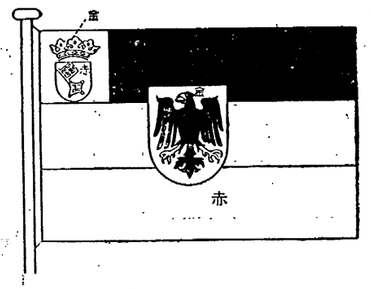
オルデンブルグ

旗務勤上海ノ國海沿



ブレーメン

旗務勤上海ノ國海沿

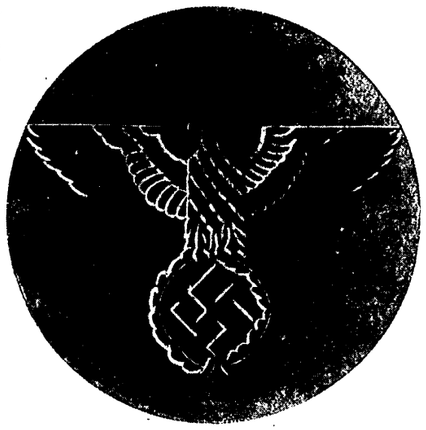


リューベック

旗務勤上海ノ國海沿

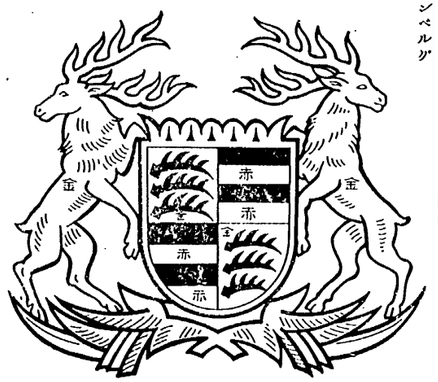
四

國逸閑主君章



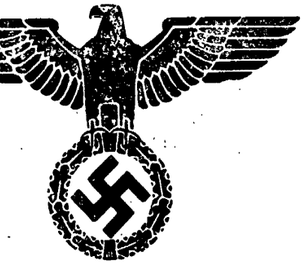
ヴュルテンベルグ

州紋章



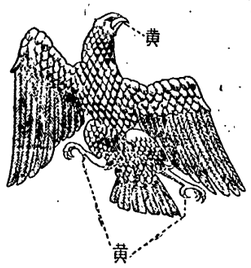
ザックセン

州紋章



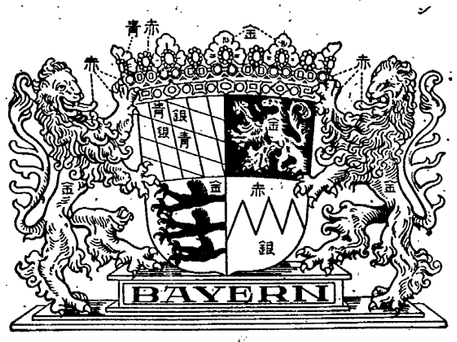
プロイセン

州紋章

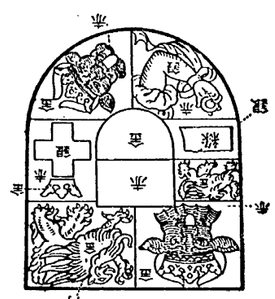


バイエルン

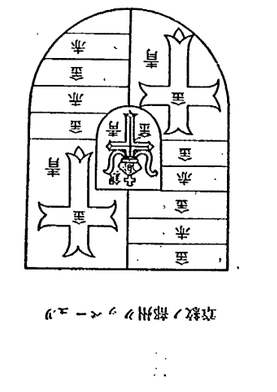
大國紋章



章紋図小

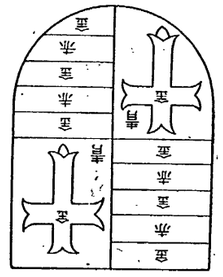


章紋図大

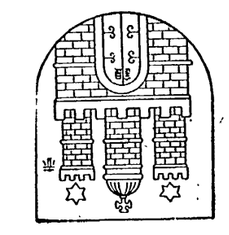


章紋ノ都州ヴァーョン

章紋州ヴァンテルナ



章紋州

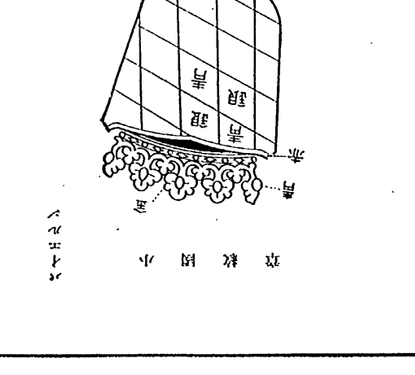


章紋図小

ヴァーヌセンヌーヴァンヌ

章紋州

章紋図大

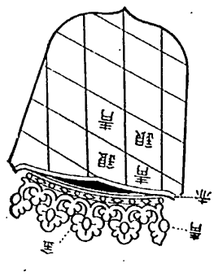


章紋州

章紋図中

章紋図

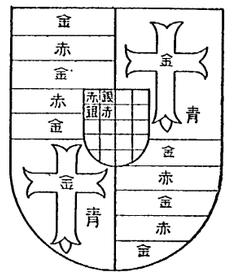
章紋図小



章紋ノ州

オルデンブルグ

ビルケンフェルト州部ノ紋章



ブラウンシュワイグ

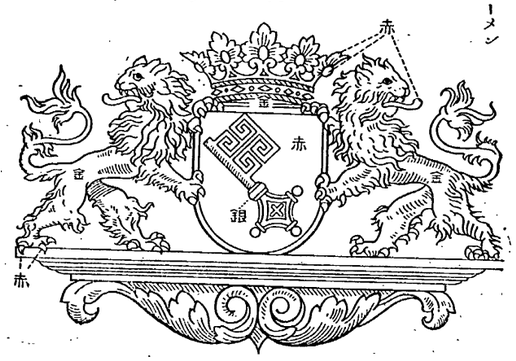
州紋章

アンハルト

國紋章

ブレーメン

大紋章

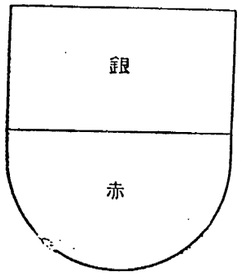


メクレンブルグシュトレリッツ

州紋章

リューベック

州紋章

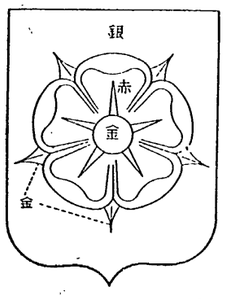


ブレーメン

中紋章

リッペ

州紋章

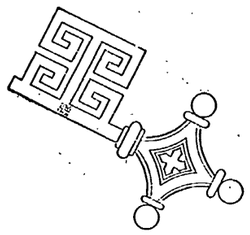


リューベック

大國紋章

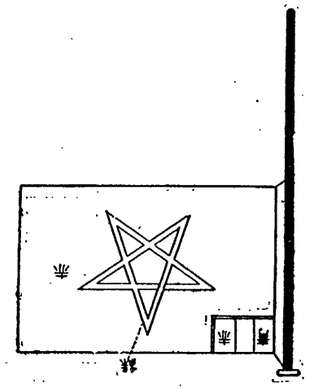
ブレーメン

小紋章

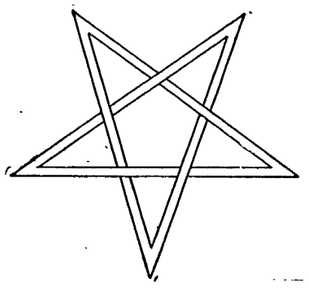


(七)

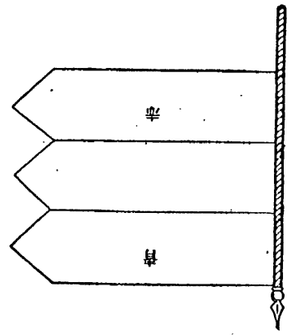
旗　前　通



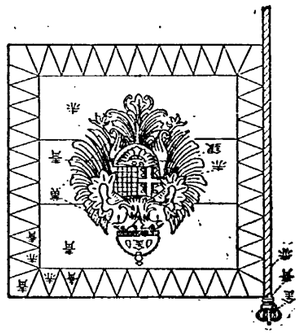
章　紋　ノ　帝　皇



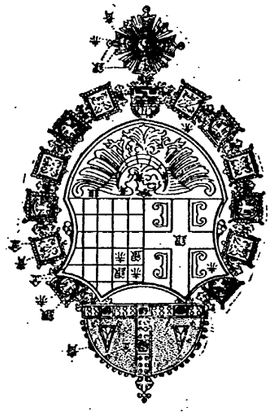
(六)



旗　帝　皇



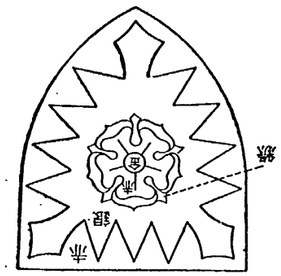
章　紋　ノ　宮　皇



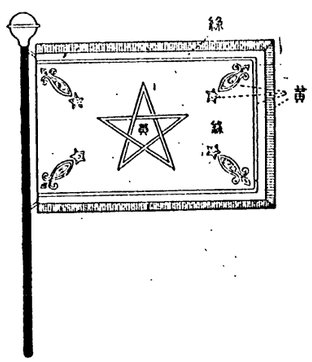
(五)

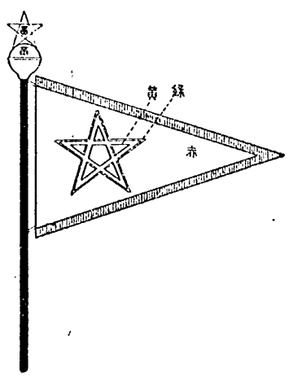
章　紋　ノ　國

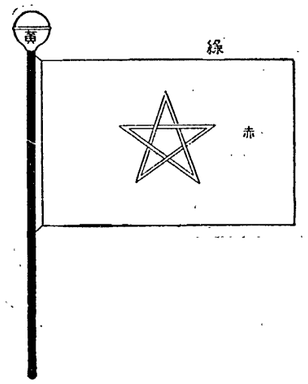
章　紋　州



章　紋　図　小







別記

一

「ズーチ」品商

「ズーチ」品商

二

金製品商

金製品商

金製品商

銀製品商

銀製品商

金製品商

●朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章指定

昭和十年三月總督府令第百四十五號

改正　昭和一〇年一二第七六号號、一一年八第四五號、一二年一第八〇七號

朝鮮不正競爭防止令ニ於テ依ルコトヲ定メタル不正競爭防止法第四條第三項ノ規定ニ依リ外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章ヲ指定スルコト左ノ如シ

一　和蘭國ノ官ノ監督用及證明用ノ印章（別記ノ一）

二　瑞西聯邦ノ官ノ監督用ノ印章（別記ノ二）

三　「グレート・レバノン」國ノ官ノ監督用及證明用ノ印章（別記ノ三）

四　「エーゴースラヴイア」國ノ官ノ監督用ノ印章（別記ノ四）

五　獨逸國ノ官ノ監督用及證明用ノ印章（別記ノ五）

（昭和十一年八月總督府令第百四十五號ヨリ施行）
（昭和十二年十一月總督府令第八百七十號ヨリ施行）

商品　金白製時計側

商品　銀製品

商品　銀製品

商品　金製品

商品　金製品

商品　金白製品

商品　金製時計側

商品　銀製品

商品　銀製品

商品　金製時計側

商品　金製時計側

商品　金製時計側

商品　金製時計側

商品　金製時計側

商品　金製時計側

商品　銀製時計側

商品　銀製時計側

商品　銀製時計側

商品　金製時計側

商品　白金製時計側

商品　白金製時計側

商品　錢金品又ハ模造品

商品　貴金屬製品

商品　金製時計側

三

商品　果實

品牌金白　品牌

品牌银　品牌

品牌银　品牌

品牌银　品牌

品牌银　品牌

品牌银　品牌

品牌银　品牌

品牌银　品牌

品牌银　品牌

品牌金　品牌

品牌金　品牌

品牌金　品牌

品牌金　品牌

品牌金　品牌

品牌金　品牌

品製金ノ品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製金品商

品製銀及金品商

品製銀及金品商

品製銀及金品商

品製金及金白品商

品製金及金白品商

品出輸品商

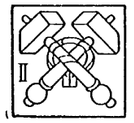
品製銀品商

品製銀品商

品製國外品商

品製國外品商

品製銀品商



品製銀品商

品製銀品商

品製銀品商

五

物屬附ノ其及置裝生發「レンチセア」品商
器容ノ斯瓦解溶壓加ハ又斯瓦縮壓ニ玆品商

●暴利ヲ目的トスル賣買ノ取締ニ關スル件

昭和十二年勅令第八十八號

改正　昭和一二年一〇勅二六三

昭和十二年朝鮮總督府令第六十號（暴利ヲ目的トスル賣買ノ取締ニ關スル件）左ノ通改正ス

第一條　左ニ掲グル物品ヲ暴利ヲ目的ヲ以テ買占若ハ賣惜ヲ爲シ若ハ販賣セシメ又ハ暴利ヲ得テ販賣シ若ハ販賣セシムル者アルトキハ朝鮮總督又ハ道知事ハ其ノ者ニ對シ期間ヲ定メテ其ノ行爲ヲ爲スベカラザル旨ヲ戒告シ且必要ト認ムルトキハ當該物品ノ賣買ニ付條件ヲ附スルコトヲ得

一　金屬及其ノ原料並ニ金屬製品

二　黒鉛、硼砂及雲母並ニ石綿及其ノ製品

三　機械器具及其ノ部分品

四　自動車其ノ他ノ車輛及其ノ部分品

五　電線及電柱

六　電極

七　耐火材料

八　耐火煉瓦

九　硝子

十　石油及其ノ容器

十一　石炭、コークス、煉炭及木炭

十二　棉花、麻、ステープルファイバー及羊毛其ノ他ノ獸毛

十三　絲（生絲ヲ除ク）並ニ布品（フエルト及絹物ヲ含ム）及其ノ製品

十四　被服

十五　紙及其ノ製品

十六　染料、顔料及塗料

十七　工業藥品

十八　醫藥其ノ他ノ衛生材料

十九　油脂及其ノ製品並ニ調製薫香類

二十　肥料及飼料

二十一　生ゴム及ゴム製品

二十二　パルプ

二十三　皮革及其ノ製品

二十四　穀物及穀粉

二十五　砂糖、鳥獣肉、鳥卵、バター、紅茶、珈琲其ノ他ノ飲食料品

二十六　セメント、瓦、砂及砂利

二十七　木材

第二條　朝鮮總督又ハ道知事ハ前條ニ掲グル物品ノ取引業者、倉庫業者、所有者其ノ他古有者ニ對シ同條ノ處分ニ關係アル事項ニ付報告若ハ實地申告ヲ命ジ又ハ前條ニ掲グル物品ノ販賣業者ニ對シ其ノ販賣價格ノ表示ヲ命ズルコトアルベシ

第三條　第一條ノ戒告ニ違反シテ買占、賣惜若ハ販賣ヲ爲シ又ハ戒告ニ附シタル條件ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條　第二條ノ命令ニ違反シテ報告若ハ實地申告ヲ爲シ又ハ販賣價格ノ表示ヲ爲サズ若ハ虚僞ノ報告若ハ實地申告ヲ爲シ又ハ販賣價格ノ表示ヲ爲サズ若ハ虚僞ノ表示ヲ爲シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

第五條　法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者カ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前二條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ前二條ノ罰金刑ヲ科ス

附　則

本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

第八款　貿易調節

●昭和九年法律第四十五號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

昭和九年四月勅令第百十八號

朝鮮ニ施行スル法律第四十五號ヲ左ノ通定ム

法律第四十五號

昭和九年四月

昭和九年法律第四十五號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

第一條　朝鮮總督ハ命令ヲ以テ左ニ掲グル物品ノ輸入ニ付輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲シ又ハ輸入ニ付許可ヲ受ケシムルコトヲ得

一　品名

數量及價額

二　輸入港又ハ輸出港

三　仕向港及仕向地

四　買渡先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

五　豫定輸出港

六　豫定輸出時期

第二條　昭和十一年勅令第四百七十四號第二條ノ許可ヲ受ケタル者前條第五號及第六號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第三條　昭和十一年勅令第四百七十四號第一條又ハ第二條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ物品ノ輸入又ハ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸入許可書又ハ輸出許可書ヲ輸入又ハ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

第四條　關稅定率法別表輸入稅表ニ掲グル物品ニシテ本令ノ別表甲號ニ掲グルモノヲ輸入センストスル者ハ製產原地證明書ヲ稅關ニ提出スベシ但シ郵便物ナルトキ、物品ノ原價百圓ヲ超エザルトキ又ハ當該官吏ニ於テ製產原地證明書ヲ提出スルコト能ハザル事由アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ製產原地證明書ニハ物品ノ記號、番號、品名、個數、數量及產出又ハ製造ノ地域ヲ記載シ物品ノ產出地、製造地、仕入地又ハ積出地ノ帝國領事館、帝國領事館ナキトキハ關稅定率法別表輸入稅表ニ掲グル物品ニシテ本令ノ別表甲號又ハ乙號ニ掲グルモノノ輸入者、輸出者、取引業者、倉庫業者其ノ他古有者ニ對シ當該物品ノ輸入又ハ輸出ノ數量及價額、在庫數量其ノ他必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得

第五條　本法ノ關則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸入許可書又ハ輸出許可書ヲ輸入又ハ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

第六條　本令中主務大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官之ヲ行フ

附　則

本令ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年勅令第二十四號第三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

（別表）

甲號

輸入稅表番號	品名
二八二	羊毛、山羊毛及駱駝毛ノ內 羊毛

乙號

輸入稅表番號	品名
二八二	羊毛、山羊毛及駱駝毛ノ內 屑又ハ故ノ纖維、屑絲及屑絲ノ內毛又ハ毛入ノモノ
二九五	選擇ノ內 毛又ハ毛入ノモノ
三四一	

●昭和十一年勅令第四百七十四號ノ施行手續ニ關スル件

昭和十一年十二月

總令第百三十四號

昭和十一年勅令第四百七十四號ノ施行手續ヲ左ノ通定ム

第一條　昭和十一年勅令第四百七十四號第一條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ但シ「オーストラリア」聯邦ノ產出又ハ製造ニ係ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　品名

二　數量（種類別ニ記載スベシ）

三　產出地又ハ製造地

四　買入先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

五　積載船舶ノ名稱及國籍

六　積出港

七　輸入港

八　輸入ノ年月日

第二條　昭和十一年勅令第四百七十四號第一項ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項第四號乃至第六號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第三條　昭和十一年勅令第四百七十四號第一條ノ許可ヲ受ケタル者他人ヨリ委託ヲ受ケ輸入センストスルモノナル場合ニ於テ其ノ委託契約前減シ又ハ委託數量減少シタルトキハ委託者ト連署ノ上五日以內ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第四條　昭和十一年勅令第四百七十四號第二條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　品名

二　數量（種類別ニ記載スベシ）

三　仕向港及仕向地

四　買渡先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

第五條　昭和十一年勅令第四百七十四號第一條又ハ第二條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ物品ノ輸入又ハ輸出ヲ爲ス場合ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸入許可書又ハ輸出許可書ヲ輸入又ハ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベシ

第六條　本令中主務大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官之ヲ行フ

附　則

本令ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十一年勅令第二十四號第三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ第二條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

（別表）

甲號

輸入稅表番號	品名
二八二	羊毛、山羊毛及駱駝毛ノ內 羊毛

乙號

輸入稅表番號	品名
二八二	羊毛、山羊毛及駱駝毛ノ內 屑又ハ故ノ纖維、屑絲及屑絲ノ內毛又ハ毛入ノモノ
二九五	選擇ノ內 毛又ハ毛入ノモノ
三四一	

●昭和十一年勅令第四百七十四號ノ施行手續ニ關スル件

昭和十一年十二月

總令第百三十四號

昭和十一年勅令第四百七十四號ノ施行手續ヲ左ノ通定ム

第一條　昭和十一年勅令第四百七十四號第一條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ但シ「オーストラリア」聯邦ノ產出又ハ製造ニ係ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　品名

二　數量（種類別ニ記載スベシ）

三　產出地又ハ製造地

四　買入先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所

五　積載船舶ノ名稱及國籍

六　積出港

七　輸入港

八　輸入ノ年月日

第二條　昭和十一年勅令第四百七十四號第一項ノ許可ヲ受ケタル者前條第一項第四號乃至第六號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第三條　昭和十一年勅令第四百七十四號第一條ノ許可ヲ受ケタル者他人ヨリ委託ヲ受ケ輸入センストスルモノナル場合ニ於テ其ノ委託契約前減シ又ハ委託數量減少シタルトキハ委託者ト連署ノ上五日以內ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第四條　昭和十一年勅令第四百七十四號第二條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル輸出許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　品名

二　數量及價額

三　輸入港又ハ輸出港

四　輸入又ハ輸出ノ年月日

第八條　昭和十一年勅令第四百七十四號別表甲號ニ掲グルモノヲ輸入シタル者ハ輸入ノ日ヨリ七日以內ニ左ニ掲グル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ但シ「オーストラリア」聯邦ノ產出又ハ製造ニ係ルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第九條　昭和十一年勅令第四百七十四號第五條第二項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十一年勅令第四百七十四號施行ノ日本標準規格第九十二號B列八番（64mm×91mm）ニ依ルモノトス

表面

第　號　年　月　日交付

昭和十一年勅令第四百七十四號第五條第二項ノ證票

官職

氏

朝鮮總督府　印

名

本證票用紙ノ寸法ハ商工省告示

昭和九年四月

法律第四十五號

改正　昭和一二年五勅一號

朝鮮ニ施行スル法律第四十五號ヲ左ノ通改正ス

第一條　政府ハ外國ノ執リ又ハ執ラントスル措置ニ對應シテ貿易ノ調節又ハ通商ノ擁護ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

政府ハ外國ノ執リ又ハ執ラントスル措置ニ對應シテ貿易ノ調節又ハ通商ノ擁護ニ關スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關稅ノ賦課ニ關シ定率法別表輸入稅表ニ定ムル輸入稅ノ外其ノ物品ノ價格ト同額以下ノ輸入稅ヲ課シ若ハ輸入稅ヲ減免シ又ハ輸出若ハ輸入ノ禁止若ハ制限ヲ爲スコトヲ得

第二條　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リテ爲ス禁止又ハ制限ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ行フコトヲ得

第三條　第一條ノ規定ニ依リテ爲ス禁止又ハ制限ニ違反シテ輸出若ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ七千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ犯罪ニ係ル物品ノ價額ノ三倍ガ七千圓ヲ超ユルトキハ罰金ノ規定ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虚僞ノ報告ヲ爲シ、帳簿其ノ他ノ檢查ヲ拒ミ又ハ帳簿書類ノ隱蔽若ハ毀棄ヲ命ジ又ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處スル本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業員ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前條ノ罰金刑ヲ科ス

第四條　法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前三條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑ヲ科ス

第五條　本法ノ關則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸入許可書又ハ輸出許可書ヲ輸入又ハ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベキ稅關ニ提出スベキ物品ノ品名、數量及價額ニ付虚僞ノ記載ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條　本令中主務大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官之ヲ行フ

附　則

本令ハ昭和九年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●貿易調節及通商擁護ニ關スル法律

昭和九年法律第四十五號

改正　昭和一二年五法一號

第一條　政府ハ外國ノ執リ又ハ執ラントスル措置ニ對應シテ貿易ノ調節又ハ通商ノ擁護ニ關スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ關稅ノ賦課ニ關シ定率法別表輸入稅表ニ定ムル輸入稅ノ外其ノ物品ノ價格ト同額以下ノ輸入稅ヲ課シ若ハ輸入稅ヲ減免シ又ハ輸出若ハ輸入ノ禁止若ハ制限ヲ爲スコトヲ得

第二條　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リテ爲ス禁止又ハ制限ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢查ヲ行フコトヲ得

第三條　第一條ノ規定ニ依リテ爲ス禁止又ハ制限ニ違反シテ輸出若ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ七千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ犯罪ニ係ル物品ノ價額ノ三倍ガ七千圓ヲ超ユルトキハ罰金ノ規定ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虚僞ノ報告ヲ爲シ、帳簿其ノ他ノ檢查ヲ拒ミ又ハ帳簿書類ノ隱蔽若ハ毀棄ヲ命ジ又ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處スル本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虚僞ノ記載ヲ爲シタル者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業員ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シテ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前條ノ罰金刑ヲ科ス

第四條　法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前三條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ各本條ノ罰金刑ヲ科ス

第五條　本法ノ關則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ朝鮮總督ノ交付スル輸入許可書又ハ輸出許可書ヲ輸入又ハ輸出ノ手續ヲ爲スベキ稅關ニ提出スベキ物品ノ品名、數量及價額ニ付虚僞ノ記載ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條　本令中主務大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官之ヲ行フ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年四月勅令第百十七號ヲ以テ同年五月一日ヨリ施行）

本法ハ施行後六年間ヲ限リ其ノ效力ヲ有ス

前項ノ期間內ニ爲サレタル本法ニ依リ處刑セラルル行爲ニ付テハ本法ノ關則ハ前項ノ期間經過後ト雖モ仍之ヲ適用ス

●昭和九年法律第四十五號第一條ノ規定ニ依ル羊毛ノ輸入制限等ニ關スル件

昭和十一年十二月

勅令第四百七十四號

昭和九年法律第四十五號第一條ノ規定ニ依リ昭和九年法律第四十五號別表乙號ニ掲グルモノハ昭和十二年一月一日ヨリ昭和十三年六月三十日迄ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸入スルコトヲ得ズ但シ郵便物ナルトキ又ハ物品ノ原價百圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　關稅定率法別表輸入稅表ニ掲グル物品ニシテ本令ノ別表乙號第一條ノ規定ニ依リ昭和九年法律第四十五號第一條ノ規定ニ依リ昭和十二年一月一日ヨリ昭和十三年六月三十日迄ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸入スルコトヲ得ズ但シ郵便物ナルトキ又ハ物品ノ原價百圓ヲ超エザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ前項ノ期間內ニ爲サレタル本法ニ依リ處刑セラルル行爲ニ付テハ本法ノ關則ハ前項ノ期間經過後ト雖モ仍之ヲ適用ス

第一條ノ許可ヲ受ケタル者前二項ノ期間內ニ其ノ物品ヲ輸入セザルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同シ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年四月勅令第百十七號ヲ以テ同年五月一日ヨリ施行）

本法ハ施行後六年間ヲ限リ其ノ效力ヲ有ス

前項ノ期間內ニ爲サレタル本法ニ依リ處刑セラルル行爲ニ付テハ本法ノ關則ハ前項ノ期間經過後ト雖モ仍之ヲ適用ス

●昭和九年法律第四十五號第一條ノ規定ニ依ル羊毛ノ輸入制限等ニ關スル件

昭和十一年十二月

勅令第四百七十四號

裏面

昭和九年法律第四十五號摘要

第二條　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リテ爲ス禁止又ハ制限ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ行フコトヲ得

第三條第二項　前條ノ規定ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛僞ノ報告ヲ爲シ、帳簿其ノ他ノ檢査ヲ拒ミ又ハ帳簿書類ノ隱蔽不實ノ申立其ノ他ノ方法ニ依リ檢査ヲ妨ゲタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者亦同シ

昭和十一年勅令第四百七十四號摘要

第五條　昭和九年法律第四十五號第二條ノ規定ニ依リ主務大臣必要アリト認ムルトキハ關稅定率法別表輸入稅表ニ掲ゲル物品ニシテ本令ノ別表甲號又ハ乙號ニ掲ゲルモノノ輸入者、輸出者、取引業者、倉庫業者其ノ他古有者ニ對シ當該物品ノ輸入又ハ輸出ノ數量及價格、在庫數量其ノ他必要ナル事項ノ報告ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ其ノ事務所、營業所、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

當該官吏前項ノ規定ニ依リ臨檢檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶スベシ

第六條　本令中主務大臣ノ職務ハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官之ヲ行フ

●昭和十一年朝鮮總督府令第百三十四號ノ規定ニ依ル申請書及屆書ノ樣式

昭和十一年十二月總督府令第百四十九號（昭和十一年朝鮮總督府令第百三十四號ノ施行手續ニ關スル件）ノ規定ニ依ル申請書及屆書ノ樣式左ノ通定ム

樣式第一號

輸入許可申請書

年　月　日

朝鮮總督　宛

事務所又ハ營業所
申請者ノ氏名又ハ名稱　印

左記輸入ニ付昭和十一年勅令第四百七十四號第一條ノ許可相成度昭和十一年朝鮮總督府令第百三十四號第一條ノ規定ニ依リ此段及申請候也

記

品名			
數量		數量	
產出地又ハ製造地		價額	
		輸入（輸出）港	
		輸入（輸出）ノ年月日	

備考

一　數量單位ニ付テハ樣式第一號及第二號ノ備考ニ依リ記載スルコト

二　輸入價額ハ輸入港ニ於ケルc.i.f.價額ヲ記載スルコト

三　輸出價額ハ輸出港ニ於ケルf.o.b.價額ヲ記載スルコト

樣式第二號

輸出許可申請書

年　月　日

朝鮮總督　宛

事務所又ハ營業所
申請者ノ氏名又ハ名稱　印

左記輸出ニ付昭和十一年勅令第四百七十四號第二條ノ許可相成度昭和十一年朝鮮總督府令第百三十四號第四條ノ規定ニ依リ此段及申請候也

記

品名	
數量	
仕向港及仕向地	
買渡先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所	
豫定輸出港	
豫定輸出時期	

備考

數量ハ封度及百斤ノ兩單位ニテ記載スルコト

樣式第三號

屆出書

年　月　日

朝鮮總督　宛

事務所又ハ營業所
輸入者（輸出者）ノ氏名又ハ名稱　印

昭和十一年朝鮮總督府令第百三十四號第七條ノ規定ニ依リ、ノ輸入（輸出）ニ付左記ノ通及屆出候也

記

品名	
數量	
產出地又ハ製造地	
買入先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所	
積載船舶ノ名稱及國籍	
積出港	
輸入港	
輸入ノ年月日	

備考

數量單位ニ付テハ樣式第一號ノ備考ニ依リ記載スルコト

朝鮮總督府指令　第　號

品名		品名	
數量		數量	
許可ノ年月日		價額	
		輸入（輸出）港	
		輸入（輸出）ノ年月日	

備考

一　數量單位ニ付テハ樣式第一號及第二號ノ備考ニ依リ記載スルコト

二　輸入價額ハ輸入港ニ於ケルc.i.f.價額ヲ記載スルコト

三　輸出價額ハ輸出港ニ於ケルf.o.b.價額ヲ記載スルコト

樣式第四號

屆出書

年　月　日

朝鮮總督　宛

事務所又ハ營業所
輸入者ノ氏名又ハ名稱　印

昭和十一年朝鮮總督府令第百三十四號第八條ノ規定ニ依リ、ノ輸入ニ付左記ノ通及屆出候也

記

品名	
數量	
產出地又ハ製造地	
買入先ノ氏名又ハ名稱及事務所又ハ營業所	
積載船舶ノ名稱及國籍	
積出港	
輸入港	
輸入ノ年月日	

備考

數量單位ニ付テハ樣式第一號ノ備考ニ依リ記載スルコト

●貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

昭和十二年十二月勅令第七百二十一號

朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

昭和十二年十二月

內閣總理大臣　公爵　近衛文麿

樞密院議長　男爵　一木喜德郎

於昭和十二年法律第七十三號ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

昭和十二年法律第七十三號

貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

昭和十二年法律第七十三號ハ第二條乃至第五條及第九條ノ規定、第六條及第七條中第二條又ハ第三條ニ關スル規定竝第十一條中第九條ニ關スル規定ヲ除キ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●貿易及關係產業ノ調整ニ關スル件

昭和十二年八月
法律第七十三號

於帝國議會ノ協賛ヲ經タル貿易及關係產業ノ調整ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　政府ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ特ニ必要アリト認ムルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ貿易審議令ノ議ヲ經テ期間及物品ヲ指定シ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得

一　貿易ニ關スル條約又ハ之ニ準ズベキモノニ依リ貿易ヲ調節セントスルトキ

二　國際收支ノ適合ヲ圖リ又ハ特定國トノ輸出及輸入ノ均衡ヲ圖ル爲貿易ヲ調節セントスルトキ

三　貿易業者ノ不當ナル競爭ニ因リ輸出品又ハ輸入品ノ海外市場ニ於ケル價格ノ著シキ低落又ハ騰貴其ノ他貿易上ノ弊害ヲ生ジ又ハ生ズルノ虞アル場合ニ於テ之ヲ矯正シ又ハ豫防セントスルトキ

四　國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲重要物資ノ供給ヲ適正ナラシメントスルトキ

第二條　政府ハ前條各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ輸出品若ハ輸入品ニ關スル業ヲ營ム者又ハ輸出品若ハ輸入品ニ關スル事業ヲ行フ組合ヲシテ輸出品又ハ輸入品ニ付統制ヲ行ハシムル必要アリト認ムルトキハ統制ニ關シ必要ナル重要事項ヲ調査審議セシムルコトヲ得

第三條　政府ハ輸出品又ハ輸入品ニ關スル統制ニ付輸出品若ハ輸入品ニ關スル業ヲ營ム者又ハ輸出品若ハ輸入品ニ關スル事業ヲ行フ組合ノ間ノ共同ノ利害ヲ調整スル爲必要アリト認ムルトキハ統制協議會ヲシテ其ノ調整ニ關シ必要ナル重要事項ヲ調査審議セシムルコトヲ得

第四條　政府ハ前二條ノ場合ニ於テ國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ貿易審議會ノ議ヲ經テ輸出品若ハ輸入品ニ關スル業ヲ營ム者又ハ輸出品若ハ輸入品ニ關スル事業ヲ行フ組合ニ對シ統制協議會ノ議決シタル事項ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第五條　輸出品若ハ輸入品ニ關スル業ヲ營ム者又ハ輸出品若ハ輸入品ニ關スル事業ヲ行フ組合ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　本法ニ定ムルモノノ外貿易審議會及統制協議會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ第一條ノ規定ニ依リテ爲ス制限若ハ禁止、第二條ノ統制又ハ第三條ノ利害調整ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第八條　第一條ノ規定ニ依リテ爲ス制限又ハ禁止ニ違反シテ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル物品ニシテ犯人ノ所有又ハ所持スルモノヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵スルコトヲ得

第九條　第四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタ

昭和十二年九月
勅令第五百十五號

於昭和十二年法律第九十二號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム
昭和十二年法律第九十二號ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ之ヲ施行ス
附　則
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル件

昭和十二年九月
法律第九十二號

（改正　昭和二三年五第五五號）

於帝國議會ノ協賛ヲ經タル輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　政府ハ支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ物品ヲ指定シ輸出又ハ輸入ノ制限又ハ禁止ヲ爲シ又ハ輸入ノ制限若ハ他ノ事由ニ因リ需給關係ノ調整ヲ必要トスル物品ニ付左ノ措置ヲ爲スコトヲ得

一　命令ノ定ムル所ニ依リ當該物品ヲ原料トスル製品ノ製造ニ關シ必要ナル事項ヲ命ジ又ハ制限ヲ爲スコト

二　當該物品又ハ之ヲ原料トスル製品ノ配給、讓渡、使用又ハ消費ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト

第二條　前條ノ物品ノ需給ニ關係アル產業ヲ營ム者又ハ其ノ組織スル團體ハ當該物品ノ需給關係ヲ調整スル爲政府ノ認可ヲ受ケ需給調整協議會ノ組織ヲ命ゼラレタル者其ノ他ノ關係者ヲ以テ組織スル團體ニ對シ前條ノ措置ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第三條　前條ノ命令ニ依リ輸出又ハ輸入ヲ制限セラレタル者其ノ他ノ關係者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該物品ヲ輸出又ハ輸入シタル者ニ對シ其ノ輸出又ハ輸入ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第四條　第一條ノ規定ニ依リ輸出又ハ輸入ヲ制限又ハ禁止ニ違反シテ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テハ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル物品ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵スルコトヲ得

第五條　第二條ノ規定ニ依ル命令若ハ處分又ハ其ノ命令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六條　第三條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者亦同シ

第七條　法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前三條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前三條ノ罰金刑ヲ科ス

第八條　本法ノ個別ノ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同シ

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス

●需給調整協議會令

昭和十三年五月
勅令第三百六十六號

於需給調整協議會令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

需給調整協議會令

第一條　昭和十二年法律第九十二號第二條ノ二ノ規定ニ依リ組織スル需給調整協議會（以下協議會ト稱ス）ハ當該物品ノ需給關係ノ調整ニ關シ必要ナル決定ヲ爲スモノトス

協議會ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ前項ノ決定ヲ實施スル爲必要ナル業務ヲ行フコトヲ得

第二條　協議會ハ其ノ名稱中ニ需給調整協議會ナル文字ヲ用フベシ

第三條　昭和十二年法律第九十二號第二條ノ二第一項ノ團體ニシテ法人ニ非ザルモノ協議會ノ會員タラントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ規約ヲ定メ且代表者ヲ選任スベシ同條第四項ノ規定ニ依リ會員トナリタルトキ亦同シ

第四條　昭和十二年法律第九十二號第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ協議會ヲ組織セシトスルトキハ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ規約其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ變更スルコトヲ得ズ

第五條　昭和十二年法律第九十二號第二條ノ二第一項ノ規定ニ依リ協議會ヲ組織セザル場合ニ於テ政府支那事變ニ關聯シ國民經濟ノ運行ヲ確保スル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ協議會ヲ組織スベシ

第六條　協議會ハ其ノ組織ニ關シ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ協議會ヲ組織スベシ

第七條　協議會ハ其ノ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第八條　協議會ハ其ノ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條　協議會ハ其ノ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル檢査ヲ爲スコトヲ得

第十條　協議會ハ其ノ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル決定ヲ爲スコトヲ得

第十一條　協議會ハ其ノ會員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル決定ヲ爲サントスル場合ニ於テ其ノ會員ニ對シ當該物品ノ需給調整協議會ノ決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十二條　本法ニ定ムルモノノ外需給調整協議會及需給調整協議會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條　政府ハ第一條ノ制限若ハ禁止又ハ第二條ノ命令若ハ處分ニ關係アル事項ニ付報告ヲ徵シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

第十四條　第一條ノ規定ニ依リテ爲ス制限又ハ禁止ニ違反シテ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ一萬圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テハ輸出又ハ輸入ヲ爲シ又ハ爲サントシタル物品ニシテ犯人ノ所有シ又ハ所持スルモノヲ沒收スルコトヲ得若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價額ヲ追徵スルコトヲ得

第十五條　第二條ノ規定ニ依ル命令若ハ處分又ハ其ノ命令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條　第三條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ、虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者亦同シ

第十七條　法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ前三條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前三條ノ罰金刑ヲ科ス

第十八條　本法ノ個別ノ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同シ

附　則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ支那事變終了後一年內ニ之ヲ廢止スルモノトス

ルモノハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條　第七條ノ規定ニ基キテ發スル勅令ニ依ル報告ヲ爲サズ、虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ帳簿其ノ他ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス本法ニ基キテ發スル勅令ニ依リ政府ニ提出スル許可ノ申請書其ノ他ノ書類ニ虛僞ノ記載ヲ爲シタル者亦同シ

第十一條　輸出品若ハ輸入品ニ關スル業ヲ營ム者又ハ輸出品若ハ輸入品ニ關スル事業ヲ行フ組合若ハ其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ前三條ノ罪ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十二條　本法ノ個別ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用シ個人ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　前二條ノ場合ニ於テハ懲役又ハ罰金ニ處スルコトヲ得ズ

第十四條　本法ノ個別ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者カ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者カ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニ付亦同シ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十二年九月勅令第五百二十號ヲ以テ昭和十二年九月二十七日ヨリ施行）

本法ハ施行後五年間ヲ限リ其ノ效力ヲ有ス

前項ノ期間內ニ於テモ本法ニ依リ處罰セラレタル行爲ニ付テハ本法ノ個別ハ前項ノ期間經過後ト雖モ仍之ヲ適用ス

●輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ會長ニ提出スベシ

第十五條　第十三條第一項第四號ニ掲ゲル事項ハ總會ノ議決ヲ經ベシ

第十三條第一項第六號及第七號ニ掲ゲル事項ハ總會ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス

第十三條第一項第八號ニ掲ゲル事項ハ總會ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス

第十六條　第十三條第一項第四號ニ掲ゲル事項ハ總會ノ議ニ付スル前ニ豫メ評議員會ノ議決ヲ經ベシ

第十七條　評議員會ノ議事ハ規約ニ別段ノ定アル場合ノ外出席シタル評議員ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ決ス

第十四條第二項及第三項ノ規定ハ評議員會ニ之ヲ準用ス

第十八條　主務大臣必要アリト認ムルトキハ協議會ノ規約又ハ第一條第一項ノ決定ノ變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得

第十九條　協議會ハ規約ノ定ムル所ニ依リ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ課スルコトヲ得

第二十條　協議會ノ會員ハ第一條第一項ノ決定ノ實施ニ關シ決定ヲ爲シタル協定ヲ爲サントスル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ主務大臣ニ届出ヅベシ

主務大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ決定又ハ協定ノ變更又ハ取消ヲ命ズルコトヲ得

第二十一條　主務大臣ハ協議會ニ對シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　主務大臣必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ協議會ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得

第二十三條　協議會ノ決議又ハ其ノ役員ノ行爲法令、規約若ハ主務大臣ノ處分ニ違反シタルトキ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ主務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一　決議ノ取消

二　役員ノ解任

三　協議會ノ解散

第二十四條　本令中主務大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律第一條ニ依ル命令

昭和十二年十月
總令第百五十三號

（改正　昭和一二年一一第二七號、一二年一二第二〇號、一三年三第八號）

昭和十二年法律第九十二號（輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律）第一條ニ依ル命令ノ件左ノ通定ム

第一條　關稅定率法別表輸入稅表ニ掲ゲル物品ニシテ本令ノ別表甲號ニ掲ゲルモノハ郵便物又ハ原價百圓ヲ超エザルモノヲ除クノ外朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸入スルコトヲ得ズ但シ昭和十一年勅令第四百七十四號第一條ノ適用アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第一條ノ二　關稅定率法別表輸入稅表ニ掲ゲル物品ニシテ本令ノ別表丁號ニ掲ゲルモノハ原價百圓ヲ超エザルモノヲ除クノ外朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸入スルコトヲ得ズ

第二條　關稅定率法別表輸入稅表ニ掲ゲル物品ニシテ本令ノ別表乙號ニ掲ゲルモノハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ輸入スルコトヲ得ズ

第三條　前三條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル物品ノ輸入ニ付テハ之ヲ適用セズ

一　本邦ニ來遊スル外國ノ元首及其ノ一族竝ニ其ノ從者ニ屬スル物品

二　本邦ニ派遣セラレタル外國ノ大使、公使其ノ他之ニ準ズベキ使節、大使館若ハ公使館ノ館員又ハ領事館ニ屬スル自用品及在本邦外國大使館、公使館又ハ領事館ニ

三四四四	雨衣	
三四四五	シャーツ、フロント、カラー及カフス	
三四四六	肌衣(上下ヲ別タズ)	
三四四七	手袋	
三四四八	肩掛及襟巻	
三四四九	襟飾	
三四五〇	持物	
三四五一	衣服用ベルト	
三四五二	スリーヴサスペンダー及ストキングサスペンダー類	
三四五三	靴共ノ他ノ履物	
三四五五	靴紐	
三四五六	釦(貴金属、貴金属ヲ鍍シタル金属、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用キタルモノヲ除ク)	
三四五七	バックル、フック及アイ類(貴金属、貴金属ヲ鍍シタル金属、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用キタルモノヲ除ク)	
三四五八	身邊粧飾用細貨類	
三四五九	別號ニ掲ゲザル衣類、同附屬品及其ノ部分品	
三四六〇	プロッサンガパーパー	
三四六五	燐寸用紙	
三四六七ノ内	壁紙	
三四六九	板紙(印刷紙製用ノモノヲ除ク)	
三四七〇	唐紙(各種)	
三四七一	油紙	
三四七六	窓硝子用グラスペーパー	
三四七七	別號ニ掲ゲザル紙	
三四七八	ペーパーレース及ペーパードーダー	
三四七九	白紙帳簿	
三四八〇	書狀用紙(箱入ノモノ)	
三四八二	封筒	
三四八三	アルバム	
三四八四	寫眞用乾板	
三四八六ノ内	一　現像セザルモノ(撮影用ノモノヲ除ク)	
三四八六ノ二	ウォールボード	
三四八九	レーベル	
三四九〇	骨牌	
三四九三	カードカレンダー及プロッタカレンダー	
三四九四	繪葉書	
三四九五	クリスマスカード類	
三四九七	別號ニ掲ゲザル紙製品及パルプ製品	
三五〇一	シリカサンド、フォルツサンド共ノ他別號ニ掲ゲザル砂及礫	
三五〇二	一　著色シタルモノ	
四〇九	スレート及別號ニ掲ゲザルスレート製品	
四一四	石及石製品(別號ニ掲ゲザルモノ)	
四一五	琥珀及琥珀製品(別號ニ掲ゲザルモノ)	
四一七	メーアシャウム、人造メーアシャウム及同製品	
四二四	石膏製品	
四三二	ポートランドセメント、ローマンセメント、プゾラナセメント共ノ他類似ノ水硬セメント	
四三三	セメント製品	
四三六	煉瓦(セメント製ノモノヲ除ク)(耐火煉瓦ヲ除ク)	
四三七ノ二	瓦(粘土製ノモノ)	
四三九	アランダムタイル共ノ他類似ノモノ	
四四四	別號ニ掲ゲザル陶磁器(電氣用ノモノ及二乙ノ内素燒ノモノヲ除ク)	
四四五	硝子板(無色平面ノモノニシテ厚一・五ミリメートルヲ超エザルモノヲ除ク)	
四四八	金屬ノ線又ハ網ヲ入レタル硝子板	
四四九	寫眞用乾板	
四五二	一　現像セザルモノ(撮影用ノモノヲ除ク)	
四五三	眼鏡	
四五四	一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用キタルモノヲ除ク)	
四五七	硝子鏡	
四五九	別號ニ掲ゲザル硝子製品(二甲、二乙ノ及安全硝子板ヲ除ク)	
四六〇	鏡金銀シタル金屬	
四六一	天井、壁等ニ用キル金屬板(琺瑯ヲ施シタルモノ又ハエナメルペーパー、ヴァニシュ、漆等ヲ塗リタルモノ)	
四六二	漁用鉛	
四六三	鎖(鐵製ノモノ)	
四六四	鍵(別號ニ掲ゲザルモノ)(鐵製ギーアリングチェーンヲ除ク)	
四六五	懐中時計用鎖、眼鏡用鎖共ノ他身邊粧飾用鎖	
四六六	燐鉄、ハットフック及戸、窓、家具等ニ用キル金具	
四六七	鎖及錨	
四六八	工匠具、農具及同部分品(別號ニ掲ゲザルモノ)	
四六九	十　ショヴェル及スクープ	
四七〇	刃物(別號ニ掲ゲザルモノ)	
四七一	テーブルフォーク及スプーン	
四七二	コルクスクリュー	
四七三	瓶口用キャプシュール	
四七四	ソラウンコルク	
四七五	カートリッヂケース(金屬製ノモノ)	
四七六	手縫用針	
四七七	コッピープレッス	
四七八	自轉車用喞筒	
四七九	消火器	
四八〇	ミートチョッパー	
四八二	珈琲粉碎器	
四八三	アイスクリームフリーザー	
四八四	製茶用及苛性曹達製造用鐵鍋	
四八六ノ内	シタルモノヲ除ク)	
四八九	眼鏡	
四九〇	一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用キタルモノヲ除ク)	
四九一	他身邊粧飾用鎖	
四九三	鎖(別號ニ掲ゲザルモノ)又ハエナメルペーパー、ヴァニシュ、漆等ヲ塗リタルモノ)	
四九四	漁用鉛	
四九六	鎖(鐵製ノモノ)	
四九九	鍵(別號ニ掲ゲザルモノ)又ハ鐵製ギーアリングチェーンヲ除ク)	
五〇〇	懐中時計用鎖、眼鏡用鎖共ノ他身邊粧飾用鎖	
五〇一	燐鉄、ハットフック及戸、窓、家具等ニ用キタルモノヲ除ク)	
五〇二	身邊粧飾用細貨類	
五〇三	別號ニ掲ゲザル衣類、同附屬品及其ノ部分品	
五〇四	プロッサンガパーパー	
五〇五ノ内	燐寸用紙	
五〇七	壁紙	
五〇九	板紙(印刷紙製用ノモノヲ除ク)	
五〇九ノ二	唐紙(各種)	
五一〇	油紙	
五一二	窓硝子用グラスペーパー	
五一三	別號ニ掲ゲザル紙	
五一五	ペーパーレース及ペーパードーダー	
五一六	白紙帳簿	
五一七	書狀用紙(箱入ノモノ)	
五一九	封筒	
五二一	アルバム	
五二六	寫眞用乾板	
五二七	一　現像セザルモノ(撮影用ノモノヲ除ク)	
五二八	寫眞器(活動寫眞用ノモノ、顯微鏡用ノモノ、航空機用ノモノ及測量用ノモノヲ除ク)	
五二八ノ二	寫眞器部分品(焦點距離十七センチメートル以上ノレンズ、カメラノ内活動寫眞用ノモノ、顯微鏡用ノモノ、航空機用ノモノ及測量用ノモノヲ除ク)	
五三三	雙眼鏡及雙眼鏡	
五三六	一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙、鼈甲又ハ貝殻ヲ用キタルモノ	
五三七	寫眞器(活動寫眞用ノモノ、顯微鏡用ノモノ、航空機用ノモノ及測量用ノモノヲ除ク)	
五四〇	寫眞器部分品(焦點距離十七センチメートル以上ノレンズ、カメラノ内活動寫眞用ノモノ、顯微鏡用ノモノ、航空機用ノモノ及測量用ノモノヲ除ク)	
五四四	別號ニ掲ゲザル陶磁器(電氣用ノモノ及二乙ノ内素燒ノモノヲ除ク)	
五四五	硝子板(無色平面ノモノニシテ厚一・五ミリメートルヲ超エザルモノヲ除ク)	
五四八	金屬ノ線又ハ網ヲ入レタル硝子板	
五四九	寫眞用乾板	
五五〇	一　現像セザルモノ(撮影用ノモノヲ除ク)	
五五一	瓦(セメント製ノモノヲ除ク)(耐火煉瓦ヲ除ク)	
五五三	煉瓦(セメント製ノモノヲ除ク)(耐火煉瓦ヲ除ク)	
五五四	瓦(粘土製ノモノ)	
五五五	アランダムタイル共ノ他類似ノモノ	
五五六	セメント製品	
五五七	石及石製品(別號ニ掲ゲザルモノ)	
五五九	琥珀及琥珀製品(別號ニ掲ゲザルモノ)	
五六〇	銃砲及同部分品(拳銃、捕鯨砲及同部分品ヲ除ク)	
五六五	自轉車(モーターサイクルヲ除ク)	
五六六	自轉車部分品(原動力機及鍵ヲ除ク)	
五六七	別號ニ掲ゲザル車輪及同部分品	
五九三	送風機	
六〇九	一　扇風機	
六一〇	篩(刺ワザルモノヲ除ク)	
六一三	竹	
六二一	蒲草心及蒲草紙	
六二二	製帽用眞田	
六二三	蓆(布帛ニ使用スル纖維以外ノ植物性材料ヲ以テ製シタルモノ)(包裝ヲ除ク)	
六二四	麥稈、藁、パナマストロー、椰葉、蘭、莞、葉、竹、絲、蔓、揚絲其ノ他類似ノモノノ製品(別號ニ掲ゲザルモノ)	
六二五	傘柄、杖、鞭及其ノ手	
六二六	傘(別號ニ掲ゲザルモノ)	
	一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用キタルモノ	
	二　其ノ他	
	甲　花梨木、鐵刀木、黃楊木、紅木、紫檀及黑檀ノ	
六三二	製品	
	セルロイド及同製品(別號ニ掲ゲザルモノ)(塊、條、帶、竿、板及管ノ類ヲ除ク)	
六三二ノ二	屑及散ノセルロイド(改造用ノミニ適スルモノ)	
六三三	カラリス及同製品(別號ニ掲ゲザルモノ)	
六三四	アラッシュ及碧	
	一　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、象牙又ハ鼈甲ヲ用ヒタルモノ	
六三五	提燈及同部分品(安全燈、醫療用ノモノ及燈臺用ノモノヲ除ク)	
六三八	造花(模造ノ葉、果實等ヲ含ム)及同部分品	
六三九	化粧具匣	
六四〇	ピリヤード、テニス、クリケット、象棋共ノ他ノ遊戲具及同附屬品	
六四一	骰具	
六四七	別號ニ掲ゲザル物品	
	二　其ノ他	
	甲　貴金屬、貴金屬ヲ鍍シタル金屬、貴石、半貴石、眞珠、珊瑚、象牙又ハ鼈甲ヲ用キタルモノ	
	丙號	
	輸入稅表番號	
	品名	
一三	大麥	
一七	オート(燕麥)	
二六ノ三	蓖麻子	
六九ノ内	兎毛皮及犬毛皮	
七四ノ内	豚毛(長二吋四分ノ一ヲ超エザルモノヲ除ク)	
二〇四	ナフタリン	
二二九ノ内	硝酸	
二七四ノ内	苧麻、ラミー及黃麻	
二九五ノ内	肩ノ綿纖維(長二分ノ一吋以上ノ綿纖維ノ重量全綿纖維ノ重量ノ百分ノ五十ヲ超エザルモノ及油ノ附著シタル綿纖維ニシテ油ノ重量全重量ノ百分ノ六ヲ超エザルモノヲ除ク)	
四〇〇	肩紙	
四二九	石炭	
四三五ノ内	螢石	
四五八ノ内	安知母尼鑛、タングステン鑛及モリブデン鑛	
	鐵(別號ニ掲ゲタル特殊鋼ヲ除ク)	
四六二	塊及錠	
	一　乙ノ内　フェロタングステン及フェロモリブデン	
四七〇	安知母尼及硫化安知母尼	
四七六ノ内	安知母尼ヲ用キタル合金	
五二一ノ内	貴金屬ヲ用キ又ハ貴金屬ヲ鍍シタル金屬製品ニシテ安知母尼ヲ用キタルモノ(安知母尼ノ重量全重量ノ百分ノ三十五ヲ超エザルモノヲ除ク)	
五二五	別號ニ掲ゲザル金屬製品ニシテ安知母尼ヲ用キタルモノ(安知母尼ノ重量全重量ノ百分ノ三十五ヲ超エザルモノヲ除ク)	
五六三	自動車部分品(原動力機ヲ除ク)	
五六四	一　自動車	
	二　シャシ	
五七七	内燃機關	
	一　自動車用ノモノ	
六一二	木材	
六一六	木炭(燃料用ノモノ)	
六四一ノ内	安知母尼ヲ用キタル瓶具(安知母尼ノ重量全重量ノ百分ノ二十五ヲ超エザルモノヲ除ク)	
	丁號	
	輸入稅表番號	
四五八ノ内	銅鑛、鉛鑛、錫鑛、亞鉛鑛、ニッケル鑛及安知母尼鑛	
四五九ノ内	白金	
四六四	鋼	
四六五	鉛	
四六六	錫	
四六七	亞鉛	
四六九ノ内	水銀	
四七〇	安知母尼及硫化安知母尼	
四七一	置鹽及苛鋼	

●輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律第二條ノ規定ニ依ル鐵鋼工作物築造ノ制限

昭和十二年十月
總令第百六十號

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル鐵鋼工作物築造ノ制限ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　鐵筋「コンクリート」造、鐵骨ヲ有スル鐵筋「コンクリート」造、鐵骨造又ハ鐵造ノ工作物(建築物ヲ含ム以下同ジ)ヲ築造セントスル者ハ道知事ノ許可ヲ受クベシ但シ朝鮮總督ノ指定スル工作物又ハ構造用シテ使用スル鐵鋼ノ數量五十噸以下ノ工作物ノ築造ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ道知事ニ提出スベシ

一　工作物ノ位置
二　工作物ノ用途
三　築造ヲ必要トスル事由
四　構造ノ種別
五　設計及工事計畫ノ概要
六　建築物ナルトキハ其ノ高サ、階數及各階ノ面積
七　構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ種類及數量
八　工事著手及竣工ノ豫定時期
九　請負人アルトキハ請負人ノ氏名又ハ名稱

第三條　前條第一號、第二號、第四號、第六號及第七號ニ揭グル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受クベシ

第四條　道知事ハ第一條ノ許可ヲ爲ス場合ニ於テ構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量ノ制限ヲ爲スコトヲ得

第五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ工事竣工シタルトキハ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ヅベシ

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第六條　第一條但書ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定スル工作物ヲ築造シタル者（當該工作物ノ承繼人ヲ含ム）其ノ用途ヲ其ノ竣工後一年以内ニ同條ノ許可ヲ要スル工作物ノ用途ニ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ道知事ノ許可ヲ受クベシ同條ノ許可ヲ受ケ工作物ヲ築造シタル者（當該工作物ノ承繼人ヲ含ム）其ノ用途ヲ其ノ竣工後一年以内ニ同條ノ許可ヲ要スル他ノ工作物ノ用途ニ變更セントスルトキ亦同ジ

第七條　構造用トシテ使用スル鐵鋼ノ數量五十噸以下ノ工作物ヲ築造セントスル者ハ工事ノ著手前第二條各號ニ掲ゲル事項ヲ道知事ニ届出ヅベシ

附　則

本令ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ工事中ノ工作物ニシテ既ニ基礎工事ヲ終了シタルモノニハ本令ヲ適用セズ但シ本令施行ノ日ヨリ二週間以内ニ當該工作物ニ付第二條各號ニ掲ゲル事項ヲ道知事ニ届出ヅベシ

本令施行ノ際現ニ工事中ノ第一條ノ許可ヲ受ケベキ工作物ニシテ前項ノ規定ニ該當セザルモノニ付テハ本令施行後二週間以内ニ第二條ノ許可申請書ニ本令施行ノ際ニ於ケル工事進捗ノ程度ヲ記載シタル書類ヲ添附シ之ヲ道知事ニ提出スベシ

●輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律第二條ノ規定ニ依ル銅ノ使用制限

昭和十三年五月
總令第九十三號

昭和十二年朝鮮總督府令第百八十號（昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル銅ノ使用制限ニ關スル件）左ノ通改正ス

第一條　本令ニ於テ銅合金トハ黃銅（眞鍮）、靑銅、砲金、洋銀（洋白）及赤銅ヲ謂フ

第二條　建築物ノ屋根、庇、樋、化粧張、煙突、排氣筒、枠、扉、窓格子、手摺、階段ノ止具又ハ日除金具トシテ銅又ハ銅合金ヲ使用セントスル者ハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

第三條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ道知事ニ提出スベシ

一　製造スル物品ノ名稱及數量

二　銅又ハ銅合金ノ種類別使用數量（前條規定スル用途別ニ記載スベシ）

三　建築物ノ位置

四　建築物ノ用途

五　著手及竣工ノ豫定時期

六　請負人ノ氏名又ハ名稱

第四條　左ニ掲ゲル物品又ハ其ノ部分品ヲ製造スル場合ニ於テ銅又ハ銅合金ヲ使用セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受ケベシ但シ輸出品又ハ其ノ部分品ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　ナイフ、スプーン、コップ、菓子器、盆其ノ他ノ飮食用器具

二　鍋、釜、湯沸、金網、十能其ノ他ノ厨乃用器具

三　火鉢、煙草盆、煙草入、附木掛其ノ他ノ家具什器

四　花器、瓶物、貨金、額緣、鳥籠其ノ他ノ美術裝飾品

五　ブローチ、フック、鈕釦、コハセ、美錠其ノ他ノ被服附屬金具

六　灰皿、煙草盆其ノ他ノ喫煙用器具

七　ハンドバッグ、コンパクト、鞄、傘、杖其ノ他ノ身廻用品

八　筆、ペン、帶止、鎖、指輪其ノ他ノ裝身具

九　萬年筆、ペン、インクスタンド、文鎭、紙挾其ノ他ノ文房具

十　把手、蝶番、戸車、レール、釘其ノ他ノ建築用附屬金具

十一　玩具

十二　扇風機（工鑛業用ノモノヲ除ク）、スイートプシャンデリヤ、瓦斯スタンド、金庫、書類箱及冷藏庫

十三　看板、ネームプレート及廣告用文字

十四　前各號ニ掲ゲザル家庭用金物及雜貨

第五條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ道知事ニ提出スベシ

一　製造スル物品ノ名稱及數量

二　銅又ハ銅合金ノ種類別使用數量（新、屑及故ニ區別シテ記載スベシ）

三　使用スル新銅又ハ新銅合金ガ第六條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ相手方別購入數量

四　銅又ハ銅合金ヲ使用セントスル事由

第六條　第四條各號ニ掲ゲル物品又ハ其ノ部分品ニシテ輸出品又ハ其ノ部分品ニ非ザルモノノ原料又ハ材料ヲ製造スル場合ニ於テ銅又ハ銅合金ヲ使用セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

第七條　前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ道知事ニ提出スベシ

一　製造スル原料又ハ材料ノ名稱及數量

二　銅又ハ銅合金ノ種類別使用數量（新、屑及故ニ區別シテ記載スベシ）

三　製造スル原料又ハ材料ノ用途

四　製造スル原料又ハ材料ノ相手方別買受數量

第八條　輸出品又ハ其ノ部分品トシテ第四條各號ニ掲ゲル物品又ハ其ノ部分品ヲ製造セントスル者ハ豫メ左ニ掲ゲル事項ヲ道知事ニ届出ヅベシ

一　製造スル物品ノ名稱及數量

二　銅又ハ銅合金ノ種類別使用數量

三　製造スル物品ノ相手方別買受數量

第九條　第四條各號ニ掲ゲル物品又ハ其ノ部分品ニシテ輸出品又ハ其ノ部分品トシテ製造シタルモノヲ讓受ケタル者國內消費ニ充ツル爲買受又ハ滿洲國若ハ關東州ニ輸出スル爲買受ケタル者ハ道知事ノ許可ヲ受クベシ

附　則

本令ハ昭和十三年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

第二條ノ許可ヲ受ベキ者ニシテ本令施行ノ際現ニ第二條ニ掲ゲル用途ニ銅又ハ銅合金ヲ使用中ノモノニハ本令ヲ適用セズ但シ本令施行ノ日ヨリ二週間以内ニ第三條各號ニ掲ゲル事項ヲ道知事ニ届出ヅベシ

●輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律第二條ノ規定ニ依ル銑鐵鑄物ノ製造制限

昭和十三年五月
總令第九十四號

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル銑鐵鑄物ノ製造制限ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　本令ニ於テ銑鐵鑄物トハ銑鐵ヲ以テ之ヲ鑄造スルコトヲ得ズ但シ特別ノ鑄造ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令ハ昭和十三年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和十三年朝鮮總督府令第九十四號ニ依ル物品指定

昭和十三年五月
總督第三百九十九號

昭和十三年朝鮮總督府令第九十四號（昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル銑鐵鑄物ノ製造制限ニ關スル件）ニ依リ左ノ通物品ヲ指定ス

鉛筆削
インク壺
ホチキス

時令箱
火鉢
茶道用風呂釜
天水鉢
扇風機（工鑛業用ノモノヲ除ク）
鏡臺
煙草セット
灰皿
花器
水盤
燈籠
茶卓
菓子皿
陛物
瓦斯スタンド
電燈支柱用飾木
門柱
扉
風窓
窓枠分銅
椅子
金庫（手提金庫ヲ含ム）
帽子掛
掃除器
手摺
格子
陳列臺
街頭照明柱
電柱
欄干
交通標識
街路樹保護板
溝蓋

紙屑箱

●輸出入品等ニ關スル臨時措置ノ件第二條ノ規定ニ依ル綿製品ステープルファイバー等混用ノ件

昭和十三年三月
總令第二十二號

昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル綿製品ステープルファイバー等混用ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　綿絲ヲ製造スル場合ニ於テハ手紡ニ依ルモノ及輸出品（滿洲國及關東州ニ輸出スルモノヲ除ク以下同ジ）並ニ輸出品ノ原料又ハ材料ニ用フルモノヲ除クノ外ステープルファイバー其ノ他ノ綿又ハ毛ニ非ザル纖維ヲ重量割合ニ於テ三割以上混用セザルモノハ卸賣業者ニ在リテハ昭和十三年九月一日以後、小賣業者ニ在リテハ昭和十三年九月一日以後之ヲ國內消費ニ充ツル爲買賣又ハ滿洲國若ハ關東州ニ輸出スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ製造ニ係ル幅四十五糎ヲ超エル綿織物ニシテステープルファイバー其ノ他ノ綿又ハ毛ニ非ザル纖維ヲ重量割合ニ於テ三割以上混用セザルモノハ卸賣業者ニ在リテハ昭和十三年四月一日以後、小賣業者ニ在リテハ昭和十三年九月一日以後之ヲ國內消費ニ充ツル爲買賣又ハ滿洲國若ハ關東州ニ輸出スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタルモノニハ此ノ限ニ在ラズ

輸出品ノ原料又ハ材料ニ用フル綿絲ヲ製造スル場合ニ於テハ其ノ數量ニ付朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依リ混用シタル綿絲ニハ混用シタル纖維ノ種類及其ノ混用割合ヲ表示スベシ

第二條　綿織物又ハ綿莫大小ヲ製造スル場合ニ於テハ手紡綿絲ノミニ依ルモノ及輸出品並ニ輸出品ノ原料又ハ材料ニ用フルモノヲ除クノ外又ハステープルファイバー其ノ他ノ綿又ハ毛ニ非ザル纖維ヲ重量割合ニ於テ三割以上混用スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

輸出品ノ原料又ハ材料ニ用フル綿織物又ハ綿莫大小ヲ製造スル場合ニ於テハ其ノ數量ニ付朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依リ混用シタル綿絲ニハ混用シタル纖維ノ種類及其ノ混用割合ヲ表示スベシ

第三條　綿織物又ハ綿莫大小ヲ製造スル場合ニ於テハ手紡綿絲ノミニ依ルモノ及輸出品並ニ輸出品ノ原料又ハ材料ニ用フルモノヲ除クノ外又ハステープルファイバー其ノ他ノ綿又ハ毛ニ非ザル纖維ヲ混用シタル綿絲ヲ重量割合ニ於テ三割以上混用スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

輸出品ノ原料又ハ材料ニ用フル綿織物ヲ製造スル場合ニ於テハ其ノ數量ニ付朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依リ混用シタル綿絲ニハ混用シタル纖維ノ種類及其ノ混用割合ヲ表示スベシ

第四條　綿織物又ハ綿莫大小ヲ製造スル場合ニ於テハ手紡綿絲ノミニ依ルモノ及輸出品並ニ輸出品ノ原料又ハ材料ニ用フルモノヲ除クノ外ステープルファイバー其ノ他ノ綿又ハ毛ニ非ザル纖維ヲ混用シタル綿絲ヲ重量割合ニ於テ三割以上混用スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

輸出品ノ原料又ハ材料ニ用フル綿織物又ハ綿莫大小ヲ製造スル場合ニ於テハ其ノ數量ニ付朝鮮總督ノ承認ヲ受クベシ

第一項ノ規定ニ依リ混用シタル綿絲ニハ混用シタル纖維ノ種類及其ノ混用割合ヲ表示スベシ

前項ニ該當セザル綿織物又ハ綿莫大小ニハ前項ノ規定ニ依リ標識又ハ之ニ類似ノ標識ヲ附スルコトヲ得ズ

第三條　輸出品トシテ製造シタル綿絲、綿織物若ハ綿莫大小又ハ輸出品ノ原料若ハ材料ニ用フルモノトシテ製造シタル綿絲、綿織物若ハ綿莫大小ハ之ヲ製造シタル者又ハ讓受ケタル者カ國內消費ニ充ツル爲之ヲ買賣シ又ハ滿洲國若ハ關東州ニ輸出スルコトヲ得ズ但シ特別ノ事情ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

●昭和十三年朝鮮總督府令第二十二號第三項ノ規定ニ依ル標識

昭和十三年三月
總督府令第百五十六號

昭和十三年朝鮮總督府令第二十二號（昭和十二年法律第九十二號第二條ノ規定ニ依ル綿製品ステープルファイバー等混用ニ關スル件）第二條第三項ノ規定ニ依ル標識左ノ通定ム

一　毛ニ非ザル纖維ヲ混用シタル綿絲ヲ以テ織リタル綿織物

十五糎以上ノ綿織物

兩耳ニスレン族又ハナフトール族染料ノ青ヲ以テ染色シタル綿絲ヲ二本宛綿込ムコト

ステープルファイバー其ノ他ノ綿又ハ毛ニ非ザル纖維ヲ混用シタル綿絲ヲ以テ織リタル幅四十五糎以上ノ綿織物

兩耳ニスレン族又ハナフトール族染料ノ青ヲ以テ染色シタル綿絲ヲ二本宛綿込ムコト

第二條　第三項ノ規定ニ依ル標識左ノ通定ム

一　毛ニ非ザル纖維ヲ混用シタル綿絲ヲ以テ織リタル幅四十五糎以上ノ綿織物

兩耳ニスレン族又ハナフトール族染料ノ青ヲ以テ染色シタル綿絲ヲ二本宛綿込ムコト

二　毛ニ非ザル纖維ヲ混用シタル綿絲ヲ以テ織リタル幅四十五糎未滿ノ綿織物

一端ニ左ノ印章ヲ押捺スルコト

非ザル纖維ヲ混用シタル綿絲ヲ以テ織リタル幅四十五糎未滿ノ綿織物

一端ニ左ノ印章ヲ押捺スルコト

三　ステープルファイバー其ノ他ノ綿又ハ毛ニ非ザル纖維ヲ混用シタル綿莫大小

一端ニ左ノ印章ヲ押捺シ又ハ左ノ印章ヲ記シタル證票ヲ附スルコト

㊀　直徑二センチメートル

四　特別ノ事情ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタル綿織物中第五號ニ掲ゲルモノヲ除キタルモノ

兩耳ニアリザリンレッド又ハナフトール族染料ノ赤ヲ以テ染色シタル綿絲ヲ二本宛綿込ムコト

五　特別ノ事情ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタル綿織物中昭和十三年朝鮮總督府令第二十二號施行ノ際仕掛中ノモノ、タイヤコード、日本藥局方ニ依ルガーゼ、ホース用布及晒絞

一端ニ左ノ印章ヲ押捺スルコト

㊀　直徑二センチメートル

六　特別ノ事情ニ依リ道知事ノ許可ヲ受ケタル綿莫大小

一端ニ左ノ印章ヲ押捺シ又ハ左ノ印章ヲ記シタル證票ヲ附スルコト

㊀　直徑二センチメートル

●輸出入品等ノ臨時措置ニ關スル法律第二條及第三條ノ規定ニ依ル白金ノ使用制限

昭和十三年一月
總令第三號

昭和十二年法律第九十二號第二條及第三條ノ規定ニ依ル白金ノ使用制限ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　白金ハ之ヲ裝飾用品、裝身具、身廻品、文房具又ハ什器ノ製造（加工及修理ヲ含ム以下同ジ）ニ使用スルコトヲ得ズ但シ道知事ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　前條但書ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ道知事ニ提出スベシ

一　製造スル物品ノ名稱及數量

器具、氣體壓縮機、球軸受又ハ防振具ノ製造業及工作機械器具（製材及木工機械ヲ除ク）、鍛鋼車、貨車、自動車、鋼船若ハ航空機又ハ同部分品若ハ同附屬品ノ製造業

六、兵器又ハ同部分品若ハ同附屬品ノ製造業

七　硫酸、硝酸、壓縮アンモニア瓦斯、石炭酸、メタノール、グリセリン、硝酸アンモン、人造グリオリット、アセトン、染料中間物其ノ他ノコールタール分溜物

誘導體、火藥、爆藥、導火索、人造石油（瓦岩油ヲ含ム）コークス（セミコークスヲ含ム）コールタール分溜物、代用液體燃料、硫酸アンモニア、工業鹽、研磨材料、電氣用カーボン又ハ活性炭ノ製造業及石油精製業

八　光學ガラス、强化ガラス、安全ガラス、船燈用著色ガラス又ハ耐火煉瓦ノ製造業

九　電氣供給事業（本告示ニ掲グル事業ニ必要ナル範圍ヲ除ク）

十　石油輸入業

十一　海運業（沿岸航路ノモノヲ除ク）及航空業

第九款　工業

●朝鮮總督府中央試驗所試驗、分析及鑑定規則

昭和七年十月
總令第百六號

改正　昭四入年五第百八號

朝鮮總督府中央試驗所試驗、分析及鑑定規則左ノ通定ム

朝鮮總督府中央試驗所試驗、分析及鑑定規則

第一條　朝鮮總督府中央試驗所（以下單ニ中央試驗所ト稱ス）ニ工業ニ關スル試驗又ハ分析ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ別表ニ定ムル分析ノ現品ヲ添ヘ第一號樣式ノ依賴書ヲ差出シ又ハ口頭ヲ以テ申出ヅベシ

第二條　前條第一項ノ規定ニ依リ試驗又ハ分析ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ一件毎ニ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムベシ

一　定性分析

一、指定成分ノ定性分析

一成分一回、一成分ヲ增ス毎ニ五十錢ヲ加フ

全成分又ハ主要成分ノ定性分析

三回以上十回以下

二　定量分析

一、指定成分ノ定量分析

全成分又ハ主要成分ノ定量分析

五回以上十五回以下

三　土石及其ノ製品ノ試驗

一、土石又ハ其ノ製品ノ耐火度、收縮度又ハ膨脹度ノ試驗

一項目一回以上十回以下

二、粘土ノ撲械的分析

一回以上十回以下

陶磁器、硝子、琺瑯、煉瓦、瓦又ハセメントノ原料ノ應用試驗

三回以上五十回以下

セメントノ比重、一定容量ノ重量、凝結時間、紛末ノ細度、膨脹又ハ龜裂ノ試驗

一項目一回

セメントノ耐伸張、耐壓强又ハ滲透力ノ試驗

一項目一回

石材、煉瓦又ハ瓦ノ凍寒作用ノ試驗

一回以上五十回以下

土管ノ耐壓ノ試驗

二回以上三十回以下

四　油脂、蠟、精油及鑛油ノ試驗

一、油脂、蠟、精油又ハ鑛油ノ比重、粘度、凝點、融點、沸點、引火點、燃燒點、光度、沃素價、酸價、鹼化價、酸若ハアルカリノ作用又ハ金屬ニ對スル作用ノ試驗

一項目二回

油脂、蠟、精油又ハ鑛油ノ應用試驗

三回以上五十回以下

五　塗料及顏料ノ試驗

一、塗料ノ比重、粘度、乾燥度、色澤又ハ透明度ノ試驗

一項目一回

顏料ノ細度又ハ被覆度ノ試驗

一項目一回

塗料又ハ顏料ノ應用試驗

三回以上五十回以下

六　紙ノ試驗

一、紙ノ耐揉度又ハ强度伸度ノ試驗

一項目一回

紙ノ原料ノ應用試驗

三回以上五十回以下

七　護謨ノ試驗

一、護謨ノ老化試驗

五回

二、護謨ノ硬度又ハ彈性ノ試驗

二回

護謨ノ抵蹄强及伸張舉ノ試驗

十回

護謨ノ加硫試驗

一回

八　纖維、絲及織布ノ試驗

一、纖維、絲及織布ノ試驗

二回

纖維、絲又ハ織布ノ棟縮及漂白ノ試驗

一回以上五回以下

絲又ハ織布ノ整理加工ノ試驗

一回

織布ノ原絲、粗機及密度ノ試驗

一回

製織設計

二回以上二十回以下

二　白金ノ使用量

三　白金ノ使用セントスル事由

第三條　白金ノ生産、輸移入又ハ賣買ヲ業トスル者ハ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル事業月報ヲ翌月十日迄ニ道知事ニ提出スベシ

一　生産量又ハ輸移入量

二　買入量（輸移入量ヲ除ク）

三　販賣量

四　使用量

五　月末在庫量

附　則

本令ハ昭和十三年一月七日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ第一條ニ揭グル物品ノ製造ニ白金ヲ使用中ノ者ニハ其ノ使用中ノ白金ニ付本令ヲ適用セズ但シ本令施行ノ日ヨリ二週間以內ニ第二條各號ニ揭グル事項ヲ道知事ニ屆出ヅベシ

●昭和十二年朝鮮總督府令第百六十號第一條但書ノ規定ニ依リ許可ヲ要セザル工作物ノ種類

昭和十二年十月
總告第七百五十三號

昭和十二年朝鮮總督府令第百六十號第一條但書ノ規定ニ依リ許可ヲ要セザル工作物ノ種類左ノ通指定ス

左ニ揭グル事業ノ用ニ供スル製鍊場、選鑛場、工場、鑛塔、索道、岸壁、棧橋、起重機、タンク、倉庫、給水設備、排水設備其ノ他之ニ準ズル工作物

一　採鑛業並ニ金屬製鍊業及製鐵業（普通鋼材製造業ニシテ製鋼又ハ壓延ノ設備ノミヲ以テ營ムモノヲ除ク）

二　ドロマイト、珪石又ハ酸性白土ノ採取業

三　輕合金又ハ可鍛鑄鐵物ノ製造業

四　蹄釘、鐵鎖又ハドラム纜ノ製造業

五　自動車用瓦斯發生裝置、ガソリン機關、重油機關、電信電話機械器具（家庭用ラヂオ用具ヲ除ク）、探鑛機械器具、選鑛機械器具、製鍊機械器具、化學工業用機械

第十款　製絨業

一反ニ付以上二十回以下

九　染料及媒染劑ノ試驗

染料又ハ媒染劑ノ品質又ハ應用試驗

一項目一回以上十回以下

二、絲又ハ織布ノ色染試驗

一回以上十回以下

絲又ハ織布ノ染色堅牢度ノ試驗

一回

第六條ノ場合ニ於テハ前項ニ定ムル額ノ二倍ノ手數料ヲ納ムベシ

第三條　前二條ニ規定スルモノノ外工業ニ關係アル物料ノ試驗又ハ分析ニ關スル現品ノ分量及手數料ニ付テハ前二條ノ規定ニ準ジ朝鮮總督府中央試驗所長（以下單ニ中央試驗所長ト稱ス）之ヲ定ム

第四條　中央試驗所ニ工業ニ關スル鑑定ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ第一號樣式ノ依賴書ヲ差出シ又ハ口頭ヲ以テ申出ヅベシ

前項ノ依賴アリタルトキハ中央試驗所長鑑定ノ爲必要ナル分量ヲ定メ現品ヲ差出サシム

第五條　前條第一項ノ規定ニ依リ鑑定ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ第二條ノ規定ニ準ジ中央試驗所長ノ定ムル手數料ヲ納ムベシ

第六條　試驗、分析又ハ鑑定ハ通常ノ依賴ニ先チ急遽ニ又ハ日時ヲ限リ施行スルコトヲ得

第七條　特種ノ作業ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ第二號樣式ノ依賴書ヲ差出スベシ

前項ノ規定ニ依ル特種ノ作業ノ手數料ハ中央試驗所長之ヲ定ム

第八條　中央試驗所長試驗、分析、鑑定又ハ特種作業ノ爲必要アリト認ムルトキハ依賴者ニ器具機械、材料又ハ勞務ヲ提供セシムルコトアルベシ

第九條　試驗、分析又ハ鑑定ノ結果ニ付テハ其ノ報告書ヲ依賴者ニ交付ス

第十條　試驗、分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲ス者其ノ試驗、分析又ハ鑑定ノ報告書ノ副本ヲ請求セントスルトキハ第三號樣式ノ願書ヲ差出スベシ

前項ノ請求ヲ爲ストキハ副本用紙一枚毎ニ十錢、外國語ニ依ル副本ヲ請求スルトキハ一件毎ニ五十錢以上五圓以下ノ手數料ヲ納ムベシ

第十條ノ二　本令ニ依リ試驗、分析又ハ鑑定ヲ受ケタル物品ニ對シ所定ノ封緘又ハ證印押捺ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ第四號樣式ノ依賴ヲ差出スベシ

前項ノ封緘又ハ證印押捺ノ手數料ハ中央試驗所長之ヲ定ム

第十一條　中央試驗所ノ設備ヲ使用セントスル者ハ第五號樣式ノ願書ヲ差出スベシ

前項ノ規定ニ依ル設備ノ使用料ハ中央試驗所長之ヲ定ム

第十二條　前條第一項ノ規定ニ依ル設備ノ使用ニ關シ必要ナル事項ハ中央試驗所長之ヲ定ム

第十三條　手數料ニシテ最高最低ノ限度ヲ定メタルモノニ付テハ中央試驗所長其ノ額ヲ定ム

第十四條　手數料及使用料ハ收入印紙ヲ依賴書又ハ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

收入印紙ノ消印ハ中央試驗所ニ於テ之ヲ押捺ス

第十五條　試驗、分析又ハ鑑定ノ爲差出シタル現品ハ之ヲ還付セズ但シ差出ノ際豫メ申出アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ現品還付ニ要スル費用ハ依賴者ノ負擔トス

第十六條　本令ノ手數料及使用料ハ官廳ノ請求ニ係ルモノニ付テハ之ヲ徵收セズ公共團體又ハ普利ヲ目的トセザル組合ノ依賴ニ係ルモノニ付テハ之ヲ半減ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

光武十年農商工部令第四十二號ハ之ヲ廢止ス

從前ノ規定ニ依リ試驗、分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲シタルモノニ付テハ仍舊令ニ依ル

（別表）

試驗又ハ分析ニ關スル現品ノ分量表

一　定性分析

指定成分ノ定性分析　全成分又ハ主要成分ノ定性分析　百グラム以上

二　定量分析

指定成分ノ定量分析　全成分又ハ主要成分ノ定量分析　百グラム以上

三　土石及其ノ製品ノ試驗

粘土ノ撲械的分析

陶磁器、硝子、琺瑯、煉瓦、瓦又ハセメントノ原料ノ應用試驗　五百グラム又ハ二箇以上

セメントノ比重、一定容量ノ重量、凝結時間、紛末ノ細度、膨脹又ハ龜裂ノ試驗　一キログラム以上

セメントノ耐伸張、耐壓强又ハ滲透力ノ試驗　一キログラム以上

石材、煉瓦又ハ瓦ノ凍寒作用ノ試驗　二十キログラム以上

土管ノ耐壓强ノ試驗　八箇以上（石材ハ五センチメートル立法以上ノモノ）

四　油脂、蠟、精油及鑛油ノ試驗

油脂、蠟、精油又ハ鑛油ノ比重、粘度、凝點、融點、沸點、引火點、燃燒點、光度、沃素價、酸價、鹼化價、酸若ハアルカリノ作用又ハ金屬ニ對スル作用ノ試驗　五十センチリットル又ハ五百グラム以上

油脂、蠟、精油又ハ鑛油ノ應用試驗　二リットル又ハ一キログラム以上

五　塗料及顏料ノ試驗

塗料ノ比重、粘度、乾燥度、色澤又ハ透明度ノ試驗　三百グラム以上

顏料ノ細度又ハ被覆度ノ試驗　三百グラム以上

塗料又ハ顏料ノ應用試驗　五百グラム以上

六　紙ノ試驗

紙ノ耐揉度又ハ强度伸度ノ試驗　十枚以上（二十五センチメートル平方以上ノモノ）

紙ノ原料ノ應用試驗　五キログラム以上

七　護謨ノ試驗

護謨ノ加硫試驗　厚サ四ミリメートル以內

護謨ノ抵蹄强及伸張率ノ試驗　幅七センチメートル以上

護謨ノ硬度又ハ彈性ノ試驗　長サ二十センチメートル以上

護謨ノ老化試驗

八　纖維、絲及織布ノ試驗

纖維、絲及織布ノ强度伸度及摩擦度ノ試驗　纖維及絲二百グラム以上

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

織布小幅二メートル以上
五メートル以上
百グラム以上
繊維及絲二百グラム以上
機布一メートル以上
絲三百グラム以上
機布一反
十センチメートル以上
織布十センチメートル以上
一キログラム以上

染料二十グラム以上
媒染剤百グラム以上
絲二百グラム以上
機布一メートル以上
絲百グラム以上
機布五十センチメートル以上

第三號樣式

朝鮮總督府中央試驗所長　宛

依頼者　氏名又ハ名稱　㊞

住所又ハ營業所

試驗（分析、鑑定）成績報告書副本下付願

何年何月何日第何號

品名
何種

右成績報告書副本（何圖交）何通下付相成度及依頼候也

年　月　日

收入印紙

貼附シタル收入印紙ノ額

第四號樣式

朝鮮總督府中央試驗所長　宛

依頼者　氏名又ハ名稱　㊞

住所又ハ營業所

封緘「證印押捺」依頼書

封緘「證印押捺」相成度及依頼候也

年　月　日

右封緘ノ種別及箇數（證印ノ箇數）

三　封緘ノ種別及箇數「證印ノ箇數」

二　産地又ハ製造地名及製造者名

一　品名、種別及其ノ數量又ハ分量

收入印紙

貼附シタル收入印紙ノ額

第五號樣式

朝鮮總督府中央試驗所長　宛

依頼者　氏名又ハ名稱　㊞

住所又ハ營業所

設備使用願書

設備使用ノ目的

設備名

一　設備名

二　使用ノ目的

三　使用期間　自　年　月　日　至　年　月　日

右使用ノ儀許可相成度及願候也

年　月　日

收入印紙

貼附シタル收入印紙ノ額

朝鮮總督府中央試驗所長　宛

依頼人　氏名又ハ名稱　㊞

住所又ハ營業所

㊽朝鮮總督府中央試驗所工業技術職員派遣規則

昭和十三年四月
總令第七十六號

朝鮮總督府中央試驗所工業技術職員派遣規則左ノ通定ム

朝鮮總督府中央試驗所工業技術職員派遣規則

第一條　朝鮮總督府中央試驗所（以下單ニ中央試驗所ト稱ス）ノ所管事項ニ關スル試驗、分析、鑑定、調査、實地指導、講習等ノ爲ノ職員派遣ノ申請ハ別段ノ定アル場合ヲ除ノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　技術職員派遣ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載シ申請人之ニ署名捺印シ中央試驗所長ニ提出スベシ

一　申請人ノ氏名又ハ名稱及住所
二　申請ノ目的タル事項
三　派遣ヲ受ケントスル期間及場所

第三條　申請人ハ職員派遣ニ關シ左ニ揭グル費用ヲ負擔スベシ但シ中央試驗所長其ノ必要ナシト認ムル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

一　朝鮮總督府旅費規則ニ依ル派遣技術職員ノ旅費
二　器具機械費、消耗品費、通信運搬費、人夫費其ノ他事務遂行ニ直接必要ナル費用

第四條　中央試驗所長派遣ノ申請ヲ許可シタルトキハ申請人ニ前條ノ規定ニ依ル費用ノ概算額ヲ通知スベシ

申請人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ中央試驗所ニ其ノ概算額ヲ前納スベシ

前項ノ規定ニ依リ納付シタル概算額ニ付精算ヲ爲シタル場合ニ於テ不足アルトキハ之ヲ追納セシメ過剩アルトキハ之ヲ返戻ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●酒造技術官派遣ニ關スル件

昭和十二年三月
總令第二十七號

酒造技術官派遣ニ關スル件ノ左ノ通定ム

第一條　公共團體、朝鮮酒造協會、酒造組合、酒造業者又ハ麹子製造業者ハ酒類又ハ麹子ノ製造ニ關シ試驗、講話其ノ他實地指導ヲ求ムル爲朝鮮總督府又ハ朝鮮總督府稅務監督局ニ酒造技術官ノ出張ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ酒造技術官ノ出張ヲ申請セントスル者ハ出張ノ目的タル事項、出張地名及出張期間ヲ記載シタル申請書ヲ當該官廳ニ提出スベシ

第二條　申請者ハ酒造技術官ノ出張ニ要スル成規ノ旅費ヲ負擔スベシ但シ當該官廳ニ於テ其ノ必要ナシト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三條　當該官廳出張ノ申請ヲ許可シタルトキハ申請者ハ前條ノ規定ニ依ル旅費ヲ前納スベシ但シ當該官廳ニ於テ其ノ必要ナシト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ニ依リ前納シタル旅費ニシテ精算ノ結果不足ヲ生ジタルトキハ之ヲ追納セシメ過剩ヲ生ジタルトキハ之ヲ還付ス

附　則

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●瓦斯發生爐設置奬勵金交付規則

昭和十三年六月
總令第百十七號

瓦斯發生爐設置奬勵金交付規則左ノ通定ム

瓦斯發生爐設置奬勵金交付規則

第一條　朝鮮總督ハ瓦斯發生爐ノ設置ヲ奬勵スル爲本令ニ依リ毎年度豫算ノ範圍內ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

前項ノ瓦斯發生爐ノ型式及種類ハ別ニ之ヲ定ム

第二條　奬勵金ハ瓦斯發生爐（之ト共ニ設置スル附屬裝置ヲ含ム以下同ジ）ヲ自動車、機關車、動車又ハ原動機ニ設置シタル場合ニ自動車、機關車、動車又ハ原動機ノ所有者ニ對シ之ヲ交付ス

第三條　奬勵金ノ額ハ瓦斯發生爐一基ニ付其ノ設置ニ要シタル費用ノ五割以內トス

二　奬勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ
三　詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ受ケタルトキ

第九條　本令ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ機關車又ハ動車ニ付テハ鐵道又ハ軌道ヲ敷設シタル地（二道以上ニ亙リ敷設セル鐵道又ハ軌道ニ在リテハ其ノ起點所在地）ヲ管轄スル道知事ヲ、自動車又ハ原動機ニ付テハ主タル使用地ヲ管轄スル道知事ヲ經由スベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十款　産業統制

●重要産業ノ統制ニ關スル法律ヲ朝鮮ニ施行スルノ件

昭和十二年二月
勅令第二十五號

朝鮮ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

昭和六年法律第四十號ヲ朝鮮ニ施行スルノ件

昭和六年法律第四十號ハ統制委員會ニ關スル規定ヲ除キ之ヲ朝鮮ニ施行ス

附　則

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●重要産業ノ統制ニ關スル法律

昭和六年四月
法律第四十號

改正　昭和一一年五月第二五號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル重要産業ノ統制ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　重要ナル産業ヲ營ム者生産又ハ販賣ニ關シ命令ノ定ムル統制協定ヲ爲シタル場合ニ於テ加盟者ノ員數カ同業者ノ二分ノ一以上ナルトキ又ハ加盟者ノ生産高若ハ販賣高カ同業者ノ生産高若ハ販賣高ノ二分ノ一以上ナルトキハ命令ノ定ムル期間內ニ之ヲ政府ニ屆出ヅベシ之ヲ變更廢止シタルトキ亦同シ

前項ノ産業ノ種類ハ統制委員會ノ議ヲ經テ

政府之ヲ指定ス

前項ノ規定ニ依リ指定セラレタル産業ヲ營ム者ハ命令ノ定ムル事項ヲ政府ニ届出ヅベシ

第二條　政府前條ノ統制協定ノ加盟者三分ノ二以上ニシテ共ノ生産高又ハ販賣高カ加盟者ノ生産高又ハ販賣高ノ三分ノ二以上ヲ占ムルモノノ申請アリタル場合ニ於テ當該産業ノ公正ナル利益ヲ保護シ國民經濟ノ健全ナル發達ヲ圖ル爲特ニ必要アリト認ムルトキハ統制委員會ノ議ヲ經テ當該統制協定ノ加盟者又ハ共ノ協定ニ加盟セザル同業者ニ對シテ共ノ協定又ハ一部ニ依ルベキコトヲ命ズルコトヲ得

第二條ノ二　政府生産制限又ハ操業短縮ニ關スル協定ニ付前條ノ命令ヲ發シタル場合ニ於テ特ニ必要アリト認ムルトキハ統制委員會ノ議ヲ經テ共ノ命令ノ效力ヲ有スル期間ヲ限リ當該産業ニ於ケル企業ノ新設又ハ生産設備ノ擴張ニ付命令ヲ以テ許可ヲ受ケシムルコトヲ得

第二條ノ三　第一條ノ統制協定ノ加盟者ノ爲共ノ統制協定ニ依ル共同販賣ニ關スル事業ヲ營ム者ハ命令ノ定ムル事項ヲ政府ニ届出ヅベシ

第二條ノ四　重要ナル産業ヲ營ム者ニシテ共ノ生産高又ハ販賣高カ當該産業ニ於ケル生産高又ハ販賣高ノ二分ノ一以上ヲ占ムルモノハ命令ノ定ムル事項ヲ政府ニ届出ヅベシ

前項ノ産業ノ種類ハ統制委員會ノ議ヲ經テ政府之ヲ指定ス

第三條　政府第一條ノ統制協定又ハ前二條ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ産業ニ於テハ産業ノ種類、協定事項及統制ノ組織ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督ヲ經由提出スベシ

第三條ノ二　昭和六年法律第四十號第一條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ産業ノ種類、協定事項及統制ノ組織ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督ヲ經由提出スベシ

第三條ノ三　昭和六年法律第四十號第一條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ取引條件ニ關スル協定ヲ爲シタル場合ニ於テハ産業ノ種類、協定事項及統制ノ組織ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督ヲ經由提出スベシ

第四條　行政官廳必要アリト認ムルトキハ第一條ノ統制協定ニ加盟者若ハ統制協定ニ加盟セザル同業者又ハ第二條ノ三若ハ第二條ノ四ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ者ニ對シ業務ニ關シ檢査ヲ爲シ又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條　本法ニ定ムルモノノ外統制委員會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條　第一條第一項、第二條ノ二又ハ第二條ノ四第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ五百圓以下ノ過料ニ處ス

第一條第三項ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ過料ニ處ス

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二項ノ過料ニ付之ヲ準用ス

第七條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二條ノ規定ニ依ル政府ノ命令ニ違反シ該當統制協定ニ依ル政府ノ命令ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ企業ノ新設又ハ生産設備ノ擴張ヲ爲シタル者

二　第二條ノ二ノ規定ニ依ル政府ノ命令ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ企業ノ新設又ハ生産設備ノ擴張ヲ爲シタル者

三　第三條ノ規定ニ依ル政府ノ命令ニ從ハザル者

第八條　第四條ノ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ同條ノ規定ニ依リ命セラレタル報告ヲ爲サズ若ハ虚僞ノ報告ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條　第一條ノ重要ナル産業ヲ營ミ若ハ營マントスル者又ハ第二條ノ三若ハ第二條ノ四ノ規定ニ該當スル者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ第七條ノ罪ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ共ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十條　第七條ノ規定ニ依リ第一條ノ重要ナル産業ヲ營ミ又ハ營マントスル者又ハ第二條ノ三若ハ第二條ノ四ノ規定ニ該當スル者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法ハ施行後十年間ヲ限リ其ノ效力ヲ有ス

前項ノ期間内ニ爲サレタル本法又ハ本法ニ基キテ爲シタル處分ニ違反スル行爲ニ付テハ本法ノ期間ハ前項ノ期間經過後ト雖仍之ヲ適用ス

附　則（昭和十一年五月法律第二十五號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

●昭和六年法律第四十號施行ニ關スル件

昭和十二年三月
總令第十二號
改正　昭和十二年四月第八五號

昭和六年法律第四十號施行ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　昭和六年法律第四十號第一條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ産業ノ種類、協定事項及統制ノ組織ヲ記載シタル書面ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　生産制限又ハ操業短縮ニ關スル協定

二　生産分野ニ關スル協定

三　注文刺當ニ關スル協定

四　販賣價格其ノ他之ニ影響ヲ及ボスベキ取引條件ニ關スル協定

五　販路ニ關スル協定

六　取引先ノ制限ニ關スル協定

七　販賣數量ニ關スル協定

八　共同販賣ニ關スル協定

第二條　昭和六年法律第四十號第一條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ産業ノ種類ノ外左ノ事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　生産ニ關スル事項

二　販賣ニ關スル事項

三　原料ノ取得方法

四　事業資金ノ總額及其ノ調達方法

五　事業收支ノ見込

第三條　昭和六年法律第四十號第一條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ産業ノ種類ノ外左ノ事項ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

一　工場ノ位置

二　製造ノ設備及能力

三　製品ノ種類（混合セメントニ付テハ混合物質ノ種類及其ノ混合割合ヲ附記スベシ）

四　工事着手及製造開始ノ豫定時期

前項ノ許可申請書ニハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ但シ第二條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ第三號乃至第五號ニ揭ゲル事項ノ記載ヲ省略スルコトヲ得

一　工事計畫ノ概要（設計圖ヲ添附スベシ）

二　工事費總額

三　原料ノ取得方法

四　事業資金ノ總額及其ノ調達方法

五　事業收支ノ見込

第四條　昭和六年法律第四十號第一條第三項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲ス場合ニ於テハ左ニ揭ゲル書面ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　氏名又ハ名稱、營業所及工場ノ位置

二　每月ノ生産高、每月ノ販賣高（數量及價額）及每月末ノ在庫高ヲ記載シタル書面

三　財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面

前項第一號ノ書面ハ昭和六年法律第四十號第一條第二項ノ規定ニ依リ指定ノ日又ハ營業開始ノ日ヨリ三週間内、第二號ノ書面ハ每事業年度經過後遲滯ナク之ヲ提出スベシ

第五條　昭和六年法律第四十號第一條第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲スベキ場合ニ於テハ左ニ揭ゲル書面ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　氏名又ハ名稱、營業所ノ位置ヲ記載シタル書面

二　會社ニ在リテハ定款

三　當該統制協定ノ加盟者ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シタル書面

四　販賣數量、販賣價格又ハ之ニ影響及ボスベキ取引條件其ノ他販賣上ノ重要事項ニ關スル決定ヲ記載シタル書面（自ラ販賣ヲ爲サザルモノニ付テハ加盟者ノ爲シタル決定ヲ記載シタル書面）

五　每月ノ買入高（數量及價額）、每月ノ販賣高（數量及價額）及每月末ノ在庫高ヲ記載シタル書面（自ラ販賣ヲ爲サザルモノ

ニ付テハ取扱ニ係ル數量及價額ヲ記載シタル書面）

六　財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書面

前項第一號乃至第三號ノ書面ハ昭和六年法律第四十號施行後十年間ヲ限リ其ノ效力ヲ有ス

第四條　政府第一條ノ統制協定ノ加盟者又ハ第二條ノ四第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル産業ノ種類ニ付テハ第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ新ニ之ヲ營ムコトヲ得ズ

第四條ノ二　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ハ第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テハ第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五條　政府第一條ノ統制協定又ハ第二條ノ四第一項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル産業ニ付テハ第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第二十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第三十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第四十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第五十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第六十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第七十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第八十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第九十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十七條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十八條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百十九條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百二十條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百二十一條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百二十二條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百二十三條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百二十四條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百二十五條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ休止又ハ廢止シタルトキハ亦同シ

第百二十六條　第二條ノ二ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル者ニ非ザレバ左ニ揭ゲル事業ヲ

前ヲ以テ鑛業ノ出願ヲ為シ又ハ鑛業ノ出願ヲ為シ又ハ鑛業ノ出願ヲ為シ又ハ

業務ニ關シ本令ニ規定スル罰ヲ犯シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免カルルコトヲ得ス

本令ニ基キテ發スル命令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ命令ニ規定スル個則ニ付亦前項ニ同シ

第四十九條　法人ノ業務ニ關シ其ノ代表者又ハ雇人其ノ他ノ從業者本令ニ規定スル罰ヲ犯シタルトキハ其ノ個則ヲ法人ニ適用ス

本令ニ基キテ發スル命令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ命令ニ規定スル個則ニ付亦前項ニ同シ

法人ヲ被告人トス

第五十條　本令ニ定ムルモノヲ除クノ外鑛業警察ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第五十一條　朝鮮總督ハ其ノ定ムル所ニ依リ本令ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第五十二條　本令ノ個則ニ關スル規定ヲ除クノ外之ヲ閣ノ鑛業ニ適用シ第四十一條及第四十二條ノ規定ハ朝鮮總督ノ管理スル鑛業ニ之ヲ適用セス

附　則

第五十三條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正五年一月朝令第八號ヲ以テ同年四月一日ヨリ施行）

第五十四條　光武十年法律第三號鑛業法及同年法律第四號砂鑛採取法ハ之ヲ廢止ス

第五十五條　從前ノ規定ニ依リ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十六條　本令施行ノ際現ニ存スル閣ノ鑛業區域ニ付テハ本令施行ノ日ニ於テ其ノ區域ヲ鑛區トシ鑛業權設定ノ登錄ヲ爲シタルモノト看做ス

第五十七條　本令施行ノ際現ニ存スル砂金ノ鑛區ニ付テハ第三條第二項及第三項ノ規定ヲ適用セス

第五十八條　本令施行前鑛物ノ種類ニ依リ光武十年法律第三號鑛業法第七條ノ規定ニ依リ鑛業ノ出願ヲ許可セサル地區ニ於テハ其ノ鑛物ニ付鑛業ノ出願ヲ許可セス又ハ第九條第一項ノ規定ニ拘ラス鑛業ノ出願ヲ處分スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ鑛業ノ出願ヲ許否スル地域及鑛物ノ種類ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

第五十九條　本令施行ノ際外國人又ハ外國法人カ享有スル鑛業權ニ付テハ第六條ノ規定ヲ適用セス但シ帝國臣民又ハ帝國法令ニ從ヒ成立シタル法人カ其ノ鑛業權ヲ承繼シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

朝鮮ニ於テ鑛業ヲ營ムコトヲ主タル目的トスル外國法人ハ朝鮮内ニ本店ヲ設クルニ非サレハ前項ノ鑛業權ヲ承繼スルコトヲ得ス

第六十條　光武十年法律第三號鑛業法第三十條及同年法律第四號砂鑛採取法第十六條ニ規定シタル特許鑛業ニ關シテハ從前ノ例ニ依ル

本令施行ノ際現ニ存スル砂鑛、タングステン鑛、水鉛鑛、燐鑛、雲母、石綿、高嶺土又ハ硅砂ノ採取ノ許可ハ本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ノ許可ト看做ス但シ其ノ出願カ從前ノ例ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ノ許可ト看做ス

第六十一條　本令公布ノ際現ニ非サル土地ニ於テ砂鑛、タングステン鑛、水鉛鑛、燐鑛、雲母、石綿、高嶺土又ハ硅砂ノ採取ノ許可ハ本令ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ノ許可ト看做ス但シ其ノ出願カ從前ノ例ニ依リ爲シタル鑛業ノ出願ノ許可ト看做ス

第六十二條　本令施行前爲シタル國有地ノ鑛業權ニ對シテハ大正四年分ノ鑛區稅ヲ課セス

第六十三條　本令公布ノ際現ニ非サル土地ニ於テ砂鑛、燐鑛、土瀝青、雲母、石綿、高嶺土又ハ硅砂ヲ採掘スル者ハ本令施行ノ日ヨリ六月間從前ノ例ニ依リ其ノ採掘ヲ繼續スルコトヲ得但シ其ノ期間内ニ本令ニ依リ鑛業ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ之ヲ許可シタルトキハ鑛業權設定ノ登錄ノ日迄、之ヲ許可セサルトキハ其ノ指令ノ日迄其ノ採掘ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ存スル砂金ノ鑛區ニ付テハ第三條第二項及第三項ノ規定ヲ適用セス

第六十四條　第六十條及第六十二條ニ規定スル鑛業權ノ期限ノ到來ニ因ル消滅ニ付テハ第二十條ノ規定ヲ適用セス

附　則（大正十年十二月朝令第十六號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ大正十一年分以後ノ鑛區稅ニ付之ヲ適用ス

附　則（大正十五年五月朝令第八號）

本令ハ大正十五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル土石採取權ニシテ礦石、明礬石、重晶石又ハ蛍石ノ採取權ノ存續期間滿了ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

本令施行ノ際國有ニ非サル土地ニ於テ礦石、明礬石、重晶石又ハ蛍石ヲ採掘スル者又ハ其ノ承繼人ハ本令施行ノ日ヨリ六月間共ノ採掘ヲ繼續スルコトヲ得但シ其ノ期間内ニ本令ニ依リ鑛業權ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ之ヲ許可セサルトキハ其ノ指令ノ日迄其ノ採掘ヲ繼續スルコトヲ得

本令施行ノ際國有ニ非サル土地ニ於テ礦石、明礬石、重晶石又ハ蛍石ヲ採掘スル者又ハ其ノ承繼人カ本令施行ノ日ヨリ六月間共ノ採掘ヲ繼續スルコトヲ得但シ其ノ期間内ニ本令ニ依リ鑛業ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ之ヲ許可セサルトキハ其ノ指令ノ日迄其ノ採掘ヲ繼續スルコトヲ得

第二項ノ土石採取權ノ存スル土地ニ付其ノ權利ノ存續期間内ニ當該土石採取權者又ハ其ノ承繼人カ鑛業ノ出願ヲ爲シタル場合及前項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付前項ノ期間内ニ當該採掘者又ハ其ノ承繼人カ鑛業ノ出願ヲ爲シタル場合ハ朝鮮鑛業令第九條第一項ノ規定ヲ適用ス

附　則（昭和八年一月制令第二號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム但シ鑛區稅ニ關スル第四十一條ノ改正規定ハ昭和八年分鑛區稅ヨリ之ヲ適用ス（昭和八年二月朝令第九號ヲ以テ同年二月十六日ヨリ施行）

本令施行ノ際國有ニ非サル土地ニ於テ「マグネサイト」ヲ採掘スル者又ハ其ノ承繼人ハ本令施行ノ日ヨリ六月間共ノ採掘ヲ繼續スルコトヲ得但シ其ノ期間内ニ當該採掘者又ハ其ノ承繼人カ朝鮮鑛業令ニ依リ鑛業ノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テ之ヲ許可シタルトキハ鑛業權設定ノ登錄ノ日迄、之ヲ許可セサルトキハ其ノ指令ノ日迄其ノ採掘ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付前項ノ期間内ニ當該採掘者又ハ其ノ承繼人カ鑛業ノ出願ヲ爲シタル場合ハ朝鮮鑛業令第九條第一項ノ規定ヲ適用ス

附　則（昭和九年朝令第十七號ヲ以テ同月十五日ヨリ施行）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル鑛區及本令施行ノ日ノ前日迄ニ願書到達セル鑛業ノ出願ニシテ鑛區及鑛業出願地ノ境界ヲ河床ノ延長ヲ以テ定メタルモノニ付テハ第三條ノ改正規定及鑛區稅ニ關スル第四十一條ノ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ規定ニ依ル

本令施行ノ日ノ前日迄ニ願書到達セル鑛業ノ出願ニシテ鑛業出願地重複シ且同日ニ願書到達シタルモノハ之ヲ同時ニ願書到達シタルモノト看做シ第九條ノ改正規定ヲ適用ス

附　則（昭和九年九月朝令第十七號ヲ以テ同月十五日ヨリ施行）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

㊹朝鮮鑛業令施行規則

大正五年二月
總令第九號

改正　大正一〇年七月一一日、一二年一月
九改、昭和八年一月一部一〇號

朝鮮鑛業令施行規則左ノ通定ム

朝鮮鑛業令施行規則

第一條　鑛業ニ關スル願書、申請書、屆書又ハ關面ハ一件毎ニ之ヲ調製シ樣式ノ定アルモノハ其ノ樣式ニ準スヘシ

前項ノ書面又ハ關面ハ地方官廳ヲ經由スルコトナク直ニ朝鮮總督府ニ差出スヘシ但シ本令中地方長官ヲ經由スヘキ旨ノ地方長官ニ屆出ツヘキ旨ヲ定メタルモノ又ハ地方長官ノ許可、裁決若ハ決定ニ關スルモノハ此ノ限ニ在ラス

書面又ハ關面ノ差出期限ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ期限迄ニ到達スルコトヲ要ス

第二條　削除

第三條　鑛業ニ關シ命令又ハ通知ヲ送達スヘキ場合ニ於テ受信人ノ住所不明ナルトキハ送達スヘキ書類ノ全文又ハ其ノ要旨ヲ三日間朝鮮總督府官報ニ掲載スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ掲載ヲ了リタル日ヨリ十四日ヲ經過スルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做ス

第四條　本令ノ規定ニ依リ爲シタル手續其ノ他ノ行爲ハ朝鮮鑛業令第五條第一項ニ掲ケル者、鑛業出願人又ハ鑛業權者又ハ其ノ法人ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

本令ニ於テ關係人ト稱スルハ朝鮮鑛業令第三十二條、第三十三條又ハ第四十條ノ規定ニ依リ使用又ハ收用スヘキ物又ハ權利ヲ有スル者又ハ第三十五條第二項又ハ第三十六條第三項ノ通知アリタル後使用又ハ收用スヘキ物又ハ權利ニ關シ權利ヲ取得シタル者ハ關係人ト看做ス但シ既存ノ權利ヲ承繼シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第五條、書面又ハ關面不完備ナルトキハ朝鮮總督ハ期限ヲ附シテ之ヲ條正又ハ補充セシムルノ

第六條　鑛業出願地カ百萬坪ヲ超ユルトキハ願書ニ理由書ヲ添附スヘシ

第七條　鑛業出願地朝鮮鑛業令第四條第二項ニ規定スル場所ニ係ルトキハ願書ニ所轄官廳ノ許可ヲ證スル書面又ハ許可ヲ申請シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第八條　鑛業出願人ハ其ノ願書ニ採掘セムトスル鑛床ニ關スル說明書ヲ添附スヘシ但シ砂金、砂鉛及砂鐵ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ說明書ハ鑛物ノ標品ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ出願後十日內ニ之ヲ差出スヘシ

第九條　同一地域ニ於テ二種以上ノ鑛物ニ付鑛業ヲ爲サムトスル者ハ各種ノ鑛物毎ニ願書ヲ差出スヘシ但シ同一ノ鑛床中ニ存スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十條　朝鮮鑛業令第八條第一項ノ代表者届ハ願書ニ添附シテ之ヲ差出スヘシ但シ願書ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ハ鑛業出願人ノ變更又ハ鑛業權ノ設定若ハ移轉ニ依リ鑛業出願人又ハ鑛業權者ニ爲スヘキ者二人以上アル場合ニ之ヲ準用スル但シ鑛業權設定又ハ移轉ノ場合ニ於テハ登錄申請書ニ代表者ヲ表示シテ屆出ニ代フルコトヲ得

共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者代表者ヲ改定シタルトキハ連署シテ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

朝鮮總督代表者ヲ指定シタルトキハ之ヲ共同鑛業出願人又ハ共同鑛業權者ニ通知スヘシ

第十一條　共同鑛業出願人代表者ニ依リテ出願人ノ名義變更ノ屆出、鑛業出願ノ取下、鑛業出願地ノ增減若ハ訂正ノ出願又ハ其ノ取下ヲ爲ス場合ニ於テハ共ノ屆書又ハ屆書ニ共同鑛業出願人ノ決議書又ハ之ニ代ヘキ書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ共同鑛業權者代表者ニ依リテ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

朝鮮總督ノ命令ニ依リ鑛業出願地又ハ鑛區ノ訂正ヲ出願スル場合ニハ前二項ノ規定ヲ適用セス

第十二條　鑛業出願人又ハ鑛業權者實地調査ノ爲立會ヲ命セラレタルトキハ指定ノ期日ニ立會シ調査事項ニ付說明ヲ爲スヘシ代理人ヲシテ立會セシムルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面ヲ携帶セシムヘシ

第十三條　公安保護ノ爲必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ他人ノ鑛區ニ接近シテ鑛區ヲ定ムル鑛業ノ出願人ニ對シ鑛區間ニ相當ノ距離ヲ設カシムル法人又ハ代表者又ハ代表者ノ氏名ヲ變更シタルトキハ亦同シ

第十四條　鑛業出願人ノ名義ヲ變更セムトスルトキハ新舊出願人連署シテ屆出ツヘシ

鑛業出願人ノ相續人其ノ他ノ一般承繼人ハ戶籍ノ謄務ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ニ屆出テ其ノ日又ハ翌日ノ日ヨリ三十日內ニ屆出テ其ノ名義ヲ承繼スルコトヲ得其ノ屆出アリタル場合ニ於テハ相續開始其ノ他ノ一般承繼ノ日ニ於テ名義ヲ承繼シタルモノト看做ス

前項ノ屆書ニハ相續開始其ノ他ノ一般承繼ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ同順位ノ相續人數人アル場合ニ於テ其ノ中ノ一人又ハ數人ノ承諾書ヲ添附スヘシ

鑛業出願人又ハ其ノ代理人氏名、名稱又ハ住所ヲ變更シタルトキハ三十日內ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ法人ノ代表者又ハ代表者ノ氏名ヲ變更シタルトキ亦同シ

前項ノ規定ニ依リ氏名、名稱又ハ法人ノ代表者ノ變更屆ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ

第十四條　共同鑛業出願人ノ一人カ出願地ヲ退セントスルトキハ脫退セントスル者及他ノ共同鑛業出願人連署シテ屆出ツヘシ

第十五條　朝鮮總督ハ期限ヲ附シ鑛業出願人ニ鑛業ニ關スル設計書ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第十六條　鑛業出願地又ハ鑛區ノ增減ヲ出願スル場合ニ於テハ鑛區圖ニ增減スヘキ區域ヲ明示スヘシ

第三項　鑛業權ノ出願

第三十四條　鑛業權ヲ出願セントスル者ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メテ鑛業權ノ出願ヲ爲スヘシ

第三十五條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル時ニ其ノ效力ヲ生ス

第三十六條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第三十七條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第三十八條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第三十九條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十一條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十二條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十三條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十四條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十五條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十六條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十七條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十八條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第四十九條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十一條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十二條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十三條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十四條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十五條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十六條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十七條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十八條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第五十九條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十一條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十二條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十三條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十四條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十五條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十六條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十七條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十八條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第六十九條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十一條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十二條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十三條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十四條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十五條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十六條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十七條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十八條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第七十九條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十一條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十二條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十三條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十四條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十五條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十六條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十七條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十八條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第八十九條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十一條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十二條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十三條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十四條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十五條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十六條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十七條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十八條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第九十九條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

第百條　鑛業權ノ出願ハ其ノ鑛區ノ位置ヲ定メ之ニ相當スル手數料ヲ納メタル後ト雖モ其ノ鑛區ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ鑛區ヲ分割シテ出願スルコトヲ得

願　毎一件　百圓
十　朝鮮鑛業令第三十二條又ハ第四十條ノ規定ニ依ル使用又ハ收用ノ申請　毎一件　二十圓
十一　第三十九條ノ規定ニ依ル土地ノ立入又ハ障碍物除却ノ出願　毎一件　十五圓
十二　鑛業出願地及鑛區地名表帳閲覽ノ請求　一部ニ付　五圓
十三　鑛業出願圖面閲覽ノ請求　毎一時間　一件ニ付　二圓

手數料ハ收入印紙ヲ願書、請求書、申請書又ハ屆書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
前項ノ手數料ヲ貼附シタル願書、請求書、申請書又ハ屆書又ハ郵便物ヲ以テ差出ス場合ニハ郵便物ノ表面ニ鑛業書類ナルコトヲ朱書シ書留郵便ヲ以テ差出スヘシ

第四十四條　第十四條第四項、第二十一條第四項、第二十四條、第二十五條第一項第三項第四項、第二十七條、第二十八條、第二十九條第二項、第三十一條、第三十三條、第三十四條ノ二第一項乃至第三項、第三十四條ノ三、第三十六條第三項、第三十七條若ハ第三十九條第二項乃至第四項ノ規定ニ違背シタル者、第十二條ノ規定ニ依リ指定セラレタル期日ニ立會ハス若ハ調査事項ノ說明ヲ爲ササル鑛業權者、第二十一條第二項ノ規定ニ依リ命セラレタル期間内ニ鑛夫ヲ差出ササル者又ハ第二十五條第二項ノ規定ニ依リ命セラレタル期間内ニ變更ヲ爲サザル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十五條　本令ハ前二條ノ規定ヲ除ノ外國ノ鑛業ニ之ヲ準用ス

附　則

第四十六條　本令ハ朝鮮鑛業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第四十七條　本令施行前光武十年農商工部令第四十三號鑛業法施行細則及同年農商工部令第四十六號砂鑛採取法施行細則ニ依リ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス
第四十八條　朝鮮鑛業令第六十三條ノ規定ニ依ル願書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
一　事業ノ現狀ヲ詳記セル書類
二　朝鮮鑛業令公布前ヨリ出願鑛物ヲ採掘シタルコトヲ證スル書類
附　則（昭和八年一月總令第十號）
本令ハ昭和八年二月十六日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ日ノ前日迄ニ願書到達セル鑛業ノ出願又ハ鑛區ノ增減ノ出願ニシテ出願地又ハ坪減スヘキ區域ノ形狀鑛業ヲ爲スニ不適當ト認ムルモノニ付テハ第十六條ノ二ノ規定ヲ適用ス
本令施行ノ際現ニ鑛業ニ著手セズ又ハ休業中ノ鑛業權者ニシテ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ鑛業ニ著手セズ又ハ六月以上休業セントスルモノハ本令施行ノ日ヨリ三十日内ニ共ノ期間及詳細ナル理由ヲ記載シタル屆書ヲ差出スヘシ
前項ノ規定ニ違背シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

様式第一號

何鑛鑛業原
何道何郡何面何洞（里）
面積何坪

右筒所ニ於テ何鑛鑛業許可相成度鑛區圖並鑛床說明書（鑛物標品）相添此段相願候也

年　月　日

住所
出願人　氏　名（名稱）印

様式第二號

何年何月何日出願
何道何郡何面何洞（里）何鑛鑛業出願地何坪
增區　何郡何面何洞（里）何坪
減區　何郡何面何洞（里）何坪
差引（合計）何坪

右鑛業出願地增減區（增區）（減區）許可相成度圖面並鑛床說明書（鑛物標品）相添此段相願候也

年　月　日

住所
出願人　氏　名（名稱）印

様式第三號

何鑛鑛區增減區（增區）（減區）願

鑛業權登錄第何號
何道何郡何面何洞（里）何鑛區何坪
增區　何郡何面何洞（里）何坪
減區　何郡何面何洞（里）何坪
差引（合計）何坪

右鑛業出願增減區（增區）（減區）許可相成度圖面並鑛床說明書（鑛物標品）相添此段相願候也

年　月　日

住所
出願人　氏　名（名稱）印

朝鮮總督　氏　名殿

一　願書ハ一通トシ國面五葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ
二　共同鑛業出願ノ場合ニハ願書ト共ニ代表者ノ表示シテ屆出ニ代フヘシ
注意
三　削除
四　手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
五　砂金、砂錫又ハ砂鐵ノ出願ノ場合ニ於テハ鑛床說明書又ハ鑛物標品ノ添附ヲ要セス

朝鮮總督　氏　名殿

一　願書ハ一通トシ國面五葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ
二　代表者ニテ出願スル場合ニハ共同鑛業權者ノ決議書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ
注意
三　手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
四　抵當權ノ設定アル鑛區ノ減少ノ場合ハ抵當權者ノ承諾書ヲ添附スヘシ
五　減區出願又ハ砂金、砂錫若ハ砂鐵ノ出願ノ場合ニ於テハ鑛床說明書又ハ鑛物標品ノ添附ヲ要セス

様式第四號

何鑛鑛業出願地（何鑛鑛區）訂正願

何年何月何日出願（鑛業權登錄第何號）
何道何郡何面何洞（里）何鑛出願地（何鑛鑛區）何坪
增區　何郡何面何洞（里）何坪
減區　何郡何面何洞（里）何坪
差引（合計）何坪

右鑛業出願地（鑛區）訂正許可相成度國面並圖面竝屆書相添此段相願候也

年　月　日

住所
出願人（鑛業權者）氏　名（名稱）印

朝鮮總督　氏　名殿

一　願書ハ一通トシ國面五葉ヲ添附シ適宜契印スヘシ
二　代表者ニテ出願スル場合ニハ共同鑛業權者ノ決議書又ハ之ニ代ルヘキ書面ヲ添附スヘシ
注意
三　手數料ハ收入印紙ヲ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ
四　手數料ハ收入印紙ヲ屆書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

様式第五號

鑛業出願人名義變更屆

何年何月何日出願
何道何郡何面何鑛鑛業出願地何坪
右鑛業出願ニ付出願人名義ヲ何某ニ變更致候間新舊出願人連署此段及屆出候也

年　月　日

住所
舊出願人　氏　名（名稱）印
住所
新出願人　氏　名（名稱）印

様式第六號

鑛業出願相續（承繼）屆

何年何月何日出願
何道何郡何面何鑛鑛業出願地何坪
右鑛業出願人何某死亡（共ノ他相續開始又ハ一般承繼ノ原因ヲ記載ス）ニ因リ相續（承繼）致候間戸籍謄本（其ノ他相續又ハ一般承繼ヲ證スル書面）相添此段及御屆候也

年　月　日

住所
相續人（又ハ承繼人）　氏　名（名稱）印

朝鮮總督　氏　名殿

一　屆書ハ一通トシ戸籍ノ事務ヲ取扱フ官吏若ハ公吏ニ屆出ノ日又ハ登記ノ日ヨリ三十日内ニ屆出ヅベシ
二　同順位ノ相續人數人アル場合ニ於テ其ノ中ノ一人又ハ數人ノ名義ト爲サントスルトキハ他ノ相續人ノ承諾書ヲ添附スベシ
三　手數料ハ收入印紙ヲ屆書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

注意

様式第六號ノ二

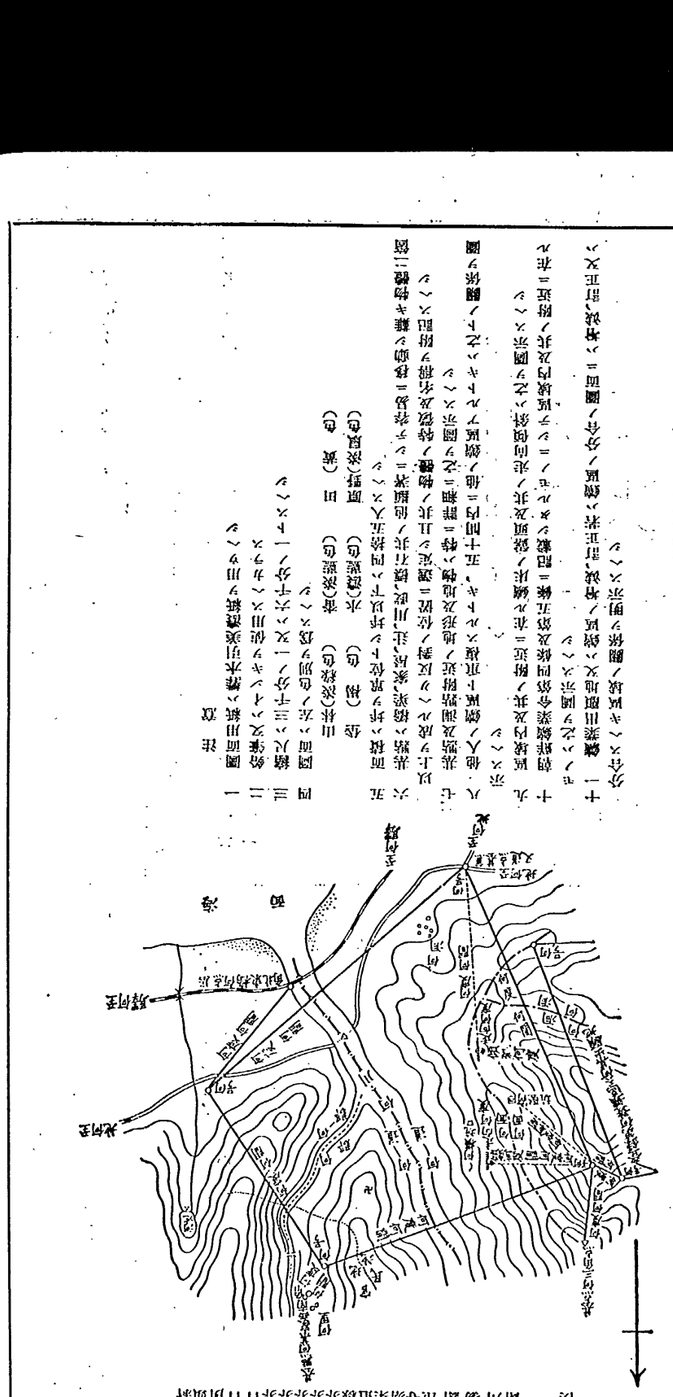
共同鑛業出願人脫退屆

何年何月何日出願
何道何郡何面何鑛鑛業出願地何坪
右鑛業出願ニ付共同鑛業出願人何某脫退致候間連署此段及御屆候也

年　月　日

住所
脫退人　氏　名　印
住所
共同鑛業出願人　氏　名　印
住所
共同鑛業出願人　氏　名　印

朝鮮總督　氏　名殿



凡例
山　道府県界　三　郡市区町村界　烟　煙突　倉　倉庫　官　官庁　学　学校　病　病院　郵　郵便局　電　電信電話局　交　交番　発　発電所　変　変電所　ガ　ガスタンク　水　水源地　ポ　ポンプ場　浄　浄水場　下　下水処理場　ゴ　ゴミ焼却場　墓　墓地　火　火葬場　ゴ　ゴルフ場　競　競馬場　野　野球場　相　相撲場　プ　プール　温　温泉　鉱　鉱山　工　工場　市　市役所　町　町役場　村　村役場　役　役場　裁　裁判所　税　税務署　警　警察署　交　交番　駅　駅　船　船着場　灯　灯台　燈　燈台　燈　燈標　官　官有地　民　民有地　公　公有地　社　社寺地　墓　墓地　道　道路　橋　橋梁　隧　隧道　建　建築中　廃　廃屋　堤　堤防　突　突堤　波　波除堤　護　護岸　防　防波堤　桟　桟橋　荷　荷揚場

二 木炭ト砂鉱ヲ容積ニ対シ木炭一ニ鉱石一ノ割合ニ混用スルトキハ鉱石ハ木炭ノ燃焼ヲ妨ケ鉱石ニ含有スル金属ヲ還元スルコトヲ困難ニスルヲ以テ木炭ハ鉱石ニ比シ多量ヲ要スルヲ通例トス

注意

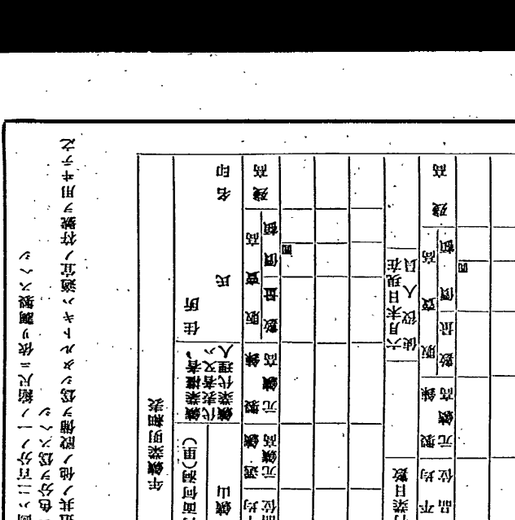
一 石炭鉱区ニ限リ本様式ヲ使用スルコトヲ得

二 不面図ニハ坑口ノ位置ヲ明ニシ且ツ各坑口ニ坑名ヲ記入スルコト

三 掘削セントスル坑口ニ既ニ同ジク其ノ鉱区ヲ不法掘ヲ為シツヽアル坑口アルトキハ其ノ坑口ニ坑名ヲ記入スルコト

四 鉱床ノ中ニ採掘ヲ為サヽル部分アルトキハ其ノ部分ヲ明ニシテ之ヲ記入スルコト

本鉱区	鉱区ノ形状	鉱区ノ数	鉱区ノ面積	鉱区ノ境界	鉱区ノ位置	鉱区ノ名称	鉱業権ノ種類	鉱業権者ノ住所及氏名	鉱業代理人ノ住所及氏名	鉱業権ノ存続期間	鉱業権ノ設定ノ年月日及番号	備考
工数	行数	個所	坪数	方位	何郡何村何字何番地ヨリ何郡何村何字何番地ニ至ル	何鉱山	何鉱業	何県何郡何村何番地 何某	何県何郡何村何番地 何某	何年何月何日ヨリ何年何月何日マデ	何年何月何日第何号	
工数	行数	個所	坪数	方位	何郡何村何字何番地ヨリ何郡何村何字何番地ニ至ル	何鉱山	何鉱業	何県何郡何村何番地 何某	何県何郡何村何番地 何某	何年何月何日ヨリ何年何月何日マデ	何年何月何日第何号	


何度何間
何度何間
何度何間

様式第十四號丁

鑛業ノ種別	鑛區ノ所在地	鑛山ノ名稱	鑛業代表者住所氏名	登錄ノ年月日	登錄ノ番號

シ鑛	對鑛	對鑛	巡檢
テ鑛	テ權	シ鑛	巡視
執權	テ權	テ保	巡任
執希	鑛希	保ス	警部
リノ	リノ	リノ	及ノ
ヌ荒	ヌ炭	ヌ炭	炭毒
ル苛	ル苛	ル苛	炭ノ
苛	苛	苛	毒
處＝	處＝	處＝	處＝
匹＝	匹＝	匹＝	巡前
匹対	匹対	匹対	巡前

●朝鮮產金令施行規則

第一條　朝鮮產金令第六條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定スル地域ニ於テ砂金ヲ採取セムトスル者ハ其ノ採取區域ヲ定メテ總督ノ許可ヲ受クヘシ

第二條　前條ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ總督ニ提出スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

第三條　總督ハ第一條ノ許可ヲ爲スニ當リ必要ト認ムル條件ヲ附スルコトヲ得

第四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ヲ變更シ又ハ採取ヲ中止シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ總督ニ屆出ツヘシ

第五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第二十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第三十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第四十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第五十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第六十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第七十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第八十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第九十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十五條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十六條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十七條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十八條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百十九條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百二十條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百二十一條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百二十二條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置スヘシ

一　採取區域ノ位置及面積

二　採取ノ方法

三　採取ノ期間

四　許可ノ年月日及許可番號

第百二十三條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ採取區域ニ於テ採取ヲ爲ス場合ニ於テハ左ノ標識ヲ設置ス

ノ合併ニ付之ヲ準用ス

第十五條　金製錬業ヲ營ム會社ノ解散ノ認可申請書ニハ解散ノ事由ヲ記載シ解散ニ關スル株主總會ノ決議錄又ハ總社員ノ同意書ノ謄本ヲ添附スベシ

第十六條　相續人被相續人ノ金製錬業ヲ承繼シタルトキハ承繼ヲ知リタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ承繼ノ事由ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

第十七條　合金鑛産物買入業者其ノ事業ヲ廢止シ又ハ休止シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十八條　左ニ揭グル事項ハ朝鮮總督之ヲ告示ス告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一　第五條ノ規定ニ依ル金地金ノ賣渡價格

二　朝鮮産金令第一條第一項後段ノ規定ニ依リ金製錬業者ヲ指定シタルトキハ左ノ事項

イ　指定シタル金製錬業者ノ氏名又ハ名稱及製錬場ノ所在地竝ニ指定ノ年月日

ロ　朝鮮産金令第十七條ノ規定ニ依リ免許ヲ取消シ又ハ同令第四條第一項ノ規定ニ依リ金製錬業ノ廢止ヲ許可シタルトキハ其ノ氏名又ハ名稱及製錬場ノ所在地竝ニ取消又ハ許可ノ年月日

ハ　朝鮮産金令第二項ノ規定ニ依リ金製錬業ノ讓渡又ハ金製錬業ヲ營ム會社ノ合併若ハ解散ノ決議若ハ總社員ノ同意ヲ認可シタルトキハ金製錬業者ヲシテ資格ヲ失ハシメ若ハ法人又ハ其ノ資格ヲ得ル人若ハ法人ノ氏名又ハ名稱及製錬場ノ所在地竝ニ資格得喪ノ原因及認可ノ年月日

ニ　第十六條ノ規定ニ依ル金製錬業承繼ノ屆出アリタルトキハ屆出人ノ氏名又ハ名稱及製錬場ノ所在地竝ニ屆出ノ年月日

三　朝鮮産金令第三條第一項ノ規定ニ依リ金鑛産物買入業ノ免許ヲ爲シ又ハ同令第十七條ノ規定ニ依リ免許ヲ取消シ又ハ

第十七條ノ規定ニ依リ金鑛産物買入業ノ廢止ノ屆出アリタルトキハ其ノ氏名又ハ名稱及買入所ノ所在地竝ニ免許若ハ取消又ハ屆出ノ年月日

四　第八條ノ規定ニ依ル許可ヲ爲シタルトキハ第九條第四項ノ規定ニ依リ屆出アリタルトキハ金鑛産物買入業者ノ氏名又ハ名稱及買入所ノ所在地竝ニ從業者ノ氏名及許可又ハ屆出ノ年月日

第十九條　金製錬業者ハ毎年一月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ノ事業計畫ヲ定メ其ノ前年十一月三十日迄ニ第五號樣式ニ依リ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ但シ處理鑛量年千五百噸又ハ砂金探掘量年十噸ニ滿タザル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　金鑛業者ハ毎年一月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ノ事業計畫ヲ定メ其ノ前年十一月三十日迄ニ第六號樣式ニ依リ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ但シ處理鑛量年千五百噸又ハ砂金探掘量年十噸ニ滿タザル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條　朝鮮總督朝鮮産金令第五條第二項又ハ第七條第二項ノ規定ニ依リ事業計畫ノ變更ヲ命ズル場合ニ於テハ其ノ變更スベキ事項及期間ヲ指定シテ之ヲ爲ス

前項ノ期間内ニ事業計畫ヲ變更スル必要ヲ生ジタル場合ニ於テハ金製錬業者又ハ金鑛業者ハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二十二條　朝鮮總督朝鮮産金令第九條第一項ノ規定ニ依リ金鑛業者ニ對シ其ノ鑛業權ヲ讓渡スベキコトヲ命ジタル場合ニ於テハ金鑛業者及朝鮮總督ノ指定シタル鑛業權ノ讓渡ヲ受クベキ者ハ遲滯ナク價額其ノ他讓渡ノ條件ニ付協議ヲ爲スベシ

前項ノ協議調ハザルトキハ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ第七號樣式ニ依ル裁定申請書正副三通ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

朝鮮總督前項ノ裁定申請書ヲ受理シタルトキハ當事者ニ其ノ旨ヲ通知シ期限ヲ指定シテ意見書ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

前項ノ期限内ニ意見書ヲ差出サザル者ハ意見ナキモノト看做ス

第二十三條　朝鮮總督朝鮮産金令第九條第二項ノ規定ニ依ル裁定ヲ爲シタルトキハ裁定申請書ノ謄本ヲ當事者ニ送達ス

第二十四條　前二條ノ規定ハ朝鮮産金令第六條第一項又ハ第八條第一項ノ規定ニ依リ設備ノ共用ノ命ヲアリタル場合ニ付之ヲ準用ス

第二十五條　處理鑛量年千五百噸以上ノ金製錬業者ハ製錬場毎ニ第八號樣式ニ依ル事業月報ヲ作成シ翌月十五日迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十六條　合金鑛産物買入業者ハ買入所毎ニ第九號樣式ニ依ル事業月報ヲ作成シ翌月十五日迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十七條　金鑛業者、金製錬業者又ハ合金鑛産物買入業者法人ナルトキハ每營業期經過後遲滯ナク財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十八條　朝鮮鑛業令施行規則第四條、第三十五條乃至第四十二條及第四十四條ノ規定ハ金鑛業者ニ非ザル金製錬業者ニ關シ之ヲ準用ス

第二十九條　朝鮮産金令及本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ直接朝鮮總督府ニ差出スベシ

附　則

本令ハ朝鮮産金令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮産金令施行ノ際現ニ金鑛業者ハ金製錬業ヲ營ミ又ハ業トシテ金鑛産物ノ買入ヲ爲ス者以外ノ者ハ金鑛産物ヲ所有スルトキハ同令附則第二項ノ規定ハヲ適用セズ

朝鮮産金令施行ノ際現ニ業トシテ粗金銀地金ノ買入ヲ爲ス者又ハ其ノ事業ヲ承繼シタル者ニ付テハ同令附則第三項ノ規定ハ之ヲ適用セ

第一號樣式

金製錬業者免許申請書

一　製錬場ノ名稱及所在地

二　製錬方式

三　主要ナル製錬設備及其ノ能力

四　事業開始ノ豫定時期

五　合金鑛産物ヲ買入製錬ヲ爲サントスルトキハ取引ノ方法及條件

右金製錬業免許相受度左記書類相添ヘ此段及申請候也

年　月　日

住所

氏名又ハ名稱㊞

朝鮮總督　殿

記

一　操業方法ノ概要ヲ記載シタル書類

二　元鑛ノ種類別品位及一月ノ種類別處理量ヲ記載シタル書類

三　製品ノ種類別品位及一月ノ種類別産出量ヲ記載シタル書類

四　工事費豫算書

五　事業資金ノ總額及其ノ調達方法ヲ記載シタル書類

六　會社發起人ニ在リテハ定款、登記簿ノ謄本、財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類

第二號樣式

合金鑛産物買入免許申請書

一　營業所又ハ事務所ノ所在地

二　合金鑛産物ノ種類及一月間取扱數量

三　合金鑛産物ノ買入先及賣却先

四　精製ヲ爲ス者ニ在リテハ一月ノ精製能力

五　合金鑛産物買入ノ方法及條件

右合金鑛産物買入免許相受度左記書類相添ヘ此段及申請候也

年　月　日

住所

氏名又ハ名稱㊞

朝鮮總督　殿

記

一　事業開始ノ豫定時期ヲ記載シタル書類

二　精製ヲ爲ス者ニ在リテハ其ノ設備ノ概要ヲ記載シタル書類

三　事業資金ノ總額及其ノ調達方法ヲ記載シタル書類

四　會社發起人ニ在リテハ定款、會社ニ在リテハ定款、登記簿ノ謄本、財産目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類

第三號樣式

粗金銀地金買入從業者許可申請書

一　從業者ノ住所氏名及生年月日

二　從業セシメントスル地域

右現地ニ於テ粗金銀地金ノ買入ニ從事セシメ度ニ付許可相成度左記書類相添ヘ此段及申請候也

年　月　日

住所

粗金銀地金買入業者　氏名又ハ名稱㊞

朝鮮總督　殿

記

一　從業者ノ本籍地府尹、邑面長又ハ市區町村長ノ身分證明書

二　從業者ノ履歷書

三　從業者ノ寫眞二葉但シ最近三月以内ニ撮影シタル手札形上半身ノモノニ限ル

第四號樣式

金製錬業讓渡認可申請書

一　製錬場ノ名稱及所在地

二　讓渡ノ個額

三　讓渡ノ時期

四　讓渡ノ理由

右金製錬業ノ讓渡ニ付認可相受度左記書類相添ヘ此段及申請候也

年　月　日

住所

讓渡人　氏名又ハ名稱㊞

住所

讓受人　氏名又ハ名稱㊞

第五號樣式

金製錬業事業計畫書

一　製練場ノ名稱及所在地

二　製練設備ノ擴張又ハ變更計畫

三　操業計畫ノ概要

イ　元鑛ノ種類別品位及處理量

ロ　製練實收率

ハ　製品ノ種類別品位及産出量

ニ　操業日數

四　製品ノ處分方法

五　年始ニ於ケル貯鑛數量

右朝鮮産金令施行規則第十九條ノ規定ニ依リ此段及御届候也

年　月　日

住所

朝鮮總督　殿

第六號樣式

金鑛業事業計畫書

一　鑛山名、登錄番號及鑛區所在地

二　探鑛、採掘又ハ選鑛ニ關スル計畫ノ概要

三　採掘鑛物ノ種類別品位及數量

四　選鑛ヲ爲ス者ニ在リテハ元鑛及精鑛ノ品位及數量

五　鑛石又ハ砂金ノ處分方法

右朝鮮産金令施行規則第十九條ノ規定ニ依リ此段及御届候也

年　月　日

住所

朝鮮總督　殿

第七號樣式

鑛業權讓渡ニ關スル裁定申請書

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

朝鮮總督　殿

住所
氏名又ハ名稱　㊞

第八號樣式　　鑛業事業月報

製鍊場名		所在地名	
事業者住所氏名又ハ名稱			

	製鍊實績 種類	數量	平均品位	製品處理狀況 販賣先	數量	價額	備考
處理元鑛							
製品							
買收率							

注意　自山鑛石及買入鑛石ヲ併セ製鍊ヲ行フ場合ハ處理元鑛ハ自山及他所別ニ記載スヘシ

第九號樣式　甲　　合金鑛產物買入業事業(買入)月報

買入所所在地		買入業者住所氏名又ハ名稱	

買入先	鑛產物ノ種類	數量	平均品位	價額	備考
				㎝	

第九號樣式　乙　　合金鑛產物買入業事業(販賣)月報

買入所所在地		買入業者ノ住所氏名又ハ名稱	

販賣先	鑛產物ノ種類	數量	平均品位	價額	備考
				㎝	

注意　備考欄ニハ月末ニ於ケル合金鑛產物ノ種類及保有高ヲ記載スヘシ

第十號樣式

第	號			
昭和 年 月 日	總督之印	朝鮮總督府	鑛業權者之證	住所 氏名
	慶尚南道 郡 面 里 洞 地番		鑛區名稱	左ニ掲ケル事項ハ事實ナルヲ證ス 年 月 日

第四條　前項ノ證書ニハ鑛區ノ略圖ヲ附スヘシ

第五條　鑛業權者ハ鑛區ニ關スル測量ヲ爲シ又ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル施設ヲ爲スニ當リテハ地表ニ於ケル土地ノ使用ニ關シ地主又ハ占有者ト協議ヲ爲スヘシ

第六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表ニ於ケル土地ヲ使用スルコトヲ得

第七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地下ニ於ケル土地ヲ使用スルコトヲ得

第八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十一條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十二條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十三條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十四條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十五條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第十九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十一條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十二條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十三條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十四條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十五條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第二十九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十一條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十二條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十三條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十四條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十五條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第三十九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十一條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十二條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十三條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十四條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十五條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第四十九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十一條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十二條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十三條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十四條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十五條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第五十九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十一條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十二條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十三條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十四條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十五條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第六十九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十一條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十二條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十三條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十四條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十五條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第七十九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十一條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十二條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十三條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十四條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十五條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第八十九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十一條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十二條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十三條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十四條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十五條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十六條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十七條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十八條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第九十九條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

第百條　鑛業權者ハ鑛業ノ爲ニ必要ナル限度ニ於テ鑛區ノ地表又ハ地下ニ於ケル他人ノ土地ヲ使用スルコトヲ得

	數量	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
	價額	圓	圓	圓	圓	圓
計	數量	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
	價額	圓	圓	圓	圓	圓

注意　1　種類ノ欄ニハ潰金(吹玉等ヲ含ム)ト其ノ他ノ金トヲ區分シ記載スベシ
2　潰金ヲ精製(分析)ノ爲工場ニ拂出シタルトキハ潰金ノ當月中使用高ノ欄ニ外書シ仕上リタルトキハ其ノ他ノ金ノ當月中買入高ノ欄ニ外書スベシ
3　數量ノ欄ニ純金トシテノ量目ヲ瓦ヲ以テ記載スベシ
4　價額ノ欄ニハ買入價額ヲ記載スベシ
5　支店アルトキハ本店及各支店每ニ別紙ニ記載スベシ
6　本支店間ノ移送其ノ他賣買以外ノ事由ニ依ル增減アリタルトキハ其ノ增減ヲ生ジタル日、數量及事由ヲ附記スベシ
7　用紙ノ大イサハ美濃半裁判トス

第一號書式

金ニ關スル報告書

朝鮮總督　殿

昭和　年　月分　　住所
氏名又ハ商號　㊞

(乙)　買入分

種類	取引日	數量	價額	買入先 住所	買入先 職業	買入先 氏名又ハ商號	備考
		瓦	圓				
計							

注意　1　一取引百圓未滿ノモノハ種類每ニ一括シテ取引數、數量及價額ノミヲ記載シ其ノ他ノ欄ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
2　取引日ノ欄ニハ賣買契約ノ日ヲ記載シ當日現物ノ受渡ナキモノニ付テハ其ノ事由ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
但當日現物ノ受渡ナキモノニシテ當月中ニ受渡ヲ了シタルモノニ付テハ其ノ日ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
3　其ノ他(甲)ノ注意ニ準ズ

第一號書式

金ニ關スル報告書

朝鮮總督　殿

昭和　年　月分　　住所
氏名又ハ商號　㊞

(丙)使用分

種類	數量	價額	使用ノ目的	備考
	瓦	圓		
計				

注意　1　使用ノ目的ノ欄ニハ例ヘバ時計側、眼鏡緣若ハ指環等ノ製造又ハ金箔、金絲、金粉若ハ金液ノ製造等ニ區分スベシ
2　其ノ他(甲)ノ注意ニ準ズ尙(丁)ノ注意2ヲ參照スベシ

第一號書式

金ニ關スル報告書

朝鮮總督　殿

昭和　年　月分　　住所
氏名又ハ商號　㊞

(丁)　賣却分

種類	取引日	數量	價額	賣却先 住所	賣却先 職業	賣却先 氏名又ハ商號	賣却先ノ買入ノ目的	備考
		瓦	圓					
計								

注意　1　一取引百圓未滿ノモノハ種類每ニ一括シテ取引數、數量及金額ノミヲ記載シ其ノ他ノ欄ノ記載ヲ省略スルコトヲ得
2　金ヲ用ヒタル製品又ハ金箔、金絲、金粉若ハ金液ノ製造ヲ請負ハシメ、請負者ニ製造ニ要スル金ヲ賣却其ノ他拂出シタルトキハ其ノ旨ヲ備考ノ欄ニ記載スベシ
3　其ノ他(甲)ノ注意ニ準ズ

第二號書式

金ヲ用ヒタル製品又ハ金箔、金絲、金粉若ハ金液ニ關スル報告書

朝鮮總督　殿

昭和　年　月分　　住所
氏名又ハ商號　㊞

(甲)　總括分

種類	前月繰越高 數量	前月繰越高 價額	前月中製造高 數量	前月中製造高 價額	當月中買入高 數量	當月中買入高 價額	當月中賣却高 數量	當月中賣却高 價額	月末現在高 數量	月末現在高 價額	備考
小計		圓		圓		圓		圓		圓	
小計											
合計											

注意　1　種類ノ欄ニハ時計側、鉸若ハ指環又ハ金箔、金粉等ニ區分シ記載スベシ
2　請負注文ヲ受ケ製造シタルモノハ當月中製造高ノ欄ニ內書シ、其ノ製品ヲ注文者ニ引渡シタルトキハ之ヲ當月中賣却高ノ欄ニ內書スベシ
3　請負ハシメテ製造シタルモノノ引渡ヲ受ケタルトキハ之ヲ當月中買入高ノ欄ニ內書スベシ
4　價額ノ欄ニハ保有價額(製造又ハ買入ノ原價)ヲ記載スベシ
5　數量及價額ノ欄ニハ種類每ニ其ノ小計ヲ記載スベシ
6　支店アルトキハ本店及各支店每ニ別紙ニ記載スベシ
7　本支店間ノ移送其ノ他賣買請負以外ノ事由ニ依リ增減アリタルトキハ其ノ增減ヲ生ジタル日、數量、價額及事由ヲ附記スベシ
8　用紙ノ大イサハ美濃半裁判トス

第二號書式

金ヲ用ヒタル製品又ハ金箔、金絲、金粉若ハ金液ニ關スル報告書

朝鮮總督　殿

昭和　年　月分　　住所
氏名又ハ商號　㊞

(乙)　製造分

種類	數量	價額	金ノ品位	金ノ使用高 數量	金ノ使用高 價額	備考
小計		圓		瓦	圓	
小計						
合計						

注意　1　金ノ品位ノ欄ニハ製品ノ金ノ品位ヲ記載スベシ
2　金ノ使用高ノ欄ノ中數量ノ欄ニハ純金トシテ量目ヲ瓦ヲ以テ記載シ同價額ノ欄ニハ買入價額ヲ記載スベシ
3　請負注文ヲ受ケ製造シタルモノハ其ノ旨並ニ注文者ノ住所、職業及氏名又ハ商號ヲ備考ノ欄ニ記載シ小計及合計ノ欄ニハ夫々內書スベシ
4　其ノ他(甲)ノ注意ニ準ズ(2及3ヲ除ク)

第二號書式

金ヲ用ヒタル製品又ハ金箔、金絲、金粉若ハ金液ニ關スル報告書

朝鮮總督　殿

昭和　年　月分　　住所
氏名又ハ商號　㊞

(丙)　買入分

種類	數量	價額	金ノ品位	買入先 住所	買入先 職業	買入先 氏名又ハ商號	備考
小計		圓					
小計							
合計							

注意　1　請負ハシメテ製造シタルモノノ引渡ヲ受ケタルトキハ其ノ請負ハシメタルモノナル旨ヲ備考ノ欄ニ記載シ小計ノ欄及合計ノ欄ニハ夫々內書スベシ
2　其ノ他(甲)ノ注意ニ準ズ

第二號書式

金ヲ用ヒタル製品又ハ金箔、金絲、金粉若ハ金液ニ關スル報告書

朝鮮總督　殿

昭和　年　月分　　住所
氏名又ハ商號　㊞

(丁)　賣却分

種類	數量	價額	金ノ品位	賣却先 住所	賣却先 職業	賣却先 氏名又ハ商號	賣却先ノ買入ノ目的	備考
小計		圓						
小計								
合計								

注意　1　請負注文ヲ受ケ製造シタルモノヲ引渡シタルトキハ其ノ旨ヲ備考ノ欄ニ記載シ小計ノ欄及合計ノ欄ニハ夫々內書スベシ
2　價額ノ欄ニハ保有價額(製造又ハ買入ノ原價)ノ外賣却價額ヲ朱書スベシ
3　其ノ他(甲)ノ注意ニ準ズ(2及3ヲ除ク)

●朝鮮重要鑛物增産令

昭和十三年五月
制令第二十號

朝鮮重要鑛物增産令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮重要鑛物增産令

第一條　本令ニ於テ重要鑛物トハ金鑛、銀鑛、銅鑛、鉛鑛、鎢鑛、安質母尼鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、鐵鑛、硫化鐵鑛、楮養鐵鑛、滿俺鑛、タングステン鑛、水鉛鑛、ニッケル鑛、コバルト鑛、黑鉛、石炭、黃鉄鑛、明礬石、重晶石、螢石、「マグネサイト」、砂金及砂鐵ヲ謂フ

第二條　朝鮮總督ハ重要鑛物ノ增産ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ重要鑛物ヲ目的トスル鑛業權ノ讓渡又ハ隣接鑛區トノ間ノ鑛區ノ增減ニ付當該鑛業權者ニ對シ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ協議ヲ爲スコトヲ得

前項ノ協議ヲ爲スコト能ハズ又ハ協議調ハザルトキハ重要鑛物ノ增産ヲ圖ラントスル者ハ當該事項ニ付朝鮮總督ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得

第三條　朝鮮總督ハ重要鑛物ノ增産ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ鑛業權ノ讓渡又ハ隣接鑛區トノ間ノ鑛區ノ增減ニ付當該鑛業權者ニ對シ重要鑛物ノ增産ヲ圖ラントスル者ハ當該事項ニ付朝鮮總督ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得

第四條　重要鑛物ノ增産ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ重要鑛物ヲ目的トスル鑛業權ノ讓渡又ハ隣接鑛區トノ間ノ鑛區ノ增減ニ付當該鑛業權者ニ對シ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ協議ヲ爲スコトヲ得

前項ノ協議ヲ爲スコト能ハズ又ハ協議調ハザルトキハ重要鑛物ノ增産ヲ圖ラントスル者ハ當該事項ニ付朝鮮總督ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得

第五條　朝鮮總督ハ重要鑛物ノ增産ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ鑛業權ノ讓渡又ハ隣接鑛區トノ間ノ鑛區ノ增減ニ付當該鑛業權者ニ對シ重要鑛物ノ增産ヲ圖ラントスル者ハ當該事項ニ付朝鮮總督ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得

第六條　第四條第二項ノ規定ニ依リ申請アリタルトキハ當該鑛業權ノ讓渡又ハ隣接鑛區ノ增減ニ付當該鑛業權者ハ其ノ申請ヲ拒否スル旨ノ裁定ヲ爲シ又ハ第五條第二項ノ規定ニ依リ裁定若ハ決定ガ其ノ效力ヲ失フ時期迄當該鑛業權ノ讓渡又ハ當該鑛區ノ分合、減區若ハ增減區ノ出願ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條　朝鮮總督鑛業權ノ讓渡又ハ隣接鑛區トノ間ノ鑛區ノ增減ノ旨ノ裁定又ハ第五條第二項ノ規定ニ依ル決定ニ依リ鑛業權ヲ取得シ又ハ鑛區ヲ增區セラレタル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ其ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第八條　左ニ掲ゲル場合ニ於テハ對價ヲ供託スルコトヲ要スベキ者ハ其ノ對價ヲ供託スルコトヲ要ス

一　對價ヲ受クベキ者ガ其ノ受領ヲ拒ミタルトキ又ハ之ヲ受領スルコト能ハザルトキ

二　鑛業權ニ付抵當權ノ設定アルトキ但シ抵當權者ノ同意ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項第二號ノ場合ニ於テハ抵當權者ハ供託金ニ對シテモ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第九條　對價ヲ支拂フベキ者裁定又ハ決定ニ於テ定メタル對價支拂ノ時期迄ニ對價ノ全部又ハ供託ヲ爲サザルトキハ鑛業權者ハ對價ヲ支拂フベキ者ニ對シ六十日ヲ下ラザル一定ノ期間内ニ其ノ支拂又ハ供託ヲ爲スベキ旨ノ催告ヲスルコトヲ得

前項ノ期間内ニ支拂又ハ供託ナキトキハ裁定又ハ決定ニ其ノ效力ヲ失フ

第十條　裁定又ハ決定ニ依ル對價ノ全部又ハ供託アリタルトキハ朝鮮總督ハ鑛業權ノ移轉又ハ變更ノ登錄ヲ爲ス

鑛業權者對價ノ全部又ハ一部ノ支拂ニ付延期ヲ承諾シタルトキ亦前項ニ同ジ此ノ場合ニ於テ朝鮮總督ハ對價ノ支拂ヲ受ケル權利ヲ有スル者ノ爲移轉又ハ變更アリタル鑛業權ニ付抵當權設定ノ登錄ヲ爲ス

第十一條　第四條乃至第九條ノ規定ハ鑛業權ノ讓渡又ハ隣接鑛區トノ間ノ鑛區ノ增減ニ

伴ヒ必要ナル事業設備ノ讓渡ニ之ヲ準用ス但シ第八條中抵當權トアルハ登記シタル擔保權、抵當權者トアルハ擔保權者トス

事業設備ノ讓渡スル旨ノ裁定又ハ決定ニ依リ鑛業權ヲ取得シタル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ其ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十二條　本令ニ規定スルモノノ外費定又ハ決定ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十三條　第四條第二項ノ規定ニ依ル裁定又ハ第五條第二項ノ規定ニ依ル決定ニ依リ鑛業權ヲ取得シ又ハ鑛區ヲ增區セラレタル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ其ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ前項ノ事業計畫ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十四條　鑛業權者前條第一項ノ規定ニ違反シ認可ヲ受ケザル事業計畫ヲ實施シ又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ事業計畫ヲ變更セズシテ之ヲ實施シタルトキハ朝鮮總督ハ鑛業權ノ取消ヲ得

第十五條　朝鮮總督ハ重要鑛物ノ增産ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトキハ重要鑛物ヲ目的トスル鑛業權者ニ對シ事業設備ノ新設、擴張若ハ改良ヲ命ジ又ハ作業方法若ハ作業用品ノ規格ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

朝鮮總督ハ其ノ定ムル所ニ依リ前項ノ規定ニ依リ爲シタル命令ニ因リ生ジタル損失ヲ補償ス

第十六條　朝鮮總督ハ重要鑛物ヲ目的トスル鑛業權者ニ對シ其ノ業務及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ノ檢査ヲ爲スコトヲ得

朝鮮總督ハ重要鑛物ヲ目的トスル鑛業權者ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條　本令ニ依リ爲シタル手續其ノ他行爲ニ付鑛業權者ノ承繼人ニ對シテモ其ノ效力ヲ有ス

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第二條第一項ノ規定ニ依ル命令若ハ同條第二項ノ規定ニ違反シ事業計畫ノ變更ヲ怠リ又ハ同出デタル事業計畫ヲ實施セザル者

二　第二條第三項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ事業計畫ヲ變更セズシテ之ヲ實施シタル者

三　第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四　第十三條第一項ノ規定ニ違反シ認可ヲ受ケザル事業計畫ヲ實施シタル者

五　第十三條第二項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ事業計畫ヲ變更セズシテ之ヲ實施シタル者

六　第十五條第一項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十六條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ怠リ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタル者

二　第十六條第一項ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

三　第十六條第二項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シタル者

第二十條　法人ノ代表者又ハ法人若ハ人ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第十八條又ハ前條第一號若ハ第三號ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ行爲者ヲ罰スルノ外其ノ法人又ハ人ニ對シ亦前二條ノ刑ヲ科ス

第二十一條　金鑛及砂金ニ關シテハ第二條、第三條、第十五條及第十六條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令ハ施行後五年間ヲ限リ其ノ效力ヲ有ス

本令失效ノ際ニ於テ必要ナル經過規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

●大正十五年制令第八號附則第三項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付同附則第四項ノ規定ニ依ル出願手續

大正十五年五月
總令第四十六號

大正十五年制令第八號附則第三項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付同附則第四項ノ規定ニ依ル出願ヲ爲ス場合ニ於テハ願書ニ左ノ書類ヲ添附スベシ

一　事業ノ現狀ヲ詳記セル書類

二　大正十五年制令第八號施行ノ際出願鑛物ヲ採掘セルコトヲ證スル書類

三　他人ノ土地ニ於テ出願鑛物ヲ採掘スル者ハ土地所有者ノ承諾書ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ詳記セル書面

附　則

本令ハ大正十五年制令第八號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●昭和八年制令第二號附則第二項ノ規定ニ依ル出願手續

昭和八年一月
總令第十二號

昭和八年制令第二號附則第二項ノ規定ニ依リ採掘ヲ繼續スルコトヲ得ル土地ニ付同附則第三項ノ規定ニ依ル出願ヲ爲ス場合ニ於テハ願書ニ左ノ書類ヲ添附スベシ

一　事業ノ現狀ヲ詳記セル書類

二　昭和八年制令第二號施行ノ際出願鑛物ヲ採掘セルコトヲ證スル書類

三　他人ノ土地ニ於テ出願鑛物ヲ採掘スル者ハ土地所有者ノ承諾書ヲ添附スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ詳記セル書面

附　則

本令ハ昭和八年二月十六日ヨリ之ヲ施行ス

●探鑛奬勵金交付規則

昭和七年八月
總令第七十八號
改正　昭和一二年五第六二號、一三年五第一〇八號

第一條　探鑛奬勵金ハ左ノ鑛種ニ付之ヲ交付ス

金鑛、銅鑛、鉛鑛、鎢鑛、錫鑛、アンチモン鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、硫化鐵鑛、マンガン鑛、タングステン鑛、水鉛鑛、ニッケル鑛、黑鉛（鱗狀ニ限ル）又ハ螢石ノ探鑛ヲ目的トシテ坑道ヲ掘鑿セントスル鑛業權者ニ對シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ每年度豫算ノ範圍内ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

第二條　奬勵金ノ額ハ左ノ割合ニ依ル

一　水平坑道　延長一メートルニ付　二十圓以内

二　竪坑　深度一メートルニ付　四十圓以内

第三條　奬勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ノ申請書ニ必要ナル書面ヲ添附シ每年四月末日迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第四條　朝鮮總督前條ノ申請ヲ受理シ奬勵金ヲ交付スベキモノト認メタルトキハ奬勵金ノ交付ノ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

指令書ヲ交付前施行シタル探鑛作業ニ對シテハ奬勵金ヲ交付セズ但シ特別ノ事情ニ依リ豫メ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　前條第一項ノ指令書ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ指令ノ日ヨリ三十日内ニ探鑛作業ニ著手スベシ

第六條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ニ對シ探鑛計畫ノ變更セントスルトキハ當該探鑛作業ヲ中止シ遲滯ナク理由ヲ具シテ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第七條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ニ對シ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ、當該官吏ヲシテ書類、物件若ハ作業ヲ檢査セシメ又ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトアルベシ

第八條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者當該探鑛作業ニ著手セントスルトキハ其ノ豫定期日前十五日迄ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者其ノ鑛業權ヲ讓渡セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ讓受ケタル者ハ其ソ旨ヲ朝鮮總督ニ届出テ引續キ奬勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得

第十條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者第八條第二項ノ届出ヲ爲シタルトキハ二箇月内ニ坑内實測圖複本ヲ添附シ第四號樣式ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ申請スベシ但シ探鑛計畫ニ定メタル工程ノ半以上ヲ施行シタルトキハ奬勵金ノ分割交付ヲ申請スルコトヲ得

第十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ奬勵金ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル奬勵金ノ一部若ハ全部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　鑛業ニ關スル法令又ハ奬勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

二　奬勵金ヲ受ケル探鑛作業ヲ休止又ハ廢止シタルトキ

三　朝鮮總督探鑛繼續ノ價値ナシト認メタルトキ

四　第五條、第六條第二項又ハ第八條ノ規定ニ違反シタルトキ

五　第六條第一項ノ命令ニ從ハザルトキ

六　第七條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シ、檢査ヲ拒ミ、報告ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキ

七　詐欺其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ奬勵金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年五月總令第六十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●探鑛奬勵金交付規則

昭和七年八月
總令第七十八號
改正　昭和一二年五第六二號、一三年五第一〇八號

第一條　探鑛奬勵金ハ左ノ鑛種ニ付之ヲ交付ス

金鑛、銅鑛、鉛鑛、鎢鑛、錫鑛、アンチモン鑛、水銀鑛、亞鉛鑛、硫化鐵鑛、マンガン鑛、タングステン鑛、水鉛鑛、ニッケル鑛、黑鉛（鱗狀ニ限ル）又ハ螢石ノ探鑛ヲ目的トシテ坑道ヲ掘鑿セントスル鑛業權者ニ對シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ每年度豫算ノ範圍内ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

第二條　奬勵金ノ額ハ左ノ割合ニ依ル

一　水平坑道　延長一メートルニ付　二十圓以内

二　竪坑　深度一メートルニ付　四十圓以内

第三條　奬勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ノ申請書ニ必要ナル書面ヲ添附シ每年四月末日迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第四條　朝鮮總督前條ノ申請ヲ受理シ奬勵金ヲ交付スベキモノト認メタルトキハ奬勵金ノ交付ノ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

指令書ヲ交付前施行シタル探鑛作業ニ對シテハ奬勵金ヲ交付セズ但シ特別ノ事情ニ依リ豫メ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　前條第一項ノ指令書ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ指令ノ日ヨリ三十日内ニ探鑛作業ニ著手スベシ

第六條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ニ對シ探鑛計畫ノ變更セントスルトキハ當該探鑛作業ヲ中止シ遲滯ナク理由ヲ具シテ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第七條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ニ對シ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ、當該官吏ヲシテ書類、物件若ハ作業ヲ檢査セシメ又ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトアルベシ

第八條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者當該探鑛作業ニ著手セントスルトキハ其ノ豫定期日前十五日迄ニ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第九條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者其ノ鑛業權ヲ讓渡セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ規定ニ依リ鑛業權ヲ讓受ケタル者ハ其ソ旨ヲ朝鮮總督ニ届出テ引續キ奬勵金ノ交付ヲ受クルコトヲ得

第十條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者第八條第二項ノ届出ヲ爲シタルトキハ二箇月内ニ坑内實測圖複本ヲ添附シ第四號樣式ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ申請スベシ但シ探鑛計畫ニ定メタル工程ノ半以上ヲ施行シタルトキハ奬勵金ノ分割交付ヲ申請スルコトヲ得

第十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ奬勵金ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル奬勵金ノ一部若ハ全部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　鑛業ニ關スル法令又ハ奬勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

二　奬勵金ヲ受ケル探鑛作業ヲ休止又ハ廢止シタルトキ

三　朝鮮總督探鑛繼續ノ價値ナシト認メタルトキ

四　第五條、第六條第二項又ハ第八條ノ規定ニ違反シタルトキ

五　第六條第一項ノ命令ニ從ハザルトキ

六　第七條ノ規定ニ依ル處分ニ違反シ、檢査ヲ拒ミ、報告ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキ

七　詐欺其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ奬勵金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年五月總令第六十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ニ規定スル申請書提出期限ハ本年度ニ限リ六月三十日迄トス

附　則（昭和十三年五月總令第百八號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二條ノ改正規定ハ昭和十三年四月一日以後ニ於テ探鑛シタル坑道ニ付之ヲ適用ス

本令失效ノ際ニ於テ必要ナル經過規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

鑛業狀況調書樣式

一　鑛山ノ名稱

二　鑛業者手年月

三　鑛業者ノ履歷

四　探鑛選鑛製錬設備ノ詳細

五　鑛產額及鑛產物販賣狀況

六　投資額及收支狀況

右ノ通相違無之候也

年　月　日

住　所
申請人　氏　名㊞

朝鮮總督　殿

記

一　最近ニ於ケル坑内實測圖複本

二　鑛業狀況調書

三　探鑛計畫書

注　意

一　坑内實測圖複本ハ朝鮮鑛業令施行規則附錄樣式ノ定ムルトコロニ依ルベシ

二　鑛業狀況調書ハ第二號樣式ニ依ルベシ

三　探鑛計畫書ハ第三號樣式ニ依ルベシ

第二號樣式

鑛業狀況調書

一　鑛山ノ名稱

二　鑛業者手年月

三　鑛業者ノ履歷

四　探鑛選鑛製錬設備ノ詳細

五　鑛產額及鑛產物販賣狀況

六　投資額及收支狀況

右ノ通相違無之候也

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

年　月　日　　緊坑ノ深度　メートル
住所（　　）
氏名　㊞

右昭和年月日ヨリ昭和年月日迄ノ坑道掘進成績右ノ通相違無之ニ付奨勵金交付相成度此段及申請候也

年　月　日　　住所
朝鮮總督　殿　　氏名　㊞

●低品位金鑛石資鑛奬勵金交付規則

昭和十三年五月
總令第百十號

低品位金鑛石資鑛奬勵金交付規則左ノ通改正ス

低品位含金鑛物資鑛奬勵金交付規則

第一條　自己ノ採掘セル低品位含金鑛物（別ニ告示スル含金品位以下ノ含金鑛物ヲ謂フ以下同ジ）ヲ金鑛ノ選鑛又ハ製錬ヲ行フ者ニシテ朝鮮總督ノ指定シタルモノ（以下買鑛者ト稱ス）ニ資濟ス鑛業權者（以下資鑛者ト稱ス）ニ本令ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

朝鮮總督前項ノ規定ニ依ル指定ヲ爲シタルトキハ之ヲ告示ス

第二條　奬勵金ノ額ハ低品位含金鑛物ノ資鑛高一噸ニ付一圓六十錢以内トス

第三條　第一條第一項ノ規定ニ依ル奬勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ豫メ第一號樣式ノ届書ヲ買鑛者ヲ經由シテ朝鮮總督ニ提出スベシ

前項ノ規定ニ依リ届書ヲ受付タル買鑛者其ノ資鑛者ト含金鑛物ノ買入ヲ契約シタルトキハ其ノ旨ヲ、契約ヲ解除シタルトキハ其ノ事由ヲ届書ノ餘白ニ附記シ責任者署名捺印ノ上遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ送付スベシ

前項ノ契約ノ解除アリタルトキ又ハ新ニ契約ヲ爲シタルトキハ買鑛者ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第四條　前條第一項ノ届出ヲ爲シタル者奬勵金ノ交付ヲ受ケントスルトキハ奬勵金ノ一部若ハ全部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　詐欺其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ奬勵金ノ交付ヲ受ケタルトキ

二　第五條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ、檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ處分ニ違反シタルトキ

三　第五條第二項ノ命令ニ從ハザルトキ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

低品位含金鑛物資鑛奬勵金交付申請書

一　鑛山名
一　鑛業權登錄番號
一　資鑛高
一　申請金額

右奬勵金交付相成度別紙買鑛者ノ買鑛計算書寫添附及申請候

年　月　日　　住所
朝鮮總督　殿　　申請人　氏名　㊞

●低品位金鑛石資鑛奬勵金交付規則ニ依リ奬勵金ヲ交付スベキ金鑛石ノ含金品位及奬勵金額

昭和八年六月
總督第二百五十七號
改正　昭和八年一二第五九號

低品位金鑛石資鑛奬勵金交付規則第一條ノ規定ニ依リ奬勵金ヲ交付スベキ金鑛石ノ含金品位及資鑛者ニ對スル奬勵金額左ノ如シ

低品位金鑛石資鑛奬勵金交付規則第一條ノ規定ニ依ル奬勵金ヲ交付スベキ金鑛石ノ含金品位ハ鑛石一噸中含金五匁二十五瓦以下トス

同令第二條ノ規定ニ依ル資鑛者ニ對スル奬勵金ハ其ノ鑛山選鑛場ヨリ最寄鐵道停車場又ハ船積場迄ノ低品位金鑛石ノ陸運賃ニ相當スル金額トシ其ノ金額カ一粁一噸ニ付三十錢ヲ超ユルトキハ之ヲ三十錢ニ止ム

●鑛業設備奬勵金交付規則

昭和十二年八月
總令第百二十二號
改正　昭和一三年五第二〇九號

鑛業設備奬勵金交付規則左ノ通定ム

鑛業設備奬勵金交付規則

第一條　金銅、銅鑛、鉛鑛、亞鉛鑛、硫化鐵鑛、タングステン鑛、水鉛鑛及ニッケル鑛ノ採掘ヲ目的トスル鑛業權者ニシテ鑿岩機設備又ハ選鑛設備ヲ爲サントスル者ニ對シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ奬勵金ヲ交付ス

第二條　奬勵金ノ額ハ設備費ノ五割以内トス

第三條　奬勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ノ申請書ニ必要ナル書面ヲ添附シ每年四月末日迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ但シ特別ノ事情アリト認ムルトキハ期限經過後ト雖モ之ヲ受理スルコトアルベシ

第四條　朝鮮總督前條ノ申請書ヲ受理シ奬勵金ヲ交付スベキモノト認メタルトキハ奬勵金交付ノ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

指令書交付前爲シタル設備ニ對シテハ奬勵金ヲ交付セズ但シ特別ノ事情ニ依リ豫メ朝鮮總督ノ承認ヲ受ケタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ニ對シ設備計畫ノ變更ヲ命ズルコトアルベシ

奬勵金ノ交付ヲ受ケル者設備計畫ヲ變更セントスルトキハ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第六條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ニ對シ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ、當該官吏ヲシテ書類、物件、設備若ハ事業ノ狀況ヲ檢査セシメ又ハ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトアルベシ

第七條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者當該設備ノ工事ニ著手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ハ設備費支出簿及工程日誌ヲ備ヘ設備費支出簿ニハ設備ニ關スル支出ヲ、工程日誌ニハ每日ノ工事進捗ノ狀況ヲ記載スベシ

設備費支出簿ニ記載シタル支出ニ付テハ之ヲ證スル爲其類ヲ備ヘ設備ニ關スル支出ヲ、工程日誌ニハ每日ノ工事進捗ノ狀況ヲ記載スベシ

第八條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者ヨリ當該鑛業權ヲ讓受ケタル者ハ朝鮮總督ニ申請シ引續キ奬勵金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ新舊鑛業權者連署スベシ

第九條　奬勵金ノ交付ヲ受ケル者設備ノ工事完成シタルトキハ遲滯ナク第五號樣式ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ申請スベシ但シ設備計畫ニ定メタル工程ノ半以上ヲ施行シタルトキハ奬勵金ノ分割交付ヲ申請スルコトヲ得

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ奬勵金ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ既ニ交付シタル奬勵金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　詐欺其ノ他不正ノ行爲ヲ以テ奬勵金ノ交付ヲ受ケタルトキ

二　第六條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲サズ若ハ虚偽ノ報告ヲ爲シ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ處分ニ違反シタルトキ

三　第七條第二項ノ命令ニ從ハザルトキ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ニ規定スル申請書提出期限ハ本年度ニ限リ九月十五日迄トス

附　則（昭和十三年五月總令第百九號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ニ規定スル申請書提出期限ハ本年度ニ限リ九月十五日迄トス

附　則（昭和十三年五月總令第百九號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三條ニ規定スル申請書提出期限ハ昭和十三年度ニ限リ六月末日迄トス

第一號樣式

鑛業設備奬勵金申請書

鑛區所在地
鑛業權登錄番號
鑛山ノ名稱
鑛業權者ノ住所及氏名又ハ名稱
今般右鑛山ニ於テ鑿岩機設備（選鑛設備）改良設備（選鑛設備）ヲ設置候ニ付鑛業設備奬勵金交付規則ニ依ル奬勵金御交付相成度左記書類相添ヘ此段及申請候也

年　月　日　　住所
朝鮮總督　殿　　申請人　氏名又ハ名稱　㊞

記

一　鑛業狀況調書
二　設備計畫書
三　設備豫算書

注　意

一　二以上ノ鑛業權者カ共同シテ設備ヲ爲サントスルトキハ連署ヲ以テ申請スベシ
二　鑛業狀況調書ハ第二號樣式ニ依ルベシ
三　設備計畫書ハ第三號樣式ニ依ルベシ
四　設備豫算書ハ第四號樣式ニ依ルベシ

第二號樣式

鑛業狀況調書

一　鑛山ノ名稱
二　沿革概要
三　鑛業着手年月
四　地質鑛床ノ狀況
五　採鑛、選鑛、製錬設備ノ詳細及坑内實測圖複本
六　鑛床値及鑛産物販賣狀況
七　投資値及收支狀況
八　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

注　意

一　坑内實測圖複本ハ朝鮮鑛業令施行規則附錄樣式ノ定ムル所ニ依ルベシ
二　鑛床値及鑛産物販賣狀況ハ最近三年間（鑛業ニ着手後三年ニ滿チザルトキハ鑛業着手ノ年以後）ニ於ケル探鑛高、製錬高、鑛石ノ販賣先別數量價額ヲ年別ニ掲記スベシ
三　投資額及收支狀況
イ　投資額ハ當該鑛山ニ對スル投資額ヲ費目別ニ掲記スルコト
ロ　收支狀況ハ一年間ニ於ケル狀況ヲ費目別ニ掲記スルコト

第三號樣式

鑿岩機設備（選鑛設備）計畫書

一　設備箇所
二　一月間ノ産鑛ノ種類別品位及取扱數量
三　一月間ノ精鑛ノ種類別品位及産出數量
四　敷地面積及敷地所有ノ有無又ハ使用關係ノ詳細（土地使用契約濟ノモノハ其ノ契約書寫添附ノコト）
五　土工及建設物ノ仕樣書
六　鑿岩機設備（選鑛設備）ノ設計圖面
七　作業方法ノ說明
八　原動機、機械器具類明細書

第十一條　人員ノ配置ハ鑛業權ノ種類、鑛業ノ方法及鑛業ノ規模ニ應シ鑛業ノ安全ヲ保持スルニ必要ナル數ヲ下ラサルヘシ

第十二條　鑛業權者ハ鑛業ニ關スル左ノ事項ヲ鑛業原簿ニ記載スヘシ

一　鑛業權ノ設定、變更、移轉、消滅又ハ處分ノ制限

二　鑛業權ニ關スル先取特權、質權又ハ抵當權ノ設定、變更、移轉、消滅又ハ處分ノ制限

三　鑛業權ノ存續期間ノ伸長又ハ短縮

四　鑛業權ノ分割又ハ合併

五　鑛業權ノ消滅

六　鑛業權者ノ氏名又ハ名稱及住所

七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ裁判ノ確定

八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ和解又ハ調停ノ成立

九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行又ハ其ノ取消

十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ其ノ取消

十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消

十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消

十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行

十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消

十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消

十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

二十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

三十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

四十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

五十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

六十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

七十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

八十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

九十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百二十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百三十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百四十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百五十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十二　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十三　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十四　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十五　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十六　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十七　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十八　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百六十九　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百七十　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行

百七十一　鑛業權ニ關スル訴訟ニ付テノ仮處分ノ執行ノ保全又ハ停止ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ執行ノ停止又ハ其ノ取消ノ

第四百十条　法律行為ニ因リ成立スル債権ニ付テハ其法律行為ノ性質ヲ以テ債権ノ目的ヲ定メ難キトキハ其債権ハ選択債権ニ関スル規定ニ従フ

第四百十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百二十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百三十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百四十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百五十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百六十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百七十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十二条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十三条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十四条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十五条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十六条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十七条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十八条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百八十九条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何レカニシテ其選択ハ法律行為ノ性質ニ依リ又ハ当事者ノ意思ニ依リ定マルヘキトキハ其選択ハ債権ノ成立ノ時ニ遡リテ効力ヲ生ス

第四百九十一条　債権ノ目的カ数個ノ給付ノ中ノ何

第一號樣式

表

鑛業原簿

第何册

朝鮮總督府

裏

紙數
紙ノ表
紙ノ除キ
枚
朝鮮總督府鑛業原簿
何年何月何日
何
某印

甲

番號號位	非項欄	番表號示	表示欄	番表號示	表示欄	番表號示	表示欄
	鑛業原簿						
番號號位	非項欄	番表號示	表示欄	番表號示	表示欄	番表號示	表示欄
	朝鮮總督府						

第二號樣式

紙表

登錄何年
登錄表附箋
第何册
朝鮮總督府

受附ノ年月日	受附番號	登錄ノ目的	申請人ノ氏名	備考

乙

區	番號號位	非項欄	番表號示	表示欄	番表號示	表示欄	區
		鑛業原簿					
	番號號位	非項欄	番表號示	表示欄	番表號示	表示欄	
		朝鮮總督府					

第三號樣式

（用紙ハ紙質五寸板一寸）

（注意）
一　各ノ欄ハ朱線ヲ以テ區劃シ記載スヘシ
二　會社ノ代表者ナルトキハ氏名ノ肩ニ會社ノ營業所ノ所在地、會社ノ商號及代表者ノ資格ヲ記載スヘシ

何年何月何日生

住所

氏名

㊞

印

受附ノ年月日	受附番號	登錄ノ目的	申請人ノ氏名	備考

●鑛業ノ出願ヲ許否スル地域及鑛物ノ種類

大正五年二月
總督第三十七號

改正　大正一〇年二月二日第二九號、昭和二年四月二〇日第一〇四號、五年六月二五日第一四一號

朝鮮鑛業令第五十八條ノ規定ニ依リ同令第九條第一項ノ規定ニ拘ラス鑛業ノ出願ヲ處分スルコトヲ得ル地域及鑛物ノ種類左ノ通定ム

地域　鑛物

平安南道大同郡林原面、柴足面、秋乙美面、大同江面、龍岡面、南市面、同道江東郡三登面、晩達面、元灘面、江東郡石炭面

●國有土石採取規則

陸軍第二十八號
勅令第五十八號

朕國有土石採取ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ頒布セシム

國有土石採取規則

第一條　國有ノ森林、山野其ノ他ノ土地ニ於ケル寶石類、【宗廟、陵墓】石材、泥炭、粘土等ノ土石採取ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ【農商工部大臣】ニ出願スヘシ

第二條　前條ノ出願ヲ爲サムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載セル願書ニ採取地ノ圖面ヲ添附シ地方長官ヲ經由シテ差出スヘシ

一　採取地ノ位置及面積
二　採取セムトスル土石ノ種類
三　採取セムトスル土石ノ見積高及其ノ採取料見込額
四　採取期間
五　採取方法ノ概要
六　採取地及其ノ附近ノ狀況

圖面ニハ前項第一號及第六號ノ事項及採取地ノ區域ヲ明示スヘシ

第三條　左ニ掲ケル場所ニ於テハ土石採取ヲ爲シ又ハ土石採取業ノ爲之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ【農商工部大臣】ハ危害ナク又支攷ヲ損傷セサルモノト認ムル場合ニハ第三號及第四號ノ箇所ニ對シ特ニ土石ノ採取許可ヲ爲スコトヲ得

皇城及陵宮ノ周圍三百間以内
一　皇陵、園、墓、墳ノ火巢以内
一　陳海軍所轄ノ城堡、要港、火藥庫、彈藥庫及官廳、歷代壓陵ノ周圍三百間以内
一　鐵道、軌道、道路、運河、河湖、沼池、堤塘、社寺境内地、公園地、墳墓及建物ノ周圍五十間以內

第四條　土石採取ノ許可ヲ受ケタル者ハ土石採取料ヲ納付スヘシ

土石採取料ノ金額ハ【農商工部大臣】之ヲ定ム

第五條　【農商工部大臣】ハ公用又ハ公益事業ノ爲要スル土石ノ採取ニ付テハ採取料ヲ免除スルコトヲ得

第六條　土石採取權ハ相續、讓渡及抵當ノ目的ト爲スコトヲ得

土石採取權ノ讓渡又ハ抵當ハ【農商工部】ニ申請シ登錄ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第七條　土石採取權者ハ其ノ作業ノ爲生スヘキ危險ニ對シ豫防ノ爲スヘシ

【農商工部大臣】ハ前項ノ危險豫防ノ爲必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第八條　左ノ場合ニ於テハ【農商工部大臣】ハ土石採取權ヲ取消スコトヲ得

一　錯誤ニ因リ許可ヲ與ヘタルコトヲ發見シタルトキ
二　正當ナル事由ナクシテ一箇年以上休業シ又ハ許可ヲ受ケタル日ヨリ一箇年以內ニ事業ニ著手セサルトキ
三　採取料ヲ指定ノ期間內ニ納付セサルトキ
四　前條第二項ノ命令ヲ遵守セサルトキ
五　許可ノ條件ニ違背シタルトキ
六　作業カ公益ヲ害スト認ムルトキ

【農商工部大臣】前項ノ規定ニ依リ土石採取權ヲ取消シタルトキハ既納ノ採取料ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトヲ得

【農商工部大臣】ハ第一項第三號ノ事由ニ因リ土石採取權ヲ取消シタルトキハ既ニ採取シタル土石ノ全部又ハ一部ヲ還付スルコトヲ得

第九條　【農商工部大臣】ハ本令ニ基ク權限ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ土石採取ノ許可ヲ得タル者ハ本令施行ノ日ヨリ五箇月以內ニ地方長官ヲ經由シ【農商工部大臣】ノ認證ヲ申請スヘシ其ノ認證ヲ受ケタルトキハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

前項ノ認證ヲ申請スルモノト看做ス

本令施行前ニ森林山野及產物處分規則ニ依リ貸下ノ許可ヲ得タル者及本令施行前ニ鑛業權ノ特許ヲ得タル者ハ本令施行ノ日ヨリ五箇月以內ニ地方長官ヲ經由シ【農商工部大臣】ノ認證ヲ申請スヘシ其ノ認證ヲ受ケタルトキハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

前項ノ認證ヲ申請スルモノト看做ス

本令施行前ニ森林山野及產物處分規則ニ依リ貸下ノ許可

第三條　鑛業權ノ存續期間ハ登錄ノ日ヨリ滿二十年トス

第四條　鑛業權ハ之ヲ分割シ又ハ讓渡スコトヲ得ス

第五條　鑛業權ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六條　鑛業權ハ之ヲ國稅滯納處分ニ因リ差押ヘ又ハ競賣スルコトヲ得ス

第七條　鑛業權ハ之ヲ公用ニ收用スルコトヲ得ス

第八條　鑛業權ハ左ノ場合ニ於テ消滅ス

一　存續期間ノ滿了シタルトキ

二　鑛業權ヲ抛棄シタルトキ

三　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキ

第九條　鑛業權ヲ抛棄セントスル者ハ其ノ旨ヲ鑛業權原簿ニ登錄スルニ因リテ其ノ效力ヲ生ス

第十條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ其ノ旨ヲ鑛業權者ニ通知スヘシ

第十一條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ權利ヲ失フ

第十二條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第十三條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第十四條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第十五條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第十六條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第十七條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第十八條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第十九條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十一條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十二條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十三條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十四條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十五條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十六條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十七條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十八條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二十九條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十一條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十二條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十三條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十四條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十五條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十六條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十七條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十八條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第三十九條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十一條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十二條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十三條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十四條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十五條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十六條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十七條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十八條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第四十九條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十一條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十二條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十三條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十四條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十五條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十六條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十七條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十八條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第五十九條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十一條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十二條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十三條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十四條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十五條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十六條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十七條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十八條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第六十九條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十一條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十二條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十三條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十四條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十五條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十六條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十七條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十八條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第七十九條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十一條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十二條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十三條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十四條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十五條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十六條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十七條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十八條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第八十九條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十一條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十二條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十三條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十四條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十五條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十六條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十七條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十八條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第九十九條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第百條　鑛業權ノ登錄ヲ取消シタルトキハ鑛業權者ハ其ノ鑛業ニ關スル一切ノ設備ヲ撤去スヘシ

第二號樣式

| 工作物（鑛物ノ採掘ニ關スル工作物ニ限ル） | | |

（ロ）　鑛業代理人ニ關スル規定ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有スル代理人ニ之ヲ準用ス

（ハ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ裁判上又ハ裁判外ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス但シ鑛業權ノ讓渡、抵當權ノ設定又ハ鑛業權ノ放棄ニ付テハ特別ノ委任ヲ受ケタルトキニ限ル

（ニ）　鑛業代理人ハ其ノ代理權ヲ證スル書面ヲ鑛業原簿ニ登錄スルニ付鑛業權者ト共ニ其ノ登錄ヲ申請スルコトヲ要ス

（ホ）　鑛業代理人ノ代理權ハ鑛業權者ノ死亡又ハ鑛業權ノ消滅ニ因リテ消滅ス

（ヘ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ト）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（チ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（リ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ヌ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ル）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ヲ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ワ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（カ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ヨ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（タ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（レ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ソ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ツ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ネ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ナ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ラ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ム）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ウ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ヰ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ノ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（オ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ク）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ヤ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（マ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ケ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（フ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（コ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（エ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（テ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ア）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（サ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（キ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ユ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（メ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ミ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（シ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ヱ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ヒ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（モ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（セ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ス）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ン）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ヴ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ヽ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（ゝ）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（〃）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（々）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（〆）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（〇）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（二十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（三十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（四十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（五十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（六十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（七十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（八十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（九十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百二十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百三十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百四十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百五十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百六十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百七十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十八）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百八十九）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百九十）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百九十一）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百九十二）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百九十三）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百九十四）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百九十五）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百九十六）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表ス

（百九十七）　鑛業代理人ハ鑛業權者ノ爲メ鑛業ニ關シ一切ノ訴訟ニ付本人ヲ代表

| | | |

燃料選鑛研究所長宛

第二號樣式

收入印紙

試驗依頼書

住所
依頼者　氏名　㊞

一　品名
二　供試品産地
三　試驗ノ項目
四　差出シタル現品ノ數量
五　貼附シタル收入印紙ノ額

右試驗及依頼候也

年　月　日

住所
依頼者　氏名　㊞

燃料選鑛研究所長宛

第三號樣式

收入印紙

試驗（鑑定）依頼書（第二條第八號又ハ第九號ノ場合ニ於テ）

一　品名
二　製造地名及製造者名
三　試驗又ハ鑑定ヲ要スベキ事項ノ要領
四　貼附シタル收入印紙ノ額

右試驗（鑑定）及依頼候也

年　月　日

住所
依頼者　氏名　㊞

燃料選鑛研究所長宛

第四號樣式

收入印紙

試驗設備使用願

一　使用ノ目的
二　使用ノ期間
三　使用者ノ住所氏名

右試驗設備使用ノ件ニ付御許可相成度使用者ノ履歴書相添及願候也

年　月　日

住所
願人　氏名　㊞

燃料選鑛研究所長宛

●石油業法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

昭和九年六月勅令第百九十八號

脫石油業法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

石油業法ハ第八條ノ規定ヲ除キ之ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ス

附　則

本令ハ昭和九年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●石油業法

昭和九年三月法律第二十六號

改正　昭和一二年八月五二號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル石油業法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

石油業法

第一條　石油精製業又ハ石油輸入業ヲ營マントスル者ハ政府ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ石油精製業及石油輸入業ノ範圍竝ニ許可ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第三條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ其ノ精製又ハ輸入ニ係ル石油ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ檢査ヲ受クベシ

第四條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ其ノ精製又ハ輸入ニ係ル石油ヲ命令ノ定ムル所ニ依リ貯藏スベシ

第五條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ノ輸入數量ヲ標準トシテ算定シタル數量ノ石油ヲ常時保有スベシ

第六條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ其ノ所有スル石油ヲ政府ガ命令ノ定ムル所ニ依リ時價ヲ標準トシテ購入セントスルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第七條　政府ハ公益上必要アリト認ムルトキハ石油精製業者又ハ石油輸入業者ニ對シ石油ノ販賣價格ノ變更、石油供給量ノ確保其ノ他石油ノ需給ヲ調節スル爲必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

政府ハ公益上必要アリト認ムルトキハ石油精製業者又ハ石油輸入業者ノ所有スル石油ヲ購入スルコトヲ得

第八條　政府ハ軍事上其ノ他公益上緊急ノ必要アルトキハ石油業法第六條ノ規定ニ依リ石油精製業者又ハ石油輸入業者ノ所有スル石油ヲ購入スルコトヲ得

前項ノ石油ノ購入ニ付テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

第九條　陸軍大臣又ハ海軍大臣軍事上必要アリト認ムル石油業法第七條ノ命令又ハ第七條第二項ノ指定ヲ爲サントスル場合ニ於テ其ノ命令又ハ指定ガ軍事上ニ影響ヲ及ボスベキモノナルトキハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ協議スベシ

第十條　本令中商工大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トス

附　則

本令ハ石油業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

石油精製業ノ設備ニ關スル命令ニ依リ設置シタル設備ニ付テハ石油業法第六條ノ規定ニ依リ石油ヲ購入シ、同法第七條ノ規定ニ依リ石油ノ需給ヲ調節スル爲必要ナル事項ヲ命ジ又ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ其ノ保有量ガ保有スベキ數量ニ充タザル場合ニ於テ保有スベキ數量ニ充タザル數量ノ補充方法及前項但書ノ場合ニ於テ保有スベキ數量ニ充タザル數量ノ補充方法竝ニ石油精製業者若ハ石油輸入業者ガ其ノ事業ヲ讓渡シ又ハ石油精製業若ハ石油輸入業ヲ營ム會社合併ヲ爲シタル場合ノ保有ニ關シ必要ナル事項ハ商工大臣之ヲ定ム

第七條　石油業法第五條ノ規定ニ依ル石油ノ保有ハ命令ヲ以テ定ムル容量以上ノ石油タンクニ之ヲ保有スベシ但シ商工大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

陸軍大臣、海軍大臣又ハ商工大臣軍事上其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ石油ノ保有ノ場所ヲ指定スルコトヲ得

第八條　政府ハ軍事上其ノ他公益上緊急ノ必要アルトキハ石油業法第六條ノ規定ニ依リ石油精製業者又ハ石油輸入業者ノ所有スル石油ヲ購入スルコトヲ得

前項ノ石油ノ購入ニ付テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

第九條　陸軍大臣又ハ海軍大臣軍事上必要アリト認ムル石油業法第七條ノ命令又ハ第七條第二項ノ指定ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ニ協議スベシ

商工大臣石油業法第七條ノ命令又ハ第七條第二項ノ指定ヲ爲サントスル場合ニ於テ其ノ命令又ハ指定ガ軍事上ニ影響ヲ及ボスベキモノナルトキハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ協議スベシ

第十條　本令中商工大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トス

附　則

本令ハ石油業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

石油精製業ノ設備ニ關スル命令ニ依リ設置シタル設備ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ石油精製業ヲ營ム者又ハ石油輸入業ヲ營ム者ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

本法施行ノ際輸入ノ爲輸送ノ途ニ在ル石油又ハ本法施行前注文ヲ發シタル石油ヲ輸入センストスル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ政府ニ屆出デタルトキハ第四條ノ規定ニ拘ラズ輸入ヲ爲スコトヲ得

第五條ノ規定ハ本法施行後六月間之ヲ適用セズ（昭和九年六月勅令第百九十五號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行）

●石油業法施行令

昭和九年六月勅令第百九十六號

改正　昭和一二年二月三號

脫石油業法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

石油業法施行令

第一條　石油業法第一條ノ石油精製業ハ鑛物性ノ原料油（含油屑ト密接ノ關係アル可燃質天然ガスヲ含ム）ヨリ鑛物性ノ揮發油、燈油、輕油、機械油又ハ重油ヲ精製スル事業ヲ除ク

第二條　石油業法第一條ノ石油精製業ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ政府ニ提出スベシ

一　名稱及住所
二　工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ關スル事項
三　精製ノ種類及能力
四　精製ノ開始ヲ豫定スル年月日

第三條　石油業法第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ十日以內ニ政府ニ屆出ヅベシ

一　名稱又ハ住所
二　工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ關スル事項
三　精製ノ種類及能力

第四條　石油業法第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ十日以內ニ政府ニ屆出ヅベシ

一　名稱又ハ住所
二　工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ關スル事項
三　精製ノ種類及能力
四　精製ノ開始ヲ豫定スル年月日

第五條　石油業法第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第五條ノ規定ニ違反シタルトキ
二　第七條ノ命令ニ違反シタルトキ

第六條　石油業法第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十條第一項ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ監督上必要ナル命令若ハ處分ニ違反シタル者
二　第十條第二項ノ規定ニ依リ當該官吏ノ臨檢檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者

第七條　石油精製業者又ハ石油輸入業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十七條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ石油精製業者又ハ石油輸入業者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ義務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ石油精製業ヲ營ム者又ハ石油輸入業ヲ營ム者ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ許可ヲ受ケタル者ト看做ス

本法施行ノ際輸入ノ爲輸送ノ途ニ在ル石油又ハ本法施行前注文ヲ發シタル石油ヲ輸入センストスル場合ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ政府ニ屆出デタルトキハ第四條ノ規定ニ拘ラズ輸入ヲ爲スコトヲ得

第五條ノ規定ハ本法施行後六月間之ヲ適用セズ（昭和九年六月勅令第百九十五號ヲ以テ同年七月一日ヨリ施行）

●石油業法施行令

昭和九年六月勅令第百九十六號

改正　昭和一二年二月三號

脫石油業法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

石油業法施行令

第一條　石油業法第一條ノ石油精製業ハ鑛物性ノ原料油（含油屑ト密接ノ關係アル可燃質天然ガスヲ含ム）ヨリ鑛物性ノ揮發油、燈油、輕油、機械油又ハ重油ヲ精製スル事業ヲ除ク

第二條　石油業法第一條ノ石油精製業ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ政府ニ提出スベシ

一　名稱及住所
二　工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ關スル事項
三　精製ノ種類及能力
四　精製ノ開始ヲ豫定スル年月日

第三條　石油業法第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ十日以內ニ政府ニ屆出ヅベシ

一　名稱又ハ住所
二　工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ關スル事項
三　精製ノ種類及能力

第四條　石油業法第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ十日以內ニ政府ニ屆出ヅベシ

一　名稱又ハ住所
二　工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ關スル事項
三　精製ノ種類及能力
四　精製ノ開始ヲ豫定スル年月日

第五條　石油業法第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第五條ノ規定ニ違反シタルトキ
二　第七條ノ命令ニ違反シタルトキ

第六條　石油業法第一條ノ許可ヲ受ケタル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十條第一項ノ規定ニ依リ報告ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ報告ヲ爲シ又ハ監督上必要ナル命令若ハ處分ニ違反シタル者
二　第十條第二項ノ規定ニ依リ當該官吏ノ臨檢檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者

石油業

石油業法施行規則

第一章　總則

第一條　石油業法施行令第一條第一項ノ規定ニ依リ石油ノ採掘ヲ目的トスル鑛區ノ境界ハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依リ之ヲ定ム

一　經緯線

二　磁針線

三　山岳、河川、道路、堤防、鐵道、運河、水路、溝渠、海岸、湖沼、池塘、境界標、其ノ他之ニ類スル地物

第二條　前條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ方位ニ對シ一定ノ距離ヲ以テ引キタル線

三　一定ノ距離ヲ以テ一定ノ地點ヲ中心トシテ描キタル圓周

四　一定ノ地點ヲ中心トシテ一定ノ距離ヲ以テ描キタル圓周

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

七　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

七　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第四條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第五條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第六條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第七條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第八條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第九條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十一條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十二條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十三條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十四條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十五條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十六條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十七條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十八條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第十九條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十一條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十二條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十三條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十四條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十五條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十六條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十七條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十八條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第二十九條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十一條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十二條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十三條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十四條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十五條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十六條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十七條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十八條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第三十九條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第四十條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第四十一條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

三　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

四　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

五　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行スル線

六　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ垂直ナル線

第四十二條　第一條ノ境界ニ依リ難キ場合ニ於テハ左ノ各號ニ掲ケル線ニ依ル

一　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線

二　一定ノ地點ヲ通ジ一定ノ方位ニ對シ一定ノ角度ヲ以テ引キタル線ニ平行

石油業法摘要
第十條第二項
行政官廳監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ石油精製業者又ハ石油輸入業者ノ事務所、營業所、工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ
第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
二　第十條第二項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタル者

●石油保有補助金交付規則

昭和十一年八月
總令第七十四號

石油保有補助金交付規則左ノ通定ム

石油保有補助金交付規則

第一條　朝鮮總督ハ石油ノ保有ニ因ル負擔ヲ輕減スル爲石油業法第五條ノ規定ニ依リ石油ヲ保有シタル石油精製業者又ハ石油輸入業者ニ對シ本令ニ依リ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ハ石油業法施行規則第十六條ノ規定ニ依ル保有スベキ石油ノ最低數量ノ二分ノ一ノ數量ニ付之ヲ交付ス

第三條　補助金ノ額ハ石油業法施行規則第十七條ノ種別ニ從ヒ各石油一キロリツトルニ付保有ニ要スル費用ヲ標準トシテ毎年朝鮮總督之ヲ定ム

前項ノ補助金ノ額ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

第四條　石油業法第六條ノ規定ニ依リ石油ヲ購入シ、同法第七條ノ規定ニ依リ石油ノ需給ヲ調節スル爲必要ナル命令又ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得ザル事由アリタルニ因リ保有シタル保有スベキ數量ヲ下リタル場合ニ於テモ朝鮮總督ハ補助金ヲ交付スルコトアルベシ

前項ノ場合ニ於テ交付スベキ補助金ノ額ハ其ノ都度朝鮮總督之ヲ定ム

第五條　補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ保有シタル石油ノ種別及數量ヲ具シ補助金交付申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

前項ノ補助金交付申請書ハ四月一日ヨリ六月三十日迄ノ間ノ保有ニ付テハ七月十五日迄ニ、七月一日ヨリ九月三十日迄ノ間ノ保有ニ付テハ十月十五日迄ニ、十月一日ヨリ十二月三十一日迄ノ間ノ保有ニ付テハ翌年一月十五日迄ニ、一月一日ヨリ三月三十一日迄ノ間ノ保有ニ付テハ四月十五日迄ニ之ヲ提出スベシ

第六條　詐欺其ノ他不正ノ所爲ヲ以テ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキハ朝鮮總督ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部又ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

附　則

本令ハ昭和十一年四月一日以後ノ石油ノ保有ニ付之ヲ適用ス

昭和十一年四月一日ヨリ六月三十日迄ノ間ノ保有ニ付テハ七月十五日迄ニ、七月一日ヨリ九月三十日迄ノ間ノ保有ニ付テハ十月十五日迄ニ、十月一日ヨリ十二月三十一日迄ノ間ノ保有ニ付テハ翌年一月十五日迄ニ、一月一日ヨリ三月三十一日迄ノ間ノ保有ニ付テハ四月十五日迄ニ之ヲ提出スベシ

第三條　前條ノ許可ヲ受ケルコトヲ得ベキ者ハ帝國法令ニ依リ設立シタル株式會社ニシテ其ノ株主ノ半數以上、取締役ノ半數以上、資本ノ半額以上及議決權ノ過半數ガ帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル法人ニ屬スルモノニ限ル

前項ノ法人ハ其ノ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ其ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人又ハ外國法人ニ屬セザルモノナルコトヲ要ス

前條ノ許可ヲ受ケタル者前二項ノ規定ニ該當セザルニ至リタルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第四條　第二條ノ許可ヲ受ケタル會社（人造石油製造會社）ハ政府ノ指定スル期間内ニ其ノ事業ヲ開始スベシ

政府ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限リ前項ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得

人造石油製造會社前二項ノ期間内ニ其ノ事業ヲ開始セザルトキハ第二條ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第五條　人造石油製造會社ハ人造石油製造事業ヲ營ム者ニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十五條　政府ハ人造石油製造會社ニ對シ其ノ業務及財產ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

政府ハ人造石油製造會社ニ對シ其ノ業務及會計ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

政府監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ人造石油製造會社ノ事務所、營業所、工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務若ハ財產ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十六條　政府公益上必要アリト認ムルトキハ人造石油製造會社ニ對シ人造石油ノ販賣價格ノ變更其ノ他販賣ニ關シ必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

政府公益上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ人造石油製造會社ノ事務所、營業所、工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務若ハ財產ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十七條　政府軍事上必要アリト認ムルトキハ人造石油製造會社ニ對シ人造石油ノ製造ニ關スル特殊設備ノ施設其ノ他軍事上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第十八條　人造石油製造會社ハ其ノ所有スル人造石油ヲ政府ガ命令ノ定ムル所ニ依リ時價ヲ標準トシテ賣入セントスルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第十九條　政府第二條ノ處分又ハ第十六條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ液體燃料委員會ノ議ヲ經ベシ

液體燃料委員會ノ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則ノ施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（第和十三年一月勅令第十四號ヲ以テ昭和十三年一月二十五日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ人造石油製造事業ヲ營ム者ハ本法施行ノ日ヨリ二年ヲ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ第二條ノ規定ニ拘ラズ其ノ事業ヲ營ムコトヲ得

第十五條第一項第三項、第二十四條、第二十六條及第二十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ヲ營ム者ニ之ヲ準用ス

石油業法第八條第一項中「石油業委員會」ヲ「液體燃料委員會」ニ改メ同條第二項ヲ削ル

●人造石油製造事業法施行規則

昭和十三年一月
總令第十四號

人造石油製造事業法施行規則左ノ通定ム

第一條　人造石油製造事業法施行規則第二條ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　工場ノ名稱及位置
二　製造設備及製造能力
三　主要製品ノ種類

人造石油製造事業法施行令第一條第二項ノ規定ニ該當スル事業ヲ營ム場合ニ於テハ前項第二號及第三號ニ掲ゲル事項ハ其ノ事業ニ付之ヲ區別シテ記載スベシ

第二條　前條ノ許可申請書ニハ左ニ掲ゲル書類ヲ添附スベシ

一　事業開始ノ豫定時期ヲ記載シタル書類

二　製造工程ヲ記載シタル書類

三　人造石油製造事業法施行令第一條第二項ノ規定ニ該當スル事業ヲ營ム場合ニ於テハ事業ノ關係ヲ明ニスル書類

四　原料ノ使用數量及其ノ取得方法ヲ記載シタル書類

五　製造設備及主要附屬設備ノ設計ノ概要ヲ記載シタル書類（設計圖ヲ添附スベシ）

六　工事費豫算書

七　事業資金ノ總額及其ノ調達方法ヲ記載シタル書類

八　製造及販賣ノ豫定計畫書

九　事業收支日論見書

十　定款、登記簿ノ謄本、財產目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書、利益處分ニ關スル書類及株主名簿

十一　人造石油製造事業法第三條第一項及第二項ノ規定ニ該當スルモノナルコトヲ證スル書類

十二　人造石油製造事業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ其ノ兼營事業ノ概要ヲ記載シタル書類

第三條　第一條第一項各號ニ掲ゲル事項ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケベシ

第四條　人造石油製造會社ハ其ノ事業ヲ開始シタルトキハ十四日以内ニ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第五條　人造石油製造事業法施行令第九條第一項ノ人造石油ハ左ニ掲ゲルモノトス

一　第一種人造石油　日本標準規格第百七十四號石油製品試驗方法第六條分溜試驗ニ依ル九十五パーセント溜出温度攝氏二百二十五度以下ノ人造石油

二　第二種人造石油　第一種人造石油以外ノ人造石油

人造石油製造事業法施行令第九條第二項ノ奬勵金ノ額ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

第六條　人造石油製造會社ニハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ十年間其ノ事業ニ付所得稅及營業收益稅ヲ免除ス

第七條　北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ前條ノ期間人造石油製造會社ニ其ノ事業ニ對シ又ハ其ノ事業ニ屬スル資本金額、從業者、製造若ハ加工ノ用ニ供スル器具機械類、使用動力又ハ收入ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ズ

第八條　人造石油製造會社其ノ事業ノ爲必要ナル器具、機械又ハ材料ヲ政府ノ認可ヲ受ケ輸入スルトキハ本法施行ノ日ヨリ七年間命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ヲ免除ス

第九條　政府ハ人造石油製造會社ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ製造シタル人造石油ニ付奬勵金ヲ交付スルコトヲ得

第十條　詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ヲ返還セシム

前項ノ規定ニ依ル返還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次ゲモノトス

第十一條　人造石油製造會社ハ事業擴張ノ場合ニ於テ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル設備ノ費用ニ充ツル爲設備ノ費用ニ充ツル株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得

第十二條　人造石油製造會社ハ政府ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ關スル設備ノ費用ニ充ツル爲商法第二百條ノ規定ニ依ル制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得但シ社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超エルコトヲ得ズ

最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財產ガ拂込ミタル株金額ニ滿タザルトキハ前項ノ規定ヲ適用セズ

第一項ノ規定ニ依リ募集スル社債ニ付テハ工場抵當法ニ依リ會社ノ事業ニ屬スルモノヲ抵當ト爲スコトヲ要ス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テ政府其ノ必要ナシト認メタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　人造石油製造會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業計畫ヲ定メ政府ノ認可ヲ受ク

月三十一日迄ノ製造ニ係ル人造石油ニ付テハ翌年一月十五日迄ニ申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第七條　人造石油製造事業法第九條ノ規定ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ受ケ又ハ受ケントスル會社ハ原料及材料ノ取得及使用、製品ノ製造及販賣又ハ引渡其ノ他事業ノ狀況ヲ明ニスベキ帳簿書類ヲ其ノ工場ニ備ヘ置クベシ

第八條　人造石油製造事業法第十一條ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　增加スベキ資本ノ總額及第一回拂込ノ金額

二　資本增加ノ方法

三　資本增加ヲ必要トスル事由

四　資本增加ヲ以テ支辨セントスル設備ノ概要ヲ記載シタル書類（工事設計算書ヲ添附スベシ）

五　最終ノ貸借對照表

六　增加スベキ資本ヲ以テ支辨セントスル設備ノ設用及其ノ設備ノ概要ヲ記載シタル書類ヲ添附スベシ

七　資本增加ニ關スル株主總會ノ決議錄ノ謄本

八　會社ノ資本及拂込ミタル株金總額ノ登記抄本

九　最終ノ貸借對照表

第九條　人造石油製造事業法第十二條第一項ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　社債ノ總額

二　社債ノ利率

三　社債募集ヲ必要トスル事由

前項ノ場合ニ於テ擔保附社債信託法ニ依リ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行セントスルモノナルトキハ認可申請書ニ前項第一號及第三號ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　社債ノ利率

二　社債募集ノ方法

三　社債募集ヲ必要トスル事由

前項ノ場合ニ於テ人造石油製造事業法第十二條第一項ノ規定ニ依リ擔保ヲ供セズシテ社債ヲ募集セントスルモノナルトキハ認可申請書ニ第一項各號ニ掲グル事項ノ外擔保ヲ供セザル特別ノ事由ヲ詳記スベシ

第十條　前條ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　社債ヲ以テ支辨セントスル設備ノ設用及其ノ設備ノ概要ヲ記載シタル書類（工事設計算書ヲ添附スベシ）

二　社債募集ニ關スル株主總會ノ決議錄ノ謄本

三　會社ノ資本及拂込ミタル株金總額ノ登記抄本

四　最終ノ貸借對照表

五　前ニ社債ヲ募集シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額ノ登記抄本

六　信託證書案

七　工場抵當法ニ依リ抵當ト爲スベキ物件ノ目錄

八　前號ノ擔保物件ノ價額ヲ最後ノ財產目錄ノ科目別ニ記載シタル書類

前條第一項ノ場合ニ於テ人造石油製造事業法第十二條第三項但書ノ規定ニ依リ擔保ヲ供セズシテ社債ヲ募集セントスルモノナルトキハ前條ノ認可ヲ受ケタル後信託契約又ハ擔保物件ニ變更アリタルトキハ十四日以內ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十一條　人造石油製造事業法第十二條第一項ノ認可ヲ受ケタル後信託契約又ハ擔保物件ニ變更アリタルトキハ十四日以內ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十二條　人造石油製造會社ハ每年一月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル期間ノ事業計畫ヲ定メ其ノ前年九月三十日迄ニ認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十三條　人造石油製造會社ノ事業計畫ニ關スル書類ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　事業計畫ノ概要

二　設備ノ擴張又ハ變更計畫

三　操業計畫ノ概要

四　販賣計畫

五　製造數量及販賣數量竝ニ每年ノ末ノ在庫數量

六　原料ノ取得計畫

七　原料ノ使用數量竝ニ年始及年末ノ在庫數量

八　收支豫算

第十四條　人造石油製造事業法第十四條第一項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニ讓受ケントスル會社連署ノ上之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十五條　人造石油製造事業ノ讓渡終了シタルトキハ讓渡シタル會社ハ十四日以內ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

讓渡シタル事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ屆書ニ讓受ケタル會社連署スベシ

第十六條　人造石油製造會社共ノ事業ノ廢止又ハ三月以上ノ休止ノ許可ヲ受ケントスルトキハ共ノ事由及休止ノ期間ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

人造石油製造會社三月未滿ノ事業ノ休止ヲ爲シタルトキハ十四日以內ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

人造石油製造會社休止シタル事業ヲ再ビ開始シタルトキハ十四日以內ニ之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十七條　人造石油製造事業法第十四條第二項ノ規定ニ依リ合併ノ決議ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ニ當事者タル會社連署ノ上之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　合併ノ方法及條件

二　合併ノ時期

三　合併ヲ必要トスル事由

四　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ニ付第一條第一項各號ニ掲グル事項

前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　合併契約ヲ證スル書類

二　合併條件決定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立スル會社ニ付第二條第一號乃至第九號及第十二號ニ掲グル書類竝ニ定款

四　合併ノ當事者タル會社ノ商法第七十八條第一項ノ規定ニ依リ作製シタル財產目錄及貸借對照表

五　合併ノ相手方ガ人造石油製造會社ニ非ザル會社ナルトキハ其ノ定款、登記簿ノ謄本、財產目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書、利益ノ處分ニ關スル書類及株主名簿

第十八條　人造石油製造會社ノ合併終了シタルトキハ合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

前項ノ屆書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　登記簿ノ謄本

二　株主名簿

三　人造石油製造事業法第三條第一項及第二項ノ規定ニ該當スルモノナルコトヲ證スル書類

第十九條　人造石油製造事業法第十四條第二項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ニ當事者タル會社連署ノ上之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第二十條　人造石油製造會社ハ每年二月末日迄ニ其ノ前年ノ營業ノ概況、作業ノ概況及年末ニ於ケル設備ノ概要ヲ記載シタル事業年報ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十一條　人造石油製造會社ハ營業期每ニ株主總會終結後十四日以內ニ財產目錄、貸借對照表、營業報告書、損益計算書、利益ノ處分ニ關スル書類及株主名簿ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第二十二條　人造石油製造會社ハ每月十五日迄ニ其ノ前月ノ原料使用數量竝ニ製品ノ種類、製造數量、販賣數量及月末在庫數量ヲ記載シタル事業月報ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

前項ノ事業月報ニハ會社カ人造石油製造事業法第三條第一項及第二項ノ規定ニ該當スルモノナルコトヲ證スル書類ヲ添附スベシ

第二十三條　人造石油製造事業法第十五條第三項ノ證票ハ別記樣式ニ依ル

第二十四條　第八條、第九條、第十一條及第二十二條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ直接朝鮮總督府ニ差出スベシ

附　則

第二十五條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十六條　本令施行ノ際現ニ人造石油製造事業ヲ營ム者ニシテ本令施行後二月以內ニ第一條第一項第一號乃至第三號ニ掲グル事項ヲ記載シタル屆書ヲ朝鮮總督ニ提出シタル者ハ人造石油製造事業法附則第二項ノ規定ニ依リ其ノ事業ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ屆書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　第二條第二號乃至第五號、第八號及第十二號ニ掲グル書類

二　定款

三　事業ヲ開始シタル時期ヲ記載シタル書類

四　本令施行前一年間ニ於ケル原料ノ使用數量竝ニ製品ノ製造數量、販賣數量及販賣價額ヲ記載シタル書類

五　最近ノ二營業期ノ財產目錄、貸借對照表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類

前二項ノ規定ニ依ル屆書ヲ提出セザル者ハ本令施行後二月ヲ超エテ人造石油製造事業ヲ營ムコトヲ得ズ

第二十七條　第二十條、第二十一條及第二十二條ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ第一項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ヲ營ム者ニ付之ヲ準用ス

附則第三項　第十五條第一項第三項、第二十四條、第二十六條及第二十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ヲ營ム者ニ之ヲ準用ス

縱九センチメートル、横十二センチメートル中央線ノ所ヨリ二ツ折ト爲ス

人造石油製造事業法施行令

第十五條第三項　政府監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ人造石油製造會社ノ事務所、營業所、工場、貯油所其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務若ハ財產ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢查セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第二十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十五條第三項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢檢查ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者

附則第二項　本法施行ノ際現ニ人造石油製造事業ヲ營ム者ハ本法施行ノ日ヨリ二年ヲ限リ命令ノ定ムル所ニ依リ第二條ノ規定ニ拘ラズ其ノ事業ヲ營ムコトヲ得

附則第三項　第十五條第一項第三項、第二十四條、第二十六條及第二十七條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ヲ營ム者ニ之ヲ準用ス

●人造石油製造事業法施行令

昭和十三年一月
勅令第四十一號

朕人造石油製造事業法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

人造石油製造事業法施行令

第一條　人造石油製造事業法第二條ノ人造石油製造事業ハ左ニ掲グル事業トス

一　石炭、亞炭又ハタールヲ原料トスル水素添加事業ニシテ人造石油ノ製造能力一ノ工場ニ付一年一萬キロリットル以上ノモノ

二　カスヲ原料トスル石油合成事業ニシテ人造石油ノ製造能力一ノ工場ニ付一年天然ガスノミヲ原料トスルモノニ在リテハ千キロリットル以上、其ノ他ノモノニ在リテハ一萬キロリットル以上ノモノ

三　石炭又ハ亞炭ノ低溫乾溜事業ニシテ原料炭處理能力一ノ工場ニ付一年十萬瓲以上ノモノ

前項各號ノ一ニ該當スル事業ヲ營ム會社カ其ノ事業ニ附帶シ同一工場ニ於テ他ノ前項各號ノ一ニ該當スル事業ヲ營ムトキハ之ヲ當該事業ノ一部ト看做ス

第二條　人造石油製造工場每ニ且前條第一項各號ノ事業別ニ之ヲ爲スモノトス

第三條　商工大臣ハ石油ノ需要供給ノ參酌シ人造石油製造事業ノ健全ナル發達ニ支障アリト認ムルトキハ人造石油製造事業法第二條ノ許可ヲ爲サザルコトヲ得

第四條　人造石油製造事業法第六條ノ規定ニ依リ所得稅又ハ營業收益稅ノ免除ヲ受ケントスル會社ハ所得稅法第二十四條又ハ營業收益稅法第十一條ノ規定ニ依リ所得又ハ純益金額ヲ申告スルトキ其ノ旨所轄稅務署ニ申請スベシ

前項ノ場合ニ於テ所得稅及營業收益稅ノ免除ヲ受クベキ事業ヨリ生ズル所得又ハ純益トノ他ノ所得又ハ純益トヲ有スルトキハ之ヲ區別シタル計算書ヲ添附スベシ

第五條　人造石油製造事業法第八條ノ規定ニ依リ輸入稅ノ免除ヲ受クルコトヲ得ベキ器具、機械又ハ材料ノ商工大臣ノ定ムル物品ニシテ豫メ商工大臣ノ認可ヲ受ケ輸入スルモノニ限ル

第六條　人造石油製造事業法第八條ノ規定ニ

第十七輯　産業　第三章　鑛業

第十七條　人造石油製造事業法第九條ノ規定ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ受ケ又ハ受ケントスル會社ハ原料及材料ノ取得及使用、製品ノ製造及販賣又ハ引渡其ノ他事業ノ狀況ヲ明ニスベキ帳簿書類ヲ其ノ工場ニ備ヘ置クベシ

第八條　人造石油製造事業法第十一條ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　增加スベキ資本ノ總額及第一回拂込ノ金額

二　資本增加ノ方法

三　資本增加ヲ必要トスル事由

四　資本增加ヲ以テ支辨セントスル設備ノ概要ヲ記載シタル書類（工事設計算書ヲ添附スベシ）

五　最終ノ貸借對照表

第九條　人造石油製造事業法第十二條第一項ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　社債ノ總額

二　社債ノ利率

三　社債募集ヲ必要トスル事由

前項ノ場合ニ於テ擔保附社債信託法ニ依リ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行セントスルモノナルトキハ認可申請書ニ前項第一號及第三號ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

第十條　人造石油製造事業法第十四條第一項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十一條　人造石油製造事業法第十四條第二項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十二條　人造石油製造事業法第十五條第一項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十三條　人造石油製造事業法第十六條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十四條　人造石油製造事業法第十七條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十五條　人造石油製造事業法第十八條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十六條　人造石油製造事業法第十九條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十七條　人造石油製造事業法第二十條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十八條　人造石油製造事業法第二十一條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十九條　人造石油製造事業法第二十二條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第二十條　人造石油製造事業法第二十三條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第二十一條　人造石油製造事業法第二十四條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十七輯　産業　第三章　鑛業

第十七條　人造石油製造事業法第九條ノ規定ニ依リ奬勵金ノ交付ヲ受ケ又ハ受ケントスル會社ハ原料及材料ノ取得及使用、製品ノ製造及販賣又ハ引渡其ノ他事業ノ狀況ヲ明ニスベキ帳簿書類ヲ其ノ工場ニ備ヘ置クベシ

第八條　人造石油製造事業法第十一條ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　增加スベキ資本ノ總額及第一回拂込ノ金額

二　資本增加ノ方法

三　資本增加ヲ必要トスル事由

四　資本增加ヲ以テ支辨セントスル設備ノ概要ヲ記載シタル書類（工事設計算書ヲ添附スベシ）

五　最終ノ貸借對照表

第九條　人造石油製造事業法第十二條第一項ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　社債ノ總額

二　社債ノ利率

三　社債募集ヲ必要トスル事由

前項ノ場合ニ於テ擔保附社債信託法ニ依リ社債ノ總額ヲ數回ニ分チ發行セントスルモノナルトキハ認可申請書ニ前項第一號及第三號ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

第十條　人造石油製造事業法第十四條第一項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十一條　人造石油製造事業法第十二條第一項ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十二條　人造石油製造事業法第十五條第一項ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十三條　人造石油製造事業法第十六條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十四條　人造石油製造事業法第十七條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十五條　人造石油製造事業法第十八條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十六條　人造石油製造事業法第十九條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十七條　人造石油製造事業法第二十條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十八條　人造石油製造事業法第二十一條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ許可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル許可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓渡價額算定ノ基礎ヲ明ニスル書類

三　讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ讓受ケントスル會社ニ付第二條各號ニ掲グル書類

第十九條　人造石油製造事業法第二十二條ノ規定ニ依リ人造石油製造事業ノ讓渡ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　讓渡スベキ事業ノ範圍

二　讓渡ノ價額及時期

三　讓渡ヲ必要トスル事由

讓渡スベキ事業ガ人造石油製造事業法施行令第一條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ前項ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　讓渡契約ヲ證スル書類

二　讓

●人造石油製造事業用品ノ輸入税免除ノ件

昭和十三年一月
総令第十五號

人造石油製造事業用品ノ輸入税ノ免除ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　人造石油製造事業法施行令第五條ノ物品ハ左ニ掲グルモノトス

一　攪拌機、粉碎機、担和機及煉炭機竝ニ其ノ附屬裝置

二　コークス爐（低温乾溜爐ヲ含ム）及ガス發生爐ノ構成金物竝ニ之ト一組トシテ輸入セラルル耐火材料

三　酸素發生機及其ノ附屬裝置

四　硫酸アンモニア回收裝置及ベンゾール回收裝置竝ニ其ノ附屬機械

五　ガス清淨裝置、ガス調整裝置及ガス變換裝置竝ニ其ノ附屬機械

六　壓縮機、送風機、壓送機及ポンプ竝ニ其ノ附屬裝置

七　水素添加用ノ高壓器具及高壓機械竝ニ其ノ附屬裝置

八　合成爐及其ノ附屬裝置

九　觸媒竝ニ其ノ製造ニ直接必要ナル原料及材料

十　觸媒ノ製造ニ必要ナル器具及機械

十一　吸收裝置及其ノ附屬機械

十二　吸收剤竝ニ其ノ製造ニ必要ナル器具及機械

十三　石油及タールノ分解裝置又ハガス重合裝置

十四　石油及タールノ精製裝置竝ニ其ノ附屬機械

十五　前各號ニ掲グル機械又ハ裝置ノ部分品竝ニ其ノ機械ト共ニ一組トシテ輸入セラルル附屬品、附屬原動機及其ノ原動機ノ附屬裝置

第二條　人造石油製造事業法第八條ノ認可ヲ受ケントスル會社ノ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル認可申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　輸入セントスル物品ノ品名、型式、能力、性質、數量及價額

二　輸入セントスル物品ノ製造者及輸出者

三　輸入セントスル物品ノ用途及之ヲ使用スベキ工場其ノ他ノ設備ノ説明

四　輸入ヲ必要トスル事由

五　輸入豫定ノ時期及輸入豫定地

前項第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第三條　人造石油製造事業法第八條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル輸入ヲ爲シタル會社ハ輸入後十四日以内ニ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ニ輸入認可書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　輸入シタル物品ノ品名及數量

二　輸入ノ年月日及輸入地

第四條　人造石油製造事業法第八條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ目的タル用途又ハ認可ヲ受ケタル他ノ用途ニ供シタルトキハ遅滯ナク左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ニ輸入認可書及前條ノ届書ノ寫ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　輸入シタル物品ノ品名、數量及用途

二　使用工場名及使用時期

人造石油製造事業法第八條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ目的タル用途ニ供セザルニ至リタルトキハ遅滯ナク其ノ事由及前項第一號ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ニ輸入認可書及前條ノ届書ノ寫ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第五條　人造石油製造事業法施行令第三條ノ認可ヲ受ケントスル會社ハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル届書ニ輸入認可書及第三條ノ届書ノ寫ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　輸入セントスル物品ノ品名、數量

二　輸入セントスル物品ノ製造者及輸出者

三　輸入セントスル物品ノ用途及之ヲ使用スベキ工場其ノ他ノ設備ノ説明

四　輸入ヲ必要トスル事由

五　輸入豫定ノ時期及輸入豫定地

前項第五號ニ掲グル事項ヲ變更セントスルトキハ豫メ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第六條　本令ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ輸入地ノ稅關ヲ經由スベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四章　漁業

第一款　漁業

●朝鮮漁業令

昭和四年一月
制令第一號

朝鮮漁業令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮總督　子爵　山梨半造

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ漁業ト稱スルハ公共ノ用ニ供スル水面又ハ之ト連接シテ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セザル水面ニ於テ營利ノ目的ヲ以テ水産動植物ヲ採捕シ又ハ養殖スル業ヲ謂フ

本令ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權ヲ有スル者ヲ謂フ

第二條　公共ノ用ニ供スル水面ト連接シテ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セザル水面ノ占有者又ハ其ノ數地ノ所有者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ漁業ニ關シ之ガ利用ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第三條　帝國臣民又ハ帝國法人ニ對シ漁業又ハ漁業ニ關スル權利ノ享有ニ付禁止ヲ爲シ又ハ制限若ハ條件ヲ附スル國ニ屬スル外國人又ハ外國法人ニ對シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ漁業又ハ漁業權ノ享有ニ付同一若ハ類似ノ禁止ヲ爲シ又ハ同一若ハ類似ノ制限若ハ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ニ規定スルモノノ外外國人又ハ外國法人ノ漁業又ハ漁業權ノ享有ニ付必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ漁業又ハ漁業權ニ關シ左ノ事項ヲ定ムルコトヲ得

一　漁業又ハ漁業權ノ種類

二　漁業又ハ漁業權ノ行使ノ區域又ハ期間

三　漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關スル制限又ハ條件

四　漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關スル禁止

第五條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關シ漁業者ニ對シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第六條　朝鮮總督ハ漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關シ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ對シ其ノ業務ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ所屬官吏ヲシテ漁業ノ狀況若ハ漁具、漁船其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第七條　朝鮮總督ハ漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關シ必要アリト認ムルトキハ其ノ所屬官吏ヲシテ漁業者ノ業務所ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第八條　朝鮮總督ハ漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關シ必要アリト認ムルトキハ其ノ所屬官吏ヲシテ漁業者ノ業務所ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第九條　第六條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場ニ付朝鮮河川令第二十條第三號ノ許可ヲ受ケタルモノト雖モ漁業ノ免許ノ取消ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場ニ付朝鮮河川令第二十條第三號ノ許可ノ取消ヲ受ケタルモノト雖モ其ノ漁場ニ付朝鮮河川令第二十條第三號ノ許可ノ取消ヲ受ケタル者ハ其ノ漁業ノ免許ノ取消ヲ受ケタルモノト雖モ漁業ノ免許ノ取消ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場ニ付朝鮮河川令第二十條第三號ノ許可ノ取消ヲ受ケタルモノト雖モ前項ノ期間中ニハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ漁業ヲ爲サザル期間及前條ノ規定又ハ第三十九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セズ

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

一　捕鯨漁業　鯨捕獲ス船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

二　「トロール」漁業　鯨船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

三　工船漁業　製造工場設備ヲ有スル機船及之ニ附屬スル漁船ニ依リテ爲ス漁業

四　機船底曳網漁業　機船ニ依リ曳網ヲ引曳シ又ハ其ノ繰寄セテ爲ス漁業

五　潜水器漁業　潜水器具ヲ使用シ潜水シテ爲ス漁業

朝鮮總督ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定スルモノノ外許可ヲ受ケシムベキ漁業ヲ定ムルコトヲ得

第十一條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ爲スニ當リ之ニ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

一　捕鯨漁業　鯨捕獲ス船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

二　「トロール」漁業　鯨船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

三　工船漁業　製造工場設備ヲ有スル機船及之ニ附屬スル漁船ニ依リテ爲ス漁業

四　機船底曳網漁業　機船ニ依リ曳網ヲ引曳シ又ハ其ノ繰寄セテ爲ス漁業

五　潜水器漁業　潜水器具ヲ使用シ潜水シテ爲ス漁業

朝鮮總督ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定スルモノノ外許可ヲ受ケシムベキ漁業ヲ定ムルコトヲ得

第十三條　免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ニシテ引續キ二年以上之ヲ爲サザルトキハ朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消スコトヲ得

前項ノ期間中ニハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ漁業ヲ爲サザル期間及前條ノ規定又ハ第三十九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セズ

第十四條　第六條第一項又ハ第十條ニ規定スル漁業ニ非ザル漁業ヲ爲サントスル者ハ道知事ニ届出ヅベシ

第二章　漁業權

第十五條　漁業權ハ物權トシ土地ニ關スル規定ヲ準用ス

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第二編第九章ノ規定ハ漁業權及之ヲ目的トスル權利ニ之ヲ適用セズ

第十六條　朝鮮總督ハ漁業權保護ノ爲保護區域ヲ設クルコトヲ得

保護區域内ニ於ケル漁業權ノ行使ノ妨害ト爲ルベキ漁業ノ制限又ハ禁止ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十七條　漁業權ヲ抵當ト爲スルトキハ場合ニ於テ其ノ漁場ニ定著シタル工作物ハ朝鮮民事令ニ於テ其ノ公告ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ十九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セズ

第十八條　本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限條件ニ依リ漁業權者ニ生ジタル權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ朝鮮河川令ニ依リテ爲ス漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消ノ權利義務ニ付亦同ジ

第十九條　漁業權ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ分割シ其ノ他變更スルコトヲ得ズ

專用漁業ノ漁業權ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又ハ貸付スルコトヲ得ズ

第二十條　漁業權ハ登錄シタル權利者ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ分割シ、變更又ハ拋棄スルコトヲ得ズ

第二十一條　漁業權ノ共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ處分シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ズ

第二十二條　前條ノ場合ニ於テ共有者ノ住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ因リ之ガ同意ヲ求ムルコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタル場合ニ於テ共有者ノ住所ノ不分明ナル事由ニ因リ之ガ同意ヲ求ムルコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

第二十三條　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ漁業權ヲ取得スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ漁業權ヲ取得シタル者ハ遅滯ナク其ノ事由ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十四條　第十八條ノ規定ニ依リ漁業權ニ付生ジタル權利義務ハ漁業權ノ取得ニ從フ

第二十五條　漁業權ハ第十九條第一項ノ規定ニ依リ專用漁業ノ漁業權ニ非ザレバ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又ハ貸付スルコトヲ得ズ

第二十六條　前條ノ漁業權者ハ漁ヲ爲ス者ニ對シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ漁料ヲ請求スルコトヲ得但シ別段ノ慣行アル場合ヲ除クノ外漁料算定ノ基礎ト爲ルベキ期間ハ漁ヲ爲サザル場合ニ於テハ其ノ入漁ヲ爲サザル期間ニ對スル入漁料ハ之ヲ請求スルコトヲ得ズ

依リ輸入税ノ免除ヲ受ケントスル會社ハ輸入申告書ニ前條ノ認可ヲ受ケタルコトヲ證スル書類ヲ添附スベシ

輸入申告ハ人造石油製造會社ノ名ヲ以テスルコトヲ要ス

第七條　輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ人造石油製造事業法第八條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受ケルコトヲ得ベキ他ノ用途ニ供セントスル場合ニ於テハ商工大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ旨稅關ニ申告スルコトヲ要ス

第八條　輸入税ノ免除ヲ受ケタル物品ヲ輸入ノ日ヨリ三年以内ニ目的タル用途又ハ前條ノ規定ニ依ル他ノ用途ニ供セザルトキハ其ノ輸入税ヲ追徴スル但シ已ムヲ得ザル事由ニテ依リ其ノ期間ノ延長ニ付商工大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ旨稅關ニ申告シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第九條　人造石油製造事業法第九條ノ奬勵金ハ人造石油製造會社ニ對シ命令ヲ以テ定ムル人造石油ニ付之ヲ交付ス

奬勵金ノ額ハ人造石油ノ市價及生産費ヲ標準トシ相當利益ヲ參酌シテ商工大臣毎年之ヲ定ム

第十條　商工大臣人造石油製造事業法第十六條ノ命令ヲ爲サントスル場合ニ於テ其ノ命令ガ軍事上ニ影響ヲ及ボスベキモノナルトキハ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ協議スベシ

第十一條　陸軍大臣又ハ海軍大臣ハ人造石油製造事業法第十七條ノ命令ヲ爲サントスルトキハ商工大臣ニ協議スベシ

第十二條　政府ハ軍事上其ノ他公益上緊急ノ必要アルトキハ人造石油製造事業法第十八條ノ規定ニ依リ人造石油製造會社ノ所有スル人造石油ヲ購入スルコトヲ得

第十三條　本令中商工大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官トス

附　則

本令ハ人造石油製造事業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

三　用途ノ變更ヲ必要トスル事由

第六條　本令ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ輸入地ノ稅關ヲ經由スベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四章　漁業

第一款　漁業

●朝鮮漁業令

昭和四年一月
制令第一號

朝鮮漁業令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮總督　子爵　山梨半造

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ漁業ト稱スルハ公共ノ用ニ供スル水面又ハ之ト連接シテ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セザル水面ニ於テ營利ノ目的ヲ以テ水産動植物ヲ採捕シ又ハ養殖スル業ヲ謂フ

本令ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權ヲ有スル者ヲ謂フ

第二條　公共ノ用ニ供スル水面ト連接シテ一體ヲ成ス公共ノ用ニ供セザル水面ノ占有者又ハ其ノ數地ノ所有者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ漁業ニ關シ之ガ利用ヲ制限シ又ハ禁止スルコトヲ得

第三條　帝國臣民又ハ帝國法人ニ對シ漁業又ハ漁業ニ關スル權利ノ享有ニ付禁止ヲ爲シ又ハ制限若ハ條件ヲ附スル國ニ屬スル外國人又ハ外國法人ニ對シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ漁業又ハ漁業權ノ享有ニ付同一若ハ類似ノ禁止ヲ爲シ又ハ同一若ハ類似ノ制限若ハ條件ヲ附スルコトヲ得

前項ニ規定スルモノノ外外國人又ハ外國法人ノ漁業又ハ漁業權ノ享有ニ付必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ漁業又ハ漁業權ニ關シ左ノ事項ヲ定ムルコトヲ得

一　漁業又ハ漁業權ノ種類

二　漁業又ハ漁業權ノ行使ノ區域又ハ期間

三　漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關スル制限又ハ條件

四　漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關スル禁止

第五條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關シ漁業者ニ對シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第六條　朝鮮總督ハ漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關シ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ對シ其ノ業務ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ所屬官吏ヲシテ漁業ノ狀況若ハ漁具、漁船其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第七條　朝鮮總督ハ漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關シ必要アリト認ムルトキハ其ノ所屬官吏ヲシテ漁業者ノ業務所ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第八條　朝鮮總督ハ漁業又ハ漁業權ノ行使ニ關シ必要アリト認ムルトキハ其ノ所屬官吏ヲシテ漁業者ノ業務所ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得

第九條　第六條第一項ノ規定ニ依リ漁業ノ免許ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場ニ付朝鮮河川令第二十條第三號ノ許可ヲ受ケタルモノト雖モ漁業ノ免許ノ取消ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場ニ付朝鮮河川令第二十條第三號ノ許可ノ取消ヲ受ケタルモノト雖モ漁業ノ免許ノ取消ヲ受ケタル者ハ其ノ漁場ニ付朝鮮河川令第二十條第三號ノ許可ノ取消ヲ受ケタルモノト雖モ前項ノ期間中ニハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ漁業ヲ爲サザル期間及前條ノ規定又ハ第三十九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セズ

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

一　捕鯨漁業　鯨捕獲ス船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

二　「トロール」漁業　鯨船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

三　工船漁業　製造工場設備ヲ有スル機船及之ニ附屬スル漁船ニ依リテ爲ス漁業

四　機船底曳網漁業　機船ニ依リ曳網ヲ引曳シ又ハ其ノ繰寄セテ爲ス漁業

五　潜水器漁業　潜水器具ヲ使用シ潜水シテ爲ス漁業

朝鮮總督ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定スルモノノ外許可ヲ受ケシムベキ漁業ヲ定ムルコトヲ得

第十一條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ爲スニ當リ之ニ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ヲ爲サントスル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

一　捕鯨漁業　鯨捕獲ス船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

二　「トロール」漁業　鯨船（螺旋推進器ヲ備フル船舶以下之ニ同ジ）又ハ帆船ニ依リ「オッタートロール」又ハ「ビームトロール」ヲ使用シテ爲ス漁業

三　工船漁業　製造工場設備ヲ有スル機船及之ニ附屬スル漁船ニ依リテ爲ス漁業

四　機船底曳網漁業　機船ニ依リ曳網ヲ引曳シ又ハ其ノ繰寄セテ爲ス漁業

五　潜水器漁業　潜水器具ヲ使用シ潜水シテ爲ス漁業

朝鮮總督ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ前項ニ規定スルモノノ外許可ヲ受ケシムベキ漁業ヲ定ムルコトヲ得

第十三條　免許又ハ許可ヲ受ケタル漁業ニシテ引續キ二年以上之ヲ爲サザルトキハ朝鮮總督ハ漁業ノ免許又ハ許可ヲ取消スコトヲ得

前項ノ期間中ニハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ漁業ヲ爲サザル期間及前條ノ規定又ハ第三十九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セズ

第十四條　第六條第一項又ハ第十條ニ規定スル漁業ニ非ザル漁業ヲ爲サントスル者ハ道知事ニ届出ヅベシ

第二章　漁業權

第十五條　漁業權ハ物權トシ土地ニ關スル規定ヲ準用ス

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第二編第九章ノ規定ハ漁業權及之ヲ目的トスル權利ニ之ヲ適用セズ

第十六條　朝鮮總督ハ漁業權保護ノ爲保護區域ヲ設クルコトヲ得

保護區域内ニ於ケル漁業權ノ行使ノ妨害ト爲ルベキ漁業ノ制限又ハ禁止ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十七條　漁業權ヲ抵當ト爲スルトキハ場合ニ於テ其ノ漁場ニ定著シタル工作物ハ朝鮮民事令ニ於テ其ノ公告ヲ爲シタル日ノ翌日ヨリ起算シ十九條ノ規定ニ基ク命令ニ依リ漁業ヲ停止セラレタル期間ハ之ヲ算入セズ

第十八條　本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限條件ニ依リ漁業權者ニ生ジタル權利義務ハ漁業權ノ處分ニ從フ朝鮮河川令ニ依リテ爲ス漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消ノ權利義務ニ付亦同ジ

第十九條　漁業權ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ分割シ其ノ他變更スルコトヲ得ズ

專用漁業ノ漁業權ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ處分シ、擔保ニ供シ又ハ貸付スルコトヲ得ズ

第二十條　漁業權ハ登錄シタル權利者ノ同意ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ分割シ、變更又ハ拋棄スルコトヲ得ズ

第二十一條　漁業權ノ共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非ザレバ其ノ持分ヲ處分シ又ハ之ヲ擔保ニ供スルコトヲ得ズ

第二十二條　前條ノ場合ニ於テ共有者ノ住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ因リ之ガ同意ヲ求ムルコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ公告ヲ爲シタル場合ニ於テ共有者ノ住所ノ不分明ナル事由ニ因リ之ガ同意ヲ求ムルコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲スベシ

第二十三條　漁業ノ免許又ハ許可ヲ受ケタル者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ漁業權ヲ取得スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ漁業權ヲ取得シタル者ハ遅滯ナク其ノ事由ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

第二十四條　第十八條ノ規定ニ依リ漁業權ニ付生ジタル權利義務ハ漁業權ノ取得ニ從フ

第二十五條　專用漁業ノ漁業權者ハ從來ノ慣行ニ依リ其ノ漁場ニ於テ漁業ヲ爲ス者ノ入漁ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十六條　前條ノ漁業權者ハ入漁ヲ爲ス者ニ對シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ入漁料ヲ請求スルコトヲ得但シ別段ノ慣行アル場合ヲ除クノ外入漁料算定ノ基礎ト爲ルベキ期間ハ漁ヲ爲サザル場合ニ於テハ其ノ入漁ヲ爲サザル期間ニ對スル入漁料ハ之ヲ請求スルコトヲ得ズ

アジア経済文化研究センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第五十條　漁業組合及漁業組合聯合會ノ役員ハ漁業ニ關スル規定ノ違反ニ付キ罰金ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ職ヲ失フ

第五十一條　漁業組合及漁業組合聯合會ノ役員ハ名譽職トス

第五十二條　漁業組合及漁業組合聯合會ニ關スル訴訟ニ付テハ組合長又ハ聯合會長之ヲ代表ス

第五十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ヲ以テ組合員トス

第五十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合員タルコトヲ強制スルコトヲ得

第五十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第五十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第五十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第五十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第五十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第六十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第七十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第八十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第九十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百二十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百三十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百四十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百五十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百六十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百七十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百八十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十二條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十三條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十四條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十五條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十六條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十七條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十八條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第百九十九條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第二百條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第二百一條　漁業組合ハ其ノ地區內ニ住所ヲ有スル漁業者ニ對シ組合ノ定款ヲ遵守シ組合ノ決議ニ從ヒ組合ノ負擔ヲ分任スルコトヲ強制スルコトヲ得

第二

第七十三條　第三十七條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第七十四條　第六十八條、第六十九條、第七十條第一項、第七十一條第一項及第七十二條ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持シ採捕物、養殖物、其ノ製品及漁具ニシテ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑法第十九條第一項ノ物ハ之ヲ沒收ス

前條ノ場合ニ於テハ犯人ノ所有シ又ハ所持シタル採捕物、養殖物、其ノ製品、船舶（屬具ヲ含ム）、漁具、有毒物、爆發物及危險器具（屬具ヲ含ム）ニシテ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑法第十九條第一項ノ物ハ之ヲ沒收ス

前二項ノ場合ニ於テ沒收スベキ物件ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價格ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第一項及第二項ニ規定スルモノヲ除クノ外第六十八條、第六十九條、第七十條、第七十一條第一項、第七十二條及前條ノ場合ニ於テハ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル刑法第十九條ノ規定ヲ適用ヲ妨ゲズ

第七十五條　漁場標識ヲ移轉シ、損壞シ若ハ毀滅シタル者又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ漁場標識ノ效用ヲ失ハシメタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第七十六條　第四十條、第四十一條第一項又ハ第四十二條ノ規定ニ依リ發シタル職務ノ執行ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ時間ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第四十一條第二項ノ規定ニ依リ同行又ハ廻航ノ命ニ從ハザル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條　督業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル制限又ハ禁止ニ付許可ヲ受ケタル者ハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域

二　利用ノ制限ヲ爲サントスル事項竝ニ利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル時期及期間

三　第一號ノ水面ニ於ケル漁業ノ狀況

四　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域

由

前項ノ申請書ニハ左ニ揭ゲル書類ヲ添附スベシ

一　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域圖

二　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ占有者又ハ所有者又ハ敷地ノ所有者タルコトヲ證スベキ書面

三　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ニ於テ漁業權ヲ有スル者アルトキ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者アルトキハ其ノ同意書（同意ヲ得ル能ハザルトキハ其ノ事由書）

第四條　漁業令第二條ノ許可ヲ爲シタルトキハ道知事ハ左ニ揭ゲル事項ヲ公告シ且之ヲ其ノ水面ニ於テ漁業權ヲ有スル者及漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ通知スベシ

一　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域

二　利用ノ制限ヲ爲サントスル事項

三　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル時期及期間

四　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル理由

第五條　漁業令第二條ノ規定ニ依リ水面ノ利用ノ制限又ハ禁止ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

一　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域

二　利用ノ制限ヲ爲サントスル事項竝ニ利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル時期及期間

三　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル理由

四　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域圖

二　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ニ於テ漁業權ヲ有スル者アルトキ又ハ漁業權ニ付登錄シタル權利者アルトキハ其ノ同意書（同意ヲ得ル能ハザルトキハ其ノ事由書）

第六條　漁業令第二條ノ許可ヲ爲シタルトキハ道知事ハ左ニ揭ゲル事項ヲ公告シ且之ヲ其ノ水面ニ於テ漁業權ヲ有スル者及漁業權ニ付登錄シタル權利者ニ通知スベシ

一　許可ヲ爲シタル水面ノ位置及區域

二　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル事項竝ニ利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル時期及期間

三　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル理由

四　利用ノ制限又ハ禁止ヲ爲サントスル水面ノ位置及區域圖

第七條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第八條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第九條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十一條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十二條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十三條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十四條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十五條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十六條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十七條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十八條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第十九條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十一條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十二條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十三條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十四條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十五條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十六條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十七條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十八條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第二十九條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十一條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十二條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十三條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十四條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十五條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十六條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十七條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十八條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第三十九條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十一條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十二條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十三條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十四條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十五條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十六條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十七條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十八條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第四十九條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十一條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十二條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十三條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十四條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十五條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十六條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十七條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十八條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第五十九條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十一條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十二條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十三條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十四條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十五條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十六條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十七條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十八條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第六十九條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十一條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十二條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十三條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十四條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十五條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十六條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十七條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十八條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第七十九條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第八十條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第八十一條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第八十二條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第八十三條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第八十四條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第八十五條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第八十六條　漁業令第二條ノ許可ヲ受ケタル者本令第三條第一項第一號又ハ第二號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ本令第三條ノ手續ニ準ジ道知事ニ申請シ許可ヲ受クベシ

道知事前項ノ規定ニ依リ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ本條ノ規定ニ準ジ公告及通知ヲ爲スベシ

第八十七條　漁業令第二

第二十一條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十二條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十三條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十四條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十五條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十六條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十七條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十八條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第二十九條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十一條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十二條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十三條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十四條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十五條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十六條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十七條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十八條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第三十九條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十一條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十二條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十三條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十四條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十五條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十六條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十七條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十八條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第四十九條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十一條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十二條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十三條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十四條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十五條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十六條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十七條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十八條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第五十九條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十一條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十二條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十三條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十四條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十五條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十六條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十七條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十八條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第六十九條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

第七十條　行政官廳ハ漁業ノ取締又ハ漁業ノ調査ノ為メ必要アリト認ムルトキハ漁業者ニ報告ヲ命シ又ハ其ノ吏員ヲシテ漁業者ノ事務所若クハ漁業ノ為メ使用スル船舶ニ臨検シ帳簿書類ヲ検査シ又ハ漁具ヲ検査セシムルコトヲ得

五　使用ヲ必要トスル施設ノ計畫
六　許可ヲ申請セントスル事由
前項ノ申請書ニハ左ニ掲ゲル圖面ヲ添附スベシ
一　使用スベキ土地ノ圖面
二　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ必要トスル工作物其ノ他土地ノ定著物ノ種類、數量及見積額
三　立入ルベキ土地又ハ變更若ハ除却スベキ障碍物ノ所在ノ場所、種類、數量及見積價額
四　立入ルベキ期間又ハ變更若ハ除却ヲ必要トスル事由

第四十四條　漁業令第三十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ左ニ掲ゲル事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ヅベシ
一　使用スベキ土地ノ面積
二　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ位置ヲ表シタル附近ノ土地及沿岸ノ略圖

第四十四條　漁業令第三十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ノ氏名及住所ヲ公告スベシ

第四十五條　漁業令第三十一條第一項ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ採取ヲ必要トスル期間内ニ補償ノ申請ヲ爲サザルトキハ遲滯ナク之ヲ道知事ニ屆出ヅベシ

前項ノ公告アリタル日ノ翌日ヨリ起算シ二月以内ニ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ
一　免許又ハ許可ノ番號（漁業令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ處分ヲ受ケタル場合ニ限ル）又ハ除害設備ヲ命ゼラレタル年月日、工作物ノ所在ノ場所及種類（漁業令第三十六條第二項ノ規定ニ依リ處分ヲ受ケタル場合ニ限ル）
二　損害ノ事實
三　損害ノ見積金額、內譯及其ノ算定方法
前項ノ申請書ニハ證據書類ヲ添附スベシ
第一項ニ規定スル期間內ニ補償ノ申請ヲ爲シタル者ニ非ザレバ本令ニ依リ補償ヲ受ケルコトヲ得ズ

第五十二條　漁業令第六十一條第三項ノ規定ニ依リ補償又ハ負擔ニ付裁定ヲ求メントスル者ハ補償又ハ其ノ負擔ノ決定書ノ謄本ノ交付ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シ二月以內ニ其ノ事由ヲ具シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ
前條第三項ノ規定ハ前項ノ裁定ノ申請ニ之ヲ準用ス

第五十三條　漁業令第六十三條第二項ノ規定ニ依リ補償ニ付裁定ヲ求メントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ
一　使用若ハ除去制限又ハ立入リ若ハ變更、除却ノ許可ノ年月日
二　使用シ若ハ立入リタル土地ノ所在、地番、地目及面積又ハ除去ヲ制限シ若ハ變更、除却シタル物件ノ所在ノ場所、種類及數量
三　立入リ又ハ變更若ハ除却シタル時期及
四　損害ノ事實
五　損害ノ見積金額、內譯及其ノ算定方法
六　對手方ノ氏名及住所

ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ
一　免許ノ番號
二　入漁料ノ額
三　入漁料ノ請求方法
四　入漁ヲ爲ス者ノ數
五　入漁料ヲ請求セントスル事由
六　入漁料ヲ請求セントスル事由

第四十一條　漁業令第二十七條第一項ノ規定ニ依リ漁業ニ關スル制限ヲ爲シタルトキハ漁業權者及入漁ヲ爲ス者ハ遲滯ナク左ニ掲ゲル事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ
一　免許ノ番號
二　處分ノ事項
三　處分ノ年月日
四　處分ヲ受ケタル者ノ氏名及住所

第四章　土地ノ使用

第四十三條　漁業令第三十一條第一項ノ規定ニ依リ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ採取ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ
一　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若干ノ所在ノ場所、種類及數量
二　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若干ノ所有者及占有者並ニ其ノ土地物件ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ氏名及住所
三　使用スベキ時期及期間又ハ除去ヲ制限スベキ期間
四　使用又ハ除去ノ制限ヲ必要トスル事由

前項ノ場合ニ於テ前條第一號又ハ第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ許可ノ指令書ヲ申請書ニ添附スベシ
道知事本令第四十三條第一項第一號又ハ第三號ノ事項ノ變更ノ許可ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ公告スベシ

第四十八條　漁業令第三十二條第一項ノ規定ニ依リ他人ノ土地ニ立入リ又ハ障碍物ヲ變更若ハ除却スル場合ニ於テハ許可ノ指令書ヲ、前條第二項其ノ他ノ事由ニ因リ許可ノ指令書ヲ携帶スルコト能ハザルトキハ府尹、郡守又ハ島司ノ證明書ヲ携帶スベシ

第四十八條ノ二　漁業令第三十三條第一項ノ規定ニ依ル公告ハ使用セントスル土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物、立入ラントスル土地又ハ變更若ハ除却セントスル立木竹其ノ他障碍物所在ノ府邑面ノ掲示場ニ通知スベキ事項ヲ掲示シテ之ヲ爲スベシ

第五章　補償及裁定

第四十九條　漁業令第十二條第一號若ハ第二號ノ規定ニ依リ漁業ノ免許若ハ許可ヲ取消シタル場合、同令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ免許若ハ許可シタル漁業ヲ停止シタル場合又ハ同令第三十六條第二項ノ規定ニ依リ除害設備ヲ命ジタル場合ニ於テ其ノ處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ朝鮮總督ハ損害ノ原因タル處分ニ因リ通常生ズベキ直接ノ損害ニ付之ヲ補償ス

第五十條　漁業令第十二條第一號乃至第三號ノ規定ニ依リ免許又ハ許可シタル漁業ヲ制限シタル場合ニ於テ其ノ處分ニ因リ著シク損害ヲ受ケタル者アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ損害ノ原因タル處分ニ因リ通常生ズベキ直接ノ損害ニ付其ノ一部ヲ補償スルコトヲ得

第五十一條　前二條ノ規定ニ依リ補償ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テ前條第一號又ハ第三號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ許可ノ指令書ヲ、前條第二項其ノ他ノ事由ニ因リ許可ノ指令書ヲ携帶スルコト能ハザルトキハ府尹、郡守又ハ島司ノ證明書ヲ携帶スベシ

第五十二條　漁業令第三十三條第一項ノ規定ニ依リ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ採取ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ
一　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若干ノ所在ノ場所、種類及數量
二　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若干ノ所有者及占有者並ニ其ノ土地物件ニ付登記シタル權利ヲ有スル者ノ氏名及住所
三　使用スベキ時期及期間又ハ除去ヲ制限スベキ期間
四　使用又ハ除去ノ制限ヲ必要トスル事由

第五十三條　漁業令第三十三條第一項ノ規定ニ依リ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ採取ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ
一　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ面積
二　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若干ノ所在ノ場所、種類及數量
三　使用スベキ時期及期間

第五十四條　漁業令第三十三條第一項ノ規定ニ依リ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ採取ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ
一　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ面積
二　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若干ノ所在ノ場所、種類及數量
三　使用スベキ時期及期間
四　使用又ハ除去ノ制限ヲ必要トスル事由

第五十五條　漁業令第三十三條第一項ノ規定ニ依リ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ採取ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ
一　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ面積
二　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若干ノ所在ノ場所、種類及數量
三　使用スベキ時期及期間
四　使用又ハ除去ノ制限ヲ必要トスル事由

第五十六條　漁業令第三十三條第一項ノ規定ニ依リ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物ノ使用又ハ立木竹若ハ土石ノ採取ノ除去ノ制限ニ付許可ヲ受ケントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ差出スベシ
一　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ面積
二　使用スベキ土地若ハ工作物其ノ他土地ノ定著物又ハ除去ヲ制限スベキ立木竹若干ノ所在ノ場所、種類及數量
三　使用スベキ時期及期間
四　使用又ハ除去ノ制限ヲ必要トスル事由

第五十七條　申請ノ目的及事由

第五十四條　漁業令第六十五條ノ規定ニ依リ專用漁業ノ漁場ニ於ケル漁業ニ關スル制限ニ付裁定ヲ求メントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ
一　免許ノ番號
二　制限ヲ爲サントスル事項
三　制限ヲ爲サントスル時期又ハ期間
四　制限ヲ爲サントスル事由
五　對手方ノ氏名及住所

第五十五條　申請ノ事由

專用漁業ノ漁業權者又ハ入漁ヲ爲ス者二人以上アル場合ニ於テ共ノ一部ノ者ト協議調ハザルカ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザル爲漁業令第六十五條ノ規定ニ依リ裁定ヲ求メントスルトキハ前項ノ申請書ニ同意ヲ爲シタル者ノ同意書ヲ添附スベシ

第五十五條　漁業令第六十六條ノ規定ニ依リ漁場ノ區域、漁業權ニ制限、保護區域、漁業方法又ハ入漁ノ慣行ニ付裁定ヲ求メントスル者ハ左ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ
一　紛爭ノ事實
二　對手方ノ氏名及住所
三　申請ノ目的及事由

前項ノ申請書ニハ證據書類ヲ添附スベシ

第五十六條　前五條ノ申請書ニハ關係人ト交渉シタル顚末書又ハ交渉ヲ爲スコト能ハザル事由書並ニ關係人ノ數ニ相當スル申請書及關係書類ノ副本ヲ添附スベシ

前三條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ朝鮮總督又ハ道知事ハ申請書ニ對スル意見書ヲ差出スベキ旨ノ告知書及前項ノ副本ヲ關係人ニ送達スベシ

第五十七條　前條第二項ノ規定ニ依リ告知書ノ送達ヲ受ケタル場合ニ於ケル立木竹ノ差押期間ハ送達ヲ受ケタル日ノ翌日ヨリ起算シ二月以內トス

前項ノ期間內ニ意見書ヲ差出サザルトキハ意見ナキモノト看做ス

第五十八條　朝鮮總督又ハ道知事第五十一條乃至第五十五條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ第五十一條又ハ第五十二條ノ場合ニ在リテハ之ヲ受理シタル日ノ翌日ヨリ、第五十三條乃至第五十五條ノ場合ニ在リテハ前條第一項ノ期間ノ經過シタル日ノ翌日ヨリ起算シ三月以內ニ裁定又ハ補償ノ決定ヲ爲スベシ

第五十九條　裁定又ハ補償若ハ負擔ノ決定ハ理由ヲ附シタル文書ヲ以テ之ヲ爲シ朝鮮總督又ハ道知事ハ遲滯ナク其ノ裁定書又ハ決定書ノ謄本ヲ關係人ニ送達スベシ

第六十條　漁業令第六十一條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル補償若ハ負擔ノ決定又ハ同令第六十一條第三項、第六十三條第二項若ハ第六十六條ノ規定ニ依ル裁定ヲ爲ス爲必要アリト認ムルトキハ朝鮮總督又ハ道知事ハ鑑定人、事實參考人若ハ利害關係人ノ意見ヲ徵シ又ハ此等ノ者若ハ補償ヲ受ケベキ者ヲ呼出シテ其ノ意見若ハ供述ヲ聽クコトヲ得

第六十一條　前條ノ規定ニ依リ鑑定人又ハ事實參考人ヲ呼出シタル場合ニ於テハ之ニ旅費及手當ヲ支給ス其ノ金額及支給方法ハ朝鮮總督之ヲ定ム

前條ノ規定ニ依リ利害關係人ヲ呼出シタル場合ニ於テハ前項ノ規定ニ準ジ之ニ旅費及手當ヲ支給スルコトヲ得

第六十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第六條又ハ第二十六條第五項ノ命令ニ從ハザル者

二　第六十條ノ呼出ニ應セザル者

第六十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

一　第二十八條第一項ノ屆出ヲ爲サザル者

二　第二十九條第三項、第三十一條、第三十二條、第三十八條第一項又ハ第四十五條第一項ノ屆出ヲ怠リタル者

三　第二十一條又ハ第三十三條ノ規定ニ依ル檢查ヲ拒ミ妨ゲ又ハ忌避シタル者

第六十四條　本令ハ朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六十五條　漁業令施行規則ハ之ヲ廢止ス

第六十六條　舊漁業令又ハ舊令ニ依リテ爲シタル免許、處分其ノ他ノ行爲ニ付テハ本令第十二條乃至第十四條、第二十九條第四項、第三十一條第三項、第三十七條及第三十八條第五十一條又ハ第五十二條ノ場合ニ在リテハ之ヲ受理シタル日ノ翌日ヨリ、第五十三條乃至第五十五條ノ場合ニ在リテハ前條第一項ノ期間ノ經過シタル日ノ翌日ヨリ起算シ三月以內ニ裁定又ハ補償ノ決定ヲ爲スベシ

第三十一條第三項、第三十七條及第三十八條第三項、第四項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第六十七條　漁業令第八十一條又ハ同令第八十二條ノ規定ノ適用ニ付テハ左ノ上欄ニ掲ゲル舊令ニ依ル漁業ハ各相當下欄ニ掲ゲル本令ニ依ル漁業ニ該當スルモノトス

舊令ニ依ル漁業	本令ニ依ル漁業
第四種許可漁業	採潛漁業
第五種許可漁業	海獸漁業
第六種許可漁業（蝶旋推進器ヲ備フル漁船ヲ使用スルモノヲ除ク）、第七種許可漁業並ニ第八種許可漁業中貝桁打瀨網漁業、海鼠桁打瀨網漁業及蝦漕網漁業	曳網漁業
第八種許可漁業中鮭鱒網漁業、中船網漁業、艀船網漁業、橋船網漁業及蝦柱木網漁業、第十種許可漁業中建干網漁業並ニ第十一種許可漁業	敷網漁業
第八種許可漁業（鮭鱒網漁業、中船網漁業、艀船網漁業、橋船網漁業、蝦漕網漁業、蝦柱木網漁業及螺旋推進器ヲ備フル漁船ニ依リテ爲ス手繰網漁業ヲ除ク）	繰網漁業

附　則（昭和八年十二月總令第百四十一號）

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

舊第十五條第四號ニ該當スル漁業ニシテ機船ニ依リ漁網ヲ引旋シ網揚ヲ引締メテ爲スモノニ付爲シタル許可、處分其ノ他ノ行爲ハ之ヲ機船巾著網漁業ニ關シ本令ニ依リテ爲シタルモノト看做ス

●朝鮮漁業保護取締規則

昭和四年十二月總令第百九號

改正　昭和五年一二第二〇二號、六年七第八五號、七年三第二八號、七年五第四四號、八年一二第二三號、

第一款　漁業

第一條　漁業ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ

一　水產動植物ヲ採捕スル事業

二　水產動植物ヲ養殖スル事業

第二條　漁業ヲ營ム者ハ漁業權又ハ入漁權ヲ有スルニ非サレハ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得ス

第三條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ

一　定置漁業權

二　區劃漁業權

三　特別漁業權

第四條　定置漁業權ハ一定ノ區域ニ定置シタル漁具ニ依リ水產動植物ヲ採捕スル權利トス

第五條　區劃漁業權ハ一定ノ區域ニ於テ一定ノ水產動植物ヲ養殖スル權利トス

第六條　特別漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ

一　第一種共同漁業權

二　第二種共同漁業權

三　第三種共同漁業權

第七條　第一種共同漁業權ハ定置漁業權又ハ區劃漁業權ノ設定セラレサル場所ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ニ付設定ス

一　地先水面ニ於テ營ム漁業

二　一人又ハ特定ノ數人ニ於テ營ム漁業

第八條　第二種共同漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ニ付設定ス

一　地先水面ニ於テ營ム漁業

二　一人又ハ特定ノ數人ニ於テ營ム漁業

第九條　第三種共同漁業權ハ第一種共同漁業權又ハ第二種共同漁業權ノ設定セラレサル場所ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル漁業ニ付設定ス

一　地先水面ニ於テ營ム漁業

二　一人又ハ特定ノ數人ニ於テ營ム漁業

第十條　漁業權ハ物權ト看做ス

第十一條　漁業權ハ土地ニ關スル規定ニ從ヒ之ヲ處分スルコトヲ得

第十二條　漁業權ハ之ヲ分割シ又ハ一部ニ付消滅セシムルコトヲ得ス

第十三條　漁業權ハ之ヲ擔保ト爲スコトヲ得

第十四條　漁業權ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第十五條　漁業權ハ之ヲ公用徵收ニ付スルコトヲ得ス

第十六條　漁業權ハ之ヲ行使スル權利ヲ有スル者ニ非サレハ之ヲ取得スルコトヲ得ス

第十七條　漁業權ハ相續ニ因リ又ハ法人ノ合併ニ因リテノミ之ヲ取得スルコトヲ得

第十八條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

三　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第十九條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十一條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十二條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十三條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十四條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十五條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十六條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十七條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十八條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第二十九條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十一條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十二條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十三條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十四條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十五條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十六條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十七條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十八條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第三十九條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十一條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十二條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十三條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十四條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十五條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十六條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十七條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十八條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第四十九條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十一條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十二條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十三條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十四條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十五條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十六條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十七條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十八條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第五十九條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

第六十條　漁業權ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ行使ヲ停止セラルヘシ

一　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルトキ

二　漁業權ヲ有スル者ニ於テ其ノ漁業ヲ營ムコトヲ得サルニ至リタル旨ノ申出アリタルトキ

甲　保護區域ヲ有スルモノ

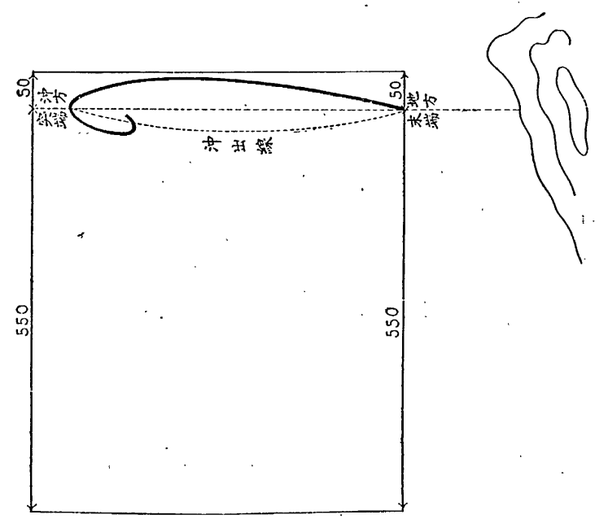
第一號表

漁業ノ名稱	保護區域	保護區域圖解
大敷網漁業 角網漁業 大敷網漁業 沖側ノ長サ二百七十メートル以上ノモノ 大敷網漁業 身網及ビ袋網ノ身網ヨリ下之ニ同ジ）ノ長サ二百七十メートル以上ノモノ	沖出綱（垣網ヨリ身網部ヲ經由シテ垣網ノ沖側中央ヨリ之ニ同ジ）ノ延長ノ二倍ノ長サノ線以下之ニ同ジ）ノ延長ノ二倍ノ長サノ線ヲ經由シテ垣網ノ沖側中央ヨリ

漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
大敷網漁業 角網漁業 大敷網漁業 ノ 身網突字部 沖側ノ乾サ 九十メートル 水深ノモ	沖出縄及沖出延長縄二百メートルタ合シタル縄ノ前面千百メートルノ水面及後面二百メートルノ水面	200 200 200 1100 1100
行小成漁網漁業 流漁業	沖出縄及沖出延長縄二百メートルタ合シタル縄ノ前面千五百メートルノ水面及後面二百メートルノ水面	200 200 1500 1500

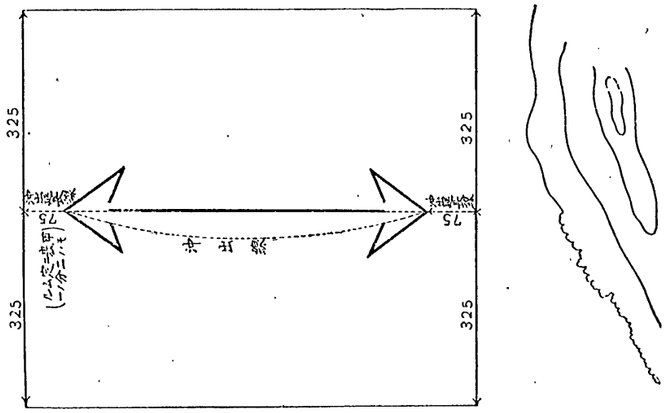
漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
鰯拼網漁業 流漁業	沖出縄及沖出延長縄百五十メートルタ合シタル縄ノ前面五百メートルノ水面及後面百メートルノ水面	100 150 100 550 550
建網（曲建網ヲ使用スルモノ限ル） 流漁業	沖出縄及沖出延長縄五十メートルタ合シタル縄ノ前面五百五十メートルノ水面及後面五十メートルノ水面	50 50 50 550 550

例　一　由起網ノ沖出綱ヘ流氷ノ地方ヨリ来ル時ヨリ沖方ヨリ岸ニ至ル線トス



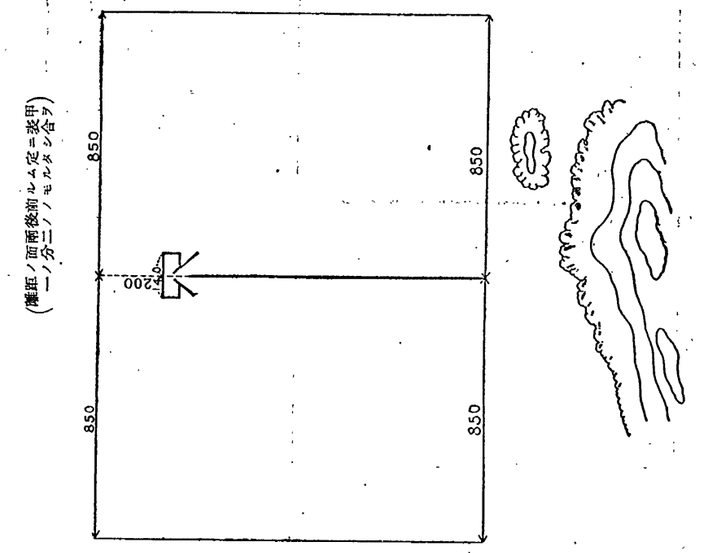
二　垣網ノ両端ニ各網ヲ有スルモノノ沖出綱ハ両各網部外側中穴ノ適宜ノ一トス

例　（垣網ノ両端ニ各網ヲ有スル垣網ノ例）

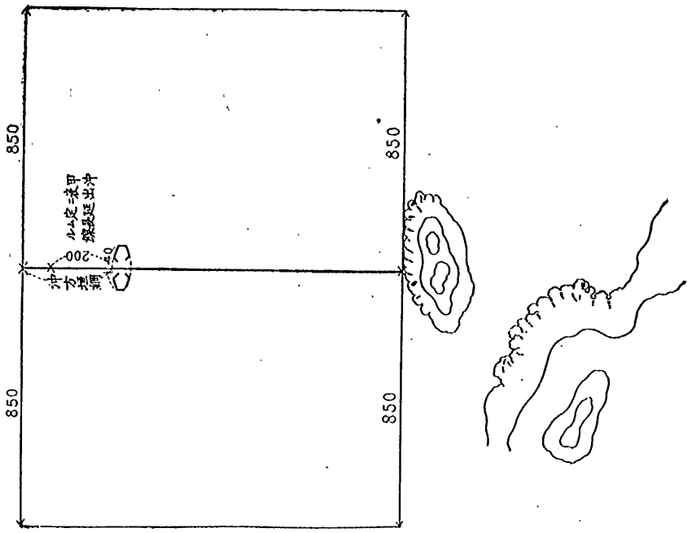


三　垣網ノ左右ニ網口ヲ有スルモノノ二分ノ一ヲ水面トス リテハ沖出綱及沖出距岸綱ノ前後端面ニ於テ甲表ニ定ムル前後端面ノ距離ノ合シタルモノノ二分ノ一ヲ取ルモノトス

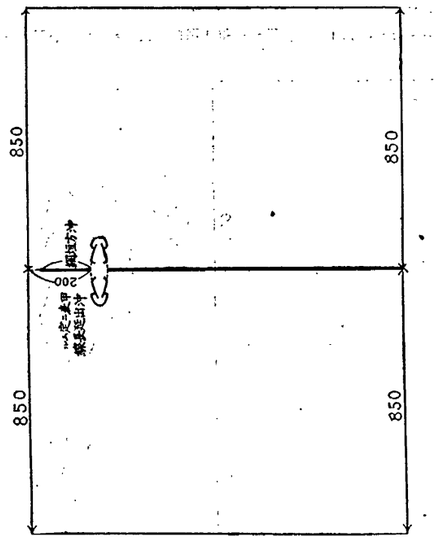
例　（各網字部沖側ノ長サ百四十メートルノ角網ニシテ袋ス角網ノ左右ニ網口ヲ有スル垣網ノ例）



四　各網ニ垣方垣網ノ沖口及之ニ有スル垣網ノ沖出距岸綱ノ長サハ沖方垣網ノ末端ヨリ各網部沖側中央ニ至ル線ノ長サニ等シキモノトス其沖方垣網ノ末端ヨリ各網部沖側中央ニ至ル線ヨリ長キモノ（各網字部沖側ノ長サ百四十メートルノ八角網ノ例）

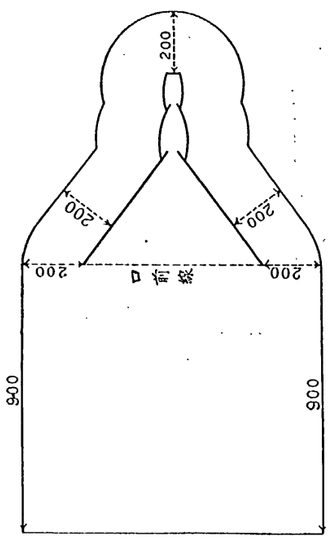


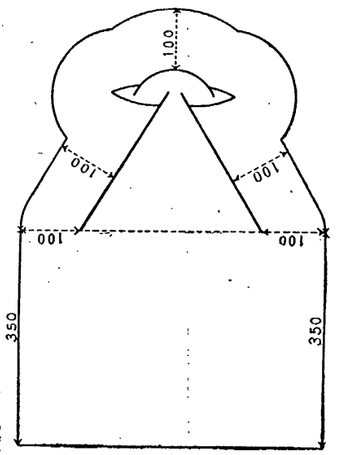
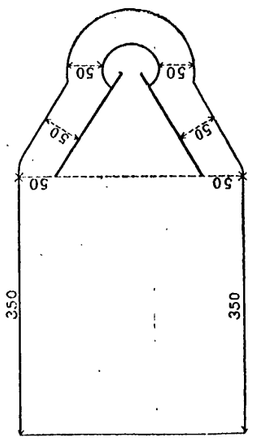
例二　沖側垣網ガ沖出垣網ヨリ短キモノ（小寄網ノ例）



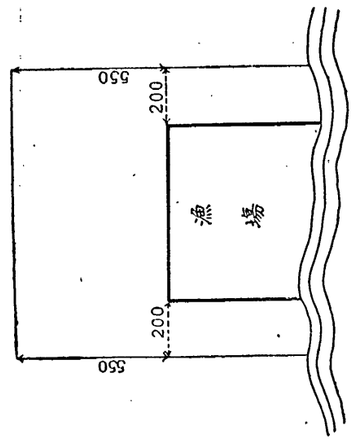
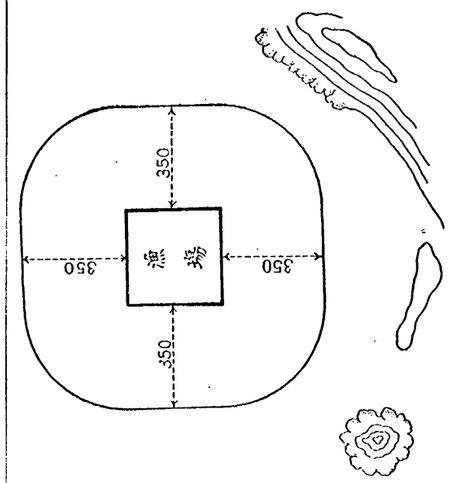
乙　袖垣網ノミヲ有スルモノ

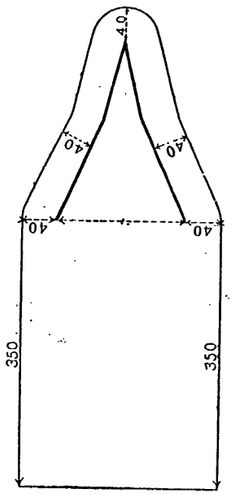
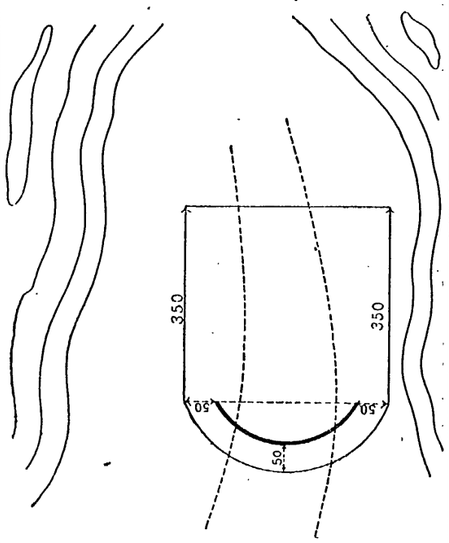
五　魚ノ囲集又ハ囲網ヘ寄ル習性ヲ有スル魚

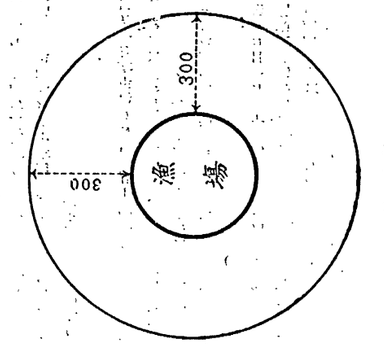
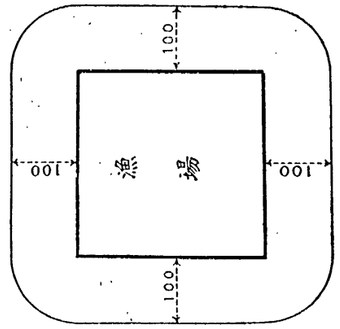
漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
小寄網 成墓網 網網 漁漁 業業	口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル（口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル以下之ニ同ジ）及口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル各ソノ水面及漁具ノ外方九百メートル（口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル以下之ニ同ジ）及口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル各ソノ水面及漁具ノ外方二百メートル	

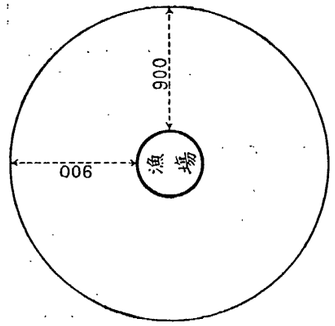
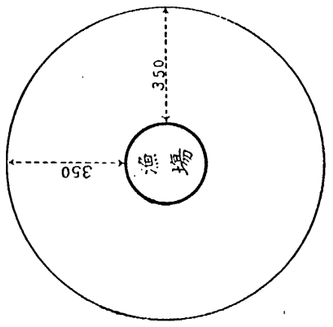
漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
刺網 網網 漁漁 業業	口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル（口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル以下之ニ同ジ）及口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル各ソノ水面及漁具ノ外方九百メートル（口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル以下之ニ同ジ）及口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方二百メートル各ソノ水面及漁具ノ外方二百メートル	
魚筋 漁業	口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方五十メートル（口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方五十メートル以下之ニ同ジ）及口前縁ヨリ沖出垣網ノ外方五十メートル各ソノ水面及漁具ノ外方五十メートルノ水面	

丙 其ノ他ノモノ

漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
防船地		
陣屋曳		
網網網		
漁流漁		
業業業	面図モシ各五十長長漁神合 三ノ漁岡百五タ合シ（神合ニ 百ニ場百側十線ノ区ル線（神合ニ 五走ルカメ線ノ区（神合ニ面 十リ陸ト（囲側）ニ面ノ及神シ メテ岸ルニ面ノ百ニ南端ノ百メ延 ートル線ノ水初メタ延ル ル場セ水シ百ニ面ノ面ル ノノザ位外方ヲ面面	
待網漁業	漁場ノ周囲三百五十メートルノ水面	

漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
建建		
干		
柵		
漁		
業		
曳曳		
網網		
漁漁		
業業	口前線及口前延長線各五 十メートル合シタル線ノ前面三百五十メートル ノ水面及漁具ノ外方五十メートル メートルノ水面	
建建		
ノ曲		
ヲ建		
築除網		
グラ		
使		
用漁		
ベル		
モ業		
業業	口前線及口前延長線各五 十メートル合シタル線ノ前面三百五十メートル ノ水面及漁具ノ外方五十メートル メートルノ水面	

漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
資源培養漁業	漁場ノ周囲三百メートルノ水面	
築堤漁業	漁場ノ周囲百メートルノ水面	

漁業ノ名称	保護区域	保護区域図解
例（漁場ヲ例ニ付タル目的トスル漁業ニ付テハ漁場ノ周囲九百メートルノ水面）	漁場ノ周囲九百メートルノ水面	
例（漁場ヲ例ニ付タル目的以外ノ漁業ニ付テハ漁場ノ周囲三百五十メートルノ水面）	漁場ノ周囲三百五十メートルノ水面	

第二號表

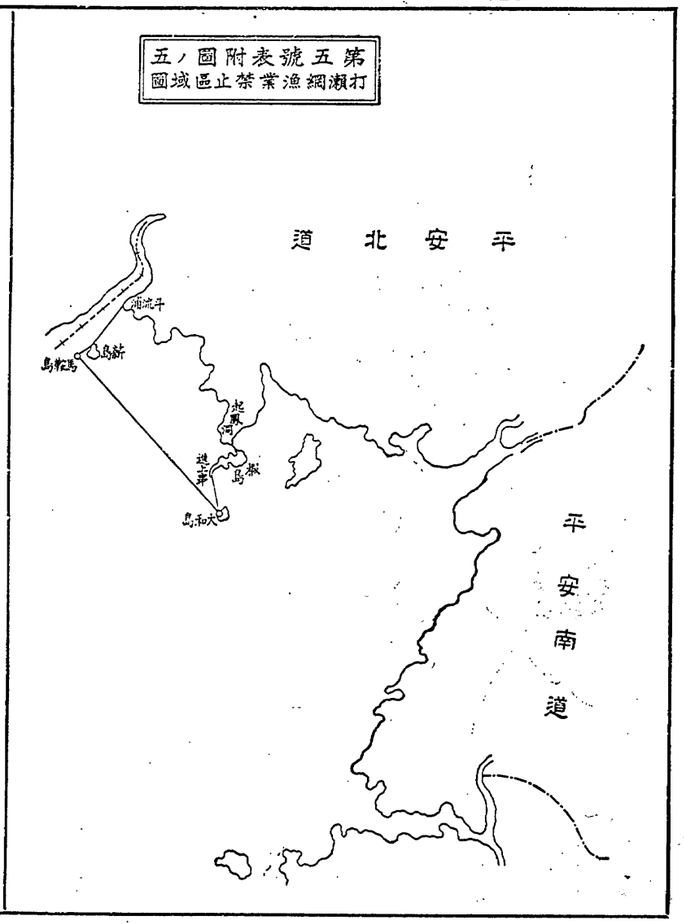
「トロール」漁業禁止區域

咸鏡北道慶興郡牛岩嶺高頂ヨリ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百三十度北緯三十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百三十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百三十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百三十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百三十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百三十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百三十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百三十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百四十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百五十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百六十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百七十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百八十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經百九十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百二十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百三十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百四十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百五十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百六十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百七十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百八十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經二百九十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百二十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百三十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百四十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百五十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百六十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百七十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百八十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經三百九十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百二十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十七度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十八度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百三十九度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百四十度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百四十一度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百四十二度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百四十三度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百四十四度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百四十五度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北緯四十二度三十分東經四百四十六度ノ點ヲ經テ同所ヨリ東三海里ノ點ヲ經テ北

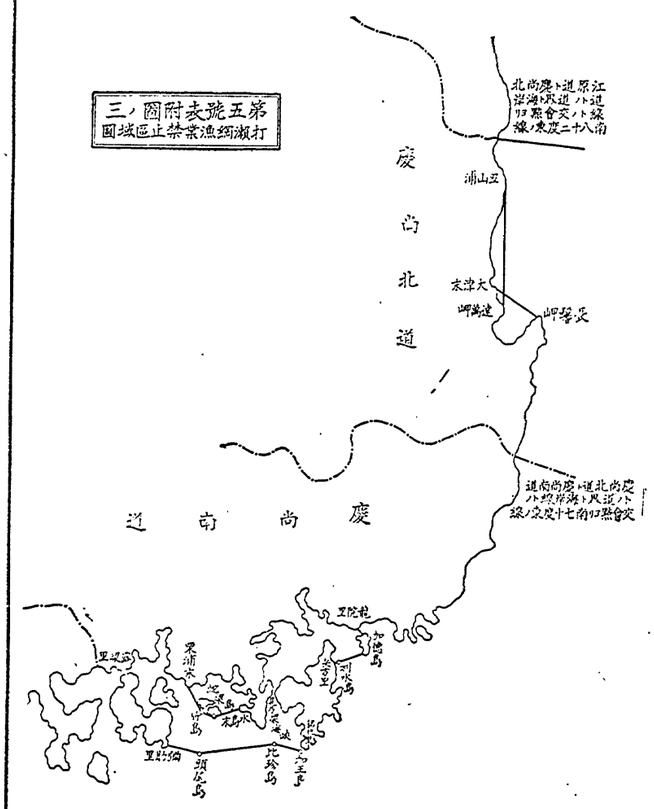
第三號表附圖
圖域區止禁業漁網曳船機

咸鏡北道
平安北道
平安南道
黃海道
京畿道
慶尚北道
慶尚南道
全羅北道
全羅南道
咸鏡南道
江原道
端花
端山抹島
津金塩
端邨浦
端台門雲
端水端
端津兜
端津文注
端津東正
末院臨
岬永龍
末毋花
島山北
島山長
島山東
島山南
島山西
島卵
島牛
島州濟
島羅摩
島加德
島伊匿江
島養馬
島白翎
島對馬
島大小鹿
島大小黑
島大小青
島大小白
島大小靑
島大小黃
島大小赤
島大小黑
島大小白
島大小靑
島大小黃
島大小赤
島大小黑
島大小白
島大小靑
島大小黃
島大小赤
島大小黑

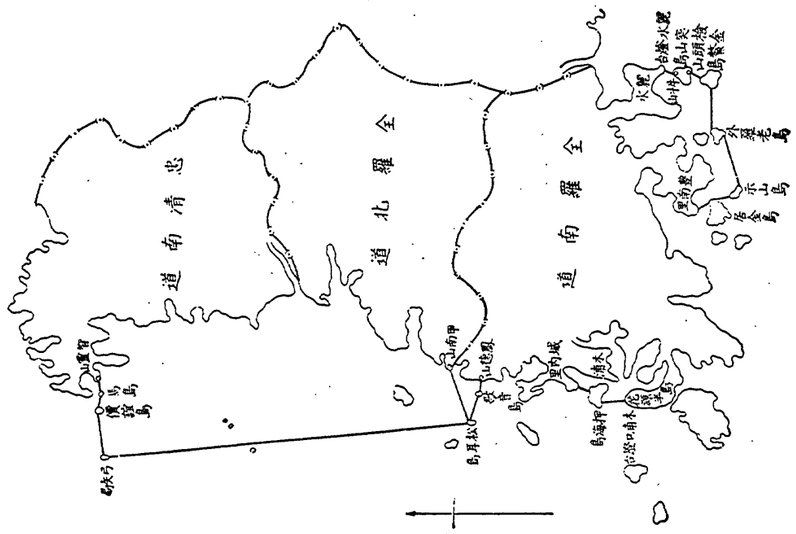
第五號表附圖ノ五
打瀨網漁業禁止區域圖



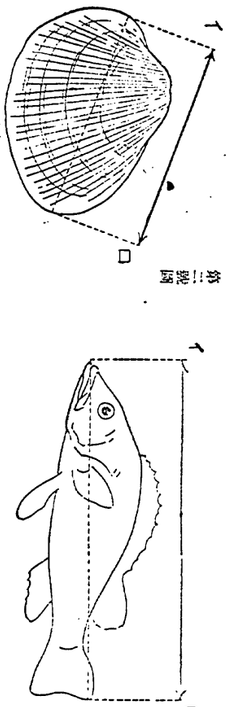
第五號表附圖ノ三
打瀨網漁業禁止區域圖



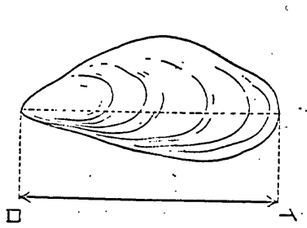
第四ノ圖附表號五第
四境風止禁漁網漁打



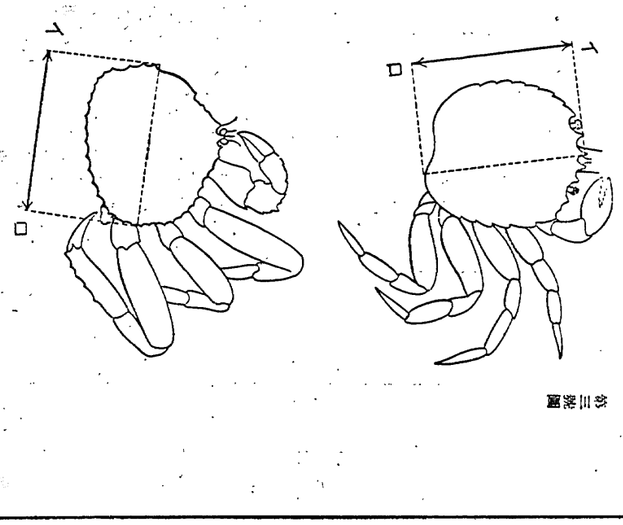
第一號圖



第二號圖



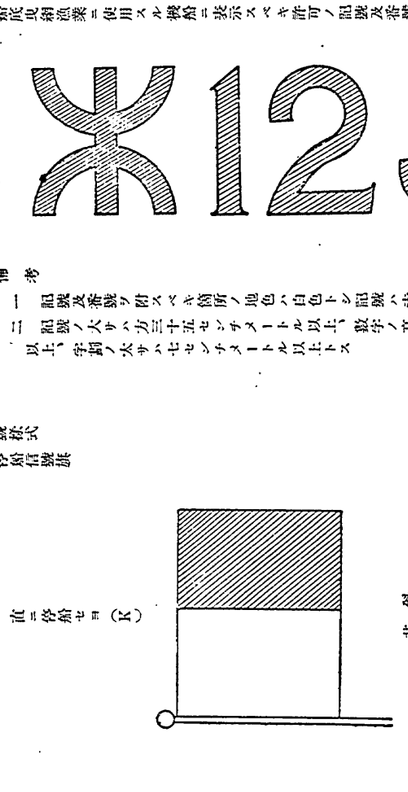
第三號圖



第六號表　第五條ノ水產動植物ノ採捕禁止區域及期間

種類 ＼ 期間 ＼ 區域	ま	た	す	わ	ふ	し	て	ほ
	み	ら	つ	か	の	よ	と	へ
	む	り	ほ	め	ふ	う	な	と
	め	る	へ	み	へ	ゑ	に	ち
陸奥北道	自七月一日至八月十日	自五月十日至六月十五日	自六月一日至八月十日	自十二月一日至二月末日				
陸奥南道								
江原道								
陸前北道								
陸前南道		自五月十日至六月十五日	自六月一日至八月十日	自十二月一日至二月末日				
會津南道								
會津北道								
忠清南道								
忠清北道								
京畿道								
黃海道								
平安南道								
平安北道								

第一號樣式



船舶底部ニ施ス漁業ニ使用スル標識ニ表示スベキ所ノ記號及番號

備考

一　記號ノ大サハ縱横共ニ三十五センチメートル以上、四十五センチメートル以下トス

二　記號ノ大サハ縱横共ニ三十五センチメートル以上、四十五センチメートル以下トス

三　番號ノ大サハ高サ十五センチメートル以下トス

第二號樣式

停船ヲ信號スル旗

立ヲ停船セヨ（K）

赤ノ部分ハ黃色

黑ノ部分ハ黃色

第一章　漁業ノ名稱

第一條　漁業ノ名稱ハ左ノ如シ

漁業ノ名稱	
角網漁業	角網、八角網、櫛形網、ほち網
大敷網漁業	大敷網、北海道式改良大謀網
大敷網漁業	大敷網
漁業ノ名稱	漁具ノ名稱

定置漁業	
定置漁業	免許ヲ受ケベキ漁業

第二條　漁業ノ名稱ハ漁具ノ名稱ニ依リ左ノ如ク定ム

漁業ノ名稱	
待網漁業	待網、沮止網、受網
敷網漁業	敷網、二艘張網、四艘張網、六艘張網、八艘張網
漁業ノ名稱	漁具ノ名稱

第三條　漁業ノ名稱ハ漁具ノ名稱ニ依リ左ノ如ク定ム

漁業ノ名稱	
地曳網漁業	地曳網、袋曳網、北地曳網、地漕網
船曳網漁業	船曳網、建切網、船曳投網、中曳網、潮曳網
防衛網漁業	防衛網
漁業ノ名稱	漁具ノ名稱

第四條　漁業ノ名稱ハ漁具ノ名稱ニ依リ左ノ如ク定ム

漁業ノ名稱	
打瀬網漁業	打瀬網、潮斗網、桁打瀬網
船曳網漁業	船曳網、揚曳網、船曳投網、中曳網、潮曳網、ポンド網
地曳網漁業	地曳網、袋曳網、北地曳網、地漕網
漁業ノ名稱	漁具ノ名稱

第二章　漁業ノ免許

第五條　漁業ヲ營ムニハ行政廳ノ免許ヲ受ケベキ漁業ノ外漁業法又ハ本令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外漁業ヲ營ムコトヲ得

第六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第三十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第四十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第五十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第六十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第七十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第八十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第九十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百二十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百三十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百四十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百五十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百六十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百七十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百八十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第百九十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百二十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百三十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百四十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十一條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十二條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十三條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十四條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十五條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十六條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十七條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十八條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百五十九條　漁業ノ免許ハ漁業ヲ營ムベキ者ノ申請ニ依リ行政廳之ヲ與フ

第二百六十條　

漁業ノ名稱	漁具ノ名稱
揚繰網漁業	揚繰網、風網
縛網漁業	縛網、逐魚網
防陣網漁業	防陣網
石繰網漁業	石繰網

刺網漁業

漁業ノ名稱	漁具ノ名稱
刺網漁業	めんたい刺網、かに刺網、にしん刺網、ほっけ刺網、ぐち刺網、いわし刺網、ぶり刺網、えび刺網、たら刺網、さけ刺網、ます刺網、すずき刺網、あゆ刺網
旋刺網漁業	旋刺網、周網
流網漁業	さば流網、さわら流網、いわし流網、ひら流網、ぶり流網、さけ流網、ます流網、にべ流網
機船刺網漁業	
機船流網漁業	

空釣縄漁業

漁業ノ名稱	漁具ノ名稱
空釣縄漁業	空釣延縄、空釣滑、引掛滑釣

柴漬漁業

漁業ノ名稱	裝置ノ名稱
柴漬漁業	いか柴漬、ほうぢき縄

備考

一　鰯呼ヲ異ニスルモ前記ノ漁具ト同一ノ漁具ハ前記ノ漁具ニ該當シ前記ノ漁具ニ準ズベキ漁具ハ前記ノ漁具ニ包含セラルルモノトス

●明治四十四年朝鮮總督府告示第二百四十五號ノ改正ニ伴フ漁業ノ免許及漁業權ノ效果

昭和五年一月
總令第七號

左ノ上欄ニ掲ゲル漁業ニ付從前ニ於テ爲シタル漁業ノ免許及其ノ免許ニ因リ發生シタル漁業權ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ各相當下欄ニ掲ゲル漁業ニ付爲シタル漁業ノ免許及其ノ漁業ノ漁業權ト看做ス

第四種免許漁業曲建網漁業	繒建網、蛇曲網、鳥賊曲網ノ各漁業ヲ含ム
同免許漁業碇船網漁業	石首魚漁業ヲ含ム
同免許漁業飯魚網漁業	八反網、曲網ノ各漁業ヲ含ム
同免許漁業建干網漁業	建切網、立回網ノ各漁業ヲ含ム
同免許漁業掛網漁業	浦防網、浦塞網、防落網、細網、金魚網ノ各漁業ヲ含ム
同免許漁業防陣網漁業	

第一種免許漁業曲建網漁業	繒建網、蛇曲網、鳥賊曲網ノ各漁業ヲ含ム
同免許漁業碇船網漁業	石首魚漁業ヲ含ム
同免許漁業飯魚網漁業	八反網、曲網ノ各漁業ヲ含ム
同免許漁業建干網漁業	建切網、立回網ノ各漁業ヲ含ム
同免許漁業掛網漁業	浦防網、浦塞網、防落網、細網、金魚網ノ各漁業ヲ含ム
第三種免許漁業防陣網漁業	

附則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮漁業令施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依ル漁業ノ指定

昭和四年十二月
總告第四百八十一號

朝鮮漁業令施行規則第三十條第一項ノ規定ニ依リ朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ左ニ掲ゲル漁業ヲ指定ス

一　捕鯨漁業
二　工船漁業
三　機船底曳網漁業
四　打瀬網漁業
五　鮫鰐網漁業
六　巾著網漁業
七　揚繰網漁業
八　流網漁業
九　延縄漁業（機船ヲ使用シテ爲スモノニ限ル）

●捕鯨漁業ノ操業區域及許可ノ定限數

昭和四年十二月
總告第四百七十八號

朝鮮漁業令施行規則第十七條ノ規定ニ依ル捕鯨漁業ノ操業區域及許可ノ定限數朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ左ノ通定ム
大正六年朝鮮總督府告示第二百四十七號（漁業令施行規則第三十一條ニ依ル第一種許可漁業ノ船數ノ定限）ハ之ヲ廢止ス

捕鯨漁業ノ操業區域及許可ノ定限數表

操業區域	許可ノ定限數
朝鮮沿海及其ノ沖合	十二

●機船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限數

昭和八年十一月
總告第五百七十七號
改正　昭和十二年五月三〇日

朝鮮漁業令施行規則第十七條ノ規定ニ依ル機船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限數朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ左ノ通定ム
昭和八年十一月二十八日ヨリ左ノ通定ム
昭和四年朝鮮總督府告示第四百七十九號（機船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限數）ハ之ヲ廢止ス

機船底曳網漁業ノ操業區域及許可ノ定限船數表

區別	操業區域	許可ノ定限船數
第一區	咸鏡北道ト咸鏡南道トノ道界ト海岸線トノ交會點南五十六度東ノ線以北ノ海面	五〇
第二區	咸鏡北道ト咸鏡南道トノ道界ト海岸線トノ交會點南五十六度東ノ線及江原道ト慶尚北道トノ道界ト海岸線トノ交會點南八十二度東ノ線間ノ海面	四五
第三區	江原道ト慶尚北道トノ道界ト海岸線トノ交會點南八十二度東ノ線及慶尚北道ト慶尚南道トノ道界ト海岸線トノ交會點南七十三度東ノ線間ノ海面	二〇
第四區	慶尚北道ト慶尚南道トノ道界ト海岸線トノ交會點南七十三度東ノ線竝ニ慶尚南道河東郡南面加引浦南岬ヨリ同面大島西端ヲ見通シタル線以南ノ海面	三〇

●潜水器漁業ノ操業區域及許可ノ定限數

昭和四年十二月
總告第四百八十號

朝鮮漁業令施行規則第十七條ノ規定ニ依ル潜水器漁業ノ操業區域及許可ノ定限數朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ左ノ通定ム
明治四十四年朝鮮總督府告示第二百四十六號（漁業令施行規則第三十一條ニ依ル第三種許可漁業ノ漁場區域及隻數ノ定限）ハ之ヲ廢止ス

潜水器漁業ノ操業區域及許可ノ定限數表

區別	操業區域	許可ノ定限數
第一區	江原道江陵郡新里面注文津端正東線以北ノ海面	四三
第二區	江原道江陵郡注文津端正東線竝ニ慶尚南道河東郡南面加引浦岬ヨリ同面大島西端ヲ經テ同道南海郡古縣面德山末ニ至ル線及同郡南面以里山頂ヨリ全羅南道麗水郡南面鵲島高頂ヲ見通シタル線竝ニ全羅南道麗水郡南面鵲島高頂ヲ見通シタル線以北ノ海面	六一
第三區	慶尚南道河東郡南面加引浦岬ヨリ同面大島西端ヲ經テ同道南海郡古縣面德山末ニ至ル線及同郡南面以里山頂ヨリ全羅南道麗水郡南面鵲島高頂ヲ見通シタル線竝ニ全羅北道沃溝郡米面箕養島北端及同面稷島北端ヲ見通シタル線間ノ海面	四七
第四區	全羅北道沃溝郡米面箕養島北端及同面稷島北端ヲ見通シタル線以北ノ海面	一七

區別	操業區域	許可ノ定限數
第五區	慶尚南道河東郡南面加引浦南岬ヨリ同面大島西端ヲ經テ同道南海郡古縣面德山末ニ至ル線及南海島以里山頂ヨリ全羅南道麗水郡南面鵲島高頂ヲ見通シタル線竝ニ全羅北道沃溝郡米面箕養島北端及同面於青島北端ヲ見通シタル線間ノ海面	六五
第六區	全羅北道沃溝郡米面箕養島北端及同面於青島北端ヲ見通シタル線以北ノ海面	四五

備考　東經百二十四度以西、北緯三十二度四十分以南、東經百三十度五十分以東ノ水面ヲ操業スル場合ニ於テハ本表ノ制限ヲ適用セザルコトヲ得

一　左ノ例納期内ニ水ノ各号ニ掲ケル漁業ヲ営ム者ニ対シ漁業税ヲ賦課ス

注　漁業税ノ賦課ニ関シ必要ナル一切ノ事項ハ別ニ之ヲ定ム

（例）（一）水ノ各号ニ掲ケル漁業ヲ営ム者ニ対シ漁業税ヲ賦課ス

ルコト

二　左ノ例納期内ニ漁業税ヲ納メサル者ニ対シ納期ヲ指定シテ督促状ヲ発ス

（例）（一）納期内ニ漁業税ヲ納メサル者ニ対シ督促状ヲ発スルコト

三　左ノ各号ニ掲ケル者ニ対シ漁業税ヲ賦課スルコトヲ得

（一）左ノ例外ノ漁業ヲ営ム者

（例）（一）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ納メサル者

（二）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

（例）（一）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

（二）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

四　左ノ例外ノ漁業ヲ営ム者ハ漁業権ヲ有スルモノトス

（例）（一）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

（二）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

五　左ノ例外ノ漁業ヲ営ム者ハ漁業権ヲ有スルモノトス

（例）（一）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

（二）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

六　左ノ例外ノ漁業ヲ営ム者ハ漁業権ヲ有スルモノトス

（例）（一）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

（二）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

七　左ノ例外ノ漁業ヲ営ム者ハ漁業権ヲ有スルモノトス

（例）（一）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

（二）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

八　左ノ例外ノ漁業ヲ営ム者ハ漁業権ヲ有スルモノトス

（例）（一）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

（二）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

九　左ノ例外ノ漁業ヲ営ム者ハ漁業権ヲ有スルモノトス

（例）（一）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

（二）漁業ヲ営ム者ニシテ漁業税ヲ滞納シ督促状ヲ発シタル後ニ於テ

尚漁業ヲ営ム者

許可
第　年

漁業
鰍業
許
可
朝鮮

住所
氏名
印

| 漁業ノ種類 | 漁具ノ名称 | 漁船ノ名称 | 漁船ノ種類 | 漁具ノ数量 | 漁具ノ構造 | 漁具ノ設置ノ場所 | 漁具ノ設置ノ期間 | 漁具ノ設置ノ方法 | 漁具ノ設置ノ区域 | 漁具ノ設置ノ数量

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

注意

第三面ノ欄ニハ二十三センチメートル

第二面ノ欄ニハ必要ノ事項ヲ記載スヘシ

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

第一號　漁業法施行規則

朝鮮漁業令第二條ノ許可申請書

朝鮮漁業令第二條ノ許可申請書ハ左ノ樣式ニ依リ作成スヘシ

何道何郡何面ノ位置及區域	漁業ノ種類	漁業ノ方法	漁業時期	漁業ノ區域	漁業ノ期間	漁業ノ目的	漁業ノ名稱	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

注意

一　漁業ノ種類ハ定置漁業、區劃漁業、特別漁業又ハ其ノ他ノ漁業ノ別ヲ記載スヘシ

二　漁業ノ方法ハ漁具ノ名稱ヲ記載スヘシ

三　漁業時期ハ何月何日ヨリ何月何日マテト記載スヘシ

四　漁業者ノ住所氏名又ハ名稱ハ漁業ノ主タル者ノ分ヲ記載スヘシ

五　漁業ノ目的ハ漁獲物ノ種類ヲ記載スヘシ

六　漁業ノ方法ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十八センチメートル

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

第一號　漁業法施行規則

朝鮮漁業令第二條ノ許可申請書

朝鮮漁業令第二條ノ許可申請書ハ左ノ樣式ニ依リ作成スヘシ

何道何郡何面ノ位置及區域	漁業ノ種類	漁業ノ方法	漁業時期	漁業ノ區域	漁業ノ期間	漁業ノ目的	漁業ノ名稱	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

注意

一　漁業ノ種類ハ定置漁業、區劃漁業、特別漁業又ハ其ノ他ノ漁業ノ別ヲ記載スヘシ

二　漁業ノ方法ハ漁具ノ名稱ヲ記載スヘシ

三　漁業時期ハ何月何日ヨリ何月何日マテト記載スヘシ

四　漁業者ノ住所氏名又ハ名稱ハ漁業ノ主タル者ノ分ヲ記載スヘシ

五　漁業ノ目的ハ漁獲物ノ種類ヲ記載スヘシ

六　漁業ノ方法ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十八センチメートル

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

第一號　漁業法施行規則

朝鮮漁業令第二條ノ許可申請書

朝鮮漁業令第二條ノ許可申請書ハ左ノ樣式ニ依リ作成スヘシ

何道何郡何面ノ位置及區域	漁業ノ種類	漁業ノ方法	漁業時期	漁業ノ區域	漁業ノ期間	漁業ノ目的	漁業ノ名稱	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

注意

一　漁業ノ種類ハ定置漁業、區劃漁業、特別漁業又ハ其ノ他ノ漁業ノ別ヲ記載スヘシ

二　漁業ノ方法ハ漁具ノ名稱ヲ記載スヘシ

三　漁業時期ハ何月何日ヨリ何月何日マテト記載スヘシ

四　漁業者ノ住所氏名又ハ名稱ハ漁業ノ主タル者ノ分ヲ記載スヘシ

五　漁業ノ目的ハ漁獲物ノ種類ヲ記載スヘシ

六　漁業ノ方法ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

二十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

三十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

四十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

五十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

六十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

七十九　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十一　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十二　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十三　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十四　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十五　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十六　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十七　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

八十八　漁業ノ目的ニ付特別ノ事項アルトキハ摘要ノ欄ニ記載スヘシ

十八センチメートル

年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

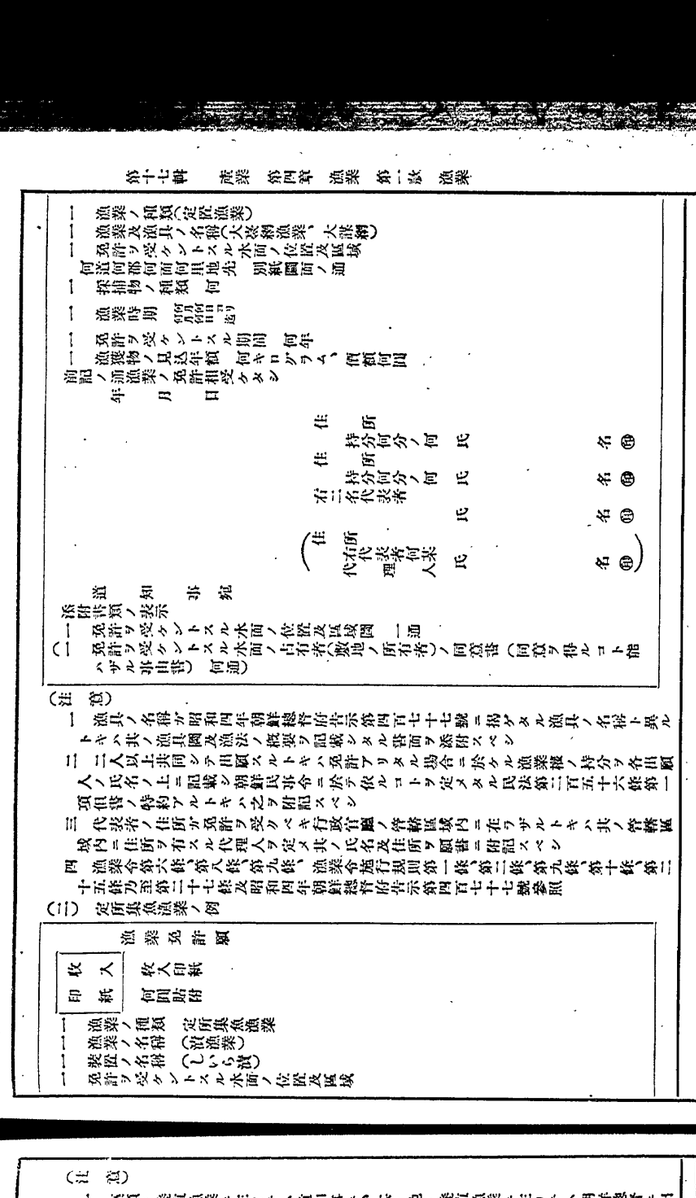
年	月	日	漁區ノ位置及區域	漁業時期	漁業ノ方法	漁獲物ノ種類及數量	漁業者ノ住所氏名又ハ名稱	摘要

第一號　漁業法施行規則

朝鮮漁業令第二條ノ許可申請書

朝鮮漁業令第二條ノ許可申請書ハ左ノ樣式ニ依リ作成スヘシ

| 何道何郡何面ノ位置及區域 | 漁業ノ種類 | 漁業ノ方法 | 漁業時期 | 漁業ノ區域 |



（注意）
一　本申請ハ漁業ノ免許ヲ受ケ又ハ行政官廳ニ對シテ之ヲ爲スヘシ
二　參照條文前例ニ同シ

第七號

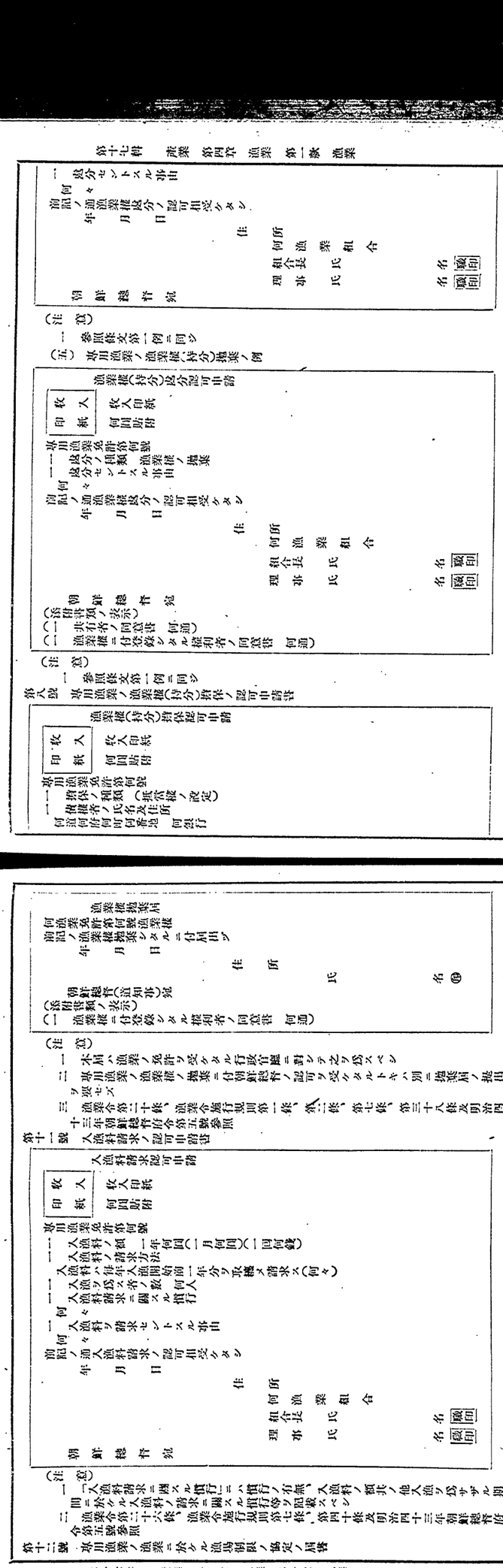
漁業權（持分）ノ賣渡ノ例

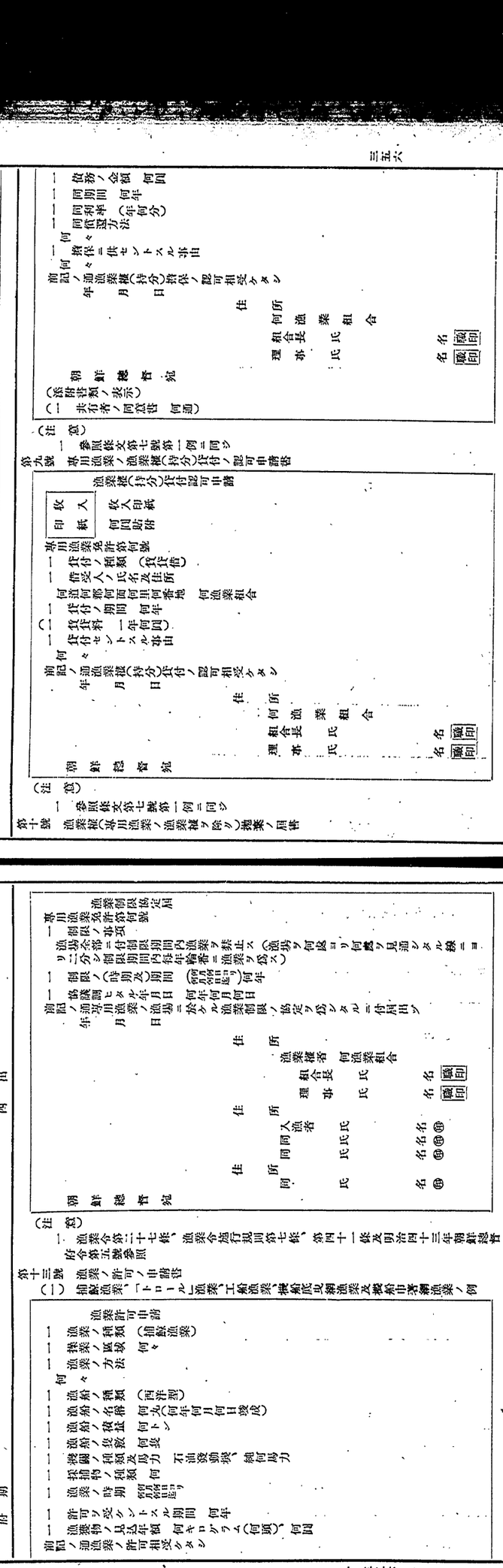
（一）專用漁業ノ漁業權ノ處分ノ認可申請書

印紙	收入印紙	何圓	貼付	收入

漁業權處分認可申請

一　專用漁業免許狀　何號
一　漁業權（持分）賣渡ノ種類　何
一　賣渡ノ代價　金何圓
一　各共漁業者ノ有スル漁業權ノ種類　何
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ表示　何
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ理由
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ年月日
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ方法
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ場所
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ住所氏名
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ漁業ノ種類
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ漁業ノ方法
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ漁業ノ時期
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ漁業ノ場所
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ漁業ノ收獲物
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ漁業ノ收獲物ノ種類
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ漁業ノ收獲物ノ數量
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ漁業ノ收獲物ノ價額
一　賣渡ノ漁業權（持分）ノ處分ノ相手方ノ漁業ノ收獲物ノ見込年





（注意）
一　本肩ハ漁業ニ関スル行政官廳ノ処分ニ対シテノ訴願ニ付テモ準用ス
二　漁業令施行規則第七條、第三十二條第一項第五號及第三項、第三十三條第一項第五號及第三項、第三十四條第一項第五號及第三項、第三十五條第一項第五號及第三項、第三十六條第一項第五號及第三項、第三十七條第一項第五號及第三項、第三十八條第一項第五號及第三項、第三十九條第一項第五號及第三項、第四十條第一項第五號及第三項、第四十一條第一項第五號及第三項、第四十二條第一項第五號及第三項、第四十三條第一項第五號及第三項、第四十四條第一項第五號及第三項、第四十五條第一項第五號及第三項、第四十六條第一項第五號及第三項、第四十七條第一項第五號及第三項、第四十八條第一項第五號及第三項、第四十九條第一項第五號及第三項、第五十條第一項第五號及第三項、第五十一條第一項第五號及第三項、第五十二條第一項第五號及第三項、第五十三條第一項第五號及第三項、第五十四條第一項第五號及第三項、第五十五條第一項第五號及第三項、第五十六條第一項第五號及第三項、第五十七條第一項第五號及第三項、第五十八條第一項第五號及第三項、第五十九條第一項第五號及第三項、第六十條第一項第五號及第三項、第六十一條第一項第五號及第三項、第六十二條第一項第五號及第三項、第六十三條第一項第五號及第三項、第六十四條第一項第五號及第三項、第六十五條第一項第五號及第三項、第六十六條第一項第五號及第三項、第六十七條第一項第五號及第三項、第六十八條第一項第五號及第三項、第六十九條第一項第五號及第三項、第七十條第一項第五號及第三項、第七十一條第一項第五號及第三項、第七十二條第一項第五號及第三項、第七十三條第一項第五號及第三項、第七十四條第一項第五號及第三項、第七十五條第一項第五號及第三項、第七十六條第一項第五號及第三項、第七十七條第一項第五號及第三項、第七十八條第一項第五號及第三項、第七十九條第一項第五號及第三項、第八十條第一項第五號及第三項、第八十一條第一項第五號及第三項、第八十二條第一項第五號及第三項、第八十三條第一項第五號及第三項、第八十四條第一項第五號及第三項、第八十五條第一項第五號及第三項、第八十六條第一項第五號及第三項、第八十七條第一項第五號及第三項、第八十八條第一項第五號及第三項、第八十九條第一項第五號及第三項、第九十條第一項第五號及第三項、第九十一條第一項第五號及第三項、第九十二條第一項第五號及第三項、第九十三條第一項第五號及第三項、第九十四條第一項第五號及第三項、第九十五條第一項第五號及第三項、第九十六條第一項第五號及第三項、第九十七條第一項第五號及第三項、第九十八條第一項第五號及第三項、第九十九條第一項第五號及第三項、第一百條第一項第五號及第三項、第一百一條第一項第五號及第三項、第一百二條第一項第五號及第三項、第一百三條第一項第五號及第三項、第一百四條第一項第五號及第三項、第一百五條第一項第五號及第三項、第一百六條第一項第五號及第三項、第一百七條第一項第五號及第三項、第一百八條第一項第五號及第三項、第一百九條第一項第五號及第三項、第一百十條第一項第五號及第三項、第一百十一條第一項第五號及第三項、第一百十二條第一項第五號及第三項、第一百十三條第一項第五號及第三項、第一百十四條第一項第五號及第三項、第一百十五條第一項第五號及第三項、第一百十六條第一項第五號及第三項、第一百十七條第一項第五號及第三項、第一百十八條第一項第五號及第三項、第一百十九條第一項第五號及第三項、第一百二十條第一項第五號及第三項、第一百二十一條第一項第五號及第三項、第一百二十二條第一項第五號及第三項、第一百二十三條第一項第五號及第三項、第一百二十四條第一項第五號及第三項、第一百二十五條第一項第五號及第三項、第一百二十六條第一項第五號及第三項、第一百二十七條第一項第五號及第三項、第一百二十八條第一項第五號及第三項、第一百二十九條第一項第五號及第三項、第一百三十條第一項第五號及第三項、第一百三十一條第一項第五號及第三項、第一百三十二條第一項第五號及第三項、第一百三十三條第一項第五號及第三項、第一百三十四條第一項第五號及第三項、第一百三十五條第一項第五號及第三項、第一百三十六條第一項第五號及第三項、第一百三十七條第一項第五號及第三項、第一百三十八條第一項第五號及第三項、第一百三十九條第一項第五號及第三項、第一百四十條第一項第五號及第三項、第一百四十一條第一項第五號及第三項、第一百四十二條第一項第五號及第三項、第一百四十三條第一項第五號及第三項、第一百四十四條第一項第五號及第三項、第一百四十五條第一項第五號及第三項、第一百四十六條第一項第五號及第三項、第一百四十七條第一項第五號及第三項、第一百四十八條第一項第五號及第三項、第一百四十九條第一項第五號及第三項、第一百五十條第一項第五號及第三項、第一百五十一條第一項第五號及第三項、第一百五十二條第一項第五號及第三項、第一百五十三條第一項第五號及第三項、第一百五十四條第一項第五號及第三項、第一百五十五條第一項第五號及第三項、第一百五十六條第一項第五號及第三項、第一百五十七條第一項第五號及第三項、第一百五十八條第一項第五號及第三項、第一百五十九條第一項第五號及第三項、第一百六十條第一項第五號及第三項、第一百六十一條第一項第五號及第三項、第一百六十二條第一項第五號及第三項、第一百六十三條第一項第五號及第三項、第一百六十四條第一項第五號及第三項、第一百六十五條第一項第五號及第三項、第一百六十六條第一項第五號及第三項、第一百六十七條第一項第五號及第三項、第一百六十八條第一項第五號及第三項、第一百六十九條第一項第五號及第三項、第一百七十條第一項第五號及第三項、第一百七十一條第一項第五號及第三項、第一百七十二條第一項第五號及第三項、第一百七十三條第一項第五號及第三項、第一百七十四條第一項第五號及第三項、第一百七十五條第一項第五號及第三項、第一百七十六條第一項第五號及第三項、第一百七十七條第一項第五號及第三項、第一百七十八條第一項第五號及第三項、第一百七十九條第一項第五號及第三項、第一百八十條第一項第五號及第三項、第一百八十一條第一項第五號及第三項、第一百八十二條第一項第五號及第三項、第一百八十三條第一項第五號及第三項、第一百八十四條第一項第五號及第三項、第一百八十五條第一項第五號及第三項、第一百八十六條第一項第五號及第三項、第一百八十七條第一項第五號及第三項、第一百八十八條第一項第五號及第三項、第一百八十九條第一項第五號及第三項、第一百九十條第一項第五號及第三項、第一百九十一條第一項第五號及第三項、第一百九十二條第一項第五號及第三項、第一百九十三條第一項第五號及第三項、第一百九十四條第一項第五號及第三項、第一百九十五條第一項第五號及第三項、第一百九十六條第一項第五號及第三項、第一百九十七條第一項第五號及第三項、第一百九十八條第一項第五號及第三項、第一百九十九條第一項第五號及第三項、第二百條第一項第五號及第三項、第二百一條第一項第五號及第三項、第二百二條第一項第五號及第三項、第二百三條第一項第五號及第三項、第二百四條第一項第五號及第三項、第二百五條第一項第五號及第三項、第二百六條第一項第五號及第三項、第二百七條第一項第五號及第三項、第二百八條第一項第五號及第三項、第二百九條第一項第五號及第三項、第二百十條第一項第五號及第三項、第二百十一條第一項第五號及第三項、第二百十二條第一項第五號及第三項、第二百十三條第一項第五號及第三項、第二百十四條第一項第五號及第三項、第二百十五條第一項第五號及第三項、第二百十六條第一項第五號及第三項、第二百十七條第一項第五號及第三項、第二百十八條第一項第五號及第三項、第二百十九條第一項第五號及第三項、第二百二十條第一項第五號及第三項、第二百二十一條第一項第五號及第三項、第二百二十二條第一項第五號及第三項、第二百二十三條第一項第五號及第三項、第二百二十四條第一項第五號及第三項、第二百二十五條第一項第五號及第三項、第二百二十六條第一項第五號及第三項、第二百二十七條第一項第五號及第三項、第二百二十八條第一項第五號及第三項、第二百二十九條第一項第五號及第三項、第二百三十條第一項第五號及第三項、第二百三十一條第一項第五號及第三項、第二百三十二條第一項第五號及第三項、第二百三十三條第一項第五號及第三項、第二百三十四條第一項第五號及第三項、第二百三十五條第一項第五號及第三項、第二百三十六條第一項第五號及第三項、第二百三十七條第一項第五號及第三項、第二百三十八條第一項第五號及第三項、第二百三十九條第一項第五號及第三項、第二百四十條第一項第五號及第三項、第二百四十一條第一項第五號及第三項、第二百四十二條第一項第五號及第三項、第二百四十三條第一項第五號及第三項、第二百四十四條第一項第五號及第三項、第二百四十五條第一項第五號及第三項、第二百四十六條第一項第五號及第三項、第二百四十七條第一項第五號及第三項、第二百四十八條第一項第五號及第三項、第二百四十九條第一項第五號及第三項、第二百五十條第一項第五號及第三項、第二百五十一條第一項第五號及第三項、第二百五十二條第一項第五號及第三項、第二百五十三條第一項第五號及第三項、第二百五十四條第一項第五號及第三項、第二百五十五條第一項第五號及第三項、第二百五十六條第一項第五號及第三項、第二百五十七條第一項第五號及第三項、第二百五十八條第一項第五號及第三項、第二百五十九條第一項第五號及第三項、第二百六十條第一項第五號及第三項、第二百六十一條第一項第五號及第三項、第二百六十二條第一項第五號及第三項、第二百六十三條第一項第五號及第三項、第二百六十四條第一項第五號及第三項、第二百六十五條第一項第五號及第三項、第二百六十六條第一項第五號及第三項、第二百六十七條第一項第五號及第三項、第二百六十八條第一項第五號及第三項、第二百六十九條第一項第五號及第三項、第二百七十條第一項第五號及第三項、第二百七十一條第一項第五號及第三項、第二百七十二條第一項第五號及第三項、第二百七十三條第一項第五號及第三項、第二百七十四條第一項第五號及第三項、第二百七十五條第一項第五號及第三項、第二百七十六條第一項第五號及第三項、第二百七十七條第一項第五號及第三項、第二百七十八條第一項第五號及第三項、第二百七十九條第一項第五號及第三項、第二百八十條第一項第五號及第三項、第二百八十一條第一項第五號及第三項、第二百八十二條第一項第五號及第三項、第二百八十三條第一項第五號及第三項、第二百八十四條第一項第五號及第三項、第二百八十五條第一項第五號及第三項、第二百八十六條第一項第五號及第三項、第二百八十七條第一項第五號及第三項、第二百八十八條第一項第五號及第三項、第二百八十九條第一項第五號及第三項、第二百九十條第一項第五號及第三項、第二百九十一條第一項第五號及第三項、第二百九十二條第一項第五號及第三項、第二百九十三條第一項第五號及第三項、第二百九十四條第一項第五號及第三項、第二百九十五條第一項第五號及第三項、第二百九十六條第一項第五號及第三項、第二百九十七條第一項第五號及第三項、第二百九十八條第一項第五號及第三項、第二百九十九條第一項第五號及第三項、第三百條第一項第五號及第三項、第三百一條第一項第五號及第三項、第三百二條第一項第五號及第三項、第三百三條第一項第五號及第三項、第三百四條第一項第五號及第三項、第三百五條第一項第五號及第三項、第三百六條第一項第五號及第三項、第三百七條第一項第五號及第三項、第三百八條第一項第五號及第三項、第三百九條第一項第五號及第三項、第三百十條第一項第五號及第三項、第三百十一條第一項第五號及第三項、第三百十二條第一項第五號及第三項、第三百十三條第一項第五號及第三項、第三百十四條第一項第五號及第三項、第三百十五條第一項第五號及第三項、第三百十六條第一項第五號及第三項、第三百十七條第一項第五號及第三項、第三百十八條第一項第五號及第三項、第三百十九條第一項第五號及第三項、第三百二十條第一項第五號及第三項、第三百二十一條第一項第五號及第三項、第三百二十二條第一項第五號及第三項、第三百二十三條第一項第五號及第三項、第三百二十四條第一項第五號及第三項、第三百二十五條第一項第五號及第三項、第三百二十六條第一項第五號及第三項、第三百二十七條第一項第五號及第三項、第三百二十八條第一項第五號及第三項、第三百二十九條第一項第五號及第三項、第三百三十條第一項第五號及第三項、第三百三十一條第一項第五號及第三項、第三百三十二條第一項第五號及第三項、第三百三十三條第一項第五號及第三項、第三百三十四條第一項第五號及第三項、第三百三十五條第一項第五號及第三項、第三百三十六條第一項第五號及第三項、第三百三十七條第一項第五號及第三項、第三百三十八條第一項第五號及第三項、第三百三十九條第一項第五號及第三項、第三百四十條第一項第五號及第三項、第三百四十一條第一項第五號及第三項、第三百四十二條第一項第五號及第三項、第三百四十三條第一項第五號及第三項、第三百四十四條第一項第五號及第三項、第三百四十五條第一項第五號及第三項、第三百四十六條第一項第五號及第三項、第三百四十七條第一項第五號及第三項、第三百四十八條第一項第五號及第三項、第三百四十九條第一項第五號及第三項、第三百五十條第一項第五號及第三項、第三百五十一條第一項第五號及第三項、第三百五十二條第一項第五號及第三項、第三百五十三條第一項第五號及第三項、第三百五十四條第一項第五號及第三項、第三百五十五條第一項第五號及第三項、第三百五十六條第一項第五號及第三項、第三百五十七條第一項第五號及第三項、第三百五十八條第一項第五號及第三項、第三百五十九條第一項第五號及第三項、第三百六十條第一項第五號及第三項、第三百六十一條第一項第五號及第三項、第三百六十二條第一項第五號及第三項、第三百六十三條第一項第五號及第三項、第三百六十四條第一項第五號及第三項、第三百六十五條第一項第五號及第三項、第三百六十六條第一項第五號及第三項、第三百六十七條第一項第五號及第三項、第三百六十八條第一項第五號及第三項、第三百六十九條第一項第五號及第三項、第三百七十條第一項第五號及第三項、第三百七十一條第一項第五號及第三項、第三百七十二條第一項第五號及第三項、第三百七十三條第一項第五號及第三項、第三百七十四條第一項第五號及第三項、第三百七十五條第一項第五號及第三項、第三百七十六條第一項第五號及第三項、第三百七十七條第一項第五號及第三項、第三百七十八條第一項第五號及第三項、第三百七十九條第一項第五號及第三項、第三百八十條第一項第五號及第三項、第三百八十一條第一項第五號及第三項、第三百八十二條第一項第五號及第三項、第三百八十三條第一項第五號及第三項、第三百八十四條第一項第五號及第三項、第三百八十五條第一項第五號及第三項、第三百八十六條第一項第五號及第三項、第三百八十七條第一項第五號及第三項、第三百八十八條第一項第五號及第三項、第三百八十九條第一項第五號及第三項、第三百九十條第一項第五號及第三項、第三百九十一條第一項第五號及第三項、第三百九十二條第一項第五號及第三項、第三百九十三條第一項第五號及第三項、第三百九十四條第一項第五號及第三項、第三百九十五條第一項第五號及第三項、第三百九十六條第一項第五號及第三項、第三百九十七條第一項第五號及第三項、第三百九十八條第一項第五號及第三項、第三百九十九條第一項第五號及第三項、第四百條第一項第五號及第三項、第四百一條第一項第五號及第三項、第四百二條第一項第五號及第三項、第四百三條第一項第五號及第三項、第四百四條第一項第五號及第三項、第四百五條第一項第五號及第三項、第四百六條第一項第五號及第三項、第四百七條第一項第五號及第三項、第四百八條第一項第五號及第三項、第四百九條第一項第五號及第三項、第四百十條第一項第五號及第三項、第四百十一條第一項第五號及第三項、第四百十二條第一項第五號及第三項、第四百十三條第一項第五號及第三項、第四百十四條第一項第五號及第三項、第四百十五條第一項第五號及第三項、第四百十六條第一項第五號及第三項、第四百十七條第一項第五號及第三項、第四百十八條第一項第五號及第三項、第四百十九條第一項第五號及第三項、第四百二十條第一項第五號及第三項、第四百二十一條第一項第五號及第三項、第四百二十二條第一項第五號及第三項、第四百二十三條第一項第五號及第三項、第四百二十四條第一項第五號及第三項、第四百二十五條第一項第五號及第三項、第四百二十六條第一項第五號及第三項、第四百二十七條第一項第五號及第三項、第四百二十八條第一項第五號及第三項、第四百二十九條第一項第五號及第三項、第四百三十條第一項第五號及第三項、第四百三十一條第一項第五號及第三項、第四百三十二條第一項第五號及第三項、第四百三十三條第一項第五號及第三項、第四百三十四條第一項第五號及第三項、第四百三十五條第一項第五號及第三項、第四百三十六條第一項第五號及第三項、第四百三十七條第一項第五號及第三項、第四百三十八條第一項第五號及第三項、第四百三十九條第一項第五號及第三項、第四百四十條第一項第五號及第三項、第四百四十一條第一項第五號及第三項、第四百四十二條第一項第五號及第三項、第四百四十三條第一項第五號及第三項、第四百四十四條第一項第五號及第三項、第四百四十五條第一項第五號及第三項、第四百四十六條第一項第五號及第三項、第四百四十七條第一項第五號及第三項、第四百四十八條第一項第五號及第三項、第四百四十九條第一項第五號及第三項、第四百五十條第一項第五號及第三項、第四百五十一條第一項第五號及第三項、第四百五十二條第一項第五號及第三項、第四百五十三條第一項第五號及第三項、第四百五十四條第一項第五號及第三項、第四百五十五條第一項第五號及第三項、第四百五十六條第一項第五號及第三項、第四百五十七條第一項第五號及第三項、第四百五十八條第一項第五號及第三項、第四百五十九條第一項第五號及第三項、第四百六十條第一項第五號及第三項、第四百六十一條第一項第五號及第三項、第四百六十二條第一項第五號及第三項、第四百六十三條第一項第五號及第三項、第四百六十四條第一項第五號及第三項、第四百六十五條第一項第五號及第三項、第四百六十六條第一項第五號及第三項、第四百六十七條第一項第五號及第三項、第四百六十八條第一項第五號及第三項、第四百六十九條第一項第五號及第三項、第四百七十條第一項第五號及第三項、第四百七十一條第一項第五號及第三項、第四百七十二條第一項第五號及第三項、第四百七十三條第一項第五號及第三項、第四百七十四條第一項第五號及第三項、第四百七十五條第一項第五號及第三項、第四百七十六條第一項第五號及第三項、第四百七十七條第一項第五號及第三項、第四百七十八條第一項第五號及第三項、第四百七十九條第一項第五號及第三項、第四百八十條第一項第五號及第三項、第四百八十一條第一項第五號及第三項、第四百八十二條第一項第五號及第三項、第四百八十三條第一項第五號及第三項、第四百八十四條第一項第五號及第三項、第四百八十五條第一項第五號及第三項、第四百八十六條第一項第五號及第三項、第四百八十七條第一項第五號及第三項、第四百八十八條第一項第五號及第三項、第四百八十九條第一項第五號及第三項、第四百九十條第一項第五號及第三項、第四百九十一條第一項第五號及第三項、第四百九十二條第一項第五號及第三項、第四百九十三條第一項第五號及第三項、第四百九十四條第一項第五號及第三項、第四百九十五條第一項第五號及第三項、第四百九十六條第一項第五號及第三項、第四百九十七條第一項第五號及第三項、第四百九十八條第一項第五號及第三項、第四百九十九條第一項第五號及第三項、第五百條第一項第五號及第三項、第五百一條第一項第五號及第三項、第五百二條第一項第五號及第三項、第五百三條第一項第五號及第三項、第五百四條第一項第五號及第三項、第五百五條第一項第五號及第三項、第五百六條第一項第五號及第三項、第五百七條第一項第五號及第三項、第五百八條第一項第五號及第三項、第五百九條第一項第五號及第三項、第五百十條第一項第五號及第三項、第五百十一條第一項第五號及第三項、第五百十二條第一項第五號及第三項、第五百十三條第一項第五號及第三項、第五百十四條第一項第五號及第三項、第五百十五條第一項第五號及第三項、第五百十六條第一項第五號及第三項、第五百十七條第一項第五號及第三項、第五百十八條第一項第五號及第三項、第五百十九條第一項第五號及第三項、第五百二十條第一項第五號及第三項、第五百二十一條第一項第五號及第三項、第五百二十二條第一項第五號及第三項、第五百二十三條第一項第五號及第三項、第五百二十四條第一項第五號及第三項、第五百二十五條第一項第五號及第三項、第五百二十六條第一項第五號及第三項、第五百二十七條第一項第五號及第三項、第五百二十八條第一項第五號及第三項、第五百二十九條第一項第五號及第三項、第五百三十條第一項第五號及第三項、第五百三十一條第一項第五號及第三項、第五百三十二條第一項第五號及第三項、第五百三十三條第一項第五號及第三項、第五百三十四條第一項第五號及第三項、第五百三十五條第一項第五號及第三項、第五百三十六條第一項第五號及第三項、第五百三十七條第一項第五號及第三項、第五百三十八條第一項第五號及第三項、第五百三十九條第一項第五號及第三項、第五百四十條第一項第五號及第三項、第五百四十一條第一項第五號及第三項、第五百四十二條第一項第五號及第三項、第五百四十三條第一項第五號及第三項、第五百四十四條第一項第五號及第三項、第五百四十五條第一項第五號及第三項、第五百四十六條第一項第五號及第三項、第五百四十七條第一項第五號及第三項、第五百四十八條第一項第五號及第三項、第五百四十九條第一項第五號及第三項、第五百五十條第一項第五號及第三項、第五百五十一條第一項第五號及第三項、第五百五十二條第一項第五號及第三項、第五百五十三條第一項第五號及第三項、第五百五十四條第一項第五號及第三項、第五百五十五條第一項第五號及第三項、第五百五十六條第一項第五號及第三項、第五百五十七條第一項第五號及第三項、第五百五十八條第一項第五號及第三項、第五百五十九條第一項第五號及第三項、第五百六十條第一項第五號及第三項、第五百六十一條第一項第五號及第三項、第五百六十二條第一項第五號及第三項、第五百六十三條第一項第五號及第三項、第五百六十四條第一項第五號及第三項、第五百六十五條第一項第五號及第三項、第五百六十六條第一項第五號及第三項、第五百六十七條第一項第五號及第三項、第五百六十八條第一項第五號及第三項、第五百六十九條第一項第五號及第三項、第五百七十條第一項第五號及第三項、第五百七十一條第一項第五號及第三項、第五百七十二條第一項第五號及第三項、第五百七十三條第一項第五號及第三項、第五百七十四條第一項第五號及第三項、第五百七十五條第一項第五號及第三項、第五百七十六條第一項第五號及第三項、第五百七十七條第一項第五號及第三項、第五百七十八條第一項第五號及第三項、第五百七十九條第一項第五號及第三項、第五百八十條第一項第五號及第三項、第五百八十一條第一項第五號及第三項、第五百八十二條第一項第五號及第三項、第五百八十三條第一項第五號及第三項、第五百八十四條第一項第五號及第三項、第五百八十五條第一項第五號及第三項、第五百八十六條第一項第五號及第三項、第五百八十七條第一項第五號及第三項、第五百八十八條第一項第五號及第三項、第五百八十九條第一項第五號及第三項、第五百九十條第一項第五號及第三項、第五百九十一條第一項第五號及第三項、第五百九十二條第一項第五號及第三項、第五百九十三條第一項第五號及第三項、第五百九十四條第一項第五號及第三項、第五百九十五條第一項第五號及第三項、第五百九十六條第一項第五號及第三項、第五百九十七條第一項第五號及第三項、第五百九十八條第一項第五號及第三項、第五百九十九條第一項第五號及第三項、第六百條第一項第五號及第三項、第六百一條第一項第五號及第三項、第六百二條第一項第五號及第三項、第六百三條第一項第五號及第三項、第六百四條第一項第五號及第三項、第六百五條第一項第五號及第三項、第六百六條第一項第五號及第三項、第六百七條第一項第五號及第三項、第六百八條第一項第五號及第三項、第六百九條第一項第五號及第三項、第六百十條第一項第五號及第三項、第六百十一條第一項第五號及第三項、第六百十二條第一項第五號及第三項、第六百十三條第一項第五號及第三項、第六百十四條第一項第五號及第三項、第六百十五條第一項第五號及第三項、第六百十六條第一項第五號及第三項、第六百十七條第一項第五號及第三項、第六百十八條第一項第五號及第三項、第六百十九條第一項第五號及第三項、第六百二十條第一項第五號及第三項、第六百二十一條第一項第五號及第三項、第六百二十二條第一項第五號及第三項、第六百二十三條第一項第五號及第三項、第六百二十四條第一項第五號及第三項、第六百二十五條第一項第五號及第三項、第六百二十六條第一項第五號及第三項、第六百二十七條第一項第五號及第三項、第六百二十八條第一項第五號及第三項、第六百二十九條第一項第五號及第三項、第六百三十條第一項第五號及第三項、第六百三十一條第一項第五號及第三項、第六百三十二條第一項第五號及第三項、第六百三十三條第一項第五號及第三項、第六百三十四條第一項第五號及第三項、第六百三十五條第一項第五號及第三項、第六百三十六條第一項第五號及第三項、第六百三十七條第一項第五號及第三項、第六百三十八條第一項第五號及第三項、第六百三十九條第一項第五號及第三項、第六百四十條第一項第五號及第三項、第六百四十一條第一項第五號及第三項、第六百四十二條第一項第五號及第三項、第六百四十三條第一項第五號及第三項、第六百四十四條第一項第五號及第三項、第六百四十五條第一項第五號及第三項、第六百四十六條第一項第五號及第三項、第六百四十七條第一項第五號及第三項、第六百四十八條第一項第五號及第三項、第六百四十九條第一項第五號及第三項、第六百五十條第一項第五號及第三項、第六百五十一條第一項第五號及第三項、第六百五十二條第一項第五號及第三項、第六百五十三條第一項第五號及第三項、第六百五十四條第一項第五號及第三項、第六百五十五條第一項第五號及第三項、第六百五十六條第一項第五號及第三項、第六百五十七條第一項第五號及第三項、第六百五十八條第一項第五號及第三項、第六百五十九條第一項第五號及第三項、第六百六十條第一項第五號及第三項、第六百六十一條第一項第五號及第三項、第六百六十二條第一項第五號及第三項、第六百六十三條第一項第五號及第三項、第六百六十四條第一項第五號及第三項、第六百六十五條第一項第五號及第三項、第六百六十六條第一項第五號及第三項、第六百六十七條第一項第五號及第三項、第六百六十八條第一項第五號及第三項、第六百六十九條第一項第五號及第三項、第六百七十條第一項第五號及第三項、第六百七十一條第一項第五號及第三項、第六百七十二條第一項第五號及第三項、第六百七十三條第一項第五號及第三項、第六百七十四條第一項第五號及第三項、第六百七十五條第一項第五號及第三項、第六百七十六條第一項第五號及第三項、第六百七十七條第一項第五號及第三項、第六百七十八條第一項第五號及第三項、第六百七十九條第一項第五號及第三項、第六百八十條第一項第五號及第三項、第六百八十一條第一項第五號及第三項、第六百八十二條第一項第五號及第三項、第六百八十三條第一項第五號及第三項、第六百八十四條第一項第五號及第三項、第六百八十五條第一項第五號及第三項、第六百八十六條第一項第五號及第三項、第六百八十七條第一項第五號及第三項、第六百八十八條第一項第五號及第三項、第六百八十九條第一項第五號及第三項、第六百九十條第一項第五號及第三項、第六百九十一條第一項第五號及第三項、第六百九十二條第一項第五號及第三項、第六百九十三條第一項第五號及第三項、第六百九十四條第一項第五號及第三項、第六百九十五條第一項第五號及第三項、第六百九十六條第一項第五號及第三項、第六百九十七條第一項第五號及第三項、第六百九十八條第一項第五號及第三項、第六百九十九條第一項第五號及第三項、第七百條第一項第五號及第三項、第七百一條第一項第五號及第三項、第七百二條第一項第五號及第三項、第七百三條第一項第五號及第三項、第七百四條第一項第五號及第三項、第七百五條第一項第五號及第三項、第七百六條第一項第五號及第三項、第七百七條第一項第五號及第三項、第七百八條第一項第五號及第三項、第七百九條第一項第五號及第三項、第七百十條第一項第五號及第三項、第七百十一條第一項第五號及第三項、第七百十二條第一項第五號及第三項、第七百十三條第一項第五號及第三項、第七百十四條第一項第五號及第三項、第七百十五條第一項第五號及第三項、第七百十六條第一項第五號及第三項、第七百十七條第一項第五號及第三項、第七百十八條第一項第五號及第三項、第七百十九條第一項第五號及第三項、第七百二十條第一項第五號及第三項、第七百二十一條第一項第五號及第三項、第七百二十二條第一項第五號及第三項、第七百二十三條第一項第五號及第三項、第七百二十四條第一項第五號及第三項、第七百二十五條第一項第五號及第三項、第七百二十六條第一項第五號及第三項、第七百二十七條第一項第五號及第三項、第七百二十八條第一項第五號及第三項、第七百二十九條第一項第五號及第三項、第七百三十條第一項第五號及第三項、第七百三十一條第一項第五號及第三項、第七百三十二條第一項第五號及第三項、第七百三十三條第一項第五號及第三項、第七百三十四條第一項第五號及第三項、第七百三十五條第一項第五號及第三項、第七百三十六條第一項第五號及第三項、第七百三十七條第一項第五號及第三項、第七百三十八條第一項第五號及第三項、第七百三十九條第一項第五號及第三項、第七百四十條第一項第五號及第三項、第七百四十一條第一項第五號及第三項、第七百四十二條第一項第五號及第三項、第七百四十三條第一項第五號及第三項、第七百四十四條第一項第五號及第三項、第七百四十五條第一項第五號及第三項、第七百四十六條第一項第五號及第三項、第七百四十七條第一項第五號及第三項、第七百四十八條第一項第五號及第三項、第七百四十九條第一項第五號及第三項、第七百五十條第一項第五號及第三項、第七百五十一條第一項第五號及第三項、第七百五十二條第一項第五號及第三項、第七百五十三條第一項第五號及第三項、第七百五十四條第一項第五號及第三項、第七百五十五條第一項第五號及第三項、第七百五十六條第一項第五號及第三項、第七百五十七條第一項第五號及第三項、第七百五十八條第一項第五號及第三項、第七百五十九條第一項第五號及第三項、第七百六十條第一項第五號及第三項、第七百六十一條第一項第五號及第三項、第七百六十二條第一項第五號及第三項、第七百六十三條第一項第五號及第三項、第七百六十四條第一項第五號及第三項、第七百六十五條第一項第五號及第三項、第七百六十六條第一項第五號及第三項、第七百六十七條第一項第五號及第三項、第七百六十八條第一項第五號及第三項、第七百六十九條第一項第五號及第三項、第七百七十條第一項第五號及第三項、第七百七十一條第一項第五號及第三項、第七百七十二條第一項第五號及第三項、第七百七十三條第一項第五號及第三項、第七百七十四條第一項第五號及第三項、第七百七十五條第一項第五號及第三項、第七百七十六條第一項第五號及第三項、第七百七十七條第一項第五號及第三項、第七百七十八條第一項第五號及第三項、第七百七十九條第一項第五號及第三項、第七百八十條第一項第五號及第三項、第七百八十一條第一項第五號及第三項、第七百八十二條第一項第五號及第三項、第七百八十三條第一項第五號及第三項、第七百八十四條第一項第五號及第三項、第七百八十五條第一項第五號及第三項、第七百八十六條第一項第五號及第三項、第七百八十七條第一項第五號及第三項、第七百八十八條第一項第五號及第三項、第七百八十九條第一項第五號及第三項、第七百九十條第一項第五號及第三項、第七百九十一條第一項第五號及第三項、第七百九十二條第一項第五號及第三項、第七百九十三條第一項第五號及第三項、第七百九十四條第一項第五號及第三項、第七百九十五條第一項第五號及第三項、第七百九十六條第一項第五號及第三項、第七百九十七條第一項第五號及第三項、第七百九十八條第一項第五號及第三項、第七百九十九條第一項第五號及第三項、第八百條第一項第五號及第三項、第八百一條第一項第五號及第三項、第八百二條第一項第五號及第三項、第八百三條第一項第五號及第三項、第八百四條第一項第五號及第三項、第八百五條第一項第五號及第三項、第八百六條第一項第五號及第三項、第八百七條第一項第五號及第三項、第八百八條第一項第五號及第三項、第八百九條第一項第五號及第三項、第八百十條第一項第五號及第三項、第八百十一條第一項第五號及第三項、第八百十二條第一項第五號及第三項、第八百十三條第一項第五號及第三項、第八百十四條第一項第五號及第三項、第八百十五條第一項第五號及第三項、第八百十六條第一項第五號及第三項、第八百十七條第一項第五號及第三項、第八百十八條第一項第五號及第三項、第八百十九條第一項第五號及第三項、第八百二十條第一項第五號及第三項、第八百二十一條第一項第五號及第三項、第八百二十二條第一項第五號及第三項、第八百二十三條第一項第五號及第三項、第八百二十四條第一項第五號及第三項、第八百二十五條第一項第五號及第三項、第八百二十六條第一項第五號及第三項、第八百二十七條第一項第五號及第三項、第八百二十八條第一項第五號及第三項、第八百二十九條第一項第五號及第三項、第八百三十條第一項第五號及第三項、第八百三十一條第一項第五號及第三項、第八百三十二條第一項第五號及第三項、第八百三十三條第一項第五號及第三項、第八百三十四條第一項第五號及第三項、第八百三十五條第一項第五號及第三項、第八百三十六條第一項第五號及第三項、第八百三十七條第一項第五號及第三項、第八百三十八條第一項第五號及第三項、第八百三十九條第一項第五號及第三項、第八百四十條第一項第五號及第三項、第八百四十一條第一項第五號及第三項、第八百四十二條第一項第五號及第三項、第八百四十三條第一項第五號及第三項、第八百四十四條第一項第五號及第三項、第八百四十五條第一項第五號及第三項、第八百四十六條第一項第五號及第三項、第八百四十七條第一項第五號及第三項、第八百四十八條第一項第五號及第三項、第八百四十九條第一項第五號及第三項、第八百五十條第一項第五號及第三項、第八百五十一條第一項第五號及第三項、第八百五十二條第一項第五號及第三項、第八百五十三條第一項第五號及第三項、第八百五十四條第一項第五號及第三項、第八百五十五條第一項第五號及第三項、第八百五十六條第一項第五號及第三項、第八百五十七條第一項第五號及第三項、第八百五十八條第一項第五號及第三項、第八百五十九條第一項第五號及第三項、第八百六十條第一項第五號及第三項、第八百六十一條第一項第五號及第三項、第八百六十二條第一項第五號及第三項、第八百六十三條第一項第五號及第三項、第八百六十四條第一項第五號及第三項、第八百六十五條第一項第五號及第三項、第八百六十六條第一項第五號及第三項、第八百六十七條第一項第五號及第三項、第八百六十八條第一項第五號及第三項、第八百六十九條第一項第五號及第三項、第八百七十條第一項第五號及第三項、第八百七十一條第一項第五號及第三項、第八百七十二條第一項第五號及第三項、第八百七十三條第一項第五號及第三項、第八百七十四條第一項第五號及第三項、第八百七十五條第一項第五號及第三項、第八百七十六條第一項第五號及第三項、第八百七十七條第一項第五號及第三項、第八百七十八條第一項第五號及第三項、第八百七十九條第一項第五號及第三項、第八百八十條第一項第五號及第三項、第八百八十一條第一項第五號及第三項、第八百八十二條第一項第五號及第三項、第八百八十三條第一項第五號及第三項、第八百八十四條第一項第五號及第三項、第八百八十五條第一項第五號及第三項、第八百八十六條第一項第五號及第三項、第八百八十七條第一項第五號及第三項、第八百八十八條第一項第五號及第三項、第八百八十九條第一項第五號及第三項、第八百九十條第一項第五號及第三項、第八百九十一條第一項第五號及第三項、第八百九十二條第一項第五號及第三項、第八百九十三條第一項第五號及第三項、第八百九十四條第一項第五號及第三項、第八百九十五條第一項第五號及第三項、第八百九十六條第一項第五號及第三項、第八百九十七條第一項第五號及第三項、第八百九十八條第一項第五號及第三項、第八百九十九條第一項第五號及第三項、第九百條第一項第五號及第三項、第九百一條第一項第五號及第三項、第九百二條第一項第五號及第三項、第九百三條第一項第五號及第三項、第九百四條第一項第五號及第三項、第九百五條第一項第五號及第三項、第九百六條第一項第五號及第三項、第九百七條第一項第五號及第三項、第九百八條第一項第五號及第三項、第九百九條第一項第五號及第三項、第九百十條第一項第五號及第三項、第九百十一條第一項第五號及第三項、第九百十二條第一項第五號及第三項、第九百十三條第一項第五號及第三項、第九百十四條第一項第五號及第三項、第九百十五條第一項第五號及第三項、第九百十六條第一項第五號及第三項、第九百十七條第一項第五號及第三項、第九百十八條第一項第五號及第三項、第九百十九條第一項第五號及第三項、第九百二十條第一項第五號及第三項、第九百二十一條第一項第五號及第三項、第九百二十二條第一項第五號及第三項、第九百二十三條第一項第五號及第三項、第九百二十四條第一項第五號及第三項、第九百二十五條第一項第五號及第三項、第九百二十六條第一項第五號及第三項、第九百二十七條第一項第五號及第三項、第九百二十八條第一項第五號及第三項、第九百二十九條第一項第五號及第三項、第九百三十條第一項第五號及第三項、第九百三十一條第一項第五號及第三項、第九百三十二條第一項第五號及第三項、第九百三十三條第一項第五號及第三項、第九百三十四條第一項第五號及第三項、第九百三十五條第一項第五號及第三項、第九百三十六條第一項第五號及第三項、第九百三十七條第一項第五號及第三項、第九百三十八條第一項第五號及第三項、第九百三十九條第一項第五號及第三項、第九百四十條第一項第五號及第三項、第九百四十一條第一項第五號及第三項

第三十二號

| 前記ノ通漁業許可ヲ受ケ又ハ漁業ノ届出ヲ爲シタル者ノ氏名又ハ住所變更ノ届 | | |

第二十七號

| 土地物件ノ使用又ハ除去制限ノ廃止ノ届書 | | |

朝鮮漁業令第六十五條ノ規定ニ依ル裁定ノ申請

印紙	収入	収入印紙
	消	何回貼附

住所

氏名　㊞

一　何ノ申請ニ係ル漁業ノ免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

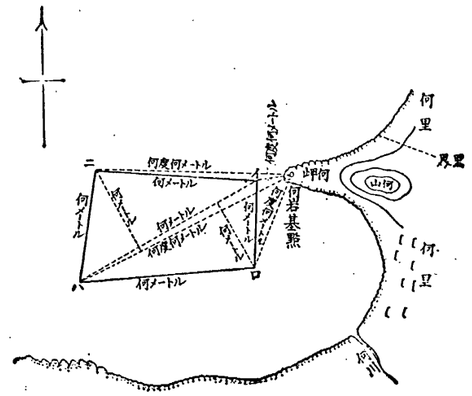
一　何ノ申請ニ係ル漁業ノ免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖ハ左ニ掲ケル方法ニ依リ定メタルモノナルコト

一　何ノ申請ニ係ル漁業ノ免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖ハ左ニ掲ケル方法ニ依リ定メタルモノニ非サ

第一號　養殖漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域

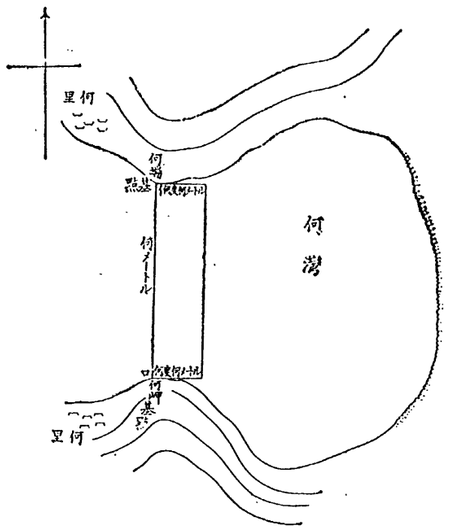
一　漁業ノ種類及漁業ノ方法
養殖漁業、石撓硅立
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
何道何郡何面何里地先
一　基點　何面何里何岬東北端何岩
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
左圖ニ於テイ、ロ、ハ、ニ、イノ各點ヲ順次ニ連結シタル線ニ依リ圍マレタル水面此ノ面積何平方キロメートル


何里
及里
山何
何岩基點
何メートル
何度何メートル
何メートル
何メートル
何メートル
何メートル
何メートル
何メートル
何里
何里
何里

（四）建干網漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

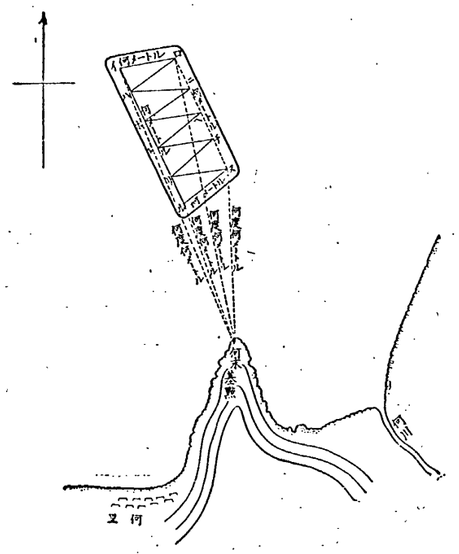
一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
定置漁業、建干網漁業、建干網
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
何道何郡何面何里地先
一　基點
イ　何面何里東南何端突角
ロ　何面何里東北何埠突角
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
左圖ニ於テ（イ）、（ロ）ノ漁網ヲ設置シタル水面及其ノ前面何メートル以内ノ水面



（五）嚢張網漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

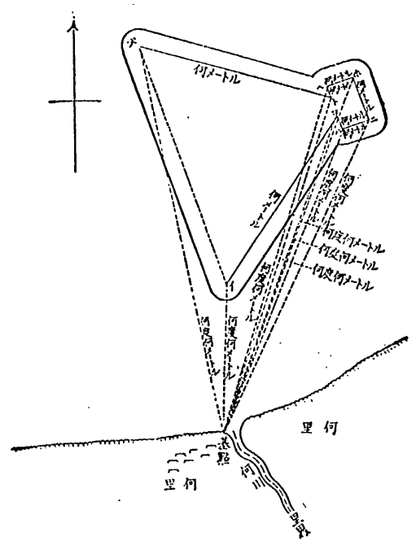
一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
定置漁業、嚢張網漁業、柱木網
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
何道何郡何面何里地先
一　基點　何面何里何末突角岩石
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
左圖ニ於テ（イ）、（ロ）、（メ）、（ル）、（イ）ノ各點ヲ順次ニ連結シタル線内ノ水面及其ノ周圍何メートル以内ノ水面



（六）魚箭漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

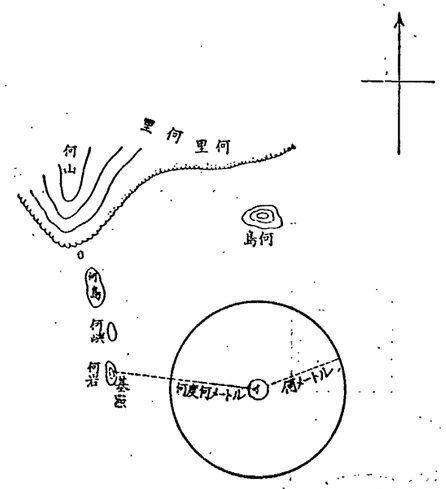
一　漁業ノ種類竝ニ漁業及漁具ノ名稱
定置漁業、魚箭漁業、魚箭
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
何道何郡何面何里地先
一　基點　何面ト何面トノ面界ナル何川ノ吐出口西岸
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
左圖ニ於テイ（）、ロ（）、ハ（）、ニ（）、ホ（）、ヘ（）、ト（）、チノ漁具ノ設置線及（イ）ト（チ）トヲ連結シタル線ニ依リ圍マレタル水面竝ニ其ノ周圍何メートル以内ノ水面



第三號　定所集魚漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類及名稱竝ニ裝置ノ名稱
定所集魚漁業、潰漁業、しいら潰
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置
何道何郡何面何里沖合
一　基點　何面何里何岩頂點
一　免許ヲ受ケントスル水面ノ區域
裝置敷設區域ノ中心（イ）ノ周圍何メートル以内ノ水面



第四號　定置見網漁業ノ例

免許ヲ受ケントスル水面ノ位置及區域圖

一　漁業ノ種類及ニ漁業及漁具ノ名稱

一　定置見網漁業、敷網漁業、敷網

一　免許ヲ受ケントスル水面ノ位置

一　何道何郡何町何里何地先

一　イ　非點

一　ニ　イ非點ヨリ何度何分何秒北方何浬何百米突ノ地

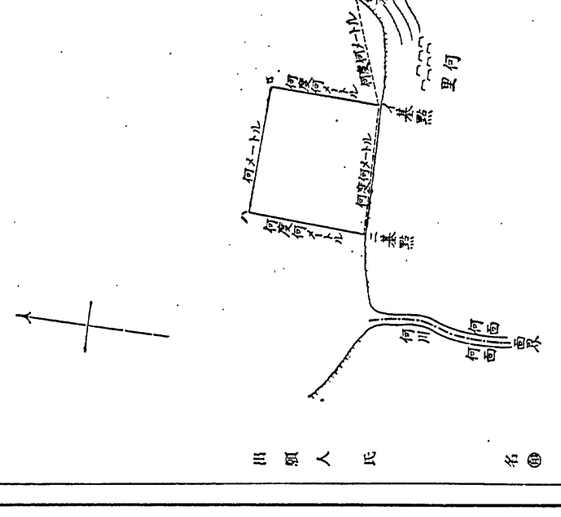
一　ホ　ニヨリ何度何分何秒東方何浬何百米突ノ地

一　ヘ　トチイ　何町何里ト何町何里トノ間ノ海岸線

一　チイ　何町何里ト何町何里トノ間ノ海岸線ト甲山頂點及丙島頂點見通線トノ交點

一　ハイ　戊島頂點及丙島頂點見通線ト甲山頂點及乙島頂點見通線トノ交點

左圖ニ於テ(イ)、(ロ)、(ハ)、(ニ)ノ各點ヲ順次ニ連結シタル線及(イ)、(ニ)ノ法拂線ニ依リ圍マレタル水面


何メートル
何百何メートル
何百何メートル
何メートル
何百何メートル
何百何メートル
何メートル
何百何メートル
何百何メートル

朝鮮漁業令施行規則ニ依ル鑑定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給規程

昭和四年十二月總令第百十三號

朝鮮漁業令施行規則第六十一條ノ規定ニ依ル鑑定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給規程左ノ通定ム

朝鮮漁業令施行規則第六十一條ノ規定ニ依ル鑑定人、事實參考人及利害關係人旅費手當支給ニ關スル件ヲ定ム

第一條　朝鮮漁業令施行規則第六十一條第一項ノ規定ニ依リ鑑定人及事實參考人ニ支給スル旅費及手當ハ左ノ範圍内ニ於テ其ノ都度朝鮮總督又ハ道知事之ヲ定ム

旅費

汽車賃及船賃	鐵道又ハ汽船ヲ通ズル水路ニ在リテハ一等以下ノ汽車賃又ハ船賃ニシテ朝鮮總督又ハ道知事ノ相當ト認ムルモノ、汽船ヲ通セザル水路ニ在リテハ一海里五錢
車馬賃	一里三十錢以上七十錢以下
手當	一日六十錢以上六圓以下

第二條　朝鮮漁業令施行規則第六十一條第二項ノ規定ニ依リ利害關係人ニ支給スル旅費及手當ハ朝鮮總督又ハ道知事ニ於テ呼出期間ノ長短、旅行程ノ遠近等ヲ參酌シ前條ノ規定ニ準シ之ヲ定ム

附　則

本令ハ朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮漁業登錄規則

昭和四年十二月總令第百八號

改正　昭和六年一月五號

朝鮮漁業登錄規則左ノ通定ム

朝鮮漁業登錄規則

第一章　總則（第一條）
第二章　登錄ニ關スル帳簿（第二條）
第三章　登錄手續（第三條―第八條）
第四章　減失漁業權原簿回復登錄手續（第九條）
附　則（第十條）

第一章　總則

第一條　朝鮮總督ノ免許ニ依リテ生ズル漁業權及之ヲ目的トスル權利竝ニ入漁ニ關スル事項ニ付テハ朝鮮總督、道知事ノ免許ニ依リテ生ズル漁業權及之ヲ目的トスル權利ニ關スル事項ニ付テハ道知事登錄ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スベキ官廳ヲ登錄官廳ト謂フ

第二條　假登錄ハ左ニ揭ゲル場合ニ於テ之ヲ爲スベシ

一　登錄ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具ハラザルトキ

二　漁業權竝ニ之ヲ目的トスル先取特權、抵當權及質權ノ設定、移轉、變更及消滅ノ請求權（始期附、停止條件附其ノ他將來ニ於テ確定スベキモノヲ含ム）ヲ保全セントスルトキ

第三條　豫告登錄ハ登錄原因ノ無效又ハ取消ニ因ル登錄ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタル場合ニ於テ之ヲ爲スベシ但シ登錄原因ノ取消ニ因ル訴ニ付テハ其ノ取消ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ル場合ニ限ル

第四條　左ニ揭ゲル事項ニ付登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ之ニ對抗スルコトヲ得ベキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限リ附記ニ依リテ之ヲ爲スベシ

一　先取特權、抵當權及質權ノ變更

二　登錄ノ更正（漁業權登錄簿及信託登錄簿ノ表示欄ニ爲シタル登錄ノ更正ヲ除ク）

三　一部抹消登錄ノ回復

第五條　左ニ揭ゲル事項ノ登錄ハ附記ニ依リテ之ヲ爲スベシ

一　登錄名義人ノ表示ノ變更及代表者ノ變更

二　先取特權及抵當權ノ移轉及其ノ處分ノ制限竝ニ順位ノ變更ニ因ル先取特權及抵當權ノ變更

第六條　同一漁業權ニ關シ登錄ヲ爲シタル權利ノ順位ハ法令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外登錄ノ前後ニ依ル

登錄ノ前後ハ登錄用紙中同區ニ爲シタル登錄ニ付テハ順位番號ノ順位ニ依リ別區ニ爲シタル登錄ニ付テハ受付番號ノ順位ニ依ル

假登錄ヲ爲シタルモノニ付本登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ順位ハ假登錄ノ順位ニ依ル

附記登錄ノ順位ハ主登錄ノ順位ニ依リ附記登錄間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル

第七條　昨狀又ハ强迫ニ因リテ登錄ノ申請ヲ妨ゲタル第三者ハ登錄ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ズ

他人ノ爲登錄ヲ申請スル義務アル者ハ其ノ登錄ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ズ但シ其ノ登錄ノ原因カ自己ノ登錄ノ原因ノ後ニ發生シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　登錄官廳ニ變更ヲ生ジタル場合ニ於テハ舊登錄官廳ハ其ノ漁業權及之ヲ目的トスル權利竝ニ關スル登錄ノ漁業權登錄簿、漁場圖級込帳、漁業權共有者名簿、入漁登錄簿又ハ信託登錄簿ノ一册又ハ數册ノ全部ナルトキハ其ノ一册又ハ數册及其ノ關係書類ヲ、一册ノ一部ナルトキハ其ノ部分ノ謄本及其ノ關係書類又ハ其ノ謄本ヲ新登錄官廳ニ移送スベシ

第二章　登錄ニ關スル帳簿

第九條　漁業權原簿ト稱スルハ左ニ揭ゲル書類ヲ謂フ

一　漁業權登錄簿
二　漁場圖級込帳
三　漁業權共有者名簿
四　入漁登錄簿
五　信託登錄簿

漁業權登錄簿ハ專用漁業ノ漁業權ニ付テハ第一號樣式、其ノ他ノ漁業ノ漁業權ニ付テハ第二號樣式、漁業權共有者名簿ハ第三號樣式、入漁登錄簿ハ第四號樣式、信託登錄簿ハ第五號樣式ニ依リ之ヲ調製スベシ

漁業權登錄簿及漁業權共有者名簿ハ一漁業權ニ付一用紙ヲ、入漁登錄簿ハ入漁者一人ニ付一用紙ヲ、信託登錄簿ハ一漁業權及一信託ニ付一用紙ヲ備フベシ

漁場圖級込帳ニハ漁場圖ヲ免許ノ番號ノ順序ニ殺込ミ丁數ヲ附スベシ

第十條　登錄官廳ハ第六號樣式ニ依リ登錄受付簿ヲ調製スベシ

登錄受付簿ニ於ケル受付番號ハ毎年之ヲ更新スベシ

第十一條　登錄官廳ニハ漁業權原簿及登錄受付簿ノ外左ニ揭ゲル帳簿ヲ備フベシ

一　見出帳
二　代表者名簿
三　登錄申請書、嘱託書其ノ他關係書類綴込帳
四　申請却下原議綴込帳
五　謄本抄本交付閱覽申請事件簿
六　謄本抄本交付閱覽申請書綴込帳
七　通知簿
八　漁業權原簿謄本綴込帳

前項第三號乃至第六號ノ帳簿ハ一年毎ニ別冊ヲ以テ爲スベシ但シ分冊スルコトヲ妨ゲズ

第十二條　漁業權登錄簿ノ免許番號欄ニハ免許ノ番號ヲ記載スベシ

假登錄ヲ爲シタル後本登錄ノ申請アリタルトキハ假登錄ノ左側ニ其ノ登錄ヲ爲スベシ假登錄ノ抹消ノ申請アリタルトキ亦同シ

第十三條　假登錄ハ登錄用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲スベシ

假登錄ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縱線ヲ劃シ其ノ左側ニ本登錄ヲ爲シ得ベキ相當ノ餘白ヲ存シタル上順位番號欄及事項欄ニ縱線ヲ劃スベシ

前項ノ場合ニ於テハ主登錄ノ順位番號ヲ用ヒ其ノ番號ノ左側ニ附記登錄番號ヲ追記スベシ

前二項ノ規定ハ第三十七條ノ二第二項、第四十三條第二項、第四十四條第三項、第四十五條第一項、第九十五條及第百五條ノ五ノ規定ニ依リ追記ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十四條　附記ニ依ル登錄ノ順位番號ヲ記載スルニハ主登錄ノ順位番號ヲ用ヒ其ノ番號ノ左側ニ附記何號ト記載スベシ

前項ノ場合ニ於テハ主登錄ノ順位番號ノ左側ニ附記登錄番號ヲ追記スベシ

前二項ノ規定ハ第三十七條ノ二第二項、第四十三條第二項、第四十四條第三項、第四十五條第一項、第九十五條及第百五條ノ五ノ規定ニ依リ追記ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第十五條　見出帳ハ漁業權登錄簿見出帳及入漁登錄簿見出帳ノ二種トシ累出ニ便ナル方法ヲ以テ分類シ漁業權登錄簿見出帳ニハ免許ノ番號、漁業權共有者名簿、漁場圖級込帳及信託登錄簿ノ册數及丁數ヲ、入漁登錄簿見出帳ニハ免許ノ番號、入漁者ノ氏名及入漁登錄簿ノ册數及丁數ヲ記載スベシ

漁業權登錄簿見出帳ニ漁業權者ノ氏名ヲ記載スベキ場合ニ於テ共有ノ漁業權ニ付テハ代表者ノ氏名ノミヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ人員ノミヲ記載スベシ

代表者名簿ニハ免許ノ番號、代表者ノ氏名及住所ヲ記載スベシ

謄本抄本交付閱覽申請事件簿ニハ事件名、申請人ノ氏名、受付年月日、受付番號及交付年月日ヲ記載シ交付スベキ謄本又ハ抄本ト契印スベシ

通知簿ニハ第二十九條、第五十三條第二項及第三項、第五十四條第二項乃至第四項、第九十七條第四項及第五項、第百三條、第百十八條並ニ第百二十條第一項ノ規定ニ依ル通知事項、通知ヲ受ケベキ者及通知ヲ發スル年月日ヲ記載シ通知書ト契印スベシ

漁業權原簿謄本綴込帳ニハ第四十條ノ規定ニ依リ漁業權原簿謄本ノ送付ヲ受ケタル場合ニ於テ第五十五條第一項ノ規定ニ依リ登錄ヲ移シタルトキ其ノ送付ヲ受ケタル漁業權原簿ノ謄本ヲ綴込ムベシ

第十六條　漁業權原簿ノ謄本ヲ綴込ムベシ

第十四條ノ二　信託登錄簿ノ免許番號欄ニハ免許ノ番號ヲ記載スルニハ主登錄ノ順位番號ヲ用ヒ其ノ番號ノ左側ニ附記何號ト記載スベシ

前項ノ場合ニ於テハ主登錄ノ順位番號ノ左側ニ附記登錄番號ヲ追記スベシ

前二項ノ規定ハ第三十七條ノ二第二項、第四十三條第二項、第四十四條第三項、第四十五條第一項、第九十五條及第百五條ノ五ノ規定ニ依リ追記ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條　假登錄ハ登錄用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲スベシ

假登錄ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縱線ヲ劃シ其ノ左側ニ本登錄ヲ爲シ得ベキ相當ノ餘白ヲ存シタル上順位番號欄及事項欄ニ縱線ヲ劃スベシ

假登錄ヲ爲シタル後本登錄ノ申請アリタルトキハ假登錄ノ左側ノ餘白ニ其ノ登錄ヲ爲スベシ假登錄ノ抹消ノ申請アリタルトキ亦同シ

第二十四條　漁業權登錄簿ノ甲區事項欄ニ登錄ヲ爲スベキ場合ニ於テ漁業權カ共有ナルトキハ漁業權者ノ氏名及住所ハ代表者ニ付テノミ記載シ共有者全員ノ氏名及住所ハ漁業權共有者名簿ニ之ヲ記載スベシ

第二十五條　漁業權共有者名簿ニ前條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スニハ免許番號欄ニ免許ノ番號ヲ、甲區事項欄ニ共有者全員ノ氏名及住所ヲ記載シ持分ノ定アルトキハ持分欄ニ其ノ持分ヲ記載スベシ

第三十三條ノ規定ハ持分欄ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ之ヲ準用ス

第一項ノ規定ニ依ル通知事項、通知ヲ受ケベキ者及通知ヲ發スル年月日ヲ記載シ通知書ト契印スベシ

第二十六條　漁業權共有者名簿ニ前條ノ登錄ヲ爲シタルトキ、入漁登錄簿ニ第九十三條ノ登錄ヲ爲シタルトキ又ハ漁場圖級込帳ニ漁場圖ヲ級込ミ若ハ第四十條ノ二ノ規定ニ依リ漁場圖ニ圖面ヲ貼附シタルトキハ其ノ分ノ謄本及其ノ關係書類又ハ其ノ謄本ヲ新登錄官廳ニ移送スベシ

第三章　登錄手續

第一節　通則

第十條　登錄ハ登錄官廳ノ備フル登錄簿ニ登錄事項ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シタル登錄原因ノ證書ヲ添附シ各用紙間ニハ登錄官廳ノ印ヲ以テ契印ヲ爲スベシ

前項ノ規定ハ漁業權原簿ノ抄本ヲ調製スル場合ニ之ヲ準用ス

第二節　登錄手續

第十一條　登錄ハ登錄官廳ノ職權ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第十二條　朝鮮漁業令施行規則第二十六條第二項乃至第五項ノ規定ハ漁業權ニ關スル登錄ニ之ヲ準用ス

第十三條　漁業權共有者名簿ノ免許番號欄ニハ免許ノ番號ヲ記載スベシ

持分欄ニハ持分ヲ記載スベシ

甲區事項欄ニハ共有者ノ氏名（法人又ハ法人ニ非ザル社團ニ在リテハ名稱以下之ニ同シ）及住所（法人ニ非ザル社團ニ在リテハ事務所ノ所在地以下之ニ同シ）竝ニ持分ノ移轉其ノ他變更、消滅及處分ノ制限ニ關スル事項ヲ記載スベシ

乙區事項欄ニハ持分ノ先取特權ニ關スル事項ヲ記載スベシ

丙區事項欄ニハ持分ノ抵當權ニ關スル事項ヲ記載スベシ

丁區事項欄ニハ持分ノ賃借權ニ關スル事項ヲ記載スベシ

戊區事項欄ニハ入漁ニ關スル事項ヲ記載スベシ

順位番號欄ニハ事項欄ニ登錄事項ヲ記載シタル順序ヲ記載スベシ

第十三條　漁業權共有者名簿ノ免許番號欄ニハ免許ノ番號ヲ記載スベシ

持分欄ニハ持分ヲ記載スベシ

甲區事項欄ニハ共有者ノ氏名（法人又ハ法人ニ非ザル社團ニ在リテハ名稱以下之ニ同シ）及住所（法人ニ非ザル社團ニ在リテハ事務所ノ所在地以下之ニ同シ）竝ニ持分ノ移轉其ノ他變更、消滅及處分ノ制限ニ關スル事項ヲ記載スベシ

乙區事項欄ニハ先取特權ニ關スル事項ヲ記載スベシ

丙區事項欄ニハ抵當權ニ關スル事項ヲ記載スベシ

丁區事項欄ニハ賃借權ニ關スル事項ヲ記載スベシ

戊區事項欄ニハ入漁ニ關スル事項ヲ記載スベシ

順位番號欄ニハ事項欄ニ登錄事項ヲ記載シタル順序ヲ記載スベシ

第十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第十九條　朝鮮漁業令施行規則第二十六條第二項乃至第五項ノ規定ニ依ル漁業權ニ關スル代表者ハ本令ニ依ル登錄ニ關スル代表者ト看做ス

第二十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ登錄ヲ爲シタルトキハ表示番號欄ニ番號ヲ記載シ丙區事項欄ニハ第二十三條第三項ノ場合ヲ除クノ外順位番號欄ニ番號ヲ記載スベシ

順位番號欄ニハ事項欄ニ登錄事項ヲ記載シタル順序ヲ記載スベシ

第二十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第三十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第四十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第五十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第六十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第七十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第八十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第九十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百二十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百三十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百四十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百五十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百六十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十六條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十七條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十八條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百七十九條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百八十條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百八十一條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百八十二條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百八十三條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百八十四條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第百八十五條　漁業權原簿ノ表示欄ニハ漁業權ノ種類ヲ以テ之

Digitized by 国立国会図書館デジタルコレクション

同業組合ノ外ニ商工會議所ノ設ケラルルモノアリ又商業會議所ハ商業ニ關シ地方廳ノ諮問ニ應ジ又ハ意見ヲ具申スルノ機關ニシテ會員ハ選擧ニ依リ之ヲ組織ス

商業ニ關スル法規ハ商法ヲ始メトシ手形法小切手法倉庫業法運送取扱營業法海商法保險業法等アリ

商法ハ商人ノ資格ヲ定メ商人ノ營業ニ關スル事項ヲ規定シ又商業帳簿ノ作成ニ關スル義務ヲ規定シ且ツ商人ノ營業ニ關スル契約ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケタリ

商人トハ自己ノ名ヲ以テ商行爲ヲ爲スヲ業トスル者ヲ謂フ商行爲ニハ絕對的商行爲ト營業的商行爲トアリ絕對的商行爲ハ何人ト雖モ之ヲ爲スヲ得ルモノニシテ營業的商行爲ハ營業ヲ爲ス者ニ限リ之ヲ爲スヲ得ルモノトス

商人ハ其營業ニ關シ商業使用人ヲ選任スルコトヲ得商業使用人ハ其營業ニ關スル裁判上又ハ裁判外ノ一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

商業登記ハ商人ノ營業ニ關スル一定ノ事項ヲ公示スル爲メニ之ヲ爲スモノニシテ其ノ登記ヲ爲スヘキ事項ハ商法ニ之ヲ規定ス

商業帳簿ハ商人ノ營業ニ關スル財產及ヒ損益ノ狀況ヲ明カニスル爲メ之ヲ作ラシムルモノニシテ商人ハ開業ノ時ニ於テ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作リ且ツ毎年一回一定ノ時期ニ於テ財產目錄及ヒ貸借對照表ヲ作ルノ義務ヲ負フ

商業帳簿ニ關シテハ商法ニ規定スル外特ニ商業帳簿法アリ

商業帳簿ハ之ヲ保存スルノ義務ヲ負フ

商人ノ營業ニ關スル取引ニ付テハ商法ニ特別ノ規定アルモノノ外民法ノ規定ヲ適用ス

商人ノ營業ニ關スル債權ハ五箇年ヲ經過スルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

商人ノ營業ニ關スル債務ハ連帶ノ義務ト推定ス

商人ノ營業ニ關スル債務ハ履行ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ遲滯ノ責ニ任ス

商人ノ營業ニ關スル債務ハ特ニ利息ノ定ナキトキト雖モ年六分ノ利息ヲ附スルモノトス

商人ノ營業ニ關スル債務ハ辨濟ノ場所ニ於テ辨濟スルヲ要ス

商人ノ營業ニ關スル債務ハ辨濟ノ時期ニ於テ辨濟スルヲ要ス

商人ノ營業ニ關スル債務ハ債權者ノ住所ニ於テ辨濟スルヲ要ス

商人ノ營業ニ關スル債務ハ債權者ノ營業

第五十九條　漁業權ノ存續期間ハ十年ヲ超エサル範圍内ニ於テ定メラルヘシ

漁業權ノ存續期間ハ之ヲ更新スルコトヲ得

第六十條　漁業權ハ之ヲ分割又ハ讓渡スルコトヲ得ス

第六十一條　漁業權ハ之ヲ抵當ト爲スコトヲ得ス

第六十二條　漁業權ハ民法其ノ他ノ法律ノ規定ニ從ヒ之ヲ相續ス

第六十三條　漁業權ハ公共ノ用ニ供スル爲土地ヲ收用セラルルトキハ收用ノ裁決ニ依リ消滅ス

第六十四條　漁業權ハ公益ノ爲必要アルトキハ之ヲ收用スルコトヲ得

第六十五條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第六十六條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第六十七條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第六十八條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第六十九條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十一條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十二條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十三條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十四條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十五條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十六條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十七條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十八條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第七十九條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十一條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十二條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十三條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十四條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十五條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十六條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十七條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十八條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第八十九條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十一條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十二條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十三條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十四條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十五條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十六條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十七條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十八條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第九十九條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百一條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百二條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百三條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百四條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百五條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百六條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百七條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百八條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百九條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十一條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十二條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十三條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十四條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十五條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十六條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十七條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十八條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百十九條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

第百二十條　漁業權ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ヲ行使スルコトヲ得ス

一　漁業權ニ關スル規定ニ違反シタルトキ

二　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

三　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ制限セラレタルトキ

四　漁業權ニ關スル行政官廳ノ處分ニ依リ漁業ヲ禁止セラレタルトキ

其ノ氏名及住所

七　登錄官廳ノ表示

第七十二條　債權者カ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權者ノ氏名、住所及代位ノ原因ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ第五十七條ノ三及第五十七條ノ五第二項ノ規定ニ依リ登錄ノ申請ヲ爲ス場合ニ之ヲ準用ス

第七十三條ノ二　借託ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

一　委託者受託者ノ氏名及住所

二　借託ノ目的

三　受益者ノ氏名及住所又ハ資格

前項ニ揭ゲル事項ノ外漁業權ヲ目的トスル權利ヲ借託シタルトキハ其ノ權利ヲ表示シ借託財産ノ管理方法、借託終了ノ事由其ノ他借託行爲ヲ以テ定メタル事項アルトキハ之ヲ記載シ尙借託行爲ヲ以テ信託管理人ヲ指定シタルトキハ其ノ氏名及住所ヲ記載スベシ

第七十三條　登錄原因ニ買戻ノ特約其ノ他登錄ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ其ノ事項ヲ記載スベシ

第七十四條　登錄權利者カ多數ナル場合ニ於テ登錄原因ニ持分ノ定アルトキ又ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第二百五十六條第一項但書ノ規定ニ依リ定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スベシ

前項ノ規定ハ漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ一部ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第七十五條　先取特權ノ保存ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權額（漁場工事ノ先取特權ノ保存ニ付テハ其ノ工事費用ノ豫算額）ヲ記載シ且登錄原因ニ辨濟時期ノ定アルトキ、利息ノ定アルトキ又ハ其ノ發生時期若ハ支拂時期ノ定アルトキハ之ヲ記載スベシ

第七十六條　抵當權設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權額ヲ記載シ且登錄原因ニ辨濟時期ノ定アルトキ、利息ノ定アルトキ、損害金ノ定アルトキ、債權ニ條件ヲ附シタルトキ又ハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第三百七十條但書ノ規定ニ依リ別段ノ定アルトキハ之ヲ記載スベシ

前項ノ場合ニ於テ先順位ノ抵當權ノ登錄アルトキハ申請書ニ其ノ旨ヲ記載スベシ

第一項ノ申請書ニハ抵當權ノ設定者カ債務者ニ非ザルトキハ債務者ノ表示ヲ爲スベシ

第七十七條　抵當權移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ抵當權ヲ共ニ移轉スルヤ否ヤヲ記載スベシ

第七十八條　一定ノ金額ヲ目的トセザル債權ノ擔保ノ爲ニ先取特權ノ保存又ハ抵當權ノ設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ債權ノ價格ヲ記載スベシ

第七十九條　債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スベシ

第八十條　先取特權ノ保存若ハ移轉又ハ抵當權ノ設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權ノ移轉若ハ轉貸ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第八十一條　先取特權ノ保存若ハ移轉又ハ抵當權ノ設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ債權ノ一部ノ讓渡又ハ代位辨濟ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ讓渡又ハ代位辨濟ノ目的タル債權額ヲ記載スベシ

第八十二條　抵當權ノ移轉若ハ轉貸ヲ承諾セラレタルトキハ其ノ旨ヲ記載シ賃貸借ヲ爲ス者カ處分ノ能力又ハ權限ヲ有セザル者ナルトキハ其ノ旨ヲ記載スベシ

賃借權ノ移轉又ハ轉貸ヲ承諾シタル旨ノ登錄アラザル場合ニ於テ賃借權ノ移轉又ハ轉貸ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ賃貸人ノ承諾書ヲ添附スベシ

第八十二條ノ二　入漁慣行保存ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ申請書ニ左ニ揭ゲル事項ヲ記載スベシ

一　入漁スベキ漁業權ノ免許ノ番號

二　入漁スベキ水面ノ區域

三　入漁スベキ漁業ノ方法其ノ他漁船漁具又ハ從業者ノ數若ハ資格ニ付慣行アルトキハ其ノ事項

四　入漁スベキ採捕物ノ種類

五　入漁スベキ時期

六　前各號ニ揭ゲルモノノ外權利讓渡ニ關スル慣行アルトキハ其ノ事項

第八十三條　登錄申請書ガ數葉ニ渉ルトキハ申請人ハ每葉ノ綴目ニ契印ヲ爲スベシ但シ登錄權利者又ハ登錄義務者ガ多數ナルトキハ各其ノ一人ニ於テ契印ヲ爲スベシ

前項ノ契印ナキモノニ付テハ官廳吏員契印ヲ爲スベシ

第四款　登錄稅

第八十四條　數個ノ登錄ノ登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數個ノ漁業權ニ關シ同一ノ登錄原因ニ因ル先取特權ノ保存、抵當權ノ設定又ハ先取特權若ハ抵當權ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ最初ノ登錄ヲ申請スル登錄官廳ニハ登錄稅ノ全額ヲ納付スベシ

前項ノ規定ニ從ヒ登錄稅ヲ納付シタルトキハ登錄官廳ハ登錄ヲ申請スベキ登錄官廳ニ交付シタル登錄稅ノ受領證ヲ申請人ニ交付スベシ但シ二通以上ノ受領證ヲ交付スルトキハ各通ニ番號ヲ附スベシ

第一項ノ場合ニ於テ他ノ登錄官廳ニ登錄ヲ申請スルトキハ申請書ニ前項ノ受領證ヲ添附スベシ

前三項ノ規定ハ同一ノ登錄原因ニ因ル漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ處分ノ制限ノ登錄ニ之ヲ準用ス

第八十五條　朝鮮登錄稅令施行規則第三條ノ二第一項ノ場合ニ於テ依リ登錄稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ登錄ヲ受ケタルトキハ登錄申請書ニ其ノ登記所又ハ登錄官廳ニ交付シタル登錄稅ノ受領證ヲ添附スベシ

第五款　登錄手續

第八十六條　申請書ノ提出アリタルトキハ登錄受付簿ニ登錄ノ目的、申請人ノ氏名、受付年月日及受付番號ヲ記載シ申請書ニ受付年月日及受付番號ヲ記載スベシ但シ申請人カ郵便ニ依リ申請シタル場合ニ於テ郵便物ノ到達カ執務時間外ニ係ルトキハ第六十三條第二項ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタル場合ニ限リ其ノ到達ノ時ヲ以テ受付ノ時ト看做ス

前項ノ受付番號ハ受付ノ順序ニ依リ之ヲ附スベシ但シ同一ノ漁業權ニ關シ同時ニ數個ノ申請アリタルトキハ同一ノ受付番號ヲ附スベシ

第八十七條　前條ノ規定ニ依リ登錄受付簿ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ登錄權利者又ハ登錄義務者カ二人以上ニシテ代表者ノ定アルトキハ其ノ氏名ノミヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ノミヲ記載スベシ

第八十八條　左ニ揭ゲル場合ニ於テハ登錄ノ

申請ハ理由ヲ附シテ之ヲ却下スベシ

一　事件カ其ノ登錄官廳ノ管轄ニ屬セザルトキ

二　事件カ登錄スベキモノニ非ザルトキ

三　申請書カ本令ノ規定ニ適合セザルトキ

四　申請書ニ揭ゲル漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ一部ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用スルトキ

五　第六十六條第二號ノ場合ヲ除クノ外申請書ニ揭ゲル登錄義務者ノ表示カ漁業權原簿ノ登錄ト符合セザルトキ

六　申請人カ登錄名義人ナル場合ニ於テ氏名及住所ノ變更ノ登錄申請ノ場合ヲ除クノ外其ノ表示カ漁業權原簿ノ登錄ト符合セザルトキ

七　申請書ニ揭ゲル事項カ登錄原因ヲ證スル書面ト抵觸スルトキ

八　申請書ニ必要ナル書類ヲ添附セザルトキ

九　登錄稅ヲ納付セザルトキ

第八十九條　登錄ハ受付番號ノ順序ニ從ヒテ之ヲ爲スベシ

第九十條　漁業權登錄簿ノ表示欄ニ登錄ヲ爲スニハ申請書ノ受付年月日、受付番號、登錄原因及其ノ日附、登錄ノ目的其ノ他申請書ニ揭ゲル事項ニシテ漁業權ノ表示ニ關スルモノヲ以テ登錄ヲ爲スヲ旨ヲ記載スベシ

信託登錄簿ノ表示欄ニ信託財産ノ表示ノ登錄ヲ爲スニハ申請書ノ受付年月日及受付番號、信託ノ目的タル漁業ノ免許ノ番號又ハ登錄ノ目的タル漁業權ヲ目的トスル權利ノ順位番號及權利ノ種類竝ニ登錄スベキ旨ヲ記載シ尙其ノ末尾ニ漁業權登錄簿ノ冊數及丁數ヲ記載スベシ

第九十一條　漁業權原簿ノ事項欄ニ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ登錄年月日及受付番號ヲ記載スベシ

第九十二條　第一項ノ申請ニ依ル登錄ヲ完了シタルトキハ登錄名義人ノ氏名、住所、登錄原因及其ノ日附、登錄ノ目的其ノ他申請書ニ揭ゲル事項ニシテ登錄スベキ權利及入漁ニ關スルモノ

第九十三條　入漁慣行ノ保存ノ登錄ヲ爲ス旨ヲ記載スベシ

漁業權登錄簿ニ借託ニ因ル漁業權登錄ヲ爲シタルトキハ登錄ノ冊數及丁數ヲ記載スベシ

第九十四條　一箇ノ漁業權ノ數個ノ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ第九十二條第一項ノ申請アリタル場合ニ之ヲ準用ス

第九十五條　登錄ヲ完了シタル場合ニ於テ申請書ニ添附シタル書面ニハ登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ還付スベシ

第九十六條　登錄名義人ノ表示ノ變更、漁業權ヲ目的トスル權利ノ變更又ハ第七十二條ノ二ニ揭ゲル事項ノ變更ノ登錄ヲ爲スニハ變更ノ登錄ヲ申請スル登錄官廳ニ登錄ノ冊數及丁數ヲ記載スベシ

第九十七條　登錄ヲ完了シタルトキハ登錄原因ヲ證スル書面又ハ申請書ノ副本ニ免許ノ番號、申請書ノ受付年月日、受付番號、順位番號、登錄年月日及登錄濟ノ旨ヲ記載シ入漁慣行ノ保存ニ關スル登錄ニ付テハ尙入漁登錄番號ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ還付シ申請書ニ添附シタル登錄濟證又ハ第六十五條第十項ノ書面ニハ申請書ノ受付年月日、受付番號、順位番號、登錄權利者ノ氏名及住所、登錄原因及其ノ日附、登錄ノ目的、登錄年月日並ニ登錄濟ノ旨ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄義務者ニ還付スベシ

登錄名義人多數ニシテ共ノ一部ガ登錄義務者タルトキハ前項ノ登錄義務者ニ還付スベキ書面ニハ前項ニ規定スル事項ノ外登錄義務者ノ氏名及住所ヲ記載スベシ

前二項ノ場合ニ於テ登錄權利者又ハ登錄義務者多數ナルトキハ其ノ氏名及住所ノ記載ニ付テハ代表者ノ定アルモノハ其ノ氏名及住所ノミヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ノミヲ記載スベシ

第九十八條　第一項ノ申請ニ依ル登錄ヲ完了シタル場合ニ於テハ代位ノ原因ヲ證スル書面ニ第一項ノ規定ニ準ジテ記載ヲ爲シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シ第一項ノ規定ニ依リ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ還付スベキ書類ト共ニ之ヲ債權者ニ還付シ且登錄濟ノ旨ヲ登錄權利者又ハ登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ相續其ノ他ノ包括承繼ニ因ル權利移轉ノ登錄ヲ登錄官廳ニ嘱託スル場合ニ於テ他ノ登錄官廳ニ登錄ヲ嘱託スル場合ニ於テハ申請書ニ前項ノ受領證ヲ添附スベシ

前三項ノ規定ハ同一ノ登錄原因ニ因ル漁業權又ハ之ヲ目的トスル權利ノ處分ノ制限ノ登錄ヲ嘱託スル場合ニ之ヲ準用ス

第八十五條　朝鮮登錄稅令施行規則第三條ノ二第一項ノ場合ニ於テ依リ登錄稅ヲ徵收スル場合ニ於テハ申請書ニ其ノ登錄ヲ受ケタルトキハ登錄申請書ニ其ノ登記所又ハ登錄官廳ニ於テ登錄稅ノ受領證ヲ添附スベシ

第五款　登錄手續

第八十六條　申請書ノ提出アリタルトキハ登錄受付簿ニ登錄ノ目的、申請人ノ氏名、受付年月日及受付番號ヲ記載シ申請書ニ受付年月日及受付番號ヲ記載スベシ但シ申請人カ郵便ニ依リ申請シタル場合ニ於テ郵便物ノ到達カ執務時間外ニ係ルトキハ第六十三條第二項ノ規定ニ依リ之ヲ爲シタル場合ニ限リ其ノ到達ノ時ヲ以テ受付ノ時ト看做ス

前項ノ受付番號ハ受付ノ順序ニ依リ之ヲ附スベシ但シ同一ノ漁業權ニ關シ同時ニ數個ノ申請アリタルトキハ同一ノ受付番號ヲ附スベシ

第八十七條　前條ノ規定ニ依リ登錄受付簿ニ申請人ノ氏名ヲ記載スル場合ニ於テ登錄權利者又ハ登錄義務者カ二人以上ニシテ代表者ノ定アルトキハ其ノ氏名ノミヲ記載シ其ノ他ノ者ニ付テハ其ノ人員ノミヲ記載スベシ

第八十八條　左ニ揭ゲル場合ニ於テハ登錄ノ

處分ニ關スル處分ノ制限ノ登錄ヲ抹消シ其ノ權利ヲ目的トスル先取特權又ハ抵當權ノ登錄アルトキハ權利ヲ以テ其ノ登錄ヲ抹消スベシ朝鮮民事令ニ依テ設ケコトヲ定メタル競賣法ノ規定ニ依ル競賣ニ基ク登錄ヲ爲ス場合亦同シ

第百十七條　第百十一條第一項ノ記載アル漁業權ニ付競賣ニ因ル漁業權移轉ノ登錄ノ嘱託アリタルトキハ第三十一條第一項ノ規定ニ準シ登錄ヲ爲シタル後移轉ノ登錄ヲ爲スベシ

第百八條　豫告登錄ハ登錄用紙中表示欄又ハ相當事項欄ニ之ヲ爲スベシ

第百九條　嘱託ニ依ル登錄ヲ完了シタル場合ニ於テハ登錄官廳ハ第九十七條第一項ノ書面ヲ登錄ヲ嘱託シタル官公署ニ送付シ之カ送付ヲ受ケタル官公署ハ遲滯ナク之ヲ登錄權利者ニ交付スベシ

第四章　滅失

第百十條　漁業權原簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ登錄官廳ハ其ノ定ムル期間内ニ爲シタル申請ニ依リ登錄ノ回復ヲ爲スベシ

回復シタル登錄ハ滅失前ノ登錄ト看做ス

第一項ノ期間ハ第百十一條第一項ノ公告ヲ爲シタル日ヨリ起算シ三月以上六月以下ニ於テ之ヲ定ムベシ

第百十一條　漁業權原簿ノ全部又ハ一部カ滅失シタル場合ニ於テハ登錄官廳ハ遲滯ナク左ニ揭ケル事項及登錄ノ回復ヲ申請スベキ旨ヲ公告スベシ

一　滅失ノ事由

二　滅失ノ年月日

三　滅失シタル書類ノ種類

四　登錄ノ回復ヲ申請スベキ期限

五　其ノ他必要ナル事項

登錄官廳ハ前項ノ公告ヲ爲スノ外其ノ所在地又ハ所在地ノ屬スル道ノ區域内ニ於テ漁業行スル日刊ノ新聞紙ノ一ニ、日刊ノ新聞紙ノ發行ナキ道ニ在リテハ隣接セル一ノ道ノ區域内ニ於テ發行スル日刊ノ新聞紙ノ一ニ登錄ノ回復ヲ申請スベキ期間並ニ前項第一號乃至第三號ノ事項ヲ揭載スベシ

第百十二條　登錄回復ノ申請ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第百十二條ノ二　受益者又ハ受託者ハ受託者ニ代位シテ登錄回復ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第百十三條　登錄回復ノ申請書ニハ原登錄ノ順位番號、申請書ノ受付年月日、申請書ノ受付番號及登錄年月日ヲ記載シ之ニ原登錄ノ登錄濟證ヲ添附スベシ

第七十二條第一項若ハ前條ノ場合、朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル信託法第八條第二項ノ規定ニ依リ信託管理人ヨリ申請スル場合又ハ滅失、紛失其ノ他已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ登錄濟證ヲ添附スルコト能ハザル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ記載シタル書面及漁業權原簿ノ謄本、抄本其ノ他證據ト爲ルベキ書面ヲ申請書ニ添附スベシ

第百十四條　登錄回復ノ申請アリタル場合ニ於テハ假設漁業權原簿ニ登錄スベシ

假設漁業權原簿ハ漁業權原簿ト稱スルハ左ニ揭ケル書類ヲ謂フ

一　假設漁業權登錄簿

二　假設漁場圖綴込帳

三　假設漁業權共有者名簿

四　假設入漁登錄簿

五　假設信託登錄簿

假設漁業權原簿ニ付テハ第九條第二項乃至第四項ノ規定ヲ準用ス

第百十六條　第百十四條ノ規定ニ依ル登錄ヲ爲スニハ第十二條乃至第十四條ノ二ノ規定ニ準シ滅失前ノ登錄ト同樣ノ登錄ヲ爲スベシ

前項ノ規定ニ依リ假設漁業權登錄簿、假設漁業權原簿ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ第三十九條及第百十三條ノ規定ヲ準用スルノ外第三章ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スベシ

第百十四條　漁業權原簿又ハ假設漁場圖綴込帳ニ登錄ヲ爲シタルトキハ其ノ登錄中ニ、假設入漁登錄簿ニ登錄ヲ爲シタルトキハ備考欄ニ回復登錄ノ申請書受付年月日及受付番號、回復ノ原因及其ノ日附、回復ノ登錄ヲ爲ス旨並ニ回復登錄ノ年月日ヲ記載シ擔當職員捺印スベシ

第一項ノ場合ニ於テ漁業權登錄簿、漁場圖綴込帳、漁業權共有者名簿、入漁登錄簿若ハ信託登錄簿ノ冊數若ハ丁數又ハ入漁登錄番號ニ異動ヲ生ジタルトキハ新冊數若ハ丁數又ハ新番號ヲ記載シ原冊數若ハ丁數又ハ原番號ヲ記載アルトキハ之ヲ朱抹スベシ

前三項ノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ原登錄ノ登錄濟證ニ申請書ノ受付年月日、受付番號、順位番號、登錄原因及其ノ日附、登錄ノ目的、登錄年月日及假設漁業權原簿ニ登錄濟ノ旨ヲ記載シ入漁慣行ノ保存ニ關スル登錄ニ付テハ倘入漁登錄番號ヲ記載シ登錄官廳ノ印ヲ押捺シテ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ還付スベシ

第百十七條　第百十條ノ規定ニ依リ定メタル期間中滅失シタル漁業權原簿ニ登錄シタル漁業權若ハ之ヲ目的トスル權利又ハ入漁ノ慣行ニ付新ニ登錄ノ申請アリタルトキハ第三章ノ規定ニ準シ假設漁業權原簿ニ其ノ登錄ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テ順位番號欄ニ記載スベキ順位番號ハ新登錄ノミノ順序ニ從ヒ新ナル番號ヲ附シ之ニ新登錄ナル文字ヲ冠スベシ

前項ノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ登錄濟證ニ假設漁業權原簿ニ登錄シタル旨ヲ記載スベシ

第百十八條　前條ノ規定ニ依リ新ニ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ登錄カ第八十八條第一號、第二號又ハ第四號乃至第六號ニ該當スルモノナルコトヲ發見シタルトキハ登錄官廳ハ遲滯ナク職權ヲ以テ第二十八條ノ規定ニ準シ抹消ノ登錄ヲ爲シ登錄權利者及登錄義務者又ハ登錄名義人竝ニ登錄上利害ノ關係ヲ有スル第三者ニ其ノ旨理由ヲ附シテ通知スベシ

第百十九條　第百十四條及第百十七條ノ規定ニ依リ假設漁業權原簿ニ爲シタル登錄ハ第百十條ノ規定ニ依リ定メタル期間滿了ノ後遲滯ナク之ヲ新ニ調製シタル漁業權原簿ニ移記スベシ

前項ノ規定ニ依リ登錄ノ移記ヲ爲スニハ回復シタル登錄ヲ移シ之ヲ完了シタル後新登錄ヲ移スベシ此ノ場合ニ於テ回復シタル登錄ノ順序ニ、新登錄ノ順序ニ於ケル登錄ノ順序ニ從ヒ、回復シタル登錄ノ順位番號ハ主登錄ニ付テハ回復シタル登錄ノミノ滅失前ノ登錄ノ順位番號ノ順序ニ依リ新ナル番號ヲ附シ假設登錄ニ付テハ第二十二條第一項ノ規定ニ依リ新ニ之ヲ附シ登記登錄番號又ハ入漁登錄番號ハ主登錄ノ順位番號ヲ定メタル方法ニ準ジ之ヲ附シ第百十七條ノ規定ニ依リ新ニ爲シタル主登錄ノ順位番號若ハ入漁登錄番號又ハ附記登錄ノ登錄番號ハ登錄ノ順序ニ從ヒ回復シタル登錄ノ順位又ハ番號ヲ追ヒ新ナル番號ヲ附シ附記登錄ノ順位番號ニ於テハ第二十二條第一項ノ規定ニ依リ新ニ之ヲ附スベシ

第一項ノ場合ニ於テハ表示欄及事項欄ニ移シタル登錄ノ末尾ニ假設漁業權原簿第何册何丁ヨリ登錄ヲ移シタル旨及其ノ年月日ヲ記載シ擔當職員之ニ捺印スベシ

漁業權原簿ニ登錄ヲ移シタルトキハ假設漁業權原簿ノ登錄用紙ヲ閉鎖スベシ

第百二十條　假設漁業權原簿ノ登錄ヲ漁業權原簿ニ移記シタルトキハ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ對シ之ニ本登錄濟證ヲ交付スベキ旨ノ通知スベシ

登錄權利者又ハ登錄名義人カ本登錄濟證ノ交付ヲ申請スル場合ニ於テハ假設漁業權原簿ニ於ケル登錄濟證ヲ提出スベシ

前項ノ登錄濟證ヲ提出シタルトキハ之ニ第百十六條第四項ノ規定ニ準シ記載ヲ爲シ登錄權利者又ハ登錄名義人ニ交付スベシ

第百二十一條　登錄ノ回復ニ關スル手續ニ付テハ本章ニ規定スルモノ外第三章ノ規定ニ依ル

第百二十二條　假設漁業權原簿カ滅失シタル場合ニ於ケル登錄ノ回復ニ付テハ本章ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テ第百十條ノ規定ニ依ル登錄回復ノ申請期間ハ假設漁業權原簿ノ登錄回復申請期間ト同一ニ更ニ之ヲ定ムベシ

第一項ノ場合ニ於テ新假設漁業權原簿ニ於ケル新登錄ニハ第二回假設ナル文字ヲ冠スベシ

前項ノ規定ハ第三回以後ノ假設漁業權原簿ニ於ケル新登錄ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　第百十條又ハ前條ノ規定ニ依ル登錄回復ノ登錄ノ申請ヲ爲サザル漁業權ニ付テハ滅失ノ際ニ於ケル漁業權ノ登錄名義人ノ登錄回復ノ申請期間經過後其ノ漁業權ニ付設定ノ登錄ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請アリタルトキハ登錄官廳ハ滅失ノ際登錄上ニ於テ存シタル漁業權ニ付設定ノ登錄ヲ爲スベシ

前項ノ登錄ニ付テハ第三十九條及第百十三條ノ規定ヲ準用スルノ外第三章ノ規定ニ依ル

第百二十四條　漁業權原簿又ハ其ノ附屬書類ノ滅失スル虞アルトキハ登錄官廳ハ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年十一月總令第百四十五號）

本令ハ昭和六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

表題部

表示番號欄	表示欄								表示番號欄	表示欄
	漁場ノ位置及區域	漁業ノ種類	免許年月日	存續期間	漁業ノ方法、採捕物ノ種類、漁業ノ時期、制限又ハ條件					

甲區			乙區			丙區			丁區			戊區		
順位番號欄	事項欄		順位番號欄	事項欄		順位番號欄	事項欄		順位番號欄	事項欄		順位番號欄	事項欄	

第二號樣式

表題	番號欄	第　號	第　號	摘要	記載事項	持分欄	備考欄
						甲區	甲區
						乙區	乙區
						丙區	丙區
						丁區	丁區

第三號樣式

表題	番號欄	表示欄	番順號欄位	非項欄	番順號欄位	非項欄	番順號欄位	非項欄	番順號欄位	非項欄
甲區										
乙區										
丙區										
丁區										

第四號樣式

號	第　欄	許可ノ年月日及番號	免許ノ號	漁業ノ方法	漁船	第　欄	漁業時ノ水深及漁場ノ沿革	第　欄	表示欄
				漁業ノ方法	漁船				
				漁具	漁具				
				採捕物ノ種類	採捕物ノ種類				
				漁業ノ時期	漁業ノ時期				

第五號樣式

摘要	番號欄	表示欄	番順號欄位	非項欄	番順號欄位	非項欄	番順號欄位	非項欄	番順號欄位	非項欄
甲區										
乙區										
丙區										
丁區										

備考	表示欄	番順號欄位	非項欄	番順號欄位	非項欄	番順號欄位	非項欄	番順號欄位	非項欄

第六號樣式

受付年月日	受付番號	登錄ノ目的	申請人ノ氏名又ハ名稱	備考
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			

受付年月日	受付番號	登錄ノ目的	申請人ノ氏名又ハ名稱	備考
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			
昭和　年　月　日	第　號			

●朝鮮漁業登錄規則ニ依リ登錄官廳ニ差出スベキ漁業ニ關スル登錄申請書ノ調製心得及書式

昭和五年四月
總督府令第百八十五號

朝鮮漁業登錄規則ニ依リ登錄官廳ニ差出スベキ漁業ニ關スル登錄申請書ノ調製心得及書式ヲ昭和五年五月一日ヨリ左ノ通定ム

甲　調製心得

一　申請書ハ各漁業權ニ付申請セントスル事件毎ニ之ヲ調製スベシ但シ同一登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ニ關シ先取特權ノ保存、抵當權ノ設定又ハ先取特權若ハ抵當權ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ登錄原因及登錄ノ目的ガ同一ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二　申請書ニ金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用フベシ

三　申請書ノ文字ハ之ヲ改竄スルコトヲ得ズ訂正、挿入又ハ削除ヲ爲シタルトキハ其ノ字數ヲ欄外ニ記載シ又ハ文字ノ前後ニ括弧ヲ附シ之ニ捺印シ其ノ削除ニ係ル文字ハ倘讀ミ得ベキ程字體ヲ存スベシ

三　申請人ガ漁業組合其ノ他ノ法人又ハ法人ニ非ザル社團ナルトキハ申請書ニハ其ノ名稱ヲ記載スルノ外代表者記名捺印スベシ

四　登錄原因ヲ證スル書面ニハ印紙稅令第二條竝ニ印紙稅法第四條、第六條及第九條ノ規定ニ依リ印紙稅ヲ納ムベシ

五　登錄稅ハ朝鮮登錄稅令第六條及朝鮮登錄稅令施行規則第一條ノ規定ニ依リ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ此ノ場合ニ於テハ貼附印紙ヲ以テ消スベカラズ

朝鮮登錄稅令施行規則第二條ノ規定ニ依リ現金ヲ以テ登錄稅ヲ納ムルトキハ其ノ領收證書ヲ申請書ニ添附スベシ

乙　書式

第一號　漁業權（持分）移轉ノ登錄申請書

（一）　相續ニ因ル移轉ノ例

漁業權（持分）移轉登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日家督相續（遺産相續）
一　登錄ノ目的　漁業權（持分）ノ移轉
一　各相續人ノ相續分　何某　何分ノ何
　　何某　何分ノ何
一　添附書類
　登錄原因ヲ證スル書面（メモリ存在セザルニ付申請書ノ副本一通
　戶籍（戶籍及除籍）ノ謄本（各）一通
　（何某ノ相續分ヲ證スル書面　各一通）
　（何某ノ相續ノ拋棄ヲ證スル書面　各一通）

右登錄申請ス

年　月　日

住所　亡何某家督相續人　登錄申請人　氏　名㊞
住所　亡何某遺産相續人　住所　氏　名㊞

朝鮮總督（道知事）宛

（二）　公賣處分ニ因ル漁業權移轉ノ登錄

（三）　代託ノ例

（三）　滯納處分ニ因ル差押ノ解除登錄嘱託ノ例

第二十六號　漁業權原簿ノ謄本ノ交付請求書

第二十七號　漁業權原簿ノ抄本ノ交付請求書

甲　調製心得

一　申請書ハ各漁業權ニ付申請セントスル事件毎ニ之ヲ調製スベシ但シ同一登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ニ關シ先取特權ノ保存、抵當權ノ設定又ハ先取特權若ハ抵當權ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ登錄原因及登錄ノ目的ガ同一ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二　申請書ニ金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用フベシ

三　遺産相續ニ付數人ニ於テ漁業權ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ其ノ各持分ヲ記載シ漁業權ノ持分ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ登錄ノ目的ノ次ニ各相續人ノ相續分ヲ、各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ漁業權ノ各持分ヲ記載スベシ

二　遺産相續ニ付相續ノ拋棄ヲ爲シタル者又ハ相續權ナキ者アルトキハ之ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スベシ

三　遺産相續ニ付相續人ノ關係ガ戶籍ノ謄本ノミニテ不明ナルトキハ除籍ノ謄本ヲモ申請書ニ添附スベシ

四　朝鮮漁業登錄規則（以下注意事項中ニ於テハ單ニ漁業登錄規則ト稱ス）第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十條乃至第七十二條、第七十四條及第八十三條參照

（二）　相續ニ因ル移轉ニ付代位申請ノ例

漁業權（持分）移轉ノ登錄申請書

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日家督相續（遺産相續）
一　登錄ノ目的　漁業權ノ移轉
一　代位ノ原因
　何年何月何日金錢貸借契約ニ基ク債權者何道何郡何面何里何番地何某ノ債務者何道何郡何面何里何番地何某ニ對スル債權ノ保全
一　添附書類
　登錄原因ヲ證スベキ書面（メモリ存在セザルニ付申請書ノ副本一通
　戶籍ノ謄本　一通
　金錢借用證書　一通

右登錄申請ス

年　月　日

住所　亡何某家督相續人　代位申請人　氏　名㊞
住所　債權者　氏　名㊞

朝鮮總督（道知事）宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

（注意）

一　遺産相續ニ付數人ニ於テ漁業權ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ其ノ各持分ヲ記載シ漁業權ノ持分ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ登錄ノ目的ノ次ニ各相續人ノ相續分ヲ、各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ漁業權ノ各持分ヲ記載スベシ

（五）　債權（一部）轉付命令ニ因ル移轉ノ例

（六）　讓渡ニ因ル移轉ノ例

第十一號　抵當權變更ノ登錄申請書

（一）　契約事項ノ變更ニ因ル變更ノ例

（二）　順位ノ變更ニ因ル變更ノ例

（三）　抵當權拋棄ニ因ル變更ノ例

第十二號　抵當權抹消ノ登錄申請書

（一）　全部抹消ノ例

（二）　一部抹消ノ例

（三）　債務ノ辨濟ニ因ル抹消ノ例

（四）　抵當權ノ拋棄又ハ債務ノ免除ニ因ル抹消ノ例

第十三號　貸借權設定ノ登錄申請書

第十四號　漁業權轉貸ノ登錄申請書

第十五號　貸借權移轉ノ登錄申請書

第十六號　貸借權變更ノ登錄申請書

第十七號　貸借權抹消ノ登錄申請書

第十八號　入漁慣行保存ノ登錄申請書

第十九號　入漁慣行抹消ノ登錄申請書

（一）　入漁意思ノ拋棄ニ因ル抹消ノ例

（二）　入漁者ノ死亡又ハ解散ニ因ル抹消ノ例

（三）　入漁ノ拒絕又ハ入漁慣行ノ中斷ニ因ル抹消ノ例

第二十號　假登錄申請書（假登錄義務者ノ承諾アル場合）

漁業權移轉ノ假登錄申請ノ例

第二十一號　假登錄抹消ノ登錄申請書

漁業權移轉ノ假登錄抹消ノ登錄申請ノ例

第二十二號　登錄名義人表示ノ變更ノ登錄申請書

第二十三號　登錄ノ錯誤（遺漏）ニ因ル更正ノ登錄申請書

第二十四號　登錄回復ノ登錄申請書

（一）　承諾ニ因ル回復登錄申請ノ例

（二）　判決ニ因ル回復登錄申請ノ例

（三）　漁業權原簿ノ滅失ニ因ル回復登錄申請ノ例

第二十五號　漁業登錄嘱託書

（一）　滯納處分ニ因ル漁業權差押ノ登錄

（二）　公賣處分ニ因ル漁業權移轉ノ登錄嘱託ノ例

（三）　滯納處分ニ因ル差押ノ解除登錄嘱託ノ例

第二十六號　漁業權原簿ノ謄本ノ交付請求書

第二十七號　漁業權原簿ノ抄本ノ交付請求書

甲　調製心得

一　申請書ハ各漁業權ニ付申請セントスル事件毎ニ之ヲ調製スベシ但シ同一登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ニ關シ先取特權ノ保存、抵當權ノ設定又ハ先取特權若ハ抵當權ノ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ登錄原因及登錄ノ目的ガ同一ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二　申請書ニ金錢其ノ他ノ物ノ數量、年月日及番號ヲ記載スルニハ壹、貳、參、拾ノ文字ヲ用フベシ

三　遺産相續ニ付數人ニ於テ漁業權ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ其ノ各持分ヲ記載シ漁業權ノ持分ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ登錄ノ目的ノ次ニ各相續人ノ相續分ヲ、各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ漁業權ノ各持分ヲ記載スベシ

二　遺産相續ニ付相續ノ拋棄ヲ爲シタル者又ハ相續權ナキ者アルトキハ之ヲ證スル書面ヲ申請書ニ添附スベシ

三　遺産相續ニ付相續人ノ關係ガ戶籍ノ謄本ノミニテ不明ナルトキハ除籍ノ謄本ヲモ申請書ニ添附スベシ

四　朝鮮漁業登錄規則（以下注意事項中ニ於テハ單ニ漁業登錄規則ト稱ス）第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條、第六十五條乃至第六十七條、第七十條乃至第七十二條、第七十四條及第八十三條參照

（二）　相續ニ因ル移轉ニ付代位申請ノ例

漁業權（持分）移轉登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日家督相續（遺産相續）
一　登錄ノ目的　漁業權（持分）ノ移轉
一　各相續人ノ相續分　何某　何分ノ何
　　何某　何分ノ何
一　添附書類
　登錄原因ヲ證スル書面（メモリ存在セザルニ付申請書ノ副本一通
　戶籍（戶籍及除籍）ノ謄本（各）一通
　（何某ノ相續分ヲ證スル書面　各一通）
　（何某ノ相續ノ拋棄ヲ證スル書面　各一通）

右登錄申請ス

年　月　日

住所　亡何某家督相續人　登錄申請人　氏　名㊞
住所　亡何某遺産相續人　住所　氏　名㊞

朝鮮總督（道知事）宛

一　登錄稅　何程

收入印紙

（注意）

一　遺産相續ニ付數人ニ於テ漁業權ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ其ノ各持分ヲ記載シ漁業權ノ持分ノ相續ヲ爲シタル場合ニ於テハ登錄ノ目的ノ次ニ各相續人ノ相續分ヲ、各登錄申請人ノ氏名ノ上ニ漁業權ノ各持分ヲ記載スベシ

（五）　債權（一部）轉付命令ニ因ル移轉ノ例

（六）　讓渡ニ因ル移轉ノ例

第十一號　抵當權變更ノ登錄申請書

（一）　契約事項ノ變更ニ因ル變更ノ例

（二）　順位ノ變更ニ因ル變更ノ例

（三）　抵當權拋棄ニ因ル變更ノ例

第十二號　抵當權抹消ノ登錄申請書

（一）　全部抹消ノ例

（二）　一部抹消ノ例

（三）　債務ノ辨濟ニ因ル抹消ノ例

（四）　抵當權ノ拋棄又ハ債務ノ免除ニ因ル抹消ノ例

第十三號　貸借權設定ノ登錄申請書

第十四號　漁業權轉貸ノ登錄申請書

第十五號　貸借權移轉ノ登錄申請書

第十六號　貸借權變更ノ登錄申請書

第十七號　貸借權抹消ノ登錄申請書

第十八號　入漁慣行保存ノ登錄申請書

第十九號　入漁慣行抹消ノ登錄申請書

（一）　入漁意思ノ拋棄ニ因ル抹消ノ例

（二）　入漁者ノ死亡又ハ解散ニ因ル抹消ノ例

（三）　入漁ノ拒絕又ハ入漁慣行ノ中斷ニ因ル抹消ノ例

第二十號　假登錄申請書（假登錄義務者ノ承諾アル場合）

漁業權移轉ノ假登錄申請ノ例

第二十一號　假登錄抹消ノ登錄申請書

漁業權移轉ノ假登錄抹消ノ登錄申請ノ例

第二十二號　登錄名義人表示ノ變更ノ登錄申請書

第二十三號　登錄ノ錯誤（遺漏）ニ因ル更正ノ登錄申請書

第二十四號　登錄回復ノ登錄申請書

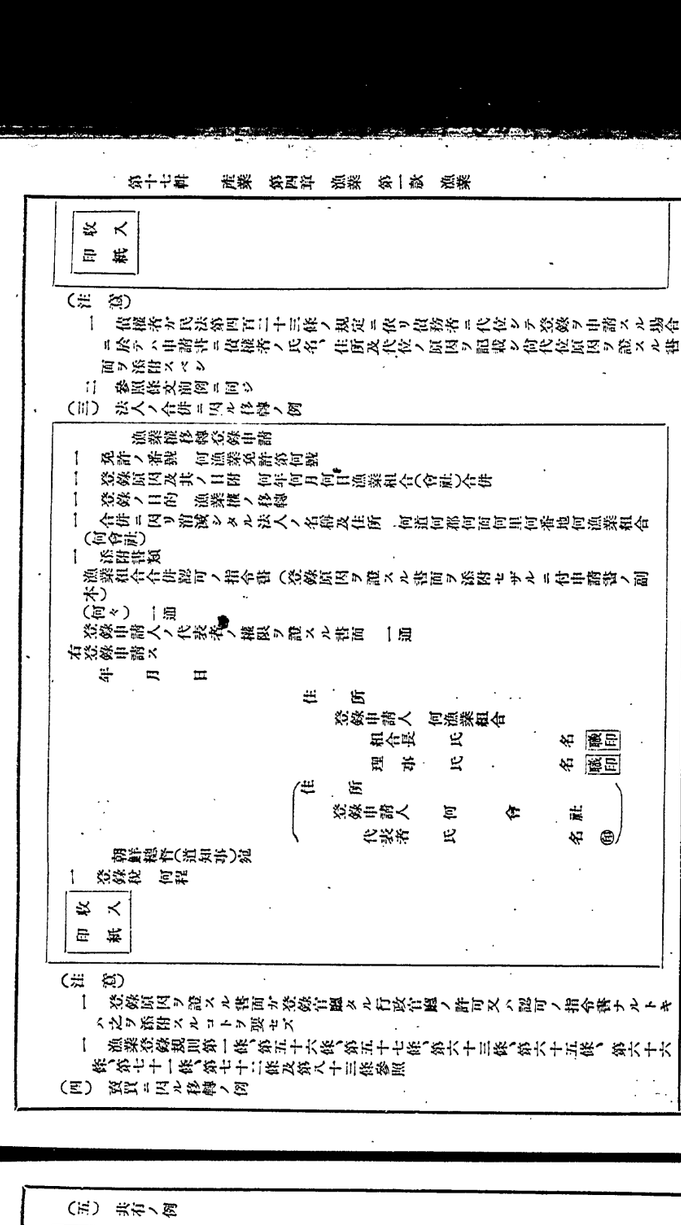
（一）　承諾ニ因ル回復登錄申請ノ例

（二）　判決ニ因ル回復登錄申請ノ例

（三）　漁業權原簿ノ滅失ニ因ル回復登錄申請ノ例

第二十五號　漁業登錄嘱託書

（一）　滯納處分ニ因ル漁業權差押ノ登錄



（注　意）
一　證言書が公正證書ナルトキハ其ノ公正證書ヲ、其ノ他ノ書面ナルトキハ裁判所ノ檢認調書ノ謄本ヲ申請書ニ添附スベシ
二　第四例注意二、三及五參照
三　參照條文第四例ニ同シ
（八）　判決又ハ裁判上ノ和解若ハ認諾ニ因ル移轉ノ例

漁業權移轉登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日賣買（何法院ノ漁業權移轉ノ登錄手續ヲ命ズル確定判決）
一　登錄ノ目的　漁業權ノ移轉
一　登錄義務者ノ氏名及住所　何道何郡何面何里何番地　何某
一　添附書類
裁判（和解調書）（認諾調書）ノ謄本　一通
（判決確定證明書　一通）
右登錄申請ス
年　月　日
住所　譲受人　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）殿
一　登錄稅　何程
收入印紙

（注　意）
一　第四例注意五參照
二　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條乃至第六十七條、第七十一條、第七十二條、第七十五條、第七十八條、第八十條、第八十三條乃至第八十五條、朝鮮登錄稅令第五條、第六條ノ三及朝鮮登錄稅令施行規則第三條ノ二參照

第三號　先取特權保存ノ登錄申請書

（一）　漁業權保存又ハ賣買ノ先取特權保存ノ例

先取特權保存登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日漁業權ノ保存費支出（漁業權ノ賣買）
一　登錄ノ目的　漁業權保存（賣買）ノ先取特權ノ保存
一　債權額　保存費（未拂賣買代金）何圓
一　登錄原因ニ定メアル事項
辨濟時期　何年何月何日
（利息　年何分）
（利息發生時期　何年何月何日）
（利息支拂時期　毎月末日）
（一）　先取特權ノ目的タル他ノ漁業權ノ免許ノ番號何漁業免許第何號、何漁業免許第何號）
一　添附書類
登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本（漁業權賣買契約書）一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
（登錄稅ノ受領證　一通）
右登錄申請ス
年　月　日
住所　債務者　氏　名㊞
住所　先取特權者　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）殿
一　登錄稅　何圓
收入印紙

（注　意）
一　漁業權保存ノ先取特權ノ保存ノ登錄申請ハ保存行爲完了後直ニ、漁業權賣買ノ先取特權ノ保存ノ登錄申請ハ賣買契約ト同時ニ之ヲ爲スベシ
二　同一登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ニ關シ先取特權ノ保存又ハ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ登錄ノ原因が同一ナルトキニ限リ一申請書ヲ以テ申請スルコトヲ得
三　登錄原因ニ辨濟時期ノ定アルトキ、利息ノ定アルトキ又ハ其ノ發生時期若ハ支拂

時期ノ定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スベシ
四　一箇ノ債權ヲ擔保スル爲數箇ノ登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ヲ目的トスル先取特權ノ保存ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ各登錄官廳ニ差出スベキ申請書ニ同一先取特權ノ目的タル他ノ漁業權ノ免許ノ番號ヲ記載スベシ
五　數箇ノ登錄官廳ノ管轄ニ屬スル數箇ノ漁業權ニ關シ同一ノ登錄原因ニ因ル先取特權ノ保存又ハ移轉ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ最初ニ登錄ヲ申請スル登錄官廳ニ登錄稅ノ全額ヲ納付シ交付ヲ受ケタル受領證ハ他ノ登錄官廳ニ登錄ヲ申請スルトキ申請書ニ之ヲ添附スベシ
六　同一ノ債權ノ爲ニ先取特權、質權又ハ抵當權ニ關シ種類ヲ異ニスル二以上ノ登記又ハ登錄ヲ受クル場合ニ於テ既ニ登記所又ハ登錄官廳ニ於テ登記又ハ登錄ヲ受ケタルトキハ申請書ニ其ノ登記所又ハ登錄官廳ノ交付シタル登錄稅ノ受領證ヲ添附スベシ
七　第一號第四例注意二及五參照
八　漁業登錄規則第一條、第五十六條、第五十七條、第六十三條乃至第六十七條、第七十一條、第七十二條、第七十五條、第七十八條、第八十條、第八十三條乃至第八十五條、朝鮮登錄稅令第五條、第六條ノ三及朝鮮登錄稅令施行規則第三條ノ二參照
（二）　漁場工事ノ先取特權保存ノ例

先取特權保存登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日工事請負契約
一　登錄ノ目的　漁場工事ノ先取特權ノ保存
一　工事費用ノ豫算額　何圓
一　登錄原因ニ定メアル事項
辨濟時期　工事竣成引渡ト同時
一　添附書類
工事請負契約書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住所　債務者　氏　名㊞
住所　先取特權者　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）殿
一　課稅標準價格　何圓
一　登錄稅　何程
收入印紙

（注　意）
一　漁場工事ノ先取特權ノ保存ノ登錄申請ハ工事ヲ初ムル前ニ之ヲ爲スベシ
二　第一號第四例注意二及五並ニ前例注意一及三乃至六參照

第四號　先取特權移轉ノ登錄申請書

先取特權移轉登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日家督相續
一　登錄ノ目的　先取特權ノ移轉
一　移轉シムル先取特權
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番先取特權
一　添附書類
登錄原因ヲ證スル書面初メヨリ存在セザルニ付申請書ノ副本　一通
戸籍抄本　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住所　亡何某家督相續人
登錄申請人　氏　名㊞
朝鮮總督（道知事）殿
一　課稅標準價格　何圓
一　登錄稅　何程
收入印紙

（注　意）
一　前號第一例注意一及五參照
二　漁業登錄規則第一條、第五條、第五十六條、第五十七條、第六十三條乃至第六十七條、第七十一條、第七十二條、第七十五條、第七十八條、第八十條、第八十三條、第六十七條、第七十二條、第七十四條、第七十九條、第八十條、第八十三條、第八十四條及朝鮮登錄稅令第五條參照

第五號　先取特權變更ノ登錄申請書

先取特權變更登錄申請

一　免許ノ番號　何漁業免許第何號
一　登錄原因及其ノ日附　何年何月何日債務ノ一部辨濟
一　登錄ノ目的　先取特權ノ變更
一　變更スベキ事項
何年何月何日受付第何號ヲ以テ登錄ニ係ル順位何番先取特權保存ノ登錄事項中債權額何圓ヲ何圓ニ變更
一　添附書類
債務辨濟金受取證書　一通
登錄義務者ノ權利ニ關スル登錄濟證　一通
右登錄申請ス
年　月　日
住所

第九號書式（第四十五條、第四十六條、第四十七條、第四十八條、第五十條、第五十一條、第五十二條、第五十三條、第五十四條、第五十五條、第五十六條、第五十七條、第五十八條、第五十九條、第六十條、第六十一條、第六十二條、第六十三條、第六十四條、第六十五條、第六十六條、第六十七條、第六十八條、第六十九條、第七十條、第七十一條、第七十二條、第七十三條、第七十四條、第七十五條、第七十六條、第七十七條、第七十八條、第七十九條、第八十條、第八十一條、第八十二條、第八十三條、第八十四條、第八十五條、第八十六條、第八十七條、第八十八條、第八十九條、第九十條、第九十一條、第九十二條、第九十三條、第九十四條、第九十五條、第九十六條、第九十七條、第九十八條、第九十九條、第百條、第百一條、第百二條、第百三條、第百四條、第百五條、第百六條、第百七條、第百八條、第百九條、第百十條、第百十一條、第百十二條、第百十三條、第百十四條、第百十五條、第百十六條、第百十七條、第百十八條、第百十九條、第百二十條、第百二十一條、第百二十二條、第百二十三條、第百二十四條、第百二十五條、第百二十六條、第百二十七條、第百二十八條、第百二十九條、第百三十條、第百三十一條、第百三十二條、第百三十三條、第百三十四條、第百三十五條、第百三十六條、第百三十七條、第百三十八條、第百三十九條、第百四十條、第百四十一條、第百四十二條、第百四十三條、第百四十四條、第百四十五條、第百四十六條、第百四十七條、第百四十八條、第百四十九條、第百五十條、第百五十一條、第百五十二條、第百五十三條、第百五十四條、第百五十五條、第百五十六條、第百五十七條、第百五十八條、第百五十九條、第百六十條、第百六十一條、第百六十二條、第百六十三條、第百六十四條、第百六十五條、第百六十六條、第百六十七條、第百六十八條、第百六十九條、第百七十條、第百七十一條、第百七十二條、第百七十三條、第百七十四條、第百七十五條、第百七十六條、第百七十七條、第百七十八條、第百七十九條、第百八十條、第百八十一條、第百八十二條、第百八十三條、第百八十四條、第百八十五條、第百八十六條、第百八十七條、第百八十八條、第百八十九條、第百九十條、第百九十一條、第百九十二條、第百九十三條、第百九十四條、第百九十五條、第百九十六條、第百九十七條、第百九十八條、第百九十九條、第二百條、第二百一條、第二百二條、第二百三條、第二百四條、第二百五條、第二百六條、第二百七條、第二百八條、第二百九條、第二百十條、第二百十一條、第二百十二條、第二百十三條、第二百十四條、第二百十五條、第二百十六條、第二百十七條、第二百十八條、第二百十九條、第二百二十條、第二百二十一條、第二百二十二條、第二百二十三條、第二百二十四條、第二百二十五條、第二百二十六條、第二百二十七條、第二百二十八條、第二百二十九條、第二百三十條、第二百三十一條、第二百三十二條、第二百三十三條、第二百三十四條、第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十七條、第二百三十八條、第二百三十九條、第二百四十條、第二百四十一條、第二百四十二條、第二百四十三條、第二百四十四條、第二百四十五條、第二百四十六條、第二百四十七條、第二百四十八條、第二百四十九條、第二百五十條、第二百五十一條、第二百五十二條、第二百五十三條、第二百五十四條、第二百五十五條、第二百五十六條、第二百五十七條、第二百五十八條、第二百五十九條、第二百六十條、第二百六十一條、第二百六十二條、第二百六十三條、第二百六十四條、第二百六十五條、第二百六十六條、第二百六十七條、第二百六十八條、第二百六十九條、第二百七十條、第二百七十一條、第二百七十二條、第二百七十三條、第二百七十四條、第二百七十五條、第二百七十六條、第二百七十七條、第二百七十八條、第二百七十九條、第二百八十條、第二百八十一條、第二百八十二條、第二百八十三條、第二百八十四條、第二百八十五條、第二百八十六條、第二百八十七條、第二百八十八條、第二百八十九條、第二百九十條、第二百九十一條、第二百九十二條、第二百九十三條、第二百九十四條、第二百九十五條、第二百九十六條、第二百九十七條、第二百九十八條、第二百九十九條、第三百條、第三百一條、第三百二條、第三百三條、第三百四條、第三百五條、第三百六條、第三百七條、第三百八條、第三百九條、第三百十條、第三百十一條、第三百十二條、第三百十三條、第三百十四條、第三百十五條、第三百十六條、第三百十七條、第三百十八條、第三百十九條、第三百二十條、第三百二十一條、第三百二十二條、第三百二十三條、第三百二十四條、第三百二十五條、第三百二十六條、第三百二十七條、第三百二十八條、第三百二十九條、第三百三十條、第三百三十一條、第三百三十二條、第三百三十三條、第三百三十四條、第三百三十五條、第三百三十六條、第三百三十七條、第三百三十八條、第三百三十九條、第三百四十條、第三百四十一條、第三百四十二條、第三百四十三條、第三百四十四條、第三百四十五條、第三百四十六條、第三百四十七條、第三百四十八條、第三百四十九條、第三百五十條、第三百五十一條、第三百五十二條、第三百五十三條、第三百五十四條、第三百五十五條、第三百五十六條、第三百五十七條、第三百五十八條、第三百五十九條、第三百六十條、第三百六十一條、第三百六十二條、第三百六十三條、第三百六十四條、第三百六十五條、第三百六十六條、第三百六十七條、第三百六十八條、第三百六十九條、第三百七十條、第三百七十一條、第三百七十二條、第三百七十三條、第三百七十四條、第三百七十五條、第三百七十六條、第三百七十七條、第三百七十八條、第三百七十九條、第三百八十條、第三百八十一條、第三百八十二條、第三百八十三條、第三百八十四條、第三百八十五條、第三百八十六條、第三百八十七條、第三百八十八條、第三百八十九條、第三百九十條、第三百九十一條、第三百九十二條、第三百九十三條、第三百九十四條、第三百九十五條、第三百九十六條、第三百九十七條、第三百九十八條、第三百九十九條、第四百條、第四百一條、第四百二條、第四百三條、第四百四條、第四百五條、第四百六條、第四百七條、第四百八條、第四百九條、第四百十條、第四百十一條、第四百十二條、第四百十三條、第四百十四條、第四百十五條、第四百十六條、第四百十七條、第四百十八條、第四百十九條、第四百二十條、第四百二十一條、第四百二十二條、第四百二十三條、第四百二十四條、第四百二十五條、第四百二十六條、第四百二十七條、第四百二十八條、第四百二十九條、第四百三十條、第四百三十一條、第四百三十二條、第四百三十三條、第四百三十四條、第四百三十五條、第四百三十六條、第四百三十七條、第四百三十八條、第四百三十九條、第四百四十條、第四百四十一條、第四百四十二條、第四百四十三條、第四百四十四條、第四百四十五條、第四百四十六條、第四百四十七條、第四百四十八條、第四百四十九條、第四百五十條、第四百五十一條、第四百五十二條、第四百五十三條、第四百五十四條、第四百五十五條、第四百五十六條、第四百五十七條、第四百五十八條、第四百五十九條、第四百六十條、第四百六十一條、第四百六十二條、第四百六十三條、第四百六十四條、第四百六十五條、第四百六十六條、第四百六十七條、第四百六十八條、第四百六十九條、第四百七十條、第四百七十一條、第四百七十二條、第四百七十三條、第四百七十四條、第四百七十五條、第四百七十六條、第四百七十七條、第四百七十八條、第四百七十九條、第四百八十條、第四百八十一條、第四百八十二條、第四百八十三條、第四百八十四條、第四百八十五條、第四百八十六條、第四百八十七條、第四百八十八條、第四百八十九條、第四百九十條、第四百九十一條、第四百九十二條、第四百九十三條、第四百九十四條、第四百九十五條、第四百九十六條、第四百九十七條、第四百九十八條、第四百九十九條、第五百條、第五百一條、第五百二條、第五百三條、第五百四條、第五百五條、第五百六條、第五百七條、第五百八條、第五百九條、第五百十條、第五百十一條、第五百十二條、第五百十三條、第五百十四條、第五百十五條、第五百十六條、第五百十七條、第五百十八條、第五百十九條、第五百二十條、第五百二十一條、第五百二十二條、第五百二十三條、第五百二十四條、第五百二十五條、第五百二十六條、第五百二十七條、第五百二十八條、第五百二十九條、第五百三十條、第五百三十一條、第五百三十二條、第五百三十三條、第五百三十四條、第五百三十五條、第五百三十六條、第五百三十七條、第五百三十八條、第五百三十九條、第五百四十條、第五百四十一條、第五百四十二條、第五百四十三條、第五百四十四條、第五百四十五條、第五百四十六條、第五百四十七條、第五百四十八條、第五百四十九條、第五百五十條、第五百五十一條、第五百五十二條、第五百五十三條、第五百五十四條、第五百五十五條、第五百五十六條、第五百五十七條、第五百五十八條、第五百五十九條、第五百六十條、第五百六十一條、第五百六十二條、第五百六十三條、第五百六十四條、第五百六十五條、第五百六十六條、第五百六十七條、第五百六十八條、第五百六十九條、第五百七十條、第五百七十一條、第五百七十二條、第五百七十三條、第五百七十四條、第五百七十五條、第五百七十六條、第五百七十七條、第五百七十八條、第五百七十九條、第五百八十條、第五百八十一條、第五百八十二條、第五百八十三條、第五百八十四條、第五百八十五條、第五百八十六條、第五百八十七條、第五百八十八條、第五百八十九條、第五百九十條、第五百九十一條、第五百九十二條、第五百九十三條、第五百九十四條、第五百九十五條、第五百九十六條、第五百九十七條、第五百九十八條、第五百九十九條、第六百條、第六百一條、第六百二條、第六百三條、第六百四條、第六百五條、第六百六條、第六百七條、第六百八條、第六百九條、第六百十條、第六百十一條、第六百十二條、第六百十三條、第六百十四條、第六百十五條、第六百十六條、第六百十七條、第六百十八條、第六百十九條、第六百二十條、第六百二十一條、第六百二十二條、第六百二十三條、第六百二十四條、第六百二十五條、第六百二十六條、第六百二十七條、第六百二十八條、第六百二十九條、第六百三十條、第六百三十一條、第六百三十二條、第六百三十三條、第六百三十四條、第六百三十五條、第六百三十六條、第六百三十七條、第六百三十八條、第六百三十九條、第六百四十條、第六百四十一條、第六百四十二條、第六百四十三條、第六百四十四條、第六百四十五條、第六百四十六條、第六百四十七條、第六百四十八條、第六百四十九條、第六百五十條、第六百五十一條、第六百五十二條、第六百五十三條、第六百五十四條、第六百五十五條、第六百五十六條、第六百五十七條、第六百五十八條、第六百五十九條、第六百六十條、第六百六十一條、第六百六十二條、第六百六十三條、第六百六十四條、第六百六十五條、第六百六十六條、第六百六十七條、第六百六十八條、第六百六十九條、第六百七十條、第六百七十一條、第六百七十二條、第六百七十三條、第六百七十四條、第六百七十五條、第六百七十六條、第六百七十七條、第六百七十八條、第六百七十九條、第六百八十條、第六百八十一條、第六百八十二條、第六百八十三條、第六百八十四條、第六百八十五條、第六百八十六條、第六百八十七條、第六百八十八條、第六百八十九條、第六百九十條、第六百九十一條、第六百九十二條、第六百九十三條、第六百九十四條、第六百九十五條、第六百九十六條、第六百九十七條、第六百九十八條、第六百九十九條、第七百條、第七百一條、第七百二條、第七百三條、第七百四條、第七百五條、第七百六條、第七百七條、第七百八條、第七百九條、第七百十條、第七百十一條、第七百十二條、第七百十三條、第七百十四條、第七百十五條、第七百十六條、第七百十七條、第七百十八條、第七百十九條、第七百二十條、第七百二十一條、第七百二十二條、第七百二十三條、第七百二十四條、第七百二十五條、第七百二十六條、第七百二十七條、第七百二十八條、第七百二十九條、第七百三十條、第七百三十一條、第七百三十二條、第七百三十三條、第七百三十四條、第七百三十五條、第七百三十六條、第七百三十七條、第七百三十八條、第七百三十九條、第七百四十條、第七百四十一條、第七百四十二條、第七百四十三條、第七百四十四條、第七百四十五條、第七百四十六條、第七百四十七條、第七百四十八條、第七百四十九條、第七百五十條、第七百五十一條、第七百五十二條、第七百五十三條、第七百五十四條、第七百五十五條、第七百五十六條、第七百五十七條、第七百五十八條、第七百五十九條、第七百六十條、第七百六十一條、第七百六十二條、第七百六十三條、第七百六十四條、第七百六十五條、第七百六十六條、第七百六十七條、第七百六十八條、第七百六十九條、第七百七十條、第七百七十一條、第七百七十二條、第七百七十三條、第七百七十四條、第七百七十五條、第七百七十六條、第七百七十七條、第七百七十八條、第七百七十九條、第七百八十條、第七百八十一條、第七百八十二條、第七百八十三條、第七百八十四條、第七百八十五條、第七百八十六條、第七百八十七條、第七百八十八條、第七百八十九條、第七百九十條、第七百九十一條、第七百九十二條、第七百九十三條、第七百九十四條、第七百九十五條、第七百九十六條、第七百九十七條、第七百九十八條、第七百九十九條、第八百條、第八百一條、第八百二條、第八百三條、第八百四條、第八百五條、第八百六條、第八百七條、第八百八條、第八百九條、第八百十條、第八百十一條、第八百十二條、第八百十三條、第八百十四條、第八百十五條、第八百十六條、第八百十七條、第八百十八條、第八百十九條、第八百二十條、第八百二十一條、第八百二十二條、第八百二十三條、第八百二十四條、第八百二十五條、第八百二十六條、第八百二十七條、第八百二十八條、第八百二十九條、第八百三十條、第八百三十一條、第八百三十二條、第八百三十三條、第八百三十四條、第八百三十五條、第八百三十六條、第八百三十七條、第八百三十八條、第八百三十九條、第八百四十條、第八百四十一條、第八百四十二條、第八百四十三條、第八百四十四條、第八百四十五條、第八百四十六條、第八百四十七條、第八百四十八條、第八百四十九條、第八百五十條、第八百五十一條、第八百五十二條、第八百五十三條、第八百五十四條、第八百五十五條、第八百五十六條、第八百五十七條、第八百五十八條、第八百五十九條、第八百六十條、第八百六十一條、第八百六十二條、第八百六十三條、第八百六十四條、第八百六十五條、第八百六十六條、第八百六十七條、第八百六十八條、第八百六十九條、第八百七十條、第八百七十一條、第八百七十二條、第八百七十三條、第八百七十四條、第八百七十五條、第八百七十六條、第八百七十七條、第八百七十八條、第八百七十九條、第八百八十條、第八百八十一條、第八百八十二條、第八百八十三條、第八百八十四條、第八百八十五條、第八百八十六條、第八百八十七條、第八百八十八條、第八百八十九條、第八百九十條、第八百九十一條、第八百九十二條、第八百九十三條、第八百九十四條、第八百九十五條、第八百九十六條、第八百九十七條、第八百九十八條、第八百九十九條、第九百條、第九百一條、第九百二條、第九百三條、第九百四條、第九百五條、第九百六條、第九百七條、第九百八條、第九百九條、第九百十條、第九百十一條、第九百十二條、第九百十三條、第九百十四條、第九百十五條、第九百十六條、第九百十七條、第九百十八條、第九百十九條、第九百二十條、第九百二十一條、第九百二十二條、第九百二十三條、第九百二十四條、第九百二十五條、第九百二十六條、第九百二十七條、第九百二十八條、第九百二十九條、第九百三十條、第九百三十一條、第九百三十二條、第九百三十三條、第九百三十四條、第九百三十五條、第九百三十六條、第九百三十七條、第九百三十八條、第九百三十九條、第九百四十條、第九百四十一條、第九百四十二條、第九百四十三條、第九百四十四條、第九百四十五條、第九百四十六條、第九百四十七條、第九百四十八條、第九百四十九條、第九百五十條、第九百五十一條、第九百五十二條、第九百五十三條、第九百五十四條、第九百五十五條、第九百五十六條、第九百五十七條、第九百五十八條、第九百五十九條、第九百六十條、第九百六十一條、第九百六十二條、第九百六十三條、第九百六十四條、第九百六十五條、第九百六十六條、第九百六十七條、第九百六十八條、第九百六十九條、第九百七十條、第九百七十一條、第九百七十二條、第九百七十三條、第九百七十四條、第九百七十五條、第九百七十六條、第九百七十七條、第九百七十八條、第九百七十九條、第九百八十條、第九百八十一條、第九百八十二條、第九百八十三條、第九百八十四條、第九百八十五條、第九百八十六條、第九百八十七條、第九百八十八條、第九百八十九條、第九百九十條、第九百九十一條、第九百九十二條、第九百九十三條、第九百九十四條、第九百九十五條、第九百九十六條、第九百九十七條、第九百九十八條、第九百九十九條、第千條、第千一條、第千二條、第千三條、第千四條、第千五條、第千六條、第千七條、第千八條、第千九條、第千十條、第千十一條、第千十二條、第千十三條、第千十四條、第千十五條、第千十六條、第千十七條、第千十八條、第千十九條、第千二十條、第千二十一條、第千二十二條、第千二十三條、第千二十四條、第千二十五條、第千二十六條、第千二十七條、第千二十八條、第千二十九條、第千三十條、第千三十一條、第千三十二條、第千三十三條、第千三十四條、第千三十五條、第千三十六條、第千三十七條、第千三十八條、第千三十九條、第千四十條、第千四十一條、第千四十二條、第千四十三條、第千四十四條、第千四十五條、第千四十六條、第千四十七條、第千四十八條、第千四十九條、第千五十條、第千五十一條、第千五十二條、第千五十三條、第千五十四條、第千五十五條、第千五十六條、第千五十七條、第千五十八條、第千五十九條、第千六十條、第千六十一條、第千六十二條、第千六十三條、第千六十四條、第千六十五條、第千六十六條、第千六十七條、第千六十八條、第千六十九條、第千七十條、第千七十一條、第千七十二條、第千七十三條、第千七十四條、第千七十五條、第千七十六條、第千七十七條、第千七十八條、第千七十九條、第千八十條、第千八十一條、第千八十二條、第千八十三條、第千八十四條、第千八十五條、第千八十六條、第千八十七條、第千八十八條、第千八十九條、第千九十條、第千九十一條、第千九十二條、第千九十三條、第千九十四條、第千九十五條、第千九十六條、第千九十七條、第千九十八條、第千九十九條、第千百條、第千百一條、第千百二條、第千百三條、第千百四條、第千百五條、第千百六條、第千百七條、第千百八條、第千百九條、第千百十條、第千百十一條、第千百十二條、第千百十三條、第千百十四條、第千百十五條、第千百十六條、第千百十七條、第千百十八條、第千百十九條、第千百二十條、第千百二十一條、第千百二十二條、第千百二十三條、第千百二十四條、第千百二十五條、第千百二十六條、第千百二十七條、第千百二十八條、第千百二十九條、第千百三十條、第千百三十一條、第千百三十二條、第千百三十三條、第千百三十四條、第千百三十五條、第千百三十六條、第千百三十七條、第千百三十八條、第千百三十九條、第千百四十條、第千百四十一條、第千百四十二條、第千百四十三條、第千百四十四條、第千百四十五條、第千百四十六條、第千百四十七條、第千百四十八條、第千百四十九條、第千百五十條、第千百五十一條、第千百五十二條、第千百五十三條、第千百五十四條、第千百五十五條、第千百五十六條、第千百五十七條、第千百五十八條、第千百五十九條、第千百六十條、第千百六十一條、第千百六十二條、第千百六十三條、第千百六十四條、第千百六十五條、第千百六十六條、第千百六十七條、第千百六十八條、第千百六十九條、第千百七十條、第千百七十一條、第千百七十二條、第千百七十三條、第千百七十四條、第千百七十五條、第千百七十六條、第千百七十七條、第千百七十八條、第千百七十九條、第千百八十條、第千百八十一條、第千百八十二條、第千百八十三條、第千百八十四條、第千百八十五條、第千百八十六條、第千百八十七條、第千百八十八條、第千百八十九條、第千百九十條、第千百九十一條、第千百九十二條、第千百九十三條、第千百九十四條、第千百九十五條、第千百九十六條、第千百九十七條、第千百九十八條、第千百九十九條、第千二百條、第千二百一條、第千二百二條、第千二百三條、第千二百四條、第千二百五條、第千二百六條、第千二百七條、第千二百八條、第千二百九條、第千二百十條、第千二百十一條、第千二百十二條、第千二百十三條、第千二百十四條、第千二百十五條、第千二百十六條、第千二百十七條、第千二百十八條、第千二百十九條、第千二百二十條、第千二百二十一條、第千二百二十二條、第千二百二十三條、第千二百二十四條、第千二百二十五條、第千二百二十六條、第千二百二十七條、第千二百二十八條、第千二百二十九條、第千二百三十條、第千二百三十一條、第千二百三十二條、第千二百三十三條、第千二百三十四條、第千二百三十五條、第千二百三十六條、第千二百三十七條、第千二百三十八條、第千二百三十九條、第千二百四十條、第千二百四十一條、第千二百四十二條、第千二百四十三條、第千二百四十四條、第千二百四十五條、第千二百四十六條、第千二百四十七條、第千二百四十八條、第千二百四十九條、第千二百五十條、第千二百五十一條、第千二百五十二條、第千二百五十三條、第千二百五十四條、第千二百五十五條、第千二百五十六條、第千二百五十七條、第千二百五十八條、第千二百五十九條、第千二百六十條、第千二百六十一條、第千二百六十二條、第千二百六十三條、第千二百六十四條、第千二百六十五條、第千二百六十六條、第千二百六十七條、第千二百六十八條、第千二百六十九條、第千二百七十條、第千二百七十一條、第千二百七十二條、第千二百七十三條、第千二百七十四條、第千二百七十五條、第千二百七十六條、第千二百七十七條、第千二百七十八條、第千二百七十九條、第千二百八十條、第千二百八十一條、第千二百八十二條、第千二百八十三條、第千二百八十四條、第千二百八十五條、第千二百八十六條、第千二百八十七條、第千二百八十八條、第千二百八十九條、第千二百九十條、第千二百九十一條、第千二百九十二條、第千二百九十三條、第千二百九十四條、第千二百九十五條、第千二百九十六條、第千二百九十七條、第千二百九十八條、第千二百九十九條、第千三百條、第千三百一條、第千三百二條、第千三百三條、第千三百四條、第千三百五條、第千三百六條、第千三百七條、第千三百八條、第千三百九條、第千三百十條、第千三百十一條、第千三百十二條、第千三百十三條、第千三百十四條、第千三百十五條、第千三百十六條、第千三百十七條、第千三百十八條、第千三百十九條、第千三百二十條、第千三百二十一條、第千三百二十二條、第千三百二十三條、第千三百二十四條、第千三百二十五條、第千三百二十六條、第千三百二十七條、第千三百二十八條、第千三百二十九條、第千三百三十條、第千三百三十一條、第千三百三十二條、第千三百三十三條、第千三百三十四條、第千三百三十五條、第千三百三十六條、第千三百三十七條、第千三百三十八條、第千三百三十九條、第千三百四十條、第千三百四十一條、第千三百四十二條、第千三百四十三條、第千三百四十四條、第千三百四十五條、第千三百四十六條、第千三百四十七條、第千三百四十八條、第千三百四十九條、第千三百五十條、第千三百五十一條、第千三百五十二條、第千三百五十三條、第千三百五十四條、第千三百五十五條、第千三百五十六條、第千三百五十七條、第千三百五十八條、第千三百五十九條、第千三百六十條、第千三百六十一條、第千三百六十二條、第千三百六十三條、第千三百六十四條、第千三百六十五條、第千三百六十六條、第千三百六十七條、第千三百六十八條、第千三百六十九條、第千三百七十條、第千三百七十一條、第千三百七十二條、第千三百七十三條、第千三百七十四條、第千三百七十五條、第千三百七十六條、第千三百七十七條、第千三百七十八條、第千三百七十九條、第千三百八十條、第千三百八十一條、第千三百八十二條、第千三百八十三條、第千三百八十四條、第千三百八十五條、第千三百八十六條、第千三百八十七條、第千三百八十八條、第千三百八十九條、第千三百九十條、第千三百九十一條、第千三百九十二條、第千三百九十三條、第千三百九十四條、第千三百九十五條、第千三百九十六條、第千三百九十七條、第千三百九十八條、第千三百九十九條、第千四百條、第千四百一條、第千四百二條、第千四百三條、第千四百四條、第千四百五條、第千四百六條、第千四百七條、第千四百八條、第千四百九條、第千四百十條、第千四百十一條、第千四百十二條、第千四百十三條、第千四百十四條、第千四百十五條、第千四百十六條、第千四百十七條、第千四百十八條、第千四百十九條、第千四百二十條、第千四百二十一條、第千四百二十二條、第千四百二十三條、第千四百二十四條、第千四百二十五條、第千四百二十六條、第千四百二十七條、第千四百二十八條、第千四百二十九條、第千四百三十條、第千四百三十一條、第千四百三十二條、第千四百三十三條、第千四百三十四條、第千四百三十五條、第千四百三十六條、第千四百三十七條、第千四百三十八條、第千四百三十九條、第千四百四十條、第千四百四十一條、第千四百四十二條、第千四百四十三條、第千四百四十四條、第千四百四十五條、第千四百四十六條、第千四百四十七條、第千四百四十八條、第千四百四十九條、第千四百五十條、第千四百五十一條、第千四百五十二條、第千四百五十三條、第千四百五十四條、第千四百五十五條、第千四百五十六條、第千四百五十七條、第千四百五十八條、第千四百五十九條、第千四百六十條、第千四百六十一條、第千四百六十二條、第千四百六十三條、第千四百六十四條、第千四百六十五條、第千四百六十六條、第千四百六十七條、第千四百六十八條、第千四百六十九條、第千四百七十條、第千四百七十一條、第千四百七十二條、第千四百七十三條、第千四百七十四條、第千四百七十五條、第千四百七十六條、第千四百七十七條、第千四百七十八條、第千四百七十九條、第千四百八十條、第千四百八十一條、第千四百八十二條、第千四百八十三條、第千四百八十四條、第千四百八十五條、第千四百八十六條、第千四百八十七條、第千四百八十八條、第千四百八十九條、第千四百九十條、第千四百九十一條、第千四百九十二條、第千四百九十三條、第千四百九十四條、第千四百九十五條、第千四百九十六條、第千四百九十七條、第千四百九十八條、第千四百九十九條、第千五百條、第千五百一條、第千五百二條、第千五百三條、第千五百四條、第千五百五條、第千五百六條、第千五百七條、第千五百八條、第千五百九條、第千五百十條、第千五百十一條、第千五百十二條、第千五百十三條、第千五百十四條、第千五百十五條、第千五百十六條、第千五百十七條、第千五百十八條、第千五百十九條、第千五百二十條、第千五百二十一條、第千五百二十二條、第千五百二十三條、第千五百二十四條、第千五百二十五條、第千五百二十六條、第千五百二十七條、第千五百二十八條、第千五百二十九條、第千五百三十條、第千五百三十一條、第千五百三十二條、第千五百三十三條、第千五百三十四條、第千五百三十五條、第千五百三十六條、第千五百三十七條、第千五百三十八條、第千五百三十九條、第千五百四十條、第千五百四十一條、第千五百四十二條、第千五百四十三條、第千五百四十四條、第千五百四十五條、第千五百四十六條、第千五百四十七條、第千五百四十八條、第千五百四十九條、第千五百五十條、第千五百五十一條、第千五百五十二條、第千五百五十三條、第千五百五十四條、第千五百五十五條、第千五百五十六條、第千五百五十七條、第千五百五十八條、第千五百五十九條、第千五百六十條、第千五百六十一條、第千五百六十二條、第千五百六十三條、第千五百六十四條、第千五百六十五條、第千五百六十六條、第千五百六十七條、第千五百六十八條、第千五百六十九條、第千五百七十條、第千五百七十一條、第千五百七十二條、第千五百七十三條、第千五百七十四條、第千五百七十五條、第千五百七十六條、第千五百七十七條、第千五百七十八條、第千五百七十九條、第千五百八十條、第千五百八十一條、第千五百八十二條、第千五百八十三條、第千五百八十四條、第千五百八十五條、第千五百八十六條、第千五百八十七條、第千五百八十八條、第千五百八十九條、第千五百九十條、第千五百九十一條、第千五百九十二條、第千五百九十三條、第千五百九十四條、第千五百九十五條、第千五百九十六條、第千五百九十七條、第千五百九十八條、第千五百九十九條、第千六百條、第千六百一條、第千六百二條、第千六百三條、第千六百四條、第千六百五條、第千六百六條、第千六百七條、第千六百八條、第千六百九條、第千六百十條、第千六百十一條、第千六百十二條、第千六百十三條、第千六百十四條、第千六百十五條、第千六百十六條、第千六百十七條、第千六百十八條、第千六百十九條、第千六百二十條、第千六百二十一條、第千六百二十二條、第千六百二十三條、第千六百二十四條、第千六百二十五條、第千六百二十六條、第千六百二十七條、第千六百二十八條、第千六百二十九條、第千六百三十條、第千六百三十一條、第千六百三十二條、第千六百三十三條、第千六百三十四條、第千六百三十五條、第千六百三十六條、第千六百三十七條、第千六百三十八條、第千六百三十九條、第千六百四十條、第千六百四十一條、第千六百四十二條、第千六百四十三條、第千六百四十四條、第千六百四十五條、第千六百四十六條、第千六百四十七條、第千六百四十八條、第千六百四十九條、第千六百五十條、第千六百五十一條、第千六百五十二條、第千六百五十三條、第千六百五十四條、第千六百五十五條、第千六百五十六條、第千六百五十七條、第千六百五十八條、第千六百五十九條、第千六百六十條、第千六百六十一條、第千六百六十二條、第千六百六十三條、第千六百六十四條、第千六百六十五條、第千六百六十六條、第千六百六十七條、第千六百六十八條、第千六百六十九條、第千六百七十條、第千六百七十一條、第千六百七十二條、第千六百七十三條、第千六百七十四條、第千六百七十五條、第千六百七十六條、第千六百七十七條、第千六百七十八條、第千六百七十九條、第千六百八十條、第千六百八十一條、第千六百八十二條、第千六百八十三條、第千六百八十四條、第千六百八十五條、第千六百八十六條、第千六百八十七條、第千六百八十八條、第千六百八十九條、第千六百九十條、第千六百九十一條、第千六百九十二條、第千六百九十三條、第千六百九十四條、第千六百九十五條、第千六百九十六條、第千六百九十七條、第千六百九十八條、第千六百九十九條、第千七百條、第千七百一條、第千七百二條、第千七百三條、第千七百四條、第千七百五條、第千七百六條、第千七百七條、第千七百八條、第千七百九條、第千七百十條、第千七百十一條、第千七百十二條、第千七百十三條、第千七百十四條、第千七百十五條、第千七百十六條、第千七百十七條、第千七百十八條、第千七百十九條、第千七百二十條、第千七百二十一條、第千七百二十二條、第千七百二十三條、第千七百二十四條、第千七百二十五條、第千七百二十六條、第千七百二十七條、第千七百二十八條、第千七百二十九條、第千七百三十條、第千七百三十一條、第千七百三十二條、第千七百三十三條、第千七百三十四條、第千七百三十五條、第千七百三十六條、第千七百三十七條、第千七百三十八條、第千七百三十九條、第千七百四十條、第千七百四十一條、第千七百四十二條、第千七百四十三條、第千七百四十四條、第千七百四十五條、第千七百四十六條、第千七百四十七條、第千七百四十八條、第千七百四十九條、第千七百五十條、第千七百五十一條、第千七百五十二條、第千七百五十三條、第千七百五十四條、第千七百五十五條、第千七百五十六條、第千七百五十七條、第千七百五十八條、第千七百五十九條、第千七百六十條、第千七百六十一條、第千七百六十二條、第千七百六十三條、第千七百六十四條、第千七百六十五條、第千七百六十六條、第千七百六十七條、第千七百六十八條、第千七百六十九條、第千七百七十條、第千七百七十一條、第千七百七十二條、第千七百七十三條、第千七百七十四條、第千七百七十五條、第千七百七十六條、第千七百七十七條、第千七百七十八條、第千七百七十九條、第千七百八十條、第千七百八十一條、第千七百八十二條、第千七百八十三條、第千七百八十四條、第千七百八十五條、第千七百八十六條、第千七百八十七條、第千七百八十八條、第千七百八十九條、第千七百九十條、第千七百九十一條、第千七百九十二條、第千七百九十三條、第千七百九十四條、第千七百九十五條、第千七百九十六條、第千七百九十七條、第千七百九十八條、第千七百九十九條、第千八百條、第千八百一條、第千八百二條、第千八百三條、第千八百四條、第千八百五條、第千八百六條、第千八百七條、第千八百八條、第千八百九條、第千八百十條、第千八百十一條、第千八百十二條、第千八百十三條、第千八百十四條、第千八百十五條、第千八百十六條、第千八百十七條、第千八百十八條、第千八百十九條、第千八百二十條、第千八百二十一條、第千八百二十二條、第千八百二十三條、第千八百二十四條、第千八百二十五條、第千八百二十六條、第千八百二十七條、第千八百二十八條、第千八百二十九條、第千八百三十條、第千八百三十一條、第千八百三十二條、第千八百三十三條、第千八百三十四條、第千八百三十五條、第千八百三十六條、第千八百三十七條、第千八百三十八條、第千八百三十九條、第千八百四十條、第千八百四十一條、第千八百四十二條、第千八百四十三條、第千八百四十四條、第千八百四十五條、第千八百四十六條、第千八百四十七條、第千八百四十八條、第千八百四十九條、第千八百五十條、第千八百五十一條、第千八百五十二條、第千八百五十三條、第千八百五十四條、第千八百五十五條、第千八百五十六條、第千八百五十七條、第千八百五十八條、第千八百五十九條、第千八百六十條、第千八百六十一條、第千八百六十二條、第千八百六十三條、第千八百六十四條、第千八百六十五條、第千八百六十六條、第千八百六十七條、第千八百六十八條、第千八百六十九條、第千八百七十條、第千八百七十一條、第千八百七十二條、第千八百七十三條、第千八百七十四條、第千八百七十五條、第千八百七十六條、第千八百七十七條、第千八百七十八條、第千八百七十九條、第千八百八十條、第千八百八十一條、第千八百八十二條、第千八百八十三條、第千八百八十四條、第千八百八十五條、第千八百八十六條、第千八百八十七條、第千八百八十八條、第千八百八十九條、第千八百九十條、第千八百九十一條、第千八百九十二條、第千八百九十三條、第千八百九十四條、第千八百九十五條、第千八百九十六條、第千八百九十七條、第千八百九十八條、第千八百九十九條、第千九百條、第千九百一條、第千九百二條、第千九百三條、第千九百四條、第千九百五條、第千九百六條、第千九百七條、第千九百八條、第千九百九條、第千九百十條、第千九百十一條、第千九百十二條、第千九百十三條、第千九百十四條、第千九百十五條、第千九百十六條、第千九百十七條、第千九百十八條、第千九百十九條、第千九百二十條、第千九百二十一條、第千九百二十二條、第千九百二十三條、第千九百二十四條、第千九百二十五條、第千九百二十六條、第千九百二十七條、第千九百二十八條、第千九百二十九條、第千九百三十條、第千九百三十一條、第千九百三十二條、第千九百三十三條、第千九百三十四條、第千九百三十五條、第千九百三十六條、第千九百三十七條、第千九百三十八條、第千九百三十九條、第千九百四十條、第千九百四十一條、第千九百四十二條、第千九百四十三條、第千九百四十四條、第千九百四十五條、第千九百四十六條、第千九百四十七條、第千九百四十八條、第千九百四十九條、第千九百五十條、第千九百五十一條、第千九百五十二條、第千九百五十三條、第千九百五十四條、第千九百五十五條、第千九百五十六條、第千九百五十七條、第千九百五十八條、第千九百五十九條、第千九百六十條、第千九百六十一條、第千九百六十二條、第千九百六十三條、第千九百六十四條、第千九百六十五條、第千九百六十六條、第千九百六十七條、第千九百六十八條、第千九百六十九條、第千九百七十條、第千九百七十一條、第千九百七十二條、第千九百七十三條、第千九百七十四條、第千九百七十五條、第千九百七十六條、第千九百七十七條、第千九百七十八條、第千九百七十九條、第千九百八十條、第千九百八十一條、第千九百八十二條、第千九百八十三條、第千九百八十四條、第千九百八十五條、第千九百八十六條、第千九百八十七條、第千九百八十八條、第千九百八十九條、第千九百九十條、第千九百九十一條、第千九百九十二條、第千九百九十三條、第千九百九十四條、第千九百九十五條、第千九百九十六條、第千九百九十七條、第千九百九十八條、第千九百九十九條、第二千條、第二千一條、第二千二條、第二千三條、第二千四條、第二千五條、第二千六條、第二千七條、第二千八條、第二千九條、第二千十條、第二千十一條、第二千十二條、第二千十三條、第二千十四條、第二千十五條、第二千十六條、第二千十七條、第二千十八條、第二千十九條、第二千二十條、第二千二十一條、第二千二十二條、第二千二十三條、第二千二十四條、第二千二十五條、第二千二十六條、第二千二十七條、第二千二十八條、第二千二十九條、第二千三十條、第二千三十一條、第二千三十二條、第二千三十三條、第二千三十四條、第二千三十五條、第二千三十六條、第二千三十七條、第二千三十八條、第二千三十九條、第二千四十條、第二千四十一條、第二千四十二條、第二千四十三條、第二千四十四條、第二千四十五條、第二千四十六條、第二千四十七條、第二千四十八條、第二千四十九條、第二千五十條、第二千五十一條、第二千五十二條、第二千五十三條、第二千五十四條、第二千五十五條、第二千五十六條、第二千五十七條、第二千五十八條、第二千五十九條、第二千六十條、第二千六十一條、第二千六十二條、第二千六十三條、第二千六十四條、第二千六十五條、第二千六十六條、第二千六十七條、第二千六十八條、第二千六十九條、第二千七十條、第二千七十一條、第二千七十二條、第二千七十三條、第二千七十四條、第二千七十五條、第二千七十六條、第二千七十七條、第

（注）
一　登録
二　漁業第一號第四例注意二、三及五參照
三　漁業登録規則四例注意十七參照
四　三ノ登録ハ漁業ノ免許ニ付テモ之ヲ準用ス
五　登録ノ抹消ハ漁業ノ免許ノ取消ニ付テモ之ヲ準用ス
六　漁業ニ關スル權利ノ得喪變更ハ登録ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
七　漁業ニ關スル權利ノ得喪變更ニ付テハ第三十五條ノ規定ヲ除ク外不動産ニ關スル權利ノ得喪變更ニ關スル規定ヲ準用ス

（五）登録ノ移轉ニ付テハ第三十五條ノ規定ヲ準用ス

（六）漁業ニ關スル權利ノ移轉ノ例

右登録漁業權移轉登録申請ス

年　月　日

住所　登録所
登録人　氏名　㊞

登録原因及ヒ其ノ日
登録ノ目的
抵當權ノ移轉
移轉ノ年月日
移轉ノ原因及ヒ其ノ日
登録ノ年月日
登録ノ番號
漁業ノ種類
漁業ノ名稱
漁場ノ位置
漁業ノ免許ノ年月日及ヒ番號
漁業ノ免許ノ條件
漁業ノ存續期間
漁具ノ種類及ヒ數量
漁船ノ種類及ヒ數量
漁船ノ名稱及ヒ番號
漁船ノ噸數
漁船ノ馬力數
漁船ノ乘組人數
漁船ノ標識
漁業ノ方法
漁業ノ制限又ハ禁止ニ關スル定
漁業ノ免許ノ取消ニ關スル定
漁業ノ免許ノ條件ノ變更ニ關スル定
漁業ノ免許ノ取消又ハ條件ノ變更ニ關スル定ニ違反シタル者ニ對スル制裁ニ關スル定
漁業ノ免許ノ取消又ハ條件ノ變更ニ關スル定ニ違反シタル者ニ對スル制裁ニ關スル定ノ適用ニ關スル定
漁業ニ關スル權利ノ得喪變更ニ關スル定ニ違反シタル者ニ對スル制裁ニ關スル定ノ適用ニ關スル定
漁業ニ關スル權利ノ得喪變更ニ關スル定ニ違反シタル者ニ對スル制裁ニ關スル定ノ適用ニ關スル定ノ適用ニ關スル定
漁業ニ關スル權利ノ得喪變更ニ關スル定ニ違反シタル者ニ對スル制裁ニ關スル定ノ適用ニ關スル定ノ適用ニ關スル定ノ適用ニ關スル定
漁業ニ關スル權利ノ得喪變更ニ關スル定ニ違反シタル者ニ對スル制裁ニ關スル定ノ適用

第十三號　漁業權移轉ノ登錄申請書

一　漁業權移轉ノ登錄申請書

一　登錄免許ノ番號　何漁業免許第何號

一　登錄原因及其ノ日　何年何月何日　漁業權賣買

一　漁業權ノ表示

一　移轉ノ目的タル漁業權ノ存スル場所

一　移轉ノ目的タル漁業權ノ存スル場所ニ於テ漁業ヲ營ム者ノ住所氏名

一　移轉ノ目的タル漁業權ノ存スル場所ニ於テ漁業ヲ營ム者ノ住所氏名ニ變更アルトキハ其ノ變更

一　移轉ノ目的タル漁業權ノ存スル場所ニ於テ漁業ヲ營ム者ノ住所氏名ニ變更アリタ

第十七號　貸借權抹消ノ登錄申請書

第十七條乃至第六十七條、第七十一條、第七十三條、第七十六條、第七十七條、第八十三條、第八十五條、第八十七條、第八十八條、第九十一條、第九十三條、第九十五條、第九十六條、第九十八條、第百條、第百二條、第百四條、第百六條、第百八條、第百十條、第百十二條、第百十四條、第百十六條、第百十八條、第百二十條、第百二十二條、第百二十四條、第百二十六條、第百二十八條、第百三十條、第百三十二條、第百三十四條、第百三十六條、第百三十八條、第百四十條、第百四十二條、第百四十四條、第百四十六條、第百四十八條、第百五十條、第百五十二條、第百五十四條、第百五十六條、第百五十八條、第百六十條、第百六十二條、第百六十四條、第百六十六條、第百六十八條、第百七十條、第百七十二條、第百七十四條、第百七十六條、第百七十八條、第百八十條、第百八十二條、第百八十四條、第百八十六條、第百八十八條、第百九十條、第百九十二條、第百九十四條、第百九十六條、第百九十八條、第二百條、第二百二條、第二百四條、第二百六條、第二百八條、第二百十條、第二百十二條、第二百十四條、第二百十六條、第二百十八條、第二百二十條、第二百二十二條、第二百二十四條、第二百二十六條、第二百二十八條、第二百三十條、第二百三十二條、第二百三十四條、第二百三十六條、第二百三十八條、第二百四十條、第二百四十二條、第二百四十四條、第二百四十六條、第二百四十八條、第二百五十條、第二百五十二條、第二百五十四條、第二百五十六條、第二百五十八條、第二百六十條、第二百六十二條、第二百六十四條、第二百六十六條、第二百六十八條、第二百七十條、第二百七十二條、第二百七十四條、第二百七十六條、第二百七十八條、第二百八十條、第二百八十二條、第二百八十四條、第二百八十六條、第二百八十八條、第二百九十條、第二百九十二條、第二百九十四條、第二百九十六條、第二百九十八條、第三百條、第三百二條、第三百四條、第三百六條、第三百八條、第三百十條、第三百十二條、第三百十四條、第三百十六條、第三百十八條、第三百二十條、第三百二十二條、第三百二十四條、第三百二十六條、第三百二十八條、第三百三十條、第三百三十二條、第三百三十四條、第三百三十六條、第三百三十八條、第三百四十條、第三百四十二條、第三百四十四條、第三百四十六條、第三百四十八條、第三百五十條、第三百五十二條、第三百五十四條、第三百五十六條、第三百五十八條、第三百六十條、第三百六十二條、第三百六十四條、第三百六十六條、第三百六十八條、第三百七十條、第三百七十二條、第三百七十四條、第三百七十六條、第三百七十八條、第三百八十條、第三百八十二條、第三百八十四條、第三百八十六條、第三百八十八條、第三百九十條、第三百九十二條、第三百九十四條、第三百九十六條、第三百九十八條、第四百條、第四百二條、第四百四條、第四百六條、第四百八條、第四百十條、第四百十二條、第四百十四條、第四百十六條、第四百十八條、第四百二十條、第四百二十二條、第四百二十四條、第四百二十六條、第四百二十八條、第四百三十條、第四百三十二條、第四百三十四條、第四百三十六條、第四百三十八條、第四百四十條、第四百四十二條、第四百四十四條、第四百四十六條、第四百四十八條、第四百五十條、第四百五十二條、第四百五十四條、第四百五十六條、第四百五十八條、第四百六十條、第四百六十二條、第四百六十四條、第四百六十六條、第四百六十八條、第四百七十條、第四百七十二條、第四百七十四條、第四百七十六條、第四百七十八條、第四百八十條、第四百八十二條、第四百八十四條、第四百八十六條、第四百八十八條、第四百九十條、第四百九十二條、第四百九十四條、第四百九十六條、第四百九十八條、第五百條、第五百二條、第五百四條、第五百六條、第五百八條、第五百十條、第五百十二條、第五百十四條、第五百十六條、第五百十八條、第五百二十條、第五百二十二條、第五百二十四條、第五百二十六條、第五百二十八條、第五百三十條、第五百三十二條、第五百三十四條、第五百三十六條、第五百三十八條、第五百四十條、第五百四十二條、第五百四十四條、第五百四十六條、第五百四十八條、第五百五十條、第五百五十二條、第五百五十四條、第五百五十六條、第五百五十八條、第五百六十條、第五百六十二條、第五百六十四條、第五百六十六條、第五百六十八條、第五百七十條、第五百七十二條、第五百七十四條、第五百七十六條、第五百七十八條、第五百八十條、第五百八十二條、第五百八十四條、第五百八十六條、第五百八十八條、第五百九十條、第五百九十二條、第五百九十四條、第五百九十六條、第五百九十八條、第六百條、第六百二條、第六百四條、第六百六條、第六百八條、第六百十條、第六百十二條、第六百十四條、第六百十六條、第六百十八條、第六百二十條、第六百二十二條、第六百二十四條、第六百二十六條、第六百二十八條、第六百三十條、第六百三十二條、第六百三十四條、第六百三十六條、第六百三十八條、第六百四十條、第六百四十二條、第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十八條、第六百五十條、第六百五十二條、第六百五十四條、第六百五十六條、第六百五十八條、第六百六十條、第六百六十二條、第六百六十四條、第六百六十六條、第六百六十八條、第六百七十條、第六百七十二條、第六百七十四條、第六百七十六條、第六百七十八條、第六百八十條、第六百八十二條、第六百八十四條、第六百八十六條、第六百八十八條、第六百九十條、第六百九十二條、第六百九十四條、第六百九十六條、第六百九十八條、第七百條、第七百二條、第七百四條、第七百六條、第七百八條、第七百十條、第七百十二條、第七百十四條、第七百十六條、第七百十八條、第七百二十條、第七百二十二條、第七百二十四條、第七百二十六條、第七百二十八條、第七百三十條、第七百三十二條、第七百三十四條、第七百三十六條、第七百三十八條、第七百四十條、第七百四十二條、第七百四十四條、第七百四十六條、第七百四十八條、第七百五十條、第七百五十二條、第七百五十四條、第七百五十六條、第七百五十八條、第七百六十條、第七百六十二條、第七百六十四條、第七百六十六條、第七百六十八條、第七百七十條、第七百七十二條、第七百七十四條、第七百七十六條、第七百七十八條、第七百八十條、第七百八十二條、第七百八十四條、第七百八十六條、第七百八十八條、第七百九十條、第七百九十二條、第七百九十四條、第七百九十六條、第七百九十八條、第八百條、第八百二條、第八百四條、第八百六條、第八百八條、第八百十條、第八百十二條、第八百十四條、第八百十六條、第八百十八條、第八百二十條、第八百二十二條、第八百二十四條、第八百二十六條、第八百二十八條、第八百三十條、第八百三十二條、第八百三十四條、第八百三十六條、第八百三十八條、第八百四十條、第八百四十二條、第八百四十四條、第八百四十六條、第八百四十八條、第八百五十條、第八百五十二條、第八百五十四條、第八百五十六條、第八百五十八條、第八百六十條、第八百六十二條、第八百六十四條、第八百六十六條、第八百六十八條、第八百七十條、第八百七十二條、第八百七十四條、第八百七十六條、第八百七十八條、第八百八十條、第八百八十二條、第八百八十四條、第八百八十六條、第八百八十八條、第八百九十條、第八百九十二條、第八百九十四條、第八百九十六條、第八百九十八條、第九百條、第九百二條、第九百四條、第九百六條、第九百八條、第九百十條、第九百十二條、第九百十四條、第九百十六條、第九百十八條、第九百二十條、第九百二十二條、第九百二十四條、第九百二十六條、第九百二十八條、第九百三十條、第九百三十二條、第九百三十四條、第九百三十六條、第九百三十八條、第九百四十條、第九百四十二條、第九百四十四條、第九百四十六條、第九百四十八條、第九百五十條、第九百五十二條、第九百五十四條、第九百五十六條、第九百五十八條、第九百六十條、第九百六十二條、第九百六十四條、第九百六十六條、第九百六十八條、第九百七十條、第九百七十二條、第九百七十四條、第九百七十六條、第九百七十八條、第九百八十條、第九百八十二條、第九百八十四條、第九百八十六條、第九百八十八條、第九百九十條、第九百九十二條、第九百九十四條、第九百九十六條、第九百九十八條、第千條、第千二條、第千四條、第千六條、第千八條、第千十條、第千十二條、第千十四條、第千十六條、第千十八條、第千二十條、第千二十二條、第千二十四條、第千二十六條、第千二十八條、第千三十條、第千三十二條、第千三十四條、第千三十六條、第千三十八條、第千四十條、第千四十二條、第千四十四條、第千四十六條、第千四十八條、第千五十條、第千五十二條、第千五十四條、第千五十六條、第千五十八條、第千六十條、第千六十二條、第千六十四條、第千六十六條、第千六十八條、第千七十條、第千七十二條、第千七十四條、第千七十六條、第千七十八條、第千八十條、第千八十二條、第千八十四條、第千八十六條、第千八十八條、第千九十條、第千九十二條、第千九十四條、第千九十六條、第千九十八條、第二千條、第二千二條、第二千四條、第二千六條、第二千八條、第二千十條、第二千十二條、第二千十四條、第二千十六條、第二千十八條、第二千二十條、第二千二十二條、第二千二十四條、第二千二十六條、第二千二十八條、第二千三十條、第二千三十二條、第二千三十四條、第二千三十六條、第二千三十八條、第二千四十條、第二千四十二條、第二千四十四條、第二千四十六條、第二千四十八條、第二千五十條、第二千五十二條、第二千五十四條、第二千五十六條、第二千五十八條、第二千六十條、第二千六十二條、第二千六十四條、第二千六十六條、第二千六十八條、第二千七十條、第二千七十二條、第二千七十四條、第二千七十六條、第二千七十八條、第二千八十條、第二千八十二條、第二千八十四條、第二千八十六條、第二千八十八條、第二千九十條、第二千九十二條、第二千九十四條、第二千九十六條、第二千九十八條、第三千條、第三千二條、第三千四條、第三千六條、第三千八條、第三千十條、第三千十二條、第三千十四條、第三千十六條、第三千十八條、第三千二十條、第三千二十二條、第三千二十四條、第三千二十六條、第三千二十八條、第三千三十條、第三千三十二條、第三千三十四條、第三千三十六條、第三千三十八條、第三千四十條、第三千四十二條、第三千四十四條、第三千四十六條、第三千四十八條、第三千五十條、第三千五十二條、第三千五十四條、第三千五十六條、第三千五十八條、第三千六十條、第三千六十二條、第三千六十四條、第三千六十六條、第三千六十八條、第三千七十條、第三千七十二條、第三千七十四條、第三千七十六條、第三千七十八條、第三千八十條、第三千八十二條、第三千八十四條、第三千八十六條、第三千八十八條、第三千九十條、第三千九十二條、第三千九十四條、第三千九十六條、第三千九十八條、第四千條、第四千二條、第四千四條、第四千六條、第四千八條、第四千十條、第四千十二條、第四千十四條、第四千十六條、第四千十八條、第四千二十條、第四千二十二條、第四千二十四條、第四千二十六條、第四千二十八條、第四千三十條、第四千三十二條、第四千三十四條、第四千三十六條、第四千三十八條、第四千四十條、第四千四十二條、第四千四十四條、第四千四十六條、第四千四十八條、第四千五十條、第四千五十二條、第四千五十四條、第四千五十六條、第四千五十八條、第四千六十條、第四千六十二條、第四千六十四條、第四千六十六條、第四千六十八條、第四千七十條、第四千七十二條、第四千七十四條、第四千七十六條、第四千七十八條、第四千八十條、第四千八十二條、第四千八十四條、第四千八十六條、第四千八十八條、第四千九十條、第四千九十二條、第四千九十四條、第四千九十六條、第四千九十八條、第五千條、第五千二條、第五千四條、第五千六條、第五千八條、第五千十條、第五千十二條、第五千十四條、第五千十六條、第五千十八條、第五千二十條、第五千二十二條、第五千二十四條、第五千二十六條、第五千二十八條、第五千三十條、第五千三十二條、第五千三十四條、第五千三十六條、第五千三十八條、第五千四十條、第五千四十二條、第五千四十四條、第五千四十六條、第五千四十八條、第五千五十條、第五千五十二條、第五千五十四條、第五千五十六條、第五千五十八條、第五千六十條、第五千六十二條、第五千六十四條、第五千六十六條、第五千六十八條、第五千七十條、第五千七十二條、第五千七十四條、第五千七十六條、第五千七十八條、第五千八十條、第五千八十二條、第五千八十四條、第五千八十六條、第五千八十八條、第五千九十條、第五千九十二條、第五千九十四條、第五千九十六條、第五千九十八條、第六千條、第六千二條、第六千四條、第六千六條、第六千八條、第六千十條、第六千十二條、第六千十四條、第六千十六條、第六千十八條、第六千二十條、第六千二十二條、第六千二十四條、第六千二十六條、第六千二十八條、第六千三十條、第六千三十二條、第六千三十四條、第六千三十六條、第六千三十八條、第六千四十條、第六千四十二條、第六千四十四條、第六千四十六條、第六千四十八條、第六千五十條、第六千五十二條、第六千五十四條、第六千五十六條、第六千五十八條、第六千六十條、第六千六十二條、第六千六十四條、第六千六十六條、第六千六十八條、第六千七十條、第六千七十二條、第六千七十四條、第六千七十六條、第六千七十八條、第六千八十條、第六千八十二條、第六千八十四條、第六千八十六條、第六千八十八條、第六千九十條、第六千九十二條、第六千九十四條、第六千九十六條、第六千九十八條、第七千條、第七千二條、第七千四條、第七千六條、第七千八條、第七千十條、第七千十二條、第七千十四條、第七千十六條、第七千十八條、第七千二十條、第七千二十二條、第七千二十四條、第七千二十六條、第七千二十八條、第七千三十條、第七千三十二條、第七千三十四條、第七千三十六條、第七千三十八條、第七千四十條、第七千四十二條、第七千四十四條、第七千四十六條、第七千四十八條、第七千五十條、第七千五十二條、第七千五十四條、第七千五十六條、第七千五十八條、第七千六十條、第七千六十二條、第七千六十四條、第七千六十六條、第七千六十八條、第七千七十條、第七千七十二條、第七千七十四條、第七千七十六條、第七千七十八條、第七千八十條、第七千八十二條、第七千八十四條、第七千八十六條、第七千八十八條、第七千九十條、第七千九十二條、第七千九十四條、第七千九十六條、第七千九十八條、第八千條、第八千二條、第八千四條、第八千六條、第八千八條、第八千十條、第八千十二條、第八千十四條、第八千十六條、第八千十八條、第八千二十條、第八千二十二條、第八千二十四條、第八千二十六條、第八千二十八條、第八千三十條、第八千三十二條、第八千三十四條、第八千三十六條、第八千三十八條、第八千四十條、第八千四十二條、第八千四十四條、第八千四十六條、第八千四十八條、第八千五十條、第八千五十二條、第八千五十四條、第八千五十六條、第八千五十八條、第八千六十條、第八千六十二條、第八千六十四條、第八千六十六條、第八千六十八條、第八千七十條、第八千七十二條、第八千七十四條、第八千七十六條、第八千七十八條、第八千八十條、第八千八十二條、第八千八十四條、第八千八十六條、第八千八十八條、第八千九十條、第八千九十二條、第八千九十四條、第八千九十六條、第八千九十八條、第九千條、第九千二條、第九千四條、第九千六條、第九千八條、第九千十條、第九千十二條、第九千十四條、第九千十六條、第九千十八條、第九千二十條、第九千二十二條、第九千二十四條、第九千二十六條、第九千二十八條、第九千三十條、第九千三十二條、第九千三十四條、第九千三十六條、第九千三十八條、第九千四十條、第九千四十二條、第九千四十四條、第九千四十六條、第九千四十八條、第九千五十條、第九千五十二條、第九千五十四條、第九千五十六條、第九千五十八條、第九千六十條、第九千六十二條、第九千六十四條、第九千六十六條、第九千六十八條、第九千七十條、第九千七十二條、第九千七十四條、第九千七十六條、第九千七十八條、第九千八十條、第九千八十二條、第九千八十四條、第九千八十六條、第九千八十八條、第九千九十條、第九千九十二條、第九千九十四條、第九千九十六條、第九千九十八條、第一萬條

第十七號　貸借權抹消ノ登錄申請書

第十七條乃至第六十七條、第七十一條、第七十三條、第七十六條、第七十七條、第八十三條、第八十五條、第八十七條、第八十八條、第九十一條、第九十三條、第九十五條、第九十六條、第九十八條、第百條、第百二條、第百四條、第百六條、第百八條、第百十條、第百十二條、第百十四條、第百十六條、第百十八條、第百二十條、第百二十二條、第百二十四條、第百二十六條、第百二十八條、第百三十條、第百三十二條、第百三十四條、第百三十六條、第百三十八條、第百四十條、第百四十二條、第百四十四條、第百四十六條、第百四十八條、第百五十條、第百五十二條、第百五十四條、第百五十六條、第百五十八條、第百六十條、第百六十二條、第百六十四條、第百六十六條、第百六十八條、第百七十條、第百七十二條、第百七十四條、第百七十六條、第百七十八條、第百八十條、第百八十二條、第百八十四條、第百八十六條、第百八十八條、第百九十條、第百九十二條、第百九十四條、第百九十六條、第百九十八條、第二百條、第二百二條、第二百四條、第二百六條、第二百八條、第二百十條、第二百十二條、第二百十四條、第二百十六條、第二百十八條、第二百二十條、第二百二十二條、第二百二十四條、第二百二十六條、第二百二十八條、第二百三十條、第二百三十二條、第二百三十四條、第二百三十六條、第二百三十八條、第二百四十條、第二百四十二條、第二百四十四條、第二百四十六條、第二百四十八條、第二百五十條、第二百五十二條、第二百五十四條、第二百五十六條、第二百五十八條、第二百六十條、第二百六十二條、第二百六十四條、第二百六十六條、第二百六十八條、第二百七十條、第二百七十二條、第二百七十四條、第二百七十六條、第二百七十八條、第二百八十條、第二百八十二條、第二百八十四條、第二百八十六條、第二百八十八條、第二百九十條、第二百九十二條、第二百九十四條、第二百九十六條、第二百九十八條、第三百條、第三百二條、第三百四條、第三百六條、第三百八條、第三百十條、第三百十二條、第三百十四條、第三百十六條、第三百十八條、第三百二十條、第三百二十二條、第三百二十四條、第三百二十六條、第三百二十八條、第三百三十條、第三百三十二條、第三百三十四條、第三百三十六條、第三百三十八條、第三百四十條、第三百四十二條、第三百四十四條、第三百四十六條、第三百四十八條、第三百五十條、第三百五十二條、第三百五十四條、第三百五十六條、第三百五十八條、第三百六十條、第三百六十二條、第三百六十四條、第三百六十六條、第三百六十八條、第三百七十條、第三百七十二條、第三百七十四條、第三百七十六條、第三百七十八條、第三百八十條、第三百八十二條、第三百八十四條、第三百八十六條、第三百八十八條、第三百九十條、第三百九十二條、第三百九十四條、第三百九十六條、第三百九十八條、第四百條、第四百二條、第四百四條、第四百六條、第四百八條、第四百十條、第四百十二條、第四百十四條、第四百十六條、第四百十八條、第四百二十條、第四百二十二條、第四百二十四條、第四百二十六條、第四百二十八條、第四百三十條、第四百三十二條、第四百三十四條、第四百三十六條、第四百三十八條、第四百四十條、第四百四十二條、第四百四十四條、第四百四十六條、第四百四十八條、第四百五十條、第四百五十二條、第四百五十四條、第四百五十六條、第四百五十八條、第四百六十條、第四百六十二條、第四百六十四條、第四百六十六條、第四百六十八條、第四百七十條、第四百七十二條、第四百七十四條、第四百七十六條、第四百七十八條、第四百八十條、第四百八十二條、第四百八十四條、第四百八十六條、第四百八十八條、第四百九十條、第四百九十二條、第四百九十四條、第四百九十六條、第四百九十八條、第五百條、第五百二條、第五百四條、第五百六條、第五百八條、第五百十條、第五百十二條、第五百十四條、第五百十六條、第五百十八條、第五百二十條、第五百二十二條、第五百二十四條、第五百二十六條、第五百二十八條、第五百三十條、第五百三十二條、第五百三十四條、第五百三十六條、第五百三十八條、第五百四十條、第五百四十二條、第五百四十四條、第五百四十六條、第五百四十八條、第五百五十條、第五百五十二條、第五百五十四條、第五百五十六條、第五百五十八條、第五百六十條、第五百六十二條、第五百六十四條、第五百六十六條、第五百六十八條、第五百七十條、第五百七十二條、第五百七十四條、第五百七十六條、第五百七十八條、第五百八十條、第五百八十二條、第五百八十四條、第五百八十六條、第五百八十八條、第五百九十條、第五百九十二條、第五百九十四條、第五百九十六條、第五百九十八條、第六百條、第六百二條、第六百四條、第六百六條、第六百八條、第六百十條、第六百十二條、第六百十四條、第六百十六條、第六百十八條、第六百二十條、第六百二十二條、第六百二十四條、第六百二十六條、第六百二十八條、第六百三十條、第六百三十二條、第六百三十四條、第六百三十六條、第六百三十八條、第六百四十條、第六百四十二條、第六百四十四條、第六百四十六條、第六百四十八條、第六百五十條、第六百五十二條、第六百五十四條、第六百五十六條、第六百五十八條、第六百六十條、第六百六十二條、第六百六十四條、第六百六十六條、第六百六十八條、第六百七十條、第六百七十二條、第六百七十四條、第六百七十六條、第六百七十八條、第六百八十條、第六百八十二條、第六百八十四條、第六百八十六條、第六百八十八條、第六百九十條、第六百九十二條、第六百九十四條、第六百九十六條、第六百九十八條、第七百條、第七百二條、第七百四條、第七百六條、第七百八條、第七百十條、第七百十二條、第七百十四條、第七百十六條、第七百十八條、第七百二十條、第七百二十二條、第七百二十四條、第七百二十六條、第七百二十八條、第七百三十條、第七百三十二條、第七百三十四條、第七百三十六條、第七百三十八條、第七百四十條、第七百四十二條、第七百四十四條、第七百四十六條、第七百四十八條、第七百五十條、第七百五十二條、第七百五十四條、第七百五十六條、第七百五十八條、第七百六十條、第七百六十二條、第七百六十四條、第七百六十六條、第七百六十八條、第七百七十條、第七百七十二條、第七百七十四條、第七百七十六條、第七百七十八條、第七百八十條、第七百八十二條、第七百八十四條、第七百八十六條、第七百八十八條、第七百九十條、第七百九十二條、第七百九十四條、第七百九十六條、第七百九十八條、第八百條、第八百二條、第八百四條、第八百六條、第八百八條、第八百十條、第八百十二條、第八百十四條、第八百十六條、第八百十八條、第八百二十條、第八百二十二條、第八百二十四條、第八百二十六條、第八百二十八條、第八百三十條、第八百三十二條、第八百三十四條、第八百三十六條、第八百三十八條、第八百四十條、第八百四十二條、第八百四十四條、第八百四十六條、第八百四十八條、第八百五十條、第八百五十二條、第八百五十四條、第八百五十六條、第八百五十八條、第八百六十條、第八百六十二條、第八百六十四條、第八百六十六條、第八百六十八條、第八百七十條、第八百七十二條、第八百七十四條、第八百七十六條、第八百七十八條、第八百八十條、第八百八十二條、第八百八十四條、第八百八十六條、第八百八十八條、第八百九十條、第八百九十二條、第八百九十四條、第八百九十六條、第八百九十八條、第九百條、第九百二條、第九百四條、第九百六條、第九百八條、第九百十條、第九百十二條、第九百十四條、第九百十六條、第九百十八條、第九百二十條、第九百二十二條、第九百二十四條、第九百二十六條、第九百二十八條、第九百三十條、第九百三十二條、第九百三十四條、第九百三十六條、第九百三十八條、第九百四十條、第九百四十二條、第九百四十四條、第九百四十六條、第九百四十八條、第九百五十條、第九百五十二條、第九百五十四條、第九百五十六條、第九百五十八條、第九百六十條、第九百六十二條、第九百六十四條、第九百六十六條、第九百六十八條、第九百七十條、第九百七十二條、第九百七十四條、第九百七十六條、第九百七十八條、第九百八十條、第九百八十二條、第九百八十四條、第九百八十六條、第九百八十八條、第九百九十條、第九百九十二條、第九百九十四條、第九百九十六條、第九百九十八條、第千條

漁業権移転ノ仮登録申請ノ例

漁業権移転仮登録申請書

一　漁業権移転仮登録ヲ申請スル漁業権ノ表示

二　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ事由

三　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ表示

四　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ氏名

五　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所

六　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルトキハ其ノ旨

七　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨

八　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨

九　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十一　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十二　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十三　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十四　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十五　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十六　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十七　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十八　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十九　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十一　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十二　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十三　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十四　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十五　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十六　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十七　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十八　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十九　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十一　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十二　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十三　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十四　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十五　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十六　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十七　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十八　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十九　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

四十　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

漁業権移転仮登録申請書

漁業権移転仮登録申請書

一　漁業権移転仮登録ヲ申請スル漁業権ノ表示

二　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ事由

三　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ表示

四　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ氏名

五　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所

六　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨

七　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨

八　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

九　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十一　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十二　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十三　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十四　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十五　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十六　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十七　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十八　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

十九　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十一　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十二　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十三　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十四　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十五　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十六　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十七　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十八　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

二十九　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十一　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十二　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十三　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十四　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十五　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十六　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十七　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十八　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

三十九　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

四十　漁業権ノ移転ヲ仮ニ登録スベキ理由ヲ証スル書面ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタルニ非サルトキハ其ノ作成ヲ為シタル者ノ住所ニ於テ作成シタル旨ニ付キ証人ノ証明ヲ受ケタルトキハ其ノ証明ヲ受ケタル旨ニ付キ漁業権者ノ承諾ヲ得タルトキハ其ノ旨

（注）
一　㊟
二　漁業登錄ニ關スル事項ハ漁業登錄規則第四條ニ規定セリ
三　第六十七條、第六十九條、第七十一條、第七十二條、第七十三條、第七十四條、第七十五條、第七十六條、第七十七條、第七十八條、第七十九條、第八十條、第八十一條、第八十二條、第八十三條及第八十四條ニ參照

（三）　漁業權ノ消滅ニ因ル登錄回復ノ例

印紙	收入

一　登錄回復願

登錄原簿ノ表示

一　漁業權ノ種類	
一　漁業權ノ行使ノ方法	
一　漁業權ノ行使ノ區域	
一　漁業權ノ行使ノ期間	
一　漁業權ノ行使ノ制限	
一　漁業權ノ存續期間	
一　漁業權ノ原始取得者ノ氏名及住所	
一　漁業權ノ原始取得ノ年月日	
一　漁業權ノ原始取得ノ免許ノ條件	
一　漁業權ノ原始取得ノ免許ノ年月日及番號	
一　漁業權ノ消滅ノ原因及年月日	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ行使ノ方法	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ行使ノ區域	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ行使ノ期間	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ行使ノ制限	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ存續期間	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ原始取得者ノ氏名及住所	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ原始取得ノ年月日	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ原始取得ノ免許ノ條件	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ原始取得ノ免許ノ年月日及番號	
一　漁業權ノ消滅ノ原因及年月日	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ行使ノ方法	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ行使ノ區域	
一　漁業權ノ消滅ノ際ノ登錄ノ回復ノ年月日ニ於ケル漁業權ノ行使ノ期間

以内

八　漁業用品ノ共同購入施設又ハ水産物ノ委託販賣施設ノ改善ニ要スル費用ニ付テハ其ノ七割以内

九　漁船乘組機關士ノ養成ニ要スル費用ニ付テハ其ノ十割以内

第三條　前條第一號ノ規定ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケルコトヲ得ベキ重油發動機ハ朝鮮ニ船籍（總噸數五噸未滿ノ漁船ニ在リテハ碇繫場）ヲ有スル漁船ニ据附ケルモノニ限ルモノトス

前條第二號ノ規定ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケルコトヲ得ベキ漁船ハ朝鮮ニ船籍（總噸數五噸未滿ノ漁船ニ在リテハ碇繫場）ヲ有スルモノニ限ルモノトス

前條第三號乃至第六號又ハ第八號ノ規定ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケルコトヲ得ベキ施設ハ漁業組合、漁業組合聯合會、水産組合、水産組合聯合會其ノ他朝鮮總督ノ適當ト認ムル團體ノ施設ニシテ朝鮮總督ノ定ムルモノニ限ルモノトス

前條第九號ノ規定ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケルコトヲ得ベキ施設ハ水産會ノ施設ニシテ朝鮮總督ノ定ムルモノニ限ルモノトス

第四條　第二條第一號又ハ第二號ノ規定ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲ゲル書類ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　事業計畫書

二　豫定經費明細書

三　設計書、仕樣書及圖面

第五條　第二條第三號乃至第九號ノ規定ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ左ニ掲ゲル書類ヲ添附シ毎年四月末日迄ニ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　事業計畫書

二　收支豫算書

三　設計書、仕樣書及圖面

第六條　補助金ノ交付ヲ受ケントスル者團體ナル場合ニ於テハ前二條ノ規定ニ依リ提出スベキ書類ノ外補助金ノ交付ヲ受ケントスル事業ノ施行ニ關スル總會又ハ總代會ノ決議錄ノ謄本ヲ提出スベシ

第七條　朝鮮總督第四條又ハ第五條ノ規定ニ依ル申請ニ依リ補助金ヲ交付スベキモノト認メタルトキハ補助見込金額及必要ナル條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

第八條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者第四條又ハ第五條ニ掲ゲル書類ニ記載シタル事項ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケルベシ

第九條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者死亡シ又ハ合併シタル場合ニ於テハ其ノ相續人又ハ合併後存續スル法人若ハ合併ニ因リテ成立シタル法人ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者補助金ノ交付ヲ受ケベキ重油發動機船、漁船、運搬船又ハ設備ヲ讓渡セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケベシ

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル者ハ讓渡ノ事由ヲ記載シ讓受ケントスル者ト連署ノ上之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十一條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者補助金ノ交付ヲ受ケベキ施設若ハ工事ヲ完了シ又ハ物件ヲ購入シタルトキハ遲滯ナク經費精算書ヲ添ヘ其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第十二條　補助金ハ前條ノ規定ニ依ル屆出アリタルトキ之ヲ交付ス

朝鮮總督特ニ必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ補助金ヲ交付スルコトアルベシ

第十三條　補助金ノ交付ヲ受ケタル者補助金ノ交付ヲ受ケベキ重油發動機船、漁船、運搬船又ハ設備ヲ讓渡セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケベシ

前項ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケントスル者ハ申請書ニ讓渡ノ事由ヲ記載シ讓受ケントスル者ト連署ノ上之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十四條　第二條第三號乃至第八號ノ規定ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ每事業年度終了後遲滯ナク事業報告書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第十五條　朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ帳簿、書類、物件若ハ業務執行ノ狀況ヲ檢査スルコトアルベシ

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　住所又ハ氏名若ハ名稱ヲ變更シタルトキ

二　規約、定款又ハ代表者ヲ變更シタルトキ

三　解散又ハ破產ノ宣告アリタルトキ

四　重油發動機關、漁船、運搬船又ハ設備滅失シ又ハ使用スルコト能ハザルニ至リタルトキ

五　事業ヲ休止シ又ハ廢止シタルトキ

第十七條　第九條及前四條ノ規定ニ依ル義務ノ存續期間ハ補助金交付ノ日ヨリ五年ヲ超エザル範圍內ニ於テ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　補助金交付ノ指令ヲ受ケタル者又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ朝鮮總督ハ補助金交付ノ指令ヲ取消シ若ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

一　本令又ハ本令ニ依ル處分ニ違反シタルトキ

二　補助金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

三　事業施行ノ方法不適當ト認メタルトキ

四　補助金交付ノ目的ヲ遂スルコト能ハザルニ至リタルトキ

五　第二條各號ニ掲ゲル費用ノ支出精算額カ豫算額ニ比シ減少シタルトキ

六　詐欺其ノ他不正ノ手段ヲ以テ補助金交付ノ指令ヲ受ケ又ハ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五條ニ規定スル申請書ノ提出期限ハ本年度ニ限リ十一月三十日迄トス

附　則（昭和十三年五月總令第九十六號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條第三號、第四號、第七號又ハ第八號ノ規定ニ依ル補助金ノ交付ヲ受ケントスル場合ニ於テハ第五條ニ規定スル申請書ノ提出期限ハ昭和十三年度ニ限リ七月三十一日迄トス

●朝鮮總督府水産試驗場分析及鑑定規則

昭和七年十一月
總令第百十五號

改正　昭和十二年七月第九號

朝鮮總督府水産試驗場分析及鑑定規則左ノ通定ム

朝鮮總督府水産試驗場分析及鑑定規則

第一條　朝鮮總督府水産試驗場（以下單ニ水産試驗場ト稱ス）ニ水産物及水産用物料ノ分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ第一號樣式ノ依賴書ヲ差出スベシ

第二條　前條ノ依賴アリタルトキハ朝鮮總督府水産試驗場長（以下單ニ水産試驗場長ト稱ス）ハ分析又ハ鑑定ノ爲必要ナル分量ヲ定メ現品ヲ差出サシム

第三條　第一條ノ規定ニ依リ分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲サントスル者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納ムベシ

一　定性分析

每一件一成分一回、一成分ヲ增ス每ニ五十錢ヲ加フ

二　定量分析

每一件一成分二回、一成分ヲ增ス每ニ一回ヲ加フ

三　鑑　定

其ノ都度水産試驗場長之ヲ定ム

第四條　水産試驗場長ニ於テ分析若ハ鑑定ノ必要ナシト認ムルトキ又ハ分析若ハ鑑定ヲ爲スコト能ハズト認ムルトキハ依賴ニ應セザルコトヲ得

第五條　分析又ハ鑑定ノ結果ニ付テハ其ノ成績書ヲ依賴者ニ交付ス

第六條　分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲ス者前條ノ成績書ノ複本ノ交付ヲ請求セントスルトキハ第二號樣式ノ願書ヲ差出スベシ

前項ノ請求ヲ爲ストキハ複本一件每ニ二十錢ノ手數料、外國語ニ依ル複本ノ請求ヲ爲ストキハ一件每ニ五十錢以上五圓以下ノ範圍內ニ於テ水産試驗場長ノ定ムル手數料ヲ納ムベシ

第六條ノ二　水産試驗場ノ設備ヲ使用セントスル者ハ第三號樣式ノ願書ヲ差出スベシ

前項ノ規定ニ依ル設備ノ使用料ハ水産試驗場長之ヲ定ム

第六條ノ三　前條第一項ノ規定ニ依ル設備ノ使用ニ關シ必要ナル事項ハ水産試驗場長之ヲ定ム

第七條　手數料及使用料ハ收入印紙ヲ依賴書又ハ願書ニ貼附シテ之ヲ納ムベシ

收入印紙ノ消印ハ水産試驗場ニ於テ之ヲ押捺ス

第八條　分析又ハ鑑定ノ爲差出シタル現品ハ之ヲ返還セズ但シ差出ノ際豫メ申出アリタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ現品還付ニ要スル費用ハ依賴者ノ負擔トス

第九條　本令ノ手數料及使用料ハ官廳ノ請求ニ係ルモノニ付テハ之ヲ徵收セズ公共團體其ノ他營利ヲ目的トセザル法人又ハ組合ノ依賴ニ係ルモノニ付テハ之ヲ半減ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二款　水産製品及水産物

●水産製品檢查規則

大正七年五月
總令第五十六號

改正　大正九年六月第五號、二年九月第一〇七號、一三年一〇月第一一號、一三年一二月第一二八號、昭和二年四月第三八號、四年五月第四四號、五年五月第四三號、五年一〇月第九一號、六年六月第七一號、六年七月第八四號、八年一〇月第一〇二號、九年六月第一二八號、八年八月第一四〇號、九年六月第一二三號、八年一〇月第一四七號、一〇年一〇月第一八六號、一一年一月第一一號、一一年一一月第一四號、一二年四月第三號、一三年四月第一二號

第一條　本令ニ於テ水産製品ト稱スルハ左ノ食用乾製品、食用締詰品、食用鹽藏品、肥料、海藻、魚油及魚粉ヲ謂フ

食用乾製品

海參、鰹節、乾蝦、乾玉筋魚、鳥、乾鱈、乾鮑、乾牡蠣、淡菜、乾蛤、乾竹蠣、乾北寄貝、乾鳥貝、乾貝柱、乾海苔（在來式製品ヲ除ク）

食用締詰品

鮑締詰、鯖締詰、鰆締詰、蝦締詰、蟹締詰、貝柱締詰、北寄貝締詰、鰻締詰、螺締詰、鮪トマト漬締詰

食用鹽藏品

鹽鮭

肥料

數料ヲ納ムベシ

一　定性分析

每一件一成分一回、一成分ヲ增ス每ニ五十錢ヲ加フ

二　定量分析

每一件一成分二回、一成分ヲ增ス每ニ一回ヲ加フ

三　鑑　定

其ノ都度水産試驗場長之ヲ定ム

第四條　水産試驗場長ニ於テ分析若ハ鑑定ノ必要ナシト認ムルトキ又ハ分析若ハ鑑定ヲ爲スコト能ハズト認ムルトキハ依賴ニ應セザルコトヲ得

第五條　分析又ハ鑑定ノ結果ニ付テハ其ノ成績書ヲ依賴者ニ交付ス

第六條　分析又ハ鑑定ノ依賴ヲ爲ス者前條ノ成績書ノ複本ノ交付ヲ請求セントスルトキハ第二號樣式ノ願書ヲ差出スベシ

前項ノ請求ヲ爲ストキハ複本一件每ニ二十錢ノ手數料、外國語ニ依ル複本ノ請求ヲ爲ストキハ一件每ニ五十錢以上五圓以下ノ範圍內ニ於テ水産試驗場長ノ定ムル手數料ヲ納ムベシ

第一號樣式

分析（鑑定）依賴書

收入印紙

貼附シタル收入印紙ノ額

一　供試品名

二　産地又ハ製造地名及製造者名

三　製造方法（製品ニ限ル）

四　定性又ハ定量スベキ物質名（鑑定ノ項目）

右分析（鑑定）及依賴候也

年　月　日

住所又ハ營業所

依賴者　氏名又ハ名稱　㊞

第二號樣式

分析（鑑定）成績書複本下付願

收入印紙

貼附シタル收入印紙ノ額

何年何月何日第何號

品名

何種

右成績書複本（英文）何通下付相成度及依賴候也

年　月　日

住所又ハ營業所

依賴者　氏名又ハ名稱　㊞

朝鮮總督府水産試驗場長　宛

第三號樣式

收入印紙

貼附シタル收入印紙ノ額

一　設備名

二　使用ノ目的

三　使用期間自　年　月　日至　年　月　日

右使用ノ儀許可相成度及願候也

年　月　日

住所又ハ營業所

願人　氏名又ハ名稱　㊞

朝鮮總督府水産試驗場長　宛

水産製品檢查規則左ノ通定ム

第一條　本令ニ於テ水産製品ト稱スルハ左ノ食用乾製品、食用締詰品、食用鹽藏品、肥料、海藻、魚油及魚粉ヲ謂フ

食用乾製品

海參、鰹節、乾蝦、乾玉筋魚、鳥、乾鱈、乾鮑、乾牡蠣、淡菜、乾蛤、乾竹蠣、乾北寄貝、乾鳥貝、乾貝柱、乾海苔（在來式製品ヲ除ク）

食用締詰品

鮑締詰、鯖締詰、鰆締詰、蝦締詰、蟹締詰、貝柱締詰、北寄貝締詰、鰻締詰、螺締詰、鮪トマト漬締詰

食用鹽藏品

鹽鮭

肥料

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第十七類　海藻類　第二款　水産製品及水産物

本令中明治三十二年第一號ノ施行ノ際現ニ漁業ヲ營ミ又ハ漁業ノ用ニ供スル船舶ヲ所有スル者ニ對シテハ其ノ漁業又ハ船舶ニ關シ從前ノ規定ニ依リ與ヘラレタル免許又ハ特許ハ本令ニ依リ與ヘラレタル免許又ハ特許ト看做ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依リ漁業ヲ營ミ又ハ漁業ノ用ニ供スル船舶ヲ所有スル者ハ本令施行ノ日ヨリ一箇月以内ニ本令ニ依リ免許又ハ特許ヲ受クヘシ

品名	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑
産地	北海道											
種類	真鮑											
製法	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	千葉県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	静岡県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	和歌山県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	高知県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	福岡県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	佐賀県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	長崎県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	熊本県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	大分県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	宮崎県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	鹿児島県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	鰒											
産地	沖縄県											
種類	真鮑											
製法	煮鮑	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑	鰒	蒸鮑	乾鮑	煮鮑
容器	箱											
容量	一貫匁											
荷造	内側ニ紙ヲ張リ外側ニ菰ヲ巻キ縄ニテ十字ニ掛ケ											
産額	一、〇〇〇貫											
価額	一、〇〇〇円											
摘要												

品名	乾鰯	乾鰯粕	乾鰯油	乾鰯魚肥	乾鰯〆粕	乾鰯〆粕	乾鰯〆粕	乾鰯〆粕	乾鰯〆粕	乾鰯〆粕	乾鰯〆粕	乾鰯〆粕
産地	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱	九十九里濱
産額	一萬貫	一萬貫	一萬貫	一萬貫	一萬貫	一萬貫	一萬貫	一萬貫	一萬貫	一萬貫	一萬貫	一萬貫
製法	地曳網ニテ漁獲シ煮熟シタル後圧搾シテ油ヲ採リ粕ハ乾燥シテ製ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
用途	肥料	肥料	塗料	肥料	肥料	肥料	肥料	肥料	肥料	肥料	肥料	肥料
備考												

品名	鰹節	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣
産地	土佐	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館
産額	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱
製法	鰹ヲ煮熟シ骨ヲ去リ肉ヲ乾燥シテ製ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
用途	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用
備考												

品名	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣
産地	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館
産額	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱
製法	鰮ヲ煮熟シ骨ヲ去リ肉ヲ乾燥シテ製ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
用途	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用
備考												

品名	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣
産地	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館
産額	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱
製法	鯖ヲ煮熟シ骨ヲ去リ肉ヲ乾燥シテ製ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
用途	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用
備考												

品名	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣
産地	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館
産額	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱
製法	鰯ヲ煮熟シ骨ヲ去リ肉ヲ乾燥シテ製ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
用途	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用
備考												

品名	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣
産地	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館
産額	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱
製法	鰺ヲ煮熟シ骨ヲ去リ肉ヲ乾燥シテ製ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
用途	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用
備考												

品名	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣
産地	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館
産額	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱
製法	鯵ヲ煮熟シ骨ヲ去リ肉ヲ乾燥シテ製ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
用途	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用
備考												

品名	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣
産地	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館
産額	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱
製法	鯖ヲ煮熟シ骨ヲ去リ肉ヲ乾燥シテ製ス	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
用途	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用	食用
備考												

品名	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣	鯣
産地	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館	函館
産額	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱	一萬箱
製法	鰺

品名	乾海苔						鮑水煮纏詰						蠑螺味附纏詰						鰒油
形態ノ大小	大（一枚ノ肉重量一匁以上ノモノ）		中（一匁以下三匁以上ノモノ）		小（三匁以下二匁以上ノモノ）		大（一枚ノ肉重量二匁以上ノモノ）		中（二匁以下一匁五分以上ノモノ）		小（一匁五分以下一匁以上ノモノ）		大（一枚ノ肉重量二匁以上ノモノ）		中（二匁以下一匁八分以上ノモノ）		小（一匁八分以下一匁以上ノモノ）	
等級	上等	中等	上等	中等	上等	中等	上等	中等	上等	中等	上等	中等	上等	中等	上等	中等	上等	中等	
原料	原料香味及色澤優良ニシテ形態及精束ニ付テハ同上ノ他ノ事項一等ニ次グモノ		形態及精束ニ付テハ同上ノ他ノ事項二等ニ次グモノ		形態及精束ニ付テハ同上ノ他ノ事項三等ニ次グモノ

不合格品

二等級證印

外圓ノ直徑　九〇ミリメートル
內圓ノ直徑　二〇ミリメートル
肉幅　九ミリメートル

一等

高　一〇〇ミリメートル
中央最狹部ノ幅　六〇ミリメートル
圓ノ直徑　二〇ミリメートル
肉幅　九ミリメートル

二等

一邊ノ長　一一〇ミリメートル
圓ノ直徑　二〇ミリメートル
肉幅　九ミリメートル

三等

一邊ノ長　九〇ミリメートル
圓ノ直徑　二〇ミリメートル
肉幅　九ミリメートル

四等

三　檢查等級證印
食用鑵詰品（蟹水煮鑵詰及輸出品ヲ除ク）

一等

朝鮮總督府
合格
一等
水產製品檢查所

長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

二等

朝鮮總督府
合格
二等
水產製品檢查所

同上

三等

朝鮮總督府
合格
三等
水產製品檢查所

長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

食用鑵詰品（蟹水煮鑵詰以外ノ輸出品ニ限ル）

一等

FISHERY PRODUCTS INSPECTION STATION
PASSED
No. 1
GOVERNMENT-GENERAL OF CHOSEN

長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

二等

FISHERY PRODUCTS INSPECTION STATION
PASSED
No. 2
GOVERNMENT-GENERAL OF CHOSEN

同上

三等

FISHERY PRODUCTS INSPECTION STATION
PASSED
No. 3
GOVERNMENT-GENERAL OF CHOSEN

長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

タラバ蟹水煮鑵詰（肩肉以外ノモノ）ノ輸出合格品

シーソアフ

FISHERY PRODUCTS INSPECTION STATION
FANCY
GOVERNMENT-GENERAL OF CHOSEN

長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

A

FISHERY PRODUCTS INSPECTION STATION
PASSED
A
GOVERNMENT-GENERAL OF CHOSEN

長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

タラバ蟹水煮鑵詰（肩肉）、毛蟹水煮鑵詰、ズワイ蟹水煮鑵詰ノ輸出合格品

フエヤー
（箱ニ押捺スルモノ）

FISHERY PRODUCTS INSPECTION STATION
FAIR
GOVERNMENT-GENERAL OF CHOSEN

長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

フエヤー
（鑵ニ押捺スルモノ）

FAIR

魚粉

級級赤粒紫

直徑　一〇〇ミリメートル
肉幅　九ミリメートル

等外

長徑　一三〇ミリメートル
短徑　八五ミリメートル
肉幅（文字ヲ除ク）　九ミリメートル

四　大小別證印

食用鑵詰品（輸出品ヲ除ク）

大

直徑一五ミリメートル
肉幅　二ミリメートル

中

同上

小

同上

食用鑵詰品（輸出品ニ限ル）

大

直徑一五ミリメートル
肉幅　二ミリメートル

中

同上

小

同上

其ノ他ノ水產製品

大

直徑九〇ミリメートル
肉幅　九ミリメートル

中

同上

小

同上

五　消印

各片ノ長サ三寸
肉幅　三分

六　封印

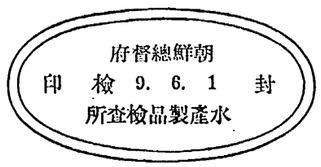
食用乾製品、肥料、海藻及魚粉

三三ミリメートル角

同上再檢查品

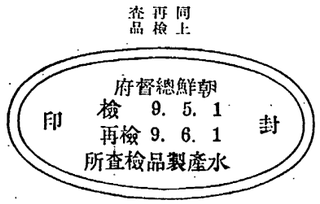
二三ミリメートル角

食用鑵詰品（輸出品ヲ除ク）及食用鹽藏品



長徑　六〇ミリメートル
短徑　三〇ミリメートル

同上再檢查品



同上

食用鑵詰品（輸出品ニ限ル）

長徑　六〇ミリメートル
短徑　三〇ミリメートル

同上再檢查品

同上

B
（ノモルス捺押＝箱）

長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

B

（縁＝押捺スルモルス但シタラバ蟹水煮鑵詰（肩肉）ニ限ル）

P. B.

タラバ蟹水煮鑵詰ノ移出合格品

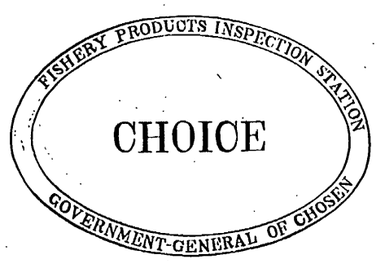
等外（箱ニ押捺スルモノ）

長徑　一〇六ミリメートル
短徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

同上（縁ニ押捺スルモノ）

各邊ノ長　一三ミリメートル

チヨイス



長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

スタンダード

長　徑　一〇六ミリメートル
短　徑　六九ミリメートル
內緣ト外緣トノ間隔　一〇ミリメートル

鯑トマト漬鑵詰

包裝ヲ爲シタル魚油

直徑八分

同上　再檢査品

直徑同上

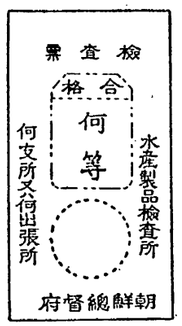
包裝ヲ爲サザル魚油

直徑八分

同上　再檢査品

直徑同上

七　檢査票



縱　三寸三分
橫　一寸七分

八　合格證

合格番號

品名	檢査番號	檢査願數量	第十六條ノ檢査證印	現在檢査所	輸出現品檢査員名及檢査印	檢査總數及檢査員名
住所地			押捺數			
檢査年月日			檢査證印有效數			
檢査請求人住所氏名	合格證受付者住所氏名					
記號許可番號						

上記水產製品ハ水產製品檢査規則ニ依ル檢査ニ合格シタルモノナルコトヲ證ス

年　月　日

朝鮮總督府水產製品檢査所何支所

（備考）　數量欄内ニハ合格品ノ一部分ヲ輸出シタル場合輸出水產物取締法ニ依ル檢査總高ニ於テ現在有效數ヲ證スル爲記入ヲ要スモノトス

刀紙寸法　縱　一五センチメートル
　　橫　二三センチメートル

番號

魚粉檢査合格證

檢査請求人住所氏名

品名	
等級	
箇數	
數量	
製造場所及製造人	
分析ノ結果（%）	
窒素	
燐酸	
水分	
脂肪	
食鹽（鹽化曹達）	
土砂（鹽酸不溶解物）	
分析年月日及分析者ノ氏名捺印	

上記魚粉ハ水產製品檢査規則ニ依ル檢査ニ合格シタルモノナルコトヲ證ス

年　月　日

朝鮮總督府水產製品檢査所何支所

用紙寸法　縱　二四センチメートル
　　橫　一八センチメートル

備考

一　乾海苔、海參、乾蝦、乾鮑、淡菜、乾鳥貝及乾貝柱合格品中小包郵便ト爲スモノニ在リテハ檢査證印及等級證印ハ直徑一寸五分肉幅一分五厘トス

二　檢査證印、等級證印、檢査等級證印、大小別證印及消印ノ肉色ハ紫色トス但シ蟹水煮繊詰ノ檢査等級證印ノ肉色ハタラバ蟹繊詰ノ肩肉以外ノモノニ在リテハアンシーハ赤色、フエヤーハ青色、等外ハ黑色、肩肉ニ在リテハAハ紫色、Bハ褐色、等外ハ黑色、毛蟹繊詰ニ在リテハ橙色、ズワイ蟹繊詰ニ在リテハ紫色トシ鮭繊詰輸出合格品檢査證印ノ肉色ハ水煮繊詰ニ在リテハ褐色、味附繊詰ニ在リテハ青色トシ鯛魚粉ノ檢査等級證印ノ肉色ハ赤紋ハ赤色、橡紋ハ綠色、紫紋ハ紫色、等外ハ黑色トス

三　封印ノ數字、模樣及輪廓ハ赤色トス但シ再檢査品ノ分ハ青色トス

四　魚油ノ合格品ニ附スベキ檢査票ノ紙色ハ一等黃色二等青色三等紅色四等褐色トシ文字ハ黑色トス

五　檢査證印、檢査等級證印及封印ノ水產製品檢査所名ハ檢査又ハ再檢査ヲ行ヒタル水產製品檢査所名ヲ表示スルモノトス

六　大小別證印中食用繰詰ニ關スルモノハ檢査等級證印ノ內線內空所ニ押捺スルモノトス

第四號樣式

●水產製品檢査規則第十八條ノ規定ノ特例ニ關スル件

昭和十三年四月
總令第七十三號

水產製品檢査規則第十八條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ內輸出ノ食用繰詰品ニ限リ別記樣式ニ依ル證印ヲ押捺スルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

別記樣式

一　檢査證印

鮭繊詰ノ輸出合格品

長徑　六〇ミリメートル
短徑　三〇ミリメートル

タラバ蟹水煮繊詰

C字ノ短徑一二ミリメートル

毛蟹水煮繊詰

同上

ズワイ蟹水煮詰

同上

水產製品ノ輸出ノ圓滑ヲ圖ル爲特ニ必要アル場合ニ於テハ水產製品檢査規則第十八條ノ規定ニ拘ラズ當分ノ內輸出ノ食用繰詰品ニ限リ別記樣式ニ依ル證印ヲ押捺スルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第四號樣式

水產製品檢査規則第五條第二項ノ認定請求書

下記ノ魚油ノ混合ニ付水產製品檢査規則第五條第二項ノ認定相受度此段及請求候也

昭和年月日

品名	包裝種類及容器	檢查年月日	等級	箇數	容量

檢査希望年月日

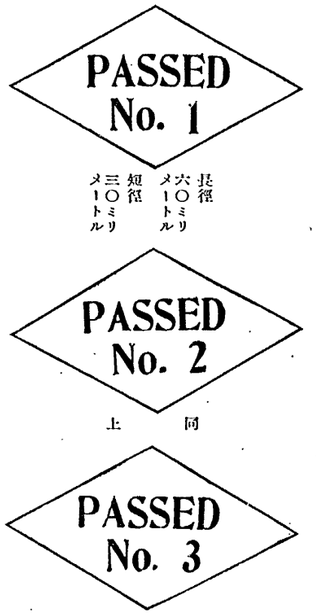
認定番號

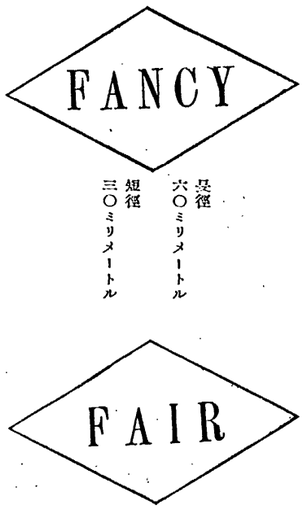
認定年月日

住所	水產製品檢査規則第五條第二項ノ認定請求者
氏名	認定番號
	認定年月日

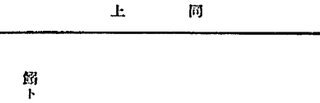
二　檢查等級證印

食用纏詰品（鹽水煮纏詰及鮪トマト漬纏詰以外ノ輸出品ニ限ル）



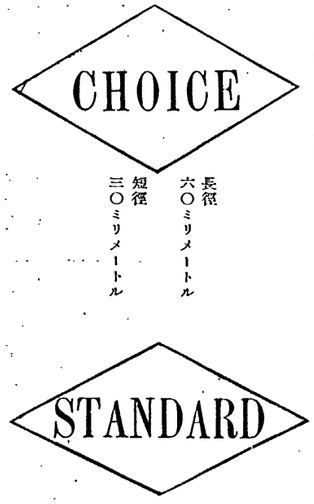


タラバ蟹水煮纏詰（脚肉以外ノモノ）ノ輸出合格品



タラバ蟹水煮纏詰（脚肉）、毛蟹水煮纏詰

ズワイ蟹水煮纏詰ノ輸出合格品



鮪トマト漬纏詰ノ輸出合格品

備考

鮭纏詰輸出合格品ノ檢查證印ノ肉色ハ水煮纏詰ニ在リテハ褐色、味附纏詰ニ在リテハ青色トシ食用纏詰品（鹽水煮纏詰及鮪トマト漬纏詰以外ノ輸出品ニ限ル）ノ檢查等級證印ハ紫色トシ蟹水煮纏詰ノ檢查等級證印ノ肉色ハタラバ蟹纏詰ノ脚肉以外ノモノニ在リテハファンシー赤色、フェヤーハ青色、脚肉ニ在リテハA、紫色、B、褐色、毛蟹纏詰ニ在リテハ橙色、ズワイ蟹纏詰ニ在リテハ綠色トシ鮪トマト漬纏詰ノ檢查等級證印ノ肉色ハチヨイスハ赤色、スタンダードハ綠色トス

●朝鮮水産物罐詰製造營業取締規則

昭和五年九月
總令第七十九號
改正　昭和六年七月八日、一〇年六月八日

朝鮮水産物罐詰製造營業取締規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮水産物罐詰製造營業取締規則（以下本令ト稱ス）ノ適用ヲ受ケントスル者ハ水産物ノ罐詰ノ製造ヲ爲サントスルトキハ其ノ工場毎ニ左ニ掲グル事項ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

一　住所、氏名及生年月日（法人ニ在リテハ主タル事務所ノ所在地及名稱若ハ稱號竝ニ代表者ノ住所及氏名）

二　製造セントスル罐詰ノ種類

三　製造ノ時期

四　製造工場ノ名稱

五　製造工場ノ位置

六　製造工場ノ敷地ノ面積及建物ノ坪數

七　製造工場ノ建築仕樣及設備ノ概要

八　主ナル機械ノ名稱、員數及各其ノ最高能力

九　用水ノ性質及分量

十　製造原料ノ蒐集方法、製造工程及一年間ノ種類別製造豫定數量

十一　許可ヲ受ケントスル期間

十二　水産物以外ノ罐詰ノ製造ヲモ爲サントスルモノニ在リテハ其ノ罐詰ノ種類、原料ノ蒐集方法、製造工程及一年間ノ種類別製造豫定數量

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ製造工場ノ建物、機械其ノ他ノ設備ノ配置圖及製造工場ノ場所附近ノ見取圖ヲ添附スベシ

第二條　前條第一項ノ許可ノ日ヨリ十年以内ニ於テ許可ノ際朝鮮總督之ヲ定ム

第三條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ第一條第一項及同項第二號ノ事項ノ變更ノ許可ヲ爲スニ當リ之ニ制限又ハ條件ヲ附スルコトヲ得

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ許可シタル營業ヲ制限シ、停止シ又ハ營業ノ許可ヲ取消スコトヲ得

一　朝鮮漁業令又ハ之ニ基キテ發スル命令ニ違反シテ捕シタル物ヲ原料トシテ製造ヲ爲シ又ハ爲サントシタルトキ

二　本令又ハ本令ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ制限、條件ニ違反シタルトキ

三　前條第二號ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ許可ノ期間滿了前營業ヲ爲シタルトキ

四　製造工場ノ全部又ハ一部カ滅失シタルトキ

前項第三號ノ場合ニ於テ解散ニ因ルトキハ其ノ清算人ニ於テ前項ノ手續ヲ爲スベシ

第一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ノ死亡又ハ合併ニ因リ其ノ營業ヲ相續シ又ハ承繼シタル者ハ相續ヲ爲シタル日又ハ合併ノ登記ヲ爲シタル日ヨリ一月以内ニ第一條第一項第一號ノ事項ヲ具シ其ノ旨朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

前二項ノ規定ニ依ル屆書ニハ解散、相續又ハ合併ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第十一條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ第一條第一項ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ其ノ營業ニ關スル帳簿、書類其ノ他ノ物件ノ提出ヲ命ジ又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十二條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ製造工場ノ構造若ハ設備、製造原料、製造材料、用水、製造方法又ハ製品ニ付檢查ヲ爲シ取締上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ第一條第一項ノ營業ヲ爲シタル者

二　第三條ノ規定ニ依リ許可ニ附シタル制限若ハ條件又ハ第四條ノ規定ニ依ル營業ノ制限若ハ停止ニ違反シテ營業ヲ爲シタル者

第十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　又ハ虚僞ノ表示ヲ爲サザル者

二　許可ヲ受ケズシテ第一條第一項第一號、第五號又ハ第八號ノ事項ヲ變更シタル者

三　第十一條ノ規定ニ依ル物件ノ提出又ハ報告ヲ怠リタル者

四、第十二條ノ規定ニ依ル檢查ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ命ニ從ハザル者

第十五條　第十條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル屆出ヲ爲サザル者ハ科料ニ處ス

第十六條　營業者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ命令ニ違反シタルトキハ其ノ營業者ニ對シテモ各本條ノ罰金ヲ科ス

第十七條　本令ノ罰則ヲ營業者ノ業務ニ關シ之ニ適用スベキ場合ニ於テ營業者法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際第一條第一項ノ營業ヲ爲ス者其ノ營業ヲ繼續セントスルトキハ本令施行ノ日ヨリ一月以内ニ第一條ノ規定ニ準ジ許可ノ申請ヲ爲スベシ

本令施行ノ際現ニ前項ノ營業ヲ爲ス者ハ前項ノ期間仍ホ其ノ營業ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ許可ノ申請ヲ爲シタル者ニ付前項ノ期間經過後其ノ申請ノ許否アル迄ノ間亦同ジ

本令施行ノ際現ニ第一條第一項ノ營業ヲ爲ス者ニシテ其ノ營業ヲ繼續スルモノニ對シテハ本令施行ノ日ヨリ第六條ノ規定ニ在リテハ一年間、第八條ノ規定ニ在リテハ六月間ハ之ヲ適用セズ

本令ハ當分ノ內たらばに、すわいがに又ハけがにノ罐詰製造營業ニ之ヲ準用ス

第三款　水産會

●朝鮮水産會令

大正十二年一月
制令第一號
改正　昭和八年八月第一八號

朝鮮水産會令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　朝鮮水産會ハ朝鮮水産會令ノノ外水産會法ニ依リ本會ニ關スルモノニ對シテハ本令ニ規定スル事項ノ外水産會法ニ依ル但シ同法第七條乃至第十條、第二十條第二項及第三項、第二十六條第二項乃至第五項、第二十七條、第三十條第二項乃至第三十二條竝第三十七條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラス

水産會法中郡市水産會トアルハ道水産會トス

第二條　水産會ハ道水産會及朝鮮水産會トス

水産會ノ地區ハ道水産會ニ在リテハ道、朝鮮水産會ニ在リテハ朝鮮ノ區域ニ依ル

第三條　水産會ノ名稱ニハ道水産會又ハ朝鮮水産會ノ文字ヲ用ヰルヘシ

本令ニ依リ設立シタル水産會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲ケル文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第四條　水産會ハ道水産會ニ在リテハ別ニ朝鮮總督ノ定ムル者ヲ除クノ外其ノ地區内ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ヲ爲ス者及其ノ地區内ニ於ケル漁業權ヲ有スル者、朝鮮水産會ニ在リテハ道水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條　水産會ハ經費ヲ以テ其ノ地區内ニ於ケル漁業權ヲ有スル者ニ賦課スルコトヲ得

水産會ハ府邑面ニ嘱託スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ水産會ハ府邑面ノ徴收シタル金額ノ百分ノ五ヲ超ヘカラサル奨勵金ヲ府邑面ニ交付スヘシ

前項ニ規定スル經費又ハ過怠金ヲ先ヒテ府邑面ニ對シ其ノ納入ノ義務ヲ免除スヘシ

第六條　經費又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立及裁決ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第七條　經費及過怠金ノ督促、滯納處分、道府邑面ニ對スル先取特權ノ順位ハ前項ニ規定スル徴收金ノ先取特權ノ順位ニ次ク

第八條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徴收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條　水産會解散ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ規定スル會員ノ員數ノ計算ニ付テハ水産會法第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正十二年二月二日朝鮮總督府令第十六號ヲ以テ同年四月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ存スル朝鮮水産組合各道支部ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ受ケタルヲ本令ニ依ル道水産會ト爲スコトヲ得

●水産會法

大正十年四月
法律第六十號
改正　昭和八年五月五日法律第五六號

第一條　水産會ハ水産業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　水産會ハ法人トス

第三條　水産會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　水産會ハ會員ノ爲ニスル水産業ニ關スル事項ニ付行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第五條　水産會ハ水産業ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議スルコトヲ得

第六條　行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ水産會ニ對シ水産業ニ關スル報告書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第七條　水産會ハ郡市水産會、道府縣水産會及帝國水産會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

郡市水産會ノ設立ニ關シ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ノ計算ニ付テハ漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者ノ之ヲ一人ト看做シ、一人ニシテ前條ニ掲ケル二以上ノ資格ヲ有スル者ハ之ヲ一人トス

第八條　水産會ハ郡市水産會、道府縣水産會及帝國水産會ノ地區ヲ以テ之ヲ設ク

水産會ハ郡市水産會ノ地區ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ヲ爲ス者及其ノ地區内ニ於ケル漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者、道府縣水産會ニ在リテハ其ノ地區内ノ郡市水産會、帝國水産會ニ在リテハ道府縣水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第九條　水産會ハ郡市水産會、道府縣水産會及帝國水産會ノ地區ヲ以テ之ヲ設ク

水産會ハ郡市水産會ノ地區ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ヲ爲ス者及其ノ地區内ニ於ケル漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者、道府縣水産會ニ在リテハ其ノ地區内ノ郡市水産會、帝國水産會ニ在リテハ道府縣水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第十條　水産會ハ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

郡市水産會ノ設立ニ關シ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ノ計算ニ付テハ漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者ノ之ヲ一人ト看做シ、一人ニシテ前條ニ掲ケル二以上ノ資格ヲ有スル者ハ之ヲ一人トス

第十一條　水産會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

郡市水産會ノ設立ニ關シ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ノ計算ニ付テハ漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者ノ之ヲ一人ト看做シ、一人ニシテ前條ニ掲ケル二以上ノ資格ヲ有スル者ハ之ヲ一人トス

第十二條　水産會ハ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

第十三條　水産會成立シタルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ之ニ加入シタルモノト看做ス但シ特別ノ事由ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　郡市水産會ニ總代會、其ノ他ノ水産會ニ總會ヲ置ク

水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會員ノ選任シタル議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織スル總會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル水産會ノ選任シタル議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十五條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ置クコトヲ得

行政官廳ハ水産會ノ特別議員ヲ命スルコトヲ得但シ其ノ員數ハ議員定數ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條　左ニ掲ケル事項ハ總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

一　總費ノ分賦收入方法

二　事業報告及收支決算ノ承認

三　豫算ヲ以テ定メタルモノヲ除クノ外新ニ義務ヲ負ヒ又ハ權利ヲ失フヘキ行爲

四　基金ノ造成、管理及處分

五　不動産ニ關スル權利ノ得喪及變更

六　會則ノ變更

七　役員及特別議員ノ選任及解任

八　訴願、訴訟及和解

九　前項第一號、第二號、第四號及第七號ニ掲ケル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十七條　總代會又ハ總會ハ會長之ヲ招集ス但シ第一回ノ總代會又ハ總會ハ水産會成立シタルトキ遲滯ナク設立申請者之ヲ招集スヘシ

議員又ハ特別議員ハ議員及特別議員ノ總數五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總代會又ハ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

會長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後十四日以内ニ總代會又ハ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第十八條　議員及特別議員ハ總代會又ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス

第十九條　總代會及總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第二十條　會則ノ變更ハ總代會又ハ總會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決スヘシ

郡市水産會ノ會則ノ變更カ地區ノ增減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入又ハ創除セラルヘキ區域内ノ會員タル資格ヲ有スル者又ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者又ハ會員ノ員數ノ計算ニ付テハ第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二十一條　水産會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長

副會長　一人又ハ二人

役員ハ郡市水産會ニ在リテハ總代會ニ於テ其ノ會員中ヨリ、其ノ他ノ水産會ニ在リテハ總會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ會員又ハ議員ニ非サル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

前項但書ノ規定ニ依ル選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十二條　會長ハ水産會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ職務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ竝會務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十三條　總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總代會又ハ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ會則ノ定ムル所ニ依リ專決處分スルコトヲ得但シ第十六條第二項ノ事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總代會又ハ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第二十四條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ委員會ヲ設クルコトヲ得

左ニ掲ケル者ヲ以テ委員トス

一　會長

二　副會長

三　會則ニ定メタル方法ニ依リ選任シタル者

第二十五條　委員會ハ仲裁判斷其ノ他會則ニ定ムル事項ニ關シ諮議決定ス

第二十六條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徴收スルコトヲ得

郡市水産會ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テ其ノ會長ノ請求アルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テ水産會ハ其ノ徴收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

市町村カ前項ノ請求ヲ受クルヤ日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セス又ハ九十日以内ニ之ヲ完了セサルトキハ會長ハ地方長官ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市町村制第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前二項ニ規定スル徴收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徴收金ニ次キ其ノ時效ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　帝國水産會ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ外國ニ於テ設立シタル水産會ニ準スル法人其ノ他ノ團體ヲ會員トシ水産會ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ求ムヘシ

第二十八條　行政官廳ハ水産會ニ對シ事實ノ狀況ヲ檢査シ會則、收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命シ又ハ監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　行政官廳ハ水産會ノ總代會、總會若ハ委員會ノ決議又ハ役員若ハ委員ノ行爲ニシテ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ノ取消シ、役員若ハ委員ノ改選ヲ命シ水産會ノ事業ヲ停止シ又ハ水産會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第三十條　水産會解散ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ其ノ事由ヲ具シ會則ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ規定スル會員ノ員數ノ計算ニ付テハ第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第三十一條　水産會ハ債權者ノ同意ヲ得又ハ異議アル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ若ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ水産會ノ解散ヲ爲スヲ得ス

第三十二條　合併後存續スル水産會又ハ合併ニ因リテ設立シタル水産會ハ合併ニ因リテ消滅シタル水産會ノ權利義務ヲ承繼ス

第三十三條　水産會ノ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尚存續スルモノト看做ス

第三十四條　水産會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ其ノ清算人トス但シ會則ニ別段ノ定アリタルトキ又ハ總代會若ハ總會ニ於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政官廳ハ清算人ヲ選任ス清算人ノ闕ケタルトキ亦同シ

第三十五條　清算人ハ水産會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

清算ノ方法及財産處分ニ付テハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三十六條　行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ清算人ノ方法及財産處分ノ變更ヲ命シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ選擧人ノ住所氏名及職業ハ少クトモ投票期日三十日前ニ道知事之ヲ公示スヘシ

朝鮮水産會ノ議員ハ道水産會ノ總代會ニ於テ其ノ會員中ヨリ之ヲ選任ス

第十一條　道水産會ノ議員ハ會員中ヨリ道知事之ヲ選任ス

前項ノ選擧ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム、

第四條　水産會ハ道水産會ニ在リテハ別ニ朝鮮總督ノ定ムル者ヲ除クノ外其ノ地區内ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ヲ爲ス者及其ノ地區内ニ於ケル漁業權ヲ有スル者、朝鮮水産會ニ在リテハ道水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第五條　水産會ハ經費ヲ以テ其ノ地區内ニ於ケル漁業權ヲ有スル者ニ賦課スルコトヲ得

水産會ハ府邑面ニ嘱託スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ水産會ハ府邑面ノ徴收シタル金額ノ百分ノ五ヲ超ヘカラサル奨勵金ヲ府邑面ニ交付スヘシ

前項ニ規定スル經費又ハ過怠金ヲ先ヒテ府邑面ニ對シ其ノ納入ノ義務ヲ免除スヘシ

第六條　經費又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立及裁決ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第七條　經費及過怠金ノ督促、滯納處分、道府邑面ニ對スル先取特權ノ順位ハ前項ニ規定スル徴收金ノ先取特權ノ順位ニ次ク

第八條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徴收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第九條　水産會解散ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ規定スル會員ノ員數ノ計算ニ付テハ水産會法第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正十二年二月二日朝鮮總督府令第十六號ヲ以テ同年四月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ存スル朝鮮水産組合各道支部ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ受ケタルヲ本令ニ依ル道水産會ト爲スコトヲ得

●朝鮮水産會令施行規則

大正十二年二月
總令第二十七號
改正　昭和一〇年一二月一五號

朝鮮水産會令施行規則左ノ通ム

朝鮮水産會令施行規則

第一條　左ニ掲ケル者ハ道水産會ノ會員ヨリ之ヲ除外ス

一　國及公共團體

二　鹽業者

三　小賣ヲ主タル目的トスル製造業者及販賣業者

四　水産物ノ保管ヲ主タル目的トセサル保管業者

前項ニ掲ケル者ノ外道知事ニ於テ特ニ道水産會ノ會員ヨリ除外スルノ必要アリト認ムル者アルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得

第二條　水産會ヲ設立セムトスルトキハ道水産會ニ在リテハ會員タル資格ヲ有スル者三人以上、朝鮮水産會ニ在リテハ二以上ノ道水産會設起人トナリ會員タル資格ヲ有スル者ニ非サル者ノ概目、創立發用及收支ノ概算並經費分賦收入方法ノ概要ヲ通知シ設立ノ同意ヲ求ムヘシ

第三條　發起人創立總會ヲ招集セムトスルトキハ朝鮮水産會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、道水産會ニ在リテハ少クトモ二十日前ニ、會則ノ定ムル事項、日時及場所ヲ會員タル資格ヲ有スル者ニ通知シ且之ヲ公告スヘシ

第四條　創立總會ノ議事ハ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議定スルコトヲ得ス

第十一條　水産會ハ會員ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ徴收スルコトヲ得

郡市水産會ノ經費又ハ過怠金ヲ滯納スル者アル場合ニ於テハ其ノ會長ノ請求ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ水産會ハ其ノ徴收金額ノ百分ノ四ヲ市町村ニ交付スヘシ

市町村カ前項ノ請求ヲ受クルヤ日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セス又ハ九十日以内ニ之ヲ完了セサルトキハ會長ハ地方長官ノ認可ヲ得テ之ヲ處分スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ市町村制第百十一條第一項及第四項ノ規定ヲ準用ス

前二項ニ規定スル徴收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準スヘキモノノ徴收金ニ次キ其ノ時效ニ付テハ市町村稅ノ例ニ依ル

經費ノ分賦又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立、訴願及行政訴訟ヲ爲スコトヲ得

第二十七條　帝國水産會ハ農商務大臣ノ認可ヲ受ケ朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ外國ニ於テ設立シタル水産會ニ準スル法人其ノ他ノ團體ヲ會員トシ水産會ニ對シ事實ニ關スル報告ヲ求ムヘシ

第二十八條　行政官廳ハ水産會ニ對シ事實ノ狀況ヲ檢査シ會則、收支豫算又ハ經費ノ分賦收入方法ノ變更ヲ命シ又ハ監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　行政官廳ハ水産會ノ總代會、總會若ハ委員會ノ決議又ハ役員若ハ委員ノ行爲ニシテ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ノ取消シ、役員若ハ委員ノ改選ヲ命シ水産會ノ事業ヲ停止シ又ハ水産會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

第三十條　水産會解散ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ其ノ事由ヲ具シ會則ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ規定スル會員ノ員數ノ計算ニ付テハ第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第三十一條　水産會ハ債權者ノ同意ヲ得又ハ異議アル債權者ニ對シ辨濟ヲ爲シ若ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ水産會ノ解散ヲ爲スヲ得ス

第三十二條　合併後存續スル水産會又ハ合併ニ因リテ設立シタル水産會ハ合併ニ因リテ消滅シタル水産會ノ權利義務ヲ承繼ス

第三十三條　水産會ノ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尚存續スルモノト看做ス

第三十四條　水産會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ其ノ清算人トス但シ會則ニ別段ノ定アリタルトキ又ハ總代會若ハ總會ニ於テ選任シタル者アルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ清算人タル者ナキトキハ行政官廳ハ清算人ヲ選任ス清算人ノ闕ケタルトキ亦同シ

第三十五條　清算人ハ水産會ヲ代表シ清算ヲ爲スニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲ス權限ヲ有ス

清算ノ方法及財産處分ニ付テハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三十六條　行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ清算人ノ方法及財産處分ノ變更ヲ命シ又ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

前項ノ選擧人ノ住所氏名及職業ハ少クトモ投票期日三十日前ニ道知事之ヲ公示スヘシ

朝鮮水産會ノ議員ハ道水産會ノ總代會ニ於テ其ノ會員中ヨリ之ヲ選任ス

第十一條　道水産會ノ議員ハ會員中ヨリ道知事之ヲ選任ス

前項ノ選擧ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム、

第十二條　水産會ノ名稱ニハ道水産會又ハ朝鮮水産會ノ文字ヲ用ヰルヘシ

本令ニ依リ設立シタル水産會ニ非サレハ其ノ名稱中ニ前項ニ掲ケル文字ヲ用ヰルコトヲ得ス

第十三條　水産會ハ道水産會ニ在リテハ別ニ朝鮮總督ノ定ムル者ヲ除クノ外其ノ地區内ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ヲ爲ス者及其ノ地區内ニ於ケル漁業權ヲ有スル者、朝鮮水産會ニ在リテハ道水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第十四條　水産會ハ經費ヲ以テ其ノ地區内ニ於ケル漁業權ヲ有スル者ニ賦課スルコトヲ得

水産會ハ府邑面ニ嘱託スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ水産會ハ府邑面ノ徴收シタル金額ノ百分ノ五ヲ超ヘカラサル奨勵金ヲ府邑面ニ交付スヘシ

前項ニ規定スル經費又ハ過怠金ヲ先ヒテ府邑面ニ對シ其ノ納入ノ義務ヲ免除スヘシ

第十五條　經費又ハ過怠金ノ徴收ニ關シテハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ異議ノ申立及裁決ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第十六條　經費及過怠金ノ督促、滯納處分、道府邑面ニ對スル先取特權ノ順位ハ前項ニ規定スル徴收金ノ先取特權ノ順位ニ次ク

第十七條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ使用料及手數料ヲ徴收スルコトヲ得

前項ノ使用料及手數料ノ徴收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十八條　水産會解散ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

前項ニ規定スル會員ノ員數ノ計算ニ付テハ水産會法第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正十二年二月二日朝鮮總督府令第十六號ヲ以テ同年四月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ存スル朝鮮水産組合各道支部ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ認可ヲ受ケタルヲ本令ニ依ル道水産會ト爲スコトヲ得

●水産會法

大正十年四月
法律第六十號
改正　昭和八年五月五日法律第五六號

第一條　水産會ハ水産業ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條　水産會ハ法人トス

第三條　水産會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ス

第四條　水産會ハ會員ノ爲ニスル水産業ニ關スル事項ニ付行政官廳ノ諮問ニ對シ答申スヘシ

第五條　水産會ハ水産業ニ關スル事項ニ付行政官廳ニ建議スルコトヲ得

第六條　行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ依リ水産會ニ對シ水産業ニ關スル報告書ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第七條　水産會ハ郡市水産會、道府縣水産會及帝國水産會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

郡市水産會ノ設立ニ關シ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ノ計算ニ付テハ漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者ノ之ヲ一人ト看做シ、一人ニシテ前條ニ掲ケル二以上ノ資格ヲ有スル者ハ之ヲ一人トス

第八條　水産會ハ郡市水産會、道府縣水産會及帝國水産會ノ地區ヲ以テ之ヲ設ク

水産會ハ郡市水産會ノ地區ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ヲ爲ス者及其ノ地區内ニ於ケル漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者、道府縣水産會ニ在リテハ其ノ地區内ノ郡市水産會、帝國水産會ニ在リテハ道府縣水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第九條　水産會ハ郡市水産會、道府縣水産會及帝國水産會ノ地區ヲ以テ之ヲ設ク

水産會ハ郡市水産會ノ地區ニ於テ漁業又ハ水産物ノ製造、取引若ハ保管ヲ爲ス者及其ノ地區内ニ於ケル漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者、道府縣水産會ニ在リテハ其ノ地區内ノ郡市水産會、帝國水産會ニ在リテハ道府縣水産會ヲ以テ之ヲ組織ス

第十條　水産會ハ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

郡市水産會ノ設立ニ關シ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ノ計算ニ付テハ漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者ノ之ヲ一人ト看做シ、一人ニシテ前條ニ掲ケル二以上ノ資格ヲ有スル者ハ之ヲ一人トス

第十一條　水産會ヲ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

郡市水産會ノ設立ニ關シ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ノ計算ニ付テハ漁業權又ハ入漁權ヲ有スル者ノ之ヲ一人ト看做シ、一人ニシテ前條ニ掲ケル二以上ノ資格ヲ有スル者ハ之ヲ一人トス

第十二條　水産會ハ設立セムトスルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ會則ヲ議定シ行政官廳ノ認可ヲ申請スヘシ

第十三條　水産會成立シタルトキハ其ノ地區内ノ會員タル資格ヲ有スル者ハ總テ之ニ加入シタルモノト看做ス但シ特別ノ事由ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　郡市水産會ニ總代會、其ノ他ノ水産會ニ總會ヲ置ク

水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會員ノ選任シタル議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織スル總代會ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ會員タル水産會ノ選任シタル議員及特別議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十五條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ議員定數ノ五分ノ一ヲ超エサル特別議員ヲ置クコトヲ得

行政官廳ハ水産會ノ特別議員ヲ命スルコトヲ得但シ其ノ員數ハ議員定數ノ五分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第十六條　左ニ掲ケル事項ハ總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘシ

一　總費ノ分賦收入方法

二　事業報告及收支決算ノ承認

三　豫算ヲ以テ定メタルモノヲ除クノ外新ニ義務ヲ負ヒ又ハ權利ヲ失フヘキ行爲

四　基金ノ造成、管理及處分

五　不動産ニ關スル權利ノ得喪及變更

六　會則ノ變更

七　役員及特別議員ノ選任及解任

八　訴願、訴訟及和解

九　前項第一號、第二號、第四號及第七號ニ掲ケル事項ノ決議ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第十七條　總代會又ハ總會ハ會長之ヲ招集ス但シ第一回ノ總代會又ハ總會ハ水産會成立シタルトキ遲滯ナク設立申請者之ヲ招集スヘシ

議員又ハ特別議員ハ議員及特別議員ノ總數五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總代會又ハ總會ノ招集ヲ請求スルコトヲ得

會長正當ノ事由ナクシテ前項ノ規定ニ依ル請求アリタル後十四日以内ニ總代會又ハ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ之ヲ招集スルコトヲ得

第十八條　議員及特別議員ハ總代會又ハ總會ニ於テ各一個ノ議決權ヲ有ス

第十九條　總代會及總會ノ議事ハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第二十條　會則ノ變更ハ總代會又ハ總會ニ於テ之ヲ組織スル者半數以上出席シ出席者ノ議決權ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決スヘシ

郡市水産會ノ會則ノ變更カ地區ノ增減ニ關スルトキハ前項ノ規定ニ依ル議決ノ外新ニ編入又ハ創除セラルヘキ區域内ノ會員タル資格ヲ有スル者又ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ前項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者又ハ會員ノ員數ノ計算ニ付テハ第十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第二十一條　水産會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長

副會長　一人又ハ二人

役員ハ郡市水産會ニ在リテハ總代會ニ於テ其ノ會員中ヨリ、其ノ他ノ水産會ニ在リテハ總會ニ於テ其ノ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ會員又ハ議員ニ非サル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

前項但書ノ規定ニ依ル選任ハ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十二條　會長ハ水産會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス

副會長ハ會則ノ定ムル所ニ依リ會長ノ職務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ會長ノ諮問ニ應シ竝會務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

第二十三條　總代會又ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總代會又ハ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ會則ノ定ムル所ニ依リ專決處分スルコトヲ得但シ第十六條第二項ノ事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總代會又ハ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第二十四條　水産會ハ會則ノ定ムル所ニ依リ委員會ヲ設クルコトヲ得

左ニ掲ケル者ヲ以テ委員トス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第十二條　水産會ノ議員ノ選任ニ關スル事務ハ會長之ヲ管理ス但シ第一回ノ選任ニ付テハ設立申請者中ノ一人之ヲ管理ス

前項但書ノ規定ニ依リ管理者ハ設立申請者ノ互選ニ依リ之ヲ定メ行政官廳ニ屆出ツヘシ

第十三條　總代會又ハ總會ヲ招集セムトスルトキハ朝鮮水産會ニ在リテハ少クトモ三十日前ニ、道水産會ニ在リテハ少クトモ二十日前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ議員及特別議員ニ通知スヘシ

前項ノ期間ハ會則ヲ以テ之ヲ短縮スルコトヲ得

第十四條　總代會又ハ總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ會則ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　總代會又ハ總會ノ議長ハ議事錄ヲ作リ左ニ揭ケル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名スヘシ

一　開會ノ日時及場所

二　議員及特別議員ノ定數

三　出席者ノ員數

四　議事ノ要領

五　議決シタル事項及賛否ノ數

第十六條　水産會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第十七條　收支豫算及經費分賦收入方法ノ認可申請書ハ少クトモ毎事業年度開始三十日前ニ之ヲ差出スヘシ但シ初年度ニ在リテハ總代會又ハ總會ノ議決ヲ經タル後遲滯ナク之ヲ差出スヘシ

第十八條　事業報告及收支決算ハ毎事業年度經過後一年内ニ總代會又ハ總會ノ承認ヲ受ケ遲滯ナク之ヲ行政官廳ニ差出スヘシ

第十九條　朝鮮水産會令ニ於テ從ルコトヲ定メタル水産會法（以下單ニ水産會法ト稱ス）第二十一條第三項ノ規定ニ依ル役員選任ノ認可申請書ニハ履歷書及會員又ハ議員ニ非サル者ヨリ選任シタル事由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第二十條　水産會ニハ會則ノ定ムル所ニ依リ主事、技師、水産製品檢査員其ノ他ノ職員ヲ置クコトヲ得

主事及技師ノ命免ハ之ヲ行政官廳ニ屆出ツヘシ

水産製品檢査員ノ命免ニ關シテハ行政官廳ニ屆出ツヘシ

第二十一條　道水産會ハ總代會又ハ總會ノ決議ヲ經テ第二十條ノ規程ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規程ニハ檢査スヘキ製品ノ種類、檢査ノ方法、檢査手數料並製品ニ附スヘキ水産會ノ證票及檢査證ニ關スル事項ヲ規定スヘシ

第一項ノ規程ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十二條　經費ヲ徵收セムトスルトキハ會長ハ納入義務者ニ對シ納金額、納期限及納付ノ場所ヲ記載シタル納入告知書ヲ發スヘシ

第二十三條　經費ヲ滯納シタル者アルトキハ會長ハ更ニ期間ヲ指定シテ其ノ納入ヲ催告スルコトヲ得

第二十四條　經費又ハ過怠金ノ徵收ヲ府面ニ嘱託セムトスルトキハ會長ハ各納入義務者ノ納金額及納期限ヲ記載シタル書面ヲ府面ニ交付スヘシ

第二十五條　第二十二條及第二十三條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ嘱託ヲ受ケタル府面ニ之ヲ準用ス

府面ニ於テ徵收シタル金額ハ其ノ月分ヲ翌月中ニ之ヲ道水産會ニ送納スヘシ

第二十六條　朝鮮水産會令第五條第二項ニ依リ收入金納入義務ノ免除ヲ受ケムトスルトキハ府面ハ其ノ事由ヲ詳具シ道水産會ニ於テ正當ノ事由ナクシテ其ノ免除ヲ爲ササルトキハ府面ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ十四日内ニ朝鮮總督ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第二十七條　經費及過怠金ノ賦課ヲ受ケタル者其ノ賦課ニ付遞法又ハ錯誤アリト認ムルトキハ納入告知書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ六十日内ニ會長ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

前項ノ異議ニ對シ會長ノ爲シタル決定ニ不服アル者ハ其ノ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ十四日内ニ行政官廳ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

第二十八條　會則ノ施行又ハ事業ノ執行ニ關スル規定ヲ設ケ又ハ之ヲ改廢セムトスルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第二十九條　水産會ハ左ニ揭ケル場合ニ於テハ遲滯ナク朝鮮總督ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

一　役員、議員タル者確定シタルトキ

二　役員、議員、特別議員又ハ委員死亡シ又ハ任期滿了ニ因リ退任シタルトキ

三　役員、議員、特別議員又ハ委員ノ氏名又ハ住所ニ變更アリタルトキ

四　役員、議員、特別議員又ハ委員ノ解任及解任ノ事由

第三十條　朝鮮水産會令又ハ本令ニ於テ行政官廳ト稱スルハ水産會法第六條ノ場合ヲ除クノ外朝鮮水産會ニ付テハ朝鮮總督道水産會ニ在リテハ道知事トス但シ水産會ノ設立及解散會則ノ變更並役員ノ選任解任ニ關スル事項ニ在リテハ朝鮮總督トシ道水産會ニ關スル水産會法第二十八條及第二十九條中役員ノ解任及水産會ノ解散以外ノ事項ニ在リテハ朝鮮總督及道知事トス

第三十一條　朝鮮水産會令及本令ノ規定ニ依リ道知事ニ於テ處分シタル事項ハ其ノ都度之ヲ朝鮮總督ニ報告スヘシ

第三十二條　第二十一條ニ規定スル水産會ノ證票若ハ檢査證ヲ不正ニ使用シタル者又ハ僞造若ハ變造ノ證票若ハ檢査證ヲ使用シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮水産會令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮水産組合各道ノ支部ヲ道水産會ト爲サムトスルトキハ支部長ハ會則ヲ定メ其ノ區域内ニ於テ漁業ヲ營ム者及其ノ區域内ニ於ケル漁業權ヲ有スル者ヲ除クノ外道水産會ノ會員タル資格ヲ有スル者三分ノ一以上ノ同意ヲ得本令施行後六十日内ニ朝鮮總督ノ認可ヲ申請スヘシ

前項ノ認可申請書ニハ會則ノ定ムル所ニ依リ同意アルコトヲ證スル書面及初年度經費收支豫算ヲ添付スヘシ

第二項ニ規定スル會員タル資格ヲ有スル者ノ員數ハ道知事ノ認定ニ依ル

第二項ノ規定ニ依リ設立シタル道水産會ニ在リテハ第十二條ニ規定スル第一回ノ議員選任ニ關スル事務ハ支部長之ヲ管理ス

第五章　狩獵

●狩獵規則

明治四十四年四月
總令第四十六號

改正　大正元年九月第一九號、同年九月第九號、一四年九月第八四號、昭和二年八月第八四號

狩獵規則左ノ通定ム

狩獵規則

第一條　野生鳥獸ハ左ニ揭クルモノヲ除クノ外銃器、網、繩繩、撲又ハ鷹ヲ使用シテ之ヲ捕獲スルコトヲ得ス

第二條　道知事ハ鳥獸ノ蕃殖保護ノ爲必要アリト認ムルトキハ區域ヲ定メ鳥獸ノ捕獲ヲ禁止スルコトヲ得

左ノ場所ニ於テハ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ得ス

一　公園

二　社寺、陵、園、廟又ハ祠ノ境内

三　公道

第三條　爆發物、劇藥、毒藥、捕銃、陷穽又ハ危險ナル器具ヲ以テ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ得ス

第四條　日出前、日沒後又ハ市街其ノ他人家稠密ノ場所、衆人群集ノ場所ニ於テ又ハ銃丸ノ達スヘキ虞アル人畜、建物、汽車、電車若ハ鑛業ニ向テ銃猟ヲ爲スコトヲ得ス

第五條　棚、柵、圍障若ハ作物植付アル他人ノ占有地ニ於テハ占有者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ鳥獸ヲ捕獲スルコトヲ得ス

第六條　學術研究又ハ有害鳥獸驅除ノ爲其ノ他特別ノ事由ニ依リ野生鳥獸ヲ捕獲シ又ハ野生鳥類ノ巢、卵若ハ雛ヲ採取スル必要アルトキハ道知事ハ道内ニ限リ第一條乃至第四條及第七條ノ規定竝第八條ノ二ノ期間ニ拘ラス特ニ之ヲ許可シ又ハ地域ヲ定メ第一條乃至第四條及第八條ノ二ノ制限又ハ禁止ヲ解除スルコトヲ得

道知事前項ノ規定ニ依リ許可シタルトキハ許可證ヲ下付ス

許可證ハ他人ヲシテ之ヲ使用セシムルコトヲ得ス

第六條ノ二　前條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ左ノ各號ニ揭クル事項ヲ記載シ捕獲又ハ採取セムトスル地ヲ管轄スル道知事ニ之ヲ提出スヘシ

一　本籍、住所（船舶ノ場合ニ在リテハ船舶ノ船籍及船舶ノ名稱又ハ住所ヲ含ム以下同シ）、氏名、職業及生年月日

二　目的、期間、地域及方法

三　捕獲スヘキ野生鳥獸又ハ採取スヘキ野生鳥類ノ巢、卵若ハ雛ノ名稱及員數

四　第一條乃至第四條ノ規定又ハ第八條ノ二ノ期間ニ依リ雛キ場合ニ於テハ其ノ事由

五　第三條ノ規定ニ依リ雛キ事由アル場合ニ於テハ危害豫防ノ方法

第七條　銃器、網、繩綱、撲又ハ鷹ヲ使用シテ鳥獸ヲ捕獲セムトスル者ハ道知事ニ願出テ免狀ヲ受ケヘシ但シ網、罠其ノ他ノ圍障アル鄙宅地域内ニ於テ銃器ヲ使用セムトシテ捕獲スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條ノ三　第七條第一項ノ規定ニ依リ免狀ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ左ノ各號ニ揭ケル事項ヲ記載シ住所（船舶ノ場合ニ在リテハ船舶ノ船籍及船舶ノ名稱又ハ住所ヲ含ム以下同シ）、氏名、職業及生年月日ヲ記載シ住所ヲ管轄スル道知事ニ之ヲ提出スヘシ

一　本籍、住所、氏名、職業及生年月日

二　目的、期間、地域及方法

三　捕獲スヘキ野生鳥獸又ハ採取スヘキ野生鳥類ノ巢、卵若ハ雛ノ名稱及員數

四　第一條乃至第四條ノ規定又ハ第八條ノ二ノ期間ニ依リ雛キ場合ニ於テハ其ノ事由

五　第三條ノ規定ニ依リ雛キ事由アル場合ニ於テハ危害豫防ノ方法

第八條ノ四　免狀ハ第一號樣式ニ依リ之ヲ下付ス

第九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ免狀ヲ受クルコトヲ得ス

一　十七歳未滿ノ者

二　白痴瘋癲者

三　第十五條第一項第一號乃至第五號又ハ第七號ノ處刑ヲ受ケ滿一年ヲ經過セサル者

第十條　第八條ニ規定スル免狀ヲ受クル者ハ左ノ免許手數料ヲ納付スヘシ

甲種免狀　金七圓

乙種免狀　金二圓

特別免狀　金七十圓

第十一條　免狀又ハ許可證ノ出猟ノ際之ヲ携帶スヘシ

警察官吏又ハ森林官吏ハ免狀若ハ許可證、捕獲シタル野生鳥獸又ハ採取シタル野生鳥類ノ巢、卵若ハ雛ヲ檢査スルコトヲ得

第十一條ノ二　免狀又ハ許可證ヲ受クル者住所又ハ氏名ノ變更シタルトキハ十日以内ニ其ノ旨道知事ニ屆出テ住所又ハ氏名ノ變換ヲ請求スヘシ

前項ノ場合ニ於テ新住所地方他ノ道知事ノ管轄ニ屬スルトキハ十日以内ニ免狀ノ種類、免狀又ハ許可證ノ番號及之ヲ下付シタル道知事名竝本籍、住所、氏名、職業及生年月日ヲ其ノ地ヲ管轄スル道知事ニ屆出テ前項ノ書換ヲ請求スヘシ

第十一條ノ三　免狀又ハ許可證ヲ受ケタル者滅失シ又ハ其ノ全部若ハ一部ヲ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ道知事ニ屆出ツヘシ

第十二條　免狀又ハ許可證ヲ亡失シ又ハ毀損シタル場合ニ於テハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ下付シタル道知事ニ屆出ツヘシ

第十三條　手數料ハ收入印紙ヲ以テ納付スヘシ

第十三條ノ二　免狀及許可證ハ其ノ效力ヲ失ヒタルトキハ十日以内ニ之ヲ下付シタル道知事ニ返納スヘシ

前項ノ規定ニ依リ許可證ヲ返納スル場合ニ於テハ捕獲シタル野生鳥獸又ハ採取シタル野生鳥類ノ巢、卵若ハ雛ヲ放チ又ハ之ヲ處斷ス

第十四條　第八條ノ二第二項、第三條、第四條、第八條ノ二第一項及第二項但書ニ違反シタル者

第二條第一項ノ禁止區域ニ於テ鳥獸ヲ捕獲シタル者

第五條ニ違反シタル者

四　免狀又ハ許可證ヲ有セシテ銃器、網、繩繩、撲又ハ鷹ヲ使用シテ鳥獸ヲ捕獲シタル者

五　不實ノ申告ヲ爲シテ免狀又ハ許可證ヲ受ケタル者

六　第十四條ニ違反シタル者

七　第十四條ノ二ニ違反シタル者

前項第一號乃至第五號又ハ第七號ノ所爲ハ未遂罪ヲ罰ス

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

第一項第一號乃至第五號又ハ第七號ノ處刑ヲ受ケタル者ノ免狀又ハ許可證ハ其ノ效力ヲ失フ

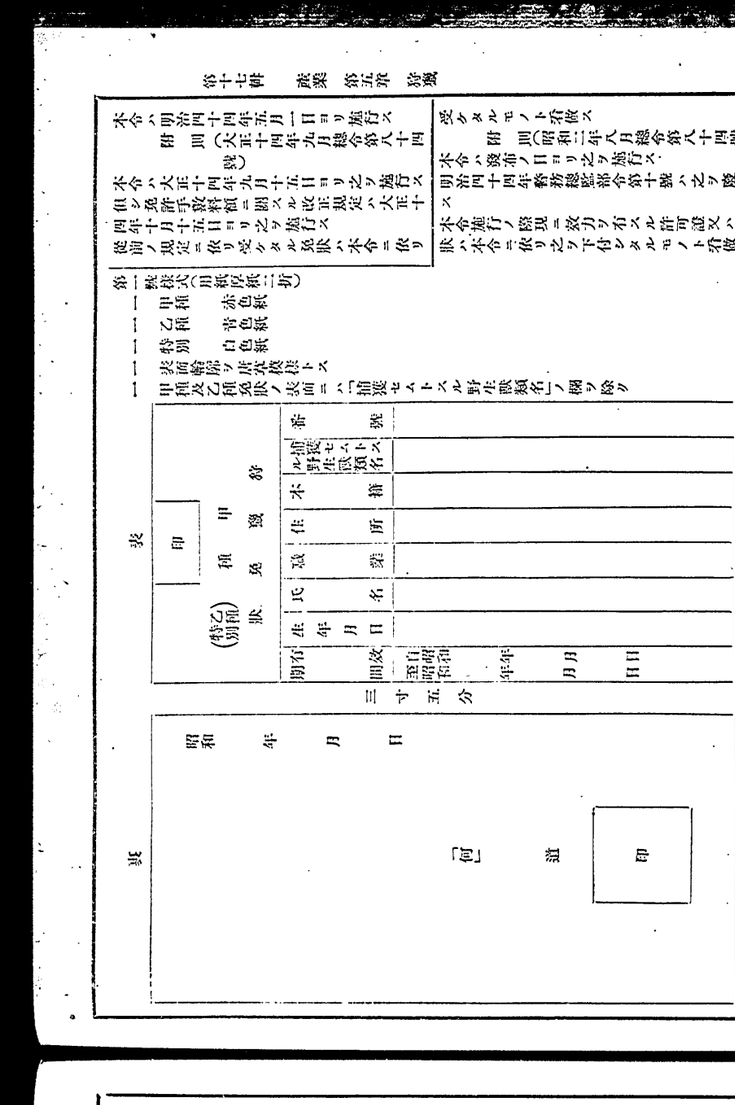
第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス

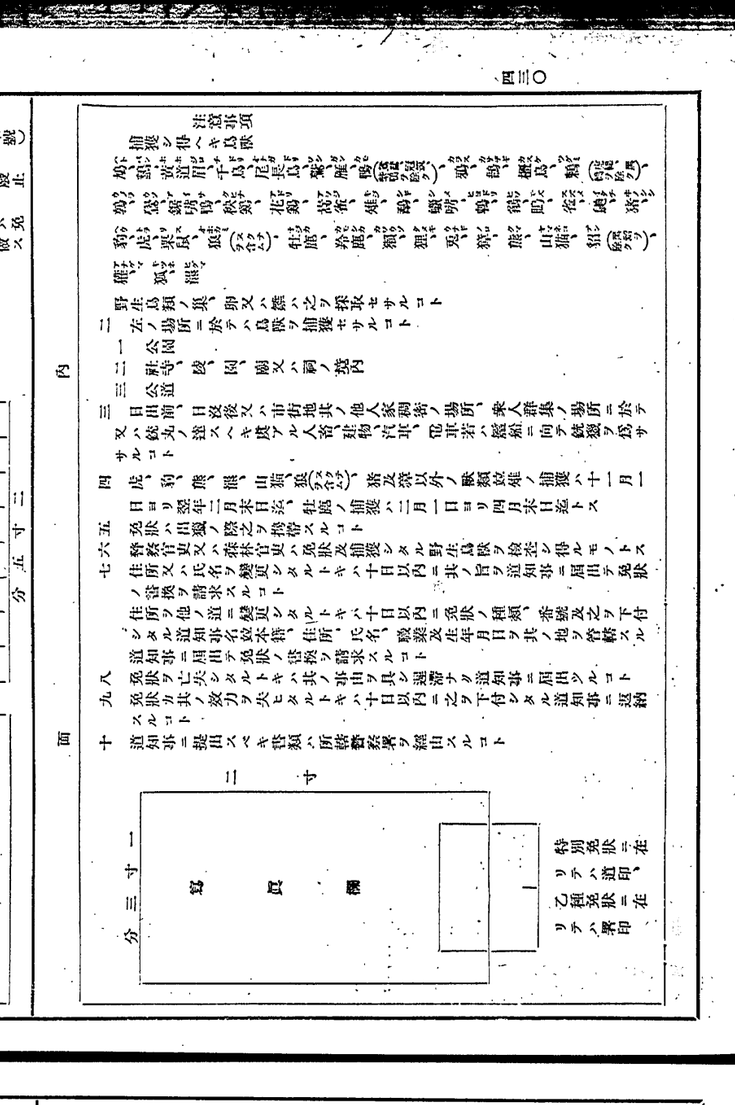
第六條第三項、第七條第二項、第十一條ノ二第一項、第十一條ノ二又ハ第十三條ノ二第一項ニ違反シタル者

二　第十一條第二項ノ檢査ヲ拒ミタル者

三　第十一條ノ三又ハ第十三條ノ二第二項ノ屆出ヲ爲ササル者又ハ虚僞ノ屆出ヲ爲シタル者

附　則





及免狀又ハ許可證ノ番號竝本籍、寄住所、氏名、職業、生年月日其ノ他必要ナル事項ヲ其ノ都度免狀若ハ許可證ヲ下付シタル道知事又ハ之ニ關スル事項ヲ專行シタル管察署長ニ報告又ハ通報スベシ

第七條　道ニハ第一號樣式、第二號樣式及第四號樣式ノ帳簿ヲ備フベシ

第八條　免狀又ハ許可證ノ返納ヲ受ケタルトキハ消印又ハ抹消ニ依リ失效免狀又ハ失效許可證ナルコトヲ明ニシ爾後之ヲ破棄スベシ

第九條　管察署長ハ第五號樣式ニ依リ六月三十日迄ニ狩獵免狀受拂及其ノ年度所要概算高ヲ道知事ニ報告スベシ

第十條　管察署長ハ甲種及乙種免狀亡失ノ屆出ヲ受ケタルトキハ其ノ者ノ本籍、住所、氏名及生年月日、免狀ノ種類、番號、下付年月日竝亡失ノ日時及場所ヲ道知事ニ報告スベシ

第十一條　道知事ハ前條ノ規定ニ依ル報告又ハ特別免狀若ハ許可證ノ亡失ノ屆出ヲ受ケタルトキハ其ノ亡失ニ付公告スベシ

第十二條　道知事ハ規則第六條ノ規定ニ依リ地域ヲ定メ規則第一條乃至第四條及第八條ノ二ノ制限又ハ禁止ヲ解除セントスルトキハ豫メ其ノ期間及地域、捕獲又ハ採取ノ方法、捕獲シ得ベキ野生鳥獸又ハ採取シ得ベキ野生鳥獸ノ巢、卵若ハ雛ノ種類竝制限又ハ禁止ヲ解除スベキ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ指揮ヲ受クベシ

第十三條　本手續ニ於ケル年度ハ其ノ年五月一日ヨリ翌年四月末日迄トス

第一號樣式（手續第七條）

狩獵許可證下付表帳

下付年月日	許可番號	返納年月日	氏名 生年月日 職業	有效期間	目的	地域	方法	許可條件	備考
昭和　年　月　日	第　號	昭和　年　月　日		自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日	鳥獸ノ種類等				

第二號樣式（手續第七條）

特別狩獵免狀下付表帳

下付年月日	免狀ノ種類	免狀ノ番號	本籍、住所	氏名、生年月日、職業	返納年月日	備考

第三號樣式（手續第七條）

狩獵免狀下付表帳

下付年月日	免狀ノ番號	本籍	住所	氏名 生年月日 職業	返納年月日	備考
昭和　年　月　日	第　號				昭和　年　月　日	

注意

一　本帳簿ハ免狀ノ種類別ニ各口座ヲ設ケ整理スルコト

二　本帳簿ニハ住所變更ニ依リ所轄外ヨリ轉入アリタル場合ニ於テハ下付ニ準ジ之ヲ記載シ其ノ旨備考欄ニ記入スルコト

第四號樣式（手續第七條）

狩獵免狀用紙受拂簿

契印	下付年月日	免狀ノ種類	免狀ノ番號	本籍、住所	氏名、生年月日、職業	返納年月日	備考

注意

一　本帳簿ハ免狀ノ種類別ニ各口座ヲ設ケ整理スルコト

二　受入高及下付高欄ニハ一日間ニ受拂ヲ爲シタル合計數ヲ記載スルコト

三　破棄高欄ニハ書損其ノ他汚損等ニ依リ破棄シタル數ヲ記載シ且備考欄ニ其ノ事由ヲ明記シ置クコト

第五號樣式（手續第九條）

狩獵免狀受渡及本年度所要概算高報告

昭和　年　月　日　「何」　管察署

免狀ノ種類	越高	受入高	下付高	破棄高	殘高	本年度使用見込高	請求高
甲種							
乙種							

注意

一　越高欄ニハ前年度ノ狩獵終期後ノ五月一日ニ於ケル現在高ヲ記載スルコト

二　受入高欄ニハ前年五月一日ヨリ其ノ年四月三十日迄ノ間ニ受入タル數ヲ記載スルコト

三　下付高欄ニハ前號ノ期間內ニ下付シタル數ヲ記載スルコト

四　破棄高欄ニハ書損、汚損其ノ他ノ事由ニ因リ使用ニ堪ヘズシテ破棄シタル數ヲ記載スルコト（返納ヲ受ケ破棄シタルモノヲ含マズ）

五　殘高欄ニハ越高ト受入高トヲ合算シタル數ヨリ下付高ト破棄高トヲ合算シタル數ヲ差引キタル殘高ヲ記載スルコト

六　本年度使用見込高欄ニハ其ノ年五月一日ヨリ翌年四月三十日迄ノ下付見込數ヲ記載スルコト

七　請求高欄ニハ其ノ年度使用見込高ヨリ前年度殘高ヲ差引キタル不足見込數ヲ記載スルコト

●明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件

明治四十五年六月勅令第百三十五號

朕明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル鼈虎腽肭獸獵獲禁止ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　白令海、勃察加海、「オコツク」海及日本海ヨリ包含スル北緯三十度以北ノ北太平洋ニ於テハ腽肭獸ノ獵獲ヲ爲スコトヲ得ス

帝國ノ海岸ヨリ三海里ヲ超エル前項ノ海面ニ於テハ鼈虎ノ獵獲ヲ爲スコトヲ得ス

第二條　腽肭獸ノ陸上獵獲及帝國ノ海岸ヨリ三海里ヲ超エサル範圍內ニ於ケル鼈虎ノ獵獲ハ政府ニ專屬ス

第三條　鼈虎腽肭獸又ハ其ノ獸皮ハ之ヲ帝國內ニ輸入又ハ移致スルコトヲ得ス但シ命令ヲ以テ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第四條　海軍艦艇乘組將校、警察官吏、港務官吏ハ必要アリト認ムルトキハ船舶店舖其ノ他ノ場所ニ臨檢シ、帳簿物件ヲ檢査シ又ハ本法ニ違反スル行爲アリト認ムルトキハ船舶船具獵具捕獲物ヲ差押ヘ、船員ヲ拘留シ若ハ之ヲ相當官吏ニ引致スルコトヲ得

第五條　第一條ノ規定ニ違反シ又ハ私ニ第二條ノ獵獲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ犯罪ニ供シタル船舶船具及本法ニ違反シテ獵獲又ハ移致シタル鼈虎腽肭獸又ハ其ノ獸皮ニシテ犯人ノ所有スルモノハ之ヲ沒收ス若其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第六條　前條第一項ノ犯罪行爲ニ供シタル船舶船具ハ本法ニ違反シテ獵獲輸入又ハ移致シタル鼈虎腽肭獸又ハ其ノ獸皮ニシテ犯人ノ所有スルモノハ之ヲ沒收ス若其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第七條　第四條ノ規定ニ依ル職務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第八條　本法ハ命令ノ定ムル所ニ依リ「アイノ」人ニ之ヲ適用セサルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

鼈虎腽肭獸獵法ハ之ヲ廢止ス

第六章　組合

●朝鮮産業組合令

大正十五年一月　制令第二號

朝鮮産業組合令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮産業組合令

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ産業組合ト稱スルハ組合員ノ産業又ハ其ノ經濟ノ發達ヲ企圖スル爲左ニ掲ケル事項ノ全部又ハ一部ヲ目的トシテ設立スル社團法人ヲ謂フ

一　組合員ノ生產シタル物ニ加工シ又ハ加工セシテ之ヲ賣却スルコト

二　産業若ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セシテ組合員ニ賣却シ又ハ産業若ハ經濟ニ必要ナル物ヲ

生産シテ組合員ニ資却スルコト
三　組合員ヲシテ産業又ハ経済ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト
第二條　産業組合ノ組合員ハ組合ノ區域内ニ居住スル者ニ限ル
第三條　産業組合ノ住所ハ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス
第四條　産業組合ノ名稱中ニハ産業組合ナル文字ヲ用ウヘシ
産業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ産業組合タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウルコトヲ得ス
第五條　産業組合ニハ本令ニ別段ノ規定アルモノヲ除ノ外商法及商法施行法中商人ニ關スル規定ヲ準用ス
第六條　本令ニ規定スルモノノ外産業組合ノ業務ノ取締ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム
第二章　設立
第七條　産業組合ヲ設立セムトスル者ハ定款ヲ作リ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ
第八條　定款ニハ本令ニ規定アルモノノ外左ノ事項ヲ記載シ設立者之ニ署名捺印スヘシ
一　目的
二　名稱
三　區域
四　主タル事務所ノ所在地
五　出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
六　第一回拂込ノ金額
七　剰餘金處分ニ關スル規定
八　準備金ノ積立ノ方法
九　組合員タル資格ニ關スル規定
十　組合員ノ加入及脫退ニ關スル規定
十一　組合ノ目的タル事業ノ執行ニ關スル規定
十二　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由
第九條　産業組合ハ其ノ組合員ノ數ヲ限定スルコトヲ得ス
第十條　出資一口ノ金額ハ均一ニ之ヲ定ムヘシ
出資一口ノ金額ノ最高限ハ朝鮮總督之ヲ定ム
第十一條　産業組合カ其ノ設立ノ許可ヲ受クタルトキハ遅滞ナク各組合員ヲシテ第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ
第十二條　前條ノ拂込アリタルトキハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ左ノ事項ヲ登記スヘシ
一　第八條第一號乃至第三號、第五號及第十二號ニ掲ケル事項
二　主タル事務所
三　出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額
四　設立許可ノ年月日
五　組合長、理事及監事ノ氏名住所
前項ニ掲ケル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ二週間内ニ其ノ登記ヲ爲スヘシ但シ前項第三號ノ事項ニ付テハ特殊業年度末日ノ現在ニ依リ年度終了後一月内ニ登記ヲ爲スコトヲ得
第十三條　前條ノ登記前ニ在リテハ組合ノ設立又ハ登記事項ノ變更ヲ以テ他人ニ對抗スルコトヲ得ス
第十四條　行政區劃又ハ土地ノ名稱ニ變更アリタルトキハ登記簿ニ記載シタル其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス
前項ノ變更アリタルトキハ産業組合ハ遅滞ナク之ヲ登記所ニ通知スヘシ
前項ノ通知アリタルトキハ登記所ハ登記簿ノ記載ヲ變更スヘシ
第一項ノ規定ハ組合ノ區域及事務所所在地ニ關スル定款ノ規定ニ之ヲ準用ス
第十五條　民法第四十七條及第四十八條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス但シ同法第四十八條中一週間トアルハ二週間トス
第三章　組合員ノ權利義務
第十六條　組合員ハ出資一口以上ヲ有スヘシ
第十七條　組合員ノ責任ハ其ノ出資額ヲ限度トス
第十八條　組合員ハ組合ニ拂込ムヘキ出資額ニ付相殺ヲ以テ組合ニ對抗スルコトヲ得ス
第十九條　組合員ハ組合ノ承諾アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ス
組合員ニ名稱ニ變更アリタルトキハ登記所ニ通知スヘシ
第二十條　組合員ハ持分ヲ共有スルコトヲ得ス
第二十一條　持分ノ讓受人ハ其ノ持分ニ付讓渡人ノ權利義務ヲ承繼ス
第二十二條　組合員ハ總組合員五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ總會ノ招集ヲ組合長ニ請求スルコトヲ得
前項ノ請求アリタルトキハ組合長ハ二週間内ニ總會招集ノ手續ヲ爲スヘシ
第二十三條　組合員總會招集ノ手續又ハ其ノ決議ノ方法カ本令、本令ニ基キテ發スル命令又ハ定款ニ違反ト認ムルトキハ決議ノ日ヨリ一月内ニ其ノ決議ノ取消ヲ道知事ニ請求スルコトヲ得
第四章　管理
第二十四條　産業組合ニ左ノ役員ヲ置ク
組合長
一人又ハ數人
理事
二人以上
監事
組合長ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス
組合長及理事ノ選任ハ道知事ノ認可ヲ受クヘシ
産業組合設立當時ノ組合長、理事及監事ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ
第二十五條　組合長、理事及監事ノ選任ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス
第二十六條　組合長及理事ノ任期ハ三年トス但シ定款ヲ以テ任期中ノ最終ノ決算期ニ關スル定時總會ノ終結ニ至ル迄其ノ任期ヲ伸長スルコトヲ得
監事ノ任期ハ二年トス但シ定款ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得
第二十七條　組合長ハ産業組合ヲ代表ス
組合長ハ總會ノ議長トナリ會務ヲ總理ス
組合長事故アル場合又ハ闕員ノ場合ニ於テハ定款ノ定ムル所ニ依リ理事之ヲ代理シ又ハ其ノ職務ヲ行フ
第二十八條　組合長及理事ハ定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合ノ業務ヲ執行ス
第二十九條　民法第四十四條第一項、第五十四條、第五十五條、第六十條及第六十一條第一項ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス但シ同條中理事トアルハ組合長トス
第三十條　監事ハ其ノ他ノ役員又ハ組合ノ職員ト相兼ヌルコトヲ得ス
第三十一條　民法第五十九條ノ規定ハ産業組合ノ監事ニ之ヲ準用ス
第三十二條　組合長及理事ハ總會ノ招集ヲ爲サヽルトキハ總會ノ招集ヲ爲スヘシ但シ監事ニ於テ必要アリト認ムルトキハ之ヲ爲スヘシ
第三十三條　組合カ組合長又ハ理事ト契約ヲ爲ス場合ニ於テハ監事組合ヲ代表ス組合ト組合長又ハ理事トノ間ニ於ケル訴訟ニ付亦同シ
第三十四條　第二十四條ノ役員ノ外定款ノ定ムル所ニ依リ産業組合ニ評議員ヲ置クコトヲ得
評議員ハ評議員會ヲ組織ス
評議員會ハ定款ニ定ムル事項ヲ決議ス
評議員會ノ招集、決議ノ方法其ノ他評議員會ニ關スル事項ハ定款ヲ以テ之ヲ定ム
第三十五條　總會ノ決議ハ本令又ハ定款ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス
第三十六條　組合員ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ之ヲ出席ト看做ス
代理人ハ組合員又ハ同居ノ親族ナルコトヲ要ス
代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ
第三十七條　組合長ハ定時總會ノ會日ヨリ少クトモ一週間前ニ財産目錄、貸借對照表事業報告書及剰餘金處分案ヲ監事ニ提出シ且之ヲ主タル事務所ニ備フヘシ

組合員及組合ノ債權者ハ前項ニ掲ケル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得
第三十八條　組合長ハ前條第一項ニ掲ケル書類及監事ノ意見書ヲ定時總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ
組合長ハ前項ノ承認ヲ得タルトキハ二週間内ニ其ノ書類ヲ道知事ニ提出シ且貸借對照表ヲ公告スヘシ
第三十九條　産業組合カ其ノ組合員ニ對シテ爲ス通知又ハ催告ハ組合員名簿ニ記載シタル組合員ノ住所又ハ其ノ者カ組合ニ通知シタル住所ニ宛ツルヲ以テ足ル
前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スヘカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス
第四十條　民法第六十二條、第六十四條、第六十五條第一項及第六十六條ノ規定ハ産業組合ニ之ヲ準用ス
第四十一條　定款ノ變更ハ總會ノ決議ヲ經朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
前項ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決スル但シ定款ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス
第四十二條　産業組合ハ定款ヲ各事務所ニ備ヘ置キ且組合員名簿ヲ主タル事務所ニ備ヘ置クヘシ
組合員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一　各組合員ノ氏名及住所
二　各組合員ノ出資口數
三　出資各口ニ付拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日
四　出資各口ノ取得ノ年月日
組合員及組合ノ債權者ハ第一項ニ掲ケル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得
第四十三條　産業組合カ出資一口ノ金額ノ減少ノ決議ヲ爲シタルトキハ其ノ決議ノ日ヨリ二週間内ニ財産目錄及貸借對照表ヲ作ルヘシ
産業組合ハ前項ノ期間内ニ其ノ債權者ニ對シ異議アルトキハ一定ノ期間内ニ之ヲ述フヘキ旨ヲ定款ノ定ムル方法ニ從ヒテ公告シ且知レタル債權者ニ各別ニ之ヲ催告スヘシ
但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ス
第四十四條　債權者カ前條第二項ノ期間内ニ出資ノ減少ニ對シ異議ヲ述ヘサリシトキハ之ヲ承認シタルモノト看做ス
債權者カ異議ヲ述ヘタルトキハ組合ハ之ニ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供スルニ非サレハ出資ヲ減少スルコトヲ得ス
第四十五條　組合員カ出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ之ニ配當スヘキ剰餘金ハ其ノ拂込ニ充ツヘシ
前項ノ配當スヘキ剰餘金ノ計算ニ付テハ算入不便ナル拂込金ノ端數金額ハ之ヲ切捨ツルコトヲ得
第四十六條　産業組合ハ損失ヲ塡補シタル後ニ非サレハ剰餘金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス
剰餘金配當ニ關スル制限ハ朝鮮總督之ヲ定ム
第四十七條　産業組合ハ定款ヲ以テ定ムル準備金ノ額ニ達スル迄事業年度ノ剰餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツヘシ
第四十八條　産業組合ハ組合員ノ持分ヲ取得スルコトヲ得ス
第五章　加入及脫退
第四十九條　新ニ組合員ト爲リタル者ハ持分ノ讓受ニ依リ場合ヲ除クノ外定款ノ定ムル所ニ依リ遅滯ナク第一回ノ出資拂込ヲ爲スヘシ
第五十條　組合員ハ事業年度ノ終ニ於テ脫退スルコトヲ得但シ三月前ニ其ノ豫告ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得但シ一年ヲ超ユルコトヲ得ス
第五十一條　組合員ハ左ノ事由ニ因リテ脫退ス
一　組合員タル資格ノ喪失
二　總會ノ決議
三　合併
四　組合員ノ缺亡
五　破産
六　前條第二項ノ命令
第五十二條　解散及合併ノ決議ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ決ス
前項ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ
第五十三條　産業組合カ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除クノ外二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ爲スヘシ
第五十四條　合併ニ因リテ組合ヲ設立スル場合ニ於テハ定款ノ作成其ノ他設立ニ關スル事務ハ各當事者ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス
第五十二條第一項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ選任ニ之ヲ準用ス
第五十五條　第四十三條及第四十四條ノ規定ハ産業組合ノ合併ノ場合ニ之ヲ準用ス
第五十六條　産業組合カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル組合ニ在リテハ變更ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ消滅シタル組合ニ在リテハ解散ノ登記ヲ爲シ合併ニ因リテ設立シタル組合ニ在リテハ第十二條第一項ノ登記ヲ爲スヘシ
第五十七條　合併ハ前項ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
第五十八條　組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス
一　定款ニ定ムル存立時期ノ滿了又ハ事由ノ發生
二　總會ノ決議
三　合併
四　組合員ノ缺亡
五　破産
六　前條第二項ノ命令
第五十九條　組合ハ破産ノ場合ヲ除ノ外總組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ總會ノ決議ヲ以テ解散ヲ命スルコトヲ得
第六十條　組合ハ總組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得テ總會ノ決議ヲ以テ他ノ組合ト合併スルコトヲ得
第六十一條　組合ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ組織ヲ變更シ産業組合ト爲ルコトヲ得
第六十二條　組合ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ組織ヲ變更シ會社ト爲ルコトヲ得
第六十三條　組合ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ組織ヲ變更シ他ノ法人ト爲ルコトヲ得
第六十四條　組合ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ他ノ法人ノ組織ヲ變更シ組合ト爲ルコトヲ得
第六十五條　組合ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ他ノ法人ト合併スルコトヲ得
第六十六條　組合ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ他ノ法人ト合併シ組合ヲ存續スルコトヲ得
第六十七條　合併ハ前項ノ登記ヲ爲スニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス
第六十八條　組合ハ總組合員ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ他ノ法人ト合併シ組合ヲ存續スル組合又ハ合併ニ

因リテ設立シタル組合ハ合併ニ因リテ消滅シタル組合ノ権利義務ヲ承継ス

第六十八條　産業組合カ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルニ至リタルトキハ裁判所ハ組合長若ハ債権者ノ請求ニ因リ又ハ職権ヲ以テ破産ノ宣告ヲ為ス

前項ノ場合ニ於テ組合長ハ遅滞ナク破産宣告ノ請求ヲ為スコトヲ要ス

第六十九條　解散シタル産業組合債務ヲ完済シ残餘ノ財産アルトキハ定款ノ定メル所ニ依リ之ヲ処分ス

第八章　清算

第七十條　清算人ハ就職後遅滞ナク組合財産ノ状況ヲ調査シ財産目録及貸借対照表ヲ作リ総会ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十一條　清算人ハ組合ノ債務ヲ弁済シ又ハ弁済ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合ノ財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十二條　清算事務終リタルトキハ清算人ハ遅滞ナク決算報告書ヲ作リ総会ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十三條　清算人タル者ナキトキ又ハ清算人ノ缺クタル為損害ヲ生スル虞アルトキハ道知事ハ清算人ヲ選任スルコトヲ得

第七十四條　監督官廳ハ清算事務及財産ノ状況ヲ検査シ、財産ノ供託ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ為スコトヲ得

重要ナル事由アルトキハ道知事ハ清算人ヲ解任スルコトヲ得

第七十五條　清算人ハ就職後二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ氏名及住所ヲ登記ヲ為スヘシ

前項ノ登記事項ニ変更アリタルトキハ清算人ハ二週間内ニ主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ為スヘシ

第七十六條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遅滞ナク主タル事務所ノ所在地ニ於テ其ノ登記ヲ為スヘシ

第七十七條　清算人ハ第三十三條乃至第三十六條、第三十八條乃至第四十條、第四十二條乃至第四十四條、第四十六條乃至第四十八條、第五十條乃至第五十二條、第五十四條乃至第五十六條、第五十八條乃至第六十條、第六十二條乃至第六十四條ノ規定ヲ準用ス

第七十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第七十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第八十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第九十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百二十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百三十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百四十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百五十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百六十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百七十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百八十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第百九十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百二十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百三十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百四十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百五十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百六十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百七十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百八十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第二百九十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百二十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百三十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百四十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百五十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百六十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十二條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十三條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十四條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十五條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十六條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十七條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十八條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百七十九條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百八十條　清算人ハ裁判所ノ選任シタル者ヲ除クノ外其ノ職務ヲ行フ

第三百八十一條　清算人ハ裁判所ノ選任シタ

前項ノ調査ヲ爲シタルトキハ其ノ調査ノ要領ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

第三十條　所屬組合カ法令又ハ定款ニ違反シ其ノ他道知事又ハ朝鮮總督ノ處分ヲ必要トスル場合ニ於テハ聯合會ハ其ノ事由ヲ道知事又ハ朝鮮總督ニ具申スヘシ

第三十一條　本令又ハ朝鮮産業組合令ニ依リ朝鮮總督又ハ道知事ニ提出スル書類ニシテ總會ノ決議ヲ經ヘキ事項ニ係ルモノハ其ノ決議錄ヲ添附スヘシ

第三十二條　第一條、第四條乃至第十一條、第十三條乃至第十八條及第二十條乃至第二十四條ノ規定ハ聯合會ニ之ヲ準用シ但シ第一條、第六條、第十一條、第十三條乃至第十五條及第二十一條中道知事トアルハ朝鮮總督トス

附　則

本令ハ朝鮮産業組合令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮重要物産同業組合令

大正四年七月
制令第三號

朝鮮重要物産同業組合令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮重要物産同業組合令

第一條　重要物産ノ生産、製造又ハ販賣ニ關スル業ヲ營ム者ハ其ノ生産、製造又ハ販賣ノ上ノ弊害ヲ矯正シ共同ノ利益ヲ增進スル爲同種ノ業ヲ營ム者又ハ之ニ密接ノ關係ヲ有スル業ヲ營ム者相集リ同業組合ヲ設立スルコトヲ得

重要物産及密接ノ關係ヲ有スル業ノ種類ハ朝鮮總督ノ認定ニ依ル

第二條　同業組合ハ法人トス

第三條　同業組合ヲ設立スルトキハ組合員タルヘキ者五人以上發起人ヲ爲リ定款ヲ作リ地區及業ノ種類ヲ定メ其ノ地區內ニ於テ其ノ業ヲ營ム者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ但シ業ノ種類ニ以上ヲ包含スル場合ニ於テ創立豫算、一年度經費ノ豫定額及其ノ徵收ノ豫定方法ヲ記載シタル書面

第四條　同業組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的及事業
二　名稱及事務所ノ所在地
三　地區及業ノ種類
四　組合員ノ權利義務ニ關スル規定
五　役員ノ定數、權限、任期、選任及解任ニ關スル規定
六　會計ニ關スル規定
七　定款違反者ノ處分ニ關スル規定
八　決議ノ方法ニ關スル規定
九　朝鮮重要物産同業組合令第八條又ハ第十條ニ規定スル事項ヲ除ク之ニ關スル規定

第五條　朝鮮重要物産同業組合ニ依リ設立スル同業組合ノ名稱ハ同業組合ナル文字ヲ用ウヘシ

第六條　同業組合設立ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク組合員ノ集會ヲ開キ其ノ執行シタル事務ヲ報告シ且創立豫算ノ承認ヲ求ムヘシ

前項ノ集會ニ於テハ役員ノ選任ヲ行ヒ經費ノ豫算及其ノ徵收方法ノ決議ヲ爲スヘシ

第七條　本令ニ規定スル地方長官ノ職權ハ同業組合ノ地區カ二道以上ニ亙ル場合ニ於テハ朝鮮總督之ヲ行フ

第八條　經費ノ收支豫算ハ會計年度開始一月前ニ之ヲ差出スヘシ但シ設立ノ年度ニ於テハ第四條第二項ノ決議後七日內ニ差出スヘシ

得テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ但シ業ノ種類ヲ異ニスル者同業組合ヲ設立セムトスルトキハ業種毎ニ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第四條　同業組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタルトキ成立ス

第五條　同業組合ノ地區內ニ於ケル同業者ハ其ノ組合員トス但シ特別ノ事由ニ因リ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

第六條　同業組合ニ左ノ役員ヲ設ク

組合長　一人
組合副長　一人又ハ數人
評議員　數人

役員ハ組合員中ヨリ之ヲ選任スヘシ但シ組合長又ハ組合副長ハ特別ノ事由アル場合ニ限リ組合員ニ非サル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

役員ノ選任及解任ノ方法ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

役員ノ選任又ハ解任ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケヘシ

同業組合ハ役員ノ選任ヲ朝鮮總督ニ申請スルコトヲ得

同業組合設立ノ認可後役員ノ就職前ニ於テハ同業組合ノ必要ナル事務ハ發起人之ヲ行フ

第七條　組合長ハ同業組合ヲ代表シ同業組合一切ノ事務ヲ擔任ス

組合副長ハ組合長ヲ輔佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス組合副長數人アル場合ニ於ケル代理順序ハ定款ノ定ムル所ニ依ル

評議員ハ組合長ノ諮問ニ應シ又ハ業務ノ執行及財產ノ狀況ヲ監查ス

組合副長又ハ評議員ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スルコトヲ得

評議員ハ組合長及組合副長事故アルトキ定款ノ定ムル順序ニ依リ組合長ノ職務ヲ代理ス

第八條　同業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ生產、製造又ハ販賣ニ係ル物品ノ檢查ヲ爲スコトヲ得

第九條　同業組合ハ前條ノ檢查ニ從事セシムル爲特ニ檢查員ヲ置クコトヲ得

第十條　同業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ請求ニ因リ物品ノ加工ヲ爲シ又ハ物品ノ販賣若ハ原料品ノ購入ヲ媒介スルコトヲ得

第十一條　同業組合ハ其ノ組合員、役員又ハ檢查員ニシテ定款ニ違反スル行爲アリタル者ニ對シ定款ノ定ムル所ニ依リ過怠金ヲ課シ其ノ所有ニ屬スル違反物品ヲ沒收スルコトヲ得

第十二條　同業組合ノ經費ハ定款ノ定ムル所ニ依リ組合員之ヲ負擔ス

第十三條　同業組合ノ經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十四條　組合費、手數料又ハ過怠金ノ徵收ニ關シテハ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第十五條　同業組合定款ノ變更ヲ爲シ又ハ解散、合併若ハ分割ヲ爲サムトスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ分割ノ場合ニ於テハ分割後ノ各組合ノ組合員タルヘキ者ニ付其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

同業組合地區ノ擴張又ハ業ノ種類ノ增加ヲ爲サムトスルトキハ定款變更ノ手續ニ依ルノ外新ニ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第十六條　同業組合合併シタルトキハ合併ニ因リテ解散シタル同業組合ノ權利義務ハ合併後存續スル同業組合又ハ合併ニ因リ設立シタル同業組合ニ之ヲ承繼ス

第十七條　同業組合分割シタルトキハ其ノ定ムル所ニ從ヒ分割ニ因リテ設立シタル同業組合其ノ權利義務ノ一部ヲ承繼ス

第十八條　同業組合解散シタルトキハ合併又ハ分割ノ場合ヲ除ノ外清算ヲ爲スヘシ

民法第七十二條、第七十三條、第七十八條乃至第八十條及第八十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十九條　朝鮮總督ハ同業組合ニ對シ業務ニ關スル報告ヲ爲サシメ、業務又ハ財產ノ狀況ヲ檢查シ、定款又ハ豫算ノ變更ヲ命シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

朝鮮總督公益上必要ト認ムルトキハ同業組合ノ合併又ハ分割ヲ命スルコトヲ得

第二十條　同業組合又ハ其ノ役員若ハ檢查員法令若ハ定款ニ違反シ、本令ニ基キテ爲ス命令又ハ處分ニ從ハス又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ朝鮮總督ハ役員若ハ檢查員ヲ解任シ又ハ組合ノ業務ヲ停止若ハ解散ヲ命スルコトヲ得

第二十一條　同業組合ハ共同シテ其ノ目的ヲ達スル爲同業組合聯合會ヲ設立スルコトヲ得

第二十二條　同業組合聯合會ヲ設立セムトスルトキハ之ヲ組織スヘキ同業組合共同シテ定款ヲ作リ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十三條　朝鮮總督必要ト認ムルトキハ同業組合ニ對シ同業組合聯合會ニ加入スルコトヲ命スルコトヲ得

第二十四條　同業組合聯合會ニ左ノ役員ヲ置ク

會　長　一人
副會長　一人又ハ數人
評議員　數人

第二十五條　同業組合ニ關スル規定ハ第一條、第三條、第五條、第六條第一項及第十五條第二項ノ規定ヲ除クノ外之ヲ同業組合聯合會ニ準用ス但シ第六條第二項及第八條第一項中組合員トアルハ同業組合聯合會ヲ組織スル組合ノ組合員第十條及第十一條中組合員トアルハ同業組合聯合會ヲ組織スル組合又ハ其ノ組合員トス

第二十六條　同業組合又ハ同業組合聯合會ノ證票若ハ檢查證ヲ不正ニ使用シタル者又ハ

僞造若ハ變造ノ證票若ハ檢查證ヲ使用シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　同業組合又ハ同業組合聯合會ノ役員若ハ檢查員其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲ササルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコトヲ能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第二十八條　前條第一項ニ揭ケル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第二十九條　朝鮮總督ハ本令ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正四年八月令第八十一號ヲ以テ大正四年八月一日ヨリ施行）

本令施行ノ際現ニ存スル重要物産ニ關スル同業組合又ハ同業組合聯合會ニシテ官廳ノ認可ヲ受ケ設立シタルモノハ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ第三條又ハ第二十二條ノ規定ニ準シ定款ヲ作リ其ノ認可ヲ朝鮮總督ニ申請スルコトヲ得

前項ノ認可アリタルトキハ其ノ同業組合又ハ同業組合聯合會ハ本令ニ依リ設立シタルモノト看做ス

●朝鮮重要物産同業組合令施行規則

大正四年八月
總令第八十一號
（昭和二、大正一四年五月第六百號）

朝鮮重要物産同業組合令施行規則左ノ通定ム

朝鮮重要物産同業組合令施行規則

第一條　重要物産同業組合設立ノ認可申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　設立理由書
二　組合員タルヘキ者ノ氏名及住所ヲ記載シタル名簿
三　創立豫算、一年度經費ノ豫定額及其ノ徵收ノ豫定方法ヲ記載シタル書面
四　法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書面

第二條　同業組合ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　目的及事業
二　名稱及事務所ノ所在地
三　地區及業ノ種類
四　組合員ノ權利義務ニ關スル規定
五　役員ノ定數、權限、任期、選任及解任ニ關スル規定
六　會計ニ關スル規定
七　定款違反者ノ處分ニ關スル規定
八　決議ノ方法ニ關スル規定
九　朝鮮重要物産同業組合令第八條又ハ第十條ニ規定スル事項ヲ除ク之ニ關スル規定

第三條　朝鮮重要物産同業組合令ニ依リ設立スル同業組合ノ名稱ハ同業組合ナル文字ヲ用ウヘシ

第四條　同業組合設立ノ認可アリタルトキハ發起人ハ遲滯ナク組合員ノ集會ヲ開キ其ノ執行シタル事務ヲ報告シ且創立豫算ノ承認ヲ求ムヘシ

前項ノ集會ニ於テハ役員ノ選任ヲ行ヒ經費及其ノ徵收方法ノ決議ヲ爲スヘシ

第五條　役員又ハ檢查員選任ノ認可申請書ニハ重任ノ場合ヲ除クノ外履歷書、其ノ解任ノ認可申請書ニハ理由書ヲ添附スヘシ

役員又ハ檢查員ノ退任アリタルトキハ遲滯ナク其ノ事由及氏名ヲ地方長官ニ屆出ツヘシ

第六條　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ認可申請書ハ同業組合ノ會計年度開始一月前ニ之ヲ差出スヘシ但シ設立ノ年度ニ於テハ第四條第二項ノ決議後七日內ニ差出スヘシ

第七條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク其ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第八條　左ノ事項ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

一　同業組合ノ設立
二　同業組合ノ地區又ハ業ノ種類ノ變更
三　同業組合ノ解散、合併又ハ分割

第九條　同業組合聯合會設立ノ認可申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　第二條第一號第二號及第五號乃至第九號ニ揭ケタル事項
二　聯合會ヲ組織スル組合ノ名稱及其ノ權利義務ニ關スル規定
三　加入脫退ニ關スル規定

第十條　同業組合聯合會設立ノ認可申請書ニハ定款ノ外創立豫算、一年度經費ノ豫定額及其ノ徵收ノ豫定方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十一條　左ノ事項ハ地方長官之ヲ處理スヘシ但シ第三號ノ報告及檢查ニ關スル事項ハ事宜ニ依リ朝鮮總督之ヲ行フ

一　役員又ハ檢查員ノ選任又ハ解任ニ關スル事項
二　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ認可ニ關スル事項
三　朝鮮重要物産同業組合令第十九條第一項ノ規定ニ依ル業務ニ關スル報告及業務又ハ財產ニ關スル檢查ニ關スル事項但シ本令第六條第三項ノ規定ニ依ル事業成績報告ヲ除ク

第十二條　清算結了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク其ノ結果ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第十三條　左ノ事項ハ朝鮮總督之ヲ告示ス

一　同業組合ノ設立
二　同業組合ノ地區又ハ業ノ種類ノ變更
三　同業組合ノ解散、合併又ハ分割

第十四條　同業組合聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　第二條第一號第二號及第五號乃至第九號ニ揭ケタル事項
二　聯合會ヲ組織スル組合ノ名稱及其ノ權利義務ニ關スル規定
三　加入脫退ニ關スル規定

第十五條　同業組合聯合會設立ノ認可申請書ニハ定款ノ外創立豫算、一年度經費ノ豫定額及其ノ徵收ノ豫定方法ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十六條　左ノ事項ハ地方長官之ヲ處理スヘシ但シ第三號ノ報告及檢查ニ關スル事項ハ事宜ニ依リ朝鮮總督之ヲ行フ

一　役員又ハ檢查員ノ選任又ハ解任ニ關スル事項
二　經費ノ收支豫算及其ノ徵收方法ノ認可ニ關スル事項
三　朝鮮重要物産同業組合令第十九條第一項ノ規定ニ依ル業務ニ關スル報告及業務又ハ財產ニ關スル檢查ニ關スル事項但シ本令第六條第三項ノ規定ニ依ル事業成績報告ヲ除ク

第十七條　本令ニ規定スル地方長官ノ職權ハ同業組合又ハ同業組合聯合會ニ非スシテ其ノ地區カ二道以上ニ亙ル場合ニ於テハ朝鮮總督之ヲ行フ

第十八條　第三條乃至第十三條、第十六條及第十七條ノ規定ハ之ヲ同業組合聯合會ニ準用ス

第十九條　朝鮮重要物産同業組合ニ依ル同業組合又ハ同業組合聯合會ニ非スシテ其ノ名稱中同業組合又ハ同業組合聯合會ナル文字又ハ用ヰタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ朝鮮重要物産同業組合令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮重要物産同業組合令附則第二項ノ規定ニ依ル同業組合又ハ同業組合聯合会設置ノ認可ノ申請書ニハ定款ノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

一　同業組合ニ付テハ現ニ組合員タルヘキ者ノ数及新ニ組合員タルヘキ者ノ数ヲ記載シタル書面但シ業ノ種類二以上ヲ包含スルモノニ在リテハ業種毎ニ其ノ数ヲ記載スヘシ

二　一年度経費ノ予定額及其ノ徴収ノ予定方法ヲ記載シタル書面

三　同業組合又ハ同業組合聯合会設置ニ関シ官庁ノ認可アリタルコトヲ証スル書面

四　財産目録及貸借対照表

五　同業組合ニ付テハ法定ノ同意者アリタルコトヲ証スル書面

●朝鮮漁業組合規則

昭和四年十二月
總令第百十四號
改正　昭和八年十二月二十五日

朝鮮漁業組合規則左ノ通定ム

第一章　總則

第一條　漁業組合ノ名稱中ニハ漁業組合ナル文字ヲ、漁業組合聯合会ノ名稱中ニハ漁業組合聯合会ナル文字ヲ用フヘシ

漁業組合ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ漁業組合聯合会ニ非ズシテ其ノ名稱中ニ漁業組合聯合会ナルコトヲ示スヘキ文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第二條　漁業組合(以下單ニ組合ト稱ス)又ハ漁業組合聯合会(以下單ニ聯合会ト稱ス)ノ住所ハ其ノ主タル事務所ノ所在地ニ在ルモノトス

第三條　行政區劃、府邑面内ノ部落ノ區域又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ組合ノ規約ニ記載シタル行政區劃、府邑面内ノ部落ノ區域又ハ其ノ名稱ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス

第二章　組合ノ設立

第四條　組合ヲ設立セントスルトキハ組合ノ地區タルヘキ區域内ニ居住スル組合員タルヘキ漁業者五人以上發起人ト爲リ設立認可ノ申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ左ニ掲ケル書類ヲ添附スヘシ

一　設立理由書

二　規約竝ニ組合員タルヘキ漁業者ノ同意書及組合員タルヘキ漁業者ノ數ヲ證スル府尹、邑長又ハ面長ノ證明書

三　初年度及次年度ニ於ケル事業計畫書及經費豫算書

四　地區タルヘキ區域及其ノ附近ノ連絡見取圖(行政區劃、府邑面内ノ部落ノ區域及其ノ名稱竝ニ鐵道、道路及航路ヲ表示シ且地區内ニ於ケル交通ノ狀況及漁港ノ狀態ヲ記載スヘシ)

五　地區内居住者戶口表(第一號樣式)、地區内居住漁業者ノ漁業狀態表(第二號樣式)、最近三年間ニ於ケル地區内居住漁業者ノ漁獲高表(第三號樣式)及漁獲物ノ處理販賣狀況ヲ記載シタル書面

六　設立後取得セントスル漁業權ノ種類及件數

第五條　組合ノ規約ニハ左ニ掲ケル事項ヲ記載スヘシ

一　目的

二　名稱

三　地區及組合員タル資格(組合員タル資格ニ付テハ一部ノ漁業者ヲ以テ組合員トスルモノニ限ル)

四　主タル事務所ノ所在地

五　役員ニ關スル事項

六　會議ニ關スル事項

七　會計及財産ニ關スル事項

八　組合ノ取得シ又ハ貸付ヲ受ケタル漁業權ノ行使ニ關スル事項

九　共同施設事業ノ執行ニ關スル事項

十　違約者ノ處分ニ關スル事項

第三章　組合ノ會議

第六條　組合ニハ總代會ヲ設ク

總代會ハ議長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

議員ハ通常議員及特別議員トス

通常議員ハ組合員中ヨリ之ヲ選擧シ特別議員ハ道知事之ヲ命ス

特別議員ノ任期ハ曆年ニ從ヒ四年トス

特別議員ノ數ハ通常議員ノ定數ノ三分ノ一ヲ超エルコトヲ得ズ但シ通常議員ノ定數ノ減少ニ依リ特別議員ノ數ガ通常議員ノ定數ノ三分ノ一ヲ超エル至リタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

通常議員ノ定數、任期、選擧其ノ他ニ關スル事項ハ規約中ニ之ヲ定ムヘシ

第七條　左ニ掲ケル事項ニ付テハ總代會ノ議決ヲ經ヘシ但シ第六號中組合ニ非ザル者ノ管理ニ付規約ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

一　事業ノ計畫及經費ノ豫算

二　經費ノ賦課徵收方法

三　事業ノ計畫及經費ノ豫算ヲ以テ定メタルモノヲ除クノ外新ニ義務ヲ負ヒ又ハ權ヲ失フベキ行爲

四　起債及其ノ償還方法

五　漁業權又ハ不動産ノ得喪及變更

六　漁業權ノ借受又ハ組合員ニ非ザル者ニ對スル漁業權ノ貸付

七　基本財産ノ管理及處分

八　規約ノ變更

九　諸規程ノ設定、變更及廢止

十　聯合会ノ設立、加入及脫退

十一　組合ノ解散、合併又ハ分割及分割ニ因リ設立スル組合ノ承繼スベキ權利義務

十二　其ノ他重要ナル事項

第八條　總代會ハ本令中別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外組合長之ヲ招集ス

總代會ハ少クモ毎年一回之ヲ招集スヘシ

監事ハ組合ノ財産又ハ業務執行ノ狀況ニ付報告ヲ爲ス爲總代會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ遲滯ナク之ヲ招集スヘシ

第九條　總代會ヲ招集セントスルトキハ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ定メ規約ノ定ムル所ニ依リ議員ニ通知ヲ發スヘシ

總代會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ通知ヲ發シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ規約ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條　總代會ハ通常議員ノ定數ノ半數以上及特別議員ノ數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ同一事項ニ付再度招集シタル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

議員ハ總代會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス

總代會ノ議事ニ出席シタル議員ノ過半數ノ同意ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十一條　第七條第四號、第八號、第十號及第十一號ニ揭ゲル事項ノ議決ハ通常議員ノ定數ノ三分ノ二以上及特別議員ノ數ノ三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十二條　總代會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕易ナルモノニ付テハ會議ヲ開カズ書面ヲ以テ議員ノ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ之ヲ總代會ノ決議ト看做スコトヲ得但シ議員中ヨリ總代會ノ議決ヲ經ベキ旨ノ申出アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　組合員ノ少數ナル組合ニ在リテハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ總會ヲ以テ總代會ニ代フルコトヲ得

組合員ハ代理人ヲ以テ總會ニ於ケル議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ出席者ト看做ス

代理人ハ組合員又ハ同居ノ戶主若ハ家族ナルコトヲ要ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

本令中總代會ニ關スル規定ハ前條ノ規定ヲ除クノ外組合ノ總會ニ之ヲ準用ス

第十四條　組合ニハ左ニ揭ケル役員ヲ置クヘシ

組合長　一人

理事　一人

監事　三人以上

第十五條　役員ハ總代會ニ於テ組合員中ヨリシタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ規約ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條　總代會ハ通常議員ノ定數ノ半數以上及特別議員ノ數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ同一事項ニ付再度招集シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

議員ハ總代會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス

總代會ノ議事ニ出席シタル議員ノ過半數ノ同意ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十一條　第七條第四號、第八號、第十號及第十一號ニ揭ゲル事項ノ議決ハ通常議員ノ定數ノ三分ノ二以上及特別議員ノ數ノ三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十二條　總代會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕易ナルモノニ付テハ會議ヲ開カズ書面ヲ以テ議員ノ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ之ヲ總代會ノ決議ト看做スコトヲ得但シ議員中ヨリ總代會ノ議決ヲ經ベキ旨ノ申出アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　組合員ノ少數ナル組合ニ在リテハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合員ノ總會ヲ以テ總代會ニ代フルコトヲ得

組合員ハ代理人ヲ以テ總會ニ於ケル議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ出席者ト看做ス

代理人ハ組合員又ハ同居ノ戶主若ハ家族ナルコトヲ要ス

代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スヘシ

本令中總代會ニ關スル規定ハ前條ノ規定ヲ除クノ外組合ノ總會ニ之ヲ準用ス

第四章　組合ノ役員

第十四條　組合ニハ左ニ揭ケル役員ヲ置クベシ

組合長　一人

理事　一人

監事　三人以上

第十五條　役員ハ總代會ニ於テ組合員中ヨリシタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ規約ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條　組合長ハ組合ヲ代表シ組合ノ事務ヲ執行ス

組合長ニ事故アルトキハ理事之ヲ代理シ理事ニ事故アルトキハ監事之ヲ代理ス

第十七條　組合長ハ總代會ノ議決ヲ經テ理事ノ中ヨリ專務理事ヲ定メ組合ノ事務ヲ專務理事ヲシテ執行セシムルコトヲ得

第十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第三十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第四十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第五十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第六十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第七十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第八十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第九十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百二十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百三十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百四十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百五十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百六十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百七十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百八十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十八條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第百九十九條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二百條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二百一條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二百二條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二百三條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二百四條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二百五條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二百六條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二百七條　組合長及理事ハ非常ノ事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理スル者ヲ定メ置クコトヲ得

第二百八條

第十七　漁業

第六款　租合

第一號樣式

地區内居住者戸口表

漁業

| 備考 | 計 | 何 | 名 | 落 | 部 | 漁業者 | | |

備考

一　本表ハ最近三年間ノ漁獲高ニ付昨年別ニ調製スベシ

●朝鮮漁業組合業務規程

昭和四年十二月
總令第百十五號
改正　昭和七年一號左ノ通、八年二號ニ改ム、
九年二號ニ改ム

朝鮮漁業組合業務規程左ノ通定ム

朝鮮漁業組合業務規程

第一章　總則

第一條　漁業組合(以下單ニ組合ト稱ス)、組合ノ組合長及理事、漁業組合聯合會(以下單ニ聯合會ト稱ス)竝ニ聯合會ノ理事長及理事ノ印章ハ第一號樣式ニ依ルベシ

第二條　組合ヨリ朝鮮總督ニ差出スベキ書類ハ府尹、郡守又ハ島司ヲ、聯合會ヨリ朝鮮總督ニ差出スベキ書類ハ道知事ヲ經由スベシ

前項ノ場合ニ於テ組合ヨリ朝鮮總督ニ差出スベキ書類ニ付テハ副本二通ヲ、道知事ニ差出スベキ書類ニ付テハ副本一通ヲ、聯合會ヨリ朝鮮總督ニ差出スベキ書類ニ付テハ副本一通ヲ添附スベシ

第三條　役員ノ選任ニ付テハ朝鮮總督ニ差出スベキ書類ニ付テハ副本二通ヲ、道知事ニ差出スベキ書類ニ付テハ副本一通ヲ、聯合會ヨリ朝鮮總督ニ差出スベキ書類ニ付テハ副本一通ヲ添附スベシ

第二章　組合ノ區務

第一節　通則

第四條　組合ノ區域ハ一府、一郡、一島又ハ一府ノ一部、一郡ノ一部若ハ一島ノ一部ニ依リ之ヲ定ム

第五條　組合ノ區域ハ地先水面ニ於テハ漁業權ノ行使ニ關シ利害關係ヲ有スル者ノ最多數ノ住所ニ依リ之ヲ定ム

第六條　組合ノ區域ハ之ヲ變更スルコトヲ得

第七條　組合ノ區域ヲ變更シタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八條　組合ノ區域ヲ變更シタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第三十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第四十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第五十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第六十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第七十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第八十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第九十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百二十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百三十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百四十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百五十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百六十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百七十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百八十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第百九十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十五條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十六條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十七條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十八條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百二十九條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百三十條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百三十一條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百三十二條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百三十三條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百三十四條　組合ノ區域ニ變更アリタルトキハ組合長ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ報告スベシ

第二百三十五條　組合ノ區域ニ變更ア

第一號様式ノ二

（昭和　年　月　日）

借入金運用状況表	組合ノ印	組合長（理事）ノ印	理事ノ印	理事ノ印	理事ノ印
	組合之印	組合之印	組合之印	組合之印	組合之印
	方三センチメートル	方二センチメートル	方一五ミリメートル	方一五ミリメートル	方一五ミリメートル

第一號様式

（表面）

組合名	借入金運用状況表	昭和　年　月　日

借入ノ目的	借入金額	借入先	利率	償還期限	利子支拂期日	摘要
	圓					
計						

（裏面）

一　運用額ノ欄ノ「期限」トハ貸付金ノ貸付期限、立替金ノ仲買人ニ對スル猶豫期限ヲ謂フ

二　本表ニハ前渡金ヲ含ンタル物品及共同購入ヲ含ンタル物品ニシテ現ニ保管中ニ屬スルモノノ數量及其ノ保管ノ概況ヲ明記スベシ

三　延滯未償還額アル場合ハ其ノ延滯ノ概況ヲ含リタル理由ノ詳細ヲ明記スベシ

第二號様式

起債又ハ起債償還報告表

漁業組合起債表	昭和　年　月　日	組合名

起債認可年月日	借入年月日	起債ノ目的	借入金額	借入先	利率	償還期限	利子支拂期日	摘要
			圓					

備考　「償還期限及利子支拂期日」ハ年賦償還ニ在リテハ年次表ニ其ノ償還元金、利子、貸還期日ヲ記載シ別表トシテ添附スベシ

漁業組合起債償還表	昭和　年　月　日	組合名

起債認可年月日	借入年月日	償還豫定期日	償還年月日	元金償還額	利子支拂額	計	摘要
				圓	圓	圓	

第二號様式ノ二

資金貸付又ハ貸付金回收報告表

資金貸付表	昭和　年　月　日

貸付先ノ起債認可ノ年月日	貸付年月日	貸付金ノ使途	貸付金額	貸付先	利率	貸付期限	利子受入期日	摘要
			圓					

備考　「貸付期限」及「利子受入期日」ハ年賦回收ニ在リテハ年次表ニ其ノ回收元金、利子、回收期日ヲ記載シ別表トシテ添附スベシ

貸付金回收表	昭和　年　月　日

貸付先ノ起債認可ノ年月日	貸付年月日	貸付先	回收豫定年月日	回收年月日	元金回收額	利子受入額	計	摘要
					圓	圓	圓	

第三號様式

組合員名簿

本籍地						
居住地	町　村　字　番地					
漁業ノ種類		職業	專業		氏名	
			兼業		生年月日	
非取組合員ノ年月日及事由		非漁業組合員ノ年月日及事由				
摘要						

第四號様式

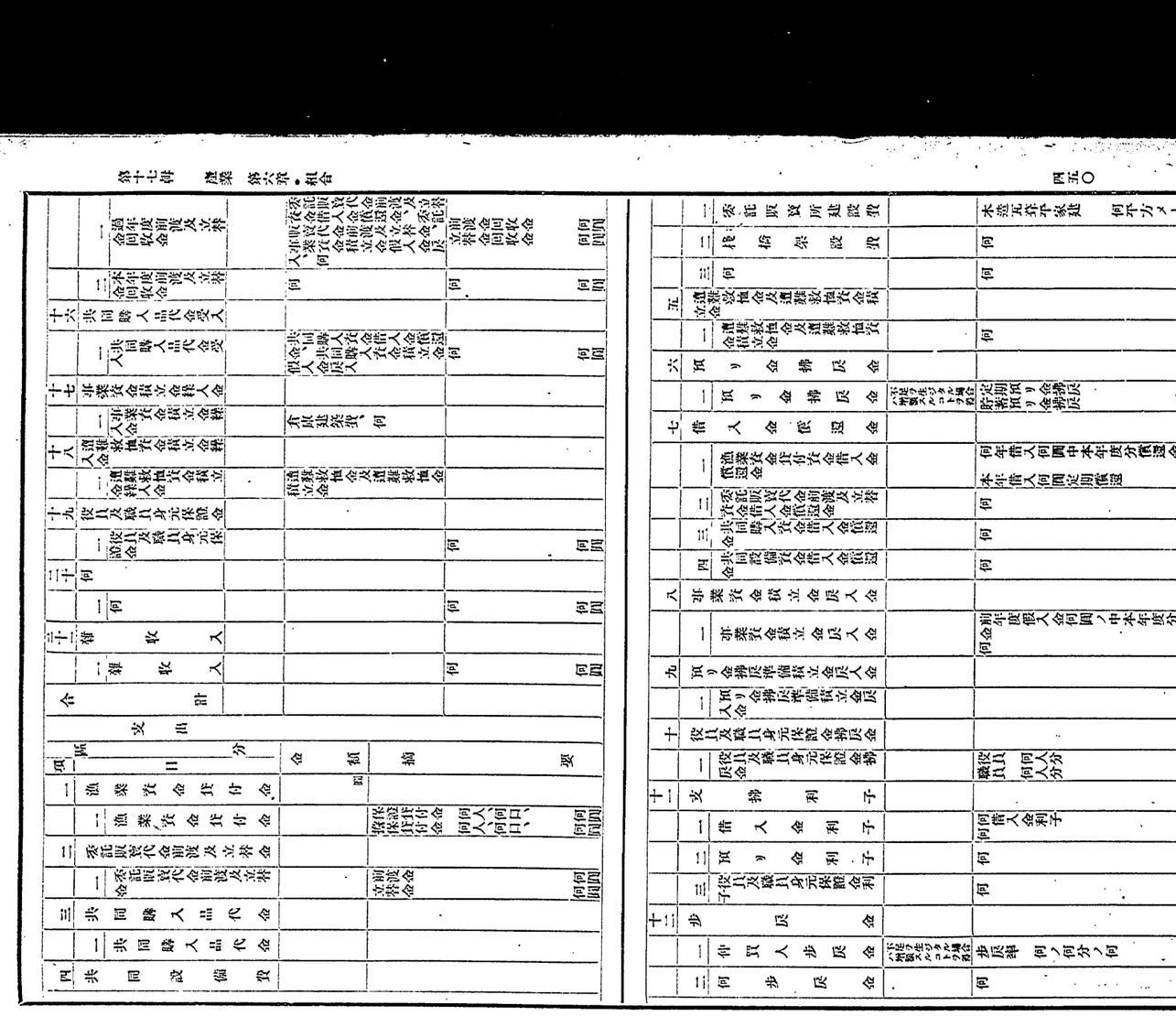
役員、職員及議員名簿

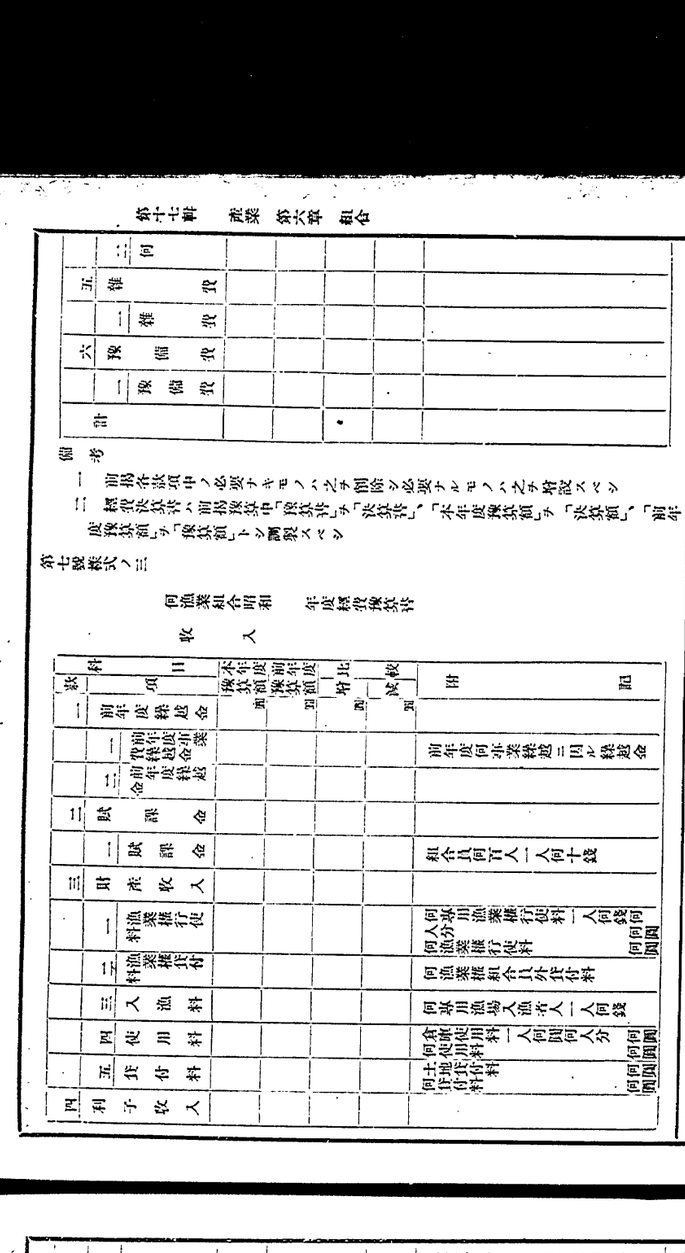
本籍地			
居住地			
職名	組合長（管理）（通常議員）	氏名	
就任又ハ當選ノ年月日		任期	年　月　日
退任又ハ解任ノ年月日			
摘要			

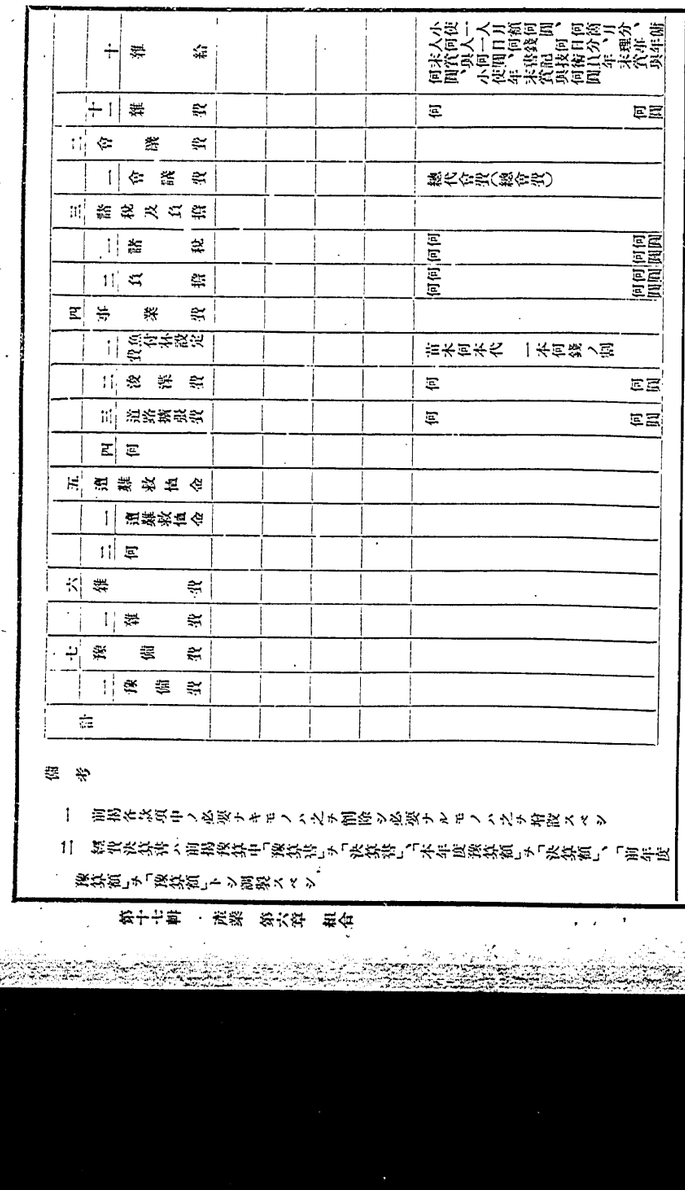
第五號樣式

備考　本簿ハ役員、議員及議員ニ區別シ各別ニ口座ヲ設クベシ

| 年月日 | 摘要 | 現約造反金額 | | |







第九號樣式

組合長　　月計表

理事　　昭和　年　月　日　　何漁業組合

借方 金額	借方 残高	元丁	科目	貸方 残高	貸方 金額
圓	圓			圓	圓
			正味財産勘定		
			基本財産積立金		
			事業資金積立金		
			救恤資金積立金		
			預り金排戻準備積立金		
			一般正味財産		
			前年度剰餘金		
			前年度繰越金		
			所有物勘定		
			漁業權		
			土地		
			建物		
			船舶		
			工作物		
			什器		
			預り金勘定		
			役職員身元保證金		
			仲買人保證金		
			定期預り金		
			貯蓄預り金		
			借入金勘定		
			貸付資金借入金		
			前渡及立替資金借入金		
			共同購入資金借入金		
			設備資金借入金		
			一時借入金		
			貸付利子		
			預金利子		
			委託販賣勘定手數料		
			共同購入勘定手數料		
			金融組合聯合會配當金		
			雜收入		
			雜損		
			現金		
			現金		
			諸口		

非業資金積立金假入金勘定

貸付資金ニ假入
前渡及立替資金ニ假入
共同購入資金ニ借入

貸付金勘定

過年度擔保貸付金
過年度保證貸付金
本年度擔保貸付金
本年度保證貸付金

委託販賣勘定

荷主
仲買人
受託未販賣品
積送品
前渡金

共同購入勘定

購入申込金
購入品

金融組合聯合會勘定

金融組合聯合會出資金

預ケ金勘定

定期預金
當座預金
郵便貯金
振替貯金

未決算勘定

假受金
假拂金

損益勘定

非業資金積立金繰入
救恤資金積立金繰入
賦課金
漁業權收入
共同設備收入

貸付金現況

區分	貸付現在高 口數	貸付現在高 金額	期限來到高 口數	期限來到高 金額	滯納高 口數	滯納高 金額
		圓		圓		圓
過年度擔保貸付金						
過年度保證貸付金						
本年度擔保貸付金						
本年度保證貸付金						
計						

未決算勘定內譯

區分	假受金	假拂金	何	何
何	圓	圓	圓	圓

備考　一　本樣式ニ掲ゲタル科目中必要ナキモノハ之ヲ省キ必要ナルモノハ追加スベシ
二　未收金又ハ未拂金アル場合ハ「未決算勘定內譯」ニ記載スベシ

第九號樣式ノ二

昭和　年度繰越現況表

科目	摘要	繰越額	收入（支出）額 前月迄累計	收入（支出）額 本月分	收入（支出）額 累計	差額
		圓	圓	圓	圓	圓
計						

第十號樣式

財産目錄　（昭和　年　月　日現在）

種類	摘要	金額
		圓
漁業權		（　）
定置漁業	何何	何何件	何何	四圓	
何何					
土地					（　）
敷地	倉庫敷地	何何平方メートル	何何	四四	
何何	何何	何何平方メートル	何何	四四	
建物					（　）
非木造家屋	木造瓦葺平家建	何何平方メートル	何何	四	
倉庫	何何	何何平方メートル	何何	四四	
何何	何何	何何平方メートル	何何	四四	

第十號樣式ノ二

貸借對照表

（昭和　年　月　日現在）

| 貸方 | | |

九　森林原野

計	漁業別	數量	價格	摘要
四				

八　組合員ノ漁獲高

計	種別	前年度末現在		本年度受入		本年度末現在		摘要
		口數	金額	口數	金額	口數	金額	
四								

七　組合員共同貯金及貯金同收洪傭金

前年度末現在	本年度調定額	本年度徵收額	本年度末收額	未收額處理方法
四	四	四	四	

六　賦課金

計	漁獲物ノ種類	漁業ノ種類	本年度漁獲高	摘要
			數量	
四			金額	

五　組合ノ有スル漁業權

合計	其ノ他ノ財產						
	計	何々	備品	建物	林野	田	畓

十四　貯金

摘要	種別	計	貯蓄預ノ金	定期預ノ金	種別	計	品名	計	品名	計	種別	計
	口數				未前現年在度		數量		數量		前年度末現在	
四	金額			四			價格	四	價格	四		四
	口數				本年度受入		數量		數量		本年度受入	
	金額			四			價格	四	價格	四		四
	口數				本年度拂出		數量		數量		本年度拂出	
	金額			四			價格	四	價格	四		四
	口數				未本年度末現在		數量		數量		本年度末現在	
	金額			四			價格	四	價格	四		四
	口數				同上口數ノ前ルル年度末ト對照		數量		數量			
	金額			四			價格	四	價格	四		四

十一　共同購入

計	品名	數量	前年度末現在	本年度購入	本年度配付	本年度末未配付	摘要
		價格	四	四	四	四	

十二　共同購入前受金

計	前年度末現在	本年度受入	本年度拂出	未收額	摘要
口數		口數	口數	口數	
金額	四	金額 四	金額 四	金額 四	

十三　預リ金

計	種別	未前現年在度	受本年度入	拂本年度戻	未本現年在度	同上口數ノ前ルル年度末ト對照	摘要
	口數						
四	金額	四	四	四	四		

十　雜收入前渡金及立替金

計	種別	前年度末現在	本年度中前渡及立替金	本年度末未精算	摘要
	口數		口數	口數	
四	金額	四	金額 四	金額 四	

計	魚種別	數量	組合員	數量	組合員外	數量	計
		價額	四	價額 四		價額 四	

十五　借入金

計	種別	借入先	未前現年在度	借本入年額度	償期還限額內	償期還限額後	還未拾額	利支子拂	摘要
			四	四	四	四	四	四	

十六　遭難救恤

計	遭難種類	救恤件數	救恤金額	摘要
			四	

十七　組合債

計	利息項目	金額	四	元金項目	金額	四

十八　未決算勘定

假受金（未拂金）

計	種別	前年度末現在	本年度受入	本年度拂出	本年度末現在	摘要
		四	四	四	四	

假拂金（未收金）

計	種別	前年度末現在	本年度支拂	本年度受入	本年度末現在	摘要

十九　造林等處分

計	種別	件數	人員	摘要
			戶	
			戶	
			戶	
			戶	

二十　總令又ハ總代令ノ決議事項

二十一　其ノ他參考トナルベキ事項

第十二號樣式

本年度末現在	本年度總額	本年度總額	昭和　年度剩餘金處分案
內訳	金額	金額	
內一般正味財產ニ編入スベキモノ	四	四	
內課金積立金ニ編入スベキモノ	四	四	
前年度繰越金ノ內處分スベキモノ	四	四	
本年度剩餘金ノ內處分スベキモノ	四	四	
計	四	四	
之ヲ處分スルコトヲ左ノ如シ			
非常災害積立金積立金	四	四	
遭難救恤資金積立金	四	四	
年度繰越金	四	四	
右ノ通昭和　年度剩餘金處分ス	四	四	

年　月　日

何組合長　何（自分ノ何）

何漁業組合理事　何（自分ノ何）

氏氏

右者印

右者印

昭和　年度決算ニ依ル貸借対照表、財産目録、非常準備及剰余金処分案ヲ監査シ其ノ正確ナルヲ認ム

昭和　年　月　日

監事　氏　名　印

第十二號様式ノ二

昭和　年度剰余金処分案

本年度繰越欠損金		
本年度出資口数		
本年度引受口数		
内訳　非業務資金トシテ	年度ニ繰越スベキモノ	
本年度剰余金ノ内処分スベキモノ		
之ヲ処分スルコトヲ左ノ如シ		
一、法定積立金		四四（以下同）
一、非業務資金積立金		四四（以下同）
一、災害救護資金積立金		四四（以下同）
一、繰越金		四四
右ノ通リ		

昭和　年　月　日

何漁業組合

理事　氏　名　印

監事　氏　名　印

昭和　年度決算ニ依ル繰越金、財産目録及剰余金処分案ヲ監査シ其ノ正確ナルヲ認ム

昭和　年　月　日

監事　氏　名　印

第十三號様式

昭和　年度預金出納引継

月日	摘要	預金額	払出	預入	差引残高	
		円		円		円

備考　漁業権ハ一件毎ニ一用紙ニ記載スベシ

第十五號様式

土地台帳

所在及地番	
地目及面積	

年月日	摘要	法定地価	評価 増価	減価	価額
		円	円	円	円

備考　土地ハ一筆毎ニ一用紙ニ記載スベシ

第十六號様式

建物台帳

名称及用途	
所在地	
構造	

年月日	摘要	棟数	総建坪	建坪	評価 増価	減価	価額
					円	円	円

備考　一　建物ハ事務所、倉庫等ニ分チ附属建具ヲモ併セ一件毎ニ一用紙ニ記載スベシ
二　構造ハ建方、葺方、造方等ヲ記載スベシ

第十七號様式

船舶台帳

船名	
船種	
積量及馬力	
長サ及肩幅	
用途	

年月日	摘要	評価 増価	減価	価額
		円	円	円

備考　一　船舶ハ附属船具ヲモ併セ一隻毎ニ一用紙ニ記載スベシ
二　積量ニ依リ難ヘザルモノニ在リテハ長サ及肩幅ヲ記載スベシ

第十八號様式

工作物台帳

名称及用途	
所在地	
構造	

年月日	摘要	数量	単価	評価 増価	減価	価額
			円	円	円	円

備考　工作物ハ桟橋、圧縮タンク等ニ分チ附属設備ヲモ併セ一件毎ニ一用紙ニ記載スベシ

第十九號様式

積立金台帳

種類	
保管方法	
通帳番號	

年月日	摘要	積立額	支出額	現在額
		円	円	円

備考　積立金ハ種類毎ニ口座ヲ設クベシ

備考　漁業ノ項ニ口座ヲ設クベシ

第十三號様式ノ二

非本邦産鯨

備考

一　本様ハ第十四號乃至第十九號様式ニ準ジ調製スベシ

二　本様ハ一船トシ各種類毎ニ口座ヲ設クベシ

第十四號様式

漁業権台帳

種別		摘要
免許番號		
漁業ノ種類		
漁業及漁具ノ名称		
漁場ノ位置及区域		
漁業ノ方法		
採捕物又ハ養殖場ノ種類		
漁業ノ季期		
存続ノ期間		
採捕物又ハ養殖物ノ見込年額		
制限又ハ条件		
免許ノ年月日		
備考		

年月日	摘要	評価 増価	減価	価額
		円	円	円

第二十號樣式

備　品　臺　帳

品名									
年	月	日	摘　要	數　量		單　價		價　額	
						圓		圓	

備考　品名毎ニ口座ヲ設クベシ

第二十號樣式ノ二

什　器　臺　帳

品名											
年	月	日	摘　要	數　量	單　價	價　額	價　額				
							評　價		減　價	價　額	
					圓	圓	圓		圓	圓	

備考　品名毎ニ口座ヲ設クベシ

第二十一號樣式

徵　收　簿

告知書番號	告知年月日	收納月日	金　額	氏　名	摘　要
			圓		

備考　本簿ハ經費賦課金、漁業料、入漁料等科目毎ニ各別冊ノ帳簿ヲ備フベシ但シ合冊トスルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ口座ヲ設クベシ

第二十二號樣式

日　記　帳

借方　　年　月　日　　貸方

振替摘要	摘　要	元丁	振替金額	現金收入	合計	振替摘要	摘　要	元丁	振替金額	現金支出	合計
			圓	圓	圓				圓	圓	圓

第二十三號樣式

總　勘　定　元　帳

年	月	日	摘　要	日記帳丁數	借　方	貸　方	借或ハ貸	殘　高
					圓	圓		圓

備考　本簿ノ口座ハ第九號樣式ニ依ル月計表ノ科目毎ニ區分スベシ但シ損益勘定ニ屬スルモノハ豫算ノ科目毎ニ區分スベシ

第二十四號樣式

委託販賣前渡金臺帳

荷主氏名					
年	月	日	摘　要	前渡額	受入額	殘　額
				圓	圓	圓

備考　一　本簿ハ組合員毎ニ口座ヲ設クベシ
　　二　利子ヲ徵スル場合ニ於テハ適宜欄ヲ設ケ記載スベシ

第二十五號樣式

委　託　販　賣　臺　帳

| 荷主氏名 | | | | | | | | | | |

第二十九號樣式　　貯蓄預リ金臺帳

預入者氏名									
年月日	摘要	預金額	拂戻額	現在額	日数	積数
		圓	圓	圓		

備考　本簿ハ預入者毎ニ口座ヲ設クベシ

第三十號樣式　　定期預リ金臺帳

預入者氏名										
年月日	證書番號	期間	滿期日	利率	預金額	積数	利子額	支拂年月日	摘要
					圓		圓		

備考　本簿ハ預入者毎ニ口座ヲ設クベシ

第三十一號樣式　　共同購入品臺帳

品名												
年月日	摘要	仕入先	引渡人	購入		引渡		現在		手数料額
				数量	價額	数量	價額	数量	價額	
					圓		圓		圓	圓

備考　本簿ハ品名毎ニ口座ヲ設クベシ

第三十二號樣式

入金傳票

年月日　何漁業組合

摘要	金額	理事
	圓	
		出納
		記帳
合計		

備考　一　本票ハ總テ現金受入ノ際調製スベシ
　　二　本票ハ之ヲ使用セザルコトヲ得

第三十三號樣式

出金傳票

年月日　何漁業組合

摘要	金額	理事
	圓	
		出納
		記帳
合計		

備考　一　本票ハ總テ現金ヲ支拂フ際調製スベシ
　　二　本票ハ之ヲ使用セザルコトヲ得

第三十四號樣式

振替傳票

年月日　何漁業組合

理事		主任		記帳	

借方		摘要	貸方	
科目	金額		科目	金額
	圓			圓
差引現金出			差引現金入	
合計			合計	

備考　本傳票ハ之ヲ使用セザルコトヲ得

第三十五號樣式

（貸付金回收準備金臺帳）

組合員共同貯金臺帳

氏名					
通帳番號					
月日	摘要	受入額	拂出額	殘額
		圓	圓	圓

備考　本簿ハ組合員毎ニ口座ヲ設クベシ

第三十六號樣式

保證積立金臺帳

氏名				
月日	摘要	積立額	拂戻額	殘額
		圓	圓	圓

備考　一　本簿ハ積立人毎ニ口座ヲ設クベシ
　　二　本簿ハ理事ノ身元保證金及仲買人ノ保證金等ヲ記載スベシ

●朝鮮漁業組合令ノ規定ニ依ル漁業組合ニ關スル件　第十五條第三項ノ規定ニ依ル漁業組合ニ關スル件

昭和四年一月勅令第一號

改正　昭和四年勅令第一〇一號　昭和四年勅令第一〇一號　昭和四年勅令第一〇一號

●朝鮮漁業組合規則ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル漁業組合ノ理事竝ニ漁業組合聯合會ノ理事長及理事ノ身元保證ニ關スル件

昭和六年五月
總令第六十一號

朝鮮漁業組合規則第十五條第三項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル漁業組合ノ理事竝ニ漁業組合聯合會ノ理事長及理事ノ身元保證ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　漁業組合（以下單ニ組合ト稱ス）ノ理事ハ其ノ給料ノ二年分以上五年分以下ニ於テ道知事ノ定ムル金額ノ身元保證金ヲ組合ニ提供スベシ

漁業組合聯合會（以下單ニ聯合會ト稱ス）ノ理事長及理事ハ其ノ給料ノ五年分ニ相當スル金額ノ身元保證金ヲ聯合會ニ提供スベシ

前二項ノ身元保證金ノ全部又ハ一部ハ時價相當ノ國債證券又ハ地方債證券ヲ以テ現金ニ代フルコトヲ得

前項ノ證券ノ記名ノモノナルトキハ其ノ記名者ノ委任狀ヲ添附スルコトヲ要ス

第二條　前條ノ身元保證金ヲ一時ニ提供スルコト能ハザル場合ニ於テハ其ノ全部又ハ一部ハ給料月額ノ百分ノ十以上、賞與金ノ百分ノ二十以上ヲ其ノ受領ノ都度分割シテ之ヲ提供スルコトヲ得

第三條　身元保證金ノ提供定額ニ達セザル者ハ資産信用確實ナル連帶保證人二人以上ヲ定メ別紙樣式ニ依ル身元保證書ヲ組合又ハ聯合會ニ提出スベシ

第四條　組合ノ理事他ノ組合ノ理事又ハ聯合會ノ理事長若ハ理事ヲ命セラレタルトキ、聯合會ノ理事長若ハ理事他ノ聯合會ノ理事長若ハ組合ノ理事又ハ組合ノ理事ヲ命セラレタルトキハ前組合又ハ前聯合會ヨリ還付ヲ受クタル身元保證金ニ相當スル金額又ハ國債證券若ハ地方債證券ヲ新ニ就職シタル組合又ハ聯合會ノ身元保證金ニ充當スベシ

第五條　身元保證金ハ現金ナルトキハ確實ナル銀行、所屬聯合會若ハ金融組合聯合會ニ預入レ又ハ郵便貯金ト爲シ證券ナルトキハ確實ナル銀行ニ保護預ケト爲スベシ

第六條　身元保證金ハ組合ノ理事又ハ聯合會ノ理事長若ハ理事ノ故意又ハ過失ニ因リ組合又ハ聯合會ニ於テ損害ヲ受ケタルトキ之カ辨償ニ充當スベシ

前項ノ場合ニ於テ身元保證金ヲ充當シ尙不足アルトキハ組合又ハ聯合會ハ本人又ハ連帶保證人ニ其ノ不足額ヲ請求スベシ但シ連帶保證人ニ其ノ賠償責任額ハ第一項ノ規定ニ依リ道知事ノ定メタル金額ヲ超ユルコトヲ得ス

第三條ノ二　朝鮮漁業組合規則第十五條第三項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定スル漁業組合ニ對シテハ理事見習タル職員一人ニ付給料年額ノ全額ヲ補助スルコトヲ得但シ補助金ハ一人ニ付千圓ヲ限度トス

前項ノ補助金交付期間ハ一人ニ付二年ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條　前二條ニ規定スルモノノ外著シク組合員ノ利益ヲ增進スヘキ共同施設ヲ爲ス漁業組合ニ對シテハ其ノ施設費豫算年額ノ半額以內ノ補助金ヲ交付ス

前項ノ補助金ハ一組合ニ付二千圓ヲ限度トス

第四條ノ二　漁業組合聯合會ニ對シテハ理事長及理事ノ給料豫算年額以內ノ補助金ヲ交付ス

前項ノ補助金ハ一聯合會ニ付五千圓ヲ限度トス

第四條ノ三　漁業組合聯合會ノ施設ニ對シテハ其ノ施設費豫算年額ノ半額以內ノ補助金ヲ交付ス

前項ノ補助金ハ一聯合會ニ付五千圓ヲ限度トス

第五條　漁業組合補助金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ道知事ヲ經テ每年四月末日迄ニ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　組合員數
二　組合員ノ漁業狀態（漁業資金ノ關係、最近三箇年度間ニ於ケル組合員ノ漁業收支ニ關スル事項）
三　事業計畫書及經費豫算書

朝鮮總督特ニ必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ

第三條　組合員ノ漁獲物及其ノ製品ノ委託販賣ヲ行フ漁業組合ニ對シテハ理事若ハ一人ノ給料豫算年額ノ半額以內ノ補助金ヲ交付ス但シ其ノ年度ノ委託販賣價額カ一萬圓以上ニ達スル見込アルモノニ限リ前項ノ補助金ハ一組合ニ付五百四十圓ヲ限度トス

第一項ノ補助金交付期間ハ一組合ニ付三年ヲ超ユルコトヲ得ス

第三條ノ二　朝鮮漁業組合規則第十五條第三項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定スル漁業組合ニ對シテハ理事見習タル職員一人ニ付給料年額ノ全額ヲ補助スルコトヲ得但シ補助金ハ一人ニ付千圓ヲ限度トス

前項ノ補助金交付期間ハ一人ニ付二年ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條　前二條ニ規定スルモノノ外著シク組合員ノ利益ヲ增進スヘキ共同施設ヲ爲ス漁業組合ニ對シテハ其ノ施設費豫算年額ノ半額以內ノ補助金ヲ交付ス

前項ノ補助金ハ一組合ニ付二千圓ヲ限度トス

第四條ノ二　漁業組合聯合會ニ對シテハ理事長及理事ノ給料豫算年額以內ノ補助金ヲ交付ス

前項ノ補助金ハ一聯合會ニ付五千圓ヲ限度トス

第四條ノ三　漁業組合聯合會ノ施設ニ對シテハ其ノ施設費豫算年額ノ半額以內ノ補助金ヲ交付ス

前項ノ補助金ハ一聯合會ニ付五千圓ヲ限度トス

第五條　漁業組合補助金ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ具シ道知事ヲ經テ每年四月末日迄ニ朝鮮總督ニ申請スベシ

一　組合員數
二　組合員ノ漁業狀態（漁業資金ノ關係、最近三箇年度間ニ於ケル組合員ノ漁業收支ニ關スル事項）
三　事業計畫書及經費豫算書

聯合會長）（貴漁業組合聯合會理事）ニ任命セラレタルニ付テハ左記各項ヲ將約ス

年　月　日

住所
連帶保證人　氏名㊞

住所
連帶保證人　氏名㊞

何々漁業組合（何々漁業組合聯合會）御中

記

一　連帶保證人ハ本人カ何々漁業組合理事（何々漁業組合聯合會理事）在任中故意又ハ過失ニ因リ組合（聯合會）ニ對シ損害ヲ與ヘタルトキハ昭和六年朝鮮總督府令第六十一號（朝鮮漁業組合規則第十五條第三項ノ規定ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル漁業組合ノ理事竝ニ漁業組合聯合會ノ理事長及理事ノ身元保證ニ關スル件）第六條第二項ノ辨償ノ責ニ任ズベシ

二　連帶保證人ハ何々漁業組合理事（何々漁業組合聯合會理事長）（何々漁業組合聯合會理事）ノ職務權限ノ異動、組合地區ノ變更（所屬漁業組合數ノ增減）又ハ事業ノ增減ニ關セズ前項ノ責ニ任ズベシ

●朝鮮漁業組合補助規則

大正十一年四月
總令第七十四號

改正　大正一四年四月第四八號、一四年七月第七四號、昭和四年五月第四一號、五年五月第五六號、八年五月第五八號、一〇年三月第四六號

漁業組合補助規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮漁業組合ニシテ組合員ノ漁獲物及其ノ製品ノ委託販賣其ノ他營シク組合員ノ利益ヲ增進スヘキ共同施設ヲ爲スモノ及漁業組合聯合會ニ對シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ豫算ノ範圍內ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ノ交付ヲ受ケムトスル組合ハ左ノ各號ニ該當スルモノタルコトヲ要ス

一　組合員數百人以上タルコト
二　總組合員一年ノ漁獲高二萬圓ニ達シ又ハ漁業別ノ魚種別數量價額、製造高ニ在リテハ取引ニ付テハ種類別數量價額、保管ニ付テハ種類別保管數量及記載スベシ）
三　事業計畫書及經費豫算書

第三條　補助金ハ組合ノ規約ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　目的
二　名稱
三　地區及組合員タル資格
四　主タル事務所ノ所在地
五　役員ニ關スル事項
六　會議ニ關スル事項
七　會計及財產ニ關スル事項
八　事業ノ執行ニ關スル事項
九　違約者ノ處分ニ關スル事項

第三章　組合ノ會議

第六條　組合ニハ總代會ヲ置ク

總代會ハ議長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

朝鮮總督

ノ外新ニ義務ヲ負ヒ又ハ權利ヲ失フベキ行爲
四　起債及其ノ償還方法
五　不動産ノ得喪及變更
六　規約ノ變更
七　諸規程ノ設定、變更及廢止
八　聯合會ノ設立、加入及脫退
九　組合ノ解散、合併又ハ分割ニ因リ設立スル組合ノ承繼スベキ權利義務ノ限度
十　其ノ他重要ナル事項

第八條　總代會ハ本令中別段ノ規定アル場合ヲ除ク外組合長之ヲ招集ス
總代會ハ少クトモ毎年一回之ヲ招集スベシ
監事ガ組合ノ財産又ハ業務執行ノ狀況ニ付報告ヲ爲ス爲總代會ノ招集ヲ請求シタルトキハ組合長ハ遲滯ナク之ヲ招集スベシ

第九條　總代會ヲ招集セントスルトキハ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ定メ規約ノ定ムル所ニ依リ議員ニ通知ヲ發スベシ
總代會ニ於テハ前項ノ規定ニ依リ通知ヲ發シタル事項ニ付テノミ議決ヲ爲スコトヲ得但シ規約ニ別段ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十條　總代會ハ議員ノ定數ノ半數以上、第六條第三項ノ規定ニ依リ指定スル組合ニ在リテハ通常議員ノ定數ノ半數以上及特別議員ノ數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ同一事項ニ付再度招集シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
議員ハ總代會ニ於テ各一箇ノ議決權ヲ有ス
總代會ノ議事ハ出席シタル議員ノ過半數ノ同意ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十一條　第七條第四號、第六號、第八號及第九號ニ揭グル事項ノ議決ハ議員ノ定數ノ三分ノ二以上、第六條第三項ノ規定ニ依リ指定スル組合ニ在リテハ通常議員ノ定數ノ三分ノ二以上及特別議員ノ數ノ三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第十二條　總代會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕易ナルモノニ付テハ會議ヲ開カズ書面ヲ以テ議員ノ意見ヲ聽キ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ之ヲ總代會ノ決議ト看做スコトヲ得但シ議員中ヨリ總代會ノ議決ヲ經ベキ旨ノ申出アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　總代會成立セザルトキ、招集ニ應ゼザルトキ、會議ヲ開クコト能ハザルトキ又ハ議決スベキ事件ヲ議決セザルトキハ組合長ハ朝鮮總督ノ指揮ヲ請ヒ其ノ議決スベキ事件ヲ處分スルコトヲ得朝鮮漁業令第五十八條ノ規定ニ依リ決議ノ取消アリタルトキ亦同シ

第十四條　組合員ノ少數ナル組合ニ在リテハ規約ノ定ムル所ニ依リ總代會ヲ設ケズ組合員ノ總會ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
組合員ハ代理人ヲ以テ總會ニ於ケル議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ出席者ト看做ス
代理人ハ組合員、同居ノ戸主若ハ家族又ハ營業使用人ナルコトヲ要ス
代理人ハ代理權ヲ證スル書面ヲ組合ニ差出スベシ
本令中總代會ニ關スル規定ハ第十二條ノ規定ヲ除クノ外組合ノ總會ニ之ヲ準用ス

第十五條　組合ニハ左ニ揭グル役員ヲ置クベシ但シ必要アル場合ニ於テハ二人以上ノ理事ヲ置クコトヲ得
組合長　一人
副組合長　一人
理事　一人以上
監事　三人以下

第十六條　役員ハ總代會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任スベシ但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ組合員ニ非ザル者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得
組合長ハ代理人ヲ以テ總會ニ於ケル議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ組合員ハ之ヲ出席者ト看做ス
總代會ノ議事ハ出席シタル議員ノ過半數ノ同意ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第十七條　役員ハ其ノ組合ノ他ノ役員又ハ職

員ヲ兼ヌルコトヲ得ズ
第十八條　組合長、副組合長及理事ノ任期ハ三年トシ監事ノ任期ハ二年トス
補闕ニ依リ就任シタル監事ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス
役員ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フベシ

第十九條　組合長ハ組合ノ業務ヲ執行シ組合ヲ代表ス
組合長ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外總代會ノ議長ト爲ル
副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ之ヲ代理シ闕員ノ場合ハ其ノ職務ヲ行フ
理事ハ組合ノ事務ヲ掌理シ組合長及副組合長共ニ事故アルトキハ組合長ヲ代理シ闕員ノ場合ハ組合長ノ職務ヲ行フ
組合長ト代理又ハ組合長ト職務ヲ行フ理事ノ順位ハ規約中ニ之ヲ定ムベシ
監事ハ組合ノ財産及業務執行ノ狀況ヲ監査ス

第二十條　組合ノ會計及財産ノ管理ハ毎年度一月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル但シ規約ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　組合ノ經費ノ豫算及賦課徵收方法ハ事業年度毎ニ之ヲ定メ遲クモ年度開始一月前ニ認可ノ申請書ヲ道知事ニ差出スベシ

第二十二條　組合長ハ毎事業年度終了後經費決算書及事業報告書ヲ調製シ監事ノ監査ヲ受ケ次ノ總代會ニ之ヲ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第六章　組合ノ合併、分割、解散及清算

第二十三條　組合ガ合併又ハ分割ヲ爲シタルトキハ合併後存續スル組合又ハ合併若ハ分割ニ因リテ設立シタル組合ハ合併又ハ分割ニ因リテ消滅シタル組合ノ權利義務ヲ承繼ス

第二十四條　組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス
一　總代會ノ議決ヲ經タルトキ
二　合併ヲ以テ分割
三　組合員ノ缺亡
四　朝鮮總督ノ解散ノ處分

第二十五條　組合ガ解散シタルトキハ清算ノ目的ノ範圍內ニ於テハ其ノ清算ヲ結了スルニ至ル迄組合ハ仍存續スルモノト看做ス

第二十六條　組合ガ解散シタルトキハ合併又ハ分割ノ場合ヲ除クノ外組合長ハ其ノ清算人ト爲ル但シ總代會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
清算人ハ解散シタル組合ノ役員トス

第二十七條　清算人ハ清算ノ職務ヲ左ノ如シ
一　現務ノ結了
二　債權ノ取立及債務ノ辨濟
三　殘餘財産ノ處分

清算人ハ前項ノ職務ヲ行フ爲ニ必要ナル一切ノ行爲ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　清算人ハ其ノ就職ノ日ヨリ二月以內ニ少クトモ三回ノ公告ヲ以テ債權者ニ對シ一定ノ期間內ニ其ノ請求ノ申出ヲ爲スベキ旨ヲ催告スルコトヲ要ス但シ其ノ期間ハ二月ヲ下ルコトヲ得ズ
前項ノ公告ニハ債權者ガ期間內ニ申出ヲ爲サザルトキハ其ノ債權ハ清算ヨリ除斥セラルベキ旨ヲ附記スルコトヲ要ス但シ清算人ハ知レタル債權者ヲ除斥スルコトヲ得ズ
清算人ハ知レタル債權者ニハ各別ニ其ノ申出ヲ催告スルコトヲ要ス

第二十九條　清算人ハ前條第一項ノ規定ニ依リ債權申出ノ期間經過シタルトキハ遲滯ナク財産目錄ヲ調製シ殘餘財産ノ處分方法ヲ定メ總代會ヲ招集シテ之ニ提出シ財産目錄ニ付テハ其ノ承認ヲ求メ殘餘財産ノ處分方法ニ付テハ其ノ議決ヲ經ベシ

第三十條　清算人ハ組合ノ債務ヲ完濟シ若ハ

完濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非ザレバ殘餘財産ヲ處分シ又ハ清算ヲ結了スルコトヲ得ズ

第三十一條　第二十八條第一項ニ規定スル債權申出ノ期間經過後ニ於テ申出デタル債權者ハ組合ノ債務完濟後未ダ處分ヲ爲サザル財産ニ對シテノミ請求ヲ爲スコトヲ得

第三十二條　清算人ハ清算結了後遲滯ナク清算報告書ヲ調製シ總代會ヲ招集シ之ニ提出シテ承認ヲ求ムベシ

第七章　聯合會

第三十三條　聯合會ヲ設立セントスルトキハ其ノ設立センストスル組合ハ共同シテ聯合會ノ規約ヲ定メ設立認可ノ申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スベシ
前項ノ申請書ニハ左ニ揭グル書類ヲ添附スベシ
一　設立理由書
二　規約及設立ニ關スル組合ノ總代會ノ決議錄ノ謄本
三　初年度ニ於ケル事業ノ計畫書（事業計畫ノ大要竝ニ經費ノ豫算及賦課徵收方法ノ豫定書）

第三十四條　聯合會ニハ總會ヲ置ク
聯合會ノ總會ハ組合ノ代表者ヲ以テ之ヲ組織ス
本令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外聯合會ノ總會ニ關スル事項ハ規約中ニ之ヲ定ムベシ

第三十五條　組合ノ聯合會ヘノ加入及聯合會ヨリノ脫退ニ付テハ聯合會ノ總會ノ議決ヲ經ベシ

第三十六條　聯合會ニハ左ノ役員ヲ置クベシ
理事長　一人
監事　三人以上

第三十七條　役員ハ聯合會ノ總會ニ於テ之ヲ選任スベシ

第三十八條　第五條、第十六條第二項及第十七條乃至第三十二條ノ規定ハ聯合會ニ、第七條乃至第十三條ノ規定ハ聯合會ノ總會ニ之ヲ準用ス但シ組合長トアルハ理事長トス

第八章　組合及聯合會ノ監督

第三十九條　組合及聯合會竝ニ其ノ清算人ニ對スル朝鮮總督及道知事ノ監督ハ之ヲ本令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外組合ニ對スル朝鮮總督及道知事ノ監督ニ屬シ組合又ハ聯合會ノ區域ニ跨ルモノニ付テハ朝鮮總督之ヲ監督ス此ノ場合ニ於テハ第四十四條及第四十七條中道知事トアルハ朝鮮總督トス

第四十條　朝鮮總督又ハ道知事ハ何時ニテモ組合又ハ聯合會ノ業務及財産ニ關シ報告書ヲ徵シ又ハ其ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第四十一條　朝鮮總督又ハ道知事ハ組合又ハ聯合會ノ業務及財産ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　組合長、理事長又ハ清算人關員ノ場合ニ於テ其ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ道知事ハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ任命スルコトヲ得

第四十三條　第七條第四號、第六號、第九號及第三十五條ニ揭グル事項ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ
前項ノ規定ニ依リ組合ノ地區ノ擴張又ハ縮小ニ關スル規約ノ變更ノ認可ヲ申請セントスル場合ニ於テハ其ノ擴張ニ在リテハ擴張スル者ノ區域內ニ居住スル組合員タル資格ヲ有スル者ノ種目ニ付テハ其ノ縮小ニ在リテハ縮小スル區域及縮小後存續スル組合ノ區域ニ依リ其ノ區域內ニ居住スル組合員ノ業種毎ニ三分ノ二以上ノ同意ヲ得申請書ニ其ノ同意書及其ノ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ組合員ノ業種別ノ數ヲ證スル府尹、郡守、島司又ハ邑面長ノ證明書ヲ添附スベシ
前項ノ規定ニ依リ組合員タル資格ニ關スル規約ノ變更及組合ノ分割ノ認可ヲ申請スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　左ニ揭グル事項ニ付テハ道知事ノ認可ヲ受クベシ
一　第七條第一號乃至第三號及第七號ニ揭グル事項
二　組合若ハ聯合會ノ役員又ハ第六條第三項ノ規定ニ依リ指定セラレタル組合ノ總代會ノ議員ノ選任及解任
三　組合又ハ聯合會ノ殘餘財産ノ處分方法

本令ハ朝鮮漁業令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス
水産組合規則ハ之ヲ廢止ス
本令施行ノ際現ニ存スル組合ノ諸規程ハ本令ニ依リ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭和九年十二月總令第百十九號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本令施行ノ際現ニ存スル組合ノ總代會ニシテ從前ノ規定ニ依リ組合規約ヲ以テ設ケタルモノハ之ヲ本令ニ依ル組合ノ總代會、現ニ其ノ職ニ在ル總代ハ之ヲ本令ニ依ル組合ノ總代會ノ議員ト看做ス

●朝鮮水産組合規則第六條第三項ノ規定ニ依ル水産組合指定

昭和十年二月
總告第四十八號

改正　昭和一〇年二部一〇五號

朝鮮水産組合規則第六條第三項ノ規定ニ依ル水産組合ヲ左ノ通指定ス

江原道
江原道鰯油肥製造業水産組合
咸鏡南道
咸鏡南道鰯油肥製造業水産組合
咸鏡北道
咸鏡北道鰯油肥製造業水産組合

●殖産契令

昭和十年八月
制令第十二號

殖産契令中別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ヲ削ル

殖産契令

第一條　殖産契ハ部落其ノ他之ニ準ズル地區內ニ居住スル者ヲ以テ之ヲ組織シ隣保共助ノ精神ニ基キ契員ノ經濟ノ發達ヲ圖ル爲其ノ共同事業ヲ爲スヲ以テ目的トス

第二條　殖産契ハ法人トス

第三條　殖産契ノ名稱中ニハ殖産契ナル文字ヲ用フルコトヲ要ス

第四條　殖産契ヲ設立セントスルトキハ同一

地區内ニ居住スル者五人以上設立者ト爲リ規約ヲ作成シ道知事ノ認可ヲ受クベシ

第五條　規約ニハ左ニ揭ゲル事項ヲ記載シ設立者又ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

一　目的
二　名稱
三　地區
四　事務所ノ所在地
五　契員タル資格ニ關スル規定
六　契員ノ加入及脫退ニ關スル規定
七　契員ノ權利義務ニ關スル規定
八　役員ニ關スル規定
九　事業及其ノ執行ニ關スル規定
十　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

第六條　殖産契ハ其ノ設立ノ認可アリタルトキハ二週間以内ニ事務所ノ所在地ニ於テ設立ノ登記ヲ爲スベシ

第七條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ登記スベキ事項ハ登記前ニ在リテハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第八條　殖産契ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ金融組合又ハ産業組合ノ組合員ト爲ルコトヲ要ス

第九條　殖産契ニ主事、副主事及監事各一人ヲ置ク

主事ハ殖産契ヲ代表シ其ノ事業ヲ執行シ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外契員總會ノ議長ト爲ル

副主事ハ主事ヲ補佐シ主事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

監事ハ殖産契ノ財産及事業執行ノ狀況ヲ監查ス

第十條　主事及副主事ハ規約ノ定ムル所ニ依リ契員中ヨリ之ヲ選任ス

主事ノ任期ハ五年、副主事ノ任期ハ三年トス

監事ハ契ノ屬スル金融組合又ハ産業組合ノ理事ヲ以テ之ニ充ツ

契設立當時ノ主事及副主事ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第十一條　殖産契ハ其ノ財産ヲ以テ債務ヲ完濟スルコト能ハザル場合ニ於テハ契員ハ契ノ屬スル金融組合又ハ産業組合ニ對シ契カ負擔スル債務ニ付連帶シテ之ガ責任ヲ負擔ス

第十二條　殖産契ヨリ脫退シタル契員ハ契ノ屬スル金融組合又ハ産業組合ニ對シ脫退前ニ契カ負擔シタル債務ニ付脫退後仍二年間前條ノ規定ニ依ル責任ヲ負擔ス

第十三條　殖産契ニ加入シタル契員ハ契ノ屬スル金融組合又ハ産業組合ニ對シ加入前ニ契カ負擔シタル債務ニ付モ第十一條ノ規定ニ依リ責任ヲ負擔ス

第十四條　殖産契ハ道知事之ヲ監督ス

第十五條　道知事ハ何時ニテモ殖産契ヲシテ其ノ事業及財産ノ狀況ヲ報告セシメ又ハ部下ノ官吏ヲシテ之ヲ檢査セシムルコトヲ得

第十六條　道知事ハ殖産契ノ事業又ハ財産ノ狀況ニ依リ契ニ對シ事業ノ制限ヲ命ジ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十七條　殖産契カ規約、本令、本令ニ基キテ發スル命令若ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキ、公益ヲ害シ若ハ公益ヲ害スル虞アルトキ又ハ事業繼續困難トナリタルトキハ道知事ハ契員總會ノ決議ヲ取消シ、主事若ハ副主事ノ改選ヲ命ジ又ハ契ノ事業ノ停止若ハ契ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第十八條　登記所ニ殖産契登記簿ヲ備フ

第十九條　本令ニ規定スルモノヲ除クノ外契員總會ノ招集及決議ノ方法、會計、解散、清算、登記其ノ他本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二十條　金融組合令第三條、第二十一條、第二十二條、第三十條、第三十七條ノ二、第四十六條、第四十七條第一項、第四十八條第一項、第四十九條、第五十一條、第五十二條、第五十五條、第五十六條、第五十八條乃至第六十六條及第七十五條ノ規定ハ殖産契ニ之ヲ準用ス但シ同令第二十一條、第三十條、第四十八條第一項、第四十九條、第五十五條及第六十條中定款トアルハ規約、同令第三十條及第五十八條乃至第六十條中組合員トアルハ殖産契ノ契員、理事トアルハ主事、副主事、監事又ハ清算人ヲ二十則以下ノ過料ニ處ス

一　登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ

二　官廳又ハ契員總會ニ對シ不實ノ申述ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ

三　前條ノ規定ニ依リ準用スル金融組合令第五十二條又ハ第七十五條第二項ノ規定ニ違反シタルトキ

四　前條ノ規定ニ依リ準用スル金融組合令第四十六條第一項若ハ第四十九條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ準用スル金融組合令第四十六條第一項若ハ第四十九條第一項ニ掲ゲル書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ、不正ノ記載ヲ爲シ若ハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ閱覽セシメザルトキ

五　第十五條ニ規定スル報告ヲ爲サザルトキ又ハ前條ノ規定ニ依リ準用スル金融組合令第四十七條第一項ニ規定スル書類ヲ提出セザルトキ

六　當該官吏ノ檢査ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ其ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタルトキ

七　本令ニ基キテ發スル命令又ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ從ハザルトキ

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル民法第七十三條及第七十八條乃至第八十一條

第三十二條　殖産契ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方法院又ハ其ノ支廳若ハ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

第三十三條　設立ノ登記ニ付登記スベキ事項左ノ如シ

一　目的
二　名稱
三　地區
四　事務所
五　屬スル金融組合又ハ産業組合ノ名稱
六　設立認可ノ年月日
七　主事及副主事ノ氏名及住所
八　存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

前項ノ登記事項ニ變更アリタルトキハ一週間以内ニ事務所ノ所在地ニ於テ其ノ變更ノ登記ヲ爲スベシ

第三十四條　前條第一項ノ登記事項ニ變更アリタルトキハ二週間以内ニ事務所ノ所在地ニ於テ其ノ變更ノ登記ヲ爲スベシ

第三十五條　殖産契ハ左ノ事由ニ因リ解散ス

一　規約ニ定メタル存立時期ノ滿了又ハ解散ノ事由ノ發生
二　契員總會ノ決議
三　合併
四　契員ノ缺亡
五　破産
六　殖産契令第十七條ノ解散命令

第三十六條　殖産契カ合併ヲ爲シタルトキハ二週間以内ニ事務所ノ所在地ニ於テ合併後存續スル殖産契ニ在リテハ變更ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ消滅シタル殖産契ニ在リテハ解散ノ登記ヲ爲シ、合併ニ因リテ設立シタル殖産契ニ在リテハ設立ノ登記ヲ爲スベシ

第三十七條　殖産契ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケテ其ノ解散ヲ爲スベシ

第三十八條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第百四十一條乃至第百四十九條、第百五十條ノ二、第百五十一條乃至第百五十四條乃至第百五十七條及第百五十九條ノ規定ハ殖産契ノ解散ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十九條　殖産契ハ解散ノ場合ニ於テハ清算人ヲシテ其ノ債權ヲ取立テ債務ヲ辨濟セシメ殘餘財産アルトキハ契員ニ對シ其ノ出資ノ價額ニ應ジテ之ヲ分配スベシ

第四十條　清算人ハ殖産契ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非ザレバ殖産契ノ財産ヲ分配スルコトヲ得ズ

第四十一條　清算事務終了シタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作リ契員總會ヲ招集シ之ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第四十二條　清算人ハ殖産契ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非ザレバ殖産契ノ財産ヲ分配スルコトヲ得ズ

第四十三條　清算人ハ清算ノ願末ヲ道知事ニ報告スベシ

第四十四條　清算人ハ清算ノ願末ヲ道知事ニ報告シ其ノ承認ヲ得タルトキハ遲滯ナク殖産契ノ解散ヲ公告スベシ

第四十五條　殖産契ノ解散ハ道知事ノ認可ヲ受ケタル日ヨリ之ヲ施行ス

第七章　移住拓殖

●農地移住奬勵補助規則

昭和十年五月
總令第七十四號

農地移住奬勵補助規則左ノ通定ム

第一條　土地ノ耕作ニ從事スル目的ヲ以テ移住スル者ヲ招致シ其ノ旅費、住宅費、農具費其ノ他直接移住ニ必要ナル費用ノ全部又ハ一部ヲ給與シタル者ニ對シテハ本令ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條　補助金ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ交付ス

一　金羅北道、金羅南道、慶尚北道又ハ慶尚南道ヨリ黃海道、平安南道、平安北道、咸鏡南道又ハ咸鏡北道ニ移住者ヲ招致シタル場合ニ於テハ移住者一戶ニ付百圓以内

二　前號ニ該當セザル移住者ニシテ朝鮮土

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和十年十二月總令第百四十四號ヲ以テ同年同月二十日ヨリ施行）

●殖産契令施行規則

昭和十年十二月
總令第百四十五號

殖産契令施行規則左ノ通定ム

殖産契令施行規則

第一條　殖産契令第八條ノ規定ニ依リ殖産契ノ屬スベキ金融組合又ハ産業組合ハ道知事之ヲ指定ス

前項ノ規定ニ依リ組合ノ指定アリタルトキハ殖産契ハ當該組合ニ加入シタルモノト看做ス

殖産契ハ其ノ事務所ノ所在地カ一ノ金融組合ノ區域ノミニ屬スルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラズ當該組合ニ加入シタルモノト看做ス

道知事第一項ノ規定ニ依リ指定ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督ノ諮詢ヲ受クベシ

第二條　殖産契ハ前條ノ規定ニ依リ金融組合又ハ産業組合ニ加入シタルトキハ遲滯ナク左ニ揭ゲル事項ヲ當該組合ニ屆出デタル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ

一　規約
二　事務所ノ位置
三　設立認可ノ年月日
四　主事及副主事ノ氏名及住所

第三條　主事及副主事ノ任期ハ規約ヲ以テ任期中ノ最終ノ事業年度ニ關シ決算ヲ終ヘタル後ニ於ケル通常總會ノ終結ニ至ル迄之ヲ伸長スルコトヲ得

第四條　定時契員總會ハ毎年一回規約ニ定メタル時期ニ於テ主事之ヲ招集ス

第五條　臨時契員總會ハ必要アルトキ主事之ヲ招集ス

第六條　契員ハ總契員五分ノ一以上ノ同意ヲ得契員總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ契員總會ノ招集ヲ主事ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ主事ハ一週間以内ニ契員總會ヲ招集スベシ

第七條　主事及副主事事故アルトキ又ハ缺員

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

地改良令ニ依リ土地改良ヲ施行スル土地ノ耕作ニ従事スルモノヲ招致シタル場合ニ於テハ移住者一戸ニ付五十圓以内特別ノ事情アル場合ニ於テハ前項各號ノ制限ニ依ラザルコトアルベシ

第三條　移住者十戸ニ達セザルトキハ補助金ヲ交付セズ但シ前條第一項第一號ニ該當スル移住者ノミヲ招致スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ移住者ト看做サズ

一　帝國外ヨリ移住スル者

二　單身移住スル者其ノ他定住ノ見込ナキ者

三　農業ニ經驗ナキ者

四　前住地ヨリ一里未滿ノ地ニ移住スル者

第五條　補助金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ豫メ移住者招致計畫書（様式第一號）ヲ朝鮮總督ニ提出シ其ノ承認ヲ受クベシ移住者招致計畫書ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第六條　前條ノ承認ヲ受ケタル者毎年豫定ノ移住者ヲ招致シタルトキハ翌年一月三十一日迄ニ補助金交付申請書ニ左ノ書類ヲ添附シ朝鮮總督ニ之ヲ提出スベシ

一　移住者調書（様式第二號）

二　給與シタル移住費ニ對スル移住者ノ領收書

三　移住地ノ府尹又ハ邑面長ノ移住證明書

四　第二條第一號第一號ニ該當スル移住者ニ付テハ前住地ノ府尹又ハ邑面長ノ退去證明書

第七條　朝鮮總督ハ第五條ノ承認ヲ受ケタル者ニ對シ移住者ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ當該官吏ヲシテ書類物件ノ檢査ヲ爲サシムルコトアルベシ

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ朝鮮總督ハ補助金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シ補助金ノ返納ヲ命ズルコトアルベシ

一　前條ノ規定ニ依ル檢査ヲ拒ミ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタルトキ

二　詐偽其ノ他不正ノ手段ニ依リ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

附　則

本令ハ昭和十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

土地改良施行地移住奨勵補助規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前土地改良施行地移住奨勵補助規則ニ依リ爲シタル處分及之ニ附シタル條件ハ本令ニ依リ爲シタル處分及之ニ附シタル條件トス看做ス

本令施行前土地改良施行地移住奨勵補助規則ニ依リ爲シタル申請其ノ他ノ手續ハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

様式第一號

移住者招致計畫書

一　名稱

二　耕作地ノ所在、面積及概況

三　既往ニ於ケル移住者招致ノ狀況

四　招致セントスル移住者ノ道別及年別豫定數

五　移住者募集選定ノ方法及移住セシムル時期

六　移住者ノ待遇方法

(一)　移住ノ爲必要ナル費用ノ負擔關係

(ロ)　耕作ノ條件（小作契約ノ內容、耕地劃當又ハ讓渡ノ方法等）

(ハ)　移住者ノ福利ヲ增進セシムル爲ノ施設

七　移住者ノ移住後五年間ノ年別收支概算

八　移住者ヲ以テ組織スル産業組合其ノ他團體的組織ノ規約及成績又ハ之ガ計畫ノ有無

九　其ノ他參考ト爲ルベキ事項

様式第二號

移住者調書

移住者　氏　名　年　月　日生

一　本籍

二　前住地

三　前住地ニ於ケル職業

四　同伴移住シタル家族ノ氏名、年齢及本人トノ續柄

五　移住年月日

六　移住及耕作ニ關スル契約

七　移住ノ爲給與シタル費用明細書

備考

一　本調書ハ移住者各別ニ調製スルコト

二　第六號ニハ移住ノ爲要シタル費用ノ負擔關係、小作契約ノ內容、耕地讓渡ノ方法等ヲ詳細記述スルコト

三　第七號ニハ旅費、住宅費、農具費等ニ區分掲記スルコト

●東洋拓殖株式會社法

明治四十一年八月

法律第六十三號

改正　明治四三年四月九號、大正六年七號
二三號、昭和三年五號七號、一三年三號

第一章　總則

第一條　東洋拓殖株式會社ハ內地以外ノ地域ニ於ケル拓殖資金ノ供給其ノ他拓殖事業ノ經營ヲ目的トスル株式會社トシ其ノ本店ヲ東京ニ置ク

第二條　東洋拓殖株式會社ノ資本ハ一千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ增加スルコトヲ得

第三條　東洋拓殖株式會社ノ株式ハ總テ記名式トシ日本人ニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

第四條　東洋拓殖株式會社ノ資本增加ノ株金全額ノ拂込アルコトヲ要セス

第四條ノ二　東洋拓殖株式會社ノ定款變更ハ資本ノ半額以上ニ當ル株主出席シ其ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第五條　東洋拓殖株式會社ノ存立時期ハ設立登記ノ日ヨリ百年トス但シ政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第六條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受ケタル本店又ハ出張所ヲ京城、奉天其ノ他ノ地ニ置ク

第二章　役員

第七條　東洋拓殖株式會社ニ總裁副總裁各一人、理事三人以上、監事二人以上ヲ置ク

第八條　總裁ハ東洋拓殖株式會社ヲ代表シ其ノ業務ノ總理ヲ總裁事故アルトキハ副總裁其ノ職務ヲ代理シ總裁副總裁及理事ハ總裁ヲ輔佐シ定款ノ定ムル所ニ從ヒ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ分掌シ又ハ之ニ參與ス

監事ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

第九條　總裁及副總裁ハ政府之ヲ命シ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ五十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選舉シ政府其ノ中ヨリ之ヲ命シ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ三十株以上ヲ所有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第十條　總裁、副總裁及東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ分掌スル理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得但シ政府ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三章　營業

第十一條　東洋拓殖株式會社ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　拓殖ノ爲必要ナル資金ノ供給

二　拓殖ノ爲必要ナル農業、水利事業及土地ノ取得、經營、處分

三　拓殖ノ爲必要ナル移住民ノ募集及分配

四　移住民ノ爲必要ナル建築物ノ築造、賣買及貸借

五　移住民又ハ農業者ニ對シ拓殖ノ爲必要ナル物品ノ供給及其ノ生產シタル物品ノ分配

六　委託ニ因ル土地ノ經營及管理

七　其ノ他拓殖ノ爲必要ナル事業ノ經營

前項第七號ノ事業ヲ經營シ又ハ朝鮮以外ノ地域ニ於テ前項第一號乃至第六號ノ事業ヲ營ムムトスルトキハ其ノ事業及地域ニ付總督ノ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條　政府ハ必要ト認ムルトキハ前條第一項第一號以外ノ業務ニ使用スル資金ノ額ヲ制限スルコトヲ得

第十三條　第十一條第一項第一號ノ資金供給ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フヘシ

一　移住民ニ對シ二十五年以內ノ年賦償還又ハ五年以內ノ定期償還ノ方法ニ依ル移住費ノ貸付

二　生產者ニ對シ其ノ生產物ヲ擔保トシ一年以內ノ貸付

三　三十年以內ノ年賦償還又ハ五年以內ノ定期償還ノ方法ニ依ル不動產、鐵道、鑛業權其ノ他不動產上ノ權利ヲ擔保トスル貸付

四　公共團體又ハ特別ノ法令ニ依リ組織シタル產業ニ關スル組合ニ對シ三十年以內ノ年賦償還又ハ五年以內ノ定期償還ノ方法ニ依ル無擔保貸付

五　農業者二十人以上連帶シテ債務ヲ負フ者ニ對シ五年以內ノ定期償還ノ方法ニ依ル無擔保貸付

六　移民取扱業其ノ他拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ株券又ハ債券ヲ質トスル五年以內ノ定期償還ノ方法ニ依ル貸付

七　移民取扱業其ノ他拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ株券又ハ債券ノ應募、引受

八　法令ノ規定ニ依リ設定シタル財團其ノ他確實ナル物件ヲ擔保トスル三十年以內ノ年賦償還又ハ五年以內ノ定期償還ノ方法ニ依ル貸付

前項第二號ノ貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ手形割引ノ方法ニ依ルコトヲ得

第十三條ノ二　東洋拓殖株式會社ハ定期預リ金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ定期預リ金ハ前條第一項第二號又ハ第七號ノ貸付ニ充ツル場合ヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得

第十四條　不動產ヲ擔保トスル貸付金額ハ東洋拓殖株式會社ニ於テ鑑定シタル價格ノ三分ノ二以內トス

第十五條　不動產ヲ擔保トスル貸付ニ付テハ第一順位ノ擔保ナルコトヲ要ス但シ舊債アル場合ニ於テ東洋拓殖株式會社ヨリ借入ス

ル新債ヲ以テ舊債ヲ償還スル效果ニ依リ新債ノ第一順位ノ擔保ト爲ルコトヲ得ヘキトキハ此ノ限ニ在ラス

第十六條　貸付金ノ年賦償還ニ付テハ五年以內ノ據置年限ヲ定ムヘシ

第十七條　年賦金ハ元金ト利子トヲ併セテ之ヲ計算シ各年ヲ通シテ一定平等ノ償還額ヲ定ムヘシ但シ據置年限間ノ利子ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十八條　年賦償還ノ方法ヲ以テ借入ヲ爲シタル債務者ハ償還期限前ニ借用金ノ全部又ハ一部ヲ償還スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ東洋拓殖株式會社ハ定款ニ於テ定ムル所ノ率ニ依リ相當ノ手數料ヲ要求スルコトヲ得

第十九條　左ノ場合ニ於テハ償還期限前ト雖貸付金全部ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

一　債務者カ貸付ノ目的ニ反シテ貸付金ヲ使用シタルトキ

二　債務者カ年賦金ノ拂込ヲ遲延シ催告ヲ受クルモ尙拂込ヲ爲ササルトキ

三　擔保タル不動產ノ全部又ハ一部カ公用ノ爲收用セラルルトキ但シ債務者ニ於テ收用補償金ノ供託又ハ相當ノ不動產ヲ以テ擔保トスルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項第三號ノ場合ニ於テ其ノ收用カ一部ニ止マルトキハ償還ノ要求モ其ノ割合ニ應スヘキモノトス

第二十條　擔保物ノ價格減少シ貸付金償還殘額ニ對シ第十四條ノ割合ニ不足ヲ生シタルトキハ增擔保ヲ要求シ又ハ其ノ不足ニ相當スル貸付金額ノ償還ヲ要求スルコトヲ得

第二十一條　督業上ノ餘裕金ハ一時國債證券ノ利子及利引料ノ最高歩合ハ每督業年度ノ初ニ於テ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十八條　東洋拓殖株式會社ニ於テ政府ノ認可ヲ受ケタル事項ヲ變更セムトスルトキハ更ニ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第三十九條　政府ハ東洋拓殖株式會社ニ對シ設立登記ノ日ヨリ起算シ八年間ヲ限リ每年金三十萬圓ヲ每督業期ニ剩當テ補給スヘシ但シ每督業期ニ於ケル利益配當力拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ內ヨリ

第十二條　政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

第十三條　政府ハ東洋拓殖株式會社監理官ヲ置キ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監視セシム

東洋拓殖株式會社監理官ハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ノ金庫帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢查スルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ニ命シテ督業上諸般ノ計算及景況ヲ報告セシムルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シテ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第十四條　政府ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得

第十五條　東洋拓殖株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲法令若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スルモノト認ムルトキハ政府ハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解職スルコトヲ得東洋拓殖株式會社ノ役員ニ於テ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セサルトキ亦同シ

第十六條　東洋拓殖株式會社ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第十七條　東洋拓殖株式會社ニ於テ移住規則其ノ他ノ規定ヲ定ムルトキハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條ノ二　東洋拓殖株式會社ノ貸付金ノ利引料及每督業年度ノ利益金ノ處分ニ關スル事項ハ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條　東洋拓殖株式會社ハ每督業期ニ於テ決算ヲ爲シ貸借對照表、財產目錄、損益計算書及剩餘金處分ノ方法ヲ定メ政府ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條　東洋拓殖株式會社ハ每督業期ニ於テ營業報告書ヲ作リ政府ニ提出スヘシ

第二十條　東洋拓殖株式會社ハ每督業期ニ於テ決算ノ結果利益ヲ生シタルトキハ其ノ利益ヲ左ノ順序ニ從テ處分スヘシ

一　損失補塡準備金ニ積立ツヘキ金額

二　第五條ノ存立時期內ニ於ケル每年金三十萬圓ノ剩當ニ對スル補給金ノ返納金額

三　每督業期ニ於ケル利益配當ノ平均ヲ得セシムル爲利益ノ百分ノ二以上ヲ積立ツヘキ金額

四　每督業期ニ於ケル利益配當力拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ內ヨリ返納スル爲積立ツヘキ金額

五　每督業期ニ於ケル利益配當力拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ內ヨリ返納スル爲積立ツヘキ金額

六　每督業期ニ於ケル利益配當力拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ內ヨリ返納スル爲積立ツヘキ金額

七　每督業期ニ於ケル利益配當力拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ內ヨリ返納スル爲積立ツヘキ金額

八　每督業期ニ於ケル利益配當力拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ內ヨリ返納スル爲積立ツヘキ金額

九　每督業期ニ於ケル利益配當力拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ內ヨリ返納スル爲積立ツヘキ金額

十　每督業期ニ於ケル利益配當力拂込資本額ニ對シ年八分ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ補給金ノ內ヨリ返納スル爲積立ツヘキ金額

控除ス

第四十條　利益配當カ拂込資本額ニ對シ年一割ノ割合ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ハ先ツ之ヲ前條補給金ノ償還ニ充ツヘシ前項ノ償還ヲ終ヘタルトキハ該超過金額ハ其ノ半額ヲ特別積立金トスヘシ

第七章　雜則

第四十一條　東洋拓殖株式會社ニ於テ左ノ事犯アルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處シ其ノ事犯副總裁又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副總裁又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　本法ニ於テ政府ノ認可ヲ受ケヘキ場合ニ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二　第十一條ノ規定ニ依ラス業務ヲ營ミタルトキ

三　第十二條又ハ第三十四條ノ規定ニ基キ發シタル命ニ違反シタルトキ

三ノ二　第十三條、第十四條乃至第十七條ノ規定ニ違反シ資金ヲ供給シタルトキ

三ノ三　第十三條ノ二第二項ノ規定ニ違反シ資金ヲ使用シタルトキ

四　第二十一條ノ規定ニ違反シ營業上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ

五　第二十三條ノ規定ニ違反シ東洋拓殖債券ヲ發行シタルトキ但シ第二十八條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

六　第二十八條ノ規定ニ違反シ東洋拓殖債券ノ償還ヲ爲ササルトキ

七　第三十一條又ハ第四十條ノ規定ニ違反シ利益金ヲ處分シタルトキ

第四十二條　東洋拓殖株式會社ノ總裁、副總裁又ハ理事第十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二千圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十三條　前二條ニ規定セル過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附　則

第四十四條　政府ハ設立委員ヲ命シ韓國政府ノ命シタル設立委員ト共同シテ東洋拓殖株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第四十五條　設立委員ハ定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十六條　東洋拓殖株式會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第二十七條　朝鮮總督ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　朝鮮總督ハ東洋拓殖株式會社監理官ヲ置キ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監視セシム

第二十九條　東洋拓殖株式會社監理官ハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査スルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ニ命シ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十條　朝鮮總督ハ東洋拓殖株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第三十一條　東洋拓殖株式會社ニ該當スルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル理事ヲ百圓以上二千圓以下ノ過料ニ處スルコト亦同シ

一　本令ニ依リ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二　第十條第一項ノ規定ニ違反シタルトキ

第四十二條　設立委員ハ定款ヲ作リ政府ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ募集ヲ爲スコトヲ得ス

第四十三條　設立委員ハ株主ノ募集終リタルトキハ株式會社設立ノ認可ヲ申請スヘシ

第四十四條　設立認可アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク各株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムヘシ

第四十五條　前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第四十六條　創立總會ニ於テハ設立委員ハ其ノ事務ヲ東洋拓殖株式會社總裁ニ引渡スヘシ

第四十七條　第一期ノ理事及監事ハ株主總會ノ選擧ニ依ラス之ヲ任命シ其ノ他ノ條件ニ付テハ第九條ノ例ニ依リ第九條ノ任期滿了後最近ノ定時株主總會會日迄留任スルコトヲ得

附　則（大正六年七月法律第二十三號）

本法ハ大正六年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法施行ノ際現ニ理事タル者ノ任期ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和十三年三月法律第三十八號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十三年四月勅令第二百九十五號ヲ以テ昭和十三年五月一日ヨリ施行）

●鮮滿拓殖株式會社令

昭和十一年六月
制令第七號

鮮滿拓殖株式會社令別治四十四年法律第三十號及第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

鮮滿拓殖株式會社令

第一章　總則

第一條　鮮滿拓殖株式會社ハ朝鮮人移住者ノ爲必要ナル拓殖事業ノ經營及滿洲國ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル拓殖事業ニ對スル資金ノ供給ヲ爲スヲ目的トスル株式會社トシ其ノ本社ヲ京城ニ置ク

第二條　鮮滿拓殖株式會社ハ株金金額拂込前第四條　鮮滿拓殖株式會社ノ株金ハ記名式トシ帝國臣民、帝國法令ニ依リ設立シタル法人、滿洲國人又ハ滿洲國法令ニ依リ設立シタル法人ニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得

第五條　鮮滿拓殖株式會社ノ存立期間ハ設立登記ノ日ヨリ三十年トス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ之ヲ延長スルコトヲ得

第二章　役員

第六條　鮮滿拓殖株式會社ニ總裁一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置ク

第七條　總裁ハ鮮滿拓殖株式會社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

總裁事故アルトキハ定數ノ定ムル所ニ從ヒ理事中一人其ノ職務ヲ代理シ總裁員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ總裁ヲ補助シ鮮滿拓殖株式會社ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ鮮滿拓殖株式會社ノ業務ヲ監査ス

第八條　總裁ハ朝鮮總督之ヲ命シ其ノ任期ヲ五年トス

理事ハ五年以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選擧シ朝鮮總督其ノ中ヨリ之ヲ命シ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ三年以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第九條　總裁及理事ハ他ノ職務又ハ商業ニ從事スルコトヲ得ス但シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三章　營業

第十條　鮮滿拓殖株式會社ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル土地ノ取得、經營及處分

二　西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル資金ノ貸付

三　西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル建築物ノ築造、賣買及貸借

四　西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル土地ノ經營及管理

五　其ノ他西北鮮ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル事業

六　滿洲國ニ於ケル朝鮮人移住者ノ爲必要ナル拓殖事業ヲ營ムコトヲ目的トスル會社ノ株式ノ引受及事業資金ノ貸付

前項第五號又ハ第六號ノ業務ヲ營マントスルトキハ豫メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條　前條第一號ノ土地ノ處分ノ方法及同第二號ノ資金ノ貸付ノ方法ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十二條　營業上ノ餘裕金ハ國債證券、地方債證券若ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ應募、引受若ハ買入ヲ爲シ又ハ朝鮮總督ノ指定シタル銀行ニ預入ヲ爲スノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス

第四章　鮮滿拓殖債券

第十三條　鮮滿拓殖株式會社ハ拂込タル株金額ノ三倍ヲ限リ鮮滿拓殖債券ヲ發行スルコトヲ得

鮮滿拓殖債券ヲ發行スル場合ニ於テハ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第二百九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セス

社債ヲ發行スル場合ニ於テ應募總額カ社債申込證ニ記載シタル社債總額ニ達セサルトキト雖モ社債ヲ成立セシムル旨ノ社債申込證ニ記載シタルトキハ其ノ應募總額ヲ以テ社債總額トス

第十四條　鮮滿拓殖債券ヲ發行セントスルトキハ每回其ノ金額、條件並ニ發行及償還ノ方法ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條　鮮滿拓殖債券ノ募面金額十圓以上トシ無記名式利札附トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ因リ記名式トスルコトヲ得

第十六條　募面金額二十圓以下ノ鮮滿拓殖債券ヲ發行スル場合ニ於テハ賣出ノ方法ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ賣出期間ヲ定ムルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テハ社債申込證ヲ作ルコトヲ要セス

第一項ノ規定ニ依リ發行スル鮮滿拓殖債券

ニハ商號竝ニ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第百七十三條第二號及第四號乃至第六號ニ揭ケル事項ヲ記載スルコトヲ要ス

朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第二百四條ノ三第一項ノ期間ハ鮮滿拓殖債券ノ賣出期間滿了ノ日ヨリ之ヲ起算シ共ノ登記ニ關スル事項ハ賣出期間內ニ於ケル鮮滿拓殖債券ノ賣上總額及朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第百七十三條第四號乃至第六號ニ揭ケル事項トス

賣出ノ方法ニ依リ鮮滿拓殖債券ヲ發行シタル場合ニ於ケル社債ノ登記ノ申請書ニハ賣出期間內ニ於ケル鮮滿拓殖債券ノ賣上總額ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十七條　賣出ノ方法ニ依リ鮮滿拓殖債券ヲ發行セントスルトキハ賣出期間及朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第二百三條第二項第一號乃至第三號ニ揭ケル事項ヲ公告スヘシ

第十八條　鮮滿拓殖債券ノ所有者ハ鮮滿拓殖株式會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第十九條　鮮滿拓殖債券ノ消滅時效ハ元金ニ在リテハ十五年、利子ニ在リテハ五年ヲ以テ完成ス

第二十條　鮮滿拓殖株式會社ハ社債借替ノ爲一時第十三條第一項ノ制限ニ拘ラス鮮滿拓殖債券ヲ發行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ發行後一月以內ニ其ノ社債總額ニ相當スル舊鮮滿拓殖債券ヲ償還スヘシ

第二十一條　鮮滿拓殖株式會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ鮮滿拓殖債券ノ買入償却ヲ爲スコトヲ得

第二十二條　鮮滿拓殖債券ノ模造ニ關シテハ朝鮮刑事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル通貨及證券模造取締法ヲ準用ス

第五章　監督

第二十三條　朝鮮總督ハ鮮滿拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス

第二十四條　鮮滿拓殖株式會社借入金ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クヘシ

第二十五條　設立委員ハ定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十六條　鮮滿拓殖株式會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第二十七條　朝鮮總督ハ鮮滿拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　朝鮮總督ハ鮮滿拓殖株式會社監理官ヲ置キ鮮滿拓殖株式會社ノ業務ヲ監視セシム

第二十九條　鮮滿拓殖株式會社監理官ハ何時ニテモ鮮滿拓殖株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査スルコトヲ得

鮮滿拓殖株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ鮮滿拓殖株式會社ニ命シ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

鮮滿拓殖株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十條　朝鮮總督ハ鮮滿拓殖株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第三十一條　鮮滿拓殖株式會社ニ該當スルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル理事ヲ百圓以上二千圓以下ノ過料ニ處スルコト亦同シ

一　本令ニ依リ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二　第十條第一項ノ規定ニ依ラス業務ヲ營ミタルトキ

第三十二條　鮮滿拓殖株式會社ニ於テ左ノ事犯アルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル副總裁ヲ百圓以上千圓以下ノ過料ニ處シ其ノ事犯副總裁又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副總裁又ハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同シ

一　本法ニ於テ政府ノ認可ヲ受ケヘキ場合ニ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二　第十一條ノ規定ニ依ラス業務ヲ營ミタルトキ

三　第十二條又ハ第三十四條ノ規定ニ基キ發シタル命ニ違反シタルトキ

三ノ二　第十三條、第十四條乃至第十七條ノ規定ニ違反シ資金ヲ供給シタルトキ

三ノ三　第十三條ノ二第二項ノ規定ニ違反シ資金ヲ使用シタルトキ

四　第二十一條ノ規定ニ違反シ營業上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ

五　第二十三條ノ規定ニ違反シ東洋拓殖債券ヲ發行シタルトキ但シ第二十八條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

六　第二十八條ノ規定ニ違反シ東洋拓殖債券ノ償還ヲ爲ササルトキ

七　第三十一條又ハ第四十條ノ規定ニ違反シ利益金ヲ處分シタルトキ

第四十二條　東洋拓殖株式會社ノ總裁、副總裁又ハ理事第十條ノ規定ニ違反シタルトキハ二千圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十三條　前二條ニ規定セル過料ニ付テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

附　則

第四十四條　政府ハ設立委員ヲ命シ韓國政府ノ命シタル設立委員ト共同シテ東洋拓殖株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム

第四十五條　設立委員ハ定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十六條　東洋拓殖株式會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非サレハ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ス

第二十七條　朝鮮總督ハ東洋拓殖株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十八條　朝鮮總督ハ東洋拓殖株式會社監理官ヲ置キ東洋拓殖株式會社ノ業務ヲ監視セシム

第二十九條　東洋拓殖株式會社監理官ハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査スルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ必要ト認ムルトキハ何時ニテモ東洋拓殖株式會社ニ命シ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

東洋拓殖株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第三十條　朝鮮總督ハ東洋拓殖株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第三十一條　東洋拓殖株式會社ニ該當スルトキハ總裁又ハ總裁ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル理事ヲ百圓以上二千圓以下ノ過料ニ處スルコト亦同シ

一　本令ニ依リ認可ヲ受クヘキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケサルトキ

二　第十條第一項ノ規定ニ依ラス業務ヲ營ミタルトキ

第三十二條　東洋

総會ニ於テ二倍ノ候補者ヲ選挙シ朝鮮總督其ノ中ヨリ之ヲ命ジ其ノ任期ヲ四年トス

監事ハ三十株以上ヲ有スル株主中ヨリ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ其ノ任期ヲ二年トス

第九條　朝鮮林業開發株式會社ハ左ノ業務ヲ營ムモノトス

一　造林事業

二　製材事業

三　林産物ノ販賣

四　委託ニ依ル林野ノ經營

五　其ノ他林業ノ開發ノ爲必要ナル事業

前項第五號ノ事業ヲ營マントスルトキハ豫メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十一條　營業上ノ餘裕金ハ國債證券、地方債證券ノ應募、引受若ハ買入ヲ爲スヌハ朝鮮總督ノ指定シタル銀行ニ預入ヲ爲スノ外之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第四章　監督

第十二條　朝鮮總督ハ朝鮮林業開發株式會社ノ業務ヲ監督ス

第十三條　朝鮮林業開發株式會社ハ債ヲ募集シ其ノ他借入金ヲ爲サントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

第十四條　定款ノ變更、合併及解散ノ決議ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第十五條　朝鮮林業開發株式會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ利益金ノ處分ヲ爲スコトヲ得ズ

第十六條　朝鮮林業開發株式會社ハ其ノ經營スル林野ニ付施業案ヲ定メ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更スルトキ亦同ジ

朝鮮總督必要アリト認ムルトキハ前項ノ施業案ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第十七條　朝鮮總督ハ朝鮮林業開發株式會社ノ業務ニ關シ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十八條　朝鮮總督ハ朝鮮林業開發株式會社ノ監理官ヲシテ朝鮮林業開發株式會社ノ業務ヲ監視セシム

第十九條　朝鮮林業開發株式會社監理官ハ何時ニテモ朝鮮林業開發株式會社ノ金庫、帳簿及諸般ノ文書物件ヲ檢査スルコトヲ得、

朝鮮林業開發株式會社監理官ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ朝鮮林業開發株式會社ニ命ジ業務ニ關スル諸般ノ計算及狀況ヲ報告セシムルコトヲ得

朝鮮林業開發株式會社監理官ハ株主總會其ノ他諸般ノ會議ニ出席シ意見ヲ陳述スルコトヲ得

第二十條　朝鮮總督ハ朝鮮林業開發株式會社ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第五章　罰則

第二十一條　朝鮮林業開發株式會社左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ社長又ハ社長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル理事ヲ百圓以上二千圓以下ノ過料ニ處ス理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ理事ヲ過料ニ處スルコト亦同ジ

一　本令ニ依リ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ

二　第十條第一項ノ規定ニ依ラズシテ業務ヲ營ミタルトキ

三　第十一條ノ規定ニ違反シ營業上ノ餘裕金ヲ使用シタルトキ

四　第十六條第二項又ハ第十七條ノ規定ニ基キテ爲シタル命令ニ違反シタルトキ

第二十二條　朝鮮林業開發株式會社ノ社長又ハ理事第九條ノ規定ニ違反シタルトキハ二十圓以上二百圓以下ノ過料ニ處ス

第二十三條　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前二條ノ過料ニ之ヲ準用ス

附　則

第二十四條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和十二年六月総令第七十九號ヲ以テ昭和十二年六月二十八日ヨリ施行）

第二十五條　朝鮮總督ハ設立委員ヲ命ジ朝鮮林業開發株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ノ處理ニ當ラシム

第二十六條　設立委員ハ定款ヲ作成シ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタル後株主ヲ募集スベシ

第二十七條　株式申込證ニハ定款認可ノ年月日竝ニ朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第百二十六條第二項第二號、第四號及第五號ニ規定スル事項ヲ記載スベシ

第二十八條　設立委員ハ株式申込證ヲ朝鮮總督ニ提出シ其ノ檢査ヲ受クベシ

第二十九條　設立委員ハ前條ノ檢査ヲ受ケタル後遲滯ナク各株ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシムベシ

前項ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滯ナク創立總會ヲ招集スベシ

第三十條　創立總會ニ於テハ設立委員ハ其ノ事務ヲ朝鮮林業開發株式會社社長ニ引渡スベシ

第三十一條　設立初度ノ理事ハ五株以上ヲ有スル株主中ヨリ、設立初度ノ監事ハ三十株以上ヲ有スル株主中ヨリ朝鮮總督之ヲ命ジ任期ハ理事ニ在リテハ四年、監事ニ在リテハ二年トス

第八章　勧業

第一款　商工奨勵館

●朝鮮總督府商工奨勵館規則

昭和四年十二月總督府令第百六十七號

第一章　總則

第一條　朝鮮總督府商工奨勵館ハ商品ノ改良及販路ノ擴張ヲ圖ル爲左ニ掲グル業務ヲ行フ

一　商品ノ見本及參考品ノ蒐集及陳列

二　商品及商取引ニ關スル各種ノ調査及紹介

三　商工業ニ關スル圖書其ノ他ノ刊行物ノ發行、蒐集及供覽

四　商品ノ意匠及圖案ニ關スル調査及研究

五　鮮内重要物産ニ關スル技術上ノ研究

六　産業發達上適切ナル諮問ニ應ジ其ノ他商品ノ改良及販路ノ擴張ニ關スル施設

第二條　本館ノ陳列品ハ參考品及普通出品ノ二種トス

見本又ハ參考トシテ本館ニ於テ購入シ又ハ營業者其ノ他ヨリ出品又ハ寄贈シタル陳列品ヲ參考品トス

營業者ヨリ販賣ノ爲出品シタル陳列品ヲ普通品トス

第三條　本館ハ祭日、祝日及朝鮮總督府始政記念日ノ翌日、月曜日竝ニ十二月二十五日ヨリ翌年一月三日迄休館スル外毎日左ノ通開閉ス但シ時宜ニ依リ開閉時限ヲ變更シ、臨時開館若ハ休館シ又ハ一時觀覽若ハ閲覽ヲ停止スルコトアルベシ此ノ場合ニ於テハ其ノ都度之ヲ公示ス

三月一日ヨリ六月三十日迄

午前九時ヨリ開館　午後五時閉館

七月一日ヨリ八月三十一日迄

午前八時ヨリ開館　午後三時閉館

九月一日ヨリ十月三十一日迄

午前九時ヨリ開館　午後五時閉館

十一月一日ヨリ翌年二月末日迄

午前十時開館　午後四時閉館

閉館中ト雖官公署、學校、團體等ヨリ豫メ申込アルトキハ特ニ觀覽又ハ閲覽ヲ許可スルコトアルベシ

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノノ外出品又ハ寄贈ハ之ヲ受諾セズ

一　朝鮮内ノ生産品ニシテ現ニ取引大ナルモノ

二　朝鮮内ノ生産品ニシテ取引未ダ大ナラザルモ前途發達ノ見込アルモノ

三　朝鮮外ノ生産品ニシテ鮮内ノ生産發達ノ

ニ資スベキモノ

四　其ノ他本館ニ於テ必要アリト認ムルモノ

第五條　出品又ハ寄贈セントスル者ハ第一號樣式ニ依リ申込書（本館ニ於テ交附ス）ニ必要ナル事項ヲ記入シ本館宛之ヲ提出スベシ

現品ハ出品又ハ寄贈受諾書到達ノ上出品者又ハ寄贈者ニ於テ入館ノ手續ヲ爲スベシ但シ出品者又ハ寄贈者ニ於テ現品ヲ持參スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノノ出品又ハ寄贈ノ之ヲ拒絶スルコトアルベシ

一　危險アリト認ムルモノ

二　腐敗ノ虞アリト認ムルモノ

三　風俗又ハ秩序ヲ紊ルノ虞アリト認ムルモノ

四　衛生上有害ト認ムルモノ

五　他ノ物品ニ妨害ヲ與フル虞アリト認ムルモノ

六　種類、性質、容積等ノ關係上本館ノ陳列ニ適セズト認ムルモノ

第七條　出品人ノ生産者、製造業者又ハ卸賣商人ナルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル者ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　出品ノ荷造及運送ニ要スル費用ハ出品人之ヲ負擔ス但シ返送ニ要スル費用ハ時宜ニ依リ本館ニ於テ支辨スルコトアルベシ

第九條　寄贈品ノ荷造及運送ニ要スル費用ハ本館ノ負擔トス

寄贈者ハ荷造及運送ニ要スル費用（不明ノ向ハ其ノ申込額）ヲ見込其ノ概要額ニ成ルヘク詳細ニ記載スベシ

第十條　出品ノ陳設及寄贈品ノ領收證ハ第二號樣式ニ依ル到著通知書ヲ以テ之ニ代フ

第十一條　陳列ハ無料トス但シ出品ノ容器、裝飾等ニ付本館ノ承認ヲ受ケ特別ノ裝置ヲ爲スヌハ場合ニ於テハ之ニ要スル費用ヲ負擔セシムルコトアルベシ

第十二條　普通出品ハ確實ナル引受人ヲ指定シ賣店ニ於テ之ヲ販賣セシム

前項ノ販賣ニ付テハ價額ノ百分ノ七ノ販賣手數料ヲ徴ス

第十三條　普通出品ノ賣上代金ハ送金料、關稅及手數料ヲ控除シ前月分ヲ翌月送金ス但シ五圓未滿ハ五圓ニ達スル迄之ヲ送付ス

第十四條　本館ニ於テ必要アルトキハ出品人ニ對シ出品ノ處分又ハ變更ヲ要求スルコトアルベシ

前項ノ場合ニ於テ出品人之ニ應セザルトキ又ハ緊急ヲ要スルトキハ本館ニ於テ適宜之ヲ處分ス

第十五條　出品ニ關シ天災事變、盜難其ノ他避クベカラザル事由ニ因リテ生ジタル損害ニ付テハ之カ賠償ノ責ニ任セズ

第三章　觀覽

第十六條　本館ノ觀覽時間ハ第三條ノ開館時間内トス

第十七條　本館ノ觀覽ハ無料トス

第十八條　寫眞、寫生、白痴、發狂其ノ他秩序風俗ヲ紊ルノ虞アリト認ムル者ニ對シテハ觀覽ヲ拒絶ス

第十九條　觀覽者ハ左ノ各號ノ規定ヲ遵守スベシ

一　館員ノ許諾ナクシテ陳列品ニ手ヲ觸ルコト

二　館員ノ許諾ナクシテ陳列品ヲ撮影又ハ模寫スルコト

三　危險ナル物品ヲ携帶スルコトヲ得ズ

四　館内ニ於テ弄火、喧噪又ハ雜沓スベカラズ

五　喫煙ハ指定ノ場所以外ニ於テ之ヲ爲スベカラズ

六　陳列品ニ關シ說明又ハ紹介ヲ求メントスルトキハ館員ニ申出ヅベシ

七　揭示ノ事項及館員ノ注意ニ從フベシ

第二十條　陳列品ヲ破損又ハ汚損シタル者ニハ之カ辨償ヲ爲サシムルコトアルベシ

第二十一條　觀覽人本館規則ニ違背シ又ハ館員ノ指圖ニ從ハザルトキハ觀覽ヲ拒絶シ館外ニ退出セシムルコトアルベシ

第四章　圖書閲覽

第二十二條　圖書ノ閲覽セントスル者ハ係員ニ申込ミ備附ノ帳簿ニ圖書名、册數及自己ノ住所、氏名ヲ記入シ圖書ヲ借受ケ閲覽後之ヲ返還スベシ

第二十三條　圖書閲覽人ハ左ノ各號ノ規定ヲ遵守スベシ

一　閲覽中ハ喫煙、音讀、雜談其ノ他他人ノ妨害ト爲ルベキ擧動アルベカラズ

二　閲覽ヲ室外ニ持チ出スコトヲ得ズ

第二十四條　第十六條乃至第十八條、第二十條及第二十一條ノ規定ハ圖書閲覽ニ之ヲ準用ス

第五章　調査紹介及圖案調製

第二十五條　商工業ニ關スル調査又ハ紹介ヲ望ム者ハ其ノ事項ヲ具シ本館ニ申出ヅベシ本館ハ調査又ハ紹介ノ事項ニ依リテハ其ノ依頼ニ應ゼザルコトアルベシ

第二十六條　調査又ハ紹介ハ無料トス但シ特ニ必要アル場合ニ於テハ依頼者ノ負擔トス

第二十七條　鮮内営業者ニシテ業務上必要ナル圖案ノ調製ヲ望ム者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ本館ニ申出ヅベシ但シ本館ニ於テ調製ノ必要ナシト認ムルトキ又ハ事故アルトキハ其ノ依頼ニ應セザルコトアルベシ

一　圖案ヲ應用スベキ物品ノ名稱、品質、色彩、寸法、用途及調製スベキ圖案ノ豫定價額

二　其ノ他必要ナル事項

第二十八條　圖案ハ無料ニテ之ヲ交付スル但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ實費ヲ徴スルコトアルベシ

第二十九條　圖案ハ本館ニ於テ必要アルトキハ之カ作製ニ要スル材料又ハ參考品ヲ提供セシムルコトアルベシ

第三十條　材料又ハ參考品ノ荷造及運送ニ要スル費用ハ依賴者ノ負擔トス

第三十一條　參考品ニ關シテハ第十五條ノ規定ヲ準用ス

第六章　講演室及陳列室ノ貸與

第三十二條　産業ニ關スル諸集會其ノ他特ニ有益ト認ムル各種ノ催シニ對シテハ陳列室ノ一部又ハ講演室ヲ使用ヲ許可ス

第三十三條　陳列室ノ一部及講演室ノ使用時間ハ特ニ認ムル場合ノ外第三條ノ開館時間内トス

第三十四條　陳列室ノ一部又ハ講演室ヲ借受ケ使用セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ本館ニ申出デ許可ヲ受クベシ

一　使用ノ目的及方法

二　使用ノ日時

三　使用責任者ノ住所、氏名

第三十五條　陳列室ノ一部及講演室ノ使用ハ無料トス但シ時間外ノ使用ヲ許可セラレタル者ハ點燈、暖房及掃除ニ要スル費用ヲ負擔スベシ

第三十六條　陳列室ノ一部又ハ講演室ノ使用ヲ許可セラレタル者ハ釘、鋲其ノ他建物ヲ破毀又ハ汚染スル虞アルモノヲ使用セントスル場合ニ於テハ豫メ其ノ旨ヲ申出デ館員ノ指圖ヲ受クベシ

第三十七條　室内備附品、本館ヨリ貸與シタル什器等ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ之カ辨償ヲ爲サシムルコトアルベシ

第三十八條　陳列室ノ一部又ハ講演室ノ使用ヲ許可セラレタル者本館規則ニ違背シ又ハ館員ノ指圖ニ從ハザルトキハ其ノ使用ヲ禁止又ハ停止スルコトアルベシ

（第一號樣式）

表　面

續紙ハ別紙ト爲スモ妨ゲズ

一　出品者ハ必ズ本書摘要欄ニ資品、非賣品ノ區別ヲ記スベシ賣品ハ販賣ノ依賴アリタルモノト認ム

出品寄贈　申込書

昭和　年　月　日

住所

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

左記物品致度此段及申込候也

朝鮮總督府商工奨勧館　御中

申込人

番號	品名	形狀地質又ハ模様	員數	單位（一箇又ハ一組）價格 小賣價格	卸賣價格	摘要

裏面

解說（解說多岐ニ渉ルトキハ別紙ト爲スヲ妨ゲズ）

一　品名
一　商號商標及製造人
一　製造所販賣所代理販賣店ノ位置
一　品質及用途
一　一箇年製産額、數量　價額
一　主ナル販路
一　開業年月
一　其ノ他參考事項

（注意）一　價額ハ關稅、運賃、販賣手數料其ノ他諸掛ヲ計上シ京城ニ於テ卸賣及小賣シ得ベキモノタルヲ要ス
價額ハ徒ラニ低廉ニ失シ將來販路等ニ悪影響ナキ樣注意スベシ披露廣告等ノ爲割引販賣ヲ爲サントスルモノハ其ノ理由及歩合ヲ摘要欄ニ記スベシ

取扱者認印

（第二號樣式）

到著通知書

昭和　年　月　日

朝鮮總督府商工奨勧館

殿

左記物品　年　月　日到著致候ニ付及通牒候也

番號	品名	數量	單價	價額	事故摘要

第二款　奨勧

●製鐵事業法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件

昭和十二年九月勅令第五百八號

朝鮮ニ於ケル製鐵事業ノ健全ナル發達ヲ圖ルコトヲ目的トス

第二條　本法ニ於テ製鐵事業ト稱スルハ銑鐵、鋼鐵、鋼材（鍛鋼品及鑄鋼品ヲ含ム）其ノ他ノ鐵鋼ノ製造及之ニ附隨スル副生物ノ製造ヲ爲ス事業ヲ謂フ

前項ノ副生物ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　製鐵事業ヲ營マントスル者ハ政府ノ許可ヲ受クベシ但シ命令ヲ以テ定ムル製鐵事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

本法ニ定ムルモノノ外前項ノ許可ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條　前條ノ許可ヲ受ケタル者（製鐵事業者）ハ政府ノ指定スル期間内ニ其ノ事業ヲ開始スベシ

政府ハ正當ノ事由アリト認ムル場合ニ限リ前項ノ期間ノ延長ヲ許可スルコトヲ得

製鐵事業者前二項ノ期間内ニ其ノ事業ヲ開始セザルトキハ前條ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

第五條　製鐵事業者其ノ設備ヲ增設シ又ハ變更セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ所得稅及營業收益稅ヲ免除セラレタル事業ニハ之ヲ適用セズ但シ其ノ事業ガ第七條乃至第九條ノ規定ニ依リ所得稅及營業收益稅ノ免除ヲ受クルコトヲ得ベキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　一ノ場所ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ一年十萬瓲以上ノ製銑能力及一年十萬瓲以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ以テ營ム製鐵事業ハ土地收用法第二條ノ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業トシ同法ノ適用ヲ

第七條　第三條ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ前條ニ規定スル設備ヲ新設シタル製鐵事業者ニハ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ十五年間其ノ設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付所得稅及營業收益稅ヲ免除ス

前項ノ製鐵事業者其ノ設備完成前其ノ設備ノ一部ヲ以テ製鐵事業ヲ營ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付所得稅及營業收益稅ヲ免除ス但シ前項ノ規定ニ依ル期間内ニ設備ヲ完成セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前二項ノ製鐵事業ヨリ生ズル所得又ハ純益カ法人ニ在リテハ各事業年度、個人ニ在リテハ各年ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超エルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前二項ノ規定ヲ適用セズ但シ所得稅法第十九條又ハ營業收益稅法第八條ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

前項ノ資本金額ノ計算方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條　第六條ノ規定ニ該當セザル設備ヲ有スル製鐵事業者其ノ設備ニ付第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ第六條ノ規定ニ該當スルニ至ルベキ設備ヲ增設シタルトキハ其ノ增設シタル設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付前條ノ規定ヲ準用ス

第六條ニ規定スル設備ヲ以テ營ム製鐵事業者第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ其ノ增設シタル設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第九條　第三條ノ許可又ハ第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ一ノ場所ニ於テ一年五千二百瓲以上五十瓲以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新設シ又ハ增設シタル鍛鋼品又ハ鑄鋼品ノ製造事業者ニハ第七條ノ規定ヲ準用ス

第三條ノ許可又ハ第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ一ノ場所ニ於テ一年二千五百瓲以上ノ製銑能力又ハ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新設シ又ハ增設シタル低燐銑鐵製造事業者、非鳥製鋼事業者及竝氣製鐵事業者ニ付亦前項ニ同ジ

第十條　第三條ノ許可又ハ第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ砂鐵又ハ命令ヲ以テ定ムル鐵鋼ノ製鍊ヲ目的トスル特殊ノ設備ヲ新設シ又ハ增設シタル製鐵事業者ニハ其ノ設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付第七條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

第十一條　砂鐵又ハ前條ノ鐵鎖ヲ配合シテ製銑ヲ爲ス製鐵事業者ニハ配合ノ割合ニ應ジ其ノ製鐵事業ニ付本法施行ノ日ヨリ十五年間命令ノ定ムル所ニ依リ所得稅及營業收益稅ヲ免除ス

第十二條　北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ本法ニ依リ（第七條第三項但書ノ場合ヲ含ム）所得稅及營業收益稅ヲ免除セラレタル製鐵事業者ニハ第七條第三項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル所得稅及營業收益稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ又ハ其ノ免除セラレタル事業ニ屬スル資本金額、從業者、營業用ノ工作物若ハ物件、使用動力又ハ收入ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ズ但シ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニシテ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ所得稅及營業收益稅ヲ免除セラレタル事業ニハ之ヲ適用セズ但シ其ノ事業ガ第七條乃至第九條ノ規定ニ依リ所得稅及營業收益稅ノ免除ヲ受クルコトヲ得ベキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　製鐵事業ヲ繼續スル者又ハ其ノ事業ヲ繼續スルモノト認ムベキ事實アル者ハ前製鐵事業者ト本法ニ依ル所得稅及營業收益稅免除期間内ニ在ルトキハ其ノ期間ヲ承繼ス

第十四條　帝國内ニ於テ製造シタル鋼材ガ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタル場合ニ於テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ鋼材ノ製造者ニ對シ奬勵金ヲ交付スルコトヲ得

第十五條　詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ヲ返還セシム

前項ノ規定ニ依ル返還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

第十六條　第六條又ハ第十條ニ規定スル製鐵事業ノ爲必要ナル器具、機械其ノ他ノ材料ヲ政府ノ認可ヲ受ケ輸入スルトキハ本法施行ノ日ヨリ十年間命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ヲ免除ス

第十七條　製鐵事業者其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ讓渡シ、廢止シ又ハ休止セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ

製鐵事業者タル法人ノ合併又ハ解散ノ決議ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十八條　製鐵事業者鋼ノ生產、販賣、輸出、輸入、移出若ハ移入又ハ命令ヲ以テ定ムル製鐵原料ノ購入ニ關シ統制協定ヲ爲シタル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ政府ニ届出ヅベシ之ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキ亦同ジ

第十九條　前條ノ統制協定ヲ爲シタル者ノ爲其ノ統制協定ニ基キ共同販賣其ノ他共同ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業ヲ行フ者ハ命令ノ定ムル事項ヲ政府ニ届出ヅベシ

第二十條　政府公益上必要アリト認ムルトキハ製鐵事業者ニ對シ鐵鋼ノ供給數量、販賣價格又ハ販賣條件ノ變更其ノ他鐵鋼ノ需給ノ圓滑又ハ價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

政府公益上必要アリト認ムルトキハ製鐵事業者ニ對シ其ノ設備ノ擴張若ハ改良又ハ作業方法ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第二十一條　政府軍事上必要アリト認ムルトキハ製鐵事業者ニ對シ製鐵ニ關スル特殊事項ノ研究又ハ特殊設備ノ施設、命令ヲ以テ定ムル製鐵原料ノ保持其ノ他軍事上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第二十二條　政府ハ第二十條第二項又ハ前條ノ規定ニ依リ爲シタル命令ニ因リ生ジタル損失ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ補償ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　政府ハ製鐵事業者ニ對シ其ノ業務ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

政府監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ製鐵事業者ノ事務所、營業所、工場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス

更セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ

第六條　一ノ場所ニ於テ命令ノ定ムル所ニ依リ一年十萬瓲以上ノ製銑能力及一年十萬瓲以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ以テ營ム製鐵事業ハ土地收用法第二條ノ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業トシ同法ノ適用ヲ

第七條　第三條ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ前條ニ規定スル設備ヲ新設シタル製鐵事業者ニハ設備完成ノ年及其ノ翌年ヨリ十五年間其ノ設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付所得稅及營業收益稅ヲ免除ス

前項ノ製鐵事業者其ノ設備完成前其ノ設備ノ一部ヲ以テ製鐵事業ヲ營ム場合ニ於テモ其ノ事業ニ付所得稅及營業收益稅ヲ免除ス但シ前項ノ規定ニ依ル期間内ニ設備ヲ完成セザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前二項ノ製鐵事業ヨリ生ズル所得又ハ純益カ法人ニ在リテハ各事業年度、個人ニ在リテハ各年ノ資本金額ニ對シ年百分ノ十ノ割合ヲ以テ算出シタル金額ヲ超エルトキハ其ノ超過額ニ相當スル所得又ハ純益ニ付テハ前二項ノ規定ヲ適用セズ但シ所得稅法第十九條又ハ營業收益稅法第八條ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

前項ノ資本金額ノ計算方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八條　第六條ノ規定ニ該當セザル設備ヲ有スル製鐵事業者其ノ設備ニ付第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ第六條ノ規定ニ該當スルニ至ルベキ設備ヲ增設シタルトキハ其ノ增設シタル設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付前條ノ規定ヲ準用ス

第六條ニ規定スル設備ヲ以テ營ム製鐵事業者第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ其ノ增設シタル設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第九條　第三條ノ許可又ハ第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ一ノ場所ニ於テ一年五千二百瓲以上五十瓲以上ノ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新設シ又ハ增設シタル鍛鋼品又ハ鑄鋼品ノ製造事業者ニハ第七條ノ規定ヲ準用ス

第三條ノ許可又ハ第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ一ノ場所ニ於テ一年二千五百瓲以上ノ製銑能力又ハ製鋼能力ヲ有スル設備ヲ新設シ又ハ增設シタル低燐銑鐵製造事業者、非鳥製鋼事業者及竝氣製鐵事業者ニ付亦前項ニ同ジ

第十條　第三條ノ許可又ハ第五條ノ增設ノ許可ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ指定スル期間内ニ砂鐵又ハ命令ヲ以テ定ムル鐵鋼ノ製鍊ヲ目的トスル特殊ノ設備ヲ新設シ又ハ增設シタル製鐵事業者ニハ其ノ設備ヲ以テ營ム製鐵事業ニ付第七條第一項及第二項ノ規定ヲ準用ス

第十一條　砂鐵又ハ前條ノ鐵鎖ヲ配合シテ製銑ヲ爲ス製鐵事業者ニハ配合ノ割合ニ應ジ其ノ製鐵事業ニ付本法施行ノ日ヨリ十五年間命令ノ定ムル所ニ依リ所得稅及營業收益稅ヲ免除ス

第十二條　北海道、府縣及市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ本法ニ依リ（第七條第三項但書ノ場合ヲ含ム）所得稅及營業收益稅ヲ免除セラレタル製鐵事業者ニハ第七條第三項ノ規定ニ依リ賦課セラレタル所得稅及營業收益稅ノ附加稅ヲ除クノ外其ノ免除セラレタル事業ニ對シ又ハ其ノ免除セラレタル事業ニ屬スル資本金額、從業者、營業用ノ工作物若ハ物件、使用動力又ハ收入ヲ標準トシテ課稅スルコトヲ得ズ但シ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノニシテ特別ノ事情ニ基キ政府ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ所得稅及營業收益稅ヲ免除セラレタル事業ニハ之ヲ適用セズ但シ其ノ事業ガ第七條乃至第九條ノ規定ニ依リ所得稅及營業收益稅ノ免除ヲ受クルコトヲ得ベキモノナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　製鐵事業ヲ繼續スル者又ハ其ノ事業ヲ繼續スルモノト認ムベキ事實アル者ハ前製鐵事業者ト本法ニ依ル所得稅及營業收益稅免除期間内ニ在ルトキハ其ノ期間ヲ承繼ス

第十四條　帝國内ニ於テ製造シタル鋼材ガ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタル場合ニ於テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ鋼材ノ製造者ニ對シ奬勵金ヲ交付スルコトヲ得

第十五條　詐欺ノ行爲ヲ以テ前條ノ奬勵金ノ交付ヲ受ケタル者ニ對シテハ其ノ金額ヲ返還セシム

前項ノ規定ニ依ル返還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

第十六條　第六條又ハ第十條ニ規定スル製鐵事業ノ爲必要ナル器具、機械其ノ他ノ材料ヲ政府ノ認可ヲ受ケ輸入スルトキハ本法施行ノ日ヨリ十年間命令ノ定ムル所ニ依リ輸入稅ヲ免除ス

第十七條　製鐵事業者其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ讓渡シ、廢止シ又ハ休止セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ許可ヲ受クベシ

製鐵事業者タル法人ノ合併又ハ解散ノ決議ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第十八條　製鐵事業者鋼ノ生產、販賣、輸出、輸入、移出若ハ移入又ハ命令ヲ以テ定ムル製鐵原料ノ購入ニ關シ統制協定ヲ爲シタル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ政府ニ届出ヅベシ之ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキ亦同ジ

第十九條　前條ノ統制協定ヲ爲シタル者ノ爲其ノ統制協定ニ基キ共同販賣其ノ他共同ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事業ヲ行フ者ハ命令ノ定ムル事項ヲ政府ニ届出ヅベシ

第二十條　政府公益上必要アリト認ムルトキハ製鐵事業者ニ對シ鐵鋼ノ供給數量、販賣價格又ハ販賣條件ノ變更其ノ他鐵鋼ノ需給ノ圓滑又ハ價格ノ公正ヲ圖ル爲必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

政府公益上必要アリト認ムルトキハ製鐵事業者ニ對シ其ノ設備ノ擴張若ハ改良又ハ作業方法ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第二十一條　政府軍事上必要アリト認ムルトキハ製鐵事業者ニ對シ製鐵ニ關スル特殊事項ノ研究又ハ特殊設備ノ施設、命令ヲ以テ定ムル製鐵原料ノ保持其ノ他軍事上必要ナル事項ヲ命ズルコトヲ得

第二十二條　政府ハ第二十條第二項又ハ前條ノ規定ニ依リ爲シタル命令ニ因リ生ジタル損失ニ付勅令ノ定ムル所ニ依リ補償ヲ爲スコトヲ得

第二十三條　政府ハ製鐵事業者ニ對シ其ノ業務ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

政府監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ製鐵事業者ノ事務所、營業所、工場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

ノ陳述ヲ爲シタル者

第三十二條　當該官吏又ハ其ノ職ニ在リタル者本法ニ依ル職務執行ニ關シ知得シタル個人又ハ法人ノ業務上ノ秘密ヲ漏洩又ハ竊用シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條　營業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第三十四條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ適用スベキ罰則ハ其ノ者カ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十五條　第十八條又ハ第十九條ノ規定ニ依ル罰出ヲ怠リタル者ハ不正ノ罰出ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ過料ニ處ス

第三十六條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十二年九月勅令第五百六號ヲ以テ昭和十二年九月二十二日ヨリ施行）

附　則

第三十七條　製鐵業奨勵法ノ之ヲ廢止ス

第三十八條　本法施行ノ際現ニ第三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケベキ製鐵事業ヲ營ム者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法施行ノ日ヨリ之ニ同ジ

第三十九條　前條ノ規定ニ依リ本法施行ノ際現ニ製鐵事業ヲ營ム者ハ本法施行ノ日ヨリ六月以内ニ本法ニ基ク許可ヲ受ケベキ事業ニ付テハ本法施行ノ際現ニ其ノ事業ヲ營ミ居ル者

二　法人ニ在リテハ定款及登記簿ノ謄本
三　営該組制協定ノ加盟者ノ商號又ハ氏名
名称ヲ記載シタル書類
四　販賣、輸出、輸入、移出又ハ移入ノ数
量又ハ価格、製造又ハ販賣ノ数量ノ割當、
第十三條ノ製鐵原料ノ購入ノ数量又ハ価
格其ノ他共同ノ目的ヲ達スルニ必要ナル
事業上ノ重要事項ニ關スル決定ヲ記載シ
タル書類
五　法人ニ在リテハ財産目錄、貸借對照表、
損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類
前項第一號乃至第三號ノ書類ハ事業開始ノ
日ヨリ三週間以内ニ、第四號ノ書類ハ當該
事項ニ關スル決定ヲ爲シタル日ヨリ三週間
以内ニ、第五號ノ書類ハ毎事業年度經過後
遲滯ナク之ヲ提出スベシ
第一項第三號ノ書類ニ記載シタル事項ヲ變
更シタルトキハ變更シタル日ヨリ三週間以
内ニ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第一項第四號ノ決定ヲ變更シ又ハ廢止シタ
ルトキハ變更シ又ハ廢止シタル日ヨリ三週
間以内ニ之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
第一項ノ届出ヲ爲シタル者其ノ事業ヲ休止
シ又ハ廢止シタルトキハ遲滯ナク之ヲ朝鮮
總督ニ届出ヅベシ
第十八條　製鐵事業者ハ毎年二月末日迄ニ左
ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル前年ノ事業年報
ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ
一　従業者数（職員及労働者別ニ記載スベ
シ）
二　製造及販賣ノ数量
三　設備ノ概要
イ　敷地面積
ロ　工場建物ノ棟數及建坪
ハ　銑鐵、鋼鐵、鋼材其ノ他ノ鐵鋼ノ製
造ノ設備及能力
ニ　其ノ他主要設備
四　作業ノ概況（主要設備毎ニ記載スベシ）
イ　操業開始ノ年月日
ロ　操業日数
ハ　労働者数
ニ　製造数量
ホ　主要原料及燃料ノ消費数量（生産地
別ニ記載スベシ）
製鐵事業者所得稅及營業稅ノ免除ヲ受クル
コトヲ得ベキ製鐵事業ト其ノ他ノ事業トヲ
兼營スル場合ニ於テハ前項第三號ニ掲ゲル
事項ニ付テハ其ノ區別ヲ明ニスベシ
第十九條　製鐵事業者ハ法人ニ在リテハ毎事
業年度經過後遲滯ナク財産目錄、貸借對照
表、損益計算書及利益ノ處分ニ關スル書類
ヲ添附シ製鐵事業ニ關スル當該事業年度ノ
收支決算竝ニ當該事業年度末ノ事業資本ノ
總額及其ノ内譯ヲ記載シタル書類ヲ、個人
ニ在リテハ毎年二月末日迄ニ製鐵事業ニ關
スル前年ノ收支決算竝ニ前年末ノ事業資本
ノ總額及其ノ内譯ヲ記載シタル書類ヲ朝鮮
總督ニ提出スベシ
製鐵事業者所得稅及營業稅ノ免除ヲ受クル
コトヲ得ベキ製鐵事業ト其ノ他ノ事業トヲ
兼營スル場合ニ於テハ前項ノ收支決算竝ニ
事業資本ノ總額及其ノ内譯ニ付テハ其ノ區
別ヲ明ニスベシ
第二十條　製鐵事業法施行令第三條ノ製鐵事
業ヲ營ム者ハ毎年二月末日迄ニ左ニ掲ゲル
事項ヲ記載シタル前年ノ事業年報ヲ朝鮮總
督ニ提出スベシ
一　主要設備ノ概要
二　製造及販賣ノ数量
三　主要原料及燃料ノ消費数量
第二十一條　朝鮮總督ハ製鐵事業者ニ付左ニ
掲ゲル事項ヲ告示スル告示シタル事項ニ變更
アリタルトキ亦同シ
一　製鐵事業法第三條ノ許可ヲ爲シタルト
キハ其ノ商號又ハ氏名名稱、本店又ハ主
タル事務所ノ所在地、工場ノ名稱及位置
竝ニ許可ノ年月日
二　製鐵事業法第四條第三項ノ規定ニ依リ
同法第三條ノ許可ガ其ノ效力ヲ失ヒタル
トキハ其ノ商號又ハ氏名名稱、本店又ハ
主タル事務所ノ所在地、工場ノ名稱及位
置竝ニ失效ノ年月日
三　製鐵事業法第十七條ノ規定ニ依リ事業
ノ全部若ハ一部ノ讓渡若ハ廢止ノ許可又
ハ合併若ハ解散ノ決議ノ認可ヲ爲シタル
場合ニ於テ製鐵事業者タル資格ヲ失フ者
又ハ其ノ資格ヲ得ル者アルトキハ其ノ商
號又ハ氏名名稱、本店又ハ主タル事務所
ノ所在地、工場ノ名稱及位置、資格得喪
ノ原因竝ニ許可又ハ認可ノ年月日
四　製鐵事業法第二十六條ノ規定ニ依リ同
法第三條ノ許可ノ取消ヲ爲シタルトキハ
其ノ商號又ハ氏名名稱、本店又ハ主タル
事務所ノ所在地、工場ノ名稱及位置竝ニ
取消ノ年月日
第二十二條　製鐵事業法第二十三條第二項ノ
證票ハ別記樣式ニ依ル
第二十三條　製鐵事業者及製鐵事業法第十九
條ニ規定スル者ハ左ニ掲ゲル場合ニ於テハ
遲滯ナク之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ
一　商號、氏名名稱又ハ主タル事務所若ハ
營業所ヲ變更シタルトキ
二　法人ニ在リテハ定款又ハ役員ヲ變更シ
タルトキ
第二十四條　製鐵事業法、製鐵事業法施行令
及本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ
書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ
規定ニ拘ラズ直接朝鮮總督府ニ差出スベシ

附　則

第二十五條　本令ハ製鐵事業法施行ノ日ヨリ
之ヲ施行ス
第二十六條　本令施行ノ際現ニ製鐵事業法第
三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケベキ製鐵事業
ヲ營ム者ハ本令施行後三月以内ニ第二條第
一項第一號乃至第三號、第六號乃至第八
號、第十一號及第十三號ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル書類ニ法人ニ在リテハ定
款、登記簿ノ謄本、財産目錄、貸借對照表
及損益計算書ヲ添附シ之ヲ朝鮮總督ニ提出
スベシ
第二十七條　前條ノ製鐵事業者ニシテ本令施
行ノ際現ニ其ノ設備ノ增設又ハ變更ノ工事
中ニ在ル者ハ本令施行後三月以内ニ第二條
第一項各號ニ掲ゲル事項ヲ記載シタル書類
ニ法人ニ在リテハ定款、登記簿ノ謄本、財
産目錄、貸借對照表及損益計算書ヲ添附シ
之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ
第二十八條　前二條ノ規定ニ依ル書類ヲ提出
シタル者ハ之ヲ製鐵事業法第三條又ハ第五
條ノ許可ヲ受ケタル者ト看做ス
第二十九條　第二十六條ノ製鐵事業者ハ本令
施行ノ際現ニ存スル第十四條ニ該當スル統
制協定ニ付本令施行ノ日ヨリ三週間以内ニ
之ヲ朝鮮總督ニ届出ヅベシ

（別記樣式）

第　號　　年　月　日交付

製鐵事業法第二十三條ノ臨檢官吏ノ證

官職氏名　朝鮮總督府印

製鐵事業法摘要

第二十三條第二項　政府監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ製鐵事業者ノ事務所、工場、倉庫其ノ他ノ場所ニ臨檢シ業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第三十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

二、第二十三條第二項ノ規定ニ依ル當該官吏ノ臨檢檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シ又ハ其ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虚僞ノ陳述ヲ爲シタル者

●製鐵事業法施行令

昭和十二年九月
勅令第五百七號

朕製鐵事業法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

製鐵事業法施行令

第一條　製鐵事業法第三條ノ許可ハ製鐵工場毎ニ左ノ事業別ニ之ヲ爲スモノトス
一　銑鐵、鋼鐵又ハ鋼材ノ製造事業
二　銀銅品又ハ錫銅品ノ製造事業
三　電氣製鐵事業
四　坩堝製鋼事業
五　瘠ノ標準含有量一萬分ノ三以下ノ銑鐵ノ製造事業
六　砂鐵又ハ命令ヲ以テ定ムル鐵鑛ノ製錬ヲ目的トスル特殊ノ設備ヲ以テ替ム製鐵事業

第二條　一ノ場所ニ於テ製銑及製鋼ノ設備ヲ以テ替ム製鐵事業ニ付製鐵事業法第三條ノ許可ヲ受ケントスル場合ニ於テハ其ノ設備ハ一年十萬噸以上ノ製銑能力及一年十萬噸以上ノ製鋼能力ヲ有シ且各爐ニ掲ゲル能力ヲ有スルコトヲ要ス、
一　製銑ニ在リテハ一回ノ製銑量平噸ニ在リテハ五十噸以上、轉爐ニ在リテハ十噸以上
二　製鋼ニ在リテハ一回ノ製鋼量平噸ニ在リテハ十噸以上
第三條　製鐵事業法第三條第一項但書ノ製鐵事業ハ左ニ掲ゲルモノトス
一　製鋼設備ヲ有セズ又ハ製鋼能力一ノ場所ニ於テ一年五千二百五十噸ニ達セザル設備ヲ以テ替ム銀銅品又ハ錫銅品ノ製造事業

第九條　前條ノ場合ニ於テ所得稅及營業收益稅ノ免除ヲ受ケル製鐵事業ト其ノ他ノ事業トヲ營ム法人ノ資本金額ハ總資產價額ニ對スル當該製鐵事業ヨリ生ズル所得又ハ純益ノ基本タル資產價額ノ割合ヲ總資本金額ニ乘ジ之ヲ計算ス
前項ノ場合ニ於テ資產價額ノ割合ニ依ヲ不適當トスルトキハ收入金ノ割合ニ依ヲ若ハ純益ノ割合其ノ他適當ナル方法ニ依リ之ヲ計算ス
第十條　製鐵事業法第七條第三項ノ個人ノ各年ノ資本金額ハ前年中各月末ニ於ケル固定資本及運轉資本ノ月割平均ヲ以テ之ヲ計算ス但シ所得稅法第十四條第一項第六號但書又ハ營業收益稅法第六條第一項但書ノ規定ニ依リ所得又ハ純益ヲ算出スル場合ニ於テハ其ノ所得又ハ純益ノ算出當時ノ現況ニ依リ資本金額ヲ計算ス
前項ノ固定資本ハ直接ニ製鐵事業ノ用ニ供スル土地、家屋其ノ他ノ工作物、船舶、機械、器具等ノ價額ニ依リ之ヲ計算ス
前條ノ規定ハ個人ノ資本金額ノ計算ニ之ヲ準用ス
第十一條　製鐵事業法第七條第三項ノ資本金額ニ對スル年百分ノ十割合ノ金額ハ法人ニ在リテハ其ノ年ノ營業ノ期間ノ月數ヲ資本金額ニ乘ジ之ヲ十二分シタル金額ニ百分ノ十ヲ乘ジ之ヲ計算ス
前項ノ月數ハ歷ニ從ヒ之ヲ計算シ一月未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ之ヲ一月トス
第十二條　製鐵事業法第十一條ノ規定ニ依リ所得稅及營業收益稅ノ免除ヲ受ケル所得又ハ純益ニ法人ニ在リテハ當該事業年度、個人ニ在リテハ其ノ年ニ於テ配當シタル砂鐵又ハ製鐵事業法第十條ノ鐵鑛ノ重量ノ割合ヲ乘ジテ得タル金額ニ相當スル金額トス
第十三條　所得稅法第二十四條又ハ第二十五條ノ規定ニ依リ所得ヲ申告スルトキ製鐵事業法第七條又ハ第十一條ノ規定ニ依リ計算シタル免除ヲ受ケル所得及資本金額ノ明細書ヲ添附

シ其ノ旨所轄税務署ニ申請スベシ

前項ノ場合ニ於テ所得税ノ免除ヲ受クル製鐵事業ヨリ生ズル所得ト其ノ他ノ所得トヲ有スルトキハ之ヲ区別シタル計算書ヲ添附スベシ

第十四條　營業収益税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ營業収益税法第十一條又ハ第十二條ノ規定ニ依リ純益額ヲ申告スルトキ製鐵事業法第七條又ハ第十一條ノ規定ニ依リ輸入税ノ免除ヲ受クル純益及資本金額ノ明細書ヲ添附シ其ノ旨所轄税務署ニ申請スベシ

前項ノ場合ニ於テ營業収益税ノ免除ヲ受クル製鐵事業ヨリ生ズル純益ト其ノ他ノ純益トヲ区別シタル計算書ヲ添附スベシ

第十五條　製鐵事業法第十四條ノ奨勧金ハ左ニ掲ゲル鋼材ニシテ本令施行後ノ製造ニ係リ其ノ製造者又ハ其ノ者カ鋼材ヲ鐵鋼船ノ建造又ハ修繕ニ使用セントスル場合ニ在リテハ其ノ使用ノ前、其ノ他ノ場合ニ在リテハ其ノ使用ノ前ニ其ノ鋼材ノ種類、數量、用途、製造時期及製造工場ヲ記載シタル届書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

前項ノ届書ニハ其ノ鋼材カ海軍艦船以外ノ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セラルル場合ニ於テハ造船者又ハ船舶修繕者カ商工大臣ノ定ムル事項ニ付官海官廳ノ承認ヲ受クタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第十六條　前條ノ奨勧金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ其ノ者カ鋼材ヲ鐵鋼船ノ建造又ハ修繕ニ使用セントスル場合ニ在リテハ其ノ使用ノ前、其ノ他ノ場合ニ在リテハ鋼材引渡ノ前ニ其ノ鋼材ノ種類、數量、用途、製造時期及製造工場ヲ記載シタル届書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

前項ノ届書ニハ其ノ鋼材カ海軍艦船以外ノ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セラルル場合ニ於テハ造船者又ハ船舶修繕者カ商工大臣ノ定ムル事項ニ付官海官廳ノ承認ヲ受クタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第十七條　第十五條ノ奨勧金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ為シタル鋼材カ海軍艦船ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタルトキハ海軍官廳ノ鋼材使用證明書ヲ添附シ、其ノ他ノ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタルトキハ船舶修繕者カ受クタル管海官廳ノ奨工承認書ヲ添附シ奨勧金交付申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第十八條　第十五條ノ奨勧金ノ金額ハ左ノ區別ニ依ル

一　鋼塊及鋼片　其ノ價額ノ一割五分以内一萬圓ニ付二十四圓六十六錢以内

二　條及棒　其ノ價額ノ一割八分以内一萬圓ニ付二十四圓六十六錢以内

三　板

甲　厚サ三粍ヲ超エザルモノ　其ノ價額ノ一割五分以内一萬圓ニ付三十一圓五十錢以内

乙　厚サ三粍ヲ超エザルモノ　其ノ價額ノ一割八分以内一萬圓ニ付二十四圓六十六錢以内

四　筒及管

甲　内徑百五十粍ヲ超エザルモノ　其ノ價額ノ一割八分以内一萬圓ニ付二十四圓六十六錢以内

乙　其ノ他　其ノ價額ノ一割五分以内一萬圓ニ付二十圓五十六錢以内

五　國稅定率法別表輸入稅表第四六二號ノ二ニ特殊鋼ニ該當スルモノ　其ノ價額ノ一割八分以内

前項第一號、第四號及第五號ノ價額ハ第十六條第一項ノ使用又ハ引渡ノ時ニ於ケル其ノ鋼材ト同種ノ鋼材ノ輸入ノ際ニ於ケル到著價格ヲ標準トシテ商工大臣之ヲ定ム

第十九條　輸入税ノ免除ヲ受クル可キ器具、機械其ノ他ノ材料ハ商工大臣ノ定ムル物品ニシテ豫メ商工大臣ノ認可ヲ受ケ輸入スルモノニ限ル

第二十條　輸入税ノ免除ヲ受ケントスル者ハ第十九條ノ器具、機械其ノ他ノ材料ハ商工大臣ノ定ムル物品ニシテ豫メ商工大臣ノ認可ヲ受ケタルコトヲ證スル書面ヲ添附シ遅滞ナク商工大臣ニ届出ヅベシ

第二十一條　第十五條ノ奨勧金ノ交付ヲ受ケントスル者ハ前條ノ規定ニ依リ届出ヲ為シタル鋼材カ海軍艦船ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタルトキハ海軍官廳ノ鋼材使用證明書ヲ添附シ、其ノ他ノ船舶ノ建造又ハ修繕ニ使用セラレタルトキハ船舶修繕者カ受クタル管海官廳ノ奨工承認書ヲ添附シ奨勧金交付申請書ヲ商工大臣ニ提出スベシ

第二十二條　第十八條ノ奨勧金ノ金額ハ左ノ區別ニ依ル

一　鋼塊及鋼片　其ノ價額ノ一割五分以内一萬圓ニ付二十四圓六十六錢以内

二　條及棒　其ノ價額ノ一割八分以内一萬圓ニ付二十四圓六十六錢以内

三　板

甲　厚サ三粍ヲ超エザルモノ　其ノ價額ノ一割五分以内一萬圓ニ付三十一圓五十錢以内

乙　其ノ他　其ノ價額ノ一割八分以内一萬圓ニ付二十四圓六十六錢以内

四　筒及管

甲　内徑百五十粍ヲ超エザルモノ　其ノ價額ノ一割八分以内一萬圓ニ付二十四圓六十六錢以内

乙　其ノ他　其ノ價額ノ一割五分以内一萬圓ニ付二十圓五十六錢以内

前項第一號、第四號及第五號ノ價額ハ第十六條第一項ノ使用又ハ引渡ノ時ニ於ケル其ノ鋼材ト同種ノ鋼材ノ輸入ノ際ニ於ケル到著價格ヲ標準トシテ商工大臣之ヲ定ム

第二十三條　商工大臣必要アリト認ムルトキハ所得税及營業収益税ノ免除ヲ受ケントスル者ニ對シ製鐵事業ニ關スル書類又ハ製鐵原料若ハ製品ノ試料ノ提出ヲ命ジ又ハ當該官吏ヲシテ製鐵事業ニ關スル設備、帳簿其ノ他ノ物件ノ檢査ヲ為サシムルコトヲ得輸入税ノ免除ヲ受ケ又ハ受ケントスル者ニ對シ亦同ジ

商工大臣必要アリト認ムルトキハ奨勧金ノ交付ヲ受ケントスル者ニ對シ前項ノ書類又ハ試料ノ提出ヲ命ジ、當該官吏ヲシテ前項ノ檢査ヲ為サシメ其ノ他必要ナル命令又ハ處分ヲ為スコトヲ得

第二十四條　收税官吏又ハ税關官吏必要アリト認ムルトキハ前條第一項ノ檢査ヲ為スコトヲ得

第二十五條　第十六條乃至第十八條及第二十三條第二項中商工大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督トス

附　則

第二十六條　本令ハ製鐵事業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條　製鐵業奨勧法施行令第十三條但書ノ規定ニ依リ為シタル認可又ハ申告ハ第二十一條ノ規定ニ依リ之ヲ為シタルモノト看做ス

第二十八條　本令ハ昭和十三年一月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

第九章　特許　意匠　商標

第一款　特許

●特許法等ヲ朝鮮ニ施行スルノ件

明治四十三年八月
勅令第三百三十五號

朕特許法等ヲ朝鮮ニ施行スルノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

左ニ掲ゲル法律ハ之ヲ朝鮮ニ施行ス

一　意匠法
二　實用新案法
三　商標法
四　著作權法
五　附則

●特許法

大正十年四月
法律第九十六號
改正　昭和四年四月第四十七號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル特許法改正法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

特許法

第一章　總則

第一條　新規ナル工業的發明ヲ為シタル者ハ其ノ發明ニ付特許ヲ受クルコトヲ得

第二條　特許權者又ハ特許出願者ハ其ノ發明ノ改良又ハ擴張ニ係ル新規ノ發明ニ付獨立ノ特許ニ代ヘ追加ノ特許ヲ受クルコトヲ得

第三條　左ニ掲ゲル發明ニ付テハ之ヲ特許セス

一　飲食物又ハ嗜好物
二　醫藥又ハ其ノ調合法
三　化學方法ニ依リ製造スヘキ物質
四　秩序若ハ風俗ヲ紊リ又ハ衛生ヲ害スルノ虞アルモノ

第四條　本法ニ於テ發明ノ新規ト稱スルハ發明カ左ノ各號ノ一ニ該當スルコトナキヲ謂フ

一　特許出願前帝國内ニ於テ公然知ラレ又ハ公然用ヰラレタルモノ

二　特許出願前帝國内ニ頒布セラレタル刊行物ニ容易ニ實施スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ記載セラレタルモノ

第五條　特許ヲ受クルノ權利ヲ有スル者カ試驗ノ為其ノ者ノ發明ヲ前條各號ノ一ニ該當スルニ至ラシメタル場合ニ於テ其ノ日ヨリ六月以内ニ其ノ者カ特許ヲ出願シタルトキ亦前項ニ同シ

第六條　特許ヲ受クルノ權利ヲ有スル者カ政府ノ開設シ、道府縣若ハ之ニ準スヘキモノノ開設シ若ハ政府ノ認可ヲ得テ開設スル博覽會又ハ工業所有權保護同盟條約國ノ版圖内ニ開設スル官設若ハ官許ノ萬國博覽會ニ出品ノ為其ノ者ノ發明ヲ第四條各號ノ一ニ該當スルニ至ラシメタル場合ニ於テ其ノ日ヨリ六月以内ニ其ノ者カ特許ヲ出願シタルトキ亦前項ニ同シ

第七條　特許出願ハ一發明毎ニ之ヲ為スヘシ但シ二以上ノ發明カ連絡シテ利用上一發明ヲ為スモノト認メラルル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八條　同一發明ニ付テハ最先ノ出願者ニ限リ特許ス但シ同日ノ各別ノ出願者アルトキハ出願者ノ協議ニ依リ特許ヲ協議調ハサルトキハ共ニ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

二以上ノ出願ヲ為シタルトキハ各出願ハ最初出願ノ時ニ於テ之ヲ為シタルモノト看做ス

追加ノ特許出願ヲ獨立ノ特許出願ニ、獨立ノ特許出願ヲ追加ノ特許出願ニ變更シタルトキ亦前項ニ同シ

第十條　特許出願カ特許ヲ受クルノ權利ノ承繼人ニ非サル者又ハ特許ヲ受クルノ權利ヲ目認シタル者ノ為シタル不法ノ出願ニ因リ特許ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル場合ニ於テ其ノ特許出願ノ後ニ為シタル正當權利者ノ出願ハ其ノ特許ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル特許出願ノ時ニ於テ之ヲ為シタルモノト看做ス但シ特許ヲ受クルコト能ハサルニ至リタル日ヨリ三十日ヲ、出願公告ノ日ヨリ三十日ヲ經過シタル後ノ出願ニ係ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　特許カ特許ヲ受クルノ權利ノ承繼人ニ非サル者又ハ特許ヲ受クルノ權利ヲ目認シタル者ノ受ケタルモノナルニ因リ其ノ特許ヲ無效トスル審決確定シ又ハ判決アリタル場合ニ於テ其ノ特許ノ出願ノ後ニ為シタル正當權利者ノ出願ハ其ノ無效ト為リタル特許ノ出願ノ時ニ於テ之ヲ為シタルモノト看做ス但シ其ノ特許出願公告ノ日ヨリ五年ヲ經過シタル後ノ出願又ハ其ノ審決確定シ若ハ判決アリタル日ヨリ三十日ヲ經過シタル後ノ出願ニ係ルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　特許ヲ受クルノ權利ハ之ヲ移轉スルコトヲ得但シ擔保ニ供スルコトヲ得ス

特許ヲ受クルノ權利カ共有ニ係ル場合ニ於テハ各共有者ハ他ノ共有者ノ同意アルニ非サレハ其ノ持分ヲ讓渡スルコトヲ得ス

特許ヲ受クルノ權利ノ承繼ハ承繼人カ特許出願前ニ在リテハ特許ヲ出願シ特許出願後ニ在リテハ出願人名義ノ變更ヲ届出ツルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス但シ同日ノ出願ノ届出ニ係ルトキハ共ニ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十三條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル法定又ハ指定ノ期間ノ計算ハ左ノ規定ニ依ル

一　期間ノ初日ハ之ヲ算入セス但シ其ノ期間カ午前零時ヨリ始ルトキハ此ノ限ニ在ラス

二　期間ヲ定ムルニ月又ハ年ヲ以テシタルトキハ曆ニ從ヒ月又ハ年ノ始ヨリ期間ヲ起算セサルトキハ其ノ期間ハ最後ノ月又ハ年ニ於テ其ノ起算日ニ應當スル月ノ前日ヲ以テ滿了ス但シ最後ノ月ニ應當日ナキトキハ其ノ月ノ末日ヲ以テ滿了ス

特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ニ付テ法定又ハ指定ノ期間ノ末日カ日曜日又ハ一般ノ祝祭日ニ當ルヘキトキハ其ノ日ノ翌日ヲ以テ其ノ期間ノ末日トス

第十四條　被用者、法人ノ役員又ハ公務員ノ其ノ勤務ニ關シ為シタル發明ニ付テハ性質上使用者、法人又ハ職務ヲ執行セシムル者ノ業務範圍ニ屬シ且其ノ發明ヲ為スニ至リタル行為カ被用者、法人ノ役員又ハ公務員ノ任務ニ屬スル場合ノモノニ付其ノ被用者、法人ノ役員若ハ公務員カ特許ヲ受クタルトキ又ハ其ノ者カ特許ヲ受クタルトキハ其ノ發明ニ付實施權ヲ有ス

被用者、法人ノ役員又ハ公務員ハ前項ノ發明ニ付テノ特許ヲ受クルノ權利又ハ特許權ヲ豫メ定メタル契約又ハ勤務規程ニ依リ使用者、法人又ハ職務ヲ執行セシムル者ヲシテ承繼セシメタル場合ニ於テ相當ノ補償金

ヲ受クルノ權利ヲ有ス

使用者、法人又ハ職務ヲ執行セシムル者ニ於テ既ニ支拂ヒタル報酬アルトキハ裁判所ハ前項ノ補償金ヲ定ムルニ付之ヲ斟酌スルコトヲ得

本條ニ於テ法人ノ役員ト稱スルハ法人ノ業務ヲ執行スル役員ヲ謂ヒ公務員ト稱スルハ刑法第七條第一項ノ公務員ヲ謂フ

第十五條　特許出願ニ係ル發明カ軍事上秘密ヲ要シ又ハ軍事上若ハ公益上必要ナルモノナルトキハ特許ヲ與ヘス、特許ヲ受クルノ權利ヲ政府ニ於テ收用シ又ハ制限ヲ附シテ特許ヲ與フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ特許ヲ與ヘス、權利ヲ收用シ又ハ制限ヲ附シテ特許ヲ與フル場合ニ於テハ政府ハ相當ノ補償金ヲ支給ス

收用及補償金支給ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條　帝國内ニ住所ヲモ居所ヲモ有セサル者ハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外帝國内ニ非サレハ特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲シ又ハ特許權若ハ特許權ニ關スル權利ヲ主張スルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ出願若ハ請求又ハ主張ヲ爲ス代理人ハ特ニ授ケラレタル權限ノ外本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル手續竝民事訴訟、私訴及告訴ニ付本人ヲ代表ス

特許權者又ハ特許權ニ關シ登錄シタル場利ヲ有スル者ノ代理人ニシテ第一項ノ規定ニ依リ手續又ハ主張ヲ爲スモノノ選任若ハ變更又ハ代理權若ハ其ノ變更消滅ハ登錄ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

第十七條　特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者ノ代理人ニシテ第一項ノ規定ニ依リ手續又ハ主張ヲ爲スモノノ選任若ハ變更又ハ代理權若ハ其ノ變更消滅ハ登錄ヲ受クルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

特許權者又ハ特許權ニ關シ登錄シタル場利ヲ有スル者ノ代理人ニシテ前條第三項ニ規定スル代理人ニ非サルモノノ選任若ハ變更又ハ代理權若ハ其ノ變更消滅ハ特許局ニ屆出ツルニ非サレハ之ヲ以テ特許局ニ對抗スルコトヲ得ス

第十七條ノ二　特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲ス者ノ委任ニ因ル代理人ノ代理權ハ本人タル法人ノ合併ニ因ル消滅、本人タル受託者ノ信託ノ任務終了又ハ法定代理人ノ死亡、能力ノ喪失若ハ代理權ノ變更消滅ニ因リテ消滅セス

特許ニ關スル代理人數人アルトキハ各別ニ本人ヲ代表ス

第十九條　特許局長官ニ於テ特許ニ關スル代理人ヲ適當ナラスト認ムルトキハ其ノ改任ヲ命スルコトヲ得

特許局長官又ハ審判長ニ於テ當事者、參加人若ハ特許異議申立人又ハ其ノ代理人カ手續又ハ演述ヲ爲スノ能力ナシト認ムルトキハ辨理士ヲ以テ代理セシムヘキコトヲ命スルコトヲ得

前二項ニ規定スル命令アリタル後第一項ノ代理人又ハ前項ノ當事者、參加人、特許異議申立人若ハ代理人ノ特許局ニ對シ爲スヘキ法定ノ行爲又ハ出願ニ關スル手續ハ辨理士ニ非サレハ之ヲ行フコトヲ得ス

第二十條　辨理士ニ非サレハ數人共同シテ特許ニ關スル出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲スヘキ法定ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第二十四條　出願、請求其ノ他ノ手續ヲ爲シ又ハ審判ノ請求ニ關スル關係ノ行爲ニ付指定期間ヲ懈怠シタルトキハ又ハ前條ノ規定ニ依リ代理人ノ資格ヲ喪失シタルトキハ其ノ手續ハ之ヲ無效トス但シ其ノ手續カ追完セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　特許局長官ハ外國ヲモ居所ヲモ有セサルモノニ對シ手續ヲ爲スヘキ法定ノ期間ヲ指定シ又ハ其ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第二十四條　特許局長官ハ外國ヲモ居所ヲモ有セサルモノニ對シ手續ヲ爲スヘキ法定ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第二十五條　特許局長官ハ外國ヲモ居所ヲモ有セサルモノニ對シ手續ヲ爲スヘキ事項ノ代理人ヲ選任スヘキ旨ヲ命スルコトヲ得

第二十六條　特許局ニ對シ爲スヘキ事項ノ代理權ハ其ノ出願ノ日前ノ出願ニ係ル實用新案權ニ基キテ發スル命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外特許局長官ニ之ヲ申請スルコトヲ得但シ特許局長官ニ於テ認ムルモノニ付テハ之ヲ許可セス

第二十七條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ手續ヲ爲ス者其ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ第百九條、第百十五條、第百二十二條第一項又ハ本法ニ於テ準用スル民事訴訟法第四百十五條ニ規定スル期間ヲ遵守スルコト能ハサル場合ニ於テハ其ノ事由ノ止ミタル日ヨリ十四日以内ニシテ且其ノ期間滿了後一年以内ニ限リ懈怠シタル手續ノ追完ヲ爲スコトヲ得

第二十六條　特許局ニ差出スヘキ書類其ノ他ノ物件ニ付差出ノ效力ヲ生スヘキ時期ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十七條　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ特許權者又ハ特許ニ關スル權利ヲ有スル者ノ爲シタル又ハ其ノ者ニ對シ爲サレタル手續ノ效力ハ其ノ特許權又ハ特許ニ關スル權利ノ承繼人ニ及フ

第二十八條　特許局ニ事件ノ繫屬中ニ於テ特許權又ハ特許ニ關スル權利ノ移轉アリタルトキハ特許局ハ承繼人ニ對シ手續ヲ續行スルコトヲ得

第二十九條　本法ニ規定スルモノノ外特許局ニ係ル手續ノ中斷中止及中斷中止シタル手續ノ續行ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三十條　特許ニ關シ證明、特許證ノ複本、書類ノ謄本若ハ圖面ノ謄寫ヲ求メ又ハ書類ノ閱覽若ハ謄寫ヲ爲サムトスル者ハ特許局長官ニ於テ祕密ヲ要スト認ムルモノニ付テハ之ヲ許可セス

第三十一條　本法ニ規定スルモノノ外特許局ニ關スル手續ニ付テハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外特許局長官之ヲ取扱フ

第三十二條　外國人ニシテ帝國内ニ住所ヲモ營業所ヲモ有セサルモノハ特許ニ關スル手續ニ付テハ第一條ノ規定ニ依リ代理人ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　特許ニ關シ係約又ハ之ニ準スヘキモノニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二章　特許權

第三十四條　特許權ハ登錄ニ依リ發生ス

第三十五條　特許權者ハ物ノ發明ニ在リテハ其ノ物ヲ製作、使用、販賣又ハ擴布スル權利ヲ專有シ方法ノ發明ニ在リテハ其ノ方法ヲ使用シ及其ノ方法ニ依リテ製作シタル物ヲ使用、販賣又ハ擴布スル權利ヲ專有ス

新規ナル同一ノ物ハ同一ノ方法ニ依リテ製作シタルモノト推定ス

特許權カ其ノ出願ノ日前ノ出願ニ係ル實用新案權ト抵觸スル場合又ハ特許發明カ其ノ出願ノ日前ノ出願ニ係ル登錄實用新案ヲ利用スルモノナル場合ニ於テハ特許權者ハ實用新案權者ノ實施許諾ヲ得サレハ其ノ特許發明ヲ實施スルコトヲ得ス

第三十六條　特許權ハ其ノ效力ヲ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ及ホス

一　研究又ハ試驗ノ爲ニスル特許發明ノ實施

二　單ニ帝國内ヲ通過スルニ過キサル運輸

三　特許出願ノ際ヨリ帝國内ニ在ル物

第三十七條　特許出願ノ際現ニ善意ニ帝國内ニ於テ其ノ發明實施ノ事業ヲ爲シ又ハ事業ノ設備ヲ有スル者ハ其ノ特許發明ニ付事業ノ目的ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有ス

第三十八條　特許ノ無效審判請求ノ登錄前善意ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ帝國内ニ於テ其ノ發明實施ノ事業ヲ爲シ又ハ事業設備ヲ有スル者ハ其ノ特許發明ニ付事業ノ目的ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有ス

一　同一發明ニ對スル二以上ノ特許中其ノ一カ無效ト爲リタル場合ニ於ケル登錄ヲ

受クルノ權利ヲ有ス

二　特許ヲ與フル旨ノ審決カ確定シタル場合ニ於テ其ノ特許ニ關スル特許權者ニ對シ通常實施權ヲ許諾スルコトヲ得ス

三　前二號ニ揭ケル場合ニ於テ其ノ無效ト爲リタル特許權ニ付實施權ヲ得テ其ノ登錄ヲ受ケタル者但シ實施權カ登錄ナキモ第五十二條第一項ノ效力ヲ有スル場合ハ登錄アルヲ要セス

特許出願ノ日前又ハ之ト同日ノ出願ニ係リ其ノ特許權ト抵觸スル實用新案權ノ存續期間滿了シタル場合ニ於テ其ノ實用新案權ニ付實施權ヲ得テ登錄ヲ受ケタル者ハ其ノ特許發明ニ付原實施權ノ範圍内ニ於テ實施權ヲ有スル但シ原實施權ノ登錄ナキモ實用新案法第十三條第一項ノ效力ヲ有スル場合ハ登錄アルヲ要セス

特許權者ハ前二項ノ規定ニ依ル實施權者ヨリ相當ノ補償金ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第三十九條　特許出願ノ日前又ハ之ト同日ノ出願ニ係リ其ノ特許發明ノ實施ニ付テハ第三十七條第一項ノ規定ニ依リ通常實施權ヲ有スル者ハ他ノ共有者ノ同意ヲ要セシテ特許發明ノ實施ヲ他人ニ許諾スルコトヲ得

第四十條　特許發明カ軍事上秘密ヲ要シ又ハ軍事上若ハ公益上必要ナルモノナルトキハ特許權ヲ制限シ若ハ政府ニ於テ收用シ、特許ヲ取消シ又ハ政府ニ於テ特許發明ヲ實施スルコトヲ得

特許權ノ收用アリタルトキハ其ノ特許發明ニ關スル特許權以外ノ權利ハ消滅ス

第一項ノ規定ニ依ル制限、收用、取消又ハ實施ノ場合ニ於テハ政府ハ相當ノ補償金ヲ特許權者又ハ實施權者ニ支給ス

收用、實施及補償金支給ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十一條　特許アリタル後ニ於テ引續キ三年以上正當ノ理由ナクシテ其ノ發明カ帝國内ニ於テ實施セラレサルトキハ何人ト雖モ特許權ニ付通常實施權ノ許諾ヲ請求スルコトヲ得

特許權者カ正當ノ理由ナクシテ其ノ發明カ帝國内ニ於テ實施セラレサルニ至リタル場合ニ於テ特許ヲ受クルコト能ハサルトキハ前項ノ規定ニ依ル請求ニ付テハ特許發明ノ實施ノ事業ヲ爲シ又ハ其ノ設備ヲ有スル者ニ對シテモ亦之ヲ許諾スルコトヲ得

第四十二條　特許發明ノ實施カ他人ノ特許發明又ハ登錄實用新案ニ係ル權利ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許發明ヲ實施スルコト能ハサル場合ニ於テ其ノ他人カ正當ノ理由ナクシテ實施ヲ許諾セサルトキハ其ノ他人ノ實施許諾ヲ得ルコト能ハサルトキハ政府ニ於テ特許發明ヲ取消シ又ハ政府ニ於テ特許發明ヲ實施スルコトヲ得但シ他人ノ特許發明ノ實施ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ實施セラルヘキ發明ノ特許權ノ存續期間ノ滿了シタル日ヨリ三年ヲ經過セサルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ特許發明ヲ實施セラルル者其ノ實施ヲ必要トスル相手方ノ特許發明ニ付實施ノ許諾ヲ求メタル場合ニ於テ其ノ相手方カ正當ノ理由ナクシテ實施ノ許諾セサルトキ又ハ其ノ相手方ノ實施許諾ヲ得ルコト能ハサルトキハ審判ノ請求スルコトヲ得

第五十條　第四十一條又ハ前條ノ規定ニ依ル實施權者ハ特許權者又ハ實用新案權者ニ對シ相當ノ補償金ヲ支拂フヘシ

前項ノ實施權者ハ補償金ノ支拂ヲ爲シ又ハ支拂ヲ爲スコト能ハサル場合ニ於テハ供託ヲ爲スニ非サレハ其ノ特許發明又ハ登錄實用新案ノ實施スルコトヲ得ス但シ第四十一條ノ決定、審決又ハ判決ニ依ル確定前ト雖決定、審決又ハ判決ニ依ル補償金ニ相當スル金額ノ供託シタルトキハ實施スルコトヲ得

第五十一條　第四十九條ノ規定ニ依ル實施權ハ其ノ特許權ニ附屬ス

特許發明ノ實施權ニシテ前項ノ實施權ニ非サルモノハ其ノ實施ノ事業ト共ニスル場合又ハ特許權者ノ承諾アル場合ニ於テハ之ヲ移轉スルコトヲ得

第五十二條　特許發明ノ實施權ノ登錄シタルトキハ其ノ特許權ヲ爾後取得シタル者及其ノ特許權ヲ目的トスル爾後設定ノ質權ヲ有スル者ニ對シテモ其ノ效力ヲ生ス

第四十四條第二項又ハ第三十七條乃至第三十九條ノ規定ニ依ル實施權ハ其ノ登錄ナキ場合ト雖前項ノ效力ヲ有ス

第四十九條ノ規定ニ依ル實施權ハ其ノ登錄前設定ノ質權ヲ有スル者ニ對シテモ其ノ效力ヲ生ス

第四十五條ノ規定ニ依ル實施權ノ移轉、變更、消滅若ハ處分ノ制限又ハ實施權ヲ目的トスル質權ノ設定、移轉、變更、消滅若ハ處分ノ制限ハ付之ヲ準用ス

第五十三條　特許權者ハ特許發明ノ明細書又ハ圖面カ不完全ニ作製セラレタルコトヲ發見シタルトキハ左ノ各號ノ一ニ掲ケル事項ヲ目的トスル場合ニ限リ其ノ明細書又ハ圖面ノ訂正ノ許可ヲ審判ヲ請求スルコトヲ得

一　誤記ノ訂正

二　不明瞭ナル記載ノ釋明

三　特許權者ハ錯誤ニ因リ二以上ノ發明ヲ一特許出願ニ包含セシメタルコトヲ疏明シ又場合ニ限リ各發明毎ニ各別ノ特許權ト爲スノ許可ヲ審判ヲ請求スルコトヲ得

第一項第一號ノ場合ニ於テハ其ノ殘部、前項ノ場合ニ於テハ其ノ各發明カ特許出願ノ

第廿七條　準用ノ數十ヨリ數十ニ數十ニ數十ニ

第

ノ者ハ供例ノ規ニ従ヒ其ノ図面以テ願書ニ添付シ之ヲ特許庁ニ提出スヘシ

第

前項ノ図面ニハ縮尺ヲ附シ且ツ其ノ縮尺ヲ記載スヘシ

第

第一項ノ図面ニハ発明ノ構造ヲ明瞭ニ表示スルニ必要ナル模型ヲ添付

ノ相違ヨリ生ズル刑ノ軽重ヲ調整スル為メ法律ハ各条ニ定メタル刑ノ範囲内ニ於テ裁判官ノ量刑ヲ認メタリ此ノ範囲ヲ法定刑ト云フ裁判官ハ法定刑ノ範囲内ニ於テ犯人ノ境遇犯罪ノ情状等ヲ斟酌シテ刑ヲ量定ス此ノ量定シタル刑ヲ宣告刑ト云フ

第十六条　特許法第二十四条ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ特許ニ関シ左ノ権利ヲ有ス

一　特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル権利

二　特許ヲ受ケタル発明ヲ譲渡シ又ハ相続ニ因リ其ノ権利ヲ承継セシムル権利

三　特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利

第十七条　特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ之ヲ譲渡シ又ハ質権ノ目的ト為スコトヲ得ス

第十八条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第十九条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十一条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十二条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十三条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十四条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十五条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十六条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十七条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十八条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第二十九条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十一条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十二条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十三条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十四条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十五条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十六条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十七条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十八条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第三十九条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十一条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十二条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十三条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十四条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十五条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十六条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十七条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十八条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第四十九条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十一条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十二条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十三条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十四条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十五条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十六条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十七条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十八条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第五十九条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十一条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十二条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十三条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十四条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十五条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十六条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十七条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十八条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第六十九条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十一条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十二条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十三条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十四条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十五条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十六条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十七条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十八条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十九条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十一条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十二条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十三条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十四条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十五条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十六条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十七条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十八条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第八十九条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十一条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十二条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十三条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十四条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十五条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十六条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十七条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十八条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第九十九条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第百条　特許ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ其ノ実施ヲ許諾スル権利ヲ有スル場合ニ於テハ其ノ許諾ヲ受ケタル者ハ特許ヲ受ケタル者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ発明ヲ実施スル為メ他人ニ対シ実施ヲ許諾スルコトヲ得ス

第七十八條　特許ノ効力ハ其ノ特許ニ係ル発明ノ実施ニ付テノミ及ブ

第七十九條　特許ノ効力ハ左ノ各号ノ一ニ該当スル場合ニハ及ハス

一　試験又ハ研究ノ為ニスル発明ノ実施

二　単ニ学理ノミヲ応用スル発明ノ実施

三　他人ノ特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ他人ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四　他人ノ特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ他人ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

九　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十一　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十二　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十三　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十四　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十五　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十六　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十七　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十八　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

十九　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十一　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十二　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十三　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十四　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十五　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十六　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十七　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十八　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

二十九　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十一　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十二　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十三　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十四　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十五　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十六　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十七　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十八　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

三十九　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十一　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十二　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十三　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十四　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十五　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十六　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十七　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十八　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

四十九　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十一　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十二　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十三　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十四　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十五　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十六　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十七　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十八　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

五十九　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十一　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十二　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十三　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十四　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十五　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十六　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十七　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十八　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

六十九　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十一　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十二　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十三　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十四　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十五　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十六　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十七　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十八　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

七十九　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十一　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十二　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十三　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十四　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十五　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十六　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十七　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十八　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

八十九　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

九十　特許ニ係ル発明ノ実施ニシテ其ノ特許ニ係ル発明ヲ利用スルニ非サレハ自己ノ特許ニ係ル発明ヲ実施スルコトヲ得サルトキ

ヲ下付ス

年　月　日　　特許局長官　氏　　名印

第五號書式

特許第何號（原特許番號）

特許證（追加ノ特許證）　因獅（外國人ノ場合）

住所（居所）　　氏　　名（名稱）

發明者　何縣何誰

發明ノ名稱　何々

延長ノ期間　自某年某月某日　至某年某月某日

前記特許權（追加ノ特許權）ノ存續期間延長ノ許可アリタルヲ仍テ特許原簿ニ登錄シ本證ヲ下付ス

年　月　日　　特許局長官　氏　　名印

●特許登錄令

大正十年十二月

勅令第四百六十一號

改正　大正一一年一二第五一七號、第四一三年一第五三號

於特許登錄令改正ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

特許登錄令

第一章　總則

第一條　特許ニ關スル登錄ハ左ニ揭ケル事項ニ付之ヲ爲ス

一　特許權及實施權竝之ヲ目的トスル質權ノ設定、保存、移轉、變更、消滅、處分ノ制限又ハ特許法第四十條ノ制限

二　特許ノ效力、特許法第五十三條ノ許可ノ效力又ハ特許權ノ範圍ニ關スル確定審決又ハ判決

三　特許法第十六條第三項ニ規定スル代理人ノ選任若ハ變更又ハ代理權若ハ其ノ變更消滅

第二條　假登錄ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

一　登錄ノ申請ニ必要ナル手續上ノ條件カ具備セサルトキ

二　前條第一號ニ揭ケル權利ノ設定、移轉、變更又ハ消滅ノ請求權ヲ保全セムトスルトキ但シ其ノ請求權ハ始期附又ハ停止條件附ナルコト其ノ他將來ニ於テ確定スヘキモノナルコトヲ妨ケス

第三條　豫告登錄ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ爲ス

一　登錄原因ノ無效又ハ取消ニ依ル登錄ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタルトキ但シ登錄原因ノ取消ニ依ル訴ニ付テハ其ノ取消ヲ以テ棄却ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ場合ニ限ル

二　特許ノ效力、特許法第五十三條ノ許可ノ效力、特許權ノ範圍若ハ實施權ノ取得ニ關スル審判若ハ再審ノ請求アリタルトキ、同法第四十條第一項ニ規定スル處分ノ請求アリタルトキ又ハ同法第四十一條第一項若ハ第四十二條第一項ノ請求アリタルトキ

第四條　左ニ揭ケル事項ノ登錄ハ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

一　登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ更正

二　質權ノ移轉

三　一部抹消登錄ノ回復

第五條　左ニ揭ケル事項ノ登錄ハ登錄上利害關係ヲ有スル第三者ノ承諾書ニ登錄上利害關係ヲ有スル第三者ノ承諾書若ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附シタルトキニ限リ附記ニ依リテ之ヲ爲ス

一　特許法第四十四條ノ制限ノ變更

二　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ順位ノ變更

三　登錄ノ更正

第六條　特許權又ハ之ニ關スル權利ノ順位ノ變更ノ登錄ノ前後ハ登錄ノ前後ニ依ル

登錄ノ前後ハ登錄用紙中同區ニ爲シタル登錄ニ付テハ順位番號ニ依リ別區ニ爲シタル登錄ニ付テハ受付番號ニ依ル

第七條　附記登錄ノ順位ハ主登錄ノ順位ニ依リ附記登錄間ノ順位ハ其ノ前後ニ依ル

第八條　假登錄ヲ爲シタルモノニ付本登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ順位ハ假登錄ノ順位ニ依ル

第九條　昨欺又ハ强迫ニ依リテ登錄ノ申請ヲ妨ケタル第三者ハ登錄ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス

第十條　他人ノ爲ス登錄ヲ申請スル義務アル者ハ其ノ登錄ノ欠缺ヲ主張スルコトヲ得ス但シ登生シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十一條　登錄原因ノ無效又ハ取消ニ依ル登錄ノ抹消又ハ回復ノ訴ノ提起アリタルトキ但シ登錄原因ノ取消ニ依ル訴ニ付テハ其ノ取消ヲ以テ棄却ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ場合ニ限ル

第十二條　特許原簿及受付簿ノ樣式竝其ノ記載ニ關スル手續ハ農商務大臣之ヲ定ム

第十三條　特許原簿ノ全部又ハ一部カ滅失、毀損シタル場合ニ於テ其ノ回復ニ關スル手續ハ農商務大臣之ヲ定ム

第二章　登錄手續

第一節　通則

第十四條　登錄ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ノ外申請又ハ囑託ニ依ルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

囑託ニ依ル登錄ノ手續ニ付テハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ノ外申請ニ依ル登錄ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條　左ニ揭ケル事項ノ登錄ハ職權ヲ以テ之ヲ爲ス

一　特許權ノ設定、特許ノ無效、拋棄ニ依ラサル特許權ノ消滅又ハ訴願ノ裁決若ハ再審ノ確定審決若ハ判決ニ依ル特許權ノ回復

二　特許權ノ存續期間ノ延長、特許法第四十條ノ制限又ハ特許法第六十條ノ規定ニ依ル特許權ノ變更

三　特許法第五十三條ノ許可又ハ其ノ許可ノ無效若ハ四復

四　特許ノ效力、特許法第五十三條ノ許可ノ效力又ハ特許權ノ範圍ニ關スル確定審決又ハ判決

五　申請人カ外國法人ナル場合ニ在リテハ其ノ法人タルコトヲ證スル書面

六　代理人又ハ代表者ニ依リテ登錄ヲ申請スルトキハ其ノ權限ヲ證スル書面

特許法第十六條第三項ノ規定ニ依リ登錄ヲ受ケタル代理人又ハ同法第十七條第一項但書ノ規定ニ依リ同出テタル代理人若ハ代表者カ其ノ權限內ニ於テ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ第一項第六號ノ書面ヲ添附スルコトヲ要セス

第二十七條　債權者カ民法第四百二十三條ノ規定ニ依リ債務者ニ代位シテ登錄ヲ申請スル場合ニ於テハ第一項第三號乃至第五號又ハ第二十四條ニ揭ケル事項ノ外債權者ノ氏名若ハ名稱及住所又ハ居所並代位原因ヲ記載シ債權者之ニ記名捺印シ且前條第一項各號ニ揭ケル書面ノ外代位原因ヲ證スル書面ヲ添附スヘシ但シ登錄上代位原因明ナル場合ニ於テハ之ヲ證スルヲ要セス

第二十八條　登錄原因ニ登錄外ノ目的タル權利ノ消滅ニ關スル事項ノ定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

第二十九條　登錄權利者カ多數ナル場合ニ於テ登錄原因ニ持分ノ定アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スヘシ特許權又ハ之ニ關スル權利ノ一部移轉ノ登錄ヲ申請スル場合亦同シ

前項ノ場合ニ於テ特許法第四十七條第二項ノ同意、同法第四十七條ノ契約又ハ民法第二百五十六條第一項但書ノ契約アルトキハ申請書ニ之ヲ記載スヘシ

第三十條　抹消シタル登錄ノ回復ヲ申請スル場合ニ於テハ登錄上利害關係ヲ有スル第三者アルトキハ申請書ニ其ノ承諾書又ハ其ノ者ニ對抗スルコトヲ得ヘキ裁判ノ謄本ヲ添附スヘシ

第三十一條　左ノ場合ニ於テハ其ノ事實ヲ證スル戶籍若ハ登記簿ノ謄本若ハ抄本又ハ之ニ準スヘキ書面ヲ申請書ニ添附スヘシ

一　登錄原因カ相續其ノ他ノ一般承繼ナルトキ

二　申請人カ登錄權利者又ハ登錄義務者ノ相續人其ノ他ノ一般承繼人ナルトキ

三　登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登錄ヲ申請スルトキ

第三十二條　數個ノ申請書ニ依リ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ第二十六條第一項第一號乃至第五號又ハ前條ノ書面カ一通ナルトキハ一ノ申請書ニ之ヲ添附シ他ノ申請書ニハ其ノ旨ヲ記載スヘシ

他ノ事件ニ付特許局ニ對シ既ニ第二十六條第一項第三號乃至第五號又ハ前條ノ書面ヲ差出シタル者ハ其ノ事項ニ變更ナキトキハ申請書ニ添附セサルコトヲ得但シ特許局長官必要ト認ムルトキハ其ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第三十三條　申請書ニ第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スヘキ場合ニ於テハ其ノ第三者ヲシテ申請書ニ記名捺印セシメ其ノ書面ノ添附ニ代フルコトヲ得

第三十四條　削除

第三十五條　左ノ場合ニ於テハ登錄ノ申請ハ之ヲ却下ス

一　事件カ登錄スヘキモノニ非サルトキ

二　申請書カ方式ニ適合セサルトキ

三　第二十四條第一號ノ事件カ特許原簿ト符合セサルトキ

四　第三十一條第二號ニ規定スル書面ヲ添附スル場合ヲ除ノ外申請書ニ揭ケル登錄義務者ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ

五　申請人カ登錄義務者ノ相續人ナル場合ニ於テ其ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ

六　代理人又ハ代表者ノ表示カ特許原簿又ハ届出ト符合セサルトキ

七　申請書ニ揭ケル事項カ登錄原因ヲ證スル書面ト符合セサルトキ

八　申請書ニ必要ナル書面ヲ添附セサルトキ

九　登錄稅ヲ納付セサルトキ

前項ノ規定ニ依リ却下ニハ理由ヲ附スヘシ

第三十七條　行政區劃又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキハ特許原簿ニ記載シタル行政區劃又ハ其ノ名稱ノ之ヲ變更シタルモノト看做ス大字若ハ字又ハ其ノ名稱ニ變更アリタルトキ亦同シ

第三十八條　登錄ヲ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ハ第二十七條ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル通知ハ第二十七條ノ場合ニ於テハ債務者ニ對シテモ亦之ヲ爲スヘシ

登錄義務者又ハ債權者カ多數ナル場合ニ於テハ其ノ代表者ナキトキハ其ノ一人ニ對スル通知ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第三十九條　前條ノ場合ニ於テ登錄ノ錯誤又ハ遺漏カ特許局ノミノ過誤ニ出テタルトキハ登錄上利害關係ヲ有スル第三者アル場合ヲ除ノ外遲滯ナク其ノ登錄ノ更正ヲ爲シ其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十條　特許權又ハ之ニ關スル權利ニシテ工場財團又ハ之ニ準スヘキモノニ屬スルコトノ登錄アルモノニ付變更、債限又ハ消滅アリタルトキハ特許局ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ管轄登記所又ハ之ニ準スヘキモノニ通知スヘシ

第二節　特許權及實施權ニ關スル登錄手續

許與、其ノ許與ノ取消、訴願ノ裁決ニ依ル實施權ノ回復又ハ確定審決若ハ判決ニ依ル實施權ノ設定若ハ消滅

第十六條　登錄ノ申請ハ登錄權利者及登錄義務者ノ連名ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得但シ判決ニ依ル登錄權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第十七條　判決又ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ依ル登錄ノ申請ハ登錄權利者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第十八條　登錄名義人ノ表示ノ變更又ハ更正ノ登錄ノ申請ハ登錄名義人ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得

第十九條　特許法第十六條第三項ニ規定スル登錄ノ申請ハ本人又ハ受任者ノミニテ之ヲ爲スコトヲ得代理人ノ表示ノ變更又ハ代理人ノ表示若ハ代理權ノ更正ノ登錄ノ申請ニ付亦同シ

第二十條　假登錄ハ第十六條ノ場合ヲ除ク外假登錄權利者ノ申請ニ依リ假登錄義務者ノ住所若ハ居所又ハ特許法第二十二條ノ規定ニ依ル財産所在地ヲ管轄スル區裁判所ヨリ遲滯ナク囑託書ニ假處分命令ノ正本ヲ添附シテ特許局ニ之ヲ囑託スヘシ

前項ノ假處分命令ノ假登錄權利者カ假登錄原因ヲ疏明シタルトキハ區裁判所之ヲ發スヘシ

第一項ノ申請ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ即時抗告ハ付テハ非訟事件手續法ノ規定ヲ準用ス

第二十一條　官廳又ハ公署ハ其ノ爲シタル處分ニ基ク權利ノ登錄又ハ其ノ抹消登錄ヲ遲滯ナク特許局ニ囑託スヘシ公衆其ノ他法令ノ規定ニ依ル處分ニ基ク權利移轉ノ登錄ニ付亦同シ

前項ノ場合ニ於テ必要アルトキハ當該官廳又ハ公署ハ登錄名義人ノ表示ノ變更若ハ更正又ハ相續其ノ他ノ一般承繼ニ依ル權利移轉ノ登錄ヲ特許局ニ囑託スヘシ

第二十二條　特許法第四十條ノ規定ニ依リ府ニ於テ特許權ヲ收用シ又ハ特許發明ヲ實

施スル場合ニ於テハ主務官廳ハ特許權移轉ノ登錄又ハ實施權設定ノ登錄ヲ特許局ニ囑託スヘシ

前條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條　第三條第一號ニ揭ケル訴ヲ受理シタル裁判所ハ遲滯ナク囑託書ニ訴狀ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ其ノ豫告登錄ヲ特許局ニ囑託スヘシ

第三條第二號ニ揭ケル請求アリタルトキハ職權ヲ以テ其ノ豫告登錄ヲ爲ス

第二十四條　登錄ノ申請書ハ一件毎ニ一通ヲ作リ之ニ左ニ揭ケル事項ヲ記載シ申請人記名捺印スヘシ

一　特許番號及發明ノ名稱竝登錄ノ目的カ特許權以外ノ權利ニ關スル場合ニ於テハ尙其ノ權利ノ表示

二　申請人ノ氏名名稱及住所又ハ居所並代理人ニ依リテ申請スル場合ニ於テハ尙其ノ氏名名稱及住所又ハ居所

三　申請人カ外國人ナル場合ニ在リテハ其ノ國ニ特許權保護同盟條約國又ハ帝國ト特許ニ關シ相互保護ヲ約セシ國以外ノ國ノ臣民ナル場合ニ在リテハ尙同盟條約國又ハ帝國ト特許ニ關シ相互保護ヲ約セシ國以外ノ國ノ臣民又ハ人民ナル場合ニ在リテハ尙同盟國中ノ一國ノ版圖內ニ於ケル住所又ハ現實且眞誠ナル工業的若ハ商業的營業所ヲ有スルコトヲ證スル書面

四　登錄原因及其ノ日附

五　登錄ノ目的

六　年月日

第二十五條　數個ノ特許權、實用新案權若ハ意匠權又ハ之ニ關スル權利ヲ目的トスル質權ノ設定ノ登錄ヲ申請スル場合ニ於テ登錄原因カ同一ナルトキハ同一ノ申請書ヲ以テ登錄ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ニ處分ノ制限ノ登錄ヲ囑託スル場合ニ之ヲ準用ス

第二十六條　登錄ノ申請書ニハ左ノ書面ヲ添附スヘシ

一　登錄原因ヲ證スル書面

二　削除

三　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スヘキ場合ニ於テハ其ノ第三者ヲシテ申請書ニ記名捺印セシメ其ノ書面ノ添附ニ代フルコトヲ得

四　登錄原因ニ付第三者ノ許可、同意又ハ承諾ヲ證スル書面ヲ添附スヘキ場合ニ於テハ其ノ第三者ヲシテ申請書ニ記名捺印セシメ其ノ書面ノ添附ニ代フルコトヲ得

第二十七條　削除

第二十八條　左ノ場合ニ於テハ登錄ノ申請ハ之ヲ却下ス

一　事件カ登錄スヘキモノニ非サルトキ

二　申請書カ方式ニ適合セサルトキ

三　第二十四條第一號ノ事件カ特許原簿ト符合セサルトキ

四　第二十六條第二號ニ規定スル書面ヲ添附スル場合ヲ除ノ外申請書ニ揭ケル登錄義務者ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ

五　申請人カ登錄義務者ノ相續人ナル場合ニ於テ其ノ表示カ特許原簿ト符合セサルトキ

六　代理人又ハ代表者ノ表示カ特許原簿又ハ届出ト符合セサルトキ

七　申請書ニ揭ケル事項カ登錄原因ヲ證スル書面ト符合セサルトキ

八　申請書ニ必要ナル書面ヲ添附セサルトキ

九　登錄稅ヲ納付セサルトキ

前項ノ規定ニ依ル却下ニハ理由ヲ附スヘシ

第二十九條　登錄ヲ完了シタル後其ノ登錄ニ付錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ

前項ノ通知ハ第二十七條ノ場合ニ於テハ債權者ニ對シテモ亦之ヲ爲スヘシ

前二項ノ規定ニ依ル通知ハ第二十七條ノ場合ニ於テハ債務者ニ對シテモ亦之ヲ爲スヘシ

登錄義務者又ハ債權者カ多數ナル場合ニ於テハ其ノ代表者ナキトキハ其ノ一人ニ對スル通知ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第三十條　前條ノ場合ニ於テ登錄ノ錯誤又ハ遺漏カ特許局ノミノ過誤ニ出テタルトキハ登錄上利害關係ヲ有スル第三者アル場合ヲ除ノ外遲滯ナク其ノ登錄ノ更正ヲ爲シ其ノ旨ヲ登錄權利者及登錄義務者ニ通知スヘシ

前條第二項及第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第三十一條　特許權又ハ之ニ關スル權利ニシテ工場財團又ハ之ニ準スヘキモノニ屬スルコトノ登錄アルモノニ付變更、債限又ハ消滅アリタルトキハ特許局ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ管轄登記所又ハ之ニ準スヘキモノニ通知スヘシ

第二節　特許權及實施權ニ關スル登錄手續

第
四
條
ハ
依
ル
十
六
ノ
ニ
ノ
第
一
項
ノ
規
定
ニ
依
リ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
者
ハ
其
特
許
ニ
關
シ
テ
ハ
左
ノ
各
號
ニ
掲
ケ
タ
ル
行
爲
ヲ
爲
ス
權
利
ヲ
專
有
ス

一
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利

二
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
申
出
ヲ
爲
ス
權
利

三
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
申
出
ヲ
爲
サ
シ
ム
ル
權
利

第
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
一
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
二
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
三
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
四
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
十
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
一
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
二
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
三
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
四
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
二
十
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
一
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
二
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
三
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
四
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
三
十
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
一
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
二
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
三
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
四
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
四
十
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
一
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
二
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
三
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
四
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
五
十
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
一
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
二
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
三
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
四
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
六
十
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
一
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
二
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
三
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
四
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
七
十
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
一
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
二
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
三
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
四
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
八
十
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
一
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
二
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
三
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
四
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
五
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
六
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
七
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
八
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
九
十
九
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

第
百
條
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ノ
實
施
ニ
必
要
ナ
ル
範
圍
ニ
於
テ
ハ
他
人
ノ
特
許
ヲ
受
ケ
タ
ル
發
明
ヲ
使
用
シ
又
ハ
讓
渡
ス
ノ
權
利
ヲ
有
ス

●特許登錄令施行規則

大正八年十一月十二日勅令第三百號

特許登錄令施行規則ヲ左ノ通定ム

特許登錄令施行規則

第一條　特許登錄令第一條ノ二ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ特許ニ關シ左ノ各號ニ掲ケタル行爲ヲ爲ス權利ヲ專有ス

一　特許ヲ受ケタル發明ヲ使用シ又ハ讓渡スノ權利

二　特許ヲ受ケタル發明ヲ使用シ又ハ讓渡スノ申出ヲ爲サシムル權利

第二條　特許登錄令第一條ノ二ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ特許ニ關シ左ノ各號ニ掲ケタル行爲ヲ爲ス權利ヲ專有ス

一　特許ヲ受ケタル發明ヲ使用シ又ハ讓渡スノ權利

二　特許ヲ受ケタル發明ヲ使用シ又ハ讓渡スノ申出ヲ爲サシムル權利

第三條　特許登錄令第一條ノ二ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ特許ニ關シ左ノ各號ニ掲ケタル行爲ヲ爲ス權利ヲ專有ス

一　特許ヲ受ケタル發明ヲ使用シ又ハ讓渡スノ權利

二　特許ヲ受ケタル發明ヲ使用シ又ハ讓渡スノ申出ヲ爲サシムル權利

第四條　特許登錄令第一條ノ二ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ特許ニ關シ左ノ各號ニ掲ケタル行爲ヲ爲ス權利ヲ專有ス

一　特許ヲ受ケタル發明ヲ使用シ又ハ讓渡スノ權利

二　特許ヲ受ケタル發明ヲ使用シ又ハ讓

トスル賀權ノ登錄アルトキハ尙其ノ登錄ヲ抹消スヘシ

前項ノ場合ニ於テ其ノ權利ノ信託ノ登錄アルトキハ尙其ノ登錄ヲ抹消スヘシ

第五十四條　特許權移轉ノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ特許權以外ノ權利ニ關スル權利ノ信託ノ登錄アルトキハ其ノ登錄ヲ抹消スヘシ

第五十四條ノ二　第四十四條ノ二ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十五條　假登錄ハ登錄用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲スヘシ

第五十六條　假登錄ヲ爲シタルトキハ事項欄ノミニ縱線ヲ劃シ其ノ左側ニ本登錄ヲ爲シ得ヘキ相當ノ餘白ヲ存シタル上順位番號欄及事項欄ニ縱線ヲ劃スヘシ

第五十七條　假登錄ヲ爲シタル後本登錄ノ申請アリタルトキハ假登錄ノ左側ノ餘白ニ其ノ登錄ヲ爲スヘシ假登錄ノ抹消ノ申請アリタルトキ亦同シ

第五十八條　特許登錄令第三條第一號ニ依ル豫告登錄ハ登錄用紙中相當區事項欄ニ之ヲ爲スヘシ

第五十九條　登錄ヲ完了シタルトキハ登錄原因ヲ證スル書面ニ特許番號、順位番號、登錄年月日及登錄濟ノ旨ヲ記載シ特許局ノ印ヲ押捺シテ之ヲ登錄權利者ニ還付スヘシ但シ申請書ニ登錄原因ヲ證スル書面ヲ添附スルコト能ハサルモノノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ登錄權利者又ハ第二項ニ規定スル債權者、受益者若ハ差配者ニ登錄原因ヲ證スル書面ニ記載スヘキ事項登錄ノ原因及其ノ日附竝登錄ノ目的ヲ通知スヘシ

特許登錄令第二十七條、第五十六條又ハ第六十五條第二項ニ規定スル申請ニ依リ登錄ヲ完了シタルトキハ前項ニ依リ登錄權利者ニ還付スヘキ書面ハ之ヲ債權者又ハ受益者若ハ差配者ニ通知スヘシ

第六十條　登錄ヲ完了シタルトキハ特許權又ハ登錄ニ關スル權利ノ表示、登錄原因、其ノ日附、登錄權利者ノ氏名名稱及住所、登錄ノ目的及登錄濟ノ旨ヲ特許權者、制限附移轉ノ特許權者及特許權以外ノ權利者ニ通知スヘシ

第六十一條　削除

第六十二條　特許登錄令第四十七條第二項ニ規定スル登錄ヲ完了シタルトキハ特許權又ハ登錄權利者ノ氏名名稱及住所、登錄原因、其ノ日附、登錄權利者ノ氏名名稱及住所、登錄ノ目的及登錄濟ノ旨ヲ特許權者、制限附移轉ノ特許權者及特許權以外ノ權利者ニ通知スヘシ

第六十三條　削除

第六十四條　特許登錄令第四十七條第二項ニ規定スル登錄ヲ完了シタルトキハ特許權又ハ登錄權利者ノ表示、登錄原因、其ノ日附、登錄權利者ノ氏名名稱及住所、登錄ノ目的及登錄濟ノ旨ヲ特許權者、制限附移轉ノ特許權者及特許權以外ノ權利者ニ通知スヘシ

第六十五條　特許登錄令第五十五條、第五十八條ノ二、第五十九條、第六十五條第一項又ハ第六十七條ニ規定スル申請ニ依リ登錄ヲ爲シタルトキハ前條ニ揭ケル事項ヲ受益者ニ通知スヘシ

附　則

第六十六條　本則ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

第六十七條　特許登錄令第五十九條乃至第六十一條ノ規定ニ依リ舊特許登錄令ニ依ル場合ニ於ケル登錄手續ニ付テハ仍舊則ニ依ルヘシ舊特許登錄令附則第二項ニ規定スル舊特許原簿ニ登錄セラレタル權利ニ關シ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ新特許原簿中相當欄ニ舊特許原簿中抹消ニ係ラサル登錄ヲ移シ且其ノ末尾ニ舊特許原簿第何冊第何丁ヨリ移シタル旨ヲ記載スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ舊特許原簿中相當欄ニ新特許原簿第何冊第何丁ニ移シタル旨ヲ記載シ其ノ登錄ヲ抹消スヘシ

附　則（大正十一年十二月農令第二十九號）

本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

特許表示番號　表題部　甲區　乙區　丙區　丁區

順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	順位番號	事項欄	代理人欄	特許料欄

金前條ノ反二十二ニル刑ノ金ヲ科ス

物ノ沒收ヲ言渡ス

第二十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得

第二十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第四十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第五十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第六十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第七十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第八十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第九十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百二十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百三十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百四十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百五十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百六十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百七十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百八十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第百九十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百二十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百三十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百四十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百五十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百六十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百七十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百八十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第二百九十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十六條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十七條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十八條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百二十九條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百三十條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百三十一條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百三十二條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百三十三條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百三十四條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收ニ關スル規定ヲ適用スルコトヲ得ス

第三百三十五條　第二十一條ノ場合ニ於テ沒收

第二十條　前條ノ通知ヲ受ケタル者登錄ノ抹消ニ對シ不服アルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第二十一條　特許局長官ハ辨理士ノ登錄又ハ其ノ抹消若ハ回復ヲ爲シタルトキハ官報、特許公報又ハ商標公報ヲ以テ之ヲ公告スヘシ

第二十二條　辨理士ハ其ノ氏名、住所又ハ事務所ヲ變更シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ特許局長官ニ屆出ツヘシ

辨理士死亡シタルトキハ其ノ相續人又ハ親族ハ遲滯ナク其ノ旨ヲ特許局長官ニ屆出ツヘシ

第三章　辨理士會

第二十三條　辨理士會ハ毎年定期總會ヲ開ク

辨理士會ハ必要アル場合ニ於テハ臨時總會ヲ開クコトヲ得

辨理士會ハ商工大臣又ハ特許局長官ニ建議スルコトヲ得

第二十六條　辨理士會ハ左ノ事項ヲ遲滯ナク特許局長官ニ報告スヘシ

一　會員ノ加入及脫退

二　役員ノ選任及解任

三　總會ノ決議

四　特許局長官ニ於テ報告ヲ求メタル事項

第二十七條　商工大臣ハ總會ノ決議又ハ役員ノ行爲カ法令若ハ會則ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ又ハ役員ノ改選ヲ命スルコトヲ得

第二十八條　辨理士懲戒委員會ハ委員長一人委員四人ヲ以テ之ヲ組織ス

委員會ニ豫備委員四人ヲ置ク

委員長ハ特許局長官ヲ以テ之ニ充ツ

委員及豫備委員ハ內各二人ハ特許局高等官ノ中ヨリ、其ノ他ノ委員及豫備委員ハ辨理士ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ス

第二十九條　委員會ノ議事ハ過半數ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ委員長之ヲ決ス

第三十條　委員長事故アルトキハ其ノ指名シタル委員之ヲ代理ス

委員中闕員アルトキ、事故アル者アルトキ又ハ委員長ヲ代理スル者アルトキハ委員長ノ指名シタル豫備委員之ヲ代理ス

第三十一條　委員及豫備委員ノ任期ハ三年トス但シ補闕ノ爲命セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第三十二條　委員會ニ書記三人ヲ置ク

書記ハ特許局判任官ノ中ヨリ商工大臣之ヲ命ス

書記ハ上司ノ命ヲ受ケ庶務ニ從事ス

第三十三條　辨理士法第十九條ノ規定ニ依ル申告ハ證據ヲ具ヘ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十四條　委員長ハ證據ヲ提出セシメ又ハ代理人ヲ出頭セシムルコトヲ得

第三十五條　委員長ハ懲戒スヘキ行爲及證據ヲ示シテ其ノ旨ヲ本人ニ通知シ且期間ヲ指定シテ之ニ辯明ノ機會ヲ與フヘシ

第三十六條　辨理士會カ辨理士法第十九條ノ規定ニ依ル申告ヲ爲シタル場合ニ於テハ委員會ハ前條ノ期日ヲ辨理士會ニ通知スヘシ

前項ノ場合ニ於テ本人ハ他人ヲシテ辯護セシメ又ハ代理人ヲ出頭セシムルコトヲ得

第三十七條　委員長、委員及豫備委員ハ自己又ハ其ノ親族ニ關スル事件ノ會議ニ干與スルコトヲ得ス

第四章　辨理士懲戒委員會

第三十八條　委員會議決ヲ爲シタルトキハ委員長ハ直ニ其ノ旨ヲ商工大臣ニ報告スヘシ

附　則

第四十條　本令ハ大正十一年一月十一日ヨリ施行ス

特許辨理士試驗規則ハ之ヲ廢止ス

第四十一條　商工大臣ハ辨理士會ノ設立ニ關スル事務ヲ行ハシムル爲本令施行後三十日以內ニ辨理士中ヨリ三十人ノ設立委員ヲ選任スヘシ

第四十二條　設立ニ關スル事務ハ設立委員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

第四十三條　設立委員ハ選任ノ日ヨリ六十日以內ニ設立總會ヲ招集スヘシ

第四十四條　設立總會ニ於テハ辨理士會ソ會則ヲ議定シ役員ヲ選任スヘシ

第四十五條　設立總會ノ議事ハ出席シタル辨理士ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス

附　則（昭和八年七月勅令第二百號）

本令ハ昭和八年法律第十號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●韓國特許辨理士令ニ依ル登錄ハ特許辨理士令ニ依ル登錄ト看做スノ件

明治四十三年八月
勅令第三百三十九號

朕朝鮮ニ於ケル特許辨理士ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　工業所有權戰時法ハ朝鮮及滿洲ニ之ヲ施行ス

第二條　帝國臣民カ工業所有權戰時法第五條ノ規定ニ依リ帝國ニ於テ享有スル專用權ノ效力ハ關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民ニ及フモノトス

第三條　工業所有權戰時法中ノ罰ニ關スル規定ハ關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民ニ對シ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行ノ件

大正六年九月
勅令第百四十三號

朕朝鮮及臺灣ニ工業所有權戰時法施行等ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　工業所有權戰時法ハ朝鮮及滿洲ニ之ヲ施行ス

第二條　帝國臣民カ工業所有權戰時法第五條ノ規定ニ依リ帝國ニ於テ享有スル專用權ノ效力ハ關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民ニ及フモノトス

第三條　工業所有權戰時法中ノ罰ニ關スル規定ハ關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民ニ對シ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法

大正六年七月
法律第二十一號

朕帝國議會ノ協贊ヲ經タル工業所有權戰時法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

工業所有權戰時法

第一條　工業所有權ニ關スル敵國人ノ出願又ハ請求ニ付テハ戰時中特許又ハ登錄ヲ停止ス

前項ノ出願又ハ請求ニ係ル發明、意匠又ハ考案カ戰時中左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ出願又ハ請求ニ付テハ特許又ハ登錄ヲ爲サス

一　帝國內ニ於テ公然知レ又ハ公然用キラレタルモノ

二　容易ニ應用スルコトヲ得ヘキ程度ニ於テ帝國內ニ頒布セラレタル刊行物ニ記載セラレタルモノ

第二條　敵國人ハ戰時中工業所有權ニ關シ審判若ハ抗告審判ノ請求又ハ抗告審判ニ對スル出訴ヲ爲スコトヲ得ス

第三條　戰時中ニ發生シタル特許權ニ對シテハ敵國人ハ萬國工業所有權保護同盟條約第四條ノ優先權ヲ主張スルコトヲ得ス

第四條　時局ノ關係ニ於テ軍事上又ハ公益上必要アルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ敵國人ニ屬スル特許又ハ商標ノ登錄ヲ取消スコトヲ得

第五條　敵國人ニ屬スル特許發明ハ發明ヲ受ケタル者之ヲ專用スルコトヲ得前條ノ規定ニ依リ取消サレタル特許發明ニ付亦同シ

第六條　前項ノ規定ニ依リ登錄ヲ取消サレタル商標ト同一又ハ類似ノ商標ニシテ同一商品ニ使用スヘキモノハ之ヲ登錄セス

第七條　敵國人ニ非サル者ノ出願、請求若ハ出訴又ハ特許權若ハ商標權ニシテ其ノ利益カ主トシテ敵國人ニ歸スルモノニ付テハ前六條ノ規定ヲ準用ス

第八條　戰爭終了ノ際ニ於ケル必要ナル事項ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第九條　本法ニ依ル專用權ヲ侵害シタル者ハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正六年九月勅令第百四十號ヲ以テ大正六年九月十五日ヨリ施行）

●工業所有權戰時法施行令

大正六年九月
勅令第百四十一號

朕工業所有權戰時法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　工業所有權戰時法ニ依ル特許又ハ商標登錄ノ取消ハ職權ヲ以テ、特許發明ノ專用免許ハ申請ニ因リ農商務大臣之ヲ爲ス

前項ノ規定ニ依ル處分ハ時局ノ關係ニ於テ軍事上又ハ公益上必要アルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

第一項ノ規定ニ依ル處分ハ農商務部內ノ高等官又ハ學識經驗アル者ノ中ヨリ農商務大臣ノ命シタル五人又ハ七人ノ調査委員ノ審査ヲ經テ之ヲ爲スヘシ

第二條　專用ノ免許ハ同時ニ免許ヲ爲シ又ハ既ニ爲シタル免許ノ趣旨ニ反セサルトキニ限リ數人ニ各別ニ之ヲ爲スコトヲ得

第三條　專用權ノ免許ニ係ル手續ニ付テハ特許ヲ附スルコトヲ得

第四條　專用權ノ登錄ニ依リ發生ス

受ケタルコトヲ要ス

第五條　專用權ノ讓渡、變更、處分ノ制限、取消若ハ拋棄ニ依リ消滅又ハ專用免許ノ條件ノ附加若ハ變更ハ登錄スルニ非サレハ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

專用權ヲ目的トスル質權ノ設定、移轉、變更、處分ノ制限又ハ消滅ニ付亦前項ニ同シ

第六條　專用ノ免許ヲ申請スル者ハ一件毎ニ手數料五千圓ヲ納付スヘシ

第七條　專用權者ハ每年二月末日迄ニ前年ニ於ケル當該特許發明ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ別ニ事業期ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ事業期終了後二月內ニ之ヲ差出スヘシ

前項ノ標準ハ當該特許發明ノ實施ニ依ル生産物ノ價額ノ百分ノ三乃至十ノ範圍內ニ於テ之ヲ定ムル但シ特別ノ事由アルトキハ之ニ依ラサルコトヲ得

第八條　農商務大臣ハ何時ニテモ專用權者ヲシテ其ノ事業若ハ財產ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ事業若ハ財產ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第九條　前三條ノ規定ハ國ノ專用ニ付之ヲ適用セス

第十條　專用權者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農商務大臣ハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

一　正當ノ事由ナクシテ專用權發生ノ日ヨリ三月內ニ當該特許發明ノ實施ノ準備ニ著手セサルトキ

二　當該特許發明ヲ適當ニ實施セサルトキ

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ之ヲ爲スヘシ

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ限リ其ノ申請ノ許否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第五條　專用免許ノ申請アリタルトキハ特許局長ハ意見書ヲ作リ之ヲ申請書ニ添附スヘシ

第六條　左ノ場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ官報及公報ニ公告スヘシ

一　特許又ハ商標登錄取消ノ處分アリタルトキ

二　專用免許ノ申請アリタルトキ

三　專用免許ノ申請ニ付許否ノ處分アリタルトキ

四　專用權ノ消滅シタルトキ

第七條　專用權者ハ每年二月末日迄ニ前年ニ於ケル當該特許發明ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ別ニ事業期ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ事業期終了後二月內ニ之ヲ差出スヘシ

前項ノ標準ハ當該特許發明ノ實施ニ依ル生產物ノ價額ノ百分ノ三乃至十ノ範圍內ニ於テ之ヲ定ムル但シ特別ノ事由アルトキハ之ニ依ラサルコトヲ得

第八條　農商務大臣ハ何時ニテモ專用權者ヲシテ其ノ事業若ハ財產ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ事業若ハ財產ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第九條　前三條ノ規定ハ國ノ專用ニ付之ヲ適用セス

第十條　專用權者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農商務大臣ハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

一　正當ノ事由ナクシテ專用權發生ノ日ヨリ三月內ニ當該特許發明ノ實施ノ準備ニ著手セサルトキ

二　當該特許發明ヲ適當ニ實施セサルトキ

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ限リ其ノ申請ノ許否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第五條　專用免許ノ申請アリタルトキハ特許局長ハ意見書ヲ作リ之ヲ申請書ニ添附スヘシ

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商令第二十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款竝最近ノ財產目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

第三條　專用免許ノ申請カ競願スル場合ニ於テ當該特許發明ニ付專用免許ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ之ヲ爲スヘシ

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ限リ其ノ申請ノ許否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第五條　專用免許ノ申請アリタルトキハ特許局長ハ意見書ヲ作リ之ヲ申請書ニ添附スヘシ

第十條　專用權者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農商務大臣ハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

一　正當ノ事由ナクシテ專用權發生ノ日ヨリ三月內ニ當該特許發明ノ實施ノ準備ニ著手セサルトキ

二　當該特許發明ヲ適當ニ實施セサルトキ

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ限リ其ノ申請ノ許否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第五條　專用免許ノ申請アリタルトキハ特許局長ハ意見書ヲ作リ之ヲ申請書ニ添附スヘシ

本令ハ工業所有權戰時法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●工業所有權戰時法施行規則

大正六年九月
農商令第二十二號

工業所有權戰時法施行規則左ノ通定ム

第一條　專用ノ免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シ農商務大臣ニ申請書ヲ差出スヘシ

一　資力、經驗其ノ他當該特許發明ノ實施ニ適當ナル資格ヲ有スルコトヲ疏明スル書面

二　事業計畫書及收支豫算書

三　申請人カ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スルトキハ其ノ關係ヲ證スルニ足ル書面

四　法人ニ在リテハ定款竝最近ノ財產目錄及貸借對照表

第二條　專用免許申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　當該特許發明ノ特許番號、名稱、特許ノ年月日及特許權者ノ氏名又ハ名稱及住所

二　專用セムトスル期間

三　事業期ヲ定メタルトキハ其ノ事業期

四　當該特許發明ノ專用ヲ必要トスル理由

專用免許申請ノ手數料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼付シ之ヲ納付スヘシ

第三條　專用免許ノ申請カ競願スル場合ニ於テ當該特許發明ニ付專用免許ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ之ヲ爲スヘシ

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ限リ其ノ申請ノ許否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第五條　專用免許ノ申請アリタルトキハ特許局長ハ意見書ヲ作リ之ヲ申請書ニ添附スヘシ

第六條　左ノ場合ニ於テハ特許局長ハ其ノ旨ヲ官報及公報ニ公告スヘシ

一　特許又ハ商標登錄取消ノ處分アリタルトキ

二　專用免許ノ申請アリタルトキ

三　專用免許ノ申請ニ付許否ノ處分アリタルトキ

四　專用權ノ消滅シタルトキ

第七條　專用權者ハ每年二月末日迄ニ前年ニ於ケル當該特許發明ノ實施報告書及收支計算書ヲ農商務大臣ニ差出スヘシ但シ別ニ事業期ヲ定メタル場合ニ於テハ其ノ事業期終了後二月內ニ之ヲ差出スヘシ

前項ノ標準ハ當該特許發明ノ實施ニ依ル生產物ノ價額ノ百分ノ三乃至十ノ範圍內ニ於テ之ヲ定ムル但シ特別ノ事由アルトキハ之ニ依ラサルコトヲ得

第八條　農商務大臣ハ何時ニテモ專用權者ヲシテ其ノ事業若ハ財產ニ關シ報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ事業若ハ財產ノ狀況ヲ檢査スルコトヲ得

第九條　前三條ノ規定ハ國ノ專用ニ付之ヲ適用セス

第十條　專用權者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ農商務大臣ハ專用ノ免許ヲ取消スコトヲ得

一　正當ノ事由ナクシテ專用權發生ノ日ヨリ三月內ニ當該特許發明ノ實施ノ準備ニ著手セサルトキ

二　當該特許發明ヲ適當ニ實施セサルトキ

第四條　專用免許ノ申請アリタル場合ニ於テ當該特許發明ニ付利害關係ヲ有スル者ハ最先ニ爲サレタル申請ノ公告ノ日ヨリ三十日內ニ限リ其ノ申請ノ許否ニ關シ意見書ヲ農商務大臣ニ提出スルコトヲ得

第五條　專用免許ノ申請アリタルトキハ特許局長ハ意見書ヲ作リ之ヲ申請書ニ添附スヘシ

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

●工業所有權戰時法施行規則

第一條　本令ハ工業所有權戰時法（以下法ト稱ス）ノ施行ニ關シ必要ナル事項ヲ規定ス

第二條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

二十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

三十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

三十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

三十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

三十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

三十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

三十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

三十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

三十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第三條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第四條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第五條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第六條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第七條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第八條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第九條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第十條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第十一條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第十二條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ種類

六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ權利者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ居所

七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案、意匠又ハ商標ノ名稱

八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ圖面又ハ商標ノ見本

九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ發明、考案又ハ意匠ノ要領

十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品

十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ數量

十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ價格

十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ地域

十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ期間

十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ條件

十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ方法

十八　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ制限

十九　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ禁止

二十　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ義務

二十一　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査

二十二　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ方法

二十三　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ期間

二十四　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ場所

二十五　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ方法

二十六　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ期間

二十七　命令ノ施行ノ目的タル工業所有權ノ指定商品ノ製造、加工、販賣又ハ使用ノ檢査ノ費用ノ負擔ノ條件

第十三條　法第一條ノ規定ニ依リ工業所有權ニ關スル命令ヲ發スル場合ニ於テハ其ノ命令ニ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　命令ノ發布ノ年月日

二　命令ノ施行ノ年月日

三　命令ノ施行ノ區域

四　命令ノ施行ノ期間

五　命令

第一條　特許令第十二條ノ規定ニ依リ特許ヲ受ケタル者ハ其ノ特許ニ關スル發明ヲ實施スル權利ヲ專有ス

第二條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第六條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第七條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第八條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第九條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十一條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十二條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十三條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十四條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十五條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十六條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十七條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十八條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第十九條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十一條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十二條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十三條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十四條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十五條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十六條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十七條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十八條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二十九條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十一條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十二條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十三條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十四條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十五條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十六條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十七條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十八條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第三十九條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十一條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十二條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十三條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十四條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十五條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十六條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十七條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十八條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第四十九條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十一條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十二條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十三條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十四條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十五條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十六條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十七條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十八條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第五十九條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第六十條　特許ヲ受ケントスル者ハ其ノ發明ニ關シ左ノ事項ヲ記載シタル願書ヲ特許廳ニ提出スヘシ

一　發明ノ名稱

二　發明ノ性質ヲ詳細ニ記載シタル說明書

三　特許ヲ受ケントスル範圍ヲ記載シタル書面

四　發明ノ要點ヲ記載シタル書面

五　發明ノ圖面

六　願書ニ添附スヘキ書面ニ付テハ其ノ旨ヲ願書ニ記載スヘシ

第二編　意匠法

●意匠法ノ沿革

第一章　復興

第一節　意匠ノ意義

意匠ハ物品ノ形狀、模様又ハ色彩ニ關スル新考案ニシテ視覺ニ訴ヘテ美感ヲ起サシムルモノヲ謂フ

第一類　染料、顔料及媒染剤

第二類　油脂、蠟、鉱物性燃料及獣毛

第三類　石鹸、香料、精油、歯磨及化粧品

第四類　蠟燭、燭台、燭剪及付属品

第五類　薬品及衛生品

第六類　調味品及食品

第七類　飲料、茶及嗜好品

第八類　糖類、穀粉、麦芽及麺麭

第九類　動物及動物製品

第十類　木材、竹材、藁及藁製品

第十一類　土石及土石製品

第十二類　金属及合金

第十三類　金属製品

第十四類　機械及器具

第十五類　電気機械及器具

第十六類　車両及船舶

第十七類　光学、計量、測定、信号及教育用品

第十八類　楽器、時計及玩具

第十九類　武器、火工品及花火

第二十類　雑貨

第二十一類　建築材料

第二十二類　家具

第二十三類　人造及天然の花及植物

第二十四類　飲食物の調理又は保存

第二十五類　被服及履物

第二十六類　理髪及美容

第二十七類　娯楽、遊戯及運動

第二十八類　煙草及喫煙具

第二十九類　マッチ

第三十類　建物の建築、修理及解体

第三十一類　運輸及荷造

第三十二類　印刷及製本

第三十三類　写真及写真版

第三十四類　事務用品及学用品

第三十五類　広告、事務及商業

第三十六類　金融及保険

第三十七類　不動産の取引及管理

第三十八類　電気通信

第三十九類　旅行及輸送

第四十類　物品の加工及賃貸

第四十一類　教育、娯楽、スポーツ及文化活動

第四十二類　科学技術サービス、研究及設計並びに工業上の分析及調査

第四十三類　飲食物及宿泊施設の提供

第四十四類　医療、衛生及美容並びに農業、園芸及林業

第四十五類　個人及社会のための法律業務及その他のサービス

（別記様式）

番号	第　類	第　類	第　類	第　類	第　類
登録番号					
出願番号					
出願年月日					
出願公告年月日					
登録年月日					
商標権者					
指定商品					
備考					

●意匠ニ関スル件判決及登録ニ関スル件

（大正十年勅令第三百九十五号施行）

（大正十一年一月一日）

第三款　意匠ノ登録

第一条　意匠ニ関スル件判決ノ登録ハ本款ノ定ムル所ニ依リ意匠原簿ニ之ヲ為ス

意匠原簿ハ之ヲ磁気テープ又ハ磁気ディスクヲ以テ調製スルモノトス

第二条　意匠原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　意匠ノ登録番号及登録年月日

二　意匠ノ創作者ノ氏名及住所又ハ居所

三　意匠権者ノ氏名及住所又ハ居所

四　意匠ノ分類及名称

五　意匠ノ説明

六　意匠ノ図面又ハ写真

七　意匠ニ関スル物品

八　意匠ノ登録ヲ出願シタル年月日

九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ氏名及住所又ハ居所

十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

四十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

五十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

六十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

七十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

八十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

九十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百二十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百三十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百四十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百五十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百六十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百七十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百八十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

百九十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百二十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百三十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百四十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百五十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百六十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百七十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百八十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

二百九十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十七　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十八　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百二十九　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百三十　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百三十一　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百三十二　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百三十三　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百三十四　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百三十五　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百三十六　意匠ノ登録ヲ出願シタル者ノ代理人ノ氏名及住所又ハ居所

三百三十七　意匠ノ登録ヲ出

第
三　一年二前
一年ニ前ノ同ジク物品ヲ製造シ又ハ販賣シタル者ニ對シテハ其ノ製造シタル物品ノ代價ニ相當スル金額ヲ超エサル範圍内ニ於テ賠償ヲ命スルコトヲ得
二　一年ニ以上前ノ製造ニ係ル物品ニ付テハ其ノ製造ノ後ニ於テ販賣ヲ爲シタル者ニ對シテハ其ノ販賣ノ代價ニ相當スル金額ヲ超エサル範圍内ニ於テ賠償ヲ命スルコトヲ得
三　前二項ノ場合ニ於テ物品ノ製造ニ關シ特許ノ侵害ニ付キ故意又ハ過失アリタルトキハ裁判所ハ被害者ノ請求ニ因リ損害ノ賠償ニ代ヘ又ハ賠償ノ外信用ヲ回復スルニ適當ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第
三　一年ニ前ノ同ジク物品ヲ製造シ又ハ他人ヲシテ製造セシメ

第十七種　特許　商標　登記　意匠　著作権　商業

特許

第九章　特許

第四節　特許ノ効力

第四款　特許ノ効力ノ制限

###

ヲ受クル時登錄料トシテ毎件一時ニ三十圓ヲ納付スヘシ

商標權存續期間更新ノ登錄ヲ受クル者ハ其ノ登錄ヲ受クル時登錄料トシテ毎件一時ニ五十圓ヲ納付スヘシ

第二十一條　商標又ハ商標權存續期間更新ノ登錄出願アリタルトキハ審査セシム

第二十二條　審判ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル勅令ニ規定スルモノノ外左ニ揭ケル事項ニ付之ヲ請求スルコトヲ得

一　第十四條、第十五條又ハ第三十一條ノ規定ニ依ル商標ノ登錄ノ取消

二　第十六條ノ規定ニ依ル商標又ハ商標權存續期間更新ノ登錄ノ無效

三　商標權ノ範圍ノ確認

前項第一號ノ取消ノ審判ハ第二號ノ無效ノ審判ハ利害關係人及審査官ニ限リ之ヲ請求スルコトヲ得但シ審査官ハ第二條第一項第五號第八號乃至第十號、第三條若ハ第四條ノ規定ニ違反シ又ハ第十六條第一項第三號若ハ第二項第二號ニ該當スルトノ理由ニ依リ之ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條　前條第一項第二號ノ無效ノ審判ハ登錄ノ日ヨリ五年ヲ經過シタルトキハ之ヲ請求スルコトヲ得ス但シ惡意ヲ以テ登錄ヲ受ケタル商標ノ登錄ニ付第二條第一項第八號ノ規定ニ違反スルトノ理由ニ依ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十四條　特許法第三十條、第十六條乃至第三十條、第三十二條、第三十三條、第四十五條、第五十八條第一項第三項、第六十八條、第七十一條、第七十二條、第七十三條第一項第二項第四項、第七十四條乃至第七十七條、第八十條乃至第八十三條、第八十六條乃至第九十條、第百九條、第百十六條乃至第百十八條ノ二、第百十九條、第百二十條、第百二十二條、第百二十四條、第百二十六條乃至第百二十八條、第百二十九條、第百三十一條、第百三十二條、第百三十四條、第百三十五條、第百三十七條、第百三十八條、第百三十九條、第百四十一條、第百四十二條、第百四十四條、第百四十五條、第百四十六條、第百四十八條、第百四十九條、第百五十一條、第百五十二條、第百五十四條、第百五十五條、第百五十七條、第百五十八條、第百五十九條、第百六十一條、第百六十二條、第百六十三條、第百六十五條、第百六十六條乃至第百六十八條、第百七十條、第百七十一條乃至第百七十三條、第百七十四條乃至第百七十六條、第百七十七條、第百七十八條、第百七十九條、第百八十一條、第百八十二條、第百八十三條、第百八十四條、第百八十五條、第百八十六條乃至第百九十條、第百九十一條乃至第百九十三條、第百九十四條乃至第百九十六條、第百九十七條、第百九十八條、第百九十九條、第二百一條、第二百二條、第二百四條、第二百五條、第二百七條、第二百八條、第二百十條、第二百十一條、第二百十二條、第二百十三條、第二百十四條、第二百十五條、第二百十六條、第二百十七條、第二百十八條、第二百十九條、第二百二十條、第二百二十一條、第二百二十二條、第二百二十三條、第二百二十四條、第二百二十五條、第二百二十六條、第二百二十七條、第二百二十八條、第二百二十九條、第二百三十條、第二百三十一條、第二百三十二條、第二百三十三條、第二百三十四條、第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十七條、第二百三十八條、第二百三十九條、第二百四十條、第二百四十一條、第二百四十二條、第二百四十三條、第二百四十四條、第二百四十五條、第二百四十六條、第二百四十七條、第二百四十八條、第二百四十九條、第二百五十條、第二百五十一條、第二百五十二條、第二百五十三條、第二百五十四條、第二百五十五條、第二百五十六條、第二百五十七條、第二百五十八條、第二百五十九條、第二百六十條、第二百六十一條、第二百六十二條、第二百六十三條、第二百六十四條、第二百六十五條、第二百六十六條、第二百六十七條、第二百六十八條、第二百六十九條、第二百七十條、第二百七十一條、第二百七十二條、第二百七十三條、第二百七十四條、第二百七十五條、第二百七十六條、第二百七十七條、第二百七十八條、第二百七十九條、第二百八十條、第二百八十一條、第二百八十二條、第二百八十三條、第二百八十四條、第二百八十五條、第二百八十六條、第二百八十七條、第二百八十八條、第二百八十九條、第二百九十條、第二百九十一條、第二百九十二條、第二百九十三條、第二百九十四條、第二百九十五條、第二百九十六條、第二百九十七條、第二百九十八條、第二百九十九條、第三百條、第三百一條、第三百二條、第三百三條、第三百四條、第三百五條、第三百六條、第三百七條、第三百八條、第三百九條、第三百十條、第三百十一條、第三百十二條、第三百十三條、第三百十四條、第三百十五條、第三百十六條、第三百十七條、第三百十八條、第三百十九條、第三百二十條、第三百二十一條、第三百二十二條、第三百二十三條、第三百二十四條、第三百二十五條、第三百二十六條、第三百二十七條、第三百二十八條、第三百二十九條、第三百三十條、第三百三十一條、第三百三十二條、第三百三十三條、第三百三十四條、第三百三十五條、第三百三十六條、第三百三十七條、第三百三十八條、第三百三十九條、第三百四十條、第三百四十一條、第三百四十二條、第三百四十三條、第三百四十四條、第三百四十五條、第三百四十六條、第三百四十七條、第三百四十八條、第三百四十九條、第三百五十條、第三百五十一條、第三百五十二條、第三百五十三條、第三百五十四條、第三百五十五條、第三百五十六條、第三百五十七條、第三百五十八條、第三百五十九條、第三百六十條、第三百六十一條、第三百六十二條、第三百六十三條、第三百六十四條、第三百六十五條、第三百六十六條、第三百六十七條、第三百六十八條、第三百六十九條、第三百七十條、第三百七十一條、第三百七十二條、第三百七十三條、第三百七十四條、第三百七十五條、第三百七十六條、第三百七十七條、第三百七十八條、第三百七十九條、第三百八十條、第三百八十一條、第三百八十二條、第三百八十三條、第三百八十四條、第三百八十五條、第三百八十六條、第三百八十七條、第三百八十八條、第三百八十九條、第三百九十條、第三百九十一條、第三百九十二條、第三百九十三條、第三百九十四條、第三百九十五條、第三百九十六條、第三百九十七條、第三百九十八條、第三百九十九條、第四百條、第四百一條、第四百二條、第四百三條、第四百四條、第四百五條、第四百六條、第四百七條、第四百八條、第四百九條、第四百十條、第四百十一條、第四百十二條、第四百十三條、第四百十四條、第四百十五條、第四百十六條、第四百十七條、第四百十八條、第四百十九條、第四百二十條、第四百二十一條、第四百二十二條、第四百二十三條、第四百二十四條、第四百二十五條、第四百二十六條、第四百二十七條、第四百二十八條、第四百二十九條、第四百三十條、第四百三十一條、第四百三十二條、第四百三十三條、第四百三十四條、第四百三十五條、第四百三十六條、第四百三十七條、第四百三十八條、第四百三十九條、第四百四十條、第四百四十一條、第四百四十二條、第四百四十三條、第四百四十四條、第四百四十五條、第四百四十六條、第四百四十七條、第四百四十八條、第四百四十九條、第四百五十條、第四百五十一條、第四百五十二條、第四百五十三條、第四百五十四條、第四百五十五條、第四百五十六條、第四百五十七條、第四百五十八條、第四百五十九條、第四百六十條、第四百六十一條、第四百六十二條、第四百六十三條、第四百六十四條、第四百六十五條、第四百六十六條、第四百六十七條、第四百六十八條、第四百六十九條、第四百七十條、第四百七十一條、第四百七十二條、第四百七十三條、第四百七十四條、第四百七十五條、第四百七十六條、第四百七十七條、第四百七十八條、第四百七十九條、第四百八十條、第四百八十一條、第四百八十二條、第四百八十三條、第四百八十四條、第四百八十五條、第四百八十六條、第四百八十七條、第四百八十八條、第四百八十九條、第四百九十條、第四百九十一條、第四百九十二條、第四百九十三條、第四百九十四條、第四百九十五條、第四百九十六條、第四百九十七條、第四百九十八條、第四百九十九條、第五百條、第五百一條、第五百二條、第五百三條、第五百四條、第五百五條、第五百六條、第五百七條、第五百八條、第五百九條、第五百十條、第五百十一條、第五百十二條、第五百十三條、第五百十四條、第五百十五條、第五百十六條、第五百十七條、第五百十八條、第五百十九條、第五百二十條、第五百二十一條、第五百二十二條、第五百二十三條、第五百二十四條、第五百二十五條、第五百二十六條、第五百二十七條、第五百二十八條、第五百二十九條、第五百三十條、第五百三十一條、第五百三十二條、第五百三十三條、第五百三十四條、第五百三十五條、第五百三十六條、第五百三十七條、第五百三十八條、第五百三十九條、第五百四十條、第五百四十一條、第五百四十二條、第五百四十三條、第五百四十四條、第五百四十五條、第五百四十六條、第五百四十七條、第五百四十八條、第五百四十九條、第五百五十條、第五百五十一條、第五百五十二條、第五百五十三條、第五百五十四條、第五百五十五條、第五百五十六條、第五百五十七條、第五百五十八條、第五百五十九條、第五百六十條、第五百六十一條、第五百六十二條、第五百六十三條、第五百六十四條、第五百六十五條、第五百六十六條、第五百六十七條、第五百六十八條、第五百六十九條、第五百七十條、第五百七十一條、第五百七十二條、第五百七十三條、第五百七十四條、第五百七十五條、第五百七十六條、第五百七十七條、第五百七十八條、第五百七十九條、第五百八十條、第五百八十一條、第五百八十二條、第五百八十三條、第五百八十四條、第五百八十五條、第五百八十六條、第五百八十七條、第五百八十八條、第五百八十九條、第五百九十條、第五百九十一條、第五百九十二條、第五百九十三條、第五百九十四條、第五百九十五條、第五百九十六條、第五百九十七條、第五百九十八條、第五百九十九條、第六百條、第六百一條、第六百二條、第六百三條、第六百四條、第六百五條、第六百六條、第六百七條、第六百八條、第六百九條、第六百十條、第六百十一條、第六百十二條、第六百十三條、第六百十四條、第六百十五條、第六百十六條、第六百十七條、第六百十八條、第六百十九條、第六百二十條、第六百二十一條、第六百二十二條、第六百二十三條、第六百二十四條、第六百二十五條、第六百二十六條、第六百二十七條、第六百二十八條、第六百二十九條、第六百三十條、第六百三十一條、第六百三十二條、第六百三十三條、第六百三十四條、第六百三十五條、第六百三十六條、第六百三十七條、第六百三十八條、第六百三十九條、第六百四十條、第六百四十一條、第六百四十二條、第六百四十三條、第六百四十四條、第六百四十五條、第六百四十六條、第六百四十七條、第六百四十八條、第六百四十九條、第六百五十條、第六百五十一條、第六百五十二條、第六百五十三條、第六百五十四條、第六百五十五條、第六百五十六條、第六百五十七條、第六百五十八條、第六百五十九條、第六百六十條、第六百六十一條、第六百六十二條、第六百六十三條、第六百六十四條、第六百六十五條、第六百六十六條、第六百六十七條、第六百六十八條、第六百六十九條、第六百七十條、第六百七十一條、第六百七十二條、第六百七十三條、第六百七十四條、第六百七十五條、第六百七十六條、第六百七十七條、第六百七十八條、第六百七十九條、第六百八十條、第六百八十一條、第六百八十二條、第六百八十三條、第六百八十四條、第六百八十五條、第六百八十六條、第六百八十七條、第六百八十八條、第六百八十九條、第六百九十條、第六百九十一條、第六百九十二條、第六百九十三條、第六百九十四條、第六百九十五條、第六百九十六條、第六百九十七條、第六百九十八條、第六百九十九條、第七百條、第七百一條、第七百二條、第七百三條、第七百四條、第七百五條、第七百六條、第七百七條、第七百八條、第七百九條、第七百十條、第七百十一條、第七百十二條、第七百十三條、第七百十四條、第七百十五條、第七百十六條、第七百十七條、第七百十八條、第七百十九條、第七百二十條、第七百二十一條、第七百二十二條、第七百二十三條、第七百二十四條、第七百二十五條、第七百二十六條、第七百二十七條、第七百二十八條、第七百二十九條、第七百三十條、第七百三十一條、第七百三十二條、第七百三十三條、第七百三十四條、第七百三十五條、第七百三十六條、第七百三十七條、第七百三十八條、第七百三十九條、第七百四十條、第七百四十一條、第七百四十二條、第七百四十三條、第七百四十四條、第七百四十五條、第七百四十六條、第七百四十七條、第七百四十八條、第七百四十九條、第七百五十條、第七百五十一條、第七百五十二條、第七百五十三條、第七百五十四條、第七百五十五條、第七百五十六條、第七百五十七條、第七百五十八條、第七百五十九條、第七百六十條、第七百六十一條、第七百六十二條、第七百六十三條、第七百六十四條、第七百六十五條、第七百六十六條、第七百六十七條、第七百六十八條、第七百六十九條、第七百七十條、第七百七十一條、第七百七十二條、第七百七十三條、第七百七十四條、第七百七十五條、第七百七十六條、第七百七十七條、第七百七十八條、第七百七十九條、第七百八十條、第七百八十一條、第七百八十二條、第七百八十三條、第七百八十四條、第七百八十五條、第七百八十六條、第七百八十七條、第七百八十八條、第七百八十九條、第七百九十條、第七百九十一條、第七百九十二條、第七百九十三條、第七百九十四條、第七百九十五條、第七百九十六條、第七百九十七條、第七百九十八條、第七百九十九條、第八百條、第八百一條、第八百二條、第八百三條、第八百四條、第八百五條、第八百六條、第八百七條、第八百八條、第八百九條、第八百十條、第八百十一條、第八百十二條、第八百十三條、第八百十四條、第八百十五條、第八百十六條、第八百十七條、第八百十八條、第八百十九條、第八百二十條、第八百二十一條、第八百二十二條、第八百二十三條、第八百二十四條、第八百二十五條、第八百二十六條、第八百二十七條、第八百二十八條、第八百二十九條、第八百三十條、第八百三十一條、第八百三十二條、第八百三十三條、第八百三十四條、第八百三十五條、第八百三十六條、第八百三十七條、第八百三十八條、第八百三十九條、第八百四十條、第八百四十一條、第八百四十二條、第八百四十三條、第八百四十四條、第八百四十五條、第八百四十六條、第八百四十七條、第八百四十八條、第八百四十九條、第八百五十條、第八百五十一條、第八百五十二條、第八百五十三條、第八百五十四條、第八百五十五條、第八百五十六條、第八百五十七條、第八百五十八條、第八百五十九條、第八百六十條、第八百六十一條、第八百六十二條、第八百六十三條、第八百六十四條、第八百六十五條、第八百六十六條、第八百六十七條、第八百六十八條、第八百六十九條、第八百七十條、第八百七十一條、第八百七十二條、第八百七十三條、第八百七十四條、第八百七十五條、第八百七十六條、第八百七十七條、第八百七十八條、第八百七十九條、第八百八十條、第八百八十一條、第八百八十二條、第八百八十三條、第八百八十四條、第八百八十五條、第八百八十六條、第八百八十七條、第八百八十八條、第八百八十九條、第八百九十條、第八百九十一條、第八百九十二條、第八百九十三條、第八百九十四條、第八百九十五條、第八百九十六條、第八百九十七條、第八百九十八條、第八百九十九條、第九百條、第九百一條、第九百二條、第九百三條、第九百四條、第九百五條、第九百六條、第九百七條、第九百八條、第九百九條、第九百十條、第九百十一條、第九百十二條、第九百十三條、第九百十四條、第九百十五條、第九百十六條、第九百十七條、第九百十八條、第九百十九條、第九百二十條、第九百二十一條、第九百二十二條、第九百二十三條、第九百二十四條、第九百二十五條、第九百二十六條、第九百二十七條、第九百二十八條、第九百二十九條、第九百三十條、第九百三十一條、第九百三十二條、第九百三十三條、第九百三十四條、第九百三十五條、第九百三十六條、第九百三十七條、第九百三十八條、第九百三十九條、第九百四十條、第九百四十一條、第九百四十二條、第九百四十三條、第九百四十四條、第九百四十五條、第九百四十六條、第九百四十七條、第九百四十八條、第九百四十九條、第九百五十條、第九百五十一條、第九百五十二條、第九百五十三條、第九百五十四條、第九百五十五條、第九百五十六條、第九百五十七條、第九百五十八條、第九百五十九條、第九百六十條、第九百六十一條、第九百六十二條、第九百六十三條、第九百六十四條、第九百六十五條、第九百六十六條、第九百六十七條、第九百六十八條、第九百六十九條、第九百七十條、第九百七十一條、第九百七十二條、第九百七十三條、第九百七十四條、第九百七十五條、第九百七十六條、第九百七十七條、第九百七十八條、第九百七十九條、第九百八十條、第九百八十一條、第九百八十二條、第九百八十三條、第九百八十四條、第九百八十五條、第九百八十六條、第九百八十七條、第九百八十八條、第九百八十九條、第九百九十條、第九百九十一條、第九百九十二條、第九百九十三條、第九百九十四條、第九百九十五條、第九百九十六條、第九百九十七條、第九百九十八條、第九百九十九條、第千條、第千一條、第千二條、第千三條、第千四條、第千五條、第千六條、第千七條、第千八條、第千九條、第千十條、第千十一條、第千十二條、第千十三條、第千十四條、第千十五條、第千十六條、第千十七條、第千十八條、第千十九條、第千二十條、第千二十一條、第千二十二條、第千二十三條、第千二十四條、第千二十五條、第千二十六條、第千二十七條、第千二十八條、第千二十九條、第千三十條、第千三十一條、第千三十二條、第千三十三條、第千三十四條、第千三十五條、第千三十六條、第千三十七條、第千三十八條、第千三十九條、第千四十條、第千四十一條、第千四十二條、第千四十三條、第千四十四條、第千四十五條、第千四十六條、第千四十七條、第千四十八條、第千四十九條、第千五十條、第千五十一條、第千五十二條、第千五十三條、第千五十四條、第千五十五條、第千五十六條、第千五十七條、第千五十八條、第千五十九條、第千六十條、第千六十一條、第千六十二條、第千六十三條、第千六十四條、第千六十五條、第千六十六條、第千六十七條、第千六十八條、第千六十九條、第千七十條、第千七十一條、第千七十二條、第千七十三條、第千七十四條、第千七十五條、第千七十六條、第千七十七條、第千七十八條、第千七十九條、第千八十條、第千八十一條、第千八十二條、第千八十三條、第千八十四條、第千八十五條、第千八十六條、第千八十七條、第千八十八條、第千八十九條、第千九十條、第千九十一條、第千九十二條、第千九十三條、第千九十四條、第千九十五條、第千九十六條、第千九十七條、第千九十八條、第千九十九條、第千百條、第千百一條、第千百二條、第千百三條、第千百四條、第千百五條、第千百六條、第千百七條、第千百八條、第千百九條、第千百十條、第千百十一條、第千百十二條、第千百十三條、第千百十四條、第千百十五條、第千百十六條、第千百十七條、第千百十八條、第千百十九條、第千百二十條、第千百二十一條、第千百二十二條、第千百二十三條、第千百二十四條、第千百二十五條、第千百二十六條、第千百二十七條、第千百二十八條、第千百二十九條、第千百三十條、第千百三十一條、第千百三十二條、第千百三十三條、第千百三十四條、第千百三十五條、第千百三十六條、第千百三十七條、第千百三十八條、第千百三十九條、第千百四十條、第千百四十一條、第千百四十二條、第千百四十三條、第千百四十四條、第千百四十五條、第千百四十六條、第千百四十七條、第千百四十八條、第千百四十九條、第千百五十條、第千百五十一條、第千百五十二條、第千百五十三條、第千百五十四條、第千百五十五條、第千百五十六條、第千百五十七條、第千百五十八條、第千百五十九條、第千百六十條、第千百六十一條、第千百六十二條、第千百六十三條、第千百六十四條、第千百六十五條、第千百六十六條、第千百六十七條、第千百六十八條、第千百六十九條、第千百七十條、第千百七十一條、第千百七十二條、第千百七十三條、第千百七十四條、第千百七十五條、第千百七十六條、第千百七十七條、第千百七十八條、第千百七十九條、第千百八十條、第千百八十一條、第千百八十二條、第千百八十三條、第千百八十四條、第千百八十五條、第千百八十六條、第千百八十七條、第千百八十八條、第千百八十九條、第千百九十條、第千百九十一條、第千百九十二條、第千百九十三條、第千百九十四條、第千百九十五條、第千百九十六條、第千百九十七條、第千百九十八條、第千百九十九條、第千二百條、第千二百一條、第千二百二條、第千二百三條、第千二百四條、第千二百五條、第千二百六條、第千二百七條、第千二百八條、第千二百九條、第千二百十條、第千二百十一條、第千二百十二條、第千二百十三條、第千二百十四條、第千二百十五條、第千二百十六條、第千二百十七條、第千二百十八條、第千二百十九條、第千二百二十條、第千二百二十一條、第千二百二十二條、第千二百二十三條、第千二百二十四條、第千二百二十五條、第千二百二十六條、第千二百二十七條、第千二百二十八條、第千二百二十九條、第千二百三十條、第千二百三十一條、第千二百三十二條、第千二百三十三條、第千二百三十四條、第千二百三十五條、第千二百三十六條、第千二百三十七條、第千二百三十八條、第千二百三十九條、第千二百四十條、第千二百四十一條、第千二百四十二條、第千二百四十三條、第千二百四十四條、第千二百四十五條、第千二百四十六條、第千二百四十七條、第千二百四十八條、第千二百四十九條、第千二百五十條、第千二百五十一條、第千二百五十二條、第千二百五十三條、第千二百五十四條、第千二百五十五條、第千二百五十六條、第千二百五十七條、第千二百五十八條、第千二百五十九條、第千二百六十條、第千二百六十一條、第千二百六十二條、第千二百六十三條、第千二百六十四條、第千二百六十五條、第千二百六十六條、第千二百六十七條、第千二百六十八條、第千二百六十九條、第千二百七十條、第千二百七十一條、第千二百七十二條、第千二百七十三條、第千二百七十四條、第千二百七十五條、第千二百七十六條、第千二百七十七條、第千二百七十八條、第千二百七十九條、第千二百八十條、第千二百八十一條、第千二百八十二條、第千二百八十三條、第千二百八十四條、第千二百八十五條、第千二百八十六條、第千二百八十七條、第千二百八十八條、第千二百八十九條、第千二百九十條、第千二百九十一條、第千二百九十二條、第千二百九十三條、第千二百九十四條、第千二百九十五條、第千二百九十六條、第千二百九十七條、第千二百九十八條、第千二百九十九條、第千三百條、第千三百一條、第千三百二條、第千三百三條、第千三百四條、第千三百五條、第千三百六條、第千三百七條、第千三百八條、第千三百九條、第千三百十條、第千三百十一條、第千三百十二條、第千三百十三條、第千三百十四條、第千三百十五條、第千三百十六條、第千三百十七條、第千三百十八條、第千三百十九條、第千三百二十條、第千三百二十一條、第千三百二十二條、第千三百二十三條、第千三百二十四條、第千三百二十五條、第千三百二十六條、第千三百二十七條、第千三百二十八條、第千三百二十九條、第千三百三十條、第千三百三十一條、第千三百三十二條、第千三百三十三條、第千三百三十四條、第千三百三十五條、第千三百三十六條、第千三百三十七條、第千三百三十八條、第千三百三十九條、第千三百四十條、第千三百四十一條、第千三百四十二條、第千三百四十三條、第千三百四十四條、第千三百四十五條、第千三百四十六條、第千三百四十七條、第千三百四十八條、第千三百四十九條、第千三百五十條、第千三百五十一條、第千三百五十二條、第千三百五十三條、第千三百五十四條、第千三百五十五條、第千三百五十六條、第千三百五十七條、第千三百五十八條、第千三百五十九條、第千三百六十條、第千三百六十一條、第千三百六十二條、第千三百六十三條、第千三百六十四條、第千三百六十五條、第千三百六十六條、第千三百六十七條、第千三百六十八條、第千三百六十九條、第千三百七十條、第千三百七十一條、第千三百七十二條、第千三百七十三條、第千三百七十四條、第千三百七十五條、第千三百七十六條、第千三百七十七條、第千三百七十八條、第千三百七十九條、第千三百八十條、第千三百八十一條、第千三百八十二條、第千三百八十三條、第千三百八十四條、第千三百八十五條、第千三百八十六條、第千三百八十七條、第千三百八十八條、第千三百八十九條、第千三百九十條、第千三百九十一條、第千三百九十二條、第千三百九十三條、第千三百九十四條、第千三百九十五條、第千三百九十六條、第千三百九十七條、第千三百九十八條、第千三百九十九條、第千四百條、第千四百一條、第千四百二條、第千四百三條、第千四百四條、第千四百五條、第千四百六條、第千四百七條、第千四百八條、第千四百九條、第千四百十條、第千四百十一條、第千四百十二條、第千四百十三條、第千四百十四條、第千四百十五條、第千四百十六條、第千四百十七條、第千四百十八條、第千四百十九條、第千四百二十條、第千四百二十一條、第千四百二十二條、第千四百二十三條、第千四百二十四條、第千四百二十五條、第千四百二十六條、第千四百二十七條、第千四百二十八條、第千四百二十九條、第千四百三十條、第千四百三十一條、第千四百三十二條、第千四百三十三條、第千四百三十四條、第千四百三十五條、第千四百三十六條、第千四百三十七條、第千四百三十八條、第千四百三十九條、第千四百四十條、第千四百四十一條、第千四百四十二條、第千四百四十三條、第千四百四十四條、第千四百四十五條、第千四百四十六條、第千四百四十七條、第千四百四十八條、第千四百四十九條、第千四百五十條、第千四百五十一條、第千四百五十二條、第千四百五十三條、第千四百五十四條、第千四百五十五條、第千四百五十六條、第千四百五十七條、第千四百五十八條、第千四百五十九條、第千四百六十條、第千四百六十一條、第千四百六十二條、第千四百六十三條、第千四百六十四條、第千四百六十五條、第千四百六十六條、第千四百六十七條、第千四百六十八條、第千四百六十九條、第千四百七十條、第千四百七十一條、第千四百七十二條、第千四百七十三條、第千四百七十四條、第千四百七十五條、第千四百七十六條、第千四百七十七條、第千四百七十八條、第千四百七十九條、第千四百八十條、第千四百八十一條、第千四百八十二條、第千四百八十三條、第千四百八十四條、第千四百八十五條、第千四百八十六條、第千四百八十七條、第千四百八十八條、第千四百八十九條、第千四百九十條、第千四百九十一條、第千四百九十二條、第千四百九十三條、第千四百九十四條、第千四百九十五條、第千四百九十六條、第千四百九十七條、第千四百九十八條、第千四百九十九條、第千五百條、第千五百一條、第千五百二條、第千五百三條、第千五百四條、第千五百五條、第千五百六條、第千五百七條、第千五百八條、第千五百九條、第千五百十條、第千五百十一條、第千五百十二條、第千五百十三條、第千五百十四條、第千五百十五條、第千五百十六條、第千五百十七條、第千五百十八條、第千五百十九條、第千五百二十條、第千五百二十一條、第千五百二十二條、第千五百二十三條、第千五百二十四條、第千五百二十五條、第千五百二十六條、第千五百二十七條、第千五百二十八條、第千五百二十九條、第千五百三十條、第千五百三十一條、第千五百三十二條、第千五百三十三條、第千五百三十四條、第千五百三十五條、第千五百三十六條、第千五百三十七條、第千五百三十八條、第千五百三十九條、第千五百四十條、第千五百四十一條、第千五百四十二條、第千五百四十三條、第千五百四十四條、第千五百四十五條、第千五百四十六條、第千五百四十七條、第千五百四十八條、第千五百四十九條、第千五百五十條、第千五百五十一條、第千五百五十二條、第千五百五十三條、第千五百五十四條、第千五百五十五條、第千五百五十六條、第千五百五十七條、第千五百五十八條、第千五百五十九條、第千五百六十條、第千五百六十一條、第千五百六十二條、第千五百六十三條、第千五百六十四條、第千五百六十五條、第千五百六十六條、第千五百六十七條、第千五百六十八條、第千五百六十九條、第千五百七十條、第千五百七十一條、第千五百七十二條、第千五百七十三條、第千五百七十四條、第千五百七十五條、第千五百七十六條、第千五百七十七條、第千五百七十八條、第千五百七十九條、第千五百八十條、第千五百八十一條、第千五百八十二條、第千五百八十三條、第千五百八十四條、第千五百八十五條、第千五百八十六條、第千五百八十七條、第千五百八十八條、第千五百八十九條、第千五百九十條、第千五百九十一條、第千五百九十二條、第千五百九十三條、第千五百九十四條、第千五百九十五條、第千五百九十六條、第千五百九十七條、第千五百九十八條、第千五百九十九條、第千六百條、第千六百一條、第千六百二條、第千六百三條、第千六百四條、第千六百五條、第千六百六條、第千六百七條、第千六百八條、第千六百九條、第千六百十條、第千六百十一條、第千六百十二條、第千六百十三條、第千六百十四條、第千六百十五條、第千六百十六條、第千六百十七條、第千六百十八條、第千六百十九條、第千六百二十條、第千六百二十一條、第千六百二十二條、第千六百二十三條、第千六百二十四條、第千六百二十五條、第千六百二十六條、第千六百二十七條、第千六百二十八條、第千六百二十九條、第千六百三十條、第千六百三十一條、第千六百三十二條、第千六百三十三條、第千六百三十四條、第千六百三十五條、第千六百三十六條、第千六百三十七條、第千六百三十八條、第千六百三十九條、第千六百四十條、第千六百四十一條、第千六百四十二條、第千六百四十三條、第千六百四十四條、第千六百四十五條、第千六百四十六條、第千六百四十七條、第千六百四十八條、第千六百四十九條、第千六百五十條、第千六百五十一條、第千六百五十二條、第千六百五十三條、第千六百五十四條、第千六百五十五條、第千六百五十六條、第千六百五十七條、第千六百五十八條、第千六百五十九條、第千六百六十條、第千六百六十一條、第千六百六十二條、第千六百六十三條、第千六百六十四條、第千六百六十五條、第千六百六十六條、第千六百六十七條、第千六百六十八條、第千六百六十九條、第千六百七十條、第千六百七十一條、第千六百七十二條、第千六百七十三條、第千六百七十四條、第千六百七十五條、第千六百七十六條、第千六百七十七條、第千六百七十八條、第千六百七十九條、第千六百八十條、第千六百八十一條、第千六百八十二條、第千六百八十三條、第千六百八十四條、第千六百八十五條、第千六百八十六條、第千六百八十七條、第千六百八十八條、第千六百八十九條、第千六百九十條、第千六百九十一條、第千六百九十二條、第千六百九十三條、第千六百九十四條、第千六百九十五條、第千六百九十六條、第千六百九十七條、第千六百九十八條、第千六百九十九條、第千七百條、第千七百一條、第千七百二條、第千七百三條、第千七百四條、第千七百五條、第千七百六條、第千七百七條、第千七百八條、第千七百九條、第千七百十條、第千七百十一條、第千七百十二條、第千七百十三條、第千七百十四條、第千七百十五條、第千七百十六條、第千七百十七條、第千七百十八條、第千七百十九條、第千七百二十條、第千七百二十一條、第千七百二十二條、第千七百二十三條、第千七百二十四條、第千七百二十五條、第千七百二十六條、第千七百二十七條、第千七百二十八條、第千七百二十九條、第千七百三十條、第千七百三十一條、第千七百三十二條、第千七百三十三條、第千七百三十四條、第千七百三十五條、第千七百三十六條、第千七百三十七條、第千七百三十八條、第千七百三十九條、第千七百四十條、第千七百四十一條、第千七百四十二條、第千七百四十三條、第千七百四十四條、第千七百四十五條、第千七百四十六條、第千七百四十七條、第千七百四十八條、第千七百四十九條、第千七百五十條、第千七百五十一條、第千七百五十二條、第千七百五十三條、第千七百五十四條、第千七百五十五條、第千七百五十六條、第千七百五十七條、第千七百五十八條、第千七百五十九條、第千七百六十條、第千七百六十一條、第千七百六十二條、第千七百六十三條、第千七百六十四條、第千七百六十五條、第千七百六十六條、第千七百六十七條、第千七百六十八條、第千七百六十九條、第千七百七十條、第千七百七十一條、第千七百七十二條、第千七百七十三條、第千七百七十四條、第千七百七十五條、第千七百七十六條、第千七百七十七條、第千七百七十八條、第千七百七十九條、第千七百八十條、第千七百八十一條、第千七百八十二條、第千七百八十三條、第千七百八十四條、第千七百八十五條、第千七百八十六條、第千七百八十七條、第千七百八十八條、第千七百八十九條、第千七百九十條、第千七百九十一條、第千七百九十二條、第千七百九十三條、第千七百九十四條、第千七百九十五條、第千七百九十六條、第千七百九十七條、第千七百九十八條、第千七百九十九條、第千八百條、第千八百一條、第千八百二條、第千八百三條、第千八百四條、第千八百五條、第千八百六條、第千八百七條、第千八百八條、第千八百九條、第千八百十條、第千八百十一條、第千八百十二條、第千八百十三條、第千八百十四條、第千八百十五條、第千八百十六條、第千八百十七條、第千八百十八條、第千八百十九條、第千八百二十條、第千八百二十一條、第千八百二十二條、第千八百二十三條、第千八百二十四條、第千八百二十五條、第千八百二十六條、第千八百二十七條、第千八百二十八條、第千八百二十九條、第千八百三十條、第千八百三十一條、第千八百三十二條、第千八百三十三條、第千八百三十四條、第千八百三十五條、第千八百三十六條、第千八百三十七條、第千八百三十八條、第千八百三十九條、第千八百四十條、第千八百四十一條、第千八百四十二條、第千八百四十三條、第千八百四十四條、第千八百四十五條、第千八百四十六條、第千八百四十七條、第千八百四十八條、第千八百四十九條、第千八百五十條、第千八百五十一條、第千八百五十二條、第千八百五十三條、第千八百五十四條、第千八百五十五條、第千八百五十六條、第千八百五十七條、第千八百五十八條、第千八百五十九條、第千八百六十條、第千八百六十一條、第千八百六十二條、第千八百六十三條、第千八百六十四條、第千八百六十五條、第千八百六十六條、第千八百六十七條、第千八百六十八條、第千八百六十九條、第千八百七十條、第千八百七十一條、第千八百七十二條、第千八百七十三條、第千八百七十四條、第千八百七十五條、第千八百七十六條、第千八百七十七條、第千八百七十八條、第千八百七十九條、第千八百八十條、第千八百八十一條、第千八百八十二條、第千八百八十三條、第千八百八十四條、第千八百八十五條、第千八百八十六條、第千八百八十七條、第千八百八十八條、第千八百八十九條、第千八百九十條、第千八百九十一條、第千八百九十二條、第千八百九十三條、第千八百九十四條、第千八百九十五條、第千八百九十六條、第千八百九十七條、第千八百九十八條、第千八百九十九條、第千九百條、第千九百一條、第千九百二條、第千九百三條、第千九百四條、第千九百五條、第千九百六條、第千九百七條、第千九百八條、第千九百九條、第千九百十條、第千九百十一條、第千九百十二條、第千九百十三條、第千九百十四條、第千九百十五條、第千九百十六條、第千九百十七條、第千九百十八條、第千九百十九條、第千九百二十條、第千九百二十一條、第千九百二十二條、第千九百二十三條、第千九百二十四條、第千九百二十五條、第千九百二十六條、第千九百二十七條、第千九百二十八條、第千九百二十九條、第千九百三十條、第千九百三十一條、第千九百三十二條、第千九百三十三條、第千九百三十四條、第千九百三十五條、第千九百三十六條、第千九百三十七條、第千九百三十八條、第千九百三十九條、第千九百四十條、第千九百四十一條、第千九百四十二條、第千九百四十三條、第千九百四十四條、第千九百四十五條、第千九百四十六條、第千九百四十七條、第千九百四十八條、第千九百四十九條、第千九百五十條、第千九百五十一條、第千九百五十二條、第千九百五十三條、第千九百五十四條、第千九百五十五條、第千九百五十六條、第千九百五十七條、第千九百五十八條、第千九百五十九條、第千九百六十條、第千九百六十一條、第千九百六十二條、第千九百六十三條、第千九百六十四條、第千九百六十五條、第千九百六十六條、第千九百六十七條、第千九百六十八條、第千九百六十九條、第千九百七十條、第千九百七十一條、第千九百七十二條、第千九百七十三條、第千九百七十四條、第千九百七十五條、第千九百七十六條、第千九百七十七條、第千九百七十八條、第千九百七十九條、第千九百八十條、第千九百八十一條、第千九百八十二條、第千九百八十三條、第千九百八十四條、第千九百八十五條、第千九百八十六條、第千九百八十七條、第千九百八十八條、第千九百八十九條、第千九百九十條、第千九百九十一條、第千九百九十二條、第千九百九十三條、第千九百九十四條、第千九百九十五條、第千九百九十六條、第千九百九十七條、第千九百九十八條、第千九百九十九條、第二千條、第二千一條、第二千二條、第二千三條、第二千四條、第二千五條、第二千六條、第二千七條、第二千八條、第二千九條、第二千十條、第二千十一條、第二千十二條、第二千十三條、第二千十四條、第二千十五條、第二千十六條、第二千十七條、第二千十八條、第二千十九條、第二千二十條、第二千二十一條、第二千二十二條、第二千二十三條、第二千二十四條、第二千二十五條、第二千二十六條、第二千二十七條、第二千二十八條、第二千二十九條、第二千三十條、第二千三十一條、第二千三十二條、第二千三十三條、第二千三十四條、第二千三十五條、第二千三十六條、第二千三十七條、第二千三十八條、第二千三十九條、第二千四十條、第二千四十一條、第二千四十二條、第二千四十三條、第二千四十四條、第二千四十五條、第二千四十六條、第二千四十七條、第二千四十八條、第二千四十九條、第二千

第十四條　商標法第十八條ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲シタルトキハ特許局長官ハ其ノ旨ヲ出願人ニ通知スヘシ

第十五條　商標登錄出願者ハ左ノ類別ニ從ヒ商標ヲ使用スヘキ商品ヲ指定スヘシ

第一類　化學品、藥劑及醫療補助品

酸類、鹽類、亞爾加里類、漂白粉、樹脂、膠、燐、澱粉、個里設林、規那饅、莫兒比涅、丁幾劑、合和劑、直劑、水劑、法劑、丸藥、行藥、散藥、錠藥、生藥、藥油、香精、石灰、硫黃、鏡水、磐香、打粉、食餌、艾、黒燒、防腐劑、防臭劑、驅蟲劑、糊帶、綿紗、綿撒絲、脫脂綿、海綿「オブラート」、氷嚢、水枕等

第二類　染料、顏料、媒染料及塗料

藍玉、藍靛、紫根、紅、朱、丹、綠青、群青、洋錠、鉛白、胡粉、金銀粉、雘黃、染齒料、絲綿、明礬、漆、假漆「ペイント」、漉、乾葉、革油、防錆料、防水料、耐火塗料等

第三類　香料及他類ニ屬セサル化粧品

香水、香油、香袋、匂符、白粉、化粧下等

第四類　石鹸

第五類　齒磨及他類ニ屬セサル洗料

齒磨粉、練齒磨、齒磨液、洗粉、洗糕、洗液等

第六類　他類ニ屬セサル金屬及其ノ半加工品

鉄鉱、銀鉱、銅鉱、鉄鉱、鉱鉱、鉱板、鉄板、鉄線、銅線、鉛線、亜鉛、亜鉛板、銅、「アルミニューム」、「ニッケル」、水銀、単金屬ノ合金等

第七類　他類ニ屬セサル金屬製品

鋳物、打物、彫鏤品、組物、琺瑯鐵器、鍋釜、錫酒等

第八類　利器及尖刃器

鉄鎖、鑓、鉾、鋏、鉄、小刀、剃刀、庖丁、鉋、鑿、針、魚串、釘、篦等

第九類　貴金屬、其ノ模造物、「アルミニューム」金、「ニッケル」銀、「プリンニウム」、「メタル」及他類ニ屬セサル其ノ製品

金、銀、白金、四分一、紫銅其ノ他貴金屬ノ合金、鍍品、「モール」、金箔、銀箔、彫鏤品等

第十類　寶玉類、其ノ模造物及他類ニ屬セサル其ノ製品

金剛石、珊瑚、眞珠、瑪瑙、水晶、黃玉、碧玉、彫鏤品等

第十一類　鑛物類

第十二類　石材、其ノ模造物及他類ニ屬セサル其ノ製品

大理石、花崗石、人造石、硝石等

第十三類　漆喰及土砂ノ類

漆喰、「セメント」、石膏、土灰、青土、土砂、火山灰等

第十四類　他類ニ屬セサル陶器、磁器、七寶製品、土器、瓦及煉瓦ノ類

第十五類　玻璃及他類ニ屬セサル玻璃製品及琺瑯貨品

玻璃板、玻璃管、玻璃壜、玻璃球等

第十六類　鏡鑑、「エボナイト」、「ガタペルチヤ」、「ラバーサプスチュート」及他類ニ屬セサル其ノ軟質製品

第十七類　他類ニ屬セサル機械器具及其ノ各部並各種ノ調帶、「ボース」及「パッキング」

汽罐、汽機、紡織機、裁縫機、印刷機、揚水機、消火器、潜水器、「ポルプ」、「コック」、皮革調帶、鑛鑑調帶、綿布調帶、鑛鑑「ボース」、布「ボース」、「アスベストス、パッキング」、「ゴム、パッキング」等

第十八類　理化學、醫術、測定、寫眞、教育用ノ器械器具、眼鏡及算盤器ノ類竝其ノ各部

試驗管、外科用器械、齒科用具、度量衡器、感光膜、活動寫眞映寫機、製圖器、螢燭用器具、望遠鏡、顯微鏡等

第十九類　農工器具

犂、鍬、鉏、鎌、鋤投、桑抜、唐共、鋤、釘抜、鉄槌、繩墨、鉛廻シ、「スコップ」、「ショーベル」、鎖等

第二十類　車輛、船舶其ノ他運搬用機械器具及其ノ各部

荷車、馬車、人力車、自動車、自轉車、小兒用車、流線慢、鐵道車、車輪、「タイヤー」、「サドル」、「ペダル」等

第二十一類　時計竝其ノ各部及附屬品

第二十二類　樂器、蓄音機竝其ノ各部及附屬品

「ピヤノ」、「オルガン」、「ヴアイオリン」、「マンドリン」、笛、三絃、胡弓、琵琶、月琴、木琴、風琴、「ハーモニカ」、撥、樂器絲、蓄音機、蓄音機用針等

第二十三類　銃砲、彈丸及爆發物類

大砲、小銃、猟銃、短銃、火藥、棉火藥、「ダイナマイト」、信管、煙火、水雷等

第二十四類　纖維、野纖維及繭

竝其ノ半加工品

第二十五類　生絲、絹絲、人造絹絲、野纖絲、天鵞絲、金絲及銀絲

第二十七類　綿絲

第二十八類　毛絲

第二十九類　麻絲及第二十六類乃至第二十八類ニ屬セサル絲類

第三十類　絹織物

第三十一類　木綿織物

第三十二類　毛織物

第三十三類　麻織物

第三十四類　第三十類乃至第三十三類ニ屬セサル織物

第三十五類　他類ニ屬セサル絲類ノ編物、組物、撚物「レース」、「ドロン、ウォーク」、刺繍品及各種ノ紐類

第三十六類　被服、手巾、釦鈕及裝身用「ヒン」ノ類

第三十七類　寢具及他類ニ屬セサル室内裝置品

蚊帳、蒲團、枕、蚊幃、座蒲團、屏風、衝立、卓被、窓掛、敷物等

第三十八類　日本酒類及其ノ模造品

清酒、味淋、白酒、燒酎、濁酒、直シ等

第三十九類　貴玉類、其ノ模造物及他類ニ屬セサル其ノ類品

金剛石、珊瑚、眞珠、瑪瑙、水晶、黃玉、碧玉、彫鏤品等

第十一類　鑛物類

第十二類　石材、其ノ模造物及他類ニ屬セサル其ノ製品

大理石、花崗石、人造石、硝石等

第十三類　漆喰及土砂ノ類

漆喰、「セメント」、石膏、土灰、青土、土砂、火山灰等

第十四類　他類ニ屬セサル陶器、磁器、七寶製品、土器、瓦及煉瓦ノ類

第十五類　玻璃及他類ニ屬セサル玻璃製品及琺瑯貨品

玻璃板、玻璃管、玻璃壜、玻璃球等

第十六類　鏡鑑、「エボナイト」、「ガタペルチヤ」、「ラバーサプスチュート」及他類ニ屬セサル其ノ軟質製品

第十七類　他類ニ屬セサル機械器具及其ノ各部並各種ノ調帶、「ボース」及「パッキング」

汽罐、汽機、紡織機、裁縫機、印刷機、揚水機、消火器、潜水器、「ポルプ」、「コック」、皮革調帶、鑛鑑調帶、綿布調帶、鑛鑑「ボース」、布「ボース」、「アスベストス、パッキング」、「ゴム、パッキング」等

第十八類　理化學、醫術、測定、寫眞、教育用ノ器械器具、眼鏡及算盤器ノ類竝其ノ各部

試驗管、外科用器械、齒科用具、度量衡器、感光膜、活動寫眞映寫機、製圖器、螢燭用器具、望遠鏡、顯微鏡等

第十九類　農工器具

犂、鍬、鉏、鎌、鋤投、桑抜、唐共、鋤、釘抜、鉄槌、繩墨、鉛廻シ、「スコップ」、「ショーベル」、鎖等

第二十類　車輛、船舶其ノ他運搬用機械器具及其ノ各部

荷車、馬車、人力車、自動車、自轉車、小兒用車、流線慢、鐵道車、車輪、「タイヤー」、「サドル」、「ペダル」等

第二十一類　時計竝其ノ各部及附屬品

第二十二類　樂器、蓄音機竝其ノ各部及附屬品

「ピヤノ」、「オルガン」、「ヴアイオリン」、「マンドリン」、笛、三絃、胡弓、琵琶、月琴、木琴、風琴、「ハーモニカ」、撥、樂器絲、蓄音機、蓄音機用針等

第二十三類　銃砲、彈丸及爆發物類

大砲、小銃、猟銃、短銃、火藥、棉火藥、「ダイナマイト」、信管、煙火、水雷等

第二十四類　纖維、野纖維及繭

第二十五類　生絲、絹絲、人造絹絲、野纖絲、天鵞絲、金絲及銀絲

第二十七類　綿絲

第二十八類　毛絲

第二十九類　麻絲及第二十六類乃至第二十八類ニ屬セサル絲類

第三十類　絹織物

第三十一類　木綿織物

第三十二類　毛織物

第三十三類　麻織物

第三十四類　第三十類乃至第三十三類ニ屬セサル織物

第三十五類　他類ニ屬セサル絲類ノ編物、組物、撚物「レース」、「ドロン、ウォーク」、刺繍品及各種ノ紐類

第三十六類　被服、手巾、釦鈕及裝身用「ヒン」ノ類

第三十七類　寢具及他類ニ屬セサル室内裝置品

蚊帳、蒲團、枕、蚊幃、座蒲團、屏風、衝立、卓被、窓掛、敷物等

第三十八類　日本酒類及其ノ模造品

清酒、味淋、白酒、燒酎、濁酒、直シ等

第三十九類　貴玉類、其ノ模造物及他類ニ屬セサル其ノ類品

金剛石、珊瑚、眞珠、瑪瑙、水晶、黃玉、碧玉、彫鏤品等

第四十類　氷及清涼飲料類

曹達水、蜜柑水、「ラムネ」、「サイダー」、果實「シラップ」、果實液等

第四十一類　醬油、「ソース」及酢ノ類

第四十二類　砂糖及蜜ノ類

白砂糖、黒砂糖、「ザラメ」、氷砂糖、蜂蜜、蜂蜜等

第四十三類　菓子及麺麭ノ類

干菓子、蒸菓子、揖ケ物、「ビスケット」、「カステーラ」、「ドロップス」、「アイスクリーム」、「飴、餅、砂糖漬、炒豆等

第四十四類　茶、珈琲、「ココア」及珈琲入角砂糖ノ類竝其ノ模造品

第四十五類　他類ニ屬セサル食料品及加味品

肉類、越蒻寒類、卵、鰹節、海苔、昆布、荒布、佃煮、味噌、酢物、甘酒、漬物、胡椒等

第四十六類　酪乳、其ノ製品及其ノ模造品

牛乳、羊乳、「コンデンスミルク」、乳粉、「バタ」、人造「バタ」、「チーズ」等

第四十七類　穀菜類、種子、果物、穀粉、澱粉及其ノ製品

米、麥、菜、黍、稗、豆、薯、乾瓢、球根、麺麭、「モヤシ」、「ベーキングパウダー」、「イースト、パウダー」、麥粉、蕎粉、麩類、湯葉、豆腐、豆乳、葛粉、凍豆腐、凍蒟蒻等

第四十八類　煙草類

第四十九類　煙草具及袋物

煙管、煙草入、煙管筒、薄荷「パイプ」、紙入、貨幣入、名刺入、信玄袋、「オペラバッグ」等

第五十類　紙及他類ニ屬セサル其ノ製品

日本紙、西洋紙、板紙、壁紙、油紙、證紙、雲箭筒、張文匣、一閑張、帳簿、水引等

第五十一類　文房具

筆、墨、印肉、印材「インキ」、印刷「インキ」、石筆、鉛筆、萬年筆、「ペン」、「スペン」軸、硯、「インキ」壺、文鎮、筆筒、筆架、石盤、紙鎮、鉛筆削、鉛筆削「プロッター」、「シース」等

第五十二類　皮革、其ノ模造品及他類ニ屬セサル其ノ製品竝各種ノ鞭類

毛皮、生革、擬革紙、擬革布、馬具、革文庫、綺革、「ゴキャットガット」等

第五十三類　固形燃料類

石炭、「コークス」、薪、炭、附木、懐爐灰等

第五十四類　燐寸

第五十五類　油脂及蠟ノ類

石油、菜子油、魚油、獣脂、木蠟、雲嶺、蠟燭等

第五十六類　肥料

干鰯、鯡粕、油粕、肉粉、骨粉、血粉、蚕、糞、酸肥料、調合肥料、硫酸安母尼亜等

第五十七類　木竹材籐、木皮、竹皮及經木ノ類

第五十八類　他類ニ屬セサル木、竹、籐、木皮、竹皮類ノ製品、其ノ漆塗品及蔴細品ノ類

指物、提物、曲物、編物、組物、胴、經木眞田等

第五十九類　骨、角、齒牙及甲殻ノ類、他類ニ屬セサル其ノ製品及其ノ模造品、他類ニ屬セサル「エボナイト」製品及「ガタペルチヤ」ノ硬質製品竝「セルロイド」及他類ニ屬セサル其ノ製品

第六十類　蠟、草及他類ニ屬セサル其ノ製品、蠟型、蠟燭、燭臺、燭切、燭消、燈心、蠟引紙、蠟引布、蠟引糸、蠟引紐、蠟引革、蠟引製品等

第六十一類　傘、洋傘、杖、杖ノ附屬品及其ノ附屬品

傘、洋傘、杖、鞭、下駄、草履、雪駄、鼻緒、爪掛等

第六十二類　扇子及團扇ノ類

第六十三類　燈器及其ノ各部

洋燈、燭臺、提燈、火屋、燈蓋、瓦斯「バーナー」、瓦斯「マントル」、燭心等

第六十四類　頭飾品、調髪具及「リボン」ノ類、造花竝扇子類

櫛、笄、釵、「ヘヤピン」、「ヘヤネット」、手絡、根掛、髪止、髷形、元結、髷、附髷、入毛、髪毛、髪掛「リボン」、裝飾「ボン」、齒磨粉、紙屑、鉛筆削「プロッター」、「シース」等

第五十二類　皮革、其ノ模造品及他類ニ屬セサル其ノ製品竝各種ノ鞭類

毛皮、生革、擬革紙、擬革布、馬具、革文庫、綺革、「ゴキャットガット」等

第五十三類　固形燃料類

石炭、「コークス」、薪、炭、附木、懐爐灰等

第五十四類　燐寸

第五十五類　油脂及蠟ノ類

石油、菜子油、魚油、獣脂、木蠟、雲嶺、蠟燭等

第五十六類　肥料

干鰯、鯡粕、油粕、肉粉、骨粉、血粉、蚕、糞、酸肥料、調合肥料、硫酸安母尼亜等

第五十七類　木竹材籐、木皮、竹皮及經木ノ類

第五十八類　他類ニ屬セサル木、竹、籐、木皮、竹皮類ノ製品、其ノ漆塗品及蔴細品ノ類

指物、提物、曲物、編物、組物、胴、經木眞田等

第五十九類　骨、角、齒牙及甲殻ノ類、他類ニ屬セサル其ノ製品及其ノ模造品、他類ニ屬セサル「エボナイト」製品及「ガタペルチヤ」ノ硬質製品竝「セルロイド」及他類ニ屬セサル其ノ製品

第六十類　蠟、草及他類ニ屬セサル其ノ製品、蠟型、蠟燭、燭臺、燭切、燭消、燈心等

第六十一類　傘、洋傘、杖、杖ノ附屬品及其ノ附屬品

傘、洋傘、杖、鞭、下駄、草履、雪駄、鼻緒、爪掛等

第六十二類　扇子及團扇ノ類

第六十三類　燈器及其ノ各部

洋燈、燭臺、提燈、火屋、燈蓋、瓦斯「バーナー」、瓦斯「マントル」、燭心等

第六十四類　頭飾品、調髪具及「リボン」ノ類、造花竝扇子類

櫛、笄、釵、「ヘヤピン」、「ヘヤネット」、手絡、根掛、髪止、髷形、元結、髷、附髷、入毛、髪毛、髪掛「リボン」、裝飾「ボン」、齒磨粉、紙屑、鉛筆削「プロッター」、「シース」等

第五十二類　皮革、其ノ模造品及他類ニ屬セサル其ノ製品竝各種ノ鞭類

毛皮、生革、擬革紙、擬革布、馬具、革文庫、綺革、「ゴキャットガット」等

第五十三類　固形燃料類

石炭、「コークス」、薪、炭、附木、懐爐灰等

第五十四類　燐寸

第五十五類　油脂及蠟ノ類

石油、菜子油、魚油、獣脂、木蠟、雲嶺、蠟燭等

第五十六類　肥料

干鰯、鯡粕、油粕、肉粉、骨粉、血粉、蚕、糞、酸肥料、調合肥料、硫酸安母尼亜等

第五十七類　木竹材籐、木皮、竹皮及經木ノ類

第五十八類　他類ニ屬セサル木、竹、籐、木皮、竹皮類ノ製品、其ノ漆塗品及蔴細品ノ類

指物、提物、曲物、編物、組物、胴、經木眞田等

第五十九類　骨、角、齒牙及甲殻ノ類、他類ニ屬セサル其ノ製品及其ノ模造品、他類ニ屬セサル「エボナイト」製品及「ガタペルチヤ」ノ硬質製品竝「セルロイド」及他類ニ屬セサル其ノ製品

第六十類　蠟、草及他類ニ屬セサル其ノ製品、蠟型、蠟燭、燭臺、燭切、燭消、燈心等

第六十一類　傘、洋傘、杖、杖ノ附屬品及其ノ附屬品

傘、洋傘、杖、鞭、下駄、草履、雪駄、鼻緒、爪掛等

第六十二類　扇子及團扇ノ類

第六十三類　燈器及其ノ各部

洋燈、燭臺、提燈、火屋、燈蓋、瓦斯「バーナー」、瓦斯「マントル」、燭心等

第六十四類　頭飾品、調髪具及「リボン」ノ類、造花竝扇子類

櫛、笄、釵、「ヘヤピン」、「ヘヤネット」、手絡、根掛、髪止、髷形、元結、髷、附髷、入毛、髪毛、髪掛「リボン」、裝飾「ボン」、齒磨粉、紙屑、鉛筆削「プロッター」、「シース」等

第五十二類　皮革、其ノ模造品及他類ニ屬セサル其ノ製品竝各種ノ鞭類

毛皮、生革、擬革紙、擬革布、馬具、革文庫、綺革、「ゴキャットガット」等

第五十三類　固形燃料類

石炭、「コークス」、薪、炭、附木、懐爐灰等

第五十四類　燐寸

第五十五類　油脂及蠟ノ類

石油、菜子油、魚油、獣脂、木蠟、雲嶺、蠟燭等

第五十六類　肥料

干鰯、鯡粕、油粕、肉粉、骨粉、血粉、蚕、糞、酸肥料、調合肥料、硫酸安母尼亜等

第五十七類　木竹材籐、木皮、竹皮及經木ノ類

第五十八類　他類ニ屬セサル木、竹、籐、木皮、竹皮類ノ製品、其ノ漆塗品及蔴細品ノ類

指物、提物、曲物、編物、組物、胴、經木眞田等

第五十九類　骨、角、齒牙及甲殻ノ類、他類ニ屬セサル其ノ製品及其ノ模造品、他類ニ屬セサル「エボナイト」製品及「ガタペルチヤ」ノ硬質製品竝「セルロイド」及他類ニ屬セサル其ノ製品

第六十類　蠟、草及他類ニ屬セサル其ノ製品、蠟型、蠟燭、燭臺、燭切、燭消、燈心等

第六十一類　傘、洋傘、杖、杖ノ附屬品及其ノ附屬品

傘、洋傘、杖、鞭、下駄、草履、雪駄、鼻緒、爪掛等

第六十二類　扇子及團扇ノ類

第六十三類　燈器及其ノ各部

洋燈、燭臺、提燈、火屋、燈蓋、瓦斯「バーナー」、瓦斯「マントル」、燭心等

第六十四類　頭飾品、調髪具及「リボン」ノ類、造花竝扇子類

櫛、笄、釵、「ヘヤピン」、「ヘヤネット」、手絡、根掛、髪止、髷形、元結、髷、附髷、入毛、髪毛、髪掛「リボン」、裝飾「ボン」、齒磨粉、紙屑、鉛筆削「プロッター」、「シース」等

第二十一條　舊商標法ニ依リ發生シタル商標權又ハ標章權ニ付テハ其ノ商標又ハ標章ヲ使用スヘキ商品ノ類別ハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十一年十二月農商令第三十三號）

本令ハ信託法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年九月商令第九號）

本令ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年商令第三十二號）

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ第十條ノ規定ニ依リ商標ノ印版ヲ差出スコトヲ要スル者ニシテ本令施行前之ヲ差出シ居ザルモノハ本令施行後ハ之ヲ差出スコトヲ要セズ

本令施行前特許局ニ差出シタル商標ノ印版ノ還付ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

●商標登錄規則

大正十年十二月農商令第四十二號

商標登錄規則左ノ通定ム

商標登錄規則

第一條　商標ニ關スル登錄ニ付テハ特許登錄令施行規則ヲ準用ス

第二條　商標原簿ハ別記樣式ニ依リ之ヲ作ルヘシ

第三條　商標原簿ノ聯合商標登錄番號欄ニハ其ノ登錄商標ニ聯合スヘキ商標ノ登錄番號ヲ記載ス

第四條　商標權設定ノ登錄ヲ爲スニハ第一條ノ規定ニ依リ記載スヘキ事項ノ外表示欄ニ商標ヲ使用スル商品ノ類別及商品竝外國ノ登錄商標ナル場合ニ在リテハ尚其ノ旨ヲ記載スヘシ

第五條　聯合ノ商標權設定ノ登錄ヲ爲スニハ前條ニ規定スル事項ノ外表示欄ニ聯合ノ商標ナル旨ヲ記載シ其ノ登錄用紙中聯合商標登錄番號欄ニ他ノ聯合ノ商標ノ登錄番號ヲ記載スヘシ

第六條　商標權存續期間更新ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ出願日附、願證番號、查定若ハ審決確定シ又ハ判決アリタル旨及其ノ日附竝商標ヲ使用スル商品ニ變更アリタル場合ニ在リテハ尚其ノ商品ヲ記載スヘシ

第七條　聯合ノ商標權設定ノ登錄アリタル後其ノ一ノ商標權ノ消滅ノ登錄ヲ爲シタルトキハ他ノ聯合ノ商標權ノ登錄用紙中聯合商標登錄番號欄ノ番號ヲ朱抹スヘシ

第八條　商標權ノ分割移轉ノ登錄ヲ爲スニハ特許登錄令施行規則第二十七條乃至第三十二條ノ規定ニ準シ其ノ登錄ヲ爲スヘキ商標權ノ表示ノ第四條ノ規定ニ準シ之ヲ爲シ尚移轉シタル商標權ノ登錄用紙中甲區事項欄ニ登錄權利者ノ氏名名稱及住所ヲ記載スヘシ

第九條　商品ノ一部ニ係ル營業ノ廢止ニ依リ商標權ノ一部抹消ノ登錄ヲ爲スニハ表示欄ニ變更ノ登錄ヲ爲スヘシ

第十條　本則ハ商標法第二十六條ノ標章又ハ同法第二十七條若ハ第三十三條ノ團體標章ニ關シ之ヲ準用ス

附　則

本則ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

第十八條　本則ハ大正十一年一月十一日ヨリ之ヲ施行ス

第十九條　商標法施行細則ハ之ヲ廢止ス

第二十條　商標法第四十一條ノ規定ニ依リ爲シタル登錄ニ關スル事務ハ特許局ニ於テ仍從前ノ例ニ依ル

明治四十二年農商務省令第四十八號ハ之ヲ廢止ス

（別記様式）

登録番號	表題部	甲	區	代理人欄	聯合商標登録番號欄
	表示番號	表示欄	類位番號	事項欄	

●商標ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件

大正十年十二月
勅令第四百六十四號

第一條　商標ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第二條　商標法第二條第四號又ハ第五號ニ該當スル場合ニ於テハ商標法ニ依リ發生シタル商標權ハ朝鮮ニ於テ、韓國商標令ニ依リ發生シタル商標權ハ朝鮮以外ニ於テ其ノ效力ヲ有セス

第三條　商標ヲ商標法第二條第四號又ハ第五號ニ該當スル場合ニ於テハ商標法ニ依リ發生シタル商標權ハ朝鮮ニ於テ、韓國商標令ニ依リ發生シタル商標權ハ朝鮮以外ニ於テ其ノ效力ヲ有セス

第四條　明治四十三年勅令第三百三十六號第一條乃至第三條及第五條ノ規定ハ商標ニ關シ之ヲ準用ス

第五條　韓國商標令ハ之ヲ廢止ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス（朝治四十四年三月十日官報會次記）

●關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ於ケル特許權、意匠權、商標權及著作權ノ保護ニ關スル件

明治四十四年五月
勅令第百六十七號
（改正　昭和四年一二月第三三五號、一二年六第二六五號）

第一條　帝國臣民カ帝國ニ於テ享有スル特許權、意匠權、商標權、實用新案權及著作權ノ效力ハ帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民ニ及フモノトス

第二條　特許法、意匠法、商標法、實用新案法及著作權法中ノ罰ニ關スル規定ハ帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ在ル帝國臣民ニ對シ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ明治四十四年五月二十八日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十一年六月勅令第百二十六號）

本令ハ昭和十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前帝國臣民ノ爲シタル行爲ニ付テハ本令施行後ト雖仍從前ノ例ニ依ル

第十章　度量衡

●朝鮮度量衡令

大正十五年二月
制令第六號

第一條　度量ハメートル、衡ハキログラムヲ以テ基本トス

メートルハ磁氣子午線ノ一千萬分ノ一ヲ長トス

キログラムハ國際キログラム原器ノ質量トス

第二條　メートル條約ニ依リ帝國ニ交付セラレタルメートル原器ニ依リ、キログラム、メートル條約ニ依リ帝國ニ交付セラレタルキログラム原器ニ依リ之ヲ現示ス

第三條　朝鮮總督ハ前條ノ原器ニ依リ製作シタル檢定原器ヲ以テ前條ノ原器ニ代用ス

第四條　度量衡ノ名稱命位ヲ定ムルコト左ノ如シ

度

ミクロン　メートルノ百萬分ノ一

ミリメートル　メートルノ千分ノ一

センチメートル　メートルノ百分ノ一

デシメートル　メートルノ十分ノ一

メートル

キロメートル　千メートル

面積

平方ミリメートル　平方メートルノ百萬分ノ一

平方センチメートル　平方メートルノ一萬分ノ一

平方デシメートル　平方メートルノ百分ノ一

平方メートル

平方キロメートル　百萬平方メートル

量

立方センチメートル　立方メートルノ百萬分ノ一

立方デシメートル　立方メートルノ千分ノ一

衡

ミリグラム　キログラムノ百萬分ノ一

グラム　キログラムノ千分ノ一

キログラム

トン　千キログラム

前項ニ規定スル度量衡又ハ其ノ倍數若ハ分數ニ依ル度量衡ニシテ土地又ハ液體ノ計量及能率ノ計量ノ單位ニシテ度量衡ニ非サル他ノ單位ニ依リテ定ムルモノ又ハ度量衡ニシテ朝鮮總督之ヲ定ム

第五條　溫度、壓度、壓力、工率其ノ他ノ狀態ニ關シテハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ラサル度量衡又ハ計量ノ單位ハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外取引上又ハ證明上之ヲ用フルコトヲ得ス

第七條　度量衡器ノ製作及販賣ハ政府ニ專屬ス

政府ハ特ニ指定スル者ニ度量衡器ノ販賣ヲ委託スルコトヲ得

第八條　度量衡器ノ修覆、輸入又ハ移入ハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外政府又ハ政府ノ許可ヲ受ケタル者ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第九條　政府ハ製作、修覆、輸入又ハ移入シタル度量衡器ニハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外證印ヲ附ス

第十條　政府以外ノ者度量衡器ノ修覆、輸入又ハ移入ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ノ定メタル場合ヲ除クノ外政府ノ檢定ヲ受クヘシ

政府ノ檢定ニ合格シタル度量衡器ニハ檢定證印ヲ附ス

第十一條　度量衡法ニ依ル檢定證印アル度量衡器ノ輸入又ハ移入ヲ爲ス場合ニハ前二條ノ規定ノ之ヲ適用セス但朝鮮總督ノ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條　度量衡器ニ非サルモノ及左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外取引上又ハ證明上ニ於ケル度量衡ノ計量ニ之ヲ使用シ又ハ使用ニ供スル爲之ヲ所持スルコトヲ得ス

一　第九條ノ證印又ハ檢定證印ナキモノ

二　修覆ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケス又ハ檢定ニ合格セサルモノ

三　變造シタルモノ

四　朝鮮總督ノ定ムル公差以上ノ差狂ヲ生シタルモノ

五　朝鮮總督ノ定ムル構造ヲ具備セサルモノ

度量衡法ニ依ル檢定證印又ハ同法ニ依ル檢定ハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ檢定證印又ハ檢定ト看做ス

第十三條　度量衡ニ依ル正味又ハ表記アル商品ニシテ其ノ表記正味又ハ表記ヲ超過スルモノハ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ販賣シ又ハ販賣ノ爲之ヲ所持スルコトヲ得ス

商品ノ度量衡ニ依ル正味又ハ表記ハ正味又ハ表記ニ非サルコト明ナル場合ヲ除クノ外之ヲ度量衡ニ依ル正味又ハ表記ト看做ス

第十四條　度量衡器ノ委託販賣、修覆、輸入、移入、第九條ノ證印檢定、取締及使用ノ制限竝度量衡ノ計量ノ取締ニ關シテハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十五條　當該官吏度量衡器ノ取締ノ爲必要アリト認ムルトキハ店舖、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際度量衡ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ捜索ヲ爲シ又ハ犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、捜索及差押ニ關シテハ朝鮮間接國稅犯則者處分令ヲ準用ス

第十六條　當該官吏ハ第十二條第一項各號ノ一ニ該當スルモノヲ破毀シ、其ノ證印ヲ除去シ若ハ消印ヲ附シ又ハ第十三條第一項ニ該當スルモノ正味又ハ表記ヲ更正シ若ハ消去シ其ノ他取締上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條　度量衡器ノ委託販賣ノ指定又ハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ又ハ當該官廳ノ命ニ從ハサルトキハ朝鮮總督ハ其ノ指定又ハ許可ヲ取消スコトヲ得

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十二條又ハ第十三條第一項ノ規定ニ違反シタル者

二　度量衡ノ計量ヲ附フルノ目的ヲ以テ不正ニ度量衡器ヲ使用シタル者

第十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　私ニ度量衡器ノ製作又ハ變造ヲ爲シタル者

二　委託販賣ノ指定ヲ受ケシテ度量衡器ノ販賣ヲ爲シタル者

三　第八條ノ規定ニ違反シタル者

第二十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第六條ノ規定ニ違反シタル者

二　當該官吏ノ臨門ニ對シ答辯ヲ拒ミ若ハ虚僞ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者

第二十一條　度量衡器ノ委託販賣ノ指定若ハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者、業務上取引若ハ證明ノ爲度量衡器ヲ使用スル者又ハ度量衡ニ依ル正味又ハ表記アル商品ヲ販賣スル者ニシテ朝鮮總督ノ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ檢定證印又ハ檢印ヲ附セサルトキハ之ヲ附シ又ハ檢印ヲ受ケシムヘシ

第二十二條　度量衡器ノ委託販賣ノ指定若ハ第八條ノ許可ヲ受ケタル者、業務上取引若ハ證明ノ爲度量衡器ヲ使用スル者又ハ度量衡ニ依ル正味又ハ表記ヲ爲ス場合ニハ前二條ノ規定ノ之ヲ適用セス但朝鮮總督ノ定ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　前二條ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ヲ科スルコトヲ得ス

第二十四條　第七條乃至第十二條、第十四條乃至前條ノ規定ハ朝鮮總督ノ指定スル計量器ニ之ヲ準用ス

第二十五條　法人ノ代表者又ハ其ノ履人其ノ他ノ從業者法人ノ業務ニ關シ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ督業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十六條　陸軍三年法律第二十六號度量衡法及明治四十二年統監府令第二十三號ハ之ヲ廢止ス

第二十七條　從來慣用ノ度量衡ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ當分ノ內仍之ヲ用フルコトヲ得

第二十八條　陸軍三年法律第二十六號度量衡法及明治四十二年統監府令第二十三號ハ之ヲ廢止ス

第二十九條　從前ノ規定ニ依リ附シタル證印又ハ檢印ハ之ヲ第九條ノ證印又ハ檢定證印ト看做ス

第三十條　從前ノ規定ニ依リ附シタル證印又ハ檢印ハ之ヲ第九條ノ證印又ハ檢定證印ト看做ス

第三十一條　從前ノ規定ニ依ル度量衡器委託販賣者ニシテ本令施行ノ際現ニ其ノ業ヲ營ム者ハ朝鮮總督ノ定ムル期間之ヲ第七條第二項ノ規定ニ依ル指定ヲ受ケタル者ト看做ス

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第一條　朝鮮ニ於テハ度量衡ノ單位ハ左ノ四種トス

一　長サ　米突

二　容積　立方米突

三　重量　瓦

四　面積　平方米突

第二條　朝鮮ニ於テハ度量衡ノ十進法ニ依ル倍數及分數ヲ用フ

第三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ別ニ之ヲ定ム

第四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ地球ノ子午線ノ四千萬分ノ一ヲ以テ基礎トス

第五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ海面ニ於ケル平均氣壓ニ於テ攝氏四度ノ水ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ海面ニ於ケル平均氣壓ニ於テ緯度四十五度ノ地ニ於ケル重力ヲ以テ基礎トス

第八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第三十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第四十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第五十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第六十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第七十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第八十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第九十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百二十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百三十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百四十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百五十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百六十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百七十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百八十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第百九十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百二十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百三十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百四十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十五條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十六條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十七條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十八條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百五十九條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百六十條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百六十一條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百六十二條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百六十三條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基礎トス

第二百六十四條　度量衡ノ單位ニ關スル定義ハ攝氏零度ニ於ケル水銀ノ容積ヲ以テ基

第四十六條　度量衡ハ尺貫法ニ依ル

第四十七條　尺ノ一分ヲ一寸トシ一寸ノ十分ノ一ヲ一分トシ一分ノ十分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ十分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ十分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ十分ノ一ヲ一忽トス

第四十八條　尺ノ十倍ヲ一間トシ一間ノ六十倍ヲ一町トシ一町ノ三十六倍ヲ一里トス

第四十九條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第五十條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第五十一條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第五十二條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第五十三條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第五十四條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第五十五條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第五十六條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第五十七條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第五十八條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第五十九條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第六十條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第六十一條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第六十二條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第六十三條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第六十四條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第六十五條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第六十六條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第六十七條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第六十八條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第六十九條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第七十條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第七十一條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第七十二條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第七十三條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第七十四條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第七十五條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第七十六條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第七十七條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第七十八條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第七十九條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第八十條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第八十一條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第八十二條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第八十三條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第八十四條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第八十五條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第八十六條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第八十七條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第八十八條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第八十九條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第九十條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第九十一條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第九十二條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第九十三條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第九十四條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第九十五條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第九十六條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第九十七條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第九十八條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第九十九條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百一條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百二條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百三條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百四條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百五條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百六條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百七條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百八條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百九條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百十條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百十一條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百十二條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百十三條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百十四條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百十五條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百十六條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百十七條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百十八條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百十九條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百二十條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百二十一條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百二十二條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百二十三條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百二十四條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百二十五條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百二十六條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百二十七條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百二十八條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百二十九條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百三十條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百三十一條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百三十二條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百三十三條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百三十四條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百三十五條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百三十六條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百三十七條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百三十八條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百三十九條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百四十條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百四十一條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百四十二條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百四十三條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百四十四條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百四十五條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百四十六條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百四十七條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百四十八條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百四十九條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百五十條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百五十一條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百五十二條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百五十三條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百五十四條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百五十五條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百五十六條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百五十七條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百五十八條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百五十九條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百六十條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百六十一條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百六十二條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百六十三條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百六十四條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百六十五條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百六十六條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百六十七條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百六十八條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百六十九條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百七十條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百七十一條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百七十二條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百七十三條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百七十四條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百七十五條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百七十六條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百七十七條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百七十八條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百七十九條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百八十條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百八十一條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百八十二條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百八十三條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百八十四條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百八十五條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百八十六條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百八十七條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百八十八條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百八十九條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百九十條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百九十一條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百九十二條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百九十三條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百九十四條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百九十五條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百九十六條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第百九十七條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第百九十八條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第百九十九條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第二百條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第二百一條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第二百二條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第二百三條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第二百四條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第二百五條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第二百六條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第二百七條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第二百八條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第二百九條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第二百十條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

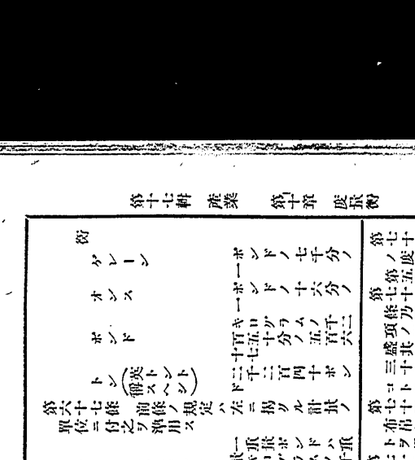
第二百十一條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第二百十二條　尺ノ十倍ヲ一丈トシ一丈ノ十倍ヲ一引トシ一引ノ十倍ヲ一里トス

第二百十三條　尺ノ千分ノ一ヲ一分トシ一分ノ千分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ千分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ千分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ千分ノ一ヲ一忽トス

第二百十四條　尺ノ百分ノ一ヲ一分トシ一分ノ百分ノ一ヲ一厘トシ一厘ノ百分ノ一ヲ一毛トシ一毛ノ百分ノ一ヲ一糸トシ一糸ノ百分ノ一ヲ一忽トス

第二百十五條　尺



第一表　酒精ト水トノ混合液（温度ノ増減ニ依ル容積ノ百分比率ヲ表ス）

百分率	度	容積	百分率	度	容積
〇	〇・九九一	一・〇〇〇	九	〇・八七〇	〇・九八七五
一	〇・九八七六	〇・九八八九	一〇	〇・八六八	〇・九八七七
二	〇・九八一	〇・九八七〇	一一	〇・八六二六	〇・九八五五
三	〇・九七四七	〇・九七九六	一二	〇・八五九五	〇・九八四四
四	〇・九七三三	〇・九七二二	一三	〇・八五二四	〇・九八三三
五	〇・九七一九	〇・九七四八	一四	〇・八四八三	〇・九八二二
六	〇・九六〇六	〇・九七一五	一五	〇・八四一二	〇・九八一一
七	〇・九五九四	〇・九六八二	一六	〇・八三九一	〇・九八〇〇
八	〇・九五八一	〇・九六五九	一七	〇・八三八〇	〇・九七八九

| | | |

第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五六九
一	一・〇〇〇六	五五	一・〇五八八
二	一・〇〇二八	五六	一・〇六〇八
三	一・〇〇五一	五七	一・〇六二九
四	一・〇〇七五	五八	一・〇六五一
五	一・〇一〇〇	五九	一・〇六七四
六	一・〇一二六	六〇	一・〇六九八
七	一・〇一五三	六一	一・〇七二二
八	一・〇一八一	六二	一・〇七四八
九	一・〇二〇九	六三	一・〇七七四
一〇	一・〇二三八	六四	一・〇八〇一
一一	一・〇二六八	六五	一・〇八二九
一二	一・〇二九九	六六	一・〇八五八
一三	一・〇三三一	六七	一・〇八八八
一四	一・〇三六四	六八	一・〇九一九
一五	一・〇三九八	六九	一・〇九五一
一六	一・〇四三三	七〇	一・〇九八四
一七	一・〇四六九	七一	一・一〇一八
一八	一・〇五〇六	七二	一・一〇五三
一九	一・〇五四四	七三	一・一〇八九
二〇	一・〇五八三	七四	一・一一二六
二一	一・〇六二三	七五	一・一一六四
二二	一・〇六六四	七六	一・一二〇四
二三	一・〇七〇六	七七	一・一二四六
二四	一・〇七四九	七八	一・一二八九
二五	一・〇七九四	七九	一・一三三四
二六	一・〇八四〇	八〇	一・一三八〇
二七	一・〇八八七	八一	一・一四二八
二八	一・〇九三五	八二	一・一四七八
二九	一・〇九八五	八三	一・一五二九
三〇	一・一〇三六	八四	一・一五八二
三一	一・一〇八八	八五	一・一六三六
三二	一・一一四一	八六	一・一六九二
三三	一・一一九六	八七	一・一七四九
三四	一・一二五二	八八	一・一八〇八
三五	一・一三〇九	八九	一・一八六九
三六	一・一三六八	九〇	一・一九三一
三七	一・一四二八	九一	一・一九九五
三八	一・一四九〇	九二	一・二〇六一
三九	一・一五五三	九三	一・二一二九
四〇	一・一六一八	九四	一・二一九九
四一	一・一六八四	九五	一・二二七一
四二	一・一七五二	九六	一・二三四五
四三	一・一八二二	九七	一・二四二一
四四	一・一八九三	九八	一・二五〇〇
四五	一・一九六五	九九	一・二五八一
四六	一・二〇三九	一〇〇	一・二六六五
四七	一・二一一五		
四八	一・二一九三		
四九	一・二二七三		
五〇	一・二三五五		
五一	一・二四三九		
五二	一・二五二五		
五三	一・二六一三		

第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五六九
一	一・〇〇〇六	五五	一・〇五八八
二	一・〇〇二八	五六	一・〇六〇八
三	一・〇〇五一	五七	一・〇六二九
四	一・〇〇七五	五八	一・〇六五一
五	一・〇一〇〇	五九	一・〇六七四
六	一・〇一二六	六〇	一・〇六九八
七	一・〇一五三	六一	一・〇七二二
八	一・〇一八一	六二	一・〇七四八
九	一・〇二〇九	六三	一・〇七七四
一〇	一・〇二三八	六四	一・〇八〇一
一一	一・〇二六八	六五	一・〇八二九
一二	一・〇二九九	六六	一・〇八五八
一三	一・〇三三一	六七	一・〇八八八
一四	一・〇三六四	六八	一・〇九一九
一五	一・〇三九八	六九	一・〇九五一
一六	一・〇四三三	七〇	一・〇九八四
一七	一・〇四六九	七一	一・一〇一八
一八	一・〇五〇六	七二	一・一〇五三
一九	一・〇五四四	七三	一・一〇八九
二〇	一・〇五八三	七四	一・一一二六
二一	一・〇六二三	七五	一・一一六四
二二	一・〇六六四	七六	一・一二〇四
二三	一・〇七〇六	七七	一・一二四六
二四	一・〇七四九	七八	一・一二八九
二五	一・〇七九四	七九	一・一三三四
二六	一・〇八四〇	八〇	一・一三八〇
二七	一・〇八八七	八一	一・一四二八
二八	一・〇九三五	八二	一・一四七八
二九	一・〇九八五	八三	一・一五二九
三〇	一・一〇三六	八四	一・一五八二
三一	一・一〇八八	八五	一・一六三六
三二	一・一一四一	八六	一・一六九二
三三	一・一一九六	八七	一・一七四九
三四	一・一二五二	八八	一・一八〇八
三五	一・一三〇九	八九	一・一八六九
三六	一・一三六八	九〇	一・一九三一
三七	一・一四二八	九一	一・一九九五
三八	一・一四九〇	九二	一・二〇六一
三九	一・一五五三	九三	一・二一二九
四〇	一・一六一八	九四	一・二一九九
四一	一・一六八四	九五	一・二二七一
四二	一・一七五二	九六	一・二三四五
四三	一・一八二二	九七	一・二四二一
四四	一・一八九三	九八	一・二五〇〇
四五	一・一九六五	九九	一・二五八一
四六	一・二〇三九	一〇〇	一・二六六五
四七	一・二一一五		
四八	一・二一九三		
四九	一・二二七三		
五〇	一・二三五五		
五一	一・二四三九		
五二	一・二五二五		
五三	一・二六一三		

第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五六九
一	一・〇〇〇六	五五	一・〇五八八
二	一・〇〇二八	五六	一・〇六〇八
三	一・〇〇五一	五七	一・〇六二九
四	一・〇〇七五	五八	一・〇六五一
五	一・〇一〇〇	五九	一・〇六七四
六	一・〇一二六	六〇	一・〇六九八
七	一・〇一五三	六一	一・〇七二二
八	一・〇一八一	六二	一・〇七四八
九	一・〇二〇九	六三	一・〇七七四
一〇	一・〇二三八	六四	一・〇八〇一
一一	一・〇二六八	六五	一・〇八二九
一二	一・〇二九九	六六	一・〇八五八
一三	一・〇三三一	六七	一・〇八八八
一四	一・〇三六四	六八	一・〇九一九
一五	一・〇三九八	六九	一・〇九五一
一六	一・〇四三三	七〇	一・〇九八四
一七	一・〇四六九	七一	一・一〇一八
一八	一・〇五〇六	七二	一・一〇五三
一九	一・〇五四四	七三	一・一〇八九
二〇	一・〇五八三	七四	一・一一二六
二一	一・〇六二三	七五	一・一一六四
二二	一・〇六六四	七六	一・一二〇四
二三	一・〇七〇六	七七	一・一二四六
二四	一・〇七四九	七八	一・一二八九
二五	一・〇七九四	七九	一・一三三四
二六	一・〇八四〇	八〇	一・一三八〇
二七	一・〇八八七	八一	一・一四二八
二八	一・〇九三五	八二	一・一四七八
二九	一・〇九八五	八三	一・一五二九
三〇	一・一〇三六	八四	一・一五八二
三一	一・一〇八八	八五	一・一六三六
三二	一・一一四一	八六	一・一六九二
三三	一・一一九六	八七	一・一七四九
三四	一・一二五二	八八	一・一八〇八
三五	一・一三〇九	八九	一・一八六九
三六	一・一三六八	九〇	一・一九三一
三七	一・一四二八	九一	一・一九九五
三八	一・一四九〇	九二	一・二〇六一
三九	一・一五五三	九三	一・二一二九
四〇	一・一六一八	九四	一・二一九九
四一	一・一六八四	九五	一・二二七一
四二	一・一七五二	九六	一・二三四五
四三	一・一八二二	九七	一・二四二一
四四	一・一八九三	九八	一・二五〇〇
四五	一・一九六五	九九	一・二五八一
四六	一・二〇三九	一〇〇	一・二六六五
四七	一・二一一五		
四八	一・二一九三		
四九	一・二二七三		
五〇	一・二三五五		
五一	一・二四三九		
五二	一・二五二五		
五三	一・二六一三		

第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五六九
一	一・〇〇〇六	五五	一・〇五八八
二	一・〇〇二八	五六	一・〇六〇八
三	一・〇〇五一	五七	一・〇六二九
四	一・〇〇七五	五八	一・〇六五一
五	一・〇一〇〇	五九	一・〇六七四
六	一・〇一二六	六〇	一・〇六九八
七	一・〇一五三	六一	一・〇七二二
八	一・〇一八一	六二	一・〇七四八
九	一・〇二〇九	六三	一・〇七七四
一〇	一・〇二三八	六四	一・〇八〇一
一一	一・〇二六八	六五	一・〇八二九
一二	一・〇二九九	六六	一・〇八五八
一三	一・〇三三一	六七	一・〇八八八
一四	一・〇三六四	六八	一・〇九一九
一五	一・〇三九八	六九	一・〇九五一
一六	一・〇四三三	七〇	一・〇九八四
一七	一・〇四六九	七一	一・一〇一八
一八	一・〇五〇六	七二	一・一〇五三
一九	一・〇五四四	七三	一・一〇八九
二〇	一・〇五八三	七四	一・一一二六
二一	一・〇六二三	七五	一・一一六四
二二	一・〇六六四	七六	一・一二〇四
二三	一・〇七〇六	七七	一・一二四六
二四	一・〇七四九	七八	一・一二八九
二五	一・〇七九四	七九	一・一三三四
二六	一・〇八四〇	八〇	一・一三八〇
二七	一・〇八八七	八一	一・一四二八
二八	一・〇九三五	八二	一・一四七八
二九	一・〇九八五	八三	一・一五二九
三〇	一・一〇三六	八四	一・一五八二
三一	一・一〇八八	八五	一・一六三六
三二	一・一一四一	八六	一・一六九二
三三	一・一一九六	八七	一・一七四九
三四	一・一二五二	八八	一・一八〇八
三五	一・一三〇九	八九	一・一八六九
三六	一・一三六八	九〇	一・一九三一
三七	一・一四二八	九一	一・一九九五
三八	一・一四九〇	九二	一・二〇六一
三九	一・一五五三	九三	一・二一二九
四〇	一・一六一八	九四	一・二一九九
四一	一・一六八四	九五	一・二二七一
四二	一・一七五二	九六	一・二三四五
四三	一・一八二二	九七	一・二四二一
四四	一・一八九三	九八	一・二五〇〇
四五	一・一九六五	九九	一・二五八一
四六	一・二〇三九	一〇〇	一・二六六五
四七	一・二一一五		
四八	一・二一九三		
四九	一・二二七三		
五〇	一・二三五五		
五一	一・二四三九		
五二	一・二五二五		
五三	一・二六一三		

第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五六九
一	一・〇〇〇六	五五	一・〇五八八
二	一・〇〇二八	五六	一・〇六〇八
三	一・〇〇五一	五七	一・〇六二九
四	一・〇〇七五	五八	一・〇六五一
五	一・〇一〇〇	五九	一・〇六七四
六	一・〇一二六	六〇	一・〇六九八
七	一・〇一五三	六一	一・〇七二二
八	一・〇一八一	六二	一・〇七四八
九	一・〇二〇九	六三	一・〇七七四
一〇	一・〇二三八	六四	一・〇八〇一
一一	一・〇二六八	六五	一・〇八二九
一二	一・〇二九九	六六	一・〇八五八
一三	一・〇三三一	六七	一・〇八八八
一四	一・〇三六四	六八	一・〇九一九
一五	一・〇三九八	六九	一・〇九五一
一六	一・〇四三三	七〇	一・〇九八四
一七	一・〇四六九	七一	一・一〇一八
一八	一・〇五〇六	七二	一・一〇五三
一九	一・〇五四四	七三	一・一〇八九
二〇	一・〇五八三	七四	一・一一二六
二一	一・〇六二三	七五	一・一一六四
二二	一・〇六六四	七六	一・一二〇四
二三	一・〇七〇六	七七	一・一二四六
二四	一・〇七四九	七八	一・一二八九
二五	一・〇七九四	七九	一・一三三四
二六	一・〇八四〇	八〇	一・一三八〇
二七	一・〇八八七	八一	一・一四二八
二八	一・〇九三五	八二	一・一四七八
二九	一・〇九八五	八三	一・一五二九
三〇	一・一〇三六	八四	一・一五八二
三一	一・一〇八八	八五	一・一六三六
三二	一・一一四一	八六	一・一六九二
三三	一・一一九六	八七	一・一七四九
三四	一・一二五二	八八	一・一八〇八
三五	一・一三〇九	八九	一・一八六九
三六	一・一三六八	九〇	一・一九三一
三七	一・一四二八	九一	一・一九九五
三八	一・一四九〇	九二	一・二〇六一
三九	一・一五五三	九三	一・二一二九
四〇	一・一六一八	九四	一・二一九九
四一	一・一六八四	九五	一・二二七一
四二	一・一七五二	九六	一・二三四五
四三	一・一八二二	九七	一・二四二一
四四	一・一八九三	九八	一・二五〇〇
四五	一・一九六五	九九	一・二五八一
四六	一・二〇三九	一〇〇	一・二六六五
四七	一・二一一五		
四八	一・二一九三		
四九	一・二二七三		
五〇	一・二三五五		
五一	一・二四三九		
五二	一・二五二五		
五三	一・二六一三		

第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五六九
一	一・〇〇〇六	五五	一・〇五八八
二	一・〇〇二八	五六	一・〇六〇八
三	一・〇〇五一	五七	一・〇六二九
四	一・〇〇七五	五八	一・〇六五一
五	一・〇一〇〇	五九	一・〇六七四
六	一・〇一二六	六〇	一・〇六九八
七	一・〇一五三	六一	一・〇七二二
八	一・〇一八一	六二	一・〇七四八
九	一・〇二〇九	六三	一・〇七七四
一〇	一・〇二三八	六四	一・〇八〇一
一一	一・〇二六八	六五	一・〇八二九
一二	一・〇二九九	六六	一・〇八五八
一三	一・〇三三一	六七	一・〇八八八
一四	一・〇三六四	六八	一・〇九一九
一五	一・〇三九八	六九	一・〇九五一
一六	一・〇四三三	七〇	一・〇九八四
一七	一・〇四六九	七一	一・一〇一八
一八	一・〇五〇六	七二	一・一〇五三
一九	一・〇五四四	七三	一・一〇八九
二〇	一・〇五八三	七四	一・一一二六
二一	一・〇六二三	七五	一・一一六四
二二	一・〇六六四	七六	一・一二〇四
二三	一・〇七〇六	七七	一・一二四六
二四	一・〇七四九	七八	一・一二八九
二五	一・〇七九四	七九	一・一三三四
二六	一・〇八四〇	八〇	一・一三八〇
二七	一・〇八八七	八一	一・一四二八
二八	一・〇九三五	八二	一・一四七八
二九	一・〇九八五	八三	一・一五二九
三〇	一・一〇三六	八四	一・一五八二
三一	一・一〇八八	八五	一・一六三六
三二	一・一一四一	八六	一・一六九二
三三	一・一一九六	八七	一・一七四九
三四	一・一二五二	八八	一・一八〇八
三五	一・一三〇九	八九	一・一八六九
三六	一・一三六八	九〇	一・一九三一
三七	一・一四二八	九一	一・一九九五
三八	一・一四九〇	九二	一・二〇六一
三九	一・一五五三	九三	一・二一二九
四〇	一・一六一八	九四	一・二一九九
四一	一・一六八四	九五	一・二二七一
四二	一・一七五二	九六	一・二三四五
四三	一・一八二二	九七	一・二四二一
四四	一・一八九三	九八	一・二五〇〇
四五	一・一九六五	九九	一・二五八一
四六	一・二〇三九	一〇〇	一・二六六五
四七	一・二一一五		
四八	一・二一九三		
四九	一・二二七三		
五〇	一・二三五五		
五一	一・二四三九		
五二	一・二五二五		
五三	一・二六一三		

第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五六九
一	一・〇〇〇六	五五	一・〇五八八
二	一・〇〇二八	五六	一・〇六〇八
三	一・〇〇五一	五七	一・〇六二九
四	一・〇〇七五	五八	一・〇六五一
五	一・〇一〇〇	五九	一・〇六七四
六	一・〇一二六	六〇	一・〇六九八
七	一・〇一五三	六一	一・〇七二二
八	一・〇一八一	六二	一・〇七四八
九	一・〇二〇九	六三	一・〇七七四
一〇	一・〇二三八	六四	一・〇八〇一
一一	一・〇二六八	六五	一・〇八二九
一二	一・〇二九九	六六	一・〇八五八
一三	一・〇三三一	六七	一・〇八八八
一四	一・〇三六四	六八	一・〇九一九
一五	一・〇三九八	六九	一・〇九五一
一六	一・〇四三三	七〇	一・〇九八四
一七	一・〇四六九	七一	一・一〇一八
一八	一・〇五〇六	七二	一・一〇五三
一九	一・〇五四四	七三	一・一〇八九
二〇	一・〇五八三	七四	一・一一二六
二一	一・〇六二三	七五	一・一一六四
二二	一・〇六六四	七六	一・一二〇四
二三	一・〇七〇六	七七	一・一二四六
二四	一・〇七四九	七八	一・一二八九
二五	一・〇七九四	七九	一・一三三四
二六	一・〇八四〇	八〇	一・一三八〇
二七	一・〇八八七	八一	一・一四二八
二八	一・〇九三五	八二	一・一四七八
二九	一・〇九八五	八三	一・一五二九
三〇	一・一〇三六	八四	一・一五八二
三一	一・一〇八八	八五	一・一六三六
三二	一・一一四一	八六	一・一六九二
三三	一・一一九六	八七	一・一七四九
三四	一・一二五二	八八	一・一八〇八
三五	一・一三〇九	八九	一・一八六九
三六	一・一三六八	九〇	一・一九三一
三七	一・一四二八	九一	一・一九九五
三八	一・一四九〇	九二	一・二〇六一
三九	一・一五五三	九三	一・二一二九
四〇	一・一六一八	九四	一・二一九九
四一	一・一六八四	九五	一・二二七一
四二	一・一七五二	九六	一・二三四五
四三	一・一八二二	九七	一・二四二一
四四	一・一八九三	九八	一・二五〇〇
四五	一・一九六五	九九	一・二五八一
四六	一・二〇三九	一〇〇	一・二六六五
四七	一・二一一五		
四八	一・二一九三		
四九	一・二二七三		
五〇	一・二三五五		
五一	一・二四三九		
五二	一・二五二五		
五三	一・二六一三		

第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

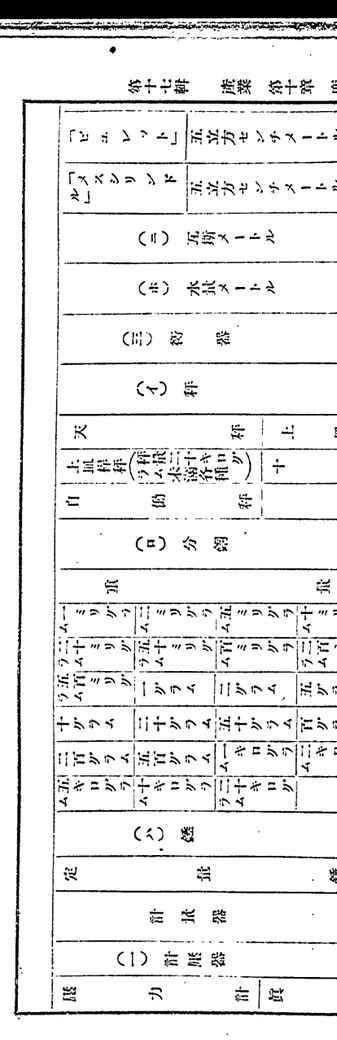
百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五六九
一	一・〇〇〇六	五五	一・〇五八八
二	一・〇〇二八	五六	一・〇六〇八
三	一・〇〇五一	五七	一・〇六二九
四	一・〇〇七五	五八	一・〇六五一
五	一・〇一〇〇	五九	一・〇六七四
六	一・〇一二六	六〇	一・〇六九八
七	一・〇一五三	六一	一・〇七二二
八	一・〇一八一	六二	一・〇七四八
九	一・〇二〇九	六三	一・〇七七四
一〇	一・〇二三八	六四	一・〇八〇一
一一	一・〇二六八	六五	一・〇八二九
一二	一・〇二九九	六六	一・〇八五八
一三	一・〇三三一	六七	一・〇八八八
一四	一・〇三六四	六八	一・〇九一九
一五	一・〇三九八	六九	一・〇九五一
一六	一・〇四三三	七〇	一・〇九八四
一七	一・〇四六九	七一	一・一〇一八
一八	一・〇五〇六	七二	一・一〇五三
一九	一・〇五四四	七三	一・一〇八九
二〇	一・〇五八三	七四	一・一一二六
二一	一・〇六二三	七五	一・一一六四
二二	一・〇六六四	七六	一・一二〇四
二三	一・〇七〇六	七七	一・一二四六
二四	一・〇七四九	七八	一・一二八九
二五	一・〇七九四	七九	一・一三三四
二六	一・〇八四〇	八〇	一・一三八〇
二七	一・〇八八七	八一	一・一四二八
二八	一・〇九三五	八二	一・一四七八
二九	一・〇九八五	八三	一・一五二九
三〇	一・一〇三六	八四	一・一五八二
三一	一・一〇八八	八五	一・一六三六
三二	一・一一四一	八六	一・一六九二
三三	一・一一九六	八七	一・一七四九
三四	一・一二五二	八八	一・一八〇八
三五	一・一三〇九	八九	一・一八六九
三六	一・一三六八	九〇	一・一九三一
三七	一・一四二八	九一	一・一九九五
三八	一・一四九〇	九二	一・二〇六一
三九	一・一五五三	九三	一・二一二九
四〇	一・一六一八	九四	一・二一九九
四一	一・一六八四	九五	一・二二七一
四二	一・一七五二	九六	一・二三四五
四三	一・一八二二	九七	一・二四二一
四四	一・一八九三	九八	一・二五〇〇
四五	一・一九六五	九九	一・二五八一
四六	一・二〇三九	一〇〇	一・二六六五
四七	一・二一一五		
四八	一・二一九三		
四九	一・二二七三		
五〇	一・二三五五		
五一	一・二四三九		
五二	一・二五二五		
五三	一・二六一三		

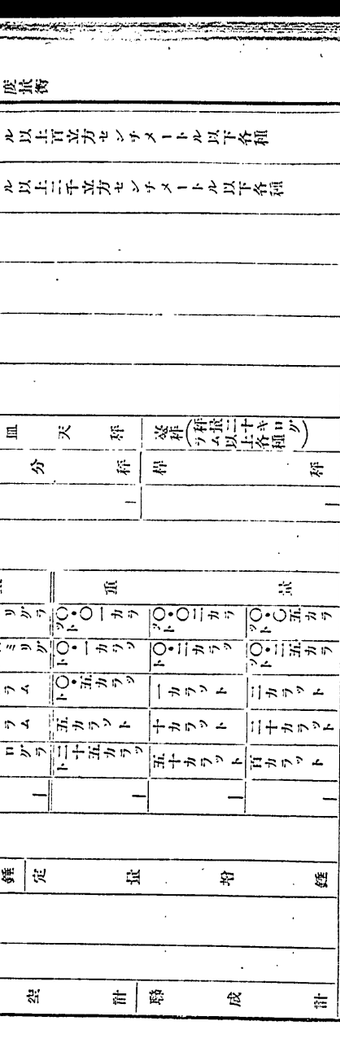
第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

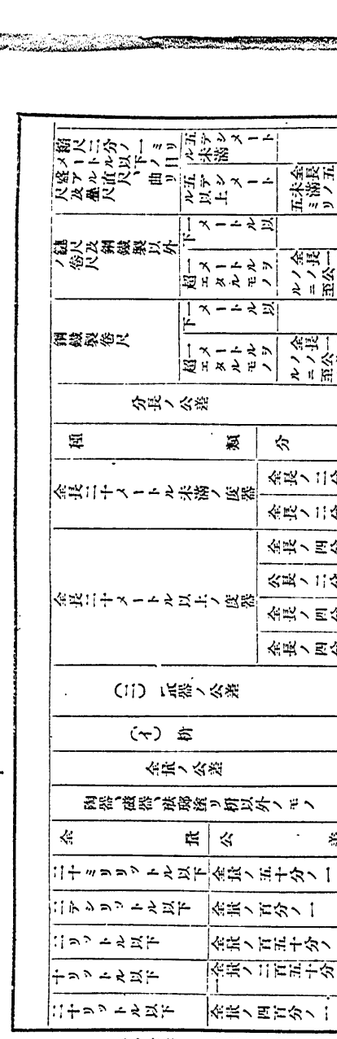
百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五六九
一	一・〇〇〇六	五五	一・〇五八八
二	一・〇〇二八	五六	一・〇六〇八
三	一・〇〇五一	五七	一・〇六二九
四	一・〇〇七五	五八	一・〇六五一
五	一・〇一〇〇	五九	一・〇六七四
六	一・〇一二六	六〇	一・〇六九八
七	一・〇一五三	六一	一・〇七二二
八	一・〇一八一	六二	一・〇七四八
九	一・〇二〇九	六三	一・〇七七四
一〇	一・〇二三八	六四	一・〇八〇一
一一	一・〇二六八	六五	一・〇八二九
一二	一・〇二九九	六六	一・〇八五八
一三	一・〇三三一	六七	一・〇八八八
一四	一・〇三六四	六八	一・〇九一九
一五	一・〇三九八	六九	一・〇九五一
一六	一・〇四三三	七〇	一・〇九八四
一七	一・〇四六九	七一	一・一〇一八
一八	一・〇五〇六	七二	一・一〇五三
一九	一・〇五四四	七三	一・一〇八九
二〇	一・〇五八三	七四	一・一一二六
二一	一・〇六二三	七五	一・一一六四
二二	一・〇六六四	七六	一・一二〇四
二三	一・〇七〇六	七七	一・一二四六
二四	一・〇七四九	七八	一・一二八九
二五	一・〇七九四	七九	一・一三三四
二六	一・〇八四〇	八〇	一・一三八〇
二七	一・〇八八七	八一	一・一四二八
二八	一・〇九三五	八二	一・一四七八
二九	一・〇九八五	八三	一・一五二九
三〇	一・一〇三六	八四	一・一五八二
三一	一・一〇八八	八五	一・一六三六
三二	一・一一四一	八六	一・一六九二
三三	一・一一九六	八七	一・一七四九
三四	一・一二五二	八八	一・一八〇八
三五	一・一三〇九	八九	一・一八六九
三六	一・一三六八	九〇	一・一九三一
三七	一・一四二八	九一	一・一九九五
三八	一・一四九〇	九二	一・二〇六一
三九	一・一五五三	九三	一・二一二九
四〇	一・一六一八	九四	一・二一九九
四一	一・一六八四	九五	一・二二七一
四二	一・一七五二	九六	一・二三四五
四三	一・一八二二	九七	一・二四二一
四四	一・一八九三	九八	一・二五〇〇
四五	一・一九六五	九九	一・二五八一
四六	一・二〇三九	一〇〇	一・二六六五
四七	一・二一一五		
四八	一・二一九三		
四九	一・二二七三		
五〇	一・二三五五		
五一	一・二四三九		
五二	一・二五二五		
五三	一・二六一三		

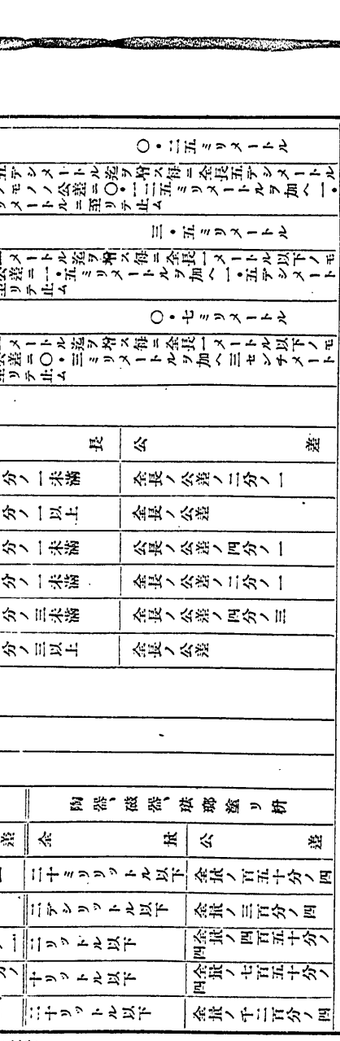
第三表　絹糸ノ水溶液（温度摂氏十七分度ニ於ケル粘度ヲ一トシテ）

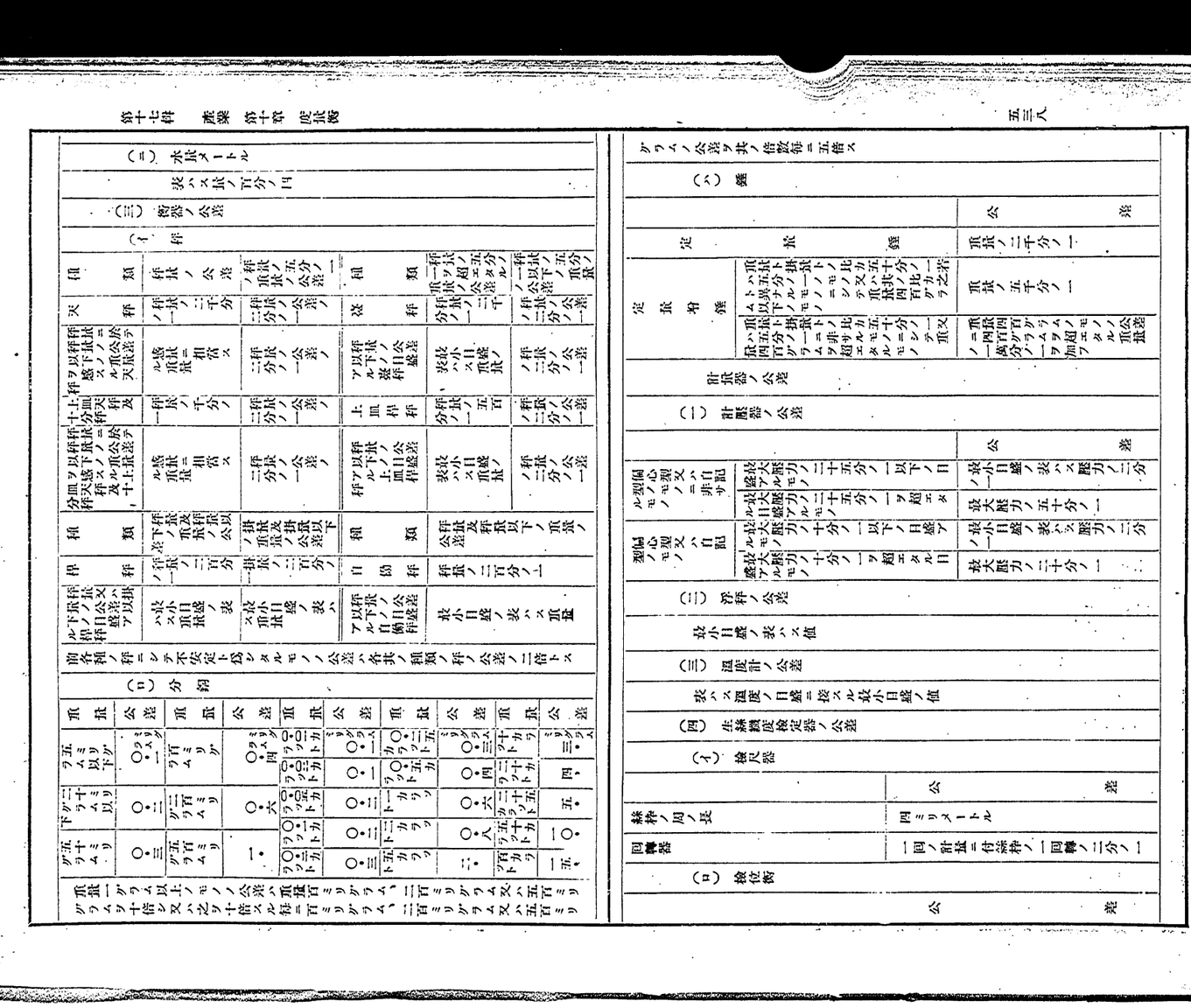
百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度	百粍分率	零度ノ温水度ニ対スル比度
〇	一・〇〇〇〇	五四	一・〇五

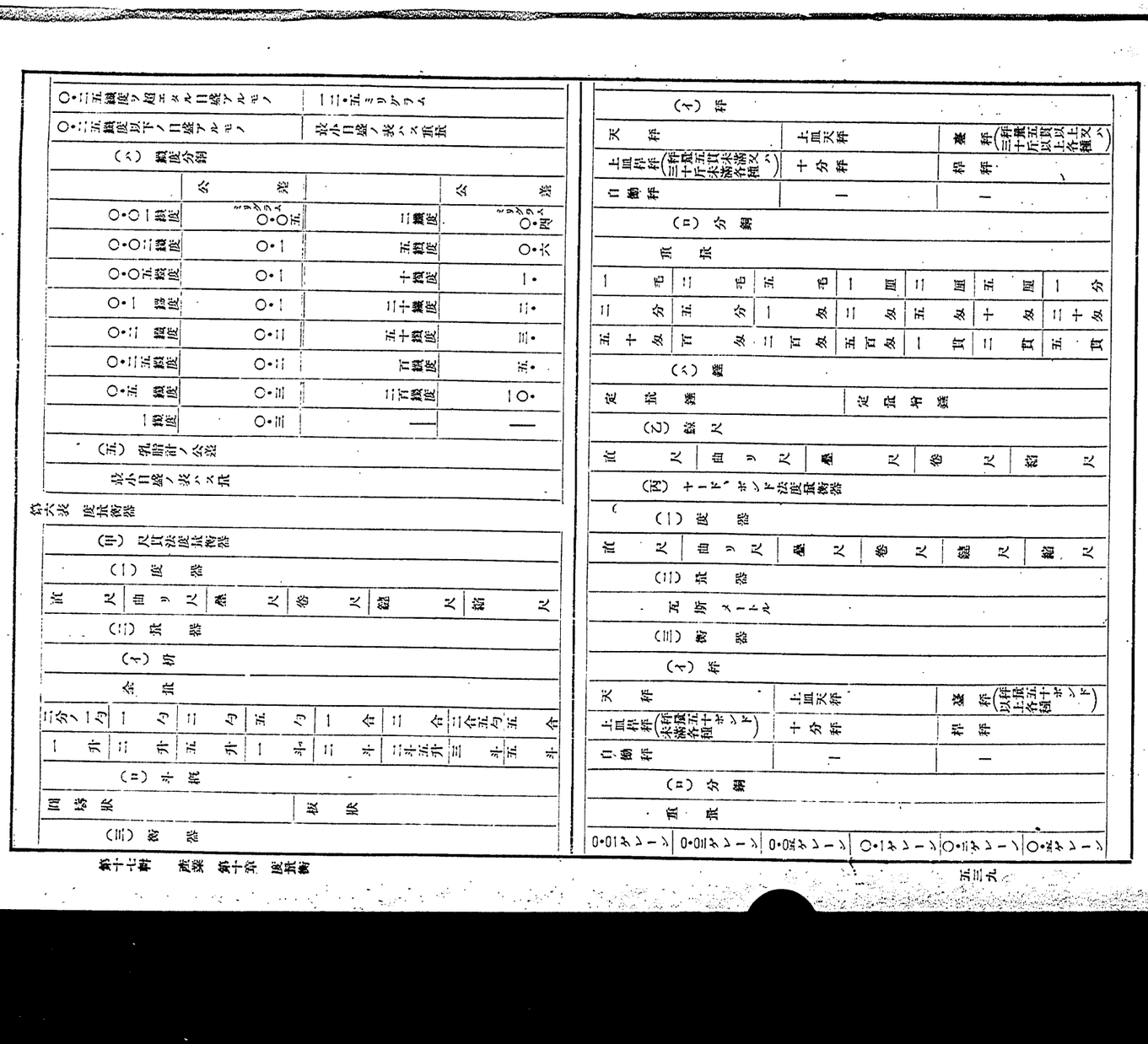


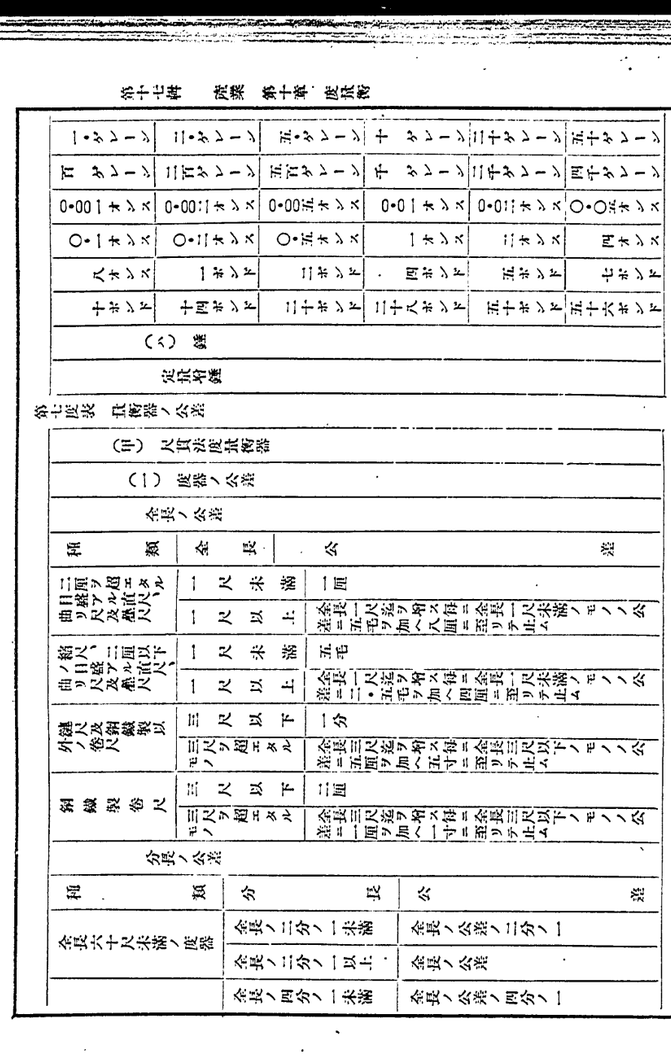


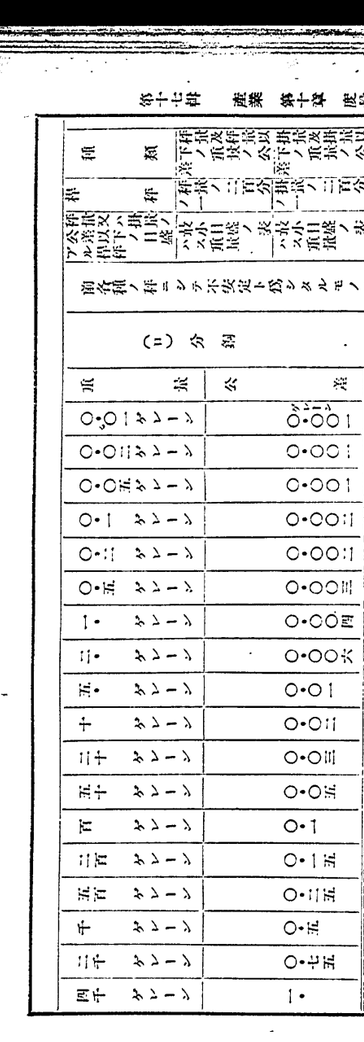


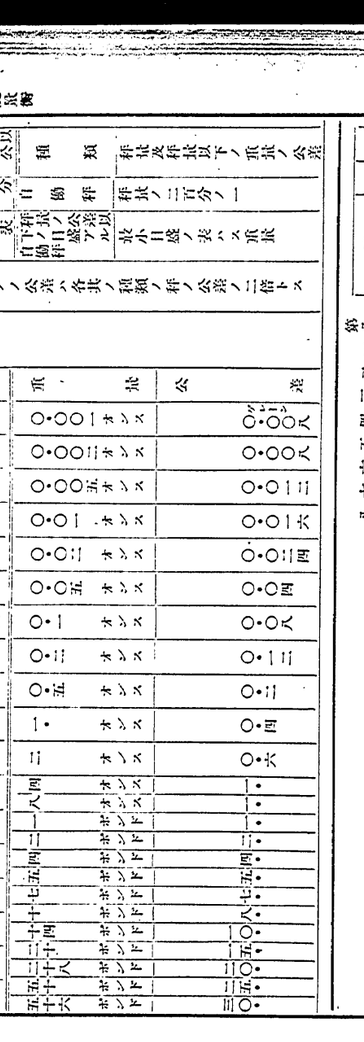


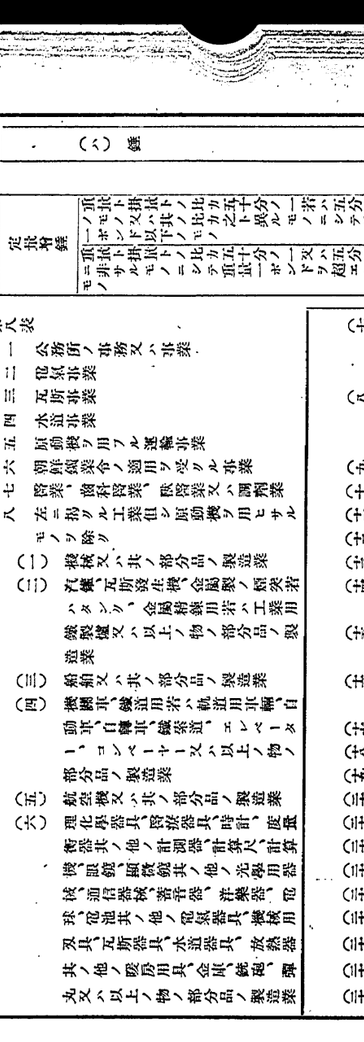


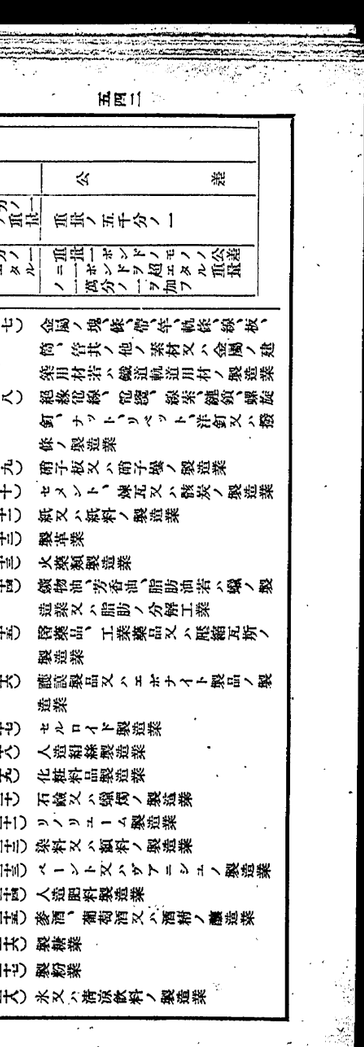












リットル以上ノモノニ在リテハ尙其ノ底ノ外面ニハ線目ナキ二箇ノ鐵帶ヲ交叉セシメ其ノ各鐵帶ノ兩端ハ外側ヲ通シテ其ノ上部ニ於ケル鐵板ノ下ニ挿入シテ之ヲ緊著シ底部ヲ堅牢ナル構造トス

十六　鐵棧又ハ鐵帶ヲ附著スル爲螺旋釘ヲ用フルトキハ捻戻シ難キ構造トスヘシ

十七　金屬製枡、陶器枡又ハ磁器枡ニハ其ノ內面ニ目盛ヲ爲スコトヲ得但シ金屬製枡ノ全量以外ノ目盛ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十八　口徑底部ノ徑ヨリ小ナル圓錐形枡ニハ全量以外ノ目盛ヲ爲スコトヲ得ス

十九　金屬製又ハ木製ノ液用枡ニハ其ノ側板ニ幅三十ミリメートル以上ノ玻璃板ヲ挿入シテ之ニ目盛ヲ爲シ又ハ堅牢ナル構造ニ依リ玻璃管ヲ連結シ之ニ目盛ヲ爲スコトヲ得

二十　枡ニ玻璃管ヲ連結シテ目盛ヲ爲シタル場合ニ在リテハ玻璃管以外ノ部分ノ徑及深サハ其ノ枡ノ全量ニ付第九號ノ寸法ヲ下ラサルコトヲ要ス

二十一　枡ノ底部ニ排出口ヲ設ケタルモノニ在リテハ零位ヲ表示スル目盛ヲ附スヘシ

二十二　全量一リットル以上ノ枡ノ全量ノ目盛ハ其ノ全周又ハ其ノ周ノ三分ノ一毎ニ之ヲ附スヘシ但シ水平ヲ定ムル裝置アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

二十三　全量一リットル未滿ノ枡ノ全量ノ目盛ハ其ノ全周ノ五分ノ一以上ニ之ヲ附スヘシ

二十四　枡ノ最小目盛間ノ距離ハ三ミリメートル以上ト爲スヘシ

二十五　枡ニハ注口、把手又ハ匙ヲ附スル

コトヲ得其ノ注口ヲ附スル場合ニ在リテハ注口ノ容量ハ全量二十リットル以下ノモノニ在リテハ全量ノ百分ノ一以下、全量二リットル以下ノモノニ在リテハ全量ノ五十分ノ一以下、全量二デシリットル以下ノモノニ在リテハ全量ノ三十分ノ一以下ト爲スヘシ

二十六　枡ニ注口ヲ附スル場合ニ在リテハ注口ノ容量ノ剩合ニ應シテ第九號ニ依ル深サヲ減シ其ノ注口ノ高サノ高サト同一ト爲スヘシ但シ全量ノ目盛アル枡ニ注口ヲ附スル場合ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

二十七　枡ノ口緣ニ接觸スル斗概ノ面ハ之ヲ平滑ト爲スヘシ

二十八　枡ニハ外側ニ其ノ全量ヲ倘木製製類用枡ニハ數用液類用枡ニハ液用ノ文字ヲ表記スヘシ

化學用計器

一　化學用計器ノ容量ハ其ノ計器カ十五度ノ溫度ヲ有スル場合ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

二　化學用計器ニ用フル玻璃ハ溫度ノ變化ニ依リ容易ニ破損シ難キモノヲ用フヘシ

三　化學用計器ノ目盛ヲ爲ス部分ハ之ヲ凹嵌形ト爲スヘシ

四　メスフラスコ及メスシリンドルハ之ヲ水平面上ニ置キタルトキ其ノ目盛ヲ爲セル部分カ垂直ト爲スコトヲ要ス

五　化學用計器ノ內側面ハ排水ノ場合ニ於テ殘留ヲ生セサル構造ト爲スヘシ

六　メスフラスコノ目盛アル部分ノ內徑ハ五ミリメートル以上ニシテ左ノ定限以內ナルコトヲ要ス

種類	內徑
二百立方センチメートル	二十五ミリメートル
五十立方センチメートル	二〇
百立方センチメートル	二五

九　金量ノミノ目盛アル「ピペット」ハ其ノ

金量十立方センチメートル未滿ノモノニ在リテハ十二秒以上一分以內、全量百立方センチメートル未滿ノモノニ在リテハ二十秒以上一分以內、全量百立方センチメートル以上ノモノニ在リテハ三十秒以上一分以內ニ其ノ全量ノ水ヲ排出スル構造ト爲スヘシ

十　「ビュレット」、「ピペット」及「メスシリンドル」ノ目盛ハ左ノ定限ニ依ルヘシ但シ「ピペット」ニハ全量ノミノ目盛ヲ爲スコトヲ得

種類	內徑
十立方センチメートル	二百五十立方センチメートル
二十五立方センチメートル	八
五十立方センチメートル	一〇
百立方センチメートル	一二
二百立方センチメートル	一二

七　金量ノミノ目盛アル「ピペット」ノ吸入管ノ長サハ百三十ミリメートル以上、其ノ排出管ニシテ目盛アルモノノ長サハ六十ミリメートル以上三百ミリメートル以下、其ノ目盛ナキモノノ長サハ三十ミリメートル以上三百ミリメートル以下ト爲スヘシ

金量ノミノ目盛アル「ピペット」ノ吸入管及排出管ノ目盛アル部分ノ內徑ハ六ミリメートル以下ト爲スヘシ

九　金量ノミノ目盛アル「ピペット」ハ其ノ

種類	目盛
立方センチメートル、五十分ノ一、二十分ノ一又ハ十分ノ一	二百立方センチメートル以下
立方センチメートル、二十分ノ一、十分ノ一又ハ五分ノ一	五百立方センチメートル以下
立方センチメートル、十分ノ一又ハ五分ノ一	千立方センチメートル以下
立方センチメートル、五分ノ一、二分ノ一又ハ一立方センチメートル	二千立方センチメートル以下
立方センチメートル、二分ノ一又ハ一立方センチメートル	五千立方センチメートル以下
立方センチメートル、一立方センチメートル	一万立方センチメートル以下
立方センチメートル、二立方センチメートル	二万立方センチメートル以下
立方センチメートル、五立方センチメートル	五万立方センチメートル以下
立方センチメートル、十立方センチメートル	十万立方センチメートル以下
立方センチメートル、二十立方センチメートル	二十万立方センチメートル以下
立方センチメートル、五十立方センチメートル	五十万立方センチメートル以下
立方センチメートル、百立方センチメートル	百万立方センチメートル以下

十一　化學用計器ノ目盛ニハ色ヲ施シ其ノ最小目盛間ノ距離ハ一ミリメートル以上ト爲スヘシ

十二　化學用計器ノ目盛ノ幅ハ最小目盛間ノ距離ノ十分ノ一以下ト爲シ〇・二ミリメートル以上ト爲スヘシ但シ全量ノミノ目盛アルモノニ在リテハ〇・四ミリメートル以下〇・二ミリメートル以上ト爲スヘシ

十三　化學用計器ノ全量ノ目盛ハ「メスフラスコ」及全量ノミノ目盛アル「ピペット」ニ在リテハ之ヲ全周ニ附シ其ノ他ノモノニ在リテハ全量及十倚每ノ目盛ハ之ヲ全周ノ五分ノ一以上ニ附スヘシ

十四　「メスフラスコ」ノ目盛ハ全量百立方センチメートル以上ノモノニ在リテハ其ノ頸部ノ上端ヨリ六十ミリメートル以上下端ヨリ二十ミリメートル以上ノ場所ニ、全量百立方センチメートル未滿ノモノニ在リテハ其ノ頸部ノ上端ヨリ三十ミリメートル以上下端ヨリ十ミリメートル以上ノ場所ニ之ヲ附スヘシ

十五　全量ノミノ目盛アル「ピペット」ノ吸入管ニ於ケル目盛ハ其ノ管ノ上端ヨリ百ミリメートル以上其ノ下端ヨリ十ミリメートル以上ノ場所ニ、排出管ニ於ケル目盛ハ其ノ管ノ兩端ヨリ三十ミリメートル以上ノ場所ニ之ヲ附スヘシ、

十六　全量及全量以外ノ目盛アル「ビュレット」及「ピューレット」ノ最高ノ目盛ハ管ノ上端ヨリ五十ミリメートル以上、最低ノ目盛ハ「ピペット」ニ在リテハ其ノ尖端ヨリ、「ピューレット」ニ在リテハ其ノ拂栓ノ連接部ヨリ各三十ミリメートル以上ノ場所ニ之ヲ附スヘシ

十七　「メスシリンドル」ノ徑ハ其ノ全量ヲ表示スル目盛ノ位置ニ於テ其ノ深サノ四分ノ一以下ノモノト爲スヘシ

十八　化學用計器ニハ外側ニ其ノ全量ヲ表記スヘシ

十九　「メスシリンドル」ニハmesocylinderノ文字ヲ表記スヘシ

種類

一　瓦斯メートル

瓦斯メートルハ乾式又ハ濕式ト爲スヘシ

二　瓦斯メートルノ外函

瓦斯メートルノ外函ハ金屬製ト爲シ其ノ外部ヨリ容易ニ內部ノ機械又ハ其ノ作用ヲ變更シ得サルモノト爲スヘシ

三　瓦斯メートルニ一定ノ壓力ノ瓦斯ヲ通過セシメ其ノ排出スル瓦斯ニ點火シタル場合ニ其ノ火焰ニ煤ヲ生セサルモノト爲スヘシ

四　瓦斯メートルニハ左ノ事項ヲ表記スヘシ

イ　入口又ハ出口ヲ表示スル標識又ハ符號及番號

ロ　計量簽又ハ計量筒ノ一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯ノ通過量

ハ　「アセチリン」瓦斯ノ計量ニ使用スルモノニハ其ノ旨表示

五　瓦斯メートルニハ其ノ大サノ種別ヲ表示スル爲慣行ニ依リ燈數又ハ一時間ノ瓦斯ノ通過量ヲ表記スルコトヲ得

六　乾式瓦斯メートルハ前各號ノ外左ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

イ　計量簽ノ伸縮ヲ爲ス部分ニハ揮發シ難キ油ヲ塗布シタル柔軟ナル革ニシテ容易ニ濕洩若ハ硬化セサルモノ又ハ之ト同等以上ノ耐力ヲ保チ得ヘキ材料ヲ用フヘシ

ロ　「フラッグロッド」ニ「フラッグ」又ハ「リンク」トノ取附ケ部分ハ嵌メ込ミト爲シ且鎹及鐵ヲ以テ緊著シテ離脫シ難キ構造又ハ之ト同等以上ノ耐力ヲ保チ得ヘキ構造ト爲スヘシ

ハ　最小目盛間ノ距離ハ一ミリメートル以上ト爲スヘシ

ニ　化學用計器ノ目盛ノ幅ハ最小目盛間ノ距離ノ十分ノ一以下ト爲シ〇・二ミリメートル以上ト爲スヘシ但シ漏式瓦斯メートルノ前各號（第六號ヲ除ク）ノ外左ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

イ　水面調整裝置ヲ附スヘシ

ロ　据附方ニ依リ計量ニ差ヲ生スルモノニハ水平ヲ定ムル裝置ヲ附スヘシ

ハ　前金瓦斯メートルハ前各號ニ依ルノ外之ニ投入スル貨幣ノ種類ト通過瓦斯量トヲ表記シ且其ノ表記ニ相當スル瓦斯量ヲ通過スル構造ノモノト爲スヘシ

一　水量メートル

水量メートルハ二平方センチメートルニ付十七キログラム五ノ水壓ニ耐フルモノト爲スヘシ

二　左ノ種類ノ水量メートルハ各少クトモ左ノ流速ニ於テ其ノ器差檢定公差ヲ超エザルモノト爲スヘシ

種類	流速
口徑十三ミリメートル以下	一時間ニ付百八十リットル
口徑十六ミリメートル以下	一時間ニ付二百二十リットル
口徑二十五ミリメートル以下	一時間ニ付三百リットル

三　水量メートルノ外函ノ接續部分ハ容易ニ分離シ得ザルモノト爲スヘシ但シ漏式以外ノ水量メートルノ表示盤ノ蓋ノ部分ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

四　圓盤式ノ水量メートルニ在リテハ其ノ入口ニ塵除ヲ附スヘシ

五　口徑二十五ミリメートルヲ超ユル水量メートルニ副管ヲ設ケ之ヲ口徑小ナル水量メートルヲ附シタル場合ニ於テハ本管ニハ自働彙ヲ附スヘシ

六　水量メートルニハ左ノ事項ヲ表記スヘシ

イ　入口又ハ出口ヲ表示スル標識又ハ符號

ロ　番號

ハ　口徑

七　濕式瓦斯メートルハ前各號（第六號ヲ除ク）ノ外左ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

イ　水面調整裝置ヲ附スヘシ

ロ　据附方ニ依リ計量ニ差ヲ生スルモノニハ水平ヲ定ムル裝置ヲ附スヘシ

ハ　前金瓦斯メートルハ前各號ニ依ルノ外之ニ投入スル貨幣ノ種類ト通過瓦斯量トヲ表記シ且其ノ表記ニ相當スル瓦斯量ヲ通過スル構造ノモノト爲スヘシ

八　化學用計器ニハ外側ニ其ノ全量ヲ表記スヘシ

九　「メスシリンドル」ニハmesocylinderノ文字ヲ表記スヘシ

十　瓦斯メートル

瓦斯メートルハ乾式又ハ濕式ト爲スヘシ

一　瓦斯メートルノ外函

瓦斯メートルノ外函ハ金屬製ト爲シ其ノ外部ヨリ容易ニ內部ノ機械又ハ其ノ作用ヲ變更シ得サルモノト爲スヘシ

二　瓦斯メートルニ一定ノ壓力ノ瓦斯ヲ通過セシメ其ノ排出スル瓦斯ニ點火シタル場合ニ其ノ火焰ニ煤ヲ生セサルモノト爲スヘシ

三　瓦斯メートルニハ左ノ事項ヲ表記スヘシ

イ　入口又ハ出口ヲ表示スル標識又ハ符號及番號

ロ　計量簽又ハ計量筒ノ一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯ノ通過量

ハ　「アセチリン」瓦斯ノ計量ニ使用スルモノニハ其ノ旨表示

四　瓦斯メートルニハ其ノ大サノ種別ヲ表示スル爲慣行ニ依リ燈數又ハ一時間ノ瓦斯ノ通過量ヲ表記スルコトヲ得

五

ノ四分ノ一以内、掛量アルモノニ在リテハ其ノ公差ノ四分ノ一以内（未製桿秤ニ在リテハ掛量ノ公差ノ二分ノ一以内）ノ重量ヲ加減シテ其ノ誤ミカ一致シ若ハ桿カ水平ト爲リ又ハ其ノ指針カ直點若ハ標點ヲ指スモ妨ナシ

十六　調子玉アル秤ノ支點ハ之ヲ一箇ト爲スヘシ

十七　天秤、秤量ノ千分ノ一未滿ノ目盛アル桿秤、上皿桿秤竝安定ト爲シタル臺秤及自働秤ニハ水平ヲ定ムル裝置ヲ爲スヘシ但シ鹽垂シテ使用スル構造ノ秤又ハ土地若ハ建物等ニ取附ケ使用シ又ハ其ノ臺ヲ傾斜スルモ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差以上ノ器差ヲ生セサル構造ノ臺秤ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十八　十分秤ハ其ノ兩臂ノ比ヲ十分ノ一又ハ百分ノ一ト爲スヘシ

十九　桿秤ノ支點ハ之ヲ二箇以下ト爲シ其ノ二箇ノ場合ニ在リテハ桿ノ表裏ニ之ヲ設ケ其ノ受ケ支點往ニ之ヲ附スヘシ

二十　桿秤ノ及及受ハ其ノ桿ヲ上下各四十五度ニ搖ルモ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差以上ノ器差ヲ生セサル構造ト爲スヘシ

二十一　秤ノ最小目盛間ノ距離ハ臺秤ニ在リテハ之ヲ一・五ミリメートル以上、上皿桿秤及秤量五百グラム以上ノ桿秤ニ在リテハ之ヲ一ミリメートル以上、五百グラム以下ノ桿秤ニ在リテハ之ヲ〇・五ミリメートル以上ト爲スヘシ

二十二　分銅、錘、增錘及增錘臺ニハ其ノ重量ヲ齊整スル爲容易ニ脫出セサル方法ニ依リ金屬ヲ塡充スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ塡充物ノ重量ハ增錘臺ヲ除クノ外重量ノ二十分ノ一ヲ超エサルコトヲ要ス

二十三　前號ニ依ル塡充物ノ穿口ハ容易ニ離脫又ハ拾戻シ得サル方法ニ依リ之ヲ緊塞スヘシ

二十四　分銅、錘、增錘又ハ增錘臺ニハ證印ヲ附シ若ハ塡充物ノ穿口ヲ緊塞スル爲メ

シタル象眼ノ面ハ其ノ周圍ノ面ヨリ隆起セシメサルコトヲ要ス

二十五　桿秤ハ定量錘若ハ定量增錘附ノモノト爲シ秤量ト其ノ錘又ハ增錘ノ重量トノ比ハ左表ニ依ルヘシ但シ金屬製桿秤ニシテ秤量五十グラム未滿ノモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

種類	秤量ト錘ノ重量トノ比
金屬製桿秤	三十キログラム以上　二十分ノ一 五百グラム以上　五十分ノ三 五十グラム以上　十分ノ一
骨製桿秤	十グラム以上二ツ取揃付　五分ノ一 一グラム以上一ツ取揃付　二分ノ一
木製桿秤	一　二十分ノ一
臺附桿秤	一　五分ノ一

二十六　定量增錘ノ重量ト掛量トノ比ハ臺秤ニ附屬セシムルモノニ在リテハ二百分ノ一、百分ノ一、五十分ノ一、上皿桿秤ニ附屬セシムルモノニ在リテハ五分ノ一ト爲スヘシ但シ秤量二百グラム以下ノ上皿桿秤ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

二十七　增錘ニハ掛量ヲ其ノ上面ニ表記シ倘定量增錘ニハ重量ト掛量トノ比ヲ附記スヘシ

二十八　安定ト爲シタル秤ハ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差ニ相當スル重量ヲ感シ臺秤及上皿桿秤ニ在リテハ桿ノ末端ニ於テ上下各二ミリメートル以上桿秤ニ在リテハ其ノ勾配三十分ノ一以上、度表アルモノ又ハ自働秤ニ在リテハ其ノ指針カ標點ノ左右又ハ上下ニ於テ最小目盛ノ各二分ノ一以上、度表ナクシテ睨ミノ設ケアル天秤、上皿天秤又ハ十分秤ニ在リテハ其ノ睨ミ又ハ指針カ一・五ミリメートル以上ノ移動ヲ其ノ靜止體ニ於テ認メ得ル構造ト爲スヘシ

二十九　不安定ト爲シタル秤ハ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ公差ニ相當スル重量ヲ感シ其ノ桿カ桿体メ迄移動シテ定著スル構造ト爲スヘシ

三十　秤ニハ定量錘、定量增錘、分銅及桿秤ヲ除クノ外其ノ桿ニ番號ヲ附スヘシ但シ天秤、上皿天秤、十分秤及自働秤ニハ支柱又ハ臺若ハ目盛盤ニ之ヲ附ス

六　分銅ノ形狀ハ之ヲ臺形又ハ圓壔形ト爲スヘシ但シ重量五百ミリグラム以下ノモノ及玻璃製ノモノニ在リテハ之ヲ板狀ト爲スコトヲ得

七　桿、桿杆又ハ臺ニ嵌入スル刃及承鉢ハ容易ニ離脫又ハ移動セサル構造ト爲スヘシ

八　刃ハ凹凸ナク刃受ノ面ハ本滑ナルコトヲ要ス

九　刃受ヲ圓形ト爲ス場合ニ在リテハ樞目ナキ構造ト爲スヘシ

十　目盛アル秤ニハ直點又ハ標點一箇以上ヲ其ノ桿上又ハ見易キ位置ニ表示スヘシ但シ秤量五百キログラム以上ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十一　安定ト爲シタル秤ニハ桿ノ位置又ハ感度ヲ規定スル爲度表若ハ睨ミヲ設クヘシ但シ桿体メアルモノ又ハ桿秤ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十二　安定ト爲シタル秤ニハ調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ヲ附スヘシ但シ秤量ノ千分ノ一以上ノ目盛アル桿秤及及受ヲ鹽垂シテ使用スル構造ノ天秤ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

十三　調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ハ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ秤量ノ公差ノ二倍以上ヲ加減シ得ル構造ト爲スヘシ

十四　調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ハ遊動セサル構造ト爲スヘシ

十五　安定ト爲シタル秤ニシテ調子玉又ハ直點若ハ標點ヲ調整スル裝置ナキモノハ其ノ指量ヲ調整スル裝置又ハ鍾ヲ直點ニ鹽ケタル場合ニ於テ其ノ睨ミカ一致シ若ハ其ノ桿カ水平ト爲リ又ハ其ノ指針カ直點若ハ標點ヲ指スカ構造ト爲スヘシ但シ朝鮮度量衡令施行規則第五表ノ秤量ノ公差

ルコトヲ得

三十一　天秤及上皿天秤ニハ其ノ秤量及感量ヲ臺ノ上面若ハ側面又ハ支柱ニ表記スヘシ

三十二　臺秤ニハ其ノ秤量ヲ臺ノ上面ニ表記スヘシ

三十三　上皿桿秤ニハ秤量ヲ其ノ桿ニ、盛止量ヲ其ノ量ヲ表示スル目盛ニ、桿秤ニハ盛出量、秤量及掛量ヲ其ノ量ヲ表示スル目盛ニ、自働秤ニハ秤量ヲ其ノ量ニ之ヲ附記スヘシ但シ桿秤ノ秤量ハ之ヲ盛出量ト併記スルコトヲ得

三十四　臺秤又ハ上皿桿秤ニシテ定量增錘附ノモノニハ增錘ノ重量ト掛量トノ比ヲ桿ニ表記スヘシ

三十五　桿秤ノ錘ニハ其ノ附屬スル秤ノ秤量ヲ其ノ側面ニ表記スヘシ

三十六　十分秤ニハ兩臂ノ比、秤量及感量ヲ支柱又ハ臺ニ表記スヘシ

三十七　分銅ニハ重量ヲ其ノ上面又ハ側面ニ表記スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ文字ヲ重量五ミリグラム以下ノモノニ在リテハ1・2・…5ト省略スルコトヲ得但シ左ノ重量及形狀ニ依ルモノニ在リテハ重量ノ表記ヲ要セス

六ミリグラム	六角形
二ミリグラム	三角形
一ミリグラム	四角形
〇・〇二カラット	四　形
〇・〇一カラット	三角形

三十八　桿ヨリ分離シ得ヘキ錘、增錘、增錘臺及皿ニハ桿上同一ノ番號ヲ表記スヘシ但シ定量錘及定量增錘ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八條　計量器ノ構造ハ第三條乃至第六條ノ外左ノ各號ニ依ルヘシ

一　計壓器

一　「アルドン」管又ハ波狀板ヲ用ヒタル計壓器ニハ檢定證印ヲ附スル爲其ノ上部又ハ側面ニ針金及金屬片ヲ附スヘシ

二　「アルドン」管又ハ波狀板ヲ用ヒタル計壓器ハ容易ニ內部ノ機械又ハ作用ヲ變更シ得サル構造ト爲スヘシ但シ前號ノ金屬片ニ檢定證印ヲ附スル爲ニ依リ封緘シ得ルモノハ此ノ限ニ在ラス

三　計壓器ニハ壓力ノ單位ヲ表記スヘシ

四　浮秤

一　浮秤ノ目盛ハ其ノ浮秤カ十五度ノ溫度ヲ有スル場合ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

二　浮秤ノ目盛ノ值ハ水際ノ上移ニ於テ之ヲ規定スルモノト爲スヘシ但シ特ニ規定スル方法ヲ表記スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

三　浮秤ノ目盛間ノ距離ハ五ミリメートル以下ト爲スヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

四　牛乳ノ密度ヲ計量スル爲用フル浮秤ニハ牛乳ノ密度ヨリ一ヲ減シテ千倍シタル目盛ヲ爲スコトヲ得

五　浮秤ニハ其ノ用途又ハ目盛ノ種類ヲ表記スヘシ但シ密度ノ值ノ目盛ヲ爲スモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

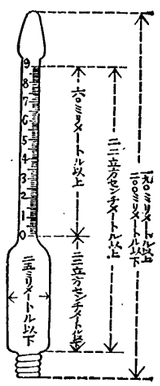
五　溫度計

一　溫度計ニ用フル玻璃ハ零點降下又ハ經年變化ヲ生シ難キモノタルヘシ

二　溫度計ノ目盛間ノ距離ハ五ミリメートル以下ト爲スヘシ但シ特殊ノ事由アルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

三　乳脂計ノ目盛ノ數ハ九十ト爲シ其ノ最小目盛間ノ容量ハ〇・〇一二五立方センチメートルト爲スヘシ

四　乳脂計ノ構造ハ前各號ノ外倘左ノ圖面ニ依ルヘシ



六　纖度分銅ニハ其ノ重量ヲ纖度ノ名稱ニ依リ上面又ハ側面ニ表記スヘシ但シ左ノ纖度及形狀ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

〇・一纖度六角形
〇・〇五纖度五角形
〇・〇二纖度四角形
〇・〇一纖度格別形

七　第七條衡器ノ規定中第六號及第三十七號ヲ除クノ外分銅ニ關スル規定ハ纖度分銅ニ之ヲ準用ス

乳脂計

一　乳脂計ノ容量ハ其ノ乳脂計カ十五度ノ溫度ヲ有スル場合ヲ標準トシテ之ヲ定ムヘシ

二　乳脂計ニ用フル玻璃ハ硬質ノモノタルヘシ

三　乳脂計ノ目盛ノ數ハ九十ト爲シ其ノ最小目盛間ノ容量ハ〇・〇一二五立方センチメートルト爲スヘシ

四　乳脂計ノ構造ハ前各號ノ外倘左ノ圖面ニ依ルヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮度量衡令施行規則第三十四條ニ依リ道知事ヲシテ檢定ヲ行ハシムル度量衡器

大正十五年四月總令第三十三號

朝鮮度量衡令施行規則第三十四條ノ規定ニ依リ道知事ヲシテ檢定ヲ行ハシムル度量衡器左ノ通定ム

一　臺秤
一　上皿桿秤
一　桿秤
一　上皿天秤
一　天秤
一　分銅、錘、增錘
一　自動秤
附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一　度

尺

● 價格及計量器ノ類、修繕、名稱、材料、製造、販賣、檢査、貸與、保存

昭和廿年三月末現在

昭和廿年三月末現在ノ内訳左ノ如シ

名稱	品質	構造	余	員	備考
曲尺	鐵製	折疊式	一	一	
同	同	同	一	一	
同	同	同	一	一	
同	同	同

| | | |

| | | |

化學用器

番號	名稱	品質構造	價額
一	乾燥器	同　硝子製　内部ニ磁製ノ棚板ヲ具フ	一、〇〇
二	同　ソメスフラスコ	同　容量　一〇〇c.c.	一、〇〇
三	同　ベヒトル	同　同　二〇〇c.c.	一、〇〇
四	同　同	同　同　三〇〇c.c.	一、〇〇
五	同　同	同　同　五〇〇c.c.	一、〇〇
六	同　同	同　同　一、〇〇〇c.c.	一、〇〇
七	同　同	同　同　二、〇〇〇c.c.	一、〇〇
八	同　同	同　同　三、〇〇〇c.c.	一、〇〇
九	同　同	同　同　五、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十	同　同	同　同　一〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十一	同　同	同　同　二〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十二	同　同	同　同　三〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十三	同　同	同　同　五〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十四	同　同	同　同　一〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十五	同　同	同　同　二〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十六	同　同	同　同　三〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十七	同　同	同　同　五〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十八	同　同	同　同　一、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
十九	同　同	同　同　二、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十	同　同	同　同　三、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十一	同　同	同　同　五、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十二	同　同	同　同　一〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十三	同　同	同　同　二〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十四	同　同	同　同　三〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十五	同　同	同　同　五〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十六	同　同	同　同　一〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十七	同　同	同　同　二〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十八	同　同	同　同　三〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
二十九	同　同	同　同　五〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十	同　同	同　同　一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十一	同　同	同　同　二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十二	同　同	同　同　三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十三	同　同	同　同　五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十四	同　同	同　同　一〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十五	同　同	同　同　二〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十六	同　同	同　同　三〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十七	同　同	同　同　五〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十八	同　同	同　同　一〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
三十九	同　同	同　同　二〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十	同　同	同　同　三〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十一	同　同	同　同　五〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十二	同　同	同　同　一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十三	同　同	同　同　二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十四	同　同	同　同　三、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十五	同　同	同　同　五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十六	同　同	同　同　一〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十七	同　同	同　同　二〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十八	同　同	同　同　三〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
四十九	同　同	同　同　五〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇
五十	同　同	同　同　一〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇c.c.	一、〇〇

漆器

番號	名稱	品質構造	價額
一	硯箱	同　木製四角形　大小　一組	四一八三

番號	名稱	型式	構造	材質	容積	價格	賣買價格
一	水立メートル	甲	鑄鐵製		一立	五圓	四圓
二	同	乙	同		同	四圓	三圓
三	同	丙	同		同	三圓	二圓
四	同	丁	同		同	二圓	一圓五〇錢
五	同	戊	同		同	一圓	七五錢
六	同	己	同		同	七五錢	五〇錢
七	同	庚	同		同	五〇錢	三五錢
八	同	辛	同		同	三五錢	二五錢
九	同	壬	同		同	二五錢	一五錢
一〇	同	癸	同		同	一五錢	一〇錢
一一	同	子	同		同	一〇錢	七錢
一二	同	丑	同		同	七錢	五錢
一三	同	寅	同		同	五錢	三錢
一四	同	卯	同		同	三錢	二錢
一五	同	辰	同		同	二錢	一錢五厘
一六	同	巳	同		同	一錢五厘	一錢
一七	同	午	同		同	一錢	七厘五毛
一八	同	未	同		同	七厘五毛	五厘
一九	同	申	同		同	五厘	三厘五毛
二〇	同	酉	同		同	三厘五毛	二厘五毛
二一	同	戌	同		同	二厘五毛	一厘五毛
二二	同	亥	同		同	一厘五毛	一厘
二三	同	甲	同		同	一厘	七毛五糸
二四	同	乙	同		同	七毛五糸	五毛
二五	同	丙	同		同	五毛	三毛五糸
二六	同	丁	同		同	三毛五糸	二毛五糸
二七	同	戊	同		同	二毛五糸	一毛五糸
二八	同	己	同		同	一毛五糸	一毛
二九	同	庚	同		同	一毛	七糸五忽
三〇	同	辛	同		同	七糸五忽	五糸
三一	同	壬	同		同	五糸	三糸五忽
三二	同	癸	同		同	三糸五忽	二糸五忽
三三	同	子	同		同	二糸五忽	一糸五忽
三四	同	丑	同		同	一糸五忽	一糸
三五	同	寅	同		同	一糸	七忽五微
三六	同	卯	同		同	七忽五微	五忽
三七	同	辰	同		同	五忽	三忽五微
三八	同	巳	同		同	三忽五微	二忽五微
三九	同	午	同		同	二忽五微	一忽五微
四〇	同	未	同		同	一忽五微	一忽
四一	同	申	同		同	一忽	七微五繊
四二	同	酉	同		同	七微五繊	五微
四三	同	戌	同		同	五微	三微五繊
四四	同	亥	同		同	二微五繊	一微五繊
四五	同	甲	同		同	一微五繊	一微
四六	同	乙	同		同	七繊五沙	五繊
四七	同	丙	同		同	五繊	三繊五沙
四八	同	丁	同		同	三繊五沙	二繊五沙
四九	同	戊	同		同	二繊五沙	一繊五沙
五〇	同	己	同		同	一繊五沙	一繊
五一	同	庚	同		同	一繊	七沙五塵
五二	同	辛	同		同	七沙五塵	五沙
五三	同	壬	同		同	五沙	三沙五塵
五四	同	癸	同		同	三沙五塵	二沙五塵
五五	同	子	同		同	二沙五塵	一沙五塵
五六	同	丑	同		同	一沙五塵	一沙
五七	同	寅	同		同	一沙	七塵五渺
五八	同	卯	同		同	七塵五渺	五塵
五九	同	辰	同		同	五塵	三塵五渺
六〇	同	巳	同		同	三塵五渺	二塵五渺
六一	同	午	同		同	二塵五渺	一塵五渺
六二	同	未	同		同	一塵五渺	一塵
六三	同	申	同		同	一塵	七渺五漠
六四	同	酉	同		同	七渺五漠	五渺
六五	同	戌	同		同	五渺	三渺五漠
六六	同	亥	同		同	二渺五漠	一渺五漠
六七	同	甲	同		同	一渺五漠	一渺
六八	同	乙	同		同	七漠五埃	五漠
六九	同	丙	同		同	五漠	三漠五埃
七〇	同	丁	同		同	三漠五埃	二漠五埃
七一	同	戊	同		同	二漠五埃	一漠五埃
七二	同	己	同		同	一漠五埃	一漠
七三	同	庚	同		同	一漠	七埃五
七四	同	辛	同		同	七埃五	五埃
七五	同	壬	同		同	五埃	三埃五
七六	同	癸	同		同	三埃五	二埃五
七七	同	子	同		同	二埃五	一埃五
七八	同	丑	同		同	一埃五	一埃
七九	同	寅	同		同	一埃	七五
八〇	同	卯	同		同	七五	五
八一	同	辰	同		同	五	三五
八二	同	巳	同		同	三五	二五
八三	同	午	同		同	二五	一五
八四	同	未	同		同	一五	一
八五	同	申	同		同	一	七厘五毛
八六	同	酉	同		同	七厘五毛	五厘
八七	同	戌	同		同	五厘	三厘五毛
八八	同	亥	同		同	二厘五毛	一厘五毛
八九	同	甲	同		同	一厘五毛	一厘
九〇	同	乙	同		同	七毛五糸	五毛
九一	同	丙	同		同	五毛	三毛五糸
九二	同	丁	同		同	三毛五糸	二毛五糸
九三	同	戊	同		同	二毛五糸	一毛五糸
九四	同	己	同		同	一毛五糸	一毛
九五	同	庚	同		同	一毛	七糸五忽
九六	同	辛	同		同	七糸五忽	五糸
九七	同	壬	同		同	五糸	三糸五忽
九八	同	癸	同		同	三糸五忽	二糸五忽
九九	同	子	同		同	二糸五忽	一糸五忽
一〇〇	同	丑	同		同	一糸五忽	一糸

番號	名稱	品質	材質	尺寸	重量	備註
一	上皿秤桿	合格	鑄鐵	三七×一二	一	校正後使用
二	下皿秤桿	合格	鑄鐵	三七×一二	一	校正後使用
三	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含十克至一克
四	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五克至一克
五	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二克至一克
六	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一克至一克
七	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
八	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
九	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
〇	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一一	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一二	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含十克至一克
一三	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一四	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一五	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一六	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一七	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一八	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一九	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
二〇	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
二一	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
二二	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
二三	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
二四	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
二五	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
二六	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
二七	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
二八	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
二九	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
三〇	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
三一	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
三二	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
三三	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
三四	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
三五	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
三六	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
三七	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
三八	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
三九	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
四〇	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
四一	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
四二	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
四三	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
四四	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
四五	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
四六	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
四七	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
四八	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
四九	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
五〇	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
五一	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
五二	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
五三	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
五四	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
五五	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
五六	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
五七	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
五八	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
五九	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
六〇	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
六一	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
六二	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
六三	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
六四	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
六五	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
六六	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
六七	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
六八	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
六九	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
七〇	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
七一	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
七二	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
七三	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
七四	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
七五	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
七六	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
七七	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
七八	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
七九	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
八〇	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
八一	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
八二	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
八三	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
八四	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
八五	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
八六	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
八七	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
八八	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
八九	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
九〇	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
九一	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
九二	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
九三	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
九四	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
九五	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
九六	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
九七	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
九八	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
九九	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一〇〇	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克

番號	名稱	品質	材質	尺寸	重量	備註
一〇一	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一〇二	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一〇三	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一〇四	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一〇五	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一〇六	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一〇七	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一〇八	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一〇九	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一一〇	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一一一	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一一二	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一一三	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一一四	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一一五	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一一六	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一一七	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一一八	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一一九	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一二〇	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一二一	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一二二	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一二三	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一二四	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一二五	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一二六	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一二七	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一二八	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一二九	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一三〇	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一三一	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一三二	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一三三	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一三四	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一三五	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一三六	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一三七	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一三八	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一三九	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一四〇	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一四一	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一四二	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一四三	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一四四	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一四五	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一四六	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一四七	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一四八	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一四九	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一五〇	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一五一	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一五二	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一五三	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一五四	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一五五	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一五六	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一五七	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一五八	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一五九	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一六〇	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一六一	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一六二	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一六三	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一六四	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一六五	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一六六	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一六七	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一六八	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一六九	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一七〇	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一七一	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一七二	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一七三	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一七四	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一七五	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一七六	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一七七	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一七八	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一七九	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一八〇	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一八一	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一八二	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一八三	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一八四	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一八五	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一八六	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一八七	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一八八	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一八九	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一九〇	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
一九一	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克
一九二	砝碼組	合格	黃銅	一〇	一	含一十克至一克
一九三	砝碼組	合格	黃銅	五	一	含五克至一克
一九四	砝碼組	合格	黃銅	二	一	含二克至一克
一九五	砝碼組	合格	黃銅	一	一	含一克至一克
一九六	砝碼組	合格	黃銅	五〇〇	一	含五百克至一克
一九七	砝碼組	合格	黃銅	二〇〇	一	含二百克至一克
一九八	砝碼組	合格	黃銅	一〇〇	一	含一百克至一克
一九九	砝碼組	合格	黃銅	五〇	一	含五十克至一克
二〇〇	砝碼組	合格	黃銅	二〇	一	含二十克至一克

自動秤

番號	名稱	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇
一	自働手押上皿秤	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二	小包料金斜面製肝油入	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
三	品質表示札	二百	二百	五十	七百	二百	五十	二百	二百	一百	二四	二三	百二	七十	三五						
四	瓦斯消費量計	五百	十		五百		十	十			五十	百	十	五十	十						
五	瓦斯消費量計	二五一	一五	二一	一五	二百	百五	二百	百五	一百	一五	1/2	1/4	1/8	1/16						
六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
一九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
二九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
三九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
四九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
五九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
六〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
六一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
六二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
六三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
六四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
六五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						
六六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦						

分銅

番號	名稱	三一	三〇	二九	二八	二七
一	自働手押上皿秤	同	同	同	同	同
二	小包料金斜面製肝油入	丙	乙	甲	乙	丙
三	品質表示札	四百	四百	三百	三百	三百
四	瓦斯消費量計	五	五	十二	十二	十二
五	瓦斯消費量計	百五	百五	百五	百五	百五
六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
一九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
二九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
三九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
四九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五七	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五八	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
五九	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
六〇	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
六一	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
六二	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
六三	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
六四	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
六五	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦
六六	瓦斯消費量計	瓦	瓦	瓦	瓦	瓦

| 番號 | 名稱 | 品 | 爻 | 卦 | 此卦之錢 | 之卦 | 之卦 | 之卦

番號	名稱	品質	計量器	計量器附屬品	原質價格
一	壓力計	鐵製	壓力計	附屬品ナシ	一圓
二	同	同	同	同	二圓
三	同	同	同	同	三圓
四	同	同	同	同	四圓
五	同	同	同	同	五圓
六	同	同	同	同	六圓
七	同	同	同	同	七圓
八	同	同	同	同	八圓
九	同	同	同	同	九圓
一〇	同	同	同	同	一〇圓
一一	同	同	同	同	一一圓
一二	同	同	同	同	一二圓
一三	同	同	同	同	一三圓
一四	同	同	同	同	一四圓
一五	同	同	同	同	一五圓
一六	同	同	同	同	一六圓
一七	同	同	同	同	一七圓
一八	同	同	同	同	一八圓
一九	同	同	同	同	一九圓
二〇	同	同	同	同	二〇圓
二一	同	同	同	同	二一圓
二二	同	同	同	同	二二圓
二三	同	同	同	同	二三圓
二四	同	同	同	同	二四圓
二五	同	同	同	同	二五圓
二六	同	同	同	同	二六圓
二七	同	同	同	同	二七圓
二八	同	同	同	同	二八圓
二九	同	同	同	同	二九圓
三〇	同	同	同	同	三〇圓
三一	同	同	同	同	三一圓
三二	同	同	同	同	三二圓
三三	同	同	同	同	三三圓
三四	同	同	同	同	三四圓
三五	同	同	同	同	三五圓
三六	同	同	同	同	三六圓
三七	同	同	同	同	三七圓
三八	同	同	同	同	三八圓
三九	同	同	同	同	三九圓
四〇	同	同	同	同	四〇圓
四一	同	同	同	同	四一圓
四二	同	同	同	同	四二圓
四三	同	同	同	同	四三圓
四四	同	同	同	同	四四圓
四五	同	同	同	同	四五圓
四六	同	同	同	同	四六圓
四七	同	同	同	同	四七圓
四八	同	同	同	同	四八圓
四九	同	同	同	同	四九圓
五〇	同	同	同	同	五〇圓
五一	同	同	同	同	五一圓
五二	同	同	同	同	五二圓
五三	同	同	同	同	五三圓
五四	同	同	同	同	五四圓
五五	同	同	同	同	五五圓
五六	同	同	同	同	五六圓

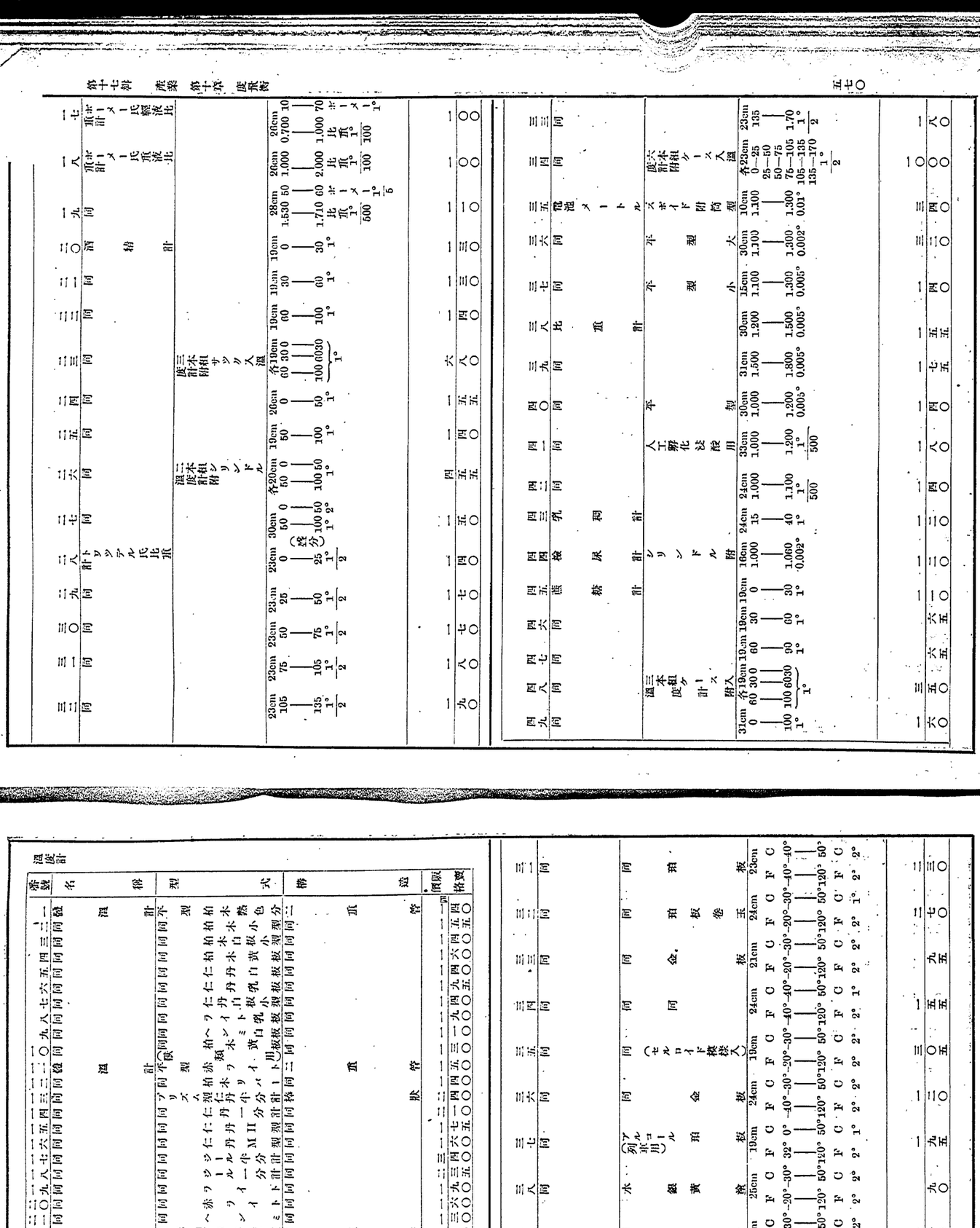
番號	名稱	品質	計量器	計量器附屬品	原質價格
一	同	同	同	同	一圓
二	同	同	同	同	二圓
三	同	同	同	同	三圓
四	同	同	同	同	四圓
五	同	同	同	同	五圓
六	同	同	同	同	六圓
七	同	同	同	同	七圓
八	同	同	同	同	八圓
九	同	同	同	同	九圓
一〇	同	同	同	同	一〇圓
一一	同	同	同	同	一一圓
一二	同	同	同	同	一二圓
一三	同	同	同	同	一三圓
一四	同	同	同	同	一四圓
一五	同	同	同	同	一五圓
一六	同	同	同	同	一六圓
一七	同	同	同	同	一七圓
一八	同	同	同	同	一八圓
一九	同	同	同	同	一九圓
二〇	同	同	同	同	二〇圓
二一	同	同	同	同	二一圓
二二	同	同	同	同	二二圓
二三	同	同	同	同	二三圓
二四	同	同	同	同	二四圓
二五	同	同	同	同	二五圓
二六	同	同	同	同	二六圓
二七	同	同	同	同	二七圓
二八	同	同	同	同	二八圓
二九	同	同	同	同	二九圓
三〇	同	同	同	同	三〇圓
三一	同	同	同	同	三一圓
三二	同	同	同	同	三二圓
三三	同	同	同	同	三三圓
三四	同	同	同	同	三四圓
三五	同	同	同	同	三五圓
三六	同	同	同	同	三六圓
三七	同	同	同	同	三七圓
三八	同	同	同	同	三八圓
三九	同	同	同	同	三九圓
四〇	同	同	同	同	四〇圓
四一	同	同	同	同	四一圓
四二	同	同	同	同	四二圓
四三	同	同	同	同	四三圓
四四	同	同	同	同	四四圓
四五	同	同	同	同	四五圓
四六	同	同	同	同	四六圓
四七	同	同	同	同	四七圓
四八	同	同	同	同	四八圓
四九	同	同	同	同	四九圓
五〇	同	同	同	同	五〇圓
五一	同	同	同	同	五一圓
五二	同	同	同	同	五二圓
五三	同	同	同	同	五三圓
五四	同	同	同	同	五四圓
五五	同	同	同	同	五五圓
五六	同	同	同	同	五六圓

番號	名稱	品質	計量器	計量器附屬品	原質價格
一	同	同	同	同	一圓
二	同	同	同	同	二圓
三	同	同	同	同	三圓
四	同	同	同	同	四圓
五	同	同	同	同	五圓
六	同	同	同	同	六圓
七	同	同	同	同	七圓
八	同	同	同	同	八圓
九	同	同	同	同	九圓
一〇	同	同	同	同	一〇圓
一一	同	同	同	同	一一圓
一二	同	同	同	同	一二圓
一三	同	同	同	同	一三圓
一四	同	同	同	同	一四圓
一五	同	同	同	同	一五圓
一六	同	同	同	同	一六圓
一七	同	同	同	同	一七圓
一八	同	同	同	同	一八圓
一九	同	同	同	同	一九圓
二〇	同	同	同	同	二〇圓
二一	同	同	同	同	二一圓
二二	同	同	同	同	二二圓
二三	同	同	同	同	二三圓
二四	同	同	同	同	二四圓
二五	同	同	同	同	二五圓
二六	同	同	同	同	二六圓
二七	同	同	同	同	二七圓
二八	同	同	同	同	二八圓
二九	同	同	同	同	二九圓
三〇	同	同	同	同	三〇圓
三一	同	同	同	同	三一圓
三二	同	同	同	同	三二圓
三三	同	同	同	同	三三圓
三四	同	同	同	同	三四圓
三五	同	同	同	同	三五圓
三六	同	同	同	同	三六圓
三七	同	同	同	同	三七圓
三八	同	同	同	同	三八圓
三九	同	同	同	同	三九圓
四〇	同	同	同	同	四〇圓
四一	同	同	同	同	四一圓
四二	同	同	同	同	四二圓
四三	同	同	同	同	四三圓
四四	同	同	同	同	四四圓
四五	同	同	同	同	四五圓
四六	同	同	同	同	四六圓
四七	同	同	同	同	四七圓
四八	同	同	同	同	四八圓
四九	同	同	同	同	四九圓
五〇	同	同	同	同	五〇圓
五一	同	同	同	同	五一圓
五二	同	同	同	同	五二圓
五三	同	同	同	同	五三圓
五四	同	同	同	同	五四圓
五五	同	同	同	同	五五圓
五六	同	同	同	同	五六圓

番號	名稱	品質	計量器	計量器附屬品	原質價格
一	同	同	同	同	一圓
二	同	同	同	同	二圓
三	同	同	同	同	三圓
四	同	同	同	同	四圓
五	同	同	同	同	五圓
六	同	同	同	同	六圓
七	同	同	同	同	七圓
八	同	同	同	同	八圓
九	同	同	同	同	九圓
一〇	同	同	同	同	一〇圓
一一	同	同	同	同	一一圓
一二	同	同	同	同	一二圓
一三	同	同	同	同	一三圓
一四	同	同	同	同	一四圓
一五	同	同	同	同	一五圓
一六	同	同	同	同	一六圓
一七	同	同	同	同	一七圓
一八	同	同	同	同	一八圓
一九	同	同	同	同	一九圓
二〇	同	同	同	同	二〇圓
二一	同	同	同	同	二一圓
二二	同	同	同	同	二二圓
二三	同	同	同	同	二三圓
二四	同	同	同	同	二四圓
二五	同	同	同	同	二五圓
二六	同	同	同	同	二六圓
二七	同	同	同	同	二七圓
二八	同	同	同	同	二八圓
二九	同	同	同	同	二九圓
三〇	同	同	同	同	三〇圓
三一	同	同	同	同	三一圓
三二	同	同	同	同	三二圓
三三	同	同	同	同	三三圓
三四	同	同	同	同	三四圓
三五	同	同	同	同	三五圓
三六	同	同	同	同	三六圓
三七	同	同	同	同	三七圓
三八	同	同	同	同	三八圓
三九	同	同	同	同	三九圓
四〇	同	同	同	同	四〇圓
四一	同	同	同	同	四一圓
四二	同	同	同	同	四二圓
四三	同	同	同	同	四三圓
四四	同	同	同	同	四四圓
四五	同	同	同	同	四五圓
四六	同	同	同	同	四六圓
四七	同	同	同	同	四七圓
四八	同	同	同	同	四八圓
四九	同	同	同	同	四九圓
五〇	同	同	同	同	五〇圓
五一	同	同	同	同	五一圓
五二	同	同	同	同	五二圓
五三	同	同	同	同	五三圓
五四	同	同	同	同	五四圓
五五	同	同	同	同	五五圓
五六	同	同	同	同	五六圓

| | | |

| | | |



九七	九六	九五	九四	九三	九二	九一	九〇	八九	八八	八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	
狀	同	同	狀	同	狀	狀	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
低	同	同	落	同	落	落	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
溫			溫		低	低												
度			度		溫	溫												
計			計		度	度												
ヨア	同	同	氷	同	同	ヱ氷	同	氷	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
ル			銀			デルジン銀												
ルサホ	ヲ	同	ルサホ	立		ルツツス		赤楊入(酸)溫		同	赤楊入注藥用	赤楊入十六牌ノ中ノ身	同	同	金楊入(鹽)溫川	金楊入(鹽)溫川	金楊入(鹽)溫川	
ト氏	烈		ト氏	烈		氏	烈		烈		烈							
36cm	37cm	36cm	36cm	34cm	23cm	77cm	36cm	44cm	76cm	33cm	36cm	30cm	31cm	33cm	39cm	43cm	30cm	
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	
−45°	−30°	−30°	−20°	−40°	−50°	−40°	−40°	−10°	−40°	100°	0°	0°	0°	−30°	−20°	−20°	−20°	−20°
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
45°	60°	60°	60°	60°	45°	120°	60°	40°	200°	100°	80°	80°	60°	100°	100°	60°	300°	100°
C	C	C	C	C	C	F	C	C	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C
1° / 2	1° / 6	1° / 6	1° / 2	1° / 2	2°	1°	1°	1° / 5	2°	1°	1°	1° / 2	1°	1°	1°	1° / 5	1° / 2	1° / 2

一七	七	五	二	二	一	四	七	二	五	一	一	三	一	二	四	一	四
六七	七	八	三	三	四	九	五	六	九	九	八	九	八	一	五	五	五
〇	〇	五	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

一二	一二	一二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一三	一二	一二	〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	〇	九	八	七	六
同	同	計	曲	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
			脊地中川溫度														
三	二	十	同	無	二重脊髓造	二重脊髓造	二重銀	二重脊髓床	二重脊湯メトル	磁	磁	磁	ヒラミッド石	ルビー石	ルビー石	ルビー石	ルビー石
十	十	輝	輝	留	川	川	川	川	川	入	入	入	上川	上川	上川	上川	上川
輝	輝	曲	曲	點	點	點	點	點	點	附	附	附	入	入	入	入	入
28cm	28cm	27cm	21cm	21cm	21cm	26cm	20cm	3cm	6cm	18cm	12cm	10cm	36cm	36cm	36cm	36cm	36cm
C	C	C	F	C	F	C	F	C	F	C	F	C	F	C	C	C	C
−25°	−25°	−35°	30°	0°	30°	0°	32°	0°	20°	0°	30°	0°	0°	−20°	−20°	−20°	−20°	−20°
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
60°	60°	50°	140°	60°	140°	60°	150°	60°	120°	50°	212°	100°	120°	50°	120°	60°	120°	60°
C	C	C	F	C	F	C	F	C	F	C	F	C	F	C	F	C	F	C
1° / 2	1° / 2	1° / 2	2°	1°	2°	1°	2°	1°	1°	1°	1°	1°	2°	2°	2°	2°	2°	1°

五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
水	水	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
30cm	15cm	30cm	30cm	90cm	75cm	60cm	45cm	30cm	22cm	33cm	21cm	24cm	25cm	26cm			
C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C			
−90°	0°	−40°	−60°	−20°	−90°	0°	−20°	−30°	−30°	−20°	−30°	90°	0°	−40°			
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—			
60°	60°	100°	100°	60°	120°	60°	120°	60°	120°	60°	120°	60°	120°	60°			
C	C	C	C	F	C	F	C	F	C	F	C	F	C	F			
1°	1°	1°	1°	2°	1°	2°	1°	2°	1°	2°	1°	2°	2°	2°			

六〇	五九	五八	五七	五六	五五	五四	五三	五二	五一	五〇	四九	四八	四七	四六	四五	四四	四三	四二	四一	四〇	
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
水	水	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ	ヨ
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル	ル
30cm	3.3cm	28cm	30cm	33cm	36cm	36cm	36cm	36cm	30cm	30cm	33cm	36cm	36cm	36cm	36cm	36cm	36cm	36cm	36cm	36cm	36cm
C	C	C	C	C	F	F	F	F	F	F	F	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
0°	0°	−15°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	0°	−30°
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
100°	150°	50°	50°	50°	800°	700°	600°	500°	400°	300°	210°	400°	360°	300°	250°	200°	150°	100°			
C	C	C	C	C	F	F	F	F	F	F	F	C	C	C	C	C	C	C			
1° / 2	1° / 2	1° / 2	1° / 2	1° / 2	2°	2°	2°	2°	2°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°	1°			

一四	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
四〇	三七	三〇	二八	二六	二四	二二	二〇	一八	一六	一四	一二	一〇	七	五	三	一	九〇
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

器

器名	度	種	類	級	價格
ガス熔接器	分ニ条ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	一、〇〇〇	一	五、〇〇〇
	分三条ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	一、二〇〇	一	六、〇〇〇
	分四条ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	一、三〇〇	一	七、〇〇〇
	分五条ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	一、四〇〇	一	八、〇〇〇
	分六条ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	一、五〇〇	一	九、〇〇〇
	分八条ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	一、七〇〇	一	一〇、〇〇〇
	分一寸ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	二、〇〇〇	一	一二、〇〇〇
	分一寸五分ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	二、五〇〇	一	一五、〇〇〇
	分二寸ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	三、〇〇〇	一	一八、〇〇〇
	分二寸五分ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	三、五〇〇	一	二一、〇〇〇
	分三寸ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	四、〇〇〇	一	二四、〇〇〇
	分四寸ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	四、五〇〇	一	二七、〇〇〇
	分五寸ノ厚サ迄ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノ	一個ニ付	五、〇〇〇	一	三〇、〇〇〇

備考　一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

二十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

三十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

四十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

五十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

六十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

七十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

八十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

九十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百二十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百三十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百四十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十八　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百五十九　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百六十　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百六十一　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百六十二　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百六十三　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

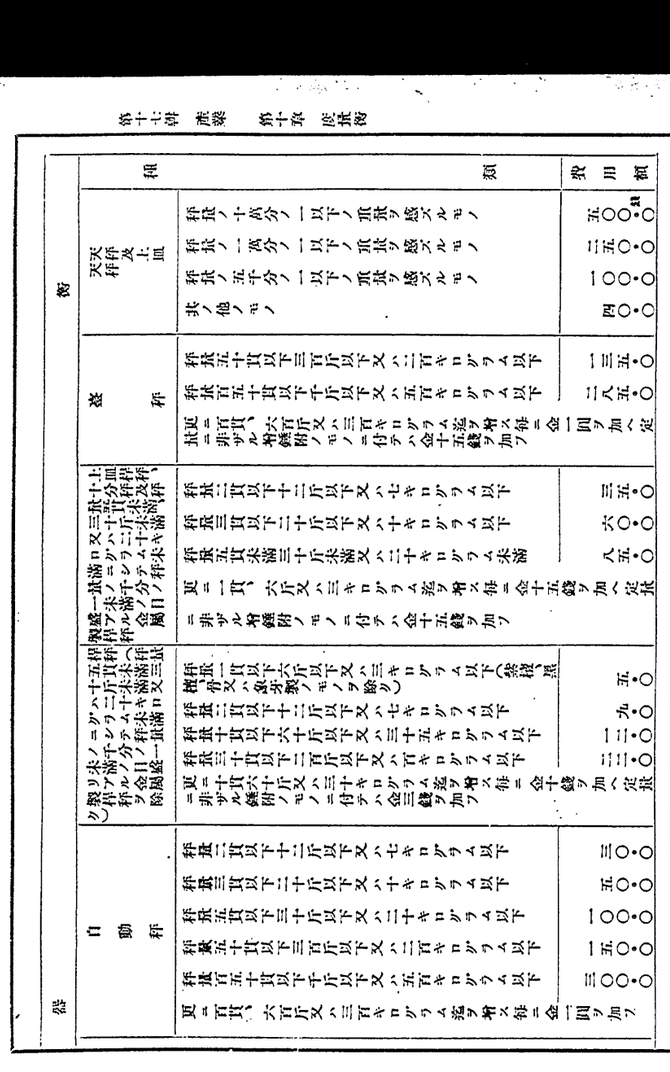
百六十四　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

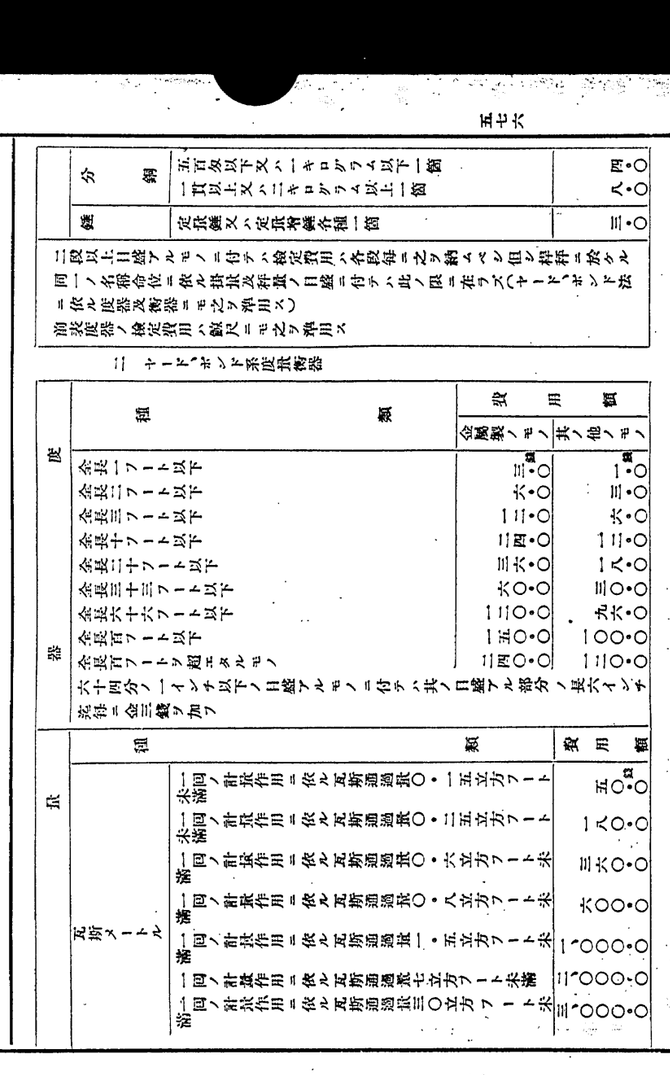
百六十五　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

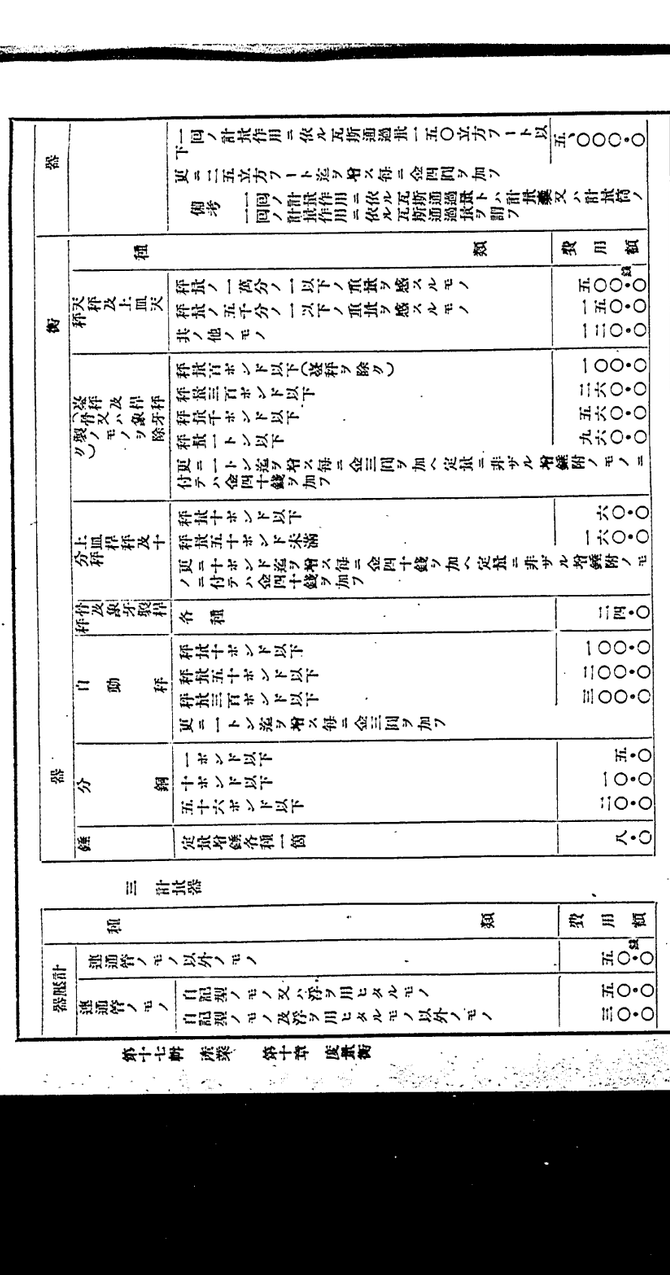
百六十六　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百六十七　同ノ許可番号ニ係ル器具ニ付キ二個以上ノ熔接又ハ切断ノ能力ヲ有スルモノアルトキハ其ノ最大ノ能力ニ依リ価格ヲ定ム

百六十八　同







●修覆瓦斯メートル檢査費用徴收ノ件

昭和五年三月
總督第百三十七號

修覆ヲ爲シタル瓦斯メートルノ檢定ニ付テハ昭和五年四月一日以降朝鮮度量衡令施行規則第三十九條第二項ノ規定ニ依リ檢定申請者ヲシテ左記ノ費用ヲ負擔セシム

記

種類	費用額
一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量〇、一五立方尺未滿、〇、一五立方フート未滿又ハ四リットル未滿ノモノ	五〇・〇錢
一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量〇、二五立方尺未滿、〇、二五立方フート未滿又ハ七リットル未滿ノモノ	一八〇・〇
一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量〇、六立方尺未滿、〇、六立方フート未滿又ハ一七リットル未滿ノモノ	三六〇・〇
一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量〇、八立方尺未滿、〇、八立方フート未滿又ハ二三リットル未滿ノモノ	六〇〇・〇
一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量一、五立方尺未滿、一、五立方フート未滿又ハ四二リットル未滿ノモノ	一、〇〇〇・〇
一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量七立方尺未滿、七立方フート未滿又ハ一九八リットル未滿ノモノ	一、〇〇〇・〇
一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量三〇立方尺未滿、三〇立方フート未滿又ハ八五〇リットル未滿ノモノ	三、〇〇〇・〇
一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量一五〇立方尺以下、一五〇立方フート未滿又ハ四、二四八リットル未滿ノモノ	五、〇〇〇・〇

更ニ二五立方尺二五立方フート又ハ七〇八リットル迄ノ增ス毎ニ金四圓ヲ加フ

備考　一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量トハ計量襲又ハ計量筒ノ一回ノ計量作用ニ依ル瓦斯通過量ヲ謂フ

（樣式）

瓦斯「メートル」檢定申請書

種類	用途	修覆箇數	一箇ニ付檢定費用	費用ノ金額
乾式又ハ濕式瓦斯「メートル」	何立方メートル「アセチリン」瓦斯用（此ノ他ハ記載スルヲ要セズ）	箇	錢	錢
乾式又ハ濕式前金瓦斯「メートル」	何立方メートル			
合計				

右檢定及申請候也

年　月　日

住所
申請者　氏名

朝鮮總督殿

●水量メートルノ檢定費用ニ關スル件

昭和五年十一月
總督第四百二十五號

水量メートルノ檢定ニ付テハ昭和五年十一月一日以降朝鮮度量衡令施行規則第三十九條第二項ノ規定ニ依リ檢定申請者ヲシテ左記ノ費用ヲ負擔セシム

朝鮮度量衡令施行規則第四十條ノ規定ニ依ル檢定申請者ハ前項ノ檢定費用ノ外檢定官吏ノ旅費其ノ他檢定ニ必要ナル費用ヲ負擔スベシ

記

種類	費用額
口徑十三ミリメートル以下	三〇・〇錢
口徑十六ミリメートル以下	五〇・〇
口徑二十ミリメートル以下	一〇〇・〇
口徑二十五ミリメートル以下	二〇〇・〇
口徑二十五ミリメートルヲ超エタルモノ	二五〇〇・〇

（別紙）

（樣式）

水量メートル檢定申請書

種類	口徑	檢定申請事由別箇數				一箇ノ費用	費用額
		修覆	輸入	移入	使用中ノモノ	何々計	
何式水量メートル	何ミリメートル	箇	箇	箇	箇	箇	錢
合計							圓

右檢定及申請候也

年　月　日

住所（營業所）
申請者氏名又ハ名稱　印

朝鮮總督殿

第十八輯　交通　電氣　附瓦斯

第十八輯　交通　電氣　附瓦斯

第一章　通信

第一款　內國郵便

○朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件〔明治四三、九、勅令四一二〕……一
○**郵便法**〔明治三三、三、法律五四〕……一
○郵便規則〔昭和一三、四、總令八六〕……三
○郵便禁制品〔昭和一三、四、總告三六二〕……四
○郵便規則ノ規定ニ依ル郵便禁制品〔昭和三、四、遞告九八一〕……五
○鐵道船舶郵便法〔明治三三、三、法律五六〕……五
○鐵道船舶郵便規則〔明治四四、二、總令一〇〕……六
○遞送郵便物ノ取扱地域〔昭和一三、四、總告三六四〕……七
○郵便切手類記號規則〔明治四四、二、總令一四〕……七
○軍事郵便物ニ關スル件〔明治三七、二、勅令一九〕……七
○軍事郵便規則〔大正三、九、總令一三四〕……七
○上海及揚子江方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件〔昭和七、二、總令一八〕……八
○朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件〔昭和一二、八、總令九九〕……八
○朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事通常郵便物ノ航空取扱ニ要スル料金〔昭和一二、八、總令一〇三〕……八
○朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル件〔昭和四、五、法律六六〕……八
○郵便切手類及收入印紙賣捌規則〔昭和五、三、總令二一〕……八
○郵便電信電話等ニ關スル料金ノ徵收竝託ノ件〔大正五、八、勅令二〇〇〕……一〇
○郵便法第五十五條ノ三ノ規定ニ依ル官廳ニ關スル件〔大正五、七、總令五九〕……一〇
○郵便物ニ徽號ヲ附記スルコトヲ得ルノ件〔大正八、九、總告二五〇〕……一〇
○通信日附印ノ形式〔大正一〇、八、〇〕……一〇
○請願ニ依ル通信施設ニ關スル件〔大正一二、二、勅令二一五〕……一一
○請願通信施設規則〔大正一二、一、總令一一〕……一二
○朝鮮ト內地、滋賀、樺太、南洋群島及關東州間郵便規則〔昭和一三、四、總令八七〕……一三
○郵便官署手形交換所參加規則〔昭和一二、一、〇、總令一七〇〕……一三

第二款　外國郵便

○萬國郵便條約ノ施行規則〔昭和九、一二、遞告三二四七〕……一四
○價格表記ノ貨狀及箱物ニ關スル約定ノ施行規則〔昭和九、一二、遞告三二四八〕……一八
○小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則〔昭和九、一二、遞告三二四九〕……二三
○郵便爲替ニ關スル約定ノ施行規則〔昭和九、一二、遞告三二五〇〕……二四
○郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則〔昭和九、一二、遞告三二五一〕……二七
○外國郵便、外國郵便爲替、外國郵便振替、外國電信及外國電話ノ取扱ニ關スル件〔明治四四、四、總令四二〕……二八
○外國郵便規則〔大正一〇、一二、遞令五六〕……三一
○課金別納外國郵便物引受郵便局〔大正一一、一、總告一六〕……三八
○外國小包郵便ニ關スル料金〔昭和七、八、總告四四九〕……三八
○日滿兩國間ノ郵便物、郵便爲替及電報ノ取扱ニ關スル件〔昭和七、九、遞令三四〕……三八
○日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定〔昭和一一、一、遞告四三〕……三八
○日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定ノ施行規則〔昭和一一、二、遞告二六四〕……一四八

第三款　郵便爲替

○郵便爲替法〔明治三三、三、法律五五〕……一五二
○郵便爲替規則〔明治四四、三、總令二七〕……一五二
○郵便爲替特別取扱規則〔昭和七、五、總令四七〕……一七九
○佳彥郵便爲替規則〔大正三、一一、總令一六四〕……一七九
○外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱事務ノ範圍〔昭和五、七、總告二九三〕……一八一
○日滿郵便爲替規則〔昭和一一、一、遞令三〕……一八二

第四款　郵便貯金

○郵便貯金法〔明治三八、二、法律二三〕……一九二
○郵便貯金規則〔明治四四、三、總令三一〕……一九二
○郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ於テ購入及保管スヘキ證券ノ種類〔大正一三、九、總告一九五〕……一九五
○郵便貯金規則ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル證券ノ種類〔大正八、一二、總告三五六〕……一九五
○支那事變國債及貯蓄債券ノ購入保管料金引下ニ關スル件〔昭和一三、六、總令一一八〕……一九六
○郵便貯金利子割合ノ件〔明治三八、五、勅令一六六〕……一九六
○貯金管理所ノ郵便貯金預ケ人原簿ノ受持區域〔昭和一一、九、總告五〇九〕……一九七
○郵便振替貯金規則〔明治四二、一二、統令六九〕……一九七
○郵便振替貯金事務ニ關スル郵便物宛名記載方〔昭和二、九、總告三一〇〕……一九九
○郵便振替貯金ノ當座勘定口振替ヲ請求シ得ル銀行〔昭和三、五、總告一九八〕……一九九
○郵便振替貯金ノ局待拂取扱方〔昭和二、一一、總告四〇二〕……一九九
○集金郵便振替貯金拂込規則〔明治四四、九、總令一〇二〕……一九九
○道歲入收納郵便振替貯金特別取扱規則〔大正元、八、總令二〕……二〇一
○府公金受拂郵便振替貯金特別取扱規則〔大正七、七、總令七〇〕……二〇二
○國債募集、賣出、買上及元利金支拂郵便振替

第五款　內國電信

○電信法（明治三三、三、法律九）……二六
○電信規則（大正二、四、逓令一）……二六
○電信手數料規則（大正二、四、逓令一）……二六
○電信ノ秘密ニ關スル件（明治四四、一、逓令一）……二六
○電信ノ取扱ニ關スル件（明治四四、一、逓令一）……二六
○電信ノ料金ニ關スル件（明治四四、一、逓令一）……二六
○電信ノ料金ニ關スル件（大正二、四

第三款　鐵道

○鐵道、〔輕便鐵道〕及軌道ノ營業ニ關スル件〔明治四五、六、勅令二四〕……三五九
○**鐵道營業法**〔明治三三、三、法律六五〕……三五九
○朝鮮國有鐵道建設規程〔昭和二、一〇、總令九八〕……三六一
○朝鮮私設鐵道建設規程〔大正九、一一、總令一七四〕……三六三
○朝鮮國有鐵道運轉規程〔昭和二、八、總令八二〕……三六六
○朝鮮私設鐵道運轉信號保安規程〔大正九、一一、總令一七五〕……三七〇
○朝鮮鐵道運輸規程〔明治四五、六、總令一一八〕……三七二
○朝鮮私設鐵道係員職制〔大正九、一一、總令一七六〕……三七〇
○荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル鐵道運送品等ノ公告ニ關スル件〔大正六、九、總令六九〕……三七一
○朝鮮總督ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ノ業務ノ委託ニ關スル件〔昭和八、九、勅令二五八〕……三七一
○外國貨物鐵道運送手續〔大正七、八、總訓四二〕……三七二
○朝鮮總督府鐵道局ノ業務ニ關シ南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局間規定準用ノ件〔大正一四、四、總告六五〕……三七二
○朝鮮國有鐵道線路名稱〔大正一四、六、總告一五二〕……三七二
○朝鮮私設鐵道令〔大正九、六、制令八〕……三七三
○朝鮮私設鐵道令及大正九年制令第九號施行期日〔大正九、一一、總令一七七〕……三七三
○地方鐵道法〔大正八、四、法律五二〕……三七三
○朝鮮私設鐵道令施行規則〔大正九、一一、總令一七二〕……三七九
○朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル督業取入及督業費計算方法〔昭和二、一一、總令一八〕……三八〇
○朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件〔昭和二、八、制令一三〕……三八〇

第四款　軌道

○朝鮮輕便鐵道令〔明治四五、六、制令二五〕……三八一
○朝鮮輕便鐵道令施行規則〔明治四五、六、總令一一七〕……三八一
○輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件〔明治四五、六、總令一一九〕……三八一
○輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件廢止〔大正九、一一、總令一七八〕……三八二

第五款　船舶

○朝鮮船舶令〔大正三、四、制令七〕……三八二
○船舶法〔明治三二、三、法律四六〕……三八二
○朝鮮船舶令施行規則〔大正三、五、總令六〇〕……三八三
○朝鮮船舶ニ關スル件〔大正三、五、總令二三〕……三八四
○朝鮮船舶檢量測度令〔大正三、四、制令二四〕……三八四
○船舶檢查法〔大正三、三、法律三四〕……三八五
○朝鮮船舶檢查規則〔大正三、五、總令二四〕……三八六
○朝鮮船舶檢查規程〔昭和九、二、總令二五〕……三八六
○木船構造規程〔昭和九、二、總令九〕……三八七
○朝鮮漁船特殊規則〔昭和一〇、二、總令二九〕……三八七
○漁船特殊規則〔昭和九、二、遞、農令〕……三八八
○漁船ノ第一種從業制限ノ業務ノ認定〔昭和一〇、二、總告九六〕……三八八
○朝鮮漁船特殊規程〔昭和一〇、二、總令三〇〕……三八八
○漁船特殊規程〔昭和九、二、遞、農令〕……三八八
○海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ニ依ル證書ニ關スル件

○朝鮮專用鐵道規程〔大正九、一二、總令一七三〕……三八八
○朝鮮私設鐵道補助法〔大正一〇、四、法律四〕……三八九
○朝鮮私設鐵道補助法施行規則〔昭和一〇、一、總令二〕……三九〇
○朝鮮私設鐵道令施行規則第四十八條ノ督業報告書及統計報告書竝第四十九條ノ報ノ樣式〔大正九、一二、總告二七五〕……三九一
○朝鮮船舶安全令施行規則〔昭和一〇、二、總令二〇〕……三九二
○朝鮮外國船舶安全規則〔昭和一〇、二、總令二一〕……三九六
○船舶安全法施行規則〔昭和九、二、遞令四〕……三九六
○近海區域外ニシテ臨時旅客ヲ搭載シ得ル區域〔昭和一〇、二、總告九五〕……四〇〇
○船舶檢查執行地ニ關スル件〔昭和一〇、二、總告九四〕……四〇〇
○朝鮮船舶機關規程〔昭和九、二、總令二二〕……四〇〇
○船舶機關規程〔昭和九、二、總令一〇〕……四〇〇
○佛國西國ニ於行スル日本船舶ノ檢查ニ關スル件〔大正一五、一、總令七〕……四〇一
○佛國西國船舶ノ檢查ニ關スル件〔大正一五、一、總令八〕……四〇三
○佛國西國ニ於行スル日本船舶ニ關スル注意事項〔大正一五、一、總告一九〕……四〇四
○救命艇試驗規程〔大正一一、一、遞令六〕……四〇四
○朝鮮造船規程〔大正一一、一、遞令一四四〕……四〇五
○造船規程〔大正一一、一、遞令六五〕……四〇五
○朝鮮船舶設備規程〔昭和九、二、遞令六〕……四〇六
○船舶設備規程〔昭和九、二、遞令二二〕……四〇六
○朝鮮船舶風壓規程〔昭和九、二、總令二四〕……四〇六
○船舶風壓規程〔昭和九、二、遞令八〕……四〇七
○朝鮮木船構造規程〔昭和一〇、二、總令二五〕……四〇七
○木船構造規程〔昭和九、二、遞令九〕……四〇七
○朝鮮漁船特殊規則〔昭和一〇、二、總令二九〕……四〇八
○漁船特殊規則〔昭和九、二、遞、農令〕……四〇八
○漁船ノ第一種從業制限ノ業務ノ認定〔昭和一〇、二、總告九六〕……四〇八
○朝鮮漁船特殊規程〔昭和一〇、二、總令三〇〕……四〇八
○漁船特殊規程〔昭和九、二、遞、農令〕……四〇八
○海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ニ依ル證書ニ關スル件〔昭和九、二、遞令一七〕……四〇九
○船舶法〔昭和一二、八、法律七九〕……四〇九
○朝鮮船員令施行規則〔昭和一三、三、總令二〕……四〇九
○船員法施行令〔昭和一三、三、勅令一三五〕……四〇九
○船員法施行規則〔昭和一三、三、總令三五〕……四〇九
○朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定ムル件〔大正一四、一二、總令一一九〕……四一〇
○朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル件〔大正一四、一二、總令一二〇〕……四一〇
○船舶職員試驗規程〔昭和五、三、遞令六〕……四一一
○船舶職員試驗ヲ行フ官廳及期日〔大正一四、五、總告一二〇〕……四一一
○朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程ニ依リ試驗ヲ受ク可キ者及其ノ者ニ授與スベキ海技免狀〔昭和五、三、遞令六〕……四一二
○船舶職員試驗規則〔昭和五、三、遞令一一二〕……四一二
○船舶職員試驗規程〔昭和五、四、總令三〕……四一三
○朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程第四條第三項ノ規定ニ依ル學校〔昭和九、九、總告四六七〕……四一三
○朝鮮船舶職員令施行規則ニ於テ依ル船舶職員ニ代ヘシムルコトヲ得ル者〔昭和一三、五、總告四二五〕……四一三
○朝鮮海員懲戒令〔昭和一一、九、制令一五〕……四一四
○海員懲戒法〔明治二九、四、法律六九〕……四一四
○海技免狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒免除ニ關スル件〔昭和一三、三、勅令八〇〕……四一五
○海難其ノ他ノ事實届出ニ關スル件〔昭和一二、三、總令三五〕……四一五
○遭難船舶ノ通報竝ニ海難其ノ他ノ事實取調手續〔昭和一一、一二、總訓四一〕……四一六
○朝鮮船舶職員令準用方ノ件〔大正四、一〇、總令一〇〕……四一六
○朝鮮水先令〔大正四、九、制令五〕……四一六
○水先法〔明治三二、三、法律六三〕……四一六
○朝鮮水先令施行規則〔大正四、一〇、總令一二〕……四一七
○朝鮮水先人試驗規則〔大正四、一〇、總令一三〕……四一七
○朝鮮水先人適任證書交付規則〔大正五、五、總令四三〕……四一七
○朝鮮救命艇手適任證書交付規則〔昭和一〇、二、總令三三〕……四一八

第六款　船員、水先人

○朝鮮船員令〔昭和一〇、九、總令一〇八〕……四一三
○海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件〔昭和一〇、八、遞令二二〕……四一三
○朝鮮船舶滿載吃水線規程〔昭和一〇、二、總令三三〕……四一三
○船舶滿載吃水線規則〔昭和九、二、遞令七〕……四一七
○浩星貿易又ハ漁業ニ從事スル支那形日本船舶ニ關スル件〔大正二、九、總令九二〕……四一七
○巴拿馬及蘇士運河噸數證書交付規則〔大正五、七、總令五七〕……四一八
○巴拿馬及蘇士運河噸數證書交付地〔大正五、七、總告一七三〕……四一八
○外國ニ駐在スル帝國ノ大使、公使、領事官又ハ貿易事務官ノ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ船籍ヲ有スル帝國船舶及其ノ船員ニ關スル職權ノ件〔大正六、五、勅令四八〕……四一八
○船舶積量測度互認〔明治四五、七、總令一二五〕……四一八
○內務局土木出張所所屬船選任局海事出張所所屬船警察官署所屬船及稅關所屬船相互使用ノ件〔大正一三、一二、總訓五八〕……四一九
○船舶ニ依ル阿片運送取締規則〔昭和五、一〇、總令八七〕……四一九
○船舶輸入許可規則〔昭和八、六、總令六〇〕……四一九
○海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル等ノ件〔大正一三、八、勅令一九一〕……四一九
○海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル件〔大正一三、七、法律二〕……四一九
○臨時船舶管理法〔昭和一二、九、法律九三〕……四一九
○朝鮮及臺灣ニ於ケル臨時船舶管理法ノ特例等ニ關スル件〔昭和一二、九、勅令五二〇〕……四一九
○朝鮮臨時船舶管理法施行規則〔昭和一二、九、總令一四八〕……四一九
○臨時船舶管理法施行規則〔昭和一二、九、遞令六六〕……四一九

第七款　船用品檢查及取締

○朝鮮船用品檢查試驗規則〔昭和一〇、二、總令二七〕……四二六
○船用品檢查試驗規則〔大正九、九、遞令七五〕……四二六
○朝鮮船用品試驗規程〔昭和一〇、二、總令二八〕……四二六
○錨鎖索試驗規程〔大正九、九、遞令七六〕……四二六
○朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルメタル船舶職員試驗規程ニ依リ試驗ヲ受ク可キ者及其ノ種類等〔昭和九、二、遞令一九〕……四二七
○船口覆布試驗規程〔昭和九、二、遞令二七〕……四二七
○船燈試驗規程〔昭和九、二、遞令二〇〕……四二七
○信號器試驗規程〔昭和九、二、遞令二一〕……四二七
○救命器具試驗規程〔昭和九、二、遞令二二〕……四二八
○消火器試驗規程〔昭和九、二、遞令二三〕……四二八
○火災報知裝置試驗規程〔昭和九、二、遞令二三〕……四一〇
○防撞面試驗規程〔昭和九、二、遞令二四〕……四一一
○朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルメタル船舶職員試驗規程第四條第三項ノ規定ニ依ル學校〔昭和九、九、總告四六七〕……四一一
○朝鮮臨時船舶管理法施行規則ニ於テ依ルトヲ定メタル臨時船舶管理法施行規則第十八條ノ規定ニ依ル船舶職員ニ代ヘシムルコトヲ得ル者〔昭和一三、五、總告四二五〕……四一二
○朝鮮海員懲戒令〔昭和一一、九、制令一五〕……四一四
○海員懲戒法〔明治二九、四、法律六九〕……四一四
○海技免狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒免除ニ關スル件〔昭和一三、三、勅令八〇〕……四一五
○海難其ノ他ノ事實届出ニ關スル件〔昭和一二、三、總令三五〕……四一五
○遭難船舶ノ通報竝ニ海難其ノ他ノ事實取調手續〔昭和一一、一二、總訓四一〕……四一六
○朝鮮船舶職員令準用方ノ件〔大正四、一〇、總令一〇〕……四一六
○朝鮮水先令〔大正四、九、制令五〕……四一六
○水先法〔明治三二、三、法律六三〕……四一六
○朝鮮水先令施行規則〔大正四、一〇、總令一二〕……四一七
○朝鮮水先人試驗規則〔大正四、一〇、總令一三〕……四一七
○朝鮮水先人適任證書交付規則〔大正五、五、總令四三〕……四一七
○朝鮮救命艇手適任證書交付規則〔昭和一〇、二、總令三三〕……四一八

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

二、總令三一）……一七
第八款　海上衝突豫防
○海上衝突豫防法ヲ朝鮮ニ施行ノ件（大正三、四、勅令四九）……三三
○海上衝突豫防法（明治二五、六、法律五）……三三
第九款　船舶信號及通報
○朝鮮ニ船籍ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件（昭和八、九、總令一〇四）……三六
○朝鮮ニ船籍ヲ有スル日本船舶ノ國際信號旗ノ寸法ニ關スル件（昭和九、一、總令八）……三八
○朝鮮船舶通報規則（大正四、三、總令二三）……三八
○朝鮮船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ官廳（大正四、三、總告六九）……三三
第十款　航路標識
○朝鮮航路標識規則（大正七、一〇、總令一〇〇）……三三
○鴨綠江ニ出入スル船舶ノ注意事項（昭和八、一、總告二二）……三三
○朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ノ注意事項（大正二、一二、總告四一）……三四
第十一款　航行及港灣
○商法施行法第百二十二條ニ依リ湖川、港灣及沿岸小航海ノ範圍ニ關スル件（昭和一〇、二、總令三五）……三四
○鴨綠江及豆滿江沿岸ニ於ケル外國船舶ノ出入及運送ニ關スル件（大正一二、一、總令二）……三四
○漢江ニ於ケル舟筏ノ航行禁止區域（昭和七、一〇、總告五七五）……三四
○船舶法第一條等ノ日本船舶ノ不開港出入ニ關スル件（大正一二、三、總令六三）……三四
○犯罪捜査、繫船及船渠使用規則（大正一一、四、總令四七）……三五
○稅關所屬曳船使用規則（大正七、五、總令四八）……三七
○清津漁港管理規則（昭和一〇、一二、總令一四三）……三七
第十二款　航空
○航空法（大正一〇、四、法律五四）……三九
○航空法施行令（昭和一二、五、勅令二三七）……三九
○航空法施行規則（昭和二、五、遞令九）……三九
○航空法施行（昭和二、五、遞令八）……三九
○航空法施行（昭和二、六、總令五六）……三九
○航空法施行（昭和一二、六、陸令一三）……三九
○航空法施行（關スル件（昭和一二、六、海令一二）……三九
○同上（昭和一二、六、總令五七）……三九
○航空法特例（昭和二、六、總令九）……三九
○航空機檢查規則（昭和二、五、遞令九）……三九
○航空機乘員試驗規則（昭和二、五、遞令一〇）……三九
○航空機乘員證格檢查規則（昭和一一）……三九
○三等飛行機操縱士免許規則（昭和八、一〇、總告五二七）……三九
○航空日誌ノ書式及航空機乘員手帖ノ書式（昭和二、六、總告二〇二）……三九
○飛行場ノ使用ニ關スル件（昭和四、四、遞令一〇）……三九
○飛行場使用規則（昭和四、四、遞令一〇）……三九
○朝鮮航空奬勵規則（昭和一〇、一、總令一）……三九
○海空機規則（昭和一二、五、遞令四〇）……三九
第十三款　開、港
○開港取締規則（大正四、七、總令七二）……三九
○開港ニ於ケル港界表示ノ爲立標及浮標設置ノ件（大正五、二、總令九）……三九
○雄基ヲ開港トスルノ件（大正一〇、五、總令九一）……三九
○羅津ヲ開港トスルノ件（昭和一〇、一〇、總令一三三）……三九
第三章　電氣附瓦斯
○朝鮮電氣測定令（大正一二、四、制令一〇）……三九
○朝鮮電氣測定令施行規則（大正一二、一〇、總令一二四）……三九
○朝鮮電氣測定令施行期日及附則第二項ノ期間ニ關スル件（大正一二、一〇、總令一三三）……三九
○朝鮮鑛業電氣事業令（昭和七、一二、制令一）……三九
○朝鮮電氣事業令施行規則（昭和八、一〇、總令一一七）……三九
○朝鮮電氣工作物規程（昭和八、一〇、總令一一八）……三九
○朝鮮自家用電氣工作物施設規則（昭和八、一〇、總令一二〇）……三九
○朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル標準光度及標準光束（昭和八、一〇、總告五二三）……三九
○朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル標旗及標燈（昭和八、一〇、總告五二四）……三九
○朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル電氣事業報告書樣式及其ノ調製方法（昭和八、一〇、總告五二五）……三九
○朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル發電及送電豫定計畫書料樣式及其ノ調製方法（昭和八、一〇、總告五二七）……三九
○朝鮮自家用電氣工作物施設規則ニ依ル電氣工作物施設狀況報告書樣式及其ノ調製方法（昭和八、一〇、總告五二九）……三九
○朝鮮電氣工作物規程ニ依ル選任監督者ノ職務ニ關スル通信事業用工作物ノ承諾及立會請求ニ關スル件（昭和八、一〇、總告五三八）……三九
○朝鮮電氣事業令等ノ規定ニ依ル檢查吏員ノ携帶證票（昭和八、一〇、總告五二六）……三九
○朝鮮發電用汽罐汽機取締規則（昭和一二、九、總令一四七）……三九
○朝鮮發電用汽罐汽機取締規則第十一條ノ規定ニ依リ汽罐汽機主任者技能認定ニ關スル件（昭和一二、九、總告七〇八）……三九
○瓦斯事業取締規則（大正九、六、總令九〇）……三九

第十八輯　交通　電氣附瓦斯

第一章　通信

第一款　內國郵便

●朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件

明治四十三年九月勅令第四百十二號

朕朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

左ニ揭ク法律ハ之ヲ朝鮮ニ施行スヘシ

一　會計法
一　郵便法
一　郵便爲替法
一　鐵道船舶郵便法
一　明治二十三年法律第二十一號
一　電信法
一　郵便貯金法
一　逃亡犯罪人引渡條例
一　外國鑛船乘組員ノ逮捕留置ニ關スル規則
一　附則

本令ハ明治四十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便法

明治三十三年三月法律第五十四號

（改正、明治四〇年三第七號、大正五年三第一一號、昭和四年三第四號、一二年三第二號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル郵便法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　郵便法ハ政府之ヲ管掌ス

第二條　何人ト雖信書ノ送達ヲ營業トシテ爲スコトヲ得ス

運送營業者、其ノ代表者又ハ代理人其ノ他ノ從業者ハ其ノ運送方法ニ依リ他人ノ爲ニ信書ノ送達ヲ爲スコトヲ得ス但シ貨物ニ添附スル無封ノ添狀又ハ送狀ハ此ノ限ニ在ラス

第三條　運送營業者ハ郵便官署ノ要求アルトキハ其ノ運送方法ニ依リ郵便物ノ運送ヲ拒ムコトヲ得ス此ノ場合ニ於テ郵便官署ハ相當ノ運送料金ヲ支給ス

第四條　職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人及郵便專用車馬等ハ道路ニ障碍アリテ通行シ難キ場合ニ於テ壕壁又ハ橋梁ヲ通行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ郵便官署ハ被害者ノ請求ニ因リ其ノ損害ノ賠償ヲ爲スヘシ

第五條　職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人及郵便專用車馬等ハ故ニ遭遇シタル場合ニ於テ郵便遞送人郵便集配人又ハ郵便吏員ヨリ助力ヲ求メラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス此ノ場合ニ於テ郵便官署ハ助力者ノ請求ニ因リ相當ノ報酬ヲ爲スヘシ

第六條　職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人及郵便專用舟車馬等ニ對シテハ渡津、運河、道路、橋梁其ノ他ノ場所ニ於ケル通行錢ヲ請求スルコトヲ得ス

職務執行中ノ郵便遞送人郵便集配人ハ何時ニテモ渡津ノ出船ヲ求ムルコトヲ得

第七條　郵便專用ノ物件及現ニ郵便ノ用ニ供スル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

郵便物及其ノ取扱ニ必要ナル物件ハ海損ヲ分擔セス

第八條　郵便官署ハ郵便物ノ遞送中又ハ其ノ發送ノ準備完了ノ後ニ限リ其ノ差押ヲ拒ムコトヲ得

第九條　郵便物檢疫ヲ受クヘキ場合ニ於テハ他ノ物件ニ先テ檢疫ヲ受ク

第十條　郵便取扱ニ關シ無能力者ノ郵便官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十一條　郵便ニ依ル取立金ハ拂渡其ノ他ノ處分ニ關シテハ之ヲ郵便爲替金トシ郵便爲替法ヲ適用ス

第十二條　郵便官署ハ郵便物ノ受取人ノ眞僞ヲ調査スル爲受取人ヲシテ必要ナル證明ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條　郵便物ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ宛所ニ配達ス

第十四條　宛所ニ配達シ又ハ受取人ニ交付スルコト能ハサル郵便物ハ差出人ニ還付ス其ノ差出人ニ還付スルコト能ハサルモノハ主務大臣ノ指定シタル郵便官署ニ於テ之ヲ開披スルコトヲ得

第十五條　前條ニ依リ開披シタル郵便物ニシテ倘配達還付ヲ爲スコト能ハサルモノハ郵便官署ニ於テ之ヲ保管ス

保管ノ郵便物ニシテ有價物ニ非サルモノハ其ノ保管開始ノ日ヨリ三箇月內ニ交付ヲ請求スル者ナキトキハ之ヲ棄却シ其ノ有價物ニシテ滅失若ハ毀損ノ虞アルモノ又ハ其ノ保管ニ過分ノ費用ヲ要スルモノナルトキハ之ヲ賣却シ其ノ代金ヲ保管ス但シ賣却ニ要スル費用ハ賣却代金ヲ以テ之ニ充ツ

有價物及賣却代金ハ郵便物ノ保管開始ノ日ヨリ一箇年內ニ交付ヲ請求スル者ナキトキハ國庫ニ歸屬ス

第十六條　郵便官署ハ郵便物引受ノ際郵便禁制品ヲ封入シ又ハ成規ニ違反シタルモノト認ムルトキハ差出人ニ其ノ開示ヲ求ムルコトヲ得

差出人前項ノ開示ヲ拒ミタルトキハ其ノ郵便物ノ取扱ヲ拒絕ス

第十六條ノ二　郵便官署ハ其ノ取扱中ニ係ル郵便物ニシテ郵便禁制品ヲ封入シ又ハ成規ニ違反シタルモノアリト認ムルトキハ差出人又ハ受取人ニ其ノ開示ヲ求ムルコトヲ得

差出人若ハ受取人前項ノ開示ヲ拒ミタルトキ又ハ差出人若ハ受取人ニ其ノ開示ヲ求ムルコト能ハサルトキハ主務大臣ノ指定シタル郵便官署ニ於テ之ヲ開披スルコトヲ得

第十七條　郵便物ハ通常郵便物及小包郵便物トス

第十八條　通常郵便物ノ種類及料金ハ左ノ如シ但シ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ料金ヲ低減スルコトヲ得

第一種　葉書　四錢

第二種　郵便葉書（通信用紙付郵便葉書）　四錢

第三種　每月一回以上刊行スル定期刊行物　二錢

第四種　農產物種子　三錢

第五種　前項各種ニ該當セサル物件及該當スルモ封緘シタルモノハ第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス　一錢

異種ノ郵便物ヲ合裝シタルモノハ其ノ種類中ノ最高料金ヲ納付スヘキ郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス但シ第二種郵便物ヲ他種ノ郵便物ト合裝スルトキハ第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス　五厘

郵便葉書ノ裏面又ハ第三種乃至第五種ノ郵便物ニ通信文ヲ記載シタルモノハ特ニ命令ヲ以テ規定シタル場合ヲ除クノ外第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス

第十九條　小包郵便物ノ料金並郵便物ノ特殊取扱ニ關スル料金ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第二十條　信書ハ小包郵便物ト爲シ又ハ小包郵便物ニ合裝スルコトヲ得但シ無封ノ添狀又ハ送狀ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條　第三種郵便物ト爲スヘキ定期刊行物ハ主務官署ノ認可ヲ受ケタルモノニ限ル

第二十二條　郵便禁制品ノ種類及郵便物ノ容積、重量、包裝等ニ關スル制限ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第二十三條　受取人ハ郵便料ヲ完納シタル郵便物ノ受取ヲ拒ムコトヲ得ス

郵便規則

第一章　郵便

第一節　通信

第一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二十條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二十一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二十二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二十三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二十四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二十五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二十六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二十七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二十八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二十九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第三十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第三十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第三十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第三十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第三十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第三十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第三十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第三十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第三十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第三十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第四十條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第四十一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第四十二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第四十三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第四十四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第四十五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第四十六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第四十七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第四十八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第四十九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第五十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第五十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第五十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第五十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第五十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第五十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第五十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第五十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第五十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第五十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第六十條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第六十一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第六十二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第六十三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第六十四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第六十五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第六十六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第六十七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第六十八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第六十九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第七十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第七十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第七十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第七十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第七十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第七十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第七十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第七十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第七十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第七十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第八十條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第八十一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第八十二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第八十三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第八十四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第八十五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第八十六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第八十七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第八十八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第八十九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第九十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第九十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第九十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第九十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第九十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第九十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第九十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第九十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第九十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第九十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百二十條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百二十一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百二十二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百二十三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百二十四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百二十五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百二十六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百二十七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百二十八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百二十九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百三十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百三十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百三十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百三十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百三十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百三十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百三十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百三十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百三十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百三十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百四十條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百四十一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百四十二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百四十三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百四十四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百四十五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百四十六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百四十七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百四十八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百四十九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百五十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百五十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百五十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百五十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百五十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百五十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百五十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百五十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百五十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百五十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百六十條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百六十一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百六十二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百六十三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百六十四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百六十五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百六十六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百六十七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百六十八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百六十九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百七十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百七十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百七十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百七十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百七十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百七十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百七十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百七十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百七十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百七十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百八十條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百八十一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百八十二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百八十三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百八十四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百八十五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百八十六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百八十七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百八十八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百八十九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百九十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百九十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百九十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百九十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百九十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百九十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百九十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第百九十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第百九十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第百九十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百十九條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百二十條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百二十一條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百二十二條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百二十三條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百二十四條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百二十五條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百二十六條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百二十七條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百二十八條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百二十九條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百三十條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百三十一條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百三十二條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百三十三條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百三十四條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百三十五條　小包郵便物ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

第二百三十六條　特殊取扱ハ書狀又ハ小包郵便物ニ付キ特別ノ取扱ヲ爲スヲ謂フ

第二百三十七條　郵便ハ書狀、小包郵便物及ヒ特殊取扱ヲ爲ス郵便物ニ區別ス

第二百三十八條　書狀ハ信書ヲ封緘シ又ハ開緘ノ儘差出ス郵便物ニシテ第三條ニ掲ケタルモノ以外ノモノヲ謂フ

包郵便物ノ重量ニ付テハ其ノ制限ハ二キログラムトス

一　通常郵便物　（容積、重量、運送距離等ノ如何ヲ問ハズ一律ニ）

二　小包郵便物　（容積、重量、運送距離等ノ如何ヲ問ハズ一律ニ）

第十七條　左ノ物ハ之ヲ郵便ニ附スルコトヲ得ズ

一　安寧秩序ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞乱スルモノト認ムル文書、図、畫其ノ他ノ物但シ犯罪捜査ニ必要ニ依リ官署相互間ニ發受スルモノニシテ封緘シ且書留又ハ價格表記トシタルモノヲ除ク

二　別ニ告示スル爆發性、發火性其ノ他危險性ノ物

三　毒藥、劇藥、毒物、劇物但シ官公署、軍隊、海軍艦船艇、軍衙、醫師、齒科醫師、獣醫師、藥剤師、藥種商、製藥者又ハ毒劇物營業ノ許可ヲ受ケタル者ヨリ第二十條ノ規定ニ依リ特別ノ包裝ヲ爲シ差出スモノヲ除ク

四　生キタル病原菌又ハ病原菌含有若ハ附着ノ疑アル物但シ官公署、許可ヲ受ケタル細菌檢査所、醫師又ハ獣醫師ヨリ第二十條ノ規定ニ依リ特別ノ包裝ヲ爲シ差出スモノヲ除ク

五　郵便吏員又ハ郵便物ニ傷害又ハ損害ヲ與フルモノト認ムル危險性ノ物ニシテ第二十條ノ規定ニ依リ特別ノ包裝ヲ爲シタルモノヲ除ク

第十八條　通貨ヲ郵便物トシテ差出サントスルトキハ通貨價格表記トシ爲スベシ貴金屬、寶玉石其ノ他ノ貴重品ヲ郵便物トシテ差出サントスルトキハ葬留又ハ物品價格表記トシ爲スベシ但シ差出サントスルトキハ葬留又ハ物品價格表記トシ爲スベシ但シ航空郵便トシ爲ス盲人用點字ノ書籍、印刷物及業務用書類並ニ小型ニシテ容積、重量、運送距離等ニ應ジ取扱中毀損セズ且他ノ郵便物ニ損傷ヲ與ヘザルヤウ強額ナル紙、帶紙（幅八センチメートル以上ナルコトヲ要ス）若ハ布ノ類ヲ以テ包ミ又ハ箱、纖若ハ嚢ニ納ムル等適當ニ之ヲ包裝スベシ但シ小包郵便物ニシテ包裝セザルモ取扱中毀損セズ且他ノ郵便物ニ損傷ヲ與ヘザルモノハ紐又ハ之ニ類スル物ヲ以テ適當ニ之ヲ結束シ其ノ他ノ包裝ヲ省略スルコトヲ得

第三種乃至第五種郵便物ハ其ノ内容ヲ容易ニ檢査シ得ルヤウ之ヲ開封ト爲スベシ但シ蠶種ハ郵便官署ノ承認ヲ受ケ之ヲ密閉スルコトヲ得

開キタル恣アル封筒ハ郵便物ノ包裝ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第二十條　左ノ物ハ前條ノ規定ニ依ル外左ノ下欄ノ包裝ヲ爲スベシ

區別	包裝方法
一　乾物其ノ他之ニ類スル物	適當ノ箱ニ納メ又ハ其ノ危險部分ヲ覆ヒ之ヲ箱ニ納ムル等ノ方法ニ依ルコト
二　液體、液化シ易キ物、臭氣ヲ發スル物及腐蝕性ノ物	堅牢ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
三　毒藥、劇藥、毒物及劇物並ニ生キタル病原菌	堅固ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
四　前號ノ規定ニ依ル包裝ヲ爲シ其ノ郵便物ノ表面君易ニ危險物ノ所在ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト	堅固ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
五　生キタル動物	堅固ナル木製又ハ金屬ノ箱、箱其ノ他適當ナル容器ニ納メ完全ニ其ノ脫出及排泄物ノ漏出ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲スコト

第二十一條　郵便物ノ差出人ハ受取人ノ居所及氏名ヲ其ノ表面ニ詳細且明瞭ニ記載スベシ但シ封筒ノ表面ニ部分（燈火ヲ反射セズ且縦十センチメートル横四センチメートル以上ノモノナルコトヲ要ス）ヲ設ケ其ノ部分ヨリ郵便物ノ受取人ノ居所及氏名ノミガ明瞭ニ透視シ得ルモノハ之ヲ內部ニ記載スルコトヲ妨ゲズ

第二十二條　容積又ハ重量ノ制限ヲ超エ規定ニ違反シタル郵便物ハ特ニ規定スル場合ヲ除クノ外差出人ニ之ヲ還付ス

第二十三條　成規ニ違反シタル郵便物ヲ差出人ニ還付スル場合ニ於テハ左ノ料金ヲ徵收ス

一　郵便料未納又ハ不足ナルトキハ其ノ不納額ノ二倍

二　通貨ヲ通貨價格表記ト爲サズシテ差出シタルトキハ通貨價格表記ト爲スベシ

三　貴金屬、寶玉石其ノ他ノ貴重品ヲ書留又ハ價格表記ト爲サズシテ差出シタル場合ニ於テ通常郵便物トシテ差出シタルモノナルトキハ通常郵便物書留料ノ三倍、普通小包郵便物トシテ差出シタルモノナルトキハ普留小包郵便料ト普通小包郵便料トノ差額ノ三倍

四　通貨價格表記郵便物ノ表記金額ガ在中通貨ノ金高ヨリ少額ニシテ價格表記料ニ不足アルトキハ不足額ノ三倍

前項第二號及第四號ノ場合ニ於テ在中ノ通貨千圓ヲ超エルモノハ其ノ超過額ニ對シ別ニ價格表記料ノ累加率ニ依リ算定シタル金額ノ外ニ其ノ郵便物ニ對シ通常郵便物ニ適用スル料金ヲ徵收ス

第二十四條　書狀トハ特定ノ人ニ宛テタル通信文ヲ記載シタル物ニシテ郵便葉書ニ依ラザルモノヲ謂フ

第二十五條　左ノ書狀ニシテ開封封印ヲ爲シタルモノハ之ヲ郵便物ニ準ジ取扱フ

一　通信文ノ全部ヲ印刷シタルモノ

二　官公署、公共團體、社寺、學校又ハ督利ヲ目的トセザル法人若ハ團體ヨリ發スルモノニシテ通信文ノ大部分ヲ印刷シタルモノ

三　督業者ヨリ直接其ノ督業ニ關シ發スルモノニシテ通信文ノ大部分ヲ印刷シタルモノ

四　盲人用點字ノモノ

前項第二號及第三號ノ郵便物ニハ其ノ外部ニ差出人ノ資格及氏名ヲ記載スベシ

前項ノ規定ニ依ル事項ノ記載ナキ郵便物ハ印刷書狀ニ非ザル第一種郵便物トシテ之ヲ取扱フ

第二款　第二種郵便物

第二十六條　通常葉書ハ左ノ各號ニ依リ私製シ之ヲ差出スコトヲ得

一　紙質ハ政府ノ發行スル通常葉書ト同等以上ナルコト

二　厚サハ政府ノ發行スル通常葉書ヲ以テ標準トスルコト

三　寸法ハ縦十二センチメートル八以上十四センチメートル五以内横八センチメートル五以上十センチメートル五以内ナルコト

四　重量ハ一枚ニ付三グラムヲ以テ標準トスルコト

五　表面ノ色彩ハ白色又ハ淡色ナルコト

六　表面ノ上部又ハ左側ノ中央ニ「郵便はがき」又ハ之ニ相當スル文字ヲ明瞭ニ記載スルコト

私製葉書ニハ受取人ノ居所及氏名ノ記載竝ニ郵便切手ノ消印ニ支障ナキ程度ニ於テ透シ若ハ浮出シ文字又ハ畫紋ヲ施スコトヲ得

第二十七條　郵便葉書ノ表面ニハ差出人ノ居所及氏名竝ニ左ノ事項ニ限リ之ヲ記載スルコトヲ得

一　差出人及受取人ノ身分、職業、商標其ノ他ノ稱號、電話番號、郵便私書函番號、振替貯金口座番號、電報略號、郵便私書函番號、取引銀行ノ名稱、發送番號

二　至急、貴酬、机下等ノ慣用語、日時、數稱

三　送達上郵便官署ニ必要ナル注意ヲ示ス事項

私製葉書ノ表面ニハ前項ニ規定スル事項ノ外左ノ事項ニ限リ之ヲ記載スルコトヲ得

一　郵便葉書ノ表面ノ記載方ニ關スル注意

二　郵便切手ヲ貼附スル位置及郵便料金ニ關スル注意

三　單純ナル輪廓

第二十八條　通常葉書及往復葉書（往信ノ際ニ在リテハ返信部ヲ除ク）ノ裏面ノ全部又ハ大部分ニ繪畫、寫眞、背、圖、印影等ヲ現出シタルモノハ表面ノ下部二分ノ一以內ニ橫線ヲ畫シ其ノ線ノ下部ニ通信文其ノ他ノ事項ヲ記載スルコトヲ得

第二十九條　往復葉書ノ返信部ハ往信ノ際其ノ返信部表面ニ差出人及受取人ノ居所及氏名竝ニ第二十七條第一項ニ規定スル事項、其ノ裏面ニ返信ニ必要ナル事項ニ限リ豫メ之ヲ記載スルコトヲ得

第三十條　郵便葉書ハ左ノ場合ヲ除クノ外何等ノ物品ト雖モ添附セズ原形ノ儘之ヲ差出スベシ

一　通常葉書及往復葉書（往信ノ際ニ在リテハ返信部ヲ含ム）ヲ契約背、委任狀、受領證等ト爲ス爲裏面ニ收入印紙ヲ貼附シタルトキ

二　通常葉書及往復葉書（往信ノ際ニ在リテハ返信部ヲ除ク）ニ郵便切手ヲ貼附シ之ニ記念ノ目的ヲ以テ通信日附印ノ押捺ヲ受ケタルトキ

三　往復葉書ノ返信部裏面ニ記念ノ目的ヲ以テ通信日附印ノ押捺ヲ受クル爲相當額ノ郵便切手ヲ貼附シタルモノヲ郵便官署ニ宛テ差出ストキ

四　私製葉書ノ裏面ニ裝飾又ハ愛玩ノ爲寫眞、紙片、纖物、樹皮等ニテ薄キモノヲ第二十六條第一項ニ規定スル制限ニ抵觸セズ且容易ニ剝脫、毀損セザルヤウ全面ヲ密着セシメタルトキ

五　「郵便はがき」又ハ「郵便往復はがき」ノ文字及郵便葉書ノ料額印面又ハ貼附シタル郵便切手以外ノ部分ニ僅少ノ打出又ハ穿孔ヲ施シタルトキ

第三十一條　受取人ニ配達又ハ交付シタル郵便葉書ハ再ビ郵便葉書トシテ之ヲ差出スコトヲ得ズ

第三十二條　料額印面ヲ汚損シタル郵便葉書ハ新ニ之ト同額ノ郵便切手ヲ貼附シテ之ヲ差出スコトヲ得料額印面ニ記念ノ爲通信日附印ノ押捺ヲ受ケタル郵便葉書及第三十三條第一項後段ノ規定ニ依リ消印ヲ受ケタル往復葉書ノ返信部ニ付亦同ジ

前項ノ郵便葉書ニ郵便切手ヲ貼附セズ又ハ貼附シタル切手ノ額不足ナルトキハ料金未納又ハ不足ノ郵便葉書トシテ之ヲ取扱フ

第三十三條　本款ノ規定ニ違反シテ差出シタル郵便葉書ハ印刷書狀ニ非ザル第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス此ノ場合ニ於テ往復葉書ニ依ル往信ナルトキハ其ノ返信部ハ第二項ニ規定スル場合ヲ除クノ外當該郵便物ノ料金納付ノ爲ニ用ヒタルモノト看做ス

第三十條ノ規定ニ違反シタル場合ニ於テ郵便葉書ヲ貼合セ、綴合セ其ノ他之ニ類スル方法ヲ用ヒ又ハ他物ニ貼附シテ差出シタルモノナルトキハ政府ノ發行スル郵便葉書ハ當該郵便物ノ料金納付ニ付其ノ效力ヲ有セズ

第三款　第三種郵便物

第三十四條　第三種郵便物ト爲ス定期刊行物ハ左ノ條件ヲ具備スルモノナルコトヲ要ス

一　毎月一回以上遂號定期ニ發行スルコト

二　掲載事項ノ性質ガ終期ヲ豫定シ得ザルコト

三　書籍ノ性質ヲ有セザルコト

四　政治、經濟、法律、學術、教育、宗教、産業、藝術、技藝、趣味其ノ他公共ノ性質ヲ有スル事項ヲ報道又ハ論議スルヲ以テ發行ノ目的ト爲シ汎ク公衆ニ發賣スルコト

第三十五條　第三種郵便物ノ認可ハ認可ノ日迄之ノ期間前條各號ノ條件ヲ繼續具備シタル刊行物ニ付發行地所轄管理事務分掌郵便局長（以下單ニ郵信分掌局長ト稱ス）之ヲ爲ス

一　日刊ノモノニ在リテハ一月間

二　月一回以上刊行ノモノニ在リテハ二月間

第三十種郵便物ノ認可ヲ受ケタル日以後ニ發行スルモノト雖モ其ノ效力ヲ有ス

第三十六條　第三種郵便物ノ認可ヲ受ケントスルトキハ發行人ニ於テ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ前條第一項ノ期間內ニ發行シタル各號刊行物ノ見本二部ヲ添ヘ郵信分掌局長ニ提出スベシ

一　題號

二　掲載事項ノ種類

三　發行人

四　發行人ノ居所

五　發行所ノ定日

六　發行所ノ所在及名稱

七　差出郵便官署（發行人ニ於テ發行ノ際差出ス郵便官署ヲ謂フ）

第三十七條　第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物（以下單ニ定期刊行物ト稱ス）ニ付左ノ事項ヲ變更セントスルトキハ發行人ニ於テ申請書ヲ郵信分掌局長ニ提出シ其ノ認可ヲ受クベシ

一　題號

二　掲載事項ノ種類

三　發行人（政氏名ノ場合ヲ除ク）

四　差出郵便官署

發行人ヲ變更セントスル場合ニ於テハ新舊發行人連署スベシ舊發行人連署ヲ得ザル場合ニ於テハ新發行人ニ於テ其ノ事由ヲ證明スベシ

賠償ノ決定通知ノ日ヨリ三十日

二　前條第八號ノ料金ニ付テハ私製郵便函ノ廢止若ハ取消ノ日又ハ郵便私書函ノ鍵返納ノ日ヨリ三十日

第十三條　郵便、郵便爲替、郵便貯金、電信、電話、無線電信、無線電話、朝鮮簡易生命保險、年金恩給支給、國庫金受拂又ハ取入印紙賣捌ノ事務ニ關スル左ノ郵便物ハ無料郵便物トシテ之ヲ差出スコトヲ得

一　選信官署ヨリ發スルモノ

二　損害賠償又ハ料金還付ノ請求ヲ爲ス爲選信官署ニ宛テ發スルモノ

三　選信官署ヨリ發スルモノ

四　事故ノ調査又ハ注意ヲ求ムル爲選信官署ニ宛テ發スルモノ

五　他ノ法令ヲ以テ特ニ規定シタルモノ

無料郵便物ハ特ニ規定アルモノ及選信官署ニ於テ指定スルモノヲ除クノ外之ヲ特殊取扱ト爲スコトヲ得ズ

第十四條　無料郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ノ上部左隅ニ「通信事務」ト記載スベシ

無料郵便物ノ差出人又ハ受取人ガ官署又ハ官吏ナルトキハ其ノ官署名又ハ官職及氏名ヲ、私人ナルトキハ其ノ居所及氏名ヲ外部ニ記載スベシ

前項ノ規定ニ依ル事項ノ記載ナキ郵便物ハ無料郵便物ニ非ザル郵便物トシテ之ヲ取扱フ

第十五條　無料ト爲スコトヲ得ザル郵便物ヲ無料郵便物トシテ差出シタルトキハ差出人ニ之ヲ還付シ其ノ納付スベカリシ料金ノ二倍ヲ徵收ス

無料郵便物ニ無料郵便ノ性質ヲ有セザル通信文ヲ記載シ又ハ無料郵便物ト爲スコトヲ得ザル物ヲ添附シタルトキ亦前項ニ同ジ

第二章　郵便物

第一節　通則

第十六條　郵便物ノ容積及重量ノ制限ヲ超エルコトヲ得ズ但シ航空郵便ト爲ス盲人用點字ノ書籍、印刷物及業務用書類並ニ小型ニシテ容積、重量、運送距離等ニ應ジ取扱中毀損セズ且他ノ郵便物ニ損傷ヲ與ヘザルヤウ強額ナル紙、帶紙（幅八センチメートル以上ナルコトヲ要ス）若ハ布ノ類ヲ以テ包ミ又ハ箱、纖若ハ嚢ニ納ムル等適當ニ之ヲ包裝スベシ但シ小包郵便物ニシテ包裝セザルモ取扱中毀損セズ且他ノ郵便物ニ損傷ヲ與ヘザルモノハ紐又ハ之ニ類スル物ヲ以テ適當ニ之ヲ結束シ其ノ他ノ包裝ヲ省略スルコトヲ得

第三種乃至第五種郵便物ハ其ノ內容ヲ容易ニ檢査シ得ルヤウ之ヲ開封ト爲スベシ但シ蠶種ハ郵便官署ノ承認ヲ受ケ之ヲ密閉スルコトヲ得

開キタル恣アル封筒ハ郵便物ノ包裝ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第二十條　左ノ物ハ前條ノ規定ニ依ル外左ノ下欄ノ包裝ヲ爲スベシ

區別	包裝方法
一　乾物其ノ他之ニ類スル物	適當ノ箱ニ納メ又ハ其ノ危險部分ヲ覆ヒ之ヲ箱ニ納ムル等ノ方法ニ依ルコト
二　液體、液化シ易キ物、臭氣ヲ發スル物及腐蝕性ノ物	堅牢ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
三　毒藥、劇藥、毒物及劇物並ニ生キタル病原菌	堅固ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
四　前號ノ規定ニ依ル包裝ヲ爲シ其ノ郵便物ノ表面君易ニ危險物ノ所在ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト	堅固ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
五　生キタル動物	堅固ナル木製、壺、箱其ノ他適當ナル容器ニ納メ完全ニ其ノ脫出及排泄物ノ漏出ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲スコト

第二十一條　郵便物ノ差出人ハ受取人ノ居所及氏名ヲ其ノ表面ニ詳細且明瞭ニ記載スベシ但シ封筒ノ表面ニ部分（燈火ヲ反射セズ且縦十センチメートル横四センチメートル以上ノモノナルコトヲ要ス）ヲ設ケ其ノ部分ヨリ郵便物ノ受取人ノ居所及氏名ノミガ明瞭ニ透視シ得ルモノハ之ヲ內部ニ記載スルコトヲ妨ゲズ

第二十二條　容積又ハ重量ノ制限ヲ超エ規定ニ違反シタル郵便物ハ特ニ規定スル場合ヲ除クノ外差出人ニ之ヲ還付ス

第二十三條　成規ニ違反シタル郵便物ヲ差出人ニ還付スル場合ニ於テハ左ノ料金ヲ徵收ス

一　郵便料未納又ハ不足ナルトキハ其ノ不納額ノ二倍

二　通貨ヲ通貨價格表記ト爲サズシテ差出シタルトキハ通貨價格表記ト爲スベシ

三　貴金屬、寶玉石其ノ他ノ貴重品ヲ書留又ハ價格表記ト爲サズシテ差出シタル場合ニ於テ通常郵便物トシテ差出シタルモノナルトキハ通常郵便物書留料ノ三倍、普通小包郵便物トシテ差出シタルモノナルトキハ普留小包郵便料ト普通小包郵便料トノ差額ノ三倍

四　通貨價格表記郵便物ノ表記金額ガ在中通貨ノ金高ヨリ少額ニシテ價格表記料ニ不足アルトキハ不足額ノ三倍

前項第二號及第四號ノ場合ニ於テ在中ノ通貨千圓ヲ超エルモノハ其ノ超過額ニ對シ別ニ價格表記料ノ累加率ニ依リ算定シタル金額ノ外ニ其ノ郵便物ニ對シ通常郵便物ニ適用スル料金ヲ徵收ス

第十八條　通貨ヲ郵便物トシテ差出サントスルトキハ通貨價格表記ト爲スベシ貴金屬、寶玉石其ノ他ノ貴重品ヲ郵便物トシテ差出サントスルトキハ葬留又ハ物品價格表記ト爲スベシ但シ航空郵便トシ爲ス盲人用點字ノ書籍、印刷物及業務用書類並ニ小型ニシテ容積、重量、運送距離等ニ應ジ取扱中毀損セズ且他ノ郵便物ニ損傷ヲ與ヘザルヤウ強額ナル紙、帶紙（幅八センチメートル以上ナルコトヲ要ス）若ハ布ノ類ヲ以テ包ミ又ハ箱、纖若ハ嚢ニ納ムル等適當ニ之ヲ包裝スベシ但シ小包郵便物ニシテ包裝セザルモ取扱中毀損セズ且他ノ郵便物ニ損傷ヲ與ヘザルモノハ紐又ハ之ニ類スル物ヲ以テ適當ニ之ヲ結束シ其ノ他ノ包裝ヲ省略スルコトヲ得

第三種乃至第五種郵便物ハ其ノ內容ヲ容易ニ檢査シ得ルヤウ之ヲ開封ト爲スベシ但シ蠶種ハ郵便官署ノ承認ヲ受ケ之ヲ密閉スルコトヲ得

開キタル恣アル封筒ハ郵便物ノ包裝ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第二十條　左ノ物ハ前條ノ規定ニ依ル外左ノ下欄ノ包裝ヲ爲スベシ

區別	包裝方法
一　乾物其ノ他之ニ類スル物	適當ノ箱ニ納メ又ハ其ノ危險部分ヲ覆ヒ之ヲ箱ニ納ムル等ノ方法ニ依ルコト
二　液體、液化シ易キ物、臭氣ヲ發スル物及腐蝕性ノ物	堅牢ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
三　毒藥、劇藥、毒物及劇物並ニ生キタル病原菌	堅固ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
四　前號ノ規定ニ依ル包裝ヲ爲シ其ノ郵便物ノ表面君易ニ危險物ノ所在ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト	堅固ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
五　生キタル動物	堅固ナル木製、壺、箱其ノ他適當ナル容器ニ納メ完全ニ其ノ脫出及排泄物ノ漏出ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲スコト

第二十一條　郵便物ノ差出人ハ受取人ノ居所及氏名ヲ其ノ表面ニ詳細且明瞭ニ記載スベシ但シ封筒ノ表面ニ部分（燈火ヲ反射セズ且縦十センチメートル横四センチメートル以上ノモノナルコトヲ要ス）ヲ設ケ其ノ部分ヨリ郵便物ノ受取人ノ居所及氏名ノミガ明瞭ニ透視シ得ルモノハ之ヲ內部ニ記載スルコトヲ妨ゲズ

第二十二條　容積又ハ重量ノ制限ヲ超エ規定ニ違反シタル郵便物ハ特ニ規定スル場合ヲ除クノ外差出人ニ之ヲ還付ス

第二十三條　成規ニ違反シタル郵便物ヲ差出人ニ還付スル場合ニ於テハ左ノ料金ヲ徵收ス

一　郵便料未納又ハ不足ナルトキハ其ノ不納額ノ二倍

二　通貨ヲ通貨價格表記ト爲サズシテ差出シタルトキハ通貨價格表記ト爲スベシ

三　貴金屬、寶玉石其ノ他ノ貴重品ヲ書留又ハ價格表記ト爲サズシテ差出シタル場合ニ於テ通常郵便物トシテ差出シタルモノナルトキハ通常郵便物書留料ノ三倍、普通小包郵便物トシテ差出シタルモノナルトキハ普留小包郵便料ト普通小包郵便料トノ差額ノ三倍

四　通貨價格表記郵便物ノ表記金額ガ在中通貨ノ金高ヨリ少額ニシテ價格表記料ニ不足アルトキハ不足額ノ三倍

前項第二號及第四號ノ場合ニ於テ在中ノ通貨千圓ヲ超エルモノハ其ノ超過額ニ對シ別ニ價格表記料ノ累加率ニ依リ算定シタル金額ノ外ニ其ノ郵便物ニ對シ通常郵便物ニ適用スル料金ヲ徵收ス

第十八條　通貨ヲ郵便物トシテ差出サントスルトキハ通貨價格表記ト爲スベシ貴金屬、寶玉石其ノ他ノ貴重品ヲ郵便物トシテ差出サントスルトキハ葬留又ハ物品價格表記ト爲スベシ但シ航空郵便トシ爲ス盲人用點字ノ書籍、印刷物及業務用書類並ニ小型ニシテ容積、重量、運送距離等ニ應ジ取扱中毀損セズ且他ノ郵便物ニ損傷ヲ與ヘザルヤウ強額ナル紙、帶紙（幅八センチメートル以上ナルコトヲ要ス）若ハ布ノ類ヲ以テ包ミ又ハ箱、纖若ハ嚢ニ納ムル等適當ニ之ヲ包裝スベシ但シ小包郵便物ニシテ包裝セザルモ取扱中毀損セズ且他ノ郵便物ニ損傷ヲ與ヘザルモノハ紐又ハ之ニ類スル物ヲ以テ適當ニ之ヲ結束シ其ノ他ノ包裝ヲ省略スルコトヲ得

第三種乃至第五種郵便物ハ其ノ內容ヲ容易ニ檢査シ得ルヤウ之ヲ開封ト爲スベシ但シ蠶種ハ郵便官署ノ承認ヲ受ケ之ヲ密閉スルコトヲ得

開キタル恣アル封筒ハ郵便物ノ包裝ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第二十條　左ノ物ハ前條ノ規定ニ依ル外左ノ下欄ノ包裝ヲ爲スベシ

區別	包裝方法
一　乾物其ノ他之ニ類スル物	適當ノ箱ニ納メ又ハ其ノ危險部分ヲ覆ヒ之ヲ箱ニ納ムル等ノ方法ニ依ルコト
二　液體、液化シ易キ物、臭氣ヲ發スル物及腐蝕性ノ物	堅牢ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
三　毒藥、劇藥、毒物及劇物並ニ生キタル病原菌	堅固ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
四　前號ノ規定ニ依ル包裝ヲ爲シ其ノ郵便物ノ表面君易ニ危險物ノ所在ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト	堅固ナル木製又ハ金屬ノ箱ニ納メ各箱ノ動搖、摩擦ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲シ且郵便物ノ表面容易ニ危險ノ性質ヲ認メ得ル樣ニ表示スルコト
五　生キタル動物	堅固ナル木製、壺、箱其ノ他適當ナル容器ニ納メ完全ニ其ノ脫出及排泄物ノ漏出ヲ防グニ足ル裝置ヲ爲スコト

第二十一條　郵便物ノ差出人ハ受取人ノ居所及氏名ヲ其ノ表面ニ詳細且明瞭ニ記載スベシ但シ封筒ノ表面ニ部分（燈火ヲ反射セズ且縦十センチメートル横四センチメートル以上ノモノナルコトヲ要ス）ヲ設ケ其ノ部分ヨリ郵便物ノ受取人ノ居所及氏名ノミガ明瞭ニ透視シ得ルモノハ之ヲ內部ニ記載スルコトヲ妨ゲズ

第二十二條　容積又ハ重量ノ制限ヲ超エ規定ニ違反シタル郵便物ハ特ニ規定スル場合ヲ除クノ外差出人ニ之ヲ還付ス

第二十三條　成規ニ違反シタル郵便物ヲ差出人ニ還付スル場合ニ於テハ左ノ料金ヲ徵收ス

一　郵便料未納又ハ不足ナルトキハ其ノ不納額ノ二倍

二　通貨ヲ通貨價格表記ト爲サズシテ差出シタルトキハ通貨價格表記ト爲スベシ

三　貴金屬、寶玉石其ノ他ノ貴重品ヲ書留又ハ價格表記ト爲サズシテ差出シタル場合ニ於テ通常郵便物トシテ差出シタルモノナルトキハ通常郵便物書留料ノ三倍、普通小包郵便物トシテ差出シタルモノナルトキハ普留小包郵便料ト普通小包郵便料トノ差額ノ三倍

四　通貨價格表記郵便物ノ表記金額ガ在中通貨ノ金高ヨリ少額ニシテ價格表記料ニ不足アルトキハ不足額ノ三倍

前項第二號及第四號ノ場合ニ於テ在中ノ通貨千圓ヲ超エルモノハ其ノ超過額ニ對シ別ニ價格表記料ノ累加率ニ依リ算定シタル金額ノ外ニ其ノ郵便物ニ對シ通常郵便物ニ適用スル料金ヲ徵收ス

前項ノ附錄ニハ本紙ノ題號、逓號番號、發行年月日及「附錄」ノ文字ヲ記載スベシ

前項ノ規定ニ依ル事項ノ記載ナキ物ヲ第三種郵便物ニ添附シタルトキハ異種ノ郵便物ヲ合裝シタルモノト看做ス

第四十三條　定期刊行物ノ號外（緊急時ヲ報道又ハ論議スル爲臨時ニ發行スルモノニ限ル以下之ニ同ジ）ニハ其ノ初頁上部ニ本紙ノ題號、發行年月日、「何年何月何日第三種郵便物認可」及「號外」ノ文字ヲ、次頁以下ニハ本紙ノ題號又ハ略稱、發行年月日、「第三種郵便物認可」及「號外」ノ文字ヲ記載スベシ但シ官報ノ號外ニ付テハ次頁以下ニ記載スベキ文字ハ終頁ノミニ記載スルヲ以テ足ル

前項ノ規定ニ依リ定期刊行物ノ增刊ニ之ヲ準用ス但シ册子ト爲シタル增刊ニ付テハ次頁以下ニ記載スベキ文字ハ裏表紙ノミニ記載スルヲ以テ足ル

第五十條　定期刊行物ニ付テハ六月間ニ發行スベキ回數ノ四分ノ一ヲ超エザル範圍内ニ於テ臨時ニ發行スル增刊ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第五十一條　定期刊行物ニ付テハ六月間ニ發行スベキ回數ノ四分ノ一ヲ超エザル範圍内ニ於テ休刊スルコトヲ得

第五十二條　定期刊行物ガ第三十四條第二號乃至第四號ニ規定スル條件ノ一ヲ具備セザルニ至リタルトキハ其ノ認可ヲ取消ス

第五十三條　印刷物トハ特定ノ人ニ宛テタル通信文ノ性質ヲ有セザル事項ヲ紙又ハ之ニ類スル物ニ全部印刷（活版、石版、銅版、木版、寫眞版、謄寫版其ノ他之ニ類スル製版ヲ用ヒテ一時ニ多數複寫スル方法ヲ謂フ）シタルモノヲ謂フ

第五十四條　業務用背面トハ特定ノ人ニ宛テタル事項、封筒若ハ帶紙ニ其ノ印刷所、製造所、發行年月日及「附錄」ノ文字ヲ記載スベキ第三種郵便物認可年月日ガ其ノ事實ニ反スルトキ

三　第四十四條ニ規定スル見本ノ提出ヲ怠リタルトキ

第四十四條　定期刊行物ノ號外（緊急時ヲ報道又ハ論議スル爲臨時ニ發行スルモノニ限ル以下之ニ同ジ）ニハ其ノ初頁上部ニ本紙ノ題號、發行年月日、「何年何月何日第三種郵便物認可」及「號外」ノ文字ヲ、次頁以下ニハ本紙ノ題號又ハ略稱、發行年月日、「第三種郵便物認可」及「號外」ノ文字ヲ記載スベシ但シ官報ノ號外ニ付テハ次頁以下ニ記載スベキ文字ハ終頁ノミニ記載スルヲ以テ足ル

前項ノ規定ニ依リ定期刊行物ノ增刊ニ之ヲ準用ス但シ册子ト爲シタル增刊ニ付テハ次頁以下ニ記載スベキ文字ハ裏表紙ノミニ記載スルヲ以テ足ル

第五十二條　定期刊行物ニハ發行人ニ於テ其ノ記事ニ關スル物ニシテ第四十二條第一項ノ附錄ト合シテ本紙ノ重量ヲ超エザルモノヲ綴込ミ、貼附シ若ハ添附シ又ハ第二項ノ規定ニ依リ添附シタル物ニ第三項ノ規定ニ依リ貼附シ若ハ記載シタル物ニ非ザレバ之ヲ封入シ又ハ貼附シ若ハ記載シタルモノヲ以テ定期刊行物ニ第一項及第二項ノ規定ニ依リ綴込ミ、貼附シ若ハ添附シ得ル以外ノ物ヲ封入シ又ハ貼附シ若ハ記載シタル物ニ非ザレバ之ヲ封入シ又ハ貼附シ若ハ記載シタルモノヲ以テ定期刊行物ニ第一項及第二項ノ規定ニ依リ貼附シ若ハ記載シタル物ニ非ザレバ之ヲ

第

百二十一條　郵便物ノ送達ニ關シテハ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ニ關スル法律ヲ準用ス

第

百二十二條　郵便物ノ送達ハ郵便官吏又ハ郵便官吏ノ指揮ヲ受ケタル郵便配達夫ヲシテ之ヲ爲サシム

第

百二十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ其ノ受取ヲ證スル爲メ郵便物ノ表面ニ署名ヲ爲サシムルコトヲ得

第

百二十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百二十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百二十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百二十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百二十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百二十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百三十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百四十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百五十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百六十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百七十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百八十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

百九十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百一條　郵便物ノ送達ニ關シテハ本章ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外民事訴訟ニ關スル法律ヲ準用ス

第

二百二條　郵便物ノ送達ハ郵便官吏又ハ郵便配達夫ヲシテ之ヲ爲サシム

第

二百三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ署名ヲ爲サシムルコトヲ得

第

二百四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百二十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十一條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十二條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十三條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十四條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十五條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十六條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十七條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十八條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百三十九條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

第

二百四十條　郵便官吏又ハ郵便配達夫ハ郵便物ヲ送達スルニ當リ受取人ニ對シ郵便物ノ表面ニ記載シタル住所又ハ居所ニ於テ之ヲ送達スルコトヲ得

ノ他ノ事由ニ依リ現金ノ取立ヲ爲スコト能ハザルトキハ第一項ノ期間内ニ更ニ一回ノ取立ヲ爲ス

現金受領證ニ依リ現金ノ取立ヲ爲シタルトキハ之ニ取立年月日ヲ記載ス

集金郵便ニ依ル取立金ハ郵便爲替ニ關スル法令ノ定ムル所ニ從ヒ委託者ニ之ヲ送付ス

第百七十九條　集金郵便ノ委託者ハ左ノ請求ヲ爲スコトヲ得

一　第一回ノ取立ニ依リ現金ノ取立ヲ爲スコト能ハザルトキハ直ニ證書又ハ證券ヲ還付スルコト

二　一定ノ期日ニ現金ノ取立ヲ爲スコト

三　證書又ハ證券ヲ取立郵便官署ニ留置キ支拂人ノ出頭ヲ待チテ其ノ取立ヲ爲スコト

四　前號ノ請求ヲ爲シタル集金郵便ノ到著ヲ支拂人ニ通知スルコト

前項第二號ノ請求ヲ爲スモノニ付テハ當該證書又ハ證券ガ取立期日ニ前ニ取立郵便官署ニ到著スルヤウ之ヲ委託スベシ

第百二十四條　第二項ノ規定ハ第一項第三號ノ請求ヲ爲シタル集金郵便ニ之ヲ準用ス

第一項第四號ノ請求ヲ爲サントスルトキハ料金四錢ヲ納付スベシ

第百八十條　前條第一項ノ請求ヲ爲サントスルトキハ委託者ニ於テ集金郵便委託書備考欄ニ左ノ區別ニ依ル事項ノ記載ヲ爲スベシ

一　第一號ノ請求ナルトキ「取立一回還付」

二　第二號ノ請求ナルトキ「何月何日取立」

三　第三號ノ請求ナルトキ「何局所留置」又ハ「留置」

四　第四號ノ請求ナルトキ「留置通知」

第百八十一條　集金郵便ノ委託者郵便振替貯金加入者ナルトキハ集金郵便振替貯金拂込規則ノ定ムル所ニ依ル特別取扱ヲ請求スルコトヲ得

第百八十二條　集金郵便ノ支拂人ハ第百七十九條第一項第三號ノ請求ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ受取人ヨリ徴收スル料金ノ外損害金ヲ徴收スベシ

第百八十三條　集金郵便ノ委託者ハ左ノ請求ヲ爲スコトヲ得

一　支拂人ノ所在不明ナルトキ

二　支拂人ガ集金郵便ノ取立ヲ取扱ハザル地域ニ移轉シタルトキ

三　現金ノ取立ヲ爲スコト能ハズシテ取立期日又ハ取立期間ヲ經過シタルトキ

四　支拂人ガ支拂ヲ爲サザル旨申出デタルトキ

第百八十五條　集金郵便ノ引受ハ十二月二十五日ヨリ翌年一月三日迄、取立ハ一月一日ヨリ一月七日迄其ノ取扱ヲ爲サズ

前項ノ取立ヲ爲サザル期間ハ取立期間ニ之ヲ算入セズ

第八節　運送

第百八十六條　特定ノ地域ニ發著スル料金完納ノ郵便物ハ之ヲ運送ト爲スコトヲ得

前項ノ地域ハ別ニ之ヲ告示ス

第百八十七條　運送料ハ七錢トス

第百八十八條　運送郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「運送」ト朱記スベシ

第百八十九條　運送ト爲スベキ小包郵便物ハ之ヲ普通取扱ト爲スコトヲ得

前項ノ小包郵便物ニハ差出人ニ於テ表面ニ易キ箇所ニ「普通小包」ト朱記スベシ

第百九十條　前條ノ規定ニ依リ普通取扱ト爲ス小包郵便物ノ料金ハ左ノ如シ

一　同一郵便區市内ニ發著スルモノ　十錢

二　其ノ他ノモノ　十五錢（二十五錢、三十五錢、四十五錢、五十五錢）

第百九十一條　航空郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「航空」ト朱記スベシ

第二百條　郵便函ニ差入レタル「航空」ト記載シアル郵便物ニシテ料金ヲ完納セザルモノハ「航空」ノ表示ヲ抹消シ航空郵便物ニ非ザル郵便物トシテ之ヲ取扱フ但シ其ノ納付シタル料金額ガ航空料ニ達スルモノニ限リ航空郵便ノ取扱ヲ爲シ不足料金ハ一般ノ例ニ依リ之ヲ徴收ス

第二百一條　第百九十七條ノ規定ハ航空郵便ニ之ヲ準用ス

第十節　別配達

第二百二條　第百八十七條ノ規定ハ別配達ニ之ヲ準用ス

第二百三條　第百八十八條ノ規定ハ別配達ニ之ヲ準用ス

第二百四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百二十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百三十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百四十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百五十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百六十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百七十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百八十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第二百九十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百二十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百三十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百四十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十七條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十八條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百五十九條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百六十條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百六十一條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

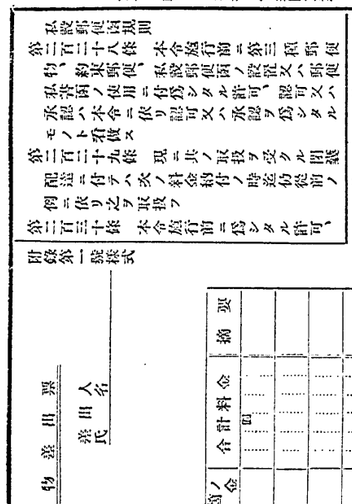
第三百六十二條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百六十三條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百六十四條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

第三百六十五條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ箇所ニ「書留」又ハ「價格表記」ト朱記スベシ

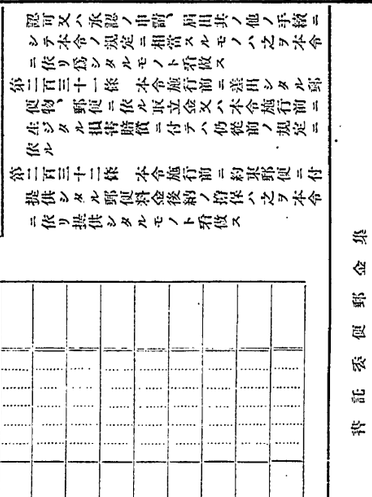
第三百六十六條　書留又ハ價格表記ヲ爲シタル郵便物ニハ差出人ニ於テ其ノ表面ニ易キ

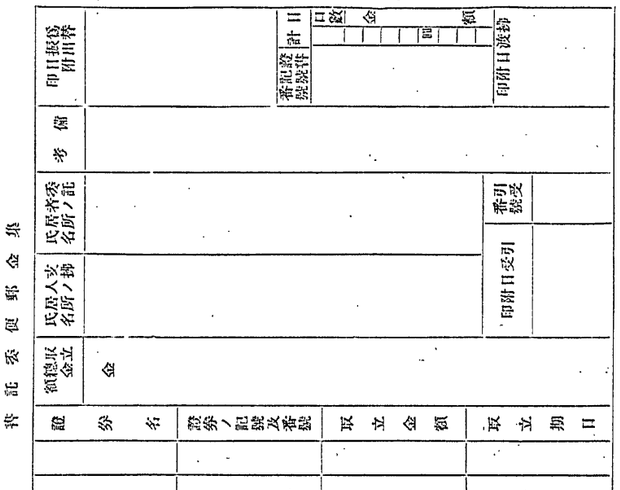


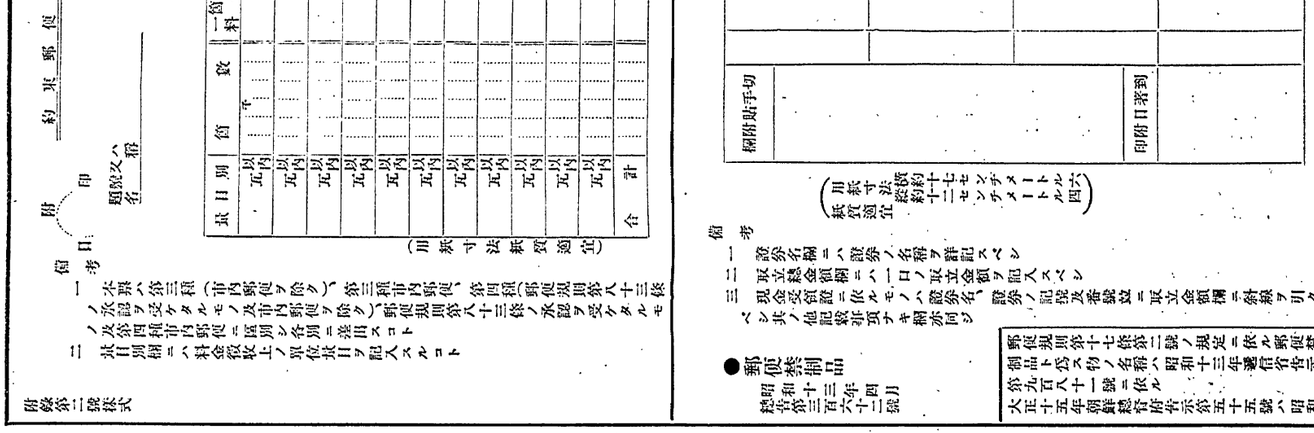
約束郵便物送出票

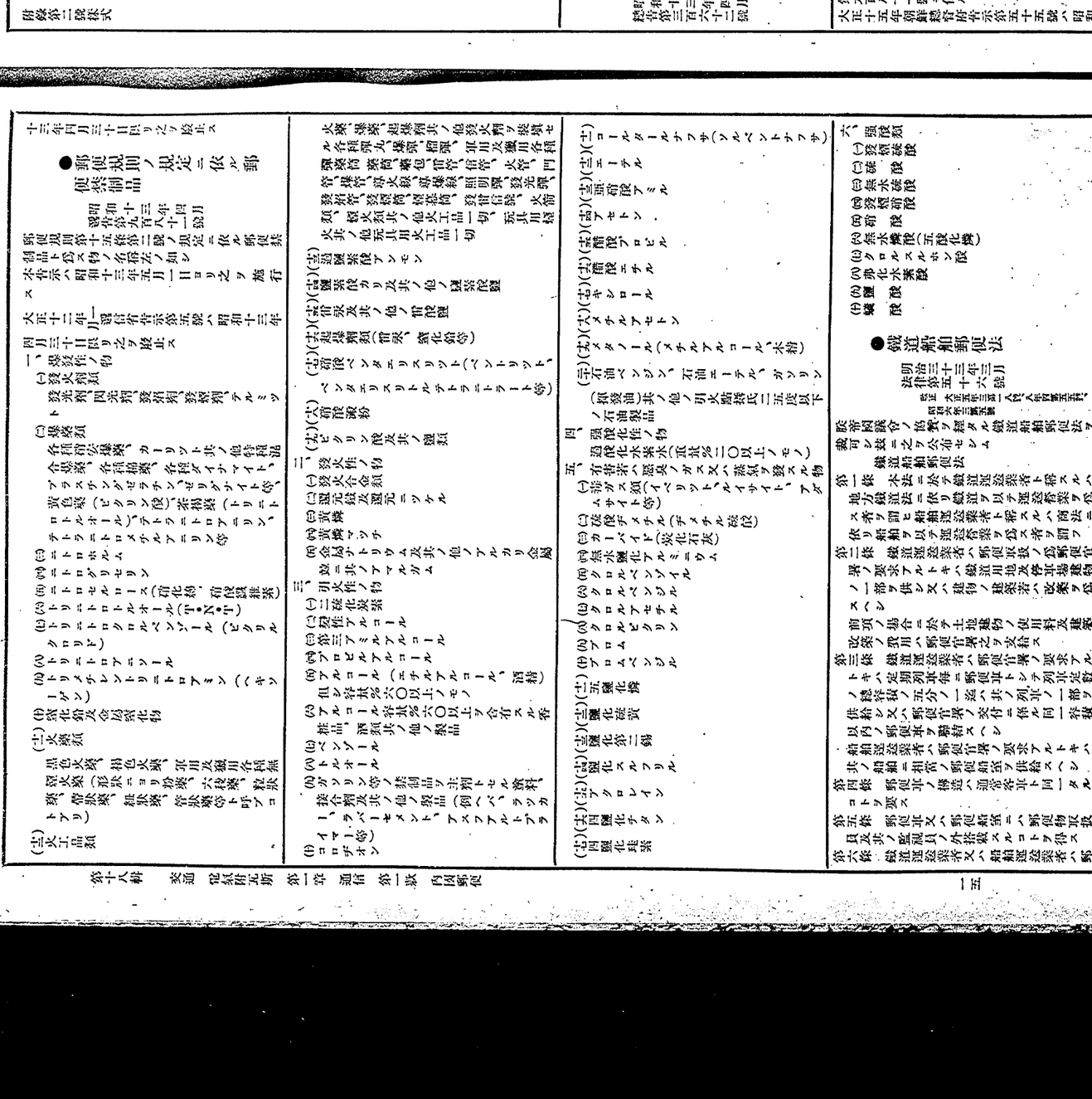
宛名

種別或ハ名称









●朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件

昭和十二年八月
總令第九十九號

朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件左ノ通定ム

朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關シテハ朝鮮ト內地、臺灣、樺太、南洋群島及關東州間郵便規則ヲ準用ス但シ私用軍事小包郵便物ノ重量ハ四キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件

昭和十二年八月
總令第九十九號

改正　昭和一二年一二月一九日號、一三年三月三〇日號

朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件左ノ通定ム

朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關シテハ朝鮮ト內地、臺灣、樺太、南洋群島及關東州間郵便規則ヲ準用ス但シ私用軍事小包郵便物ノ重量ハ四キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事通常郵便物ノ航空取扱ニ要スル料金

昭和十二年八月
總令第百三號

朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事通常郵便物ノ航空取扱ニ要スル料金左ノ通定ム

朝鮮ト北支那方面トノ間ニ發著スル軍事通常郵便物ノ航空取扱料金ニ關シテハ航空郵便規則第四條第一號ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル件

昭和四年五月
法律第六十六號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル朝鮮簡易生命保險ノ事務ニ關スル郵便物ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

●郵便切手類及收入印紙賣捌規則

昭和五年三月
總令第二十一號

改正　昭和六年一月八日號、六年九月一二日號、七年一二月二三日號、八年九月一〇日號、九年一二月一二日號、一一年五月三六日號、一三年四月八日號

第一條　郵便切手類及收入印紙賣捌ニ關シテハ別ニ規定アルモノノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ郵便切手類ト稱スルハ政府ニ於テ發行スル郵便切手、郵便切手帖、郵便葉書、郵便絡葉書、價格表記郵便物封筒、價格表記郵便物封緘紙及返信切手券ヲ謂フ

第三條　郵便切手類ハ其ノ賣捌ニ關シ特ニ告示シタル場合ヲ除クノ外郵便、電信、電話官署及郵便切手賣捌所ニ於テノミ賣捌ク

返信切手券ノ引換ハ其ノ賣捌ヲ爲ス郵便局所ニ於テノミ之ヲ行フ

第四條　郵便切手類ハ郵便、電信、電話官署及郵便切手賣捌所（以下單ニ賣捌所ト稱ス）以外ノ場所ニ於テノミ賣捌クコトヲ得ズ但シ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ニ於テ特ニ必要ト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　收入印紙ハ郵便官署、賣捌所及收入印紙賣捌所（以下單ニ賣捌所ト稱ス）以外ノ場所ニ於テノミ賣捌クコトヲ得ズ

第六條　收入印紙ノミノ賣捌ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限リ之ヲ許可ス

一　法律ニ依リ扶助料ヲ受クル者

二　法律ニ依リ扶助料ヲ受クル者ニ準ズベキ者

三　遞信局長ニ於テ特ニ必要ト認メタル者

第七條　郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌ヲ爲サントスル者ハ郵便局ノ郵便區內ニ在ル者ニ在リテハ當該郵便局長ニ、郵便所ノ郵便區內ニ在ル者ニ在リテハ其ノ區域ノ朝鮮總督府遞信局（以下單ニ遞信局ト稱ス）ノ管理事務ヲ分掌スル郵便局長（以下單ニ分掌局長ト稱ス）ニ、鐵道列車食堂內又ハ船舶內ニ於テ賣捌ヲ爲サントスル者ニ在リテハ其ノ船籍港ヲ郵便區トスル郵便局所ノ所轄分掌局長ニ附錄第一號樣式ノ申請書ヲ差出シ其ノ許可ヲ受クベシ

收入印紙ノミノ賣捌ヲ爲サントスル者ニシテ前條第一號又ハ第二號ニ該當スル者ナルトキハ前項ノ申請書ニ其ノ資格證明書ヲ添附スベシ

第八條　前條第一項ノ規定ニ依リ郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌ノ許可ヲ受ケタル者（以下單ニ賣捌人ト稱ス）ハ其ノ賣捌所ニ附錄第二號樣式ノ標札又ハ目標ヲ揭出スベシ但シ鐵道停車場構內、鐵道列車食堂內、船舶內等ノ賣捌所ニシテ其ノ構造上所定ノ標札又ハ目標ヲ揭出シ難キモノハ所轄分掌局長ノ承認ヲ得テ適宜之ヲ變更スルコトヲ得

第九條　賣捌人其ノ住所又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ニ其ノ旨届出ヅベシ

第十條　賣捌人賣捌所ヲ移轉セントスルトキハ三十日前迄ニ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ニ申請シ其ノ許可ヲ受クベシ但シ他ノ郵便局所ノ區內ニ移轉スルコトヲ得ズ

第十一條　賣捌人郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌ヲ廢止セントスルトキハ三十日前迄ニ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ニ其ノ旨届出ヅベシ

賣捌人自ラ前項ノ届出ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ家族又ハ親族ニ於テ前項ノ届出ヲ爲スコトヲ得

賣捌人逃亡シ、行衞不明ト爲リ又ハ死亡シ

包郵便物ヲ除ク）ト爲スノ外特殊取扱ト爲スコトヲ得ス

第七條　私用軍事郵便物ニシテ第三條ニ依ルモノハ書留、留置及約束郵便（小包郵便物ヲ除ク）又第四條ニ依ルモノハ留置ト爲スノ外特殊取扱ト爲スコトヲ得ス但シ野戰郵便局又ハ海軍用郵便所ニ留置クヘキ郵便物ニ對シテハ留置通知ヲ請求スルコトヲ得ス

第八條　軍事郵便物ノ差出人ハ其ノ郵便物ノ差立前ニ限リ名義變更又ハ取戻ヲ其ノ司受局所ニ請求スルコトヲ得但シ之カ爲事務ニ差支アルトキハ拒絕スルコトアルヘシ

第九條　軍事郵便物ノ別配送並事小包郵便物ノ轉送及還付ニ關シテハ別ニ料金ヲ徵收セス

第十條　第三條ニ依ル軍事郵便物ハ普通郵便局ノ取扱中ニ亡失又ハ毀損シタル場合ニ限リ普通郵便ニ關スル規定ニ依リ其ノ損害ヲ賠償ス

第四條ニ依ル軍事郵便物ニ對シテハ總テ其ノ損害ヲ賠償セス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●上海及揚子江方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件

昭和七年二月
總令第十八號

改正　昭和一二年一二月九日號、一三年三月二九日號

上海及揚子江方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件左ノ通定ム

上海及揚子江方面ト朝鮮トノ間ニ發著スル軍事郵便ノ取扱ニ關シテハ朝鮮ト內地、臺灣、樺太、南洋群島及關東州間郵便規則ヲ準用ス但シ私用軍事小包郵便物ノ重量ハ四キログラムヲ超ユルコトヲ得ズ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便切手類及收入印紙賣捌規則

昭和五年三月
總令第二十一號

改正　昭和六年一月八日號、六年九月一二日號、七年一二月二三日號、八年九月一〇日號、九年一二月一二日號、一一年五月三六日號、一三年四月八日號

第一條　郵便切手類及收入印紙賣捌ニ關シテハ別ニ規定アルモノノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　本令ニ於テ郵便切手類ト稱スルハ政府ニ於テ發行スル郵便切手、郵便切手帖、郵便葉書、郵便絡葉書、價格表記郵便物封筒、價格表記郵便物封緘紙及返信切手券ヲ謂フ

第三條　郵便切手類ハ其ノ賣捌ニ關シ特ニ告示シタル場合ヲ除クノ外郵便、電信、電話官署及郵便切手賣捌所ニ於テノミ賣捌ク

返信切手券ノ引換ハ其ノ賣捌ヲ爲ス郵便局所ニ於テノミ之ヲ行フ

第四條　郵便切手類ハ郵便、電信、電話官署及郵便切手賣捌所（以下單ニ賣捌所ト稱ス）以外ノ場所ニ於テノミ賣捌クコトヲ得ズ但シ朝鮮總督府遞信局長（以下單ニ遞信局長ト稱ス）ニ於テ特ニ必要ト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　收入印紙ハ郵便官署、賣捌所及收入印紙賣捌所（以下單ニ賣捌所ト稱ス）以外ノ場所ニ於テノミ賣捌クコトヲ得ズ

第六條　收入印紙ノミノ賣捌ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限リ之ヲ許可ス

一　法律ニ依リ扶助料ヲ受クル者

二　法律ニ依リ扶助料ヲ受クル者ニ準ズベキ者

三　遞信局長ニ於テ特ニ必要ト認メタル者

第七條　郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌ヲ爲サントスル者ハ郵便局ノ郵便區內ニ在ル者ニ在リテハ當該郵便局長ニ、郵便所ノ郵便區內ニ在ル者ニ在リテハ其ノ區域ノ朝鮮總督府遞信局（以下單ニ遞信局ト稱ス）ノ管理事務ヲ分掌スル郵便局長（以下單ニ分掌局長ト稱ス）ニ、鐵道列車食堂內又ハ船舶內ニ於テ賣捌ヲ爲サントスル者ニ在リテハ其ノ船籍港ヲ郵便區トスル郵便局所ノ所轄分掌局長ニ附錄第一號樣式ノ申請書ヲ差出シ其ノ許可ヲ受クベシ

收入印紙ノミノ賣捌ヲ爲サントスル者ニシテ前條第一號又ハ第二號ニ該當スル者ナルトキハ前項ノ申請書ニ其ノ資格證明書ヲ添附スベシ

第八條　前條第一項ノ規定ニ依リ郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌ノ許可ヲ受ケタル者（以下單ニ賣捌人ト稱ス）ハ其ノ賣捌所ニ附錄第二號樣式ノ標札又ハ目標ヲ揭出スベシ但シ鐵道停車場構內、鐵道列車食堂內、船舶內等ノ賣捌所ニシテ其ノ構造上所定ノ標札又ハ目標ヲ揭出シ難キモノハ所轄分掌局長ノ承認ヲ得テ適宜之ヲ變更スルコトヲ得

第九條　賣捌人其ノ住所又ハ氏名ヲ變更シタルトキハ直ニ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ニ其ノ旨届出ヅベシ

第十條　賣捌人賣捌所ヲ移轉セントスルトキハ三十日前迄ニ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ニ申請シ其ノ許可ヲ受クベシ但シ他ノ郵便局所ノ區內ニ移轉スルコトヲ得ズ

第十一條　賣捌人郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌ヲ廢止セントスルトキハ三十日前迄ニ賣捌ノ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ニ其ノ旨届出ヅベシ

賣捌人自ラ前項ノ届出ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ家族又ハ親族ニ於テ前項ノ届出ヲ爲スコトヲ得

賣捌人逃亡シ、行衞不明ト爲リ又ハ死亡シタルトキハ其ノ家族又ハ親族ニ於テ速ニ其ノ旨届出ヅベシ

第十二條　賣捌人ハ買受ニ使用スル印鑑ヲ買受ヲ爲ス郵便局所ニ届出ヅベシ其ノ印章ヲ改メ又ハ紛失シタルトキ亦同ジ

第十三條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所又ハ賣捌人ニ於テ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ爲サントスルトキハ附錄第三號樣式ノ買受請求書ヲ作製シ代金ト共ニ之ヲ其ノ買受ヲ爲ス郵便局所ニ差出スベシ

第十四條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所又ハ賣捌人ノ郵便切手類又ハ收入印紙ヲ買受クル回數ハ所轄分掌局長之ヲ制限スルコトヲ得

第十五條　買受ヲ爲ス郵便局所ヨリ遠隔ノ地ニ在ル郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ハ豫メ買受ヲ爲ス郵便局所ノ承認ヲ經テ其ノ郵便局所ノ通信官吏ニ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ委託スルコトヲ得

第十五條ノ二　郵便所ノ郵便區內ニ在ル郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌申請人又ハ賣捌人ヨリ本令ニ依リ分掌局長ニ差出ス背類ハ所轄郵便所長ヲ經由スベシ

第十六條　賣捌所ノ位置若ハ賣捌人ヲ不適當ト認ムルトキ又ハ賣捌人本令ニ違反シタルトキハ其ノ許可ヲ爲シタル郵便局長又ハ分掌局長ニ於テ其ノ賣捌ヲ停止スルコトアルベシ

第十七條　第四條、第五條、第十四條若ハ第十五條ノ規定ニ違反シ又ハ第七條第一項ノ許可ヲ受ケズシテ賣捌ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條　郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所竝ニ郵便取扱所、電信電話取扱所若ハ賣捌所ノ廢止又ハ郵便所長、郵便取扱所長、電信電話取扱所長ノ退職若ハ死亡ノ場合ニ於テ殘存スル郵便切手類又ハ收入印紙ハ其ノ價額ニ對シ第十九條ノ規定ニ依ル割引率ニ相當スル金額ヲ控除シタル價格ニ依リ之ガ買戻ヲ遞信局ニ請求スルコトヲ得

第十九條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ニ於テ郵便切手類又ハ收入印紙ヲ買受ケタル後左ノ事由ニ因リ第一項ニ規定スル賣捌時間ヲ變更セントスルトキハ賣捌人ニ於テ其ノ賣捌ヲ許可ヲ受ケタル郵便局長又ハ分掌局長ノ承認ヲ受クベシ

一　郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所、郵便取扱所及賣捌人ガ買受ケタル郵便切手類又ハ收入印紙ニ對シ其ノ賣捌ヲ廢止シタルトキ

二　郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所、郵便取扱所及電信電話取扱所ニ對シテハ郵便切手類ノ三十五、收入印紙ハ千分ノ三十五、賣捌人ニ對シテハ郵便切手類及收入印紙ハ千分ノ三十

三　賣捌人ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ三十五、收入印紙ハ千分ノ三十

第二十條　郵便切手類及收入印紙ハ破產ノ宣告又ハ閉鎖命令ニ依リ財產ヲ公賣ニ付スルトキ及朝鮮監獄令ニ依リ監獄懲罰ノ用ニ充ツルトキニ限リ定價ニ對シ百分ノ十ノ割引ヲ以テ遞信局ニ拂下之ヲ買戻スコトアルベシ但シ毀損汚斑シタルモノ又ハ效用ヲ闕クノ虞アルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條　郵便所、郵便取扱所及賣捌人ガ買受ケタル郵便切手類及收入印紙ニ付テハ定價ニ對シ左ノ各號ノ割合ニ依リ割引ヲ爲スベシ

一　郵便集配事務ヲ取扱フ郵便所ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ五十、收入印紙ハ千分ノ四十

二　郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所、郵便取扱所及電信電話取扱所ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ四十、收入印紙ハ千分ノ三十五

三　賣捌人ニ對シテハ郵便切手類ハ千分ノ三十五、收入印紙ハ千分ノ三十

第二十二條　賣捌人ハ買受ニ使用スル印鑑ヲ買受ヲ爲ス郵便局所ニ届出ヅベシ其ノ印章ヲ改メ又ハ紛失シタルトキ亦同ジ

第二十三條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所又ハ賣捌人ニ於テ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ爲サントスルトキハ附錄第三號樣式ノ買受請求書ヲ作製シ代金ト共ニ之ヲ其ノ買受ヲ爲ス郵便局所ニ差出スベシ

第二十四條　郵便所、郵便取扱所、電信電話取扱所又ハ賣捌人ノ郵便切手類又ハ收入印紙ヲ買受クル回數ハ所轄分掌局長之ヲ制限スルコトヲ得

第二十五條　買受ヲ爲ス郵便局所ヨリ遠隔ノ地ニ在ル郵便取扱所、電信電話取扱所及賣捌人ハ豫メ買受ヲ爲ス郵便局所ノ承認ヲ經テ其ノ郵便局所ノ通信官吏ニ郵便切手類又ハ收入印紙ノ買受ヲ委託スルコトヲ得

第二十五條ノ二　郵便所ノ郵便區內ニ在ル郵便切手類又ハ收入印紙ノ賣捌申請人又ハ賣捌人ヨリ本令ニ依リ分掌局長ニ差出ス背類ハ所轄郵便所長ヲ經由スベシ

第二十六條　賣捌所ノ位置若ハ賣捌人ヲ不適當ト認ムルトキ又ハ賣捌人本令ニ違反シタルトキハ其ノ許可ヲ爲シタル郵便局長又ハ分掌局長ニ於テ其ノ賣捌ヲ停止スルコトアルベシ

第二十七條　第四條、第五條、第十四條若ハ第十五條ノ規定ニ違反シ又ハ第七條第一項ノ許可ヲ受ケズシテ賣捌ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　本令ニ違反シ定價ニ滿チザル價格ヲ以テ郵便切手類又ハ收入印紙ヲ賣捌タル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附錄第一號樣式

附　則（昭和十三年四月總令第八十八號）

本令ハ昭和十三年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

郵便切手類及收入印紙ノ賣捌ニ關スル申請書

印紙）賣捌申請書

何地（又ハ停車場構內、何何間第何號列車食堂內、汽船何丸內）ニ於テ郵便切手類及收入印紙（又ハ收入印紙）賣捌致度ニ付御許可相成度候也

年　月　日

住所
職業
氏名　印

「何」郵便局長殿

備考　鐵道停車場構內、鐵道列車食堂內等ニ於テ賣捌ヲ爲サントスルトキハ當該停車場又ハ列車等ノ管理者ノ承諾ヲ受ケ其ノ旨ヲ附記スベシ

附錄第二號樣式

（甲）標札

□

郵便切手
收入印紙　賣捌所

一　寸法ハ竪四十五センチメートル、横十五センチメートル

二　材料ハ木板又ハ白色ノペンキ塗若ハ琺瑯引ト爲シタル鐵製トシ文字ハ黑色トス但シ地ヲ黑色トシ文字ヲ金色ト爲スコトヲ得

三　收入印紙ノミヲ賣捌クモノハ「郵便切手」ノ文字ヲ省ク

四　土地ノ狀況ニ依リ必要ト認ムルトキハ文字ニ諺文ノ傍訓ヲ附スルコトヲ得

（乙）目標

郵便切手　收入印紙

一　寸法ハ竪二十五センチメートル、横三

十七センチメートルトス
二　材料ハ木版又ハ鐵薬類トシ地色ハ赤色ペンキ塗又ハ琺瑯引トシ文字ハ白色トス
三　收入印紙ノミヲ貼捺クモノハ「郵便切手」ノ文字ヲ省ク

附錄第三號樣式

年　月　日

〔何〕郵便局長
（又ハ何々）　氏　名印

〔何〕郵便局（所）御中

郵便切手類（收入印紙）買受請求書

種類	數量	額面金額	買受代金	種類	數量	額面金額	買受代金
切手（印紙）		圓		葉書		圓	
五厘				一錢五厘通常			
一錢				三錢封緘			
一錢五厘				何			
二錢				小計			
三錢				封筒			
何				封緘紙			
何				小計			
何				返信切手券			
何							
小計				計			

備考
一　郵便切手類ト收入印紙トハ各別ノ請求書ニ之ヲ記ムベシ
二　買受代金割引計算ノ關係上重位未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ其ノ端數ハ小計欄ニ於テ之ヲ切捨ツベシ

●郵便電信電話等ニ關スル料金ノ徵收囑託ノ件

大正五年八月勅令第二百號

改正　大正一二年內第二九二號

第一條　郵便、電信、電話、無線電信及無線電話ニ關スル料金ノ徵收ヲ囑託スルコトヲ得

第二條　前項ノ囑託ニ依リ生ジタル費用ハ囑託ヲ受ケタル官署ノ支辨トス

●郵便法第五十五條ノ三ノ規定ニ依ル官沒ニ關スル件

大正五年七月
總令第五十九號

郵便法第五十五條ノ三ノ規定ニ依ル官沒ハ逓信局長（官）又ハ逓信管理事務分掌郵便局長ニ於テ命令書ヲ交付シテ之ヲ爲スヘシ

附　則

本令ハ大正五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便物ニ徽號ヲ附記スルコトヲ得ルノ件

大正八年九月
總告第二百五十號

陸軍召集令又ハ海軍召集令ニ依ル充員召集、臨時召集及國民兵召集ノ實施ニ關シ關係官公署ヨリ發スル郵便物及召集通報人ヨリ應召員へ召集通報ノ爲發スル郵便物ハ其ノ表面ニ山形〽若ハ波形〰ノ徽號ヲ附記スルコトヲ得

●通信日附印ノ形式

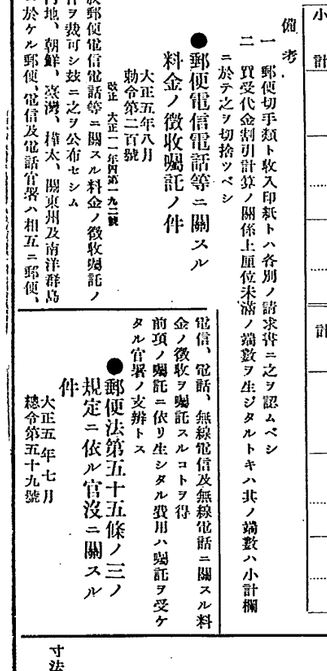
大正十年十二月
總告第二百八十號

改正　大正一二年七第一九八號、一三年七第一四四號、昭和二年九第三一二號、三年九第三三四號、六年七第三一〇號、六年一二第七三三號、一〇年一二第七〇號、六年一二第五〇

朝鮮總督府逓信官署ニ於テ通信事務ニ使用スル通信日附印ハ別ニ告示スルモノヲ除クノ外其ノ形式左ノ通定ム

明治四十三年統監府告示第十二號ハ之ヲ廢止ス

寸法（以下之ニ同シ）
直徑二センチメートル四



寸法（長：四センチメートル五
幅：一センチメートル五
※印欄ニハ通信事業周知其ノ他公益ニ關スル辭句ヲ挿入スルモノトス

直徑一センチメートル

●郵便電信電話等ニ關スル料金ノ徵收囑託ノ件

大正五年八月
勅令第二百號

改正　大正一二年內第二九二號

第一條　郵便、電信、電話等ニ關スル料金ノ徵收ヲ囑託スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

內地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニ於ケル郵便、電信及電話官署ハ相互ニ郵便、電信、電話、無線電信及無線電話ニ關スル料金ノ徵收ヲ囑託スルコトヲ得

第二條　前項ノ囑託ニ依リ生ジタル費用ハ囑託ヲ受ケタル官署ノ支辨トス

●郵便電信電話等ニ關スル料金ノ徵收囑託ノ件

大正五年八月
勅令第二百號

改正　大正一二年內第二九二號

第一條　郵便、電信、電話等ニ關スル料金ノ徵收ヲ囑託スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

內地、朝鮮、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニ於ケル郵便、電信及電話官署ハ相互ニ郵便、電信、電話、無線電信及無線電話ニ關スル料金ノ徵收ヲ囑託スルコトヲ得

第二條　前項ノ囑託ニ依リ生ジタル費用ハ囑託ヲ受ケタル官署ノ支辨トス

第三條　囑託ハ土地ノ狀況其ノ他ノ事由ニ依リ之ヲ受理セサルコトアルヘシ

第四條　囑託ヲ受理シタルトキハ其ノ通知ト共ニ創設費及維持費ノ額ヲ記載シタル指令書ヲ囑託者ニ交付ス

囑託者ハ前項ノ指令書到達ノ日ヨリ起算シ六十日內ニ囑託ヲ差出スヘシ

第五條　創設費ハ朝鮮總督府逓信局長（以下單ニ逓信局長ト稱ス）ノ指示スル所ニ依リ指令書ニ記載スルヲ納付スヘシ

第六條　維持費ノ額ハ年額ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　朝鮮總督ハ於テ必要ト認ムルトキハ指令書ニ記載スル維持費ノ額ニ相當スル金額ノ範圍內ニ於テ保證金ヲ納付セシムルコトアルヘシ

前項ノ保證金ハ現金又ハ國債ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第八條　囑託者第四條第二項ノ囑書ヲ差出サザルトキ、第五條ノ創設費ヲ納付セサルトキ又ハ前條ノ保證金ヲ指定ノ期日迄ニ納付セサルトキハ囑託ハ之ヲ受理セサリシモノト看做ス

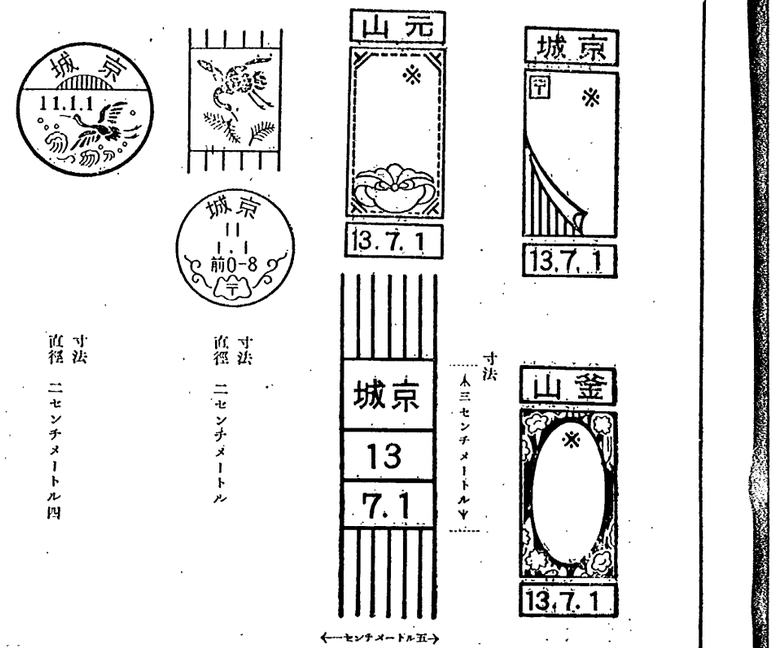
第九條　削除

第十條　施設開始前其ノ工事ヲ廢止シタルトキハ其ノ理由ノ如何ヲ問ハス當該工事ノ爲ニ支出シタル經費又ハ設備シタル物件ノ撤去ノ爲ニ支出シタル經費ハ之ヲ囑託者ノ負擔トス

前項ノ經費ハ第五條ノ規定ニ依リ納付シタル創設費ヲ以テ之ニ充テ不足アルトキハ其ノ額ヲ數次シ殘額アルトキハ囑託者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第一項ノ場合ニ於テ當該施設工事ノ爲ニ使用シ又ハ購入シタル物件ニシテ殘存スルモノハ囑託者ニ之ヲ交付ス但シ物件ニ代ヘ現金ヲ交付スルコトアルヘシ

十七センチメートルトス
二　材料ハ木版又ハ鐵薬類トシ地色ハ赤色ペンキ塗又ハ琺瑯引トシ文字ハ白色トス



寸法
三センチメートル

寸法
直徑　二センチメートル

寸法
直徑　二センチメートル四

局所名ハ其ノ局所ニ依リ年月日及時刻ハ其ノ使用日時ニ依リ孰レモ變更スルモノトス
（昭和六年七月總告第三百七十號ハ昭和六年八月一日ヨリ施行）

●請願ニ依ル通信施設ニ關スル件

大正四年十二月
勅令第二百十五號

改正　大正一二年一第三一號、昭和九年八第二五三號

第一條　施設ヲ必要トスル理由

二　施設ヲ必要トスル地名

三　期節ヲ限リ施設ヲ要スルモノハ其ノ期間

四　前條第一號ノ事項ニ對シテハ郵便集配ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　施設事項

二　郵便集配所新設

三　電信電話取扱所新設

四　公衆電話所新設

五　郵便集配事務開始

六　電信事務開始

七　電報配達事務開始

八　電話通話事務開始

九　電話呼出事務開始

第二條　施設ヲ請願セムトスル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一ノ二　郵便取扱所新設

二　郵便集配所新設

三　電信電話取扱所新設

四　公衆電話所新設

五　郵便集配事務開始

六　電信事務開始

七　電報配達事務開始

八　電話通話事務開始

九　電話呼出事務開始

第二條　施設ノ爲要スル創設費及維持費ハ請願者ニ於テ負擔シ之ヲ國庫ニ納付スベシ

第三條　前條ノ創設費及維持費ノ額及負擔ニ關スル規程ハ內地ニ在リテハ遞信大臣、朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督之ヲ定ム

附　則

本令ハ大正四年十二月五日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十六年勅令第四十一號ハ之ヲ廢止ス

附　則（昭和九年八月勅令第二百五十二號）

本令ハ昭和九年八月二十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ受理シタル請願ニ依ル電信電話施設ノ創設費ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

●請願通信施設規則

大正十二年一月
總令第十一號

改正　昭和二年六第六二號、三年一〇第六八號、五年四第二八號、六年二第六號、九年八第二四號

請願通信施設規則左ノ通定ム

第一條　大正四年勅令第二百十五號ニ依リ施設スヘキ事項左ノ如シ

一　郵便所新設

一ノ二　郵便取扱所新設

二　郵便集配所新設

三　電信電話取扱所新設

四　公衆電話所新設

五　郵便集配事務開始

六　電信事務開始

七　電報配達事務開始

八　電話通話事務開始

九　電話呼出事務開始

第二條　施設ヲ請願セムトスル者ハ左ノ各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ差出スヘシ

一　施設事項

二　施設ヲ必要トスル理由

三　施設ヲ必要トスル地名

四　期節ヲ限リ施設ヲ要スルモノハ其ノ期間

五　前條第一號ノ事項ニ對シテハ郵便集配事務及電話呼出事務第六號ノ事項ニ對シテハ電報配達事務第八號ノ事項ニ對シテハ電話呼出事務開始ノ要否

六　船舶ニ施設スルモノハ其ノ船舶ノ定噸

第三條　請願ハ土地ノ狀況其ノ他ノ事由ニ依リ之ヲ受理セサルコトアルヘシ

第四條　請願ヲ受理シタルトキハ其ノ通知ト共ニ創設費及維持費ノ額ヲ記載シタル指令書ヲ請願者ニ交付ス

請願者ハ前項ノ指令書到達ノ日ヨリ起算シ六十日內ニ請願ヲ差出スヘシ

第五條　創設費ハ朝鮮總督府逓信局長（以下單ニ逓信局長ト稱ス）ノ指示スル所ニ依リ指令書ニ記載スルヲ納付スヘシ

第六條　維持費ノ額ハ年額ヲ以テ之ヲ定ム

第七條　朝鮮總督ハ於テ必要ト認ムルトキハ指令書ニ記載スル維持費ノ額ニ相當スル金額ノ範圍內ニ於テ保證金ヲ納付セシムルコトアルヘシ

前項ノ保證金ハ現金又ハ國債ヲ以テ之ヲ納付スヘシ

第八條　請願者第四條第二項ノ請書ヲ差出サザルトキ、第五條ノ創設費ヲ納付セサルトキ又ハ前條ノ保證金ヲ指定ノ期日迄ニ納付セサルトキハ請願ハ之ヲ受理セサリシモノト看做ス

第九條　削除

第十條　施設開始前其ノ工事ヲ廢止シタルトキハ其ノ理由ノ如何ヲ問ハス當該工事ノ爲ニ支出シタル經費又ハ設備シタル物件ノ撤去ノ爲ニ支出シタル經費ハ之ヲ請願者ノ負擔トス

前項ノ經費ハ第五條ノ規定ニ依リ納付シタル創設費ヲ以テ之ニ充テ不足アルトキハ其ノ額ヲ數次シ殘額アルトキハ請願者ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第一項ノ場合ニ於テ當該施設工事ノ爲ニ使用シ又ハ購入シタル物件ニシテ殘存スルモノハ請願者ニ之ヲ交付ス但シ物件ニ代ヘ現金ヲ交付スルコトアルヘシ

局所ノ前年度ニ於ケル電信又ハ電話ノ收入料金ニ付左記各號ニ依リ算出シタル額（年度ニ滿タサル端數アルトキハ之ヲ一年ニ換算シタル額）カ指定シタル維持豫額ヲ一年度ニ達セサル場合ニ限リ其ノ不足額ヲ徵收ス

一　電信ニ關スル施設
　電信電話取扱所新設及電信事務開始（電報配達事務ノ開始ヲ除ク）ノ料金額ノ全額
　同　上（電報配達事務ノ開始ヲ除ク）ノ料金額ノ十分ノ八
二　電報配達事務開始　料金額ノ十分ノ二
　電話ニ關スル施設
　電信電話取扱所新設及電話通話事務開始（電報配達事務ノ開始ヲ除ク）　料金額ノ全額
　公衆電話所新設
　電信電話取扱所新設及電話通話事務開始（電報配達事務ノ開始ヲ除ク）ノ料金額ノ十分ノ八
　電話呼出事務開始　料金額ノ十分ノ二

前項ノ料金額ハ電信ノ施設ニ付テハ別使配達料、船舶配達料及外國郵送料ヲ除キタル內國電報料金額及外國電報ノ內國料金額ニ、電話ノ施設ニ付テハ通話料、呼出料及通知料ニ依ル

期節ヲ限リ施設シタルモノノ維持費ハ前各項ニ依リ施設期間ノ日割計算ヲ以テ徵收ス

第十二條　維持費ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外一會計年度ニ於ケル區別ニ從ヒ遞信局長ノ指定スル所ニ依リ之ヲ納付スベシ

一　郵便ニ關スル施設ノ維持費ハ年額ヲ四分シ左ノ期間內ニ之ヲ納ムベシ
　第一期分　四月一日ヨリ同三十日迄
　第二期分　七月一日ヨリ同三十一日迄
　第三期分　十月一日ヨリ同三十一日迄
　第四期分　一月一日ヨリ同三十一日迄
二　電信電話ニ關スル施設ノ維持費ハ四月一日ヨリ六月三十日迄ニ之ヲ納ムベシ

施設開始ノ日カ會計年度ノ中途ナルトキハ當該年度ノ維持費ハ日割計算トシ前項ノ規定ニ拘ラズ開始ノ日ヨリ起算シ十五日以內ニ之ヲ納付スベシ

第十三條　第七條ノ保證金ヲ納付シタル者前條ノ期日迄ニ維持費ヲ納付セサルトキハ保證金ヲ以テ其ノ維持費ニ充當ス

第十四條　維持費ハ施設開始ノ翌年度ヨリ起算シ五年經過後ハ之ヲ減免スルコトアルヘシ

第十五條　府、邑又ハ面ノ請願ニ依ル電信又ハ電話ノ施設ノ維持費ニシテ第十一條ニ依リ二年度間引續キ之カ徵收ヲ要セサルトキハ其ノ翌年度以後維持費ヲ免除スルコトアルヘシ

第十六條　請願者其ノ地位ヲ他人ヲシテ承繼セシメムトスルトキハ當事者連署ノ申請書ヲ遞信局長ニ差出シ承認ヲ受クヘシ

相續其ノ他ノ原因ニ依リ請願者ノ地位ヲ承繼シタルモノハ其ノ事實ヲ證明スル書類ヲ添ヘ十五日內ニ遞信局長ニ屆出ツヘシ

第十七條　本令ニ依ル施設ハ其ノ開始後之ヲ廢止シ又ハ變更スルコトアルヘシ但シ請願ニ依リ之ヲ廢止セス

前項ノ規定ニ依リ施設ヲ廢止シ又ハ變更シタルトキハ當該年度ノ維持費ハ日割計算トシ其ノ翌日ヨリノ維持費ハ之ヲ免除シ又ハ之ヲ減額ス

第十八條　二人以上共同シテ請願スルトキハ代表者一人ヲ定ムヘシ但シ府、邑又ハ面ノ共同シテ請願スルモノニ在リテハ其ノ施設地ノ府、邑又ハ面ノ代表者トス

第四條　輸出又ハ移出ニ關シ政府ノ許可又ハ檢査ヲ要スル物ヲ郵便物トシテ差出サントスルトキハ其ノ許可證若ハ檢査證又ハ許可證若ハ檢査證ノ標本ヲ郵便官署ニ呈示シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第五條　政府ノ許可ヲ受クル非ザレバ輸入又ハ移入スルコトヲ得ザル物ヲ包有スル郵便物ヲ配達又ハ交付スルトキハ受取人ニ於テ當該官憲ノ檢查ヲ必要トスル旨ヲ記載シタル檢查證メタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　前條ノ場合ニ於テ郵便物ノ受取人其ノ許可證ヲ呈示セザルトキ又ハ輸入若ハ移入ノ許可ヲナキコト明カナルトキハ配達スルコト能ハザル郵便物ノ例ニ準ジ引受郵便官署ニ之ヲ返送ス

前項ノ規定ハ政府ノ檢查ニ合格スルニ非ザレバ輸入又ハ移入スルコトヲ得ザル物ヲ包有スル郵便物ノ其ノ檢查ニ合格セザル場合ニ之ヲ準用ス

第七條　小包郵便物ノ受取人內地、臺灣、樺太、南洋群島又ハ關東州ニ移轉シタルトキハ差出ノ際ニ於テ差出人ノ請求又ハ豫メ受取人ノ請求アリタルモノニ限リ之ヲ移轉先ニ轉送ス此ノ場合ニ於テ移轉先カ內地、臺灣、樺太又ハ南洋群島ナルトキハ其ノ增加料金ハ請求人ヨリ之ヲ追徵ス

第四條ニ依リ許可ヲ受ケタル後手形交換所規約ニ變更ヲ生ジ又ハ組合銀行ニ異動ヲ生ジタルトキハ交換拂取扱郵便局ヲ經テ速ニ其ノ要旨ヲ遞信局長ニ屆出ヅベシ

第三條　郵便官署ト手形交換所組合銀行トノ間ニ於テ交換拂計算ヲ爲スベキ證券ノ種類左ノ如シ

一　郵便官署ガ支拂ヲ爲スベキ證券
　(イ)　郵便爲替證書
　(ロ)　外國郵便爲替證書
　(ハ)　郵便振替貯金拂出證書
　(ニ)　郵便振替貯金局待拂拂出證書但シ手形交換所在地ニ在ル振替貯金口座所管廳ニ屬スル加入者ガ當該手形交換所組合銀行又ハ代理交換殘託銀行ヲ受取人ニ指定シ振出シタルモノニ限ル
二　郵便官署ガ支拂ヲ受クベキ證券

第八條　第七條第一項ノ場合ニ於テ差出人又ハ受取人ノ轉送ノ請求ナキ郵便物又ハ前條ノ規定ニ依リ轉送ヲ爲サザル郵便物ハ之ヲ差出人ニ還付ス

第九條　左ノ郵便物ヲ差出人ニ還付スル場合ニ於テ差出人內地、臺灣、樺太、南洋群島又ハ關東州又ハ滿洲國ニ在ルトキハ還付スルコト能ハザル郵便物トシテ郵便官署ニ之ヲ保管シ其ノ旨ヲ差出人ニ通知ス

一　輸入、移入、輸出又ハ移出ヲ禁セラレタル物ヲ包有スル郵便物
二　小包郵便物ニ依ル非ザレバ輸入シ、移入シ、輸出又ハ移出スルコトヲ得ザル物ヲ包有スル通常郵便物
三　受取人內地、臺灣又ハ樺太ニ移轉シタル場合ニ於テ朝鮮出港稅令ノ規定ニ依リ移出手續ヲ要スル物ヲ包有スル郵便物
四　在中品ノ名稱、數量又ハ價格ノ不明ナル小包郵便物

前項第四號ニ該當スル郵便物ニ付テハ差出人ニ於テ其ノ不明ナル事項ヲ當該郵便物ヲ保管スル郵便官署ニ申告シ且料金ノ增加ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ料金ヲ納付シ其ノ還付ヲ請求スルコトヲ得但シ前項第一號乃至第三號ニ該當スル郵便物ヲ包有スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條　小包郵便物ノ料金ハ左ノ如シ

五百グラム迄　四十二錢
一キログラム迄　四十九錢
二キログラム迄　六十二錢
三キログラム迄　七十五錢
四キログラム迄　八十八錢
五キログラム迄　九十四錢
六キログラム迄　一圓四

第十二條　小包郵便物ノ差出人ハ郵便官署ノ交付スル用紙ニ其ノ包有品ノ名稱、數量及價格ヲ品種別ニ記載シテ差出スベシ

第十三條　航空料ハ左ノ如シ

第一種（封印ヲ施シタル書狀又ハ其ノ類似物ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	十五錢
第二種（第一種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	八錢
第三種（第一種及第二種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	五錢
第四種（第一種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	三錢
第五種（第一種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	二錢
第六種（第一種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	一錢
小包郵便物	重量二キログラム又ハ其ノ端數毎ニ　十五錢

第十四條　小包郵便物ニシテ輸入稅、移入稅又ハ內國稅ヲ課セラレタルモノハ之ヲ郵便官署ニ留置キ其ノ到著通知書及郵便物輸移入稅納付書又ハ輸移入郵便物ノ內國稅通知書ヲ受取人ニ送付ス受取人ハ右ノ稅納付書又ハ稅通知書ニ稅金ヲ添ヘ到著通知書ト共ニ郵便官署ニ差出ノ上郵便物ヲ受取ルベシ

前項ノ留置期間ハ到著ノ日ヨリ十日トス但シ交通不便ニシテ受取人十日內ニ出頭スルコト能ハズト認ムル地ニ宛テタルモノニ付テハ之ヲ延長スルコトアルベシ

第一項ノ郵便物中郵便區市內ニ宛テタルモノハ之ヲ配達スルコトアルベシ

別配達小包郵便物ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ配達ス但シ別配達ノ效力ヲ失ヒタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三項及第四項ニ依リ小包郵便物ヲ配達スル場合ニ於テハ受取人ハ其ノ配達ヲ受クルノ際配達人ヲシテ星示スル郵便物輸移入稅納付書又ハ輸移入郵便物ノ內國稅通知書ニ記載シタル稅金額ヲ納付シテ該郵便物ヲ受取ルコトヲ得

第十五條　關稅又ハ移入稅ノ賦課ニ關スル稅關長ノ處分ニ對シ異議ノ申立ヲ爲ス者ハ同時ニ其ノ事由ヲ關係郵便官署ニ申出ヅベシ

前項ノ異議ノ申立ニ對シ判定アリタルトキハ其ノ書類ヲ當該郵便官署ニ呈示スベシ

第十六條　前條ノ規定ハ關稅又ハ移入稅ノ賦課シ郵便官署ニ於テ一般ニ取扱フ各種ノ證券

前項第一號(イ)乃至(ニ)ノ證券ハ銀行ヲ受取人ニ指定シタルモノ又ハ當該銀行ニ於テ線引讓渡ヲ受ケタルモノニ限ル

第四條　交換計算ニ依ル郵便官署ノ貸借ノ決濟方法ハ關係銀行ト協議ニ依リ之ヲ定ム

第五條　郵便官署ガ交換計算ノ方法ニ依リ支拂ヒタル證券ニシテ成規ニ依リ既ニ拂渡停止ノ請求ニ係リ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ拂渡シ得ザルモノナルトキハ其ノ支拂ヲ取消シ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

郵便官署ガ交換計算ノ方法ニ依リ支拂ヒタル郵便爲替證書ニシテ郵便爲替規則第二十六條第一號乃至第四號、第四十六條及第五十三條ノ規定ニ依リ拂渡ヲ停延スベキモノナルカ又ハ當該郵便爲替證書ノ原符不明若ハ同原符ト金額不符合等ニ依リ證書ノ正否容易ニ判別シ難キトキハ郵便官署ハ其ノ支拂ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

郵便官署ガ支拂ノ取消ヲ爲シタルトキハ當該郵便爲替證書ノ裏面ニ其ノ事由ヲ記載證印シ之ヲ當該銀行ニ返付ス

第六條　交換計算ノ取扱ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外當該手形交換所規約ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十二年十一月二日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ交換計算取扱ノ認可ヲ受ケタル手形交換所組合銀行ハ本令ニ依リ其ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第二款　外國郵便

●萬國郵便條約ノ施行規則

昭和九年十二月遞告第三十二四十七號

昭和九年十二月十一日勅令第三百四十七號「カイロ」締結萬國郵便條約ノ施行規則左ノ如シ

萬國郵便條約ノ施行規則

第九條　第七條第一項ノ場合ニ於テ差出人又ハ受取人ノ轉送ノ請求ナキ郵便物又ハ前條ノ規定ニ依リ轉送ヲ爲サザル郵便物ハ之ヲ差出人ニ還付ス

第十條　左ノ郵便物ヲ差出人ニ還付スル場合ニ於テ差出人內地、臺灣、樺太、南洋群島又ハ關東州又ハ滿洲國ニ在ルトキハ還付スルコト能ハザル郵便物トシテ郵便官署ニ之ヲ保管シ其ノ旨ヲ差出人ニ通知ス

一　輸入、移入、輸出又ハ移出ヲ禁セラレタル物ヲ包有スル郵便物
二　小包郵便物ニ依ル非ザレバ輸入シ、移入シ、輸出又ハ移出スルコトヲ得ザル物ヲ包有スル通常郵便物
三　受取人內地、臺灣又ハ樺太ニ移轉シタル場合ニ於テ朝鮮出港稅令ノ規定ニ依リ移出手續ヲ要スル物ヲ包有スル郵便物
四　在中品ノ名稱、數量又ハ價格ノ不明ナル小包郵便物

前項第四號ニ該當スル郵便物ニ付テハ差出人ニ於テ其ノ不明ナル事項ヲ當該郵便物ヲ保管スル郵便官署ニ申告シ且料金ノ增加ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ料金ヲ納付シ其ノ還付ヲ請求スルコトヲ得但シ前項第一號乃至第三號ニ該當スル郵便物ヲ包有スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條　小包郵便物ノ料金ハ左ノ如シ

五百グラム迄　四十二錢
一キログラム迄　四十九錢
二キログラム迄　六十二錢
三キログラム迄　七十五錢
四キログラム迄　八十八錢
五キログラム迄　九十四錢
六キログラム迄　一圓四

第十二條　小包郵便物ノ差出人ハ郵便官署ノ交付スル用紙ニ其ノ包有品ノ名稱、數量及價格ヲ品種別ニ記載シテ差出スベシ

第十三條　航空料ハ左ノ如シ

第一種（封印ヲ施シタル書狀又ハ其ノ類似物ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	十五錢
第二種（第一種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	八錢
第三種（第一種及第二種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	五錢
第四種（第一種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	三錢
第五種（第一種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	二錢
第六種（第一種ノ書狀ニ非サル書狀ニシテ重量二十グラム又ハ其ノ端數毎ニ）	一錢
小包郵便物	重量二キログラム又ハ其ノ端數毎ニ　十五錢

第十四條　小包郵便物ニシテ輸入稅、移入稅又ハ內國稅ヲ課セラレタルモノハ之ヲ郵便官署ニ留置キ其ノ到著通知書及郵便物輸移入稅納付書又ハ輸移入郵便物ノ內國稅通知書ヲ受取人ニ送付ス受取人ハ右ノ稅納付書又ハ稅通知書ニ稅金ヲ添ヘ到著通知書ト共ニ郵便官署ニ差出ノ上郵便物ヲ受取ルベシ

前項ノ留置期間ハ到著ノ日ヨリ十日トス但シ交通不便ニシテ受取人十日內ニ出頭スルコト能ハズト認ムル地ニ宛テタルモノニ付テハ之ヲ延長スルコトアルベシ

第一項ノ郵便物中郵便區市內ニ宛テタルモノハ之ヲ配達スルコトアルベシ

別配達小包郵便物ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ配達ス但シ別配達ノ效力ヲ失ヒタルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三項及第四項ニ依リ小包郵便物ヲ配達スル場合ニ於テハ受取人ハ其ノ配達ヲ受クルノ際配達人ヲシテ星示スル郵便物輸移入稅納付書又ハ輸移入郵便物ノ內國稅通知書ニ記載シタル稅金額ヲ納付シテ該郵便物ヲ受取ルコトヲ得

第十五條　關稅又ハ移入稅ノ賦課ニ關スル稅關長ノ處分ニ對シ異議ノ申立ヲ爲ス者ハ同時ニ其ノ事由ヲ關係郵便官署ニ申出ヅベシ

前項ノ異議ノ申立ニ對シ判定アリタルトキハ其ノ書類ヲ當該郵便官署ニ呈示スベシ

第十六條　前條ノ規定ハ關稅又ハ移入稅ノ賦課シ郵便官署ニ於テ一般ニ取扱フ各種ノ證券

前項第一號(イ)乃至(ニ)ノ證券ハ銀行ヲ受取人ニ指定シタルモノ又ハ當該銀行ニ於テ線引讓渡ヲ受ケタルモノニ限ル

第四條　交換計算ニ依ル郵便官署ノ貸借ノ決濟方法ハ關係銀行ト協議ニ依リ之ヲ定ム

第五條　郵便官署ガ交換計算ノ方法ニ依リ支拂ヒタル證券ニシテ成規ニ依リ既ニ拂渡停止ノ請求ニ係リ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ拂渡シ得ザルモノナルトキハ其ノ支拂ヲ取消シ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

郵便官署ガ交換計算ノ方法ニ依リ支拂ヒタル郵便爲替證書ニシテ郵便爲替規則第二十六條第一號乃至第四號、第四十六條及第五十三條ノ規定ニ依リ拂渡ヲ停延スベキモノナルカ又ハ當該郵便爲替證書ノ原符不明若ハ同原符ト金額不符合等ニ依リ證書ノ正否容易ニ判別シ難キトキハ郵便官署ハ其ノ支拂ヲ取消スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

郵便官署ガ支拂ノ取消ヲ爲シタルトキハ當該郵便爲替證書ノ裏面ニ其ノ事由ヲ記載證印シ之ヲ當該銀行ニ返付ス

第六條　交換計算ノ取扱ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外當該手形交換所規約ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ昭和十二年十一月二日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ交換計算取扱ノ認可ヲ受ケタル手形交換所組合銀行ハ本令ニ依リ其ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第二款　外國郵便

●萬國郵便條約ノ施行規則

昭和九年十二月遞告第三十二四十七號

昭和九年十二月十一日勅令第三百四十七號「カイロ」締結萬國郵便條約ノ施行規則左ノ如シ

萬國郵便條約ノ施行規則

目次
第二編　總則
第一章　閉嚢繋結及開嚢繋越
第百一條　閉嚢繋結
第百二條　閉嚢交換
第百三條　通常郵便物ノ送達
第百四條　遠隔セル國
第百五條　相當額ノ決定
第百六條　郵便切手及料金前納ノ印影
第三編　通常郵便物ノ引受條件
第一章　總テノ種類ノ郵便物ニ適用スル規定
第百七條　包裝及名宛
第百八條　窓アル封皮ニ依ル郵便物
第百九條　飛脚檢査ニ付スル郵便物
第百十條　郵便切手及料金前納ノ印影
第二章　各種ノ郵便物ニ適用スル特別規定
第百十一條　書狀
第百十二條　通常郵便葉書
第百十三條　往復郵便葉書
第百十四條　業務用書類
第百十五條　印刷物
第百十六條　印刷物類似ノ物品
第百十七條　印刷物、記載シ得ル事項
第百十八條　印刷物、郵便物ノ包裝
第百十九條　見本、記載シ得ル事項
第百二十條　見本、郵便物ノ包裝
第百二十一條　見本ト類似ノ物品
第百二十二條　合裝郵便物
第百二十三條　小形包裝物
第百二十四條　書留郵便物、到達證
第一章　書留郵便物
第百二十五條　到達證
第百二十六條　差出後請求スル到達證
第百二十七條　代金引換郵便物
第四編　郵便物ニ爲スベキ指示
第一章　郵便物ニ爲スベキ指示
第百二十八條　郵便物ニ爲スベキ指示
第百二十九條　票符
第百三十條　代金引換爲替
第百三十一條　郵便物ノ名宛變更
第百三十二條　郵便物ノ引戻、名宛變更
第百三十三條　轉送
第百三十四條　閉嚢ノ行嚢數及重量ノ檢査
第百三十五條　閉嚢ノ表ノ作成
第百三十六條　閉嚢ノ行嚢數及重量ノ表示
第百三十七條　閉嚢ノ點檢
第百三十八條　閉嚢ノ返送
第百三十九條　閉嚢繋結
第百四十條　閉嚢繋越
第四編　郵便物ノ交換
第一章　郵便物ノ交換
第百四十一條　日附印ノ押捺
第百四十二條　別配達郵便物
第百四十三條　料金ノ未納又ハ不足ノ郵便物
第百四十四條　轉送郵便物
第百四十五條　轉送ノ封皮又ハ合括ノ封皮
第百四十六條　轉送ノ封皮又ハ合括ノ封皮ノ書式
第百四十七條　不配達郵便物ノ返送
第百四十八條　名宛ノ簡單ナル訂正
第百四十九條　取調請求、普通郵便物
第百五十條　取調請求、書留郵便物
第百五十一條　他國ニ於テ差出サレタル郵便物ニ關スル取調請求
第百五十二條　昨狀ノ廻アル郵便物ノ返送
第百五十三條　料金前納郵便物ノ郵便切手又ハ印影ノ使用
第五編　差立及到著ノ際ニ於ケル措置
第一章　日附印ノ押捺
第百五十四條　書狀目錄
第百五十五條　書留郵便物ノ送達
第百五十六條　別配達郵便物ノ送達
第百五十七條　閉嚢及閉嚢繋越
第百五十八條　閉嚢ノ開披
第百五十九條　閉嚢ノ點檢
第百六十條　閉嚢ノ行嚢數及重量ノ檢査
第百六十一條　閉嚢ノ表ノ作成
第百六十二條　閉嚢ノ行嚢數及重量ノ表示
第百六十三條　閉嚢ノ行嚢
第百六十四條　閉嚢ノ表ノ作成
第百六十五條　閉嚢繋結
第百六十六條　閉嚢繋越
第百六十七條　閉嚢繋結ノ實施及行嚢期間
第百六十八條　閉嚢繋結ノ檢査
第百六十九條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十一條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十二條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十三條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十四條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十五條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十六條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十七條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十八條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百七十九條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十一條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十二條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十三條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十四條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十五條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十六條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十七條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十八條　閉嚢繋結ノ不良ノ場合ノ處置
第百八十九條　總理局ニ於ツペキ通報
第百九十條　三級統計
第百九十一條　總理局ノ檢査
第百九十二條　最終規定
附錄
C第一號乃至第三十一號式紙
萬國郵便條約ノ施行規則
下ニ署名スル者ハ、千九百三十四年三月二十日「カイロ」ニ於テ締結シタル萬國郵便條約第四條ニ依リ該條約ノ施行ヲ保障スル爲各其ノ郵政廳ノ名ニ於テ協議ヲ遂ゲ左ノ手續ヲ定メタリ
第一編　總則
第一章　閉嚢繋越及閉嚢繋越
郵政廳ハ交通ノ需要及業務ノ便宜ニ從ヒ其ノ一廳又ハ數廳ノ媒介ニ依リ閉嚢及閉嚢ノ通常郵便物ヲ相互ニ差立ツルコトヲ得閉嚢通常郵便物ノ媒介郵政廳ヘノ還送ハ閉嚢ノ作成ヲ至當トセザル場合ノミニ限定スルコトヲ要ス
第百一條　閉嚢繋越
一　閉嚢通常郵便物ノ交換ハ隣接郵政廳間ニ協議ヲ遂ゲ之ヲ定ム
媒介郵政廳ノ二ヨリ開嚢通常郵便物ノ數ガ其ノ業務運行ヲ妨グルノ虞實ニ基キ請求アルトキハ何時ニテモ閉嚢ヲ作成スル義務アルモノトス
二　閉嚢ガ郵政廳ノ媒介ニ依リ差立テラルベキトキハ適當ノ時期ニ該郵政廳ニ豫告スルコトヲ要ス
三　二郵政廳ノ間ニ他ノ二郵又ハ數國ノ媒介ニ依リ施設スル閉嚢交換義務ニ變更アル場合ニハ其ノ變更ヲ生ゼシメタル郵政廳ハ此等諸國ノ郵政廳ニモ之ヲ通知ス
第百二條　通常郵便物ノ送達
一　各郵政廳ハ他ノ郵政廳ヨリ交付セラレタル閉嚢及閉嚢ノ通常郵便物ヲ自廳ノ郵便物ニ付使用スル最速達ノ線路ニ依リ送達スル義務アルモノトス
一　何ガ數箇ノ行嚢ヨリ成ルトキハ該行嚢ハ

成ルベク之ヲ取纏メ且同一還送便ニ依リ差立ツルコトヲ要ス
誤送ノ各種郵便物ハ遲滯ナク最速達ノ線路ニ依リ其ノ名宛地ニ之ヲ轉送ス
二　差出國郵政廳ハ其ノ差立ツル閉嚢ノ經由スベキ線路ヲ指定スル權能ヲ有ス但シ該線路ノ使用ガ媒介郵政廳ニ對シ特別ノ費用ヲ負擔セシメザル場合ニ限ル
同一ノ留保ノ下ニ還送ニ關與スル郵政廳ハ開嚢ニテ同廳ニ還送セラルル郵便物而ニ差出人ノ記入シタル經由線路ヲ考慮スルコトヲ要ス
三　或線路ニ屬スル特別ノ費用トシテ追加料金ヲ徵收スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ料金ノ未納又ハ不足ノ通常郵便物ヲ該線路ニ依リ還送セザル自由ヲ有ス
第百四條　遠隔セル國
最速達ノ陸路又ハ海路ニ依ル相互間ノ還送期間ガ十日ヲ超ユル國及相互間ノ還送便ノ平均回數ガ一月二回未滿ノ國ハ之ヲ遠隔セル國ト看做ス
二　面接極メテ大ナルカ又ハ共ノ內國交通線路發達セザル國ハ該事情ノ爲重大ナル影響ヲ受クル間題ニ付テハ條約及約定ニ規定スル期間ニ關シ之ヲ遠隔セル國ト看做ス
三　總理局ハ第一項及第二項ニ定ムル國ノ表ヲ作成ス
第百五條　相當額ノ決定
一　郵政廳ハ瑞西國郵政廳ト協議ヲ遂ゲ條約及約定ニ規定スル諸料金ノ相當額ヲ定ム場西國郵政廳ハ總理局ノ媒介ニ依リ之ヲ通知ス相當額ノ變更ノ場合ニモ同一ノ手續ニ從フ
相當額又ハ相當額ノ變更ハ月ノ第一日ニシテ總理局ノ通知ヨリ早クトモ十五日ノ後ニ非ザレバ之ヲ實施スルコトヲ得ズ
總理局ハ各國ニ付第一節ニ記載スル諸料金ノ相當額ヲ指示シ且場合ニ依リ條約ノ最終議定書第二條ニ依リ實施スル料金ノ引上又ハ引下ノ百分率ヲ通報スル義ヲ作成ス
二　料金不足ノ通常郵便物ニ適用スル料金ノ補充ヨリ生ズル金額ノ端數ハ之ガ徵收ヲ爲ス
第百六條　郵便切手及料金前納ノ印影
一　聯合ノ共通料金又ハ各國ノ貨幣ニ於ケル共ノ相當額ヲ表示スル郵便切手ハ左ノ色ヲ以テ之ヲ製造ス
青色　葡萄牙、郵便葉書ノ料金ヲ表示スル切手
赤色　郵便葉書ノ料金ヲ表示スル切手
綠色　印刷物第一通分ノ料金ヲ表示スル切手
料金前納用機械ニ依ル印影ハ共ノ表示スル金額ノ如何ニ拘ラズ鮮赤色ヲ以テ之ヲ製ス
二　郵便切手及料金前納ノ印影ハ差出國ノ指示（成ルベク「ラテン」文字ニ依ル）ヲ有シ且該切手及印影ニハ採用シタル相當額表徵ニ從ヒ共ノ料金前納ノ金額ヲ記載スルコトヲ要ス該金額ヲ表示スベキ貨幣單位ノ數又ハ其ノ端數ノ指示ハ「アラビア」數字ニテ之ヲ爲ス
印刷機其ノ他ノ押印方法（條約第四十七條）ニ依ル印影ヲ以テ料金ヲ前納スル印刷物ニ關シテハ差出國及料金前納ノ金額ノ指示ハ差出局名及「Taxe perçue」「Port payé」テル記載又ハ類似ノ字句ニ依ル記載ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得該記載ハ佛蘭西語又ハ差出國ノ語ニテ之ヲ爲スコトヲ得該記載ハ文字略形例ヘバ「T. P.」又ハ「P. P.」ニテモ之ヲ爲スコトヲ得總テノ場合ニ於テ採用シタル指示ニハ一條ノ太キ線ヲ以テ共ノ周圍ニ線ヲ畫シ又ハ字下線ヲ以テ其ノ周圍ニ線ヲ畫シ又ハ字下線ヲ以テ之ヲ劃ス
料金前納ノ金額ノ外追加料金ヲ支拂フベキ記念又ハ慈善ノ郵便切手ハ該料金前納ノ金額ニ關スル總テノ規定ニ從フ
三　料金前納ノ金額ノ外追加料金ヲ支拂フベキ郵便物ニ付第一節ニ記載スル諸料金ノ相當額ヲ指示シ且場合ニ依リ條約ノ最終議定書第二條ニ依リ實施スル料金ノ引上又ハ引下ノ百分率ヲ通報スル義ヲ作成ス
二　料金不足ノ通常郵便物ニ適用スル料金ノ補充ヨリ生ズル金額ノ端數ハ之ガ徵收ヲ爲ス
第百七條　包裝及名宛
一　郵政廳ハ公衆ニ對シ左ノ事項ヲ勸奬スルコトヲ要ス
（イ）名宛「ラテン」文字ニテ長側ニ沿ヒ業務上ノ記載及票符ノ爲必要ナル餘白ヲ存シ置ク樣之ヲ認ムルコト
（ロ）名宛ハ捜索スルコトナク郵便物ヲ送達シ且之ヲ名宛人ニ交付シ得ル樣正確且完全ニ之ヲ指示スルコト
（ハ）郵便切手又ハ料金前納ノ印影ハ表記面ノ上部右隅ニ之ヲ附スルコト
（ニ）差出人ノ氏名及住所ハ裏面ニ又ハ名宛ヲ不明瞭ナラシメズ又業務上ノ記載又ハ票符ノ貼附ヲ妨ゲザル樣表面左側ニ之ヲ指示スルコト
（ホ）各種郵便物ニ付長サ十センチメートル、幅七センチメートル下ラザル寸尺ノ封皮ヲ使用スルコト
（ヘ）郵便物ハ之ヲ堅固ニ包裝スルコト、遠隔セル國ニ宛テタルモノハ特ニ堅固ニ包裝スルコト
（ト）低料ニテ發送スル郵便物ニ關シテハ「Papiers d'affaires」、「Imprimés」、「Echantillons」、「Petit paquet」等ノ如キ記載ニ依リ其ノ屬スル種類ヲ指示スルコト
二　各種郵便物ニシテ其ノ名宛面ノ全部又ハ一部ガ順次名宛ヲ記入スル樣數箇ノ區劃ニ分割セラレタルモノハ之ヲ許サズ
三　郵便切手ニ非ザル切手類、慈善貼票其ノ他ノ貼票ニシテ郵便切手ト混同シ易キモノハ表記面ニ之ヲ貼附スルコトヲ得ズ料金前納ノ印影ト混同セラルルコトアルベキ印影ハ何レノ形式ニ依リタルヲ問ハズ郵便物ニ付赤同ジ
四　郵便料免除ニテ發送スル郵便業務上ノ通常郵便物ハ表面ニ「Service des postes」ナル記事又ハ類似ノ記載ヲ有スルコトヲ要ス
第百八條　留置郵便物

第二編　通常郵便物ノ引受條件
第一章　總テノ種類ノ郵便物ニ適用スル規定
第百七條　包裝及名宛
一　郵政廳ハ公衆ニ對シ左ノ事項ヲ勸奬スルコトヲ要ス
（イ）名宛ハ捜索スルコトナク郵便物ヲ送達シ且之ヲ名宛人ニ交付シ得ル樣正確且完全ニ之ヲ指示スルコト
（ロ）名宛ハ捜索スルコトナク郵便物ヲ送達シ且之ヲ名宛人ニ交付シ得ル樣正確且完全ニ之ヲ指示スルコト
（ハ）郵便切手又ハ料金前納ノ印影ハ表記面ノ上部右隅ニ之ヲ附スルコト
（ニ）差出人ノ氏名及住所ハ裏面ニ又ハ名宛ヲ不明瞭ナラシメズ又業務上ノ記載又ハ票符ノ貼附ヲ妨ゲザル樣表面左側ニ之ヲ指示スルコト
（ホ）各種郵便物ニ付長サ十センチメートル、幅七センチメートル下ラザル寸尺ノ封皮ヲ使用スルコト
（ヘ）郵便物ハ之ヲ堅固ニ包裝スルコト、遠隔セル國ニ宛テタルモノハ特ニ堅固ニ包裝スルコト
（ト）低料ニテ發送スル郵便物ニ關シテハ「Papiers d'affaires」、「Imprimés」、「Echantillons」、「Petit paquet」等ノ如キ記載ニ依リ其ノ屬スル種類ヲ指示スルコト
二　各種郵便物ニシテ其ノ名宛面ノ全部又ハ一部ガ順次名宛ヲ記入スル樣數箇ノ區劃ニ分割セラレタルモノハ之ヲ許サズ
三　郵便切手ニ非ザル切手類、慈善貼票其ノ他ノ貼票ニシテ郵便切手ト混同シ易キモノハ表記面ニ之ヲ貼附スルコトヲ得ズ料金前納ノ印影ト混同セラルルコトアルベキ印影ハ何レノ形式ニ依リタルヲ問ハズ郵便物ニ付赤同ジ
四　郵便料免除ニテ發送スル郵便業務上ノ通常郵便物ハ表面ニ「Service des postes」ナル記事又ハ類似ノ記載ヲ有スルコトヲ要ス
第百八條　留置郵便物ノ名宛ニハ名宛人ノ氏名ヲ指示スルコトヲ要ス頭文字、數字、名ノミ、假リ名又ハ何等ノ約束記號ノ使用ヲ許サズ
第百九條　窓アル封皮ニ依ル郵便物
一　透明ナル窓アル封皮ニ依ル郵便物ハ左ノ條件ニテ之ヲ許ス
（イ）總ノ最長ノ寸尺ニ竝行シ名宛人ノ名宛ガ同ジ一ノ方向ニ現ハレ且目附印ノ押捺ヲ妨ゲザル樣配置セラルルコトヲ要ス
（ロ）窓ノ透明部ハ極メ火ニ依ル名宛ヲ完全ニ讀ミ得ルモノナルコトヲ要シ且文字ノ記入ヲ妨ゲザルコトヲ要ス窓アル封皮ニシテ其ノ透明ノ部分ガ燃火ヲ反射スルモノハ之ヲ許サズ
（ハ）名宛人ノ氏名及居所ノミガ窓ニ現ハルルコトヲ要ス封皮ノ包有品ハ移動ノ爲名宛ノ全部又ハ一部ガ隱蔽セラレザル樣之ヲ折疊ムコトヲ要ス
（ニ）名宛ハ極メテ讀ミ易キ樣「イジキ」又ハ「タイプライター」ニテ之ヲ指示スルコトヲ要ス名宛ヲ鉛筆又ハ謄寫用鉛筆ニテ記載シタル郵便物ハ之ヲ許サズ
二　全部透明ナル封皮又ハ開キタル窓アル封皮ニ依ル郵便物ハ之ヲ許サズ
第百十條　稅關檢査ニ付スル郵便物
一　稅關檢査ニ付スベキ郵便物ニハ表面ニ附錄G第二號雛形ニ適合スル綠色ノ票符ヲ貼附スルコトヲ要ス小形包裝物ニ關シテハ該票符ノ貼附ハ總テノ場合ニ於テ之ヲ必要トス
尙名宛國ニ於テ要求スル差出人ニ於テ選擇スルトキハ前節ニ規定スル郵便物ニハ附錄C第二號雛形ニ適合シ且所定ノ枚數ノ別箇ノ稅關告知票ヲ添附スル該告知票ハ綠テ十字形ニ架ケ郵便物ノ外部ニ確ト精縛シ又ハ郵便物自體內ニ挿入スル此ノ場合ニ於テハC第二號票符ノ上部ノミヲ郵便物ニ貼附ス
二　郵政廳ハ何レノ形式ニ依リタルヲ問ハズ稅關告知票ニ付テ何等ノ實ニ任ゼズ
第百十一條　課金別納郵便物
一　總テノ課金ヲ別納ニテ名宛人ニ交付スベキ郵便物ハ表面ニ「Franc de droits」ナル

ヲ具備セザルモノハ郵便葉書トシテ又ハ第百十三條第五項ノ規定ヲ適用シ臨機書狀トシテ之ヲ取扱フ

第百十六條　印刷物、記載シ得ル事項

一　印刷物タル總テノ郵便物ノ外部及內部ニハ左ノ事項ヲ許ス

(イ)　差出人ノ氏名、住所又ハ商號

(ロ)　旅行者ノ氏名、通過ノ豫定地名及日時竝ニ宿泊地

(ハ)　書店發賣刊行物、書狀、新聞紙、製版物及樂譜ニ關スル注文書及豫約申込書ニハ注文又ハ申込ノ刊行物及其ノ部數、該刊行物ノ價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル記載、支拂方法、販、著者及發行者ノ氏名、目錄番號竝ニ「broché」「cartonné」又ハ「relié」ナル語、

(ニ)　繪葉書、印刷シタル名刺竝ニ「クリスマス」及新年ノ「カード」ニハ五語ヲ超エザル語辭又ハ五字ヲ超エザル約束的略字ヲ以テ表示スル禮辭、祝詞、謝辭、弔詞其ノ他儀禮上ノ式辭

(ホ)　印刷ノ試刷ニハ

校正、方式及印刷ニ關スル變更及追加竝ニ「Bon à tirer」「Vu-Bon à tirer」ノ如キ記載又ハ刊行物ノ作成ニ關スル其ノ他總テ類似ノ記載、餘白ナキ場合ニハ追加ノヲ別紙ニ爲スコトヲ得

(ヘ)　見俗書、地圖等ニハ

採色

(ト)　物價表、引札、株式及市場ノ相場表、商業上ノ同文通知竝ニ目錄見書ニハ

數字

其ノ他價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ記載

(チ)　書籍、冊子、新聞紙、寫眞、刻版物、樂譜竝ニ一般ニ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ル總テノ文學的及美術的作品ニハ

簡單ナル敬意ヲ表スル贈與ノ語辭又寫眞ニハ極メテ簡單ナル說明等

(リ)　新聞紙及定期刊行物ノ切拔ニハ

切拔ノ非項ヲ揭載シタル刊行物ノ題號、日附、番號及發行所

三　第一項及第二項ニ規定スル追加及訂正ハ手書又ハ何等カノ機械的方法ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

四　倘左ノモノヲ添附スルコトヲ許ス

(イ)　校正シ又ハ校正セザル印刷ノ試刷ニハ關係原稿

(ロ)　第二項(ホ)號ニ記載スル種類ノ郵便物ニハ發送物品ニ關スル必要ノ記載ニ止ル無封ノ案內書

(ハ)　總テノ印刷物ニハ

全部ヲ古ム得ベキ名宛ノ紙片又ハ紙札ヲ除クノ外該物品ハ郵便葉書ノ裏面又ハ表面左半部ニ限リ附加スルコトヲ得但外國郵便ノ切手ト混同シ易キ各種ノ切手ニ付テハ裏面ニ限リ之ヲ許ス

五　此ノ種ノ郵便物ニ付規定スル條件ヲ具備セザル郵便葉書ハ書狀トシテ之ヲ取扱フ

第百十四條　往復郵便葉書

一　往復郵便葉書ハ表面ニ佛蘭西語ニテ第一部ニハ「Carte postale avec réponse payée」ヲ、第二部ニハ「Carte postale réponse」ヲ題字トシテ表示スルコトヲ要ス該兩部ハ又各自通常郵便葉書ニ付定ム他ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス該兩部ハ折目ガ上端トナル樣五ニ之ヲ折合スベク何等ノ方法ヲ問ハズ之ヲ封緘スルコトヲ得

二　返信部ノ名宛ハ郵便物ノ內部ニ存在スルコトヲ要ス

差出人ハ其ノ氏名及居所ヲ返信部ノ表面ニ指示スルコトヲ得

差出人ハ又返信部ノ裏面ニ名宛人ニ於テ記入スベキ問合事項ヲ印刷スルコトヲ得

三　葉書發行國ノ郵便切手ニ依ル返信部ノ料金前納ハ往復郵便葉書ノ兩部ガ接續ノ儘差出國ヨリ到著シ且返信部ガ郵便ニ依リ到著シタル國ヨリ該差出國ニ宛テ差立テラルル右條件ヲ具備セザルトキハ返信部ハ料金未納ノ郵便葉書トシテ之ヲ取扱フ

第百十五條　業務用書類

一　全部又ハ一部ヲ筆書シ又ハ描寫シタル總テノ書類ニシテ現實的且對人的通信ノ性質ヲ有セザルモノ例ヘバ既ニ原初ノ目的ヲ達シタル古キ日附ノ通信（開封ノ書狀及郵便葉書）及其ノ寫、斷紙用書類、裁判所附屬吏ノ作成シタル各種ノ證書、運送狀又ハ船荷證券、案內書、保險會社ノ或種ノ書類、印紙附又ハ無印紙ノ紙ニ筆書シタル私證書ノ謄本又ハ抄本、手書シタル樂譜、單獨ニ發送スル筆作物又ハ新聞紙ノ草稿、原作及校正濟ノ學生ノ日課物（課業ニ直接關係ナキ總テノ記載ヲ除ク）ハ之ヲ業務用書類ト看做ス

右書類ニハ次ノ記載又ハ類似ノ指示ヲ有スル注意書又ハ承合書ヲ添附スルコトヲ得即チ郵便物ヲ粗成スル書類ノ目錄、差出人ト名宛人トノ間ニ交換シタル通信文トノ照合事項例ヘバ

Annexe à notre lettre du……a M……

Notre référence……

Références du client……

古キ日附ノ通信ハ其ノ原初ノ料金前納ニ使用シタル消印濟郵便切手ヲ有スルコトヲ得

二　業務用書類ハ其ノ形態及包裝ニ關シテハ印刷物ニ付下記第百十九條ニ定ム規定ニ從フ

第百十六條　印刷物

一　新聞紙及定期刊行物、書狀、冊子、樂譜、名刺、試刷物、刻版物、寫眞及寫眞ヲ包有スル寫眞帖、骨像畫、畫、圖、地圖、戲題用雛形、目錄、目論見書、廣告及各種ノ通知ニシテ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ルモノ竝ニ一般ニ活版、刻版、石版及「オートグラフィー」ニ依リ又ハ謄寫器、印判（文字ヲ移動シ得ルト否トヲ問ハズ）及「タイプライター」ヲ除キ容易ニ認知シ得ベキ其ノ他ノ機械的方法ニ依リ紙又ハ紙ニ類似ノ他ノ物質、羊皮紙若ハ板紙ニ印刷シ又ハ寫出シタル物ハ之ヲ印刷物ト看做ス

二　約束語ヲ構成シ得ベキ各種ノ記號ヲ有スル印刷物又ハ下記第百十七條及第百十八條ニ於テ明ニ容認スル例外ヲ除クノ外印刷後本文ヲ變更シタル印刷物ニハ印刷物ノ料金ヲ適用セズ

三　活動寫眞ノ「フィルム」、蓄音機用「レコード」及自働樂器用穿孔樂譜ハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許サズ

印刷シタル部分ガ郵便物ノ主要部ヲ成サザルコト明瞭ナル紙製品ニ付亦同ジ

四　「Carte postale」ナル題字又ハ他ノ語ニテ之ニ相當スル題字ヲ有スル「カード」ハ印刷物ニ適用スベキ一般ノ條件ヲ具備スルトキハ印刷物ノ料金率ニテ之ヲ許ス該條件

郵便物ノ差出人ノ名宛ヲ有シ且郵便物ノ名宛國ノ郵便切手ヲ以テ返送用トシテ料金ヲ前納セル一枚ノ「カード」、封皮又ハ帶紙

第百十九條　印刷物、郵便物ノ包裝

一　印刷物ハ之ヲ帶紙ニテ纏ヒ、軸ニ卷キ、板紙ニテ挾ミ、開キタル箱ニ納メ、開封ノ封皮（場合ニ依リ開閉容易ニシテ何等ノ危險ヲ伴ハザル止メ金ヲ有スルモノ）ニ入レ又ハ解キ易キ絲ニテ結縛スルコトヲ要ス

二　「カード」ノ形態及耐力ヲ有スル印刷物、帶紙、封皮又ハ絲ヲ用ヒズ聲出ノ儘之ヲ發送スルコトヲ得發送途中展開セザル樣折合シタル印刷物ニ付テモ同一ノ發送方法ヲ許ス

三　「カード」ノ形態ニテ發送スル印刷物（低減料金ノ利益ヲ享受スル郵便檢葉書ヲ含ム）ハ第百十三條第三項ノ規定ニ從フ

四　總テノ場合ニ於テ郵便物ハ他ノ物品ヲ帶同スル爲ナキ樣之ヲ包裝スルコトヲ要ス

第百二十條　見本、記載シ得ル事項

差出人及名宛人ノ氏名、身分、職業、商號及居所、差出人ノ發送日附、署名、電話番號、電報略號名宛、電信暗號書名、郵便振替口座及銀行口座竝ニ專ラ郵便物ニ關スル逐次番號又ハ登錄番號ヲ指示スルコト

(イ)　印刷ノ誤謬ヲ訂正スルコト

(ロ)　印刷シタル本文ノ語辭又ハ一部ヲ抹消シ之ニ字下線ヲ引キ又ハ線ニテ縢ヲ畫スコト但シ右ハ通信ヲ構成スル意思ヲ以テ之ヲ爲サザルトキニ限リ

尙左ノ事項ヲ指示シ又ハ附加スルコトヲ許ス

(イ)　船舶ノ發著ニ關スル通知書ニハ

發著ノ日時竝ニ船舶名及發著寄港地名

(ロ)　旅行者ノ氏名、通過ノ豫定地名及日時竝ニ宿泊地

(ハ)　書店發賣刊行物、書狀、新聞紙、製版物及樂譜ニ關スル注文書及豫約申込書ニハ注文又ハ申込ノ刊行物及其ノ部數、該刊行物ノ價格及價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル記載、支拂方法、販、著者及發行者ノ氏名、目錄番號竝ニ「broché」「cartonné」又ハ「relié」ナル語、

(ニ)　繪葉書、印刷シタル名刺竝ニ「クリスマス」及新年ノ「カード」ニハ五語ヲ超エザル語辭又ハ五字ヲ超エザル約束的略字ヲ以テ表示スル禮辭、祝詞、謝辭、弔詞其ノ他儀禮上ノ式辭

(ホ)　印刷ノ試刷ニハ

校正、方式及印刷ニ關スル變更及追加竝ニ「Bon à tirer」「Vu-Bon à tirer」ノ如キ記載又ハ刊行物ノ作成ニ關スル其ノ他總テ類似ノ記載、餘白ナキ場合ニハ追加ノヲ別紙ニ爲スコトヲ得

(ヘ)　見俗書、地圖等ニハ

採色

(ト)　物價表、引札、株式及市場ノ相場表、商業上ノ同文通知竝ニ目錄見書ニハ

數字

其ノ他價格ヲ構成スル要素ヲ表示スル總テノ記載

(チ)　書籍、冊子、新聞紙、寫眞、刻版物、樂譜竝ニ一般ニ活版、刻版、石版又ハ「オートグラフィー」ニ依ル總テノ文學的及美術的作品ニハ

簡單ナル敬意ヲ表スル贈與ノ語辭又寫眞ニハ極メテ簡單ナル說明等

(リ)　新聞紙及定期刊行物ノ切拔ニハ

切拔ノ非項ヲ揭載シタル刊行物ノ題號、日附、番號及發行所

三　第一項及第二項ニ規定スル追加及訂正ハ手書又ハ何等カノ機械的方法ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得

四　倘左ノモノヲ添附スルコトヲ許ス

(イ)　校正シ又ハ校正セザル印刷ノ試刷ニハ關係原稿

(ロ)　第二項(ホ)號ニ記載スル種類ノ郵便物ニハ發送物品ニ關スル必要ノ記載ニ止ル無封ノ案內書

(ハ)　總テノ印刷物ニハ

裝セラルルトキハ商品見本トシテ之ヲ遞送スルコトヲ許ス

(イ)　玻璃器其ノ他脆弱ナル物質ハ吏員及通常郵便物ノ對スル總テノ危害ヲ豫防シ得ル樣（金屬製、木製又ハ質强靱ナル波狀板紙製ノ箱ヲ用ヒ）堅固ニ之ヲ包裝スルコトヲ要ス

(ロ)　液體、油及液化シ易キ物ハ密閉シタル容器ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス各容器ハ其ノ破壞ノ場合ニ液體ヲ吸收スル十分ナル鋸屑、綿又ハ海綿質ノ物ヲ塡充シタル金屬製、堅牢ナル木製又ハ質强靱ナル波狀板紙製ノ特別ノ箱ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス該箱ハ更ニ容易ニ離レザル樣之ヲ取附クルコトヲ要ス

(ハ)　膏藥、軟性石鹼、樹脂等ノ如キ容易ニ液化セザル脂肪體及粉種ニシテ遞送上サシタル不便ヲ釀サザルモノハ第一容器（箱、布製又ハ羊皮紙製ノ袋等）ニ之ヲ納メ更ニ木製、金屬製又ハ强厚ナル革製ノ第二ノ箱ニ納ムルコトヲ要ス

(ニ)　「アニリン」ノ青等ノ如キ染料ノ乾燥粉末ハ堅牢ナル鉄力製ノ箱ニ納メ該箱ハ更ニ木製ノ箱ニ納メ兩容器ノ間ニハ鋸屑ヲ塡充スルニ非ザレバ之ヲ許サズ非染料ノ乾燥粉末ハ金屬製、木製又ハ板紙製ノ箱ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス該箱ハ更ニ布製又ハ羊皮紙製ノ袋ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

(ホ)　生キタル蜜蜂及水蛭ハ總テノ危害ヲ避ケ得ル樣造リタル箱ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス

三　一般ノ規定ニ從ヒ包裝スルトキハ腐敗ノ虞アル物品ハ例外トシテ密閉シタル包裝ニ依ルコトヲ許ス此ノ場合ニ於テハ關係郵政廳ハ其ノ指定スル數箇ノ郵便物ヲ開披スルカ又ハ他ノ滿足スベキ方法ニ依リ包有品ノ檢查ヲ容易ナラシムルコトヲ差出人又ハ名宛人ニ要求スルコトヲ得

四　木片、金屬片等ノ如キ單一ノ物品ニシテ商慣習上包裝セザルモノニ付テハ包裝ヲ要セズ

五　名宛人ノ名宛ハ成ルベク包裝又ハ物品自體ニ之ヲ指示スルコトヲ要ス包裝又ハ物品ニ名宛及業務上ノ指示ヲ記入シ又ハ郵便切手ヲ貼附シ得ザルトキハ票札（成ルベク羊皮紙製）ヲ用ヒ確ト之ヲ結附スルコトヲ要ス押印ノ爲郵便物ヲ破壞スル虞アルトキ亦同ジ

第百二十二條　見本類似ノ物品

印刷原版、單獨ノ鍵、歯取リタル生花、博物學上ノ物品（乾燥シ又ハ防腐シタル動植物、地質學上ノ標本等ニシテ、製法及包裝方法ニ依リ危害ヲ除キタル血清管又ハ痘苗管及病理學上ノ物品ハ見本ノ料金率ニテ之ヲ許ス該物品ハ公認ノ試驗所等ヨリ一般ノ利益ノ爲發送スル血清管及痘苗管ヲ除キ商業ノ目的ヲ以テ之ヲ發送スルコトヲ得ズ其ノ包裝ハ商品見本ニ關スル一般ノ規定ニ從フコトヲ要ス

第百二十三條　合裝郵便物

一　異ナル種類ノ通常郵便物ヲ單一郵便物トシテ合括スルコトハ左ノ留保ノ下ニ業務用書類、印刷物（盲人用點字印刷物ヲ除ク）及商品見本ニ限ル

(イ)　各物品ハ夫夫其ノ物品ニ適用スベキ重量及寸尺ニ關スル制限ヲ超エザルコト

(ロ)　總重量ハ郵便物一箇ニ付二キログラムヲ超エザルコト

(ハ)　支拂フベキ最低料金ハ郵便物ガ業務用書類ヲ包有スルトキハ業務用書類ノ最低料金、印刷物及見本ヨリ成ルトキハ見本ノ最低料金タルコト

(ニ)　右規定ハ同一ノ單位料金ヲ課セラルル郵便物ニ限リ之ヲ適用ス郵政廳ガ其ノ料金

ヲ課セラルル郵便物ヲ同一郵便物ニ合括シアルコトヲ發見スルトキハ該郵便物ニハ料金率最高キ種類ニ對スル料金ヲ其ノ總重量ニ付課スルモノトス

第百二十四條　小形包裝物

一　小形包裝物ハ包裝ニ關シテハ商品見本ニ付定ムル規定ニ從フ

二　小形包裝物ニハ必要ノ記載ニ止ル無封ノ案内書及差出人ノ居所氏名ヲ附記シタル郵便物ノ表記ノ寫一通ヲ挿入スルコトヲ許ス

三　差出人ノ居所氏名ハ郵便物ノ外部ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス

第三編　書留郵便物、到達證

第一章

第百二十五條　書留郵便物

一　書留郵便物ハ表面ニ「Recommandé」ナル樣メテ明瞭ノ題字又ハ差出國ノ語ニ於ケル類似ノ記載ヲ有スルコトヲ要ス

下記例外ヲ除クノ外書留郵便物ニ對シテハ其ノ形態、封緘又ハ名宛ノ記載ニ付何等特別ノ條件ヲ要セズ

二　鉛筆ヲ以テ記載シタル名宛又ハ頭文字ヨリ成ル名宛ヲ有スル通常郵便物ハ之ヲ書留ト爲スコトヲ許サズ

尤モ透明ナル窓アル封皮ニ依リ發送スル郵便物以外ノ郵便物ノ名宛ハ謄寫用鉛筆ヲ以テ之ヲ記載スルコトヲ得

三　書留郵便物ニハ表記ノ上部左隅ニ附錄C第四號雛形ニ適合スル票符ヲ貼附スルコトヲ要ス該票符ニハ「ラテン」文字ニテ「R」ナル文字、差出局名及該郵便物ノ逐次番號ヲ指示スルモノトス

尤モ内國制度上現ニ票符ノ使用ヲ許サザル郵政廳ハ右方法ノ實施ヲ延期シ書留郵便物ノ表示ニ付「Recommandé」又ハ「R」ナル印章ヲ使用スルコトヲ得其ノ印影ノ側ニハ差出局名及逐次番號ノ指示ヲ爲スコトヲ要ス該印章モ亦表記ノ上部左隅ニ之ヲ押捺スルコトヲ要ス

四　書留郵便物ノ表面ニハ媒介郵政廳ニ於テ何等ノ逐次番號ヲ記入スベカラズ

第百二十六條　到達證

一　差出人ニ於テ到達證ヲ請求スル郵便物ハ表面ニ「Avis de réception」ナル樣メテ明瞭ノ記載又ハ「A. R.」ナル印影ヲ有スルコトヲ要ス

二　右郵便物ニハ附錄C第五號雛形ニ適合シ郵便業務ノ耐力ヲ有スル鮮赤色ノ式紙ヲ添附スル該式紙ハ差立郵政廳ノ指定スル他ノ各局ニ於テモ之ヲ作成シ郵便物ノ外部ニ確ト粘附ス該式紙ガ名宛局ニ到達セザルトキハ同局ハ職權ヲ以テ新到達證ヲ作成ス

三　名宛局ハ相當記入シタルC第五號式紙ヲ證明ノ僞無料ニテ普通郵便ニ依リ郵便物ノ差出人ニ宛テ返送ス

四　差出人カ所期ノ期間内ニ同人ニ到著セザル到達證ヲ請求スルトキハ下記第百二十七條ニ揭グル規定ニ依リ手續ヲ爲スベキ旨ノ場合ニ於テハ第二回ノ料金ヲ徵收セズ且差出局ハC第五號式紙ノ頭部ニ「Duplicata de L'avis de réception」等ノ記載ヲ爲ス

第百二十七條　差出後請求スル到達證

一　差出人カ郵便物ノ差出後到達證ヲ請求スルトキハ差出局ハC第五號式紙ニ記入ヲ爲スC第五號式紙ハ下記第百五十一條ニ記載スルC第十三號取調請求書ニ之ヲ粘附ス該取調請求書ハ之ニ支拂フベキ料金ヲ表示スル郵便切手ヲ貼附シタル後第百五十一條ノ規定ニ從ヒ之ヲ取扱フ但シ郵便物ノ正當受付ヘ附錄C第七號雛形ニ適合スル一枚ノ票符ヲ使用スルコトヲ得該票符ハ「ラテン」文字ニテ「R」ナル文字、差出局名、郵便物ノ逐次番號及「Remboursement」ナル語ヲ記載セル橙色ノ三角形ヲ有スルモノトス

第百三十條　代金引換爲替

下記第百三十一條ニ規定スル場合ヲ除クノ外各代金引換郵便物ハ附錄C第八號雛形ニ適合スル耐力アル鮮綠色ノ板紙製ノ代金引換爲替證書式紙ヲ添附スル該式紙ニハ原則トシテ郵便物ノ差出人ヲ爲替ノ受取人トシテ指示スルコトヲ要ス差出郵政廳ノ規則ガ許ストキハ差出人ハ該爲替證書面ノ自己ノ名宛ノ箇所ニ差出國ニ於テ有スル郵便振替口座ノ加入者及番號竝ニ口座所管局ヲ記載スル權能ヲ有ス各郵政廳ハ其ノ業務ヨリ發スル郵便物ニ關スル爲替ヲ郵便物ノ差出局又ハ自廳ノ他ノ局ニ宛テシムル自由ヲ有ス

第百三十一條　郵便物ノ名宛國ニ於ケル郵便振替口座ノ拂込

取立テタル金額ヲ名宛國ニ於ケル郵便振替口座ニ拂込ムベキ各郵便物ニハ反對ノ協定アルニ非ザレバ該國ノ内國業務ニ於テ規定スル式紙ニ適合スル拂込票ヲ添附スル該票ニハ受入口座ノ加入者ヲ表示シ其ノ他ノ總テノ指示ヲ式ノ如ク記入スルコトヲ要ス但シ受入金額ハ代金引換金額取立後名宛郵政廳ニ於テ之ヲ記入スル拂込票ニ通知榮アルトキハ其ノ氏名及居所並ニ必要ト認ムル其ノ他ノ指示ヲ該通知榮ニ記載ス

拂込票ハ之ヲ郵便物ニ確ト粘附ス

第百三十二條　代金引換金額ノ換算

反對ノ協定アルニ非ザレバ郵便物差出國ノ貨幣ニテ表示セラレダル代金引換金額ハ名宛國郵政廳ニ於テ郵便物ノ差出國名宛國ノ貨幣ニ之ヲ換算スルニ當リC第五號式紙ヲ第百二十六條第三項ニ規定スル方法ニ依リ差出元ニ返送ス

二　下記第百五十一條ニ依リ書留郵便物取調證求ヲ以テ第一回ニ之ヲ確認スル爲ニ發送ス

書留郵便物ノ送付ニ付郵政廳ノ採リタル特別ノ措置ハ差出後ニ爲ス到達證ノ請求ニ之ヲ適用ス

第四編　代金引換郵便物

單一章

第百二十八條　郵便物ニ爲スベキ指示

一　代金引換書留郵便物ハ表面ニ「Remboursement」ナル樣メテ明瞭ノ題字ヲ有シ之ニ代金引換金額ノ指示ヲ省略スルコトヲ得ク「ラテン」文字ニテ且「アラビヤ」數字ニテ添記スルコトヲ要ス但シ金證明ヲ爲スモ差支ナシ

二　差出人ハ郵便物ノ表面ニ「ラテン」文字ニテ其ノ氏名及居所ヲ指示スルコトヲ要ス

取立テタル金額ヲ名宛國又ハ差出國ニ於ケル郵便振替口座ニ拂込ムベキトキハ郵便物ハ倘表記面ニ佛國西語又ハ名宛國ニ於テ通ズル他ノ語ヲ以テ認メタル左ノ記載ヲ有スルコトヲ要ス

A porter au crédit du compte courant postal No.....de M.....à.....tenu par le bureau de chèques d.....

第百二十九條　票符

代金引換郵便物ニハ表面ニ附錄C第六號雛形ニ適合スル橙色ノ票符ヲ貼附スルコトヲ要ス

第百二十五條第三項ニ規定スルC第四號雛形ノ票符又ハ之ニ代ハルベキ特別印章ノ印影ハ成ルベクC第六號雛形ノ票符ノ上部ニ之ヲ附スルコトヲ要ス

尤モ郵政廳ハ前節ニ規定スル二枚ノ票符ニ代ヘ附錄C第七號雛形ニ適合スル一枚ノ票符ヲ使用スルコトヲ得該票符ハ「ラテン」文字ニテ「R」ナル文字、差出局名、郵便物ノ逐次番號及「Remboursement」ナル語ヲ記載セル橙色ノ三角形ヲ有スルモノトス

第百三十條　代金引換爲替

下記第百三十一條ニ規定スル場合ヲ除クノ外各代金引換郵便物ハ附錄C第八號雛形ニ適合スル耐力アル鮮綠色ノ板紙製ノ代金引換爲替證書式紙ヲ添附スル該式紙ニハ原則トシテ郵便物ノ差出人ヲ爲替ノ受取人トシテ指示スルコトヲ要ス差出郵政廳ノ規則ガ許ストキハ差出人ハ該爲替證書面ノ自己ノ名宛ノ箇所ニ差出國ニ於テ有スル郵便振替口座ノ加入者及番號竝ニ口座所管局ヲ記載スル權能ヲ有ス各郵政廳ハ其ノ業務ヨリ發スル郵便物ニ關スル爲替ヲ郵便物ノ差出局又ハ自廳ノ他ノ局ニ宛テシムル自由ヲ有ス

第百三十一條　郵便物ノ名宛國ニ於ケル郵便振替口座ノ拂込

取立テタル金額ヲ名宛國ニ於ケル郵便振替口座ニ拂込ムベキ各郵便物ニハ反對ノ協定アルニ非ザレバ該國ノ内國業務ニ於テ規定スル式紙ニ適合スル拂込票ヲ添附スル該票ニハ受入口座ノ加入者ヲ表示シ其ノ他ノ總テノ指示ヲ式ノ如ク記入スルコトヲ要ス但シ受入金額ハ代金引換金額取立後名宛郵政廳ニ於テ之ヲ記入スル拂込票ニ通知榮アルトキハ其ノ氏名及居所並ニ必要ト認ムル其ノ他ノ指示ヲ該通知榮ニ記載ス

拂込票ハ之ヲ郵便物ニ確ト粘附ス

第百三十二條　代金引換金額ノ換算

反對ノ協定アルニ非ザレバ郵便物差出國ノ貨幣ニテ表示セラレダル代金引換金額ハ名宛國郵政廳ニ於テ郵便物ノ差出國名宛國ノ貨幣ニ之ヲ換算スルニ當リC第五號式紙ヲ第百二十六條第三項ニ規定スル方法ニ依リ差出元ニ返送ス

二　下記第百五十一條ニ依リ書留郵便物取調證求書ノ送付ニ付郵政廳ノ採リタル特別ノ措置ハ差出後ニ爲ス到達證ノ請求ニ之ヲ適用ス

第四編　代金引換郵便物

單一章

第百二十八條　郵便物ニ爲スベキ指示

一　代金引換書留郵便物ハ表面ニ「Remboursement」ナル樣メテ明瞭ノ題字ヲ有シ之ニ代金引換金額ノ指示ヲ省略スルコトヲ

五　料金前納ニ付救力ナキ郵便切手及料金前納ノ印影ハ之ヲ無視シ此ノ場合ニ於テハ該郵便切手又ハ該印影ノ周圍ニ給筆ヲ以テ線ヲ畫シ其ノ側ニ數字ノ零（〇）ヲ記載スルコトヲ要ス

第百四十四條　課金別納狀ノ返送、前拂課金ノ取立

一　差出人ノ計算ニ於テ關稅其ノ他ノ費用ノ前拂ヲ爲シタル局ハ名宛人ニ課金別納郵便物ヲ交付シタル後課金別納狀ノ裏面各欄ニ相當記入ヲ爲シ之ヲ證拠書類ト共ニ封書トシテ在中品ヲ指示スルコトナク郵便物ノ差出局ニ送付ス

二　郵便物ニ關スル訴訟ニ付テハ郵便局ハ其ノ他ノ費用ノ前拂ヲ爲シタル局ヘ名宛人ニ課金別納郵便物ヲ交付シタル後課金別納狀ノ裏面各欄ニ相當記入ヲ爲シ之ヲ證拠書類ト共ニ封書トシテ在中品ヲ指示スルコトナク郵便物ノ差出局ニ送付ス

尤モ各郵政廳ハ特ニ指定シタル局ヲシテ費用ヲ記入シタル課金別納狀ノ返送ヲ爲サシメ又別納狀ヲ特定ノ局ニ送付スルコトヲ請求スル權利ヲ有ス

四　別納狀ノ返送セラルベキ局ノ名稱ハ總テノ場合ニ於テ郵便物ノ差立局ニテ課金別納狀ノ表面ニ之ヲ記入ス

五　「Franc de frais」ナル票符ヲ有スル郵便物ガ課金別納狀ナク名宛業務ニ到著スルトキハ通關ヲ擔當スル局ハ別納狀ノ副本ヲ作成シ之ニ差出國名及成ルベク郵便物ノ差出日附ヲ記載ス

六　課金別納狀ガ郵便物ノ交付後亡失シタルトキハ同一ノ條件ニ於テ副本ヲ作成ス

七　何等ノ理由ヲ問ハズ差出元ニ返送スル郵便物ニ關スル課金別納狀ノ名宛郵政廳ニ於テ之ヲ抹消スルコトヲ要ス

八　名宛業務ノ支拂ヒタル費用ヲ指示スル課金別納狀ガ受取リタルトキハ差出郵政廳ハ該費用ノ金額ヲ相手國ニ宛ツル郵便爲替ノ振出ニ付定ムル率ニ超エザル率ニテ自國ノ貨幣ニ換算ス換算ノ結果ハ之ヲ式紙ノ本券及側部ノ通知券ニ指示ス費用ノ額ヲ取立テタル後差出局ハ差出人ニ別納狀ノ通知券及

場合ニ依リ證拠書類ヲ交付ス

第百四十五條　轉送郵便物

一　居所ヲ變更シタル名宛人ニ宛テタル通常郵便物ハ之ヲ差出地ヨリ直接新名宛地ニ宛テタルモノト看做ス

二　最初ノ運送路ニ付正當ニ料金ヲ前納シタル郵便物ニシテ其ノ後ノ運送路ニ關スル補充料金ガ其ノ轉送前ニ支拂ハレザリシモノニ對シテハ既ニ支拂ハレタル前納料金ト該郵便物ガ最初ヨリ新名宛地ニ宛テラレタルトキニ徵收スベキ料金ト差額ニ等シキ料金ヲ課ス

三　最初ノ運送路ニ付正當ニ料金ヲ前納シタル郵便物ニシテ其ノ後ノ運送路ニ關スル補充料金ガ其ノ轉送前ニ支拂ハレザリシモノニ對シテハ該郵便物ガ差出地ヨリ直接新名宛地ニ宛テラレタル場合ニ適用スベキ料金ヲ課ス

四　最初ノ一國內ニ於テ且內國制度ニ從ヒ正當ニ料金ヲ前納シタル郵便物ハ之ヲ其ノ最初ノ運送路ニ付正當ニ料金ヲ前納シタルモノト看做ス

五　最初ノ一國內ニ於テ郵便料免除ニテ取扱ヒタル郵便物ニ對シテハ該郵便物ガ差出地ヨリ直接新名宛地ニ宛テラレタル場合ニ支拂フベキ料金ヲ課ス

六　總テ轉送ノ場合ニハ轉送局ハ書狀及郵便薬書ノ表面ニ其ノ日附ヲ押捺ス

七　普通又ハ背留ノ通常郵便物ニシテ其ノ名宛ヲ補充シ又ハ訂正スル爲差出人ニ還付セラレタルモノガ再ビ業務ニ差出サルルトキハ之ヲ轉送通常郵便物ト看做サズ新ナル郵便物トシテ取扱ヒ且新料金ヲ課ス

八　轉送又ハ差出元ヘノ返送（下記第百四十七條）ノ際取消ヲ得ルコト能ハザリシ關稅其ノ他郵便料以外ノ課金ハ代金引換ヲ以テ新名宛郵政廳ヨリ之ヲ取立ツ此ノ場合ニ於テハ原初ノ名宛郵政廳ハ說明書及代金引換

ス

關係郵政廳間ノ關係ニ於テ代金引換業務ヲ實施シ居ラザルトキハ右課金ハ通信ヲ以テ之ヲ取立ツ

九　特使ニ依ル別配達郵便物ノ住所配達ガ效果ナカリシ場合ニ於テハ轉送局ハ「Exprès」ナル票符又ハ記載ヲ二條ノ太キ橫線ニ依リ抹消スルコトヲ要ス

第百四十六條　轉送ノ封皮又ハ合捂ノ封皮

一　居所ヲ變更シタル同一人ニ轉送スベキ數箇ノ普通通常郵便物ハ附錄C第十號雛形ニ適合シ郵政廳ヨリ供給スル特別ノ封皮ニハ名宛人ノ氏名及新居所ノミヲ記載スルコトヲ要ス

二　右封皮ニハ稅關檢査ニ付スベキ郵便物又ハ形態、容積及重量ノ關係上破損ヲ生ゼシムル虞アル郵便物ヲ納ムルコトヲ得ズ封皮及其ノ包有品ノ總重量ハ如何ナル場合ニモ五百グラムヲ超過スベカラズ

三　封皮ハ轉送局ニ於テ場合ニ依リ該封皮ノ包有スル郵便物ガ課セラルルコトアルベキ補充料金ヲ徵收シ得ル樣又補充料金ガ支拂ハレザルトキハ到著ノ際徵收スベキ料金ヲ該郵便物面ニ指示シ得ル樣之ヲ開封ノ後轉送局ニ差出スコトヲ要ス點檢ノ後轉送局ハ封皮ヲ封緘シ且之ニ場合ニ依リ徵收スベキ料金ノ總額ノ「フラン」及「サンチーム」ニ於ケル指示ヲ有スル「T印」ヲ押捺ス

四　名宛地ニ到著シタルトキハ配達局ハ封皮ヲ開披シ且其ノ包有品ヲ點檢スルコトヲ得同局ハ場合ニ依リ支拂ハレザリシ補充料金ヲ徵收ス

五　同一船舶ノ乘組員及船客又ハ閤營旅行ヲ爲シツツアル人ニ宛テタル普通通常郵便物モ亦第一項乃至第四項ノ規定ニ依リ之ヲ取扱フコトヲ得此ノ場合ニ於テ合捂ノ封皮ニハ該封皮ガ交付セラルベキ船舶、航海取扱

要ス但シ之ニ日附印ヲ押捺セザルモノトス

三　誤送ノ通常郵便物ニハ誤送ヲ受ケタル局ノ日附印ヲ押捺スルコトヲ要ス右ハ固定局ノミナラズ行動局ニ於テモ亦能フ限リ之ヲ爲スベキモノトス

四　船舶內ニ於テ差出ス通常郵便物ノ押印ハ郵便吏員又ハ業務ヲ擔當スル船員ニ於テ又之等ノ者アラザルトキハ艤出ノ該通常郵便物ノ交付ヲ受クル寄港地ノ郵便局ニ於テ之ヲ擔當ス此ノ場合ニ於テハ郵便局ハ該郵便物ニ同局ノ日附印ヲ押捺シタル上「ノーティル」「Paquebot」其ノ他類似ノ記載ヲ爲ス

第百四十二條　別配達郵便物

別配達郵便物ニハ「Exprès」ナル語ヲ赤書スル濃赤色ノ印刷票符ヲ成ルベク名宛地ノ指示ノ側ニ貼附ス

第百四十三條　料金ノ未納又ハ不足ノ郵便物

一　通常郵便物ニシテ差出後名宛人ヨリ又ハ不能配達ノ場合差出人ヨリ何等カノ料金ヲ徵收スルコトヲ要スルモノニハ表面ノ上部右隅ニT印（支拂フベキ料金）ヲ押捺ス徵收スベキ金額ノ「フラン」及「サンチーム」ニ於ケル指示ハ該印章ノ側ニ極メテ讀ミ易キ數字ニテ之ヲ記載ス

二　T印ノ押捺及徵收スベキ金額ノ指示ハ差出郵政廳ニ於テ又轉送又ハ不能配達ノ場合ニハ再發送郵政廳ニ於テ之ヲ擔當ス

尤モ再發送郵政廳トノ關係ニ於テ別下料金ヲ適用スル國ヨリ發スル郵便物ニ關スルトキハ徵收スベキ金額ハ配達ヲ爲ス郵政廳ニ於テ之ヲ指示ス

三　配達郵政廳ハ郵便物ニ對シ徵收スベキ料金ヲ課徵ス

四　T印ヲ有セザル各郵便物ハ明瞭ナル誤謬ナキ限リ正當ニ料金ヲ前納シタルモノト看做シ之ヲ取扱フ

所、旅行取扱所等ノ名宛ヲ記載スルコトヲ要ス

第百四十七條　不能配達ト爲リタル郵便物

一　何等ノ理由ヲ問ハズ配達スルコト能ハザル通常郵便物ヲ差出郵政廳ニ返送スルニ先チ名宛局ハ「inconnu」「refusé」「en voyage」「parti」「non réclamé」「décédé」等ノ語ヲ以テ不能配達ノ原因ヲ該郵便物ノ裏面ニ佛蘭西語ニテ簡明ニ指示スルコトヲ要ス郵便薬書及「カード」ノ形態ヲ有スル印刷物ニ關シテハ不能配達ノ原因ハ表面右半部ニ之ヲ指示ス

右指示ハ印章ノ押捺又ハ票符ノ貼附ニ依リ之ヲ爲ス各郵政廳ハ不能配達ノ原因ノ自國語ニ於ケル翻譯其ノ他便宜ナリト認ムル指示ヲ附記スル權能ヲ有ス

名宛局ハ名宛地ノ指示ヲ抹消シ郵便物ノ表面差出局ノ指示ノ側ニ「Retour」ナル記載ヲ爲スコトヲ要ス尙背狀ノ裏面及郵便薬書ノ表面ニハ其ノ日附印ヲ押捺スルコトヲ要ス

二　不能配達ト爲リタル通常郵便物ハ單獨ニテ又ハ「Rebuts」ナル票札ヲ附シタル特別ノ把束ト爲シ之ヲ返送ス

不能配達ト爲リタル背留通常郵便物ハ差出國郵便物ト同樣ニ同國委換局ニ之ヲ送付ス

三　內國制度ノ通常郵便物ニシテ不能配達ト爲リ差出人ニ還付スル爲外國ニ送付スルコトヲ要スルモノハ第百四十五條ノ規定ニ從ヒ之ヲ取扱フ

四　領事氣附ニテ海員其ノ他ノ人ニ宛テタル通常郵便物ニシテ請求ナキモノトシテ領事ヨリ郵便局ニ返還セラレタルモノハ不能配達郵便物トシテ之ヲ取扱フコトヲ要ス

右通常郵便物ニ對シ領事ヨリ徵收シタル料金額ハ之ヲ還付スルコトヲ要ス

第百四十八條　取戻、名宛變更

一　通常郵便物ノ取戻又ハ名宛變更ノ請求ニ付テハ差出人ハ附錄C第十一號雛形ニ適合スル式紙ヲ使用ス同一差出人ニ依リ同一名宛人ニ宛テタル數箇ノ通常郵便物ニ關シ取戻又ハ名宛變更ノ請求ヲ爲ス場合ニハ各郵便物ニ付別個ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス

二　取戻又ハ名宛變更ノ請求ハ差出局ヨリ名宛局ニ宛テタル通常郵便物ニ付テハ之ヲ差出局ニ於テ取戻又ハ名宛變更ヲ爲スコトヲ得

三　各郵政廳ハ自廳ノ關スル限リ請求ノ交換ヲ爲スコトヲ得

取調請求書ガ代金引換郵便物ニ關スルモノナルトキハ尙場合ニ從ヒC第八號爲替證書ハ拂込票ノ副本ヲ之ニ添附スルコトヲ要ス

同一差出人ニ依リ同一名宛人ニ宛テタル數箇ノ郵便物ニ付テハ單ニ一通ノ式紙ヲ使用スルコトヲ得

取調請求書ニ原則トシテ差出局ヨリ名宛局ニ宛テタル送付人送付書ヲ添ヘズ封書ニ依リ之ヲ爲ス名宛局ガ郵便物ノ確定的踪跡ニ關スル通報ヲ爲シ得ルトキハ該局ハ式紙ニ記入ヲ爲シタル上之ヲ差出局ニ返送ス

郵便物ノ變更ヲ要スル場合ニ於テハ名宛局ニ直接又ハ差出局ヲ經由シテ之ヲ請求スルコトヲ得

第百四十九條　取調請求、背留郵便物ノ返送

一　普通郵便物ニ關スル各取調請求ハ附錄C第十二號雛形ニ適合スル式紙ニ之ヲ記入ス

取調請求ヲ受理シタル局ハ送付書ヲ添ヘズ封書ニ依リ該式紙ヲ關係局ニ直接送付ス該局ハ場合ニ從ヒ名宛人又ハ差出人ヨリ必要ナル通報ヲ蒐集シタル後該式紙ヲ作成シタル局ニ同樣ノ方法ニ依リ之ヲ返送ス

取調請求ガ理由アリト認メラルルトキハ右式紙作成局ハ爾後ノ取調ノ基礎ト爲ス爲中央郵政廳ニ該式紙ヲ送付ス

同一差出人ニ依リ同一名宛人ニ宛テタル同時ニ同一局ニ差出サレタル數箇ノ郵便物ニ付テハ單ニ一通ノ式紙ヲ使用スルコトヲ得

各郵政廳ハ共ノ業務ニ關スル取調請求ガ其ノ中央郵政廳又ハ特ニ指定スル局ニ宛テタル通常郵便物ヲ捜索シ請求ニ對シ必要ナル捜索效果ナキカ、郵便物ガ既ニ名宛人ニ配達セラレタルカ又ハ電信ニ依ル請求ガ郵便物ヲ確認シ得ル樣十分明瞭ナラザルトキハ其ノ事實ヲ直ニ差出局ニ通報シ同局ハ之ヲ請求人ニ通知ス

三　各郵政廳ハ自廳ノ關スル限リ請求ノ交換ガ共ノ中央郵政廳又ハ特ニ指定スル局ノ媒介ニ依リテ行ハルベキコトヲ總理局宛通知ニ依リ請求ノ交換ガ中央郵政廳ノ媒介ニ依リ行ハルル場合ニ於テハ差出局ヨリ名宛局ニ直接ニ發送シタル請求ハ中央郵政廳ノ請求到著又ハ拂込票ノ副本ヲ之ニ添附スルニ非ザル限リ效力アルモノトス

第一節ニ規定スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ名宛局ト交換スベキ通信ヲ內國業務內ニ於テ郵便又ハ電信ニ依リ送達スルコトヨリ生ズル費用ヲ負擔ス

差出人自ラ電信ヲ利用シタルトキ及郵便物ニテハ適當ノ時期ニ名宛局ニ通知シ得ザルトキハ電信ニ依ルコトヲ要ス

第百四十九條　名宛ノ簡單ナル訂正（名宛人ノ氏名又ハ身分

名宛ノ變更ヲ除ク）ハ差出人ニ於テ名宛局ニ直接又ハ差出局ヲ經由シテ付規定スル手續ヲ履行スルコトナク之ヲ請求スルコトヲ得

第百五十條　取調請求、普通郵便物

一　普通郵便物ニ關スル各取調請求ハ附錄C第十二號雛形ニ適合スル式紙ニ記入シテ之ヲ爲ス

取調請求ヲ受理シタル局ハ送付書ヲ添ヘズ封書ニ依リ該式紙ヲ關係局ニ直接送付ス該局ハ場合ニ從ヒ名宛人又ハ差出人ヨリ必要ナル通報ヲ蒐集シタル後該式紙ヲ作成シタル局ニ同樣ノ方法ニ依リ之ヲ返送ス

取調請求ガ理由アリト認メラルルトキハ右式紙作成局ハ爾後ノ取調ノ基礎ト爲ス爲中央郵政廳ニ該式紙ヲ送付ス

同一差出人ニ依リ同一名宛人ニ宛テタル同時ニ同一局ニ差出サレタル數箇ノ郵便物ニ付テハ單ニ一通ノ式紙ヲ使用スルコトヲ得

各郵政廳ハ共ノ業務ニ關スル取調請求ガ其ノ中央郵政廳又ハ特ニ指定スル局ニ宛テタル通常郵便物ヲ捜索シ請求ニ對シ必要ナル捜索效果ナキカ、郵便物ガ既ニ名宛人ニ配達セラレタルカ又ハ電信ニ依ル請求ガ郵便物ヲ確認シ得ル樣十分明瞭ナラザルトキハ其ノ事實ヲ直ニ差出局ニ通報シ同局ハ之ヲ請求人ニ通知ス

三　各郵政廳ハ自廳ノ關スル限リ請求ノ交換ガ共ノ中央郵政廳又ハ特ニ指定スル局ノ媒介ニ依リテ行ハルベキコトヲ總理局宛通知ニ依リ請求ノ交換ガ中央郵政廳ノ媒介ニ依リ行ハルル場合ニ於テハ差出局ヨリ名宛局ニ直接ニ發送シタル請求ハ中央郵政廳ノ請求到著又ハ拂込票ノ副本ヲ之ニ添附スルニ非ザル限リ效力アルモノトス

第一節ニ規定スル權能ヲ行使スル郵政廳ハ名宛局ト交換スベキ通信ヲ內國業務內ニ於テ郵便又ハ電信ニ依リ送達スルコトヨリ生ズル費用ヲ負擔ス

差出人自ラ電信ヲ利用シタルトキ及郵便物ニテハ適當ノ時期ニ名宛局ニ通知シ得ザルトキハ電信ニ依ルコトヲ要ス

第百五十一條　取調請求、背留郵便物

一　背留郵便物ニ關スル各取調請求ハ附錄C第十三號雛形ニ適合スル式紙ニ之ヲ記入ス該式紙ニハ成ルベク郵便物ノ封皮又ハ表記ノ模寫ヲ添附スルコトヲ要ス

取調請求書ガ代金引換郵便物ニ關スルモノナルトキハ尙場合ニ從ヒC第八號爲替證書又ハ拂込票ノ副本ヲ之ニ添附スルコトヲ要ス

同一差出人ニ依リ同一名宛人ニ宛テタル數箇ノ通常郵便物ニ付テハ單ニ一通ノ式紙ヲ使用スルコトヲ得

取調請求書ニ原則トシテ差出局ヨリ名宛局ニ宛テタル送付人送付書ヲ添ヘズ封書ニ依リ之ヲ爲ス名宛局ガ郵便物ノ確定的踪跡ニ關スル通報ヲ爲シ得ルトキハ該局ハ式紙ニ記入ヲ爲シタル上之ヲ差出局ニ返送ス

郵便物ヲ受取ラザリシコトヲ證明スル名宛人ノ申立書ヲ成ルベク添ヘ之ヲ差出局ニ返送シ此ノ場合ニ於テハ差出郵政廳ハ第一條介郵政廳ヘノ還送ノ細項ヲ式紙ニ記入シ次ニ差出郵政廳ハ之ヲ第一條介郵政廳ニ送付シ同廳ハ之ニ其ノ意見ヲ記入シ場合ニ依リ次ノ郵政廳ニ送付シテ取調請求書ハ取調請求郵便物ノ踪跡ガ立證セラルル迄郵政廳ヨリ郵政廳ニ之ヲ送付ス名宛人ニ交付了シタル郵政廳又ハ場合ニ依リ交付若ハ他ノ郵政廳ヘノ正當ナル還送ヲ立證シ得ザル郵郵政廳ハ其ノ事實ヲ式紙ニ記載シ之ヲ差出郵政廳ニ返送ス

三　差出郵政廳及名宛郵政廳ハ協議ヲ遂ゲ取調請求書ヲ郵便物ト同一ノ送達經路ニ依リ局ヨリ局ニ送付スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ捜索ハ第二項末節ニ定ムル手續ニ從ヒ差出郵政廳ヨリ名宛郵政廳迄之ヲ繼續ス

四　各郵政廳ハ共ノ業務ニ關スル取調請求書ガ其ノ中央郵政廳又ハ特ニ指定スル局ニ送付セラルベキコトヲ總理局宛通知ニ依リ請求スルコトヲ得

C第十三號式紙及其ノ添附物ハ總テノ場合ニ於テ成ルベク短期間內ニ且遲クモ取調請求書ノ日附ヨリ起算シ三月ノ期間內ニ取調請求郵便物ノ差出郵政廳ニ之ヲ返送スル樣之ヲ要ス該期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ六月トス

六　前記諸規定ハ閉囊ノ盜取、閉囊ノ不足其ノ他類似ノ場合ニ於テ郵政廳間ニ一層詳細ナル照復ヲ要スルトキハ之ヲ適用セズ

第百五十二條　他國ニ於テ差出サレタル郵便物ニ關スル取調請求

條約第五十三條第三項ニ規定スル場合ニ於テハC第十二號又ハC第十三號ノ取調請求ノ式紙ハ差出郵政廳ニ之ヲ送付スC第十三號式紙ニハ差出ノ受領證ヲ添附スルコトヲ要ス

差出郵政廳ハ條約第五十三條第二項ニ規定スル期間內ニ右式紙ノ送付ヲ受ケベキモノトス

第百五十三條　詐欺ノ爰アル郵便切

第十八編　交通

第一章　通信

第二節　郵便

一　郵便ノ種類

郵便ハ書状、葉書、小包郵便物及ビ特殊郵便物トス

二　書状

書状ハ信書ヲ封緘シタル郵便物ニシテ葉書ニ非サルモノヲ謂フ

書状ニハ一通ノ重サ二十匁ヲ超エサルモノニ限リ之ヲ差出スコトヲ得

書状ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ得

一　差出人ノ住所、氏名又ハ通称

二　受取人ノ住所、氏名又ハ通称

三　差出ノ年月日

四　書状ノ内容ヲ表示スル事項

三　葉書

葉書ハ郵便物ノ表示ヲ為シタル郵便物ニシテ書状ニ非サルモノヲ謂フ

葉書ニハ一通ノ重サ二匁ヲ超エサルモノニ限リ之ヲ差出スコトヲ得

葉書ニハ通信ヲ為スコトヲ得

四　小包郵便物

小包郵便物ハ書状又ハ葉書ヲ封入シ又ハ之ニ添附シテ差出スコトヲ得

小包郵便物ニハ一個ノ重サ四貫ヲ超エサルモノニ限リ之ヲ差出スコトヲ得

小包郵便物ニハ通信ヲ為スコトヲ得ス

五　特殊郵便物

特殊郵便物ハ書留郵便物、代金引換郵便物、保険郵便物及ビ速達郵便物トス

六　書留郵便物

書留郵便物ハ郵便物ノ引受及ビ配達ノ経過ヲ明ニスル為特ニ設ケタル郵便物ニシテ書状、葉書又ハ小包郵便物ニ付之ヲ差出スコトヲ得

書留郵便物ニハ通信ヲ為スコトヲ得ス

七　代金引換郵便物

代金引換郵便物ハ郵便物ノ配達ト引換ニ代金ノ取立ヲ為ス郵便物ニシテ書状、葉書又ハ小包郵便物ニ付之ヲ差出スコトヲ得

代金引換郵便物ニハ通信ヲ為スコトヲ得ス

八　保険郵便物

保険郵便物ハ郵便物ノ亡失、毀損又ハ内容ノ詐偽ニ対シ保険ヲ附シタル郵便物ニシテ書状、葉書又ハ小包郵便物ニ付之ヲ差出スコトヲ得

保険郵便物ニハ通信ヲ為スコトヲ得ス

九　速達郵便物

速達郵便物ハ郵便物ノ配達ニ付特ニ速達ヲ為シタル郵便物ニシテ書状、葉書又ハ小包郵便物ニ付之ヲ差出スコトヲ得

速達郵便物ニハ通信ヲ為スコトヲ得

十　郵便物ノ交換

郵便物ノ交換ハ逓信大臣ノ指示シタル場所ニ於テ之ヲ為ス

十一　郵便物ノ送達

郵便物ハ逓信大臣ノ指示シタル場所ニ於テ之ヲ受取人又ハ其ノ代理人ニ交付シ又ハ受取人ノ指示シタル場所ニ於テ之ヲ差出人ニ還付シ又ハ受取人ノ指示シタル場所ニ於テ之ヲ他ノ郵便局ニ転送シ若ハ差出人ニ還付スル為之ヲ差出局ニ返送ス

十二　郵便物ノ配達

郵便物ハ郵便受函ニ投入シ又ハ郵便局ニ於テ交付スル為郵便受函ヲ設ケサル場所ニ於テ

ネクタイ　「ネクタイ」　洗和図、「ネクタイ」図、「ネクタイ」図、「ネクタイ」

西班牙國殖民地全體	ジェー、ショオル
デメトリオ、ベレダ	「アイルランド」自由國
「エストニア」國	ビー、エス、オーヘイジァーダイ
ゲー、エー、エフ、アルプレヒト	エス、エス、ピュイルセアル
「エティオピア」國	「アイスランド」國
アラムー、テー	ツエー、モンドルプ
「フィンランド」國	アルネ、クロッグ
ゲー、エー、エフ、アルプレヒト	伊太利國
佛蘭西國	ピエトロ、トスティ
エム、ルボン	ガルディ、ミケレ
エル、ジァントン	伊太利國殖民地全體
ペー、グランシモン	クレティ、ドナート
アー、カバンヌ	日本國
デュッセール	關正雄
「アルジェリー」	張間利春
エー、ユダトン	登山準吉
印度支那ノ佛蘭西國殖民地及保護領	朝鮮
ニコラ	關正雄
其ノ他ノ佛蘭西國殖民地全體	川西孫三
ジー、カサニアック	其ノ他ノ日本國屬地全體
「メレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國	張間利春
エフ、エッチ、ウィリアムソン	藤川洋
ダブリュー、ジー、ギルバート	「ラトヴィア」國
ディー、オー、ラムレー	ドクトル、ラインホルト、フレル
希臘國	エル、ルーレ
ツエー、デンドラミス	佛蘭西國委任統治ノ下ニ在ル東方諸國（「シリア」國及「レバノン」國）
ジー、ラクニダキス	シァンファレッリ
「グァテマラ」國	エル、ベルノ
ヴィクトル、ドゥラン、エメ	「リベリア」共和國
「ハイティ」共和國	「リスアニア」國
「ホンデュラス」共和國	「ルクセンブルグ」國
ドクトル、トクシメイ	「モロッコ」國（西班牙地帶ヲ除ク）
「ハンガリー」國	アッシュ、デュティユ
ガブリエル、パロン、サライ	「モロッコ」國（西班牙地帶）
シァルル、ド、フォルステール	アー、ラモス
英領印度	「メキシコ」國
ビー、ニヌ、ムケルジ	ペー、マルティネス、テー
エス、シー、グプタ	「ニカラグァ」國
エム、アル、ハサン	ヴィクトル、ドゥラン、エメ
「イラーク」國	「サルヴァドル」共和國
ドーグラス、ダブリュー、ガンブレー	「ザール」河地方
諸威國	退離國
クラウス、ヘルシング	瑞典國
オスカル、ホンメ	アンデルス、エルホ
「ニュー、ジーランド」	グンナル、ラーゲル
ジー、マックナマラ	アルヴィド、ピルト
「パナマ」共和國	瑞西聯邦
エー、サルドゥア、ペー	ドクトル、ラインホルト、フレル
「パラグァイ」國	エル、ルーレ
エレヌ、エレヌトゥラ	「チェッコスロヴァキア」國
和蘭國	ワツラッフ、クチェラ
ドインステー	ヨセフ、ラダ
ファン、ゴール	「チュニス」國
「キュラサオ」及「スリナム」	アッシュ、デュティユ
ホーヘウォーニング	「トルコ」國
蘭領印度	ユスフ、アリフィ
ベルグ	エム、サキン
ブリル	「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦
ホーヘウォーニング	ドクトル、ユージェーヌ、ヒルシュヘルド
「ペルー」國	ドクトル、エス、ラポポルト
エルネスト、カセレス	アッシュ、セレブリアコヴァ
エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス	「ウルグァイ」東方共和國
「ベルシア」國	アルトゥロ、セー、マサネス
エス、アー、ラッド	「ヴァティカン市
エール、アーヂオメンド	モンシニオーレ、ジゥゼッペ、マッツオリ
「ポーランド」國	「ヴェネズエラ」合衆國
エール、スタルジンスキー	ルイス、アレハンドロ、アギラール
ドクトル、ブラヒエル	「イエメン」國
ルネ、マシアルスキー	「ユーゴースラヴィア」王國
「ポルトガル」國	コスタ、ズラタノヴィッチ
アー、デ、クー、エレヌ、ヴェース、ピントー、セー、ピアンチ	
西部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地	
エルネスト、ジュリオ、ナヴァロ	
東部「アフリカ」、「アジア」及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地	
マリオ、コレーア、バラタ、ダ、クルス	
「ルーマニア」國	
イラリウ、マネアヌ	
セー、ステファネスク	
「サン、マリノ」共和國	
クレティ、ドナート	

（附錄）

C 1

(Règl., art. 110, § 1, 1er al.)

稅關
DOUANE

（驗檢ヲ以テ開披スルコトヲ得）
(peut être ouvert d'office)

別箇ノ告知書ナキ場合ニ限リ記入スベシ
該告知書アルトキハ切離スベシ
A remplir seulement en cas d'absence de déclaration séparée ; sinon à détacher

物品ノ種類
Nature de la marchandise _____

_____

純重量
Poids net _____

價格
Valeur _____

_____

(Dimensions : 44×62 mm., couleur verte)

C 2

(Règl., art. 110, § 1, 2e al.)

差立地
LIEU D'EXPÉDITION

名宛地
LIEU DE DESTINATION

_____郵政廳
ADMINISTRATION DES POSTES d_____

稅關告知書
DÉCLARATION EN DOUANE

M_____
(名宛人ノ氏名及居所)
(*Nom et adresse du destinataire*)

郵便物 ENVOIS		包有品ノ表示 DÉSIGNATION DU CONTENU	價格 Valeur 使用スル貨幣單位ヲ正確ニ指示スベシ avec indication précise de l'unité monétaire employée	重量 POIDS		備考 OBSERVATIONS
箇數 Nombre	種類 Espèce			全體 *Brut* グラム Grammes	正味 *Net* グラム Grammes	
1	2	3	4	5	6	7
物品ノ原產國又ハ製造國 Pays d'origine ou de fabrication de la marchandise:						

千九百___年___月___日_____ニ於テ
_____, le_____19____

差出人
L'expéditeur : _____

(Dimensions : 125×176 ou 148×210 mm.)

C 4
(Règl., art. 125, § 3)

R LAUSANNE 1
No 460

(Dimensions : 13×37 mm)

C 3 (Recto)
(Règl., art. 111, § 2)

COUPON

Timbre du bureau d'origine

L'expéditeur d_____*)
N° _____
avec valeur déclarée de _____
déposé _____ à _____
_____
pour M _____
à _____
a payé les droits indiqués au verso.

PAYS D'ORIGINE _____

Timbre du bureau d'origine

BULLETIN
D'AFFRANCHISSEMENT

L_____*) N° _____ de _____ avec valeur
déclarée de Fr. _____, expédié _____ par _____
à _____
à l'adresse de _____
_____
à _____
(*Lieu de destination*) (*Rue et numéro*)
doit être remis franc _____ de tous droits
_____
(*Signature de l'expéditeur*)
_____
A renvoyer au bureau d _____
(Indiquer le nom du bureau chargé du recouvrement des frais ou, le cas échéant, celui du bureau auquel la formule doit être renvoyée.)
*) Indiquer la nature de l'objet.

(Dimensions : 105×148 mm, couleur jaune)

(Doit être imprimé en sens inverse du recto) **C 3** (Verso)

DÉTAIL DES DROITS DUS
(dans la monnaie du pays destinataire)

Droit de commission ..		
Droits de douane		
Droit de dédouanement		
Autres frais		
Total ..		

soit*) _____

Timbre du bureau recouvrant

*) Dans la monnaie du pays d'origine de l'envoi.

TOTAL DES FRAIS DÉBOURSÉS
(Voir le détail sur le coupon)

en chiffres arabes

(dans la monnaie du pays de destination de l'envoi)

Timbre du bureau qui a fait l'avance des frais

en chiffres arabes
soit
(à convertir par l'Administration d'origine de l'envoi)

Date de l'avance	N° du registre	Bureau qui a fait l'avance	Signature de l'agent

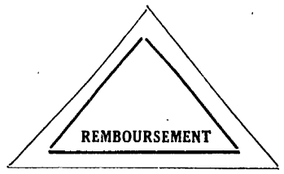
Registre d'arrivée
N° _____

Converti par (Signature de l'agent)

Timbre du bureau recouvrant

C 6

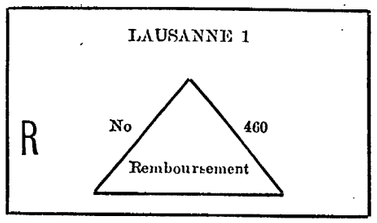
(Règl., art 129, 1er al.)



(Dimensions: hauteur 18 mm., base 37 mm., couleur orange)

C 7

(Règl., art. 129, 2e al.)



(Le triangle en couleur orange)

C 5 (Recto)

(Règl., art. 126, § 2)

郵政廳
ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

(差出局ニ於テ記入スベシ)
(A remplir par le bureau d'origine)

書留郵便物
Envoi recommandé (_____) [1] [2]

書狀 / 箱物 / 小包
Lettre / Boîte / Colis
裏記金額
avec valeur déclarée de_____ [2]

郵便爲替(金額)
Mandat de poste de_____ [2]

差出(提出)郵便局名
déposé··au bureau de poste d_____

年月日　番號
le_____19___ sous le No_____

差出人氏名
expédié par M _____

名宛人氏名
et adressé à M _____

居所
à _____

括弧内ニハ郵便物ノ種類(書狀、印刷物等)ヲ指示スベシ
1) Indiquer dans la parenthèse la nature de l'envoi (lettre, imprimé, etc.)

不用ノ事項ヲ抹消スベシ
2) Biffer les indications inutiles.

到達證
拂渡通知書
AVIS DE {RÉCEPTION / PAYEMENT} [2]

本書返送局印
Timbre du bureau renvoyant l'avis

(差出人ハ其ノ完全ナル居所氏名ヲ下段ニ記入スベシ)
(A remplir par l'expéditeur qui mentionnera ci-dessous son adresse complète)

M _____

à _____

(太キ文字ニテ地名)
(Lieu de destination, en gros caractères)

(町名番地)
(Rue et numéro)

(國名)
(Pays de destination)

通信事務
Service des postes

(Dimensions : 105×148 mm., couleur rouge clair.)

C 5 (Verso)

下名ハ表記ノ 郵便物 / 爲替 ガ正ニ 交付セラ / 支拂ハ レタルコトヲ表明ス

Le soussigné déclare que l'envoi / le mandat mentionné d'autre part

交付 / 支拂 年 月 日

a été dûment livré / payé le _____19_____

名宛局印
Timbre du bureau destinataire·

署名
Signature[1]

名宛人
du destinataire :

名宛局員
de l'agent du bureau destinataire :

本書ハ名宛人又ハ名宛國ノ規則ガ必要トスルトキハ名宛局員之ニ署名シ第一便ニ依リ差出人ニ之ヲ直接返送スルコトヲ要ス

1) Cet avis doit être signé par le destinataire ou, si les règlements du pays de destination le comportent, par l'agent du bureau destinataire et renvoyé par le premier courrier directement à l'expéditeur.

C 9
(Règl., art. 140, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

COMPTE PARTICULIER

des mandats de remboursement payés par l'Administration d _____
pour le compte de l'Administration d _____
pendant le mois d _____ 19____

No d'ordre 1	Numéro d'émission 2	Date d'émission 3	Bureau d'émission 4	Montant des mandats 5	Observations 6

C 11 (Recto)
(Règl., art. 148, § 1)

郵政廳
ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

_____局
BUREAU d_____

DEMANDE[1]) DE
- 取戻請求書 RETRAIT[2])
- 名宛變更請求書 MODIFICATION D'ADRESSE[2])
- 代金引換變更請求書 MODIFICATION DU REMBOURSEMENT[2])

請求書名宛局
adressée à_____

郵便ニ依ル請求
DEMANDE PAR VOIE POSTALE
(本書ハ書留郵便物トシテ請求人ノ費用ニテ送付スベシ)
(Note à transmettre sous pli recommandé et aux frais du requérant)

取戻ノ請求
I. DEMANDE DE RETRAIT [2])

千九百_____年_____月_____日貴局ニ宛テ發送シ且表記ガ添附ノ模寫ニ符合スル
Prière de renvoyer au bureau d_____ (*d'origine*)
第_____號_____(郵便物ノ種類)ヲ差出人ニ還付スル爲
pour être remis à l'expéditeur l_____ (*nature de l'objet*)
_____局(差出局)ニ返送ヲ請フ
numéro_____adressé_____à votre bureau le_____19_____et
dont la suscription est conforme au fac-similé ci-joint.

名宛變更ノ請求
II. DEMANDE DE MODIFICATION D'ADRESSE [2])

千九百_____年_____月_____日貴局ニ宛テ發送シ且表記ガ添附ノ模寫ニ符合スル
Prière de substituer_____ (*telle indication*)
第_____號_____(郵便物ノ種類)ノ表記中
à_____ (*telle autre indication*), sur la suscription
_____(何何ノ指示)ヲ_____(他ノ何何ノ指示)ニ訂正ヲ請フ
de l_____ (*nature de l'objet*) numéro _____
adressé_____à votre bureau le_____19_____du bureau d_____
_____et dont la suscription est conforme au fac-similé ci-joint.

代金引換ノ取消又ハ變更ノ請求
III. DEMANDE D'ANNULATION OU DE MODIFICATION DU REMBOURSEMENT [2])

千九百_____年_____月_____日_____宛發送シ且表記ガ添附ノ模寫ニ符合スル
(名宛人ノ正確ナル名宛)
_____局引受第_____號_____ノ
(郵便物ノ種類)
代金引換ヲ{取消 / _____ニ引下}アリタシ[2])
(金額、單位以上ハ文字ニテ完記スベシ)
Prière [2]){d'annuler / de réduire à_____} le remboursement grevant
(*montant, les unités en toutes lettres*)
l_____numéro_____du bureau d_____
(*nature de l'objet*)
adressé_____le_____19_____à_____
(*adresse exacte du destinataire*)
et dont la suscription est conforme au fac-similé ci-joint.
訂正代金引換爲替證書添附ス
Ci-joint le mandat de remboursement rectifié. [3])

千九百_____年_____月_____日_____ニ於テ
_____, le_____19_____
局　印
Timbre du bureau

千九百_____年_____月_____日_____ニ於テ
_____, le_____19_____
請求書發送局長
Le Chef du bureau d'où émane la demande :

差出人ノ署名
Signature de l'expéditeur :

場合ニ從ヒ表面又ハ裏面ヲ抹消スベシ
1) Biffer le recto ou le verso, suivant le cas.
不用ノ事項ヲ抹消スベシ
2) Biffer les indications inutiles.
場合ニ從ヒ本項ヲ抹消スベシ
3) Biffer l'indication, s'il y a lieu.

(Dimensions : 210×297 mm.)

C 10 (Recto)
(Règl., art. 146, § 1)

配達局ニ於テ開披スルコトヲ得
Peut être ouvert par le bureau distributeur
徵收スベキ料金額
Montant des taxes à percevoir_____

日附印
Timbre à date

通信事務
SERVICE DES POSTES

M_____
(名宛人氏名又ハ船舶、旅行取扱所等ノ名)
(*Nom du destinataire ou nom du navire, de l'agent du bureau de voyage, etc.*)
氣附
Aux soins de_____
(町名及番地)
(*Rue et numéro*)
_____
(名宛局)
(*Bureau de destination*)
(名宛國)
(*Pays de destination*)

(Dimensions : 162×229 mm.)

C 10 (Verso)

開封ノ儘郵便局ニ差出スベシ
A présenter ouvert au bureau de poste

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

C 12 (Recto)
(Règl., art. 150, § 1)

_____郵政廳
ADMINISTRATION DES POSTES

d _____

_____局
BUREAU d _____

請求書發送局印
Timbre du bureau expéditeur de la demande

不著普通郵便物取調請求書
RÉCLAMATION D'UN ENVOI ORDINAIRE NON PARVENU

請求人(差出人又ハ名宛人)ノ爲スベキ通報
I. RENSEIGNEMENTS A FOURNIR PAR LE RÉCLAMANT (EXPÉDITEUR OU DESTINATAIRE)

問 Demandes 1	答 Réponses 2
郵便物ノ種類(書狀、郵便葉書、業務用書類、新聞紙其ノ他ノ印刷物、見本又ハ小形包裝物) *a)* Nature de l'envoi (*lettre, carte postale, papiers d'affaires, journal ou autre imprimé, échantillon ou petit paquet*).	
郵便物ニ記載シタル名宛 *b)* Adresse portée sur l'envoi.	
名宛人ノ正確ナル名宛如何 *c)* Quelle est l'adresse exacte du destinataire ?	
郵便物ノ容積ハ大ナリシヤ *d)* L'envoi était-il volumineux ?	
郵便物ノ包有品如何(成ルベク正確完全ニ記載スルコト) *e)* Que renfermait-il ? (*Signalement aussi exact et complet que possible*).	
郵便ニ差出シタル正確又ハ概略ノ日附 *f)* Date précise ou approximative du dépôt à la poste.	
差出人ノ住所氏名 *g)* Nom et domicile de l'expéditeur.	
取調效果アリタル場合ニハ差出人又ハ名宛人ノ何レニ請求郵便物ヲ送付スベキヤ *h)* En cas de recherches fructueuses, à qui, de l'expéditeur ou du destinataire, doit-on faire parvenir l'envoi réclamé ?	

差出人ノ爲スベキ通報
II. RENSEIGNEMENTS A FOURNIR PAR L'EXPEDITEUR

郵便物ハ料金前納ナリシヤ且前納ノ場合ニハ貼附シタル郵便切手ノ額如何 *i)* L'envoi était-il affranchi et, dans l'affirmative, quelle était la valeur des timbres-poste apposés ?	
郵便物差出日時 *j)* Date et heure du dépôt à la poste.	
窓口ニ差出シタルヤ又ハ郵便函ニ投入シタルヤ後段ノ場合ニハ何處ノ函ナリシヤ *k)* Le dépôt a-t-il eu lieu au guichet ou à la boîte ? Dans ce dernier cas, a quelle boîte ?	
差出人自身差出シタルヤ又ハ他人ニ托シ差出シタルヤ後段ノ場合ニハ何人ニ托シタルヤ *l)* Le dépôt a-t-il été effectué par l'expéditeur lui-même ou par un tiers ? Dans ce dernier cas, par quelle personne ?	

差出局ノ特別通報
m) Renseignements particuliers du bureau d'origine. _____

本式紙ハ _____ ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス
La présente formule doit être renvoyée à _____

(Dimensions : 210×297 mm.)

C 11 (Verso)

電信ニ依ル請求
DEMANDE PAR VOIE TÉLÉGRAPHIQUE
(電報料ハ請求人ノ負擔トス)
(Télégramme aux frais du réclamant)

取戻ノ請求
I. DEMANDE DE RETRAIT [1]

千九百____年____月____日 _____ (名宛人ノ正確ナル名宛)宛
Renvoyer (*tel objet*) _____ (*numéro*) _____
發送シタル _____ (番號) _____ (何何郵便物)ヲ返送アリタシ
adressé _____ *le* _____ *19*____
_____ à (*adresse exacte du destinataire*). _____

(細項　差出人名指示シアラバ差出人名、郵便物ノ形狀及色、封印アラバ封印、各種ノ記載及記號)
(*Description: Indication éventuelle de l'expéditeur, format et couleur de l'envoi, cachet éventuel, annotations et signes de toute nature*) _____

郵便局
Postes
(署名ヲ要セズ)
(*Sans signature*)

名宛變更ノ請求
II. DEMANDE DE MODIFICATION D'ADRESSE [1] [2]

千九百____年____月____日 _____ (名宛人ノ正確ナル名宛)宛
Substituer (*telle indication*) _____ à (*telle*
發送シタル _____ (番號) _____ (郵便物ノ種類、現金取立
autre indication) _____ sur (*nature*
郵便物ノ明細表)ノ _____ (何何ノ指示)ヲ _____ (他ノ何何ノ指示)ニ訂正アリタシ
de l'objet, bordereau d'un envoi avec valeurs à recouvrer) _____
(*numéro*) _____
adressé _____ *le* _____ *19*____
à (*adresse exacte de destinataire*) _____

(細項　差出人名指示シアラバ差出人名、郵便物ノ形狀及色、封印アラバ封印、各種ノ記載及記號)
(*Description: Indication éventuelle de l'expéditeur, format et couleur de l'envoi, cachet éventuel, annotations et signes de toute nature*) _____

郵便局
Postes
(署名ヲ要セズ)
(*Sans signature*)

代金引換ノ取消又ハ變更ノ請求
III. DEMANDE D'ANNULATION OU DE MODIFICATION DU REMBOURSEMENT [1] [2]

千九百____年____月____日 _____ (名宛人ノ正確ナル名宛)宛
發送シタル第____號 _____ (郵便物ノ種類)ノ
[1] {代金引換ヲ取消 / 代金引換(金額) _____ ヲ _____ ニ引下} アリタシ
(金額、單位以上ハ文字ニテ完記スベシ)
[1] {Annuler remboursement / Réduire à _____ remboursement}
(*montant, les unités en toutes lettres*)
(*nature de l'objet*) _____ numéro _____
adressé _____ *le* _____ *19*____ à (*adresse exacte du destinataire*) _____

郵便局
Postes
(署名ヲ要セズ)
(*Sans signature*)

千九百____年____月____日 _____ ニ於テ _____, le _____ *19*____

局　印
Timbre du bureau

千九百____年____月____日 _____ ニ於テ _____, le _____ *19*____

請求書發送局長
Le Chef du bureau d'où émane la demande :

差出人ノ署名
Signature de l'expéditeur :

不用ノ事項ヲ抹消スベシ
1) Biffer les indications inutiles.
本請求ニ對シテハ場合ニ依リ郵便ニ依ル複寫ノ到著後ニ非ザレバ處理ヲ爲サズ
2) Il ne peut être satisfait, le cas échéant, à cette demande qu'après réception du fac-similé par la poste.

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

C 13 (Recto)
(Règl., art. 151, § 1)

_____ 郵 政 廳
ADMINISTRATION DES POSTES
d _____.

_____ 局
BUREAU d _____

差出局印
Timbre du bureau d'origine

取 調 請 求 書
RÉCLAMATION

差出業務ニ於テ記入スベキ部
A remplir dans le service d'origine

書留郵便物 代金引換
d'un envoi recommandé (_____) (a) remboursement (_____)

又ハ _____ノ價格表記 書狀 / 箱物
ou d'une lettre / boîte avec valeur déclarée de (_____) (b) remboursement (_____)

包有品
contenant (_____) (c)

差出人 差出年月日
déposé par M _____ le _____ 19____

番號 引受局名 名宛人
sous le N° _____ au bureau d _____ à l'adresse suivante :

_____

_____

_____ (d)

到達證ヲ請求シタリ
et faisant l'objet d'une demande d'avis de réception _____ (e)

名宛業務ニ於テ記入スベキ部
A remplir dans le service de destination

配達ノ場合 en cas de distribution

下名ハ前記郵便物ガ千九百____年____月____日被利者ニ正ニ交付セラレタルコトヲ表明ス
Le soussigné déclare que l'envoi susmentionné a été dûment livré à l'ayant droit le ____ 19____
代金引換金額ハ千九百____年____月____日爲替證書第____號ニ依リ郵便物ノ差出人ニ送付セラレタリ
Le montant du remboursement a été transmis à l'expéditeur de l'envoi par le mandat No ____ le ____ 19____
代金引換金額ハ千九百____年____月____日爲替證書第____號ニ依リ____貯金局ニ送付セラレタリ
Le montant du remboursement a été transmis au bureau de chèques postaux d ____ par le mandat No ____ le ____ 19____
代金引換金額ハ千九百____年____月____日郵便振替口座ニ拂込マレタリ
Le montant du remboursement a été mis en compte courant postal le ____ 19____

配達局印
Timbre du bureau distributeur

配 達 局 長
Le Chef du bureau distributeur :

_____

配達セザル場合 en cas de non-distribution

下名ハ前記郵便物ガ
Le soussigné déclare que l'envoi susmentionné _____
尚 _____ 局ニ保管セラレアルコト
est encore en instance au bureau d _____
千九百____年____月____日差出局ニ返送セラレタルコト
a été renvoyé au bureau d'origine le _____ 19____
千九百____年____月____日 _____ ニ轉送セラレタルコト
a été réexpédié le _____ 19____ à _____ (f)
名宛局ニ到達セザルコトヲ表明ス名宛人ノ申立書添附ス
n'est pas parvenu au bureau de destination. La déclaration du destinataire est ci-jointe.

配達局印
Timbre du bureau distributeur

配 達 局 長
Le Chef du bureau distributeur :

_____

書狀、印刷物、見本等
(a) Lettre, imprimé, échantillon, etc.
價格表記金額
(b) Montant de la valeur déclarée.
成ルベク包有品ノ細項ヲ記載スベシ
(c) Description du contenu, autant que possible.
差出人ニ於テ記入スベキ部其ノ記入ナキトキハ差出局ニ於テ記入スベキ部、名宛ハ正確完全ニ記入スベシ
(d) Cadre à remplir par l'expéditeur ou, à défaut, par le bureau d'origine; mentionner l'adresse exacte et complète.
場合ニ依リ抹消スベシ
(e) Biffer, le cas échéant.
名宛ハ正確完全ニ指示スベシ
(f) Indiquer l'adresse exacte et complète.

(Dimensions : 210×297 mm.)

C 12 (Verso)

不著普通郵便物取調請求ノ場合ニ名宛人ノ爲スベキ通報
III. RENSEIGNEMENTS A FOURNIR PAR LE DESTINATAIRE EN CAS DE RÉCLAMATION D'UN ENVOI ORDINAIRE NON PARVENU

問 Demandes 1	答 Réponses 2
n) 郵便物ハ名宛人ニ到達シタルヤ L'envoi est-il parvenu au destinataire ?	
o) 通常郵便物ハ通例郵便局ニ於テ受取ルヤ又ハ住所ニ配達セラルルヤ Les correspondance sont-elles d'ordinaire retirées au bureau de poste ou distribuées à domicile ?	
p) 前段ノ場合ニハ何人ニ受取ヲ托スルヤ A qui sont-elles confiées dans le premier cas ?	
q) 後段ノ場合ニハ直接ニ名宛人ニ又ハ其ノ使用人ニ交付セラルルヤ又ハ受函ニ差入レラルルヤ此ノ場合ニハ其ノ函ヲ良ク閉鎖シ且定刻ニ開函スルヤ Dans le second cas, sont-elles remises directement au destinataire ou à une personne attachée à son service, ou bien déposées dans une boîte particulière ? Le cas échéant, cette boîte est-elle bien fermée et régulièrement levée ?	
r) 通常郵便物ノ亡失ハ從前屢々發生シタルヤ若然ラバ其ノ亡失シタル通常郵便物ハ何國發ノモノナリヤ La perte de correspondances s'est-elle déjà produite souvent ? Dans l'affirmative, indiquer la provenance des correspondances perdues.	
s) 名宛局ノ特別通報 Renseignements particuliers du bureau de destination.	

本式紙ハ _____ ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス
La présente formule doit être renvoyée à _____

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

ADMINISTRATION DES POSTES

d_____

BUREAU d_____

C 14

(Règl., art. 153, lettre *a*)

Timbre du bureau expéditeur

AVIS DE L'ENVOI

sous recommandation d'office, de l'objet de correspondance décrit ci-après paraissant revêtu d'un timbre-poste frauduleux ou d'une empreinte contrefaite de machine à affranchir

Nature de l'objet 1	Bureau d'origine et date d'expédition 2	Copie textuelle de l'adresse 3	Indication de l'irrégularité présumée 4	Observations 5

Le Chef du bureau:

(Dimensions: 148×210 mm.)

C 13 (Verso)

表面記載ノ取調ニ依リ郵便物ノ踪跡ヲ證明シ得ザル場合ニ限リ記入スベキ部
A REMPLIR SEULEMENT DANS LE CAS OU LE SORT DE L'ENVOI N'A PU ÊTRE ÉTABLI PAR LES RECHERCHES PRÉVUES AU RECTO.

差出業務ニ於テ記入スベキ部 A remplir dans le service d'origine.

表記ノ郵便物ハ千九百____年____月____日____交換局發
L'envoi désigné d'autre part a été inséré dans la dépêche du bureau d'échange d_____
_____交換局宛閉嚢(第_____次便)ニ挿入シタリ
du_____19____(__e envoi) pour le bureau d'échange d_____
上記郵便物ハ書狀日錄第五部又ハ特別日錄ノ第____行ニ記入シタリ
差立日錄
局印 Timbre du bureau
Il a été inscrit sous le No____ du tableau V de la feuille d'avis ou de la liste spéciale. de la feuille d'envoi.

署名
Signature:

表記ノ郵便物ハ千九百____年____月____日____交換局發
L'envoi désigné d'autre part a été inséré dans la dépêche du bureau d'échange d_____
_____交換局宛閉嚢(第_____次便)ニ挿入シタリ
du_____19____(__e envoi) pour le bureau d'échange d_____
上記郵便物ハ書狀日錄第五部又ハ特別日錄ノ第____行ニ記入シタリ
差立日錄
局印 Timbre du bureau
Il a été inscrit sous le No____ du tableau V de la feuille d'avis ou de la liste spéciale. de la feuille d'envoi.

署名
Signature:

媒介業務ニ於テ記入スベキ部 A remplir dans les services intermédiaires.

表記ノ郵便物ハ千九百____年____月____日____交換局發
L'envoi désigné d'autre part a été inséré dans la dépêche du bureau d'échange d_____
_____交換局宛閉嚢(第_____次便)ニ挿入シタリ
du_____19____(__e envoi) pour le bureau d'échange d_____
上記郵便物ハ書狀日錄第五部又ハ特別日錄ノ第____行ニ記入シタリ
差立日錄
局印 Timbre du bureau
Il a été inscrit sous le No____ du tableau V de la feuille d'avis ou de la liste spéciale. de la feuille d'envoi.

署名
Signature:

表記ノ郵便物ハ千九百____年____月____日____交換局發
L'envoi désigné d'autre part a été inséré dans la dépêche du bureau d'échange d_____
_____交換局宛閉嚢(第_____次便)ニ挿入シタリ
du_____19____(__e envoi) pour le bureau d'échange d_____
上記郵便物ハ書狀日錄第五部又ハ特別日錄ノ第____行ニ記入シタリ
差立日錄
局印 Timbre du bureau
Il a été inscrit sous le No____ du tableau V de la feuille d'avis ou de la liste spéciale. de la feuille d'envoi.

署名
Signature:

RÉPONSE DÉFINITIVE

名宛郵政廳又ハ場合ニ依リ取調請求郵便物ヲ次ノ郵政廳ニ正當ニ遞送シタルコトヲ立證シ得ザル媒介郵政廳ノ確答
de l'Administration destinataire ou, le cas échéant, de l'Administration intermédiaire qui ne peut établir la transmission régulière de l'envoi réclamé à l'Administration suivante.

C 16
(Règl., art. 154, § 1)

PAYS D'ORIGINE _____ PAYS DE DESTINATION _____

Timbre du bureau expéditeur

FEUILLE D'AVIS

Timbre du bureau destinataire

Dépêche (___e envoi) du bureau d'échange d _____
pour le bureau d'échange d _____
expédiée le _____ 19____, à ____ h. ____ m.

I. Envois ordinaires

par exprès [1] _____ par avion [1]

[1]) Souligner la mention valable.

II. Numéro de la dépêche et nombre des sacs

Numéro d'ordre de la dépêche _____
Paquebot _____
Via _____
Nombre des sacs composant la dépêche (y compris les sacs contenant les sacs vides renvoyés) _____

III. Récapitulation des envois inscrits

	Nombre
Sacs / Paquets } contenant des envois recommandés	
Listes spéciales d'objets recommandés	
Total des envois recommandés	
Sacs / Paquets } contenant des envois avec valeur déclarée	
Feuilles d'envoi d'objets avec valeur déclarée	
Total des envois avec valeur déclarée	

IV. Indications de service

	Nombre
Sacs utilisés pour la confection de la dépêche appartenant à l'Administration expéditrice, y compris les sacs pour les objets recommandés.	
Sacs en retour appartenant à l'Administration destinataire	

V. Liste des envois recommandés
(S'il n'y a pas d'objets recommandés porter la mention "Néant")

No d'ordre 1	Bureau d'origine 2	No d'ordre de l'envoi 3	Observations 4
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

VI. Dépêches closes insérées dans la présente dépêche

Bureau d'origine 1	Bureau de destination 2	Nombre des sacs ou paquets 3

L'agent du bureau d'échange expéditeur: _____

L'agent du bureau d'échange destinataire: _____

(Dimensions: 210×297 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES

d _____

C 15
(Règl., art. 153, lettre *b*)

Timbre du bureau de destination

PROCÈS-VERBAL

dressé à _____ par application de l'article 81 de la Convention de l'Union postale universelle et de l'article 153 de son Règlement.

Emploi d'un timbre-poste frauduleux ou d'une empreinte contrefaite de machine à affranchir

L'an mil neuf cent _____, le _____ 19____
Nous soussigné, _____ des postes à _____, agissant en vertu de l'article 81 de la Convention de l'Union postale universelle et de l'article 153 de son Règlement et assistant à la vérification d _____ [1]) expédié _____ le _____ 19____ d _____ à l'adresse de M _____ à _____, pesant _____ et affranchi _____ à raison de _____, avons constaté que cet envoi était revêtu [2]) { d'un timbre-poste présumé frauduleux, / d'une empreinte contrefaite de machine à affranchir, } ce qui constitue la contravention prévue par l'article 81 de la Convention.

Le destinataire nous a déclaré [2]) { que l'expéditeur est M [3]) _____ / que l'expéditeur lui est inconnu. / qu'il refusait de faire connaître l'expéditeur. }

En conséquence,

[2]) { nous lui avons remis _____ / nous avons saisi _____ }

à l'effet d e l _____ transmettre à l'Administration des postes d _____

De quoi nous avons dressé le présent procès-verbal en simple expédition pour qu'il y soit donné suite conformément à l'article 81 de la Convention et à l'article 153 du Règlement susmentionnés.

Signature du destinataire ou de son fondé de pouvoir: _____

Signature de l'agent du bureau de destination: _____

[1]) Nature de l'envoi (lettre, papiers d'affaires, imprimé, échantillon, etc.).

[2]) Biffer, suivant le cas, l'une ou l'autre de ces indications.

[3]) Nom et adresse du contrevenant (s'il habite une grande ville, indiquer la rue et le numéro de la maison).

(Dimensions: 148×210 ou 210×297 mm.)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

C 18
(Règl., art. 159, § 1)
CORRESPONDANCE AVEC
L'ADMINISTRATION
d_____

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

BUREAU d_____

BULLETIN DE VÉRIFICATION

Timbre du bureau expéditeur du bulletin

Timbre du bureau destinataire du bulletin

pour la constatation et la rectification des erreurs et irrégularités de toute nature reconnues dans la dépêche No_____
du bureau d'échange d_____
pour le bureau d'échange d_____

_____e expédition du_____19___, à___h.___.

ERREURS OU IRRÉGULARITÉS DIVERSES

(Manque de la dépêche, manque d'envois recommandés ou de la feuille d'avis, dépêche spoliée, sac déchiré ou en mauvais état, etc.)

_____, le_____ 19___

Les agents du bureau d'échange destinataire de la dépêche:

_____

, le_____ 19___

Vu et accepté:
Le Chef du bureau d'échange expéditeur de la dépêche:

_____

(Dimensions: 148×210 mm.)

C 17
(Règl, art. 154 § 2, lettre c)

PAYS D'ORIGINE _____

PAYS DE DESTINATION _____

LISTE SPÉCIALE No_____

Timbre du bureau expéditeur

Timbre du bureau destinataire

des envois recommandés de la dépêche No_____ (____e envoi)

d _____ pour _____

No. d'ordre 1	Bureau d'origine 2	Numéro d'ordre de l'envoi 3	Observations 4	No. d'ordre 1	Bureau d'origine 2	Numéro d'ordre de l'envoi 3	Observations 4
1				31			
2				32			
3				33			
4				34			
5				35			
6				36			
7				37			
8				38			
9				39			
10				40			
11				41			
12				42			
13				43			
14				44			
15				45			
16				46			
17				47			
18				48			
19				49			
20				50			
21				51			
22				52			
23				53			
24				54			
25				55			
26				56			
27				57			
28				58			
29				59			
30				60			

L'agent du bureau d'échange expéditeur: _____

L'agent du bureau d'échange destinataire: _____

(Dimensions: 210×297 mm.)

C 20
(Règl., art. 163, § 2)

ADMINISTRATION DES POSTES

d———

———

BUREAU d ———

STATISTIQUE DE TRANSIT
BULLETIN DE VÉRIFICATION

Timbre du bureau expéditeur

pour la constatation et la rectification des erreurs et irrégularités reconnues dans la dépêche

du bureau d'échange d———

pour le bureau d'échange d———

———e expédition du ———19——à——h.——

Timbre du bureau destinataire

	Nombre de sacs	
	d'après la déclaration du bureau expéditeur 1	d'après la constatation du bureau destinataire 2
Transit en dépêches closes :		
a) L. C. Sacs légers		
Sacs moyens		
Sacs lourds		
b) A. O. Sacs légers		
Sacs moyens		
Sacs lourds		
c) Sacs exempts de tous frais de transit		

OBSERVATIONS

Prière de renvoyer ce bulletin après examen et acceptation au bureau de poste d———

———, le———19——

Les agents du bureau d'échange destinataire :

———, le———19——

Vu et accepté :
Le Chef du bureau d'échange expéditeur :

(Dimensions : 210×297 mm.)

PAYS D'ORIGINE

C 19
(Règl., art. 163, § 1)
PAYS DE DESTINATION

Timbre du bureau expéditeur

FEUILLE D'AVIS

Dépêche (—e envoi) bureau d'échange d———

pour le bureau d'échange d———

expédiée le———19——, à——h.——m.

Timbre du bureau destinataire

Transit en dépêches closes	Description des sacs	Nombre de sacs dont le poids brut ne dépasse pas 5 kg (sacs légers)	dépasse 5 kg sans excéder 15 kg (sacs moyens)	dépasse 15 kg sans excéder 30 kg (sacs lourds)
	L. C.			
	A. O.			

Nombre de sacs exempts de frais de transit———

I.—Envois ordinaires par exprès [1]) par avion [1])
[1]) souligner la mention valable.

II.—Numéro de la dépêche et nombre des sacs

Numéro d'ordre de la dépêche———
Paquebot ———
Via ———
Nombre des sacs composant la dépêche (y compris les sacs contenant les sacs vides renvoyés)———

III.—Récapitulation des envois inscrits

	Nombre
Sacs / Paquets } contenant des envois recommandés	
Listes spéciales d'objets recommandés ..	
Total des envois recommandés	
dont—"A. O." et—, "Exempt" dans les sacs "ad hoc" [1])	
Sacs / Paquets } contenant des envois avec valeur déclarée	
Feuilles d'envoi d'objets avec valeur déclarée	
Total des envois avec valeur déclarée ..	

[1]) Ne remplir qui lorsque les envois recommandés "(A.O." et "Exempt" (art 75 de la Convention) ont été insérés dans les sacs "ad hoc" (art. 162, § 2, du Règlement de la Convention).

IV.—Indications de service

	Nombre
Sacs utilisés pour la confection de la dépêche appartenant à l'Administration expéditrice, y compris les sacs pour les objets recommandés	
Sacs en retour appartenant à l'Administration destinataire	

V.—Liste des envois recommandés
(S'il n'y a pas d'objets recommandés, porter la mention "Néant")

No d'ordre 1	Bureau d'origine 2	No d'ordre de l'envoi 3	Observations 4
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			

VI.—Dépêches closes insérées dans la Présente dépêche

Bureau d'origine 1	Bureau de destination 2	Nombre des sacs ou paquets 3

L'agent du bureau d'échange expéditeur :

L'agent du bureau d'échange destinataire :

(Dimensions : 210×297 mm.)

ADMINISTRATION EXPÉDITRICE

C 22
(Règl., art. 165, § 1)

LISTE DES DÉPÊCHES CLOSES

expédiées par l'intermédiaire de l'Administration d _____

pendant la période de statitiue du _____

Bureau		Date d'expédition	Voie de transmission	Observations
expéditeur	destinataire			
1	2	3	4	5

(Dimensions : 210×297 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES

d _____

BUREAU d _____

C 21
(Règl., art. 164, § 1)

Administration expéditrice :

Administration destinataire :

TRANSIT EN DÉPÊCHES CLOSES

Dépêches du bureau d'échange d _____

pour le bureau d'échange d _____

expédiées par l'intermédiaire d _____

et par des paquebots d _____

Date	Première dépêche expédiée à ——— h. du ———						Deuxième dépêche expédiée à ——— h. du ———					
	Lettres et cartes postales			Autres objets			Lettres et cartes postales			Autres objets		
	Nombre de sacs						Nombre de sacs					
	jusqu'à 5 kg	de plus de 5 jusqu'à 15 kg	de plus de 15 kg	jusqu'à 5 kg	de plus de 5 jusqu'à 15 kg	de plus de 15 kg	jusqu'à 5 kg	de plus de 5 jusqu'à 15 kg	de plus de 15 kg	jusqu'à 5 kg	de plus de 5 jusqu'à 15 kg	de plus de 15 kg
	Sacs légers	Sacs moyens	Sacs lourds	Sacs légers	Sacs moyens	Sacs lourds	Sacs légers	Sacs moyens	Sacs lourds	Sacs légers	Sacs moyens	Sacs lourds
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
Totaux												

_____, le _____ 19 ___

Le Chef du bureau d'échange destinataire :

_____, le _____ 19 ___

Vu et accepté :
Le Chef du bureau d'échange expéditeur :

(Dimensions : 210×297 mm.)

C 23

(Règl., art. 167, § 1)

Avis.—A transporter à découvert simultanément avec la dépêche à laquelle ce bulletin se rapporte et à remplir avant la remise.

Administration expéditrice: _____

Administration destinataire: _____

BULLETIN DE TRANSIT DES DÉPÊCHES

Bureau d'origine: _____

Bureau de destination: _____

Date de l'expédition: _____ No de la dépêche: _____ Nombre de sacs: _____

Attention ! Chaque Administration ne dispose que d'une seule ligne pour les indications concernant le transit territorial et d'une seule autre ligne pour le transit maritime éventuel.

Les renseignements concernant le transit doivent être indiqués successivement par le bureau d'échange d'entrée et le bureau d'échange de sortie de chaque Administration participant au transport des dépêches, à l'exclusion de tout autre bureau intermédiaire, en commençant par le premier bureau d'échange étranger. Le dernier bureau d'échange intermédiaire doit transmettre le bulletin directement au bureau de destination qui le renvoie au bureau d'origine joint au relevé C 21 respectif.

1	Date d'arrivée 2	Timbre du bureau d'échange d'entrée 3	Date d'expédition 4	Timbre du bureau d'échange de sortie 5	Services utilisés (En cas de transit territorial, indiquer T. t., et la route suivie. En cas de transit maritime, indiquer T. m., la route suivie et le nom et la nationalité du paquebot) 6	Pays auquel revient le transit 7
Premier parcours ...						
Deuxième parcours ...						
Troisième parcours ...						
Quatrième parcours ...						
Cinquième parcours ...						
Sixième parcours ...						
Septième parcours ...						
Huitième parcours ...						
Neuvième parcours ...						
Dixième parcours ...						

(Dimensions: 210×297 mm., couleur verte)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

TRANSIT EN DÉPÊCHES CLOSES

C 24

(Règl., art. 169, § 4)

Compte des sommes dues à l'Administration d_____ pour le transport des dépêches closes expédiées par l'Administration d_____ en transit par les services_____ pendant l'année 19__

Bureau d'origine 1	Bureau de destination 2	Dépêches expédiées pendant la période de la statistique								Observations 15
		Lettres et cartes postales						Autres objets		
		Nombre de sacs du poids moyen de 3 kg / 12 kg / 24 kg	Poids totaux 6 kg	Prix de transit par kg 7 Fr. c.	Avoir de 8 Fr. c.	Nombre de sacs du poids moyen de 3 kg / 12 kg / 24 kg	Poids totaux 12 kg	Prix de transit par kg 13 c.	Avoir de 14 Fr. c.	

C 26
(Règl., art. 172, § 1)

COUPON-RÉPONSE INTERNATIONAL

a) _____

b) _____

c)

(Dessin)

Timbre du bureau d'origine

Timbre du bureau d'échange

d) Ce coupon est échangeable dans tous les pays de l'Union contre un timbre-poste ou des timbres-poste représentant le montant de l'affranchissement d'une lettre ordinaire de port simple à destination de l'étranger.

(Nom du pays d'émission)

a) Traduction de l'en-tête dans la langue du pays d'émission.

b) Cet espace est occupé par une traduction du texte *d*) dans la langue du pays d'émission.

c) Prix de vente dans le pays d'émission.

d) Cette explication est répétée au verso dans les langues de plusieurs pays.

(Dimensions : 74×105 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

C 25
(Règl., art. 170, § 2)

FRAIS DE TRANSIT ORDINAIRES

RELEVÉ

indiquant les montants totaux des comptes particuliers réciproques entre les Administrations des postes d _____ _____ et d _____

Sommes dues pour chacune des années _____ sur la base de la statistique d _____ 1	Avoir de l'Administration d _____ 2	d _____ 3
	Fr.	Fr.
Dépêches closes		
Envois d _____		
Envois d _____		
Totaux		
Déduction		
Solde au crédit de l'Administration d _____		

_____, le _____ 19____

Signature : _____

(Dimensions : 148×210 ou 210×297 mm.)

C 28

(Règl., art. 173, § 2)

4

SIGNALEMENT [1])

Date de naissance : _____
Lieu de naissance : _____
Taille : _____
Cheveux : _____
Yeux : _____
Teint : _____
Marques particulières : _____

[1]) Les indications du signalement doivent, le cas échéant, porter une traduction interlinéaire en langue française.

1

UNION POSTALE UNIVERSELLE
ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

CARTE D'IDENTITE

1. Cette carte est reconnue comme pièce justificative d'identité pour les opérations postales.
2. Les cartes d'identité sont délivrées exclusivement par le service des postes. Elles sont valables pendant trois ans. Toutefois si, pendant cette période, la physionomie du titulaire s'est modifiée au point de ne plus répondre à la photographie ou au signalement, la carte doit être renouvelée.
3. Les Administrations des postes ne sont pas responsables des conséquences que peuvent entraîner la perte, la soustraction ou l'emploi frauduleux de la présente carte.

(Dimensions : 105×148 mm.)

2

Photographie

Timbre-poste
(La moitié sur la photographie)

Signature du titulaire :

3

CARTE D'IDENTITÉ
No _____
valable jusqu'au _____ 19____

Titulaire { Nom : _____
Prénoms : _____
Profession : _____
Domicile : _____

Délivrée par le bureau ou le service
d _____
le _____ 19____

Le Chef de service :

Timbre à date ou sceau officiel.

C 27

(Règl., art. 172, § 5)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____

COUPONS-RÉPONSE

RELEVÉ

des coupons échangés dans les relations réciproques entre les Administrations d _____ et d _____ pendant _____ 19____

1	2 Nombre	3 Valeur calculée à 35 c. par unité Fr.	c.
Coupons émis par _____ et échangés contre des timbres-poste d _____			
Coupons émis par _____ et échangés contre des timbres-poste d _____			
Solde au {crédit / débit} de l'Administration d _____			

_____, le _____ 19____

(Dimensions : 148×210 mm.)

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

C 30
(Règl., art. 190, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES D_____

TABLEAU STATISTIQUE

DU SERVICE POSTAL EN_____

ANNÉE 19____

(Dimensions : 210×297 ou 420×594 mm.)

C 29
(Règl., art. 175, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

COMPTE

des frais de douane, etc., payés par l'Administration d _____
pour le compte de l'Administration d _____
Mois d _____ 19____.

Numéro d'ordre	Date des avances	Numéro du bulletin d'affranchissement	BUREAU qui a fait l'avance	Montant de chaque bulletin d'affranchissement		Observations
1	2	3	4	5		6
			TOTAL			

(Dimensions : 210×297 mm.)

III. SERVICE POSTAL

Objets de la poste aux lettres ordinaires et recommandés:	Service intérieur	Service international					
		Réception		Expédition		Transit	
Envois soumis à la taxe (Nombre):	Colonne	Colonne		Colonne		Colonne	
Lettres affranchies	23	57		91		123*)	
„ non affranchies	24	58		92		124*)	
Cartes postales (simples et avec réponse payée)	25	59		93		125*)	
Papiers d'affaires	26	60		94		126*)	
Imprimés	27	61		95		127*)	
Echantillons de marchandises	28	62		96		128*)	
Petits paquets	29	63		97		129*)	
Envois admis à la franchise de port (Nombre)	30	64		98		130*)	
Totaux des envois inscrits aux colonnes 23 à 30, 57 à 64, 91 à 98 et 123 à 130 (Nombre)	31	65		99		131*)	
Envois recommandés trouvés parmi les correspondances inscrites aux colonnes 31, 65, 99, et 131 (Nombre)	32	66		100		132*)	
Envois "par avion" trouvés parmi les correspondances inscrites aux colonnes 31, 65, 99 et 131 (Nombre)	33	67		101		133*)	
Lettres et boîtes avec valeur déclarée:							
Nombre	34	68		102		134*)	
Valeur (Francs)	35	69		103		135*)	
Envois "par avion" trouvés parmi les envois inscrits aux colonnes 34, 68, 102 et 134 (Nombre)	36	70		104		136*)	
Colis:							
Colis ordinaires (Nombre)	37	71		105		137*)	
Colis avec valeur déclarée:							
Nombre	38	72		106		138*)	
Valeur (Francs)	39	73		107		139*)	
Colis "par avion" trouvés parmi les envois inscrits aux colonnes 37, 71, 105, 137 et 38, 72, 106, 138 (Nombre)	40	74		108		140*)	
Remboursements:							
Objets de correspondance (Nombre)	41	75		109		—	
Montant des remboursements (Francs)	42	76		110		—	
Colis (Nombre)	43	77		111		—	
Montant des remboursements (Francs)	44	78		112		—	
Remboursements non recouvrés (Nombre)	45	79		113		—	
Mandats de poste:							
Nombre	46	80		114		—	
Valeur (Francs)	47	81		115		—	
Bons postaux de voyage:							
Nombre	—	82		116		—	
Valeur (Francs)	—	83		117		—	

*) Les chiffres à indiquer dans les colonnes 123 à 140 ne doivent se rapporter qu'au transit à découvert.

I. GÉNÉRALITÉS

Colonne			Colonne		
	Année		5	Nombre d'habitants par bureau de poste	
1	Pays		6	Nombre, par habitant, des lettres et cartes postales soumises à la taxe dans le service intérieur et des mêmes objets pour l'étranger	
2	Superficie en kilomètres carrés				
3	Nombre d'habitants		7	Nombre, par habitant, des autres objets de correspondance soumis à la taxe dans le service intérieur et des mêmes objets pour l'étranger.	
4	Nombre de kilomètres carrés par bureau de poste				

II. ORGANISATION DES POSTES

Colonne			Colonne		
	Nombre des bureaux de poste:			Nombre des fonctionnaires, employés, etc.:	
8	à l'intérieur		14	Service de l'Administration centrale et des Administrations régionales	
	a) Bureaux chargés de la réception et de la distribution des envois postaux de toute nature		15	Service des bureaux de poste	
			16	Total du personnel	
	b) Bureaux dont les attributions de réception et de distribution d'envois postaux sont restreintes		17	Nombre des entrepreneurs du transport des malles	
	c) Bureaux ambulants (Nombre de services fonctionnant tant à l'aller qu'au retour)		18	Nombre des relais de la poste aux chevaux de l'Etat et privés	
9	à l'étranger		19	Nombre des chevaux de trait, etc., de l'Etat et privés (Services gratuits et services subventionnés)	
10	Total des bureaux de poste		20	Nombre des voitures (à l'exception des automobiles) et des traîneaux de l'Etat et privés (Services gratuits et services subventionnés)	
11	Nombre des Administrations des postes régionales		21	Nombre des automobiles et des motocyclettes de l'Etat et privés (Services gratuits et services subventionnés)	
12	Nombre des boîtes aux lettres à l'usage du public				
13	Nombre des machines à affranchir en usage		22	Nombre des vélocipèdes (tricycles et bicycles)	

V. RÉSULTAT FINANCIER

Colonne	RECETTES	Francs	Colonne	DEPENSES	Francs
156	Produit de la vente des timbres-poste et autres formules d'affranchissement		161	Traitements et émoluments : *a*) des fonctionnaires et employés	
				b) des facteurs et autres agents subalternes	
157	Recettes effectuées en numéraire (y compris les machines à affranchir)		162	Achat et entretien des bâtiments et du matériel des postes, frais de location, de chauffage et d'éclairage, fournitures de bureau et autres menus frais ..	
158	Taxes perçues pour le transport des voyageurs et pour surpoids de bagages et autres recettes diverses		163	Frais de transport par les voies ferrées, pavées, macadamisées, maritimes, fluviales et aériennes (y compris les frais de construction et d'entretien des voitures postales ainsi que les subventions aux entrepreneurs de relais de poste)	
159	Bonifications reçues des Administrations étrangères		164	Indemnités pour perte et avarie d'envois postaux	
160	TOTAL DES RECETTES		165	Subventions aux compagnies de navigation	
			166	Bonifications payées aux Administrations étrangères	
			167	Autres dépenses diverses	
			168	TOTAL DES DÉPENSES	
			—	TOTAL DES RECETTES	
			169	Excédent des recettes	
			170	Excédent des dépenses	

III. SERVICE POSTAL (*suite*)

	Service intérieur	Service international					
		Réception		Expédition		Transit	
Recouvrements :	Colonne	Colonne		Colonne		Colonne	
Nombre	48	84		118		—	—
Valeurs à encaisser (Francs)	49	85		—	—	—	—
Non encaissés (Nombre)	50	86		—	—	—	—
Chèques et virements postaux :							
Nombre de comptes	51	—	—	—	—	—	—
Opérations (versements, remboursements et virements—Service intérieur)—Nombre	52	—	—	—	—	—	—
Montant (Francs)	53	—	—	—	—	—	—
Virements dans le service international—Nombre ..	—	—	87		119	—	—
Montant (Francs)	—	—	88		120	—	—
Journaux et écrits périodiques servis par abonnement :							
Nombre des abonnements	54	89		121		—	—
Nombre des numéros	55	90		122		—	—
Nombre des voyageurs transportés	56	—	—	—	—	—	—
Nombre des dépêches closes en transit	—	—	—	—	—	141	

IV. CORRESPONDANCES-REBUT. Service intérieur

	Colonne	Correspondances ordinaires et recommandées tombées en rebut (Nombre)	Colonne	Correspondances en rebut qui ont pu être remises en distribution ou renvoyées aux expéditeurs	Colonne	Correspondances restées en souffrance
Lettres et cartes postales ordinaires et recommandées	142		144		146	
Papiers d'affaires, imprimés, échantillons et petits paquets ordinaires et recommandés	143		145		147	

IV. CORRESPONDANCES-REBUT. Service international

	Colonne	Correspondances de l'intérieur pour l'étranger qui sont rentrées au bureau des rebuts.	Colonne	Correspondances en rebut renvoyées de l'étranger et qui ont pu être placées.	Colonne	Correspondances renvoyées de l'étranger qui sont restées en souffrance.	Colonne	Correspondances de l'étranger tombées en rebut et renvoyées au pays d'origine.
Lettres et cartes postales ordinaires et recommandées	148		150		152		154	
Papiers d'affaires, imprimés, échantillons et petits paquets ordinaires et recommandés ..	149		151		153		155	

C 31
(Règl., art. 190, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES d_____

TABLEAU STATISTIQUE

DU

SERVICE INTERNATIONAL (EXPÉDITION)

POUR L'ANNÉE 19____

(Dimensions : 210×297 ou 420×594 mm.)

Pays	Objets de la poste aux lettres ordinaires et recommandés: Envois soumis à la taxe: Lettres: affranchies – Nombre 2	Lettres: non affranchies – Nombre 3	Cartes postales simples et avec réponse payée – Nombre 4	Papiers d'affaires – Nombre 5	Imprimés – Nombre 6	Echantillons de marchandises – Nombre 7	Petits paquets – Nombre 8	Envois recommandés (compris dans les colonnes 2—8) – Nombre 9	Totaux (envois recommandés compris dans les colonnes 2—9) – Nombre 10	Envois recommandés parmi les correspondances trouvées parmi les envois insérés aux colonnes 2—9 – Nombre 11	Envois recommandés parmi les correspondances trouvées parmi les envois insérés aux colonnes 2—9 – Nombre 12	Lettres et boîtes avec valeur déclarée: Nombre	Valeur Fr. 14	Envois "par avion" trouvés parmi les envois insérés à la colonne 13 – Nombre 16	Colis: Nombre ordinaires – Nombre 17	Colis: avec valeur déclarée: Nombre	Valeur Francs 18	Colis "par avion" trouvés parmi les envois insérés aux colonnes 16 et 17 – Nombre 19	Remboursements: Objets de correspondance – Nombre 20	Montant des remboursements – Francs 21	Colis – Nombre 22	Montant des remboursements – Francs 23	Mandats de poste – Nombre 24	Valeur – Francs 25	Bons postaux de voyage – Nombre 26	Valeur – Francs 27	Recouvrements – Nombre 28	Vignettes postales – Nombre 29	Montant – Francs 30	Journaux, périodiques, etc., servis par abonnement – Nombre des numéros 31
1																														
I. EUROPE																														
II. AFRIQUE																														
III. AMERIQUE																														
IV. ASIE																														
V. AUSTRALIE et OCEANIE																														
TOTAUX																														

●價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定ノ施行規則

昭和九年十二月
遞信省第三千二百四十八號

昭和九年十二月條約第七號「カイロ」締結價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定ノ施行規則左ノ如シ

價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定ノ施行規則

目次

第一章　總則
第一條　郵政廳ニ爲スベキ報告
第二條　遞送線路
第三條　遞送方法
第二章　引受ノ條件
第四條　郵便物ノ包裝
第五條　價格ノ指示、稅關告知書
第六條　詐欺表記
第三章　差立及到著ノ際ニ於ケル措置
第七條　差立ノ際ニ於ケル措置
第八條　差立目錄、包束物ノ作成、閉鎖
第九條　轉送、不能配達
第十條　計算、清算
第四章　繼越料
第十一條　課金別納郵便物、清算
第十二條　課金別納郵便物、清算
第十三條　諸種ノ規定
第五章　到達證、取戻請求
第十四條　取戻、名宛變更
第十五條　總理局ニ爲ツベキ通報
最終規定
第十六條　施行規則ノ實施及存續期間
附錄
VD第一號乃至VD第三號式紙

價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定ノ施行規則

第一章　總則

第一條　郵政廳ニ爲スベキ報告

各郵政廳ハ其ノ關係郵政廳ヨリ受取リタルVD第一號表ニ依リ自廳ノ價格表記郵便物ノ遞送ニ付使用スベキ線路ヲ決定ス

第二條　遞送線路

第三條　遞送方法

一　隣接國間又ハ直接ノ海路業務ニ依リ五ニ連絡アル諸國間ノ價格表記郵便物ノ遞送ハ關係二郵政廳ガ協定ヲ以テ指定スル交換局ニ於テノミ行フ

二　一箇又ハ數箇ノ媒介業務ノ介在スル諸國間ノ關係ニ於テハ價格表記郵便物ハ常ニ最速達ノ線路ヲ想由シ且第一媒介郵政廳ガ第百一條及第百二條ニ定ムル條件ニ於テ遞送ヲ施行シ得ルトキハ原則トシテ閉嚢ニテ閉廳ニ之ヲ交付スルコトヲ要ス

三　尤モ差出及名宛ノ郵政廳ハ約定ニ加入シ又ハ加入セザル一箇又ハ數箇ノ媒介國ノ業務ニ依リ閉嚢ニテ價格表記郵便物ヲ交換スルヲ相互ニ協定スル權能ヲ有ス媒介郵政廳ニハ相當時期ニ殘背スルコトヲ要ス

關係郵政廳ハ又速達線路ニ依ル開嚢遞送ガ全遞送路ヲ通ジテ責任ヲ保證セラレザル場合ニハ迂回線路ニ依ル開嚢遞送ヲ施行スルヲ協定スルコトヲ得

第二章　引受ノ條件

第四條　郵便物ノ包裝

價格表記書狀ハ封皮ノ各封目ヲ保全スル樣十分多數ノ箇所ニ間隔ヲ設ケテ良質ノ封蠟ヲ附ケ之ニ差出人ノ同一ノ記號ヲ寫出スル封印ヲ施シタル封皮ニ依ル非ザレバ之ヲ許サズ封皮ハ強靱ナルモノナルコト、一枚ノ紙ニテ調製シタルモノナルコト且封緘ヲ完全ニ固著セシメ得ルモノナルコトヲ要ス全部透明ナル封皮又ハ樣端ニ著色シタル封皮及透明ナル窓アル封皮ハ之ヲ使用スルコトヲ禁ズ

各書狀ハ封皮又ハ封緘ヲ明瞭ナル方法ニテ毀損スルニ非ザレバ其ノ包有品ヲ害スルコト能ハザル樣之ヲ包裝スルコトヲ要ス

料金前納ノ爲使用スル郵便切手及郵便業務ニ關スル票符ハ封皮ノ損所ヲ隱蔽スル用ニ供シ得ザル樣間隔ヲ設ケ之ヲ貼附スルコトヲ要ス尙封皮ノ樣端ヲ被覆スル樣其ノ二面ニ跨リテ之ヲ貼附セザルコトヲ要ス價格表記書狀ニハ郵便業務ニ關スル票符以外ノ票符ヲ貼附スルコトヲ禁ズ價格表記郵便物ノ料金前納ハ左ノ形式ニ依リ差出國ノ貨幣ニテ表ハシタル徵收金額ノ數字ニ依ル記載ヲ以テ之ヲ表示スルコトヲ得

徵收濟料金：「フラン」：「サンチーム」

右記載ハ表面上部右隅ニ之ヲ爲シ差出局ノ日附印ノ印影ヲ以テ證明スルコトヲ要ス

珠玉其ノ他ノ貴重品ハ木製又ハ金屬製ノ十分耐力アル箱ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス木製ノ箱ノ側板ハ少クトモ八ミリメートルノ厚サヲ有スルコトヲ要ス

箱物ノ上下ノ二面ハ名宛人ノ名宛ヲ記載シ、價格ヲ表記シ且業務用ノ印影ヲ附スル爲白紙ヲ以テ之ヲ覆フコトヲ要ス次ニ該箱物ニハ精節ナキ强靱ナル絲ヲ十字形ニ架ケテ兩端ヲ結合シ其ノ上ニ差出人ノ印影ヲ有スル良質ノ封蠟ヲ施ス箱物ニハ最後ニ其ノ前後左右ノ四面ニ該封緘ト同一ノ封緘ヲ施ス

價格表記郵便物ニシテ頭文字ニテ宛名ヲ記載シ若ハ數箇ノ名宛ヲ指示シタルモノ又ハ塗抹シ若ハ改竄シタル表記ヲ有スルモノハ之ヲ許サズ誤テ引受ケタル此ノ種ノ郵便物ハ差出局ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス

第五條　價格ノ指示、稅關告知書

價格ノ表記ハ之ヲ差出國ノ貨幣ニテ表示シ差出人ニ於テ省略スルコトナク「フラン」文字ニテ且「フラビア」數字ニテ郵便物ノ名宛面ニ記載スルコトヲ要ス假令證明ヲ爲スモ塗抹又ハ改竄ハ之ヲ許サズ

二　價格表記ノ金額ハ差出又ハ差出郵政廳ニ於テ金「フラン」ニ之ヲ換算スルコトヲ要ス換算ノ結果ハ差出國ノ貨幣ニテ表記金額ヲ表示スル數字ノ側又ハ下ニ新數字ニテ之ヲ指示スルコトヲ要ス該規定ハ共通ノ貨幣ヲ有スル諸國間ノ直接ノ關係ニハ之ヲ適用セズ

金「フラン」ニ於ケル金額ニハ色鉛筆ニテ一條ノ太キ字下線ヲ引クコトヲ要ス

三　稅關告知書ノ頒ノ使用ヲ必要トスル關係ニ於テハ價格表記箱物ニハ條約ノ施行規則附錄C第二號雛形ニ適合スル稅關告知書ヲ添附スルコトヲ要ス

四　郵政廳ハ稅關告知書ニ付テハ何等ノ責ニ任ゼズ

第六條　詐欺表記

何等カノ事情ニ因リ又ハ關係者ノ請求ニ因リ書狀又ハ箱物ノ包有スル實價ヲ超ユル價格ノ詐欺表記ヲ發見シタルトキハ成ルベク速ニ且差出人ニ於テ省略スルコトナク「フラン」文字ニテ「V」ナル文字、差出局名及郵便物ノ逐次番號ヲ指示ヲ有スルモノトス

三　價格表記郵便物ノ表面ニハ媒介郵政廳ニ於テ之ヲ許サズ

「カイロ」ニ於テ締結シタル萬國郵便條約第四條ニ依リ價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定ノ施行ヲ保障スル爲各其ノ郵政廳ノ名ニ於テ爲替ヲ遂ゲ左ノ手續ヲ定メリ

第一章　總則

第一條　郵政廳ニ爲スベキ報告

締約國郵政廳ニシテ直接交換ヲ維持スルモノハ附錄VD第一號雛形ニ適合スル表ヲ以テ價格表記郵便物交換ニ關スル報告ヲ相互ニ通知ス

第二條　遞送線路

各郵政廳ハ其ノ關係郵政廳ヨリ受取リタルVD第一號表ニ依リ自廳ノ價格表記郵便物ノ遞送ニ付使用スベキ線路ヲ決定ス

第三條　遞送方法

一　連絡アル諸國間ノ價格表記郵便物ノ遞送ハ關係二郵政廳ガ協定ヲ以テ指定スル交換局ニ於テノミ行フ

二　一箇又ハ數箇ノ媒介業務ノ介在スル諸國間ノ關係ニ於テハ價格表記郵便物ハ常ニ最速達ノ線路ヲ想由シ且第一媒介郵政廳ガ第百一條及第百二條ニ定ムル條件ニ於テ遞送ヲ施行シ得ルトキハ原則トシテ閉嚢ニテ閉廳ニ之ヲ交付スルコトヲ要ス

三　尤モ差出及名宛ノ郵政廳ハ約定ニ加入シ又ハ加入セザル一箇又ハ數箇ノ媒介國ノ業務ニ依リ閉嚢ニテ價格表記郵便物ヲ交換スルヲ相互ニ協定スル權能ヲ有ス媒介郵政廳ニハ相當時期ニ殘背スルコトヲ要ス

關係郵政廳ハ又速達線路ニ依ル開嚢遞送ガ全遞送路ヲ通ジテ責任ヲ保證セラレザル場合ニハ迂回線路ニ依ル開嚢遞送ヲ施行スルヲ協定スルコトヲ得

第二章　引受ノ條件

第四條　郵便物ノ包裝

價格表記書狀ハ封皮ノ各封目ヲ保全スル樣十分多數ノ箇所ニ間隔ヲ設ケテ良質ノ封蠟ヲ附ケ之ニ差出人ノ同一ノ記號ヲ寫出スル封印ヲ施シタル封皮ニ依ル非ザレバ之ヲ許サズ封皮ハ強靱ナルモノナルコト、一枚ノ紙ニテ調製シタルモノナルコト且封緘ヲ完全ニ固著セシメ得ルモノナルコトヲ要ス全部透明ナル封皮又ハ樣端ニ著色シタル封皮及透明ナル窓アル封皮ハ之ヲ使用スルコトヲ禁ズ

各書狀ハ封皮又ハ封緘ヲ明瞭ナル方法ニテ毀損スルニ非ザレバ其ノ包有品ヲ害スルコト能ハザル樣之ヲ包裝スルコトヲ要ス

料金前納ノ爲使用スル郵便切手及郵便業務ニ關スル票符ハ封皮ノ損所ヲ隱蔽スル用ニ供シ得ザル樣間隔ヲ設ケ之ヲ貼附スルコトヲ要ス尙封皮ノ樣端ヲ被覆スル樣其ノ二面ニ跨リテ之ヲ貼附セザルコトヲ要ス價格表記書狀ニハ郵便業務ニ關スル票符以外ノ票符ヲ貼附スルコトヲ禁ズ價格表記郵便物ノ料金前納ハ左ノ形式ニ依リ差出國ノ貨幣ニテ表ハシタル徵收金額ノ數字ニ依ル記載ヲ以テ之ヲ表示スルコトヲ得

徵收濟料金：「フラン」：「サンチーム」

右記載ハ表面上部右隅ニ之ヲ爲シ差出局ノ日附印ノ印影ヲ以テ證明スルコトヲ要ス

珠玉其ノ他ノ貴重品ハ木製又ハ金屬製ノ十分耐力アル箱ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス木製ノ箱ノ側板ハ少クトモ八ミリメートルノ厚サヲ有スルコトヲ要ス

箱物ノ上下ノ二面ハ名宛人ノ名宛ヲ記載シ、價格ヲ表記シ且業務用ノ印影ヲ附スル爲白紙ヲ以テ之ヲ覆フコトヲ要ス次ニ該箱物ニハ精節ナキ强靱ナル絲ヲ十字形ニ架ケテ兩端ヲ結合シ其ノ上ニ差出人ノ印影ヲ有スル良質ノ封蠟ヲ施ス箱物ニハ最後ニ其ノ前後左右ノ四面ニ該封緘ト同一ノ封緘ヲ施ス

價格表記郵便物ニシテ頭文字ニテ宛名ヲ記載シ若ハ數箇ノ名宛ヲ指示シタルモノ又ハ塗抹シ若ハ改竄シタル表記ヲ有スルモノハ之ヲ許サズ誤テ引受ケタル此ノ種ノ郵便物ハ差出局ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス

第五條　價格ノ指示、稅關告知書

價格ノ表記ハ之ヲ差出國ノ貨幣ニテ表示シ差出人ニ於テ省略スルコトナク「フラン」文字ニテ且「フラビア」數字ニテ郵便物ノ名宛面ニ記載スルコトヲ要ス假令證明ヲ爲スモ塗抹又ハ改竄ハ之ヲ許サズ

二　價格表記ノ金額ハ差出又ハ差出郵政廳ニ於テ金「フラン」ニ之ヲ換算スルコトヲ要ス換算ノ結果ハ差出國ノ貨幣ニテ表記金額ヲ表示スル數字ノ側又ハ下ニ新數字ニテ之ヲ指示スルコトヲ要ス該規定ハ共通ノ貨幣ヲ有スル諸國間ノ直接ノ關係ニハ之ヲ適用セズ

金「フラン」ニ於ケル金額ニハ色鉛筆ニテ一條ノ太キ字下線ヲ引クコトヲ要ス

三　稅關告知書ノ頒ノ使用ヲ必要トスル關係ニ於テハ價格表記箱物ニハ條約ノ施行規則附錄C第二號雛形ニ適合スル稅關告知書ヲ添附スルコトヲ要ス

四　郵政廳ハ稅關告知書ニ付テハ何等ノ責ニ任ゼズ

第六條　詐欺表記

何等カノ事情ニ因リ又ハ關係者ノ請求ニ因リ書狀又ハ箱物ノ包有スル實價ヲ超ユル價格ノ詐欺表記ヲ發見シタルトキハ成ルベク速ニ且差出人ニ於テ省略スルコトナク「フラン」文字ニテ「V」ナル文字、差出局名及郵便物ノ逐次番號ヲ指示ヲ有スルモノトス

三　價格表記郵便物ノ表面ニハ媒介郵政廳ニ於テ之ヲ許サズ

セル行嚢中ニ之ヲ納入スルコトヲ要ス

五　關係二郵政廳ノ一方ノ請求アルトキハ何時ニテモ價格表記箱物ハ別箇ノVD第三號式紙ニ之ヲ關スル記入ヲ爲シ別ニ之ヲ包裝スルコトヲ要ス

第百九條　包束物ノ點檢、諸種ノ遮

一　價格表記ノ包束物又ハ行嚢ヲ受取ルトキハ名宛交換局ハ先ヅ該包束物又ハ行嚢ガ其ノ狀態又ハ外裝ニ何等ノ遮例ナキカ否カ及第百八條ニ規定スル要件ガ遵守セラレタルカ否カヲ確ム

二　右局ハ次ニ價格表記郵便物ニ付箇々ノ點檢ヲ爲シ且場合ニ依リ不足其ノ他ノ遮例ヲ確證シ又條約ノ施行規則第百五十九條第二項乃至第六項ニ依リ背留郵便物ニ付定ムル規定ニ從ヒ差立目錄ノ訂正ヲ爲ス

三　郵政廳ハ其ノ遮例ノ確證ノ調背ヲ以テ之ヲ異狀其ノ他ノ遮例ノ確證ノ調背ヲ以テ之ヲ爲ス該調背ニハ成ルベク價格表記郵便物ヲ挿入シタル總テノ內裝及外裝ノ包束物又ハ行嚢ノ一切ノ包裝（行嚢、包束封皮、絲及封印）ヲ添附シ之ヲ差立交換局ノ屬スル國ノ中央郵政廳ニ背留郵便ニテ送付シ該局ニハ別ニ點檢狀ヲ直ニ送付シ同時ニ調背ノ副本ヲ名宛交換局ノ屬スル中央郵政廳又ハ同廳ノ指定スル他ノ監督機關ニ送付ス

四　毀損シタル郵便物又ハ包裝不十分ナル郵便物ヲ關係局ヨリ受取リタル交換局ハ第三項ノ規定ノ適用ヲ妨グルコトナク場合ニ依リ原物ノ包裝ヲ成ルベク保存シテ新ニ包裝シタル後郵便物ヲ遞送スルコトヲ要ス

毀損ガ郵便物ノ包有品ヲ竊取セラレタルガ如キ程度ノモノナルトキハ郵便局ハ先ヅ發送局ニ其ノ旨ヲ表示スル閉嚢ノ處理方法ヲ指示スルコトヲ要ス

第五章　諸種ノ規定

第百十三條　到達證、代金引換、別配達、取調請求

尤モ同條ニ規定スル決済方法ニ依ルコトヲ能ハザル旨ヲ表明スル郵政廳ハ其ノ採用セント欲スル處理方法ヲ指示スルコトヲ要ス

第百十四條　取戻、名宛變更

第百十五條　總理局ニ爲ツベキ通報

最終規定

第百十六條　施行規則ノ實施及存續期間

附錄

VD第一號乃至VD第三號式紙

價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定ノ施行規則

第一章　總則

第一條　郵政廳ニ爲スベキ報告

各郵政廳ハ其ノ關係郵政廳ヨリ受取リタルVD第一號表ニ依リ自廳ノ價格表記郵便物ノ遞送ニ付使用スベキ線路ヲ決定ス

第二條　遞送線路

第三條　遞送方法

一　隣接國間又ハ直接ノ海路業務ニ依リ五ニ連絡アル諸國間ノ價格表記郵便物ノ遞送ハ關係二郵政廳ガ協定ヲ以テ指定スル交換局ニ於テノミ行フ

二　一箇又ハ數箇ノ媒介業務ノ介在スル諸國間ノ關係ニ於テハ價格表記郵便物ハ常ニ最速達ノ線路ヲ想由シ且第一媒介郵政廳ガ第百一條及第百二條ニ定ムル條件ニ於テ遞送ヲ施行シ得ルトキハ原則トシテ閉嚢ニテ閉廳ニ之ヲ交付スルコトヲ要ス

三　尤モ差出及名宛ノ郵政廳ハ約定ニ加入シ又ハ加入セザル一箇又ハ數箇ノ媒介國ノ業務ニ依リ閉嚢ニテ價格表記郵便物ヲ交換スルヲ相互ニ協定スル權能ヲ有ス媒介郵政廳ニハ相當時期ニ殘背スルコトヲ要ス

關係郵政廳ハ又速達線路ニ依ル開嚢遞送ガ全遞送路ヲ通ジテ責任ヲ保證セラレザル場合ニハ迂回線路ニ依ル開嚢遞送ヲ施行スルヲ協定スルコトヲ得

第二章　引受ノ條件

第四條　郵便物ノ包裝

價格表記書狀ハ封皮ノ各封目ヲ保全スル樣十分多數ノ箇所ニ間隔ヲ設ケテ良質ノ封蠟ヲ附ケ之ニ差出人ノ同一ノ記號ヲ寫出スル封印ヲ施シタル封皮ニ依ル非ザレバ之ヲ許サズ封皮ハ強靱ナルモノナルコト、一枚ノ紙ニテ調製シタルモノナルコト且封緘ヲ完全ニ固著セシメ得ルモノナルコトヲ要ス全部透明ナル封皮又ハ樣端ニ著色シタル封皮及透明ナル窓アル封皮ハ之ヲ使用スルコトヲ禁ズ

各書狀ハ封皮又ハ封緘ヲ明瞭ナル方法ニテ毀損スルニ非ザレバ其ノ包有品ヲ害スルコト能ハザル樣之ヲ包裝スルコトヲ要ス

料金前納ノ爲使用スル郵便切手及郵便業務ニ關スル票符ハ封皮ノ損所ヲ隱蔽スル用ニ供シ得ザル樣間隔ヲ設ケ之ヲ貼附スルコトヲ要ス尙封皮ノ樣端ヲ被覆スル樣其ノ二面ニ跨リテ之ヲ貼附セザルコトヲ要ス價格表記書狀ニハ郵便業務ニ關スル票符以外ノ票符ヲ貼附スルコトヲ禁ズ價格表記郵便物ノ料金前納ハ左ノ形式ニ依リ差出國ノ貨幣ニテ表ハシタル徵收金額ノ數字ニ依ル記載ヲ以テ之ヲ表示スルコトヲ得

徵收濟料金：「フラン」：「サンチーム」

右記載ハ表面上部右隅ニ之ヲ爲シ差出局ノ日附印ノ印影ヲ以テ證明スルコトヲ要ス

珠玉其ノ他ノ貴重品ハ木製又ハ金屬製ノ十分耐力アル箱ニ之ヲ納ムルコトヲ要ス木製ノ箱ノ側板ハ少クトモ八ミリメートルノ厚サヲ有スルコトヲ要ス

箱物ノ上下ノ二面ハ名宛人ノ名宛ヲ記載シ、價格ヲ表記シ且業務用ノ印影ヲ附スル爲白紙ヲ以テ之ヲ覆フコトヲ要ス次ニ該箱物ニハ精節ナキ强靱ナル絲ヲ十字形ニ架ケテ兩端ヲ結合シ其ノ上ニ差出人ノ印影ヲ有スル良質ノ封蠟ヲ施ス箱物ニハ最後ニ其ノ前後左右ノ四面ニ該封緘ト同一ノ封緘ヲ施ス

價格表記郵便物ニシテ頭文字ニテ宛名ヲ記載シ若ハ數箇ノ名宛ヲ指示シタルモノ又ハ塗抹シ若ハ改竄シタル表記ヲ有スルモノハ之ヲ許サズ誤テ引受ケタル此ノ種ノ郵便物ハ差出局ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス

第五條　價格ノ指示、稅關告知書

價格ノ表記ハ之ヲ差出國ノ貨幣ニテ表示シ差出人ニ於テ省略スルコトナク「フラン」文字ニテ且「フラビア」數字ニテ郵便物ノ名宛面ニ記載スルコトヲ要ス假令證明ヲ爲スモ塗抹又ハ改竄ハ之ヲ許サズ

二　價格表記ノ金額ハ差出又ハ差出郵政廳ニ於テ金「フラン」ニ之ヲ換算スルコトヲ要ス換算ノ結果ハ差出國ノ貨幣ニテ表記金額ヲ表示スル數字ノ側又ハ下ニ新數字ニテ之ヲ指示スルコトヲ要ス該規定ハ共通ノ貨幣ヲ有スル諸國間ノ直接ノ關係ニハ之ヲ適用セズ

金「フラン」ニ於ケル金額ニハ色鉛筆ニテ一條ノ太キ字下線ヲ引クコトヲ要ス

三　稅關告知書ノ頒ノ使用ヲ必要トスル關係ニ於テハ價格表記箱物ニハ條約ノ施行規則附錄C第二號雛形ニ適合スル稅關告知書ヲ添附スルコトヲ要ス

四　郵政廳ハ稅關告知書ニ付テハ何等ノ責ニ任ゼズ

第六條　詐欺表記

何等カノ事情ニ因リ又ハ關係者ノ請求ニ因リ書狀又ハ箱物ノ包有スル實價ヲ超ユル價格ノ詐欺表記ヲ發見シタルトキハ成ルベク速ニ且差出人ニ於テ省略スルコトナク「フラン」文字ニテ「V」ナル文字、差出局名及郵便物ノ逐次番號ヲ指示ヲ有スルモノトス

三　價格表記郵便物ノ表面ニハ媒介郵政廳ニ於テ之ヲ許サズ

第百十四條　取戻、名宛變更

條約ノ施行規則第百四十八條及第百四十九條ノ規定ハ價格表記郵便物ノ取戻又ハ名宛變更ニ之ヲ適用ス

電信ニ依ル名宛變更ノ請求ニ關スルトキハ該請求ハ條約ノ施行規則第百四十八條第一項ニ定ムル模寫ヲ添附シ且頭部ニ色鉛筆ニテ下線ヲ引キタル「Confirmation de la demande télégraphique du……」ナル記事ヲ有スル郵便ニ依ル請求ヲ以テ第一便ニテ之ヲ確認スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ名宛局ハ電報ヲ受取リタルトキハ單ニ郵便物ヲ留置キ請求ニ應ズル爲郵便ニ依ル確認ヲ待ツモノトス

尤モ名宛郵政廳ハ右確認ヲ待ツコトナク自廳ノ責任ニテ電信ニ依ル名宛變更ノ請求ニ對シ措置ヲ執ルコトヲ得

第百十五條　總理局ニ爲ツベキ通報

一　郵政廳ハ約定實施ノ少クトモ三月前ニ總理局ノ媒介ニ依リ他ノ郵政廳ニ左ノ通報ヲ爲スコトヲ要ス

(イ)　約定第三條ニ依リ自廳ノ業務ニ於テ價格表記郵便物ニ適用スル表記料率

(ロ)　自廳ノ許ス價格表記ノ最高限

(ハ)　自國宛ノ價格表記箱物及繼越ノ箱物ニ付要スル稅關告知書ノ枚數竝ニ該告知書作成ニ使用スベキ語

(ニ)　場合ニ依リ價格表記郵便物ヲ宛ツルコトヲ許ス自廳ノ郵便局ノ表（約定第三十二條）

(ホ)　場合ニ依リ普通ノ通常郵便物ノ遞送ニ使用スル自國ノ定期海路業務ニシテ責任ヲ負擔シテ價格表記郵便物ノ遞送ニ充ツルコトヲ得ルモノ

二　爾後ノ各變更ハ遲滯ナク之ヲ通知スルコトヲ要ス

最終規定

第百十六條　施行規則ノ實施及存續期間

本施行規則ハ價格表記ノ書狀及箱物ニ關スル約定實施ノ日ヨリ之ヲ施行スベシ

本規則ハ關係締約郵政廳間ニ協議ヲ遂ゲ之ヲ改締スルニ非ザレバ右約定ト同一ノ存續期間（到達證、第百四十二條及第百五十六條（別配達）竝ニ第百五十一條及第百五十二條（取調請求）ノ規定ハ價格表記郵便物ニ之ヲ適用ス

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ヲ有スベシ

千九百三十四年三月二十日「カイロ」ニ於テ之ヲ作成ス

「アルバニア」國　ペー、ナッス

獨逸國　カー、ホルト　カー、チーグレル

「サウディ、アラビア」王國　ファウザン、エル・サベク

「アルゼンティン」共和國　エレヒ、エレヒ、トゥラ

埃地利國　ドクトル、ルドルフ、クーン

白耳義國　オー、シオッカールト　エー、モンス

白耳義國「コンゴー」殖民地　ジェー、トンドゥール

「ボリヴィア」國　エルネスト、カセレス　エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理　エルネスト、カセレス

「ブラジル」國　セー、エメ、デ、フィグエイレド　ジオータ、サンチェス、ペレス

「ブルガリア」國　イー、カザロフ

「チリ」國　エレヒ、スプレス、バロス

中華民國　胡世澤　張歆海　黃乃楓

「コロンビア」共和國　エー、サルドゥア、ペー

「キュバ」共和國　アルフレド、アッシール丁拝

「ツエー、モンドルプ」

アルネ、クロッグ

「ダンチッヒ」自由市

「ドミニカ」共和國　ルイス、アレハンドロ、アギラール

「エジプト」國　エム、シアララ　イー、マッギアー　エス、エー、ガルワッシュ

西班牙國　アロンソ、カーロ　アー、ラモス

西班牙國殖民地全體　デメトリオ、ベレダ

「エストニア」國　ゲー、エー、エフ、アルプレヒト

「エティオピア」國　アラムー、テー

「フィンランド」國　ゲー、エー、エフ、アルプレヒト

佛蘭西國　エム、ルボン　エル、ジアントン　ペー、グランシモン　アー、カバンヌ　デュッセール

「アルジエリー」　エー、ユグナン

印度支那ノ佛蘭西國殖民地及保護領　ニコラ

其ノ他ノ佛蘭西國殖民地全體　ジー、カサニアッグ

「グレート、ブリテン」及北部「アイルランド」聯合王國　エフ、エッチ、ウィリアムソン　グブリュー、ジー、ギルバート　ディー、オー、ラムレー

希臘國　ヴアッシリ、デンドラミス　ジー、ラクニダキス

「ハイティ」共和國

「ホンデュラス」共和國　ドクトル、トクシメイ

「ハンガリー」國　ガブリエル、パロン、サライ　シアル、ド、フオルステール

英領印度　ピー、エム、ムケルジ　エス、シー、グプタ　エム、アル、ハサン

「イラーク」國　ドーグラス、ダブリュー、ガンブレー　ジエー、シオール

「アイルランド」自由國　ピー、エス、オーヘイジアーダイ　エス、エス、ピュイルセアル

「アイスランド」國　ツエー、モンドルプ　アルネ、クロッグ

伊太利國　ピエトロ、トスティ　ガルディ、ミケレ

伊太利國殖民地全體　クレティ、ドナート

日本國　關正雄　張間利春　畳山準吉

朝鮮　關正雄　川面隆三

其ノ他ノ日本國屬地全體　張間利春　藤川洋

「ラトヴィア」國　ドクトル、ラインホルト、フレルエル、ルーレ

佛蘭西國委任統治ノ下ニ在ル東方諸國（「シリア」國及「レバノン」國）　シアンファレッリ　エル、ベルノ

「リベリア」共和國

「リスアニア」國

「ルクセンブルグ」國

「モロッコ」國（西班牙地帶ヲ除ク）　アッシュ、デュテイユ

「モロッコ」國（西班牙地帶）　アー、ラモス

「ニカラグア」國　ヴィクトル、ドゥラン、エメ

諾威國　クラウス、ヘルシング　オスカル、ホンメ

「ニュー、ジーランド」　ジー、マックナマラ

「パナマ」共和國　エー、サルドゥア、ペー

「パラグアイ」國　エレヒ、エレヒ、トゥラ

和蘭國　ドインステー　ファン、ゴール

「キュラサオ」及「スリナム」　ホーヘウォーニング

蘭領印度　ベルク　ブリル　ホーヘウォーニング

「ペルシア」國　エス、アー、ラッド　エール、アーヂメンド

「ポーランド」國　エール、スタルジンスキー　ドクトル、プラヒエル　ルネ、マシアルスキー

「ポルトガル」國　アー、デ、クー、エレヒ、ヴェース、ピント　アー、セー、ピアンチ

西部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地　エルネスト、ジュリオ、ナヴァロ

東部「アフリカ」、「アジア」及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地

マリオ、コレーア、バラタ、ダ、クルス

「ルーマニア」國　イラリウ、マネアヌ　セー、ステファネスク

「サン、マリノ」共和國　クレティ、ドナート

「ザール」河地方

還穪國

瑞典國　アンデルス、エルネ　グンナル、ラーゲル　アルヴィド、ビルト

瑞西聯邦　ドクトル、ラインホルト、フレルエル、ルーレ

「チエッコスロヴァキア」國　ワツラフ、クチエラ　ヨセフ、ラダ

「テュニス」國　アッシュ、デュテイユ

「トルコ」國　エスフ、アリフィ　エム、サキン

エム、テヴフイク

「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦　ドクトル、エージェース、ヒルシュヘルド　ドクトル、エス、ラポポルト　アッシュ、セレブリアコヴア

「ヴアティカン」市　モンシニオーレ、ジウゼツペ、マツツオリ

「ヴエネズエラ」合衆國　ルイス、アレハンドロ、アギラール

「イエメン」國

「ユーゴースラヴィア」王國　コスタ、ズラタノヴィッチ

（附錄）

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

VD 1
(Règl., art, 101)

Echange de lettres et boites avec valeur déclarée entre pays non limitrophes.

TABLEAU indiquant les pays pour lesquels l'Administration des postes d_____ est à même de servir d'intermédiaire.

Numéro d'ordre	Pays de destination	Voies de transmission	Désignation des pays intermédiaires et des services maritimes à employer	Limite de la déclaration de valeur	Admission des boîtes avec valeur déclarée	Nombre de déclarations en douane à joindre aux boîtes	Observations
1	2	3	4	5	6	7	8

(Dimensions : 210 x 297 mm.)

VD 2
(Règl., art. 107, § 2)

V	Amsterdam No 732

(Dimensions : 13 x 37 mm., couleur rouge)

VD 3
(Règl., art. 108, § 1)

PAYS D'ORIGINE

PAYS DE DESTINATION

Timbre du bureau expéditeur

Timbre du bureau destinataire

FEUILLE D'ENVOI
DES LETTRES ET BOÎTES AVEC VALEUR DÉCLARÉE

expédiées par le bureau d'échange d_____
au bureau d'échange d_____

Départ (_____e envoi) du_____19___, à_____h._____m.

Numéro d'ordre	Bureau d'origine	Numéro d'ordre de l'envoi	Lieu de destination	Montant des valeurs déclarées	Observations
	2	3	4	5	6
1				Fr. — or	
2					
3					
4					
5					
—					
—					
—					
21					

Les agents du bureau expéditeur :

Les agents du bureau destinataire :

(Dimensions : 148 x 210 ou 210 x 297 mm.)

●小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則

昭和九年十二月一日
遞信省第三千二百四十九號

昭和九年十二月條約第八號「カイロ」締結小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則左ノ如シ

小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則

目次

第一章　總則（第一條）
第二章　送達（第二條―第十條）
第三章　代金引換小包（第十一條―第十六條）
第四章　價格表記小包（第十七條―第二十四條）
第五章　通運（第二十五條―第二十七條）
第六章　運賃及通關、計算（第二十八條―第三十九條）
第七章　小包ノ交換（第四十條―第四十三條）
第八章　計算、清算（第四十四條―第四十九條）
第九章　郵便物ノ費用等ノ差引計算（第五十條―第五十五條）
第十章　雜則（第五十六條―第五十八條）
附錄

第一章　總則

第一條　送達ハ遞送方法、郵政廳ニ爲スベキ通報、遞送線路及料金ニ適用スル規定ニ依リ之ヲ送達ス

第二條　小包ノ點檢

一　各郵政廳ハ其ノ領域ヲ經由シテ差立ツル他ノ郵政廳ヨリ交付セラレタル小包ヲ自廳ノ小包ニ付使用スル線路及方法ニ依リ送達スル義務アルモノトス

一線路ノ停止ノ場合ニハ該線路ヲ經由スルコトヲ要スル郵越小包ハ使用シ得ル最有利ナル線路ニ依リ之ヲ送達ス

二　郵越ハ小包ノ差出又ハ名宛ノ郵政廳ガ約定ニ加入シ居ラザルトキト雖モ約定及施行規則ニ定ムル條件ニ於テ之ヲ行フコトヲ要ス

三　一又ハ數多ノ媒介領域ノ介在スル諸國間ノ關係ニ於テハ小包ハ關係郵政廳ノ協定スル線路ヲ經由スルコトヲ要ス

四　誤送ノ小包ハ再發送郵政廳ノ使用シ得ル最直通ノ線路ニ依リ其ノ正當名宛地ニ之ヲ再發送ス

第三條　隣接國間又ハ直接ノ海路業務ニ依リ互ニ連絡アル諸國間ノ小包ノ交換ハ關係郵政廳ノ指定スル郵便局及地點ニ於テ之ヲ行フ

二　反對ノ協定アルニ非ザレバ非隣接國間ノ關係郵政廳ハ直接ノ小包日錄ヲ添ヘ閉鎖シタル行嚢、籠又ハ汽車室ニ依ル交換ヲ開設スル爲協定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該郵政廳ハ協議ヲ遂ゲ必要ナル手續ヲ定ム

三　尤モ小包ノ簡數ガ媒介郵政廳ノ業務運行ヲ妨グル旨同廳ヨリ申出アルトキハ閉鎖シタル納器ヲ作成スル義務アルモノトス

第四條　郵政廳ハ小包一箇毎ニ一通ノ送狀及稅關告知書ヲ要求スルコトヲ得

二　業務上ノ指示ノ記入竝ニ切手及票符ノ貼附ニ充ツル爲十分ナル餘白ヲ存スルコト

第二章　送達

第一節　通則

第五條　小包ハ郵便物ニ關スル約定ノ施行規則下ニ署名スル者ハ千九百三十四年三月二十日遞信省第三千二百四十九號「カイロ」ニ於テ締結シタル萬國郵便條約第四條ニ依リ小包郵便物ニ關スル約定ノ施行ヲ保障スル爲各其ノ郵政廳ノ名ニ於テ協議ヲ遂ゲ左ノ手續ヲ定メタリ

第一節　通則

第六條　遞送ニ關スル諸般ノ手續ハ差立、遞送及通關ノ三段階ニ於ケル措置ヲ規定ス

第七條　差立及到著ノ際ニ於ケル措置

第八條　遞送及通關、計算

第九條　差立、遞送及通關ニ於ケル措置

第十條　差立ノ場所

第十一條　日附印ノ押捺及赤丈ノ指示

第十二條　別配達小包

第十三條　課金別納狀ノ返送、前拂課金ノ取立

第二節　送達

第十四條　再發送

第十五條　不能配達、不能配達通知書

第十六條　不能配達、差出人ノ問示

第十七條　不能配達ト爲リタル小包ノ返送

第十八條　賣却、毀棄

第十九條　取戻、名宛變更

第二十條　取扱諸求

第二十一條　他國ニ於テ差出サレタル小包ニ關スル取調諸求

第三節　小包ノ交換

第二十二條　閉嚢ニ依ル小包ノ遞送

第二十三條　交換局ニ於ケル小包郵便物ノ點檢

第二十四條　郵政廳ノ責任ヲ生ゼシムル遲倒ノ確證

第二十五條　查納帶ノ返送

第四節　運賃

第二十六條　票符

第二十七條　遞送及通關、計算

第五節　計算

第二十八條　票符

第二十九條　遞送及通關、計算

第三十條　遞次番號及差出地

第三十一條　日附印ノ押捺及赤丈ノ指示

第三十二條　別配達小包

第三十三條　課金別納狀ノ返送、前拂課金ノ取立

第六節　雜則

第三十四條　再發送

第三十五條　不能配達、不能配達通知書

第三十六條　不能配達、差出人ノ問示

第三十七條　不能配達ト爲リタル小包ノ返送

第三十八條　賣却、毀棄

第三十九條　取戻、名宛變更

第四十條　取扱諸求

第四十一條　他國ニ於テ差出サレタル小包ニ關スル取調諸求

第七章　小包ノ交換

第四十二條　閉嚢ニ依ル小包ノ遞送

第四十三條　交換局ニ於ケル小包郵便物ノ點檢

第四十四條　郵政廳ノ責任ヲ生ゼシムル遲倒ノ確證

第八章　計算、清算

第四十五條　查納帶ノ返送

第四十六條　剩當金ノ差引計算

第四十七條　清算

第四十八條　清算

第四十九條　代金引換爲替ノ差引計算

第九章　郵便物ノ費用等ノ差引計算

第五十條　郵政廳ノ責任ヲ生ゼシムル遲倒ノ確證

諸種ノ規定

第五十一條　公衆用式紙

第五十二條　書類保存期間

第五十三條　總理局ニ宛ツベキ通報

最終規定

第五十四條　施行規則ノ實施及存續期間

附錄

第一章　通信

第一節　送達

第一條　總則

各郵政廳ハ其ノ領域ヲ經由シテ差立ツルCP第一號雛形ニ適合スル表ヲ以テ小包ノ交換ニ關スル事項ヲ相互ニ通知ス

第二條　送達線路及料金

一　爲他ノ郵政廳ヨリ交付セラレタル小包ヲ自廳ノ小包ニ付使用スル線路及方法ニ依リ送達スル義務アルモノトス

一線路ノ停止ノ場合ニハ該線路ヲ經由スルコトヲ要スル郵越小包ハ使用シ得ル最有利ナル線路ニ依リ之ヲ送達ス

二　郵越ハ小包ノ差出又ハ名宛ノ郵政廳ガ約定ニ加入シ居ラザルトキト雖モ約定及施行規則ニ定ムル條件ニ於テ之ヲ行フコトヲ要ス

三　一又ハ數多ノ媒介領域ノ介在スル諸國間ノ關係ニ於テハ小包ハ關係郵政廳ノ協定スル線路ヲ經由スルコトヲ要ス

四　誤送ノ小包ハ再發送郵政廳ノ使用シ得ル最直通ノ線路ニ依リ其ノ正當名宛地ニ之ヲ再發送ス

第三條　遞送方法

一　隣接國間又ハ直接ノ海路業務ニ依リ互ニ連絡アル諸國間ノ小包ノ交換ハ關係郵政廳ノ指定スル郵便局及地點ニ於テ之ヲ行フ

二　反對ノ協定アルニ非ザレバ非隣接國間ノ關係郵政廳ハ直接ノ小包日錄ヲ添ヘ閉鎖シタル行嚢、籠又ハ汽車室ニ依ル交換ヲ開設スル爲協定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該郵政廳ハ協議ヲ遂ゲ必要ナル手續ヲ定ム

三　尤モ小包ノ簡數ガ媒介郵政廳ノ業務運行ヲ妨グル旨同廳ヨリ申出アルトキハ閉鎖シタル納器ヲ作成スル義務アルモノトス

第四條　郵政廳ハ小包ニ左ノ條件ヲ必要ト認ムル事項ヲ相互ニ通知ス

第五條　小包ノ點檢

一　各郵政廳ハ其ノ領域ヲ經由シテ差立ツルCP第一號雛形ニ適合スル表ヲ以テ小包ノ交換ニ關スル事項ヲ相互ニ通知ス

第六章　差立及到著ノ際ニ於ケル措置

第三十一條　日附印ノ押捺及赤丈ノ指示

第三十二條　別配達小包

第三十三條　課金別納狀ノ返送、前拂課金ノ取立

第二節　送達

第三十四條　再發送

第三十五條　不能配達、不能配達通知書

第三十六條　不能配達、差出人ノ問示

第三十七條　不能配達ト爲リタル小包ノ返送

第三十八條　賣却、毀棄

第三十九條　取戻、名宛變更

第四十條　取扱諸求

第四十一條　他國ニ於テ差出サレタル小包ニ關スル取調諸求

第三節　小包ノ交換

第四十二條　閉嚢ニ依ル小包ノ遞送

第四十三條　交換局ニ於ケル小包郵便物ノ點檢

第四十四條　郵政廳ノ責任ヲ生ゼシムル遲倒ノ確證

第四節　運賃

第四十五條　查納帶ノ返送

第五節　計算

第四十六條　剩當金ノ差引計算

第四十七條　清算

第四十八條　清算

第四十九條　代金引換爲替ノ差引計算

第六節　雜則

第五十條　郵政廳ノ責任ヲ生ゼシムル遲倒ノ確證

第五十一條　公衆用式紙

第五十二條　書類保存期間

第五十三條　總理局ニ宛ツベキ通報

第五十四條　施行規則ノ實施及存續期間

附錄

第一章　通信

第一節　送達

第一條　總則

小包郵便物ニ關スル約定ノ施行規則下ニ署名スル者ハ千九百三十四年三月二十日「カイロ」ニ於テ締結シタル萬國郵便條約第四條ニ依リ小包郵便物ニ關スル約定ノ施行ヲ保障スル爲各其ノ郵政廳ノ名ニ於テ協議ヲ遂ゲ左ノ手續ヲ定メタリ

第一節　總則

第一條　送達

第二條　遞送方法

第三條　郵政廳ニ爲スベキ通報

第四條　遞送線路及料金

第二章　總則

第一節　送達

第五條　小包ノ點檢

第六條　小包ノ包裝

第七條　特別包裝

第八條　送狀及稅關告知書

第九條　課金別納小包

第十條　到達證

第三章　代金引換小包

第十一條　差出後請求スル到達證

第十二條　代金引換小包

第十三條　小包面及送狀ニ爲スベキ指示

第十四條　代金引換爲替

第十五條　小包ノ名宛國ニ於ケル郵便振替口座ヘノ拂込

第十六條　代金引換金額ノ換算

第十七條　代金引換金額ノ指示

第十八條　支拂期間

第十九條　代金引換金額ノ引下又ハ取消

第二十條　轉送

第二十一條　代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ發行

第二十二條　代金引換爲替證書又ハ拂込票ノ式紙ノ取消又ハ取換

不能交付又ハ未拂ノ代金引換爲替證書

第四章　價格表記小包

第二十三條　價格表記小包

第二十四條　價格ノ指示

第百二十五條　票符及郵便物自體ニ之ヲ指示

ヲ有スル封緘、封鉛其ノ他ノ方法ヲ以テ同一ノ封緘ヲ施スコト

(二)　業務上ノ指示ノ記入竝ニ切手及票符ノ貼附ニ充ツル爲十分ナル餘白ヲ存スルコト

第百七條　特別包裝

一　長距離ヲ遞送シ又ハ數多ノ積換及取扱ヲ受クベキ小包ノ包裝ハ特ニ堅固且良好ナルコトヲ要ス

包有品ガ貴金屬、金屬製品又ハ重量多キ物品ヨリ成ルトキハ包裝ハ常ニ堅牢ナル金屬製ノ箱又ハ十キログラム迄ノ小包ニ付テハ少クトモ一センチメートル、十キログラムヲ超ユル小包ニ付テハ一センチメートル半ノ厚サヲ有スル木製ノ箱ヲ使用スルトキハ其ノ外角ヲ鉄材ニテ補强シテ其ノ厚サヲ五ミリメートルニ縮少スルコトヲ得

二　液體及液化シ易キ物ハ之ヲ二重ノ容器ニ納メ發送スルコトヲ要ス第一容器（鑞、「ワラスコ」、壺、箱等）ト第二容器（金屬製若ハ堅牢ナル木製ノ箱、纖維質材料製ノ箱又ハ質强靱ナル波板紙製ノ箱）トノ間ニハ成ルベク多クノ空隙ヲ設ケ鋸屑、糠其ノ他ノ吸收性又ハ保護性ノ物質ヲ以テ之ヲ填充スル但シ張合セ板ノ箱ヲ使用スルトキハ其ノ厚サヲ鉄材ニテ補强シテ其ノ厚サヲ五ミリメートルニ縮少スルコトヲ得

第百八條　課金別納

一　課金別納ニテ發送スル各小包ニハ附錄CP第四號雛形ニ適合スル黄色ノ板紙製ノ課金別納狀ヲ該狀ニ添附シ該狀ニハ差立局ニ於テ記入ヲ爲スル別納狀ハ之ヲ確ト送狀ニ結附ス

二　小包ノ差出人ガ差出後郵便物ヲ課金別納ニテ交付スル請求スル場合ニ於テハ差出局ハ既明書ヲ以テ其ノ旨ヲ名宛局ニ通知ス課金別納狀ニ添附シ書留ニテ之ヲ送付ス名宛局ハ第一項ニ規定スル票符ヲ小包ノ名宛面及送狀ニ貼附ス

第百十條　到達證

一　差出人ニ於テ到達證ヲ請求スル小包ハ「Avis de réception」ナル印影ヲ有スル黄色ノ板紙製又ハ「A.R.」ナル印影ヲ有スル同樣ノ指示ヲ送狀ニモ之ヲ再記ス

右小包ニハ條約ノ施行規則附錄C第五號雛形ニ適合スル式紙ヲ添附シ該式紙ハ差出局又ハ差立郵政廳ノ指定スル他ノ各局ニ於テ之ヲ作成シ關係小包ノ送狀ニ之ヲ結附ス該式紙ガ名宛局ニ到達セザルトキハ同局ハ發信又ハ其ノ新到達證ヲ作成ス

二　同一ノ差出人ヨリ發シ同一ノ料金ニテ同一ノ人ニ宛テタル三箇迄ノ普通小包ニ對シテハ單ニ一箇分ノ送狀及稅關告知書ヲ使用スルコトヲ得該規定ハ代金引換若ハ價格表記トシテ發送スル小包又ハ課金別納ニテ名宛人ニ交付スベキ小包ニハ之ヲ適用セズ此等小包ニハ集配簿類ヲ許サズ

三　名宛局ハ相當配入シタル日ヨリ四日ノ期間内ニ到著セザル旨ノ照會ヲ受ケタル場合ニ於テハ單ニ一箇分ノ送狀ニ不達發信大廳用信管原紙トシテ發送スル小包ハ積ニ積ノ内部及外部共堅固ニ包裝スルコトヲ要ス倘包有品ハ送狀及郵便物自體ニ之ヲ指示

C第五號式紙ノ頭部ニ「Duplicata de l'avis de réception」等ノ記載ヲ爲ス

第百十一條　差出後請求スル到達證

一　差出人ガ小包ノ差出後到達證ヲ請求スルトキハ差出局ハC第五號式紙ニ記入ヲ爲スCP第五號式紙ハ下記第百四十條ニ記載スルCP第五號取調請求書ニ之ヲ結附ス該取調請求書ニハ之ニ支拂フベキ料金ヲ表示スル郵便切手ヲ貼附シタル後該第百四十條ノ規定ニ從ヒ之ヲ取扱フ但シ小包ノ正當交付ノ場合ニハ名宛局ハCP第五號式紙ヲ取去リC第五號式紙ヲ第百十條第三項ニ規定スル方法ニ依リ差出元ニ返送ス

二　尤モ小包郵便業務ガ郵政廳ニ依リ施行セラレザル國ニ於テハ料金ノ徴收ハCP第五號式紙ニ特別ノ票符ヲ貼附シ又ハ該徴收金額ヲ指示シテ之ヲ確證ス

第三章　代金引換小包

第百十二條　代金引換小包

代金引換ノ送狀ハ小包ノ交換ニ關スル諸般ノ手續ニ依リ之ヲ送達ス

第百十三條　代金引換爲替證書

代金引換爲替證書ハ小包ノ送狀ト同一ノ書式ニ依リ之ヲ作成ス

第百十四條　代金引換金額ノ換算

代金引換金額ハ名宛國ノ貨幣ニ換算シ其ノ換算ニ用ヒタル率ヲ送狀ニ記載ス

第百十五條　代金引換金額ノ指示

代金引換金額ハ數字ヲ以テ之ヲ送狀ニ記載シ且之ヲ文字ニテ再記ス

第百十六條　支拂期間

代金引換金額ハ送狀ニ記載シタル日ヨリ十五日内ニ支拂ヲ爲スベシ

第百十七條　代金引換金額ノ引下又ハ取消

代金引換金額ハ名宛局ニ於テ之ヲ引下又ハ取消スコトヲ得

第百十八條　轉送

代金引換金額ハ轉送ヲ爲サズ

第百十九條　代金引換爲替證書ノ拂込

代金引換爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ拂込ムコトヲ得

第百二十條　代金引換爲替證書ノ發行

代金引換爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ發行ス

第百二十一條　代金引換爲替證書ノ取消

代金引換爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ取消スコトヲ得

第百二十二條　代金引換爲替證書ノ式紙

代金引換爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ發行スル場合ニ於テハ其ノ式紙ハ條約ノ施行規則附錄CP第六號雛形ニ適合スル黄色ノ板紙製ノ用紙ヲ使用スルコトヲ要ス

第百二十三條　代金引換爲替證書ノ記載事項

代金引換爲替證書ニハ左ノ事項ヲ記載ス

一　名宛局ノ名稱

二　名宛人ノ住所及氏名

三　郵政廳ハ稅關告知書ニ付テハ何等ノ責ニ任ゼズ

第百九條　課金別納小包

一　課金別納ニテ名宛人ニ交付スベキ小包ノ送狀及小包ノ表記面ニハ「Franc de droits」ナル極メテ明瞭ノ題字又ハ差出國ノ語ニ於ケル類似ノ記載ヲ有スルコトヲ要ス小包ノ名宛面及送狀ニハ等シク太字ニテ「Franc de droits」ナル指示ヲ有スル黄色ノ票符ヲ貼附ス

二　課金別納ニテ發送スル各小包ニハ附錄CP第四號雛形ニ適合スル黄色ノ板紙製ノ課金別納狀ヲ該狀ニ添附シ該狀ニハ差立局ニ於テ記入ヲ爲ス別納狀ハ之ヲ確ト送狀ニ結附ス

三　小包ノ差出人ガ差出後郵便物ヲ課金別納ニテ交付スル請求スル場合ニ於テハ差出局ハ既明書ヲ以テ其ノ旨ヲ名宛局ニ通知ス課金別納狀ヲ添附シ書留ニテ之ヲ送付ス名宛局ハ第一項ニ規定スル票符ヲ小包ノ名宛面及送狀ニ貼附ス

第百十條　到達證

一　差出人ニ於テ到達證ヲ請求スル小包ハ「Avis de réception」ナル極メテ明瞭ノ記載又ハ「A.R.」ナル印影ヲ有スル同樣ノ指示ヲ送狀ニモ之ヲ再記ス

右小包ニハ條約ノ施行規則附錄C第五號雛形ニ適合スル式紙ヲ添附シ該式紙ハ差出局又ハ差立郵政廳ノ指定スル他ノ各局ニ於テ之ヲ作成シ關係小包ノ送狀ニ之ヲ結附ス該式紙ガ名宛局ニ到達セザルトキハ同局ハ發信又ハ其ノ新到達證ヲ作成ス

二　同一ノ差出人ヨリ發シ同一ノ料金ニテ同一ノ人ニ宛テタル三箇迄ノ普通小包ニ對シテハ單ニ一箇分ノ送狀及稅關告知書ヲ使用スルコトヲ得該規定ハ代金引換若ハ價格表記トシテ發送スル小包又ハ課金別納ニテ名宛人ニ交付スベキ小包ニハ之ヲ適用セズ此等小包ニハ集配簿類ヲ許サズ

三　名宛局ハ相當配入シタル日ヨリ四日ノ期間内ニ到著セザル旨ノ照會ヲ受ケタル場合ニ於テハ單ニ一箇分ノ送狀ニ不達發信大廳用信管原紙トシテ發送スル小包ハ積ニ積ノ内部及外部共堅固ニ包裝スルコトヲ要ス倘包有品ハ送狀及郵便物自體ニ之ヲ指示

原初ノ名宛人若ハ他ノ人ニ交付スル爲他ノ名宛地ニ轉送スルコト

(二)　代金引換小包ヲ指示シタル代金引換金額ヲ徵收シテ他ノ人ニ交付スル場合ニ於テハ第百十九條ノ規定ニ依リ新CP第六號式紙ヲ使用スルコトヲ要ス

(三)　小包ヲ之ニ賦課セラレタル費用ヲ徵收スルコトナク原初ノ名宛人又ハ他ノ人ニ交付スルコト此ノ場合ニ於テハ第百九條ノ規定ニ依リ課金別納紙ヲ作成スルコトヲ要ス

(四)　小包ヲ直ニ自己ニ返送スルコト

(五)　自己ノ危險負擔ニテ小包ヲ實却スルコトヲ又ハ小包ヲ拋棄シタルモノトシテ取扱フコト

差出人ノ請求（第百八條第一項(四)ニ從ヒ不能配達通知書ヲ宛テラレタル第三者ハ差出人ト同一ノ請求ヲ爲スコトヲ得但第三者ハ小包ヲ直ニ差出人ニ返送スルコトヲ請求スルコトヲ得

右ニ規定スルモノノ外如何ナル請求モ之ヲ許サズ

差出人又ハ第百八條第一項(四)ノ適用ニ依リ不能配達通知書ヲ宛テラレタル第三者ノ同意受領後ハ該回示ノミ有效ニシテ執行セラルベキモノトス

第百三十七條　不能配達ト爲リタル小包ノ返送

差出人又ハ不能配達通知書ヲ宛テラレタル第三者ガ第百三十六條ニ規定セザル請求ヲ爲シタルトキハ名宛郵政廳ハ新通知書ヲ作成スルコトナク小包ヲ直ニ差出局ニ返送スルコトヲ得差出人又ハ第三者ガ前項第二項ニ規定スル料金ノ支拂ヲ拒絕シタルトキ亦同ジ差出人又ハ第三者ガ不能配達通知書ニ回答ヲ爲サザルトキハ小包ハ同項ニ定ル期間滿了シタルトキヲ之ヲ差出人ニ返送

第百三十八條　寶却、毀棄

約定第二十四條ノ規定ニ依リ小包ヲ寶却シ又ハ毀棄シタルトキハ寶却又ハ毀棄ニ關スル調書ヲ作成スル該調書ノ寫一通ハ送狀ヲ添ヘ差出局ニ之ヲ送付ス

寶却ニ因リテ得タル金額ハ先ヅ其ノ小包ニ賦課セラレタル費用ニ之ヲ充當ス場合ニ於テ尙剩餘ハ差出人ニ交付スル爲差出局ニ之ヲ送付ス送付ノ費用ハ差出人ノ負擔トス

第百三十九條　返戻、名宛變更

條約ノ施行規則第百四十八條及第百四十九條ノ規定ニ依リ請求スル價格表記小包ノ名宛變更竝信ニ依リ請求スル名宛變更ニ之ヲ適用ス

四　通知書ヲ發セラレタル小包ガ差出人ノ同示受領前引取ラレ又ハ再發送セラレタルトキハ差出局ノ媒介ニ依リ其ノ旨差出人ニ通告スルコトヲ要ス通知書ヲ發シタルトキハ該通告ニ關スル調書ヲ作成スル該調書ノ寫一通ヲ送狀ヲ添ヘ差出局ニ之ヲ送付ス

第百三十六條　不能配達、差出人ノ回示

一　第百三十五條ノ規定ニ依リ送付セラレタル不能配達通知書ニ對スル回答ノ際不能配達ノ場合小包ヲ實却シ又ハ拋棄スルコトヲ指示シタルトキハ送達ニ支拂ヒタル費用ハ差出人ノ負擔シタル仮トス

二　差出人ニ小包ヲ返送スル局ハ小包面及送狀ニ「inconnu」、「refusé」、「en voyage」、「parti」、「non réclamé」、「décédé」等不能配達ノ原因ヲ佛關西語ニテ簡明ニ指示スルコトヲ要ス該指示ハ手書、印章ノ押捺又ハ署符ノ貼附ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得各郵政廳ハ不能配達ノ原因ノ自因語ニ於ケル翻譯共ノ他便宜ナリト認ムル指示ヲ附記スル權能ヲ有ス返送小包ニ關係スル原送狀ハ該小包共ニ差出元ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス

三　差出人ニ返送スベキ小包ニ付テハ小包目錄ニ記入ヲ爲シ「Observations」ノ欄ニ「Reburé」ト附記ス該小包ハ名宛人ノ居所變更ニ因リ再發送スル小包ト同樣ニ之ヲ取扱フ

第百三十五條　不能配達、差出人ノ回示

一　第百三十四條ノ規定ニ依リ送付セラレタル不能配達通知書ニ對スル回答ニ從ヒ小包ヲ實却シ又ハ拋棄スルコトヲ指示シタルトキハ送達ニ支拂ヒタル費用ハ差出人ノ負擔シタル仮トス

二　差出人ハ小包ヲ返送スル局ニ於テ成ルベク短期間内ニ且遲クトモ取調請求書ノ日附ヨリ起算シ六月ノ期間内ニ取調請求書ノ日附ヨリ起算シ六月ノ期間内ニ小包ノ差出郵政廳ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ九月トス

六　媒介郵政廳ハ次ノ郵政廳ニCP第五號式紙ヲ送付スル都度附錄CP第十號雛形ニ適合スル式紙ニ依リ差出郵政廳ニ之ニ關シ通知ヲ爲スベキモノトス

第百四十一條　他國ニ於テ差出サレタル小包ニ關スル取調請求

約定第二十七條第三項ニ規定スル場合ニ於テハCP第五號取調請求ノ式紙ハ差出郵政廳ニ之ヲ送付ス該式紙ニハ場合ニ依リ差出人受領證ヲ添附スルコトヲ要ス

差出郵政廳ハ約定第二十七條第二項ニ規定スル期間内ニ右式紙ノ送付ヲ受クベキモノトス

第七章　小包ノ交換

第百四十二條　小包目錄

一　小包ニ付テハ差立交換局ニ於テ附錄CP第十一號雛形ニ適合スル小包目錄ニ該式紙所定ノ細項ニ從ヒ記入ヲ爲ス但シ關係郵政廳ハ割當ツベキ金額ヲ摘記スルト共ニ小包目錄ニ普通小包ニ付一括記入ヲ爲ス爲協定スルコトヲ得送狀、代金引換爲替證書式紙、秘關告知書及場合ニ依リ其ノ他ノ必要書類（案內書、原產地證明書、健康證明書等）竝ニ課金別納狀及到達證ハ之ヲ小包目錄ニ添附ス

媒介交換局ハ小包目錄ニ添附シタル書類ヲ點檢スル義務ナシ

二　俘虜小包ニ付テハ小包目錄ニ記入ヲ爲ス但シ代金引換小包ニ非ザレバ割當金ノ指示ヲ爲サズ

三　海路ニ依ル關係ニ於テハ反對ノ協定アルニ非ザレバ差立交換局ハ小包目錄ニ各差出局及各名宛局ニ付一年間ノ逐次番號ヲ附スルコトヲ要ス一年ノ最終番號ハ翌年ノ最初ノ小包目錄ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス定期ニ行ハレザル陸路交換ニ於テモ同一ノ手續ニ從フ海路ニ依ル關係ニ於テハ番號ノ下ニ合ニ於テ成ルベク短期間内ニ且遲クトモ取調請求書ノ日附ヨリ起算シ六月ノ期間内ニ取調請求小包ノ差出郵政廳ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ九月トス

六　媒介郵政廳ハ次ノ郵政廳ニCP第五號式紙ヲ送付スル都度附錄CP第十號雛形ニ適合スル式紙ニ依リ差出郵政廳ニ之ニ關シ通知ヲ爲スベキモノトス

第百四十一條　他國ニ於テ差出サレタル小包ニ關スル取調請求

約定第二十七條第三項ニ規定スル場合ニ於テハCP第五號取調請求ノ式紙ハ差出郵政廳ニ之ヲ送付ス該式紙ニハ場合ニ依リ差出人受領證ヲ添附スルコトヲ要ス

差出郵政廳ハ約定第二十七條第二項ニ規定スル期間内ニ右式紙ノ送付ヲ受クベキモノトス

第七章　小包ノ交換

第百四十二條　小包目錄

一　小包ニ付テハ差立交換局ニ於テ附錄CP第十一號雛形ニ適合スル小包目錄ニ該式紙所定ノ細項ニ從ヒ記入ヲ爲ス但シ關係郵政廳ハ割當ツベキ金額ヲ摘記スルト共ニ小包目錄ニ普通小包ニ付一括記入ヲ爲ス爲協定スルコトヲ得送狀、代金引換爲替證書式紙、秘關告知書及場合ニ依リ其ノ他ノ必要書類（案內書、原產地證明書、健康證明書等）竝ニ課金別納狀及到達證ハ之ヲ小包目錄ニ添附ス

媒介交換局ハ小包目錄ニ添附シタル書類ヲ點檢スル義務ナシ

二　俘虜小包ニ付テハ小包目錄ニ記入ヲ爲ス但シ代金引換小包ニ非ザレバ割當金ノ指示ヲ爲サズ

三　海路ニ依ル關係ニ於テハ反對ノ協定アルニ非ザレバ差立交換局ハ小包目錄ニ各差出局及各名宛局ニ付一年間ノ逐次番號ヲ附スルコトヲ要ス一年ノ最終番號ハ翌年ノ最初ノ小包目錄ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス定期ニ行ハレザル陸路交換ニ於テモ同一ノ手續ニ從フ海路ニ依ル關係ニ於テハ番號ノ下ニ

成ルベク選送船名ヲ記載ス

第百四十三條　閉嚢ニ依ル小包ノ選送

一　閉嚢ニ依ル小包ノ選送ハ場合ニハ鐵道（行嚢、鰲、框等）ハ左ノ事項ヲ除キ條約ノ施行規則第百五十七條第二項ニ於テ掲ゲタル嚢ニ付規定スル方法ニ依リ之ヲ閉鎖シ之ニ記號及票札ヲ附スルコトヲ要ス

票札ハ黃土色トシ各約嚢ニ包有スル小包ノ箇數ヲ之ニ記載スルコトヲ要ス

(一)　行嚢以外ノ約嚢ニ付テハ包有品ガ十分保護セラルベキコトヲ條件トシテ他ノ特別閉鎖方法ヲ採用スルコトヲ得反對ノ協定アルニ非ザレバ該約嚢ハ遞次番號ヲ有スルコトヲ要ス

價格表記小包ハ其ノ數量ニ應ジテ「V」ナル文字ヲ附シタル票札ヲ有スル別箇ノ約嚢ニ納メテ之ヲ差立ツ

二　締切リタル約嚢ノ派最小行嚢ニ在リテハ五十キログラム、其ノ他ノ約嚢ニ在リテハ七十キログラム超ユルコトヲ得ズ

三　第百四十二條第一項ニ記載スル書類ヲ添附シタル小包目錄ハ差立交換局ニ於テ之ヲ閉嚢ヲ構成スル約嚢ノ一ニ、場合ニ依リ價格表記小包ヲ包有スル約嚢又ハ其ノ數量ニ應ジテ作成スル特別行嚢ニ挿入スルコトヲ要ス

右行嚢又ハ約嚢ノ票札ニハ「F」ナル文字ヲ記載スルコトヲ要ス

四　非隣接國ト閉嚢ヲ交換ヲ爲ス場合ニハ差立交換局ハ各媒介郵政廳ニ付附錄CP第十二號雛形ニ適合スル特別目錄ヲ作成シ閉嚢ノ差立交換局ハ之ニ小包ノ各陸段ニ付媒介郵政廳ニ支拂フベキ割當額ヲ一括シテ記入スル爲サズ

三　海路ニ依ル關係ニ於テハ反對ノ協定アルニ非ザレバ差立交換局ハ小包目錄ニ各差出局及各名宛局ニ付一年間ノ逐次番號ヲ附スルコトヲ要ス一年ノ最終番號ハ翌年ノ最初ノ小包目錄ニ之ヲ記載スルコトヲ要ス定期ニ行ハレザル陸路交換ニ於テモ同一ノ手續ニ從フ海路ニ依ル關係ニ於テハ番號ノ下ニ

一　畢

二　差出人ニ小包ヲ返送スル局ハ小包面及送狀ニ「inconnu」、「refusé」、「en voyage」、「parti」、「non réclamé」、「décédé」等不能配達ノ原因ヲ佛關西語ニテ簡明ニ指示スルコトヲ要ス該指示ハ手書、印章ノ押捺又ハ署符ノ貼附ニ依リ之ヲ爲スコトヲ得各郵政廳ハ不能配達ノ原因ノ自因語ニ於ケル翻譯共ノ他便宜ナリト認ムル指示ヲ附記スル權能ヲ有ス返送小包ニ關係スル原送狀ハ該小包共ニ差出元ニ之ヲ返送スルコトヲ要ス

三　差出人ニ返送スベキ小包ニ付テハ小包目錄ニ記入ヲ爲シ「Observations」ノ欄ニ「Reburé」ト附記ス該小包ハ名宛人ノ居所變更ニ因リ再發送スル小包ト同樣ニ之ヲ取扱フ

第百三十八條　寶却、毀棄

約定第二十四條ノ規定ニ依リ小包ヲ寶却シ又ハ毀棄シタルトキハ寶却又ハ毀棄ニ關スル調書ヲ作成スル該調書ノ寫一通ハ送狀ヲ添ヘ差出局ニ之ヲ送付ス

寶却ニ因リテ得タル金額ハ先ヅ其ノ小包ニ賦課セラレタル費用ニ之ヲ充當ス場合ニ尙剩餘ハ差出人ニ交付スル爲差出局ニ之ヲ送付ス送付ノ費用ハ差出人ノ負擔トス

第百三十九條　返戻、名宛變更

條約ノ施行規則第百四十八條及第百四十九條ノ規定ニ依リ請求スル價格表記小包ノ名宛變更竝信ニ依リ請求スル名宛變更ニ之ヲ適用ス

四　通知書ヲ發セラレタル小包ガ差出人ノ同示受領前引取ラレ又ハ再發送セラレタルトキハ差出局ノ媒介ニ依リ其ノ旨差出人ニ通告スルコトヲ要ス通知書ヲ發シタルトキハ該通告ニ關スル調書ヲ作成スル該調書ノ寫一通ヲ送狀ヲ添ヘ差出局ニ之ヲ送付ス

第百三十六條　不能配達、差出人ノ回示

一　第百三十五條ノ規定ニ依リ送付セラレタル不能配達通知書ニ對スル回答ノ際不能配達ノ場合小包ヲ實却シ又ハ拋棄スルコトヲ指示シタルトキハ送達ニ支拂ヒタル費用ハ差出人ノ負擔シタル仮トス

リ返送納器ノ逐次番號ヲ記載スルコトヲ要ス
同廳ハ返送シタルコトヲ證明シ得ザル納器ニ付責任ヲ有ス

第八章　計算、清算

第百四十七條　制當金ノ差引計算

一　各郵政廳ハ毎月自廳ノ交換局ヲシテ同一郵政廳ヨリ受取リタル總テノ郵便物ニ關シ小包目錄中自廳ノ貸方及借方ニ記入シタル總額ニ付附錄CP第十四號樣形ニ適合スル貨借表ヲ作成セシム

二　CP第十四號貨借表ハ附錄CP第十五號樣形ニ適合スル計算書ニ之ヲ約記ス

三　CP第十五號計算書ニハCP第十四號貨借表ヲ添附シ審査ノ爲其ノ關係スル月ノ翌月中ニ之ヲ差立郵政廳ニ送付ス遠隔セル國ニ關シテハ關係スル月ノ最後ノ目錄ガ名宛郵政廳ニ到着スルヲ俟テ之ヲ爲ス

合計額ハ之ヲ訂正スベカラズ指摘シ得ベキ誤謬ニ付テハ差額計算書ヲ作成スルコトヲ要ス該差額計算書ハ之ヲ受ケタル郵政廳ニ於テ次ノCP第十五號月次計算書ニ其ノ額ヲ合算ス

四　CP第十五號計算書ハ審査承認ノ後遲クトモ其ノ關係スル期間後第二月ノ滿了迄ニ之ヲ關係郵政廳ニ返送ス該期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ四月トスCP第十五號計算書ハ貸方郵政廳ノ作成スル三月毎ノ總計算書ニ之ヲ約記ス但シ該計算書ハ關係郵政廳間ニ協議ヲ遂ゲ半年又ハ一年毎ニ之ヲ作成スルコトヲ得

第百四十八條　清算

一　總計算書ノ差引ヨリ生ズル差額ハ條約ノ施行規則第百七十一條ニ規定スル方法ニテ借方郵政廳ヨリ貸方郵政廳ニ之ヲ支拂フ

二　總計算書ノ作成、發送及差額支拂ハ成ルベク速ニ且遲クトモ計算書ノ關係スル期間ノ滿了後三月ノ期間内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國トノ關係ニ於テハ六月トス

三　常時他ノ一郵政廳ニ對シ月額三萬金「フラン」ヲ超ユル金額ヲ貸越ス各郵政廳ハ其ノ債權額ノ四分ノ三ニ達スル迄毎月内金ヲ請求スル權利ヲ有ス該請求ニハ八日ノ期間内ニ應ズルコトヲ要ス

四　第二項及第三項ニ規定スル期間經過スルモ支拂ナキ場合ニハ條約ノ施行規則第百七十一條第五項第二節ノ規定ヲ適用ス

第百四十九條　代金引換爲替ノ差引計算

一　反對ノ協定アルニ非ザレバ支拂ヒタル代金引換爲替ニ關スル差引計算書ハ附錄CP第十六號樣形ニ適合スル式紙ニテ之ヲ作成シ郵便爲替ノ月次計算書ニ添附ス

反對ノ意見アルニ非ザレバ通常郵便業務ニ付作成スル代金引換爲替ノ月次計算書（條約ノ施行規則第百四十條）ハ小包郵便物ノ代金引換爲替ノ差引計算ニ付テモ亦之ヲ使用スルコトヲ得

二　CP第十六號特別計算書ニハ金額受領ノ旨ヲ記載シタル拂渡濟代金引換爲替證書ヲ添附シ振出局ノ「アルファベット」順ニ且該局ノ原簿ニ記入シタル番號順ニ爲替證書ニ付記入ヲ爲ス計算書ヲ作成シタル郵政廳ハ約定第五十條第一節ニ依リ自廳ノ貸高ノ合計額ヨリ相手郵政廳ニ歸屬スル料金額ヲ控除ス

三　CP第十六號計算書ノ差額ハ成ルベク之ヲ同一期間ニ付作成スル郵便爲替ノ月次計算書ノ差額ニ加算ス該計算書ノ審査及清算ハ郵便爲替ノ約定及施行規則ノ規定ニ從ヒ之ヲ爲ス

第百五十條　課金別納狀、稅關ノ費用等ノ差引計算

一　各郵政廳ガ他ノ郵政廳ノ計算ニ於テ支拂ヒタル稅關ノ費用等ニ關スル差引計算ハ借方郵政廳ニ於テ貨方國ノ貨幣ニテ作成スル附錄CP第十七號樣形ニ適合スル月次特別計算書ニ依リ之ヲ爲ス課金別納狀ハ費用ノ前拂ヲ爲シタル局ノ「アルファベット」順ニ依リ且該狀ニ附シタル番號順ニ依リ之ヲ記入ス

二　特別計算書ニハ課金別納狀ヲ添附シ遲クトモ其ノ關係スル月ノ翌月ノ終迄ニ貸方郵政廳ニ之ヲ送付ス計算ヲ生ゼザリシトキハ

(イ)　小包ヲ總テノ地方ニ寄ツルコトヲ許スコトノ通知、反對ノ場合ニ於テハ連絡アル地方ノ表

(ロ)　其ノ業務ニ於テ適用スル總テノ料金及構成料金

(ハ)　各自ノ業務ニ於ケル稅關其ノ他ノ規定竝ニ小包ノ輸入及繼越ヲ規律スル禁止又ハ制限ニ關スル必要ナル總テノ通報

(ニ)　小包ノ總テノ遲送ニ適用スル其ノ法律又ハ規則ノ規定ノ獨逸語、英語、西班牙語又ハ佛蘭西語ニ於ケル拔萃

爾後ノ各變更ハ遲滯ナク之ヲ通知スルコトヲ要ス

最終規定

第百五十四條　施行規則ノ實施及存續期間

本施行規則ハ小包郵便物ニ關スル約定實施ノ日ヨリ之ヲ施行スベシ

本規則ハ關係締約郵政廳間ニ協議ヲ遂ゲヲ改締スルニ非ザレバ右約定ト同一ノ存續期間ヲ有スベシ

千九百三十四年三月二十日「カイロ」ニ於テ之ヲ作成ス

「アフガニスタン」國
「アルバニア」國
ベー、ナッス

獨逸國
カー、オルト
カー、チーグレル
ドクトル、ヴェー、ゼーベス

「サウディ、アラビア」王國
ファウザン、エル、サベク

「アルゼンティン」共和國
エレモ、エレモ、トゥラ

埃地利國
ドクトル、ルドルフ、クーン

白耳義國
オー、シォカールト
エー、モンス

白耳義國「コンゴー」殖民地
ジェー、トンドゥール

「ボリヴィア」國

エルネスト、カセレス
エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス

「ブラジル」國
セー、エメ、デ、フィゲエイレド
ジオー、サンチェス、ペレス

「ブルガリア」國
イー、カザロフ

「チリ」國
エレモ、スアレス、バロス

中華民國
胡世澤
張歆海
黃乃偲

「コロンビア」共和國
エー、サルドゥア、ベー

「コスタ、リカ」共和國
政府ノ承認ヲ條件トス
ベー、マルティネス、テー

「キュバ」共和國
アルフレド、アッシール
丁抹國
ツェー、モンドルプ

「ドミニカ」共和國
ルイス、アレハンドロ、アギラール

「エジプト」國
エム、シァラ
イー、マッギアー

「エクアドル」國
エー、エレ、アンドラーデ

西班牙國
アロンソ、カーロ
アー、ラモス

西班牙國殖民地全體
デメトリオ、ベレダ

「エストニア」國
ゲー、エー、エフ、アルプレヒト

「エティオピア」國
アラムー、テー

「フィンランド」國
ゲー、エー、エフ、アルプレヒト

佛蘭西國
エム、ルボン
エル、ジアントン
ベー、グランシモン
アー、カパンヌ
デュッセール

「アルジェリー」
エー、ユゲナン

印度支那ノ佛蘭西國殖民地及保護領
ニコラ
其ノ他ノ佛蘭西國殖民地全體
ジー、カサニアック

希臘國
ヴェー、デンドラミス
ジー、ラクニダキス

「グアテマラ」國
ヴィクトル、ドゥラン、エメ

「ハイティ」共和國
「ホンデュラス」共和國
ドクトル、トクシメイ

「ハンガリー」國
ガブリエル、パロン、サライ
シァルル、ド、フォルステール

英領印度
ピー、エヌ、ムケルジ
エス、シー、グプタ
エム、アル、ハサン

「イラーク」國
ドーグラス、ダブリュー、ガンブレー
ジェー、ショール

「アイスランド」國
ツェー、モンドルプ
アルネ、クロッグ

伊太利國
ピエトロ、トスティ
ガルディ、ミケレ

伊太利國殖民地全體
クレティ、ドナート
日本國
關正堆

張間利春
葉山華吉

朝鮮
關正堆
川面隆三

其ノ他ノ日本國屬地全體
張間利春
淺川洋

「ラトヴィア」國
ドクトル、ラインホルト、フレレ

佛蘭西國羣在統治ノ下ニ在ル東方諸國（「シリア」國及「レバノン」國）
エル、ベルノ

「リベリア」共和國
「リスアニア」國
「ルクセンブルグ」國
「モロッコ」國（西班牙地帶ヲ除ク）
アッシュ、デュテイユ

「モロッコ」國（西班牙地帶）
アー、ラモス

「ニカラグア」國
ヴィクトル、ドゥラン、エメ

諸威國
クラウス、ヘルシング
ポスカル、ホンメ

「パナマ」共和國
エー、サルドゥア、ベー

「パラグァイ」國
エレモ、エレモ、トゥラ

和蘭國
ドインステー
ファン、ゴール

「キュラサオ」及「スリナム」
ホーヘウォーニング

蘭領印度
ベルク
プリル
ホーヘウォーニング

「ペルー」國
エルネスト、カセレス
エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス

「ペルシア」國
エス、アー、ラッド
エー、アー、フォメンド

「ポーランド」國
エール、スタルジンスキー
ドクトル、プラヒエル
ルネ、マシアルスキー

「ポルトガル」國
アー、デ、クー、エレモ、ヴェース、ピント
アー、セー、ピアンチ

西部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地
エルネスト、ジュリオ、ナヴァロ

東部「アフリカ」、「アジア」及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地
マリオ、コレーブ、ベラタ、グ、クルス

「ルーマニア」國
イラリウ、マネアヌ
セー、ステファネスク

「サン、マリノ」共和國
クレティ、ドナート

「サルヴァドル」共和國
「ザール」河地方

遺經國
瑞典國
アンデルス、エルネグンナル、ラーゲル
アルヴィド、ビルト

瑞西聯邦
ドクトル、ラインホルト、フレレ

「チェッコスロヴァキア」國
ワツラフ、クチエラ

「テュニス」國
アッシュ、デュテイユ

「トルコ」國
エスフ、アリフィ
エム、サキン

「ウルグアイ」東方共和國
アルトゥロ、セー、マサネス

「ヴァティカン」市
モンシニョーレ、ジウゼッペ、マッツオリ

「ヴェネズエラ」合衆國
ルイス、アレハンドロ、アギラール

「イエメン」國
エー、アーディオメンド

「ユーゴースラヴィア」王國
コスタ、ズラタノヴィッチ

(英文)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

CP 1
(Règl., art. 103)

ÉCHANGE DE COLIS POSTAUX
ENTRE PAYS NON LIMITROPHES

Tableau indiquant les conditions auxquelles l'Administration des postes d_____ accepte à découvert les colis postaux à destination des pays pour lesquels il est à même de servir d'intermédiaire.

No d'ordre	Pays de destination	Voies de transmission	Désignation des pays intermédiaires et des services maritimes à employer	Limite de la déclaration de valeur	Coupures de poids	Taxes à bonifier à l'Administration d_____ : Taxe au poids	Taxes à bonifier à l'Administration d_____ : Droit d'assurance par 300 Fr.	Décomposition des sommes figurant dans la colonne 7 — Quotes-parts : 1 kg a	5 kg b	10 kg c	15 kg d	20 kg e		Nombre de déclarations en douane	Observations
1	2	3	4	5	kg c.	7 Fr. c.	8 Centimes	9						10	11

(Dimensions : 210×297 mm.)

CP 2 (Recto)
(Règl., art. 108, § 1)

通知券
COUPON

名宛人ニ渡ス爲メ發送局ノ切取ル可キ部分
Veuil être détaché par le destinataire

發送局ノ印
Timbre du bureau d'origine

送次番號
Numéro d'ordre

宛 Pays d'origine	價格申告 Valeur déclarée	金フランノ Fr. or (アラビア數字ニテ記入スベシ) (En chiffres arabes)
	(綴目ハ入數字ニテ記入スベシ) (Les unités en toutes lettres)	

送
BULLETIN D'EXPÉDITION

包裝ノ種類 Nature de l'emballage

四ツ小包 colis	
又ハ 包 裝 告 知 書 déclarations en douane	
又ハ 證 明 書 certificats ou factures	
代金引換又ハ保險ノ有無 remboursement ou assurance	(綴目ハ入數字ニテ記入スベシ) (Les unités en toutes lettres) (アラビア數字ニテ記入スベシ) (En chiffres arabes)

名宛人
Nom et domicile du destinataire:

(名 宛 (Lieu et nom de destination) 局)

(名 宛 (Pays de destination) 局)

郵便物 Colis	價 格 Valeur	
關 稅 Droits de douane 1)	爲 替 Bureau d'échange	

1) Cadre à remplir par le bureau d'entrée ou par le service de la douane du pays de destination

(Dimensions : 148×210 ou 162×229 mm., couleur blanche.)

CP 2 (Verso)

差出人ニ對スル注意
INSTRUCTIONS A DONNER PAR L'EXPÉDITEUR
AVIS TO BE GIVEN BY THE SENDER

差出人ニ不都合ナル場合ニハ本小包ヲ左ノ通リ取扱ハレンコトヲ願ス
Si le présent colis ne peut être remis au destinataire, l'expéditeur prie qu'il soit traité comme il est indiqué ci-dessous:
Should this parcel not be delivered, the sender requests that it may be dealt with as follows:

(a) 小包ヲ直ニ又ハ名宛人ニ通知ノ上又ハ通知ヲ發シテ……日ノ期間内ニ引渡ス事
que le colis soit remis immédiatement ou à l'expiration d'un délai de.....jours après l'avis donné au destinataire;
that it be delivered immediately, or at the expiration of.....days after notice has been given to the addressee;

(b) 小包ヲ差出人ニ返送スル事
que le colis soit renvoyé immédiatement ou à l'expiration d'un délai de.....jours après l'arrivée du colis à destination;
that it be returned to the sender immediately, or at the expiration of.....days after the arrival of the parcel at destination;

(c) 小包ヲ最寄ノ局ニ留置キ差出人ノ指圖ヲ待ツ事
que le colis soit réexpédié au même destinataire dans une autre localité;
that it be detained at the office of destination to await the sender's instructions;

(d) 小包ヲ左記ノ宛名人ニ轉送スル事
que le colis soit remis ou réexpédié à l'adresse ci-après;
that it be forwarded to the following address;

(e) 小包ヲ返送又ハ廢棄スル事
que le colis soit renvoyé immédiatement ou à l'expiration d'un délai de.....jours après l'arrivée du colis à destination;
that it be returned to the sender immediately, or at the expiration of.....days after the arrival of the parcel at destination;

(f) 小包ヲ放棄ノ意思ヲ以テ取扱ハレンコトヲ願フ
que le colis soit traité comme abandonné.
(差出人ノ署名)
(Signature de l'expéditeur)

新名宛人ノ氏名ヲ指示シ且場合ニ依リ代金引換命令ヲ變更スルコトヲ又ハ保險ノ金額ヲ減ズル事ヲ要求シ又ハ引換ノ小包ヲ更ニ引換ニ小包ヲ差出スベキ旨ヲ命ズル事
Indiquer le nom du nouveau destinataire et mentionner éventuellement si le colis doit être livré sans remboursement ou contre payement d'une somme inférieure au montant primitif.
Indicate the name of the new addressee, and if necessary cancel the order for collection on delivery or reduce the amount for which the parcel is insured, or order the collection on delivery of another parcel.

(1) 場合ニ依リ名宛局ノ局名ヲ記入スル事
Indiquer éventuellement le nom et l'adresse d'une tierce personne dans le pays de destination.

(2) 小包ヲ轉送セラレンコトヲ望ム場合ニハ差出人ニ通知ヲ發スル事
L'expéditeur qui désire que le colis ne soit pas réexpédié doit l'indiquer par une annotation au recto du bulletin d'expédition et sur le colis.

名宛人ノ受領證
RÉCÉPISSÉ DU DESTINATAIRE

下名ハ本局ノ送附セル小包ヲ受取リタルコトヲ茲ニ證ス
Le soussigné déclare avoir reçu les colis désignés au recto du présent bulletin.

千九百_____年_____月_____日 (署名)
_____, le _____ 19_____. (Signature.)

差立地
LIEU D'EXPEDITION

郵務局
Administration des Postes d _____ 又ハ ou

鐵道局
Administration des Chemins de fer d _____

告知書
DÉCLARATION EN DOUANE

M _____
(名宛人ノ氏名及居所)
(*Nom et adresse du destinataire*)

郵便物 ENVOIS					
個数 Nombre	種類 Espèce	包有物ノ表示 DÉSIGNATION DU CONTENU	税関ニ於テ必要ト認メタル正確ナル指示ヲ為スコト Avec indication précise de l'unité monétaire employée	重量 POIDS 全體 Brut グラム Grammes	正味 Net グラム Grammes	備考 OBSERVATIONS
1	2	3	4	5	6	7

物品ノ原産國又ハ製造國
Pays d'origine ou de fabrication de la marchandise:

千九百 _____ 年 _____ 月 _____ 日ニ於テ
le _____ 19 _____

差出人
L'expéditeur:

(Dimensions: 125×176 ou 148×210 mm.)

CP 3
(Règl., art. 108, § 1)

差立地
LIEU DE DESTINATION

CP 4 (Recto)
(Règl., art. 109, § 2)

通知券
COUPON

差出局印
Timbre du bureau d'origine

下記 _____ ノ差出人ハ裏面ニ指示スル課金ヲ支拂ヒタリ
L'expéditeur d _____ *)

番號
No _____

表記金額
avec valeur déclarée de _____

差出地
déposé _____ à _____

名宛人氏名
pour M _____

居所
à _____

a payé les droits indiqués au verso.

差出國
PAYS D'ORIGINE _____

差出局印
Timbre du bureau d'origine

課金別納狀
BULLETIN D'AFFRANCHISSEMENT

下記 _____ ハ課金別納ニテ之ヲ交付スルコトヲ要ス

I. _____ *) No _____ de _____ avec valeur

表記金額「フラン」
déclarée de Fr. _____,

差出人氏名
expédié _____ par _____

居所
à _____

名宛人氏名
à l'adresse de _____

居所
à _____

(名宛地) (*Lieu de destination*)　(町名番地) (*Rue et numéro*)

doit être remis franc _____ de tous droits

(差出人ノ署名)
(*Signature de l'expéditeur*)

返送スベキ局
A renvoyer au bureau d _____
(費用ノ取立ヲ擔當スル局名又ハ場合ニ依リ本式紙ノ返送ヲ受クベキ局名ヲ指示スベシ)
(Indiquer le nom du bureau chargé du recouvrement des frais ou, le cas échéant, celui du bureau auquel la formule doit être renvoyée.)

*) 郵便物ノ種類ヲ指示スベシ
Indiquer la nature de l'objet.

(Dimensions: 105×148 mm., couleur jaune)

(表面ト逆ノ方向ニ印刷スルコトヲ要ス)
(Doit être imprimé en sens inverse du recto)

CP 4 (Verso)

課金ノ詳細
DÉTAIL DES DROITS DUS
(名宛國ノ貨幣ニテ)
(dans la monnaie du pays destinataire)

手數料 Droit de commission ...		
關稅 Droits de douane		
通關料 Droit de dédouanement...		
其ノ他ノ費用 Autres frais		
合計 Total		

換算額
soit*) _____

取立局印
Timbre du bureau recouvrant

*) 郵便物ノ差出國ノ貨幣ニテ記入スベシ
Dans la monnaie du pays d'origine de l'envoi.

前拂課金總額
TOTAL DES FRAIS DÉBOURSÉS
(詳細ハ通知券面參照)
(Voir le détail sur le coupon)
(郵便物ノ名宛國ノ貨幣ニ於ケル金額ヲ「アラビア」數字ニテ記入スベシ)
en chiffres arabes

(dans la monnaie du pays de destination du l'envoi)

(郵便物ノ差出郵政區ニ於テ換算シタル金額ヲ「アラビア」數字ニテ記入スベシ)
en chiffres arabes
soit

(À convertir par l'Administration d'origine de l'envoi)

前拂局印
Timbre du bureau qui a fait l'avance des frais

前拂日附 Date de l'avance	登記番號 No du registre	前拂局 Bureau qui a fait l'avance	吏員ノ署名 Signature de l'agent

到著登記
Registre d'arrivée

第 _____ 號
No. _____

換算シタル吏員ノ署名
Converti par

(Signature de l'agent)

取立局印
Timbre du bureau recouvrant

CP 6 (Recto)
(Règl., art. 114)

通知券
COUPON
(爲替證書ノ名宛人ニ於テ之ヲ切離スコトヲ得)
(Peut être détaché par le destinataire du mandat)

代金引換金額
Montant du remboursement
「アラビア」數字ニテ記入スベシ
en chiffres arabes

小包番號
pour le colis No

差出年月日
déposé le 19

差出地
à

差出人
par M

名宛人氏名
à l'adresse de

居所
à

代金引換小包ノ名宛國
Pays de destination du colis grevé de remboursement :

小包郵便業務
Service des colis postaux
國際代金引換爲替證書
MANDAT DE REMBOURSEMENT INTERNATIONAL

金額
de la somme de
(「アラビア」數字ニテ記入スベシ)
(en chiffres arabes)

(單位以上ハ「ラテン」文字ニテ完記スベシ)
(les unités en toutes lettres et en caractères latins)

小包郵便物番號　差出年月日
Pour le colis postal No　expédié le 19

爲替名宛人
Payable à M

名宛地
Lieu de destination

町名番地
Rue et numéro

名宛國
Pays de destination

非務用記事
INDICATIONS DE SERVICE (1)

振出 (振 番號 Numéro / 日附 Date / 局 Bureau / 國 Pays) d'émission

拂込金額
Somme versée
(小包名宛國ノ貨幣ニテ記入スベシ)
(Monnaie du pays destinataire du colis)

振出局印
Timbre du bureau d'émission

爲替當務者署名
Signature de l'agent qui a dressé le mandat :

代金引換金額ノ取立後小包ノ名宛郵政廳ニ於テ記入スベキ事項
(1) Indications à remplir par l'Administration destinataire du colis après encaissement du montant du remboursement.

(Dimensions des mandats「114×162 mm.」ou des bulletins d'expédition「148×210 ou 162×229 mm.」, couleur blanche)

CP 6 (Verso)

(裏書ノ場所)
(Cadre réservé aux endossements, s'il y a lieu)

名宛人ノ受領證
QUITTANCE DU DESTINATAIRE

表記ノ金額受領候也
Reçu la somme indiquée d'autre part

地名
Lieu

年月日
Le 19

名宛人署名
Signature du destinataire :

到著番號
Registre d'arrivée
第　拂
No

拂渡局印
Timbre du bureau payeur

郵政廳
ADMINISTRATION DES POSTES
d

CP 5
(Règl., art. 111, § 1, et 140, § 1)

差出局印
Timbre du bureau d'origine

小包郵便物又ハ不著代金引換爲替證書ノ取調請求書
RÉCLAMATION D'UN COLIS POSTAL OU D'UN MANDAT DE REMBOURSEMENT NON PARVENU

局
BUREAU d

差出業務ニ於テ記入スベキ部 — A remplir par le service d'origine

差出局
Bureau de dépôt :

差出日附
Date du dépôt : 19

外裝ノ正確ナル記述
Description très exacte de l'extérieur :

逐次番號
No d'ordre :

名宛人ノ居所氏名(成ルベク正確ニ)
Adresse du destinataire (*aussi exactement que possible*) :

正確ナル包有品名
Contenu exact :

重量
Poids :

價格ノ表記
Déclaration de valeur :

代金引換
Remboursement :

到達證ノ請求
Demande d'un avis de réception :
(請求シタル場合ニハ「A.R.」ナル文字ヲ附記スルコト) (*Dans le cas affirmatif, ajouter les lettres A.R.*)

差出人ノ氏名及居所
Nom et adresse de l'expéditeur :

送達、千九百　年　月　日小包日錄第　行ニ記入　交換局ヨリ　交換局ニ差立タリ
Acheminement : expédié le 19 par le bureau d'échange d au bureau d'échange d sous le No de la feuille de route.

日附千九百　年　月　日　署名
Date 19 Signature :

名宛業務ニ於テ記入スベキ部 — A remplir par le service de destination

郵政廳
Administration des postes d

前記ノ小包ハ千九百　年　月　日　ニ交付シタリ
Le colis décrit ci-dessus a été remis le 19 à

日附千九百　年　月　日　署名
Date 19 Signature :

前記ノ小包 / 爲替證書 ハ
Le colis / mandat décrit ci-dessus 1)

代金引換金額ヲ千九百　年　月　日口座ニ記入シタリ
Le montant du remboursement a été mis en compte le 19

日附千九百　年　月　日　署名
Date 19 Signature :

媒介業務ニ於テ記入スベキ部 — A remplir par les services intermédiaires

郵政廳
Administration des postes d

千九百　年　月　日小包日錄第　行ニ記入　交換局ヨリ　交換局ニ繼送シタリ
Réacheminé le 19 par le bureau d'échange d au bureau d'échange d, sous le No de la feuille de route.

日附千九百　年　月　日　署名
Date 19 Signature :

郵政廳
Administration des postes d

千九百　年　月　日小包日錄第　行ニ記入　交換局ヨリ　交換局ニ繼送シタリ
Réacheminé le 19 par le bureau d'échange d au bureau d'échange d, sous le No de la feuille de route.

日附千九百　年　月　日　署名
Date 19 Signature :

郵政廳
Administration des postes d

千九百　年　月　日小包日錄第　行ニ記入　交換局ヨリ　交換局ニ繼送シタリ
Réacheminé le 19 par le bureau d'échange d au bureau d'échange d, sous le No de la feuille de route.

日附千九百　年　月　日　署名
Date 19 Signature :

確答
RÉPONSE DÉFINITIVE 2)

1) 場合ニ依リ名宛人ノ申立書ヲ添附スベシ
Ajouter, le cas échéant, la déclaration du destinataire.

2) 名宛郵政廳又ハ場合ニ依リ取調請求郵便物ヲ次ノ郵政廳ニ正當ニ遞送シタルコトヲ立證シ能ハザル媒介郵政廳ニ於テ記入スベシ
De l'Administration destinataire ou, le cas échéant, de l'Administration intermédiaire qui ne peut établir la transmission régulière de l'envoi réclamé à l'Administration suivante.

(Dimensions : 210×297 mm.)

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

C P 9 (Recto)
(Règl., art. 135, § 1)

郵 政 廳
ADMINISTRATION DES POSTES

d.

小 包 郵 便 業 務
Service des colis postaux

不 能 配 達 通 知 書
AVIS DE NON-REMISE

局
BUREAU d

別紙送狀ニ記載スル　　號貨第　　號小包ハ次ノ事由ニ因リ當局ニ於留中ナリ
Le colis dont ci-joint bulletin d'expédition No originaire d

le motif suivant (1):
小包ハ名宛人ニ於テ之ヲ拒絕シタリ
a) Le colis été refusé par le destinataire.
號　號小包ハ請求ナシ
b) Le colis No pas été réclamé
名宛人ハ不明不在用濟死亡
c) Le destinataire est inconnu, absent, parti, décédé.
名宛不充分
d) L'adresse est insuffisante.
小包ノ名宛ハ送狀ノ名宛ニ符合セズ
e) L'adresse d colis n'est pas conforme à celle du bulletin.
名宛人ハ { 關稅 / le frais de douane. / 代金引換金額 / le remboursement. / 小包ニ課セラレタル其ノ他ノ費用 / les autres frais dont le colis } { est / sont } grevé } ノ支拂ヲ拒絕ス
小包ニハ合計(通知當作成國ノ貨幣ニテ表示スベシ)　　ノ關稅其ノ他ノ費用ヲ課セラレタリ
g) Le colis { est / sont } grevé des droits de douane et autres frais s'élevant au total à
保管ノ經費ニ伴ヒ此ノ金額ハ　　ノ率合ニテ增加スベシ (*à indiquer dans la monnaie du pays qui dresse l'avis*)
Pour prolongation du magasinage, cette somme sera majorée à raison de
名宛人ハ輸入許可ヲ有セズ
h) Le destinataire n'a pas d'autorisation d'importation.
發出人又ハ下記ノ者ニ其旨示ヲ請求セラレタシ尙　月ノ期間內ニ何等ノ回示ガ到著セザルトキハ小包ハ發出人ノ費用ニテ返送セラルベキコトヲ發出人又ハ下記ノ者ニ通知セラレタシ　　l'expéditeur
Prière de demander les instructions de la personne désignée ci-après et de lui faire connaître que, si ces instructions ne me parviennent pas dans un délai de mois, le colis ser renvoyé à l'origine sous suite des frais.
注意　回示ガ到著セザル限リ局ハ場合ニ依リ其ノ後小包ヲ原初ノ名宛人若ハ送狀ノ裏面ニ指示セラレタル他ノ名宛人ニ交付スルカ又ハ新名宛ニテヲ轉送スルコトヲ得
Nota.—Tant que les instructions ne sont pas parvenues, le bureau est autorisé à procéder, le cas échéant, ultérieurement, soit à la livraison du colis au destinataire primitif ou à un autre destinataire indiqué éventuellement sur le verso du bulletin d'expédition, soit à sa réexpédition à une nouvelle adresse.

局　印
Timbre du bureau

回示ヲ請求セラルベキ人ノ氏名及居所
Nom et adresse de la personne à qui les instructions doivent être demandées :

署　名
Signature :

不用ノ分ハ抹消スルコト
(1) Biffer les indications dont il n'est pas fait usage.

(Dimensions : 148×210 mm.)

C P 9 (Verso)

回　答
RÉPONSE

小包ハ下ノ如ク取扱ハレタシ
Le colis doi être (1):
原初ノ名宛人ニ尙一回提示スルコト
c) présenté encore une fois au destinataire primitif.
ノ代金引換金額 { ヲ取立ツルコトナク / ノ支拂ト引換ニ } 即　番地 (原初ノ名宛人又ハ他ノ人) 氏ニ { 交付 / 轉送 } スルコト
b) { remis / réexpédié } à M à rue No
(*destinataire primitif ou une autre personne*)
{ sans perception / contre payement (2) } du montant du remboursement de
小包ニ課セラレタル關稅其ノ他ノ費用ヲ徵收スルコトナク　即　番地 (原初ノ名宛人又ハ他ノ人) 氏ニ { 交付 / 轉送 } スルコト
c) { remis / réexpédié } à M à rue No
(*destinataire primitif ou une autre personne*)
sans perception des droits de douane ou des autres frais dont le colis { est / sont } grevé (3).
直ニ發出局ニ返送スルコト
d) immédiatement renvoyé au bureau d'origine.
發出人ノ危險負擔ニテ賣却スルコト
e) vendu aux risques et périls de l'expéditeur.
證拠シタルモノトシテ取扱フコト
f) traité comme abandonné .
發信人ガ同人ニ宛テラレタル回示ノ請求ニ對シ回答セザルニ因リ小包ハ送狀ノ期限滿了シタルトキハ發出局ニ返送セラレタシ
L'intéressé n'ayant pas répondu aux demandes d'instruction qui lui ont été adressées, le colis doi être renvoyé au bureau d'origine à l'expiration du délai réglementaire.

局　印
Timbre du bureau

署　名
Signature :

不用ノ分ハ抹消スルコト
(1) Biffer les indications dont il n'est pas fait usage.
代金引換金額ヲ取消スルトキハ發出局ハ新代金引換證附郵書(施行規則第百十九條ノ規定ニ依リ作成スル)ヲ回答ニ添附スルコトヲ要ス
(2) Le bureau d'origine doit ajouter à la réponse un nouveau mandat de remboursement (établi conformément aux prescriptions de l'article 119 du Règlement), si le montant du remboursement est réduit.
發出局ハ施行規則第百九條ノ規定ニ依リ作成スル郵金別納狀ヲ回答ニ添附スルコトヲ要ス
(3) Le bureau d'origine doit ajouter à la réponse un bulletin d'affranchissement établi conformément aux prescriptions de l'article 109 du Règlement.

C P 7
(Règl., art. 125, 1er al.)

V 475 BRESLAU 1	V 475 BRESLAU 1

(Dimensions : 37×52 mm., couleur rouge)

C P 8
(Règl., art. 130)

475 BRESLAU 1	475 BRESLAU 1

(Dimensions : 37×52 mm.)

CP 12
(Règl., art. 143, § 5)

PAYS D'ORIGINE

PAYS DE TRANSIT

Numéro d'ordre de la feuille de route :____
Nom du navire :

Timbre du bureau expéditeur

Timbre du bureau de transit

FEUILLE DE ROUTE

pour la bonification des quotes-parts dues pour le transit des colis expédiés en récipients clos au bureau d_____

(*Indiquer le nom du bureau de destination de la dépêche*)
par l'intermédiaire du bureau d'échange d_____
Départ (_____e envoi) du _____19____, à_____h._____m.

_____récipients renfermant_____colis sans déclaration de valeur
_____ „ „ _____ „ avec „ „ „
_____ „ vides _____
_____Total des récipients _____Total des colis

BONIFICATIONS :		Fr.	c.
Taxes de transport	_____colis à_____c. =		
	_____ „ à_____c. =		
	_____ „ à_____c. =		
	_____ „ à_____c. =		
	_____ „ à_____c. =		
	_____ „ à_____c. =		
Total des colis_____			
Droits d'assurance pour colis avec valeur déclarée : Nombre de fractions indivisibles de 300 fr.____à_____c. =			
	Total		

L'agent du bureau expéditeur :

L'agent du bureau de transit :

(Dimensions : 148×210 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

BUREAU D'ÉCHANGE
d_____

CP 10
(Règl., art. 140, § 6)

AVIS DE RÉEXPÉDITION

D'UNE FORMULE CP 5 (ARTICLE 140, § 6, DU RÈGLEMENT DE L'ARRANGEMENT CONCERNANT LES COLIS POSTAUX).

La réclamation No_____concernant le____colis désigné ci-après :
déposé____le_____19____à_____par _____
à l'adresse de_____à_____No d'ordre_____,
valeur déclarée_____montant du remboursement_____
a été réexpédiée ce jour à_____à_____avec les renseignement suivants :
Le____colis $\frac{a}{ont}$ été réacheminé____le_____19____sous le No_____de la feuille de route No_____au bureau d'échange d_____qui $\frac{l'a}{les\ a}$ reçu_____
_____sans faire d'observation.

Nota.—Si la réclamation reste sans réponse dans le délai voulu, prière d'en adresser un duplicata au service d_____en y indiquant les renseignements précités. L'affaire peut être considérée comme terminée pour notre service.

Signature :

(*La formule sera pliée en deux pour permettre l'envoi à découvert.*)

(Dimensions : 148×210 mm.)

PAYS D'ORIGINE

Numéro d'ordre de la feuille de route_____
Nom du navire :

CP 11
(Règl., art. 142, § 1)
PAYS DE DESTINATION

Timbre du bureau expéditeur

Timbre du bureau destinataire

FEUILLE DE ROUTE

des colis postaux expédiés par le bureau d'échange d_____
au bureau d'échange d_____

Départ (_____e envoi) du _____19_____, à_____h._____m.

NUMERO d'ordre (1)	NUMERO du colis (2)	Nombre de colis	BUREAU d'origine	BUREAU de (1) destination	(2) Poids de chaque colis avec valeur déclarée	Valeur déclarée	TAXES ET DROITS DUS par l'Administration expéditrice à l'Administration correspondante		TAXES ET DROITS DUS par l'Administration correspondante à l'Administration expéditrice		Montant du remboursement	Observations
1	2	3	4	5	6	7 Francs	8 Fr.	8 c.	9 Fr.	9 c.	10	11
TOTAUX												

L'agent du bureau expéditeur :

L'agent du bureau destinataire :

(1) Ne pas remplir dans le cas où les colis sont adressés au même bureau que les feuilles de route.
(2) En cas de besoin, cette colonne peut également servir à l'indication du poids des colis ordinaires.

(Dimensions : 148×210 ou 210×297 ou 297×420 mm.)

アジア経済研究所センター
Japan Center for Asian Economy and Development

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____
BUREAU d _____

CP 14
(Règl., art. 147, § 1)
CORRESPONDANCE
AVEC L'ADMINISTRATION
d _____

ETAT MENSUEL

des sommes que se doivent réciproquement l'Administration d _____
et l'Administration d _____, à titre de frais pour les colis postaux livrés par les bureaux d'échange dépendant de la première Administration au bureau d'échange d _____

Mois d _____ 19____

Date des feuilles de route	I. Avoir de l'Administration destinataire (Colonne 8 de la formule CP 11)						II. Avoir de l'Administration expéditrice (Colonne 9 de la formule CP 11)						Observations
	Envoi du bureau d						Envoi du bureau d						
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	Fr. c.	
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
...													
31													
Total par bureau d'échange corresp.													
Total général de chaque Avoir													

Timbre du bureau d'échange destinataire

Le Chef du bureau d'échange destinataire:
_____

(Dimensions: 210×297 ou 105×297 mm.)

ADMINISTRATION DES POSTES
d _____
BUREAU d _____ SERVICE DES COLIS POSTAUX

CP 13
(Règl., art. 144, § 2)

Timbre du bureau expéditeur du bulletin

Timbre du bureau destinataire du bulletin

BULLETIN DE VÉRIFICATION

pour la constatation et la rectification des erreurs et irrégularités de toute nature reconnues dans l'envoi des colis décrits sur la feuille de route No _____ du bureau d'échange d _____ par le bureau d'échange d _____ e expédition du _____ 19____ à ____ h. _____

MANQUE DE COLIS

NUMÉRO d'ordre	NUMÉRO du colis	Lieu d'origine	ADRESSE (aussi exacte que possible)	Montant du port bonifié	Vérification du bureau destinataire	Observations
1	2	3	4	5	6	7

AVARIE DE COLIS

NUMÉRO d'ordre	NUMÉRO du colis	Lieu d'origine	ADRESSE de l'expéditeur	ADRESSE du destinataire	Contenu	Poids constaté	Valeur déclarée	Indication du récipient (panier, sac, etc.)
1	2	3	4	5	6	7	8	9

Description et cause apparente de l'avarie ou autres observations.

IRRÉGULARITÉS
(manque de feuille de route, insuffisance d'emballage ou de fermeture, etc.)

ERREURS

NUMÉRO d'ordre	NUMÉRO du colis	Lieu d'origine	Nom et adresse du destinataire	Poids	Montant du port bonifié	Rectification du bureau destinataire
1	2	3	4	5	6	7
Total			Total vérifié			

_____, le _____ 19____

Les agents du bureau d'échange destinataire de la dépêche:
_____

_____, le _____ 19____

Vu et accepté:
Le Chef du bureau d'échange expéditeur de la dépêche:
_____

(Dimensions: 148×210 mm.)

CP 15
(Règl., art. 147, § 2)

ADMINISTRATION DES POSTES

CORRESPONDANCE AVEC L'ADMINISTRATION d_____

COMPTE

récapitulatif des états mensuels des feuilles de route de colis postaux adressés par les bureaux d'échange d_____ aux bureaux d'échange d_____

Mois d_____ 19____

Numéro d'ordre	Bureau d'échange destinataire	Montant des sommes dues d'après chaque état mensuel à l'Administration destinataire	Montant des sommes dues d'après chaque état mensuel à l'Administration expéditrice	OBSERVATIONS
1	2	3	4	5
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
	Totaux			
	Solde au crédit de l'Administration d_____			

(Dimensions : 210×297 mm.)

CP 16
(Règl., art. 149, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

COMPTE PARTICULIER

des mandats de remboursement payés par l'Administration d_____
pour le compte de l'Administration d_____
pendant le mois d_____ 19____

No d'ordre	Numéro d'émission	Date d'émission	Bureau d'émission	Montant des mandats	Observations
1	2	3	4	5	6
			TOTAL...		
			A déduire : ...% du total...		
			A déduire : Quote-part fixe (...par mandat)		
			Reste au profit de l'Administration d_____		

(Dimensions : 210×297 mm.)

CP 17
(Règl., art. 150, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

COMPTE

des frais de douane, etc., payés par l'Administration d_____
pour le compte de l'Administration d_____
Mois d_____ 19____

Numéro d'ordre	Date des avances	Numéro du bulletin d'affranchissement	BUREAU qui a fait l'avance	Montant de chaque bulletin d'affranchissement	Observations
1	2	3	4	5	6
			TOTAL		

(Dimensions : 210×297 mm.)

●郵便爲替ニ關スル約定ノ施行規則

昭和九年十二月
遞信省第三千二百五十號

昭和九年十二月十一日「カイロ」ニ於テ締結セラレタル萬國郵便爲替ニ關スル約定第九號「カイロ」締結郵便爲替ニ關スル約定ノ施行ニ關シ必要ナル規定ヲ設ケ且同約定ノ實施ニ關シ必要ナル事項ヲ定ムルコト左ノ如シ

目次

第一章　振出、送達、拂渡
第二章　爲替證書式紙
第三章　爲替證書ノ記載事項、私用通信文
第四章　爲替證書ノ送達
第五章　電信爲替
第六章　拂渡濟通知書
第七章　別配達爲替
第八章　事故爲替
第九章　誤拂ノ場合ニ於ケル處置
第十章　取戻、名宛變更
第十一章　轉送
第十二章　拂渡不能ノ爲替
第十三章　取調請求書
第十四章　他國ニ於テ振出シタル爲替ノ取調請求書
第十五章　計算
第十六章　總計算書
第十七章　決濟、內拂
第十八章　總理局及郵政廳ニ宛ツベキ通報
第十九章　公衆用式紙
第二十章　最終規定
第二十一條　規則ノ實施及存續期間
附錄
MP第一號乃至MP第五號式紙
郵便爲替ニ關スル約定ノ施行規則

第一章　振出、送達、拂渡

（昭和九年十二月遞信省第三千二百五十號）

昭和九年十二月十一日「カイロ」ニ於テ締結セラレタル萬國郵便爲替ニ關スル約定第九號「カイロ」締結郵便爲替ニ關スル約定ノ施行ニ關シ必要ナル事項ヲ定ムルコト左ノ如シ

（振出）

第一條　爲替證書ハ左ノ場合ニ限リ之ヲ振出スコトヲ得

一　通常爲替證書ニシテ左ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコトヲ得ザルモノハ受取人ニ於テ事故ノ通知ヲ受ケ下記第二項ノ規定ノ適用ヲ請求スルニ非ザレバ事故ノ訂正ノ爲之ヲ封皮ニ納メ成ルベク速ニ振出局ニ返送ス

（イ）受取人ノ氏名又ハ住所ノ不正確、不完全又ハ曖昧ナル記載

（ロ）氏名又ハ金額ノ相違又ハ脫漏

（ハ）記入事項ノ擦抹又ハ改竄

（ニ）局印、署名其ノ他事務用記事ノ脫漏

（ホ）關係郵政廳ニ於テ拂渡ニ付認メタル貨幣以外ノ貨幣ニ依ル拂渡金額ノ記載

（ヘ）成規ニ依ラザル式紙ノ使用

尤モ遠隔セル國トノ關係ニ於テ名宛郵政廳ガ振出郵政廳ノ適用スル制合ニ依リ換算ヲ爲シ得ルトキハ振出郵政廳ニ直ニ通知スルコトヲ條件トシ名宛郵政廳ハ認メタル貨幣以外ノ貨幣ヲ以テ金額ヲ記載シタル爲替ノ拂渡ヲ爲スコトヲ得換算ノ過誤ヨリ生ズル危險ハ換算ヲ爲シタル郵政廳ノ負擔トス

二　通常爲替ノ受取人電信ニ依ル事故ノ訂正ヲ希望シ且其ノ一切ノ費用ヲ支拂フベキ旨ヲ申出ヅルトキハ課金事務報ヲ以テ拂渡ニ支障アル事故ヲ訂正スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ保管シ同局ハ訂正電報受領ノ上事故ノ訂正ヲ爲シ爲替證書ニ該電報ヲ添附ス

訂正電報ガ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ電報料金ハ之ヲ還付スルコトヲ要ス

三　電信爲替ニシテ不完全又ハ不正確ナル名宛ノ爲若ハ受取人ノ資ニ歸スベカラザル其ノ他ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコト能ハザルモノニ付テハ拂渡不能ノ事由ヲ記載シタル電信事務報ヲ振出局ニ宛テ發送ス振出局ハ事故ガ業務上ノ過誤ニ起因スルモノナルカ否ヤ審査シ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ直ニ電信事務報ニ依リ之ヲ訂正シ然ラザル場合ニ於テハ差出人ニ通知シ課金事務報ニ依ル事故ノ訂正ヲ適用ス

第二章　證書式紙

第百七條　事故爲替

一　通常爲替證書ニシテ左ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコトヲ得ザルモノハ受取人ニ於テ事故ノ通知ヲ受ケ下記第二項ノ規定ノ適用ヲ請求スルニ非ザレバ事故ノ訂正ノ爲之ヲ封皮ニ納メ成ルベク速ニ振出局ニ返送ス

（イ）受取人ノ氏名又ハ住所ノ不正確、不完全又ハ曖昧ナル記載

（ロ）氏名又ハ金額ノ相違又ハ脫漏

（ハ）記入事項ノ擦抹又ハ改竄

（ニ）局印、署名其ノ他事務用記事ノ脫漏

（ホ）關係郵政廳ニ於テ拂渡ニ付認メタル貨幣以外ノ貨幣ニ依ル拂渡金額ノ記載

（ヘ）成規ニ依ラザル式紙ノ使用

尤モ遠隔セル國トノ關係ニ於テ名宛郵政廳ガ振出郵政廳ノ適用スル制合ニ依リ換算ヲ爲シ得ルトキハ振出郵政廳ニ直ニ通知スルコトヲ條件トシ名宛郵政廳ハ認メタル貨幣以外ノ貨幣ヲ以テ金額ヲ記載シタル爲替ノ拂渡ヲ爲スコトヲ得換算ノ過誤ヨリ生ズル危險ハ換算ヲ爲シタル郵政廳ノ負擔トス

二　通常爲替ノ受取人電信ニ依ル事故ノ訂正ヲ希望シ且其ノ一切ノ費用ヲ支拂フベキ旨ヲ申出ヅルトキハ課金事務報ヲ以テ拂渡ニ支障アル事故ヲ訂正スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ保管シ同局ハ訂正電報受領ノ上事故ノ訂正ヲ爲シ爲替證書ニ該電報ヲ添附ス

訂正電報ガ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ電報料金ハ之ヲ還付スルコトヲ要ス

三　電信爲替ニシテ不完全又ハ不正確ナル名宛ノ爲若ハ受取人ノ資ニ歸スベカラザル其ノ他ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコト能ハザルモノニ付テハ拂渡不能ノ事由ヲ記載シタル電信事務報ヲ振出局ニ宛テ發送ス振出局ハ事故ガ業務上ノ過誤ニ起因スルモノナルカ否ヤ審査シ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ直ニ電信事務報ニ依リ之ヲ訂正シ然ラザル場合ニ於テハ差出人ニ通知シ課金事務報ニ依ル事故ノ訂正ヲ適用ス

第三章　證書式紙

第百八條　爲替證書ハ左ノ場合ニ限リ之ヲ振出スコトヲ得

一　通常爲替證書ニシテ左ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコトヲ得ザルモノハ受取人ニ於テ事故ノ通知ヲ受ケ下記第二項ノ規定ノ適用ヲ請求スルニ非ザレバ事故ノ訂正ノ爲之ヲ封皮ニ納メ成ルベク速ニ振出局ニ返送ス

（イ）受取人ノ氏名又ハ住所ノ不正確、不完全又ハ曖昧ナル記載

（ロ）氏名又ハ金額ノ相違又ハ脫漏

（ハ）記入事項ノ擦抹又ハ改竄

（ニ）局印、署名其ノ他事務用記事ノ脫漏

（ホ）關係郵政廳ニ於テ拂渡ニ付認メタル貨幣以外ノ貨幣ニ依ル拂渡金額ノ記載

（ヘ）成規ニ依ラザル式紙ノ使用

尤モ遠隔セル國トノ關係ニ於テ名宛郵政廳ガ振出郵政廳ノ適用スル制合ニ依リ換算ヲ爲シ得ルトキハ振出郵政廳ニ直ニ通知スルコトヲ條件トシ名宛郵政廳ハ認メタル貨幣以外ノ貨幣ヲ以テ金額ヲ記載シタル爲替ノ拂渡ヲ爲スコトヲ得換算ノ過誤ヨリ生ズル危險ハ換算ヲ爲シタル郵政廳ノ負擔トス

二　通常爲替ノ受取人電信ニ依ル事故ノ訂正ヲ希望シ且其ノ一切ノ費用ヲ支拂フベキ旨ヲ申出ヅルトキハ課金事務報ヲ以テ拂渡ニ支障アル事故ヲ訂正スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ保管シ同局ハ訂正電報受領ノ上事故ノ訂正ヲ爲シ爲替證書ニ該電報ヲ添附ス

訂正電報ガ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ電報料金ハ之ヲ還付スルコトヲ要ス

三　電信爲替ニシテ不完全又ハ不正確ナル名宛ノ爲若ハ受取人ノ資ニ歸スベカラザル其ノ他ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコト能ハザルモノニ付テハ拂渡不能ノ事由ヲ記載シタル電信事務報ヲ振出局ニ宛テ發送ス振出局ハ事故ガ業務上ノ過誤ニ起因スルモノナルカ否ヤ審査シ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ直ニ電信事務報ニ依リ之ヲ訂正シ然ラザル場合ニ於テハ差出人ニ通知シ課金事務報ニ依ル事故ノ訂正ヲ適用ス

第四章　證書ノ送達

第百九條　日附認證

爲替證書ニハ其ノ振出ノ日附ヲ記載スルコトヲ要ス

第百十條　取戻、名宛變更

約定第十七條ノ日附認證ハ當該爲替證書面ニ之ヲ記入スルコトヲ要ス

第百十一條　轉送

一　條約ノ施行規則第百四十八條及第百四十九條ノ規定ハ名宛郵政廳ガ爲替ノ取戻又ハ名宛變更ニ之ヲ適用スル但シ郵便電信ニ依ル名宛變更ノ請求書ニハ普通ノ紙片ニ依ル受取人ノ署名ヲ要ス

電信ニ依リ請求スル名宛變更ニ付テハ該請求ハ頭部ニ色鉛筆ニテ字下線ヲ引キタル「Confirmation de la demande télégraphique du……」ナル記事ヲ有スル郵便ニ依ル請求ヲ以テ第一便ニテモ之ヲ確認スルコトヲ要ス

右ノ場合ニ於テ名宛局ハ電報ヲ受取リタルトキハ單ニ爲替證書ヲ留置キ請求ニ應ズル爲郵便ニ依ル確認ヲ待ツモノトス

二　條約第百四十九條ニ規定スル名宛ノ單ナル訂正ニ付テハ振出通知書ノ到著ヲ待ツコトナク之ガ訂正ヲ爲スコトヲ得

第百十一條　轉送

通常爲替ヲ郵便ニ依リ轉送スル郵便局ハ必要アルトキハ爲替金額ノ記載ヲ以テ裏ノ記入ヲ認識シ得ル樣抹消ス拂込金額欄ノ記事ハ之ヲ其ノ儘存置スルコトヲ要ス爲替金額ハ轉送國ヨリ振出ス爲替ニ付定ムル割合ニ依リ之ヲ新名宛國貨幣ニ換算ス換算ハ爲替證書面成ルベク金額ニ關スル原記事ノ上部ニ數字及文字ヲ以テ之ヲ記入ス金額ノ新記事ニ付テハ當務者之ニ署名スル

右ト同一ノ手續ハ爾後ノ轉送ノ場合ニモ之ヲ履行スルコトヲ要ス

轉送局ハ原名宛國ニ轉送ヲ爲ス場合ニハ原金額ヲ復活シ又振出國ニ轉送ヲ爲ストキハ事務用記事中ノ振出國貨幣ニテ記入シタル金額ヲ以テ現ニ記載アル金額ニ代フルモノトス

二　電信爲替ノ郵便ニ依ル轉送ハ通常爲替ト同一ノ條件ニテ且振出通知書ノ到著ヲ待ツノ外ナク之ヲ爲シ但シ振出通知書ノ到著前ニ振出國ニ轉送ヲ爲ストキハ轉送局ハ單ニ受取人ノ宛所ヲ變更シ且一割線ヲ以テ金額ノ記事ヲ抹消ス

爲替證書ノ拂渡濟通知書ハ名宛郵政廳ニ於テ之ヲ作成シ同廳ハ名宛郵政廳ニ於テ名宛局ニ於テ之ヲ作成シ同局ハ振出局ニ於テ之ヲ作成シ振出局ハ之ヲ振出國ニ轉送ヲ爲ス

三　通常爲替ヲ電信ニ依リ轉送スル場合ニハ轉送局ハ電報料金及爲替料ヲ控除シ其ノ殘額ニ付電信爲替ノ振出ヲ爲ス該爲替料ハ原爲替金額ヨリ電報料金ヲ控除シタル殘額ニ付之ヲ計算ス

新名宛國ノ貨幣ヘノ換算ハ第一項ニ規定スル條件ニテ之ヲ爲ス

原爲替證書ハ轉送局ニ於テ之ニ「Récapédié le montant de……à……sous déduction de la taxe de……」ノ記事ヲ附シタル後金額受領ノ旨ヲ記載シ之ヲ拂渡濟爲替證書ニ添附ス

原爲替證書ノ通知票ハ名宛局ニ送付スル爲之ヲ振出通知書ニ添附ス

四　電信爲替ノ電信ニ依ル轉送ハ通常爲替ノ之ヲ爲ス

五　受取人ノ氏名又ハ住所ノ不正確、不完全又ハ曖昧ナル記載

通常爲替ニ付テハ受取人ニ於テ事故ノ通知ヲ受ケ下記第二項ノ規定ノ適用ヲ請求スルニ非ザレバ事故ノ訂正ノ爲之ヲ封皮ニ納メ成ルベク速ニ振出局ニ返送ス

（イ）受取人ノ氏名又ハ住所ノ不正確、不完全又ハ曖昧ナル記載

（ロ）氏名又ハ金額ノ相違又ハ脫漏

（ハ）記入事項ノ擦抹又ハ改竄

（ニ）局印、署名其ノ他事務用記事ノ脫漏

（ホ）關係郵政廳ニ於テ拂渡ニ付認メタル貨幣以外ノ貨幣ニ依ル拂渡金額ノ記載

（ヘ）成規ニ依ラザル式紙ノ使用

尤モ遠隔セル國トノ關係ニ於テ名宛郵政廳ガ振出郵政廳ノ適用スル制合ニ依リ換算ヲ爲シ得ルトキハ振出郵政廳ニ直ニ通知スルコトヲ條件トシ名宛郵政廳ハ認メタル貨幣以外ノ貨幣ヲ以テ金額ヲ記載シタル爲替ノ拂渡ヲ爲スコトヲ得換算ノ過誤ヨリ生ズル危險ハ換算ヲ爲シタル郵政廳ノ負擔トス

二　通常爲替ノ受取人電信ニ依ル事故ノ訂正ヲ希望シ且其ノ一切ノ費用ヲ支拂フベキ旨ヲ申出ヅルトキハ課金事務報ヲ以テ拂渡ニ支障アル事故ヲ訂正スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ保管シ同局ハ訂正電報受領ノ上事故ノ訂正ヲ爲シ爲替證書ニ該電報ヲ添附ス

訂正電報ガ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ電報料金ハ之ヲ還付スルコトヲ要ス

三　電信爲替ニシテ不完全又ハ不正確ナル名宛ノ爲若ハ受取人ノ資ニ歸スベカラザル其ノ他ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコト能ハザルモノニ付テハ拂渡不能ノ事由ヲ記載シタル電信事務報ヲ振出局ニ宛テ發送ス振出局ハ事故ガ業務上ノ過誤ニ起因スルモノナルカ否ヤ審査シ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ直ニ電信事務報ニ依リ之ヲ訂正シ然ラザル場合ニ於テハ差出人ニ通知シ課金事務報ニ依ル事故ノ訂正ヲ適用ス

第五章　電信爲替

第百十二條　電信爲替ハ振出郵便局ニ於テ之ヲ記入シ金額ノ新記事ニ付テハ當務者之ニ署名スル

右ト同一ノ手續ハ爾後ノ轉送ノ場合ニモ之ヲ履行スルコトヲ要ス

轉送局ハ原名宛國ニ轉送ヲ爲ス場合ニハ原金額ヲ復活シ又振出國ニ轉送ヲ爲スストキハ事務用記事中ノ振出國貨幣ニテ記入シタル金額ヲ以テ現ニ記載アル金額ニ代フルモノトス

二　電信爲替ノ郵便ニ依ル轉送ハ通常爲替ト同一ノ條件ニテ且振出通知書ノ到著ヲ待ツノ外ナク之ヲ爲シ但シ振出通知書ノ到著前ニ振出國ニ轉送ヲ爲ストキハ轉送局ハ單ニ受取人ノ宛所ヲ變更シ且一割線ヲ以テ金額ノ記事ヲ抹消ス

爲替證書ノ拂渡濟通知書ハ名宛郵政廳ニ於テ之ヲ作成シ同廳ハ名宛郵政廳ニ於テ名宛局ニ於テ之ヲ作成シ同局ハ振出局ニ於テ之ヲ作成シ振出局ハ之ヲ振出國ニ轉送ヲ爲ス

三　電信爲替ノ電信ニ依リ轉送スル場合ニハ轉送局ハ電報料金及爲替料ヲ控除シ其ノ殘額ニ付電信爲替ノ振出ヲ爲ス該爲替料ハ原爲替金額ヨリ電報料金ヲ控除シタル殘額ニ付之ヲ計算ス

新名宛國ノ貨幣ヘノ換算ハ第一項ニ規定スル條件ニテ之ヲ爲ス

原爲替證書ハ轉送局ニ於テ之ニ「Récapédié le montant de……à……sous déduction de la taxe de……」ノ記事ヲ附シタル後金額受領ノ旨ヲ記載シ之ヲ拂渡濟爲替證書ニ添附ス

原爲替證書ノ通知票ハ名宛局ニ送付スル爲之ヲ振出通知書ニ添附ス

四　電信爲替ノ電信ニ依ル轉送ハ通常爲替ノ之ヲ爲ス

五　受取人ノ氏名又ハ住所ノ不正確、不完全又ハ曖昧ナル記載

通常爲替ニ付テハ受取人ニ於テ事故ノ通知ヲ受ケ下記第二項ノ規定ノ適用ヲ請求スルニ非ザレバ事故ノ訂正ノ爲之ヲ封皮ニ納メ成ルベク速ニ振出局ニ返送ス

（イ）受取人ノ氏名又ハ住所ノ不正確、不完全又ハ曖昧ナル記載

（ロ）氏名又ハ金額ノ相違又ハ脫漏

（ハ）記入事項ノ擦抹又ハ改竄

（ニ）局印、署名其ノ他事務用記事ノ脫漏

（ホ）關係郵政廳ニ於テ拂渡ニ付認メタル貨幣以外ノ貨幣ニ依ル拂渡金額ノ記載

（ヘ）成規ニ依ラザル式紙ノ使用

尤モ遠隔セル國トノ關係ニ於テ名宛郵政廳ガ振出郵政廳ノ適用スル制合ニ依リ換算ヲ爲シ得ルトキハ振出郵政廳ニ直ニ通知スルコトヲ條件トシ名宛郵政廳ハ認メタル貨幣以外ノ貨幣ヲ以テ金額ヲ記載シタル爲替ノ拂渡ヲ爲スコトヲ得換算ノ過誤ヨリ生ズル危險ハ換算ヲ爲シタル郵政廳ノ負擔トス

二　通常爲替ノ受取人電信ニ依ル事故ノ訂正ヲ希望シ且其ノ一切ノ費用ヲ支拂フベキ旨ヲ申出ヅルトキハ課金事務報ヲ以テ拂渡ニ支障アル事故ヲ訂正スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ爲替證書ハ名宛局ニ於テ之ヲ保管シ同局ハ訂正電報受領ノ上事故ノ訂正ヲ爲シ爲替證書ニ該電報ヲ添附ス

訂正電報ガ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ電報料金ハ之ヲ還付スルコトヲ要ス

三　電信爲替ニシテ不完全又ハ不正確ナル名宛ノ爲若ハ受取人ノ資ニ歸スベカラザル其ノ他ノ事由ニ因リ拂渡ヲ爲スコト能ハザルモノニ付テハ拂渡不能ノ事由ヲ記載シタル電信事務報ヲ振出局ニ宛テ發送ス振出局ハ事故ガ業務上ノ過誤ニ起因スルモノナルカ否ヤ審査シ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ直ニ電信事務報ニ依リ之ヲ訂正シ然ラザル場合ニ於テハ差出人ニ通知シ課金事務報ニ依ル事故ノ訂正ヲ適用ス

第百十三條　別配達爲替

第百十四條　事故爲替

第百十五條　誤拂ノ場合ニ於ケル處置

第百十六條　轉送

第百十七條　拂渡不能ノ爲替

第百十八條　取調請求書

第百十九條　他國ニ於テ振出シタル爲替ノ取調請求書

第六章　拂渡濟通知書

第百十三條　拂渡濟通知書ハ左ノ場合ニ之ヲ作成ス

一　爲替證書ニ記載事項、私用通信文

二　爲替證書ノ記入ハ「アラビア」數字及「ラテン」文字ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス假令證明ヲ爲スモ塗抹シ又ハ改竄スルコトヲ得ズ

貨幣單位ノ端數金額ハ數字ノミヲ以テ之ヲ記入スルコトヲ得但シ端數金額ヲ表示スル數字ニシテ十位ナキモノニ付テハ其ノ前ニ零ヲ附スルコトヲ要ス

鉛筆ヲ以テスル記入之ヲ許サズ但シ事務用記事ハ此ノ限ニ在ラズ

三　爲替證書ニハ式紙ノ內容ニ記入ル事項ノ外他ノ事項ヲ記入スルコトヲ禁ズ但シ差出人ハ通知票ニ爲替ノ受取人ニ宛ツル私用通信文ヲ附記スル權利ヲ有ス

四　業務用爲替證書ニハ其ノ表面ニ「Service des postes」又ハ之ニ類似スル記載ヲ爲スコトヲ要ス

第百三條　爲替證書ノ送達

爲替證書ハ反對ノ爲定アニ非ザレバ露出ノ儘之ヲ送達ス該證書ハ條約ノ施行規則第百五十七條第一項ニ定ムル方法ニ依リ之ヲ行嚢ニ納ム

第百四條　電信爲替

一　電信爲替ハ振出郵便局ニ於テ之ヲ記メ且名宛郵便局ニ宛ツルモノトス

電信爲替ハ反對ノ爲定アル場合ヲ除ク外左ノ事項ヲ記入スルコトヲ要ス

（イ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ロ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ハ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ニ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ホ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ヘ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ト）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（チ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（リ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ヌ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ル）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ヲ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ワ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（カ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ヨ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（タ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（レ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ソ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ツ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ネ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ナ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ラ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ム）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ウ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ノ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（オ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ク）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ヤ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（マ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ケ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（フ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（コ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（エ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（テ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ア）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（サ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（キ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ユ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（メ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ミ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（シ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ヒ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（モ）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（セ）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

（ス）名宛局ハ振出通知書ノ受領ヲ待ツコトナク拂渡ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ成ルベク該通知書ヲ受取人ニ於テ爲替金受領濟ノ爲替ノ證書ニ綠附ス

（ン）振出郵便局ハ確認ノ爲附錄MP第二號雛形ニ適合スル爲替振出通知書ヲ封皮ニ納メ最近便ニ依リ名宛郵便局ニ送付ス該通知書ニハ郵便切手ヲ貼附シ又ハ料金納付濟印章ヲ押捺スルコトヲ禁ズ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

六、轉送ノ請求ハ原名宛局及場合ニ依リ爾後ノ名宛局ニ於テ備忘ノ爲之ヲ記帳スル右ニ規定スル條件ニテ爲替ノ轉送ヲ爲ス局ハ振出局ニ共ノ旨ヲ通知ス

第百十二條　拂渡不能ノ爲替理由ノ如何ヲ問ハズ受取人ニ拂渡スコト能ハザル爲替證書ハ振出郵政廳ニ返送スルニ先チ名宛局ニ於テ備忘ノ爲之ヲ記帳シ且該證書ニハ不能配達郵便物ニ付條約ノ施行規則第百四十七條第一項ニ定ムル印章ヲ押捺シ又ハ異符ヲ貼附ス

返送スル電信爲替證書ハ關係振出通知書ト共ニ之ヲ封皮ニ納ムルコトヲ要ス

尤モ第百十一條第三項、第四項及第五項ニ規定スル條件ニテ作成シタル爲替證書ハ之ヲ作成セザルトキハ月次計算書ノ受領後遲クトモ十五日ニ之ヲ爲スコトヲ要ス該期間ハ遠隔セル國ニ對シテハ之ヲ一月トス

二、郵政廳ハ支拂フベキ金額ニ付意見一致セザルトキハ決濟ノ異議アル部分ニ對シテノミ之ヲ延期スルコトヲ得該部分ニ關シテハ借方郵政廳ハ異議ノ理由ヲ遲クトモ前節ニ規定スル期間内ニ貸方郵政廳ニ通知スベキモノトス

三、各郵政廳ニシテ他ノ郵政廳ニ對シ三萬金「フラン」ヲ超過スル金額ニ付債權ヲ有スルモノハ計算結了前ト雖モ其ノ貸高ノ四分ノ三ヲ限度トシ内拂又ハ假拂ヲ請求スル權利ヲ有ス該請求ニ對シテハ八日ノ期間内ニ支拂ヲ爲スコトヲ要ス該期間ヲ經過スルモ支拂ナキ場合ニハ約定第三十一條ノ規定ヲ適用ス

第四章　通報、式紙

第百十八條　總理局及郵政廳ニ宛ツベキ通報

一、郵政廳ハ約定實施ノ少クトモ三月前ニ總理局ノ媒介ニ依リ他ノ郵政廳ニ左ノ事項ヲ通報スルコトヲ要ス

(イ)　約定ニ基キ自廳ニ於テ爲替ヲ交換スル國名表

(ロ)　爲替ノ受拂取扱局名表又ハ總テノ所屬局ガ本業務ヲ取扱フ旨ノ通知

(ハ)　電信爲替ノ交換ニ參加スルトキハ其ノ旨ノ通知

(ニ)　自廳ニ於テ定ムル爲替ノ振出及拂渡ノ最高額

(ホ)　自國ニ宛ツル爲替ノ金額ヲ表示スベキ貨幣

(ヘ)　自廳ニ於テ適用スル料金表

(ト)　自國ノ法制ニ於テ期間ノ經過ニ依リ拂渡ノ請求ナキ爲替ノ金額ヲ國庫ニ確實ニ歸屬セシムベキ期間

(チ)　自廳ニ於テ居宅拂、留置、日附認證、取調請求及拂渡認可書ニ對シ料金ヲ徵收スルトキハ其ノ料金

(リ)　自國ニ於テ爲替ヲ裏書ニ依リ移轉シ得ルヤ否ニ關スル決定

(ヌ)　自廳ニ於テ使用スル爲替證書ノ式紙一枚

(ル)　爲替證書ニ記載スベキ一ヨリ千ニ至ル數ノ自國ノ公用語ニ依ル綴方

(ヲ)　自廳ニ於テ爲替ノ交換ニ付媒介ニ任ジ得ル約定非參加國名表

(ワ)　書面ヘノ指示方法

(カ)　爾後ノ變更ハ遲滯ナク之ヲ通知スルコトヲ要ス

三、關係郵政廳ハ其ノ適用スル換算割合及該割合ノ爾後ノ變更ヲ直接相互ニ通報スルコトヲ要ス

第百十九條　公衆用式紙

條約第三十一條第二項ノ規定ノ適用ニ付テハ左ノ式紙ハ之ヲ公衆用ノ式紙トス

M.P.第一號（郵便爲替證書）

M.P.第三號（取調請求書）

最終規定

第百二十條　規則ノ實施及存續期間

本施行規則ハ郵便爲替ニ關スル約定實施ノ日ヨリ之ヲ施行スベシ

本規則ハ關係締約郵政廳間ニ協議ヲ遂ゲ之ヲ改締スルニ非ザレバ右約定ト同一ノ存續期間ヲ有スベシ

千九百三十四年三月二十日「カイロ」ニ於テ之ヲ作成ス

「アルバニア」國
ベー、ナッス

獨逸國
カー、オルト
ドクトル、ヴェー、ゼーバス

「サウディ、アラビア」王國
ファウザン、エル、サベク

「アルゼンティン」共和國
エレセ、エレセ・トゥラ

埃地利國
ドクトル、ルドルフ、クーン

白耳義國
オー、シオッカールト
エー、モンス

「ボリヴィア」國
エルネスト、カセレス
エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス

「アルガリア」國
イー、カザロフ

「チリ」國
エレセ、スアレス、パロス

中華民國
胡世澤
張歆海
黃乃楓

「コロンビア」共和國
エー、サルドゥア、ベー

「キュバ」共和國
アルフレド、アッシール

丁抹國
ツエー、モンドルプ
アルネ、クロッグ

「ダンヂッヒ」自由市
エール、スタルジンスキー

「ドミニカ」共和國
ルイス、アレハンドロ、アギラール

「エジプト」國
エム、シアラ
イー、マッギアー
エス、エー、ガルワッシュ

西班牙國
アロンソ、カーロ
アー、ラモス
西班牙國殖民地全體
デメトリオ、ベレダ

「エストニア」國
ゲー、エー、エフ、アルブレヒト

「エティオピア」國
アラムー、テー

「フィンランド」國
ゲー、エー、エフ、アルブレヒト

佛蘭西國
エム、ルボン
エル、ジアントン
ベー、グランシモン
アー、カバンヌ
デュッセール

「アルジェリー」
エー、ユゲナン
印度支那ノ佛蘭西國殖民地及保護領
ニコラ
其ノ他ノ佛蘭西國殖民地全體
ジー、カサニアグ

羯臘國
ヴェー、デンドラミス
ジー、ラクニダキス

「ホンデュラス」共和國
ドクトル、トクシメイ

「ハンガリー」國
シアル、ド、フォルステール

「アイスランド」國
ツエー、モンドルプ
アルネ、クロッグ

伊太利國
ピエトロ、トスティ
ガルディ、ミケレ

伊太利國殖民地全體
ルイス、アレハンドロ、アギラール

「イエメン」國
日本國
關正雄
張間利春
景山準吉

朝鮮
關正雄
川面隆三
其ノ他ノ日本國屬地全體
張間利春
藤川洋

「ラトヴィア」國
エル、ルーレ

佛蘭西國委任統治ノ下ニ在ル東方諸國（シリア」國及「レバノン」國）
シアンファレッリ
エル、ベルノ

「リベリア」共和國
「リスアニア」國
「ルクセンブルグ」國
「モロッコ」國（西班牙地帶ヲ除ク）
アッシュ、デュティユ

「モロッコ」國（西班牙地帶）
アー、ラモス

「ニカラグア」國
ヴィクトル、ドゥラン、エメ

諸威國
クラウス、ヘルシング
オスカル、ホンメ

「パナマ」共和國
エー、サルドゥア、ベー

「パラグアイ」國
エレセ、エレセ、トゥラ

和蘭國
ドインステー
ファン、ゴール

「キュラサオ」及「スリナム」
ホーヘウォーニング

蘭領印度
ベルク
プリル
ホーヘウォーニング

「ペルー」國
エルネスト、カセレス
エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス

「ペルシア」國
エス、アー、ラッド
エール、アーヂオメンド

「ポーランド」國
エール、スタルジンスキー

「ポルトガル」國
アー、デ、クー、エレセ、ヴェース、ピントアー、セー、ピアンチ

西部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地
エルネスト、ジュリオ、ナヴァロ
東部「アフリカ」、「アジア」及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地
マリオ、コレーア、バラダ、ダ、クルス

「ルーマニア」國
イラリウ、マネアヌ
セー、ステファネスク

「サン、マリノ」共和國
クレティ、ドナート

「サルヴァドル」共和國
「ザール」河地方
遞羅國
瑞典國
アンデルス、エルネ、
グンナル、ラーゲル
アルヴィド、ビルト

瑞西聯邦
エル、ルーレ

「チエッコスロヴァキア」國
ワツラフ、クチェラ
ヨセフ、ラダ

「テュニス」國
アッシュ、デュティユ

「トルコ」國
ユスフ、アリフィ
エム、サキン
エム、テヴフイク

「ウルグアイ」東方共和國
アルトゥロ、セー、マサネス

「ヴァティカン」市
モンシニオーレ、ジゥゼッペ、マッツオリ

「ヴェネズエラ」合衆國
ルイス、アレハンドロ、アギラール

「イエメン」國
「ユーゴースラヴィア」王國
コスタ、ズラタノヴィッチ

M P 第一號 (表面) (Recto) (用紙)
(規則第百一條) (Règl., art. 101)

通知票
COUPON
(受取人ニ対テノミ切離スコト勿レ)
(Tout détaché par le destinataire)
為替金額
(アラビア數字ニテ記入スルコト)
Montant du mandat en chiffres arabes
發出人ノ表示
Désignation de l'expéditeur
發出局印
Timbre du bureau d'origine
千九百　年　月　日
Le 19

ADMINISTRATION DES POSTES 郵政廳
d

換算額合
Cours du change:
換算金額
Somme payée:
1)

國際郵便爲替證書
MANDAT DE POSTE INTERNATIONAL
金額
de la somme de
(アラビア數字ニテ記入スルコト)
(en chiffres arabes)
(英國以上ノモノヲ除キ英字ヲ用ヒルコト)
(Les unités en toutes lettres et en caractères latins)
受取人
Payable à M 殿
名
Lieu de destination: 宛
番
Rue et numéro: 地
名
Pays de destination:

非　賛　用　記　事
INDICATIONS DE SERVICE
發出郵便局名
Nom du bureau d'origine
發出日附
Date
發出局印
Bureau d'origine

1) Indications à remplir par l'Administration destinataire, lorsqu'elle opère elle-même la conversion.

郵便切手ノ貼附又ハ現金ヲ以テ金ノ拂示
Application des timbres-poste ou indication de la taxe perçue.

發出局印
Timbre du bureau d'origine

拂込金額
Somme versée
(發出國貨幣)
(Monnaie du pays d'origine)

(寸尺 105×148 ミリメートル、114×162 ミリメートル)
(Dimensions: 105×148 ou 114×162 mm.)
(表面ト類倒シテ印刷スルコトヲ要ス)
(Doit être imprimé en sens inverse du recto.)

M P 第一號 (裏面) (Verso)

(空白ノ場所)
(Cadre réservé aux emboissements, s'il y a lieu)

受取人ノ受領證
QUITTANCE DU DESTINATAIRE

貨幣ノ金額受領候也
Reçu la somme indiquée d'autre part,
千九百　年　月　日
le , 19

地名
Lieu:

受取人署名
Signature du destinataire:

到著書記
REGISTRE D'ARRIVÉE
No

發送局印
Timbre du bureau payeur

M P 第二號
(Règl., art. 104, § 8)

ADMINISTRATION DES POSTES
d

AVIS D'ÉMISSION D'UN MANDAT TÉLÉGRAPHIQUE

déposé au bureau d
le pour le bureau d
(*Pays*)

Nom de l'expéditeur 1	Numéro du mandat 2	Nom, prénoms, qualité et domicile du destinataire 3	Montant du mandat 4
			En monnaie du pays de destination 1)
			En monnaie du pays d'origine

A , le 19

Timbre du bureau d'origine

Bureau de poste:
(*Signature*)

Timbre du bureau de destination

1) Le montant ne peut pas être payé sur le vu de cet avis d'émission, mais seulement sur celui du télégramme auquel cet avis se rapporte.

(Dimensions: 105×148 mm. Papier blanc ordinaire)

M P 第三號

(規則第百五條第二項及第百十三條第一項)

(Règl., art. 105, § 2, et 113, § 1)

郵政廳
ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

局
BUREAU d_____
第　號
N° _____

爲替取調請求書
RÉCLAMATION D'UN MANDAT

(振出局ニ於ケル記入欄)
(A remplir par le bureau d'origine)

請求人ノ住所氏名
Nom et domicile du réclamant :

振出局
Bureau d'émission :

振出日附
Date d'émission :

振出番號
Numéro d'ordre :

金額
Montant :

受取人ノ氏名
Nom du destinataire :

受取人ノ完全ナル居所
Adresse complète du destinataire :

名宛局
Bureau de destination :

備考
Renseignements complémentaires :

爲替證書踪跡不明ト爲リタルトキハ
Si le mandat a été égaré, le montant doit être payé.

原受取人
a) au destinataire primitif [1]);

差出人
b) à l'expéditeur [1]).

千九百　年　月　日ニ於テ
_____, le_____19___.

署名
Signature :

振出局印
Timbre du bureau d'origine

(名宛局ニ於ケル記入欄)
(A remplir par le bureau destinataire) [1])

左欄記載ノ爲替證書ハ
Le mandat décrit ci-contre

年月日受取人ニ正ニ拂渡
—a été dûment payé au destinataire

濟
le_____ 19___

局ニ於テ處理中
—est encore en instance au bureau d_____

千九百　年　月　日振出局ニ返送濟
—a été renvoyé au bureau d'origine le _____19___

千九百　年　月　日　ニ轉送濟
—a été réexpédié le_____19___
à_____

局ニ未著
—n'est pas parvenu au bureau d_____ [2])

千九百　年　月　日　ニ於テ
_____, le_____19___

署名
Signature :

名宛局印
Timbre du bureau de destination

不要ノ記事ハ抹消スルコト
1) Biffer les indications inutiles.
受取人ノ申立書ヲ添附スルコト
2) Ajouter la déclaration du destinataire.

(寸尺　148×210 ミリメートル又ハ 210×297 ミリメートル)
(Dimensions : 148×210 ou 210×297 mm.)

M P 第四號 (Recto)
(Règl., art. 115, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

19___
MOIS

COMPTE MENSUEL
DES
MANDATS DE POSTE INTERNATIONAUX
EMIS PAR LES BUREAUX DE POSTE
d_____
ET PAYÉS PAR LES BUREAUX DE POSTE
d_____
PENDANT LE MOIS DÉSIGNÉ CI-DESSUS

Cahier N° _____

(Dimensions : 210×297 mm.)

M P 第四號 (Verso)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

Année 19___
Mois d_____

Numéro d'ordre des mandats payés 1	Date de l'émission Année 2	Date de l'émission Mois 3	Bureau d'émission 4	Numéro d'émission 5	Mandats taxés 6	Mandats en franchise de taxe 7	Montant du débit de l'Administration d_____ 8

MP 第五號
(Règl., art. 116, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

COMPTE GÉNÉRAL
DES
MANDATS DE POSTE ÉCHANGÉS

entre _____
et _____
pendant ... 19...

Période	Avoir de l'Administration d_____		Avoir de l'Administration d_____	
	Mandats	Droits	Mandats	Droits
1	2	3	4	5
Totaux				
Conversion au taux de:				

Balance

Acomptes

Solde

au crédit / débit de l'Administration d_____

Détail des acomptes:

Dates: | Montants:

Dressé à _____
le _____ 19...
(*Signature*)

Vu et accepté:

(Dimensions: 210×297 mm.)

●郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則

昭和九年十二月遞信省令第三千二百五十一號

昭和九年十二月條約第十號「カイロ」締結郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則左ノ如シ

郵便振替ニ關スル約定ノ施行規則

目次

第一章　拂出、送達、受入
第一條　振替通知書
第二條　振替日錄
第三條　送狀
第四條　振替請求書類ノ送途
第五條　電信振替
第六條　振替ノ受入
第七條　式紙ノ記載事項
第二章　諸種ノ手續
第八條　振替ノ取消
第九條　振替請求ノ處理不能
第十條　取調請求書
第三章　計算
第十一條　差引計算
第十二條　差額ノ支拂
第四章　諸種ノ規定
第十三條　總理局及郵政廳ニ宛ツベキ通報
第十四條　公衆用式紙
第十五條　外國ノ郵便振替口座開設請求
最移規定
第十六條　規則ノ實施及存續期間
附錄
VP第一號乃至VP第九號式紙

第一章　拂出、送達、受入

第一條　振替通知書

振替ノ通知ハ拂出口座ノ加入者又ハ該口座所管局ニ於テ附錄VP第一號雛形ニ適合スル式紙ニ之ヲ認ムルコトヲ要ス

尤モ郵政廳ハ其ノ內國業務ノ式紙ヲ利用スルコトヲ得

一　振替ノ通知ハ拂出口座ノ加入者又ハ該口座所管局ニ於テ附錄VP第一號雛形ニ適合スル式紙ニ之ヲ認ムルコトヲ要ス

二　振替金額ガ拂出國貨幣ヲ以テ表示シアルトキハ振替請求書受付局又ハ交換局ニ於テ換算ヲ爲シ振宛國貨幣ニ於ケル振替金額ヲ赤イシキニテ通知書ニ記入ス

三　振替通知書ニハ拂出局ノ口附印ヲ押捺スルコトヲ要ス

第二條　振替日錄

一　振替日錄ハ交換局ニ於テ附錄VP第二號雛形ニ適合スル式紙ヲ以テ之ヲ作成ス日錄ニハ振替一日毎ニ式紙ノ交首ニ認ムル總テノ記事ノ記載アルコトヲ要ス

電信振替ノ日錄ニハ其ノ頭部ニ枠メテ明瞭ナル文字ヲ以テ爲ス「Virements télégraphiques」ナル記事ノ記載アルコトヲ要ス

二　各日錄ニハ之ヲ作成シタル交換局ノ局印ヲ押捺ス

三　同一日ニ同一交換局ニ宛テ數通ノ日錄ヲ作成スルトキハ之ニ每日更新スル逐次番號ヲ附ス

第三條　送狀

一　同一交換局ニ宛テタル各日錄ノ合計ハ附錄VP第三號雛形ニ適合スル送狀ノ總計ハ之ヲ記ス該送狀ノ總計ハ之ヲ文字ヲ以テ完記スルカ又ハ小切手用安全機ニ依リ數字ヲ以テ印刷スルコトヲ要ス

二　送狀ニハ之ヲ作成シタル交換局ノ局印ヲ押捺シ且署名ノ資格アル一名又ハ數名ノ吏員之ニ署名ス各送狀ニハ交換局每ニ每月更新スル逐次番號ヲ附ス

月末ニ發送スル最終ノ送狀ニハ「Dernière lettre d'envoi No.....」ナル記事ノ記載アルコトヲ要ス交換局ガ休日ヲ除キ月ノ末日ニ於テ相手局ニ宛ツル振替ヲ有セザルトキト雖モ亦「Dernière lettre d'envoi No.....」ト指示シ且振替ナキ旨ヲ記載シタル送狀ヲ該局ニ送付スルコトヲ要ス

第四條　振替請求書類ノ送達

送狀、振替日錄及振替通知書ハ一括封裝シ最モ利便ナル方法ニ依リ無料ニテ振宛交換局ニ宛テ之ヲ發送ス該郵便物ハ之ヲ背留ト爲スコトヲ得

第五條　電信振替

一　電信振替ハ拂出郵便振替局ニ於テ之ヲ認メ且直接振宛口座所管局ニ宛ツルモノトス

電信振替ハ反對ノ協定アル非ザレバ佛國西語ヲ以テ之ヲ作成シ且左ノ如ク認ム

（電信業務上ノ指定、必要トスル場合ニ限ル）

Virement　（拂出番號）
、、、、、、（振宛振替局名）
、、、、、、（拂出人ノ氏名又ハ表示）
、、、、、、（拂出人ノ口座番號）
、、、、、、（拂出人ノ所管振替局名）
、、、、、、（振替金額）
、、、、、、（振宛人ノ氏名又ハ表示）
（私用通信文、必要トスル場合ニ限ル）

電報ノ記載事項ハ常ニ右ノ順序ニ依ルコトヲ要ス

二　電信業務上ノ指定ハ文字ヲ以テ之ヲ完記スルカ又ハ同業務ニ於テ認ムル略號ヲ以テ之ヲ表示ス

三　郵政廳ハ各電信振替ノ拂出番號及金額ノ全部又ハ一部ノ記事ニ對スル暗號ニ付協定スルコトヲ得

四　振替金額ハ數字ヲ以テ之ヲ表示シ且貨幣單位（「フラン」、「ライヒスマルク」等）以上ハ振宛國貨幣ヲ以テ文字ニテ之ヲ完記スルコトヲ要ス

五　拂出人ノ氏名及振宛口座ノ名義ハ略號又ハ暗號ヲ以テ之ヲ表示スルコトヲ得ズ

六　一部ノ反覆（關係局間ニ於ケル固有名詞及數ノ傳送上ノ反覆）ハ必ズ之ヲ爲ス

七　振宛振替局ハ確認ノ爲ノ振替目錄ノ受領ヲ待ツコトナク受入登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六條　振替ノ受入

一　送狀、振替目錄及振替通知書在中ノ包束物交換局ニ到著シタルトキハ同局ハ之ガ檢查ノ手續ヲ爲ス何等カノ事故又ハ脫漏アルコトヲ確認シタル場合ニハ同局ハ附錄VP第四號雛形ニ適合スル書狀ニ依リ其ノ旨ヲ拂出交換局ニ通知ス拂出交換局ハ最近便ニ依リ回答ヲ爲シ且場合ニ依リ不足セル書類ノ副本ヲ送付スルコトヲ要ス

二　振替通知書面ニ記入シタル金額ト振替目錄面ノ該金額ノ記入トノ間ニ相違アルコトヲ確認シタルトキハ振宛交換局ハ少額ノ金額ニ對シ振宛人ノ振替口座ニ受入登記ヲ爲

スコトヲ得

振替通知書又ハ場合ニ依リ振替日錄及送狀ハ之ヲ赤インキニテ訂正シ且訂正ノ通知ハVP第四號ノ書狀ニ依リ相手交換局ニ之ヲ爲ス

三　電信振替ニシテ振宛人ノ責ニ歸スベカラザル事由ニ因リ受入登記ヲ爲スコト能ハザルモノニ付テハ登記不能ノ事由ヲ記載シタル電信事務報ヲ拂出局ニ宛テ發送ス拂出振替局ハ事故ガ業務上ノ過誤ニ起因スルモノナルカ否ヲ審査シ業務上ノ過誤ニ起因スル場合ニ於テハ直ニ電信事務報ニ依リ之ヲ訂正シ然ラザル場合ニ於テハ拂出人ニ照會ノ後場合ニ依リ訂正ハ郵便ニ依リ之ヲ爲ス但シ拂出人ニ於テ之ガ訂正ヲ希望シ且其ノ費用ヲ支拂フベキ旨申出ヅルトキハ訂正ハ課金事務報ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

電信振替ニシテ事故ガ相當期間内ニ訂正セラレザルモノハ下記第百九條ニ定ムル規定ニ依リ之ヲ取消ス

第百七條　式紙ノ記載事項

振替業務ノ式紙ノ記入ハ「ラテン」文字及「アラビア」數字ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

謄寫用鉛筆又ハ普通ノ鉛筆ヲ以テスル記入ハ之ヲ許サズ但シ署名ハ謄寫用鉛筆ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得

第二章　諸種ノ手續

第百八條　振替ノ取消

一　振替請求ノ取消ノ請求ハ拂出口座ノ加入者ニ於テ書面ニ依リ之ヲ爲スコトヲ要ス拂出國郵政廳ハ其ノ責任ニ於テ請求ノ正當ナルコトヲ確メタル後左ノ手續ヲ爲ス

(イ)　請求ヲ郵便ニ依リ送達スベキトキハ拂出局ハ附錄VP第五號雛形ニ適合スル請求書ヲ作成シ之ヲ抹消シ該目錄ノ合計及關係送狀ノ合計ヨリ之ヲ抹消シ該目錄ノ居住地ヲ受持ツ振替局ヲ經テ口座ノ管理ヲ擔當スベキ郵政廳ニ之ヲ送付ス

二　右振替局ハ自局ヲ經テ爲サレタル請求ナルト又直接之ヲ受理シタル他國ノ郵政廳ヨリ自局ニ通報セラレタル請求ナルトヲ問ハズ自國ニ於テ郵便振替口座開設ニ付定ムル規定ニ依リ之ガ審査ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス同局ハ必要アル場合ニハ請求人ニ照會シタル後請求書ノ記載事項ノ誤謬ヲ訂正ス同局ハ附錄VP第九號雛形ニ適合スル證明書ニ正當ニ記入ヲ爲シ之ヲ該請求書ニ添附ス該證明書ノ内容ニ疑ナキ特殊ノ場合ニ於テハ同局ハ必要ニ應ジ說明書ヲ以テ該證明書ヲ補正ス

振替局ハ右書類ヲ自國ノ交換局ヲ經テ名宛國ノ振替交換局ニ送付ス證明書ニハ關與スル國ノ交換局ノ浮出印ヲ押捺シ送狀ノ證明ニ付資格ヲ有スル一名又ハ數名ノ吏員之ニ署名ス

最終規定

第百十六條　規則ノ實施及存續期間

本施行規則ハ郵便振替ニ關スル約定實施ノ日ヨリ之ヲ施行スベシ

本規則ハ關係締約郵政廳間ニ協議ヲ遂ゲ之ヲ改締スルニ非ザレバ右約定ト同一ノ存續期間ヲ有スベシ

千九百三十四年三月二十日「カイロ」ニ於テ之ヲ作成ス

「アルバニア」國
ベー、ナッス
猶逸國
カー、オルト
カー、チーグレル
ドクトル、ツェー、ゼーバス
「アルジェリー」
エー、ネグナン
希臘國
ヴェー、デンドラミス
ジ、ハ、ラクニダキス
「ホンデュラス」共和國
ドクトル、トクシメイ
「ハンガリー」國
シアルル、ド、フォルステール
伊太利國
ピエトロ、トスティ
ガルディ、ミケレ
伊太利國殖民地全體
クレティ、ドナート
日本國
關正雄
張間利泰
景山準吉
朝鮮
關正雄
川面隆三
其ノ他ノ日本國屬地全體
張間利泰
藤川洋
「ラトヴィア」國
エル、ルーレ
「リスアニア」國
「ルクセンブルグ」國
「モロッコ」國（西班牙地帶ヲ除ク）
アッシュ、デュティユ
「モロッコ」國（西班牙地帶）
アー、ラモス
「パラグアイ」國
エレモ、エレモ、トゥラ
和蘭國
ドインステー
「サウディ、アラビア」王國
ファウザン、エル・サベク
「アルゼンティン」共和國
エレモ、エレモ、トゥラ
埃地利國
ドクトル、ルドルフ、クーン
白耳義國
オー、シオッカールト
エー、モンス
「ボリヴィア」國
エルネスト、カセレス
エドムンド、デ、ラ、フエンテ代理エルネスト、カセレス
「キューバ」共和國
アルフレド、アッシール
丁抹國
ツェー、モンドルプ
アルネ、クロッグ
「ダンヂッヒ」自由市
エール、スタルジンスキー
「ドミニカ」共和國
ルイス、アレハンドロ、アギラール
西班牙國
アロンソ、カーロ
アー、ラモス
西班牙國殖民地全體
デメトリオ、ベレダ
「エストニア」國
ゲー、エー、エフ、アルブレヒト
「エティオピア」國
アラム、テー
佛蘭西國
エム、ルボン
エル、ジアントン
ベー、グランシモン
アー、カバンヌ
デュウセール
ファン、ゴール
蘭領印度
ベルク
プリル
ホーヘウォーニング
「ポーランド」國
エール、スタルジンスキー
「ポルトガル」國
アー、デ、クー、エレモ、ヴェース、ピントアー、セー、ピアンチ
西部「アフリカ」ノ「ポルトガル」國殖民地
エルネスト、ジュリオ、ナヴァロ
東部「アフリカ」、「アジア」及「オセアニア」ノ「ポルトガル」國殖民地
マリオ、コレーア、バラダ、ダ、クルス
「ルーマニア」國
イラリウ、マネアヌ
セー、ステファネスク
「サン、マリノ」共和國
クレティ、ドナート
「ザール」河地方
瑞典國
ーアンデルス、エルネ
グンナル、ラーゲル
アルヴィド、ビルト
瑞西聯邦
エル、ルーレ
「チエッコスロヴァキア」國
ワツラフ、グチェラ
ヨセフ、ラダ
「テュニス」國
アッシュ、デュティユ
「ヴァティカン」市
モンシニョーレ、ジゥゼッペ、マッツオリー
「ヴェネズエラ」合衆國
ルイス、アレハンドロ、アギラール
「ユーゴースラヴィア」王國
コスタ、ズラタノヴィッチ

求書ヲ作成シ之ヲ自國ノ關係交換局ニ送達ス該交換局ハ振宛國ノ媒介交換局ニ當ハ赤インキニテ之ヲ訂正ス該訂正ハ之ヲVP第四號ノ書狀ヲ以テ拂出交換局ニ通知シ該書狀ニハ處理不能ノ振替ニ關スル通知書ヲ添附ス

最初處理不能ト爲リタル振替請求ヲ再ビ振宛交換局ニ送達スルトキハ拂出交換局ハ新ナル請求トシテ之ヲ取扱フコトヲ要ス最初ノ目錄及送狀ノ關係記入事項ハ之ヲ取消シタル儘トス

尤モ締約國郵政廳ハ處理不能ノ振替ヲ振替目錄ニ拂出國郵政廳ノ代方トシテ記入シ又ハ他ノ方法ニ依リ計算スル爲協定スルコトヲ得場合ニ依リ換算ヲ普通ノ振替ノ如ク當日ノ相場ニテ之ヲ爲シ振替通知書ニハ說明書ヲ附ス

第百十條　取調請求書

振替請求ノ處理ニ關スル取調請求ニ付テハ拂出口座所管振替局ニ於テ附錄VP第七號雛形ニ適合スル式紙ヲ以テ請求書ノ作成ヲ爲ス該請求書ハ場合ニ依リ拂出國交換局及振宛國交換局ヲ經テ振宛口座所管振替局ニ之ヲ送達ス

第三章　計算

第百十一條　差引計算

日締差引計算書ハ附錄VP第八號雛形ニ適合スル式紙ヲ以テ之ヲ作成ス

右計算書ハ成ルベク速ニ相手郵政廳ニ之ヲ送達ス

第百十二條　差額ノ支拂

一　郵便振替ニ付支拂フベキ金額ハ仕越國ノ首府又ハ商業地宛ノ小切手又ハ一覽拂手形ヲ以テ該國ノ貨幣ニテ且同國ニ何等ノ損失ヲ與フルコトナク之ヲ決濟ス支拂ノ費用ハ借越郵政廳ノ負擔ニ屬ス

二　各郵政廳ハ普通ノ條件ニ依リ他ノ郵政廳ニ郵便振替口座ノ開設ヲ受ケ且口座ノ現在高ヨリ自廳ノ負擔ニ屬スル借越差額ヲ職權ヲ以テ拂出スベキコトヲ總括的ニ請求スルコトヲ得

第四章　諸種ノ規定

第百十三條　總理局及郵政廳ニ宛ツベキ通報

一　郵政廳ハ場合ニ依リ他ノ郵政廳ニ總理局ノ媒介ニ依リ電信振替ノ交換ニ參加スル旨ヲ通報スルコトヲ要ス

二　郵政廳ハ交換局使用ノ局印ノ印影ノ見本及各交換局ニ於テ送狀ニ署名スル資格ヲ有スル吏員ノ署名ノ見本ヲ業務上必要ナル部數直接相互ニ送付ス

爾後新署名ヲ通知シ又ハ既ニ通知シタル署名中或ルモノヲ變更スベキトキハ權限ヲ有スル吏員全部ノ署名ノ見本ヲ有スル新署名表ヲ相手郵政廳ニ送達スルコトヲ要ス但シ既ニ送付シタル署名中或ルモノヲ廢スルニ過ギザルトキハ現行ノ表ニ於テ單ニ之ヲ抹消セシメ同表ハ繼續シテ之ヲ使用セシム

三　特ニ請求アルトキハ郵政廳ハ自廳ニ於テ振替請求ニ付定メタル換算割合ヲ相互ニ通報ス

第百十四條　公衆用式紙

條約第三十一條第二項ノ規定ノ適用ニ付テハ左ノ式紙ハ之ヲ公衆用ノ式紙トスVP第一號（振替通知書）

第百一條ニ定ムル條件ニテ振替通知書トシテ利用スル內國業務ノ式紙ニハ右規定ヲ適用セズ

第百十五條　外國ノ郵便振替口座開設請求

一　外國ノ郵便振替口座開設ノ請求書ハ請求

（附式）

V P 第一號
（規則第百一條第一項）
（Règl., art. 101, § 1）

振替通知書
AVIS DE VIREMENT

（振充人ニ送付スベキモノ）
（*à transmettre au bénéficiaire*）

ハ第　　號口座ノ加入者
doivent être inscrits sur ordre du

titulaire du compte N°_____

ノ請求ニ因リ

au crédit du compte N°_____

第　　號口座ニ受入ソ記チ要シ候也

排出郵便振替局印
Timbre du bureau des chèques postaux d'origine

通信文ハ裏面
Communications au verso

（寸尺 74×105 ミリメートル）
（Dimensions : 74×105 mm.）

V P 第二號
（Règl., art. 102, § 1）

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

Bureau des chèques postaux
d_____

LISTE DE VIREMENTS N°_____

_____annexes
pour le bureau des chèques postaux d_____

N° d'ordre des virements 1	Bénéficiaire Compte 2	Bénéficiaire Nom et lieu du domicile 3	Tireur Compte 4	Montant 5
	N° à		N° à	
	N° à		N° à	
	N° à		N° à	
	N° à		N° à	
	N° à		N° à	
	N° à		N° à	
	N° à		N° à	
	N° à		N° à	
	N° à		N° à	
			TOTAL	

Timbre (en relief) du bureau des chèques postaux d'échange

（Dimensions : 176×250 ou 210×297 mm.）

V P 第三號
（Règl., art. 103, § 1）

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

Bureau des chèques postaux
d_____

LETTRE D'ENVOI N°_____

_____listes
Le bureau des chèques postaux d_____est prié de vouloir bien effectuer les virements figurant aux listes ci-jointes, lesquelles s'élèvent respectivement aux montants ci-après :

Numéro d'ordre des listes 1	Montant 2
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
Total	

Arrêté à la somme de

(*en toutes lettres*)

Timbre (en relief) du bureau des chèques postaux d'échange

dont l'Administration des postes d_____doit être débitée.
_____, le_____19_____

Signatures :

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第四號
（Règl., art. 106, § 1）

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

Bureau des chèques postaux
d_____

_____annexes

RECTIFICATION À LA LETTRE D'ENVOI N°_____

en date du_____du bureau des chèques postaux d_____
Le total de la lettre d'envoi ci-dessus désignée a dû être rectifié à _____
(*en toutes lettres*)

a) parce que $\frac{\text{le}}{\text{les}}$ virement—ci-après $\frac{\text{n'a}}{\text{n'ont}}$ pu être exécuté__ [1]).

N° de la liste 1	N° d'inscription sur la liste 2	Bénéficiaire Bureau des chèques et N° du compte 3	Bénéficiaire Nom et lieu du domicile 4	Tireur Bureau des chèques et N° du compte 5	Tireur Nom et lieu du domicile 6	Montant 7	Motif 8

b) pour la raison indiquée ci-après : [1])

Timbre (en relief) du bureau des chèques postaux d'échange

_____, le_____19_____

Signatures :

1) Biffer l'indication inutile.

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第五號
(Règl., art. 108, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

Bureau des chèques postaux
d_____

DEMANDE D'ANNULATION D'UN ORDRE DE VIREMENT

Demande par voie postale

Prière d'annuler le virement désigné ci-après et de nous renvoyer l'avis correspondant :

A remplir par le bureau des chèques postaux d'origine

Bureau des chèques postaux, N° du compte, nom et lieu de domicile du tireur :
_____

Montant : _____
(*en chiffres, en monnaie du pays de destination*)

Bureau des chèques postaux, N° du compte, nom et lieu de domicile du bénéficiaire :
_____

A remplir par le bureau des chèques postaux d'échange

L'avis de virement a été expédié le _____ 19____ par lettre d'envoi N°____ et inscrit dans la liste de virements N°____ sous le N° d'ordre____

Timbre du bureau des chèques postaux d'échange

Signature :
_____

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第六號
(Règl., art. 108, § 1)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

DEMANDE D'ANNULATION D'UN ORDRE DE VIREMENT

Demande par voie télégraphique

Annuler virement _____

_____
(*Bureau des chèques postaux, N° du compte, nom et lieu de domicile du tireur*)

_____
(*Montant en chiffres, en monnaie du pays de destination*)

_____
(*Bureau des chèques postaux, N° du compte nom et lieu de domicile du bénéficiaire*)

Chèques postaux
(*Sans signature*)

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第七號
(Règl., art. 110)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

Bureau des chèques postaux
d_____

RÉCLAMATION CONCERNANT UN ORDRE DE VIREMENT NON EXÉCUTÉ

A remplir par le bureau des chèques d'origine.

Nom, lieu de domicile et numéro du compte du tireur : _____
_____
Montant du virement : _____
(*en chiffres, en monnaie du pays de destination*)
Date du débit : _____ 19____
Nom, lieu de domicile et N° du compte du bénéficiaire : _____
_____
Bureau des chèques détenteur du compte courant à créditer : _____
_____

A remplir par le bureau des chèques d'origine.

Le virement désigné ci-dessus a été transmis le _____ 19____ au bureau d'échange d _____
(*voir bordereau N°*_____)
Signature :
_____

A remplir par le bureau d'échange de l'Administration d'origine.

Le virement désigné ci-dessus a été décrit sous le N° _____ de la liste N° _____ transmise le _____ 19____ au bureau d'échange d _____
Signature :
_____

A remplir par le bureau d'échange de l'Administration destinataire.

Le virement désigné ci-dessus a été transmis le _____ 19____ au bureau des chèques d _____
(*voir bordereau N°*_____)
Signature :
_____

A remplir par le bureau des chèques détenteur du compte à créditer.

Le virement désigné ci-dessus a été _____
_____
_____
Signature :
_____

(Dimensions : 148×210 mm.)

V P 第八號
(Règl., art. 111, 1er al.)

ADMINISTRATION DES POSTES
d_____

DÉCOMPTE

des listes de virements échangées le _____
entre _____

I. Récapitulation des virements

Virements :					
a) à destination d	1		Bureaux d'échange 2	*b*) en provenance d	3
Total I *a*				Total I *b*	

II. Calcul du cours moyen entre les cours de la bourse d _____ et celle d _____ de la veille (derniers cours notés)

Il a été noté pour des traites à courte échéance				Cours de parité 5	Cours de décompte 6
le 1	à la bourse 2	pour 100 3	pour 100 4		
__/__	d____ sur____	____,__	____,__	100= ____,__	100= ____,__
__/__	d____ sur____	____	____,__	100= ____,__	100= ____,__

III. Différence d'après I en convertissant la somme la plus faible dans la monnaie de la somme la plus forte suivant le cours de décompte II.

1		2	
Total I *a*		Total I *b*	
à déduire le total I *b*		à déduire le total I *a*	
Débit de l'Administration des postes d		Créance de l'Administration des postes d	

_____, le _____ 19____

Le décompte ci-dessus est reconnu exact et accepté :
_____, le _____ 19____

(Dimensions : 210×297 mm.)

V P 第九號 (Recto)
(Règl., art. 115, § 2)

ATTENTION! NE PAS FAIRE USAGE D'ABRÉVIATIONS, SAUF DANS LE CAS OÙ LE REQUÉRANT EN IMPOSERAIT UNE DANS LA DÉSIGNATION DE SON COMPTE.

ADMINISTRATION DES POSTES

d_____, le_____19_____

Bureau des chèques postaux

d_____

_____annexe_____

ATTESTATION

I. Désignation du compte courant demandé:

_____

_____

_____

Le requérant est [1] — Les requérants sont [1]

_____

_____

_____

Le requérant vient de s'installer [2] — est sous-locataire [2]

_____

[1]) Biffer les indication inutiles et désigner le ou les requérants d'une manière plus détaillée sur les lignes en pointillé, par exemple:
particulier, gens mariés,
établissement commercial ou industriel non inscrit au registre du commerce, société non commerciale non inscrite au registre des sociétés, firme enregistrée (en indiquant la nature de la firme, par exemple: société commerciale en nom collectif, société en commandite simple, société en commandite par actions, société anonyme par actions, société à responsabilité limitée, etc.) inscrite au registre du commerce, sous le N°.....—, société coopérative enregistrée—inscrite au registre des coopératives, sous le N°....., société non commerciale enregistrée, —inscrite au registre des sociétés non commerciales enregistrées, sous le N°..... —, administration, etc.

[2]) Biffer les indications inutiles.

(Dimensions: 210×297 mm.)

V P 第九號 (Verso)

II. Nom[1]) et désignatson détaillée des personnes[2]) qui sont fondées de représenter légalement le requérant d'après le registre du commerce, le registre des coopératives, le registre des sociétés non commerciales, d'après le contrat de société, d'après les statuts, etc.:

1°_____
2°_____
3°_____
4°_____
5°_____
6°_____
7°_____
8°_____
9°_____
10°_____

Les personnes indiquées sous les Nos_____[3]) peuvent signer seules.

Dans la procuration des personnes énumérées ci-dessus, figurent les restrictions suivantes [3]):

_____

_____

_____

III. La demande d'ouverture d'un compte courant postal à_____

_____

_____

a été vérifiée par nous conformément aux règlements qui sont en vigueur dans notre pays pour l'ouverture d'un compte courant postal.

Il ressort du résultat de cet examen que nous n'hésiterions pas, le cas échéant, à faire ouvrir dans notre service un compte courant en faveur du requérant sous la désignation indiquée ci-dessus [3]).

Un compte est déjà tenu chez nous sous cette désignation. Le requérant a le droit de signer; sa signature est conforme à celle que nous possédons ici[3]).

Timbre (en relief) du bureau des chèques postaux

Signatures du bureau des chèques poptaux:

1) Biffer les indications sous II, lorsque le requérant est un particulier.
2) Par exemple, titulaire, sociétaire fondé de pouvoir, gérant, porteur de procuration, porteur de procuration collective, directeur, membre du comité directeur, éditeur, etc.
3) Biffer les indications inutiles.

一　書狀	重量二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　四　錢
〔書狀郵便規則第二十五條ノ條件ヲ具備ス〕	重量百二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　三　錢
〔印刷ノ體ニ印刷書狀〕	
二　郵便葉書	二　錢
〔通常葉書〕	四　錢
〔往復葉書〕	四　錢
〔封緘葉書〕	
〔郵便規則第五十二條ノ條件ヲ具備ス〕	重量百二十グラム迄　五　厘
〔官報ノ體ニ新聞紙、通信及〕	毎百二十グラム超過スル六十グラム又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔第三種郵便物トシテ認可ヲ受ケタル〕	重量六十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔定期刊行物〕	
三　書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、雛圖	重量二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、雛圖〕	重量六百グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ一錢五厘
〔郵便規則第八十二條ノ條件ヲ具備ス〕	重量百二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ一錢五厘
〔盲人用點字ノ書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、雛圖〕	重量二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔商品ノ見本及雛形、標本、博物學上ノ標本、農產物種子〕	重量百二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　三　錢
四　商品ノ見本及雛形、標本、博物學上ノ標本、農產物種子	重量六百グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔郵便規則第八十二條ノ條件ヲ具備ス〕	重量百二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ一錢五厘
〔盲人用點字ノ印刷物、業務用書類、印刷物〕	重量二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔商品ノ見本及雛形、標本、博物學上ノ標本、農產物種子〕	重量百二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ一錢
〔郵便規則第五十二條ノ條件ヲ具備ス〕	重量二百二十グラム迄　五　厘
〔官報ノ體ニ新聞紙、通信及〕	毎百二十グラム超過スル六十グラム又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔第三種郵便物トシテ認可ヲ受ケタル〕	重量六十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔定期刊行物〕	
三　書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、雛圖	重量二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔書籍、印刷物、業務用書類、寫眞、雛圖〕	重量六百グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ一錢五厘
〔郵便規則第八十二條ノ條件ヲ具備ス〕	重量百二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ一錢五厘
〔盲人用點字ノ印刷物、業務用書類、印刷物〕	重量二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔商品ノ見本及雛形、標本、博物學上ノ標本、農產物種子〕	重量百二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　三　錢
四　商品ノ見本及雛形、標本、博物學上ノ標本、農產物種子	重量六百グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
〔郵便規則第五十二條ノ條件ヲ具備ス〕	重量百二十グラム迄　五　厘
〔官報ノ體ニ新聞紙、通信及〕	毎百二十グラム超過スル六十グラム又ハ其ノ端數毎ニ　五　厘
第十六條ノ三　外國（滿洲國及中華民國ノ除ク）宛通常郵便物ノ料金左ノ如シ	
一　書狀	重量二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　四　錢
〔書狀郵便規則第二十五條ノ條件ヲ具備ス〕	重量百二十グラム毎又ハ其ノ端數毎ニ　三　錢
〔印刷ノ體ニ印刷書狀〕	
二　郵便葉書	二　錢
〔通常葉書〕	四　錢
〔往復葉書〕	四　錢
〔封緘葉書〕	
〔郵便規則第五十二條ノ條件ヲ具備ス〕	重量

五　代金引換料
- 中華民國宛通常郵便物　八錢
- 及代金引換金額二圓毎又ハ其ノ端數毎ニ一錢
- 二十錢
- 及代金引換金額又ハ其ノ換算額二圓毎若ハ其ノ端數毎ニ一錢
- 其ノ他

六　價格表記料
- 通常郵便物
  - 中華民國宛ノモノハ表記金額百二十圓毎又ハ其ノ端數毎ニ　十錢
  - 其ノ他ノ外國宛ノモノハ表記金額三百「フラン」毎又ハ其ノ端數毎ニ　二十錢
- 小包郵便物　別ニ告示ス　十錢

七　價格表記小包郵便物發送料
- 外國ニ差立前　書留書狀第一通分ノ料金ニ相當スル金額　十錢
- 小包郵便物差出後　外國ニ差立後

八　課金別納料　小包郵便物ニ限ル

前項ノ代金引換料ニ關シ外國貨幣ヲ以テ表示シタル代金引換金額ヲ換算スルトキハ當日ノ外國郵便爲替ノ到著ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合ニ依ル

第三十二條　左記ノ郵便物ニ付テハ差出人ニ於テ各其ノ下記ノ指定ヲ名宛面ニ記載スヘシ　送狀アル小包郵便物ニ在リテハ送狀ニモ亦之ヲ記入スヘシ

一　書留郵便物　書留
二　到達證請求郵便物　到達證
三　配達證明郵便物　配達證明
四　航空郵便物　航空
五　別配達郵便物　別配達
六　引受時刻證明郵便物　引受時刻證明
七　代金引換郵便物　代金引換
八　價格表記郵便物　價格表記
九　開殼ヲ關セラルヘキ物品ヲ包有スル通常郵便物　課金別納　課稅品包有

差出人航空郵便物ニ付航空路ノ一部ヲシノ航空線送ヲ請求スルトキハ郵便物ノ名宛面ニ航空運送ヲ爲スヘキ區間ヲ記載スヘシ　滿洲國及中華民國宛代金引換郵便物ノ名宛面ニハ前二項ノ指定ノ外赤色ノ横線二條ヲ畫スヘシ　滿洲國宛代金引換郵便物ニ付差出人ノ郵便振替口座ニ取立金ノ振替拂込ヲ請求スルトキハ尚横線一條ヲ加ヘ「何番口座拂込ム」ト記載スヘシ

第二節　到達證、配達證明及跡取調

第三十三條　到達證ノ請求アル外國來郵便物ニ付テハ名宛人ニ於テ到達證ニ受領證印ヲ爲スヘシ　已ムコトヲ得サル事由ニ因リ名宛人ノ受領證印ヲ求ムルコト能ハサルトキハ配達郵便局其ノ配達ヲ證明ス

第三十三條ノ二　配達證明郵便物ニ付テハ郵便規則第百五十一條、第百五十二條及第百五十五條ノ規定ヲ準用ス

第三十四條　本邦發滿洲國以外ノ外國宛郵便物ノ差出人又ハ名宛人ハ郵便物差出後一年內ニ限リ其ノ跡跡取調ヲ請求スルコトヲ得

滿洲國以外ノ外國發本邦宛郵便物又ハ外國相互間發著郵便物（小包郵便物ヲ除ク）ニ付テハ名宛人ニ對スル跡取調ノ請求ハ郵便物ノ差出後一年內ニ關係取調ノ請求ハ差出人又ハ名宛人ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ス場合ニ於テ該郵便物ニ付引受ノ證トシテ受領證ヲ交付セラレタルモノナルトキハ其ノ受領證ヲ提出スヘシ

第三十五條　郵便物ノ跡跡取調ニ付郵便物ノ筒毎ニ要スル料金左ノ如シ但シ到達證ノ請求アリタルモノニ付テハ何等ノ料金ヲ徵收セス

通常郵便物	本邦ト中華民國トノ間ニ發著スルモノ　二十錢
	本邦中華民國トノ間ニ發著スルモノ　八錢
	聯合ノ約定及「ユニオン、ポスタール、ユニヴェルセール」社會主義共和國聯邦又ハ「アラヴィエト」國發ノモノ　二十五錢
	其ノ他ノ外國宛ノモノ　十錢
小包郵便物	和國聯邦、海峽殖民地又ハ香港トノ約定ニ依ルモノ　二十錢
	其ノ他ノ條約及約定ニ依ルモノ　十錢

第三十五條ノ二　書留若ハ價格表記通常郵便物（未知ト國トノ間ニ發著スルモノヲ除ク）又ハ聯合ノ約定加入國、中華民國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦發著小包郵便物ノ差出人又ハ名宛人ハ第三十四條ノ期間經過後ト雖モ郵便物ニ關スル單ナル通報ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ハ之ニ關スル照會カ郵便物差出後二年ノ內ニ關係郵政廳ニ到著スル見込アル期間內ニ限リ之ヲ受理ス

本條ノ請求ニ關スル手續及料金ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第三十五條ノ三　代金引換小包郵便物ニ對スル代金引換ノ爲替ノ取調請求ニ付テハ小包郵便物ノ跡跡取調ニ關スル前三條ノ規定ヲ準用ス

第二節ノ二　航空郵便

第三十五條ノ四　外國ノ航空郵便業務ニ依ル外國宛航空郵便物ノ名宛國及還送線路ハ之ヲ告示ス

第三十五條ノ五　本邦發料金不足ノ航空通常郵便物ニシテ其ノ既納料金額カ成規ノ航空料ニ達セサルモノニ付テハ航空取扱ヲ爲サス

第三十五條ノ六　外國小包郵便物ハ本邦及滿洲國間ニ發著スルモノヲ除クノ外航空郵便業務ニ依リ之ヲ遞送セス

第三十五條ノ七　書留又ハ價格表記ト爲サザル航空通常郵便物ハ之ヲ郵便函ニ差入ルルコトヲ得

第三十五條ノ八　航空郵便物ト雖航空郵便業務ニ依ルトキハ運送ト認ムル場合ハ之ニ依ラザルコトアルベシ

第三十五條ノ九　外國來航空郵便物ニシテ郵便區市內ニ宛テタルモノハ內國運送郵便ノ例ニ依リ之ヲ配達ス但シ重量二キログラムヲ超過スル郵便物ハ通常ノ方法ニ依リ之ヲ配達ス

代金引換又ハ稅付ノ外國來航空郵便物ニシテ郵便區市內ニ宛テタルモノニ付テハ其ノ到著通知書ヲ前項ノ方法ニ依リ配達ス

第三十五條ノ十　內國運送郵便ノ例ニ依リ配達セラルル航空郵便物又ハ到著通知書配達ノ際名宛人不在其ノ他ノ事由ニ因リ配達スルコト能ハザルトキハ其ノ旨ヲ記載セル書面ヲ交付シ名宛人ニ通知シ代金引換又ハ稅付ノ郵便物ノ到著通知書配達ノ際亦同ジ

第三十九條　外國來別配達郵便物ニ付テハ郵便物一筒毎ニ左ノ補充料ヲ名宛人ヨリ徵收ス但シ滿洲國來軍事郵便物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十八條　別配達郵便物ノ名宛國ハ之ヲ告示ス	
第三十七條　代金引換又ハ稅付ノ外國來別配達郵便物ニ付テハ特使ヲ以テ其ノ到著通知書ヲ配達ス	
第三十八條　別配達郵便物配達ノ際名宛人不在其ノ他ノ事由ニ因リ配達スルコト能ハザルトキハ通常ノ方法ニ依リ之ヲ配達ス爲メ別配達郵便物ノ到著通知書ヲ配達スル場合ニ限リ之ヲ別配達ス	
第三十九條　外國來別配達郵便物ニ付テハ郵便物一筒毎ニ左ノ補充料ヲ名宛人ヨリ徵收ス但シ滿洲國來軍事郵便物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス	二十五錢

二　小包郵便物

前項ノ場合ニ於テ配達料程ハ郵便局ノ定ムル所ニ依ル

第四節　引受時刻證明及內容證明

第四十條　引受時刻證明郵便物ニ付テハ郵便規則第百四十七條及第百四十八條ノ規定ヲ準用ス

第四十一條　內容證明郵便物ニ付テハ郵便規則第百五十六條及第百五十八條及第百六十條乃至第百六十七條ノ規定ヲ準用ス

第四十二條　削除

第五節　代金引換

第四十三條　代金引換郵便物ノ名宛國、代金引換金額ノ制限及表示貨幣竝ニ代金引換ノ取消又ハ代金引換金額ノ引下ニ關スル請求書ヲ宛ツヘキ外國官廳ハ之ヲ告示ス

第四十四條　削除

第四十五條　削除

第四十六條　外國宛代金引換郵便物ノ代金引換金額ニシテ帝國貨幣ヲ以テ表示スヘキモノニハ錢位未滿ノ端數ヲ外國貨幣ヲ以テ表示スヘキモノニハ當該表示貨幣ニ於ケル最低位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ス

第四十七條　外國來代金引換郵便物ニシテ外國貨幣ヲ以テ代金引換金額ヲ表示シタルモノニ付テハ郵便規則第百四十四條ノ規定ニ依リ外國郵便爲替ノ振出ニ適用スヘキ外國貨幣換算割合ニ依リ代金引換金額ヲ換算ス此ノ場合ニ於テ錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ切捨ツ

第四十八條　外國來代金引換郵便物ハ配達郵便局ニ留置若ハ其ノ到著ヲ名宛人ニ通知シ代金ト引換ニ之ヲ交付ス

前項ノ郵便物ノ留置期間ハ七日トス但シ稅付ノモノニ在リテハ稅金納付ノ期間ニ依ル

第四十九條　削除

第五十條　外國來代金引換郵便物ノ代金引換ノ取消又ハ代金引換金額ノ引下ニ關スル請求料金左ノ如シ

郵便物一筒ニ付	五錢
電信ニ依ル請求	十錢
取消ノ場合	五十錢
金額引下ノ場合	八十錢

一　外國ニ差立前ナルトキ

（イ）引受郵便局ニ於ケル郵便物發送前郵便物一筒毎ニ

（ロ）引受郵便局ニ於テ郵便物發送後

（郵便ニ依ル請求　郵便物一筒毎ニ
電信ニ依ル請求　電信ニ依ル請求）

二　外國ニ差立後ナルトキ

（イ）滿洲國宛郵便物

（郵便ニ依ル請求　前號（ロ）ノ郵便ニ依ル請求料金ニ相當スル金額
電信ニ依ル請求　前號（ロ）ノ電信ニ依ル請求料金ニ相當スル金額）

（ロ）其ノ他ノ外國宛郵便物

（郵便ニ依ル請求　郵便物一筒毎ニ書留狀第一通分ノ料金ニ相當スル金額
電信ニ依ル請求　電報料金ニ電報書留狀第一通分ノ料金ニ相當スル金額）

前項ノ請求ニシテ同一差出人ニ依リ同一名宛人ニ宛テ同一郵便局ニ同時ニ差出サレタル數個ノ郵便物ニ關スルモノニ付テハ單ニ一筒分ノ料金ヲ徵收スル但シ外國ニ差立後ニ於テ爲ス滿洲國以外ノ外國宛郵便物ニ關スル他國ニ移轉シタルトキハ尚代金引換ヲ爲ス他國ニ移轉シタルトキハ尚代金引換ヲ爲ス韓送ス

第五節ノ二　年賀郵便

第五十九條ノ二　削除

第五十九條ノ三　滿洲國及中華民國宛年賀郵便物ハ之ヲ年賀特別郵便ト爲スコトヲ得

前項ノ郵便物ニ付テハ郵便規則第二百十二條乃至第二百十四條ノ規定ヲ準用ス

第五十九條ノ四　集金郵便ニ關スル料金左ノ如シ

一　委託料	一口ニ付（證書一通又ハ證券）　六錢　十五錢
二　留置通知料	一口ニ付　四錢

第五十九條ノ五　集金郵便ノ委託者ハ集金郵便受託證ノ謄本ヲ委託郵便局ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ニ付テハ第六十九條ノ規定ヲ準用ス

第五十九條ノ六　集金郵便ニ付テハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外郵便規則第百七十六條、第百七十八條、第百八十條乃至第百八

十二條、第百八十五條及第百八十六條第二項ノ規定ヲ準用ス

第八節　本人票

第六十條　聯合ノ條約ニ依ル本人票ノ發行ニ關スル事務ヲ施行スル國ハ之ヲ告示ス

第六十一條　本人票ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ別ニ告示スル郵便局ニ出頭シ四十錢ヲ納付シテ之カ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求ヲ爲ストキハ最近撮影シタル名刺判寫眞二枚及戸籍抄本、寄留抄本若ハ在留證明書ヲ提出スヘシ但シ有效ナル本人票ヲ呈示シテ別ニ其ノ交付ヲ請求スルトキハ寫眞ヲ除クノ外之カ提出ヲ要セス

前項ノ規定ニ拘ラス請求者ハ郵便局ノ要求アルトキハ其ノ本人タルコトヲ證明スルニ足ルヘキ必要書類ヲ呈示スルコトヲ要ス

第六十二條　本人票ノ有效期間ハ引換ノ請求ヲ爲ストキハ前條ノ規定ヲ準用ス

前項ニ依リ交付シタル本人票ノ有效期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ起算シ三年トス

第六十三條　本人票ノ效力ハ付テハ郵便官署ノ認定スル所ニ依ル

第九節　締切豫告

第六十四條　常時外國郵便物ノ轉送及返送ニ關シテハ郵便規則第百二十八條乃至第百三十條ノ規定ヲ準用ス但シ同第百二十九條ノ期間ハ三十日トス

差出人カ郵便物ノ表記面及送狀アルモノニ在リテハ送狀ニ轉送ヲ禁スル旨ヲ記載シタル場合ハ該郵便物ハ之ヲ轉送セス

第七十八條　滿洲國トノ條約、聯合ノ約定又ハ中華民國、「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦、海峽殖民地若ハ香港トノ約定ニ依ル外國來小包郵便物ノ帝國內ノ他ノ郵便區內又ハ關東州ヘノ轉送又ハ返送ハ差出人又ハ名宛人ノ請求アル場合ニ限リ之ヲ取扱フ

前項ノ郵便物ニ付テハ場合ニ從ヒ郵便規則第六十六條ノ二、滿洲國及中華民國宛通常郵便物ハ之ヲ料金又ハ名宛人ニ於テ之ヲ受取ルコトヲ要ス但シ同一郵便區內ニ於ケル轉送又ハ返送ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

重量六キログラムヲ超過スル小包郵便物ニ付テハ前項ノ料金ハ超過重量一キログラムニ從ヒ內地發每ニ場合ニ從ヒ內地背留小包郵便料金ニ十二錢又ハ內地、朝鮮、臺灣、關東州、樺太及南洋群島相互間背留小包郵便料金ニ十三錢ヲ加ヘタル額ニ依ル

前二項ノ料金ニシテ未納ノモノハ小包郵便物ヲ外國ニ轉送又ハ返送スル場合ト雖之ヲ取消ササルモノトス

第七十八條ノ二　內閣小包郵便物ノ滿洲國ヘノ轉送又ハ返送ハ差出人又ハ名宛人ノ請求アル場合ニ限リ之ヲ取扱フ

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ第二十八條ノ二ニ定ムル事項ヲ關係郵便局所ニ通知スヘシ

第七十九條　外國來郵便物ニシテ名宛人ニ交付スルコト能ハサルモノハ外國ニ返送スルニ先ヲ其ノ名宛ヲ公示スル但シ公示スルモ交付ノ見込ナキモノハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ郵便物ニ付テハ郵便規則第七十九條乃至第八十三條乃至第九十八條ノ規定ヲ準用スル但シ滿洲國及中華民國以外ノ外國ニ宛テタルモノニ押捺スル印章ハ左記雛形ニ依ルヘシ

直徑凡三センチメートル

……郵便局
Bureau de Poste
……, Japon
料金徵收濟
Taxe perçue

第六十七條　外國郵便物ノ配達ニ關シテハ郵便規則第百六條乃至第百九條及第百十四條乃至第百十六條ノ規定ヲ準用ス

第六十八條　背留若ハ價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ノ受授ニ關シテハ郵便規則第百三十七條及第百四十號ノ規定ヲ準用ス但シ米國來背通小包郵便物ニシテ關稅又ハ內國稅ヲ課セラレサルモノノ交付ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條ノ二　米國トノ條約ニ依ル小包郵便物及別ニ告示スル諸國宛小包郵便物ニ付テハ差出ノ際該郵便物カ不能配達ト爲リタル場合ニ於ケル處分方ヲ關シ左ノ事項ヲ請求スルコトヲ得

一　小包ヲ他ノ名宛人ニ配達スルコト

二　小包ヲ拋棄シタルモノトシテ取扱フコト

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ郵便物ノ名宛面ニ其ノ小包ニ付テハ郵便物ノ名宛面及關係送狀ノ裏面ニ之ヲ記入スヘシ

「アラウィト」國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦宛小包郵便物ニ付テハ差出ノ際郵便物ノ名宛面及關係送狀ノ裏面ニ聯合ノ約定ノ規定ヲ準用スル所ニ從ヒ該郵便物カ不能配達ト爲リタル場合ニ於ケル處分方ヲ關シ左ノ事項ヲ請求スルコトヲ得

一　小包ヲ他ノ名宛人ニ配達スルコト

二　小包ヲ拋棄シタルモノトシテ取扱フコト

第六十九條　外國小包郵便物ノ滿洲國ヘノ轉送又ハ返送ハ差出人又ハ名宛人ノ請求アル場合ニ限リ之ヲ取扱フ

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ第二十八條ノ二ニ定ムル事項ヲ關係郵便局所ニ通知スヘシ

第七十條　外國來小包郵便物ニシテ名宛人ニ交付スルコト能ハサルモノハ外國ニ返送スル場合ト雖之ヲ轉送又ハ返送スル小包郵便物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ交付シタル本人票ノ有效期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ起算シ三年トス

第七十一條　本人票ノ效力ハ付テハ郵便官署ノ認定スル所ニ依ル

第十節　締切豫告

第七十二條　常時外國郵便物ノ轉送及返送ニ關シテハ郵便規則第百二十八條乃至第百三十條ノ規定ヲ準用ス但シ同第百二十九條ノ期間ハ三十日トス

差出人カ郵便物ノ表記面及送狀アルモノニ在リテハ送狀ニ轉送ヲ禁スル旨ヲ記載シタル場合ハ該郵便物ハ之ヲ轉送セス

第七十三條　滿洲國以外ノ外國來小包郵便物ニシテ留置ニ非サルモノノ保管料ニ付テハ郵便規則第百十九條ノ規定ヲ準用ス

第七十四條　外國宛郵便物ノ取戻又ハ名宛變更ニ關スル請求書ヲ以テ之ヲ告示ス

第七十五條　外國宛郵便物ノ取戻又ハ名宛變更ノ請求ハ料金左ノ如シ

一　外國ニ差立前ナルトキ	五錢
二　外國ニ差立後ナルトキ	
(イ)引受郵便局所ニ於テ郵便ニ依ル請求	十錢
(ロ)引受郵便局所ニ於テ取戻ノ場合	五十錢
ケル郵便物發送後 (ロ)電信ニ依ル請求	八十錢

第七十六條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第十一節　雜則

第七十七條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第七十八條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第七十九條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十一條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十二條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十三條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十四條　削除

第五章　通關

第八十五條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ第五十條第二項ノ規定ニ依リ受取人ニ通知シタル場合ニ於テ其ノ受取ノ申出ナキトキハ其ノ物品ハ之ヲ公賣ニ付シ其ノ賣得金ヲ以テ關稅、郵便料金及其ノ他ノ費用ニ充テ殘餘アルトキハ之ヲ受取人ニ交付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ公賣ニ付シタル場合ニ於テ關稅ノ額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ヲ徵收スヘシ

第八十六條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ郵便局ニ於テ關稅ヲ徵收スル場合ニ於テ關稅ノ額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ヲ徵收スヘシ

第八十七條　前條第二項ノ場合ニ於テ郵便物ノ評定價格ニ關シ稅關ニ異議ノ申立アリタル場合ニ於テ同時ニ其ノ申立ニ關係郵便局ニ屆出ツヘシ其ノ異議ノ判定アリタルトキハ直ニ其ノ背類ヲ該郵便局ニ呈示スヘシ關稅若ハ內國稅ノ賦課ニ關シ訴願ヲ提起シ又ハ內國稅ノ賦課ニ關シ行政訴訟ヲ提起シタルトキ及其ノ訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決アリタルトキ亦同シ

第八十七條　前條第二項ノ場合ニ於テ郵便物留置期間ノ經過ハ郵便局ヘノ申出ヨリ異議ノ判定ノ確定、訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決迄之ヲ停止ス但シ條約ニ留置期間ヲ定ムルモノニ付テハ其ノ最高限ヲ超ユルコトヲシテ關稅ノ賦課又ハ內國稅ヲ賦課セラレタル織物ノ評定價格ニ關シ稅關ニ異議ノ申立アリタル場合ニ於テ同時ニ其ノ申出ヲ關係郵便局ニ屆出ツヘシ其ノ異議ノ判定アリタルトキハ直ニ其ノ背類ヲ該郵便局ニ呈示スヘシ關稅若ハ內國稅ノ賦課ニ關シ訴願ヲ提起シ又ハ內國稅ノ賦課ニ關シ行政訴訟ヲ提起シタルトキ及其ノ訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決アリタルトキ亦同シ

第八十七條　前條第二項ノ場合ニ於テ郵便物留置期間ノ經過ハ郵便局ヘノ申出ヨリ異議ノ判定ノ確定、訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決迄之ヲ停止ス但シ條約ニ留置期間ヲ定ムルモノニ付テハ其ノ最高限ヲ超ユルコトヲシテ關稅又ハ內國稅ヲ賦課セラレタル織物ノ評定價格ニ關シ稅關ニ異議ノ申立アリタル場合ニ於テ同時ニ其ノ申出ヲ關係郵便局ニ屆出ツヘシ其ノ異議ノ判定アリタルトキハ直ニ其ノ背類ヲ該郵便局ニ呈示スヘシ關稅若ハ內國稅ノ賦課ニ關シ訴願ヲ提起シ又ハ內國稅ノ賦課ニ關シ行政訴訟ヲ提起シタルトキ及其ノ訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決アリタルトキ亦同シ

第八十八條　削除

第五章　通關

第八十九條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ郵便局ニ於テ關稅ヲ徵收スル場合ニ於テ關稅ノ額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ヲ徵收スヘシ

第九十條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ郵便局ニ於テ關稅ヲ徵收スル場合ニ於テ關稅ノ額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ヲ徵收スヘシ

第九十一條　價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ノ交付又ハ還付ノ際名宛人又ハ差出人ニ於テ郵便物ニ損害アリト申立ツルトキハ郵便局ニ於テ七日ノ期間內ニ申立人ヲシテ會ヒ立會ノ上其ノ物品ノ名稱、數量及實價竝請求金額ヲ記載シタル場合ニ於テ申立以後ニ於ケル當該郵便物ノ保管ニ付テハ第七十條ノ四及第七十三條ノ保管料ノ之ヲ徵收セス

第九十二條　前條ノ場合ニ於テ申立人立會ヲ爲ササルトキハ郵便物ハ其ノ申立人名宛人ナル場合ニハ配達シ能ハサルモノトシテ之ヲ取扱ヒ申立人差出人ナル場合ニハ還付シ能ハサルモノトシテ之ヲ取扱フ

第九十三條　書留通常郵便物ノ亡失又ハ價格表記通常郵便物若ハ小包郵便物ノ亡失若ハ毀損ニ關シ損害ノ賠償ヲ請求スル者差出人ナルトキハ引受郵便局所ニ又名宛人ナルトキハ配達郵便局ニ該郵便物ノ種別、番號、名宛人及差出人ノ居所氏名、差出月日、包有品ノ名稱、數量及實價竝請求金額ヲ記載シタル請求書ヲ差出スヘシ第九十一條ノ場合ニ於テ損害賠償ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ調書ヲ添附スルコトヲ要ス

外國宛代金引換郵便物ノ代金引換金額ノ全部若ハ一部ノ不取立又ハ集金郵便ニ關スル損害賠償ノ請求ニ付テハ前項ノ規定ヲ準用ス

第九十四條　代金引換郵便物ノ代金引換金額ノ不取立ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ其ノ實損額トス

第九十五條　損害賠償ノ責任及其ノ金額ハ還信ノ有無ニ於テ之ヲ審査シ其ノ決定ヲ請求人ニ通知ス

第九十二條　第九十一條ノ場合ニ依リ郵便物ヲ外國ニ返送スル場合ニ於テ其ノ郵便物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

トヲ得

前項ノ郵便物ニ付テハ郵便規則第七十九條乃至第八十一條及第八十三條乃至第九十八條ノ規定ヲ準用スル但シ滿洲國及中華民國以外ノ外國ニ宛テタルモノニ押捺スル印章ハ左記雛形ニ依ルヘシ

直徑凡三センチメートル

……郵便局
Bureau de Poste
……, Japon
料金徵收濟
Taxe perçue

第六十七條　外國郵便物ノ配達ニ關シテハ郵便規則第百六條乃至第百九條及第百十四條乃至第百十六條ノ規定ヲ準用ス

第六十八條　背留若ハ價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ノ受授ニ關シテハ郵便規則第百三十七條及第百四十號ノ規定ヲ準用ス但シ米國來背通小包郵便物ニシテ關稅又ハ內國稅ヲ課セラレサルモノノ交付ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第六十八條ノ二　米國トノ條約ニ依ル小包郵便物及別ニ告示スル諸國宛小包郵便物ニ付テハ差出ノ際該郵便物カ不能配達ト爲リタル場合ニ於ケル處分方ヲ關シ左ノ事項ヲ請求スルコトヲ得

一　小包ヲ他ノ名宛人ニ配達スルコト

二　小包ヲ拋棄シタルモノトシテ取扱フコト

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ郵便物ノ名宛面ニ其ノ小包ニ付テハ郵便物ノ名宛面及關係送狀ノ裏面ニ之ヲ記入スヘシ

「アラウィト」國及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦宛小包郵便物ニ付テハ差出ノ際郵便物ノ名宛面及關係送狀ノ裏面ニ聯合ノ約定ノ規定ヲ準用スル所ニ從ヒ該郵便物カ不能配達ト爲リタル場合ニ於ケル處分方ヲ關シ左ノ事項ヲ請求スルコトヲ得

一　小包ヲ他ノ名宛人ニ配達スルコト

二　小包ヲ拋棄シタルモノトシテ取扱フコト

第六十九條　外國小包郵便物ノ滿洲國ヘノ轉送又ハ返送ハ差出人又ハ名宛人ノ請求アル場合ニ限リ之ヲ取扱フ

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ第二十八條ノ二ニ定ムル事項ヲ關係郵便局所ニ通知スヘシ

第七十條　郵便私書函使用ノ承認ヲ受ケタル者ニ宛テタル外國郵便物ニ付テハ郵便規則第百十九條ノ規定ヲ準用ス

第七十條ノ二　外國郵便物ハ別ニ告示スル場合ヲ除クノ外之ヲ留置トセサルコトヲ得

留置郵便物ハ郵便局ニ留置キ名宛人ノ出頭ヲ待チテ之ヲ交付ス

外國宛留置郵便物ニハ其ノ名宛面ニ差出人ニ於テ「留置」ト記載スヘシ送狀アル小包郵便物ニ在リテハ送狀ニモ亦之ヲ記載スヘシ

第七十條ノ三　外國來留置郵便物ノ留置期間ハ三十日トス但シ艦船乘組員、旅行者等ニシテ郵便物ヲ自營ニ受取ルコト能ハサルトキハ票札ニ記載シテ之ヲ郵便物ニ結附スヘシ

第六十九條　外國宛背留若ハ價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ノ差出人ハ該郵便物塞ノ際又ハ差出後二年內ニ於テ其ノ受領證ノ謄本ヲ引受郵便局所ニ請求スルコトヲ得

但シ差出後ノ請求ニ付テハ該郵便物ノ受領證ヲ呈示シ又ハ受領證ヲ呈示シ他ハサルトキハ差出人ニ於テ當該郵便物差出ノ事實ヲ證明スヘシ

前項ノ請求ヲ爲スコトヲ要ス受領證ヲ呈示シ又ハ受領證ヲ呈示スルコトヲ要セス

第七十一條　削除

第七十二條　削除

第七十三條　滿洲國以外ノ外國來小包郵便物ニシテ留置ニ非サルモノノ保管料ニ付テハ第七十條ノ四ノ規定ヲ準用ス

第七十條ノ四ノ規定ニ依リ起算シ七日留置郵便物ハ郵便局ニ留置キ名宛人ノ出頭ヲ待チテ之ヲ交付ス

第七十四條　外國宛郵便物ノ取戻又ハ名宛變更ニ關スル請求書ヲ以テ之ヲ告示ス

第七十五條　外國宛郵便物ノ取戻又ハ名宛變更ノ請求ハ料金左ノ如シ

一　外國ニ差立前ナルトキ	五錢
二　外國ニ差立後ナルトキ	
(イ)引受郵便局所ニ於テ郵便ニ依ル請求	十錢
(ロ)引受郵便局所ニ於テ取戻ノ場合	五十錢
ケル郵便物發送後 (ロ)電信ニ依ル請求	八十錢

第七十六條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第十一節　雜則

第七十七條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第七十八條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第七十九條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十一條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十二條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十三條　郵便ニ關スル諸般ノ事項ニ付テハ郵便規則ニ定ムルモノノ外本節ニ定ムル所ニ依ル

第八十四條　削除

第五章　通關

第八十五條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ第五十條第二項ノ規定ニ依リ受取人ニ通知シタル場合ニ於テ其ノ受取ノ申出ナキトキハ其ノ物品ハ之ヲ公賣ニ付シ其ノ賣得金ヲ以テ關稅、郵便料金及其ノ他ノ費用ニ充テ殘餘アルトキハ之ヲ受取人ニ交付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ公賣ニ付シタル場合ニ於テ關稅ノ額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ヲ徵收スヘシ

第八十六條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ郵便局ニ於テ關稅ヲ徵收スル場合ニ於テ關稅ノ額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ヲ徵收スヘシ

第八十七條　前條第二項ノ場合ニ於テ郵便物ノ評定價格ニ關シ稅關ニ異議ノ申立アリタル場合ニ於テ同時ニ其ノ申出ヲ關係郵便局ニ屆出ツヘシ其ノ異議ノ判定アリタルトキハ直ニ其ノ背類ヲ該郵便局ニ呈示スヘシ關稅若ハ內國稅ノ賦課ニ關シ訴願ヲ提起シ又ハ內國稅ノ賦課ニ關シ行政訴訟ヲ提起シタルトキ及其ノ訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決アリタルトキ亦同シ

第八十七條　前條第二項ノ場合ニ於テ郵便物留置期間ノ經過ハ郵便局ヘノ申出ヨリ異議ノ判定ノ確定、訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決迄之ヲ停止ス但シ條約ニ留置期間ヲ定ムルモノニ付テハ其ノ最高限ヲ超ユルコトヲシテ關稅又ハ內國稅ヲ賦課セラレタル織物ノ評定價格ニ關シ稅關ニ異議ノ申立アリタル場合ニ於テ同時ニ其ノ申出ヲ關係郵便局ニ屆出ツヘシ其ノ異議ノ判定アリタルトキハ直ニ其ノ背類ヲ該郵便局ニ呈示スヘシ關稅若ハ內國稅ノ賦課ニ關シ訴願ヲ提起シ又ハ內國稅ノ賦課ニ關シ行政訴訟ヲ提起シタルトキ及其ノ訴願ノ裁決又ハ訴訟ノ判決アリタルトキ亦同シ

第八十八條　削除

第五章　通關

第八十九條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ郵便局ニ於テ關稅ヲ徵收スル場合ニ於テ關稅ノ額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ヲ徵收スヘシ

第九十條　滿洲國以外ノ外國來小形包裝物、價格表記箱物及小包郵便物ニ付テハ郵便局ニ於テ關稅ヲ徵收スル場合ニ於テ關稅ノ額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ヲ徵收スヘシ

第九十一條　價格表記通常郵便物又ハ小包郵便物ノ交付又ハ還付ノ際名宛人又ハ差出人ニ於テ郵便物ニ損害アリト申立ツルトキハ郵便局ニ於テ七日ノ期間內ニ申立人ヲシテ會ヒ立會ノ上其ノ物品ノ名稱、數量及實價竝請求金額ヲ記載シタル場合ニ於テ申立以後ニ於ケル當該郵便物ノ保管ニ付テハ第七十條ノ四及第七十三條ノ保管料ノ之ヲ徵收セス

第九十二條　前條ノ場合ニ於テ申立人立會ヲ爲ササルトキハ郵便物ハ其ノ申立人名宛人ナル場合ニハ配達シ能ハサルモノトシテ之ヲ取扱ヒ申立人差出人ナル場合ニハ還付シ能ハサルモノトシテ之ヲ取扱フ

第九十三條　書留通常郵便物ノ亡失又ハ價格表記通常郵便物若ハ小包郵便物ノ亡失若ハ毀損ニ關シ損害ノ賠償ヲ請求スル者差出人ナルトキハ引受郵便局所ニ又名宛人ナルトキハ配達郵便局ニ該郵便物ノ種別、番號、名宛人及差出人ノ居所氏名、差出月日、包有品ノ名稱、數量及實價竝請求金額ヲ記載シタル請求書ヲ差出スヘシ第九十一條ノ場合ニ於テ損害賠償ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ調書ヲ添附スルコトヲ要ス

外國宛代金引換郵便物ノ代金引換金額ノ全部若ハ一部ノ不取立ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ其ノ實損額トス

第九十四條　代金引換郵便物ノ代金引換金額ノ不取立ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ其ノ實損額トス

第九十五條　損害賠償ノ責任及其ノ金額ハ還信ノ有無ニ於テ之ヲ審査シ其ノ決定ヲ請求人ニ通知ス

第九十二條　第九十一條ノ場合ニ依リ郵便物ヲ外國ニ返送スル場合ニ於テ其ノ郵便物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

場合ニ於テ損害賠償ノ請求ニ對シ決定ヲ與ヘタルトキ又ハ損害賠償ノ請求ヲ爲シタル者其ノ請求ヲ取消シタルトキハ郵便物ハ之ヲ請求人ニ交付ス

第九十六條　米國若ハ「メキシコ」國トノ條約又ハ滿洲聯邦若ハ「カナダ」トノ約定ニ依リ小包郵便物ニシテ帝國ニ於テ引受ケタルモノヲ帝國郵便業務中ニ於テ亡失又ハ毀損セシメタル場合ノ賠償責任及其ノ金額ニ付テハ內國特別小包郵便物ニ關スル規定ヲ準用ス

第九十七條　削除

附　則

第九十八條　本令ハ大正十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ引受ケタル郵便物ノ取扱ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

（大正十四年三月遞令第十五號ハ大正十四年四月一日ヨリ施行）

（大正十四年三月遞令第十六號ハ大正十四年四月一日ヨリ施行）

（大正十四年六月遞令第四十號ハ大正十四年七月一日ヨリ施行）

附　則（大正十四年九月遞令第六十四號）

本令ハ大正十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十五年一月遞令第一號）

本令ハ大正十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十五年四月遞令第二十六號）

本令ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十五年七月遞令第四十三號）

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十五年十二月遞令第六十一號）

本令ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和二年二月遞令第五號）

本令ハ昭和二年二月遞令第五號）

附　則（昭和二年十二月遞令第六十一號）

本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四年六月遞令第二十六號ハ昭和四年六月二十一日ヨリ施行）

（昭和四年十一月遞令第四十四號ハ昭和四年十一月十日ヨリ施行）

（昭和四年十一月遞令第四十九號ハ昭和四年十二月一日ヨリ施行）

附　則（昭和五年六月遞令第二十七號）

本令ハ昭和五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年七月遞令第二十八號）

本令ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和七年八月遞令第二十八號ハ昭和七年八月二十三日ヨリ施行）

（昭和七年十一月遞令第四十七號ハ昭和七年十一月三日ヨリ施行）

（昭和八年十月遞令第四十三號ハ昭和八年十一月一日ヨリ施行）

（昭和八年十二月遞令第五十二號ハ昭和九年一月一日ヨリ施行）

附　則（昭和九年十二月遞令第七十五號）

本令ハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十年十月遞令第三十三號ハ昭和十年十月八日ヨリ施行）

附　則（昭和十一年一月遞令第四號）

本令ハ昭和十一年一月二十六日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年二月遞令第五號）

本令ハ公布ノ日ヨリ施行ス

當分ノ內從前ノ國際返信切手券ノ券面ノ價額ヲ三十五錢ニ改訂シ之ヲ資捌ク

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

當分ノ內從前ノ日滿返信切手券ノ券面ノ價額ヲ五錢ニ改訂シ之ヲ資捌ク

附　則（昭和十二年八月遞令第五十七號）

本令ハ昭和十二年八月十六日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年十一月遞令第百三號）

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年四月遞令第三十七號）

●課金別納外國郵便物引受郵便局

大正十一年一月
總省第十六號
改正　昭和五年七第二八號

課金別納外國郵便物ハ左記郵便局ニ限リ之カ引受ヲ爲ス

京城郵便局　大邱郵便局　釜山郵便局
仁川郵便局　平壤郵便局　元山郵便局
清津郵便局

●外國小包郵便ニ關スル料金

昭和七年八月
總省第四百四十九號
改正　昭和九年一二第六五一號一二年四第二三七號一二年一二第九二六號

外國小包郵便ニ關スル料金ハ昭和五年遞信省告示第千六百六十九號ニ依ルノ外聯合ノ約定、香港トノ約定、海峽殖民地トノ約定及「ソヴィエト」社會主義共和國聯邦トノ約定ニ依ル小包郵便物ニシテ內地經由遞送ヲ要スルモノニ付テハ昭和七年八月二十三日ヨリ郵便物一箇毎ニ左ノ郵便料及價格表記ノモノニ在リテハ價格表記料ヲ加徵ス

昭和二年朝鮮總督府告示第四百九十四號ハ昭和七年八月二十二日限リ之ヲ廢止ス

一　郵便料

聯合ノ約定ニ依ル小包郵便物

一キログラム迄ノモノ　五十二錢
一キログラム超五キログラム迄ノモノ　八十錢
五キログラム超ニ香港トノ約定ニ依ル小包郵便物
一キログラム迄ノモノ　八十四錢
一キログラム超五キログラム迄ノモノ　一圓
二　價格表記料
表記金額三百「フラン」迄毎ニ十二錢
（昭和九年十二月遞省告第六百五十一號ハ昭和十年一月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十二月遞省告第九百二十六號ハ昭和十三年一月一日ヨリ施行）

●日滿兩國間ノ郵便物、郵便爲替及電報ノ取扱ニ關スル件

昭和七年九月
遞令第三十四號

本邦ト中華民國トノ間ニ發著スル郵便物、郵便爲替及電報ノ取扱ニ關スル省令及告示中「中華民國」トアルハ「滿洲國」ニ適用シ得ヘキ限リ之ヲ「中華民國、滿洲國」ニ改ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定

昭和十年十二月一日遞省告第四十三號

昭和十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十一年一月遞省告第四十六號）

（昭和十一年三月遞省告第百四十九號）

（昭和十一年四月遞省告第百七十一號）

（昭和十一年六月遞省告第二百十一號）

（昭和十一年十一月遞省告第二百四十一號）

（昭和十二年一月遞省告第二百四十二號）

（昭和十二年二月遞省告第二百四十三號）

（昭和十二年三月遞省告第二百四十四號）

（昭和十二年四月遞省告第二百四十五號）

（昭和十二年五月遞省告第二百四十六號）

（昭和十二年六月遞省告第二百四十七號）

（昭和十二年七月遞省告第二百四十八號）

（昭和十二年八月遞省告第二百四十九號）

（昭和十二年九月遞省告第二百五十號）

（昭和十二年十月遞省告第二百五十一號）

（昭和十二年十一月遞省告第二百五十二號）

（昭和十二年十二月遞省告第二百五十三號）

（昭和十三年一月遞省告第二百五十四號）

（昭和十三年二月遞省告第二百五十五號）

（昭和十三年三月遞省告第二百五十六號）

（昭和十三年四月遞省告第二百五十七號）

（昭和十三年五月遞省告第二百五十八號）

（昭和十三年六月遞省告第二百五十九號）

（昭和十三年七月遞省告第二百六十號）

（昭和十三年八月遞省告第二百六十一號）

（昭和十三年九月遞省告第二百六十二號）

（昭和十三年十月遞省告第二百六十三號）

（昭和十三年十一月遞省告第二百六十四號）

（昭和十三年十二月遞省告第二百六十五號）

（昭和十四年一月遞省告第二百六十六號）

（昭和十四年二月遞省告第二百六十七號）

（昭和十四年三月遞省告第二百六十八號）

（昭和十四年四月遞省告第二百六十九號）

（昭和十四年五月遞省告第二百七十號）

（昭和十四年六月遞省告第二百七十一號）

（昭和十四年七月遞省告第二百七十二號）

（昭和十四年八月遞省告第二百七十三號）

（昭和十四年九月遞省告第二百七十四號）

（昭和十四年十月遞省告第二百七十五號）

（昭和十四年十一月遞省告第二百七十六號）

（昭和十四年十二月遞省告第二百七十七號）

（昭和十五年一月遞省告第二百七十八號）

（昭和十五年二月遞省告第二百七十九號）

（昭和十五年三月遞省告第二百八十號）

（昭和十五年四月遞省告第二百八十一號）

（昭和十五年五月遞省告第二百八十二號）

（昭和十五年六月遞省告第二百八十三號）

（昭和十五年七月遞省告第二百八十四號）

（昭和十五年八月遞省告第二百八十五號）

（昭和十五年九月遞省告第二百八十六號）

（昭和十五年十月遞省告第二百八十七號）

（昭和十五年十一月遞省告第二百八十八號）

（昭和十五年十二月遞省告第二百八十九號）

（昭和十六年一月遞省告第二百九十號）

（昭和十六年二月遞省告第二百九十一號）

（昭和十六年三月遞省告第二百九十二號）

（昭和十六年四月遞省告第二百九十三號）

（昭和十六年五月遞省告第二百九十四號）

（昭和十六年六月遞省告第二百九十五號）

（昭和十六年七月遞省告第二百九十六號）

（昭和十六年八月遞省告第二百九十七號）

（昭和十六年九月遞省告第二百九十八號）

（昭和十六年十月遞省告第二百九十九號）

（昭和十六年十一月遞省告第三百號）

（昭和十六年十二月遞省告第三百一號）

（昭和十七年一月遞省告第三百二號）

（昭和十七年二月遞省告第三百三號）

（昭和十七年三月遞省告第三百四號）

（昭和十七年四月遞省告第三百五號）

（昭和十七年五月遞省告第三百六號）

（昭和十七年六月遞省告第三百七號）

（昭和十七年七月遞省告第三百八號）

（昭和十七年八月遞省告第三百九號）

（昭和十七年九月遞省告第三百十號）

（昭和十七年十月遞省告第三百十一號）

（昭和十七年十一月遞省告第三百十二號）

（昭和十七年十二月遞省告第三百十三號）

（昭和十八年一月遞省告第三百十四號）

（昭和十八年二月遞省告第三百十五號）

（昭和十八年三月遞省告第三百十六號）

（昭和十八年四月遞省告第三百十七號）

（昭和十八年五月遞省告第三百十八號）

（昭和十八年六月遞省告第三百十九號）

（昭和十八年七月遞省告第三百二十號）

（昭和十八年八月遞省告第三百二十一號）

（昭和十八年九月遞省告第三百二十二號）

（昭和十八年十月遞省告第三百二十三號）

（昭和十八年十一月遞省告第三百二十四號）

（昭和十八年十二月遞省告第三百二十五號）

（昭和十九年一月遞省告第三百二十六號）

（昭和十九年二月遞省告第三百二十七號）

（昭和十九年三月遞省告第三百二十八號）

（昭和十九年四月遞省告第三百二十九號）

（昭和十九年五月遞省告第三百三十號）

（昭和十九年六月遞省告第三百三十一號）

（昭和十九年七月遞省告第三百三十二號）

（昭和十九年八月遞省告第三百三十三號）

（昭和十九年九月遞省告第三百三十四號）

（昭和十九年十月遞省告第三百三十五號）

（昭和十九年十一月遞省告第三百三十六號）

（昭和十九年十二月遞省告第三百三十七號）

（昭和二十年一月遞省告第三百三十八號）

（昭和二十年二月遞省告第三百三十九號）

（昭和二十年三月遞省告第三百四十號）

（昭和二十年四月遞省告第三百四十一號）

（昭和二十年五月遞省告第三百四十二號）

（昭和二十年六月遞省告第三百四十三號）

（昭和二十年七月遞省告第三百四十四號）

（昭和二十年八月遞省告第三百四十五號）

（昭和二十年九月遞省告第三百四十六號）

（昭和二十年十月遞省告第三百四十七號）

（昭和二十年十一月遞省告第三百四十八號）

（昭和二十年十二月遞省告第三百四十九號）

（昭和二十一年一月遞省告第三百五十號）

（昭和二十一年二月遞省告第三百五十一號）

（昭和二十一年三月遞省告第三百五十二號）

（昭和二十一年四月遞省告第三百五十三號）

（昭和二十一年五月遞省告第三百五十四號）

（昭和二十一年六月遞省告第三百五十五號）

（昭和二十一年七月遞省告第三百五十六號）

（昭和二十一年八月遞省告第三百五十七號）

（昭和二十一年九月遞省告第三百五十八號）

（昭和二十一年十月遞省告第三百五十九號）

（昭和二十一年十一月遞省告第三百六十號）

（昭和二十一年十二月遞省告第三百六十一號）

（昭和二十二年一月遞省告第三百六十二號）

（昭和二十二年二月遞省告第三百六十三號）

（昭和二十二年三月遞省告第三百六十四號）

（昭和二十二年四月遞省告第三百六十五號）

（昭和二十二年五月遞省告第三百六十六號）

（昭和二十二年六月遞省告第三百六十七號）

（昭和二十二年七月遞省告第三百六十八號）

（昭和二十二年八月遞省告第三百六十九號）

（昭和二十二年九月遞省告第三百七十號）

（昭和二十二年十月遞省告第三百七十一號）

（昭和二十二年十一月遞省告第三百七十二號）

（昭和二十二年十二月遞省告第三百七十三號）

（昭和二十三年一月遞省告第三百七十四號）

（昭和二十三年二月遞省告第三百七十五號）

（昭和二十三年三月遞省告第三百七十六號）

（昭和二十三年四月遞省告第三百七十七號）

（昭和二十三年五月遞省告第三百七十八號）

（昭和二十三年六月遞省告第三百七十九號）

（昭和二十三年七月遞省告第三百八十號）

（昭和二十三年八月遞省告第三百八十一號）

（昭和二十三年九月遞省告第三百八十二號）

（昭和二十三年十月遞省告第三百八十三號）

（昭和二十三年十一月遞省告第三百八十四號）

（昭和二十三年十二月遞省告第三百八十五號）

（昭和二十四年一月遞省告第三百八十六號）

（昭和二十四年二月遞省告第三百八十七號）

（昭和二十四年三月遞省告第三百八十八號）

（昭和二十四年四月遞省告第三百八十九號）

（昭和二十四年五月遞省告第三百九十號）

（昭和二十四年六月遞省告第三百九十一號）

（昭和二十四年七月遞省告第三百九十二號）

（昭和二十四年八月遞省告第三百九十三號）

（昭和二十四年九月遞省告第三百九十四號）

（昭和二十四年十月遞省告第三百九十五號）

（昭和二十四年十一月遞省告第三百九十六號）

（昭和二十四年十二月遞省告第三百九十七號）

（昭和二十五年一月遞省告第三百九十八號）

（昭和二十五年二月遞省告第三百九十九號）

（昭和二十五年三月遞省告第四百號）

（昭和二十五年四月遞省告第四百一號）

（昭和二十五年五月遞省告第四百二號）

（昭和二十五年六月遞省告第四百三號）

（昭和二十五年七月遞省告第四百四號）

（昭和二十五年八月遞省告第四百五號）

（昭和二十五年九月遞省告第四百六號）

（昭和二十五年十月遞省告第四百七號）

（昭和二十五年十一月遞省告第四百八號）

（昭和二十五年十二月遞省告第四百九號）

（昭和二十六年一月遞省告第四百十號）

（昭和二十六年二月遞省告第四百十一號）

（昭和二十六年三月遞省告第四百十二號）

（昭和二十六年四月遞省告第四百十三號）

（昭和二十六年五月遞省告第四百十四號）

（昭和二十六年六月遞省告第四百十五號）

（昭和二十六年七月遞省告第四百十六號）

（昭和二十六年八月遞省告第四百十七號）

（昭和二十六年九月遞省告第四百十八號）

（昭和二十六年十月遞省告第四百十九號）

（昭和二十六年十一月遞省告第四百二十號）

（昭和二十六年十二月遞省告第四百二十一號）

（昭和二十七年一月遞省告第四百二十二號）

（昭和二十七年二月遞省告第四百二十三號）

（昭和二十七年三月遞省告第四百二十四號）

（昭和二十七年四月遞省告第四百二十五號）

（昭和二十七年五月遞省告第四百二十六號）

（昭和二十七年六月遞省告第四百二十七號）

（昭和二十七年七月遞省告第四百二十八號）

（昭和二十七年八月遞省告第四百二十九號）

（昭和二十七年九月遞省告第四百三十號）

（昭和二十七年十月遞省告第四百三十一號）

（昭和二十七年十一月遞省告第四百三十二號）

（昭和二十七年十二月遞省告第四百三十三號）

（昭和二十八年一月遞省告第四百三十四號）

（昭和二十八年二月遞省告第四百三十五號）

（昭和二十八年三月遞省告第四百三十六號）

（昭和二十八年四月遞省告第四百三十七號）

（昭和二十八年五月遞省告第四百三十八號）

（昭和二十八年六月遞省告第四百三十九號）

（昭和二十八年七月遞省告第四百四十號）

（昭和二十八年八月遞省告第四百四十一號）

（昭和二十八年九月遞省告第四百四十二號）

（昭和二十八年十月遞省告第四百四十三號）

（昭和二十八年十一月遞省告第四百四十四號）

（昭和二十八年十二月遞省告第四百四十五號）

（昭和二十九年一月遞省告第四百四十六號）

（昭和二十九年二月遞省告第四百四十七號）

（昭和二十九年三月遞省告第四百四十八號）

（昭和二十九年四月遞省告第四百四十九號）

（昭和二十九年五月遞省告第四百五十號）

（昭和二十九年六月遞省告第四百五十一號）

（昭和二十九年七月遞省告第四百五十二號）

（昭和二十九年八月遞省告第四百五十三號）

（昭和二十九年九月遞省告第四百五十四號）

（昭和二十九年十月遞省告第四百五十五號）

（昭和二十九年十一月遞省告第四百五十六號）

（昭和二十九年十二月遞省告第四百五十七號）

（昭和三十年一月遞省告第四百五十八號）

（昭和三十年二月遞省告第四百五十九號）

（昭和三十年三月遞省告第四百六十號）

（昭和三十年四月遞省告第四百六十一號）

（昭和三十年五月遞省告第四百六十二號）

（昭和三十年六月遞省告第四百六十三號）

（昭和三十年七月遞省告第四百六十四號）

（昭和三十年八月遞省告第四百六十五號）

（昭和三十年九月遞省告第四百六十六號）

（昭和三十年十月遞省告第四百六十七號）

（昭和三十年十一月遞省告第四百六十八號）

（昭和三十年十二月遞省告第四百六十九號）

（昭和三十一年一月遞省告第四百七十號）

（昭和三十一年二月遞省告第四百七十一號）

（昭和三十一年三月遞省告第四百七十二號）

（昭和三十一年四月遞省告第四百七十三號）

（昭和三十一年五月遞省告第四百七十四號）

（昭和三十一年六月遞省告第四百七十五號）

（昭和三十一年七月遞省告第四百七十六號）

（昭和三十一年八月遞省告第四百七十七號）

（昭和三十一年九月遞省告第四百七十八號）

（昭和三十一年十月遞省告第四百七十九號）

（昭和三十一年十一月遞省告第四百八十號）

（昭和三十一年十二月遞省告第四百八十一號）

（昭和三十二年一月遞省告第四百八十二號）

（昭和三十二年二月遞省告第四百八十三號）

（昭和三十二年三月遞省告第四百八十四號）

（昭和三十二年四月遞省告第四百八十五號）

（昭和三十二年五月遞省告第四百八十六號）

（昭和三十二年六月遞省告第四百八十七號）

（昭和三十二年七月遞省告第四百八十八號）

（昭和三十二年八月遞省告第四百八十九號）

（昭和三十二年九月遞省告第四百九十號）

（昭和三十二年十月遞省告第四百九十一號）

（昭和三十二年十一月遞省告第四百九十二號）

（昭和三十二年十二月遞省告第四百九十三號）

（昭和三十三年一月遞省告第四百九十四號）

（昭和三十三年二月遞省告第四百九十五號）

（昭和三十三年三月遞省告第四百九十六號）

（昭和三十三年四月遞省告第四百九十七號）

（昭和三十三年五月遞省告第四百九十八號）

（昭和三十三年六月遞省告第四百九十九號）

（昭和三十三年七月遞省告第五百號）

（昭和三十三年八月遞省告第五百一號）

（昭和三十三年九月遞省告第五百二號）

（昭和三十三年十月遞省告第五百三號）

（昭和三十三年十一月遞省告第五百四號）

（昭和三十三年十二月遞省告第五百五號）

（昭和三十四年一月遞省告第五百六號）

（昭和三十四年二月遞省告第五百七號）

（昭和三十四年三月遞省告第五百八號）

（昭和三十四年四月遞省告第五百九號）

（昭和三十四年五月遞省告第五百十號）

（昭和三十四年六月遞省告第五百十一號）

（昭和三十四年七月遞省告第五百十二號）

（昭和三十四年八月遞省告第五百十三號）

（昭和三十四年九月遞省告第五百十四號）

（昭和三十四年十月遞省告第五百十五號）

（昭和三十四年十一月遞省告第五百十六號）

（昭和三十四年十二月遞省告第五百十七號）

（昭和三十五年一月遞省告第五百十八號）

（昭和三十五年二月遞省告第五百十九號）

（昭和三十五年三月遞省告第五百二十號）

（昭和三十五年四月遞省告第五百二十一號）

（昭和三十五年五月遞省告第五百二十二號）

（昭和三十五年六月遞省告第五百二十三號）

（昭和三十五年七月遞省告第五百二十四號）

（昭和三十五年八月遞省告第五百二十五號）

（昭和三十五年九月遞省告第五百二十六號）

（昭和三十五年十月遞省告第五百二十七號）

（昭和三十五年十一月遞省告第五百二十八號）

（昭和三十五年十二月遞省告第五百二十九號）

（昭和三十六年一月遞省告第五百三十號）

（昭和三十六年二月遞省告第五百三十一號）

（昭和三十六年三月遞省告第五百三十二號）

（昭和三十六年四月遞省告第五百三十三號）

（昭和三十六年五月遞省告第五百三十四號）

（昭和三十六年六月遞省告第五百三十五號）

（昭和三十六年七月遞省告第五百三十六號）

（昭和三十六年八月遞省告第五百三十七號）

（昭和三十六年九月遞省告第五百三十八號）

（昭和三十六年十月遞省告第五百三十九號）

（昭和三十六年十一月遞省告第五百四十號）

（昭和三十六年十二月遞省告第五百四十一號）

（昭和三十七年一月遞省告第五百四十二號）

（昭和三十七年二月遞省告第五百四十三號）

（昭和三十七年三月遞省告第五百四十四號）

（昭和三十七年四月遞省告第五百四十五號）

（昭和三十七年五月遞省告第五百四十六號）

（昭和三十七年六月遞省告第五百四十七號）

（昭和三十七年七月遞省告第五百四十八號）

（昭和三十七年八月遞省告第五百四十九號）

（昭和三十七年九月遞省告第五百五十號）

（昭和三十七年十月遞省告第五百五十一號）

（昭和三十七年十一月遞省告第五百五十二號）

（昭和三十七年十二月遞省告第五百五十三號）

（昭和三十八年一月遞省告第五百五十四號）

（昭和三十八年二月遞省告第五百五十五號）

（昭和三十八年三月遞省告第五百五十六號）

（昭和三十八年四月遞省告第五百五十七號）

（昭和三十八年五月遞省告第五百五十八號）

（昭和三十八年六月遞省告第五百五十九號）

（昭和三十八年七月遞省告第五百六十號）

（昭和三十八年八月遞省告第五百六十一號）

（昭和三十八年九月遞省告第五百六十二號）

（昭和三十八年十月遞省告第五百六十三號）

（昭和三十八年十一月遞省告第五百六十四號）

（昭和三十八年十二月遞省告第五百六十五號）

（昭和三十九年一月遞省告第五百六十六號）

（昭和三十九年二月遞省告第五百六十七號）

（昭和三十九年三月遞省告第五百六十八號）

（昭和三十九年四月遞省告第五百六十九號）

（昭和三十九年五月遞省告第五百七十號）

（昭和三十九年六月遞省告第五百七十一號）

（昭和三十九年七月遞省告第五百七十二號）

（昭和三十九年八月遞省告第五百七十三號）

（昭和三十九年九月遞省告第五百七十四號）

（昭和三十九年十月遞省告第五百七十五號）

（昭和三十九年十一月遞省告第五百七十六號）

（昭和三十九年十二月遞省告第五百七十七號）

（昭和四十年一月遞省告第五百七十八號）

（昭和四十年二月遞省告第五百七十九號）

（昭和四十年三月遞省告第五百八十號）

（昭和四十年四月遞省告第五百八十一號）

（昭和四十年五月遞省告第五百八十二號）

（昭和四十年六月遞省告第五百八十三號）

（昭和四十年七月遞省告第五百八十四號）

（昭和四十年八月遞省告第五百八十五號）

（昭和四十年九月遞省告第五百八十六號）

（昭和四十年十月遞省告第五百八十七號）

（昭和四十年十一月遞省告第五百八十八號）

（昭和四十年十二月遞省告第五百八十九號）

（昭和四十一年一月遞省告第五百九十號）

（昭和四十一年二月遞省告第五百九十一號）

（昭和四十一年三月遞省告第五百九十二號）

（昭和四十一年四月遞省告第五百九十三號）

（昭和四十一年五月遞省告第五百九十四號）

（昭和四十一年六月遞省告第五百九十五號）

（昭和四十一年七月遞省告第五百九十六號）

（昭和四十一年八月遞省告第五百九十七號）

（昭和四十一年九月遞省告第五百九十八號）

（昭和四十一年十月遞省告第五百九十九號）

（昭和四十一年十一月遞省告第六百號）

（昭和四十一年十二月遞省告第六百一號）

（昭和四十二年一月遞省告第六百二號）

（昭和四十二年二月遞省告第六百三號）

（昭和四十二年三月遞省告第六百四號）

（昭和四十二年四月遞省告第六百五號）

（昭和四十二年五月遞省告第六百六號）

（昭和四十二年六月遞省告第六百七號）

（昭和四十二年七月遞省告第六百八號）

（昭和四十二年八月遞省告第六百九號）

（昭和四十二年九月遞省告第六百十號）

（昭和四十二年十月遞省告第六百十一號）

（昭和四十二年十一月遞省告第六百十二號）

（昭和四十二年十二月遞省告第六百十三號）

（昭和四十三年一月遞省告第六百十四號）

（昭和四十三年二月遞省告第六百十五號）

（昭和四十三年三月遞省告第六百十六號）

（昭和四十三年四月遞省告第六百十七號）

（昭和四十三年五月遞省告第六百十八號）

（昭和四十三年六月遞省告第六百十九號）

（昭和四十三年七月遞省告第六百二十號）

（昭和四十三年八月遞省告第六百二十一號）

（昭和四十三年九月遞省告第六百二十二號）

（昭和四十三年十月遞省告第六百二十三號）

（昭和四十三年十一月遞省告第六百二十四號）

（昭和四十三年十二月遞省告第六百二十五號）

（昭和四十四年一月遞省告第六百二十六號）

（昭和四十四年二月遞省告第六百二十七號）

（昭和四十四年三月遞省告第六百二十八號）

（昭和四十四年四月遞省告第六百二十九號）

（昭和四十四年五月遞省告第六百三十號）

（昭和四十四年六月遞省告第六百三十一號）

（昭和四十四年七月遞省告第六百三十二號）

（昭和四十四年八月遞省告第六百三十三號）

（昭和四十四年九月遞省告第六百三十四號）

（昭和四十四年十月遞省告第六百三十五號）

（昭和四十四年十一月遞省告第六百三十六號）

（昭和四十四年十二月遞省告第六百三十七號）

（昭和四十五年一月遞省告第六百三十八號）

（昭和四十五年二月遞省告第六百三十九號）

（昭和四十五年三月遞省告第六百四十號）

（昭和四十五年四月遞省告第六百四十一號）

（昭和四十五年五月遞省告第六百四十二號）

（昭和四十五年六月遞省告第六百四十三號）

（昭和四十五年七月遞省告第六百四十四號）

（昭和四十五年八月遞省告第六百四十五號）

（昭和四十五年九月遞省告第六百四十六號）

（昭和四十五年十月遞省告第六百四十七號）

（昭和四十五年十一月遞省告第六百四十八號）

（昭和四十五年十二月遞省告第六百四十九號）

（昭和四十六年一月遞省告第六百五十號）

（昭和四十六年二月遞省告第六百五十一號）

（昭和四十六年三月遞省告第六百五十二號）

（昭和四十六年四月遞省告第六百五十三號）

（昭和四十六年五月遞省告第六百五十四號）

（昭和四十六年六月遞省告第六百五十五號）

（昭和四十六年七月遞省告第六百五十六號）

（昭和四十六年八月遞省告第六百五十七號）

（昭和四十六年九月遞省告第六百五十八號）

（昭和四十六年十月遞省告第六百五十九號）

（昭和四十六年十一月遞省告第六百六十號）

（昭和四十六年十二月遞省告第六百六十一號）

（昭和四十七年一月遞省告第六百六十二號）

（昭和四十七年二月遞省告第六百六十三號）

（昭和四十七年三月遞省告第六百六十四號）

（昭和四十七年四月遞省告第六百六十五號）

（昭和四十七年五月遞省告第六百六十六號）

（昭和四十七年六月遞省告第六百六十七號）

（昭和四十七年七月遞省告第六百六十八號）

（昭和四十七年八月遞省告第六百六十九號）

（昭和四十七年九月遞省告第六百七十號）

（昭和四十七年十月遞省告第六百七十一號）

（昭和四十七年十一月遞省告第六百七十二號）

（昭和四十七年十二月遞省告第六百七十三號）

（昭和四十八年一月遞省告第六百七十四號）

（昭和四十八年二月遞省告第六百七十五號）

（昭和四十八年三月遞省告第六百七十六號）

（昭和四十八年四月遞省告第六百七十七號）

（昭和四十八年五月遞省告第六百七十八號）

（昭和四十八年六月遞省告第六百七十九號）

（昭和四十八年七月遞省告第六百八十號）

（昭和四十八年八月遞省告第六百八十一號）

（昭和四十八年九月遞省告第六百八十二號）

（昭和四十八年十月遞省告第六百八十三號）

（昭和四十八年十一月遞省告第六百八十四號）

（昭和四十八年十二月遞省告第六百八十五號）

（昭和四十九年一月遞省告第六百八十六號）

（昭和四十九年二月遞省告第六百八十七號）

（昭和四十九年三月遞省告第六百八十八號）

（昭和四十九年四月遞省告第六百八十九號）

（昭和四十九年五月遞省告第六百九十號）

（昭和四十九年六月遞省告第六百九十一號）

（昭和四十九年七月遞省告第六百九十二號）

（昭和四十九年八月遞省告第六百九十三號）

（昭和四十九年九月遞省告第六百九十四號）

（昭和四十九年十月遞省告第六百九十五號）

（昭和四十九年十一月遞省告第六百九十六號）

（昭和四十九年十二月遞省告第六百九十七號）

（昭和五十年一月遞省告第六百九十八號）

（昭和五十年二月遞省告第六百九十九號）

（昭和五十年三月遞省告第七百號）

（昭和五十年四月遞省告第七百一號）

（昭和五十年五月遞省告第七百二號）

（昭和五十年六月遞省告第七百三號）

（昭和五十年七月遞省告第七百四號）

（昭和五十年八月遞省告第七百五號）

（昭和五十年九月遞省告第七百六號）

（昭和五十年十月遞省告第七百七號）

（昭和五十年十一月遞省告第七百八號）

（昭和五十年十二月遞省告第七百九號）

（昭和五十一年一月遞省告第七百十號）

（昭和五十一年二月遞省告第七百十一號）

（昭和五十一年三月遞省告第七百十二號）

（昭和五十一年四月遞省告第七百十三號）

（昭和五十一年五月遞省告第七百十四號）

（昭和五十一年六月遞省告第七百十五號）

（昭和五十一年七月遞省告第七百十六號）

（昭和五十一年八月遞省告第七百十七號）

（昭和五十一年九月遞省告第七百十八號）

（昭和五十一年十月遞省告第七百十九號）

（昭和五十一年十一月遞省告第七百二十號）

（昭和五十一年十二月遞省告第七百二十一號）

（昭和五十二年一月遞省告第七百二十二號）

（昭和五十二年二月遞省告第七百二十三號）

（昭和五十二年三月遞省告第七百二十四號）

（昭和五十二年四月遞省告第七百二十五號）

（昭和五十二年五月遞省告第七百二十六號）

（昭和五十二年六月遞省告第七百二十七號）

（昭和五十二年七月遞省告第七百二十八號）

（昭和五十二年八月遞省告第七百二十九號）

（昭和五十二年九月遞省告第七百三十號）

（昭和五十二年十月遞省告第七百三十一號）

（昭和五十二年十一月遞省告第七百三十二號）

（昭和五十二年十二月遞省告第七百三十三號）

（昭和五十三年一月遞省告第七百三十四號）

（昭和五十三年二月遞省告第七百三十五號）

（昭和五十三年三月遞省告第七百三十六號）

（昭和五十三年四月遞省告第七百三十七號）

（昭和五十三年五月遞省告第七百三十八號）

（昭和五十三年六月遞省告第七百三十九號）

（昭和五十三年七月遞省告第七百四十號）

（昭和五十三年八月遞省告第七百四十一號）

（昭和五十三年九月遞省告第七百四十二號）

（昭和五十三年十月遞省告第七百四十三號）

（昭和五十三年十一月遞省告第七百四十四號）

（昭和五十三年十二月遞省告第七百四十五號）

（昭和五十四年一月遞省告第七百四十六號）

（昭和五十四年二月遞省告第七百四十七號）

（昭和五十四年三月遞省告第七百四十八號）

（昭和五十四年四月遞省告第七百四十九號）

（昭和五十四年五月遞省告第七百五十號）

（昭和五十四年六月遞省告第七百五十一號）

（昭和五十四年七月遞省告第七百五十二號）

（昭和五十四年八月遞省告第七百五十三號）

（昭和五十四年九月遞省告第七百五十四號）

（昭和五十四年十月遞省告第七百五十五號）

（昭和五十四年十一月遞省告第七百五十六號）

（昭和五十四年十二月遞省告第七百五十七號）

（昭和五十五年一月遞省告第七百五十八號）

（昭和五十五年二月遞省告第七百五十九號）

（昭和五十五年三月遞省告第七百六十號）

（昭和五十五年四月遞省告第七百六十一號）

（昭和五十五年五月遞省告第七百六十二號）

（昭和五十五年六月遞省告第七百六十三號）

（昭和五十五年七月遞省告第七百六十四號）

（昭和五十五年八月遞省告第七百六十五號）

（昭和五十五年九月遞省告第七百六十六號）

（昭和五十五年十月遞省告第七百六十七號）

（昭和五十五年十一月遞省告第七百六十八號）

（昭和五十五年十二月遞省告第七百六十九號）

（昭和五十六年一月遞省告第七百七十號）

（昭和五十六年二月遞省告第七百七十一號）

（昭和五十六年三月遞省告第七百七十二號）

（昭和五十六年四月遞省告第七百七十三號）

（昭和五十六年五月遞省告第七百七十四號）

（昭和五十六年六月遞省告第七百七十五號）

（昭和五十六年七月遞省告第七百七十六號）

（昭和五十六年八月遞省告第七百七十七號）

（昭和五十六年九月遞省告第七百七十八號）

（昭和五十六年十月遞省告第七百七十九號）

（昭和五十六年十一月遞省告第七百八十號）

（昭和五十六年十二月遞省告第七百八十一號）

（昭和五十七年一月遞省告第七百八十二號）

（昭和五十七年二月遞省告第七百八十三號）

（昭和五十七年三月遞省告第七百八十四號）

（昭和五十七年四月遞省告第七百八十五號）

（昭和五十七年五月遞省告第七百八十六號）

（昭和五十七年六月遞省告第七百八十七號）

（昭和五十七年七月遞省告第七百八十八號）

（昭和五十七年八月遞省告第七百八十九號）

（昭和五十七年九月遞省告第七百九十號）

（昭和五十七年十月遞省告第七百九十一號）

（昭和五十七年十一月遞省告第七百九十二號）

（昭和五十七年十二月遞省告第七百九十三號）

（昭和五十八年一月遞省告第七百九十四號）

（昭和五十八年二月遞省告第七百九十五號）

（昭和五十八年三月遞省告第七百九十六號）

（昭和五十八年四月遞省告第七百九十七號）

（昭和五十八年五月遞省告第七百九十八號）

（昭和五十八年六月遞省告第七百九十九號）

（昭和五十八年七月遞省告第八百號）

（昭和五十八年八月遞省告第八百一號）

（昭和五十八年九月遞省告第八百二號）

（昭和五十八年十月遞省告第八百三號）

（昭和五十八年十一月遞省告第八百四號）

（昭和五十八年十二月遞省告第八百五號）

（昭和五十九年一月遞省告第八百六號）

（昭和五十九年二月遞省告第八百七號）

（昭和五十九年三月遞省告第八百八號）

（昭和五十九年四月遞省告第八百九號）

（昭和五十九年五月遞省告第八百十號）

（昭和五十九年六月遞省告第八百十一號）

（昭和五十九年七月遞省告第八百十二號）

（昭和五十九年八月遞省告第八百十三號）

（昭和五十九年九月遞省告第八百十四號）

（昭和五十九年十月遞省告第八百十五號）

（昭和五十九年十一月遞省告第八百十六號）

（昭和五十九年十二月遞省告第八百十七號）

（昭和六十年一月遞省告第八百十八號）

（昭和六十年二月遞省告第八百十九號）

（昭和六十年三月遞省告第八百二十號）

（昭和六十年四月遞省告第八百二十一號）

（昭和六十年五月遞省告第八百二十二號）

（昭和六十年六月遞省告第八百二十三號）

（昭和六十年七月遞省告第八百二十四號）

（昭和六十年八月遞省告第八百二十五號）

（昭和六十年九月遞省告第八百二十六號）

（昭和六十年十月遞省告第八百二十七號）

（昭和六十年十一月遞省

拂渡國ニ於テ新爲替ヲ以テ爲替ノ轉送ヲ爲シタルトキハ兩國郵政廳間ノ計算ニ付テハ原爲替ハ拂渡ヲ爲シタルモノト看做ス

二　各國郵政廳ハ內國爲替ニシテ本協定ニ規定スル爲替ト同樣ノ形式及方法ニ依リ取扱ハルルモノニ付テハ差出人又ハ受取人ノ請求ニ依リ拂渡局若ハ拂戻局ノ變更又ハ指定ノ變更若ハ取消ノ方法ニ依リ相手國ニ轉送スルコトヲ得

前節ノ轉送ニ付テハ第四十一條第二項及第三項竝ニ前條ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ爲替金額ハ兩國間所定ノ通貨ヲ以テ之ヲ表示ス

前二節ノ規定ニ依リ拂戻局ヲ變更シタル爲替ノ拂戻ニ付テハ前項第五節ノ規定ヲ準用ス

第四十六條　爲替ノ媒介

爲替ノ媒介ニ付テハ前條第一項第二節本文及第五節ノ規定ヲ準用ス

第五章　拂渡不能ノ爲替、拂渡濟否取調、爲替金ノ國庫歸屬、責任ノ歸屬

第四十七條　拂渡不能ノ爲替

一　通常爲替及電信爲替ニシテ證書ノ有效期間內ニ拂渡ノ請求ナキモノ又ハ代金引換郵便物ノ取立金ニ對スル通常爲替ヲ除クノ外拂渡局ハ振出國ノ求ニ依リ又ハ之ニ代ルベキモノヲ振出國ノ爲替管理廳ニ返付ス

二　第三十一條ノ取扱ニ係ル通常爲替證書ニシテ受取人ニ送達スルコト能ハザルモノハ拂渡局ニ於テ之ヲ差出人ニ返付ス電信爲替證書ニシテ受取人ニ送達スルコト能ハザルモノ又ハ留置ニ係ル電信爲替證書ニシテ保管開始ノ日ヨリ七日ノ期間內ニ受取人ヨリ交付ノ請求ナキモノ亦同ジ

第四十八條　拂渡濟否取調

爲替ノ差出人ハ爲替差出後爲替金拂渡濟否取調ヲ請求スルコトヲ得

第四十九條　爲替金ノ國庫歸屬

爲替證書ノ有效期間滿了ノ日ヨリ三年ノ期間內ニ再度爲替證書ノ交付又ハ爲替金拂戻ノ請求ヲ爲サザルトキハ爲替金ハ振出國ニ歸屬ス

但シ代金引換郵便物ノ取立金タル爲替金ハ拂渡國ニ歸屬ス

第五十條　責任ノ歸屬

權利ヲ有セザル者ニ爲替金ヲ交付シタル爲替生ジタル損害ハ過失アリタル郵政廳之ヲ負擔ス

一　電信爲替ニ關スル損害ニシテ電信業務ノ過失ニ起因スルモノハ過失ノ生ジタル國ノ郵政廳之ヲ負擔ス

前二項ノ場合ニ於テ過失アリタル郵政廳又ハ過失ノ生ジタル國ヲ決定スルコト能ハザルトキハ兩國郵政廳平等ニ其ノ損害ヲ負擔ス

第一項及前項ノ規定ハ虛僞ノ爲替證書ニ對スル拂渡又ハ重複ノ拂渡ニ因リ生ジタル損害ノ負擔ニ付之ヲ準用ス

第六章　計算及清算

第五十一條　料金ノ割當

一　各國郵政廳ハ自國ニ於テ徵收シタル爲替料ノ一部ヲ相手國郵政廳ノ收得分トシテ之ニ割當ツ

前節ニ規定スル割當ノ金額ハ通常爲替及小爲替ニ在リテハ拂渡濟爲替證書ノ金額ノ千分ノ一ト同額トシ電信爲替ニ在リテハ拂渡濟爲替證書ノ金額ノ千分ノ三同額トス但シ代金引換郵便物ノ取立金ニ對スル通常爲替ニ付テハ電信爲替ニ於ケル同率トス

二　各國郵政廳ハ自國ニ於テ徵收シタル第二十八條第四項ノ航空料ノ內通常葉書ノ航空送達料ニ相當スル金額ヲ相手國郵政廳ノ收得分トシテ之ニ割當ツ

第五十二條　爲替金ノ計算及清算

一　滿洲國郵政廳ハ日本國ニ於テ振出シ滿洲國ニ於テ拂渡シタル爲替證書ヲ爲替ノ種類別ニ其ノ振出局ニ依リ日本內地（樺太、南洋群島ヲ含ム）、朝鮮、臺灣及關東州ノ各管區別ニ區分シ其ノ各ニ合計票ヲ附シ當該管理廳ニ每日送付ス

二　日本國ニ於ケル各管理廳ハ滿洲國ニ於テ振出シ日本國ニ於テ拂渡シタル爲替證書ヲ爲替ノ種類別ニ合計票ヲ附シ之ヲ滿洲國郵政廳ニ每日送付ス

第五十三條　收得分ノ計算及清算

一　各國郵政廳ハ前年中ニ拂渡サレタル爲替ニ對スル第五十一條第一項ノ收得分ヲ一覽拂手形ヲ以テ每年二月迄ニ相手國郵政廳ニ支拂フ

二　第五十一條第二項ノ收得分ハ通常郵便物ノ航空運送料ニ關スル計算書ニ之ヲ包含ス

第七章　諸種ノ規定

第五十四條　無料爲替

郵便、郵便爲替及郵便振替ニ關シ兩國郵政廳間ニ發受スル通常爲替ハ之ヲ無料トシ且第二十七條ノ規定ニ拘ラズ其ノ爲替金額ニ制限ヲ附セズ

前項ノ爲替證書ニハ「無料」ノ文字ヲ朱書ス

第五十五條　式紙

通常爲替證書ハ附錄第一號雛形ニ、電信爲替證書ハ附錄第二號雛形ニ、小爲替證書ハ附錄第三號雛形ニ、再度爲替證書ハ附錄第四號雛形ニ、再度小爲替證書ハ附錄第五號雛形ニ、通常爲替振出請求書ハ附錄第六號雛形ニ依ル式紙ヲ以テ之ヲ作成ス

第五十六條　通知事項

各國郵政廳ハ相手國郵政廳ニ左ノ事項ニ付通知ヲ爲ス尙第八號ニ付テハ當該物件ノ見本ヲ送付スルモノトス

一　換算割合

二　爲替料以外ノ爲替ニ關スル料金

三　綠引ニ依ル讓渡ノ許否

四　爲替電報又ハ電信爲替證書ノ特使ニ依ル配達ノ取扱ノ有無

五　再度爲替證書ヲ發行スル官署

六　自國ト爲替ノ交換アル第三國ノ國名

七　第四十五條第二項ニ定ムル內國爲替ノ轉送ノ許否

八　爲替證書式紙、爲替金受領證書式紙、再度爲替證書式紙、再度小爲替證書式紙、通常爲替振出請求書式紙及爲替封皮

九　爲替取扱郵便局ノ名稱、取扱事務ノ種類、受持區域及所轄電信局名

最終規定

一　本業務協定ノ正文ハ日本文及漢文トシ日本文本文ト漢文本文トノ間ニ解釋ノ異ニシタルトキハ日本文本文ニ依リ之ヲ決ス

二　本業務協定ハ日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約實施ノ日ヨリ之ヲ實施ス但シ內容證明及課金別納ニ關シテハ別ニ其ノ實施期日ヲ協定ス

昭和十年十二月二十六日卽チ康德二年十二月二十六日新京ニ於テ本書二通ヲ作成シ之ニ署名調印ス

大日本帝國遞信大臣ニ代リ

大日本帝國遞信省郵務局長　久埜　茂㊞

滿洲帝國交通部大臣　李紹庚㊞

署名議定書

本日附ノ日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定ニ署名スルニ當リ下名ハ暫行的措置トシテ左ノ通協定シタリ

日本國ノ南滿洲鐵道附屬地帶郵便業務ト滿洲國ノ郵便業務トノ間ノ關係ハ關東州ノ郵便業務ト滿洲國ノ郵便業務トノ間ノ關係ト同一條件ニ依リ支配セラルベシ

昭和十年十二月二十六日卽チ康德二年十二月二十六日新京ニ於テ

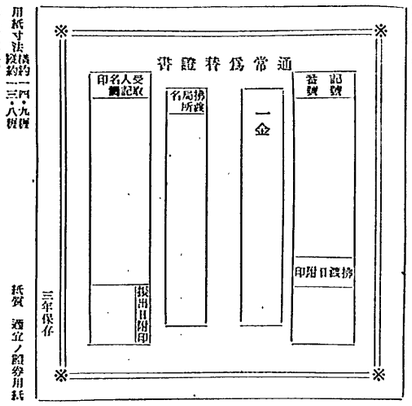
大日本帝國遞信大臣ニ代リ

大日本帝國遞信省郵務局長　久埜　茂㊞

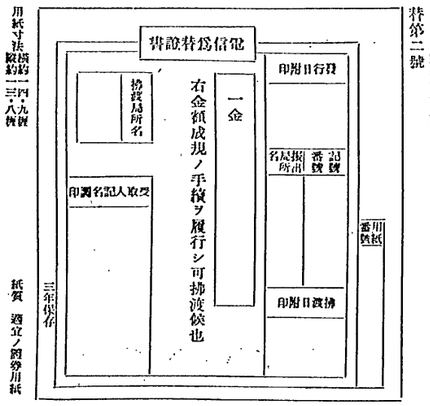
滿洲帝國交通部大臣　李紹庚㊞

附錄

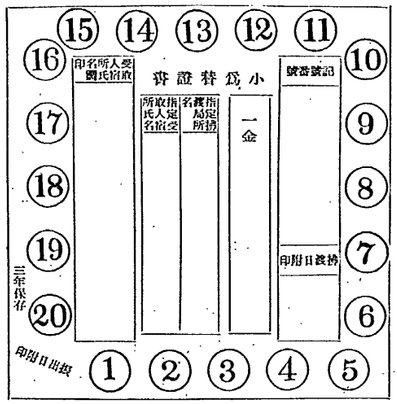
爲替第一號



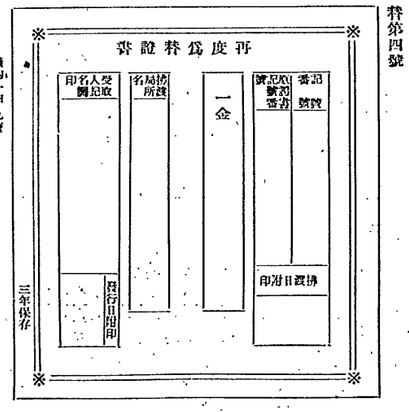
爲替第二號

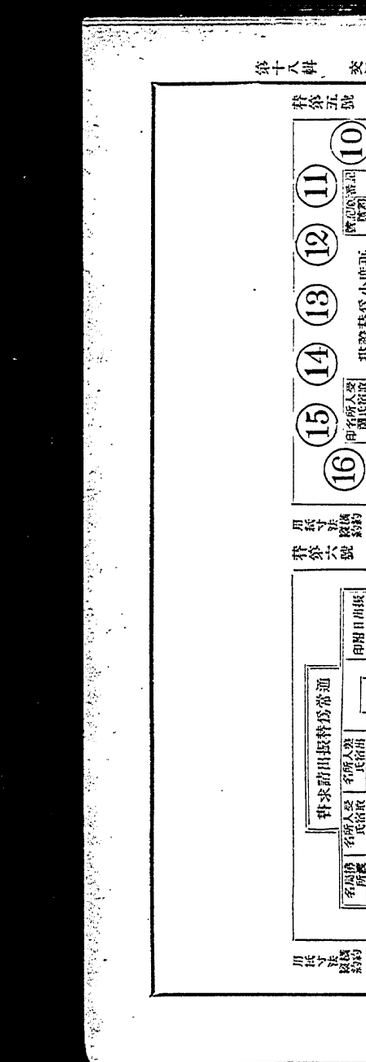


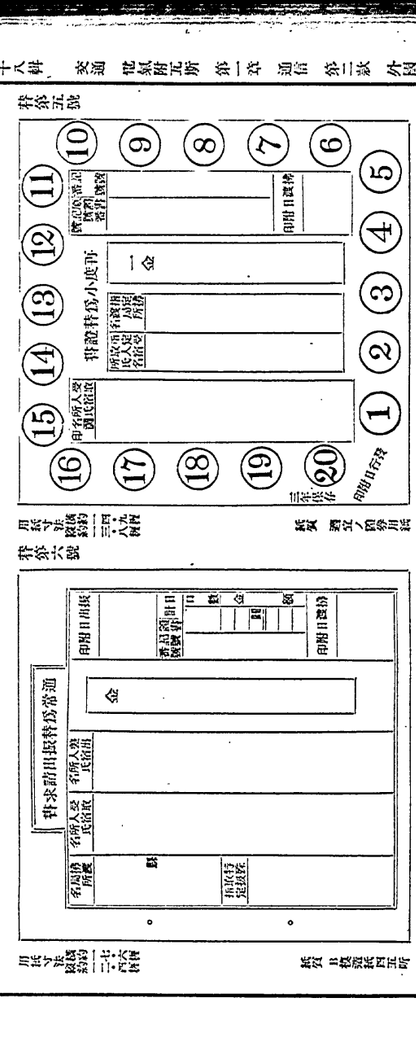
爲替第三號

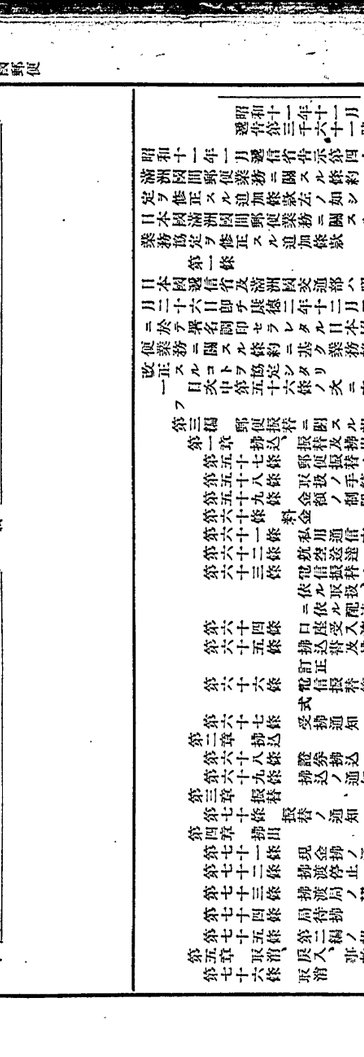


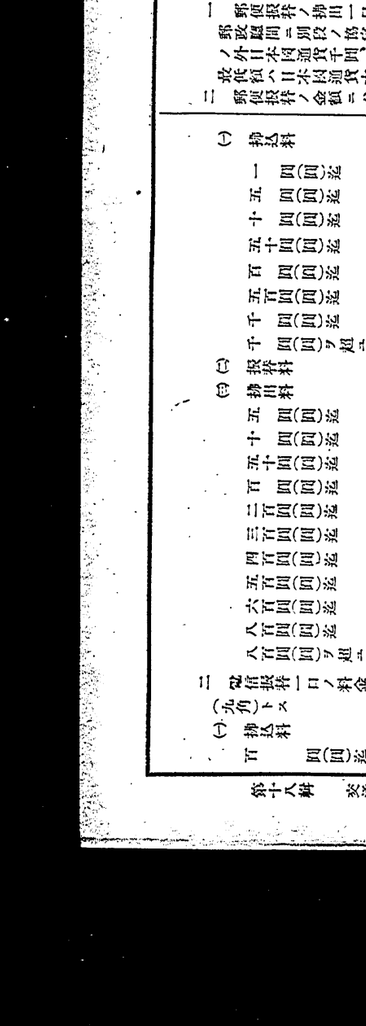
爲替第四號

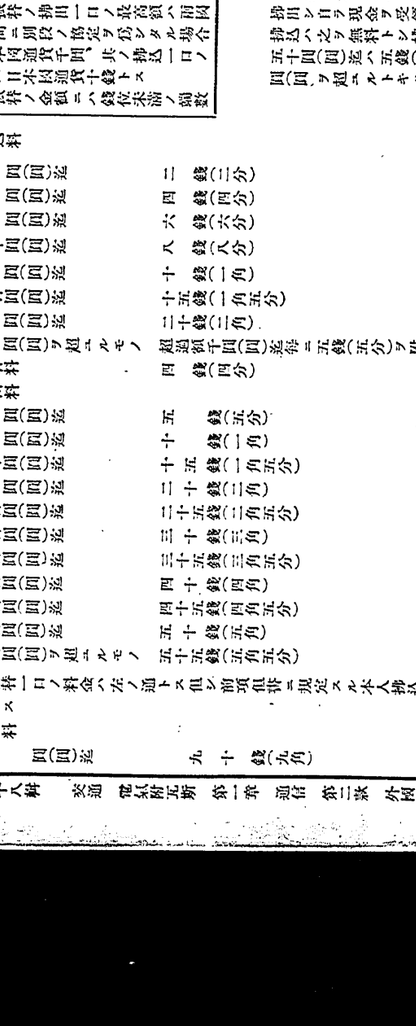


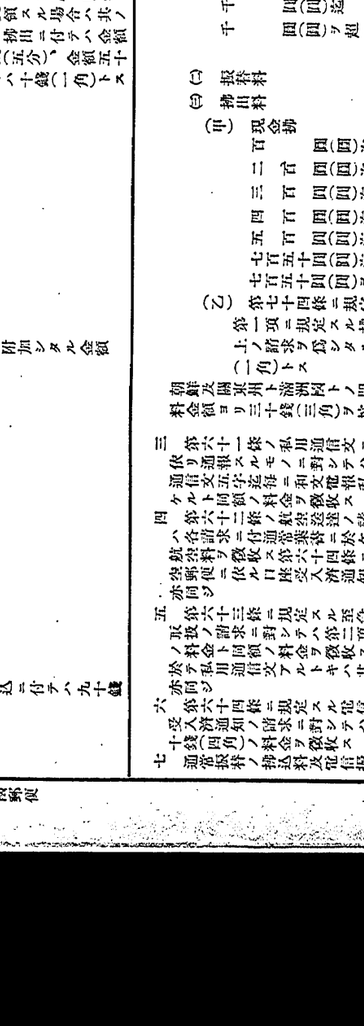












ニ依ル通報ト共ニ、電信ニ依ル口座受入済通知ノ請求アリタル郵便振替ニ付テハ當該通知ト共ニ之ヲ傳送ス

第三章　振替

第六十條　振替ノ通知

通常振替ノ取扱ヲ受ケントスル者ハ拂込書又ハ普通拂出書ニ付テハ郵便局ニ、振替ノ通知又ハ通常振替拂出證書ニ付テハ拂出口座所管廳ニ其ノ就キ郵便ニ依ル送達ヲ請求スルコトヲ得

第六十一條　電信振替ノ至急電報ニ依ル取扱、留置及特使ニ依ル配達

電信振替ノ取扱ヲ受ケントスル者ハ其ノ通報ノ至急電報ニ依ル取扱ヲ請求スルコトヲ得

二　電信振替ノ現金拂ヲ請求セントスル者ハ拂込ノ取消ヲ受ケタルトキハ拂出口座所管廳ニ之ヲ電信振替ノ拂渡局留置ノ取扱及拂込金還付票ヲ作成シ通知書ハ拂込通知票ト共ニ之ヲ拂込局ニ、還付票ハ之ヲ拂込國ノ郵便振替管理廳ニ送付シ振替ノ取消ニ付テハ振替票及拂出通知票ヲ受入口座所管廳ヨリ取戻シ現金拂ノ取消ニ付テハ拂出證書及拂出報知書又ハ之ニ代ルベキモノヲ拂渡局ヨリ取戻スモノトス

三　口座所管廳ニ於テ第一項ノ請求ニ應ジタル場合ト雖モ口座受入登記又ハ拂渡ヲ爲シタル後ナルトキハ其ノ旨ヲ請求人ニ通知ス

第六十二條　拂出證書ノ有效期間ニ付テハ第三十七條、再度拂出證書ノ有效期間ニ付テハ第三十八條第一項、第二項及第四項、拂出證書ニ對スル假拂ニ付テハ第三十九條第一項ノ規定ヲ準用ス

第五章　取消、戻入、事故

第六十三條　取消

拂込人ハ拂込ノ取消ヲ受入口座所管廳ニ、拂出人ハ振替又ハ現金拂ノ取消ヲ拂出口座所管廳ニ請求スルコトヲ得

拂込ノ取消ノ請求ニ付テハ其ノ通知ヲ郵便局ニ委託スルコトヲ得振替及現金拂ノ取消ノ請求ニ付テハ第七十二條第二項ノ規定ヲ準用ス

二　口座所管廳前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ拂込ノ取消ニ付テハ拂込金還付通知書及拂込金還付票ヲ作成シ通知書ハ拂込通知票ト共ニ之ヲ拂込局ニ、還付票ハ之ヲ拂込國ノ郵便振替管理廳ニ送付シ振替ノ取消ニ付テハ振替票及拂出通知票ヲ受入口座所管廳ヨリ取戻シ現金拂ノ取消ニ付テハ拂出證書及拂出報知書又ハ之ニ代ルベキモノヲ拂渡局ヨリ取戻スモノトス

三　口座所管廳ニ於テ第一項ノ請求ニ應ジタル場合ト雖モ口座受入登記又ハ拂渡ヲ爲シタル後ナルトキハ其ノ旨ヲ請求人ニ通知ス

第六十四條　拂出金ノ戻入及返戻

拂出人ハ拂出金ノ戻入ヲ拂出口座所管廳又ハ郵便局ニ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ拂出證書アルトキハ之ヲ差出スモノトス

拂出金ノ戻入ハ之ヲ拂込ト看做シ取扱フ但シ拂込料ハ之ヲ徵收セズ

二　拂出人ハ郵便局ニ拂出證書ヲ差出シ拂出金ノ返戻ヲ受クルコトヲ得

第七十八條　處理不能ノ拂込、振替及拂出

一　口座受入登記不能ノ拂込金ハ之ヲ拂込人ニ還付シ、振替金ハ之ヲ拂出口座ニ戻入ス

第七十六條第二項ノ規定ハ前節ノ場合ニ之ヲ準用ス

二　拂出證書ニシテ其ノ有效期間內ニ拂渡ノ請求ナキモノニ付テハ拂渡局ハ拂出報知書又ハ之ニ代ルベキモノヲ拂出口座所管廳ニ返付ス

郵便局拂出證書及拂出通知票ヲ受取人ニ送達スルコト能ハザルトキハ之ヲ拂出人ニ送達スル爲留郵便ニ依リ拂出報知書又ハ之ニ代ルベキモノト共ニ拂出口座所管廳ニ返付シ拂出證書ニシテ保管開始ノ日ヨリ七日ノ期間內ニ受取人ヨリ交付ノ請求ナキモノニ付亦同ジ

第七十九條　拂込金還付局ノ變更

第七十六條第二項又ハ前條第一項ノ規定ニ依ル拂込金還付通知書ノ送達ヲ受ケタル拂込人ハ通知書ニ指定シタル拂込金還付局ノ郵便ニ依ル變更ヲ受入口座所管廳又ハ郵便局ニ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ニ付テハ第四十一條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第八十條　拂出金ノ國庫歸屬

拂出證書ノ有效期間滿了ノ日ヨリ三年ノ期間內ニ再度拂出證書ノ交付又ハ拂出金戻入ノ請求ヲ爲サザルトキハ拂出金ハ拂出國ニ歸屬ス

第八十一條　責任ノ歸屬

郵便振替ノ取扱ニ因リ生ジタル損害ノ負擔ニ付テハ第五十條ノ規定ヲ準用ス

第六章　計算及清算

第八十二條　料金ノ割當

一　各國郵政廳ハ第六十條ノ規定ニ依リ自國ニ於テ徵收シタル拂込、振替、拂出及電信ニ依リ口座受入濟通知ノ請求アル電信振替ノ私用通信文ノ對スル料金ノ半額並ニ口座受入濟通知ノ料金ヲ相手國郵政廳ノ收得分トシテ之ニ割當ツ但シ電信振替ノ料金ノ內拂込及口座所管廳ニ請求シタル振替ノ料金ニ付テハ一日毎ニ五十錢、其ノ現金拂ノ料金ニ付テハ一日毎ニ七十錢、拂出國郵便局ニ請求シタル振替ノ料

金ニ付テハ一日毎ニ九十錢、其ノ現金拂ノ料金ニ付テハ一日毎ニ一圓十錢ヲ控除シタル殘額ヲ付割當ヲ爲スモノトス

二　第六十條第四項ノ航空料ノ收得分ニ付テハ第五十一條第二項ノ規定ヲ準用ス

第八十三條　計算及清算

一　滿洲國ニ於ケル各口座所管廳ハ日本國ニ於テ拂込ミ滿洲國ニ於テ口座受入登記ヲ爲シタル拂込金ニ對スル受高報告書ヲ拂込局ニ依リ日本內地（南洋群島ヲ含ム）、朝鮮、臺灣、樺太及關東州ノ各管區別ニ、郵政廳ハ日本國ニ於テ拂出シ滿洲國ニ於テ拂渡シタル拂出證書及局待拂拂出證書ヲ拂出口座所管廳別ニ夫々區分シ其ノ各ニ合計票ヲ附シ受高報告書ト之ヲ當該管理廳ニ、拂出證書及局待拂拂出書ハ之ヲ當該口座所管廳ニ每日送付ス

二　於テ拂込ミ日本國ニ於テ口座受入登記ヲ爲シタル拂込金ニ對スル受高報告書ニ、各管理廳ハ滿洲國ニ於テ拂出シ日本國ニ於テ拂渡シタル拂出證書及局待拂拂出書ヲ拂出口座所管廳別ニ區分シ其ノ各ニ合計票ヲ附シ受高報告書ト之ヲ當該郵政廳ニ拂出證書及局待拂拂出書ハ之ヲ當該口座所管廳ニ每日送付ス

三　各國郵政廳ハ相手國ニ於テ拂出シ、自國口座所管廳ニ於テ拂渡シタル拂出證書ヲ爲シタル振替ノ口數及金額ヲ拂出口座所管廳別ニ相手國郵政廳ニ每日通知ス

四　拂込金、振替金及拂出金ノ清算竝ニ收得分ノ計算及清算ニ付テハ第五十二條第三項ノ規定ヲ準用ス但シ航空料ノ收得分ノ計算及清算ニ付テハ第五十三條第二項ノ規定ヲ準用ス

第七章　他方ノ國ノ郵便振替業務トノ連絡

第八十四條　他方ノ內國郵便振替ヘノ加入

兩國ノ一方ニ在住スル者ハ他方ノ內國郵便振替ニ加入スルコトヲ得

第八十五條　他方ノ國ノ郵便振替業務ノ仲介

一　各國郵政廳ハ自國在住者ノ爲ニ他方ノ國ノ內國郵便振替業務ニ付其ノ取扱ノ仲介ヲ爲ス他方ノ國ト第三國ノ間ノ郵便振替業務ニ付亦同ジ

前節ノ取扱ノ種類ハ仲介ヲ爲ス國ノ郵政廳之ヲ定ム

二　前項ノ取扱ニ付テハ兩國郵政廳間ニ別段ノ協定ヲ爲シタル場合ノ外仲介ヲ爲ス國ノ內國郵便振替業務ニ於ケル類似ノ取扱ニ關スル規定ヲ準用ス

第八十六條　式紙

拂込書ハ附錄振第一號雛形ニ、普通拂出書ハ附錄振第二號雛形ニ、通常振替拂出證書ハ附錄振第三號雛形ニ、電信振替拂出證書ハ附錄振第四號雛形ニ、局待拂拂出書ハ附錄振第五號雛形ニ、受拂通知票ハ附錄振第六號雛形ニ、拂込金還付票ハ附錄振第七號雛形ニ、再度拂出報知書ハ附錄振第八號雛形ニ、受高報告書ハ附錄振第九號雛形ニ、拂出報知書ハ附錄振第十號雛形ニ、再度拂出報知書ハ附錄振第十一號雛形ニ、受拂通知票ハ附錄振第十二號雛形ニ依ル式之ニ準ズ

本書ニ通ヲ作成シ昭和十一年十一月十二日東京ニ於テ及康德三年十一月十六日新京ニ於テ之ニ署名調印ス

大日本帝國遞信大臣　賴母木桂吉㊞

滿洲帝國交通部大臣　李紹庚㊞

一　換算割合

二　拂込、振替及拂出ノ料金以外ノ郵便

振替ニ關スル料金

三　線引ニ依ル讀渡ノ許否

四　電信振替拂出證書ノ特使ニ依ル配達ノ取扱ノ有無

五　第六十八條ノ證券ノ種類

六　再度拂出證書ヲ發行スル官署

七　拂込書式紙、受領證式紙、普通拂出書式紙、振替票式紙、通常振替拂出證書式紙、電信振替拂出證書式紙、局待拂拂出書式紙、受拂通知票式紙、再度拂出證書式紙、拂込金還付通知書式紙、受高報告書式紙、拂出報知書式紙、再度拂出報知書式紙、拂込金還付票式紙及振替封皮

八　第八十五條第一項第二節ノ取扱ノ種類

九　口座所管廳ノ名稱

十　郵便振替取扱局ノ名稱、取扱非務ノ種類、受持區域及所轄遞信局名

五　附錄振第六號ノ次ニ附錄振第一號乃至第十二號ヲ加フ

第二條

本追加條款ハ昭和十一年十二月一日卽チ康德三年十二月一日ヨリ之ヲ實施ス但シ局待拂以外ノ電信振替及航空送達ニ關シテハ別ニ其ノ實施期日ヲ協定ス

本書二通ヲ作成シ昭和十一年十一月十二日東京ニ於テ及康德三年十一月十六日新京ニ於テ之ニ署名調印ス

大日本帝國遞信大臣　賴母木桂吉㊞

滿洲帝國交通部大臣　李紹庚㊞

署名讀定書

昭和十一年十一月十二日及康德三年十一月十六日附ノ日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定ヲ修正スル追加條款ニ署名スルニ當リ下名ハ暫行的措置トシテ左ノ通協定シタリ

一　日本國ノ南滿洲鐵道附屬地帶郵便振替業務ト滿洲國ノ郵便振替業務トノ間ノ關係ハ關東州ノ郵便振替業務ト滿洲國ノ郵便振替業務トノ間ノ關係ト同一條件ニ依リ支配セラルベシ

二　兩國郵政廳ハ前記追加條款第一條第四號ノ第十二條第一項ノ規定ニ拘ラズ別ニ協議ヲ以テ定ムル時期ニ至ル迄通常振替ノ振替ノ料金加入者負擔ノ拂込及局待拂ノ料金ニ付テハ其ノ割當ヲ爲サズ拂込料ニ付テハ口座受入登記濟ニ係ル受高報告書ノ金額ニ對シ通常振替ニ在リテハ拂込料金加入者負擔及引換代金振替拂込ノ一萬分ノ十六、其ノ他ノモノハ一萬分ノ四、電信振替ニ在リテハ一萬分ノ八、振替料ニ付テハ口座受入登記濟ニ係ル電信振替ノ拂出通知票ノ金額ニ對シ一萬分ノ六、拂出料ニ付テハ拂渡濟拂出證書ノ金額ニ對シ通常振替ニ在リテハ一萬分ノ四、電信振替ニ在リテハ一萬分ノ九ニ相當スル金額ヲ相手國郵政廳ノ收得分トシ之ニ割當ツ

昭和十一年十一月十二日東京ニ於テ及康德三年十一月十六日新京ニ於テ

大日本帝國遞信大臣　賴母木桂吉㊞

滿洲帝國交通部大臣　李紹庚㊞

川越寸法図

三年保存

差	排	預金通帳払戻票
*	*	窓口で通帳と払戻票を提出してください。
	一金	一金
	*	払戻金額
	口座番号	口座番号
	預金の種類	預金の種類
	普通・当座	普通・当座
	払戻年月日	払戻年月日
	住所	住所
	氏名	氏名
	届出の印鑑を押してください。	届出の印鑑を押してください。

様式　適宜

川越寸法図

三年保存

差	排	預金通帳払戻請求書
*	*	窓口で通帳と払戻請求書

様式十一號

| 郵便番号 | 受　取　書　留　書 | | |

昭和十二年十一月

遞信省告示第三百二十一號

昭和十一年日本國遞信省告示第四十三號日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定中左ノ通修正シ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ實施スルコトニ日本國郵政廳及滿洲國郵政廳間ニ於テ協定シタリ

日次中第一編第一章第四條ノ次ニ「第四條ノ二　通關料」ヲ、第二十五條ノ次ニ左ノ一章ヲ加フ

第五章　集金郵便

第二十五條ノ二　集金郵便ト爲シ得ル證書類

第二十五條ノ三　委託手續

第二十五條ノ四　表示貨幣及金額制限

第二十五條ノ五　特別取扱請求

第二十五條ノ六　取立及送金手續

第二十五條ノ七　取扱中止期間

第二十五條ノ八　取消請求

第二十五條ノ九　證書及證券ノ還付

第二十五條ノ十　委託料、計算及清算

第四條第一項中「十一種」ヲ「十二種」ニ改メ同項ニ左ノ一號ヲ加フ

十二　通關料

第四條ノ次ニ左ノ一條ヲ加フ

第四條ノ二　通關料

稅關ノ檢査ニ付スル郵便物ニハ一箇ニ付通關料十錢（一角）ヲ課スルコトヲ得

前項ノ通關料ハ郵便物ヲ國外ニ輸送又ハ返送スル場合ニハ之ヲ取消スモノトス

第五條ノ次ニ左ノ一章ヲ加フ

第五章　賣捌

締約國郵政廳ハ左ノ場合ニ限リ萬國郵便聯合廳ノ規定ニ依リ郵便物ノ損害ヲ賠償ス其ノ賠償金額ハ郵便物一箇ニ付各下記ノ通トス

一　書留通常郵便物ヲ亡失シタルトキ　日本國通貨十圓

二　價格表記郵便物ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ　實損額但シ表記金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

三　小包郵便物ヲ亡失又ハ毀損シタルトキ　實損額但シ三十圓ヲ超ユルコトヲ得ズ

四　代金引換郵便物ノ取立金ノ取立ヲ爲サズシテ之ヲ交付シタルトキ　實損額但シ取立金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

五　集金郵便ノ證券ヲ亡失ハシメ又ハ取立ヲ爲サズシテ之ヲ交付シタルトキ　實損額但シ取立金額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第六條第一項中「郵便振替及郵便貯金」ヲ「郵便振替、郵便貯金、簡易生命保險及郵便年金」ニ、第二項中「郵務公吏」ヲ「郵政公吏」ニ改ム

第九條本文ヲ第一項トシ同項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

二　全部又ハ大部分ヲ印刷シタル證券ニ各自國ノ內國法制ノ定ムル所ニ依リ之ヲ印刷物トシテ差出スコトヲ得

第十條中「立券郵便」ヲ「立券郵件」ニ改メ「切手別納」ニ」ノ下ニ「「郵稟另納」ニ」ヲ加フ

第十七條第一項中「第十五條第一項」ノ下ニ「及第三項」ヲ加フ

第二十二條中（乙）滿洲國業務發日本國業務宛航空郵便物ニ付滿洲國郵政廳ノ徵收スル航空料十錢（一角）ヲ課スルコトヲ得

前項ノ通關料ハ郵便物ヲ國外ニ輸送又ハ返送スル場合ニハ之ヲ取消スモノトス

第二十三條第一號中（乙）滿洲國業務ヨリ交付スル日本國業務宛航空郵便物ニ付日本國郵政廳ノ收得スル航空運送料ノ裏中航空運送區間「朝鮮（大連ヲ含ム）內相互間」ヲ「日本國內地相互間」ニ、「日本國內地相互間」ヲ「日本國內地相互間（臺灣內相互間ヲ含ム）」ニ改メ第三號中(イ)ノ行ヲ削リ(ロ)及(ハ)ヲ夫々(イ)及(ロ)ニ改ム

第二十五條第二項ヲ削除ス

第五章　集金郵便

第二十五條ノ二　集金郵便ト爲シ得ル證書類

一　左ノ證書又ハ證券ハ之ヲ集金郵便ト爲スコトヲ得

(一)　證書　現金受領證

(二)　證券　無記名ノ公債證券、社債券若ハ其ノ利札又ハ貨物引換證、船荷證券其ノ他之ニ準ズルモノ

二　二通以上ノ證書又ハ證券ハ之ヲ一口ノ集金郵便ト爲スコトヲ得ズ但シ同一ノ委託者（差出人）ニ屬シ同一ノ支拂人（受取人）ヨリ同時ニ取立ヲ得ベキ證券ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十五條ノ三　委託手續

集金郵便ト爲シタル證書又ハ證券ニハ左ノ事項ヲ記載スル集金郵便委託書ヲ添附ス但シ第三號及第四號ノ事項ハ必要ノ場合ニ限リ之ヲ記載ス

(一)　委託者（差出人）及支拂人（受取人）ノ居所氏名

(二)　取立金額

(三)　證券名

(四)　第二十五條ノ五ノ規定ニ依ル取扱方法

二　第二十五條ノ六第五項ニ規定スル集金振替拂込ノ取扱ノ請求ヲ付テハ委託書ニ代ヘ兩國郵政廳間ニ別ニ協定スル式紙ヲ使用スルモノトス

第二十五條ノ四　表示貨幣及金額制限

集金郵便ノ取立金額ハ日本國通貨ヲ以テ之ヲ表示ス

集金郵便ノ取立金額ノ制限ハ證書ニ在リテハ三圓以上五十圓以下、證券ニ在リテハ三圓以上千圓以下トス

集金郵便ノ取立金額ニハ錢位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ズ

第二十五條ノ五　特別取扱請求

集金郵便ノ委託者（差出人）ハ左ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得該請求ヲ爲サントスルトキハ各其ノ下記ノ指定ヲ集金郵便委託書又ハ之ニ代ルベキモノニ記載スベシ

(一)　一回ノ取立ニ依リ現金ノ取立ヲ爲シ得ザルトキハ直ニ證券ヲ還付スル　「取立一回還付」

(二)　一定ノ期日ニ現金ノ取立ヲ爲スコト　「一月　日取立」

(三)　證書又ハ證券ヲ取立剩便局ニ留置キ支拂人（受取人）ノ出頭ヲ待テ其ノ取立ヲ爲スコト　「何局留置」又ハ「留置」

(四)　留置取立ノ集金郵便ニ付其ノ到著ヲ支拂人（受取人）ニ通知スルコト　「留置通知」

第二十五條ノ六　取立及送金手續

集金郵便ノ現金ノ取立ハ其ノ取立郵便局ニ到著ノ翌日ヨリ起算シ十日內ニ之ヲ爲ス但シ交通不便ニシテ十日內ニ取立ヲ爲スコトヲ得ザル場合ニハ之ヲ取立ヲ爲サザル期間ハ之ヲ取立期間ニ算入セズ

第二十五條ノ八　取消請求

集金郵便ノ委託者（差出人）ハ郵便局ニ於テ未ダ取立ヲ爲サザル集金郵便ヲ取消シ證書又ハ證券ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

集金郵便ノ取消ニ關スル場合ヲ除クノ外郵便物取扱ニ關スル規定ヲ準用ス

第二十五條ノ九　證書及證券ノ還付

左ノ場合ニ於テハ集金郵便ノ證書又ハ證券ハ之ヲ委託者（差出人）ニ還付ス

一　支拂人（受取人）ノ所在不明ナルトキ

二　支拂人（受取人）ガ集金郵便ノ取立ヲ取扱ハザル地域ニ移轉シタルトキ

三　現金ノ取立ヲ爲スコト能ハズシテ取立期間、取立期間又ハ留置期間ヲ經過シタルトキ

四　支拂人（受取人）ガ支拂ヲ爲サザル旨申出デタルトキ

第二十五條ノ十　委託料、計算及清算

集金郵便ノ委託者（差出人）ヨリ徵收スル集金委託料ハ一口ニ付證書ハ六錢（六分）證券ハ十五錢（一角五分）トシ其ノ半額ヲ取立國郵政廳ノ收得分トス收得分ハ第二十條ニ規定スル年次計算書ニ之ヲ記入ス第二十七條第一項第二節中「代金引換郵便物ノ取立金」ヲ「郵便取立金」ニ改ム

第二十八條第一項第二節ヲ左ノ如ク改ム

郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ料金ハ金額二十圓（圓）以下ナルトキハ小爲替ノ料金ノ剩合ニ依リ金額三十圓（圓）ヲ超ニ三百圓（圓）以下ナルトキハ前節ノ規定ニ依リ金額三百圓（圓）ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ニ對シテハ百圓（圓）迄毎ニ十錢（一角）ノ割合ニ依ル此ノ料金ハ爲替金拂渡ノ際其ノ受取人ヨリ之ヲ徵收ス

延長ス

集金郵便ノ支拂人（受取人）不在其ノ他ノ事由ニ因リ現金ノ取立ヲ爲スコト能ハザルトキハ前節ノ期間內ニ更ニ一回ノ取立ヲ爲ス

二　集金郵便ノ支拂人（受取人）他ニ移轉シタルトキハ其ノ移轉先ニ就キ前項ノ手續ヲ爲ス兩回ノ一方ノ內國制度ニ依ル集金郵便ノ支拂人（受取人）他方ニ移轉シタルトキ亦同ジ

三　現金受領證ニ依リ現金ノ取立ヲ爲シタルトキハ之ニ取立年月日ヲ記載ス

四　集金郵便取立金ハ兩國間ニ交換スル通常爲替ニ關スル規定ニ依リ委託者（差出人）ニ之ヲ送付ス

五　集金郵便ノ委託ヲ爲サントスル者郵便振替加入者ナルトキハ其ノ口座ヘノ集金振替拂込ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得該請求アリタル場合ニ於テハ取立金ハ通常振替ニ關スル規定ニ依リ委託者（差出人）ニ之ヲ送付ス

第二十五條ノ七　取扱中止期間

一　集金郵便ハ左ノ期間之ガ取扱ヲ爲サズ

日本國

引受ニ付テハ十二月二十五日ヨリ翌年一月三日迄

取立ニ付テハ一月一日ヨリ一月七日迄

滿洲國

引受ニ付テハ十二月二十五日ヨリ翌年一月三日迄及陰曆十二月末日ヨリ翌年一月五日迄

取立ニ付テハ一月一日ヨリ一月七日迄及陰曆一月一日ヨリ一月七日迄

二　前項ノ取立ヲ爲サザル期間ハ之ヲ取立期間ニ算入セズ

第二十五條ノ八　取消請求

集金郵便ノ委託者（差出人）ハ郵便局ニ於テ未ダ取立ヲ爲サザル集金郵便ヲ取消シ證書又ハ證券ノ還付ヲ請求スルコトヲ得

第六十七條中「拂込書」ノ下ニ「若ハ之ニ代ルベキモノ」ヲ加フ

第六十九條第一項中「拂込書」ノ下ニ「又ハ之ニ代ルベキモノ」ヲ加フ

最終規定第二項中但書ヲ削リ同項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ

三　集金振替拂込ノ料金ノ割當ニ付テハ引換代金振替拂込ノ料金ノ割當ノ例ニ依ル

四　郵便振替ノ取扱ヲ受ケントスル者ハ各國郵政廳ノ別ニ定ムル地域內ニ於テ發著スル普通拂出書、電信振替拂出證書又ハ口座受入濟通知ニ限リ其ノ速達郵便ニ依ル送達ヲ請求スルコトヲ得

普通拂出書ノ速達郵便ニ依ル送達ヲ請求セントスル者ハ第六十四條ニ規定スル口座受入濟通知ヲ請求スルコトヲ得

第一節ノ普通拂出書、電信振替拂出證書又ハ口座受入濟通知ニ付テハ第六十二條及第六十四條ノ規定ニ拘ラズ其ノ航空郵便ニ依ル送達ヲ請求スルコトヲ得ズ

昭和十年十二月二十六日卽チ康德二年十二月二十六日新京ニ於テ署名調印セラレタル日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定附屬ノ署名議定書ハ之ヲ廢止ス

昭和十一年十一月十二日東京ニ於テ及康德三年十一月十六日新京ニ於テ署名調印セラレタル日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定ヲ修正スル追加條款附屬ノ署名議定書中第一項ヲ削ル

附局振第五號中左ノ如ク改ム

「百位」ヲ「百四位」ニ、「十位」ヲ「十四位」ニ、「單位」ヲ「四位」ニ、「棚外注意葉中ノ郵便局ヘ又ハ其ノ日本貨幣ニ於ケル相當額トス

第三條　振出ノ通知

一　爲替ノ振出ノ通知ハ日本ニ於テハ附錄甲號雛形ニ適合スル目錄ヲ以テ又「カナダ」ニ於テハ附錄乙號雛形ニ適合スル目錄及關係爲替ノ證據書ヲ以テ之ヲ爲スベシ

目錄ニハ逐次番號ヲ又目錄ニ記載シタル爲替ニハ國際番號ヲ附スベク此等番號ハ每年第一號ヨリ始ムベシ

二　目錄又ハ證據書ノ記載ハ「アラビア」數字及「ラテン」文字ニテ之ヲ爲スベシ

差出人及受取人ノ氏名又ハ商社名若ハ會社名並ニ受取人ノ居所ハ正確且完全ニ之ヲ記載スベシ

三　「カナダ」ニ於テ目錄ニ添附スベキ爲替ノ證據書ニハ左ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

爲替ノ國際番號、振出局名、振出月日、振出番號、兩國貨幣ニ於ケル爲替ノ金額、受取人ノ居所氏名及差出人ノ氏名

受取人ノ居所氏名ハ「カナダ」ニ於ケル差出人ガ日本字又ハ漢字ヲ了解スル場合ニ在リテハ之ヲ日本字又ハ漢字ニテ補助式紙ニ記載スルコトヲ得該補助式紙ハ第二項ニ依リ作成スル式紙ニ添ヘ之ヲ送付スベシ

四　差出人ガ爲替差出ノ際約定第八條ノ規定ニ依リ拂渡濟通知ヲ請求シタル爲替ニ付テハ目錄ノ相當欄ニ「A・P」ナル記號ヲ附スベシ

五　目錄ハ通知スベキ爲替アル場合ニ限リ之ヲ送付ス

六　目錄又ハ證據書ガ名宛交換局ニ到著セザル場合ニ於テハ差立交換局ハ場合ニ依リ關係目錄又ハ證據書ノ確證複本ヲ遲滯ナク名宛交換局ニ送付スベシ

第四條　拂渡ノ停延

目錄又ハ證據書ニ名宛交換局ニ於テ訂正シ難キ誤謬アリテ差立交換局ニ照會ヲ爲シタルトキハ之ニ對スル回答ノ到著スル迄關係爲替ノ拂渡ヲ停延スルコトヲ得

第五條　拂渡濟通知書

拂渡濟通知ノ請求アリタルトキハ振出國ニ於テ附錄丙號雛形ニ適合シ又ハ類似スル式紙ニ關係爲替ノ細目ヲ記入シタル上之ヲ拂渡國ニ送付ス爲替差出ノ際爲サレタル請求ニ付テハ式紙ハ該爲替ヲ記載シタル目錄ニ之ヲ添附スベシ

拂渡ニ關スル細目ヲ記入シタル拂渡濟通知書ハ拂渡國ヨリ直接差出人ニ送付スベシ

第六條　誤謬ノ訂正

差出人ノ氏名又ハ受取人ノ居所氏名ノ訂正ハ各郵政廳ヨリ他方ノ郵政廳ニ對シ之ヲ請求スルコトヲ要ス

第七條　爲替ノ返還

名宛郵政廳ハ約定第九條及第十條ノ規定ニ依リ差出人ニ拂戻スベキ爲替ヲ附錄丁號雛形ニ適合スル明細書ヲ以テ每便振出郵政廳ニ返還スベシ此等爲替ノ金額ハ名宛國ノ貨幣ニテ之ヲ表示スベシ

第八條　取調請求

爲替ノ取調ニ關スル照復ハ兩郵政廳ヲ經テ之ヲ爲ス

第九條　計算

各郵政廳ハ月ノ終了後成ルベク速ニ附錄戊號雛形ニ適合スル式紙ニ依リ爲替ノ月次ノ計算書二通ヲ作成シ其ノ借高ニ對スル名宛國向ニ覺拂爲替手形又ハ小切手ヲ添ヘ之ヲ名宛郵政廳ニ送付スベシ

名宛郵政廳ニ於テ前項ニ規定スル計算書其ノ他ノ書類ヲ受領シタルトキハ計算書ノ一通ニ計算ヲ承認スル旨及貨高ノ支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載シタル上之ヲ返送スベシ

計算書ノ總テノ誤謬又ハ脫漏ハ之ヲ最近ノ計算書ニ於テ更正ス

第十條　通信及通告

各郵政廳ハ約定實施ノ少クトモ一月前ニ他ノ郵政廳ニ左ノ諸件ヲ通信シ又ハ通告スルコトヲ要ス

(イ)　爲替ノ受拂取扱局名表又ハ總テノ所屬局ガ本業務ヲ取扱フ旨ノ通知書

(ロ)　自廳ニ於テ爲替ニ關シ徵收スル諸料金

(ハ)　拂渡及拂戻ノ請求ナキ爲替ノ金額ヲ國庫ニ歸屬セシムベキ自國法制上ノ期間

郵政廳ハ其ノ決定スル換算割合及該割合ノ爾後ノ變更ヲ相互ニ通信スルコトヲ要ス

第十一條　規則ノ實施

本規則ハ郵便爲替交換ニ關スル約定實施ノ日ヨリ之ヲ施行スベシ

本規則ハ兩締約國郵政廳間ノ協議ヲ以テ之ヲ改締スルニ非ザレバ右約定ト同一ノ存續期間ヲ有スベシ

本書二通ヲ作成シ昭和十年八月二十四日東京ニ於テ及千九百三十五年十二月二十日「オッタワ」ニ於テ之ニ署名ス

日本國選信大臣　床次竹二郎

「カナダ」郵政大臣　ジェー、シー、エリオット

●日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定ノ施行規則

昭和十一年二月

遞信省第二百六十四號

昭和十一年ニ條約第一號日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定ノ施行規則左ノ如シ

日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定ノ施行規則

下ニ署名スル者ハ昭和十年八月二十四日東京ニ於テ及千九百三十五年十二月二十日「オッタワ」ニ於テ署名セラレタル日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定第十六條ニ依リ左ノ如ク協定シタリ

第一條　交換局

日本ニ於テハ在東京貯金局ヲ又「カナダ」ニ於テハ「ヴァンクーヴァー」郵便局ヲ以テ交換局ト指定ス

第二條　最高額

爲替一口ノ振出最高額ハ「カナダ」貨幣百弗又ハ其ノ日本貨幣ニ於ケル相當額トス

第三條　振出ノ通知

一　爲替ノ振出ノ通知ハ日本ニ於テハ附錄甲號雛形ニ適合スル目錄ヲ以テ又「カナダ」ニ於テハ附錄乙號雛形ニ適合スル目錄及關係爲替ノ證據書ヲ以テ之ヲ爲スベシ

目錄ニハ逐次番號ヲ又目錄ニ記載シタル爲替ニハ國際番號ヲ附スベク此等番號ハ每年第一號ヨリ始ムベシ

二　目錄又ハ證據書ノ記載ハ「アラビア」數字及「ラテン」文字ニテ之ヲ爲スベシ

差出人及受取人ノ氏名又ハ商社名若ハ會社名並ニ受取人ノ居所ハ正確且完全ニ之ヲ記載スベシ

三　「カナダ」ニ於テ目錄ニ添附スベキ爲替ノ證據書ニハ左ノ記載ヲ爲スコトヲ要ス

爲替ノ國際番號、兩國貨幣ニ於ケル爲替ノ金額、受取人ノ居所氏名及差出人ノ氏名

受取人ノ居所氏名ハ「カナダ」ニ於ケル差出人ガ日本字又ハ漢字ヲ了解スル場合ニ在リテハ之ヲ日本字又ハ漢字ニテ補助式紙ニ記載スルコトヲ得該補助式紙ハ第二項ニ依リ作成スル式紙ニ添ヘ之ヲ送付スベシ

四　差出人ガ爲替差出ノ際約定第八條ノ規定ニ依リ拂渡濟通知ヲ請求シタル爲替ニ付テハ目錄ノ相當欄ニ「A・P」ナル記號ヲ附スベシ

五　目錄ハ通知スベキ爲替アル場合ニ限リ之ヲ送付ス

六　目錄又ハ證據書ガ名宛交換局ニ到著セザル場合ニ於テハ差立交換局ハ場合ニ依リ關係目錄又ハ證據書ノ確證複本ヲ遲滯ナク名宛交換局ニ送付スベシ

第四條　拂渡ノ停延

目錄又ハ證據書ニ名宛交換局ニ於テ訂正シ難キ誤謬アリテ差立交換局ニ照會ヲ爲シタルトキハ之ニ對スル回答ノ到著スル迄關係爲替ノ拂渡ヲ停延スルコトヲ得

第五條　拂渡濟通知書

拂渡濟通知ノ請求アリタルトキハ振出國ニ於テ附錄丙號雛形ニ適合シ又ハ類似スル式紙ニ關係爲替ノ細目ヲ記入シタル上之ヲ拂渡國ニ送付ス爲替差出ノ際爲サレタル請求ニ付テハ式紙ハ該爲替ヲ記載シタル目錄ニ之ヲ添附スベシ

拂渡ニ關スル細目ヲ記入シタル拂渡濟通知書ハ拂渡國ヨリ直接差出人ニ送付スベシ

第六條　誤謬ノ訂正

差出人ノ氏名又ハ受取人ノ居所氏名ノ訂正ハ各郵政廳ヨリ他方ノ郵政廳ニ對シ之ヲ請求スルコトヲ要ス

第七條　爲替ノ返還

名宛郵政廳ハ約定第九條及第十條ノ規定ニ依リ差出人ニ拂戻スベキ爲替ヲ附錄丁號雛形ニ適合スル明細書ヲ以テ每便振出郵政廳ニ返還スベシ此等爲替ノ金額ハ名宛國ノ貨幣ニテ之ヲ表示スベシ

第八條　取調請求

爲替ノ取調ニ關スル照復ハ兩郵政廳ヲ經テ之ヲ爲ス

第九條　計算

各郵政廳ハ月ノ終了後成ルベク速ニ附錄戊號雛形ニ適合スル式紙ニ依リ爲替ノ月次ノ計算書二通ヲ作成シ其ノ借高ニ對スル名宛國向ニ覺拂爲替手形又ハ小切手ヲ添ヘ之ヲ名宛郵政廳ニ送付スベシ

名宛郵政廳ニ於テ前項ニ規定スル計算書其ノ他ノ書類ヲ受領シタルトキハ計算書ノ一通ニ計算ヲ承認スル旨及貨高ノ支拂ヲ受ケタル旨ヲ記載シタル上之ヲ返送スベシ

計算書ノ總テノ誤謬又ハ脫漏ハ之ヲ最近ノ計算書ニ於テ更正ス

第十條　通信及通告

各郵政廳ハ約定實施ノ少クトモ一月前ニ他ノ郵政廳ニ左ノ諸件ヲ通信シ又ハ通告スルコトヲ要ス

(イ)　爲替ノ受拂取扱局名表又ハ總テノ所屬局ガ本業務ヲ取扱フ旨ノ通知書

(ロ)　自廳ニ於テ爲替ニ關シ徵收スル諸料金

(ハ)　拂渡及拂戻ノ請求ナキ爲替ノ金額ヲ國庫ニ歸屬セシムベキ自國法制上ノ期間

郵政廳ハ其ノ決定スル換算割合及該割合ノ爾後ノ變更ヲ相互ニ通信スルコトヲ要ス

第十一條　規則ノ實施

本規則ハ郵便爲替交換ニ關スル約定實施ノ日ヨリ之ヲ施行スベシ

本規則ハ兩締約國郵政廳間ノ協議ヲ以テ之ヲ改締スルニ非ザレバ右約定ト同一ノ存續期間ヲ有スベシ

本書二通ヲ作成シ昭和十年八月二十四日東京ニ於テ及千九百三十五年十二月二十日「オッタワ」ニ於テ之ニ署名ス

日本國遞信大臣　床次竹二郎

「カナダ」郵政大臣　ジェー、シー、エリオット

甲號雛形

目錄爲替向　印局

省信遞本日

目錄第……號

第……葉

備考	拂渡局名	爲替ノ內國ノ	金額 爲替	金額 拂込	金額 ノ居所受取人	ノ氏名受取人	ノ氏名差出人	振出局名	振出番號	振出月日	國際番號
					計						

ス成作テ於ニ……日……月……年

（署名）

乙號雛形

目錄第……號

第……葉

目錄爲替向　「カナダ」　印局

備考	拂渡局名	爲替ノ內國ノ	通知拂渡濟	金額 額ル於ケ幣國名ニ金ヶ貨宛	金額 拂渡濟	國際番號
計合						

ス成作テ於ニ……日……月……年

（署名）

丁　號　雛　形

……郵政廳
明細書第……號
第……葉

局　印

返還爲替ノ明細書

目錄ノ番號	目錄ノ日附	爲替ノ國際番號	名宛國貨幣ニ於ケル爲替金額	返還事由	備考
合　計					

年……月……日……ニ於テ作成ス

（署　名）

丙　號　雛　形　（表面）

……郵政廳 郵便爲替金…… 振出局名…… ……年……月……日番號…… 差出人氏名…… 受取人氏名…… 受取人居所……	拂渡濟通知書 通知書發送局印 宛　名…… …… …… 名宛地…… …… …… 通信事務

（裏面）

表面記載ノ爲替ハ……年……月……日正ニ拂渡ヲ了シタリ

拂渡局印　　1)
署名
受取人　　拂渡局當務者

1)此ノ通知書ハ受取人又ハ名宛國ノ規則ニ定ムル所ニ依リ拂渡局當務者ニ於テ之ニ署名シ最近便ヲ以テ差出人ニ直接返送スルコトヲ要ス

第三款　郵便爲替

●郵便爲替法

明治三十三年三月
法律第五十五號
改正　大正五年一第一號

脫帝國議會ノ協賛ヲ經タル郵便爲替法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

郵便爲替法

第一條　郵便爲替ハ通常爲替電信爲替及小爲替ノ三種トス

第二條　通常爲替證書及小爲替證書ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外差出人ニ於テ之ヲ其ノ受取人ニ送達ス

電信爲替證書ハ郵便官署ニ於テ之ヲ其ノ受取人ニ送達ス

第三條　郵便官署ハ差出人ノ請求ニ因リ通常爲替證書及電信爲替證書ニ對スル郵便爲替金ノ拂渡前ニ於テ其ノ拂渡ヲ停止シ又ハ其ノ拂戻ヲ爲スコトヲ得

第四條　郵便爲替ニ關シ無能力者ノ郵便官署ニ對シテ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第五條　郵便官署ハ受取人ノ眞偽ヲ調査スル爲受取人ヲシテ必要ナル證明ヲ爲サシムルコトヲ得

第六條　郵便爲替ニ關スル書類ニ付テハ印紙稅ヲ課セス

第七條　郵便爲替金額ノ制限及郵便爲替ニ關スル料金ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第八條　郵便爲替ニ關スル料金ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外郵便切手ヲ以テ納付スヘシ

第九條　郵便爲替ニ關スル既納及過納ノ料金ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第十條　郵便爲替證書ノ有效期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ六十日トス

前項ノ期間ハ交通不便ノ地方ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ延長スルコトヲ得

第十一條　郵便官署ニ於テ郵便爲替金ノ拂渡ヲ遲延シタルカ爲經過シタル日數ハ前條ノ有效期間ニ算入セス

第十二條　郵便爲替證書ノ有效期間ヲ經過シタルトキ又ハ郵便爲替證書ヲ亡失毀損若ハ汚損シタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ差出人又ハ受取人ニ於テ再度證書ノ交付又ハ爲替金ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得

再度證書ヲ發行シタルトキハ原證書ハ無效トス

第十三條　郵便爲替證書ノ有效期間滿了ノ日ヨリ三箇年間前條ノ請求ヲ爲ササルトキハ其ノ郵便爲替金ハ國庫ノ所有ニ歸ス

第十四條　成規ノ手續ヲ經テ爲替金ヲ交付シタルトキハ正當ノ拂渡ヲ爲シタルモノト看做ス

第十五條　郵便官署ハ郵便爲替金拂渡ノ遲延ニ因リ生シタル損害ニ付賠償ノ責ニ任セス

第十六條　郵便爲替ニ關シ條約ニ別段ノ規定アルモノハ其ノ規定ニ依ル

附　則

第十七條　本法ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

郵便條例第十二章及第二百四十二條ハ之ヲ廢止ス

第十八條　本法施行前ニ發行シタル郵便爲替證書及郵便小爲替證書ニ關シテハ本法ノ規定ヲ適用ス但シ本法施行前其ノ有效期間滿了シタルモノニ在リテハ第十三條ノ期間ハ五箇年トシ其ノ有效期間滿了セサルモノニ在リテハ第十條第一項ノ期間ハ郵便爲替證書ニ付テハ六十日トス

附　則（大正五年一月法律第一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正五年三月一日勅令第四十六號ヲ以テ大正五年四月一日ヨリ施行）

本法施行前發行シタル郵便爲替證書ノ有效期間ハ仍從前ノ例ニ依ル

●郵便爲替規則

明治四十四年三月
逓信省令第二十七號

改正　明治四五年三第二一號、四四年四第八號、大正二年二第七號、三年一二第二七號、五年四第六號、五年四第三一號、五年七第六〇號、八年七第二一六號、九年二第二一六號、一〇年三第三八號、一一年一二第一五七號、一二年三第三八號、一三年一二第八八號、一四年一〇第二〇號、一五年四第一二號、昭和二年九第九一號、六年四第五二號、一二年一〇第一七號、一二年一二第一九〇號、一三年四第八九號

郵便爲替規則左ノ通定ム

第一章　總則
第二章　通常爲替
第一節　振出
第二節　拂渡
第三節　拂渡停止及拂戻
第四節　拂渡若ハ拂戻郵便局所ノ變更

第三章　電信爲替
第四章　小爲替
第五章　郵便爲替證書讓渡
第六章　再度證書
第七章　郵便爲替金拂渡濟通知

郵便爲替規則

第一章　總則

第一條　朝鮮内及朝鮮ト内地、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ノ間ニ取組ム郵便爲替ハ本令ニ依リ之ヲ取扱フ

第二條　郵便爲替ハ郵便局所ニ於テ之ヲ取扱フ但シ特ニ之ヲ取扱ハサルコトヲ告示シタル局所ハ此ノ限ニ在ラス

京城貯金管理所（現在ノ京城貯金支所）ハ特ニ指定シタル郵便爲替ニ限リ之ヲ取扱フ

第三條　郵便爲替證書一枚ノ金額制限ハ左ノ如シ

一　通常爲替
　三百圓
一　電信爲替
　五百圓
一　小爲替
　二十圓

通常爲替及小爲替ノ金額ニハ錢位未滿、電信爲替ノ金額ニハ、圓位未滿ノ端數ヲ付スルコトヲ得ス

第四條　定期又ハ無定期ニ高額ノ金員ヲ郵便爲替ニ依リ送付セムトスル者ハ豫メ朝鮮總督府遞信局長ノ認可ヲ受クルトキハ通常爲替證書一枚ノ金額ヲ規定ノ制限額以上ニ高ムルコトヲ得

第五條　前條ノ認可ヲ受ケタル者一年間其ノ振出ヲ爲ササルトキハ認可ハ其ノ效力ヲ失フ

第六條　郵便、郵便爲替、郵便貯金、電信、電話ノ事務ニ關シ當該官署相互間又ハ當該官署ト其ノ官吏トノ間ニ受授スル官金、朝鮮總督ニ於テ特ニ必要ト認メタル者ノ間ニ受授スル金員竝郵便切手類及收入印紙買受代金ハ無料通常爲替ト爲スコトヲ得

前項ノ無料通常爲替ニ對シテハ其ノ證書一枚ノ金額ニ制限ヲ付セス

第六條ノ二　郵便取立金ハ之ヲ通常爲替トス

前項ノ通常爲替ニ對シテハ其ノ證書一枚ノ金額制限ヲ適用セス

第七條　郵便爲替證書一枚ノ爲替料ハ左ノ如シ

朝鮮内

五十圓迄	十錢	五百圓ヲ超ユル毎ニ十錢ヲ加徴ス	
百圓迄	十五錢	通常爲替	
二百圓迄	二十錢	百圓迄	五十錢
三百圓迄	二十五錢	二百圓迄	百圓迄
四百圓迄	三十錢	三百圓迄	百五十圓迄
五百圓迄	三十五錢	四百圓迄	二百圓迄
六百圓迄	四十錢	五百圓迄	二百五十圓迄
七百圓迄	四十五錢	六百圓迄	三百圓迄
八百圓迄	五十錢	七百圓迄	三百五十圓迄
九百圓迄	五十五錢	八百圓迄	四百圓迄
千圓迄	六十錢	九百圓迄	四百五十圓迄
千五百圓迄	七十錢	千圓迄	五百圓迄
二千圓迄	八十錢	千五百圓迄	七百五十圓迄
二千五百圓迄	九十錢	二千圓迄	千圓迄
三千圓迄	百錢	二千五百圓迄	千二百五十圓迄
		三千圓迄	千五百圓迄

電信爲替

五十圓迄	十錢	五百圓ヲ超ユル毎ニ十錢ヲ加徴ス	
百圓迄	十五錢	小爲替	
二百圓迄	二十錢	百圓迄	五十錢
三百圓迄	二十五錢	二百圓迄	百圓迄
四百圓迄	三十錢	三百圓迄	百五十圓迄
五百圓迄	三十五錢	四百圓迄	二百圓迄
六百圓迄	四十錢	五百圓迄	二百五十圓迄
七百圓迄	四十五錢	六百圓迄	三百圓迄
八百圓迄	五十錢	七百圓迄	三百五十圓迄
九百圓迄	五十五錢	八百圓迄	四百圓迄
千圓迄	六十錢	九百圓迄	四百五十圓迄
千五百圓迄	七十錢	千圓迄	五百圓迄
二千圓迄	八十錢	千五百圓迄	七百五十圓迄
二千五百圓迄	九十錢	二千圓迄	千圓迄
三千圓迄	百錢	二千五百圓迄	千二百五十圓迄
		三千圓迄	千五百圓迄

形雛號戊

印局

……年

ルタレ換交ニ間ノト「ダナカ」ト本日中月

書算計總ノ替爲便郵

ルケ於ニ郵貨……

目錄　目錄　目錄
番號　目附　金額ノ目錄

計合ノ目錄
排戻爲替ノ金額
失效〃
差引ベキ額
殘額
上記金額ノ千分ノ四ノ手數料
……ノ貨高
……ノ支拂ヒタル額　日附　合計　金額
……ノ貨差タル

第……號同封ス　小爲替手形　爲替手形ノ濟決書算計本

……年……月……日……ニ於テ

（署名）

第……號ヲ受領ス正ニ

上記計算書ヲ承認シ併セテ上記爲替手形　小爲替手形ヲ

……年……月……日……ニ於テ

（署名）

第三十一條　郵便爲替ハ左ノ種類トス

一　通常爲替

二　電信爲替

三　小爲替

第三十二條　通常爲替ハ現金ヲ以テ之ヲ發受ス

第三十三條　電信爲替ハ現金ヲ以テ之ヲ發受シ且電信ヲ以テ其ノ支拂ヲ爲サシムルモノトス

第三十四條　小爲替ハ現金ヲ以テ之ヲ發受シ且郵便官署ニ於テ其ノ支拂ヲ爲スモノトス

第三十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第五十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第六十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第七十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第八十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第九十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百二十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百三十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百四十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百五十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百六十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百七十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百八十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第百九十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百二十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百三十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百四十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百五十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百六十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百七十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百八十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第二百九十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百二十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百三十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百四十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百五十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百六十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百七十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百八十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第三百九十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百二十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百三十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十四條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十五條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十六條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十七條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十八條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百四十九條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十一條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十二條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十三條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十四條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十五條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十六條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十七條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十八條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百五十九條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十一條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十二條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十三條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十四條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十五條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十六條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十七條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十八條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百六十九條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百七十條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百七十一條　電信爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百七十二條　小爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百七十三條　通常爲替ハ郵便官署ニ於テ之ヲ發受ス

第四百七十四

ヲ記入スヘシ但シ小爲替證書持參人ヲシテ爲替金ノ拂渡ヲ受ケシメムトスルトキハ受取人ノ隨意ノ郵便局所ニ於テ其ノ拂渡ヲ受ケシメムトスルトキハ受取人ノ宿所氏名又ハ拂渡郵便局所名ノ記入ヲ省略スルコトヲ得

第四十九條　小爲替ノ差出人拂渡郵便局所又ハ受取人ノ宿所氏名ヲ變更シ若ハ其ノ指定ヲ取消サムトスルトキハ小爲替證書及小爲替金受領證書ヲ郵便局所ニ呈示シ其ノ認可ノ證印ヲ受クヘシ

第五十條　小爲替ノ受取人爲替金ノ拂渡ヲ請求セムトスルトキハ小爲替證書ニ宿所氏名ヲ記載シ調印ノ上之ヲ拂渡郵便局所ニ差出スヘシ

第五十一條　小爲替證書ニシテ左ノ事項判明ナラサルモノハ毀損汚斑シタルモノトス

一　爲替金額

二　爲替證書ノ記號番號

三　受取人及拂渡郵便局所ノ指定欄

四　爲替證書ノ日附

第五十二條　小爲替證書亡失ノ場合ニ於テハ其ノ發行ノ日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非サレハ爲替金ノ拂戻ヲ爲サス但シ相當保證人ヲ立テ請求スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第五十三條　第二十六條乃至第二十八條、第三十條、第三十四條第二項及第三十五條ノ規定ハ之ヲ小爲替金ノ拂渡及拂戻ニ又第三十八條、第三十九條及第四十二條ノ規定ハ小爲替金拂戻郵便局所ノ變更ニ之ヲ準用ス但シ第三十四條第二項ノ場合ニ於テハ尚差出人ノ宿所ヲ記入スヘシ又第三十四條第二項第三十五條及第三十九條ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ小爲替一口ニ付金五錢ヲ納付スヘシ

第五章　郵便爲替證書ノ讓渡

第五十四條　郵便爲替證書ハ其ノ裏面ニ之ヲ平行線ヲ畫シ銀行ニ對シ任意ニ之ヲ讓渡スコトヲ得但シ特ニ銀行ヲ指定セムトスルトキハ其ノ線内ニ銀行ノ名稱ヲ記載スヘシ

第五十五條　線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ニ對シ銀行ヨリ爲替金ノ拂渡ヲ請求スルトキハ第二十三條ノ手續ヲ爲サス之ヲ拂渡ヲ爲スヘシ

第五十六條　線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ニ指定銀行ハ線引ヲ爲シタル郵便爲替金ノ受領ニ關シ使用スルコトヲ得但シ線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行ハ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲシテ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵便爲替證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付テハ郵便局所ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受クヘシ

第五十七條　前條第一項ノ規定ニ依リ拂渡ヲ爲シタル郵便爲替ニシテ其ノ拂渡ヲ爲サス之ヲ拂渡停止ノ請求ヲ爲シタル場合ニ於テハ豫メ其ノ拂渡ヲ受ケムトスル郵便局所ヲ指定シ遞信局長ノ承認ヲ受クヘシ

第五十七條ノ二　讓受銀行ハ線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ニ指定銀行ノ拂渡郵便局所ニ拘ラス最寄郵便局所ニ就キ之カ拂渡ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ其ノ拂渡ヲ受ケムトスル郵便局所ヲ指定シ遞信局長ノ承認ヲ受クヘシ

第五十七條ノ三　前條第一項ノ規定ニ依リ拂渡ヲ爲シタル郵便爲替ニシテ其ノ拂渡ヲ爲サス之カ拂渡ヲ請求スルトキハ第二十三條ノ手續ヲ爲サス之カ拂渡ヲ爲スヘシ

第五十八條　線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ニ對シ銀行ヨリ爲替金ノ拂渡ヲ請求スルトキハ第二十三條ノ手續ヲ爲サス之カ拂渡ヲ爲スヘシ

第五十九條　線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ニ指定銀行ノ拂渡郵便局所ニ就キ之カ拂渡ヲ請求スルコトヲ得但シ線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行ハ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲシテ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵便爲替證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付テハ郵便局所ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受クヘシ

第六十條　線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ニシテ銀行ノ拂渡ヲ爲サス之カ拂渡ヲ請求スル場合ニ於テハ豫メ其ノ拂渡ヲ受ケムトスル郵便局所ヲ指定シ遞信局長ノ承認ヲ受クヘシ

第六十一條　前二條ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ郵便爲替一口ニ付通常爲替又ハ電信爲替ノ金五錢ヲ納付スヘシ

第六十二條　再度證書ノ請求ニ對シテハ管理所ニ於テ其ノ爲替金ノ拂渡ナキコトヲ確メタル上再度證書ヲ發行シ將又郵便ニ依リ之ヲ請求シ又ハ其ノ指定銀行ヲ變更シ若ハ其ノ指定ヲ取消シ又ハ其ノ指定銀行ヲシテ拂渡ヲ爲サス之カ拂渡ヲ請求スルトキハ豫メ其ノ拂渡ヲ受ケムトスル郵便局所ヲ指定シ遞信局長ノ承認ヲ受クヘシ

第六十三條　小爲替證書ノ亡失ニ因ル再度證書ノ請求ニ對シテハ其ノ發行ノ日ヨリ百二十日ヲ經過シタル後ニ非サレハ再度證書ヲ發行セス但シ相當保證人ヲ立テ請求スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十四條　郵便爲替證書ニ爲シタル拂渡濟通知ノ請求ニ對シテハ豫メ其ノ拂渡濟否ノ照會ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ料金トシテ郵便ニ依ルモノハ金四錢電信ニ依ルモノハ該電報料金ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

附　則

本令ハ明治四十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年勅令第二十二號同四十三年同第二十六號及同朝鮮總督府令第五十號ハ之ヲ廢止ス

附　則（大正五年四月總令第三十一號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前發行シタル郵便爲替證書ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前取立ニ係ル郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ料金ハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十一年十二月總令第百五號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

小爲替差出人前項ノ請求ヲ爲ストキハ其ノ宿所氏名ヲ申出ツヘシ

第六十五條　郵便爲替ノ場合ニ於テハ其ノ料金トシテ郵便爲替一口ニ付郵便ニ依ルモノハ金四錢電信ニ依ルモノハ該電報料金ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

第六十六條　郵便爲替金拂渡濟通知ノ請求アルモノニ付テハ其ノ拂渡濟通知ヲ爲スヘシ

第六十七條　郵便爲替證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付テハ郵便爲替證書ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受クヘシ

第六十八條　拂渡郵便局所ニ於テ拂渡濟通知ヲ要スル郵便爲替金ヲ拂渡シタルトキハ請求ノ區別ニ依リ郵便又ハ電報ヲ以テ其ノ旨ヲ差出人ニ通知ス

第六十九條　郵便爲替ノ差出人又ハ受取人ハ其ノ爲替金拂渡濟否ノ取調ヲ請求スルコトヲ得但シ線引ヲ爲シタル郵便爲替證書ノ亡失ニ因ル場合ニ於テハ郵便爲替組別、振出月日、證書記號番號、爲替金額、拂渡郵便局所名及受取人宿所氏名ヲ記載シタル請求書ヲ郵便局所ニ差出スヘシ

前項ノ請求ニ對シ受付郵便局所ニ於テ拂渡濟否ノ照會ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ料金トシテ郵便ニ依ルモノハ金四錢電信ニ依ルモノハ該電報料金ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

附　則

本令ハ明治四十四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十一年勅令第二十二號同四十三年同第二十六號及同朝鮮總督府令第五十號ハ之ヲ廢止ス

附　則（大正五年四月總令第三十一號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前發行シタル郵便爲替證書ニ對シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前取立ニ係ル郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ料金ハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十一年十二月總令第百五號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十二年三月總令第三十八號）

本令ハ大正十二年三月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

郵便取立金ニ對スル通常爲替ノ受取人ニシテ本令施行前郵便物委託ノ際豫メ當該爲替金ノ居宅拂ヲ請求シタルモノニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

附　則（大正十三年十二月總令第八十八號）

本令ハ大正十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前郵便爲替金居宅拂ノ請求ヲ受理シタルモノニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正十四年十月總令第百二號）

本令ハ大正十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和二年九月總令第九十一號）

本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年四月總令第五十一號）

本令ハ昭和六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前發行シタル郵便爲替證書ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和十一年十月總令第百四號）

本令ハ昭和十一年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ昭和十二年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年四月總令第八十九號）

本令ハ昭和十三年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便爲替特別取扱規則

昭和七年五月
總令第四十七號

郵便爲替特別取扱規則左ノ通定ム

郵便爲替特別取扱規則

第一條　本令ニ依リ特別取扱ヲ爲ス郵便爲替（以下單ニ特別扱郵便爲替ト稱ス）ハ滿洲並關東廳ニ關シ間島地方ニ出動シタル陸軍部隊、軍人又ハ軍屬ヨリ振出ス通常郵便爲替ニ限ル

第二條　特別扱郵便爲替ノ取扱ニ關シテハ爲替料及其ノ他ノ料金ヲ發收セス

第三條　特別扱郵便爲替ニ付テハ特殊取扱ノ請求ヲ爲スコトヲ得但シ證書送達及振出ノ請求書誤記訂正ノ請求ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　特別扱郵便爲替ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外郵便爲替規則ニ依ル

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●俘虜郵便爲替規則

大正三年十一月
總令第百六十四號

俘虜郵便爲替規則左ノ通定ム

俘虜郵便爲替規則

第一條　本令ニ於テ俘虜ノ爲替金ヲ發受スル郵便官署ハ俘虜ニ於テ其ノ俘虜ノ爲替金ヲ發受スル內國通常郵便爲替及外國通常郵便爲替ヲ謂フ

第二條　俘虜郵便爲替ニ關シテハ本令ニ定ムルモノヲ除ク外總テ內國郵便爲替及外國郵便爲替ニ關スル一般ノ規定ニ依ル

第三條　俘虜郵便爲替ハ依約ニ依リ總テ其ノ料金ヲ免除セラルルモノトス

第四條　俘虜郵便爲替ノ振出ヲ請求セムトスル者ハ通常爲替振出請求書又ハ外國郵便爲替振出請求書ニ「俘虜爲替」ノ文字ヲ記載シ郵便局所ニ差出スヘシ

第五條　俘虜郵便爲替ニ關シ俘虜ニ交付スヘキ爲替金、爲替證書、爲替券及其ノ他ノ書類ハ代理ノ手續ヲ要セス俘虜收容所ノ監督者ニ交付ス

第六條　俘虜收容所ノ監督者ハ代理ノ手續ヲ要セス俘虜ニ代リ郵便局所ニ對シ俘虜郵便爲替ニ關スル各種ノ請求ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●外國郵便爲替規則

大正十四年九月
遞令第六十五號

外國郵便爲替規則左ノ通改正ス

目　次

第一章　總則（第一條）

第二章　振出（第二條）

第一節　外國通常爲替（第二條）

第二節　外國電信爲替（第三條）

第三章　特殊取扱（第一節　留置（第二節　別配達（第三節　拂渡濟通知（第四節　取調請求（第五節　名宛變更（第六節　取戻（第七節　拂渡停止（第四章　到著

第一節　外國通常爲替（第二節　外國電信爲替（第五章　轉送（第六章　拂渡（第七章　有效期間（第八章　爲替證書ノ毀損汚斑（第九章　再度證書（第十章　拂戻（第十一章　拂渡郵便官署又ハ拂戻郵便官署ノ變更（第十二章　外國ニ於テ振出シタル郵便爲替ノ取調請求（附　則

外國郵便爲替規則

第一章　總則

第一條　郵便爲替ニ關スル條約又ハ約定ニ依リ本邦ト外國トノ間ニ交換スル通常爲替及電信爲替ハ之ヲ外國郵便爲替ト稱ス

第二條　本邦ト外國郵便爲替ノ直接交換ヲ保持スル國ノ媒介ニ依リ他ノ國ト間接ニ交換スル外國郵便爲替ハ之ヲ媒介爲替ト稱シ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外總テ當該媒介國ニ宛テ又ハ之ヨリ寄スル外國郵便爲替ニ關スル規定ヲ適用ス

第三條　外國郵便爲替ノ取扱ヲ爲ス郵便官署及其ノ取扱ノ事務ノ範圍ハ別ニ之ヲ告示ス

第四條　本邦ト外國郵便爲替ヲ交換スル國並之ニ宛ツル爲替ノ表示貨幣及爲替一口ノ振出最高額ハ別ニ之ヲ告示ス

第五條　外國電信爲替ヲ交換ニ無線電信ヲ使用スルコトヲ得ル國ト交換スル外國電信爲替ノ爲替電報ハ之ヲ書信電報ト爲スコトヲ得

第六條　外國郵便爲替ノ金額ニハ錢位未滿ノ端數又ハ別ニ告示シタル爲替金額表示貨幣ニ於ケル最低位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ス

第七條　本邦ト外國郵便爲替ヲ交換スル國ニ於ケル本邦向爲替ノ表示貨幣、爲替一口ノ振出最高額、爲替取扱郵便局及爲替ノ時效期間ハ別ニ之ヲ告示ス

第八條　外國通常爲替一口ノ爲替料ハ左ノ如シ

一　中華民國ト交換スルモノ

五圓迄　五　錢
十圓迄　十　錢
二十圓迄　十五　錢
三十圓迄　二十　錢
四十圓迄　二十五　錢
五十圓迄　三十　錢
六十圓迄　三十五　錢
九十圓迄　四十　錢
百二十圓迄　四十五　錢
百五十圓迄　五十　錢
百八十圓迄　五十五　錢
二百十圓迄　六十　錢
二百四十圓迄　六十五　錢
二百七十圓迄　七十　錢
三百圓迄　七十五　錢
三百三十圓迄　八十　錢
三百六十圓迄　八十五　錢
四百圓迄　九十　錢

二　其ノ他ノ外國ト交換スルモノ

爲替一口毎ニ十錢、及爲替金額十圓迄毎ニ五錢

六號、一〇年七號二二號、一二年二號七號、一三年三號二一號、一三年四號三四號

第二十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ其ノ營業ニ關シ郵便爲替ノ引受ヲ爲ス旨ヲ公告スヘシ

第二十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第二十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第百條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第二十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ其ノ營業ニ關シ郵便爲替ノ引受ヲ爲ス旨ヲ公告スヘシ

第二十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第二十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第三十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第四十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第五十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第六十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第七十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第八十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十一條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十二條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十三條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十四條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十五條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十六條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十七條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十八條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第九十九條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

第百條　郵便爲替ノ引受ヲ爲ス者ハ郵便爲替ノ種類及其ノ金額ニ應シ郵便爲替保證金ヲ供託スヘシ

●外國郵便為替ノ取扱ヲ爲ス事務ノ範圍

本令ハ明治十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治十二年四月二日遞信省令第七十六號ヲ以テ明治十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治十二年十二月二十八日遞信省令第七十五號ヲ以テ明治十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治十三年十二月二十八日遞信省令第七十四號ヲ以テ明治十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治十四年十二月二十八日遞信省令第七十三號ヲ以テ明治十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治十五年十二月二十八日遞信省令第七十二號ヲ以テ明治十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治十六年十二月二十八日遞信省令第七十一號ヲ以テ明治十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治十七年十二月二十八日遞信省令第七十號ヲ以テ明治十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治十八年十二月二十八日遞信省令第六十九號ヲ以テ明治十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治十九年十二月二十八日遞信省令第六十八號ヲ以テ明治二十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十年十二月二十八日遞信省令第六十七號ヲ以テ明治二十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十一年十二月二十八日遞信省令第六十六號ヲ以テ明治二十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十二年十二月二十八日遞信省令第六十五號ヲ以テ明治二十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十三年十二月二十八日遞信省令第六十四號ヲ以テ明治二十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十四年十二月二十八日遞信省令第六十三號ヲ以テ明治二十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十五年十二月二十八日遞信省令第六十二號ヲ以テ明治二十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十六年十二月二十八日遞信省令第六十一號ヲ以テ明治二十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十七年十二月二十八日遞信省令第六十號ヲ以テ明治二十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十八年十二月二十八日遞信省令第五十九號ヲ以テ明治二十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治二十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治二十九年十二月二十八日遞信省令第五十八號ヲ以テ明治三十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十年十二月二十八日遞信省令第五十七號ヲ以テ明治三十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十一年十二月二十八日遞信省令第五十六號ヲ以テ明治三十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十二年十二月二十八日遞信省令第五十五號ヲ以テ明治三十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十三年十二月二十八日遞信省令第五十四號ヲ以テ明治三十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十四年十二月二十八日遞信省令第五十三號ヲ以テ明治三十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十五年十二月二十八日遞信省令第五十二號ヲ以テ明治三十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十六年十二月二十八日遞信省令第五十一號ヲ以テ明治三十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十七年十二月二十八日遞信省令第五十號ヲ以テ明治三十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十八年十二月二十八日遞信省令第四十九號ヲ以テ明治三十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治三十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治三十九年十二月二十八日遞信省令第四十八號ヲ以テ明治四十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治四十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治四十年十二月二十八日遞信省令第四十七號ヲ以テ明治四十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治四十一年十二月二十八日遞信省令第四十六號ヲ以テ明治四十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治四十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治四十二年十二月二十八日遞信省令第四十五號ヲ以テ明治四十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治四十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治四十三年十二月二十八日遞信省令第四十四號ヲ以テ明治四十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治四十四年十二月二十八日遞信省令第四十三號ヲ以テ明治四十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ明治四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（明治四十五年四月一日遞信省令第四十二號ヲ以テ大正二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正二年十二月二十八日遞信省令第四十一號ヲ以テ大正三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正三年十二月二十八日遞信省令第四十號ヲ以テ大正四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正四年十二月二十八日遞信省令第三十九號ヲ以テ大正五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正五年十二月二十八日遞信省令第三十八號ヲ以テ大正六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正六年十二月二十八日遞信省令第三十七號ヲ以テ大正七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正七年十二月二十八日遞信省令第三十六號ヲ以テ大正八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正八年十二月二十八日遞信省令第三十五號ヲ以テ大正九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正九年十二月二十八日遞信省令第三十四號ヲ以テ大正十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正十年十二月二十八日遞信省令第三十三號ヲ以テ大正十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正十一年十二月二十八日遞信省令第三十二號ヲ以テ大正十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正十二年十二月二十八日遞信省令第三十一號ヲ以テ大正十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正十三年十二月二十八日遞信省令第三十號ヲ以テ大正十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正十四年十二月二十八日遞信省令第二十九號ヲ以テ大正十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ大正十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（大正十五年十二月二十八日遞信省令第二十八號ヲ以テ昭和二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二年十二月二十八日遞信省令第二十七號ヲ以テ昭和三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三年十二月二十八日遞信省令第二十六號ヲ以テ昭和四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四年十二月二十八日遞信省令第二十五號ヲ以テ昭和五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五年十二月二十八日遞信省令第二十四號ヲ以テ昭和六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和六年十二月二十八日遞信省令第二十三號ヲ以テ昭和七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和七年十二月二十八日遞信省令第二十二號ヲ以テ昭和八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和八年十二月二十八日遞信省令第二十一號ヲ以テ昭和九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和九年十二月二十八日遞信省令第二十號ヲ以テ昭和十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十年十二月二十八日遞信省令第十九號ヲ以テ昭和十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十一年十二月二十八日遞信省令第十八號ヲ以テ昭和十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十二年十二月二十八日遞信省令第十七號ヲ以テ昭和十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十三年十二月二十八日遞信省令第十六號ヲ以テ昭和十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十四年十二月二十八日遞信省令第十五號ヲ以テ昭和十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十五年十二月二十八日遞信省令第十四號ヲ以テ昭和十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十六年十二月二十八日遞信省令第十三號ヲ以テ昭和十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十七年十二月二十八日遞信省令第十二號ヲ以テ昭和十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十八年十二月二十八日遞信省令第十一號ヲ以テ昭和十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和十九年十二月二十八日遞信省令第十號ヲ以テ昭和二十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十年十二月二十八日遞信省令第九號ヲ以テ昭和二十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十一年十二月二十八日遞信省令第八號ヲ以テ昭和二十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十二年十二月二十八日遞信省令第七號ヲ以テ昭和二十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十三年十二月二十八日遞信省令第六號ヲ以テ昭和二十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十四年十二月二十八日遞信省令第五號ヲ以テ昭和二十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十五年十二月二十八日遞信省令第四號ヲ以テ昭和二十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十六年十二月二十八日遞信省令第三號ヲ以テ昭和二十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十七年十二月二十八日遞信省令第二號ヲ以テ昭和二十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和二十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和二十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和二十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和三十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和三十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和三十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和四十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和四十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和四十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和五十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和五十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和五十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和六十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和六十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和六十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和六十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和六十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和六十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和六十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和六十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和六十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ昭和六十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ昭和六十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（昭和六十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成元年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成元年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成元年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成二十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成二十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成二十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成三十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成三十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成三十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ平成三十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ平成三十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（平成三十一年四月三十日遞信省令第一號ヲ以テ令和元年五月一日ヨリ施行）

本令ハ令和元年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和元年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和二十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和二十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和二十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和三十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和三十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和三十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和四十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和四十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和四十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十二年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十三年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十三年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十四年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十四年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十四年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十五年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十五年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十五年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十六年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十六年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十六年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十七年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十七年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十七年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十八年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十八年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十八年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和五十九年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和五十九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和五十九年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和六十年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和六十年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和六十年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和六十一年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和六十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和六十一年十二月二十八日遞信省令第一號ヲ以テ令和六十二年一月一日ヨリ施行）

本令ハ令和六十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

（令和六十二年十二月二十八日

清津郵便局　大邱郵便局
慶南浦郵便局

二　前號以外ノ郵便局及郵便集配事務ヲ取扱フ郵便所　外國通常爲替ノ受拂事務

三　郵便集配事務ヲ取扱ハザル郵便所　支那トノ約定ニ依ル外國通常爲替ノ受拂事務

●日滿郵便爲替規則

昭和十一年一月
遞令第三號

改正　昭和二年九勅第六號、二年三勅二三號、二年八第六〇號、二年一一第一〇一號

日滿郵便爲替規則左ノ通定ム

日滿郵便爲替規則

第一條　日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ依リ本邦ト滿洲國以下之ニ倣フ間ニ交換スル郵便爲替ハ之ヲ日滿郵便爲替ト稱ス

日滿郵便爲替ハ日滿通常爲替、日滿電信爲替及日滿小爲替ノ三種トス

第二條　日滿郵便爲替ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外內國郵便爲替ニ關スル規定ヲ準用ス

第三條　滿洲國ノ日滿郵便爲替取扱局及其ノ取扱事務ノ種類ハ之ヲ告示ス

第四條　日滿電信爲替ノ料金ハ關東州ニ在ル郵便局所ト取組ム內國電信爲替ノ料金ニ依ル

第五條　削除

第六條　日滿郵便爲替ニ付テハ郵便爲替規則第十一條ニ規定スル料金ノ外業務ノ停止ニ因リ拂戻ト爲リタル爲替ニ關スル料金ハ之ヲ還付ス

第七條　削除

第八條　日滿郵便爲替ノ受取人其ノ宿所ヲ本邦ト外國通常爲替又ハ外國電信爲替ノ交換ヲ爲スヘキ旨ヲ確告シ其ノ確告ノ日ヨリ六十日內ニ通帳ヲ提出セス又ハ預入金ノ處分ヲ申出サルトキハ其ノ郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ國庫ノ所有ニ歸ス

郵便貯金拂出ニ關スル證書ノ有效期間滿了ノ日ヨリ三年間再度證書交付又ハ拂出金戻入ノ請求ナキ場合ニ於テハ其ノ拂出金ハ國庫ノ所有ニ歸ス

一定ノ期間拂戻ヲ爲ササル條件ヲ以テ預入シタル郵便貯金ニ付テハ其ノ期間ハ第一項ノ期間ニ算入セス

附　則

第九條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正九年九月勅令第三百八十六號ヲ以テ大正九年十月一日ヨリ施行）

七月一日ヨリ施行）

郵便貯金條例ハ之ヲ廢止ス

第二十條　本法施行前ニ預入シタル郵便貯金ニ關シテハ本法ノ規定ヲ適用ス

本法施行前又ハ本法施行後一年內ニ第十八條第一項ノ期間ヲ經過シ又ハ經過スヘキ郵便貯金ニ付テハ本法施行ノ際郵便官署ニ於テ其ノ預ケ入ニ對シ郵便貯金通帳ノ提出又ハ預入金ノ處分ヲ爲スヘキ旨ヲ催告スヘシ

其ノ催告ノ日ヨリ一年內ニ通帳ヲ提出セス又ハ預入金ノ處分ヲ申出サルトキハ更ニ其ノ旨ヲ公告シ尙一年內ニ之ニ應スル者ナキトキハ其ノ貯金及保管ニ係ル國債證券ハ國庫ノ所有ニ歸ス

本法施行前發行シタル拂戻證書ノ有效期間ハ本法施行ノ日ヨリ六十日トス

附　則（大正九年八月法律第三十三號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正九年九月勅令第三百八十六號ヲ以テ大正九年十月一日ヨリ施行）

附　則（大正十二年四月法律第四十五號）

本法ハ產業組合中央金庫法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

ナキ場合ニ於テハ郵便官署ハ其ノ預ケ人ニ對シ郵便貯金通帳ノ提出又ハ預入金ノ處分ヲ爲スヘキ旨ノ確告シ其ノ確告ノ日ヨリ六十日內ニ通帳ヲ提出セス又ハ預入金ノ處分ヲ申出サルトキハ其ノ郵便貯金及保管ニ係ル證券ハ國庫ノ所有ニ歸ス

郵便貯金拂出ニ關スル證書ノ有效期間滿了ノ日ヨリ三年間再度證書交付又ハ拂出金戻入ノ請求ナキ場合ニ於テハ其ノ拂出金ハ國庫ノ所有ニ歸ス

一定ノ期間拂戻ヲ爲ササル條件ヲ以テ預入シタル郵便貯金ニ付テハ其ノ期間ハ第一項ノ期間ニ算入セス

附　則

第十條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正九年九月勅令第三百八十六號ヲ以テ大正九年十月一日ヨリ施行）

●郵便貯金規則

明治四十四年三月
總令第三十一號

改正　明治四年一四第三八號、四五年四第二八號、大正元年一一第六四號、四五年五第九三號、二年三第一〇號、四年三第三〇號、五年五第四二號、五年六第四五號、五年七第四八號、七年四第二八號、八年一第六二號、七年五第五二號、八年三第八九號、八年五第八九號、八年六第一〇三號、九年三第二八號、一〇年三第三九號、一一年九第一七號、一〇年三第三九號、一一年九第一七號、一二年一第一號、一四年一第一二號、一五年五第四〇號、一五年八第六六號、昭和二年七第七號、二年九第二八號、四年四第三二號、六年四第五二號、八年九第五號、一〇年一第四號、一一年一第一七號、一〇年三第三九號、一一年九第一七號、一二年一第一號、一四年一第一二號、一五年五第四〇號、一五年八第六六號、昭和二年七第七號、二年九第二八號、四年四第三二號、六年四第五二號、八年九第五號、一〇年一第四號、一一年一

第八十五條　郵便ハ人ノ住所又ハ居所ニ送達ス但特別ノ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ取扱フ

第八十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ配達ス

第八十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ交付ス

第八十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ保管ス

第九十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ返還ス

第九十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ還付ス

第九十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ差押フルコトヲ得ス

第九十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ留置スルコトヲ得ス

第九十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ開披スルコトヲ得ス

第九十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ検閲スルコトヲ得ス

第九十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ没収スルコトヲ得ス

第九十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ廃棄スルコトヲ得ス

第九十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第九十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百二十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百三十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百四十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百五十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百六十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百七十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百八十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第百九十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百二十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百三十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百四十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百五十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百六十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百七十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百八十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第二百九十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百二十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百三十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百四十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百五十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百六十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百七十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百八十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第三百九十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百二十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百三十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百四十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十三條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十四條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十五條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十六條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十七條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十八條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百五十九條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百六十條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百六十一條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四百六十二條　郵便ハ郵便官署ニ於テ之ヲ処分スルコトヲ得ス

第四

承認シタルモノハ本令ニ依リ其ノ取扱ヲ承認シタルモノト看做ス

附　則（大正十一年九月勅令第百二十二號）

本令ハ大正十一年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

從來ノ振替貯金預ケ入ハ原簿所管廳ノ通告ニ基キ通帳ヲ郵便局所ニ差出シ振替貯金預ケ入ニ交付ヲ請求スヘシ但シ當分ノ內從來ノ通帳ニ特別ノ徴號ヲ附シ振替貯金通帳ノ交付ニ代フルコトアルヘシ

附　則（昭和二年七月勅令第七十二號）

本令ハ昭和二年七月一日以後預入又ハ移替ヲ爲シタル分ヨリ之ヲ適用ス

附　則（昭和二年九月勅令第九十二號）

本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年二月勅令第七號）

本令ハ昭和四年二月十一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年四月勅令第三十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前發行ニ係ル振替貯金通帳ハ本令施行後ト雖仍ホ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ通帳ニ對スル再度通帳ニハ本令施行後ト雖當分ノ內從前ノ振替貯金通帳ヲ以テ之ニ充ツ

從前發行ニ係ル振替貯金通帳ヲ所持スル振替貯金預ケ人期間滿了ノ際其ノ貯金ノ全拂又ハ振替期間ノ延伸ヲ爲ササル場合ニ於テ他ニ通常貯金通帳ヲ所持セサルトキハ當該通帳ヲ郵便局所ヲ經テ貯金原簿所管廳ニ差出シ通常貯金通帳ト引換ノ請求ヲ爲スヘシ

附　則（昭和六年四月勅令第五十二號）

本令ハ昭和六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前發行シタル郵便貯金拂戻證券ノ有效期間ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和十年一月勅令第四號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依ル證券保管通帳ヲ所持スル貯金預ケ人證券ニ關シ各種ノ踏求ヲ爲ス場合及郵便官署ノ通告ヲ受ケタル場合ニ於テハ證券保管證ト引換ノ爲當該證券保管通帳ヲ郵便局所ニ差出シ其ノ受領證ヲ受取ヘシ但シ明治三十九年勅令第二百十二號及大正四年勅令第二百四號ニ依ル特別證券保管通帳ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

附　則（昭和十一年九月勅令第九十一號）

本令ハ昭和十一年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ於テ購入及保管スヘキ證券ノ種類

大正十三年九月
逓信省第百九十五號

改正　大正二三年一〇第二〇四號、一四年九第三五號、昭和六年七第二四九號、一〇年五第三一七號、一二年一二第八九號

郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ於テ購入及保管スヘキ證券ノ種類左ノ通定ム但シ無記名ニシテ拂込金完濟ノモノニ限ル

一　預ケ入ノ貯金ヲ以テ購入保管スルモノ

各種內國債證券（台湾ノモノヲ含ム）

勸業債券（大正十年法律第八十號ニ依リ設立セラレタル勸業銀行ノ發行ニ係ルモノヲ含ム）

北海道拓殖債券

興業債券

復興貯蓄債券

貯蓄債券（台湾ノモノヲ含ム）

二　預ケ入ノ所有ニ係ル證券ヲ保管スルモノ

各種內國債證券

勸業債券（大正十年法律第八十號ニ依リ設立セラレタル勸業銀行ノ發行ニ係ルモノヲ含ム）

復興貯蓄債券

貯蓄債券（台湾ノモノヲ含ム）

北海道拓殖債券

興業債券

大正五年朝鮮總督府告示第二百六號及大正十二年朝鮮總督府告示第二百九十號ハ之ヲ廢止ス

（昭和十年五月勅令第三百十七號ハ昭和十年六月一日ヨリ施行）

●郵便貯金規則ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル證券ノ種類

大正八年十二月
逓信省第三百五十六號

改正　昭和二年第三二二號

郵便貯金規則ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル證券ノ種類左ノ如シ

一　各府縣債證券及其ノ利札

各市債證券及其ノ利札

二　勸業債券及其ノ利札

三　以上各項ノ證券及其ノ利札ハ無記名ノモノニ限ル

大正七年朝鮮總督府告示第百二十號ハ之ヲ廢止ス

●支那事變國債及貯蓄債券ノ購入保管料金引下ニ關スル件

昭和十三年六月
總令第百十八號

支那事變國債及貯蓄債券ノ購入保管料金引下ニ關スル件左ノ通定ム

郵便官署ニ於テ郵便貯金預ケ人ノ請求ニ依リ其ノ貯金ノ一部ヲ以テ郵便局實掛ノ裝ニアル國庫債券又ハ臨時資金調整法ニ依リ發行セラレタル貯蓄債券ヲ購入保管スル場合ハ當分ノ內左ノ料金ヲ徵收ス貯金預ケ入ノ所有ニ係ル此等ノ債券ヲ保管スル場合亦同ジ

一　國庫債券　一枚ニ付　十錢
貯蓄債券　一枚ニ付　五錢

二　前號ノ外利子渡期毎ニ債券一枚ニ付一錢

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便貯金利子割合ノ件

明治三十八年五月
勅令第百六十六號

改正　明治三九年一第二號、同三年二第五號、大正元年一二第五一號、同年三第三六號、四年八第二六〇號、九年一二第三八號、九年四第二〇號、九年九第三八二號、九年一二第三八九號、一〇年一第一號、一〇年三第三八號、一〇年四第六二號、一〇年八第二四〇號、一〇年一二第四〇三號、一一年一第一號、一一年一第一〇號、一一年一第一二號、一一年一第一四號、一一年一第一五號、一一年一第一六號、一一年一第一七號、一一年一第一八號、一一年一第一九號、一一年一第二〇號、一一年一第二一號、一一年一第二二號、一一年一第二三號、一一年一第二四號、一一年一第二五號、一一年一第二六號、一一年一第二七號、一一年一第二八號、一一年一第二九號、一一年一第三〇號、一一年一第三一號、一一年一第三二號、一一年一第三三號、一一年一第三四號、一一年一第三五號、一一年一第三六號、一一年一第三七號、一一年一第三八號、一一年一第三九號、一一年一第四〇號、一一年一第四一號、一一年一第四二號、一一年一第四三號、一一年一第四四號、一一年一第四五號、一一年一第四六號、一一年一第四七號、一一年一第四八號、一一年一第四九號、一一年一第五〇號、一一年一第五一號、一一年一第五二號、一一年一第五三號、一一年一第五四號、一一年一第五五號、一一年一第五六號、一一年一第五七號、一一年一第五八號、一一年一第五九號、一一年一第六〇號、一一年一第六一號、一一年一第六二號、一一年一第六三號、一一年一第六四號、一一年一第六五號、一一年一第六六號、一一年一第六七號、一一年一第六八號、一一年一第六九號、一一年一第七〇號、一一年一第七一號、一一年一第七二號、一一年一第七三號、一一年一第七四號、一一年一第七五號、一一年一第七六號、一一年一第七七號、一一年一第七八號、一一年一第七九號、一一年一第八〇號、一一年一第八一號、一一年一第八二號、一一年一第八三號、一一年一第八四號、一一年一第八五號、一一年一第八六號、一一年一第八七號、一一年一第八八號、一一年一第八九號、一一年一第九〇號、一一年一第九一號、一一年一第九二號、一一年一第九三號、一一年一第九四號、一一年一第九五號、一一年一第九六號、一一年一第九七號、一一年一第九八號、一一年一第九九號、一一年一第一〇〇號、一一年一第一〇一號、一一年一第一〇二號、一一年一第一〇三號、一一年一第一〇四號、一一年一第一〇五號、一一年一第一〇六號、一一年一第一〇七號、一一年一第一〇八號、一一年一第一〇九號、一一年一第一一〇號、一一年一第一一一號、一一年一第一一二號、一一年一第一一三號、一一年一第一一四號、一一年一第一一五號、一一年一第一一六號、一一年一第一一七號、一一年一第一一八號、一一年一第一一九號、一一年一第一二〇號、一一年一第一二一號、一一年一第一二二號、一一年一第一二三號、一一年一第一二四號、一一年一第一二五號、一一年一第一二六號、一一年一第一二七號、一一年一第一二八號、一一年一第一二九號、一一年一第一三〇號、一一年一第一三一號、一一年一第一三二號、一一年一第一三三號、一一年一第一三四號、一一年一第一三五號、一一年一第一三六號、一一年一第一三七號、一一年一第一三八號、一一年一第一三九號、一一年一第一四〇號、一一年一第一四一號、一一年一第一四二號、一一年一第一四三號、一一年一第一四四號、一一年一第一四五號、一一年一第一四六號、一一年一第一四七號、一一年一第一四八號、一一年一第一四九號、一一年一第一五〇號、一一年一第一五一號、一一年一第一五二號、一一年一第一五三號、一一年一第一五四號、一一年一第一五五號、一一年一第一五六號、一一年一第一五七號、一一年一第一五八號、一一年一第一五九號、一一年一第一六〇號、一一年一第一六一號、一一年一第一六二號、一一年一第一六三號、一一年一第一六四號、一一年一第一六五號、一一年一第一六六號、一一年一第一六七號、一一年一第一六八號、一一年一第一六九號、一一年一第一七〇號、一一年一第一七一號、一一年一第一七二號、一一年一第一七三號、一一年一第一七四號、一一年一第一七五號、一一年一第一七六號、一一年一第一七七號、一一年一第一七八號、一一年一第一七九號、一一年一第一八〇號、一一年一第一八一號、一一年一第一八二號、一一年一第一八三號、一一年一第一八四號、一一年一第一八五號、一一年一第一八六號、一一年一第一八七號、一一年一第一八八號、一一年一第一八九號、一一年一第一九〇號、一一年一第一九一號、一一年一第一九二號、一一年一第一九三號、一一年一第一九四號、一一年一第一九五號、一一年一第一九六號、一一年一第一九七號、一一年一第一九八號、一一年一第一九九號、一一年一第二〇〇號、一一年一第二〇一號、一一年一第二〇二號、一一年一第二〇三號、一一年一第二〇四號、一一年一第二〇五號、一一年一第二〇六號、一一年一第二〇七號、一一年一第二〇八號、一一年一第二〇九號、一一年一第二一〇號、一一年一第二一一號、一一年一第二一二號、一一年一第二一三號、一一年一第二一四號、一一年一第二一五號、一一年一第二一六號、一一年一第二一七號、一一年一第二一八號、一一年一第二一九號、一一年一第二二〇號、一一年一第二二一號、一一年一第二二二號、一一年一第二二三號、一一年一第二二四號、一一年一第二二五號、一一年一第二二六號、一一年一第二二七號、一一年一第二二八號、一一年一第二二九號、一一年一第二三〇號、一一年一第二三一號、一一年一第二三二號、一一年一第二三三號、一一年一第二三四號、一一年一第二三五號、一一年一第二三六號、一一年一第二三七號、一一年一第二三八號、一一年一第二三九號、一一年一第二四〇號、一一年一第二四一號、一一年一第二四二號、一一年一第二四三號、一一年一第二四四號、一一年一第二四五號、一一年一第二四六號、一一年一第二四七號、一一年一第二四八號、一一年一第二四九號、一一年一第二五〇號、一一年一第二五一號、一一年一第二五二號、一一年一第二五三號、一一年一第二五四號、一一年一第二五五號、一一年一第二五六號、一一年一第二五七號、一一年一第二五八號、一一年一第二五九號、一一年一第二六〇號、一一年一第二六一號、一一年一第二六二號、一一年一第二六三號、一一年一第二六四號、一一年一第二六五號、一一年一第二六六號、一一年一第二六七號、一一年一第二六八號、一一年一第二六九號、一一年一第二七〇號、一一年一第二七一號、一一年一第二七二號、一一年一第二七三號、一一年一第二七四號、一一年一第二七五號、一一年一第二七六號、一一年一第二七七號、一一年一第二七八號、一一年一第二七九號、一一年一第二八〇號、一一年一第二八一號、一一年一第二八二號、一一年一第二八三號、一一年一第二八四號、一一年一第二八五號、一一年一第二八六號、一一年一第二八七號、一一年一第二八八號、一一年一第二八九號、一一年一第二九〇號、一一年一第二九一號、一一年一第二九二號、一一年一第二九三號、一一年一第二九四號、一一年一第二九五號、一一年一第二九六號、一一年一第二九七號、一一年一第二九八號、一一年一第二九九號、一一年一第三〇〇號、一一年一第三〇一號、一一年一第三〇二號、一一年一第三〇三號、一一年一第三〇四號、一一年一第三〇五號、一一年一第三〇六號、一一年一第三〇七號、一一年一第三〇八號、一一年一第三〇九號、一一年一第三一〇號、一一年一第三一一號、一一年一第三一二號、一一年一第三一三號、一一年一第三一四號、一一年一第三一五號、一一年一第三一六號、一一年一第三一七號、一一年一第三一八號、一一年一第三一九號、一一年一第三二〇號、一一年一第三二一號、一一年一第三二二號、一一年一第三二三號、一一年一第三二四號、一一年一第三二五號、一一年一第三二六號、一一年一第三二七號、一一年一第三二八號、一一年一第三二九號、一一年一第三三〇號、一一年一第三三一號、一一年一第三三二號、一一年一第三三三號、一一年一第三三四號、一一年一第三三五號、一一年一第三三六號、一一年一第三三七號、一一年一第三三八號、一一年一第三三九號、一一年一第三四〇號、一一年一第三四一號、一一年一第三四二號、一一年一第三四三號、一一年一第三四四號、一一年一第三四五號、一一年一第三四六號、一一年一第三四七號、一一年一第三四八號、一一年一第三四九號、一一年一第三五〇號、一一年一第三五一號、一一年一第三五二號、一一年一第三五三號、一一年一第三五四號、一一年一第三五五號、一一年一第三五六號、一一年一第三五七號、一一年一第三五八號、一一年一第三五九號、一一年一第三六〇號、一一年一第三六一號、一一年一第三六二號、一一年一第三六三號、一一年一第三六四號、一一年一第三六五號、一一年一第三六六號、一一年一第三六七號、一一年一第三六八號、一一年一第三六九號、一一年一第三七〇號、一一年一第三七一號、一一年一第三七二號、一一年一第三七三號、一一年一第三七四號、一一年一第三七五號、一一年一第三七六號、一一年一第三七七號、一一年一第三七八號、一一年一第三七九號、一一年一第三八〇號、一一年一第三八一號、一一年一第三八二號、一一年一第三八三號、一一年一第三八四號、一一年一第三八五號、一一年一第三八六號、一一年一第三八七號、一一年一第三八八號、一一年一第三八九號、一一年一第三九〇號、一一年一第三九一號、一一年一第三九二號、一一年一第三九三號、一一年一第三九四號、一一年一第三九五號、一一年一第三九六號、一一年一第三九七號、一一年一第三九八號、一一年一第三九九號、一一年一第四〇〇號、一一年一第四〇一號、一一年一第四〇二號、一一年一第四〇三號、一一年一第四〇四號、一一年一第四〇五號、一一年一第四〇六號、一一年一第四〇七號、一一年一第四〇八號、一一年一第四〇九號、一一年一第四一〇號、一一年一第四一一號、一一年一第四一二號、一一年一第四一三號、一一年一第四一四號、一一年一第四一五號、一一年一第四一六號、一一年一第四一七號、一一年一第四一八號、一一年一第四一九號、一一年一第四二〇號、一一年一第四二一號、一一年一第四二二號、一一年一第四二三號、一一年一第四二四號、一一年一第四二五號、一一年一第四二六號、一一年一第四二七號、一一年一第四二八號、一一年一第四二九號、一一年一第四三〇號、一一年一第四三一號、一一年一第四三二號、一一年一第四三三號、一一年一第四三四號、一一年一第四三五號、一一年一第四三六號、一一年一第四三七號、一一年一第四三八號、一一年一第四三九號、一一年一第四四〇號、一一年一第四四一號、一一年一第四四二號、一一年一第四四三號、一一年一第四四四號、一一年一第四四五號、一一年一第四四六號、一一年一第四四七號、一一年一第四四八號、一一年一第四四九號、一一年一第四五〇號、一一年一第四五一號、一一年一第四五二號、一一年一第四五三號、一一年一第四五四號、一一年一第四五五號、一一年一第四五六號、一一年一第四五七號、一一年一第四五八號、一一年一第四五九號、一一年一第四六〇號、一一年一第四六一號、一一年一第四六二號、一一年一第四六三號、一一年一第四六四號、一一年一第四六五號、一一年一第四六六號、一一年一第四六七號、一一年一第四六八號、一一年一第四六九號、一一年一第四七〇號、一一年一第四七一號、一一年一第四七二號、一一年一第四七三號、一一年一第四七四號、一一年一第四七五號、一一年一第四七六號、一一年一第四七七號、一一年一第四七八號、一一年一第四七九號、一一年一第四八〇號、一一年一第四八一號、一一年一第四八二號、一一年一第四八三號、一一年一第四八四號、一一年一第四八五號、一一年一第四八六號、一一年一第四八七號、一一年一第四八八號、一一年一第四八九號、一一年一第四九〇號、一一年一第四九一號、一一年一第四九二號、一一年一第四九三號、一一年一第四九四號、一一年一第四九五號、一一年一第四九六號、一一年一第四九七號、一一年一第四九八號、一一年一第四九九號、一一年一第五〇〇號、一一年一第五〇一號、一一年一第五〇二號、一一年一第五〇三號、一一年一第五〇四號、一一年一第五〇五號、一一年一第五〇六號、一一年一第五〇七號、一一年一第五〇八號、一一年一第五〇九號、一一年一第五一〇號、一一年一第五一一號、一一年一第五一二號、一一年一第五一三號、一一年一第五一四號、一一年一第五一五號、一一年一第五一六號、一一年一第五一七號、一一年一第五一八號、一一年一第五一九號、一一年一第五二〇號、一一年一第五二一號、一一年一第五二二號、一一年一第五二三號、一一年一第五二四號、一一年一第五二五號、一一年一第五二六號、一一年一第五二七號、一一年一第五二八號、一一年一第五二九號、一一年一第五三〇號、一一年一第五三一號、一一年一第五三二號、一一年一第五三三號、一一年一第五三四號、一一年一第五三五號、一一年一第五三六號、一一年一第五三七號、一一年一第五三八號、一一年一第五三九號、一一年一第五四〇號、一一年一第五四一號、一一年一第五四二號、一一年一第五四三號、一一年一第五四四號、一一年一第五四五號、一一年一第五四六號、一一年一第五四七號、一一年一第五四八號、一一年一第五四九號、一一年一第五五〇號、一一年一第五五一號、一一年一第五五二號、一一年一第五五三號、一一年一第五五四號、一一年一第五五五號、一一年一第五五六號、一一年一第五五七號、一一年一第五五八號、一一年一第五五九號、一一年一第五六〇號、一一年一第五六一號、一一年一第五六二號、一一年一第五六三號、一一年一第五六四號、一一年一第五六五號、一一年一第五六六號、一一年一第五六七號、一一年一第五六八號、一一年一第五六九號、一一年一第五七〇號、一一年一第五七一號、一一年一第五七二號、一一年一第五七三號、一一年一第五七四號、一一年一第五七五號、一一年一第五七六號、一一年一第五七七號、一一年一第五七八號、一一年一第五七九號、一一年一第五八〇號、一一年一第五八一號、一一年一第五八二號、一一年一第五八三號、一一年一第五八四號、一一年一第五八五號、一一年一第五八六號、一一年一第五八七號、一一年一第五八八號、一一年一第五八九號、一一年一第五九〇號、一一年一第五九一號、一一年一第五九二號、一一年一第五九三號、一一年一第五九四號、一一年一第五九五號、一一年一第五九六號、一一年一第五九七號、一一年一第五九八號、一一年一第五九九號、一一年一第六〇〇號、一一年一第六〇一號、一一年一第六〇二號、一一年一第六〇三號、一一年一第六〇四號、一一年一第六〇五號、一一年一第六〇六號、一一年一第六〇七號、一一年一第六〇八號、一一年一第六〇九號、一一年一第六一〇號、一一年一第六一一號、一一年一第六一二號、一一年一第六一三號、一一年一第六一四號、一一年一第六一五號、一一年一第六一六號、一一年一第六一七號、一一年一第六一八號、一一年一第六一九號、一一年一第六二〇號、一一年一第六二一號、一一年一第六二二號、一一年一第六二三號、一一年一第六二四號、一一年一第六二五號、一一年一第六二六號、一一年一第六二七號、一一年一第六二八號、一一年一第六二九號、一一年一第六三〇號、一一年一第六三一號、一一年一第六三二號、一一年一第六三三號、一一年一第六三四號、一一年一第六三五號、一一年一第六三六號、一一年一第六三七號、一一年一第六三八號、一一年一第六三九號、一一年一第六四〇號、一一年一第六四一號、一一年一第六四二號、一一年一第六四三號、一一年一第六四四號、一一年一第六四五號、一一年一第六四六號、一一年一第六四七號、一一年一第六四八號、一一年一第六四九號、一一年一第六五〇號、一一年一第六五一號、一一年一第六五二號、一一年一第六五三號、一一年一第六五四號、一一年一第六五五號、一一年一第六五六號、一一年一第六五七號、一一年一第六五八號、一一年一第六五九號、一一年一第六六〇號、一一年一第六六一號、一一年一第六六二號、一一年一第六六三號、一一年一第六六四號、一一年一第六六五號、一一年一第六六六號、一一年一第六六七號、一一年一第六六八號、一一年一第六六九號、一一年一第六七〇號、一一年一第六七一號、一一年一第六七二號、一一年一第六七三號、一一年一第六七四號、一一年一第六七五號、一一年一第六七六號、一一年一第六七七號、一一年一第六七八號、一一年一第六七九號、一一年一第六八〇號、一一年一第六八一號、一一年一第六八二號、一一年一第六八三號、一一年一第六八四號、一一年一第六八五號、一一年一第六八六號、一一年一第六八七號、一一年一第六八八號、一一年一第六八九號、一一年一第六九〇號、一一年一第六九一號、一一年一第六九二號、一一年一第六九三號、一一年一第六九四號、一一年一第六九五號、一一年一第六九六號、一一年一第六九七號、一一年一第六九八號、一一年一第六九九號、一一年一第七〇〇號、一一年一第七〇一號、一一年一第七〇二號、一一年一第七〇三號、一一年一第七〇四號、一一年一第七〇五號、一一年一第七〇六號、一一年一第七〇七號、一一年一第七〇八號、一一年一第七〇九號、一一年一第七一〇號、一一年一第七一一號、一一年一第七一二號、一一年一第七一三號、一一年一第七一四號、一一年一第七一五號、一一年一第七一六號、一一年一第七一七號、一一年一第七一八號、一一年一第七一九號、一一年一第七二〇號、一一年一第七二一號、一一年一第七二二號、一一年一第七二三號、一一年一第七二四號、一一年一第七二五號、一一年一第七二六號、一一年一第七二七號、一一年一第七二八號、一一年一第七二九號、一一年一第七三〇號、一一年一第七三一號、一一年一第七三二號、一一年一第七三三號、一一年一第七三四號、一一年一第七三五號、一一年一第七三六號、一一年一第七三七號、一一年一第七三八號、一一年一第七三九號、一一年一第七四〇號、一一年一第七四一號、一一年一第七四二號、一一年一第七四三號、一一年一第七四四號、一一年一第七四五號、一一年一第七四六號、一一年一第七四七號、一一年一第七四八號、一一年一第七四九號、一一年一第七五〇號、一一年一第七五一號、一一年一第七五二號、一一年一第七五三號、一一年一第七五四號、一一年一第七五五號、一一年一第七五六號、一一年一第七五七號、一一年一第七五八號、一一年一第七五九號、一一年一第七六〇號、一一年一第七六一號、一一年一第七六二號、一一年一第七六三號、一一年一第七六四號、一一年一第七六五號、一一年一第七六六號、一一年一第七六七號、一一年一第七六八號、一一年一第七六九號、一一年一第七七〇號、一一年一第七七一號、一一年一第七七二號、一一年一第七七三號、一一年一第七七四號、一一年一第七七五號、一一年一第七七六號、一一年一第七七七號、一一年一第七七八號、一一年一第七七九號、一一年一第七八〇號、一一年一第七八一號、一一年一第七八二號、一一年一第七八三號、一一年一第七八四號、一一年一第七八五號、一一年一第七八六號、一一年一第七八七號、一一年一第七八八號、一一年一第七八九號、一一年一第七九〇號、一一年一第七九一號、一一年一第七九二號、一一年一第七九三號、一一年一第七九四號、一一年一第七九五號、一一年一第七九六號、一一年一第七九七號、一一年一第七九八號、一一年一第七九九號、一一年一第八〇〇號、一一年一第八〇一號、一一年一第八〇二號、一一年一第八〇三號、一一年一第八〇四號、一一年一第八〇五號、一一年一第八〇六號、一一年一第八〇七號、一一年一第八〇八號、一一年一第八〇九號、一一年一第八一〇號、一一年一第八一一號、一一年一第八一二號、一一年一第八一三號、一一年一第八一四號、一一年一第八一五號、一一年一第八一六號、一一年一第八一七號、一一年一第八一八號、一一年一第八一九號、一一年一第八二〇號、一一年一第八二一號、一一年一第八二二號、一一年一第八二三號、一一年一第八二四號、一一年一第八二五號、一一年一第八二六號、一一年一第八二七號、一一年一第八二八號、一一年一第八二九號、一一年一第八三〇號、一一年一第八三一號、一一年一第八三二號、一一年一第八三三號、一一年一第八三四號、一一年一第八三五號、一一年一第八三六號、一一年一第八三七號、一一年一第八三八號、一一年一第八三九號、一一年一第八四〇號、一一年一第八四一號、一一年一第八四二號、一一年一第八四三號、一一年一第八四四號、一一年一第八四五號、一一年一第八四六號、一一年一第八四七號、一一年一第八四八號、一一年一第八四九號、一一年一第八五〇號、一一年一第八五一號、一一年一第八五二號、一一年一第八五三號、一一年一第八五四號、一一年一第八五五號、一一年一第八五六號、一一年一第八五七號、一一年一第八五八號、一一年一第八五九號、一一年一第八六〇號、一一年一第八六一號、一一年一第八六二號、一一年一第八六三號、一一年一第八六四號、一一年一第八六五號、一一年一第八六六號、一一年一第八六七號、一一年一第八六八號、一一年一第八六九號、一一年一第八七〇號、一一年一第八七一號、一一年一第八七二號、一一年一第八七三號、一一年一第八七四號、一一年一第八七五號、一一年一第八七六號、一一年一第八七七號、一一年一第八七八號、一一年一第八七九號、一一年一第八八〇號、一一年一第八八一號、一一年一第八八二號、一一年一第八八三號、一一年一第八八四號、一一年一第八八五號、一一年一第八八六號、一一年一第八八七號、一一年一第八八八號、一一年一第八八九號、一一年一第八九〇號、一一年一第八九一號、一一年一第八九二號、一一年一第八九三號、一一年一第八九四號、一一年一第八九五號、一一年一第八九六號、一一年一第八九七號、一一年一第八九八號、一一年一第八九九號、一一年一第九〇〇號、一一年一第九〇一號、一一年一第九〇二號、一一年一第九〇三號、一一年一第九〇四號、一一年一第九〇五號、一一年一第九〇六號、一一年一第九〇七號、一一年一第九〇八號、一一年一第九〇九號、一一年一第九一〇號、一一年一第九一一號、一一年一第九一二號、一一年一第九一三號、一一年一第九一四號、一一年一第九一五號、一一年一第九一六號、一一年一第九一七號、一一年一第九一八號、一一年一第九一九號、一一年一第九二〇號、一一年一第九二一號、一一年一第九二二號、一一年一第九二三號、一一年一第九二四號、一一年一第九二五號、一一年一第九二六號、一一年一第九二七號、一一年一第九二八號、一一年一第九二九號、一一年一第九三〇號、一一年一第九三一號、一一年一第九三二號、一一年一第九三三號、一一年一第九三四號、一一年一第九三五號、一一年一第九三六號、一一年一第九三七號、一一年一第九三八號、一一年一第九三九號、一一年一第九四〇號、一一年一第九四一號、一一年一第九四二號、一一年一第九四三號、一一年一第九四四號、一一年一第九四五號、一一年一第九四六號、一一年一第九四七號、一一年一第九四八號、一一年一第九四九號、一一年一第九五〇號、一一年一第九五一號、一一年一第九五二號、一一年一第九五三號、一一年一第九五四號、一一年一第九五五號、一一年一第九五六號、一一年一第九五七號、一一年一第九五八號、一一年一第九五九號、一一年一第九六〇號、一一年一第九六一號、一一年一第九六二號、一一年一第九六三號、一一年一第九六四號、一一年一第九六五號、一一年一第九六六號、一一年一第九六七號、一一年一第九六八號、一一年一第九六九號、一一年一第九七〇號、一一年一第九七一號、一一年一第九七二號、一一年一第九七三號、一一年一第九七四號、一一年一第九七五號、一一年一第九七六號、一一年一第九七七號、一一年一第九七八號、一一年一第九七九號、一一年一第九八〇號、一一年一第九八一號、一一年一第九八二號、一一年一第九八三號、一一年一第九八四號、一一年一第九八五號、一一年一第九八六號、一一年一第九八七號、一一年一第九八八號、一一年一第九八九號、一一年一第九九〇號、一一年一第九九一號、一一年一第九九二號、一一年一第九九三號、一一年一第九九四號、一一年一第九九五號、一一年一第九九六號、一一年一第九九七號、一一年一第九九八號、一一年一第九九九號、一一年一第一〇〇〇號、一一年一第一〇〇一號、一一年一第一〇〇二號、一一年一第一〇〇三號、一一年一第一〇〇四號、一一年一第一〇〇五號、一一年一第一〇〇六號、一一年一第一〇〇七號、一一年一第一〇〇八號、一一年一第一〇〇九號、一一年一第一〇一〇號、一一年一第一〇一一號、一一年一第一〇一二號、一一年一第一〇一三號、一一年一第一〇一四號、一一年一第一〇一五號、一一年一第一〇一六號、一一年一第一〇一七號、一一年一第一〇一八號、一一年一第一〇一九號、一一年一第一〇二〇號、一一年一第一〇二一號、一一年一第一〇二二號、一一年一第一〇二三號、一一年一第一〇二四號、一一年一第一〇二五號、一一年一第一〇二六號、一一年一第一〇二七號、一一年一第一〇二八號、一一年一第一〇二九號、一一年一第一〇三〇號、一一年一第一〇三一號、一一年一第一〇三二號、一一年一第一〇三三號、一一年一第一〇三四號、一一年一第一〇三五號、一一年一第一〇三六號、一一年一第一〇三七號、一一年一第一〇三八號、一一年一第一〇三九號、一一年一第一〇四〇號、一一年一第一〇四一號、一一年一第一〇四二號、一一年一第一〇四三號、一一年一第一〇四四號、一一年一第一〇四五號、一一年一第一〇四六號、一一年一第一〇四七號、一一年一第一〇四八號、一一年一第一〇四九號、一一年一第一〇五〇號、一一年一第一〇五一號、一一年一第一〇五二號、一一年一第一〇五三號、一一年一第一〇五四號、一一年一第一〇五五號、一一年一第一〇五六號、一一年一第一〇五七號、一一年一第一〇五八號、一一年一第一〇五九號、一一年一第一〇六〇號、一一年一第一〇六一號、一一年一第一〇六二號、一一年一第一〇六三號、一一年一第一〇六四號、一一年一第一〇六五號、一一年一第一〇六六號、一一年一第一〇六七號、一一年一第一〇六八號、一一年一第一〇六九號、一一年一第一〇七〇號、一一年一第一〇七一號、一一年一第一〇七二號、一一年一第一〇七三號、一一年一第一〇七四號、一一年一第一〇七五號、一一年一第一〇七六號、一一年一第一〇七七號、一一年一第一〇七八號、一一年一第一〇七九號、一一年一第一〇八〇號、一一年一第一〇八一號、一一年一第一〇八二號、一一年一第一〇八三號、一一年一第一〇八四號、一一年一第一〇八五號、一一年一第一〇八六號、一一年一第一〇八七號、一一年一第一〇八八號、一一年一第一〇八九號、一一年一第一〇九〇號、一一年一第一〇九一號、一一年一第一〇九二號、一一年一第一〇九三號、一一年一第一〇九四號、一一年一第一〇九五號、一一年一第一〇九六號、一一年一第一〇九七號、一一年一第一〇九八號、一一年一第一〇九九號、一一年一第一一〇〇號、一一年一第一一〇一號、一一年一第一一〇二號、一一年一第一一〇三號、一一年一第一一〇四號、一一年一第一一〇五號、一一年一第一一〇六號、一一年一第一一〇七號、一一年一第一一〇八號、一一年一第一一〇九號、一一年一第一一一〇號、一一年一第一一一一號、一一年一第一一一二號、一一年一第一一一三號、一一年一第一一一四號、一一年一第一一一五號、一一年一第一一一六號、一一年一第一一一七號、一一年一第一一一八號、一一年一第一一一九號、一一年一第一一二〇號、一一年一第一一二一號、一一年一第一一二二號、一一年一第一一二三號、一一年一第一一二四號、一一年一第一一二五號、一一年一第一一二六號、一一年一第一一二七號、一一年一第一一二八號、一一年一第一一二九號、一一年一第一一三〇號、一一年一第一一三一號、一一年一第一一三二號、一一年一第一一三三號、一一年一第一一三四號、一一年一第一一三五號、一一年一第一一三六號、一一年一第一一三七號、一一年一第一一三八號、一一年一第一一三九號、一一年一第一一四〇號、一一年一第一一四一號、一一年一第一一四二號、一一年一第一一四三號、一一年一第一一四四號、一一年一第一一四五號、一一年一第一一四六號、一一年一第一一四七號、一一年一第一一四八號、一一年一第一一四九號、一一年一第一一五〇號、一一年一第一一五一號、一一年一第一一五二號、一一年一第一一五三號、一一年一第一一五四號、一一年一第一一五五號、一一年一第一一五六號、一一年一第一一五七號、一一年一第一一五八號、一一年一第一一五九號、一一年一第一一六〇號、一一年一第一一六一號、一一年一第一一六二號、一一年一第一一六三號、一一年一第一一六四號、一一年一第一一六五號、一一年一第一一六六號、一一年一第一一六七號、一一年一第一一六八號、一一年一第一一六九號、一一年一第一一七〇號、一一年一第一一七一號、一一年一第一一七二號、一一年一第一一七三號、一一年一第一一七四號、一一年一第一一七五號、一一年一第一一七六號、一一年一第一一七七號、一一年一第一一七八號、一一年一第一一七九號、一一年一第一一八〇號、一一年一第一一八一號、一一年一第一一八二號、一一年一第一一八三號、一一年一第一一八四號、一一年一第一一八五號、一一年一第一一八六號、一一年一第一一八七號、一一年一第一一八八號、一一年一第一一八九號、一一年一第一一九〇號、一一年一第一一九一號、一一年一第一一九二號、一一年一第一一九三號、一一年一第一一九四號、一一年一第一一九五號、一一年一第一一九六號、一一年一第一一九七號、一一年一第一一九八號、一一年一第一一九九號、一一年一第一二〇〇號、一一年一第一二〇一號、一一年一第一二〇二號、一一年一第一二〇三號、一一年一第一二〇四號、一一年一第一二〇五號、一一年一第一二〇六號、一一年一第一二〇七號、一一年一第一二〇八號、一一年一第一二〇九號、一一年一第一二一〇號、一一年一第一二一一號、一一年一第一二一二號、一一年一第一二一三號、一一年一第一二一四號、一一年一第一二一五號、一一年一第一二一六號、一一年一第一二一七號、一一年一第一二一八號、一一年一第一二一九號、一一年一第一二二〇號、一一年一第一二二一號、一一年一第一二二二號、一一年一第一二二三號、一一年一第一二二四號、一一年一第一二二五號、一一年一第一二二六號、一一年一第一二二七號、一一年一第一二二八號、一一年一第一二二九號、一一年一第一二三〇號、一一年一第一二三一號、一一年一第一二三二號、一一年一第一二三三號、一一年一第一二三四號、一一年一第一二三五號、一一年一第一二三六號、一一年一第一二三七號、一一年一第一二三八號、一一年一第一二三九號、一一年一第一二四〇號、一一年一第一二四一號、一一年一第一二四二號、一一年一第一二四三號、一一年一第一二四四號、一一年一第一二四五號、一一年一第一二四六號、一一年一第一二四七號、一一年一第一二四八號、一一年一第一二四九號、一一年一第一二五〇號、一一年一第一二五一號、一一年一第一二五二號、一一年一第一二五三號、一一年一第一二五四號、一一年一第一二五五號、一一年一第一二五六號、一一年一第一二五七號、一一年一第一二五八號、一一年一第一二五九號、一一年一第一二六〇號、一一年一第一二六一號、一一年一第一二六二號、一一年一第一二六三號、一一年一第一二六四號、一一年一第一二六五號、一一年一第一二六六號、一一年一第一二六七號、一一年一第一二六八號、一一年一第一二六九號、一一年一第一二七〇號、一一年一第一二七一號、一一年一第一二七二號、一一年一第一二七三號、一一年一第一二七四號、一一年一第一二七五號、一一年一第一二七六號、一一年一第一二七七號、一一年一第一二七八號、一一年一第一二七九號、一一年一第一二八〇號、一一年一第一二八一號、一一年一第一二八二號、一一年一第一二八三號、一一年一第一二八四號、一一年一第一二八五號、一一年一第一二八六號、一一年一第一二八七號、一一年一第一二八八號、一一年一第一二八九號、一一年一第一二九〇號、一一年一第一二九一號、一一年一第一二

振替ノ二種トシ拂出ハ通常現金拂、電信現金拂及局待拂ノ三種トス

第十七條ノ二　郵便振替貯金ノ拂込ニ對シテハ拂込ノ際郵便切手ヲ以テ當該拂込人ヨリ徴收シ振替及拂出ニ對シテハ拂出請求書用紙ヲ使用スヘシ

第十八條　拂込書用紙ハ拂込ノ際郵便局所ニ於テ當該拂込人ニ無料ニテ交付ス

第十九條　加入者ハ自己ノ口座ニ對スル拂込ニ專用スル爲其ノ口座番號及住所氏名竝ニ通常拂込料金加入者負擔ノ表示ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ表示ヲ印刷シタル拂込書用紙ノ實渡ヲ所屬ノ口座所管廳ニ請求スルコトヲ得

前項拂込書用紙ノ價格ハ五十枚竝一册ニ付金十五錢トス

第二項ノ用紙請求書ハ之ヲ無料郵便物トシテ差出スコトヲ得

第二十條　加入者ハ拂込書用紙ヲ私製スルコトヲ得

私製ノ拂込書用紙ハ附錄雛形ニ適合シ且其ノ相當欄ニ加入者ノ口座番號及氏名ヲ印刷シタルモノナルコトヲ要ス

第二十一條　拂込書用紙ニハ其ノ裏面ニ廣告又ハ其ノ他ノ事項ヲ印刷スルコトヲ得

第二十二條　拂出書用紙ハ普通拂出書及局待拂出書ノ二種トシ所屬ノ口座所管廳ニ於テ其ノ相當欄ニ加入者ノ口座番號及住所氏名ヲ印刷シ當該加入者ニ之ヲ貸渡スモノトス

前項拂出書用紙ノ價格ハ各五十枚竝一册ニ付金二十錢トス

第一項ノ用紙請求書ハ之ヲ無料郵便物トシテ差出スコトヲ得

第二十三條　拂込書及普通拂出書ニハ其ノ相當欄ニ拂込人又ハ拂出人ニ於テ相手方加入者又ハ指定受取人ニ對スル通信文ヲ記載スルコトヲ得

電信拂込、電信振替、電信現金拂及電信ニ依ル口座受入濟通知請求ノ場合ニ於ケル前項ノ通信文ハ和文電報ノ普法ニ從ヒ普通辭ヲ以テ之ヲ記載スヘシ

第二十三條ノ二　前條第一項ノ通信文ニ對シテハ和文電報ノ字數計算ノ例ニ依リ一口ニ付五字迄毎ニ五錢ノ料金ヲ拂込ニ在リテハ拂込ノ際郵便切手ヲ以テ當該拂込人ヨリ徴收シ振替及拂出ニ在リテハ貯金拂出ノ際當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス但シ朝鮮ト關東州相互間ニ於テ受拂ヲ爲ス拂込書及普通拂出書ニ記載スル通信文ニ對シテハ一口ニ付五字迄毎ニ六錢ノ料金ヲ徴收ス

第二十四條　拂込書及拂出書ニ表示スル金高ハ其ノ字體ヲ正確ニ記載シ一、二、三及十ノ數字ハ壹、貳、參及拾ノ文字ヲ使用スヘシ

拂込書及拂出書ニシテ其ノ記載事項ヲ訂正シタルモノハ郵便官署ニ於テ之ヲ受理セス但シ金高ヲ除クノ外其ノ訂正ノ箇所ニ拂込人又ハ拂出人ニ於テ相當證印ヲ施シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條　口座所管廳ニ於テ加入者ノ口座ニ對シ受入又ハ拂出ヲ爲シタルトキハ其ノ受拂高及現在高ヲ表示スル受拂通知票ヲ調製シ之ヲ當該加入者ニ發送

前項ノ貯金現在高ニハ振替貯金ノ現在高ヲ算入セス

第二十六條　加入者ハ所屬ノ口座所管廳ヨリ最近ニ送付ヲ受ケタル受拂通知票ノ貯金現在高ヲ超過シテ振替若ハ拂出ノ請求ヲ爲シ又ハ局待拂拂出書ノ振出ヲ爲スコトヲ得ス

第二十六條ノ二　郵便振替貯金ノ拂出金額ニハ一錢位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ス

第二十七條　現金ヲ以テ拂渡ヲ爲スヘキ拂出書一枚ノ金額ハ千圓ヲ超過スルコトヲ得ス但シ左ノ場合ニ於テハ拂出書一枚ノ金額ニ制限ヲ附セス

一　郵便振替貯金ニ加入セル銀行ニ於テ第二十八條第二項ニ該當スル拂出ヲ請求スルトキ

二　朝鮮ニ在ル口座所管廳ニ屬スル加入者ニ於テ豫メ朝鮮總督府遞信局長ノ認可ヲ受ケ朝鮮内ニ於テ拂渡スヘキ拂出（第四種ノ二ニ掲ケタルモノヲ除ク）

第二十七條ノ二　前條第二號ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ拂出書一枚ノ最高金額拂渡局所名及送金ノ目的、口座番號、職業等ヲ記載セル申請書ヲ郵便局所ニ差出スヘシ

前項ノ認可ヲ受ケタル者一年間其ノ拂出ヲ爲ササルトキハ認可ハ其ノ效力ヲ失フ

第二十七條ノ三　朝鮮ニ在ル口座所管廳ニ屬スル加入者カ自己ノ屬スル口座所管廳ノ所在地ニ在ル手形交換所組合銀行又ハ代理交換所ニ於テ銀行ヲ受取人ニ指定シ振出シタル局待拂拂出書ニシテ交換計算ニ際シヘキモノハ拂出書一枚ノ金額ニ制限ヲ附セス

前項ノ局待拂拂出書ニ依ル振替貯金ノ拂出ニ對シテハ一口ノ金高五十圓迄ハ五錢、五十圓ヲ超ユルトキハ十錢ノ料金ヲ拂出ノ際當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

第二十八條　郵便振替貯金ノ受拂ニ對シテハ左ノ區別ニ依リ料金ヲ徴收ス

一　振替貯金ノ拂込金ニ對シテハ一口ノ金高ニ應シ左ノ割合ニ依ル料金ヲ郵便切手ヲ以テ當該拂込人ヨリ徴收ス

(イ)　通常拂込料

一圓迄	二錢	五十圓迄	四十錢
五圓迄	四錢	百圓迄	六十錢
十圓迄	六錢	二百圓迄	八十錢
二十圓迄	八錢	三百圓迄	一圓
三十圓迄	十錢	四百圓迄	一圓二十錢
四十圓迄	十二錢	五百圓迄	一圓四十錢
五十圓迄	十四錢	七百五十圓迄	一圓六十錢
百圓迄	二十錢	千圓迄	一圓八十錢
二百圓迄	三十錢	千圓ヲ超ユルトキハ超過額千圓迄毎ニ	二十錢ヲ加徴ス
三百圓迄	四十錢		

(ロ)　電信拂込料

百圓迄	六十錢	五百圓迄	一圓二十錢
二百圓迄	八十錢	千圓迄	一圓四十錢
三百圓迄	一圓	千圓ヲ超ユルトキハ超過額千圓迄毎ニ	二十錢ヲ加徴ス
四百圓迄	一圓二十錢		

二　振替ノ爲ニスル振替貯金ノ拂出ニ對シテハ一口ニ付左ノ割合ニ依リ料金ヲ拂出ノ際當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收

ス

(イ)　通常振替料　四錢

(ロ)　電信振替料　同一口座所管廳間ノモノ　六十錢
異口座所管廳間ノモノ　一圓

三　現金拂渡ノ爲ニスル振替貯金ノ拂出ニ對シテハ一口ノ金高ニ應シ左ノ割合ニ依ル料金ヲ拂出ノ際當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

(イ)　通常現金拂及局待拂料

五圓迄	五錢	五百圓迄	四十錢
十圓迄	十錢	千圓迄	五十錢
五十圓迄	十五錢	千圓ヲ超ユルトキハ超過額千圓迄毎ニ	十錢ヲ加徴ス
百圓迄	二十錢		
二百圓迄	二十五錢		
三百圓迄	三十錢		
四百圓迄	三十五錢		

(ロ)　電信現金拂料

百圓迄	九十錢	二百圓迄	一圓八十錢
二百圓迄	一圓二十錢	三百圓迄	二圓十錢
三百圓迄	一圓五十錢	四百圓迄	二圓四十錢
四百圓迄	一圓八十錢	五百圓迄	二圓十錢
五百圓迄	二圓十錢	千圓迄	二圓四十錢
七百五十圓迄	二圓四十錢	千圓ヲ超ユルトキハ超過額千圓迄毎ニ	二十錢ヲ加徴ス
千圓迄	二圓十錢		
千圓ヲ超ユルトキハ超過額千圓迄毎ニ	十錢ヲ加徴ス		

一口ノ金高五十圓迄ハ五錢、五十圓ヲ超ユルトキハ十錢ノ料金ヲ拂出ノ際當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス但シ電信拂込ニ對シ電信拂込ニ對シ切手ヲ以テ當該拂込人ヨリ徴收ス

電信振替及電信現金拂ニシテ朝鮮ト內地、臺灣、樺太及南洋群島相互間ニ於テ受拂ヲ爲スモノニ對シテハ前二項ノ料金ノ外三十錢ヲ加徴ス

帝國國庫金受拂ノ爲ニスル振替貯金ノ取扱ニ對シテハ通常拂込料、通常振替料、通常現金拂及局待拂料ヲ徴收セス

第二十八條ノ二　前條第一號ノ通常拂込料ハ加入者ニ於テ豫メ所屬ノ口座所屬廳ノ承認ヲ受ケ自ラ之ヲ負擔スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ拂込人ヲシテ通常拂込料金加入者負擔ノ旨ヲ表示シタル自己口座專用ノ拂込書用紙ヲ使用セシムヘシ

前項ノ承認ヲ受ケタル加入者ノ口座ニ對シテハ一般ノ手續ニ依リ拂込ヲ爲スコトヲ妨ケス

第二十八條ノ三　加入者前條ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ共ノ請求書ニ拂込書用紙見本ノ添附ヲ要セス

加入者拂込料金負擔取消ノ承認ヲ受ケタル後ト雖拂込料金負擔ノ爲發行シタル自己口座專用ノ拂込書用紙ニ依リ拂込アリタルトキハ其ノ料金ノ負擔ヲ拒ムコトヲ得ス

第二十九條　郵便振替貯金拂出證書ノ有效期間ハ其ノ發行ノ日ヨリ六十日トス但シ南洋群島ニ設置シタル郵便局所ヲ拂渡局所ト爲シタルモノニ在リテハ之ヲ百二十日トス

千島國ニ設置シタル郵便局所ヲ拂渡局所ト爲シタル郵便振替貯金拂出證書ニ對シテハ得年十二月一日ヨリ翌年四月三十日迄ハ之ヲ其ノ有效期間ニ算入セス

第三十條　郵便振替貯金拂出證書ハ其ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シタルトキハ郵便局所ニ對スル拂渡ヲ爲サス其ノ平行線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルモノハ其ノ指定以外ノ銀行ニハ之カ拂渡ヲ爲サス

第三十條ノ三　郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ハ郵便局所ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ其ノ指定銀行ヲ變更スルコトヲ得ス但シ線引ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行カ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付承認ヲ受ケムトスルトキハ當該證書ヲ郵便局所ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受ケヘシ

第三十條ノ四　第二十八條第二項ニ依ル加入者本人拂ノ郵便振替貯金拂出證書ヲ線引ノ讓渡シタルトキハ第二十八條第一項第三號ノ料金ト同條第二項ノ料金トノ差額ヲ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

第三十條ノ五　郵便爲替規則第五十七條ノ二ニ依リ郵便爲替證書ニ對シ特別取扱ノ承認ヲ受ケタル銀行ハ郵便振替貯金拂出證書ニ對シ郵便爲替證書ノ例ニ依リ其ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第三十條ノ六　前條ニ依リ拂渡ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ニシテ既ニ加入者ヨリ拂渡停止ノ請求ニ係リ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ拂渡スコトヲ得サリシモノハ其ノ拂渡ヲ取消シ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

第三十條ノ七　加入者第二十八條第二項ノ指定郵便局所ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ニ郵便局所ヲ證スル爲ニ拂渡局所ヨリ交付ヲ受ケタル拂出書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ差出スヘシ

第三十條ノ八　拂込人ハ通常拂込ノ際拂込書ノ裏面ニ依ル送達ヲ、加入者ハ通常振替又ハ通常現金拂請求ノ際拂出書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シ銀行ニ對シテハ前項ノ場合ニ於テハ拂渡ヲ爲サス

第三十條ノ九　加入者前條ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ請求書ニ拂込書用紙見本ノ添附ヲ要セス

加入者拂込料金負擔取消ノ承認ヲ受ケタル後ト雖拂込料金負擔ノ爲發行シタル自己口座專用ノ拂込書用紙ニ依リ拂込アリタルトキハ其ノ料金ノ負擔ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十一條　加入者ハ所屬ノ口座所管廳ニ於テ拂渡局所ヲ指定シ其ノ局所ヲ通シテ拂渡ヲ爲サシムヘキ旨ヲ申出テ貯金ノ全部又ハ一部ヲ拂出スコトヲ得

第三十一條ノ二　第三十條ノ二ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ拂渡局所ニ於テ當該證書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シタルトキハ郵便局所ニ對スル拂渡ヲ爲サス其ノ平行線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルモノハ其ノ指定以外ノ銀行ニハ之カ拂渡ヲ爲サス

第三十一條ノ三　郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ハ郵便局所ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ其ノ指定銀行ヲ變更スルコトヲ得ス但シ線引ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行カ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付承認ヲ受ケムトスルトキハ當該證書ヲ郵便局所ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受ケヘシ

第三十一條ノ四　第二十八條第二項ニ依ル加入者本人拂ノ郵便振替貯金拂出證書ヲ線引ノ讓渡シタルトキハ第二十八條第一項第三號ノ料金ト同條第二項ノ料金トノ差額ヲ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

第三十一條ノ五　郵便爲替規則第五十七條ノ二ニ依リ郵便爲替證書ニ對シ特別取扱ノ承認ヲ受ケタル銀行ハ郵便振替貯金拂出證書ニ對シ郵便爲替證書ノ例ニ依リ其ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第三十一條ノ六　前條ニ依リ拂渡ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ニシテ既ニ加入者ヨリ拂渡停止ノ請求ニ係リ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ拂渡スコトヲ得サリシモノハ其ノ拂渡ヲ取消シ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

第三十一條ノ七　加入者第二十八條第二項ノ指定郵便局所ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ニ郵便局所ヲ證スル爲ニ拂渡局所ヨリ交付ヲ受ケタル拂出書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ差出スヘシ

第三十一條ノ八　拂込人ハ通常拂込ノ際拂込書ノ裏面ニ依ル送達ヲ、加入者ハ通常振替又ハ通常現金拂請求ノ際拂出書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シ銀行ニ對シテハ前項ノ場合ニ於テハ拂渡ヲ爲サス

第三十一條ノ九　加入者前條ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ請求書ニ拂込書用紙見本ノ添附ヲ要セス

加入者拂込料金負擔取消ノ承認ヲ受ケタル後ト雖拂込料金負擔ノ爲發行シタル自己口座專用ノ拂込書用紙ニ依リ拂込アリタルトキハ其ノ料金ノ負擔ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十二條　加入者ハ所屬ノ口座所管廳ニ於テ拂渡局所ヲ指定シ其ノ局所ヲ通シテ拂渡ヲ爲サシムヘキ旨ヲ申出テ貯金ノ全部又ハ一部ヲ拂出スコトヲ得

第三十二條ノ二　第三十條ノ二ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ拂渡局所ニ於テ當該證書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シタルトキハ郵便局所ニ對スル拂渡ヲ爲サス其ノ平行線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルモノハ其ノ指定以外ノ銀行ニハ之カ拂渡ヲ爲サス

第三十二條ノ三　郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ハ郵便局所ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ其ノ指定銀行ヲ變更スルコトヲ得ス但シ線引ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行カ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付承認ヲ受ケムトスルトキハ當該證書ヲ郵便局所ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受ケヘシ

第三十二條ノ四　第二十八條第二項ニ依ル加入者本人拂ノ郵便振替貯金拂出證書ヲ線引ノ讓渡シタルトキハ第二十八條第一項第三號ノ料金ト同條第二項ノ料金トノ差額ヲ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

第三十二條ノ五　郵便爲替規則第五十七條ノ二ニ依リ郵便爲替證書ニ對シ特別取扱ノ承認ヲ受ケタル銀行ハ郵便振替貯金拂出證書ニ對シ郵便爲替證書ノ例ニ依リ其ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第三十二條ノ六　前條ニ依リ拂渡ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ニシテ既ニ加入者ヨリ拂渡停止ノ請求ニ係リ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ拂渡スコトヲ得サリシモノハ其ノ拂渡ヲ取消シ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

第三十二條ノ七　加入者第二十八條第二項ノ指定郵便局所ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ニ郵便局所ヲ證スル爲ニ拂渡局所ヨリ交付ヲ受ケタル拂出書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ差出スヘシ

第三十二條ノ八　拂込人ハ通常拂込ノ際拂込書ノ裏面ニ依ル送達ヲ、加入者ハ通常振替又ハ通常現金拂請求ノ際拂出書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シ銀行ニ對シテハ前項ノ場合ニ於テハ拂渡ヲ爲サス

第三十二條ノ九　加入者前條ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ請求書ニ拂込書用紙見本ノ添附ヲ要セス

加入者拂込料金負擔取消ノ承認ヲ受ケタル後ト雖拂込料金負擔ノ爲發行シタル自己口座專用ノ拂込書用紙ニ依リ拂込アリタルトキハ其ノ料金ノ負擔ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十三條　加入者ハ所屬ノ口座所管廳ニ於テ拂渡局所ヲ指定シ其ノ局所ヲ通シテ拂渡ヲ爲サシムヘキ旨ヲ申出テ貯金ノ全部又ハ一部ヲ拂出スコトヲ得

第三十三條ノ二　第三十條ノ二ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ拂渡局所ニ於テ當該證書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シタルトキハ郵便局所ニ對スル拂渡ヲ爲サス其ノ平行線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルモノハ其ノ指定以外ノ銀行ニハ之カ拂渡ヲ爲サス

第三十三條ノ三　郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ハ郵便局所ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ其ノ指定銀行ヲ變更スルコトヲ得ス但シ線引ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行カ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付承認ヲ受ケムトスルトキハ當該證書ヲ郵便局所ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受ケヘシ

第三十三條ノ四　第二十八條第二項ニ依ル加入者本人拂ノ郵便振替貯金拂出證書ヲ線引ノ讓渡シタルトキハ第二十八條第一項第三號ノ料金ト同條第二項ノ料金トノ差額ヲ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

第三十三條ノ五　郵便爲替規則第五十七條ノ二ニ依リ郵便爲替證書ニ對シ特別取扱ノ承認ヲ受ケタル銀行ハ郵便振替貯金拂出證書ニ對シ郵便爲替證書ノ例ニ依リ其ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第三十三條ノ六　前條ニ依リ拂渡ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ニシテ既ニ加入者ヨリ拂渡停止ノ請求ニ係リ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ拂渡スコトヲ得サリシモノハ其ノ拂渡ヲ取消シ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

第三十三條ノ七　加入者第二十八條第二項ノ指定郵便局所ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ニ郵便局所ヲ證スル爲ニ拂渡局所ヨリ交付ヲ受ケタル拂出書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ差出スヘシ

第三十三條ノ八　拂込人ハ通常拂込ノ際拂込書ノ裏面ニ依ル送達ヲ、加入者ハ通常振替又ハ通常現金拂請求ノ際拂出書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シ銀行ニ對シテハ前項ノ場合ニ於テハ拂渡ヲ爲サス

第三十三條ノ九　加入者前條ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ請求書ニ拂込書用紙見本ノ添附ヲ要セス

加入者拂込料金負擔取消ノ承認ヲ受ケタル後ト雖拂込料金負擔ノ爲發行シタル自己口座專用ノ拂込書用紙ニ依リ拂込アリタルトキハ其ノ料金ノ負擔ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十四條　加入者ハ所屬ノ口座所管廳ニ於テ拂渡局所ヲ指定シ其ノ局所ヲ通シテ拂渡ヲ爲サシムヘキ旨ヲ申出テ貯金ノ全部又ハ一部ヲ拂出スコトヲ得

第三十四條ノ二　第三十條ノ二ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ拂渡局所ニ於テ當該證書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シタルトキハ郵便局所ニ對スル拂渡ヲ爲サス其ノ平行線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルモノハ其ノ指定以外ノ銀行ニハ之カ拂渡ヲ爲サス

第三十四條ノ三　郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ハ郵便局所ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ其ノ指定銀行ヲ變更スルコトヲ得ス但シ線引ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行カ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付承認ヲ受ケムトスルトキハ當該證書ヲ郵便局所ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受ケヘシ

第三十四條ノ四　第二十八條第二項ニ依ル加入者本人拂ノ郵便振替貯金拂出證書ヲ線引ノ讓渡シタルトキハ第二十八條第一項第三號ノ料金ト同條第二項ノ料金トノ差額ヲ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

第三十四條ノ五　郵便爲替規則第五十七條ノ二ニ依リ郵便爲替證書ニ對シ特別取扱ノ承認ヲ受ケタル銀行ハ郵便振替貯金拂出證書ニ對シ郵便爲替證書ノ例ニ依リ其ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第三十四條ノ六　前條ニ依リ拂渡ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ニシテ既ニ加入者ヨリ拂渡停止ノ請求ニ係リ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ拂渡スコトヲ得サリシモノハ其ノ拂渡ヲ取消シ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

第三十四條ノ七　加入者第二十八條第二項ノ指定郵便局所ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ニ郵便局所ヲ證スル爲ニ拂渡局所ヨリ交付ヲ受ケタル拂出書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ差出スヘシ

第三十四條ノ八　拂込人ハ通常拂込ノ際拂込書ノ裏面ニ依ル送達ヲ、加入者ハ通常振替又ハ通常現金拂請求ノ際拂出書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シ銀行ニ對シテハ前項ノ場合ニ於テハ拂渡ヲ爲サス

第三十四條ノ九　加入者前條ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ請求書ニ拂込書用紙見本ノ添附ヲ要セス

加入者拂込料金負擔取消ノ承認ヲ受ケタル後ト雖拂込料金負擔ノ爲發行シタル自己口座專用ノ拂込書用紙ニ依リ拂込アリタルトキハ其ノ料金ノ負擔ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十五條　加入者ハ所屬ノ口座所管廳ニ於テ拂渡局所ヲ指定シ其ノ局所ヲ通シテ拂渡ヲ爲サシムヘキ旨ヲ申出テ貯金ノ全部又ハ一部ヲ拂出スコトヲ得

第三十五條ノ二　第三十條ノ二ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ拂渡局所ニ於テ當該證書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シタルトキハ郵便局所ニ對スル拂渡ヲ爲サス其ノ平行線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルモノハ其ノ指定以外ノ銀行ニハ之カ拂渡ヲ爲サス

第三十五條ノ三　郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ハ郵便局所ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ其ノ指定銀行ヲ變更スルコトヲ得ス但シ線引ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行カ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付承認ヲ受ケムトスルトキハ當該證書ヲ郵便局所ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受ケヘシ

第三十五條ノ四　第二十八條第二項ニ依ル加入者本人拂ノ郵便振替貯金拂出證書ヲ線引ノ讓渡シタルトキハ第二十八條第一項第三號ノ料金ト同條第二項ノ料金トノ差額ヲ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

第三十五條ノ五　郵便爲替規則第五十七條ノ二ニ依リ郵便爲替證書ニ對シ特別取扱ノ承認ヲ受ケタル銀行ハ郵便振替貯金拂出證書ニ對シ郵便爲替證書ノ例ニ依リ其ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第三十五條ノ六　前條ニ依リ拂渡ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ニシテ既ニ加入者ヨリ拂渡停止ノ請求ニ係リ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ拂渡スコトヲ得サリシモノハ其ノ拂渡ヲ取消シ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

第三十五條ノ七　加入者第二十八條第二項ノ指定郵便局所ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ニ郵便局所ヲ證スル爲ニ拂渡局所ヨリ交付ヲ受ケタル拂出書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ差出スヘシ

第三十五條ノ八　拂込人ハ通常拂込ノ際拂込書ノ裏面ニ依ル送達ヲ、加入者ハ通常振替又ハ通常現金拂請求ノ際拂出書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シ銀行ニ對シテハ前項ノ場合ニ於テハ拂渡ヲ爲サス

第三十五條ノ九　加入者前條ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ請求書ニ拂込書用紙見本ノ添附ヲ要セス

加入者拂込料金負擔取消ノ承認ヲ受ケタル後ト雖拂込料金負擔ノ爲發行シタル自己口座專用ノ拂込書用紙ニ依リ拂込アリタルトキハ其ノ料金ノ負擔ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十六條　加入者ハ所屬ノ口座所管廳ニ於テ拂渡局所ヲ指定シ其ノ局所ヲ通シテ拂渡ヲ爲サシムヘキ旨ヲ申出テ貯金ノ全部又ハ一部ヲ拂出スコトヲ得

第三十六條ノ二　第三十條ノ二ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ拂渡局所ニ於テ當該證書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シタルトキハ郵便局所ニ對スル拂渡ヲ爲サス其ノ平行線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルモノハ其ノ指定以外ノ銀行ニハ之カ拂渡ヲ爲サス

第三十六條ノ三　郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ハ郵便局所ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ其ノ指定銀行ヲ變更スルコトヲ得ス但シ線引ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行カ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ノ取消又ハ其ノ指定銀行ノ變更ニ付承認ヲ受ケムトスルトキハ當該證書ヲ郵便局所ニ呈示シ之ニ其ノ證印ヲ受ケヘシ

第三十六條ノ四　第二十八條第二項ニ依ル加入者本人拂ノ郵便振替貯金拂出證書ヲ線引ノ讓渡シタルトキハ第二十八條第一項第三號ノ料金ト同條第二項ノ料金トノ差額ヲ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴收ス

第三十六條ノ五　郵便爲替規則第五十七條ノ二ニ依リ郵便爲替證書ニ對シ特別取扱ノ承認ヲ受ケタル銀行ハ郵便振替貯金拂出證書ニ對シ郵便爲替證書ノ例ニ依リ其ノ拂渡ヲ請求スルコトヲ得

第三十六條ノ六　前條ニ依リ拂渡ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ニシテ既ニ加入者ヨリ拂渡停止ノ請求ニ係リ又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ拂渡スコトヲ得サリシモノハ其ノ拂渡ヲ取消シ當該銀行ヲシテ受領ニ係ル現金ヲ還付セシム

第三十六條ノ七　加入者第二十八條第二項ノ指定郵便局所ヲ變更セムトスルトキハ其ノ請求書ニ郵便局所ヲ證スル爲ニ拂渡局所ヨリ交付ヲ受ケタル拂出書ヲ添ヘ之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ差出スヘシ

第三十六條ノ八　拂込人ハ通常拂込ノ際拂込書ノ裏面ニ依ル送達ヲ、加入者ハ通常振替又ハ通常現金拂請求ノ際拂出書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シ銀行ニ對シテハ前項ノ場合ニ於テハ拂渡ヲ爲サス

第三十六條ノ九　加入者前條ノ承認ヲ受ケムトスルトキハ其ノ請求書ニ拂込書用紙見本ノ添附ヲ要セス

加入者拂込料金負擔取消ノ承認ヲ受ケタル後ト雖拂込料金負擔ノ爲發行シタル自己口座專用ノ拂込書用紙ニ依リ拂込アリタルトキハ其ノ料金ノ負擔ヲ拒ムコトヲ得ス

第三十七條　加入者ハ所屬ノ口座所管廳ニ於テ拂渡局所ヲ指定シ其ノ局所ヲ通シテ拂渡ヲ爲サシムヘキ旨ヲ申出テ貯金ノ全部又ハ一部ヲ拂出スコトヲ得

第三十七條ノ二　第三十條ノ二ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ拂渡局所ニ於テ當該證書ノ裏面ニ二條ノ平行線ヲ畫シタルトキハ郵便局所ニ對スル拂渡ヲ爲サス其ノ平行線內ニ銀行ノ名稱ヲ記載シタルモノハ其ノ指定以外ノ銀行ニハ之カ拂渡ヲ爲サス

第三十七條ノ三　郵便振替貯金拂出證書ニ爲シタル線引ハ郵便局所ノ承認ヲ受ケルニ非サレハ之ヲ取消シ又ハ其ノ指定銀行ヲ變更スルコトヲ得ス但シ線引ヲ爲シタル郵便振替貯金拂出證書ノ讓渡ヲ受ケタル銀行カ更ニ之ヲ他ノ銀行ニ讓渡ス爲指定銀行ヲ取消シ又ハ之ヲ變更スル場合

第三十一條　第二項ノ規定ニ依リ郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便官吏ハ之ヲ法令ニ依リ公務ニ從事スル職員ト看做ス

第三十二條　第二項ノ規定ニ依リ郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第三十三條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第三十四條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第三十五條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第三十六條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第三十七條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第三十八條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第三十九條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十一條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十二條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十三條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十四條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十五條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十六條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十七條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十八條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第四十九條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十一條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十二條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十三條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十四條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十五條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十六條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十七條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十八條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第五十九條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十一條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十二條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十三條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十四條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十五條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十六條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十七條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十八條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第六十九條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十一條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十二條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十三條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十四條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十五條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十六條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十七條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十八條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第七十九條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十一條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十二條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十三條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十四條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十五條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十六條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十七條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十八條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第八十九條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十一條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十二條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十三條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十四條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十五條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十六條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十七條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十八條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第九十九條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第百條　郵便ニ關スル罰則ヲ適用スル場合ニ於テハ郵便物ノ配達ニ從事スル者ハ之ヲ郵便官吏ト看做ス

第

ニ一　金ヨテ振ル郵便シノ二證ヘ所ニ銭所新ス背五
十ト替ヲ銭ヲ得貯金ニ現ハ人人ノ前相人人所銭
ハ替ニ通立ニ前項ノ場合ニ名義ヲ以テ預リ人ノ場ヲ
金ト振ヲ得此ノ場合ニ於テハ共ノ口座ニ振替ヲ
以テ預リ人ノ口座ニ振替ヲ以テ預リ人ノ口座ニ
於テ預リ人ノ口座ニ振替ヲ以テ預リ人ノ口座ニ
振替ヲ以テ預リ人ノ口座ニ振替ヲ以テ預リ人ノ
口座ニ振替ヲ以テ預リ人ノ口座ニ振替ヲ以テ預
リ人ノ口座ニ振替ヲ以テ預リ人ノ口座ニ振替ヲ
以

郵便振替貯金　郵便振替貯金　郵便振替貯金　

者ノ振替貯金口座ニ對シ之カ振替拂込ノ手續ヲ爲ス此ノ場合ニ於テハ振替貯金集金書中拂込票ノ部ヲ以テ通常爲替證書ト看做ス前項ノ通常爲替ニ對シテハ爲替料金ハ之ヲ徵收セス

第七條　加入者集金拂込ノ請求ヲ爲シタル後之カ取消ヲ要スルトキハ口座番號、氏名、請求月日、金額、支拂人住所氏名等ヲ記載シタル取消請求書ヲ郵便局所ニ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ取立郵便局所ニ通知ヲ要スルモノナルトキハ其ノ料金トシテ郵便ニ依ルモノニ在リテハ金五十錢ヲ郵便切手ヲ以テ納付スヘシ

第八條　郵便局所ニ於テ加入者ノ請求ニ依リ集金拂込ノ取消ヲ爲シタルトキハ其ノ現金受領證書又ハ證券ハ之ヲ加入者ニ還付ス集金拂込ノ取消ヲ爲シタル場合ト雖委託料金ハ之ヲ徵收ス

第九條　本令ニ依ル特別取扱ニ關シテハ郵便規則第百七十六條、第百七十七條及第百七十八條第五項ヲ適用セス

第十條　本令ニ依ル特別取扱ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外郵便規則及郵便振替貯金規則ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ明治四十四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正三年十一月總令第百六十九號）

本令ハ大正三年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前發行ノ集金書用紙ハ當分ノ內其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得但シ一定期日ノ取立、留置集金、留置通知、一部取立承諾又ハ取立一回限リ還付等ノ指定ハ拂込票ノ上部餘白ニ之ヲ附記スヘシ

附　則（大正五年七月總令第六十三號）

本令ハ大正五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ差出シタル郵便取立金ノ振替拂込ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（大正六年九月總令第六十號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

從前發行ノ集金書用紙ハ當分ノ內其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得

附　則（大正十二年三月總令第三十七號）

本令ハ大正十二年三月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和五年四月總令第三十六號）

本令ハ昭和五年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

從前發行ノ集金書用紙ハ當分ノ內之ヲ訂正シ使用スルコトヲ得

附　則（昭和六年六月總令第八十一號）

本令ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ調製シタル用紙ハ當分ノ內仍其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得

附　則（昭和六年七月總令第九十八號）

本令ハ昭和六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年十二月總令第百五十五號）

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十一年十月總令第一〇八號）

本令ハ昭和十一年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ樣式ニ依リ調製シタル振替貯金集金書用紙ハ當分ノ內其ノ儘之ヲ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ受領證書用紙ノ雛形ヲ指定郵便局ニ差出スヘシ

第八條ノ二　手形交換所所在地ニ在ル加入道金庫ハ第三條ノ特別口座ノ貯金現在高ヲ限度トシ第六條ノ指定郵便局ニ就キ所要金額ノ即時拂ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ受領證書用紙ノ雛形ヲ指定郵便局ニ差出スヘシ

第八條ノ三　前條ノ手形交換所所在地ニ在ル加入道金庫ハ第三條ノ特別口座ノ貯金現在高ヲ限度トシ手形交換所組合銀行ニシテ道金庫事務ヲ取扱フ銀行ヲ受取人ニ指定シ且當該手形交換所所在地ニ在ル手形交換參加郵便局ヲ拂渡局トスル郵便振替貯金局待拂拂出書（以下單ニ局待拂拂出書ト稱ス）ヲ振出スコトヲ得

前項ノ局待拂拂出書ハ其ノ拂出書一枚ノ最高金額ニ制限ヲ附セス

第八條ノ三　前條ノ局待拂拂出書ニ對シテハ別ニ定ムル交換方法ニ依リ之カ拂渡ヲ爲ス

第八條ノ四　加入道金庫ハ即時拂金ノ受領又ハ局待拂拂出書ノ振出ニ使用スヘキ印鑑ヲ豫メ第六條ノ指定郵便局ニ差出スヘシ

第九條　第三條ノ特別口座ニ對シ受入ヲ爲シ又ハ第八條若ハ第八條ノ二ニ依リ拂出ヲ爲シタルトキハ其ノ料金ハ受入又ハ拂出各一口ニ付四錢トシ一月分宛取纏メ當該口座ノ貯金ヨリ控除徵收シ拂込ニ對スル料金ハ拂込人ヨリ之ヲ徵收セス

第十條　道歲入收納ノ爲本令ニ依リ取扱ヒタル振替貯金ノ拂込ハ之カ口座登記前ト雖其ノ取消ノ請求ニ應セス

第十條ノ二　加入道金庫ハ第三條ノ特別口座ニ對シ自ラ拂込ヲ爲シ又ハ現金拂若ハ口座振替ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ取扱料金ハ拂込ニ對シテハ第九條ノ規定ヲ適用シ現金拂及口座振替ニ對シテハ一般規定ノ割合ニ依ル

集金拂込通知票

口座番號	加入者住所氏名	取立局所日附印

※一金

支拂人住所氏名	口座所管廳日附印
※	

右記載ノ如シ

集金受付票

口座番號	加入者住所氏名	取立局所名 日附 局所印

※一金

支拂人住所氏名	取立局所到著日附印
※	

集金書交付　現金交付

每月二回

月日	受領印	月日	受領印	取立不能處理 月日 要領	取立局所受入日附印

日計 四

局所印

受付局所日附印	口座所管廳日附印

※印の欄は加入者において記載すること

集金拂込通知票

口座番號	加入者住所氏名	取立局所日附印

※一金

支拂人住所氏名	口座所管廳日附印
※	

右記載ノ如シ

現金受領證書

口座番號	加入者住所氏名	取立局所到著日附印

※一金　金　　圓

右領收候也

昭和　年　月　日

加入者署名捺印	支拂人名
※	※

殿

集第一號

注意　現金受領證書ハ口座番號、加入者住所氏名及取立局所到著日附印欄ヲ除クノ外適宜其ノ記載事項ヲ變更スルモ妨ナシ

一　用紙寸法（横約三六・五糎（受付票約一〇・三糎、拂込票及拂込通知票約八・五糎、受領證約九・二糎）縱約一五糎）

一　紙　質　B模造紙五五听又ハ「ロール」紙四五听

一　印　刷　寸法　受付票ハ横約八・四糎縱約一三・三糎（内法以下同シ）、拂込票ハ横約六・二糎、縱約一二・四糎、拂込通知票ハ横約七・一糎縱約一二・四糎　色　受領證書ハ赤色

一　各票間ニハ必ス「ミシン」ヲ附スルコト

地方費賦課金收納郵便振替貯金特別取扱規則左ノ通定ム

●道歲入收納郵便振替貯金特別取扱規則

大正元年八月
總令第二號

改正　大正七年一月第三號、昭和二年九月第百四十號、八年三月第四六號、一一年三月第三〇號、一二年一〇月第一二〇號

道歲入收納ノ爲ニスル郵便振替貯金特別取扱規則

第一條　道歲入收納ノ爲ニスル郵便振替貯金ハ本令ニ依リ其ノ特別取扱ヲ爲スコトヲ得

第二條　道知事ニ於テ其ノ道ノ道歲入ニ關シ本令ノ特別取扱ヲ受ケムトスルトキハ之ヲ朝鮮總督府貯金管理所ニ請求スヘシ

第三條　朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ前條ノ請求ヲ承認シタルトキハ道金庫名義ノ郵便振替貯金特別口座ヲ開設シ其ノ口座番號ヲ道金庫ニ通知ス

第四條　本令ニ依リ特別取扱ヲ爲ス道歲入郵便振替貯金ノ拂込ハ加入道金庫ノ屬スル道管轄區域內ニ在ル郵便官署ノ外其ノ取扱ヲ爲サス

第五條　本令ニ依リ特別取扱ヲ受クル道ニ於テ府尹、邑面長其ノ他ノ納入道歲入納入ノ爲第三條ノ特別口座ニ對シ振替貯金ノ拂込ヲ爲サムトスルトキハ其ノ拂込書ノ表面看易キ箇所ニ「道歲入納入」ノ文字ヲ附記スヘシ

第六條　第三條ノ特別口座ニ對シ拂込ヲ受ケタル郵便振替貯金ニ付テハ特ニ指定スル郵便局ニ於テ計算ヲ作リ拂込通知票ト共ニ之ヲ加入道金庫ニ送付ス

第七條　朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ第三條ノ特別口座ニ其ノ拂込金ヲ登記シタルトキハ前條ニ定メタル合計票ノ副本ヲ受拂通知票ニ添ヘ之ヲ加入道金庫ニ送付ス

第八條　加入道金庫ハ第三條ノ特別口座ノ貯金現在高ヲ限度トシ第六條ノ指定郵便局ニ就キ所要金額ノ即時拂ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ受領證書用紙ノ雛形ヲ指定郵便局ニ差出スヘシ

第八條ノ二　手形交換所所在地ニ在ル加入道金庫ハ第三條ノ特別口座ノ貯金現在高ヲ限度トシ第六條ノ指定郵便局ニ就キ所要金額ノ即時拂ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ受領證書用紙ノ雛形ヲ指定郵便局ニ差出スヘシ

第八條ノ三　手形交換所所在地ニ在ル加入道金庫ハ第三條ノ特別口座ノ貯金現在高ヲ限度トシ手形交換所組合銀行ニシテ道金庫事務ヲ取扱フ銀行ヲ受取人ニ指定シ且當該手形交換所所在地ニ在ル手形交換參加郵便局ヲ拂渡局トスル郵便振替貯金局待拂拂出書（以下單ニ局待拂拂出書ト稱ス）ヲ振出スコトヲ得

前項ノ局待拂拂出書ハ其ノ拂出書一枚ノ最高金額ニ制限ヲ附セス

第八條ノ三　前條ノ局待拂拂出書ニ對シテハ別ニ定ムル交換方法ニ依リ之カ拂渡ヲ爲ス

第八條ノ四　加入道金庫ハ即時拂金ノ受領又ハ局待拂拂出書ノ振出ニ使用スヘキ印鑑ヲ豫メ第六條ノ指定郵便局ニ差出スヘシ

第九條　第三條ノ特別口座ニ對シ受入ヲ爲シ又ハ第八條若ハ第八條ノ二ニ依リ拂出ヲ爲シタルトキハ其ノ料金ハ受入又ハ拂出各一口ニ付四錢トシ一月分宛取纏メ當該口座ノ貯金ヨリ控除徵收シ拂込ニ對スル料金ハ拂込人ヨリ之ヲ徵收セス

第十條　道歲入納入ノ爲本令ニ依リ取扱ヒタル振替貯金ノ拂込ハ之カ口座登記前ト雖其ノ取消ノ請求ニ應セス

第十條ノ二　加入道金庫ハ第三條ノ特別口座ニ對シ自ラ拂込ヲ爲シ又ハ現金拂若ハ口座振替ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ取扱料金ハ拂込ニ對シテハ第九條ノ規定ヲ適用シ現金拂及口座振替ニ對シテハ一般規定ノ割合ニ依ル

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第十一條　本令ニ依ル特別取扱ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外郵便振替貯金規則及郵便振替貯金小切手拂込規則ニ依ル

附　則

本令ハ大正元年八月十一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和二年九月總令第九十四號）

本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和八年三月總令第三十號）

本令ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和八年五月總令第四十六號）

本令ハ昭和八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和十一年二月總令第十三號）

本令ハ昭和十一年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和十一年十月總令第百十號）

本令ハ昭和十一年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●府公金受拂郵便振替貯金特別取扱規則

大正七年七月
總令第七十號

改正　明治三十年九月第九五號、六年三第一五號、一二年第二四號

府又ハ府ノ區域ヲ包含スル縣若ハ組合公金受拂ノ爲ニスル郵便振替貯金特別取扱規則左ノ通定ム

府公金受拂郵便振替貯金特別取扱規則

第一條　府ノ公金受拂ノ爲ニスル郵便振替貯金ハ本令ニ依リ特別取扱ヲ爲スコトヲ得但シ法定納期限又ハ指定納期日ヲ經過シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條　前條ノ特別取扱ヲ受ケムトスル府ハ加入口座數、口座ニ表示スヘキ名義及口座ヲ開設スヘキ場所ヲ記載シタル申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ朝鮮總督府遞信局長（臺灣ニ在リテハ臺灣總督府遞信局長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官）ニ差出シ認可ヲ受クヘシ

一　最近一年間ニ於ケル公金受拂件數及其金額ノ月別調書

二　振替貯金ニ依リ公金收納ノ爲ニ使用スル納稅告知書、納入告知書及督促狀等ノ見本

三　振替貯金ニ依ル公金受拂ニ關シ府ノ定メタル規程

四　各種收納金ニ對スル指定納付期日及其ノ見込件數調書

第三條　前條ノ納稅告知書、納入告知書及督促狀ハ加入者ノ口座番號及氏名等振替貯金拂込通知書ニ代用シ得ヘキ必要ナル事項ヲ具備スルコトヲ要ス

前項ノ納稅告知書又ハ納入告知書等ニシテ一枚ニ數口ノ金額ヲ併記スルモノニ在リテハ之ニ其ノ合計額ヲ揭載スルコトヲ要ス

第四條　遞信局長第二條ノ申請ヲ認可シタルトキハ朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ加入者名義ノ特別口座ヲ開設ス

第五條　公金納付ノ爲振替貯金ノ拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ納稅告知書、納入告知書又ハ督促狀等ヲ以テ振替貯金拂込書ニ代用ス

前項ニ依ル拂込ハ特ニ指定シタル場合ノ外其ノ公金ノ收納ヲ爲スヘキ府ノ區域內ニ在ル郵便局所ノ外共ノ取扱ヲ爲サス

第六條　郵便振替貯金規則第三十三條ニ規定スル證券又ハ郵便振替貯金小切手拂込規則第一條ニ規定スル小切手ニ依ル公金納付ノ拂込ハ府ニ於テ其ノ受入ヲ承認シ豫メ其ノ前項ノ取扱ニ係ルモノヲ取纏メ其ノ拂込高ニ對シ合計票ヲ調製シ納稅告知書等ノ拂込通知票ニ代用スヘキ部分ヲ添ヘ之ヲ加入者ニ送付ス

第七條　郵便振替貯金ノ拂込ニ關シテハ其ノ公金ノ收納ヲ爲スヘキ府ノ區域內ニ在ル郵便局所ノ外共ノ取扱ヲ爲サス

第八條　朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ前項ノ納稅告知書等ノ送付ヲ受ケタルトキハ各郵便局所ノ取扱ニ係ルモノヲ取纏メ其ノ拂込高ニ對シ合計票ヲ調製シ納稅告知書等ノ拂込通知票ニ代用スヘキ部分ヲ添ヘ之ヲ加入者ニ送付ス

第九條　朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ前項ノ送付ヲ受ケタルトキハ各郵便局所ニ對シ拂込ノ爲ニ使用スル納稅告知書、納入告知書及督促狀等ヲ送付ス

第十條　郵便局所ニ於テ振替貯金ノ拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ納稅告知書、納入告知書又ハ督促狀等ヲ以テ振替貯金拂込書ニ代用ス

第十一條　郵便局所ニ於テ公金納付ノ爲ニスル振替貯金ノ拂込ヲ受領シタルトキハ領收證書ヲ交付シ納稅告知書、納入告知書又ハ督促狀等ハ特ニ指定シタル遞信官署ニ送付ス

特ニ指定シタル遞信官署ニ於テ前項ノ納稅告知書等ノ送付ヲ受ケタルトキハ各郵便局所ノ取扱ニ係ルモノヲ取纏メ其ノ拂込高ニ對シ合計票ヲ調製シ納稅告知書等ノ拂込通知票ニ代用スヘキ部分ヲ添ヘ之ヲ加入者ニ送付ス

第十二條　朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ第四條ノ特別口座ニ其ノ拂込ヲ登記シタルトキハ其ノ受拂通知票ニ前條第二項ニ定ムル合計票ノ副本ヲ添ヘ之ヲ加入者ニ送付ス

第十三條　公金受拂ノ爲本令ニ依リ取扱ヒタル振替貯金ノ拂込及振替ハ之カ口座登記前ト雖モ其ノ取消ノ請求ニ應セス

第十四條　府ニ於テ本令ニ依リ遞信局長ノ認可ヲ受ケタル納稅告知書又ハ納入告知書等ノ樣式又ハ受拂ニ關スル規程ヲ變更セムトスルトキハ豫メ其ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條　公金受拂ノ爲ニスル郵便振替貯金ノ特別取扱ニ關シ本令ニ定メタルモノノ外郵便振替貯金規則及郵便振替貯金小切手拂込規則ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和二年九月總令第九十五號）

本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和六年三月總令第十五號）

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和十一年二月總令第十四號）

本令ハ昭和十一年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●國債募集、賣出、買上及元利金支拂郵便振替貯金特別取扱規則

昭和十二年十二月
總令第百九十九號

國債募集、賣出、買上及元利金支拂郵便振替貯金特別取扱規則左ノ通定ム

國債募集、賣出、買上及元利金支拂郵便振替貯金特別取扱規則

第一條　郵便官署ハ本規則ノ定ムル所ニ依リ國債ノ募集、賣出、買上及元利金支拂ニ付郵便振替貯金ノ特別取扱ヲ爲ス

第二條　本規則ニ依リ郵便官署ニ於テ國債募集ノ特別取扱ヲ爲ス場合ニ於テハ日本銀行ニ示ス

第三條　本規則ニ依リ郵便官署ニ於テ國債募集ノ特別取扱ヲ爲ス場合ニ於テハ日本銀行ニ申込書用紙ヲ朝鮮總督府遞信局ニ送付スヘシ

第四條　國債ノ應募申込ヲ爲サントスル者ハ規定ノ申込書二通ニ保證金ノ提供ヲ要スル第十三條　公金受拂ノ爲本令ニ依リ取扱ヒタル振替貯金ノ拂込及振替ハ之カ口座登記前ト雖モ其ノ取消ノ請求ニ應セス

第十四條　府ニ於テ本令ニ依リ遞信局長ノ認可ヲ受ケタル納稅告知書又ハ納入告知書等ノ樣式又ハ受拂ニ關スル規程ヲ變更セムトスルトキハ豫メ其ノ認可ヲ要ス

第十五條　公金受拂ノ爲ニスル郵便振替貯金ノ特別取扱ニ關シ本令ニ定メタルモノノ外郵便振替貯金規則及郵便振替貯金小切手拂込規則ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和二年九月總令第九十五號）

本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和六年三月總令第十五號）

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和十一年二月總令第十四號）

本令ハ昭和十一年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

モノニ在リテハ保證金ヲ添ヘ之ヲ郵便局所ニ差出シ其ノ受領證ヲ受取ルヘシ

第五條　前條ノ應募申込ニ對シ募入ノ決定ヲ爲シタルトキハ郵便局所ニ於テ應募者ニ之ヲ通知ス

第六條　應募者第二期以降ノ拂込金ノ拂込ヲ爲サントスルトキハ最モ應募申込ヲ爲シタル郵便局所ニ拂込金ヲ差出シ其ノ受領證ヲ受取ルヘシ

第七條　前條ノ場合ニ於テ拂込期限ヲ經過シタルモノハ郵便局所ニ於テ之ヲ受理セズ申込書ハ之ヲ日本銀行ニ送付シ其ノ旨ヲ應募者ニ通知ス

第八條　應募者募入外レ保證金ノ還付ヲ受ケントスルトキハ第四條ノ規定ニ依リ郵便局所ニ差出シタル申込書ニ金額、年月日及受領ノ旨ヲ記載シ認印ノ上現金ヲ受取ルヘシ

第九條　應募金額ノ拂込ヲ完了シタル應募者ハ證券交付期日ニ最モ應募申込ヲ爲シタル郵便局所ニ受領證ヲ差出シ證券ヲ受取ルヘシ

前項ノ場合ニ於テ交付期日後七日ヲ過ギルモ證券交付ノ申出ナキトキハ郵便官署ハ證券ヲ日本銀行ニ還付ス

第十條　本規則ニ依リ郵便官署ニ於テ國債賣出ノ特別取扱ヲ爲ス場合ハ其ノ都度之ヲ告示ス

第十一條　本規則ニ依リ郵便官署ニ於テ國債賣出ノ特別取扱ヲ爲ス場合ニ於テハ日本銀行ハ國債證券ヲ朝鮮總督府遞信局ニ送付スヘシ

第十二條　賣出ニ係ル國債證券ノ購買ヲ爲サントスル者ハ購買代金ヲ郵便局所ニ差出シ證券ヲ受取ルヘシ

第十三條　本規則ニ依リ郵便局所ニ於テ受入ニ係ル保證金ハ拂込金及賣渡代金並ニ還付シタル保證金ノ京城貯金管理所ニ於テ本規則ニ依ル特別取扱ノ爲ニスル日本銀行ノ郵便振替貯金口座ニ對シ受入又ハ拂出ノ手續ヲ爲ス

第十四條　日本銀行ハ國債ノ買上及元利金支拂ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外郵便振替貯金小切手拂込規則ノ定ムル所ニ依ル

第十五條　本令ニ依ル特別取扱ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外郵便振替貯金規則及郵便振替貯金小切手拂込規則ニ依ル

附　則

本令ハ大正元年八月十一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和二年九月總令第九十四號）

本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和八年三月總令第三十號）

本令ハ昭和八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和八年五月總令第四十六號）

本令ハ昭和八年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和十一年二月總令第十三號）

本令ハ昭和十一年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和十一年十月總令第百十號）

本令ハ昭和十一年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●府公金受拂郵便振替貯金特別取扱規則

大正七年七月
總令第七十號

改正　明治三十年九月第九五號、六年三第一五號、一二年第二四號

府又ハ府ノ區域ヲ包含スル縣若ハ組合公金受拂ノ爲ニスル郵便振替貯金特別取扱規則左ノ通定ム

府公金受拂郵便振替貯金特別取扱規則

第一條　府ノ公金受拂ノ爲ニスル郵便振替貯金ハ本令ニ依リ特別取扱ヲ爲スコトヲ得但シ法定納期限又ハ指定納期日ヲ經過シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二條　前條ノ特別取扱ヲ受ケムトスル府ハ加入口座數、口座ニ表示スヘキ名義及口座ヲ開設スヘキ場所ヲ記載シタル申請書ニ左ノ書類ヲ添ヘ朝鮮總督府遞信局長（臺灣ニ在リテハ臺灣總督府遞信局長、樺太ニ在リテハ樺太廳長官）ニ差出シ認可ヲ受クヘシ

一　最近一年間ニ於ケル公金受拂件數及其金額ノ月別調書

二　振替貯金ニ依リ公金收納ノ爲ニ使用スル納稅告知書、納入告知書及督促狀等ノ見本

三　振替貯金ニ依ル公金受拂ニ關シ府ノ定メタル規程

四　各種收納金ニ對スル指定納付期日及其ノ見込件數調書

第三條　前條ノ納稅告知書、納入告知書及督促狀ハ加入者ノ口座番號及氏名等振替貯金拂込通知書ニ代用シ得ヘキ必要ナル事項ヲ具備スルコトヲ要ス

前項ノ納稅告知書又ハ納入告知書等ニシテ一枚ニ數口ノ金額ヲ併記スルモノニ在リテハ之ニ其ノ合計額ヲ揭載スルコトヲ要ス

第四條　遞信局長第二條ノ申請ヲ認可シタルトキハ朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ加入者名義ノ特別口座ヲ開設ス

第五條　公金納付ノ爲振替貯金ノ拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ納稅告知書、納入告知書又ハ督促狀等ヲ以テ振替貯金拂込書ニ代用ス

前項ニ依ル拂込ハ特ニ指定シタル場合ノ外其ノ公金ノ收納ヲ爲スヘキ府ノ區域內ニ在ル郵便局所ノ外共ノ取扱ヲ爲サス

第六條　郵便振替貯金規則第三十三條ニ規定スル證券又ハ郵便振替貯金小切手拂込規則第一條ニ規定スル小切手ニ依ル公金納付ノ拂込ハ府ニ於テ其ノ受入ヲ承認シ豫メ其ノ前項ノ取扱ニ係ルモノヲ取纏メ其ノ拂込高ニ對シ合計票ヲ調製シ納稅告知書等ノ拂込通知票ニ代用スヘキ部分ヲ添ヘ之ヲ加入者ニ送付ス

第七條　郵便振替貯金ノ拂込ニ關シテハ其ノ公金ノ收納ヲ爲スヘキ府ノ區域內ニ在ル郵便局所ノ外共ノ取扱ヲ爲サス

第八條　朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ前項ノ納稅告知書等ノ送付ヲ受ケタルトキハ各郵便局所ノ取扱ニ係ルモノヲ取纏メ其ノ拂込高ニ對シ合計票ヲ調製シ納稅告知書等ノ拂込通知票ニ代用スヘキ部分ヲ添ヘ之ヲ加入者ニ送付ス

第九條　朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ前項ノ送付ヲ受ケタルトキハ各郵便局所ニ對シ拂込ノ爲ニ使用スル納稅告知書、納入告知書及督促狀等ヲ送付ス

第十條　郵便局所ニ於テ振替貯金ノ拂込ヲ爲ス場合ニ於テハ納稅告知書、納入告知書又ハ督促狀等ヲ以テ振替貯金拂込書ニ代用ス

第十一條　郵便局所ニ於テ公金納付ノ爲ニスル振替貯金ノ拂込ヲ受領シタルトキハ領收證書ヲ交付シ納稅告知書、納入告知書又ハ督促狀等ハ特ニ指定シタル遞信官署ニ送付ス

特ニ指定シタル遞信官署ニ於テ前項ノ納稅告知書等ノ送付ヲ受ケタルトキハ各郵便局所ノ取扱ニ係ルモノヲ取纏メ其ノ拂込高ニ對シ合計票ヲ調製シ納稅告知書等ノ拂込通知票ニ代用スヘキ部分ヲ添ヘ之ヲ加入者ニ送付ス

第十二條　朝鮮總督府貯金管理所ニ於テ第四條ノ特別口座ニ其ノ拂込ヲ登記シタルトキハ其ノ受拂通知票ニ前條第二項ニ定ムル合計票ノ副本ヲ添ヘ之ヲ加入者ニ送付ス

第十三條　公金受拂ノ爲本令ニ依リ取扱ヒタル振替貯金ノ拂込及振替ハ之カ口座登記前ト雖モ其ノ取消ノ請求ニ應セス

第十四條　府ニ於テ本令ニ依リ遞信局長ノ認可ヲ受ケタル納稅告知書又ハ納入告知書等ノ樣式又ハ受拂ニ關スル規程ヲ變更セムトスルトキハ豫メ其ノ認可ヲ要ス

第十五條　公金受拂ノ爲ニスル郵便振替貯金ノ特別取扱ニ關シ本令ニ定メタルモノノ外郵便振替貯金規則及郵便振替貯金小切手拂込規則ノ定ムル所ニ依ル

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和二年九月總令第九十五號）

本令ハ昭和二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和六年三月總令第十五號）

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附（昭和十一年二月總令第十四號）

本令ハ昭和十一年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便貯金ノ局待拂取扱開始

昭和十一年九月
總告第五百十八號

昭和十一年十月一日ヨリ左ノ郵便局ヲシテ京城貯金管理所所屬ノ貯金通帳ニ對シ郵便貯金規則ニ依ル郵便貯金ノ局待拂ヲ取扱ハシム

明治四十一年朝鮮總督府告示第百四十八號ハ昭和十一年九月三十日限リヲ以テ廢止ス

局　名　位　置

光化門郵便局　京畿道京城府鑛路一丁目

昭和十一年十一月
總告第五百十六號

昭和十一年十一月十六日ヨリ左ノ郵便局ヲシテ釜山貯金管理所所屬ノ貯金通帳ニ對シ郵便貯金規則ニ依ル郵便貯金ノ局待拂ヲ取扱ハシム

局　名　位　置

釜山郵便局　慶尙南道釜山府大倉町三丁目

●郵便振替貯金小切手拂込規則

大正二年十二月
總令第百七號

改正　明治九年一二第一八號、一一年一〇第一〇九號、一二年一二第一八號

郵便振替貯金小切手拂込規則左ノ通定ム

郵便振替貯金小切手拂込規則

第一條　別ニ指定シタル銀行ヲ支拂人トシ且其ノ銀行ノ所在地ヲ支拂地トスル持參人拂ノ小切手ニシテ其ノ呈示期間ヨリ二日短キ期間內ノモノハ之ヲ郵便振替貯金ノ拂込（電信拂込ヲ除ク）ニ充用スルコトヲ得支出官ノ振出シタル小切手ニシテ其ノ支拂期間ヨリ二日短キ期間內ノモノハ亦同シ

前項ノ小切手ハ特ニ指定シタル支拂地ノ郵便局所ニ限リ之カ受入ヲ爲ス

第一項ノ小切手ノ呈示期間又ハ支拂期間ヨリ二日短キ期間ハ其ノ末日カ日曜日其ノ他ノ休日ニ當ニシテ郵便局所ニ於テ其ノ拂込ヲ取扱ハサル場合ニ於テモ之ヲ延長セス

第二條　郵便局所ニ於テ受入レタル小切手ハ其ノ表面餘白ニ當該受入局所ノ日附印ヲ押捺シ之ヲ支拂銀行ニ提出シテ現金ノ受入ヲ

鑛南浦手形交換所組合銀　鑛南浦府内ニ在ル
行及同代理交換委託銀行　郵便局所
木浦手形交換所組合銀行　木浦府内ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
（大正十四年四月總告第七十九號ハ大正十四年四月十日ヨリ施行）
（昭和四年七月總告第二百七十號ハ昭和四年八月一日ヨリ施行）
（昭和六年十一月總告第五百十一號ハ昭和六年十一月十日ヨリ施行）

●郵便振替貯金ノ加入ニ基本預金ノ拂込ヲ要セザル者

昭和十二年五月
總告第三百五十八號

改正　昭和二年二月八六號

第一章　總則
第二章　振替金額
第三章　拂出
第四章　取消及戻入
第五章　通知
第六章　受入
第七章　加入者名簿
附　則

外國郵便振替規則

第一章　總則

第一條　郵便振替ニ關スル約定ニ依リ本邦ノ郵便振替貯金口座ヲ外國（植民地ヲ除ク之ニ倣フ）ノ郵便振替口座トノ間ニ爲ス預金ノ振替（第七條ノ振替ヲ除ク）ハ之ヲ外國郵便振替ト稱ス

第二條　本邦ト外國郵便振替ノ交換ヲ爲ス國ハ別ニ之ヲ告示ス

第三條　外國郵便振替ハ外國郵便振替交換局ヲ經テ之ヲ交換ス

本邦ニ於ケル外國郵便振替交換局ハ貯金局トシ外國郵便振替局ハ郵便振替貯金口座所管廳トス

外國ニ於ケル外國郵便振替交換局及外國郵便振替局ハ別ニ之ヲ告示ス

第四條　振替拂出ノ料金ハ一口ニ付振替金額八十圓迄ハ八錢、八十圓ヲ超ユルトキハ其ノ超過額十圓迄毎ニ一錢ヲ加ヘタル金額トス

前項ノ料金ハ當該加入者ノ貯金ヨリ控除徴

（キ者ノ證明書ノ提出又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ郵便官署ニ對シ其ノ受給者タルコトヲ證明スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●外國郵便振替規則

昭和六年三月
遞令第二號

改正　昭和九年二號第七號、一二年三號二二號、一二年一二號、一三年四號三二號

外國郵便振替規則左ノ通定ム

目次

第一章　總則
第二章　振替金額
第三章　拂出
第四章　取消及戻入
第五章　通知
第六章　受入
第七章　加入者名簿
附　則

外國郵便振替規則

第一章　總則

第一條　郵便振替ハ本邦ノ郵便振替貯金口座ヲ外國（植民地ヲ除ク之ニ倣フ）ノ郵便振替口座トノ間ニ爲ス預金ノ振替（第七條ノ振替ヲ除ク）ニ關シ本邦ト外國トノ交換ヲ爲ス國ニ於ケル郵便振替ノ交換ヲ爲ス國ニ對シ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳交付ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金ハ其ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ交付シ其ノ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ交付スルコトヲ得

第二條　前條ニ依リ預リタル郵便貯金及保管シタル公債證書ノ交付實却等ニ關シテハ郵便貯金ニ關スル規則ヲ適用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金交付ニ關スル件

大正四年十一月
勅令第二百四號

改正　大正九年三號四六號

既ニ大正三年戰役ニ關スル一時賜金ノ交付ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ交付シ其ノ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ保管スル公債證書ニ付テハ郵便貯金ニ關スル法令ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金保管ノ件

大正五年三月
總令第十四號

改正　大正九年四號六〇號

大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金ニシテ特別證券保管通帳ニ依ラスシテ下賜セラレタル公債證書ヲ其ノ受給者ヨリ郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ保管ヲ請求スル場合ニ於テハ當分ノ內其ノ保管料金ヲ徵收セス

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ其ノ下賜ニ關スル辭令書ノ呈示、市區町村長若ハ之ニ準スル官公署ノ證明書ヲ提出又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ郵便官署ニ對シ其ノ受給者タルコトヲ證明スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●郵便振替貯金小切手拂込規則第一條ニ依ル指定銀行及指定受入郵便局

大正二年十二月
總告第三百九十六號

改正　大正六年四五〇二號、七年一第七號、一〇年六第一二五號、一四年四第七九號、八年四第二七〇號、六年一二第五五一號

郵便振替貯金小切手拂込規則第一條ニ依ル指定銀行及指定受入郵便局所左ノ通定メ大正三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

指定銀行

京城手形交換所組合銀行　京城府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
釜山手形交換所組合銀行　釜山府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
仁川手形交換所組合銀行　仁川府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
平壤手形交換所組合銀行　平壤府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
大邱手形交換所組合銀行　大邱府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
群山手形交換所組合銀行　群山府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
元山手形交換所組合銀行　元山府內ニ在ル郵
及同代理交換委託銀行　便局所

指定受入郵便局所

京城手形交換所組合銀行　京城府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
釜山手形交換所組合銀行　釜山府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
仁川手形交換所組合銀行　仁川府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
平壤手形交換所組合銀行　平壤府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
大邱手形交換所組合銀行　大邱府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
群山手形交換所組合銀行　群山府內ニ在ル各
及同代理交換委託銀行　郵便局所
元山手形交換所組合銀行　元山府內ニ在ル郵
及同代理交換委託銀行　便局所

郵便振替貯金規則第十四條第一項但書ノ規定ニ依リ郵便振替貯金ノ加入ニ基本預金ノ拂込ヲ要セザル者左ノ如シ

昭和六年朝鮮總督告示第三百三十七號ハ之ヲ廢止ス

一　公共團體、營利ヲ目的トセザル法人及特別ノ法令ニ依リ設立セラレタル法人、組合若ハ團體

一　社寺、官公立學校、官公立圖書館及官令立病院

一　鐵道吏及公設人役場

一　郵便所長脅及郵便所長脅聯合脅

一　國有地小作人組合

一　農業倉庫業者及聯合農業倉庫業者

一　煙草配給用馬匹共濟脅

一　煙草耕作組合及朝鮮煙草耕作組合協脅

一　專賣局販賣所職員協脅

●行賞賜金ニ對シ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳交付ノ件

明治三十九年八月
勅令第二百十二號

改正　昭和二年二號

既行賞賜金ニ對シ特別郵便貯金通帳及特別證券保管通帳交付ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　明治三十七八年戰役ニ關スル行賞賜金ハ其ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ交付シ其ノ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ交付スルコトヲ得

第二條　前條ニ依リ預リタル郵便貯金及保管シタル公債證書ノ交付實却等ニ關シテハ郵便貯金ニ關スル規則ヲ適用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金交付ニ關スル件

大正四年十一月
勅令第二百四號

改正　大正九年三號四六號

既ニ大正三、四年戰役ニ關スル一時賜金ノ交付ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大正三年臨時事件ニ關スル一時賜金ノ現金ハ郵便貯金トシ特別郵便貯金通帳ヲ交付シ其ノ公債證書ハ郵便官署ニ保管シ特別證券保管通帳ヲ交付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ保管スル公債證書ニ付テハ郵便貯金ニ關スル法令ニ依ル

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●大正五年臨時事件ニ關スル一時賜金保管ノ件

大正五年三月
總令第十四號

改正　大正九年四號六〇號

大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金ニシテ特別證券保管通帳ニ依ラスシテ下賜セラレタル公債證書ヲ其ノ受給者ヨリ郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ保管ヲ請求スル場合ニ於テハ當分ノ內其ノ保管料金ヲ徵收セス

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ其ノ下賜ニ關スル辭令書ノ呈示、市區町村長若ハ之ニ準スル官公署ノ證明書ヲ提出又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ郵便官署ニ對シ其ノ受給者タルコトヲ證明スヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改ヲ

第五條　外國郵便振替ニ關スル各種ノ料金ニシテ左ニ記載シタルモノハ納付人ノ請求ニ依リ郵便切手ヲ以テ納付ニ係ルモノナルトキハ郵便切手ヲ以テ之ヲ還付シ加入者ノ貯金ヨリ控除徵收ニ係ルモノナルトキハ現金ヲ以テ之ヲ還付ス

一　業務上ノ過失ニ因リ徵收シタル料金

二　各種ノ請求ニ對シ業務上ノ過失ニ因リ其ノ取扱ヲ爲サザリシ場合ニ於ケル當該料金

三　業務上ノ過失ニ因リ取調請求ヲ爲スニ至リタル場合ニ於ケル取調請求ノ料金

前項料金還付ノ請求ハ料金納付ノ日ヨリ第一號ノ料金ニ付テハ一年內ニ、第二號及第三號ノ料金ニ付テハ一年內ニ其ノ料金ヲ納付シタル郵便官署ニ之ヲ爲スヘシ

第六條　外國郵便振替ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外郵便振替貯金規則ノ定ムル所ニ依ル

第二章　振替金額

第七條　外國郵便振替ノ金額ニハ最高制限ヲ附スル場合ノ別ニ之ヲ告示ス

第八條　外國郵便振替ノ金額ニハ錢位未滿又ハ外國貨幣單位ノ百分ノ一位未滿ノ端數ヲ附スルコトヲ得ス

第九條　外國郵便振替ノ金額ハ外國郵便振替交換局相互間ニ於テハ振宛國貨幣ヲ以テ之ヲ通知ス但シ別ニ告示シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　加入者振替ヲ請求スル場合ニ於テ拂出書ニ記載スル振替金額ハ之ヲ本邦貨幣又ハ前條ノ外國貨幣ヲ以テ表示スヘシ

第十一條　前條ノ金額ハ口座所管廳ニ於テ拂出書受入ノ日ノ外國貨幣換算割合ニ依リ換算ス

第十二條　外國ヨリノ振替金額ニシテ外國貨幣ヲ以テ表示シタルモノハ貯金局ニ於テ當該振替到著ノ日ノ外國貨幣換算割合ニ依リ之ヲ本邦貨幣ニ換算ス

第十三條　前二條ノ場合ニ於テ錢位未滿又ハ外國貨幣單位ノ百分ノ一位未滿ノ端數ヲ第十八輯　交通　電氣附瓦斯　第一章　通信　第四款　郵便貯金

數ヲ生ジタルトキハ之ヲ切捨ツ

第十四條　第十一條及第十二條ノ外國貨幣換算割合ハ特ニ口座所管廳ニ掲示スル場合ヲ除クノ外別ニ告示スル所ニ依ル

第三章　拂出

第十五條　加入者自己ノ口座ノ貯金ヲ拂出シ之ヲ外國ノ郵便振替口座ニ振替ヘントスルトキハ普通拂出書用紙ニ振替金額並ニ振宛人ノ口座番號及住所氏名ヲ記載シ署名捺印ノ上之ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ加入者ハ拂出書ニ於ケル自己ノ住所氏名ヲ（ラテン）文字ヲ以テ複記シ且振宛人ノ住所氏名ヲ拂込口座加入者氏名指定欄ニ（ラテン）文字ヲ以テ記載スヘシ

第十一項ノ拂出書ハ之ヲ無料普通通常郵便物トシテ差出スコトヲ得

第十五條ノ二　加入者ハ拂出書又ハ拂出通知票ノ速達郵便又ハ航空郵便ニ依ル送達（地區ノ制限ヲ附スルモノヲ除ク）ヲ請求スルコトヲ得

第十五條ノ三　外國郵便振替ニ付テハ第十五條又ハ第十六條ノ二ノ拂出書ハ之ヲ受ケタルトキハ當該口座ノ貯金ヨリ拂出ヲ爲シ振宛國ノ郵便振替口座ニ振替ノ手續ヲ爲ス

第十七條　加入者ハ拂出書ノ送付ヲ爲ス前ニ之ヲ取消スコトヲ得

第十八條　加入者ハ自己ノ口座番號、振替請求ノ年月日、關係拂出書用紙番號、振宛人ノ口座番號及住所氏名並ニ取調請求ノ事由ヲ記載シタル取調請求書ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項ノ請求書ハ之ヲ無料普通通常郵便物トシテ差出スコトヲ得

取調請求ノ料金ハ二十錢トシ當該加入者ノ貯金ヨリ之ヲ控除徵收ス

第十九條　加入者ハ前條第四項ノ期間經過後ニ於テ振替請求ノ處理ニ關シ單ナル通報ヲ請求スルコトヲ得

第二十條　口座所管廳前二條ノ取消請求ヲ受ケタル場合ニ於テ當該振替ヲ貯金局ニ通知前ナルトキハ之ヲ取消シ通知後ナルトキハ貯金局ニ取消ノ通知ヲ爲ス

貯金局前項ノ取消通知ヲ受ケタル場合ニ於テ當該振替ヲ外國ニ振替通知前ナルトキハ口座所管廳ニ返送シ外國ニ通知後ナルトキハ加入者ノ指定スル通知方法ニ從ヒ取消ノ通知ヲ爲ス

前項後段ノ場合ニ於ケル取消通知ガ郵便ニ依ルモノナルトキハ三十六錢、電信ニ依ルモノナルトキハ相當外國電報料ノ外ニ三十六錢ノ料金ヲ加入者ノ貯金ヨリ控除徵收ス

第二十一條　取消請求ニ因リ郵便振替ノ返送ヲ受ケタルトキハ振替金額ヲ加入者ノ口座ニ戻入ス

前項ノ場合ニ於テ外國ヨリ返送ヲ受ケタル郵便振替ハ其ノ戻入金額ニ付テハ振宛國ヨリ本邦ニ新ニ振宛テラレタル振替ト看做ス

第二十二條　取消請求ニ因リ郵便振替ノ返送ヲ受ケタル場合ニ於テハ口座所管廳ニ於テ其ノ旨ヲ加入者ニ通知ス

第二十三條　第二十一條ノ規定ハ口座ニ受入登記不能ノ爲外國ヨリ返送ヲ受ケタル郵便振替ニ之ヲ準用ス

第四章　取消及戻入

第二十四條　加入者振替請求ノ處理ニ關シ取調ヲ請求セントスルトキハ自己ノ口座番號及住所氏名、振替請求ノ年月日、關係拂出書用紙番號、振宛人ノ口座番號及住所氏名並ニ取調請求ノ事由ヲ記載シタル取調請求書ヲ所屬ノ口座所管廳ニ送付スヘシ

前項ノ請求書ハ之ヲ無料普通通常郵便物トシテ差出スコトヲ得

取調請求ノ料金ハ二十錢トシ當該加入者ノ貯金ヨリ之ヲ控除徵收ス

第二十五條　口座所管廳ハ外國ヨリ返送ヲ受ケタル郵便振替ニ付テハ振宛國ヨリ本邦ニ新ニ振宛テラレタル振替ト看做ス

第二十六條　受入

第二十五條　外國ヨリ通知ヲ受ケタル振替ハ口座所管廳ニ於テ之ヲ指定加入者ノ口座ニ受入レ振替通知書ハ當日ノ受拂通知票ト共ニ之ヲ加入者ニ送付ス

第七章　加入者名簿

第二十六條　加入者名簿ハ之ヲ發行スル國及名簿ノ價格ハ別ニ之ヲ告示ス

第二十七條　加入者加入者名簿ヲ購入セントスルトキハ普通拂出書用紙ノ金額欄ニ名簿代金ヲ、指定欄ニ發行國及部數ヲ記載シ振替ノ請求ヲ爲スヘシ

第二十八條　前條ノ請求ニ對シテハ口座所管廳ニ於テ發行國郵政廳ヨリ加入者名簿ノ送付ヲ受ケ之ヲ當該加入者ニ送付ス

附　則

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年二月遞信省令第九號外國郵便振替規則ハ之ヲ廢止ス

（昭和九年十二月遞令第七十七號ハ昭和十年一月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十二年三月遞令第二十二號）

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●日滿郵便振替規則

昭和十一年十一月
遞令第六十六號

改正　昭和一二年四三號、一二年一二號

日滿郵便振替規則左ノ通定ム

日滿郵便振替規則

第一條　日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ依リ本邦ト滿洲國（關東州ヲ含マス以下之ニ倣フ）トノ間ニ交換スル郵便振替ハ之ヲ日滿郵便振替ト稱ス

日滿郵便振替ノ振替計算ハ郵便振替貯金規則ニ依ル口座ニ於テ之ヲ爲ス

第五款　內國電信

●電信法

明治三十三年三月
法律第五十九號

改正　大正五年三法一九號

第一條　電信及電話ハ政府之ヲ管掌ス

第二條　左ニ掲クル電信又ハ電話ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ私設スルコトヲ得

一　一郎宅内若ハ一構内ニ於テ專用ニ供スル爲施設スルモノ

二　鐵道業其ノ他電信電話ノ專用ヲ必要トスル事業ノ爲施設スルモノ

三　公共團體ノ事務執行ノ爲一市區町村内若ハ鄰接市區町村間ニ於テ公署相互間又ハ一部市區内ニ於テ公署ト第一次監督官廳トノ間ニ施設スルモノ

四　電報送受ノ目的ヲ以テ一人ノ專用ニ供スル爲電信官署トノ間ニ施設スルモノ

五　一市區町村内若ハ鄰接市區町村間ニ於テ又ハ電信電話ノ運轉ナク且第四號ニ依ルヲ不適當トスル市區町村間ニ於テ一人又ハ一營業ノ專用ニ供スル爲施設スルモノ

第三條　主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ニ依リ施設シタル電信又ハ電話ヲ公衆通信又ハ軍事上必要ナル通信ノ用ニ供セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ主務大臣ハ軍事上必要ナル通信ノ用ニ供セシムルコトヲ得

第四條　主務大臣ハ公安ノ爲必要ト認ムルトキハ區域ヲ定メ電信又ハ電話ニ依ル通信ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得

第五條　電信又ハ電話ニ依ル通信ニシテ公安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ主務大臣ノ指定シタル電信官署又ハ電話官署ニ於テ之ヲ停止スルコトヲ得

第六條　職務執行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配達人及配達用車馬等ハ道路ニ障碍アリテ通行シ難キ場合ニ於テ墻壁又ハ欄干ヲ毀チ宅地田畑其ノ他ノ場所ヲ通行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ被害者ノ請求ニ因リ其ノ損害ノ賠償ヲ爲スヘシ

第七條　職務執行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配達人及配達用舟車馬等事故ニ遭遇シタル場合ニ於テ電信又ハ電話ノ工夫配達人若ハ吏員ヨリ助力ヲ求メラレタル者ハ正當ノ事由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得此ノ場合ニ於テハ政府ハ助力者ノ請求ニ因リ相當ノ報酬ヲ爲スヘシ

第八條　職務執行中ノ電信又ハ電話ノ工夫配達人及配達用舟車馬等ニ對シテハ渡津、運河、道路、橋梁其ノ他ノ場所ニ於ケル通行錢ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ工夫及配達人ハ何時ニテモ渡津ノ用船ヲ求ムルコトヲ得

第九條　政府ハ電信又ハ電話ノ用ニ供スル爲鐵道用地及停車場建物ノ一部ヲ使用シ必要アルトキハ建物ノ建築又ハ改築ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ土地建物ノ使用料及建築改築ノ費用ハ請求ニ因リ政府之ヲ支給ス

第十條　政府カ鐵道用地内ニ電信線又ハ電話線ヲ施設シタルトキハ使用料ヲ支給セス

第十一條　電信若ハ電話專用ノ物件又ハ現ニ其ノ用ニ供スル物件ハ之ヲ差押フルコトヲ得ス

前項專用ノ物件ハ何等ノ賦課ヲ受クルコトナシ

第十二條　電信又ハ電話取扱ニ關シ電信官署又ハ電話官署ニ對シテ無能力者ノ爲シタル行爲ハ能力者ノ爲シタルモノト看做ス

第十三條　電報ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外其ノ宛所ニ配達ス

第十四條　電報ハ命令ヲ以テ定ムル場合ニ限リ發信人ノ請求ニ因リ其ノ送達ヲ停止スルコトヲ得

第十五條　宛所ニ配達シ又ハ受信人ニ交付シ得サル電報ハ電信官署ニ於テ之ヲ保管ス其ノ保管開始ノ日ヨリ三十日内ニ交付ノ請求ナキトキハ之ヲ棄却ス

第十六條　電信官署又ハ電話官署ニ於テ必要ト認ムルトキハ發信人ニ對シ其ノ電報ニ用ヰタル祕密語ノ說明ヲ求ムルコトヲ得發信人若ハ其ノ說明ヲ拒ミタルトキハ其ノ電報ノ取扱ヲ拒絕ス

第十七條　電信又ハ電話ニ關スル料金及電信又ハ電話ニ依ル通信ノ取扱ニ必要ナル制限ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第十八條　電信又ハ電話ニ關スル既納及過納ノ料金ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外之ヲ還付セス

第十九條　發信人ニ於テ前納スヘキ電信ニ關スル料金ニ不足アルトキハ發信人ヨリ其ノ不足額ノ二倍ノ料金ヲ徵收ス

第二十條　電信又ハ電話ニ關スル料金納付ノ義務ハ其ノ納付スヘキ日ヨリ六箇月内ニ納付ノ告知ヲ受ケサル爲リテ消滅ス

第二十一條　電信又ハ電話ニ關スル料金ノ不納金額ハ電信官署又ハ電話官署ニ於テ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收ス

前項ノ不納金額ニ付電信官署又ハ電話官署ハ國稅ニ次キ先取特權ヲ有ス

第二十二條　電信又ハ電話ニ依ル通信ニシテ電信、電話、無線電信、無線電話、郵便、郵便爲替、郵便貯金ノ事務又ハ氣象報告ニ關スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ無料トス

第二十三條　電信又ハ電話ニ關スル料金ハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外郵便切手ヲ以テ納付スヘシ

第二十四條　電信又ハ電話ノ取扱ニ關シテハ政府ハ損害賠償ノ責ニ任セス

第二十五條　本法ニ依ル損害賠償又ハ報酬ノ請求權ハ主務大臣ノ指定シタル電信官署又ハ電話官署ニ對シ其ノ事實アリタル日ヨリ三箇月間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス

第二十六條　電信官署若ハ電話官署ノ賠償又ハ報酬ニ關スル決定ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二條　日滿郵便振替ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外內國郵便振替貯金ニ關スル規定ヲ準用ス

第三條　滿洲國ノ日滿郵便振替取扱局及其ノ取扱事務ノ種類竝ニ同國ノ振替口座所管廳ハ之ヲ告示ス

第四條　日滿郵便振替ノ料金ハ内地ト關東州トノ間ノ內國郵便振替貯金ニ關スル料金ニ依ル

第五條　日滿郵便振替ニ付テハ郵便振替貯金規則第十一條ノ二ニ規定スル料金ノ外業務ノ停止ニ因リ取扱ヲ爲シ得ザリシ郵便振替ニ關スル料金ハ之ヲ還付ス

第六條　內國郵便振替貯金ノ拂込人ハ還付ヲ受クヘキ拂込金ヲ、拂出人又ハ受取人ハ拂出金ヲ滿洲國ニ轉送スルコトヲ請求スルコトヲ得

郵便振替貯金規則第三十七條ノ二及第五十六條ノ規定ハ前項ノ請求ニ之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ選付局又ハ拂渡局ノ變更請求書ヲ以テ轉送請求書ニ代用スルコトヲ得

第七條　滿洲國ノ郵便振替ニ關スル取扱ニシテ特ニ告示シタルモノニ付テハ其ノ仲介ヲ郵便局ニ請求スルコトヲ得

郵便振替貯金ニ關スル規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條　日滿郵便振替ニ付テハ內地又ハ滿洲國內ニ於テ發署スル普通拂出書、電信振替拂出證書又ハ口座受入濟通知ヲ除クノ外速達郵便ニ依ル送達ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ズ

第九條　滿洲國宛日滿郵便振替ニ付テハ拂出證書ノ別配達ヲ請求スルコトヲ得ズ

附　則

本令ハ昭和十一年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年四月選令第三十三號）

本令ハ昭和十二年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年十一月選令第百號）

本令ハ昭和十二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十七條　不法ニ電信、電話ヲ施設シ又ハ不法ニ施設シタル電信、電話ヲ使用シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條ノ二　主務官署カ命令ノ定ムル所ニ依リ私設ノ電信又ハ電信ノ撤去ヲ命シタル場合ニ於テ期間内ニ之ヲ撤去セサル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

撤去ヲ命セラレタル私設ノ電信又ハ電話ヲ使用シタル者亦同シ

第二十八條　私設ノ電信若ハ電話ヲ他人ノ用ニ供シタル者又ハ其ノ私設者ニ非スシテ之ヲ使用シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

私設ノ電信又ハ電話ニ依リ得タル通信ヲ爲サシメタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條ノ二　第二十七條、第二十七條ノ二第二項、第二十八條、第三十一條乃至第三十三條、第三十五條、第三十七條、第三十八條及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第四十二條　削除

第四十三條　公衆通信又ハ第三條第一項ニ依リ現ニ軍事通信ノ用ニ供スル私設ノ電信又ハ電話ニ關シテハ第九條ヲ除クノ外本法中政府ノ爲ス施設ニ係ル電信又ハ電話ニ關スル規定ヲ準用ス

第四十四條　電信又ハ電話ニ非スト雖通報信號ヲ爲スモノニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第四十五條　帝國外國間ニ於ケル電信ニ關シ別ニ法令ノ條約又ハ特許ノ條款ニ明文アルモノハ各其ノ定ムル所ニ依ル

附　則

第四十六條　本法ハ明治三十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

電信條例ハ之ヲ廢止ス

第四十七條　本法施行前電信條例ニ依リ電信又ハ電話私設ノ許可ヲ得タル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ更ニ許可ノ申請ヲ爲スコトヲ要ス

附　則（大正五年三月法律第十九號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正五年七月勅令第百八十五號ヲ以テ同年八月一日ヨリ施行）

本法施行前ニ差出シタル電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

●電報規則

大正十四年十月
總令第九十三號

改正　大正一四年二〇第二〇六號、一五年一一第一一〇號、昭和二年三法一〇號、三年一一第一一〇號、四年一一第一一〇號、五年一一第一一〇號、六年一一第一一〇號、七年一一第一一〇號、八年一一第一一〇號、九年一一第一一〇號、一〇年一一第一一〇號、一一年一一第一一〇號、一二年一一第一一〇號、一三年一一第一一〇號、一四年一一第一一〇號、一五年一一第一一〇號、六年一一第一四號、六年一一第一四號、六年九第一〇號、六年一一第一四號、七年九第一〇號、八年九第一〇號、八年一一第一四三號、一一年九第一〇號、一一年一一第一四三號、一二年九第一〇號、一二年一一第一四三號、一三年九第一〇號、一三年一一第一四三號、一四年一一第一四三號、一五年一一第一四三號

電報規則目次

第一章　總則
第二章　資法
第三章　字數及語數ノ計算
第五章　差出
第六章　配達
第七章　特殊取扱
第一節　至急
第二節　返信料前納
第三節　無校
第四節　受信報知
第五節　迫尾
第六節　再送
第七節　同文
第八節　削除
第九節　削除
第十節　時間配達
第十節ノ二　翌朝配達
第十一節　留置
第十二節　別使配達
第十三節　解船配達
第十三節ノ二　電話送達
第十四節　局待
第十五節　親展
第十六節　配達日時指定
第八章　新聞電報
第一節　通則
第二節　豫約取扱
第九章　電線託送
第十章　略號及配達先特定
第十一章　局渡、本則、改正及停止
第十二章　本則
第十三章　閲覽及正寫
附　則

電報規則

第一章　總則

第一條　朝鮮內及朝鮮ト內地、臺灣、樺太、南洋ヤップ島トノ間ニ發著スル電報ハ本令ニ依リ之ヲ取扱フ

第二條　電報ハ左ノ三種トス

第十章　通信　第五款　内閣電信

第一節　交通

電信官署ハ郵便ノ送達ヲ取扱フ官署ニ郵便物ノ送達ヲ委託スルコトヲ得

第六十八條　郵便ニ關スル書類ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ保存スヘシ

一　第五十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二　第五十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ三箇年

三　第五十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四　第五十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五　第五十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六　第五十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七　第五十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八　第六十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九　第六十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十　第六十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十一　第六十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十二　第六十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十三　第六十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十四　第六十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十五　第六十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十六　第六十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十七　第六十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十八　第七十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

十九　第七十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十　第七十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十一　第七十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十二　第七十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十三　第七十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十四　第七十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十五　第七十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十六　第七十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十七　第七十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十八　第八十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二十九　第八十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十　第八十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十一　第八十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十二　第八十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十三　第八十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十四　第八十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十五　第八十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十六　第八十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十七　第八十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十八　第九十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三十九　第九十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十　第九十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十一　第九十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十二　第九十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十三　第九十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十四　第九十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十五　第九十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十六　第九十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十七　第九十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十八　第百條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

四十九　第百一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十　第百二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十一　第百三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十二　第百四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十三　第百五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十四　第百六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十五　第百七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十六　第百八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十七　第百九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十八　第百十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

五十九　第百十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十　第百十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十一　第百十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十二　第百十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十三　第百十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十四　第百十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十五　第百十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十六　第百十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十七　第百十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十八　第百二十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

六十九　第百二十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十　第百二十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十一　第百二十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十二　第百二十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十三　第百二十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十四　第百二十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十五　第百二十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十六　第百二十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十七　第百二十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十八　第百三十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

七十九　第百三十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十　第百三十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十一　第百三十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十二　第百三十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十三　第百三十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十四　第百三十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十五　第百三十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十六　第百三十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十七　第百三十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十八　第百四十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

八十九　第百四十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十　第百四十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十一　第百四十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十二　第百四十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十三　第百四十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十四　第百四十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十五　第百四十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十六　第百四十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十七　第百四十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十八　第百五十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

九十九　第百五十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百　第百五十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百一　第百五十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二　第百五十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三　第百五十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四　第百五十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五　第百五十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六　第百五十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七　第百五十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八　第百六十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九　第百六十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十　第百六十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十一　第百六十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十二　第百六十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十三　第百六十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十四　第百六十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十五　第百六十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十六　第百六十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十七　第百六十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十八　第百七十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百十九　第百七十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十　第百七十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十一　第百七十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十二　第百七十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十三　第百七十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十四　第百七十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十五　第百七十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十六　第百七十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十七　第百七十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十八　第百八十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百二十九　第百八十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十　第百八十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十一　第百八十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十二　第百八十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十三　第百八十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十四　第百八十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十五　第百八十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十六　第百八十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十七　第百八十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十八　第百九十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百三十九　第百九十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十　第百九十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十一　第百九十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十二　第百九十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十三　第百九十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十四　第百九十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十五　第百九十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十六　第百九十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十七　第百九十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十八　第二百條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百四十九　第二百一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十　第二百二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十一　第二百三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十二　第二百四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十三　第二百五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十四　第二百六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十五　第二百七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十六　第二百八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十七　第二百九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十八　第二百十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百五十九　第二百十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十　第二百十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十一　第二百十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十二　第二百十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十三　第二百十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十四　第二百十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十五　第二百十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十六　第二百十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十七　第二百十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十八　第二百二十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百六十九　第二百二十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十　第二百二十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十一　第二百二十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十二　第二百二十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十三　第二百二十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十四　第二百二十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十五　第二百二十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十六　第二百二十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十七　第二百二十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十八　第二百三十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百七十九　第二百三十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十　第二百三十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十一　第二百三十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十二　第二百三十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十三　第二百三十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十四　第二百三十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十五　第二百三十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十六　第二百三十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十七　第二百三十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十八　第二百四十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百八十九　第二百四十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十　第二百四十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十一　第二百四十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十二　第二百四十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十三　第二百四十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十四　第二百四十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十五　第二百四十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十六　第二百四十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十七　第二百四十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十八　第二百五十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

百九十九　第二百五十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百　第二百五十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百一　第二百五十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二　第二百五十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三　第二百五十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四　第二百五十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五　第二百五十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六　第二百五十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七　第二百五十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八　第二百六十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九　第二百六十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十　第二百六十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十一　第二百六十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十二　第二百六十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十三　第二百六十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十四　第二百六十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十五　第二百六十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十六　第二百六十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十七　第二百六十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十八　第二百七十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百十九　第二百七十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十　第二百七十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十一　第二百七十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十二　第二百七十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十三　第二百七十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十四　第二百七十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十五　第二百七十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十六　第二百七十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十七　第二百七十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十八　第二百八十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百二十九　第二百八十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十　第二百八十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十一　第二百八十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十二　第二百八十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十三　第二百八十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十四　第二百八十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十五　第二百八十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十六　第二百八十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十七　第二百八十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十八　第二百九十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百三十九　第二百九十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十　第二百九十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十一　第二百九十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十二　第二百九十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十三　第二百九十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十四　第二百九十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十五　第二百九十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十六　第二百九十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十七　第二百九十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十八　第三百條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百四十九　第三百一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十　第三百二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十一　第三百三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十二　第三百四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十三　第三百五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十四　第三百六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十五　第三百七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十六　第三百八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十七　第三百九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十八　第三百十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百五十九　第三百十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十　第三百十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十一　第三百十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十二　第三百十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十三　第三百十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十四　第三百十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十五　第三百十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十六　第三百十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十七　第三百十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十八　第三百二十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百六十九　第三百二十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十　第三百二十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十一　第三百二十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十二　第三百二十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十三　第三百二十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十四　第三百二十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十五　第三百二十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十六　第三百二十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十七　第三百二十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十八　第三百三十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百七十九　第三百三十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十　第三百三十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十一　第三百三十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十二　第三百三十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十三　第三百三十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十四　第三百三十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十五　第三百三十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十六　第三百三十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十七　第三百三十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十八　第三百四十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百八十九　第三百四十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十　第三百四十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十一　第三百四十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十二　第三百四十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十三　第三百四十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十四　第三百四十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十五　第三百四十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十六　第三百四十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十七　第三百四十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十八　第三百五十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

二百九十九　第三百五十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百　第三百五十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百一　第三百五十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二　第三百五十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三　第三百五十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四　第三百五十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百五　第三百五十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百六　第三百五十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百七　第三百五十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百八　第三百六十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百九　第三百六十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十　第三百六十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十一　第三百六十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十二　第三百六十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十三　第三百六十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十四　第三百六十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十五　第三百六十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十六　第三百六十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十七　第三百六十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十八　第三百七十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百十九　第三百七十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十　第三百七十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十一　第三百七十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十二　第三百七十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十三　第三百七十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十四　第三百七十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十五　第三百七十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十六　第三百七十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十七　第三百七十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十八　第三百八十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百二十九　第三百八十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十　第三百八十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十一　第三百八十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十二　第三百八十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十三　第三百八十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十四　第三百八十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十五　第三百八十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十六　第三百八十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十七　第三百八十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十八　第三百九十條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百三十九　第三百九十一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十　第三百九十二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十一　第三百九十三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十二　第三百九十四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十三　第三百九十五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十四　第三百九十六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十五　第三百九十七條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十六　第三百九十八條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十七　第三百九十九條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十八　第四百條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百四十九　第四百一條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百五十　第四百二條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百五十一　第四百三條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百五十二　第四百四條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百五十三　第四百五條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一箇年

三百五十四　第四百六條ニ掲ケタル書類ハ其ノ作成ノ日ヨリ一

第七十五條　受信人返信料前納證書ヲ受取リタルトキハ共ノ受領證ニ捺印又ハ署名シテ直ニ之ヲ電報配達人（電信官署ニ於テ交付ヲ受ケタル場合ニ限リ郵便ヲ以テ送達ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス）ヘ交付スヘシ但シ郵便ヲ以テ送達ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第七十六條　返信料前納證書ノ使用期間ハ其ノ證書發行ノ日ヨリ三十日トス

第七十七條　返信料前納證書ニ添附シタル電報ハ證書面ニ記載ノ金額ニ相當スル料金ヲ納付シタルモノトシテ任意ノ電信官署ニ之ヲ差出スコトヲ得但シ同文電報、配達日時指定電報又ハ第四十五條但書ニ規定スル電報ノ一括ノ料金ニ充ツル場合ヲ除クノ外返信料前納證書一通又ハ數通ヲ以テ數通ノ電報ノ料金ニ充ツルコトヲ得

返信料前納證書面ニ記載ノ金額カ前項ニ依リ差出ス電報ノ料金ヲ納付スヘシ

第七十八條　前條ノ規定ハ第七十四條但書ノ規定ニ依リ署信電信官署ニ保管中ノ返信料前納證書ヲ使用シテ電線託送ニ依リ電報ヲ發信スル場合ニ之ヲ準用シ但シ不足料金額ニ付テハ第百四十九條ノ規定ニ依リ之ヲ納付スヘシ

第七十九條　受信人ハ返信料前納證書ノミノ受領ヲ拒ムコトヲ得ス

第八十條　署信電信官署ニ保管シタル電報ノ返信料前納證書ハ電報發信ノ日ヨリ六十日以内ニ發信人ヨリ發信電信官署ニ之カ交付ヲ請求スルコトヲ得

第三節　照校

第八十一條　照校ヲ要スル電報ニ付テハ照校ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ照校ト指定スヘシ

第八十二條　照校電報ハ受受信電信官署間ニ於テ其ノ全部ヲ反復校正ス

第四節　受信報知

第八十三條　受信人ニ到達シタル日時ノ報知ヲ受クルノ要アル電報ニ付テハ受信報知ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得但シ汽車中ニ在ル者ニ宛テタル電報ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ電報ニハ左ノ區別ニ依ル指定ヲ爲スヘシ

一　電報受信報知　電報ヲ以テ報知ヲ受ケムトスルトキ

一　郵便受信報知　郵便ヲ以テ報知ヲ受ケムトスルトキ

第八十四條　受信人受信報知電報ヲ受取リタルトキハ電報受取紙ニ受取時刻ヲ記入シ捺印又ハ署名シテ直ニ之ヲ電報配達人（電信官署ニ於テ交付スヘシ但シ電話送達若ハ電線託送ニ依リ又ハ郵便ヲ以テ送達ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス）ニ交付スヘシ但シ電話送達若ハ電線託送ニ依リ又ハ郵便ヲ以テ送達ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八十五條　受信報知電報ヲ配達又ハ交付シタル日時ヲ發信人ニ報知ス但シ電話送達又ハ電線託送ニ依リタルトキハ送達又ハ託送シタル日時ヲ受信人ヨリ報知

第八十六條　前條ニ規定スル日時ハ電報受信報知ノ指定アル電報ニ付テハ電報ヲ以テ、郵便受信報知ノ指定アル電報ニ付テハ郵便ヲ以テ之ヲ署信電信官署ヨリ發信電信官署ニ通報シ發信電信官署ヨリ發信人ニ報知ス但シ本文ノ字數又ハ語數ハ此ノ限ニ在ラス

第百三條　同文電報ノ原信ニ付テハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル原信ノ字數又ハ語數ニ相當スル電報料（名簿料ヲ納付スヘキ場合ニ於テハ其ノ名簿料ヲ納付シ其ノ他ノ各通ニ付テハ一通毎ニ同文料ヲ納付スヘシ但シ其ノ他ノ各通ニ付名宛料ヲ課スルモノアルトキハ之ヲ原信ノ電報料ニ併算ス）ヲ納付シ其ノ他ノ各通ニ付テハ一通毎ニ同文料ヲ納付スヘシ

第百四條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百五條　同文電報ノ原信ニ付テハ前條ノ規定ニ依リ計算シタル原信ノ字數又ハ語數ニ相當スル電報料（名簿料ヲ納付スヘキ場合ニ於テハ其ノ名簿料ヲ納付シ其ノ他ノ各通ニ付テハ一通毎ニ同文料ヲ納付スヘシ但シ其ノ他ノ各通ニ付名宛料ヲ課スルモノアルトキハ之ヲ原信ノ電報料ニ併算ス）ヲ納付シ其ノ他ノ各通ニ付テハ一通毎ニ同文料ヲ納付スヘシ

第百六條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百七條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百八條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百九條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十一條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十二條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十三條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十四條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十五條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十六條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十七條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十八條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百十九條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十一條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十二條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十三條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十四條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十五條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十六條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十七條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十八條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百二十九條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十一條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十二條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十三條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十四條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十五條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十六條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十七條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十八條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百三十九條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十一條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十二條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十三條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十四條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十五條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十六條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十七條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十八條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百四十九條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

第百五十條　同文電報ニ付テハ其ノ内ノ一通若ハ數通ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ要スル電報ニ付テハ其ノ内ノ一通ニ付テノミ其ノ請求アリタルモノト看做ス

同文電報ニ對シ至急、照校又ハ時間外ノ取扱ヲ請求スルトキハ前條ニ規定スル料金ノ外原信ニ付テノミ至急料、照校料又ハ時間外料ヲ納付スヘシ

第八節　削除

第百五條乃至第百七條　削除

第九節　時間外

第百八條　電報取扱時間外ニ差出ス電報ニ付テハ時間外ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ時間外取扱定ヲ記入スヘシ但シ電報取扱時間ニ拘ラス取扱フヘキ電報ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十節　夜間配達

第百九條　午前零時後電報取扱時間開始前ニ署信電信官署ニ到著スル電報取扱時間ノ開始ヲ待タス直ニ配達ヲ要スル電報ニ付テハ夜間配達ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ時間外取扱定ヲ記入スヘシ但シ電報取扱時間ニ拘ラス取扱フヘキ電報ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十節ノ二　翌朝配達

第百九條ノ二　發信人ノ指示スル時刻後ニ署信電信官署ニ到著シタル場合當該署信電信官署ノ電報取扱時間ノ開始ヲ待チテ配達ヲ要スル電報ニ付テハ翌朝配達ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ翌朝配達ト指定シ且其ノ指示時刻ヲ附記スヘシ

第十一節　留置

第百十條　電信官署又ハ郵便官署（郵便取扱所ヲ除ク）ヲ肩書シテ其ノ官署ニ電報ヲ留置カムトスルトキハ留置ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ留置ト指定スヘシ

第百十一條　電信官署留置電報ハ其ノ留置電信官署ニ到著シタル日ヨリ三日以内ニ受信人ニ交付スルコトヲ得サルトキハ之ヲ發信官署ニ返付スヘシ

郵便官署留置電報ノ留置ニ付テハ之ヲ郵便物ト看做ス

第百十二條　電報直配達區域外ニ宛テタル電報ニシテ別使配達及鯨船配達ヲ要スル場合ニ於テ發信人其ノ一方ノミヲ指定シタルトキト雖之ヲ配達シ其ノ不足料金ハ受信人ヨリ之ヲ追徴ス

第百十三條ノ二　電話送達

第百十五條ノ二　電話加入者ニ宛テタル電報ニシテ第百四十六條ニ規定スル電信官署ヨリ電話ニ依リ送達ヲ要スルモノニ付テハ電話送達ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ電話送達ト指定スヘシ

前項ノ規定ニ依リ差出シタル電報ノ配達又ハ受信人ニ於テ自己ニ宛テタル電報ノ配達又ハ交付方法ニ關シ豫メ請求アリタルトキハ當該規定ノ定ムル所ニ依リ之ヲ配達又ハ交付ス

第一項ノ規定ニ依リ差出シタル電報ヲ電話ニ依リ送達シタルトキハ之ヲ配達シタル電報ト雖モ受ノト看做ス

第十四節　局待

第百十六條　發信電信官署ニ在リテ返信ヲ待ツコトヲ受信人ニ知ラシムルコトヲ要スル電報ニ付テハ局待ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ局待ト指定スヘシ

第十五節　親展

第百十七條　受信人以外ノ者ノ披見ヲ憚ル電報ニ付テハ親展ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ親展ト指定スヘシ

第十六節　配達日時指定

第百十八條　朝鮮内ノ同一電信官署ニ著又ハ一市内ニ宛テタル五十通以上ノ同文ノ電報ニシテ發信人ノ指定スル配達日時（時刻ノ著シク相接近スル場合ニ於テハ其ノ前後ヲ含ム）ヲ同ジクスル電報ニ付テハ配達日時指定ノ取扱ヲ請求スルコトヲ得其ノ電報ニハ原信ニ配達日時指定ト差出日時、指定配達日時及一括通數ヲ電報頼信紙ノ餘白ニ記載スヘシ

第百十九條　發信人ハ豫メ署信電信官署ニ受信人名簿（名簿ニ關スル事項ハ別ニ定ムル所ニ依ル）ヲ提出シ名簿記載ノ受信人ニ宛テ發信電信官署ニ前條ノ規定ニ依ル取扱ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ各通ノ記載ニ代ヘ同一電信官署ニ著スルモノ又ハ一市内ニ宛ツルモノ毎ニ電報頼信紙ノ名宛欄ニ左ノ事項ヲ記載シタル一通ヲ差出スヘシ

一　發信電信官署名

二　著信電信官署名（同一電信官署ニ著スル數ヶ所ノ場合ニ於テハ其ノ著信地名ヲ附記スヘシ）又ハ著信地名（一市内ニ著ノ場合ニ限ル）

三　受信人名簿ノ名稱

四　電報通數

五　差出日時

六　指定配達日時

一市内ニ宛ツル電報ニシテ二以上ノ著信電信官署ニ於テ配達スヘキモノナルトキハ受信人名簿ハ之ヲ合併シテ著信電信官署中ノ一ニ提出スヘシ

第一項ノ請求ハ發信電信官署ヲ指定シテ著信電信官署（前項ノ規定ニ依リ提出シタル名簿ニ依リ發信人ノ指定シタル場合ハ發信人ノ指定シタル著信電信官署）ニ之ヲ爲スコトヲ得

第百十九條ノ二　配達日時指定電報ハ左ノ時返ニ之ヲ電信官署（著信電信官署ニ依リ發信人ノ指定シタル著信電信官署）ニ交付スヘシ

一　同一電信官署ノ電報配達區域内ニ發受スルモノ　指定配達日時ノ二時間前

二　一市内ニ發受スルモノ　指定配達日時ノ二十四時間前

三　電信官署ニ受信人名簿ノ提出シアルモノ　指定配達日時ノ三十六時間前

四　前各號ニ該當セザルモノ　指定配達日時ノ四十八時間前

第百二十條　前條ノ規定ニ依リ差出シタル電報ハ指定配達日時ニ於テ受付ケタルモノト看做シ其ノ日時ヨリ配達ヲ開始ス

第百二十條ノ二　配達日時指定電報ニハ第百十八條ノ規定ニ依ル指定ヲ除クノ外他ノ指定ヲ爲スコトヲ得ス

第百二十條ノ三　第五十一條、第百二條及第百三條ノ規定ハ配達日時指定電報ニ之ヲ準

第百二十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百二十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百二十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百二十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百二十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百二十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百三十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百四十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百五十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百六十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百七十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百八十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第百九十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百二十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百三十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百四十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百五十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百六十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百七十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百八十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第二百九十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百二十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百三十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百四十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百五十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百六十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百七十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百八十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第三百九十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百二十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百三十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百四十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百五十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百六十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百七十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百八十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十一條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十二條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十三條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十四條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十五條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十六條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十七條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十八條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第四百九十九條　電報ノ受信ニ關シテハ第百二十一條ノ規定ヲ準用ス

第五百條　電報

●電信規則

第一章　通則

第一條　電信ニ関スル事項ハ本令ニ定ムルモノノ外逓信大臣之ヲ定ム

第二條　電信ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　例文電報
二　略符電報
三　特別緊急電報
四　官報
五　新聞電報
六　気象電報
七　時報
八　試験電報

第三條　例文電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通例文電報
二　急行例文電報
三　夜間例文電報
四　昼夜間例文電報
五　連続例文電報
六　連続急行例文電報
七　連続夜間例文電報
八　連続昼夜間例文電報

第四條　略符電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通略符電報
二　急行略符電報
三　夜間略符電報
四　昼夜間略符電報
五　連続略符電報
六　連続急行略符電報
七　連続夜間略符電報
八　連続昼夜間略符電報

第五條　特別緊急電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通特別緊急電報
二　急行特別緊急電報
三　夜間特別緊急電報
四　昼夜間特別緊急電報
五　連続特別緊急電報
六　連続急行特別緊急電報
七　連続夜間特別緊急電報
八　連続昼夜間特別緊急電報

第六條　官報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通官報
二　急行官報
三　夜間官報
四　昼夜間官報
五　連続官報
六　連続急行官報
七　連続夜間官報
八　連続昼夜間官報

第七條　新聞電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通新聞電報
二　急行新聞電報
三　夜間新聞電報
四　昼夜間新聞電報
五　連続新聞電報
六　連続急行新聞電報
七　連続夜間新聞電報
八　連続昼夜間新聞電報

第八條　気象電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通気象電報
二　急行気象電報
三　夜間気象電報
四　昼夜間気象電報
五　連続気象電報
六　連続急行気象電報
七　連続夜間気象電報
八　連続昼夜間気象電報

第九條　時報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通時報
二　急行時報
三　夜間時報
四　昼夜間時報
五　連続時報
六　連続急行時報
七　連続夜間時報
八　連続昼夜間時報

第十條　試験電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通試験電報
二　急行試験電報
三　夜間試験電報
四　昼夜間試験電報
五　連続試験電報
六　連続急行試験電報
七　連続夜間試験電報
八　連続昼夜間試験電報

第十一條　電信ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通電信
二　急行電信
三　夜間電信
四　昼夜間電信
五　連続電信
六　連続急行電信
七　連続夜間電信
八　連続昼夜間電信

第二章　電報ノ取扱

第十二條　電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　例文電報
二　略符電報
三　特別緊急電報
四　官報
五　新聞電報
六　気象電報
七　時報
八　試験電報

第十三條　例文電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通例文電報
二　急行例文電報
三　夜間例文電報
四　昼夜間例文電報
五　連続例文電報
六　連続急行例文電報
七　連続夜間例文電報
八　連続昼夜間例文電報

第十四條　略符電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通略符電報
二　急行略符電報
三　夜間略符電報
四　昼夜間略符電報
五　連続略符電報
六　連続急行略符電報
七　連続夜間略符電報
八　連続昼夜間略符電報

第十五條　特別緊急電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通特別緊急電報
二　急行特別緊急電報
三　夜間特別緊急電報
四　昼夜間特別緊急電報
五　連続特別緊急電報
六　連続急行特別緊急電報
七　連続夜間特別緊急電報
八　連続昼夜間特別緊急電報

第十六條　官報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通官報
二　急行官報
三　夜間官報
四　昼夜間官報
五　連続官報
六　連続急行官報
七　連続夜間官報
八　連続昼夜間官報

第十七條　新聞電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通新聞電報
二　急行新聞電報
三　夜間新聞電報
四　昼夜間新聞電報
五　連続新聞電報
六　連続急行新聞電報
七　連続夜間新聞電報
八　連続昼夜間新聞電報

第十八條　気象電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通気象電報
二　急行気象電報
三　夜間気象電報
四　昼夜間気象電報
五　連続気象電報
六　連続急行気象電報
七　連続夜間気象電報
八　連続昼夜間気象電報

第十九條　時報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通時報
二　急行時報
三　夜間時報
四　昼夜間時報
五　連続時報
六　連続急行時報
七　連続夜間時報
八　連続昼夜間時報

第二十條　試験電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通試験電報
二　急行試験電報
三　夜間試験電報
四　昼夜間試験電報
五　連続試験電報
六　連続急行試験電報
七　連続夜間試験電報
八　連続昼夜間試験電報

第二十一條　電信ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通電信
二　急行電信
三　夜間電信
四　昼夜間電信
五　連続電信
六　連続急行電信
七　連続夜間電信
八　連続昼夜間電信

●電信規則

第一章　通則

第一條　電信ニ関スル事項ハ本令ニ定ムルモノノ外逓信大臣之ヲ定ム

第二條　電信ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　例文電報
二　略符電報
三　特別緊急電報
四　官報
五　新聞電報
六　気象電報
七　時報
八　試験電報

第三條　例文電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通例文電報
二　急行例文電報
三　夜間例文電報
四　昼夜間例文電報
五　連続例文電報
六　連続急行例文電報
七　連続夜間例文電報
八　連続昼夜間例文電報

第四條　略符電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通略符電報
二　急行略符電報
三　夜間略符電報
四　昼夜間略符電報
五　連続略符電報
六　連続急行略符電報
七　連続夜間略符電報
八　連続昼夜間略符電報

第五條　特別緊急電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通特別緊急電報
二　急行特別緊急電報
三　夜間特別緊急電報
四　昼夜間特別緊急電報
五　連続特別緊急電報
六　連続急行特別緊急電報
七　連続夜間特別緊急電報
八　連続昼夜間特別緊急電報

第六條　官報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通官報
二　急行官報
三　夜間官報
四　昼夜間官報
五　連続官報
六　連続急行官報
七　連続夜間官報
八　連続昼夜間官報

第七條　新聞電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通新聞電報
二　急行新聞電報
三　夜間新聞電報
四　昼夜間新聞電報
五　連続新聞電報
六　連続急行新聞電報
七　連続夜間新聞電報
八　連続昼夜間新聞電報

第八條　気象電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通気象電報
二　急行気象電報
三　夜間気象電報
四　昼夜間気象電報
五　連続気象電報
六　連続急行気象電報
七　連続夜間気象電報
八　連続昼夜間気象電報

第九條　時報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通時報
二　急行時報
三　夜間時報
四　昼夜間時報
五　連続時報
六　連続急行時報
七　連続夜間時報
八　連続昼夜間時報

第十條　試験電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通試験電報
二　急行試験電報
三　夜間試験電報
四　昼夜間試験電報
五　連続試験電報
六　連続急行試験電報
七　連続夜間試験電報
八　連続昼夜間試験電報

第十一條　電信ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通電信
二　急行電信
三　夜間電信
四　昼夜間電信
五　連続電信
六　連続急行電信
七　連続夜間電信
八　連続昼夜間電信

第二章　電報ノ取扱

第十二條　電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　例文電報
二　略符電報
三　特別緊急電報
四　官報
五　新聞電報
六　気象電報
七　時報
八　試験電報

第十三條　例文電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通例文電報
二　急行例文電報
三　夜間例文電報
四　昼夜間例文電報
五　連続例文電報
六　連続急行例文電報
七　連続夜間例文電報
八　連続昼夜間例文電報

第十四條　略符電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通略符電報
二　急行略符電報
三　夜間略符電報
四　昼夜間略符電報
五　連続略符電報
六　連続急行略符電報
七　連続夜間略符電報
八　連続昼夜間略符電報

第十五條　特別緊急電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通特別緊急電報
二　急行特別緊急電報
三　夜間特別緊急電報
四　昼夜間特別緊急電報
五　連続特別緊急電報
六　連続急行特別緊急電報
七　連続夜間特別緊急電報
八　連続昼夜間特別緊急電報

第十六條　官報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通官報
二　急行官報
三　夜間官報
四　昼夜間官報
五　連続官報
六　連続急行官報
七　連続夜間官報
八　連続昼夜間官報

第十七條　新聞電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通新聞電報
二　急行新聞電報
三　夜間新聞電報
四　昼夜間新聞電報
五　連続新聞電報
六　連続急行新聞電報
七　連続夜間新聞電報
八　連続昼夜間新聞電報

第十八條　気象電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通気象電報
二　急行気象電報
三　夜間気象電報
四　昼夜間気象電報
五　連続気象電報
六　連続急行気象電報
七　連続夜間気象電報
八　連続昼夜間気象電報

第十九條　時報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通時報
二　急行時報
三　夜間時報
四　昼夜間時報
五　連続時報
六　連続急行時報
七　連続夜間時報
八　連続昼夜間時報

第二十條　試験電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通試験電報
二　急行試験電報
三　夜間試験電報
四　昼夜間試験電報
五　連続試験電報
六　連続急行試験電報
七　連続夜間試験電報
八　連続昼夜間試験電報

第二十一條　電信ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通電信
二　急行電信
三　夜間電信
四　昼夜間電信
五　連続電信
六　連続急行電信
七　連続夜間電信
八　連続昼夜間電信

●電報規則

第一章　通則

第一條　電信ニ関スル事項ハ本令ニ定ムルモノノ外逓信大臣之ヲ定ム

第二條　電信ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　例文電報
二　略符電報
三　特別緊急電報
四　官報
五　新聞電報
六　気象電報
七　時報
八　試験電報

第三條　例文電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通例文電報
二　急行例文電報
三　夜間例文電報
四　昼夜間例文電報
五　連続例文電報
六　連続急行例文電報
七　連続夜間例文電報
八　連続昼夜間例文電報

第四條　略符電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通略符電報
二　急行略符電報
三　夜間略符電報
四　昼夜間略符電報
五　連続略符電報
六　連続急行略符電報
七　連続夜間略符電報
八　連続昼夜間略符電報

第五條　特別緊急電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通特別緊急電報
二　急行特別緊急電報
三　夜間特別緊急電報
四　昼夜間特別緊急電報
五　連続特別緊急電報
六　連続急行特別緊急電報
七　連続夜間特別緊急電報
八　連続昼夜間特別緊急電報

第六條　官報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通官報
二　急行官報
三　夜間官報
四　昼夜間官報
五　連続官報
六　連続急行官報
七　連続夜間官報
八　連続昼夜間官報

第七條　新聞電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通新聞電報
二　急行新聞電報
三　夜間新聞電報
四　昼夜間新聞電報
五　連続新聞電報
六　連続急行新聞電報
七　連続夜間新聞電報
八　連続昼夜間新聞電報

第八條　気象電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通気象電報
二　急行気象電報
三　夜間気象電報
四　昼夜間気象電報
五　連続気象電報
六　連続急行気象電報
七　連続夜間気象電報
八　連続昼夜間気象電報

第九條　時報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通時報
二　急行時報
三　夜間時報
四　昼夜間時報
五　連続時報
六　連続急行時報
七　連続夜間時報
八　連続昼夜間時報

第十條　試験電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通試験電報
二　急行試験電報
三　夜間試験電報
四　昼夜間試験電報
五　連続試験電報
六　連続急行試験電報
七　連続夜間試験電報
八　連続昼夜間試験電報

第十一條　電信ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通電信
二　急行電信
三　夜間電信
四　昼夜間電信
五　連続電信
六　連続急行電信
七　連続夜間電信
八　連続昼夜間電信

第二章　電報ノ取扱

第十二條　電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　例文電報
二　略符電報
三　特別緊急電報
四　官報
五　新聞電報
六　気象電報
七　時報
八　試験電報

第十三條　例文電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通例文電報
二　急行例文電報
三　夜間例文電報
四　昼夜間例文電報
五　連続例文電報
六　連続急行例文電報
七　連続夜間例文電報
八　連続昼夜間例文電報

第十四條　略符電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通略符電報
二　急行略符電報
三　夜間略符電報
四　昼夜間略符電報
五　連続略符電報
六　連続急行略符電報
七　連続夜間略符電報
八　連続昼夜間略符電報

第十五條　特別緊急電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通特別緊急電報
二　急行特別緊急電報
三　夜間特別緊急電報
四　昼夜間特別緊急電報
五　連続特別緊急電報
六　連続急行特別緊急電報
七　連続夜間特別緊急電報
八　連続昼夜間特別緊急電報

第十六條　官報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通官報
二　急行官報
三　夜間官報
四　昼夜間官報
五　連続官報
六　連続急行官報
七　連続夜間官報
八　連続昼夜間官報

第十七條　新聞電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通新聞電報
二　急行新聞電報
三　夜間新聞電報
四　昼夜間新聞電報
五　連続新聞電報
六　連続急行新聞電報
七　連続夜間新聞電報
八　連続昼夜間新聞電報

第十八條　気象電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通気象電報
二　急行気象電報
三　夜間気象電報
四　昼夜間気象電報
五　連続気象電報
六　連続急行気象電報
七　連続夜間気象電報
八　連続昼夜間気象電報

第十九條　時報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通時報
二　急行時報
三　夜間時報
四　昼夜間時報
五　連続時報
六　連続急行時報
七　連続夜間時報
八　連続昼夜間時報

第二十條　試験電報ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通試験電報
二　急行試験電報
三　夜間試験電報
四　昼夜間試験電報
五　連続試験電報
六　連続急行試験電報
七　連続夜間試験電報
八　連続昼夜間試験電報

第二十一條　電信ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ取扱フ

一　普通電信
二　急行電信
三　夜間電信
四　昼夜間電信
五　連続電信
六　連続急行電信
七　連続夜間電信
八　連続昼夜間電信

第百九十七條 內國電信ノ及構築ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第百九十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第百九十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百二十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百三十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百四十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百五十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百六十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百七十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百八十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第二百九十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百二十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百三十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百四十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百五十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百六十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百七十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百八十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第三百九十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百二十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百三十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百四十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百五十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百六十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百七十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百八十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十一條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十二條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十三條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十四條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十五條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十六條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十七條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十八條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第四百九十九條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

第五百條 無線電信ノ施行ニ關スル細目ハ遞信大臣之ヲ定ム

ベルマニヤ　電報發受ノ際ニ於ケル通信ノ料金ハ發信人ニ於テ之ヲ負擔ス

電報發受所ニ於テ取扱フ通信ノ料金ハ發信人ニ於テ之ヲ負擔ス

第三十二條　電報發受所ニ於テ取扱フ通信ノ料金ハ左ノ通リ

一　電報ノ料金ハ第十四條第三項及第四項ノ規定ニ依リ算出シタル通數ニ對シ一通ニ付左ノ割合ヲ以テ之ヲ徵收ス

イ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十錢

ロ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十錢

ハ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十錢

ニ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十錢

ホ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十錢

ヘ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十錢

ト　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十錢

チ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十錢

リ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十錢

ヌ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓

ル　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓十錢

ヲ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓二十錢

ワ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓三十錢

カ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓四十錢

ヨ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓五十錢

タ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓六十錢

レ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓七十錢

ソ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓八十錢

ツ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金一圓九十錢

ネ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓

ナ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓十錢

ラ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓二十錢

ム　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓三十錢

ウ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓四十錢

ヰ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓五十錢

ノ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓六十錢

オ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓七十錢

ク　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓八十錢

ヤ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二圓九十錢

マ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓

ケ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓十錢

フ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓二十錢

コ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓三十錢

エ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓四十錢

テ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓五十錢

ア　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓六十錢

サ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓七十錢

キ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓八十錢

ユ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三圓九十錢

メ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓

ミ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓十錢

シ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓二十錢

ヱ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓三十錢

ヒ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓四十錢

モ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓五十錢

セ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓六十錢

ス　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓七十錢

ン　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓八十錢

ロ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四圓九十錢

ハ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓

ニ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓十錢

ホ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓二十錢

ヘ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓三十錢

ト　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓四十錢

チ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓五十錢

リ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓六十錢

ヌ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓七十錢

ル　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓八十錢

ヲ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五圓九十錢

ワ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓

カ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓十錢

ヨ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓二十錢

タ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓三十錢

レ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓四十錢

ソ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓五十錢

ツ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓六十錢

ネ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓七十錢

ナ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓八十錢

ラ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六圓九十錢

ム　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓

ウ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓十錢

ヰ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓二十錢

ノ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓三十錢

オ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓四十錢

ク　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓五十錢

ヤ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓六十錢

マ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓七十錢

ケ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓八十錢

フ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七圓九十錢

コ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓

エ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓十錢

テ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓二十錢

ア　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓三十錢

サ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓四十錢

キ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓五十錢

ユ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓六十錢

メ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓七十錢

ミ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓八十錢

シ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八圓九十錢

ヱ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓

ヒ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓十錢

モ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓二十錢

セ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓三十錢

ス　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓四十錢

ン　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓五十錢

ロ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓六十錢

ハ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓七十錢

ニ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓八十錢

ホ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九圓九十錢

ヘ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓

ト　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓十錢

チ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓二十錢

リ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓三十錢

ヌ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓四十錢

ル　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓五十錢

ヲ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓六十錢

ワ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓七十錢

カ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓八十錢

ヨ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十圓九十錢

タ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓

レ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓十錢

ソ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓二十錢

ツ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓三十錢

ネ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓四十錢

ナ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓五十錢

ラ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓六十錢

ム　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓七十錢

ウ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓八十錢

ヰ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十一圓九十錢

ノ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓

オ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓十錢

ク　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓二十錢

ヤ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓三十錢

マ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓四十錢

ケ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓五十錢

フ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓六十錢

コ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓七十錢

エ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓八十錢

テ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十二圓九十錢

ア　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓

サ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓十錢

キ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓二十錢

ユ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓三十錢

メ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓四十錢

ミ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓五十錢

シ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓六十錢

ヱ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓七十錢

ヒ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓八十錢

モ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十三圓九十錢

セ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓

ス　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓十錢

ン　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓二十錢

ロ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓三十錢

ハ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓四十錢

ニ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓五十錢

ホ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓六十錢

ヘ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓七十錢

ト　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓八十錢

チ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十四圓九十錢

リ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓

ヌ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓十錢

ル　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓二十錢

ヲ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓三十錢

ワ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓四十錢

カ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓五十錢

ヨ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓六十錢

タ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓七十錢

レ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓八十錢

ソ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十五圓九十錢

ツ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓

ネ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓十錢

ナ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓二十錢

ラ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓三十錢

ム　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓四十錢

ウ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓五十錢

ヰ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓六十錢

ノ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓七十錢

オ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓八十錢

ク　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十六圓九十錢

ヤ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓

マ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓十錢

ケ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓二十錢

フ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓三十錢

コ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓四十錢

エ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓五十錢

テ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓六十錢

ア　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓七十錢

サ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓八十錢

キ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十七圓九十錢

ユ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓

メ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓十錢

ミ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓二十錢

シ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓三十錢

ヱ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓四十錢

ヒ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓五十錢

モ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓六十錢

セ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓七十錢

ス　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓八十錢

ン　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十八圓九十錢

ロ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓

ハ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓十錢

ニ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓二十錢

ホ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓三十錢

ヘ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓四十錢

ト　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓五十錢

チ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓六十錢

リ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓七十錢

ヌ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓八十錢

ル　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金十九圓九十錢

ヲ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓

ワ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓十錢

カ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓二十錢

ヨ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓三十錢

タ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓四十錢

レ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓五十錢

ソ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓六十錢

ツ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓七十錢

ネ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓八十錢

ナ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十圓九十錢

ラ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓

ム　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓十錢

ウ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓二十錢

ヰ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓三十錢

ノ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓四十錢

オ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓五十錢

ク　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓六十錢

ヤ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓七十錢

マ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓八十錢

ケ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十一圓九十錢

フ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓

コ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓十錢

エ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓二十錢

テ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓三十錢

ア　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓四十錢

サ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓五十錢

キ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓六十錢

ユ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓七十錢

メ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓八十錢

ミ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十二圓九十錢

シ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓

ヱ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓十錢

ヒ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓二十錢

モ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓三十錢

セ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓四十錢

ス　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓五十錢

ン　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓六十錢

ロ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓七十錢

ハ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓八十錢

ニ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十三圓九十錢

ホ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓

ヘ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓十錢

ト　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓二十錢

チ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓三十錢

リ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓四十錢

ヌ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓五十錢

ル　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓六十錢

ヲ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓七十錢

ワ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓八十錢

カ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十四圓九十錢

ヨ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓

タ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓十錢

レ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓二十錢

ソ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓三十錢

ツ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓四十錢

ネ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓五十錢

ナ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓六十錢

ラ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓七十錢

ム　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓八十錢

ウ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十五圓九十錢

ヰ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓

ノ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓十錢

オ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓二十錢

ク　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓三十錢

ヤ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓四十錢

マ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓五十錢

ケ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓六十錢

フ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓七十錢

コ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓八十錢

エ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十六圓九十錢

テ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓

ア　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓十錢

サ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓二十錢

キ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓三十錢

ユ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓四十錢

メ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓五十錢

ミ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓六十錢

シ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓七十錢

ヱ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓八十錢

ヒ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十七圓九十錢

モ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓

セ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓十錢

ス　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓二十錢

ン　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓三十錢

ロ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓四十錢

ハ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓五十錢

ニ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓六十錢

ホ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓七十錢

ヘ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓八十錢

ト　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十八圓九十錢

チ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓

リ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓十錢

ヌ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓二十錢

ル　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓三十錢

ヲ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓四十錢

ワ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓五十錢

カ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓六十錢

ヨ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓七十錢

タ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓八十錢

レ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金二十九圓九十錢

ソ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓

ツ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓十錢

ネ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓二十錢

ナ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓三十錢

ラ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓四十錢

ム　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓五十錢

ウ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓六十錢

ヰ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓七十錢

ノ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓八十錢

オ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金三十圓九十錢

ク　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓

ヤ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓十錢

マ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓二十錢

ケ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓三十錢

フ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓四十錢

コ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓五十錢

エ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓六十錢

テ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓七十錢

ア　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓八十錢

サ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金四十圓九十錢

キ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓

ユ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓十錢

メ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓二十錢

ミ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓三十錢

シ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓四十錢

ヱ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓五十錢

ヒ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓六十錢

モ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓七十錢

セ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓八十錢

ス　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金五十圓九十錢

ン　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓

ロ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓十錢

ハ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓二十錢

ニ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓三十錢

ホ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓四十錢

ヘ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓五十錢

ト　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓六十錢

チ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓七十錢

リ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓八十錢

ヌ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金六十圓九十錢

ル　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓

ヲ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓十錢

ワ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓二十錢

カ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓三十錢

ヨ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓四十錢

タ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓五十錢

レ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓六十錢

ソ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓七十錢

ツ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓八十錢

ネ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金七十圓九十錢

ナ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓

ラ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓十錢

ム　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓二十錢

ウ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓三十錢

ヰ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓四十錢

ノ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓五十錢

オ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓六十錢

ク　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓七十錢

ヤ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓八十錢

マ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金八十圓九十錢

ケ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓

フ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓十錢

コ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓二十錢

エ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓三十錢

テ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓四十錢

ア　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓五十錢

サ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓六十錢

キ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓七十錢

ユ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓八十錢

メ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金九十圓九十錢

ミ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓

シ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓十錢

ヱ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓二十錢

ヒ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓三十錢

モ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓四十錢

セ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓五十錢

ス　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓六十錢

ン　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓七十錢

ロ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓八十錢

ハ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百圓九十錢

ニ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓

ホ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓十錢

ヘ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓二十錢

ト　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓三十錢

チ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓四十錢

リ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓五十錢

ヌ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓六十錢

ル　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓七十錢

ヲ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓八十錢

ワ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百十圓九十錢

カ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓

ヨ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓十錢

タ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓二十錢

レ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓三十錢

ソ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓四十錢

ツ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓五十錢

ネ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓六十錢

ナ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓七十錢

ラ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓八十錢

ム　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百二十圓九十錢

ウ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓

ヰ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓十錢

ノ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓二十錢

オ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓三十錢

ク　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓四十錢

ヤ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓五十錢

マ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓六十錢

ケ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓七十錢

フ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓八十錢

コ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百三十圓九十錢

エ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百四十圓

テ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百四十圓十錢

ア　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百四十圓二十錢

サ　日本國內ニ發スル電報ニ付テハ一通ニ付金百四十圓三

約定無線電報取扱規則

第一章　総則

第一条　本規則ハ無線電信局（以下単ニ局ト称ス）ニ於テ船舶ノ無線電信ニ関シ依頼ヲ受ケ又ハ之ヲ引受ケ又ハ之ヲ取扱フ場合ニ適用ス

第二条　無線電信ニ関シ依頼ヲ受ケ又ハ之ヲ引受ケ又ハ之ヲ取扱フ場合ニ於テハ本規則ニ依ルノ外逓信大臣ノ定ムル所ニ依ル

第三条　無線電信ニ関シ依頼ヲ受ケ又ハ之ヲ引受ケ又ハ之ヲ取扱フ場合ニ於テハ本規則ニ依ルノ外逓信大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四条　無線電信ニ関シ依頼ヲ受ケ又ハ之ヲ引受ケ又ハ之ヲ取扱フ場合ニ於テハ本規則ニ依ルノ外逓信大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二章　依頼

第五条　依頼ハ書面ヲ以テ又ハ口頭ヲ以テ之ヲ為スコトヲ得

第六条　依頼ハ書面ヲ以テ為ス場合ニ於テハ依頼人ハ依頼書ニ署名シ又ハ記名捺印スルモノトス

第七条　依頼ハ口頭ヲ以テ為ス場合ニ於テハ依頼人ハ局ニ出頭シ又ハ局ノ指定スル場所ニ於テ之ヲ為スモノトス

第八条　依頼ハ電報ヲ以テ為ス場合ニ於テハ依頼人ハ局ニ出頭シ又ハ局ノ指定スル場所ニ於テ之ヲ為スモノトス

第九条　依頼ハ船舶ノ無線電信ニ関スル事項ニ限ル

第十条　依頼ハ左ノ事項ヲ明ニスルモノトス

一　依頼人ノ氏名又ハ名称及住所又ハ居所

二　依頼ノ年月日

三　依頼ノ種類

四　依頼ノ内容

五　依頼ノ相手方ノ氏名又ハ名称及住所又ハ居所

六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ呼出符号

七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ名称

八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ位置

九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ進行ノ方向及速力

十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ目的地

十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発地

十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ年月日

十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ時刻

十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港

十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ年月日及時刻

十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別

十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻

十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定

十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更

二十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由

二十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細

二十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細

二十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細

二十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

二十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

二十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

二十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

二十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

二十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

三十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

四十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

五十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

六十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

七十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

八十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

九十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十四　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十五　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十六　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十七　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十八　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百十九　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百二十　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百二十一　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百二十二　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細

百二十三　依頼ノ相手方ノ船舶ノ出発ノ港ニ於ケル出港ノ種別ノ年月日及時刻ノ予定ノ変更ノ理由ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ詳細ノ

特急　特急　特急　

第一章　通則

一　適用

第一條　本章ハ電氣通信法第二條ノ規定ニ依リ電氣通信事業ノ用ニ供スル電氣通信設備ニ之ヲ適用ス

二　無線電信規則ノ適用

第二條　無線電信ニ關スル規則ハ左ノ場合ニ之ヲ適用ス

一　船舶局ニ關スル場合

二　航空機ニ關スル場合

三　陸上ニ在ル無線電信局ニ關スル場合

四　前三號ノ場合ノ外逓信大臣ノ指定スル場合

三　用語ノ定義

第三條　左ノ用語ノ定義ハ左ノ通リトス

一　船舶局　船舶ニ設置スル無線電信局ヲ謂フ

二　航空機局　航空機ニ設置スル無線電信局ヲ謂フ

三　陸上局　陸上ニ在ル無線電信局ヲ謂フ

四　固定局　固定シテ運用スル陸上局ヲ謂フ

五　移動局　船舶局又ハ航空機局ヲ謂フ

六　海岸局　公衆通信ヲ取扱フ陸上局ヲ謂フ

七　遭難通信　遭難ノ場合ニ於ケル通信ヲ謂フ

八　緊急通信　緊急ノ場合ニ於ケル通信ヲ謂フ

九　安全通信　安全ノ場合ニ於ケル通信ヲ謂フ

十　非常通信　非常ノ場合ニ於ケル通信ヲ謂フ

十一　呼出符號　局ヲ呼出スニ用フル符號ヲ謂フ

十二　識別信號　局ヲ識別スルニ用フル信號ヲ謂フ

十三　單信式　送信ト受信トヲ交互ニ行フ方式ヲ謂フ

十四　複信式　送信ト受信トヲ同時ニ行フ方式ヲ謂フ

十五　單一通信　單一ノ周波數ヲ使用スル通信ヲ謂フ

十六　多重通信　二以上ノ周波數ヲ使用スル通信ヲ謂フ

十七　單一側波帶通信　單一ノ側波帶ヲ使用スル通信ヲ謂フ

十八　殘留側波帶通信　殘留側波帶ヲ使用スル通信ヲ謂フ

十九　單一側波帶通信　單一ノ側波帶ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十　周波數偏移通信　周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十一　位相偏移通信　位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十二　振幅偏移通信　振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十三　パルス通信　パルスヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十四　パルス變調通信　パルス變調ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十五　パルス振幅變調通信　パルス振幅變調ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十六　パルス周波數變調通信　パルス周波數變調ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十七　パルス位相變調通信　パルス位相變調ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十八　パルス幅變調通信　パルス幅變調ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二十九　パルス符號變調通信　パルス符號變調ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

四十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

五十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

六十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

七十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

八十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

九十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百二十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百三十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百四十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百五十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百六十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百七十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百八十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

百九十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百二十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百三十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百四十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百五十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百六十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百七十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百八十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

二百九十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百二十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百三十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十四　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十五　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十六　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十七　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十八　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百四十九　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十一　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十二　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十三　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十四　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十五　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十六　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十七　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十八　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百五十九　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百六十　パルス振幅偏移通信　パルス振幅偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百六十一　パルス符號偏移通信　パルス符號偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百六十二　パルス周波數偏移通信　パルス周波數偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三百六十三　パルス位相偏移通信　パルス位相偏移ヲ使用スル通信ヲ謂フ

三

●官廳用無線電信無線電話規則

昭和大正十年三月十五日
逓信省令第二十三號

第一條　無線電信又ハ無線電話ヲ官廳用ニ使用セムトスル者ハ逓信大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十一條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第十九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十一條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第二十九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十一條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第三十九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十一條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第四十九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十一條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第五十九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十一條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第六十九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十一條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第七十九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十一條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第八十九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十一條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十二條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十三條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十四條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十五條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十六條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十七條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十八條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第九十九條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

第百條　無線電信又ハ無線電話ヲ使用スル者ハ逓信大臣ノ指定スル呼出符號ヲ有スヘシ

ル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第三十一條　船舶ニ施設スル私設無線電信ニハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ各號ノ條件ニ適合スル補助設備ヲ裝置スベシ

一　獨立ノ電源ヲ有スルコト

二　連續シテ六時間以上使用シ得ルコト

三　送信裝置ハA二若ハB電波五〇〇KCノ周波數ニ於テ空中線電力五十ワット以上ナルカ又ハ壹哩百五十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルコト但シ無休ノ聽守ヲ要セザルモノニ付テハ空中線電力二十五ワット以上ナルカ又ハ壹哩九十五キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ得

五　受信裝置ハA二又ハB電波五〇〇KCノ周波數ヲ受信シ得且鐵石檢波ノ方式ニ依リテモ受信シ得ルコト

六　直ニ全能力ヲ以テ使用シ得ルコト

前項ノ補助設備ハ最高端載吃水線上成ルベク高ク船舶ノ上部安全ナル位置ニ之ヲ裝置スルコトヲ要ス

主裝置前二項ニ規定スル條件ヲ具備スルトキハ補助設備ハ之ヲ裝置セザルコトヲ得

第三十二條　無線電信強制船舶ニ非ザル船舶ニ施設スル私設無線電信ニシテ公衆通信ノ用ニ供セザルモノニ付テハ遞信局長ニ於テ適當ト認メタル場合ニ限リ前條ノ規定ニ拘ラズ補助設備ヲ裝置セザルコトヲ得

第三十三條　朝鮮船舶遞信規程ニ依リ總噸數五千噸以上ノ旅客船ニ裝置スル無線方位測定機ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　遞信省電氣試驗所ノ型式試驗ニ依リ其ノ型式ノ證明ヲ受ケタルコト

二　二八五KC乃至五一五KCノ周波數帶ニ於テ成ルベク正確ニ眞方位ヲ測定シ得ルコト

三　良好ナル感度ヲ有スルコト

第三十四條　船舶ニ施設シタル無線電信無線電話ノ裝置ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノニ裝置スルニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

一　遞信省ノ檢査ヲ經テ其ノ裝置ヲ完了シタル後ニ於テ其ノ性能ニ關シ遞信大臣ノ免許ヲ受ケタルモノナルコト

二　連續シテ六時間以上使用シ得ルコト

三　送信裝置ハA二若ハB電波五〇〇KCノ周波數ニ於テ空中線電力五十ワット以上ナルカ又ハ壹哩百五十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルコト但シ無休ノ聽守ヲ要セザルモノニ付テハ空中線電力二十五ワット以上ナルカ又ハ壹哩九十五キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ得

第三十五條　朝鮮船舶安全令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第四條第一項第一號及第二號ニ揭グル船舶（同條第二項ニ依リ無線電信ノ施設ヲ免除セラレタルモノヲ除ク無線電信強制船舶）ニ施設スル私設無線電信ハ通信室內ニ非常用ノ備附ケベシ

船舶ニ私設無線電信ヲ施設スル場合ハ通信室ト航海船橋トノ間ニ送話管又ハ電話等通信設備ヲ施スベシ

無線方位測定機ノ較正曲線ハ裝置後速ニ之ヲ作製シ遞信局長ニ提出スベシ

第三十四條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ハ特ニ許可又ハ指定スル場合ヲ除クノ外遞信大臣ノ指定スル無線電信ノ裝置ニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

一　遞信省電氣試驗所ノ型式試驗ニ依リ其ノ型式ノ證明ヲ受ケタルコト

二　連續シテ六時間以上使用シ得ルコト

三　送信裝置ハA二若ハB電波五〇〇KCノ周波數ニ於テ空中線電力五十ワット以上ナルカ又ハ壹哩百五十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルコト但シ無休ノ聽守ヲ要セザルモノニ付テハ空中線電力二十五ワット以上ナルカ又ハ壹哩九十五キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ得

四　送信裝置ハA二若ハB電波五〇〇KCノ周波數ニ於テ空中線電力五十ワット以上ナルカ又ハ壹哩百五十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルコト但シ無休ノ聽守ヲ要セザルモノニ付テハ空中線電力二十五ワット以上ナルカ又ハ壹哩九十五キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ得

第三十五條　朝鮮船舶安全令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第四條第一項第一號及第二號ニ揭グル船舶（同條第二項ニ依リ無線電信ノ施設ヲ免除セラレタルモノヲ除ク無線電信強制船舶）ニ施設スル私設無線電信ハ通信室內ニ非常用ノ備附ケベシ

船舶ニ私設無線電信ヲ施設スル場合ハ通信室ト航海船橋トノ間ニ送話管又ハ電話等ノ通信設備ヲ施スベシ

無線方位測定機ノ較正曲線ハ裝置後速ニ之ヲ作製シ遞信局長ニ提出スベシ

第三十四條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ハ特ニ許可又ハ指定スル場合ヲ除クノ外遞信大臣ノ指定スル無線電信ノ裝置ニ裝置シタル場合ニ於テ安全ノ爲必要ナル無線電信無線電話ノ裝置其ノ他ノ保安上必要ナル設備ヲ施シ且機器及其ノ裝置ノ保守上必要ナル計器及豫備品竝ニ送受信裝置及電源設備接續圖面ヲ備附ケベシ

第三十六條　朝鮮船舶安全令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第四條第一項第一號及第二號ニ揭グル船舶（同條第二項ニ依リ無線電信ノ施設ヲ免除セラレタルモノヲ除ク無線電信強制船舶）ニ施設スル私設無線電信ハ通信室內ニ非常用ノ備附ケベシ

船舶ニ私設無線電信ヲ施設スル場合ニ於テハ遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ

第三十六條　私設無線電信無線電話ノ施設者ハ無線通信士ヲシテ前項ノ時計ヲ每日一回以上グリニッヂ標準時ニ照合セシムベシ

第三十七條　無線電信強制船舶ニ施設スル私設無線電信ノ主送信裝置ハA二若ハB電波五〇〇KCノ周波數ニ於テ空中線電力七十五ワット以上ナルカ又ハ壹哩百九十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第三十八條　船舶ニ施設スル私設無線電信無線電話ニシテ一五〇KC以下ノ周波數又ハ四〇〇〇KC以上ノ周波數ヲ發射シ得ル裝置ヲ有スルモノニ在リテハ少クトモ千分ノ五ノ確度ヲ有スル周波數計又ハ之ニ相當スルモノヲ備附クルコトヲ要ス

第三十九條　私設無線電信無線電話ノ施設者ハ通信室內ニ正確ナル時計（無線電信強制船舶ニ在リテハ秒針ヲ有スルモノナルコトヲ要ス）ヲ備附クベシ

私設無線電信無線電話ノ施設者ハ無線通信士ヲシテ前項ノ時計ヲ每日一回以上グリニッヂ標準時ニ照合セシムベシ

第四十條　無線電信強制船舶ニ施設スル私設無線電信無線電話ノ主送信裝置ハA二若ハB電波五〇〇KCノ周波數ニ於テ空中線電力七十五ワット以上ナルカ又ハ壹哩百九十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第四十一條　無線電信強制船舶ニ施設スル私設無線電信ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノニ裝置スルニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

一　遞信省電氣試驗所ノ型式試驗ニ依リ其ノ型式ノ證明ヲ受ケタルコト

二　二八五KC乃至五一五KCノ周波數帶ニ於テ成ルベク正確ニ眞方位ヲ測定シ得ルコト

三　良好ナル感度ヲ有スルコト

前項ノ無線方位測定機ヲ航海船橋又ハ通信室以外ノ場所ニ裝置シタル場合ニ於ケル其ノ裝置ノ可聽警報裝置ヲ連續的ニ動作セシメ之ガ停止ハ通信室ニ備附ノ開閉器ニ依リテノミ爲シ得ルコト

第四十二條　朝鮮船舶設備規程ニ依リ船舶ニ備フル救命艇ニ裝置スル無線電信設備ハ特ニ許可又ハ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　連續シテ三時間以上使用シ得ルコト

二　送信裝置ハ空中線電力十ワット以上ナルカ又ハ壹哩五十キロメートル以上ノ通達距離ヲ有スルコト

三　受信裝置ハ一五〇KC以下ノ周波數又ハ四〇〇〇KC以上ノ周波數ヲ發射シ得ル裝置ヲ有スルモノニ在リテハ秒針ヲ有スルモノナルコトヲ要ス）ヲ備附クベシ

私設無線電信無線電話ノ施設者ハ無線通信士ヲシテ前項ノ時計ヲ每日一回以上グリニッヂ標準時ニ照合セシムベシ

第四十三條　私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第四十四條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ニシテ通信執務時間第二種ニ屬スルモノニ在リテハ通信執務時間割ニ拘ラズ成ルベク當該船舶ノ入港前六時間以上連續執務スベシ

第四十五條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ニシテ通信執務時間第二種ニ屬スルモノニ在リテハ通信執務時間割ニ拘ラズ成ルベク當該船舶ノ入港前六時間以上連續執務スベシ

船舶ニ施設シタル私設無線電信ニシテ通信執務時間第三種ニ屬スルモノニ在リテハ當該船舶ノ航行中每日午前九時及午後五時ヨリ各三十分間五〇〇KCノ周波數ニ依リ成ルベク聽守スベシ

第四十六條　無線電信強制船舶ニシテ總噸數三千噸以上ノ旅客船又ハ總噸數五千五百噸ヲ超ユル旅客船ニ非ザル船舶ニ施設シタル私設無線電信（通信執務時間第二種ニ屬スル船舶ニ施設シタル私設無線電話ヲ除ク）ハ當該船舶航行中通信執務時間ニ該當セザル時間（聽守時間）ニ於テ無線通信士又ハ聲急自働受信機ニ依リ五〇〇KCノ周波數ヲ以テ聽守ヲ爲スベシ但シ通信中又ハ他ノ周波數ニ依ル聽守中ニシテ設備ノ關係上其ノ聽守ヲ爲シ得ザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十七條　私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第四十八條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第四十九條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第五十條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第五十一條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ノ補助設備及聲急自働受信機ノ運用ニ關シテハ左ノ各號ノ事項ヲ遵守スベシ

一　補助設備ニ付テハ當該船舶ノ航行中每日一回以上其ノ全能力ヲ以テ使用シ得ル狀態ニ在ルコトヲ確ムルコト

二　聲急自働受信機ニ依リ聽守ヲ行フモノニ在リテハ當該船舶ノ航行中每日一回以上其ノ機能ヲ試驗スルコト

三　聲急自働受信機ニ依リ聽守ヲ爲サントスルトキハ之ヲ空中線ニ接續シテ其ノ機能ヲ試驗シ可働狀態ニ在ルコトヲ確ムルコト

四　前各號ノ事項ニ付テハ其ノ都度之ヲ船長又ハ船橋ニ於ケル當直職員ニ通知スルコト

第五十二條　私設無線電信無線電話ハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外グリニッヂ標準時ニ依ル每時ノ十五分及四十五分ヨリ三分間（沈默時間）B電波ニ依ル一切ノ發信及其ノ他ノ電波ニ依ル四六〇KC乃至五五〇KCノ周波數ノ發信ヲ爲スベカラズ

船舶無線電信ハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外グリニッヂ標準時ニ依ル每時ノ十五分及四十五分ヨリ三分間（沈默時間）B電波ニ依ル一切ノ發信及其ノ他ノ電波ニ依ル四六〇KC乃至五五〇KCノ周波數ノ發信ヲ爲スベカラズ

船舶ニ施設シタル私設無線電信ハ當該船舶ノ航行中其ノ通信執務時間及聽守時間ヲ通ジ沈默時間中五〇〇KCノ周波數ニ依リ聽守ヲ爲スベシ

船舶無線電信ハ特ニ交信ヲ爲スベカラズ

第五十三條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ハ當該船舶ノ航行中前條第二項ノ規定ニ依ル外國各港間ノミヲ航行スル船舶其ノ他外國ニ在ル船舶ニ施設シタル私設無線電信ニシテ前項ノ規定ニ依ルコトヲ得ザル特殊ノ事由アルモノハ遞信局長ノ認可ヲ得テ朝鮮ノ指定スル港ニ到着スル迄國際電氣通信條約附屬一般無線通信規則第十條ノ規定ニ依リ外國主管廳ニ於テ交付シタル第一級、第二級又ハ特別證明書ヲ所持シ且無線通信士資格檢定規則ニ規定スル第一級、第二級又ハ第三級ノ資格ヲ有スル者ノ爲ニ豫メ指定スルコトヲ得

第五十四條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外別表第二號ニ依リ無線通信士ヲ配置スベシ

第五十五條　私設無線電信無線電話ノ施設者ハ無線通信士ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ都度附錄第二號樣式ニ依リ之ヲ遞信局長ニ屆出ヅベシ但シ選任ノ場合ハ身分證明書（實驗用私設無線電信無線電話ニ限ル）、履歷書、證格檢查證書及無線通信士資格檢定合格證書寫ヲ添附スベシ

第五十六條　遞信局長ハ私設無線電信無線電話ノ無線通信士ガ其ノ職務ヲ行フニ不適當ナリト認ムルトキハ之ガ解任ヲ命ズルコトアルベシ

第五十七條　無線通信士ハ第六章ニ規定スル檢查官吏ヨリ其ノ資格檢定合格證書ノ呈示ヲ求メラレタルトキハ遲滯ナク之ヲ呈示スベシ

第四章　通信執務時間及聽守時間

一　船舶ニ施設スル私設無線電信

第一種　無休

第二種甲　一日　十六時間

第二種乙　一日　八時間

第三種　不定

二　其ノ他ノ私設無線電信無線電話

特ニ指定スル時間

私設無線電信無線電話ニ於テ必要アルトキハ遞信執務時間外ニ於テモ臨時通信ヲ爲スコトヲ得

第五十一條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ニシテ通信執務時間第二種ニ屬スルモノニ在リテハ通信執務時間割ニ拘ラズ成ルベク當該船舶ノ入港前六時間以上連續執務スベシ

第五十二條　船舶ニ施設シタル私設無線電信ニシテ通信執務時間第三種ニ屬スルモノニ在リテハ當該船舶ノ航行中每日午前九時及午後五時ヨリ各三十分間五〇〇KCノ周波數ニ依リ成ルベク聽守スベシ

第五十三條　無線電信強制船舶ニシテ總噸數三千噸以上ノ旅客船又ハ總噸數五千五百噸ヲ超ユル旅客船ニ非ザル船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ハ當該船舶航行中通信執務時間ニ該當セザル時間（聽守時間）ニ於テ無線通信士又ハ聲急自働受信機ニ依リ五〇〇KCノ周波數ヲ以テ聽守ヲ爲スベシ但シ通信中又ハ他ノ周波數ニ依ル聽守中ニシテ設備ノ關係上其ノ聽守ヲ爲シ得ザル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第五十四條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第五十五條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第五十六條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第五十七條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第五十八條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第五十九條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第六十條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第六十一條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第六十二條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第六十三條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第六十四條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第六十五條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第六十六條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第六十七條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　八時間

四　前三號ニ揭ゲザル船舶ニシテ公衆通信ヲ取扱ヒザルモノ　不定

第六十八條　船舶ニ施設シタル私設無線電信無線電話ノ通信執務時間ハ特ニ指定スル場合ヲ除クノ外左ノ區別ニ依ルベシ

一　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以上ノモノニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　無休

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員二百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以上ノ船舶ニ施設シ公衆通信ヲ取扱フモノ　一日　十六時間

三　近海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニシテ旅客定員百人以下二人ヲ超ユル旅客船ニ施設シタルモノ及遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶

第一節　通信

第二節　通信術

第三節　電信

第四節　電話

第五節　内閣電信

第六節　海底電信

第一節　通信

第一條　無線電信又ハ無線電話ニ關スル通信ハ本章ノ規定ニ從フノ外第二章乃至第五章ノ規定ニ從フ

第二節　通信術

第二條　無線電信又ハ無線電話ニ關スル通信ハ左ノ事項ヲ明瞭ニ且確實ニ送受シ得ル程度ニ於テ之ヲ行フヘシ

一　使用スル電波ノ種類

二　使用スル電波ノ波長

三　使用スル電波ノ減衰度

四　使用スル電波ノ型式

五　使用スル電波ノ變調ノ方法

六　使用スル電波ノ變調ノ度

七　使用スル電波ノ變調ノ周波數

八　使用スル電波ノ變調ノ型式

九　使用スル電波ノ變調ノ方法

十　使用スル電波ノ變調ノ度

十一　使用スル電波ノ變調ノ周波數

十二　使用スル電波ノ變調ノ型式

第三條　無線電信又ハ無線電話ニ關スル通信ハ左ノ事項ヲ明瞭ニ且確實ニ送受シ得ル程度ニ於テ之ヲ行フヘシ

一　使用スル電波ノ種類

二　使用スル電波ノ減衰度

三　使用スル電波ノ變調ノ度

四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五　使用スル電波ノ變調ノ型式

六　使用スル電波ノ變調ノ方法

七　使用スル電波ノ變調ノ度

八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

九　使用スル電波ノ變調ノ型式

十　使用スル電波ノ變調ノ方法

十一　使用スル電波ノ變調ノ度

十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

十五　使用スル電波ノ變調ノ度

十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

十九　使用スル電波ノ變調ノ度

二十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

二十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

二十三　使用スル電波ノ變調ノ度

二十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

二十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

二十七　使用スル電波ノ變調ノ度

二十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

三十　使用スル電波ノ變調ノ方法

三十一　使用スル電波ノ變調ノ度

三十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

三十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

三十五　使用スル電波ノ變調ノ度

三十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

三十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

三十九　使用スル電波ノ變調ノ度

四十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

四十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

四十三　使用スル電波ノ變調ノ度

四十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

四十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

四十七　使用スル電波ノ變調ノ度

四十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

五十　使用スル電波ノ變調ノ方法

五十一　使用スル電波ノ變調ノ度

五十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

五十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

五十五　使用スル電波ノ變調ノ度

五十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

五十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

五十九　使用スル電波ノ變調ノ度

六十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

六十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

六十三　使用スル電波ノ變調ノ度

六十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

六十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

六十七　使用スル電波ノ變調ノ度

六十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

七十　使用スル電波ノ變調ノ方法

七十一　使用スル電波ノ變調ノ度

七十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

七十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

七十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

七十五　使用スル電波ノ變調ノ度

七十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

七十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

七十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

七十九　使用スル電波ノ變調ノ度

八十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

八十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

八十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

八十三　使用スル電波ノ變調ノ度

八十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

八十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

八十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

八十七　使用スル電波ノ變調ノ度

八十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

八十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

九十　使用スル電波ノ變調ノ方法

九十一　使用スル電波ノ變調ノ度

九十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

九十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

九十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

九十五　使用スル電波ノ變調ノ度

九十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

九十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

九十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

九十九　使用スル電波ノ變調ノ度

百　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百一　使用スル電波ノ變調ノ型式

百二　使用スル電波ノ變調ノ方法

百三　使用スル電波ノ變調ノ度

百四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百五　使用スル電波ノ變調ノ型式

百六　使用スル電波ノ變調ノ方法

百七　使用スル電波ノ變調ノ度

百八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百九　使用スル電波ノ變調ノ型式

百十　使用スル電波ノ變調ノ方法

百十一　使用スル電波ノ變調ノ度

百十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

百十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

百十五　使用スル電波ノ變調ノ度

百十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

百十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

百十九　使用スル電波ノ變調ノ度

百二十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百二十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

百二十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

百二十三　使用スル電波ノ變調ノ度

百二十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百二十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

百二十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

百二十七　使用スル電波ノ變調ノ度

百二十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百二十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

百三十　使用スル電波ノ變調ノ方法

百三十一　使用スル電波ノ變調ノ度

百三十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百三十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

百三十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

百三十五　使用スル電波ノ變調ノ度

百三十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百三十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

百三十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

百三十九　使用スル電波ノ變調ノ度

百四十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百四十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

百四十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

百四十三　使用スル電波ノ變調ノ度

百四十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百四十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

百四十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

百四十七　使用スル電波ノ變調ノ度

百四十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百四十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

百五十　使用スル電波ノ變調ノ方法

百五十一　使用スル電波ノ變調ノ度

百五十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百五十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

百五十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

百五十五　使用スル電波ノ變調ノ度

百五十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百五十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

百五十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

百五十九　使用スル電波ノ變調ノ度

百六十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百六十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

百六十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

百六十三　使用スル電波ノ變調ノ度

百六十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百六十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

百六十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

百六十七　使用スル電波ノ變調ノ度

百六十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百六十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

百七十　使用スル電波ノ變調ノ方法

百七十一　使用スル電波ノ變調ノ度

百七十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百七十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

百七十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

百七十五　使用スル電波ノ變調ノ度

百七十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百七十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

百七十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

百七十九　使用スル電波ノ變調ノ度

百八十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百八十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

百八十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

百八十三　使用スル電波ノ變調ノ度

百八十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百八十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

百八十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

百八十七　使用スル電波ノ變調ノ度

百八十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百八十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

百九十　使用スル電波ノ變調ノ方法

百九十一　使用スル電波ノ變調ノ度

百九十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百九十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

百九十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

百九十五　使用スル電波ノ變調ノ度

百九十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

百九十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

百九十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

百九十九　使用スル電波ノ變調ノ度

二百　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百一　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百二　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百三　使用スル電波ノ變調ノ度

二百四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百五　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百六　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百七　使用スル電波ノ變調ノ度

二百八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百九　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百十　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百十一　使用スル電波ノ變調ノ度

二百十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百十五　使用スル電波ノ變調ノ度

二百十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百十九　使用スル電波ノ變調ノ度

二百二十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百二十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百二十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百二十三　使用スル電波ノ變調ノ度

二百二十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百二十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百二十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百二十七　使用スル電波ノ變調ノ度

二百二十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百二十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百三十　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百三十一　使用スル電波ノ變調ノ度

二百三十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百三十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百三十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百三十五　使用スル電波ノ變調ノ度

二百三十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百三十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百三十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百三十九　使用スル電波ノ變調ノ度

二百四十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百四十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百四十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百四十三　使用スル電波ノ變調ノ度

二百四十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百四十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百四十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百四十七　使用スル電波ノ變調ノ度

二百四十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百四十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百五十　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百五十一　使用スル電波ノ變調ノ度

二百五十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百五十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百五十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百五十五　使用スル電波ノ變調ノ度

二百五十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百五十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百五十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百五十九　使用スル電波ノ變調ノ度

二百六十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百六十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百六十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百六十三　使用スル電波ノ變調ノ度

二百六十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百六十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百六十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百六十七　使用スル電波ノ變調ノ度

二百六十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百六十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百七十　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百七十一　使用スル電波ノ變調ノ度

二百七十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百七十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百七十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百七十五　使用スル電波ノ變調ノ度

二百七十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百七十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百七十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百七十九　使用スル電波ノ變調ノ度

二百八十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百八十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百八十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百八十三　使用スル電波ノ變調ノ度

二百八十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百八十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百八十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百八十七　使用スル電波ノ變調ノ度

二百八十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百八十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百九十　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百九十一　使用スル電波ノ變調ノ度

二百九十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百九十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百九十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百九十五　使用スル電波ノ變調ノ度

二百九十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

二百九十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

二百九十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

二百九十九　使用スル電波ノ變調ノ度

三百　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百一　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百二　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百三　使用スル電波ノ變調ノ度

三百四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百五　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百六　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百七　使用スル電波ノ變調ノ度

三百八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百九　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百十　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百十一　使用スル電波ノ變調ノ度

三百十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百十五　使用スル電波ノ變調ノ度

三百十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百十九　使用スル電波ノ變調ノ度

三百二十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百二十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百二十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百二十三　使用スル電波ノ變調ノ度

三百二十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百二十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百二十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百二十七　使用スル電波ノ變調ノ度

三百二十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百二十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百三十　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百三十一　使用スル電波ノ變調ノ度

三百三十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百三十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百三十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百三十五　使用スル電波ノ變調ノ度

三百三十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百三十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百三十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百三十九　使用スル電波ノ變調ノ度

三百四十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百四十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百四十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百四十三　使用スル電波ノ變調ノ度

三百四十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百四十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百四十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百四十七　使用スル電波ノ變調ノ度

三百四十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百四十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百五十　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百五十一　使用スル電波ノ變調ノ度

三百五十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百五十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百五十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百五十五　使用スル電波ノ變調ノ度

三百五十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百五十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百五十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百五十九　使用スル電波ノ變調ノ度

三百六十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百六十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百六十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百六十三　使用スル電波ノ變調ノ度

三百六十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百六十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百六十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百六十七　使用スル電波ノ變調ノ度

三百六十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百六十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百七十　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百七十一　使用スル電波ノ變調ノ度

三百七十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百七十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百七十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百七十五　使用スル電波ノ變調ノ度

三百七十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百七十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百七十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百七十九　使用スル電波ノ變調ノ度

三百八十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百八十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百八十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百八十三　使用スル電波ノ變調ノ度

三百八十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百八十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百八十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百八十七　使用スル電波ノ變調ノ度

三百八十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百八十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百九十　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百九十一　使用スル電波ノ變調ノ度

三百九十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百九十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百九十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百九十五　使用スル電波ノ變調ノ度

三百九十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

三百九十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

三百九十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

三百九十九　使用スル電波ノ變調ノ度

四百　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百一　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百二　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百三　使用スル電波ノ變調ノ度

四百四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百五　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百六　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百七　使用スル電波ノ變調ノ度

四百八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百九　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百十　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百十一　使用スル電波ノ變調ノ度

四百十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百十五　使用スル電波ノ變調ノ度

四百十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百十九　使用スル電波ノ變調ノ度

四百二十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百二十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百二十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百二十三　使用スル電波ノ變調ノ度

四百二十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百二十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百二十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百二十七　使用スル電波ノ變調ノ度

四百二十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百二十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百三十　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百三十一　使用スル電波ノ變調ノ度

四百三十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百三十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百三十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百三十五　使用スル電波ノ變調ノ度

四百三十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百三十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百三十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百三十九　使用スル電波ノ變調ノ度

四百四十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百四十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百四十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百四十三　使用スル電波ノ變調ノ度

四百四十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百四十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百四十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百四十七　使用スル電波ノ變調ノ度

四百四十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百四十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百五十　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百五十一　使用スル電波ノ變調ノ度

四百五十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百五十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百五十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百五十五　使用スル電波ノ變調ノ度

四百五十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百五十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百五十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百五十九　使用スル電波ノ變調ノ度

四百六十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百六十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百六十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百六十三　使用スル電波ノ變調ノ度

四百六十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百六十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百六十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百六十七　使用スル電波ノ變調ノ度

四百六十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百六十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百七十　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百七十一　使用スル電波ノ變調ノ度

四百七十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百七十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百七十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百七十五　使用スル電波ノ變調ノ度

四百七十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百七十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百七十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百七十九　使用スル電波ノ變調ノ度

四百八十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百八十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百八十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百八十三　使用スル電波ノ變調ノ度

四百八十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百八十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百八十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百八十七　使用スル電波ノ變調ノ度

四百八十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百八十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百九十　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百九十一　使用スル電波ノ變調ノ度

四百九十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百九十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百九十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百九十五　使用スル電波ノ變調ノ度

四百九十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

四百九十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

四百九十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

四百九十九　使用スル電波ノ變調ノ度

五百　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百一　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百二　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百三　使用スル電波ノ變調ノ度

五百四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百五　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百六　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百七　使用スル電波ノ變調ノ度

五百八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百九　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百十　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百十一　使用スル電波ノ變調ノ度

五百十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百十五　使用スル電波ノ變調ノ度

五百十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百十九　使用スル電波ノ變調ノ度

五百二十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百二十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百二十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百二十三　使用スル電波ノ變調ノ度

五百二十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百二十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百二十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百二十七　使用スル電波ノ變調ノ度

五百二十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百二十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百三十　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百三十一　使用スル電波ノ變調ノ度

五百三十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百三十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百三十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百三十五　使用スル電波ノ變調ノ度

五百三十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百三十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百三十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百三十九　使用スル電波ノ變調ノ度

五百四十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百四十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百四十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百四十三　使用スル電波ノ變調ノ度

五百四十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百四十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百四十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百四十七　使用スル電波ノ變調ノ度

五百四十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百四十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百五十　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百五十一　使用スル電波ノ變調ノ度

五百五十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百五十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百五十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百五十五　使用スル電波ノ變調ノ度

五百五十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百五十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百五十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百五十九　使用スル電波ノ變調ノ度

五百六十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百六十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百六十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百六十三　使用スル電波ノ變調ノ度

五百六十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百六十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百六十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百六十七　使用スル電波ノ變調ノ度

五百六十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百六十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百七十　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百七十一　使用スル電波ノ變調ノ度

五百七十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百七十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百七十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百七十五　使用スル電波ノ變調ノ度

五百七十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百七十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百七十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百七十九　使用スル電波ノ變調ノ度

五百八十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百八十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百八十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百八十三　使用スル電波ノ變調ノ度

五百八十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百八十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百八十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百八十七　使用スル電波ノ變調ノ度

五百八十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百八十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百九十　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百九十一　使用スル電波ノ變調ノ度

五百九十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百九十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百九十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百九十五　使用スル電波ノ變調ノ度

五百九十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

五百九十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

五百九十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

五百九十九　使用スル電波ノ變調ノ度

六百　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百一　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百二　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百三　使用スル電波ノ變調ノ度

六百四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百五　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百六　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百七　使用スル電波ノ變調ノ度

六百八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百九　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百十　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百十一　使用スル電波ノ變調ノ度

六百十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百十五　使用スル電波ノ變調ノ度

六百十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百十九　使用スル電波ノ變調ノ度

六百二十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百二十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百二十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百二十三　使用スル電波ノ變調ノ度

六百二十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百二十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百二十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百二十七　使用スル電波ノ變調ノ度

六百二十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百二十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百三十　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百三十一　使用スル電波ノ變調ノ度

六百三十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百三十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百三十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百三十五　使用スル電波ノ變調ノ度

六百三十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百三十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百三十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百三十九　使用スル電波ノ變調ノ度

六百四十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百四十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百四十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百四十三　使用スル電波ノ變調ノ度

六百四十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百四十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百四十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百四十七　使用スル電波ノ變調ノ度

六百四十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百四十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百五十　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百五十一　使用スル電波ノ變調ノ度

六百五十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百五十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百五十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百五十五　使用スル電波ノ變調ノ度

六百五十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百五十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百五十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百五十九　使用スル電波ノ變調ノ度

六百六十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百六十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百六十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百六十三　使用スル電波ノ變調ノ度

六百六十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百六十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百六十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百六十七　使用スル電波ノ變調ノ度

六百六十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百六十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百七十　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百七十一　使用スル電波ノ變調ノ度

六百七十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百七十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百七十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百七十五　使用スル電波ノ變調ノ度

六百七十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百七十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百七十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百七十九　使用スル電波ノ變調ノ度

六百八十　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百八十一　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百八十二　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百八十三　使用スル電波ノ變調ノ度

六百八十四　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百八十五　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百八十六　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百八十七　使用スル電波ノ變調ノ度

六百八十八　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百八十九　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百九十　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百九十一　使用スル電波ノ變調ノ度

六百九十二　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百九十三　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百九十四　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百九十五　使用スル電波ノ變調ノ度

六百九十六　使用スル電波ノ變調ノ周波數

六百九十七　使用スル電波ノ變調ノ型式

六百九十八　使用スル電波ノ變調ノ方法

六百

別表第一號（第二十五條參照）

話	設無線電	船舶設備	船舶	無線電信	無線電話	無線方位測定	無線航行警報	無線標識	無線操縦	無線遠隔指令	無線電力	無線電話	無線電信	無線電話	無線電信	無線電話	無線電信	無線電話	無線電信	無線電話
話	設無線電	船舶設備	船舶	無線電信	無線電話	無線方位測定	無線航行警報	無線標識	無線操縦	無線遠隔指令	無線電力	無線電話	無線電信	無線電話	無線電信	無線電話	無線電信	無線電話	無線電信	無線電話
話	設無線電	船舶設備	船舶	無線電信	無線電話	無線方位測定	無線航行警報	無線標識	無線操縦	無線遠隔指令	無線電力	無線電話	無線電信	無線電話	無線電信	無線電話	無線電信	無線電話	無線電信	無線電話

別表第二號（第二十九條參照）

ノ時間帯	ノ不執定務	通信モ	其ノ他ノ通信モ	通信ノ種類	八時間一割当	通信モ時間帯ノ割当	通信モ時間帯ノ一割増	通信モ時間帯ノ一割減	通信ノ時間帯ノ一割減	無線電信ノ種別	第一級無線通信士	第二級無線通信士	第三級無線通信士	第一級海上無線電話通信士	第二級海上無線電話通信士	第三級海上無線電話通信士	第一級無線電話通信士	第二級無線電話通信士	第三級無線電話通信士	第一級海岸局無線通信士	第二級海岸局無線通信士	第三級海岸局無線通信士	第一級無線電話通信士	第二級無線電話通信士	第三級無線電話通信士	第一級海岸局無線電話通信士	第二級海岸局無線電話通信士	第三級海岸局無線電話通信士	第一級無線通信士	第二級無線通信士	第三級無線通信士	第一級海岸局無線通信士	第二級海岸局無線通信士	第三級海岸局無線通信士	第一級無線電話通信士	第二級無線電話通信士	第三級無線電話通信士	第一級海岸局無線電話通信士	第二級海岸局無線電話通信士	第三級海岸局無線電話通信士
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
無線通信士	無線通信士	無線通信士

針局ハ其ノ呼出符號ノアルファベット順ニ從ヒ前項ノ規定ニ依リ通知スベシ

第十五條　船舶無線電信ニ於テ無線繼針局ニ對シ方位測定ニ供スル符號ヲ送信ヲ爲サントスルトキハ所定ノ電波ニ依リ當該無線繼針局ニ於ケル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ自己ノ呼出符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ五十秒間反復送信スベシ

第十六條　副無線繼針局ニ於テ方位測定ヲ爲シタルトキハ其ノ結果ヲ直ニ主無線繼針局ニ通知スベシ

第十七條　無線繼針局ニ於テ方位測定ノ結果ヲ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ當該無線繼針局（方位測定ヲ爲シタル無線繼針局）所在地ノ地方標準時ニ依リ「〇〇〇〇（午前〇時一分）」ヨリ「二四〇〇（午後十二時）」ニ至ル四位ノ數字ヲ以テ示ス方位測定時刻ヲ送信シ之ニ引續キ左ノ區別ニ從ヒ之ニ該當スル符號及「〇〇〇〇」ヨリ「三五九」ニ至ル三位ノ數字ヲ以テ示ス當該無線繼針局（方位測定ヲ爲シタル無線繼針局）ヨリノ眞方位又ハ經緯度ヲ以テ自己ノ呼出符號、位置、針路、速力其ノ他必要ト認ムル事項ヲ其ノ前後ニ「Q T M」ノ略符號ヲ附シ且各送信符號ノ長點ヲ稍長クシテ送信スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

●無線方位測定規則ニ依ル無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信

昭和十年四月

總督第二百五十八號

改正　昭和二年九月四九五號

無線方位測定規則第五條ノ規定ニ依ル無線標識及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信左ノ通定ム

第一章　通則

第一條　無線標識局ニ於テ其ノ方位測定ノ結果ヲ船舶無線電信ニ通知スルトキハ當該無線繼針局ニ於テ自局又ハ副主無線繼針局ニ於ケル方位測定ノ結果ヲ通知スルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外眞方位ヲ示ス數字ノ前ニ之ヲ測定シタル無線繼針局ノ呼出符號ヲ送信スベシ

第二條　無線標識局ニ於テ其ノ方位測定ノ結果ノミヲ又ハ之ヲ取纏メ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外眞方位ヲ示ス數字ノ前ニ之ヲ測定シタル無線繼針局ノ呼出符號ヲ送信スベシ

第三條　主無線繼針局ニ於テ其局若ハ副無線繼針局ニ於ケル方位測定ノ結果ノミヲ又ハ之ヲ取纏メ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外眞方位ヲ示ス數字ノ前ニ之ヲ測定シタル無線繼針局ノ呼出符號ヲ送信スベシ

第四條　主無線繼針局ニ於テ其局及副無線繼針局ニ於ケル方位測定ノ結果ヲ取纏メ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外眞方位ヲ示ス數字ノ前ニ之ヲ測定シタル無線繼針局ノ呼出符號ヲ送信スベシ

第五條　副無線繼針局ニ於テ方位測定ヲ爲シタル場合ニ於テ主無線繼針局ニ通知スルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外眞方位ヲ示ス數字ノ前ニ之ヲ測定シタル無線繼針局ノ呼出符號ヲ送信スベシ

第六條　主無線繼針局ニ於テ其局若ハ副無線繼針局ニ於ケル方位測定ノ結果ノミヲ又ハ之ヲ取纏メ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外眞方位ヲ示ス數字ノ前ニ之ヲ測定シタル無線繼針局ノ呼出符號ヲ送信スベシ

第七條　船舶無線電信ニ於テ無線繼針局ニ對シ方位測定ニ供スル符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ所定ノ電波ニ依リ當該無線繼針局ニ於ケル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ自己ノ呼出符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ五十秒間反復送信スベシ

第八條　主無線繼針局ニ於テ其局若ハ副無線繼針局ニ於ケル方位測定ノ結果ノミヲ又ハ之ヲ取纏メ船舶無線電信ニ通知セントスルトキハ前條ノ規定ニ依ルノ外眞方位ヲ示ス數字ノ前ニ之ヲ測定シタル無線繼針局ノ呼出符號ヲ送信スベシ

第九條　船舶無線電信ニ於テ無線繼針局ヨリ方位測定ノ結果ノ通知ヲ受ケタルトキハ照校ノ爲當該無線繼針局ニ對シ方位測定時刻及方位又ハ位置ヲ示ス數字ヲ受信ノ順序ニ依リ送信スベシ

第十條　無線繼針局ニ於テ前條ノ送信ニ異リタルコトヲ認メタルトキハ解信符號ヲ送信スベシ

第十一條　主無線繼針局ト副無線繼針局トノ間ノ連絡ハ電信又ハ電話ノ連絡アル場合ノ外ニ依リ其ノ連絡ナキ場合ハ無線電話ニ依リ之ヲ檢定ス

第二章　私設無線電信及私設無線電話（放送用私設無線電話規則ニ依ルモノヲ除ク以下同ジ）ノ通信ニ從事シ得ル者

第十二條　無線電信法第二條第一號第二號第四號乃至第六號ノ規定ニ依リ施設シタル私設無線電信ノ通信、同條第三號ノ規定ニ依リ施設シタル私設無線電信ノ通信、同條第四號乃至第六號ノ規定ニ依リ施設シタル私設無線電話ノ通信、同條第六號ノ規定ニ依リ受信ニ專用スル目的ヲ以テ施設シタル私設無線電信ノ通信、同條各號ノ規定ニ依リ施設シタル私設無線電信ノ通信ノ補助及和文通信並ニ私設無線電話ノ通信ニ從事シ得ル者

第十三條　試驗ニ依ル檢定ノ試驗科目左ノ如シ

電話級

空中線電力五十ワット以下ノ私設無線電話ノ通信ニ從事シ得ル者

聽守員級

無線電信法第二條第六號ノ規定ニ依リ受信ニ專用スル目的ヲ以テ施設シタル私設無線電信ノ通信及船舶ニ施設シタル私設無線電信ノ通信ニ於ケル聽守ニ從事シ得ル者

第二級

無線電信無線電話法規

無線電信受信機ノ調整及運用ノ簡易ナル實踐

一分時和文五十五字及歐文臨語十六語ノ速度ニ依ル普通受信

三　無線電信法規

無線電信ニ關スル法令及條約中遭難通信、航行上ノ危險警戒其ノ他海上又ハ空中ニ於ケル生命財產保全ノ爲必要ナル通信ニ關スル規定

第三級

一　無線電信無線電話法規

無線電信ニ關スル法令及條約ノ大要竝ニ其ノ他無線電信ノ取扱ニ關スル規定ノ大要

五　交通地理

第一級ニ同ジ

六　英語

中學校三年修業程度

第三級

一　無線電信無線電話實驗

無線電信無線電話用機器ノ調整及運用ノ簡易ナル實踐

二　電氣通信術

（電信）（一分時和文五十字及歐文臨語十六語ノ速度ニ依ル通信及普聲受信）

（電話）電話ニ依ル送話及受話

三　無線電信無線電話法規

無線電信無線電話ニ關スル法令及條約ノ大要

四　英語

中學校二年修業程度

第四級

一　無線電信無線電話法規

無線電話用機器ノ調整及運用ノ簡易ナル實踐

二　無線電話法規

無線電話ニ關スル法令及條約ノ大要

三　電氣通信術

電話ニ依ル送話及受話

聽守員級

一　無線電信實驗

無線電信受信機ノ調整及運用ノ簡易ナル實踐

一分時和文五十五字及歐文臨語十六語ノ速度ニ依ル普聲受

二　電氣通信術

三　無線電信法規

無線電信ニ關スル法令及條約中遭難通信、航行上ノ危險警戒其ノ他海上又ハ空中ニ於ケル生命財產保全ノ爲必要ナル通信ニ關スル規定

第三章　無線標識業務

第二十二條　無線方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ無線標識局ニ對シ標識符號ノ送信ヲ請求セントスルトキハ當該無線標識局ノ通常方位測定區域ニ入リタルキ之ヲ呼出シ其ノ呼出ニ引續キ左ノ事項ニ該當スル略符號ヲ送信スベシ

事項	略符號
貴船ノ眞方位ハ當局ヨリ、、、度ナリ	QTE
貴船ノ眞方位ハ、、、、（呼出符號）ヨリ、、、度ナリ	QTF
當局ノ率領スル無線繼針局ノ爲メ（呼出符號）ヨリ、、、度、、、、ニ於ケル貴船ノ位置ハ緯度、、、經度、、、、ナリ	QTF

第二十三條　無線標識局ニ於テ船舶無線電信ニ對シ標識符號ノ送信ヲ請求セントスルトキハ當該無線標識局ニ對シ標識符號ノ送信ヲ命ジ且其ノ呼出符號ヲ送信スベシ

事項	略符號
標識符號ノ送信ヲ乞フ	QTG？

第二十四條　無線標識局ハ船舶無線電信ヨリノ請求ニ依リ標識符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ一分間標識符號ヲ其ノ長點ヲ稍長クシテ送信スベシ

濃霧等ノ際其ノ附近ニ在ル船舶無線電信ニ對シ繼續シテ標識符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ一分間ノ間隔ヲ以テ前條ノ送信ヲ反復スベシ

第二十五條　無線方位測定機ノ裝置ヲ有スル船舶無線電信ニ於テ陸上無線電信ニ對シ標識符號ノ送信ヲ請求セントスルトキハ第二十二條ノ規定ニ準ジ其ノ請求ヲ爲スベシ

第二十六條　前條ノ請求ヲ受ケタル陸上無線電信ニ於テ標識符號ノ送信ヲ爲サントスルトキハ第二十三條ノ規定ニ準ジ船舶無線電信ニ於ケル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ之ヲ送信スベシ

第二十七條　船舶無線電信ニ於テ濃霧等ノ際シ衝突ヲ豫防スル目的ヲ以テ其ノ附近ニ在ル船舶無線電信ニ對シ自己ノ所在ヲ知ラシメントスルトキハ附近船舶無線電信ニ於ケル方位測定上必要ナル最少限度ノ電力ヲ以テ自己ノ呼出符號、位置、針路、速力其ノ他必要ト認ムル事項ヲ其ノ前後ニ「Q T M」ノ略符號ヲ附シ且各送信符號ノ長點ヲ稍長クシテ送信スルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十年三月十五日ヨリ之ヲ施行ス

名稱	呼出符號	標識符號	運營官廳	備考
京城無線電信局	JBB	A二三九四KC B五〇〇KC	鐵道局	電波ノ型式及周波數
木浦無線電信局	JBH	A二三九一KC	同	
濟州無線電信局	JBI	A二四〇〇KC	同	
釜山無線電信局	JBT	A二四三五KC	同	
鐵南浦無線電信局	JBL	A二四三三KC	同	
清津無線電信局	JBJ	A二四〇〇KC	同	
者只島方位信號所（無線標識局）	JKM	A二三一五KC	同	
小青島方位信號所（無線標識局）	JSS	A二二九五KC	同	
七發島方位信號所（無線標識局）	JWF	A二三一〇KC	同	
大草島方位信號所（無線標識局）	JWX	A二又ハ二八五KC B五〇〇KC		
		R N	軍艦二五〇浬	
		M Y	軍艦二五〇浬	
		JSS	軍艦二二〇浬	
		JKM	軍艦二五〇浬	
		JBJ		
		JBL		
		JBT		
		JBI		
		JBH		
		JBB		
		A二又ハ		

●無線通信士資格檢定規則

昭和六年六月
總令第六十七號
改正　昭和七年八月第一六六號、九年一二第一一五號

無線通信士資格檢定規則左ノ通定ム

第一條　無線通信士ノ資格ハ左ノ區別ニ從ヒ十七歲以上ノ者ニ就キ試驗又ハ銓衡ニ依リ胡鮮總督ノ命ジタル無線通信士資格檢定委員之ヲ檢定ス

第一級　私設無線電信ノ通信及私設無線電話（放送用私設無線電話規則ニ依ルモノヲ除ク以下同ジ）ノ通信ニ從事シ得ル者

第二級　無線電信法第二條第一號第二號第四號乃至第六號ノ規定ニ依リ施設シタル私設無線電信ノ通信、同條第三號ノ規定ニ依リ施設シタル私設無線電信ノ通信、同條第四號乃至第六號ノ規定ニ依リ施設シタル私設無線電話ノ通信ニ從事シ得ル者

第三級　無線電信無線電話法規

第二級ニ同ジ

一　無線電信實驗

無線電信ニ關スル法令及條約ノ大要竝ニ其ノ他無線電信ノ取扱ニ關スル規定ノ大要

二　電氣通信術

（電信）（一分時和文八十五字、歐文臨語二十語及歐文普通語ノ速度ニ依ル通信及普聲受信）

（電話）電話ニ依ル送話及受話

三　電氣通信術

（電信）（一分時和文八十五字、歐文臨語二十語及歐文普通語ノ速度ニ依ル通信及普聲受信）

（電話）電話ニ依ル送話及受話

四　無線電信無線電話法規

無線電信無線電話ニ關スル法令及條約並ニ其ノ他無線電報ノ取扱ニ關スル規定ノ大要

五　交通地理

第一級ニ同ジ

六　英語

中學校卒業程度

第二級

一　無線電信無線電話學

電氣ノ一般原理及無線電信無線電話ノ學理ノ初步

二　無線電信無線電話實驗

無線電信無線電話用機器ノ調整、修理及運用ノ簡易ナル實踐

五　交通地理

內國及外國ノ一般交通地理殊ニ無線電信、無線電話、電信及電話ノ通信連絡並ニ航路又ハ航空路ニ關スル地理

六　英語

中學校卒業程度

第二級

一　無線電信無線電話學

電氣ノ一般原理及無線電信無線電話ノ學理ノ初步

二　無線電信無線電話實驗

無線電信無線電話用機器ノ調整、修理及運用ノ簡易ナル實踐

三　電氣通信術

（電信）（一分時和文七十字及歐文臨語十六語ノ速度ニ依ル受信及普聲受信）

（電話）電話ニ依ル送話及受話

第三級

一　無線電信無線電話學

電氣ノ一般原理及無線電信無線電話ノ學理ノ初步

二　無線電信無線電話實驗

無線電信無線電話用機器ノ調整、修理及運用ノ簡易ナル實踐

三　電氣通信術

（電信）（一分時和文六十字及歐文臨語十六語ノ速度ニ依ル受信及普聲受信）

（電話）電話ニ依ル送話及受話

第三條　銓衡ニ依ル檢定ハ無線電信、無線電話又ハ電信ニ依ル通信ノ實務經驗ヲ有スル者ニ付左ノ區別ニ從ヒ申請ニ依リ之ヲ行フ

一　第二級ノ檢定ニ合格シタル後二年以上無線電信法第二條第三號ノ規定ニ依リ施設シタル私設無線電信ノ通信ニ從事シタル者又ハ二年以上無線電信ニ依ル公衆通信ニ從事シタル者ニ就テハ第二級

二　第三級ノ檢定ニ合格シタル後二年以上無線電信法第二條第三號ノ規定ニ依リ施設シタル私設無線電信ノ通信ニ從事シタル者又ハ二年以上無線電信ニ依ル公衆通信ニ從事シタル者ニ就テハ第一級

三　電氣通信術無線電話法規

無線電信無線電話ニ關スル法令及條約並ニ其ノ他無線電報ノ取扱ニ關スル規定

四　無線電信無線電話學

電氣ノ一般原理及無線電信無線電話ノ學理ノ初步

五　交通地理

第一級ニ同ジ

六　英語

中學校三年修業程度

第四條　朝鮮總督府ニ於テ又ハ朝鮮總督ノ認定ヲ受ケタル講習所ニ於テ所定ノ無線電信無線電話ノ通信ニ關スル學術ヲ修メ其ノ課程ヲ卒ヘタル者ハ第一級以下ノ資格ニ付銓衡ニ依ル檢定ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ認定ヲ受ケントスル講習所ノ管理者ハ朝鮮總督ノ指示スル所ニ從ヒ其ノ申請ヲ爲スベシ

第五條　朝鮮總督ハ檢定ニ合格シタル者ニ合格證書（第一號樣式）ヲ付與ス

第六條　檢定合格者ハ朝鮮總督府官報ヲ以テ之ヲ公告ス

（第一號樣式）

約十五糎

約十糎

郵便局

無線通信士業務定期檢査

第一（二）號

貼附圖

利印

氏名

生年月日

（第二號樣式）

無線通信士業務定期檢査合格證書

右ノ者無線通信士業務定期檢査ニ合格シタルニ付必要ナル年月日ヲ記入シ且ツ合格證書ノ取得ニ關スル第（第二號）ノ規則所定ノ手數料ヲ納付シタルコトヲ證ス

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三號樣式）

無線通信士業務定期檢査合格證書

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線通信士業務定期檢査ニ合格シタルニ付必要ナル年月日ヲ記入シ且ツ合格證書ノ取得ニ關スル第（第二號）ノ規則所定ノ手數料ヲ納付シタルコトヲ證ス

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第二十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第三十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第四十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第五十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第六十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第七十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第八十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第九十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百二十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百三十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百四十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十五號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十六號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十七號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十八號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百五十九號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百六十號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百六十一號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百六十二號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百六十三號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設ノ許可ヲ與フ

年　月　日

朝鮮總督府（印）

（第百六十四號樣式）

無線電信電話私設無線電信電話局開設許可證

第　號

氏名

生年月日

右ハ無線電信電話私設無線電信電話局開設

第一章　通信

第五款　内国電信

第一節　通則

第一條　氣象通報ハ氣象電報ニ依リ之ヲ取扱フ

第二條　氣象電報ハ氣象官署ノ發スルモノニ限リ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三條　氣象電報ハ左ノ種類トス

一　氣象通報

二　氣象警報

三　氣象特報

第四條　氣象通報ハ氣象官署ノ發スル氣象觀測ノ結果ヲ通報スルモノトス

第五條　氣象警報ハ氣象官署ノ發スル暴風、暴雨、暴雪、洪水、高潮、波浪、濃霧、雷雨、降雹、霜、結氷、積雪、雪崩、乾燥、強風、風向ノ變化、氣温ノ變化、霜害、凍害、雪害、風害、干害、水害、火災、其ノ他氣象ノ變化ニ因リ生ズル災害ノ豫報又ハ警報トス

第六條　氣象特報ハ氣象官署ノ發スル暴風、暴雨、暴雪、洪水、高潮、波浪、濃霧、雷雨、降雹、霜、結氷、積雪、雪崩、乾燥、強風、風向ノ變化、氣温ノ變化、霜害、凍害、雪害、風害、干害、水害、火災、其ノ他氣象ノ變化ニ因リ生ズル災害ノ豫報又ハ警報ニシテ氣象警報ニ關係アルモノトス

第七條　氣象通報ハ氣象通報式ニ依リ之ヲ作成シ氣象通報ト記載スルヲ要ス

第八條　氣象警報ハ氣象警報式ニ依リ之ヲ作成シ氣象警報ト記載スルヲ要ス

第九條　氣象特報ハ氣象特報式ニ依リ之ヲ作成シ氣象特報ト記載スルヲ要ス

第十條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ發信ス

第十一條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ發信ス

第十二條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ發信ス

第十三條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受信ス

第十四條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受信ス

第十五條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受信ス

第十六條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第十七條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第十八條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第十九條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十一條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十二條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十三條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十四條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十五條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十六條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十七條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十八條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二十九條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十一條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十二條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十三條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十四條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十五條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十六條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十七條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十八條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第三十九條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十一條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十二條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十三條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十四條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十五條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十六條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十七條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十八條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第四十九條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十一條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十二條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十三條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十四條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十五條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十六條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十七條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十八條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第五十九條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十一條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十二條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十三條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十四條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十五條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十六條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十七條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十八條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第六十九條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十一條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十二條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十三條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十四條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十五條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十六條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十七條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十八條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第七十九條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十一條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十二條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十三條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十四條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十五條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十六條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十七條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十八條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第八十九條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十一條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十二條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十三條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十四條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十五條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十六條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十七條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十八條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第九十九條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百一條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十一條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十二條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十三條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十四條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十五條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十六條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十七條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十八條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百十九條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十一條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十二條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十三條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十四條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十五條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十六條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十七條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十八條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百二十九條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十一條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十二條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十三條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十四條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十五條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十六條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十七條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十八條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百三十九條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十一條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十二條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十三條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十四條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十五條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十六條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十七條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十八條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百四十九條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十一條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十二條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十三條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十四條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十五條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十六條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十七條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十八條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百五十九條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十一條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十二條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十三條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十四條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十五條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十六條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十七條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十八條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百六十九條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十一條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十二條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十三條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十四條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十五條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十六條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十七條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十八條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百七十九條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十一條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十二條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十三條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十四條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十五條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十六條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十七條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十八條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百八十九條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十一條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十二條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十三條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十四條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十五條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十六條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十七條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十八條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第百九十九條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百一條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百六條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百七條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百八條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百九條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十一條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十二條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十三條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十四條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十五條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十六條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十七條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十八條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百十九條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十一條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十二條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十三條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十四條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十五條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十六條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十七條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十八條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百二十九條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十一條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十二條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十三條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十四條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十五條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十六條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十七條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十八條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百三十九條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十一條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十二條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十三條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十四條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十五條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十六條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十七條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十八條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百四十九條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十一條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十二條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十三條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十四條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十五條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十六條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十七條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十八條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百五十九條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百六十條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百六十一條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百六十二條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百六十三條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百六十四條　氣象特報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百六十五條　氣象通報ハ氣象官署ニ於テ定時ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百六十六條　氣象警報ハ氣象官署ニ於テ豫報ノ變更ヲ要スル場合ニ之ヲ受付ケ又ハ送達ス

第二百六十七條　

（別表）

第一　風

（地方氣象觀測所ノ觀測ニ依ル）

キカネニウイア	符號	クキオネニウイア	符號	タソセスンサヨケ	符號
一　靜　晴		北ノ風		北ノ風	
絞　〃　〃　〃	天氣	北西ノ風	風ノ強弱	北西ノ風	風ノ強弱
ニ　ハ　曇		西ノ風		西ノ風	
晴ダ　リ		西南西ノ風		西南西ノ風	
ダ　カ		南西ノ風		南西ノ風	
小雨　小雪		南南西ノ風		南南西ノ風	
早朝霧カ		南ノ風		南ノ風	
カ　カ　〃　〃	降雨雪ノ有無	南南東ノ風	降雨雪ノ有無	南南東ノ風	降雨雪ノ有無
ル　所　モ		南東ノ風		南東ノ風	
ア　ル		東南東ノ風		東南東ノ風	
		東ノ風		東ノ風	
シサコケク	符號	ネヌニナトテツヂ	符號	ミマネヘフヒハノ	符號
〃　ル　始　始　大ア	天氣ノ變化	〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	風向ノ變化	〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	風向ノ變化
〃　メ　メ　ハ　燃ル		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	
ハ　晴　曇　後　ダ　ガ		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	
時々　後　ニ　ハ　時々		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	
曇　曇　曇　曇　曇　曇		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	
雨　雪　雪　雪　雪　雪		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	
カ　雪　雪　雪　雪　雪		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	
〃　〃　〃　〃　〃　〃		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃		〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	

第二　天氣　（全般天氣豫報）

ソチタヌソセスンサ	符號	ヤモメムミマホネヘフヒハノネ	符號
晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴	天氣	天　天　始　始　大　ア	天氣
時　時　時　時　時　時　時　時　時		氣　氣　〃　〃　燃　ル	
々　々　々　々　々　々　々　々　々		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
明　寒　急　寒　涼　涼　急　寒　暖		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
方　サ　ニ　ク　ク　サ　和		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
ハ　加　寒　ナ　ナ　ル　ダ		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
冷　ル　ク　ル　ナ　ル		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
エ　ル　ナ　ル		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
サ　サ　サ　サ　サ　サ　サ　サ　サ	氣	〃　〃　〃　〃　〃　〃	氣
ミ　マ　ネ　ヌ　ニ　ナ　ト　テ　ツ　ヂ		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
時　時　時　時　時　時　時　時　時　時		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
々　々　々　々　々　々　々　々　々　々		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
海　濱　海　海　山　後　時　時　朝　朝		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
上　テ　上　上　ニ　ニ　ニ　方　方　ハ		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
羅　ヲ　波　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
カ　ネ　カ　カ　モ　カ　カ　ニ　ニ　漂		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
リ　高　カ　カ　カ　カ　ル　ル　ギ　ル		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
高　イ　ル　ル　カ　ル　ル		〃　〃　〃　〃　〃　〃	
イ		〃　〃　〃　〃　〃　〃	

（ロ）

テツヂタソセスンサ	符號	ヤモメムミマホネヘフヒハノネ	符號
晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴	天氣	一　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴	天氣
時　時　時　時　時　時　時　時　時　時		絞　一　一　一　一　一　一　一　一　一	
々　々　々　々　々　々　々　々　々　々		〃　時　時　時　時　時　時　時　時　時	
曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇		ハ　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇	
晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴		氏　時　時　時　時　時　時　時　時　時	
時　時　時　時　時　時　時　時　時　時		名　々　々　々　々　々　々　々　々　々	
々　々　々　々　々　々　々　々　々　々		曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇	
曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇		一　ガ　近　天　港　濱　港　港　山　後	
海　濱　海　海　山　後　時　時　朝　朝		絞　一　ガ　イ　氣　上　テ　上　ニ　ニ	
上　テ　上　上　ニ　ニ　ニ　方　方　ハ		〃　時　部　中　ニ　來　ダ　羅　カ　ネ	
ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ		ハ　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇	
羅　ヲ　波　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧		氏　時　時　時　時　時　時　時　時　時	
カ　ネ　カ　カ　モ　カ　カ　ニ　ニ　漂		名　々　々　々　々　々　々　々　々　々	
リ　高　カ　カ　カ　カ　ル　ル　ギ　ル		曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇	
高　イ　ル　ル　カ　ル　ル		ナ　ノ　所　モ　ク　イ　カ　カ　カ　ル	
イ		ル　　モ　ア　ン　ル　カ　ル	
		ア　ル	

（ハ）

テツヂタソセスンサ	符號	ヤモメムミマホネヘフヒハノネ	符號
晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴	天氣	イ　イ　イ　イ　イ　イ　イ　イ　イ　イ	天氣
時　時　時　時　時　時　時　時　時　時		テ　ツ　チ　タ　ソ　セ　ス　シ　サ　コ	
々　々　々　々　々　々　々　々　々　々		ク　キ　カ　オ　ネ　ニ　ウ　イ　ア	
曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇		晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴	
明　寒　急　寒　涼　涼　急　寒　暖		時　時　時　時　時　時　時　時　時　時	
方　サ　ニ　ク　ク　サ　和		々　々　々　々　々　々　々　々　々　々	
ハ　加　寒　ナ　ナ　ル　ダ		曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇	
冷　ル　ク　ル　ナ　ル		風　日　日　明　寒　急　寒　涼　涼　急	
エ　ル　ナ　ル		ハ　中　中　方　サ　ニ　ク　ク　サ　和	
サ　サ　サ　サ　サ　サ　サ　サ　サ	氣	強　ハ　ハ　ハ　冷　エ　ル　ナ　ナ　ル	氣
ミ　マ　ネ　ヌ　ニ　ナ　ト　テ　ツ　ヂ		イ　寒　暖　ク　ル　ナ　ル　ダ	
晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴		イ　イ　イ　ル　ナ　ル	
時　時　時　時　時　時　時　時　時　時		イ　イ　イ　イ　イ　イ　イ　イ　イ　イ	
々　々　々　々　々　々　々　々　々　々		ヤ　モ　メ　ム　ミ　マ　ホ　ネ　ヘ　フ	
曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇		天　氣　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ	
海　濱　海　海　山　後　時　時　朝　朝		氣　ノ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ	
上　テ　上　上　ニ　ニ　ニ　方　方　ハ		ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ	
ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ		ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ	
羅　ヲ　波　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧		ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ	
カ　ネ　カ　カ　モ　カ　カ　ニ　ニ　漂		ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ	
リ　高　カ　カ　カ　カ　ル　ル　ギ　ル		ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ	
高　イ　ル　ル　カ　ル　ル		ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ	
イ		ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ　ハ	

（ヲ）

メムミマホネヘフヒハノネニナ	符號
〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃　〃	南ノ風
後　後　後　後　後　後　後　後	南東ノ風
南　南　南　南　南　南　南　南	東ノ風
東　東　東　東　東　東　東　東	東北東ノ風
ノ　ノ　ノ　ノ　ノ　ノ　ノ　ノ	北東ノ風
風　風　風　風　風　風　風　風	北北東ノ風
後　後　後　後　後　後　後　後	北ノ風
北　北　北　北　北　北　北　北	北北西ノ風
西　西　西　西　西　西　西　西	北西ノ風
ノ　ノ　ノ　ノ　ノ　ノ　ノ　ノ	西北西ノ風
風　風　風　風　風　風　風　風	西ノ風
ソチタヌソセスンサ	符號
風　風　風　風　風　風　風　風	風向ノ變化
向　向　向　向　向　向　向　向	
一　一　一　一　一　一　一　一	
定　定　定　定　定　定　定　定	
セ　セ　セ　セ　セ　セ　セ　セ	
ス　ス　ス　ス　ス　ス　ス　ス	
風　風　風　風　風　風　風　風	風ノ強弱
緩　緩　緩　緩　緩　緩　緩　緩	
和　和　和　和　和　和　和　和	
風　風　風　風　風　風　風　風	風ノ變化
靜　靜　靜　靜　靜　靜　靜　靜	
穩　穩　穩　穩　穩　穩　穩　穩	
晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴	天氣ノ變化
時　時　時　時　時　時　時　時	
々　々　々　々　々　々　々　々	
曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇	
晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴　晴	降雨雪ノ有無
時　時　時　時　時　時　時　時	
々　々　々　々　々　々　々　々	
曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇　曇	
後　後　後　後　後　後　後　後	起雷雨ノ有無
雨　雨　雨　雨　雨　雨　雨　雨	
後　後　後　後　後　後　後　後	時雨ノ有無
雪　雪　雪　雪　雪　雪　雪　雪	
後　後　後　後　後　後　後　後	霧ノ有無
霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧　霧	

第三　風向　（地方天氣豫報）

第四　風向　（地方天氣豫報）

第一區　成江原北道、忠清北道、忠清南道、黃海道
第二區　成江原北道、忠清北道、忠清南道、黃海道
第三區　成慶尚南道、全羅南道
第四區　成平安南道、平安北道
第五區　成慶尚北道、慶尚南道南部
第六區　成慶北北道

第五　晴雨　（全般天氣豫報）

（ヘ）

| | | |

（ソ）

ソ	ソ	ソ	ソ	ソ	ソ
キ	カ	オ	エ	ウ	イ	ア
〃	〃	〃	〃	〃	晴	後	雨	又	曇

（ヘ）

| | | |

(イ)

雨後暴

| | | |

第六　時刻（地方氣象特報、地方暴風氣象報、全般暴風氣象報、全般氣象特報）

ン	キ	シ	ン	ジ
オ	ヱ	ッ	イ	ア
霧	霧	霧	霧	霧
後	後	後	時	々
雨	粟	晴	々	曇
ニ	ニ	レ	レ	
ル	ナ	ル		

ン	ン	ン	ン
コ	ク	キ	カ
霧	霧	霧	霧
海	海	時	時
上	ハ	強	雨
ハ	浪	イ	ガ
穏	カ	高	イ

ヲ	ヲ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ラ
モ	ヒ	ン	ミ	メ	ユ	キ	サ	ア	テ	ニ	ヨ	ラ	ム
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北
雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
黄	黄	黄	黄	成	成	成	成	成	成	成	成	成	北
海	海	海	海	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
京	京	京	京	京	黄	黄	黄	黄	成	成	成	成	成
畿	畿	畿	畿	畿	海	海	海	海	雨	雨	雨	雨	雨
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
忠	忠	忠	忠	北	京	京	京	京	黄	黄	黄	黄	黄
雨	雨	雨	北	雨	畿	畿	畿	畿	海	海	海	海	海
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
余	余	忠	余	余	忠	忠	忠	忠	京	京	京	京	京
北	北	雨	北	北	雨	雨	雨	雨	畿	畿	畿	畿	畿
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
余	余	余	忠	忠	余	余	余	余	忠	忠	忠	忠	忠
北	北	北	雨	雨	北	北	北	北	雨	雨	雨	雨	雨
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
京	京	京	京	京	京	京	京	京	京	京	京	京	京
畿	畿	畿	畿	畿	畿	畿	畿	畿	畿	畿	畿	畿	畿
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠	忠
雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余
北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	北
•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•
余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余	余
雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨	雨

ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ
モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ	モ
ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ	ヲ

符號	速度	風向	風力	雨	雲	天氣
第十二圖	風速ハ時速哩數ニテ示ス	風向ハ羽ノ方向ニ吹ク	風力ハ羽ノ數ニテ示ス	雨ハ雨點ノ數ニテ示ス	雲ハ雲ノ數ニテ示ス	天氣ハ天氣符號ニテ示ス
全般氣象特報（全般氣壓風雨特報）	同上段々速クナル	同上段々運クナル	同上段ノ運行速度			
風速	風向	風力	雨	雲	天氣	
忠北・慶北・全南・慶南	忠北・全北・慶北・全南・慶南	忠北・全北・慶北・全南・慶南	忠北・全北・慶北・全南・慶南	忠北・全北・慶北・全南・慶南	忠北・全北・慶北・全南・慶南	京畿・忠南・忠北・全北・慶北・全南・慶南
忠南・慶北・全南・慶南	忠南・全北・慶北・全南・慶南	忠南・全北・慶北・全南・慶南	忠南・全北・慶北・全南・慶南	忠南・全北・慶北・全南・慶南	忠南・全北・慶北・全南・慶南	京畿・忠南・忠北・全北・慶北・全南・慶南
忠南・忠北・慶北・全南・慶南	忠南・忠北・全北・慶北・全南・慶南	忠南・忠北・全北・慶北・全南・慶南	忠南・忠北・全北・慶北・全南・慶南	忠南・忠北・全北・慶北・全南・慶南	忠南・忠北・全北・慶北・全南・慶南	京畿・忠南・忠北・全北・慶北・全南・慶南
忠南・忠北・全

第二十一　低気圧ノ経過（地方経過報告）

符號	號	時	地方	風ノ向キト風速（中心示度（七四〇粍以下）ヲ現ハス）	天氣	符號
ア	一	午前八時	日本海中部	風弱ク北ニ變ワル	晴	ア
イ	二	〃	日本海北部	風弱ク北ニ變ワル	晴	イ
ウ	三	〃	樺太西海岸	風弱ク北ニ變ワル	晴	ウ
エ	四	〃	樺太北部	風弱ク北ニ變ワル	晴	エ
オ	五	〃	樺太東海岸	風弱ク北ニ變ワル	晴	オ
カ	六	〃	北海道北部	風弱ク北ニ變ワル	晴	カ
キ	七	〃	北海道東部	風弱ク北ニ變ワル	晴	キ
ク	八	〃	千島諸島	風弱ク北ニ變ワル	晴	ク
ケ	九	〃	日本海中部	風弱ク北ニ變ワル	晴	ケ
コ	十	〃	日本海南部	風弱ク北ニ變ワル	晴	コ
サ	十一	〃	朝鮮中部	風弱ク北ニ變ワル	晴	サ
シ	十二	〃	朝鮮南東部	風弱ク北ニ變ワル	晴	シ
ス	十三	〃	日本海南部	風弱ク北ニ變ワル	晴	ス
セ	十四	〃	日本海北部	風弱ク北ニ變ワル	晴	セ
ソ	十五	〃	樺太西海岸	風弱ク北ニ變ワル	晴	ソ
タ	十六	〃	樺太北部	風弱ク北ニ變ワル	晴	タ
チ	十七	〃	樺太東海岸	風弱ク北ニ變ワル	晴	チ
ツ	十八	〃	北海道北部	風弱ク北ニ變ワル	晴	ツ
テ	十九	〃	北海道東部	風弱ク北ニ變ワル	晴	テ
ト	二十	〃	千島諸島	風弱ク北ニ變ワル	晴	ト
ナ	二十一	〃	朝鮮南東部	風弱ク北ニ變ワル	晴	ナ
ニ	二十二	〃	朝鮮中部	風弱ク北ニ變ワル	晴	ニ

第二十二　低気圧ノ経過（地方経過報告）

符號	號	時	地方	風ノ向キト風速（中心示度（七四〇粍以下）ヲ現ハス）	天氣	符號
ア	一	午前八時	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ア
イ	二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	イ
ウ	三	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ウ
エ	四	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	エ
オ	五	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	オ
カ	六	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	カ
キ	七	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	キ
ク	八	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ク
ケ	九	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ケ
コ	十	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	コ
サ	十一	〃	朝鮮中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	サ
シ	十二	〃	朝鮮南東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	シ
ス	十三	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ス
セ	十四	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	セ
ソ	十五	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ソ
タ	十六	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	タ
チ	十七	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	チ
ツ	十八	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ツ
テ	十九	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	テ
ト	二十	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ト
ナ	二十一	〃	朝鮮中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ナ
ニ	二十二	〃	朝鮮南東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ニ

第十九　低気圧ノ経過（地方経過報告）

符號	號	時	地方	風ノ向キト風速（中心示度（七四〇粍以下）ヲ現ハス）	天氣	符號
ヌ	一	午前八時	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヌ
ネ	二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ネ
ノ	三	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ノ
ハ	四	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ハ
ヒ	五	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヒ
フ	六	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	フ
ヘ	七	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヘ
ホ	八	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ホ
マ	九	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	マ
ミ	十	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ミ
ム	十一	〃	朝鮮中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ム
メ	十二	〃	朝鮮南東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	メ
モ	十三	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	モ
ヤ	十四	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヤ
ユ	十五	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ユ
ヨ	十六	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヨ
ラ	十七	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ラ
リ	十八	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	リ
ル	十九	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ル
レ	二十	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	レ
ロ	二十一	〃	朝鮮南東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ロ
ワ	二十二	〃	朝鮮中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ワ

第二十　低気圧ノ経過（地方経過報告）

符號	號	時	地方	風ノ向キト風速（中心示度（七四〇粍以下）ヲ現ハス）	天氣	符號
ヲ	一	午前八時	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヲ
ワ	二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ワ
カ	三	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	カ
ヨ	四	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヨ
タ	五	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	タ
レ	六	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	レ
ソ	七	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ソ
ツ	八	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ツ
ネ	九	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ネ
ナ	十	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ナ
ラ	十一	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ラ
ム	十二	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ム
ウ	十三	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ウ
ノ	十四	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ノ
オ	十五	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	オ
ク	十六	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ク
ヤ	十七	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヤ
マ	十八	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	マ
ケ	十九	〃	朝鮮南東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ケ
フ	二十	〃	朝鮮中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	フ
コ	二十一	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	コ
エ	二十二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	エ

第十八　低気圧ノ経過（地方経過報告）

符號	號	時	地方	風ノ向キト風速（中心示度（七四〇粍以下）ヲ現ハス）	天氣	符號
ア	一	午前八時	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ア
キ	二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	キ
サ	三	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	サ
ユ	四	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ユ
メ	五	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	メ
ミ	六	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ミ
シ	七	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	シ
ヱ	八	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヱ
ヒ	九	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヒ
モ	十	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	モ
セ	十一	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	セ
ス	十二	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ス
ン	十三	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ン
ウ	十四	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ウ
ヰ	十五	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヰ
ノ	十六	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ノ
オ	十七	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	オ
ク	十八	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ク
ヤ	十九	〃	朝鮮南東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヤ
マ	二十	〃	朝鮮中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	マ
ケ	二十一	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ケ
フ	二十二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	フ

第十七　低気圧ノ経過（地方経過報告）

符號	號	時	地方	風ノ向キト風速（中心示度（七四〇粍以下）ヲ現ハス）	天氣	符號
ア	一	午前八時	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ア
キ	二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	キ
サ	三	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	サ
ユ	四	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ユ
メ	五	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	メ
ミ	六	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ミ
シ	七	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	シ
ヱ	八	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヱ
ヒ	九	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヒ
モ	十	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	モ
セ	十一	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	セ
ス	十二	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ス
ン	十三	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ン
ウ	十四	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ウ
ヰ	十五	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヰ
ノ	十六	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ノ
オ	十七	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	オ
ク	十八	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ク
ヤ	十九	〃	朝鮮南東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヤ
マ	二十	〃	朝鮮中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	マ
ケ	二十一	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ケ
フ	二十二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	フ

第十六　低気圧ノ経過（地方経過報告）

符號	號	時	地方	風ノ向キト風速（中心示度（七四〇粍以下）ヲ現ハス）	天氣	符號
ア	一	午前八時	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ア
キ	二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	キ
サ	三	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	サ
ユ	四	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ユ
メ	五	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	メ
ミ	六	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ミ
シ	七	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	シ
ヱ	八	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヱ
ヒ	九	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヒ
モ	十	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	モ
セ	十一	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	セ
ス	十二	〃	日本海北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ス
ン	十三	〃	樺太西海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ン
ウ	十四	〃	樺太北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ウ
ヰ	十五	〃	樺太東海岸	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヰ
ノ	十六	〃	北海道北部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ノ
オ	十七	〃	北海道東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	オ
ク	十八	〃	千島諸島	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ク
ヤ	十九	〃	朝鮮南東部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ヤ
マ	二十	〃	朝鮮中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	マ
ケ	二十一	〃	日本海中部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	ケ
フ	二十二	〃	日本海南部	風ノ向キ弱ク北ニ變ワル	晴	フ

第十三　暴風及ノ強度（全般暴風報）

符號	暴風ノ種類	中心示度（粍）	暴風ノ區域	時	準	符號
ア	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七四〇以上一四一	日本海中部	午前八時	地方	ア
イ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七三〇以上七四〇	日本海南部	〃	〃	イ
ウ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七二〇以上七三〇	日本海北部	〃	〃	ウ
エ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七一〇以上七二〇	樺太西海岸	〃	〃	エ
オ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七〇〇以上七一〇	樺太北部	〃	〃	オ
カ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六九〇以上七〇〇	樺太東海岸	〃	〃	カ
キ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六八〇以上六九〇	北海道北部	〃	〃	キ
ク	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六七〇以上六八〇	北海道東部	〃	〃	ク
ケ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六六〇以上六七〇	千島諸島	〃	〃	ケ
コ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六五〇以下	朝鮮南東部	〃	〃	コ

第十四　暴風ノ種類（全般暴風報）

符號	種類	文	符號
ア	猛烈ナル颱風ノ發來ス	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ア
イ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	イ
ウ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ウ
エ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	エ
オ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	オ
カ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	カ
キ	猛烈ナル颱風（中心示度（七三〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	キ
ク	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ク
ケ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ケ
コ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	コ
サ	猛烈ナル颱風（中心示度（七二〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	サ
シ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	シ
ス	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ス
セ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	セ
ソ	猛烈ナル颱風（中心示度（七一〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ソ
タ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	タ
チ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	チ
ツ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ツ
テ	猛烈ナル颱風（中心示度（七〇〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	テ
ト	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ト
ナ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ナ
ニ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ニ

第十五　暴風（全般暴風報）

符號	種類	文	符號
ア	猛烈ナル颱風ノ發來ス	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ア
イ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	イ
ウ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ウ
エ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	エ
オ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	オ
カ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	カ
キ	猛烈ナル颱風（中心示度（七四〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	キ
ク	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ク
ケ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ケ
コ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	コ
サ	猛烈ナル颱風（中心示度（七三〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	サ
シ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	シ
ス	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ス
セ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	セ
ソ	猛烈ナル颱風（中心示度（七二〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ソ
タ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	タ
チ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	チ
ツ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ツ
テ	猛烈ナル颱風（中心示度（七一〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	テ
ト	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ト
ナ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ナ
ニ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ニ

第十六　暴風及ノ強度（全般暴報）

符號	暴風ノ種類	中心示度（粍）	暴風ノ區域	時	準	符號
ア	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七四〇以上一四一	日本海中部	午前八時	地方	ア
イ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七三〇以上七四〇	日本海南部	〃	〃	イ
ウ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七二〇以上七三〇	日本海北部	〃	〃	ウ
エ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七一〇以上七二〇	樺太西海岸	〃	〃	エ
オ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七〇〇以上七一〇	樺太北部	〃	〃	オ
カ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六九〇以上七〇〇	樺太東海岸	〃	〃	カ
キ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六八〇以上六九〇	北海道北部	〃	〃	キ
ク	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六七〇以上六八〇	北海道東部	〃	〃	ク
ケ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六六〇以上六七〇	千島諸島	〃	〃	ケ
コ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六五〇以下	朝鮮南東部	〃	〃	コ

第十七　暴風（全般暴報）

符號	種類	文	符號
ア	猛烈ナル颱風ノ發來ス	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ア
イ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	イ
ウ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ウ
エ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	エ
オ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	オ
カ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	カ
キ	猛烈ナル颱風（中心示度（七四〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	キ
ク	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ク
ケ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ケ
コ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	コ
サ	猛烈ナル颱風（中心示度（七三〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	サ
シ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	シ
ス	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ス
セ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	セ
ソ	猛烈ナル颱風（中心示度（七二〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ソ
タ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	タ
チ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	チ
ツ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ツ
テ	猛烈ナル颱風（中心示度（七一〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	テ
ト	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ト
ナ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ナ
ニ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ニ

第十八　暴風及ノ強度（全般暴報）

符號	暴風ノ種類	中心示度（粍）	暴風ノ區域	時	準	符號
ア	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七四〇以上一四一	日本海中部	午前八時	地方	ア
イ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七三〇以上七四〇	日本海南部	〃	〃	イ
ウ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七二〇以上七三〇	日本海北部	〃	〃	ウ
エ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七一〇以上七二〇	樺太西海岸	〃	〃	エ
オ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	七〇〇以上七一〇	樺太北部	〃	〃	オ
カ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六九〇以上七〇〇	樺太東海岸	〃	〃	カ
キ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六八〇以上六九〇	北海道北部	〃	〃	キ
ク	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六七〇以上六八〇	北海道東部	〃	〃	ク
ケ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六六〇以上六七〇	千島諸島	〃	〃	ケ
コ	風力ノ最大ノ階ノ大ナル程ヲ動カス程度（自然ノ儘ニ立ツ程）	六五〇以下	朝鮮南東部	〃	〃	コ

第十九　暴風（全般暴報）

符號	種類	文	符號
ア	猛烈ナル颱風ノ發來ス	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ア
イ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	イ
ウ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ウ
エ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	エ
オ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	オ
カ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	カ
キ	猛烈ナル颱風（中心示度（七四〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	キ
ク	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ク
ケ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ケ
コ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	コ
サ	猛烈ナル颱風（中心示度（七三〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	サ
シ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	シ
ス	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ス
セ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	セ
ソ	猛烈ナル颱風（中心示度（七二〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ソ
タ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	タ
チ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	チ
ツ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ツ
テ	猛烈ナル颱風（中心示度（七一〇粍以下）ノ發來ス）	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	テ
ト	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ト
ナ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降ラス	ナ
ニ	〃	暴風雨ニ伴ヒ雹ヲ降

	釜山	測候所	次	邱	測候所	濟州	測候所
平壌							
測候所							
平壌	釜山		次邱			濟州	
0	0		0			0	
釜山	釜山		釜山			釜山

前項保證金ハ閣僚ヲ以テ之ヲ代納スルコトヲ得

第六條ノ二　料金後納ノ取扱ヲ爲シタルトキハ電報一通毎ニ後納取扱料トシテ金三錢ヲ徵收ス

前項料金ノ納付ハ後納電報料金ノ例ニ依ル

第七條　料金後納電報ノ電報料金ヲ期日迄ニ納付セサルトキハ其ノ料金ノ納付ヲ爲ス迄本令ハ大正八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十二年三月總令第四十一號）

本令ハ大正十二年三月二十一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十四年十月總令第九十六號）

本令ハ大正十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮電信線電話線建設令

大正七年七月
制令第十六號

朝鮮電信線電話線建設令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮電信線電話線建設令

電信線電話線建設ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外電信線電話線建設條例ニ依ル但シ同條例中遞信省トアルハ朝鮮總督府、市町村長トアルハ府尹郡守島司トス

電信線電話線建設條例第八條第一項ノ評定ニ不服アル者ハ其ノ評定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一月內ニ地方長官ノ裁定ヲ求ムルコトヲ得

●電信線電話線建設條例

明治二十三年八月
法律第五十八號

脫電信線電話線建設條例ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

電信線電話線建設條例

第一條　遞信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線路ノ建設ニ關シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ建設ニ要スル費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第二條　遞信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線路ノ建設ニ關シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ建設ニ要スル費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第三條　遞信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線路ノ建設ニ關シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ建設ニ要スル費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四條　遞信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線路電話線路ノ測量ヲ爲シタルトキハ電柱ノ建設ヲ要スル場所ニ測標ヲ設置スルコトヲ得

第五條　公衆通信ノ用ニ供スル電信線路電話線路ヲ移轉スル必要アル者ノ請求ニ由リ遞信省ニ於テ之ヲ許可シタルトキハ其移轉費用ハ請求者之ヲ負擔スルモノトス

第六條　遞信省ニ於テ民有地ニ電信線電話線ノ柱木ヲ建設シタルトキハ一本毎ニ一箇年四錢ノ手當金ヲ給與ス但所有者又ハ其他ノ權利者ニ於テ手當金ヲ望マサルトキハ此限ニアラス

第七條　左ニ揭クルモノハ其要求ニ對シ遞信省之ヲ補償スヘシ

一　建築修理及線路測量ノ爲生シタル損害

二　瓦斯支管水道支管下水支管電燈線電力線及私設電信線電話線ヲ移轉シタル費用

三　伐除シタル竹木其他植物ノ代價又ハ移植ノ費用

替造物ノ使用ヲ要スルトキハ所有者及其他ノ權利者之ヲ拒ムコトヲ得ス

官有ノ土地又ハ替造物ハ其所管廳ニ通知シテ之ヲ使用スルコトヲ得

第二條　公衆通信ノ用ニ供スル電信線電話線ノ建設ニ關シ非常ノ場合ニ於テ官廳以外ノ者ナルトキハ第五條ノ承認ヲ取消スコトアルヘシ電報料金後納ノ承認ヲ取消スコトアルヘシ

第三條但書ノ期日迄ニ未納料金ヲ完納セサルトキハ電報料金後納保證金又ハ代納シタル國債ノ賣却代金ヲ以テ其ノ料金ニ充當シ過剩額ハ之ヲ還付シ不足額ハ之ヲ追徵ス

第七條ノ二　電報料金後納ノ取扱ヲ受クルコトヲ廢止セムトスルトキハ其ノ旨當該郵便局ニ屆出ツヘシ但シ電報料金後納帳ノ交付ヲ受ケタル者ハ之ヲ添附スヘシ

附　則

第八條　本規則ハ明治三十九年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九條　從來電報料金後納ノ取扱ヲ受クル者ニシテ本規則實施後モ引續キ其ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ更ニ第二條ノ事項ヲ書面ヲ以テ申出ツヘシ

附　則（大正十年一月總令第十三號）

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ有價證券ヲ以テ後納保證金ニ代納スル者ハ本令施行ノ日ヨリ五年ヲ限リ引續キ其ノ有價證券ヲ以テ後納保證金ニ代フルコトヲ得

附　則（大正十年五月總令第七十七號）

本令ハ大正十年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十四年十月總令第九十五號）

本令ハ大正十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●時間外電報ノ取扱ヲ爲ササル件

大正八年九月
總令第百四十八號

改正　大正二年三月四日、一四年一〇月九日

電報料金後納規則左ノ通定ム

電報料金後納規則

第一條　官廳ハ其ノ發出スル電報ヲ郵便局（（澳大利亞ノ領地ヲ除ク）（オーストラリア及其ノ屬領ヲ含ム））ニ賴信スル場合ニ限リ其ノ電報料金ヲ後納ノ取扱ヲ爲スコトヲ得

第二條　電報料金後納ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ所在地ノ郵便局ニ差出スヘシ

一　電報料金後納取扱開始月日及期間

二　區別（內國電報、（朝鮮又ハ內地ヲ經由スル電報）、（台灣又ハ內地ヲ經由スル電報）、（樺太又ハ內地ヲ經由スル電報）、（關東州又ハ內地ヲ經由スル電報）、（南洋群島又ハ內地ヲ經由スル電報）、（支那又ハ內地ヲ經由スル電報）、（露國又ハ內地ヲ經由スル電報）、（歐洲又ハ內地ヲ經由スル電報）、（米國又ハ內地ヲ經由スル電報）、（其ノ他ノ國又ハ內地ヲ經由スル電報）ノ別

第三條　料金後納電報ノ電報料金ハ當月分ヲ翌月二十日迄ニ其ノ取扱ヲ受クル郵便局ニ通貨ヲ以テ之ヲ納付スヘシ但シ其ノ取扱ヲ受クルコトヲ廢止シ又ハ其ノ承認ヲ取消サレタルトキハ當該郵便局ノ指示スル期日迄ニ之ヲ納付スヘシ

第四條　電報料金ノ後納ノ取扱ヲ受クル者ハ電報料金後納帳ノ交付ヲ當該郵便局ニ請求スルコトヲ得

第五條　官廳以外ノ者ニシテ電報料金後納ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ第二條各號ノ事項及其ノ取扱ヲ要スル理由ヲ記載シタル書面ヲ以テ其ノ取扱ヲ受ケムトスル所在地ノ郵便局ニ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第六條　前條ノ承認ヲ受ケタル者ハ承認郵便局ノ指示ニ從ヒ電報料金後納保證金ヲ納付スヘシ但シ承認郵便局ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

●朝鮮電信線電話線建設條例

明治二十三年八月
法律第五十八號

脫電信線電話線建設條例ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

電信線電話線建設條例

第一條　遞信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線路ノ建設ニ關シ地方長官ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ建設ニ要スル費用ノ全部又ハ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第二條　遞信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線路電話線路ノ測量ヲ爲シタルトキハ電柱ノ建設ヲ要スル場所ニ測標ヲ設置スルコトヲ得

第三條　遞信省ニ於テ民有地ニ電信線電話線ノ柱木ヲ建設シタルトキハ一本毎ニ一箇年四錢ノ手當金ヲ給與ス但所有者又ハ其他ノ權利者ニ於テ手當金ヲ望マサルトキハ此限ニアラス

第四條　遞信省ニ於テ公衆通信ノ用ニ供スル電信線路電話線路ノ測量ヲ爲シタルトキハ電柱ノ建設ヲ要スル場所ニ測標ヲ設置スルコトヲ得

第五條　公衆通信ノ用ニ供スル電信線路電話線路ヲ移轉スル必要アル者ノ請求ニ由リ遞信省ニ於テ之ヲ許可シタルトキハ其移轉費用ハ請求者之ヲ負擔スルモノトス

第六條　遞信省ニ於テ民有地ニ電信線電話線ノ柱木ヲ建設シタルトキハ一本毎ニ一箇年四錢ノ手當金ヲ給與ス但所有者又ハ其他ノ權利者ニ於テ手當金ヲ望マサルトキハ此限ニアラス

第七條　左ニ揭クルモノハ其要求ニ對シ遞信省之ヲ補償スヘシ

一　建築修理及線路測量ノ爲生シタル損害

二　瓦斯支管水道支管下水支管電燈線電力線及私設電信線電話線ヲ移轉シタル費用

三　伐除シタル竹木其他植物ノ代價又ハ移植ノ費用

（昭和十一年十一月總告第六百二十號ハ昭和十二年十一月十五日ヨリ施行）

（昭和十二年十月總告第七百六十八號ハ昭和十二年十一月一日ヨリ施行）

●電報料金後納規則

明治三十九年十月
統令　第四十號

改正　明治四三年一二總令第四七號、大正八年第七七號、一二年一〇號、一四年一〇號

電報料金後納規則左ノ通定ム

電報料金後納規則

第一條　官廳ハ其ノ發出スル電報ヲ郵便局（（澳大利亞ノ領地ヲ除ク）（オーストラリア及其ノ屬領ヲ含ム））ニ賴信スル場合ニ限リ其ノ電報料金ヲ後納ノ取扱ヲ爲スコトヲ得

第二條　電報料金後納ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ所在地ノ郵便局ニ差出スヘシ

一　電報料金後納取扱開始月日及期間

二　區別（內國電報、（朝鮮又ハ內地ヲ經由スル電報）、（台灣又ハ內地ヲ經由スル電報）、（樺太又ハ內地ヲ經由スル電報）、（關東州又ハ內地ヲ經由スル電報）、（南洋群島又ハ內地ヲ經由スル電報）、（支那又ハ內地ヲ經由スル電報）、（露國又ハ內地ヲ經由スル電報）、（歐洲又ハ內地ヲ經由スル電報）、（米國又ハ內地ヲ經由スル電報）、（其ノ他ノ國又ハ內地ヲ經由スル電報）ノ別

第三條　料金後納電報ノ電報料金ハ當月分ヲ翌月二十日迄ニ其ノ取扱ヲ受クル郵便局ニ通貨ヲ以テ之ヲ納付スヘシ但シ其ノ取扱ヲ受クルコトヲ廢止シ又ハ其ノ承認ヲ取消サレタルトキハ當該郵便局ノ指示スル期日迄ニ之ヲ納付スヘシ

第四條　電報料金ノ後納ノ取扱ヲ受クル者ハ電報料金後納帳ノ交付ヲ當該郵便局ニ請求スルコトヲ得

第五條　官廳以外ノ者ニシテ電報料金後納ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ第二條各號ノ事項及其ノ取扱ヲ要スル理由ヲ記載シタル書面ヲ以テ其ノ取扱ヲ受ケムトスル所在地ノ郵便局ニ差出シ其ノ承認ヲ受クヘシ

第六條　前條ノ承認ヲ受ケタル者ハ承認郵便局ノ指示ニ從ヒ電報料金後納保證金ヲ納付スヘシ但シ承認郵便局ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第八條　第七條ノ補償金額ハ雙方協議之ヲ定メ若シ其議相協ハサルトキハ市町村長（未タ市制町村制ヲ實施セサル地方ハ區戶長）ヲシテ之ヲ評定セシム

市町村長ノ評定ニ服セサル者ハ其評定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一箇月以內ニ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

●無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信取締官署

昭和四年十二月
總告第五百三號

改正　昭和六年一〇年三四一號

昭和五年一月一日ヨリ無線電信法第八條ノ二ノ規定ニ依ル電信官署及電話官署ニ私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局及私設無線電信無線電話規則第六十八條ノ規定ニ依ル無線通信監視局トシ其ノ他ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局トス

（昭和十年三月總告第百四十一號ハ昭和十年三月十五日ヨリ施行）

●私設無線電信無線電話規則ニ依ル無線通信監視局

昭和十年三月
總告第百四十二號

昭和十年三月十五日ヨリ私設無線電信無線電話規則第六十八條ノ規定ニ依リ無線通信監視局ヲ左ノ通指定ス

昭和四年朝鮮總督府告示第五百四號ハ昭和十年三月十四日限リ之ヲ廢止ス

京　城無線電信局
釜　山無線電信局
木　浦無線電信局
鎭南浦無線電信局
津無線電信局

●海難報ニ關スル事務ヲ取扱フ電信局所

昭和　六年　六月
總告第三百三十六號

南洋島海峽外一箇所ヘ水底電線ヲ布設シ其ノ線路區域ヲ左ノ通定ム

一　慶尙南道南海郡登川面露梁里ト慶尙南道昆陽郡金陽面露梁洞ト ノ間ハ左圖ノ通陸揚地及海線ノ左右各五十間ノ各位置ニ建設シタル各二本ノ陸標ヲ以テ指定スル二條ノ直線以內

（圖略）

大正二年十二月
總告第三百九十七號

昭和五年一月一日ヨリ無線電信法第八條ノ二ノ規定ニ依ル電信官署及電話官署ニ私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局及私設無線電信無線電話規則第六十八條ノ規定ニ依ル無線通信監視局トシ其ノ他ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局トス

（昭和十年三月總告第百四十一號ハ昭和十年三月十五日ヨリ施行）

●無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信取締官署

昭和四年十二月
總告第五百三號

改正　昭和六年一〇年三四一號

昭和五年一月一日ヨリ無線電信法第八條ノ二ノ規定ニ依ル電信官署及電話官署ニ私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局及私設無線電信無線電話規則第六十八條ノ規定ニ依ル無線通信監視局トシ其ノ他ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ關シテハ朝鮮總督府遞信局トス

（昭和十年三月總告第百四十一號ハ昭和十年三月十五日ヨリ施行）

●私設無線電信無線電話規則ニ依ル無線通信監視局

昭和　十年　三月
總告第百四十二號

昭和十年三月十五日ヨリ私設無線電信無線電話規則第六十八條ノ規定ニ依リ無線通信監視局ヲ左ノ通指定ス

昭和四年朝鮮總督府告示第五百四號ハ昭和十年三月十四日限リ之ヲ廢止ス

京　城無線電信局
釜　山無線電信局
木　浦無線電信局
鎭南浦無線電信局
津無線電信局

昭和十年三月十五日ヨリ私設無線電信無線電話規則第六十八條ノ規定ニ依リ無線通信監視局ヲ左ノ通指定ス

昭和四年朝鮮總督府告示第五百四號ハ昭和十年三月十四日限リ之ヲ廢止ス

京　城無線電信局
釜　山無線電信局
木　浦無線電信局
鎭南浦無線電信局
津無線電信局

昭和十年三月十五日ヨリ私設無線電信無線電話規則第六十八條ノ規定ニ依リ無線通信監視局ヲ左ノ通指定ス

昭和四年朝鮮總督府告示第五百四號ハ昭和十年三月十四日限リ之ヲ廢止ス

京　城無線電信局
釜　山無線電信局
木　浦無線電信局
鎭南浦無線電信局
津無線電信局

●水底電線路區域

明治四十年四月
統告第六十一號

韓國平安北道義州郡光城面新義州ト清國安東縣間鴨綠江布設水底電線區域ハ陸揚柱ノ左右二建設セル陸標ヨリ中流ニ至ル區間トス

（圖略）

明治四十二年三月
統告第二十二號

改正　明治四三年九號、二第六四告號、昭和四七年一一

釜山絕影島間外一箇所ヘ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ該線路區域ヲ左ノ通定ム

一　慶尙南道釜山府南濱町陸揚地ヨリ同府瀨仙町陸揚柱ニ至ル間ハ左圖ノ通各陸揚地ニ建設シタル二本ノ陸標ヲ以テ指示スル直線ノ左右各六十米以內

二　削除

（圖略）

明治四十五年四月
總告第百九十號

水底電信線路若ハ水底電話線路ニシテ其ノ區域ヲ別ニ告示セサルモノハ左圖形式ノ標識ヲ建設シ其ノ見透直線內ヲ以テ之カ保護區域ト定ム

（圖略）

大正二年一月
總告第三號

南洋島海峽外一箇所ヘ水底電線ヲ布設シ其ノ線路區域ヲ左ノ通定ム

一　慶尙南道南海郡浦頭面牛山里ト同郡蓬萊面德興里トノ間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右各五十間ノ位置ニ建設シタル陸標ヲ以テ指示スル二條ノ直線以內

一　釜羅南道高興郡蓬萊面小榮里ト同面新錦里トノ間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右各五十間ノ位置ニ建設シタル陸標ヲ以テ指示スル二條ノ直線以內

一　黃海道瓮津郡東南面沙串里ノ內上洞ト茂島トノ間ハ左圖ノ通陸揚地電線ノ左右ニ建設シタル陸標ヨリ各見透線ノ沖合交叉點ニ至ル兩線以內

（圖略）

大正八年四月
總告第八十九號

改正　大正八年九第二六〇號、九年四第二七號

慶尙南道東萊郡沙下面岩南里ヨリ山口縣豐浦郡豐西土村大字吉見下字中國及長崎縣下縣郡小茂田村大字下ノ原ニ至ル水底電信線路ノ區域左ノ通指定ス

明治四十五年朝鮮總督府告示第二百九十六號及大正八年朝鮮總督府告示第十四號ハ之ヲ廢止ス

巖南水底電線陸揚地ヨリ線條ニ沿ヒ沖合三百間迄ハ各線條ノ左右各二十五間以內、三百間ヲ超過スル部分ハ各線條ノ左右各百間以內電信線布設位置左圖ノ如シ

（圖略）

大正十年七月
總告第百五十一號

長崎縣西彼杵郡茂木村字小立石ヨリ關東州沙河口會星ヶ浦黑石礁ニ至ル水底電信線路ノ區域左ノ通指定ス

小立石陸揚地ノ沖合十三海里ヨリ三百海里迄ハ線條ノ左右各一海里以內夫ヨリ黑石礁陸揚地ヲ距ル六海里迄ハ線條ノ左右三海里以內

電信線布設位置左圖ノ如シ

（圖略）

大正十一年七月
總告第百八十六號

慶尙南道統營郡龍南面長坪里ト同道同郡沙等面猿潮里トノ間見乃梁海峽ヘ左圖ノ通水底電信線ヲ布設シ線條ノ左右各五十間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

大正十三年九月
總告第百九十號

平安北道義州郡古津面梁元洞ト同道龍川郡楊下面立岩洞トノ間三橋川ヘ左圖ノ通水底電信線ヲ布設シ線條ノ左右各十五間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

昭和二年六月
總告第百八十四號

長崎縣下縣郡與良村大字豆酘字護藻及同縣同郡竹敷村大字尾崎字棚木ヨリ朝鮮慶尙南道統營郡長木面農所里ニ至ル左圖水底電線ノ豆酘陸揚地ヨリ沖合二海里迄ハ線條ノ左右各二十間以內、尾崎陸揚地ヨリ沖合二海里迄ハ線條ノ左右各五十間以內、長木面陸揚地ヨリ同灣口嶼秀末計得岩見通シ線迄ハ各線條ノ左右各五十間以內、其ノ他ハ各線條ノ左右各百間以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

（圖略）

昭和二年六月
總告第百八十五號

朝鮮慶尙南道統營郡亘濟島慶池末、同昌原郡龜山面深里山間左圖水底電線ハ各線條ノ左右各五十間以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

（圖略）

昭和四年四月
總告第百二十六號

慶尙南道金海郡下東面月村里ト同道梁山郡上西面曾山里トノ間洛東江ニ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ線條ノ左右各十五間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

昭和四年四月
總告第百二十五號

慶尙南道統營郡龍南面長坪里ト同道同郡沙等面猿潮里トノ間見乃梁海峽ヘ左圖ノ通水底電信線ヲ布設シ線條ノ左右各五十間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

大正十三年九月
總告第百九十號

平安北道義州郡古津面梁元洞ト同道龍川郡楊下面立岩洞トノ間三橋川ヘ左圖ノ通水底電信線ヲ布設シ線條ノ左右各十五間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

昭和二年六月
總告第百八十四號

長崎縣下縣郡與良村大字豆酘字護藻及同縣同郡竹敷村大字尾崎字棚木ヨリ朝鮮慶尙南道統營郡長木面農所里ニ至ル左圖水底電線ノ豆酘陸揚地ヨリ沖合二海里迄ハ線條ノ左右各二十間以內、尾崎陸揚地ヨリ沖合二海里迄ハ線條ノ左右各五十間以內、長木面陸揚地ヨリ同灣口嶼秀末計得岩見通シ線迄ハ各線條ノ左右各五十間以內、其ノ他ハ各線條ノ左右各百間以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

（圖略）

昭和二年六月
總告第百八十五號

朝鮮慶尙南道統營郡亘濟島慶池末、同昌原郡龜山面深里山間左圖水底電線ハ各線條ノ左右各五十間以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

（圖略）

昭和四年四月
總告第百二十六號

慶尙南道金海郡下東面月村里ト同道梁山郡上西面曾山里トノ間洛東江ニ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ線條ノ左右各十五間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

昭和四年八月
總告第二百七十五號

成鏡南道成興郡洲西面上里トノ間城川江ニ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ線條ノ上流十五間下流十間以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

昭和七年四月
總告第百九十三號

全羅南道務安郡二老面三鶴島ト同道靈岩郡三湖面龍塘里ト間ニ左圖ノ通水底電線ヲ布設シ線條ノ左右ニ建設シタル各二本ノ陸標ヲ以テ指定スル二線ノ直線以內ヲ線路區域ト定ム

（圖略）

昭和八年七月
總告第三百四十號

長崎縣下縣郡鰐知村大字尾崎字棚木、朝鮮慶尙南道東萊郡沙下面岩南里間ニ左圖ノ通水底電話線一條ヲ新設シ棚木陸揚地ヨリ沖合一海里迄及岩南陸揚地ヨリ沖合二海里迄ハ共ニ線條ノ左右各五十米以內其ノ他ハ線條ノ左右各三百米以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

昭和八年十月
總告第四百九十三號

山口縣豐浦郡豐西村大字室津下字河原、朝鮮慶尙南道東萊郡龍潮間ニ左圖ノ通水底電線一條ヲ布設シ室津下陸揚地ヨリ沖合九百九米迄ハ線條ノ左右各三十六米以內龍潮陸揚地ヨリ沖合千二百七十三米迄ハ線條ノ左右各三十六米以內其ノ他ハ線條ノ左右各四十二米以內ヲ以テ線路區域ト指定ス

●軍用電氣通信法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

軍用電氣通信法

昭和九年三月
法律第三十九號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル軍用電氣通信法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

軍用電氣通信法

第一條　本法ニ於テ軍用電氣通信トハ軍用ノ電信、電話、無線電信及無線電話竝ニ高周波電流ヲ使用シ通報符號ヲ爲スモノヲ謂フ

第二條　軍用電氣通信ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ管理ス

第三條　軍用電氣通信ハ要塞、軍港其ノ他軍事上特ニ必要ナル場所ニ之ヲ施設ス

第四條　軍用電氣通信ハ私設ノ電氣通信ニ之ヲ連接スルコトヲ得

軍用電氣通信ノ線路ハ電氣導體ハ私設ノ電氣通信又ハ電氣事業ノ線路ノ電氣導體ノ支持物ニ之ヲ添架スルコトヲ得

第五條　軍用電氣通信ノ線路ノ建設、保守又ハ測量ノ爲必要アルトキハ軍事官廳ハ他人ノ土地ニ立入リ又ハ之ニ測量標ヲ設置スルコトヲ得但シ日沒ヨリ日出迄ノ間ニ於テハ急迫ノ場合ニ非ザレバ占有者ノ意ニ反シテ邸宅又ハ構內ニ立入ルコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ依リ邸宅又ハ構內ニ立入ル場合ニハ占有者ニ豫メ之ヲ通知スベシ

第六條　軍用電氣通信ノ線路ハ必要アルトキハ他人ノ土地又ハ建造物ニ之ヲ建設スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ土地又ハ建造物ノ所有者其ノ他ノ權利者ニ豫メ之ヲ通知スベシ

前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地又ハ建造物ニ軍用電氣通信ノ線路ノ電氣導體ノ支持物ヲ建設シタルトキハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ土地又ハ建造物ノ使用料ヲ支拂フ

第七條　軍用船舶ハ電氣通信ノ線路ノ建設又ハ通信ニ障碍アル竹木其ノ他ノ植物ハ已ムヲ得ザルモノニ限リ軍事官廳ハ其ノ伐除若ハ移植ヲ所有者其ノ他ノ權利者ニ對シ請求シ又ハ本令ハ軍用電氣通信法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

自ラ之ヲ伐除スルコトヲ得

第八條　左ニ揭グルモノハ政府之ヲ拘償ス

一　第四條第二項ノ規定ニ依ル添架ノ爲電氣導體ノ支持物ニ現ニ生ジタル損害

二　第五條第一項ノ規定ニ依ル立入又ハ測量標設置ノ爲現ニ生ジタル損害

三　第六條第一項ノ規定ニ依ル線路建設ノ爲土地又ハ建造物ニ現ニ生ジタル損害

四　前條ノ規定ニ依リ代除シタル植物ノ價額又ハ同條ノ規定ニ依ル植物ノ移植ノ費用

前項ノ規定ニ依ル補償金額ハ陸軍大臣又ハ海軍大臣之ヲ決定ス

前項ノ規定ニ依ル決定ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月以內ニ通常裁判所ニ出訴スルコトヲ得

第九條　正當ノ事由ナクシテ第四條第一項ノ規定ニ依ル連接又ハ同條第二項ノ規定ニ依ル添架ヲ拒ミタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條　軍用電氣通信ニ依ル通信ノ祕密ヲ侵シ又ハ通信ノ祕密ヲ漏泄シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

軍用電氣通信ノ事務ニ從事シ又ハ從事シタル者其ノ職務ニ關シ知得タル通信ノ祕密ヲ漏泄シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ規定ハ刑法第二編第三章外患ニ關スル罪、陸軍刑法第二編第一章叛亂ノ罪及海軍刑法第二編第一章叛亂ノ罪ニ關スル規定竝ニ軍機保護法ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第十一條　軍用電氣通信ニ依ル電報ヲ正當ノ事由ナクシテ開披、毀匿若ハ故棄シ又ハ受取人ニ非ザル者ニ交付シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第二百五十八條ニ該當スル場合ハ刑法ノ例ニ依ル

第十二條　軍用電氣通信ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ通信ノ取扱ヲ遲延セシメタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十三條　軍用電氣通信ノ事務ニ從事スル者ノ職務ニ關シ故意ニ通信ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十四條　軍用電氣通信ニ依ル通信ヲ妨害シ又ハ妨害スベキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　軍用電氣通信ノ建設、保守、測量又ハ巡視ヲ妨害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條　軍用電氣通信ノ線路ノ電氣導體又ハ其ノ支持物ニ物品ヲ懸ケ又ハ之ヲ汚穢シタル者ハ科料ニ處ス

軍用電氣通信ノ線路ノ測量標ヲ毀棄又ハ汚穢シタル者亦前項ニ同ジ

第十七條　陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ指定シタル軍用ノ水底電氣通信線路ノ區域內ニ於テ船舶ヲ繫留シ、漁業採藻ヲ爲シ若ハ土砂ヲ掘鑿シ又ハ軍用ノ水底電氣通信線路ノ號標ニ舟筏ヲ繫キ若ハ其ノ號標ヲ毀棄シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

軍用ノ水底電氣通信線路ノ布設若ハ修理ノ爲其ノ位置ヲ示ス浮標又ハ其ノ布設若ハ修理ニ從事スル船舶ヨリ陸軍大臣又ハ海軍大臣ノ指定シタル距離以內ニ於テ前項ノ行爲ヲ爲シ又ハ航行シタル者亦前項ニ同ジ

第十八條　第十條、第十一條、第十三條乃至第十五條及前條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第十九條　軍用電氣通信ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ公衆通信ノ用ニ供スルコトヲ得

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

軍用電信法ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ニ軍用電信法ノ規則ヲ適用スベキ人ニ非ザル者ニ交付シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第二百五十八條ニ該當スル場合ハ刑法ノ例ニ依ル

（昭和九年十月勅令第三百九號ヲ以テ昭和九年十一月一日ヨリ施行）

●軍用電氣通信ヲ公衆通信ノ用ニ供スルノ件

昭和九年十月
勅令第三百十二號

第一條　軍用電氣通信法第五條第二項又ハ同法第六條第一項ノ規定ニ依ル通知ハ邸宅若ハ構內ニ立入リ又ハ線路ヲ建設スベキ日ノ三日前迄ニ之ヲ爲シタル但シ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

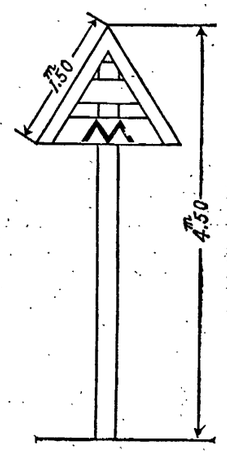
第二條　軍用電氣通信法第五條第二項ノ規定ニ依リ他人ノ邸宅又ハ構內ニ立入ルベキ者陸軍又ハ海軍ノ制服ヲ着用セザルトキハ其ノ氏名、身分等ヲ記載シタル部隊（艦船）長ノ證明書ヲ携帶スベシ

第三條　軍用電氣通信法第六條第二項ニ規定スル使用料ハ當該土地又ハ建造物ノ所有者ニ對シ其ノ請求ニ依リ之ヲ支拂フ

第四條　前條ノ規定ニ依リ支拂フベキ使用料ハ建設シタル支持物一箇ニ付一年四錢トス但シ二本以上ノ脚ヲ有スル支持物ヲ建設シタル場合ニ於テハ當該支持物一箇ニ付一年四錢以內ノ增額ヲ爲スコトアルベシ

第五條　軍用電氣通信法第十七條第一項ノ規定ニ依リ指定シタル軍用ノ水底電氣通信線路ノ區域及方向ハ其ノ陸揚地ニ於ケル線路ノ兩側ニ左圖ノ號標ヲ設置シ之ヲ表示ス

（左圖）



（海軍大臣指定ノ場合ハ ⚓ ノ符號ヲ附ス）

M ノ幅約五十糎、高約二十五糎、字徑約四糎トシ黑色トス

⚓ ノ幅約二十糎、高約二十五糎トシ黑色トス

本令ハ昭和九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

第六款　外國電信

●外國電報規則

昭和八年十二月
遞信省第五十六號

既正　昭和一〇年三第二〇號、一〇年四第一二號、一〇年一一第四四號、一一年三第一〇號、一一年六第一七號、一一年九第三四號、一二年一第一七號、一二年三第一一號、一二年四第二六號、一三年三第一八號、第二四號

外國電報規則左ノ通定ム

外國電報規則目次

第一章　總則
第二章　書法
第三章　料金
第四章　類信
第五章　交付
第六章　電線託送
第七章　特別電報
第八章　新聞電報
第九章　低減料金ノ電報
第十章　和文電報
附則

外國電報規則

第一章　總則

第一條　外國電報トハ國際電氣通信條約及同附屬電信規則（以下「國際通信條約」ト稱ス）又ハ特別ノ國際通信協定ニ依ル電報ヲ謂フ

第二條　外國電報ハ國際電氣通信條約及國際電信規則ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ取扱フ

第三條　國際電氣通信條約及國際電信規則ニ基キ外國主管廳ノ定ムル臨寇規定亦項及外國電報ノ取扱ニ關スル制限ニシテ必要アルモノハ之ヲ告示ス

第二章　書法

第四條　外國電報ニ使用スル文字ハ羅馬字ニ、數字ハ亞剌比亞數字又ハ羅馬數字ニ限ル

第五條　日本語ヲ普通語ノ外國電報ニ使用スルコトヲ得ル國語ト指定ス

第六條　全部又ハ一部暗語ヲ以テ記載シタル私報ハ發信及著信ニ於テモ之ヲ取扱フ

第七條　外國電報ニ使用スル文字ハ羅馬字ニ、數字ハ亞剌比亞數字又ハ羅馬數字ニ限ル

第八條　傳送前發信人ガ取消シタル外國電報ニ關シ國際電信規則第五十條第二項ノ規定ニ依リ控除スベキ料金ハ五錢トス

第九條　外國電報ノ寫眞原本料ハ謄本一枚ニ付一圓トス

第十條　外國電報ノ寫眞謄本料ハ一通ニ付五錢トス

第三章　料金

第十一條　外國電報ノ時間外料ハ一通ニ付三十錢トス

第十二條　傳送前發信人ガ取消シタル外國電報ニ關シ國際電信規則第五十條第二項ノ規定ニ依リ控除スベキ料金ハ五錢トス

第十三條　來著外國電報ノ別使配達料ハ別ニ告示スル場合ヲ除クノ外一通ニ付一圓トス

第十四條　外國電報ノ閱覽料ハ一通ニ付五錢トス

外國電報ノ寫眞謄本料ハ謄本一枚ニ付一圓トス

第十五條　外國電報ノ受取證ハ發信人ノ請求ニ依リ電報一通毎ニ之ヲ交付ス其ノ料金ハ受取證一通ニ付五錢トス

第十六條　受信人ノ請求スル反覆課金非務報ハ變改ニシテ其ノ國語ノ用法ニ反スルモノアルトキハ著信局ニ於テ正當ノ用法ニ從ヒテ語數ヲ計算シ不足料金ハ之ヲ受信人ヨリ徵收ス

第二十九條　電報規則第四十二條、第四十四條及後廻新聞電報ノ一語ノ徵收料金ニ一錢未滿ノ端數ヲ生ズルトキハ之ヲ切捨ツ

第三十條　外國電報ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外金「フラン」ノ邦貨相當額ヲ第二項ノ方法ニ依リ換算シ之ヲ定ム

一年ヲ四期ニ分チ一月一日、四月一日、七月一日及十月一日ニ初マル毎三月ヲ各一期トシ各期ニ適用スベキ一金「フラン」ノ邦貨相當額ハ各其ノ前期中（最初ノ二月及最後ノ月ノ初ノ十五日間）ニ於ケル一米貨「ダラー」ノ邦貨相當額（外國郵便爲替ノ換算ニ適用スベキ外國爲替換算額合計振ノモノニ依リタル額）ノ平均シタルモノノ千分ノ三百二十七（一錢未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ）ヲ前項ニ依リ算定シタル一金「フラン」ニ對スル邦貨相當額ハ別ニ之ヲ告示ス

第十條　發信人又ハ受信人ノ請求ニ依リ帝國電信系（關東州及南滿洲鐵道株式會社ニ在ル電信系ヲ含ム）ニ在ル電信官署ニ於テ交換セラルル外國電報ノ料金ハ一語ニ付六錢トス

第十一條　外國電報ノ時間外料ハ一通ニ付三十錢トス

第十二條　傳送前發信人ガ取消シタル外國電報ニ關シ國際電信規則第五十條第二項ノ規定ニ依リ控除スベキ料金ハ五錢トス

第十三條　來著外國電報ノ別使配達料ハ別ニ告示スル場合ヲ除クノ外一通ニ付一圓トス

第十四條　外國電報ノ閱覽料ハ一通ニ付五錢トス

外國電報ノ寫眞謄本料ハ謄本一枚ニ付一圓トス

第十五條　外國電報ノ受取證ハ發信人ノ請求ニ依リ電報一通毎ニ之ヲ交付ス其ノ料金ハ受取證一通ニ付五錢トス

第十六條　受信人ノ請求スル反覆課金非務報ハ變改ニシテ其ノ國語ノ用法ニ反スルモノアルトキハ著信局ニ於テ正當ノ用法ニ從ヒテ語數ヲ計算シ不足料金ハ之ヲ受信人ヨリ徵收ス

第二十九條　電報規則第四十二條、第四十四條及後廻新聞電報ノ一語ノ徵收料金ニ一錢未滿ノ端數ヲ生ズルトキハ之ヲ切捨ツ

第十九條　外國電報ノ料金ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外金「フラン」ノ邦貨相當額ヲ第二項ノ方法ニ依リ換算シ之ヲ定ム

第二十條　一、二節郵便局又ハ電信局（船舶電信局ヲ除ク）ニ在ル電信官吏ノ局名ヲ冠セル一語ノ料金ニ一錢ヲ加ヘ通貨ヲ以テ之ヲ納付スベシ

第二十一條　前條ニ掲グル局ニ外國電報ヲ類信セントスル者ハ通貨ヲ以テ其ノ料金ヲ發信局ニ豫納スルコトヲ得

前項ノ豫納金ハ豫納一回ニ付百圓（還額ニ付テハ百郵ヲ下ルコトヲ得ズ

第二十二條　發信局ニ於テ新ニ前條ノ規定ニ依ル豫納金ヲ受領シタルトキハ其ノ金額ヲ記入シタル豫納金通帳ヲ發信人ニ交付ス再度以後ノ豫納ハ該通帳交付局ニ之ヲ爲シ通帳ニ其ノ金額ヲ記入ス

第二十三條　豫納金通帳ニ依リ外國電報ヲ發信セントスル者ハ通帳ト共ニ之ヲ該通帳交付局ニ於テ前條ノ規定ヲ準用ス

第二十四條　豫納金通帳ヲ有スル者該通帳交付局ニ於テハ該豫納金ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第二十五條　豫納金通帳ヲ汚損、毀損又ハ亡失シタルトキハ該通帳交付局ニ對シ之ガ再度交付ヲ請求スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ通帳一冊ニ付二十錢ヲ納付スベシ

第二十六條　外國電報ニ關スル料金ノ還付ノ請求ニ對シテハ料金受領シタル各號ノ事項ヲ變更セントスルトキハ申請書ヲ差出シ還信大臣ノ許可ヲ受クベシ

第二十七條　外國電報ニ關スル料金ノ還付ハ第二十條ノ通貨ヲ以テス

第二十八條　來著外國電報ノ普通語ノ部分中ニ發信國ノ國語以外ノ國語ノ語辭ノ簡集又ハ變改ニシテ其ノ國語ノ用法ニ反スルモノアルトキハ著信局ニ於テ正當ノ用法ニ從ヒテ語數ヲ計算シ不足料金ハ之ヲ受信人ヨリ徵收ス

第三十條　外國電報ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外金「フラン」ノ邦貨相當額ヲ第二項ノ方法ニ依リ換算シ之ヲ定ム

第三十一條　外國電報ヲ電報取扱時間外ニ類信セントスルトキハ時間外ノ取扱ヲ爲スベシ

前項ノ場合ニ於テハ時間外料ヲ納付スベシ但シ左ノ電報ニ付テハ之ヲ納付スルコトヲ要セズ

一　航海中又ハ航空中ノ人命ノ安全ニ關スル電報

二　官報

三　局報

四　至急私報

五　新聞電報

第三十二條　電報規則第二十五條、第五十條、第五十一條及第五十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三十三條　來著外國電報ノ本人直渡ハ之ヲ取扱フ

第三十四條　來著外國電報ノ無線交付ハ之ヲ取扱フ

第三十五條　「郵便局留置」又ハ「電信局留置」ナル課金指定ヲ有スル來著外國電報ニ對シテハ配達特別附加料金ヲ徵收ス

第三十六條　電報直配達區域外ニ宛テタル外國電報ニシテ配達方ノ指定アルモノノ受信人ハ郵便若ハ特留郵便ノ指定アルモノノ受信人ハ豫メ著信局ニ請求シテ別使ニ依リ其ノ電報ノ配達ヲ受クルコトヲ得但シ之ヲ受クルトキハ其ノ配達料ヲ納ムベシ

第三十七條　電報規則第六十一條乃至第六十五條、第六十七條、第百五十九條乃至第百六十三條、第百六十五條及第百六十七條乃至第百七十一條、第百七十三條、第百七十五條及第百七十七條乃至第百七十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三十八條　電報規則第百七十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス但シ同條第二項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十九條　電報規則第百七十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十條　電報規則第百七十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十一條　電報規則第百七十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十二條　電報規則第百八十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十三條　電報規則第百八十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十四條　電報規則第百八十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十五條　電報規則第百八十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十六條　電報規則第百八十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十七條　電報規則第百八十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十八條　電報規則第百八十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第四十九條　電報規則第百八十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十條　電報規則第百八十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十一條　電報規則第百八十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十二條　電報規則第百九十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十三條　電報規則第百九十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十四條　電報規則第百九十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十五條　電報規則第百九十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十六條　電報規則第百九十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十七條　電報規則第百九十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十八條　電報規則第百九十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第五十九條　電報規則第百九十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十條　電報規則第百九十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十一條　電報規則第百九十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十二條　電報規則第二百條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十三條　電報規則第二百一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十四條　電報規則第二百二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十五條　電報規則第二百三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十六條　電報規則第二百四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十七條　電報規則第二百五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十八條　電報規則第二百六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第六十九條　電報規則第二百七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十條　電報規則第二百八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十一條　電報規則第二百九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十二條　電報規則第二百十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十三條　電報規則第二百十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十四條　電報規則第二百十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十五條　電報規則第二百十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十六條　電報規則第二百十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十七條　電報規則第二百十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十八條　電報規則第二百十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第七十九條　電報規則第二百十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十條　電報規則第二百十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十一條　電報規則第二百十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十二條　電報規則第二百二十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十三條　電報規則第二百二十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十四條　電報規則第二百二十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十五條　電報規則第二百二十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十六條　電報規則第二百二十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十七條　電報規則第二百二十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十八條　電報規則第二百二十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第八十九條　電報規則第二百二十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十條　電報規則第二百二十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十一條　電報規則第二百二十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十二條　電報規則第二百三十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十三條　電報規則第二百三十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十四條　電報規則第二百三十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十五條　電報規則第二百三十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十六條　電報規則第二百三十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十七條　電報規則第二百三十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十八條　電報規則第二百三十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第九十九條　電報規則第二百三十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百條　電報規則第二百三十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百一條　電報規則第二百三十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二條　電報規則第二百四十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三條　電報規則第二百四十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四條　電報規則第二百四十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五條　電報規則第二百四十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六條　電報規則第二百四十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七條　電報規則第二百四十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八條　電報規則第二百四十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九條　電報規則第二百四十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十條　電報規則第二百四十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十一條　電報規則第二百四十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十二條　電報規則第二百五十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十三條　電報規則第二百五十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十四條　電報規則第二百五十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十五條　電報規則第二百五十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十六條　電報規則第二百五十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十七條　電報規則第二百五十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十八條　電報規則第二百五十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百十九條　電報規則第二百五十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十條　電報規則第二百五十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十一條　電報規則第二百五十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十二條　電報規則第二百六十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十三條　電報規則第二百六十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十四條　電報規則第二百六十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十五條　電報規則第二百六十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十六條　電報規則第二百六十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十七條　電報規則第二百六十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十八條　電報規則第二百六十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　電報規則第二百六十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十條　電報規則第二百六十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十一條　電報規則第二百六十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十二條　電報規則第二百七十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十三條　電報規則第二百七十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十四條　電報規則第二百七十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十五條　電報規則第二百七十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十六條　電報規則第二百七十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十七條　電報規則第二百七十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十八條　電報規則第二百七十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百三十九條　電報規則第二百七十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十條　電報規則第二百七十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十一條　電報規則第二百七十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十二條　電報規則第二百八十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十三條　電報規則第二百八十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十四條　電報規則第二百八十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十五條　電報規則第二百八十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十六條　電報規則第二百八十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十七條　電報規則第二百八十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十八條　電報規則第二百八十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百四十九條　電報規則第二百八十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十條　電報規則第二百八十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十一條　電報規則第二百八十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十二條　電報規則第二百九十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十三條　電報規則第二百九十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十四條　電報規則第二百九十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十五條　電報規則第二百九十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十六條　電報規則第二百九十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十七條　電報規則第二百九十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十八條　電報規則第二百九十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百五十九條　電報規則第二百九十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十條　電報規則第二百九十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十一條　電報規則第二百九十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十二條　電報規則第三百條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十三條　電報規則第三百一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十四條　電報規則第三百二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十五條　電報規則第三百三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十六條　電報規則第三百四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十七條　電報規則第三百五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十八條　電報規則第三百六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百六十九條　電報規則第三百七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十條　電報規則第三百八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十一條　電報規則第三百九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十二條　電報規則第三百十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十三條　電報規則第三百十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十四條　電報規則第三百十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十五條　電報規則第三百十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十六條　電報規則第三百十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十七條　電報規則第三百十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十八條　電報規則第三百十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百七十九條　電報規則第三百十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十條　電報規則第三百十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十一條　電報規則第三百十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十二條　電報規則第三百二十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十三條　電報規則第三百二十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十四條　電報規則第三百二十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十五條　電報規則第三百二十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十六條　電報規則第三百二十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十七條　電報規則第三百二十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十八條　電報規則第三百二十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百八十九條　電報規則第三百二十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十條　電報規則第三百二十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十一條　電報規則第三百二十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十二條　電報規則第三百三十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十三條　電報規則第三百三十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十四條　電報規則第三百三十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十五條　電報規則第三百三十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十六條　電報規則第三百三十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十七條　電報規則第三百三十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十八條　電報規則第三百三十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第百九十九條　電報規則第三百三十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百條　電報規則第三百三十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百一條　電報規則第三百三十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二條　電報規則第三百四十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三條　電報規則第三百四十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四條　電報規則第三百四十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五條　電報規則第三百四十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六條　電報規則第三百四十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七條　電報規則第三百四十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八條　電報規則第三百四十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九條　電報規則第三百四十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十條　電報規則第三百四十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十一條　電報規則第三百四十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十二條　電報規則第三百五十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十三條　電報規則第三百五十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十四條　電報規則第三百五十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十五條　電報規則第三百五十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十六條　電報規則第三百五十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十七條　電報規則第三百五十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十八條　電報規則第三百五十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百十九條　電報規則第三百五十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十條　電報規則第三百五十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十一條　電報規則第三百五十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十二條　電報規則第三百六十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十三條　電報規則第三百六十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十四條　電報規則第三百六十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十五條　電報規則第三百六十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十六條　電報規則第三百六十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十七條　電報規則第三百六十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十八條　電報規則第三百六十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百二十九條　電報規則第三百六十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十條　電報規則第三百六十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十一條　電報規則第三百六十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十二條　電報規則第三百七十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十三條　電報規則第三百七十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十四條　電報規則第三百七十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十五條　電報規則第三百七十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十六條　電報規則第三百七十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十七條　電報規則第三百七十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十八條　電報規則第三百七十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百三十九條　電報規則第三百七十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十條　電報規則第三百七十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十一條　電報規則第三百七十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十二條　電報規則第三百八十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十三條　電報規則第三百八十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十四條　電報規則第三百八十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十五條　電報規則第三百八十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十六條　電報規則第三百八十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十七條　電報規則第三百八十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十八條　電報規則第三百八十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百四十九條　電報規則第三百八十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十條　電報規則第三百八十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十一條　電報規則第三百八十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十二條　電報規則第三百九十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十三條　電報規則第三百九十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十四條　電報規則第三百九十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十五條　電報規則第三百九十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十六條　電報規則第三百九十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十七條　電報規則第三百九十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十八條　電報規則第三百九十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百五十九條　電報規則第三百九十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十條　電報規則第三百九十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十一條　電報規則第三百九十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十二條　電報規則第四百條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十三條　電報規則第四百一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十四條　電報規則第四百二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十五條　電報規則第四百三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十六條　電報規則第四百四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十七條　電報規則第四百五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十八條　電報規則第四百六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百六十九條　電報規則第四百七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十條　電報規則第四百八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十一條　電報規則第四百九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十二條　電報規則第四百十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十三條　電報規則第四百十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十四條　電報規則第四百十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十五條　電報規則第四百十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十六條　電報規則第四百十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十七條　電報規則第四百十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十八條　電報規則第四百十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百七十九條　電報規則第四百十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十條　電報規則第四百十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十一條　電報規則第四百十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十二條　電報規則第四百二十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十三條　電報規則第四百二十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十四條　電報規則第四百二十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十五條　電報規則第四百二十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十六條　電報規則第四百二十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十七條　電報規則第四百二十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十八條　電報規則第四百二十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百八十九條　電報規則第四百二十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十條　電報規則第四百二十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十一條　電報規則第四百二十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十二條　電報規則第四百三十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十三條　電報規則第四百三十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十四條　電報規則第四百三十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十五條　電報規則第四百三十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十六條　電報規則第四百三十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十七條　電報規則第四百三十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十八條　電報規則第四百三十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第二百九十九條　電報規則第四百三十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百條　電報規則第四百三十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百一條　電報規則第四百三十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百二條　電報規則第四百四十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百三條　電報規則第四百四十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百四條　電報規則第四百四十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百五條　電報規則第四百四十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百六條　電報規則第四百四十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百七條　電報規則第四百四十五條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百八條　電報規則第四百四十六條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百九條　電報規則第四百四十七條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百十條　電報規則第四百四十八條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百十一條　電報規則第四百四十九條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百十二條　電報規則第四百五十條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百十三條　電報規則第四百五十一條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百十四條　電報規則第四百五十二條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百十五條　電報規則第四百五十三條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

第三百十六條　電報規則第四百五十四條ノ規定ハ外國電報ニ之ヲ準用ス

二　佐世保青島間海底線ヲ經由シテ帝國電信系ト青島、四方又ハ滄口ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

三　大阪上海間無線電信連絡ヲ經由シテ帝國電信系ト上海ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

四　大阪天津間無線電信連絡ヲ經由シテ帝國電信系ト天津及北平ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

第七十二條　和文電報ニ付テハ總名宛通知及背留郵便ノ取扱ヲ爲サズ

第七十三條　和文電報ノ特法ニ付テハ電報規則第八條、第九條第一項及第三項、第十條乃至第十七條及第十八條ノ規定ヲ準用ス

和文電報ニ用ウル無線交付ノ課金指定ノ略語ハ「ナレ」トス

和文親賀電報ノ課金指定ノ略語ハ「マム」トス

本文金部數字ヲ以テ記載シタル和文電報ハ其ノ名宛ヲ中國電報新編ニ依リ記載スルコトヲ得

第七十四條　和文電報ノ名宛ハ其ノ字數ニ拘ラズ之ヲ一語ト計算ス連記又ハ返事シタル名宛ハ各之ヲ一語ト計算ス

第二項以下ノ名宛ニ付亦同ジ

第七十五條　左ニ掲グルモノハ之ヲ通算ジ各七字又ハ其ノ端數ヲ一語トス

一　課金指定

二　本文

三　發信人ノ署名

第七十六條　和文電報ノ字數計算ニ付テハ電報規則第二十七條ノ規定ヲ準用ス

第七十七條　和文電報ニ對シテハ一通ノ課金語數三語ニ滿タザル場合ト雖三語分ノ料金ヲ課ス

和文親賀電報ニ對スル課金語數ノ最低限ハ國際電信規則第七十七條第八項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ五語トス

第七十八條　照校ニ非ザル和文電報ニ付テハ誤謬又ハ脫落ニ因リ目的ヲ達スルコトヲ得ザリシ場合ト雖其ノ料金ヲ還付セズ

第七十九條　和文電報ハ料金完納ノ郵便ヲ以テ在上海帝國電信官署ニ頼信スルコトヲ得

此ノ場合ニ於テハ電報規則第五十三條第一項及第五十六條ノ規定ヲ準用ス

第八十條　前條ノ規定ニ依リ在上海帝國電信官署ニ郵便ヲ以テ頼信スル和文電報ニ關スル金額ヲ納付セシムルコトヲ得但シ本邦ノ郵便切手ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得ル場合ニ於ケル料金ハ帝國內ニ於テ同種ノ電報ニ對シ適用スル料金ニ依ル

第八十一條　和文電報ノ頼信及交付ニ付テハ電報規則第百七條、第百八條、第百十四條及第百十五條ノ規定ヲ準用ス

第八十二條　返信料ヲ前納スルトキハ關係指定ノ次ニ其ノ語數ヲ附記スベシ

第八十三條　電信受信報知料ハ二語ノ通常電報料金トシ郵便受信報知料ハ五錢トス

第八十四條　同文電報ニ付テハ電報規則第百十九條第一項、第百條及第百二條ノ規定ヲ準用ス

同文電報ニハ其ノ原信ニ同文ト指定シ一括通數ヲ附記スベシ

第八十五條　受信人ノ請求ニ依ル反覆ノ場合ニ於テ和文電報ノ發信局名ハ其ノ字數ニ拘ラズ之ヲ一語ト計算シ本文及發信人ノ署名ハ之ヲ通算シ各七字又ハ其ノ端數ヲ一語トス

第八十六條　和文電報ニ關スル往信又ハ返信ハ四錢背留郵便ノ場合ハ十四錢トス但シ在上海若ハ芝罘帝國電信官署ヨリ發スル往信若ハ滄口ニ於ケル中國電報局ヨリ發スル返信ニ付テハ普通郵便ノ場合ハ五錢背留郵便ノ場合ハ十五錢トス

第八十七條　和文電報ニ付本章ニ規定ナキ事項ハ一般外國電報ノ例ニ依ル

附　則

第八十八條　本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十二年六月遞信省令第二十六號外國電報規則及大正十五年十二月遞信省令第五十四號「クリスマス」及新年親賀特別外國電報規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル外國電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第八十九條　外國電報ノ料金前納還付ノ場合ニ於ケル料金ノ計算ニ付テハ電報規則第百十六條ノ規定ヲ準用ス

第九十條　本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●日滿電報規則

昭和八年八月
遞令第三十五號

改正　昭和九年三月第三七號、九年十二月第七二號、一〇年三月第一二號、一〇年十二月第四五號、一一年十二月第六三號、一二年四月第二七號、一二年九月第六八號、一二年十二月第一〇七號

日滿電報規則左ノ通定ム

日滿電報規則

第一條　日滿電報トハ帝國政府ノ電信系及滿洲電信電話株式會社ノ電信系ニ依リ左ノ各地間ニ發著スル電報ヲ謂フ

一　本邦內地、朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋ヤツプ島ト關東州又ハ滿洲國トノ間

二　前號ニ揭グル各地ト芝罘トノ間

第二條　日滿電報ニ關シテハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外內國電報ニ關スル規定ヲ準用ス

第三條　日滿電報ノ官報ト爲シ得ベキモノハ電報規則第二條ニ揭グルモノヲ除クノ外別ニ之ヲ告示ス

第四條　日滿電報ノ局報ト爲シ得ベキモノハ電報規則第三條ニ揭グルモノヲ除クノ外別ニ之ヲ告示ス

第五條　本文金部數字ヲ以テ記載シタル和文電報ハ其ノ名宛ヲ中國電報新編ニ依ル數字ヲ以テ記載スルコトヲ得

第六條　和文電報ノ名宛ハ其ノ字數ニ拘ラズ之ヲ二語ト計算ス

連記シタル第二以下ノ各受信人名及逐辭シタル追尾電報又ハ再送電報ノ第二以下ノ各居所ハ其ノ字數ニ拘ラズ之ヲ一語ト計算ス

第七條　和文電報ノ本文及指定ハ之ヲ通算シ各五字又ハ其ノ端數ヲ一語トス

第八條　日滿電報ニ對シテハ一通ノ課金語數五語ニ滿タザル場合ト雖五語分ノ料金ヲ課ス

本令ハ昭和十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　本邦內地、臺灣、樺太又ハ南洋ヤツプ島ト關東州、滿洲國又ハ芝罘トノ間ニ發著スル電報

二　朝鮮若ハ芝罘ト關東州若ハ滿洲國トノ間ニ發著スル電報

第十條　電報ノ特殊取扱料ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ

至急料（官報、私報）　電報料ニ同ジ

照校料（官報、私報）　電報料ノ二倍

電報受信報知料　電報料ノ四分ノ一

郵便受信報知料　電報ノ種別ニ依リ五語ニ相當スル電報料ニ同ジ

同文際寫料　四錢但シ芝罘ニ宛ツル電報ニ關スルモノハ五錢

時間外料　十錢

三十錢

第十一條　新聞電報ニハ前二條ノ規定ニ拘ラズ左ノ料金ヲ課ス

新聞電報料

一　本邦內地、臺灣、樺太又ハ南洋ヤツプ島ト關東州、滿洲國又ハ芝罘トノ間ニ發著スル電報

二　朝鮮若ハ芝罘ト關東州若ハ滿洲國トノ間又ハ朝鮮ト芝罘トノ間ニ發著スル電報

至急料　新聞電報料ノ二倍

同文際寫料　原信本文ノ語數ニ依リ十語迄毎ニ十錢

豫約新聞電報料

一　本邦內地、臺灣、樺太又ハ南洋ヤツプ島ト關東州、滿洲國又ハ芝罘トノ間ニ發著スル電報　一豫約一付年　二百語以內　三百語以內　歐文　一千二百四十四錢　和文　一千一百八十四錢

二　朝鮮ト關東州又ハ滿洲國トノ間ニ發著スル電報　一豫約一付年　二百語以內　三百語以內　歐文　一千六百四十四錢　和文　一千二百四十四錢

第十二條　日滿電報ニ付テハ翌朝配達、別使配達料受信人拂及舒船配達料受信人拂ノ取扱ヲ爲サズ

第十三條　在芝罘帝國電信官署ニ於テ電報直配達區域外ニ配達スル電報ニシテ配達方指定ナキモノハ受信人ヨリ豫メ舒船ニ依リ配達方請求ナキ限リ普通郵便ヲ以テ送達ス

配達方指定アル電報ト雖受信人移轉等ノ爲更ニ其ノ電報直配達區域外ニ配達スルトキ亦同ジ

第十四條　帝國ニ於テ發行シタル新聞電報發信證票ハ關東州及滿洲國ニ於テモ之ヲ使用スルコトヲ得

第十四條ノ二　新聞電報ノ發信人又ハ受信人特ニ告示スル電信官署ニ發著スルモノニ限リ選信大臣ノ許可ヲ得テ料金受信人拂ノ取扱ヲ受クルコトヲ得

第十四條ノ三　料金受信人拂新聞電報ニ付テハ外國電報規則第五十二條乃至第五十四條、第五十七條乃至第六十一條乃至第六十四條ノ規定ヲ準用ス但シ許可申請書ニハ標過線路名ノ記載ヲ要セズ

第十四條ノ四　削除

第十四條ノ五　例文慶弔電報ニハ語數ニ拘ラズ和文私報五語分ノ料金ヲ課ス但シ連記シタル第二以下ノ各受信人名ニ對シテハ一語分、同文電報ノ原信ヲ除ク各通ノ名宛ニ對シテハ二語分ノ料金ヲ附課ス

第十四條ノ六　削除

附　則

第十五條　本令ハ昭和八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月遞信省令第百一號日華電報規則ハ之ヲ廢止ス

豫約同文際寫料　豫約新聞電報料ノ二分ノ一

第十一條ノ二　發信人又ハ受信人ノ請求ニ依リ帝國內ニ於テ交換セラルル日滿電報ノ特則、改正若ハ停止ニ關スル電報、追尾電報又ハ再送電報ノ料金ハ一語ニ付六錢トス

第十二條　日滿電報ニ付テハ翌朝配達、別使配達料受信人拂及舒船配達料受信人拂ノ取扱ヲ爲サズ

第十三條　在芝罘帝國電信官署ニ於テ電報直配達區域外ニ配達スル電報ニシテ配達方指定ナキモノハ受信人ヨリ豫メ舒船ニ依リ配達方請求ナキ限リ普通郵便ヲ以テ送達ス

配達方指定アル電報ト雖受信人移轉等ノ爲更ニ其ノ電報直配達區域外ニ配達スルトキ亦同ジ

第十四條　帝國ニ於テ發行シタル新聞電報發信證票ハ關東州及滿洲國ニ於テモ之ヲ使用スルコトヲ得

第十四條ノ二　新聞電報ノ發信人又ハ受信人特ニ告示スル電信官署ニ發著スルモノニ限リ選信大臣ノ許可ヲ得テ料金受信人拂ノ取扱ヲ受クルコトヲ得

第十四條ノ三　料金受信人拂新聞電報ニ付テハ外國電報規則第五十二條乃至第五十四條、第五十七條乃至第六十一條乃至第六十四條ノ規定ヲ準用ス但シ許可申請書ニハ標過線路名ノ記載ヲ要セズ

第十四條ノ四　削除

第十四條ノ五　例文慶弔電報ニハ語數ニ拘ラズ和文私報五語分ノ料金ヲ課ス但シ連記シタル第二以下ノ各受信人名ニ對シテハ一語分、同文電報ノ原信ヲ除ク各通ノ名宛ニ對シテハ二語分ノ料金ヲ附課ス

第十四條ノ六　削除

附　則

第十五條　本令ハ昭和八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月遞信省令第百一號日華電報規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル外國電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第十六條　本令施行前前條ニ揭グル規則ニ依リ認可ヲ受ケタル新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ハ本令ニ依リ新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十七條　電報規則第百二十八條乃至第百四十三條ノ規定ハ日滿電報ニ之ヲ準用ス

第十八條　本令ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和九年勅令第一號）

本令ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年勅令第一號）

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年勅令第二號）

本令ハ昭和十年四月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年勅令第四十四號）

本令ハ昭和十年一月遞令第四十四號ハ昭和十年十二月十四日ヨリ施行）

附　則（昭和十一年勅令第十號）

本令ハ昭和十一年五月遞令第十五號ハ昭和十一年一月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十一年勅令第十五號）

本令ハ昭和十一年六月遞令第十七號ハ昭和十一年六月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十一年勅令第三十四號）

本令ハ昭和十一年九月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十一年勅令第七十二號）

本令ハ昭和十一年十二月遞令第七十八號ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年勅令第一號）

本令ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年勅令第十一號）

本令ハ昭和十二年三月八日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年勅令第十八號）

本令ハ昭和十三年三月十六日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年勅令第二十四號）

第九條　電報料ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ

第三條　外國放送電報トハ外國無線電信局ノ放送スル情報電報ニシテ官廳又ハ邏信大臣ノ許可ヲ受ケ設立シタル社團法人タル通信社ニ於テ別ニ告示スル電信官署ヨリ受領スルモノヲ謂フ

第四條　對外放送電報ヲ發信セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ逓信大臣ノ許可ヲ受ケベシ各號ノ事項ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

一　情報ヲ頒布セントスル地方

二　情報ノ種類

三　電報ノ語數

四　放送ヲ希望スル時刻

五　放送ヲ許可シタルトキハ對外放送電報ノ發信電信官署、放送電信官署、頼信時刻、放送時刻、發射ノ型式及周波數ヲ指定シ其ノ旨申請者ニ通知ス

第五條　邏信大臣ハ於テ必要アリト認ムルトキハ第四條ノ規定ニ依ル電報ノ語數ヲ制限シ又ハ前條ノ規定ニ依リ指定シタル事項ヲ變更スルコトアルベシ

第六條　電報頼信時刻ヲ經過シタル後ニ頼信シタル對外放送電報ハ之ガ取扱ヲ爲サザルコトアルベシ

第七條　電報頼信時刻ヲ經過シタル後ニ頼信シタル對外放送電報ノ取扱ヲ爲サザルコトアルベシ

第八條　廣告又ハ私信ト認ムル事項ヲ記載シタル電報ニ付テハ對外放送電報ノ取扱ヲ爲サザルベシ

第九條　對外放送電報ノ賃率語數ハ發信電信官署ニ於テ特ニ承認シタル場合ヲ除クノ外許可語數ヲ超過スルコトヲ得ズ

第十條　對外放送電信官署ヨリ翌月ノ十日迄ニヲ發信人ニ通知ス

發信人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ月二十五日迄ニ其ノ料金ヲ發信電信官署ニ通貨ヲ以テ納付スベシ

第十一條　對外放送電報ノ料金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ日割ヲ以テ之ヲ計算スル月中迄ニ於テ取扱ヲ開始若ハ廢止シ又ハ許可ヲ取消シタル場合

二　月ノ中途ニ於テ電報ノ語數ヲ第四條ノ規定ニ依リ變更シ若ハ第六條ノ規定ニ依リ變更シ若ハ第六條ノ規定ニ依リ頼信ヲ第十二條若ハ第十九條ノ規定ニ依リ停止シタル場合

三　放送ヲ爲サザルコト引續キ三日以上ニ及ビタルトキハ對外放送電報ノ料金ヲ納付セザルトキハ滯納ノ期間之ガ取扱ヲ停止ス

第十二條　對外放送電報ノ料金ヲ納付セザル者ハ及ビタルトキハ對外放送電報ノ取扱ヲ停止ス

第十三條　前條ノ規定ニ依リ許可ヲ取消シ又ハ第二十一條ノ規定ニ依リ發信ヲ廢止シタル場合ニ於テ許可後一年ニ滿ツル迄ノ期間ノ許可語數ニ對スル料金ヲ一時ニ徴收ス

第十四條　外國放送電報ヲ受領セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ差出シテ邏信大臣ノ許可ヲ受クベシ

一　電報ヲ放送スル外國無線電信局ノ名稱、型式、發射ノ型式、周波數及放送時刻（アンテナ指向時）

二　外國放送電報ノ受領ニ關シ關係通信社等ト特約ヲ要スルモノニ在リテハ前項ノ申請書ニ其ノ契約書ノ寫又ハ該契約ヲ證明スル書類ヲ添附スベシ

第十五條　外國放送電報ニ對シテハ交付スル電報ノ語數ニ應ジ受信人ヨリ料金ヲ徴收ス

第十六條　帝國電信系（在上海等帝國電信官署ヲ除ク）ノ電報ニ之ヲ準用ス

第十七條　國際放送電報ニ對シテハ別ニ告示スル料金ヲ課ス

第十八條　國際放送電報ハ傳送上ノ誤謬ニ依リ又ハ場合ニ從ヒ六箇ノ內國電報又ハ日滿電報ノ電報料ヲ適用ス

第十九條　移動局ニ著スル外國無線電報ノ發信人ガ指定シタル帝國陸上局ニ於テ該電報ヲ他ノ帝國陸上局ニ轉送スル場合ハ別ニ料金ヲ納付シタル後ニ非ザレバ之ヲ還付セズ

第二項ノ期間內ニ料金ヲ納付セザルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充テ不足アルトキハ之ヲ追徴シ剩餘アルトキハ之ヲ還付ス

附　則（昭和十二年三月逓令第十二號）

本令ハ昭和十二年三月八日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年五月逓令第四十三號）

本令ハ昭和十三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國無線電報規則

昭和八年十二月
逓令第五十七號

改正　昭和一〇年一二第五二號、一二年三第四三號

外國無線電報規則左ノ通定ム

第一章　總則

第二章　一般無線電報

第三章　外國放送船舶無線電報

附　則

外國無線電報規則

第一條　外國無線電報トハ國際電氣通信條約及同附屬無線通信規則（以下國際無線通信規則ト稱ス）又ハ特別ノ國際通信協定ニ依ル電報ニシテ移動局ヨリ發シ又ハ之ニ著スルモノ及外國ニ於テ放送スル電報ニシテ帝國船舶局ノ取扱フモノヲ謂フ

第二條　外國無線電報ハ國際電氣通信條約及國際無線通信規則ニ依ルノ外本令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ取扱フ

第三條　國際電氣通信條約及國際無線通信規則ニ基キ外國無線電報ノ取扱ニ關シ外國主管廳ノ定ムル制限ニシテ必要アルモノハ之ヲ告示ス

第四條　本令ニ規定ナキ事項ハ外國和文無線電報、其ノ他ノモノニ付テハ一般外國電報ニ關スル規定（第五十四條乃至第五十九條ノ規定ヲ除ク）ニ依ル

第二章　一般無線電報

第五條　帝國陸上局及帝國移動局ニ於テ課スル外國無線電報ノ陸上局料及移動局料ハ左ノ如シ

一　陸上局料　一語ニ付　二十四錢
但シ警報通報ニ在リテハ　十二錢

二　移動局料　一語ニ付　十六錢
但シ警報通報ニ在リテハ　八錢

第六條　帝國政府陸上局ノ媒介ニ依ル外國無線電報ニシテ專ラ帝國政府ノ電信系（在上海帝國電信官署ヲ除ク）及滿洲會社ノ電信系ニ依リ傳送スルモノノ電信料ニ對シテハ日滿電報ノ電報料ヲ適用ス

第七條　外國陸上局及外國移動局ニ於テ課スル外國無線電報ノ陸上局料及移動局料竝ニ帝國移動局ニ於テ受付ケタル外國無線電報ニシテ外國陸上局ニ傳送スベキモノノ電信料ハ該陸上局及移動局ノ屬スル主管廳又ハ私企業ノ定ムル所ニ依ル

前項ノ料金ノ換算ニ適用スベキ外國貨幣ノ換算割合ハ別ニ之ヲ告示ス

第八條　外國無線電報ノ陸上局料、移動局料又ハ移動局ノ中繼料ノ一語ニ付徴收料金ニ一錢未滿ノ端數ヲ生ジタルトキハ之ヲ切捨ツ

第九條　帝國電信系（在上海等帝國電信官署ヲ除ク）ノ發送セラレ且帝國陸上局ノ媒介ニ依リ移動局ニ著スル外國無線電報ノ受信報知ニ對シテハ場合ニ從ヒ六箇ノ內國電報又ハ日滿電報ノ電報料ヲ適用ス

第十條　移動局ニ著スル外國無線電報ノ發信人ガ指定シタル帝國陸上局ニ於テ該電報ヲ他ノ帝國陸上局ニ轉送スル場合ハ別ニ料金ヲ納付シタル後ニ非ザレバ之ヲ還付セズ

第二項ノ期間內ニ料金ヲ納付セザルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充テ不足アルトキハ之ヲ追徴シ剩餘アルトキハ之ヲ還付ス

附　則（昭和十二年三月逓令第十二號）

本令ハ昭和十二年三月八日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十三年五月逓令第四十三號）

本令ハ昭和十三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國祝賀無線電報規則

昭和八年十二月
逓令第五十號

外國祝賀無線電報規則左ノ通定ム

第一條　帝國船舶局ト外國各地トノ間ニ發著スル外國無線電報ニシテ其ノ本文ガ附錄文例中ヨリ選定シタル「クリスマス」及新年祝賀文ノミヨリ成ルモノハ本令ノ定ムル所ニ依リ外國祝賀無線電報ニ準ジ取扱フモノトス

第二條　外國祝賀無線電報ニハ別ニ告示スル外國無線電報ヲ發受シ得ル外國地名及經由海岸局名ハ別ニ之ヲ告示ス

第三條　外國祝賀無線電報ノ取扱期間左ノ如シ

「クリスマス」　十二月十四日ヨリ同二十三日迄

祝賀電報　十二月十四日ヨリ翌年一月五日迄

新年祝賀電報　一月一日ニ配達セラルベキ新年祝賀電報ニシテ一月一日ニ配達セラルルモノハ十二月三十日迄之ヲ取扱ヒスベシ

第四條　外國祝賀無線電報ノ發信人ハ本文ニ「GTG」ナル語、選定シタル祝賀文ノ番號及國籍名ヲ記載スルコトヲ要ス

第五條　外國祝賀無線電報ハ其ノ本文ニ指示セラレタル祝賀文ヲ記載シテ之ヲ受信人ニ交付ス

第六條　外國祝賀無線電報ハ同文電報其ノ他ノ特別電報ト爲スコトヲ得ズ

金ヲ課セズ

第十二條　外國無線電報ニハ電報取扱時間外ノ取扱ニ對シ時間外料ヲ課セズ

第十三條　外國無線電報ハ受信人ニ代リ之ヲ受領スル者ノ請求ニ依リ帝國政府ノ電信系上及滿洲會社ノ電信系上ニ限リ之ヲ再送スルコトヲ得

第十四條　後述新聞無線電報ハ之ヲ取扱ハズ

第十四條ノ二　航行中ノ船舶內ニ於ケル傷病者ノ醫療手當ニ關シ其ノ指示ヲ受クル爲帝國船舶ノ船長ト外國ノ主管廳若ハ私企業ノ指定スル病院若ハ陸上局又ハ醫師ノ乘組ム外國船舶トノ間竝ニ外國船舶ノ船長ト別ニ告示スル病院又ハ醫師ノ乘組メル帝國船舶トノ間ニ發著スル無線電報ハ之ヲ醫事通報トス

第十四條ノ三　醫事通報ノ發信人ハ頼信紙ノ郵便切手欄ニ「醫療」ト記載スベシ

第十五條　左ノ各號ニ掲グル外國無線電報ハ和文ヲ以テ之ヲ記載スルコトヲ得

一　帝國陸上局及場合ニ依リ帝國移動局ノ媒介ニ依リ且大阪天津間無線電信連絡ヲ經由シテ帝國移動局ト青島、四方又ハ滿口ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

二　帝國陸上局及場合ニ依リ帝國移動局ノ媒介ニ依リ且依世保青島間海底線ヲ經由シテ帝國移動局ト青島、四方又ハ滿口ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

三　帝國陸上局及場合ニ依リ帝國移動局ノ媒介ニ依リ且大阪上海間無線電信連絡ヲ經由シテ帝國移動局ト上海ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

四　帝國陸上局及場合ニ依リ帝國移動局ノ媒介ニ依リ且大阪天津間無線電信連絡ヲ經由シテ帝國移動局トノ間ニ於ケル中國無線電報局ノ媒介ニ依リ帝國船舶局ト青島、四方又ハ滿口ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

五　青島ニ於ケル中國無線電報局ノ媒介ニ依リ帝國船舶局ト青島、四方又ハ滿口ニ於ケル中國電報局トノ間ニ發著スル電報

第十六條　移動局著外國和文無線電報ニ名宛中ニハ經由陸上局名ヲ記載シ括弧ヲ以テ之ヲ區別スベシ

第十七條　外國和文無線電報ニ用ウル船舶局シ外國ニ於ケル通信社其ノ他ト契約ヲ要スルモノニ在リテハ前條第一項ノ申請書ニ其ノ契約期間ヲ記載シ且契約書ノ寫又ハ該契約ヲ證明スル書類ヲ添附スベシ

前項ノ契約期間ヲ變更シタルトキハ其ノ旨邏信大臣ニ屆出グベシ

第二十九條ノ申請ヲ許可シタルトキハ其ノ旨申請者ニ通知ス

第三十一條　第二十九條ノ申請ヲ許可シタルトキハ其ノ旨申請者ニ通知ス

第三十二條　外國放送船舶無線電報ニ對シテハ交付スル電報ノ語數ニ應ジ別ニ告示スル料金ヲ課ス

第三十三條　外國放送船舶無線電報ノ料金ハ電報交付ノ際受信人ヨリ之ヲ徴收ス

第三十四條　外國放送船舶無線電報ハ傳送上ノ誤謬ニ依リ目的ヲ達スルコトヲ得ザリシ場合ト雖其ノ電報料ヲ免除又ハ還付セズ

第三十五條　外國放送船舶無線電報ハ一般電報ノ取扱ヲ妨アリ又ハ無線電信局ノ設備上已ムヲ得ズト認ムルトキハ其ノ取扱ヲ爲サザルコトアルベシ

第三十六條　外國放送船舶無線電報ノ受領ヲ廢止セントスルトキハ其ノ電報ノ交付ヲ受クル當該電信官署ヲ經テ其ノ旨邏信大臣ニ屆出グベシ

附　則

第三十七條　本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年一月七日逓信省令第七十號外國無線電報規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル外國無線電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第三十八條　本令施行前外國無線電報規則ニ依リ爲シタル認可、許可等ニシテ本令ニ之ニ相當スル規定アルモノハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

附　則（昭和十年十二月逓令第五十二號）

本令ハ昭和十一年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ於ケル外國放送無線電報ニ關シ未納ノ料金ハ本令施行ノ日ヨリ二十日以內ニ該電報交付局ニ通貨ヲ以テ之ヲ納付スベシ

第七條　本令ニ規定ナキ事項ハ一般外國無線電報ニ關スル規定ニ依ル

附　則

本令ハ昭和八年十二月十四日ヨリ之ヲ施行ス

附錄

電報取次例

番號　文例

1 A Merry Christmas and a Happy New Year.

2 Heartiest Christmas Greetings from us all.

3 All good wishes for Christmas and the New Year.

4 Love and best wishes for Christmas and the New Year.

5 Love and best wishes for Christmas and the New Year to all at home.

6 Love and best wishes for Christmas and the New Year from all at home.

7 A very Merry Christmas and Happy New Year to you and yours.

8 We all join in sending love and holiday greetings.

9 May health and happiness be yours at Christmas and throughout the New Year.

10 I wish I might be with you to wish you in person a Merry Christmas and a Happy New Year.

11 May your Christmas be a merry one and the New Year happy and prosperous.

12 Many thanks for your good wishes. Reciprocate heartily.

13 Best wishes for a happy and successful New Year.

14 May the New Year bring you Health, Happiness and Prosperity.

15 Your good wishes are heartily reciprocated. May the New Year bring you all prosperity.

16 To our friends overseas we send best wisnes for a Merry Christmas and a happy and successful New Year.

17 At this festive season we would express appreciation of the cordial relations between us and extend to you best wishes for Christmas and the New Year.

●日滿無線電報規則

（昭和十年六月一日逓信省令第三十八號）

（昭和十年六月一日逓信省令第三十八號）

日滿無線電報規則左ノ通定ム

日滿無線電報規則

第一條　電報ヲ發受スル日滿無線電報局ハ左ノ通トス

局名	呼出符號	通報ノ種類	通報ノ時間	通報ノ波長
新京	JVH	和文	常時	一二、四〇米
東京	JVT	和文	常時	一二、四〇米
東京	JVT	歐文	常時	一二、四〇米
東京	JVT	和文	常時	二四、八〇米
東京	JVT	歐文	常時	二四、八〇米
東京	JVT	和文	常時	四八、〇米
東京	JVT	歐文	常時	四八、〇米
東京	JVT	和文	常時	一〇、〇米
東京	JVT	歐文	常時	一〇、〇米
東京	JVT	和文	常時	一三、五米
東京	JVT	歐文	常時	一三、五米
東京	JVT	和文	常時	一五、二米
東京	JVT	歐文	常時	一五、二米

第二條　日滿無線電報局ハ左ノ通トス

局名	呼出符號	通報ノ種類	通報ノ時間	通報ノ波長
新京	JVH	和文	常時	一二、四〇米
東京	JVT	和文	常時	一二、四〇米
東京	JVT	歐文	常時	一二、四〇米
東京	JVT	和文	常時	二四、八〇米
東京	JVT	歐文	常時	二四、八〇米
東京	JVT	和文	常時	四八、〇米
東京	JVT	歐文	常時	四八、〇米
東京	JVT	和文	常時	一〇、〇米
東京	JVT	歐文	常時	一〇、〇米
東京	JVT	和文	常時	一三、五米
東京	JVT	歐文	常時	一三、五米
東京	JVT	和文	常時	一五、二米
東京	JVT	歐文	常時	一五、二米

第三條　無線電報ノ規定ハ左ノ通トス

一　電報ヲ發受スル日滿無線電報局ハ左ノ通トス

二　依信ニ關スル場合ノ外無線電報ノ規定ハ左ノ通トス

三　遭難通信ニ關スル規則ハ左ノ通トス

四　緊急通信ニ關スル規則ハ左ノ通トス

五　安寧通信ニ關スル規則ハ左ノ通トス

六　帝國政府ノ發スル命令ニ關スル規則ハ左ノ通トス

七　商業通信ニ關スル規則ハ左ノ通トス

第四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五條　船舶局ノ通信ハ左ノ通トス

通信ノ種類	通信ノ方法	通信ノ時間	通信ノ波長
官報及私報	和文	常時	一二、四〇米
官報及私報	和文	常時	二四、八〇米
官報及私報	和文	常時	四八、〇米
官報及私報	和文	常時	一〇、〇米
官報及私報	和文	常時	一三、五米
官報及私報	和文	常時	一五、二米
新聞電報	和文	常時	一二、四〇米
新聞電報	和文	常時	二四、八〇米
新聞電報	和文	常時	四八、〇米
新聞電報	和文	常時	一〇、〇米
新聞電報	和文	常時	一三、五米
新聞電報	和文	常時	一五、二米

第六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七條　南洋群島ヘ發着スル船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第十九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第二十九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第三十九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第四十九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第五十九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第六十九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第七十九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第八十九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第九十九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百一條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百二條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百三條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百四條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百五條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百六條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百七條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百八條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

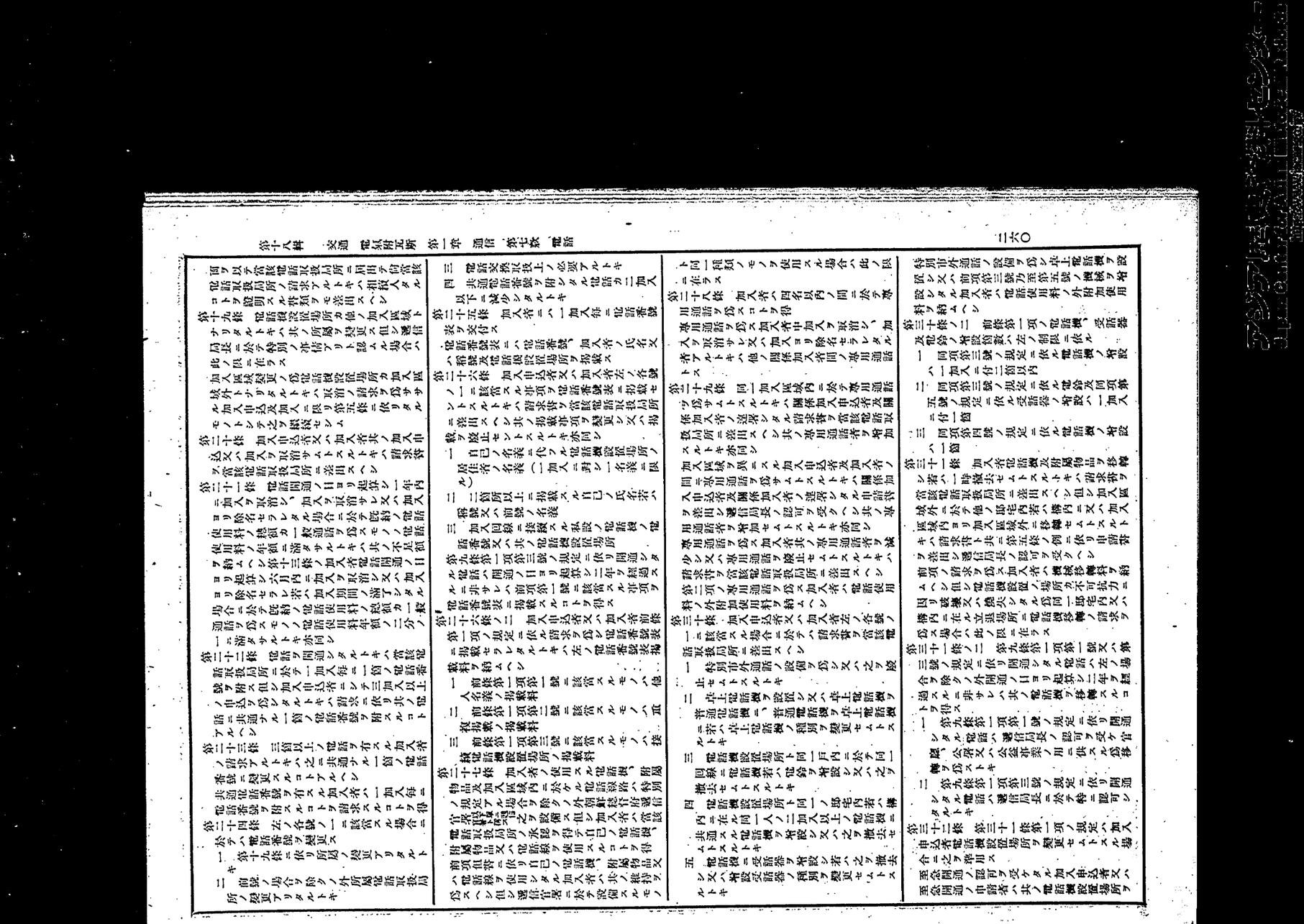
第百九條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名
JVH	新京	新京	新京
JVT	東京	東京	東京

第百十條　船舶局ハ左ノ通トス

呼出符號	船舶局ノ種類	船舶局ノ名稱	船舶局ノ所有者ノ住所及氏名

第一章　通信　第七款　電話



第八条　第八条ハ十五条ノ規定ニ依リ加入者ノ負担ニ属スル線路ノ建設ニ関シ必要ナル費用ヲ負担スル場合ニ於テ其ノ

アルヘシ

第九十二條　通話開通工事着手ノ際加入申込者ノ所在不明ナルトキ又ハ第二條ニ依ル加入申込者指定ノ期日迄ニ電話架設料ヲ納付セサルトキハ其ノ加入申込ハ之ヲ取消シタルモノト看做シ處理スルコトアルヘシ

第五條、第三十一條第一項但書及第三十二條ノ場合ニ於テ寄附ヲ條件トセル加入申込者若ハ加入者選信局長ノ指定スル期日迄ニ物品及勞力若ハ線路ノ寄附ヲ爲サルトキ又ハ加入者ノ所在不明ナルトキハ其ノ認可ヲ取消シ又ハ加入ヨリ除名スルコトアルヘシ

第九條第二項又ハ第九條ノ二第二項ノ場合ニ於テ指定ノ期日迄ニ電話架設料又ハ加入登記料ヲ納付セサルトキハ至急開通ノ認可ハ其ノ效力ヲ失フ

第二十九條第二項ノ場合ニ於テ寄附ヲ條件トシテ專用通話ノ認可ヲ受ケタル者ハ選信局長ノ指定スル期日迄ニ物品及勞力又ハ線路ノ寄附ヲ爲ササルトキハ其ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第九十三條　加入ヨリ除名セラレタル者ハ前條第一項ニ規定スル場合ヲ除クノ外其ノ除名ノ日ヨリ起算シ一年ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ同一ノ加入區域内ニ於テ加入申込又ハ加入ヲ爲スコトヲ得ス其ノ加入者ノ家族又ハ同居者ノ名義ヲ以テ爲ス場合亦同シ

第九十四條　第二十九條、第四十三條、第四十七條、第六十五條第一項第三號及第七號ノ適用ニ付テハ加入區域外加入者ハ加入區域内加入者ト看做ス

附　則

第九十五條　本令ハ大正八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第九十六條　特設電話規則ハ之ヲ廢止ス

第九十七條　本令施行ノ際現ニ特設電話交換ヲ行フ地ニハ本令ニ依ル電話ヲ開始スル迄ハ本令施行ノ際特設電話加入者其ノ架設シタル電話線路、電話機及附屬物品ノ全部ヲ政府ニ寄附スルトキハ本令ニ依ル加入者ト看做ス

特設電話加入者ハ逓信局長ノ指示ニ從ヒ其ノ架設シタル電話線路ヲ撤去スヘシ但シ前項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

本令施行前特設電話ノ加入ヲ申請シタル者ハ本令施行ノ日ヨリ本令ニ依ル加入申込者ト看做ス

第九十八條　前條ニ依リ加入者ト看做サレタル者ノ本令施行ノ際現ニ有スル設備ニ對スル電話使用料及附加使用料ノ總額カ從前ノ電話交換料、附加交換料及電信電話維持依託規則ニ依ル維持料ノ總額ヲ超ユル場合ニ於テハ本令施行ノ日ヨリ一年ヲ限リ其ノ超過額ニ相當スル金額ヲ其ノ料金ヨリ減額ス

附　則（大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ大正九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前受理シタル第二條ニ依ル加入申込及第三十九條ノ申請ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

附　則（大正三年三月總令第四十二號）

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年五月總令第七十六號）

本令ハ大正十年五月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和四年四月總令第三十六號）

本令ハ昭和四年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和五年四月總令第二十七號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ指定地ノ加入者ニシテ引續キ其ノ地ニ於テ電話加入者タル者（相續人及名義ノ變更ヲ受クル者ヲ含ム）ヨリ徵收スヘキ電話使用料ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ三年間ニ限リ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和六年三月總令第二十七號）

本令ハ昭和六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年十一月總令第百四十三號）

本令ハ昭和六年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令ハ昭和十年七月十日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十年七月總令第六十三號）

本令ハ昭和十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年三月總令第十六號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前開通シ又ハ至急開通ノ認可ヲ受ケタル電話ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

附　則（昭和十二年五月總令第六十三號）

本令ハ昭和十二年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年十二月總令第二百二號）

本令ハ昭和十三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●電話加入區域竝ニ土地ノ區別

昭和五年四月總告第百七十二號

改正　昭和五年九月第三九、一號、五年一〇第四〇七號、第四三七號、六年一第四一號、六年三第一〇號、第四三七號、六年四第一〇號、第七一號、六年四第二一號、第二二九號、第二三號、第二三六號、六年五第三〇七號、六年七第三一號、第三六一號、六年八第三九一號、六年九第四三〇號、六年一〇第四八六號、第四九〇號、第五〇二號、第五一〇號、六年一二第五五三號、七年一第五七號、七年二第二九號、七年三第二八號、七年四第三六〇號、第三六四號、七年五第三七三號、第三八六號、七年八第四二九號、七年九第四七二號、第四七九號、第四八四號、第四九〇號、第五〇六號、第七一號、第一二五號、第一四四號、第一四五號、第一四六號、第一四七號、第一四八號、第一四九號、第一五〇號、第一五一號、第一五二號、第一五三號、第一五四號、第一五五號、第一五六號、第一五七號、第一五八號、第一五九號、第一六〇號、第一六一號、第一六二號、第一六三號、第一六四號、第一六五號、第一六六號、第一六七號、第一六八號、第一六九號、第一七〇號、第一七一號、第一七二號、第一七三號、第一七四號、第一七五號、第一七六號、第一七七號、第一七八號、第一七九號、第一八〇號、第一八一號、第一八二號、第一八三號、第一八四號、第一八五號、第一八六號、第一八七號、第一八八號、第一八九號、第一九〇號、第一九一號、第一九二號、第一九三號、第一九四號、第一九五號、第一九六號、第一九七號、第一九八號、第一九九號、第二〇〇號、第二〇一號、第二〇二號、第二〇三號、第二〇四號、第二〇五號、第二〇六號、第二〇七號、第二〇八號、第二〇九號、第二一〇號、第二一一號、第二一二號、第二一三號、第二一四號、第二一五號、第二一六號、第二一七號、第二一八號、第二一九號、第二二〇號、第二二一號、第二二二號、第二二三號、第二二四號、第二二五號、第二二六號、第二二七號、第二二八號、第二二九號、第二三〇號、第二三一號、第二三二號、第二三三號、第二三四號、第二三五號、第二三六號、第二三七號、第二三八號、第二三九號、第二四〇號、第二四一號、第二四二號、第二四三號、第二四四號、第二四五號、第二四六號、第二四七號、第二四八號、第二四九號、第二五〇號、第二五一號、第二五二號、第二五三號、第二五四號、第二五五號、第二五六號、第二五七號、第二五八號、第二五九號、第二六〇號、第二六一號、第二六二號、第二六三號、第二六四號、第二六五號、第二六六號、第二六七號、第二六八號、第二六九號、第二七〇號、第二七一號、第二七二號、第二七三號、第二七四號、第二七五號、第二七六號、第二七七號、第二七八號、第二七九號、第二八〇號、第二八一號、第二八二號、第二八三號、第二八四號、第二八五號、第二八六號、第二八七號、第二八八號、第二八九號、第二九〇號、第二九一號、第二九二號、第二九三號、第二九四號、第二九五號、第二九六號、第二九七號、第二九八號、第二九九號、第三〇〇號、第三〇一號、第三〇二號、第三〇三號、第三〇四號、第三〇五號、第三〇六號、第三〇七號、第三〇八號、第三〇九號、第三一〇號、第三一一號、第三一二號、第三一三號、第三一四號、第三一五號、第三一六號、第三一七號、第三一八號、第三一九號、第三二〇號、第三二一號、第三二二號、第三二三號、第三二四號、第三二五號、第三二六號、第三二七號、第三二八號、第三二九號、第三三〇號、第三三一號、第三三二號、第三三三號、第三三四號、第三三五號、第三三六號、第三三七號、第三三八號、第三三九號、第三四〇號、第三四一號、第三四二號、第三四三號、第三四四號、第三四五號、第三四六號、第三四七號、第三四八號、第三四九號、第三五〇號、第三五一號、第三五二號、第三五三號、第三五四號、第三五五號、第三五六號、第三五七號、第三五八號、第三五九號、第三六〇號、第三六一號、第三六二號、第三六三號、第三六四號、第三六五號、第三六六號、第三六七號、第三六八號、第三六九號、第三七〇號、第三七一號、第三七二號、第三七三號、第三七四號、第三七五號、第三七六號、第三七七號、第三七八號、第三七九號、第三八〇號、第三八一號、第三八二號、第三八三號、第三八四號、第三八五號、第三八六號、第三八七號、第三八八號、第三八九號、第三九〇號、第三九一號、第三九二號、第三九三號、第三九四號、第三九五號、第三九六號、第三九七號、第三九八號、第三九九號、第四〇〇號、第四〇一號、第四〇二號、第四〇三號、第四〇四號、第四〇五號、第四〇六號、第四〇七號、第四〇八號、第四〇九號、第四一〇號、第四一一號、第四一二號、第四一三號、第四一四號、第四一五號、第四一六號、第四一七號、第四一八號、第四一九號、第四二〇號、第四二一號、第四二二號、第四二三號、第四二四號、第四二五號、第四二六號、第四二七號、第四二八號、第四二九號、第四三〇號、第四三一號、第四三二號、第四三三號、第四三四號、第四三五號、第四三六號、第四三七號、第四三八號、第四三九號、第四四〇號、第四四一號、第四四二號、第四四三號、第四四四號、第四四五號、第四四六號、第四四七號、第四四八號、第四四九號、第四五〇號、第四五一號、第四五二號、第四五三號、第四五四號、第四五五號、第四五六號、第四五七號、第四五八號、第四五九號、第四六〇號、第四六一號、第四六二號、第四六三號、第四六四號、第四六五號、第四六六號、第四六七號、第四六八號、第四六九號、第四七〇號、第四七一號、第四七二號、第四七三號、第四七四號、第四七五號、第四七六號、第四七七號、第四七八號、第四七九號、第四八〇號、第四八一號、第四八二號、第四八三號、第四八四號、第四八五號、第四八六號、第四八七號、第四八八號、第四八九號、第四九〇號、第四九一號、第四九二號、第四九三號、第四九四號、第四九五號、第四九六號、第四九七號、第四九八號、第四九九號、第五〇〇號、第五〇一號、第五〇二號、第五〇三號、第五〇四號、第五〇五號、第五〇六號、第五〇七號、第五〇八號、第五〇九號、第五一〇號、第五一一號、第五一二號、第五一三號、第五一四號、第五一五號、第五一六號、第五一七號、第五一八號、第五一九號、第五二〇號、第五二一號、第五二二號、第五二三號、第五二四號、第五二五號、第五二六號、第五二七號、第五二八號、第五二九號、第五三〇號、第五三一號、第五三二號、第五三三號、第五三四號、第五三五號、第五三六號、第五三七號、第五三八號、第五三九號、第五四〇號、第五四一號、第五四二號、第五四三號、第五四四號、第五四五號、第五四六號、第五四七號、第五四八號、第五四九號、第五五〇號、第五五一號、第五五二號、第五五三號、第五五四號、第五五五號、第五五六號、第五五七號、第五五八號、第五五九號、第五六〇號、第五六一號、第五六二號、第五六三號、第五六四號、第五六五號、第五六六號、第五六七號、第五六八號、第五六九號、第五七〇號、第五七一號、第五七二號、第五七三號、第五七四號、第五七五號、第五七六號、第五七七號、第五七八號、第五七九號、第五八〇號、第五八一號、第五八二號、第五八三號、第五八四號、第五八五號、第五八六號、第五八七號、第五八八號、第五八九號、第五九〇號、第五九一號、第五九二號、第五九三號、第五九四號、第五九五號、第五九六號、第五九七號、第五九八號、第五九九號、第六〇〇號、第六〇一號、第六〇二號、第六〇三號、第六〇四號、第六〇五號、第六〇六號、第六〇七號、第六〇八號、第六〇九號、第六一〇號、第六一一號、第六一二號、第六一三號、第六一四號、第六一五號、第六一六號、第六一七號、第六一八號、第六一九號、第六二〇號、第六二一號、第六二二號、第六二三號、第六二四號、第六二五號、第六二六號、第六二七號、第六二八號、第六二九號、第六三〇號、第六三一號、第六三二號、第六三三號、第六三四號、第六三五號、第六三六號、第六三七號、第六三八號、第六三九號、第六四〇號、第六四一號、第六四二號、第六四三號、第六四四號、第六四五號、第六四六號、第六四七號、第六四八號、第六四九號、第六五〇號、第六五一號、第六五二號、第六五三號、第六五四號、第六五五號、第六五六號、第六五七號、第六五八號、第六五九號、第六六〇號、第六六一號、第六六二號、第六六三號、第六六四號、第六六五號、第六六六號、第六六七號、第六六八號、第六六九號、第六七〇號、第六七一號、第六七二號、第六七三號、第六七四號、第六七五號、第六七六號、第六七七號、第六七八號、第六七九號、第六八〇號、第六八一號、第六八二號、第六八三號、第六八四號、第六八五號、第六八六號、第六八七號、第六八八號、第六八九號、第六九〇號、第六九一號、第六九二號、第六九三號、第六九四號、第六九五號、第六九六號、第六九七號、第六九八號、第六九九號、第七〇〇號、第七〇一號、第七〇二號、第七〇三號、第七〇四號、第七〇五號、第七〇六號、第七〇七號、第七〇八號、第七〇九號、第七一〇號、第七一一號、第七一二號、第七一三號、第七一四號、第七一五號、第七一六號、第七一七號、第七一八號、第七一九號、第七二〇號、第七二一號、第七二二號、第七二三號、第七二四號、第七二五號、第七二六號、第七二七號、第七二八號、第七二九號、第七三〇號、第七三一號、第七三二號、第七三三號、第七三四號、第七三五號、第七三六號、第七三七號、第七三八號、第七三九號、第七四〇號、第七四一號、第七四二號、第七四三號、第七四四號、第七四五號、第七四六號、第七四七號、第七四八號、第七四九號、第七五〇號、第七五一號、第七五二號、第七五三號、第七五四號、第七五五號、第七五六號、第七五七號、第七五八號、第七五九號、第七六〇號、第七六一號、第七六二號、第七六三號、第七六四號、第七六五號、第七六六號、第七六七號、第七六八號、第七六九號、第七七〇號、第七七一號、第七七二號、第七七三號、第七七四號、第七七五號、第七七六號、第七七七號、第七七八號、第七七九號、第七八〇號、第七八一號、第七八二號、第七八三號、第七八四號、第七八五號、第七八六號、第七八七號、第七八八號、第七八九號、第七九〇號、第七九一號、第七九二號、第七九三號、第七九四號、第七九五號、第七九六號、第七九七號、第七九八號、第七九九號、第八〇〇號、第八〇一號、第八〇二號、第八〇三號、第八〇四號、第八〇五號、第八〇六號、第八〇七號、第八〇八號、第八〇九號、第八一〇號、第八一一號、第八一二號、第八一三號、第八一四號、第八一五號、第八一六號、第八一七號、第八一八號、第八一九號、第八二〇號、第八二一號、第八二二號、第八二三號、第八二四號、第八二五號、第八二六號、第八二七號、第八二八號、第八二九號、第八三〇號、第八三一號、第八三二號、第八三三號、第八三四號、第八三五號、第八三六號、第八三七號、第八三八號、第八三九號、第八四〇號、第八四一號、第八四二號、第八四三號、第八四四號、第八四五號、第八四六號、第八四七號、第八四八號、第八四九號、第八五〇號、第八五一號、第八五二號、第八五三號、第八五四號、第八五五號、第八五六號、第八五七號、第八五八號、第八五九號、第八六〇號、第八六一號、第八六二號、第八六三號、第八六四號、第八六五號、第八六六號、第八六七號、第八六八號、第八六九號、第八七〇號、第八七一號、第八七二號、第八七三號、第八七四號、第八七五號、第八七六號、第八七七號、第八七八號、第八七九號、第八八〇號、第八八一號、第八八二號、第八八三號、第八八四號、第八八五號、第八八六號、第八八七號、第八八八號、第八八九號、第八九〇號、第八九一號、第八九二號、第八九三號、第八九四號、第八九五號、第八九六號、第八九七號、第八九八號、第八九九號、第九〇〇號、第九〇一號、第九〇二號、第九〇三號、第九〇四號、第九〇五號、第九〇六號、第九〇七號、第九〇八號、第九〇九號、第九一〇號、第九一一號、第九一二號、第九一三號、第九一四號、第九一五號、第九一六號、第九一七號、第九一八號、第九一九號、第九二〇號、第九二一號、第九二二號、第九二三號、第九二四號、第九二五號、第九二六號、第九二七號、第九二八號、第九二九號、第九三〇號、第九三一號、第九三二號、第九三三號、第九三四號、第九三五號、第九三六號、第九三七號、第九三八號、第九三九號、第九四〇號、第九四一號、第九四二號、第九四三號、第九四四號、第九四五號、第九四六號、第九四七號、第九四八號、第九四九號、第九五〇號、第九五一號、第九五二號、第九五三號、第九五四號、第九五五號、第九五六號、第九五七號、第九五八號、第九五九號、第九六〇號、第九六一號、第九六二號、第九六三號、第九六四號、第九六五號、第九六六號、第九六七號、第九六八號、第九六九號、第九七〇號、第九七一號、第九七二號、第九七三號、第九七四號、第九七五號、第九七六號、第九七七號、第九七八號、第九七九號、第九八〇號、第九八一號、第九八二號、第九八三號、第九八四號、第九八五號、第九八六號、第九八七號、第九八八號、第九八九號、第九九〇號、第九九一號、第九九二號、第九九三號、第九九四號、第九九五號、第九九六號、第九九七號、第九九八號、第九九九號、第一〇〇〇號、第一〇〇一號、第一〇〇二號、第一〇〇三號、第一〇〇四號、第一〇〇五號、第一〇〇六號、第一〇〇七號、第一〇〇八號、第一〇〇九號、第一〇一〇號、第一〇一一號、第一〇一二號、第一〇一三號、第一〇一四號、第一〇一五號、第一〇一六號、第一〇一七號、第一〇一八號、第一〇一九號、第一〇二〇號、第一〇二一號、第一〇二二號、第一〇二三號、第一〇二四號、第一〇二五號、第一〇二六號、第一〇二七號、第一〇二八號、第一〇二九號、第一〇三〇號、第一〇三一號、第一〇三二號、第一〇三三號、第一〇三四號、第一〇三五號、第一〇三六號、第一〇三七號、第一〇三八號、第一〇三九號、第一〇四〇號、第一〇四一號、第一〇四二號、第一〇四三號、第一〇四四號、第一〇四五號、第一〇四六號、第一〇四七號、第一〇四八號、第一〇四九號、第一〇五〇號、第一〇五一號、第一〇五二號、第一〇五三號、第一〇五四號、第一〇五五號、第一〇五六號、第一〇五七號、第一〇五八號、第一〇五九號、第一〇六〇號、第一〇六一號、第一〇六二號、第一〇六三號、第一〇六四號、第一〇六五號、第一〇六六號、第一〇六七號、第一〇六八號、第一〇六九號、第一〇七〇號、第一〇七一號、第一〇七二號、第一〇七三號、第一〇七四號、第一〇七五號、第一〇七六號、第一〇七七號、第一〇七八號、第一〇七九號、第一〇八〇號、第一〇八一號、第一〇八二號、第一〇八三號、第一〇八四號、第一〇八五號、第一〇八六號、第一〇八七號、第一〇八八號、第一〇八九號、第一〇九〇號、第一〇九一號、第一〇九二號、第一〇九三號、第一〇九四號、第一〇九五號、第一〇九六號、第一〇九七號、第一〇九八號、第一〇九九號、第一一〇〇號、第一一〇一號、第一一〇二號、第一一〇三號、第一一〇四號、第一一〇五號、第一一〇六號、第一一〇七號、第一一〇八號、第一一〇九號、第一一一〇號、第一一一一號、第一一一二號、第一一一三號、第一一一四號、第一一一五號、第一一一六號、第一一一七號、第一一一八號、第一一一九號、第一一二〇號、第一一二一號、第一一二二號、第一一二三號、第一一二四號、第一一二五號、第一一二六號、第一一二七號、第一一二八號、第一一二九號、第一一三〇號、第一一三一號、第一一三二號、第一一三三號、第一一三四號、第一一三五號、第一一三六號、第一一三七號、第一一三八號、第一一三九號、第一一四〇號、第一一四一號、第一一四二號、第一一四三號、第一一四四號、第一一四五號、第一一四六號、第一一四七號、第一一四八號、第一一四九號、第一一五〇號、第一一五一號、第一一五二號、第一一五三號、第一一五四號、第一一五五號、第一一五六號、第一一五七號、第一一五八號、第一一五九號、第一一六〇號、第一一六一號、第一一六二號、第一一六三號、第一一六四號、第一一六五號、第一一六六號、第一一六七號、第一一六八號、第一一六九號、第一一七〇號、第一一七一號、第一一七二號、第一一七三號、第一一七四號、第一一七五號、第一一七六號、第一一七七號、第一一七八號、第一一七九號、第一一八〇號、第一一八一號、第一一八二號、第一一八三號、第一一八四號、第一一八五號、第一一八六號、第一一八七號、第一一八八號、第一一八九號、第一一九〇號、第一一九一號、第一一九二號、第一一九三號、第一一九四號、第一一九五號、第一一九六號、第一一九七號、第一一九八號、第一一九九號、第一二〇〇號、第一二〇一號、第一二〇二號、第一二〇三號、第一二〇四號、第一二〇五號、第一二〇六號、第一二〇七號、第一二〇八號、第一二〇九號、第一二一〇號、第一二一一號、第一二一二號、第一二一三號、第一二一四號、第一二一五號、第一二一六號、第一二一七號、第一二一八號、第一二一九號、第一二二〇號、第一二二一號、第一二二二號、第一二二三號、第一二二四號、第一二二五號、第一二二六號、第一二二七號、第一二二八號、第一二二九號、第一二三〇號、第一二三一號、第一二三二號、第一二三三號、第一二三四號、第一二三五號、第一二三六號、第一二三七號、第一二三八號、第一二三九號、第一二四〇號、第一二四一號、第一二四二號、第一二四三號、第一二四四號、第一二四五號、第一二四六號、第一二四七號、第一二四八號、第一二四九號、第一二五〇號、第一二五一號、第一二五二號、第一二五三號、第一二五四號、第一二五五號、第一二五六號、第一二五七號、第一二五八號、第一二五九號、第一二六〇號、第一二六一號、第一二六二號、第一二六三號、第一二六四號、第一二六五號、第一二六六號、第一二六七號、第一二六八號、第一二六九號、第一二七〇號、第一二七一號、第一二七二號、第一二七三號、第一二七四號、第一二七五號、第一二七六號、第一二七七號、第一二七八號、第一二七九號、第一二八〇號、第一二八一號、第一二八二號、第一二八三號、第一二八四號、第一二八五號、第一二八六號、第一二八七號、第一二八八號、第一二八九號、第一二九〇號、第一二九一號、第一二九二號、第一二九三號、第一二九四號、第一二九五號、第一二九六號、第一二九七號、第一二九八號、第一二九九號、第一三〇〇號、第一三〇一號、第一三〇二號、第一三〇三號、第一三〇四號、第一三〇五號、第一三〇六號、第一三〇七號、第一三〇八號、第一三〇九號、第一三一〇號、第一三一一號、第一三一二號、第一三一三號、第一三一四號、第一三一五號、第一三一六號、第一三一七號、第一三一八號、第一三一九號、第一三二〇號、第一三二一號、第一三二二號、第一三二三號、第一三二四號、第一三二五號、第一三二六號、第一三二七號、第一三二八號、第一三二九號、第一三三〇號、第一三三一號、第一三三二號、第一三三三號、第一三三四號、第一三三五號、第一三三六號、第一三三七號、第一三三八號、第一三三九號、第一三四〇號、第一三四一號、第一三四二號、第一三四三號、第一三四四號、第一三四五號、第一三四六號、第一三四七號、第一三四八號、第一三四九號、第一三五〇號、第一三五一號、第一三五二號、第一三五三號、第一三五四號、第一三五五號、第一三五六號、第一三五七號、第一三五八號、第一三五九號、第一三六〇號、第一三六一號、第一三六二號、第一三六三號、第一三六四號、第一三六五號、第一三六六號、第一三六七號、第一三六八號、第一三六九號、第一三七〇號、第一三七一號、第一三七二號、第一三七三號、第一三七四號、第一三七五號、第一三七六號、第一三七七號、第一三七八號、第一三七九號、第一三八〇號、第一三八一號、第一三八二號、第一三八三號、第一三八四號、第一三八五號、第一三八六號、第一三八七號、第一三八八號、第一三八九號、第一三九〇號、第一三九一號、第一三九二號、第一三九三號、第一三九四號、第一三九五號、第一三九六號、第一三九七號、第一三九八號、第一三九九號、第一四〇〇號、第一四〇一號、第一四〇二號、第一四〇三號、第一四〇四號、第一四〇五號、第一四〇六號、第一四〇七號、第一四〇八號、第一四〇九號、第一四一〇號、第一四一一號、第一四一二號、第一四一三號、第一四一四號、第一四一五號、第一四一六號、第一四一七號、第一四一八號、第一四一九號、第一四二〇號、第一四二一號、第一四二二號、第一四二三號、第一四二四號、第一四二五號、第一四二六號、第一四二七號、第一四二八號、第一四二九號、第一四三〇號、第一四三一號、第一四三二號、第一四三三號、第一四三四號、第一四三五號、第一四三六號、第一四三七號、第一四三八號、第一四三九號、第一四四〇號、第一四四一號、第一四四二號、第一四四三號、第一四四四號、第一四四五號、第一四四六號、第一四四七號、第一四四八號、第一四四九號、第一四五〇號、第一四五一號、第一四五二號、第一四五三號、第一四五四號、第一四五五號、第一四五六號、第一四五七號、第一四五八號、第一四五九號、第一四六〇號、第一四六一號、第一四六二號、第一四六三號、第一四六四號、第一四六五號、第一四六六號、第一四六七號、第一四六八號、第一四六九號、第一四七〇號、第一四七一號、第一四七二號、第一四七三號、第一四七四號、第一四七五號、第一四七六號、第一四七七號、第一四七八號、第一四七九號、第一四八〇號、第一四八一號、第一四八二號、第一四八三號、第一四八四號、第一四八五號、第一四八六號、第一四八七號、第一四八八號、第一四八九號、第一四九〇號、第一四九一號、第一四九二號、第一四九三號、第一四九四號、第一四九五號、第一四九六號、第一四九七號、第一四九八號、第一四九九號、第一五〇〇號、第一五〇一號、第一五〇二號、第一五〇三號、第一五〇四號、第一五〇五號、第一五〇六號、第一五〇七號、第一五〇八號、第一五〇九號、第一五一〇號、第一五一一號、第一五一二號、第一五一三號、第一五一四號、第一五一五號、第一五一六號、第一五一七號、第一五一八號、第一五一九號、第一五二〇號、第一五二一號、第一五二二號、第一五二三號、第一五二四號、第一五二五號、第一五二六號、第一五二七號、第一五二八號、第一五二九號、第一五三〇號、第一五三一號、第一五三二號、第一五三三號、第一五三四號、第一五三五號、第一五三六號、第一五三七號、第一五三八號、第一五三九號、第一五四〇號、第一五四一號、第一五四二號、第一五四三號、第一五四四號、第一五四五號、第一五四六號、第一五四七號、第一五四八號、第一五四九號、第一五五〇號、第一五五一號、第一五五二號、第一五五三號、第一五五四號、第一五五五號、第一五五六號、第一五五七號、第一五五八號、第一五五九號、第一五六〇號、第一五六一號、第一五六二號、第一五六三號、第一五六四號、第一五六五號、第一五六六號、第一五六七號、第一五六八號、第一五六九號、第一五七〇號、第一五七一號、第一五七二號、第一五七三號、第一五七四號、第一五七五號、第一五七六號、第一五七七號、第一五七八號、第一五七九號、第一五八〇號、第一五八一號、第一五八二號、第一五八三號、第一五八四號、第一五八五號、第一五八六號、第一五八七號、第一五八八號、第一五八九號、第一五九〇號、第一五九一號、第一五九二號、第一五九三號、第一五九四號、第一五九五號、第一五九六號、第一五九七號、第一五九八號、第一五九九號、第一六〇〇號、第一六〇一號、第一六〇二號、第一六〇三號、第一六〇四號、第一六〇五號、第一六〇六號、第一六〇七號、第一六〇八號、第一六〇九號、第一六一〇號、第一六一一號、第一六一二號、第一六一三號、第一六一四號、第一六一五號、第一六一六號、第一六一七號、第一六一八號、第一六一九號、第一六二〇號、第一六二一號、第一六二二號、第一六二三號、第一六二四號、第一六二五號、第一六二六號、第一六二七號、第一六二八號、第一六二九號、第一六三〇號、第一六三一號、第一六三二號、第一六三三號、第一六三四號、第一六三五號、第一六三六號、第一六三七號、第一六三八號、第一六三九號、第一六四〇號、第一六四一號、第一六四二號、第一六四三號、第一六四四號、第一六四五號、第一六四六號、第一六四七號、第一六四八號、第一六四九號、第一六五〇號、第一六五一號、第一六五二號、第一六五三號、第一六五四號、第一六五五號、第一六五六號、第一六五七號、第一六五八號、第一六五九號、第一六六〇號、第一六六一號、第一六六二號、第一六六三號、第一六六四號、第一六六五號、第一六六六號、第一六六七號、第一六六八號、第一六六九號、第一六七〇號、第一六七一號、第一六七二號、第一六七三號、第一六七四號、第一六七五號、第一六七六號、第一六七七號、第一六七八號、第一六七九號、第一六八〇號、第一六八一號、第一六八二號、第一六八三號、第一六八四號、第一六八五號、第一六八六號、第一六八七號、第一六八八號、第一六八九號、第一六九〇號、第一六九一號、第一六九二號、第一六九三號、第一六九四號、第一六九五號、第一六九六號、第一六九七號、第一六九八號、第一六九九號、第一七〇〇號、第一七〇一號、第一七〇二號、第一七〇三號、第一七〇四號、第一七〇五號、第一七〇六號、第一七〇七號、第一七〇八號、第一七〇九號、第一七一〇號、第一七一一號、第一七一二號、第一七一三號、第一七一四號、第一七一五號、第一七一六號、第一七一七號、第一七一八號、第一七一九號、第一七二〇號、第一七二一號、第一七二二號、第一七二三號、第一七二四號、第一七二五號、第一七二六號、第一七二七號、第一七二八號、第一七二九號、第一七三〇號、第一七三一號、第一七三二號、第一七三三號、第一七三四號、第一七三五號、第一七三六號、第一七三七號、第一七三八號、第一七三九號、第一七四〇號、第一七四一號、第一七四二號、第一七四三號、第一七四四號、第一七四五號、第一七四六號、第一七四七號、第一七四八號、第一七四九號、第一七五〇號、第一七五一號、第一七五二號、第一七五三號、第一七五四號、第一七五五號、第一七五六號、第一七五七號、第一七五八號、第一七五九號、第一七六〇號、第一七六一號、第一七六二號、第一七六三號、第一七六四號、第一七六五號、第一七六六號、第一七六七號、第一七六八號、第一七六九號、第一七七〇號、第一七七一號、第一七七二號、第一七七三號、第一七七四號、第一七七五號、第一七七六號、第一七七七號、第一七七八號、第一七七九號、第一七八〇號、第一七八一號、第一七八二號、第一七八三號、第一七八四號、第一七八五號、第一七八六號、第一七八七號、第一七八八號、第一七八九號、第一七九〇號、第一七九一號、第一七九二號、第一七九三號、第一七九四號、第一七九五號、第一七九六號、第一七九七號、第一七九八號、第一七九九號、第一八〇〇號、第一八〇一號、第一八〇二號、第一八〇三號、第一八〇四號、第一八〇五號、第一八〇六號、第一八〇七號、第一八〇八號、第一八〇九號、第一八一〇號、第一八一一號、第一八一二號、第一八一三號、第一八一四號、第一八一五號、第一八一六號、第一八一七號、第一八一八號、第一八一九號、第一八二〇號、第一八二一號、第一八二二號、第一八二三號、第一八二四號、第一八二五號、第一八二六號、第一八二七號、第一八二八號、第一八二九號、第一八三〇號、第一八三一號、第一八三二號、第一八三三號、第一八三四號、第一八三五號、第一八三六號、第一八三七號、第一八三八號、第一八三九號、第一八四〇號、第一八四一號、第一八四二號、第一八四三號、第一八四四號、第一八四五號、第一八四六號、第一八四七號、第一八四八號、第一八四九號、第一八五〇號、第一八五一號、第一八五二號、第一八五三號、第一八五四號、第一八五五號、第一八五六號、第一八五七號、第一八五八號、第一八五九號、第一八六〇號、第一八六一號、第一八六二號、第一八六三號、第一八六四號、第一八六五號、第一八六六號、第一八六七號、第一八六八號、第一八六九號、第一八七〇號、第一八七一號、第一八七二號、第一八七三號、第一八七四號、第一八七五號、第一八七六號、第一八七七號、第一八七八號、第一八七九號、第一八八〇號、第一八八一號、第一八八二號、第一八八三號、第一八八四號、第一八八五號、第一八八六號、第一八八七號、第一八八八號、第一八八九號、第一八九〇號、第一八九一號、第一八九二號、第一八九三號、第一八九四號、第一八九五號、第一八九六號、第一八九七號、第一八九八號、第一八九九號、第一九〇〇號、第一九〇一號、第一九〇二號、第一九〇三號、第一九〇四號、第一九〇五號、第一九〇六號、第一九〇七號、第一九〇八號、第一九〇九號、第一九一〇號、第一九一一號、第一九一二號、第一九一三號、第一九一四號、第一九一五號、第一九一六號、第一九一七號、第一九一八號、第一九一九號、第一九二〇號、第一九二一號、第一九二二號、第一九二三號、第一九二四號、第一九二五號、第一九二六號、第一九二七號、第一九二八號、第一九二九號、第一九三〇號、第一九三一號、第一九三二號、第一九三三號、第一九三四號、第一九三五號、第一九三六號、第一九三七號、第一九三八號、第一九三九號、第一九四〇號、第一九四一號、第一九四二號、第一九四三號、第一九四四號、第一九四五號、第一九四六號、第一九四七號、第一九四八號、第一九四九號、第一九五〇號、第一九五一號、第一九五二號、第一九五三號、第一九五四號、第一九五五號、第一九五六號、第一九五七號、第一九五八號、第一九五九號、第一九六〇號、第一九六一號、第一九六二號、第一九六三號、第一九六四號、第一九六五號、第一九六六號、第一九六七號、第一九六八號、第一九六九號、第一九七〇號、第一九七一號、第一九七二號、第一九七三號、第一九七四號、第一九七五號、第一九七六號、第一九七七號、第一九七八號、第一九七九號、第一九八〇號、第一九八一號、第一九八二號、第一九八三號、第一九八四號、第一九八五號、第一九八六號、第一九八七號、第一九八八號、第一九八九號、第一九九〇號、第一九九一號、第一九九二號、第一九九三號、第一九九四號、第一九九五號、第一九九六號、第一九九七號、第一九九八號、第一九九九號、第二〇〇〇號、第二〇〇一號、第二〇〇二號、第二〇〇三號、第二〇〇四號、第二〇〇五號、第二〇〇六號、第二〇〇七號、第二〇〇八號、第二〇〇九號、第二〇一〇號、第二〇一一號、第二〇一二號、第二〇一三號、第二〇一四號、第二〇一五號、第二〇一六號、第二〇一七號、第二〇一八號、第二〇一九號、第二〇二〇號、第二〇二一號、第二〇二二號、第二〇二三號、第二〇二四號、第二〇二五號、第二〇二六號、第二〇二七號、第二〇二八號、第二〇二九號、第二〇三〇號、第二〇三一號、第二〇三二號、第二〇三三號、第二〇三四號、第二〇三五號、第二〇三六號、第二〇三七號、第二〇三八號、第二〇三九號、第二〇四〇號、第二〇四一號、第二〇四二號、第二〇四三號、第二〇四四號、第二〇四五號、第二〇四六號、第二〇四七號、第二〇四八號、第二〇四九號、第二〇五〇號、第二〇五一號、第二〇五二號、第二〇五三號、第二〇五四號、第二〇五五號、第二〇五六號、第二〇五七號、第二〇五八號、第二〇五九號、第二〇六〇號、第二〇六一號、第二〇六二號、第二〇六三號、第二〇六四號、第二〇六五號、第二〇六六號、第二〇六七號、第二〇六八號、第二〇六九號、第二〇七〇號、第二〇七一號、第二〇七二號、第二〇七三號、第二〇七四號、第二〇七五號、第二〇七六號、第二〇七七號、第二〇七八號、第二〇七九號、第二〇八〇號、第二〇八一號、第二〇八二號、第二〇八三號、第二〇八四號、第二〇八五號、第二〇八六號、第二〇八七號、第二〇八八號、第二〇八九號、第二〇九〇號、第二〇九一號、第二〇九二號、第二〇九三號、第二〇九四號、第二〇九五號、第二〇九六號、第二〇九七號、第二〇九八號、第二〇九九號、第二一〇〇號、第二一〇一號、第二一〇二號、第二一〇三號、第二一〇四號、第二一〇五號、第二一〇六號、第二一〇七號、第二一〇八號、第二一〇

| 淀 | 光 | 寮 | 芦 | 葭 | 和 | 府 | 南 | 海 | 蟹 | 琅 | 長 | 濱 | 成 | 巢 | 舞 | 浦

府	安	飯	錦	平	福	谷	松	磐	白	南	長	瑞	新	延	信	資	敷
川	川	豐	郡	鎭	島	山	永	野	川	川	岡	穗	莊	安	川	川	寧
十殺地	九殺地	十殺地	六殺地	四殺地	十殺地	十殺地	十殺地	十殺地	十殺地	九殺地	九殺地	十殺地	十殺地	八殺地	八殺地	九殺地	十殺地
平安南道	平安南道	平安南道	平安南道	平安南道	慶尙南道	黃海道	黃海道	黃海道	黃海道	黃海道	黃海道	黃海道	黃海道	黃海道	平安南道	平安南道	平安南道
安州郡	安州郡	飯豐郡	錦南部	平壤府一四	鎭海郡	谷山郡	松禾郡	載寧郡	白川郡	南浦府	長淵郡	瑞興郡	新安州	延白郡	信川郡	價川郡	順川郡
安州郡ノ內安州面、新安州面ノ內新安州、價川面ノ內價川、順川面ノ內順川、德川面ノ內德川、嘉山面ノ內嘉山、博川面ノ內博川、定州郡ノ內定州、郭山郡ノ內郭山、宣川郡ノ內宣川、鐵山郡ノ內鐵山、龍川郡ノ內龍川、義州郡ノ內義州、昌城郡ノ內昌城、朔州郡ノ內朔州、碧潼郡ノ內碧潼、楚山郡ノ內楚山、江界郡ノ內江界、厚昌郡ノ內厚昌、渭原郡ノ內渭原、慈城郡ノ內慈城、甲山郡ノ內甲山、惠山鎭ノ內惠山鎭、三水郡ノ內三水、甲山郡ノ內甲山、長津郡ノ內長津、咸興府ノ內咸興、咸興郡ノ內咸興、永興郡ノ內永興、定平郡ノ內定平、新興郡ノ內新興、文川郡ノ內文川、高原郡ノ內高原、德源郡ノ內德源、安邊郡ノ內安邊、永興郡ノ內永興、元山府ノ內元山、德源郡ノ內德源、文川郡ノ內文川、高原郡ノ內高原

| 水原 | 横浜 | 新潟 | 新潟 | 新潟

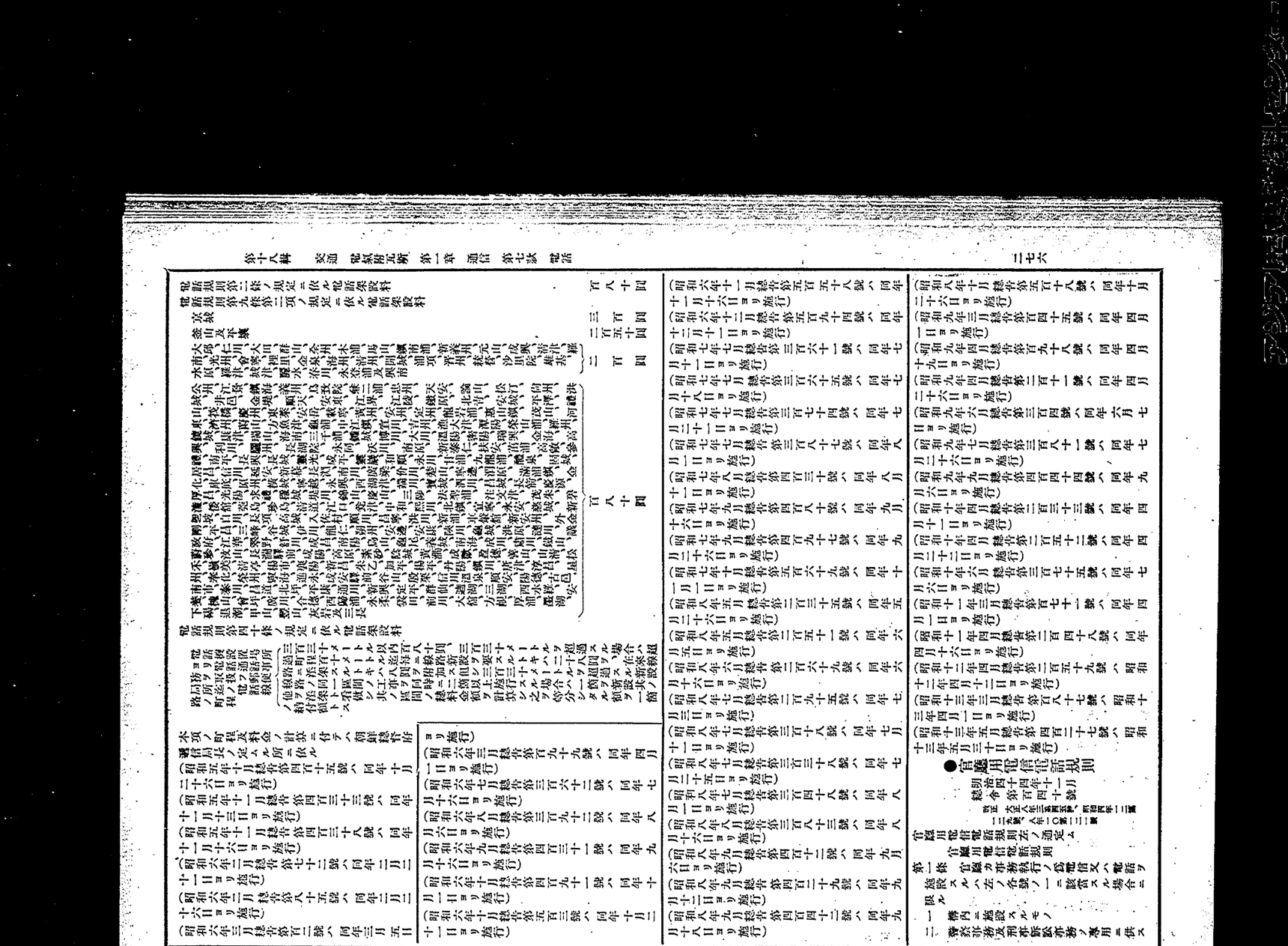
退潮	十銭地	成鏡南道	成川郡	西退潮面ノ内松傘里、松興里、新豊里、興上里	
甲山	十銭地	成鏡南道	甲山郡	長平面ノ内東部里、西部里、南部里、北部里	
豊山	十銭地	成鏡南道	豊山郡	豊山面ノ内新豊里、士雅里（四番地ノ二、自七八番地ノ三、自八〇番地ノ二、至八四番地ノ六、至八六番地ノ一）	
城津	七銭地	成鏡北道	城津郡	城津邑（蓬湖洞ノ内揚鷹嶺東北以遠ノ地ヲ除ク）	
清津	五銭地	成鏡北道	清津府	清津府一圓	
鏡城	十銭地	成鏡北道	鏡城郡	梧村面ノ内一里洞、斎星洞、勝岩洞、城南洞、城北洞、獨洞洞	
羅南	七銭地	成鏡北道	鏡城郡	羅南邑（羅北洞ヲ除ク）	
會寧	七銭地	成鏡北道	會寧郡	會寧邑（料洞ヲ除ク）	
雄基	七銭地	成鏡北道	慶興郡	雄基邑ノ内雄基洞、松坪洞、海岸ヨリ五百五十メートル以内ノ地、自鶴洞自一八六番地至二一一番地自二五六番地至三一五番地	
茂山	九銭地	成鏡北道	茂山郡	茂山面ノ内南山洞、城川洞	
吉州	九銭地	成鏡北道	吉州郡	吉州邑ノ内青南洞、吉北洞、春基洞	
漁大津	九銭地	成鏡北道	鏡城郡	漁郎面ノ内松新洞、松興洞	
鐘城	十銭地	成鏡北道	鐘城郡	鐘城面ノ内錦山洞、周山洞	
慶源	十銭地	成鏡北道	慶源郡	慶源面ノ内城内洞、檜洞	
穏城	十銭地	成鏡北道	穏城郡	穏城面ノ内東和洞、西興洞（自四三番地至五八番地ノ三、自三〇四番地ノ一三至三〇八番地）	
永安	十銭地	成鏡北道	明川郡	西面ノ内三郷洞（自一〇〇四番地至一〇〇七番地、自二八〇番地至八八五番地）	
三峰	十銭地	成鏡北道	鐘城郡	南山面ノ内三峰洞（自三五一番地至九九六番地）	
羅津	七銭地	成鏡北道	羅津府	羅津府（新水洞、草島洞、陰覆洞、明湖洞、新浜洞及羅津洞ヲ除ク）	
南陽	九銭地	成鏡北道	穏城郡	柔浦面ノ内南陽洞（自一番地至三三二番地）	
朱乙	十銭地	成鏡北道	鏡城郡	朱乙温面ノ内温川洞、龍郷洞	
西水羅	十銭地	成鏡北道	慶興郡	慶西面ノ内西水羅洞（自一番地至一五番地、自七九番地至八二番地、自一六三番地至一七一番地、自一七四番地至一八七番地ノ二、自九〇番地ノ一至九九番地）	

（昭和五年九月總督第三百九十一號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和五年十月總督第四百七號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和五年十月總督第四百十四號ノ同年十月二十六日ヨリ施行）
（昭和五年十一月總督第四百三十二號ノ同年十一月十三日ヨリ施行）
（昭和五年十一月總督第四百三十七號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和六年二月總督第七十一號ノ同年二月二十一日ヨリ施行）
（昭和六年二月總督第八十四號ノ同年二月二十六日ヨリ施行）
（昭和六年三月總督第百一號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和六年三月總督第百七十一號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和六年四月總督第二百二十九號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和六年五月總督第二百七十四號ノ同年五月六日ヨリ施行）
（昭和六年六月總督第三百七號ノ同年六月六日ヨリ施行）
（昭和六年七月總督第三百六十一號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和六年八月總督第三百九十一號ノ同年九月六日ヨリ施行）
（昭和六年九月總督第四百三十四號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和六年十月總督第四百七十四號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和六年十月總督第四百八十六號ノ同年十月十一日ヨリ施行）
（昭和六年十月總督第四百九十四號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和六年十一月總督第五百一號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和六年十一月總督第五百十一號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和六年十二月總督第五百二十九號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和六年十二月總督第五百三十四號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和七年一月總督第五百四十一號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和七年一月總督第五百四十六號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和七年二月總督第五百五十七號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和七年二月總督第五百六十二號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和七年三月總督第五百七十一號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和七年三月總督第五百七十六號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和七年四月總督第五百八十三號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和七年四月總督第五百八十八號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和七年五月總督第五百九十五號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和七年五月總督第六百一號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和七年六月總督第六百十一號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和七年六月總督第六百十六號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和七年七月總督第六百二十一號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和七年七月總督第六百二十六號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和七年八月總督第六百三十一號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和七年八月總督第六百三十六號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和七年九月總督第六百四十一號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和七年九月總督第六百四十六號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和七年十月總督第六百五十一號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和七年十月總督第六百五十六號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和七年十一月總督第六百六十一號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十一月總督第六百六十六號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和七年十二月總督第六百七十一號ノ昭和八年一月一日ヨリ施行）
（昭和八年一月總督第六百七十六號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和八年二月總督第六百八十一號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和八年二月總督第六百八十六號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和八年三月總督第六百九十一號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和八年三月總督第六百九十六號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和八年四月總督第七百一號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和八年四月總督第七百六號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和八年五月總督第七百十一號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和八年五月總督第七百十六號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和八年六月總督第七百二十一號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和八年六月總督第七百二十六號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和八年七月總督第七百三十一號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和八年七月總督第七百三十六號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和八年八月總督第七百四十一號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和八年八月總督第七百四十六號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和八年九月總督第七百五十一號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和八年九月總督第七百五十六號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和八年十月總督第七百六十一號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和八年十月總督第七百六十六號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和八年十一月總督第七百七十一號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和八年十一月總督第七百七十六號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和八年十二月總督第七百八十一號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和八年十二月總督第七百八十六號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和九年一月總督第七百九十一號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和九年一月總督第七百九十六號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和九年二月總督第八百一號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和九年二月總督第八百六號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和九年三月總督第八百十一號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和九年三月總督第八百十六號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和九年四月總督第八百二十一號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和九年四月總督第八百二十六號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和九年五月總督第八百三十一號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和九年五月總督第八百三十六號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和九年六月總督第八百四十一號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和九年六月總督第八百四十六號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和九年七月總督第八百五十一號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和九年七月總督第八百五十六號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和九年八月總督第八百六十一號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和九年八月總督第八百六十六號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和九年九月總督第八百七十一號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和九年九月總督第八百七十六號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和九年十月總督第八百八十一號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和九年十月總督第八百八十六號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和九年十一月總督第八百九十一號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和九年十一月總督第八百九十六號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和九年十二月總督第九百一號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和九年十二月總督第九百六號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十年一月總督第九百十一號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十年一月總督第九百十六號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十年二月總督第九百二十一號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十年二月總督第九百二十六號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十年三月總督第九百三十一號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十年三月總督第九百三十六號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十年四月總督第九百四十一號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十年四月總督第九百四十六號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十年五月總督第九百五十一號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十年五月總督第九百五十六號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十年六月總督第九百六十一號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十年六月總督第九百六十六號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十年七月總督第九百七十一號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十年七月總督第九百七十六號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十年八月總督第九百八十一號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十年八月總督第九百八十六號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十年九月總督第九百九十一號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十年九月總督第九百九十六號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十年十月總督第千一號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十年十月總督第千六號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十年十一月總督第千十一號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十年十一月總督第千十六號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十年十二月總督第千二十一號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十年十二月總督第千二十六號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年一月總督第千三十一號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十一年一月總督第千三十六號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年二月總督第千四十一號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十一年二月總督第千四十六號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年三月總督第千五十一號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十一年三月總督第千五十六號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年四月總督第千六十一號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十一年四月總督第千六十六號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年五月總督第千七十一號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十一年五月總督第千七十六號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年六月總督第千八十一號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十一年六月總督第千八十六號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年七月總督第千九十一號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十一年七月總督第千九十六號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年八月總督第二百一號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十一年八月總督第二百六號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年九月總督第二百十一號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十一年九月總督第二百十六號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年十月總督第二百二十一號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十月總督第二百二十六號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年十一月總督第二百三十一號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十一月總督第二百三十六號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年十二月總督第二百四十一號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十二月總督第二百四十六號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年一月總督第二百五十一號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十二年一月總督第二百五十六號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年二月總督第二百六十一號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十二年二月總督第二百六十六號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年三月總督第二百七十一號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十二年三月總督第二百七十六號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年四月總督第二百八十一號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十二年四月總督第二百八十六號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年五月總督第二百九十一號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十二年五月總督第二百九十六號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年六月總督第三百一號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十二年六月總督第三百六號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年七月總督第三百十一號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十二年七月總督第三百十六號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年八月總督第三百二十一號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十二年八月總督第三百二十六號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年九月總督第三百三十一號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十二年九月總督第三百三十六號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年十月總督第三百四十一號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十月總督第三百四十六號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年十一月總督第三百五十一號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十一月總督第三百五十六號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年十二月總督第三百六十一號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十二月總督第三百六十六號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年一月總督第三百七十一號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十三年一月總督第三百七十六號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年二月總督第三百八十一號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十三年二月總督第三百八十六號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年三月總督第三百九十一號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十三年三月總督第三百九十六號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年四月總督第四百一號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十三年四月總督第四百六號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年五月總督第四百十一號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十三年五月總督第四百十六號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年六月總督第四百二十一號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十三年六月總督第四百二十六號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年七月總督第四百三十一號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十三年七月總督第四百三十六號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年八月總督第四百四十一號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十三年八月總督第四百四十六號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年九月總督第四百五十一號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十三年九月總督第四百五十六號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年十月總督第四百六十一號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十三年十月總督第四百六十六號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年十一月總督第四百七十一號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十三年十一月總督第四百七十六號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年十二月總督第四百八十一號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十三年十二月總督第四百八十六號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）

灰岩	十銭地	成鏡北道	慶興郡
三長	十銭地	成鏡北道	茂山郡

上下面ノ内灰岩洞（自一番地至一四番地ノ一、自一九番地ノ一、自八三番地ノ三、至一〇四番地ノ四、自一〇九番地ノ一、至一一〇番地ノ一、自一一二番地ノ一、至一一六番地ノ四）
三長面ノ内三上洞（自一番地至九六番地）、西下面ノ内臨江洞（七五六番地）

（昭和十一年四月總督第二百六十八號ノ同年四月二十六日ヨリ施行）
（昭和十一年六月總督第三百五十九號ノ同年十一月十一日ヨリ施行）
（昭和十一年七月總督第四百三十號ノ昭和十一年八月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十一月總督第六百十五號ノ同年十一月二十一日ヨリ施行）
（昭和十一年十一月總督第六百四十九號ノ昭和十二年一月二十一日ヨリ施行）
（昭和十二年一月總督第六百五十四號ノ同年一月二十六日ヨリ施行）
（昭和十二年二月總督第六百六十五號ノ昭和十二年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年三月總督第六百七十六號ノ昭和十二年三月一日ヨリ施行）
（昭和十二年三月總督第六百八十三號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年四月總督第六百九十二號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十二年四月總督第七百一號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年五月總督第七百十號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十二年五月總督第七百十九號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年六月總督第七百二十八號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十二年六月總督第七百三十七號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年七月總督第七百四十六號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十二年七月總督第七百五十五號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年八月總督第七百六十四號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十二年八月總督第七百七十三號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年九月總督第七百八十二號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十二年九月總督第七百九十一號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年十月總督第八百號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十月總督第八百九號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年十一月總督第八百十八號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十一月總督第八百二十七號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十二年十二月總督第八百三十六號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十二月總督第八百四十五號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年一月總督第八百五十四號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十三年一月總督第八百六十三號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年二月總督第八百七十二號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十三年二月總督第八百八十一號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年三月總督第八百九十號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十三年三月總督第八百九十九號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年四月總督第九百八號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十三年四月總督第九百十七號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年五月總督第九百二十六號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十三年五月總督第九百三十五號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年六月總督第九百四十四號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十三年六月總督第九百五十三號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年七月總督第九百六十二號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十三年七月總督第九百七十一號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年八月總督第九百八十號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十三年八月總督第九百八十九號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年九月總督第九百九十八號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十三年九月總督第千七號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年十月總督第千十六號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十三年十月總督第千二十五號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年十一月總督第千三十四號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十三年十一月總督第千四十三號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年十二月總督第千五十二號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十三年十二月總督第千六十一號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年一月總督第千七十號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十四年一月總督第千七十九號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年二月總督第千八十八號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十四年二月總督第千九十七號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年三月總督第千百六號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十四年三月總督第千百十五號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年四月總督第千百二十四號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十四年四月總督第千百三十三號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年五月總督第千百四十二號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十四年五月總督第千百五十一號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年六月總督第千百六十號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十四年六月總督第千百六十九號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年七月總督第千百七十八號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十四年七月總督第千百八十七號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年八月總督第千百九十六號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十四年八月總督第千二百五號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年九月總督第千二百十四號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十四年九月總督第千二百二十三號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年十月總督第千二百三十二號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十四年十月總督第千二百四十一號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年十一月總督第千二百五十號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十四年十一月總督第千二百五十九號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十四年十二月總督第千二百六十八號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十四年十二月總督第千二百七十七號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年一月總督第千二百八十六號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十五年一月總督第千二百九十五號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年二月總督第千三百四號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十五年二月總督第千三百十三號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年三月總督第千三百二十二號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十五年三月總督第千三百三十一號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年四月總督第千三百四十號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十五年四月總督第千三百四十九號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年五月總督第千三百五十八號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十五年五月總督第千三百六十七號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年六月總督第千三百七十六號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十五年六月總督第千三百八十五號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年七月總督第千三百九十四號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十五年七月總督第千四百三號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年八月總督第千四百十二號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十五年八月總督第千四百二十一號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年九月總督第千四百三十號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十五年九月總督第千四百三十九號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年十月總督第千四百四十八號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十五年十月總督第千四百五十七號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年十一月總督第千四百六十六號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十五年十一月總督第千四百七十五號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十五年十二月總督第千四百八十四號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十五年十二月總督第千四百九十三號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年一月總督第千五百二號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十六年一月總督第千五百十一號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年二月總督第千五百二十號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十六年二月總督第千五百二十九號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年三月總督第千五百三十八號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十六年三月總督第千五百四十七號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年四月總督第千五百五十六號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十六年四月總督第千五百六十五號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年五月總督第千五百七十四號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十六年五月總督第千五百八十三號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年六月總督第千五百九十二號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十六年六月總督第千六百一號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年七月總督第千六百十號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十六年七月總督第千六百十九號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年八月總督第千六百二十八號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十六年八月總督第千六百三十七號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年九月總督第千六百四十六號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十六年九月總督第千六百五十五號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年十月總督第千六百六十四號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十六年十月總督第千六百七十三號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年十一月總督第千六百八十二號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十六年十一月總督第千六百九十一號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十六年十二月總督第千七百號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十六年十二月總督第千七百九號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年一月總督第千七百十八號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十七年一月總督第千七百二十七號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年二月總督第千七百三十六號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十七年二月總督第千七百四十五號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年三月總督第千七百五十四號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十七年三月總督第千七百六十三號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年四月總督第千七百七十二號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十七年四月總督第千七百八十一號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年五月總督第千七百九十號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十七年五月總督第千七百九十九號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年六月總督第千八百八號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十七年六月總督第千八百十七號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年七月總督第千八百二十六號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十七年七月總督第千八百三十五號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年八月總督第千八百四十四號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十七年八月總督第千八百五十三號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年九月總督第千八百六十二號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十七年九月總督第千八百七十一號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年十月總督第千八百八十號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十七年十月總督第千八百八十九號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年十一月總督第千八百九十八號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十七年十一月總督第千九百七號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十七年十二月總督第千九百十六號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十七年十二月總督第千九百二十五號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年一月總督第千九百三十四號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十八年一月總督第千九百四十三號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年二月總督第千九百五十二號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十八年二月總督第千九百六十一號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年三月總督第千九百七十號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十八年三月總督第千九百七十九號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年四月總督第千九百八十八號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十八年四月總督第千九百九十七號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年五月總督第二千六號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十八年五月總督第二千十五號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年六月總督第二千二十四號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十八年六月總督第二千三十三號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年七月總督第二千四十二號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十八年七月總督第二千五十一號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年八月總督第二千六十號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十八年八月總督第二千六十九號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年九月總督第二千七十八號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十八年九月總督第二千八十七號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年十月總督第二千九十六號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十八年十月總督第二千百五號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年十一月總督第二千百十四號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十八年十一月總督第二千百二十三號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十八年十二月總督第二千百三十二號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十八年十二月總督第二千百四十一號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年一月總督第二千百五十號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和十九年一月總督第二千百五十九號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年二月總督第二千百六十八號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和十九年二月總督第二千百七十七號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年三月總督第二千百八十六號ノ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十九年三月總督第二千百九十五號ノ同年三月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年四月總督第二千二百四號ノ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和十九年四月總督第二千二百十三號ノ同年四月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年五月總督第二千二百二十二號ノ同年五月一日ヨリ施行）
（昭和十九年五月總督第二千二百三十一號ノ同年五月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年六月總督第二千二百四十號ノ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十九年六月總督第二千二百四十九號ノ同年六月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年七月總督第二千二百五十八號ノ同年七月一日ヨリ施行）
（昭和十九年七月總督第二千二百六十七號ノ同年七月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年八月總督第二千二百七十六號ノ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和十九年八月總督第二千二百八十五號ノ同年八月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年九月總督第二千二百九十四號ノ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十九年九月總督第二千三百三號ノ同年九月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年十月總督第二千三百十二號ノ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十九年十月總督第二千三百二十一號ノ同年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年十一月總督第二千三百三十號ノ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十九年十一月總督第二千三百三十九號ノ同年十一月十六日ヨリ施行）
（昭和十九年十二月總督第二千三百四十八號ノ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十九年十二月總督第二千三百五十七號ノ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和二十年一月總督第二千三百六十六號ノ同年一月一日ヨリ施行）
（昭和二十年一月總督第二千三百七十五號ノ同年一月十六日ヨリ施行）
（昭和二十年二月總督第二千三百八十四號ノ同年二月一日ヨリ施行）
（昭和二十年二月總督第二千三百九十三號ノ同年二月十六日ヨリ施行）
（昭和二十年三



第十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、官用電話　一局ト一般ノ需要ニ應ジ設置スル電話トノ間ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話（單式）

二、專用電話　一局ト一般ノ需要ニ應ジ設置スル電話トノ間ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話（單式）

三、複式電話　一局ト一般ノ需要ニ應ジ設置スル二個ノ電話トノ間ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

四、共同電話　一局ト一般ノ需要ニ應ジ設置スル二個以上ノ電話トノ間ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

五、相互電話　一局ト一般ノ需要ニ應ジ設置スル二個ノ電話ヲ一個ノ電話ノ如ク使用シ得ル爲ノ電話

六、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

七、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

八、市內電話　一市內ニ設置スル電話

九、市外電話　一市外ニ設置スル電話

十、國際電話　外國ニ設置スル電話ト通話ヲ爲ス爲ノ電話

十一、船舶電話　船舶ニ設置スル電話ト通話ヲ爲ス爲ノ電話

十二、列車電話　列車ニ設置スル電話ト通話ヲ爲ス爲ノ電話

十三、鐵道電話　鐵道ニ設置スル電話ト通話ヲ爲ス爲ノ電話

十四、鑛山電話　鑛山ニ設置スル電話ト通話ヲ爲ス爲ノ電話

十五、專用電話　一局ト一般ノ需要ニ應ジ設置スル二個以上ノ電話トノ間ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

十六、特別電話　一局ト一般ノ需要ニ應ジ設置スル二個以上ノ電話トノ間ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、加入電話　電話ヲ使用スル爲ノ契約ヲ爲シタル者ノ電話

二、公衆電話　一般ノ需要ニ應ジ設置スル電話

三、特別電話　特別ノ契約ニ依リ設置スル電話

第十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第二十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第二十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第二十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第二十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第二十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第二十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第二十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第二十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第二十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第二十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第三十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第三十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第三十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第三十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第三十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第三十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第三十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第三十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第三十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第三十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第四十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第四十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第四十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第四十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第四十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第四十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第四十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第四十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第四十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第四十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第五十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第五十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第五十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第五十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第五十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第五十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第五十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第五十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第五十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第五十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第六十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第六十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第六十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第六十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第六十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第六十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第六十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第六十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第六十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第六十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第七十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第七十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第七十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第七十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第七十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第七十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第七十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第七十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第七十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第七十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第八十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第八十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第八十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第八十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第八十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第八十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第八十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第八十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第八十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第八十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第九十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第九十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第九十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第九十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第九十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第九十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第九十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第九十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第九十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第九十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第百一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第百二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第百三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第百六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第百七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第百八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第百十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第百十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第百十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第百十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第百十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第百十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百二十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第百二十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第百二十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第百二十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百二十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百二十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第百二十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第百二十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第百二十八條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百二十九條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百三十條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

第百三十一條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第百三十二條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、普通電話　普通ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

二、優先電話　普通電話ニ優先シテ通話ヲ爲ス爲ノ電話

三、緊急電話　緊急ノ通話ニ使用スル爲ノ電話

第百三十三條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、有線電話　一個ノ線路ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、無線電話　無線電信ニ依リ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百三十四條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單信電話　一個ノ線路ニ依リ一方ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

二、複信電話　一個ノ線路ニ依リ兩方ニ同時ニ通話ヲ爲ス爲ノ電話

第百三十五條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

一、單式電話　一個ノ線路ニ依リ一個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

二、複式電話　一個ノ線路ニ依リ二個ノ電話ヲ使用スル爲ノ電話

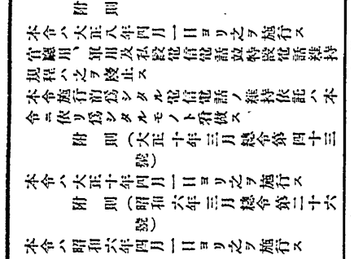
第百三十六條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之ヲ分ツ

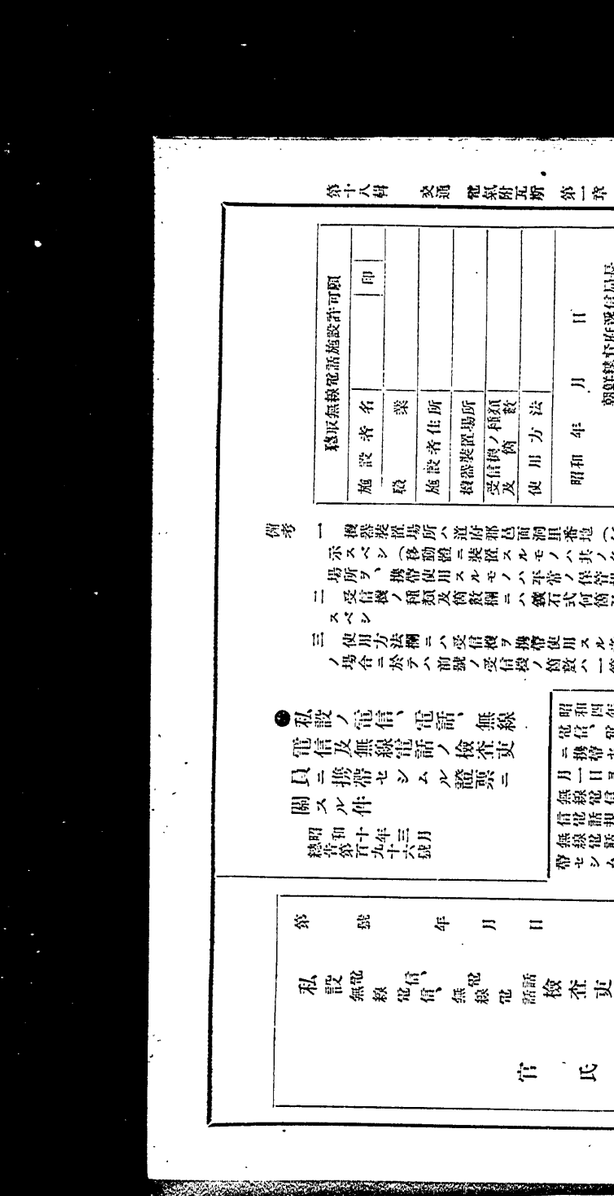
一、磁石電話　電氣ノ磁石ヲ利用シテ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

二、自動電話　電氣ノ自動作用ニ依リ呼出ヲ爲ス爲ノ電話

第百三十七條　電話ハ左ノ種類ニ依リ之

第一號樣式


狀況
發信者
第何號
居所
何某
何局
何月何日
何時何分
何局
何某
何番
何局
何某
何番
何局
何某
何番



ヨリ鋳鉄ヲ以テ造リ之ヲ地中ニ埋設スルモノトス

第二十七條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第二十八條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第二十九條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十一條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十二條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十三條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十四條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十五條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十六條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十七條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十八條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第三十九條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十一條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十二條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十三條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十四條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十五條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十六條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十七條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十八條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第四十九條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十一條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十二條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十三條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十四條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十五條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十六條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十七條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十八條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第五十九條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十一條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十二條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十三條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十四條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十五條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十六條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十七條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十八條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第六十九條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十一條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十二條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十三條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十四條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十五條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十六條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十七條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十八條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第七十九條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十一條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十二條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十三條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十四條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十五條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十六條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十七條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十八條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第八十九條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第九十條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第九十一條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第九十二條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第九十三條　水道ノ本管ハ之ヲ道路ノ中心ヨリ左右ニ振分ケテ布設スルヲ例トス

第二節　運搬荷扱

第二十四條　昭和十二年内務省令第十八號

（昭和十二年二月十五日）

（昭和十二年三月一日施行）

改正　昭和十六年内務省令第三十號

（昭和十六年四月一日施行）

（運搬荷扱ノ届出）

第二十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ開始シタル日ヨリ十日以内ニ左ノ事項ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

一　運搬荷扱ノ種類

二　運搬荷扱ノ場所

三　運搬荷扱ノ方法

（運搬荷扱ノ廃止）

第二十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第二十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第二十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第二十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第三十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第三十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第三十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第三十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第三十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第三十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第三十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第三十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第三十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第三十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第四十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第四十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第四十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第四十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第四十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第四十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第四十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第四十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第四十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第四十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第五十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第五十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第五十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第五十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第五十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第五十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第五十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第五十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第五十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第五十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第六十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第六十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第六十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第六十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第六十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第六十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第六十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第六十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第六十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第六十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第七十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第七十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第七十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第七十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第七十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第七十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第七十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第七十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第七十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第七十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第八十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第八十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第八十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第八十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第八十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第八十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第八十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第八十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第八十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第八十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第九十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第九十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第九十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第九十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第九十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第九十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第九十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第九十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第九十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第九十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百二十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百二十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百二十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百二十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百二十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百二十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百二十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百二十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百二十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百二十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百三十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百三十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百三十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百三十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百三十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百三十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百三十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百三十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百三十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百三十九條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百四十條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百四十一條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百四十二條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百四十三條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百四十四條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再開）

第百四十五條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ再開シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ廃止）

第百四十六條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ廃止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ変更）

第百四十七條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ変更シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ休止）

第百四十八條　運搬荷扱ヲ為ス者ハ其ノ運搬ヲ休止シタル日ヨリ十日以内ニ其ノ旨ヲ所轄警察官ニ届出ヅベシ

（運搬荷扱ノ再

ニ並行シ其ノ縦ノ距離ヲ四間以上トシ有效路面ノ幅ヨリ二尺以上ノ間隔ヲ保チ兩側五ニ對立セシメシテ之ヲ植付クヘシ

第三十九條　元標ハ朝鮮總督ノ指定シタル地點ニ之ヲ設クヘシ

里程標ヲ設クルトキハ其ノ道路ノ經過スル概要ナル地點ヨリノ里程及其ノ所在地名ヲ之ニ記載スヘシ

第四十條　制石、砂利其ノ他道路修繕用材料置場ハ道路ニ沿ヒ有效路面以外ノ地區ニ設クヘシ

第四十一條　市街地內ノ道路ハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外本章ノ規定ニ準據スルモノトス

第四章　道路ノ維持修繕ノ標準

第四十二條　道路ノ常時ノ維持修繕ハ成ルヘク左ノ概目ニ依リ之ヲ施行スヘシ

一　路面ノ上恆又ハ路面ノ制石若ハ砂利等ノ填補

二　路面ノ排水、掃除、除雪及雜草ノ芟除

三　側溝、暗渠及結繩等ノ浚渫又ハ掃除

四　擁割又ハ盛土ノ傾斜面ノ維持修繕

五　橋梁ノ維持修繕

六　竝樹ノ植栽及保護

第四十三條　道路ノ維持修繕ニ付テハ特ニ左ノ事項ニ注意スヘシ

一　日常ノ監視ヲ周到ニシ破損ヲ防止シ小破アルトキハ速ニ修繕ヲ加フルコト

二　路面ノ掃除竝擁割又ハ盛土ノ傾斜面ニ植芝ヲ爲スコト

三　路面ノ凹所ハ泥土ヲ除キ制石又ハ砂利ヲ填充シテ目潰ヲ撒布シ在來路面トノ結合ヲ能クスルコト

四　路面ニ砂利散ヲ施シタルトキハ其ノ固結セサル間ハ之ヲ攪均シ凹所ヲ生セシメサルコト

五　路面ニ使用スル制石又ハ砂利ハ粗大ナルモノヲ使用セサルコト

六　常ニ路面ノ氣形ヲ維持シ其ノ排水ヲ全カラシムルコト

七　路面ノ雜草ハ少クモ一年二回芟除シ且耳芝ニ於テ路面ノ排水ヲ停滯セシメサルコト

八　坂路ニ於ケル側溝ノ石張、橫工其ノ他ノ維持ニ努ムルコト

九　橋梁ハ其ノ橋面ニ雨雪ノ停滯セサル樣排除ヲ爲スコト

第四十四條　天災其ノ他非常ノ場合ニ於ケル道路保全ノ應急防備ハ關係部落ニ於テ施行スヘシ

關係部落ハ前項ノ防備ノ爲豫メ適宜ノ材料ヲ準備シ應急ノ手配ヲ爲シ置クヘシ

第四十五條　道路補修ノ用ニ供スル爲制石、砂利其ノ他修繕用材料置場ヲ設置シ農閑ヲ以テ當時其ノ材料ヲ蒐集スルコトニ努ムヘシ

第四十六條　道知事ハ府ノ區劃內ヲ除クノ外其ノ管內ニ於ケル一等道路、二等道路及三等道路ノ常時ノ維持修繕ニ付關係部落ヲシテ擔當區域ヲ定メ其ノ輕微ナルモノヲ施行セシムヘシ

前項ノ擔當區域ノ境界ニハ擔當區域及擔當部落名ヲ記載シタル標杭ヲ建ツヘシ

第四十七條　朝鮮總督ノ指定シタル一等道路及二等道路ニ在リテハ前條ニ依ルノ外道知事ハ修繕工夫ヲ配置スヘシ

第四十八條　道知事ハ前二條ニ依リ施行スル一等道路及二等道路ノ維持修繕ヲ指揮監督スル爲道路監視員ヲ配置スヘシ

第四十九條　道知事ハ府ノ區劃內ヲ除クノ外其ノ管內ニ於ケル一等道路、二等道路及三等道路ノ常時ノ維持修繕ニ付關係部落ヲシテ擔當區域ヲ定メ其ノ輕微ナルモノヲ施行セシムヘシ

第五十條　削除

第五十一條　削除

第五十二條　削除

第五十三條　特別ノ設備ヲ爲シ橋銳又ハ渡銳ヲ徵收セントスル者ハ申請書ニ計畫說明書、設計書、圖面、徵收セントスル金額及期間ヲ記載シタル書面竝ニ收支計算書ヲ添附シ警察署ヲ經テ道路管理廳ニ提出シ許可ヲ受クヘシ但シ朝鮮總督ノ管理スル道路ニ付テハ道知事ノ許可ヲ受クヘシ

隣接道路劃一ノ境界ニ在ル朝鮮總督ノ管理スル道路ニ付前項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ爲スヘキ道知事ノ第九條ノ二ノ規定ニ依リ指定シタル者トス

第五十四條　隣接道府郡區劃ノ境界ニ在ル道路ニ關シテハ第七條乃至第八條ノ二又ハ第九條ノ二ノ指定ヲ受クル爲關係行政廳協議ノ上其ノ道路ノ地方關係ヲ朝鮮總督又ハ道知事ニ具申スヘシ

第五十五條　削除

第五十六條　道路監視員ハ每月一回其ノ擔當區域內ニ於ケル維持修繕ノ狀況ヲ道知事ニ報告スヘシ

道知事ハ一等道路又ハ二等道路ノ修繕ニ關シ圖費ニ依ル施行ヲ必要ト認ムルトキハ其ノ事由ヲ具シ朝鮮總督ニ申請スヘシ

第五十七條　道路管理廳公益上必要ト認ムルトキハ本令ノ規定ニ依リ與ヘタル許可ヲ取消シ又ハ其ノ條件ヲ變更シ其ノ他必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

附　則

本令ハ大正四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ノ道路管理廳ニ於テ指定又ハ認可シタル道路ハ本令ニ依リ指定又ハ認可シタルモノト看做ス

本令施行前ノ本令ニ規定スル行爲ニ付許可ヲ受ケタル者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

京城府內ノ道路ノ築造ハ大正元年朝鮮總督府告示第七十八號京城市區改修豫定計畫路線ニ限リ當分ノ間朝鮮總督之ヲ施行ス

●道路規則第六條第一項但書ノ府指定

大正四年十月

總督第二百七十七號

道路規則第六條第一項但書ノ府ヲ左ノ通指定ス

一　京畿道京城府

大正七年七月

總督第百八十一號

道路規則第六條第一項但書ニ依リ府ヲ左ノ通指定ス大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　京畿道　仁川府　群山府　木浦府　大邱府　釜山府　鎭海府　馬山府　平壤府　新義州府　元山府　成鏡北道　成鏡南道　清津府

昭和五年十月

總督第四百十號

道路規則第六條第一項但書ニ依リ府ヲ左ノ通指定ス

一　京畿道　開城府

一　成鏡南道　成興府

昭和十年九月

總督第五百四十三號

道路規則第六條第一項但書ニ依リ昭和十年十月一日ヨリ府ヲ左ノ通指定ス

一　忠清南道　大田府

一　全羅北道　全州府

一　全羅南道　光州府

昭和十一年九月

總督第五百三十七號

道路規則第六條第一項但書ニ依リ昭和十一年十月一日ヨリ府ヲ左ノ通指定ス

一　成鏡北道　羅津府

●朝鮮道路令

昭和十三年四月

制令第十五號

朝鮮道路令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮道路令

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ道路ト稱スルハ一般交通ノ用ニ供スル道路ニシテ行政廳ニ於テ第二章ノ規定ニ依リ路線ノ認定ヲ爲シタルモノヲ謂フ

第二條　本令ニ於テ道路ノ附屬物ト稱スルハ左ニ揭グルモノヲ謂フ

一　道路ヲ接續スル橋梁、洗越、渡船場及桟道

二　道路ニ附屬スル支壁、暗渠、水抜、側溝、竝木、標、道路元標、里程標、修繕擔當區域標、道路境界標及道路標識

三　道路ニ近接スル道路修繕用材料ノ常置場

四　前各號ノ外朝鮮總督ニ於テ道路ノ附屬物ト定メタルモノ

道路ニ關スル本令ノ規定ハ道路ノ附屬物ニ之ヲ準用ス

第三條　本令ニ於テ道路ニ關スル工事ト稱スルハ道路ノ新設、改築及修繕ニ關スル工事ヲ謂フ

第四條　本令ニ於テ他ノ工作物ト稱スルハ堤防、堰堨、護岸、鐵道用橋梁其ノ他朝鮮總督ノ定ムル工作物ヲ謂フ

第五條　道路ヲ構成スル敷地其ノ他ノ物件ニ付テハ私權ヲ行使スルコトヲ得ズ但シ所有權ノ移轉又ハ抵當權ノ設定若ハ移轉ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　道路、道路附近ノ土地又ハ道路ノ附屬物ニ關スル本令ノ規定ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ新ニ道路、道路附近ノ土地又ハ道路ノ附屬物ト爲ルベキモノニ之ヲ準用ス

第七條　本令ニ依リ行政廳ノ許可ヲ受クベキ事項ニシテ內閣內大臣又ハ當該事業ヲ施行スル官廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ行政廳ト協議シ又ハ其ノ承認ヲ受クベシ

第八條　本令ニ依ル許可又ハ承認ニ因リテ生ズル權利義務ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ之ヲ移轉スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ權利義務ノ移轉アリタル場合ニ於テハ本令ノ適用ニ付テハ其ノ權利義務ヲ承繼シタル者ヲ以テ本令ニ依リ許可又ハ承認ヲ受ケタル者ト看做ス

第九條　本令ニ依ル朝鮮總督ノ職權ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ一部ヲ道知事ニ委任スルコトヲ得

第十條　左ニ揭グル法令ノ規定ハ道路ニ關シ之ヲ適用セズ

一　朝鮮電氣事業令第八條

二　朝鮮砂防事業令第十二條

三　朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第十六條

四　朝鮮電信線電話線建設令ニ於テ依ルコトヲ定メタル電信線電話線建設條例第一條、第四條及第五條

第二章　道路ノ種類、等級及路線ノ認定

第十一條　道路ヲ分チテ左ノ四種トス

一　國道

二　地方道

三　府道

四　邑面道

第十二條　道路ノ等級ハ前條記載ノ順序ニ依ル

第十三條　國道ノ路線ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル路線ニ就キ朝鮮總督之ヲ認定ス

一　京城府ヨリ道廳所在地、師團司令部所在地、旅團司令部所在地、要塞司令部所在地、要港部所在地又ハ開港ニ達スル路線

二　道廳所在地、開港又ハ樞要ノ地、飛行場若ハ鐵道停車場相互ヲ連結スル路線

三　軍事上重要ナル路線

四　經濟上重要ナル路線

第十四條　地方道ノ路線ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル路線ニシテ道內ノモノニ就キ道知事之ヲ認定ス

一　道廳所在地ヨリ府郡廳所在地ニ達スル路線

二　道內ノ飛行場又ハ樞要ノ地、港津若ハ鐵道停車場ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル路線

三　道內ノ飛行場又ハ樞要ノ地、港津若ハ鐵道停車場ヨリ府ニ達スル路線

四　地方開發上重要ナル路線

第十五條　府道ノ路線ハ府內ノ路線ニ就キ府尹之ヲ認定ス

第十六條　邑面道ノ路線ハ邑面內ノ路線ニ就キ邑面長之ヲ認定ス

第十七條　道知事、府尹又ハ邑面長ハ道、府又ハ邑面ノ爲特ニ必要アル場合ニ於テハ前三條ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道外、府外又ハ邑面外ノ路線ニ就キ關係行政廳ノ意見ヲ聞キ地方道、府道又ハ邑面道ノ路線ノ認定ヲ爲スコトヲ得

第十八條　上級ノ道路ト下級ノ道路ト路線ガ重複スル場合ニ於テハ其ノ重複スル部分ハ上級ノ道路ノ路線ガ重複スル場合ニ於テハ同級ノ道路ノ路線ガ重複スル場合ニ於テハ其ノ重複スル部分ハ朝鮮總督特ニ指定スル場合ヲ除クノ外路線ノ認定ノ先ナルモノノ道路トス

第三章　道路ノ管理

第十九條　道路ハ其ノ路線ノ認定ヲ爲シタル行政廳ヲ以テ管理廳トス

府內ノ國道及地方道ハ前項ノ規定ニ拘ラズ府尹ヲ以テ管理廳トス府外ノ國道及地方道ニシテ第十七條ノ規定ニ依リ府道ノ路線ノ認定アリタルモノト重複スル部分ニ付亦同ジ

第二十條　道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ關係アルモノニ付テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依ル管理廳タル關係行政廳ノ一ヲ以テ管理廳ト爲スコトヲ得

第二十一條　朝鮮總督ノ修繕及維持ニ關スル管理廳ノ職權ニシテ第二十三條、第二十六條乃至第三十一條、第三十八條、第三十九條、第四十五條、第四十七條、第四十九條、第五十一條、第五十二條、第五十八條及第五十九條ノ規定ニ依ルモノハ道知事之ヲ行フ

前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ管理廳ノ職權ノ行フ道知事ニ之ヲ準用ス

第二十二條　道路ノ區域ハ管理廳ノ認定スル所ニ依ル

第二十三條　道路ニ關スル工事ノ施行及道路ノ維持ハ管理廳ニ於テ之ヲ爲スベシ

第二十四條　朝鮮總督必要ト認ムルトキハ道知事、府尹又ハ邑面長ヲシテ道路ノ新設、改築及修繕ニ關スル工事ヲ施行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十五條　府道ノ路線ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル路線ニシテ道內ノモノニ就キ道知事之ヲ認定ス

一　道廳所在地ヨリ府郡廳所在地ニ達スル路線

二　道內ノ飛行場又ハ樞要ノ地、港津若ハ鐵道停車場ヨリ之ト密接ノ關係ヲ有スル路線

三　道內ノ飛行場又ハ樞要ノ地、港津若ハ鐵道停車場ヨリ府ニ達スル路線

四　地方開發上重要ナル路線

第二十六條　府道ノ路線ハ府內ノ路線ニ就キ府尹之ヲ認定ス

第二十七條　邑面道ノ路線ハ邑面內ノ路線ニ就キ邑面長之ヲ認定ス

第二十八條　道知事、府尹又ハ邑面長ハ道、府又ハ邑面ノ爲特ニ必要アル場合ニ於テハ前三條ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道外、府外又ハ邑面外ノ路線ニ就キ關係行政廳ノ意見ヲ聞キ地方道、府道又ハ邑面道ノ路線ノ認定ヲ爲スコトヲ得

第二十九條　上級ノ道路ト下級ノ道路ト路線ガ重複スル場合ニ於テハ其ノ重複スル部分ハ上級ノ道路ノ路線ガ重複スル場合ニ於テハ同級ノ道路ノ路線ガ重複スル場合ニ於テハ其ノ重複スル部分ハ朝鮮總督特ニ指定スル場合ヲ除クノ外路線ノ認定ノ先ナルモノノ道路トス

第三十條　道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ關係アルモノニ付テハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依ル管理廳タル關係行政廳ノ一ヲ以テ管理廳ト爲スコトヲ得

第三十一條　朝鮮總督ノ修繕及維持ニ關スル管理廳ノ職權ニシテ第二十三條、第二十六條乃至第三十一條、第三十八條、第三十九條、第四十五條、第四十七條、第四十九條、第五十一條、第五十二條、第五十八條及第五十九條ノ規定ニ依ルモノハ道知事之ヲ行フ

前條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ管理廳ノ職權ノ行フ道知事ニ之ヲ準用ス

第三十二條　管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道路ノ維持ヲ爲スコトヲ得

第三十三條　管理廳ハ特別ノ理由アル場合ニ限リ地下道、橋梁、渡船場又ハ桟道ニ付通行料ヲ徵收スルコトヲ得

第三十四條　第三十一條ノ工事ガ地下道、橋梁、渡船場又ハ桟道ニ關スルモノナルトキハ工事施行者ハ管理廳ノ許可ヲ受ケ期間ヲ得此ノ場合ニ於テハ管理廳ノ職權ハ朝鮮總督之ヲ行フ

第三十五條　道知事必要ト認ムルトキハ道內ノ府尹又ハ邑面長ノ管理スル道路ニ關スル工事ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管理廳ノ職權ハ朝鮮總督之ヲ行フ

第三十六條　國道ニシテ他ノ工作物ニ關スル工事又ハ他ノ工作物ノ工事ニシテ國道ノ路線ニ關スル工事ヲ施行セシメ又ハ國道ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條　道路ニシテ他ノ工作物ニ關スル工事又ハ他ノ工作物ノ工事ニシテ道路ニ關スル工事ヲ施行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十八條　道路ニ關スル工事ニシテ他ノ工事又ハ行爲ノ爲必要ヲ生ジタルモノハ管理廳ニ於テ他ノ工事ノ施行者又ハ行爲者ヲシテ之ヲ施行セシムルコトヲ得

第三十九條　道路ニ關スル工事ノ爲必要ヲ生ジタル他ノ工事ハ管理廳ニ於テ道路ニ關スル工事ヲ施行スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル他ノ工事ハ本令ノ適用ニ付テハ之ヲ道路ニ關スル工事ト看做ス

第四十條　管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道路ニ付直接ニ利害關係ヲ有スル公共團體又ハ私人ヲシテ道路ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行セシメ又ハ道路ノ維持ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條　管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道路ノ維持ヲ爲スコトヲ得

第四十二條　管理廳ハ特別ノ理由アル場合ニ限リ地下道、橋梁、渡船場又ハ桟道ニ付通行料ヲ徵收スルコトヲ得

第四十三條　第三十一條ノ工事ガ地下道、橋梁、渡船場又ハ桟道ニ關スルモノナルトキハ工事施行者ハ管理廳ノ許可ヲ受ケ期間ヲ

定メテ通行料ヲ徴收スルコトヲ得

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ通行料徴收期間内管理廳ノ定ムル所ニ依リ前項ノ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行シ及之ガ維持ヲ爲スベシ

第三十四條　管理廳ハ其ノ管理スル道路ノ竪幌ヲ關製スベシ

竪幌ニ記載スベキ事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第三十五條　道路ノ構造竝ニ道路ノ修繕及維持ノ方法ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四章　道路ノ占用及道路附近ニ關スル制限

第三十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ管理廳ノ許可ヲ受クベシ

一　道路ノ區域内ニ於テ工作物ヲ新築、改築、變更又ハ除却セントスルトキ

二　前號ニ規定スル場合ヲ除クノ外道路ヲ占用セントスルトキ

管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ道路ノ占用ニ付占用料ヲ徴收スルコトヲ得

第三十七條　前條ノ規定ニ依ル占用ガ法令ニ依リ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ニ係ルモノナル場合ニ於テ管理廳正當ノ事由ナクシテ其ノ許可若ハ承認ヲ拒ミ又ハ不相當ナル占用料ヲ定メタルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督又ハ道知事ハ事業者ノ申請ニ依リ占用ヲ許可若ハ承認シ又ハ占用料ヲ定ムルコトヲ得

第三十八條　道路ニ關スル調査、測量又ハ工事ノ爲必要アルトキハ管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ必要ナル場所ニ立入リ、他人ノ土地ヲ材料置場、通路若ハ假道トシテ一時使用シ又ハ已ムコトヲ得ザルトキハ立木竹其ノ他ノ障碍物ヲ變更若ハ除却スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ立入又ハ使用ヲ爲サントスルトキハ土地ノ占有者ニ、障碍物ノ變更又ハ除却ヲ爲サントスルトキハ其ノ所有者及占有者ニ豫メ其ノ旨ヲ通知スルコトヲ要ス

第三十九條　非常災害ノ爲必要アルトキハ管理廳ハ道路附近ニ居住スル者ヲ使役シ、道路附近ノ土地及家屋其ノ他ノ工作物ヲ一時使用シ、道路附近ノ工作物其ノ他ノ障碍物ヲ變更若ハ除却シ又ハ土石、竹木、運搬具其ノ他ノ物件（工作物ヲ除ク）ヲ使用若ハ收用スルコトヲ得

第四十條　道路附近ノ土地、工作物又ハ竹木ノ所有者又ハ占有者ハ其ノ土地、工作物又ハ竹木ノ道路ニ及ボスベキ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲スベシ

第四十一條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第五章　道路ニ關スル費用及道路ヨリ生ズル收入

第四十二條　道路ニ關スル費用及道路ヨリ生ズル收益ノ範圍ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第四十三條　道路ニ關スル費用ハ本令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外朝鮮總督ノ管理スル道路ニ關スルモノニ在リテハ國庫、其ノ他ノ道路ニ關スルモノニ在リテハ管理廳タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ負擔トス但シ朝鮮總督ノ管理スル道路ノ修繕及維持ニ關スルモノハ道ノ負擔トス

第四十四條　朝鮮總督ノ管理スル道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ニ要スル費用ノ一部ハ朝鮮總督ニ於テ其ノ定ムル所ニ依リ道ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四十五條　道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ關係アルモノニ關スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ關係アル道、府又ハ邑面ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四十六條　朝鮮總督ガ第二十四條ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ國庫、道知事ガ第二十五條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ道ノ負擔トス

第四十七條　管理廳ガ他ノ工作物ノ效用ヲ兼ヌル道路ニ關スル工事ヲ施行シ又ハ其ノ道路ノ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ他ノ工作物ノ負擔トシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得第二十七條ノ規定ニ依リ他ノ工作物ノ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ニ付亦同ジ

第四十八條　道路ニ關スル工事ニ因リ著シク利益ヲ受クル者アルトキハ管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ヲシテ利益ヲ受クル限度ニ於テ道路ニ關スル工事ニ要スル費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第四十九條　特ニ道路ヲ損傷スル原因ヲ爲ルベキ事業又ハ行爲ヲ爲ス者アルトキハ管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ事業者又ハ行爲者ヲシテ之ガ爲ニ要スル道路ノ修繕又ハ維持ニ要スル費用ノ一部ヲ負擔セシムルコトヲ得

第五十條　第二十六條、第二十八條、第三十條又ハ第四十條ノ規定ニ依ル義務ヲ履行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ其ノ義務ヲ履行スル者ノ負擔トス但シ第二十六條、第二十八條又ハ第四十條ノ規定ニ依ル義務ヲ履行スル者ガ公共團體ヲ統轄スル行政廳ナルトキハ當該公共團體ノ負擔トス

第五十一條　管理廳ニ非ザル者ガ第二十六條又ハ第二十八條ノ規定ニ依ル義務ヲ履行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ第四十三條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第五十二條　公共團體又ハ私人ガ第三十條ノ規定ニ依ル義務ヲ履行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ第四十三條ノ規定ニ依リ負擔セシムルコトヲ得

第五十三條　第三十一條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行シ若ハ道路ノ維持ヲ爲ス場合又ハ第三十三條第二項ノ規定ニ依リ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行シ及之ガ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ當該工事又ハ行爲ヲ爲ス者ノ負擔トス但シ工事又ハ行爲ヲ爲ス者ガ公共團體ヲ統轄スル行政廳ナルトキハ當該公共團體ノ負擔トス

第五十四條　第三十八條、第三十九條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ損害ヲ補償スベシ

前項ノ損害ガ第五十八條第四號ノ規定ニ依ル處分ニ因ルモノナルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ同條同號ノ事業ニ付費用ヲ負擔セル者ヲシテ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

第五十五條　道路ニ關スル費用ノ負擔金ハ朝鮮總督ニ於テ負擔ヲ爲サシムル場合ニ在リテハ國庫、其ノ他ノ行政廳ニ於テ負擔ヲ爲サシムル場合ニ在リテハ當該公共團體ニ於テ負擔スベシ

第五十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ道路又ハ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ施行シタル者

二　不正ノ手段ヲ以テ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可ヲ受ケタル者

三　不正ノ手段ヲ以テ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可ヲ受ケタル者

第六十條　本令ニ依ル行政廳ノ職權ノ行使ニ關シ監督上必要アル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六十一條　行政執行令第五條及第六條ノ規定竝ニ之ニ基キテ發スル命令ハ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可ヲ受ケタル者ニ之ヲ適用ス

第六十二條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ道知事、府尹又ハ邑面長ノ爲シタル處分ニ不服アル者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ裁定ヲ申請スルコトヲ得第五十四條ノ規定ニ依ル補償ニ付不服アル者亦同ジ

第六十三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ道路又ハ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ施行シタル者

二　不正ノ手段ヲ以テ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可ヲ受ケタル者

第六十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ道路又ハ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ施行シタル者

二　許可ヲ受ケズシテ道路又ハ其ノ附屬物ニ關スル工作物ヲ新築、改築、變更又ハ除却シタル者

三　許可ヲ受ケズシテ道路ノ使用ニ對シ通行料其ノ他ノ財物ノ交付ヲ請求シ又ハ之ヲ收受シタル者

四　第三十九條ノ規定ニ依ル管理廳ノ命ニ從ハザル者

第六十五條　第四十條ノ規定ニ違反シテ道路又ハ其ノ附屬物ニ及ボスベキ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲サザル者

六　第四十一條ノ規定ニ基キテ發スル命令ニ違反シタル者

第六十五條　本令ノ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ第四十三條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

管理廳ニ非ザル者ガ道路ニ關スル費用ヲ負擔スル場合ニ於テハ管理廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第六十六條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第六十七條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第六十八條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第六十九條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十一條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十二條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十三條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十四條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十五條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十六條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十七條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十八條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第七十九條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十一條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十二條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十三條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十四條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十五條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十六條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十七條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十八條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第八十九條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十一條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十二條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十三條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十四條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十五條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十六條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十七條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十八條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第九十九條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第百條　本令ニ規定スルモノノ外道路ノ使用又ハ道路若ハ其ノ交通ノ保全ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム道路附近ノ土地ニ於ケル工作物ノ建設其ノ他ノ作爲又ハ不作爲ノ制限ニシテ道路又ハ其ノ交通ノ保全ノ目的ヲ以テスルモノニ付亦同ジ

第五十一條第一項及第五十二條ノ規定ニ依ル負擔金ハ前項ノ規定ニ拘ラズ第五十條ニ規定スル費用負擔者ノ收入トス

第五十一條第二項ノ規定ニ依ル負擔金ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ當該工事又ハ行爲ニ付費用ヲ負擔スル者ノ收入トス

第五十六條　道路ノ占用料及道路ヨリ生ズル收益ハ朝鮮總督ノ管理スル道路ニ關スルモノニ在リテハ國庫、其ノ他ノ道路ニ關スルモノニ在リテハ管理廳タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收入トス

第五十七條　第三十二條ノ規定ニ依リ徴收スル通行料ハ朝鮮總督ノ管理スル道路ニ關シテハ國庫、其ノ他ノ道路ニ關シテハ管理廳タル行政廳ノ統轄スル公共團體ノ收入トス

第五十八條　第三十三條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ收入トス

第六章　監督及制則

第五十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ管理廳ハ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可ヲ受ケタル者ニ對シ許可若ハ承認ヲ取消シ、其ノ效力ヲ停止シ若ハ其ノ條件ヲ變更シ、許可若ハ承認ニ基キテ施設シタル工作物其ノ他ノ物件ヲ變更若ハ除却セシメ、原狀回復ヲ爲サシメ又ハ損害ヲ豫防スル爲必要ナル施設ヲ爲サシムルコトヲ得

一　道路ニ關スル工事ノ爲必要アルトキ

二　道路ニ關スル工作物ノ爲必要アルトキ

三　公衆ニ危害ヲ除却又ハ輕減スル爲必要アルトキ

四　前二號ノ場合ヲ除クノ外公共ノ利益ト爲ルベキ事業ノ爲必要アルトキ

第五十九條　前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ準用ス

一　本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ違反シタル者

二　道路ニ關スル工事ノ爲必要アルトキ

三　公衆ニ危害ヲ除却又ハ輕減スル爲必要アルトキ

四　前二號ノ場合ヲ除クノ外公共ノ利益ト爲ルベキ事業ノ爲必要アルトキ

第五十九條　前條ノ規定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ之ヲ準用ス

一　本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ違反シタル者

二　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ違反シタル者

第六十條　監督上必要ナル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第六十一條　第三十一條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行シ若ハ道路ノ維持ヲ爲ス場合又ハ第三十三條第二項ノ規定ニ依リ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行シ及之ガ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ當該工事又ハ行爲ヲ爲ス者ノ負擔トス但シ工事又ハ行爲ヲ爲ス者ガ公共團體ヲ統轄スル行政廳ナルトキハ當該公共團體ノ負擔トス

第六十二條　第三十八條、第三十九條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ損害ヲ補償スベシ

前項ノ損害ガ第五十八條第四號ノ規定ニ依ル處分ニ因ルモノナルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ同條同號ノ事業ニ付費用ヲ負擔セル者ヲシテ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

第六十三條　道路ニ關スル費用ノ負擔金ハ朝鮮總督ニ於テ負擔ヲ爲サシムル場合ニ在リテハ國庫、其ノ他ノ行政廳ニ於テ負擔ヲ爲サシムル場合ニ在リテハ當該公共團體ニ於テ負擔スベシ

第六十四條　第三十一條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行シ若ハ道路ノ維持ヲ爲ス場合又ハ第三十三條第二項ノ規定ニ依リ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行シ及之ガ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ當該工事又ハ行爲ヲ爲ス者ノ負擔トス但シ工事又ハ行爲ヲ爲ス者ガ公共團體ヲ統轄スル行政廳ナルトキハ當該公共團體ノ負擔トス

第六十五條　第三十八條、第三十九條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ損害ヲ補償スベシ

前項ノ損害ガ第五十八條第四號ノ規定ニ依ル處分ニ因ルモノナルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ同條同號ノ事業ニ付費用ヲ負擔セル者ヲシテ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

第六十六條　朝鮮總督ガ第二十四條ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ國庫、道知事ガ第二十五條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ道ノ負擔トス

第六十七條　第三十一條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行シ若ハ道路ノ維持ヲ爲ス場合又ハ第三十三條第二項ノ規定ニ依リ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行シ及之ガ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ當該工事又ハ行爲ヲ爲ス者ノ負擔トス但シ工事又ハ行爲ヲ爲ス者ガ公共團體ヲ統轄スル行政廳ナルトキハ當該公共團體ノ負擔トス

第六十八條　第三十八條、第三十九條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ損害ヲ補償スベシ

前項ノ損害ガ第五十八條第四號ノ規定ニ依ル處分ニ因ルモノナルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ同條同號ノ事業ニ付費用ヲ負擔セル者ヲシテ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

第六十九條　朝鮮總督ガ第二十四條ノ規定ニ依リ道路ノ新設又ハ改築ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ國庫、道知事ガ第二十五條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニ於テ之ニ要スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ關係アル道、府又ハ邑面ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七十條　道路ニシテ行政區劃ノ境界ニ關係アルモノニ關スル費用ノ一部ハ管理廳ニ於テ其ノ定ムル所ニ依リ關係アル道、府又ハ邑面ヲシテ之ヲ負擔セシムルコトヲ得

第七十一條　第三十一條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行シ若ハ道路ノ維持ヲ爲ス場合又ハ第三十三條第二項ノ規定ニ依リ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行シ及之ガ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ當該工事又ハ行爲ヲ爲ス者ノ負擔トス但シ工事又ハ行爲ヲ爲ス者ガ公共團體ヲ統轄スル行政廳ナルトキハ當該公共團體ノ負擔トス

第七十二條　第三十八條、第三十九條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ損害ヲ補償スベシ

前項ノ損害ガ第五十八條第四號ノ規定ニ依ル處分ニ因ルモノナルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ同條同號ノ事業ニ付費用ヲ負擔セル者ヲシテ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

第七十三條　第三十一條ノ規定ニ依リ道路ニ關スル工事ヲ施行シ若ハ道路ノ維持ヲ爲ス場合又ハ第三十三條第二項ノ規定ニ依リ地下道、橋梁、渡船場又ハ索道ノ修繕ニ關スル工事ヲ施行シ及之ガ維持ヲ爲ス場合ニ於テ之ニ要スル費用ハ當該工事又ハ行爲ヲ爲ス者ノ負擔トス但シ工事又ハ行爲ヲ爲ス者ガ公共團體ヲ統轄スル行政廳ナルトキハ當該公共團體ノ負擔トス

第七十四條　第三十八條、第三十九條ノ規定ニ依ル處分ニ因リ損害ヲ受ケタル者アルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ其ノ損害ヲ補償スベシ

前項ノ損害ガ第五十八條第四號ノ規定ニ依ル處分ニ因ルモノナルトキハ管理廳又ハ管理廳ノ職權ヲ行フ行政廳ハ同條同號ノ事業ニ付費用ヲ負擔セル者ヲシテ損害ノ全部又ハ一部ヲ補償セシムルコトヲ得

第七十五條　道路ニ關スル費用ノ負擔金ハ朝鮮總督ニ於テ負擔ヲ爲サシムル場合ニ在リテハ國庫、其ノ他ノ行政廳ニ於テ負擔ヲ爲サシムル場合ニ在リテハ當該公共團體ニ於テ負擔スベシ

第七十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ道路又ハ其ノ附屬物ニ關スル工事ヲ施行シタル者

二　不正ノ手段ヲ以テ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可ヲ受ケタル者

三　不正ノ手段ヲ以テ本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依ル許可ヲ受ケタル者

第七十七條　本令ニ依ル行政廳ノ職權ノ行使ニ關シ監督上必要アル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第七十八條　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可ヲ受クベキ施設又ハ行爲ヲ許可ヲ受ケズシテ爲シタル者

第七十九條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ道路又

道路橋梁

第一款

第二節

第三節

第一款

交通

第十八章

大

町

一等道路　二等道路　二等道路　一等道路　一等道路　一

附　則（大正十年十月總令第百四十三號）

本令ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●岡們橋歩道取締規則

昭和八年十月總令第百十五號

岡們橋歩道取締規則左ノ通定ム

第一條　岡們橋歩道ニ於テハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス但シ警察官吏ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　荷車ヲ牽キテ通行スルコト

二　自動車、馬車又ハ牛馬ニ依リテ通行スルコト

三　銃砲ヲ發射シ又ハ火藥其ノ他ノ爆發物ヲ携帶又ハ運搬スルコト

四　長大又ハ重量ナル物件ヲ運搬スルコト

前項ニ揭グルモノノ外橋梁上ニ於テハ公衆ニ危害ヲ及ボシ、交通ヲ妨害シ又ハ橋梁ヲ毀損スル虞アル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第二條　警察官吏ハ橋上必要アリト認ムルトキハ橋梁歩道ノ通行ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第三條　第一條ノ規定又ハ前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ昭和八年十月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

●鴨綠江橋梁歩道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件

明治四十四年十月總令第百二十九號

鴨綠江橋梁歩道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　鴨綠江橋梁歩道ニ依ル貨物ノ輸出入ハ當分ノ内日出ヨリ日沒迄ノ間ニ限ル但シ旅客ノ携帶品ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　火藥其ノ他爆發物ハ該橋梁ニ依リ輸出入スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ明治四十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定

大正六年三月
總督第六十二號

忠清北道報恩郡懷南面沙灘里ト忠清南道大田郡周井面梧桐里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清北道報恩郡守トス

大正六年五月
總督第百二十四號

平安南道江東郡三登面文明里ト黃海道遂安郡公浦面大達里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道江東郡守トス

大正六年九月
總督第二百三號

黃海道遂安郡公浦面松山里ト平安南道江東郡三登面清渡里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ黃海道遂安郡守トス

大正六年九月
總督第二百十九號

平安南道江東郡三登面鳳儀里ト黃海道遂安郡公浦面大達里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道江東郡守トス

大正六年十一月
總督第二百四十九號

忠清北道清州郡ト忠清南道大田郡及燕岐郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ忠清北道清州郡守トス

記

一　忠清北道清州郡龍興面佳湖里及忠清南道大田郡東面內塔里間

一　忠清北道清州郡龍興面佳湖里及忠清南道大田郡東面穩洞里間

一　忠清北道清州郡龍興面後谷里及忠清南道大田郡東面穩洞里間

一　忠清北道清州郡龍興面後谷里及忠清南道大田郡北面黃湖里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面屯谷里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面金灘里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道燕岐郡錦南面長在里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面芙江里及（舊市場）忠清南道燕岐郡錦南面芙蓉里間

大正六年十二月
總督第二百八十九號

忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面屯谷里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面金灘里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道燕岐郡錦南面長在里間

大正七年二月
總督第二十六號

平安南道龍岡郡多美面五花里ト黃海道黃州郡松林面五柳里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道龍岡郡守トス

大正七年四月
總督第八十八號

黃海道黃州郡松林面鵬峰里ト平安南道龍岡郡吾新面月梅里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道龍岡郡守トス

大正七年四月
總督第九十六號

黃海道黃州郡ト平安南道龍岡郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道黃州郡守トス

記

一　黃海道黃州郡松林面彙二浦里、平安南道龍岡郡多美面瑞赤里間

一　黃海道黃州郡松林面大同里、平安南道龍岡郡吾新面桃堂里間

一　黃海道黃州郡三田面外松里、平安南道龍岡郡多美面東館里間

一　黃海道黃州郡三田面鐵島里、平安南道龍岡郡多美面東館里間

大正七年四月
總督第九十七號

黃海道黃州郡ト平安南道龍岡郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道黃州郡守トス

記

一　黃海道黃州郡松林面彙二浦里、平安南道龍岡郡多美面瑞赤里間

一　黃海道黃州郡松林面大同里、平安南道龍岡郡吾新面桃堂里間

一　黃海道黃州郡三田面外松里、平安南道龍岡郡多美面東館里間

一　黃海道黃州郡三田面鐵島里、平安南道龍岡郡多美面東館里間

大正七年四月
總督第九十七號

黃海道黃州郡ト平安南道龍岡郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃

鴨綠江橋梁歩道取締規則左ノ通定ム

第一條　鴨綠江橋梁歩道ニ於テハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス但シ警察官吏ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　荷車ヲ牽キテ通行スルコト

二　自動車、馬車又ハ牛馬ニ依リテ通行スルコト

三　銃砲ヲ發射シ又ハ火藥其ノ他ノ爆發物ヲ携帶又ハ運搬スルコト

四　長大又ハ重量ナル物件ヲ運搬スルコト

前項ニ揭グルモノノ外橋梁上ニ於テハ公衆ニ危害ヲ及ボシ、交通ヲ妨害シ又ハ橋梁ヲ毀損スル虞アル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第二條　警察官吏ハ橋上必要アリト認ムルトキハ橋梁歩道ノ通行ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第三條　第一條ノ規定又ハ前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ明治四十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●鴨綠江橋梁歩道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件

明治四十四年十月總令第百二十九號

鴨綠江橋梁歩道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　鴨綠江橋梁歩道ニ依ル貨物ノ輸出入ハ當分ノ内日出ヨリ日沒迄ノ間ニ限ル但シ旅客ノ携帶品ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　火藥其ノ他爆發物ハ該橋梁ニ依リ輸出入スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●岡們橋歩道取締規則

昭和八年十月總令第百十五號

岡們橋歩道取締規則左ノ通定ム

第一條　岡們橋歩道ニ於テハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス但シ警察官吏ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　荷車ヲ牽キテ通行スルコト

二　自動車、馬車又ハ牛馬ニ依リテ通行スルコト

三　銃砲ヲ發射シ又ハ火藥其ノ他ノ爆發物ヲ携帶又ハ運搬スルコト

四　長大又ハ重量ナル物件ヲ運搬スルコト

前項ニ揭グルモノノ外橋梁上ニ於テハ公衆ニ危害ヲ及ボシ、交通ヲ妨害シ又ハ橋梁ヲ毀損スル虞アル行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

第二條　警察官吏ハ橋上必要アリト認ムルトキハ橋梁歩道ノ通行ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第三條　第一條ノ規定又ハ前條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ昭和八年十月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

●鴨綠江橋梁歩道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件

明治四十四年十月總令第百二十九號

鴨綠江橋梁歩道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　鴨綠江橋梁歩道ニ依ル貨物ノ輸出入ハ當分ノ内日出ヨリ日沒迄ノ間ニ限ル但シ旅客ノ携帶品ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　火藥其ノ他爆發物ハ該橋梁ニ依リ輸出入スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ明治四十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定

大正六年三月
總督第六十二號

忠清北道報恩郡懷南面沙灘里ト忠清南道大田郡周井面梧桐里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清北道報恩郡守トス

大正六年五月
總督第百二十四號

平安南道江東郡三登面文明里ト黃海道遂安郡公浦面大達里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道江東郡守トス

大正六年九月
總督第二百三號

黃海道遂安郡公浦面松山里ト平安南道江東郡三登面清渡里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ黃海道遂安郡守トス

大正六年九月
總督第二百十九號

平安南道江東郡三登面鳳儀里ト黃海道遂安郡公浦面大達里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道江東郡守トス

大正六年十一月
總督第二百四十九號

忠清北道清州郡ト忠清南道大田郡及燕岐郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ忠清北道清州郡守トス

記

一　忠清北道清州郡龍興面佳湖里及忠清南道大田郡東面內塔里間

一　忠清北道清州郡龍興面佳湖里及忠清南道大田郡東面穩洞里間

一　忠清北道清州郡龍興面後谷里及忠清南道大田郡東面穩洞里間

一　忠清北道清州郡龍興面後谷里及忠清南道大田郡北面黃湖里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面屯谷里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面金灘里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道燕岐郡錦南面長在里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面芙江里及（舊市場）忠清南道燕岐郡錦南面芙蓉里間

大正六年十二月
總督第二百八十九號

忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面屯谷里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面金灘里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道燕岐郡錦南面長在里間

大正七年二月
總督第二十六號

平安南道龍岡郡多美面五花里ト黃海道黃州郡松林面五柳里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道龍岡郡守トス

大正七年四月
總督第八十八號

黃海道黃州郡松林面鵬峰里ト平安南道龍岡郡吾新面月梅里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道龍岡郡守トス

大正七年四月
總督第九十六號

黃海道黃州郡ト平安南道龍岡郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道黃州郡守トス

記

一　黃海道黃州郡松林面彙二浦里、平安南道龍岡郡多美面瑞赤里間

一　黃海道黃州郡松林面大同里、平安南道龍岡郡吾新面桃堂里間

一　黃海道黃州郡三田面外松里、平安南道龍岡郡多美面東館里間

一　黃海道黃州郡三田面鐵島里、平安南道龍岡郡多美面東館里間

大正七年四月
總督第九十七號

黃海道黃州郡ト平安南道龍岡郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃

平安南道龍岡郡守トス

記

一　平安南道龍岡郡多美面五花里、黃海道黃州郡松林面西彙二浦里間

一　平安南道龍岡郡多美面長尾里、黃海道黃州郡三田面外松里間

大正七年五月
總督第二十六號

黃海道遂安郡公浦面芳花里ト平安南道江東郡三登面鳳儀里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ黃海道遂安郡守トス

記

一　平安南道中和郡海鳴面黃村里、黃海道黃州郡松林面鵬峰里間

一　平安南道中和郡海鳴面崔谷里、黃海道黃州郡松林面馬山里間

大正八年二月
總督第二十二號

平安南道成川郡ト黃海道遂安郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道成川郡守トス

記

一　平安南道成川郡大谷面琴眞里、黃海道遂安郡水口面德岩里間

一　平安南道成川郡三興面香堤里、黃海道遂安郡道所面龍川里間

一　平安南道成川郡三興面昌平里、黃海道遂安郡公浦面飛井里間

大正八年三月
總督第三十二號

京畿道振威郡玄德面楸里ト忠清南道牙山郡簗仁面蒼龍里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ京畿道振威郡守トス

大正九年六月
總督第百七十七號

黃海道安岳郡ト平安南道龍岡郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黃海道安岳郡守トス

記

一　黃海道安岳郡安谷面東渡里、平安南道龍岡郡多美面閑田里間

一　黃海道安岳郡安谷面東渡里、平安南道龍岡郡多美面東館里間

一　忠清北道清州郡ト忠清南道大田郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ忠清北道清州郡守トス

記

一　忠清北道清州郡賢都面地里、忠清南道大田郡北面石蜂里間（新灘津）

一　忠清北道清州郡賢都面老山里、忠清南道大田郡北面石蜂里間（龍江津）

一　忠清北道清州郡賢都面下石里、忠清南道大田郡北面黃湖里間（角湖津）

一　忠清北道清州郡龍興面新倉里、忠清南道大田郡北面黃湖里間（芝渚津）

大正七年六月
總督第百五十九號

忠清北道清州郡ト忠清南道大田郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル安記渡船ノ管理廳ハ忠清北道清州郡守トス

記

一　忠清北道清州郡賢都面地里、忠清南道大田郡北面石蜂里間（新灘津）

一　忠清北道清州郡賢都面老山里、忠清南道大田郡北面石蜂里間（龍江津）

一　忠清北道清州郡賢都面下石里、忠清南道大田郡北面黃湖里間（角湖津）

一　忠清北道清州郡龍興面新倉里、忠清南道大田郡北面黃湖里間（芝渚津）

大正七年六月
總督第五十八號

忠清南道大田郡ト忠清北道清州郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ忠清北道清州郡守トス

記

一　忠清南道大田郡北面三政里、忠清北道清州郡賢都面老山里間（長浦津）

一　忠清南道大田郡北面夾洞里、忠清北道清州郡賢都面下石里間（芝渚津）

大正七年六月
總督第五十六號

忠清北道忠州郡御城面江泉里ト江原道原州郡富論面鼎山里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清北道忠州郡守トス

記

一　忠清南道忠州郡龍興面佳湖里及忠清南道大田郡東面內塔里間

一　忠清北道清州郡龍興面佳湖里及忠清南道大田郡東面穩洞里間

一　忠清北道清州郡龍興面後谷里及忠清南道大田郡東面穩洞里間

一　忠清北道清州郡龍興面後谷里及忠清南道大田郡北面黃湖里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面屯谷里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道大田郡九則面金灘里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面點湖里及忠清南道燕岐郡錦南面長在里間

一　忠清北道清州郡芙蓉面芙江里及（舊市場）忠清南道燕岐郡錦南面芙蓉里間

大正七年六月
總督第五十八號

忠清南道大田郡ト忠清北道清州郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ忠清北道清州郡守トス

記

一　忠清南道大田郡北面三政里、忠清北道清州郡賢都面老山里間（長浦津）

一　忠清南道大田郡北面夾洞里、忠清北道清州郡賢都面下石里間（芝渚津）

大正七年六月
總督第五十六號

忠清北道忠州郡御城面江泉里ト江原道原州郡富論面鼎山里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ忠清北道忠州郡守トス

記

一　忠清南道忠州郡龍興面佳湖里及忠清南道大田郡東面內塔里間

一　忠清北道清州郡龍興面佳湖里及忠清南道大田郡東面穩洞里間

一　忠清北道清州郡龍興面後谷里及忠清南道大田郡東面穩洞里間

一　忠清北道清州郡龍興面後谷里及忠清南道大田郡北面黃湖里間

大正七年七月
總督第百九十一號

平安南道龍岡郡ト黃海道黃州郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道中和郡守トス

記

一　平安南道龍岡郡多美面五花里、黃海道黃州郡松林面西彙二浦里間

一　平安南道龍岡郡多美面長尾里、黃海道黃州郡三田面外松里間

大正七年九月
總督第百九十三號

平安南道中和郡ト黃海道黃州郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道中和郡守トス

記

一　平安南道中和郡海鳴面黃村里、黃海道黃州郡松林面鵬峰里間

一　平安南道中和郡海鳴面崔谷里、黃海道黃州郡松林面馬山里間

大正七年十月
總督第百九十三號

忠清南道大田郡九則面金灘里ト忠清北道清州郡芙蓉面登谷里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清南道大田郡守トス

大正七年十一月
總督第二百六十六號

全羅南道谷城郡谷城面新基里ト全羅北道南原郡金池面貫石里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ全羅南道谷城郡守トス

記

一　全羅南道谷城郡谷城面新基里ト全羅北道南原郡金池面貫石里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ全羅南道谷城郡守トス

記

一　全羅南道谷城郡谷城面新基里ト全羅北道南原郡金池面貫石里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ全羅南道谷城郡守トス

大正七年十月
總督第二百五十三號

忠清南道大田郡九則面金灘里ト忠清北道清州郡芙蓉面登谷里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清南道大田郡守トス

記

一　忠清南道大田郡九則面金灘里、忠清北道清州郡芙蓉面登谷里間

大正七年十一月
總督第二百六十六號

全羅南道谷城郡谷城面新基里ト全羅北道南原郡金池面貫石里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ全羅南道谷城郡守トス

記

一　全羅南道谷城郡谷城面新基里ト全羅北道南原郡金池面貫石里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ全羅南道谷城郡守トス

大正七年十一月
總督第二百七十三號

忠清南道大田郡九則面金灘里ト忠清北道清州郡芙蓉面登谷里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清南道大田郡守トス

記

一　忠清南道大田郡九則面金灘里、忠清北道清州郡芙蓉面登谷里間

大正七年十一月
總督第二百七十三號

忠清南道大田郡九則面金灘里ト忠清北道清州郡芙蓉面登谷里トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ忠清南道大田

路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ忠清南道扶餘郡守トス

記

一　忠清南道扶餘郡世道面聳浦里、全羅北道益山郡龍安面龍頭里間

一　忠清南道扶餘郡良化面笠浦里、全羅北道益山郡熊浦面帝城里間

大正十一年二月
慈告第三十三號

忠清南道舒川郡韓山面新成里ト全羅北道益山郡熊浦面熊浦里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ全羅北道益山郡守トス

大正十一年二月
慈告第三十四號

忠清南道舒川郡馬東面堂仙里ト全羅北道群山府濱町ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ全羅北道群山府尹トス

大正十一年十月
慈告第二百三十七號

黄海道延白郡ト京畿道江華郡ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ黄海道延白郡守トス

記

一　黄海道延白郡湖東面烽火里、京畿道江華郡華藏面仁士里間

一　黄海道延白郡海南里、京畿道江華郡水晶面西溪里間

大正十二年六月
慈告第百八十四號

平安南道成川郡大谷面大谷里ト黄海道遂安郡水口面德岩里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ平安南道成川郡守トス

大正十三年十二月
慈告第二百六十六號

忠清南道燕岐郡東面禮葉里ト忠清北道清州郡江外面西坪里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ忠清南道燕岐郡守トス

京畿道加平郡南面高城里ト江原道楊平郡南面冠川里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ平安北道博川郡南面西川里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ京畿道加平郡守トス

昭和六年三月
慈告第百三十一號

京畿道加平郡南面高城里ト江原道楊平郡南面冠川里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ平安北道博川郡守トス

昭和六年五月
慈告第二百九十一號

京畿道振威郡浦升面塊湖里ト忠清南道唐津郡松嶽面漢津里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ忠清南道唐津郡守トス

昭和八年五月
慈告第二百十八號

全羅南道光陽郡多鴨面高士里ト慶尚南道河東郡河東面興龍里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ全羅南道光陽郡守トス

大正十四年十二月
慈告第三百四十二號

平安南道鎭南浦府鹽雨機里ト黄海道安岳郡大寺面鹽串里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ平安南道鎭南浦府尹トス

昭和三年九月
慈告第三百六十二號

京畿道加平郡郡内面包内里ト江原道楊平郡南面西川里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ京畿道加平郡守トス

昭和四年五月
慈告第百六十四號

平安南道安州郡安州面龍西里ト平安北道博川郡南面西松洞ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船場及渡船ノ管理廳ハ平安北道博川郡守トス

昭和四年九月
慈告第二百六十四號

京畿道加平郡郡内面高繁里牛谷面客舍洞ト慶尚南道陜川郡德谷面渠旨里ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳ハ慶尚北道高繁郡守トス

昭和二年九月
慈告第二百九十二號

平安北道寧邊郡ト平安南道价川郡ト道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安北道寧邊郡守トス

記

一　平安北道寧邊郡梧里面松江洞、平安南道价川郡北面院里間

昭和二年八月
慈告第二百六十號

一　平安北道寧邊郡梧里面細竹洞、平安南道价川郡外西面中興里間

一　平安北道寧邊郡延山面花川洞、平安南道价川郡外西面蓮塘里間

昭和二年九月
慈告第二百十三號

平安南道价川郡ト平安北道寧邊郡トノ道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル左記渡船ノ管理廳ハ平安南道价川郡守トス

記

一　平安南道价川郡外西面中興里、平安北道寧邊郡延山面僅武洞間

一　平安南道价川郡北面鳳泉里、平安北道寧邊郡梧里面松洞間

昭和十一年二月
慈告第七十號

咸興府咸州郡トノ境界ニ在ル一等道路元山會寧線中萬歲橋ノ管理廳ハ咸興府尹トス

●隣接道區劃ノ境界ニ在ル一等道路及二等道路ニ付常時ノ維持修繕ヲ施行スベキ道知事指定

昭和八年一月
慈告第二十三號

道路規則第九條ノ二ノ規定ニ依リ隣接道區劃ノ境界ニ在ル一等道路及二等道路ニ付常時ノ維持修繕ヲ施行スベキ道知事ヲ左ノ通指定ス

路線名	道路等級	位	備考
京城、木浦	一等	全羅北道益山郡ト忠清南道論山郡トノ境界ニ在ル京城府ト隣接各郡トノ境界ニ在ル左記一等道路、二等道路及三等道路（軌ニ橋梁）ノ管理廳ハ京城府尹トス 記 路線名　道路等級　接スル郡名 始興郡　一　同 京城仁川線　一　高陽郡 京城義州線　一　同 京城元山線　二　楊州郡 京城五里津線　二　高陽郡 京城汇陵線　二　箭串橋　新吉橋 永登浦江華線　三　金浦郡　楊花橋　朝鮮橋 ●重貨物ノ重量標示ニ關スル件 昭和五年九月 總令第八十號 重貨物ノ重量標示ニ關スル件左ノ通定ム 重貨物ノ重量標示ニ關スル件 第一條　一貨物ニシテ重量千瓩以上ノモノ（包裝セザル木材、石材、鐵材其ノ他之ニ類スルモノヲ除ク）ヲ發送セントスル者ハ發送前見易ク且容易ニ消磨セザル方法ヲ以テ其ノ重量ヲ表記スベシ但シ當該貨物ノ重量ヲ計量シ難キ場合ニ於テ其ノ重量千瓩以上ナリト推定セラルルトキハ推定重量ヲ表記スベシ此ノ場合ニ於テハ推定重量ナル旨ヲ明示スベシ 第二條　貨物發送者前條ノ規定ニ違反シタルトキハ科料ニ處ス 第三條　貨物發送者未成年者若ハ禁治産者ナルトキハ法人ナルトキハ之ニ適用スベキ場則ハ其ノ法定代理人又ハ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ 第四條　貨物發送者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本令ニ違反スル所爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ 附則 本令ハ昭和五年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス	京城府ト隣接スル郡名	摘要
京城釜山線	一	同	新吉橋
京城義州線	一	高陽郡	道林橋
京城元山線	一	同	弘濟橋
京城五里津線	二	楊州郡	吉音橋
京城汇陵線	二	高陽郡	中浪橋
永登浦江華線	三	金浦郡	箭串橋
			楊花橋

第二款　自動車交通事業

●朝鮮自動車交通事業令

昭和八年九月
制令第十九號

朝鮮自動車交通事業令ヲ明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮自動車交通事業令

第一條　自動車交通事業ヲ經營セントスル者ハ總督ノ許可ヲ受クベシ但シ地方廳ニ於テ經營スル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第二條　自動車交通事業ヲ經營セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ總督ニ出願スベシ

一　事業ノ種類

二　事業ノ區域

三　事業ノ開始ノ時期

四　自動車ノ種類及數

五　自動車ノ運轉ニ關スル事項

六　自動車ノ修理ニ關スル事項

七　事業ノ經營ニ關スル事項

八　事業ノ經營ニ關スル資金ノ調達ニ關スル事項

九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

五十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

六十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

七十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

八十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

九十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百二十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百三十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百四十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百五十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百六十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百七十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百八十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

百九十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百二十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百三十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百四十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百五十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百六十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百七十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百八十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

二百九十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百二十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百三十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百四十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百五十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百六十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百七十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百八十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

三百九十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百二十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百三十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百四十九　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五十　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五十一　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五十二　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五十三　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五十四　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五十五　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五十六　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五十七　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

四百五十八　事業ノ經營ニ關スル收支ノ豫算

第三五　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ニ必要ナル技能ヲ有シ且左ノ各号ノ一ニ該当スル者ニ非サレハ自動車ヲ運転スルコトヲ得ス

一　年齢十八年ニ満タサル者

二　自動車ノ運転ニ関スル罰則ノ適用ニ因リ運転ヲ禁止セラレ其ノ禁止ノ期間ヲ経過セサル者

三　運転ヲ禁止セラレ其ノ禁止ノ期間ヲ経過セサル者

四　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

五　麻薬、大麻、阿片又ハ「モルヒネ」ノ中毒者

第三六　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ左ノ各号ノ一ニ該当スルトキハ其ノ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アルトキ

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スルトキ

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アルトキ

第三七　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第三八　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第三九　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四〇　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四一　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四二　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四三　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四四　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四五　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四六　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四七　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四八　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第四九　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五〇　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五一　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五二　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五三　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五四　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五五　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五六　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五七　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五八　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第五九　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六〇　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六一　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六二　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六三　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六四　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六五　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六六　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六七　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六八　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第六九　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七〇　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七一　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七二　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七三　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七四　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七五　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七六　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七七　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七八　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第七九　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八〇　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八一　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八二　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八三　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八四　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八五　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八六　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八七　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八八　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第八九　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九〇　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九一　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九二　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九三　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九四　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九五　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九六　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九七　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九八　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第九九　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇〇　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇一　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇二　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇三　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇四　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇五　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇六　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇七　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇八　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一〇九　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一一〇　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一一一　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一一二　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一一三　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一一四　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一一五　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一一六　自動車ノ運転ニ従事スル者ハ運転ヲ為ス場合ニ於テ左ノ各号ノ一ニ該当スル者ヲ乗車セシメテ運転ヲ為スコトヲ得ス

一　酒精飲料ノ影響ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

二　前条第二号又ハ第三号ニ該当スル者

三　疾病其ノ他ノ事由ニ因リ正常ナル運転ヲ為スノ虞アル者

第一一七　自動車ノ運転ニ

此ノ限ニ在ラズ

前項ノ事業者ガ各事業ニ付各別ニ自動車交通事業財團ヲ設定スル場合ニハ一般自動車道ノ數地其ノ他專ラ自動車道事業ニ關スルモノハ自動車運輸事業ノ爲ノ自動車交通事業財團ニ屬スルコトナシ

第四十三條　自動車交通事業財團ノ設定ハ自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ依リテ之ヲ爲ス

自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ第三十九條ニ規定スルモノハ當然自動車交通事業財團ニ屬スル但シ第三者ニ對抗シ得ベキ他人ノ權利ノ目的タルモノ又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

自動車交通事業財團ノ設定後新ニ其ノ財團ノ所有者ニ屬シタルモノ亦前項ニ同ジ

第四十四條　自動車交通事業財團ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權及抵當權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ズ但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ之ヲ讓渡シ又ハ其ノ財團ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ自動車交通事業財團ニ屬スルモノヲ讓渡シタルトキハ抵當權ハ其ノモノニ付消滅ス

第四十五條　自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ノ設定又ハ變更ハ總額金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後定款變更ト同一ノ方法ニ拠ル意思ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第四十六條　自動車交通事業財團ノ登記ニ付テハ其ノ財團ノ所有者タル會社ノ本店所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ガ本店ヲ一登記所ノ管轄地ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ移シタル場合ニ於ケル登記手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ事業者ガ各事業ニ付各別ニ自動車交通事業財團ヲ設定スル場合ニハ一般自動車道ノ數地其ノ他專ラ自動車道事業ニ關スルモノハ自動車運輸事業ノ爲ノ自動車交通事業財團ニ屬スルコトナシ

第四十三條　自動車交通事業財團ノ設定ハ自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ依リテ之ヲ爲ス

自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ第三十九條ニ規定スルモノハ當然自動車交通事業財團ニ屬ス但シ第三者ニ對抗シ得ベキ他人ノ權利ノ目的タルモノ又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

自動車交通事業財團ノ設定後新ニ其ノ財團ノ所有者ニ屬シタルモノ亦前項ニ同ジ

第四十四條　自動車交通事業財團ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權及抵當權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ズ但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ之ヲ讓渡シ又ハ其ノ財團ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ自動車交通事業財團ヲ讓渡シタルトキハ抵當權ハ其ノモノニ付消滅ス

第四十五條　自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ノ設定又ハ變更ハ總額金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後定款變更ト同一ノ方法ニ拠ル意思ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第四十六條　自動車交通事業財團ノ登記ニ付テハ其ノ財團ノ所有者タル會社ノ本店所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ガ本店ヲ一登記所ノ管轄地ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ移シタル場合ニ於ケル登記手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ事業者ガ各事業ニ付各別ニ自動車交通事業財團ヲ設定スル場合ニハ一般自動車道ノ數地其ノ他專ラ自動車道事業ニ關スルモノハ自動車運輸事業ノ爲ノ自動車交通事業財團ニ屬スルコトナシ

第四十三條　自動車交通事業財團ノ設定ハ自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ依リテ之ヲ爲ス

自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ第三十九條ニ規定スルモノハ當然自動車交通事業財團ニ屬ス但シ第三者ニ對抗シ得ベキ他人ノ權利ノ目的タルモノ又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

自動車交通事業財團ノ設定後新ニ其ノ財團ノ所有者ニ屬シタルモノ亦前項ニ同ジ

第四十四條　自動車交通事業財團ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權及抵當權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ズ但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ之ヲ讓渡シ又ハ其ノ財團ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ自動車交通事業財團ニ屬スルモノヲ讓渡シタルトキハ抵當權ハ其ノモノニ付消滅ス

第四十五條　自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ノ設定又ハ變更ハ總額金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後定款變更ト同一ノ方法ニ拠ル意思ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第四十六條　自動車交通事業財團ノ登記ニ付テハ其ノ財團ノ所有者タル會社ノ本店所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ガ本店ヲ一登記所ノ管轄地ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ移シタル場合ニ於ケル登記手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

前項ノ事業者ガ各事業ニ付各別ニ自動車交通事業財團ヲ設定スル場合ニハ一般自動車道ノ數地其ノ他專ラ自動車道事業ニ關スルモノハ自動車運輸事業ノ爲ノ自動車交通事業財團ニ屬スルコトナシ

第四十三條　自動車交通事業財團ノ設定ハ自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲スニ依リテ之ヲ爲ス

自動車交通事業財團登記簿ニ所有權保存ノ登記ヲ爲シタルトキハ第三十九條ニ規定スルモノハ當然自動車交通事業財團ニ屬ス但シ第三者ニ對抗シ得ベキ他人ノ權利ノ目的タルモノ又ハ差押、假差押若ハ假處分ノ目的タルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

自動車交通事業財團ノ設定後新ニ其ノ財團ノ所有者ニ屬シタルモノ亦前項ニ同ジ

第四十四條　自動車交通事業財團ハ之ヲ讓渡シ又ハ所有權及抵當權以外ノ權利、差押、假差押若ハ假處分ノ目的ト爲スコトヲ得ズ但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ之ヲ讓渡シ又ハ其ノ財團ニ屬スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ規定ニ依リ自動車交通事業財團ニ屬スルモノヲ讓渡シタルトキハ抵當權ハ其ノモノニ付消滅ス

第四十五條　自動車交通事業財團ヲ目的トスル抵當權ノ設定又ハ變更ハ總額金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後定款變更ト同一ノ方法ニ拠ル意思ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

第四十六條　自動車交通事業財團ノ登記ニ付テハ其ノ財團ノ所有者タル會社ノ本店所在地ヲ管轄スル區裁判所又ハ其ノ出張所ヲ以テ管轄登記所トス

自動車交通事業財團ノ所有者タル會社ガ本店ヲ一登記所ノ管轄地ヨリ他ノ登記所ノ管轄地ニ移シタル場合ニ於ケル登記手續ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

強制管理ノ管理人ノ任免ニ付テハ裁判所ハ主務大臣ノ意見ヲ聽クコトヲ要ス

強制管理終了ノ登記ニ付テハ裁判所ハ其ノ旨ヲ主務大臣ニ通知スベシ

第五章　罰則

第五十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　免許ヲ受ケズシテ自動車運輸事業又ハ自動車道事業ヲ經營シタルトキ

二　認可ヲ受ケズシテ一般自動車道ノ供用ヲ開始シタルトキ

第五十一條　免許ヲ受ケタル者ノ名義ヲ利用シテ自動車運輸事業又ハ自動車道事業ヲ經營シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス名義ヲ利用セシメタル者亦同ジ

第五十二條　自動車運輸事業者又ハ自動車道事業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　第五十條ニ規定スル場合ヲ除クノ外本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケテ爲スベキ事項ヲ之ヲ受ケズシテ爲シタルトキ

二　免許、許可又ハ認可ニ附シタル條件ニ違反シタルトキ

三　本法ニ基キテ爲シタル處分又ハ免許、許可若ハ認可ニ附シタル條件ニ基キテ爲シタル處分ニ違反シタルトキ

四　第八條ノ規定ニ依ル登錄ヲ受ケザル自動車ヲ自動車運輸事業又ハ自動車道事業ノ用ニ供シタルトキ又ハ自動車ニ付不實ノ事項ノ登錄ヲ申請シタルトキ

五　正當ノ事由ナクシテ一般自動車道ノ使用ヲ拒ミタルトキ

六　本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リテ屆出又ハ報告ヲ爲スベキ事項ニ付虛僞ノ屆出又ハ報告ヲ爲シタルトキ

七　監査員ノ監査ヲ妨ゲタルトキ

第五十三條　自動車運輸事業者又ハ自動車道事業者ガ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ本法ノ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

自動車運輸事業者又ハ自動車道事業者ガ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

命令ノ代表者其ノ他ノ從業者ハ會社ノ業務ニ關シ本法ニ違反シタルトキハ其ノ罰則ヲ會社ニ適用ス

第五十四條　自動車道若ハ其ノ標識ヲ損壞シ又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ自動車道ニ於ケル自動車ノ往來ノ危險ヲ生ゼシメタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五十五條　人ノ現在スル自動車運輸事業ノ自動車ヲ顚覆シ又ハ破壞シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ傷ニ致シタル者ハ一年以上ノ有期懲役ニ處シ死ニ致シタル者ハ無期又ハ三年以上ノ懲役ニ處ス

第一項ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第五十六條　第五十四條ノ罪ヲ犯シ因テ自動車ノ顚覆又ハ破壞ヲ致シタル者亦前條ノ例ニ同ジ

第五十七條　過失ニ因リ第五十四條第一項又ハ第五十五條第一項ノ罪ヲ犯シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス其ノ業務ニ從事スル者犯シタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和八年九月勅令第二百五十號ヲ以テ昭和八年十月一日ヨリ施行）

本法施行前自動車運輸事業又ハ自動車道事業ニ該當スル事業ニ付地方長官ノ爲シタル事業經營ノ免許又ハ許可ハ之ヲ本法ニ依ル自動車運輸事業又ハ自動車道事業經營ノ免許ト看做ス

主務大臣ハ公益上必要アリト認ムルトキハ前項ノ自動車運輸事業ニ付新ニ免許ノ有效期間、運輸開始ノ認可ヲ本事業ノ休止期間ヲ指定スルコトヲ得

登錄稅法第三條ノ六中「又ハ漁業財團登記簿」ヲ「、漁業財團登記簿又ハ自動車交通事業財團

登記簿」ニ改ム

印紙犯法第四條第一項第一號中「軌道財團」ノ下ニ「自動車交通事業財團」ヲ加フ

●朝鮮自動車交通事業令施行規則

昭和九年十二月
總令第百二十二號

朝鮮自動車交通事業令施行規則左ノ通定ム、

朝鮮自動車交通事業令施行規則

第一章　自動車運輸事業

第一條　自動車運輸事業種別（旅客運送又ハ物品運送ノ別）及營業所ヲ記載シ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一　事業計畫書

二　興業費概算書（總額、內譯及出資方法ヲ明示スルコト）

三　運輸收支概算書

四　申請者道、府、邑又ハ面ナルトキハ道會、府會、邑會又ハ面協議會ノ決議要領書、既設會社ナルトキハ自動車運輸事業經營ノ概況ヲ記載シタル書面及最近ノ貸借對照表、會社ニ在リテハ定款及登記簿ノ謄本竝ニ最近ノ株主名簿

五　沿線ニ於ケル名所、舊蹟等

第二條　前條ノ書類ニ付テハ其ノ一部ヲ省略シ又ハ之ニ代ヘテ他ノ書類ヲ提出セシムルコトヲ得

第三條　第一條第一項第一號ノ事業計畫書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一　路線（路線圖ヲ添附スルコト）

イ　路線ノ起點及終點ノ地名及地番（通稱アルトキハ之ヲ附記スルコト）

ロ　路線ノ延長

ハ　路線ノ主ナル經過地名

ニ　專用自動車道ヲ開設スルトキハ其ノ區間

ホ　其ノ他必要ト認ムル事項

二　車輛（車輛型式圖ヲ添附スルコト）

イ　輛數常用車、豫備車ニ分チ且旅客定員別（立席及座席ノ別）又ハ物品積載定量別ニ記載スルコト

ロ　車輛ノ寸法及重量ヲ記載スルコト

ハ　車臺、車名、型式及年式ヲ記載シ且同一ノ車名、型式及年式ニ付テハ設計ヲ明示スルコト

特別設計ノモノヲ使用スルトキハ其ノ概要ヲ記載スルコト

ニ　車臺

一　旅客自動車ニ在リテハ座席ノ配列及幅員、凭レ前方ノ餘地、客室ノ高サ、通路ノ幅員及長サ、後車軸後方ノ車體張出ニ關スル事項ヲ記載スルコト

一　貨物自動車ニ在リテハ有蓋、無蓋等ノ別及車體重量ヲ記載スルコト

車輛型式圖ハ車輛型式ノ異ナル每ニ第一號樣式ニ準ジ之ヲ作製スベシ

免許申請ノ際車輛型式圖ヲ添附シ又ハ「ハ」及「ニ」ニ掲グル事項ヲ記載スルコトヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

ホ　運轉系統（系統複雜ナルトキハ系統圖ヲ添附スルコト）竝ニ各系統ニ於ケル粁程、配置車輛數、發着時刻（運行回數頻繁ナルモノニ在リテハ始發及終着ノ時刻）、運行回數、最小運轉時分、運轉間隔ノ大要及往復、軌道其ノ他自動車運輸事業トノ連絡關係

四　運賃及運輸ニ關スル料金

イ　運賃（均一制ニ在リテハ均一運賃、區間制ニ在リテハ各區間ノ運賃及粁程、粁制ニ在リテハ對粁運賃及各停留所間ノ粁程、物品ノ種類及扱別ニ依リテ其ノ運賃ニ區別アルトキハ其ノ別等）

ロ　運輸ニ關スル料金（保管料金、集配料金等）

五　物品ノ集配ヲ爲ストキハ其ノ方法及區域ノ大要

六　一年ヲ通ジ繼續シテ運輸ヲ爲スモノニ非ザルトキハ運輸ヲ爲ス期間

七　主タル事務所ノ所在地

第四條　路線延長ノ免許ヲ申請スル場合ニ於テ路線延長ニ伴ヒ既免許路線ノ事業計畫中前條第二號及第四號及第六號ニ該當スル事項ニ變更ヲ生ズルトキハ其ノ關係ヲ明示シ該變更ニ關スル手續ヲ省略スルコトヲ得

第五條　第三條第一號ノ路線圖ハ縮尺五萬分ノ一以上ノ平面圖トシ左ニ掲グル事項ヲ記載シ縮尺及方位ヲ示スベシ

一　停留所ノ位置、名稱及特ニ待避所ヲ設クルトキハ其ノ位置

二　車庫ノ位置（構造ノ大要ヲ示ス圖面ヲ添附スルコト）

三　一般ノ道路（種類ヲ明示スルコト）、自動車道及一般通行ノ用ニ供スル道路ノ別竝ニ其ノ種別每ノ粁程及有效幅員、往路及復路ノ別アルトキハ其ノ區間及方向

四　一般ノ道路（朝鮮總督ノ管理スルモノヲ除ク）及一般通行ノ用ニ供スル道路ノ管理者ニ對シ終始申ノ期限ヲ指定シテ其ノ管理上ノ意見ヲ徵スベシ

第六條　道知事ハ免許申請書ニ左ニ掲グル事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ免許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ速ニ送付スベシ

一　申請者ノ資產及信用程度

二　事業ノ成否及效用

三　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ノ適否（管理者ノ意見書ヲ添附スルコト）

四　他ノ自動車運輸事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等（未開業ノモノヲ含ム）ニ及ボス影響

五　附近ニ於ケル自動車運輸事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等ノ出願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者、申請書ノ受附年月日等

第七條　道知事ハ免許申請書ニ左ニ掲グル事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ免許ノ許否ニ關スル意見ヲ附シ速ニ送付スベシ

一　申請者ノ資產及信用程度

二　事業ノ成否及效用

三　一般ノ道路、自動車道又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ノ適否（管理者ノ意見書ヲ添附スルコト）

四　他ノ自動車運輸事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等（未開業ノモノヲ含ム）ニ及ボス影響

五　附近ニ於ケル自動車運輸事業、自動車道事業、鐵道、軌道、索道等ノ出願アルトキハ其ノ名稱、區間、申請者、申請書ノ受附年月日等

第二百五十三條　自動車業者ハ其ノ事業ニ使用スル自動車ニ付テハ左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ其ノ事業ノ廢止ノ日ヨリ二年間保存スヘシ

一　自動車ノ種別、構造及性能

二　自動車ノ運轉ヲ爲ス區間

三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地

四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

三十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

四十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

五十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

六十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

七十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

八十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

九十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百二十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百三十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百四十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百五十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百六十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百七十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百八十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

百九十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百二十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百三十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百四十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十五　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十六　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十七　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十八　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百五十九　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百六十　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百六十一　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百六十二　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百六十三　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ變更ノ年月日

二百六十四　自動車ノ運轉ヲ爲ス營業所ノ名稱及所在地ニ變更アリタルトキハ其ノ

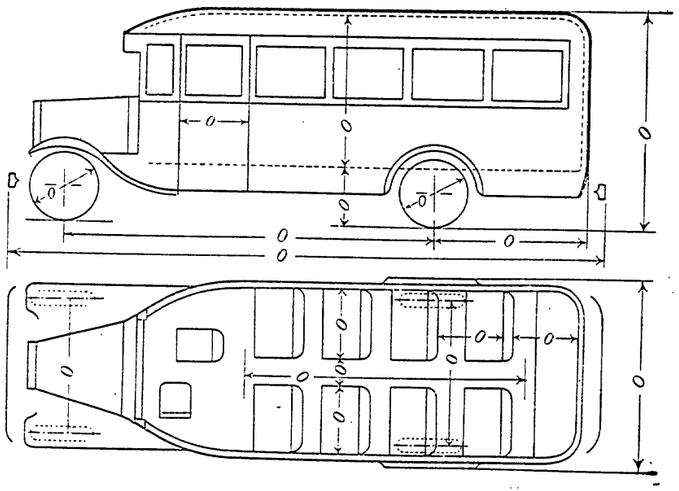
第一號樣式　甲

車輛型式圖

旅客

道

事業者名



車體	車名		車	型式		車輛最大寸法	長サ		
	型式			旅客定員	座席		幅		
	年式				立席		高サ		
	軸距			客室ノ高サ			最短廻轉半徑		
	機關	名稱		通路ノ幅員			車輛重量		
		型式		通路ノ長サ			輪數		
		年式		車體重量			記事		
		最大出力（毎分回轉數）		物品積載定量					

備考

1. 長サノ單位ハ粍、重量ノ單位ハ瓲ヲ以テ記載スベシ
2. 用紙ノ大サハ日本標準規格A列四番（縦210粍、横297粍）トス

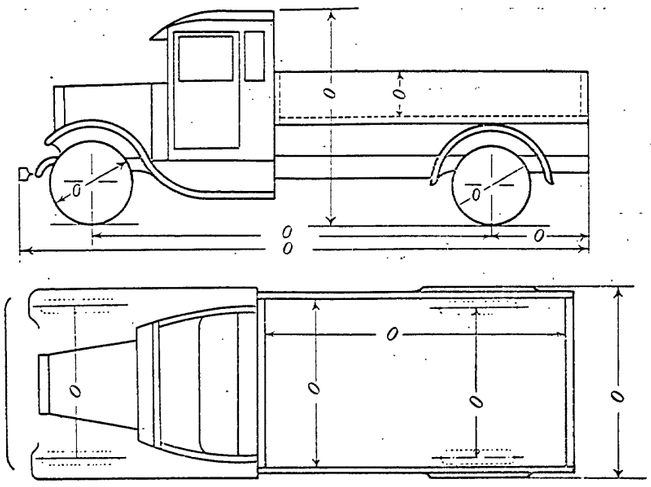
第一號樣式　乙

車輛型式圖

物品

道

事業者名



車	車名		車體	積載定量		車輛重量		備考
	型式			長面積載		幅數		第一號樣式甲ノ備考ニ同シ
	年式			幅面積載		記		
	軸距			車體重量				
室	機關	名稱	車輛最大寸法	長サ				
		型式		幅				
		年式		高サ		事		
		最大出力（毎分回轉數）		最短廻轉半徑				

第二號樣式

自動車交通事業專用道工事費豫算書

延長　　料

事業者名

項	目	數量	平均單價	金額	計合	項	目	數量	平均單價	金額	計合
費督監及量測		料	圓	圓	圓	諸建物費			圓	圓	圓
用地費							何停留所外何箇所	箇所			
	專用自動車道用地	アール					車庫	〃			
	停留所及待避所用地	〃					給油所	〃			
	車庫及給油所用地	〃					一般建物	料			
	川道付替用地	〃				車輛費					
	雜費						旅客自動車	輛			
土工費							貨物自動車	〃			
	專用自動車道切土	立米									
	專用自動車道盛土	〃				機械場費		料			
	停留所及待避所地築	〃				運送費		〃			
	車庫及給油所地築	〃									
	川道付替	〃				建築用具費		〃			
	踏切道	平米				柵垣及境界杭費		〃			
	土留石垣	〃				通信設備費		〃			
路面費											
	鋪裝	平米									
	排水設備	料				保安設備費		〃			
	踏切	平米									
橋梁費						總係費		〃			
	何川橋梁外何箇所	米				豫備費					
	溝橋（徑間二米以下）	箇所									
伏樋費		料				合計					
隧道費											
	何隧道	米									
	何箇所何外隧道	〃				一料當					

第三號様式

興業費概算書

事業者名

項	数量	平均単価	金額	摘要
		圓	圓	
創業費				
測量及監督費	村			
用地、物件移轉其ノ他補償費				
道路費	米			
橋梁費	米			
隧道費	米			
諸設備費				
諸建物費	平米			
器具機械費				
何々費				
總係費				
豫備費				
合計				

備考　創業費ニ付テハ其ノ出資方法ヲ摘要欄ニ明示スルコト

第四號様式

普通一般自動車道工事費豫算書

延長　粁　　事業者名

項	目	数量	平均単価	金額	合計	摘要
			圓	圓	圓	
測量及監督費		村				
用地、物件移轉其ノ他補償費						
	用地費	平米				
	物件移轉費					
	補償費					
道路費						
	土工費					
	切土	立米				
	盛土	立米				
	何々					
	支壁費					
	鐵筋コンクリート支壁	平米				
	コンクリート支壁	平米				
	石造支壁	平米				
	何々					
	鋪装費					
	何々鋪装	平米				
	路床工	平米				
	路盤工	平米				
	落橋費					
	コンクリート管	米				
	函形落橋	米				
	側溝及街渠費	米				
	排水設備費	米				
	何々費					
	雜工事費					

項	目	数量	平均単価	金額	合計	摘要
			圓	圓	圓	
	水路付替	米				
	踏切道	米				
	何々					
橋梁費						
	何々橋費	平米				
	何々費	平米				
隧道費						
	何々隧道費					
	何々費	米				
諸設備費		式				
	保安設備費					
	照明設備費					
	信號設備費					
	駐車場費					
	何々費	平米				
諸建物費						
	使用料金徵收所費					
	何々費	平米				
器具機械費						
何々費						
總係費						
豫備費						
合計						
一粁當						

●朝鮮自動車交通事業令取扱手續

昭和十年四月
總訓第十五號

道知事

朝鮮自動車交通事業令取扱手續左ノ通定ム

昭和七年朝鮮總督府訓令第五十三號ハ之ヲ廢止ス

朝鮮自動車交通事業令取扱手續

第一條　朝鮮自動車交通事業令施行規則（以下單ニ施行規則ト稱ス）第七條第一項第三號ニ規定スル一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ノ適否ニ關スル調査書ニハ左ニ揭グル事項ヲ記載スベシ

一　路面ノ狀況

二　幅員別ノ延長、二十分ノ一ヨリ急ナル縱斷勾配ノ箇所數及延長竝ニ曲線半徑十八米以下ノ箇所數

三　工作物ノ種類、構造及耐荷重量

四　維持及修繕ニ關スル事項

五　前各號ノ外參考ト爲ルベキ事項

第二條　施行規則第七條第四號ニ規定スル他ノ自動車運輸事業等ニ及ボス影響ニ關スル調査書ニハ運貨、運行回數、發着時刻、旅客及貨物ノ集散狀況等ニ付競爭ト爲ル虞アル事項等ヲ詳細ニ記載スベシ

第三條　前二條ノ規定ハ朝鮮自動車運送事業規則（以下單ニ運送事業規則ト稱ス）第二十條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四條　施行規則第九條若ハ第三十七條又ハ運送事業規則第七條ノ規定ニ依ル事業計畫變更ノ認可申請書ヲ受附ケタルトキハ左ニ揭グル事項ヲ附シ之ヲ進達スベシ

一　路線ノ起點若ハ終點ノ變更又ハ經過地ノ重要ナル變更ニ付テハ施行規則第七條第一項第三號乃至第五號ノ規定ニ準ズル事項

二　運賃又ハ運行回數ノ變更ニ付テハ他ノ自動車運輸事業等ニ及ボス影響

三　旅客座席定員又ハ輛數ノ減少ニシテ朝鮮自動車運輸事業基準規程ニ適合セザルニ至ルモノニ付テハ其ノ改善ノ能否

四　前各號ノ外參考ト爲ルベキ事項

第五條　施行規則第十七條又ハ第四十三條ノ規定ニ依ル工事方法變更ノ認可申請書ヲ受附ケタルトキハ左ニ揭グル事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スベシ

一　自動車ノ運行ニ及ボス影響

二　一般ノ道路、自動車又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路トノ連絡若ハ交叉又ハ鐵道、軌道等トノ交叉ニ及ボス影響

三　前各號ノ外參考ト爲ルベキ事項

第六條　施行規則第二十條若ハ第四十五條又ハ運送事業規則第九條ノ規定ニ依ル事業讓渡ノ許可申請書ヲ受附ケタルトキハ、讓受人ニ付施行規則第七條ノ規定ニ依ル事業計畫變更ノ認可申請書ヲ受附ケタルトキハ左ニ揭グル事項ニ關スル調査書ヲ添ヘ許否ニ關スル意見ヲ附シ之ヲ進達スベシ

前項ノ規定ハ施行規則第十六條又ハ運送事業規則第九條ノ規定ニ依ル事業承繼ノ許可申請書ヲ受附ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第七條　自動車運輸事業ノ事業計畫ノ變更ニシテ左ニ揭グルモノノ認可ニ付テハ其ノ處分前朝鮮總督ニ禀伺スベシ

一　路線ノ一部ヲ共通ニシ又ハ路線ガ接續スル二以上ノ自動車運輸事業者ガ相互ニ又ハ一方的ニ他ノ路線ニ自動車ヲ乘入レ直通運轉ヲ爲サントスルモノ

二　路線ノ全部又ハ一部ガ京城、大邱、釜山及平壤ノ各府ノ府內ニ在ル自動車運輸事業ノ運轉系統ノ變更ニシテ此等ノ各府內ニ路線ヲ有スル他ノ自動車運輸事業ニ影響ヲ及ボス虞アルモノ

第八條　貸切旅客自動車運送事業ノ免許其ノ他ノ處分ニシテ旅客座席定員八人以上ノ車輛ノ使用ニ關スルモノニ付テハ其ノ處分前朝鮮總督ニ禀伺スベシ

第九條　自動車運輸事業、自動車道事業又ハ自動車運送事業ノ免許、許可其ノ他ノ申請書ヲ受附ケタル場合ニ於テ事件ガ二以上ノ道ニ關スルトキハ關係道知事ニ協議スベシ

前項ノ規定ニ依ル協議調ハザルトキハ事由ヲ具シ朝鮮總督ノ指揮ヲ受クベシ

第十條　自動車運輸事業、自動車道事業又ハ自動車運送事業ニ關スル屆書ヲ受附ケタル場合ニ於テ事件ガ二以上ノ道ニ關スルトキハ關係道知事ニ通報スベシ

第十一條　別記樣式ノ自動車運輸事業及自動車運送事業ノ臺帳ヲ備フベシ

第十二條　自動車運輸事業又ハ自動車運送事業ノ免許ニ關スル報告書ニハ前條ノ臺帳ノ寫ヲ添附スベシ

第十三條　左ニ揭グル場合ニ於テハ其ノ都度鐵道局長ニ報告スベシ

一　朝鮮自動車交通事業會職權委任規程第一條ノ規定ニ依リ免許ヲ爲シタル自動車運輸事業ニ付施行規則第十九條第三項、第二十二條及第三十條第一號乃至第四號ノ規定ニ依ル屆書ヲ受理シタルトキ

二　朝鮮自動車運輸事業基準規程第四條、朝鮮自動車運輸事業會計規程第一條但書又ハ朝鮮旅客自動車設備規程第九條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキ

三　第七條又ハ第八條ノ規定ニ依リ禀伺ヲ經タル事項ヲ處分シタルトキ

四　自動車運輸事業又ハ自動車運送事業ニ關シ法令又ハ例規ヲ制定シ又ハ改廢シタルトキ

第一號表

自動車運輸事業免許路線表

道No.

事業種別	

自動車運輸事業與業費
會社資本金
拂込資本金
營業年度

事業者
代表者
會社設立　年　月　日
住所
主タル營業所

番號	起點又ハ點ノ分岐	主ナル經過地	終點	粁程	道路幅員	月日及同番號許可及承繼年月日及同番號	免許年月日及同番號	開業年月日及同報告番號	免許條件	記事

備考　1　「起點又ハ分岐點」及「終點」ハ地番迄記入ノコト（通稱アルトキハ之ヲ附記スルコト）
2　「粁程」ハ粁ヲ單位トシ「道路幅員」ハ米ヲ單位トシテ何レモ小數點以下第一位迄ヲ揭ゲ第二位以下ハ四捨五入ノコト
3　「免許年月日及同番號」「承繼年月日及同番號」「開業年月日及同報告番號」ハ當該事業者ニ係ルモノヲ記入スルコト

第二號表

自動車運輸事業運轉系統表

道No.

事業者

事業種別	

番號	起點停留所	主ナル經過停留所	終點停留所	粁程	最小轉運時分	發着時刻ノ始終	運行回數又ハ運轉間隔	輛數	又ハ定員	車庫所在地	車庫所有者	期間ノ運轉メハ運定ノ	記事

備考　1　「粁程」ハ粁ヲ單位トシ小數點以下第一位迄ヲ揭ゲ第二位以下ハ四捨五入ノコト
2　「運行回數又ハ運轉間隔」ノ欄ニハ一日一往復ヲ一回トシ一日十四回以上ノ回數ヲ揭ゲ十四回以下ノモノハ運轉間隔ヲ揭ゲ運行回數ノモノハ上ノ如クスルコト

第五號表　　道No.

自動車運輸事業運轉時刻表

| 停留所 | | |

●朝鮮自動車交通事業令職權委任規程

昭和九年十二月
總令第百二十三號

朝鮮自動車交通事業令職權委任規程左ノ通定ム

第一條　朝鮮自動車交通事業令（以下單ニ令ト稱ス）第四條、第五條、第十條、第十二條、第十三條第一項第二項第四項及第十四條ノ規定ニ依ル免許、許可其ノ他ノ處分ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル自動車運輸事業ニ關スルモノヲ除キ道知事之ヲ行フ

一　路線ノ總延長ガ四十粁以上ニ亙ルモノ
二　路線ガ二以上ノ道ニ亙ルモノ
三　路線ガ京城、大邱、釜山及平壤ノ各府ノ府内ニ在ルモノ又ハ此等ノ各府ノ内外ニ亙ルモノ
四　當該路線ヨリ五粁（起點又ハ終點ヨリハ十粁）ノ範圍内ニ鐵道、軌道、索道、自動車道事業又ハ他ノ自動車運輸事業ノ路線（未開業及出願中ノモノヲ含ム）ニ在ルモノ
五　鐵道、軌道、索道、自動車道事業又ハ他ノ自動車運輸事業（未開業及出願中ノモノヲ含ム）ト競爭ノ虞アルモノ
六　路線ノ全部又ハ一部ガ自動車道ニ依ルモノ

第二條　臨時ノ必要ニ因リ三月内ノ期間ヲ限リ經營スル自動車運輸事業ニ關スル免許、許可、認可其ノ他ノ處分ハ道知事之ヲ行フ

第三條　自動車運輸事業ニ關スル職權ニシテ左ニ掲グル事項ハ道知事之ヲ行フ

一　運輸開始ノ認可及運輸開始認可申請期間ノ伸長
二　事業計畫變更ノ認可但シ第一條各號ノ一ニ該當スル自動車運輸事業ニ關スル左ニ掲グルモノヲ除ク
イ　路線ノ起點若ハ終點ノ變更又ハ經過地ノ變更
ロ　運行回數又ハ運賃ノ變更
ハ　旅客車席定員又ハ輻數ノ減少ニシテ朝鮮自動車運輸事業基準規程ニ適合セザルニ至ルモノ
ニ　專用自動車道ノ工事方法ノ變更ノ認可ニシテ左ニ掲グルモノ
イ　市街地ニ在リテハ五十米以内、其ノ他ノ地ニ在リテハ百米以内ノ中心線ノ變更
ロ　有效幅員ノ輕易ナル擴張
ハ　鋪裝及路床ノ構造ノ改良又ハ之ニ基ク路面ノ橫斷勾配ノ變更
ニ　排水設備、高サ五米以下ノ支壁其ノ他簡易ナル工作物ノ構造及位置ノ變更
ホ　橋梁、隧道其ノ他主要ナル工作物ノ構造及位置ノ輕易ナル變更
ヘ　六米以内ノ橋梁又ハ百米以内ノ隧道ノ廢止
ト　一般ノ道路、自動車道若ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡若ハ交叉ノ位置又ハ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置ノ變更
チ　駐車場ノ新設又ハ其ノ位置、面積及構造ノ變更
四　供用休止ノ許可

第七條　道知事第一條乃至第三條及前條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ報告スベシ

第一條、第三條第三號又ハ前條第三號ノ規定ニ依ル處分ノ報告書ニハ申請書ニ添附シタル書類及圖面ノ寫ヲ添附スベシ

第八條　前條ノ書類ハ第六條ニ關スルモノヲ除クノ外鐵道局長ヲ經由スベシ

附　則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮自動車運輸事業基準規程

昭和九年十二月
總令第百二十四號

朝鮮自動車運輸事業基準規程左ノ通定ム

朝鮮自動車運輸事業基準規程

第一條　自動車運輸事業ノ經營ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ルノ外本規程ノ定ムル所ニ依ルベシ但シ特別ノ事由ニ依リ免許官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ本令ニ依ラザルコトヲ得

第二條　營業年度ハ一年又ハ六月トス

第三條　自動車運輸事業ノ開始ニ必要ナル車輛、專用自動車道等ノ取得、建設等ノ爲支出シタル金額ハ之ヲ興業費トス

運輸開始後車輛、專用自動車道等ノ增備、增設其ノ他之ニ改良ヲ加ヘタル場合ニ於ケル費用ハ之ヲ興業費トス但シ新工事ニ因リ撤去セラレタル部分ノ舊工事費ハ新工事費ニ相當スル額ヲ限度トシ興業費ヨリ之ヲ控除スベシ

借入金ノ利子ハ運輸開始前ニ屬スルモノニ限リ之ヲ興業費ニ決算スルコトヲ得

第四條　車輛、專用自動車道其ノ他興業費ニ決算シタルモノノ保存復舊ノ費用、前條第二項但書ノ規定ニ依リ興業費ヨリ控除スベキ金額、諸稅其ノ他運輸營業上ノ諸費用ハ之ヲ營業費トス

第五條　旅客收入、物品收入其ノ他運輸營業上ノ諸收入ハ之ヲ運輸收入トシ運輸收入及雜收入ハ之ヲ營業收入トス

第六條　財產目錄ニ記載スル有價證券以外ノ財產ノ價額ハ實費決算額ヲ超エルコトヲ得ズ

財產價額ヲ消却シタルトキハ其ノ殘額ヲ以テ實費決算額トス

第七條　車輛ノ價額ハ使用ノ狀況ニ應ジ每營業年度ニ之ヲ消却スベシ

興業費ニ決算シタル借入金ノ利子、朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第百九十六條ノ規定ニ依ル利息配當金、他ノ自動車營業承繼ノ爲支出シタル金額等ニシテ之ニ對應スル有形財產ヲ有セザルモノハ相當之ヲ消却スベシ

第八條　興業及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル興業及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ但シ全部ヲ營業費ニ算入スルコトヲ妨ゲズ

第九條　自動車運輸事業者ガ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於テ自動車運輸事業及他ノ事業ノ興聯スル興業費、營業費又ハ營業收入ハ當該營業年度ニ於ケル關係各事業ノ興業費、營業費又ハ營業收入ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ

第十條　自動車運輸事業者ガ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於テ自動車運輸事業及他ノ事業ノ興業及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル關係各事業ノ興業費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ但シ全部ノ費用ヲ當該各事業ノ營業費ニ算入スルコトヲ妨ゲズ

第十一條　第八條ノ規定ハ自動車運輸事業者ガ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於ケル他ノ事業ノ興業及營業ニ關聯スル費用ノ分割ニ付之ヲ準用ス

第十二條　區間ヲ分チテ興業費ヲ整理スル場合ニ於テ二以上ノ區間ニ關聯スル興業費ハ當該營業年度ニ於ケル關係各區間ノ興業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ

附　則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行スル期間每ニ其ノ操向裝置、制動裝置、照明裝置、車輪、車軸其ノ他ノ要部ヲ細密ニ檢查スベシ

第十條　車輛ハ其ノ走行四萬五千粁（新造車輛ノ第一回解體檢查ヲ爲シタル後ニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十一條　自動車運輸事業者ハ各車輛每ニ車歷簿ヲ備ヘ前二條ノ規定ニ依ル檢查ヲ爲シ

地ノ重要ナル變更

ロ　運行回數又ハ運賃ノ變更

ハ　旅客車席定員又ハ輻數ノ減少ニシテ朝鮮自動車運輸事業基準規程ニ適合セザルニ至ルモノ

ニ　專用自動車道ノ工事方法ノ變更ノ認可ニシテ左ニ掲グルモノ

イ　市街地ニ在リテハ五十米以内、其ノ他ノ地ニ在リテハ百米以内ノ中心線ノ變更

ロ　有效幅員ノ輕易ナル擴張

ハ　鋪裝及路床ノ構造ノ改良又ハ之ニ基ク路面ノ橫斷勾配ノ變更

ニ　排水設備、高サ五米以下ノ支壁其ノ他簡易ナル工作物ノ構造及位置ノ變更

ホ　橋梁、隧道其ノ他主要ナル工作物ノ構造及位置ノ輕易ナル變更

ヘ　六米以内ノ橋梁又ハ百米以内ノ隧道ノ廢止

ト　一般ノ道路、自動車道若ハ一般通行ノ用ニ供スル通路トノ連絡若ハ交叉ノ位置又ハ鐵道、軌道等トノ交叉ノ位置ノ變更

チ　駐車場ノ新設又ハ其ノ位置、面積及構造ノ變更

四　供用休止ノ許可

第七條　道知事第一條乃至第三條及前條ノ規定ニ依リ處分ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク朝鮮總督ニ之ヲ報告スベシ

第一條、第三條第三號又ハ前條第三號ノ規定ニ依ル處分ノ報告書ニハ申請書ニ添附シタル書類及圖面ノ寫ヲ添附スベシ

第八條　前條ノ書類ハ第六條ニ關スルモノヲ除クノ外鐵道局長ヲ經由スベシ

附　則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮自動車運輸事業基準規程

昭和九年十二月
總令第百二十四號

朝鮮自動車運輸事業基準規程左ノ通定ム

朝鮮自動車運輸事業基準規程

第一條　自動車運輸事業ノ經營ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ルノ外本規程ノ定ムル所ニ依ルベシ但シ特別ノ事由ニ依リ免許官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ本令ニ依ラザルコトヲ得

第二條　營業年度ハ一年又ハ六月トス

第三條　自動車運輸事業ノ開始ニ必要ナル車輛、專用自動車道等ノ取得、建設等ノ爲支出シタル金額ハ之ヲ興業費トス

運輸開始後車輛、專用自動車道等ノ增備、增設其ノ他之ニ改良ヲ加ヘタル場合ニ於ケル費用ハ之ヲ興業費トス但シ新工事ニ因リ撤去セラレタル部分ノ舊工事費ハ新工事費ニ相當スル額ヲ限度トシ興業費ヨリ之ヲ控除スベシ

借入金ノ利子ハ運輸開始前ニ屬スルモノニ限リ之ヲ興業費ニ決算スルコトヲ得

第四條　車輛、專用自動車道其ノ他興業費ニ決算シタルモノノ保存復舊ノ費用、前條第二項但書ノ規定ニ依リ興業費ヨリ控除スベキ金額、諸稅其ノ他運輸營業上ノ諸費用ハ之ヲ營業費トス

第五條　旅客收入、物品收入其ノ他運輸營業上ノ諸收入ハ之ヲ運輸收入トシ運輸收入及雜收入ハ之ヲ營業收入トス

第六條　財產目錄ニ記載スル有價證券以外ノ財產ノ價額ハ實費決算額ヲ超エルコトヲ得ズ

財產價額ヲ消却シタルトキハ其ノ殘額ヲ以テ實費決算額トス

第七條　車輛ノ價額ハ使用ノ狀況ニ應ジ每營業年度ニ之ヲ消却スベシ

興業費ニ決算シタル借入金ノ利子、朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第百九十六條ノ規定ニ依ル利息配當金、他ノ自動車營業承繼ノ爲支出シタル金額等ニシテ之ニ對應スル有形財產ヲ有セザルモノハ相當之ヲ消却スベシ

第八條　興業及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル興業及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ但シ全部ヲ營業費ニ算入スルコトヲ妨ゲズ

第九條　自動車運輸事業者ガ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於テ自動車運輸事業及他ノ事業ノ興聯スル興業費、營業費又ハ營業收入ハ當該營業年度ニ於ケル關係各事業ノ興業費、營業費又ハ營業收入ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ

第十條　自動車運輸事業者ガ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於テ自動車運輸事業及他ノ事業ノ興業及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル關係各事業ノ興業費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ但シ全部ノ費用ヲ當該各事業ノ營業費ニ算入スルコトヲ妨ゲズ

第十一條　第八條ノ規定ハ自動車運輸事業者ガ他ノ事業ヲ營ム場合ニ於ケル他ノ事業ノ興業及營業ニ關聯スル費用ノ分割ニ付之ヲ準用ス

第十二條　區間ヲ分チテ興業費ヲ整理スル場合ニ於テ二以上ノ區間ニ關聯スル興業費ハ當該營業年度ニ於ケル關係各區間ノ興業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割スベシ

附　則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行スル期間每ニ其ノ操向裝置、制動裝置、照明裝置、車輪、車軸其ノ他ノ要部ヲ細密ニ檢查スベシ

第十條　車輛ハ其ノ走行四萬五千粁（新造車輛ノ第一回解體檢查ヲ爲シタル後ニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十一條　自動車運輸事業者ハ各車輛每ニ車歷簿ヲ備ヘ前二條ノ規定ニ依ル檢查ヲ爲シ

●朝鮮自動車運輸規程

昭和九年十二月
總令第百二十六號

朝鮮自動車運輸事業令（以下單ニ令ト稱ス）第十八條ノ規定ニ依リ朝鮮自動車運輸規程左ノ通定ム

朝鮮自動車運輸規程

第一條　自動車運輸事業ノ經營ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ルノ外本規程ノ定ムル所ニ依ルベシ但シ特別ノ事由ニ依リ免許官廳ノ許可ヲ受ケタル場合ハ本令ニ依ラザルコトヲ得

第二條　運賃、運輸ニ關スル料金其ノ他ノ運送條件ハ公告ヲ爲シタル後ニ非ザレバ之ヲ實施スルコトヲ得ズ

運賃又ハ運輸ニ關スル料金ヲ增加セントスルトキハ前項ノ公告ハ二週間以上之ヲ爲スベシ

第三條　車輛ノ運行ヲ休止シ又ハ變更セントスルトキハ實施前之ヲ公告スベシ

第四條　運轉手、車掌其ノ他旅客及公衆ニ應接スル係員ハ制服ヲ著用シ又ハ腕章、徽章等ニ依リ係員タルコトヲ明示スベシ

第五條　旅客及荷主ハ係員ノ職務上ノ指圖ニ從フベシ

第六條　車輛ノ外側ノ見易キ箇所ニ車輛ノ行先及自動車運輸事業者ノ名稱又ハ徽章ヲ表示スベシ

第七條　車輛ニハ豫備タイヤ及應急修理ニ必要ナル器具ヲ備フベシ但シ急遽之ヲ供給スベキ施設アルトキ又ハ他ノ車輛ニ依リ容易ニ運送ヲ繼續シ得ルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第八條　車輛ハ每日運行開始前其ノ要部ヲ點檢スベシ

第九條　車輛ハ使用ノ狀況ニ依リ六月ヲ超エザル期間每ニ其ノ操向裝置、制動裝置、照明裝置、車輪、車軸其ノ他ノ要部ヲ細密ニ檢查スベシ

第十條　車輛ハ其ノ走行四萬五千粁（新造車輛ノ第一回解體檢查ヲ爲シタル後ニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第十一條　自動車運輸事業者ハ各車輛每ニ車歷簿ヲ備ヘ前二條ノ規定ニ依ル檢查ヲ爲シ

ダルトキハ檢查ノ概要、費用、年月日其ノ他必要ナル事項ヲ之ニ記入スベシ重要ナル修繕又ハ改造ヲ爲シタルトキ亦同ジ

第十二條　專用自動車道ハ常ニ車輛ヲ安全且正確ニ運轉スルコトヲ得ベキ狀態ニ之ヲ保持スベシ

第十三條　停留所ニハ見易キ箇所ニ停留所名及自動車運輸事業者ノ名稱又ハ徽章ヲ表示シ且主要停留所ニハ車輛ノ主ナル行先、運賃及發車時刻ヲ掲示スベシ

運行頻繁ナル路線ニ在リテハ始發及終發ノ時刻並ニ運轉間隔ノ大要ヲ以テ前項ノ發車時刻ニ代フルコトヲ得

第十四條　旅客ノ同伴スル四年未滿ノ小兒ニシテ座席ヲ塞ガザルモノハ無賃ヲ以テ之ヲ運送スベシ

第十五條　左ニ掲グル者ノ乘車ハ之ヲ拒絕スルコトヲ得

一　附添人ナキ重病者及精神病者
二　泥醉者又ハ不潔ナル服裝ヲ爲ス者
三　其ノ他他ノ旅客ニ迷惑ヲ及ボス虞アル者

傳染病患者ハ他ノ旅客ト之ヲ同乘セシムルコトヲ得ズ

第十六條　旅客ハ左ニ掲グル行爲ヲ爲スベカラズ

一　機械裝置ニ手ヲ觸ルルコト
二　運行中乘降スルコト
三　運行中運轉手ニ話シ掛ケ、乘降口ノ扉ヲ開キ又ハ身體ヲ車外ニ出スコト
四　物品ヲ車外ニ投棄スルコト
五　他ノ乘客ノ迷惑ト爲ルコト

前項ニ掲グル行爲ヲ爲ス者係員ノ制止ヲ肯ゼザルトキハ之ヲ降車セシムルコトヲ得

第十七條　旅客ハ檢查ノ爲乘車券ノ呈示又ハ交付ヲ求メラレタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

前項ノ規定ニ違反シ乘車券ノ呈示又ハ交付

（別表）

貸借対照表

第一表　年　月　日現在　名称

借方 科目	借方 金額	貸方 科目	貸方 金額
払込未済資本金	円	資本金又ハ出資金	円
何々間線鉄道業		特別積立金	
〃（開業路線）		特定準備金	
〃（未開業路線）		各種準備金	
兼業事業		社債	
固定財産		固定財産借入金	
建設仮勘定		借入金	
貸付金		支払手形	
未収入金		当座借越	
有価証券		未払金	
現金		未払配当金	
		仮受金	
		職員預り金	
		保証金	
		前期繰越金	
		当期純益金	
合計		合計	

備考

1　個人又ハ組合経営ノ場合ニ於テ自動車運輸事業ニ関スルモノノミヲ記載シ難キトキハ他ノ事業ニ関スルモノヲ併セテ記載スルコトヲ得以下各表ニ付亦同ジ

2　払込未済資本金ニ付テハ其ノ株式数及各株式ノ払込未済金額ヲ欄外ニ記載スベシ

3　兼業興業費ハ兼業ノ種類毎ニ開業ト未開業トヲ区別記載シ固定財産借入金ハ固定財産ノ種類毎ニ区別記載スベシ

4　仮出金、未収入金、有価証券、未払金、仮受金ニ付テハ其ノ生ジタルモノノ内課ヲ欄外又ハ別紙ニ記載スベシ

5　株式ニ普通株、優先株、後配株及旧株、新株等ノ区別アルトキハ各株式数及金額ヲ欄外ニ記載スベシ

損益計算表

第二表　自　年　月　日至　年　月　日　名称

収入 科目	収入 金額	支出 科目	支出 金額	損益
自動車運輸事業収入	円	自動車運輸事業支出	円	円
運輸収入		営業費		
旅客収入		保存費		
物品収入		運送費		
運輸雑収		総係費		
雑収入		諸税		
		道路損傷負担金		
		財産価額消却金		
		各事業関聯営業費分擔額		
		興業営業関聯費分擔額		
		雑支出		
		支払利子		
		社債差損金		
其ノ他ノ自動車業収入		財産価額消却金		
私設鉄道業収入		雑損		
軌道業収入		其ノ他ノ自動車業支出		
		私設鉄道業支出		
		軌道業支出		
合計		合計		

備考

1. 手荷物収入ハ之ヲ旅客収入ニ、手荷物以外ノ物品ハ旅客自動車ニテ運送シタルモノト雖モ其ノ収入ハ之ヲ物品収入ニ計上スベシ
2. 運輸雑収及雑収入ノ主ナル内訳ハ之ヲ欄外ニ記載スベシ
3. 保存費ニハ自動車道、車輛、諸建物等ニ係ル保存復旧ノ費用、朝鮮自動車運輸事業会計規程第三條第二項ノ場合ニ於テ興業費ヨリ控除スベキ金額等ヲ、輸送費ニハ運転手、車掌、其ノ他ノ運輸従事員ノ給料及手当、燃料及油脂、停留所ニ於ケル荷貨取扱、荷貨誘致ノ為ノ広告ニ係ル費用等ヲ、総係費ニハ運輸営業上ノ諸費用ニシテ他ノ科目ニ属セザルモノヲ計上スベキモノトス
4. 輸送費ニ計上セラルル燃料ニ付テハ消費総量、平均単価及金額ヲ欄外ニ説明スベシ
5. 各事業ニ於テ支払利子及社債差損金ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外ニ記載シ其ノ計算方法ヲ説明スベシ
6. 財産価額消却金ノ内容ハ之ヲ欄外ニ説明スベシ
7. 雑損ノ主ナル内訳ハ之ヲ欄外ニ記載スベシ

利益金処分表

第三表　自　年　月　日至　年　月　日　名称

収入 科目	収入 金額	支出 科目	支出 金額
前期繰越金	円	法定準備金	円
当期純益金		任意準備金	
		役員賞与金	
		優先株配当金（年何割何分）	
		普通株配当金（年何割何分）	
		後期繰越金	
合計		合計	

備考

1　優先株又ハ後配株ニ数種アルトキハ各種類毎ニ配当金ヲ記載スベシ

2　年度ノ中間ニ於テ株金ノ払込アリタルトキハ其ノ期日及金額ヲ欄外ニ記載スベシ

何々間路線営業費明細表

名稱

第四表　　自年月日至年月日

科目	前期末決算額	當期決算額	計	摘要
車輛費	圓	圓	圓	
器械場費				
諸建物費				
道路改良分擔金				
總係費				
自動車道費				
合計				

備考

1　區間ヲ分チテ整理スルトキハ各區間毎ニ本表ヲ調製スベシ

2　開業區間ト未開業區間トアルトキハ各區間別ニ本表ヲ調製スベシ但シ正確ニ區分スルコト能ハザルトキハ一定ノ標準ヲ設ケ合計金額ニ於テ區分シ之ヲ摘外ニ記載スベシ、尚合計ニ於テ區分シタルトキハ其ノ標準ヲ摘外ニ說明スベシ

3　諸建物費其ノ他ヲ各事業ニ分割計上シタルトキハ其ノ標準ヲ摘外ニ說明スベシ

4　自動車道費ニハ測量及監督費、用地費、土工費、路面費、橋梁費、伏樋費、隧道費、總係費等ノ目ヲ設ケテ記載スベシ

5　開業區間ニ當期決算額又ハ戻入額アルトキハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スベシ

取締役、監査役及主ナル株主表

名稱

第五表　　年月日現在

種別	氏名	所有株式數	摘要
取締役			
監査役			
出ナル株主			

備考

1　出ナル株主ハ株式總數ノ百分ノ五以上ヲ有スルモノヲ記載スベシ

2　所有株式數種アルトキハ種類別内譯ヲ摘要欄ニ記載スベシ

●朝鮮自動車運輸事業統計報告書樣式

朝鮮總督府第六百十二號

昭和九年十二月四日

朝鮮自動車運輸事業統計報告書樣式ヲ左ノ通定ム

朝鮮自動車運輸事業統計報告書樣式

年月日

自動車運輸事業者名

道　朝鮮總督府鐵道局

年末現在

年度（上半期）

自　月　日

至　月　日

統計報告書

路線表

名稱

第一表　　年月日現在

種別		區間	粁程 道路及通路	粁程 一般自動車道及專用自動車道	粁程 計	停留所數	摘要
開業路線	旅客運送	何々間	粁	粁	粁		
	物品運送	〃〃〃					
	旅客及物品運送	〃〃〃					
	計						
未開業路線	旅客運送	〃〃〃					
	物品運送	〃〃〃					
	旅客及物品運送	〃〃〃					
	計						
合計							

備考

1　旅客運送ト物品運送トノ種別ハ免許ヲ受ケタル事業ノ種別ニ依リ記載スベシ

2　區間ハ免許、運轉系統ノ如何ニ拘ラズ重複セザル樣記載スベシ

3　粁程ハ小數點以下二位ヲ四捨五入シ一位ニ止メテ計上スベシ

4　停留所數ハ開業路線ニ係ルモノノミヲ記載スベシ

5　本表ハ營業年度末日現在ヲ以テ作成記載スベシ第二表及第五表ニ付亦同シ

車輛表

名稱

第二表　　年月日現在

種別	車名	輛數	旅客定員 座席	旅客定員 立席	旅客定員 計	積載定量	摘要
			人	人	人	瓲	
旅客自動車							
計							
貨物自動車							
計							
合造車							
計							
牽引車							
計							
附隨車							
計							
合計							

備考

1　本表ハ所有者ノ如何ニ拘ラズ現ニ事業ノ用ニ供スル車輛ニ付之ヲ作成スベシ

2　車名及輛數ハ旅客定員又ハ積載定量別ニ記載スベシ

3　瓦斯倫以外ノ動力ヲ使用スルモノニ在リテハ之ヲ區別シ摘要欄ニ記載スベシ

第三表

運　輸　成　績　表

自　年　月　日　至　年　月　日　　名　称

種別	営業日数	使用運転哩数	車輛走行粁	輸送数量		運輸収入			摘要
				旅客	物品	旅客	物品	計	
				千	千	円	円	円	
旅客運送				人	瓲	円	円	円	
物品運送									

備考

1　接続セザル線路ニ在リテハ其ノ路線毎ニ区分記載スベシ接続スル路線ト雖モ区間ヲ分ケ数種スルトキ亦同シ

2　営業日数ハ営業休止ノ日数ヲ除キタルモノヲ記載スベシ

3　使用運転哩数及車輛走行粁ハ自己路線ニ於ケル営業上使用シタル車輛ニ付調査記載スベシ

4　輸送旅客人員ノ計算ハ次ノ方法ニ依ル

イ　片道乗車ハ一券ヲ以テ一人トス

ロ　往復乗車及周遊乗車ハ一券ヲ以テ二人トス

ハ　定期乗車ハ有効日数ニ二ヲ乗ジタルモノ

ニ　団体及特別乗車ハ運賃計算人員

ホ　回数乗車ハ乗車シ得ベキ其ノ回数何シ区間制ニシテ乗車区間数ニ應ジ乗車券ヲ従用シ得ルモノニ在リテハ適宜ノ方法ニ依リ旅客人員ヲ推定算出シ其ノ方法ヲ説明スベシ此ノ場合普通乗車ニ於ケル各区券ヲ発賣スルトキハ次ノ如キ算出方法アリ

$$\text{普通乗車想定区間数} = \frac{\text{普通乗車人員}}{\text{一人平均乗車区間数}}$$

$$\text{回数乗車換算延哩数} = \text{推定旅客人員} \times \text{一人平均乗車区間数}$$

例

$$\text{一区券二区券三区券} = \frac{100\text{哩}\times 1+80\text{哩}\times 2+70\text{哩}\times 3=470}{100\text{人}+80\text{人}+70\text{人}} = 250 = 1.88 \cdots\cdots \text{一人平均乗車区間数}$$

$$\frac{\text{回数乗車換算延哩数}}{\text{回数乗車換算延哩数}} = \frac{50\text{哩}\times 100\text{人}+100\text{哩}\times 80\text{人}=13,000}{1.88} = 6,915 \cdots\cdots \text{推定旅客人員}$$

ヘ　乗車券ヲ発賣セザルモノニ在リテハ推定ニ依リ旅客人員ヲ算出シ其ノ方法ヲ摘要欄ニ記載スベシ

ト　定期、回数、周遊、団体乗車券ニ対スル運入員及運賃ハ之ヲ摘要欄又ハ欄外ニ記載スベシ

5　輸送数量及運賃収入ハ乗車券発賣ノ日又ハ物品受託ノ日ノ属スル営業年度ニ算入スベシ

6　物品数量ハ運賃計算重量ニ依リ計上スベシ

7　時数扱ノ物品ハ適宜ナル方法ニ依リ之ヲ距ニ換算シテ計上スベシ

備考

1　種別ノ区分ニ依リ難キハ主要ナルモノニ依リ記入スベシ

2　鋪線ニ在リテハ汽車、電車、家畜、電柱等ニ關スル事項ヲ含ム

第四表

職　員　数　表

自　年　月　日　至　年　月　日　　名　称

職名	人員	給料月俸		諸給與月額		摘要
		円	銭	円	銭	
役員						
社長						
総裁						
取締役						
監査役						
計						
技師						
技手						
書記						
計						
運転手						
車掌						
計						
技工						
雇						
計						

備考

1　給料月俸欄ニハ年俸額ヘ其ノ十二分ノ一、日給額ヘ其ノ三十倍ヲ記載スベシ

2　諸給與月額欄ニハ臨時手当、賞與金、奨励金、賄料、恩給代、時間外手当等ノ額給與金ヲ一月分ニ平均シタルモノヲ記載スベシ

3　向一人ニテ他ノ職務ヲ兼務スルトキハ之ヲ明ニスベシ

4　株式令社ニ非ザル非営業者ニ在リテハ本表ニ準ジ作成スベシ

鉄道書籍専門店
鉄道日本社
東京都千代田区神田神保町一ノ三
電話(29)0911番
鉄道関係書籍・雑誌・地図
鉄道模型・鉄道玩具
鉄道日本社
東京都千代田区神田神保町一ノ三
電話(29)0911番

第五表

職　員　数

年　月　日　現　在　　名　称

職名	人員	給料月俸		諸給與月額		摘要
		円	銭	円	銭	
役員						
社長						
総裁						
取締役						
監査役						
計						
技師						
技手						
書記						
計						
運転手						
車掌						
計						
技工						
雇						
計						

備考

1　給料月俸欄ニハ年俸額ヘ其ノ十二分ノ一、日給額ヘ其ノ三十倍ヲ記載スベシ

2　諸給與月額欄ニハ臨時手当、賞與金、奨励金、賄料、恩給代、時間外手当等ノ額給與金ヲ一月分ニ平均シタルモノヲ記載スベシ

3　向一人ニテ他ノ職務ヲ兼務スルトキハ之ヲ明ニスベシ

4　株式令社ニ非ザル非営業者ニ在リテハ本表ニ準ジ作成スベシ

鉄道書籍専門店
鉄道日本社
東京都千代田区神田神保町一ノ三
電話(29)0911番
鉄道関係書籍・雑誌・地図
鉄道模型・鉄道玩具
鉄道日本社
東京都千代田区神田神保町一ノ三
電話(29)0911番

第六表

車輛保有及運転数

年　月　日　現　在　　名　称

種別	保有数	運転数	摘要
	両	両	
機関車			
客車			
貨車			
合計			

備考

1　種別ノ区分ニ依リ難キハ主要ナルモノニ依リ記入スベシ

2　保有数ハ営業休止ノ車輛ヲ除キタルモノヲ記載スベシ

3　運転数ハ営業上使用シタル車輛ニ付調査記載スベシ

4　輸送旅客人員ノ計算ハ次ノ方法ニ依ル

イ　片道乗車ハ一券ヲ以テ一人トス

ロ　往復乗車及周遊乗車ハ一券ヲ以テ二人トス

ハ　定期乗車ハ有効日数ニ二ヲ乗ジタルモノ

ニ　団体及特別乗車ハ運賃計算人員

ホ　回数乗車ハ乗車シ得ベキ其ノ回数何シ区間制ニシテ乗車区間数ニ應ジ乗車券ヲ従用シ得ルモノニ在リテハ適宜ノ方法ニ依リ旅客人員ヲ推定算出シ其ノ方法ヲ説明スベシ此ノ場合普通乗車ニ於ケル各区券ヲ発賣スルトキハ次ノ如キ算出方法アリ

$$\text{普通乗車想定区間数} = \frac{\text{普通乗車人員}}{\text{一人平均乗車区間数}}$$

$$\text{回数乗車換算延哩数} = \text{推定旅客人員} \times \text{一人平均乗車区間数}$$

例

$$\text{一区券二区券三区券} = \frac{100\text{哩}\times 1+80\text{哩}\times 2+70\text{哩}\times 3=470}{100\text{人}+80\text{人}+70\text{人}} = 250 = 1.88 \cdots\cdots \text{一人平均乗車区間数}$$

$$\frac{\text{回数乗車換算延哩数}}{\text{回数乗車換算延哩数}} = \frac{50\text{哩}\times 100\text{人}+100\text{哩}\times 80\text{人}=13,000}{1.88} = 6,915 \cdots\cdots \text{推定旅客人員}$$

ヘ　乗車券ヲ発賣セザルモノニ在リテハ推定ニ依リ旅客人員ヲ算出シ其ノ方法ヲ摘要欄ニ記載スベシ

ト　定期、回数、周遊、団体乗車券ニ対スル運入員及運賃ハ之ヲ摘要欄又ハ欄外ニ記載スベシ

5　輸送数量及運賃収入ハ乗車券発賣ノ日又ハ物品受託ノ日ノ属スル営業年度ニ算入スベシ

6　物品数量ハ運賃計算重量ニ依リ計上スベシ

7　時数扱ノ物品ハ適宜ナル方法ニ依リ之ヲ距ニ換算シテ計上スベシ

備考

1　種別ノ区分ニ依リ難キハ主要ナルモノニ依リ記入スベシ

2　鋪線ニ在リテハ汽車、電車、家畜、電柱等ニ關スル事項ヲ含ム

鉄道書籍専門店
鉄道日本社
東京都千代田区神田神保町一ノ三
電話(29)0911番
鉄道関係書籍・雑誌・地図
鉄道模型・鉄道玩具
鉄道日本社
東京都千代田区神田神保町一ノ三
電話(29)0911番

第一號様式　自動車登錄申請書

年　月　日

自動車運輸事業者名　㊞

道知事宛

登錄	一　車名、型式及年式
錄	二　機關番號
事	三　車臺番號
項	四　旅客定員及物品積載定量
	五　箱型幌型又ハ有蓋無蓋ノ別
	六　運行路線
登錄番號	道知事㊞
登錄年月日	
備考	

（注意）一　用紙ノ寸法ハ日本標準規格B列五番トス

二　登錄事項ハ申請者ニ於テ之ヲ記入スベシ

第二號様式　自動車登錄變更申請書

年　月　日

自動車運輸事業者名　㊞

道知事宛

登錄事項	既登錄事項
一　車名、型式及年式	
二　機關番號	
三　車臺番號	
四　旅客定員及物品積載定量	
五　箱型幌型又ハ有蓋無蓋ノ別	
六　運行路線	
登錄番號	道知事㊞
登錄年月日	
備考	

●朝鮮自動車道構造規程

昭和九年十二月
總令第百二十九號

朝鮮自動車道構造規程左ノ通定ム

朝鮮自動車道構造規程

第一章　一般自動車道

第一條　一般自動車道ノ有效幅員ハ二車線以上ヲ爲スベシ

一車線ノ幅員ハ三米トス但シ四車線以上ヲ爲ス場合ニ於テハ一車線ノ幅員ヲ二・七五米ヲ爲スコトヲ得

第二條　車線ノ限界ハ限界線ヲ設ケ路面ト異ル色ヲ以テ表示スベシ

第三條　有效路面ハ適當ナル材料ヲ以テ鋪裝スベシ

第四條　有效路面ノ兩側ニハ幅員五十糎以上ノ路肩ヲ設クベシ

第五條　路端ノ高サハ特殊ノ箇所ヲ除クノ外水流水面ノ最高水位上三十糎以上ヲ爲スベシ

第六條　路端勾配ハ二十分ノ一ヨリ急ナルコトヲ得但シ地形上已ムヲ得ザル箇所ニ於テ相當ノ距離毎ニ緩ナル勾配ヲ有スル區間ヲ設クル場合ハ此限ニ在ラズ

第八條　縱斷勾配ノ變移スル箇所ニハ相當ノ縱斷曲線ヲ設クベシ

第九條　曲線ノ半徑ハ三百米以上ヲ爲スベシ但シ特殊ノ箇所ニ於テハ百米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第十條　曲線ノ背向スル箇所ニハ相當ノ長サノ直線部ヲ設クベシ

第十一條　視距ハ百三十米以上ヲ爲スベシ但シ特殊ノ箇所ニ於テハ八十米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第十二條　路面ニハ鋪裝ノ種類ニ依リ十二分ノ一乃至六十分ノ一、橫斷勾配ヲ附スベシ

第十三條　曲線ノ半徑五百米以下ノ箇所ニ於テハ屈曲部ノ內側ニ於テ有效幅員ヲ相當擴大シ路面ノ橫斷勾配ハ十二分ノ一乃至六十分ノ一ノ片勾配トヲ爲スベシ

第二十七條　第三條乃至第八條、第十條、第十二條、第十四條、第十五條、第十七條乃至第十九條及第二十二條ノ規定ハ專用自動車道ノ構造ニ付之ヲ準用ス

第二十八條　自動車運輸事業者ニムヲ得ザル事由ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ第二十四條乃至第二十六條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮自動車運送事業規則

昭和九年十二月
總令第百三十號

朝鮮自動車運送事業規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮自動車運送事業（以下單ニ自動車運送事業ト稱ス）ヲ經營セントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ具シ道知事ノ免許ヲ受クベシ

一　因ニ於テ經營スルモノ又ハ因ヨリ運送ノ委託ヲ受ケテ經營スルモノ

二　自己ノ專用ニ供スルモノ（運送業者ガ直接其ノ運送事業ノ用ニ供スルモノ、特定ノ學校、工場等ガ有償ニテ其ノ學生、生徒、職工其ノ他ノ特定人ヲ運送スルモノ及道知事ノ指定スルモノヲ除ク）

三　物品販賣業者等ガ其ノ顧客ノ委託ヲ受ケ物品ヲ無償ニテ集配スルモノ

第二條　自動車運送事業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ經營セントスル者ハ鐵道局長ノ免許ヲ受クベシ

一　路線ヲ定メ不定期ニ自動車ヲ運行シテ客所、貨物等ノ運送ヲ爲スモノ（以下單ニ不定期運送事業ト稱ス）

二　路線ヲ定メ不定期ニ自動車ヲ運行シテ物品ノ運送ヲ爲ス事業（以下單ニ不定期貨物自動車事業ト稱ス）ニシテ左ニ掲グルモノ

イ　路線ノ總延長ガ四十粁以上ニ亙ルモノ

ロ　路線ガ二以上ノ道ニ亙ルモノ

ハ　路線ガ京城、大邱、釜山及平壤ノ各府ノ內外ニ在ルモノ又ハ此等ノ各府ノ內外ニ亙ルモノ

ニ　當該路線ヨリ五粁ノ一起點又ハ終點ヨリハ十粁）ノ範圍內ニ鐵道、軌道、索道、自動車運輸事業、自動車道事業又ハ他ノ不定期貨物自動車事業（未開業及出願中ノモノヲ含ム）ノ在ルモノ

ホ　其ノ他鐵道、軌道、索道、自動車運輸事業、自動車道事業又ハ他ノ不定期貨物自動車事業（未開業及出願中ノモノヲ含ム）ト競爭ノ虞アルモノ

ヘ　路線ノ全部又ハ一部ガ一般自動車道ニ依ルモノ

第三條　臨時ノ必要ニ因リ三月內ノ期間ヲ限リ前條各號ノ一ニ該當スル自動車運送事業ヲ經營セントスル者ハ主タル事業地ヲ管轄スル道知事ノ免許ヲ受クベシ

第四條　路線ヲ定メ不定期ニ自動車ヲ運行シテ旅客ヲ運送スル自動車運送事業ハ左ニ掲グルモノヲ除クノ外之ヲ經營スルコトヲ得ズ

一　不定期遊覽乘合自動車事業

二　特定ノ場所ニ出入スル公衆ヲ無償ニテ運送スルモノ

三　自己ノ專用ニ供スルモノ（運送業者ガ直接其ノ運送事業ノ用ニ供スルモノヲ除ク）

第五條　自動車運送事業者ハ一般運送ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第六條　交通上危險ノ虞アル勾配部、屈曲部、隧道等ニハ警戒標、防護柵、信號機、照明裝置其ノ他危害豫防上必要ナル設備ヲ設クベシ

第七條　屈曲部其ノ他必要ナル箇所ニハ速度制限標、信號機又ハ照明裝置ヲ設クベシ

第八條　事務員駐在所等ノ間ノ通信ヲ容易ナラシムル爲適當ノ距離毎ニ通信設備ヲ設クベシ

第九條　自動車道事業者ニムヲ得ザル事由ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ第二十二條乃至第二十六條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第十條　自動車道事業者ニムヲ得ザル事由ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ第一條乃至第六條、第九條、第十一條、第十五條、第十六條、第十七條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第十一條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十二條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十三條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十四條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十五條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十六條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十七條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十八條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

（注意）一　用紙ノ寸法ハ日本標準規格B列五番トス

二　登錄事項ハ申請者ニ於テ之ヲ記入スベシ

第二十四條　曲線ノ半徑ハ百米以上ヲ爲スベシ但シ特殊ノ箇所ニ於テハ五十米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十五條　視距ハ八十米以上ヲ爲スベシ但シ特殊ノ箇所ニ於テハ六十米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第二十六條　曲線ノ半徑三百米以下ノ箇所ニ於テハ屈曲部ノ內側ニ於テ有效幅員ヲ相當擴大シ路面ノ橫斷勾配ハ十二分ノ一乃至六十分ノ一ノ片勾配トヲ爲スベシ

第二十七條　第三條乃至第八條、第十條、第十二條、第十四條、第十五條、第十七條乃至第十九條及第二十二條ノ規定ハ專用自動車道ノ構造ニ付之ヲ準用ス

第二十八條　自動車運輸事業者ニムヲ得ザル事由ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ第二十四條乃至第二十六條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮自動車運送事業規則

昭和九年十二月
總令第百三十號

朝鮮自動車運送事業規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮自動車運送事業（以下單ニ自動車運送事業ト稱ス）ヲ經營セントスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ具シ道知事ノ免許ヲ受クベシ

一　因ニ於テ經營スルモノ又ハ因ヨリ運送ノ委託ヲ受ケテ經營スルモノ

二　自己ノ專用ニ供スルモノ（運送業者ガ直接其ノ運送事業ノ用ニ供スルモノ、特定ノ學校、工場等ガ有償ニテ其ノ學生、生徒、職工其ノ他ノ特定人ヲ運送スルモノ及道知事ノ指定スルモノヲ除ク）

三　物品販賣業者等ガ其ノ顧客ノ委託ヲ受ケ物品ヲ無償ニテ集配スルモノ

第二條　自動車運送事業ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ經營セントスル者ハ鐵道局長ノ免許ヲ受クベシ

一　路線ヲ定メ不定期ニ自動車ヲ運行シテ客所、貨物等ノ運送ヲ爲スモノ（以下單ニ不定期運送事業ト稱ス）

二　路線ヲ定メ不定期ニ自動車ヲ運行シテ物品ノ運送ヲ爲ス事業（以下單ニ不定期貨物自動車事業ト稱ス）ニシテ左ニ掲グルモノ

イ　路線ノ總延長ガ四十粁以上ニ亙ルモノ

ロ　路線ガ二以上ノ道ニ亙ルモノ

ハ　路線ガ京城、大邱、釜山及平壤ノ各府ノ內外ニ在ルモノ又ハ此等ノ各府ノ內外ニ亙ルモノ

ニ　當該路線ヨリ五粁ノ一起點又ハ終點ヨリハ十粁）ノ範圍內ニ鐵道、軌道、索道、自動車運輸事業、自動車道事業又ハ他ノ不定期貨物自動車事業（未開業及出願中ノモノヲ含ム）ノ在ルモノ

ホ　其ノ他鐵道、軌道、索道、自動車運輸事業、自動車道事業又ハ他ノ不定期貨物自動車事業（未開業及出願中ノモノヲ含ム）ト競爭ノ虞アルモノ

ヘ　路線ノ全部又ハ一部ガ一般自動車道ニ依ルモノ

第三條　臨時ノ必要ニ因リ三月內ノ期間ヲ限リ前條各號ノ一ニ該當スル自動車運送事業ヲ經營セントスル者ハ主タル事業地ヲ管轄スル道知事ノ免許ヲ受クベシ

第四條　路線ヲ定メ不定期ニ自動車ヲ運行シテ旅客ヲ運送スル自動車運送事業ハ左ニ掲グルモノヲ除クノ外之ヲ經營スルコトヲ得ズ

一　不定期遊覽乘合自動車事業

二　特定ノ場所ニ出入スル公衆ヲ無償ニテ運送スルモノ

三　自己ノ專用ニ供スルモノ（運送業者ガ直接其ノ運送事業ノ用ニ供スルモノヲ除ク）

第五條　自動車運送事業者ハ一般運送ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第六條　交通上危險ノ虞アル勾配部、屈曲部、隧道等ニハ警戒標、防護柵、信號機、照明裝置其ノ他危害豫防上必要ナル設備ヲ設クベシ

第七條　屈曲部其ノ他必要ナル箇所ニハ速度制限標、信號機又ハ照明裝置ヲ設クベシ

第八條　事務員駐在所等ノ間ノ通信ヲ容易ナラシムル爲適當ノ距離毎ニ通信設備ヲ設クベシ

第九條　自動車道事業者ニムヲ得ザル事由ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ第二十二條乃至第二十六條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第十條　自動車道事業者ニムヲ得ザル事由ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケタル場合ハ第一條乃至第六條、第九條、第十一條、第十五條、第十六條、第十七條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第十一條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十二條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十三條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十四條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十五條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十六條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十七條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

第十八條　一般自動車道ハ一般ノ道路、鐵道及軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ。特別ノ事由アル場合ニ於テ適當ナル保安設備ヲ設ケタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラズ一般ノ道路又ハ一般通行ノ用ニ供スル道路ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得

●朝鮮自動車取締規則

（大正十二年七月二十一日朝鮮總督府令第百十二號）

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ自動車ト稱スルハ原動機ニ依リ運轉シ且レール又ハ架線ニ依ラスシテ運轉スル車輛ヲ謂フ但シ軌道ノ建設ニ關スル法令ノ適用ヲ受ケル車輛ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　自動車ヲ運轉セムトスル者ハ自動車ノ種別ニ從ヒ左ノ區分ニ依リ運轉免許ヲ受ケヘシ

一　乘合自動車

二　貨物自動車

三　特殊自動車

第三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ前條ノ免許ヲ與ヘス

一　年齢滿二十年ニ達セサル者

二　精神病者又ハ白痴者

三　癲癇ノ發作ヲ起シタル者ニシテ其ノ發作ヲ豫防スルニ必要ナル期間ヲ經過セサル者

四　麻藥中毒者

五　禁錮以上ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル日ヨリ起算シ三年ヲ經過セサル者

六　前項ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受ケサルニ至リタル日ヨリ起算シ一年ヲ經過セサル者

七　第十條ノ規定ニ依リ免許ヲ取消サレタル者

八　第十一條ノ規定ニ依リ免許ヲ取消サレタル日ヨリ起算シ一年ヲ經過セサル者

第四條　自動車ヲ運轉セムトスル者ハ年齢滿二十年以上ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限リ免許ヲ與フルコトヲ得

一　普通自動車運轉手免許

二　乘合自動車運轉手免許

三　貨物自動車運轉手免許

四　特殊自動車運轉手免許

第五條　免許ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ其ノ住所又ハ居所ヲ管轄スル地方長官ニ願出ツヘシ

一　氏名、年齢及住所

二　運轉セムトスル自動車ノ種別

三　運轉セムトスル區域

四　運轉セムトスル自動車ノ乘車人員又ハ積載量

五　運轉セムトスル自動車ノ構造及裝置ノ概要

六　運轉セムトスル自動車ノ原動機ノ種別、氣筒數、總排氣量、最大出力及燃料ノ種類

七　運轉セムトスル自動車ノ車體ノ種別、長サ、幅及高サ

八　運轉セムトスル自動車ノ車輪ノ種別及數

九　運轉セムトスル自動車ノ制動機ノ種別

十　運轉セムトスル自動車ノ燈火ノ種別及數

十一　運轉セムトスル自動車ノ警音器ノ種別及數

十二　運轉セムトスル自動車ノ速度計ノ種別及數

十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ノ色

十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ記載セムトスル事項

十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル番號

十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル標識

十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル乘車定員ノ標識

十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル積載量ノ標識

十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最高速度ノ標識

二十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最低速度ノ標識

二十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大傾斜ノ標識

二十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最小回轉半徑ノ標識

二十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大幅ノ標識

二十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大高ノ標識

二十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大長ノ標識

二十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大重量ノ標識

二十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大軸重ノ標識

二十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大牽引重量ノ標識

二十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大連結重量ノ標識

三十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大輪荷重ノ標識

三十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大軸距ノ標識

三十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大輪距ノ標識

三十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大懸垂ノ標識

三十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最小地上高ノ標識

三十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地長ノ標識

三十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地幅ノ標識

三十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

四十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

五十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

六十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

七十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

八十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

九十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百二十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百三十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百四十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百五十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百六十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百七十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百八十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

百九十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百二十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百三十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百四十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百五十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百六十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百七十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百八十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

二百九十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百二十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百三十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百四十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百五十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百六十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百七十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十一　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十二　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十三　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十四　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十五　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十六　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十七　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十八　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百八十九　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百九十　運轉セムトスル自動車ノ車體ニ附スル最大接地圧ノ標識

三百九十一　運轉セム

前項ノ規定ニ依リ自動車ノ停車ヲ命ジタル場合ニ於テハ自動車ノ運轉ヲ終ハリタル時ヨリ起算シテ二十四時間ヲ經過スルニ至ルマデハ其ノ自動車ニ對シ新ニ運轉ノ命令ヲ爲スコトヲ得ス

自動車ノ運轉ヲ終ハリタル時ヨリ起算シテ二十四時間ヲ經過スルニ至ルマデハ其ノ自動車ニ對シ新ニ運轉ノ命令ヲ爲スコトヲ得ス

（運轉ノ命令）

第四十九條　自動車ノ運轉ヲ爲サントスル者ハ其ノ自動車ニ付運轉ノ命令ヲ受ケタル者ヲシテ運轉セシムヘシ

自動車ノ運轉ヲ爲サントスル者ハ其ノ自動車ニ付運轉ノ命令ヲ受ケタル者ヲシテ運轉セシムヘシ

（運轉ノ禁止）

第五十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ自動車ノ運轉ヲ爲サシメヘカラス

一　酒氣ヲ帶ヒ又ハ麻藥、大麻、阿片若ハ鴉片煙ノ中毒者

二　病氣、疲勞、睡眠不足其ノ他ノ事由ニ因リ自動車ノ運轉ヲ爲スニ適セサル者

三　第五十五條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケサル者

四　第五十六條ノ規定ニ依リ免許ヲ取消サレ又ハ免許ノ效力ヲ停止セラレ其ノ期間ヲ經過セサル者

五　第五十七條ノ規定ニ依リ運轉ヲ禁止セラレ又ハ運轉ヲ制限セラレ其ノ禁止又ハ制限ニ違反スル者

六　第五十八條ノ規定ニ依リ運轉ヲ禁止セラレ其ノ禁止ヲ解カレサル者

七　第五十九條ノ規定ニ依リ運轉ヲ禁止セラレ其ノ禁止ヲ解カレサル者

八　第六十條ノ規定ニ依リ運轉ヲ禁止セラレ其ノ禁止ヲ解カレサル者

（運轉ノ制限）

第五十一條　自動車ノ運轉ヲ爲ス者ハ其ノ自動車ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ運轉ヲ爲スヘカラス

一　第五十條第一號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

二　第五十條第二號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

三　第五十條第三號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

四　第五十條第四號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

五　第五十條第五號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

六　第五十條第六號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

七　第五十條第七號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

八　第五十條第八號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

（運轉ノ方法）

第五十二條　自動車ノ運轉ヲ爲ス者ハ其ノ自動車ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ運轉ヲ爲スヘカラス

一　第五十條第一號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

二　第五十條第二號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

三　第五十條第三號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

四　第五十條第四號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

五　第五十條第五號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

六　第五十條第六號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

七　第五十條第七號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

八　第五十條第八號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

（運轉ノ制限）

第五十一條　自動車ノ運轉ヲ爲ス者ハ其ノ自動車ニ付左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ運轉ヲ爲スヘカラス

一　第五十條第一號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

二　第五十條第二號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

三　第五十條第三號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

四　第五十條第四號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

五　第五十條第五號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

六　第五十條第六號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

七　第五十條第七號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

八　第五十條第八號ニ該當スル者ニ自動車ヲ運轉セシムルトキ

（運轉ノ方法）

第五十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ自動車ノ運轉ヲ爲サシメヘカラス

一　酒氣ヲ帶ヒ又ハ麻藥、大麻、阿片若ハ鴉片煙ノ中毒者

二　病氣、疲勞、睡眠不足其ノ他ノ事由ニ因リ自動車ノ運轉ヲ爲スニ適セサル者

三　第五十五條ノ規定ニ依リ免許ヲ受ケサル者

四　第五十六條ノ規定ニ依リ免許ヲ取消サレ又ハ免許ノ效力ヲ停止セラレ其ノ期間ヲ經過セサル者

五　第五十七條ノ規定ニ依リ運轉ヲ禁止セラレ又ハ運轉ヲ制限セラレ其ノ禁止又ハ制限ニ違反スル者

六　第五十八條ノ規定ニ依リ運轉ヲ禁止セラレ其ノ禁止ヲ解カレサル者

七　第五十九條ノ規定ニ依リ運轉ヲ禁止セラレ其ノ禁止ヲ解カレサル者

八　第六十條ノ規定ニ依リ運轉ヲ禁止セラレ其ノ禁止ヲ解カレサル者

第八條　車輛ノ運轉ニ關シ危險ノ虞アル場所ニ於テハ警察官ノ指揮ニ從フヘシ

第九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第三十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第四十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第五十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第六十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第七十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第八十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第九十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百二十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百三十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百四十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百五十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百六十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百七十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百八十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十一條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十二條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十三條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十四條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十五條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十六條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十七條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十八條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第百九十九條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

第二百條　車輛ハ人ヲ乘降セシメ又ハ貨物ヲ積卸スル爲ノ外道路ニ停車シテハナラス

修繕又ハ運送ノ行為ヲ以テ主トスル営業ヲ謂フ

小型自動車　三十瓩

三　第三十六條第一項第二號ニ掲ケル自動車ニ就テハ第一項ノ規定ニ依ル外其ノ構造ニ關シ必要ナル技術上ノ基準ハ内務省令ヲ以テ之ヲ定ム

第百四條第一項ノ規定ニ依リ指定ヲ受ケタル者ハ其ノ指定ニ係ル自動車ニ付第百五條第一項ノ檢査ヲ行ヒ其ノ檢査ニ合格シタル自動車ニ檢査證ヲ交付シ且檢査標章ヲ貼付スヘシ

第一號樣式

（表面）

第　　號　　印

車輛檢查證　　何道

種別	自動車		
用途		車名	
車輛番號	第　　號	型式	
總重量	瓲	車輛重量	瓲
乘車定員	人	積載定量	瓲
長サ	米	氣筒 行程式	行程式
幅	米	氣筒 個數	個
高サ	米	氣筒 總容積	瓦程式
機關番號		馬力	
		一時間定格出力	キロワット
		登錄番號	

主タル使用地ノ變更　出屆更變日　年　月　日　何道　印

（裏面）

檢查證交付年月日		年　月　日
有效期間		自年月日至年月日
		自年月日至年月日
使用主	住所	
	氏名	
車輛又ハ車庫ノ所在地		
備考		

十六糎

十二糎

備考

一　種別欄ニハ自動車ノ左方ニ普通、特殊又ハ小型ノ種別ヲ、右方ニ特殊自動車ニ限リ第何種ヲ、點線ノ右方ニ自動自轉車、側車附自動自轉車、六輪車、瓦氣自動車等ノ別ヲ記入スルコト

二　用途欄ニハ乘用、貨物用、自家用、營業用等ノ別ヲ記入スルコト

三　車名欄ニハフォード、シボレー等ノ別ヲ記入スルコト

四　型式欄ニハ年式及箱型、轎型、平型、三方開型等ノ別ヲ記入スルコト

五　第三十三條第二項ノ規定ニ依ル車輛檢查ニ合格シタル自動車ノ所持者ノ住所及氏名ハ使用主ノ住所氏名欄ニ之ヲ記載スルコト

六　用紙ハ洋紙ト雖普通自動車ハ白色、特殊自動車ハ淡青色、小型自動車ハ桃色ト爲スコト

第二號樣式

第四十一條第一項ニ規定スル車輛番號

京2.345

備考

一　普通自動車ニ在リテハ黑地ニ白文字、特殊自動車ニ在リテハ淡青地ニ白文字、小型自動車ニ在リテハ白地ニ黑文字ト爲スコト

二　車輛番號ハ漢字ヲ以テ道名ノ頭字ヲ冠セシメ亞剌比亞數字ヲ以テ記載スルコト但シ他ノ道ト頭字ヲ同ジクスル道ニ在リテハ患滯北道ヲ患北、患滯南道ヲ患南ト記載スルノ例ニ依ルコト

三　文字ノ大サハ數字ハ普通自動車ニ在リテハ縱十二糎、橫六糎、太サ一・八糎、間隔一・五糎トシ特殊自動車ニ在リテハ縱九糎、橫五糎、太サ一・二糎、間隔一糎トシ小型自動車ニ在リテハ縱八糎、橫四・五糎、太サ一糎、間隔一糎トシ何レモ千位ニハ其ノ直徑カ文字ノ太サニ等シキコンマヲ附シ漢字ハ之ニ準ズルコト

四　材料ハ金屬板ト爲スコト

第三號樣式

書明證證查檢車輛

檢查證番號	何道	第　　號	車輛番號	何道	第　　號
種別	自動車				
車名		用途			
乘車定員		積載定量			
有效期間	自年月日至年月日				
使用主 住所					
使用主 氏名					
備考					

年　月　日

何道警察署長　印

九糎

十二糎

備考

一　種別欄、車名欄及用途欄ノ記載方法ハ第一號樣式ニ準ズルコト

二　黑地ニ白文字ト爲スコト

三　車輛番號ノ記載方法ハ第四十一條第一項ニ規定スル車輛番號ニ準ズルコト文字ノ大サハ適宜トシ數字ノ千位ニハ其ノ直徑カ文字ノ太サニ等シキコンマヲ附スルコト

四　材料ハ金屬板ト爲スコト

第四十一條第二項ニ規定スル車輛番號

車輛番號　京2.345

四糎

十五糎

備考

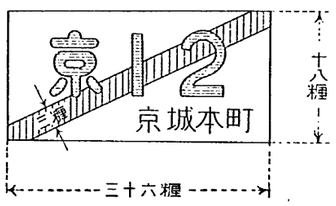
一　白文字ト爲スコト

二　車輛番號ノ記載方法ハ第四十一條第一項ニ規定スル車輛番號ニ準ズルコト文字ノ大サハ適宜トシ數字ノ千位ニハ其ノ直徑カ文字ノ太サニ等シキコンマヲ附スルコト

三　材料ハ金屬板ト爲スコト

第四號樣式

二　用紙ハ白色洋紙ト爲スコト



十八糎

三十六糎

第五號樣式

證可許輸運時臨

種別	自動車		
車名		用途	
車輛番號	何道	第　　號	
運輸目的		運輸時刻	
運輸路經			
申請者 住所			
申請者 氏名			
備考			

年　月　日

何警察署長　印

九糎

十二糎

備考

一　種別欄、車名欄及用途欄ノ記載方法ハ第一號樣式ニ準ズルコト

二　運輸ノ目的欄ニハ檢查、試運轉及廻送ノ別ヲ記入スルコト

三　車輛番號欄ニハ車輛番號プレ場合ニ於テノ之ヲ記載スルコト

四　用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

Japanese Law Translation

第十八條　道路運送車両法施行規則（昭和二十六年運輸省令第七十四號）

（第一號様式）

（表面）

自動車検査証	
登録番号	
車台番号	
有効期間	自　年　月　日　至　年　月　日
使用者	住所
	氏名
所有者	住所
	氏名
	生年月日　年　月　日生
備考	

年　月　日

陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第二號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第三號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第四號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第五號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第六號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第七號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第八號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第九號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第十號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第十一號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第十二號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第十三號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第十四號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第十五號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第十六號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第十七號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第十八號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第十九號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第二十號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第二十一號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第二十二號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第二十三號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第二十四號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第二十五號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第二十六號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第二十七號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第二十八號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第二十九號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第三十號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第三十一號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第三十二號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第三十三號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第三十四號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第三十五號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第三十六號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第三十七號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第三十八號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第三十九號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第四十號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第四十一號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第四十二號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第四十三號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第四十四號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第四十五號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第四十六號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第四十七號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第四十八號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第四十九號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第五十號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第五十一號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第五十二號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第五十三號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第五十四號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第五十五號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第五十六號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第五十七號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第五十八號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第五十九號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第六十號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第六十一號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第六十二號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第六十三號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第六十四號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第六十五號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第六十六號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第六十七號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第六十八號様式）

（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後
車両の大きさ	長　幅　高
備考	

（第六十九號様式）

（表面）

自動車予備検査証	
種別	
交附証書番号	向ヶ丘第　　號
有効期間	自年月日至年月日
車体	
使用者	住所
	氏名
	生年月日　年月日生
備考	

年　月　日

向ヶ丘陸運局長　印

（裏面）

検査標章	
印	

年　月　日撮影

（第七十號様式）

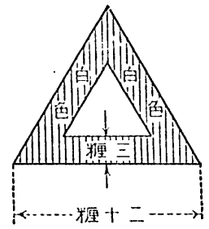
（表面）

自動車検査証記入欄

（裏面）

所有者の住所及び氏名又は名称	
使用者の住所及び氏名又は名称	
自動車の種別	
用途	
車体の形状	
車名	
車台番号	
原動機の型式	
総排気量又は定格出力	
燃料の種類	
乗車定員	
最大積載量	
自動車の重量	
車両重量	
最大軸重	前　後

第九號樣式



第十號樣式

自動車制限外積載許可票

一　車輛番號　何道第　　號

一　許可事項

一　運轉經路

一　運轉日時

年　月　日

何鐵察署㊞

十五糎　十二糎

備考

一　許可事項欄ニハ定員外乘車何名、定量外積荷何瓲、制限外長サ、幅、高サ何米等ト記載スルコト

二　材料ハ木板、厚紙其ノ他適當ナルモノトス

第十一號樣式

（表面）

第　號

自動車就業免許證

本籍
住所

氏名

年　月　日生

何道㊞

交付年月日

十四糎　九糎

（裏面）

運轉免許證ノ種別、番號及有效期限

就業地

居出年　月　日　何道㊞

就業ノ異動

異動

住所ノ異動

何道知事

備考

備考　用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

第十二號樣式

費用證明證

自動車就業免許證

免許證番號	何道第　號		
運轉免許證ノ種別、番號及有效期限	免許何道第　號 年　月　日 免許何道第　號 年　月　日	送 送	
就業者	本籍		
	住所		
	氏名		
	生年月日	年　月　日生	
	備考		

年　月　日

何警察署㊞

十二糎　九糎

備考　用紙ハ白色洋紙ト爲スコト

●朝鮮自動車取締規則第五十一條第二項ノ規定ニ依ル特殊自動車ノ種類

昭和九年十二月　總督第六百六十五號

朝鮮自動車取締規則第五十一條第二項ノ規定ニ依リ特殊自動車ノ種類ヲ昭和十年四月一日ヨリ左ノ通定ム

第一種　牽引自動車

牽引裝置其ノ他重荷物ノ牽引ニ適スル特殊ノ構造裝置ヲ有スルモノ

第二種　ロードローラー、グレーダー及耕作用自動車ノ類

第三種　蒸氣自動車

蒸氣機關ヲ原動機トスルモノニシテ前各種ニ屬セザルモノ

第四種　瓦氣自動車

瓦動機ヲ原動機トスルモノニシテ前各種ニ屬セザルモノ

第五種　ハノマーク型自動車ノ類

前車軸ノ兩車輪ニ依ル操向裝置ヲ有シ差動裝置ヲ有セザルモノニシテ前各種ニ屬セザルモノ

第六種　自動自轉車ノ類

前一輪ニ依リ操向スル自動自轉車、自動三輪車、側車附自動自轉車、後車附自動自轉車ノ類ニシテ前各種ニ屬セザルモノ

第七種　其ノ他ノ特殊自動車

前各種ニ屬セザルモノ

●朝鮮自動車取締規則第五十五條第二項第四號ノ規定ニ依ル指定

昭和九年十二月　總督第六百六十六號

朝鮮自動車取締規則第五十五條第二項第四號ノ規定ニ依リ昭和十年四月一日ヨリ左ノ如ク指定ス

戰車除長

野戰重砲兵第七聯隊長
野戰重砲兵第八聯隊長
高射砲第一聯隊長
野砲兵聯隊內ニ在ル高射砲隊長
飛行聯隊長
瓦球隊長
關東軍自動車隊長
騎兵旅團內ニ在ル裝甲自動車隊長
陸軍步兵學校長
陸軍野戰砲兵學校長
陸軍重砲兵學校長
下志津陸軍飛行學校長
陸軍自動車學校長

●戰時又ハ事變ニ際シ從軍シ又ハ召集セラレタル自動車運轉者ノ運轉免許、就業免許等ニ於ケル特別取扱

昭和十二年十二月　總令第二百八號

戰時又ハ事變ニ際シ從軍シ又ハ召集セラレタル自動車運轉者ノ運轉免許、就業免許等ニ於ケル特別取扱ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　自動車ノ運轉免許ヲ有スル者戰時又ハ事變ニ際シ從軍シ又ハ召集セラレタルトキハ從軍中又ハ應召中ノ期間ハ朝鮮自動車取締規則（以下單ニ規則ト稱ス）第五十八條ノ規定ニ依ル運轉免許ノ有效期間中ニ之ヲ算入セズ

前項ノ規定ニ依ル特別取扱ヲ受ケントスルトキハ所屬部隊名效ニ從軍シ又ハ召集セラレタル年月日及期間ヲ具シ且所屬部隊名效ニ從軍シ又ハ召集セラレタル年月日及期間ヲ具シ其ノ事實ヲ證明スベキ資料ヲ添ヘ道知事ニ屆出デ運轉免許證ニ有效期間變更ノ記入ヲ受クベシ

第二條　運轉免許又ハ就業免許ヲ申請シタル者戰時又ハ事變ニ際シ從軍シ又ハ召集セラレタル爲試驗ヲ受クルコト能ハザルニ至リタルトキハ既納ノ手數料ハ規則第百十四條第二項ノ規定ニ拘ラズ之ヲ還付ス

前項ノ規定ニ依リ還付ヲ受ケントスルトキハ免許ノ種別竝ニ手數料ノ金額、納付年月日及納付官署名ヲ具シ且所屬部隊名效ニ從軍シ又ハ召集セラレタル年月日及期間ニ付之ヲ證明スベキ書面ヲ添附シ道知事ニ請求スベシ

前項ノ請求ヲ相續人、配偶者、戶主又ハ其ノ他ノ家族ニ於テ爲ス場合ハ其ノ續柄ヲ證明スベキ書面ヲ、代理人ニ於テ爲ス場合ハ代理權ヲ證明スベキ書面ヲ添附スベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條ノ規定ハ本令施行前支那事變ノ爲從軍シ又ハ召集セラレタル者ニ關シテハ其ノ從軍シ又ハ召集セラレタル日ヨリ之ヲ適用ス

第二條ノ規定ハ本令施行前支那事變ノ爲從軍シ又ハ召集セラレタル者ニ付之ヲ適用ス

第三款　鐵道

●鐵道、〔輕便鐵道〕及軌道ノ營業ニ關スル件

明治四十五年六月　制令第二十四號

改正　大正九年六月第一號

鐵道、〔輕便鐵道〕及軌道ノ營業ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　鐵道ノ營業ニ關シテハ鐵道營業法ニ依ル但シ同法中地方鐵道業者トアルハ私設鐵道業者、地方鐵道係員トアルハ私設鐵道係員トス

第二條　削除

第三條　軌道ノ營業ニ關シテハ鐵道營業法第一條、第二條、第四條乃至第十四條、第二十四條、第二十五條、第二十七條、第三十條乃至第三十一條、第三十六條、第三十八條乃至第四十一條及第四十三條ノ規定ニ依ル但シ同法中鐵道トアルハ軌道、鐵道係員トアルハ軌道ノ係員トス

第四條　鐵道營業法中主務大臣ノ職務ニ屬スルモノハ朝鮮總督之ヲ行フ

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（明治四十五年六月勅令第百十六號ヲ以テ同年同月十五日ヨリ施行）

附　則（大正九年六月制令第九號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（大正九年十一月勅令第四百七十一號ヲ以テ同年十一月十日ヨリ施行）

●鐵道營業法

明治三十三年三月　法律第六十五號

改正　明治四三年八月第五〇號、大正八年四第五四號、同四年三第三八號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル鐵道營業法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

鐵道營業法

第一章　鐵道ノ設備及運送

第一條　鐵道ノ建設、車輛器具ノ構造及運轉ハ命令ヲ以テ定ムル規程ニ依ルヘシ

第二條　本法其ノ他特別ノ法令ニ規定スルモノノ外鐵道運送ニ關スル特別ノ事項ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依ル

鐵道運輸規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　運賃其ノ他ノ運送條件ハ關係停車場ニ公告シタル後ニ非サレハ之ヲ實施スルコトヲ得ス

運賃其ノ他ノ運送條件ノ加重ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ前項ノ公告ハ一月以上之ヲ爲スコトヲ要ス

第四條　傳染病患者ハ主務大臣ノ定ムル規程ニ依ルニ非サレハ乘車セシムルコトヲ得ス

附添人ナキ重病者ノ乘車ハ之ヲ拒絕スルコトヲ得

第五條　火藥其ノ他爆發質危險品ハ鐵道カ其ノ運送取扱ノ公告ヲ爲シタル場合ノ外其ノ運送ヲ拒絕スルコトヲ得

第六條　鐵道ハ左ノ事項ノ具備シタル場合ニ於テハ貨物ノ運送ヲ拒絕スルコトヲ得ス

一　荷送人カ法令其ノ他鐵道運送ニ關スル規定ヲ遵守スルトキ

二　貨物ノ運送ニ付特別ナル責務ノ條件ヲ荷送人ヨリ求メサルトキ

三　運送カ法令ノ規定又ハ公ノ秩序若ハ善良ノ風俗ニ反セサルトキ

二　一部滅失又ハ毀損ノ場合ニ於テハ引渡アリタル日（延著シタルトキハ引渡期間末日）ニ於ケル到達地ノ價格ニ依リ計算シタル價格ノ減少割合ヲ表示額ニ乘シタル額

第十二條　引渡期間滿了後託送手荷物又ハ運送品ノ引渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ延著引渡期間ハ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依ル

延著ニ因ル損害ニ付賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テハ鐵道ハ左ノ額ヲ限度トシテ鐵道運輸規程ノ定ムル所ニ依リ一切ノ損害ヲ賠償スル責ニ任ス

一　要償額ノ表示アルトキハ其ノ表示額

二　要償額ノ表示ナキトキハ其ノ運賃額

前項ノ賠償額ノ制限ハ託送手荷物又ハ運送品カ鐵道ノ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リテ延著シタル場合ニハ之ヲ適用セス

第十三條　鐵道カ引渡期間滿了後一月ヲ經過スルモ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡ヲ爲ササル場合ニ於テハ旅客又ハ貨主ハ滅失ニ因ル損害賠償ヲ請求スルコトヲ得但シ鐵道ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ引渡ヲ爲ササル場合ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リ賠償ヲ受ケタル者ハ其ノ請求ノ際留保ヲ爲シタルトキハ到達ノ通知ヲ受ケタル後一月內ニ限リ賠償金ヲ返還シテ託送手荷物又ハ運送品ノ引渡ヲ受クルコトヲ得

第十四條　荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル運送品ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ公告ヲ爲シタル後六月內ニ其ノ權利者ヲ知ル能ハサル場合ニ於テハ鐵道其ノ所有ニ歸ス

前項ノ場合ニ於テハ鐵道ハ運送品ノ賣却代金ヲ以テ運賃、料金、立替金及其ノ賣却ニ要シタル費用ヲ控除シ尙殘餘アルトキハ之ヲ荷送人ニ交付スヘシ

第十五條　鐵道ハ運送品ノ引渡ヲ爲シタル後ニ於テ滅失又ハ毀損ノ通知ヲ受ケサルトキハ其ノ滅失又ハ毀損ハ引渡ノ時ニ於テ消滅シタルモノト推定ス

第十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ運賃ヲ減額シタルトキハ荷送人ニ對シ其ノ減額シタル運賃ヲ返還スヘシ

第十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第二十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第三十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第四十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第五十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第六十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第七十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第八十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第九十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百二十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百三十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百四十九條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十一條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十二條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十三條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十五條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十六條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十七條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十八條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ滅失又ハ毀損ニ因リ賠償ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ賠償額ニ付テハ鐵道ハ其ノ所有權ヲ取得ス

第百五十九條　鐵道

第十三條　建築限界ノ幅ハ曲線ニ於テハ左ノ式ニ依リ算出シタル寸法以上ヲ擴大スルコトヲ要ス

$$W=\frac{50000}{R}$$

W ハ軌道中心線ノ各側ニ於テ擴大スベキ寸法（粍）

R ハ曲線半徑（米）

前項ノ擴大寸法ハ緩和曲線ノ全長ニ於テ、緩和曲線ヲ有セザル場合ハ外側軌條ノ高度及擴度ニ伴ハシメ之ヲ遞減スルモノトス複心曲線又ハ接近セル同向二曲線ノ場合ニ於ケル擴大寸法ノ算定ニ亦之ニ準ズ

第三節　軌道中心間隔

第十四條　軌道ノ中心間隔ハ停車場內ニ於テハ四米二五以上、停車場外ニ於テハ三米九五以上タルコトヲ要ス但シ停車場外ニ於テ三以上ノ軌道ヲ竝設スル場合ハ各隣接スル二中心間隔ノ一ハ四米二五以上トス

前項ノ中心間隔ハ曲線ニ於テハ建築限界ノ幅ノ擴大寸法以上之ヲ擴大スルコトヲ要ス

第四節　曲線及勾配

第十五條　本線路ニ於ケル曲線ノ半徑ハ甲種線路ニ在リテハ四百米以上、乙種線路ニ在リテハ三百米以上、丙種線路ニ在リテハ二百米以上ヲ以テ之ニ次ギ其ノ分岐ニ附帶スル曲線ノ半徑ハ甲種線路ニ在リテハ三百三十米、乙種線路ニ在リテハ二百三十米、丙種線路ニ在リテハ百四十米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第十六條　側線及其ノ分岐ニ附帶スル曲線ノ半徑ハ百米以上タルコトヲ要ス但シ特別ノ場合ハ七十米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第十七條　甲種及乙種ノ本線路ニ在リテハ半徑千二百米以下ノ曲線ト丿、丙種ノ本線路ニ在リテハ半徑八百米以下ノ曲線ト直線トノ接續箇所ニハ相當ノ緩和曲線ヲ挿入スルコトヲ要ス但シ緩和曲線ノ長ハ甲種線路ニ在リテハ曲線外側軌條高度ノ六百倍、乙種線路ニ在リテハ同四百六十倍、丙種線路ニ在リテハ同百倍ヨリ小ナルコトヲ得ズ

第十八條　本線路ニ於ケル反向曲線間ニハ緩和曲線又ハ外側軌條高度ノ遞減部ヲ除キ甲種線路ニ在リテハ五十米以上、乙種線路ニ在リテハ三十米以上、丙種線路ニ在リテハ二十米以上ノ長ヲ有スル直線ヲ挿入スルコトヲ要ス

第十九條　停車場外ニ於ケル本線路ノ勾配ハ甲種線路ニ在リテハ千分ノ十、乙種線路ニ在リテハ千分ノ十五、丙種線路ニ在リテハ千分ノ二十五ヨリ急ナラザルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ハ乙種線路ニ在リテハ千分ノ二十五、丙種線路ニ在リテハ千分ノ三十迄ヲ得

第二十條　停車場內ニ於ケル本線路及側線ノ勾配ハ重力操車線、貯炭線其ノ他特別ノ場合ヲ除クノ外千分ノ三ヨリ急ナラザルコトヲ要ス但シ相當ノ保安設備ヲ有スル場合ハ千分ノ十三迄ヲ得

第二十一條　隣接勾配ノ爲ス外角ノ正切ガ甲種線路ニ在リテハ千分ノ四、乙種及丙種線路ニ在リテハ千分ノ五ヲ超ユル箇所ニハ相當ノ緩竪曲線ヲ挿入スルコトヲ要ス

第五節　施工基面及軌道

第二十二條　築堤又ハ切取ニ於ケル本線路ノ施工基面ハ軌道中心ヨリ外緣迄甲種線路ニ在リテハ二米六以上、乙種線路ニ在リテハ二米三以上、丙種線路ニ有リテハ二米以上タルコトヲ要ス

第二十三條　道床ノ厚ハ枕木下面ヨリ施工基面迄甲種線路ニ在リテハ二十七糎以上、乙種線路ニ在リテハ十八糎以上、丙種線路ニ在リテハ十二糎以上タルコトヲ通例トス

第二十四條　橫枕木ノ長ハ二米四以上タルコトヲ通例トス

第二十五條　直線ニ於テハ左右兩軌條ノ高ヲ均シクスルコトヲ要ス

第二十六條　曲線ニ於テハ其ノ半徑及列車ノ速度ニ應ジ外側軌條ニ相當ノ高度ヲ附スルコトヲ要ス但シ分岐ニ附帶スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ高度ハ緩和曲線ノ全長ニ於テ、緩和曲線ヲ有セザル場合ハ高度ノ四百五十倍以上之ヲ遞減スルコトヲ要ス但シ上ノ長ニ於テ之ヲ遞減スルコトヲ通例トス

第二十七條　本線路ニ於ケル軌條ハ其ノ重量新製一米ニ付甲種線路ニ在リテハ五十瓩以上、乙種線路ニ在リテハ三十七瓩以上、丙種線路ニ在リテハ三十瓩以上タルコトヲ通例トス

第六節　軌道及橋梁負擔力

第二十八條　本線路ノ軌道ハ第六十三條ニ規定スル最大重量ヲ有スル車輛ガ少クトモ一時間四十粁ノ速度ヲ以テ運轉スルニ堪フルモノタルコトヲ要ス但シ轉轍部其ノ他特ニ速度ヲ指定セル箇所ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條　本線路ニ於ケル橋梁ノ各部ハ第二號圖ニ依ル標準活重ニ堪フルモノタルコトヲ要ス

第七節　隧道及橋梁

第三十條　隧道ヲ曲線中ニ設クル場合ノ曲線半徑ハ四百米以上タルコトヲ要ス但シ特別ノ事由アル場合ニ限リ三百米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第三十一條　交通頻繁ナル道路又ハ河川ニ架設スル橋梁ハ軌道中心ヨリ左右各二米以上軌道下ヲ竝フコトヲ要ス

第八節　停車場

第三十二條　旅客ヲ取扱フ驛ニハ乘降場、待合所、便所等旅客ノ取扱ニ必要ナル設備ヲ爲スコトヲ要ス

第三十三條　地方ノ狀況ニ依リ特ニ前條ノ規定ニ依ラザル簡易ナル驛ヲ設クルコトヲ得

第三十四條　貨物ヲ取扱フ驛ニハ必要ニ應ジ積卸場、倉庫等相當ノ設備ヲ爲スコトヲ要ス

第三十五條　乘降場ヲ曲線ニ沿ヒテ設クル場合ノ曲線半徑ハ四百米以上タルコトヲ要ス但シ乘降場ガ曲線外側ニ在ル場合又ハ特別ノ事由アル場合ニ限リ三百米迄之ヲ短縮スルコトヲ得

第三十六條　乘降場及積卸場ノ緣端ヨリ軌道中心迄ノ距離ハ一米六七五粍タルコトヲ要ス

前項ノ距離ハ曲線ニ沿フ乘降場及積卸場ニ於テハ第十三條ノ規定ニ準ジ之ヲ增加スルコトヲ要ス

第三十七條　乘降場ノ幅ハ本線路側ニ在ルモノハ三米以上、其ノ他ノモノハ二米以上タルコトヲ要ス

乘降場ノ高ハ軌條面上三十糎、積卸場ノ高ハ軌條面上九十糎トス但シ特別ノ事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十八條　乘降場ニ在ル柱類ハ軌條面上二米六ノ高迄ハ乘降場緣端ヨリ一米以上隔ツルコトヲ要ス

乘降場ニ在ル本家、跨線橋、地下道、待合所、便所等ハ軌條面上二米六ノ高迄ハ乘降場緣端ヨリ一米五以上隔ツルコトヲ要ス

第三十九條　機關車ニ用ウル給水器ノ給水口ノ高ハ軌條面上三米二以上タルコトヲ要ス

第四十條　機關車用轉車臺ノ長ハ十八米以上、貨車用遷車臺ノ長ハ九米以上タルコトヲ要ス

第九節　分岐及平面交叉

第四十一條　停車場外ニ於テハ本線路ヨリ本線路ヲ分岐セシムルコトヲ得ズ

第四十二條　本線路ハ相當ノ保安設備ヲ有スル停車場又ハ信號所ニ於ケル場合ヲ除クノ外他ノ鐵道又ハ軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得ズ但シ他ノ鐵道又ハ軌道ガ人力又ハ馬力ヲ動力トスル場合ニ於テ相當ノ保安設備ヲ施シタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十節　常置信號機

第四十三條　停車場ニハ場內信號機ヲ設クルコトヲ要ス但シ閉塞區間ノ中間ニ在ル停車場ニシテ列車ノ進路ニ轉轍器ヲ有セザル場合又ハ轉轍器ノ常時鎖錠セラルル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第四十四條　停車場ニハ出發信號機ヲ設クルコトヲ通例トシ必要ニ應ジ入換信號機及誘導信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第四十五條　停車場外ニ於テハ可動橋其ノ他特ニ防護ヲ要スル地點ニハ必要ニ應ジ掩護信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第四十六條　場內信號機、出發信號機及掩護信號機ニ對シテハ必要ニ應ジ其ノ前方相當距離ニ遠方信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第十一節　保安設備

第四十七條　相互關係ヲ有スル常置信號機、轉轍器及可動橋等ハ聯動裝置ヲ爲スコトヲ要ス但シ本線路ニ關セザルモノ及常時鎖錠セラルル轉轍器ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第四十八條　軌道ノ終端ニハ車止ヲ設クルコトヲ要ス

第四十九條　列車又ハ車輛ノ停止又ハ留置サルル線路ノ分岐箇所ニハ其ノ接續限界ヲ表示スル標ヲ設クルコトヲ要ス

前項ノ接續限界標設置箇所ニ於ケル軌道中心間隔ハ三米九五以上トス

第五十條　車輛ガ本線路ニ逸出シ又ハ列車ノ過走スル虞アル箇所ニハ相當ノ保安設備ヲ爲スコトヲ要ス

第五十一條　停車場及信號所ニハ電氣通信ノ設備ヲ爲スコトヲ要ス但シ驛員ヲ常置セザル停車場ニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第五十二條　交通頻繁ナル踏切道ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スコトヲ要ス

第五十三條　人又ハ牛馬等ノ踏入ル虞アル場所ニハ柵垣、堤塘又ハ溝渠等ヲ設クルコトヲ要ス

第五十四條　列車ヲ避クルニ困難ナル隧道又ハ橋梁等ニハ待避所ヲ設クルコトヲ要ス

待避所相互ノ距離ハ隧道ニ在リテハ四十米以內、橋梁ニ在リテハ八十米以內タルコトヲ通例トス

第十二節　線路諸標

第五十五條　線路ニハ左ノ諸標ヲ設クルコトヲ要ス

一　杆符ニ其ノ距離ヲ示ス標

二　勾配變更箇所ニハ其ノ勾配ヲ示ス標

三　列車速度ノ制限共ノ他運轉上特ニ注意ヲ要スル箇所ニハ之ヲ表示スル標

四　踏切道ニハ必要ニ應ジ通行人ノ注意ヲ喚ブベキ標

前項第一號乃至第三號ノ標ハ之ヲ線路ノ同一側ニ設クルコトヲ要ス

第三章　車輛

第一節　車輛限界

第五十六條　車輛ハ直線軌道上正位ニ於テ車輛限界外ニ出ヅルコトヲ得ズ但シ左ノ各號ニ揭グルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一　外輪（外輪ナキ場合ハ輪、以下同ジ）ノ幅以內ニ於ケル車輛ノ部分

二　停止中限リ開閉スル車輛ノ扉類（開キタル場合ニ限ル）

三　排雪裝置、郵便又ハ通票授受器、揀重部ノ他ノ特殊ノ裝置（使用スル場合ニ限ル）

第二節　輪軸及各部構造

第五十七條　輪軸ノ配置及之ニ關スル車輛各部ノ構造ハ三十粍ノ擴度ヲ有スル半徑七十米ノ曲線ヲ通過シ得ルモノタルコトヲ要ス

第五十八條　固定軸距ハ四米八ヨリ大ナラザルコトヲ要ス

第五十九條　前二條ノ規定ハ曲線半徑ノ大ナル區間ヲ限リ運轉スル車輛ニ付テハ之ヲ適用セズ

第六十條　炭水車及客貨車ニ於ケル車輪ノ直徑ハ車輪一對ノ中心線ヨリ七百五十粍ノ距離ニ於ケル踏面ニ於テ度リ七百五十粍以上

第六十一條　外輪ノ幅ハ百三十粍以上百五十粍以下タルコトヲ要ス

第六十二條　外輪ノ厚ハ二十五粍以上タルコトヲ要ス

外輪一對ノ內面距離ハ千三百四十九粍以上千三百五十六粍以下タルコトヲ要ス

第六十三條　機關車ノ車輪一對ノ軌條ニ對スル壓力ハ其ノ停止中ニ於テ甲種線路ニ在リテハ二十二瓲以下、乙種線路ニ在リテハ十八瓲以下、丙種線路ニ在リテハ十五瓲以下タルコトヲ要ス

客貨車ノ車輪一對ノ軌條ニ對スル壓力ハ其ノ停止中ニ於テ十三瓲以下タルコトヲ要ス

第六十四條　機關車ノ重量ハ之ヲ二車重連シ客貨車ヲ連結運轉スル場合ニ於テ第二十九條ニ規定スル橋梁ノ堪ヘ得ルモノタルコトヲ要ス

第六十五條　客貨車ノ重量ハ兩端連結器ソ連結面間ノ距離一米ニ付平均四、五瓲以下タルコトヲ要ス

第六十六條　前三條ニ規定スル限度ハ運轉區間又ハ連結位置ニ制限ヲ有スル車輛ニ付テハ軌道及橋梁ノ負擔力ノ範圍內ニ於テ之ヲ超過スルコトヲ得

第四節　連結器及制動機

第六十七條　車輛ニハ自動連結器ヲ備フルコトヲ要ス

自動連結器連結面ノ中心ノ高ハ車輛停止中ニ於テ軌條面上八百十五粍以上九百粍以下タルコトヲ要ス

第六十八條　車輛ニハ貫通空氣制動機又ハ制動管ヲ備フルコトヲ要ス

第六十九條　緩急車トシテ使用スル車輛及機關車ニハ貫通制動機ヲ作用セシメ得ル裝置ヲ爲スコトヲ要ス

第七十條　機關車、汽動車、客車及車掌車ニハ手用制動機ヲ備フルコトヲ要ス

第五節　機關車ノ裝置

第七十一條　機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スコトヲ要ス

一　國有鐵道ノ紋章

二　記號、番號

三　自重

四　客車ニハ等級及旅客定員

五　手荷物車、郵便車及貨車ニハ積載荷重及積載容積

附　則

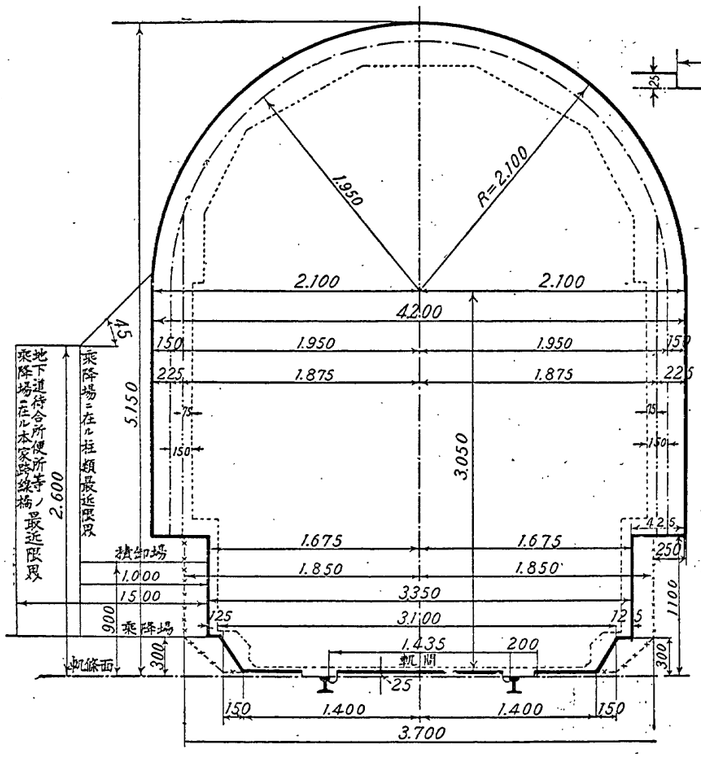
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

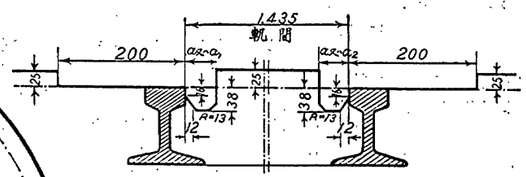
本令施行前工事ニ著手シ又ハ竣功シタル線路、建造物及車輛ニ付テハ當分ノ內仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第一號圖

建築限界

寸法單位粍





輪緣路 a, a_1 又ハ a_2

a_1 = 輾又複輪軌條ニ對スル輪緣路

a_2 = 輾又單軌條ニ對スル輪緣路

$a_1 = 42 + S$

但シ $a_1 + a_2 = 89 + S$

轉轍器尖端ノ輪緣路 $a = 90 + S$

其ノ他ノ場合ニ於ケル輪緣路 $a = 65 + S$

但シ急曲線其ノ他ニ於ケル特殊複輪軌條ニ對スル場合ヲ除ク

上式中S…軌間ニ擴度ヲ有スルトキハ該擴度ノ許容增伸量トス 但シ擴度ヲ有セザルトキハSヲ0ニヘザルモノトス

凡例

- 建築限界 但シ停車場外ニ在リテハ其ノ腰部ハ……ヲ限界トス
- 停車場内ニ於ケル給水、給炭、轉車臺、計重、洗車等ノ諸設備及信號柱等ニシテ本線路ニ関セザルモノ並ニ車庫ノ門路及内部裝置等ガ建築限界内ニ入リ得ル限界
- 轉轍標識等ノ軌條面上ニ突出スル各部ノ建築限界内ニ入リ得ル限界
- 車輛限界ノ位置

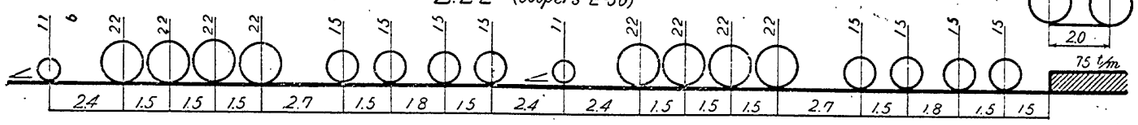
第二號圖

橋梁設計標準活重

荷重(軸重)單位瓲　寸法單位米

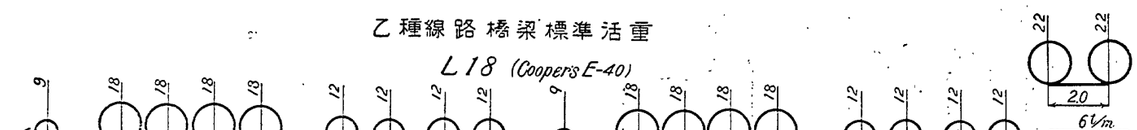
甲種線路橋梁標準活重

L.22 (Cooper's E-50)



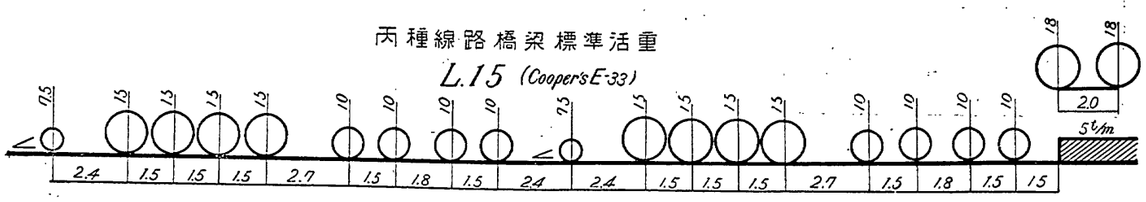
乙種線路橋梁標準活重

L.18 (Cooper's E-40)



丙種線路橋梁標準活重

L.15 (Cooper's E-33)



朝鮮私設鐵道規程

大正九年七月十一日　朝鮮總督府令第百二十七號

第一章　私設鐵道ノ建設

第一節　通則

第一條　私設鐵道ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケテ之ヲ建設スヘシ

第二條　私設鐵道ノ建設ニ關スル事務ハ地方官ヲシテ之ヲ取扱ハシム

第三條　私設鐵道ノ建設ニ關スル事務ハ鐵道局ニ於テ之ヲ取扱フ

第二節　建設ノ許可

第四條　私設鐵道ノ建設ヲ許可セラレントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

一　鐵道ノ種類及線路ノ起點終點

二　線路ノ概略ノ位置

三　工事ノ概略ノ豫定

四　工費ノ概算及其ノ調達ノ方法

五　工事ニ關スル設計ノ概要

六　工事ニ關スル圖面

七　工事ニ關スル豫定表

八　其ノ他參考ニ要スル事項

第五條　前條ノ出願ニ對シ許可ヲ與フルトキハ左ノ事項ヲ指令スヘシ

一　工事ヲ起シ又ハ竣ルヘキ期限

二　工事ニ關スル設計ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ方法

三　工事ニ關スル圖面ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ方法

四　工事ニ關スル豫定表ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ方法

五　其ノ他必要ナル條件

第六條　前條第一項第一號ノ期限ハ特別ノ事由アリテ其ノ延期ヲ許可セラレタルトキヲ除クノ外許可ノ日ヨリ起算シ左ノ期間ヲ超ユルヲ得ス

一　軌間三呎六吋ノ鐵道ニ在リテハ二年

二　軌間二呎六吋ノ鐵道ニ在リテハ一年半

三　軌間二呎以下ノ鐵道ニ在リテハ一年

第七條　第五條第一項第二號ノ設計ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ設計ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ノ許可ヲ受クヘシ

第八條　第五條第一項第三號ノ圖面ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ圖面ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ノ許可ヲ受クヘシ

第九條　第五條第一項第四號ノ豫定表ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ豫定表ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ノ許可ヲ受クヘシ

第十條　第五條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第十一條　第五條第一項第二號ノ設計ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ設計ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第十二條　第五條第一項第三號ノ圖面ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ圖面ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第十三條　第五條第一項第四號ノ豫定表ノ變更ヲ要スルトキハ其ノ豫定表ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第十四條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第十五條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第十六條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第十七條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第十八條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第十九條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十一條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十二條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十三條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十四條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十五條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十六條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十七條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十八條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二十九條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十一條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十二條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十三條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十四條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十五條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十六條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十七條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十八條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第三十九條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十一條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十二條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十三條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十四條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十五條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十六條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十七條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十八條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第四十九條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十一條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十二條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十三條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十四條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十五條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十六條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十七條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十八條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第五十九條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十一條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十二條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十三條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十四條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十五條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十六條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十七條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十八條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第六十九條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十一條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十二條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十三條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十四條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十五條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十六條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十七條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十八條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第七十九條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十一條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十二條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十三條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十四條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十五條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十六條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十七條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十八條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第八十九條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十一條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十二條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十三條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十四條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十五條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十六條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十七條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十八條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第九十九條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百一條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十一條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十二條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十三條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十四條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十五條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十六條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十七條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十八條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百十九條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十一條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十二條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十三條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十四條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十五條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十六條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十七條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十八條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百二十九條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十一條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十二條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十三條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十四條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十五條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十六條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十七條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十八條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百三十九條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十一條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十二條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十三條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十四條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十五條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十六條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十七條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十八條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百四十九條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十一條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十二條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十三條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十四條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十五條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十六條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十七條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十八條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百五十九條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十一條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十二條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十三條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十四條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十五條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十六條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十七條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十八條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百六十九條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十一條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十二條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十三條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十四條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十五條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十六條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十七條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十八條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百七十九條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十一條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十二條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十三條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十四條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十五條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十六條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十七條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十八條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百八十九條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十一條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十二條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十三條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十四條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十五條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十六條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十七條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十八條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第百九十九條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百一條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百二條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百三條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百四條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百五條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百六條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百七條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百八條　第六條第一項第三號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百九條　第六條第一項第一號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由ヲ具シ地方官ヲ經由シテ總督ニ出願スヘシ

第二百十條　第六條第一項第二號ノ期限ヲ延期セラレントスル者ハ其ノ事由

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
三吋以上

第十九條　軌道及橋梁ノ各部ハ勁荷重ニ耐フル負擔力ヲ有スルコトヲ要ス

第二十條　交通類繁ナル道路又ハ通船類繁ナル河川ニ架設スル橋梁ハ車輛ノ幅及其ノ兩側各六吋以上軌道面下ヲ塞フコトヲ要ス

第六節　待避所

第二十一條　隧道橋梁其ノ他列車ヲ避クルニ困難ナル場所ニハ三百呎以內ノ距離ニ待避所ヲ設クルコトヲ要ス

第七節　踏切道

第二十二條　踏切道ト線路トノ交角ハ六十度ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ四十五度ニ至ルコトヲ得

交通類繁ナル踏切道ニハ通行人ノ注意ヲ惹クヘキ警標ヲ設クルコトヲ要ス

交通類繁ニシテ展望不良ナル踏切道ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スヘシ

第八節　常置信號機

第二十三條　停車場外ニ於テ線路カ本線路ヨリ分岐スル箇所ニハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外常置信號機ヲ設ケ之ニ閉塞スル轍轍器ト相互聯動セシムルコトヲ要ス

一　一保安區間內ニ在ル分岐點ノ轍轍器ニシテ之ニ通票鎖錠器ヲ裝置シタルトキ

二　閉塞式ヲ施行スル單線ニ於ケル分岐點ノ轍轍器ニシテ之ニ轍轍標識ヲ設ケ轍轍器ヲ鎖錠シタルトキ

停車場又ハ信號所ニ於ケル本線路ノ對向轍轍器ニハ鎖錠其ノ他ノ安全裝置ヲ爲スコトヲ要ス但シ列車對向通過ノ際轍轍器ノ取柄ヲ支持スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　左ノ箇所ニハ特別ノ場合ヲ除クノ外常置信號機ヲ設クルコトヲ要ス但シ閉塞信號機ヲ設クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　單線ニ於テ列車ノ行違ヲ爲ス停車場又ハ信號所

二　複線ニ於ケル閉塞區間ノ境界點ニ在ル停車場、停留場又ハ信號所

第二十五條　場內信號機防護區域外二十鎖以上ノ距離ヨリ之ヲ展望スルコト能ハサルトキハ其前方ニ遠方信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第八節　平面交叉

第二十六條　本線路ハ相當ノ保安設備アル停車場又ハ信號所外ニ於テ鐵道又ハ軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得但シ鐵道又ハ軌道カ人力又ハ牛馬力ヲ動力トスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九節　諸標

第二十七條　本線路ニハ左ノ諸標ヲ設クルコトヲ要ス

一　昼中哩ノ距離ヲ示ス哩程標

二　六分ノ一ヨリ急ナル勾配ノ始終點ニハ其ノ勾配ヲ示ス勾配標

第二十八條　本線路又ハ側線カ本線路ニ接續スル箇所ニハ車輛ノ停止區域ヲ示ス警標ヲ設クルコトヲ要ス

第十一節　車輛ノ逸出防備

第二十九條　車輛カ本線路ニ逸出スル虞アル線路ニハ相當ノ防止設備ヲ爲スヘシ

第三十條　線路ノ終端ニハ車止ヲ設クルコトヲ要ス

第十二節　線路ノ防備

第三十一條　人又ハ牛馬等ノ線路ニ踏入ル虞アル場所及保安上必要ナル場所ニハ堤塘柵垣又ハ溝渠ヲ設クルコトヲ要ス

第十三節　停車場其ノ他ノ設備

第三十二條　停車場及信號所ニハ電氣通信ノ設備ヲ爲スヘシ但シ驛員ヲ常置セサル停車場ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條　旅客ノ乘降多キ停車場ニハ待合所其ノ他相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十四條　機關車ヲ收容スル爲相當設備ヲ爲スヘシ

第三十五條　車輛ヲ修理スル爲相當設備ヲ爲スヘシ但シ其ノ修理ヲ他ニ委託スルコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　發電所及變電所ニハ相當ノ豫備機械ヲ備フルコトヲ要ス

第三章　車輛

第一節　車輛定規

第三十七條　車輛定規ハ車輪ヲ除クノ外第一號、第二號及第三號ノ乙圖面ニ依ルヘシ

第三十八條　外方ニ開キタル車輛ノ扉ハ車輛定規ノ限界ヲ超ユルコトヲ得但シ建築定規ノ範圍內ニ於テ三吋以上ノ遊間ヲ存スルコトヲ要ス

第三十九條　排障器、制輪子、撒砂管其ノ他ノ物ニシテ輪緣ノ幅外ニ出テサル部分及聯結器ノ下端ハ軌條面上一吋ノ高迄下ルコトヲ得

第四十條　彈機ノ作用ニ因リ上下動ヲ爲ササル部分ハ車輛定規ノ中心線ヨリ測リ左ノ幅內ニ於テ軌條面上二吋ノ高迄下ルコトヲ得

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ
左右各四呎五吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
左右各二呎九吋

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ
左右各三呎四吋

第四十一條　排塵器ハ其ノ使用ニ際シ轉轍器、護輪軌條等ノ箇所ヲ除クノ外之ヲ軌條頭ニ接觸セシムルコトヲ得

第四十二條　電氣機關車及電車ノ乘降裝置ノ可動部分ハ車輛定規ノ限界ヲ超ユルコトヲ得

第四十三條　前六條ノ規定ハ輪緣其ノ他ノ磨損又ハ彈機ノ變形アリタル場合ニ於テモ之ヲ適用ス

第二節　輪軸距

第四十四條　車輛ノ固定輪軸距離ハ線路ノ最小曲線半徑ニ應シテ之ヲ定ムヘシ但シ左ノ寸法ヲ超ユルコトヲ得ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　十五呎

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　十呎

第三節　車輪

第四十五條　車輪ノ直徑ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
三吋以上

第十九條　軌道及橋梁ノ各部ハ勁荷重ニ耐フル負擔力ヲ有スルコトヲ要ス

第二十條　交通類繁ナル道路又ハ通船類繁ナル河川ニ架設スル橋梁ハ車輛ノ幅及其ノ兩側各六吋以上軌道面下ヲ塞フコトヲ要ス

第六節　待避所

第二十一條　隧道橋梁其ノ他列車ヲ避クルニ困難ナル場所ニハ三百呎以內ノ距離ニ待避所ヲ設クルコトヲ要ス

第七節　踏切道

第二十二條　踏切道ト線路トノ交角ハ六十度ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ四十五度ニ至ルコトヲ得

交通類繁ナル踏切道ニハ通行人ノ注意ヲ惹クヘキ警標ヲ設クルコトヲ要ス

交通類繁ニシテ展望不良ナル踏切道ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スヘシ

第八節　常置信號機

第二十三條　停車場外ニ於テ線路カ本線路ヨリ分岐スル箇所ニハ左ニ揭クル場合ヲ除クノ外常置信號機ヲ設ケ之ニ閉塞スル轍轍器ト相互聯動セシムルコトヲ要ス

一　一保安區間內ニ在ル分岐點ノ轍轍器ニシテ之ニ通票鎖錠器ヲ裝置シタルトキ

二　閉塞式ヲ施行スル單線ニ於ケル分岐點ノ轍轍器ニシテ之ニ轍轍標識ヲ設ケ轍轍器ヲ鎖錠シタルトキ

停車場又ハ信號所ニ於ケル本線路ノ對向轍轍器ニハ鎖錠其ノ他ノ安全裝置ヲ爲スコトヲ要ス但シ列車對向通過ノ際轍轍器ノ取柄ヲ支持スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十四條　左ノ箇所ニハ特別ノ場合ヲ除クノ外常置信號機ヲ設クルコトヲ要ス但シ閉塞信號機ヲ設クル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一　單線ニ於テ列車ノ行違ヲ爲ス停車場又ハ信號所

二　複線ニ於ケル閉塞區間ノ境界點ニ在ル停車場、停留場又ハ信號所

第二十五條　場內信號機防護區域外二十鎖以上ノ距離ヨリ之ヲ展望スルコト能ハサルトキハ其前方ニ遠方信號機ヲ設クルコトヲ要ス

第八節　平面交叉

第二十六條　本線路ハ相當ノ保安設備アル停車場又ハ信號所外ニ於テ鐵道又ハ軌道ト平面交叉ヲ爲スコトヲ得但シ鐵道又ハ軌道カ人力又ハ牛馬力ヲ動力トスル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九節　諸標

第二十七條　本線路ニハ左ノ諸標ヲ設クルコトヲ要ス

一　昼中哩ノ距離ヲ示ス哩程標

二　六分ノ一ヨリ急ナル勾配ノ始終點ニハ其ノ勾配ヲ示ス勾配標

第二十八條　本線路又ハ側線カ本線路ニ接續スル箇所ニハ車輛ノ停止區域ヲ示ス警標ヲ設クルコトヲ要ス

第十一節　車輛ノ逸出防備

第二十九條　車輛カ本線路ニ逸出スル虞アル線路ニハ相當ノ防止設備ヲ爲スヘシ

第三十條　線路ノ終端ニハ車止ヲ設クルコトヲ要ス

第十二節　線路ノ防備

第三十一條　人又ハ牛馬等ノ線路ニ踏入ル虞アル場所及保安上必要ナル場所ニハ堤塘柵垣又ハ溝渠ヲ設クルコトヲ要ス

第十三節　停車場其ノ他ノ設備

第三十二條　停車場及信號所ニハ電氣通信ノ設備ヲ爲スヘシ但シ驛員ヲ常置セサル停車場ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第三十三條　旅客ノ乘降多キ停車場ニハ待合所其ノ他相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十四條　機關車ヲ收容スル爲相當設備ヲ爲スヘシ

第三十五條　車輛ヲ修理スル爲相當設備ヲ爲スヘシ但シ其ノ修理ヲ他ニ委託スルコトヲ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　發電所及變電所ニハ相當ノ豫備機械ヲ備フルコトヲ要ス

第三章　車輛

第一節　車輛定規

第三十七條　車輛定規ハ車輪ヲ除クノ外第一號、第二號及第三號ノ乙圖面ニ依ルヘシ

第三十八條　外方ニ開キタル車輛ノ扉ハ車輛定規ノ限界ヲ超ユルコトヲ得但シ建築定規ノ範圍內ニ於テ三吋以上ノ遊間ヲ存スルコトヲ要ス

第三十九條　排障器、制輪子、撒砂管其ノ他ノ物ニシテ輪緣ノ幅外ニ出テサル部分及聯結器ノ下端ハ軌條面上一吋ノ高迄下ルコトヲ得

第四十條　彈機ノ作用ニ因リ上下動ヲ爲ササル部分ハ車輛定規ノ中心線ヨリ測リ左ノ幅內ニ於テ軌條面上二吋ノ高迄下ルコトヲ得

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ
左右各四呎五吋

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
左右各二呎九吋

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ
左右各三呎四吋

第四十一條　排塵器ハ其ノ使用ニ際シ轉轍器、護輪軌條等ノ箇所ヲ除クノ外之ヲ軌條頭ニ接觸セシムルコトヲ得

第四十二條　電氣機關車及電車ノ乘降裝置ノ可動部分ハ車輛定規ノ限界ヲ超ユルコトヲ得

第四十三條　前六條ノ規定ハ輪緣其ノ他ノ磨損又ハ彈機ノ變形アリタル場合ニ於テモ之ヲ適用ス

第二節　輪軸距

第四十四條　車輛ノ固定輪軸距離ハ線路ノ最小曲線半徑ニ應シテ之ヲ定ムヘシ但シ左ノ寸法ヲ超ユルコトヲ得ス

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　十五呎

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ　十呎

第三節　車輪

第四十五條　車輪ノ直徑ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ

在リテハ　導輪及從輪ハ　二呎以上
其他ノモノハ　二呎六吋以上

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
一呎六吋以上

第四十六條　輪緣ノ幅ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ
五吋以上　七吋以下

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
四吋以上　五吋二分ノ一以下

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ
四吋二分ノ一以上　六吋以下

第四十七條　車輪一對ノ輪緣內側距離ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ
四呎五吋以上
四呎五吋二分ノ一以下

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
二呎三吋四分ノ一以上
二呎三吋八分ノ五以下

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ
三呎二吋八分ノ七以上
三呎三吋四分ノ一以下

輪緣ナキ車輪一對ノ輪緣內側距離ハ之ヲ左ノ寸法迄縮小スルコトヲ得

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ
四呎四吋八分ノ三

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
二呎三吋

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ
三呎二吋八分ノ一

第四十八條　輪緣ノ高ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半及三呎六吋ノモノニ在リテハ　一吋以上　一吋十六分ノ七以下

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
八分ノ七吋以上
一吋十六分ノ三以下

輪緣ノ厚ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ
八分ノ七吋以上

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
八分ノ五吋以上

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ
四分ノ三吋以上

第四十九條　車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣外面迄ノ距離ハ左ノ寸法ニ依ルヘシ

一　軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ
二呎三吋二分ノ一以上
二呎三吋八分ノ七以下

二　軌間二呎六吋ノモノニ在リテハ
一呎二吋八分ノ三以上
一呎二吋四分ノ三以下

三　軌間三呎六吋ノモノニ在リテハ
一呎八吋十六分ノ五以上
一呎八吋四分ノ三以下

第五十條　前二條ノ規定ハ輪緣ノ磨損シタル場合ニ於テモ之ヲ適用ス

第四節　緩衝器及聯結器

第五十一條　車輛ニハ彈性ノ緩衝器及聯結器ヲ備フルコトヲ要ス

軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ自働中央緩衝聯結器ヲ備ヘ其ノ中心ノ高ハ軌條面上
客車ノトキニ呎十一吋ヲ超ユルコトヲ得ス
滿載車ノトキニ呎八吋ヲ下ルコトヲ得ス

第五十二條　機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一　汽罐ニハ獨立ニ其ノ用ヲ爲ス二箇以上ノ給水器ヲ備フルコト

二　汽罐內部ノ水位ヲ獨立ニ認知シ得ル二箇以上ノ驗水器ヲ備ヘ其ノ一ハ機關手ノ位置ヨリ水位ヲ直ニ認メ得ルモノタルコト

三　二箇以上ノ安全弁ヲ備フルコト

四　火室ノ頂鈑ニ可鎔栓ヲ備フルコト

五　驗壓器ヲ備ヘ其ノ指針盤ニ實用最高汽壓ヲ表示スルコト

六　汽罐ノ火室ニ在ル繫樑ニハ其ノ頂上ニ在ルモノ及特別ノ裝置アルモノヲ除クノ外其ノ毀損ヲ外部ヨリ發見シ得ヘキ設備ヲ爲スコト

七　汽笛ヲ備フルコト

八　前後ニ排障器ヲ備フルコト

九　煙櫃及灰箱ニハ火粉止ノ設備ヲ爲スコト

十　他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

第六節　客車及緩急車

第五十三條　客車內ノ面積ハ旅客定員一人ニ付平均三平方呎ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ起立乘客ニ對スル相當ノ設備アル場合ニ在リテハ之ヲ二平方呎半迄縮小スルコトヲ得

第五十四條　客車內ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ

第五十五條　客車ノ側面ニ在ル外開キノ扉ニハ二箇ノ閉鎖器ヲ備フルコトヲ要ス

第五十六條　緩急車ハ其ノ前後ニ制御器ヲ設クルコト

二　自働遮斷器ヲ設クルコト

三　乘客緊急式ノ場合ニ於テハ避雷器ヲ設クルコト

四　警鐘又ハ警笛ヲ備フルコト

五　前後ニ排障器ヲ備フルコト

六　他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

第五十七條　汽動車、電氣機關車及電車ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十八條　電氣機關車及電車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一　特別ノ場合ヲ除クノ外前後ニ制御器ヲ設クルコト

二　自働遮斷器ヲ設クルコト

三　乘客緊急式ノ場合ニ於テハ避雷器ヲ設クルコト

四　警鐘又ハ警笛ヲ備フルコト

五　前後ニ排障器ヲ備フルコト

六　他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

第五十九條　汽動車及電車ニハ乘務員間ノ合圖器ヲ備フルコトヲ要ス

附　則

本令ハ大正九年制令第九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依リ許可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊規程ニ依リ許可ヲ受ケタル事項ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

軌間四呎八吋半ノモノニ在リテハ自働中央緩衝聯結器ヲ備ヘ其ノ中心ノ高ハ軌條面上
客車ノトキニ呎十一吋ヲ超ユルコトヲ得ス
滿載車ノトキニ呎八吋ヲ下ルコトヲ得ス

第五十二條　機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一　汽罐ニハ獨立ニ其ノ用ヲ爲ス二箇以上ノ給水器ヲ備フルコト

二　汽罐內部ノ水位ヲ獨立ニ認知シ得ル二箇以上ノ驗水器ヲ備ヘ其ノ一ハ機關手ノ位置ヨリ水位ヲ直ニ認メ得ルモノタルコト

三　二箇以上ノ安全弁ヲ備フルコト

四　火室ノ頂鈑ニ可鎔栓ヲ備フルコト

五　驗壓器ヲ備ヘ其ノ指針盤ニ實用最高汽壓ヲ表示スルコト

六　汽罐ノ火室ニ在ル繫樑ニハ其ノ頂上ニ在ルモノ及特別ノ裝置アルモノヲ除クノ外其ノ毀損ヲ外部ヨリ發見シ得ヘキ設備ヲ爲スコト

七　汽笛ヲ備フルコト

八　前後ニ排障器ヲ備フルコト

九　煙櫃及灰箱ニハ火粉止ノ設備ヲ爲スコト

十　他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

第六節　客車及緩急車

第五十三條　客車內ノ面積ハ旅客定員一人ニ付平均三平方呎ヨリ小ナルコトヲ得ス但シ起立乘客ニ對スル相當ノ設備アル場合ニ在リテハ之ヲ二平方呎半迄縮小スルコトヲ得

第五十四條　客車內ニハ點燈ノ設備ヲ爲スヘシ

第五十五條　客車ノ側面ニ在ル外開キノ扉ニハ二箇ノ閉鎖器ヲ備フルコトヲ要ス

第五十六條　緩急車ハ其ノ前後ニ制御器ヲ設クルコト

二　自働遮斷器ヲ設クルコト

三　乘客緊急式ノ場合ニ於テハ避雷器ヲ設クルコト

四　警鐘又ハ警笛ヲ備フルコト

五　前後ニ排障器ヲ備フルコト

六　他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

第五十七條　汽動車、電氣機關車及電車ニ關スル規定ヲ準用ス

第五十八條　電氣機關車及電車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一　特別ノ場合ヲ除クノ外前後ニ制御器ヲ設クルコト

二　自働遮斷器ヲ設クルコト

三　乘客緊急式ノ場合ニ於テハ避雷器ヲ設クルコト

四　警鐘又ハ警笛ヲ備フルコト

五　前後ニ排障器ヲ備フルコト

六　他ノ制動機ノ設アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

第五十九條　汽動車及電車ニハ乘務員間ノ合圖器ヲ備フルコトヲ要ス

附　則

本令ハ大正九年制令第九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

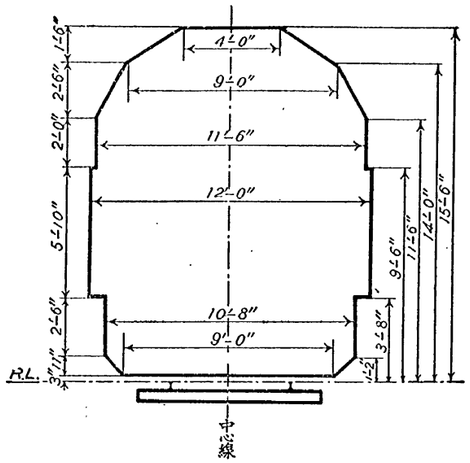
本令ニ依リ許可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊規程ニ依リ許可ヲ受ケタル事項ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第壹號乙圖面

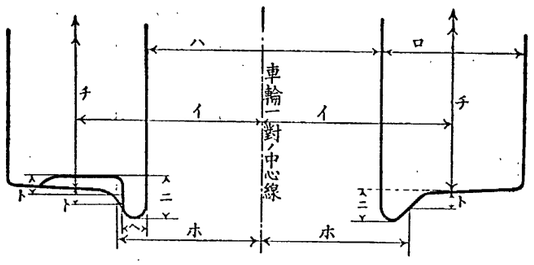
軌間四呎八吋半鐵道

車輛定規

縮尺以壹吋爲六呎



輪緣各部之度方



イ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣踏面迄ノ距離	2′−5¼″
ロ	輪緣ノ幅	5″以上　7″以下
ハ	車輪一對ノ輪緣内側距離（輪緣アルモノ）	4′−5″以上　4′−5½″以下
	（輪緣ナキモノ）	4′−4³/₄″以上
ニ	輪緣ノ高サ	1″以上　1⁷/₁₆″以下
ホ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣外面迄ノ距離	2′−3½″以上　2′−3⅞″以下
ヘ	輪緣ノ厚サ	⅞″以上
ト	（イ）ナル距離ニ於ケル踏面ヨリ下位ニ度ル距離	新シキ時 ⅝″ 磨耗シタル時 ⅜″
チ	車輪ノ直徑　（導輪及從輪） （其他ノモノ）	2′−0″以上 2′−6″以上

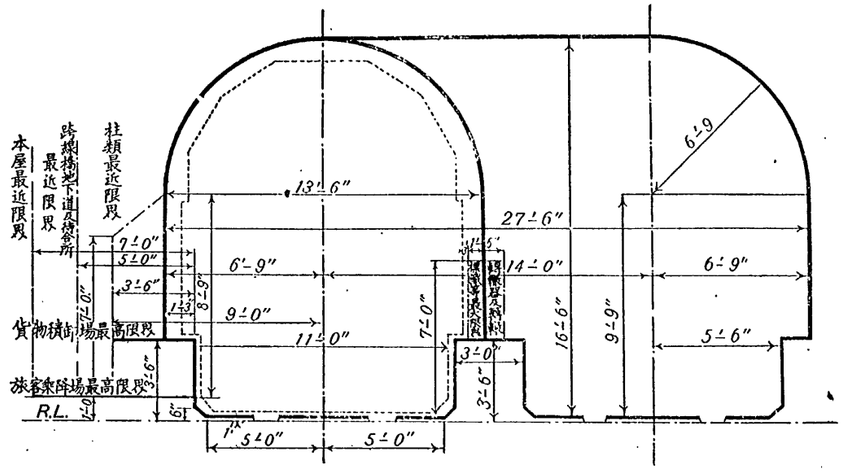
第壹號甲圖面

軌間四呎八吋半鐵道

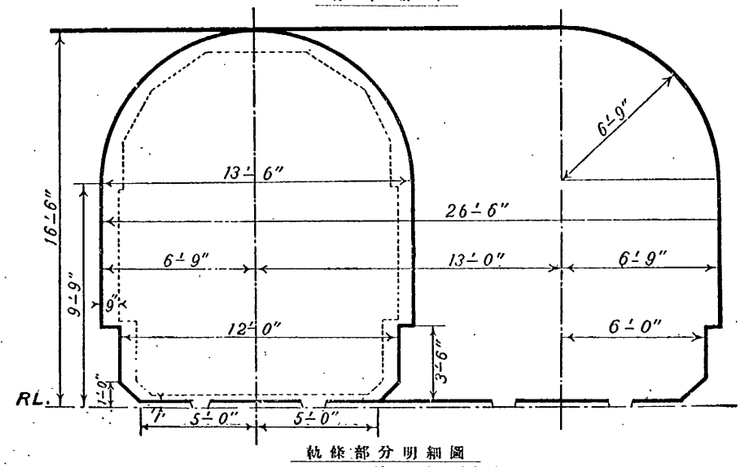
建築定規

縮尺以壹吋爲六呎

停車場内

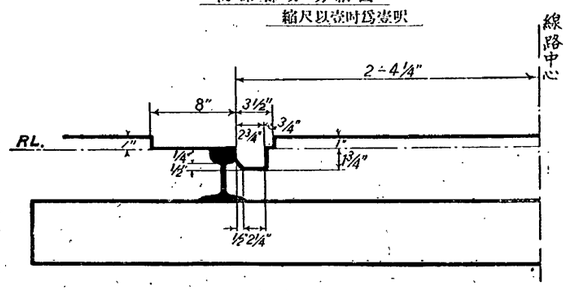


停車場外



軌條部分明細圖

縮尺以壹吋爲壹呎



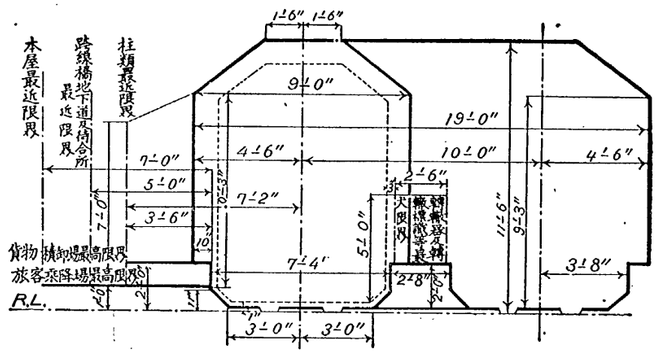
第貳號甲圖面

軌間貳呎六吋鐵道

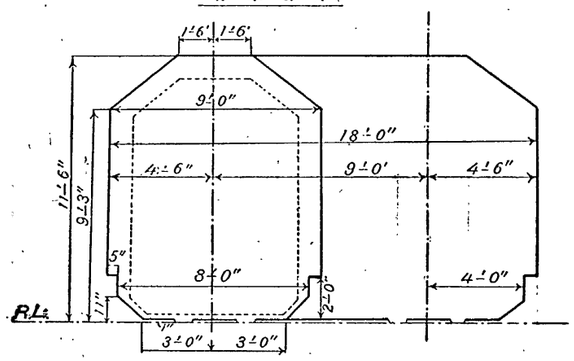
建築定規

縮尺以壹吋爲六呎

停車場內

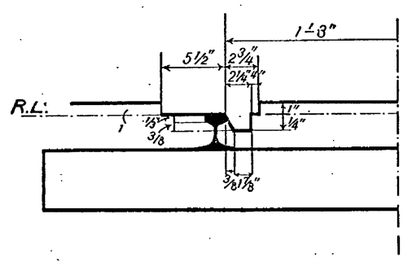


停車場外



軌條部分明細圖

縮尺以壹吋爲壹呎

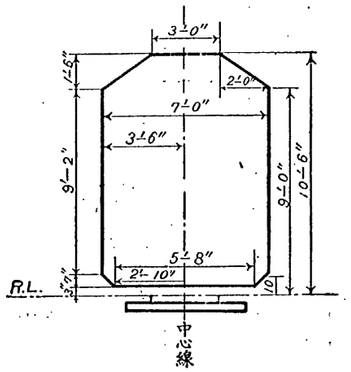


第貳號乙圖面

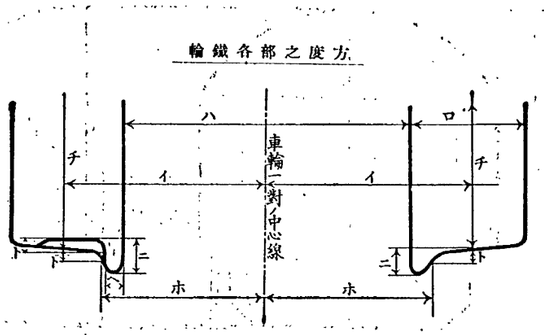
軌間貳呎六吋鐵道

車輛定規

縮尺以壹吋爲六呎



輪鐵各部之度方



イ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪鐵踏面迄ノ距離	1′—3¾″
ロ	輪鐵ノ幅	4″以上　5½″以下
ハ	車輪一對ノ輪鐵內側距離（輪緣アルモノ） （〃　ナキモノ）	2′-3¼″以上　2′-3⅝″以下 2′-3″以上
ニ	輪緣ノ高サ	⅞″以上　1 3/16″以下
ホ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣外面迄ノ距離 輪緣ノ厚サ	1′-2⅜″以上　1′-2¼″以下
ヘ	輪緣ノ厚サ	⅝″以上
ト	（イ）ナル距離ニ於ケル踏面ヨリ下位ニ度ル距離	⅜″
チ	車輪ノ直徑	1′-6″以上

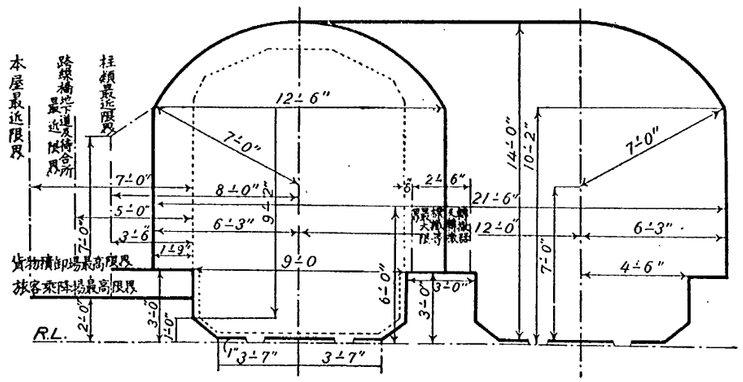
第參號甲圖面

軌間參呎六吋鐵道

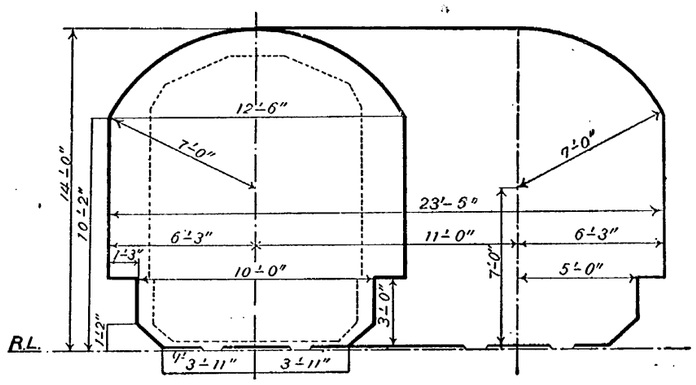
建築定規

縮尺以壹吋爲六呎

停車場內

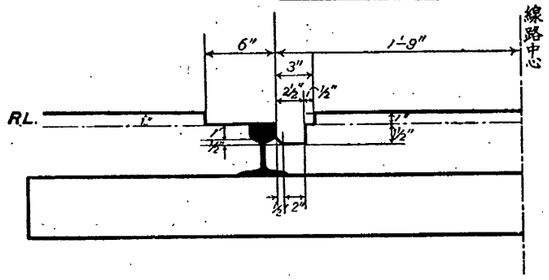


停車場外



軌條部分明細圖

縮尺以壹吋爲壹呎

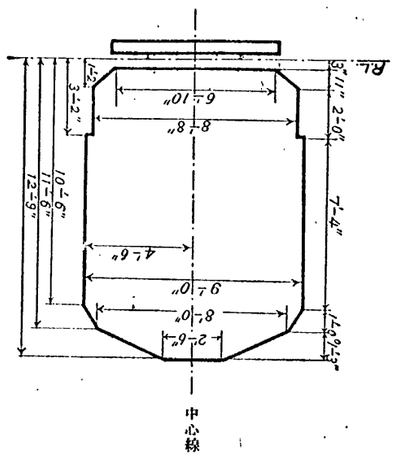


第參號乙圖面

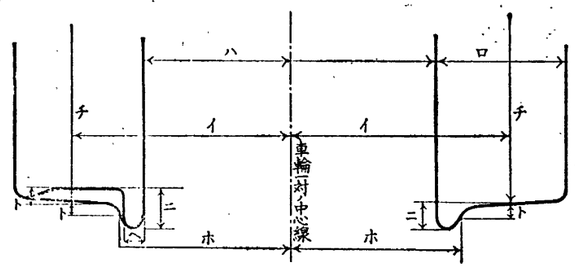
軌間參呎六吋參呎六吋鐵道

車輛定規

縮尺以壹吋爲壹呎六呎



輪緣各部之度方



イ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣踏面迄ノ距離	1′-10″
ロ	輪緣ノ幅	$4\frac{1}{2}$″以上　6″以下
ハ	車輪一對ノ輪緣內側距離（輪緣アルモノ） （〃ナキモノ）	3′-2$\frac{7}{8}$″以上　3′-3$\frac{1}{4}$″以下 3′-2$\frac{1}{2}$″以上
ニ	輪緣ノ高サ	1′以上　1$\frac{7}{16}$″以下
ホ	車輪一對ノ中心線ヨリ輪緣外面迄ノ距離	1′-8$\frac{5}{10}$以上　1′-8$\frac{3}{4}$″以下
ヘ	輪緣ノ厚サ	$\frac{3}{4}$″以上
ト	（イ）ナル距離ニ於ケル踏面ヨリ下位ニ度ル距離	$\frac{1}{2}$″
チ	車輪ノ直徑（導輪及從輪） （其他ノモノ）	2′-0″以上 2′-6″以上

第二十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第四十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第五十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第六十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第七十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第八十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第九十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百二十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百三十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百四十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百五十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百六十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百七十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百八十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第百九十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百二十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百三十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百四十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百五十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百六十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百七十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百八十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第二百九十九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百八條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百九條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百十條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百十一條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百十二條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百十三條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百十四條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百十五條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百十六條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ依リ之ヲ定ム

第三百十七條　列車ノ運轉ニ關シ必要ナル事項ハ運轉取扱心得ニ

二　單線運轉ヲ爲ス場合
指導法（此ノ場合ハ指導券ヲ發行セズ）

第五十六條　第三十六條ノ場合ニ於テ單線運轉ヲ爲ス區間ニハ指導法又ハ票券式ヲ施行スルコトヲ要ス

第二節　複信閉塞機式

第五十七條　複信閉塞機ヲ施行スル閉塞區間兩端ノ停車場又ハ信號所ニハ複信閉塞機ヲ備フルコトヲ要ス

第五十八條　複信閉塞機ハ標識ヲ以テ左ノ表示ヲ爲シ得ル裝置トシ電鈴ヲ備フルコトヲ要ス

一　列車閉塞區間ニ無シ

二　列車閉塞區間ニ在リ

第五十九條　複信閉塞機ハ列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメタル停車場又ハ信號所ニ於テ「列車閉塞區間ニ在リ」ノ表示ヲ變更シ能ハザル裝置ノモノタルコトヲ要ス

第六十條　列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメントスルトキハ「列車閉塞區間ニ無シ」ノ表示ヲ確認シ前方ノ停車場又ハ信號所ニ「列車進入シ得ルヤ」ノ電鈴合圖ヲ爲シ承認ヲ受クルコトヲ要ス

前項ノ承認ハ標識ニ依リ之ヲ表示スルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ「列車閉塞區間ニ在リ」ノ表示ヲ以テ之ヲ爲スモノトス

第六十一條　前條ノ承認ハ共ノ閉塞區間ニ列車又ハ車輛在ルトキハ之ヲ與フルコトヲ得ズ

第三節　通信閉塞式

第六十二條　通信閉塞式ヲ施行スル閉塞區間兩端ノ停車場又ハ信號所ニハ專用ノ電話機ヲ備フルコトヲ要ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ他ノ電話機又ハ電信機ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

一　運轉困散ナル區間

二　專用ノ電話機ニ故障ヲ生ジタルトキ

三　亦故其ノ他已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ專用ノ電話機ヲ設置シ難キトキ

第六十三條　列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメントスルトキハ電氣通信ニ依リ前方ノ停車場又ハ信號所ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第六十一條ノ規定ハ前項ノ承認ニ付之ヲ準用ス

第四節　通票閉塞機式

第六十四條　通票閉塞機式ヲ施行スル閉塞區間兩端ノ停車場ニハ通票閉塞機ヲ備フルコトヲ要ス

第六十五條　通票閉塞機ハ共ノ區間專用ノ通票ヲ收容シ標識ヲ以テ左ノ表示ヲ爲シ得ル裝置トシ電鈴ヲ備フルコトヲ要ス

一　列車閉塞區間ニ無シ

二　列車閉塞區間ニ在リ

第六十六條　通票閉塞機ハ左ノ條件ヲ具備スル裝置ノモノタルコトヲ要ス

一　通票ハ閉塞區間兩端ノ停車場ニ於テ協同シテ取扱フニ非ザレバ之ヲ取出シ能ハザルコト

二　閉塞區間兩端ニ於ケル通票閉塞機ニ收容セラレタル通票ハ一箇ニ限リ之ヲ取出スコトヲ得他ノ通票ハ取出サレタル通票ヲ通票閉塞機ニ納入スルニ非ザレバ之ヲ取出シ能ハザルコト

三　隣接閉塞區間ノ通票ヲ收容シ能ハザルコト

第六十七條　隣接閉塞區間ノ通票ハ共ノ形狀ヲ異ニスルコトヲ要ス

第六十八條　列車ハ當該區間ノ通票ヲ携帶スルニ非ザレバ共ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ズ

第六十九條　列車ノ運轉ニ使用シタル通票ハ通票閉塞機ニ收容シタル後ニ非ザレバ之ヲ他ノ列車ノ運轉ニ使用スルコトヲ得ズ

第七十條　第六十條及第六十一條ノ規定ハ通票閉塞機式ニ之ヲ準用ス

第五節　通票式

第七十一條　通票式ヲ施行スル各閉塞區間ニハ通票一箇ヲ備フルコトヲ要ス

第七十二條　第六十七條及第六十八條ノ規定ハ通票式ニ之ヲ準用ス

第六節　票券式

第七十三條　票券式ヲ施行スル各閉塞區間ニハ通票一箇ヲ備ヘ、其ノ區間兩端ノ停車場ニハ通票券ヲ收容シタル通票券函ヲ備フルコトヲ要ス

第七十四條　通票券函ハ共ノ區間ノ通票ヲ以テスルニ非ザレバ之ヲ開クコトヲ得ザル裝置ノモノタルコトヲ要ス

第七十五條　隣接區間ノ通票ハ共ノ形狀ヲ異ニシ、通票ハ共ノ色ヲ異ニスルコトヲ要ス

第七十六條　列車ハ當該區間ノ通票又ハ通票券ヲ携帶スルニ非ザレバ共ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ズ

第七十七條　通票ニハ共ノ區間兩端ノ停車場名、發行年月日及之ヲ使用スル列車名ヲ記入スルコトヲ要ス

一　列車ニ使用シタル通票ハ他ノ列車ニ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第七十八條　列車ニ通票ヲ授與セントスルトキハ當該區間ノ通票ヲ示スコトヲ要ス

第七十九條　指導法ヲ施行スル區間ニハ指導者ヲ定ムルコトヲ要ス

第八十條　指導者ハ一閉塞區間一人トス

第八十一條　指導者ハ赤色ノ腕章ヲ著クルコトヲ要ス

第八十二條　列車ハ當該區間ノ指導者之ニ乘込ムカ又ハ指導券ヲ携帶スルニ非ザレバ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ズ

第八十三條　指導券ハ指導者ヨリ直接ニ列車之ヲ授與スルコトヲ要ス

第八十四條　第七十七條ノ規定ハ指導券ニ之ヲ準用ス

第三章　信號

第一節　通則

第八十五條　晝間ト夜間トニ依リ現示方式ヲ異ニスル信號、合圖及標識ハ日出ヨリ日沒迄ハ晝間ノ方式ニ、日沒ヨリ日出迄ハ夜間ノ方式ニ依ル但シ天候ノ狀態ニ依リ相當距離ヨリ認識シ難キトキハ夜間ノ方式ニ依ル

第八十六條　隧道內ニ於ケル信號、合圖及標識ハ夜間ノ方式ニ依ル但シ延長大ナラザル隧道內ニ於ケル列車標識ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十七條　信號ヲ現示スベキ所定ノ場所ニ信號ノ現示ナキトキ又ハ其ノ現示正確ナラザルトキハ列車ノ運行ニ大ナル制限ヲ附スル信號ノ現示アルモノト看做ス

常置信號機又ハ臨時信號機ヲ以テ信號ヲ現示スルトキハ列車ハ其ノ運轉ニ大ナル制限ヲ附スル但シ豫メ通告アリタルトキハ手信號ノ現示ニ依ル

第八十八條　列車又ハ車輛ノ通路ニ支障ナキ場合ニ非ザレバ之ニ對シ進行ヲ指示スル信號ヲ現示スルコトヲ得ズ

第八十九條　列車又ハ車輛ニ對シ進行ヲ指示スル信號ノ現示アル場合ニ於テハ其ノ進路ヲ支障スルコトヲ得ズ

第九十條　常置信號機ハ一定ノ場所ニ於テ腕又ハ燈ニ依リ信號ヲ現示シ列車又ハ車輛ニ對シ運行ノ條件ヲ指示ス

第九十一條　常置信號機ノ主ナル種類左ノ如シ

一　場內信號機　停車場ニ進入セントスル列車ニ對スルモノ

二　出發信號機　停車場ヨリ進出セントスル列車ニ對スルモノ

三　掩護信號機　特ニ防護ヲ要スル箇所ヲ通過セントスル列車ニ對スルモノ

四　遠方信號機　前三號ノ常置信號機ニ從屬シ主體ノ信號機ニ向テ進行スル列車ニ對スルモノ

五　誘導信號機　場內信號機又ハ出發信號機ノ停止信號現示ニ依リ停止シ誘導ヲ受クベキ列車ニ對スルモノ

六　入換信號機　入換スベキ列車又ハ車輛ニ對スルモノ

第九十二條　常置信號機ヲ以テ左ノ方式ニ依リ信號ヲ現示ス

一　場內信號機、出發信號機、掩護信號機及入換信號機

停止信號　〔晝間〕腕水平　赤色燈　〔夜間〕腕水平　赤色燈

進行信號　〔晝間〕腕下向四十五度　〔夜間〕腕下向四十五度　綠色燈

二　遠方信號機

注意信號　〔晝間〕腕水平　橙黃色燈　〔夜間〕腕下向四十五度　綠色燈

進行信號　〔晝間〕腕下向四十五度　〔夜間〕綠色燈

三　誘導信號機

進行信號　〔晝間〕腕下向四十五度　〔夜間〕綠色燈

第九十三條　場內信號機、出發信號機、掩護信號機及入換信號機ハ停止信號ヲ、遠方信號機ハ注意信號ヲ現示スルヲ其ノ定位トシ誘導信號機ハ信號ヲ現示セザルヲ共ノ定位トス

第九十四條　常置信號機ノ腕ハ長方形トス但シ腕端ハ出發信號機ノ遠方信號機ニ在リテハ矢筈形、共ノ他ノ遠方信號機ニ在リテハ矢筈形トス

常置信號機ノ腕ノ表面ハ遠方信號機ニ在リテハ橙黃色、共ノ他ノ信號機ニ在リテハ赤色トシ腕端ニ近ク之ト並行シテ並方信號機ニ在リテハ白色線ヲ劃ス

常置信號機ノ腕ノ背面ハ白色トシ腕端ニ近ク之ト並行シテ黑色線ヲ劃ス

第九十五條　常設信號機ノ現示ヲ夜間後方ヨリ識別スル爲用フル背面光ハ左ノ方式ニ依ル

一　遠方信號機

注意信號　大ナル白光

進行信號　小ナル白光

二　共ノ他ノ信號機

停止信號　大ナル白光

第九十六條　一柱ニ同種類ノ信號二以上ヲ現示スル場合ニ於テハ最高位ニ在ルモノハ最左側ノ線路ニ以下順次右方ノ線路ニ對スルモノトス

第九十七條　遠方信號機ハ共ノ主體ノ信號機ニ附帶シテ設ケ之ヲ現示スルトキハ注意信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第九十八條　場內信號機ノ設ケ方ハ停車場ニ於テハ共ノ通過ノ都度誘導信號機ニ在リテハ信號ヲ現示セザルコトヲ、遠方信號機ニ在リテハ注意信號ヲ現示スルコトヲ、其ノ他ノ信號機ニ在リテハ停止信號ヲ現示スルコトヲ要ス

第百條　天候ノ狀態ニ依リ二百米ノ距離ヨリ信號ノ現示ヲ認識シ難キ場合ニ於テ場內信號機又ハ掩護信號機ガ停止信號ヲ現示スルトキハ共ノ信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ列車ノ通過前信號用冒管ヲ裝置スルコトヲ要ス

第百一條　線路ノ狀態ガ一時平常運轉ヲ許サザル場合ニ於テ列車ノ停止ヲ要スル箇所又ハ共ノ徐行ヲ要スル區域ノ外方ニハ臨時信號機ヲ設置スルコトヲ要ス

第百二條　臨時信號機ノ種類及現示方式左ノ如シ

一　停止信號機

停止信號　〔晝間〕白色線ノ赤色長方形板　〔夜間〕赤色燈

第百七條　發音信號ハ冒管ノ爆音ニ依リテ停止信號ヲ現示ス

冒管ハ相當ノ距離ヲ隔テテ四箇以上之ヲ裝置スルモノトス

第六節　合圖

第百八條　機關士ニ對スル列車ノ出發合圖ハ左ノ方式ニ依ル但シ鐵道局長ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

三　徐行解除信號機

徐行解除信號　〔晝間〕白色線ノ綠色圓板　〔夜間〕綠色燈

臨時信號機ノ標板ノ背面及背面光ハ白色トス但シ單線ニ於テハ徐行信號機ノ標板及燈ノ背面ニ徐行解除信號ヲ現示スルコトヲ得

第百三條　臨時信號機ハ左ノ位置ニ設置スルコトヲ要ス

停止信號機

支障箇所ノ外方二百米以上ノ地點

徐行區域ノ始端

徐行解除信號機

徐行區域ノ終端

臨時信號機ノ設置ヲ豫メ通告セザル場合ニ於テハ停止信號現示箇所ノ外方、徐行信號機ニ在リテハ徐行信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用冒管ヲ裝置スルコトヲ要ス

第四節　手信號

第百四條　信號機ナキ場合及之ヲ用フルコト能ハザル場合ニ於テ使用スル手信號ノ現示方式左ノ如シ

停止信號

〔晝間〕赤色旗但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ高ク擧ゲ之ニ代フルコトヲ得

〔夜間〕赤色燈但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ兩腕ヲ高ク擧ゲ又ハ綠色旗以外ノ物ヲ急激ニ振リテ之ニ代フルコトヲ得

進行信號

〔晝間〕綠色旗但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ高ク擧ゲ之ニ代フルコトヲ得

〔夜間〕綠色燈

徐行信號

〔晝間〕頭上ニ高ク交叉シタル赤色旗及綠色旗

〔夜間〕明滅スル綠色燈

二　徐行信號機

〔晝間〕白色線ノ赤色長方形板　〔夜間〕赤色燈

第百五條　線路ニ支障アル爲列車ヲ停止又ハ徐行セシメントスル場合臨時信號機ニ依ルコト能ハザルトキハ手信號ヲ以テ左ノ防護ヲ爲スベシ

一　停止セシムル場合

支障箇所ノ外方二百米以上ノ地點ニ停止手信號ヲ現示シ且豫メ之ヲ通告セザルトキハ停止信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用冒管ヲ裝置スルコトヲ要ス

列車故障ノ爲途中ニ停止シ他ノ列車ヲ停止セシムルコトヲ要スル場合ニ於テハ相當防護ノ手段ヲ爲スコトヲ要ス

二　徐行セシムル場合

徐行區域ノ始端ニ徐行手信號ヲ、徐行區域ノ終端ニ通行手信號ヲ現示シ且豫メ之ヲ通告セザルトキハ徐行手信號現示箇所ノ外方相當ノ距離ニ信號用冒管ヲ裝置スルコトヲ要ス

第百六條　入換ヲ爲ス場合ニ於テ使用スル手信號ノ現示方式左ノ如シ

信號者ノ方ヘ來レ

〔晝間〕綠色旗ヲ左右ニ振ル但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ左右ニ動カシテ之ニ代フルコトヲ得

〔夜間〕綠色燈ヲ左右ニ振ル

信號者ヨリ去レ

〔晝間〕綠色旗ヲ上下ニ振ル但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ片腕ヲ上下ニ動カシテ之ニ代フルコトヲ得

〔夜間〕綠色燈ヲ上下ニ振ル

停止信號

〔晝間〕赤色旗但シ已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ兩腕ヲ高ク擧ゲテ之ニ代フルコトヲ得

〔夜間〕赤色燈

第五節　發音信號

第百七條　發音信號ハ冒管ノ爆音ニ依リテ停止信號ヲ現示ス

冒管ハ相當ノ距離ヲ隔テテ四箇以上之ヲ裝置スルモノトス

第六節　合圖

第百八條　機關士ニ對スル列車ノ出發合圖ハ左ノ方式ニ依ル但シ鐵道局長ノ指定シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

驛長ノ爲ス場合
晝間　片腕ヲ高ク擧グ
夜間　綠色燈ヲ高ク圓形ニ動カス
車掌ノ爲ス場合
晝間　綠色旗ヲ高ク四形ニ動カス
夜間　綠色燈ヲ高ク四形ニ動カス
前項ノ出發合圖ハ必要ニ應ジ口頭通告ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百九條　保線員ニ對シ直ニ線路ヲ檢査スベキコトヲ通告スル場合ニ於テ列車乘務者ノ爲ス合圖ハ左ノ方式ニ依ル
晝間　帽又ハ其ノ他ノ物ヲ綬ニ振ル
夜間　白色ノ燈火ヲ綬ニ振ル

第百十條　運轉ヲ始ムルトキ
列車ノ接近ヲ告グルトキ
其ノ他注意ヲ促ストキ
制動機ノ緊締ヲ促ストキ
制動機ノ緩解ヲ促ストキ
危險ヲ警告スルトキ又ハ
列車ノ分離其ノ他ノ非常
事故ヲ生ジタルトキ
保線係員ヲ招集スルトキ
列車防護ノ解除ヲ告グルトキ
長綬氣笛及短急氣笛各一聲
短急氣笛二聲
適度氣笛一聲
長綬氣笛一聲
短急氣笛三聲
適度氣笛二聲
短急氣笛數聲
長綬氣笛數聲

第百十一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ氣笛合圖ヲ爲スコトヲ要ス
一　列車運轉ヲ始ムルトキ
二　列車分離其ノ他ノ非常事故ヲ生ジタルトキ
三　停車場ニ近ヅキタルトキ

第七節　標識

第百十二條　列車ニハ列車標識ヲ揭グルコトヲ要ス

第百十三條　列車ノ前部ニ揭グル標識ハ左ノ定ムル所ニ依ル
晝間　標識ヲ揭ゲズ
夜間　前部緩衝梁ノ右側及後部緩衝梁ノ左側ニ赤色燈各一箇

第百十四條　列車ノ後部ニ揭グル標識ハ左ノ方式ニ依ル
晝間　後部車輛ノ兩側上部ニ前方白色、後方赤色ノ圓板各一箇
夜間　後部車輛ノ兩側上部ニ前方白色、後方赤色ノ燈各一箇

第百十五條　前項ノ標識ハ列車ノ後部ニ機關車、破損車輛又ハ特殊構造ノ車輛ヲ連結シタル場合ニ於テハ其ノ直前ノ車輛ニ之ヲ揭グルコトヲ得

第百十六條　入換機關車ノ標識ハ左ノ方式ニ依ル
晝間　前部緩衝梁ノ左側ニ赤色燈一箇
夜間　左側ニ赤色燈各一箇

第百十七條　轉轍器定位ニ在ルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ白色線一條ヲ橫ニ劃シタル群青色圓板
夜間　前方及後方ヘ紫色燈

轉轍器反位ニ在ルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ黑色線一條ヲ左斜ニ劃シタル橙黃色矢羽形板
夜間　前方及後方ヘ橙黃色燈

第百十八條　脫線轉轍器ノ標識ハ左ノ方式ニ依ル
晝間　片腕ヲ高ク四形ニ動カス
夜間　綠色燈ヲ高ク四形ニ動カス
一箇
脫線セシムベキ位置ニ在ルトキ
晝間　綠色旗ヲ高ク四形ニ動カス
夜間　綠色燈ヲ高ク四形ニ動カス
一箇
但シ臨時ニ運轉スル列車ニハ更ニ
其ノ緩衝梁ノ左側ニ白色燈一箇
前項ノ標識ハ機關車ヲ逆向シテ運轉スル列車又ハ機關車ヲ前部ニ連結セザル列車ニ在リテハ其ノ前部ノ車輛ノ前面相當ノ位置ニ之ヲ揭グベシ但シ已ムコトヲ得ザル場合ハ前面適宜ノ位置ニ之ヲ揭グルコトヲ得

第百十四條　列車ノ後部ニ揭グル標識ハ左ノ方式ニ依ル
晝間　後部車輛ノ兩側上部ニ前方白色、後方赤色ノ圓板各一箇
夜間　後部車輛ノ兩側上部ニ前方白色、後方赤色ノ燈各一箇
前項ノ標識ハ列車ノ後部ニ機關車、破損車輛又ハ特殊構造ノ車輛ヲ連結シタル場合ニ於テハ其ノ直前ノ車輛ニ之ヲ揭グルコトヲ得

救援列車及動車ニ在リテハ後部緩衝梁ノ左側ニ晝間ハ赤色ノ圓板、夜間ハ赤色ノ燈各一箇ヲ揭ゲ第一項ノ標識ニ代フルコトヲ得
已ムコトヲ得ザル場合赤同ジ

第百十五條　列車標識ノ圓板ハ同色ノ燈ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
前項ノ燈ニハ點火セザルコトヲ得

第百十六條　入換機關車ノ標識ハ左ノ方式ニ依ル
晝間・標識ヲ揭ゲズ
夜間　前部緩衝梁ノ右側及後部緩衝梁ノ左側ニ赤色燈各一箇

第百十七條　轉轍器定位ニ在ルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ白色線一條ヲ橫ニ劃シタル群青色圓板
夜間　前方及後方ヘ紫色燈

轉轍器反位ニ在ルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ黑色線一條ヲ左斜ニ劃シタル橙黃色矢羽形板
夜間　前方及後方ヘ橙黃色燈

第百十八條　脫線轉轍器ノ標識ハ左ノ方式ニ依ル
晝間　片腕ヲ高ク四形ニ動カス
夜間　綠色燈ヲ高ク四形ニ動カス
一箇
脫線セシムベキ位置ニ在ルトキ
晝間　綠色旗ヲ高ク四形ニ動カス
夜間　綠色燈ヲ高ク四形ニ動カス
一箇
但シ臨時ニ運轉スル列車ニハ更ニ
其ノ緩衝梁ノ左側ニ白色燈一箇
前項ノ標識ハ機關車ヲ逆向シテ運轉スル列車又ハ機關車ヲ前部ニ連結セザル列車ニ在リテハ其ノ前部ノ車輛ノ前面相當ノ位置ニ之ヲ揭グベシ但シ已ムコトヲ得ザル場合ハ前面適宜ノ位置ニ之ヲ揭グルコトヲ得

第百十四條　列車ノ後部ニ揭グル標識ハ左ノ方式ニ依ル
晝間　後部車輛ノ兩側上部ニ前方白色、後方赤色ノ圓板各一箇
夜間　後部車輛ノ兩側上部ニ前方白色、後方赤色ノ燈各一箇
前項ノ標識ハ列車ノ後部ニ機關車、破損車輛又ハ特殊構造ノ車輛ヲ連結シタル場合ニ於テハ其ノ直前ノ車輛ニ之ヲ揭グルコトヲ得

第百十五條　前項ノ標識ハ列車ノ後部ニ機關車、破損車輛又ハ特殊構造ノ車輛ヲ連結シタル場合ニ於テハ其ノ直前ノ車輛ニ之ヲ揭グルコトヲ得

救援列車及動車ニ在リテハ後部緩衝梁ノ左側ニ晝間ハ赤色ノ圓板、夜間ハ赤色ノ燈各一箇ヲ揭ゲ第一項ノ標識ニ代フルコトヲ得
已ムコトヲ得ザル場合赤同ジ

第百十六條　入換機關車ノ標識ハ左ノ方式ニ依ル
晝間・標識ヲ揭ゲズ
夜間　前部緩衝梁ノ右側及後部緩衝梁ノ左側ニ赤色燈各一箇

第百十七條　轉轍器定位ニ在ルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ白色線一條ヲ橫ニ劃シタル群青色圓板
夜間　前方及後方ヘ紫色燈

轉轍器反位ニ在ルトキ
晝間　前方及後方ヘ中央ニ黑色線一條ヲ左斜ニ劃シタル橙黃色矢羽形板
夜間　前方及後方ヘ橙黃色燈

第百十八條　脫線轉轍器ノ標識ハ左ノ方式ニ依ル
晝間　片腕ヲ高ク四形ニ動カス
夜間　綠色燈ヲ高ク四形ニ動カス
一箇
脫線セシムベキ位置ニ在ルトキ
晝間　綠色燈

第一節　總則

第三十八條　信號ハ煙霧風雪等ニ因リ相當ノ距離ヨリ其ノ現示ヲ識別シ難キトキハ夜間ノ法式ニ依ルヘシ隧道内ニ於テ列車ニ向ヒ信號ヲ現示スルトキ亦同シ

第三十九條　信號ヲ現示スヘキ場所ニ所定ノ法式ニ依ル信號ノ現示ナキトキハ危害信號ト看做スヘシ

第四十條　信號ハ二箇以上ノ線路又ハ二種以上ノ目的ニ之ヲ兼用スルコトヲ得ス

第二節　信號機

第一款　常置信號機

第四十一條　常置信號機ノ主要ナル種類左ノ如シ

一　場内信號機　停車場又ハ信號所ニ進入セムトスル列車ニ對スル信號機ニシテ列車カ其ノ防護區域内ニ進入スル可否ヲ表示ス

二　遠方信號機　列車カ該信號機ト場内信號機ノ防護區域トノ間ニ於テ停止シ得ヘキ速度ヲ以テ徐行スヘキカ又ハ相當速度ヲ以テ進行スヘキカヲ表示ス

三　出發信號機　停車場又ハ信號所ヲ出發又ハ通過セムトスル列車ニ對スル信號機ニシテ其ノ進行ノ可否ヲ表示ス

前項以外ノ常置信號機ヲ設ケムトスルトキハ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第四十二條　同一柱ニ同種類ノ信號二箇以上ヲ現示スル裝置ヲ設ケムトスルトキハ最上位ニ在ルモノハ最左側ノ線路ニ屬シ以下順次右方ノ線路ニ屬ス

第四十三條　常置信號機ハ危害信號又ハ注意信號ヲ現示スルヲ以テ定位トシ必要ノ場合ニ於テ無難信號ヲ現示ス

第四十四條　常置信號機ハ向テ之ヲ視ルトキ左腕ノ位置又ハ燈色ヲ以テ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

第五十五條　閉塞區間ノ終點ニハ始點ニ於ケル閉塞信號機ノ信號現示ヲ複示スル裝置ヲ備フヘシ但シ自動閉塞信號機ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第五十六條　列車カ自動閉塞信號機ノ危害信號ノ現示ニ依リ停止スル場合ニ於テ三分時ヲ經過スルモ無難信號又ハ注意信號ヲ現示

無難信號（列車通行スルコトヲ得）

晝間　腕ノ位置下向四十五度又ハ上位及下位ノ腕ノ位置下向四十五度又ハ上位及下位緑色燈又ハ緑色燈

夜間　緑色燈

注意信號（列車徐行スヘシ）

晝間　腕ノ位置水平又ハ橙黄色燈

夜間　橙黄色燈

無難信號（列車通行スルコトヲ得）

晝間　腕ノ位置下向四十五度又ハ緑色燈

夜間　緑色燈

二　注意信號（危害信號（列車停止スヘシ）ノ如シ

晝間　腕ノ位置水平又ハ赤色燈

夜間　赤色燈

無難信號（列車通行スルコトヲ得）

晝間　腕ノ位置下向四十五度又ハ緑色燈

夜間　緑色燈

第五十一條　閉塞信號機ノ腕端ハ注意信號ヲ現示スル裝置アルモノニ在リテハ上位ヲ尖形下位ヲ矢筈形トシ其ノ裝置ナキモノニ在リテハ之ヲ尖形トス

第五十二條　閉塞信號機ノ腕ハ表面ヲ赤色トシ腕端ニ近ク之ト並行シテ白色線ヲ畫シ背面ヲ白色トシ腕端ニ近ク之ト並行シテ黒色線ヲ畫ス

第五十三條　閉塞信號機ハ無難信號ヲ現示スルヲ定位トシ列車カ閉塞區間ニ在ル間ハ危害信號ヲ現示ス

第五十四條　閉塞信號機ハ列車カ閉塞區間ニ進入シタルトキ自働作用ニ依リ危害信號ヲ現示シ列車カ閉塞區間ヲ通過シタルトキ閉塞區間ノ終點トノ聯動作ニ依リ無難信號又ハ注意信號ヲ現示ス裝置アルヘシ

第五十五條　閉塞區間ノ終點ニハ始點ニ於ケル閉塞信號機ノ信號現示ヲ複示スル裝置ヲ備フヘシ但シ自動閉塞信號機ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

セサルトキハ一時間六哩ヲ超エサル速度ヲ以テ前方支障ナキ箇所迄徐行スルコトヲ得

第五十七條　閉塞信號機不良ノ場合ニ於テ列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ電氣通信ニ依リ前方ノ停車場、停留場又ハ信號所ノ承認ヲ受クヘシ

電氣通信ニ依ルコトヲ得サル場合ニ於テハ列車ノ乘務員ニ其ノ旨ヲ通告シ且先發列車カ前方ノ停車場、停留場又ハ信號所ニ到着スヘキ時刻ヲ經過シタル後ニ非サレハ列車ヲ出發セシムルコトヲ得ス

第三款　臨時信號機

第五十八條　臨時信號機ハ列車ノ停止又ハ徐行スヘキ區域ノ兩端ニ於テ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

一　危害信號（列車停止スヘシ）

晝間　赤色圓板

夜間　赤色燈

二　注意信號（列車徐行スヘシ）

晝間　橙黄色圓板

夜間　橙黄色燈

三　無難信號（徐行區域終了）

晝間　緑色圓板

夜間　緑色燈

臨時信號機ノ圓板ノ背面ハ白色トス

第五十九條　單線ニ於テ注意信號ヲ現示スル臨時信號機ハ其ノ背面ヲ緑色トシ反對方向ニ無難信號ヲ現示スルコトヲ得

第三節　手信號

第六十條　手信號ハ信號機ノ設ケナキトキ又ハ之ヲ使用スルコト能ハサルトキ左ノ法式ニ依リ信號ヲ現示ス

一　危害信號（列車停止ス（ヘシ）

晝間　赤色旗ヲ提示ス但シ巳ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ高ク舉ケ又ハ物體ヲ急激ニ振リ廻シ之ニ代フルコトヲ得

夜間　赤色燈ヲ提示ス但シ巳ムコトヲ得サル場合ニハ何色ノ燈ニテモ急激ニ振リ廻シ之ニ代フルコトヲ得

二　注意信號（列車徐行ス（ヘシ）

晝間　橙黄色旗ヲ提示ス但シ巳ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ上下ニ動カシ之ニ代フルコトヲ得

夜間　橙黄色燈ヲ提示ス

三　無難信號（列車通行スルコトヲ得）

晝間　緑色旗ヲ提示ス但シ巳ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ高ク舉ケ之ニ代フルコトヲ得

夜間　緑色燈ヲ提示ス

第六十一條　一人ニテ同時ニ二箇以上ノ手信號ヲ現示スルコトヲ得ス

第四節　發信信號機

第六十二條　發信信號ハ警笛ノ爆音ニ依リ信號ヲ現示ス

列車ハ發信信號ノ現示アリタルトキハ停止スヘシ

第六十三條　發信信號ハ左ノ場合ニ之ヲ使用スヘシ

一　煙霧風雪等ニ因リ相當距離ヨリ夜間ノ法式ニ依ル危害信號ノ現示ヲ確認シ難キトキ

二　事故其ノ他ノ事由ニ因リ列車途中ニ停止シ又ハ線路ヲ一時閉鎖シタルトキ

前項第一號ノ場合ニ於テハ危害信號ノ現示アル場所ノ前方二十鎖以上ニ於テ警笛ヲ裝置スヘシ

第一項第二號ノ場合ニ於テハ停止列車又ハ閉塞線路ノ兩端ヨリ單線ニ在リテハ前後各二十鎖以上複線ニ在リテハ後方同距離以上ニ於テ警笛ヲ裝置スヘシ但シ最近ノ停車場、停留場又ハ信號所ニ其ノ旨ヲ通知シタルトキハ該方面ニ對シ警笛ノ裝置ヲ要セス

警笛ハ相當距離ヲ隔テ二箇以上ヲ軌條ニ裝置スヘシ

第五節　合圖

第六十四條　車輛ノ入換合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　前進スヘシ

晝間　緑色旗ヲ上下ニ振ル但シ巳ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ上下ニ動カシ之ニ代フルコト

晝間　旗ヲ振ル

夜間　緑色燈ヲ上下ニ振ル

二　推進スヘシ

晝間　緑色旗ヲ左右ニ振ル但シ巳ムコトヲ得サル場合ニハ片腕ヲ左右ニ動カシ之ニ代フルコトヲ得

夜間　緑色燈ヲ左右ニ振ル

三　停止スヘシ

晝間　赤色旗ヲ提示ス但シ巳ムコトヲ得サル場合ニハ兩腕ヲ高ク舉ケ之ニ代フルコトヲ得

夜間　赤色燈ヲ提示ス

第六十五條　列車出發ノ際車掌ヨリ機關手又ハ運轉手ニ對シテ爲ス合圖ハ左ノ法式ニ依ル

晝間　片腕ヲ水平ニ伸ヘ手笛ヲ長聲ニ吹ク

夜間　緑色燈ヲ高ク圓形ニ動カシ手笛ヲ長聲ニ吹ク

第六十六條　保線係員、踏切番人等ニ向ヒ直ニ線路ヲ檢査スヘキ旨ヲ通告スル必要アル場合ニ於テ列車乘務員ノ爲ス合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

晝間　帽又ハ他ノ物體ヲ緩ニ振ル

夜間　白色燈ヲ緩ニ振ル

第六十七條　汽笛合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　列車カ運轉ヲ始メムトスルトキ其ノ他注意ヲ促ストキ　適度ノ汽笛一聲

二　列車ノ近ケルヲ停車場、停留場、信號所又ハ往來頻繁ナル踏切道ニ知ラシムルトキ　長緩汽笛一聲

三　制動機ノ緊締ヲ促ストキ　短急汽笛三聲

四　制動機ノ緩解ヲ促ストキ　適度ノ汽笛二聲

五　非常ノ事故ヲ警告シ又ハ保線係員ヲ招集スルトキ　短急汽笛數聲

第六節　標識

第六十八條　轉轍器標識ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　轉轍器

定位ニ在ルトキ

晝間　前方及後方ヘ中央ニ白色線一條ヲ横ニ畫シタル紫色圓板

夜間　前方及後方ヘ紫色燈

定位ニ在ラサルトキ

晝間　前方及後方ヘ中央ニ黒色線一條ヲ横ニ畫シタル白色圓板

夜間　前方及後方ヘ緑色燈

第六十九條　夜間單止ノ位置ヲ示ス必要アルトキハ車止ニ白色燈ヲ揭クヘシ

第四章　列車保安

第一節　總則

第七十條　列車保安ハ左ノ法式ニ依ルヘシ但シ閉塞信號機ヲ設置スル區間及全線ヲ通シ二箇以上ノ列車ヲ運轉スルコトナキ鐵道ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

一　複線ノ場合

閉塞器式

二　單線ノ場合

電氣通票器式、通票式又ハ票券式

第七十一條　列車保安ハ左ノ場合ニ限リ指導法ニ依ルコトヲ得

一　事故其ノ他ノ事由ニ因リ一時線路ヲ中斷シ又ハ複線ニ於テ一線又ハ一時閉塞シタルトキ

二　電氣通票器ノ破損又ハ喪失シタルトキ

三　電氣通票器ノ不良ナルトキ

四　通票ノ破損又ハ喪失シタルトキ

第七十二條　私設鐵道業者ハ列車保安ノ法式ヲ定メ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第七十三條　閉塞器及電氣通票器ニ添裝スル電鈴及電話機ハ列車運轉ノ用ニ供スルノ外他ノ目的ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第二節　閉塞式

第一款　閉塞器式

第七十四條　閉塞器式ヲ施行スル閉塞區間ノ兩端ニハ閉塞器ヲ備フヘシ

第七十五條　閉塞器ハ閉塞區間ニ列車ノ有無ヲ表示スル腕又ハ燈ヲ備ヘ電鈴及電話機ヲ添裝スヘシ

第七十六條　閉塞器ノ表示ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　腕ノ位置ニ依ル場合

列車前方ニ進行ス

向テ左腕ノ位置水平

列車前方ヨリ進行シ來ル

向テ右腕ノ位置水平

閉塞區間ニ列車ナシ

腕ノ位置下向四十五度

二　燈ノ色ニ依ル場合

列車前方ニ進行ス

赤色燈

向テ左方

列車前方ヨリ進行シ來ル

赤色燈

向テ右方

閉塞區間ニ列車ナシ

白色燈

第七十七條　閉塞器ノ表示ハ對手ノ停車場又ハ信號所ノ閉塞器ノ表示ト聯動シ且列車前方ニ進行スヘシ表示ハ前方ノ停車場又ハ信號所ヨリ操縦スルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得サル裝置タルヘシ

第七十八條　閉塞器ノ電鈴合圖ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

一　列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキ又ハ承認ヲ與ヘムトスルトキ　二打

二　列車到著シタルトキ又ハ之カ應答　四打

三　通信ヲ爲サムトスルトキ又ハ之カ應答　三打

第七十九條　列車ヲ閉塞區間ニ進入セシメムトスルトキハ閉塞器ニ依リ前方ノ停車場又ハ信號所ニ其ノ合圖ヲ爲シ之カ承認ヲ受ク

第八十條　前條ノ承認ハ左ノ條件ヲ具備スルニ非サレハ之ヲ與フルコトヲ得ス

一　閉塞區間ニ列車ナキコト

二　承認ヲ與ヘムトスル列車ノ到著線路ニ支障ナキコト

第八十一條　閉塞器式ヲ施行スル閉塞區間ノ列車ノ入換ヲ爲ストキ及到著セムトスル列車カ汽動車又ハ電車ナルトキハ線路其ノ他ノ狀況ニ依リ前項第二號ノ條件ヲ具備セサルモ承認ヲ與フルコトヲ得

第八十二條　閉塞器式及電氣通票式ヲ施行スル區間ニハ通票及通券ヲ備フヘシ

第三節　票券式

第八十三條　票券式ヲ施行スル區間ニハ通票及通券ヲ備フヘシ

通票ハ一個ノ保安區間ニ一個トス

通券ハ各保安區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニ之ヲ備フヘシ

第八十四條　通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記入スヘシ

第八十五條　通券ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記入スヘシ

第八十六條　票券式ヲ施行スル區間ニハ通票及通券ヲ備フヘシ

通票ハ一個ノ保安區間ニ一個トス

通券ハ各保安區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニ之ヲ備フヘシ

第八十七條　通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記入スヘシ

第八十八條　通票ニハ當該閉塞區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記入スヘシ

第八十九條　第八十三條及第八十四條ノ規定ハ通票式ニ之ヲ準用ス

第三款　通票式

第九十條　通票式ヲ施行スル區間ニハ通票及通券ヲ備フヘシ

通票ハ一個ノ保安區間ニ一個トス

通券ハ各保安區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニ之ヲ備フヘシ

第九十一條　通票ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記入スヘシ

第九十二條　通券ニハ當該保安區間ノ兩端ノ停車場名又ハ信號所名ヲ記入スヘシ

第九十三條　通券ハ當該保安區間ノ通票ヲ以テスルニ非サレハ開クコトヲ得サル通券函ニ之ヲ保管スヘシ

通券ハ列車ニ授與スルトキニ非サレハ通券函ヨリ之ヲ取出スコトヲ得ス

第九十四條　列車ハ當該保安區間ノ通票又ハ通券ヲ携帶スルニ非サレハ其ノ區間ヲ運轉スルコトヲ得ス

第九十五條　通券ハ同一方向ニ運轉スル場合ニ於テ先發列車ニ限リ之ヲ使用スヘシ

第九十六條　通券ハ發行ノ日、當該列車番號及通票ヲ携帶スヘキ列車番號ヲ記載シ之ヲ發行スヘシ

第九十七條　通券ヲ携帶スル列車ハ退行スルコトヲ得ス

第九十八條　通券ヲ列車ノ乘務員ニ交付スルトキハ當該保安區間ノ通票ヲ呈示スヘシ

列車ノ乘務員ハ當該保安區間ノ通票ヲ受領スルコトヲ得ス

第九十九條　指導法ヲ施行スル場合ニ於テハ一區間一人ノ指導者ヲ定メ赤色ノ腕章ヲ附セシムヘシ

第百條　指導者ノ氏名及擔當區間ハ指導者ノ乘込前之ヲ關係係員ニ告知スヘシ

第百一條　指導者ハ指導券ヲ發行スルコトヲ得但シ通票式ヲ施行スル區間ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第百二條　閉塞器式及電氣通票式ヲ施行スル區間竝閉塞信號機ヲ設置スル區間ニ於テハ電氣通信ヲ以テ前方ノ停車場又ハ信號所ノ承認ヲ受クルニ非サレハ指導者ハ列車ニ乘込ミ又ハ指導券ヲ發行スルコトヲ得サル場合ニハ第五十七條ノ規定ヲ準用ス

第二款　電氣通票式

第百三條　電氣通票器式ヲ施行スル閉塞區間ノ兩端ノ停車場又ハ信號所ニハ電氣通票器ヲ備フヘシ

電氣通票器ハ通票ヲ收容シ閉塞區間ニ列車ノ有無及方向ヲ表示スル標識ヲ備ヘ電鈴及電話機ヲ添裝シ左ノ條件ヲ具備スル裝置タルヘシ

一　通票ハ對手ノ停車場又ハ信號所ト協同スルニ非サレハ之ヲ取出スコトヲ得サルコト

二　閉塞區間ノ兩端ニ於ケル電氣通票器ニ收容セラレタル通票ハ一箇ニ限リ取出スコトヲ得他ノ通票ハ取出サレタル通票ヲ電氣通票器ニ納入スルニ非サレハ之ヲ取出スコトヲ得サルコト

三　電氣通票器ニハ隣接閉塞區間ニ使用スル通票ヲ納入シ得サルコト

第百四條　列車ノ乘務員ハ指導者ヨリ直接指導券ノ交付ヲ受クルニ非サレハ之ヲ受領スルコトヲ得ス

第百五條　指導法ヲ廢止セムトスル場合ニ於テハ指導法ニ依リ最終ニ運轉スル列車ニハ指導者ヲ乘込マシメ且廢止後ニ施行スル保安法式ヲ併用スヘシ

前項ノ場合ヲ除クノ外指導法ト他ノ保安法式トヲ併用スルコトヲ得ス

第百六條　第九十二條、第九十五條乃至第九十七條ノ規定ハ指導券ニ之ヲ準用ス

附則

本令ハ大正九年制令第九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受クヘキ事項ニシテ舊令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタル事項ハ本令ニ依リ許可又ハ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

舊令ニ依リテ爲シタル處分、手續其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

●朝鮮鐵道運輸規程

明治四十五年六月
總令第百十八號
改正　大正九年一二第二九九號、一一年三第三三號、一一年一一第四六號、一二年九第五七號、一二年一二第九二號、昭和五年二第一四號、七年第三一號、一二年四第五五號

朝鮮鐵道運輸規程左ノ通定ム

朝鮮鐵道運輸規程

第一章　總則

第一條　鐵道運送ハ本令ノ定ムル所ニ依ル但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ私設鐵道ハ鐵道局長ノ許可ヲ受ケ本令ニ依ラサルコトヲ得

鐵道局長ハ私設鐵道ノ狀況ニ依リ本令ニ依ラサル特別ノ運送ヲ命スルコトヲ得

第二條　鐵道係員ハ運輸上ノ安全便益ヲ旨トシ旅客及公衆ニ對シ懇切ニ其ノ職務ヲ行フヘシ

第三條　旅客及公衆ハ鐵道係員ノ職務上ノ指圖ニ從フヘシ

第四條　主要ナル停車場ニハ申告簿ヲ備フヘシ

旅客、貨物ノ取扱ニ關シ鐵道ノ處置ニ不當ノ廉アリト認ムル者ハ前項ノ申告簿ニ記載シ抗告ヲ爲スコトヲ得

前項ノ抗告ヲ爲ス者ハ事實ヲ詳記シ其ノ住所ヲ記シ署名スルコトヲ要ス

鐵道ハ氏名住所ヲ明示シタル抗告ニ付テハ遲滯ナク辯明ヲ與フヘシ

第五條　停車場ニハ見易キ場所ニ其ノ名稱ヲ明示シ其ノ他旅客及貨物取扱ニ必要ナル標示ヲ爲スヘシ

第六條　削除

第七條　停車場ニハ旅客及貨物ノ運賃表、列車時刻表其ノ他運輸上必要ナル諸表及運轉ニ關スル規則等ヲ備置キ公衆ノ閱覽ニ供スヘシ

停車場ニハ旅客及貨物ノ運送ニ必要ナル事項及鐵道ノ取締ニ關スル法令其ノ他ノ條項ヲ摘要シテ之ヲ掲示スヘシ

數用ヲ失ヒタル諸掲示類ハ即時ニ之ヲ撤去スヘシ

第七條ノ二　停車場ニハ時計ヲ備付ケ正確ニ時刻ヲ齊正スヘシ

第七條ノ三　鐵道ハ乘車貨、手荷物運賃及旅客附隨小荷物運賃ノ正算支拂ヲ請求スルコトヲ得

第七條ノ四　本令ノ旅客列車ニハ混合列車ヲ合ム

第二章　旅客運送

第八條　削除

第九條　旅客ノ同伴スル六年未滿ノ小兒ハ旅客一人ニ付少クトモ一人ハ無賃ヲ以テ運送スヘシ

割引乘車券ヲ以テ乘車スル旅客又ハ特ニ乘車位置ノ指定ヲ爲ス列車若ハ客車ニ乘車シ小兒ノ爲其ノ指定ヲ請求スル旅客ニ付テハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

第十條　乘車券ニハ通用區間、通用期間、客車ノ等級、運賃額竝發行ノ日附ヲ記載スヘシ

特種及臨時發行ノ乘車券ニハ前項ノ記載事項ヲ省略スルコトヲ得

第十一條　停車場ニ於テハ少クトモ列車ノ出發時刻十五分前ニ乘車券ノ賣出ヲ開始スヘシ

時間前ニ之ヲ開始スヘシ

出札ハ列車出發時刻五分前迄ハ之ヲ停止スルコトヲ得ス

改札口ハ同一分前迄ニ之ヲ閉鎖スルコトヲ得ス

第十二條　旅客ハ乘車前乘車券ノ改鋏ヲ受クルコトヲ要ス但シ改札口ノ設備ナキ停車場ニ於テハ乘車後改鋏ヲ受クヘシ

第十三條　旅客ハ列車出發ノ合圖アリタル後乘車スルコトヲ得ス

乘後レノ爲發行當日限通用乘車券ノ救用ヲ失ヒタルトキ又ハ乘車券ヲ紛失シタル旅客ハ其ノ乘車券ヲ鐵道係員ニ提出シ有效ノ證明ヲ受クルトキハ其ノ翌日ヨリ該乘車券ヲ以テ目的地ニ向ヒ發スル列車ニ乘車スルコトヲ得特ニ列車ヲ

前條第一項但書ノ場合ニ於テハ旅客ハ乘車前ニ限リ前項ノ請求ヲ爲スコトヲ得

乘車券相當ノ座席ナキ場合ニ於テ鐵道係員カ優等車ニ一時便乘ノ取扱ヲ爲ササルトキハ旅客ハ選擇ニ依リ旅行ヲ止メ又ハ劣等車ニ移乘シテ運賃ノ全額又ハ差額ノ拂戻ヲ請求スルコトヲ得但シ此場合ニ於テハ直ニ鐵道係員ニ申告スルコトヲ要ス

前三項ノ場合ノ外旅客ハ乘車券ヲ返還シ運賃ノ拂戻ヲ受ケ又ハ劣等車ニ乘換ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第十四條　旅客ハ乘車券ノ通用期間内ニ於テ任意ノ停車場ニ途中下車ヲ爲シ當該停車場又ハ其ノ前途ノ停車場ヨリ他ノ列車ニ乘繼クコトヲ得但シ別段ノ定アル特種乘車券ニ依リ乘車ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十五條　旅客カ途中下車ヲ爲シタルトキハ乘車券ニ係員ノ證明ヲ受ケ乘繼ノ際ハ之カ檢查ヲ受クヘシ

前項ノ規定ハ途中下車ニ付別段ノ定アル特種乘車券ニ對シ適用セス

第十六條　乘車券ハ其ノ通用區間中何レノ部分ニ付テモ之ヲ使用スルノ外通用期間ノ範圍内ニ於テ何回ニテモ之ヲ使用スルコトヲ得但シ特別ノ定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

乘車券ハ其ノ通用期間ヲ經過シタル後ト雖モ左ノ場合ニ限リ之ヲ使用スルコトヲ得

一　通用期間ノ最後ノ日ニ到達スル列車ニ乘車スルコトヲ得サリシトキ

二　通用期間ノ最後ノ日ニ到達スル列車ニ乘車スルコトヲ得サリシ旨ノ證明ヲ受ケタルトキ

第十七條　乘車券ハ譲渡スルコトヲ得ス

第十八條　列車延着ノ爲相當ノ時間中ニ接續スル列車ニ乘車スルコトヲ得サルトキハ連絡乘車券ヲ有スル旅客ニ限リ其ノ請求ニ因リ無賃ニテ出發停車場（途中下車セルトキハ其ノ最近下車停車場）ニ送還シ出發停車場又ハ最近下車停車場ヨリノ運賃（途中下車セルトキハ其ノ最近下車停車場ト出發停車場トノ間ニ相當スル運賃ヲ控除シタル殘額）ヲ拂戻スヘシ但シ旅客カ次回ノ返り列車ヲ以テ中斷ナク復歸スルトキニ限リ該列車ニ乘車スルコトヲ得

第十九條　前條ノ場合ニ於テハ旅客ハ乘車券ヲ提出シテ其ノ旨ヲ證明ヲ受ケ且其ノ證明ヲ受ケタル年月日ヲ記入シタル書面ヲ提出スヘシ

第二十條　旅客ハ乘車券ノ通用期間滿了ノ際其ノ旨ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ其ノ延期ヲ請求スルコトヲ得

第二十一條　旅客ハ乘車券ヲ鐵道係員ニ交付スヘシ

乘車券ニ左ノ事項ヲ爲シタル者ニ對シテハ其ノ乘車區間ニ相當スル旅客運賃及之ト同額以內ノ割增金ヲ請求スルコトヲ得

一　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券ヲ以テ乘車スルコト

二　乘車券（定期乘車券ヲ除ク）ニ改鋏ヲ受ケシテ乘車スルコト

三　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券面記載ノ區間外ヲ乘車スルコト

四　係員ノ承諾ヲ得ス乘車券面記載ノ等級ヨリ上級ノ車室ニ乘車スルコト

五　大人カ小兒用乘車券ヲ以テ乘車スルコト

六　學生、移民其ノ他ノ特定人ニ對スル割引乘車券ヲ以テ特定人以外ノ者乘車スルコト

七　乘車列車ヲ指定セラレタル乘車券ヲ以テ指定以外ノ列車ニ乘車スルコト

八　通用期間滿了、券面記載文字ノ改竄其ノ他ノ事由ニ因ル無效ノ乘車券ヲ以テ乘車スルコト

九　乘車券檢查ノ際其ノ呈示ヲ拒ミ又ハ其ノ車掌ノ際之ヲ渡ササルコト

前項第五號及第六號ノ場合ニ於テハ旅客所持ノ乘車券ヲ回收シ既收ノ旅客運賃ハ之カ拂戻ヲ爲ササルコトヲ得

第二十二條　鐵道係員ハ旅客ノ請求アルトキハ必要ナル認ムルトキハ座席ノ指定ヲ爲スヘシ

旅客乘車中座席ヲ離レ特ニ之ヲ占領カサルトキハ他人ノ之ヲ占取スルモ異議ヲ述フルコトヲ得ス

第二十三條　旅客ハ列車出發ノ合圖アリタル後乘車スルコトヲ得ス

乘後レノ爲發行當日限通用乘車券ノ救用ヲ失ヒタルトキ又ハ乘車券ヲ紛失シタル旅客ハ其ノ乘車券ヲ鐵道係員ニ提出シ有效ノ證明ヲ受クルトキハ其ノ翌日ヨリ該乘車券ヲ以テ目的地ニ向ヒ發スル列車ニ乘車スルコトヲ得特ニ列車ヲ

乾電池ヲ使用シ電流ヲ通ズルモノニシテ電鈴ト稱スルモノ是ナリ

第二十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲サントスル者ハ逓信大臣ノ許可ヲ受クヘシ

逓信大臣ハ前項ノ許可ヲ爲ス場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ施設ニ關シ條件ヲ附スルコトヲ得

第二十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ遅滯ナク其ノ施設ニ關スル事項ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第二十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ逓信大臣ノ定ムル所ニ依リ定期又ハ臨時ニ檢査ヲ受クヘシ

第二十五條　逓信大臣ハ無線電信又ハ無線電話ノ施設ニシテ其ノ位置又ハ構造ノ變更ニ因リ他ノ施設ニ障害ヲ與フルニ至リタルトキハ其ノ變更ヲ爲シタル者ニ對シ其ノ施設ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第二十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第二十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第二十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第二十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第三十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第四十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第五十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第六十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第七十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第八十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第九十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百三十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百四十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百五十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百六十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百七十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十六條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十七條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十八條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百八十九條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百九十條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百九十一條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百九十二條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百九十三條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百九十四條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ其ノ施設ヲ廢止シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第百九十五條　無線電信又ハ無線電話ノ施設ヲ爲シタル者ハ

内ニ在ラサルトキハ此ノ限ニ在ラス

火藥類ヲ取扱フ者ハ鐵釘等ヲ附シタル靴類ヲ穿ツコトヲ得ス

第八十四條　火藥類ハ銃砲火藥類取締令施行規則第四十二條第一項各號ノ規定ニ該當スルモノヲ除クノ外日出前及日沒後ニ於テ授受、積卸、荷造又ハ荷解ヲ爲スコトヲ得ス

第八十五條　火藥類積載貨車ノ前後ニハ見易キ位置ニ白地ニ「火藥」ト朱記シタル標札ヲ附スヘシ

第八十六條　火藥類積載貨車ノ前後ニハ各一輛以上ノ空車ヲ聯結スヘシ但シ不燃質物ヲ積載シタル無蓋貨車又ハ發火ノ虞ナク且燃燒シ易カラサル貨物ヲ積載シタル有蓋貨車ヲ以テ空車ニ代フルコトヲ得

第八十七條　火藥類積載ノ貨車ハ四輛以下ニ限リ他貨物積載ノ貨車ト同一列車ニ之ヲ聯結スルコトヲ得

火藥類積載ノ貨車ハ旅客列車ニ聯結スルコトヲ得ス但シ其ノ火藥類ノ輸送上特別ノ準由アル場合ニ在リテハ火藥類積載ノ貨車一輛ニ限リ之ヲ混合列車ニ聯結スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ該貨車ハ旅客ヲ搭載スル車輛ト三輛以上隔離スルコトヲ要ス

第八十八條　火藥類積載ノ貨車ハ手用制動機ヲ使用スルコトヲ得ス但シ停車中ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第八十八條ノ二　鐵道ノ自用ニ供スル信號用雷管並第八十條但書ニ規定スル火藥類ノ積載貨車及之ト他ノ貨物トヲ混載シタル貨車ニ付テハ前三條ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第八十九條　火藥類ハ成ヘク到達停車場迄直通スル列車ヲ以テ運送スヘシ

且已ムコトヲ得サル場合ヲ除クノ外運送中之ヲ他ノ貨車ニ積替フルコトヲ得ス

第九十條　火藥類ヲ運送スル列車停車スルトキハ特ニ車輛ノ點檢ヲ嚴ニシ危險アリト認ムルトキハ即時ニ該車輛ヲ解放シ危險防止ノ處置ヲ爲スヘシ

列車運轉中車軸發熱ノ徴候ヲ發見シタルトキハ其ノ進行ヲ停メテ之ヲ冷却シ又ハ危險ノ必要アルモノ若ハ火氣ニ感シ易キ物品ハ有蓋貨車ヲ以テ運送スヘシ但シ特約アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百八條　貨車カ到達停車場ニ到達シタルトキハ鐵道ハ遅滯ナク引取時間ヲ定メテ到達ノ通知ヲ發スヘシ但シ配達ヲ爲スヘキ貨物ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

鐵道ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ因リ前項ノ通知ヲ發スルコト能ハサルトキハ當該停車場ノ掲示ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百九條　貨物ノ滅失又ハ毀損アルトキハ運ニ關シ查ヲ遂ケ荷送人及荷受人ニ通知スヘシ

第百十條　削除

第百十一條　運送狀ニ記載シタル運送品ノ價格不相當ナリト認ムルトキハ相當ノ手續ニ依リ之カ訂正ヲ爲サシムルコトヲ得

第百十二條　削除

第百十三條　削除

第百十四條　第百八條ノ引取時間内ニ引渡ニ應セサル貨物ニ付テハ鐵道ハ保管料ヲ請求スルコトヲ得

荷受人カ貨物ノ引渡ヲ受ケタル後其ノ引取ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ貨物留置料ヲ請求スルコトヲ得但シ前項ノ時間内ハ此ノ限ニ在ラス

第百十五條　貨主カ貨物ノ積卸ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ鐵道ハ積卸時間ヲ定メ貨主ニ共ノ通知ヲ發スヘシ

第百八條ノ二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

私設鐵道ニ於テ第一項ノ積卸時間ヲ定メムトスルトキハ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ

貨主カ第一項ノ時間内ニ其ノ積卸ヲ爲ササルトキハ鐵道ハ貨車留置料ヲ請求シ又ハ荷受人ノ發用ヲ以テ荷卸ヲ爲スコトヲ得

第百十五條ノ二　貨車ノ準備ヲ爲シタル後貨物ノ託送ヲ取消シタルトキハ鐵道ハ違約金ヲ請求スルコトヲ得

第百十六條　荷受人カ貨物ノ引取ヲ拒ミ又ハ到達後十五日ヲ過クルモ引取ヲ爲ササルカ若ハ荷受人不明ナルトキハ相當期間ヲ定メ荷送人及荷受人ニ處分ヲ催告スルコトヲ得

前項ノ期間ハ三十日ヲ下ルコトヲ得ス

第一項ノ期間内ニ於テ荷受人又ハ荷送人カ貨物ノ處分ヲ爲ササルトキハ時價ヲ以テ之ヲ賣却シ其ノ代金ヲ以テ債務ノ履行ニ充テ不足アルトキハ之ヲ追徴シ剩餘アルトキハ損敗シ易キ貨物ハ催告ヲ爲サスシテ前項ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第百十七條　鐵道ハ取扱ニ際シ貨物ノ運送若ハ引渡ノ差止、貨物ノ返還又ハ到著驛若ハ荷受人ノ變更ヲ爲スヘシ

前項ノ取扱ヲ爲ストキハ鐵道ノ手數料及費用ヲ請求スルコトヲ得但シ鐵道ノ過失ニ因リ貨主カ前項ノ請求ヲ爲スニ至リタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第百十八條　第十七條ノ規定ハ貨物運送ニ之ヲ準用ス

第九章　鐵道ノ責任

第百十九條　要償額ノ表示ハ運送狀ヲ交付スル場合ニ於テハ運送狀ニ記載シ運送狀ヲ交付セサル場合ニ於テハ鐵道ノ定ムル樣式ニ依ル書面ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ要ス

第九十七條ノ規定ハ前項ノ書面ニ付之ヲ準用ス

第百二十條　要償額ノ表示料ハ左ノ割合ヲ超過部分ニ對スル表示料ニ付テハ之カ拂戻ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

一　託送手荷物、貴重品	表示額百圓迄毎ニ　七錢
二　動物	千圓迄ニ付テハ　三十錢
	同　千圓ヲ超ユル額ニ付テハ　五十錢
三　其ノ他ノ運送品	同　四錢
	前項ノ規定ハ一口ニ付十錢ヲ超エサル範圍内ニ於テ最低料金ヲ設定スルコトヲ妨ケス

前二項ノ規定ニ依ル表示料ハ停車場ニ之ヲ掲示スルコトヲ要ス

鐵道營業法第十一條第二項ノ規定ニ依ル超過部分ニ對スル表示料ニ付テハ之カ拂戻ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第百二十一條　要償額ノ表示ナキ託送手荷物、貴重品若ハ動物ノ滅失又ハ毀損ニ因ル損害ニ付テハ鐵道ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ヲ除クノ外左ノ金額ヲ超エ賠償ノ責ニ任セス

一　託送手荷物	旅客一人ニ付百五十圓
二　貴重品	一口百五十圓　但シ一口百五十圓ヲ最高額トス
三　動物	
牛、馬	一頭ニ付　百二十圓
犢	同　三十圓
豚、緬羊	同　二十圓
其ノ他ノ動物	同　十圓　但シ一口五十圓ヲ最高額トス

第百二十二條　託送手荷物又ハ運送品ニ對スル引渡期間ハ左ノ各號ノ期間ヲ合算シタルモノトス

一　發送期間

二　輸送期間

三　接續期間

四　集配期間

發送期間ハ託送手荷物又ハ小荷物ニ付テハ運送ノ爲受取リタル日ト貨物ニ付テハ其ノ日及翌日トス

輸送期間ハ運賃計算ノ場合ニ於ケル輸送ノ徑路ニ由リ各鐵道毎ニ左ノ各號ノ通トス

一　託送手荷物及小荷物ニ付テハ四百粁迄毎ニ一日

二　貨物ニ付テハ百三十粁迄毎ニ一日

接續期間ハ貨物カ軌間ヲ異ニスル線路ヲ通シテ運送セラルル場合ニ於テ其ノ接續驛毎ニ各一日トス

集配期間ハ停車場外ニ於テ託送手荷物又ハ運送品ノ受取リ又ハ引渡ヲ爲ス場合ニハ其ノ各ニ付一日トス

第百二十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ延著ニ因リ託送手荷物又ハ運送品カ延著シタル場合ニ於テハ其ノ運延日數丈ケ引渡期間ハ延長セラレタルモノト看做ス

第一項ノ引渡期間經過後託送手荷物又ハ運送品ノ引渡アリタル場合ニ於テハ鐵道カ其ノ引渡ノ準備ヲ爲シ且到達ノ通知ヲ發スヘキモノニ付其ノ通知ヲ發シタルトキハ其ノ後ノ期間ニ付テハ鐵道ノ責ニ歸スヘキ事由アル場合ヲ除クノ外引渡期間ハ之ヲ超過セサリシモノト看做ス

第百二十三條　要償額ノ表示アル託送手荷物又ハ運送品ノ延著ニ因ル損害ニ付鐵道カ賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テ支拂フヘキ金額ハ鐵道ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ヲ除クノ外左ノ各號ニ依ル

一　請求者ニ於テ延著ニ因ル損害額ヲ證明シタル場合ニ於テハ表示額ヲ限度トシテ一切ノ損害額

二　前號以外ノ場合ニ於テハ表示額ヲ限度トシテ延著ノ期間一日迄毎ニ運賃額ノ百分ノ十

要償額ノ表示ナキ託送手荷物又ハ運送品ノ延著ニ因ル損害ニ付鐵道カ賠償ノ責ニ任スル場合ニ於テ支拂フヘキ金額ハ鐵道ニ惡意又ハ重大ナル過失アル場合ヲ除クノ外左ノ各號ニ依ル

一　請求者ニ於テ延著ニ因ル損害額ヲ證明シタル場合ニ於テハ運賃額ノ二分ノ一ヲ限度トシテ延著ノ期間一日迄毎ニ運賃額ノ百分ノ五

前二項ノ場合ニ於ケル運賃額ハ當該託送手荷物又ハ運送品ノ運賃額、接續費及其ノ集配ノ爲受クル金額ヲ合算シタル額トス

第百二十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品ノ延著ノ期間ヲ異ニスルトキ鐵道ノ各部分ノ數量ニ付之ヲ計算ス

第百二十四條　鐵道ハ託送手荷物又ハ運送品引渡ノ際滅失、毀損又ハ延著ヲ事由トシテ旅客又ハ貨主ノ請求アルトキハ其ノ引渡ヲ

ナキ程度ニ於テ徐行シ次ノ停車場ニ到リ前項ノ處置ヲ爲スヘシ

第九十一條　火藥類ヲ運送スル列車ニ時間以上停車ヲ要スルトキハ成ヘク離隔シタル線路ニ火藥類ヲ積載シタル貨車ヲ移シ危險防止ノ處置ヲ爲スヘシ

此ノ場合ニ於テハ所轄警察署又ハ警察官吏ニ之ヲ屆出ツヘシ前條ノ規定ニ依リ車輛ヲ解放シタル場合亦同シ

第九十二條　火藥類積載ノ貨車カ到達停車場ニ到達シタルトキハ直ニ之ヲ荷受人ニ通知スヘシ

荷受人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク火藥類ヲ停車場外ニ撤出スヘシ

荷受人カ火藥類積載ノ貨車到著後二時間内ニ其ノ火藥類ヲ停車場外ニ撤出セサルトキハ離隔シタル場所ニ移シ危險防止ノ處置ヲ爲シ且鐵道ハ所轄警察署又ハ警察官吏ニ之ヲ屆出ツヘシ

第九十三條　火藥類ニ非サル他ノ爆發物ノ運送ニ付テハ本章ノ規定ヲ準用ス

第九十四條　鐵道ハ貨車ニ運送ヲ爲スコトヲ得サル場合ニ於テ特約ヲ以テ發送ノ時迄保管ノ爲貨物ノ引渡ヲ受ケタルトキハ運送狀ニ特約ノ條件ヲ附記スヘシ

荷送人ハ鐵道ノ承諾ヲ得テ停車場其ノ他ノ鐵道地内ニ自己ノ責任ヲ以テ發送ノ時迄一時貨物ヲ留置スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ鐵道ハ相當ノ留置料ヲ請求スルコトヲ得

第九十五條　火藥類ヲ託送セムトスル者ハ運送狀ヲ添ヘ取扱時間内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第九十六條　運送狀ニハ左ノ事項ヲ掲ケ荷送人ハ記事ノ正確ナルコトニ付其ノ責ニ任スヘシ

一　運送狀作成ノ地及年月日

二　發送停車場ノ名稱

三　到達停車場及所屬鐵道名

第九十九條　荷送人ノ請求アルトキハ貨物引換證ヲ交付スヘシ但シ鐵道ニ於テハ貨物運送通知書ヲ交付スヘカラス

前項ノ場合ニ於テハ手數料ヲ請求スルコトヲ得

第百條　貨物引換證ニハ左ノ事項ヲ掲クヘシ

一　貨物引換證作成ノ地及年月日

二　第九十六條第二號乃至第八號、第十號及第十一號ニ揭クル事項

三　運送狀ノ受付番號

四　運賃、料金ノ額及其ノ受否

貨物引換證ヲ交付シタル場合ニ於テ該證ノ紛失等ニ依リ之ト引換ニ貨物ノ引渡ヲ請求スルコトヲ得サルトキハ鐵道ハ引渡請求人ニ於テ其ノ權利ヲ證明シ又ハ相當ノ擔保ヲ供シタルトキニ限リ貨物引渡ノ義務アルモノトス

第百一條　荷送人ハ貨物ノ性質ニ依リ運送中ノ減量又ハ毀損ヲ防ク必要アル荷造ヲ爲スヘシ

荷送人ハ荷物ノ各箇ニ品名、箇數、記號、宛名等ヲ明瞭ニ其ノ外面ニ表記スヘシ

第百二條　貨物運賃其ノ他運送ニ關スル料金ハ鐵道ノ認諾アルトキノ外貨物託送ノ際ニ之ヲ支拂フヘシ

運賃及料金ヲ確定スルコトヲ得サルトキハ鐵道ハ概算拂ヲ請求スルコトヲ得

第百三條　削除

第百四條　貨物ノ性質上荷造ヲ爲ササルカ又ハ荷造不完全ニシテ散亂ノ虞アルモノハ一車ヲ使用スルニ非サレハ託送ノ需ニ應セサルコトヲ得

第百五條　一箇ノ重量三百瓩以上若ハ其ノ容積一立方米以上ノ貨物、二車以上ニ跨ル長大ナル貨物及車扱貨物ノ積卸ハ貨主ノ負擔トス

鐵道ハ前項貨物ノ積卸ヲ付作業人ヲ指定スルコトヲ得

第百六條　貨主カ貨物積卸ヲ爲サムトスル場合ニ於テ鐵道ノ器具ヲ使用スルトキハ使用料ヲ請求スルコトヲ得

第百七條　錠鎖保護ヲ要シ又ハ兩送ヲ避クル

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ノ數其、狀態又ハ引渡ノ月日ニ付證明ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十五條　鐵道營業法第十三條第二項ノ規定ニ依リ留保アリタル場合ニ於テ留保者ノ請求アルトキハ鐵道ハ之ガ證明ヲ爲スコトヲ要ス

鐵道營業法第十三條第二項ノ規定ニ依リ留保アリタル託送手荷物又ハ運送品ニ付其ノ到達、毀見等ニ因リ引渡ヲ爲スコトヲ得ルニ至リタルトキハ鐵道ハ賠償ヲ受ケタル者ニ對シ速ニ其ノ旨ヲ通知ヲ爲スコトヲ要ス

第百二十六條　第百二十一條、第五十七條及第百十九條乃至第百二十五條ノ規定ハ鐵道ト通ジ運送ヲ爲ス場合ニ於ケル軌道、自動車又ハ索道ニ依ル運送ニ付之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正九年十二月總令第百九十九號）

本令ハ大正十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十三年九月總令第五十七號）

本令ハ大正十三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和五年二月總令第十四號）

本令ハ昭和五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年三月總令第三十一號）

本令ハ昭和七年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和十二年四月總令第五十五號）

本令ハ昭和十二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮私設鐵道係員職制

大正九年十一月
總令第百七十六號
改正　大正一五年一二月一二總令第九四號

朝鮮私設鐵道係員職制左ノ通定ム

朝鮮私設鐵道係員職制

第一章　總則

第一條　私設鐵道ノ係員ノ職制ハ本令ノ定ムル所ニ依ルヘシ但シ鐵道ノ狀況ニ依リ本令ニ依リ難キ場合ニ於テハ別ニ職制ヲ定メ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第二章　運輸係員

第二條　私設鐵道ニ左ノ運輸係員ヲ置ク

運輸長
驛長
助役
出札掛
改札掛
貨物掛
小荷物掛
操車掛
轉轍手
驛掌
機關車主任
機關助手
檢車手
機關夫

第三條　運輸長ハ運輸ノ狀況ニ依リ二以上ノ係員ノ職務ヲ兼ヌルコトヲ得

第四條　驛長ハ運輸長ノ指揮ヲ承ケ驛務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第五條　助役ハ驛長ヲ補佐シ又ハ之ヲ代理ス

第六條　出札掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ乘車券ノ發賣ニ從事ス

第七條　改札掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ乘車券ノ檢查及取集ニ從事ス

第八條　貨物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ貨物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第九條　小荷物掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ手小荷物ノ受託、保管及引渡ニ從事ス

第十條　操車掛ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ入換及信號機ノ取扱ニ從事ス

第十一條　轉轍手ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ轉轍器ノ取扱ニ從事ス

第十二條　驛夫ハ驛長ノ指揮ヲ承ケ搬除、荷物ノ積卸、運搬等ノ雜務ニ從事ス

第十三條　車掌ハ運轉長ノ指揮ヲ承ケ列車ノ運轉及旅客荷物ノ檢查ニ從事ス但シ列車ガ停車場ニ在ルトキハ驛長ノ指示ヲ承クヘシ

車掌ハ車內ノ秩序ヲ保持シ必要アルトキハ旅客ニ對シ相當ノ指圖及處分ヲ爲スコトヲ得

第十四條　機關庫主任ハ運轉長ノ指揮ヲ承ケ機關庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第十五條　機關手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車ノ運轉ニ從事ス但シ列車運轉中ニ在リテハ車掌、列車カ停車場ニ在ルトキハ驛長ノ指示ヲ承クヘシ

第十六條　機關助手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關手ヲ補助ス但シ機關車乘務中ニ在リテハ機關手ノ指示ヲ承クヘシ

第十七條　檢車手ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ車輛ノ檢查及注油ニ從事ス

第十八條　機關夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車ノ掃除ニ從事ス

第十九條　炭水夫ハ機關庫主任ノ指揮ヲ承ケ機關車用燃料ノ搭載、給水等ノ雜務ニ從事ス

第三章　保線係員

第二十條　私設鐵道ニ左ノ保線係員ヲ置ク

保線長
保線手
線路工夫
踏切番

第二十一條　保線長ハ線路及諸建造物ノ修理及保存ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十二條　保線手ハ保線長ノ指揮ヲ承ケ線路及諸建造物ノ修理及保存ニ從事シ所屬係員ヲ監督ス

第二十三條　線路工夫ハ保線手ノ指揮ヲ承ケ線路及諸建造物ノ看守、修理及保存ニ從事ス

第二十四條　踏切番ハ保線手ノ指揮ヲ承ケ踏切道ノ看守ニ從事ス但シ停車場構內踏切道ノ看守ニ付テハ驛長ノ指示ヲ承クヘシ

第四章　保線係員

第二十五條　電氣ヲ動力トスル私設鐵道ニ左ノ電氣係員ヲ置ク

電氣長
發電所主任
變電所主任
電路主任
電車庫主任
運轉手
電工

第二十六條　電氣長ハ電氣ニ關スル事務ヲ掌理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十七條　發電所主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ發電所ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十八條　變電所主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ變電所ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第二十九條　電路主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ電線路及之ニ附帶スル器機ノ修理及保存ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第三十條　電車庫主任ハ電氣長ノ指揮ヲ承ケ電車庫ニ關スル事務ヲ處理シ所屬係員ヲ監督ス

第三十一條　運轉手ハ電車庫主任ノ指揮ヲ承ケ電氣機關車及電車ノ運轉ニ從事ス

第三十二條　電工ハ發電所主任、變電所主任又ハ電車庫主任ノ指揮ヲ承ケ器機ノ檢查及修理其ノ他ノ雜務ニ從事ス

第三十三條　電氣工夫ハ電路主任ノ指揮ヲ承ケ電線路及之ニ附帶スル器機ノ看守、修理及保存ニ從事ス

附　則

本令ハ大正九年制令第九號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（大正九年十一月十一日ヨリ施行）

本令ニ依リ屆出ヲヘキ事項ニシテ舊令ニ依リ屆出ヲ爲シタルモノハ本令ニ依リ之ヲ爲シタルモノト看做ス

●荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル鐵道運送品等ノ公告ニ關スル件

大正六年九月
總令第六十九號
改正　大正一五年一二月一二總令第九四號

荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル鐵道運送品等ノ公告ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　鐵道營業法第十三條ノ二ノ規定ニ依リ荷受人及荷送人ヲ確知スルコト能ハサル運送品ニ付爲ス公告ハ運送品ノ名稱種類數量號、發送停車場到達停車場保管停車場及託送到達ノ日時等成ルヘク其ノ運送品ヲ知得スル=足ルヘシト思料スル事項並公告後六月內ニ其ノ權利者ノ申出ナキトキハ鐵道ニ於テ其ノ所有權ヲ取得スヘキ旨ヲ記シ三日以上之ヲ朝鮮總督府官報ニ掲載スルモノトス

第二條　鐵道ハ前條ノ公告ヲ爲ス前條ト同一ノ事項ヲ記シ發送停車場、到達停車場及保管停車場ニ少クトモ七日以上之ヲ掲示シ仍必要ト認ムルトキハ發送停車場、到達停車場及保管停車場所在地又ハ其ノ附近ニ於テ發行スル新聞紙ヲ以テ三日以上公告スルコトヲ要ス

第三條　前二條ノ規定ハ鐵道營業法第十三條ノ二ニ規定スル託送手荷物及一時預リ品ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮總督ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ノ業務ノ委託ニ關スル件

昭和八年九月
勅令第二百五十八號

朝鮮總督ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ノ業務ノ委託ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

朝鮮總督ハ其ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ノ建設、改良、保存及運輸竝ニ附帶ノ業務ヲ南滿洲鐵道株式會社ニ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ南滿洲鐵道株式會社ニ對シ委託業務ノ執行ニ關シ必要ナル命令若ハ處分ヲ爲シ又ハ官吏ヲシテ其ノ業務ヲ檢查セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國貨物鐵道運送手續

大正七年八月
總劃第四十二號
改正　大正八年一二月四二號、九年八第三三號、一二年一二第六五號、一三年三第一六號、一二年九第四六號、昭和二年一二第二八號、五年七第三六號、七年四第三五號

外國貨物鐵道運送手續左ノ通改正ス

外國貨物鐵道運送手續

第一章　通則

第一條　朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社、北線若ハ朝鮮京南鐵道株式會社忠南線ニ由リ又ハ朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社成北線、朝鮮京南鐵道株式會社忠南線若ハ船舶連絡シテ發送スル外國貨物ノ運送ハ本手續ニ依リ取扱フヘシ

第二條　鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スヘキ場所ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

前項ノ藏置場ハ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ニ委託スルコトヲ得

外國貨物鐵道運送手續左ノ通改正ス

第一章　通則

第一條　朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社、北線若ハ朝鮮京南鐵道株式會社忠南線ニ由リ又ハ朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社成北線、朝鮮京南鐵道株式會社忠南線若ハ船舶連絡シテ發送スル外國貨物ノ運送ハ本手續ニ依リ取扱フヘシ

第二條　鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スヘキ場所ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

前項ノ藏置場ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

第三條　稅關ハ鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スル爲シタルトキハ稅關ノ承認ヲ受ケシムヘシ

第四條　署驛ニ到達シタル外國貨物ハ日夜ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタルモノヲ除クノ外直ニ之ヲ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入セシムヘシ

第五條　前項ノ貨物ニシテ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シ得ルニ至リタルトキハ直ニ第一項ノ手續ヲ爲サシムヘシ

前三項ノ規定ニ依リ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シタル貨物ハ之ヲ貨主ニ引渡シ若ハ保稅倉庫ニ庫入シ又ハ稅關ニ於テ之ヲ敗容スル迄稅關監視ノ下ニ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社停車場構內ニ於ケル外國貨物ノ積卸又ハ運搬ヲ爲サムトスルトキハ稅關官吏ノ立會ヲ受ケシムヘシ

第五條ノ二　指定ノ陸路ニ由リ釜山ヨリ內地ニ又ハ內地ヨリ釜山ニ發著スル外國貨物ハ本令ノ適用ニ付テハ鐵道連帶運送貨物ト看做シ發驛又ハ著驛ヲ爲スヘキ事項ハ關釜連絡船船長ヲシテ之ヲ爲サシムヘシ

第六條　運送目錄ハ第七條及第十二條ノ場合ヲ除クノ外第一號樣式ニ依リ發驛ニ於テ二通ヲ作リ內一通ハ之ヲ稅關ニ提出セシメ他ノ一通ハ其ノ稅關ノ認印ヲ得テ貨物ト共ニ之ヲ著驛ニ送付セシムヘシ

貨物著驛ニ到達シタルトキニ著驛ヲシテ前項ノ運送目錄ノ稅關ニ提出セシメタルモノニ對照シ其ノ異同ノ有無ヲ調査セシメ異同ナキモノニ付テハ稅關ニ通知セシメ其ノ引渡ヲ爲サムトスルトキハ稅關官吏ノ立會ヲ受ケシムヘシ

第五條ノ二　指定ノ陸路ニ由リ釜山ヨリ內地ニ又ハ內地ヨリ釜山ニ發著スル外國貨物ハ本令ノ適用ニ付テハ鐵道連帶運送貨物ト看做シ發驛又ハ著驛ヲ爲スヘキ事項ハ關釜連絡船船長ヲシテ之ヲ爲サシムヘシ

第五條　鐵道停車場構內ニ於ケル外國貨物ノ積卸又ハ運搬ヲ爲サムトスルトキハ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ニ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ南滿洲鐵道株式會社ニ對シ委託業務ノ執行ニ關シ必要ナル命令若ハ處分ヲ爲シ又ハ官吏ヲシテ其ノ業務ヲ檢查セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國貨物鐵道運送手續

大正七年八月
總劃第四十二號
改正　大正八年一二月四二號、九年八第三三號、一二年一二第六五號、一三年三第一六號、一二年九第四六號、昭和二年一二第二八號、五年七第三六號、七年四第三五號

外國貨物鐵道運送手續左ノ通改正ス

外國貨物鐵道運送手續

第一章　通則

第一條　朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社、北線若ハ朝鮮京南鐵道株式會社忠南線ニ由リ又ハ朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社成北線、朝鮮京南鐵道株式會社忠南線若ハ船舶連絡シテ發送スル外國貨物ノ運送ハ本手續ニ依リ取扱フヘシ

第二條　鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スヘキ場所ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

前項ノ藏置場ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

第三條　稅關ハ鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スル爲シタルトキハ稅關ノ承認ヲ受ケシムヘシ

第四條　署驛ニ到達シタル外國貨物ハ日夜ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタルモノヲ除クノ外直ニ之ヲ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入セシムヘシ

第五條　前項ノ貨物ニシテ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シ得ルニ至リタルトキハ直ニ第一項ノ手續ヲ爲サシムヘシ

前三項ノ規定ニ依リ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シタル貨物ハ之ヲ貨主ニ引渡シ若ハ保稅倉庫ニ庫入シ又ハ稅關ニ於テ之ヲ敗容スル迄稅關監視ノ下ニ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社停車場構內ニ於ケル外國貨物ノ積卸又ハ運搬ヲ爲サムトスルトキハ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ニ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ南滿洲鐵道株式會社ニ對シ委託業務ノ執行ニ關シ必要ナル命令若ハ處分ヲ爲シ又ハ官吏ヲシテ其ノ業務ヲ檢查セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國貨物鐵道運送手續

大正七年八月
總劃第四十二號
改正　大正八年一二月四二號、九年八第三三號、一二年一二第六五號、一三年三第一六號、一二年九第四六號、昭和二年一二第二八號、五年七第三六號、七年四第三五號

外國貨物鐵道運送手續左ノ通改正ス

外國貨物鐵道運送手續

第一章　通則

第一條　朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社、北線若ハ朝鮮京南鐵道株式會社忠南線ニ由リ又ハ朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社成北線、朝鮮京南鐵道株式會社忠南線若ハ船舶連絡シテ發送スル外國貨物ノ運送ハ本手續ニ依リ取扱フヘシ

第二條　鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スヘキ場所ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

前項ノ藏置場ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

第三條　稅關ハ鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スル爲シタルトキハ稅關ノ承認ヲ受ケシムヘシ

第四條　署驛ニ到達シタル外國貨物ハ日夜ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタルモノヲ除クノ外直ニ之ヲ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入セシムヘシ

第五條　前項ノ貨物ニシテ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シ得ルニ至リタルトキハ直ニ第一項ノ手續ヲ爲サシムヘシ

前三項ノ規定ニ依リ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シタル貨物ハ之ヲ貨主ニ引渡シ若ハ保稅倉庫ニ庫入シ又ハ稅關ニ於テ之ヲ敗容スル迄稅關監視ノ下ニ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社停車場構內ニ於ケル外國貨物ノ積卸又ハ運搬ヲ爲サムトスルトキハ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ニ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ南滿洲鐵道株式會社ニ對シ委託業務ノ執行ニ關シ必要ナル命令若ハ處分ヲ爲シ又ハ官吏ヲシテ其ノ業務ヲ檢查セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●外國貨物鐵道運送手續

大正七年八月
總劃第四十二號
改正　大正八年一二月四二號、九年八第三三號、一二年一二第六五號、一三年三第一六號、一二年九第四六號、昭和二年一二第二八號、五年七第三六號、七年四第三五號

外國貨物鐵道運送手續左ノ通改正ス

外國貨物鐵道運送手續

第一章　通則

第一條　朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社、北線若ハ朝鮮京南鐵道株式會社忠南線ニ由リ又ハ朝鮮國有鐵道、朝鮮鐵道株式會社成北線、朝鮮京南鐵道株式會社忠南線若ハ船舶連絡シテ發送スル外國貨物ノ運送ハ本手續ニ依リ取扱フヘシ

第二條　鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スヘキ場所ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

前項ノ藏置場ハ稅關長之ヲ指定スヘシ

第三條　稅關ハ鐵道停車場構內ニ於テ外國貨物ヲ藏置スル爲シタルトキハ稅關ノ承認ヲ受ケシムヘシ

第四條　署驛ニ到達シタル外國貨物ハ日夜ヨリ日出迄ノ間又ハ稅關ノ休日ニ到達シタルモノヲ除クノ外直ニ之ヲ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入セシムヘシ

第五條　前項ノ貨物ニシテ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シ得ルニ至リタルトキハ直ニ第一項ノ手續ヲ爲サシムヘシ

前三項ノ規定ニ依リ稅關構內又ハ第二條ノ藏置場ニ搬入シタル貨物ハ之ヲ貨主ニ引渡シ若ハ保稅倉庫ニ庫入シ又ハ稅關ニ於テ之ヲ敗容スル迄稅關監視ノ下ニ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社停車場構內ニ於ケル外國貨物ノ積卸又ハ運搬ヲ爲サムトスルトキハ朝鮮總督府鐵道局、朝鮮鐵道株式會社又ハ朝鮮京南鐵道株式會社ニ委託スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ朝鮮總督ハ南滿洲鐵道株式會社ニ對シ委託業務ノ執行ニ關シ必要ナル命令若ハ處分ヲ爲シ又ハ官吏ヲシテ其ノ業務ヲ檢查セシムルコトヲ得

附　則

本令ハ昭和八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

稅關ハ前條ノ輸出免狀又ハ積戻免狀ニ國外ニ撒出ノ月日ヲ記入シテ之ヲ署驛ニ還付シ發驛ヲ經テ之ヲ貨主ニ還付セシムヘシ

第十四條ノ二　署驛ニ到達シタル貨物鐵道ト關釜連絡船以外ノ船トノ連帶運送ニ依リ內地ニ向ケ海路運送スルモノナルトキハ前條ニ依リ署驛ヨリ提出スル輸出免狀又ハ積戻免狀ニ船長ヲシテ船名及仕向港ヲ記入シ署名捺印シテ海路運送申告及海路運送目錄ノ提出ニ代ヘシムヘシ

前項ノ海路運送申告ニ對シ免許ヲ爲シタルトキハ稅關ハ輸出免狀又ハ積戻免狀ニ海路運送免許ノ旨ヲ記入シ運送免狀トシテ之ヲ船長ニ交付スヘシ

第三章　補　則

第十四條ノ三　輸出手數濟又ハ積戻手數濟ノ貨物ヲ貨車ニ積載シタル俵包類ヲ通過セシメムトスルトキハ朝鮮ヨリ運送スル貨物ニ在リテハ發驛、內地ヨリ運送スル貨物ニ在リテハ署驛ヲシテ其ノ貨車ニ施封ノ爲稅關ノ必要ト認ムル裝置ヲ爲シ之ニ貨物積込ノ際立會セタル稅關官吏ノ封印ヲ受ケ一貨車毎ニ第三號樣式ノ二ノ施封貨車積貨物目錄二通ヲ作製シ施封官吏ノ認印ヲ得テ一通ハ之ヲ稅關ニ提出シ他ノ一通ハ稅關ノ認印ヲ得テ輸出免狀又ハ積戻免狀ニ添附シ之ヲ署驛ニ送付セシムヘシ

前項ノ貨車署驛ニ到達シタルトキハ署驛ヲシテ前項ニ依リ發驛又ハ釜山驛ヨリ送付シタル施封貨車積貨物目錄ヲ提出セシメ稅關官吏封印及貨車ニ異狀ナキコトヲ認メタルトキハ貨物ノ檢查ヲ省略シテ目錄ニ記載ノ貨車ノ存在ヲ認ムヘシ

第十五條　前各條ノ規定ハ大正十二年制令第六號ニ依リ移入又ハ移出ノ手續ヲ爲スヘキ貨物ニシテ移入手數未濟ノモノ又ハ移出手數濟ノモノニ之ヲ準用ス

第十五條ノ二　內地、臺灣、樺太又ハ南洋群島ニ於テ輸出手續ヲ爲シタル輸出手數濟貨物ニシテ第十五條ノ移入手數未濟貨物ニ該當スルモノノ朝鮮ニ於ケル運送ハ第十二條乃至第十四條ニ依ルノ外仍輸入手數未濟貨物運送ノ例ニ依ラシムヘシ

前項ノ貨物中第十四條ノ三ノ取扱ヲ受ケムトスルモノニ付テハ他ノ貨物ト區別シテ所定ノ運送目錄ヲ作製セシメ其ノ各通ニ施封貨車ノ數、番號及施封方法等ノ記入欄ヲ設ケタル補箋ヲ貼附セシメテ施封官吏之ニ記入ヲ爲シ第十四條ノ三ノ施封貨車積貨物目錄ハ之ヲ省略セシムルコトヲ得

第十六條　關釜連絡船船長ノ作リタル第十五條ノ移入手數未濟貨物及前條ノ貨物ノ運送目錄ハ式ニ依リ裏書ヲ爲シ稅關官吏ノ認印ヲ得テ積荷目錄ノ提出ニ代ヘシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ運送目錄ハ貨物ノ陸揚ヲ爲スト同時ニ之ヲ發驛ニ送付セシメ發驛ヲシテ第八條ニ依リ裏書其ノ他ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第十七條　前條ノ目錄ニ記載ノ貨物中發驛ニ於テ積殘品ヲ生シタルトキハ發驛ヲシテ第四號樣式ノ積殘品目錄二通ヲ作リ一通ハ之ヲ稅關ニ提出セシメ他ノ一通ハ其ノ稅關ノ認印ヲ得テ運送目錄ニ添附シ之ヲ署驛ニ送付セシムヘシ

前項ノ積殘品目錄ハ署驛ヲシテ第九條ニ依リ運送目錄提出ノ際之ヲ添附セシムヘシ

第十八條　前條ノ積殘品ヲ送達スルトキハ發驛ヲシテ第五號樣式ノ送達目錄二通ヲ作リ一通ハ之ヲ稅關ニ提出セシメ他ノ一通ハ其ノ稅關ノ認印ヲ得テ之ヲ署驛ニ送付セシムヘシ

送達貨物署驛ニ到達シタルトキハ署驛ヲシテ前項ニ依リ發驛ヨリ送付シタル送達目錄ト對照シ其ノ照合ヲ認メタル後之ニ貨物到達ノ裏書ヲ爲シ稅關ニ提出セシムヘシ

第十九條　第十六條乃至前條ノ規定ハ朝鮮總督府鐵道局ト船舶業者トノ契約ニ依リ朝鮮國有鐵道ト船舶トノ連帶運送貨物ニ之ヲ準用ス

附　則（大正九年八月總訓第三十三號）

本令ハ大正九年八月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

（大正十二年三月總訓第十六號ハ大正十二年四月一日ヨリ施行）

（大正十二年九月總訓第四十六號ハ大正十二年十月一日ヨリ施行）

附　則（昭和二年十一月總訓第二十八號）

本令ハ昭和二年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

（第一號樣式）

裏面

發送地稅關　受付番號＿＿＿＿　陸路運送目錄　到達地稅關　受付番號＿＿＿＿

發驛＿＿＿＿著驛＿＿＿＿　發車日時＿＿＿＿

列車番號＿＿＿＿

貨車番號	運送通知番號	仕出地	記號番號	包裝種類及個數	品名	數量	荷受人	備考

表記貨物當驛ニ到達セリ仍テ本目錄ヲ提出ス

到達日時＿＿＿＿

目錄提出年月日＿＿＿＿

著驛驛長捺印＿＿＿＿

目錄提出年月日＿＿＿＿　發驛驛長捺印＿＿＿＿

（備考）

一　輪廓及用紙ノ寸法

輪廓ハ縱六寸四分橫九寸三分紙幅ハ縱八寸八分橫一尺一寸トス

二　紙質及用紙製式

紙質ハ八十斤模造紙及薄樣トシ模造紙二葉ノ上ニ薄樣一葉ヲ重ネタル三葉（各葉左端ニ前記ノ寸法ノ外適宜ノ綴代ヲ附シ打拔ヲ施スモノトス）ヲ以テ一組トシ表面樣式ハ各葉ニ、裏面樣式ハ一組毎ニ最下部ノ一葉ニ之ヲ印刷シ百組ヲ一冊ニ綴リ其ノ表紙ニハ二百五十斤模造紙ヲ用ヰ之ニ「陸路運送目錄用紙」ノ文字ヲ印刷スルモノトス

三　目錄ノ作成及取扱方

目錄ノ作成ニハ景慶紙ヲ使用シ其ノ薄樣ノモノハ作成者ノ控用トシ他ハ第六條第一項ノ規定ニ依リ裏書樣式ノ印刷ナキモノヲ稅關ニ提出シ他ノ一葉ヲ署驛ニ送付セシムルモノトス

（第二號樣式）

目錄日　送運物貨送發運連道鐵

積荷目錄提出日月年＿＿＿＿　運送申告日月年＿＿＿＿

發送地稅關　受付番號＿＿＿＿　到達地稅關　受付番號＿＿＿＿

發驛＿＿＿＿的＿＿＿＿　發列車番號＿＿＿＿　著驛＿＿＿＿　時＿＿＿＿

運送ノ日ノ

貨車番號	運送通知番號	仕出地	記號番號	包裝種類及個數	品名	數量	荷受人	備考

（裏面）

表記貨物ノ內＿＿＿＿驛ニ向ケ運送スヘキモノナルコトヲ申告ス　本船積載貨物ハ船名＿＿＿＿入港日時＿＿＿＿船長捺印＿＿＿＿

表記貨物ノ運送ヲ申告ス

運送申告年月日＿＿＿＿

發驛驛長捺印＿＿＿＿

表記貨物當驛ニ到達セリ仍テ本目錄ヲ提出ス

到達日時＿＿＿＿

目錄提出年月日＿＿＿＿

著驛驛長捺印＿＿＿＿

表記ノ貨物當驛ニ到達セリ更ニ＿＿＿＿迄海路運送ヲ申告ス

到達日時＿＿＿＿

著驛驛長捺印＿＿＿＿

船名＿＿＿＿

仕向港＿＿＿＿

船長捺印＿＿＿＿

運送免許年月日＿＿＿＿

發送地稅關捺印＿＿＿＿

表記貨物ノ運送濟ヲ認ム

年月日＿＿＿＿

到達地稅關捺印＿＿＿＿

海路運送免許年月日＿＿＿＿

釜山稅關捺印＿＿＿＿

（備考）

一　輪廓及用紙ノ寸法

第一號樣式ニ同シ

二　紙質及用紙製式

紙質ハ八十斤模造紙及薄樣トシ模造紙各葉ノ上ニ薄樣一葉ツヽヲ重ネタル四葉（各葉左端ニ前記ノ寸法ノ外適宜ノ綴代ヲ附シ打拔ヲ施スモノトス）ヲ以テ一組トシ表面樣式ハ各葉ニ、裏面樣式ハ一組毎ニ最下部ノ一葉ニ之ヲ印刷シ百組ヲ一冊ニ綴リ其ノ表紙ニハ二百五十斤模造紙ヲ用ヰ之ニ「鐵道連帶運送貨物運送目錄用紙」ノ文字ヲ印刷スルモノトス

三　目錄ノ作成及取扱方

目錄ノ作成ニハ景慶紙ヲ使用シ其ノ薄樣ノモノ一葉ハ作成者ノ控用トシ他ハ第八條第一項ノ規定ニ依リ稅關ニ提出セシムルモノトス

第八條、第十條第一項、第十一條ノ二及第十六條第一項ノ規定ニ依ル驛長、船長又ハ關ノ裏書ハ裏面樣式ノ印刷アル日錄ニ之ヲ爲シ藥ノ日錄ハ之ヲ發送地ノ稅關ニ留メ置クヘキモノトス

表面樣式中運送申告年月日ハ發驛驛長ヲシテ記入セシメ積荷目錄提出年月日ハ關釜連絡船船長ヲシテ第十六條第一項ノ規定ニ依リ稅關官吏ノ認印ヲ求メタル年月日ヲ記入セシムルモノトス

（第三號樣式、削除）

（第三號樣式ノ二）

施封貨車積貨物目錄

施封方法	稅關印
施封官吏印	

施封貨車番號……　列車番號……

積込驛名……　發車日時……

運送通知書番號	發驛名	輸出免狀又ハ移出免狀ノ番號	記號番號	包裝種類及箇數	品名	數量	荷受人	備考

日錄提出年月日……　驛長捺印……

備考

一　製式等ハ第一號樣式ニ準ス但シ刷色ハ黑トス

（第四號樣式）

二　施封方法ノ記入ハ施封官吏之ヲ爲スヘキモノトス

發送地稅關受付番號……　鐵道連帶運送貨物積殘品目錄　到達地稅關受付番號……

發驛……著驛……

運送ノ目的……　發送地稅關　運送目錄受付番號……

運送通知書番號	仕出地	記號番號	包裝種類及箇數	品名	數量	荷受人	備考

日錄提出年月日……　發驛驛長捺印……

（備考）

輪廓及用紙ノ寸法ハ第一號樣式ニ同シ

（第五號樣式）

（裏面）

發送地稅關受付番號……　鐵道連帶運送貨物追送目錄　到達地稅關受付番號……

發驛……著驛……　列車番號……

運送ノ目的……　發送地稅關　積殘品目錄受付番號……　發車日時……

運送通知書番號	仕出地	記號番號	包裝種類及箇數	品名	數量	荷受人	備考

日錄提出年月日……　發驛驛長捺印……

表記追送貨物到達セリ仍テ本目錄ヲ提出ス

到達日時……

日錄提出年月日……

著驛驛長捺印……

（備考）

輪廓及用紙ノ寸法ハ第一號樣式ニ同シ

●朝鮮總督府鐵道局ノ業務ニ關シ南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局諸規定準用ノ件

大正十四年四月
總督第六十五號

朝鮮總督府鐵道局業務ニ關シテハ特ニ定ムルモノヲ除クノ外當分ノ內從來南滿洲鐵道株式會社京城鐵道局ニ行ハレシ諸規定ヲ準用ス

●朝鮮國有鐵道線路名稱

大正十四年六月
總督第百五十二號

（就正　大正二年一月第三二六號、二五年一月第三三號、第三四號、昭和二年八月二四號、第二七五號、二年一月第三八五號、二年一二月第四五一號、三年一月第三〇號、三年七月第二七九號、三年八月第二九六號、三年九月第三七號、四年三月第一〇號、四年四月第一一號、四年六月第一二號、四年七月第一三號、四年八月第一四號、四年九月第一五號、四年十月第一六號、四年十一月第一七號、四年十二月第一八號、五年一月第一九號、五年二月第二〇號、五年三月第二一號、五年四月第二二號、五年五月第二三號、五年六月第二四號、五年七月第二五號、五年八月第二六號、五年九月第二七號、五年十月第二八號、五年十一月第二九號、五年十二月第三〇號、六年一月第三一號、六年二月第三二號、六年三月第三三號、六年四月第三四號、六年五月第三五號、六年六月第三六號、六年七月第三七號、六年八月第三八號、六年九月第三九號、六年十月第四〇號、六年十一月第四一號、六年十二月第四二號、七年一月第四三號、七年二月第四四號、七年三月第四五號、七年四月第四六號、七年五月第四七號、七年六月第四八號、七年七月第四九號、七年八月第五〇號、七年九月第五一號、七年十月第五二號、七年十一月第五三號、七年十二月第五四號、八年一月第五五號、八年二月第五六號、八年三月第五七號、八年四月第五八號、八年五月第五九號、八年六月第六〇號、八年七月第六一號、八年八月第六二號、八年九月第六三號、八年十月第六四號、八年十一月第六五號、八年十二月第六六號、九年一月第六七號、九年二月第六八號、九年三月第六九號、九年四月第七〇號、九年五月第七一號、九年六月第七二號、九年七月第七三號、九年八月第七四號、九年九月第七五號、九年十月第七六號、九年十一月第七七號、九年十二月第七八號、十年一月第七九號、十年二月第八〇號、十年三月第八一號、十年四月第八二號、十年五月第八三號、十年六月第八四號、十年七月第八五號、十年八月第八六號、十年九月第八七號、十年十月第八八號、十年十一月第八九號、十年十二月第九〇號、十一年一月第九一號、十一年二月第九二號、十一年三月第九三號、十一年四月第九四號、十一年五月第九五號、十一年六月第九六號、十一年七月第九七號、十一年八月第九八號、十一年九月第九九號、十一年十月第一〇〇號、十一年十一月第一〇一號、十一年十二月第一〇二號、十二年一月第一〇三號、十二年二月第一〇四號、十二年三月第一〇五號、十二年四月第一〇六號、十二年五月第一〇七號、十二年六月第一〇八號、十二年七月第一〇九號、十二年八月第一一〇號、十二年九月第一一一號、十二年十月第一一二號、十二年十一月第一一三號、十二年十二月第一一四號、十三年一月第一一五號、十三年二月第一一六號、十三年三月第一一七號、十三年四月第一一八號、十三年五月第一一九號、十三年六月第一二〇號、十三年七月第一二一號、十三年八月第一二二號、十三年九月第一二三號、十三年十月第一二四號、十三年十一月第一二五號、十三年十二月第一二六號、十四年一月第一二七號、十四年二月第一二八號、十四年三月第一二九號、十四年四月第一三〇號、十四年五月第一三一號、十四年六月第一三二號、十四年七月第一三三號、十四年八月第一三四號、十四年九月第一三五號、十四年十月第一三六號、十四年十一月第一三七號、十四年十二月第一三八號、十五年一月第一三九號、十五年二月第一四〇號、十五年三月第一四一號、十五年四月第一四二號、十五年五月第一四三號、十五年六月第一四四號、十五年七月第一四五號、十五年八月第一四六號、十五年九月第一四七號、十五年十月第一四八號、十五年十一月第一四九號、十五年十二月第一五〇號、十六年一月第一五一號、十六年二月第一五二號、十六年三月第一五三號、十六年四月第一五四號、十六年五月第一五五號、十六年六月第一五六號、十六年七月第一五七號、十六年八月第一五八號、十六年九月第一五九號、十六年十月第一六〇號、十六年十一月第一六一號、十六年十二月第一六二號、十七年一月第一六三號、十七年二月第一六四號、十七年三月第一六五號、十七年四月第一六六號、十七年五月第一六七號、十七年六月第一六八號、十七年七月第一六九號、十七年八月第一七〇號、十七年九月第一七一號、十七年十月第一七二號、十七年十一月第一七三號、十七年十二月第一七四號、十八年一月第一七五號、十八年二月第一七六號、十八年三月第一七七號、十八年四月第一七八號、十八年五月第一七九號、十八年六月第一八〇號、十八年七月第一八一號、十八年八月第一八二號、十八年九月第一八三號、十八年十月第一八四號、十八年十一月第一八五號、十八年十二月第一八六號、十九年一月第一八七號、十九年二月第一八八號、十九年三月第一八九號、十九年四月第一九〇號、十九年五月第一九一號、十九年六月第一九二號、十九年七月第一九三號、十九年八月第一九四號、十九年九月第一九五號、十九年十月第一九六號、十九年十一月第一九七號、十九年十二月第一九八號、二十年一月第一九九號、二十年二月第二〇〇號、二十年三月第二〇一號、二十年四月第二〇二號、二十年五月第二〇三號、二十年六月第二〇四號、二十年七月第二〇五號、二十年八月第二〇六號、二十年九月第二〇七號、二十年十月第二〇八號、二十年十一月第二〇九號、二十年十二月第二一〇號、二十一年一月第二一一號、二十一年二月第二一二號、二十一年三月第二一三號、二十一年四月第二一四號、二十一年五月第二一五號、二十一年六月第二一六號、二十一年七月第二一七號、二十一年八月第二一八號、二十一年九月第二一九號、二十一年十月第二二〇號、二十一年十一月第二二一號、二十一年十二月第二二二號、二十二年一月第二二三號、二十二年二月第二二四號、二十二年三月第二二五號、二十二年四月第二二六號、二十二年五月第二二七號、二十二年六月第二二八號、二十二年七月第二二九號、二十二年八月第二三〇號、二十二年九月第二三一號、二十二年十月第二三二號、二十二年十一月第二三三號、二十二年十二月第二三四號、二十三年一月第二三五號、二十三年二月第二三六號、二十三年三月第二三七號、二十三年四月第二三八號、二十三年五月第二三九號、二十三年六月第二四〇號、二十三年七月第二四一號、二十三年八月第二四二號、二十三年九月第二四三號、二十三年十月第二四四號、二十三年十一月第二四五號、二十三年十二月第二四六號、二十四年一月第二四七號、二十四年二月第二四八號、二十四年三月第二四九號、二十四年四月第二五〇號、二十四年五月第二五一號、二十四年六月第二五二號、二十四年七月第二五三號、二十四年八月第二五四號、二十四年九月第二五五號、二十四年十月第二五六號、二十四年十一月第二五七號、二十四年十二月第二五八號、二十五年一月第二五九號、二十五年二月第二六〇號、二十五年三月第二六一號、二十五年四月第二六二號、二十五年五月第二六三號、二十五年六月第二六四號、二十五年七月第二六五號、二十五年八月第二六六號、二十五年九月第二六七號、二十五年十月第二六八號、二十五年十一月第二六九號、二十五年十二月第二七〇號、二十六年一月第二七一號、二十六年二月第二七二號、二十六年三月第二七三號、二十六年四月第二七四號、二十六年五月第二七五號、二十六年六月第二七六號、二十六年七月第二七七號、二十六年八月第二七八號、二十六年九月第二七九號、二十六年十月第二八〇號、二十六年十一月第二八一號、二十六年十二月第二八二號、二十七年一月第二八三號、二十七年二月第二八四號、二十七年三月第二八五號、二十七年四月第二八六號、二十七年五月第二八七號、二十七年六月第二八八號、二十七年七月第二八九號、二十七年八月第二九〇號、二十七年九月第二九一號、二十七年十月第二九二號、二十七年十一月第二九三號、二十七年十二月第二九四號、二十八年一月第二九五號、二十八年二月第二九六號、二十八年三月第二九七號、二十八年四月第二九八號、二十八年五月第二九九號、二十八年六月第三〇〇號、二十八年七月第三〇一號、二十八年八月第三〇二號、二十八年九月第三〇三號、二十八年十月第三〇四號、二十八年十一月第三〇五號、二十八年十二月第三〇六號、二十九年一月第三〇七號、二十九年二月第三〇八號、二十九年三月第三〇九號、二十九年四月第三一〇號、二十九年五月第三一一號、二十九年六月第三一二號、二十九年七月第三一三號、二十九年八月第三一四號、二十九年九月第三一五號、二十九年十月第三一六號、二十九年十一月第三一七號、二十九年十二月第三一八號、三十年一月第三一九號、三十年二月第三二〇號、三十年三月第三二一號、三十年四月第三二二號、三十年五月第三二三號、三十年六月第三二四號、三十年七月第三二五號、三十年八月第三二六號、三十年九月第三二七號、三十年十月第三二八號、三十年十一月第三二九號、三十年十二月第三三〇號、三十一年一月第三三一號、三十一年二月第三三二號、三十一年三月第三三三號、三十一年四月第三三四號、三十一年五月第三三五號、三十一年六月第三三六號、三十一年七月第三三七號、三十一年八月第三三八號、三十一年九月第三三九號、三十一年十月第三四〇號、三十一年十一月第三四一號、三十一年十二月第三四二號、三十二年一月第三四三號、三十二年二月第三四四號、三十二年三月第三四五號、三十二年四月第三四六號、三十二年五月第三四七號、三十二年六月第三四八號、三十二年七月第三四九號、三十二年八月第三五〇號、三十二年九月第三五一號、三十二年十月第三五二號、三十二年十一月第三五三號、三十二年十二月第三五四號、三十三年一月第三五五號、三十三年二月第三五六號、三十三年三月第三五七號、三十三年四月第三五八號、三十三年五月第三五九號、三十三年六月第三六〇號、三十三年七月第三六一號、三十三年八月第三六二號、三十三年九月第三六三號、三十三年十月第三六四號、三十三年十一月第三六五號、三十三年十二月第三六六號、三十四年一月第三六七號、三十四年二月第三六八號、三十四年三月第三六九號、三十四年四月第三七〇號、三十四年五月第三七一號、三十四年六月第三七二號、三十四年七月第三七三號、三十四年八月第三七四號、三十四年九月第三七五號、三十四年十月第三七六號、三十四年十一月第三七七號、三十四年十二月第三七八號、三十五年一月第三七九號、三十五年二月第三八〇號、三十五年三月第三八一號、三十五年四月第三八二號、三十五年五月第三八三號、三十五年六月第三八四號、三十五年七月第三八五號、三十五年八月第三八六號、三十五年九月第三八七號、三十五年十月第三八八號、三十五年十一月第三八九號、三十五年十二月第三九〇號、三十六年一月第三九一號、三十六年二月第三九二號、三十六年三月第三九三號、三十六年四月第三九四號、三十六年五月第三九五號、三十六年六月第三九六號、三十六年七月第三九七號、三十六年八月第三九八號、三十六年九月第三九九號、三十六年十月第四〇〇號、三十六年十一月第四〇一號、三十六年十二月第四〇二號、三十七年一月第四〇三號、三十七年二月第四〇四號、三十七年三月第四〇五號、三十七年四月第四〇六號、三十七年五月第四〇七號、三十七年六月第四〇八號、三十七年七月第四〇九號、三十七年八月第四一〇號、三十七年九月第四一一號、三十七年十月第四一二號、三十七年十一月第四一三號、三十七年十二月第四一四號、三十八年一月第四一五號、三十八年二月第四一六號、三十八年三月第四一七號、三十八年四月第四一八號、三十八年五月第四一九號、三十八年六月第四二〇號、三十八年七月第四二一號、三十八年八月第四二二號、三十八年九月第四二三號、三十八年十月第四二四號、三十八年十一月第四二五號、三十八年十二月第四二六號、三十九年一月第四二七號、三十九年二月第四二八號、三十九年三月第四二九號、三十九年四月第四三〇號、三十九年五月第四三一號、三十九年六月第四三二號、三十九年七月第四三三號、三十九年八月第四三四號、三十九年九月第四三五號、三十九年十月第四三六號、三十九年十一月第四三七號、三十九年十二月第四三八號、四十年一月第四三九號、四十年二月第四四〇號、四十年三月第四四一號、四十年四月第四四二號、四十年五月第四四三號、四十年六月第四四四號、四十年七月第四四五號、四十年八月第四四六號、四十年九月第四四七號、四十年十月第四四八號、四十年十一月第四四九號、四十年十二月第四五〇號、四十一年一月第四五一號、四十一年二月第四五二號、四十一年三月第四五三號、四十一年四月第四五四號、四十一年五月第四五五號、四十一年六月第四五六號、四十一年七月第四五七號、四十一年八月第四五八號、四十一年九月第四五九號、四十一年十月第四六〇號、四十一年十一月第四六一號、四十一年十二月第四六二號、四十二年一月第四六三號、四十二年二月第四六四號、四十二年三月第四六五號、四十二年四月第四六六號、四十二年五月第四六七號、四十二年六月第四六八號、四十二年七月第四六九號、四十二年八月第四七〇號、四十二年九月第四七一號、四十二年十月第四七二號、四十二年十一月第四七三號、四十二年十二月第四七四號、四十三年一月第四七五號、四十三年二月第四七六號、四十三年三月第四七七號、四十三年四月第四七八號、四十三年五月第四七九號、四十三年六月第四八〇號、四十三年七月第四八一號、四十三年八月第四八二號、四十三年九月第四八三號、四十三年十月第四八四號、四十三年十一月第四八五號、四十三年十二月第四八六號、四十四年一月第四八七號、四十四年二月第四八八號、四十四年三月第四八九號、四十四年四月第四九〇號、四十四年五月第四九一號、四十四年六月第四九二號、四十四年七月第四九三號、四十四年八月第四九四號、四十四年九月第四九五號、四十四年十月第四九六號、四十四年十一月第四九七號、四十四年十二月第四九八號、四十五年一月第四九九號、四十五年二月第五〇〇號、四十五年三月第五〇一號、四十五年四月第五〇二號、四十五年五月第五〇三號、四十五年六月第五〇四號、四十五年七月第五〇五號、四十五年八月第五〇六號、四十五年九月第五〇七號、四十五年十月第五〇八號、四十五年十一月第五〇九號、四十五年十二月第五一〇號、四十六年一月第五一一號、四十六年二月第五一二號、四十六年三月第五一三號、四十六年四月第五一四號、四十六年五月第五一五號、四十六年六月第五一六號、四十六年七月第五一七號、四十六年八月第五一八號、四十六年九月第五一九號、四十六年十月第五二〇號、四十六年十一月第五二一號、四十六年十二月第五二二號、四十七年一月第五二三號、四十七年二月第五二四號、四十七年三月第五二五號、四十七年四月第五二六號、四十七年五月第五二七號、四十七年六月第五二八號、四十七年七月第五二九號、四十七年八月第五三〇號、四十七年九月第五三一號、四十七年十月第五三二號、四十七年十一月第五三三號、四十七年十二月第五三四號、四十八年一月第五三五號、四十八年二月第五三六號、四十八年三月第五三七號、四十八年四月第五三八號、四十八年五月第五三九號、四十八年六月第五四〇號、四十八年七月第五四一號、四十八年八月第五四二號、四十八年九月第五四三號、四十八年十月第五四四號、四十八年十一月第五四五號、四十八年十二月第五四六號、四十九年一月第五四七號、四十九年二月第五四八號、四十九年三月第五四九號、四十九年四月第五五〇號、四十九年五月第五五一號、四十九年六月第五五二號、四十九年七月第五五三號、四十九年八月第五五四號、四十九年九月第五五五號、四十九年十月第五五六號、四十九年十一月第五五七號、四十九年十二月第五五八號、五十年一月第五五九號、五十年二月第五六〇號、五十年三月第五六一號、五十年四月第五六二號、五十年五月第五六三號、五十年六月第五六四號、五十年七月第五六五號、五十年八月第五六六號、五十年九月第五六七號、五十年十月第五六八號、五十年十一月第五六九號、五十年十二月第五七〇號、五十一年一月第五七一號、五十一年二月第五七二號、五十一年三月第五七三號、五十一年四月第五七四號、五十一年五月第五七五號、五十一年六月第五七六號、五十一年七月第五七七號、五十一年八月第五七八號、五十一年九月第五七九號、五十一年十月第五八〇號、五十一年十一月第五八一號、五十一年十二月第五八二號、五十二年一月第五八三號、五十二年二月第五八四號、五十二年三月第五八五號、五十二年四月第五八六號、五十二年五月第五八七號、五十二年六月第五八八號、五十二年七月第五八九號、五十二年八月第五九〇號、五十二年九月第五九一號、五十二年十月第五九二號、五十二年十一月第五九三號、五十二年十二月第五九四號、五十三年一月第五九五號、五十三年二月第五九六號、五十三年三月第五九七號、五十三年四月第五九八號、五十三年五月第五九九號、五十三年六月第六〇〇號、五十三年七月第六〇一號、五十三年八月第六〇二號、五十三年九月第六〇三號、五十三年十月第六〇四號、五十三年十一月第六〇五號、五十三年十二月第六〇六號、五十四年一月第六〇七號、五十四年二月第六〇八號、五十四年三月第六〇九號、五十四年四月第六一〇號、五十四年五月第六一一號、五十四年六月第六一二號、五十四年七月第六一三號、五十四年八月第六一四號、五十四年九月第六一五號、五十四年十月第六一六號、五十四年十一月第六一七號、五十四年十二月第六一八號、五十五年一月第六一九號、五十五年二月第六二〇號、五十五年三月第六二一號、五十五年四月第六二二號、五十五年五月第六二三號、五十五年六月第六二四號、五十五年七月第六二五號、五十五年八月第六二六號、五十五年九月第六二七號、五十五年十月第六二八號、五十五年十一月第六二九號、五十五年十二月第六三〇號、五十六年一月第六三一號、五十六年二月第六三二號、五十六年三月第六三三號、五十六年四月第六三四號、五十六年五月第六三五號、五十六年六月第六三六號、五十六年七月第六三七號、五十六年八月第六三八號、五十六年九月第六三九號、五十六年十月第六四〇號、五十六年十一月第六四一號、五十六年十二月第六四二號、五十七年一月第六四三號、五十七年二月第六四四號、五十七年三月第六四五號、五十七年四月第六四六號、五十七年五月第六四七號、五十七年六月第六四八號、五十七年七月第六四九號、五十七年八月第六五〇號、五十七年九月第六五一號、五十七年十月第六五二號、五十七年十一月第六五三號、五十七年十二月第六五四號、五十八年一月第六五五號、五十八年二月第六五六號、五十八年三月第六五七號、五十八年四月第六五八號、五十八年五月第六五九號、五十八年六月第六六〇號、五十八年七月第六六一號、五十八年八月第六六二號、五十八年九月第六六三號、五十八年十月第六六四號、五十八年十一月第六六五號、五十八年十二月第六六六號、五十九年一月第六六七號、五十九年二月第六六八號、五十九年三月第六六九號、五十九年四月第六七〇號、五十九年五月第六七一號、五十九年六月第六七二號、五十九年七月第六七三號、五十九年八月第六七四號、五十九年九月第六七五號、五十九年十月第六七六號、五十九年十一月第六七七號、五十九年十二月第六七八號、六十年一月第六七九號、六十年二月第六八〇號、六十年三月第六八一號、六十年四月第六八二號、六十年五月第六八三號、六十年六月第六八四號、六十年七月第六八五號、六十年八月第六八六號、六十年九月第六八七號、六十年十月第六八八號、六十年十一月第六八九號、六十年十二月第六九〇號、六十一年一月第六九一號、六十一年二月第六九二號、六十一年三月第六九三號、六十一年四月第六九四號、六十一年五月第六九五號、六十一年六月第六九六號、六十一年七月第六九七號、六十一年八月第六九八號、六十一年九月第六九九號、六十一年十月第七〇〇號、六十一年十一月第七〇一號、六十一年十二月第七〇二號、六十二年一月第七〇三號、六十二年二月第七〇四號、六十二年三月第七〇五號、六十二年四月第七〇六號、六十二年五月第七〇七號、六十二年六月第七〇八號、六十二年七月第七〇九號、六十二年八月第七一〇號、六十二年九月第七一一號、六十二年十月第七一二號、六十二年十一月第七一三號、六十二年十二月第七一四號、六十三年一月第七一五號、六十三年二月第七一六號、六十三年三月第七一七號、六十三年四月第七一八號、六十三年五月第七一九號、六十三年六月第七二〇號、六十三年七月第七二一號、六十三年八月第七二二號、六十三年九月第七二三號、六十三年十月第七二四號、六十三年十一月第七二五號、六十三年十二月第七二六號、六十四年一月第七二七號、六十四年二月第七二八號、六十四年三月第七二九號、六十四年四月第七三〇號、六十四年五月第七三一號、六十四年六月第七三二號、六十四年七月第七三三號、六十四年八月第七三四號、六十四年九月第七三五號、六十四年十月第七三六號、六十四年十一月第七三七號、六十四年十二月第七三八號、六十五年一月第七三九號、六十五年二月第七四〇號、六十五年三月第七四一號、六十五年四月第七四二號、六十五年五月第七四三號、六十五年六月第七四四號、六十五年七月第七四五號、六十五年八月第七四六號、六十五年九月第七四七號、六十五年十月第七四八號、六十五年十一月第七四九號、六十五年十二月第七五〇號、六十六年一月第七五一號、六十六年二月第七五二號、六十六年三月第七五三號、六十六年四月第七五四號、六十六年五月第七五五號、六十六年六月第七五六號、六十六年七月第七五七號、六十六年八月第七五八號、六十六年九月第七五九號、六十六年十月第七六〇號、六十六年十一月第七六一號、六十六年十二月第七六二號、六十七年一月第七六三號、六十七年二月第七六四號、六十七年三月第七六五號、六十七年四月第七六六號、六十七年五月第七六七號、六十七年六月第七六八號、六十七年七月第七六九號、六十七年八月第七七〇號、六十七年九月第七七一號、六十七年十月第七七二號、六十七年十一月第七七三號、六十七年十二月第七七四號、六十八年一月第七七五號、六十八年二月第七七六號、六十八年三月第七七七號、六十八年四月第七七八號、六十八年五月第七七九號、六十八年六月第七八〇號、六十八年七月第七八一號、六十八年八月第七八二號、六十八年九月第七八三號、六十八年十月第七八四號、六十八年十一月第七八五號、六十八年十二月第七八六號、六十九年一月第七八七號、六十九年二月第七八八號、六十九年三月第七八九號、六十九年四月第七九〇號、六十九年五月第七九一號、六十九年六月第七九二號、六十九年七月第七九三號、六十九年八月第七九四號、六十九年九月第七九五號、六十九年十月第七九六號、六十九年十一月第七九七號、六十九年十二月第七九八號、七十年一月第七九九號、七十年二月第八〇〇號、七十年三月第八〇一號、七十年四月第八〇二號、七十年五月第八〇三號、七十年六月第八〇四號、七十年七月第八〇五號、七十年八月第八〇六號、七十年九月第八〇七號、七十年十月第八〇八號、七十年十一月第八〇九號、七十年十二月第八一〇號、七十一年一月第八一一號、七十一年二月第八一二號、七十一年三月第八一三號、七十一年四月第八一四號、七十一年五月第八一五號、七十一年六月第八一六號、七十一年七月第八一七號、七十一年八月第八一八號、七十一年九月第八一九號、七十一年十月第八二〇號、七十一年十一月第八二一號、七十一年十二月第八二二號、七十二年一月第八二三號、七十二年二月第八二四號、七十二年三月第八二五號、七十二年四月第八二六號、七十二年五月第八二七號、七十二年六月第八二八號、七十二年七月第八二九號、七十二年八月第八三〇號、七十二年九月第八三一號、七十二年十月第八三二號、七十二年十一月第八三三號、七十二年十二月第八三四號、七十三年一月第八三五號、七十三年二月第八三六號、七十三年三月第八三七號、七十三年四月第八三八號、七十三年五月第八三九號、七十三年六月第八四〇號、七十三年七月第八四一號、七十三年八月第八四二號、七十三年九月第八四三號、七十三年十月第八四四號、七十三年十一月第八四五號、七十三年十二月第八四六號、七十四年一月第八四七號、七十四年二月第八四八號、七十四年三月第八四九號、七十四年四月第八五〇號、七十四年五月第八五一號、七十四年六月第八五二號、七十四年七月第八五三號、七十四年八月第八五四號、七十四年九月第八五五號、七十四年十月第八五六號、七十四年十一月第八五七號、七十四年十二月第八五八號、七十五年一月第八五九號、七十五年二月第八六〇號、七十五年三月第八六一號、七十五年四月第八六二號、七十五年五月第八六三號、七十五年六月第八六四號、七十五年七月第八六五號、七十五年八月第八六六號、七十五年九月第八六七號、七十五年十月第八六八號、七十五年十一月第八六九號、七十五年十二月第八七〇號、七十六年一月第八七一號、七十六年二月第八七二號、七十六年三月第八七三號、七十六年四月第八七四號、七十六年五月第八七五號、七十六年六月第八七六號、七十六年七月第八七七號、七十六年八月第八七八號、七十六年九月第八七九號、七十六年十月第八八〇號、七十六年十一月第八八一號、七十六年十二月第八八二號、七十七年一月第八八三號、七十七年二月第八八四號、七十七年三月第八八五號、七十七年四月第八八六號、七十七年五月第八八七號、七十七年六月第八八八號、七十七年七月第八八九號、七十七年八月第八九〇號、七十七年九月第八九一號、七十七年十月第八九二號、七十七年十一月第八九三號、七十七年十二月第八九四號、七十八年一月第八九五號、七十八年二月第八九六號、七十八年三月第八九七號、七十八年四月第八九八號、七十八年五月第八九九號、七十八年六月第九〇〇號、七十八年七月第九〇一號、七十八年八月第九〇二號、七十八年九月第九〇三號、七十八年十月第九〇四號、七十八年十一月第九〇五號、七十八年十二月第九〇六號、七十九年一月第九〇七號、七十九年二月第九〇八號、七十九年三月第九〇九號、七十九年四月第九一〇號、七十九年五月第九一一號、七十九年六月第九一二號、七十九年七月第九一三號、七十九年八月第九一四號、七十九年九月第九一五號、七十九年十月第九一六號、七十九年十一月第九一七號、七十九年十二月第九一八號、八十年一月第九一九號、八十年二月第九二〇號、八十年三月第九二一號、八十年四月第九二二號、八十年五月第九二三號、八十年六月第九二四號、八十年七月第九二五號、八十年八月第九二六號、八十年九月第九二七號、八十年十月第九二八號、八十年十一月第九二九號、八十年十二月第九三〇號、八十一年一月第九三一號、八十一年二月第九三二號、八十一年三月第九三三號、八十一年四月第九三四號、八十一年五月第九三五號、八十一年六月第九三六號、八十一年七月第九三七號、八十一年八月第九三八號、八十一年九月第九三九號、八十一年十月第九四〇號、八十一年十一月第九四一號、八十一年十二月第九四二號、八十二年一月第九四三號、八十二年二月第九四四號、八十二年三月第九四五號、八十二年四月第九四六號、八十二年五月第九四七號、八十二年六月第九四八號、八十二年七月第九四九號、八十二年八月第九五〇號、八十二年九月第九五一號、八十二年十月第九五二號、八十二年十一月第九五三號、八十二年十二月第九五四號、八十三年一月第九五五號、八十三年二月第九五六號、八十三年三月第九五七號、八十三年四月第九五八號、八十三年五月第九五九號、八十三年六月第九六〇號、八十三年七月第九六一號、八十三年八月第九六二號、八十三年九月第九六三號、八十三年十月第九六四號、八十三年十一月第九六五號、八十三年十二月第九六六號、八十四年一月第九六七號、八十四年二月第九六八號、八十四年三月第九六九號、八十四年四月第九七〇號、八十四年五月第九七一號、八十四年六月第九七二號、八十四年七月第九七三號、八十四年八月第九七四號、八十四年九月第九七五號、八十四年十月第九七六號、八十四年十一月第九七七號、八十四年十二月第九七八號、八十五年一月第九七九號、八十五年二月第九八〇號、八十五年三月第九八一號、八十五年四月第九八二號、八十五年五月第九八三號、八十五年六月第九八四號、八十五年七月第九八五號、八十五年八月第九八六號、八十五年九月第九八七號、八十五年十月第九八八號、八十五年十一月第九八九號、八十五年十二月第九九〇號、八十六年一月第九九一號、八十六年二月第九九二號、八十六年三月第九九三號、八十六年四月第九九四號、八十六年五月第九九五號、八十六年六月第九九六號、八十六年七月第九九七號、八十六年八月第九九八號、八十六年九月第九九九號、八十六年十月第一〇〇〇號、八十六年十一月第一〇〇一號、八十六年十二月第一〇〇二號、八十七年一月第一〇〇三號、八十七年二月第一〇〇四號、八十七年三月第一〇〇五號、八十七年四月第一〇〇六號、八十七年五月第一〇〇七號、八十七年六月第一〇〇八號、八十七年七月第一〇〇九號、八十七年八月第一〇一〇號、八十七年九月第一〇一一號、八十七年十月第一〇一二號、八十七年十一月第一〇一三號、八十七年十二月第一〇一四號、八十八年一月第一〇一五號、八十八年二月第一〇一六號、八十八年三月第一〇一七號、八十八年四月第一〇一八號、八十八年五月第一〇一九號、八十八年六月第一〇二〇號、八十八年七月第一〇二一號、八十八年八月第一〇二二號、八十八年九月第一〇二三號、八十八年十月第一〇二四號、八十八年十一月第一〇二五號、八十八年十二月第一〇二六號、八十九年一月第一〇二七號、八十九年二月第一〇二八號、八十九年三月第一〇二九號、八十九年四月第一〇三〇號、八十九年五月第一〇三一號、八十九年六月第一〇三二號、八十九年七月第一〇三三號、八十九年八月第一〇三四號、八十九年九月第一〇三五號、八十九年十月第一〇三六號、八十九年十一月第一〇三七號、八十九年十二月第一〇三八號、九十年一月第一〇三九號、九十年二月第一〇四〇號、九十年三月第一〇四一號、九十年四月第一〇四二號、九十年五月第一〇四三號、九十年六月第一〇四四號、九十年七月第一〇四五號、九十年八月第一〇四六號、九十年九月第一〇四七號、九十年十月第一〇四八號、九十年十一月第一〇四九號、九十年十二月第一〇五〇號、九十一年一月第一〇五一號、九十一年二月第一〇五二號、九十一年三月第一〇五三號、九十一年四月第一〇五四號、九十一年五月第一〇五五號、九十一年六月第一〇五六號、九十一年七月第一〇五七號、九十一年八月第一〇五八號、九十一年九月第一〇五九號、九十一年十月第一〇六〇號、九十一年十一月第一〇六一號、九十一年十二月第一〇六二號、九十二年一月第一〇六三號、九十二年二月第一〇六四號、九十二年三月第一〇六五號、九十二年四月第一〇六六號、九十二年五月第一〇六七號、九十二年六月第一〇六八號、九十二年七月第一〇六九號、九十二年八月第一〇七〇號、九十二年九月第一〇七一號、九十二年十月第一〇七二號、九十二年十一月第一〇七三號、九十二年十二月第一〇七四號、九十三年一月第一〇七五號、九十三年二月第一〇七六號、九十三年三月第一〇七七號、九十三年四月第一〇七八號、九十三年五月第一〇七九號、九十三年六月第一〇八〇號、九十三年七月第一〇八一號、九十三年八月第一〇八二號、九十三年九月第一〇八三號、九十三年十月第一〇八四號、九十三年十一月第一〇八五號、九十三年十二月第一〇八六號、九十四年一月第一〇八七號、九十四年二月第一〇八八號、九十四年三月第一〇八九號、九十四年四月第一〇九〇號、九十四年五月第一〇九一號、九十四年六月第一〇九二號、九十四年七月第一〇九三號、九十四年八月第一〇九四號、九十四年九月第一〇九五號、九十四年十月第一〇九六號、九十四年十一月第一〇九七號、九十四年十二月第一〇九八號、九十五年一月第一〇九九號、九十五年二月第一一〇〇號、九十五年三月第一一〇一號、九十五年四月第一一〇二號、九十五年五月第一一〇三號、九十五年六月第一一〇四號、九十五年七月第一一〇五號、九十五年八月第一一〇六號、九十五年九月第一一〇七號、九十五年十月第一一〇八號、九十五年十一月第一一〇九號、九十五年十二月第一一一〇號、九十六年一月第一一一一號、九十六年二月第一一一二號、九十六年三月第一一一三號、九十六年四月第一一一四號、九十六年五月第一一一五號、九十六年六月第一一一六號、九十六年七月第一一一七號、九十六年八月第一一一八號、九十六年九月第一一一九號、九十六年十月第一一二〇號、九十六年十一月第一一二一號、九十六年十二月第一一二二號、九十七年一月第一一二三號、九十七年二月第一一二四號、九十七年三月第一一二五號、九十七年四月第一一二六號、九十七年五月第一一二七號、九十七年六月第一一二八號、九十七年七月第一一二九號、九十七年八月第一一三〇號、九十七年九月第一一三一號、九十七年十月第一一三二號、九十七年十一月第一一三三號、九十七年十二月第一一三四號、九十八年一月第一一三五號、九十八年二月第一一三六號、九十八年三月第一一三七號、九十八年四月第一一三八號、九十八年五月第一一三九號、九十八年六月第一一四〇號、九十八年七月第一一四一號、九十八年八月第一一四二號、九十八年九月第一一四三號、九十八年十月第一一四四號、九十八年十一月第一一四五號、九十八年十二月第一一四六號、九十九年一月第一一四七號、九十九年二月第一一四八號、九十九年三月第一一四九號、九十九年四月第一一五〇號、九十九年五月第一一五一號、九十九年六月第一一五二號、九十九年七月第一一五三號、九十九年八月第一一五四號、九十九年九月第一一五五號、九十九年十月第一一五六號、九十九年十一月第一一五七號、九十九年十二月第一一五八號、百年一月第一一五九號、百年二月第一一六〇號、百年三月第一一六一號、百年四月第一一六二號、百年五月第一一六三號、百年六月第一一六四號、百年七月第一一六五號、百年八月第一一六六號、百年九月第一一六七號、百年十月第一一六八號、百年十

成鏡本線（元山會寧間）
川内里線（借入線）（龍潭川内里間）
北青線（新北青北青間）
成鏡線鐵山線（羅興利原鐵山間）
造湖線（會寧遮湖間）
清津線（檢城清津間）
會寧炭礦線（會寧新鵄林間）
慶全南部線（三浪津晋州間）
慶全海岸線（昌原鎭海間）
慶全西部線（顚天松汀里間）
光州線（全南光州潭陽間）
全羅線（裡里麗水港間）
東海線（釜山鎭慶州間）
東海南部線（東萊中部線（狹軌））
東海北部線（大邱鶴山間）
平元線（安邊元山間）
平元東部線（高原城內間）
平元西部線（西浦陽德間）
滿浦線（價川線（狹軌））（順川江界間）
龍登線（新安州价川間）
惠山線（球場龍登間）
白茂線（狹軌）（吉州惠山鎭間）
圖們線（自岩檢坪洞間）
（會寧雄基間）
上三峰（三峰橋中心間）
南陽（圖們橋中心間）

（大正十四年十一月總告第三百十六號ハ大正十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス）
（大正十五年十月總告第三百十六號ハ大正十五年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス）
（大正十五年十一月總告第三百三十三號ハ大正十五年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス）
（大正十五年十一月總告第三百三十四號ハ大正十五年十二月十日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和二年八月總告第二百四十五號ハ昭和二年八月一日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和二年八月總告第二百七十五號ハ昭和二年十月一日ヨリ施行）
（昭和二年十月總告第三百五十一號ハ昭和二年十月一日ヨリ施行）
（昭和二年十月總告第四百八十七號ハ同年十月二十日ヨリ施行）
（昭和七年五月總告第二百六十三號ハ同年五月二十一日ヨリ施行）
（昭和七年七月總告第三百九十三號ハ同年八月十一日ヨリ施行）
（昭和七年七月總告第五百五十六號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十月總告第五百五十八號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十月總告第五百五十九號ハ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和七年十月總告第五百六十號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十月總告第五百六十二號ハ同年十一月一日ヨリ施行）

（昭和七年十月總告第五百六十四號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十一月總告第六百八號ハ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和七年十一月總告第六百九號ハ昭和八年一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十二月總告第六百五十六號ハ同年十二月十五日ヨリ施行）
（昭和八年七月總告第三百七號ハ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和八年十月總告第四百九十號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和八年十月總告第五百二十一號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和九年三月總告第五百四十九號ハ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和九年七月總告第三百五十六號ハ同年七月十五日ヨリ施行）
（昭和九年七月總告第三百八十六號ハ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和九年八月總告第四百十一號ハ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和九年十月總告第五百十二號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和九年十二月總告第六百十八號ハ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十年八月總告第四百六十五號ハ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十年九月總告第五百十號ハ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十年十月總告第六百三號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十年十二月總告第七百六號ハ同年十二月六日ヨリ施行）
（昭和十一年一月總告第三十四號ハ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十一年四月總告第二百八十號ハ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十月總告第五百四十九號ハ昭和十一年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年十一月總告第六百十六號ハ昭和十一年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十二月總告第六百六十三號ハ昭和十二年一月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十二月總告第六百六十四號ハ昭和十二年一月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十二月總告第六百六十九號ハ昭和十二年一月一日ヨリ施行）

（昭和三年九月總告第三百七十三號ハ昭和三年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和四年三月總告第百一號ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和四年八月總告第二百九十九號ハ昭和四年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和四年九月總告第三百七號ハ昭和四年九月二十日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和四年九月總告第三百九號ハ昭和四年九月二十日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和四年九月總告第三百十七號ハ昭和四年九月二十日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和四年九月總告第三百三十六號ハ昭和四年十月一日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和四年十月總告第三百九十七號ハ昭和四年十一月十六日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和五年九月總告第三百七十四號ハ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和五年十二月總告第四百八十六號ハ同年十二月二十五日ヨリ施行）
（昭和六年三月總告第百四十七號ハ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和六年七月總告第三百五十四號ハ同年七月二十一日ヨリ施行）
（昭和六年七月總告第三百七十三號ハ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和六年九月總告第四百四十六號ハ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和六年十月總告第四百八十七號ハ同年十月二十日ヨリ施行）
（昭和七年五月總告第二百六十三號ハ同年五月二十一日ヨリ施行）
（昭和七年七月總告第三百九十三號ハ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和七年七月總告第五百五十六號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十月總告第五百五十八號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十月總告第五百五十九號ハ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和七年十月總告第五百六十號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十月總告第五百六十二號ハ同年十一月一日ヨリ施行）

（昭和七年十月總告第五百六十四號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十一月總告第六百八號ハ同年十二月一日ヨリ施行）
（昭和七年十一月總告第六百九號ハ昭和八年一月一日ヨリ施行）
（昭和七年十二月總告第六百五十六號ハ同年十二月十五日ヨリ施行）
（昭和八年七月總告第三百七號ハ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和八年十月總告第四百九十號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和八年十月總告第五百二十一號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和九年三月總告第五百四十九號ハ同年四月一日ヨリ施行）
（昭和九年七月總告第三百五十六號ハ同年七月十五日ヨリ施行）
（昭和九年七月總告第三百八十六號ハ同年八月一日ヨリ施行）
（昭和九年八月總告第四百十一號ハ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和九年十月總告第五百十二號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和九年十二月總告第六百十八號ハ同年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十年八月總告第四百六十五號ハ同年九月一日ヨリ施行）
（昭和十年九月總告第五百十號ハ同年十月一日ヨリ施行）
（昭和十年十月總告第六百三號ハ同年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十年十二月總告第七百六號ハ同年十二月六日ヨリ施行）
（昭和十一年一月總告第三十四號ハ同年三月一日ヨリ施行）
（昭和十一年四月總告第二百八十號ハ同年六月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十月總告第五百四十九號ハ昭和十一年十月十六日ヨリ施行）
（昭和十一年十一月總告第六百十六號ハ昭和十一年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十二月總告第六百六十三號ハ昭和十二年一月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十二月總告第六百六十四號ハ昭和十二年一月一日ヨリ施行）
（昭和十一年十二月總告第六百六十九號ハ昭和十二年一月一日ヨリ施行）

（昭和十一年十二月總告第三百七十三號ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス）

●朝鮮私設鐵道令

大正九年六月制令第八號

改正　昭和三年五第一號

朝鮮私設鐵道令別冊治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮私設鐵道令

第一條　私人カ公衆ノ用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外地方鐵道法ニ依ル但シ同法中地方鐵道トアルハ私設鐵道、地方鐵道業トアルハ私設鐵道業、地方鐵道業者トアルハ私設鐵道業者、地方鐵道會社トアルハ私設鐵道會社、鐵道抵當法トアルハ朝鮮財團抵當令、主務大臣トアルハ朝鮮總督トス

私設鐵道業者カ運送營業ノ爲支線ヲ敷設スルトキハ公衆ノ用ニ供セサル場合ト雖本令ヲ適用ス

私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ關スル規定ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第二條　私設鐵道ノ軌間ハ四呎八吋半トス特別ノ場合ニ在リテハ二呎六吋又ハ三呎六吋トス

第三條　私設鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ線路ノ延長又ハ改良ノ費用ニ充ツル爲本令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第七條第三項ニ規定スル制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得

（昭和十一年十二月總告第六百九十二號ハ昭和十二年一月一日ヨリ之ヲ施行ス）
（昭和十二年十月總告第七百四十七號ハ昭和十二年十一月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十一月總告第七百七十八號ハ昭和十二年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十二月總告第八百八號ハ昭和十二年十二月一日ヨリ施行）
（昭和十二年十一月總告第八百三十一號ハ昭和十二年十二月十六日ヨリ施行）
（昭和十三年四月總告第三百五十一號ハ昭和十三年五月一日ヨリ施行）

改正　大正一〇年内第三八號、昭和四年第四號

第二章　運輸

第一節　鐵道

第一款　通則

第一目　鐵道令

●朝鮮鐵道令

大正八年四月
法律第五十二號

第一條　鐵道ハ本法ニ依リ朝鮮總督之ヲ監督ス

第二條　鐵道ハ軌間ニ依リ廣軌、標準軌及狹軌ノ三種ニ區別ス

廣軌ハ四呎八吋半、標準軌ハ四呎八吋半ヲ超エ三呎六吋ヲ超エサルモノ、狹軌ハ三呎六吋ヲ超エサルモノトス

第三條　鐵道ハ其ノ種類ニ依リ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ敷設ス

一　國有鐵道
二　私設鐵道

第四條　國有鐵道ハ總督之ヲ敷設シ又ハ之ヲ管理ス

第五條　私設鐵道ハ總督ノ許可ヲ受ケ之ヲ敷設シ又ハ之ヲ管理ス

第六條　私設鐵道ハ總督ノ許可ヲ受ケ之ヲ讓渡シ又ハ讓受ケ若ハ之ヲ管理スル者ニ於テ其ノ權利義務ヲ承繼ス

第七條　私設鐵道ハ總督ノ許可ヲ受ケ之ヲ廢止ス

第八條　私設鐵道ニ關スル規定ハ軌道ニ之ヲ準用ス

第九條　削除

第十條　地方鐵道會社ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ非サレハ合併ヲ爲スコトヲ得ス

合併後存續スル會社又ハ合併ニ因リテ設立シタル會社ハ合併ニ因リテ消滅シタル會社ノ免許ニ屬スル權利義務ヲ承繼ス

第十一條　免許、許可又ハ認可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第十二條　地方鐵道業ヲ營ムトスル者ハ左ノ事項及圖面ヲ提出シ主務大臣ノ免許ヲ受クヘシ

第六條ノ三　後配株ヲ發行スル場合ニ於テハ其ノ旨ヲ定款ニ記載シ且株式申込證ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一　後配株ノ種類及其ノ各種ノ株式ノ數
二　後配株ノ利益配當ニ關スル事項
三　延長線ノ工事ノ大要並ニ其ノ開業豫定時期

第六條ノ四　後配株ノ發行ニ依リテ得タル資金ハ當該線路延長ノ費用以外ニ之ヲ充ツルコトヲ得ス

會社カ後配株ヲ發行シタル場合ニ於テ定款又ハ株式申込證ニ記載シタル事項ニ付キ後配株主ニ不利益ナル變更ヲ爲サムトキハ後配株主總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テ裁判所ノ許可アルトキハ此ノ限ニ在ラス

後配株主總會ニハ株主總會ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條ノ五　商法第百九十七條但書、第二百十二條ノ三第二項、第二百十七條第一項第四號及第二百十八條第二項ノ規定ハ後配株ニ付之ヲ準用ス

第七條　地方鐵道會社ノ社債ハ總株金四分ノ一以上ノ拂込アリタル後ニ非サレハ之ヲ募集スルコトヲ得ス

社債ノ額ハ鐵道抵當法ニ依ル債務ノ額ト併セテ總株金拂込額ヲ超ユルコトヲ得ス但シ舊債償還ノ爲ニスル場合ニ於テハ舊債務ノ額ハ之ヲ算入セス

第八條　鐵道及其ノ附屬物件ハ鐵道抵當法ニ依ルニ非サレハ之ヲ擔保ト爲スコトヲ得ス

第三百二十一條　前條ノ規定ニ依リ付與シタル免許ヲ取消シタルトキハ其ノ旨ヲ公告スヘシ

第三百二十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ逓信大臣ノ監督ヲ受ケシムルコトアルヘシ

第三百二十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百二十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百二十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百二十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百二十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百二十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百二十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百三十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百四十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百五十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百六十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百七十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百八十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第三百九十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百二十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百三十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百四十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百五十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百六十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百七十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十四條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十五條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十六條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十七條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十八條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百八十九條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百九十條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百九十一條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百九十二條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工事ヲ中止シ又ハ變更スヘキコトヲ命スルコトアルヘシ

第四百九十三條　鐵道ニ關スル工事ニ付テハ逓信大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ工

第二十七條　前條ノ規定ニ依リ電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　販賣ノ年月日

二　販賣ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三　販賣ノ品名及數量

四　販賣ノ金額

五　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第二十八條　前條ノ帳簿ハ販賣ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第二十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　仕入ノ年月日

二　仕入ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三　仕入ノ品名及數量

四　仕入ノ金額

五　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第三十條　前條ノ帳簿ハ仕入ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第三十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　製造ノ年月日

二　製造ノ方法

三　製造ノ數量

四　製造ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

五　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第三十二條　前條ノ帳簿ハ製造ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第三十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　輸入ノ年月日

二　輸入ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三　輸入ノ品名及數量

四　輸入ノ金額

五　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第三十四條　前條ノ帳簿ハ輸入ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第三十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　移轉ノ年月日

二　移轉ノ相手方ノ氏名又ハ名稱及住所

三　移轉ノ品名及數量

四　移轉ノ金額

五　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第三十六條　前條ノ帳簿ハ移轉ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第三十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　消費ノ年月日

二　消費ノ方法

三　消費ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第三十八條　前條ノ帳簿ハ消費ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第三十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　廢棄ノ年月日

二　廢棄ノ方法

三　廢棄ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第四十條　前條ノ帳簿ハ廢棄ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第四十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　滅失ノ年月日

二　滅失ノ方法

三　滅失ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第四十二條　前條ノ帳簿ハ滅失ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第四十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　盜難ノ年月日

二　盜難ノ方法

三　盜難ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第四十四條　前條ノ帳簿ハ盜難ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第四十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　紛失ノ年月日

二　紛失ノ方法

三　紛失ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第四十六條　前條ノ帳簿ハ紛失ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第四十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　發見ノ年月日

二　發見ノ方法

三　發見ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第四十八條　前條ノ帳簿ハ發見ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第四十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第五十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第五十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第五十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第五十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第五十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第五十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第五十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第五十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第五十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第五十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第六十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第六十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第六十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第六十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第六十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第六十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第六十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第六十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第六十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第六十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第七十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第七十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第七十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第七十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第七十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第七十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第七十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第七十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第七十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第七十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第八十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第八十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第八十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第八十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第八十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第八十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第八十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第八十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第八十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第八十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第九十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第九十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第九十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第九十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第九十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第九十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第九十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第九十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第九十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第九十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百二十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百二十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百二十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百二十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百二十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百二十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百二十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百二十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百二十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百二十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百三十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百三十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百三十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百三十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百三十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百三十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百三十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百三十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百三十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百三十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百四十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百四十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百四十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百四十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百四十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百四十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百四十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百四十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百四十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百四十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百五十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百五十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百五十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百五十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百五十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百五十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百五十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百五十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百五十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百五十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百六十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百六十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百六十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百六十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百六十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百六十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百六十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百六十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百六十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百六十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百七十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百七十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百七十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百七十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百七十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百七十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百七十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百七十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百七十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百七十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百八十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百八十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百八十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百八十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百八十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百八十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百八十六條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百八十七條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百八十八條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百八十九條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百九十條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百九十一條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百九十二條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百九十三條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品ニ付左ノ事項ヲ記載シタル帳簿ヲ備ヘ置カサルヘカラス

一　返還ノ年月日

二　返還ノ方法

三　返還ノ數量

四　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

第百九十四條　前條ノ帳簿ハ返還ノ日ヨリ三年間之ヲ保存スヘシ

第百九十五條　電氣用品ヲ販賣スル者ハ其ノ販賣ノ用ニ供スル電氣用品

第一號樣式

間建設費概算書

延長　哩　鎖

鐵道

摘要	金額	單價	數量	項
	圓	圓		
			箇所	督監及試測費
			哩鎖	用地費
			哩鎖	土工費
			哩鎖	橋梁費
			哩鎖	隧道費
			箇所	軌道費
			箇所	停車場費
			哩鎖	車輛費
			哩鎖	諸建物費
			哩鎖	通信線路費
			哩鎖	電力線路費
			キロワット	發電所費
			箇所	變電所費
				……
				……
			哩鎖	總係費
				豫備費
				合計
				一哩當

第二號樣式

替業收支概算書

執間　汎　吋　動力　鐵道

區間　延長　哩　鎖

摘要	合計金額	數量
		哩
		人哩當
		一哩當
		一日一哩當
		噸
		一哩當
		一日一哩當
		人
		一哩當
		一日一哩當
		噸
		一哩當
		一日一哩當
		收入合計
		一日一哩當
		替業費
		一日一哩當
		益金
		建設費
		益金對スル合計

第三號樣式

間運輸數量表

旅客

鐵道

摘要	噸數	噸哩	人員	人哩	區間

備考
1 上り下りニ著シキ差異アルトキハ上下各別ニ記載スヘシ
2 特殊旅客アルトキハ摘要欄ニ說明スヘシ

貨物

摘要	噸哩	噸數	區間	種類

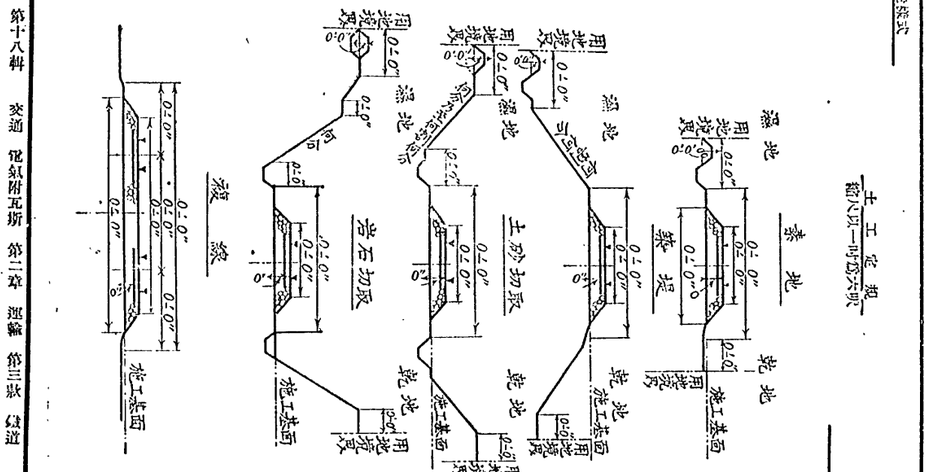
備考
1 種類欄ニハ主要貨物ハ品名別ニ其ノ他ハ一括記載スヘシ
2 上り下りニ著シキ差異アルトキハ上下各別ニ記載スヘシ
3 特殊貨物アルトキハ摘要欄ニ說明スヘシ

第四號樣式

土工定規

縮小以一吋爲六呎

鐵道


素地
乾地
用地境界
0-7"
0-0"
築堤
用水溝
溝渠
溝地
土砂切取
岩石切取
施工基面
0-0"
0-7"
0-0"
0-7"
0-0"
0-7"

第六號樣式

工程表

線路

年　月　日現在

	種別	前期末施工歩合	現在施工歩合	摘要
用地	%			
土工	粁			
橋梁	屯			
隧道	呎			
軌道	哩			
停車場	箇所			
信号機	基			
保安装置	箇所			
電気設備	箇所			
運輸	箇所			

備考

1 橋梁欄ニハ鉄橋ノ呎位毎ニ区分ヲ記載スヘシ

2 所用天災現在施工歩合ノ欄ニハ数ヘテ幾日遅延ノ意ニ於テ六月又ハ十二月末日現在ノ施工数量ヲ百分率ニテ記載スヘシ

3 鉄道ニ非ル運輸ノ工程表記載ノ数量災害ノ如キハ又之ニ準シ適宜ノ様式ヲ選定スヘシ

4 工事一部委托同業ノ場合ニ於テハ委托未済ノ数量ヲ同業届ニ準スルモノトミナシ記載スヘシ

第六號樣式

主要材料表（橋梁）

線路

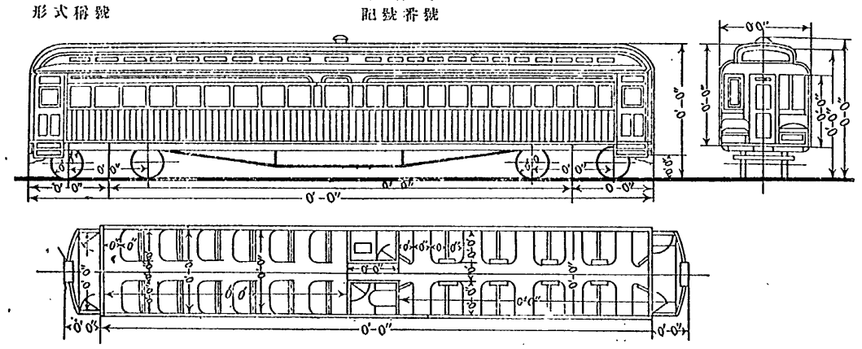
名稱	番号	材質	摘要	名稱	番号	材質	摘要
鉄桁				橋桁			
鉄柱				橋柱			
方杖				橋脚			
鉄筋混凝土橋台				橋台			
鉄筋混凝土橋脚				橋脚			
鉄筋混凝土日覆				橋床			
鉄筋混凝土翼壁				橋門			
鉄筋混凝土胸壁				橋門			
鉄筋混凝土橋座				橋座

第十號様式ノ二

車輛效功圖表

鐵道

等客車
形式番號　記號番號



定員（等）……
（等）……
（内座席）……
面積（等）……
（等）……
最大寸法（長×幅×高）……
自重……
緩衝器ノ高（空車）……
（滿載車）……
制動機ノ種類……
聯結器ノ種類……
備考　機關車ノ備考ニ同シ

人
人
人
平方呎
平方呎
噸分厘

燈ノ種類及箇數
車軸（徑×長）……ジヨーナル　ホキールフイツト

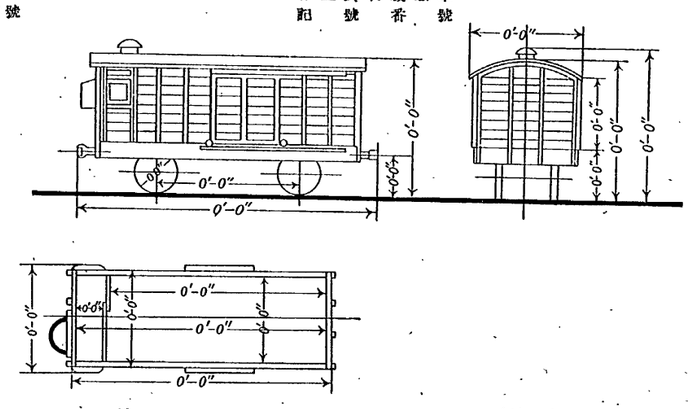
製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

第十號様式ノ三

車輛效功圖表

有蓋貨物緩急車
形式番號　記號番號

鐵道



積載重量……噸
容積……噸……
自重……
最大寸法（長×幅×高）……
緩衝器ノ高（空車）……
（滿載車）……
制動機ノ種類……

順分厘
立方呎
順分厘

聯結器ノ種類……
車軸（徑×長）……ジヨーナル　ホキールフイツト

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

備考　機關車ノ備考ニ同シ

第九號様式ノ二

主要材料表（客貨車）

鐵道

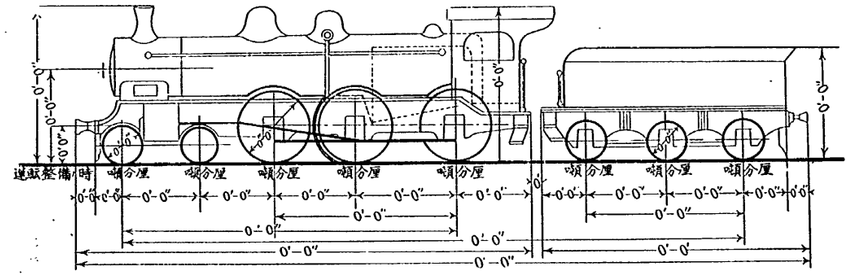
名稱 ＼ 種類	材質 客車	緩急車	貨車	……	摘要
緩衝梁					
ソールバー					
横根太、縦根太、筋違根太					
長土臺					
長桁					
柱類					
ホキールセンター					
輪軸					
車軸					
擔彈機					
ブレーキギヤー					
牽引鉤及桿					
牽引彈機					
聯結機					
同上ピン					
緩衝器頭					
緩衝器筐					
緩衝器彈機					

第十號様式ノ一

車輛效功圖表

六輪聯結十輪テンダー機關車
形式番號　番號

鐵道



汽罐及衝程……
汽罐及高徑……
汽罐及壓……
汽罐及火床面積……
汽罐及火面積……
汽罐及煙管……
汽罐及煙室……
汽罐及過熱面積……
運轉整備時機關車重量……
運轉整備ノトキ炭水車重量……
運轉整備ノトキ働輪上ノ重量……
運轉整備ノトキ機關車重量……
空車ノトキ炭水車重量……
空車ノトキ水槽ノ容積……
燃料櫃ノ容積……

時
封度時
平方呎
平方呎
平方呎
平方呎
平方呎
順分厘
順分厘
順分厘
順分厘
順分厘
ガロン
立方呎

最大寸法（長×幅×高）……
焰管（徑×長×數）……
過熱煙管（徑×長×數）……
大焰車軸（徑×長）……ジヨーナル　ホキールフイツト
導輪軸……　……
動輪軸……　……
從輪軸……　……
炭水車軸……　……
制動機ノ種類……　……
聯結器ノ種類……　……

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

備考　用材ハ幅八吋半長十三吋半以テ一呎トスヘシ　尺分ノ一吋ヲ以テ一呎ニ縮ムルトキハ八分ノ一吋ヲ以テ一呎トスヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第十號様式ノ四

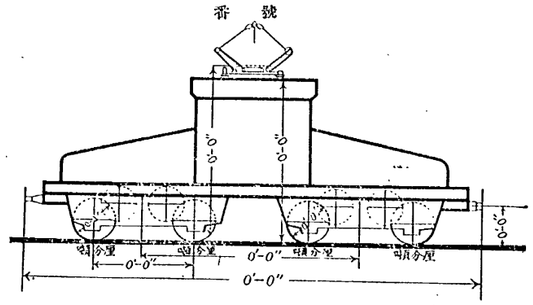
鐵道

表 圖 効 幅 車

車 關 機 電 氣

形式稱號

番號



制動機ノ種類……
制輪器ノ種類……
重量……　噸分種
車軸大寸法(長×幅×高)……
車軸(徑×長)……ジヨーナル　ホキールフイツト
動輪軸……
全負荷ノトキニ於ケル{牽引力……　粁度
速度……　哩

電動機力{種類……
數……
種馬電箇{展數……
數……
商車ノ比……
電動機力{種類……
數……
種馬電箇{展數……
數……
種類……
制御器ノ種類{數……

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

備考　機關車ノ備考ニ同シ

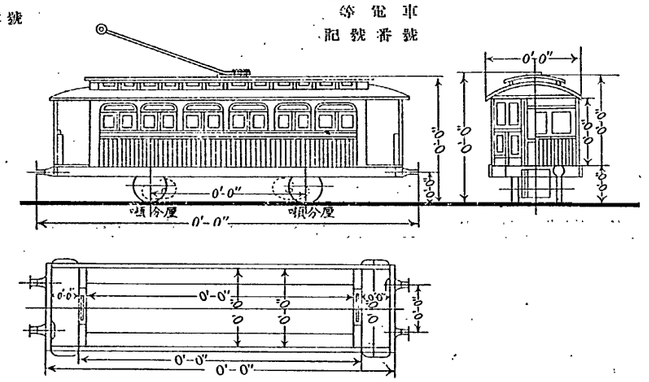
第十號様式ノ五

鐵道

表 圖 効 幅 車

客 電 車

形式稱號　記號番號



定員(坐席(幕)……人
(內座席(幕)……人
面積(幕)……平方呎
最大寸法(長×幅×高)……順分厘
自重……
緩衝器ノ高(空車……
(滿載車……
制動機ノ種類……
聯結器ノ種類……
車軸ノ箇數……
車軸(徑×長)……ジヨーナル　ホキールフイツト
トラックノ種類……
備考　機關車ノ備考ニ同シ

電動機力{種類……
數……
種馬電箇{展數……
數……
商車ノ比……
制御器ノ種類……
全負荷ノトキニ於ケル{牽引力……　封度
速度……　哩

製造所名	製造年月	代價	前所有者名	舊番號	記事

第十一號様式ノ一

電氣工事竣功表（水力發電所）

發電所　鐵道

機械器具ノ種別	數量ノ種別	數量ノ他	摘要
出力	最大出力ノ繼續時間	出力 キロワット 時間	
汽罐	蒸發量（一時間＝ポンド）	數	
	蒸發面積（一時間＝平方呎）	數	
原動機	汽機	數	
	回轉數（一分間＝回）	數	
發電機	交流發電機	數	
	直流發電機	數	
	回轉變流機	數	
變壓器	油冷式	數	
	風冷式	數	
送電線	電線	數	
	支持物	數	
	口徑	數	
配電盤	交流用	面	
	直流用	面	
蓄電池	容量	箇	
水車	種類	箇	
	回轉數（一分間＝仟）	數	
	速度	數	
發電機	種類	箇	
	電壓	數	
	相數	數	
	周波數	數	
變壓器	種類	箇	
	電壓	數	
	容量	數	
送電線	種類	數	
	電壓	數	
	導線ノ斷面積	數	
	導線ノ材料	數	
	支持物ノ種類	數	
	徑間	數	
配電盤	交流用	面	
	直流用	面	
蓄電池	容量	箇	
水車	種類	箇	
	回轉數（一分間＝仟）	數	
	速度	數	
發電機	種類	箇	
	電壓	數	
	相數	數	
	周波數	數	
變壓器	種類	箇	
	電壓	數	
	容量	數	
送電線	種類	數	
	電壓	數	
	導線ノ斷面積	數	
	導線ノ材料	數	
	支持物ノ種類	數	
	徑間	數	
配電盤	交流用	面	
	直流用	面	
蓄電池	容量	箇	
水車	種類	箇	
	回轉數（一分間＝仟）	數	
	速度	數	
發電機	種類	箇	
	電壓	數	
	相數	數	
	周波數	數	
變壓器	種類	箇	
	電壓	數	
	容量	數	
送電線	種類	數	
	電壓	數	
	導線ノ斷面積	數	
	導線ノ材料	數	
	支持物ノ種類	數	
	徑間	數	
配電盤	交流用	面	
	直流用	面	
蓄電池	容量	箇	

備考
1 本表ハ發電所每ニ作製スヘシ
2 蒸汽トハ發電所作業用ノ爲發生スルモノヲ謂フ
3 電動機及發電機ノ項ニ於テハ同種ノモノヲ一括記載スヘシ
4 原動機及發電機ノ項ニ於テハ第十一號様式ノ三ニ依リ作製スヘシ
5 本表ニハ發電所ノ建物及構築物ノ概略ヲ明示スル平面圖及配線圖ヲ添附スヘシ
6 本表ニ記載スルモノヲ除ク外其ノ他ノ機械器具ニ付テハ第十一號様式ノ二ニ準シ作製スヘシ
7 本表ニ記載スル發電所每ニ作製スヘキ共用スル構築ニ在リテハ其ノ出力ヲ區別シ數量ヲ記載スヘシ

第十一號様式ノ二

電氣工事竣功表（水力發電所）

發電所　鐵道

機械器具ノ種別	數量ノ種別	數量ノ他	摘要
出力	最大出力ノ繼續時間	出力 キロワット 時間	
使用河川名又ハ湖沼名			
堰堤	材料	容積 立方米	
	實際使用セムトスル水量	毎秒 立方米	
	取入口及放水路ノ型式		
最大落差	有效	呎	
	總高	呎	
水路	型式		
	容量	毎秒 立方呎	
貯水池	容量	立方呎	
水車	種類	箇	
	回轉數（一分間＝仟）	數	
	速度	數	
發電機	種類	箇	
	電壓	數	
	相數	數	
	周波數	數	
變壓器	種類	箇	
	電壓	數	
	容量	數	
送電線	種類	數	
	電壓	數	
	導線ノ斷面積	數	
	導線ノ材料	數	
	支持物ノ種類	數	
	徑間	數	
配電盤	交流用	面	
	直流用	面	
蓄電池	容量	箇	
水車	種類	箇	
	回轉數（一分間＝仟）	數	
	速度	數	
發電機	種類	箇	
	電壓	數	
	相數	數	
	周波數	數	
變壓器	種類	箇	
	電壓	數	
	容量	數	
送電線	種類	數	
	電壓	數	
	導線ノ斷面積	數	
	導線ノ材料	數	
	支持物ノ種類	數	
	徑間	數	
配電盤	交流用	面	
	直流用	面	
蓄電池	容量	箇	

備考
第十一號様式ノ一備考第一號乃至第六號ハ本表ニ之ヲ準用ス

第十一號様式ノ三

電氣工事竣功表（變電所）

變電所　　鐵道

機械器具其ノ他			數量其ノ他	摘要
出力	最大出力 平均出力 最大出力ノ繼續時間		キロワット 〃 時	
電動發電機	電動機	種類 容量 電壓 個數	馬力 ヴオルト 基	
	發電機	種類 容量 電壓 回轉數（一分間ニ付） 個數 製造者名	キロワット ヴオルト 回 基 常用　豫備	
	勵磁機	容量 電壓 個數	キロワット ヴオルト 基	
變壓器		容量 一次電壓 二次電壓 相數 周波數 冷却法 個數 製造者名	キロヴオルトアムペーア ヴオルト 〃 サイクル 基 常用　豫備	
蓄電池		種類 放電時間 容量 個數 製造者名	時 アムペーア時	
整流器		材料 個數		

備考

1 第十一號様式ノ一備考第一號乃至第三號及第六號ハ本表ニ之ヲ準用ス
2 回轉變流機ノ設備アルトキハ之ヲ交流直流ニ區別シ周波數變換機ノ設備アルトキハ之ヲ電動機發電機ニ區別シ昇壓機ノ設備アルトキハ之ヲ發電機電動機勵磁機ニ區別シ電動發動機ノ欄ニ準シ記載スヘシ
3 蓄電所ニ在リテハ本様式ニ準シ作製スヘシ

第十一號様式ノ四

電氣工事竣功表（送電線路）

發電所
變電所間　　鐵道

構造其ノ他			數量其ノ他	摘要
電氣方式		直流交流ノ別 相 線式 最大電壓	ヴオルト	
電線路	電線	種類 太サ 線條數 亙長 延長 地表上ヨリ電線迄ノ平均高	條 哩 鎖 〃 呎 吋	
	電柱	平均柱間距離 最大柱間距離 材質	呎 〃	
地中電線路	心線	種類 太サ及數		
	電纜	線條數 亙長 暗渠線溝及直接埋設等ノ別	條 哩 鎖	

備考

1 本表ハ電氣方式ノ異ル毎ニ作製スヘシ
2 本表ハ電線路毎ニ作製スヘシ
3 本表ニハ送電關係一覽圖送電線路構造圖及發電所變電所蓄電所等ノ位置電線路ノ中心及經過地名ヲ明示スル縮尺約二千分ノ一ノ送電線路平面圖ヲ添附スヘシ

第十一號様式ノ五

電氣工事竣功表（饋電線路及電車線路）

停車場間
停車場　　鐵道

線路名		構造其ノ他	數量其ノ他	摘要
饋電線路	電氣方法	直流交流ノ別 相 線式 電壓	ヴオルト	
	架空饋電線路 電線	種類 太サ 線條數 亙長	條 哩 鎖	
	架空饋電線路 電柱	平均柱間距離 材質	呎	
	地中饋電線路 心線	種類 太サ及數		
	地中饋電線路 電纜	線條數 亙長 暗渠線溝及直接埋設等ノ別	條 哩 鎖	
電車線路	電氣鐵道方式	直流交流ノ別 相 電車線ノ電壓 架空單線式架空複線式等ノ別	ヴオルト	
	架空電車線路 電線	種類及太サ 線條數 亙長 （複線ノ場合ニハ上リ線下リ線ノ別ヲ記載スルコト）	哩 鎖 哩 鎖	
	架空電車線路 電柱	平均柱間距離 材質 側柱及中央柱ノ別	呎	
	軌條回路 ボンド	種類 太サ		
	軌條回路 補助線	種類及太サ 線條數 亙長	條 哩 鎖	
	軌條回路	軌條ノ接續方法		
	第三軌條 軌條ボンド	絶縁接續方法 種類 太サ	粁度	
	第三軌條 補助線	種類及太サ 線條數 亙長	條 哩 鎖	
		敷設方法		

備考

1 本表ハ電氣方式又ハ電氣鐵道方式ノ異ナル毎ニ作製スヘシ
2 本表ハ電線路毎ニ作製スヘシ
3 鏈線吊線式ニ在リテハカテナリー線ノ種類、形狀、太サ等ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
4 本表ニハ饋線路構造圖及饋電線路毎ニ架設哩程、線條數、太サ並電車線ノ區劃及饋電線トノ接續箇所ヲ明示スル饋電關係一覽圖ヲ添附スヘシ

第十二號様式

對哩運賃表

鐵道

營業哩程	運賃 三等	二等	一等

運賃計算ノ方法

三等運賃ハ營業哩程ニ　錢　厘ヲ乘ス
二等運賃ハ三等運賃ノ　割增
一等運賃ハ三等運賃ノ　割增
計算上生シタル厘位ハ之ヲ錢位ニ切上ク（切捨トス）

第十三號様式

實測換算中心哩程表

鐵道

驛名	哩程 哩	鎖	節	摘要
	0	3	20	
	0	71	23.5	
	2	54	0	
	5	11	63	
	6	49	98	

備考　用紙ノ大サハ「フールスカツプ」大版半切トス

第十四號樣式

營業哩程表

鐵道

驛名	0.9	2.6	5.1	6.6							
	驛名	1.7	4.2	5.7							
		驛名	2.5	4.0							
			驛名	1.5							
				驛名							
									支		
										線	

備考

1 營業哩程ハ鎖以下ヲ分ニ換算シ厘位以下ヲ四捨五入シ分ニ止ムヘシ

2 起點驛ト他ノ各驛トノ營業哩程ハ第十二號樣式所載各驛ノ實測換算中心哩程ヨリ起點驛ノ實測換算中心哩程ヲ控除シ殘餘ノ哩程ヲ換算スヘシ

3 起點驛ニ非サル各驛相互間ノ營業哩程ハ前號ノ營業哩程ヲ差引算出スヘシ（六哩六分ヨリ五哩一分ヲ控除シ一哩五分、二哩六分ヲ控除シ四哩、零哩九分ヲ控除シ五哩七分トシ又五哩一分ヨリ二哩六分ヲ控除シ二哩五分、零哩九分ヲ控除シ四哩二分トスルカ如シ）

4 支線ノ營業哩程ハ前各號ニ依リ算出シ支線各驛ト幹線各驛相互間ノ營業哩程ハ各驛ヨリ分岐點ニ至ル營業哩程ヲ合計シ順次記載スヘシ

第十五號樣式

旅客運賃表

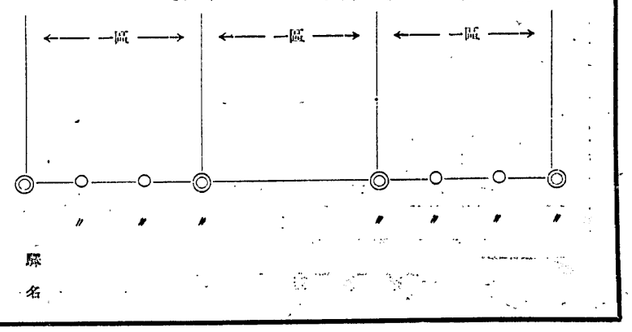
鐵道

驛名	3	7	13	17							
	驛名	5	11	15							
		驛名	7	10							
			驛名	4							
				驛名							
									支		
										線	

備考

1 運賃表ハ各等別ニ調製スヘシ

2 區間制運賃ニ在リテハ下ノ例示ニ依リ運賃區間ノ驛名ヲ標示スヘシ



第十六號樣式

大貨物營業哩程表

鐵道

驛名	2	4	8	10							
	驛名	3	7	9							
		驛名	4	6							
			驛名	3							
				驛名							
									支		
										線	

備考

大貨物營業哩程ハ第十三號樣式ニ依ル營業哩程表ノ各驛間營業哩程ヲ倒增シ計算上生シタル端數ノ取捨ヲ說明スヘシ

第十七號樣式

發著時刻表

鐵道

下り列車 1 ※混 午前	下り列車 3 急客 午前	下り列車 21 貨 午後	下り列車 5 客 午後	累計哩程	驛名	接續時分 接續驛	接續時分 (13) 下午10.21 ㇾ前52.25			
	11.20					0.9				
	24			0.9						
	25					1.7				
	31			2.6						
	×40			5.1		2.5				
	42									
	47			6.6		1.5				
	48									
	55			8.7		2.1				
	12.03			11.1↓		2.4				
	05									
	14			13.7		2.6				
	14									
	22			16.1		2.4				
	28									
(4) 午前6.31 ㇾ前6.33				接續驛		區間哩程	午前 ※2 混			
(3) 下午5.30 ㇾ前6.32										
接續時分							上り列車			

備考

1 哩程ハ總テ營業哩程ヲ以テ記載スヘシ

2 符號ヲ以テ列車ノ種別ヲ示ストキハ欄外ニ其ノ凡例（例※印ハ不定期列車ノ如キ）ヲ記載スヘシ

3 時刻ハ上段ヲ著、下段ヲ發（上ㇾ列車ハ其ノ反對）トスヘシ

4 通過列車ニハ發時刻ノミヲ記載シ著時刻ノ段ニ――ヲ記入スヘシ

5 列車カ行違ヲ爲ス著發時刻ニハ×印ヲ附スヘシ

6 停車時間一分未滿ノ場合ハ著發共同一ノ時分ヲ記載シ欄外ニ「著發同時分ヲ記載セルモノハ發時刻何秒前ニ到著スルモノトス」ト記載スヘシ

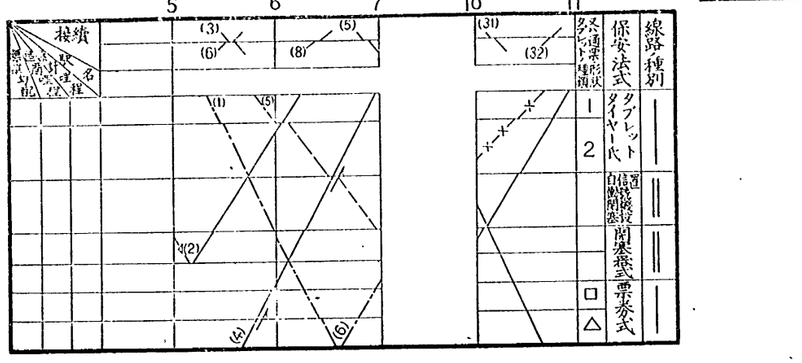
7 支線ノ時刻ハ別ニ記載スヘシ

8 接續列車ノ番號ニハ括弧ヲ附シ下ㇾ上ㇾ、又ハ著發時分ハ便宜ノ方法ニ依ㇾ記載スヘシ

第十八號様式

列車運行圖表

鐵道



備考

1　驛名ニハ次ノ符號ヲ附スヘシ　聯絡停車場括弧、停留場◎、信號所×、貨物專用驛又、機關庫所在驛△、

2　列車ハ次ノ符號ニ依リ區別スヘシ　急行旅客列車━━━、旅客列車┈┈┈、混合列車┈·┈·┈、貨物列車·——·——、電車·—·—·—、汽動車←—←—←—、空客車廻送列車 —□—□—、單行機關車—▷—、驛ヲ通過スルトキ——

3　不定期列車ニハ其ノ線上ニ×ヲ附スヘシ但シ單行機關車ハ—▶—トスヘシ

4　列車番號ハ見易キ位置ニ括弧ヲ附シ記載スヘシ

5　線路種別ハ單線━━━複線═══ノ區別ヲ示スヘシ但シ單線ノミナルトキハ線路種別ノ記入ヲ省略スヘシ

6　新舊對照運行圖表ハ本表ノ記載例ニ倣ヒ現行列車ヲ黑書、改正列車ヲ朱書スヘシ

第十九號様式

運轉速度表

鐵道

標準勾配	區間哩程	驛名	急行旅客列車		旅客列車		混合列車		貨物列車		———	
			運轉時分	平均速度	運轉時分	平均速度	運轉時分	平均速度	運轉時分	平均速度	運轉時分	平均速度
	哩 分		分	哩 分								
	0.9		4	13.5								
	1.7		6	17.0								
	2.5		9	16.7								
	1.5		5	18.0								
	2.1		7	18.0								
	2.4		8	18.0								
	11.1	全線	(3) 43	15.5								

備考

1　上リ列車及下リ列車ノ運轉速度異ルモノハ各別ニ記載スヘシ

2　同一種類ノ列車ニシテ同一區間ノ運轉時分異ナルトキハ最少時分ニ依リ作製スヘシ

3　全線ノ運轉時分及平均速度ハ各種類ノ列車中最少時分ヲ以テ運轉スルモノヲ記載シ其ノ列車番號ヲ示スヘシ

第二十號様式（美濃判形）

年　月　日

朝鮮總督府鐵道局長宛

鐵道代表者

事故届

事故ノ種類及原因	
發生日時分	
場所	
當該列車又ハ車輛	
現場ノ狀況及當時ノ處置	
損害ノ程度	
進行停止時間	
當務者處分ノ顚末	

備考

一　事故ノ種類ハ左ノ如ク區別シ之ヲ記載スヘシ
　列車ノ衝突　衝突シタル列車又ハ車輛ノ種類及衝突ノ種別ヲ記載スヘシ
　列車ノ接觸　同上
　脫線　車輛ノ種類ヲ記載スヘシ
　顚覆　同上
　顚倒　同上
　列車ノ分離　列車ノ種類ヲ記載スヘシ
　列車ノ異線進入　同上
　車輛不良　車輛ノ種類及其ノ編數ヲ記載スヘシ
　車輛逸走　同上
　線路障碍　天災事變ニ因リ列車運轉ニ支障ヲ及ホシタル事項ヲ記載スヘシ
　列車妨害　故意ニ列車ノ運轉ヲ支障シタル一切ノ事項ヲ記載スヘシ
　電氣設備ノ故障　列車ノ運轉ニ支障ヲ及ホシタル事項ヲ記載スヘシ
　火災　車輛、建造物及沿線被害物ノ種類ヲ記載スヘシ
　傷　乘客、係員及公衆ニ區別シ記載スヘシ
　死

二　場所ハ驛名又ハ起點ヨリノ哩程（何驛間）ヲ記載スヘシ

三　當該列車又ハ車輛ハ其ノ種類及番號ヲ記載スヘシ

四　現場ノ狀況及當時ノ處置ハ詳細ニ說明シ必要ニ依リ圖面ヲ添附スヘシ

五　當務者處分ノ顚末ハ假職、降職、減給、譴責等ノ別ニ依リ記載スヘシ但シ處分未了ノ場合ハ其ノ旨ヲ附記シ處分結了ト同時ニ之ヲ通報スヘシ

第二十一號様式（美濃判形）

年　月　日

朝鮮總督府鐵道局長宛

鐵道代表者

月分事故届

事故ノ種類及原因				
發生日時分				
場所				
當該列車又ハ車輛				
現場ノ狀況及損害ノ程度				
進行停止時間				
當務者處分ノ顚末				

備考　第二十號様式備考ニ同シ

●朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル營業收入及營業費計算方法

昭和二年十一月
總令第百八號

朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル營業收入及營業費計算方法左ノ通定ム

朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條ノ規定ニ依ル營業收入及營業費計算方法

第一條　營業收入ハ客車收入、貨車收入其ノ他運輸營業上及附帶事業上ノ諸收入トス

第二條　營業費ハ鐵道及其ノ附屬物件ノ保存復舊ノ費用、諸稅其ノ他運輸營業上及附帶事業上ノ諸費用トス

第三條　一部買收ノ場合ニ於ケル買收區間及殘存區間ノ營業收入及營業費ハ營業年度ヲ各區間ニ付之ヲ計算ス

買收區間及殘存區間ニ跨ル營業收入及營業費ハ左ノ各號ノ定ムル所ニ依リ營業年度ヲ各區間ニ付之ヲ分割ス

一　客車收入ハ買收區間及殘存區間ニ跨ル乘客ノ各區間ニ於ケル延人哩數ニ依ル百分率

二　貨車收入ハ買收區間及殘存區間ニ於ケル貨物ノ各區間ニ於ケル延噸哩數ニ依ル百分率

三　前二號ニ揭グルモノ以外ノ收入ハ買收區間及殘存區間ニ於ケル他ノ收入總額ニ依ル百分率

四　營業費ハ買收區間及殘存區間ニ於ケル營業收入ニ依ル百分率

第四條　建設及營業ニ關聯スル貸用ス當該營業年度ニ於ケル建設費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第五條　免許ヲ受ケタル者ハ運轉、借入及列車保安ニ關スル規定ヲ定メ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第六條　專用鐵道ノ運轉ノ管理ノ委託ヲ爲サムトスルトキハ申請書ニ運轉ノ管理ノ委託ニ關スル協定書ノ謄本ヲ添附シ鐵道局長ノ許可ヲ受クヘシ

第七條　補助ヲ受クル鐵道ノ管理者カ法令、法令ニ基キテ爲ス命令、免許若ハ補助ニ附シタル條件ニ違反シ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ補助ヲ停止シ又ハ廢止スルコトヲ得

第八條　削除

第九條　昨歿ニ因リテ補助金ヲ受ケタルトキハ法定ノ利息ヲ附シテ之ヲ償還セシム

第十條　前條ノ規定ニ依ル償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本法ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則（大正十二年三月法律第二十三號）

本法ハ大正十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭和九年三月法律第二十七號）

本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間滿了ノ日（朝鮮鐵道株式會社ニ在リテハ昭和九年十二月十四日）ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ノ期間ニ付テハ該鐵道ノ建設費ニ充テタル資金ニ對シ利メテ補助ヲ爲シタル日ヲ以テ第一條第一項ノ營業開始ノ日ト看做ス

●朝鮮私設鐵道補助法施行規則

昭和十年一月
總令第二號

朝鮮私設鐵道補助法施行規則左ノ通改正ス

朝鮮私設鐵道補助法施行規則

第一條　朝鮮私設鐵道補助法ニ依リ補助ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ノ建設費明細表及第二號樣式ノ一年間ノ營業收支計算表ヲ其ノ朝鮮鐵道局長ニ提出シ鐵道局長ニ於テ其ノ適否ヲ調査シ之ヲ認可スヘシ

第二條　朝鮮私設鐵道補助法第二條ノ建設費及益金ハ左ノ各號ニ依ル

一　建設費ハ各號ニ依ル

第一　建設費ハ當該私設鐵道ノ豫算及決算額ヲ基礎トシ朝鮮總督ノ査定シタル額

第二　益金ハ營業收入ヨリ營業費ヲ控除シタル殘額但シ法定準備金ノ積立ヲ爲スヘキ場合ニ於テハ其ノ殘額ノ二十分ノ一ハ之ヲ控除ス

前項第二號ノ營業收入ハ當該私設鐵道ノ客車收入、貨車收入及運輸雜收入ノ決算額トシ同號ノ營業費ハ當該私設鐵道ノ營業費豫算及決算額ヲ基礎トシ朝鮮總督ノ査定シタル額トス

第三條　社債及借入金ノ支出ハ固有資金ノ支用ノ後ニ之ヲ爲シタルモノト看做ス

第四條　建設費ニ對スル益金ノ割合ハ一年ノ日數ヲ以テ補助日數ヲ除シタルモノヲ建設費ニ乘ジタル額ト當該補助期間ノ益金トノ割合ニ依リ之ヲ定ム

前項ノ規定ハ建設費ニ對スル補助金ノ割合ノ算出ニ付之ヲ準用ス

第五條　補助期間ガ營業年度ノ中間ニ於テ開始シ又ハ終了シタル場合ニ於テハ益金ハ當該營業年度ヲ通ジテ同一ノ割合ニ依リ生ジタルモノト看做ス

第六條　朝鮮私設鐵道補助法第三條ノ規定ニ依リ數區ニ分チ補助ヲ爲ス場合ニ於テハ建設費及損益金ハ各區別ニ之ヲ計算ス

前項ノ場合ニ於テ數區ニ關聯スル建設費、營業收入及營業費ノ決算額ハ左ノ各號ニ依リ各區ニ之ヲ分割ス

一　建設費ハ關聯各區ニ於ケル當該營業年度ノ建設費ノ決算額ノ割合ニ依ル百分率

二　客車收入ハ數區ニ跨ル旅客ノ各區ニ於ケル延人粁數ノ割合ニ依ル百分率

三　貨車收入ハ數區ニ跨ル貨物ノ各區ニ於ケル延噸粁數ノ割合ニ依ル百分率

四　運輸雜收入ハ各區ニ於ケル客車收入及貨車收入ノ決算額ノ割合ニ依ル百分率

第七條　前條ノ規定ハ同一區間内ニ於テ漸次營業ヲ開始シタル場合ニ於ケル當該營業年度ノ建設費及損益金ノ計算ニ付之ヲ準用ス

第八條　建設及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル建設費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第九條　補助ヲ受クル私設鐵道ガ他ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ相互ニ關聯スル興業費、營業收入又ハ營業費ハ當該營業年度ニ於ケル興業費、營業收入又ハ營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

前項ノ場合ニ於テ興業及營業ニ關聯スル費用ハ當該營業年度ニ於ケル興業費及營業費ノ決算額ノ割合ニ依リ百分率ヲ以テ之ヲ分割ス

第十條　朝鮮私設鐵道補助法ニ依リ補助ヲ受クル者ハ營業年度ノ事業豫定計畫書並ニ第三號樣式乃至第十號樣式ノ建設費及營業收支ニ關スル豫算表ヲ年度開始六十日前迄ニ鐵道局長ニ提出シ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第十一條　每營業年度ノ剩益處分ハ豫メ鐵道局長ニ之ヲ屆出ヅベシ

前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ貸借對照表、損益計算表並ニ第十一號樣式乃至第二十一號樣式ノ建設費及營業收支ニ關スル豫算決算對照表ヲ添附スベシ

第十二條　借入金ヲ爲シタルトキハ其ノ借入先、金額、年由及條件ヲ具シ鐵道局長ニ屆出ヅベシ

第十三條　朝鮮總督ハ官吏ヲシテ株主總會其ノ他ノ會議ニ臨ミ意見ヲ述ベシムルコトヲルベシ

附則

本令營業布ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間滿了ノ日ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

附則（昭和十三年一月總令第十六號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ第一條ノ改正規定ハ昭和十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮私設鐵道補助法

大正十年四月
法律第三十四號

改正　大正一二年三月第二三號、一四年三月第三一號、昭和五年五月第二七號、九年三月第二七號

脫當囡議會ノ協贊ヲ經タル朝鮮私設鐵道補助法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　朝鮮總督ハ朝鮮ニ於テ公衆ノ用ニ供スル爲經營スル私設鐵道ニ對シ該鐵道營業開始ノ日ヨリ十五年ヲ限リ補助金ヲ交付スルコトヲ得

朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ更ニ五年ヲ限リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第二條　前條ノ補助金ハ左ノ各號ニ依ル金額ヲ限度トス

一　前條第一項ノ期間中ハ營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年六分ノ割合ニ相當スル金額但シ營業年度ニ於ケル益金カ建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

二　前條第二項ノ期間中ハ營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年五分ノ割合ニ相當スル金額但シ營業年度ニ於ケル益金カ建設費ニ對シ年一分五厘ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

第三條　朝鮮總督ハ必要アリト認ムルトキハ一經營者ノ經營スル鐵道ヲ數區ニ分チ各區ニ付前二條ノ規定ニ準シ補助ヲ爲スコトヲ得

第四條　前二條ノ規定ニ依ル建設費及益金ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ算出シタル金額ニ依ル

第五條　補助金ノ年總額ハ最高五百萬圓トス

第六條　補助金ノ每年度ノ豫算殘額ハ翌次之ヲ其ノ翌年度ノ豫算ニ加算ス

第七條　補助ヲ受クル鐵道ノ營業ヲ廢止シ又ハ營業收入ノ減少ニ因リ補助ノ必要ナキニ至リタルトキハ朝鮮總督ハ其ノ補助ヲ停止シ又ハ廢止スルコトヲ得

第八條　削除

第九條　昨歿ニ因リテ補助金ヲ受ケタルトキハ法定ノ利息ヲ附シテ之ヲ償還セシム

第十條　前條ノ規定ニ依ル償還金ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ先取特權ノ順位ハ國稅ニ次グモノトス

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則（大正十二年三月法律第二十三號）

本法ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則（昭和九年三月法律第三十一號）

本法ハ昭和九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ニ付テハ會社設立登記ノ日ヨリ十五年ノ期間滿了ノ日（朝鮮鐵道株式會社ニ在リテハ昭和九年十二月十四日）ヲ含ム營業年度ノ末日迄ハ改正規定ニ拘ラズ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行ノ際現ニ補助ヲ受クル鐵道ニ對スル補助ノ期間ニ付テハ該鐵道ノ建設費ニ充テタル資金ニ對シ利メテ補助ヲ爲シタル日ヲ以テ第一條第一項ノ營業開始ノ日ト看做ス

●朝鮮專用鐵道規程

大正九年十一月
總令第百七十三號

改正　大正一五年二月九號、昭和二年第一六號

朝鮮專用鐵道規程左ノ通定ム

朝鮮專用鐵道規程

第一條　本規程ハ私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ之ヲ適用ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　人力又ハ牛馬力ヲ使用スルモノ

二　工場、事業場其ノ他之ニ類スル地域内ニ限リ敷設スルモノニシテ公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通又ハ直接連絡セサルモノ

三　朝鮮鐵業令ニ依ル鐵業ノ用ニ供スル爲鐵區内又ハ之ニ隣接スル地域内ニ敷設シ公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通又ハ直接連絡セサルモノ（鐵區外ノ延長十キロメートルヲ超ユルモノヲ除ク）

第二條　專用鐵道ヲ敷設セムトスル者ハ申請書ニ使用ノ目的ヲ記載シ鐵道ヲ敷設セムトスル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ左ノ書類及圖面ヲ提出シ朝鮮總督ノ免許ヲ受クヘシ

一　線路實測圖

二　工事方法書

三　建設費豫算書

四　他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡又ハ直通ニ關スル協定書ノ謄本

第三條　免許ニハ工事ノ著手及竣工ノ期限ヲ附ス

前項ノ期限ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ其ノ伸長ヲ鐵道局長ニ申請スルコトヲ得

第四條　工事ニ著手シタルトキハ一週間内ニ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第五條　免許ヲ受ケタル者ハ運轉、借入及列車保安ニ關スル規定ヲ定メ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第六條　專用鐵道ノ運轉ノ管理ノ委託ヲ爲サムトスルトキハ申請書ニ運轉ノ管理ノ委託ニ關スル協定書ノ謄本ヲ添附シ鐵道局長ノ許可ヲ受クヘシ

●朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件

昭和二年八月
制令第十三號

朝鮮私設鐵道買收ニ關スル件明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

第一條　左ニ揭グル鐵道ヲ買收スル場合ニ於テ朝鮮私設鐵道令ニ於テ依ルコトヲ定メタル地方鐵道法第三十一條第一項ノ金額ヲ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ公債時價ニ依リテ公債券面金額ニ換算シタル金額ト以内ニ於テ協定シタル金額ヲ以テ買收價額トス

一　朝鮮鐵道株式會社所屬ノ松汀里石峴間、大邱鶴山間、慶州東萊間及馬山晋州間ノ鐵道

二　國營鐵道株式會社所屬ノ鐵道

第二條　前條ノ鐵道中未ダ運輸開始ニ至ラザル線路ノ買收價額ハ買收ノ日ニ於ケル建設費ヲ公債時價ニ依リテ公債券面金額ニ換算シタル金額以内ニ於テ協定シタル金額トス

第三條　前二條ノ公債時價ハ匪發行公債ノ時價ヲ參酌シ朝鮮總督大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮專用鐵道規程

大正九年十一月
總令第百七十三號

改正　大正一五年二月九號、昭和二年第一六號

朝鮮專用鐵道規程左ノ通定ム

朝鮮專用鐵道規程

第一條　本規程ハ私人カ專用ニ供スル爲敷設スル鐵道ニ之ヲ適用ス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　人力又ハ牛馬力ヲ使用スルモノ

二　工場、事業場其ノ他之ニ類スル地域内ニ限リ敷設スルモノニシテ公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通又ハ直接連絡セサルモノ

三　朝鮮鐵業令ニ依ル鐵業ノ用ニ供スル爲鐵區内又ハ之ニ隣接スル地域内ニ敷設シ公衆ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ト直通又ハ直接連絡セサルモノ（鐵區外ノ延長十キロメートルヲ超ユルモノヲ除ク）

第二條　專用鐵道ヲ敷設セムトスル者ハ申請書ニ使用ノ目的ヲ記載シ鐵道ヲ敷設セムトスル地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由シ左ノ書類及圖面ヲ提出シ朝鮮總督ノ免許ヲ受クヘシ

一　線路實測圖

二　工事方法書

三　建設費豫算書

四　他ノ鐵道又ハ軌道ト連絡又ハ直通ニ關スル協定書ノ謄本

第三條　免許ニハ工事ノ著手及竣工ノ期限ヲ附ス

前項ノ期限ハ天災事變其ノ他已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ限リ其ノ伸長ヲ鐵道局長ニ申請スルコトヲ得

第四條　工事ニ著手シタルトキハ一週間内ニ鐵道局長ニ之ヲ屆出ツヘシ

第五條　免許ヲ受ケタル者ハ運轉、借入及列車保安ニ關スル規定ヲ定メ鐵道局長ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更スルトキ亦同シ

第六條　專用鐵道ノ運轉ノ管理ノ委託ヲ爲サムトスルトキハ申請書ニ運轉ノ管理ノ委託ニ關スル協定書ノ謄本ヲ添附シ鐵道局長ノ許可ヲ受クヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

式樣號一第

何々間建設費明細表　　分何科何

項目		數量	均價平單	金額	備考	項目		數量	均價平單	金額	備考
用地費						建築列車費		輛			
						建築用具費		箇			
						相互接續費		箇			
						電線路費		箇			
						電力線路費		箇			
						發電所費		箇			
	給料						建物及雜工事費	平米			
	手當						原動機費	機			
	旅費						電氣機器費	機			
	、、										
	線路用地費	平米				變電所費					
	停車場用地費	平米					建物及雜工事費	平米			
	發電所用地費	平米					電氣機器費	機			
	、、、					車輛費					
土工費							(電動)客車費	輛			
	切取費	立米					(附隨)客車費	輛			
	築堤費	立米					ガソリン車費	輛			
	地築費	立米					、、、				
	川溝付費	立米				何々總係費					
	路切通及盛路付費	立米					報酬				
	土留石垣及橋費	平米					給料				
橋梁費							手當費、				
	何川橋梁費	延長米					旅、				
	何川避溢橋費	延長米					創立費				
	何所假橋費	延長米									
	、、、					計合					
溝橋費						一秆ニ付					
	開渠費	箇所									
	暗渠費	箇所									
伏樋費											
	伏樋費	箇所									
	架樋費	箇所									
	下水費	箇所									
隧道費											
	何所隧道費	延長米									
軌道費											
	軌條及附屬品費	秆									
	轉轍器及轍叉費	組									
	枕木費	挺									
	砂利敷費	立米									
	工費	秆									
	、、、										
停車場費											
	何停車場費	箇所									
	何停留場費	箇所									
	、、、										
波止費											
	何波止費	箇所									
機械場費											
	建築費	平米									
	機器費	箇									
諸建物費											
	何所事務所費	平米									
	何所倉庫費	平米									
	社宅費	平米									
	、、、										
運轉費		秆									

式樣號二第

何々間營業收支計算表(一ノ其)

種別		備考
營業	開業始年月日	
營業	營業既月數	
營業	營業秆數	
營旅客	延人秆數	
	同上一日一秆平均	
貨物運	延噸秆數	
	同上一日一秆平均	
	收入檢數	
	同上一日一秆平均	
	收入車數客	
	同上一日一秆平均	
	收入車數貨	
	同上一日一秆平均	
雜	收入檢運數	
	同上一日一秆平均	
	收入計合	
	同上一日一秆平均	
保	存費	
	同上一日一秆平均	
(汽)運何々總	(他)車費	
	同上一日一秆平均	
	檢費	
	同上一日一秆平均	
	係々費	
	同上一日一秆平均	
	收入計合	
	同上一日一秆平均	

シヘス載記ヲ項事ヨキヘルヘトヲ考參他ノ其變基ノ出算ハニ欄考備

同上(二ノ其)

種別	金額	備考
營業收入		
營業費		
營業費ノ營業收入對スル割合		
利益金		
利益金ノ一分十二ノ二		
差引金		

シヘス載記ヲ額入收檢運ノ(一ノ其)表本ハニ欄ノ入收業營

第三號樣式

何々間建設費豫算表

自年月日至年月日　　何科何分

科目	總豫算額	當期豫算額	前期決算見込額	殘額	備考
測量及監督費					
給料					
手當					
旅費					
、、					
用地費					
地					
線路用地					
停車場用地					
、、					
土工費					
切取					
築堤					
、、					
何々					
、、					
總係費					
報酬料					
給手當					
、、					
各區間關聯建設費分擔額					
計					
各事業關聯興業費分擔額					
建設替業關聯費分擔額					
合計					

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ

第四號樣式

各區間關聯建設費豫算表

自年月日至年月日

科目	前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
測量及監督費				
給料				
手當				
、、				
何々				
、、				
總係費				
報酬料				
給、				
各事業關聯興業費分擔額				
建設替業關聯費分擔額				
合計				

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ
前期ニ比シ著シキ增減アルトキハ其ノ理由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第五號樣式

各事業關聯興業費豫算表

自年月日至年月日

科目	前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
測量及監督費				
給料				
手當				
、、				
何々				
、、				
總係費				
報酬料				
給、				
合計				

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ
前期ニ比シ著シキ增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

第六號樣式

各事業關聯費豫算替業興業事各表

本表ハ第五號樣式ニ準ジ調製スベシ

第七號樣式

建設替業關聯費豫算表

自年月日至年月日

科目	前年同期決算額	前期豫算額	當期豫算額	備考
測量及監督費				
給料				
手當				
、、				
何々				
、、				
總係費				
報酬料				
給、				
計				
各事業關聯興業費分擔額				
合計				

備考欄ニハ算出ノ基礎其ノ他參考トナルベキ事項ヲ記載スベシ
前期ニ比シ著シキ增減アルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記載スベシ

何々間修業收支豫算表

自年月日至年月日

科目	前年同期決算	前期繰越額	當期豫算額	備考
收入之部				
授業收入				
入學金收入				
授業料收入				
實驗實習料收入				
寄宿料收入				
入場料收入				
試驗料收入				
檢定料收入				
證書料收入				
學位記料收入				
雜收入				
利子收入				
財產貸付收入				
物品賣拂收入				
寄附金收入				
補助金收入				
繰入金				
基本財產繰入				
積立金繰入				
特別會計繰入				
雜收入				
支出之部				
人件費				
教員俸給				
教員給料				
教員手當				
教員賞與金				
教員旅費				
教員退職給與金				
教員退職年金				
教員退職一時金				
教員遺族扶助料				
教員遺族一時金				
職員俸給				
職員給料				
職員手當				
職員賞與金				
職員旅費				
職員退職給與金				
職員退職年金				
職員退職一時金				
職員遺族扶助料				
職員遺族一時金				
雇人給料				
雇人賃金				
雇人手當				
雇人賞與金				
雇人旅費				
雇人退職給與金				
雇人退職年金				
雇人退職一時金				
雇人遺族扶助料				
雇人遺族一時金				
物件費				
旅費				
庁費				
校費				
消耗品費				
印刷製本費				
光熱水費				
燃料費				
食料費				
醫藥材料費				
被服費				
賄材料費				
賄賃金				
賄消耗品費				
賄被服費				
賄燃料費				
賄雜費				
賄諸費				
賄手當				
賄旅

第十五號樣式

各事業關聯興業費分割表

自　年　月　日至　年　月　日

事業種別	各事業專屬興業費當期決算額	分割率（百分比例）	關聯興業費分擔額	當期決算額合計
鐵道業				
何業				
何業				
合計				

各事業專屬興業費當期決算額中ニハ興業營業關聯費及建設營業關聯費ヲ含マズ

第十六號樣式

各事業興業營業關聯費分割表

自　年　月　日至　年　月　日

事業種別	各事業專屬興業費當期決算額	各事業專屬營業費當期決算額	各事業專屬興業營業費當期決算額	合計	分割率（百分比例）	興業營業關聯費分擔額
鐵道業						
何業						
何業						
合計						

各事業專屬興業費當期決算額ハ第十五號表中當期決算額合計ノ金額ヲ記載スベシ
各事業專屬營業費當期決算額ハ第二十一號表中當期決算額合計ノ金額ヲ記載スベシ
各事業專屬興業營業關聯費當期決算額ハ第七號表ニ依ル建設營業關聯費決算額ノ合計金額ヨリ興業營業關聯費分擔額ヲ控除シタル金額ヲ記載スベシ
各事業專屬興業費、營業費及興業營業關聯費ノ當期決算額ハ前三項ニ該當セザルモノト雖モ總テ之ヲ各相當欄ニ計上スベシ

第十七號樣式

建設營業關聯費分割表

自　年　月　日至　年　月　日

科目	專屬費當期決算額	分割率（百分比例）	關聯費分擔額
建設費			
營業費			
合計			

第十八號樣式

營業收入區間分割表

自　年　月　日至　年　月　日

區間	粁數	客車收入			貨車收入			運輸雜收			合計
		延人粁	分割率（百分比例）	分當額	延噸粁	分割率（百分比例）	分當額	客貨車收入	分割率（百分比例）	分當額	
何々間											
何々間											
合計											

第十九號樣式

各事業關聯營業收入分割表

自　年　月　日至　年　月　日

事業種別	各事業專屬營業收入當期決算額	分割率（百分比例）	關聯營業收入分當額
鐵道業			
何業			
何業			
合計			

第二十號樣式

營業費區間分割表

自　年　月　日至　年　月　日

區間	營業粁	營業收入	分割率（百分比例）	分擔額
何々間				
何々間				
合計				

營業收入ハ第十八號表中合計欄ノ金額ヲ記載スベシ

第二十一號樣式

各事業關聯營業費分割表

自　年　月　日至　年　月　日

事業種別	各事業專屬營業費當期決算額	分割率（百分比例）	關聯營業費分擔額	當期決算額合計
鐵道業				
何業				
何業				
合計				

各事業專屬營業費當期決算額中ニハ興業營業關聯費及建設營業關聯費ヲ含マズ

●朝鮮私設鐵道令施行規則

第四十八條ノ營業報告書及統計報告書並第四十九條ノ鐵道設備ノ樣式

（大正九年十一月十五日總督府令第一二三號）

（改正　大正一二年一二月二九日）

朝鮮私設鐵道令施行規則第四十八條ノ營業報告書及統計報告書並第四十九條ノ鐵道設備ノ樣式左ノ通定ム

（營業報告書樣式）

鐵道名　業者名

朝鮮總督府鐵道局長殿

年上（下）期　營業報告書　年　月　日

一　概況　本項ハ非業ノ概要ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル行政區畫ノ變更、株金ノ拂込、借入金、社債金、其ノ他會計ニ關スル非項ヲ記載スベシ

二　工事　本項ハ工事ノ狀況ヲ示スヲ目的トシ當該期間ニ於ケル鐵道及附屬諸設備ノ建設改良及保存工事ニ付テハ其ノ種別ニ從ヒ左ノ區別ニ依リ工事施行ノ區域、工程及工事ノ現況ヲ記載シ繼續工事ニ非ザルモノハ其ノ期間ニ於ケル勞力及工事ノ現況ヲ記載スベシ

（一）軌道及道床　軌條、枕木、道床、道路、踏切、境界標、里程標、轍叉、分岐器、脱線器、車止、信號機、轉轍機、轉車臺、信號所、轉轍所、信號及轉轍機ノ連鎖裝置、軌條塗油機、軌道試驗車、軌道檢測車、軌條折曲機、軌條鑽孔機、軌條熔接機、軌條鋸斷機、軌條削正機、軌條穴埋機、軌條穴埋材料製造機、軌條穴埋材料加熱機、軌條穴埋材料壓縮機、軌條穴埋材料壓搾機、軌條穴埋材料壓搾機用發動機、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐用給水ポンプ用發動機用汽罐、軌條穴埋材料壓搾機用發動機用汽罐用給水ポンプ

第二表

損益計算表

自 年 月 日至 年 月 日　　鉄道

収入 科目	収入 金額	支出 科目	支出 金額	損益
	円		円	円
客車収入		保存費		
貨車収入		汽車運転費		
運輸雑収		総係費		
計		諸税		
雑収入		建設営業関聯費分擔額		
合計		計		
		鉄道業負擔諸利子		
		社債差損金		
		財産価額消却金		
		雑損		
		合計		
何何業収入		何何業支出		
総計		総計		

備考　1 雑損ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ欄外ニ説明スヘシ
2 各事業ニ於テ諸利子ヲ分擔シタルトキハ其ノ金額ヲ欄外ニ記載シ其ノ計算方法ヲ説明スヘシ
3 鉄道業負擔諸利子ハ其ノ内譯ヲ記載スヘシ
4 財産価額消却金ハ其ノ内容ヲ説明スヘシ

第三表

利益處分表

自 年 月 日至 年 月 日　　鉄道

収入 科目	収入 金額	支出 科目	支出 金額
	円		円
前期繰越金		法定準備金	
當期純益金		任意準備金	
政府補助金		役員賞與金	
		優先株配當金（年何回分）	
		普通株配當金（〃）	
		後期繰越金	
合計		合計	

備考　1 優先株又ハ普通株ニ数種アルトキハ各種類毎ニ配當金ヲ記載スヘシ
2 年度ノ中間ニ於テ株金ノ拂込アリタルトキハ其ノ期日及金額ヲ欄外ニ記載スヘシ

第四表

營業収入明細表

自 年 月 日至 年 月 日　　鉄道

科目	金額	摘要
	円	
運輸収入		
客車収入		
旅客運賃		
手荷物運賃		
小荷物運賃		
郵便物運賃		
貨車収入		
小口扱運賃		
車扱運賃		
運輸雑収		
車輛使用料		
入場料		
保管料		
雑入		
雑収入		
預金利子		
株金延滞利子		
株券書替手数料		
物品売拂代		
雑入		
計		
各事業關聯營業収入分擔額		
合計		

備考
1 前期ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ説明スヘシ
2 雑入及物品売拂代ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

第五表

營業費明細表

自 年 月 日至 年 月 日　　鉄道

科目	金額	摘要	科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
	円			円			円	
保存費			石炭費			給料		
監督費			一一一			旅費		
給料			修繕費			一一一		
旅費			機關車			何何		
一一一			客車			諸税		
修繕費			貨車			國税		
軌道			一一一			一一一		
橋梁			運轉費			一一一		
停車場			監督費			一一一		
諸建物			給料			一一一		
一一一			旅費			地方税		
借地料			一一一			一一一		
何何			停車場費			一一一		
一一一			給料			一一一		
汽車費（電車費）			乘車券費			一一一		
監督費			一一一			計		
給料			何何			各事業關聯營業費分擔額		
旅費			一一一			建設營業關聯費分擔額		
一一一			總係費			合計		
運轉費			本社費					
給料			報酬					

備考
1 前期ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ説明スヘシ
2 雑費ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
3 汽車費（電車費）ハ二種以上ノ動力ヲ使用スル場合ハ各動力別ニ項ヲ設ケ區別記載スヘシ

第六表

建設營業關聯費明細表

自 年 月 日至 年 月 日　　鉄道

科目	金額	摘要
	円	
工事監督費		
給料		
旅費		
一一一		
總係費		
報酬		
旅費		
一一一		
何何		
一一一		
合計		

備考
1 前期ニ比シ著シキ增減アルモノハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ説明スヘシ
2 雑費ハ其ノ主ナル内譯金額ヲ摘要欄ニ記載スヘシ
3 建設營業關聯費ヲ建設費營業費ニ分割スルトキハ其ノ割合ヲ説明スヘシ
4 各事業關聯營業費、各事業與業營業關聯費、各區間關聯建設費、各事業關聯營業收入及各事業關聯營業費アルトキハ本表ニ準シ調製添附スヘシ

第七表

建設費豫算決算對照表

自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

科目	豫算額	決算額 前期決算額	決算額 當期決算額	決算額 計	摘要
	圓	圓	圓	圓	
測量及監督費					
用地費					
線路用地費					
停車場用地					
川道付換用地					
發電所用地					
變電所用地					
諸手當					
雜費					
土工費					
線路切取					
線路築堤					
停車場地築					
川道付換					
踏切道					
土留石垣					
橋梁費					
何川橋梁					
何川掛橋					
何川外何箇所					
落橋費					
開渠					
暗渠					

科目	豫算額	決算額 前期決算額	決算額 當期決算額	決算額 計	摘要
	圓	圓	圓	圓	
伏樋費					
隧道費					
何隧道					
何隧道外何箇所					
軌道費					
軌條及附屬品					
轉轍器及鞭叉					
枕木					
砂利					
敷設費					
雜費					
停車場費					
何驛					
何驛外何箇所					
停留場					
車輛費					
(蒸氣)(電氣)機關車					
(電動)(附隨)客車					
(電動)(附隨)貨車					
汽動車					
器械場費					
諸建物費					
運送費					

科目	豫算額	決算額 前期決算額	決算額 當期決算額	決算額 計	摘要
	圓	圓	圓	圓	
建築列車費					
建築用具費					
構垣及境界杭費					
通信線路費					
電力線路費					
送電線					
饋電線					
電車線					
電柱					
架線材料					
ボンド					
電氣信號					
工費					
發電所費					
變電所費					
總係費					
計					
各事業關聯費分擔額					
建設督業關聯費分擔額					
合計					

備考

1 本表ハ建設費豫算ヲ區別シタル區間毎ニ調製スヘシ

2 同一豫算ノ區間ニ開業線ト未開業線トアルトキハ各線別ニ其ノ合計金額ヲ欄外ニ記載スヘシ但シ正確ニ區分スルコト能ハサルトキハ一定ノ標準ヲ設ケ之ヲ區分說明スヘシ

3 當期決算又ハ戻入額アルトキハ其ノ事由ヲ摘要欄ニ說明スヘシ但シ未開業區間ニ在リテハ說明ヲ要セス

第八表

貯藏物品明細表

年　月　日現在

鐵道

種別	金額	摘要
	圓	
工事用品		
軌條及附屬品		
轉轍器及鞭叉		
枕木		
信號機及附屬品		
橋桁		
車輛用品		
電氣用品		
土管		
セメント		
砂利		
鐵材		
石材		
木材		
運轉用品		
石炭		
油脂		
絲布		
營業及事務用品		
乘車券類		
被服類		
薪炭類		
備消品		
合計		

備考

假出物品アルトキハ本表ニ準シ調製添附スヘシ

第九表

職員表

年　月　日現在

鐵道

職名	人員	給料月額	超過勤務手當月額
		圓	圓
取締役社長			
取締役專務			
取締役常務			
取締役			
監查役			
支配人			
計			
庶務			
書記			
雇			
計			
合計			
書記			
雇			
計			
建設主任技術者			
書記			
技手			
雇			

職名	人員	給料月額	超過勤務手當月額
		圓	圓
一一一			
計			
運輸			
運輸長			
驛長			
助役			
出札掛			
改出掛			
貨物掛			
小荷物掛			
操車掛			
轉轍手			
驛夫			
車掌			
機關車主任			
機關手			
機關助手			
檢車手			
機關夫			
炭水夫			
一一一			
計			

職名	人員	給料月額	超過勤務手當月額
		圓	圓
保線			
保線長			
保線手			
線路工夫			
踏切番			
一一一			
計			
電氣			
電氣長			
發電所主任			
變電所主任			
電路主任			
電車車主任			
運轉手			
電工			
電氣工夫			
一一一			
計			
合計			

備考

1 給料月額欄ニハ年俸額ハ其ノ十二分ノ一、日給額ハ其ノ三十倍ヲ記載スヘシ

2 諸給與月額欄ニハ臨時手當、賞與金、社宅料、被服代其ノ他時間增手當等ノ諸給與金ヲ一月分ニ平均シタルモノヲ記載スヘシ

3 同一人ニハ他ノ業務ヲ兼務スルトキハ之ヲ明ニスヘシ

（統計報告書様式）

年　月　日

朝鮮總督府鐵道部長宛

鐵道代表者名

年　月　日統計報告書

年上（下）期自　年　月　日至　年　月　日

第一表

線路表

年　月　日現在

鐵道

種類	區間	哩程 単線	哩程 複線	哩程 計	側線延長	停車場及停留場數	摘要
		哩鎖	哩鎖	哩鎖	哩鎖		
開業線	何何間						
	〃〃〃						
	〃〃〃						
	間（旅客專用線）						
	〃（貨物專用線）						
工事施行認可線	間						
工事施行未認可線	〃〃〃						
計							

備考

1 停車場及停留場數ハ開業線ニ係ルモノノミヲ記載スヘシ

2 他ノ鐵道所屬ノ停車場ヲ共同使用スルモノハ之ヲ朱書スヘシ

3 他ノ鐵道線路ヲ共用シ又ハ借受使用スルモノアルトキハ開業線ノ欄ニ記載スヘシ

4 前期末現在ニ異動ナキトキハ其ノ旨ヲ記載シ本表ヲ省略スルコトヲ得以下各表之ニ同シ

第二表

機關車表

年　月　日現在

鐵道

種類			輪數	總重量	摘要
蒸氣機關車	テンダー機關車	輪聯結六輪車	噸分厘	噸分厘	
		〃〃〃			
		計			
	タンク機關車	〃〃〃			
		計			
	合計				
電氣機關車	四輪ボギー車				
	〃〃〃〃〃				
	計				
總計					

備考

1 入換又ハ工事ニ專用スルモノ及修繕中若ハ認可ヲ得テ貸借中ノモノハ各別ニ符號ヲ附シ區別記載スヘシ

2 蒸氣機關車ノ總重量ハ各車運轉整備ノトキニ於ケル重量ノ合計ヲ記載スヘシ

第三表

客車表

年　月　日現在

鐵道

種類			輛數	定員總數 一等	二等	三等	計	小荷物郵便室合併客積	摘要
				人	人	人	人	立方尺	
ボギー車	一等客車	定員　人							
	二等客車	定員　人							
	二、三等合造車	定員 二等　人 / 定員 三等　人							
	三等客車	定員　人							
	手小荷物緩急車								
	郵便車								
	〃〃〃〃〃								
	計								
四輪車	一等客車	定員　人							
	二等客車	定員　人							
	三等客車	定員　人							
	手小荷物緩急車								
	郵便車								
	〃〃〃〃〃								
	計								
合計									

備考

1 電車及汽動車ハ本表ニ準シ區別記載スヘシ

2 定員總數ハ客車定員ノ合計ヲ記載スヘシ

3 修繕中又ハ認可ヲ得テ貸借中ノモノハ各別ニ符號ヲ附シ區別記載スヘシ

第四表

貨車表

年　月　日現在

鐵道

種類			輛數	積載總量 容積	重量	摘要
				噸	噸	
有蓋貨車	ボギー車	貨物車 7噸積				
		家畜車				
		緩急車				
		〃〃〃				
		計				
	四輪車	〃〃〃				
		〃〃〃				
		〃〃〃				
		計				
無蓋貨車	ボギー車	材木車				
		鑛石車				
		〃〃〃				
		計				
	四輪車	〃〃〃				
		〃〃〃				
		〃〃〃				
		計				

備考　1 電車及汽動車ハ本表ニ準シ區別記載スヘシ

2 積載總量ハ各車ノ容積又ハ重量ノ合計ヲ記載スヘシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第五表

機關車、列車、客車及貨車走行哩表

自　年　月　日至　年　月　日　　鐵道

種別			哩程 自己車輛自線走行	哩程 他鐵道車輛自線走行	哩程 計	哩程 自己車輛他鐵道走行	摘要
機關車走行哩	列車牽引	蒸氣機關車					
		電氣機關車					
		汽動車					
		電車					
		計					
	備助	蒸氣機關車					
		電氣機關車					
		汽動車					
		電車					
		計					
	入換	蒸氣機關車					
		電氣機關車					
		汽動車					
		電車					
		計					
	單行	蒸氣機關車					
		電氣機關車					
		計					
	合計						
列車走行哩	旅客列車	蒸氣機關車牽引					
		電氣機關車牽引					
		汽動車牽引					
		電車牽引					
		計					
	貨物列車	蒸氣機關車牽引					
		電氣機關車牽引					
		汽動車牽引					
		電車牽引					
		計					
	混合列車	蒸氣機關車牽引					
		電氣機關車牽引					
		汽動車牽引					
		電車牽引					
		計					
	合計						
客車走行哩	旅客列車聯結	蒸氣機關車牽引					
		電氣機關車牽引					
		汽動車					
		汽動車牽引					
		電車					
		電車牽引					
		計					
	混合列車聯結	蒸氣機關車牽引					
		電氣機關車牽引					
		汽動車					
		汽動車牽引					
		電車					
		電車牽引					
		計					
	合計						
貨車走行哩	貨物列車聯結	蒸氣機關車牽引					
		電氣機關車牽引					
		汽動車牽引					
		電車					
		電車牽引					
		計					
	混合列車聯結	蒸氣機關車牽引					
		電氣機關車牽引					
		汽動車牽引					
		電車					
		電車牽引					
		計					
	合計						

備考

1　哩程ハ營業上運轉シタルモノヲ記載シ建築及保線用ニ係ルモノヲ算入スヘカラス

2　自己所屬ノ客車及貨車ニシテ他鐵道走行ノ列車聯結別走行哩程不明ナルモノハ單ニ合計ノミヲ記載シ牽引內譯ヲ省略スルコトヲ得

3　借入車ノ走行哩程ハ自己車輛走行中ニ計上スヘシ

第六表

運轉用燃料、電力及油脂消費額表

自　年　月　日至　年　月　日　　鐵道

種別			數量	代價	摘要
燃料	蒸氣機關車	運轉用 石 … … 噸	斤	圓	
		點火用 石 … … 噸			
		計			
	汽動車	運轉用 石 … … 噸			
		點火用 石 … … 噸			
		計			
電力	蒸氣機關車用		キロワット時		
	電氣機關車用		合		
油脂	蒸氣機關車用	噴霧油 … … …			
		種油 … … …			
		計			
	汽動車用	噴霧油 … … …			
		種油 … … …			
		計			
	電氣機關車用	噴霧油 … … …			
		種油 … … …			
		計			
	電車用	噴霧油 … … …			
		種油 … … …			
		計			
	客貨車用	噴霧油 … … …			
		種油 … … …			
		計			

備考

1　數量及代價ハ營業上使用シタルモノ（點燈用油脂ヲ除ク）ノミヲ記載スヘシ

2　蒸氣機關車、汽動車、電氣機關車及電車ニ在リテハ自己所屬ノ車輛（借入車ヲ含ム）カ自己線路ヲ走行シタル場合ニ於テ消費シタルモノノミヲ記載シ他ノ鐵道所屬線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノハ本表ニ準シ區別記載スヘシ

3　客貨車ニ在リテハ車輛所屬ヲ問ハス自己線路ヲ走行シタル場合ニ於ケルモノノミヲ記載スヘシ

第七表

旅客貨物數量及運輸收入月別表

自　年　月　日至　年　月　日　　鐵道

	數量 旅客 一等	二等	三等	計	手荷物（有賃）	小荷物	計	貨物 小口扱	車扱	計	運輸收入 旅客 一等	二等	三等	計	手荷物	小荷物	計	駕獨物	貨物 小口扱	車扱	計	雜收入	合計	摘要
	人	人	人	人	斤	斤	斤	噸分	噸	噸分	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	
月																								
計																								

備考

1　定期乘車ハ一日一往復トシ回數乘車ハ其ノ回數、團體及貸切乘車ハ現乘車人員ニ依リ延人員ヲ乘車券發賣當月分ニ算入シ該乘車券ノ券數、延人員及運貨ヲ摘要欄ニ記載スヘシ

2　個數又ハ頭數ヲ以テ取扱ヒタルモノハ之ヲ斤又ハ噸ニ換算スヘシ

3　斤又ハ貫ヲ以テ取扱ヒタルモノハ實重量ヲ噸ニ換算（千七百斤又ハ二百七十貫ヲ一噸ニ）スヘシ

4　車扱又ハ噸ヲ以テ取扱ヒタルモノハ賃金計算噸數ニ依リ之ヲ計上スヘシ

5　本表ノ運輸收入合計ハ營業報告書營業收入明細表ノ運輸收入ト一致スルモノトス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第十表

旅客(貨物)發著通過及延哩表

自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

驛名		下り 発	下り 着	上り 発	上り 着	通過 下り	通過 上り	通過 計	驛間哩	延人(噸)哩 下り	延人(噸)哩 上り	摘要
	他鐵道扱								哩分			
本線												
本線												
本線												
本線	支線											
本線	計											
支線												
支線	本線											
支線												
支線	計											

備考

1 驛間哩ハ營業哩ヲ記載スヘシ

2 區間制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付キテハ乘車延區間數、總區間數及下記算式ニ依リ計算シタル延人哩ヲ記載シ本表ヲ省略スルコトヲ得

$$\frac{\text{乘車延區間數}}{\text{總區間數}} \times \text{營業哩} = \text{延人哩}$$

3 均一制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付キテハ適當ナル方法ニ依リ延人哩ヲ算出シ其ノ計算方法ヲ附記スヘシ

第一表ノ一(用地臺帳裏面樣式)

用地臺帳ノ一

道　郡(府)　面

里洞	地番	原地目	面積 公簿	面積 實測	價額 土地代價	價額 諸手當	價額 合計	取得 方法	取得 年月日	登記 種別	登記 番號	登記 年月日	地種組替 地所名稱	地種組替 年月日	原所有者 住所	原所有者 氏名	記事

備考

1 原地目欄ニハ土地臺帳ニ登錄ノ土地ハ公簿面ノ地目其ノ他ハ取得當時ノ地目ヲ記載スヘシ

2 面積欄ニハ一筆毎ニ歩又ハ坪ノ單位ヲ用ヰシ土地臺帳登錄ノ面積ニ依リ取得シタルモノハ公簿面積ヲ其ノ他ノモノハ實測面積ヲ記載スヘシ

3 價額欄土地代價ニハ買收代價、收用補償交換ノ場合ニハ評價額、無償讓受ノ場合ニハ見積額ヲ記載シ諸手當ニハ地上物件ノ移轉費、補償費等ヲ記載スヘシ

4 取得欄方法ニハ買收、收用、有償讓受、交換、無償讓受等ヲ記載スヘシ
同欄年月日ニハ買收ハ土地資渡證書記載ノ年月日、收用ハ收用審査會裁決ノ收用時期、讓受及交換ハ協定ノ年月日ヲ記載スヘシ

5 登記欄種別ニハ所有權ノ移轉又ハ保存ノ區別ヲ記載スヘシ

6 地種組替欄地所名稱ニハ鐵道線路敷地、鐵道用地ノ區別ヲ記載シ同欄年月日ニハ地種組替處理濟ノ年月日ヲ記載スヘシ

7 喪失欄原因ニハ有償讓渡、無償讓渡、收速、資辰、交換等ノ區別ヲ記載スヘシ
同欄面積ニハ取得面積ニ對スル喪失面積ヲ記載スヘシ

第一表ノ二(用地臺帳表面樣式)

用地臺帳ノ二

喪失 年月日	原因	面積	土地代價	氏名	記事	喪失 年月日	原因	面積	土地代價	氏名	記事	喪失 年月日	原因	面積	土地代價	名氏	記事

第八表

驛別運檢收入表

自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

區間	驛名	旅客 圓	旅客	手小荷物 圓	手小荷物	郵便物 圓	郵便物	貨物 圓	貨物	運檢雜收 圓	運檢雜收	合計 圓	合計	摘要
間	計													
間	計													
他鐵道扱ニシテ當會社所屬ノ分														
合計														

備考

1 他ノ鐵道ト連帶運檢ヲ爲スモノニ在リテハ他ノ鐵道ニ屬スルモノヲ控除スヘシ

2 他ノ鐵道所屬ノ驛ヲ共同使用スル場合ニハ其ノ驛ニ於テ取扱ヒタルモノハ他ノ鐵道扱ニ算入セス其ノ驛名ヲ掲ケ區別記載スヘシ

3 區間制及均一制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノハ驛名ノ項ニ欄ヲ設ケ一括記載スヘシ

第九表

旅客(貨物)各驛相互發著表

自　年　月　日至　年　月　日

鐵道

發驛 ＼ 着驛	(本線)朝鮮線	他會社線				(支線)		計
(本線)朝鮮線								
他會社線								
(支線)								
計								

備考

1 定期乘車ハ一日一往復トシ、回數乘車ハ其ノ回數、團體及貸切乘車ハ現乘車人員ニ依リ延人員ヲ乘車券發賣當月分ニ算入スヘシ

2 定期、回數及往復乘車券ニ對スル旅客人員ハ兩端驛ニ分記スヘシ

3 區間制及均一制ノ乘車券ニシテ發著驛不明ノモノニ付キテハ本表ヲ省略スルコトヲ得但シ一部不明ノ場合ニ於テハ判明セル分ノミニ付キ本表ヲ作製スヘシ

第三表(隧道臺帳樣式)

隧　道　臺　帳

圖面番號第　號　　隧道

種目		年月日現況	變更修理 年月日	變更修理理由	變更修理要旨	摘要
位置		自哩鎖節至哩鎖節				
箇所		何山、何ノ下、				
軌道數		單線、複線				
長		呎　吋				
隧道內線路ノ勾配						
隧道內線路		直線又ハ曲線半徑				
橋臺	拱ノ厚、長、材質	厚呎吋、長呎吋、　材質				
	側壁ノ厚、長、材質	厚呎吋、長呎吋、　材質				
	仰拱ノ厚、長、材質	厚呎吋、長呎吋、　材質				
造	排水渠ノ寸法、位置、材質	幅呎吋・深呎吋・長呎吋・中央又ハ兩側ノ別及材質				
	待避所ノ寸法、位置	長呎吋・幅呎吋・深呎吋・左右ノ別及箇所數				
	坑門ノ材質					
地質						
起工年月						
竣工年月						
建設費						
記事		工事中重大ナル事故ノ他ノ必要ナル事項ヲ記載スヘシ				

第四表ノ一(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ一

形式稱號　　第　號機關車

形式			車輪	導輪	直徑	呎吋	輪緣 厚	時	高	時	車輪一對ノ輪緣內側距離 呎吋
最大寸法	長	呎吋		動輪		〃		〃		〃	〃
	幅	〃〃		從輪		〃		〃		〃	〃
	高	〃〃		炭水車輪		〃		〃		〃	〃
汽笛	直徑	吋			ジョーナル			ホヰールフイット			
	衝程	〃			徑	長		徑		長	
實用最高汽壓		封度吋	車輪	導輪 一位	吋	吋		吋		吋	
火床面積		平方呎		二位	〃	〃		〃		〃	
傳熱面積	焰管	〃		動輪 一位	〃	〃		〃		〃	
	火室	〃		二位	〃	〃		〃		〃	
過熱面積		〃		三位	〃	〃		〃		〃	
焰管	大	徑長數		四位	〃	〃		〃		〃	
	小	〃〃〃		從輪	〃	〃		〃		〃	
水槽容量		ガロン		炭水車	〃	〃		〃		〃	
燃料櫃容積		立方呎噸	制動機	種類							
機關車重量	空	〃		制輪子				箇			
	全	〃	緩衝器	種類	緩衝器中心間距離 呎吋		被線面ヨリ中心迄ノ高 呎吋		頭徑 吋		
炭水車重量	空	〃	驅結器種類								
	全	〃	撞彈機								
車輪一對ノ軌條面上壓力	導輪 一位	〃	製造所名								
	二位	〃	製造年月								
	動輪 一位	〃	使用開始年月								
	二位	〃	代價								
	三位	〃	前所有者名								
	四位	〃	舊番號								
	從輪	〃									
牽引重量		噸									

記事

備考

機關車ノ配置替、貸與、借入、讓受、讓渡其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第一表ノ三(用地臺帳附屬合計簿樣式)

用地臺帳ノ三

道　郡(府)　面

年月日	地所名稱	增加 筆數	面積	價額	減少 筆數	面積	價額	記事	年月日	地所名稱	增加 筆數	面積	價額	減少 筆數	面積	價額	記事

備考

1 增加欄面積ニハ取得面積ヲ記載シ同欄ノ價額ニハ土地代價及諸手當ノ合計額ヲ記載スヘシ
2 減少欄面積ニハ取得面積ニ對スル喪失面積ヲ記載シ同欄價額ニハ土地代價ノミヲ記載スヘシ
3 每期末ニ於テ其ノ期內ノ增加及減少ノ各面積、價額ヲ地所名稱每ニ合計シ更ニ地所名稱每ノ累計ヲ各朱記スヘシ

第二表(橋梁臺帳樣式)

橋梁臺帳

圖面番號第　號　　橋梁

種目		年月日現況	變更修理 年月日	變更修理理由	變更修理要旨	摘要
位置		哩鎖節				
箇所		何線某停車場・何運路・何川・何谷・何運河・何道橫斷				
軌道數		單線、複線				
寸法	長(兩橋臺面間ノ距離)	呎吋				
	徑間ノ長及箇數	呎吋箇				
	拱軸ノ長	呎吋				
角度及方向		直角又ハ斜角　度右又ハ左				
各徑間ノ桁ノ總重量		呎吋鐵桁、　噸分厘				
拱又ハ桁	材質	呎吋鋼桁、　呎吋木桁				
	形式	呎吋鋼鈑桁何式				
	製造年					
	製造者	會社　工場				
	所定動荷重	何船會輪調造列機關車何臺聯結及付隨等若荷重算呎吋度				
橋臺	材質					
	基礎工	杭打混凝土工				
橋脚	材質					
	基礎工	杭打混凝土工、煉瓦沈井工				
翼壁ノ材質及構造		間知石空積、煉瓦積				
橋梁上線路ノ勾配						
橋梁上線路		直線又ハ曲線半徑				
起工年月						
竣工年月						
建設費						
記事		工事中重大ナル事故其ノ他ノ必要ナル事項ヲ記載スヘシ				

備考

1 橋梁、落橋、跨線道路橋及水道橋ヲ記載スヘシ
2 一箇ノ橋梁ニ二箇以上ノ鐵道線路ヲ敷設スルトキハ各所屬線ニ分割記載シ欄外橋梁名稱ノ下ニ「何線ト連續」ノ旨ヲ附記スヘシ
3 橋臺ヲ異ニスル少許ノ距離ヲ有シ併列スルモノハ一箇ノ橋梁ト看做シ記載スヘシ

第五表ノ一(汽動車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ一

形式假號　　第　　號汽動車

形式		竈ノ種類及筒數		記事
定員	等　人	汽筒ノ直徑及衝程	吋	
	等　〃	實用最高汽壓	封度口吋	
客室面積	等室　平方呎	火床動面積	平方呎	
	等室　〃	傳熱面積	〃	
	等室　〃	焰管	〃	
定員一人ニ對スル面積	等室　〃	火室	〃	
積載重量(荷物室)	噸	焰管	徑 / 長 / 數	
容積(荷物室)	立方呎		吋 / 呎吋 / 本	
自重	噸	水槽容量	カロン	
最大寸法 長	呎吋	燃料槽容積	立方呎	
最大寸法 幅	〃	モートルトラツク重量(運轉整備)	噸	
最大寸法 高	〃	車輪 働輪	直徑 / 輪緣幅 / 輪緣 厚 / 輪緣 高 / 車輪一對ノ輪緣內側距離	
內部寸法	長 / 幅 / 高		吋 / 吋 / 吋 / 吋 / 呎吋	
等室	呎吋 / 呎吋 / 呎吋	車輪 從輪		
等室				
荷物室				
輪軸距 固定	呎吋	車軸 働輪	ジョーナル 徑 / 長　ホキールフイツト 徑 / 長	
輪軸距 全			吋 / 吋 / 吋 / 吋	
制動機種類及制輪子數		從輪		
緩衝器	種類 / 兩心間距離 / 中心間距離 / 軌條面ヨリ中心迄ノ高 / 頭徑	製造所名		
	呎吋 / 呎吋 / 吋	製造年月		
聯結器ノ種類		使用開始年月		
搥彈機		代價		
臺枠		前所有者名		
		舊番號		

備考
貸借、借入、讓受、讓渡其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第五表ノ二(汽動車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ二(修繕表)

本表ハ第四表ノ二樣式ニ準シ作製スヘシ

第五表ノ三(汽動車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ三(運轉哩表)

本表ハ第四表ノ三樣式ニ準シ作製スヘシ

第五表ノ四(汽動車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ四(一月檢查表)

本表ハ第四表ノ四樣式ニ準シ作製スヘシ

第五表ノ五(汽動車臺帳樣式)

汽動車臺帳ノ五(六月檢查表)

本表ハ第四表ノ五樣式ニ準シ作製スヘシ

第四表ノ二(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ二(修繕表)

年月日	修繕又ハ改造箇所	箇數	方法	記事
何年何月何日	右側前進エキセントリツク・ストラツプシュー	1	揃合	
〃	左側後サイドロッドブラス	1	取替	
自何月何日	左側第二働輪輪緣	1	弛緩ニ付燒鉢直シ	何月何日修繕落成ニ付試運轉ヲ經テ何日何列車ニ充用ス
	働輪輪緣	4	削正	成績良好、削正後ノ輪緣ノ厚$2\frac{3}{16}$
	働輪アクスルブラス(右前)	1	取替	
	同上	3	ホワイトメタル鑄替圖合	車軸ジョーナル、車軸箍其ノ他ヲ檢查ス各部異狀ヲ認メス
至何月何日	右側シリンダー取付ボールト	2	取替	
何月何日	ファイヤーグレート	一式	ロツキンググレートニ改造	何年何月何日監第何號認可、何工場製作、何月何日落成取付、成績良好(製作圖面別紙)
〃	同上ドロッププレート	1	新設	

備考
1 本表ニハ工場及機關庫ニ於テ施行シタル機關車ノ改造、洗罐及主要ナル修繕竝ニ檢查成績ヲ記載スヘシ
2 改造工事ニシテ認可ヲ受ケタルモノハ其ノ年月日及番號ヲ朱記スヘシ
3 汽罐ノ一部ニ當金ヲ爲シタルトキ又ハ焰管、繫桿、縫鉄等ノ取替ヲ爲シタルトキハ其ノ位置、形狀、寸法、材料ヲ示ス圖面ヲ添付シ焰管ニ在リテハ材料ノ新舊及材質ヲ記載スヘシ
4 特殊ノ痕、重要ナル部分ノ破損、古統及變態竝ニ機關車ノ改良、保存及取扱上參考トナルヘキ事項ヲ記事欄ニ記載シ必要ニ應シ圖面ヲ添付スヘシ
5 當時外部ヨリ點檢不能ノ部分及特ニ破損又ハ故障多キ箇所ヲ修繕又ハ檢查シタルトキハ其ノ狀況及修繕後ノ經過ヲ記事欄ニ記載スヘシ

第四表ノ三(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ三(運轉哩表)

年	月	經過年月 最近大修繕後 年	月	經過年月 使用開始後 年	月	運轉哩 一月 哩	運轉哩 最近大修繕後 哩	運轉哩 使用開始後 哩	記事

第四表ノ四(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ四(一月檢查表)

檢查箇所 / 檢查年月日	火室	焰管	管鈑	可鎔栓	制動機	檢水器	給水器及附屬活塞	火粉止裝置	記事

第四表ノ五(蒸氣機關車臺帳樣式)

蒸氣機關車臺帳ノ五(六月檢查表)

檢查箇所 / 檢查年月日	汽筒 直徑 最大 左	右	最小 左	右	喞子及喞子桿 左	右	クリアランス 左 前	後	右 前	後	汽櫃 內部	摺動弁厚 左	右	壓力計	眞空管	安全辨 第一 噴出壓力	噴出止壓力	第二 噴出壓力	噴出止壓力	飾汽箱	蒸汽管	放汽管	記事

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第七表ノ一(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ一

形式稱號　　記號番號

形式		緩衝器	種類	側間	中心距離	軌條面ヨリ中心迄ノ高	頭徑	記事
定員	等　人			呎吋	呎吋		吋	
客室面積	等　〃	聯結器種類						
定員一人ニ對スル面積	等室　平方呎	撞彈機						
積載重量 荷物室	等室　〃	臺						
積載重量 郵便室	等室　〃	臺電裝置種類						
容積 荷物室	噸	電動機	製造者名	電壓	馬力數	箇數	齒車ノ比	
容積 郵便室	〃							
自重	立方呎	電燈					箇	
最大寸法 長	〃	媒灰裝置						
最大寸法 幅	噸		種類			箇數		
最大寸法 高	呎吋							
内部寸法 等室 長	〃							
内部寸法 等室 幅	〃							
内部寸法 荷物室 長	〃							
内部寸法 荷物室 幅	〃							
内部寸法 郵便室 長	〃							
内部寸法 郵便室 幅	〃							
内部寸法 高	〃							
車體製造者名								
トラック製造者名								
輪軸距 固定	呎吋							
輪軸距 全	〃							
車輪 直徑	呎吋							
車輪 輪緣幅	吋							
車輪 輪輞 厚	吋							
車輪 輪輞 高	吋							
車輪 輪軸一對ノ輪 軸内距離	呎吋							
車軸 ジョーナル 徑	吋							
車軸 ジョーナル 長	吋							
車軸 ホキールフイツト 徑	吋							
車軸 ホキールフイツト 長	吋							
制動機 種類		製造年月						
制動機 制輪子箇數	箇	使用開始年月						
制動機 プレーキシリンダー 徑	吋	代價						
制動機 プレーキシリンダー 衝程	〃	前所有者名						
制動機 壓搾機 壓力	封度□吋	舊番號						
制動機 壓搾機 容量	立方呎	牽引力					封度	
		速度					哩	

備考
1 全負荷ノトキニ於ケル牽引力及速度ヲ記載スヘシ
2 貸與、借入、讓渡、讓受其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第七表ノ二(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ二(修繕表)

本表ハ第四表ノ二様式ニ準シ作製スヘシ

第七表ノ三(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ三(運轉哩表)

本表ハ第四表ノ三様式ニ準シ作製スヘシ

第七表ノ四(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ四(一月檢査表)

本表ハ第六表ノ四様式ニ準シ作製スヘシ

第七表ノ五(電車臺帳様式)

電車臺帳ノ五(一年檢査表)

本表ハ第六表ノ五様式ニ準シ作製スヘシ

第六表ノ一(電氣機關車臺帳様式)

電氣機關車臺帳ノ一

形式稱號　　第　號電氣機關車

形式		緩衝器	種類	中心間距離	軌條面ヨリ中心迄ノ高	頭徑	記事
最大寸法 長	呎吋			呎吋	呎吋	吋	
最大寸法 幅	〃	聯結器種類					
最大寸法 高	〃	撞彈機					
機關車重量	噸	車體製造者名					
車輪一對ノ軸上壓力 導輪 一位	噸	トラック製造者名					
車輪一對ノ軸上壓力 導輪 二位	〃	兼電裝置種類					
車輪一對ノ軸上壓力 動輪 一位	〃	電動機	製造者名	電壓	馬力數	箇數	齒車ノ比
車輪一對ノ軸上壓力 動輪 二位	〃						
車輪一對ノ軸上壓力 動輪 三位	〃	電燈					箇
車輪一對ノ軸上壓力 動輪 四位	〃	附屬機械器具	種類			箇數	
車輪一對ノ軸上壓力 從輪	〃						
車輪 導輪 輪輞 直徑	呎吋						
車輪 導輪 輪緣徑	吋						
車輪 導輪 輪輞 厚	吋						
車輪 導輪 輪輞 高	吋						
車輪 導輪 輪軸一對ノ輪 軸内距離	呎吋						
車輪 動輪 輪輞 直徑	〃						
車輪 動輪 輪緣徑	〃						
車輪 動輪 輪輞 厚	〃						
車輪 動輪 輪輞 高	〃						
車輪 動輪 輪軸一對ノ輪 軸内距離	呎吋						
車輪 從輪 輪輞 直徑	〃						
車輪 從輪 輪緣徑	〃						
車輪 從輪 輪輞 厚	〃						
車輪 從輪 輪輞 高	〃						
車輪 從輪 輪軸一對ノ輪 軸内距離	呎吋						
車軸 導輪 一位 ジョーナル 徑	吋	製造年月					
車軸 導輪 一位 ジョーナル 長	吋	使用開始年月					
車軸 導輪 一位 ホキールフイツト 徑	吋	代價					
車軸 導輪 一位 ホキールフイツト 長	吋	前所有者名					
車軸 導輪 二位 ジョーナル 徑	〃	舊番號					
車軸 導輪 二位 ジョーナル 長	〃	牽引力					封度
車軸 導輪 二位 ホキールフイツト 徑	〃	速度					哩
車軸 導輪 二位 ホキールフイツト 長	〃						
車軸 動輪 一位 ジョーナル 徑	〃						
車軸 動輪 一位 ジョーナル 長	〃						
車軸 動輪 一位 ホキールフイツト 徑	〃						
車軸 動輪 一位 ホキールフイツト 長	〃						
車軸 動輪 二位 ジョーナル 徑	〃						
車軸 動輪 二位 ジョーナル 長	〃						
車軸 動輪 二位 ホキールフイツト 徑	〃						
車軸 動輪 二位 ホキールフイツト 長	〃						
車軸 動輪 三位 ジョーナル 徑	〃						
車軸 動輪 三位 ジョーナル 長	〃						
車軸 動輪 三位 ホキールフイツト 徑	〃						
車軸 動輪 三位 ホキールフイツト 長	〃						
車軸 動輪 四位 ジョーナル 徑	〃						
車軸 動輪 四位 ジョーナル 長	〃						
車軸 動輪 四位 ホキールフイツト 徑	〃						
車軸 動輪 四位 ホキールフイツト 長	〃						
車軸 從輪 ジョーナル 徑	〃						
車軸 從輪 ジョーナル 長	〃						
車軸 從輪 ホキールフイツト 徑	〃						
車軸 從輪 ホキールフイツト 長	〃						
制動機 種類							
制動機 制輪子箇數	箇						
制動機 プレーキシリンダー 徑	吋						
制動機 プレーキシリンダー 衝程	〃						
制動機 壓搾機 壓力	封度□吋						
制動機 壓搾機 容量	立方呎						

備考
1 全負荷ノトキニ於ケル牽引力及速度ヲ記載スヘシ
2 貸與、借入、讓渡、讓受其ノ他ノ移動ニ關スル事項ハ記事欄ニ記載スヘシ

第六表ノ二(電氣機關車臺帳様式)

電氣機關車臺帳ノ二(修繕表)

本表ハ第四表ノ二様式ニ準シ作製スヘシ

第六表ノ三(電氣機關車臺帳様式)

電氣機關車臺帳ノ三(運轉哩表)

本表ハ第四表ノ三様式ニ準シ作製スヘシ

第六表ノ五(電氣機關車臺帳様式)

電氣機關車臺帳ノ五(一年檢査表)

檢査箇所 / 檢査年月日	電動機 第一	第二	第三	第四	制御裝置	兼電裝置	開閉器	自動遮斷器	避雷器	布設電線	接續電機	各種計器	記事

第六表ノ四(電氣機關車臺帳様式)

電氣機關車臺帳ノ四(一月檢査表)

檢査箇所 / 檢査年月日	電路ト大地トノ間ニ於ケル絶緣抵抗	制動機	記事

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

（式樣帳臺車客）一ノ表八第

一ノ帳臺車客

記號番號

形式稱號

| | | |

可ヲ以テ之ヲ定ム

第十三條　工事方法ヲ變更セントスルトキハ豫メ其ノ方法ヲ具シ特許ヲ受クヘシ

特許ヲ受ケタル者工事ヲ竣工シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ逓信大臣ニ届出ツヘシ

第十四條　届出ノ日ヨリ六箇月ヲ經過スルモ工事ニ着手セス又ハ竣工ノ期限ヲ定メタル場合ニ於テ其ノ期限ヲ過クルトキハ特許ハ其ノ效力ヲ失フ

第十五條　逓信大臣ハ左ノ場合ニ於テハ特許ヲ取消スコトヲ得

一　特許ノ條件ニ違背シタルトキ

二　第十二條ノ規定ニ違背シタルトキ

三　第十三條ノ規定ニ違背シタルトキ

四　正當ノ事由ナクシテ前條ノ期限内ニ工事ヲ竣工セサルトキ

五　公益ノ爲必要ナル命令ニ違背シタルトキ

第十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ權利ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ工事ヲ他人ニ委任シ又ハ請負ハシムルコトヲ得

第十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ工事ヲ分割シ又ハ數人ニ委任シ若クハ請負ハシムルコトヲ得

第二十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ工事ヲ分割シ又ハ數人ニ委任シ若クハ請負ハシムルコトヲ得

第二十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第三十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第三十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第三十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第三十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第三十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第三十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第三十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第三十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第三十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第三十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第四十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第四十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第四十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第四十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第四十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第四十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第四十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第四十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第四十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第四十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第五十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第五十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第五十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第五十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第五十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第五十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第五十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第五十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第五十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第五十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第六十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第六十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第六十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第六十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第六十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第六十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第六十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第六十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第六十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第六十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第七十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第七十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第七十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第七十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第七十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第七十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第七十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第七十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第七十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第七十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第八十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第八十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第八十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第八十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第八十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第八十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第八十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第八十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第八十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第八十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第九十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第九十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第九十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第九十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第九十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第九十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第九十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第九十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第九十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第九十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百二十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百二十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百二十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百二十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百二十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百二十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百二十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百二十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百二十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百二十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百三十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百三十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百三十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百三十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百三十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百三十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百三十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百三十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百三十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百三十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百四十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百四十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百四十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百四十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百四十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百四十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百四十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百四十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百四十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百四十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百五十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百五十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百五十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百五十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百五十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百五十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百五十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百五十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百五十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百五十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百六十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百六十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百六十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百六十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百六十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百六十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百六十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百六十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百六十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百六十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百七十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百七十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百七十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百七十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百七十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百七十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百七十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百七十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百七十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百七十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百八十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百八十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百八十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百八十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百八十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百八十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百八十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百八十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百八十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百八十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百九十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百九十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百九十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百九十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百九十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百九十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百九十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百九十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第百九十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第百九十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百十一條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百十二條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百十三條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百十四條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百十五條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百十六條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百十七條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百十八條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ抛棄スルコトヲ得

第二百十九條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ受ケテ其ノ特許ヲ他人ニ讓渡シ又ハ之ニ質權ヲ設定スルコトヲ得

第二百二十條　特許ヲ受ケタル者ハ逓信大臣ノ認可ヲ

朝鮮輕便鐵道令施行規則附屬第一號樣式

何何輕便鐵道（又ハ何何軌道）

敷設費用概算書

哩　鎖　節

項	數量	平均單價	金高	備考
測量及監督費				
用地費	段			
土工費	坪			
橋梁費	延長呎			
隧道費	延長呎			
軌道費	哩			
電線路費	哩			
停車場費	箇所			
車輛費				
諸建物費				
發電所費				
……				
……				
總係費				
合計	哩		……	敷設費
一哩ニ付		……		
			……	營業資金
				總計

朝鮮輕便鐵道令施行規則附屬第二號樣式

何何輕便鐵道（又ハ何何軌道）

鐵道收支概算書

線路	建設費 合計	建設費 每一哩	貨物噸哩又ハ貨物噸數 合計	貨物噸哩又ハ貨物噸數 每一哩	旅客人哩又ハ旅客人員 合計	旅客人哩又ハ旅客人員 每一哩	貨物收入 合計	貨物收入 每一哩	旅客收入 合計	旅客收入 每一哩	營業費 合計	營業費 每一哩	鐵道純益 合計	鐵道純益 資本ニ對スル割合	摘要

式樣號三第屬附則規行施令道鐵便輕鮮朝

（道軌々何ハ又）道鐵便輕々何

豫算費工

項	目	數量	單價	金高	計合	項	目	數量
		哩	四	四	四			哩
及費監督						費場車停		
費地用							驛々何	
	地路線	段					所外何	
	場車停地川用	〃					箇何	
	所地電用發	〃				費輛車		
	……						車關機	輛
							車客	〃
費工土							車貨	〃
	取	立坪				費物建諸		
	築堤	〃				費所電發		
	土留石垣	面坪					物建	
	……						機電發	
費梁橋							……	
	梁橋川何	呎延長					……	
	外所川何	箇何						
	渠溝	所箇					……	
費道隧							……	
	道隧何	呎延長						
	外所何	〃				費係掛		
	及品條屬附軌	哩	本	立坪	哩	計合		
	木枕					付ニ哩一		
	利材砂							
	設敷費							
	……							
費線路電		哩						
	線電通	〃						
	線電送	〃						
	線電車	本						
	柱電							
	……							

高送

❸輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件

明治四十五年六月
逓信省第百十九號

輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件左ノ通定ム

第一章　總則

第一條　本令ハ一般運送ノ用ニ供スル官設及私設ノ輕便鐵道及軌道ニ之ヲ適用ス

第二條　特別ノ事由アル場合ニ於テハ許可ヲ受ケ本令ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第二章　輕便鐵道

第一節　建設

第三條　輕便鐵道ハ特別ノ場合ヲ除クノ外道路上ニ敷設スルコトヲ得ス

第四條　建築定規ト車輛定規トハ相互間ニ適當ノ間隙ヲ存シテ之ヲ定ムルコトヲ要ス

第五條　軌間ハ特別ノ場合ヲ除クノ外二呎六吋トス

第六條　本線路ニ在ル曲線ノ半徑ハ停車場内其ノ他特別ノ場合ヲ除クノ外二鎖以上トス

第七條　線路ノ勾配ハ特別ノ場合ヲ除クノ外二十五分ノ一ヨリ急ナルコトヲ得ス

第八條　隧道、橋梁其ノ他列車ヲ避クルニ困難ナル場所ニハ三百呎以内ノ距離ニ待避所ヲ設クヘシ

第九條　線路ハ停車場、驛務所若ハ相當ノ設備アル信號所ノ外ニ於テ平面交叉ヲ爲スコトヲ得ス

第十條　停車場、驛務所及信號所ニハ特別ノ場所ヲ除クノ外電氣通信ノ設備ヲ爲スヘシ

第十一條　閉塞式ヲ施行スル線路ニ於テハ自働閉塞信號ニ依ル場合ヲ除クノ外停車場間ニ在ル閉塞區間ノ境界點ニ信號所ヲ設クヘシ

第十二條　閉塞區間ノ境界點ニ於ケル停車場（自働閉塞信號ニ依ル場合ヲ除ク）單線ニ於テ列車ノ行違ヲ爲ス停車場又ハ驛務所及信號所ニハ特別ノ場合ヲ除クノ外當直信號機ヲ設クヘシ

第十三條　乘客多キ停車場ニハ待合所其ノ他相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第十四條　線路ニハ左ノ標識ヲ設クヘシ

一　毎半哩ノ距離ヲ示ス哩程標

二　本線路ニ接續スル側線又ハ支線アル場所ニハ車輛ノ停止區域ヲ示ス警標

三　交通頻繁ナル踏切道ニハ通行人ノ注意ヲ惹クヘキ警標

第十五條　保安上特ニ必要ナル場所ニハ堤塘、橋垣又ハ溝渠ヲ設クルコトヲ要ス

交通頻繁ニシテ且展望惡シキ踏切道ニハ門扉其ノ他相當ノ保安設備ヲ爲スヘシ

第十六條　車輛ニハ特別ノ場合ヲ除クノ外燈彈燈及彈性ノ驛務裝置ヲ爲スヘシ

第十七條　緩急車ニハ他ノ制動機ノ裝置アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フヘシ

第十八條　機關車ニハ左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一　汽笛又ハ警笛ヲ備フルコト

二　前後ニ排障器ヲ附スルコト

三　他ノ制動機ノ裝置アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコト

蒸汽ヲ動力トスル機關車ニハ前項ノ外左ノ裝置ヲ爲スヘシ

一　汽罐ニハ各獨立ニ其ノ用ヲ爲シ得ヘキ二箇以上ノ給水器ヲ備フルコト

二　汽罐内部ノ水位ヲ認知シ得ヘキ二箇以上ノ各獨立セル最水器ヲ備フルコト但シ其ノ一箇ハ機關手ノ位置ヨリ水位ヲ直ニ認知シ得ヘキモノニシテ且其ノ汽罐ノ實用最低水位ヲ表示スルモノタルコトヲ要ス

三　二箇以上ノ安全辨ヲ備フルコト

四　火室ノ頂板ニ可熔栓ヲ備フルコト

五　險壓器ヲ備フルコト但シ指針盤ニ實用最高汽壓ヲ表示スルコトヲ要ス

六　火室ニ在ル乘務ニハ其ノ頂上ニ在ルモノヲ除クノ外總テ其ノ設損ヲ外部ヨリ發見シ得ヘキ設備ヲ爲スコト

第二十七條　停止セル車輛ニハ完全ニ制動ノ手段ヲ施スヘシ

第二十八條　各列車ニハ機關車及炭水車ヲ除キ少クモ二箇以上ノ制動機ヲ備フヘシ

前項制動機ヲ要スル軸數ハ線路ノ勾配及列車ノ速度ニ依リ該列車カ有スル車輛ノ數ニ比例シ之ヲ定ムヘシ但シ私設ノ輕便鐵道ニ在リテハ其ノ軸數ニ付鐵道局長官ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

制動機ハ列車ヲ組成スルニ當リ成ルヘク平等ニ分配スヘシ

第二十九條　線路ノ勾配カ二百分ノ一ヨリ急ナルトキハ列車ノ後部（推進ノ場合ハ前部）ニ在ル車輛ニハ手用制動機ノ裝置アルコトヲ要ス如何ナル場合ニ於テモ後部（推進ノ場合ハ前部）車輛ニハ適當ナル職員ヲ乘込マシムヘシ

第三十條　二車以上ニ跨ル貨物ヲ積載シタル貨車ハ特別ノ裝置ヲ施シタル場合ニ限リ旅客列車ニ聯結スルコトヲ得但シ三車以上ニ跨ルモノハ客車ヨリ二輛以上ヲ隔テ聯結シ其ノ運轉速度ハ之ヲ適度ニ減スヘシ

第三十一條　發火シ易キ貨物ヲ積載シタル貨車ハ旅客列車ニ聯結スルコトヲ得但シ貨物又ハ貨車ニ充分ナル防火ノ施設ヲ爲シタル場合ニ於テ該貨車ヲ客車ヨリ二輛以上隔ツルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十二條　列車ハ停車場又ハ停留場以外ノ場所ニ於テ貨物取扱ノ爲停車スルコトヲ得ス

第三十三條　隣接シタル停車場、驛務所又ハ信號所間ニ於テハ同一線路ニ同時ニ一列車ノ外運轉スルコトヲ得ス

五十鎖ノ距離ニ於テ高低ノ差ノ最大ナル部分ヲ取リ其ノ兩端ヲ連接スル直線ノ勾配カ五十分ノ一ヨリ緩ナル線路ニシテ列車平均速度一時間十哩ヲ超エサル場合ニ於テハ續行列車ヲ運轉スルコトヲ得

續行列車運轉ノ場合ニ於テハ其ノ速度ニ應シ兩列車間ニ相當隔離時間アルコトヲ要ス

私設輕便鐵道ニ於ケル列車運轉上ノ保安ニ關スル規定ハ鐵道局長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムヘシ

第三十四條　停車場ニ於ケル車輛入換ハ列車カ隣接停車場、驛務所又ハ信號所ヨリ該停車場ニ向ヒ出發ノ後ハ相當ノ防護ヲ爲スニ

非サレハ常置信號機ノ設ケサル停車場ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三十五條　本線路ニ在ル轉轍器ハ列車又ハ車輛カ對向通過ノ際之ヲ鎖錠シ置クカ又ハ其ノ取柄ヲ支持スシ但シ安全裝置ヲ施シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條　停車場內ノ運轉其ノ他特別ノ場合ヲ除クノ外列車ハ左方ノ線路ヲ進行スヘシ

第三十七條　攪關車ニハ列車運轉中ニ生シタル毀損ヲ一時修繕スル爲ニ要スル器具ヲ備フヘシ

第三十八條　列車ノ運轉ニ關シテハ當務者ヲシテ每日列車ノ組成、發著時刻其ノ他必要ナル事項ヲ記載シタル報告書ヲ調製セシムヘシ

第三十九條　蒸汽ヲ動力トスル攪關車ハ使用前及使用開始後少クトモ一年半每ニ一回定期檢查ヲ行フヘシ又一年半內ト雖モ要ナル修繕ヲ施シタルトキ亦同シ

前項檢查及汽鑵試驗ノ方法ニ關シテハ私設輕便鐵道ニ在リテハ豫メ鐵道局長官ノ認可ヲ受クヘシ

檢查及試驗ノ成績ハ之ヲ帳簿ニ詳記スヘシ

瓦壞其ノ他ヲ動力トスル攪關車ニ在リテハ前三項ノ規定ヲ準用ス

第四十條　客車、貨車各部ノ檢查ハ使用ノ狀況ニ依リ時時之ヲ施行シ客車ニ在リテハ少クトモ三年每ニ一回車輪（車輛附帶ノ儘驅結具及揮彈機ヲ取外シ之ヲ施行スヘシ

檢查ノ成績ハ之ヲ帳簿ニ詳記スヘシ

第四十一條　車輛ニハ左ノ事項ヲ標記スヘシ

一　所屬輕便鐵道ノ記號

二　番號

三　製造所ノ名稱及製造ノ年

四　客車ニハ停裁及乘客ノ定員

五　手荷物車ニハ積載量

六　貨車ニハ積載量及容量

七　最終檢查ノ年月

第四十二條　車輛ハ時時掃除ヲ爲シ之ヲ清潔ニ保持スヘシ

第七十條　單行機關車ノ運轉及信號ニ關シテハ列車ニ關スル規定ヲ準用ス

第七十一條　輕便鐵道ノ自動車ニハ機關車及列車ニ關スル規定ヲ準用ス

第三章　軌道

第一節　建設

第七十二條　軌間ハ特別ノ場合ヲ除クノ外三呎六吋トス

第七十三條　曲線ノ半徑ハ特別ノ場合ヲ除クノ外三十六呎以上トス

第七十四條　線路ノ勾配ハ特別ノ場合ヲ除クノ外二十五分ノ一ヨリ急ナルコトヲ得ス

第七十五條　道路ニ敷設スル軌道ノ軌條間及其ノ左右一呎六吋迄ハ木石、砂利其ノ他適當ノ材料ヲ敷キ軌條面ト道路面ト高低ナカラシムヘシ

第七十六條　軌道ヲ敷設スル道路ハ左ノ幅員ヲ有スルコトヲ要ス

一　單線軌道ノ場合ニ於テハ兩側人家連檐ノ場所又ハ道橋スヘキ場所ハ五間以上其ノ他ノ場所ハ三間以上

二　複線軌道ノ場合ニ於テハ兩側人家連檐ノ場所又ハ連檐スヘキ場所ハ五間以上其ノ他ノ場所ハ四間以上

第七十七條　軌道ハ兩側人家連檐又ハ連檐スヘキ道路ニシテ人道、車馬道ヲ區別セサル場所ニ於テハ車體ノ外側ヨリ路端迄一側ニ六尺以上他ノ一側ニ十二尺以上其ノ他ノ場所ニ於テハ一側ニ三尺以上他ノ一側ニ十二尺以上ノ幅員ヲ存シテ敷設スヘシ又道路屈折部ノ內角ノ前後ニ於テ車體外各十二尺以上ノ幅員ヲ存スルトキハ其ノ內角ニ於テ少クトモ十二尺其ノ他ノ場所ニ於テハ少クモ三尺ノ幅員ヲ存スルコトヲ要ス但シ馬車軌道又ハ之ニ準スヘキ軌道ニ在リテハ本條道路幅員ノ制限ヲ三分ノ二迄減縮スルコトヲ得

第七十八條　地下ニ埋設シタル電信又ハ電話線、水管、瓦斯管其ノ他公共用ノ工作物ト交叉又ハ接近シテ軌道ヲ敷設スルトキハ其ノ工作物ヲ毀損セサル爲適當ノ裝置ヲ爲スヘシ

第七十九條　各種ノ人孔、制水瀉壜等ニ接近シテ軌道ヲ敷設スルトキハ其ノ操業ニ障害ヲ與ヘサル爲適當ノ距離ヲ保タシムヘシ

第八十條　道路ノ一側ヨリ他ノ一側ニ軌道線ヲ移ス箇所及軌道カ道路ヲ橫斷スル箇所ハ木又ハ石ヲ用キテ相當幅員ヲ有スル路切ヲ設クヘシ

第八十一條　軌道敷設ノ爲道路及軌道ニ藩留スル雨水ハ之カ排除ノ施設ヲ爲スヘシ

第八十二條　車軌ニハ擔彈機、制動機、排障器及警報器ヲ裝置スヘシ但シ特種ノモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

驛結スヘキ車輛ニハ彈性ノ驛結器ヲ裝置スルコトヲ要ス

機關車ニハ他ノ制動機ノ裝置アル場合ニ於テモ手用制動機ヲ備フルコトヲ要ス

第八十三條　第十八條第二項及第十九條第一項ハ之ヲ軌道ニ準用ス

第二節　運轉

第八十四條　車輛ハ三車以上驛結シテ運行セシムルコトヲ得ス

第八十五條　車輛造行中ハ各車ヲシテ相當ノ距離ヲ保タシムヘシ

第八十六條　車輛造行ノ速度ハ一時間八哩ヲ超ユルコトヲ得ス但シ鐵道局長官ニ於テ必要ト認ムルトキハ本制限ニ依ラシメサルコトヲ得

第八十七條　必要ナル場所ニハ特ニ信號人ヲ置キ其ノ場所ニ於ケル車輛ノ通行速度ハ一時間五哩ヲ超ユルコトヲ得ス

第八十八條　乘客升降ノ爲ニスルノ外故ナク道路ニ停車セシムルコトヲ得ス但シ乘客昇降ノ場合ト雖道路ノ交叉部ニ於テ停車セシムルコトヲ得ス

第八十九條　運轉手其ノ位置ヲ離ルル場合ニハ完全ニ車輛制動ノ手段ヲ施スヘシ

第九十條　第二十一條第一項、第三十九條乃至第四十二條ノ規定ハ之ヲ軌道ニ準用ス

第三節　信號

第九十一條　信號ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

危害信號（停止ス）

晝　間　赤色旗ヲ現示シ又ハ兩腕ヲ高ク擧ク

夜　間　赤色燈

注意信號（徐行スヘシ）

晝　間　綠色旗ヲ現示シ又ハ片腕ヲ高ク擧ク

夜　間　綠色燈

第九十二條　夜間ハ五町以上ノ距離ニ於テ容易ニ認メ得ヘキ燈火ヲ車輛ノ前部ニ點スヘシ

第四節　運轉

第九十三條　客車ニハ行先、乘車賃金、營業時間其ノ他必要ナル事項ヲ掲示スヘシ

第九十四條　停留場及乘換場所ニ在リテハ車掌ハ其ノ旨喚呼スヘシ

第九十五條　市街地ニ於ケル私設ノ軌道ニ在リテハ警察官署ノ命スル所ニ從ヒ軌條間及其ノ左右二呎迄ノ掃除、撒水及除雪ヲ爲スヘシ

第九十六條　私設軌道ノ保員及其ノ職制ハ之ヲ定メ鐵道局長官ニ屆出ツヘシ

第九十七條　運轉規程第二條、第三條及第二十五條乃至第二十八條ノ規定ハ之ヲ軌道ニ準用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前許可又ハ認可ヲ受ケ既ニ敷設シタル輕便鐵道ニシテ本令ニ適合セサルモノハ本令施行ノ日ヨリ三年內ニ本令ノ規定ニ適合セシメ其ノ旨屆出ツヘシ

●輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件廢止

大正九年十一月　總令第百七十七號

明治四十五年朝鮮總督府令第百十九號ハ之ヲ廢止ス

ニ保持スヘシ

車窓ヲ破損シ其ノ他毀損シタル客車ハ乘客用ニ供スルコトヲ得ス

第三節　信號

第四十三條　信號ヲ現示スル定例ノ場所ニ何停信號ヲ現示セス又ハ之ヲ現示スルモ平常ト異ナル狀態ヲ呈スルトキハ危險信號ト看做スヘシ

第四十四條　信號ハ二箇以上ノ線路ニ兼用スルコトヲ得ス

第四十五條　常置信號機ハ柱上高ク腕竝燈ヲ裝置シ危害信號ヲ現示スルヲ其ノ定位トシ必要ノ場合ニ於テ無難信號ヲ現示スルヲ得ヘキモノタルヘシ

第四十六條　二箇以上同種類常置信號ヲ同一ノ柱ニ裝置スルトキハ最上向ニ在ルモノハ最左側ノ線路ニ屬シ以下順次右方ノ線路ニ屬スルモノトス

第四十七條　常置信號機ハ晝間ハ之ニ向テ視ルトキ左腕ノ位置又夜間ハ燈色ヲ以テ左ノ法式ニ依リ之ヲ現示スヘシ

危害信號（列車停止スヘシ）

晝　間　腕ノ位置水平

夜　間　赤色燈

無難信號（列車進行スヘシ）

晝　間　腕ノ位置下向四十五度

夜　間　綠色燈

第四十八條　常置信號機ノ腕ハ長方形トシ其ノ表面ヲ赤色、背面ヲ白色トシ腕端ニ近ク表面ニハ白色線、背面ニハ黑色線ヲ竪ニ畫ク

第四十九條　常置信號機ハ圓板信號機ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル信號ハ左ノ法式ニ依ルヘシ

危害信號（列車停止スヘシ）

晝　間　四板正面ニ向フ

夜　間　赤色燈

無難信號（列車進行スヘシ）

晝　間　四板側面ニ向フ

夜　間　綠色燈

前項ノ圓板ハ其ノ表面ヲ赤色、背面ヲ白色ヒ左ノ法式ニ依リ合圖ヲ爲スヘシ

晝　間　片腕ヲ水平ニ伸ヘ手笛ヲ長聲ニ吹ク

夜　間　綠色燈ヲ高ク圓形ニ動カシツツ手笛ヲ長聲ニ吹ク

第五十六條　攪關手ハ左ノ法式ニ依リ汽笛又ハ聲笛ヲ以テ合圖ヲ爲スヘシ

一　攪關車運轉ヲ始ムルトキ其ノ他注意ヲ促ストキ　適度ノ笛聲　一回

二　制動機ノ緊締ヲ車掌ニ促ストキ　短急笛聲　三回

三　制動機ノ緩解ヲ車掌ニ促ストキ　適度ノ笛聲　二回

四　列車ノ近ケルヲ停車場、驛務所、信號所又ハ往來繁類ナル踏切ヘ告クル必要アルトキ　長緩笛聲　一回

五　保線係員ヲ招集スル必要アルトキ　同上　數回

第五十七條　夜間ハ列車ノ前面上部ニ白色燈一箇ヲ掲クヘシ

第五十八條　列車ノ後部ニハ左ノ法式ニ依リ信號ヲ掲クヘシ

晝　間　綠衝桀ノ左側ニ赤色圓板又ハ同色ノ燈一箇

夜　間　綠衝桀ノ右側ニ赤色燈一箇

第五十九條　停車場ニ於ケル車輛入換用攪關車ハ夜間前部ニ白色燈一箇及後部綠衝桀ノ左側ニ赤色燈一箇ヲ掲クヘシ

第六十條　夜間列車ノ一部ヲ停車場外綠路ニ留置スルトキハ其ノ所在ヲ示ス爲少クトモ前部及後部ニ赤燈各一箇ヲ掲クヘシ

第四節　運轉

第六十一條　運輸規程第二條、第三條、第七條、第九條、第十條、第十三條、第十七條乃至第三十條、第三十一條乃至第三十五條ノ規定ハ之ヲ軌道ニ準用ス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第三條　第一條ノ日本船舶ニ非サレハ不開港ニ寄港シ又ハ各港ノ間ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スコトヲ得但シ法令若ハ條約ニ別段ノ定アルトキ又ハ朝鮮總督ノ特許ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二條　日本船舶ニ非サレハ日本ノ國旗ヲ掲クルコトヲ得ス

第三條　日本船舶ニ非サレハ不開港場ニ寄港シ又ハ日本各港ノ間ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スコトヲ得但法律若ハ條約ニ別段ノ定アルトキ又ハ主務大臣ノ特許ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條　日本船舶ノ所有者ハ日本ニ船籍港ヲ定メ其船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ船舶ノ積量ノ測度ヲ申請スルコトヲ要ス

船舶法第一條ノ日本船舶ハ各港ノ間ニ於テ運送ヲ爲スコトヲ得

第四條　朝鮮總督ハ前條第二項ノ運送ニ關シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附　則

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際舊令ニ依ル船舶國籍證書ヲ受有スル船舶所有者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リ登録ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ因リ船舶國籍證書ノ交付ヲ受クル迄ハ舊令ニ依ル船舶國籍證書ハ之ヲ本令ノ船舶國籍證書ト看做ス

●船舶法

明治三十二年三月
法律第四十六號
（改正：明治三十八年三月第六八號）

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル船舶法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

船舶法

第一條　左ノ船舶ヲ以テ日本船舶トス

一　日本ノ官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶

二　日本臣民ノ所有ニ屬スル船舶

三　日本ニ本店ヲ有スル商事會社ニシテ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及ヒ株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

四　日本ニ主タル事務所ヲ有スル法人ニシテ其代表者ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

第二條　日本船舶ニ非サレハ日本ノ國旗ヲ掲クルコトヲ得ス

第三條　日本船舶ニ非サレハ不開港場ニ寄港シ又ハ日本各港ノ間ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲スコトヲ得但法律若ハ條約ニ別段ノ定アルトキ又ハ主務大臣ノ特許ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條　日本船舶ノ所有者ハ日本ニ船籍港ヲ定メ其船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ船舶ノ積量ノ測度ヲ申請スルコトヲ要ス

第五條　日本船舶ノ所有者ハ登記ヲ爲シタル後船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ備ヘタル船舶原簿ニ登錄ヲ爲スコトヲ要ス

前項ニ定メタル登錄ヲ爲シタルトキハ管海官廳ハ船舶國籍證書ヲ交付スルコトヲ要ス

第六條　日本船舶ハ法令ニ別段ノ定アル場合ヲ除ク外船舶國籍證書ヲ有スルニ非サレハ日本ノ國旗ヲ掲ケ又ハ之ヲ航行セシムルコトヲ得ス

第七條　日本船舶ハ法令ノ定ムル所ニ從ヒ日本ノ國旗ヲ掲ケ且其名稱、船籍港ノ番號、積量、喫水ノ尺度其他ノ事項ヲ標示スルコトヲ要ス

第八條　日本船舶ノ名稱ハ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ノ許可ヲ得ルニ非サレハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第九條　船舶所有者カ其船舶ヲ修繕シタル場合ニ於テ其積量ニ變更ヲ生シタルモノト認ムルトキハ遲滯ナク船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ其船舶ノ積量ノ改測ヲ申請スルコトヲ要ス

第十條　登錄シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ變更ヲ生シタル事項ヲ登錄セシムル爲船舶國籍證書ヲ添ヘ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ヲ添ヘ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ヲ添ヘ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船長ハ其地ニ於テ假船舶國籍證書ヲ受有スル船舶所有者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リ登錄ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ因リ船舶國籍證書ノ交付ヲ受クル迄ハ舊令ニ依ル船舶國籍證書ハ之ヲ本令ノ船舶國籍證書ト看做ス

第四條　朝鮮總督ハ前條第二項ノ運送ニ關シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附　則

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際舊令ニ依ル船舶國籍證書ヲ受有スル船舶所有者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リ登錄ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ因リ船舶國籍證書ノ交付ヲ受クル迄ハ舊令ニ依ル船舶國籍證書ハ之ヲ本令ノ船舶國籍證書ト看做ス

第四條　朝鮮總督ハ前條第二項ノ運送ニ關シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附　則

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際舊令ニ依ル船舶國籍證書ヲ受有スル船舶所有者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リ登錄ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ因リ船舶國籍證書ノ交付ヲ受クル迄ハ舊令ニ依ル船舶國籍證書ハ之ヲ本令ノ船舶國籍證書ト看做ス

第一條　左ノ船舶ヲ以テ本令ニ依ル日本船舶トス

一　朝鮮ニ住所ヲ有スル日本臣民ノ所有ニ屬スル船舶

二　朝鮮ニ本店ヲ有スル商事會社ニシテ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

三　朝鮮ニ主タル事務所ヲ有スル法人ニシテ其ノ代表者ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

四　朝鮮ニ主タル事務所ヲ有スル法人ニシテ其ノ代表者ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

第二條　前條ニ掲ケタル船舶ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外船舶法ニ依ル但シ同法中勅令トアルハ朝鮮總督府令、主務大臣トアルハ朝鮮總督、第四條第一項第十五條及第十七條中日本トアルハ朝鮮、外國トアルハ朝鮮外トス

朝鮮外ニ於テ取得シタル船舶ヲ朝鮮外各港ノ間ニ航行セシムル場合ニ於テ船舶所有者カ領事官又ハ內地、臺灣、樺太若ハ關東州ノ管海官廳ニ於テ船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得

第十八條　船舶カ船籍港ニ到著シタルトキハ假船舶國籍證書ハ有效期間滿了前ト雖モ其效力ヲ失フ

第十九條　第十一條乃至第十四條ノ規定ハ假船舶國籍證書ニ之ヲ準用ス

第二十條　前十六條ノ規定ハ總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶及ヒ端舟其他櫓櫂ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟ニハ之ヲ適用セス

第二十一條　前條ニ掲ケタル船舶ノ船籍及ヒ共積其ノ測度ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　日本船舶ニ非シテ因籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ船長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收又ハ追徵ヲ選ケントスル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ此限ニ在ラス

日本船舶カ因籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケサルトキハ船長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收又ハ追徵ヲ選ケントスル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ此限ニ在ラス

日本船舶ニ因籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ船長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收又ハ追徵ヲ選ケントスル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ此限ニ在ラス

第二十三條　第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收ス

第二十四條　官吏ヲ欺キ船舶原簿ニ不實ノ登錄ヲ爲サシメタル者ハ二月以上三年以下ノ【重禁錮】ニ處シ【百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加】ス

前項ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法【未遂犯罪】ノ例ニ依リテ處斷ス

第二十五條　第六條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條　第七條ノ規定ニ從ヒ日本ノ國旗ヲ掲ケサルトキハ船長ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　第七條ニ定メタル事項ヲ船舶ニ標示セサルトキ又ハ第八條乃至第十二條若クハ第十四條ノ規定ニ違反シタルトキハ船舶所有者ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　第二十二條、第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ノ規定ハ船長ニ代ハリテ其職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第二十九條　第二十二條、第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ニ定メタル罰ニ付テハ刑法【數人共犯】ノ例ヲ適用セス

第三十條　第二十七條ノ場合ニ於テ刑法【第七十八條乃至第八十條】ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ罰ヲ論スヘカラサルトキハ其法定代理人ヲ罰ス

第三十一條　第二十七條ノ規定ハ船舶管理人又ハ商事會社其他ノ法人ノ代表者若クハ清算人ニ之ヲ適用ス

第三十二條　管海官廳ノ事務ハ外國ニ在リテハ日本ノ領事又ハ貿易事務官之ヲ行フ

附　則

第三十三條　本法ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十四條　船舶ノ登記ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十九年法律第一號登記法中船舶ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止

第三十五條　商法第五編ノ規定ハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テセサルモ航海ノ用ニ供スル船舶ニ之ヲ準用ス但官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶ニ付テハ此限ニ在ラス

第三十六條　明治三年正月七日布告第百號商船規則、同十二年第五號布告、同年第十九號布告、同十四年第十二號布告其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ抵觸スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十七條　本法施行ノ際登簿船免狀又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ノ所有者カ本法ノ規定キハハ船舶ノ積量ハ登錄ニ關スル事項又

コトヲ得

第十三條　第三條第三項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第十七條　外國ニ於テ交付スル假船舶國籍證書ノ有效期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

日本ニ於テ交付スル假船舶國籍證書ノ有效期間ハ六箇月ヲ超ユルコトヲ得ス

前二項ノ期間ヲ超ユルトキト雖モ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ船長ハ更ニ假船舶國籍證書ヲ請受スルコトヲ得

第十八條　船舶カ船籍港ニ到著シタルトキハ假船舶國籍證書ハ有效期間滿了前ト雖モ其效力ヲ失フ

第十九條　第十一條乃至第十四條ノ規定ハ假船舶國籍證書ニ之ヲ準用ス

第二十條　前十六條ノ規定ハ總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶及ヒ端舟其他櫓櫂ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟ニハ之ヲ適用セス

第二十一條　前條ニ掲ケタル船舶ノ船籍及ヒ共積其ノ測度ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　日本船舶ニ非シテ因籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ船長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收又ハ追徵ヲ選ケントスル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ此限ニ在ラス

日本船舶カ因籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケサルトキハ船長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收又ハ追徵ヲ選ケントスル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ此限ニ在ラス

第二十三條　第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收ス

第二十四條　官吏ヲ欺キ船舶原簿ニ不實ノ登錄ヲ爲サシメタル者ハ二月以上三年以下ノ【重禁錮】ニ處シ【百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加】ス

前項ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法【未遂犯罪】ノ例ニ依リテ處斷ス

第二十五條　第六條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條　第七條ノ規定ニ從ヒ日本ノ國旗ヲ掲ケサルトキハ船長ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　第七條ニ定メタル事項ヲ船舶ニ標示セサルトキ又ハ第八條乃至第十二條若クハ第十四條ノ規定ニ違反シタルトキハ船舶所有者ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　第二十二條、第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ノ規定ハ船長ニ代ハリテ其職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第二十九條　第二十二條、第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ニ定メタル罰ニ付テハ刑法【數人共犯】ノ例ヲ適用セス

第三十條　第二十七條ノ場合ニ於テ刑法【第七十八條乃至第八十條】ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ罰ヲ論スヘカラサルトキハ其法定代理人ヲ罰ス

第三十一條　第二十七條ノ規定ハ船舶管理人又ハ商事會社其他ノ法人ノ代表者若クハ清算人ニ之ヲ適用ス

第三十二條　管海官廳ノ事務ハ外國ニ在リテハ日本ノ領事又ハ貿易事務官之ヲ行フ

附　則

第三十三條　本法ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十四條　船舶ノ登記ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十九年法律第一號登記法中船舶ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十五條　商法第五編ノ規定ハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テセサルモ航海ノ用ニ供スル船舶ニ之ヲ準用ス但官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶ニ付テハ此限ニ在ラス

第三十六條　明治三年正月七日布告第百號商船規則、同十二年第五號布告、同年第十九號布告、同十四年第十二號布告其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ抵觸スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十七條　本法施行ノ際登簿船免狀又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ノ所有者カ本法ノ規定キハハ船舶ノ積量ハ登錄ニ關スル事項又ハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ變更ヲ生シタル事項ヲ登錄セシムル爲船舶國籍證書ヲ添ヘ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ヲ添ヘ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船長ハ其地ニ於テ假船舶國籍證書ヲ受有スル船舶所有者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リ登錄ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ因リ船舶國籍證書ノ交付ヲ受クル迄ハ舊令ニ依ル船舶國籍證書ハ之ヲ本令ノ船舶國籍證書ト看做ス

第四條　朝鮮總督ハ前條第二項ノ運送ニ關シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附　則

本令ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮船舶令（明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮船舶令

第一條　左ノ船舶ヲ以テ本令ニ依ル日本船舶トス

一　朝鮮ニ住所ヲ有スル日本臣民ノ所有ニ屬スル船舶

二　朝鮮ニ本店ヲ有スル商事會社ニシテ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

三　朝鮮ニ主タル事務所ヲ有スル法人ニシテ其ノ代表者ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

四　朝鮮ニ主タル事務所ヲ有スル法人ニシテ其ノ代表者ノ全員カ日本臣民ナルモノノ所有ニ屬スル船舶

第二條　前條ニ掲ケタル船舶ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外船舶法ニ依ル但シ同法中勅令トアルハ朝鮮總督府令、主務大臣トアルハ朝鮮總督、第四條第一項第十五條及第十七條中日本トアルハ朝鮮、外國トアルハ朝鮮外トス

朝鮮外ニ於テ取得シタル船舶ヲ朝鮮外各港ノ間ニ航行セシムル場合ニ於テ船舶所有者カ領事官又ハ內地、臺灣、樺太若ハ關東州ノ管海官廳ニ於テ船舶國籍證書ヲ請受クルコトヲ得

第十八條　船舶カ船籍港ニ到著シタルトキハ假船舶國籍證書ハ有效期間滿了前ト雖モ其效力ヲ失フ

第十九條　第十一條乃至第十四條ノ規定ハ假船舶國籍證書ニ之ヲ準用ス

第二十條　前十六條ノ規定ハ總噸數二十噸未滿又ハ積石數二百石未滿ノ船舶及ヒ端舟其他櫓櫂ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟ニハ之ヲ適用セス

第二十一條　前條ニ掲ケタル船舶ノ船籍及ヒ共積其ノ測度ニ關スル規程ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條　日本船舶ニ非シテ因籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ船長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收又ハ追徵ヲ選ケントスル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ此限ニ在ラス

日本船舶カ因籍ヲ詐ル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケサルトキハ船長ヲ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收又ハ追徵ヲ選ケントスル目的ヲ以テ日本ノ國旗ヲ掲ケタルトキハ此限ニ在ラス

第二十三條　第三條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ二百圓以上二千圓以下ノ罰金ニ處シ情狀重キトキハ其船舶ヲ沒收ス

第二十四條　官吏ヲ欺キ船舶原簿ニ不實ノ登錄ヲ爲サシメタル者ハ二月以上三年以下ノ【重禁錮】ニ處シ【百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加】ス

前項ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法【未遂犯罪】ノ例ニ依リテ處斷ス

第二十五條　第六條ノ規定ニ違反シタルトキハ船長ヲ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條　第七條ノ規定ニ從ヒ日本ノ國旗ヲ掲ケサルトキハ船長ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　第七條ニ定メタル事項ヲ船舶ニ標示セサルトキ又ハ第八條乃至第十二條若クハ第十四條ノ規定ニ違反シタルトキハ船舶所有者ヲ五圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　第二十二條、第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ノ規定ハ船長ニ代ハリテ其職務ヲ行フ者ニモ亦之ヲ適用ス

第二十九條　第二十二條、第二十三條、第二十五條及ヒ第二十六條ニ定メタル罰ニ付テハ刑法【數人共犯】ノ例ヲ適用セス

第三十條　第二十七條ノ場合ニ於テ刑法【第七十八條乃至第八十條】ノ規定ニ依リ船舶所有者ノ罰ヲ論スヘカラサルトキハ其法定代理人ヲ罰ス

第三十一條　第二十七條ノ規定ハ船舶管理人又ハ商事會社其他ノ法人ノ代表者若クハ清算人ニ之ヲ適用ス

第三十二條　管海官廳ノ事務ハ外國ニ在リテハ日本ノ領事又ハ貿易事務官之ヲ行フ

附　則

第三十三條　本法ハ商法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十四條　船舶ノ登記ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

明治十九年法律第一號登記法中船舶ノ登記ニ關スル規定ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十五條　商法第五編ノ規定ハ商行爲ヲ爲ス目的ヲ以テセサルモ航海ノ用ニ供スル船舶ニ之ヲ準用ス但官廳又ハ公署ノ所有ニ屬スル船舶ニ付テハ此限ニ在ラス

第三十六條　明治三年正月七日布告第百號商船規則、同十二年第五號布告、同年第十九號布告、同十四年第十二號布告其他ノ法令ニシテ本法ノ規定ニ抵觸スルモノハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第三十七條　本法施行ノ際登簿船免狀又ハ船鑑札ヲ受有スル船舶ノ所有者カ本法ノ規定キハハ船舶ノ積量ハ登錄ニ關スル事項又ハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ變更ヲ生シタル事項ヲ登錄セシムル爲船舶國籍證書ヲ添ヘ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ヲ添ヘ船舶所有者ハ其事實ヲ知リタル日ヨリ二週間内ニ其證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ船長ハ其地ニ於テ假船舶國籍證書ヲ受有スル船舶所有者ハ本令施行ノ日ヨリ三月内ニ本令ニ依リ登錄ノ申請ヲ爲スヘシ

前項ノ申請ニ因リ船舶國籍證書ノ交付ヲ受クル迄ハ舊令ニ依ル船舶國籍證書ハ之ヲ本令ノ船舶國籍證書ト看做ス

第四條　朝鮮總督ハ前條第二項ノ運送ニ關シ命令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

附　則

本令ハ大正三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮船舶令施行規則

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ船舶ノ種類トハ汽船、帆船ノ別ヲ謂フ

機械力ヲ以テ運航スル裝置ヲ有スル船舶ハ蒸氣ヲ用ウルト否トヲ問ハス之ヲ汽船ト看做ス

第二條　漁業船ニシテ推進器ヲ有セサルモノハ之ヲ帆船ト看做ス

第三條　船籍港ハ府、邑又ハ面ノ名稱ニ依ル所有者ノ罰ヲ論スヘカラサルトキハ其法定代理人ヲ罰ス

船籍港ハ府、邑又ハ面ノ名稱ニ依ル

船舶ノ船籍港ハ其船舶ノ航行ニ便利ナル地ニ之ヲ定ム但シ已ムコトヲ得サル事由アル場合ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

船舶所有者前項但書ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ住所地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由シ申請書ヲ提出スヘシ

第四條　左ノ場合ニ於テハ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ交付前ト雖最寄管海官廳ノ認可ヲ受ケ船舶ヲ航行セシムルコトヲ得

一　試運轉ノトキ

二　積荷ノ測度ヲ受ケムトスルトキ

三　正常ノ事由アルトキ

管海官廳ニ於テ前項ノ認可ヲ爲シタルトキハ前項第一號ノ場合ヲ除クノ外第六號書式ニ依リ船舶國籍證書ノ交付前ト雖船舶ニ國旗ヲ掲クルコトヲ得

第五條　左ノ場合ニ於テハ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ交付前ト雖船舶ニ國旗ヲ掲クルコトヲ得

一　祝日、祭日但シ外國ノ祝祭日ニ付テハ其ノ國ノ船舶ニ碇泊スル場合ニ限ル

二　前號ノ外祝意又ハ敬意ヲ表スルトキ

三　造船ノトキ

四　前條ノ規定ニ依リ船舶ヲ航行セシムルトキ

第六條　船舶ノ積量若ハ登錄ニ關スル事項又

第二項ヲ準用ス

第二十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第七十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百二十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百三十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百四十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百五十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百六十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百七十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百八十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第百九十九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百九條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百十條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十一條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十二條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十三條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十四條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十五條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　航行ノ制限又ハ禁止ニ違反シタル船舶ノ船長又ハ運轉手ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ

三　船首及船尾ノ外部側面ニ於テ喫水ヲ示ス爲船底ヨリ最大喫水線以上ニ至ル迄二十センチメートル毎ニ十センチメートルノ垂剥比亜数字ヲ以テ喫水尺度ヲ記シ数字ノ下端ハ其ノ数字ノ表示セル喫水線ト一致セシムルコト

四　長二十メートル以上ノ船舶ニ在リテハ積其測度ニ於テ総積其ノ算定ニ付總積其ヨリ控除シタル室及場所ノ見易キ所ニ其ノ室名又ハ使用ノ目的ニ相當スル名稱ヲ記スルコト

特殊ノ構造ヲ有スル爲前項ノ規定ニ依リ難キ船舶ニ在リテハ檢査官吏ノ相當ト認ムル方法ニ依リ前項ノ事項ヲ標示スルコトヲ得

第一項第三號ノ規定ニ依ル喫水尺度ノ外英尺ニ依リ喫水尺度ヲ標示スル場合ニ於テハ羅馬数字ヲ以テ之ヲ記載スヘシ

第四十六條　削除

第四十七條　船舶ノ標示ハ明瞭ニシテ久ニ耐ユル方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第四十八條　標示シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遅滯ナク其ノ標示ヲ改ムヘシ

第六章　登錄稅、手數料及旅費

第四十九條　朝鮮登錄稅令ノ規定ニ從ヒ登錄稅ヲ納付スルニハ左ノ區別ニ依リ相當ノ收入印紙ヲ船内ノ適當ナル場所ニ貼付シ之ニ消印ヲ爲スノ方法ニ依リ納付スヘシ

一　第十七條ノ場合ニ於テハ朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第一號

二　船舶進水變更ノ場合ニ於テハ朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第二號

三　船舶進水以外ノ登錄事項ノ變更ニ依リ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第四號

四　第二十七條ノ場合ニ於テハ朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第三號

第五十條　朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第四號ニ付テハ第十七條ノ二各號ノ事項ノ變更ヲ以テ毎一箇トス

第五十一條　登錄稅納付書ニハ船舶ノ名稱、總噸数及稅額ヲ記載シ朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第四號ノ區別ニ依リ相當ノ收入印紙ヲ貼付シタル登錄稅納付書ヲ登錄ノ申請書ニ添ヘ提出スヘシ

一　第十七條ノ場合ニ於テハ朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第一號

二　船舶進水變更ノ場合ニ於テハ朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第二號

三　船舶進水以外ノ登錄事項ノ變更ニ依リ登錄ヲ爲ス場合ニ於テハ朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第四號

第五十二條　朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第三號ニ揭ケタル船舶ニ在リテハ第十七條ノ二各號ノ事項ノ變更ヲ以テ毎一箇トス

第五十三條　登錄稅納付書ニハ船舶ノ名稱、總噸数及稅額ヲ記載シ朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第四號ノ區別ニ依リ相當ノ收入印紙ヲ貼付シ消印ヲ爲スノ方法ニ依リ納付スヘシ

第五十四條　朝鮮登錄稅令第一條ノ四第一項第三號ニ揭ケタル船舶ニ在リテハ檢査官吏ノ檢印ヲ受ケ其ノ指定シタル官廳ニ納付スヘシ

第五十五條　本令ノ規定ニ依リ船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ英譯書ヲ返還スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ其ノ義務ヲ怠リタルトキハ船舶所有者ヲ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第五十六條　本令ハ朝鮮船舶令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十七條　朝鮮船舶令施行前船舶國籍證書ヲ受有スル船舶ノ所有者ハ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ積其ノ測度ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第八條第二項各號ニ揭ケタル書類ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第五十八條　第十條及第十二條ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ舊船舶法ニ依リ船舶國籍證書ヲ受有スル船舶ニ付テハ管海官廳ハ船舶件名書ノ際本ヲ申請者ニ交付スルコトヲ要セス

五　帆船ノ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ交付、再交付又ハ書換ヲ受ケムトスル者ハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

六　前號ノ證書ノ英譯書ノ交付ヲ受ケムトスルトキ

前項ノ手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ第一號及第二號ノ場合ニ於テハ申請書ニ、第三號乃至第六號ノ場合ニ於テハ手數料納付書ニ貼付シテ之ヲ納付スヘシ

第五十四條　船舶所有者ノ申請ニ依リ船舶檢査執行地外ニ檢査官吏出張シタルトキハ船舶所有者ハ成規ノ旅費ヲ當該管海官廳又ハ其ノ指定シタル官廳ニ納付スヘシ

船舶安全法施行規則第百八十四條第一項ノ場合ニ於テ出張シタル檢査官吏ノ臨檢ヲ受クルトキハ其ノ旅費ハ相互ニ之ヲ通算ス

第五十四條ノ二　本令ノ規定ニ依ル手數料及旅費ハ官廳又ハ公共團體ニ對シテハ之ヲ徵收セス

第七章　雜則

第五十五條　本令ノ規定ニ依リ船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ英譯書ヲ返還スヘキ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ其ノ義務ヲ怠リタルトキハ船舶所有者ヲ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

朝鮮船舶令第三條ノ規定ニ從ヒ外國船舶不開港ニ寄港シ又ハ各港ノ間ニ於テ物品又ハ旅客ノ運送ヲ爲シタルトキハ船長ヲ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

第五十六條　本令ハ朝鮮船舶令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五十七條　朝鮮船舶令施行前船舶國籍證書ヲ受有スル船舶ノ所有者ハ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ積其ノ測度ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第八條第二項各號ニ揭ケタル書類ノ添附ヲ省略スルコトヲ得

第五十八條　第十條及第十二條ノ規定ハ前條第一項ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ舊船舶法ニ依リ船舶國籍證書ヲ受有スル船舶ニ付テハ管海官廳ハ船舶件名書ノ際本ヲ申請者ニ交付スルコトヲ要セス

本令施行ノ際現ニ受有スル船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ハ本令ノ爲其ノ效力ヲ妨ケラルルコトナシ

前項ノ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ニ記載シタル事項中外板ノ材料、船骨ノ材料又ハ檣ノ數ニ變更ヲ生シタルトキハ船舶所有者ハ遅滯ナク證書ノ書換ヲ申請スヘシ

前項ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ第五十三條ノ規定ニ依リ手數料ヲ徵收セス

附　則（大正九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス）

本令ハ大正九年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年四月總令第六十四號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前測度又ハ改測ヲ申請シタル船舶ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和七年六月總令第五十號）

第一條　本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條　本令施行ノ際現ニ受有スル船舶國籍證書ハ昭和九年六月三十日迄、假船舶國籍證書ハ其ノ證書ニ記載スル有效期間内其ノ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ

第三條　積其測度ニ關スル從前ノ規定ニ依リ積其ノ測度ヲ爲シタル船舶ノ登錄、國籍證書及假國籍證書ノ交付並ニ標示ニ付テハ昭和九年六月三十日迄仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第四條　石數ヲ以テ積其ヲ登錄シタル船舶ニ關シテハ朝鮮石數船改測規則ニ依リ改測ヲ受クルニ迄第二十八條ニ規定スル事項ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第五條　從前ノ規定ニ依リ噸數ヲ以テ積其ヲ登錄シタル船舶ニ付テハ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ於テ昭和九年六月三十日（無線電信ノ施設ヲ有スル船舶ニ在リテハ昭和八年十二月二十八日）迄ニ船舶所有者ノ申請ニ依リ總噸數ヲ以テ積其ヲ登錄シ且船舶國籍證書及假國籍證書ノ書換ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第十條及第十二條ノ規定ニ依ル

附　則（昭和十年八月總令第百三十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ登錄シタル船舶ニ付テハ昭和十年八月三十日迄、假船舶國籍證書ハ其ノ證書ニ記載スル有效期間内其ノ效力ヲ妨ゲラルルコトナシ

第三條　積其測度ニ關スル從前ノ規定ニ依リ積其ノ測度ヲ爲シタル船舶ノ登錄、國籍證書及假國籍證書ノ交付並ニ標示ニ付テハ昭和十年八月三十日迄仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

第四條　石數ヲ以テ積其ヲ登錄シタル船舶ニ關シテハ朝鮮石數船改測規則ニ依リ改測ヲ受クルニ迄第二十八條ニ規定スル事項ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

第五條　從前ノ規定ニ依リ噸數ヲ以テ積其ヲ登錄シタル船舶ニ付テハ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ於テ昭和十年八月三十日（無線電信ノ施設ヲ有スル船舶ニ在リテハ昭和九年十二月二十八日）迄ニ船舶所有者ノ申請ニ依リ總噸數ヲ以テ積其ヲ登錄シ且船舶國籍證書及假國籍證書ノ書換ヲ爲スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第十條及第十二條ノ規定ニ依ル

附　則（昭和十二年八月總令第百三十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ船舶原簿ニ登錄シタル船籍港ニ付テハ第三條第三項ノ規定ニ拘ラス當該船舶カ引續キ其ノ地ニ船籍ヲ置ク場合ニ限リ前項ノ規定ニ依ル

附　則（大正三年九月總令第四十一號）

第一條　本令ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二條　本令施行ノ際現ニ船舶原簿ニ登錄シタル船舶ニ付テハ第三條第二項ノ規定ニ拘ラス當該船舶カ引續キ其ノ地ニ船籍ヲ置ク場合ニ限リ從前ノ例ニ依ル

第三條　第十七條ノ二ノ規定ニ依リ登錄ヲ爲スヘキ事項、第二十二條及第二十四條ノ規定ニ依リ變更ノ登錄ヲ爲スヘキ事項竝船舶件名書、船舶國籍證書及假船舶國籍證書ノ書式ハ船舶積其測度法第十二條ノ規定ニ依ル

第四條　本令施行前積量ノ測度又ハ改測ヲ申請シタル船舶ニ付テハ本令施行後其ノ測度又ハ改測ヲ了リタル場合ニ於テモ第五十二條ノ二ノ規定ニ依ル測度手數料ヲ徵收セス

第五條　船舶積其測度法第十二條ノ規定ニ依ル改測ニ依リ船舶國籍證書ヲ書換ヲ申請スル場合ニ於テハ第五十三條ノ規定ニ依ル手數料ヲ納付スヘシ

一　船舶原簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ申請スルトキ　一枚ニ付二十錢

二　船舶原簿ノ閲覽ヲ請求スルトキ　一回ニ付二十錢

三　汽船ノ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ交付、再交付又ハ書換ヲ受ケムトスルトキ　四　前號ノ證書ノ英譯書ノ交付ヲ受ケムトスルトキ　四

數ヲモ記載スヘシ

第五十二條　船舶法第十四條第二項ノ規定ニ依リ職權ヲ以テ抹消ノ登錄ヲ爲シタル場合ニ於テハ當該管海官廳ハ遅滯ナク左ノ事項ヲ船舶所有者又ハ船舶管理人ノ住所地ヲ管轄スル稅務署ニ通知スヘシ

一　船舶ノ種類、名稱及總噸數

二　船舶所有者又ハ船舶管理人ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十三條　抹消ノ登錄ヲ爲シタル年月日

第五十四條　船舶法第四條又ハ同法第九條ノ規定ニ依リ船舶ノ積其ノ測度又ハ改測ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ當該管海官廳ニ指定スル所ニ從ヒ別記船舶積其測度手數料表ニ定ムル測度手數料ヲ納付スヘシ

申請人ノ都合ニ依リ測度ノ申請ヲ取下ケ又ハ船舶カ測度ヲ要セサルモノト爲リタル場合ト雖測度著手後ナルトキハ測度手數料ヲ徵收ス改測ノ場合ニ付亦同シ

第五十二條ノ三　前條ノ測度手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ測度手數料納付書ニ貼付シテ之ヲ納付スヘシ

前項ノ測度手數料納付書ニハ船舶ノ名稱、汽船、機關ヲ有スル帆船又ハ機關ヲ有セサル帆船ノ區別、總噸數（長二十メートル未滿ノ船舶ニ在リテハ總噸數ノ外ニ其ノ長）、新規測度、全部改測又ハ一部改測ノ區別及手數料額ヲ記載スヘシ又一部改測ノ場合ニシテ測度甲板下全部ノ改測ヲ受ケタルトキハ尚其ノ旨ヲモ附記スヘシ

第五十三條　本令ニ依リ申請ヲ爲ス者ハ左ノ手數料ヲ納付スヘシ

一　船舶原簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ申請スルトキ　一枚ニ付二十錢

二　船舶原簿ノ閲覽ヲ請求スルトキ　一回ニ付二十錢

三　汽船ノ船舶國籍證書又ハ假船舶國籍證書ノ交付、再交付又ハ書換ヲ受ケムトスルトキ　四　前號ノ證書ノ英譯書ノ交付ヲ受ケムトスルトキ　四

船舶ニ臨檢シタル檢査官吏ハ積其ノ測度ノ全部又ハ一部ヲ省略スルコトヲ得

第五十九條　舊船法ニ依リ船舶國籍證書ヲ受有スル船舶ニ付登錄ノ申請ヲ爲ス場合ニハ第十七條第一項ニ揭ケタル登記ノ際本ヲ提出スルコトヲ要セス

第六十條　船舶國籍證書ヲ請受ケタル船舶所有者ハ遅滯ナク舊船舶國籍證書ヲ最寄官海官廳ニ返還スヘシ

第五十五條　本令ノ規定ニ依リ難キ船舶ノ標示ニ付テハ逓信大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ爲スヘシ

第五十六條　本令ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ船舶原簿ニ登錄シタル船舶ニ付テハ第三條第二項ノ規定ニ拘ラス當該船舶カ引續キ其ノ地ニ船籍ヲ置ク場合ニ限リ從前ノ例ニ依ル

第五十七條　本令ハ大正三年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ船舶原簿ニ登錄シタル船舶ニ付テハ第三條第二項ノ規定ニ拘ラス當該船舶カ引續キ其ノ地ニ船籍ヲ置ク場合ニ限リ從前ノ例ニ依ル

第五十八條　船舶積其測度法第十二條ノ規定ニ依ル改測ニ依リ積其ノ測度ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テハ第五十三條ノ規定ニ依ル手數料ヲ納付スヘシ

一　船舶原簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ申請スルトキ　一枚ニ付二十錢

二　船舶原簿ノ閲覽ヲ請求スルトキ　一回ニ付二十錢

第五十九條　船舶積其測度法第十二條ノ規定ニ依ル改測ニ依リ積其ノ測度ニ變更ヲ生シタル場合ニ於テハ第五十三條ノ規定ニ依ル手數料ヲ納付スヘシ

一　船舶原簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ申請スルトキ　一枚ニ付二十錢

二　船舶原簿ノ閲覽ヲ請求スルトキ　一回ニ付二十錢

第六十條　船舶積其測度法第十二條ノ規定ニ依ル改測ノ場合ニ於テハ第五十三條ノ規定ニ依ル旅費及日當ヲ徵收セス

第七條　前條ノ場合ニ於テハ第五十三條ノ規定ニ依ル手數料ヲ納付スヘシ

別記　船舶積其測度手數料表

總噸数 / 船種類	汽船及機關ヲ有スル帆船	機關ヲ有セサル帆船
二噸以上五噸未滿	七圓	五圓
五噸以上十噸未滿	十圓	七圓
十噸以上百噸未滿	十五圓	十圓
百噸以上三百噸未滿	二十圓	十五圓
三百噸以上五百噸未滿	二十三圓	十七圓
五百噸以上千噸未滿	二十五圓	二十圓
千噸以上二千噸未滿	三十圓	二十三圓
二千噸以上三千噸未滿	三十五圓	二十五圓
三千噸以上四千噸未滿	四十圓	二十七圓
四千噸以上五千噸未滿	四十五圓	三十圓
五千噸以上六千噸未滿	五十圓	三十三圓
六千噸以上八千噸未滿	六十圓	三十五圓
八千噸以上一萬噸未滿	七十圓	三十七圓
一萬噸以上	八十圓	四十圓

備考

一　測度甲板下全部ノ改測ヲ受ケタルトキハ之ヲ全部改測ト看做シ本表ニ規定スル手數料ヲ納付スヘシ

二　第五十二條ノ二第二項ニ規定スル場合ニ於テ總噸数ヲ定ムルコト能ハザルトキハ計算總噸数ニ依リ測度手數料ヲ納付スヘシ

三　長二十メートル未滿ノ船舶新規測度又ハ全部改測ヲ受ケタルトキハ其ノ手數料ハ本表ニ規定スル金額ノ十分ノ七トス

四　外國ニ於テ測度又ハ改測ヲ受ケタルトキハ其ノ手數料ハ本表及前各號ノ規定ニ依リ算出シタル金額ノ四倍トス

第一號書式

船舶積其測度申請書

汽（帆）船何丸

何府又ハ何面（何道何郡何面）

總噸数約何噸

何道何府何郡何面又ハ何府縣何市何郡何町村

何某又ハ何會社

何年何月

何何

名

原

一　船籍港

二　種類

三　造船地

四　造船者

五　進水ノ年月

六　所有者ノ氏名又ハ名稱、住所及共有ナルトキハ各共有者ノ持分

七　何道（何府何町何番地）何郡何面何洞里何耕何戸何某又ハ何會社

八　測度ヲ受ケムトスル場所

九　右ノ船舶積其測度ヲ申請候也

年　月　日

某所

第二號雛形

登記簿 船舶

番號	記事	種類	船名	船籍港	船質	船種	建造年月日	建造所	總噸數	摘要
壹		蒸汽船	第壹日本丸	東京	鋼	貨客船	明治拾壹年壹月壹日	横濱	壹千壹百	
貳		帆船	第貳日本丸	東京	木	貨客船	明治拾壹年壹月壹日	横濱	壹千壹百	
參		蒸汽船	第參日本丸	東京	鋼	貨客船	明治拾壹年壹月壹日	横濱	壹千壹百	
肆		蒸汽船	第肆日本丸	東京	鋼	貨客船	明治拾壹年壹月壹日	横濱	壹千壹百	
伍		蒸汽船	第伍日本丸	東京	鋼	貨客船	明治拾壹年壹月壹日	横濱	壹千壹百	

第五號書式

假船舶國籍證書交付申請書

汽(帆)船何丸

一　船質　鋼、木等

二　船型　三檣バーク、二檣トップスルスクーナー、二檣スクーナー、一檣スループ等

三　帆船ノ帆裝

四　上甲板梁上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ船尾材ノ後面ニ至ル長　何メートル何々

五　船體最廣部ニ於テ肋骨ノ外面ヨリ外面ニ至ル幅　何メートル何々

六　長ノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ上甲板梁ノ裁側ニ於ケル上面ニ至ル深　何メートル何々

七　總噸數　何噸何々

八　純噸數　何噸何々

九　機關ノ種類及數　往復動汽機、タービン汽機、發動機又ハ電動機何箇

十　推進器ノ種類及數　外車又ハ螺旋推進器何箇

十一　造船地　何道何府何郡何邑何町村

十二　造船者　何某又ハ何會社

十三　造水ノ年月　年　月

十四　所有者ノ氏名又ハ名稱、住所及共有ナルトキハ各共有者ノ持分

何道何府何郡何邑何番地

何某又ハ何會社

右今般新造(又ハ何圀人何某ヨリ買受等)致候ニ付假船舶國籍證書交付相成度船舶法第十五條(又ハ第十六條)及朝鮮船舶令施行規則第三十八條ノ規定ニ依リ關係書類何通相添此段及申請候也

年　月　日　　住所　何　某　印

管海官廳宛

備考

造水ノ年月ノ項ハ外圀ニ於テ製造シタル船舶ニ在リテハ西暦ニ依リ之ヲ記載スヘシ

第六號書式

航行認可書

汽(帆)船何丸

住所　所有者　何　某

右朝鮮船舶令施行規則第四條第一項ノ規定ニ依リ何地ヨリ何地迄航行セシムルコトヲ認可ス此ノ認可ハ何年何月何日限リ無效トス

年　月　日　　管海官廳印

備考

船舶ガ共有ナルトキハ共有者一人ノ氏名又ハ名稱ヲ記載シ外何人ト附記スヘシ

●朝鮮船舶鑑札規則

大正三年五月
總令第六十六號

改正　大正一一年一一第一七〇号、昭和七年令第五四號、一〇年令第三八號

朝鮮船舶鑑札規則左ノ通定ム

朝鮮船舶鑑札規則

第一條　總噸數二十噸未滿ノ船舶ノ所有者ハ朝鮮ニ船籍港ヲ定メ船舶鑑札ヲ受クヘシ但シ左ニ掲クル船舶ニ付テハ此限ニ在ラス

一　總噸數五噸未滿ノ帆船

二　端舟其ノ他機艣ノミヲ以テ運轉シ又ハ主トシテ機艣ヲ以テ運轉スル舟

第二條　前條ニ規定スル船舶ノ所有者ハ第一號書式ノ船舶鑑札交付申請書ヲ船籍港ヲ管轄スル地方官廳ニ提出スヘシ

管海官廳共ノ他ノ官廳ニ於テ積量ノ測度ヲ受ケタル船舶ニ付テハ前項ノ申請書ニ積量ニ關スル證明書ヲ添附スヘシ

第三條　地方官廳ニ於テ前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ船舶ノ積量ヲ測度スヘシ但シ前條第二項ノ證明書ヲ提出シタルトキハ之ヲ省略スルコトヲ得

第四條　地方官廳ニ於テ前條ノ規定ニ依リ船舶ノ積量ノ測度ヲ爲シタルトキ又ハ第二條第二項ノ規定ニ依リ提出シタル證明書ヲ適當ナリト認メタルトキハ第二號書式ノ船舶鑑札ヲ交付スヘシ

第四條ノ二　船舶鑑札ヲ受有スル船舶ハ船籍外部ニ於テ船首兩舷ニ船名、船尾ノ見易キ所ニ船舶ノ所屬道名及船舶鑑札番號ヲ標示スヘシ

特殊ノ構造ヲ有スル船舶ニシテ前項ノ規定ニ依リ難キモノニ付テハ當該官吏ノ相當ト認ムル方法ニ依リ前項ノ事項ヲ標示スルコトヲ得

前二項ノ標示ハ塗料ノ使用其他久シキニ耐ユル方法ニ依リ高幅共十センチメートル以上ノ文字ヲ以テ明瞭ニ之ヲ現ハシ船名及道名ハ國字船舶鑑札番號ハ亞剌比亞數字ト爲スヘシ標示スヘキ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滯ナク其標示ヲ改ムヘシ

第五條　船舶鑑札ハ船舶ニ備附キ船長其ノ他船舶ヲ指揮スル者之ヲ保管シ當該官吏ニ於テ檢閱ヲ求ムルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第六條　船舶鑑札ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタルトキ又ハ船舶鑑札ヲ毀損シタルトキハ船舶所有者ハ二週間内ニ管由ヲ疏明シ書換ヲ申請スヘシ

第二條第二項ノ規定ハ船舶鑑札ニ記載シタル事項ノ變更カ積量ノ變更ニ係ル場合ニ之ヲ準用ス

船舶鑑札ニ記載シタル事項ノ變更カ船舶所有者ノ變更ニ係ルトキハ第一項ノ申請ハ新所有者ヨリ變更ノ事實ヲ證スル書面ヲ提出シテ之ヲ爲スヘシ

第七條　船舶鑑札ニ記載シタル事項ノ變更カ積量ノ變更ニ係ルトキハ地方官廳ハ之カ改測ヲ爲スヘシ

第三條但書ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八條　甲地方官廳ノ管轄區域内ニ定メタル船籍港ヲ乙地方官廳ノ管轄區域内ニ變更セムトスルトキハ船舶所有者ハ管由ヲ疏明シ甲地方官廳ニ轉籍ヲ申請スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ甲地方官廳ハ遲滯ナク前項ノ申請書ニ船舶鑑札臺帳ノ謄本、積量ノ測度ニ關スル書類ヲ添ヘ其ノ旨乙地方官廳ニ通知スヘシ

第九條　行政區畫變更ノ爲船籍港カ甲地方官廳ノ管轄區域内ヨリ乙地方官廳ノ管轄區域内ニ轉屬シタルトキハ甲地方官廳ハ申請ヲ待タス遲滯ナク船舶鑑札臺帳ノ謄本、積量ノ測度ニ關スル書類ヲ乙地方官廳ニ送付スヘシ

行政區畫、土地ノ名稱又ハ地番號ノ變更アリタルトキハ船舶鑑札ニ記載シタル區畫、名稱又ハ番號ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス但シ前項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十條　船舶鑑札カ滅失シタルトキハ船舶所有者ハ二週間内ニ事由ヲ疏明シ再交付ヲ申請スヘシ

第十一條　地方官廳カ第六條若ハ前條ノ申請ヲ受ケタル場合、第八條第二項ノ通知ヲ受ケタル場合又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ船舶鑑札ヲ書換ヘ交付スル場合又ハ第九條第一項ノ規定ニ依リ船舶鑑札ヲ受ケタル場合ニ於テ船舶ニ在ラサルトキハ其船舶ニ在ル者ニ命シ又ハ官吏ヲシテ之ヲ檢査セシムルコトヲ得

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ハ二週間内ニ事由ヲ疏明シ船舶鑑札ヲ管轄地方官廳ニ返還スヘシ

一　船舶カ滅失若ハ沈沒シタルトキ又ハ解撤セラレタルトキ

二　船舶カ朝鮮船舶令第一條各號ニ該當セサルモノト爲リタルトキ又ハ船舶ノ存否カ六月間分明ナラサルトキ

三、船舶カ總噸數二十噸以上ト爲リタルトキ又ハ本令ノ規定ニ依リ船舶鑑札ヲ受クルコトヲ要セサルモノト爲リタルトキ

前條ノ規定ニ依リ船舶鑑札ノ交付ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ之ト引換ニ舊船舶鑑札ヲ管轄地方官廳ニ返還スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ船舶鑑札ヲ返還スルコトヲ得ル事由ヲ疏明スヘシ

第十三條　船舶鑑札ヲ受有スヘキ船舶ニシテ朝鮮船舶安全令ニ於テ假ニコトヲ定メタル船舶安全法第二條第一項ノ規定ノ適用ヲ受クルモノノ所有者ハ管海官廳ニ積量ノ測度又ハ改測ヲ申請スルコトヲ得

第十四條　地方官廳又ハ管海官廳ハ隨時當該官吏ヲ船舶ニ臨視セシメ必要アリト認ムルトキハ積量ノ改測又ハ標示ヲ爲サシムヘシ

第十五條　第一條ノ船舶鑑札ヲ受有セス若ハ第四條ノ二ノ規定ニ依リ標示ヲ爲サシテ船舶ヲ航行セシメタルトキ第五條、第六條第一項、第八條第一項又ハ第十二條ノ規定ニ違反シタルトキハ船舶所有者ヲ三十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

第十六條　本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十七條　本令施行前受有シタル船舶鑑札又ハ船準牌ハ本令施行ノ日ヨリ六月間仍其ノ效力ヲ有ス

前項ニ規定スル船舶鑑札及船準牌ノ所有者ハ本令施行ノ日ヨリ六月内ニ本令ノ規定ニ依リ船舶鑑札ノ交付ヲ申請スヘシ

右船舶新造(又ハ何圀人何某ヨリ買受等)致候ニ付假船舶鑑札ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テ船舶鑑札ヲ交付スヘキモノト認ムルトキハ之ヲ船舶所有者ニ交付スヘシ

第十二條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者ハ二週間内ニ事由ヲ疏明シ船舶鑑札ヲ管轄地方官廳ニ返還スヘシ

一　船舶カ滅失若ハ沈沒シタルトキ又ハ解撤セラレタルトキ

二　船舶カ朝鮮船舶令第一條各號ニ該當セサルモノト爲リタルトキ又ハ船舶ノ存否カ六月間分明ナラサルトキ

三、船舶カ總噸數二十噸以上ト爲リタルトキ又ハ本令ノ規定ニ依リ船舶鑑札ヲ受クルコトヲ要セサルモノト爲リタルトキ

前條ノ規定ニ依リ船舶鑑札ノ交付ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ之ト引換ニ舊船舶鑑札ヲ管轄地方官廳ニ返還

第十八棒　第二章　第五類　船舶

第二章　船舶

第五類　船舶

第十八棒

第四百六十三條　船舶ノ航行ニ關スル規程ハ國土交通省令ヲ以テ之ヲ定ム

第四百六十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百六十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百六十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百六十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百六十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百六十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百七十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百八十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第四百九十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百二十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百三十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百四十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百五十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百六十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百七十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百八十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第五百九十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百二十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百三十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百四十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百五十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百六十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七十三條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七十四條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七十五條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七十六條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七十七條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百七十八條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

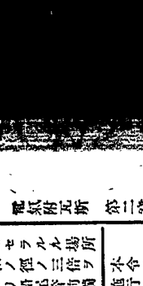
第六百七十九條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百八十條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百八十一條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得ス

第六百八十二條　船舶ハ其ノ航行ニ適スル能力ヲ有スル船員ヲ乘組マシメサルトキハ之ヲ發航セシムルコトヲ得

●朝鮮船積量測度心得



●船舶ノ品名ト承認

品名ノ承認

船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ品名ノ承認ヲ受ケシメラルル場合ニ於テハ其ノ品名ハ左ノ例ニ依ルヘシ

汽船	帆船
發動機船	無動力船
曳船	被曳船
押船	被押船
荷船	艀
漁船	漁艀
水先案内船	檢疫船
消防船	救難船
測量船	燈臺見廻船
燈船	燈標設置船
浚渫船	起重機船
砂利採取船	土運船
廢物處分船	廢物運搬船
水上飛行機	水陸兩用飛行機
飛行艇	滑走艇
水雷艇	潛水艇
駆逐艦	巡洋艦
戰艦	航空母艦
運送船	病院船
交換船	捕獲船
敷設艦	敷設艇
掃海艇	掃海母艦
特務艦	練習艦
測量艦	砲艦
水上機母艦	潜水母艦
潜水艦	潜水艦母艦
潜水艦救難艦	潜水艦救難艇
潜水艦救難母艦	潜水艦救難母艇
潜水艦救難艦艇	潜水艦救難母艦艇

船舶建造及修繕ニ關スル規則

第一條　船舶ヲ建造シ又ハ修繕セントスル者ハ其ノ船舶ノ種類、大サ、構造、用途、航行區域、乘組員數、積載量、速力、主機ノ種類及出力ニ付逓信大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第二條　前條ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲サントスルトキハ逓信大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第三條　第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ逓信大臣ノ檢査ヲ受クヘシ

第四條　逓信大臣ハ前二條ノ檢査ニ際シ必要ト認ムルトキハ船舶ノ一部ヲ分解シテ檢査スルコトヲ得

第五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタル場合ニ於テ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十一條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十二條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第十九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十一條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十二條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第二十九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十一條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十二條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三十九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十一條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十二條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四十九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十一條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十二條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五十九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十一條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十二條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六十九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十一條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十二條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七十九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十一條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十二條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八十九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十一條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十二條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十八條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第九十九條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第百條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

船舶建造及修繕用物品ノ承認

第一條　船舶ヲ建造シ又ハ修繕セントスル者ハ其ノ船舶ノ種類、大サ、構造、用途、航行區域、乘組員數、積載量、速力、主機ノ種類及出力ニ付逓信大臣ノ承認ヲ受クヘシ

第二條　前條ノ規定ニ依リ承認ヲ受ケタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第三條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第四條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第五條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第六條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第七條　逓信大臣ハ第一條ノ規定ニ依リ承認ヲ與ヘタル船舶ニ付其ノ構造ヲ變更シ又ハ修繕ヲ爲シタルトキハ其ノ船舶ニ關シ法令ノ規定ニ依リ檢査ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ檢査ヲ爲シ

第八條　

船舶建造（又ハ修繕）用物品承認書

一　申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地
二　工場ノ名稱及位置
三　船舶ノ製造番號及種類（又ハ一年ヲ超エサル一定期間若ハ船舶ノ位置、名稱及種類）
四　輸入稅ノ免除ヲ受ケムトスル物品又ハ奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスル鋼材ノ種類及數量
五　起工期日（又ハ着手期日）及竣工期日

右申請者ノ申請ニ係ル物品ノ種類及數量ニ相當スル物品ハ前記工場及期日（又ハ期間）ニ於テ建造（又ハ修繕）スル船舶ニ使用スル必要ナルコトヲ承認ス

年　月　日　　管海官廳名印

備考
一　番號中ノ甲ハ船舶建造用物品承認書、乙ハ船舶修繕用物品承認書ニシテ一定期間内ニ於ケル船舶修繕用物品ニ關スルモノ乙特ハ船舶修繕用物品承認書ニシテ特定船舶ノ修繕用物品ニ關スルモノニ附スヘキモノトス
二　第四號中鐵鋼材ノ種類及數量ハ第六條第一項ニ依リ記載シ尚奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスルモノニハ鋼質及製造者名ヲモ參考ノ爲附記スヘキモノトス

（第二號書式）

年　甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號

船舶建造（又ハ修繕）用物品承認書正書

申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地

右申請者ノ申請ニ係ル物品ハ船舶檢査證書ヲ交付スル但シ主務大臣ニ於テ已ムコトヲ得ス又ハ必要ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス

本法施行地ニ於テ製造スル長サ三十メートル以上ノ船舶ノ製造者ハ第二條第一項ノ規定ノ適用ヲ受クヘシ

前項ノ檢査ニ合格シタル船舶ニハ船舶檢査證書ヲ交付ス但シ其ノ有效期間ハ四年以内ニ於テ管海官廳ノ定メタル期間トス

前項ノ有效期間ノ滿了ハ本令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第五條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ同法第十條ニ規定スル有效期間ノ滿了ト看做ス

（昭和十年二月總令第十九號ヲ以テ第三條第二項ノ規定ヲ除キ昭和十年三月一日ヨリ施行）

●船舶安全法

昭和八年三月
法律第十一號
改正　昭和二年八第七九號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル船舶安全法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

船舶安全法

第一條　日本船舶ハ本法ニ依リ其ノ堪航性ヲ保持シ且人命ノ安全ヲ保持スル爲必要ナル施設ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ航行ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第二條　船舶ハ左ニ揭ゲル事項ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　船體
二　推進
三　帆裝
四　排水設備
五　操舵、繫船及揚錨ノ設備
六　救命及消防ノ設備
七　居住設備
八　衛生設備
九　航海用具
十　危險物其ノ他ノ特殊貨物ノ積附設備
十一　荷役其ノ他ノ作業ノ設備
十二　電氣設備
十三　前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ定ムル事項

前項ノ規定ハ左ニ揭ゲル船舶ニハ之ヲ適用セズ

一　總噸數五噸未滿ノ船舶
二　櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟共ノ他主務大臣ニ於テ特ニ定ムル船舶

第三條　遠洋區域ヲ航行スル船舶又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數百五十噸以上ノ船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ要ス但シ漁獵、曳船、海難救助、浚渫又ハ測量ニノミ使用スル船舶其ノ他主務大臣ニ於テ特ニ滿載吃水線ヲ標示スル必要ナシト認ムル船舶ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　左ニ揭ゲル船舶ハ無線電信法ニ依ル無線電信ヲ施設スルコトヲ要ス

一　遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數千六百噸以上ノ船舶
二　遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル旅客船（十二人ヲ超ユル旅客定員ヲ有スル船舶）
三　總噸數百噸以上ノ漁船

前項ノ規定ニ依リ無線電信ノ施設ヲ要スル船舶ト雖モ航海ノ目的其ノ他ノ事情ニ依リ主務大臣ニ於テ已ムコトヲ得ズ又ハ必要ナシト認ムルトキハ之ヲ施設スルコトヲ要セズ

第五條　船舶所有者ハ第二條第一項ノ規定ノ適用ヲ受ケムトスル船舶ニ付同條第一項各號ニ揭ゲル事項、第三條ノ船舶ニ付同條第一項各號ニ揭ゲル事項、第四條ノ船舶ニ付無線電信ニ關シ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ區別ニ依ル檢査ヲ受クベシ

一　初メテ航行ノ用ニ供スルトキ又ハ第十條ニ規定スル有效期間滿了シタルトキ行フ精密ナル檢査（定期檢査）
二　定期檢査ト定期檢査トノ中間ニ於テ命令ノ定ムル時期ニ行フ簡易ナル檢査（中間檢査）
三　臨時ニ特殊ノ用途ニ使用スルトキ行フ檢査（臨時檢査）

第六條　本法施行地ニ於テ製造スル長サ三十メートル以上ノ船舶ノ製造者ハ第二條第一項ノ規定ノ適用ヲ受クベシ

前項ノ檢査ニ合格シタル船舶ニハ船舶檢査證書ヲ交付ス但シ其ノ有效期間ハ四年以内ニ於テ管海官廳ノ定メタル期間トス

第七條　第五條又ハ前條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル非項ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ檢査ヲ省略ス

第八條　本法施行地ニ於テ製造スル船舶用機關ノ製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ノ定ムルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル非項ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ檢査ヲ受クルコトヲ得

本法施行地ニ於テ製造スル船舶用機關ノ製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ノ定ムルコトヲ得

第九條　管海官廳ハ定期檢査ニ合格シタル船舶ニ對シテハ其ノ航行區域（漁船ニ付テハ從業制限）、最大搭載人員、制限汽壓及滿載吃水線ノ位置ヲ定メ船舶檢査證書ヲ交付シ臨時檢査ニ合格シタル船舶ニハ其ノ旨ヲ船舶檢査證書ニ裏書スルモノトス

管海官廳ハ特殊船檢査ニ合格シタル船舶ニ對シテハ特殊船檢査證書ヲ交付ス

管海官廳ハ第六條ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル船舶ニハ船舶檢査證書ヲ交付ス

前條ノ船舶ニ付船級協會ノ定メタル制限汽壓及滿載吃水線ノ位置ハ管海官廳ニ於テ之ヲ定メタルモノト看做ス

第十條　船舶檢査證書ハ有效期間ハ四年トス但シ命令ヲ以テ定ムル小形船ニ付テハ四年以内ニ於テ管海官廳ノ定メタル期間トス

船舶檢査證書ハ主務大臣ノ特ニ定ムル場合ニ於テハ其ノ有效期間滿了後五月迄ハ仍其ノ效力ヲ有ス

船舶檢査證書ハ中間檢査又ハ臨時檢査ニ合格セザル船舶ニ付テハ之ニ合格スル迄其ノ效力ヲ停止ス

第八條ノ船舶ノ受有スル船舶檢査證書ハ其ノ船舶ガ當該船級ノ登錄ヲ抹消セラレ又ハ旅客船トシタルトキハ其ノ有效期間滿了

第十一條　船舶ニ付管海官廳ノ檢査ヲ受ケタル者檢査ニ對シ不服アルトキハ其ノ事由ヲ具シ主務大臣ニ再檢査ヲ申請スルコトヲ得

再檢査ヲ申請シタル者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ關係部分ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ズ

第十二條　管海官廳ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ當該官吏ヲシテ船舶ニ臨檢セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

管海官廳ノ本法ニ違反シタル非實アリト認ムルトキハ船舶ノ航行停止其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條　船舶乘組員ニ二十人未滿ノ船舶ニ在リテハ其ノ二分ノ一以上、其ノ他ノ船舶ニ在リテハ乘組員十人以上ガ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶ノ堪航性又ハ居住設備衛生設備其ノ他ノ人命ノ安全ニ關スル設備ニ付重大ナル缺陷アル旨ヲ申立テタル場合ニ於テハ管海官廳ハ其ノ事實ヲ調査シ必要アリト認ムルトキハ前條第二項ノ處分ヲ爲スコ

ハ侵證書ヲ受有セズシテ航行ノ用ニ供シ得ザル旨ヲ通告シタルトキ

前項ノ船舶ニシテ次ノ各ニ依リ滿載吃水線ノ標示又ハ無線電信ノ施設ヲ要スルモノニ付テハ同項各號ノ一ニ該當スルニ至リタル迄之ガ標示又ハ施設ヲ爲サザルコトヲ得

第八條　前條ノ船舶同條第一項各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ檢査ヲ受クベシ

前項ノ檢査ニ合格シタル船舶ニハ船舶檢査證書ヲ交付ス但シ其ノ有效期間ハ四年以内ニ於テ管海官廳ノ定メタル期間トス

前項ノ有效期間ノ滿了ハ本令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第五條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ同法第十條ニ規定スル有效期間ノ滿了ト看做ス

（昭和十年二月總令第十九號ヲ以テ第三條第二項ノ規定ヲ除キ昭和十年三月一日ヨリ施行）

●船舶安全法

昭和八年三月
法律第十一號
改正　昭和二年八第七九號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル船舶安全法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

船舶安全法

第一條　日本船舶ハ本法ニ依リ其ノ堪航性ヲ保持シ且人命ノ安全ヲ保持スル爲必要ナル施設ヲ爲スニ非ザレバ之ヲ航行ノ用ニ供スルコトヲ得ス

第二條　船舶ハ左ニ揭ゲル事項ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　船體
二　推進
三　帆裝
四　排水設備
五　操舵、繫船及揚錨ノ設備
六　救命及消防ノ設備
七　居住設備
八　衛生設備
九　航海用具
十　危險物其ノ他ノ特殊貨物ノ積附設備
十一　荷役其ノ他ノ作業ノ設備
十二　電氣設備
十三　前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ定ムル事項

前項ノ規定ハ左ニ揭ゲル船舶ニハ之ヲ適用セズ

一　總噸數五噸未滿ノ船舶
二　櫓櫂ヲ以テ運轉スル舟共ノ他主務大臣ニ於テ特ニ定ムル船舶

第三條　遠洋區域ヲ航行スル船舶又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數百五十噸以上ノ船舶ハ命令ノ定ムル所ニ依リ滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ要ス但シ漁獵、曳船、海難救助、浚渫又ハ測量ニノミ使用スル船舶其ノ他主務大臣ニ於テ特ニ滿載吃水線ヲ標示スル必要ナシト認ムル船舶ハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　左ニ揭ゲル船舶ハ無線電信法ニ依ル無線電信ヲ施設スルコトヲ要ス

一　遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數千六百噸以上ノ船舶
二　遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル旅客船（十二人ヲ超ユル旅客定員ヲ有スル船舶）
三　總噸數百噸以上ノ漁船

前項ノ規定ニ依リ無線電信ノ施設ヲ要スル船舶ト雖モ航海ノ目的其ノ他ノ事情ニ依リ主務大臣ニ於テ已ムコトヲ得ズ又ハ必要ナシト認ムルトキハ之ヲ施設スルコトヲ要セズ

第五條　船舶所有者ハ第二條第一項ノ規定ノ適用ヲ受ケムトスル船舶ニ付同條第一項各號ニ揭ゲル事項、第三條ノ船舶ニ付同條第一項各號ニ揭ゲル事項、第四條ノ船舶ニ付無線電信ニ關シ命令ノ定ムル所ニ依リ左ノ區別ニ依ル檢査ヲ受クベシ

一　初メテ航行ノ用ニ供スルトキ又ハ第十條ニ規定スル有效期間滿了シタルトキ行フ精密ナル檢査（定期檢査）
二　定期檢査ト定期檢査トノ中間ニ於テ命令ノ定ムル時期ニ行フ簡易ナル檢査（中間檢査）
三　臨時ニ特殊ノ用途ニ使用スルトキ行フ檢査（臨時檢査）

第六條　本法施行地ニ於テ製造スル長サ三十メートル以上ノ船舶ノ製造者ハ第二條第一項ノ規定ノ適用ヲ受クベシ

前項ノ檢査ニ合格シタル船舶ニハ船舶檢査證書ヲ交付ス但シ其ノ有效期間ハ四年以内ニ於テ管海官廳ノ定メタル期間トス

第七條　第五條又ハ前條第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル非項ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ檢査ヲ省略ス

第八條　本法施行地ニ於テ製造スル船舶用機關ノ製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ノ定ムルコトヲ得

前三項ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル非項ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ檢査ヲ受クルコトヲ得

本法施行地ニ於テ製造スル船舶用機關ノ製造者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ノ定ムルコトヲ得

第九條　管海官廳ハ定期檢査ニ合格シタル船舶ニ對シテハ其ノ航行區域（漁船ニ付テハ從業制限）、最大搭載人員、制限汽壓及滿載吃水線ノ位置ヲ定メ船舶檢査證書ヲ交付シ臨時檢査ニ合格シタル船舶ニハ其ノ旨ヲ船舶檢査證書ニ裏書スルモノトス

管海官廳ハ特殊船檢査ニ合格シタル船舶ニ對シテハ特殊船檢査證書ヲ交付ス

管海官廳ハ第六條ノ規定ニ依ル檢査ニ合格シタル船舶ニハ船舶檢査證書ヲ交付ス

前條ノ船舶ニ付船級協會ノ定メタル制限汽壓及滿載吃水線ノ位置ハ管海官廳ニ於テ之ヲ定メタルモノト看做ス

第十條　船舶檢査證書ハ有效期間ハ四年トス但シ命令ヲ以テ定ムル小形船ニ付テハ四年以内ニ於テ管海官廳ノ定メタル期間トス

船舶檢査證書ハ主務大臣ノ特ニ定ムル場合ニ於テハ其ノ有效期間滿了後五月迄ハ仍其ノ效力ヲ有ス

船舶檢査證書ハ中間檢査又ハ臨時檢査ニ合格セザル船舶ニ付テハ之ニ合格スル迄其ノ效力ヲ停止ス

第八條ノ船舶ノ受有スル船舶檢査證書ハ其ノ船舶ガ當該船級ノ登錄ヲ抹消セラレ又ハ旅客船トシタルトキハ其ノ有效期間滿了

第十一條　船舶ニ付管海官廳ノ檢査ヲ受ケタル者檢査ニ對シ不服アルトキハ其ノ事由ヲ具シ主務大臣ニ再檢査ヲ申請スルコトヲ得

再檢査ヲ申請シタル者ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ關係部分ノ原狀ヲ變更スルコトヲ得ズ

第十二條　管海官廳ハ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ當該官吏ヲシテ船舶ニ臨檢セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ハ其ノ身分ヲ證明スベキ證票ヲ携帶スベシ

管海官廳ノ本法ニ違反シタル非實アリト認ムルトキハ船舶ノ航行停止其ノ他ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十三條　船舶乘組員ニ二十人未滿ノ船舶ニ在リテハ其ノ二分ノ一以上、其ノ他ノ船舶ニ在リテハ乘組員十人以上ガ命令ノ定ムル所ニ依リ當該船舶ノ堪航性又ハ居住設備衛生設備其ノ他ノ人命ノ安全ニ關スル設備ニ付重大ナル缺陷アル旨ヲ申立テタル場合ニ於テハ管海官廳ハ其ノ事實ヲ調査シ必要アリト認ムルトキハ前條第二項ノ處分ヲ爲スコ

年　月　日　　管海官廳名印

備考
番號ハ當該承認書ト同一ノモノヲ付スヘキモノトス

（第三號書式）

年　甲（又ハ乙若ハ乙特）第　號

船舶建造（又ハ修繕）用物品承認書

申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ主タル事務所所在地
二　工場ノ名稱及位置
三　船舶ノ建造（又ハ修繕）ノ爲使用シタル物品ニシテ輸入稅ノ免除又ハ奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスルモノノ種類及數量
五　竣工ノ年月日

右申請者ノ申請ニ係ル物品ノ種類及數量ニ相當スル物品ハ前記工場及年月日ニ於テ竣工シタル船舶ノ建造（又ハ修繕）ニ使用セラレタルコトヲ承認ス

年　月　日　　管海官廳名印

備考
一　番號ハ當該承認書ト同一ノモノヲ付スヘキモノトス
二　第四號中鐵鋼材ノ種類及數量ハ第六條第二項ニ依リ記載シ尚奬勵金ノ交付ヲ受ケムトスルモノニハ鋼質及製造者名ヲモ參考ノ爲附記スヘキモノトス

●朝鮮船舶安全令

昭和十年一月
制令第二號

朝鮮船舶安全令ヲ玆ニ制定ス

朝鮮船舶安全令

第一條　朝鮮ニ於ケル船舶ノ堪航性及人命ノ安全ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外船舶安全法ニ依ル但シ同法第二十七條ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

船舶安全法中勅令トアルハ朝鮮總督府令、主務大臣トアルハ朝鮮總督、地方長官トアルハ道知事、日本船舶トアルハ朝鮮船舶ニ依ル日本船舶、道府縣市町村トアルハ道府邑面トス

第二條　朝鮮ノ船籍ヲ取得スル目的ヲ以テ內地、樺太、關東州ニ於テ製造スル船舶ノ製造者ハ前條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第六條第一項又ハ第二項ノ製造檢査ヲ受クルコトヲ得

附　則

第三條　本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

船舶安全法第二條第一項第十一號ニ關スル規定ニ付テハ朝鮮總督ノ定ムル日迄本令第一條ノ規定ヲ適用セズ

第四條　朝鮮船舶檢査令ハ之ヲ廢止ス

第五條　本令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法第二條第一項ノ規定ハ左ニ揭ゲル船舶ニハ當分ノ內之ヲ適用セズ

一　總噸數二十噸未滿ノ漁船
二　總噸數二十噸未滿ノ帆船
三　平水區域ノミヲ航行スル帆船

第六條　本令施行前生ジタル事項ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ船級協會ノ認定其ノ他朝鮮總督ノ定ムル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第七條　朝鮮船舶檢査令ニ依リ船舶檢査證書若ハ假證書ヲ受有スル船舶又ハ之ヲ受有セズシテ航行ソ用ニ供スル船舶ノ檢査ニ關シテハ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ル

一　航行期間滿了ノ爲朝鮮船舶檢査令ニ依リ檢査ヲ受クベキトキ
二　朝鮮船舶檢査令ニ依リ船舶檢査證書又

附録　第五款　船舶

第一節　朝鮮船舶安全令施行規則

（昭和十年十二月二十日朝鮮総督府令第百二十一号）

第一条　朝鮮船舶安全令ノ施行ニ関シ必要ナル事項ハ本令ニ定ムル所ニ依ル

第二条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第五条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第六条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第七条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第八条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第九条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十一条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十二条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十三条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十四条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十五条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十六条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十七条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十八条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第十九条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十一条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十二条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十三条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十四条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十五条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十六条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十七条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十八条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第二十九条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十一条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十二条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十三条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十四条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十五条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十六条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十七条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十八条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第三十九条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十一条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十二条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十三条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十四条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十五条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十六条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十七条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十八条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第四十九条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第五十条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第五十一条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第五十二条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第五十三条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第五十四条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

六　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル燈台、燈標及ノ浮標ノ状況

七　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル水先ノ状況

第五十五条　朝鮮船舶安全令第二条ノ規定ニ依リ船舶ノ航行区域ヲ定ムルニ当リテハ左ノ各号ニ掲グル事項ヲ考慮スルモノトス

一　船舶ノ構造、設備及ノ性能

二　船舶ノ用途

三　船舶ノ航行スル区域ノ気象、海象及ノ地形

四　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル港湾、泊地及ノ航路ノ状況

五　船舶ノ航行スル区域ニ於ケル救難及ノ信号ノ設備ノ状況

程ニ依ル

附　則（昭和十一年三月總令第二十七號）

本令ハ昭和十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮外國船舶安全規則

昭和十年二月
總令第二十一號
改正　昭和一八年二第一五號

朝鮮外國船舶安全規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮外國船舶安全令第一條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法（以下單ニ船舶安全法ト稱ス）第一條乃至第五條、第七條第一項、第八條、第九條第一項第二項第四項、第十條乃至第十二條、第十六條乃至第二十一條、第二十三條乃至第二十六條及第二十九條ノ規定ハ外國船舶（朝鮮船舶令ニ依ル日本船舶ニ非ザル船舶以下之ニ同ジ）ニシテ同法第十四條各號ニ掲グルモノニ之ヲ準用ス

第二條　船舶安全法第十三條及第二十二條ノ規定ハ外國船舶ニシテ同法第十四條第一號又ハ第二號ニ掲グルモノニ之ヲ準用ス

第三條　左ニ掲グル規定ヲ除クノ外朝鮮船舶安全令施行規則ハ外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條各號ニ掲グルモノニ之ヲ準用ス

一　製造檢査ニ關スル規定

二　船舶安全法第六條第三項ノ規定ニ依ル船舶用擬關ノ檢査ニ關スル規定

三　朝鮮船舶安全令施行規則第二條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法施行規則第十五條（以下單ニ船舶安全法施行規則ト稱ス）第百五十五條乃至第百七十六條

四　外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第三號ニ掲グルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第十五條ノ規定

第四條　外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第三號ニ掲グルモノニ付テハ船舶安全法第十四條ノ規定ニ依ル日本船舶ニ非ザル船舶以下之ニ同ジ）ニシテ同法第十四條各號ニ掲グルモノニ之ヲ準用ス

第五條　船舶安全法第十四條第一號又ハ第二號ニ掲グルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第百七十六條乃至第百八十條ノ規定

第六條　船舶安全法第十四條第三號ニ掲グルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第百八十一條乃至第百八十三條ノ規定

第七條　船舶安全法第十四條第四號ニ掲グルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第百八十四條乃至第百八十六條ノ規定

第八條　朝鮮船舶安全令施行規則第十三條及第十四條第一號又ハ第二號ニ掲グルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第百八十七條乃至第百八十九條ノ規定

第九條　昭和六年七月一日以後ニ龍骨ヲ據附ケ國際航海ニ從事スル外國船舶ヲ旅客船又ハ昭和七年七月一日以後ニ龍骨ヲ據附ケ國際航海ニ從事スル外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第三號ニ掲グルモノニ付テハ其ノ構造、設備及滿載吃水線ニ關シ本令施行後一年ヲ限リ本令ニ依ラザルコトヲ得

第十條　前條ノ船舶ヲ除クノ外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第三號ニ掲グルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第百八十八條乃至第百九十條ノ規定

●船舶安全法施行規則

昭和九年二月
遞令第四號
改正　昭和二二年三第二一號

船舶安全法施行規則左ノ通定ム

目次

第一章　總則
第二章　構造及設備
第三章　滿載吃水線
第四章　無線電信
第五章　航行區域
第六章　最大搭載人員
第七章　制限汽壓
第八章　檢査ヲ行フ場合
第九章　檢査申請ノ手續
第十章　檢査ノ執行
第十一章　檢査ノ方法
第一節　製造檢査
第二節　定期檢査
第三節　中間檢査
第四節　特殊船檢査及臨時檢査
第五節　雜則
第十二章　檢査ノ準備
第十三章　證書
第十四章　再檢査
第十五章　船舶乘組員ノ不服申立
第十六章　船舶協會
第十七章　航海上ノ危險防止
第十八章　雜則
第十九章　罰則
附則

船舶安全法施行規則

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ國際航海ト稱スルハ別ニ告示スル區域內ノ航海ヲ除クノ外一國ト他ノ國トノ間ノ航海ヲ謂フ

各殖民地、海外領土、保護領又ハ宗主權若ハ委任統治ノ下ニ在ル地域ハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ一國ト看做ス

第二條　本令ニ於テ短國際航海ト稱スルハ航海中海岸ヨリ二百海里ヲ超エザル國際航海ヲ謂ヒ長國際航海ト稱スルハ短國際航海以外ノ國際航海ヲ謂フ

第三條　本令ニ於テ漁船ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ヲ謂フ

一　專ラ漁獵ニ從事スル船舶

二　漁獵ニ從事スル船舶ニシテ漁獲物ノ保藏又ハ製造設備ヲ有スルモノ

三　專ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル船舶

四　專ラ漁業ニ關スル試驗、調査、指導若ハ練習ニ從事スル船舶又ハ漁業ノ取締ニ從事スル船舶ニシテ漁獵設備ヲ有スルモノ

前項第一號ノ船舶ニハ其ノ附屬漁船ヲ以テ漁獵ニ從事スル船舶ヲ、前項第二號ノ船舶ニハ其ノ漁獵物ノ保藏又ハ製造ニ從事スル船舶ヲ夫々含ム

第四條　本令ニ於テ移民船ト稱スルハ船舶安全法施行地內ノ港ニ於テ移民若ハ三等旅客ヲ併セ五十人以上ヲ搭載シ近海區域外ノ港又ハ別ニ告示スル地方ニ到ル船舶ヲ謂フ

前項ノ移民ト移民保護法第一條ニ該當スル者ヲ謂ヒ三等旅客ト一室ニ八人以上雜居スル者ヲ謂フ

第五條　本令ニ於テ臨時旅客ト稱スルハ臨時ニ搭載シ得ル者ニシテ近海區域又ハ別ニ告示スル區域ニ於テハ漁夫、木材積取人夫、移住民其ノ他之ニ準ズル者又ハ軍隊、治海區域ニ於テハ遊覽其ノ他ノ團體旅客ヲ謂フ

第六條　本令ニ於テ甲板旅客ト稱スルハ近海又ハ遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ガ船舶安全法施行地ヲ除クノ外東ハ東經百八十度、西ハ同四十度、南ハ南緯十二度、北ハ北緯三十五度ノ線ニ依リ限ラレタル區域、紅海、黃海又ハ渤海灣ニ於テ船舶ノ基隱甲板上ニ搭載スル旅客ヲ謂フ

第七條　本令ニ於テ船舶ノ長サト稱スルハ船ノ上甲板梁上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ船尾材ノ後面ニ至ル長サヲ謂フ

第八條　本令ノ規定ニ依ル申請、屆出又ハ證書若ハ證明書ノ返還ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外船舶所有者又ハ船長之ヲ爲スベシ

第二章　構造及設備

第九條　船舶ガ船舶安全法第二條第一項ノ規定ニ依リ船舶ニ施設スベキ事項及其ノ標準ニ適合スル旨ノ船舶安全法第三條ノ檢査ニ合格シタル時ハ其ノ船舶ニ對シ船舶安全證書ヲ下付ス

第十條　船舶安全法第二條第一項ノ規定ニ依リ施設スベキ事項ニ付テハ本章ノ規定ニ依ル

第十一條　船舶安全法第三條ノ規定ニ依リ滿載吃水線ヲ標示スベキ船舶ハ前條ノ規定ニ依ルノ外其ノ船舶及設備ニ付國際航海ニ從事スル旅客船ニ在リテハ船舶滿載吃水線規程及船舶區畫規程、其ノ他ノ船舶ニ在リテハ船舶滿載吃水線規程ノ定ムル所ニ依ル

第十二條　船舶安全法第二條第一項ノ規定ニ依リ漁船ニ付特ニ施設スベキ事項及其ノ標準ハ漁船特殊規程ノ定ムル所ニ依ル

第十三條　木先船、專ラ漁業ニ關スル試驗、調査、指導若ハ練習ニ從事スル船舶、漁業ノ取締ニ從事スル船舶又ハ肋骨ヲ有セズ且推進機關ヲ有セザル木船ニ「ジアシック」其ノ他ノ原始的構造ノ木船ハ滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ要セズ

第十四條　汽船ノ滿載吃水線ハ季節及區域ニ應ジ左ノ種類ニ分ツ

一　夏期滿載吃水線

二　冬期滿載吃水線

三　冬期北大西洋滿載吃水線

四　熱帶滿載吃水線

五　前各號ニ揭グル滿載吃水線ニ對應スル各淡水滿載吃水線

帆船ノ滿載吃水線ハ季節及區域ニ應ジ左ノ種類ニ分ツ

一　海水滿載吃水線

二　冬期北大西洋滿載吃水線

三　前各號ニ揭グル滿載吃水線ニ對應スル各淡水滿載吃水線

滿載吃水線ノ位置ノ決定竝ニ船ニ標示スベキ滿載吃水線ノ種類及標示ノ方法ハ船舶滿載吃水線規程ノ定ムル所ニ依ル

第十五條　國際航海ニ從事スル旅客船ハ前條ノ規定ニ依ル滿載吃水線ノ外區畫滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ要ス

區畫滿載吃水線ノ位置ノ決定及標示ノ方法ハ船舶區畫規程ノ定ムル所ニ依ル

第十六條　國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ特ニ旅客室ヲ貨物搭載場所トシテ使用スルコトアルモノハ當該場所ノ使用狀態ニ對應スル二箇以上ノ區畫滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ得

第十七條　甲板積木材貨物ヲ運送スル汽船ハ船舶滿載吃水線規程ノ定ムル所ニ依リ木材滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ得

木材滿載吃水線ハ季節及區域ニ應ジ左ノ種類ニ分ツ

一　夏期木材滿載吃水線

二　冬期木材滿載吃水線

三　冬期北大西洋木材滿載吃水線

四　熱帶木材滿載吃水線

五　前各號ニ揭グル滿載吃水線ニ對應スル各淡水木材滿載吃水線

第十八條　船舶ハ平水區域又ハ瀨戶內（和歌山縣海草郡田倉崎ヨリ兵庫縣津名郡生石鼻ニ至ル線、兵庫縣三原郡埼ヨリ德島縣板野郡孫埼ニ至ル線、愛媛縣西宇和郡佐田岬ヨリ大分縣北海部郡關埼ニ至ル線及福岡縣企救郡門司埼ヨリ山口縣豐浦郡甲山ニ至ル線內ノ區域）ニ於テハ滿載吃水線ヲ超エル吃水ヲ以テ航行スルコトヲ得但シ平水區域又ハ瀨戶內外ニ出航セントスル船舶ニ付テハ其ノ區域內ニ於ケル最後ノ港ヲ發航スルトキノ超過吃水ハ該港ヨリ其ノ區域外ニ達スル迄ニ推進ノ爲滯留スベキモノヨリ大ナルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ區畫滿載吃水線ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十九條　船舶ガ船積港ヲ發航シタル後不可抗力ニ因リ豫定ノ航路ヲ變更シ又ハ航海ヲ遲延シタル爲其ノ吃水ガ當該季節及區域ニ付定メラレタル滿載吃水線ヲ超ユルニ至リタルトキト雖モ其ノ儘其ノ目的港迄航行スルコトヲ得

第二十條　滿載吃水線ヲ標示シタル船舶ガ其ノ標示ヲ要セザル吃水線ヲ標示シ得ザルニ至リタルトキハ船舶所有者又ハ船長ハ當該標示ヲ抹消スベシ但シ臨時ニ標示ヲ要セザルモノト

條約ノ規定ニ依ル安全證書、安全無線電信證書又ハ免除證書ヲ受有スルモノニ付テハ當該證書ヲ査閱シ管海官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ左ノ事項ヲ確ムルニ必要ナル檢査ヲ行フ

(一)　滿載吃水線ガ證書ニ記載シタル位置ニ標示セラレ居ルヤ

(二)　乾舷ノ算定ニ影響アル船體及船樣ノ構造竝ニ開口ノ保護、保護欄、放水口及船員室區域ヘノ通行ノ爲ノ裝置及設備ガ人命ノ安全ヲ保持スルニ不適當ナル程度迄變更ヲ受ケ居ラザルヤ

船舶安全法第十五條第一項ノ規定ニ依リ同法ニ依リ交付シタル證書ト同一ノ效力ヲ有スル證書ヲ受有スル船舶ニ付テハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外當該證書ヲ査閱シ管海官廳ニ於テ必要アリト認ムルトキハ船舶ノ現狀ガ證書ニ記載シタル條件ニ適反スルコトナキヤヲ確ムルニ必要ナル檢査ヲ行フ

前各號ニ該當セザル船舶ニ付テハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依リ朝鮮船舶令ニ依ル日本船舶ニ付行フ檢査ニ準ジ檢査ヲ行フ第一號又ハ第二號ニ揭グル船舶ノ海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約又ハ國際滿載吃水線條約ノ適用ナキ事項ニ付亦同ジ

第五條　外國船舶ノ積其ノ他ノ各號ニ依ル一船舶ガ其ノ所屬地ノ當該官廳ノ交付シタル船舶國籍證書又ハ船舶檢査證書ヲ受有スルトキハ之ニ記載シタル積荷ニ依ル二船舶ガ前號ノ證書ヲ受有セザルトキハ朝鮮船舶積荷測度令ニ依リ算定シタル積荷ニ依ル

管海官廳ハ帝國政府ト同一船舶積荷ニ關スル五認協定ナキ國ニ屬スル船舶ニ付テハ前項第一號ノ規定ニ拘ラズ朝鮮船舶積荷測度令ニ依リ之ヲ測度スルコトヲ得

附　則

第六條　本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第七條　朝鮮船舶安全令第五條乃至第八條ノ規定ハ外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第一號又ハ第二號ニ揭グルモノニ、同令第五條ノ規定ハ外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第三號ニ揭グルモノニ、同令第六條ノ規定ハ外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第四號ニ揭グルモノニ之ヲ準用ス

第八條　朝鮮船舶安全令施行規則第十三條及第十五條ノ規定ハ外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第一號又ハ第二號ノ外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第三號ニ揭グルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第百八十三條ノ規定

第九條　昭和六年七月一日以後ニ龍骨ヲ據附ケ國際航海ニ從事スル外國船舶ヲ旅客船又ハ昭和七年七月一日以後ニ龍骨ヲ據附ケ國際航海ニ從事スル外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第三號ニ揭グルモノニ付テハ其ノ構造、設備及滿載吃水線ニ關シ、昭和六年七月一日以後ニ龍骨ヲ據附ケ國際航海ニ從事スル外國船舶ニシテ同條各號ニ揭グルモノニ付テハ無線電信施設ニ關シ本令施行後三月ヲ限リ本令ニ依ラザルコトヲ得

第十條　前條ノ船舶ヲ除クノ外國船舶ニシテ船舶安全法第十四條第三號ニ揭グルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第百八十四條乃至第百八十六條ノ規定

第十一條　船舶安全法第十四條第四號ニ揭グルモノニ付テハ船舶安全法施行規則第百八十七條乃至第百八十九條ノ規定

●船舶安全法施行規則

昭和九年二月
遞令第四號
改正　昭和二二年三第二一號

船舶安全法施行規則左ノ通定ム

目次

第一章　總則
第二章　構造及設備
第三章　滿載吃水線
第四章　無線電信
第五章　航行區域
第六章　最大搭載人員
第七章　制限汽壓
第八章　檢査ヲ行フ場合
第九章　檢査申請ノ手續
第十章　檢査ノ執行
第十一章　檢査ノ方法
第一節　製造檢査
第二節　定期檢査
第三節　中間檢査
第四節　特殊船檢査及臨時檢査
第五節　雜則
第十二章　檢査ノ準備
第十三章　證書
第十四章　再檢査
第十五章　船舶乘組員ノ不服申立
第十六章　船舶協會
第十七章　航海上ノ危險防止
第十八章　雜則
第十九章　罰則
附則

船舶安全法施行規則

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ國際航海ト稱スルハ別ニ告示スル區域內ノ航海ヲ除クノ外一國ト他ノ國トノ間ノ航海ヲ謂フ

各殖民地、海外領土、保護領又ハ宗主權若ハ委任統治ノ下ニ在ル地域ハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ之ヲ一國ト看做ス

第二條　本令ニ於テ短國際航海ト稱スルハ航海中海岸ヨリ二百海里ヲ超エザル國際航海ヲ謂ヒ長國際航海ト稱スルハ短國際航海以外ノ國際航海ヲ謂フ

第三條　本令ニ於テ漁船ト稱スルハ左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ヲ謂フ

一　專ラ漁獵ニ從事スル船舶

二　漁獵ニ從事スル船舶ニシテ漁獲物ノ保藏又ハ製造設備ヲ有スルモノ

三　專ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル船舶

四　專ラ漁業ニ關スル試驗、調査、指導若ハ練習ニ從事スル船舶又ハ漁業ノ取締ニ從事スル船舶ニシテ漁獵設備ヲ有スルモノ

前項第一號ノ船舶ニハ其ノ附屬漁船ヲ以テ漁獵ニ從事スル船舶ヲ、前項第二號ノ船舶ニハ其ノ漁獵物ノ保藏又ハ製造ニ從事スル船舶ヲ夫々含ム

第四條　本令ニ於テ移民船ト稱スルハ船舶安全法施行地內ノ港ニ於テ移民若ハ三等旅客ヲ併セ五十人以上ヲ搭載シ近海區域外ノ港又ハ別ニ告示スル地方ニ到ル船舶ヲ謂フ

前項ノ移民ト移民保護法第一條ニ該當スル者ヲ謂ヒ三等旅客ト一室ニ八人以上雜居スル者ヲ謂フ

第五條　本令ニ於テ臨時旅客ト稱スルハ臨時ニ搭載シ得ル者ニシテ近海區域又ハ別ニ告示スル區域ニ於テハ漁夫、木材積取人夫、移住民其ノ他之ニ準ズル者又ハ軍隊、治海區域ニ於テハ遊覽其ノ他ノ團體旅客ヲ謂フ

第六條　本令ニ於テ甲板旅客ト稱スルハ近海又ハ遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶ガ船舶安全法施行地ヲ除クノ外東ハ東經百八十度、西ハ同四十度、南ハ南緯十二度、北ハ北緯三十五度ノ線ニ依リ限ラレタル區域、紅海、黃海又ハ渤海灣ニ於テ船舶ノ基隱甲板上ニ搭載スル旅客ヲ謂フ

第七條　本令ニ於テ船舶ノ長サト稱スルハ船ノ上甲板梁上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ船尾材ノ後面ニ至ル長サヲ謂フ

第八條　本令ノ規定ニ依ル申請、屆出又ハ證書若ハ證明書ノ返還ハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外船舶所有者又ハ船長之ヲ爲スベシ

第二章　構造及設備

第九條　船舶ガ船舶安全法第二條第一項ノ規定ニ依リ船舶ニ施設スベキ事項及其ノ標準ニ適合スル旨ノ船舶安全法第三條ノ檢査ニ合格シタル時ハ其ノ船舶ニ對シ船舶安全證書ヲ下付ス

第十條　船舶安全法第二條第一項ノ規定ニ依リ施設スベキ事項ニ付テハ本章ノ規定ニ依ル

第十一條　船舶安全法第三條ノ規定ニ依リ滿載吃水線ヲ標示スベキ船舶ハ前條ノ規定ニ依ルノ外其ノ船舶及設備ニ付國際航海ニ從事スル旅客船ニ在リテハ船舶滿載吃水線規程及船舶區畫規程、其ノ他ノ船舶ニ在リテハ船舶滿載吃水線規程ノ定ムル所ニ依ル

第十二條　船舶安全法第二條第一項ノ規定ニ依リ漁船ニ付特ニ施設スベキ事項及其ノ標準ハ漁船特殊規程ノ定ムル所ニ依ル

第十三條　木先船、專ラ漁業ニ關スル試驗、調査、指導若ハ練習ニ從事スル船舶、漁業ノ取締ニ從事スル船舶又ハ肋骨ヲ有セズ且推進機關ヲ有セザル木船ニ「ジアシック」其ノ他ノ原始的構造ノ木船ハ滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ要セズ

第十四條　汽船ノ滿載吃水線ハ季節及區域ニ應ジ左ノ種類ニ分ツ

一　夏期滿載吃水線

二　冬期滿載吃水線

三　冬期北大西洋滿載吃水線

四　熱帶滿載吃水線

五　前各號ニ揭グル滿載吃水線ニ對應スル各淡水滿載吃水線

帆船ノ滿載吃水線ハ季節及區域ニ應ジ左ノ種類ニ分ツ

一　海水滿載吃水線

二　冬期北大西洋滿載吃水線

三　前各號ニ揭グル滿載吃水線ニ對應スル各淡水滿載吃水線

滿載吃水線ノ位置ノ決定竝ニ船ニ標示スベキ滿載吃水線ノ種類及標示ノ方法ハ船舶滿載吃水線規程ノ定ムル所ニ依ル

第十五條　國際航海ニ從事スル旅客船ハ前條ノ規定ニ依ル滿載吃水線ノ外區畫滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ要ス

區畫滿載吃水線ノ位置ノ決定及標示ノ方法ハ船舶區畫規程ノ定ムル所ニ依ル

第十六條　國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ特ニ旅客室ヲ貨物搭載場所トシテ使用スルコトアルモノハ當該場所ノ使用狀態ニ對應スル二箇以上ノ區畫滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ得

第十七條　甲板積木材貨物ヲ運送スル汽船ハ船舶滿載吃水線規程ノ定ムル所ニ依リ木材滿載吃水線ヲ標示スルコトヲ得

木材滿載吃水線ハ季節及區域ニ應ジ左ノ種類ニ分ツ

一　夏期木材滿載吃水線

二　冬期木材滿載吃水線

三　冬期北大西洋木材滿載吃水線

四　熱帶木材滿載吃水線

五　前各號ニ揭グル滿載吃水線ニ對應スル各淡水木材滿載吃水線

第十八條　船舶ハ平水區域又ハ瀨戶內（和歌山縣海草郡田倉崎ヨリ兵庫縣津名郡生石鼻ニ至ル線、兵庫縣三原郡埼ヨリ德島縣板野郡孫埼ニ至ル線、愛媛縣西宇和郡佐田岬ヨリ大分縣北海部郡關埼ニ至ル線及福岡縣企救郡門司埼ヨリ山口縣豐浦郡甲山ニ至ル線內ノ區域）ニ於テハ滿載吃水線ヲ超エル吃水ヲ以テ航行スルコトヲ得但シ平水區域又ハ瀨戶內外ニ出航セントスル船舶ニ付テハ其ノ區域內ニ於ケル最後ノ港ヲ發航スルトキノ超過吃水ハ該港ヨリ其ノ區域外ニ達スル迄ニ推進ノ爲滯留スベキモノヨリ大ナルコトヲ得ズ

前項ノ規定ハ區畫滿載吃水線ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十九條　船舶ガ船積港ヲ發航シタル後不可抗力ニ因リ豫定ノ航路ヲ變更シ又ハ航海ヲ遲延シタル爲其ノ吃水ガ當該季節及區域ニ付定メラレタル滿載吃水線ヲ超ユルニ至リタルトキト雖モ其ノ儘其ノ目的港迄航行スルコトヲ得

第二十條　滿載吃水線ヲ標示シタル船舶ガ其ノ標示ヲ要セザル吃水線ヲ標示シ得ザルニ至リタルトキハ船舶所有者又ハ船長ハ當該標示ヲ抹消スベシ但シ臨時ニ標示ヲ要セザルモノト

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第三十二條　港ノ境界ハ左ノ如シ

一　大阪市ノ区域

二　東成郡ノ区域

三　西成郡ノ区域

四　東成郡ノ区域

五　西成郡ノ区域

六　東成郡ノ区域

七　東成郡ノ区域

八　東成郡ノ区域

九　東成郡ノ区域

十　東成郡ノ区域

十一　東成郡ノ区域

十二　東成郡ノ区域

十三　東成郡ノ区域

十四　東成郡ノ区域

十五　東成郡ノ区域

十六　東成郡ノ区域

十七　東成郡ノ区域

十八　東成郡ノ区域

十九　東成郡ノ区域

二十　東成郡ノ区域

二十一　東成郡ノ区域

二十二　東成郡ノ区域

二十三　東成郡ノ区域

二十四　東成郡ノ区域

二十五　東成郡ノ区域

二十六　東成郡ノ区域

二十七　東成郡ノ区域

二十八　東成郡ノ区域

二十九　東成郡ノ区域

三十　東成郡ノ区域

三十一　東成郡ノ区域

三十二　東成郡ノ区域

三十三　東成郡ノ区域

三十四　東成郡ノ区域

三十五　東成郡ノ区域

三十六　東成郡ノ区域

三十七　東成郡ノ区域

三十八　東成郡ノ区域

三十九　東成郡ノ区域

四十　東成郡ノ区域

四十一　東成郡ノ区域

四十二　東成郡ノ区域

四十三　東成郡ノ区域

四十四　東成郡ノ区域

四十五　東成郡ノ区域

四十六　東成郡ノ区域

四十七　東成郡ノ区域

四十八　東成郡ノ区域

四十九　東成郡ノ区域

五十　東成郡ノ区域

五十一　東成郡ノ区域

五十二　東成郡ノ区域

五十三　東成郡ノ区域

五十四　東成郡ノ区域

五十五　東成郡ノ区域

五十六　東成郡ノ区域

五十七　東成郡ノ区域

五十八　東成郡ノ区域

五十九　東成郡ノ区域

六十　東成郡ノ区域

六十一　東成郡ノ区域

六十二　東成郡ノ区域

六十三　東成郡ノ区域

六十四　東成郡ノ区域

六十五　東成郡ノ区域

六十六　東成郡ノ区域

六十七　東成郡ノ区域

六十八　東成郡ノ区域

六十九　東成郡ノ区域

七十　東成郡ノ区域

七十一　東成郡ノ区域

七十二　東成郡ノ区域

七十三　東成郡ノ区域

七十四　東成郡ノ区域

七十五　東成郡ノ区域

七十六　東成郡ノ区域

七十七　東成郡ノ区域

七十八　東成郡ノ区域

七十九　東成郡ノ区域

八十　東成郡ノ区域

八十一　東成郡ノ区域

八十二　東成郡ノ区域

八十三　東成郡ノ区域

八十四　東成郡ノ区域

八十五　東成郡ノ区域

八十六　東成郡ノ区域

八十七　東成郡ノ区域

八十八　東成郡ノ区域

八十九　東成郡ノ区域

九十　東成郡ノ区域

九十一　東成郡ノ区域

九十二　東成郡ノ区域

九十三　東成郡ノ区域

九十四　東成郡ノ区域

九十五　東成郡ノ区域

九十六　東成郡ノ区域

九十七　東成郡ノ区域

九十八　東成郡ノ区域

九十九　東成郡ノ区域

百　東成郡ノ区域

百一　東成郡ノ区域

百二　東成郡ノ区域

百三　東成郡ノ区域

百四　東成郡ノ区域

百五　東成郡ノ区域

百六　東成郡ノ区域

百七　東成郡ノ区域

百八　東成郡ノ区域

百九　東成郡ノ区域

百十　東成郡ノ区域

百十一　東成郡ノ区域

百十二　東成郡ノ区域

百十三　東成郡ノ区域

百十四　東成郡ノ区域

百十五　東成郡ノ区域

百十六　東成郡ノ区域

百十七　東成郡ノ区域

百十八　東成郡ノ区域

百十九　東成郡ノ区域

百二十　東成郡ノ区域

百二十一　東成郡ノ区域

百二十二　東成郡ノ区域

百二十三　東成郡ノ区域

百二十四　東成郡ノ区域

百二十五　東成郡ノ区域

百二十六　東成郡ノ区域

百二十七　東成郡ノ区域

百二十八　東成郡ノ区域

百二十九　東成郡ノ区域

百三十　東成郡ノ区域

百三十一　東成郡ノ区域

百三十二　東成郡ノ区域

百三十三　東成郡ノ区域

百三十四　東成郡ノ区域

百三十五　東成郡ノ区域

百三十六　東成郡ノ区域

百三十七　東成郡ノ区域

百三十八　東成郡ノ区域

百三十九　東成郡ノ区域

百四十　東成郡ノ区域

百四十一　東成郡ノ区域

百四十二　東成郡ノ区域

百四十三　東成郡ノ区域

百四十四　東成郡ノ区域

百四十五　東成郡ノ区域

百四十六　東成郡ノ区域

百四十七　東成郡ノ区域

百四十八　東成郡ノ区域

百四十九　東成郡ノ区域

百五十　東成郡ノ区域

百五十一　東成郡ノ区域

百五十二　東成郡ノ区域

百五十三　東成郡ノ区域

百五十四　東成郡ノ区域

百五十五　東成郡ノ区域

百五十六　東成郡ノ区域

百五十七　東成郡ノ区域

百五十八　東成郡ノ区域

百五十九　東成郡ノ区域

百六十　東成郡ノ区域

百六十一　東成郡ノ区域

百六十二　東成郡ノ区域

百六十三　東成郡ノ区域

百六十四　東成郡ノ区域

百六十五　東成郡ノ区域

百六十六　東成郡ノ区域

百六十七　東成郡ノ区域

百六十八　東成郡ノ区域

百六十九　東成郡ノ区域

百七十　東成郡ノ区域

百七十一　東成郡ノ区域

百七十二　東成郡ノ区域

百七十三　東成郡ノ区域

百七十四　東成郡ノ区域

百七十五　東成郡ノ区域

百七十六　東成郡ノ区域

百七十七　東成郡ノ区域

百七十八　東成郡ノ区域

百七十九　東成郡ノ区域

百八十　東成郡ノ区域

百八十一　東成郡ノ区域

百八十二　東成郡ノ区域

百八十三　東成郡ノ区域

百八十四　東成郡ノ区域

百八十五　東成郡ノ区域

百八十六　東成郡ノ区域

百八十七　東成郡ノ区域

百八十八　東成郡ノ区域

百八十九　東成郡ノ区域

百九十　東成郡ノ区域

百九十一　東成郡ノ区域

百九十二　東成郡ノ区域

百九十三　東成郡ノ区域

百九十四　東成郡ノ区域

百九十五　東成郡ノ区域

百九十六　東成郡ノ区域

百九十七　東成郡ノ区域

百九十八　東成郡ノ区域

百九十九　東成郡ノ区域

二百　東成郡ノ区域

二百一　東成郡ノ区域

二百二　東成郡ノ区域

二百三　東成郡ノ区域

二百四　東成郡ノ区域

二百五　東成郡ノ区域

二百六　東成郡ノ区域

二百七　東成郡ノ区域

二百八　東成郡ノ区域

二百九　東成郡ノ区域

二百十　東成郡ノ区域

二百十一　東成郡ノ区域

二百十二　東成郡ノ区域

二百十三　東成郡ノ区域

二百十四　東成郡ノ区域

二百十五　東成郡ノ区域

二百十六　東成郡ノ区域

二百十七　東成郡ノ区域

二百十八　東成郡ノ区域

二百十九　東成郡ノ区域

二百二十　東成郡ノ区域

二百二十一　東成郡ノ区域

二百二十二　東成郡ノ区域

二百二十三　東成郡ノ区域

二百二十四　東成郡ノ区域

二百二十五　東成郡ノ区域

二百二十六　東成郡ノ区域

二百二十七　東成郡ノ区域

二百二十八　東成郡ノ区域

二百二十九　東成郡ノ区域

二百三十　東成郡ノ区域

二百三十一　東成郡ノ区域

二百三十二　東成郡ノ区域

二百三十三　東成郡ノ区域

二百三十四　東成郡ノ区域

二百三十五　東成郡ノ区域

二百三十六　東成郡ノ区域

二百三十七　東成郡ノ区域

二百三十八　東成郡ノ区域

二百三十九　東成郡ノ区域

二百四十　東成郡ノ区域

二百四十一　東成郡ノ区域

二百四十二　東成郡ノ区域

二百四十三　東成郡ノ区域

二百四十四　東成郡ノ区域

二百四十五　東成郡ノ区域

二百四十六　東成郡ノ区域

二百四十七　東成郡ノ区域

二百四十八　東成郡ノ区域

二百四十九　東成郡ノ区域

二百五十　東成郡ノ区域

二百五十一　東成郡ノ区域

二百五十二　東成郡ノ区域

二百五十三　東成郡ノ区域

二百五十四　東成郡ノ区域

二百五十五　東成郡ノ区域

二百五十六　東成郡ノ区域

二百五十七　東成郡ノ区域

二百五十八　東成郡ノ区域

二百五十九　東成郡ノ区域

二百六十　東成郡ノ区域

二百六十一　東成郡ノ区域

二百六十二　東成郡ノ区域

二百六十三　東成郡ノ区域

二百六十四　東成郡ノ区域

二百六十五　東成郡ノ区域

二百六十六　東成郡ノ区域

二百六十七　東成郡ノ区域

二百六十八　東成郡ノ区域

二百六十九　東成郡ノ区域

二百七十　東成郡ノ区域

二百七十一　東成郡ノ区域

二百七十二　東成郡ノ区域

二百七十三　東成郡ノ区域

二百七十四　東成郡ノ区域

二百七十五　東成郡ノ区域

二百七十六　東成郡ノ区域

二百七十七　東成郡ノ区域

二百七十八　東成郡ノ区域

二百七十九　東成郡ノ区域

二百八十　東成郡ノ区域

二百八十一　東成郡ノ区域

二百八十二　東成郡ノ区域

二百八十三　東成郡ノ区域

二百八十四　東成郡ノ区域

二百八十五　東成郡ノ区域

二百八十六　東成郡ノ区域

二百八十七　東成郡ノ区域

二百八十八　東成郡ノ区域

二百八十九　東成郡ノ区域

二百九十　東成郡ノ区域

二百九十一　東成郡ノ区域

二百九十二　東成郡ノ区域

二百九十三　東成郡ノ区域

二百九十四　東成郡ノ区域

二百九十五　東成郡ノ区域

二百九十六　東成郡ノ区域

二百九十七　東成郡ノ区域

二百九十八　東成郡ノ区域

二百九十九　東成郡ノ区域

三百　東成郡ノ区域

三百一　東成郡ノ区域

三百二　東成郡ノ区域

三百三　東成郡ノ区域

三百四　東成郡ノ区域

三百五　東成郡ノ区域

三百六　東成郡ノ区域

三百七　東成郡ノ区域

三百八　東成郡ノ区域

三百九　東成郡ノ区域

三百十　東成郡ノ区域

三百十一　東成郡ノ区域

三百十二　東成郡ノ区域

三百十三　東成郡ノ区域

三百十四　東成郡ノ区域

三百十五　東成郡ノ区域

三百十六　東成郡ノ区域

三百十七　東成郡ノ区域

三百十八　東成郡ノ区域

三百十九　東成郡ノ区域

三百二十　東成郡ノ区域

三百二十一　東成郡ノ区域

三百二十二　東成郡ノ区域

三百二十三　東成郡ノ区域

三百二十四　東成郡ノ区域

三百二十五　東成郡ノ区域

三百二十六　東成郡ノ区域

三百二十七　東成郡ノ区域

三百二十八　東成郡ノ区域

三百二十九　東成郡ノ区域

三百三十　東成郡ノ区域

三百三十一　東成郡ノ区域

三百三十二　東成郡ノ区域

三百三十三　東成郡ノ区域

三百三十四　東成郡ノ区域

三百三十五　東成郡ノ区域

三百三十六　東成郡ノ区域

三百三十七　東成郡ノ区域

三百三十八　東成郡ノ区域

三百三十九　東成郡ノ区域

三百四十　東成郡ノ区域

三百四十一　東成郡ノ区域

三百四十二　東成郡ノ区域

三百四十三　東成郡ノ区域

三百四十四　東成郡ノ区域

三百四十五　東成郡ノ区域

三百四十六　東成郡ノ区域

三百四十七　東成郡ノ区域

三百四十八　東成郡ノ区域

三百四十九　東成郡ノ区域

三百五十　東成郡ノ区域

三百五十一　東成郡ノ区域

三百五十二　東成郡ノ区域

三百五十三　東成郡ノ区域

三百五十四　東成郡ノ区域

三百五十五　東成郡ノ区域

三百五十六　東成郡ノ区域

三百五十七　東成郡ノ区域

三百五十八　東成郡ノ区域

三百五十九　東成郡ノ区域

三百六十　東成郡ノ区域

三百六十一　東成郡ノ区域

三百六十二　東成郡ノ区域

三百六十三　東成郡ノ区域

三百六十四　東成郡ノ区域

三百六十五　東成郡ノ区域

三百六十六　東成郡ノ区域

三百六十七　東成郡ノ区域

三百六十八　東成郡ノ区域

三百六十九　東成郡ノ区域

三百七十　東成郡ノ区域

三百七十一　東成郡ノ区域

三百七十二　東成郡ノ区域

三百七十三　東成郡ノ区域

三百七十四　東成郡ノ区域

三百七十五　東成郡ノ区域

三百七十六　東成郡ノ区域

三百七十七　東成郡ノ区域

三百七十八　東成郡ノ区域

三百七十九　東成郡ノ区域

三百八十　東成郡ノ区域

三百八十一　東成郡ノ区域

三百八十二　東成郡ノ区域

三百八十三　東成郡ノ区域

三百八十四　東成郡ノ区域

三百八十五　東成郡ノ区域

三百八十六　東成郡ノ区域

三百八十七　東成郡ノ区域

三百八十八　東成郡ノ区域

三百八十九　東成郡ノ区域

三百九十　東成郡ノ区域

三百九十一　東成郡ノ区域

三百九十二　東成郡ノ区域

三百九十三　東成郡ノ区域

三百九十四　東成郡ノ区域

三百九十五　東成郡ノ区域

三百九十六　東成郡ノ区域

三百九十七　東成郡ノ区域

三百九十八　東成郡ノ区域

三百九十九　東成郡ノ区域

四百　東成郡ノ区域

四百一　東成郡ノ区域

四百二　東成郡ノ区域

四百三　東成郡ノ区域

四百四　東成郡ノ区域

四百五　東成郡ノ区域

四百六　東成郡ノ区域

四百七　東成郡ノ区域

四百八　東成郡ノ区域

四百九　東成郡ノ区域

四百十　東成郡ノ区域

四百十一　東成郡ノ区域

四百十二　東成郡ノ区域

四百十三　東成郡ノ区域

四百十四　東成郡ノ区域

四百十五　東成郡ノ区域

四百十六　東成郡ノ区域

四百十七　東成郡ノ区域

四百十八　東成郡ノ区域

四百十九　東成郡ノ区域

四百二十　東成郡ノ区域

四百二十一　東成郡ノ区域

四百二十二　東成郡ノ区域

四百二十三　東成郡ノ区域

四百二十四　東成郡ノ区域

四百二十五　東成郡ノ区域

四百二十六　東成郡ノ区域

四百二十七　東成郡ノ区域

四百二十八　東成郡ノ区域

四百二十九　東成郡ノ区域

四百三十　東成郡ノ区域

四百三十一　東成郡ノ区域

四百三十二　東成郡ノ区域

四百三十三　東成郡ノ区域

四百三十四　東成郡ノ区域

四百三十五　東成郡ノ区域

四百三十六　東成郡ノ区域

四百三十七　東成郡ノ区域

四百三十八　東成郡ノ区域

四百三十九　東成郡ノ区域

四百四十　東成郡ノ区域

四百四十一　東成郡ノ区域

四百四十二　東成郡ノ区域

四百四十三　東成郡ノ区域

四百四十四　東成郡ノ区域

四百四十五　東成郡ノ区域

四百四十六　東成郡ノ区域

四百四十七　東成郡ノ区域

四百四十八　東成郡ノ区域

四百四十九　東成郡ノ区域

四百五十　東成郡ノ区域

四百五十一　東成郡ノ区域

四百五十二　東成郡ノ区域

四百五十三　東成郡ノ区域

四百五十四　東成郡ノ区域

四百五十五　東成郡ノ区域

四百五十六　東成郡ノ区域

四百五十七　東成郡ノ区域

四百五十八　東成郡ノ区域

四百五十九　東成郡ノ区域

四百六十　東成郡ノ区域

四百六十一　東成郡ノ区域

四百六十二　東成郡ノ区域

四百六十三　東成郡ノ区域

四百六十四　東成郡ノ区域

四百六十五　東成郡ノ区域

四百六十六　東成郡ノ区域

四百六十七　東成郡ノ区域

四百六十八　東成郡ノ区域

四百六十九　東成郡ノ区域

四百七十　東成郡ノ区域

四百七十一　東成郡ノ区域

四百七十二　東成郡ノ区域

四百七十三　東成郡ノ区域

四百七十四　東成郡ノ区域

四百七十五　東成郡ノ区域

四百七十六　東成郡ノ区域

四百七十七　東成郡ノ区域

四百七十八　東成郡ノ区域

四百七十九　東成郡ノ区域

四百八十　東成郡ノ区域

四百八十一　東成郡ノ区域

四百八十二　東成郡ノ区域

四百八十三　東成郡ノ区域

四百八十四　東成郡ノ区域

四百八十五　東成郡ノ区域

四百八十六　東成郡ノ区域

四百八十七　東成郡ノ区域

四百八十八　東成郡ノ区域

四百八十九　東成郡ノ区域

四百九十　東成郡ノ区域

四百九十一　東成郡ノ区域

四百九十二　東成郡ノ区域

四百九十三　東成郡ノ区域

四百九十四　東成郡ノ区域

四百九十五　東成郡ノ区域

四百九十六　東成郡ノ区域

四百九十七　東成郡ノ区域

四百九十八　東成郡ノ区域

四百九十九　東成郡ノ区域

五百　東成郡ノ区域

第五百六十一條　船舶ニ關スル訴ハ船籍港ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス但船籍港ノ定マラサルトキ又ハ船舶カ航海中ニ在ルトキハ船舶ノ最初ニ到達シタル港ノ裁判所ノ管轄ニ屬ス

第五百六十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ被告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ命スルコトヲ得

第五百六十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ其訴ノ提起カ被告ニ對シ不當ノ目的ヲ以テ爲サレタルモノナルコトヲ疎明シタル場合ニ於テ被告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ原告ニ命スルコトヲ得

第五百六十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百六十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百六十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百六十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百六十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百六十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百七十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百八十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第五百九十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百二十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百三十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百四十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百五十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百六十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百七十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十三條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十四條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十五條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十六條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十七條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十八條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百八十九條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十一條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ相當ノ擔保ヲ供スヘキコトヲ被告ニ命スルコトヲ得

第六百九十二條　船舶ニ關スル訴ニ付テハ裁判所ハ原告ノ申立ニ因リ

十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七
油	氷	冷却装置	冷却装置	瓦斯船	瓦斯力ノ二	蒸気瓦斯ノ	瓦斯ノ二	瓦斯ノ一
川材カーボル油	川倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五
瓦斯ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍
川材カーボル油ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	川倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ
瓦斯ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ
瓦斯ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ
瓦斯ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ
瓦斯ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ
瓦斯ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	制限瓦斯力ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ

第十八棒　航海　運送　電気附属　第二章　船舶　第五款　船舶

十五	十四	十三	十二	十一	十	九	八	七
油	氷	冷却装置	冷却装置	瓦斯船	瓦斯力ノ二	蒸気瓦斯ノ	瓦斯ノ二	瓦斯ノ一
川材カーボル油	川倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五	倍ノ一・五
瓦斯ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍	制限瓦斯力ノ二倍
瓦斯ノ二倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	川倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ	倍ノ一・五倍ニ相当スル重油ヲ使用スル場合ニ於テハ

第百四十三條　船舶檢查證書ノ有効期間ハ檢查ノ結果ニ依リ之ヲ定ム但シ其ノ期間ハ左ノ區別ニ從フヘシ

一　第百四十四條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ一年ヲ超エサル期間

二　第百四十五條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二年ヲ超エサル期間

三　第百四十六條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四年ヲ超エサル期間

第百四十四條　船舶檢查證書ノ有効期間ハ檢查ノ結果ニ依リ之ヲ定ム但シ其ノ期間ハ左ノ區別ニ從フヘシ

一　第百四十五條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ一年ヲ超エサル期間

二　第百四十六條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二年ヲ超エサル期間

三　第百四十七條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四年ヲ超エサル期間

第百四十五條　船舶檢查證書ノ有効期間ハ檢查ノ結果ニ依リ之ヲ定ム但シ其ノ期間ハ左ノ區別ニ從フヘシ

一　第百四十六條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二年ヲ超エサル期間

二　第百四十七條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四年ヲ超エサル期間

第百四十六條　船舶檢查證書ノ有効期間ハ檢查ノ結果ニ依リ之ヲ定ム但シ其ノ期間ハ左ノ區別ニ從フヘシ

一　第百四十五條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ一年ヲ超エサル期間

二　第百四十六條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二年ヲ超エサル期間

三　第百四十七條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四年ヲ超エサル期間

第百四十七條　船舶檢查證書ノ有効期間ハ檢查ノ結果ニ依リ之ヲ定ム但シ其ノ期間ハ左ノ區別ニ從フヘシ

一　第百四十五條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ一年ヲ超エサル期間

二　第百四十六條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二年ヲ超エサル期間

三　第百四十七條ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四年ヲ超エサル期間

第百四十八條　第百四十五條第一項第一號又ハ第百四十六條第一項第一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ一年ヲ超エサル期間

第百四十九條　第百四十五條第一項第二號又ハ第百四十六條第一項第二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二年ヲ超エサル期間

第百五十條　第百四十五條第一項第三號又ハ第百四十六條第一項第三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四年ヲ超エサル期間

第百五十一條　第百四十五條第一項第四號又ハ第百四十六條第一項第四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五年ヲ超エサル期間

第百五十二條　第百四十五條第一項第五號又ハ第百四十六條第一項第五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六年ヲ超エサル期間

第百五十三條　第百四十五條第一項第六號又ハ第百四十六條第一項第六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七年ヲ超エサル期間

第百五十四條　第百四十五條第一項第七號又ハ第百四十六條第一項第七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八年ヲ超エサル期間

第百五十五條　第百四十五條第一項第八號又ハ第百四十六條第一項第八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九年ヲ超エサル期間

第百五十六條　第百四十五條第一項第九號又ハ第百四十六條第一項第九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十年ヲ超エサル期間

第百五十七條　第百四十五條第一項第十號又ハ第百四十六條第一項第十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十一年ヲ超エサル期間

第百五十八條　第百四十五條第一項第十一號又ハ第百四十六條第一項第十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十二年ヲ超エサル期間

第百五十九條　第百四十五條第一項第十二號又ハ第百四十六條第一項第十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十三年ヲ超エサル期間

第百六十條　第百四十五條第一項第十三號又ハ第百四十六條第一項第十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十四年ヲ超エサル期間

第百六十一條　第百四十五條第一項第十四號又ハ第百四十六條第一項第十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十五年ヲ超エサル期間

第百六十二條　第百四十五條第一項第十五號又ハ第百四十六條第一項第十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十六年ヲ超エサル期間

第百六十三條　第百四十五條第一項第十六號又ハ第百四十六條第一項第十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十七年ヲ超エサル期間

第百六十四條　第百四十五條第一項第十七號又ハ第百四十六條第一項第十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十八年ヲ超エサル期間

第百六十五條　第百四十五條第一項第十八號又ハ第百四十六條第一項第十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ十九年ヲ超エサル期間

第百六十六條　第百四十五條第一項第十九號又ハ第百四十六條第一項第十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十年ヲ超エサル期間

第百六十七條　第百四十五條第一項第二十號又ハ第百四十六條第一項第二十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十一年ヲ超エサル期間

第百六十八條　第百四十五條第一項第二十一號又ハ第百四十六條第一項第二十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十二年ヲ超エサル期間

第百六十九條　第百四十五條第一項第二十二號又ハ第百四十六條第一項第二十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十三年ヲ超エサル期間

第百七十條　第百四十五條第一項第二十三號又ハ第百四十六條第一項第二十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十四年ヲ超エサル期間

第百七十一條　第百四十五條第一項第二十四號又ハ第百四十六條第一項第二十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十五年ヲ超エサル期間

第百七十二條　第百四十五條第一項第二十五號又ハ第百四十六條第一項第二十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十六年ヲ超エサル期間

第百七十三條　第百四十五條第一項第二十六號又ハ第百四十六條第一項第二十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十七年ヲ超エサル期間

第百七十四條　第百四十五條第一項第二十七號又ハ第百四十六條第一項第二十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十八年ヲ超エサル期間

第百七十五條　第百四十五條第一項第二十八號又ハ第百四十六條第一項第二十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ二十九年ヲ超エサル期間

第百七十六條　第百四十五條第一項第二十九號又ハ第百四十六條第一項第二十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十年ヲ超エサル期間

第百七十七條　第百四十五條第一項第三十號又ハ第百四十六條第一項第三十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十一年ヲ超エサル期間

第百七十八條　第百四十五條第一項第三十一號又ハ第百四十六條第一項第三十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十二年ヲ超エサル期間

第百七十九條　第百四十五條第一項第三十二號又ハ第百四十六條第一項第三十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十三年ヲ超エサル期間

第百八十條　第百四十五條第一項第三十三號又ハ第百四十六條第一項第三十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十四年ヲ超エサル期間

第百八十一條　第百四十五條第一項第三十四號又ハ第百四十六條第一項第三十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十五年ヲ超エサル期間

第百八十二條　第百四十五條第一項第三十五號又ハ第百四十六條第一項第三十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十六年ヲ超エサル期間

第百八十三條　第百四十五條第一項第三十六號又ハ第百四十六條第一項第三十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十七年ヲ超エサル期間

第百八十四條　第百四十五條第一項第三十七號又ハ第百四十六條第一項第三十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十八年ヲ超エサル期間

第百八十五條　第百四十五條第一項第三十八號又ハ第百四十六條第一項第三十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ三十九年ヲ超エサル期間

第百八十六條　第百四十五條第一項第三十九號又ハ第百四十六條第一項第三十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十年ヲ超エサル期間

第百八十七條　第百四十五條第一項第四十號又ハ第百四十六條第一項第四十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十一年ヲ超エサル期間

第百八十八條　第百四十五條第一項第四十一號又ハ第百四十六條第一項第四十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十二年ヲ超エサル期間

第百八十九條　第百四十五條第一項第四十二號又ハ第百四十六條第一項第四十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十三年ヲ超エサル期間

第百九十條　第百四十五條第一項第四十三號又ハ第百四十六條第一項第四十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十四年ヲ超エサル期間

第百九十一條　第百四十五條第一項第四十四號又ハ第百四十六條第一項第四十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十五年ヲ超エサル期間

第百九十二條　第百四十五條第一項第四十五號又ハ第百四十六條第一項第四十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十六年ヲ超エサル期間

第百九十三條　第百四十五條第一項第四十六號又ハ第百四十六條第一項第四十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十七年ヲ超エサル期間

第百九十四條　第百四十五條第一項第四十七號又ハ第百四十六條第一項第四十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十八年ヲ超エサル期間

第百九十五條　第百四十五條第一項第四十八號又ハ第百四十六條第一項第四十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ四十九年ヲ超エサル期間

第百九十六條　第百四十五條第一項第四十九號又ハ第百四十六條第一項第四十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十年ヲ超エサル期間

第百九十七條　第百四十五條第一項第五十號又ハ第百四十六條第一項第五十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十一年ヲ超エサル期間

第百九十八條　第百四十五條第一項第五十一號又ハ第百四十六條第一項第五十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十二年ヲ超エサル期間

第百九十九條　第百四十五條第一項第五十二號又ハ第百四十六條第一項第五十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十三年ヲ超エサル期間

第二百條　第百四十五條第一項第五十三號又ハ第百四十六條第一項第五十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十四年ヲ超エサル期間

第二百一條　第百四十五條第一項第五十四號又ハ第百四十六條第一項第五十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十五年ヲ超エサル期間

第二百二條　第百四十五條第一項第五十五號又ハ第百四十六條第一項第五十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十六年ヲ超エサル期間

第二百三條　第百四十五條第一項第五十六號又ハ第百四十六條第一項第五十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十七年ヲ超エサル期間

第二百四條　第百四十五條第一項第五十七號又ハ第百四十六條第一項第五十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十八年ヲ超エサル期間

第二百五條　第百四十五條第一項第五十八號又ハ第百四十六條第一項第五十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ五十九年ヲ超エサル期間

第二百六條　第百四十五條第一項第五十九號又ハ第百四十六條第一項第五十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十年ヲ超エサル期間

第二百七條　第百四十五條第一項第六十號又ハ第百四十六條第一項第六十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十一年ヲ超エサル期間

第二百八條　第百四十五條第一項第六十一號又ハ第百四十六條第一項第六十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十二年ヲ超エサル期間

第二百九條　第百四十五條第一項第六十二號又ハ第百四十六條第一項第六十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十三年ヲ超エサル期間

第二百十條　第百四十五條第一項第六十三號又ハ第百四十六條第一項第六十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十四年ヲ超エサル期間

第二百十一條　第百四十五條第一項第六十四號又ハ第百四十六條第一項第六十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十五年ヲ超エサル期間

第二百十二條　第百四十五條第一項第六十五號又ハ第百四十六條第一項第六十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十六年ヲ超エサル期間

第二百十三條　第百四十五條第一項第六十六號又ハ第百四十六條第一項第六十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十七年ヲ超エサル期間

第二百十四條　第百四十五條第一項第六十七號又ハ第百四十六條第一項第六十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十八年ヲ超エサル期間

第二百十五條　第百四十五條第一項第六十八號又ハ第百四十六條第一項第六十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ六十九年ヲ超エサル期間

第二百十六條　第百四十五條第一項第六十九號又ハ第百四十六條第一項第六十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十年ヲ超エサル期間

第二百十七條　第百四十五條第一項第七十號又ハ第百四十六條第一項第七十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十一年ヲ超エサル期間

第二百十八條　第百四十五條第一項第七十一號又ハ第百四十六條第一項第七十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十二年ヲ超エサル期間

第二百十九條　第百四十五條第一項第七十二號又ハ第百四十六條第一項第七十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十三年ヲ超エサル期間

第二百二十條　第百四十五條第一項第七十三號又ハ第百四十六條第一項第七十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十四年ヲ超エサル期間

第二百二十一條　第百四十五條第一項第七十四號又ハ第百四十六條第一項第七十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十五年ヲ超エサル期間

第二百二十二條　第百四十五條第一項第七十五號又ハ第百四十六條第一項第七十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十六年ヲ超エサル期間

第二百二十三條　第百四十五條第一項第七十六號又ハ第百四十六條第一項第七十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十七年ヲ超エサル期間

第二百二十四條　第百四十五條第一項第七十七號又ハ第百四十六條第一項第七十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十八年ヲ超エサル期間

第二百二十五條　第百四十五條第一項第七十八號又ハ第百四十六條第一項第七十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ七十九年ヲ超エサル期間

第二百二十六條　第百四十五條第一項第七十九號又ハ第百四十六條第一項第七十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十年ヲ超エサル期間

第二百二十七條　第百四十五條第一項第八十號又ハ第百四十六條第一項第八十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十一年ヲ超エサル期間

第二百二十八條　第百四十五條第一項第八十一號又ハ第百四十六條第一項第八十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十二年ヲ超エサル期間

第二百二十九條　第百四十五條第一項第八十二號又ハ第百四十六條第一項第八十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十三年ヲ超エサル期間

第二百三十條　第百四十五條第一項第八十三號又ハ第百四十六條第一項第八十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十四年ヲ超エサル期間

第二百三十一條　第百四十五條第一項第八十四號又ハ第百四十六條第一項第八十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十五年ヲ超エサル期間

第二百三十二條　第百四十五條第一項第八十五號又ハ第百四十六條第一項第八十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十六年ヲ超エサル期間

第二百三十三條　第百四十五條第一項第八十六號又ハ第百四十六條第一項第八十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十七年ヲ超エサル期間

第二百三十四條　第百四十五條第一項第八十七號又ハ第百四十六條第一項第八十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十八年ヲ超エサル期間

第二百三十五條　第百四十五條第一項第八十八號又ハ第百四十六條第一項第八十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ八十九年ヲ超エサル期間

第二百三十六條　第百四十五條第一項第八十九號又ハ第百四十六條第一項第八十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十年ヲ超エサル期間

第二百三十七條　第百四十五條第一項第九十號又ハ第百四十六條第一項第九十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十一年ヲ超エサル期間

第二百三十八條　第百四十五條第一項第九十一號又ハ第百四十六條第一項第九十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十二年ヲ超エサル期間

第二百三十九條　第百四十五條第一項第九十二號又ハ第百四十六條第一項第九十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十三年ヲ超エサル期間

第二百四十條　第百四十五條第一項第九十三號又ハ第百四十六條第一項第九十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十四年ヲ超エサル期間

第二百四十一條　第百四十五條第一項第九十四號又ハ第百四十六條第一項第九十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十五年ヲ超エサル期間

第二百四十二條　第百四十五條第一項第九十五號又ハ第百四十六條第一項第九十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十六年ヲ超エサル期間

第二百四十三條　第百四十五條第一項第九十六號又ハ第百四十六條第一項第九十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十七年ヲ超エサル期間

第二百四十四條　第百四十五條第一項第九十七號又ハ第百四十六條第一項第九十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十八年ヲ超エサル期間

第二百四十五條　第百四十五條第一項第九十八號又ハ第百四十六條第一項第九十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ九十九年ヲ超エサル期間

第二百四十六條　第百四十五條第一項第九十九號又ハ第百四十六條第一項第九十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百年ヲ超エサル期間

第二百四十七條　第百四十五條第一項第百號又ハ第百四十六條第一項第百號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百一年ヲ超エサル期間

第二百四十八條　第百四十五條第一項第百一號又ハ第百四十六條第一項第百一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二年ヲ超エサル期間

第二百四十九條　第百四十五條第一項第百二號又ハ第百四十六條第一項第百二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三年ヲ超エサル期間

第二百五十條　第百四十五條第一項第百三號又ハ第百四十六條第一項第百三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百四年ヲ超エサル期間

第二百五十一條　第百四十五條第一項第百四號又ハ第百四十六條第一項第百四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百五年ヲ超エサル期間

第二百五十二條　第百四十五條第一項第百五號又ハ第百四十六條第一項第百五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百六年ヲ超エサル期間

第二百五十三條　第百四十五條第一項第百六號又ハ第百四十六條第一項第百六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百七年ヲ超エサル期間

第二百五十四條　第百四十五條第一項第百七號又ハ第百四十六條第一項第百七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百八年ヲ超エサル期間

第二百五十五條　第百四十五條第一項第百八號又ハ第百四十六條第一項第百八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百九年ヲ超エサル期間

第二百五十六條　第百四十五條第一項第百九號又ハ第百四十六條第一項第百九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十年ヲ超エサル期間

第二百五十七條　第百四十五條第一項第百十號又ハ第百四十六條第一項第百十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十一年ヲ超エサル期間

第二百五十八條　第百四十五條第一項第百十一號又ハ第百四十六條第一項第百十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十二年ヲ超エサル期間

第二百五十九條　第百四十五條第一項第百十二號又ハ第百四十六條第一項第百十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十三年ヲ超エサル期間

第二百六十條　第百四十五條第一項第百十三號又ハ第百四十六條第一項第百十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十四年ヲ超エサル期間

第二百六十一條　第百四十五條第一項第百十四號又ハ第百四十六條第一項第百十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十五年ヲ超エサル期間

第二百六十二條　第百四十五條第一項第百十五號又ハ第百四十六條第一項第百十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十六年ヲ超エサル期間

第二百六十三條　第百四十五條第一項第百十六號又ハ第百四十六條第一項第百十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十七年ヲ超エサル期間

第二百六十四條　第百四十五條第一項第百十七號又ハ第百四十六條第一項第百十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十八年ヲ超エサル期間

第二百六十五條　第百四十五條第一項第百十八號又ハ第百四十六條第一項第百十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百十九年ヲ超エサル期間

第二百六十六條　第百四十五條第一項第百十九號又ハ第百四十六條第一項第百十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十年ヲ超エサル期間

第二百六十七條　第百四十五條第一項第百二十號又ハ第百四十六條第一項第百二十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十一年ヲ超エサル期間

第二百六十八條　第百四十五條第一項第百二十一號又ハ第百四十六條第一項第百二十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十二年ヲ超エサル期間

第二百六十九條　第百四十五條第一項第百二十二號又ハ第百四十六條第一項第百二十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十三年ヲ超エサル期間

第二百七十條　第百四十五條第一項第百二十三號又ハ第百四十六條第一項第百二十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十四年ヲ超エサル期間

第二百七十一條　第百四十五條第一項第百二十四號又ハ第百四十六條第一項第百二十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十五年ヲ超エサル期間

第二百七十二條　第百四十五條第一項第百二十五號又ハ第百四十六條第一項第百二十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十六年ヲ超エサル期間

第二百七十三條　第百四十五條第一項第百二十六號又ハ第百四十六條第一項第百二十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十七年ヲ超エサル期間

第二百七十四條　第百四十五條第一項第百二十七號又ハ第百四十六條第一項第百二十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十八年ヲ超エサル期間

第二百七十五條　第百四十五條第一項第百二十八號又ハ第百四十六條第一項第百二十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百二十九年ヲ超エサル期間

第二百七十六條　第百四十五條第一項第百二十九號又ハ第百四十六條第一項第百二十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十年ヲ超エサル期間

第二百七十七條　第百四十五條第一項第百三十號又ハ第百四十六條第一項第百三十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十一年ヲ超エサル期間

第二百七十八條　第百四十五條第一項第百三十一號又ハ第百四十六條第一項第百三十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十二年ヲ超エサル期間

第二百七十九條　第百四十五條第一項第百三十二號又ハ第百四十六條第一項第百三十二號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十三年ヲ超エサル期間

第二百八十條　第百四十五條第一項第百三十三號又ハ第百四十六條第一項第百三十三號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十四年ヲ超エサル期間

第二百八十一條　第百四十五條第一項第百三十四號又ハ第百四十六條第一項第百三十四號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十五年ヲ超エサル期間

第二百八十二條　第百四十五條第一項第百三十五號又ハ第百四十六條第一項第百三十五號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十六年ヲ超エサル期間

第二百八十三條　第百四十五條第一項第百三十六號又ハ第百四十六條第一項第百三十六號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十七年ヲ超エサル期間

第二百八十四條　第百四十五條第一項第百三十七號又ハ第百四十六條第一項第百三十七號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十八年ヲ超エサル期間

第二百八十五條　第百四十五條第一項第百三十八號又ハ第百四十六條第一項第百三十八號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百三十九年ヲ超エサル期間

第二百八十六條　第百四十五條第一項第百三十九號又ハ第百四十六條第一項第百三十九號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百四十年ヲ超エサル期間

第二百八十七條　第百四十五條第一項第百四十號又ハ第百四十六條第一項第百四十號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテハ檢查ノ日ヨリ起算シ百四十一年ヲ超エサル期間

第二百八十八條　第百四十五條第一項第百四十一號又ハ第百四十六條第一項第百四十一號ノ規定ニ依リ檢查ヲ受ケタル船舶ニ在リテ

トスル場合ニ限リ申請ニ依リ休暇日ト雖モ其ノ交付、再交付又ハ書換ヲ爲スコトアルベシ

第十四章　再檢査

第百四十一條　船舶安全法第十一條ノ規定ニ依リ再檢査ヲ申請セントスルトキハ申請書ニ前檢査ニ對スル不服ノ事項及其ノ事由ヲ記載シタル書類ヲ添附シ前檢査ヲ行ヒタル管海官廳ヲ經由シ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第百四十二條　遞信大臣ニ於テ前條ノ申請ヲ理由アリト認メタルトキハ特ニ指命シタル者ヲシテ再檢査ヲ行ハシメ前檢査ヲ適當ナラズト認ムルトキハ更ニ當該管海官廳ヲシテ檢査ノ種類ニ應ジ必要ナル證書又ハ證則書ヲ申請者ニ交付セシム

第百四十三條　前條第二項ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ指命シタル者ガ再檢査ヲ終了シタル場合ニ於テ遞信大臣ノ決定前關係部分ノ原狀ヲ變更セントスルトキハ再檢査ノ申請者ハ前檢査ヲ行ヒタル管海官廳ヲ經由シテ遞信大臣ニ申請書ヲ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第十五章　船舶乘組員

第百四十四條　船舶乘組員船舶安全法第十三條ノ規定ニ依リ申立ヲ爲サントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル管海官廳宛ノ申立書ニ發航ノ日ヨリ少ナクトモ十日前ニ提出スベシ

一　乘組ムベキ船舶ノ名稱及其ノ現在地

二　申立ヲ爲ス二至ル迄ノ順末

第百四十五條　船舶ガ管海官廳所在地ニ在ル場合ニ於テ前條ノ規定ニ依ル申立書ノ提出アリタルトキハ船長ハ之ヲ審査シ船舶安全法第十三條ノ規定ニ依ル申立書ノ提出アリタル場合ニ於テ前項

別表第二號

檢查手數料表

總噸數	推進機關ヲ有セザル船舶ノ檢査 特殊船檢査	臨時檢査ニ際付檢一回	定期檢査	中間檢査	臨時檢査ニ際付檢一回	機關	製造檢査
總噸數	推進機關ヲ有セザル船舶ノ檢査 特殊船檢査	臨時檢査ニ際付檢一回	定期檢査	中間檢査	臨時檢査ニ際付檢一回	機關	製造檢査
船舶ノ總噸數	推進機關ヲ有セザル船舶ノ檢査 特殊船檢査	臨時檢査ニ際付檢一回	定期檢査	中間檢査	臨時檢査ニ際付檢一回	機關	製造檢査
船舶ノ總噸數	推進機關ヲ有セザル船舶ノ檢査 特殊船檢査	臨時檢査ニ際付檢一回	定期檢査	中間檢査	臨時檢査ニ際付檢一回	機關	製造檢査

備考

一　二ノ定期檢査ニ於テ受クルトキハ第二號ニ掲ゲル船舶ニ付テハ其ノ一回ノ臨時檢査ヲ以テ第二號ニ掲ゲル船舶ニ付テハ其ノ二回ノ臨時檢査ヲ以テ夫レ〳〵一回ノ定期檢査ニ代フルコトヲ得

二　船舶安全法第六條第三項ノ規定ニ依ル檢査ハ定期檢査又ハ中間檢査ニ際シ之ヲ行フ

三　算出ス時間ハ四分ノ一時間ヲ超ユルトキハ之ヲ一時間トシ算出ス時間ハ四分ノ一時間ヲ超ユルトキハ之ヲ一時間トシ

四　特殊船檢査ハ定期檢査又ハ中間檢査ニ際シ之ヲ行フ但シ臨時檢査ニ際シ之ヲ行フトキハ此ノ限ニ在ラズ

五　船舶安全法第六條第三項ノ規定ニ依ル檢査ハ定期檢査又ハ中間檢査ニ際シ之ヲ行フ但シ臨時檢査ニ際シ之ヲ行フトキハ此ノ限ニ在ラズ

例示満載水吃喫水
（スポテ例ルケ於ニ舷右）
TF
F
C1
C2
T
S
W
WNA
25mm
250mm
540mm
300mm
460mm
115mm
125mm
JC

（注中略）

（注中略）

（注中略）

第四號書式ノ二（木材満載吃水線指定ヲ受ケムトスル船ニ用ウルモノ）

申請者氏名

船舶満載吃水線指定書

甲板ノ中心ヨリ夏期木材満載吃水線ニ至ル垂直距離	上方へ　耗
甲板ノ中心ヨリ熱帯木材満載吃水線ニ至ル垂直距離	上方へ　耗
甲板ノ中心ヨリ冬期木材満載吃水線ニ至ル垂直距離	上方へ　耗
甲板ノ中心ヨリ冬期北大西洋木材満載吃水線ニ至ル垂直距離	下方へ　耗
海水ニ於ケル各種木材満載吃水線ヨリ之ニ対応スル淡水木材満載吃水線ニ至ル垂直距離	上方へ　耗

汽船　丸ニ標示スベキ満載吃水線ノ位置ノ通指定ス

年　月　日

管海官庁印

例示　標線水吃（満載木材）

（スポンソン無キ船）

（注意）航行区域ヲ有スル汽船

（近海）航行区域ヲ有スル汽船

備考

一　「近海」航行区域ヲ有スル船ニ対シ指定ヲ与ウル場合ニハ「甲板ノ中心ヨリ冬期北大西洋木材満載吃水線ニ至ル垂直距離」ノ欄ニ赤線ヲ引クベシ

二　船舶ノ長サノ中央ニ於ケル甲板ノ上面ノ延長ト外板ノ外面トノ交点ヨリ乾舷甲板ヲ標示スル水平線ノ上縁ニ至ル垂直距離

第四號書式ノ三（帆船ニ用ウルモノ）

申請者氏名

船舶満載吃水線指定書

船ノ長サノ中央ニ於ケル甲板ノ上面ノ延長ト外板ノ外面トノ交点ヨリ乾舷甲板ヲ標示スル水平線ノ上縁ニ至ル垂直距離	方へ　耗
乾舷甲板ヲ標示スル水平線ノ上縁ヨリ四標ノ中心ニ至ル垂直距離（港水乾舷）	下方へ　耗
四標ノ中心ヨリ冬期北大西洋満載吃水線ニ至ル垂直距離	下方へ　耗
港水ニ於ケル各種満載吃水線ヨリ之ニ対応スル淡水満載吃水線ニ至ル垂直距離	上方へ　耗

帆船　丸ニ標示スベキ満載吃水線ノ位置ノ通指定ス

年　月　日

管海官庁印

例示　標線水吃（満載）

（スポンソン有スル帆船）

（注意）航行区域ヲ有スル帆船

（近海）航行区域ヲ有スル帆船

備考

一　「近海」航行区域ヲ有スル帆船ニ対シ指定ヲ与ウル場合ニハ「四標ノ中心ヨリ冬期北大西洋満載吃水線ニ至ル垂直距離」ノ欄ニ赤線ヲ引クベシ

二　船舶ノ長サノ中央ニ於ケル甲板ノ上面ノ延長ト外板ノ外面トノ交点ヨリ乾舷甲板ヲ標示スル水平線ノ上縁ニ至ル垂直距離ヲ定メ非常ニ低キ甲板ニ乾舷ヲ定メムトスル場合ニハ四標ノ中心ニ至ル垂直距離ヲ増スベシ（木甲板ノ四分ノ一ノ箇所ニモ四標ノ中心ニ至ル垂直距離ヲ増スベシ）

船舶檢査證書

船舶安全法第九條ニ依リ本證書ヲ交付ス

年　月　日

官廳　印

檢査ノ種類　定期　臨時　中間　特別　船舶番號　第　號

船名　船種　船質　船體　長　幅　深　總噸數　進水ノ年月　建造者

主機關　種類　製造者　製造番號　製造年月　數　馬力　回轉數

補助機關　種類　製造者　製造番號　製造年月　數　馬力　回轉數

汽罐　種類　製造者　製造番號　製造年月　數　蒸發量　使用壓力

推進器　種類　翼數　材料　直徑　節

無線電信電話　種類　呼出符號

救命艇　數　材料　容積

救命浮器　數　種類

救命索發射器　數

救命胴衣　數

救命浮環　數

信號燈　數

航海用具　羅針儀　數　六分儀　數　海圖　數

航海燈　舷燈　檢査ノ年月　檢査ノ結果

檢査ノ年月　檢査ノ結果

檢査ノ年月　檢査ノ結果

第七號雛形（横二尺四寸〇七分縦一尺）

第十八條ノ二ニ依ル船舶ハ次ニ掲ケル標示ヲ附スルモノトス（横二尺四寸〇七分縦二尺）

第十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第二十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第二十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第二十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第二十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第二十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第二十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第二十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第二十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第二十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第三十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第四十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第五十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第六十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第七十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第八十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第九十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十七條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十八條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百二十九條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百三十條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百三十一條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百三十二條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百三十三條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百三十四條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百三十五條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百三十六條

船番號	船名	船籍港	總噸數	機關種類	馬力	制限	搭載人數	汽艇	製造年月日	製造者	製造地
第　號	船										

第百三十七條

| 船番號 | 船名 | 船籍港 | 總噸數 | 機關種類 | 馬力 | 制限 | 搭載人數 | 汽艇 | 製造年月日 | 製造者 | 製造地 |

第九號書式（竪二七糎横三三糎）

乙種特殊船檢查證書

第　號

船種船名	船 丸	航路	總噸數	證書有效期間
所有者			噸	自　年　月　日 至　年　月　日
	臨時旅客			
	總員	內譯		
	人			

割印

船舶安全法第九條ニ依リ本證書ヲ交付ス

年　月　日

管海官廳印

第十號書式（竪二七糎横三三糎）

丙種特殊船檢查證書

第　號

船種船名	船 丸	航路	總噸數	證書有效期間
所有者			噸	自　年　月　日 至　年　月　日
	甲板旅客			
	總員	內譯		
	人			

割印

船舶安全法第九條ニ依リ本證書ヲ交付ス

年　月　日

管海官廳印

第十一號書式（竪二七糎横三三糎）

漁船特殊檢查證書

第　號

船種船名	船 丸	操業場所	業務ノ種類	總噸數	證書有效期間
所有者			豫定歸著港	仕立港	自　年　月　日 至　年　月　日
	搭載人員				
	總員	內譯			
	人				

割印

船舶安全法第九條ニ依リ本證書ヲ交付ス

年　月　日

管海官廳印

第十二號書式ノ一（船舶ニ用ユルモノ）（竪二七糎横一九糎）

第　號

合格證明書

一　船舶ノ種類及鋼船又ハ木船ノ區別
一　製造番號
一　總噸數
一　船體ノ主要寸法
一　船舶ノ用途
一　機關ノ種類及數
一　製造者ノ住所及氏名又ハ名稱
一　檢査ノ成績　別紙ノ通

右ハ船舶安全法第六條ニ依ル船舶ノ製造檢査ニ合格シタルモノナルコトヲ證明ス

年　月　日

管海官廳印

割印

第十二號書式ノ二（船舶用機關ニ用ユルモノ）（竪二七糎横一九糎）

第　號

合格證明書

一　檢印及檢査番號
一　檢査品名及數
一　製造中檢査又ハ出來上リ檢査ノ區別
一　製造者ノ住所及氏名又ハ名稱
一　檢査ノ成績　別紙ノ通

右ハ船舶安全法第六條ニ依ル船舶用機關ノ檢査ニ合格シタルモノナルコトヲ證明ス

年　月　日

管海官廳印

割印

第十八條　第二十條　第二十一條　第二十二條　第二十三條　第二十四條　第二十五條　第二十六條　第二十七條　第二十八條　第二十九條　第三十條　第三十一條　第三十二條　第三十三條　第三十四條　第三十五條　第三十六條　第三十七條　第三十八條　第三十九條　第四十條　第四十一條　第四十二條　第四十三條　第四十四條　第四十五條　第四十六條　第四十七條　第四十八條　第四十九條　第五十條　第五十一條　第五十二條　第五十三條　第五十四條　第五十五條　第五十六條　第五十七條　第五十八條　第五十九條　第六十條　第六十一條　第六十二條　第六十三條　第六十四條　第六十五條　第六十六條　第六十七條　第六十八條　第六十九條　第七十條　第七十一條　第七十二條　第七十三條　第七十四條　第七十五條　第七十六條　第七十七條　第七十八條　第七十九條　第八十條　第八十一條　第八十二條　第八十三條　第八十四條　第八十五條　第八十六條　第八十七條　第八十八條　第八十九條　第九十條　第九十一條　第九十二條　第九十三條　第九十四條　第九十五條　第九十六條　第九十七條　第九十八條　第九十九條　第百條　第百一條　第百二條　第百三條　第百四條　第百五條　第百六條　第百七條　第百八條　第百九條　第百十條　第百十一條　第百十二條　第百十三條　第百十四條　第百十五條　第百十六條　第百十七條　第百十八條　第百十九條　第百二十條　第百二十一條　第百二十二條　第百二十三條　第百二十四條　第百二十五條　第百二十六條　第百二十七條　第百二十八條　第百二十九條　第百三十條　第百三十一條　第百三十二條　第百三十三條　第百三十四條　第百三十五條　第百三十六條　第百三十七條　第百三十八條　第百三十九條　第百四十條　第百四十一條　第百四十二條　第百四十三條　第百四十四條　第百四十五條　第百四十六條　第百四十七條　第百四十八條　第百四十九條　第百五十條　第百五十一條　第百五十二條　第百五十三條　第百五十四條　第百五十五條　第百五十六條　第百五十七條　第百五十八條　第百五十九條　第百六十條　第百六十一條　第百六十二條　第百六十三條　第百六十四條　第百六十五條　第百六十六條　第百六十七條　第百六十八條　第百六十九條　第百七十條　第百七十一條　第百七十二條　第百七十三條　第百七十四條　第百七十五條　第百七十六條　第百七十七條　第百七十八條　第百七十九條　第百八十條　第百八十一條　第百八十二條　第百八十三條　第百八十四條　第百八十五條　第百八十六條　第百八十七條　第百八十八條　第百八十九條　第百九十條　第百九十一條　第百九十二條　第百九十三條　第百九十四條　第百九十五條　第百九十六條　第百九十七條　第百九十八條　第百九十九條　第二百條　第二百一條　第二百二條　第二百三條　第二百四條　第二百五條　第二百六條　第二百七條　第二百八條　第二百九條　第二百十條　第二百十一條　第二百十二條　第二百十三條　第二百十四條　第二百十五條　第二百十六條　第二百十七條　第二百十八條　第二百十九條　第二百二十條　第二百二十一條　第二百二十二條　第二百二十三條　第二百二十四條　第二百二十五條　第二百二十六條　第二百二十七條　第二百二十八條　第二百二十九條　第二百三十條　第二百三十一條　第二百三十二條　第二百三十三條　第二百三十四條　第二百三十五條　第二百三十六條　第二百三十七條　第二百三十八條　第二百三十九條　第二百四十條　第二百四十一條　第二百四十二條　第二百四十三條　第二百四十四條　第二百四十五條　第二百四十六條　第二百四十七條　第二百四十八條　第二百四十九條　第二百五十條　第二百五十一條　第二百五十二條　第二百五十三條　第二百五十四條　第二百五十五條　第二百五十六條　第二百五十七條　第二百五十八條　第二百五十九條　第二百六十條　第二百六十一條　第二百六十二條　第二百六十三條　第二百六十四條　第二百六十五條　第二百六十六條　第二百六十七條　第二百六十八條　第二百六十九條　第二百七十條　第二百七十一條　第二百七十二條　第二百七十三條　第二百七十四條　第二百七十五條　第二百七十六條　第二百七十七條　第二百七十八條　第二百七十九條　第二百八十條　第二百八十一條　第二百八十二條　第二百八十三條　第二百八十四條　第二百八十五條　第二百八十六條　第二百八十七條　第二百八十八條　第二百八十九條　第二百九十條　第二百九十一條　第二百九十二條　第二百九十三條　第二百九十四條　第二百九十五條　第二百九十六條　第二百九十七條　第二百九十八條　第二百九十九條　第三百條　第三百一條　第三百二條　第三百三條　第三百四條　第三百五條　第三百六條　第三百七條　第三百八條　第三百九條　第三百十條　第三百十一條　第三百十二條　第三百十三條　第三百十四條　第三百十五條　第三百十六條　第三百十七條　第三百十八條　第三百十九條　第三百二十條　第三百二十一條　第三百二十二條　第三百二十三條　第三百二十四條　第三百二十五條　第三百二十六條　第三百二十七條　第三百二十八條　第三百二十九條　第三百三十條　第三百三十一條　第三百三十二條　第三百三十三條　第三百三十四條　第三百三十五條　第三百三十六條　第三百三十七條　第三百三十八條　第三百三十九條　第三百四十條　第三百四十一條　第三百四十二條　第三百四十三條　第三百四十四條　第三百四十五條　第三百四十六條　第三百四十七條　第三百四十八條　第三百四十九條　第三百五十條　第三百五十一條　第三百五十二條　第三百五十三條　第三百五十四條　第三百五十五條　第三百五十六條　第三百五十七條　第三百五十八條　第三百五十九條　第三百六十條　第三百六十一條　第三百六十二條　第三百六十三條　第三百六十四條　第三百六十五條　第三百六十六條　第三百六十七條　第三百六十八條　第三百六十九條　第三百七十條　第三百七十一條　第三百七十二條　第三百七十三條　第三百七十四條　第三百七十五條　第三百七十六條　第三百七十七條　第三百七十八條　第三百七十九條　第三百八十條　第三百八十一條　第三百八十二條　第三百八十三條　第三百八十四條　第三百八十五條　第三百八十六條　第三百八十七條　第三百八十八條　第三百八十九條　第三百九十條　第三百九十一條　第三百九十二條　第三百九十三條　第三百九十四條　第三百九十五條　第三百九十六條　第三百九十七條　第三百九十八條　第三百九十九條　第四百條　第四百一條　第四百二條　第四百三條　第四百四條　第四百五條　第四百六條　第四百七條　第四百八條　第四百九條　第四百十條　第四百十一條　第四百十二條　第四百十三條　第四百十四條　第四百十五條　第四百十六條　第四百十七條　第四百十八條　第四百十九條　第四百二十條　第四百二十一條　第四百二十二條　第四百二十三條　第四百二十四條　第四百二十五條　第四百二十六條　第四百二十七條　第四百二十八條　第四百二十九條　第四百三十條　第四百三十一條　第四百三十二條　第四百三十三條　第四百三十四條　第四百三十五條　第四百三十六條　第四百三十七條　第四百三十八條　第四百三十九條　第四百四十條　第四百四十一條　第四百四十二條　第四百四十三條　第四百四十四條　第四百四十五條　第四百四十六條　第四百四十七條　第四百四十八條　第四百四十九條　第四百五十條　第四百五十一條　第四百五十二條　第四百五十三條　第四百五十四條　第四百五十五條　第四百五十六條　第四百五十七條　第四百五十八條　第四百五十九條　第四百六十條　第四百六十一條　第四百六十二條　第四百六十三條　第四百六十四條　第四百六十五條　第四百六十六條　第四百六十七條　第四百六十八條　第四百六十九條　第四百七十條　第四百七十一條　第四百七十二條　第四百七十三條　第四百七十四條　第四百七十五條　第四百七十六條　第四百七十七條　第四百七十八條　第四百七十九條　第四百八十條　第四百八十一條　第四百八十二條　第四百八十三條　第四百八十四條　第四百八十五條　第四百八十六條　第四百八十七條　第四百八十八條　第四百八十九條　第四百九十條　第四百九十一條　第四百九十二條　第四百九十三條　第四百九十四條　第四百九十五條　第四百九十六條　第四百九十七條　第四百九十八條　第四百九十九條　第五百條　第五百一條　第五百二條　第五百三條　第五百四條　第五百五條　第五百六條　第五百七條　第五百八條　第五百九條　第五百十條　第五百十一條　第五百十二條　第五百十三條　第五百十四條　第五百十五條　第五百十六條　第五百十七條　第五百十八條　第五百十九條　第五百二十條　第五百二十一條　第五百二十二條　第五百二十三條　第五百二十四條　第五百二十五條　第五百二十六條　第五百二十七條　第五百二十八條　第五百二十九條　第五百三十條　第五百三十一條　第五百三十二條　第五百三十三條　第五百三十四條　第五百三十五條　第五百三十六條　第五百三十七條　第五百三十八條　第五百三十九條　第五百四十條　第五百四十一條　第五百四十二條　第五百四十三條　第五百四十四條　第五百四十五條　第五百四十六條　第五百四十七條　第五百四十八條　第五百四十九條　第五百五十條　第五百五十一條　第五百五十二條　第五百五十三條　第五百五十四條　第五百五十五條　第五百五十六條　第五百五十七條　第五百五十八條　第五百五十九條　第五百六十條　第五百六十一條　第五百六十二條　第五百六十三條　第五百六十四條　第五百六十五條　第五百六十六條　第五百六十七條　第五百六十八條　第五百六十九條　第五百七十條　第五百七十一條　第五百七十二條　第五百七十三條　第五百七十四條　第五百七十五條　第五百七十六條　第五百七十七條　第五百七十八條　第五百七十九條　第五百八十條　第五百八十一條　第五百八十二條　第五百八十三條　第五百八十四條　第五百八十五條　第五百八十六條　第五百八十七條　第五百八十八條　第五百八十九條　第五百九十條　第五百九十一條　第五百九十二條　第五百九十三條　第五百九十四條　第五百九十五條　第五百九十六條　第五百九十七條　第五百九十八條　第五百九十九條　第六百條　第六百一條　第六百二條　第六百三條　第六百四條　第六百五條　第六百六條　第六百七條　第六百八條　第六百九條　第六百十條　第六百十一條　第六百十二條　第六百十三條　第六百十四條　第六百十五條　第六百十六條　第六百十七條　第六百十八條　第六百十九條　第六百二十條　第六百二十一條　第六百二十二條　第六百二十三條　第六百二十四條　第六百二十五條　第六百二十六條　第六百二十七條　第六百二十八條　第六百二十九條　第六百三十條　第六百三十一條　第六百三十二條　第六百三十三條　第六百三十四條　第六百三十五條　第六百三十六條　第六百三十七條　第六百三十八條　第六百三十九條　第六百四十條　第六百四十一條　第六百四十二條　第六百四十三條　第六百四十四條　第六百四十五條　第六百四十六條　第六百四十七條　第六百四十八條　第六百四十九條　第六百五十條　第六百五十一條　第六百五十二條　第六百五十三條　第六百五十四條　第六百五十五條　第六百五十六條　第六百五十七條　第六百五十八條　第六百五十九條　第六百六十條　第六百六十一條　第六百六十二條　第六百六十三條　第六百六十四條　第六百六十五條　第六百六十六條　第六百六十七條　第六百六十八條　第六百六十九條　第六百七十條　第六百七十一條　第六百七十二條　第六百七十三條　第六百七十四條　第六百七十五條　第六百七十六條　第六百七十七條　第六百七十八條　第六百七十九條　第六百八十條　第六百八十一條　第六百八十二條　第六百八十三條　第六百八十四條　第六百八十五條　第六百八十六條　第六百八十七條　第六百八十八條　第六百八十九條　第六百九十條　第六百九十一條　第六百九十二條　第六百九十三條　第六百九十四條　第六百九十五條　第六百九十六條　第六百九十七條　第六百九十八條　第六百九十九條　第七百條　第七百一條　第七百二條　第七百三條　第七百四條　第七百五條　第七百六條　第七百七條　第七百八條　第七百九條　第七百十條　第七百十一條　第七百十二條　第七百十三條　第七百十四條　第七百十五條　第七百十六條　第七百十七條　第七百十八條　第七百十九條　第七百二十條　第七百二十一條　第七百二十二條　第七百二十三條　第七百二十四條　第七百二十五條　第七百二十六條　第七百二十七條　第七百二十八條　第七百二十九條　第七百三十條　第七百三十一條　第七百三十二條　第七百三十三條　第七百三十四條　第七百三十五條　第七百三十六條　第七百三十七條　第七百三十八條　第七百三十九條　第七百四十條　第七百四十一條　第七百四十二條　第七百四十三條　第七百四十四條　第七百四十五條　第七百四十六條　第七百四十七條　第七百四十八條　第七百四十九條　第七百五十條　第七百五十一條　第七百五十二條　第七百五十三條　第七百五十四條　第七百五十五條　第七百五十六條　第七百五十七條　第七百五十八條　第七百五十九條　第七百六十條　第七百六十一條　第七百六十二條　第七百六十三條　第七百六十四條　第七百六十五條　第七百六十六條　第七百六十七條　第七百六十八條　第七百六十九條　第七百七十條　第七百七十一條　第七百七十二條　第七百七十三條　第七百七十四條　第七百七十五條　第七百七十六條　第七百七十七條　第七百七十八條　第七百七十九條　第七百八十條　第七百八十一條　第七百八十二條　第七百八十三條　第七百八十四條　第七百八十五條　第七百八十六條　第七百八十七條　第七百八十八條　第七百八十九條　第七百九十條　第七百九十一條　第七百九十二條　第七百九十三條　第七百九十四條　第七百九十五條　第七百九十六條　第七百九十七條　第七百九十八條　第七百九十九條　第八百條　第八百一條　第八百二條　第八百三條　第八百四條　第八百五條　第八百六條　第八百七條　第八百八條　第八百九條　第八百十條　第八百十一條　第八百十二條　第八百十三條　第八百十四條　第八百十五條　第八百十六條　第八百十七條　第八百十八條　第八百十九條　第八百二十條　第八百二十一條　第八百二十二條　第八百二十三條　第八百二十四條　第八百二十五條　第八百二十六條　第八百二十七條　第八百二十八條　第八百二十九條　第八百三十條　第八百三十一條　第八百三十二條　第八百三十三條　第八百三十四條　第八百三十五條　第八百三十六條　第八百三十七條　第八百三十八條　第八百三十九條　第八百四十條　第八百四十一條　第八百四十二條　第八百四十三條　第八百四十四條　第八百四十五條　第八百四十六條　第八百四十七條　第八百四十八條　第八百四十九條　第八百五十條　第八百五十一條　第八百五十二條　第八百五十三條　第八百五十四條　第八百五十五條　第八百五十六條　第八百五十七條　第八百五十八條　第八百五十九條　第八百六十條　第八百六十一條　第八百六十二條　第八百六十三條　第八百六十四條　第八百六十五條　第八百六十六條　第八百六十七條　第八百六十八條　第八百六十九條　第八百七十條　第八百七十一條　第八百七十二條　第八百七十三條　第八百七十四條　第八百七十五條　第八百七十六條　第八百七十七條　第八百七十八條　第八百七十九條　第八百八十條　第八百八十一條　第八百八十二條　第八百八十三條　第八百八十四條　第八百八十五條　第八百八十六條　第八百八十七條　第八百八十八條　第八百八十九條　第八百九十條　第八百九十一條　第八百九十二條　第八百九十三條　第八百九十四條　第八百九十五條　第八百九十六條　第八百九十七條　第八百九十八條　第八百九十九條　第九百條　第九百一條　第九百二條　第九百三條　第九百四條　第九百五條　第九百六條　第九百七條　第九百八條　第九百九條　第九百十條　第九百十一條　第九百十二條　第九百十三條　第九百十四條　第九百十五條　第九百十六條　第九百十七條　第九百十八條　第九百十九條　第九百二十條　第九百二十一條　第九百二十二條　第九百二十三條　第九百二十四條　第九百二十五條　第九百二十六條　第九百二十七條　第九百二十八條　第九百二十九條　第九百三十條　第九百三十一條　第九百三十二條　第九百三十三條　第九百三十四條　第九百三十五條　第九百三十六條　第九百三十七條　第九百三十八條　第九百三十九條　第九百四十條　第九百四十一條　第九百四十二條　第九百四十三條　第九百四十四條　第九百四十五條　第九百四十六條　第九百四十七條　第九百四十八條　第九百四十九條　第九百五十條　第九百五十一條　第九百五十二條　第九百五十三條　第九百五十四條　第九百五十五條　第九百五十六條　第九百五十七條　第九百五十八條　第九百五十九條　第九百六十條　第九百六十一條　第九百六十二條　第九百六十三條　第九百六十四條　第九百六十五條　第九百六十六條　第九百六十七條　第九百六十八條　第九百六十九條　第九百七十條　第九百七十一條　第九百七十二條　第九百七十三條　第九百七十四條　第九百七十五條　第九百七十六條　第九百七十七條　第九百七十八條　第九百七十九條　第九百八十條　第九百八十一條　第九百八十二條　第九百八十三條　第九百八十四條　第九百八十五條　第九百八十六條　第九百八十七條　第九百八十八條　第九百八十九條　第九百九十條　第九百九十一條　第九百九十二條　第九百九十三條　第九百九十四條　第九百九十五條　第九百九十六條　第九百九十七條　第九百九十八條　第九百九十九條　第千條

試驗	鋼材ノ中心軸ニ對スル方向	鋼材ノ厚サ	抗張力ノ最小限度	伸ビ
抗張	平行	一・五以上二以下	二七以上	二〇以上
		二以上三以下	二八以上	二一以上
		三以上五以下	二九以上	二二以上
	直角	一・五以上二以下	二七以上	一八以上
		二以上三以下	二八以上	一九以上
		三以上五以下	二九以上	二〇以上
彎曲	平行	一・五以上二以下	四二以上	一五以上
		二以上三以下	四三以上	一六以上
		三以上五以下	四四以上	一七以上
	直角	一・五以上二以下	四三以上	一六以上
		二以上三以下	四四以上	一七以上
		三以上五以下	四五以上	一八以上

備考　抗張力ノ單位ハ一平方粍ニ付キ二十キログラムトス

鋼材ノ抗張力ノ最小限度ニ對スル伸ノ最小限度ハ前表ニ掲ケタルモノヨリ減ジ左ノ數値トスルコトヲ得

鋼材ノ厚サ	伸ノ減ジ得ル數値
一・五以上二以下	一
二以上三以下	二
三以上五以下	三

第二十一條　前條ノ鋼材ノ外鋼鑄及鍛鋼ヲ用ヰムトスルトキハ豫メ其ノ種類及使用ノ場所ニ付キ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條　鋼鑄ハ平爐鋼又ハ「ベッセマー」鋼ヲ用ヰタルモノニシテ其ノ抗張力ハ一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下ニシテ且伸ハ二十五以上ナルヲ要ス

鋼鑄ハ焼鈍シタル後試驗ヲ行フヘシ

第二十三條　鍛鋼ハ平爐鋼又ハ「ベッセマー」鋼ヲ用ヰタルモノニシテ其ノ抗張力ハ一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下ニシテ且伸ハ二十二以上ナルヲ要ス

鍛鋼ハ焼鈍シタル後試驗ヲ行フヘシ

第二十四條　鑄鐵ハ灰色ニシテ均質ニ且氣泡、龜裂、砂目、湯ノ不足其ノ他ノ缺點ナキモノタルヘシ

鑄鐵ハ抗張力ニ對シテハ之ヲ用ヰサルモノトス

第二十五條　鑄鐵ノ抗張力ハ一平方粍ニ付キ十二キログラム以上トス

第二十六條　鑄鐵ノ抗壓力ハ一平方粍ニ付キ五十キログラム以上トス

第二十七條　鑄鐵ノ抗壓力ハ一平方粍ニ付キ六十キログラム以上トス

第二十八條　鑄鐵ノ抗彎力ハ一平方粍ニ付キ二十キログラム以上トス

第二十九條　鑄鐵ノ抗剪力ハ一平方粍ニ付キ十二キログラム以上トス

第三十條　鑄鐵ノ彈性係數ハ一平方粍ニ付キ一萬キログラムトス

第三十一條　鑄鐵ノ熱膨脹係數ハ一度ニ付キ〇・〇〇〇〇一一トス

第三十二條　鑄鐵ノ比重ハ七・二以上トス

第三十三條　鑄鐵ノ熔解點ハ攝氏一千二百度トス

第三十四條　鑄鐵ノ收縮ハ一米ニ付キ一〇粍トス

第三十五條　鑄鐵ノ熱傳導力ハ鐵ノ熱傳導力ノ約五分ノ一トス

第三十六條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ四十キログラム乃至五十キログラムトス

第三十七條　鑄鐵ノ比熱ハ〇・一二トス

第三十八條　鑄鐵ノ熱容量ハ一立方米ニ付キ攝氏一度ノ差ニ付キ四百キログラム乃至五百キログラムトス

第三十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第百條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

試驗	鋼材ノ中心軸ニ對スル方向	鋼材ノ厚サ	抗張力ノ最小限度	伸ビ
抗張	平行	一・五以上二以下	二七以上	二〇以上
		二以上三以下	二八以上	二一以上
		三以上五以下	二九以上	二二以上
	直角	一・五以上二以下	二七以上	一八以上
		二以上三以下	二八以上	一九以上
		三以上五以下	二九以上	二〇以上
彎曲	平行	一・五以上二以下	四二以上	一五以上
		二以上三以下	四三以上	一六以上
		三以上五以下	四四以上	一七以上
	直角	一・五以上二以下	四三以上	一六以上
		二以上三以下	四四以上	一七以上
		三以上五以下	四五以上	一八以上

備考　抗張力ノ單位ハ一平方粍ニ付キ二十キログラムトス

鋼材ノ抗張力ノ最小限度ニ對スル伸ノ最小限度ハ前表ニ掲ケタルモノヨリ減ジ左ノ數値トスルコトヲ得

鋼材ノ厚サ	伸ノ減ジ得ル數値
一・五以上二以下	一
二以上三以下	二
三以上五以下	三

第二十一條　前條ノ鋼材ノ外鋼鑄及鍛鋼ヲ用ヰムトスルトキハ豫メ其ノ種類及使用ノ場所ニ付キ主務大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條　鋼鑄ハ平爐鋼又ハ「ベッセマー」鋼ヲ用ヰタルモノニシテ其ノ抗張力ハ一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下ニシテ且伸ハ二十五以上ナルヲ要ス

鋼鑄ハ焼鈍シタル後試驗ヲ行フヘシ

第二十三條　鍛鋼ハ平爐鋼又ハ「ベッセマー」鋼ヲ用ヰタルモノニシテ其ノ抗張力ハ一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下ニシテ且伸ハ二十二以上ナルヲ要ス

鍛鋼ハ焼鈍シタル後試驗ヲ行フヘシ

第二十四條　鑄鐵ハ灰色ニシテ均質ニ且氣泡、龜裂、砂目、湯ノ不足其ノ他ノ缺點ナキモノタルヘシ

鑄鐵ハ抗張力ニ對シテハ之ヲ用ヰサルモノトス

第二十五條　鑄鐵ノ抗張力ハ一平方粍ニ付キ十二キログラム以上トス

第二十六條　鑄鐵ノ抗壓力ハ一平方粍ニ付キ五十キログラム以上トス

第二十七條　鑄鐵ノ抗壓力ハ一平方粍ニ付キ六十キログラム以上トス

第二十八條　鑄鐵ノ抗彎力ハ一平方粍ニ付キ二十キログラム以上トス

第二十九條　鑄鐵ノ抗剪力ハ一平方粍ニ付キ十二キログラム以上トス

第三十條　鑄鐵ノ彈性係數ハ一平方粍ニ付キ一萬キログラムトス

第三十一條　鑄鐵ノ熱膨脹係數ハ一度ニ付キ〇・〇〇〇〇一一トス

第三十二條　鑄鐵ノ比重ハ七・二以上トス

第三十三條　鑄鐵ノ熔解點ハ攝氏一千二百度トス

第三十四條　鑄鐵ノ收縮ハ一米ニ付キ一〇粍トス

第三十五條　鑄鐵ノ熱傳導力ハ鐵ノ熱傳導力ノ約五分ノ一トス

第三十六條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ四十キログラム乃至五十キログラムトス

第三十七條　鑄鐵ノ比熱ハ〇・一二トス

第三十八條　鑄鐵ノ熱容量ハ一立方米ニ付キ攝氏一度ノ差ニ付キ四百キログラム乃至五百キログラムトス

第三十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第四十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第五十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第六十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第七十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第八十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十一條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十二條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十三條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十四條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十五條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十六條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十七條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十八條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第九十九條　鑄鐵ノ熱傳導率ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

第百條　鑄鐵ノ熱傳導性ハ一時間ニ付キ一平方米ニ對シ攝氏一度ノ差ニ付キ一立方米ニ付キ二百キログラム乃至二百五十キログラムトス

種類	鋼			鋼			鋼		
	材			材			材		
種類	形	厚サ	抗張力	形	厚サ	抗張力	形	厚サ	抗張力
鋼	板	試驗片ノ厚サ以内	一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下	板	試驗片ノ厚サ以内	一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下	板	試驗片ノ厚サ以内	一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下
	棒	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下	棒	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下	棒	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下
	形	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下	形	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下	形	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十キログラム以上四十キログラム以下
鑄鋼	板	試驗片ノ厚サ以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下	板	試驗片ノ厚サ以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下	板	試驗片ノ厚サ以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下
	棒	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下	棒	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下	棒	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下
	形	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下	形	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下	形	試驗片ノ厚サ又ハ徑以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下
鍛鋼	板	試驗片ノ厚サ以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下	板	試驗片ノ厚サ以内	一平方粍ニ付キ三十四キログラム以上四十二キログラム以下	板	試驗片ノ厚サ

軸ノ種類	中間軸				推力軸			
	乙甲種機關車又ハ	丙種機關車	丁種機關車	戊種機關車	乙甲種機關車又ハ	丙種機關車	丁種機關車	戊種機關車
K	一〇〇	九五	一〇〇	一〇〇	一〇〇	九五	一〇〇	一〇〇

四　三軸及六連「ボーヒン」汽關車ト向ヒ推進輪ニ作用スル汽機ノ氣筒ノ中間軸又ハ推力軸ノ徑

$$d = K\sqrt[3]{(68{,}000 \times \frac{T}{P\eta}) + 0{\cdot}032PD^2S \times (1 + \frac{14{,}500D^2S}{WG^2R^2})}$$

d　ハ推力軸ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
P　ハ汽筒ニ於ケル最大有效壓力（瓩毎平方糎）
S　ハ行程（糎ニテ）
T　ハ汽筒ニ於ケル最大有效壓力ニ對スル推力軸ノ半徑ニ於ケル回轉力
η　ハ機關車ノ效率ニシテ左ノ如シ
　單式汽機ニ於テ　〇・八
　二段膨脹式汽機ニ於テ　〇・七五
G　ハ動輪ノ直徑（米ニテ）
W　ハ機關車ノ重量（瓲ニテ）
R　ハ推力軸ノ半徑（米ニテ）
K　ハ定數ニシテ左ノ如シ
　單式汽機ニ於テ　一・〇
　二段膨脹式汽機ニ於テ　一・二

三　鋼製「ボーヒン」汽關車ノ推力軸ノ徑

$$d = K\sqrt[3]{\frac{T}{R}}$$

d　ハ軸ノ徑（粍ニテ）
T　ハ計畫軸周力
R　ハ軸ノ半徑（粍ニテ）
K　ハ定數ニシテ左ノ如シ
　中間又ハ推力軸ノ徑（粍ニテ）
　　鋼製ノ中間又ハ推力軸ノ徑　一・四
　　鐵製ノ中間又ハ推力軸ノ徑　一・五
　外側ニ軸受ヲ有スル推力軸ノ徑　一・六

軸ノ種類	中間軸				推力軸			
	乙甲種機關車又ハ	丙種機關車	丁種機關車	戊種機關車	乙甲種機關車又ハ	丙種機關車	丁種機關車	戊種機關車
K	二・三	二・四	二・三	二・四	二・五	二・六	二・五	二・六

四　機關車汽筒ノ徑

$$d = K\sqrt{\frac{PD^2S}{P}}$$

d　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
P　ハ汽筒ニ於ケル最大有效壓力（瓩毎平方糎）
S　ハ行程（糎ニテ）
P　ハ汽筒ニ於ケル最大有效壓力（瓩毎平方糎）
K　ハ定數ニシテ左ノ如シ
　單式汽機ニ於テ　〇・四
　二段膨脹式汽機ニ於テ　〇・二八

機關車ノ種類					汽筒ノ徑			
					乙甲種機關車又ハ	丙種機關車	丁種機關車	戊種機關車
單式汽機	二軸				一・三五	一・四二	一・三五	一・四二
	三軸	三シリンダ			一・三八	一・四一	一・三八	一・四一
		二シリンダ	内側連桿ノ曲角九〇度ノモノ		一・四〇	一・四七	一・四〇	一・四七
			内側連桿ノ曲角一二〇度ノモノ		一・四五	一・五二	一・四五	一・五二
	四軸	二シリンダ	内側連桿ノ曲角九〇度ノモノ		一・四七	一・五四	一・四七	一・五四
			内側連桿ノ曲角一二〇度ノモノ		一・五二	一・六〇	一・五二	一・六〇
二段膨脹式機	三軸	三シリンダ			一・〇三	一・〇八	一・〇三	一・〇八
	四軸	四シリンダ			一・〇〇	一・〇五	一・〇〇	一・〇五
三又ハ四軸瓦斯機					〇・九八	一・〇三	〇・九八	一・〇三

五　低壓汽筒ノ徑

$$d = K\sqrt{\frac{PD^2S}{P}}$$

d　ハ低壓汽筒ノ徑（粍ニテ）
D　ハ低壓汽筒ノ徑（粍ニテ）
P　ハ低壓汽筒ニ於ケル最大有效壓力（瓩毎平方糎）
S　ハ行程（糎ニテ）
P　ハ汽筒ニ於ケル最大有效壓力（瓩毎平方糎）
K　ハ定數ニシテ左ノ如シ
　單式汽機ニ於テ　〇・六五
　二段膨脹式汽機ニ於テ　〇・五

機關車ノ種類					低壓汽筒ノ徑			
					乙甲種機關車又ハ	丙種機關車	丁種機關車	戊種機關車
單式汽機	二軸				一・四九	一・五六	一・四九	一・五六
	三軸	三シリンダ			一・四二	一・四九	一・四二	一・四九
		二シリンダ	内側連桿ノ曲角九〇度ノモノ		一・三八	一・四五	一・三八	一・四五
			内側連桿ノ曲角一二〇度ノモノ		一・四一	一・四八	一・四一	一・四八
	四軸	二シリンダ	内側連桿ノ曲角九〇度ノモノ		一・四五	一・五二	一・四五	一・五二
			内側連桿ノ曲角一二〇度ノモノ		一・五〇	一・五七	一・五〇	一・五七
二段膨脹式機	三軸	三シリンダ			一・〇一	一・〇六	一・〇一	一・〇六
	四軸	四シリンダ			一・〇四	一・〇九	一・〇四	一・〇九
三又ハ四軸瓦斯機					一・〇六	一・一二	一・〇六	一・一二

五　給油系統ノ徑

$$d_s = d + \frac{D}{C}$$

d_s　ハ給油管ノ徑（粍ニテ）
d　ハ給油ヲ受ケル汽筒ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
C　ハ定數ニシテ左ノ如シ

第一項ノ螺旋輪ナルトキ	一四四
第二項ノ螺旋輪ナルトキ	一〇〇

$$d = 0{,}75\sqrt{\frac{D^2}{\frac{l}{d_1}+1}}$$

d　ハ給油管ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
d_1　ハ給油管ノ徑（粍ニテ）
l　ハ給油管ノ長（粍ニテ）

$$d = \frac{D^2N}{C}$$

d　ハ給油管ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
N　ハ汽筒ノ回轉數ニシテ左ノ如シ
　單式汽機ニ於テ　一〇〇
　二段膨脹式汽機ニ於テ　一二〇
C　ハ定數ニシテ左ノ如シ
　單式汽機ニ於テ　一〇〇
　二段膨脹式汽機ニ於テ　一二〇

$$d = 0{,}75\sqrt{\frac{D^2}{\frac{l}{d_1}+1}}$$

d　ハ給油管ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
d_1　ハ給油管ノ徑（粍ニテ）
l　ハ給油管ノ長（粍ニテ）

$$d = \frac{D^2N}{C}$$

d　ハ給油管ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
N　ハ汽筒ノ回轉數ニシテ左ノ如シ
　單式汽機ニ於テ　一〇〇
　二段膨脹式汽機ニ於テ　一二〇
C　ハ定數ニシテ左ノ如シ
　單式汽機ニ於テ　一〇〇
　二段膨脹式汽機ニ於テ　一二〇

六　大初壓汽筒ノ徑

$$d = \frac{D}{C}$$

d　ハ螺旋輪ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
C　ハ定數ニシテ左ノ如シ
　$C = 0.015d + 2.5$

七　中壓汽筒ノ徑

$$d = \frac{D}{C}$$

d　ハ螺旋輪ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
C　ハ定數ニシテ左ノ如シ
　$C = 0.015d + 2.5$

八　低壓汽筒ノ徑

$$d = \frac{D}{C}$$

d　ハ螺旋輪ノ徑（粍ニテ）
D　ハ汽筒ノ徑（粍ニテ）
C　ハ定數ニシテ左ノ如シ
　$C = 0.015d + 2.5$

第四十章　汽罐

第一款　汽罐ノ種類

第一項　汽罐ノ種類

第一　汽罐ノ種類ハ左ノ如シ

第二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第三十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第四十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第五十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第六十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第七十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第八十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第九十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百二十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百三十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百四十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百五十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百六十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百七十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百八十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第百九十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百二十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百三十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百四十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百五十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十六　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十七　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十八　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百六十九　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百七十　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百七十一　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百七十二　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百七十三　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百七十四　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ選ブヘシ

第二百七十五　汽罐ハ其ノ使用ノ目的ニ適スルモノヲ

「リーズ、フオージ、バルブ」又ハ之ニ類スルモノ　一一六〇

第六十一條　支柱又ハ其ノ他ニ依リ補強セラレザル半球狀火燼ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{627(T-1)}{R}$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
T　ハ火燼鋼板ノ厚サ（粍ニテ）
R　ハ火燼ノ球面外半徑（粍ニテ）

第六十二條　鐵頭圓錐形直立火燼ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ記號ヲ用ヒ第五十九條ノ算式ニ依リ算定シタルモノノ中小ナルモノトス

D　ハ火燼板ト頂板トノ接合鉄ノ中心線ニ於テ測リタル外徑ト火燼底部ノ補强部ニ接合スル箇所ニ於テ測リタル外徑トノ平均（粍ニテ）
L　ハ火燼板ト頂板トノ接合鉄ノ中心線ヨリ火燼底部ノ補强部ニ接合スル箇所迄ノ距離（粍ニテ）
火燼底部ト胴板トヲ螺旋支柱列ニ依リ連結シタル場合ニ於テ螺旋支柱ノ心距ガ其ノ端ヲ鉄締シタルモノニ在リテハ火燼板ノ厚サノ一四倍ヲ、母螺締ト爲シタルモノニ在リテハ一六倍ヲ超ユルコトナク且螺旋支柱ノ螺条上ノ徑ガ火燼板ノ厚サノ二・二五倍以上ナルトキハ前項ノLハ螺旋支柱列ノ中心迄湖ルコトヲ得

$$P=\frac{10,300(T-1)^2}{D\times(D-d)}$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
T　ハ「オジー」環ノ厚サ（粍ニテ）
D　ハ胴ノ内徑（粍ニテ）
d　ハ火燼底部ノ外徑ニシテ「オジー」環トノ接合部ニ於テ測リタルモノ（粍ニテ）

第六十三條　直立汽罐ノ火燼底部ト胴板トヲ接合スル「オジー」環ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{1,300(T-1)^2}{D-d}$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
T　ハ「オジー」環ノ厚サ（粍ニテ）
D　ハ胴ノ内徑（粍ニテ）
d　ハ火燼底部ノ外徑ニシテ「オジー」環トノ接合部ニ於テ測リタルモノ（粍ニテ）

第六十四條　火燼板ノ厚サハ二一粍以上ナルコトヲ得ズ

第六十五條　胴ノ内徑ヨリ大ナラザル内半徑ヲ有シ外方ニ突出スル球面狀鏡板ニシテ支柱其ノ他ニ依リ補强セラレザルモノノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{21.6\times S\times(T-1)}{R}$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
T　ハ鏡板ノ厚サ（粍ニテ）但シ鏡板ニ人孔ヲ設ケタル場合ニ於テハ其ノ厚サヨリ三粍ヲ減ジタルモノ
R　ハ鏡板ノ球面内半徑（粍ニテ）
S　ハ鏡板ノ抗張力（毎平方粍瓲ニテ）

前項ノ鏡板ニ在リテハ其ノ周圍ノ曲絲部ニ於ケル曲絲ノ轉曲内半徑ノ鏡板ノ厚サノ四倍未滿ナルコトヲ得ズ

第六十六條　二枚以上ノ板ヨリ成リ外方ニ突出スル半球狀鏡板ニシテ支柱其ノ他ニ依リ補强セラレザルモノノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{C\times(T-1.5)\times S\times J}{R}$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
T　ハ鏡板ノ厚サ（粍ニテ）
S　ハ鏡板ノ最小抗張力（毎平方粍瓲ニテ）
J　ハ鏡板相互ノ接合最小强率
R　ハ鏡板ノ球面内半徑（粍ニテ）
C　ハ定數ニシテ左表ニ依ル

鏡板相互ノ接合ガ一列鋲ナルトキ	〇・四五
鏡板相互ノ接合ガ二列鋲ナルトキ	〇・五〇

第六十七條　螺旋支柱又ハ縦支柱ノ螺系底又ハ其ノ他ノ部分ニ於ケル最小徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$d=C\sqrt{PA}+3$$

d　ハ螺旋支柱又ハ縦支柱ノ最小ノ徑（粍ニテ）
P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
A　ハ平板中該支柱ノ支持スベキ部分ノ實面積（平方糎ニテ）
C　ハ定數ニシテ左表ニ依ル

螺旋支柱ナルトキ	〇・三三
縦支柱ナルトキ	〇・四〇

前項ノ算式ヲ斜向支柱ニ適用スル場合ニ於テハ算式中ノCノ代リニ左ノC'ヲ用ウベシ

$$C'=C\times\sqrt{\frac{I}{H}}$$

C　ハ前項ニ同ジ
I　ハ斜向支柱ノ長サ（粍ニテ）
H　ハ斜向支柱ノ一端ニ於ケル平板ヨリ他端迄ノ距離（粍ニテ）
燃燒室ノ内側ニ於ケル螺旋支柱ノ母螺ノ高サハ該螺旋支柱ノ螺條部ノ徑ノ二分ノ一ヨリ小ナルコトヲ得ズ

第六十八條　管板ヲ支持スベキ管支柱ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{527.2a}{A}$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
a　ハ管支柱ノ最小横截實面積（平方糎ニテ）
A　ハ管板中該管支柱ノ支持スベキ部分ノ實面積（平方糎ニテ）
管支柱ノ厚サハ管板ヲ支持スベキ部分ノ外周列ニ在リテハ四・五粍以上、其ノ他ノモノニ在リテハ四粍以上ナルコトヲ要ス

管支柱ハ兩管板ニ挾込ミタル上之ヲ適當ニ擴脹シ緊密スベシ

管支柱ノ燃燒室端ニハ母螺ヲ附スベカラズ

第六十九條　前二條ノ支柱ノ螺系ハ成ルベク左表ニ依ルベシ

支柱ノ種類	螺	距（粍）
螺旋支柱	二・〇以上 三・〇以下	
縦支柱	四・〇以上 六・五以下	
管支柱	二・五以上 三・五以下	

第七十條　焙管ノ厚サハ成ルベク左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナラザルモノト爲スベシ

$$T=\frac{PD}{700}+2$$

T　ハ焙管ノ厚サ（粍ニテ）
D　ハ焙管ノ外徑（粍ニテ）
P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）

第三節　水管汽罐及過熱器

第七十一條　水管汽罐ノ構造ハ本節ノ特ニ規定シタルモノノ外前節ノ規定ニ依ルベシ

第七十二條　水管汽罐ノ汽胴ノ縦接合ハ胴ノ縦接合部ニ於ケル内徑ガ該接合部ニ於ケル胴板ノ厚サノ一〇〇倍未滿ナルトキハ累接ト爲スコトナク該部ノ横截内面ヲ四形ナラシムベシ

第七十三條　水管汽罐ノ汽胴又ハ水胴ノ一部ヲ成ス管板ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{47.2\times S\times(T-3)\times p_1d}{D\quad\quad p}$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
D　ハ胴ノ内徑（粍ニテ）
T　ハ管板ノ厚サ（粍ニテ）
S　ハ管板ノ抗張力（毎平方粍瓲ニテ）
P　ハ胴ノ中心線ニ平行ニ測リタル管孔心距（粍ニテ）
d　ハ管孔ノ徑（粍ニテ）

管板ノ厚サハ胴板又ハ鏡板トノ接合スル部分ニ於テハ第五十二條ノ規定ニ依ル胴板ノ强力ニ相當スル厚サ迄之ヲ減ズルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ厚サノ急激ナル變化ヲ避ケ且其ノ部分ヲ機械仕上ト爲スベシ

第七十四條　水管汽罐ノ胴、管寄等ニ設ケル

管孔ハ管ヲ緊密ニ取附ケ得ルモノト爲スベシ

管孔ヲ其ノ中心線ガ管板ニ垂直ナル樣穿ツトキハ孔ノ管座ノ深サヲ一〇粍以上ト爲シ斜ニ穿ツトキハ孔ノ管座ノ直圓筒部ノ深サヲ一三粍以上ト爲スベシ

第七十五條　水管汽罐ノ水管ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=\frac{1,400(T-2)^2}{D}-23$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
T　ハ水管ノ厚サ（粍ニテ）
D　ハ水管ノ外徑（粍ニテ）
a　ハ定數ニシテ左表ニ依ル

火焔若ハ高熱瓦斯ノ通路ニ直面スル管集端列又ハ其ノ次ノ列ノ管ナルトキ	一・二五
其ノ他ノ管ナルトキ	一・〇

水管ノ厚サハ八粍ヲ超ユルコトヲ得ズ

水管ハ越テ擴脹其ノ他ノ適當ナル方法ニ依リ之ヲ管板ニ緊密ニ取附ケ管端ハ管座ヨリ六粍以上突出セシムベシ

水管ハ脫出セザル樣其ノ兩端ヲ固定スベシ單ニ其ノ端部ヲ喇叭形ニ擴脹シテ固定シタル場合ニ於テハ端部ノ外徑ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノ以上ト爲スベシ

$$D=1.02d+1.5$$

D　ハ水管端部ノ外徑（粍ニテ）
d　ハ水管ノ外徑（粍ニテ）

第七十六條　管寄其ノ他之ニ類似ノモノノ管ヲ取附ケザル平面部ノ强力ニ對スル制限汽壓ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$P=C\times\left(\frac{T-2.5}{B}\right)^2$$

P　ハ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
T　ハ平面部ノ厚サ（粍ニテ）
B　ハ内側支點間ニ於テ測リタル平面部ノ幅（粍ニテ）
C　ハ定數ニシテ左表ニ依ル

鍛銅ナルトキ	三六〇
鑄鋼ナルトキ	三二〇

管寄ノ管ヲ取附クル平面部ノ厚サハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ

$$T=0.47\sqrt{d}+6.5$$

T　ハ平面部ノ厚サ（粍ニテ）
d　ハ管孔ノ徑（粍ニテ）

過熱器ノ管寄其ノ他火焔ノ放射熱ニ暴露シ又ハ高熱瓦斯ノ衝撃ヲ受ケ且使用中内部ニ蒸汽ノミヲ有スル管寄ノ厚サハ前二項ニ依リ算定シタルモノノ一・一三五倍ヨリ小ナルコトヲ得ズ

管寄ノ覗孔附ハ鎏ヲ有效ニ取附ケ得ル樣機械仕上ト爲スベシ此ノ場合該部分ノ厚サハ第一項ノ算式ニ依リ算定シタルモノヨリ二・五粍ヲ減ズルコトヲ得但シ八粍未滿ト爲スコトヲ得

覗孔ノ蓋ハ堅牢ナル構造ト爲シ取外及取附作業ヲ繰返スモ安全ヲ害スル虞ナキコトヲ要シ蓋ヲ螺釘ニ依リ取附ケル構造ト爲スト雖取附螺釘ノ折損シタル場合ニ於テモ危險ナキモノト爲スベシ

第四節　汽罐附屬品

第七十七條　汽罐ニ接續スル管ニハ罐板ト接合スル部分ニ於テ接近シ易キ箇所ニ弁又ハ「コック」ヲ備フベシ

第七十八條　汽罐ニハ徑四〇粍以上ノ發條式安全弁二箇以上ヲ備ヘ汽罐ノ制限汽壓毎平方糎二〇粍以下ノモノニ在リテハ其ノ合計面積ヲ左ノ算式ニ依リ算定シタル面積ヨリ小ナラザルモノトス但シ安全弁ハ左ノ算式ニ依リ算定シタル面積ガ一九・五平方糎未滿ナルトキハ徑五〇粍以上ノモノ一箇、一二・五平方糎未滿ナルトキハ徑四〇粍以上ノモノ二箇ヲ超ユル場合ニ之ヲ減ズルコトヲ得

$$A=\frac{H}{P+1}$$

A　ハ安全弁ノ合計面積（平方糎ニテ）
H　ハ汽罐ノ受熱面積（平方米ニテ）ニシテ一面ガ火焔又ハ燃燒瓦斯ニ暴露シ反對ノ面ガ水ニ接觸スル部分ノ火焔又ハ燃燒瓦斯ニ暴露スル面ノ面積ト爲シ但シ筒形汽罐又ハ直立汽罐ニ在リテハ前管板ハ之ヲ除外シ且焔管ハ外徑ヲ基トシテ算定シ水管汽罐ニ在リテハ汽胴及水胴ハ之ヲ除外スルモノトス
P　ハ汽罐ノ制限汽壓（毎平方糎瓲ニテ）
K　ハ定數ニシテ左表ニ依ル

筒形汽罐又ハ直立汽罐	機關室密閉式强壓通風ヲ使用セズシテ石炭ノミヲ手焚スルモノ	六・一
	其ノ他ノモノ	七・三
水管汽罐	自然通風ニ依リ石炭ノミヲ手焚スルモノ	五・三
	其ノ他ノモノ	六・一

第八十條　安全弁ハ汽罐ノ制限汽壓ノ一・〇三倍以下ノ壓力ニ於テ自然ニ噴汽スル樣調整スベシ

安全弁ハ瀉汽弁ヲ閉ヂ充分ニ焚火シ水管汽罐ニ在リテハ數分間、其ノ他ノ汽罐ニ在リテハ一五分間以上噴汽セシムルモ汽壓ノ昇騰尙汽罐ノ制限汽壓ノ十分ノ一ヲ超エザルモノナルコトヲ要ス此ノ場合ニ於テハ汽罐ニ適當ナル水準ヲ維持セシムルニ必要ナル程度ヲ超ユル給水ヲ爲スコトヲ得ズ

第八十一條　蒸汽過熱器ヲ汽罐トノ連絡ノ關ノ得ル樣裝置ヲ設クベシ

廢汽ヲ利用スル過熱器ニ在リテハ廢汽ノ流通ヲ遮斷シ得ル樣裝置ヲ設クベシ

第八十二條　汽罐ニハ左表ニ依リ罐内ノ水準面ヲ容易ニ知リ得ベキ裝置ヲ互ニ近接セザル位置ニ備ヘ且筒形汽罐及直立汽罐ニハ燃燒室頂部ノ高サヲ適當ニ標示スベシ

汽罐ノ種類	裝置ノ種類及數	摘要
直立汽罐	硝子示面計一箇及驗面「コック」二組	
筒形片面汽罐	硝子示面計二箇	徑五粍未滿ノ汽罐ニ在リテハ中一箇ヲ驗面「コック」二組ヲ以テ代用スルコトヲ得
筒形兩面汽罐	硝子示面計二箇及驗面「コック」二組	硝子示面計及驗面「コック」ハ夫々汽罐ノ各面ニ於テ他面ニ於ケル「コック」ト反對ノ位置ニ取附クベシ
水管汽罐	硝子示面計二箇	長サ四粍ヲ超ユル胴ヲ縦ニ對シ横ニ配置シタル場合ニ於テハ胴ノ兩端ニ近ク取附クベシ

第百九十八條　船舶ニ關スル登記ニ付テハ本章ノ規定ニ依ル

第百九十九條　船舶ハ之ヲ船籍港ニ於テ登記ス

船籍港ハ船舶所有者ノ住所ニ依リ之ヲ定ム

船舶所有者カ二箇以上ノ船籍港ヲ定メタルトキハ其ノ船舶ニ關シテハ最初ニ定メタル船籍港ヲ以テ船籍港トス

第二百條　船舶ハ左ノ事項ヲ登記ス

一　船舶ノ名稱

二　船舶ノ種類

三　船舶ノ總噸數

四　船舶ノ建造ヲ終リタル年月

五　船舶ノ建造ヲ終リタル場所

六　船舶ノ構造ノ種別

七　船舶ノ主タル推進機關ノ種別及其ノ數

八　船舶ノ主タル船體ノ材料

九　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

十　船舶所有者カ數人ノ共有者ナルトキハ各共有者ノ持分ノ割合

第二百一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ申請ニ依リ之ヲ爲ス

船舶ノ國籍ノ得喪ニ關スル登記ハ官ニ於テ之ヲ爲ス

第二百二條　船舶ノ登記ハ船舶ノ建造ヲ終リタル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三條　船舶ノ登記ハ船舶ノ國籍ヲ得タル後ニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四條　船舶ノ登記ハ船舶ノ種類ニ變更ヲ生シタルトキ又ハ船舶ノ構造ノ種別ニ變更ヲ生シタルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

第二百五條　船舶ノ登記ハ船舶ノ滅失シタルトキ又ハ船舶ノ國籍ヲ喪失シタルトキニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

第二百六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者カ數人ノ共有者ナルトキハ持分ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百二十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百三十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百四十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百五十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百六十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百七十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百八十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第二百九十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百二十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百三十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百四十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百五十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百六十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百七十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百八十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第三百九十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百二十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十五條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十六條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十七條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十八條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百三十九條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百四十條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百四十一條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百四十二條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ氏名又ハ名稱ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百四十三條　船舶ノ登記ハ船舶所有者ノ住所ノ變更ニ因リテハ之ヲ爲スコトヲ得ス

第四百四十四條　船舶ノ登記ハ船舶所有

四九四

三　二衝程複筒式ナルトキ

気筒数	クランクノ配置	甲種機関又ハ乙種機関 A	甲種機関又ハ乙種機関 B	丙種機関 A	丙種機関 B
一		一〇・八六	一・〇七	九・三三	一・一七
二		一〇・八六	一・〇七	九・三三	一・一七
三		一〇・八六	一・〇七	九・三三	一・一七
四		一一・五二	一・一五	一〇・〇五	一・一七
五		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
六		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
七		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
八		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
九		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
一〇		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
一一		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
一二		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七

四　四衝程複筒式ナルトキ

気筒数	クランクノ配置	甲種機関又ハ乙種機関 A	甲種機関又ハ乙種機関 B	丙種機関 A	丙種機関 B
一		一〇・八六	一・〇七	九・三三	一・一七
二		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
三		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
四		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
五		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
六		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
七		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
八		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
九		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
一〇		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
一一		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七
一二		一一・八六	一・一五	一〇・〇五	一・一七

二　四衝程単筒式ナルトキ

気筒数	クランクノ配置	K	Z	C 甲種機関又ハ乙種機関	C 丙種機関
一		三一・八	〇・八〇	〇・〇九七	〇・〇九三

一　二衝程単筒式ナルトキ

気筒数	クランクノ配置	K	Z	C 甲種機関又ハ乙種機関	C 丙種機関
一		三六・三	〇・五三七	〇・一一六	〇・一一〇
二		一六・八	〇・三三六	〇・一一六	〇・一三九
三		八・四	〇・二〇〇	〇・一六八	〇・一六〇
四		四・五	〇・一〇六	〇・一八四	〇・一七五
		三六・三	〇・三三六		
五		二・九	〇・〇五九	〇・一八八	〇・一八〇
六		二・〇	〇・〇四二	〇・二一一〇	〇・二〇〇
		一・八	〇・〇三八		
		一・二	〇・〇二五		
七		一・五	〇・〇三七	〇・二三三	〇・二二一
八		〇・九	〇・〇二九	〇・二三三	〇・二二〇
		九・二	〇・一〇六		
九		〇・七	〇・〇二三	〇・二三三	〇・二二九
一〇		〇・四	〇・〇〇八	〇・二三三	〇・二二九
		〇・五	〇・〇一二		
一一		〇・六	〇・〇一四	〇・二三三	〇・二二九
一二		〇・一	〇・〇〇四	〇・二三三	〇・二二九
		三・五	〇・〇七四		

備考　米印ヲ附シタル気筒ノ点火ハ同時ニ点火スルモノトス

第十四節　「ディーゼル」式機関ノ「クランク」軸及ハ「クランク」軸ノ設計

第百四十九条　「ディーゼル」式機関ノ「クランク」軸及ハ「クランク」軸ノ設計ニ関シテハ左ノ規定ニ依ルヘシ

$$d=\sqrt[3]{(1+M)\,D^2Sp}$$

d　ハ中間軸ノ径（糎ニテ）

D　ハ気筒ノ径（糎ニテ）

S　ハ行程（糎ニテ）

p　ハ均有效圧力（毎平方糎ニ瓦ニテ）

M　ハ左表ニ掲ケタル値トス

気筒数	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
M	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇

$$b_t^3=0.417d_c^3$$

$$\left.\begin{matrix}a=0.438d_c\\ t=0.625b_c\end{matrix}\right\}$$

b_t　ハ「クランク」軸ノ「クランク」腕ノ厚サ（糎ニテ）

a　ハ「クランク」軸ノ「クランク」腕ノ幅（糎ニテ）

t　ハ「クランク」軸ノ「クランク」腕ノ孔ノ中心間ノ距離（糎ニテ）

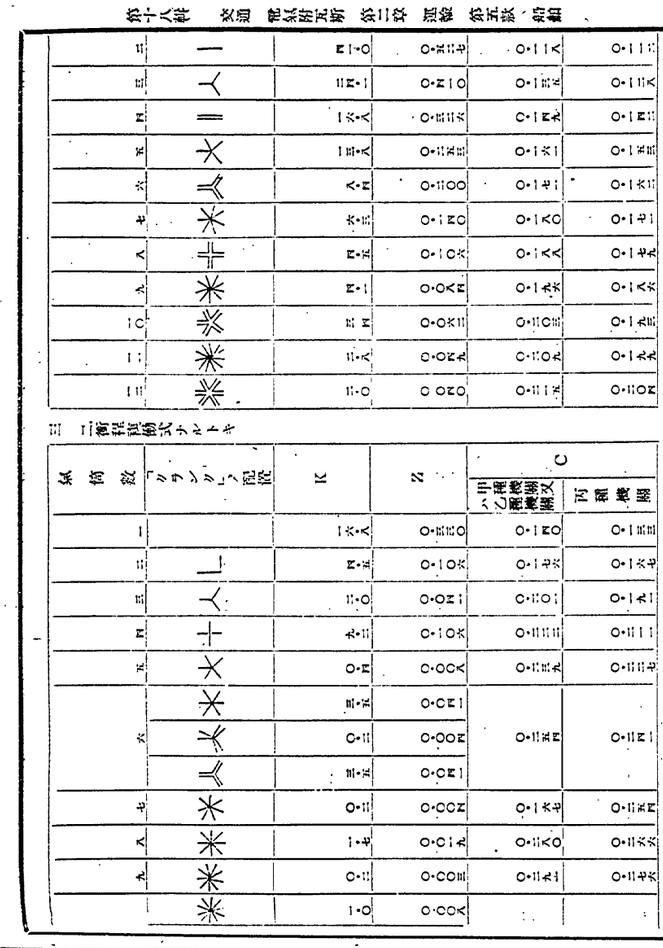
W　ハ「クランク」軸ノ「クランク」腕ノ孔ノ中心ニ於ケル「クランク」軸ノ径（糎ニテ）

d_0　ハ前條ノ規定ニ依リ算定シタル「クランク」軸ノ径（糎ニテ）

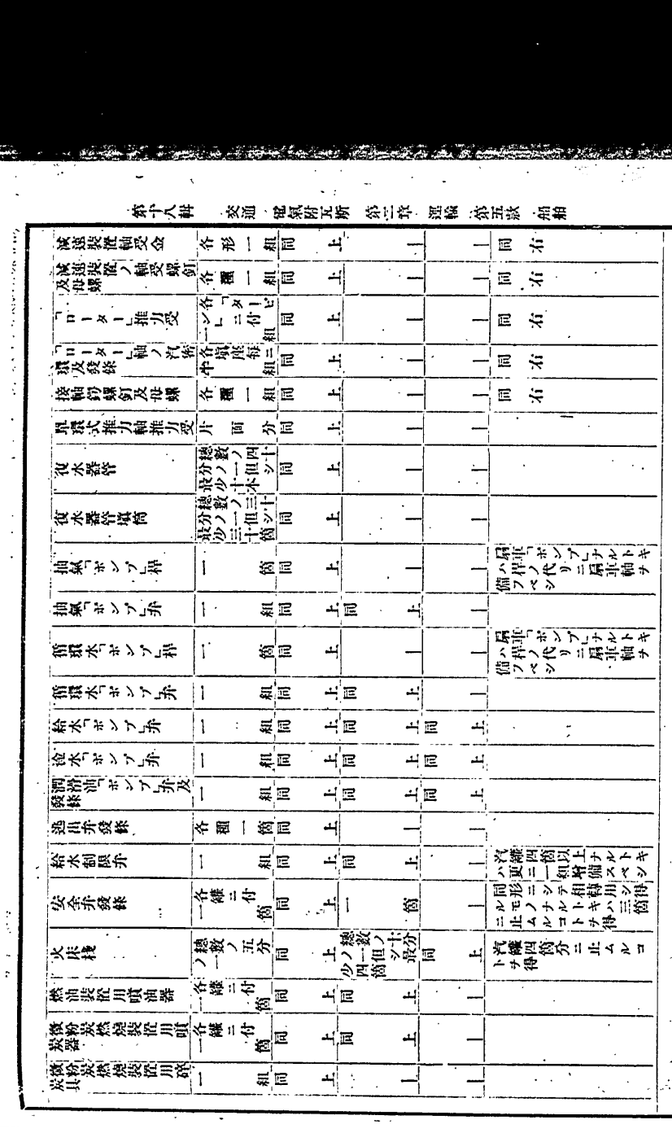
組立型「クランク」軸ノ「クランク」腕ノ厚サ及ハ「クランク」軸ノ径ハ鍛造型「クランク」軸ノ径ニ準シ之ヲ減スルコトヲ得

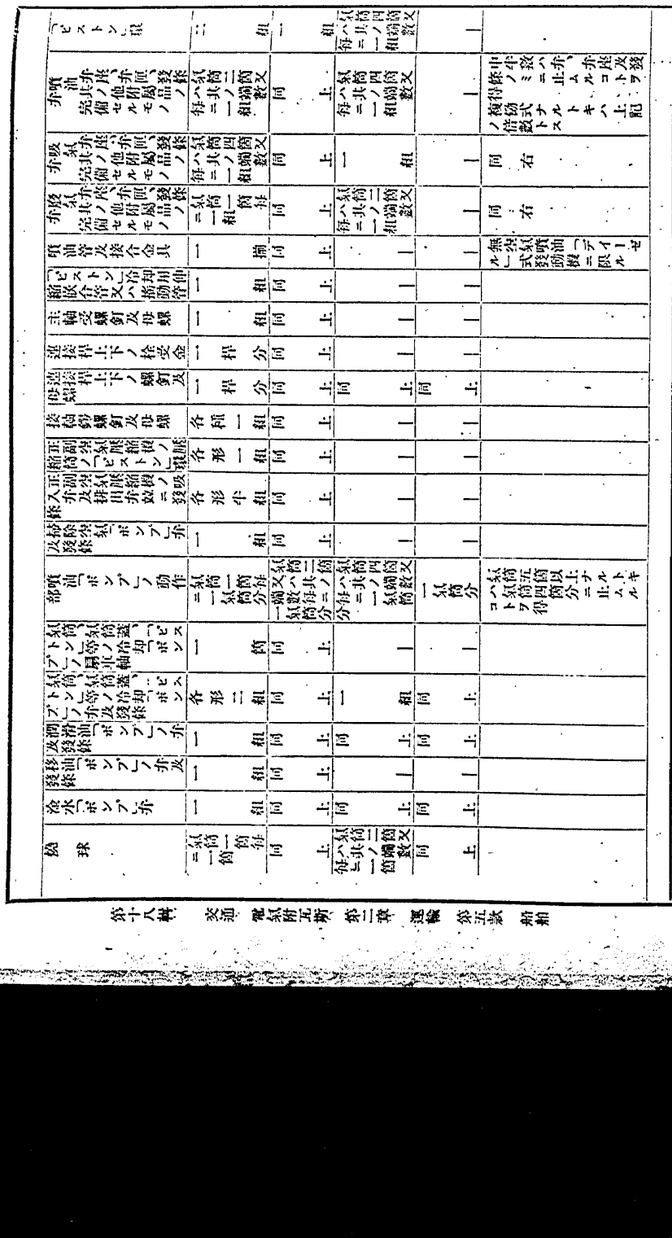
第百五十条　「ディーゼル」式機関ノ「クランク」軸及ハ「クランク」軸ノ設計ニ関シテハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ラサルトキハ「クランク」軸及ハ「クランク」軸ノ中間軸ニ接スル部分ノ径ハ適宜ニ之ヲ減スルコトヲ得



名稱	航行區域	運轉區域	近海區域	沿岸區域	不水區域	湖川	要塞
「ヒメユヅ」型	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上
「ウヅキ」型	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上
「ヒノデ」型	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上	各一組同上
「ヒエイ





佛蘭西國ニ航行スル日本船舶ノ檢査ニ關スル件左ノ通定ム

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一條　佛蘭西國（其ノ殖民地及管治地域ヲ含ム）ニ航行セントスル日本船舶カ別種檢査證書ノ交付ヲ受ケムトスルトキハ船舶所有者、船舶管理人、船舶借入人又ハ船長ヨリ附錄書式甲ニ依リ管海官廳ニ別種定期檢査ヲ申請スヘシ

前項ノ申請書ニハ船舶檢査手帖ヲ添附スヘシ

別種檢査證書ヲ受有スル船舶ハ其ノ證書ノ有效期間內ト雖縱上ケ別種定期檢査ヲ申請スルコトヲ得

第二條　前條ノ申請アリタルトキハ管海官廳ハ檢査官吏ヲシテ當該船舶ヲ檢査セシメ第三條及第四條ノ規定ニ適合スト認メタルトキハ附錄書式乙ノ別種檢査證書ヲ交付ス

別種檢査證書ハ船舶ノ航行期間滿了ノ日ヲ以テ其ノ有效期限トス但シ當該船舶カ船舶檢査法施行細則ノ規定ニ依リ回航認可證書ヲ受有スル場合ニ於テハ該證書ノ有效期間內伪之ヲ有效トス

第三條　旅客船ノ噸數及救命設備ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルコトヲ要ス

一　船舶檢査規程第四號裝中當該船舶ノ總噸數ニ對シ定ムル所ヨリ一段下級ノ總噸數ニ對シ定ムル所ニ從ヒ端艇鈎ヲ有スル端艇ヲ備フルコトヲ要ス

二　端艇鈎ヲ有スル端艇ノ數及容積カ第一號ニ依リ備フヘキ端艇ノ數及容積ニ足ラサルモ現ニ之ヲ備フル船舶ノ旅客定員及船員ノ總員數ヲ一人ノ容積〇・二八三立方（メートル）（一〇立方呎）ノ割合ヲ以テ搭載シ得ルトキハ此ノ限ニ在ラス

三　第一號ニ依リ備フヘキ端艇鈎ヲ有スル端艇カ現ニ之ヲ備フル船舶ノ旅客定員及船員ノ總員數ヲ一人ノ容積〇・二八三立方（メートル）（一〇立方呎）ノ割合ヲ以テ搭載シ得ルトキハ前二號ノ規定ニ拘ラス檢査官ノ交付、書換又ハ再交付ノ申請人ハ申請ノ際證書一通ニ付四圓ノ手數料ヲ納付スヘシ

第十四條　前二條ノ手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ手數料納付書ニ貼附シテ之ヲ納付スヘシ

手數料納付書ニ貼附シタル收入印紙ハ管海官廳ニ於テ消印ヲ爲スヘキモノトス但シ納付者ニ於テ自己ノ便宜上消印ヲ爲スヲ妨ケス

第十五條　本令ノ規定ニ依ル手數料ハ官廳又ハ公共團體ニ對シテハ之ヲ課セス

第四條　大正十五年一月二十九日以後ニ龍骨ヲ據附クル船舶ノ旅客室、船員室、病室等ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルコトヲ要ス

一　一等及二等ノ旅客室ハ旅客一人ニ付三・五立方（メートル）（一二三・六立方呎）以上ノ容積ヲ要シ且ノ甲板ノ算定ニ付テハ寢床其ノ他附屬品ノ占ムル容積ヲ控除スルコトヲ要セス

二　三等旅客室ハ滿載吃水線ノ直下ノ甲板ヨリ下方ニ設クルコトヲ得

三　港間ノ直航時間カ通常四十八時間ヲ超ユル航海ヲ爲ス船舶ニ於テハ三等旅客室ハ旅客一人ニ付上甲板以上及上甲板直下ノ甲板間ニ在リテハ二・七五立方（メートル）（九七・一立方呎）以上、其ノ他ノ甲板間ニ在リテハ三立方（メートル）（一〇六立方呎）以上ノ容積ヲ要ス

四　三等旅客室ハ旅客一人ニ付長一・八三（メートル）（六呎）幅五六センチメートル（一・八三呎）以上ノ寢臺一箇ヲ備フヘシ

船員常用室ハ便所ヲ除キ船員一人ニ付三・五立方（メートル）（一二三・六立方呎）以上ノ容積及一・五平方（メートル）（一六・一平方呎）以上ノ甲板面積ヲ要シ船員寢室ハ船員一人ニ付二・一五立方（メートル）（七五・九立方呎）以上ノ容積及一・一五平方（メートル）（一二・四立方呎）以上ノ甲板面積ヲ要シ船員寢室ニハ各人專用ノ寢臺ヲ備フヘシ

第三號ニ掲クル船舶ニシテ船員ヲ合シ百人ヲ超ユル人員ヲ搭載スルモノニハ病室ヲ上甲板以上又ハ上甲板直下ノ甲板間ニ於テ成ヘク旅客室及船員室ヨリ隔離シタル箇所ニ設ケ搭載人員二百人迄ハ四十人毎ニ一箇ノ病室用寢臺ヲ備ヘ二百人ヲ超ユルトキハ超過人員六十人毎ニ病室用寢臺一箇ヲ增備スヘシ

病室附屬トシテ診察室ニ兼用シ得ヘキ藥局、浴室、便所及前號ノ病室用寢臺數ノ四分ノ一ヲ備フル隔離病室ヲ設クヘシ

病室ハ收容人員一人ニ付四立方（メートル）（一四一・三立方呎）以上ノ容積ヲ要ス

病室ニハ規定數ノ二分ノ一以上ノ寢臺ヲ常備スヘシ

病室用寢臺ハ金屬製ニシテ長一・八三（メートル）（六呎）以上、幅六〇センチメートル（二呎）以上ノモノトシ之ヲ據附クルニハ其ノ兩側ニ幅一（メートル三・二八呎）以上ノ通路ヲ存スヘシ又病室用寢臺ハ上下ニ組ネテ據附クルコトヲ得ス

第五條　別種檢査證書ヲ受有スル船舶カ其ノ證書ノ有效期間內ニ於テ非旅客船ヨリ旅客船ニ變更シタルトキ又ハ旅客船ノ端艇及救命設備若ハ大正十五年一月二十九日以後龍骨ヲ據附ケタル船舶ノ旅客室、船員室、病室又ハ衞生設備ニ變更ヲ生シタルトキハ第一條ニ掲クル者ハ遲滯ナク附錄書式丙ニ依リ管海官廳ニ別種臨時檢査ヲ申請スヘシ

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ現ニ受有スル別種檢査證書及船舶檢査手帖ヲ添附スヘシ

第六條　前條ノ申請アリタルトキハ管海官廳ハ檢査官吏ヲシテ當該船舶ヲ檢査セシメ本令ノ規定ニ適合セスト認ムルトキハ別種檢査證書ヲ無效トシ之ヲ廢棄ス又船舶カ非旅客船ヨリ旅客船ニ變更シタル場合ニ於テ本令ノ規定ニ適合スト認ムルトキハ別種檢査證書ヲ書換交付ス

第七條　第五條ニ掲クル場合ヲ除クノ外別種檢査證書ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ第一條ニ掲クル者ハ遲滯ナク新書事項ヲ具シ最寄管海官廳ニ其ノ書換ヲ申請スヘシ

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ船舶檢査手帖ヲ添附スヘシ

第八條　第一條ニ掲クル者別種檢査證書ノ滅失又ハ毀損ニ因リ其ノ再交付ヲ受ケムトスルトキハ事由ヲ具シ別種檢査證書ノ交付ヲ受ケタル管海官廳ニ之ヲ申請スヘシ

第一條ニ掲クル者別種檢査證書カ滅失シタル場合ニ於テ其ノ再交付ヲ申請セサルトキハ其ノ滅失ノ旨ヲ最寄管海官廳ニ屆出ツヘシ

第九條　別種檢査證書カ無效又ハ不用トナリタルトキハ遲滯ナク最寄管海官廳ニ之ヲ返還スヘシ

第十條　大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ據附ケタル船舶ニ在リテハ第一條ニ掲クル者ヨリ最寄管海官廳ニ申請シ其ノ事實ノ證明ヲ受クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル申請書ニハ船舶檢査手帖ヲ添附スヘシ

第一項ノ規定ニ依ル證明書ハ附錄書式丁ニ依ル

第十一條　管海官廳ハ別種檢査證書又ハ前條ノ證明書ノ交付ヲ受ケムトスル船舶ノ龍骨ヲ據附日ヲ認定スルニ當リ申請人ヲシテ必要ナル證憑ヲ提示セシムルコトアルヘシ

第十二條　本令ニ依ル檢査ノ申請人ハ申請ノ際別種定期檢査ニ在リテハ二十箇、別種臨時檢査ニ在リテハ十箇ノ檢査手數料ヲ管海官廳ニ納付スヘシ

檢査手數料ハ申請人ノ都合ニ依リ申請ヲ取下ケタル場合ト雖之ヲ返還セス

第十三條　別種檢査證書又ハ第十條ノ證明書ノ交付、書換又ハ再交付ノ申請人ハ申請ノ際證書一通ニ付四圓ノ手數料ヲ納付スヘシ

第十四條　前二條ノ手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ手數料納付書ニ貼附シテ之ヲ納付スヘシ

手數料納付書ニ貼附シタル收入印紙ハ管海官廳ニ於テ消印ヲ爲スヘキモノトス但シ納付者ニ於テ自己ノ便宜上消印ヲ爲スヲ妨ケス

第十五條　本令ノ規定ニ依ル手數料ハ官廳又ハ公共團體ニ對シテハ之ヲ課セス

附錄

書式甲

別種定期檢査申請書

汽（帆）船何丸

右大正十四年㈪㈫遞信省令第八十六號ニ依リ　年　月　日某所ニ於テ檢査ノ上別種檢査證書又ハ第十條ノ證明書ノ交付ヲ受ケタキ旨申請候也

年　月　日

住所

船舶所有者（船舶管理人、船舶借入人又ハ船長）

何　某　印

管海官廳宛

書式乙

（竪二七（センチメートル）横二七（センチメートル））（裏面ニ佛譯ヲ記載ス）

第　號

船舶番號		船舶	所有者
			旅客船非旅客船ノ別
			船名
有效期限	年　月　日	龍骨據附日	大正十五年一月二十九日（前又ハ以後）

右大正十四年㈪㈫遞信省令第八十六號ニ依リ檢査ヲ遂ケ同令ノ規定ニ適合スル

書式丙

別種臨時檢査申請書

汽（帆）船何丸

右大正十四年㈪㈫遞信省令第八十六號ニ依リ　年　月　日某所ニ於テ檢査相成度此段申請候也

年　月　日

住所

船舶所有者（船舶管理人、船舶借入人又ハ船長）

何　某　印

管海官廳宛

書式丁

（竪二七（センチメートル）横一八（センチメートル））（裏面ニ佛譯ヲ記載ス）

第　號

船舶番號		船名	
龍骨據附日	大正十五年一月二十九日前ニ龍骨ヲ據附ケタルモノナルコトヲ證明ス		

年　月　日

管海官廳名　㊞

●佛蘭西國船舶ノ檢査ニ關スル件

大正十五年一月

總令第八號

佛國西國船舶ノ檢査ニ關シテハ大正十四年遞信省令第八十七號ニ依ル但シ同令中日本トアルハ朝鮮、遞信大臣トアルハ朝鮮總督トス

附　則

本令ハ大正十五年一月二十九日ヨリ之ヲ施行ス

佛國西國船舶ノ檢査ニ關スル件左ノ通定ム

船舶

造船規程
第一款　船體
第一節　船體ノ構造
第一條　船體ノ構造ハ凡テ堅牢ニシテ且ツ船ノ用途ニ適スルモノタルヲ要ス
第二條　船體ノ構造ニ關シテハ本規程ニ規定スルモノノ外日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十一條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十二條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第十九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十一條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十二條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第二十九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十一條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十二條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第三十九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十一條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十二條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第四十九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十一條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十二條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第五十九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十一條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十二條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第六十九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十一條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十二條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第七十九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十一條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十二條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第八十九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十一條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十二條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十三條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十四條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十五條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十六條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十七條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十八條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第九十九條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス
第百條　船體ノ構造ニ關シ本規程ニ規定セサル事項ニ付テハ日本海事協會ノ規定ニ準據スルモノトス

又ハ之ト同一ノ效力ヲ有スル單山形材ヲ以テ外板ニ固著スヘシ但シ單山形材ヲ用ウルトキハ之ヲ二列釘固著ト爲スコトヲ要ス

第七十四條　特設肋骨間側板ノ內緣ニ附スル山形材ハ特設肋骨每ニ第五號表ニ揭クル覆板ヲ以テ之ヲ接續スヘシ

第七十五條　特設肋骨ノ上端ニ取附クル甲板梁ノ肘板ノ幅及深ハ特設肋骨ノ幅ニ等シク其ノ各枝ハ二列釘固著ト爲スヘシ但シ肘板ノ幅ハ特設肋骨ノ內緣ヨリ又其ノ深ハ梁ノ下端ヨリ測リタルモノトス

前項ノ肘板ハ其ノ內緣ヲ曲緣ト爲スヘシ

第七十六條　特設肋骨間側板ハ其ノ幅十六吋ヲ超エ十八吋以下ナルトキハ特設肋骨間ノ中央ニ於テ、幅十八吋ヲ超ユルトキハ肋骨一本置ニ間側板ニ等シキ厚ヲ有スル肘板ヲ以テ之ヲ支フヘシ

第七十七條　特設肋骨ノ上部ニ於ケル甲板間ノ肋骨ハ中間肋骨ト同一强力ト爲スヘシ

第七十八條　特設肋骨ヲ有スル一層甲板船ノ副肋材ハ上甲板ノ梁上側板迄達セシムヘシ

第七十九條　特設肋骨ヲ有シ二層以上ノ梁ヲ備フル重構船ニ於テ層梁間ノ高八呎ヲ超エサルトキハ副肋材ハ一本置ニ上甲板迄下第二層梁ノ梁上側板迄ト二重底ノ特設肋骨間側板間ノ距離及最下間側板ト中心線ニ於ケル普通肋板ノ上面又ハ二重底ノ縫板ノ上面トノ距離ハ船ノ各部ニ於テ八呎ヲ超ユヘカラス

第八十條　層梁ノ高八呎ヲ超ユル船舶、二層以上ノ梁ヲ有スル輕構船、全通船樓船、遮浪甲板船及長キ船樓、低船首樓又ハ低船尾樓ヲ有スル船舶ノ層梁間ノ肋骨ノ寸法及副肋材ヲ迸セシムヘキ高ハ檢查官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第八章　內龍骨

第八十一條　內龍骨ヲ構造スル各材ノ寸法ハ第六號表ニ依ルヘシ

內龍骨ハ船ノ首尾ニ縱通セシムヘシ

第八十二條　內龍骨ノ下部ハ副肋材及肋板ノ他面ニ三箇以上ノ鉸釘ヲ以テ取附ケタル短山形材ヲ以テ外板ニ固著スヘシ但シ船首船底ノ形狀殊ニ尖ナル場合ニ於テハ副肋材ヲ內龍骨ノ下部ニ於テ衝接スル場合ニ於テハ副肋材ノ衝接用短山形材ハ其ノ取附ケ本數ヲ減スルコトヲ得

第八十三條　肋板上ニ竪板、四箇ノ山形材及冠板ヲ以テ構造スル內龍骨ノ上端ニ附スル山形材ハ其ノ廣邊ヲ水平ニ竪ヒ且中央部ニテ船ノ長ノ四分ノ三間ハ其ノ上面ニ厚ハ竪板ノ厚ニ等シク幅ハ山形材ノ上邊ノ和ヨリ一吋多キ冠板ヲ取附クヘシ

第八十四條　肋板上ニ設クル中心線內龍骨ハ二箇以上ノ鉸釘ヲ以テ幅肋材又ハ肋骨ニ取附ケタル短山形材ニ固著シ隔壁ニ於テハ之ヲ止メ船側ニ於テ肋骨ノ心距ノ二倍、隔壁ニ於テ肋骨ノ心距ニ等シキ枝幅ヲ有シ厚ハ斷切板ノ厚ニ〇・〇六吋ヲ加ヘタル肘板及單山形材ヲ以テ隔壁ニ固著スヘシ

第八十六條　各縱通材ノ接合ハ適當ニ避距シ山形材ノ衝接ニハ厚ハ山形材ノ厚ニ等シク長ハ二吋以上ノ覆山形材又ハ覆板ヲ取附クヘシ又斷切板ハ成ルヘク長材ヲ使用シ其ノ衝接ニハ覆板ヲ取附クヘシ

第八十七條　船側縱通材ノ山形材ハ肋骨ニ取附ケタル短山形材ニ固著シ隔壁ニ於テハ之ヲ止メ船側ニ於テ肋骨ノ心距ノ二倍、隔壁ニ於テ肋骨ノ心距ニ等シキ枝幅ヲ有シ厚ハ斷切板ノ厚ニ〇・〇六吋ヲ加ヘタル肘板及單山形材ヲ以テ隔壁ニ固著スヘシ

第八十八條　幅二十七吋以下ノ船舶ニ在リテハ一箇ノ製內龍骨ヲ設クヘシ

第八十九條　冠板ヲ以テ構造スル內龍骨ノ上端ニ附スル山形材ハ其ノ廣邊ヲ水平ニ竪ヒ且中央部ニテ船ノ長ノ四分ノ三間ハ其ノ上面ニ厚ハ竪板ノ厚ニ等シク幅ハ山形材ノ上邊ノ和ヨリ一吋多キ冠板ヲ取附クヘシ

第九十條　內龍骨ノ上端ニ取附クル中心線ニ近キ製內龍骨ノ竪板ハ中央部ニテ船ノ長ノ四分ノ三間ノ前後ニ於テ、中心線ニ遠キ製內龍骨ノ竪板ハ中央部ニテ船ノ長ノ五分ノ三間ノ前後ニ於テ漸次其ノ深ヲ減シテ竪板ノ下端ニ附スル山形材ノ竪邊ノ幅ニ等シクスヘシ又冠板ハ之ヲ延長スルコトヲ要セス

第九十一條　內龍骨ノ上部ニ於ケル甲板間ノ肋骨ハ中間肋骨ト同一强力ト爲スヘシ

第九十二條　船側縱通材

第九章　船側縱通材

第九十三條　船側縱通材ハ船內ノ深七呎ヲ超エ十四呎以下ナルトキハ一箇、船內ノ深十四呎ヲ超エ二十一呎以下ナルトキハ二箇、船內ノ深二十一呎ヲ超エ二十七呎以下ナルトキハ三箇ヲ設クヘシ

船ノ首尾ニ於ケル船側縱通材間ノ距離ハ船ノ中央部ニ於ケルモノヨリ大ナルヘカラス

第九十四條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキ又ハ第三號乙表ニ揭クル肋骨ノ深四吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第九十五條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキ又ハ第三號乙表ニ揭クル肋骨ノ深四吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第九十六條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第九十七條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第九十八條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第九十九條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百一條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百七條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百八條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百九條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十一條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十二條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十三條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十四條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十五條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十六條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十七條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十八條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百十九條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十一條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十二條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十三條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十四條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十五條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十六條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十七條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十八條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百二十九條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十一條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十二條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十三條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十四條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十五條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十六條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十七條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十八條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百三十九條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十一條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十二條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十三條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十四條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十五條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十六條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十七條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十八條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百四十九條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十一條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十二條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十三條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十四條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十五條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十六條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十七條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十八條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百五十九條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六十條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六十一條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六十二條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六十三條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六十四條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六十五條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六十六條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六十七條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百六十八條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

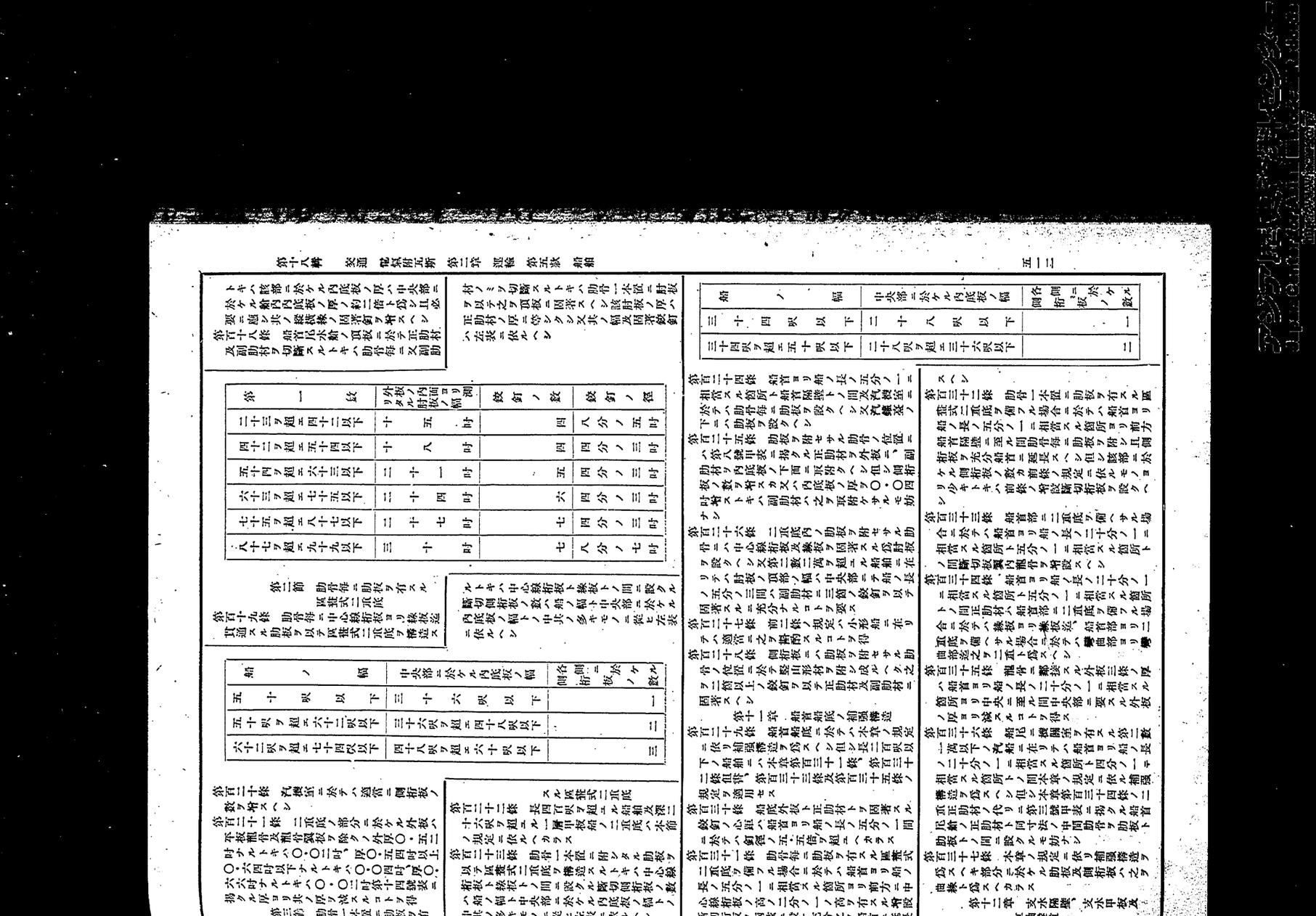
第百六十九條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百七十條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百七十一條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百七十二條　船側縱通材ハ第七號表ニ揭クル山形材ヲ肋骨ノ內面ニ取附ケ第三號甲表ニ揭クル肋骨ノ深三吋ヲ超ユルトキハ斷切板ヲ附シ山形材ヲ以テ外板ニ固著シ其ノ厚ハ斷切板ノ厚ニ等シキ鉸釘ヲ以テ之ヲ接合スヘシ

第百七十三條　船側



梁ニシテ其ノ兩端ニ肘板ヲ附スルモノハ第九號乙表ニ掲クル防撓材ト同一寸法ノ梁ヲ心距三十吋ニ設ケタルトキト同一效力ト爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ第九號乙表及丙表ニ掲クル防撓材ノ寸法ヲ定ムルニハ梁ノ支點間ノ最大距離ヲ該裝ノ防撓材ノ長ニ充テ又支水甲板ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ヨリ梁ノ支點間ノ最大距離ノ二分ノ一ヲ減シタルモノ（水線面積ノ支點間ノ最大距離ニ對スル高サノ二倍ヲ超エ二倍ヲ超エサルトキハ其ノ高サノ二倍ヲ該表ノ防撓材ノ上端ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ニ充ツヘシ

支水甲板ノ厚ハ該甲板ヨリ支水隔壁ノ上端ニ至ル高（水線面積ノ支點間ノ最大距離ニ對スル高サノ二倍ヲ超エサルトキハ其ノ高サノ二倍ヲ該表ノ防撓材ノ心距三十吋ナルトキノ隔壁ノ上端ヨリ隔壁板ノ下緣ニ至ル深ニ充テ該表ニ依リ定メタル隔壁板ノ厚ヨリ〇・〇四吋增ス可シ又梁ノ心距三十吋ヨリ異ナルトキハ適當ニ其ノ厚ヲ增減スヘシ

前三項ノ規定ニ拘ラス支水甲板梁及支水甲板ノ寸法ハ本編第十三章及第二十章ニ依ル

梁及鋼甲板ノ寸法ヨリ小ナルヘカラス

支水甲板梁ニ取附クヘキ梁柱ノ上下兩端ハ固著針ハ水壓力ニ耐フルニ充分ナル强力ヲ有スルコトヲ要ス

第百五十五條　區畫式二重底ニハ規定ノ支水隔壁ノ直下又ハ其ノ附近ニ水密肋板ヲ設クヘシ

船内支水隔壁ニ設ケル支水戸ハ滿載吃水線以上ノ甲板ヨリ之ヲ容易ニ開閉シ得ヘキ裝置ト爲シ且石炭庫ニ面スルモノハ成ルヘク之ニ直接石炭ヲ觸レシメサル裝置ト爲スヘシ

第百五十六條　經過支水隔壁ノ構造及寸法ハ同高ノ橫置支水隔壁ノ構造及寸法ニ準スヘシ

第百五十七條　車軸隧道板ノ厚ハ圖平ナル側部ニ於テハ第九號甲表ニ掲クル防撓材ノ心距三十六吋ナルトキノ隔壁板ノ厚ニ等シク又シ倒形ナル頂部ニ於テハ同表ニ掲クル防撓材ノ心距三十六吋ナルトキノ隔壁板ノ厚ニ等シク長ノ十分ノ一ニ相當スル箇所迄ノ上甲板梁

七　鋼甲板ヲ要スル甲板ニ於ケル艙口及其ノ他ノ甲板口ノ兩側ニ於テ木甲板ヲ張ラサル鋼甲板ニ附スル梁

八　肋骨ノ心距二十七吋ヲ超ユル部分ノ甲板梁

前項各號ニ該當セサル場合ト雖甲板梁ノ心距ハ肋骨ノ心距ノ二倍ヲ超ユヘカラス

第百七十二條　機關室ニ於ケル特設梁ハ板ノ厚サ又ハ厚二吋以上ノ木板ヲ以テ之ヲ覆フヘシ

第百五十八條　車軸隧道ニハ第九號戊表ニ掲クル防撓材ト同一寸法ノ梁ヲ心距三十吋ニ設ケタルトキト同一效力ト爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ第九號乙表及丙表ニ掲クル防撓材ノ寸法ヲ定ムルニハ梁ノ支點間ノ最大距離ヲ該裝ノ防撓材ノ長ニ充テ又支水甲板ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ヨリ梁ノ支點間ノ最大距離ノ二分ノ一ヲ減シタルモノ（水線面積ノ支點間ノ最大距離ニ對スル高サノ二倍ヲ超エ二倍ヲ超エサルトキハ其ノ高サノ二倍ヲ該表ノ防撓材ノ上端ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ニ充ツヘシ

支水甲板ノ厚ハ該甲板ヨリ支水隔壁ノ上端ニ至ル高（水線面積ノ支點間ノ最大距離ニ對スル高サノ二倍ヲ超エ二倍ヲ超エサルトキハ其ノ高サノ二倍ヲ該表ノ防撓材ノ心距三十吋ナルトキノ隔壁ノ上端ヨリ隔壁板ノ下緣ニ至ル深ニ充テ該表ニ依リ定メタル隔壁板ノ厚ヨリ〇・〇四吋增スヘシ又梁ノ心距三十吋ヨリ異ナルトキハ適當ニ其ノ厚ヲ增減スヘシ

前三項ノ規定ニ拘ラス支水甲板梁及支水甲板ノ寸法ハ本編第十三章及第二十章ニ依ル

支水甲板梁ニ取附クヘキ梁柱ノ上下兩端ハ固著針ハ水壓力ニ耐フルニ充分ナル强力ヲ有スルコトヲ要ス

第百五十五條　區畫式二重底ニハ規定ノ支水隔壁ノ直下又ハ其ノ附近ニ水密肋板ヲ設クヘシ

船内支水隔壁ニ設ケル支水戸ハ滿載吃水線以上ノ甲板ヨリ之ヲ容易ニ開閉シ得ヘキ裝置ト爲シ且石炭庫ニ面スルモノハ成ルヘク之ニ直接石炭ヲ觸レシメサル裝置ト爲スヘシ

第百五十六條　經過支水隔壁ノ構造及寸法ハ同高ノ橫置支水隔壁ノ構造及寸法ニ準スヘシ

第百五十七條　車軸隧道板ノ厚ハ圖平ナル側部ニ於テハ第九號甲表ニ掲クル防撓材ノ心距三十六吋ナルトキノ隔壁板ノ厚ニ等シク又シ倒形ナル頂部ニ於テハ同表ニ掲クル防撓材ノ心距三十六吋ナルトキノ隔壁板ノ厚ニ等シク長ノ十分ノ一ニ相當スル箇所迄ノ上甲板梁

七　鋼甲板ヲ要スル甲板ニ於ケル艙口及其ノ他ノ甲板口ノ兩側ニ於テ木甲板ヲ張ラサル鋼甲板ニ附スル梁

八　肋骨ノ心距二十七吋ヲ超ユル部分ノ甲板梁

前項各號ニ該當セサル場合ト雖甲板梁ノ心距ハ肋骨ノ心距ノ二倍ヲ超ユヘカラス

第百七十二條　機關室ニ於ケル特設梁ハ板ノ厚サ又ハ厚二吋以上ノ木板ヲ以テ之ヲ覆フヘシ

第百五十八條　車軸隧道ニハ第九號戊表ニ掲クル防撓材ト同一寸法ノ梁ヲ心距三十六吋ノ心距ニ取附ケ其ノ深ハ梁板ノ深ニ等シク又其ノ厚ハ梁板ノ厚ニ等シクスヘシ

隧道板ノ下端ニ附スル由形材ハ扁平ナル側部ニ於ケル隧道板ノ厚ヨリ〇・一吋厚キモノヲ用ヰ一列釘ヲ以テ固著スヘシ

水線面積ノ支點間ノ最大距離ノ二分ノ一ヲ減シタルモノ（水線面積ノ支點間ノ最大距離ノ二分ノ一ニ對スル深ハ其ノ下層ノ梁及梁板ノ厚ニ等シクスヘシ）

第百五十九條　車軸隧道ニハ機關室ヨリ船尾管ニ通行シ得ヘキ樣ノ構造ヲ施スヘシ

第百六十條　船首尾隔壁ハ船首尾船ニ滿載吃水線ニ相當スル高迄水ヲ滿タシ其ノ他ノ支水隔壁、支水甲板及車軸隧道ノ構造及寸法ニ準スヘシ

第百六十一條　第二款ノ規定ニ依リ本章第百十二條ニ規定スル支水隔壁ノ最下部ニ於ケル隔壁板ノ高及厚、本章第百十七條及第百五十四條ニ規定スル防撓材ノ上端ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ノ制限竝前條ニ規定スル衝管内ノ水壓力ヲ適當ニ輕減スルコトヲ得

小形船ノ支水隔壁、支水甲板及車軸隧道ノ構造方法ハ適當ニ之ヲ斟酌スルコトヲ得

第百六十二條　暴露甲板梁ノ梁矢ハ成ルヘク梁ノ長ノ五十分ノ一ト爲スヘシ

第百六十三條　各層ニ於ケル梁ハ上下相累ネテ同一ノ肋骨ニ取附ケ且成ルヘク最上甲板迄副肋材ノ連スル肋骨ニ取附クヘシ

第百六十四條　梁及梁枝ノ寸法ハ第十號甲表乃至丁表ニ依ルヘシ但シ長二百呎以下ノ船ニ在リテハ其ノ厚ヲ表ニ掲クルモノヨリ〇・〇二吋減スルコトヲ得

梁枝ノ代リニ肘板ヲ用ウルトキハ其ノ幅及深ハ梁枝ノ深ニ等シク又其ノ厚ハ梁枝ノ厚ニ等シクスヘシ

第百六十五條　梁ニ梁柱一列ヲ取附クルトキハ船ノ首尾兩端ニ於テ船ノ中央部ニ於ケル梁ノ長ノ三分ノ二以下ノ長ヲ有スル梁ハ第十號甲表乃至丙表ノ各欄第二行ニ掲クル寸法ヲ爲シ又船ノ首尾兩端ニ於テ船ノ中央部ニ於ケル梁ノ長ノ二分ノ一以下ノ長ヲ有スル梁ハ第十號甲表乃至丙表ノ各欄第三行ニ掲クル寸法ヲ爲スコトヲ得

船ノ中央部ニ於ケル梁ニ梁柱二列ヲ取附クルトキハ梁柱列間ノ距離ハ船ノ幅ノ約三分ノ一ヲ爲シ船ノ首尾兩端ニ於テ船ノ中央部ニ於ケル梁ノ長ノ三分ノ二以下ノ長ヲ有スル梁ノ之ニ梁柱二列ヲ取附ケ第十號甲表乃至丙表ノ各欄第二行ニ掲クル寸法ト爲シ又船ノ首尾兩端ニ於テ船ノ中央部ニ於ケル梁ノ長ノ二分ノ一以下ノ長ヲ有スル梁ハ第十號甲表乃至丙表ノ各欄第三行ニ掲クル寸法ト爲スコトヲ得

船ノ中央部ニ於ケル梁ニ梁柱二列ヲ取附クルトキハ梁柱列間ノ距離ハ船ノ幅ノ約四分ノ一ト爲シ船ノ首尾兩端ニ於テ船ノ中央部ニ於ケル梁ノ長ノ二分ノ一以下ノ長ヲ有スル梁ハ第十號甲表乃至丙表ノ各欄第三行ニ掲クル寸法ヲ用ウヘシ但シ船ノ中央部ニ於ケル梁ノ長ノ四分ノ三以下ノ長ヲ有スル梁ハ梁柱二列ヲ以テ取附クヘキモ梁柱ノ上下兩端ニ於テ船ノ中央部ニ於ケル梁ニ梁柱一列ヲ以テ取附クヘシ

第百六十六條　船ノ中央部ニ於ケル梁ノ長三十四呎ヲ超ユル甲板ニ球山形梁ヲ肋骨一本置ニ取附クル場合ニ於テハ該梁上ニ鋼甲板ヲ張詰ムルカ又ハ適當ナル梁上帶板及斷切板梁下緣通材ヲ以テ該梁ヲ補强スルコトヲ要ス

第百六十七條　梁枝ノ寸法ハ第十號甲表乃至丁表ニ依ルヘシ但シ長二百呎以下ノ船ニ在リテハ其ノ厚ヲ表ニ掲クルモノヨリ〇・〇二吋減スルコトヲ得

梁枝ノ代リニ肘板ヲ用ウルトキハ其ノ幅及深ハ梁枝ノ深ニ等シク又其ノ厚ハ梁枝ノ厚ニ等シクスヘシ

第百六十八條　車軸隧道ニハ第九號戊表ニ掲クル防撓材ト同一寸法ノ梁ヲ心距三十六吋ノ心距ニ取附ケ其ノ深ハ梁板ノ深ニ等シク又其ノ厚ハ梁板ノ厚ニ等シクスヘシ

隧道板ノ下端ニ附スル由形材ハ扁平ナル側部ニ於ケル隧道板ノ厚ヨリ〇・一吋厚キモノヲ用ヰ一列釘ヲ以テ固著スヘシ

水線面積ノ支點間ノ最大距離ノ二分ノ一ヲ減シタルモノ（水線面積ノ支點間ノ最大距離ノ二分ノ一ニ對スル深ハ其ノ下層ノ梁及梁板ノ深ニ等シクスヘシ）

第百六十九條　車軸隧道ニハ機關室ヨリ船尾管ニ通行シ得ヘキ樣ノ構造ヲ施スヘシ

第百七十條　船首尾隔壁ハ船首尾船ニ滿載吃水線ニ相當スル高迄水ヲ滿タシ其ノ他ノ支水隔壁、支水甲板及車軸隧道ノ構造及寸法ニ準スヘシ

第百七十一條　第二款ノ規定ニ依リ本章第百十二條ニ規定スル支水隔壁ノ最下部ニ於ケル隔壁板ノ高及厚、本章第百十七條及第百五十四條ニ規定スル防撓材ノ上端ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ノ制限竝前條ニ規定スル衝管内ノ水壓力ヲ適當ニ輕減スルコトヲ得

小形船ノ支水隔壁、支水甲板及車軸隧道ノ構造方法ハ適當ニ之ヲ斟酌スルコトヲ得

第百七十二條　暴露甲板梁ノ梁矢ハ成ルヘク梁ノ長ノ五十分ノ一ト爲スヘシ

第百七十三條　各層ニ於ケル梁ハ上下相累ネテ同一ノ肋骨ニ取附ケ且成ルヘク最上甲板迄副肋材ノ連スル肋骨ニ取附クヘシ

第百七十四條　梁及梁枝ノ寸法ハ第十號甲表乃至丁表ニ依ルヘシ但シ長二百呎以下ノ船ニ在リテハ其ノ厚ヲ表ニ掲クルモノヨリ〇・〇二吋減スルコトヲ得

梁枝ノ代リニ肘板ヲ用ウルトキハ其ノ幅及深ハ梁枝ノ深ニ等シク又其ノ厚ハ梁枝ノ厚ニ等シクスヘシ

第百七十五條　梁柱ノ寸法ハ第十號甲表乃至丁表ニ依ルヘシ但シ長二百呎以下ノ船ニ在リテハ其ノ厚ヲ表ニ掲クルモノヨリ〇・〇二吋減スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ第九號乙表及丙表ニ掲クル防撓材ノ寸法ヲ定ムルニハ梁ノ支點間ノ最大距離ヲ該裝ノ防撓材ノ長ニ充テ又支水甲板ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ヨリ梁ノ支點間ノ最大距離ノ二分ノ一ヲ減シタルモノ（水線面積ノ支點間ノ最大距離ニ對スル高サノ二倍ヲ超エ二倍ヲ超エサルトキハ其ノ高サノ二倍ヲ該表ノ防撓材ノ上端ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ニ充ツヘシ）

支水甲板ノ厚ハ該甲板ヨリ支水隔壁ノ上端ニ至ル高（水線面積ノ支點間ノ最大距離ニ對スル高サノ二倍ヲ超エ二倍ヲ超エサルトキハ其ノ高サノ二倍ヲ該表ノ防撓材ノ心距三十吋ナルトキノ隔壁ノ上端ヨリ隔壁板ノ下緣ニ至ル深ニ充テ該表ニ依リ定メタル隔壁板ノ厚ヨリ〇・〇四吋增スヘシ又梁ノ心距三十吋ヨリ異ナルトキハ適當ニ其ノ厚ヲ增減スヘシ

前三項ノ規定ニ拘ラス支水甲板梁及支水甲板ノ寸法ハ本編第十三章及第二十章ニ依ル

支水甲板梁ニ取附クヘキ梁柱ノ上下兩端ハ固著針ハ水壓力ニ耐フルニ充分ナル强力ヲ有スルコトヲ要ス

第百七十五條　區畫式二重底ニハ規定ノ支水隔壁ノ直下又ハ其ノ附近ニ水密肋板ヲ設クヘシ

船内支水隔壁ニ設ケル支水戸ハ滿載吃水線以上ノ甲板ヨリ之ヲ容易ニ開閉シ得ヘキ裝置ト爲シ且石炭庫ニ面スルモノハ成ルヘク之ニ直接石炭ヲ觸レシメサル裝置ト爲スヘシ

第百七十六條　經過支水隔壁ノ構造及寸法ハ同高ノ橫置支水隔壁ノ構造及寸法ニ準スヘシ

第百七十七條　車軸隧道板ノ厚ハ圖平ナル側部ニ於テハ第九號甲表ニ掲クル防撓材ノ心距三十六吋ナルトキノ隔壁板ノ厚ニ等シク又シ倒形ナル頂部ニ於テハ同表ニ掲クル防撓材ノ心距三十六吋ナルトキノ隔壁板ノ厚ニ等シク長ノ十分ノ一ニ相當スル箇所迄ノ上甲板梁

七　鋼甲板ヲ要スル甲板ニ於ケル艙口及其ノ他ノ甲板口ノ兩側ニ於テ木甲板ヲ張ラサル鋼甲板ニ附スル梁

八　肋骨ノ心距二十七吋ヲ超ユル部分ノ甲板梁

前項各號ニ該當セサル場合ト雖甲板梁ノ心距ハ肋骨ノ心距ノ二倍ヲ超ユヘカラス

第百七十八條　機關室ニ於ケル特設梁ハ梁上側板ト同厚ニシテ長ハ肋骨ノ心距ノ四倍ニ等シク幅ハ肋骨ノ心距ノ二倍ニ等シキ盤形板ヲ以テ之ヲ梁上側板ニ固著シ又梁上側板ハ肘板ヲ以テ支水隔壁ニ取附クヘシ

第百七十二條　長船橋樓甲板梁長四百五十呎ヲ超ユル船舶ノ上甲板梁及長船橋樓甲板梁

長四百五十呎ヲ超エ幅六十六呎ヲ超ユル船舶ノ船橋樓ノ部分ニ於ケル上甲板梁

長四百五十呎ヲ超エ幅六十六呎以下ノ船舶ノ船橋樓兩端ヨリ船橋樓内ニ船ノ長ノ十分ノ一ニ相當スル箇所迄ノ上甲板梁

七　鋼甲板ヲ要スル甲板ニ於ケル艙口及其ノ他ノ甲板口ノ兩側ニ於テ木甲板ヲ張ラサル鋼甲板ニ附スル梁

八　肋骨ノ心距二十七吋ヲ超ユル部分ノ甲板梁

前項各號ニ該當セサル場合ト雖甲板梁ノ心距ハ肋骨ノ心距ノ二倍ヲ超ユヘカラス

第百七十三條　機關室ニ於ケル特設梁ハ梁上側板ト同厚ニシテ長ハ肋骨ノ心距ノ四倍ニ等シク幅ハ肋骨ノ心距ノ二倍ニ等シキ盤形板ヲ以テ之ヲ梁上側板ニ固著シ又梁上側板ハ肘板ヲ以テ支水隔壁ニ取附クヘシ

第百七十四條　長二百呎以下ノ船舶ニ於ケル梁枝又ハ肘板ノ深ハ第一表ニ掲クル深ノ七分ノ五ト爲スヘシ

梁枝ノ各枝ノ幅ハ四十二吋ノモノハ内側ヲ曲線ト爲スヘシ

第百七十六條　梁枝ノ曲部ニ於ケル深ハ梁枝ノ深ノ五分ノ三ヨリ少カルヘカラス

船ノ深	肘板ノ寸法	
	幅	厚
二十三呎ヲ超エ二十四呎以下	三十三吋	〇・五〇吋
二十四呎ヲ超エ二十五呎以下	三十六吋	〇・五二吋
二十五呎ヲ超エ二十六呎以下	三十九吋	〇・五四吋
二十六呎ヲ超エ二十七呎以下	四十二吋	〇・五四吋

梁枝又ハ肘板ノ深	鉸釘ノ數	鉸釘ノ徑
十七吋以下	四	四分ノ三吋
十七吋ヲ超エ二十一吋以下	五	四分ノ三吋
二十一吋ヲ超エ二十四吋以下	五	八分ノ七吋
二十四吋ヲ超エ二十八吋以下	六	八分ノ七吋

雨面上下ニ由形材ヲ備フルモノヌハ肋骨ノ心距ニ等シキ幅ヲ有スル冠板ノ下面兩緣ニ板ヲ附シ板ノ上下兩端ニ由形材ヲ附シタル溝形ノモノナルコトヲ要ス

第百七十三條　遮陽甲板、端艇甲板等ノ甲板梁ハ適當ノ寸法ト爲シ端艇甲板等ノ甲板ヲ支フル梁ハ特ニ補强スヘシ

第百七十四條　左ニ掲クル梁ニハ第十號甲表乃至丙表ニ依リ掲クル梁ニハ同表ニ掲クル肘板ヲ附スヘシ

一　上甲板下ニ特設船梁ヲ用キタル場合ニ於ケル上甲板梁

二　支水甲板梁

第百七十五條　大形船ノ甲板一層ノミヲ有スル船舶ノ肋骨每ニ設クル上甲板梁ニハ左表ニ掲クル寸法ノ肘板ヲ取附クヘシ

船ノ深	肘板ノ寸法	
	幅	厚
二十一呎ヲ超エ二十三呎以下	六十吋	〇・五六吋
二十三呎ヲ超エ二十五呎以下	六十四吋	〇・五八吋
二十五呎ヲ超エ二十七呎以下	六十八吋	〇・六〇吋
二十七呎ヲ超エ二十九呎以下	七十二吋	〇・六二吋
二十九呎ヲ超エ三十呎以下	七十六吋	〇・六四吋
三十呎ヲ超エ三十一呎以下	八十吋	〇・六六吋
三十一呎ヲ超エ三十二呎以下	八十四吋	〇・六八吋
三十二呎ヲ超エ三十三呎以下	八十八吋	〇・七〇吋
三十三呎ヲ超エ三十四呎以下	九十二吋	〇・七二吋
三十四呎ヲ超エ三十五呎以下	九十六吋	〇・七四吋
三十五呎ヲ超エ三十六呎以下	一百吋	〇・七六吋

超ユヘカラス

第百七十條　特設船梁ニハ左表ニ掲クル梁上側板ヲ設ケ幅ハ三吋半ニ三吋半厚ハ梁上側板ノ厚ニ等シキ二重由形材ヲ以テ外板ニ固著シ且梁上側板ノ内緣ニ左表ニ掲クル球山形材又ハ之ト同一效力ト有スル溝形材ヲ取附クヘシ又該梁上側板ノ肋骨一本置ニ肘板ヲ以テ之ヲ支フルコトヲ要ス

船ノ深	肘板ノ寸法		
	幅	深	厚
二十一呎ヲ超エ二十三呎以下	六十吋	三吋半	〇・五八吋
二十三呎ヲ超エ二十五呎以下	六十四吋	三吋半	〇・六〇吋
二十五呎ヲ超エ二十七呎以下	六十八吋	三吋半	〇・六二吋
二十七呎ヲ超エ二十九呎以下	七十二吋	三吋半	〇・六四吋
二十九呎ヲ超エ三十呎以下	七十六吋	三吋半	〇・六六吋
三十呎ヲ超エ三十一呎以下	八十吋	三吋半	〇・六八吋
三十一呎ヲ超エ三十二呎以下	八十四吋	三吋半	〇・七〇吋
三十二呎ヲ超エ三十三呎以下	八十八吋	三吋半	〇・七二吋
三十三呎ヲ超エ三十四呎以下	九十二吋	三吋半	〇・七四吋
三十四呎ヲ超エ三十五呎以下	九十六吋	三吋半	〇・七六吋
三十五呎ヲ超エ三十六呎以下	一百吋	三吋半	〇・七八吋

第百七十一條　特設船梁ハ梁上側板ト同厚ニシテ長ハ肋骨ノ心距ノ四倍ニ等シク幅ハ肋骨ノ心距ノ二倍ニ等シキ盤形板ヲ以テ之ヲ梁上側板ニ固著シ又梁上側板ハ肘板ヲ以テ支水隔壁ニ取附クヘシ

第百七十二條　長船橋樓甲板梁

長四百五十呎ヲ超ユル船舶ノ上甲板梁及長船橋樓甲板梁

長四百五十呎ヲ超エ幅六十六呎ヲ超ユル船舶ノ船橋樓ノ部分ニ於ケル上甲板梁

長四百五十呎ヲ超エ幅六十六呎以下ノ船舶ノ船橋樓兩端ヨリ船橋樓内ニ船ノ長ノ十分ノ一ニ相當スル箇所迄ノ上甲板梁

七　鋼甲板ヲ要スル甲板ニ於ケル艙口及其ノ他ノ甲板口ノ兩側ニ於テ木甲板ヲ張ラサル鋼甲板ニ附スル梁

八　肋骨ノ心距二十七吋ヲ超ユル部分ノ甲板梁

前項各號ニ該當セサル場合ト雖甲板梁ノ心距ハ肋骨ノ心距ノ二倍ヲ超ユヘカラス

第百七十三條　機關室ニ於ケル特設梁ハ梁上側板ト同厚ニシテ長ハ肋骨ノ心距ノ四倍ニ等シク幅ハ肋骨ノ心距ノ二倍ニ等シキ盤形板ヲ以テ之ヲ梁上側板ニ固著シ又梁上側板ハ肘板ヲ以テ支水隔壁ニ取附クヘシ

第百七十四條　長二百呎以下ノ船舶ニ於ケル梁枝又ハ肘板ノ深ハ第一表ニ掲クル深ノ七分ノ五ト爲スヘシ

梁枝ノ各枝ノ幅ハ四十二吋ノモノハ内側ヲ曲線ト爲スヘシ

第百七十六條　梁枝ノ曲部ニ於ケル深ハ梁枝ノ深ノ五分ノ三ヨリ少カルヘカラス

船ノ深	肘板ノ寸法		
	幅	深	厚
二十一呎ヲ超エ二十三呎以下	六十吋	三吋半	〇・五八吋
二十三呎ヲ超エ二十五呎以下	六十四吋	三吋半	〇・六〇吋
二十五呎ヲ超エ二十七呎以下	六十八吋	三吋半	〇・六二吋
二十七呎ヲ超エ二十九呎以下	七十二吋	三吋半	〇・六四吋
二十九呎ヲ超エ三十呎以下	七十六吋	三吋半	〇・六六吋
三十呎ヲ超エ三十一呎以下	八十吋	三吋半	〇・六八吋
三十一呎ヲ超エ三十二呎以下	八十四吋	三吋半	〇・七〇吋
三十二呎ヲ超エ三十三呎以下	八十八吋	三吋半	〇・七二吋
三十三呎ヲ超エ三十四呎以下	九十二吋	三吋半	〇・七四吋
三十四呎ヲ超エ三十五呎以下	九十六吋	三吋半	〇・七六吋
三十五呎ヲ超エ三十六呎以下	一百吋	三吋半	〇・七八吋

第百七十七條　特設船梁ハ梁上側板ト同厚ニシテ長ハ肋骨ノ心距ノ四倍ニ等シク幅ハ肋骨ノ心距ノ二倍ニ等シキ盤形板ヲ以テ之ヲ梁上側板ニ固著シ又梁上側板ハ肘板ヲ以テ支水隔壁ニ取附クヘシ

第百七十八條　特設船梁ハ板ノ兩面上下ニ由形材ヲ有シ且梁板ト同寸法ノ冠板ヲ備フルモノト爲シ其ノ寸法及梁板ノ寸法ハ第十號丁表ニ依ルヘシ

特設船梁ノ由形材ハ其ノ廣邊ヲ水平ニ取附クヘシ

第百七十九條　特設船梁ノ心距ハ二十四呎ヲ超ユル甲板梁ニハ左表ニ掲クル寸法ノ肘板ヲ取附クヘシ

船ノ深	肘板ノ寸法		
	幅	深	厚
二十一呎ヲ超エ二十三呎以下	六十吋	三吋半	〇・五八吋
二十三呎ヲ超エ二十五呎以下	六十四吋	三吋半	〇・六〇吋
二十五呎ヲ超エ二十七呎以下	六十八吋	三吋半	〇・六二吋
二十七呎ヲ超エ二十九呎以下	七十二吋	三吋半	〇・六四吋
二十九呎ヲ超エ三十呎以下	七十六吋	三吋半	〇・六六吋
三十呎ヲ超エ三十一呎以下	八十吋	三吋半	〇・六八吋
三十一呎ヲ超エ三十二呎以下	八十四吋	三吋半	〇・七〇吋
三十二呎ヲ超エ三十三呎以下	八十八吋	三吋半	〇・七二吋
三十三呎ヲ超エ三十四呎以下	九十二吋	三吋半	〇・七四吋
三十四呎ヲ超エ三十五呎以下	九十六吋	三吋半	〇・七六吋
三十五呎ヲ超エ三十六呎以下	一百吋	三吋半	〇・七八吋

第百八十條　梁柱ノ寸法ハ第十號甲表乃至丁表ニ依ルヘシ但シ長二百呎以下ノ船ニ在リテハ其ノ厚ヲ表ニ掲クルモノヨリ〇・〇二吋減スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ第九號乙表及丙表ニ掲クル防撓材ノ寸法ヲ定ムルニハ梁ノ支點間ノ最大距離ヲ該裝ノ防撓材ノ長ニ充テ又支水甲板ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ヨリ梁ノ支點間ノ最大距離ノ二分ノ一ヲ減シタルモノ（水線面積ノ支點間ノ最大距離ノ二分ノ一ニ對スル深ハ其ノ下層ノ梁及梁板ノ深ニ等シクスヘシ）

支水甲板ノ厚ハ該甲板ヨリ支水隔壁ノ上端ニ至ル高（水線面積ノ支點間ノ最大距離ノ二倍ヲ超エ二倍ヲ超エサルトキハ其ノ高サノ二倍ヲ該表ノ防撓材ノ上端ヨリ隔壁ノ上端ニ至ル高ニ充ツヘシ）

第百八十一條　特設船梁ハ梁上側板ト同厚ニシテ長ハ肋骨ノ心距ノ四倍ニ等シク幅ハ肋骨ノ心距ノ二倍ニ等シキ盤形板ヲ以テ之ヲ梁上側板ニ固著シ又梁上側板ハ肘板ヲ以テ支水隔壁ニ取附クヘシ

第百八十二條　特設船梁ハ梁上側板ト同厚ニシテ長ハ肋骨ノ心距ノ四倍ニ等シク幅ハ肋骨ノ心距ノ二倍ニ等シキ盤形板ヲ以テ之ヲ梁上側板ニ固著シ又梁上側板ハ肘板ヲ以テ支水隔壁ニ取附クヘシ

第百八十三條　梁柱

第百八十三條　梁柱ノ寸法ハ第十一號表ニ依ルヘシ但シ長二百呎以下ノ船舶ニ在リテハ同表ニ掲クル梁柱ノ徑ヲ八分ノ一吋減スルコトヲ得

第十五章　梁柱

第百八十三條　梁柱ノ寸法ハ第十一號表ニ依ルヘシ但シ長二百呎以下ノ船舶ニ在リテハ同表ニ掲クル梁柱ノ徑ヲ八分ノ一吋減スルコトヲ得

各梁ニ取附クル梁柱ノ數ハ第十一號表及本編第百六十五條ノ規定ニ從ヒ且船ノ中央部ニ於ケル梁ノ長四十四呎ヲ超ユルトキハ二列以上、六十呎ヲ超ユルトキハ三列以上ト爲スコトヲ要ス

第百八十四條　梁柱ノ長ハ十八呎以下ナルトキハ其ノ徑二吋八分ノ五ヲ超エ四吋以下ナルトキハ徑八分ノ七吋ノ鉸釘二箇、梁柱ノ長十八呎ヲ超エ二十四呎以下ナルトキハ其ノ徑四吋ヲ超エ五吋以下ナルトキハ同鉸釘三箇、梁柱ノ徑五吋ヲ超ユルトキハ同鉸釘四箇以上ヲ以テ其ノ兩端ヲ固著スヘシ

二重底上ニ於ケル梁柱ノ下端ハ内底板ニ固

船ノ長サ、幅、深サ、馬力、噸数等ヲ記載シ、且ツ其ノ船舶ガ第二十八條ノ規定ニ適合スル旨ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ證スルコトヲ要ス

第二十八條　特殊汽船ニ非サル總噸数二十噸以上ノ汽船ニシテ第二十七條ノ規定ニ依リ船舶檢査證書ヲ受ケタルモノハ其ノ檢査證書ニ記載セラレタル航海區域ニ於テ航海ニ從事スルノ外左ノ條件ニ適合スルコトヲ要ス

一　船體ハ鋼鐵又ハ之ニ準ズル堅牢ナル材料ヲ以テ造リ且ツ水密隔壁ヲ有スルコト

二　機關ハ堅牢ニ且ツ安全ニ据付ケラレ且ツ運轉ノ際危險ナキ樣防護ヲ施シタルコト

三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

四十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

五十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

六十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

七十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

八十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

九十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百二十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百三十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百四十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百五十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百六十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百七十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百八十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

百九十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百二十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百三十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百四十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百五十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百六十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百七十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百八十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十五　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十六　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十七　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十八　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

二百九十九　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三百　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三百一　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三百二　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三百三　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷ナキコト

三百四　船體ノ主要ナル部分ニ使用スル材料ハ堅牢ニシテ且ツ缺陷

ル場合ヲ除ク

ロ正肋材、副肋材、肋板及内龍骨各材ノ固著

ハ梁用山形材ト梁板トノ固著

ニ暴露セサル甲板及舷梁ノ梁上側板ニ附スル山形材ノ固著

ホ梁ト鋼甲板及梁上側板トノ固著但シ本條第六號イノ場合ヲ除ク

ヘ特設肋骨及特設肋骨間側板ノ内縁ニ附スル山形材ノ固著

ト支水隔壁及車軸隧道ノ防撓材ノ固著但シ本條第二號ホノ場合ヲ除ク

チ樓通桁板ニ附スル樓通山形材及肋板ト側桁板トノ固著用山形材ノ固著

第二百二十三條　第三號甲表ニ依ル肋骨ヲ用ウルトキハ正肋材ト副肋材トヲ固著スル鉸釘ノ心距ハ正肋材ト外板トヲ固著スル鉸釘ノ心距ニ等シクスヘシ

第二百二十四條　舷側厚板ハ厚〇・八四吋以下ナルトキ、龍骨ヨリ彎曲上部ニ至ル間ノ外板ハ船ノ中央部ニ於テ厚〇・三六吋ヲ超ユルトキ又彎曲上部ヨリ上部ノ外板ハ船ノ中央部ニ於テ厚〇・四八吋ヲ超ユルトキハ共ノ縦縁ハ船ノ首尾ヲ通シテ二列釘固著トス但シ之ヨリ薄キ外板竝第二舷第四千百以下ノ船舶ノ舷側厚板及龍骨製板ノ縦縁ハ一列釘固著トス但シ側外板ノ樓縁ハ中央部ニ於テ船ノ長ノ五分ノ四間ハ二列釘固著トス

第二百二十五條　長四百八十呎ヲ超ユル船舶ニ在リテハ側外板ノ厚〇・八四吋以下ノ場合ト雖船ノ前後部ニ於テ各船ノ長ノ四分ノ一間船ノ深ノ約三分ノ一ニ相當スル場所ノ縦縁ハ三列釘固著トス但シ側外板ノ樓縁ハ中央部ニ於テ船ノ長ノ五分ノ四間ハ二列釘固著トス

第二百二十六條　外板ノ縦縁カ二列釘固著ナルトキハ樓縁ノ通シテ肋骨毎ニ鉸釘一箇ヲ肋骨ノ心距二十二吋以下ナルトキハ釘數ヲ三箇ニ減スルコトヲ得

第二百二十八條　特設肋骨板ト特設肋骨間側板トヲ接續スル覆板ニ川ウル鉸釘ノ徑及數ハ第五號表ニ依ルヘシ

第二百二十九條　船ノ中央部ノ肋骨間ニ於ケル外板縦縁ノ各列ノ鉸釘ノ數ハ第十七號表ニ依ルヘシ

第二十章　木甲板及鋼甲板

第二百三十條　木甲板ノ厚ヲ超ユル三十三吋以下ナルトキハ六箇ノ鉸釘ヲ用ウシ但シ肋骨ノ心距二十二吋以下ナルトキハ釘數ヲ三箇ニ減スルコトヲ得

第二百二十八條　特設肋骨板ト特設肋骨間側板トヲ接續スル覆板ニ川ウル鉸釘ノ徑及數ハ第五號表ニ依ルヘシ

第二百二十九條　船ノ中央部ノ肋骨間ニ於ケル外板縦縁ノ各列ノ鉸釘ノ數ハ第十七號表ニ依ルヘシ

第二十章　木甲板及鋼甲板

第二百三十條　木甲板ノ厚ヲ超ユル三十三吋以下ナルトキハ五箇、三十吋ヲ超ユル場合ヲ除ク

正肋材、副肋材、肋板及内龍骨各材ノ固著

ハ梁用山形材ト梁板トノ固著

ニ暴露セサル甲板及舷梁ノ梁上側板ニ附スル山形材ト梁板トノ固著

ホ梁ト鋼甲板及梁上側板トノ固著但シ本條第六號イノ場合ヲ除ク

ヘ特設肋骨及特設肋骨間側板ノ内縁ニ附スル山形材ノ固著

ト支水隔壁及車軸隧道ノ防撓材ノ固著但シ本條第二號ホノ場合ヲ除ク

チ樓通桁板ニ附スル樓通山形材及肋板ト側桁板トノ固著用山形材ノ固著

第二百二十三條　第三號甲表ニ依ル肋骨ヲ用ウルトキハ正肋材ト副肋材トヲ固著スル鉸釘ノ心距ハ正肋材ト外板トヲ固著スル鉸釘ノ心距ニ等シクスヘシ

第二百二十四條　舷側厚板ハ厚〇・八四吋以下ナルトキ、龍骨ヨリ彎曲上部ニ至ル間ノ外板ハ船ノ中央部ニ於テ厚〇・三六吋ヲ超ユルトキ又彎曲上部ヨリ上部ノ外板ハ船ノ中央部ニ於テ厚〇・四八吋ヲ超ユルトキハ共ノ縦縁ハ船ノ首尾ヲ通シテ二列釘固著トス但シ之ヨリ薄キ外板竝第二舷第四千百以下ノ船舶ノ舷側厚板及龍骨製板ノ縦縁ハ一列釘固著トス但シ側外板ノ樓縁ハ中央部ニ於テ船ノ長ノ五分ノ四間ハ二列釘固著トス

第二百二十五條　長四百八十呎ヲ超ユル船舶ニ在リテハ側外板ノ厚〇・八四吋以下ノ場合ト雖船ノ前後部ニ於テ各船ノ長ノ四分ノ一間船ノ深ノ約三分ノ一ニ相當スル場所ノ縦縁ハ三列釘固著トス

第二百二十六條　外板ノ縦縁カ二列釘固著ナルトキハ樓縁ノ通シテ肋骨毎ニ鉸釘一箇ヲ肋骨ノ心距二十二吋以下ナルトキハ釘數ヲ三箇ニ減スルコトヲ得

第二百二十八條　特設肋骨板ト特設肋骨間側板トヲ接續スル覆板ニ川ウル鉸釘ノ徑及數ハ第五號表ニ依ルヘシ

第二百二十九條　船ノ中央部ノ肋骨間ニ於ケル外板縦縁ノ各列ノ鉸釘ノ數ハ第十七號表ニ依ルヘシ

第二十章　木甲板及鋼甲板

第二百三十條　木甲板ノ厚ヲ超ユル三十三吋以下ナルトキハ五箇、三十吋ヲ超ユル場合ヲ除ク

正肋材、副肋材、肋板及内龍骨各材ノ固著

ハ梁用山形材ト梁板トノ固著

ニ暴露セサル甲板及舷梁ノ梁上側板ニ附スル山形材ト梁板トノ固著

ホ梁ト鋼甲板及梁上側板トノ固著但シ本條第六號イノ場合ヲ除ク

ヘ特設肋骨及特設肋骨間側板ノ内縁ニ附スル山形材ノ固著

ト支水隔壁及車軸隧道ノ防撓材ノ固著但シ本條第二號ホノ場合ヲ除ク

チ樓通桁板ニ附スル樓通山形材及肋板ト側桁板トノ固著用山形材ノ固著

第二百二十三條　第三號甲表ニ依ル肋骨ヲ用ウルトキハ正肋材ト副肋材トヲ固著スル鉸釘ノ心距ハ正肋材ト外板トヲ固著スル鉸釘ノ心距ニ等シクスヘシ

第二百二十四條　舷側厚板ハ厚〇・八四吋以下ナルトキ、龍骨ヨリ彎曲上部ニ至ル間ノ外板ハ船ノ中央部ニ於テ厚〇・三六吋ヲ超ユルトキ又彎曲上部ヨリ上部ノ外板ハ船ノ中央部ニ於テ厚〇・四八吋ヲ超ユルトキハ共ノ縦縁ハ船ノ首尾ヲ通シテ二列釘固著トス但シ之ヨリ薄キ外板竝第二舷第四千百以下ノ船舶ノ舷側厚板及龍骨製板ノ縦縁ハ一列釘固著トス但シ側外板ノ樓縁ハ中央部ニ於テ船ノ長ノ五分ノ四間ハ二列釘固著トス

第二百二十五條　長四百八十呎ヲ超ユル船舶ニ在リテハ側外板ノ厚〇・八四吋以下ノ場合ト雖船ノ前後部ニ於テ各船ノ長ノ四分ノ一間船ノ深ノ約三分ノ一ニ相當スル場所ノ縦縁ハ三列釘固著トス

第二百二十六條　外板ノ縦縁カ二列釘固著ナルトキハ樓縁ノ通シテ肋骨毎ニ鉸釘一箇ヲ肋骨ノ心距二十二吋以下ナルトキハ釘數ヲ三箇ニ減スルコトヲ得

第二百二十八條　特設肋骨板ト特設肋骨間側板トヲ接續スル覆板ニ川ウル鉸釘ノ徑及數ハ第五號表ニ依ルヘシ

第二百二十九條　船ノ中央部ノ肋骨間ニ於ケル外板縦縁ノ各列ノ鉸釘ノ數ハ第十七號表ニ依ルヘシ

第二十章　木甲板及鋼甲板

第二百三十條　木甲板ノ厚ヲ超ユル三十三吋以下ナルトキハ五箇、三十吋ヲ超ユル場合ヲ除ク

船ノ長

船ノ長	柔木甲板上暴露全通船樓甲板及遮浪甲板及第二甲板以下ノ甲板		柔木甲板ノ木甲板上暴露セサル甲板		鋼甲板上暴露甲板		柔木甲板ノ木甲板上暴露セサル甲板		鋼甲板上暴露甲板	
	柔材竪材	柔材横材	柔材竪材	柔材横材	柔材竪材	柔材横材	柔材竪材	柔材横材	柔材竪材	柔材横材
二百六十呎ヲ超ユル二百呎以下	四吋	三吋半	三吋	二吋半	三吋	二吋半	二吋半	二吋	二吋半	二吋
二百呎ヲ超ユル百八十呎以下	三吋半	三吋	三吋	二吋半	三吋	二吋半	二吋半	二吋	二吋半	二吋
百八十呎ヲ超ユル百六十呎以下	三吋	二吋半	二吋半	二吋	二吋半	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋
百六十呎ヲ超ユル百呎以下	二吋半	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋
百呎以下ノモノ	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋	二吋

第二百三十一條　削除

第二百三十二條　木甲板ノ固著釘ノ寸法ハ左表ニ依ルヘシ

梁ノ心距	中央部ニ於ケル厚	
	鋼	鐵
四十二吋以上四十四吋以下	〇・三六吋	十六分ノ六吋
四十六吋以上五十四吋以下	〇・四〇吋	十六分ノ七吋

木甲板ノ厚	固著釘ノ徑
三吋半未滿三吋	二分ノ一吋
三吋半以上四吋以下	八分ノ五吋

木甲板ノ厚	山形材ノ厚
二吋	〇・三〇吋

第二百三十七條　鋼甲板ヲ要スル場合及其ノ厚ハ第十五號表、第十九號表及第二十號表ニ依ルヘシ

二層ノ鋼甲板ヲ要スル船舶ノ第二甲板ノ梁上側板及鋼甲板ノ厚ハ長船橋樓ヲ有スル部分ニ於テハ第三甲板ニ要スルモノニ等シクスルコトヲ得但シ鋼甲板ノ厚ハ〇・三六吋ヨリ少カルヘカラス

第二百三十八條　中央部ニ於テ船ノ長ノ二分ノ一間ニ鋼板ヲ張ルトキハ其ノ前後ニ於テ船ノ長ノ八分ノ一間ハ漸次其ノ幅ヲ減シテ梁上側板ニ之ヲ會セシムヘシ

第二百三十九條　鋼甲板上ニ木甲板ヲ張ラサル船橋樓甲板及上甲板ニ鐵切板梁下縦通材ノ設ケナキトキハ船ノ中央部ニ於テ船口、機關室口、甲板室等ノ縁材間ニ特ニ隔切板梁下縦通材ヲ設ケ之ヲ縁材ニ緊接スルカ又ハ肘板ヲ以テ縁材ニ固著スヘシ但シ長キ船橋樓下ノ上甲板ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ梁下縦通材ト縁材トカ同一線上ニ來ラサルトキハ適當ナル距離ノ間鉄縦通材ト縁材トヲ相緊ヌルコトヲ要ス

第二百四十條　長船橋樓甲板又ハ上甲板ニ鋼板ヲ要スル船舶ニ於テ該甲板ニ大ナル幅ヲ有スル船口其ノ他ノ口ヲ設クルトキハ口ノ隅ニ二重張板ヲ爲シ又口ノ幅カ船ノ幅ノ十分ノ三ヨリ大ナルトキハ口ノ幅カ船ノ幅ノ十分ノ三ヨリ大ナルトキト同一效力ナラシムル樣口ノ兩側ノ鋼甲板ノ厚ヲ適當ノ長ノ間增加スヘシ

前項ノ甲板ヨリ下方ノ甲板ニ鋼甲板ヲ要スル船舶ニ於テ該甲板ニ船ノ幅ノ二分ノ一ヨリ大ナル幅ヲ有スル船口其ノ他ノ口ヲ設クルトキハ前項ニ準シ補强ヲ爲スヘシ

第二百四十一條　船首尾船ニ於テ上甲板ヨリ船底迄八呎ヲ超ユサル距離ニ層梁ヲ設クヘシ

第二百四十二條　船首隔壁ノ後部ニハ防撓梁及梁上側板又ハ之ニ代用スヘキ特設肋骨及特設肋骨間側板ヲ設クヘシ

前項ノ防撓梁ニ取附クヘキ梁上側板又ハ特設肋骨間側板ハ二重由形材ヲ以テ外板ニ固著シ肋骨毎ニ肘板ヲ以テ之ヲ支ヘシ但シ第二數一萬一千以下ノ船舶ニ在リテハ適當ニ之ヲ閉酌スルコトヲ得

第二百五十條　檢査官吏ニ於テ必要ト認ムルトキハ船尾ニモ適當ノ防撓及梁上側板又ハ特設肋骨ヲ附セシムルコトヲ得

第二十三章　機關室

第二百五十一條　機關室ニハ特設肋骨、特設梁等ヲ以テ適當ナル補强構造ヲ爲スヘシ

第二百五十二條　機關室ハ適當ニ構造シ縦通帶板ヲ以テ各部ヲ接續スヘシ又高速力ノ船舶ノ汽機室ハ成ルヘク之ヲ船側ニ接續スヘシ

第二百五十三條　汽罐ノ爲隔壁ヲ屈折スルトキハ汽罐ノ周圍ヲ檢査スルニ充分ナル場所ヲ隔壁ト該汽罐トノ間ニ設クヘシ

汽罐ノ頂部ト汽罐室ノ上部ニ於ケル甲板トノ間ニハ適當ノ間隔ヲ殘スヘシ

第二百五十四條　石炭庫ノ隔壁及船舶ニ接スル汽罐室ノ隔壁ハ充分汽罐、機械及煙突ト隔離シ且檢査官吏ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ間ニ隔板ヲ設クルカ又ハ適當ノ防熱方法ヲ施スヘシ

汽罐ニ接スル汽罐室ノ隔壁ノ船舶ニ面スル部分ニハ適當ノ熱除ヲ殘シ內張板ヲ張ルヘシ

第二百五十五條　副汽罐ヲ甲板上ニ置クトキハ其ノ下部ニ當ル甲板ハ厚二吋ヨリ少カラサル煉瓦又ハ「セメント」ヲ以テ被フヘシ

第二十四章　機關室口

第二百五十六條　機關室口ノ周圍ニハ縁材ヲ取附ケ最下層甲板以上ニ圍壁ヲ設クヘシ

前項ノ圍壁ニハ成ルヘク横ニ區畫壁ヲ設ケ適宜ニ分畫シテ其ノ防撓力ヲ增シ且頂部ニハ由形梁ヲ設ケ其ノ兩側ヲ接續スヘシ

第二百五十七條　暴露甲板ニ設クル機關室口ニハ甲板上十八吋ヨリ低カラシテ甲板梁ノ下端ニ連スヘキ縁材ヲ設ケ之ニ甲板上ノ高約七呎ノ鋼製圍壁ヲ取附クヘシ但シ全通船樓甲板及遮浪甲板ニ在リテハ甲板上縁材ノ高ヲ十二吋迄ニ減シ又圍壁頂板ノ開口ニ高九吋ヨリ低カラサル縁材ヲ取附ケ之ニ鋼製ノ蓋板ヲ備フルトキハ甲板上圍壁ノ高ヲ四呎迄ニ減スルコトヲ得

船樓甲板又ハ船尾樓甲板ノ圍壁ニハ縁材ヲ設ケサルコトヲ得

第二百五十八條　機關室口ノ圍壁ハ第十九條表ニ依リ其ノ寸法ヲ定メ中央部ニテ船ノ長ノ二分ノ一間ノ前後ニ於テハ漸次其ノ幅及厚ヲ減シ首尾ニ至リ兩端寸法ニ適合セシムヘシ

短船樓甲板ノ梁上側板ノ寸法ハ第二十號表ニ依ルヘシ

第二百五十九條　機關室口ノ圍壁ノ厚ハ船尾樓ニ要スル外板ノ厚ニ等シク縁材ノ厚ハ之ニ〇・〇六吋ヲ增シタルモノ上圍壁ニハ防撓材ヲ縁材ヲ以テ取附クヘシ但シ遮浪甲板及船樓甲板ノ圍壁竝ニ竪三十吋ノ距離ニ

第二百六十條　汽船ノ總噸數ト載貨重量トノ關係ハ船ノ種類ニ依リ一定ノ割合ヲ有スルヲ以テ船ノ大サヲ表ハスニハ總噸數ヲ用ヰルヲ普通トス

第二百六十一條　船ノ總噸數ハ船ノ容積ヲ表ハスモノニシテ其ノ計算ハ船ノ内部ノ容積ニ一定ノ率ヲ乘ジテ得タル數ニ甲板ノ容積ヲ加ヘタルモノトス

第二百六十二條　船ノ載貨重量トハ船ノ安全ナル航海ニ堪ユル最大ノ載貨ノ重量ヲ謂フ

第二百六十三條　船ノ排水量トハ船ノ重量ニシテ船ノ容積ニ依リ水ノ重量ヲ計算シテ得タル數ヲ謂フ

第二百六十四條　船ノ排水量ハ船ノ載貨重量ニ船ノ自重ヲ加ヘタルモノニシテ船ノ容積ニ依リ水ノ重量ヲ計算シテ得タル數ヲ謂フ

第二百六十五條　船ノ自重トハ船ノ載貨重量ト排水量トノ差ヲ謂フ

第二百六十六條　船ノ容積ハ船ノ内部ノ容積ト甲板ノ容積トヲ合算シタルモノトス

第二百六十七條　船ノ内部ノ容積ハ船ノ内部ノ容積ニ一定ノ率ヲ乘ジテ得タル數ヲ以テ之ヲ表ハス

第二百六十八條　船ノ甲板ノ容積ハ甲板ノ面積ニ一定ノ率ヲ乘ジテ得タル數ヲ以テ之ヲ表ハス

第二百六十九條　船ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ノ容積ト甲板ノ容積トヲ別々ニ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百七十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百八十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第二百九十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百二十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百三十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百四十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百五十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百六十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百七十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百八十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十一條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十二條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十三條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十四條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十五條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十六條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十七條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十八條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百九十九條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第四百條　船ノ内部ノ容積ヲ計算スルニ當リテハ船ノ内部ヲ數個ノ區劃ニ分チ各區劃ノ容積ヲ計算シテ之ヲ合算スルヲ普通トス

第三百十三條 前條ノ場合ニ於テ船舶ノ長サ百五十呎ヲ超ユルトキハ其ノ超ユル呎數ニ付キ一呎ヲ加フ

第三百十四條 船舶ノ長サハ船首材ノ前面ヨリ船尾材ノ後面ニ至ル水平ノ距離ヲ以テ之ヲ定ム

第三百十五條 船舶ノ幅ハ船側ノ外面ニ於ケル最大水平距離ヲ以テ之ヲ定ム

第三百十六條 船舶ノ深サハ船側ニ於ケル最大垂直距離ヲ以テ之ヲ定ム

第三百十七條 船舶ノ厚サハ船側ニ於ケル最大水平距離ヲ以テ之ヲ定ム

第三百十八條 船舶ノ噸數ハ其ノ容積ヲ以テ之ヲ定ム

第三百十九條 船舶ノ容積ハ船舶ノ全部ニ於テ之ヲ測定ス但シ甲板ノ上ニ在ル船室ノ容積ハ之ヲ算入セス

第三百二十條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・六
帆船	〇・四
艀船	〇・三

第三百二十一條 船舶ノ容積ハ船舶ノ全部ニ於テ之ヲ測定ス但シ甲板ノ上ニ在ル船室ノ容積ハ之ヲ算入セス

第三百二十二條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・六
帆船	〇・四
艀船	〇・三

第三百二十三條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・五
帆船	〇・三
艀船	〇・二

第三百二十四條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・四
帆船	〇・二
艀船	〇・一

第三百二十五條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・三
帆船	〇・一
艀船	〇・〇五

第三百二十六條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・二
帆船	〇・〇七
艀船	〇・〇四

第三百二十七條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・一
帆船	〇・〇五
艀船	〇・〇二

第三百二十八條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇七
帆船	〇・〇四
艀船	〇・〇二

第三百二十九條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇五
帆船	〇・〇三
艀船	〇・〇一

第三百三十條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇三
帆船	〇・〇二
艀船	〇・〇一

第三百三十一條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇二
帆船	〇・〇一
艀船	〇・〇〇五

第三百三十二條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇一
帆船	〇・〇〇五
艀船	〇・〇〇二

第三百三十三條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇五
帆船	〇・〇〇二
艀船	〇・〇〇一

第三百三十四條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇二
帆船	〇・〇〇一
艀船	〇・〇〇〇五

第三百三十五條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇一
帆船	〇・〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇二

第三百三十六條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇五
帆船	〇・〇〇〇二
艀船	〇・〇〇〇一

第三百三十七條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇二
帆船	〇・〇〇〇一
艀船	〇・〇〇〇〇五

第三百三十八條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇二

第三百三十九條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇二
帆船	〇・〇〇〇〇一
艀船	〇・〇〇〇〇〇五

第三百四十條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇二

第三百四十一條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇二

第三百四十二條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇二

第三百四十三條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇二

第三百四十四條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百四十五條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百四十六條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百四十七條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百四十八條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百四十九條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十一條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十二條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十三條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十四條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十五條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十六條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十七條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十八條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百五十九條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十一條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十二條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十三條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十四條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十五條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十六條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十七條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十八條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百六十九條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百七十條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百七十一條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百七十二條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百七十三條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百七十四條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百七十五條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百七十六條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇二

第三百七十七條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇一
帆船	〇・〇〇五
艀船	〇・〇〇二

第三百七十八條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇二

第三百七十九條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇一
帆船	〇・〇〇五
艀船	〇・〇〇二

第三百八十條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇二

第三百八十一條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇一
帆船	〇・〇〇五
艀船	〇・〇〇二

第三百八十二條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及深サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇〇一
帆船	〇・〇〇〇五
艀船	〇・〇〇〇二

第三百八十三條 船舶ノ容積ハ船舶ノ長サ幅及厚サニ乗シテ得タル數ニ左ノ係數ヲ乗シテ之ヲ定ム

船ノ種類	係數
蒸氣船	〇・〇〇一

第
三
百
六
十
一
條
　
船
舶
ノ
檢
査
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
之
ヲ
行
フ

第
三
百
六
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
檢
査
證
書
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
六
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
國
籍
證
書
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
六
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
名
稱
及
ビ
船
籍
港
ヲ
表
示
スル
ベシ

第
三
百
六
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
喫
水
ノ
標
識
ヲ
附
スル
ベシ

第
三
百
六
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
長
サ
、
幅
及
ビ
深
サ
ノ
測
度
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
六
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
噸
數
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
六
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
吃
水
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
六
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
乾
舷
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
重
量
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
七
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
八
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
三
百
九
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
二
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
三
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
四
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
五
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
六
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
七
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
三
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
四
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
五
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
六
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
七
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
八
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
八
十
九
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
九
十
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
九
十
一
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル
標
札
ヲ
備
ヘ
置
カ
ザル
ベカラズ

第
四
百
九
十
二
條
　
船
舶
ニ
ハ
命
令
ノ
定
ムル
所
ニ
依
リ
船
舶
ノ
最
大
搭
載
人
員
ヲ
記
載
シ
タル

氣工作物規程トアルハ朝鮮電氣工作物規程トス

附　則

第二條　本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル端艇及端艇釣ハ本令ノ規定ニ適合セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

前項ノ端艇ニ付テハ從前ノ規定ニ依リ算定シタル容積ヲ立方メートルニ換算シタルモノ及從前ノ規程ニ依リ算定シタル定員ヲ以テ第一條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶設備規程（以下單ニ船舶設備規程ト稱ス）第五條、第八條及第九條ノ規定ニ依ル容積及定員ト看做ス

前二項ノ規定ハ昭和六年七月一日以後ニ龍骨ヲ据附ケタル國際航海ニ從事スル旅客船ニシテ近海以上ノ航行區域ヲ有スルモノニ付之ヲ適用セズ

第四條　昭和六年六月三十日以前ニ龍骨ヲ据附ケタル國際航海ニ從事スル旅客船ニ付テハ管海官廳ニ於テ發動機附救命艇及救命索發射器ノ備附、端艇及救命筏ノ附屬品ノ備附、端艇ノ積付及揚卸裝置、乘艇裝置竝ニ消防設備ニ關シ本令ヲ適用スルコト困難ナリト認ムルトキハ之ヲ適當ト認ムルコトヲ得

第五條　本令施行ノ際現ニ沿海以下ノ航路定限ヲ有スル旅客船ニ備フル救命艇ニ非ザル端艇ハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ救命艇ニ代用セシムルコトヲ得

第六條　近海以上ノ航行區域ヲ有スル國際航海ニ從事スル旅客船ヲ除クノ外本令施行ノ際現ニ存スル船舶ニ付テハ管海官廳ニ於テ救命設備ニ關シ本令ヲ適用スルコト困難ナリト認ムルトキハ近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ在リテハ本令施行後二年、其ノ他ノ船舶ニ在リテハ四年ノ內ニ於テ行フ最後ノ中間檢査又ハ定期檢査ノ時期迄救命設備ニ關シ從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第七條　本令施行ノ際現ニ存スル船舶ノ旅客室ニ付テハ左ニ掲グル事項ニ關シ從前ノ例ニ依ルコトヲ得

一　室ノ高サ、通路及梯子ノ幅竝ニ客席ト甲板又ハ上層客席トノ間ノ高サ

二　移民搭載場所トシテ使用スル旅客室ニ付テハ彈居客室ノ通風裝置及病室ノ設備

三　旅客定員ノ算定ニ用フル單位容積及單位面積但シ旅客室ノ現狀其ノ他旅客定員ノ算定ニ關スル條件ニ變更ナキ場合ニ限ル

第八條　前條第一號ノ規定ハ船員室及船員又ハ旅客ニ非ザルモノノ居室ニ之ヲ準用ス

第九條　本令施行ノ際現ニ存スル旅客船ノ載壔又ハ棚欄ノ高サニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第十條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル錨、錨鎖及索ノ數、重量、徑又ハ長サニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル錨、錨鎖、鋼索、操舵鎖又ハ操舵綱索ニ付テハ之ヲ引續キ當該船舶ニ備フル場合ニ限リ船舶設備規程第百二十八條又ハ第百三十七條第二項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第十一條　本令施行後一年內ニ新ニ船舶ニ備フル救命設備、救命浮器、救命索發射器、信號紅炬、火災警報裝置、防排面、安全燈、移動式泡消火器、携帶用液體消火器及通信號燈ハ本令ノ規定ニ適合セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ適當ト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第十二條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル救命設備、救命浮器、救命索發射器、信號紅炬、火災警報裝置、防排面、安全燈、移動式泡消火器、携帶用液體消火器及通信號燈ハ本令ノ規定ニ適合セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ適當ト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第十三條　船舶設備規程第百四十六條ノ規定ニ依ル無線方位測定機ハ本令施行後二年ヲ限リ管海官廳ニ於テ其ノ備付ヲ豫定スルコトヲ得

第十四條　本令施行ノ際現ニ船舶ニ備フル電氣設備ニ付テハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

●船舶設備規程

昭和九年二月
遞令第六號

改正　昭和一一年二第八號

船舶設備規程左ノ通定ム

目　次

第一編　救命設備
第一章　總則
第二章　端艇
第三章　船舶ニ備フベキ端艇其ノ他ノ救命器具ノ數量
第一節　第一種船ノ端艇、救命筏及救命浮器
第二節　第二種船ノ端艇、救命筏及救命浮器
第三節　第三種船ノ端艇、救命筏、救命浮器、救命浮環又ハ救命胴衣
第四節　第四種船ノ端艇、救命筏及救命浮器
第五節　第五種船ノ端艇、救命筏及救命浮器
第六節　救命浮器、救命浮環及救命索發射器
第四章　端艇及救命筏ノ附屬品
第五章　端艇其ノ他ノ救命器具ノ積附及標示
第六章　乘艇裝置
第二編　消防設備
第一章　總則
第二章　近海以上ノ航行區域ヲ有スル旅客船ノ消防設備
第三編　居住及衛生設備
第一章　旅客室
第二章　旅客定員
第三章　旅客ニ關スル設備
第四章　船員室等
第五章　衛生設備
第四編　航海用具等
第一章　錨、錨鎖及索
第二章　操舵設備
第三章　航海用具其ノ他ノ屬具
第五編　特殊貨物ノ積附設備
第一章　火藥庫
第二章　甲板積木材貨物ノ積附
第三章　穀類貨物ノ積附
第六編　電氣設備
第一章　總則
第一節　通則
第二節　機械及器具
第三節　電線、電路及附屬設備
第二章　配線工事
第三章　特殊場所ニ於ケル設備
附　則

船舶設備規程

第一編　救命設備

第一章　總則

第一條　本編ノ規定ハ適用ニ付テハ船舶ヲ分チテ左ノ六種トス

第一種船　近海以上ノ航行區域ヲ有スル旅客船

第二種船　沿海ノ航行區域ヲ有スル旅客船又ハ沿海ノ區域ニ於テ臨時旅客ヲ運送スル旅客船

第三種船　平水ノ航行區域ヲ有スル旅客船又ハ平水ノ區域ニ於テ臨時旅客ヲ運送スル旅客船

第四種船　近海以上ノ區域ニ於テ臨時旅客ヲ運送スル旅客船

第五種船　旅客船ニ非ザル船舶ニシテ沿海以上ノ航行區域ヲ有スルモノ

第六種船　旅客船ニ非ザル船舶ニシテ平水ノ航行區域ヲ有スルモノ

第二條　救命艇ヲ分チテ左ノ五種トス

一　第一救甲型救命艇　內部浮体ノミヲ有シ固定艤側ヲ有スル無甲板救命艇

二　第一救乙型救命艇　內部浮体及外部浮体ヲ有シ固定艤側ヲ有スル無甲板救命艇

三　第二救甲型救命艇　內部浮体及外部浮体ヲ有シ艤側ノ上部ヲ疊込ミ得ル無甲板救命艇

四　第二救乙型救命艇　固定水密艤壔ヲ有スル有甲板救命艇

五　發動機附救命艇　第一救救命艇ニシテ發動機ヲ備フルモノ

第三條　端艇ト稱スルハ救命艇及容積一・四立方メートル以上ノ普通艇、傳馬船其ノ他ノ舢舨ヲ謂フ

第四條　救命設備トシテ船舶ニ備フベキ救命艇、救命筏、救命浮器、救命浮環、救命胴衣、救命索發射器、救命艇及信號紅炬ハ試驗規程ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

第二章　端艇

第五條　救命艇ノ容積又ハ面積ノ算定竝ニ救命艇、救命筏及救命浮器ノ定員ノ算定ニ付テハ試驗規程ニ依ル

第六條　發動機附救命艇ハ燃料ヲ十分ニ備ヘ何時ニテモ直ニ使用シ得ル狀態ニ置キ且之ヲ迅速ニ水上ニ卸ス爲ノ適當ナル裝置ヲ備フベシ

第七條　普通艇、傳馬船其ノ他ノ舢舨ノ構造ハ管海官廳ニ於テ適當ト認ムルモノナルコトヲ要ス

第八條　普通艇ノ容積ハ其ノ外部ニ於テ長サ及幅ヲ測リ深サノ中央ニ於テ內部ノ深サヲ測リ之ヲ相乘ジタルモノノ十分ノ六ト傳馬船其ノ他ノ舢舨ノ容積ノ前項ノ長サ、幅及深サヲ相乘ジタルモノノ十分ノ七トス

第九條　普通艇、傳馬船其ノ他ノ舢舨ノ定員ハ其ノ容積ヲ分チテ左ノ五種トス

一　第一種船　近海以上ノ區域ヲ有スル船舶又ハ沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ備フル端艇ニシテ救命艇ニ代ヘ救命筏又ハ救命浮器ヲ備フルコトヲ得但シ救命艇ノ總容積ヲ第一號表(ろ)欄ニ揭グル最小容積未滿ト爲スコトヲ得ズ

第十條　沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶又ハ沿海以下ノ區域ニ於テ臨時旅客ヲ運送スル船舶ニ備フル端艇ノ定員ハ第五條又ハ前條ノ規定ニ依ル定員ノ一・二倍トス

第三章　船舶ニ備フベキ端艇其ノ他救命器具ノ數量

第一節　第一種船ノ端艇、救命筏及救命浮器

第十一條　第一種船ニハ其ノ長サニ應ジ第一號表(イ)欄ニ揭グル組數ノ端艇釣ヲ備フベシ但シ最大搭載人員ヲ軟容スルニ必要ナル端艇ノ數ヨリ多キコトヲ要セズ

管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ於テハ第一號表(ロ)欄ニ揭グル組數ヲ同表(ハ)欄ニ揭グル端艇釣ヲ以テ一人ヲ救容スルモノトシテ之ヲ算定ス

第四節　第四種船ノ端艇、救命筏及救命浮器

第十二條　前條ノ端艇釣ノ各組ニハ第一救救命艇一隻ヲ取附クルコトヲ要ス

前項ノ救命艇ノ合計定員ガ船舶ノ最大搭載人員ニ達セザルトキハ之ニ達スル迄救命艇ノ增備スベシ

前項ノ增備救命艇ハ第一項ノ救命艇ノ下ニ一裏宛配置シ尙殘餘アルトキハ其ノ內側ニ配置スベシ

第十三條　長國際航海ニ從事スル第一種船ニ在リテハ管海官廳ニ於テ救命筏ガ前條第一項ノ救命艇ノ內側ニ配置セラルル增備艇ヨリモ一層迅速且有效ニ利用セラルト認ムルトキハ該增備艇ニ代ヘ救命筏ヲ備フルコトヲ得但シ救命艇ノ總容積ヲ第一號表(ニ)欄ニ揭グル最小容積未滿ト爲スコトヲ得ズ

第十四條　長國際航海ニ從事スル第一種船ニ於テ救命艇ノ數ヨリ多キ端艇釣ヲ備フル場合ニ於テハ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ限リ前項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第十五條　長國際航海ニ從事スル第一種船ニ於テ救命艇ノ數ヨリ多キ端艇釣ヲ備フル場合ニ於テハ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ限リ第十三條第一項ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第十六條　長國際航海ニ從事スル第一種船ニ在リテハ最大搭載人員ノ百分ノ二十五ヲ軟容シ得ベキ救命浮器ヲ備ヘ短國際航海ニ從事スル第一種船ニ在リテハ前條ノ規定ニ依ルモノノ外最大搭載人員ノ百分ノ十ヲ軟容シ得ベキ救命浮器ヲ備フベシ

第二節　第二種船ノ端艇、救命筏及救命浮器

第十七條　第二種船ニハ其ノ長サニ應ジ第一號表(イ)欄ニ揭グル組數ノ端艇釣ヲ備フベシ但シ最大搭載人員ヲ軟容スルニ必要ナル端艇ノ數ヨリ多キコトヲ要セズ

管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ於テハ其ノ長サニ應ジ第一號表(ロ)欄ニ揭グル組數ノ端艇釣ヲ以テ一人ヲ救容スルモノトシテ之ヲ算定ス

第十八條　前條ノ端艇釣ノ各組ニハ第一救救命艇一隻ヲ取附クルコトヲ要ス

前項ノ救命艇ノ總容積ノ合計定員ガ船舶ノ最大搭載人員ニ達セザルトキハ之ニ達スル迄救命艇ノ增備スベシ

第十九條　端艇ノ總容積及端艇釣ノ組數ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ船舶ノ最大搭載人員ヲ軟容スルニ必要ナル程度ヲ超ユルコトヲ要セズ

第二十條　第十八條ノ規定ニ依ル端艇ノ總容積ガ第一號表(ハ)欄ノ容積ニ達スルモ船舶ノ最大搭載人員ノ百分ノ五十ヲ軟容スルニ必要ナル容積ニ達セザルトキハ之ニ達スル迄端艇、救命筏又ハ救命浮器ヲ增備スベシ

第二十一條　長サ三〇メートル未滿ノ第二種船ニ在リテハ管海官廳ノ見込ニ依リ救命艇ニ代ヘ端艇釣ヲ備ヘザル端艇、救命筏又ハ救命浮器ヲ備フルコトヲ得

第三節　第三種船ノ端艇、救命筏、救命浮器、救命浮環又ハ救命胴衣

第二十二條　潮川港內ノミヲ航行スル船舶ヲ除クノ外第三種船ニハ最大搭載人員ノ百分ノ三十ヲ軟容スルニ必要ナル端艇、救命筏、救命浮器、救命浮環又ハ救命胴衣ヲ備フベシ

前項ノ場合ニ於テ船舶ニ備フベキ救命浮環又ハ救命胴衣ノ數ハ其ノ一箇ヲ以テ一人ヲ救容スルモノトシテ之ヲ算定ス

第四節　第四種船ノ端艇、救命筏及救命浮器

第二十三條　第四種船ニハ其ノ長サニ應ジ第一號表(イ)欄ニ揭グル組數ノ端艇釣ヲ備フベシ但シ最大搭載人員ヲ軟容スルニ必要ナル端艇ノ數ヨリ多キコトヲ要セズ

管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ於テハ第一號表(ロ)欄ニ揭グル組數ヲ第一號表(ハ)欄ニ揭グル端艇釣ヲ以テ一人ヲ救容スルモノトシテ之ヲ算定ス

第二十四條　前條ノ端艇釣ノ各組ニハ第一救救命艇一隻ヲ取附クルコトヲ要ス

前項ノ救命艇ノ合計定員ガ船舶ノ最大搭載人員ニ達セザルトキハ之ニ達スル迄救命艇ノ增備スベシ

第二十五條　長國際航海ニ從事セザル第四種船ニ付テハ第二十三條ノ規定ニ依リ備フベキ端艇釣ノ組數及前條第二項ノ規定ニ依リ增備スベキ救命艇ハ最大搭載人員ノ百分ノ

八十ヲ收容スル=必要ナルモノ迄、前條第三項但書ノ規定=依ル最小容積ハ第一號表(b)欄=揭グルモノ迄之ヲ減ズルコトヲ得

第二十六條　特=限定セラレダル區域ヲ航行スル第四種船=付管海官廳前三條ノ規定ヲ適用スルコト實際上不可能ナリト認メタルトキハ當該航路及旅客ノ性質ヲ考慮シ適當ト認ムル程度迄其ノ適用ヲ斟酌スルコトヲ得

第五節　第五種船ノ端艇、救命筏及救命浮器

第二十七條　近海以上ノ航行區域ヲ有スル第五種汽船=ハ各舷=最大搭載人員ヲ收容シ得ルニ足ル總容積ノ第一救救命艇及之=對スル端艇釣ヲ備フベシ但シ救命艇ノ總數三隻ナルトキハ中一隻ヲ、三隻ヲ超ユルトキハ中二隻ヲ第一救救命艇=非ザル端艇トス

前項但書ノ規定=依リ第一救救命艇=非ザル端艇ヲ備フル場合=於テハ最大搭載人員ヲ收容スル=必要ナル容積ノ二分ノ一以上ノ總容積ヲ有スル第一救救命艇ヲ各舷=備フベシ

前二項ノ規定ハ海難救助船其ノ他特殊ノ用途=使用スル汽船=シテ多數ノ人員ヲ搭載スルモノ又ハ長サ三〇メートル未滿ノ汽船=付テハ管海官廳ノ見込=依リ端艇釣ヲ備フル端艇=代ヘ之ヲ備ヘザル端艇、救命袋、救命浮器又ハ救命浮環ヲ備フルコトヲ得

前項但書ノ場合=於テ船舶=備フベキ救命浮環ノ數ハ一箇ヲ以テ一人ヲ收容スルモノトシテ之ヲ算定ス

第六節　救命胴衣、救命浮環及救命索發射器

第二十八條　左ノ各號ノ船舶=ハ最大搭載人員ト同數ノ救命胴衣ヲ備フベシ

一　第一種、第二種船又ハ第四種船

二　遠洋ノ航行區域ヲ有スル第五種船又ハ前項第一號=揭グル船舶=於テハ小兒ヲ搭載スル爲實際ノ搭載人員ガ船舶ノ最大搭載人員ヲ超ユル場合=對シ超過人員=相當スル數ノ救命胴衣ヲ附備シ置クベシ

第三十條　旅客船ニハ左表=依リ救命浮環及救命索發射器ヲ備フベシ

船ノ長サ（米）	第一種船	第二種船	第三種船	第四種船
	救命浮環	救命浮環	救命浮環	救命浮環
	救命索發射器	救命索發射器	救命索發射器	救命索發射器
六〇未滿	八	六	四	二
六〇以上九〇未滿	一〇	八	六	二
九〇以上一二〇未滿	一二	一〇	八	四
一二〇以上一八〇未滿	一四	一二	一〇	六
一八〇以上二一〇未滿	一六	一四	一二	六
二一〇以上二四〇未滿	一八	一六	一四	六
二四〇以上	二〇	一八	一六	六

第三十一條　旅客船ニ非ザル船舶ニハ左表=依リ救命浮環及救命索發射器ヲ備フベシ

船舶ノ種類	航行區域	救命浮環	救命索發射器
汽船	遠洋區域	六	四
	近海區域	四	二
	沿海區域	二	一
帆船	近海區域	四	二
	沿海區域	二	一
第五種船		二	一
第六種船	平水區域	二	一

第三十二條　國際航海=從事スル第一種船ハ救命索發射器一組ヲ備フベシ

第四章　端艇及救命袋ノ附屬品

第三十三條　救命艇ニハ左ノ各號=揭グル附屬品ヲ備フベシ

一　櫂（各艤掛ニ付一挺）、豫備櫂二挺、操舵櫂一挺、櫂栓又ハ櫂架一組半及鉤竿一本

二　各栓孔=對シ栓二箇（適當ナル自働弁ヲ取附クルトキハ栓ヲ要セズ）、淦汲一箇及亞鉛鍍鐵製バケツ一箇

三　舵一箇及舵柄又ハ索附横舵柄一箇

四　手斧二箇

五　油ヲ滴タシ蔕ヲ塞ヘタル燈一箇

六　有效ナル羅針儀一箇

七　一枚以上ノ良好ナル帆及附屬裝置ヲ備フル檣一本

八　繫索一箇

九　植物性又ハ動物性ノ油四・五リツトルヲ容レタル容器一箇（該容器ハ水面ニ容易ニ油ヲ撒布シ得ル構造ヲ有シ且海錨ニ取附ケ得ル樣裝置シタルモノナルコトヲ要ス）

十　定員一人=付一リツトルノ割合ノ飲料水ヲ容レ且紐附ノ杓ヲ備ヘタル水密容器一箇

十一　水密容器=容レタル信號紅焔一二箇及水密容器=容レタル燐寸一箱

十二　小型附屬品ヲ格納スル=適當ナル箱一箇

第三十四條　長國際航海=從事スル第一種船ノ救命艇ニハ前條ノ規定=依ル附屬品ノ外左ノ各號=揭グル附屬品ヲ備フベシ

一　定員一人=付一キログラムノ割合ノ糧食ヲ容レタル氣密容器一箇

二　乳

第三十五條　發動機附救命艇ニハ第三十三條ノ規定=依ル附屬品ヲ備ヘ且鉤竿一本ヲ增備スベシ但シ櫂ノ數ハ艤ノ數ノ二分ノ一ニ止メ槍及帆ハ之ヲ備ヘザル=妨ナシ

長國際航海=從事スル第一種船ノ發動機附救命艇ニハ前項ノ規定=依ル附屬品ノ外前條各號=揭グル附屬品ヲ備フベシ

第三十六條　長國際航海=從事スル第一種船ノ發動機附救命艇ニハ無線電信設備ヲ爲シ且探照燈ヲ備フベシ

探照燈ハ八〇ワット以上ノ燈、有效ナル反射鏡及動源ヲ備ヘ明キ色ノ物燈ヲ一八〇メートルノ距離ニテ約一八メートルノ幅ニ亙リ合計六時間有效ニ照明シ得ルコトヲ要シ且連續三時間使用シ得ルモノナルコトヲ要ス

無線電信及探照燈ニ要スル動力ガ同一動源ヨリ供給セラルルトキハ該動源ハ兩設備ノ同時ノ操作ニ對シ十分ナルコトヲ要ス

第三十七條　近海以上ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ普通艇ノ附屬具ニ付テハ第三十三條ノ規定ヲ準用ス

沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ普通艇ニハ左ノ各號=揭グル附屬品ヲ備フベシ

一　櫂四挺

二　櫂架五箇

三　繫索一筋

四　救命浮一箇

五　植物性又ハ動物性ノ油四・五リツトルヲ容レタル容器（該容器ハ水面ニ容易ニ油ヲ撒布シ得ル構造ヲ有シ且海錨ニ取附ケ得ル樣裝置シタルモノナルコトヲ要ス）

六　定員一人=付一リツトルノ割合ノ飲料水ヲ容レ且紐附ノ杓ヲ備ヘタル水密容器一箇

七　水密容器=容レタル信號紅焔一二箇及水密容器=容レタル燐寸一箱

八　水密容器=容レタル燐寸一箱

第四十條　長國際航海=從事スル第二種船ノ救命艇ニハ前條ノ規定=依ル附屬品ノ外左ノ各號=揭グル附屬品ヲ備フベシ

一　櫂一挺、櫂栓又ハ櫂架一組半及鉤竿一本

二　各栓孔=對シ栓二箇（適當ナル自働弁ヲ取附クルトキハ栓ヲ要セズ）、淦汲一箇及桶一箇

三　舵一箇及舵柄又ハ索附横舵柄一箇

四　繫索一筋

第三十八條　傳馬船其ノ他ノ舷舟ニハ櫂、舵及其ノ附屬品ニ代ヘ櫓二挺、櫂一挺ヲ備フルノ外前條第二項各號=揭グル附屬品ヲ備フベシ

第三十九條　救命筏ニハ左ノ各號=揭グル附屬品ヲ備フベシ

一　櫂四挺

二　櫂架五箇

三　繫索一筋

四　救命浮一箇

五　植物性又ハ動物性ノ油四・五リツトルヲ容レタル容器（該容器ハ水面ニ容易ニ油ヲ撒布シ得ル構造ヲ有シ且海錨ニ取附ケ得ル樣裝置シタルモノナルコトヲ要ス）

六　定員一人=付一リツトルノ割合ノ飲料水ヲ容レ且紐附ノ杓ヲ備ヘタル水密容器一箇

八　水密容器=容レタル信號紅焔一二箇及水密容器=容レタル燐寸一箱

第四十條　長國際航海=從事スル第一種船ノ救命艇ニハ前條ノ規定=依ル附屬品ノ外左ノ各號=揭グル附屬品ヲ備フベシ

一　定員一人=付一キログラムノ割合ノ糧食ヲ容レタル氣密容器一箇

二　定員一人=付牛キログラムノ割合ノ煉乳

第四十一條　端艇ハ上下ニ重ネテ積附ケ又他ノ端艇内ニ重ネテ積附クルコトヲ得但シ之ヲ通水セシムル=當リ吊リ上グルコトヲ要スル積附ハ動力=依ル吊上裝置ヲ備ヘザル場合=於テハ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十二條　端艇釣下ニ重ネテ配置シタル端艇ノ外共ノ内側ニ端艇又ハ救命袋ノ積附ヲ必要トスルトキハ之ヲ甲板上ニ横ニ積附クルコトヲ得但シ其ノ積附ハ端艇又ハ救命袋ガ之ヲ通水セシムル暇ナキ場合=於テハ船舶ヨリ離レテ容易ニ浮ビ得ル樣ニ之ヲ爲スベシ

端艇ヲ内側ニ配置スル場合=於テハ共ノ成ルベク多數ヲ甲板ノ一側ヨリ他側ニ移動シ通水セシムル爲管海官廳ノ適當ト認ムル移動裝置ヲ設クベシ

第四十三條　端艇ハ共ノ揚卸=當リ相互ニ妨害セザル樣特殊ノ方法ヲ講ズル場合ニ限リ之ヲ二層以上ノ甲板ニ積附クルコトヲ得

第四十四條　端艇ハ通水ニ際シ推進器ニ接近シ危險ヲ生ズル虞アル位置又ハ船舶ノ前端部ニ之ヲ積附クルコトヲ得ズ

第四十五條　端艇釣ハ管海官廳ノ適當ト認ムル形式ノモノニシテ端艇ノ揚卸操作ガ他ノ端艇ノ揚卸操作ニ依リ妨害セラレザル樣之ヲ配置スベシ

第四十六條　端艇釣ニ配置セラレタル端艇ニハ何時ニテモ使用シ得ル吊索ヲ備附ケ且端艇ヨリ迅速ニ取外シ爲ノ裝置ヲ設クベシ

第四十七條　國際航海ニ從事スル第一種船及甲板旅客ヲ搭載スル第四種船ノ端艇揚卸裝置ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ得

救命筏ニハ前條各號ニ揭グル附屬品ノ外定員一人ニ付一キログラムノ割合ノ糧食ヲ容レタル氣密容器一箇ヲ備フベシ

沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ救命筏ニハ前條第四號乃至第八號ノ附屬品ヲ備フルコトヲ要セズ

第五章　端艇其ノ他ノ救命器具ノ積附及標示

第四十一條　已ムコトヲ得ザル場合ニ於テハ端艇ハ上下ニ重ネテ積附ケ又他ノ端艇内ニ重ネテ積附クルコトヲ得但シ之ヲ通水セシムルニ當リ吊リ上グルコトヲ要スル積附ハ動力ニ依ル吊上裝置ヲ備ヘザル場合ニ於テハ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第四十二條　端艇釣下ニ重ネテ配置シタル端艇ノ外共ノ内側ニ端艇又ハ救命袋ノ積附クルコトヲ得但シ其ノ積附ハ端艇又ハ救命袋ガ之ヲ通水セシムル暇ナキ場合ニ於テハ船舶ヨリ離レテ容易ニ浮ビ得ル樣之ヲ爲スベシ

端艇ヲ内側ニ配置スル場合ニ於テハ共ノ成ルベク多數ヲ甲板ノ一側ヨリ他側ニ移動シ通水セシムル爲管海官廳ノ適當ト認ムル移動裝置ヲ設クベシ

第四十三條　端艇ハ共ノ揚卸ニ當リ相互ニ妨害セザル樣特殊ノ方法ヲ講ズル場合ニ限リ之ヲ二層以上ノ甲板ニ積附クルコトヲ得

第四十四條　端艇ハ通水ニ際シ推進器ニ接近シ危險ヲ生ズル虞アル位置又ハ船舶ノ前端部ニ之ヲ積附クルコトヲ得ズ

第四十五條　端艇釣ハ管海官廳ノ適當ト認ムル形式ノモノニシテ端艇ノ揚卸操作ガ他ノ端艇ノ揚卸操作ニ依リ妨害セラレザル樣之ヲ配置スベシ

第四十六條　端艇釣ニ配置セラレタル端艇ニハ何時ニテモ使用シ得ル吊索ヲ備附ケ且端艇ヨリ迅速ニ取外シ爲ノ裝置ヲ設クベシ

第四十七條　國際航海ニ從事スル第一種船及甲板旅客ヲ搭載スル第四種船ノ端艇揚卸裝置ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ得

救命艇ニハ前條各號ニ揭グル附屬品ノ外定員一人ニ付一キログラムノ割合ノ糧食ヲ容レタル氣密容器一箇ヲ備フベシ

沿海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ノ救命筏ニハ前條第四號乃至第八號ノ附屬品ヲ備フルコトヲ要セズ

第六章　端艇及救命袋ノ積附及標示

第四十八條　端艇ハ其ノ他ノ救命器具ノ積附ニ妨害ナキ場所ニ積附クルコトヲ要ス但シ短距離航海ニ從事スル船舶ニシテ最低航海吃水線ヨリ端艇甲板迄ノ高サガ四・五メートル以下ノモノニ付テハ管海官廳ニ於テ適當ト之ヲ斟酌スルコトヲ得

一　端艇釣、滑車、吊索其ノ他一切ノ裝具ハ船舶ガ何レカノ側ニ一五度傾キタル場合ニ於テモ端艇狀態ノ端艇ヲ安全ニ卸シ得ル程度ノ强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

二　吊索ハ船舶ガ最小航海吃水ニ於テ反對ニ一五度傾キタル場合ニ水面ニ達スル長サノモノナルコトヲ要ス

三　端艇釣ニハ旅客ヲ除クノ外艤裝品及艇手ノ全部ヲ搭載シタル端艇ヲ吊卸可能ナル最大傾斜ニ逆ヒ振出ス=十分ナル力ヲ有スル裝置ヲ備ヘ且吊索ニ鋼索ヲ使用スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

四　前號ノ場合ニ於テハ端艇ノ揚卸裝置ハ各端艇ヲ順次迅速ニ卸シ得ルモノナルコトヲ要シ且鋼索ヲ捲返ス爲ノ機械裝置ヲ備フルトキハ手動捲返裝置ヲ備フベシ

第四十八條　鋼製普通型端艇釣ノ徑ハ船ノ種類ニ應ジ左ノ各號ノ規定ニ依リ算定シタルモノヨリ小ナルコトヲ得ズ但シ傳馬船其ノ他ノ舷舟ニ用ウル端艇釣ノ徑ハ管海官廳ニ於テ適當ト認ムルモノト爲スコトヲ得

前條ノ規定ノ適用ヲ受ケザル船舶ニ用ウル鋼製普通型端艇釣ノ徑ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ定ム

$$\frac{124\sqrt[3]{L\times B\times D(H+4S)}}{174}\ \text{ミリメートル}$$

L ハ外板ノ外面ト船首材トノ交點ヨリ船尾ニ於ケル之ニ相當スル點迄測リタル端艇ノ長サ（メートル）

B ハ外板ノ外面ヨリ外面迄測リタル端艇ノ最大幅（メートル）

D ハ長サノ中央ニ於テ龍骨ノ上面ヨリ舷端迄測リタル端艇ノ深サ（メートル）

H 及 S ハ前號ノ規定ニ依ル

第四十九條　救命筏及救命浮器ハ何時ニテモ近寄リ得ル場所ニ容易且迅速ニ之ヲ通水セシメ得ル樣備附クベシ

第五十條　救命浮環ハ何時ニテモ近寄リ得ル場所ニ容易且迅速ニ取外シ得ル樣之ヲ備附クベシ

船舶ノ各舷ニ備フル救命浮環中少クトモ一箇ニハ長サ二七、五メートル以上ノ救命索ヲ取附ケ置クベシ

第五十一條　救命艇ハ必要ナル取附具ヲ附シ其ノ屬スル救命浮環ノ附近ニ之ヲ備置クベシ

第五十二條　救命胴衣ハ容易ニ使用シ得ル樣旅客室、船員室其ノ他適當ノ場所ニ配置スベシ

第五十三條　端艇、救命筏及救命浮器ニハ其ノ定員並ニ之ヲ搭載スル船舶ノ名稱及船籍港ヲ標示シ且端艇ニハ其ノ寸法ヲ標示スベシ

第七節　救命艇ノ進水裝置

第五十四條　救命艇ノ進水裝置ハ左ノ各號ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ得

一　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ前方ニ在ラザルコト

二　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

六　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

七　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

八　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

九　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十一　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十二　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十三　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十四　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十五　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十六　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十七　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十八　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

十九　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十一　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十二　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十三　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十四　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十五　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十六　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十七　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十八　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

二十九　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十一　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十二　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十三　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十四　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十五　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十六　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十七　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十八　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

三十九　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十一　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十二　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十三　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十四　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十五　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十六　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十七　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十八　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

四十九　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十一　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十二　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十三　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十四　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十五　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十六　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十七　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十八　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

五十九　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

六十　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

六十一　端艇釣ハ端艇ヲ吊上ゲタル場合ニ於テ端艇ノ重心ヨリ後方ニ在ラザルコト

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第七十條　船舶ノ檢査ニ關シ必要ナル細則ハ遞信大臣之ヲ定ム

第七十一條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ニ立入リ又ハ船舶ニ關係アル者ニ對シ檢査ニ必要ナル書類ノ提出ヲ命ジ又ハ檢査ニ必要ナル事項ニ付質問ヲ爲スコトヲ得

第七十二條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ入港ヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ出港ヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ航行ヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ停船ヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ航行ヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ航行ヲ制限スルコトヲ得

第七十三條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ入渠ヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ上架ヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ水ヲ排出スルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ水ヲ注入スルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第七十四條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第七十五條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第七十六條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第七十七條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第七十八條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第七十九條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十一條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十二條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十三條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十四條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十五條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十六條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十七條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十八條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第八十九條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第九十條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第九十一條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第九十二條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第九十三條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第九十四條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第九十五條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

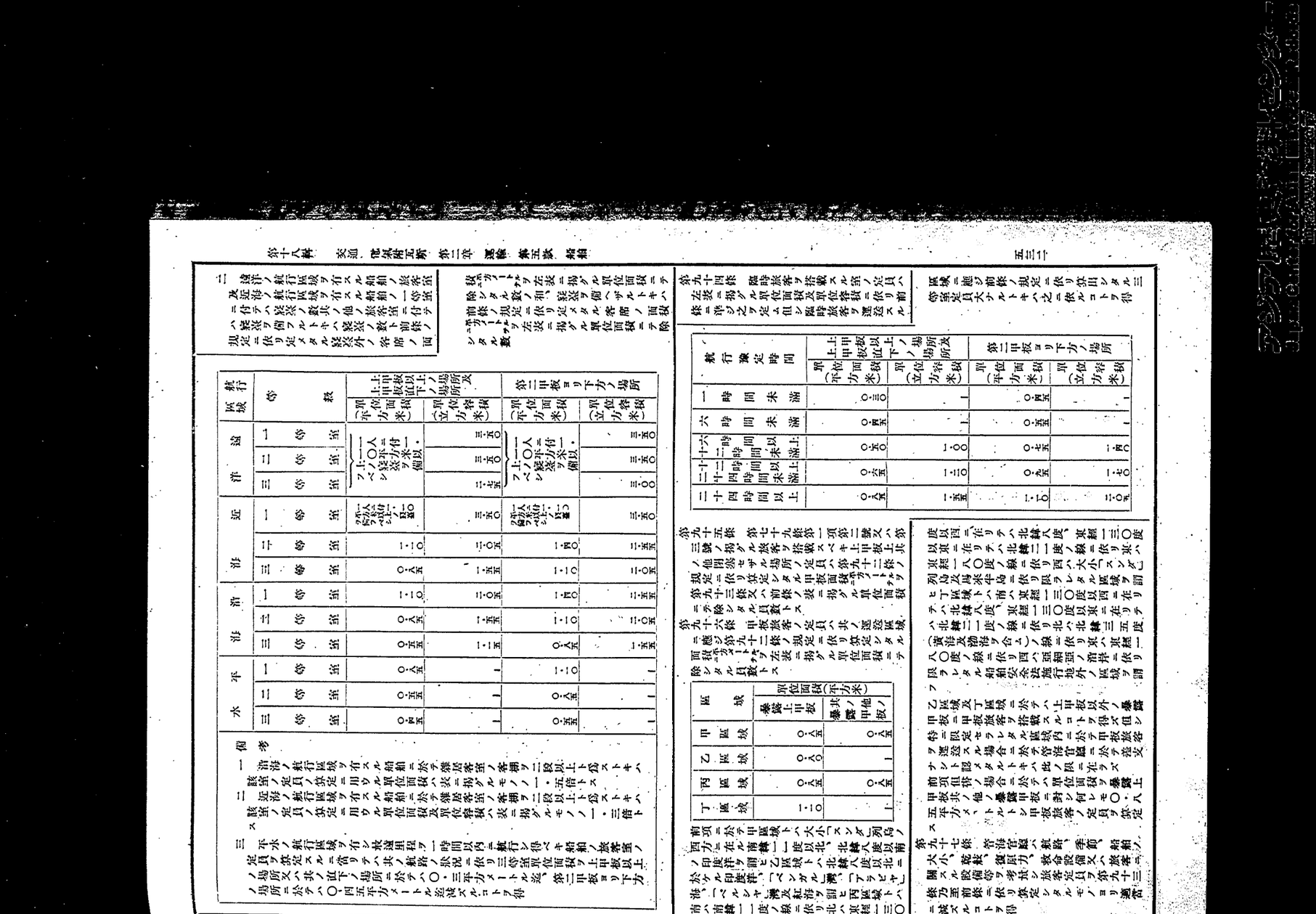
第九十六條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第九十七條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第九十八條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第九十九條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得

第百條　船舶檢査官ハ檢査ノ爲メ必要ト認ムルトキハ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航スル船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ命ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ禁ジ又ハ檢査ノ爲メ船舶ヲ指定シテ檢査ノ爲メ船舶ヲ曳航セシムルコトヲ制限スルコトヲ得



ニ對シ一箇ノ割合ヲ以テ大便所ヲ設クベシ但シ最大搭載人員三百人以上ノ船舶ニ在リテハ此ノ限ニ非ズ

第百二十七條　有錨錨ノ錨鉤ノ重量ハ錨鉾ヲ除キタル錨ノ重量ノ四分ノ一以上ナルコトヲ要ス

無錨錨ノ錨柄ヲ除キタル重量ハ錨ノ全重量ノ五分ノ三以上ナルコトヲ要ス

第百二十八條　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶、近海ノ航行區域ヲ有スル汽船ニ備フル錨（錨鉾ヲ含ミタル重量七六・二キログラム以下ノモノヲ除ク）錨鎖及鋼索ハ試驗規程ニ適合シタルモノナルコトヲ要ス

第百二十九條　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶及總噸數五十噸未滿ノ汽船ニ在リテハ日本形錨ヲ代用シタル日本形錨ニ對シテハ相當ノ錨索ヲ以テ錨ニ代用スルモ妨ナシ

前項ノ規定ニ依リ代用シタル日本形錨ニ對シテハ相當ノ錨索ヲ以テ錨鎖ニ代用スルモ妨ナシ

第百三十一條　錨鎖ハ衰耗ノ最モ甚シキ箇所ニ於ケル平均ノ徑ガ其ノ原徑ニ應ジ第八號表ニ定ムルモノ以下トナリタルトキハ之ヲ使用スベカラズ

第百三十二條　總噸數三十噸未滿ノ帆船、淺瀨船、總噸數二十噸以上ノ旅客船ヲ除キタル平水ノ航行區域ヲ有スル船舶及湖川港內ノミヲ航行スル船舶ニ付テハ錨數、錨重竝ニ錨鎖、大索等ノ徑及長サハ管海官廳ニ於テ適當ト認ムル程度迄之ヲ減ズルコトヲ得

第百三十三條　錨ハ常時使用セザルモノト雖モ取出シ易キ場所ニ備置クベシ

第百三十四條　汽船及機帆船ニ在リテハ錨鎖ノ一箇ヲ錨鉾ニ使用スベシ

第百三十五條　錨鉾ハ錨ノ重量ノ二分ノ一以上ノ錨ヲ使用スベシ

第百三十六條　第四號表及第五號表ニ定ムル中錨ノ鎖又ハ鋼索ノ相當ノ大サノ麻索又ハ棕梠索ヲ以テ之ニ代用シ又同表中揖索ノ麻索ハ相當ノ大サノ棕梠索ヲ以テ之ニ代用スルモ妨ナシ

第百三十七條　第六號表ニ定ムル大錨ノ重量ノ三分ノ一以上ノ錨ヲ備フベシ但シ第七號表ノ定ムル所ニ依ル

第百三十八條　大錨ノ合其ガ表ニ揭グルモノヨリ減少セザル限リ大錨二箇ヲ備フベキ船舶ニハ中一箇ハ百分ノ七・五以內又三箇ヲ備フベキ船舶ニハ中一箇ハ百分ノ十五以內ニ揭グル單其ヨリ少カルモノヲ爲スモ妨ナク又各大錨ノ單其ヲ相等シキモノヲ爲スモ妨ナシ

沿海以下ノ航行區域ヲ有スル汽船ニ付テハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ大錨三箇ヲ備フベキ場合ト雖モ其ノ數ヲ二箇ト爲スコトヲ得但シ中一箇ノ大錨ノ錨其ハ該單其ノ百分ノ八十五以上ト爲スベシ

第百二十七條　有錨錨ノ錨鉾ノ重量ハ錨鉾ヲ除キタル錨ノ重量ノ四分ノ一以上ナルコトヲ要ス

無錨錨ノ錨柄ヲ除キタル重量ハ錨ノ全重量ノ五分ノ三以上ナルコトヲ要ス

第百二十八條　遠洋ノ航行區域ヲ有スル船舶、近海ノ航行區域ヲ有スル汽船ニ備フル錨（錨鉾ヲ含ミタル重量七六・二キログラム以下ノモノヲ除ク）錨鎖及鋼索ハ試驗規程ニ適合シタルモノナルコトヲ要ス

第百二十九條　近海以下ノ航行區域ヲ有スル帆船

五　電氣ノ危險ニ對スル保護ノ爲ニ施設スル接地ニ關シテハ第二百七十九條ノ規定ニ準ジテ之ヲ施設スルコト

六　電動機ニ過電流ヲ生ジ又ハ生ズル虞アル場合ニ於テハ自動的ニ電路ヲ遮斷スル保護裝置ヲ施設スルコト

七　發電機ノ勵磁回路ニ於テハ勵磁電流ノ異常ニ低下シ又ハ其ノ方向ノ變ジタル場合ニ於テハ自動的ニ發電機ヲ電路ヨリ遮斷スル保護裝置ヲ施設スルコト

八　蓄電池ニ接續スル電路ニハ過充電又ハ過放電ヲ防止スル爲適當ナル保護裝置ヲ施設スルコト

（蓄電池ノ施設）

第二百九十四條　蓄電池ニ接續スル電線ニハ其ノ蓄電池ノ極性ヲ容易ニ識別スルコトヲ得ル措置ヲ施スコト

（電氣機械器具ノ施設）

第二百九十五條　電氣機械器具ハ充電部分ニ人ノ容易ニ接觸スルコトヲ得ザル樣施設スルコト但シ其ノ電氣機械器具ノ使用電壓ガ直流ニ在リテハ六百五十ボルト交流ニ在リテハ三百二十五ボルト以下ノ場合ニ於テ乾燥シタル場所ニ施設スル場合又ハ絶緣性ノ床又ハ臺ノ上ニ施設スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二百九十六條　電氣機械器具ハ其ノ金屬製外箱ニ施設スル場合ニ於テハ第二百九十七條ノ規定ニ依リ接地工事ヲ施スコト但シ電氣用品取締法ニ依リ二重絕緣ノ構造ヲ有スルモノト認メラレタルモノ又ハ其ノ絕緣性ヲ保持スル爲ニ必要ナル措置ヲ施シタルモノニ在リテハ此ノ限ニ在ラズ

第二百九十七條　電氣機械器具ニ施設スル接地工事ハ次ノ各號ニ依ルコト

一　接地線ハ絕緣電線（屋外用ビニル絕緣電線ヲ除ク）又ハ引下用ノ小形裸銅線ヲ使用スルコト

二　接地線ハ造營材ノ露出シテ施設スル場合ニ於テハ地表上一米五十分ノ一米以上ノ深サノ部分ニ於テハ接地線ヲ防護スル爲堅牢ナル鐵管ニ收ムルコト

三　接地線ハ地中ニ於テ金屬製ノ水道管ニ接觸セザルコト

四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ七十五分ノ一米以上ノ深サニ埋設スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

四十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

五十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

六十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

七十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

八十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

九十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十五　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十六　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十七　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十八　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百二十九　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百三十　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百三十一　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百三十二　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百三十三　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百三十四　接地線ハ地中ニ於テ地表ヨリ深サ一米以上ノ深サニ埋設スル場合ニ於テハ接地線ニ絕緣電線ヲ使用スルコト但シ地盤凍結ノ虞アル場所ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

百三十五　接地線ハ地中ニ於テ地表

乗	名	品	数	産	額
ヂガンレンズ	眼鏡ヲ掛ケル人ノ顔ヲ正面ヨリ寫シタル寫眞	一〇〇枚	一五〇〇グラム	一二	一〇〇
ヂガンレンズ	眼鏡ヲ掛ケル人ノ顔ヲ横ヨリ寫シタル寫眞	一〇〇枚	一五〇〇グラム	一二	一〇〇
硝子管（ガラスカン）	寒暖計ノ管ニ用ヰル硝子ノ管	一〇〇本

第四號表

汽船錨、錨鎖及大索表

| 備考 | 錨鎖及大索 | | |

1550—1720	4475—5155	3	1	1450	4115	1805	5130	470	450	44	150	27	32	165	—	28	165	2	50	18	2	50	14
1720—1915	—	3	1	1575	4470	1970	5580	510	450	46	150	28	34	165	—	32	165	2	60	20	2	50	18
1915—2110	—	3	1	1700	4850	2135	6070	560	450	48	150	29	34	185	—	32	165	2	60	20	2	50	18
2110—2320	—	3	1	1830	5235	2285	6500	610	500	48	150	29	34	185	—	32	165	2	60	20	2	50	18
2320—2535	—	3	1	1980	5640	2475	7060	660	500	50	175	30	36	220	—	32	165	2	60	20	2	55	20
2535—2760	—	3	1	2135	6070	2665	7595	710	500	52	175	30	36	220	—	36	165	2	60	20	2	55	20
2760—2990	—	3	1	2255	6500	2860	8130	760	500	54	175	30	36	220	—	36	165	2	60	20	2	55	20
2990—3235	—	3	1	2440	6935	3050	8660	825	500	56	175	32	38	220	—	38	165	2	65	22	2	60	20
3235—3495	—	3	1	2590	7370	3240	9245	880	500	58	175	32	38	220	—	40	165	2	65	22	2	60	20
3495—3755	—	3	1	2770	7900	3455	9880	965	500	58	175	34	40	220	—	38	165	2	65	22	2	60	20
3755—4015	—	3	1	2945	8410	3685	10515	1040	550	60	225	34	40	240	—	40	185	2	65	22	2	65	22
4015—4275	—	3	1	3125	8915	3910	11150	1120	550	62	225	34	40	240	—	42	185	2	65	22	2	65	22
4275—4535	—	3	1	3300	9425	4130	11785	1195	550	64	225	36	38	240	—	44	185	2	65	22	2	65	22
4535—4795	—	3	1	3480	9930	4345	12420	1270	550	66	225	36	38	240	—	44	185	2	65	22	2	65	22
4795—5070	—	3	1	3655	10460	4570	13080	1345	550	66	225	36	38	240	—	44	185	2	65	22	2	65	22
5070—5350	—	3	1	3860	11020	4825	13770	1425	600	68	225	38	44	240	—	52	185	2	65	22	2	65	22
5350—5630	—	3	1	4065	11580	5080	14480	1500	600	70	225	38	44	240	—	52	220	2	65	22	2	65	22
5630—5925	—	3	1	4240	12090	5310	15140	1575	600	70	225	40	44	240	—	52	220	2	65	22	2	65	22
5925—6225	—	3	1	4420	12600	5535	15800	1650	600	72	225	42	44	240	—	52	220	2	65	22	2	65	22
6225—6520	—	3	1	4620	13150	5765	16460	1730	600	74	275	42	48	255	—	55	220	3	65	22	2	65	22
6520—6820	—	3	1	4800	13660	5995	17070	1805	600	76	275	44	48	255	—	55	220	3	65	22	2	65	22
6820—7135	—	3	1	4980	14170	6225	17730	1895	600	78	275	46	48	255	—	55	220	3	65	22	2	65	22
7135—7450	—	3	1	5155	14730	6450	18390	1980	600	80	275	46	48	255	—	58	220	3	65	22	3	65	22
7450—7785	—	3	1	5360	15290	6705	19100	2070	600	82	275	48	52	255	—	58	220	3	65	22	3	65	22
7785—8140	—	3	1	5560	15850	6960	19810	2160	600	82	275	48	52	255	—	58	220	3	65	22	3	65	22
8140—8510	—	3	1	5765	16460	7215	20530	2250	600	85	275	48	52	275	—	65	220	3	65	22	3	65	22
8510—8900	—	3	1	5995	17070	7495	21340	2335	600	85	275	50	52	275	—	65	220	3	65	22	3	65	22
8900—9310	—	3	1	6225	17730	7775	22150	2425	600	88	275	52	58	275	—	65	220	3	65	22	3	65	22
9310—9755	—	3	1	6450	18390	8075	22960	2515	600	91	275	52	58	275	—	65	220	3	65	22	3	65	22

※印欄鋼索ハ十二本縒六ツ撚普通鋼索ヲ使用シタル場合ノ寸法トス

表索大及鎖錨、錨船帆　第五號表

数	装	纜	数	錨		重量（鍛ヲ除ク）				大鎖錨		中錨用鎖又ハ索鋼			捲索(麻索又ハ鋼索)			(麻索又ハ鋼索)索大							
						錨大		錨中	錨小										大				小		
船鋼		船木	大	中	小	一箇重量	合重量	一箇重量	一箇重量	サ長	径	サ長	鎖径	索鋼径※	サ長	索鋼径	索鋼径※	サ長	数	索麻径	索鋼径※	数	索麻径	索鋼径※
粍		粍				瓩	瓩	瓩	瓩	米	粍	米	粍	粍	米	粍	粍	米		粍	粍		粍	粍
65— 80		40— 55	2	—	—	75	150	—	—	125	12	—	—	—	110	28	—	—	—	—	—	—	—	—
80— 95		55— 70	2	1	—	90	180	25	—	150	14	75	9	—	110	32	—	165	1	20	—	—	—	—
95— 115		70— 100	2	1	—	115	230	25	—	175	16	75	10	—	110	35	—	165	1	20	—	—	—	—
115— 150		100— 140	2	1	—	140	280	40	—	200	17	75	11	—	135	40	—	165	1	22	—	—	—	—
150— 195		140— 210	2	1	1	180	355	40	25	225	18	75	11	—	135	40	14	165	1	24	—	—	—	—
195— 230		210— 285	2	1	1	215	430	65	25	225	19	75	13	—	135	45	16	165	1	24	—	—	—	—
230— 280		285— 355	2	1	1	255	510	75	40	250	21	75	13	—	135	45	16	165	1	24	—	—	—	—
280— 315		355— 425	2	1	1	290	580	75	40	300	22	100	13	—	135	50	18	165	1	28	—	—	—	—
315— 360		425— 495	2	1	1	330	660	100	50	300	24	100	14	16	135	55	18	165	1	32	—	—	—	—
360— 400		495— 565	2	1	1	370	735	115	50	300	25	100	15	18	135	55	18	165	1	32	—	—	—	—
400— 445		565— 710	3	1	1	420	1195	125	65	300	27	100	16	18	135	60	20	165	1	32	—	—	—	—
445— 490		710— 850	3	1	1	510	1450	190	90	350	29	100	16	18	135	60	20	165	1	40	14	—	—	—
490— 550		850— 990	3	1	1	610	1740	205	100	350	30	100	17	20	135	65	22	165	1	45	16	—	—	—
550— 605		990—1135	3	1	1	685	1955	240	125	375	32	100	18	22	135	65	22	165	1	45	16	—	—	—
605— 660		1135—1275	3	1	1	775	2210	265	125	400	34	100	19	22	135	70	22	165	1	50	18	—	—	—
660— 715		1275—1415	3	1	1	865	2465	280	140	425	36	100	19	22	135	75	24	165	1	55	18	—	—	—
715— 780		1415—1700	3	1	1	965	2745	330	165	450	36	100	20	24	135	—	26	165	1	60	20	—	—	—
780— 855		1700—1985	3	1	1	1065	3050	370	180	450	38	125	21	24	165	—	26	165	1	60	20	1	32	—
855— 940		1985—2265	3	1	1	1175	3405	405	205	500	40	125	22	26	165	—	26	165	1	65	22	1	40	14
940—1030		2265—2550	3	1	1	1295	3695	430	215	500	42	125	22	26	165	—	26	165	1	65	22	1	40	14
1030—1145		2550—2835	3	1	1	1410	4015	445	230	500	42	125	23	28	165	—	26	165	1	75	24	1	45	16
1145—1265		2835—3400	3	1	1	1525	4345	485	240	500	44	125	24	28	165	—	26	165	1	75	24	1	45	16
1265—1400		3400—3965	3	1	1	1625	4635	535	265	500	46	150	25	30	165	—	28	165	1	—	26	1	50	18
1400—1560		3965—4535	3	1	1	1730	4930	545	280	500	48	150	25	30	165	—	28	165	1	—	26	1	50	18
1560—1730		—	3	1	1	1855	5285	570	280	500	50	150	27	32	165	—	28	165	1	—	26	1	55	18
1730—1905		—	3	1	1	1930	5500	585	290	500	50	150	27	32	165	—	32	165	1	—	28	1	60	20
1905—2110		—	3	1	1	2020	5790	610	305	500	52	175	28	34	165	—	32	165	1	—	28	1	60	20
2110—2340		—	3	1	1	2135	6085	685	345	550	56	225	29	34	165	—	36	165	1	—	32	1	65	22
2340—2590		—	3	1	1	2285	6515	775	385	550	58	225	30	36	165	—	36	165	1	—	32	1	65	22
2590—2860		—	3	1	1	2440	6960	865	430	550	60	225	32	38	220	—	38	165	1	—	36	1	75	24

備考　表中※印欄鋼索ハ十二本縒六ツ撚普通鋼索ヲ使用シタル場合ノ寸法トス

第六號表　日本形錨ヲ備フル帆船ノ錨、錨索及大索表

航行區域	數	錨			錨量		大索		索（麻又ハ鋼索）			大索	
船舶ノ長サ	大錨	其ノ他	合計	大錨	合量	索麻（索相又ハ索棕）	索相（索棕）	各ニルノ大錨ス附錨索サ	長サ	索麻	鋼索※	長サ	索麻
						粁	粁	米	米	粁	粁	米	粁
40—55 以上ヲ下ル	2	1	3	75	205	24	32	55	110	28	—	—	—
55—70	2	2	4	95	320	28	40	65	110	32	—	165	20
70—100	2	2	4	115	395	32	45	75	110	35	—	165	20
100—140	2	3	5	130	565	35	45	80	135	35	—	165	22
140—210	2	3	5	170	750	45	60	90	135	40	14	165	24
210—285	2	4	6	205	1010	50	65	90	135	45	16	165	24
285—355	2	4	6	255	1240	55	75	110	135	45	16	165	24
355—425	2	4	6	300	1430	60	80	110	135	50	18	165	28
425—495	2	4	6	330	1610	65	—	125	135	55	18	165	32
495—565	2	4	6	360	1800	70	—	125	135	55	18	165	32

備考
※印鋼索ハ十二本線六ツ撚鋼索ヲ使用シタル場合ノ寸法トス

第七號表　日本形錨ノ錨量ト錨索對照表

錨量	索麻	索棕（索相）
瓲	粍	粍
30	18	24
40	20	28
50	20	28
60	22	30
70	24	32
80	24	32
90	26	35
100	28	40
110	30	40
120	32	45
130	35	45
140	40	55
150	40	55
160	40	55
170	45	60
180	45	60
190	45	60
200	50	65
210	50	65
220	50	65
230	52	70
240	52	70
250	55	75

第八號表　錨鎖衰耗限度表

徑　原	徑ノ平均	徑　原	徑ノ平均	徑　原	徑ノ平均
粍 9	粍 8	粍 26	粍 23	粍 56	粍 50
10	9	27	24	58	52
11	10	28	25	60	53.5
12	11	29	26	62	55.5
13	11.5	30	27	64	57
14	12.5	32	28.5	66	59
15	13	34	30	68	61
16	14	36	32	70	62.5
17	15	38	34	72	64
18	16	40	36	74	66
19	17	42	37.5	76	68
20	18	44	39	78	70
21	19	46	41	80	71.5
22	19.5	48	43	82	73
23	20.5	50	44.5	85	76
24	21.5	52	46.5	88	78.5
25	22	54	48	91	81.5

第九號表　屬具表

航行區域／船名番號	遠洋 汽船	遠洋 帆船	近海 汽船	近海 帆船	沿海 汽船	沿海 帆船	平水 汽船	摘要
時計	二	二	二	二	一	一	一	徑二〇三ミリメートル以上ニシテ適當ノ場所ニ懸垂スルコトヲ要ス　湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ管海官廳ノ見込ニ依リ船長ノ所持品ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
雙眼鏡	一	一	一	一	一	一	一	總噸數三十噸未滿ノ帆船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
晴雨計	一	一	一	一	一	一	一	
海水用寒暖計	一	一	一	一	一	一	一	
手用測程具	一	一	一	一	一	一	一	
砂漏計	二	二	一	一	一	一	一	
測程機械	一	一	一	一	一	一	一	
手用測鉛	二	二	二	二	二	二	一	測鉛ノ重量ハ手用測鉛ニ在リテハ三・二瓩以上、深海測鉛ニ在リテハ一二・七瓩以上ナルコトヲ要ス　測鉛ニ附スル線ノ長サハ手用測鉛ニ在リテハ四六メートル以上、深海測鉛ニ在リテハ二三〇メートル以上ナルコトヲ要ス
深海測鉛	一	一	一	一	一	一		總噸數三十噸未滿ノ帆船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
測深機械	一	一	一	一	一			旅客船ニ非ザル船舶、總噸數八百噸未滿ノ旅客船及臨時旅客ヲ搭載スル爲旅客船ニハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ
時辰儀	一	一	一	一				
六分儀	一	一	一					
航海暦	一	一						
羅針儀	三	三	二	二	一			近海區域以上ヲ航行區域トスル船舶ニ在リテハ二箇ヲ備ヘ天象觀測ノ爲ニ使用スルコトヲ要ス　沿海ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ在リテハ一箇ヲ備ヘ日本形磁石ヲ用ウルモ妨ナシ　湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニシテ管海官廳ニ於テ必要ナシト認ムルトキハ羅針儀ヲ備ヘザルモ妨ナシ

航行區域／船名番號	擔架	救命浮器	救命胴衣	救命圈	救命索發射銃	救命索	救命艇	摘要
遠洋 汽船	二	船客ノ定員ニ對シ一割	船客ノ定員ニ對シ一割	二	一	二百米	船客ノ定員ヲ收容シ得ル數	擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
遠洋 帆船	二	同上	同上	二	一	二百米	同上	救命浮器ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備フルコト
近海 汽船	二	同上	同上	二	一	二百米	同上	救命胴衣ハ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
近海 帆船	二	同上	同上	二	一	二百米	同上	救命圈ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備フルコト
沿海 汽船	二	同上	同上	二	一	二百米	同上	救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
沿海 帆船	二	同上	同上	二	一	二百米	同上	救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
平水 汽船	一	同上	同上	一			同上	救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス

航行區域／船名番號	火箭又ハ信號彈	幾中號角	黒球	紅燈	碇泊燈	船尾燈	舷燈 常用	舷燈 豫備	檣燈 常用	檣燈 豫備
遠洋 汽船	六	一	二	二	二	一	一對	一對	二	一
遠洋 帆船	六	一	二	二	二	一	一對	一對	二	一
近海 汽船	六	一	二	二	一	一	一對	一對	二	一
近海 帆船	六	一	二	二	一	一	一對	一對	二	一
沿海 汽船	六	一	二	二	一	一	一對	一對	二	一
沿海 帆船	六	一	二	二	一	一	一對	一對	二	一
平水 汽船	六	一	二	二	一	一	一對	一對	二	一

航行區域／船名番號	檣燈 豫備	舷燈 常用	舷燈 豫備	船尾燈	碇泊燈	紅燈	黒球	幾中號角	火箭又ハ信號彈
遠洋 汽船	總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ乙種檣燈ヲ備フルコト	一對	一對	一	二	二	二	一	六
遠洋 帆船	甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト	一對	一對	一	二	二	二	一	六
近海 汽船	近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フルコト	一對	一對	一	一	二	二	一	六
近海 帆船	同上	一對	一對	一	一	二	二	一	六
沿海 汽船	總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フルコト	一對	一對	一	一	二	二	一	六
沿海 帆船	同上	一對	一對	一	一	二	二	一	六
平水 汽船	總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ乙種檣燈ヲ備フルコト	一對	一對	一	一	二	二	一	六

備考
一、遠洋航行區域ヲ有スル船舶ニ在リテハ二箇ノ碇泊燈ヲ備フルコト
二、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニ在リテハ碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
三、總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ檣燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
四、總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ紅燈ノ備アルコトヲ要セズ
五、黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布ノ他保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ適當ノ數ノ黒色ノ形象ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
六、擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
七、救命浮器ハ甲種ノ救命圈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ノ救命圈ヲ備フルコト
八、救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
九、救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
十、救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス
十一、檣燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
十二、帆船及總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備フベシ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコトヲ要ス但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
十三、小形船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
十四、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
十五、碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
十六、總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ紅燈ノ備アルコトヲ要セズ
十七、黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布ノ他保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ適當ノ數ノ黒色ノ形象ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
十八、擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
十九、救命浮器ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ノ救命圈ヲ備フルコト
二十、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フベシ
二十一、救命胴衣ハ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
二十二、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
二十三、機關ヲ有スル帆船ニハ汽船ニ準ジ檣燈ヲ備フベシ
二十四、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備フルコトヲ要セズ
二十五、救命圈ハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト
二十六、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
二十七、機關ヲ有スル帆船ニハ汽船ニ準ジ檣燈ヲ備フベシ
二十八、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
二十九、救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
三十、救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
三十一、救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス
三十二、檣燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
三十三、帆船及總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備フベシ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
三十四、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
三十五、小形船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
三十六、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ舷燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
三十七、碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
三十八、總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ紅燈ノ備アルコトヲ要セズ
三十九、黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布ノ他保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ適當ノ數ノ黒色ノ形象ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
四十、擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
四十一、救命浮器ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
四十二、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フベシ
四十三、救命胴衣ハ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
四十四、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
四十五、機關ヲ有スル帆船ニハ汽船ニ準ジ檣燈ヲ備フベシ
四十六、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
四十七、救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
四十八、救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
四十九、救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス
五十、檣燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
五十一、帆船及總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備フベシ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
五十二、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
五十三、小形船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
五十四、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ舷燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
五十五、碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
五十六、總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ紅燈ノ備アルコトヲ要セズ
五十七、黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布ノ他保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ適當ノ數ノ黒色ノ形象ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
五十八、擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
五十九、救命浮器ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
六十、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フベシ
六十一、救命胴衣ハ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
六十二、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
六十三、機關ヲ有スル帆船ニハ汽船ニ準ジ檣燈ヲ備フベシ
六十四、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
六十五、救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
六十六、救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
六十七、救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス
六十八、檣燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
六十九、帆船及總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備フベシ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
七十、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
七十一、小形船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
七十二、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ舷燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
七十三、碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
七十四、總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ紅燈ノ備アルコトヲ要セズ
七十五、黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布ノ他保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ適當ノ數ノ黒色ノ形象ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
七十六、擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
七十七、救命浮器ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
七十八、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フベシ
七十九、救命胴衣ハ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
八十、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
八十一、機關ヲ有スル帆船ニハ汽船ニ準ジ檣燈ヲ備フベシ
八十二、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
八十三、救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
八十四、救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
八十五、救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス
八十六、檣燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
八十七、帆船及總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備フベシ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
八十八、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
八十九、小形船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
九十、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ舷燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
九十一、碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
九十二、總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ紅燈ノ備アルコトヲ要セズ
九十三、黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布ノ他保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ適當ノ數ノ黒色ノ形象ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
九十四、擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
九十五、救命浮器ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
九十六、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フベシ
九十七、救命胴衣ハ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
九十八、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
九十九、機關ヲ有スル帆船ニハ汽船ニ準ジ檣燈ヲ備フベシ
百、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百一、救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
百二、救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
百三、救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス
百四、檣燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
百五、帆船及總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備フベシ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
百六、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百七、小形船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
百八、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ舷燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百九、碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
百十、總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ紅燈ノ備アルコトヲ要セズ
百十一、黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布ノ他保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ適當ノ數ノ黒色ノ形象ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
百十二、擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
百十三、救命浮器ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
百十四、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フベシ
百十五、救命胴衣ハ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
百十六、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
百十七、機關ヲ有スル帆船ニハ汽船ニ準ジ檣燈ヲ備フベシ
百十八、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百十九、救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
百二十、救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
百二十一、救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス
百二十二、檣燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
百二十三、帆船及總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備フベシ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
百二十四、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百二十五、小形船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
百二十六、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ舷燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百二十七、碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
百二十八、總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ紅燈ノ備アルコトヲ要セズ
百二十九、黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布ノ他保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ適當ノ數ノ黒色ノ形象ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
百三十、擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
百三十一、救命浮器ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
百三十二、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フベシ
百三十三、救命胴衣ハ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
百三十四、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
百三十五、機關ヲ有スル帆船ニハ汽船ニ準ジ檣燈ヲ備フベシ
百三十六、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百三十七、救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
百三十八、救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
百三十九、救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス
百四十、檣燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
百四十一、帆船及總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備フベシ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
百四十二、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百四十三、小形船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
百四十四、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ舷燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百四十五、碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
百四十六、總噸數四百噸以上ノ船舶ニハ紅燈ノ備アルコトヲ要セズ
百四十七、黒球ハ直徑六一〇ミリメートルニシテ布ノ他保存ニ耐フベキ材料ヲ用ヒ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ適當ノ數ノ黒色ノ形象ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得
百四十八、擔架ハ適當ノ覆ヒヲ備フルコト
百四十九、救命浮器ハ甲種又ハ乙種ノ救命圈ヲ備ヘ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
百五十、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ乙種檣燈ヲ備フベシ
百五十一、救命胴衣ハ總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種ヲ備ヘ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種ヲ備フルコト
百五十二、近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
百五十三、機關ヲ有スル帆船ニハ汽船ニ準ジ檣燈ヲ備フベシ
百五十四、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百五十五、救命索發射銃ハ近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ニハ之ヲ備フルコトヲ要ス
百五十六、救命索ハ總噸數四百噸以上ノ船舶ニ在リテハ二百米以上ノ長サヲ有スルモノヲ備フルコトヲ要ス
百五十七、救命艇ハ船客ノ定員ヲ收容シ得ル數ヲ備フルコトヲ要ス
百五十八、檣燈ハ油船燈ト爲スコトヲ要ス
百五十九、帆船及總噸數四百噸以上ノ汽船ニハ甲種檣燈ヲ備フベシ總噸數四百噸未滿ノ汽船ニハ甲種又ハ乙種檣燈ヲ備フルコト但シ甲種兩色燈一箇ヲ以テ代用スルコトヲ得
百六十、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ檣燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百六十一、小形船ニ於テハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ヲ以テ代用スルコトヲ得
百六十二、湖川港内ヲ限リ航行スル船舶ニハ舷燈ヲ備ヘザルモ妨ナシ
百六十三、碇泊燈ハ甲種、乙種又ハ丙種白燈ナルコトヲ要ス　近海以下ノ航行區域ヲ有スル船舶ト雖モ長サ四五・七二メートル以上ナルトキハ碇泊燈二箇ヲ備フベシ
百六十四、

●船舶區規程

第一章　船舶區

第一條　本令ニ於テ船舶區ト稱スルハ左ノ區域ヲ謂フ

一　東京灣口ヨリ相模灣口ニ至ル線ヨリ陸岸ニ至ル間ノ海面

二　相模灣口ヨリ相模國三浦郡長井村ニ至ル線ヨリ陸岸ニ至ル間ノ海面

三　東京灣口ヨリ上總國富津ニ至ル線ヨリ陸岸ニ至ル間ノ海面

第二條　船舶區ハ之ヲ分チテ左ノ十區トス

一　東京區　二　横濱區　三　横須賀區　四　浦賀區　五　三崎區　六　小田原區　七　熱海區　八　下田區　九　清水區　十　御前崎區

第三條　船舶區ノ境界線ハ左ノ如シ

一　東京區ト横濱區トノ境界線ハ神奈川縣橘樹郡神奈川村ト同縣都筑郡子安村トノ境界ヲ流ルル鶴見川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ神奈川縣道ノ鶴見橋ニ至ル線

二　横濱區ト横須賀區トノ境界線ハ神奈川縣三浦郡長井村ト同縣橘樹郡金澤村トノ境界ヲ流ルル侍從川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ金澤村ト同縣都筑郡六浦荘村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ六浦荘村ト同縣久良岐郡浦賀町トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ浦賀町ト同縣久良岐郡大津村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ大津村ト同縣久良岐郡久里濱村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ久里濱村ト同縣久良岐郡田浦町トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ田浦町ト同縣久良岐郡堀内村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ堀内村ト同縣久良岐郡衣笠村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ衣笠村ト同縣久良岐郡大矢部村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ大矢部村ト同縣久良岐郡公郷村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ公郷村ト同縣久良岐郡鴨居村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ鴨居村ト同縣久良岐郡上總村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ上總村ト同縣久良岐郡中里村トノ境界ヲ流ルル平潟川ノ河口ヨリ上流ニ向ヒ中里

トキ

二　隔壁ガ一平面ナル場合ト同一ノ安全程度ヲ保ツ様當該箇所ニ區畫ヲ增設シタルトキ

第三十條　橫置隔壁ニ屈折又ハ階段アル場合ニ於テハ區畫室ノ長サハ同一ノ效力ヲ有スル平面隔壁迄之ヲ測ルモノトス

第三十一條　相隣レル二箇ノ橫置隔壁間ノ距離ガ三・〇五メートルニLノ百分ノ二ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルトキハ區畫ノ長サノ決定ニ付テハ當該二隔壁中何レカ一箇ハ之ヲ無キモノト看做ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ屈折アル隔壁ニ在リテハ前條ニ依リ同一ノ效力ヲ有スル平面隔壁ヲ橫置隔壁ト看做シ、階段アル隔壁ニ在リテハ該隔壁ヨリ次ノ隔壁ニ至ル最短距離ヲ橫置隔壁間ノ距離ト看做ス

第三十二條　橫置水密區畫ガ局部的ノ區畫ヲ有スル場合ニ於テ三・〇五メートルニLノ百分ノ二ヲ加ヘタル長サニ亙ル如何ナル損傷ヲ船側ニ受クルモ該區畫室ノ浸水ガ其ノ區畫室ノミニ限リ之ヲ設ケタル部分ノ容積ニ應ジ局部的區畫ヲ若シ長サヨリ適當ニ增スコトヲ得

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ損傷ヲ受ケザル船側ニ付假定スル有效浮力ノ容積ヨリ大ナルコトヲ得ズ

第三十三條　水密甲板又ハ後通隔壁若ハ內側外板ヲ設クル場合ニ於テハ之ヲ設ケタル部分ノ浸水ニ依リテ生ズル船舶ノ傾斜其ノ他ノ原因ニ因リ船舶ノ安全ヲ害セザル樣適當ナル配置ト爲スベシ

前項ノ配置ハ管海官廳ニ於テ適當ト認ムルモノナルコトヲ要ス

第三十四條　船尾隔壁ハ船舶ノ區畫ニ依ル安全ノ程度ヲ減少セザル限リ之ヲ隔壁甲板ノ下方ニ止ムルコトヲ得

第三十五條　船尾管ハ水密ナル場所ニ設置スルコトヲ要シ船尾管痘ハ水密ナル軸路其ノ他ノ場所ニシテ船尾管衝撞ヨリ浸水スル虞ナキ場合ニ於テモ船舶ガ限界線ヲ超エ沈下スルコトナキ程度ノ容積ヲ有スルモノ內ニ之ヲ設置スルコトヲ要ス

第六章　區畫滿載吃水線

第三十六條　區畫滿載吃水線ハ船舶滿載吃水線規程ニ定ムル間隔ノ前方ニ於ケル垂直線ヨリ後方ニ向フ長サ二五〇ミリメートル、幅二五ミリメートルノ水平線ノ上緣ヲ限リ管ヲ通スコトヲ得但シ該管ニハ隔壁甲板ノ上方ヨリ操作シ得ル螺締弁ヲ設ケ弁匣ハ船首船內ニ於テ船首隔壁ニ之ヲ取附クルコトヲ要ス

第四十條　船首隔壁ニハ船首船內ノ水其ノ他ノ液體ヲ處理スル爲限界線下ニ於テ一箇ヲ限リ管ヲ通スコトヲ得但シ該管ニハ隔壁甲板ノ上方ヨリ操作シ得ル螺締弁ヲ設ケ弁匣ハ船首船內ニ於テ船首隔壁ニ之ヲ取附クルコトヲ要ス

第四十一條　相隣レル二箇ノ橫置隔壁間ノ距離ガ三・〇五メートルニLノ百分ノ二ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルトキハ區畫ノ長サノ決定ニ付テハ當該二隔壁中何レカ一箇ハ之ヲ無キモノト看做ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ屈折アル隔壁ニ在リテハ前條ニ依リ同一ノ效力ヲ有スル平面隔壁ヲ橫置隔壁ト看做シ、階段アル隔壁ニ在リテハ該隔壁ヨリ次ノ隔壁ニ至ル最短距離ヲ橫置隔壁間ノ距離ト看做ス

第四十二條　機關室內ニ於テハ石炭庫及軸路ニ通ズルモノ外機關室內ニ於テハ石炭庫及軸路ニ在リテハ前條ニ依リ同一ノ效力ヲ有スル平面隔壁ヲ橫置隔壁ト看做シ、階段アル隔壁ニ在リテハ該隔壁ヨリ次ノ隔壁ニ至ル最短距離ヲ橫置隔壁間ノ距離ト看做ス

第四十三條　隔壁ノ開口ニ設クル水密戶ハ左ニ揭グルモノヲ除クノ外之ヲ閉鎖シ得ルモノトス

一　船側ニ於ケル最低點ノ下面ガ最高區畫滿載吃水線ノ上方二・一三メートル以上ノ箇所ニ在ル甲板ノ上方ニ於ケル旅客室、船員室及作業場所ニ設クル水密螺番戶

二　甲板間ニ於ケル貨物艙ヲ仕切ル隔壁ニ於テ船側ニ載貨門ノ設置ヲ許サルル高サノ箇所ニ設クル水密螺番戶

三　機關室內ニ於ケル隔壁ニ螺釘ヲ以テ固定スル取外シ得ル板戶

前項第二號ノ水密螺番戶ハ其ノ設置ヲ特ニ必要トスル事由アル場合ニシテ其ノ構造及配置ニ付管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ之ヲ設ケ得ルモノトス

第四十四條　船尾隔壁ニハ隔壁ノ各側ヨリ操作シ得ル掛金ヲ備フルコトヲ要ス

第四十五條　船尾管ハ水密ナル軸路ニ設置スルコト

第四十六條　隔壁ヲ貫キテ冷媒貨物艙ニ通ズル閘壁路ヲ設クル場合ニ於テハ閉口ノ下緣ガ最高區畫滿載吃水線ノ上方二・一三メートル未滿ノ箇所ニ在ルトキハ該開口ニ於ケル水密戶ノ開閉裝置ハ動力操作ノモノナルコトヲ要ス

第四十七條　船具室ヨリ煙火場ヘノ通行ノ爲、管ヲ通ス爲又ハ其ノ他ノ目的ノ爲橫置隔壁ヲ貫キテ閘壁路又ハ隧道ヲ設クルトキハ該閘壁路又ハ隧道ハ水密ニシテ第六十四條ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

前項ノ閘壁路又ハ隧道ガ船舶ノ航行中通路トシテ使用セラルルモノナルトキハ少クトモ各閘壁路又ハ隧道ノ一端ニハ限界線ノ上方ニ達シ得ル樣水密ニ構造セラレタル閘壁路又ハ隧道ヲ設クルコトヲ要ス

第四十八條　船舶ガ限界線ヲ超エ沈下スルトキ程度ノ容積ヲ有スルモノ內ニ之ヲ設置スルコトヲ要ス

第六章　區畫滿載吃水線

第三十六條　區畫滿載吃水線ハ船舶滿載吃水線規程ニ定ムル間隔ノ前方ニ於ケル垂直線ヨリ後方ニ向フ長サ二五〇ミリメートル、幅二五ミリメートルノ水平線ノ上緣ヲ限リ管ヲ通スコトヲ得但シ該管ニハ隔壁甲板ノ上方ヨリ操作シ得ル螺締弁ヲ設ケ弁匣ハ船首船內ニ於テ船首隔壁ニ之ヲ取附クルコトヲ要ス

第四十條　船首隔壁ニハ船首船內ノ水其ノ他ノ液體ヲ處理スル爲限界線下ニ於テ一箇ヲ限リ管ヲ通スコトヲ得但シ該管ニハ隔壁甲板ノ上方ヨリ操作シ得ル螺締弁ヲ設ケ弁匣ハ船首船內ニ於テ船首隔壁ニ之ヲ取附クルコトヲ要ス

第四十一條　相隣レル二箇ノ橫置隔壁間ノ距離ガ三・〇五メートルニLノ百分ノ二ヲ加ヘタルモノヨリ小ナルトキハ區畫ノ長サノ決定ニ付テハ當該二隔壁中何レカ一箇ハ之ヲ無キモノト看做ス

前項ノ規定ノ適用ニ付テハ屈折アル隔壁ニ在リテハ前條ニ依リ同一ノ效力ヲ有スル平面隔壁ヲ橫置隔壁ト看做シ、階段アル隔壁ニ在リテハ該隔壁ヨリ次ノ隔壁ニ至ル最短距離ヲ橫置隔壁間ノ距離ト看做ス

第四十二條　機關室內ニ於テハ石炭庫及軸路ニ通ズルモノ外機關室內ニ於テハ石炭庫及軸路ニ在リテハ前條ニ依リ同一ノ效力ヲ有スル平面隔壁ヲ橫置隔壁ト看做シ、階段アル隔壁ニ在リテハ該隔壁ヨリ次ノ隔壁ニ至ル最短距離ヲ橫置隔壁間ノ距離ト看做ス

第四十三條　隔壁ノ開口ニ設クル水密戶ハ左ニ揭グルモノヲ除クノ外之ヲ閉鎖シ得ルモノトス

一　船側ニ於ケル最低點ノ下面ガ最高區畫滿載吃水線ノ上方二・一三メートル以上ノ箇所ニ在ル甲板ノ上方ニ於ケル旅客室、船員室及作業場所ニ設クル水密螺番戶

二　甲板間ニ於ケル貨物艙ヲ仕切ル隔壁ニ於テ船側ニ載貨門ノ設置ヲ許サルル高サノ箇所ニ設クル水密螺番戶

三　機關室內ニ於ケル隔壁ニ螺釘ヲ以テ固定スル取外シ得ル板戶

前項第二號ノ水密螺番戶ハ其ノ設置ヲ特ニ必要トスル事由アル場合ニシテ其ノ構造及配置ニ付管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ之ヲ設ケ得ルモノトス

第四十四條　船尾隔壁ニハ隔壁ノ各側ヨリ操作シ得ル掛金ヲ備フルコトヲ要ス

第四十五條　船尾管ハ水密ナル軸路ニ設置スルコトヲ要ス

第四十六條　隔壁ヲ貫キテ冷媒貨物艙ニ通ズル閘壁路ヲ設クル場合ニ於テハ閉口ノ下緣ガ最高區畫滿載吃水線ノ上方二・一三メートル未滿ノ箇所ニ在ルトキハ該開口ニ於ケル水密戶ノ開閉裝置ハ動力操作ノモノナルコトヲ要ス

第四十七條　船具室ヨリ煙火場ヘノ通行ノ爲、管ヲ通ス爲又ハ其ノ他ノ目的ノ爲橫置隔壁ヲ貫キテ閘壁路又ハ隧道ヲ設クルトキハ該閘壁路又ハ隧道ハ水密ニシテ第六十四條ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

前項ノ閘壁路又ハ隧道ガ船舶ノ航行中通路トシテ使用セラルルモノナルトキハ少クトモ各閘壁路又ハ隧道ノ一端ニハ限界線ノ上方ニ達シ得ル樣水密ニ構造セラレタル閘壁路又ハ隧道ヲ設クルコトヲ要ス

第四十八條　船舶ガ限界線ヲ超エ沈下スルコトナ

第十八章　交通

第二章　運輸

第五章　船舶

第

船名	船舶番號	噸數	一等	二等	三等	四等	每一トン賃金
第百貳拾九番	一・五トン型ディーゼル機關船	一	一	一	一	一	第百貳拾九番ハ第百貳拾八番ノ姉妹船ニシテ第百貳拾八番ニ準ズ

第百貳拾九番ハ第百貳拾八番ノ姉妹船ニシテ第百貳拾八番ニ準ズ

第十章　船舶ノ運航

第一節　運航ノ種類

第百參拾番　本章ニ於テ運航ト稱スルハ船舶ヲ航海ノ目的ニ從ヒ航行セシムルコトヲ謂フ

第百參拾壹番　運航ニ關スル事項ハ船舶ノ種類ニ應ジ左ノ如ク區別ス

種類	運航區域	備考
第一種	無制限	
第二種	沿海區域	本邦ノ沿岸ヲ離レ遠洋ニ出ヅルコトヲ得ズ
第三種	近海區域	本邦ノ沿岸ヲ離レ遠洋ニ出ヅルコトヲ得ズ
第四種	平水區域	湖川港内及ビ之ニ準ズル水域ニ限ル

第百參拾貳番　船舶ハ其ノ種類ニ應ジ左ノ航海ヲ爲スコトヲ得

一　第一種　無制限ノ航海

二　第二種　本邦沿岸ノ航海

三　第三種　本邦沿岸ノ航海

四　第四種　平水區域ノ航海

第百參拾參番　船舶ハ其ノ種類ニ應ジ左ノ航海ヲ爲スコトヲ得

一　第一種　無制限ノ航海

二　第二種　本邦沿岸ノ航海

三　第三種　本邦沿岸ノ航海

四　第四種　平水區域ノ航海

第百參拾四番　本章ニ於テ沿岸ト稱スルハ本邦ノ海岸ヨリ海里ヲ以テ測リ二十海里ノ線ヲ以テ其ノ外側ヲ限ル

第百參拾五番　本章ニ於テ遠洋ト稱スルハ本邦ノ沿岸ヲ離レ航行スルヲ謂フ

第百參拾六番　本章ニ於テ近海ト稱スルハ本邦ノ沿岸ヲ離レ遠洋ニ出ヅルコトヲ得ザル航海ヲ謂フ

第百參拾七番　本章ニ於テ平水ト稱スルハ湖川港内及ビ之ニ準ズル水域ヲ謂フ

第百參拾八番　本章ニ於テ船舶ト稱スルハ汽船、帆船、漁船、艀、ランチ其ノ他名稱ノ如何ヲ問ハズ航海ノ用ニ供スル一切ノ船舶ヲ謂フ

第百參拾九番　本章ニ於テ船長ト稱スルハ船舶ノ指揮ヲ爲ス者ヲ謂フ

第百四拾番　船長ハ左ノ場合ニ於テハ其ノ職務ヲ行フコトヲ得ズ

一　疾病ノ爲メ職務ヲ執ルコト能ハザルトキ

二　船舶ヲ離ルルトキ

三　其ノ他正當ノ事由アルトキ

第百四拾壹番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ保管スルノ責ニ任ズ

第百四拾貳番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百四拾參番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百四拾四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百四拾五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百四拾六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百四拾七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百四拾八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百四拾九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾壹番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾貳番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾參番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百五拾九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾壹番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾貳番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾參番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百六拾九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾壹番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾貳番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾參番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百七拾九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾壹番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾貳番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾參番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百八拾九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾壹番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾貳番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾參番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第百九拾九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百壹番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百貳番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百參番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百二十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百三十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百四十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百五十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百六十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百七十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百八十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第二百九十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百壹番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百貳番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百參番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十一番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十二番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十三番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十四番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十五番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十六番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十七番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十八番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之ヲ謄寫スルコトヲ得

第三百二十九番　船長ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ船舶ニ關スル一切ノ書類ヲ檢閱シ且ツ之

船舶ノ種別	甲板	船舶ノ長サ	船舶ノ幅	船舶ノ深サ	船舶ノ噸数
帆船	甲板	二〇米突以上	四米突以上	二米突以上	一〇〇噸以上
		一五米突以上二〇米突未満	三米突以上四米突未満	一米突五〇糎以上二米突未満	五〇噸以上一〇〇噸未満
		一〇米突以上一五米突未満	二米突以上三米突未満	一米突以上一米突五〇糎未満	二〇噸以上五〇噸未満
		一〇米突未満	二米突未満	一米突未満	二〇噸未満
汽船	甲板	二〇米突以上	三米突以上	一米突五〇糎以上	一〇〇噸以上
		一五米突以上二〇米突未満	二米突以上三米突未満	一米突以上一米突五〇糎未満	五〇噸以上一〇〇噸未満
		一〇米突未満	二米突未満	一米突未満	五〇噸未満

船舶ノ種別ニ依リ甲板ノ長サ、幅、深サ及噸数ニ付テハ左ノ標準ニ依ル

船舶ノ種別	甲板ノ長サ	船舶ノ幅	船舶ノ深サ	船舶ノ噸数
帆船	甲板	二〇米突以上	四米突以上	一〇〇噸以上
		一五米突以上二〇米突未満	三米突以上四米突未満	五〇噸以上一〇〇噸未満
		一〇米突以上一五米突未満	二米突以上三米突未満	二〇噸以上五〇噸未満
		一〇米突未満	二米突未満	二〇噸未満
汽船	甲板	二〇米突以上	三米突以上	一〇〇噸以上
		一五米突以上二〇米突未満	二米突以上三米突未満	五〇噸以上一〇〇噸未満
		一〇米突未満	二

下痢若しくは腸ヘルニヤ、又は睾丸炎を起すことがある。

ン注射後暫くは運動を避けること。

第百六十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、飲酒、激しい運動、長時間の立業又は重い荷物の運搬をしてはならない。

第百六十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、海水浴、河川、湖沼、池、プール又は風呂に入つてはならない。

第百六十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位を強くこすつてはならない。

第百六十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位を温めてはならない。

第百六十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位に湿布をしてはならない。

第百六十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位に軟膏を塗つてはならない。

第百七十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位に絆創膏を貼つてはならない。

第百七十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位に包帯をしてはならない。

第百七十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にガーゼをあてがつてはならない。

第百七十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位に脱脂綿をあてがつてはならない。

第百七十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にアルコールをつけてはならない。

第百七十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にヨードチンキをつけてはならない。

第百七十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にマーキュロクロムをつけてはならない。

第百七十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にメンソレータムをつけてはならない。

第百七十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にオロナインをつけてはならない。

第百七十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にキンカンをつけてはならない。

第百八十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にムヒをつけてはならない。

第百八十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にサロメチールをつけてはならない。

第百八十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にベンザブロックをつけてはならない。

第百八十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にパブロンをつけてはならない。

第百八十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にルルをつけてはならない。

第百八十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にセデスをつけてはならない。

第百八十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にアスピリンをつけてはならない。

第百八十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にバファリンをつけてはならない。

第百八十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にエキセドリンをつけてはならない。

第百八十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にノーシンをつけてはならない。

第百九十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にピリンをつけてはならない。

第百九十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にカフェインをつけてはならない。

第百九十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にアリナミンをつけてはならない。

第百九十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にチオビタをつけてはならない。

第百九十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にユンケルをつけてはならない。

第百九十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にオロナミンCをつけてはならない。

第百九十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にリポビタンDをつけてはならない。

第百九十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にアリナミンEをつけてはならない。

第百九十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第百九十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百二十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百二十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百二十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百二十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百二十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百二十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百二十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百二十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百二十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百二十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百三十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百三十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百三十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百三十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百三十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百三十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百三十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百三十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百三十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百三十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百四十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百四十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百四十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百四十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百四十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百四十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百四十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百四十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百四十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百四十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百五十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百五十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百五十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百五十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百五十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百五十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百五十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百五十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百五十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百五十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百六十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百六十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百六十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百六十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百六十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百六十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百六十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百六十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百六十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百六十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百七十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百七十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百七十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百七十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百七十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百七十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百七十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百七十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百七十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百七十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百八十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百八十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百八十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百八十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百八十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百八十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百八十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百八十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百八十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百八十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百九十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第二百九十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第二百九十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第二百九十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第二百九十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第二百九十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第二百九十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第二百九十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第二百九十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第二百九十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百二十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百二十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百二十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百二十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百二十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百二十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百二十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百二十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百二十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百二十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百三十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百三十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百三十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百三十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百三十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百三十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百三十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百三十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百三十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百三十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百四十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百四十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百四十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百四十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百四十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百四十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百四十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百四十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百四十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百四十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百五十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百五十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百五十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百五十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百五十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百五十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百五十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百五十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百五十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百五十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百六十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百六十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百六十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百六十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百六十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百六十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百六十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百六十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百六十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百六十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百七十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百七十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百七十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百七十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百七十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百七十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百七十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百七十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百七十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百七十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百八十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百八十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百八十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百八十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百八十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百八十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百八十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百八十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百八十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百八十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百九十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第三百九十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第三百九十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第三百九十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第三百九十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第三百九十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第三百九十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第三百九十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第三百九十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第三百九十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百二十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百二十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百二十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百二十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百二十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百二十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百二十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百二十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百二十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百二十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百三十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百三十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百三十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百三十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百三十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百三十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百三十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百三十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百三十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百三十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百四十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百四十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百四十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百四十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百四十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百四十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百四十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百四十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百四十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百四十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百五十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百五十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百五十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百五十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百五十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百五十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百五十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百五十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百五十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百五十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百六十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百六十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百六十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百六十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百六十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百六十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百六十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百六十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百六十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百六十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百七十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百七十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百七十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百七十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百七十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百七十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百七十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百七十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百七十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百七十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百八十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百八十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百八十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百八十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百八十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百八十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百八十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百八十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百八十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百八十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百九十條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第四百九十一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第四百九十二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第四百九十三條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB6をつけてはならない。

第四百九十四條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB12をつけてはならない。

第四百九十五條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンCをつけてはならない。

第四百九十六條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンDをつけてはならない。

第四百九十七條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンEをつけてはならない。

第四百九十八條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンKをつけてはならない。

第四百九十九條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンAをつけてはならない。

第五百條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB1をつけてはならない。

第五百一條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミンB2をつけてはならない。

第五百二條　注射後の一週間は、注射を受けた者は、注射をした部位にビタミ

第三號表

法寸ノ等板張内及板外、板甲木、材通縦諸ノ他ノ骨龍内、舵、材翼尾船、柱舵、材尾船、材首船、骨龍

第二數 ＼ 材料法寸	龍骨、船首材、船尾材及舵柱	船尾材 縦裂	船尾材 横裂	舵 舵心材ノ徑	舵 舵針ノ徑	舵 金ノ深サ及厚サ	舵 蝶番ノ數	内龍骨	側内龍骨 厚板	側内龍骨	彎曲部縦通材	船側縦通材、第二甲板及船梁ノ副梁受板又ハ内部腰板	梁受板	上甲板ノ副梁受板	梁壓材	上甲板及第二甲板ノ副梁壓材	船錨	木甲板	外板	外部腰板	舷側厚板	龍骨翼板	内張板
	檜	檜	檜	樫	樫	黄銅又ハ鋼		檜	檜	樫	松	檜	檜	檜	檜	檜	檜	松	松	松	檜	檜	松
	角類	角類	角類	類	類	類×類		角類	類×類	角類	類	類×類	類×類	類×類	類×類	類×類	類	類	類	類	類×類	類×類	類
五尺ヲ下以																							
75— 125	17.5	12	16.5	16.5	4	6×2	2	20	17.5×5.5	—	5.5	—	20×6	—	7	—	—	5	4.5	4.5	23×5	17.5×5.5	2.5
125— 175	18.5	13	17.5	18	4.3	6.5×2.2	2	21.5	18.5×6	—	6	—	22×6.5	—	21×7.5	—	4.5	5	4.5	5	27×5.5	18.5×6	3
175— 250	19.5	14	18.5	19.5	3.5	5.3×1.8	3	23	19.5×6.5	—	6.5	—	24÷7	—	23×8.5	—	5	5.5	5	5.5	30×6	19.5×7	3.5
250— 375	21	15	20	21.5	3.8	5.7×1.9	3	25	21×7	—	7	—	27×7.5	—	25×9.5	—	5.5	5.5	5	6.5	33×6.5	21×8	4
375— 500	22.5	16	21.5	23.5	4	6×2	3	27	22.5×7.5	12	7.5	24×6.5	24×8	21.5×5.5	26.5×10	—	6	6	5.5	7	36×7	22.5×8.5	4.5
500— 625	24	17	22.5	25	4.3	6.5×2.2	3	29	24×8	13.5	8	24.5×7	24.5×8.5	22×6	28×11	—	6.5	6	6	7.5	38×7.5	24×9.5	4.5
625— 750	25	18	23.5	26	4.5	6.8×2.3	3	30.5	25×8.5	14.5	8.5	25×7.5	25×9	22.5×6.5	29.5×11.5	—	7	6.5	6.5	8	40×7.5	25×10	5
750— 875	26	18.5	24.5	27.5	4.8	7.2×2.4	3	31.5	26×9	15.5	9	25.5×8	25.5×9.5	23×7	30.5×12	19×6.5	7.5	6.5	6.5	8.5	41.5×8	26×10.5	5.5
875—1,000	27	19	25.5	28.5	5	7.5×2.5	3	32.5	27.5×9	16.5	9	25.5×8.5	25.5×10	23×7.5	31.5×12.5	20×7	8	7	7	9	43×8.5	27×11	5.5
1,000—1,250	28.5	20	26.5	30	4.8	7.2×2.4	4	34	28.5×9.5	18	9.5	26×9	26×10.5	23.5×8	33×13.5	21.5×7	8.5	7	7	9.5	45×8.5	28.5×12	6
1,250—1,500	30	21	28	31.5	5	7.5×2.5	4	36	30×10	19.5	10	26.5×9.5	26.5×11	24×8.5	34.5×14	22×7.5	9	7.5	7.5	10	48×9	30×12.5	6.5
1,500—1,750	31	22	29	33	5.3	8×2.6	4	37.5	31×10.5	20.5	10.5	27×10	27×11.5	24.5×9	36×15	23.5×7.5	9.5	7.5	8	10.5	50×9.5	31×13.5	6.5
1,750—2,000	32.5	23	30	34.5	5.5	8.3×2.8	4	39	32.5×11	22	11	27.5×10.5	27.5×12	25×9.5	37×15.5	24×8	10	8	8.5	11	52×10	32.5×14	7

第四節　船尾、船首及船側構造

一、船尾及船首構造

船尾及船首ハ船ノ前後端ニ於テ船ノ形狀ヲ定メ且ツ船ノ縱强力ヲ保ツ爲メ船底ト甲板トヲ連結スル構造ニシテ船ノ安全ニ關スル重要ナル部分ナリ

●朝鮮漁船特殊規則

昭和十年二月
總令第二十九號
朝鮮漁船特殊規則左ノ通定ム

朝鮮漁船特殊規則

漁船ノ特殊非項ニ關シテハ昭和九年選信、農林省令漁船特殊規則ニ依ル但シ同規則中主務大臣トアルハ朝鮮總督、船舶安全法施行地、朝鮮又ハ樺太ニアルハ朝鮮、內地、樺太又ハ樺太ニアルハ朝鮮、內地、臺灣又ハ樺太、船舶安全法施行規則トアルハ朝鮮船舶安全令施行規則ニ於テ伏ルコトヲ定メタル船舶安全法施行規則トス

附　則

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●漁船特殊規則

昭和九年二月
選、農　令

漁船特殊規則左ノ通定ム

漁船特殊規則

第一條　左ノ各號ノ一ニ該當スル漁船ハ無線電信電話ヲ施設セザルコトヲ得

一　總噸數二百噸未滿ノ捕鯨船

二　專ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル總噸數二百噸未滿ノ漁船

三　總噸數千六百噸未滿ノ捧過機關ヲ有セザル漁船

第二條　漁船ノ從業制限ハ第一種、第二種及第三種ノ三種トス

第三條　第四條各號ニ掲グル業務ヲ除クノ外左ニ掲グル業務ニ從事スル漁船ノ從業制限ハ之ヲ第一種トス

一　本釣漁業

二　延繩漁業

三　流網漁業

四　刺網漁業

五　旋網漁業

六　棒受網漁業

七　投錨漁業

八　曳繩漁業

九　機船底曳網漁業及其ノ他ノ底曳網漁業

（汽船「トロール」漁業ヲ除ク）

十　前各號ニ掲グルモノノ外主務大臣ニ於テ前各號ノ業務ニ準ズルモノト認メタル業務

第四條　左ニ掲グル業務ニ從事スル漁船ノ從業制限ハ之ヲ第二種トス

一　鰹竿釣漁業

二　鮪竿釣漁業

三　鰒一本釣漁業

四　鮪延繩漁業

五　旗魚延繩漁業

六　鮫延繩漁業

七　鰐延繩漁業

八　大鰐延繩漁業

九　機船底曳網漁業（手繰網又ハ打瀬網ヲ使用スルモノ）

十　前各號ニ掲グルモノノ外主務大臣ニ於テ前各號ノ業務ニ準ズルモノト認メタル業務

第五條　母船式漁業ニ從事スル母船及左ニ掲グル業務ニ從事スル漁船ノ從業制限ハ之ヲ第三種トス

一　汽船「トロール」漁業

二　汽船捕鯨業

三　專ラ漁獵場ヨリ漁獲物又ハ其ノ化製品ヲ運搬スル業務

四　漁業調査試驗、調査、指導、練習又ハ取締業務

第六條　第二種ノ從業制限ヲ有スル漁船ハ第三條各號ニ掲グル業務ニ從事スルコトヲ得

第七條　管海官廳漁船ノ從業制限ヲ定ムルニ當リ必要アリト認ムルトキハ漁船ノ種類、大小、構造又ハ設備ニ應ジ業務ノ種類ヲ限定スルコトヲ得

第八條　漁船檢査證書ノ有效期間ハ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ船舶所有者又ハ船長ハ事由ヲ具シタル申請書ヲ最寄管海官廳ニ提出シ其ノ認可ヲ受クベシ

一　巳ムコトヲ得ザル事由ニ因リ臨時ニ漁船ヲ其ノ從業制限以外ノ從業制限ニ該當スル業務ニ從事セシムルトキ（第六條ニ該當スル場合ヲ除ク）

二　第一種ノ從業制限ヲ有スル漁船ハ第二種若ハ第三種ノ從業制限ヲ有スル長サ二十五メートル未滿ノ漁船ヲ漁業ニ使用セズシテ船舶安全法施行地、朝鮮又ハ樺太ト其ノ他ノ地トノ間ノ航行ヲ爲サシムルトキ

第九條　漁船檢査證書ノ有效期間內ニ於テ漁船ノ從業制限ヲ變更セントスルトキハ申請書ニ新舊從業制限ヲ列記シ船舶檢查手帖ヲ添ヘ之ヲ最寄管海官廳ニ提出シ其ノ認可ヲ受クベシ

第十條　漁船ニ在リテハ船舶安全法施行規則第四十七條ノ規定ニ拘ラズ長サ七十メートル以上ノモノニ限リ專ラ漁獵又ハ漁獲物ノ保藏若ハ製造ニ從事スル者ノ室ト其ノ他ノ者ノ室トハ常ニ區別シ置クベシ

第十一條　汽罐ヲ有セザル長サ二十五メートル未滿ノ漁船ニ付テハ漁船檢查證書ノ有效期間ハ三年以內トス

前項ノ漁船ハ中間檢查ヲ受クルコトヲ要セズ

第十二條　長サ七十メートル以上ノ漁船ニシテ漁獲物ノ保藏又ハ製造設備ヲ有スル母船（特殊漁船）ヲ母船式漁業ニ從事スル爲其ノ仕立港ヲ發航セントスルトキハ特殊船檢查ヲ行フ但シ特殊船檢查證書ノ有效期間內ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

●漁船ノ第一種從業制限ノ業務ノ認定

昭和十年二月
總告第九十六號

朝鮮漁船特殊規則第三條第十號ノ業務ヲ昭和十年三月一日ヨリ左ノ通認定ス

一　定置漁業

二　定所集魚灯漁業

三　定所曳網漁業

四　機船巾著網漁業

五　機船底曳網漁業

六　潛水器漁業

七　曳繩漁業

八　敷網漁業

九　繰網漁業

十　空釣繩漁業

十一　其ノ他ノ雜種漁業

●朝鮮漁船特殊規程

昭和十年二月
總令第三十號

朝鮮漁船特殊規程左ノ通定ム

朝鮮漁船特殊規程

第一條　漁船ニ付特ニ施設スベキ事項及其ノ標準ニ關シテハ昭和九年選信、農林省令漁船特殊規程ニ依ル

漁船特殊規程中漁船特殊規則トアルハ朝鮮漁船特殊規則ニ於テ伏ルコトヲ定メタル漁船特殊規則、木船構造規程トアルハ朝鮮木船構造規程ニ於テ伏ルコトヲ定メタル木船構造規程、造船規程トアルハ朝鮮造船規程ニ於テ伏ルコトヲ定メタル造船規程、船舶滿載吃水線規程トアルハ朝鮮船舶滿載吃水線規程、船舶設備規程トアルハ朝鮮船舶設備規程ニ於テ伏ルコトヲ定メタル船舶設備規程、船舶機關規程トアルハ朝鮮船舶機關規程ニ於テ伏ルコトヲ定メタル船舶機關規程トス

第二條　第二種漁船又ハ第三種漁船ニシテ東ハ東經百七十五度、西ハ東經九十四度、南ハ南緯十一度、北ハ北緯六十三度ノ線ニ依リ限ラレタル區域內ニ於テ從業スル總噸數百噸未滿ノモノハ前條ニ於テ伏ルコトヲ定メタル漁船特殊規程（以下單ニ漁船特殊規程ト稱ス）第三號表ニ規定スル測定機械、六分儀又ハ航海曆ヲ備ヘザルコトヲ得

附　則

第三條　本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第四條　本令施行ノ際現ニ存スル漁船又ハ現ニ製造中ノ漁船ノ船體又ハ機關ニ付テハ本令ニ適合セザルモノト雖モ管海官廳ニ於テ漁船ノ種類、大小、從業ノ期間等ヲ考慮シ

差支ナシト認ムルトキハ之ヲ合格ト爲スコトヲ得但シ本令施行ノ日ヨリ三年ヲ經過シタル後ニ於テ新ニ漁船ニ備附クル機關ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　本令施行ノ際現ニ存スル漁船又ハ現ニ製造中ノ漁船ニ付テハ漁船特殊規程第四條、第五條、第七條、第九條、第十二條、第十四條、第十四條乃至第四十六條及第五十六條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第六條　本令施行ノ際現ニ存スル漁船ニシテ引續キ從前ノ業務ニ從事スルモノニ付テハ管海官廳ニ於テ本令ニ依リ救命設備、航海用具其ノ他ノ屬具又ハ艤關備品ヲ備フルコト困難ナリト認ムルトキハ本令施行後二年內ニ於テ行フ最後ノ中間檢查又ハ定期檢查ノ時期迄其ノ設備ニ付仍從前ノ例ニ依ラシムルコトヲ得

第七條　本令施行ノ際現ニ存スル漁船ノ居室ニ付テハ漁船特殊規程第五十四條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

第八條　本令施行ノ際現ニ漁船ニ備フル鎗、鉤竿又ハ鋼索ニ付テハ之ヲ引續キ當該漁船ニ備フル場合ニ限リ漁船特殊規程第六十三條ノ規定ニ依ラザルコトヲ得

●漁船特殊規程

昭和九年二月
選、農　令

漁船特殊規程左ノ通定ム

漁船特殊規程

目　次

第一章　總則
第二章　船體
第三章　通則
第一節　通則
第二節　木製漁船
第三節　鋼製漁船
第四章　設備
第五章　艤裝
附　則

漁船特殊規程

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ動力漁船トハ推進機關ヲ有スル漁船ヲ謂フ

第二章　船體

第一節　通則

第二條　漁船ノ種別ハ左ノ如シ

漁船ノ種別

漁船ノ種別	甲板上ノ高サ（舷側ノ高サ）
第一種漁船又ハ捕鯨船	一五
第二種漁船又ハ第三種漁船（捕鯨船ヲ除ク）	長サ二五米未滿ノモノ　二三
	長サ二五米以上ノモノ　三〇

第三條　船口ニハ堅牢ナル蓋板又ハ覆蓋ヲ備ヘ且之ヲ堅固ニ密閉シ得ベキ樣覆布及適當ノ締具ヲ備フベシ但シ管海官廳ニ於テ覆布同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノヲ備フルトキハ覆布ハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

第四條　暴露セル上甲板又ハ船樓甲板ニ設クル機關室口ニ付テハ圍壁ノ甲板上面ヨリ有スル漁船ヲ謂ヒ第一種漁船、第二種漁船又ハ第三種漁船ハ各從業制限ヲ有スル漁船ヲ謂ヒ運搬漁船ハ漁船特殊規則第五條第三號ニ掲グル業務ニ從事スル漁船ヲ謂フ

第二條　本令ニ該當セザル漁船ノ構造、材料及其ノ寸法竝ニ設備ト雖モ管海官廳ニ於テ本令ニ定ムルモノト同一效力ヲ有スト認ムル場合ニ於テハ之ヲ合格ト爲スベシ

第三條　漁船ノ構造、材料及其ノ寸法竝ニ設備ニ付テハ管海官廳ニ於テ該漁船ノ種類、大小、從業ノ期間等ヲ考慮シ適當ニ斟酌シテ之ヲ合格ト爲スコトヲ得

第四條　發動機ニ依リ推進スル長サ二一メートル以上ノ漁船ニシテ鰹若ハ鮪ノ竿釣漁業又ハ鮪、旗魚、鮫若ハ大鰐ノ延繩漁業ニ從事スルモノニハ其ノ算式ニ依リ算定シタル分其ノ主機關用燃油ヲ容ルルニ足ル燃油庫ヲ設備スベシ

$$D=C\sqrt[3]{v^2}$$

D　ハ發動機ノ氣筒ノ徑（糎ニテ）
N　ハ發動機ノ氣筒ノ數
C　ハ常數ニシテ左表ニ依ル

船舶ノ長サ（米）	一衝程式單働發動機（ディーゼル式又ハセミディーゼル式ヲ含ム）ヲ有スル漁船		四衝程式單働發動機（ディーゼル式又ハセミディーゼル式ヲ含ム）ヲ有スル漁船	
	二衝程式		四衝程式	
二以上三米未滿	七・三五	九・九〇	五・六五	七・六〇
二三〃二五〃	九・四〇	一二・六〇	七・二五	九・七〇
二五〃三〇〃	一〇・八〇	一四・五〇	八・三五	一一・二〇
三〇〃三三〃	一二・三五	一六・五〇	九・五〇	一二・七〇
三三〃三六〃	一三・九五	一八・八〇	一〇・七〇	一四・四〇
三六〃四〇〃	一五・七〇	二一・一〇	一二・一〇	一六・二〇
四〇〃四五〃	一七・六〇	二三・七〇	一三・六〇	一八・二〇
四五〃五〇〃	一九・五〇	二六・三〇	一五・〇〇	二〇・一〇
五〇〃五五〃	二一・四〇	二八・八〇	一六・四〇	二二・〇〇

第五條　主機關用燃油槽ヲ上甲板以上ノ場所ニ設クルトキハ其ノ容量ハ全燃油庫ノ容量ノ百分ノ十五ヲ超ユルコトヲ得ズ

第六條　甲板上ニ設クル燃油槽又ハ活魚槽ハ甲板ニ特ニ堅固ニ取附クベシ

第七條　運搬漁船及特殊漁船ヲ除クノ外漁船ノ舷側ニハ貨門ヲ設クルコトヲ得ズ

第八條　動力漁船ニ非ザル漁船ニハ起倒シ得ベキ檣ヲ用ウルコトヲ得ズ

第九條　舷墻ノ高サハ一一〇センチメートルヲ超ユルコトヲ得ズ但シ各舷墻柱又ハ防鯨材ノ間ニ於テ舷墻上部ニ十分ナル面積ノ無蓋開口ヲ設クルトキハ適當ニ舷墻ノ高サヲ增加スルコトヲ得

第十條　漁船ノ舷側ニ設クル釣蓋又ハ張出甲板ハ十分ニ排水シ得ル構造ト爲スベシ

第十一條　石油發動機ヲ備フル漁船ノ機關室ニ於ケル隔壁其ノ他船體ノ部分木製ナルトキハ之ニ金屬板ヲ張リ又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ燃燒ヲ豫防ヲ爲スベシ

第十二條　暴露セル上甲板又ハ船樓甲板ニ設クル船口、機關室口、艙蓋口、出入口、天窓、通風器等ノ諸口及甲板口ヲ蔽圍スル甲板室ニ付テハ鋏材ノ甲板上ノ高サヲ左表ニ掲グルモノ以上ト爲スベシ但シ直接波浪ヲ受ケザル場所ニ於ケルモノ又ハ特殊ノ水密裝置ヲ備フルモノハ鋏材ノ高サヲ減ジ又ハ甲板上面ヲ平直ト爲スコトヲ得

漁船ノ種別	甲板上ノ高サ（舷側ノ高サ）
第一種漁船又ハ捕鯨船	一五
第二種漁船又ハ第三種漁船（捕鯨船ヲ除ク）	長サ二五米未滿ノモノ　二三
	長サ二五米以上ノモノ　三〇

第十三條　船口ニハ堅牢ナル蓋板又ハ覆蓋ヲ備ヘ且之ヲ堅固ニ密閉シ得ベキ樣覆布及適當ノ締具ヲ備フベシ但シ管海官廳ニ於テ覆布同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノヲ備フルトキハ覆布ハ之ヲ備ヘザルモ妨ナシ

第十四條　暴露セル上甲板又ハ船樓甲板ニ設クル機關室口ニ付テハ圍壁ノ甲板上面ヨリ高サヲ左表ニ掲グルモノ以上ト爲スベシ但シ直接波浪ヲ受ケザル場所ニ於ケルモノ又ハ特殊ノ水密裝置ヲ備フルモノハ此ノ限ニ在ラズ

漁船ノ種別	甲板上ノ高サ（舷側ノ高サ）
第一種漁船又ハ捕鯨船	一五
第二種漁船又ハ第三種漁船（捕鯨船ヲ除ク）	長サ二五米未滿ノモノ　六〇
	長サ二五米以上ノモノ　九〇

第十五條　暴露甲板ノ機關室口圍壁ノ天窓、戰炭口、出入口其ノ他ノ諸口ニハ覆蓋又ハ蓋板及覆布竝ニ適當ノ締具ヲ備フルカ其ノ他水密トナルベキ裝置ヲ爲スベシ但シ管海官廳ニ於テ水密トナルベキ裝置ヲ爲スベシ必要ナシト認ムルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條　前四條ノ規定ハ特殊漁船及總噸數百五十噸以上ノ運搬漁船ニハ之ヲ適用セズ前項ニ掲グル漁船ノ甲板口及甲板口ヲ蔽圍スル甲板室ノ鋏材ノ高サ竝ニ機關室口圍壁ノ高サニ付テハ當該船ヲ第二級船ト看做シ木船構造規程又ハ造船規程及船舶滿載吃水線規程ノ規定ヲ適用ス

第二節　木製漁船

第十七條　第一種漁船又ハ長サ二五メートル未滿ノ漁船ニ在リテハ內龍骨ノ寸法ハ龍骨ノ規定ノ寸法ト等シク爲スコトヲ得

第十八條　龍骨ノ厚サハ船ノ外龍骨及內龍骨ノ規定ノ厚サヲ合計以上ナルトキハ內龍骨ヲ省略スルコトヲ得

第十九條　船首材ト龍骨トノ接合ノ長サハ用材ノ深サノ三倍迄減ズルコトヲ得

第二十條　舵心材頂部ノ舵柄取附部ヲ角形ト爲ス場合ニ於テモ其ノ截面積ハ特ニ之ヲ增加セザルモ妨ナシ

第二十一條　二材合セ肋骨ノ肋材衝接ノ避距ハ船ノ幅ノ九分ノ一迄減ズルコトヲ得

第二十二條　船ノ中央部ニ於ケル單材肋骨ノ肋根材ノ長サハ船ノ幅ノ二分ノ一迄、其ノ他ノ肋材ノ長サハ船ノ幅ノ四分ノ一迄減ズルコトヲ得但シ衝接又ハ挾接ノ數ハ五箇以上ト爲スコトヲ得ズ

ル梁ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第三十一條　特殊漁船ニハ最大搭載人員ヲ乗容スルニ要スル端艇及之ニ對スル端艇鈎ヲ備フベシ但シ管海官廳ニ於テ已ムコトヲ得ズト認ムル場合ニ於テハ他ノ揚卸裝置ヲ以テ端艇鈎ニ代フルコトヲ得

第四十八條　前條ノ漁船ヲ除クノ外長サ二〇メートル以上二五メートル未滿ノ漁船ニハ容積二立方メートル以上ノ端艇ヲ、長サ二五メートル以上ノ漁船ニハ容積二・八三立方メートル以上ノ端艇ヲ備フベシ但シ端艇ノ容積ハ船舶ノ最大搭載人員ヲ乗容スルニ必要ナル程度ニ止ムルコトヲ得

第三十二條　端艇ハ木船構造規程第百二十八條ノ規定ニ拘ラズ肋骨ハ一本置ニ敲釘ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘ヲ以テ固著セシムルコトヲ得

第三十三條　雙曲部縦通材ノ各材ノ幅ニ三センチメートル未滿ナルトキハ木船構造規程第百三十條ノ規定ニ拘ラズ肋骨一本置ニ敲釘ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘ヲ以テ固著セシムルコトヲ得

第三十四條　雙曲部縦通材ノ各材ノ幅ニ三センチメートル未滿ナルトキハ木船構造規程第百三十條ノ規定ニ拘ラズ肋骨一本置ニ敲釘及打込釘ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘ニ鎹ヲ以テ固著セシムルコトヲ得

第三十五條　雙曲部縦通材ノ各材ノ幅ニ三センチメートル未滿ナルトキハ木船構造規程第百三十條ノ規定ニ拘ラズ肋骨一本置ニ敲釘ヲ以テ、其ノ他ノ肋骨ニハ打込釘ヲ以テ固著セシムルコトヲ得

第三十六條　雙曲材ノ兩端ニ於ケル固著釘ノ總數ハ之ヲ五箇迄減ズルコトヲ得

第三十七條　第二款第三〇〇未滿ノ漁船ニ於テハ柔材ヲ以テ肋骨ヲ構成スル場合ニ於テ同著セシムルコトヲ要セズ

第三十八條　外板ノ固著釘ノ數ハ外板ノ幅二二センチメートル未滿ナルトキハ肋骨毎ニ二箇迄、幅二七センチメートル未滿ナルトキハ肋骨毎ニ三箇迄ニ減ズルコトヲ得

第三十九條　外部雙曲部縦通材ハ肋骨毎ニ一箇以上ノ敲釘ヲ以テ固著セシムベシ

第四十條　動力漁船ニ在リテハ「ジアブーム」及「ブーム」ノ「フライイングジアブーム」ノ徑ハ長サ一メートルニ付一八ミリメートル迄ニ、「スクーナー」ノ「ガフ」ノ徑ハ長サ一メートルニ付一六ミリメートル迄ニ減ズルコトヲ得

第四十一條　鋼製漁船ノ構造及材料ノ法ハ特ニ規定アルモノヲ除クノ外造船規程中重構船ノ規定ニ依ル

第四十二條　第一種漁船ヲ除クノ外長サ二五メートル以上ノ漁船ノ船首及船尾ニハ水密隔壁ヲ設ケ其ノ位置ハ左ノ各號ニ掲グル場所ニ近カラザルヲ要ス

一　船首ニ在リテハ管海官廳ニ於テ特ニ必要ト認ムルモノヲ除クノ外材料試驗ヲ省略スルコトヲ得

第四十三條　第一種漁船、捕鯨船又ハ長サ二五メートル未滿ノ漁船ノ構造及材料ノ寸法ニ付テハ管海官廳ノ見込ニ依リ左ノ各號ノ限度迄之ヲ輕減スルコトヲ得

一　正肋材ノ横邊、副肋材ノ兩邊及肋骨ノ深サヲ規定ノ寸法ヨリ一三ミリメートル減少スルコト

二　船底ノ傾斜急ナル漁船ニ在リテハ肋板ノ高サヲ增加スルトキハ漁船規程別表ニ掲グル龍骨ヲ構成シ且副肋材ヲ雙曲部ニ達セシムルニ止ムルコト又船側縦通材ニ臨切板ヲ附スルカ又ハ船側縦通材ヲ二重山形材トシ其ノ間ニ龍骨ニ臨切板ヲ附セザルコト

三　梁ヲ肋骨毎ニ取附クルトキハ其ノ寸法ハ正肋材ノ寸法ト等シク梁ヲ肋骨一本置ニ取附クルトキハ其ノ寸法ハ右ニ準ジ相當ニ輕減スルコト又梁ノ肘板ノ幅及深サハ梁ノ深サノ三倍トシ厚サハ梁ノ厚サニ等シクスルコト

四　梁上側板、梁上帶板及龍骨内龍骨山形材ノ厚サヲ各四分ノ一減少スルコト

五　外板ノ厚サヲ造船規定別表ニ掲グルモノヨリ〇・五ミリメートル減少スルコト

第四十四條　第二種漁船又ハ第三種漁船ノ活魚艙ハ其ノ周壁ヲ鋼製トシ且ヲ要シ其ノ構造及材料ノ寸法ニ付テハ造船規程第一編第百四十二條乃至第百四十四條、第百四十八條、第百四十九條及第百六十一條ヲ準用ス

第四十五條　第一種漁船ヲ除クノ外長サ二五メートル以上ノ漁船ノ活魚艙、冷藏艙及氷艙ノ頂部ノ甲板ハ水密構造ノ鋼甲板トシ且ツ其ノ周圍ノ甲板ニ對スル高サハ左ノ各號ニ掲グル場所ニ應ジ左ノ各號ニ掲グル數値以上ノ高サヲ有スルコト

一　船首ニ在リテハ管海官廳ニ於テ特ニ必要ト認ムルモノヲ除クノ外船首垂線ヨリ後方ニ漁船ノ長サノ五パーセント又ハ一・八メートルノ何レカ大ナル數値

二　船尾ニ在リテハ船尾垂線ヨリ前方ニ漁船ノ長サノ五パーセント又ハ一・八メートルノ何レカ大ナル數値

第四十六條　第一種漁船、捕鯨船及運搬漁船ヲ除クノ外長サ二五メートル以上ノ漁船ニハ甲板室、船樓、操舵室、船尾樓、船首樓、煙突、通風筒、昇降口、艙口、舷窓、舷門、舷牆、舷側ノ開口、舷側ノ水吐、舷側ノ排水口、舷側ノ排水管、舷側ノ排水筒、舷側ノ排水孔

名	船舶ノ種別	長サ	噸数	速力	乗組人員	備考
第一大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第二大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第三大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第四大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第五大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第六大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第七大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第八大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第九大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第十大和丸	客船	三〇〇米以上	一〇、〇〇〇噸	二〇節	一〇〇人	
第一大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	
第二大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	
第三大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	
第四大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	
第五大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	
第六大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	
第七大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	
第八大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	
第九大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	
第十大和丸	貨物船	一五〇米以上	一〇、〇〇〇噸	一五節	四〇人	

氣筒、氣筒蓋「ピストン」等ノ冷却「ポンプ」ノ弁及發條	一	組	同	上	
潤滑油「ポンプ」ノ弁及發條	一	組	同	上	同
移油「ポンプ」ノ弁及發條	一	組	同	上	同
淦水「ポンプ」弁	一	組	同	上	同
捲	球筒一箇毎ハ其ノ端數一箇		同	上	同
點火	栓氣筒一箇毎		同	上	同
電	池常用ト同數		同	上	常用ノ半數
電	線若干		同	上	同
始動用	燈常用ノ外二箇		同	上	常用ノ外一箇
滑車及鎖	一	組	同	上	同
螺旋切道具	一	組	一	組	一
鑽孔器	一	組	一	組	一
軸	一	箇	一	箇	一
金敷	一	箇	一	箇	一
据附萬力	一	箇	一	箇	一
鋲	板若干		一		一
鋲	棒若干		一		一
螺釘及母	螺各種若干同		上	同	上
機關室小道具	一	揃同	上	同	上
温度計	二	箇	一	箇	一
繩	壯一	箇同	上	同	上

備考

發動機又ハ「ポンプ」ニシテ同形ノモノ二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

●海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件

昭和十年九月
總令第百八號

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件左ノ通定ム

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關シテハ昭和十年遞信省令第二十二號ニ依ル但シ同令中船舶安全法トアルハ朝鮮船舶安全令ニ於テ依ル規則トアルハ朝鮮船舶安全法施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法、船舶安全法施行規則、船舶設備規程トアルハ朝鮮船舶設備規程、船舶區畫規程トアルハ朝鮮船舶區畫規程、內地トアルハ朝鮮トス

附　則

本令ハ昭和十年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行後直ニ本令ニ依リ難キ船舶ハ管海官廳ノ認可ヲ受ケ其ノ指定スル時期迄本令ノ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有セザルコトヲ得

●海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件

昭和十年八月
遞令第二十二號

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件左ノ通定ム

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件

第一條　國際航海ニ從事スル船舶ハ內地各港間ヲ航行スル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スルコトヲ要ス

第二條　第百八十五條及第百八十六條ノ規定ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」ニシテ同形ノモノ二箇以上ヲ備フル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

●載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件

海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿載吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　國際航海ニ從事スル船舶ハ內地各港間ヲ航行スル場合ヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スルコトヲ要ス

第二條　第百八十五條及第百八十六條ノ規定ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

第三條　第百八十五條及第百八十六條ノ規定ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

第四條　第百八十五條及第百八十六條ノ規定ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

第五條　第百八十五條及第百八十六條ノ規定ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

第六條　第百八十五條及第百八十六條ノ規定ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

第七條　第百八十五條及第百八十六條ノ規定ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ニ在リテハ氣筒蓋乃至點火栓ハ之ヲ發動機又ハ「ポンプ」一箇分ニ止ムルコトヲ得

第八條　第二條乃至第四條ノ證書ノ有效期間ハ一年以內ニ於テ管海官廳之ヲ定ム

第九條　安全證書、安全無線電信證書又ハ免除證書ノ有效期間滿了ノ際當該船舶ガ外國ニ在ルトキハ最寄帝國領事官ニ當該證書ノ有效期間ノ延長ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ申請アリタルトキハ帝國領事官ハ當該船舶ニ付其ノ航海ノ適否ヲ調査シ差支ナシト認ムルトキハ當該船舶ガ內地ニ歸航スル爲必要ナル場合ニ限リ五月ヲ超エザル期間內ニ於テ有效期間ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ證書ノ有效期間ヲ延長シタル場合ニ於テ當該船舶ガ內地ニ到達シタルトキハ其ノ有效期間ハ滿了シタルモノト看做ス

第十條　第六條ノ證書ノ有效期間ハ四年五月以內ニ於テ管海官廳之ヲ定ム

第十一條　管海官廳ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ニシテ當該證書ノ有效期間滿了ノ際滿載吃水線ヲ變更スルノ必要ナシト認ムルモノニ付テハ申請ニ依リ其ノ有效期間ヲ更新スルコトヲ得

第十二條　海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ニ加盟シタル外國ニ於テ同條約ニ依ル當該國ノ安全證書又ハ安全無線電信證書ノ交付ヲ受ケントスルトキハ船長ハ最寄帝國領事官ニ準由ヲ具シタル申請書ヲ提出スベシ

國際滿載吃水線條約ニ加盟シタル外國ニ於テ同條約ニ依ル當該國ノ國際滿載吃水線證書ノ交付ヲ受ケントスルトキハ亦前項ニ同ジ

第二條、第三條又ハ第六條ノ規定ハ前二項ノ規定ニ依リ當該證書ヲ受有スル船舶ニハ之ヲ適用セズ

第十三條　左ニ揭グル場合ニ於テハ遲滯ナク安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ最寄帝國海官廳ニ返還スベシ

一　當該證書ノ有效期間滿了シタルトキ

二　安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書ヲ受有スル船舶ガ當該證書ヲ要セザルニ至リタルトキ但シ第五條ノ規定ニ依リ安全證書又ハ安全無線電信證書ヲ免除證書トヲ併セ受有スル場合ヲ除ク

第十四條　甲種國際航海ニ從事スル船舶ガ特定ノ航海ニ於テ其ノ搭載スル人員ニ相當スル數量迄救命設備ヲ減少セントスルトキハ事由ヲ具シ救命設備輕減認可書（第五條書式）ノ交付ヲ最寄帝國海官廳又ハ帝國領事官ニ申請スベシ

第十五條　前條ノ認可書ハ之ヲ安全證書ニ添附シ置キ船舶ガ內地ニ到達シタルトキハ遲滯ナク最寄帝國海官廳ニ返還スベシ

第十六條　第二條ノ證書又ハ第三條ノ證書ノ交付申請書ニハ無線電信ノ通信員及聽守員ノ資格並數ヲ附記シ船舶檢査證書又ハ其ノ寫及無線電信檢定證書又ハ無線電信假檢定證書ノ寫ヲ添附スベシ

第十七條　第四條ノ證書ノ交付申請書ニハ第四條第一號ニ揭グル船舶ニ付テハ船舶檢査證書又ハ其ノ寫ヲ、同條第二號ニ揭グル船舶ニ付テハ船舶檢査證書又ハ其ノ寫及特殊船舶檢査證書又ハ其ノ寫ヲ、同條第三號ニ揭グル船舶ニ付テハ船舶檢査證書又ハ其ノ寫及無線電信ノ施設ヲ免除セラレタルコトヲ證スル書類ヲ添附スベシ

第十八條　第六條ノ證書ノ交付申請書ニハ船舶檢査證書又ハ其ノ寫ヲ添附スベシ

第十九條　救命設備輕減認可書ノ交付申請書ニハ救命設備ヲ減少セントスル特定ノ航海又ハ其ノ區間、期間、搭載人員竝ニ減少セントスル救命設備ノ種類及數量ヲ附記シ且船舶檢査證書又ハ其ノ寫、特殊船檢査證書又ハ其ノ寫、安全證書及船舶檢査手帖ヲ添附スベシ

第二十條　船舶安全法施行規則第八條、第百二十五條第一項、第百二十六條、第百三十條、第百三十一條及第百四十條ノ規定ニ依リ安全證書、安全無線電信證書、免除證書、國際滿載吃水線證書及救命設備輕減認可書ニ之ヲ準用ス

第二十一條　安全證書、安全無線電信證書、免除證書、國際滿載吃水線證書又ハ救命設備輕減認可書ノ交付、再交付、書換又ハ國際滿載吃水線證書ノ有效期間ノ更新ヲ受ケントスルトキハ左ノ手數料ヲ納付スベシ

一　安全證書、安全無線電信證書、免除證書又ハ國際滿載吃水線證書　五圓

二　救命設備輕減認可書　三圓

三　國際滿載吃水線證書ノ有效期間ノ更新　一圓

第二十二條　船舶安全法施行規則第百八十三條第一項及第百八十五條ノ規定ハ前條ノ手數料ニ之ヲ準用ス

手數料納付書ニハ船舶番號、船種、船名、船舶所有者名及安全證書、安全無線電信證書、免除證書、國際滿載吃水線證書又ハ救命設備輕減認可書ノ別ヲ記載シ國際滿載吃水線證書ノ有效期間ノ更新ニ付テハ其ノ旨ヲ附記スベシ

附　則

本令ハ昭和十年八月十一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行後直ニ本令ニ依リ難キ船舶ハ管海官廳ノ認可ヲ受ケ其ノ指定スル時期迄第一條ノ證書ヲ受有セザルコトヲ得

式書號一第

安　全　證　書

國帝日本

（公印ノ章）

海航際國ニ對スルモノ

海航際國短

ス行發リ依ニ定規ノ約條際國ノ爲ノ全安ノ人命ケル於ニ上海年九十二百十千

數噸總	港籍船	香船號船	名船

	前記條約第　條ノ規定	實際ノ施設
聽守時間	……	……
承認自働警急機備附ノ有無	……	……
別箇ノ補助設備ノ有無	……	……
通信員ノ最小數	……	……
追加通信員又ハ聽守員	……	……

本證書ハ日本帝國政府ノ權限ノ下ニ之ヲ發行ス
本證書ハ　年　月　日迄效力ヲ有ス
　　年　月　日　ニ於テ發行ス

管海官廳印

第三號書式

免除證書

日本帝國

（公ノ印章）

千九百二十九年海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ノ規定ニ依リ發行ス

船名	船舶番號	船籍港	總噸數

日本帝國政府ハ前記國際條約第　條ニ依リ付與セラレタル權限ニ基キ本船ニ對シ前記條約ニ至ル航海ニ於テ　條ノ規定ノ適用ヲ免除シタルコトヲ證明ス
本證書ハ日本帝國政府ノ權限ノ下ニ之ヲ發行ス
本證書ハ　年　月　日迄效力ヲ有ス
　　年　月　日　ニ於テ發行ス

管海官廳印

第四號書式

（公ノ印章）

國際滿載吃水線證書

千九百三十年ノ國際滿載吃水線條約ノ規定ニ依リ日本帝國政府ノ權限ノ下ニ發行ス

船名　　船舶番號
船籍港
總噸數

甲板線ヨリノ乾舷　　滿載吃水線

熱帶……(T)　　(S)ノ上方……
夏期……(S)　　圓標ノ中心ヲ通過スル線ノ上緣
冬期……(W)　　(S)ノ下方……
冬期北大西洋……(WNA)　　(S)ノ下方……
上記乾舷ニ付テノ淡水ニ對スル餘裕……

日本帝國政府ハ下ノ事項ヲ證明ス
一　本船ガ前記國際條約ノ規定ニ從ヒ正當ニ檢査セラレタルコト
二　檢査ノ結果本船ガ下ノ事項ニ關シ前記條約ノ規定ニ適合セルコト
（一）　船體、主及補助ノ汽罐竝ニ機關
（二）　水密區畫ノ配置及其ノ細目
（三）　下ノ區畫滿載吃水線

指定シ且船舶ノ長サノ中央ニ於テ船側ニ標示シタル區畫滿載吃水線（條約第五條）	乾舷	實際旅客ヲ搭載スル場所ガ他ノ用途ニ供用スルコトアルベキ下ノ場所ヲ含ム場合ニ適用ス
C_1	……	……
C_2	……	……
C_3	……	……

（四）　全人員（船員及旅客）　人分ノ端艇、救命筏其ノ他ノ救命設備即チ

端艇	隻	人分
救命筏	箇	人分
救命浮器	箇	人分
救命浮環	箇	
救命胴衣	箇	
證明書ヲ有スル救命艇手	人	

（五）　無線電信設備

	前記條約第　條ノ規定	實際ノ施設
聽守時間	……	……
承認自働警急機備附ノ有無	……	……
別箇ノ補助設備ノ有無	……	……
通信員ノ最小數	……	……
追加通信員又ハ聽守員	……	……
方位測定機備附ノ有無	……	……

三　本船ガ他ノ一切ノ事項ニ付テモ前記條約ノ規定中本船ニ適用アル規定ニ適合セルコト
本證書ハ日本帝國政府ノ權限ノ下ニ之ヲ發行ス
本證書ハ　年　月　日迄效力ヲ有ス
　　年　月　日　ニ於テ發行ス

管海官廳印

第二號書式

安全無線電信證書

日本帝國

（公ノ印章）

千九百二十九年海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ノ規定ニ依リ發行ス

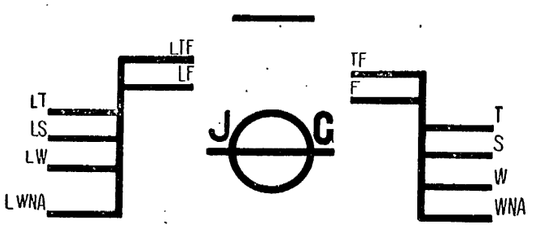
船名	船舶番號	船籍港	總噸數

日本帝國政府ハ本船ガ無線電信ニ關シ前記國際條約ノ規定ニ適合セルコトヲ證明ス

木材滿載吃水線

甲板線ヨリノ乾舷	滿載吃水線
熱帶木材……(LT)	(S)ノ上方……
夏期木材……(LS)	(S)ノ上方……
冬期木材……(LW)	(S)ノ上方……
冬期北大西洋木材……(LWNA)	(S)ノ下方……

上記乾舷ニ付淡水ニ對スル修正ハ甲板ノ上面ノ上方……ミリメートルヲ測ル基準タル甲板線ノ上縁ヨリ乾舷ヲ於テ……ス



本證書ハ前記ノ乾舷及滿載吃水線ガ本船ニ從ヒ約條ニ定メラレタル通リ指定セラレタルコトヲ證ス

本證書ハ……年……月……日迄效力ヲ有ス

……年……月……日……ニ於テ發行ス

印　管海官廳

（國際滿載吃水線證書裏面）

本船ハ本證書ヲ以テ左ノ航海區間ニ於テ其ノ搭載スル船員及ビ旅客ノ總數ヲ超エザル限リ救命設備ヲ備ヘ且同規程第六編第七章ニ規定スル他ノ條件ヲ具備スルトキハ管海官廳ハ同規程第四編第二章ノ規定ニ依リ當該槽船ノ乾舷ヲ算定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管海官廳ハ當該槽船ガ同規程第百五十條、第百五十八條及第百六十二條ノ規定ニ適合セザル程度ヲ考慮シ適當ニ其ノ乾舷ヲ增加ス

第四條　船舶滿載吃水線ノ位置ハ之ヲ本令ニ依リ船舶ニ標示シタル滿載吃水線法ニ依リ船舶ニ標示シタル滿載吃水線ノ位置ハ之ヲ本令ニ依リ定メタルモノト看做ス但シ同法ニ依リ汽船ニ標示シタル淡水滿載吃水線ノ位置ハ本船ニ在リテハ外板ノ外面ヨリ外面迄ノ最大幅ヲ「B」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第五條　本令ニ於テ船ノ幅トハ「L」ノ中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ肋骨ノ外面ヨリ外面迄、木船ニ在リテハ外板ノ外面ヨリ外面迄ノ最大幅ヲ謂フ

船ノ幅ハ「B」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第六條　本令ニ於テ船ノ深サトハ「L」ノ中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ龍骨ノ上面ヨリ、木船ニ在リテハ龍骨ノ溝ノ下緣ヨリ乾舷甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ但シ船體中央橫截面ノ下部ガ凹形ヲ成ス船舶又ハ厚キ龍骨翼板ヲ有スル木船ニ在リテハ船底外板ノ外面ノ扁平部ノ延長上龍骨ノ側面トノ交點ヨリ乾舷甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ

「L」ノ中央ニ於ケル船底勾配ガ八分ノ一ヨリ大ナル鋼帆船ノ深サハ第百八條ノ規定ニ依ル船ノ深サハ「D」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第七條　本令ニ於テ乾舷用深サトハ「D」ニ乾舷甲板ノ梁上側板ノ厚サ左ノ算式ニ依リ算定シタル厚サトノ中大ナルモノヲ加ヘタルモノヲ謂フ

$$T(L-S)$$
$$L$$

「T」ハ艙内及甲板口ノ部分ヲ除キタル乾舷甲板ノ平均ノ厚サニテ

「S」ハ船橫ノ長サノ和ニテ

乾舷用深サハ「D」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第八條　本令ニ於テ乾舷トハ「L」ノ中央ニ於ケル乾舷甲板ノ上面ノ延長上外板ノ外面トノ交點ヨリ滿載吃水線迄測リタル垂直距離ヲ

●朝鮮船舶滿載吃水線規程

昭和十年二月
總令第二十三號

朝鮮船舶滿載吃水線規程左ノ通定ム

朝鮮船舶滿載吃水線規程

第一條　船舶ニ標示スベキ滿載吃水線ニ關シテハ昭和九年遞信省令第七號船舶滿載吃水線規程ニ依ル但シ同規程中船口覆布試驗規程トアルハ朝鮮船用品試驗規程ニ於テ依ルコトヲ定メタル昭和八年遞信省令第二十七號船口覆布試驗規程、艙蓋試驗規程トアルハ朝鮮船用品試驗規程ニ於テ依ルコトヲ定メタル大正十一年遞信省令第六號艙蓋試驗規程トス

附　則

第二條　本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條　昭和七年六月三十日以前ニ龍骨ヲ据附ケタル船舶ノ滿載吃水線ノ指定ニ付テハ左ノ各號ニ依ル

一　開口ノ保護、保護欄干、放水口及船員室區域ヘノ通路ニ關スル構造及設備ニ付第一條ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶滿載吃水線規程（以下單ニ船舶滿載吃水線規程ト稱ス）第六編ノ規定ニ適合セザル船舶ト雖モ實質上該規定ニ略適合シ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ同編ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

二　船舶滿載吃水線規程第百五十條ニ規定スル船樓ヲ有セザル汽船ト雖モ實質上同條ニ規定スル船樓ト略同一ノ效力アル船樓ヲ有シ且同規程第六編第六章ニ規定スル他ノ條件ヲ具備スルトキハ木材滿載吃水線ノ指定ヲ受ケ之ヲ標示スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管海官廳ハ當該汽船ガ同規程第百五十條ノ規定ニ適合セザル程度ヲ考慮シ適當ニ其ノ乾舷ヲ增加ス

三　船舶滿載吃水線規程第百五十七條、第百五十八條及第百六十二條ノ規定ニ適合セザル艙口蓋ト雖モ實質上同條ノ規定ニ依ル構造及設備ト略同一ノ構造及設備ヲ有スル船舶ニ付テハ同規程第六編第七章ニ規定スル他ノ條件ヲ具備スルトキハ管海官廳ハ同規程第四編第二章ノ規定ニ依リ當該槽船ノ乾舷ヲ算定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ管海官廳ハ當該槽船ガ同規程第百五十條ノ規定ニ適合セザル程度ヲ考慮シ適當ニ其ノ乾舷ヲ增加ス

第四條　船舶滿載吃水線ノ位置ハ之ヲ本令ニ依リ船舶ニ標示シタル滿載吃水線法ニ依リ船舶ニ標示シタル滿載吃水線ノ位置ハ之ヲ本令ニ依リ定メタルモノト看做ス但シ同法ニ依リ汽船ニ標示シタル淡水滿載吃水線ノ位置ハ本船ニ在リテハ外板ノ外面ヨリ外面迄ノ最大幅ヲ「B」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第五條　本令ニ於テ船ノ幅トハ「L」ノ中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ肋骨ノ外面ヨリ外面迄、木船ニ在リテハ外板ノ外面ヨリ外面迄ノ最大幅ヲ謂フ

船ノ幅ハ「B」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第六條　本令ニ於テ船ノ深サトハ「L」ノ中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ龍骨ノ上面ヨリ、木船ニ在リテハ龍骨ノ溝ノ下緣ヨリ乾舷甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ但シ船體中央橫截面ノ下部ガ凹形ヲ成ス船舶又ハ厚キ龍骨翼板ヲ有スル木船ニ在リテハ船底外板ノ外面ノ扁平部ノ延長上龍骨ノ側面トノ交點ヨリ乾舷甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ

「L」ノ中央ニ於ケル船底勾配ガ八分ノ一ヨリ大ナル鋼帆船ノ深サハ第百八條ノ規定ニ依ル船ノ深サハ「D」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第七條　本令ニ於テ乾舷用深サトハ「D」ニ乾舷甲板ノ梁上側板ノ厚サ左ノ算式ニ依リ算定シタル厚サトノ中大ナルモノヲ加ヘタルモノヲ謂フ

$$T(L-S)$$
$$L$$

「T」ハ艙内及甲板口ノ部分ヲ除キタル乾舷甲板ノ平均ノ厚サニテ

「S」ハ船橫ノ長サノ和ニテ

乾舷用深サハ「D」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第八條　本令ニ於テ乾舷トハ「L」ノ中央ニ於ケル乾舷甲板ノ上面ノ延長上外板ノ外面トノ交點ヨリ滿載吃水線迄測リタル垂直距離ヲ

巡洋艦形船尾ヲ有スル船舶ニ在リテハ船ノ長サハ前項ノ規定ニ依ル長サト計畫夏期滿載吃水線又ハ計畫海水滿載吃水線上ニ於ケル船ノ全長ノ百分ノ九十六トノ中大ナルモノトス

船ノ長サハ「L」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第五條　本令ニ於テ船ノ幅トハ「L」ノ中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ肋骨ノ外面ヨリ外面迄、木船ニ在リテハ外板ノ外面ヨリ外面迄ノ最大幅ヲ謂フ

船ノ幅ハ「B」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第六條　本令ニ於テ船ノ深サトハ「L」ノ中央ニ於テ鋼船ニ在リテハ龍骨ノ上面ヨリ、木船ニ在リテハ龍骨ノ溝ノ下緣ヨリ乾舷甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ但シ船體中央橫截面ノ下部ガ凹形ヲ成ス船舶又ハ厚キ龍骨翼板ヲ有スル木船ニ在リテハ船底外板ノ外面ノ扁平部ノ延長上龍骨ノ側面トノ交點ヨリ乾舷甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄測リタル垂直距離ヲ謂フ

「L」ノ中央ニ於ケル船底勾配ガ八分ノ一ヨリ大ナル鋼帆船ノ深サハ第百八條ノ規定ニ依ル船ノ深サハ「D」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第七條　本令ニ於テ乾舷用深サトハ「D」ニ乾舷甲板ノ梁上側板ノ厚サ左ノ算式ニ依リ算定シタル厚サトノ中大ナルモノヲ加ヘタルモノヲ謂フ

$$T(L-S)$$
$$L$$

「T」ハ艙内及甲板口ノ部分ヲ除キタル乾舷甲板ノ平均ノ厚サニテ

「S」ハ船橫ノ長サノ和ニテ

乾舷用深サハ「D」ヲ以テ之ヲ示シ其ノ單位ハメートルトス

第八條　本令ニ於テ乾舷トハ「L」ノ中央ニ於ケル乾舷甲板ノ上面ノ延長上外板ノ外面トノ交點ヨリ滿載吃水線迄測リタル垂直距離ヲ

目　次

第一編　總則
　第一章　定義
　第二章　乾舷ノ種類
　第三章　滿載吃水線ノ標示
　第四章　乾舷ノ決定
第二編　汽船ノ形狀ニ依ル夏期乾舷
　第一章　表定乾舷
　第二章　船樓ニ關スル修正
　第三章　深サ及梁矢ニ關スル修正
　第四章　舷弧ニ關スル修正
第三編　鋼船ノ强力
　第一章　縱抵抗率及肋骨抵抗率
　第二章　標準强力
　第三章　强力ニ依ル吃水ノ算定
第四編　甲板積木材貨物ヲ運送スル汽船、艙船及木汽船ノ乾舷ニ關スル特別規定
　第一章　甲板積木材貨物ヲ運送スル汽船
　第二章　艙船
　第三章　木汽船
第五編　帆船ノ乾舷ニ關スル特別規定
　第一章　鋼帆船
第六編　船舶ノ構造及設備
　第一章　通則
　第二章　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル船口其ノ他ノ甲板口
　第三章　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル機關室口、通風筒及空氣管
　第四章　乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル開口
　第五章　船樓端ノ隔壁、船員ノ保護裝置及放水口
　第六章　木材滿載吃水線ノ指定ヲ受クル汽船
　第七章　艙船
附　則

●船舶滿載吃水線規程

昭和九年二月
遞信省令第七號

船舶滿載吃水線規程左ノ通定ム

船舶滿載吃水線規程

第一編　總則

第一章　定義

第一條　本令ニ於テ乾舷甲板トハ最上層ノ全通甲板ヲ謂フ但シ最上層ノ全通甲板ノ暴露部ニ常設閉鎖裝置ヲ備ヘザル開口ヲ有スル船舶ニ在リテハ該甲板ノ直下ノ全通甲板ヲ謂フ

船首ト船尾トノ間ニ於テ一部分ノ甲板ト他ノ部分ノ甲板トガ連續セザル船舶ニ付乾舷甲板ヲ定ムル場合ニ於テハ上方ノ甲板ノ部分ニ於テ之ト平行シテ下方ノ甲板ノ延長面ヲ假定シ該下方ノ甲板及其ノ延長面ヲ全通甲板ト看做ス

第二條　本令ニ於テ船樓トハ船側ヨリ船側ニ達シ上部ニ甲板ヲ有スル乾舷甲板上ノ構造物ヲ謂フ

本令ニ於テ船樓ノ長サトハ船樓ニ在リテハ船ノ長サ、其ノ他ノ船樓ニ在リテハ船ノ長サヲ測ル兩端點ニ於ケル垂線ノ間ニ在ル部分ノ平均ノ長サヲ謂フ

第三條　本令ニ於テ甲板船トハ船樓ヲ有セザル船舶ヲ謂フ

第四條　本令ニ於テ船ノ長サトハ計畫夏期滿載吃水線又ハ計畫海水滿載吃水線上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ舵柱ヲ有スル船舶ニ在リテハ其ノ後面迄、舵柱ヲ有セザル船舶ニ在リテハ舵頭ノ中心迄測リタル距離ヲ謂フ

第二章　木帆船

第六編　船舶ノ構造及設備

第一章　通則

第二章　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル船口其ノ他ノ甲板口

第三章　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル機關室口、通風筒及空氣管

第四章　乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル開口

第五章　船樓端ノ隔壁、船員ノ保護裝置及放水口

第六章　木材滿載吃水線ノ指定ヲ受クル汽船

第七章　艙船

附　則

船舶滿載吃水線規程

第一編　總則

第一章　定義

第一條　本令ニ於テ乾舷甲板トハ最上層ノ全通甲板ヲ謂フ但シ最上層ノ全通甲板ノ暴露部ニ常設閉鎖裝置ヲ備ヘザル開口ヲ有スル船舶ニ在リテハ該甲板ノ直下ノ全通甲板ヲ謂フ

船首ト船尾トノ間ニ於テ一部分ノ甲板ト他ノ部分ノ甲板トガ連續セザル船舶ニ付乾舷甲板ヲ定ムル場合ニ於テハ上方ノ甲板ノ部分ニ於テ之ト平行シテ下方ノ甲板ノ延長面ヲ假定シ該下方ノ甲板及其ノ延長面ヲ全通甲板ト看做ス

第二條　本令ニ於テ船樓トハ船側ヨリ船側ニ達シ上部ニ甲板ヲ有スル乾舷甲板上ノ構造物ヲ謂フ

本令ニ於テ船樓ノ長サトハ船樓ニ在リテハ船ノ長サ、其ノ他ノ船樓ニ在リテハ船ノ長サヲ測ル兩端點ニ於ケル垂線ノ間ニ在ル部分ノ平均ノ長サヲ謂フ

第三條　本令ニ於テ甲板船トハ船樓ヲ有セザル船舶ヲ謂フ

第四條　本令ニ於テ船ノ長サトハ計畫夏期滿載吃水線又ハ計畫海水滿載吃水線上ニ於テ船首材ノ前面ヨリ舵柱ヲ有スル船舶ニ在リテハ其ノ後面迄、舵柱ヲ有セザル船舶ニ在リテハ舵頭ノ中心迄測リタル距離ヲ謂フ

（裏面）

船舶滿載吃水線規程ニ依リ定メラレタル乾舷ニ從ヒ本船ヲ航行セシムベキ區域ヲ指定シ且ツ其ノ區域ニ於ケル航海ノ季節ヲ定メタル證書ヲ本船ニ交付スベキ旨ヲ規定シタルモノニシテ其ノ證書ハ本船ノ滿載吃水線ガ船舶滿載吃水線規程ニ依リ定メラレタル通リ指定セラレタルコトヲ證スルモノトス

本證書ハ……年……月……日迄效力ヲ有ス

……年……月……日……ニ於テ發行ス

印　管海官廳

（裏面）

本船ハ本證書ヲ以テ左ノ航海區間ニ於テ其ノ搭載スル船員及ビ旅客ノ總數ヲ超エザル限リ救命設備ヲ備ヘ且ツ滿載吃水線ガ船舶滿載吃水線規程ニ依リ定メラレタル通リ指定セラレタルコトヲ證スルモノトス

本證書ハ……年……月……日迄效力ヲ有ス

……年……月……日……ニ於テ發行ス

印　管海官廳

第五號書式

船舶滿載吃水線減輕認可書

船名	號數	船籍港	總噸數

本船ハ……ヨリ……ニ至ル航海區間ニ於テ其ノ搭載スル船員及ビ旅客ノ總數ヲ超エザル限リ救命設備ヲ備ヘ且ツ滿載吃水線ガ船舶滿載吃水線規程ニ依リ定メラレタル通リ指定セラレタルコトヲ證スルモノトス

本船ハ……年……月……日迄效力ヲ有ス

……年……月……日……ニ於テ發行ス

印　管海官廳

（裏面）

本船ハ本證書ヲ以テ左ノ航海區間ニ於テ其ノ搭載スル船員及ビ旅客ノ總數ヲ超エザル限リ救命設備ヲ備ヘ且ツ滿載吃水線ガ船舶滿載吃水線規程ニ依リ定メラレタル通リ指定セラレタルコトヲ證スルモノトス

本證書ハ……年……月……日迄效力ヲ有ス

……年……月……日……ニ於テ發行ス

印　管海官廳

（裏面）

本船ハ本證書ヲ以テ左ノ航海區間ニ於テ其ノ搭載スル船員及ビ旅客ノ總數ヲ超エザル限リ救命設備ヲ備ヘ且ツ滿載吃水線ガ船舶滿載吃水線規程ニ依リ定メラレタル通リ指定セラレタルコトヲ證スルモノトス

本證書ハ……年……月……日迄效力ヲ有ス

……年……月……日……ニ於テ發行ス

印　管海官廳

端艇	隻	人分
救命筏	箇	人分
救命浮器	箇	人分
救命浮環	箇	
救命胴衣	箇	
證明書ヲ有スル救命手	人	

本船ニ非ズモノニ關スル反逆ニ對スル規定ニ依リ千九百二十九年海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約ノ記載ノ輕減ニ從ヒ且ツ本船ハ……年……月……日……ニ於テ發行ス

本證書ハ……年……月……日迄效力ヲ有ス

本證書ハ……年……月……日ヨリ……年……月……日迄效力ヲ有ス

……年……月……日……ニ於テ發行ス

印　管海官廳

備考	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ
	香港ヨリ西貢ヘ航スルニハ	香港ヨリ海口ヘ航スルニハ	香港ヨリ汕頭ヘ航スルニハ	香港ヨリ厦門ヘ航スルニハ	香港ヨリ福州ヘ航スルニハ	香港ヨリ上海ヘ航スルニハ	香港ヨリ青島ヘ航スルニハ	香港ヨリ大連ヘ航スルニハ	香港ヨリ仁川ヘ航スルニハ
	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ
	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ
	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク
	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ
	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ
	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ
	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ
	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク
	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ
	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ

第十七圖

（少ク海面參照）

備考	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ
	香港ヨリ西貢ヘ航スルニハ	香港ヨリ海口ヘ航スルニハ	香港ヨリ汕頭ヘ航スルニハ	香港ヨリ厦門ヘ航スルニハ	香港ヨリ福州ヘ航スルニハ	香港ヨリ上海ヘ航スルニハ	香港ヨリ青島ヘ航スルニハ	香港ヨリ大連ヘ航スルニハ	香港ヨリ仁川ヘ航スルニハ
	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ
	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ
	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク
	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ
	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ

第十七圖

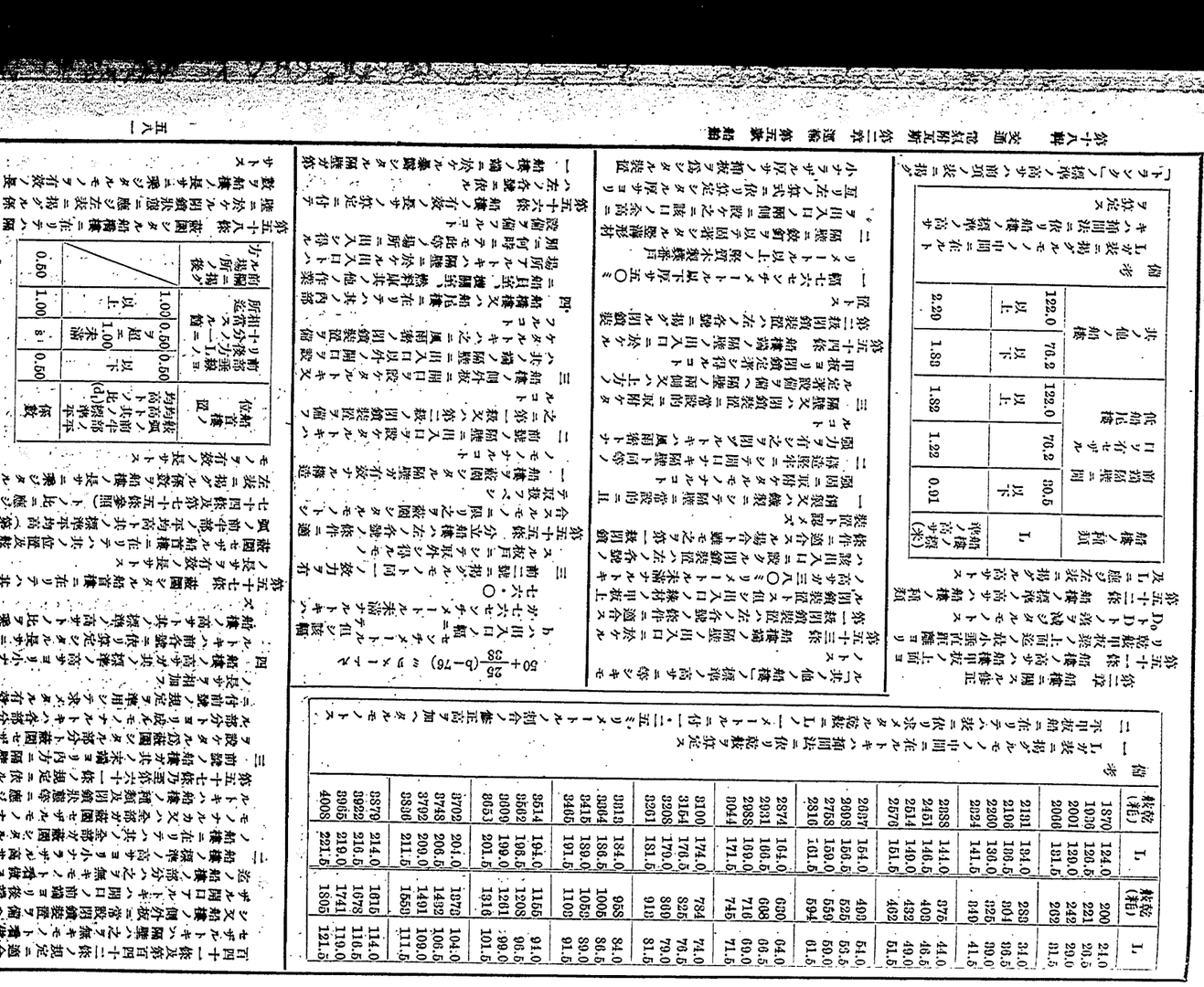
（少ク海面參照）

備考	一	二	三	四	五	六	七	八	九
	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ	第三圖ニ掲ゲタル航路ノ内ニテ
	香港ヨリ西貢ヘ航スルニハ	香港ヨリ海口ヘ航スルニハ	香港ヨリ汕頭ヘ航スルニハ	香港ヨリ厦門ヘ航スルニハ	香港ヨリ福州ヘ航スルニハ	香港ヨリ上海ヘ航スルニハ	香港ヨリ青島ヘ航スルニハ	香港ヨリ大連ヘ航スルニハ	香港ヨリ仁川ヘ航スルニハ
	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ	夏期ハ南ヨリ吹ク風ニ逆ヒ
	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ	熱帯ノ暴風ニ遭フコト多シ
	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク	冬期ハ北東ノ風強ク
	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ	航海ニ適セズ
	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ	春秋ハ風位定マラズ

第十七圖

（少ク海面參照）

第二百五十一図　船体構造名称図



第二百五十二図　船体構造名称図

第二百五十三図　船体構造名称図

第二百五十四図　船体構造名称図

第二百五十五図　船体構造名称図

第二百五十六図　船体構造名称図

第二百五十七図　船体構造名称図

第二百五十八図　船体構造名称図

第二百五十九図　船体構造名称図

第二百六十図　船体構造名称図

第二百六十一図　船体構造名称図

第二百六十二図　船体構造名称図

第二百六十三図　船体構造名称図

第二百六十四図　船体構造名称図

第二百六十五図　船体構造名称図

第二百六十六図　船体構造名称図

第二百六十七図　船体構造名称図

第二百六十八図　船体構造名称図

第二百六十九図　船体構造名称図

第二百七十図　船体構造名称図

第二百七十一図　船体構造名称図

第二百七十二図　船体構造名称図

第二百七十三図　船体構造名称図

第二百七十四図　船体構造名称図

第二百七十五図　船体構造名称図

第二百七十六図　船体構造名称図

第二百七十七図　船体構造名称図

第二百七十八図　船体構造名称図

第二百七十九図　船体構造名称図

第二百八十図　船体構造名称図

第二百八十一図　船体構造名称図

第二百八十二図　船体構造名称図

第二百八十三図　船体構造名称図

第二百八十四図　船体構造名称図

第二百八十五図　船体構造名称図

第二百八十六図　船体構造名称図

第二百八十七図　船体構造名称図

第二百八十八図　船体構造名称図

第二百八十九図　船体構造名称図

第二百九十図　船体構造名称図

第二百九十一図　船体構造名称図

第二百九十二図　船体構造名称図

第二百九十三図　船体構造名称図

第二百九十四図　船体構造名称図

第二百九十五図　船体構造名称図

第二百九十六図　船体構造名称図

第二百九十七図　船体構造名称図

第二百九十八図　船体構造名称図

第二百九十九図　船体構造名称図

第二百三十図　船体構造名称図

第二百三十一図　船体構造名称図

第二百三十二図　船体構造名称図

第二百三十三図　船体構造名称図

第二百三十四図　船体構造名称図

第二百三十五図　船体構造名称図

第二百三十六図　船体構造名称図

第二百三十七図　船体構造名称図

第二百三十八図　船体構造名称図

第二百三十九図　船体構造名称図

第二百四十図　船体構造名称図

第二百四十一図　船体構造名称図

第二百四十二図　船体構造名称図

第二百四十三図　船体構造名称図

第二百四十四図　船体構造名称図

第二百四十五図　船体構造名称図

第二百四十六図　船体構造名称図

第二百四十七図　船体構造名称図

第二百四十八図　船体構造名称図

船首
船尾
船底
船側
甲板
船首材
船尾材
船底外板
船側外板
甲板
船底肋板
船側肋骨
船底縦桁
船側縦桁
甲板梁
甲板縦桁
甲板縦通材
船底縦通材
船側縦通材
船底縦桁
船側縦桁
船底肋板
船側肋骨
甲板梁
甲板縦桁
甲板縦通材
船底縦通材
船側縦通材

隔壁ニ於ケル閉鎖狀態		係數
前端隔壁	後端隔壁	
出入口ナキカ又ハ出入口ニ第一栽閉鎖裝置ヲ有ス	出入口ナキカ又ハ出入口ニ第一栽閉鎖裝置ヲ有ス	1.00
出入口ニ第二栽閉鎖裝置ヲ有ス	出入口ニ第二栽閉鎖裝置ヲ有ス	*1.00
出入口ニ第二栽閉鎖裝置ヲ有ス	出入口ナキカ又ハ出入口ニ第一栽若ハ第二栽閉鎖裝置ヲ有ス	0.90

*後端隔壁ニ接續スル「トランク」ニアリテハ第六十四條ノ規定ニ依リ其ノ有效ノ長サヲ船樓ノ有效ノ長サノ和ニ加算シタルトキハ一・〇〇ノ代リニ〇・九〇ヲ用ウ

蔽圍セザル船橋樓ニ在リテハ前端ガ閉鎖セラレザルトキハ其ノ長サノ百分ノ五十、前端ガ閉鎖セラレ後端ガ閉鎖セラレザルトキハ百分ノ七十五ヲ有效ノ長サトス

第五十九條　蔽圍シタル船尾樓ニ在リテハ隔壁ニ於ケル閉鎖狀態及船樓ノ長サトLトノ比ニ應ジ左表ニ掲グル係數ヲ船樓ノ長サニ乘ジタルモノヲ有效ノ長サトス

隔壁ニ於ケル閉鎖狀態	蔽圍シタル船尾樓ノ長サトLトノ比			
	0.50以下	0.60	0.70以上	
出入口ニ第二栽閉鎖裝置ヲ有ス	*1.00	*0.95	0.90	1.00
出入口ナキカ又ハ出入口ニ第一栽閉鎖裝置ヲ有ス				

*船尾樓ニ接續スル「トランク」ニアリテ第六十四條ノ規定ニ依リ其ノ有效ノ長サヲ船樓ノ有效ノ長サノ和ニ加算シタルトキハ一・〇〇ト九〇ノ内ウ

備考

隔壁ニ於ケル出入口ニ第二栽閉鎖裝置ヲ有スル蔽圍シタル船尾樓ニ於テ其ノ長サトLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ係數ヲ算定ス

蔽圍セザル船尾樓ニ在リテハ其ノ長サノ百分ノ五十ヲ有效ノ長サトス

第六十條　低船尾樓ニ付テハ船樓端ニ開口ヲ有セザル隔壁アルトキハ該隔壁迄ノ船樓ノ長サヲ有效ノ長サトシ船樓端ノ隔壁ニ開口アルトキハ該船樓ヲ船尾樓ト看做シ前條ノ規定ニ依リ有效ノ長サヲ算定ス

第六十一條　當該閉鎖裝置ヲ備ヘザル中心線甲板口ヲ有スル船樓ニ在リテハ左ノ各號ニ依リ有效ノ長サヲ算定ス

一　當該閉鎖裝置ヲ備ヘザル甲板口ニ第六十二條ノ規定ニ適合スル一時的閉鎖裝置ヲ有スル船樓ノ甲板口ニ在リテハ其ノ長サノ百分ノ七十五ヲ有效ノ長サトス

二　Lガ八五・三メートル以上一二二メートル未滿ナルトキハ左ノ算式ニ依リ算定シタル高サ

$$\frac{356+(L-24.4)}{60.9}\ \text{ミリメートル}$$

三　Lガ一二二メートル以上ナルトキハ一〇六七ミリメートル

$$\frac{864+(L-85.3)}{36.7}\ \text{ミリメートル}$$

船型 ＼ 蔽圍ノ有效ノ長サト船樓ノ有效ノ長サトLトノ比	0	0.10	0.20	0.30	0.40	0.50	0.60	0.70	0.80	0.90	1.00
船首樓、船橋樓及船尾樓ヲ有スル汽船	0	0.063	0.127	0.190	0.275	0.360	0.460	0.630	0.753	0.877	1.000
船首樓及船橋樓ノミヲ有スル汽船	0	0.063	0.127	0.190	0.275	0.360	0.460	0.630	0.753	0.877	1.000
船首樓ノミヲ有スル汽船	0	0.050	0.100	0.150	0.235	0.320	0.460	0.630	0.753	0.877	1.000
船橋樓及船尾樓ノミヲ有スル汽船	0	0.018	0.077	0.140	0.225	0.310	0.460	0.630	0.753	0.877	1.000
船橋樓ノミヲ有スル汽船	0	0.007	0.077	0.140	0.225	0.310	0.460	0.630	0.753	0.877	1.000
船尾樓ノミヲ有スル汽船	0	0	0.050	0.140	0.225	0.310	0.460	0.630	0.753	0.877	1.000

備考

一　低船首樓及低船尾樓ハ夫々船首樓及船尾樓トシテ取扱フベシ

二　第一條第一項但書ノ船舶ハ常設閉鎖裝置ヲ備ヘザル甲板口ノ前端ヨリ後端迄ノ間ハ船樓ナキモノト看做ス

三　船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

四　船橋樓ト他ノ船樓トヲ有スル汽船ニ在リテハ船橋樓ノ有效ノ長サガL/15ノ二未滿ナルトキハ相當欄ニ掲グル係數ト船橋樓ナキモノト看做シタル場合ノ係數トノ間ニ挿間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

第三章　深サ及梁矢ニ關スル修正

第六十七條　D_0ガL/15ノ十五分ノ一ヲ超ユル船船ニ在リテハ左ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ表定乾舷ニ加フベシ

一　Lガ一一八・九メートル以上ナルトキ

$$2.104\left(D_0-\frac{L}{15}\right)L\ \text{ミリメートル}$$

二　Lガ一一八・九メートル未滿ナルトキ

$$219.9\left(D_0-\frac{L}{15}\right)\ \text{ミリメートル}$$

第六十八條　中央部Lノ十分ノ六ニ亙ル蔽圍シタル船樓ヲ有スル船舶、全通「トランク」ヲ有スル船舶又ハ開口ナキ隔壁ヲ有スル船舶ニ於テD_0ガL/15ノ十五分ノ一ヨリ小ナルトキハ左ノ算式ニ依リ算定シタル高サヲ表定乾舷ヨリ減ズベシ但シ船樓又ハ「トランク」ノ高サガ其ノ標準ノ高サヨリ小ナルトキハ修正高ハ前條ノ算式ニ依リ算定シタルモノニ船樓又ハ「トランク」ノ實際ノ高サト其ノ標準ノ高サトノ比ヲ乘ジタルモノ爲スベシ

$$1000(D_1-D_2)\ \text{〃ミリメートル}$$

D_1ハL/2ノ中央ニ於テD/2ノ下端ヨリ乾舷甲板ノ船側ニ於ケル上面迄ノ實際ノ深サ

メートル

第六十九條　Lノ中央ニ於ケル乾舷甲板ノ梁矢ガB/2ノ五十分ノ一ヲ超ユルトキハ在リテハ梁矢ノ高サニ應ジ左ノ各號ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ正負ノ符號ヲ附シ表定乾舷ニ加フベシ

一　梁矢ガB/2ノ二十五分ノ一以下ナルトキ

$$\frac{1}{4}(1-x)(20B-R)\ \text{〃ミリメートル}$$

二　梁矢ガB/2ノ二十五分ノ一ヲ超ユルトキ

$$-5(1-x)B\ \text{〃ミリメートル}$$

xハ蔽圍シタル船樓ノ長サノ和トLトノ比

Rハ$\frac{L}{4}$ノ中央ニ於ケル乾舷甲板ノ梁矢ミリメートル

第四章　舷弧ニ關スル修正

第七十一條　舷弧ノ高サハL/4ノ中央ニ於ケル舷弧上ノ點ヲ通過スル龍骨ニ平行ナル直線ヨリ垂直ニ之ヲ測ルモノトス但シ船尾吃水ガ船首吃水ヨリ大ナル狀態ヲ以テ航行スル場合ニ於テハ船尾吃水線ニ平行ナル直線ヨリ垂直ニ之ヲ測ルモノトス

第七十二條　舷弧ノ標準高サハ次ノ各號ニ依リ算定シタル數値ヲ基準トシテ舷弧ノ高サヲ測ルモノトス

一　L/4ノ中央ニ於ケル船樓甲板ノ舷弧ノ高サ

$$(0.0625L+10)\left(0.75-\frac{S}{2L}\right)\ \text{ミリメートル}$$

二　船首樓甲板ノ舷弧ノ高サ

$$(0.0625L+10)\left(0.75-\frac{S}{2L}\right)+\frac{1}{3}(0.0625L+10)\left(0.75-\frac{A}{L}\right)\ \text{ミリメートル}$$

三　船尾樓甲板ノ舷弧ノ高サ

$$(0.0625L+10)\left(0.75-\frac{S}{2L}\right)+\frac{2}{3}(0.0625L+10)\left(0.75-\frac{A}{L}\right)\ \text{ミリメートル}$$

Sハ船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

船樓係數						
船首樓、船橋樓及船尾樓ヲ有スル汽船	船首樓及船橋樓ノミヲ有スル汽船	船首樓及船尾樓ノミヲ有スル汽船	船首樓ノミヲ有スル汽船	船橋樓及船尾樓ノミヲ有スル汽船	船橋樓ノミヲ有スル汽船	船尾樓ノミヲ有スル汽船
0	0	0	0	0.018	0.007	0
0.063	0.063	0.050	0.050	0.077	0.077	0.050
0.127	0.127	0.100	0.100	0.140	0.140	0.100
0.190	0.190	0.150	0.150	0.225	0.225	0.185
0.275	0.275	0.235	0.320	0.310	0.310	0.270
0.360	0.360	0.320	0.460	0.410	0.410	0.410
0.460	0.460	0.460	0.630	0.580	0.580	0.580
0.630	0.630	0.630	0.753	0.705	0.705	0.703
0.753	0.753	0.753	0.877	0.827	0.827	0.827
0.877	0.877	0.877	1.000	0.950	0.950	0.950
1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000	1.000

備考

一　低船首樓及低船尾樓ハ夫々船首樓及船尾樓トシテ取扱フベシ

二　第一條第一項但書ノ船舶ハ常設閉鎖裝置ヲ備ヘザル甲板口ノ前端ヨリ後端迄ノ間ハ船樓ナキモノト看做ス

三　船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

四　船橋樓ト他ノ船樓トヲ有スル汽船ニ在リテハ船橋樓ノ有效ノ長サガL/15ノ二未滿ナルトキハ相當欄ニ掲グル係數ト船橋樓ナキモノト看做シタル場合ノ係數トノ間ニ挿間法ニ依リ船橋係數ヲ算定ス

第五章　乾舷甲板

第七十三條　乾舷甲板ハ最上層ノ全通甲板トス

第七十四條　乾舷甲板ノ標準平均高ハ其ノ前半部若ハ後半部ノ標準平均高ハ左ノ算式ニ依リ算定シタル高サ

$$C(0.833L+25.4)\ \text{センチメートル}$$

分長點ノ位置	舷弧ノ高サ(糎)
L/2後端ヨリL/6分ノ一ニ相當スル點	0.823L+25.4
L/2後端ヨリL/3分ノ一ニ相當スル點	0.97L+11.3
L/2後端ヨリL/3分ノ一ニ相當スル點	0.0925L+2.825
L/2中央點	0
L/2前端ヨリL/3分ノ一ニ相當スル點	0.185L+5.65
L/2前端ヨリL/6分ノ一ニ相當スル點	0.74L+22.6
L/2前端點	1.666L+50.8

C ハ係數ニシテ左表ニ依ル

算定スベキ事項	C
舷弧ノ標準平均高	$\frac{1}{4}$
舷弧ノ前半部ノ標準平均高	$\frac{2}{3}$
舷弧ノ後半部ノ標準平均高	$\frac{1}{3}$

第七十五條　舷弧ノ平均高ハ第七十六條ニ規定スル場合ヲ除クノ外第七十三條ニ揭グル各分長點ニ於テ測リタル舷弧ノ高サニ分長點ノ位置ニ應ジ左表ニ揭グル係數ヲ乘ジタル積ノ和ヲ三十六ニテ除シタルモノトス

分長點ノ位置	舷弧ノ前半部ノ平均高ヲ定ムル係數	舷弧ノ後半部ノ平均高ヲ定ムル係數
Lノ後端	1	—
Lノ後端ヨリL/六分ノ一ニ相當スル點	4	—
Lノ後端ヨリL/三分ノ一ニ相當スル點	2	—
Lノ中央點	4	12
Lノ前端ヨリL/三分ノ一ニ相當スル點	2	12
Lノ前端ヨリL/六分ノ一ニ相當スル點	4	—
Lノ前端點	1	—
	4	15

第七十六條　舷弧ノ後半部ノ平均高ガ其ノ標準平均高ヨリ大ニシテ前半部ノ平均高ガ其ノ標準平均高ノ百分ノ五十以下ナルトキハ前半部ノ舷弧ハ標準舷弧ニ等シキモノト看做シ又後半部ノ平均高ガ其ノ標準平均高ノ百分ノ五十ヲ超ユル百分ノ七十五未滿ナルトキハ前半部ノ舷弧ハ各分長點ニ於テ左ノ算式ニ依リ算定シタル高サヲ有スルモノト看做シ舷弧ノ平均高ヲ算定ス

$$S_f+\left(\frac{x-50}{25}\right)(S_f-S_0)$$

S_f ハ前半部ノ當該分長點ニ於ケル舷弧ノ實際ノ高サ

S_0 ハS_fヲ算リタル點ニ於ケル標準舷弧ノ高サ

x ハ舷弧ノ後半部ノ平均高ト其ノ標準平均高トノ比ノ百分率

第七十七條　舷弧ノ平均高ガ其ノ標準平均高ヨリ小ナル船舶ニ在リテハ左ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ表定乾舷ニ加フベシ

$$(S_f-S)\ (7.5-5-5r_1)\ \text{センチメートル}$$

S_0 ハ舷弧ノ標準平均高ニ

S ハ舷弧ノ平均高センチメートルテ

r_1 ハ平甲板船ニ在リテハ零、船樓ヲ有スル船舶ニ在リテハ船樓ノ長サノ和トLトノ比

第七十八條　舷弧ノ平均高ガ其ノ標準平均高ヨリ大ナル船舶ニ在リテハ船樓ノ有無ニ應ジ左ノ各號ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ表定乾舷ヨリ減ズベシ但シ該修正高ガ左表ニ揭グル限度ヲ超ユルトキハ之ヲ其ノ限度ニ止ム

一　平甲板船ノ場合　$7.5(S-S_0)$ センチメートル

二　船樓ヲ有スル船舶ノ場合

L	修正高ノ限度(粍)
三〇・五メートル以下ナルトキ	38
三〇・五メートルヲ超ユルトキ	1.25×L

第三編　鋼船ノ強力

第一章　縱抵抗率及肋骨抵抗率

第七十九條　本編ニ於テ強力甲板トハ中央部Lノ二分ノ一間ニ於テ船體ノ主要部ヲ構造スル最上層ノ甲板ヲ謂フ

第八十條　本編ニ於テ縱抵抗率トハ中央部Lノ二分ノ一間ニ於ケル船體ノ各橫截面ノ抵抗率中最小ナルモノヲ謂フ

第八十一條　船體橫截面ノ抵抗率ノ算定ニ付テハ左ノ各號ニ依ル

一　船體橫截面ノ水平中性軸ニ對スル慣率ヲ該軸ヨリ強力甲板ノ甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ垂直距離ニテ除ス

二　強力甲板以下ニ在リテハ甲板梁ノ支持ヲ目的トスル梁下縱通材ヲ除クノ外中央部Lノ二分ノ一以上ニ連スルカ又ハ同一ノ效力ヲ有スル總テノ縱通鋼材ヲ算入シ強力甲板ノ上方ニ在リテハ梁上側板ニ附スル縱通山形材及舷側厚板ノ延長部ヲ算入ス

三　鉸釘孔及螺釘孔ハ之ヲ無キモノト看做ス

四　面積ノ單位ハ平方ミリメートルトシ距離ノ單位ハミリメートルトス

第八十二條　本編ニ於テ肋骨抵抗率トハLノ中央部ニ於ケル各種船內肋骨ノ橫面ノ抵抗率ヲ謂フ

第八十三條　船內肋骨ノ橫面ノ抵抗率ノ算定ニ付テハ左ノ各號ニ依ル

一　船內肋骨ガ正肋材及之ト同一寸法ノ副肋材ヲ以テ構造シタルモノナルトキハ其ノ橫面ノ中性軸ニ對スル慣率ヲ該軸ヨリ橫面ノ端ニ至ル距離ニテ除ス

二　船內肋骨ガ前號ニ揭グルモノニ該當セザル場合ニ於テハ船內肋骨ト同一ノ效力ヲ有シ正肋材及之ト同一寸法ノ副肋材ヲ以テ構造シタル肋骨ニ付前號ヲ適用ス

三　鉸釘孔及螺釘孔ハ之ヲ無キモノト看做ス

四　寸法ノ單位ハミリメートルトス

第二章　標準強力

第八十四條　本章ニ於テ強力甲板マデノ深サトハLノ中央ニ於テ舷骨ノ上面ヨリ最下在ル強力甲板ノ甲板梁ノ船側ニ於ケル上面迄ノ垂直距離ヲ謂フ

第八十五條　第八十六條、第八十八條及第八十九條ノ規定ハ平壇ニ依リ製造セラレ每平方ミリメートルノ抗張力四一キログラム以上五〇キログラム以下ニシテ標點間ノ長サ二〇〇三ミリメートルニ付伸長ノ割合百分ノ十六以上ナル鋼材ヲ以テ構造シタル鋼船ニ付之ヲ定メタルモノトス

第八十六條　標準縱抵抗率ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$f\times d\times B$$

d ハ第二十五條第一項、第九十七條、第百一條又ハ第百九條ノ規定ニ依リ定メタル船體ノ形狀ニ基ク夏期乾舷又ハ海水乾舷ニ相當スル吃水メートルニシテ左表ニ依ル

f ハLニ應ジ定メタル係數ニシテ左表

L	f	L	f
19386	108	3777	30
21232	114	4193	36
23106	120	4892	42
25051	126	5621	48
27091	132	6533	54
29146	138	7470	60
31268	144	8669	66
33480	150	9926	72
35770	156	11253	78
38068	162	12774	84
40414	168	14335	90
42868	174	15897	96
45368	180	17615	102

備考

Lガ表ニ揭グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リfヲ算定ス

第八十七條　前條ノ標準縱抵抗率ハ左ノ各號ノ範圍內ニ在ル寸法ノ鉗船ヲ標準トシ之ヲ定メタルモノトス

一　Lハ一八二・八八メートル以下

二　BハLノ十分ノ一ニ一・五二メートルヲ加ヘタルモノ以上ニシテLノ十分ノ一ニ六・一〇メートルヲ加ヘタルモノ以下

三　Lト張力甲板迄ノ深サトノ比ハ一〇・〇以上ニシテ一三・五〇以下

第八十八條　標準肋骨抵抗率ハ第八十九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$S(d-t)(f_1+f_2)$$

S ハ肋骨ノ心距ニテ

d ハ第三十五條第一項、第九十七條、第百一條又ハ第百九條ノ規定ニ依リ定メタル船體ノ形狀ニ基ク夏期乾舷又ハ海水乾舷ニ相當スル吃水メートル

t ハ二重底ヲ有スル船舶ニ在リテハ船側ニ於ケル內底板ノ上面ト二重底縁板ノ外側ニ附スル肘板ノ上端トノ中央ヨリ、普通肋板ヲ有スル船舶ニ在リテハ中心線ニ於ケル肋板ノ上面迄ノ垂直距離メートルニテ

f_1 ハII ニ依ル係數ニシテ左表ニ依ル但シ船舶ノ當該部分ノ形狀ニ因リ肋骨ガ附加强力ヲ得ル場合ニ於テハ左表ニ依ルモノヨリ適當ニ斟酌シタルモノト爲スコトヲ得

II	f_1
19050	0
23218	2.1
26284	2.7
31200	3.3
39355	3.9
49551	4.5
60877	5.1
74144	5.7
88564	6.3
104892	6.9
121552	7.5

備考

一　IIハ二重底ヲ有スル船舶ニ在リテハ船側ニ於ケル內底板ノ上面ト二重底縁板ノ外側ニ附スル肘板ノ上端トノ中央ヨリ、普通肋板ヲ有スル船舶ニ在リテハ中心線ニ於ケル肋板ノ上面ト船側ニ於ケル肋板ノ上端トノ中央ヨリ龍骨ノ上面迄ノ垂直距離メートルニテ

二　f_1 ハII ニ依ル係數ニシテ左表ニ依ル但シ船舶ノ當該部分ノ形狀ニ因リ肋骨ガ附加强力ヲ得ル場合ニ於テハ左表ニ依ルモノヨリ適當ニ斟酌シタルモノト爲スコトヲ得

II	f_1
19050	0
23218	2.1
26284	2.7
31200	3.3
39355	3.9
49551	4.5
60877	5.1
74144	5.7
88564	6.3
104892	6.9
121552	7.5

第八十九條　一層甲板船ニ於テ前條ノ規定ニ依ルHガ五・四九メートル未滿ナルトキハ標準肋骨抵抗率ハ前條ニ依リ算定シタル抵抗率ニ左ノ算式ニ依リ算定シタル係數f_2ヲ乘ジタルモノトス

$$f_2=0.50+0.05\left(\frac{H}{0.305}-8\right)$$

第九十條　前二條ノ標準肋骨抵抗率ハ左ノ各號ノ範圍內ニ在ル寸法ノ鋼船ヲ標準トシ之ヲ定メタルモノトス

一　D_0 ハ四・五七メートル以上ニシテ一八・二九メートル以下

二　BハLノ十分ノ一ニ一・五二メートルヲ加ヘタルモノ以上ニシテLノ十分ノ一ニ六・一〇メートルヲ加ヘタルモノ以下

三　Lト張力甲板迄ノ深サトノ比ハ一〇・〇以上ニシテ一三・五以下

四　肋骨ノ外面ヨリ之ニ最モ近キ梁柱列ノ中心線迄ノ水平距離ハ六・一〇メートル以下

第九十一條　第三章　強力ニ依ル吃水ノ算定

第九十二條　縱抵抗率ニ依ル吃水ハ左ノ算式ニ依リ算定シタルモノトス

$$\frac{M}{f\times B}\ \text{メートル}$$

M ハ縱抵抗率

f ハ第八十六條ノ規定ニ依ル

第九十三條　第八十六條ニ揭グル船舶ニ合格セザル材料ヲ以テ船體ノ要部ヲ構造シタル船舶ノ強力ニ依ル吃水ハ管海官廳ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第四編　甲板積木材貨物ヲ運送スル汽船、漁船及木汽船ノ乾舷ニ關スル特別規定

第一章　甲板積木材貨物ヲ運送スル汽船

第九十四條　船舶ニ標示スル木材滿載吃水線ノ種類及之ニ對スル乾舷ハ左表ニ揭グル六種トス

滿載吃水線	乾舷摘要
夏期木材滿載吃水線	夏期木材乾舷
冬期木材滿載吃水線	冬期木材乾舷
冬期北大西洋木材滿載吃水線	冬期北大西洋木材乾舷
熱帶木材滿載吃水線	熱帶木材乾舷
夏期淡水木材滿載吃水線	夏期淡水木材乾舷
熱帶淡水木材滿載吃水線	熱帶淡水木材乾舷

冬期北大西洋木材滿載吃水線ハ近海航行區域ヲ標示セザルモノトス

第九十五條　前條ニ掲グル各種木材乾舷ハ船舶ガ第百條ノ規定ニ從ヒ甲板積木材貨物ヲ積附ケ運送スル場合ニ限リ夫々第二十一條乃至第二十四條又ハ第二十六條第一項ノ場合ニ於テ保持スベキ最小乾舷トス

第九十六條　海水ニ於ケル各種木材滿載吃水線ハ第二十九條第一項ニ掲グル開標ノ中心ヨリ後方五四〇ミリメートルノ箇所ニ前線ヲ有スル垂直線ノ後縁ヨリ後方ニ向フ長サ二五〇ミリメートルノ水平線ノ上縁ヲ以テ之ヲ標示シ又淡水ニ於ケル各種木材滿載吃水線ハ該垂直線ノ前縁ヨリ前方ニ向フ長サ二五〇ミリメートルノ水平線ノ上縁ヲ以テ之ヲ標示シ又淡水ニ於ケル各種木材滿載吃水線ハ前項ノ木材滿載吃水線ノ標示ニハ左表ニ掲グル記號ヲ附スベシ

船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比		乾舷	
	船樓係數	L	乾舷（粍）
0.2000	0	56.5	527
0.3075	0.10	59.0	560
0.4150	0.20	61.5	593
0.5225	0.30	64.0	626
0.6300	0.40	66.5	660
0.6925	0.50	69.0	695
0.7550	0.60	71.5	731
0.8150	0.70	74.0	767
0.8750	0.80	76.5	804
0.9375	0.90	79.0	842
1.0000	1.00	81.5	881
		84.0	921
		86.5	961
		89.0	1003
		91.5	1045
		94.0	1087
		96.5	1129
		99.0	1171
		101.5	1216
		104.0	1258
		106.5	1301
		109.0	1346
		111.5	1391
		114.0	1437
		116.5	1484
		119.0	1531
		121.5	1579
		124.0	1627

備考
船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ハ夏期木材乾舷ニ對シ左表ニ掲グル船樓係數ヲ用キテ之ヲ算定ス

第九十八條　冬期木材乾舷ハ夏期木材乾舷ニ之ニ相當スル吃水ノ三十六分ノ一ヲ加ヘタルモノトス

冬期北大西洋木材乾舷ハL一〇〇・五八メートル以下ノ汽船ニ在リテハ第三十九條ノ規定ニ依ル冬期北大西洋乾舷、L一〇〇・五八メートルヲ超ユル汽船ニ在リテハ第三十六條ノ場合ニ於テハ船樓ニ關スル修正高ハ第六十六條ノ表ニ掲グル船樓係數ノ代リニ總テノ船型ニ對シ左表ニ掲グル船樓係數ヲ用キテ之ヲ算定ス

船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比	船樓係數
0	0
0.070	0.10
0.140	0.20
0.210	0.30
0.310	0.40
0.410	0.50
0.520	0.60
0.630	0.70
0.753	0.80
0.877	0.90
1.000	1.00

備考
船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ插間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

第九十七條　夏期木材乾舷ハ第三十五條第一項及第二項ノ規定ヲ準用シテ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ船樓ニ關スル修正高ハ第六十六條ノ表ニ掲グル船樓係數ノ代リニ總テノ船型ニ對シ左表ニ掲グル船樓係數ヲ用キテ之ヲ算定ス

船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比	船樓係數
0	0
0.070	0.10
0.140	0.20
0.210	0.30
0.310	0.40
0.410	0.50
0.520	0.60
0.630	0.70
0.753	0.80
0.877	0.90
1.000	1.00

備考
船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ插間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

第百三條　艙船ニ在リテハ船樓ニ關スル修正高ノ算定ニ付テハ第六十六條ノ表ニ掲グル船樓係數ノ代リニ總テノ船型ニ對シ左表ニ掲グル船樓係數ヲ用キテ之ヲ算定ス

船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比	船樓係數
0	0
0.070	0.10
0.140	0.20
0.210	0.30
0.310	0.40
0.410	0.50
0.520	0.60
0.630	0.70
0.753	0.80
0.877	0.90
1.000	1.00

備考
船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ插間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

第百四條　艙弧ノ平均高ガ其ノ標準平均高ヨリ大ナル艙船ノ艙弧ニ關スル修正高ノ算定ニ付テハ第七十八條ニ掲グル算式ノ代リニ總テノ船型ニ對シ左ノ算式ヲ用ウルモノトス

$$\frac{S_0}{(S-S_0)(7.5-5r)}$$

S_0ハ艙弧ノ標準平均高センチメートルテ

Sハ艙弧ノ平均高センチメートルテ

rハ船樓ノ長サノ和トLトノ比

第百五條　艙船ノ冬期北大西洋乾舷ハ冬期乾舷ニ船ノ長サ一〇〇メートルニ付八・三三ミリメートルノ割合ノ修正高ヲ加ヘタルモノトス

第三章　木汽船

第百六條　木汽船ノ夏期乾舷ハ第二編第一章ノ規定ニ依ル甲板船ニ對スル表定乾舷ヲ必要ニ應ジ第六十七條ノ規定ニ依リ修正シタルモノニ船舶ノ構造ノ種類ニ應ジ左表ニ掲グル係數ヲ乘ジタルモノトス

構造ノ種類	係數
重甲板船	1.40
輕甲板船	2.00

管海官廳ハ船體ノ材料、構造、固著方、工事若ハ現狀ノ良否又ハ船齡ニ應ジ前項ノ係數ヲ適當ニ增減スルコトヲ得

第百七條　木汽船ノ夏期乾舷ハ前條ノ規定ニ拘ラズ第二編ノ規定ヲ應用シテ算定シタル乾舷ヨリ左ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ減ジタルモノヲ以テ之ヲ定ム

$$\frac{1}{2}\left(R-\frac{1}{8}\times\frac{B}{2}\right)$$

Rハ船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ插間法ニ依リ乾舷ヲ算定ス

船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比	船樓係數
0	0
0.070	0.10
0.140	0.20
0.210	0.30
0.310	0.40
0.410	0.50
0.520	0.60
0.630	0.70
0.753	0.80
0.877	0.90
1.000	1.00

備考
船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ插間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

第百八條　Lノ中央ニ於ケル船底勾配ガ八分ノ一ヨリ大ナル鋼帆船ニ在リテハDハ其ノ下端ガ第六條第一項ニ規定スル點ヨリ上方左ノ算式ニ依リ算定シタル高サニ相當スル箇所ニ在ルモノト看做シ之ヲ測ルコトヲ得

$$\frac{1}{2}\left(R-\frac{1}{8}\times\frac{B}{2}\right)$$

Rハ船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ插間法ニ依リ乾舷ヲ算定ス

船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比	船樓係數
0	0
0.070	0.10
0.140	0.20
0.210	0.30
0.310	0.40
0.410	0.50
0.520	0.60
0.630	0.70
0.753	0.80
0.877	0.90
1.000	1.00

備考
船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ插間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

第百九條　鋼帆船ノ海水乾舷ハ第三十五條ノ規定ヲ準用シテ之ヲ定ム此ノ場合ニ於テハ表定乾舷ノ決定竝ニ船樓及D_0トLトノ比ニ關スル修正ニ付テハ第百十條乃至第百十二條ノ規定ニ依ル

第百十條　鋼帆船ノ表定乾舷ハ肥瘠係數ガ〇・六二以下ナルトキハL二應ジ左表ニ依リ求メタル乾舷トシ肥瘠係數ガ〇・六二ヲ超ユルトキハ該乾舷ニ左ノ算式ニ依リ算定シタル係數ヲ乘ジタルモノトス

$$\frac{C+0.62}{1.24}$$

Cハ肥瘠係數但シ肥瘠係數ガ〇・七二ヲ超ユルトキハ〇・七二ノ勾配ガ二十四分ノ五ヲ超ユルトキハ二十四分ノ五トス

L	乾舷（粍）
24.0	228
26.5	265
29.0	304
31.5	345
34.0	387
36.5	431
39.0	475
41.5	520
44.0	565
46.5	612
49.0	660
51.5	710
54.0	760
56.5	810
59.0	860
61.5	910
64.0	962
66.5	1014
69.0	1067
71.5	1120
74.0	1174
76.5	1229
79.0	1284
81.5	1341
84.0	1399
86.5	1457
89.0	1515
91.5	1573
94.0	1632
96.5	1692
99.0	1752
101.5	1813

第百十一條　鋼帆船ニ在リテハ船樓ニ關スル修正高ハ左ノ算式ニ依リ之ヲ算定ス

$$e(76+8.33C)(L-24.4)$$

eハ船樓係數ニシテ左表ニ依ル

Lハ二四・四メートル未滿ノ船舶ニ在リテハ二四・四、L一〇〇・五八メートルヲ超ユル船舶ニ在リテハ一〇〇・五八

船型 ＼ 船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比	甲 船樓ヲ有セザル鋼帆船		乙 有效ノ長サガL ノ十分ノ二以上ナル船樓ヲ有スル鋼帆船	
	船樓係數	e	船樓係數	e
0	0	0	0	0
0.10	0.070	0.070	0.130	0.147
0.20	0.170	0.220	0.235	0.320
0.30	0.300	0.420	0.475	0.560
0.40	0.700	0.700	0.800	0.800
0.50	0.800	0.900	0.900	1.000

備考
一　船樓ノ有效ノ長サノ和トLトノ比ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ插間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス
二　有效ノ長サガL ノ十分ノ二未滿ナル船樓ヲ有スル鋼帆船ニ在リテハ甲欄及乙欄ニ掲グル係數ノ間ニ插間法ニ依リ船樓係數ヲ算定ス

餘裕ヲ保持シ得ルモノナルコトヲ要ス

七　甲板積木材貨物ノ性質ニ依リ支杆ヲ要スル場合ニ於テハ適當ナル强力ヲ有スル木製又ハ金屬製竪支杆ヲ以テ甲板積木材貨物ヲ支持スベシ支杆ノ間隔ハ三・〇五メートル以内トシ木材ノ長サ及性質ニ應ジ之ヲ適當ニ配置スベシ

支杆ハ梁上側板ニ固著シタル堅牢ナル山形材若ハ金屬製竪金又ハ同一效力ノ裝置ニ依リ之ヲ留ムルコトヲ要ス

八　甲板積木材貨物ハ三・〇五メートルヲ超エザル間隔毎ニ貨物ノ兩側ニ路ヲ各別ノ縛索ニテ縛リ其ノ全長ニ亘リ十分ニ締附クベシ木材ノ長サ三・六六メートル未滿ナルトキハ其ノ長サニ適應シテ縛索ノ間隔ヲ減ズルカ又ハ他ノ適當ナル方法ヲ講ズベシ

縛索ニハ徑一九ミリメートル以上ノ短環鎖又ハ之ト同等ノ强力ノ柔軟鋼索ヲ使用シ何時ニテモ近寄リ得ル箇所ニ於テ之ニ滑鉤及緊螺ヲ取附クベシ尙縛索ト支柱鋼索ヲ用ウルトキハ其ノ長サヲ調節スル爲短キ長環鎖ヲ取附ケ置クベシ

縛索ヲ一・五二メートル以內ノ間隔ニ配置スルトキハ其ノ寸法ヲ前項ニ掲グルモノヨリ適當ニ減ズルコトヲ得但シ鎖ヲ用ウルトキハ徑一二・七ミリメートル以上、索ヲ用ウルトキハ之ト同等以上ノ强力ヲ有スル寸法ノモノナルコトヲ要ス

九　縛索ヲ留ムルニ必要ナル裝置ハ縛索ノ强力ニ相當スル强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

十　船樓甲板ニ設クル支杆ハ其ノ間隔ヲ約三・〇五メートルトシ十分ナル强力ノ橫縛索ヲ以テ之ヲ動カザル樣爲スベシ

第二章　艙船

第百一條　艙船ノ夏期乾舷ハ第百二條乃至第百四條ニ規定スル事項ヲ除クノ外第三十五條第一項及第二項ノ規定ニ依リ之ヲ定ム

第百二條　艙船ノ表定乾舷ハ肥瘠係數ガ〇・六二ヲ超ユルトキハ該乾舷ニ左ノ算式ニ依リ算定シタル係數ヲ乘ジタルモノヲ以テ之ヲ定ム

$$\frac{C+0.62}{1.24}$$

Cハ肥瘠係數但シ肥瘠係數ガ〇・七二ヲ超ユルトキハ〇・七二ノ勾配ガ二十四分ノ五ヲ超ユルトキハ二十四分ノ五トス

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第百十二條　D_0ガL ノ十二分ノ一ヲ超ユル鋼●帆船ニ在リテハ左ノ算式ニ依リ算定シタル修正高ヲ表定乾舷ニ加フベシ

$$1.093\times(D_0-\frac{L}{12})(76.20+L)\quad\text{メートル}$$

第二章　木帆船

第百十三條　木帆船ノ海水乾舷ハ第百六條ノ規定ニ依リ算定シタル夏期乾舷ニ等シキモノトス

第百十四條　木帆船ノ海水乾舷ハ前條ノ規定ニ拘ラズ當該船船ヲ鋼帆船ト看做シ本編第一章ノ規定ヲ適用シテ算定シタル海水乾舷ヨリ小ナルコトヲ得ズ但シ本編第一章ノ規定ヲ適用スルニ當リテハ船機ニ關スル修正ハ管海官廳ニ於テ船機ノ構造及其ノ閉鎖裝置ヲ適當ト認メタル場合ニ限リ之ヲ爲スモノトス

第六編　船舶ノ構造及設備

第一章　通則

第百十五條　第三十五條第一項又ハ第百九條ノ規定ニ依リ乾舷ノ指定ヲ受クル鋼船、木材滿載吃水線ノ指定ヲ受クル汽船及艤船ノ構造及設備ニ付テハ本編ノ規定ニ依ル

強力ニ依ル吃水、船舶所有者ノ豫定シタル吃水ノ限度等ニ依リ第三十五條第一項又ハ第百九條ノ規定ニ依ル乾舷ヨリ大ナル乾舷ノ指定ヲ受クル鋼船ニ付テハ管海官廳ハ乾舷ノ增加ノ程度ニ應ジ本編第二章乃至第五章ノ規定ヲ適當ニ掛酌スルコトヲ得

第百十六條　木船ニ付テハ其ノ性質上適當ニシテ且實際上可能ナル範圍內ニ於テ前條ノ規定ヲ準用ス

第百十七條　本編ノ規定ニ該當セザル構造又ハ設備ハ管海官廳ニ於テ本編ニ規定セルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本編ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

第二章　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル船口共ノ他ノ甲板口

第百十八條　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル船口ノ縁材ノ高サハ船口ノ種類ニ應ジ左表ニ揭グルモノ以上ト爲スベシ

船口ノ種類	船口ヲ敷ケタル甲板ノ種類及位置	縁材ノ甲板上ノ高サ(粍)
第一種	暴露セル乾舷甲板	610
	暴露セル船樓甲板	
	船首ヨリL ノ四分ノ一ニ相當スル箇所迄ノ場所	
	船首ヨリL ノ四分ノ一ニ相當スル箇所ヨリ後方ノ場所	
第二種	閉鎖裝置ノ效力ガ第一級閉鎖裝置ノ效力ニ及バザル船樓ノ乾舷甲板	457
	閉鎖裝置ノ效力ガ第二級閉鎖裝置ノ效力ニ及バザル船樓內	
第三種	閉鎖裝置ノ效力ガ第二級閉鎖裝置ノ效力以上ナル船樓內	229

第百十九條　船口ノ縁材ハ鋼材ヲ以テ堅牢ニ構造スルコトヲ要ス

第一種船口ノ縁材ニ在リテハ其ノ上縁ヨリ下方二五四ミリメートルニ相當スル箇所ヨリ低カラザル位置ニ横防撓材ヲ取附ケ且船口ノ長サ又ハ幅ガ三・〇五メートルヲ超ユルトキハ該防撓材ヨリ甲板ニ達スル肘板又ハ支柱ヲ三・〇五メートル以內ノ間隔ニ設ケ縁材ヲ補强スベシ但シ船樓等ニ依リ保護セラルル端縁材ニ付テハ其ノ補强方法ヲ適當ニ斟酌スルコトヲ得

第百二十條　暴露セル船口ニハ有效ナル蓋板ヲ備ヘ支面ノ幅六三ミリメートル以上ノ支材ヲ以テ之ヲ支フル裝置ト爲スベシ船口蓋板ヲ木製ト爲ス場合ニ於テハ其ノ仕上ノ厚サハ支點ノ間隔一・五メートル以內ナルトキ少クトモ六〇ミリメートルト爲スベシ

第百二十一條　木製蓋板ヲ備フル暴露船口ノ船口緣及縱材ノ心距及寸法ハ第一種船口ニ在リテハ左ニ揭グル甲表ニ依リ、第二種船口ニ在リテハ左ニ揭グル乙表ニ依ルベシ

表　甲

船ノ幅口(米)	緣材ノ長サ(米)	キトルザケ設ヲ材緣 距心ノ梁口船 1.22	1.52	キトルク設ヲ材緣 梁口船ノ距心(米) 1.83	2.44	3.05	球又ハ山形材ノ上部ニ附スル板ノ下ハ平板ノ兩端ノ二部ニ在ル上重ノ部
3.05	球板	(粍) サ深 230×11.5	(粍) サ深 254×12.5	(粍) サ深 280× 7.5	(粍) サ深 305× 8	(粍) サ深 356× 8.5	75×75×10
3.66	球板	280×12.5	305×12.5	305× 8	356× 8.5	432× 9	75×75×10
4.27	球板	305×12.5	305× 8	356× 8.5	432× 9	508× 9.5	75×75×10.5
4.88	平板	305× 8	356× 8.5	406× 9	483× 9.5	559× 9.5	90×75×10.5
5.49	平板	356× 8.5	406× 9	457× 9	533× 9.5	635×10	100×75×11
6.10	平板	381× 8.5	457× 9	508× 9.5	610×10	711×10.5	100×75×11
6.71	平板	403× 9	483× 9	559× 9.5	660×10.5	762×11	115×75×11.5
7.32	平板	432× 9	508× 9.5	584×10	711×10.5	813×11	130×90×11.5
7.93	平板	457× 9	533× 9.5	610×10	736×10.5	864×11.5	140×90×12
8.54	平板	483× 9.5	559× 9.5	635×10	787×11	915×12	150×90×12.5
9.14	平板	508× 9.5	584×10	660×10.5	813×11	965×12	150×90×13

縱材ノ長サ(米)	中央縱材 材縱板球 距心ノ材縱(米) 0.91	1.22	1.52	球上部ニ附スル山形材ノ重ニ當ル板ノ部	中央縱材 材縱木 距心ノ材縱(米) 0.91	1.22	1.52
1.83	(粍) サ深 150× サ厚 9.0	(粍) サ深 165× サ厚 9.5	(粍) サ深 180× サ厚 9.5	(粍) 65×65× 9	(粍) サ深 140×幅 180	(粍) サ深 150×幅 180	(粍) サ深 165×幅 180
2.44	180×10.5	200×11	230×11	65×65× 9.5	165×180	190×180	200×180
3.05	200×12.5	240×12.5	280×12.5	65×65×10	200×180	215×200	230×230

縱材ノ長サ(米)	側縱材 形山球 距心ノ材縱(米) 0.91	1.22	1.52	山形材單球ニ附スル山形部ニ當ル球ノ部	側縱材 縱製木 距心ノ材縱(米) 0.91	1.22	1.52
1.83	(粍) 150×75× 9.5	(粍) 165×90× 9.5	(粍) 180×90× 9.5	(粍) 65×65× 9	(粍) サ深 140×幅 140	(粍) サ深 150×幅 150	(粍) サ深 165×幅 150
2.44	180×90×10.5	200×75×11	230×90×11	65×65× 9.5	165×165	190×180	200×180
3.05	200×90×12.5	240×90×12.5	280×90×12.5	65×65×10	200×180	215×200	230×230

表　乙

船ノ幅口(米)	梁口船 キトルザケ設ヲ材緣 距心ノ梁口船(米) 1.22	1.52	キトルク設ヲ材緣 梁口船ノ距心(米) 1.83	2.44	3.05	球又ハ山形ス下ハ板材ル兩平ノ二部板上重ニノ部
3.05	球板 (粍) サ深 203×10	(粍) サ深 230×1..	(粍) 141×11.5	(粍) サ深 267×12.5	(粍) サ深 292×13	球板 (粍) 75×75×10
3.66	230×11	254×1..5	280×12.5	280× 7.5	330× 8.5	平板 75×75×10
4.27	254×1..5	292×12.5	280× 7.5	330× 8	381× 8.5	75×75×10.5
4.88	平板 280× 7.5	280× 7.5	305× 8	381× 8.5	492× 9	90×75×10.5
5.49	280× 7.5	305× 8	386× 8.5	492× 9	483× 9.5	100×75×11
6.10	305× 8	330× 8.5	406× 9	483× 9.5	533× 9.5	100×75×11
6.71	318× 8	356× 8.5	432× 9	508× 9.5	584×10	115×75×11.5
7.32	330× 8.5	368× 8.5	457× 9	533× 9.5	635×10	130×90×11.5
7.93	341× 8.5	381× 8.5	483× 9.5	559× 9.5	660×10.5	140×90×12
8.54	356× 8.5	406× 9	508× 9.5	584×10	686×10.5	150×90×12.5
9.14	381× 8.5	432× 9	533× 9.5	610×10	711×10.5	150×90×13

縦材ノ長サ(米)	縦央中材 球形二附上部ノ山形材ヲ以テ	縦央中材 縦板 縦材ノ心ノ距離(米) 0.91	縦央中材 縦板 縦材ノ心ノ距離(米) 1.22	縦央中材 縦板 縦材ノ心ノ距離(米) 1.52	縦央中材 縦製木 縦材ノ心ノ距離(米) 0.91	縦央中材 縦製木 縦材ノ心ノ距離(米) 1.22	縦央中材 縦製木 縦材ノ心ノ距離(米) 1.52
1.83	(粍) 65×65×9	(粍) サ厚 130×9.5	(粍) サ厚 140×8.5	(粍) サ厚 150×9	(粍) サ深 幅 130×130	(粍) サ深 幅 140×130	(粍) サ深 幅 150×130
2.44	65×65×9.5	150×9.5	180×10	190×10.5	150×130	165×130	180×130
3.05	65×65×10	180×11	200×11.5	230×12.5	180×130	190×130	200×130

縦材ノ長サ(米)	縦側雨山形材 球形山形材ヲ以テ	縦側雨山形材 縦形 縦材ノ心ノ距離(米) 1.91	縦側雨山形材 縦形 縦材ノ心ノ距離(米) 1.22	縦側雨山形材 縦形 縦材ノ心ノ距離(米) 1.52	縦側雨山形材 縦製木 縦材ノ心ノ距離(米) 0.91	縦側雨山形材 縦製木 縦材ノ心ノ距離(米) 1.22	縦側雨山形材 縦製木 縦材ノ心ノ距離(米) 1.52
1.83	(粍) 65×65×9	(粍) 130×75×8.5	(粍) 140×75×8.5	(粍) 150×75×9	(粍) サ深 幅 130×130	(粍) サ深 幅 140×130	(粍) サ深 幅 150×130
2.44	65×65×9.5	150×75×9.5	180×75×10	190×90×10.5	150×130	165×150	180×150
3.05	65×65×10	180×75×11	200×90×11.5	230×90×12.5	180×150	190×150	200×180

備考

一　船口ノ幅、船口梁ノ心距又ハ縦材ノ長サ若ハ心距ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ船口梁又ハ縦材ノ寸法ハ挿間法ニ依リ之ヲ定ム

二　船口梁ノ深サハ其ノ長サノ中央ニ於テ上部山形材ヨリ梁ノ下縁迄測リタルモノ、縦材ノ深サハ船口蓋板ノ下面ヨリ縦材ノ下縁迄測リタルモノトスL ガ三〇・五メートル以下ノ船ニ在リテハ平板及山形材ヲ以テ構造シタル船口梁ノ深サハ船口ノ種類ニ應ジ前項ノ甲表又ハ乙表ニ掲グルモノノ十分ノ六、球板及山形材ヲ以テ構造シタル船口梁ハ球山形縦材ノ深サハ同表ニ掲グルモノノ十分ノ八ト爲シ平板、球板及球山形材ノ厚サハ其ノ深サニ對シ同表ニ掲グル厚サニ等シク又木製縦材ノ深サ及幅ハ同表ニ掲グルモノノ十分ノ八ト爲スコトヲ得但シ平板、球板及球山形材ノ厚サハ七・五ミリメートルヨリ又中央木製縦材ノ幅ハ一六五ミリメートルヨリ小ナルコトヲ得ズ

L ガ三〇・五メートルヲ超エ六一メートル未滿ノ船ニ在リテハ船口梁及縦材ノ寸法ハ船口ノ種類ニ應ジ第一項ニ依ルモノト前項ニ依ルモノトノ間ニ挿間法ニ依リ之ヲ定ムルコトヲ得

第百二十二條　船口梁ヲ構造スル球板ノ上部又ハ平板ノ上下兩部ニ附スル山形材ノ兩邊ノ幅相等シカラザルトキハ廣邊ヲ水平ニ置クベシ又上部ノ山形材ハ梁ノ全長ニ連續シテ通達セシメ縦材ヲ支フル爲之ヲ屈折セシムルコトヲ得ズ

木製縦材ハ其ノ支面ヲ鋼板ニテ包ムベシ

第百二十三條　船口梁及縦材ヲ支フル承金又ハ壺金ハ厚サ一二・五ミリメートル以上ノ支面ノ幅七五ミリメートル以上ニシテ鋼製ノモノナルコトヲ要ス

第百二十四條　暴露セル船口ノ縁材ニハ其ノ外面ニ於テ六一〇ミリメートル以内ノ心距ニ幅六三ミリメートル以上ノ堅牢ナル帶金又ハ閉鎖裝置ノ支力ガ第一段閉鎖裝置ノ支力ヨリ上ナル船樓内ノ場所ニ設クル船窓ニハ蝶番ニ依リ取附ケタル内蓋ヲ備ヘ完全ニ水密トナル構造ト爲スベシ但シ雜居三等旅客ニ非ザル旅客又ハ船員ニ專用スル船樓内ノ容易ニ近寄リ得ル場所ニ設クル船窓ノ内蓋ハ取外シ得ルモノトスコトヲ得前項但書ノ場合ニ於テハ内蓋ヲ常ニ船窓ノ近クニ備置クヲ爲スベシ

第二項ノ船窓ノ枠ハ黄銅、鑄鋼其ノ他適當ナル金屬ヲ以テ堅牢ニ構造シタルモノナルコトヲ要シ之ヲ鑄鐵製ト爲スベカラズ又蝶番ノ軸針及締附螺釘ハ黄銅製ナルコトヲ要ス

第五章　船樓端ノ隔壁、船具ノ保護裝置及放水口

第百四十一條　標準ノ高サヲ有スル船首樓、船橋樓又ハ船尾樓ノ暴露セル端ニ於ケル隔壁ハ其ノ厚サヲ左表ニ掲グル寸法ノ防撓材ヲ七六センチメートル以内ノ心距ニ竪ニ取附ケ之ヲ防撓シタルモノナルコトヲ要ス

船樓ノ前端隔壁及L ノ十分ノ四以上ノ長サヲ有スル船尾樓隔壁又ハL ノ十分ノ四未滿ノ長サヲ有スル船尾樓ノ保護セラレザル隔壁ノ厚サ				防撓材ノ種類及寸法			
				球山形材			
L	サ厚	L	サ厚	材形	L	材形	L
48.75以下	(粍) 6.0	48.75以下	(粍) 7.5	(粍) 140×75×7.5	61.00以下	(粍) 75×65×7.5	45.70未滿
122.00以上	9.5	122.00以上	11.0	150×75×8	115.80以上	90×65×8	45.70
				165×75×8.5	61.00	100×75×8.5	73.20
				180×75×9	76.20	115×75×9	106.70
				190×75×9.5	91.45	130×75×9.5	122.00
				205×75×10	106.70	140×75×10.5	137.15
				215×75×10.5	121.90	150×75×11	152.40
				230×75×11	121.90	165×90×11.5	167.65
				240×90×11.5	194.10	180×90×12	
				255×90×12	141.30	180×90×12.5	
				256×90×12.5	158.50		
				280×90×13	170.70		

トヲ要ス

第三章　乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル閉鎖裝置ノ支力

第百三十一條　暴露セル乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル機關室口、通風筒及煖氣管ノ周圍ハ堅牢ナル鋼製圍壁ヲ以テ之ヲ保護スベシ

乾舷甲板又ハ低船尾樓甲板上ノ機關室圍壁ニシテ他ノ建設物ニ依リ保護セラレザルモノハ特ニ其ノ強力ヲ十分ナラシムベシ

煖火室口、煙筒及通風筒ノ縁材ハ適當ニシテ且實際上可能ナル限リ暴露甲板上高キ位置ニ之ヲ設ケ又煖火室口ニハ常設的ニ取附ケタル堅牢ナル鋼製蓋ヲ備フベシ

第百三十二條　閉鎖裝置ノ支力ガ第一段閉鎖裝置ノ支力ヨリ上ナル船樓内ノ乾舷甲板ニ於ケル機關室口ハ之ヲ適當ニ構造シ且鋼製圍壁ヲ以テ厳圍スルコトヲ要ス

第百三十三條　前二條ノ機關室口圍壁ニ設クル戸口ハ堅牢ナル構造トシ常設的ニ圍壁ニ取附ケタルモノナルコトヲ要シ暴露セル場所ニ設ケラルルトキハ之ヲ兩側ヨリ閉鎖シ得ルモノナルコトヲ要ス

第百三十四條　暴露セル乾舷甲板又ハ船樓甲板ニ於ケル通風筒ニシテ乾舷甲板下ノ場所ニ在リテハ九一五ミリメートル以上、低船尾樓甲板上ニ在リテハ七六〇ミリメートル以上、其ノ他ノ船樓甲板上ニ在リテハ四五七ミリメートル以上ト爲スベシ

第四章　乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル開口

乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル舷門、載貨門、載炭門等ニハ水密ナル戸又ハ蓋ヲ備フベシ此等ノ戸又ハ蓋ハ之ヲ定ニ裝置ヲ有シ且十分ナル强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第百三十八條　乾舷甲板下ノ場所ヨリ船側ヲ貫通スル各排出管ニハ自働不還弁二箇ヲ備ヘ中一箇ハ何時ニテモ近寄リ得ル場所ニ之ヲ設置スベシ但シ弁ガ容易ニ近寄リ得ル場所ニ在リテ乾舷甲板上ノ場所ヨリ之ヲ開ヂ得ル裝置ヲ有シ且該場所ニ弁ノ開閉ヲ示ス裝置ヲ備フルトキハ自働不還弁一箇ノミナルモ妨ナシ

船側ニ取附クル弁ハ鑄鐵製ナルコトヲ得ズ

第百三十九條　閉鎖裝置ノ效力ガ第一段閉鎖裝置ノ效力ニ及バザル船樓内ノ乾舷甲板ニ排水管ヲ設ケタルトキハ乾舷甲板下ノ場所ニ不還ニ逆水スルコトヲ妨グ爲適當ナル裝置ヲ爲スベシ

第百四十條　海水ニ於ケル最高滿載吃水線ヨリ一五二ミリメートル未滿ノ箇所ニ下縁ヲ有スル舷窓ハ舷窓試驗規程ニ適合スル甲種舷窓又ハ之ト同等以上ノモノナルコトヲ要ス

前項ニ揭グルモノノ外乾舷甲板下ノ場所又ハ閉鎖裝置ノ效力ガ第二段閉鎖裝置ノ效力ニ及バザル船樓内ノ場所ニ設クル舷窓ハ同規程ニ適合スル乙種舷窓又ハ之ト同等以上ノモノナルコトヲ要ス

前項ニ揭グルモノノ外乾舷甲板下ノ場所又ハ閉鎖裝置ノ效力ガ第二段閉鎖裝置ノ效力ヨリ上ナル船樓内ノ場所ニ設クル舷窓ニハ蝶番ニ依リ取附ケタル内蓋ヲ備ヘ完全ニ水密トナル構造ト爲スベシ但シ雜居三等旅客ニ非ザル旅客又ハ船員ニ專用スル船樓内ノ容易ニ近寄リ得ル場所ニ設クル舷窓ノ内蓋ハ取外シ得ルモノトスコトヲ要シ且常ニ閉鎖スル爲十分ナル裝置ヲ有シ且十分ナル强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第百三十七條　艙口蓋ハ其ノ高サ九一五ミリメートル以上ナル船樓内ノ場所ニ通ズルモノニハ鋼製ノ堅牢ナル縁材ヲ備ヘ釘徑ノ四倍ノ心距ニ配置セラレタル鉸釘ニ依リ又ハ同一效力ノ方法ニ依リ之ヲ甲板ニ固著シ縁材ノ底部ニ當ル鋼甲板ハ甲板梁ノ間ニ於テ十分ニ之ヲ防撓スルコトヲ要ス

前項ノ通風筒ノ口ニハ有效ナル閉鎖裝置ヲ備フベシ

第百三十五條　前條ノ通風筒ノ縁材ノ高サハ通風筒ノ閉鎖裝置ガ一時的ノモノナルトキハ暴露セル乾舷甲板又ハ船首ヨリL ノ四分ノ一ノ箇所迄ノ船樓甲板ニ在リテハ九一五ミリメートル以上、其ノ他ノ暴露船樓甲板ニ在リテハ七六〇ミリメートル以上ナルコトヲ要ス

通風筒ノ縁材ハ其ノ高サガ九一五ミリメートルヲ超ユルトキハ特別ニ之ヲ支持シ且固著セシムベシ

第百三十六條　脚荷水槽其ノ他ノ槽ニ通ズル煖氣管ガ乾舷甲板又ハ船樓甲板ノ上方迄達スル場合ニ於テハ管ノ暴露部ハ堅牢ナルモノナルコトヲ要シ且管口ヲ閉鎖スル爲十分ナル裝備ヲ爲スコトヲ要ス又「ウェル」ニ於テハ甲板ヨリ管口迄ノ高サハ乾舷甲板上ニ在リテハ九一五ミリメートル以上、低船尾樓甲板上ニ在リテハ七六〇ミリメートル以上、其ノ他ノ船樓甲板上ニ在リテハ四五七ミリメートル以上ト爲スベシ

第四章　乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル開口

乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル舷門、載貨門等ニハ水密ナル戸又ハ蓋ヲ備フベシ此等ノ戸又ハ蓋ハ之ヲ定ニ裝置ヲ有シ且十分ナル强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第百三十七條　乾舷甲板下ノ船側ニ於ケル舷門、載貨門等ニハ水密ナル戸又ハ蓋ヲ備フベシ此等ノ戸又ハ蓋ハ之ヲ定ニ裝置ヲ有シ且十分ナル强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第百三十八條　乾舷甲板下ノ場所ヨリ船側ヲ貫通スル各排出管ニハ自働不還弁二箇ヲ備ヘ中一箇ハ何時ニテモ近寄リ得ル場所ニ之ヲ設置スベシ但シ弁ガ容易ニ近寄リ得ル場所ニ在リテ乾舷甲板上ノ場所ヨリ之ヲ開ヂ得ル裝置ヲ有シ且該場所ニ弁ノ開閉ヲ示ス裝置ヲ備フルトキハ自働不還弁一箇ノミナルモ妨ナシ

船側ニ取附クル弁ハ鑄鐵製ナルコトヲ得ズ

第百三十九條　閉鎖裝置ノ效力ガ第一段閉鎖裝置ノ效力ニ及バザル船樓内ノ乾舷甲板ニ排水管ヲ設ケタルトキハ乾舷甲板下ノ場所ニ不還ニ逆水スルコトヲ妨グ爲適當ナル裝置ヲ爲スベシ

第百四十條　海水ニ於ケル最高滿載吃水線ヨリ一五二ミリメートル未滿ノ箇所ニ下縁ヲ有スル舷窓ハ舷窓試驗規程ニ適合スル甲種舷窓又ハ之ト同等以上ノモノナルコトヲ要ス

前項ニ揭グルモノノ外乾舷甲板下ノ場所又ハ閉鎖裝置ノ效力ガ第二段閉鎖裝置ノ效力ニ及バザル船樓内ノ場所ニ設クル舷窓ニハ同規程ニ適合スル乙種舷窓又ハ之ト同等以上ノモノナルコトヲ要ス

前項ニ揭グルモノノ外乾舷甲板下ノ場所又ハ閉鎖裝置ノ效力ガ第二段閉鎖裝置ノ效力ヨリ上ナル船樓内ノ場所ニ設クル舷窓ニハ蝶番ニ依リ取附ケタル内蓋ヲ備ヘ完全ニ水密トナル構造ト爲スベシ但シ雜居三等旅客ニ非ザル旅客又ハ船員ニ專用スル船樓内ノ容易ニ近寄リ得ル場所ニ設クル舷窓ノ内蓋ハ取外シ得ルモノトスコトヲ要シ且常ニ閉鎖スル爲十分ナル裝置ヲ有シ且十分ナル强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第百三十七條　艙口蓋ハ其ノ高サ九一五ミリメートル以内ノ箇所ニ之ヲ設クベシ

帶金及楔ハ船口ヲ閉鎖スル爲有效ノモノニシテ良好ナル狀態ニ在ルコトヲ要ス

第百二十五條　暴露セル各船口ニハ船口覆布試驗規程ニ依リ甲種覆布二枚以上ヲ備フベシ

第百二十六條　暴露セル船口ニハ蓋板ヲ締附ケル爲環附螺釘ヲ備フルカ又ハ其ノ他ノ裝置ヲ爲スベシ

船口ノ箇所ニ於ケル甲板ノ幅ノ百分ノ六十ヲ超ユル幅ノ第一種船口ニ在リテハ特別ノ締附裝置ヲ備フベシ

第百二十七條　閉鎖裝置ノ效力ガ第一段閉鎖裝置ノ效力ニ及バザル船樓内ノ乾舷甲板ニ於ケル船口ニハ第百二十條乃至第百二十五條ニ規定スル閉鎖裝置ヲ備フベシ此ノ場合ニ於テハ第二種船口梁及縦材ノ寸法及心距ハ仆ヲ以テ足レリトス

第百二十八條　本章前各條ノ規定ハ載炭口ニ之ヲ準用ス

第百二十九條　船樓甲板ニハ平載炭孔ヲ設クルコトヲ得又特殊ノ航路ニ使用スル小形船ニ在リテハ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ乾舷甲板ニモ之ヲ設クルコトヲ得

前項ノ平載炭孔ノ枠及蓋ハ鐵製又ハ鋼製ニシテ堅牢ナル構造ノモノナルコトヲ要シ又蓋ハ螺込止又ハ挿込止ノモノトシ蝶番ニ依リ枠ニ取附クルカ又ハ鎖ヲ以テ枠ニ連結シ置クベシ

第百三十條　乾舷甲板ノ暴露部又ハ甍圍シタル船樓ノ甲板ノ暴露部ニ於ケル昇降口室ハ堅牢ナル構造ノモノナルコトヲ要シ船首ヨリL ノ四分ノ一以内ノ箇所ニ在ルトキハ之ヲ鋼製トシ鉸釘ヲ以テ鋼甲板ニ固著スルコトヲ要ス

前項ノ昇降口室ニ於ケル戸口ノ縁材ノ高サハ昇降口ノ位置ニ應ジ第百十八條ニ定ムル船口縁材ノ高サ以上ト爲シ戸ハ堅牢ニシテ其ノ兩側ヨリ閉鎖定著シ得ルモノト爲スコ

艙ノ後端隔壁	サ	
	サ　厚	
	(粍)	
	5.0	
	7.5	
	法　寸	
材　形　山		
(粍)		
65×65×6.5		
75×65×7		
90×75×7.5		
100×75×8		

備考
L ガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ隔壁板ノ厚サ及防撓材ノ寸法ハ挿間法ニ依リ之ヲ定ム

第百四十二條　前條ノ規定ニ依リ船尾樓及船橋樓ノ前端隔壁ニ設ケタル防撓材ノ上下兩端ハ短山形材ヲ以テ之ヲ甲板ニ固着セシムルコトヲ要シ又船首樓及船橋樓ノ後端隔壁ニ於ケル防撓材ハ隔壁ノ縁山形材間ノ全距離ニ亙リ之ヲ取附クルコトヲ要ス

第百四十三條　平甲板船ノ乾舷甲板ニ設ケタル居住用ノ甲板室ノ周壁ハ前二條ニ規定スルモノト同等ノ強力ヲ有スル構造ト爲スベシ

第百四十四條　乾舷甲板及船樓甲板ノ暴露セル部分ニハ適當ノ保護欄干又ハ舷墻ヲ設クベシ

各舷ニ於ケル舷墻ノ長サ(米)	各舷ニ設クベキ放水口ノ全面積(平方米)
20ヲ超ユルトキ	舷墻ノ長サ一米ニ付0.061平方米ノ割合
18	1.220
16	1.153
14	1.092
12	1.031
10	0.970
8	0.909
6	0.846
4	0.787
	0.726

備考
舷墻ノ長サガ表ニ掲グルモノノ中間ニ在ルトキハ挿間法ニ依リ放水口ノ面積ヲ算定ス

第百四十五條　船員室區域ニ出入スル船員ヲ保護スル爲適當ナル通路、保護索又ハ其ノ他ノ設備ヲ爲スベシ

第百四十六條　乾舷甲板上又ハ船樓甲板上ノ暴露部ニ於ケル舷墻ガ「ウェル」ヲ形成スルモノヨリ適當ノ之ヲ增スコトヲ要シ又「ウェル」ノ長サガL ノ十分ノ七ヲ超ユルトキハ適當ニ之ヲ減ズルコトヲ得

第六十一條第一號ニ該當スル船樓内ニ於テハ常設閉鎖裝置ヲ備ヘザル甲板口ノ位置ニ適當ノ放水口ヲ設クベシ

第百四十七條　放水口ハ甲板上成ルベク低キ位置ニ之ヲ設クルコトヲ要シ其ノ下緣ハ舷緣山形材ノ上緣ヨリ高カラザル樣爲スベシ

放水口ニハ約二三センチメートルノ間隔ニ柵又ハ横棒ヲ取附クベシ又戸ヲ取附ケタルトキハ梗塞ノ慮ナキ構造ト爲シ且蝶番ハ黄銅製軸針ヲ有スルモノト爲スベシ

第六章　木材滿載吃水線ノ指定ヲ受クル汽船

第百四十八條　本章ノ規定ハ木材滿載吃水線ノ指定ヲ受クル汽船ニ之ヲ適用ス

第百四十九條　船體ノ構造ハ甲板積木材貨物ノ重量ニ對シ十分ナル强力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第百五十條　船舶ハ標準ノ高サ以上ノ高サ及L ノ百分ノ七以上ノ長サノ船首樓ヲ有シ且船尾樓又ハ堅牢ナル鋼製ノ「フード」若ハ甲板室ヲ後部ニ備フル低船尾樓ヲ有スルコトヲ要ス

第百五十一條　乾舷甲板上ノ機關室圍壁ハ其ノ側ニ木材貨物ヲ積載スルニ十分ナル强力及高サノモノナルカ又ハ標準ノ高サ以上ノ高サノ船樓ヲ以テ保護セラルルモノナルコトヲ要ス

第百五十二條　中央部L ノ二分ノ一間ニ二重底ヲ備フル船舶ニ在リテハ該部分ノ二重底槽ハ適當ナル縱區畫ヲ有スルコトヲ要ス

第百五十三條　木材貨物ヲ積載スル甲板ニハ高サ九九センチメートル以上ニシテ上緣ニ於テ特ニ防撓セラレ且十分ナル放水口ヲ有スル舷墻ヲ備フルカ又ハ之ト同一ノ高サニシテ特ニ堅牢ナル構造ノ欄干ヲ備フルコトヲ要ス

前項ノ舷墻ニハ梁ノ箇所ニ於テ甲板ニ固着シタル堅牢ナル支柱ヲ取附クベシ

第百五十四條　船舶ニハ有效ナル補助操舵裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第百五十五條　甲板積木材貨物ノ兩側ニ跨ル縛索ヲ留ムル眼附板ハ三・〇五メートル以内ノ間隔ニテ且船樓端ノ隔壁ヨリ最初ノ眼附板迄ノ距離ガ一・九八メートルヲ超ニザル樣配置シ鉸釘ヲ以テ之ヲ舷側厚板ニ固着セシムベシ但シ追加ノ眼附板ハ之ヲ梁上側板ニ取附クルモ妨ナシ

縛索用眼附板ハ縛索ノ强力ニ相當スル强力ヲ有スルモノト爲スベシ

第七章　檣船

第百五十六條　本章ノ規定ハ檣船ニ之ヲ適用ス

第百五十七條　檣船ハ標準ノ高サ以上ノ高サ及L ノ百分ノ七以上ノ長サノ船首樓ヲ有スルコトヲ要ス

第百五十八條　乾舷甲板上ノ機關室圍壁ハ標準ノ高サ以上ノ高サノ蔽圍シタル船橋樓若ハ船尾樓又ハ之ト同一ノ高サ及同等ノ强力ヲ有スル甲板室ニ依リ之ヲ保護スルコトヲ要シ又該圍壁ノ開口ニハ鋼製ノ戸ヲ備フルコトヲ要ス

前項ノ船樓又ハ甲板室ハ其ノ端ニ於テ第百四十一條及第百四十二條ニ規定スル船橋樓前端隔壁ト同樣ノ構造ノ隔壁ヲ備ヘ之ニ設ケル出入口ニハ甲板上四五七ミリメートル以上ノ高サノ絲材ヲ設ケ且有效ナル閉鎖裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第百五十九條　船尾樓ト船橋樓トノ間ニハ甲板下ノ通路ヲ利用シ得ル場合又ハ同一效力ノ通路設備ヲ備フル場合ヲ除クノ外船橋甲板下同一ノ高サヲ有スル堅牢ナル常設歩路ヲ備フルコトヲ要ス船員室ヲ船首ニ設ケタル槽船ニ在リテハ船橋樓ト船首樓トノ間ニ前項ノ歩路ト船員室區域、機關室其ノ他船ノ操作ニ必要ナル場所トノ間ニハ何時ニテモ利用シ得ル安全ナル通路ヲ設クベシ但シ乾舷甲板ヨリ直接出入スル「ポンプ」室ニシテ第五十三條ノ規定ニ適合スル閉鎖裝置ヲ備フルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

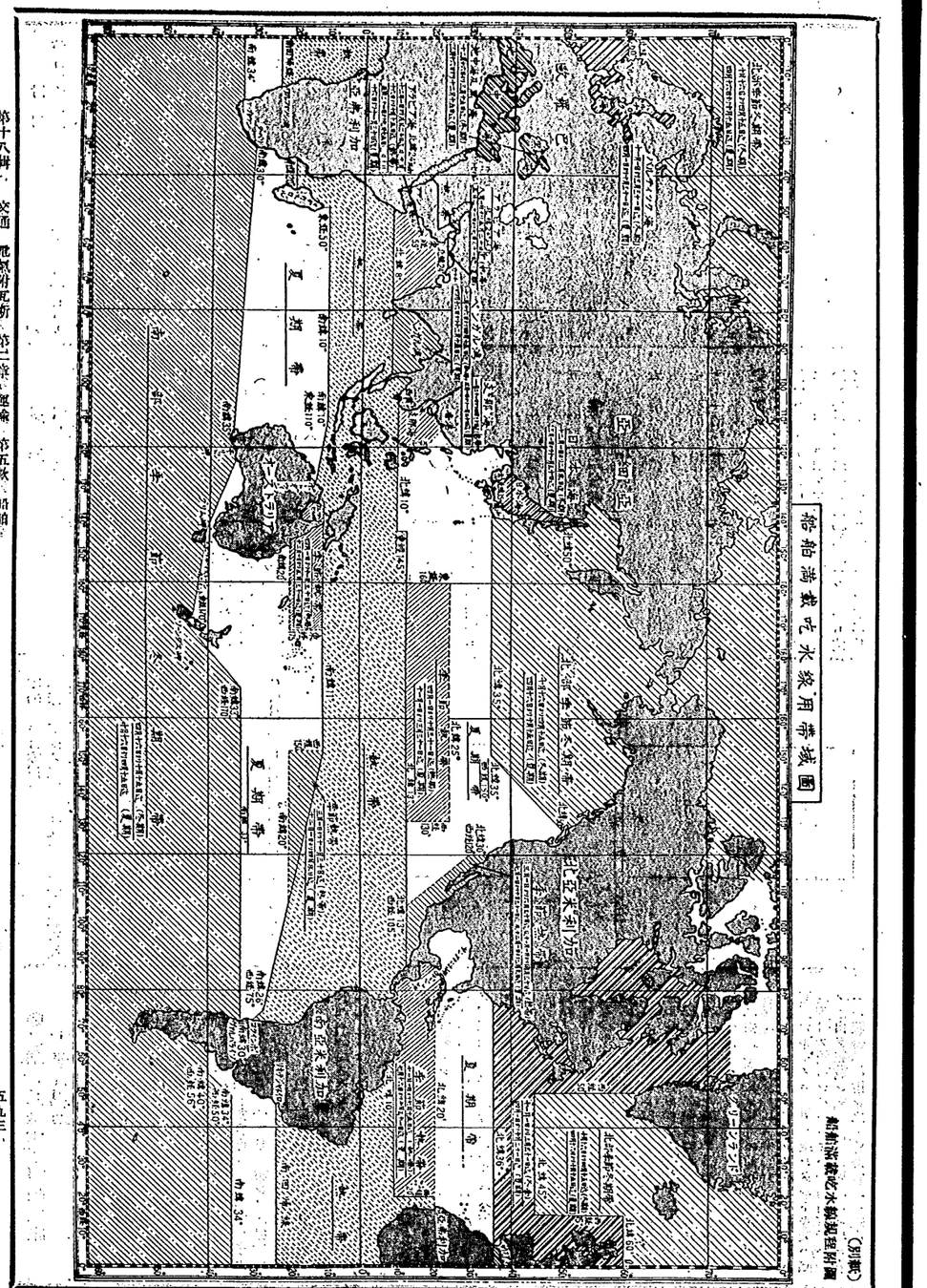
第百六十條　乾舷甲板及膨脹「トランク」甲板上ノ船口ニハ有效ナル鋼製蓋ヲ以テ水密ニ閉鎖スル裝置ヲ備フベシ

第百六十一條　乾舷甲板ニ設クル通風筒ハ十分ナル强力ヲ有スルモノト爲スカ又ハ船樓若ハ同一效力ノ設備ニ依リ之ヲ保護スベシ

第百六十二條　甲板ノ暴露部ニ於テハ該部分ノ長サノ二分ノ一以上ノ間ヲ開放欄干ト爲スカ又ハ該部分ニ設クル舷墻ニハ特ニ有效ナル放水裝置ヲ備フベシ

船樓ト「トランク」トガ連續シタル槽船ニ在リテハ乾舷甲板ノ暴露部ノ全長ニ亙リ開放欄干ヲ設クルコトヲ要ス

第百六十三條　舷側厚板ノ上緣ハ實際上差支ナキ限リ低キコトヲ要シ成ルベク縁山形材ノ上緣ヨリ高カラシメザルコトヲ要ス


船舶滿載吃水線用帶域圖
(別紙)
船舶滿載吃水線規程附圖
夏期帶
夏期帶
夏期帶
熱帶
熱帶
熱帶
北緯35°
北緯30°
北緯25°
北緯20°
北緯15°
北緯10°
北緯5°
赤道
南緯5°
南緯10°
南緯15°
南緯20°
南緯25°
南緯30°
南緯35°
北緯35°
北緯30°
北緯25°
北緯20°
北緯15°
北緯10°
北緯5°
赤道
南緯5°
南緯10°
南緯15°
南緯20°
南緯25°
南緯30°
南緯35°
北米利加
南米利加
亞細亞
歐羅巴
亞弗利加
濠太剌利亞
印度洋
太平洋
大西洋
インド洋
ニューランド
ニューランド
ニューランド

附　則

第百六十四條　本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百六十五條　昭和七年六月三十日以前ニ龍骨ヲ損附ケタル船舶ノ滿載吃水線ノ指定ニ付テハ左ノ各號ニ依ル

一　開口ノ保護、保護欄干、放水口及船具室區域ヘノ通路ニ關スル構造及設備ニ付第六編ノ規定ニ適合セザル船舶ト雖モ貨物上該規定ニ略適合シ管海官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ於テハ之ヲ同章ノ規定ニ適合スルモノト看做ス

二　第百五十條ニ規定スル船樓ヲ有セザル汽船ト雖モ實質上同條ニ規定スル船樓ト略同一ノ效力アル船樓ヲ有シ且第六編第六章ニ規定スル他ノ條件ヲ具備スルトキハ管海官廳ハ當該船舶ガ第百五十七條第百五十八條及第百六十二條ノ規定ニ適合セザル程度ヲ考慮シ適當ニ其ノ乾舷ヲ增加ス

第百六十六條　船舶滿載吃水線法ニ依リ船舶ニ標示シタル滿載吃水線ノ位置ハ之ヲ本令ニ依リ定メタルモノト看做ス但シ同法ニ依リ汽船ニ標示シタル淡水滿載吃水線ノ位置ハ本令ニ依ル夏期淡水滿載吃水線ノ位置トス

●沿岸貿易又ハ漁業ニ從事スル支那形日本船舶ニ關スル件

大正二年九月
總令第九十二號
改正　大正三年九第一四二號、一五年九第七三號、昭和六年八第一〇四號

沿岸貿易又ハ漁業ニ從事スル支那形日本船舶ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　沿岸貿易又ハ漁業ニ從事スル支那形日本船舶ハ左記各號ノ條件ヲ具備スルコトヲ要ス但シ貿易ノ爲外國ニ往來シ又ハ朝鮮内地、臺灣及樺太ノ間ニ通航スル支那形日本船舶ニシテ開港間ニ於ケル沿岸貿易ニ從事スルモノハ此ノ限ニ在ラス

一　船員ハ漁夫其ノ他總乘船員ノ半數以上ハ內國人タルコト

二　船舶ノ外部周圍上緣ニ白色「ペイント」ヲ以テ幅五寸ノ白線一條ヲ畫スルコト

三　船首兩舷及船尾兩舷ニ於テ白線ヨリ下方一尺間ノ部分ヲ黑色「ペイント」ヲ以テ左ノ事項ヲ標示スルコト

甲　總噸數五噸以上ノモノハ船首兩舷ニ船名、船尾兩舷ニ船名及船籍港名

乙　總噸數五噸未滿ノモノハ船首兩舷ニ船名、船尾兩舷ニ船舶所有者ノ氏名又ハ稱號

五　前號標示ノ文字ハ方三寸五分以上ノ國字ヲ以テ船首ヨリ船尾ノ方向ニ橫列ニ配置シ且各文字ノ間ニ八寸以上ノ間隔ヲ存スルコト

六　檣ハ其ノ頂上ヨリ下方六尺間ノ周圍ヲ白色「ペイント」ヲ以テ塗ルコト

七　夜間及風圍ノ場合ヲ除クノ外漁船ハ第一號樣式其ノ他ハ第二號樣式ノ旗章ヲ檣頭ニ揭クルコト

數網漁業柱木網漁業ニシテえびノ採捕ヲ目的トスルモノニ從事スル支那形日本船舶ニ付テハ道知事ノ許可ヲ受ケ前項第一號及第二號ノ規定ニ依ラサルコトヲ得平安北江浴海ニ於ケル刺網漁業流網漁業ニシテひら流網ヲ使用シテ爲スモノニ從事スル支那形日本船舶ニ付亦同シ

第二條　前條ノ規定ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス但シ他ノ法令ニ於テ別ニ刑ノ定アルモノハ此ノ限ニ在ラス

附　則

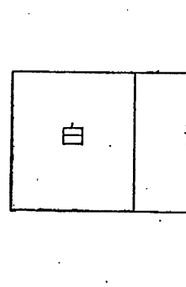
本令ハ大正二年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

則治四十四年朝鮮總督府令第八十八號ハ之ヲ廢止ス

（第一號樣式）

旗　寸法

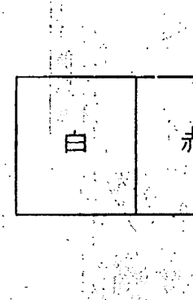
流　五尺　竪　三尺五寸



（第二號樣式）

旗　寸法

第一號樣式ニ同シ



●巴拿馬及蘇士運河噸數證書交付規則

大正五年七月
總令第五十七號
改正　大正一〇年四第六五號、昭和七年六第三三號

巴拿馬及蘇士運河噸數證書交付規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ所有者ニシテ頭米利加合衆國政府ニ於テ千九百三十七年八月二十五日發布シタル巴拿馬運河船舶測度規則又ハ蘇士運河會社ノ通航規則ニ依ル船舶ノ測度及噸數證書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ附錄樣式ノ申請書ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第二條　前條ノ申請ヲ爲ス者ハ測度ヲ受クルニ必要ナル準備ヲ爲スヘシ

第三條　管海官廳ニ於テ第一條ノ申請ヲ受ケタルトキハ巴拿馬運河噸數證書ニ在リテハ檢查官吏ヲシテ巴拿馬運河船舶測度規則ニ依リ船舶ノ測度ヲ行ヒ噸數證書ヲ調製セメ、蘇士運河噸數證書ニ在リテハ管海官廳ニ於テ蘇士運河會社ノ通航規則ニ依リ船舶ノ測度ヲ行ヒ噸數證書ヲ調製シ之ヲ申請者ニ交付スヘシ

前項ノ場合ニ於テ必要アリト認ムルトキハ檢查官吏又ハ管海官廳ハ當該船舶ノ船體中心線縱截面圖及各甲板平面圖ヲ申請者ヨリ提出セシムルコトヲ得

第四條　噸數證書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生シタル爲改測及證書ノ書換ヲ要スルモノト認ムルトキハ船舶所有者ハ附錄樣式ノ申請書ニ現ニ有スル證書ヲ添附シ之ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

第二條及第三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五條　噸數證書ニ記載シタル事項中改測ニ關係ナキモノニ變更ヲ生シタルトキ又ハ噸數證書ヲ毀損シタルトキハ船舶所有者ハ其ノ事由ヲ記載シタル證書換ノ申請書ニ現ニ有スル證書ヲ添附シ之ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

料ヲ納付スヘシ

申請人ノ部ニ依リ測度ノ申請ヲ取下ケタル場合ト雖測度著手後ナルトキハ測度手數料ヲ徵收ス改測ノ場合ニ付亦同シ

第九條　噸數證書ノ交付、書換又ハ再交付ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ證書一通ニ付四圓ノ手數料ヲ納付スヘシ

第十條　前二條ノ手數料ハ共ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ手數料納付書ニ貼附シテ之ヲ納付スヘシ

第十一條　本令ニ依ル事務ヲ行フ管海官廳及特別ノ事由アルトキハ船舶所有者ハ其ノ事由ヲ疏明シ測度執行地外ニ於テ船舶ノ測度又ハ改測ヲ受クルコトヲ得

第十二條　測度執行地外ニ於テ測度又ハ改測ヲ受ケムトスルトキハ船舶所有者ハ檢查官吏ノ出張ヲ要スル成規ノ旅費ニ相當スル金額ヲ納付スヘシ

朝鮮船舶令施行規則第五十四條又ハ朝鮮船安全令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法施行規則第百八十四條第一項ノ場合ニ於テ出張シタル檢查官吏ノ測度又ハ改測ヲ受クルトキハ前項ノ金額ハ相互ニ之ヲ通算ス

附　則

本令ハ大正五年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十年四月總令第六十五號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前測度又ハ改測ヲ申請シタル船舶ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

●巴拿馬及蘇士運河噸數證書交付規則（書換）

大正五年七月
總令第五十八號
改正　大正一〇年四第六五號、昭和七年六第三三號

巴拿馬及蘇士運河噸數證書交付規則（書換）左ノ通定ム

第一條　巴拿馬及蘇士運河噸數證書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ左記各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ管海官廳ニ提出スヘシ

一　船名

二　船舶所有者ノ氏名又ハ稱號

三　船舶ノ種類

四　船舶ノ噸數

五　船舶ノ主要ナル寸法

六　船舶ノ建造地及年月

七　船舶ノ用途

八　船舶ノ航行區域

九　船舶ノ推進器ノ種類

十　船舶ノ乘組員數

十一　船舶ノ載貨重量噸數

十二　船舶ノ航海速力

十三　船舶ノ航海ノ目的地

十四　船舶ノ航海ノ期間

十五　船舶ノ航海ノ回數

十六　船舶ノ航海ノ區域

十七　船舶ノ航海ノ方法

十八　船舶ノ航海ノ經路

十九　船舶ノ航海ノ目的

二十　船舶ノ航海ノ期間

二十一　船舶ノ航海ノ回數

二十二　船舶ノ航海ノ區域

二十三　船舶ノ航海ノ方法

二十四　船舶ノ航海ノ經路

二十五　船舶ノ航海ノ目的

二十六　船舶ノ航海ノ期間

二十七　船舶ノ航海ノ回數

二十八　船舶ノ航海ノ區域

二十九　船舶ノ航海ノ方法

三十　船舶ノ航海ノ經路

三十一　船舶ノ航海ノ目的

三十二　船舶ノ航海ノ期間

三十三　船舶ノ航海ノ回數

三十四　船舶ノ航海ノ區域

三十五　船舶ノ航海ノ方法

三十六　船舶ノ航海ノ經路

三十七　船舶ノ航海ノ目的

三十八　船舶ノ航海ノ期間

三十九　船舶ノ航海ノ回數

四十　船舶ノ航海ノ區域

四十一　船舶ノ航海ノ方法

四十二　船舶ノ航海ノ經路

四十三　船舶ノ航海ノ目的

四十四　船舶ノ航海ノ期間

四十五　船舶ノ航海ノ回數

四十六　船舶ノ航海ノ區域

四十七　船舶ノ航海ノ方法

四十八　船舶ノ航海ノ經路

四十九　船舶ノ航海ノ目的

五十　船舶ノ航海ノ期間

五十一　船舶ノ航海ノ回數

五十二　船舶ノ航海ノ區域

五十三　船舶ノ航海ノ方法

五十四　船舶ノ航海ノ經路

五十五　船舶ノ航海ノ目的

五十六　船舶ノ航海ノ期間

五十七　船舶ノ航海ノ回數

五十八　船舶ノ航海ノ區域

五十九　船舶ノ航海ノ方法

六十　船舶ノ航海ノ經路

六十一　船舶ノ航海ノ目的

六十二　船舶ノ航海ノ期間

六十三　船舶ノ航海ノ回數

六十四　船舶ノ航海ノ區域

六十五　船舶ノ航海ノ方法

六十六　船舶ノ航海ノ經路

六十七　船舶ノ航海ノ目的

六十八　船舶ノ航海ノ期間

六十九　船舶ノ航海ノ回數

七十　船舶ノ航海ノ區域

七十一　船舶ノ航海ノ方法

七十二　船舶ノ航海ノ經路

七十三　船舶ノ航海ノ目的

七十四　船舶ノ航海ノ期間

七十五　船舶ノ航海ノ回數

七十六　船舶ノ航海ノ區域

七十七　船舶ノ航海ノ方法

七十八　船舶ノ航海ノ經路

七十九　船舶ノ航海ノ目的

八十　船舶ノ航海ノ期間

八十一　船舶ノ航海ノ回數

八十二　船舶ノ航海ノ區域

八十三　船舶ノ航海ノ方法

八十四　船舶ノ航海ノ經路

八十五　船舶ノ航海ノ目的

八十六　船舶ノ航海ノ期間

八十七　船舶ノ航海ノ回數

八十八　船舶ノ航海ノ區域

八十九　船舶ノ航海ノ方法

九十　船舶ノ航海ノ經路

九十一　船舶ノ航海ノ目的

九十二　船舶ノ航海ノ期間

九十三　船舶ノ航海ノ回數

九十四　船舶ノ航海ノ區域

九十五　船舶ノ航海ノ方法

九十六　船舶ノ航海ノ經路

九十七　船舶ノ航海ノ目的

九十八　船舶ノ航海ノ期間

九十九　船舶ノ航海ノ回數

百　船舶ノ航海ノ區域

百一　船舶ノ航海ノ方法

百二　船舶ノ航海ノ經路

百三　船舶ノ航海ノ目的

百四　船舶ノ航海ノ期間

百五　船舶ノ航海ノ回數

百六　船舶ノ航海ノ區域

百七　船舶ノ航海ノ方法

百八　船舶ノ航海ノ經路

百九　船舶ノ航海ノ目的

百十　船舶ノ航海ノ期間

百十一　船舶ノ航海ノ回數

百十二　船舶ノ航海ノ區域

百十三　船舶ノ航海ノ方法

百十四　船舶ノ航海ノ經路

百十五　船舶ノ航海ノ目的

百十六　船舶ノ航海ノ期間

百十七　船舶ノ航海ノ回數

百十八　船舶ノ航海ノ區域

百十九　船舶ノ航海ノ方法

百二十　船舶ノ航海ノ經路

百二十一　船舶ノ航海ノ目的

百二十二　船舶ノ航海ノ期間

百二十三　船舶ノ航海ノ回數

百二十四　船舶ノ航海ノ區域

百二十五　船舶ノ航海ノ方法

百二十六　船舶ノ航海ノ經路

百二十七　船舶ノ航海ノ目的

百二十八　船舶ノ航海ノ期間

百二十九　船舶ノ航海ノ回數

百三十　船舶ノ航海ノ區域

百三十一　船舶ノ航海ノ方法

百三十二　船舶ノ航海ノ經路

百三十三　船舶ノ航海ノ目的

百三十四　船舶ノ航海ノ期間

百三十五　船舶ノ航海ノ回數

百三十六　船舶ノ航海ノ區域

百三十七　船舶ノ航海ノ方法

百三十八　船舶ノ航海ノ經路

百三十九　船舶ノ航海ノ目的

百四十　船舶ノ航海ノ期間

百四十一　船舶ノ航海ノ回數

百四十二　船舶ノ航海ノ區域

百四十三　船舶ノ航海ノ方法

百四十四　船舶ノ航海ノ經路

百四十五　船舶ノ航海ノ目的

百四十六　船舶ノ航海ノ期間

百四十七　船舶ノ航海ノ回數

百四十八　船舶ノ航海ノ區域

百四十九　船舶ノ航海ノ方法

百五十　船舶ノ航海ノ經路

百五十一　船舶ノ航海ノ目的

百五十二　船舶ノ航海ノ期間

百五十三　船舶ノ航海ノ回數

百五十四　船舶ノ航海ノ區域

百五十五　船舶ノ航海ノ方法

百五十六　船舶ノ航海ノ經路

百五十七　船舶ノ航海ノ目的

百五十八　船舶ノ航海ノ期間

百五十九　船舶ノ航海ノ回數

百六十　船舶ノ航海ノ區域

百六十一　船舶ノ航海ノ方法

百六十二　船舶ノ航海ノ經路

百六十三　船舶ノ航海ノ目的

百六十四　船舶ノ航海ノ期間

百六十五　船舶ノ航海ノ回數

百六十六　船舶ノ航海ノ區域

百六十七　船舶ノ航海ノ方法

百六十八　船舶ノ航海ノ經路

百六十九　船舶ノ航海ノ目的

百七十　船舶ノ航海ノ期間

百七十一　船舶ノ航海ノ回數

百七十二　船舶ノ航海ノ區域

百七十三　船舶ノ航海ノ方法

百七十四　船舶ノ航海ノ經路

百七十五　船舶ノ航海ノ目的

百七十六　船舶ノ航海ノ期間

百七十七　船舶ノ航海ノ回數

百七十八　船舶ノ航海ノ區域

百七十九　船舶ノ航海ノ方法

百八十　船舶ノ航海ノ經路

百八十一　船舶ノ航海ノ目的

百八十二　船舶ノ航海ノ期間

百八十三　船舶ノ航海ノ回數

百八十四　船舶ノ航海ノ區域

百八十五　船舶ノ航海ノ方法

百八十六　船舶ノ航海ノ經路

百八十七　船舶ノ航海ノ目的

百八十八　船舶ノ航海ノ期間

百八十九　船舶ノ航海ノ回數

百九十　船舶ノ航海ノ區域

百九十一　船舶ノ航海ノ方法

百九十二　船舶ノ航海ノ經路

百九十三　船舶ノ航海ノ目的

百九十四　船舶ノ航海ノ期間

百九十五　船舶ノ航海ノ回數

百九十六　船舶ノ航海ノ區域

百九十七　船舶ノ航海ノ方法

百九十八　船舶ノ航海ノ經路

百九十九　船舶ノ航海ノ目的

二百　船舶ノ航海ノ期間

二百一　船舶ノ航海ノ回數

二百二　船舶ノ航海ノ區域

二百三　船舶ノ航海ノ方法

二百四　船舶ノ航海ノ經路

二百五　船舶ノ航海ノ目的

二百六　船舶ノ航海ノ期間

二百七　船舶ノ航海ノ回數

二百八　船舶ノ航海ノ區域

二百九　船舶ノ航海ノ方法

二百十　船舶ノ航海ノ經路

二百十一　船舶ノ航海ノ目的

二百十二　船舶ノ航海ノ期間

二百十三　船舶ノ航海ノ回數

二百十四　船舶ノ航海ノ區域

二百十五　船舶ノ航海ノ方法

二百十六　船舶ノ航海ノ經路

二百十七　船舶ノ航海ノ目的

二百十八　船舶ノ航海ノ期間

二百十九　船舶ノ航海ノ回數

二百二十　船舶ノ航海ノ區域

二百二十一　船舶ノ航海ノ方法

二百二十二　船舶ノ航海ノ經路

二百二十三　船舶ノ航海ノ目的

二百二十四　船舶ノ航海ノ期間

二百二十五　船舶ノ航海ノ回數

二百二十六　船舶ノ航海ノ區域

二百二十七　船舶ノ航海ノ方法

二百二十八　船舶ノ航海ノ經路

二百二十九　船舶ノ航海ノ目的

二百三十　船舶ノ航海ノ期間

二百三十一　船舶ノ航海ノ回數

二百三十二　船舶ノ航海ノ區域

二百三十三　船舶ノ航海ノ方法

二百三十四　船舶ノ航海ノ經路

二百三十五　船舶ノ航海ノ目的

二百三十六　船舶ノ航海ノ期間

二百三十七　船舶ノ航海ノ回數

二百三十八　船舶ノ航海ノ區域

二百三十九　船舶ノ航海ノ方法

二百四十　船舶ノ航海ノ經路

二百四十一　船舶ノ航海ノ目的

二百四十二　船舶ノ航海ノ期間

二百四十三　船舶ノ航海ノ回數

二百四十四　船舶ノ航海ノ區域

二百四十五　船舶ノ航海ノ方法

二百四十六　船舶ノ航海ノ經路

二百四十七　船舶ノ航海ノ目的

二百四十八　船舶ノ航海ノ期間

二百四十九　船舶ノ航海ノ回數

二百五十　船舶ノ航海ノ區域

二百五十一　船舶ノ航海ノ方法

二百五十二　船舶ノ航海ノ經路

二百五十三　船舶ノ航海ノ目的

二百五十四　船舶ノ航海ノ期間

二百五十五　船舶ノ航海ノ回數

二百五十六　船舶ノ航海ノ區域

二百五十七　船舶ノ航海ノ方法

二百五十八　船舶ノ航海ノ經路

二百五十九　船舶ノ航海ノ目的

二百六十　船舶ノ航海ノ期間

二百六十一　船舶ノ航海ノ回數

二百六十二　船舶ノ航海ノ區域

二百六十三　船舶ノ航海ノ方法

二百六十四　船舶ノ航海ノ經路

二百六十五　船舶ノ航海ノ目的

二百六十六　船舶ノ航海ノ期間

二百六十七　船舶ノ航海ノ回數

二百六十八　船舶ノ航海ノ區域

二百六十九　船舶ノ航海ノ方法

二百七十　船舶ノ航海ノ經路

二百七十一　船舶ノ航海ノ目的

二百七十二　船舶ノ航海ノ期間

二百七十三　船舶ノ航海ノ回數

二百七十四　船舶ノ航海ノ區域

二百七十五　船舶ノ航海ノ方法

二百七十六　船舶ノ航海ノ經路

二百七十七　船舶ノ航海ノ目的

二百七十八　船舶ノ航海ノ期間

二百七十九　船舶ノ航海ノ回數

二百八十　船舶ノ航海ノ區域

二百八十一　船舶ノ航海ノ方法

二百八十二　船舶ノ航海ノ經路

二百八十三　船舶ノ航海ノ目的

二百八十四　船舶ノ航海ノ期間

二百八十五　船舶ノ航海ノ回數

二百八十六　船舶ノ航海ノ區域

二百八十七　船舶ノ航海ノ方法

二百八十八　船舶ノ航海ノ經路

二百八十九　船舶ノ航海ノ目的

二百九十　船舶ノ航海ノ期間

二百九十一　船舶ノ航海ノ回數

二百九十二　船舶ノ航海ノ區域

二百九十三　船舶ノ航海ノ方法

二百九十四　船舶ノ航海ノ經路

二百九十五　船舶ノ航海ノ目的

二百九十六　船舶ノ航海ノ期間

二百九十七　船舶ノ航海ノ回數

二百九十八　船舶ノ航海ノ區域

二百九十九　船舶ノ航海ノ方法

三百　船舶ノ航海ノ經路

三百一　船舶ノ航海ノ目的

三百二　船舶ノ航海ノ期間

三百三　船舶ノ航海ノ回數

三百四　船舶ノ航海ノ區域

三百五　船舶ノ航海ノ方法

三百六　船舶ノ航海ノ經路

三百七　船舶ノ航海ノ目的

三百八　船舶ノ航海ノ期間

三百九　船舶ノ航海ノ回數

三百十　船舶ノ航海ノ區域

三百十一　船舶ノ航海ノ方法

三百十二　船舶ノ航海ノ經路

三百十三　船舶ノ航海ノ目的

三百十四　船舶ノ航海ノ期間

三百十五　船舶ノ航海ノ回數

三百十六　船舶ノ航海ノ區域

三百十七　船舶ノ航海ノ方法

三百十八　船舶ノ航海ノ經路

三百十九　船舶ノ航海ノ目的

三百二十　船舶ノ航海ノ期間

三百二十一　船舶ノ航海ノ回數

三百二十二　船舶ノ航海ノ區域

三百二十三　船舶ノ航海ノ方法

三百二十四　船舶ノ航海ノ經路

三百二十五　船舶ノ航海ノ目的

三百二十六　船舶ノ航海ノ期間

三百二十七　船舶ノ航海ノ回數

三百二十八　船舶ノ航海ノ區域

三百二十九　船舶ノ航海ノ方法

三百三十　船舶ノ航海ノ經路

三百三十一　船舶ノ航海ノ目的

三百三十二　船舶ノ航海ノ期間

三百三十三　船舶ノ航海ノ回數

三百三十四　船舶ノ航海ノ區域

三百三十五　船舶ノ航海ノ方法

三百三十六　船舶ノ航海ノ經路

三百三十七　船舶ノ航海ノ目的

三百三十八　船舶ノ航海ノ期間

三百三十九　船舶ノ航海ノ回數

三百四十　船舶ノ航海ノ區域

三百四十一　船舶ノ航海ノ方法

三百四十二　船舶ノ航海ノ經路

三百四十三　船舶ノ航海ノ目的

三百四十四　船舶ノ航海ノ期間

三百四十五　船舶ノ航海ノ回數

三百四十六　船舶ノ航海ノ區域

三百四十七　船舶ノ航海ノ方法

三百四十八　船舶ノ航海ノ經路

三百四十九　船舶ノ航海ノ目的

三百五十　船舶ノ航海ノ期間

三百五十一　船舶ノ航海ノ回數

三百五十二　船舶ノ航海ノ區域

三百五十三　船舶ノ航海ノ方法

三百五十四　船舶ノ航海ノ經路

三百五十五　船舶ノ航海ノ目的

三百五十六　船舶ノ航海ノ期間

三百五十七　船舶ノ航海ノ回數

三百五十八　船舶ノ航海ノ區域

三百五十九　船舶ノ航海ノ方法

三百六十　船舶ノ航海ノ經路

三百六十一　船舶ノ航海ノ目的

三百六十二　船舶ノ航海ノ期間

三百六十三　船舶ノ航海ノ回數

三百六十四　船舶ノ航海ノ區域

三百六十五　船舶ノ航海ノ方法

三百六十六　船舶ノ航海ノ經路

三百六十七　船舶ノ航海ノ目的

三百六十八　船舶ノ航海ノ期間

三百六十九　船舶ノ航海ノ回數

三百七十　船舶ノ航海ノ區域

三百七十一　船舶ノ航海ノ方法

三百七十二　船舶ノ航海ノ經路

三百七十三　船舶ノ航海ノ目的

三百七十四　船舶ノ航海ノ期間

三百七十五　船舶ノ航海ノ回數

三百七十六　船舶ノ航海ノ區域

三百七十七　船舶ノ航海ノ方法

三百七十八　船舶ノ航海ノ經路

三百七十九　船舶ノ航海ノ目的

三百八十　船舶ノ航海ノ期間

三百八十一　船舶ノ航海ノ回數

三百八十二　船舶ノ航海ノ區域

三百八十三　船舶ノ航海ノ方法

三百八十四　船舶ノ航海ノ經路

三百八十五　船舶ノ航海ノ目的

三百八十六　船舶ノ航海ノ期間

三百八十七　船舶ノ航海ノ回數

三百八十八　船舶ノ航海ノ區域

三百八十九　船舶ノ航海ノ方法

三百九十　船舶ノ航海ノ經路

三百九十一　船舶ノ航海ノ目的

三百九十二　船舶ノ航海ノ期間

三百九十三　船舶ノ航海ノ回數

三百九十四　船舶ノ航海ノ區域

三百九十五　船舶ノ航海ノ方法

三百九十六　船舶ノ航海ノ經路

三百九十七　船舶ノ航海ノ目的

三百九十八　船舶ノ航海ノ期間

三百九十九　船舶ノ航海ノ回數

四百　船舶ノ航海ノ區域

四百一　船舶ノ航海ノ方法

四百二　船舶ノ航海ノ經路

四百三　船舶ノ航海ノ目的

四百四　船舶ノ航海ノ期間

四百五　船舶ノ航海ノ回數

四百六　船舶ノ航海ノ區域

四百七　船舶ノ航海ノ方法

四百八　船舶ノ航海ノ經路

四百九　船舶ノ航海ノ目的

四百十　船舶ノ航海ノ期間

四百十一　船舶ノ航海ノ回數

四百十二　船舶ノ航海ノ區域

四百十三　船舶ノ航海ノ方法

四百十四　船舶ノ航海ノ經路

四百十五　船舶ノ航海ノ目的

四百十六　船舶ノ航海ノ期間

四百十七　船舶ノ航海ノ回數

四百十八　船舶ノ航海ノ區域

四百十九　船舶ノ航海ノ方法

四百二十　船舶ノ航海ノ經路

四百二十一　船舶ノ航海ノ目的

四百二十二　船舶ノ航海ノ期間

四百二十三　船舶ノ航海ノ回數

四百二十四　船舶ノ航海ノ區域

四百二十五　船舶ノ航海ノ方法

四百二十六　船舶ノ航海ノ經路

四百二十七　船舶ノ航海ノ目的

四百二十八　船舶ノ航海ノ期間

四百二十九　船舶ノ航海ノ回數

四百三十　船舶ノ航海ノ區域

四百三十一　船舶ノ航海ノ方法

四百三十二　船舶ノ航海ノ經路

四百三十三　船舶ノ航海ノ目的

四百三十四　船舶ノ航海ノ期間

四百三十五　船舶ノ航海ノ回數

四百三十六　船舶ノ航海ノ區域

四百三十七　船舶ノ航海ノ方法

四百三十八　船舶ノ航海ノ經路

四百三十九　船舶ノ航海ノ目的

四百四十　船舶ノ航海ノ期間

四百四十一　船舶ノ航海ノ回數

四百四十二　船舶ノ航海ノ區域

四百四十三　船舶ノ航海ノ方法

四百四十四　船舶ノ航海ノ經路

四百四十五　船舶ノ航海ノ目的

四百四十六　船舶ノ航海ノ期間

四百四十七　船舶ノ航海ノ回數

四百四十八　船舶ノ航海ノ區域

四百四十九　船舶ノ航海ノ方法

四百五十　船舶ノ航海ノ經路

四百五十一　船舶ノ航海ノ目的

四百五十二　船舶ノ航海ノ期間

四百五十三　船舶ノ航海ノ回數

四百五十四　船舶ノ航海ノ區域

四百五十五　船舶ノ航海ノ方法

四百五十六　船舶ノ航海ノ經路

四百五十七　船舶ノ航海ノ目的

四百五十八　船舶ノ航海ノ期間

四百五十九　船舶ノ航海ノ回數

四百六十　船舶ノ航海ノ區域

四百六十一　船舶ノ航海ノ方法

四百六十二　船舶ノ航海ノ經路

四百六十三　船舶ノ航海ノ目的

四百六十四　船舶ノ航海ノ期間

四百六十五　船舶ノ航海ノ回數

四百六十六　船舶ノ航海ノ區域

四百六十七　船舶ノ航海ノ方法

四百六十八　船舶ノ航海ノ經路

四百六十九　船舶ノ航海ノ目的

四百七十　船舶ノ航海ノ期間

四百七十一　船舶ノ航海ノ回數

四百七十二　船舶ノ航海ノ區域

四百七十三　船舶ノ航海ノ方法

四百七十四　船舶ノ航海ノ經路

四百七十五　船舶ノ航海ノ目的

四百七十六　船舶ノ航海ノ期間

四百七十七　船舶ノ航海ノ回數

四百七十八　船舶ノ航海ノ區域

四百七十九　船舶ノ航海ノ方法

四百八十　船舶ノ航海ノ經路

四百八十一　船舶ノ航海ノ目的

四百八十二　船舶ノ航海ノ期間

四百八十三　船舶ノ航海ノ回數

四百八十四　船舶ノ航海ノ區域

四百八十五　船舶ノ航海ノ方法

四百八十六　船舶ノ航海ノ經路

四百八十七　船舶ノ航海ノ目的

四百八十八　船舶ノ航海ノ期間

四百八十九　船舶ノ航海ノ回數

四百九十　船舶ノ航海ノ區域

四百九十一　船舶ノ航海ノ方法

四百九十二　船舶ノ航海ノ經路

四百九十三　船舶ノ航海ノ目的

四百九十四　船舶ノ航海ノ期間

四百九十五　船舶ノ航海ノ回數

四百九十六　船舶ノ航海ノ區域

四百九十七　船舶ノ航海ノ方法

四百九十八　船舶ノ航海ノ經路

四百九十九　船舶ノ航海ノ目的

五百　船舶ノ航海ノ期間

五百一　船舶ノ航海ノ回數

五百二　船舶ノ航海ノ區域

五百三　船舶ノ航海ノ方法

五百四　船舶ノ航海ノ經路

五百五　船舶ノ航海ノ目的

五百六　船舶ノ航海ノ期間

五百七　船舶ノ航海ノ回數

五百八　船舶ノ航海ノ區域

五百九　船舶ノ航海ノ方法

五百十　船舶ノ航海ノ經路

五百十一　船舶ノ航海ノ目的

五百十二　船舶ノ航海ノ期間

五百十三　船舶ノ航海ノ回數

五百十四　船舶ノ航海ノ區域

五百十五　船舶ノ航海ノ方法

五百十六　船舶ノ航海ノ經路

五百十七　船舶ノ航海ノ目的

五百十八　船舶ノ航海ノ期間

五百十九　船舶ノ航海ノ回數

五百二十　船舶ノ航海ノ區域

五百二十一　船舶ノ航海ノ方法

五百二十二　船舶ノ航海ノ經路

五百二十三　船舶ノ航海ノ目的

五百二十四　船舶ノ航海ノ期間

五百二十五　船舶ノ航海ノ回數

五百二十六　船舶ノ航海ノ區域

五百二十七　船舶ノ航海ノ方法

五百二十八　船舶ノ航海ノ經路

五百二十九　船舶ノ航海ノ目的

五百三十　船舶ノ航海ノ期間

五百三十一　船舶ノ航海ノ回數

五百三十二　船舶ノ航海ノ區域

五百三十三　船舶ノ航海ノ方法

五百三十四　船舶ノ航海ノ經路

五百三十五　船舶ノ航海ノ目的

五百三十六　船舶ノ航海ノ期間

五百三十七　船舶ノ航海ノ回數

五百三十八　船舶ノ航海ノ區域

五百三十九　船舶ノ航海ノ方法

五百四十　船舶ノ航海ノ經路

五百四十一　船舶ノ航海ノ目的

五百四十二　船舶ノ航海ノ期間

五百四十三　船舶ノ航海ノ回數

五百四十四　船舶ノ航海ノ區域

五百四十五　船舶ノ航海ノ方法

五百四十六　船舶ノ航海ノ經路

五百四十七　船舶ノ航海ノ目的

五百四十八　船舶ノ航海ノ期間

五百四十九　船舶ノ航海ノ回數

五百五十　船舶ノ航海ノ區域

五百五十一　船舶ノ航海ノ方法

五百五十二　船舶ノ航海ノ經路

五百五十三　船舶ノ航海ノ目的

五百五十四　船舶ノ航海ノ期間

五百五十五　船舶ノ航海ノ回數

五百五十六　船舶ノ航海ノ區域

五百五十七　船舶ノ航海ノ方法

五百五十八　船舶ノ航海ノ經路

五百五十九　船舶ノ航海ノ目的

五百六十　船舶ノ航海ノ期間

五百六十一　船舶ノ航海ノ回數

五百六十二　船舶ノ航海ノ區域

五百六十三　船舶ノ航海ノ方法

五百六十四　船舶ノ航海ノ經路

五百六十五　船舶ノ航海ノ目的

五百六十六　船舶ノ航海ノ期間

五百六十七　船舶ノ航海ノ回數

五百六十八　船舶ノ航海ノ區域

五百六十九　船舶ノ航海ノ方法

五百七十　船舶ノ航海ノ經路

五百七十一　船舶ノ航海ノ目的

五百七十二　船舶ノ航海ノ期間

五百七十三　船舶ノ航海ノ回數

五百七十四　船舶ノ航海ノ區域

五百七十五　船舶ノ航海ノ方法

五百七十六　船舶ノ航海ノ經路

五百七十七　船舶ノ航海ノ目的

五百七十八　船舶ノ航海ノ期間

五百七十九　船舶ノ航海ノ回數

五百八十　船舶ノ航海ノ區域

五百八十一　船舶ノ航海ノ方法

五百八十二　船舶ノ航海ノ經路

五百八十三　船舶ノ航海ノ目的

五百八十四　船舶ノ航海ノ期間

五百八十五　船舶ノ航海ノ回數

五百八十六　船舶ノ航海ノ區域

五百八十七　船舶ノ航海ノ方法

五百八十八　船舶ノ航海ノ經路

五百八十九　船舶ノ航海ノ目的

五百九十　船舶ノ航海ノ期間

五百九十一　船舶ノ航海ノ回數

五百九十二　船舶ノ航海ノ區域

五百九十三　船舶ノ航海ノ方法

五百九十四　船舶ノ航海ノ經路

五百九十五　船舶ノ航海ノ目的

五百九十六　船舶ノ航海ノ期間

五百九十七　船舶ノ航海ノ回數

五百九十八　船舶ノ航海ノ區域

五百九十九　船舶ノ航海ノ方法

六百　船舶ノ航海ノ經路

六百一　船舶ノ航海ノ目的

六百二　船舶ノ航海ノ期間

六百三　船舶ノ航海ノ回數

六百四　船舶ノ航海ノ區域

六百五　船舶ノ航海ノ方法

六百六　船舶ノ航海ノ經路

六百七　船舶ノ航海ノ目的

六百八　船舶ノ航海ノ期間

六百九　船舶ノ航海ノ回數

六百十　船舶ノ航海ノ區域

六百十一　船舶ノ航海ノ方法

六百十二　船舶ノ航海ノ經路

六百十三　船舶ノ航海ノ目的

六百十四　船舶ノ航海ノ期間

六百十五　船舶ノ航海ノ回數

六百十六　船舶ノ航海ノ區域

六百十七　船舶ノ航海ノ方法

六百十八　船舶ノ航海ノ經路

六百十九　船舶ノ航海ノ目的

六百二十　船舶ノ航海ノ期間

六百二十一　船舶ノ航海ノ回數

六百二十二　船舶ノ航海ノ區域

六百二十三　船舶ノ航海ノ方法

六百二十四　船舶ノ航海ノ經路

六百二十五　船舶ノ航海ノ目的

六百二十六　船舶ノ航海ノ期間

六百二十七　船舶ノ航海ノ回數

六百二十八　船舶ノ航海ノ區域

六百二十九　船舶ノ航海ノ方法

六百三十　船舶ノ航海ノ經路

六百三十一　船舶ノ航海ノ目的

六百三十二　船舶ノ航海ノ期間

六百三十三　船舶ノ航海ノ回數

六百三十四　船舶ノ航海ノ區域

六百三十五　船舶ノ航海ノ方法

六百三十六　船舶ノ航海ノ經路

六百三十七　船舶ノ航海ノ目的

六百三十八　船舶ノ航海ノ期間

六百三十九　船舶

明治四十五年七月
勅令第百二十五號

船舶積基互認ノ件ニ關シ帝國政府ト和蘭國政府トノ間ニ取極ヲ爲シタルニ依リ左ノ條規ヲ定メ明治四十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

和蘭國政府ニ於テ千八百七十五年八月二十一日及千八百九十九年九月十八日付勅令海船積基測度規則ニ依リ測度シ千八百九十九年十月二十日以後交付シタル公正積基證書ヲ有スル和蘭國船舶竝千九百二年一月三日以後交付シタル公正積基證書ヲ有スル西洋形簡領印度船舶ハ朝鮮諸港ニ於テ其ノ積基ヲ測度スルコトナク其ノ證書ニ記載スル登簿噸數ヲ日本船舶ノ登簿噸數ト同一ナリト看做ス

明治四十五年七月
勅令第二百六十九號

船舶積基互認ノ件ニ關シ帝國政府ト和蘭國政府トノ間ニ取極ヲ爲シ帝國政府ニ於テ明治四十五年七月一日以後朝鮮ニ船籍港ヲ有スル船舶ニシテ明治四十三年四月一日以後交付シタル船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ヲ有スルモノハ和蘭國及和蘭領印度ニ於テ其ノ積基ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル登簿噸數ヲ和蘭國船舶ノ登簿噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

大正十一年十月
勅令第百三十七號

丁抹國相當官憲ニ於テ千八百九十五年四月一日以後交付シタル船積基測度ニ關スル證書ヲ有スル丁抹國船舶ハ朝鮮諸港ニ於テ積基ヲ測度スルコトナク其ノ證書ニ記載スル噸數ハ日本船舶ノ噸數ト同一ナリト看做ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年十月
逓信省令第二十六號

船舶積基互認ノ件ニ關シ帝國政府ト丁抹國政府トノ間ニ取極ヲ爲シタルニ依リ大正十一年十月一日以後朝鮮ニ船籍港ヲ有スル船舶ニシテ大正三年十月一日以後交付シタル船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ヲ有スルモノハ丁抹國及同領印度ニ於テ其ノ積基ヲ測度セラルルコトナク其ノ證書ニ記載スル噸數ヲ丁抹國船舶ノ噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

大正十二年六月
勅令第八十七號

英國相當官憲ニ於テ千八百九十五年一月一日以後交付シタル船積基測度ニ關スル證書ヲ有スル英國船舶ハ朝鮮諸港ニ於テ其ノ積基ヲ測度セラルルコトナク其ノ證書ニ記載スル噸數ヲ日本船舶ノ噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年六月
逓信省令第百八十五號

船舶積基互認ノ件ニ關シ帝國政府ト英國政府トノ間ニ取極ヲ爲シタルニ依リ大正十二年六月二十日以後朝鮮ニ船籍ヲ有スル船舶ニシテ大正三年十月一日以後交付シタル船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ヲ有スルモノハ英國及同領印度ニ於テ其ノ積基ヲ測度セラルルコトナク船舶國籍證書、假船舶國籍證書又ハ船鑑札ニ記載スル噸數ヲ英國船舶ノ噸數ト同一ナリト認メラルヘシ

昭和四年六月
勅令第六十五號

日獨間船舶積基測度證書互認ニ關スル件左ノ通定ム

獨逸國相當官憲ニ於テ千八百九十五年七月一日以後交付シタル船舶積基測度ニ關スル證書ヲ有スル獨逸國船舶ハ朝鮮諸港ニ於テ其ノ積基ヲ測度セラルルコトナク其ノ證書ニ記載スル噸數ハ日本船舶ノ噸數ト同一ナリト看做ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●船舶ニ依ル阿片運送取締規則

昭和五年十月
勅令第八十七號

船舶ニ依ル阿片運送取締規則左ノ通定ム

船舶ニ依ル阿片運送取締規則

第一條　日本船舶ハ左ノ各號ノ一ニ掲グル場合ヲ除クノ外阿片ノ運送ヲ爲スコトヲ得ズ

一　朝鮮、內地、樺太、臺灣、關東州及南洋群島相互間ノ運送ニ付テハ當該官憲ガ輸移出入ヲ許可シタルトキ

二　國際運送ニ付テハ仕出國及仕向國當該官憲ガ輸出入スルトキ又ハ輸出入ヲ許可シタルトキ

三　國內運送（第一號ノ場合ヲ除ク）ニ付テハ其ノ國ガ所持、授受又ハ運送ヲ違法ト爲サザルトキ

第二條　前條ノ規定ニ依リ外國（一國又ハ數國間）ニ於テ阿片ノ運送ヲ爲シタルトキハ船長ハ左ノ各號ノ事項ヲ其ノ陸揚港所轄帝國領事館ヲ經テ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

一　船舶ノ名稱、總噸數及船籍港

二　船舶所有者竝ニ船長ノ住所及氏名若ハ名稱

三　阿片ノ種類及數量

四　船積港及陸揚港

五　船積及陸揚ノ年月日

六　荷送人竝ニ荷受人ノ住所及氏名若ハ名稱

前項ノ規定ニ依ル屆書ニハ當該阿片ノ運送ガ適法ナルコトヲ證明スル書類ヲ添附スベシ

第三條　船舶所有者又ハ船長第一條ノ規定ニ違反シタルトキハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條　船長第二條ノ規定ニ違反シタルトキハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第五條　船舶所有者ガ未成年者若ハ禁治產者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ於テハ其ノ者ニ適用スベキ關則ハ其ノ法定代理人又ハ法人ノ代表者ニ之ヲ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　本令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ船舶管理人ニ、船舶借入ノ場合ニ在リテハ船舶借入人ニ之ヲ適用シ船長ニ關スル規定ハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者アル場合ニ於テハ其ノ者ニ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●船舶輸入許可規則

昭和八年六月
勅令第六十號

改正　昭和八年九月勅令第二〇〇號

船舶輸入許可規則左ノ通定ム

第一條　船舶ヲ輸入又ハ移入セントスル者ハ當分ノ內朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第二條　前條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ當該船舶ニ付左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　種類及名稱
二　國籍及所有者ノ氏名又ハ名稱
三　總噸數
四　機關ノ種類
五　造力
六　製造年月
七　製造者ノ氏名又ハ名稱
八　使用ノ目的
九　購入見込價格
十　輸入又ハ移入ノ豫定期日
十一　船舶ノ所在地

第三條　朝鮮總督ハ第一條ノ許可ヲ爲スニ當リ條件ヲ附スルコトアルベシ

第四條　第一條ノ許可ヲ受ケタル者船舶ヲ輸入又ハ移入シタルトキハ遲滯ナク其ノ寶買契約書寫ヲ添附シ輸入又ハ移入ノ年月日ヲ朝鮮總督ニ屆出ヅベシ

第五條　本令ノ規定ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類ハ明治四十三年朝鮮總督府令第五號ノ規定ニ拘ラズ朝鮮總督府遞信局長ヲ經由スベシ

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　許可ヲ受ケズシテ船舶ヲ輸入又ハ移入シタル者

第二條ノ申請書ニ虛僞ノ事實ヲ記載シ又ハ第三條ノ規定ニ依リ附シタル許可ノ條件ニ違反シタル者

三　第三條ノ規定ニ依リ附シタル許可ノ條件ニ違反シタル者

●船舶輸入許可規則

第十八輯　交通　電氣附瓦斯　第二章　運輸　第五款　船舶

四　第四條ノ規定ニ依ル屆出ヲ爲サズ又ハ虛僞ノ屆出ヲ爲シタル者

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル等ノ件

大正十三年八月
勅令第百九十一號

改正　昭和六年三月第九七號

陝大正十三年法律第二號大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル等ノ件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

大正十三年法律第二號ハ朝鮮、臺灣及樺太ニ之ヲ施行ス

關東州及南洋群島ニ於テハ大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約及昭和六年條約第一號千九百三十年「ロンドン」海軍條約ノ實施ニ關シテハ前項ノ法律ニ依ル

附　則

本令ハ大正十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年五月勅令第九十七號）

本令ハ昭和六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル件

大正十三年七月
法律第二號

改正　昭和六年三月法律第一二號

陝帝國議會ノ協賛ヲ經タル大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　左ニ揭グル行爲ハ主務大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

一　軍艦ヲ建造又ハ改裝スルコト

二　船舶ヲ軍艦ニ變更スルノ目的ヲ以テ之ニ武裝ヲ施シ又ハ武裝ヲ施スノ準備ヲ爲スコト

三　第四條ノ規定ニ依リ附シタル許可ノ條件ニ違反シタル者

主務大臣ハ大正十二年條約第二號海軍軍備制限ニ關スル條約及昭和六年條約第一號千九百三十年「ロンドン」海軍條約ノ規定ニ依リ義務ヲ履行スル爲必要アリト認ムル場合ニ於テハ前項ノ許可ヲ爲サザルコトヲ得

第二條　當該官吏ハ必要アリト認ムルトキハ前條ニ揭グル事項ニ關シ調査ヲ爲シ爲造船所、工場、軍艦、船舶其ノ他必要ナル場所ニ立入リ若ハ檢査ヲ爲シ又ハ關係者ニ對シ調査資料ノ提供ヲ命ジ若ハ併テ之ヲ得

第三條　第一條第一項ノ規定ニ違反シタル者又ハ同條同項ノ許可ノ條件ニ違反シタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第四條　第二條ノ規定ニ依ル官吏ノ職務ノ執行ヲ拒ミ妨ケ若ハ忌避シ、調査資料ノ提供ヲ爲サス若ハ虛僞ノ調査資料ヲ提供シ又ハ供述ヲ拒ミ若ハ虛僞ノ供述ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（大正十三年八月勅令第百九十一號ヲ以テ大正十三年九月一日ヨリ施行）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年三月法律第一號）

附　則（昭和六年三月法律第一號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和六年五月勅令第九十七號ヲ以テ昭和六年六月一日ヨリ施行）

●臨時船舶管理法

昭和十二年九月
法律第九十三號

陝帝國議會ノ協賛ヲ經タル臨時船舶管理法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

臨時船舶管理法

第一條　本法ハ支那事變ニ關聯シ海上ニ於ケル一般交通輸入調整ヲ圖ルヲ目的トス

第二條　本法ニ於テ運航業者トハ帝國臣民又ハ帝國法人ニシテ海上ニ於テ人又ハ物ヲ運送スル事業ヲ營ム者ヲ謂フ

第三條　日本船舶ハ命令ヲ以テ定ムルモノヲ除クノ外之ヲ日本船舶（關東州ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム）ヲ所有スルコ

トヲ得ザル者ニ譲渡シ、貸渡シ（期間傭船ヲ含ム）、擔保ニ供シ又ハ引渡サントスルトキハ政府ノ許可ヲ受クベシ

前項ノ規定ハ製造中ノ船舶ニ之ヲ準用ス

第四條　日本船舶ヲ所有スルコトヲ得ル者ハ本船舶（關東州ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム）ニ非ザル船舶ヲ取得セントスルトキハ政府ノ許可ヲ受クベシ但シ命令ヲ以テ定ムル船舶ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ許可ニハ條件ヲ附スルコトヲ得

第五條　政府ハ運航業者ニ對シ外國傳習所ノ運送ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第六條　政府ハ運航業者ニ對シ航路、就航區域又ハ運送スベキ人若ハ物ヲ指定シテ航海ヲ命ズルコトヲ得

第七條　政府ハ運航業者、船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ運賃、船舶ノ貸貸料（期間傭船料ヲ含ム）又ハ其ノ製造若ハ買買ノ價格ニ關シ必要ト認ムル命令ヲ爲スコトヲ得

第八條　政府ハ造船業者ニ對シ船舶ノ製造順位ノ變更、材料又ハ艤裝品ノ取得ノ調整其ノ他船舶ノ製造ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第九條　政府ハ運航業者又ハ船舶所有者ニ對シ船舶ノ施設又ハ乘組員ノ保護若ハ整備ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十條　政府ハ運航業者、船舶所有者又ハ造船業者ニ對シ其ノ業務ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條　政府ハ遠洋航路補助法ニ依ル補助航海ニ使用スル船舶ノ資格ニ付命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十二條　政府ハ船舶職員法ニ依リ船舶ニ乘組マシムベキ船舶職員ノ定員又ハ其ノ免狀ノ種類ニ付命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第十三條　第七條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲サントスルトキハ船舶管理委員會ノ議ヲ經ベシ

船舶管理委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條　第三條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ日本船舶ヲ讓渡シ、貸渡シ（期間傭船ヲ含ム）、擔保ニ供シ又ハ引渡シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ三千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第四條第一項ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズシテ船舶ヲ取得シタル者

二　第四條第二項ノ規定ニ依リ附シタル條件ニ違反シタル者

三　第五條ノ規定ニ依ル禁止又ハ制限ニ違反シタル者

四　第六條又ハ第七條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第十六條　第八條又ハ第九條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條　第十條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ又ハ虚僞ノ報告ヲ爲シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條　運航業者、船舶所有者又ハ造船業者ハ支配人其ノ他ノ代理人又ハ船長其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基ク命令ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第十九條　本法又ハ本法ニ基ク命令ニ依リ運航業者、船舶所有者又ハ造船業者ニ適用スベキ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ督業ニ關シ成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十條　前二條ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ニ處スルコトヲ得ズ

第二十一條　本法ノ罰則ハ本法施行地ニ本店又ハ主タル事務所ヲ有スル法人ノ代表者、代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ之ヲ適用ス本法施行地ニ住所ヲ有スル人又ハ其ノ代理人、使用人其ノ他ノ從業者ガ本法施行地外ニ於テ爲シタル行爲ニモ亦同ジ

第二十二條　本法及本法ニ基ク命令中船舶所有者ニ關スル規定ハ船舶共有ノ場合ニ在リテハ船舶管理人ヲ置キタルトキハ船舶管理人ニ之ヲ適用ス

第二十三條　朝鮮及臺灣ニ於テハ第十一條乃至第十三條ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十二年九月勅令第五百五十一號ヲ以テ昭和十二年十月一日ヨリ施行）

本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス

●朝鮮及臺灣ニ於ケル臨時船舶管理法ノ特例等ニ關スル件

昭和十二年九月
勅令第五百五十二號

陸朝鮮及臺灣ニ於ケル臨時船舶管理法ノ特例等ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

第一條　臨時船舶管理法第十一條及第十三條ノ規定ハ朝鮮及臺灣ニ於テハ之ヲ適用セズ

同法第十二條中船舶職員法トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮船舶職員令トス

第二條　朝鮮總督又ハ臺灣總督臨時船舶管理法第三條乃至第七條ノ規定ニ依ル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲サントスルトキハ遞信大臣ニ協議スベシ

附　則

本令ハ昭和十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮臨時船舶管理法施行規則

昭和十二年九月
總令第百四十八號

朝鮮臨時船舶管理法施行規則左ノ通定ム

朝鮮臨時船舶管理法施行規則

第一條　臨時船舶管理法第四條ノ規定ニ依リ船舶ノ種類及名稱ヲ定ムルニハ左ノ事項ヲ調査スベシ

一　船舶ノ種類及名稱
二　國籍及所有者
三　總噸數
四　機關ノ種類及數
五　航海速力
六　造水年月
七　製造者ノ氏名又ハ名稱
八　使用ノ目的
九　購入見込價格其ノ他ノ取得ノ條件
十　取得ノ豫定期日
十一　船舶ノ所在地

前項ノ許可ヲ受ケタル者船舶ヲ取得シタルトキハ遲滯ナク其ノ契約書其ノ他船舶ノ取得ニ關スル書類ノ寫ヲ添ヘ取得年月日ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第三條　總噸數二十噸未滿ノ船舶ニ付テハ臨時船舶管理法第三條及第四條ノ規定ニ依ル許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第四條　臨時船舶管理法第四條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル船舶ニ付テハ船舶輸入許可規則ニ依ル許可ヲ受クルコトヲ要セズ

第五條　運航業者ハ定期航路ニ使用スル船舶ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル届出ノ外左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添ヘ之ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

一　船舶ノ種類及名稱
二　船舶ノ種類及數
三　船舶ノ種類及資格、擾關ノ種類、計畫總噸數、計畫馬力、計畫速力竝ニ艤工豫定年月日

第二條　臨時船舶管理法第四條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ遞信大臣ニ届出スベシ

一　船舶ノ種類及名稱
二　國籍及所有者
三　總噸數
四　機關ノ種類及數
五　航海速力
六　造水年月
七　製造者ノ氏名又ハ名稱
八　使用ノ目的
九　購入見込價格其ノ他ノ取得ノ條件
十　取得ノ豫定期日
十一　船舶ノ所在地

前項ノ許可ヲ受ケタル者ハ遲滯ナク其ノ契約書ノ寫ヲ添ヘ取得年月日ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第三條　總噸數千噸以上ノ船舶ノ入渠ノ設備ヲ有スル造船業者ハ船舶ノ修繕ニ要スル鋼材ノ三月、六月、九月及十二月ノ各月末ニ於ケル狀況ニ付各翌月七日迄ニ第七號書式ニ依ル修繕用鋼材報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第四條　總噸數千噸以上ノ船舶ノ入渠ノ設備ヲ有スル造船業者ハ船舶ノ製造ニ要スル材料及艤裝品ノ毎月末ノ狀況ニ付翌月七日迄ニ第六號書式ニ依ル製造用材料艤裝品報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第五條　總噸數千噸以上ノ船舶ノ入渠ノ設備ヲ有スル造船業者ハ船舶ノ製造ニ要スル鋼材ノ三月、六月、九月及十二月ノ各月末ニ於ケル狀況ニ付各翌月七日迄ニ第七號書式ニ依ル修繕用鋼材報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第六條　運航業者ハ不定期航海ニ使用スル船舶ニ付第二號書式ニ依ル毎旬ノ不定期船運航報告書ヲ翌旬第五日迄ニ遞信大臣ニ提出スベシ

第七條　運航業者定期航路ニ關スル運賃率表ヲ設定セントスルトキハ當該運賃率表ヲ添ヘ豫メ遞信大臣ニ届出ヅベシ運賃率表ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第八條　運航業者船舶ヲ貸借（期間傭船ヲ含ム）シタルトキハ契約成立後遲滯ナク其ノ契約書ノ寫ヲ遞信大臣ニ提出スベシ但シ海事資源調査規則第十六條ノ二ノ規定ニ依リ報告書ヲ提出スベキ船舶ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第九條　船舶所有者其ノ所有スル船舶ヲ廢却シタルトキハ契約成立後遲滯ナク廢賣契約書ノ寫ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第十條　第五條、第六條及前二條ノ規定ハ國庫ヨリ費用ヲ補助スル航路ニシテ遞信大臣ノ命令ニ依ルモノニ使用スル船舶、平水區域又ハ沿海區域ヲ航行區域トスル旅客船及總噸數五百噸未滿ノ船舶ニハ之ヲ適用セズ

第十一條　造船業者總噸數千噸以上ノ船舶ヲ製造セントスルトキハ契約ニ依ル場合ニ在リテハ契約成立後、其ノ他ノ場合ニ在リテハ製造計畫確定後遲滯ナク第三號書式ニ依ル製造計畫報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ既ニ提出シタル報告書ノ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

第十二條　造船業者總噸數千噸以上ノ船舶ニ付龍骨ヲ据付ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ但シ船員法施行規則第八十九條第八項但書ノ規定ニ依リ報告シタル定ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　乘組員ガ非常ノ爲危險ナル航海ニ從事スル場合ニ於ケル特別ナル手當及傷病又ハ死亡ニ對スル扶助

二　乘組員ガ兵役ニ召集セラレタル場合ニ於ケル給與

三　乘組員ノ休暇又ハ教習及休暇又ハ教習期間中ニ於ケル給與

前項ノ規定ニ依ル届出ハ運航業者又ハ船舶所有者ノ闇雞ニ於テ運航業者又ハ船舶所有者ニ代リテ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル届出ハ所轄管海官廳ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第十三條　造船業者總噸數千噸以上ノ船舶ニ付龍骨ヲ据付ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第十四條　造船業者總噸數千噸以上ノ船舶ヲ製造スル場合ニ於テハ製造計畫確定後當該船舶ノ製造ニ要スル材料及艤裝品報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第十五條　總噸數千噸以上ノ船舶ノ修繕ヲ有スル造船業者ハ船舶ノ修繕ニ要スル鋼材ノ三月、六月、九月及十二月ノ各月末ニ於ケル狀況ニ付各翌月七日迄ニ第七號書式ニ依ル修繕用鋼材報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第十六條　前五條ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ提出スベキ報告書ハ當該船舶ノ製造又ハ入渠ノ設備ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由スベシ

第十七條　運航業者又ハ船舶所有者ハ沿海區域、近海區域又ハ遠洋區域ヲ航行スル船舶（漁船ニ在リテハ第二種又ハ第三種ノ從業制限ヲ有スルモノ）ノ乘組員ニ關シ左ニ掲グル事項ニ付定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ但シ船員法施行規則第八十九條ノ規定ニ依リ報告シタル定ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　乘組員ガ非常ノ爲危險ナル航海ニ從事スル場合ニ於ケル特別ナル手當及傷病又ハ死亡ニ對スル扶助

二　乘組員ガ兵役ニ召集セラレタル場合ニ於ケル給與

三　乘組員ノ休暇又ハ教習及休暇又ハ教習期間中ニ於ケル給與

前項ノ規定ニ依ル届出ハ運航業者又ハ船舶所有者ノ闇雞ニ於テ運航業者又ハ船舶所有者ニ代リテ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル届出ハ所轄管海官廳ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第十八條　運航業者又ハ船舶所有者ハ船舶ニ付住航又ハ復航毎ニ第一號書式ニ依ル定期運航報告書ヲ當該住航又ハ復航ヲ終リタル後遲滯ナク遞信大臣ニ提出スベシ

第六條　運航業者ハ不定期航海ニ使用スル船舶ニ付第二號書式ニ依ル毎旬ノ不定期船運航報告書ヲ翌旬第五日迄ニ遞信大臣ニ提出スベシ

第七條　運航業者定期航路ニ關スル運賃率表ヲ設定セントスルトキハ當該運賃率表ヲ添ヘ豫メ遞信大臣ニ届出ヅベシ運賃率表ヲ變更セントスルトキ亦同ジ

第八條　運航業者船舶ヲ貸借（期間傭船ヲ含ム）シタルトキハ契約成立後遲滯ナク其ノ契約書ノ寫ヲ遞信大臣ニ提出スベシ但シ海事資源調査規則第十六條ノ二ノ規定ニ依リ報告書ヲ提出スベキ船舶ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第九條　船舶所有者其ノ所有スル船舶ヲ廢却シタルトキハ契約成立後遲滯ナク廢賣契約書ノ寫ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第十條　第五條、第六條及前二條ノ規定ハ國庫ヨリ費用ヲ補助スル航路ニシテ遞信大臣ノ命令ニ依ルモノニ使用スル船舶、平水區域又ハ沿海區域ヲ航行區域トスル旅客船及總噸數五百噸未滿ノ船舶ニハ之ヲ適用セズ

第十一條　造船業者總噸數千噸以上ノ船舶ヲ製造セントスルトキハ契約ニ依ル場合ニ在リテハ契約成立後、其ノ他ノ場合ニ在リテハ製造計畫確定後遲滯ナク第三號書式ニ依ル製造計畫報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ既ニ提出シタル報告書ノ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキ亦同ジ

第十二條　造船業者總噸數千噸以上ノ船舶ニ付龍骨ヲ据付ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ但シ船員法施行規則第八十九條第八項但書ノ規定ニ依リ報告シタル定ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　乘組員ガ非常ノ爲危險ナル航海ニ從事スル場合ニ於ケル特別ナル手當及傷病又ハ死亡ニ對スル扶助

二　乘組員ガ兵役ニ召集セラレタル場合ニ於ケル給與

三　乘組員ノ休暇又ハ教習及休暇又ハ教習期間中ニ於ケル給與

前項ノ規定ニ依ル届出ハ運航業者又ハ船舶所有者ノ闇雞ニ於テ運航業者又ハ船舶所有者ニ代リテ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル届出ハ所轄管海官廳ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第十三條　造船業者總噸數千噸以上ノ船舶ニ付龍骨ヲ据付ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ

第十四條　造船業者總噸數千噸以上ノ船舶ヲ製造スル場合ニ於テハ製造計畫確定後當該船舶ノ製造ニ要スル材料及艤裝品報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第十五條　總噸數千噸以上ノ船舶ノ修繕ヲ有スル造船業者ハ船舶ノ修繕ニ要スル鋼材ノ三月、六月、九月及十二月ノ各月末ニ於ケル狀況ニ付各翌月七日迄ニ第七號書式ニ依ル修繕用鋼材報告書ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

第十六條　前五條ノ規定ニ依リ遞信大臣ニ提出スベキ報告書ハ當該船舶ノ製造又ハ入渠ノ設備ノ所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由スベシ

第十七條　運航業者又ハ船舶所有者ハ沿海區域、近海區域又ハ遠洋區域ヲ航行スル船舶（漁船ニ在リテハ第二種又ハ第三種ノ從業制限ヲ有スルモノ）ノ乘組員ニ關シ左ニ掲グル事項ニ付定ヲ爲シタルトキハ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ但シ船員法施行規則第八十九條第八項但書ノ規定ニ依リ報告シタル定ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

一　乘組員ガ非常ノ爲危險ナル航海ニ從事スル場合ニ於ケル特別ナル手當及傷病又ハ死亡ニ對スル扶助

二　乘組員ガ兵役ニ召集セラレタル場合ニ於ケル給與

三　乘組員ノ休暇又ハ教習及休暇又ハ教習期間中ニ於ケル給與

前項ノ規定ニ依ル届出ハ運航業者又ハ船舶所有者ノ闇雞ニ於テ運航業者又ハ船舶所有者ニ代リテ之ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ニ依ル届出ハ所轄管海官廳ヲ經由シテ之ヲ爲スベシ

第十八條　運航業者又ハ船舶所有者ハ船舶ニ付住航又ハ復航毎ニ第一號書式ニ依ル定期

第一號書式

定期船運航報告書(往復航)

運航業者住所及氏名又ハ名稱					
船名(1)		總噸數		重量噸數	
航路名					
運航狀況(2)	起點地	發月日	終點地	著月日	

貨物	本邦外國間及本邦諸港間	積荷總數量(內輸出入貨物ノ分)(4)			總運賃概算額(3)(內輸出入貨物ノ分)(4)	
		噸			圓	
		(噸)			(圓)	
		主要貨物名(5)	數量	積地	揚地	運賃率	運賃概算額(3)
			噸				圓
	外國諸港間	積荷總數量			總運賃概算額(3)	
		噸			圓	
		主要貨物名(5)	數量	積地	揚地	運賃率	運賃概算額(3)
			噸				圓
旅客		旅客員數			運賃概算額(3)		
	本邦乘(下)船旅客	人			圓		
	外國諸港間乘船旅客	人			圓		
備考(6)							

記載心得

(1) 運航業者ノ所有船ニ非ザルモノハ裸傭船、定期傭船、扱船、委託船等ノ種別ニ從ヒ其ノ旨附記スベシ
(2) 運航狀況ハ定期表ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
(3) 外貨建收入運賃ハ積荷港發港當日ニ於ケル公定爲替相場ニ依リ換算スベシ
(4) 輸出入貨物トハ本邦(關東州ヲ含ム)ト外國間ニ輸送セラルル貨物ヲ謂フ
(5) 主要貨物ニ付記載スルノ外オープン貨物其ノ他運賃率表ト異リタル運賃ヲ課徵シタル貨物ニ付テハ總テ之ヲ記載スベシ
(6) 當該船舶ノ運航ニ關シ檢査、入渠、繫船等特殊ノ事情アラバ之ヲ記載スベシ

第二號書式

不定期船運航報告書(年　月上中下旬分)

運航業者住所及氏名又ハ名稱										
船名(1)		總噸數			重量噸數					
運航狀況 ＼ 積荷狀況	寄港地名	發著日	積荷			揚荷			運賃率及運賃額(2)	
			品名	噸數	揚地	品名	噸數	積地		
本旬前ノ最終寄港地				噸			噸		圓	
本旬中ノ運航狀況				噸			噸		圓	
翌旬以後ノ運航狀況				噸			噸		圓	
備考(3)										

記載心得

(1) 運航業者ノ所有船ニ非ザルモノハ裸傭船、定期傭船、扱船、委託船等ノ種別ニ從ヒ其ノ旨附記スベシ
(2) 外貨建收入運賃ハ積荷港發航當日ニ於ケル公定爲替相場ニ依リ換算スベシ
(3) 當該船舶ノ運航ニ關シ檢査、入渠、繫船等特殊ノ事情アラバ之ヲ記載スベシ

第三號書式

製造計畫報告書

造船所名及其ノ所在地名					
製造番號		船種及船質		構造種類	
注文者		計畫總噸數		機關ノ種類及數	
使用豫定ノ船臺番號		計畫載貨重量		計畫馬力	
契約年月日		L×B×D(米)		計畫速力	
豫定年月日	龍骨據附		滿載吃水(米)		機關製造者
	進水		用途		就航豫定航路
	竣工		旅客定員		備考

製造價格

種目＼價格	製造價格	製造價格中ノ外注品價格	備考
船體			
機關		半成品 完成品	
艤裝			
合計			

第六號書式

製造用材料艤裝品報告書

造船所名及其ノ所在地名					
製造番號		計畫總噸數		龍骨据附年月日	
注文者		船舶ノ用途		竣工豫定年月日	

鐵鋼材ノ種類及數量

種類＼數量	全所要重量		引取重量		引取手配濟重量		引取手配未了重量		備考
	內國製	外國製	內國製	外國製	內國製	外國製	內國製	外國製	
鋼板	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	瓲	
形鋼									
棒鋼									
鑢用鋼板									
銑鐵									
大形鍛鋼									
合計									

外國ニ注文ヲ要スル機關、機關部分品及艤裝品ノ種類及數量

種類	所要數量	引取數量	備考

記載心得

一、第二回以後ノ報告書ニ於テハ全所要重量欄ニハ特ニ變更ナキ場合ハ合計重量ノミヲ、其ノ他ノ重量欄ニハ前回報告重量ト累計シ又ハ差引シタル重量ヲ記入スベシ

二、外國ニ注文ヲ要スル機關、機關部分品及艤裝品ノ種類及數量表中備考欄ニハ製造地、製造者名、價格、引取豫定年月日及當該品ノ輸入ヲ必要トスル事由ヲ記入スベシ

三、第二回以後ノ報告書ニ於テハ外國ニ注文ヲ要スル機關、機關部分品及艤裝品ニ付テハ特ニ變更アリタル場合ヲ除クノ外之ガ記入ヲ要セズ

第七號書式

修繕用鋼材報告書

造船所名及其ノ所在地名				
種類＼數量	在庫品ノ重量	引取手配濟鋼材ノ重量		備考
		內國製	外國製	
鋼板	瓲	瓲	瓲	
形鋼				
棒鋼				
合計				

記載心得

一、仕入船ニ付テハ製造計畫確定年月日ヲ契約年月日欄ニ記入スベシ

二、船種及船質欄ニハ「汽船、鋼」ノ如ク記入スベシ

三、用途欄ニハ「貨物船」、「貨客船」、「油槽船」又ハ「漁船」ノ如ク記入シ尙特殊用途ノモノハ當該用途ヲ記入スベシ

四、構造種類欄ニハ「重構船」、「輕構船」又ハ「遮浪甲板船」ノ如ク記入スベシ

五、機關ノ種類及數欄ニハ汽機ニ在リテハ「二聯成」、「三聯成」、「廢汽タービン附三聯成」又ハ「タービン」、發動機ニ在リテハ「デイーゼル」又ハ「撓球」、汽罐ニ在リテハ「筒形」、「水管附筒形」又ハ「水管」ノ如ク記入スベシ

六、計畫馬力欄ニハ往復動汽機ニ在リテハ實馬力、「タービン」汽機及發動機ニ在リテハ軸馬力ニ依ル正常最大馬力ヲ記入スベシ

七、計畫速力欄ニハ試運轉ニ於ケル正常最大馬力ニ對スル速力ヲ記入スベシ

八、機關製造者ガ船體ノ製造者ト同一ナルトキハ當該欄ニ斜線ヲ施スベシ

九、報告書ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ本書式ノ表題ニ（變更事項）ト記入シ造船所名、製造番號、計畫總噸數及變更事項ノミヲ記入スベシ

第四號書式

龍骨据附　進水報告書

造船所名及其ノ所在地名					
製造番號		船名		龍骨据附年月日	
注文者		計畫總噸數		進水年月日	
使用船臺番號		用途		竣工豫定年月日	
備考					

記載心得

一、龍骨据附又ハ進水ニ應ジ表題ヲ適宜抹消スベシ

二、進水報告ニ付テハ使用船臺番號欄及龍骨据附年月日欄ニ斜線ヲ施スベシ

第五號書式

竣工報告書

造船所名及其ノ所在地名					
製造番號		用途	公試運轉	執行年月日	
注文者		竣工總噸數		速力	
船名		載貨重量		馬力	
引渡年月日		機關ノ種類及數		載貨狀態及排水噸數	
備考				載貨吃水	船首 米 船尾 米

記載心得

一、速力欄ニハ公試運轉ニ於ケル標柱間一往復ノ平均速力中最大ナルモノヲ記入スベシ

二、馬力欄ニハ前號ニ依ル速力ニ相當スル馬力數ヲ往復動汽機ニ在リテハ實馬力、「タービン」汽機及發動機ニ在リテハ軸馬力ニ依リ記入スベシ

三、正常最大馬力ニ對シ速力ヲ計測シタルトキハ其ノ馬力及速力ヲ當該欄ニ附記シ之ニ括弧ヲ附スベシ

第六款　船員　水先人

●潮解船員令

朝鮮船員令ハ明治三十三年勅令第二百八十一号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十年勅令第三百八十九号ヲ以テ改正シタリ

●船員法

船員法ハ大正十年法律第三十九号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年法律第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員職業紹介法

船員職業紹介法ハ大正十一年法律第五十二号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年法律第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律

船員ノ最低賃金ニ関スル法律ハ大正十一年法律第五十三号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年法律第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ハ大正十一年勅令第三百八十九号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年勅令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ハ大正十一年逓信省令第二十三号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第二十四号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第二十五号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第二十六号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第二十七号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第二十八号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第二十九号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十一号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十二号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十三号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十四号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十五号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十六号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十七号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十八号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第三十九号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第四十号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第四十一号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第四十二号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第四十三号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行令ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第四十四号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

●船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件

船員ノ最低賃金ニ関スル法律施行規則ニ依リ最低賃金ヲ定ムル件ハ大正十一年逓信省令第四十五号ヲ以テ公布シ同年十月一日ヨリ施行シタルモノニシテ其ノ後大正十一年逓信省令第五十一号ヲ以テ改正シタリ

第六章　懲則

第四十九條　船舶所有者又ハ船長ガ第四條ノ規定ニ違反シ十五歳未滿ノ者ヲ船員トシテ使用シタルトキ又ハ第五條ノ規定ニ違反シ健康證明書ヲ有セザル者ヲ船員トシテ使用シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　詐僞其ノ他ノ不正行爲ヲ以テ船員手帳ノ交付、訂正又ハ背換ヲ受ケタル者

二　詐僞其ノ他ノ不正行爲ヲ以テ船員ノ雇入契約ニ關スル公認ヲ受ケタル者

三　他人ノ船員手帳ヲ行使シタル者

第五十一條　船長ガ船內ニ在ルモノニ對シ其ノ職權ヲ濫用シ又ハ虐待ヲ爲シタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十二條　船長ガ第九條ノ規定ニ違反シ船舶ヲ去リタルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

第五十三條　船長ガ第十條ノ規定ニ違反シ人命又ハ船舶ノ救助ニ必要ナル手段ヲ盡サザルトキハ三年以下ノ懲役又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十四條　船長ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第十一條ノ規定ニ違反シ人命ノ救助ニ必要ナル手段ヲ盡サザルトキ

二　正當ノ事由ナクシテ船舶ヲ遺棄シタルトキ

三　正當ノ事由ナクシテ外國ニ於テ海員ヲ遺棄シタルトキ

第五十五條　船長ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　第八條ノ規定ニ違反シ自ラ船舶ヲ指揮セザルトキ

二　第十條ノ規定ニ違反シ告知ヲ爲サザルトキ

三　第十四條第一項ノ規定ニ違反シ送還命令ヲ拒ミタルトキ

四　第十五條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サザリシトキ

第五十六條　船長ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　必要ナル手段ヲ盡サザルトキ

二　正當ノ事由ナクシテ船舶ヲ遺棄シタルトキ

第五十七條　海員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　船舶ニ急迫ノ危險アル場合ニ於テ船長ノ許可ヲ得ズシテ之ヲ去リタルトキ

二　第九條乃至第十一條ニ規定スル場合ニ於テ船長ガ人命、船舶又ハ積荷ノ救助ニ必要ナル手段ヲ爲ス爲メ當リ上長ノ命ニ服務セザルトキ

三　第二十三條第三項ニ規定スル場合ニ於テ人命、船舶又ハ積荷ノ應急救助ノ爲必要ナル勞務ニ服セザルトキ

第五十八條　海員ガ上長ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ爲シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第五十九條　海員ガ船舶ヲ棄テ人命又ハ船舶ノ救助ニ必要ナル手段ヲ爲スニ當リ上長ノ命ニ服セザルトキハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ船員ガ勞務ヲ拒絕シテ勞務ヲ中止シ又ハ作業ニ適行ヲ阻害シタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　船舶ガ外國ノ港ニ在ルトキ

二　人命又ハ船舶ニ直接ノ危險ヲ及ボス虞アルトキ

三　船員又ハ其ノ代表者ガ相手方ニ對シ爭議事項ニ關シ交渉ヲ開始シタル後一週間ヲ經過シ且二十四時間前ニ豫告ヲ爲シタルニ非ザルトキ

第六十一條　船舶所有者ガ第二十條乃至第二十二條、第二十九條又ハ第三十條ノ規定ニ違反シテ發スル勅令ニ違反シタルトキハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第六十二條　船舶所有者又ハ乘組員ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　管海官廳ノ命令ニ違反シ書類帳簿ノ提出ヲ爲サズ又ハ報告ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ報告ヲ爲シタルトキ

二　管海官廳ノ呼出ニ應ゼズ又ハ管海官廳若ハ管海官廳ノ吏員ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛僞ノ陳述ヲ爲シタルトキ

三　當該官吏ノ臨檢ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ

四　第四十二條第二項ニ規定スル管海官廳ノ處分ニ違反シタルトキ

第六十三條　本章中船長ニ適用スベキ規定ハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者アル場合ニ於テハ其ノ者ニ之ヲ適用ス

第六十四條　船舶所有者ハ其ノ代理人、雇人其ノ他ノ從業者ニ第二十條乃至第二十二條、第二十九條又ハ第三十條ノ規定ニ悖キテ發スル勅令ニ違反スル所爲アリタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第六十五條　船舶所有者ガ未成年者若ハ禁治產者ナル場合又ハ法人ナル場合ニ在リテハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依リ其ノ者ニ適用スベキ刑則ハ其ノ法定代理人又ハ法令ニ依リ法人ヲ代表スル者ニ之ヲ適用ス

前項ノ場合ニ於テハ懲役ノ刑ニ處スルコトヲ得ズ

第六十六條　本法及本法ニ基キテ發スル命令中船舶所有者ニ適用スベキ規則ハ國又ハ北海道、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ニハ之ヲ適用セズ

附　則

第六十七條　本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和十三年三月勅令第百三十四號ヲ以テ昭和十三年三月二十八日ヨリ施行）

第六十八條　船員ニ關スル舊年齡法ハ之ヲ廢止ス

船舶安全法第二十八條中「遭難者救助」ヲ削ル

商法第五百七十五條及第五編第二章第二節ハ之ヲ削除シ但シ商法其ノ他ノ法令ノ規定ノ適用上之ニ依ルベキ場合ニハ於テハ仍其ノ效力ヲ有ス

第六十九條　本法施行前ニ生ジタル事項ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル但シ刑法第六條ノ規定ノ適用ヲ妨ゲズ

第七十條　本法施行ノ際現ニ船員トシテ使用セラルル十四歲以上十五歲未滿ノ者ヲ本法施行後引續キ使用スル場合ニ於テハ第四條ノ規定ヲ適用セズ

第七十一條　第一條第一項各號ニ揭グル船舶ノ乘組員ノ監督ニ關シ地方長官ノ設ケタル規則ニシテ本法施行ノ際現ニ存スルモノハ本法ニ依リテ主務大臣ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

●朝鮮船員令施行規則

昭和十三年三月
總令第三十二號

朝鮮船員令施行規則左ノ通改正ス

第一條　朝鮮船員令ノ施行ニ關シテハ本令ニ規定スルモノヲ除クノ外船員法施行令及昭和十三年遞信省令第二十一號船員法施行規則（以下單ニ船員法施行規則ト稱ス）ニ依ル但シ船員法施行令第二十八條、第三十二條及第三十三條ノ規定、船員法施行規則第八條第三項、第二十八條第三項、第九十二條、第九十五條、第百八條及第百十二條ノ規定竝ニ船員法施行規則第十一條及第十三條中第八條第三項ニ關スル規定ハ此ノ限ニ在ラズ

船員法施行令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和十三年三月二十八日

勅令第百三十五號

陸船員法施行令

船員法施行令

第一條　船員法第一條第二項第三號ノ乘組員ニ左ニ揭グル者トス

一　船內ノ通信官署ニ勤務スル者

二　母船式漁業ニ使用スル母船ニ乘組ミ專ラ漁撈若ハ漁獲物ノ加工其ノ他ノ處理又ハ之ニ關スル庶務ニ從事スル者

三　教習船ニ乘組ミ教習ヲ受クル者

第二條　同一ノ家庭ニ屬スル者ノミヲ使用スル船舶ニ於テハ十五歲未滿ノ者ヲ船員トシテ使用スルコトヲ得

第三條　十八歲以上ノ者ヲ石炭夫又ハ火夫トシテ雇入ルルコト能ハザル港ニ於テハ十六歲以上ノ者ヲ、十八歲以上ノ者ヲ以テ之ニ代ヘ十六歲以上ノ者二人ヲ雇入ルルコトヲ要ス

專ラ日本各港間ヲ航行スル船舶ニシテ總噸數二千噸ヲ超エザルモノニ於テハ十六歲以上ノ者ヲ、漁船ニ於テハ十五歲以上ノ者ヲ石炭夫又ハ火夫トシテ使用スルコトヲ得

第四條　漁船及同一ノ家庭ニ屬スル者ノミヲ使用スル船舶ノ船員ハ船員法第五條ノ健康證明書ヲ有セザル者ヲ船員トシテ使用スルコトヲ得

第五條　緊急已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ船員法第五條ノ健康證明書ヲ有セザル者前項ノ場合ニ於テハ船長ハ最初ノ到着港ニ於テ健康證明書ヲ得シムルノ手續ヲ爲スコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得ザル事由アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第六條　船長ハ無線電信ニ依ル遭難信號ヲ接受シタルトキト雖モ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遭難者ノ救助ニ赴クコトヲ要セズ

一　遭難者ノ所在ニ到着シタル船舶ヨリ救助ノ必要ナキ旨ノ通報アリタルトキ

二　遭難船舶ノ船長ガ遭難信號ニ應答シタル船舶中適當ト認ムル船舶ニ救助ヲ求メタル場合ニ於テ救助ヲ求メラレタル船舶ノ全部ヨリ救助ニ赴ク旨ノ通報アリタルトキ

三　已ムコトヲ得ザル事由ニ因リ救助ニ赴クコト能ハズ又ハ特殊ノ事情ニ因リ救助ニ赴クコトノ不相當若ハ不必要ト認メラルル場合ニ於テ其ノ旨ヲ直ニ遭難船舶ノ船長ニ通報シタルトキ

第七條　船舶所有者ハ海員ノ給料及手當ヲ船內ニ於テ支拂フトキハ船長ヲシテ當該海員ニ對シ直接之ヲ支拂ハシムルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ管海官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ船長以外ノ職員ヲシテ之ヲ支拂ハシムルコトヲ得

第八條　船舶所有者ハ海員ノ請求アリタルトキハ給料及手當ノ全部又ハ一部ヲ支拂フコトヲ要ス

第九條　船舶所有者ハ海員ノ雇入契約ガ終了シタル場合又ハ遞信大臣ノ定ムル場合ニ於テ權利者ノ請求アリタルトキハ遲滯ナク給料及手當ヲ支拂フコトヲ要ス

第十條　船舶所有者ハ其ノ費用ヲ以テ遞信大臣ノ定ムル食料表ニ依ル食料ヲ海員ニ支給スルコトヲ要ス但シ漁船、沿海區域ヲ航行スル船舶又ハ總噸數千噸未滿ノ船舶ノ海員ニ支給スル食料ハ當該食料表ニ依ラザルモノナルコトヲ妨ゲズ

第十一條　遠洋區域ヲ航行スル船舶ニシテ最大搭載人員百人ヲ超エルモノニハ醫師ヲ乘組マシムルコトヲ要ス但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ管海官廳ノ許可ヲ受ケタルトキハ期間ヲ限リ之ヲ乘組マシメザルコトヲ得

第十二條　遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル船舶ニハ選信大臣ノ定ムル醫藥其ノ他ノ衞生用品及醫療書ヲ備フルコトヲ要ス

第十三條　前二條ノ規定ハ漁船ニハ之ヲ適用セズ

第十四條　海員ガ雇入契約存續中疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタルトキハ船舶所有者ハ其ノ費用ヲ以テ療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔スルコトヲ要ス但シ療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔シタル期間ガ三月ニ及ブモ疾病又ハ傷痍ガ治癒セザルトキハ以後療養ヲ施シ又ハ療養ニ必要ナル費用ヲ負擔スルコトヲ要セズ

海員ガ職務ヲ行フニ因リ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル場合ニ於テ疾病又ハ傷痍ニ付海員ニ故意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ前項ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十五條　海員ガ其ノ職務ヲ行フニ因リ疾病ニ罹リ又ハ傷痍ヲ受ケタル後雇入契約終了シタルトキハ船舶所有者ハ海員ノ雇入契約終了後ト雖モ前條ノ規定ニ依リ其ノ費用ヲ負擔スル期間海員ニ給料ト同額ノ手當ヲ支給シ且其ノ期間經過後一月ノ範圍內ニ於テ海員ノ失業期間之ニ給料ト同額ノ手當ヲ支給スルコトヲ要ス但シ疾病又ハ傷痍ニ付海員ニ故意又ハ重大ナル過失アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條　船員法第二十三條ノ規定ニ依リ海員ノ雇入契約ガ終了シタルトキハ船舶所有者ハ二月ノ範圍內ニ於テ海員ノ失業期間之ニ給料ト同額ノ手當ヲ支給スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ漁船ノ海員ニハ之ヲ適用セズ

第十七條　第十四條ニ規定スル療養ニ必要ナル費用及前二條ノ規定ニ依リ支給スル手當ハ每月一回以上之ヲ支拂フコトヲ要ス

第十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ船舶所有者（第四號ノ場合ニ在リテハ雇所有者）ハ選滯ナク海員ニ一月分ノ給料ト同額ノ手當ヲ支給スルコトヲ要ス

一　船員法第二十四條各號ニ揭グル場合ヲ除クノ外已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ海員ガ雇止ヲ請求シタルトキ

二　船員法第二十五條第一項第一號又ハ第三號ノ規定ニ依リ海員ガ雇止メラレタルトキ

三　船員法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ船長ヨリ諭告ヲ爲シタルニ依リ海員ノ雇入契約ガ終了シタルトキ

四　船員法第二十八條第一項ノ規定ニ依リ海員ノ雇入契約ガ終了シタルトキ

第十九條　船舶所有者ハ海員ガ其ノ職務ヲ行フニ因リ死亡シタルトキハ遲滯ナク其ノ

第十八類　水先人

第二節　運輸

第十九類　船員

第二節　運輸

第十八類　水先人

第二節　運輸

第十九類　船員

作船ス…
港ノ現況
ザル前…
トキハ…
船現在
所ニ…
有力ナ…
遠ク…
常ニ…
ハ風ト…
港ハ…
左ノ…
ノ…
第ノ…
類ノ…
ヲ…
若ク…
ク…
及ニ…
所ノ…
第六…
號ノ…
ノ…
ル…
ニ…
ハ…
ノ…
ヲ…
ノ…
ノ…
ノ

前項ノ申請ヲ爲サントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ選信省管船局ニ提出スベシ

一　氏名、本籍及出生年月日
二　船員手帳ノ交付管海官廳名及番號
三　證明ヲ受ケントスル事項
四　證明ヲ受ケントスル事由

第五章　乘組員ノ保護

第一節　給料及手當

第六十六條　船員法施行令第七條乃至第九條ニ規定スル手當トハ同令第十五條、第十六條、第十八條及第二十二條ニ規定スル手當以外ノ手當ヲ謂フ

第六十七條　船員法施行令第七條ノ許可ヲ受ケントスルトキハ船舶所有者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書二通ヲ所轄選信局長ニ提出スベシ

一　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱及其ノ住所又ハ主タル事務所所在地
二　船舶ノ種類、名稱、總噸數及航行區域又ハ從業制限
三　船長ニ代リテ給料及手當ヲ支拂ハシメントスル職員及其ノ職務
四　許可ヲ受ケントスル事由
五　許可ヲ受ケントスル期間

前項第三號乃至第五號ニ揭グル事項ニ變更アルトキハ第二條第一項ノ規定ヲ、前項第一號又ハ第二號ニ揭グル事項ニ變更アリタルトキハ第二條第二項ノ規定ヲ準用ス

第六十八條　海員、其ノ家族又ハ海員ノ救入ニ依リ生計ヲ維持スル者ガ婚禮、葬祭、出産、療養ノ費用又ハ不慮ノ災害ノ復舊其ノ他緊急ヲ要スル費用ニ充テントスル場合ニ於テ海員ノ請求アリタルトキハ船舶所有者ハ船員法施行令第九條ノ規定ニ依リ海員ノ給料及手當ヲ支拂フベシ

第六十九條　船舶所有者ハ船舶ノ運航ニ關スル事項ニ付船舶所有者又ハ其ノ選任シタル船長ニ對シ意見ヲ述ブルコトヲ得

第七十條　船舶所有者又ハ船長ハ船員ニ對シ其ノ職務ニ關スル事項ニ付命令ヲ爲スコトヲ得

第七十一條　船員ハ法令又ハ船舶所有者ノ定メタル船内ノ秩序ヲ守リ其ノ職務ヲ忠實ニ遂行スベシ

第七十二條　船員ハ職務上知リタル船舶所有者又ハ船長ノ業務上ノ秘密ヲ漏ラシ又ハ盜用スルコトヲ得ズ

第七十三條　船員ハ船舶所有者又ハ船長ノ許可ヲ受ケズシテ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ズ

一　船舶ノ運航ニ關スル書類ヲ變造、變更、隱匿又ハ毀棄スルコト
二　船舶ノ運航ニ關スル書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲スコト
三　船舶ノ運航ニ關スル書類ヲ船舶ニ備ヘ置カザルコト
四　船舶ノ運航ニ關スル書類ヲ船舶ニ備ヘ置クベキ期間内ニ之ヲ廢棄スルコト

第七十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第七十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第七十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第七十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第七十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第七十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第八十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第九十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百二十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百三十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百四十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百五十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百六十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百七十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百八十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第百九十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百二十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百三十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百四十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百五十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百六十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百七十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百八十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第二百九十九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百一條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百二條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百三條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百四條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百五條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百六條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百七條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百八條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百九條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク乘組ムベシ

第三百十條　船員ハ船舶ニ乘組ムベキ旨ノ命令ヲ受ケタルトキハ遲

第一號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル年月日	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
											有効視力	〇・七	五
											認識視力	〇・五	五
											遠距離視力	〇・五	五
											近距離視力	〇・五	五
											色覚	正常	一

第二號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル年月日	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
											有効視力	〇・七	五
											認識視力	〇・五	五
											遠距離視力	〇・五	五
											近距離視力	〇・五	五
											色覚	正常	一

第三號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第四號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第五號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第六號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第七號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第八號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第九號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第十號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第十一號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第十二號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第一號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第二號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第三號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第四號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第五號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第六號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第七號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第八號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第九號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第十號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第十一號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

第十二號表（第三條關係）

備考	一合格	枝	幹	立ノ氏名	設ケタル年月日	所轄官廳	許可ヲ受ケタル者ノ氏名	住所	種別	合格	標準	項目
										有効視力	〇・七	五
										認識視力	〇・五	五
										遠距離視力	〇・五	五
										近距離視力	〇・五	五
										色覚	正常	一

船員手帳交付年月日　年　月　日

備考
一　※欄ノミ申請者ニ於テ記載スルコト
二　氏名ニハ振假名ヲ附スルコト
三　男女別欄ニハ男子ナルトキハ記載ニ及バザルコト

第二號書式（竪二九・七糎、横二一糎）（第十一條關係）

年　月　日

（管海官廳名）　御中

申請者　（氏名）　印

船員手帳訂正申請書

船員手帳番號	第　號
氏名	新（正）
	舊（誤）
本籍	新（正）
	舊（誤）
出生年月日	正　年　月　日
	誤　年　月　日
訂正ノ事由	

備考
一　不用ノ欄ニハ斜線ヲ劃スコト
二　新舊（正誤）欄ノ氏名ニハ振假名ヲ附スルコト
三　訂正ノ事由欄ニハ「何年何月何日簿子紛組ニ因リ轉籍シタルニ依ル」等ト記載スルコト

第三號書式（竪二九・七糎、横二一糎）（第十三條關係）

船員手帳再交付（滅失、毀損、無能力）申請書

船員手帳番號	第　號
氏名	印
本籍	※
男女別	※
出生年月日	※　年　月　日
船員手帳再交付年月日	年　月　日
原手帳交付管海官廳名、番號、滅失（毀損）ノ年月日、場所及事由	※

備考
一　※欄ノミ申請者ニ於テ記載スルコト
二　氏名ニハ振假名ヲ附スルコト
三　男女別欄ニハ男子ナルトキハ記載ニ及バザルコト
四　原手帳番號不明ノ場合ニ於テハ原手帳番號不明ト記載スルコト又船員手帳滅失（毀損）ノ事由ハ成ルベク詳細ニ記載スルコト
五　第十三條第四項ノ規定ニ依リ船長ガ連署スル場合ニ於テハ船員手帳滅失（毀損）ノ事由ヲ記載シタル次行ニ當該船長ハ「右相違ナキコトヲ證明ス」ト記載シ署名捺印スルコト

第四號書式（第二十一條關係）

年　月　日　交付

（管海官廳略號）　第　號

船員手帳

（管海官廳名印）

寫眞貼附欄

一

氏名	本籍	出生年月日

二

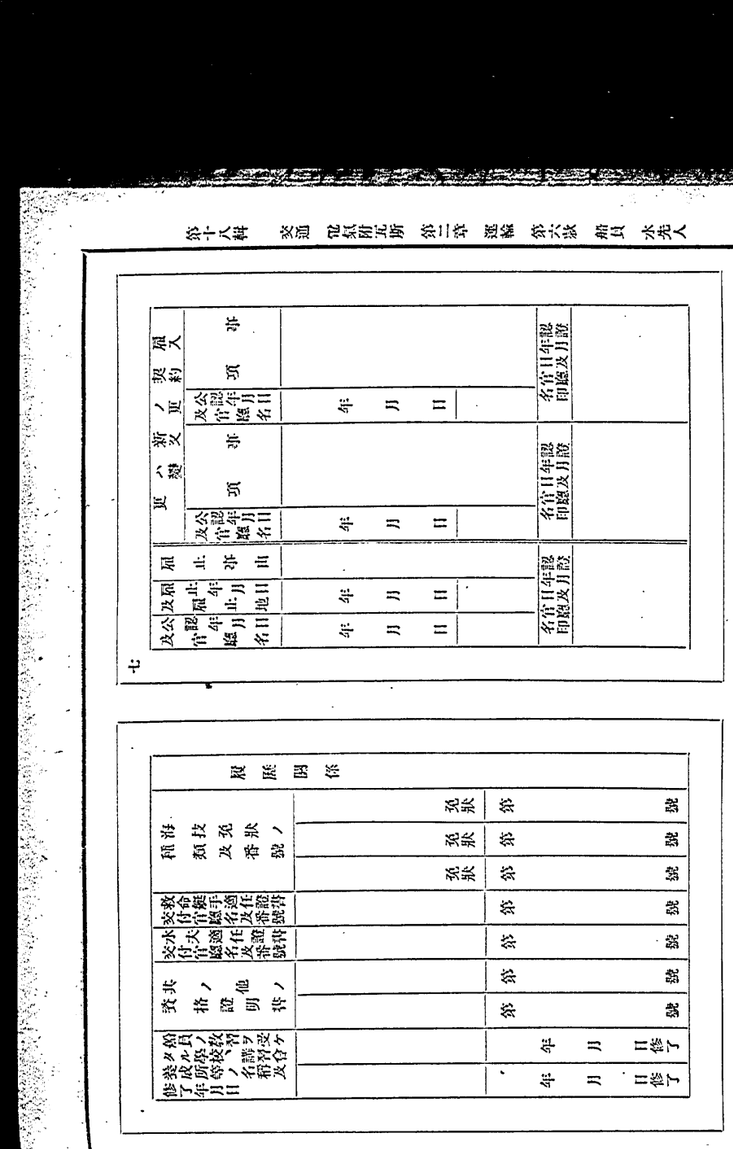
官廳記事

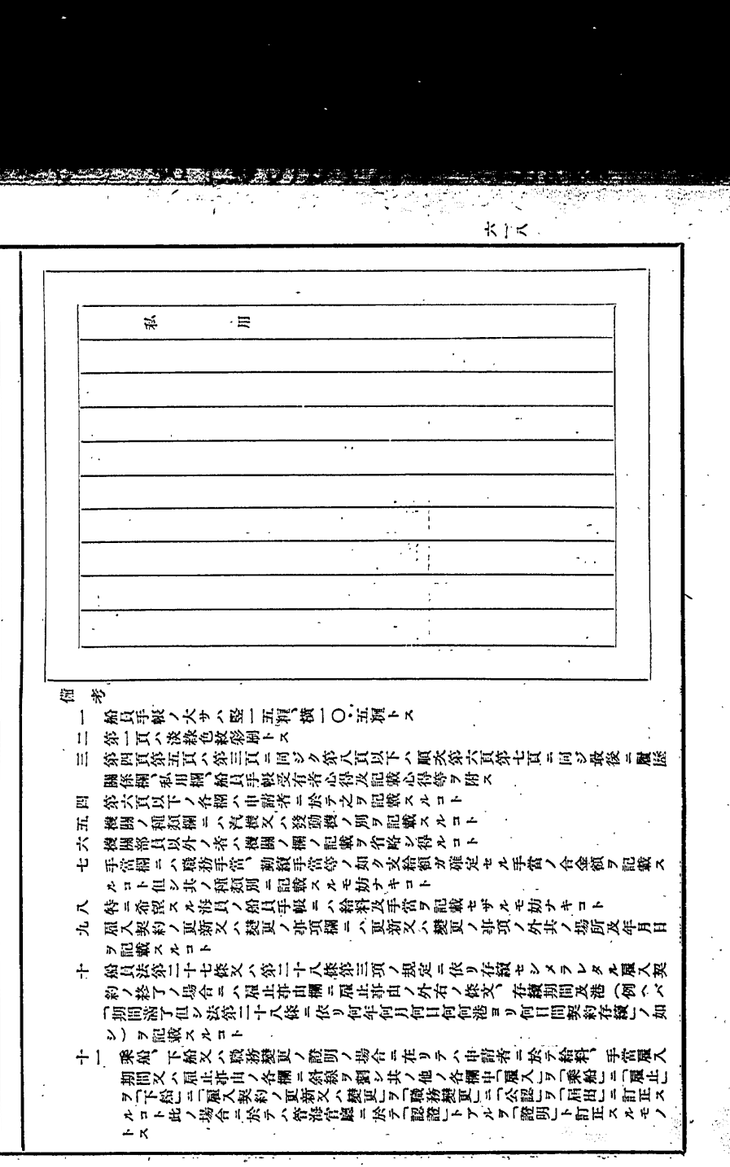
三

六

船種	船名	航行區域又ハ從業制限	
總噸數	噸	機關ノ種類及公稱馬力	馬力
職務		船舶所有者ノ氏名又ハ名稱	
給料	手當	船長氏名	
雇入期間			
雇入年月日及雇入地	年月日及官廳名	認證	
公認年月日及官廳名	年月日		

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp





第九號書式（第二十四條關係）

年 月 日	船籍港	船名	船籍番號	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十號書式（第二十四條關係）

年 月 日	船籍港	船名	船籍番號	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十一號書式（第二十四條關係）

年 月 日	船籍港	船名	船籍番號	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十二號書式（第二十四條關係）

年 月 日	船籍港	船名	船籍番號	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十三號書式（第二十四條關係）

年 月 日	船籍港	船名	船籍番號	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十四號書式（第二十四條關係）

年 月 日	船籍港	船名	船籍番號	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十五號書式（第二十四條關係）

年 月 日	船籍港	船名	船籍番號	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十六號書式（第二十四條關係）

年 月 日	船籍港	船名	船籍番號	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十七號書式（第二十四條關係）

年 月 日	船籍港	船名	船籍番號	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱	船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第二十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第三十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第四十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第五十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第六十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第七十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第八十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第九十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百二十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十五號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十六號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十七號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十八號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百三十九號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百四十號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百四十一號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百四十二號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百四十三號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百四十四號

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

船舶番號	船名	船籍港	船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

第百四十五號

| 船舶番號 | 船名 | 船籍港 | 船所有者ノ住所及氏名又ハ名稱 |
|---

第十三號様式(ロ)(用紙適宜)(第五十五條及第六十四條関係)

年　月　日

(管海官廳名)　御中

船長(氏名)　印

第十三號様式(イ)(用紙適宜)(第五十五條及第六十四條関係)

年　月　日

(管海官廳名)　御中

申請者(氏名)　印

備考

一　欄内ニ記載スル順序ハ甲表部、機関部、事務部ノ順トシ同一部ニ属スル者ノ間ニ在リテハ給料、手当及雇入期間ノ各欄ニ斜線ヲ劃スコト

二　機関部ノ程度ニ応ジ又ハ機関ノ種類ニ依ルコト

三　乗組証書ノ場合ニハ給料、手当及雇入期間ノ各欄ニ斜線ヲ劃スコト

四　再証明ノ場合ニハ従前ノ記載ヲ変更スル必要アル事項ノミヲ記載スルコト

第十三號様式(ハ)(用紙適宜)(第五十五條及第六十四條関係)

年　月　日

(管海官廳名)　御中

申請者(氏名)　印

備考

一　欄内ニ記載スル順序ハ甲表部、機関部、事務部ノ順トシ同一部ニ属スル者ノ間ニ在リテハ給料、手当及雇入期間ノ各欄ニ斜線ヲ劃スコト

二　機関部ノ程度ニ応ジ又ハ機関ノ種類ニ依ルコト

三　乗組証書ノ場合ニハ給料、手当及雇入期間ノ各欄ニ斜線ヲ劃スコト

四　再証明ノ場合ニハ従前ノ記載ヲ変更スル必要アル事項ノミヲ記載スルコト

第十三號様式(ニ)(用紙適宜)(第五十五條及第六十四條関係)

年　月　日

(管海官廳名)　御中

申請者(氏名)　印

第十三號様式(ホ)(用紙適宜)(第五十五條及第六十四條関係)

年　月　日

(管海官廳名)　御中

申請者(氏名)　印

第十三號様式(ヘ)(用紙適宜)(第五十五條及第六十四條関係)

年　月　日

(管海官廳名)　御中

船長(氏名)　印

第十四號様式(第五十八條及第六十條関係)

年　月　日

(管海官廳名)　御中

船長(氏名)　印

第十五號様式(第五十八條関係)

年　月　日

(管海官廳名)　御中

船長(氏名)　印

第十六號書式（樣式第二九、二七、但書）（第六十一條關係）

計	數	他ノ官廳部局ニ轉出	部局ニ轉入	官廳ニ轉入	船員手帳番號	乘組年月日	乘組港	船名番號	船舶番號	船舶ノ種類	船舶ノ名稱	總噸數	船舶ノ造ハレタル國	備考
人														

年　月　日

（帝國官廳名）

乘組港ニ於テ船長

下船

年　月　日

（帝國官廳名）

申請者（氏名）　印

備考

一　乘組港ニ於テ船長ノ記載順序ハ甲板部、機關部、非役部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職務ノ順位ニ依ルコト

二　乘組港ニ於テ船長ノ記載順序ハ甲板部、機關部、非役部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職務ノ順位ニ依ルコト

第十七號書式（樣式第二九、二七、但書）（第六十一條關係）

計	數	他ノ官廳部局ニ轉出	部局ニ轉入	官廳ニ轉入	船員手帳番號	乘組年月日	乘組港	船名番號	船舶番號	船舶ノ種類	船舶ノ名稱	總噸數	船舶ノ造ハレタル國	備考
人														

年　月　日

（帝國官廳名）

下船

年　月　日

（帝國官廳名）

申請者（氏名）　印

備考

一　乘組港ニ於テ船長ノ記載順序ハ甲板部、機關部、非役部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職務ノ順位ニ依ルコト

二　乘組港ニ於テ船長ノ記載順序ハ甲板部、機關部、非役部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職務ノ順位ニ依ルコト

第十八號書式（樣式第二九、二七、但書）（第六十一條關係）

計	數	他ノ官廳部局ニ轉出	部局ニ轉入	官廳ニ轉入	船員手帳番號	乘組年月日	乘組港	船名番號	船舶番號	船舶ノ種類	船舶ノ名稱	總噸數	船舶ノ造ハレタル國	備考
人														

年　月　日

（帝國官廳名）

下船

年　月　日

（帝國官廳名）

申請者（氏名）　印

備考

一　乘組港ニ於テ船長ノ記載順序ハ甲板部、機關部、非役部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職務ノ順位ニ依ルコト

二　乘組港ニ於テ船長ノ記載順序ハ甲板部、機關部、非役部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職務ノ順位ニ依ルコト

第十九號書式（樣式第二九、二七、但書）（第六十三條關係）

年　月　日

（逓信局長名）殿

乘組員勤務非（年　月　日）

申請者（氏名）　印

第二十號書式（樣式第二九、二七、但書）（第六十五條關係）

（逓信局長名）殿

年　月　日

船員傷病ノ狀非（年　月　日）

（其ノ一個人別ノ場合）

氏名	船種船名	船	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日
	船料月俸	丸						
	飛							
	ノ病名傷所及種負類傷							
	ノ現況得者ニ對シ看護ヲ與ヘタル醫師ノ氏名							
	場疾病ノ狀況、負傷ノ所ノ							
	ノ原因年治癒、年止（退院）日ノ							
	問ニ（就業ニ堪ヘ得ル程度）ヲ要スル見込年月日							
	程ノ治度身療後院ニ於ケル							
	手術ノ種類及ニ	麻酔藥						
	藥中ノ	藥						
	罪ニ	關						
	係ノ	有						
	料手當	無						
	其ノ他ノ參考							

船所有者（住所及氏名又ハ名稱）印

備考

一　船員ノ川船乘組ニ關シ備考欄ニ記載スルコト

二　乘組員ノ手帳ニ關シ備考欄ニ記載スルコト

三　乘組員ノ就航ニ關シ備考欄ニ記載スルコト

四　乘組船員ノ川船ニ關シ備考欄ニ記載スルコト

第二十一號雛形（第八十五條關係）

年　月　日　檢查濟

（逓信局長名）殿

船舶所有者（住所及氏名又ハ名稱印）

扇止（退職）非出	職務別	人員	手當額
		人	

船員ニ對スル手當支給報告書

年　月　日　提出

（逓信局長名）殿

船舶所有者（住所及氏名又ハ名稱印）

扇止（退職）非出	職務別	人員	手當額
		人	

備考

一　船員ニ對スル手當ハ毎年一回之ヲ報告スルコト

二　船員ニ對スル手當ハ毎年一月ニ於テ前年中ニ支給シタルモノヲ報告スルコト但シ死亡シ又ハ扇止（退職）シタル者ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三　手當ノ種類ハ扶助料、賞與金、賞牌、賞狀、賞品、賞與休暇、賞與旅行、慶弔金、見舞金、其ノ他ノ名稱ヲ問ハス總テ記載スルコト

四　手當ノ額ハ實際支給シタル金額ヲ記載スルコト

五　船舶ノ所有者ニ於テ船員ニ對シ手當ヲ支給セサルトキハ其ノ旨ヲ記載スルコト

六　船舶ノ所有者ニ於テ船員ニ對シ手當ヲ支給セサルトキハ其ノ理由ヲ記載スルコト

第二十二號雛形（第八十五條關係）

年　月　日　提出

（逓信局長名）殿

船舶所有者（住所及氏名又ハ名稱印）

備考	計	人	人

第二十三號雛形（第八十六條關係）

年　月　日　提出

（逓信局長名）殿

代表者（住所及氏名又ハ名稱印）

（共濟組合其ノ他ノ扶助施設ノ名稱）給付狀況報告書

年　至自　月　月

備考	給付ノ種類	給付ヲ受ケタル人員數	給付金額
		人	
		人	
		人	
	計	人	

備考

一　船員ニ對スル給付ハ其ノ種類ニ從ヒ左ノ區別ニ依リ記載スルコト但シ死亡シ又ハ扇止（退職）シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

二　船員ニ對スル給付ハ其ノ種類ニ從ヒ左ノ區別ニ依リ記載スルコト

三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

五十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

六十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

七十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

八十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

九十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百二十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百三十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百四十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百五十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百六十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百七十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百八十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

百九十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百二十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百三十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百四十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百五十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百六十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百七十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百八十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

二百九十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百二十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百三十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百四十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百五十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百六十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百七十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百八十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

三百九十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十一　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十二　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十三　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十四　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十五　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十六　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十七　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十八　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百二十九　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百三十　船員ニ對スル給付ニ付テハ其ノ都度報告スルコト

四百三十一　船員

●朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法第十四條ノ規定ニ依ル送還費用償還ノ件

昭和十三年三月
總令第三十三號

朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法第十四條ノ規定ニ依ル送還費用償還ノ件左ノ通定ム

第一條　朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法第十四條ノ規定ニ依リ帝國臣民ヲ朝鮮ニ送還シタル船長ハ送還費用ヲ負擔シ其ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

第二條　本令ニ於テ送還費用ト稱スルハ外交官又ハ領事官ガ被送還者ヲ送還スルニ適當ナリト認メタル客室ノ等級ニ相當スル運賃ヲ謂フ

第三條　送還費用ハ被送還者ノ負擔トシ被送還者ヨリ償還ヲ得ザルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

扶養義務者ニ對スル送還費用償還ノ請求ハ扶養義務者中ノ何人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ費用ノ償還ヲ爲シタル者ハ朝鮮民事令ノ規定ニ依リ扶養ノ義務ヲ履行スベキ者ニ對シ求償ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第四條　前條第一項ノ規定ニ依リ送還費用ノ償還ヲ得ザルトキハ當分ノ內國庫ニ於テ之ヲ負擔ス

前項ノ場合ニ於テ船長ハ送還費用ノ請求書ヲ朝鮮總督府ニ提出スベシ

前項ノ請求書ニハ朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行規則第二十八條第二項ノ書類ヲ添附スベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第七十六號ハ之ヲ廢止ス

●朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事ヲ行フ郵便局

大正三年六月
總告第二百二十九號

朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法第十四條ノ規定ニ依ル送還費用償還ノ件左ノ通定ム

第一條　朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法第十四條ノ規定ニ依リ帝國臣民ヲ朝鮮ニ送還シタル船長ハ送還費用ヲ負擔シ其ノ償還ヲ請求スルコトヲ得

第二條　本令ニ於テ送還費用ト稱スルハ外交官又ハ領事官ガ被送還者ヲ送還スルニ適當ナリト認メタル客室ノ等級ニ相當スル運賃ヲ謂フ

第三條　送還費用ハ被送還者ノ負擔トシ被送還者ヨリ償還ヲ得ザルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

扶養義務者ニ對スル送還費用償還ノ請求ハ扶養義務者中ノ何人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ費用ノ償還ヲ爲シタル者ハ朝鮮民事令ノ規定ニ依リ扶養ノ義務ヲ履行スベキ者ニ對シ求償ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第四條　前條第一項ノ規定ニ依リ送還費用ノ償還ヲ得ザルトキハ當分ノ內國庫ニ於テ之ヲ負擔ス

前項ノ場合ニ於テ船長ハ送還費用ノ請求書ヲ朝鮮總督府ニ提出スベシ

前項ノ請求書ニハ朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行規則第二十八條第二項ノ書類ヲ添附スベシ

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第七十六號ハ之ヲ廢止ス

（大正八年五月總告第百二十三號ハ大正八年六月一日ヨリ施行）

（大正十一年十二月總告第二百七十號ハ大正十一年十二月二十日ヨリ施行）

昭和四年十二月
總告第四百八十八號

慶尙南道統營郵便局ヲシテ昭和五年一月一日ヨリ朝鮮船員令ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行ハシム

昭和十三年四月
總告第三百三十號

左ノ郵便局ヲシテ昭和十三年四月十五日ヨリ朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行ハシム

全羅南道　濟州郵便局
慶尙北道　浦項郵便局

●商法第五百六十二條第一項ノ海員名簿、屬具目錄、航海日誌及旅客名簿ノ書式ニ關スル件

大正三年五月
總令第七十七號

商法第五百六十二條第一項ノ海員名簿、屬具目錄、航海日誌及旅客名簿ノ書式ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　海員名簿ハ第一號書式、屬具目錄ハ第二號書式、航海日誌ハ第三號書式、旅客名簿ハ第四號書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

前項ノ書類ハ書式ニ示ス順序ニ依リ之ヲ綴綴シ且各頁ニ頁數ヲ附スヘシ但シ其ノ紙數ハ適宜トス

第二條　前條ノ書類ニハ書式ニ定メサル事項ヲ記載スル爲欄ヲ設クルコトヲ得

朝鮮沿岸ノミヲ航行スル船舶ニ在リテハ航海日誌及旅客名簿ノ書式ニ定ムル事項ヲ省略スルコトヲ得

沿海區域ノミヲ航行スル船舶ニ在リテハ旅客名簿ヲ備ヘサルコトヲ得

前三項ノ場合ニ於テハ最寄管海官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第三條　第一條ノ書類ニハ各事項ニ付英譯ヲ附シ又ハ頁ノ上部ニ船舶ノ名稱及船舶所有者ノ氏名（名稱）等ヲ附記シ又ハ記載心得等ヲ揭クルコトヲ得

第一條ノ書類ハ書式ニ定ムル事項ノ位置ヲ變更シテ之ヲ調製スルコトヲ得但シ其ノ順序ヲ變更スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和五年五月總令第四十五號）

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル海員名簿ニ付テハ當分ノ間仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

前項ノ海員名簿ヲ使用スル場合ニ於テハ第一號書式（一）中ノ機關ノ種類及箇數並ニ機關ノ公稱馬力ハ適宜ノ場所ニ之ヲ記載シ同書式（三）及（六）中ノ手當ハ給料ノ欄ニ其ノ旨ヲ明ニシテ之ヲ記載スベシ

附　則（昭和十年二月總令第三十四號）

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

前三項ノ場合ニ於テハ最寄管海官廳ノ認可ヲ受クヘシ

附　則（昭和十三年三月總令第三十五號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存スル海員名簿ニシテ本令施行ノ際現ニ使用中ノモノハ本令施行ノ日ヨリ六月內ハ仍之ヲ使用スルコトヲ得

本令施行前ノ規定ニ依リ作成シタル航海日誌、屬具目錄及旅客名簿ハ本令ノ書式ニ從ヒ適宜之ヲ訂正シテ仍使用スルコトヲ得

第一號書式

（一）

海員名簿

船籍港　船籍番號
航行區域又ハ從業制限　船噸數
船舶ノ用途
機關ノ種類及箇數
機關ノ公稱馬力
船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
船長ノ住所及氏名

船員手帳番號	海員氏名	本籍	職務	手當	雇入期間	雇入年月日	公認年月日及官廳	備考
第　號		出生年月日	給料		雇入地名		印	
		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		

備考

一　（一）ハ書類ノ前付トシ其裏面ハ白紙トスヘシ以下各號書式ノ（一）ニ付亦同シ

二　船舶ノ用途ハ旅客船、貨物船、貨客船、漁船、油船船等ノ別ヲ記載スヘシ

三　機關ノ種類及箇數ハ蒸機又ハ發動機ノ別及其箇數ヲ記載スヘシ

四　誤記又ハ脫字シタル爲文字ヲ訂正、削除又ハ挿入スルトキハ訂正又ハ削除スヘキ文字ハ之ヲ讀ミ得ヘキ樣抹消シ訂正、削除又ハ挿入シタル箇所ニ最寄管海官廳ノ認印ヲ受クヘシ（二）以下及第（二）號書式以下各號書式ノ前付ノ記載ニ付亦同シ

五　記載事項ニ變更ヲ生シタルニ因リ之ヲ訂正シタルトキハ最寄管海官廳ノ認印ヲ受クヘシ以下各號書式ノ前付ノ記載ニ付亦同シ

（二）

（三）

官廳記事

備考

一　行數ハ適宜トス以下各號ノ書式中行ヲ附シタルモノニ付亦同シ

一　雇入契約ニ關スル特別記事

（四）

船員手帳番號	海員氏名	本籍	職務	手當	雇入期間	雇入年月日	公認年月日及官廳	備考
第　號		出生年月日	給料		雇入地名		印	
		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		
第　號		年月日			年月日	年月日		

備考

一　雇入契約成立ノ欄ノ記載事項以外ニ特約アル場合ニハ本欄ニ其內容ヲ記載スルモノトス此ノ場合ニ於テハ各備考欄ニ㊟ト記載スヘシ

二　食料ノ支給ガ標準食料表ニ依ラサル場合ニ於テハ食料支給ノ標準ヲ本欄ニ記載スヘシ

二　雇入契約成立ノ欄

一、十八歲未滿ノ海員氏名ノ左傍ニ「何年何月何日迄年少者」ト朱書スヘシ

二、海員ノ記載順序ハ甲板部、機關部、事務部ノ順トシ同一部ニ屬スル者ノ間ニ在リテハ職掌ノ順位ニ依ルヘシ

三、一等運轉士、二等運轉士、一等機關士又ハ二等機關士等二名以上乘組ムトキハ其ノ順位ヲ職務ノ上部ニ附記スヘシ（例ヘハ首席、次席、三席等ノ如シ）

四、本欄ハ外國人ニ在リテハ國籍ヲ記載スヘシ

五、給料、手當及雇入期間ノ各欄ニ記載スル數字ハ壹、貳、參、拾ノ字ヲ用フヘシ

六、記載スヘキ事項カ前欄ト同シキトキハ同前又ハ同右ト記載スルモ妨ナシ

七、雇入契約カ一航海ヲ以テ定メラレタル場合ニ於テハ其ノ航路ヲ雇入期間欄ニ記載シ且目的港ニ到著シタル後海員ノ雇止メラルル迄經過スヘキ期間ヲ附記スヘシ（例ヘハ「仁川上海間一航海仁川驒著事務終了迄」ノ如シ）

八、期間ノ定ナキ雇入契約ニ於テ豫告期間ニ付特約アルトキハ其ノ期間ヲ雇入期間欄ニ記載スヘシ

九、給料又ハ手當ニ付月額ヲ記載スル場合以外ノ場合ハ算出基準ヲ記載スヘシ（例ヘハ「一航海ニ付若干」ノ如シ）

十　手當欄ニハ職務手當、勤續手當等ノ如ク支給額カ確定セル手當ノ合金額ヲ記載スヘシ但シ共種類別ニ記載スルモ妨ナシ

十一　海員ノ補充又ハ追加ハ列記セラレタル海員ノ欄ニ引續キ順次之ヲ記載スヘシ

十二　各事項中記載スヘキ事項ナキモノハ其欄ニ斜線ヲ劃スヘシ

十三　雇止又ハ初回ノ契約更新ノ公認アリタル海員ニ付テハ管海官廳ニ於テ備考欄ニ「雇止公認濟」又ハ「更新公認濟」ト朱書スルモノトス

十四　初回ノ契約變更ノ公認アリタル海員ニ付テハ管海官廳ニ於テ備考欄ニ「職務（給料、手當、其他）變更公認濟」ト朱書スルモノトス

十五　朝鮮船員令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法施行規則第四十五條ノ再公認ヲ申請スル場合ニ於テハ雇入年月日及雇入地ノ各欄ニハ斜線ヲ劃シ其ノ他ノ各欄ニハ最後公認ヲ受ケタルモノヲ記載シ且雇入期間欄ニハ最後ノ雇入又ハ更新ノ年月日ヲ附記スヘシ此ノ場合ニ於テ管海官廳ハ備考欄ニ「再公認」ト朱書スルモノトス

三　雇入契約終了ノ欄

（五）

船員手帳番號	海員氏名	雇止事由	雇止年月日	雇止地	公認年月日及官廳名印	備考
第　號			年月日			
第　號			年月日			
第　號			年月日			
第　號			年月日			
第　號			年月日			
第　號			年月日			
第　號			年月日			
第　號			年月日			
第　號			年月日			
第　號			年月日			

備考

一　朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法第二十七條又ハ第二十八條第三項ノ規定ニ依リ存續セシメタル雇入契約ノ終了ノ場合ニハ雇止事由欄ニ雇止事由ノ外右ノ條文、存續期間及港（例ヘハ「期間滿了但シ船員法第二十八條ニ依リ何年何月何日何何港ヨリ何日間契約存續」ノ如シ）ヲ記載スヘシ

四　雇入契約更新ノ欄

（六）

船員手帳番號	海員氏名	期間滿了更新シタル年月日	契約ノ期間	更新地	公認年月日及官廳名印	備考
第　號		年月日	年　月　日			
第　號		年月日	年　月　日			
第　號		年月日	年　月　日			
第　號		年月日	年　月　日			
第　號		年月日	年　月　日			
第　號		年月日	年　月　日			
第　號		年月日	年　月　日			
第　號		年月日	年　月　日			
第　號		年月日	年　月　日			
第　號		年月日	年　月　日			

備考

一　契約更新ノ公認ヲ繰返シタル場合ニハ管海官廳ニ於テ前回ノ備考欄ニ「更新公認濟」ト朱書スルモノトス

五　雇入契約變更ノ欄

（七）

船員手帳番號	海員氏名	變更ノ內容								變更年月日	公認年月日及官廳名印	備考
		職務		給料		手當		其他				
		舊	新	舊	新	舊	新	舊	新			
第　號										年月日		
第　號										年月日		
第　號										年月日		
第　號										年月日		
第　號										年月日		
第　號										年月日		
第　號										年月日		
第　號										年月日		
第　號										年月日		
第　號										年月日		

備考

一　「其他」ノ變更欄ニハ雇入期間ノ變更又ハ特約事項ノ設定、廢止若ハ變更等ヲ記載スヘシ

二　變更ノ內容欄中記載スヘキ事項ナキモノハ其欄ニ斜線ヲ劃スヘシ

三　契約變更ノ公認ヲ繰返シタル場合ニハ管海官廳ニ於テ前回ノ備考欄ニ「職務（給料、手當其他）變更公認濟」ト朱書スルモノトス

附錄　公認ヲ要セサル乘組員ノ欄

氏名	船員手帳番號	本籍	職務（乘船（職務變更）年月日	變更）地	乘船（職務變更）下船年月日	下船地	乘船屆出（職務變更）年月日及官廳名	下船屆出年月日及官廳名
	第　號		年月日		年月日		年月日	
	第　號		年月日		年月日		年月日	
	第　號		年月日		年月日		年月日	
	第　號		年月日		年月日		年月日	
	第　號		年月日		年月日		年月日	
	第　號		年月日		年月日		年月日	
	第　號		年月日		年月日		年月日	
	第　號		年月日		年月日		年月日	
	第　號		年月日		年月日		年月日	
	第　號		年月日		年月日		年月日	

備考

一　十八歲未滿ノ者ノ氏名ノ左傍ニ出生年月日ヲ記載シ且「何年何月何日迄年少者」ト朱書スヘシ

二　職務變更ノ屆出ヲ爲シタルトキハ列記セラレタル乘組員ノ欄ニ引續キ順次之ヲ記載シ當ノ欄中職務欄ニハ「職務變更屆出濟」ト朱書シ下船年月日、下船地、下船屆出年月日及官廳名ノ各欄ニハ斜線ヲ劃スヘシ繰返シ職務變更ノ屆出ヲ爲シタルトキ亦同シ

二ノ番號ヲ附シタル海員ニ代ヘテ雇入シタル者ナルトキハ二ノ二ト記載スルカ如シ

海員追加ノ場合ニ在リテハ先ニ雇入公認ヲ受ケタル際最後ニ附シタル番號ニ次ク番號ヲ記載スヘシ即先ニ雇入公認ヲ受ケタル際百ノ番號ヲ附シタル海員最後ノ者ナルトキハ百一ト記載スルカ如シ

第二號書式

（一）

船舶番號
船籍港
總噸數
航行區域又ハ從業制限
船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
船長ノ住所及氏名

目錄

（二）

屬具名稱	數量	記事

第三號樣式

船舶番號
船籍港
總噸數
航行區域又ハ從業制限
船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱
船長ノ住所及氏名

海船免狀

（三）

番號	事項	一	二	三	四	五	六	七
				(イ)(ロ)(ハ)		(イ)(ロ)		
	船舶ニ關スル法令ニ違反シタルコト							船員法第三十四條及同第三十五條ノ規定ニ依リ懲戒ヲ
	船員法第十四條ノ規定ニ依リ退職ヲ命セラレタルコト						船員法第十四條ノ規定ニ依リ退職ヲ命セラレタルコト	
	其他船舶ニ關シ著シキ非行アリタルコト					其他船舶ニ關シ著シキ非行アリタルコト		
	船舶ヲ抑留又ハ拘束セラレタルコト					船舶ヲ抑留又ハ拘束セラレタルコト		
	裝定ノ航路ヲ變更シタルコト				裝定ノ航路ヲ變更シタルコト			
	積荷品ヲ棄損又ハ毀滅シタルコト			積荷品ヲ棄損又ハ毀滅シタルコト				
	水難ヲ行ヒタルコト			水難ヲ行ヒタルコト				
	船内ニ於テ死亡又ハ行方不明トナリタルコト			船内ニ於テ死亡又ハ行方不明トナリタルコト				
	遭難者ノ救助ニ赴カサリシコト		遭難者ノ救助ニ赴カサリシコト					
	人命又ハ船舶ノ救助ニ從事シタルコト		人命又ハ船舶ノ救助ニ從事シタルコト					
	航行中他ノ船舶ノ遭難ヲ知リタルコト		航行中他ノ船舶ノ遭難ヲ知リタルコト					
	雜件	雜件ノ損害ヲ與ヘ又ハ船舶ノ沈沒、火災、機關ノ損傷其他ノ海難ヲ生ジ乘客ニ死傷ヲ生ジ積荷ヲ損傷シタルコト						
	備考							

（四）

番號	事項	裝	海	航	準		竣		
		日年時月	港		日年時月	港	日年時月	港	
	船舶ノ衝突、乘揚、座礁、沈沒、火災、機關ノ損傷其他ノ海難ヲ生ジ乘客ニ死傷ヲ生ジ積荷ヲ損傷シタルコト								
	航行中他ノ船舶ノ遭難ヲ知リタルコト								
	人命又ハ船舶ノ救助ニ從事シタルコト								
	遭難者ノ救助ニ赴カサリシコト								
	船内ニ於テ死亡又ハ行方不明トナリタルコト								
	水難ヲ行ヒタルコト								
	遭難者ノ救助又ハ積荷品ヲ保管シ又ハ處分シタルコト								
	裝定ノ航路ヲ變更シタルコト								
	船舶カ抑留又ハ拘束セラレタルコト								
	其他船舶ニ關シ著シキ非行アリタルコト								
	備考								

（五）

番號	發生ノ年月日時	發生ノ場所	記載ノ年月日	非

（六）

番號	事項	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
			(イ)(ロ)(ハ)			(イ)(ロ)											
	船舶ニ關スル法令ニ違反シタルコト																
	船員法第十四條及同第三十五條ノ規定ニ依リ懲戒ヲ																
	船員法第十四條ノ規定ニ依リ退職ヲ命セラレタルコト																
	其他船舶ニ關シ著シキ非行アリタルコト																
	船舶ヲ抑留又ハ拘束セラレタルコト																
	裝定ノ航路ヲ變更シタルコト																
	積荷品ヲ保管シ又ハ處分シタルコト																
	水難ヲ行ヒタルコト																
	船内ニ於テ死亡又ハ行方不明トナリタルコト																
	遭難者ノ救助ニ赴カサリシコト																
	人命又ハ船舶ノ救助ニ從事シタルコト																
	航行中他ノ船舶ノ遭難ヲ知リタルコト																
	雜件																
	備考																

（七）

番號	事項	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六
			(イ)(ロ)(ハ)			(イ)(ロ)											
	船舶ニ關スル法令ニ違反シタルコト																
	船員法第十四條及同第三十五條ノ規定ニ依リ懲戒ヲ																
	船員法第十四條ノ規定ニ依リ退職ヲ命セラレタルコト																
	其他船舶ニ關シ著シキ非行アリタルコト																
	船舶ヲ抑留又ハ拘束セラレタルコト																
	裝定ノ航路ヲ變更シタルコト																
	積荷品ヲ保管シ又ハ處分シタルコト																
	水難ヲ行ヒタルコト																
	船内ニ於テ死亡又ハ行方不明トナリタルコト																
	遭難者ノ救助ニ赴カサリシコト																
	人命又ハ船舶ノ救助ニ從事シタルコト																
	航行中他ノ船舶ノ遭難ヲ知リタルコト																
	雜件																
	備考																

●朝鮮船舶職員令

大正三年四月
制令第十號

改正　昭和五年四月第二號、九年二第一號、一〇年一第三ト。

朝鮮船舶職員令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮船舶職員令

第一條　朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ職員ニ關シテハ本令ニ規定スルモノ及船舶職員法第九條ノ三ノ規定ヲ除クノ外船舶職員法ニ依ル但シ同法中船舶安全法ト稱スルハ朝鮮船舶安全令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法、遞信大臣トアルハ朝鮮總督、地方長官トアルハ道知事トス

第二條　遞信大臣ノ授與シタル海技免狀ハ本令ニ依リ授與シタルモノト看做ス

第三條　臺灣總督ノ授與シタル海技免狀ニシテ朝鮮總督ニ於テ本令ニ依リ授與シタルモノト同等ト認メタルモノハ之ヲ本令ニ依リ授與シタルモノト看做ス

附　則

本令ハ大正三年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際海技免狀ヲ受有セシテ現ニ船舶職員ノ職務ヲ執ル二十歲以上ノ者ニハ試驗ヲ用キズシテ本令施行ノ日ヨリ三年ヲ限リ效力ヲ有スル相當ノ海技免狀ヲ授與スルコトヲ得

附　則（昭和五年四月制令第二號）

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ船舶職員トシテ就職中ノ者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ本令施行後引續キ同一ノ船舶ニ於テ同一ノ職ヲ執ル期間內ニ限リ仍從前ノ例ニ依リ就職スルコトヲ得

附　則（昭和九年二月制令第一號）

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム（昭和九年二月總督府令第十七號ヲ以テ昭和九年三月一日ヨリ施行）

附　則（昭和十年一月制令第三號）

本令ハ朝鮮船舶安全令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス昭和九年制令第一號附則第二項及第三項ヲ削ル

●船舶職員法

明治二十九年四月
法律第六十八號

改正　三八年第六九號、昭和四年四月第四六號
八年二第二二號

樞密顧議會ノ協賛ヲ經タル船舶職員法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

船舶職員法

第一條　日本船舶ニハ命令ヲ以テ定ムル場合ヲ除クノ外此ノ法律ノ規定ニ依リ船舶職員ヲ乘組マシムヘシ但シ船舶安全法第二條第一項ノ規定ヲ適用セサル船舶ハ此ノ限ニ在ラス

船舶職員ト稱スルハ船長、一等運轉士、二等運轉士、三等運轉士、機關長、一等機關士、二等機關士及三等機關士ヲ謂フ

第二條　海技免狀ヲ有スル者ニアラサレハ船舶職員タルコトヲ得ス

第三條　海技免狀ハ左ノ十二種トス

甲種船長
甲種一等運轉士
甲種二等運轉士
乙種船長
乙種一等運轉士
乙種二等運轉士
丙種船長
丙種運轉士
機關長
一等機關士
二等機關士
三等機關士

遞信大臣ハ海技免狀ノ效力ニ制限ヲ加ヘタルモノヲ授與スルコトヲ得

第四條　各船舶ニ乘組マシムヘキ船舶職員ノ定員及其ノ免狀ノ種類ハ第一號表ニ依ル

第一號表ニ定ムル免狀ハ命令ノ定ムル所ニ依リ他ノ種類ノ免狀ヲ以テ代用スルコトヲ得

第五條　海技免狀ハ遞信大臣ノ定ムル試驗規程ニ依リ發行機關ノ免狀ヲ以テ代用スルコトヲ得

第六條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ船舶職員タルコトヲ得ス又前條ノ發行機關ノ免狀ヲ以テ代用スルコトヲ得

一　六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二　六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

三　痴癲、白痴、身體不具其ノ他精神又ハ身體ニ缺陷ヲ有シ執職ニ不適當ナル者

四　海技免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者

五　海技免狀ノ行使停止中ノ者

六　破產者ニシテ復權ヲ得サル者

遞信大臣ハ海技免狀受有者ニシテ前項第三號ニ該當スルノ疑アルモノニ就キ管海官廳ヲシテ體格檢查ヲ執行セシムルコトヲ得

第七條　左ニ掲クル船舶ニ付テハ命令ヲ以テ其ノ職員ニ關シ別段ノ規程ヲ設クルコトヲ得

一　外國各港間ノミヲ航行スル船舶

二　漁獵其ノ他特殊ノ目的ニ專用スル船舶

三　特殊ノ構造ヲ有スル船舶

第八條　此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ相當スル船舶職員ヲ乘組マシメサルトキハ船舶所有者、船舶共有ノ場合ニ於テハ船舶管理人、船舶賃借ノ場合ニ於テハ船舶借入人ヲ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シテ船舶職員ヲ乘リタル者、海技免狀ノ行使ノ假停止若ハ差押中其ノ職務ヲ執リタル者又ハ海技免狀ヲ貸付シ之ヲ行使セシメタル者ノ罰亦前項ニ同シ

第九條　前條ノ罪ヲ犯シタル者ニハ刑法併合罪ノ例ヲ用ヰス

前條第一項ノ罰則ハ船舶所有者、船舶管理人又ハ船舶借入人カ法人ナルトキハ其ノ代表者、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ船舶ノ管理ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第九條ノ二　此ノ法律又ハ此ノ法律ニ基キテ發スル命令ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ日本船舶ニ非サル船舶ニシテ船舶安全法第十四條各號ニ掲クルモノニ準用スルコトヲ得

第九條ノ三　朝鮮總督ノ授與シタル海技免狀ニシテ遞信大臣ニ於テ第五條ノ規定ニ依リ授與シタルモノト同等ト認メタルモノハ之ヲ第五條ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ授與シタル海技免狀ト看做ス

第九條ノ四　地方長官ハ船舶安全法第二條第一項ノ規定ヲ適用セサル船舶ニ於テ船舶職員ニ該當スル職務ヲ執ル者ノ資格ニ關シ遞信大臣ノ認可ヲ受ケ必要ナル規則ヲ設クルコトヲ得

附　則

第十條　此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

第十一條　明治十三年第二十八號布告及明治十四年第七十五號布告ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

第十二條　明治九年第八十二號布告、同年第九十四號布告及明治十四年第七十五號布告

（八）

| 出生 | | |

ニ依リ授與シタル免狀ハ第二號表ニ依リ各相當ノ免狀ト交換スヘシ其ノ交換ノ手續及時期ハ遞信大臣之ヲ定ム

前項ニ揭ケタル各種ノ舊免狀ハ新免狀ト交換スルマテ之ニ代用スルコトヲ得

第十三條　此ノ法律ハ施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ積石數百五十石以上ノ帆船ニハ之ヲ適用セス

第十四條　遞信大臣ハ積石數百五十石以上ノ帆船ニ乘組ミ三箇年以來其ノ運航ヲ掌リ且此ノ法律施行ノ際現ニ船長ノ職ヲ執リ年齡二十歲以上ノ者ニハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ試驗ヲ用キシテ相當ノ海技免狀ヲ授與スルコトヲ得

第十五條　遞信大臣ハ第一號表中近海航船ニシテ登簿噸數五百噸未滿ノ汽船及沿海航船ニシテ登簿噸數二百噸以上ノ汽船ニハ此ノ法律施行ノ日ヨリ一箇年ヲ限リ二等機關士免狀ヲ有スル者ニ機關長ノ職ヲ執ラシメ又一等機關士ヲ乘組マシメサルコトヲ得

附　則（昭和四年四月法律第四十六號）

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和五年五月勅令第二十五號ヲ以テ昭和五年五月十日ヨリ施行）

本法施行ノ際現ニ船舶職員トシテ就職中ノ者ハ遞信大臣ノ定ムル所ニ依リ本法施行後引續キ同一ノ船舶ニ於テ同一ノ職ヲ執ル期間內ニ限リ仍從前ノ例ニ依リ就職スルコトヲ得

本法ノ適用ニ付テハ舊刑法ノ重罰ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

附　則（昭和八年三月法律第十二號）

本法施行ノ期日ハ各條ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム（昭和九年二月勅令第十六號ヲ以テ昭和九年三月一日ヨリ施行）

第一號表

（其ノ一）　船長及運轉士定員表

航行區域	船舶種類	總噸數	船舶職員	免狀種類	定員
平水區域	汽船	五百噸未滿	船長	乙種二等運轉士免狀	一
		千五百噸未滿	船長	乙種一等運轉士免狀	一
		千五百噸以上	船長	乙種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
沿海區域	汽船	二百噸未滿	船長	乙種二等運轉士免狀	一
		千噸未滿	船長	乙種一等運轉士免狀	一
			一等運轉士	乙種二等運轉士免狀	一
		千噸以上	船長	乙種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
	帆船	二十噸以上	船長	丙種運轉士免狀	一

（其ノ二）　機關長及機關士定員表

航行區域	機關公稱馬力	船舶職員	免狀種類	定員
平水區域	四百馬力未滿	機關長	三等機關士免狀	一
	七百馬力未滿	機關長	二等機關士免狀	一
	千二百馬力未滿	機關長	二等機關士免狀	一
		一等機關士	三等機關士免狀	一
	千二百馬力以上	機關長	一等機關士免狀	一
		一等機關士	二等機關士免狀	一
沿海區域	三百馬力未滿	機關長	三等機關士免狀	一
	五百馬力未滿	機關長	二等機關士免狀	一
	七百馬力未滿	機關長	二等機關士免狀	一
		一等機關士	三等機關士免狀	一
	千二百馬力未滿	機關長	一等機關士免狀	一
		一等機關士	二等機關士免狀	一
	千二百馬力以上	機關長	一等機關士免狀	一
		一等機關士	二等機關士免狀	一
近海區域	二百五十馬力未滿	機關長	三等機關士免狀	一
		一等機關士	二等機關士免狀	一
	二千馬力以上	機關長	機關長免狀	一
		一等機關士	一等機關士免狀	一

航行區域	船舶種類	總噸數	船舶職員	免狀種類	定員
近海區域	汽船	五百噸未滿	船長	乙種二等運轉士免狀	一
			一等運轉士	乙種二等運轉士免狀	一
		千噸未滿	船長	乙種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種船長免狀	一
		二千噸未滿	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
		五千噸未滿	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種船長免狀	一
		五千噸以上	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種船長免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
			三等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
	船舶	二百噸以上	船長	甲種運轉士免狀	一
遠洋區域	汽船	三千噸未滿ノ旅客船又ハ五千噸未滿ノ非旅客船	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
		三千噸以上ノ旅客船又ハ五千噸以上ノ非旅客船	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
			三等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
	船舶	二百噸未滿	船長	甲種一等運轉士免狀	一
			一等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一

航行區域	船舶種類	總噸數	船舶職員	免狀種類	定員
平水區域	汽船	五百噸未滿	船長	甲種船長免狀	一
		千噸未滿	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
		千噸以上	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
沿海區域	汽船	千噸未滿	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
			二等運轉士	甲種二等運轉士免狀	一
		千噸以上	船長	甲種船長免狀	一
			一等運轉士	甲種一等運轉士免狀	一
	帆船	五百噸以上	船長	甲種運轉士免狀	一
			一等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
		五百噸未滿	船長	乙種一等運轉士免狀	一
			一等運轉士	乙種船長免狀	一
		二百噸未滿	船長	乙種船長免狀	一
			一等運轉士	乙種一等運轉士免狀	一
		二十噸以上	船長	丙種運轉士免狀	一
			一等運轉士	丙種運轉士免狀	一

備考　石數ヲ以テ積量ヲ表示スル船舶ニ付テハ積石數十石ヲ以テ總噸數一噸ニ換算ス

本表ノ定員ハ船長ヲ除クノ外最少員數ヲ示シタルモノトス

第八	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	第八
船	船	船	船	船	船	船	船	船	船	船	船
一百噸未滿	一百噸以上	二百噸未滿	二百噸以上	三百噸未滿	三百噸以上	五百噸未滿	五百噸以上	千噸未滿	千噸以上	二千噸未滿	二千噸以上
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士	一等運轉士
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士	二等運轉士
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士	三等運轉士
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一等機關士	一等機關士	一等機關士	一等機關士	一等機關士	一等機關士	一等機關士	一等機關士	一等機關士	一等機關士	一等機關士	一等機關士
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二等機關士	二等機關士	二等機關士	二等機關士	二等機關士	二等機關士	二等機關士	二等機關士	二等機關士	二等機關士	二等機關士	二等機關士
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三等機關士	三等機關士	三等機關士	三等機關士	三等機關士	三等機關士	三等機關士	三等機關士	三等機關士	三等機關士	三等機關士	三等機關士
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手	一等運轉手
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手	二等運轉手
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

第三號表

（其ノ一）　商船船長及運轉士定員表

| 船舶種類 | 航路 | 船名 | 積噸數 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種 | 乙種 | 甲種

（其ノ二）漁船機關長及機關士定員表

三種甲		從業制限	公稱馬力	船舶職員	機關種類	海技免狀	定員
船	五百噸未滿	船長		漁船甲種一等運轉士免狀			一
		一等運轉士		漁船甲種二等運轉士免狀			
	五百噸以上	船長		漁船甲種船長免狀			一
		一等運轉士		漁船甲種一等運轉士免狀			
		二等運轉士		漁船甲種二等運轉士免狀			一

第一種							
五十馬力未滿	機關長			發動機	小形發動機船三等機關士免狀		一
百五十馬力未滿	機關長			發動機	沿岸發動機船三等機關士免狀		一
三百五十馬力未滿	機關長			發動機	發動機船三等機關士免狀		一
				汽機	汽船三等機關士免狀		
千五百馬力未滿	機關長			發動機	近海發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	近海汽船二等機關士免狀		
二千馬力未滿	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
二千馬力以上	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
第二種							
五十馬力未滿	機關長			發動機	小形發動機船三等機關士免狀		一
百五十馬力未滿	機關長			發動機	沿岸發動機船三等機關士免狀		一
三百五十馬力未滿	機關長			發動機	發動機船三等機關士免狀		一
				汽機	汽船三等機關士免狀		
千五百馬力未滿	機關長			發動機	近海發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	近海汽船二等機關士免狀		
二千馬力未滿	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
二千馬力以上	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
第三種							
五十馬力未滿	機關長			發動機	小形發動機船三等機關士免狀		一
百五十馬力未滿	機關長			發動機	沿岸發動機船三等機關士免狀		一
三百五十馬力未滿	機關長			發動機	發動機船三等機關士免狀		一
				汽機	汽船三等機關士免狀		

第二種乙							
六百馬力未滿	機關長			發動機	近海發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	近海汽船二等機關士免狀		
千馬力未滿	機關長			發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
千五百馬力未滿	機關長			發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	近海汽船二等機關士免狀		
第三種乙							
二千馬力未滿	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
第八種							
二千馬力未滿	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
第四種							
四千馬力未滿	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
第三種乙							
四千馬力以上	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		

第六							
六百馬力未滿	機關長			發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
第七							
二千馬力未滿	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
第八							
三千馬力未滿	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
第三種甲							
三千馬力以上	機關長			發動機	發動機船機關長免狀		一
				汽機	機關長免狀		
	機關士	一等機關士		發動機	發動機船一等機關士免狀		一
				汽機	一等機關士免狀		
		二等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		
		三等機關士		發動機	發動機船二等機關士免狀		一
				汽機	二等機關士免狀		

備考

一　第二種乙又ハ第三種乙ト稱スルハ第二種又ハ第三種中東ハ東經百七十五度、西ハ同九十四度、南ハ南緯十一度、北ハ北緯六十三度ノ線ニ依リ限ラレタル區域内ニ於テ從業スルモノヲ謂フ

二　第二種甲又ハ第三種甲ト稱スルハ第二種又ハ第三種中前號ニ規定スルモノヲ除キタルモノヲ謂フ

第四號表　機關ヲ有スル帆船ノ機關部職員定員表

公稱馬力	船舶職員	機關種類	海技免狀	定員
五十馬力未滿	機關長	發動機	小形發動機船三等機關士免狀	一
百五十馬力未滿	機關長	發動機	沿岸發動機船三等機關士免狀	一
三百五十馬力未滿	機關長	發動機	發動機船三等機關士免狀	一
		汽機	汽船三等機關士免狀	
六百馬力未滿	機關長	發動機	近海發動機船二等機關士免狀	一
		汽機	近海汽船二等機關士免狀	
六百馬力以上	機關長	發動機	發動機船一等機關士免狀	一
		汽機	一等機關士免狀	

第五號表　海技免狀新舊對照表

舊海技免狀	新海技免狀
效力ヲ沿海航路ヲ航路定限ト爲ス總噸數五十噸未滿ノ帆船ニ限リタル丙種運轉士免狀	沿岸丙種運轉士免狀
效力ヲ漁船ニ限リタル丙種運轉士免狀	
效力ヲ一定區域ノ湖川港内ノミヲ航行スル汽船ニ限リタル乙種二等運轉士免狀	潮川港乙種二等運轉士免狀
效力ヲ沿海航路若ハ平水航路ヲ航路定限ト爲ス總噸數三十噸未滿ノ汽船ニ限リタル乙種二等運轉士免狀	沿岸乙種二等運轉士免狀
效力ヲ漁船ニ限リタル乙種二等運轉士免狀	
效力ヲ漁船ニ限リタル乙種一等運轉士免狀	漁船乙種一等運轉士免狀
效力ヲ漁業汽船ニ限リタル甲種二等運轉士免狀	漁汽船甲種二等運轉士免狀
效力ヲ漁船ニ限リタル甲種二等運轉士免狀	漁船甲種二等運轉士免狀
效力ヲ汽船ニ限リタル甲種二等運轉士免狀	汽船甲種二等運轉士免狀
效力ヲ漁業汽船ニ限リタル甲種一等運轉士免狀	漁汽船甲種一等運轉士免狀
效力ヲ漁船ニ限リタル甲種一等運轉士免狀	漁船甲種一等運轉士免狀

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

效力ヲ汽船ニ限リタル甲種一等運轉士免狀　汽船甲種一等運轉士免狀
效力ヲ汽船ニ限リタル甲種船長免狀　汽船甲種船長免狀
效力ヲ湖川港內ノミヲ航行スル汽船ニ限リタル三等機關士免狀　湖川港三等機關士免狀
效力ヲ發動機船ニ限リタル三等機關士免狀　發動機船三等機關士免狀
效力ヲ發動機船ニ限リタル二等機關士免狀　發動機船二等機關士免狀
效力ヲ發動機船ニ限リタル一等機關士免狀　發動機船一等機關士免狀
效力ヲ發動機船ニ限リタル機關長免狀　發動機船機關長免狀

（第一號書式）

海技免狀原簿登錄申請書

一　登錄ヲ申請セムトスル海技免狀ノ種類
二　氏名（振假名ヲ附スベシ）
三　本籍
四　出生年月日
五　船舶職員試驗ヲ行ヒタル管海官廳ノ名稱
六　合格年月日
七　現ニ受有スル海技免狀ノ種類及番號
八　海員懲戒法ニ依ル審判繫屬ノ有無

右海技免狀原簿ニ登錄ノ上海技免狀授與相成度船舶職員法施行細則第十四條ニ依リ及申請候也

年　月　日　　申請者　氏　名　㊞
現住所

遞信大臣宛

（第二號書式）

花紋

第　號
道府縣（外國人ニ在リテハ國籍）
氏　名
年　月　日生
年　月　日錄

紋章　（免狀種類）免狀

明治二十九年法律第六十八號船舶職員法ニ依リ之ヲ授與ス

年　月　日
遞信大臣（督）氏　名　印

備考　一　甲種船長、甲種一等運轉士、甲種二等運轉士、機關長、一等機關士及二等機關士（效力ヲ近海區域ニ限リタルモノヲ除クノ近海區域ニ限リタル免狀ハ其ノ裏面ニ英譯文ヲ附スル免狀ノ紋章ハ菊章トス）

一　前項ニ掲グル免狀ノ紋章ハ桐章トス

（第三號書式）

海技免狀原簿登錄變更
海技免狀原簿登錄訂正申請書
海技免狀書換

一　海技免狀ノ番號
二　海技免狀ノ種類
三　登錄ノ年月日
四　氏名　　舊（誤）　新（正）（振假名ヲ附スベシ）
五　本籍　　新（正）　舊（誤）
六　出生ノ年月日　　正　誤

右ノ通登錄相成度戶籍謄本（抄本）及手數料相添及申請候也（登錄稅相添及ノ部分ハ登錄稅法第十四條ニ依リ昭和六年四月一日ヨリ施行ノ際登錄ヲ受クル者ニ付テハ同年六月三十日迄ハ之ヲ適用セス）

年　月　日　　申請者　氏　名　印
現住所

遞信大臣宛

（第四號書式）

海技免狀再交付申請書

一　海技免狀ノ番號
二　海技免狀ノ種類
三　登錄ノ年月日
四　氏名（振假名ヲ附スベシ）
五　本籍
六　出生ノ年月日

右　年　月　日（流失、遺失、紛失、毀損等ノ事由ヲ記載ス）ニ付再交付相成度手數料相添及申請候也

年　月　日　　申請者　氏　名　印
現住所

遞信大臣宛

（第五號書式）

引續就職者證明申請書

一　船舶職員ノ名稱
二　海技免狀ノ種類及番號
三　氏名
四　就職年月日（復職者ニ在リテハ申請者ノ船舶ニ乘組ミタル年月日ヲ記載スルコト下）

五　船舶ノ番號、種類及名稱
六　總噸數又ハ機關ノ種類（汽艇若ハ發動艇ノ別）及公稱馬力
七　航路區域
八　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱

右者昭和四年法律第四十六號附則第二項ニ依ル引續就職者ナルコトヲ證明相成度及申請候也

年　月　日　　申請者　氏　名　印
現住所

管海官廳宛

●船舶職員ノ代用海技免狀行使ノ特例ニ關スル件

大正十四年十二月
總令第百十二號

改正　昭和一〇年二第三八號

船舶職員ノ代用海技免狀行使ノ特例ニ關スル件左ノ通定ム

大正九年朝鮮總督府令第十四號別表第一號表又ハ第三號表ニ依リ船舶ニ其ノ職員トシテ乘組ミ本令施行ノ際現ニ就職中ノ者ハ同一ノ船舶ニ於テ同一ノ職ヲ執ル期間內ニ限リ大正十四年朝鮮總督府令第五十八號ノ規定ニ拘ラス同別表ニ依リ引續キ就職スルコトヲ得本令施行後一時下船シ其ノ翌日ヨリ起算シ三十日以內ニ同一船舶ニ於テ同一ノ職ニ復スル者亦同ジ

前項ノ規定ニ依リ船舶職員トシテ引續キ就職セムトスル者ハ大正十四年十二月三十一日迄ニ又復職セムトスル者ハ其ノ都度左ニ掲クル事項ヲ記載シタル書面二通ニ就退職ノ期日ヲ證スル船員手帖其ノ他ノ證憑（復職セムトスル者ニ在リテハ就職前出ノ證明書ヲモ合セ）ヲ添附シ管海官廳ニ届出テ其ノ旨證明ヲ受クヘシ

一　船舶番號、船種及船名
二　總噸數
三　航行區域
四　船舶所有者ノ氏名又ハ名稱
五　職名
六　海技免狀ノ種類及番號
七　就退職年月日（昭和四年四月一日ノ際現ニ就職中ノ者ニ付テハ同日ヲ就職年月日トス）
八　届出ノ事由

第一項ノ規定ニ依リ就職又ハ復職シタル者下船シタルトキハ遲滯ナク管海官廳ニ其ノ旨届出ツヘシ

管海官廳ニ於テ航路ノ狀況其ノ他正當ノ事由ニ依リ第二項ニ定ムル期日迄ニ届出ヲ爲スコト能ハサリシモノト認ムル場合ニ限リ期日後ト雖届出ヲ受理スルコトヲ得

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮船舶職員試驗規則

昭和五年四月
總令第三十九號

改正　昭和八年六第六四號、九年二第一九號

朝鮮船舶職員試驗規則左ノ通改正ス

朝鮮船舶職員試驗規則

第一條　朝鮮船舶職員試驗ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外昭和五年遞信省令第六號船舶職員試驗規程ニ依ル但シ同令第六條第一項、第七條乃至第九條及第二十條第三項ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

船舶職員試驗規程中遞信大臣トアルハ朝鮮總督、朝鮮トアルハ內地、市區町村長トアルハ府尹邑面長、明治三十八年三月遞信省令第二十號船舶職員法施行細則トアルハ大正三年朝鮮總督府令第七十九號朝鮮船舶職員令施行規則トシ別表學術試驗科目表中船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶法、船舶安全法トアルハ各朝鮮船員令、朝鮮船舶安全令、朝鮮船舶令トス

船舶職員試驗規程第二條、第四條及第二十八條乃至第三十一條中管海官廳又ハ所轄管海官廳トアルハ朝鮮總督府遞信局長トス

第一條ノ二　朝鮮總督ハ內地、臺灣、樺太、關東州、南洋群島若ハ外國ノ港又ハ此等ノ各港間ヲ航行スル船舶ニ乘組ミタル履歷ハ船舶職員試驗規程別表ニ定ムル受驗履歷表ニ照ラシ之ヲ相當ノ履歷トシテ認定スルコトヲ得

第一條ノ三　朝鮮總督ハ內地、臺灣若ハ關東州ニ船籍港ヲ定ムル船舶又ハ外國船舶ニ乘組ミタル履歷ハ船舶職員試驗規程別表ニ定ムル受驗履歷表ニ照ラシ之ヲ相當ノ履歷トシテ認定スルコトヲ得

第二條　臺灣總督ノ授與シタル海技免狀又ハ朝鮮總督ノ適當ト認ムル外國政府ノ授與シタル海技免狀ヲ有シテ執職シタルモノト看做ス

第三條　臺灣總督又ハ外國政府ノ授與シタル海技免狀ヲ有スル者ハ朝鮮總督ノ認定スル所ニ依リ相當試驗ヲ受クルコトヲ得

第四條　船舶職員試驗規程第十條ノ規定ニ該當スル者及臺灣總督ノ授與シタル海技免狀ヲ有スル者ニ對シテハ別ニ告示スル所ニ依リ筆記試驗ヲ免除ス

附　則

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前受驗資格ニ適合シタル履歷ハ本令施行後二年ヲ限リ船舶職員試驗規程第四條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ本令ニ依ル相當試驗ノ受驗履歷ト看做ス

機關長又ハ機關士ノ試驗ヲ受ケントスル者ニシテ本令施行前滅失、沈沒其ノ他ノ事由ニ因リ機關ノ公稱馬力ヲ算定スルコト能ハザルニ至リタル船舶ニ乘組ミタリシ者ノ乘船履歷ハ本令施行前ノ試驗規則ノ定ムル所ニ依リ之ヲ本令ニ依ル相當試驗ノ乘船履歷ト認ムルコトヲ得ル相當試驗ナキモノニ付テハ管海官廳ノ認定スル所ニ依ル

本令施行後昭和六年六月三十日迄學術試驗ハ船舶職員試驗規程第二十一條ノ規定ニ拘ラズ發動機船二等機關士試驗及二等機關士試驗ヲ除クノ外本令施行前ノ試驗規則ニ定ムル學術試驗科目表ニ依リ之ヲ行フ

附　則（昭和九年二月總令第十九號）

本令ハ昭和九年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

漁船ニ付テハ從前ノ規定ニ定ムル航洋船舶又ハ大航洋船舶ニ乘組ミタル履歷ハ各之ヲ本令ニ規定スル航洋船又ハ大航洋船ニ乘組ミタル履歷ト看做ス

近海二等機關士免狀ヲ受有スル者ハ從前ノ規定ニ定ムル乘船履歷ヲ以テ仍一等機關士試驗ヲ受クルコトヲ得

從前ノ規定ニ依ル近海二等機關士試驗ノ筆記試驗ニ合格シ口述試驗ニ合格セサリシ者ニ付テハ受驗者ノ選擇ニ依リ近海汽船二等機關士試驗又ハ近海發動機船二等機關士試驗ノ合格シタルモノト看做ス

附　則（昭和十年二月總令第三十七號）

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

漁船ニ付テハ從前ノ規定ニ定ムル大航洋船舶ニ乘組ミタル履歷ト之ヲ本令ニ規定スル大航洋船舶ニ乘組ミタル履歷ト看做ス

昭和九年朝鮮總督府令第十九號附則第五項ヲ削ル

●船舶職員試驗規程

昭和五年三月
遞令第六號

改正　昭和六年二第五二號、八年五第二五號、九年二第二六號、一二年三第九號

船舶職員試驗規程左ノ通定ム

船舶職員試驗規程

第一章　總則

第一條　船舶職員試驗ハ左ノ三十七種トス

小形船丙種運轉士試驗
沿岸丙種運轉士試驗
丙種運轉士試驗
丙種船長試驗
丙種船長試驗
小形船乙種二等運轉士試驗
小形船乙種二等運轉士試驗
湖川港乙種二等運轉士試驗

第十三條　乙種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等運轉士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第十四條　乙種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等運轉士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第十五條　乙種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等運轉士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第十六條　乙種船舶一等機關士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第十七條　乙種船舶二等機關士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第十八條　乙種船舶三等機關士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第十九條　乙種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等運轉士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十條　乙種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等運轉士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十一條　乙種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等運轉士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十二條　乙種船舶一等機關士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十三條　乙種船舶二等機關士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十四條　乙種船舶三等機關士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶二等運轉士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶三等運轉士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十七條　甲種船舶一等機關士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十八條　甲種船舶二等機關士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二十九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三十九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第四十九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十七條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十八條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第五十九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第六十九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第七十九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十七條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十八條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第八十九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第九十九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十七條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十八條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百十九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百二十九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百三十九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十七條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十八條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百四十九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百五十九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百六十九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十七條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十八條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百七十九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百八十九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第百九十九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百十九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百二十九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十七條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十八條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百三十九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百四十九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百五十九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十七條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十八條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百六十九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百七十九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百八十九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十七條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十八條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第二百九十九條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百一條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百二條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百三條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百四條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百五條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百六條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百七條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百八條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百九條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十一條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十二條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十三條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十四條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十五條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十六條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十七條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十八條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百十九條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百二十條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百二十一條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百二十二條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百二十三條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百二十四條　甲種船舶二等運轉士ハ甲種船舶二等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百二十五條　甲種船舶三等運轉士ハ甲種船舶三等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百二十六條　甲種船舶一等運轉士ハ甲種船舶一等機關士ノ職務ヲ行フコトヲ得

第三百二十七條　甲種船舶二等運轉士ハ

一 航法
航海推算術
航海天文術
運轉術
航法試驗
二 運用術
運用術ノ目的
運用ノ方法
運用ノ順序
三 航海
航海ノ目的
航海ノ種類
航海ノ順序
一 航海ノ準備
航海ノ準備
航海ノ準備ニ關スル法規
航海ノ準備ニ關スル書類
航海ノ準備ニ關スル檢査
航海ノ準備ニ關スル試驗
二 航海ノ實施
航海ノ實施ニ關スル法規
航海ノ實施ニ關スル書類
航海ノ實施ニ關スル檢査
航海ノ實施ニ關スル試驗
三 航海ノ終了
航海ノ終了ニ關スル法規
航海ノ終了ニ關スル書類
航海ノ終了ニ關スル檢査
航海ノ終了ニ關スル試驗

旅客及客室ニ關スル心得
甲板及船側諸口ノ水密閉鎖
各種貨物ノ船積及引渡
救急醫術ノ大要
日誌取扱

五　法規

海上衝突豫防法
商法海商編中船員ニ關スル規定
船員法、船員最低年齢法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法（無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規並發閻、檢疫、開港及水路取締ニ關スル法規中須知事項
乙種一等運轉士試驗
乙種二等運轉士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目

一　數學

算術
歩合算法

二　航海術

航用器具ノ取扱及矯正
六分儀、人工地平儀、測深機械、時辰儀
潮時算法
推測ニ依ル船位、針路及航程ノ測定
緯線航法、中分緯度航法、漸長緯度航法、羅針儀ノ說明及用法
天測ニ依ル船位ノ測定
太陽子午線高度緯度法、太陽時辰方位法
天測ニ依ル天象ノ眞方位及羅針自差ノ測定
太陽出沒方位法、太陽時辰方位法

三　運用術

船舶ノ修繕及保存ノ大要
縻帆ノ取扱
短艇演習及防火演習
海上氣象學
氣象觀測器ノ說明及用法
日本近海ニ於ケル氣溫、氣壓、風、海水及海流
信號
圖際信號（圖際通信書信號編）、船舶通航信號、潮時信號
漁船乙種一等運轉士試驗
乙種一等運轉士試驗科目中國語、數學及運用術中貨客取扱ニ關スル事項ヲ除キタルモノ

一　數學

算術
全體

二　航海術

術語解說
航用器具ノ取扱
三杆分度儀
羅針儀ノ據付
羅針自差分解並羅針自差曲線圖ノ作成及用法
天測ニ依ル船位ノ測定
太陽近午緯度法、太陽時辰儀經度法、極星緯度法
天測ニ依ル天象ノ眞方位及羅針自差ノ測定
太陽高度方位法、太陽時辰方位法

三　運用術

噸數ノ種別
操舵ト回轉圈
船舶洋上橫附
運轉自由ヲ得ザル汽船ノ取扱
假舵及救命筏ノ組立及用法
海錨ノ組立及用法竝撒油鎭浪法
海上氣象學
日本近海ニ於ケル氷流及氷塊
信號
圖際信號（圖際通信書信號編及電信編）
氣象信號、船舶通航信號、潮時信號
貨物取扱
旅客及客室ニ關スル心得、甲板及船側諸口ノ水密閉鎖
杠重裝置竝附材、鐵鎖、綱鋼索ノ支持力及保存
各種貨物ノ船積及引渡
救急醫術ノ大要
日誌取扱

六　法規

海上衝突豫防法
商法海商編中船員ニ關スル規定
船員法、船員最低年齢法、船舶職員

法、海員懲戒法、船舶法、船舶安全法及各附屬法規並發閻、檢疫、開港及水路取締ニ關スル法規中須知事項
漁汽船甲種二等運轉士試驗、漁船甲種二等運轉士試驗及汽船甲種二等運轉士試驗

漁汽船甲種二等運轉士試驗科目ハ圖語、英語、數學並運用術中橫帆裝置ノ帆船及貨客取扱ニ關スル事項ヲ、漁船甲種二等運轉士試驗科目ハ圖語、英語、數學及運用術中貨客取扱ニ關スル事項ヲ又汽船甲種二等運轉士試驗科目ハ運用術中橫帆裝置ノ帆船ニ關スル事項ヲ甲種船長試驗科目中ヨリ除キタルモノ

甲種一等運轉士試驗
甲種二等運轉士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目

一　英語

船舶ノ修繕及荷役ニ關スル普通ヲ了解シ得ル程度

二　數學（算術ヲ除ク）

代數
比例竝
幾何
平面（比例竝）
三角法
平面

三　應用力學

力ノ合成及分解、能率、偶力、運動、運動ノ法則、仕事、簡單機械、機械ノ效率、動力ノ傳達重心、水壓、浮力ノ中心、メタセンター、ツリム、シンプソン氏ノ法則、水ノ抵抗、船舶ニ使用スル材料ノ强弱

四　航海術

羅針儀指附
羅針自差分解並羅針自差曲線圖ノ作成及用法
索星

一　定ノ時間ニ於テ子午線ヲ經過スベキ星ノ名及經過時ノ推算、恆星又ハ行星子午線高度緯度法、極星緯度法

五　運用術

船舶ノ修繕及保存ノ大要
下檣建竪及他ノ附材ノ取扱
復原力ト船ノ動搖
操舵ト回轉圈
假舵及救命筏ノ組立及用法
海錨ノ組立及用法竝撒油鎭浪法
曳船
海上氣象學

三　氣象學

貿易風、信風、颶風、海流、氷流及氷塊

四　貨物取扱

重量物ノ船積及引渡、貨物ノ船積及接配

漁汽船甲種一等運轉士試驗

一　法規

船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規中須知事項

二　數學

算術
四則、分數、小數、簡單ナル面積及體積ノ計算

三　機關術

沿岸發動機船三等機關士試驗科目ニ依リ其ノ程度ヲ稍高メタルモノ

四　法規

船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規中須知事項

汽船三等機關士試驗

一　英語

書取、作文、解釋

二　數學

算術
四則、分數、小數、簡單ナル面積及體積ノ計算

三　機關術

潮川港三等機關士試驗科目ニ依リ其ノ程度ヲ稍高メタルモノ

四　法規

船員法、船舶職員法、海員懲戒法、船舶安全法（滿載吃水線及無線電信ニ關スル事項ヲ除ク）及各附屬法規中

須知事項
三等機關士試驗
發動機船三等機關士試驗及汽船三等機關士試驗ノ全科目
近海發動機船二等機關士試驗
發動機船三等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　數學　算術（開方ヲ除ク）
二　機關術
各種發動機ノ種別、構造及取扱
燃料ノ種別、性質及貯藏
吸鐵、軸受其ノ他滑動部ニ於ケル摩擦及各部ノ調整、關連及反轉ノ裝置
小形汽鑵ノ取扱及應急處置
驗壓計ノ構造及取扱
淦水及油船ニ通ズル諸管ノ配置並之ニ對スル注意
三　法規
商法海商編中船員ニ關スル規定
近海汽船二等機關士試驗
三等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　數學　算術（開方ヲ除ク）
二　機關術
汽機、汽鑵ノ要部及附屬具ノ構造
汽機、汽鑵ノ損傷シ易キ部分及之ニ對スル注意
淦水及水船ニ通ズル諸管ノ配置並之ニ對スル注意
防水及防火ノ裝置
汽機、汽鑵其ノ他一般ノ腐蝕豫防ニ關スル注意
石炭ノ積込及貯藏ニ關スル注意
操舵機、揚錨機、揚貨機ノ構造及取扱
晴雨計及傳令器ノ構造及取扱
三　法規
商法海商編中船員ニ關スル規定
發動機船二等機關士試驗
近海發動機船二等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　數學
算術
金鎰
代數
二次方程式迄
二　物理學
物性
力、物質ノ基本性質、慣性ノ法則、重力、比重及密度、壓力及張力、萬有引力、物質ノ三態、分子力
彈性、彈性率、フックノ定律、表面張力、毛管現象、溶解、擴散、滲透、凝著及吸藏
液鎰及液鎰內ノ壓力、パスカルノ原理、水壓機、水準器、重力ヨリ生ズル壓力、側壓、連通器、アルキメジスノ原理、比重及其ノ測定、比重瓶、浮秤
窒氣ノ重サ、大氣ノ壓力、トリチェリーノ實驗、氣壓計、窒氣ノ浮力、ボイルノ法則、サイフォン、水ポンプ、窒氣ポンプ、壓縮ポンプ、渦卷ポンプ
三　機關術
發電機、電動機ノ取扱
其ノ他近海發動機船二等機關士試驗科目ニ依リ其ノ程度ヲ稍高メタルモノ
二等機關士試驗
二　物理學
運動及力
速度、等速度運動、不等速度運動、速度ノ組合及分解、相對運動、加速度運動ノ三法則、運動量、力積、牽力、力ノ絕對單位、重力ノ生ズル加速度、力ノ重力單位、摩擦、回轉摩擦、簡單ナル形ノ重心、物鎰ノ釣合
熱
温度及熱、寒暖計、熱量及比熱、混合法、熱ノ傳導、對流、輻射、線膨脹、鎰膨脹、液鎰ノ膨脹、氣鎰ノ膨脹、氣鎰ノ温度、壓力及鎰積ノ關係、絕對温度、ダルトンノ定律、氣鎰ノ密度ト壓力トノ關係
融解及凝固、融解ニ伴フ鎰積ノ變化、融解熱ニ及ホス壓力ノ影響、復氷寒劑
氣化、沸騰、恒和蒸氣及過熱蒸氣、沸騰點ト壓力
球狀態、氣化熱液化、温度、臨點、温度計
熱トエネルギー、熱ノ仕事當量ノ測定
三　機關術
各種發動機及附屬具ノ構造及取扱
各種發動機各部ニ於ケル故障及損傷ノ原因並之ニ對スル處置、修繕及豫防、各種發動機ノ馬力
各種喞筒ノ構造及取扱
發電機、電動機、操舵機、揚錨機、揚貨機、整速器ノ構造及取扱
瓦斯ノ發生及爆發ニ對スル注意
液鎰燃料ノ積込、貯藏及取扱ニ對スル注意
一等機關士試驗
二等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目
一　數學（算術ヲ除ク）
代數
比例迄
幾何
平面（圓迄）
二　物理學
運動及力
速度、等速度運動、不等速度運動、速度ノ組合及分解、相對運動、加速度運動ノ三法則、運動量、力積、牽力、力ノ絕對單位、重力ノ生ズル加速度、力ノ重力單位、摩擦、回轉摩擦、簡單ナル形ノ重心、物鎰ノ釣合
熱
温度及熱、寒暖計、熱量及比熱、混合法、熱ノ傳導、對流、輻射、線膨脹、鎰膨脹、液鎰ノ膨脹、氣鎰ノ膨脹、氣鎰ノ温度、壓力及鎰積ノ關係、絕對温度、ダルトンノ定律、氣鎰ノ密度ト壓力トノ關係

風壓及凝固、融解ニ伴フ鎰積ノ變化、融解熱ニ及ホス壓力ノ影響、復氷寒劑
氣化、沸騰、恒和蒸氣及過熱蒸氣、沸騰點ト壓力、球狀態、氣化熱、液化、温度、臨點、温度計
熱トエネルギー、熱ノ仕事當量ノ測定
三　機關術
各種喞筒ノ構造及取扱、各種機關ノ馬力
發電機、電動機、蒸騰器、給水加熱器、給水通過器、通風機、壓通機ノ構造及取扱
石炭ノ自然燃燒、瓦斯ノ發生及爆發ニ對スル注意
液鎰燃料ノ積込、貯藏及取扱ニ對スル注意
發動機船機關長試驗
發動機船一等機關士試驗科目ノ外左ノ各號ニ揭グル科目但シ圖畫ヲ除ク
一　機關士ノ職務ニ關スル簡單ナル背稽ヲ了解シ得ル程度
英語
二　數學
代數
二項法迄
幾何
平面
三角法
三　物理及力學
磁氣
磁石ノ作用、磁氣感應、磁場、地球磁氣、分子磁石說
電氣
帶電體、電氣ノ傳導、電氣力、電氣感應、電位、電流、電壓、電池、電氣抵抗、オームノ定律、抵抗ノ連結、電流ト熱、電流ノ磁氣作用、電流ノ磁場、アンペア計、ボールト計、電磁石、電信機、感應電流、感應電流ノ方向、感應コイル、自己及相互感應
力學
力ノ合成及分解、剛體ニ働ク力ノ組合、力ノ能率、平行力ノ合力、偶力、重心、浮鎰ノ釣合、仕事、工率、水タービン
挺子、秤、滑車、輪軸、斜面、楔、ネヂ、齒車
落鎰ノ運動、アットウードノ器械、回轉運動、振子運動、彈性鎰ノ振動、獨樂ノジヤイロ作用、運動スル物鎰ニ對スル抵抗、流鎰ノ吸收作用、運動及位置ノエネルギー、仕事トエネルギー、エネルギーノ不滅則
四　製圖
汽機、發動機、汽鑵ノ主要部ノ一箇若ハ數箇又ハ其ノ他ノ部分ニ付解シ易キ製圖ヲ作リ必要ナル寸法ヲ圖中ニ記入シ以テ此ノ圖面ニ依リ製作ヲ爲シ得ベキモノ
五　機關術
發動機各部ノ構造ト其ノ安全、耐久又ハ經濟トノ關係
燃料及通風
油、水及皮鎹ノ性質及取扱
指壓器、指壓圖及「トーションメーター」
汽機、發動機、汽鑵ノ材料及其ノ强力
冷藏機及水壓機ノ構造及取扱
簡單ナル交流理論、交流機械
小形船試驗講習科目表
(一)　小形船丙種運轉士試驗及小形船乙種二等運轉士試驗
海圖ノ說明及用法
羅針儀ノ說明及用法
船位ノ測定
船燈及救命具ノ取扱
海上衝突豫防法其ノ他海事法規中須知事項
(二)　小形發動機船三等機關士試驗
發動機ノ始動準備、始動、運轉、停止ニ關スル注意
給油及著火ノ調整
各喞筒ニ對スル注意
發動機ノ故障又ハ不慮ノ事變ヲ生ジタルトキノ處置
防水、防火ノ注意、油類ノ貯藏及五斯瓦斯ニ關スル注意
寒暖計、輕比重計及壓力計
海事法規中須知事項

試驗手數料表

試驗ノ種類		口述試驗手數料額	筆記試驗手數料額	發格檢查手數料額
沿岸丙種運轉士試驗、沿岸乙種二等運轉士試驗、沿岸發動機船三等機關士試驗		一圓	一圓	
丙種運轉士試驗、乙種二等運轉士試驗、乙種一等運轉士試驗、發動機船三等機關士試驗、近海汽船三等機關士試驗、近海發動機船二等機關士試驗		一圓	一圓	

丙種船長試驗、乙種一等運轉士試驗、漁汽船甲種二等運轉士試驗、漁汽船甲種一等運轉士試驗、漁船甲種二等運轉士試驗、漁船甲種一等運轉士試驗、二等機關士試驗、漁船甲種一等機關士試驗、二等機關士試驗、甲種一等運轉士試驗、乙種船長試驗、汽船甲種二等運轉士試驗、漁汽船甲種一等運轉士試驗、漁汽船甲種船長試驗、二等機關士試驗、汽船甲種一等機關士試驗、漁汽船甲種船長試驗、甲種船長試驗、發動機船機關長試驗	一圓五十錢
	一圓五十錢
	二圓五十錢
	二圓五十錢
	三圓五十錢
	三圓五十錢

（第一號書式）

（表）

受驗申請書

（試驗ノ種類）試驗相受度船舶職員試驗規程第十三條ニ依リ履歷書、受驗資格證明書、戸籍謄本及寫眞相添此段申請候也

年　月　日

申請者　氏　名印
現住所

（所轄）逓信局長宛

第十條又ハ第二十條末項ニ該當スルトキハ卒業（修了）シタル學校ノ名稱及其ノ年月日	（學校ノ名稱）	年　月　日		
海技免狀ヲ受有スルトキハ其ノ種類、番號、試驗ノ場所及合格年月日（海技免狀ノ原簿登錄申請中ナルトキハ其ノ種類、試驗ノ場所及合格年月日）	第　號免狀	（試驗ノ場所）	年　月　日	
該免狀ヲ停止セラレタルトキハ其ノ年月日及停止ノ期間	第　號免狀	年　月　日停止期間	年　月　日	
試驗申請ノ日ヨリ遡リ一年內ニ發給若ニ於テ試驗ノ種類ニ該當シタルトキハ試驗ノ種類及合格年月日	（試驗ノ場所）	年　月　日		
第十條第一項又ハ第二項ニ該當スルトキハ第四條第二項ニ依リ普通科目筆記試驗ヲ受ケントスル者ハ其ノ旨	試驗（試驗ノ場所）	年　月　日		
申請ノ試驗ヲ同種ノ試驗ヲ既ニ受ケタルトキハ其ノ試驗ノ場所、年月日及不成立又ハ不合格ノ事由	年月日（試驗ノ場所）	（不成立又ハ不合格ノ事由）		

（裏）

履歷書

| | | | |

第十八章　船員

第二節　船舶職員試験規則

船舶職員試験規則ヲ定ム

（明治二十一年一月一日　勅令第一号）

第一条　船舶職員ノ試験ハ本令ニ依リ之ヲ行フ

第二条　試験ハ甲種及乙種ニ分チ甲種ハ一等運転士、二等運転士、一等機関士及二等機関士ノ四種トシ乙種ハ三等運転士及三等機関士ノ二種トス

第三条　甲種ノ試験ハ之ヲ分チテ航海、運用、機関、法規及英語ノ五科トス

第四条　乙種ノ試験ハ之ヲ分チテ航海、運用、機関及法規ノ四科トス

第五条　試験ハ筆記及口述ノ二種トス

第六条　試験ハ逓信大臣又ハ其ノ指定シタル官吏ノ面前ニ於テ之ヲ行フ

第七条　試験ニ及第シタル者ニハ及第証書ヲ授ク

第八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムニ非サレハ職務ヲ執ルコトヲ得ス

第九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第三十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第四十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第五十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第六十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第七十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第八十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第九十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百二十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百三十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百四十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百五十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百六十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百七十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百八十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第百九十九条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二百条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二百一条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二百二条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二百三条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二百四条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二百五条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二百六条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二百七条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

第二百八条　及第証書ヲ受ケタル者ハ其ノ証書ニ記載シタル船舶ニ乗組ムトキハ其ノ証書ヲ船長ニ提出スヘシ

**

裁決ノ送達ヲ受ケタル日ヨリ十四日ト ス

第四十一條　按告ヲ爲スニハ其ノ申立書ヲ原地方海員審判所ニ差出スヘシ

原地方海員審判所ハ直ニ該申立書及一件書類ヲ高等海員審判所ニ送付スヘシ

第四十二條　高等海員審判所ノ審判ニ付テハ地方海員審判所ノ審判ニ關スル規程ヲ準用ス

第四十三條　高等海員審判所ハ按告ヲ理由アリトスルトキハ原裁決ヲ取消シ更ニ裁決ヲ爲スヘシ

按告ヲ理由ナシトスルトキハ裁決ヲ以テ之ヲ棄却スヘシ

第六章　執行處分

第四十四條　懲戒ハ裁決確定ノ後之ヲ執行ス

第四十五條　免狀行使ノ禁止ヲ言渡シタルトキハ其ノ審判ヲ爲シタル海員審判所ニ於テ免狀ヲ取上ケ還信省ニ送付スヘシ

免狀行使ノ停止ヲ言渡シタルトキハ其ノ審判ヲ爲シタル海員審判所ニ於テ免狀ヲ取上ケ期間滿了ノ後之ヲ本人ニ還付スヘシ

免狀行使ノ禁止若ハ停止ヲ言渡サレタル者海員審判所ニ免狀ヲ差出ササルトキハ海員審判所ハ其ノ免狀ヲ無效ト爲シ官報ニ告示スヘシ

第七章　雜則

第四十六條　海員審判所又ハ受命審判官ヨリ證人トシテ呼出サレタル者及鑑定又ハ通辯ノ爲呼出サレタル者正當ノ理由ナクシテ呼出ニ應セス若ハ其ノ義務ヲ盡ササルトキハ二圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十七條　證人トシテ海員審判所ニ呼出サレタル者假證人トシテ呼出サレタル者及鑑定又ハ通辯ノ爲海員審判所ニ呼出サレタル者旅費ノ陳述ヲ爲シタルトキハ一月以上一年以下ノ【重禁錮】ニ處シ【五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加】ス

賄賂其ノ他ノ方法ヲ以テ人ニ嘱託シテ假證又ハ詐僞ノ鑑定通辯ヲ爲サシメタル者亦同シ

前二項ノ罪ヲ犯シタル者其ノ事件ノ裁決言渡ニ至ラサル前ニ自首シタルトキハ本刑ヲ免ス

附　則

第四十八條　此ノ法律ハ明治三十年七月一日ヨリ施行ス

第四十九條　海員審判所ノ事務章程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第五十條　此ノ法律施行ノ際西洋形船舶長運轉手履閲手免狀規則第十條ニ依リ審問中ノ事件ハ此ノ法律ニ依リ管轄ヲ有スル地方海員審判所ノ管轄ト其ノ既ニ審問ノ判定ヲ受ケタルモノハ第五章ノ規程ニ依リ高等海員審判所ニ按告スルコトヲ得

●海技免狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒免除ニ關スル件

昭和十三年二月
勅令第八十號

陸海技免狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒免除ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

海技免狀ヲ受有スル者又ハ水先人ニシテ昭和十三年二月十一日前ノ所爲ニ付海員審判所又ハ懲戒委員會ノ裁決ヲ以テ懲戒ノ處分ヲ受ケタルモノニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒ヲ免除ス　未タ處分ヲ受ケサル者ニ對シテハ懲戒ヲ行ハズ

第一條　海技免狀ヲ受有スル者及水先人ノ懲戒免除ニ關スル件ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

海技免狀ヲ受有スル者又ハ水先人ニシテ昭和十三年二月十一日前ノ所爲ニ付海員審判所又ハ懲戒委員會ノ裁決ヲ以テ懲戒ノ處分ヲ受ケタルモノニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒ヲ免除ス　未タ處分ヲ受ケサル者ニ對シテハ懲戒ヲ行ハズ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●海難其ノ他ノ事實屆出ニ關スル件

昭和十年十二月
總令第百五十三號
改正　昭和二十三年三月四日

遞信省令
聲察官署

遭難船舶ノ通報竝ニ海難其ノ他ノ事實取調手續昭和十二年一月一日ヨリ左ノ通定ム

昭和十年朝鮮總督府訓令第五十三號ハ之ヲ廢止ス

●遭難船舶ノ通報竝ニ海難其ノ他ノ事實取調手續

昭和十一年十二月
總訓第四十一號
改正　昭和二十三年三月四日

遞信省
聲察官署

第一條　海技免狀ヲ受有スル者ヲ乘組マシメタル朝鮮船舶令ニ依リ日本船舶ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スル事實アリタルトキハ當該船舶ノ船長若ハ船長不在ナルトキハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ於テ其ノ後救助ノ目的地ニ向ヒ航行ヲ繼續シ又ハ其ノ他ノ船舶ニ救助ヲ求メタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶ヲ放棄シタルトキ

二　船舶ガ沈沒又ハ顚覆シタルトキ

三　船舶ガ乘揚、接觸又ハ衝突シタルトキ

四　船舶ガ捕獲セラレタルトキ

五　海難救助ヲ求ムル船舶ヲ認メタルトキ

六　其ノ他ノ船舶若ハ人命ヲ救助シタルトキ

七　船舶機關ノ要部ヲ毀損シタルトキ

八　船舶搭載貨物ニ著シキ損害ヲ生ジタルトキ

九　船舶ガ海難ニ罹リ其ノ他非常ニキ事故アリタルトキ

十　人ノ死傷アリタルトキ

十一　海技免狀ヲ受有スル者ガ幾務上ノ義務ニ違反シ又ハ幾務ヲ怠リタルトキ

十二　海技免狀ヲ受有スル者ニ亂酔、粗暴其ノ他ノ尖行アリタルトキ

第二條　前條各號ノ一ニ該當スル事實ヲ認知シタル者ハ遲滯ナク前條ノ官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第三條　船舶所有者、船舶管理人又ハ船舶借入人ハ海技免狀ヲ受有スル者ヲ乘組マシメタル朝鮮船舶令ニ依ル日本船舶ノ存否ガ六月間分明ナラザルトキハ遲滯ナク當該船舶ノ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ其ノ顚末ヲ屆出ヅベシ

第四條　第一條ノ規定ニ依リ屆出ル左ニ揭グル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲シ屆出人之ニ署名捺印又ハ拇印スベシ但シ書面ヲ提出スルコト能ハザル事由アルトキハ口頭ヲ以テ爲スコトヲ得

一　船舶ノ番號、種類、名稱及總噸數

二　船籍港

三　船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

四　船舶ノ最大搭載人員（旅客、船員又ハ其ノ他ノ者ニ區別シテ記載スベシ）就行區域（漁船ニ在リテハ從業制限）、船舶機關ノ種類及公稱馬力、船舶檢査證書ノ有效期間竝ニ船舶檢査證書ヲ交付シタル管海官廳名

五　船長、機關長竝ニ事實發生ノ當時當直シタル海員ノ本籍、住所、氏名及出生ノ年月日、海技免狀ノ種類及番號竝ニ當該當直海員ノ職名

六　船舶ノ發航地、寄航地及到達地

七　事實發生ノ場所及日時竝ニ當時ノ天候風位、風力及潮流

八　事實ノ顚末

前項ニ揭グル事項中屆出ノ事實ニ關係ナキモノハ適宜記載ヲ省略スルコトヲ得

第五條　第一條又ハ第三條ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第八十二號ハ之ヲ廢止ス

リ直ニ朝鮮總督府地方海員審判所理事官ニ通報スベシ

第二條　管海官廳又ハ聲察官署ニ於テ朝鮮船員令ニ於テ定メタル船員法第十五條ノ規定ニ依ル報告、昭和十年朝鮮總督府令第百五十三號ニ依リ朝鮮海員懲戒令又ハ朝鮮水先令ニ定ムル審判ニ付スベキ非實アルコトヲ認知シタルトキハ當該海技免狀又ハ水先免狀受有者及必要ト認ムル關係者ニ就キ海難事件ニ在リテハ左ノ各號ノ事項、其ノ他ノ事件ニ在リテハ第一號乃至第四號、第十五號及第十六號ノ事項ヲ取調ベ調書ヲ作成シ遲滯ナク之ヲ朝鮮總督府地方海員審判所理事官ニ送付スベシ

一　被取調人ノ本籍、住所、氏名、出生ノ年月日、職名（海員ニ非ザル者ニ付テハ其ノ職業）及受有海技免狀又ハ水先免狀ノ種類番號

二　船舶ノ種類、名稱、總噸數、船籍港、擬關ノ種類及公稱馬力竝ニ所有者ノ住所及氏名

三　發航港、事件發生直前ノ寄港地、到達港竝ニ事件發生ノ地點及年月日時

四　事件ノ顚末

五　事件發生當時ノ天候、風位、風力及潮流竝ニ船舶ノ運力、針路、其ノ自差及針路ヲ定メタル地點

六　事件發生當時當直ノ船舶職員、舵取、見張人及油差等事件ニ關係アリト認ムル者ニシテ取調ヲ爲スコト能ハザル者ノ住所、氏名及職名

七　事件發生當時使用シタル海圖ノ名稱及番號

八　船舶損傷ノ箇所及狀態

九　旅客及船員ノ員數竝ニ死傷者ノ有無

十　搭載貨物ノ種類及數量竝ニ其ノ損害ノ有無

十一　人命、船舶及貨物救助ノ方法

十二　航海日誌及機關日誌ノ存否

十三　機關ヲ有スル船舶ニ付テハ全速力、中速力及發速力ノ速度

十四　夜間ニ於ケル衝突事件ニ在リテハ衝突當時揚揚シアリタル檣燈、舷揚檣燈、艙燈、船尾燈又ハ礎泊燈等ノ燈火ノ現狀（揭行）ノ場所及方法竝ニ油船燈、電氣船燈ノ別

十五　被取調人ノ出發豫定目時及目的地

十六　其ノ他參考トナルベキ事項

前項ノ調書ハ取調ヲ爲シタル年月日及場所ヲ記載シ之ヲ被取調人ニ讀聞カセ被取調人ヲシテ之ニ署名捺印セシメ取調ヲ爲シタル者之ニ署名捺印シ其ノ所屬官署ノ印ヲ押捺シ且尋葉ヲ綴目ニ契印スベシ

被取調人ガ署名捺印ヲ爲スコト能ハザルトキ若ハ署名捺印ヲ爲スコトヲ肯ゼザルトキ又ハ當該官署ノ印ヲ押捺スルコト能ハザルトキハ其ノ事由ヲ附記スベシ

（昭和十三年三月總訓第五號ハ昭和十三年三月二十八日ヨリ施行）

●朝鮮船舶職員令準用方ノ件

大正四年十月
總令第百十號

朝鮮船舶職員令ハ內地、滿洲、樺太又ハ關東州ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ニシテ朝鮮ノ沿岸若ハ湖川港內ノミヲ航行シ又ハ朝鮮ヲ起點トシテ朝鮮外ノ地ニ航行スルモノ及湖川港內ノミヲ航行スル外因船舶ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正四年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮水先令

大正四年九月
制令第五號
改正　昭和五年勅令第四號

朝鮮水先令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮水先令

朝鮮ニ於ケル水先人ニ關シテハ水先法第二十條ノ規定ヲ除クノ外同法ニ依ル但シ同法中海員懲戒法トアルハ朝鮮總督、海員審判所トアルハ朝鮮總督府海員審判所トス

第一條　水先人ニアラサル者ハ水先區ニ於テ船舶ノ水路ヲ嚮導スルコトヲ得ス

第二條　水先免狀ハ左ノ條件ヲ具備スル者ニ授與ス

一　帝國臣民ナルコト

二　主務大臣ノ定ムル試驗規定ニ依リ試驗ニ合格シタルコト

水先人名簿ニ登錄セラレタルコト

三　左ノ各號ニ該當スル者ハ水先人タルコトヲ得ス

一　滿二十三年ニ達セサル者及滿六十年以上ノ者

二　剃髮公權者

三　家貧分散者及破產者

四　癡顚白痴者及身體不具又ハ廢弱ニシテ業務ヲ曠ムニ不適當ナル者

五　水先免狀ノ行使ヲ禁止セラレタル者

第四條　水先人ハ左ノ各號ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ業務ヲ暫ムコトヲ得ス

一　公權ヲ行フコトヲ停止セラレタルトキ

二　水先免狀ノ行使ヲ停止若ハ假停止セラレ又ハ之ヲ差押ヘラレタルトキ

第五條　水先人ハ其ノ業務ニ從事スルトキハ水先免狀及水先法令ヲ携帶スヘシ

水先人ハ當該官吏若ハ公吏ノ命ニ依リ又ハ水先人ヲ要招シタル船長ノ要求ニ依リ水先免狀又ハ水先法令ヲ呈示スヘシ

第六條　水先人ハ其ノ業務ニ從事スル爲水先船ニ乘込ミタルトキハ遭難ノ場合ヲ除ク外船長ノ依リ船舶ガ沈沒シ、破壞シ若ハ行衞不明ト爲リ又ハ死傷者若ハ行衞不明者ヲ生ジタルコトヲ認知シタルトキハ當該船舶ノ種類、名稱、所有者、遭難ノ原因、日時、場所及死傷者又ハ行衞不明者ノ員數ヲ能報等ニ依リ其ノ後救助ニ到著シタル港ヲ管轄スル管海官廳（朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局ヲ含ム）又ハ警察官署（外國ニ在リテハ領事館又ハ貿易事務館）ニ遲滯ナク其ノ旨ヲ屆出ヅベシ但シ朝鮮船員令ニ於テ依ルコトヲ定メタル船員法第十五條ノ規定ニ依ル報告ヲ爲シタルトキハ其ノ限ニ在ラズ

一　船舶ヲ放棄シタルトキ

二　船舶ガ沈沒又ハ顚覆シタルトキ

三　船舶ガ乘揚、接觸又ハ衝突シタルトキ

四　船舶ガ捕獲セラレタルトキ

五　海難救助ヲ求ムル船舶ヲ認メタルトキ

六　其ノ他ノ船舶若ハ人命ヲ救助シタルトキ

七　船舶機關ノ要部ヲ毀損シタルトキ

八　船舶搭載貨物ニ著シキ損害ヲ生ジタルトキ

九　船舶ガ海難ニ罹リ其ノ他非常ニキ事故アリタルトキ

十　人ノ死傷アリタルトキ

十一　海技免狀ヲ受有スル者ガ幾務上ノ義務ニ違反シ又ハ幾務ヲ怠リタルトキ

十二　海技免狀ヲ受有スル者ニ亂酔、粗暴其ノ他ノ尖行アリタルトキ

第二條　前條各號ノ一ニ該當スル事實ヲ認知シタル者ハ遲滯ナク前條ノ官署ニ其ノ旨ヲ申告スベシ

第三條　船舶所有者、船舶管理人又ハ船舶借入人ハ海技免狀ヲ受有スル者ヲ乘組マシメタル朝鮮船舶令ニ依ル日本船舶ノ存否ガ六月間分明ナラザルトキハ遲滯ナク當該船舶ノ船籍港ヲ管轄スル管海官廳ニ其ノ顚末ヲ屆出ヅベシ

第四條　第一條ノ規定ニ依リ屆出ル左ニ揭グル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲シ屆出人之ニ署名捺印又ハ拇印スベシ但シ書面ヲ提出スルコト能ハザル事由アルトキハ口頭ヲ以テ爲スコトヲ得

一　船舶ノ番號、種類、名稱及總噸數

二　船籍港

三　船舶所有者ノ住所及氏名又ハ名稱

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第二節　選權

第三節　水先人

第四節　水先人

第五節　水先人

第六節　水先人

第七節　水先人

第八節　水先人

第九節　水先人

第十節　水先人

第十一節　水先人

第十二節　水先人

第十三節　水先人

第十四節　水先人

第十五節　水先人

第十六節　水先人

第十七節　水先人

第十八節　水先人

第十九節　水先人

第二十節　水先人

第二十一節　水先人

第二十二節　水先人

第二十三節　水先人

第二十四節　水先人

第二十五節　水先人

第二十六節　水先人

第二十七節　水先人

第二十八節　水先人

第二十九節　水先人

第三十節　水先人

第三十一節　水先人

第三十二節　水先人

第三十三節　水先人

第三十四節　水先人

第三十五節　水先人

第三十六節　水先人

第三十七節　水先人

第三十八節　水先人

第三十九節　水先人

第四十節　水先人

第四十一節　水先人

第四十二節　水先人

第四十三節　水先人

第四十四節　水先人

第四十五節　水先人

第四十六節　水先人

第四十七節　水先人

第四十八節　水先人

第四十九節　水先人

第五十節　水先人

第五十一節　水先人

第五十二節　水先人

第五十三節　水先人

第五十四節　水先人

第五十五節　水先人

第五十六節　水先人

第五十七節　水先人

第五十八節　水先人

第五十九節　水先人

第六十節　水先人

第六十一節　水先人

第六十二節　水先人

第六十三節　水先人

第六十四節　水先人

第六十五節　水先人

第六十六節　水先人

第六十七節　水先人

第六十八節　水先人

第六十九節　水先人

第七十節　水先人

第七十一節　水先人

第七十二節　水先人

第七十三節　水先人

第七十四節　水先人

第七十五節　水先人

第七十六節　水先人

第七十七節　水先人

第七十八節　水先人

第七十九節　水先人

第八十節　水先人

第八十一節　水先人

第八十二節　水先人

第八十三節　水先人

第八十四節　水先人

第八十五節　水先人

第八十六節　水先人

第八十七節　水先人

第八十八節　水先人

第八十九節　水先人

第九十節　水先人

第九十一節　水先人

第九十二節　水先人

第九十三節　水先人

第九十四節　水先人

第九十五節　水先人

第九十六節　水先人

第九十七節　水先人

第九十八節　水先人

第九十九節　水先人

第百節　水先人

第百一節　水先人

第百二節　水先人

第百三節　水先人

第百四節　水先人

第百五節　水先人

第百六節　水先人

第百七節　水先人

第百八節　水先人

第百九節　水先人

第百十節　水先人

第百十一節　水先人

第百十二節　水先人

第百十三節　水先人

第百十四節　水先人

第百十五節　水先人

第百十六節　水先人

第百十七節　水先人

第百十八節　水先人

第百十九節　水先人

第百二十節　水先人

第百二十一節　水先人

第百二十二節　水先人

第百二十三節　水先人

第百二十四節　水先人

第百二十五節　水先人

第百二十六節　水先人

第百二十七節　水先人

第百二十八節　水先人

第百二十九節　水先人

第百三十節　水先人

第百三十一節　水先人

第百三十二節　水先人

第百三十三節　水先人

第百三十四節　水先人

第百三十五節　水先人

第百三十六節　水先人

第百三十七節　水先人

第百三十八節　水先人

第百三十九節　水先人

第百四十節　水先人

第百四十一節　水先人

第百四十二節　水先人

第百四十三節　水先人

第百四十四節　水先人

第百四十五節　水先人

第百四十六節　水先人

第百四十七節　水先人

第百四十八節　水先人

第百四十九節　水先人

第百五十節　水先人

第百五十一節　水先人

第百五十二節　水先人

第百五十三節　水先人

第百五十四節　水先人

第百五十五節　水先人

第百五十六節　水先人

第百五十七節　水先人

第百五十八節　水先人

第百五十九節　水先人

第百六十節　水先人

第百六十一節　水先人

第百六十二節　水先人

第百六十三節　水先人

第百六十四節　水先人

第百六十五節　水先人

第百六十六節　水先人

第百六十七節　水先人

第百六十八節　水先人

第百六十九節　水先人

第百七十節　水先人

第百七十一節　水先人

第百七十二節　水先人

第百七十三節　水先人

第百七十四節　水先人

第百七十五節　水先人

第百七十六節　水先人

第百七十七節　水先人

第百七十八節　水先人

第百七十九節　水先人

第百八十節　水先人

第百八十一節　水先人

第百八十二節　水先人

第百八十三節　水先人

第百八十四節　水先人

第百八十五節　水先人

第百八十六節　水先人

第百八十七節　水先人

第百八十八節　水先人

第百八十九節　水先人

第百九十節　水先人

第百九十一節　水先人

第百九十二節　水先人

第百九十三節　水先人

第百九十四節　水先人

第百九十五節　水先人

第百九十六節　水先人

第百九十七節　水先人

第百九十八節　水先人

第百九十九節　水先人

第二百節　水先人

第二百一節　水先人

第二百二節　水先人

第二百三節　水先人

第二百四節　水先人

第二百五節　水先人

第二百六節　水先人

第二百七節　水先人

第二百八節　水先人

第二百九節　水先人

第二百十節　水先人

第二百十一節　水先人

第二百十二節　水先人

第二百十三節　水先人

第二百十四節　水先人

第二百十五節　水先人

第二百十六節　水先人

第二百十七節　水先人

第二百十八節　水先人

第二百十九節　水先人

第二百二十節　水先人

第二百二十一節　水先人

第二百二十二節　水先人

第二百二十三節　水先人

第二百二十四節　水先人

第二百二十五節　水先人

第二百二十六節　水先人

第二百二十七節　水先人

第二百二十八節　水先人

第二百二十九節　水先人

第二百三十節　水先人

第二百三十一節　水先人

第二百三十二節　水先人

第二百三十三節　水先人

第二百三十四節　水先人

第二百三十五節　水先人

第二百三十六節　水先人

第二百三十七節　水先人

第二百三十八節　水先人

第二百三十九節　水先人

第二百四十節　水先人

第二百四十一節　水先人

第二百四十二節　水先人

第二百四十三節　水先人

第二百四十四節　水先人

第二百四十五節　水先人

第二百四十六節　水先人

第二百四十七節　水先人

第二百四十八節　水先人

第二百四十九節　水先人

第二百五十節　水先人

第二百五十一節　水先人

第二百五十二節　水先人

第二百五十三節　水先人

第二百五十四節　水先人

第二百五十五節　水先人

第二百五十六節　水先人

第二百五十七節　水先人

第二百五十八節　水先人

第二百五十九節　水先人

第二百六十節　水先人

第二百六十一節　水先人

第二百六十二節　水先人

第二百六十三節　水先人

第二百六十四節　水先人

第二百六十五節　水先人

第二百六十六節　水先人

第二百六十七節　水先人

第二百六十八節　水先人

第二百六十九節　水先人

第二百七十節　水先人

第二百七十一節　水先人

第二百七十二節　水先人

第二百七十三節　水先人

第二百七十四節　水先人

第二百七十五節　水先人

第二百七十六節　水先人

第二百七十七節　水先人

第二百七十八節　水先人

第二百七十九節　水先人

第二百八十節　水先人

第二百八十一節　水先人

第二百八十二節　水先人

第二百八十三節　水先人

第二百八十四節　水先人

第二百八十五節　水先人

第二百八十六節　水先人

第二百八十七節　水先人

第二百八十八節　水先人

第二百八十九節　水先人

第二百九十節　水先人

第二百九十一節　水先人

第二百九十二節　水先人

第二百九十三節　水先人

第二百九十四節　水先人

第二百九十五節　水先人

第二百九十六節　水先人

第二百九十七節　水先人

第二百九十八節　水先人

第二百九十九節　水先人

第三百節　水先人

第三百一節　水先人

第三百二節　水先人

第三百三節　水先人

第三百四節　水先人

第三百五節　水先人

第三百六節　水先人

第三百七節　水先人

第三百八節　水先人

第三百九節　水先人

第三百十節　水先人

第三百十一節　水先人

第三百十二節　水先人

第三百十三節　水先人

第三百十四節　水先人

第三百十五節　水先人

第三百十六節　水先人

第三百十七節　水先人

第三百十八節　水先人

第三百十九節　水先人

第三百二十節　水先人

第三百二十一節　水先人

第三百二十二節　水先人

第三百二十三節　水先人

第三百二十四節　水先人

第三百二十五節　水先人

第三百二十六節　水先人

第三百二十七節　水先人

第三百二十八節　水先人

第三百二十九節　水先人

第三百三十節　水先人

第三百三十一節　水先人

第三百三十二節　水先人

第三百三十三節　水先人

第三百三十四節　水先人

第三百三十五節　水先人

第三百三十六節　水先人

第三百三十七節　水先人

第三百三十八節　水先人

第三百三十九節　水先人

第三百四十節　水先人

第三百四十一節　水先人

第三百四十二節　水先人

第三百四十三節　水先人

第三百四十四節　水先人

第三百四十五節　水先人

第三百四十六節　水先人

第三百四十七節　水先人

第三百四十八節　水先人

第三百四十九節　水先人

第三百五十節　水先人

第三百五十一節　水先人

第三百五十二節　水先人

第三百五十三節　水先人

第三百五十四節　水先人

第三百五十五節　水先人

第三百五十六節　水先人

第三百五十七節　水先人

第三百五十八節　水先人

第三百五十九節　水先人

第三百六十節　水先人

第三百六十一節　水先人

第三百六十二節　水先人

第三百六十三節　水先人

第三百六十四節　水先人

第三百六十五節　水先人

第三百六十六節　水先人

第三百六十七節　水先人

第三百六十八節　水先人

第三百六十九節　水先人

第三百七十節　水先人

第三百七十一節　水先人

第三百七十二節　水先人

第三百七十三節　水先人

第三百七十四節　水先人

第三百七十五節　水先人

第三百七十六節　水先人

第三百七十七節　水先人

第三百七十八節　水先人

第三百七十九節　水先人

第三百八十節　水先人

第三百八十一節　水先人

第三百八十二節　水先人

第三百八十三節　水先人

第三百八十四節　水先人

第三百八十五節　水先人

第三百八十六節　水先人

第三百八十七節　水先人

第三百八十八節　水先人

第三百八十九節　水先人

第三百九十節　水先人

第三百九十一節　水先人

第三百九十二節　水先人

第三百九十三節　水先人

第三百九十四節　水先人

第三百九十五節　水先人

第三百九十六節　水先人

第三百九十七節　水先人

第三百九十八節　水先人

第三百九十九節　水先人

第四百節　水先人

第四百一節　水先人

第四百二節　水先人

第四百三節　水先人

第四百四節　水先人

第四百五節　水先人

第四百六節　水先人

第四百七節　水先人

第四百八節　水先人

第四百九節　水先人

第四百十節　水先人

第四百十一節　水先人

第四百十二節　水先人

第四百十三節　水先人

第四百十四節　水先人

第四百十五節　水先人

第四百十六節　水先人

第四百十七節　水先人

第四百十八節　水先人

第四百十九節　水先人

第四百二十節　水先人

第四百二十一節　水先人

第四百二十二節　水先人

第四百二十三節　水先人

第四百二十四節　水先人

第四百二十五節　水先人

第四百二十六節　水先人

第四百二十七節　水先人

第四百二十八節　水先人

第四百二十九節　水先人

第四百三十節　水先人

第四百三十一節　水先人

第四百三十二節　水先人

第四百三十三節　水先人

第四百三十四節　水先人

第四百三十五節　水先人

第四百三十六節　水先人

第四百三十七節　水先人

第四百三十八節　水先人

第四百三十九節　水先人

第四百四十節　水先人

第四百四十一節　水先人

第四百四十二節　水先人

第四百四十三節　水先人

第四百四十四節　水先人

第四百四十五節　水先人

第四百四十六節　水先人

第四百四十七節　水先人

第四百四十八節　水先人

第四百四十九節　水先人

第四百五十節　水先人

第四百五十一節　水先人

第四百五十二節　水先人

第四百五十三節　水先人

第四百五十四節　水先人

第四百五十五節　水先人

第四百五十六節　水先人

第四百五十七節　水先人

第四百五十八節　水先人

第四百五十九節　水先人

第四百六十節　水先人

第四百六十一節　水先人

第四百六十二節　水先人

第四百六十三節　水先人

第四百六十四節　水先人

第四百六十五節　水先人

第四百六十六節　水先人

第四百六十七節　水先人

第四百六十八節　水先人

第四百六十九節　水先人

第四百七十節　水先人

第四百七十一節　水先人

第四百七十二節　水先人

第四百七十三節　水先人

第四百七十四節　水先人

第四百七十五節　水先人

第四百七十六節　水先人

第四百七十七節　水先人

第四百七十八節　水先人

第四百七十九節　水先人

第四百八十節　水先人

第四百八十一節　水先人

第四百八十二節　水先人

第四百八十三節　水先人

第四百八十四節　水先人

第四百八十五節　水先人

第四百八十六節　水先人

第四百八十七節　水先人

第四百八十八節　水先人

第四百八十九節　水先人

第四百九十節　水先人

第四百九十一節　水先人

第四百九十二節　水先人

第四百九十三節　水先人

第四百九十四節　水先人

第四百九十五節　水先人

第四百九十六節　水先人

第四百九十七節　水先人

第四百九十八節　水先人

第四百九十九節　水先人

第五百節　水先人

第五百一節　水先人

第五百二節　水先人

第五百三節　水先人

第五百四節　水先人

第五百五節　水先人

第五百六節　水先人

第五百七節　水先人

第五百八節　水先人

第五百九節　水先人

第五百十節　水先人

第五百十一節　水先人

第五百十二節　水先人

第五百十三節　水先人

第五百十四節　水先人

第五百十五節　水先人

第五百十六節　水先人

第五百十七節　水先人

第五百十八節　水先人

第五百十九節　水先人

第五百二十節　水先人

第五百二十一節　水先人

第五百二十二節　水先人

第五百二十三節　水先人

第五百二十四節　水先人

第五百二十五節　水先人

第五百二十六節　水先人

第五百二十七節　水先人

第五百二十八節　水先人

第五百二十九節　水先人

第五百三十節　水先人

第五百三十一節　水先人

第五百三十二節　水先人

第五百三十三節　水先人

第五百三十四節　水先人

第五百三十五節　水先人

第五百三十六節　水先人

第五百三十七節　水先人

第五百三十八節　水先人

第五百三十九節　水先人

第五百四十節　水先人

第五百四十一節　水先人

第五百四十二節　水先人

第五百四十三節　水先人

第五百四十四節　水先人

第五百四十五節　水先人

第五百四十六節　水先人

第五百四十七節　水先人

第五百四十八節　水先人

第五百四十九節　水先人

第五百五十節　水先人

第五百五十一節　水先人

第五百五十二節　水先人

第五百五十三節　水先人

第五百五十四節　水先人

第五百五十五節　水先人

第五百五十六節　水先人

第五百五十七節　水先人

第五百五十八節　水先人

第五百五十九節　水先人

第六百節　水先人

第六百一節　水先人

第六百二節　水先人

第六百三節　水先人

第六百四節　水先人

第六百五節　水先人

第六百六節　水先人

第六百七節　水先人

第六百八節　水先人

第六百九節　水先人

第六百十節　水先人

第六百十一節　水先人

第六百十二節　水先人

第六百十三節　水先人

第六百十四節　水先人

第六百十五節　水先人

第六百十六節　水先人

第六百十七節　水先人

第六百十八節　水先人

第六百十九節　水先人

第六百二十節　水先人

第六百二十一節　水先人

第六百二十二節　水先人

第六百二十三節　水先人

第六百二十四節　水先人

第六百二十五節　水先人

第六百二十六節　水先人

第六百二十七節　水先人

第六百二十八節　水先人

第六百二十九節　水先人

第六百三十節　水先人

第六百三十一節　水先人

第六百三十二節　水先人

第六百三十三節　水先人

第六百三十四節　水先人

第六百三十五節　水先人

第六百三十六節　水先人

第六百三十七節　水先人

第六百三十八節　水先人

第六百三十九節　水先人

第六百四十節　水先人

第六百四十一節　水先人

第六百四十二節　水先人

第六百四十三節　水先人

第六百四十四節　水先人

第六百四十五節　水先人

第六百四十六節　水先人

第六百四十七節　水先人

第六百四十八節　水先人

第六百四十九節　水先人

第六百五十節　水先人

第六百五十一節　水先人

第六百五十二節　水先人

第六百五十三節　水先人

第六百五十四節　水先人

第六百五十五節　水先人

第六百五十六節　水先人

第六百五十七節　水先人

第六百五十八節　水先人

第六百五十九節　水先人

第六百六十節　水先人

第六百六十一節　水先人

第六百六十二節　水先人

第六百六十三節　水先人

第六百六十四節　水先人

第六百六十五節　水先人

第六百六十六節　水先人

第六百六十七節　水先人

第六百六十八節　水先人

第六百六十九節　水先人

第六百七十節　水先人

第六百七十一節　水先人

第六百七十二節　水先人

第六百七十三節　水先人

第六百七十四節　水先人

第六百七十五節　水先人

第六百七十六節　水先人

第六百七十七節　水先人

第六百七十八節　水先人

第六百七十九節　水先人

第六百八十節　水先人

第六百八十一節　水先人

第六百八十二節　水先人

第六百八十三節　水先人

第六百八十四節　水先人

第六百八十五節　水先人

第六百八十六節　水先人

第六百八十七節　水先人

第六百八十八節　水先人

第六百八十九節　水先人

第六百九十節　水先人

第六百九十一節　水先人

第六百九十二節　水先人

第六百九十三節　水先人

第六百九十四節　水先人

第六百九十五節　水先人

第六百九十六節　水先人

第六百九十七節　水先人

第六百九十八節　水先人

第六百九十九節　水先人

第七百節　水先人

第七百一節　水先人

第七百二節　水先人

第七百三節　水先人

第七百四節　水先人

第七百五節　水先人

第七百六節　水先人

第七百七節　水先人

第七百八節　水先人

第七百九節　水先人

第七百十節　水先人

第七百十一節　水先人

第七百十二節　水先人

第七百十三節　水先人

第七百十四節　水先人

第七百十五節　水先人

第七百十六節　水先人

第七百十七節　水先人

第七百十八節　水先人

第七百十九節　水先人

第七百二十節　水先人

第七百二十一節　水先人

第七百二十二節　水先人

第七百二十三節　水先人

第七百二十四節　水先人

第七百二十五節　水先人

第七百二十六節　水先人

第七百二十七節　水先人

第七百二十八節　水先人

第七百二十九節　水先人

第七百三十節　水先人

第七百三十一節　水先人

第七百三十二節　水先人

第七百三十三節　水先人

第七百三十四節　水先人

第七百三十五節　水先人

第七百三十六節　水先人

第七百三十七節　水先人

第七百三十八節　水先人

第七百三十九節　水先人

第七百四十節　水先人

第七百四十一節　水先人

第七百四十二節　水先人

第七百四十三節　水先人

第七百四十四節　水先人

第七百四十五節　水先人

第七百四十六節　水先人

第七百四十七節　水先人

第七百四十八節　水先人

第七百四十九節　水先人

第七百五十節　水先人

第七百五十一節　水先人

第七百五十二節　水先人

第七百五十三節　水先人

第七百五十四節　水先人

第七百五十五節　水先人

第七百五十六節　水先人

第七百五十七節　水先人

第七百五十八節　水先人

第七百五十九節　水先人

第七百六十節　水先人

第七百六十一節　水先人

第七百六十二節　水先人

第七百六十三節　水先人

第七百六十四節　水先人

第七百六十五節　水先人

第七百六十六節　水先人

第七百六十七節　水先人

第七百六十八節　水先人

第七百六十九節　水先人

第七百七十節　水先人

第七百七十一節　水先人

第七百七十二節　水先人

第七百七十三節　水先人

第七百七十四節　水先人

第七百七十五節　水先人

第七百七十六節　水先人

第七百七十七節　水先人

第七百七十八節　水先人

第七百七十九節　水先人

第七百八十節　水先人

第七百八十一節　水先人

第七百八十二節　水先人

第七百八十三節　水先人

第七百八十四節　水先人

第七百八十五節　水先人

第七百八十六節　水先人

第七百八十七節　水先人

第七百八十八節　水先人

第七百八十九節　水先人

第七百九十節　水先人

第七百九十一節　水先人

第七百九十二節　水先人

第七百九十三節　水先人

第七百九十四節　水先人

第七百九十五節　水先人

第七百九十六節　水先人

第七百九十七節　水先人

第七百九十八節　水先人

第七百九十九節　水先人

第八百節　水先人

第八百一節　水先人

第八百二節　水先人

第八百三節　水先人

第八百四節　水先人

第八百五節　水先人

第八百六節　水先人

第八百七節　水先人

第八百八節　水先人

第八百九節　水先人

第八百十節　水先人

第八百十一節　水先人

第八百十二節　水先人

第八百十三節　水先人

第八百十四節　水先人

第八百十五節　水先人

第八百十六節　水先人

第八百十七節　水先人

第八百十八節　水先人

第八百十九節　水先人

第八百二十節　水先人

第八百二十一節　水先人

第八百二十二節　水先人

第八百二十三節　水先人

第八百二十四節　水先人

第八百二十五節　水先人

第八百二十六節　水先人

第八百二十七節　水先人

第八百二十八節　水先人

第八百二十九節　水先人

第八百三十節　水先人

第八百三十一節　水先人

第八百三十二節　水先人

第八百三十三節　水先人

第八百三十四節　水先人

第八百三十五節　水先人

第八百三十六節　水先人

第八百三十七節　水先人

第八百三十八節　水先人

第八百三十九節　水先人

第八百四十節　水先人

第八百四十一節　水先人

第八百四十二節　水先人

第八百四十三節　水先人

第八百四十四節　水先人

第八百四十五節　水先人

第八百四十六節　水先人

第八百四十七節　水先人

第八百四十八節　水先人

第八百四十九節　水先人

第八百五十節　水先人

第八百五十一節　水先人

第八百五十二節　水先人

第八百五十三節　水先人

第八百五十四節　水先人

第八百五十五節　水先人

第八百五十六節　水先人

第八百五十七節　水先人

第八百五十八節　水先人

第八百五十九節　水先人

第九百節　水先人

第九百一節　水先人

第九百二節　水先人

第九百三節　水先人

第九百四節　水先人

第九百五節　水先人

第九百六節　水先人

第九百七節　水先人

第九百八節　水先人

第九百九節　水先人

第九百十節　水先人

第九百十一節　水先人

第九百十二節　水先人

第九百十三節　水先人

第九百十四節　水先人

第九百十五節　水先人

第九百十六節　水先人

第九百十七節　水先人

第九百十八節　水先人

第九百十九節　水先人

第九百二十節　水先人

第九百二十一節　水先人

第九百二十二節　水先人

第九百二十三節　水先人

第九百二十四節　水先人

第九百二十五節　水先人

第九百二十六節　水先人

第九百二十七節　水先人

第九百二十八節　水先人

第九百二十九節　水先人

第九百三十節　水先人

第九百三十一節　水先人

第九百三十二節　水先人

第九百三十三節　水先人

第九百三十四節　水先人

第九百三十五節　水先人

第九百三十六節　水先人

第九百三十七節　水先人

第九百三十八節　水先人

第九百三十九節　水先人

第九百四十節　水先人

第九百四十一節　水先人

第九百四十二節　水先人

第九百四十三節　水先人

第九百四十四節　水先人

第九百四十五節　水先人

第九百四十六節　水先人

第九百四十七節　水先人

第九百四十八節　水先人

第九百四十九節　水先人

第九百五十節　水先人

第九百五十一節　水先人

第九百五十二節　水先人

第九百五十三節　水先人

第九百五十四節　水先人

第九百五十五節　水先人

第九百五十六節　水先人

第九百五十七節　水先人

第九百五十八節　水先人

第九百五十九節　水先人

第千節　水先人

第千一節　水先人

第千二節　水先人

第千三節　水先人

第千四節　水先人

第千五節　水先人

第千六節　水先人

第千七節　水先人

第千八節　水先人

第千九節　水先人

第千十節　水先人

第千十一節　水先人

第千十二節　水先人

第千十三節　水先人

第千十四節　水先人

第千十五節　水先人

第千十六節　水先人

第千十七節　水先人

第千十八節　水先人

第千十九節　水先人

第千二十節　水先人

第千二十一節　水先人

第千二十二節　水先人

第千二十三節　水先人

第千二十四節　水先人

第千二十五節　水先人

第千二十六節　水先人

第千二十七節　水先人

第千二十八節　水先人

第千二十九節　水先人

第千三十節　水先人

第千三十一節　水先人

第千三十二節　水先人

第千三十三節　水先人

第千三十四節　水先人

第千三十五節　水先人

第千三十六節　水先人

第千三十七節　水先人

第千三十八節　水先人

第千三十九節　水先人

第千四十節　水先人

第千四十一節　水先人

第千四十二節　水先人

第千四十三節　水先人

第千四十四節　水先人

第千四十五節　水先人

第千四十六節　水先人

第千四十七節　水先人

第千四十八節　水先人

第千四十九節　水先人

第千五十節　水先人

第千五十一節　水先人

第千五十二節　水先人

第千五十三節　水先人

第千五十四節　水先人

第千五十五節　水先人

第千五十六節　水先人

第千五十七節　水先人

第千五十八節　水先人

第千五十九節　水先人

第千六十節　水先人

第千六十一節　水先人

第千六十二節　水先人

第千六十三節　水先人

第千六十四節　水先人

第千六十五節　水先人

第千六十六節　水先人

第千六十七節　水先人

第千六十八節　水先人

第千六十九節　水先人

第千七十節　水先人

第千七十一節　水先人

第千七十二節　水先人

第千七十三節　水先人

第千七十四節　水先人

第千七十五節　水先人

第千七十六節　水先人

第千七十七節　水先人

第千七十八節　水先人

第千七十九節　水先人

第千八十節　水先人

第千八十一節　水先人

第千八十二節　水先人

第千八十三節　水先人

第千八十四節　水先人

第千八十五節　水先人

第千八十六節　水先人

第千八十七節　水先人

第千八十八節　水先人

第千八十九節　水先人

第千九十節　水先人

第千九十一節　水先人

第千九十二節　水先人

第千九十三節　水先人

第千九十四節　水先人

第千九十五節　水先人

第千九十六節　水先人

第千九十七節　水先人

第千九十八節　水先人

第千九十九節　水先人

第千百節　水先人

第千百一節　水先人

第千百二節　水先人

第千百三節　水先人

第千百四節　水先人

第千百五節　水先人

第千百六節　水先人

第千百七節　水先人

第千百八節　水先人

第千百九節　水先人

第千百十節　水先人

第千百十一節　水先人

第千百十二節　水先人

第千百十三節　水先人

第千百十四節　水先人

第千百十五節　水先人

第千百十六節　水先人

第千百十七節　水先人

第千百十八節　水先人

第千百十九節　水先人

第千百二十節　水先人

第千百二十一節　水先人

第千百二十二節　水先人

第千百二十三節　水先人

第千百二十四節　水先人

第千百二十五節　水先人

第千百二十六節　水先人

第千百二十七節　水先人

第千百二十八節　水先人

第千百二十九節　水先人

第千百三十節　水先人

第千百三十一節　水先人

第千百三十二節　水先人

第千百三十三節　水先人

第千百三十四節　水先人

第千百三十五節　水先人

第千百三十六節　水先人

第千百三十七節　水先人

第千百三十八節　水先人

第千百三十九節　水先人

第千百四十節　水先人

第千百四十一節　水先人

第千百四十二節　水先人

第千百四十三節　水先人

第千百四十四節　水先人

第千百四十五節　水先人

第千百四十六節　水先人

第千百四十七節　水先人

第千百四十八節　水先人

第千百四十九節　水先人

第千百五十節　水先人

第千百五十一節　水先人

第千百五十二節　水先人

第千百五十三節　水先人

第千百五十四節　水先人

第千百五十五節　水先人

第千百五十六節　水先人

第千百五十七節　水先人

第千百五十八節　水先人

第千百五十九節　水先人

第千百六十節　水先人

第千百六十一節　水先人

第千百六十二節　水先人

第千百六十三節　水先人

第千百六十四節　水先人

第千百六十五節　水先人

第千百六十六節　水先人

第千百六十七節　水先人

第千百六十八節　水先人

第千百六十九節　水先人

第千百七十節　水先人

第千百七十一節　水先人

第千百七十二節　水先人

第千百七十三節　水先人

第千百七十四節　水先人

第千百七十五節　水先人

第千百七十六節　水先人

第千百七十七節　水先人

第千百七十八節　水先人

第千百七十九節　水先人

第千百八十節　水先人

第千百八十一節　水先人

第千百八十二節　水先人

第千百八十三節　水先人

第千百八十四節　水先人

第千百八十五節　水先人

第千百八十六節　水先人

第千百八十七節　水先人

第千百八十八節　水先人

第千百八十九節　水先人

第千百九十節　水先人

第千百九十一節　水先人

第千百九十二節　水先人

第千百九十三節　水先人

第千百九十四節　水先人

第千百九十五節　水先人

第千百九十六節　水先人

第千百九十七節　水先人

第千百九十八節　水先人

第千百九十九節　水先人

第二千節　水先人

第二千一節　水先人

第二千二節　水先人

第二千三節　水先人

第二千四節　水先人

第二千五節　水先人

第二千六節　水先人

第二千七節　水先人

第二千八節　水先人

第二千九節　水先人

第二千十節　水先人

第二千十一節　水先人

第二千十二節　水先人

第二千十三節　水先人

第二千十四節　水先人

第二千十五節　水先人

第二千十六節　水先人

第二千十七節　水先人

第二千十八節　水先人

第二千十九節　水先人

第二千二十節　水先人

第二千二十一節　水先人

第二千二十二節　水先人

第二千二十三節　水先人

第二千二十四節　水先人

第二千二十五節　水先人

第二千二十六節　水先人

第二千二十七節　水先人

第二千二十八節　水先人

第二千二十九節　水先人

第二千三十節　水先人

第二千三十一節　水先人

第二千三十二節　水先人

第二千三十三節　水先人

第二千三十四節　水先人

第二千三十五節　水先人

第二千三十六節　水先人

第二千三十七節　水先人

第二千三十八節　水先人

第二千三十九節　水先人

第二千四十節　水先人

第二千四十一節　水先人

第二千四十二節　水先人

第二千四十三節　水先人

第二千四十四節　水先人

第二千四十五節　水先人

第二千四十六節　水先人

第二千四十七節　水先人

第二千四十八節　水先人

第二千四十九節　水先人

第二千五十節　水先人

第二千五十一節　水先人

第二千五十二節　水先人

第二千五十三節　水先人

第二千五十四節　水先人

第二千五十五節　水先人

第二千五十六節　水先人

第二千五十七節　水先人

第二千五十八節　水先人

第二千五十九節　水先人

第二千六十節　水先人

第二千六十一節　水先人

第二千六十二節　水先人

第二千六十三節　水先人

第二千六十四節　水先人

第二千六十五節　水先人

第二千六十六節　水先人

第二千六十七節　水先人

第二千六十八節　水先人

第二千六十九節　水先人

第二千七十節　水先人

第二千七十一節　水先人

第二千七十二節　水先人

第二千七十三節　水先人

第二千七十四節　水先人

第二千七十五節　水先人

第二千七十六節　水先人

第二千七十七節　水先人

第二千七十八節　水先人

第二千七十九節　水先人

第二千八十節　水先人

第二千八十一節　水先人

第二千八十二節　水先人

第二千八十三節　水先人

第二千八十四節　水先人

第二千八十五節　水先人

第二千八十六節　水先人

第二千八十七節　水先人

第二千八十八節　水先人

第二千八十九節　水先人

第二千九十節　水先人

第二千九十一節　水先人

第二千九十二節　水先人

第二千九十三節　水先人

第二千九十四節　水先人

第二千九十五節　水先人

第二千九十六節　水先人

第二千九十七節　水先人

第二千九十八節　水先人

第二千九十九節　水先人

第三千節　水先人

第三千一節　水先人

第三千二節　水先人

第三千三節　水先人

第三千四節　水先人

第三千五節　水先人

第三千六節　水先人

第三千七節　水先人

第三千八節　水先人

第三千九節　水先人

第三千十節　水先人

第三千十一節　水先人

第三千十二節　水先人

第三千十三節　水先人

第三千十四節　水先人

第三千十五節　水先人

第三千十六節　水先人

第三千十七節　水先人

第三千十八節　水先人

第三千十九節　水先人

第三千二十節　水先人

第三千二十一節　水先人

第三千二十二節　水先人

第三千二十三節　水先人

第三千二十四節　水先人

第三千二十五節　水先人

第三千二十六節　水先人

第三千二十七節　水先人

第三千二十八節　水先人

第三千二十九節　水先人

第三千三十節　水先人

第三千三十一節　水先人

第三千三十二節　水先人

第三千三十三節　水先人

第三千三十四節　水先人

第三千三十五節　水先人

第三千三十六節　水先人

第三千三十七節　水先人

第三千三十八節　水先人

第三千三十九節　水先人

第三千四十節　水先人

第三千四十一節　水先人

第三千四十二節　水先人

第三千四十三節　水先人

第三千四十四節　水先人

第三千四十五節　水先人

第三千四十六節　水先人

第三千四十七節　水先人

第三千四十八節　水先人

第三千四十九節　水先人

第三千五十節　水先人

第三千五十一節　水先人

第三千五十二節　水先人

第三千五十三節　水先人

第三千五十四節　水先人

第三千五十五節　水先人

第三千五十六節　水先人

第三千五十七節　水先人

第三千五十八節　水先人

第三千五十九節　水先人

第三千六十節　水先人

第三千六十一節　水先人

第三千六十二節　水先人

第三千六十三節　水先人

第三千六十四節　水先人

第三千六十五節　水先人

第三千六十六節　水先人

第三千六十七節　水先人

第三千六十八節　水先人

第三千六十九節　水先人

第三千七十節　水先人

第三千七十一節　水先人

第三千七十二節　水先人

第三千七十三節　水先人

第三千七十四節　水先人

第三千七十五節　水先人

第三千七十六節　水先人

第三千七十七節　水先人

第三千七十八節　水先人

第三千七十九節　水先人

第三千八十節　水先人

第三千八十一節　水先人

第三千八十二節　水先人

第三千八十三節　水先人

第三千八十四節　水先人

第三千八十五節　水先人

第三千八十六節　水先人

第三千八十七節　水先人

第三千八十八節　水先人

第三千八十九節　水先人

第三千九十節　水先人

第三千九十一節　水先人

第三千九十二節　水先人

第三千九十三節　水先人

第三千九十四節　水先人

第三千九十五節　水先人

第三千九十六節　水先人

第三千九十七節　水先人

第三千九十八節　水先人

第三千九十九節　水先人

第四千節　水先人

第四千一節　水先人

第四千二節　水先人

第四千三節　水先人

第四千四節　水先人

第四千五節　水先人

第四千六節　水先人

第四千七節　水先人

第四千八節　水先人

第四千九節　水先人

第四千十節　水先人

第四千十一節　水先人

第四千十二節　水先人

第四千十三節　水先人

第四千十四節　水先人

第四千十五節　水先人

第四千十六節　水先人

第四千十七節　水先人

第四千十八節　水先人

第四千十九節　水先人

第四千二十節　水先人

第四千二十一節　水先人

第四千二十二節　水先人

第四千二十三節　水先人

第四千二十四節　水先人

第四千二十五節　水先人

第四千二十六節　水先人

第四千二十七節　水先人

第四千二十八節　水先人

第四千二十九節　水先人

第四千三十節　水先人

第四千三十一節　水先人

第四千三十二節　水先人

第四千三十三節　水先人

第四千三十四節　水先人

第四千三十五節　水先人

第四千三十六節　水先人

第四千三十七節　水先人

第四千三十八節　水先人

第四千三十九節　水先人

第四千四十節　水先人

第四千四十一節　水先人

第四千四十二節　水先人

第四千四十三節　水先人

第四千四十四節　水先人

第四千四十五節　水先人

第四千四十六節　水先人

第四千四十七節　水先人

第四千四十八節　水先人

第四千四十九節　水先人

第四千五十節　水先人

第四千五十一節　水先人

第四千五十二節　水先人

第四千五十三節　水先人

第四千五十四節　水先人

第四千五十五節　水先人

第四千五十六節　水先人

第四千五十七節　水先人

第四千五十八節　水先人

第四千五十九節　水先人

第四千六十節　水先人

第四千六十一節　水先人

第四千六十二節　水先人

第四千六十三節　水先人

第四千六十四節　水先人

第四千六十五節　水先人

第四千六十六節　水先人

第四千六十七節　水先人

第四千六十八節　水先人

第四千六十九節　水先人

第四千七十節　水先人

第四千七十一節　水先人

第四千七十二節　水先人

第四千七十三節　水先人

第四千七十四節　水先人

第四千七十五節　水先人

第四千七十六節　水先人

第四千七十七節　水先人

第四千七十八節　水先人

第四千七十九節　水先人

第四千八十節　水先人

第四千八十一節　水先人

第四千八十二節　水先人

第四千八十三節　水先人

第四千八十四節　水先人

第四千八十五節　水先人

第四千八十六節　水先人

第四千八十七節　水先人

第四千八十八節　水先人

第四千八十九節　水先人

第四千九十節　水先人

第四千九十一節　水先人

第四千九十二節　水先人

第四千九十三節　水先人

第四千九十四節　水先人

第四千九十五節　水先人

第四千九十六節　水先人

第四千九十七節　水先人

第四千九十八節　水先人

第四千九十九節　水先人

第五千節　水先人

第五千一節　水先人

第五千二節　水先人

第五千三節　水先人

第五千四節　水先人

第五千五節　水先人

第五千六節　水先人

第五千七節　水先人

第五千八節　水先人

第五千九節　水先人

第五千十節　水先人

第五千十一節　水先人

第五千十二節　水先人

第五千十三節　水先人

第五千十四節　水先人

第五千十五節　水先人

第五千十六節　水先人

第五千十七節　水先人

第五千十八節　水先人

第五千十九節　水先人

第五千二十節　水先人

第五千二十一節　水先人

第五千二十二節　水先人

第五千二十三節　水先人

第五千二十四節　水先人

第五千二十五節　水先人

第五千二十六節　水先人

第五千二十七節　水先人

第五千二十八節　水先人

第五千二十九節　水先人

第五千三十節　水先人

第五千三十一節　水先人

第五千三十二節　水先人

第五千三十三節　水先人

第五千三十四節　水先人

第五千三十五節　水先人

第五千三十六節　水先人

第五

水先人組合設立ヲ見ルニ至リ其ノ後逐次之ニ倣ヒ組合ノ數ヲ增シ現在ニ於テハ全國ニ二十ノ組合ヲ有スルニ至レリ

組合ノ組織ハ水先區ノ區域ニ住所ヲ有スル水先人ヲ以テ之ヲ組織シ其ノ組合員ハ當然其ノ組合ノ會員タルモノトス

組合ニ加入セントスル者ハ水先區ノ區域ニ住所ヲ有シ水先人ノ業務ヲ營ムニ必要ナル學識經驗ヲ有スルコトヲ證明シ組合ノ承認ヲ受ケ且組合ニ對シ入會金ヲ納ムルヲ要ス

組合ハ其ノ組合員ニ對シ其ノ業務ニ關シ必要ナル命令ヲ爲シ又ハ其ノ業務ニ關シ報告ヲ爲サシムルコトヲ得

組合ハ其ノ組合員ニ對シ其ノ業務ニ關シ監督上必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

組合ハ其ノ組合員ニ對シ其ノ業務ニ關シ懲戒ヲ爲スコトヲ得

懲戒ハ譴責、一萬圓以下ノ過怠金又ハ業務ノ停止トス

組合ハ其ノ組合員ニ對シ其ノ業務ニ關シ懲戒ヲ爲スニ當リ豫メ其ノ組合員ニ辯明ノ機會ヲ與フルコトヲ要ス

組合ハ其ノ組合員ニ對シ其ノ業務ニ關シ懲戒ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ報告スルコトヲ要ス

組合ハ其ノ組合員ニ對シ其ノ業務ニ關シ懲戒ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ公告スルコトヲ要ス

組合ハ其ノ組合員ニ對シ其ノ業務ニ關シ懲戒ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ其ノ組合員ノ名簿ニ記載

備考

一　帆船ハ水先案内ヲ料スルノ義務ナキモノトス但シ帆船ト雖モ機関ヲ併用スルトキハ水先案内ヲ要ス

二　汽船ニ水先案内ヲ使用スルノ義務ナキ場合ニ於テモ水先案内ヲ使用スルトキハ水先案内料ノ減額ヲ受ケントスルノ権利ヲ有ス

三　水先案内ヲ使用スルノ義務ナキ場合ニ於テ水先案内ヲ使用シタル船舶ニシテ其ノ航海ノ一部ニ水先案内ヲ使用スルノ義務アルトキハ其ノ義務アル部分ニ対シテノミ水先案内料ノ減額ヲ受ケントスルノ権利ヲ有ス

四　水先案内ヲ使用スルノ義務アル場合ニ於テ水先案内ヲ使用セサルトキハ其ノ航海ニ対シ水先案内料ノ全額ヲ支払フノ義務ヲ有ス

五　水先案内ヲ使用スルノ義務アル場合ニ於テ水先案内ヲ使用セサルトキハ其ノ航海ニ対シ水先案内料ノ全額ヲ支払フノ義務ヲ有ス

六　水先案内ヲ使用スルノ義務アル場合ニ於テ水先案内ヲ使用セサルトキハ其ノ航海ニ対シ水先案内料ノ全額ヲ支払フノ義務ヲ有ス

七　水先案内ヲ使用スルノ義務アル場合ニ於テ水先案内ヲ使用セサルトキハ其ノ航海ニ対シ水先案内料ノ全額ヲ支払フノ義務ヲ有ス

八　水先案内ヲ使用スルノ義務アル場合ニ於テ水先案内ヲ使用セサルトキハ其ノ航海ニ対シ水先案内料ノ全額ヲ支払フノ義務ヲ有ス

第五條　受驗申請人ハ證格檢査ニ付テハ五十錢、學術試驗ニ付テハ水先區一區毎ニ七圓ノ手數料ヲ納付スヘシ

第六條　試驗ハ證格檢査及學術試驗トス證格檢査ニ合格シタル者ニ非サレハ學術試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第七條　學術試驗ハ試驗官吏ノ見込ニ依リ筆記試驗又ハ口述試驗トシ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　航路標識、潮流、地勢、水路、港灣錨地及危險物ノ說明

二　船舶ノ操導及運航方法

三　羅針盤差ノ檢定方法

四　船舶衝突ノ豫防、水路港灣ノ取締其ノ他水先人本分ノ職務ニ關スル法規

五　英語

筆記試驗及口述試驗ヲ併セ行フ場合ニハ筆記試驗ニ合格シタル者ニ非サレハ口述試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第八條　削除

第九條　朝鮮船舶職員試驗規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶職員試驗規程第三條、第二十一條（證格檢査ニ關スル規定ニ限ル）、第二十二條乃至第二十四條、第二十六條及第二十七條ノ規定ハ水先人試驗ニ之ヲ準用ス

第十條　學術試驗ノ成績ハ試驗官吏ニ於テ受驗人カ當該水先區ノ航海ニ從事シタル經歷ヲモ參酌シテ之ヲ定ム

附　則

本令ハ朝鮮水先令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（大正十四年五月總令第六十號）

本令ハ大正十四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和五年五月總令第四十八號）

本令ハ昭和五年五月十日ヨリ之ヲ施行ス

第一號書式

受驗申請書

何水先區水先人試驗相受度就テハ履歷書、受驗資格ニ關スル證明書及戶籍ノ謄本相添此段申請候也

年　月　日

申請人　氏　名印

現住所

管海官廳宛

●朝鮮水夫適任證書交付規則

大正五年五月
總令第四十三號
改正　大正一〇年二第二八號、昭和一〇年二第三八號

水夫適任證書交付規則左ノ通定ム

第一條　亞米利加合衆國諸港ニ出入セムトスル朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ船員ニシテ千九百十五年三月四日ノ亞米利加合衆國海員法ニ依ル水夫適任證書ヲ受有セムトスル者ハ其ノ交付ヲ管海官廳ニ申請スルコトヲ得

前項ノ規定ハ亞米利加合衆國諸港ニ出入セムトスル朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ船員トシテ爲ラムトスル者ニ之ヲ準用ス

第二條　水夫適任證書ハ左ニ揭クル資格ノ一ヲ有シ且證格檢査ニ合格シタル者ニ之ヲ交付ス

一　總噸數百噸以上ノ沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル船舶ニ乘組ミ三年以上甲板部員トシテ執務シ年齡滿十九年以上ナルコト

二　沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル船舶ニ乘組ミ一年以上甲板部員トシテ執務シ且船舶ノ運用ニ關スル試驗ニ合格シタルコト

遊覽船、捕鯨船又ハ無甲板漁船ニ乘組ミタル期間ハ前項第一號ノ期間ニ算入セス

第一項第二號ノ試驗ハ羅針盤方位、船燈、霧中信號、航路信號、機關傳令、結索、繫艇ノ卸方及操縱、航海用器具操作ニ關スル要領ニ付之ヲ行フ

第三條　水夫適任證書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ノ申請書ヲ管海官廳ニ差出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ申請者ハ船員手帖又ハ之ニ準スヘキ證明書ヲ管海官廳ノ檢閱ニ供シ本籍地、出生年月日及乘船履歷ヲ證明スヘシ

第三條ノ二　第一條第二項ノ規定ニ依リ水夫適任證書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ前條ノ規定ニ依ル外其ノ乘組マムトスル船舶ノ所有者、管理人又ハ借入人ノ發出シタル證書ニ依リ當該船舶ノ船員ト爲ラムトスル者ナル旨ヲ證明スヘシ

第四條　水夫適任證書ハ第二號書式ニ依ル

第五條　水夫適任證書ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ該證書ヲ交付シタル管海官廳ニ之ヲ再交付ヲ申請スルコトヲ得

水夫適任證書ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ還付ヲ受ケ其ノ事由ヲ具シ該證書ヲ交付シタル管海官廳ニ之ヲ書換ヲ申請スヘシ

水夫適任證書不用ト爲リタルトキハ還付ヲ受クル該證書ヲ交付シタル管海官廳ニ之ヲ返還スヘシ

第六條　本令ニ依リ申請ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納付スヘシ

一　第二條第一項第一號ノ資格ニ依リ水夫適任證書ノ交付ヲ申請スルトキ　一圓

二　第二條第一項第二號ノ資格ニ依リ水夫適任證書ノ交付ヲ申請スルトキ　二圓

三　水夫適任證書ノ交付ヲ申請スルトキ　五十錢

手數料ハ共ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ納付書ニ貼付シテ之ヲ納付スヘシ

第七條　本令ニ依ル事務ハ左ノ管海官廳ニ於テ之ヲ行フ

朝鮮總督府遞信局仁川海事出張所、同釜山海事出張所及同清津海事出張所

附　則

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式（表）

水夫適任證書交付申請書

年　月　日

申請人　氏　名印

通知ヲ受クヘキ場所

管海官廳宛

（裏）

履歷書

氏名		本籍地	
出生年月日			
船員手帖番號			

船種船名	總噸數又ハ馬力數	航行區域	職名	乘船年月日	下船年月日	在船期間
				年　月　日	年　月　日	年　月
				年　月　日	年　月　日	年　月
				年　月　日	年　月　日	年　月
				年　月　日	年　月　日	年　月
				年　月　日	年　月　日	年　月

期間合計　年　月　日

備考

氏名ニハ片假名ヲ以テ傍記ヲ附スヘシ

第二號書式甲（第三條第一項第一號ノ資格ニ依リ交付スルモノ）

第　號

水夫適任證書

本籍地

氏

出生年月日

名

右者水夫適任證書交付規則ニ依リ成規ノ履歷ヲ有シ且視力、聽力共ノ他ノ證格檢査ニ合格ス仍テ航洋船ノ水夫ニ適スル者ト認メ此ノ證書ヲ附與ス

年　月　日

管海官廳名印

備考

裏面ニ英譯ヲ附記ス第二號書式乙ニ付テモ亦同シ

第二號書式乙（第三條第一項第二號ノ資格ニ依リ交付スルモノ）

第　號

水夫適任證書

本籍地

氏

出生年月日

名

右者水夫適任證書交付規則ニ依リ成規ノ履歷ヲ有シ且視力、聽力共ノ他ノ證格檢査及船舶ノ運用ニ關スル試驗ニ合格ス仍テ航洋船ノ水夫ニ適スル者ト認メ此ノ證書ヲ附與ス

年　月　日

管海官廳名印

●朝鮮救命艇手適任證書交付規則

昭和十年二月
總令第三十三號

朝鮮救命艇手適任證書交付規則左ノ通定ム

第一條　朝鮮船舶安全令施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル船舶安全法施行規則第百五十六條第七項ニ規定スル救命艇手適任證書ノ交付、書換又ハ返還ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　救命艇手適任證書ハ左ニ揭グル者ニ之ヲ交付ス

一　海技免狀ヲ受有スル者

二　官公立商船學校卒業者及實習生

三　水夫適任證書ヲ受有スル者

四　海兵團ノ教程ヲ終了シタル者

五　朝鮮總督ノ適當ト認ムル海員養成所修了ノ者

六　沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル總噸數百噸以上ノ船舶ニ乘組ミ三年以上甲板部員トシテ執務シ且證格檢査ニ合格シタル者

七　沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル船舶ニ乘組ミ一年以上甲板部員トシテ執務シ且證格檢査ニ合格シタル者

八　沿海以上ノ航行區域ヲ航行スル總噸數百噸以上ノ船舶ニ乘組ミ三年以上執務シ且端艇ノ運用ニ關スル試驗及證格檢査ニ合格シタル者

前項第七號及第八號ノ試驗ハ救命艇作業ニ關スル命令ヲ了解シ救命艇ノ卸方、漕方及操縱ニ習熟セルヤ否ニ付之ヲ行フ

第三條　救命艇手適任證書ノ交付ヲ受ケントスル者ハ第一號樣式ノ申請書ヲ管海官廳ニ提出シ海技免狀、船員手帖其ノ他資格ヲ證スル書類ヲ管海官廳ノ檢閱ニ供スヘシ

救命艇手適任證書ハ第二號樣式ニ依ル

第四條　救命艇手適任證書ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ該證書ヲ交付シタル管海官廳ニ之ヲ再交付ヲ申請スルコトヲ得

救命艇手適任證書ノ記載事項ニ變更ヲ生ジタルトキハ還付ヲ受ケ其ノ事由ヲ具シ該證書ヲ交付シタル管海官廳ニ之ヲ書換ヲ申請スヘシ

救命艇手適任證書不用ト爲リタルトキハ還付ヲ受クル該證書ヲ交付シタル管海官廳ニ之ヲ返還スヘシ

第五條　本令ニ依リ申請ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納付スヘシ

一　第二條第一項第一號乃至第六號ニ揭グル者救命艇手適任證書ノ交付ヲ申請スルトキ　二十錢

二　第二條第一項第七號又ハ第八號ニ揭グル者救命艇手適任證書ノ交付ヲ申請スルトキ　三十錢

三　救命艇手適任證書ノ再交付又ハ書換ヲ申請スルトキ　十錢

手數料ハ共ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ納付書ニ貼附シテ之ヲ納付スヘシ

第六條　本令ニ依ル事務ハ左ノ管海官廳ニ於テ之ヲ行フ

朝鮮總督府遞信局仁川海事出張所、同釜山海事出張所及同清津海事出張所

附　則

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式（表）

救命艇手適任證書交付申請書

年　月　日

申請人　氏　名印

通知ヲ受クヘキ場所

管海官廳宛

第七款　船用品検査及取締

●船用品検査試験規則

逐次改正　大正九年七月五日　運輸省令第二十三号

第一章　総則

第一条　本規則ハ船舶安全法（大正元年法律第十一号）第十条ノ規定ニ依リ船舶ニ用ユル物品ノ検査ノ試験ニ関シ必要ナル事項ヲ定ムルモノトス

第二条　物品ノ検査ノ試験ハ製造者ノ工場又ハ倉庫ニ於テ行フヲ原則トス但シ特ニ必要アリト認ムルトキハ船舶ニ積込ミタル後ニ於テ行フコトヲ得

第三条　検査ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ逓信大臣ニ提出スヘシ

一　物品ノ名称及種類

二　製造者ノ氏名又ハ名称及製造地

三　検査ヲ受ケントスル場所

四　検査ヲ受ケントスル年月日

五　其ノ他参考ニ供スヘキ事項

第四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ必要ナル図面、仕様書、見本品其ノ他ノ参考品ヲ提出スヘシ

第五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ必要ナル設備ヲ為シ又ハ検査ニ必要ナル人夫ヲ供給スヘシ

第六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ負担スヘシ

第七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ前納スヘシ

第八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ前納セサルトキハ検査ヲ為サス

第九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十一条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十二条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十三条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第十九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十一条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十二条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十三条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第二十九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十一条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十二条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十三条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第三十九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十一条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十二条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十三条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第四十九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十一条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十二条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十三条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第五十九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十一条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十二条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十三条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第六十九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十一条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十二条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十三条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第七十九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十一条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十二条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十三条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第八十九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十一条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十二条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十三条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十四条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十五条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十六条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十七条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十八条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第九十九条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

第百条　検査ヲ受ケントスル者ハ検査ニ要スル費用ヲ過不足アルトキハ精算ス

船舶及船具

船材

種類	甲種	乙種	丙種	丁種
檜	同	同	同	同
杉	同	同	同	同
樅	同	同	同	同
松	同	同	同	同
栂	同	同	同	同
栗	同	同	同	同
欅	同	同	同	同
樫	同	同	同	同
楢	同	同	同	同
椎	同	同	同	同
檪	同	同	同	同
朴	同	同	同	同
柳	同	同	同	同
桐	同	同	同	同
竹	同	同	同	同
籐	同	同	同	同
其他ノ材料	同	同	同	同

船具

種類	甲種	乙種	丙種	丁種
錨	同	同	同	同
鎖	同	同	同	同
索	同	同	同	同
帆	同	同	同	同
檣	同	同	同	同
櫂	同	同	同	同
其他ノ船具	同	同	同	同

金屬

種類	甲種	乙種	丙種	丁種
鉄	同	同	同	同
鋼	同	同	同	同
銅	同	同	同	同
真鍮	同	同	同	同
其他ノ金屬	同	同	同	同

木材試驗

種類	甲種	乙種	丙種	丁種
檜	同	同	同	同
杉	同	同	同	同
樅	同	同	同	同
松	同	同	同	同
栂	同	同	同	同
栗	同	同	同	同
欅	同	同	同	同
樫	同	同	同	同
楢	同	同	同	同
椎	同	同	同	同
檪	同	同	同	同
朴	同	同	同	同
柳	同	同	同	同
桐	同	同	同	同
竹	同	同	同	同
籐	同	同	同	同
其他ノ材料	同	同	同	同

船具試驗

種類	試験	試験ノ区分	試験ノ細別	試験ノ方法	試験ノ場所	試験ノ時期	試験ノ数量	試験ノ手数料
鉄及鋼	引張試験	切断試験	鋼板	第一号試験片	製造所	製造ノ都度	一枚ニ付	一枚ニ付　一、〇〇
					検査所	検査ノ都度		
				第二号試験片	製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
			鋼線	第三号試験片	製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
				第四号試験片	製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
			鋼棒	第五号試験片	製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
				第六号試験片	製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
		継目試験			製造所	製造ノ都度	一箇ニ付	一箇ニ付　一、〇〇
					検査所	検査ノ都度		
	曲げ試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	衝撃試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	硬さ試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	化学試験				製造所	製造ノ都度	一試料ニ付	一試料ニ付　一、〇〇
					検査所	検査ノ都度		
	顕微鏡試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	腐蝕試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	非破壊試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	水圧試験				製造所	製造ノ都度	一箇ニ付	一箇ニ付　一、〇〇
					検査所	検査ノ都度		
	気圧試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	水圧又ハ気圧試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	真空試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	磁気試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	超音波探傷試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	放射線透過試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	磁粉探傷試験				製造所	製造ノ都度		
					検査所	検査ノ都度		
	浸透探傷

第二號表

鐵鎖試驗荷重及普通鎖寸法表

鐵鎖種別	普通鎖ノ徑	普通鎖寸法ノ標準	荷重		普通鎖寸法ノ標準	荷重	
「スタッドレス」有スル鎖	長		切斷試驗	牽引試驗	長	切斷試驗	牽引試驗
	幅				幅		
「スタッドレス」有セサル鎖	長		切斷試驗	牽引試驗	長	切斷試驗	牽引試驗
	幅				幅		

第三號表

第七條　船燈各部ノ構造及寸法ニシテ本令ニ規定ナキモノニ付テハ當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第八條　本令ノ規定ニ該當セザル船燈ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第二章　油船燈

第一節　通則

第九條　燈籠ハ口金及燈筒ヲ裝置シタル油壺ヲ挿入シ得ルモノナルコトヲ要ス

煙筒ハ火口ノ直上ニ設クベシ

燈窓ニ竪ニ取附クル枠棒ハ火口ノ延長線上ニ置クコトヲ得ズ

第十條　船燈ハ無風高氣溫ノ場合ニ於テモ通氣十分ニシテ燈火ガ不同ナク十分ニ燃照スル構造ノモノナルコトヲ要ス

船燈ハ風又ハ船ノ動搖等ニ依リ油煙ヲ生ズルコトナク又消火セザル様通氣孔ノ大サ及配置ノ適當ニシ且飛沫ノ浸入ニ依リ光度ニ影響ヲ及ボスコトナキ構造ノモノナルコトヲ要ス

第十一條　油壺ハ燈火ガ信號燈及安全燈ニ在リテハ五時間以上、乙種兩色燈、丁種白燈及操舵目標燈ニ在リテハ八時間以上、其ノ他ノ船燈ニ在リテハ一六時間以上繼續シテ安全ニ燃照シ得ル油量ヲ貯ヘ得ルモノナルコトヲ要ス

油壺ノ形狀ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

油壺ニハ氣孔ヲ有スル注油栓ヲ裝置シ且油壺ノ內部ニハ燈油ノ動搖ヲ防ガ裝置ヲ設クベシ

第十二條　火口ノ形狀ハ一字形ニシテ第一表ニ掲グル幅ノ平燈心ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

口金ニハ燈心調整裝置ヲ附シ引火防具及氣孔ヲ裝置スベシ但シ種油用ノモノニ在リテハ引火防具及氣孔ヲ裝置スルコトヲ要セズ

第十三條　油壺及口金ノ挿入裝置ハ口金ヲ裝置シタル油壺ヲ燈籠ニ挿入スルトキ火口ガ正規ノ位置外ニ止マル虞ナキモノナルコトヲ要ス

第十四條　石油燈ニハ燈筒ヲ使用スベシ

燈筒ハ無色透明ナル良質ノ硝子ヲ以テ成ルベク薄ク且厚サニ不同ナク製造シ形狀及寸法ハ當該官吏ニ於テ適當ト認ムルモノナルコトヲ要ス

第十五條　反射鏡ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザル限リ大形ト爲シ其ノ表面ハ燈火ノ最輝點ヲ中心トスル球面ノ一部ニシテ十分磨キタル後銀色鍍ヲ施シタルモノナルコトヲ要ス但シ乙種兩色燈及操舵目標燈ノ反射鏡ノ表面ハ圓筒形ト爲スコトヲ得

第十六條　油船燈ニハ石油ヲ使用スベシ但シ丁種白燈及操舵目標燈ニハ種油ヲ使用スルコトヲ得

第十七條　油船燈各部ノ寸法ハ第一表ニ依ル

第十八條　水先燈ノ構造及寸法ハ本節ノ規定ニ依ルノ外當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第二節　檣燈

第十九條　燈窓ニハ甲種檣燈ニ在リテハ無色透鏡ヲ、乙種檣燈ニ在リテハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第二十條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二、五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第二十一條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後絲ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第二十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種檣燈ニ在リテハ一〇燭光以上、乙種檣燈ニ在リテハ七燭光以上、乙種兩色燈ニ在リテハ四燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二十三條　檣燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第二十四條　檣燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

第三節　舷燈

第二十五條　甲種舷燈ノ燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニハ紅色圓筒形硝子ヲ、乙種兩色燈ニハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニハ綠色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第二十六條　燈窓硝子ノ後部留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ燈籠ノ側面ト一一二、五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

燈窓硝子ノ前部留金ノ絲ヨリ燈籠ノ側面ニ至ル距離ハ該側面ヨリ火口ノ中心ニ至ル距離ヨリ一五ミリメートル以上小ナルコトヲ要ス

第二十七條　著色挿入硝子ノ挿入裝置ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル虞ナク且左舷舷燈用ノ硝子ヲ右舷舷燈ニ、右舷舷燈用ノ硝子ヲ左舷舷燈ニ挿入シ得ザル構造ト爲スベシ

著色挿入硝子ニハ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

著色挿入硝子ノ金屬枠及挿入裝置ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第二十八條　油壺ノ挿入裝置ハ左舷舷燈用ノ油壺ヲ右舷舷燈ニ、右舷舷燈用ノ油壺ヲ左舷舷燈ニ挿入シ得ザル構造ト爲スベシ

第二十九條　火口ハ燈籠ノ側面ト一一二、五度ノ角度ヲ爲ス方向ニ置キ且火口ノ後絲ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第三十條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後甲種舷燈ニ在リテハ一〇燭光以上、乙種舷燈ニ在リテハ五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第三十一條　燈籠側部ノ掛具及隔板ニ取附クル突起金具ノ形狀及寸法ハ第一圖ニ依ル

隔板ノ形狀及寸法ハ第二圖乃至第四圖ニ依ル

第三十二條　舷燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第三十三條　甲種舷燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第四節　兩色燈

第三十四條　甲種兩色燈ノ燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、乙種兩色燈及丙種白燈ニ在リテハ無色乘形硝子ヲ、丁種白燈ニ在リテハ無色球形硝子ヲ裝置スベシ

第三十五條　甲種兩色燈ノ各側ノ燈窓硝子ノ後部留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二、五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第三十六條　燈窓硝子ノ前面中央ニハ竪ニ隔障ヲ設クベシ

隔障ハ燈籠ノ前面ニ鉄附ト爲スベシ

第三十七條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後絲ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第三十八條　安全燈ハ之ヲ開放セズシテ點火シ得ル裝置ヲ設クベシ

第三十九條　安全燈ハ之ヲ高サ一、五メートルノ筒所ヨリ木床上ニ連續三回墜落セシメ異狀ヲ呈セザルモノナルコトヲ要ス

第四十條　安全燈ハ可燃性混氣中ニテ漏火セザルモノナルコトヲ要ス

第四十一條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後一、五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第四十二條　安全燈ハ燈窓外面ニ於テ上部燈胴下部燈胴トノ間ニ金屬製枠棒ヲ取附クベシ

第四十三條　甲種白燈ハ燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ、乙種兩色燈ノ燈窓ニハ左舷舷燈ニ在リテハ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷舷燈ニ在リテハ綠色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第四十四條　甲種兩色燈ノ各側ノ燈窓硝子ノ後部留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二、五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第四十五條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト九〇度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第四十六條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後絲ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第四十七條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置スベシ

第四十八條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後一〇燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第四十九條　紅燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト下部燈胴トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第五十條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル紅燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第五節　三色燈

第五十一條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷側ニ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷側ニ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第五十二條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二、五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第五十三條　燈窓ノ前面ニハ燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト左右各二二、五度ノ角度ヲ爲ス平面內ニ中心面ヲ有スル隔障ヲ取附クベシ

第五十四條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル白燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第六節　紅燈

第四十五條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ紅色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第四十六條　紅色挿入硝子ノ挿入裝置ハ硝子ガ正規ノ位置外ニ止マル虞ナキ構造ト爲スベシ

紅色挿入硝子ハ二箇以上ノ硝子ヲ幅七ミリメートル以下ノ金屬枠ヲ以テ堅ニ接合シタル構造ト爲スコトヲ得

前項ノ硝子堅接合ノ金屬枠ハ火口ノ延長線ノ位置外ニ止マルコトヲ要ス

紅色挿入硝子ノ上緣及下緣ニ於ケル金屬枠ハ燈火ノ各點ヨリ燈窓ニ向フ直射光線ヲ遮斷セザルモノナルコトヲ要ス

第四十七條　火口ハ其ノ中心ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第四十八條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後一〇燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第四十九條　紅燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト下部燈胴トノ間ニ金屬製ノ枠ヲ取附クベシ

第五十條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル紅燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第七節　三色燈

第五十一條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置シ其ノ內面ニ接シ左舷側ニ紅色圓筒形硝子ヲ、右舷側ニ綠色圓筒形硝子ヲ挿入スベシ

第五十二條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト一一二、五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第五十三條　燈窓ノ前面ニハ燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト左右各二二、五度ノ角度ヲ爲ス平面內ニ中心面ヲ有スル隔障ヲ取附クベシ

第五十四條　油壺ヲ燈底ヨリ挿入スル白燈ニ在リテハ油壺ノ逸脫ヲ防止スルニ適當ナル裝置ヲ設クベシ

第八節　船尾燈

第六十條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第六十一條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト六七、五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第六十二條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後絲ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第六十三條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後四燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第六十四條　船尾燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第六十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第六十六條　安全燈內部ニハ燈火ガ直接外氣ニ通ズル部分ニ二重ノ金網ヲ設クベシ

前項ノ金網ハ徑〇、三二ミリメートル乃至〇、四〇ミリメートルノ針金ヲ使用シ一平方センチメートルニ付一四四以上ノ網目ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第六十七條　安全燈ハ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依ラザレバ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部鍵盤ハ之ヲ押ヘ附クルニ必要ナル重量ガ四五〇グラム以上九〇〇グラム以下ニシテ其ノ作動距離ハ一〇ミリメートルヲ標準トス

第十一節　安全燈

第六十八條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第六十九條　安全燈內部ニハ燈火ガ直接外氣ニ通ズル部分ニ二重ノ金網ヲ設クベシ

前項ノ金網ハ徑〇、三二ミリメートルノ針金ヲ使用シ一平方センチメートルニ付一四四以上ノ網目ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七十條　安全燈ハ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依ラザレバ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部鍵盤ハ之ヲ押ヘ附クルニ必要ナル重量ガ四五〇グラム以上九〇〇グラム以下ニシテ其ノ作動距離ハ一〇ミリメートルヲ標準トス

第十二節　信號燈

第七十一條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置スベシ

第七十二條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト二二、五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第七十三條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ中心ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第七十四條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ一六時間繼續燃照後五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第七十五條　信號燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第七十六條　遮光板ハ敏速ニ開閉シ得ルモノニシテ滑動遮光板ニ在リテハ中央ヨリ兩側ニ開クモノナルコトヲ要ス

第七十七條　安全燈ハ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依ラザレバ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部鍵盤ハ之ヲ押ヘ附クルニ必要ナル重量ガ四五〇グラム以上九〇〇グラム以下ニシテ其ノ作動距離ハ一〇ミリメートルヲ標準トス

第十三節　操舵目標燈

第七十八條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第七十九條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト九〇度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第八十條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後絲ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第八十一條　操舵目標燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第十四節　信號燈

第八十二條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置スベシ

第八十三條　燈籠ハ燈蓋部ニ於テ開閉シ得ル構造ト爲スベシ

燈籠ハ電線ヲ挿入セル部分ヨリ飛沫ガ浸入セザル構造ト爲スベシ

第八十四條　電線ハ電氣工作物規程ニ依ル第四種絕緣電線ニシテ導盤ノ直徑一ミリメートル以上ノ單線又ハ公稱切斷面積〇、九平方ミリメートル以上ノ撚線ナルコトヲ要ス

電線相互間及電線ト燈籠トノ間ノ絕緣抵抗ハ船燈每ニ二メガオーム以上ナルコトヲ要ス

第八十五條　電球承口ハ內徑二三ミリメートルノ挿込承口ト爲シ上向ニ取附ケ且電球ガ一定ノ位置ヨリ移動セザル構造ト爲スベシ

電球承口ノ垂直軸ハ白燈、紅燈及安全燈ニ在リテハ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ、其ノ他ノ船燈ニ在リテハ燈窓硝子ノ垂直軸ノ後方九ミリメートルノ位置ニ在ルコトヲ要ス

電球承口取附素ハ頭麻仁油ヲ以テ絕緣處理ヲ爲シタル檜材又ハ模材ルコトヲ要ス

第六十五條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第六十六條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト九〇度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第六十七條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後絲ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第六十八條　操舵目標燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第十節　信號燈

第六十九條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置スベシ

第七十條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト二二、五度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第七十一條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ中心ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第七十二條　口金ハ普通ノ燈心及油ヲ使用シ五時間繼續燃照後五燭光以上ノ燈光ヲ發シ得ルモノナルコトヲ要ス

第七十三條　信號燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第七十四條　遮光板ハ敏速ニ開閉シ得ルモノニシテ滑動遮光板ニ在リテハ中央ヨリ兩側ニ開クモノナルコトヲ要ス

第七十五條　信號燈ニハ燈火ガ直接外氣ニ通ズル部分ニ二重ノ金網ヲ設クベシ

前項ノ金網ハ徑〇、三二ミリメートルノ針金ヲ使用シ一平方センチメートルニ付一四四以上ノ網目ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七十六條　安全燈內部ニハ燈火ガ直接外氣ニ通ズル部分ニ二重ノ金網ヲ設クベシ

前項ノ金網ハ徑〇、三二ミリメートルノ針金ヲ使用シ一平方センチメートルニ付一四四以上ノ網目ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七十七條　安全燈ハ鍵又ハ特殊ノ方法ニ依ラザレバ開放シ得ザル構造ト爲シ且結合部鍵盤ハ之ヲ押ヘ附クルニ必要ナル重量ガ四五〇グラム以上九〇〇グラム以下ニシテ其ノ作動距離ハ一〇ミリメートルヲ標準トス

第十五節　探照燈

第七十八條　燈窓ニハ無色圓筒形硝子ヲ裝置スベシ

第七十九條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト九〇度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第八十條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後絲ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第八十一條　探照燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第十六節　閃光燈

第八十二條　燈窓ニハ無色透鏡ヲ裝置スベシ

第八十三條　燈窓硝子ノ各側部ニ於ケル留金ノ絲ハ該絲及燈窓硝子ノ垂直軸ヲ含ム平面ガ船燈ノ對稱面ト九〇度ノ角度ヲ爲ス位置ニ在ルコトヲ要ス

第八十四條　火口ハ燈籠ノ後面ニ平行ニ置キ且火口ノ後絲ノ中央ヲ燈窓硝子ノ垂直軸上ニ置クベシ

第八十五條　閃光燈ニハ反射鏡ヲ備フベシ

第八十六條　閃光燈ニハ燈窓外面ニ於テ燈蓋ト燈胴下部トノ間ニ金屬製ノ枠棒ヲ取附クベシ

第十七節　救命浮器燈

第八十七條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲スベシ

第八十八條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第八十九條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十一條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十二條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十三條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十四條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十五條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十六條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十七條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十八條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第九十九條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第百條　救命浮器燈ハ燈火ガ水面ニ浮遊シ得ル構造ト爲シ且之ヲ容易ニ識別シ得ル様ニ塗色スベシ

第十節　燈光標識

一　燈光標識ノ種類

第百十五條　燈光標識ハ其ノ燈質、燈色、光達距離、光度角度及ビ燈光ノ明暗又ハ閃光ノ周期ニ依リ之ヲ識別スルモノトス

二　燈光標識ノ燈質

第百十六條　燈光標識ノ燈質ハ左ノ各號ニ掲グルモノトス

一　不動光

二　閃光

三　群閃光

四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ明暗ヲ交ユルモノ

五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二種ノ光ヲ交ユルモノ

六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三種ノ光ヲ交ユルモノ

七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四種ノ光ヲ交ユルモノ

八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五種ノ光ヲ交ユルモノ

九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六種ノ光ヲ交ユルモノ

十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七種ノ光ヲ交ユルモノ

十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八種ノ光ヲ交ユルモノ

十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九種ノ光ヲ交ユルモノ

十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十種ノ光ヲ交ユルモノ

十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十一種ノ光ヲ交ユルモノ

十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十二種ノ光ヲ交ユルモノ

十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十三種ノ光ヲ交ユルモノ

十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十四種ノ光ヲ交ユルモノ

十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十五種ノ光ヲ交ユルモノ

十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十種ノ光ヲ交ユルモノ

二十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十六種ノ光ヲ交ユルモノ

三十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十七種ノ光ヲ交ユルモノ

三十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十八種ノ光ヲ交ユルモノ

三十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二十九種ノ光ヲ交ユルモノ

三十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十種ノ光ヲ交ユルモノ

三十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十一種ノ光ヲ交ユルモノ

三十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十二種ノ光ヲ交ユルモノ

三十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十三種ノ光ヲ交ユルモノ

三十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十四種ノ光ヲ交ユルモノ

三十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十五種ノ光ヲ交ユルモノ

三十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十六種ノ光ヲ交ユルモノ

四十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十七種ノ光ヲ交ユルモノ

四十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十八種ノ光ヲ交ユルモノ

四十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三十九種ノ光ヲ交ユルモノ

四十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十種ノ光ヲ交ユルモノ

四十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十一種ノ光ヲ交ユルモノ

四十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十二種ノ光ヲ交ユルモノ

四十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十三種ノ光ヲ交ユルモノ

四十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十四種ノ光ヲ交ユルモノ

四十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十五種ノ光ヲ交ユルモノ

四十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十六種ノ光ヲ交ユルモノ

五十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十七種ノ光ヲ交ユルモノ

五十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十八種ノ光ヲ交ユルモノ

五十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ四十九種ノ光ヲ交ユルモノ

五十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十種ノ光ヲ交ユルモノ

五十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十一種ノ光ヲ交ユルモノ

五十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十二種ノ光ヲ交ユルモノ

五十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十三種ノ光ヲ交ユルモノ

五十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十四種ノ光ヲ交ユルモノ

五十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十五種ノ光ヲ交ユルモノ

五十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十六種ノ光ヲ交ユルモノ

六十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十七種ノ光ヲ交ユルモノ

六十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十八種ノ光ヲ交ユルモノ

六十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ五十九種ノ光ヲ交ユルモノ

六十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十種ノ光ヲ交ユルモノ

六十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十一種ノ光ヲ交ユルモノ

六十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十二種ノ光ヲ交ユルモノ

六十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十三種ノ光ヲ交ユルモノ

六十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十四種ノ光ヲ交ユルモノ

六十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十五種ノ光ヲ交ユルモノ

六十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十六種ノ光ヲ交ユルモノ

七十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十七種ノ光ヲ交ユルモノ

七十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十八種ノ光ヲ交ユルモノ

七十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ六十九種ノ光ヲ交ユルモノ

七十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十種ノ光ヲ交ユルモノ

七十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十一種ノ光ヲ交ユルモノ

七十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十二種ノ光ヲ交ユルモノ

七十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十三種ノ光ヲ交ユルモノ

七十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十四種ノ光ヲ交ユルモノ

七十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十五種ノ光ヲ交ユルモノ

七十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十六種ノ光ヲ交ユルモノ

八十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十七種ノ光ヲ交ユルモノ

八十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十八種ノ光ヲ交ユルモノ

八十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ七十九種ノ光ヲ交ユルモノ

八十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十種ノ光ヲ交ユルモノ

八十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十一種ノ光ヲ交ユルモノ

八十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十二種ノ光ヲ交ユルモノ

八十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十三種ノ光ヲ交ユルモノ

八十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十四種ノ光ヲ交ユルモノ

八十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十五種ノ光ヲ交ユルモノ

八十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十六種ノ光ヲ交ユルモノ

九十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十七種ノ光ヲ交ユルモノ

九十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十八種ノ光ヲ交ユルモノ

九十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ八十九種ノ光ヲ交ユルモノ

九十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十種ノ光ヲ交ユルモノ

九十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十一種ノ光ヲ交ユルモノ

九十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十二種ノ光ヲ交ユルモノ

九十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十三種ノ光ヲ交ユルモノ

九十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十四種ノ光ヲ交ユルモノ

九十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十五種ノ光ヲ交ユルモノ

九十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十六種ノ光ヲ交ユルモノ

百　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十七種ノ光ヲ交ユルモノ

百一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十八種ノ光ヲ交ユルモノ

百二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ九十九種ノ光ヲ交ユルモノ

百三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百種ノ光ヲ交ユルモノ

百四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百一種ノ光ヲ交ユルモノ

百五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二種ノ光ヲ交ユルモノ

百六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三種ノ光ヲ交ユルモノ

百七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四種ノ光ヲ交ユルモノ

百八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五種ノ光ヲ交ユルモノ

百九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六種ノ光ヲ交ユルモノ

百十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七種ノ光ヲ交ユルモノ

百十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八種ノ光ヲ交ユルモノ

百十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九種ノ光ヲ交ユルモノ

百十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十種ノ光ヲ交ユルモノ

百十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十一種ノ光ヲ交ユルモノ

百十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十二種ノ光ヲ交ユルモノ

百十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十三種ノ光ヲ交ユルモノ

百十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十四種ノ光ヲ交ユルモノ

百十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十五種ノ光ヲ交ユルモノ

百十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十六種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十七種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十八種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百十九種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十一種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十二種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十三種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十四種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十五種ノ光ヲ交ユルモノ

百二十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十六種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十七種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十八種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百二十九種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十一種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十二種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十三種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十四種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十五種ノ光ヲ交ユルモノ

百三十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十六種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十七種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十八種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百三十九種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十一種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十二種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十三種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十四種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十五種ノ光ヲ交ユルモノ

百四十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十六種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十七種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十八種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百四十九種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十一種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十二種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十三種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十四種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十五種ノ光ヲ交ユルモノ

百五十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十六種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十七種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十八種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百五十九種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十一種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十二種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十三種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十四種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十五種ノ光ヲ交ユルモノ

百六十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十六種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十七種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十八種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百六十九種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十一種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十二種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十三種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十四種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十五種ノ光ヲ交ユルモノ

百七十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十六種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十七種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十八種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百七十九種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十一種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十二種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十三種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十四種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十五種ノ光ヲ交ユルモノ

百八十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十六種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十七種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十八種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百八十九種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十一種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十二種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十三種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十四種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十五種ノ光ヲ交ユルモノ

百九十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ百九十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百二十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百二十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百三十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百三十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百四十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百四十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百五十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百五十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百六十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百六十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百七十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百七十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百八十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十六種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十七種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十八種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百八十九種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十一種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十二種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十三種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十四種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十五種ノ光ヲ交ユルモノ

二百九十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十六種ノ光ヲ交ユルモノ

三百　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十七種ノ光ヲ交ユルモノ

三百一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十八種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ二百九十九種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百一種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二種ノ光ヲ交ユルモノ

三百六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三種ノ光ヲ交ユルモノ

三百七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四種ノ光ヲ交ユルモノ

三百八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五種ノ光ヲ交ユルモノ

三百九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百六種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百七種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百八種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百九種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十一種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十二種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十三種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十四種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十五種ノ光ヲ交ユルモノ

三百十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十六種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十七種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十八種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百十九種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十一種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十二種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十三種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十四種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十五種ノ光ヲ交ユルモノ

三百二十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十六種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十七種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十八種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百二十九種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十一種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十二種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十三種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十四種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十五種ノ光ヲ交ユルモノ

三百三十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十六種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十七種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十八種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百三十九種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十一種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十二種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十三種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十四種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十五種ノ光ヲ交ユルモノ

三百四十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十六種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十七種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十八種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百四十九種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十一種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十二種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十三種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十七　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十四種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十八　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十五種ノ光ヲ交ユルモノ

三百五十九　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十六種ノ光ヲ交ユルモノ

三百六十　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十七種ノ光ヲ交ユルモノ

三百六十一　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十八種ノ光ヲ交ユルモノ

三百六十二　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百五十九種ノ光ヲ交ユルモノ

三百六十三　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百六十種ノ光ヲ交ユルモノ

三百六十四　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百六十一種ノ光ヲ交ユルモノ

三百六十五　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百六十二種ノ光ヲ交ユルモノ

三百六十六　群閃光ノ各閃光ノ間ニ三百

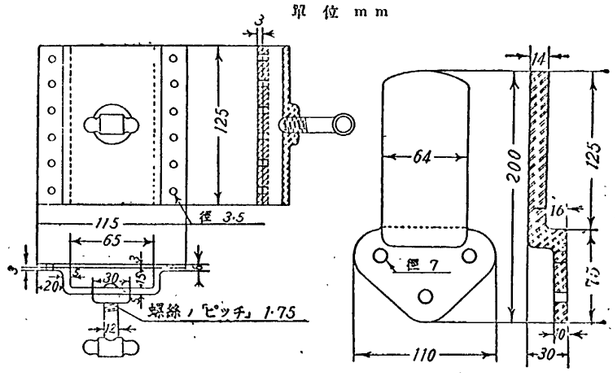
第二表　電氣船燈寸法表

燈種	光達距離	射光角度	型式	燈種	燈類	燈殼內面角度	燈殼內面半徑 (粍)	硝子 厚サ (粍)	硝子(留金ヲ含ム)ノ厚サ (粍)	硝色挿入硝子ノ厚サ (粍)	燈體 幅面ノ幅 (粍)	幅面ノ高サ (粍)	上部燈面ノ徑 (粍)	下部燈面ノ徑 (粍)	燈高 (粍)	底ノ厚サ (粍)	燈支ノ徑 (粍)	斜支ノ徑 (粍)
甲種檣燈	5海里以上	225°	第一種	無色圓筒形硝子	燈殼內面角度	250°	115	6	—	200	200	—	—	315	0.60	3.20	3.20	—
			第二種	無色圓筒形硝子		220°	95	6	—	250	250	—	—	310	0.60	3.20	3.20	—
乙種檣燈	3海里以上	225°	—	無色圓筒形硝子		230°	95	6	—	230	—	—	—	270	0.45	2.60	2.60	—
甲種檣燈	2海里以上	112.5°	第一種	無色圓筒形硝子		125°	125	6	3	260	260	—	—	315	0.60	3.20	3.20	—
			第二種	無色圓筒形硝子		125°	105	6	3	270	270	—	—	310	0.60	3.20	3.20	—
乙種檣燈	1海里以上	112.5°	—	著色圓筒形硝子		125°	100	5	—	200	200	—	—	270	0.45	2.60	2.60	—
甲種白燈	3海里以上	360°	—	無色圓筒形硝子		360°	95	6	—	—	260	260	260	310	0.60	3.20	3.20	—
乙種白燈	2海里以上	360°	—	無色圓筒形硝子		360°	95	6	—	—	260	260	260	310	0.60	3.20	3.20	—
舷燈	2海里以上	左舷 110° 中央 45°	第一種	無色圓筒形硝子		270°	115	6	3	200	200	—	—	315	0.60	3.20	3.20	—
			第二種	無色圓筒形硝子		270°	95	6	3	230	230	—	—	310	0.60	3.20	3.20	—
船尾燈	2海里以上	135°	—	無色圓筒形硝子		140°	85	5	—	220	220	—	—	270	0.45	2.60	2.60	—
安全燈	—	360°	—	無色圓筒形硝子		360°	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第一圖

排具及隔板ニ取附クル突起金具

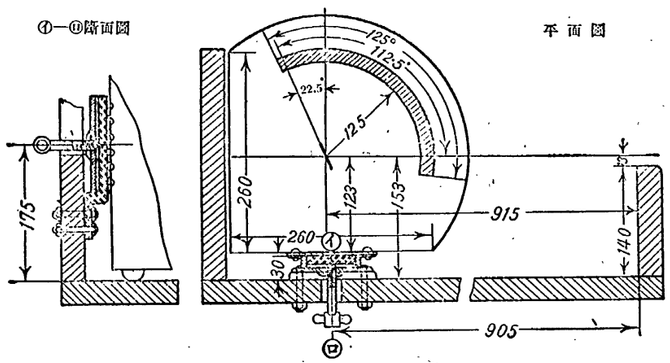
單位 mm



第二圖

甲種舷燈第一種用隔板(油船燈用)

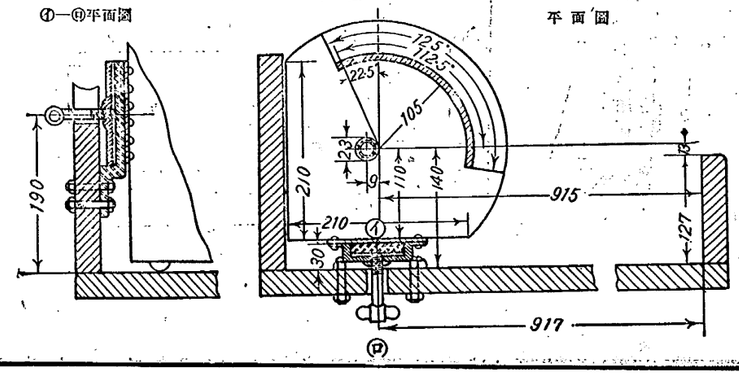
單位 mm



第三圖

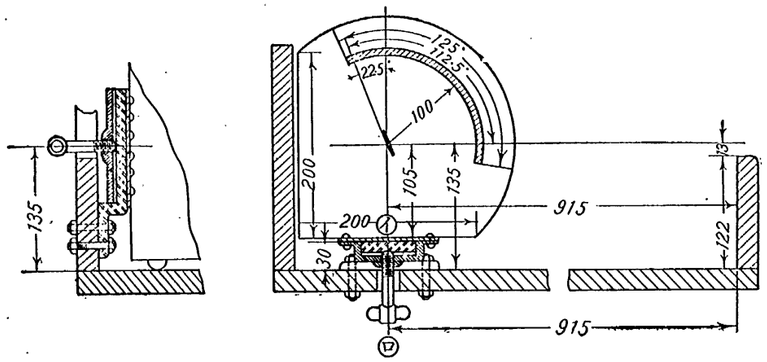
甲種舷燈第二種用隔板(油船燈用)

單位 mm



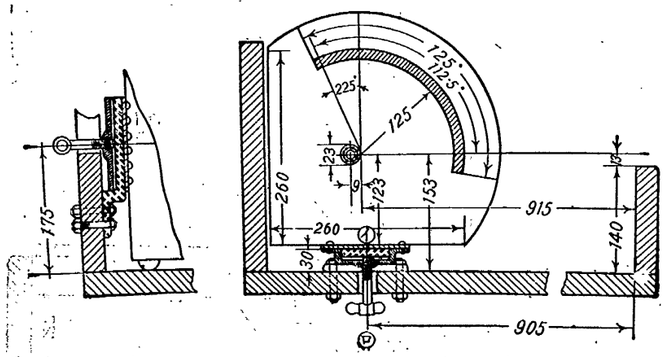
第　四　圖
乙種舷燈用隔板(油船燈用)
單位 m m

㋑—㋺斷面圖　　平面圖



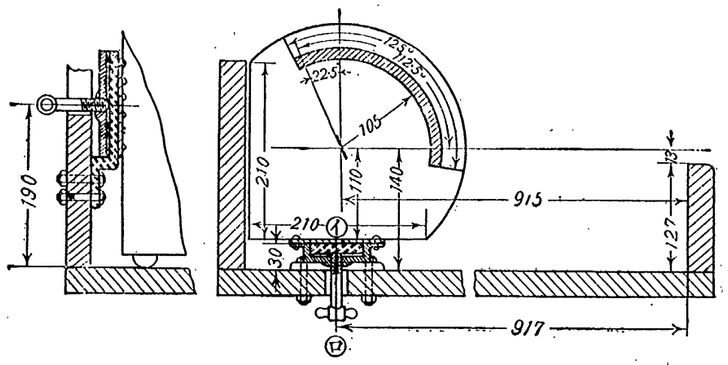
第　五　圖
甲種舷燈第一種用隔板(電氣船燈用)
單位 m m

㋑—㋺斷面圖　　平面圖



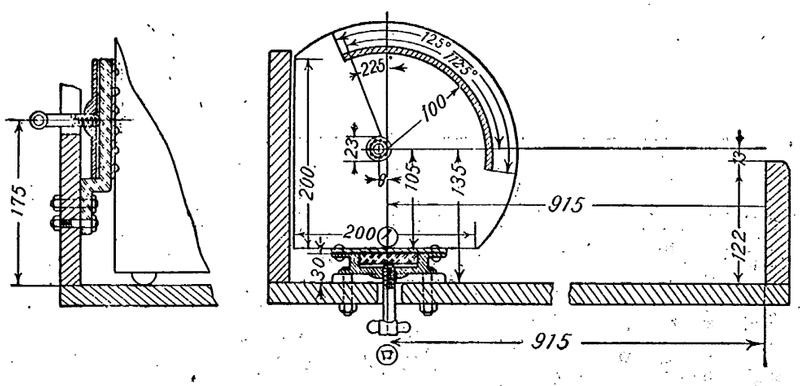
第　六　圖
甲種舷燈第二種用隔板(電氣船燈用)
單位 m m

㋑—㋺斷面圖　　平面圖



第　七　圖
乙種舷燈用隔板(電氣船燈用)
單位 m m

㋑—㋺斷面圖　　平面圖



アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第十八章　雑　則

第二章　運　転

第七章　船用品検査及罰則

左ノ算式ニ依リ算定スベシ

$$容積=\frac{l}{12}(4A+2B+4C)$$

lハ船首材ニ於ケル外板ノ内面ヨリ船尾外板ノ内面迄、方形ナルトキハ船尾横板ノ内面迄測リタル救命艇ノ長サ

A、B及Cハlノ一端ヨリ順次其ノ四分ノ一、二分ノ一及四分ノ三ノ箇所ニ於ケル船体ノ横截面積

第二十二條　前條ノ横截面積ハ左ノ算式ニ依リ算定スベシ

$$面積=\frac{h}{12}(a+4b+2c+4d+e)$$

hハ外板ノ内面ニ於テ龍骨ヨリ舷端迄測リタル當該横截面ノ深サ

a及eハhノ兩端ニ於ケル外板ノ内面ヨリ内面迄ノ幅

b、c及dハhノ一端ヨリ順次其ノ四分ノ一、二分ノ一及四分ノ三ノ箇所ニ於ケル外板ノ内面ヨリ内面迄ノ幅

前項ノ算式ニ依リ横截面ヲ算定スルニ當リ

$$面積=\frac{l}{12}(2a+1.5b+4c+1.5d+2e)$$

lハ外板ノ外面ト船首材トノ交點ヨリ船尾材ニ於ケル之ニ相當スル點迄ノ長サ

a、b、c、d及eハlノ一端ヨリ順次其ノ八分ノ一、四分ノ一、二分ノ一、四分ノ三及八分ノ七ノ箇所ニ於テ舷端又ハ甲板上面ニテ測リタル外板ノ外面迄ノ幅

第二十五條　第一救救命艇ノ容積ハ當該官吏ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ第二十一條ノ規定ニ依ラズ左ノ算式ニ依リ算定スルコトヲ得

$$容積=\frac{l\times B\times D\times 0.6}{}$$

Lハ船首材ニ於ケル外板ノ外面ヨリ船尾材ニ於ケル外板ノ外面迄、方形ナルトキハ船尾横板ノ外面迄測リタル救命艇ノ長サ

Bハ艇体最廣部ニ於ケル外板ノ外面ヨリ外面迄測リタル救命艇ノ幅

Dハ艇ノ長サノ中央ニ於テ龍骨ニ於ケル外板ノ内面ヨリ舷端迄測リタル救命艇ノ深サ

前項ノ算式ニ依リ容積ヲ算定スルニ當リテハ左ノ規定ニ依ルベシ

一　横截面積A又ハC ノ算定ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷弧ノ高サガ艇ノ長サノ一%ヲ超ユルトキハ船尾材ニ於ケル外板ノ内面ヨリ船尾横截面積ニ算入スベカラズ

二　中央横截面積Bノ算定ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷端迄ノ深サガ最大内法幅ノ四五%ヲ超ユルトキハ超過部分ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

三　前號ノ場合横截面積A又ハCノ算定ニ於テ當該横截面ニ於ケル舷端迄ノ深サガ中央横截面ノ最大内法幅ノ四五%ニ艇ノ長サノ一%ヲ加ヘタルモノヲ超ユルトキハ超過部分ニ相當スル面積ハ之ヲ横截面積ニ算入スベカラズ

第二十三條　發動機附救命艇ノ容積ハ第二十一條ノ規定ニ依ル容積ヨリ發動機、探照燈及無線電信設備並ニ其ノ附屬物ノ占ムル容積ヲ控除シタルモノトス

第二十四條　第二救甲型救命艇ノ固定艙側内面積ニ在リテハ第二救乙型救命艇ノ甲板面積ハ左ノ算式ニ依リ算定スベシ

救命艇ノ種類	單位容積又ハ單位面積
第一救甲型救命艇	〇・二五立方メートル
第一救乙型救命艇	〇・三五立方メートル
第二救救命艇	〇・三五平方メートル

第二十六條　第一救救命艇ノ定員ハ其ノ容積ニテ除シ、第二救救命艇ノ定員ハ固定艙側内又ハ甲板ノ面積ニテ除シタル數ヲ左表ニ掲グル單位面積ニテ除シタル定數トス

第二十七條　有甲板救命艇ニ在リテハ座席設備ニ相當スル人員ガ前條ノ定員ヨリ大ナルトキハ當該官吏ハ實地試驗ノ上其ノ定員ヲ增加スルコトヲ得但シ甲板面積平方メートルニ付〇・二八〇ニテ除シテ得タル數ヲ超ユルコトヲ得ズ

前項ノ試驗ニ於テ四甲板救命艇ノ側部ニ於ケル甲板ノ高マリタル部分ハ之ヲ座席ニ充ツルコトヲ得

第二十八條　救命艇ノ定員ハ前二條ノ規定ニ拘ラズ必要ニ應ジ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ制限スベシ

一　前二條ノ規定ニ依ル定員ガ座席設備ニ相當スル人員ヨリ多キトキハ定員ヲ座席設備ニ相當スル人員ニ止ムベシ此ノ場合座席設備ニ相當スル人員ハ總員端席シタルトキ艦ノ使用ヲ妨ゲザル樣之ヲ決定スベシ

二　第二救救命艇ニ在リテハ滿載狀態ニ於ケル乾舷ガ第十六條又ハ第十九條ニ規定スル乾舷ヨリ小ナルトキハ該規定ニ適合スル迄定員ヲ減少スベシ

三　深サ一二センチメートルヲ超ユル第一救救命艇ニ在リテハ第二十六條ニ依ル定員ニ一二センチメートル艇ノ實際ノ深サトノ比ヲ乘ジテ得タル人員迄定員ヲ減少スベシ但シ實地試驗ノ上減少ノ程度ヲ當該官吏ニ於テ差支ナシト認ムル限度ニ止ムルコトヲ得

第二十九條　鎖尖ナル兩端ヲ有スル救命艇又ハ形狀著シク肥滿セル救命艇ノ定員ノ算定ハ當該官吏ノ適當ト認ムル方法ニ依ル

第三十條　救命艇ノ實地試驗ハ救命胴衣ヲ著用シタル大人ヲ搭載シテ之ヲ行フベシ

七五キログラムノ重量ヲ積載シテ之ヲ行フベシ

第七節　雜則

第三十一條　救命艇ニハ其ノ舷側ノ外周ニ沿ヒ長サ六一センチメートル毎ニ一箇ノ把握部ヲ有スル把索ヲ取附クベシ

前項ノ把握部ノ中央ハ救命艇ノ滿載吃水線ニ近キコトヲ要ス

第三十二條　救命艇ニハ明瞭且耐久的ノ文字ヲ以テ左ノ各號ノ標示ヲ爲スベシ

一　型式承認番號（型式承認ヲ受ケタルモノニ限ル）

二　製造番號

三　寸法（第二十五條第一項ニ示スL、B及D）

四　定員

五　重量（滿載狀態ノ重量）

六　製造年月

七　製造者ノ氏名又ハ名稱

第三章　救命艇

第三十三條　救命艇ノ定員ハ該救命艇ノ甲板面積平方メートル數ヲ〇・三七二ニテ除シタル數及浮体ノ全容積立方デシメートル數ヲ八五ニテ除シタル數ノ中何レカ小ナルモノヲ超ユルコトヲ得ズ

第三十四條　救命艇ハ上下何レノ面ヲ上ニシテ浮ベタル場合ニ於テモ有效ニシテ定員一人ニ付七五キログラムノ剩合ノ鐵片ヲ其ノ重心ガ夫々甲板面ヨリ〇・六メートルノ位置ニ在ル樣ニ搭載シ且屬具ヲ搭載シタル場合ニ相當ノ復原性及乾舷ヲ保持スルモノナルコトヲ要ス

第三十五條　救命艇ノ艤裝ハ之ヲ使用スルニ適スルモノナルコトヲ要ス

第三十六條　救命艇ニハ左ノ各號ノ條件ニ從ヒ繫索ヲ備フルコトヲ要ス

一　繫索ノ長サハ救命艇ヲ搭載スル甲板ヨリ該船舶ノ最低航海吃水線迄ノ高サニ二メートルヲ加ヘタルモノ以上ナルコト但シ二一八メートルヲ超ユルモノニ在リテハ二一八メートルヨリ長キコトヲ要セザルコト

二　繫索ハ良質ノ「マニラ」索トシ其ノ大サハ救命艇ノ重量五〇〇キログラム以下ノモノニ在リテハ徑二四ミリメートル以上、五〇〇キログラムヲ超ユルモノニ在リテハ徑三〇ミリメートル以上トスルコト

三　繫索ハ之ニ木製ノ仕切板又ハ支肘ヲ附タル等ノ爲撚孔セザルコト

四　繫索ハ每平方センチメートル〇・一〇キログラムノ張屈ヲ以テ試驗シ張索ノ濕濁セザルモノナルコト

五　張索箱ニ裝置ニ當リテハ麻仁油又ハ良質ノ「ワニス」若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル塗料ヲ塗布スルコト

六　張索箱ニハ之ニ木製ノ仕切板又ハ支肘ヲ附タル等ノ爲撚孔セザルコト

七　張索箱ハ每平方センチメートル〇・一〇キログラムノ張屈ヲ以テ試驗シ張索ノ濕濁セザルモノナルコト

八　張索箱ノ裝置ニハ煮沸セル亜麻仁油又ハ良質ノ「ワニス」若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル塗料ヲ塗布スルコト

九　張索箱ヲ取附クルニハ之ヲ鐵鋼部ニ接觸セシメザルコト

第四十一條　浮体ハ包箱又ハ包枠ヲ以テ之ヲ防護シ動カザル樣取附クルコトヲ要ス

第四十二條　救命艇ノ主枠組ニ使用スル木材ハ緊材ナルコトヲ要ス

浮体ヲ防護スル爲ノ包箱、包枠又ハ甲板ニ使用スル木材ハ柔材ナルモ妨ナシ

第四十三條　救命艇ハ其ノ兩面ニ木材、帆布其ノ他適當ナル材料ニテ造リタル固定又ハ墨込ノ舷墻ヲ備フルコトヲ要ス

第四十四條　救命艇ニハ當該官吏ノ適當ト認ムル位置ニ五箇以上ノ檜栓孔ヲ設クルコトヲ要ス

第四十五條　救命艇ニハ其ノ周邊ニ沿ヒ周邊ノ長サ三〇・五センチメートル毎ニ一箇ノ把握部ヲ有スル二列ノ把索ヲ其ノ一ハ浮体ノ頂面ヨリ稍下部ニ、他ハ浮体ノ底面ヨリ稍上部ニ取附クルコトヲ要ス

前項ノ把索ハ良質ノ「マニラ」索ニシテ徑一二ミリメートル以上ノモノヲ使用スルコトヲ要ス

第四十六條　救命艇ニハ左ノ各號ノ條件ニ從ヒ繫索ヲ備フルコトヲ要ス

一　繫索ノ長サハ救命艇ヲ搭載スル甲板ヨリ該船舶ノ最低航海吃水線迄ノ高サニ〇ミリメートル以上ノ折曲抱合ト爲シ良ク捕打シ且鐵附スルコト但シ端部ノ纖目ハ折曲ト爲スモ妨ナキコト

二　繫索ハ良質ノ「マニラ」索トシ其ノ大サハ救命艇ノ重量五〇〇キログラム以下ノモノニ在リテハ徑二四ミリメートル以上、五〇〇キログラムヲ超ユルモノニ在リテハ徑三〇ミリメートル以上トスルコト

三　繫索ハ之ニ木製ノ仕切板又ハ支肘ヲ附タル等ノ爲撚孔セザルコト

四　繫索ハ每平方センチメートル〇・一〇キログラムノ張屈ヲ以テ試驗シ張索ノ濕濁セザルモノナルコト

五　張索箱ニハ之ニ木製ノ仕切板又ハ支肘ヲ附タル等ノ爲撚孔セザルコト

六　張索箱ハ每平方センチメートル〇・一〇キログラムノ張屈ヲ以テ試驗シ張索ノ濕濁セザルモノナルコト

七　張索箱ニハ煮沸セル亜麻仁油又ハ良質ノ「ワニス」若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル塗料ヲ塗布スルコト

八　張索箱ノ裝置ニ當リテハ麻仁油又ハ良質ノ「ワニス」若ハ當該官吏ノ適當ト認ムル塗料ヲ塗布スルコト

九　張索箱ヲ取附クルニハ之ヲ鐵鋼部ニ接觸セシメザルコト

第四十一條　浮体ハ包箱又ハ包枠ヲ以テ之ヲ防護シ動カザル樣取附クルコトヲ要ス

第四十二條　救命艇ノ主枠組ニ使用スル木材ハ緊材ナルコトヲ要ス

浮体ヲ防護スル爲ノ包箱、包枠又ハ甲板ニ使用スル木材ハ柔材ナルモ妨ナシ

第四十三條　救命艇ハ其ノ兩面ニ木材、帆布其ノ他適當ナル材料ニテ造リタル固定又ハ墨込ノ舷墻ヲ備フルコトヲ要ス

第四十四條　救命艇ニハ當該官吏ノ適當ト認ムル位置ニ五箇以上ノ檜栓孔ヲ設クルコトヲ要ス

第四十五條　救命艇ニハ其ノ周邊ニ沿ヒ周邊ノ長サ三〇・五センチメートル毎ニ一箇ノ把握部ヲ有スル二列ノ把索ヲ其ノ一ハ浮体ノ頂面ヨリ稍下部ニ、他ハ浮体ノ底面ヨリ稍上部ニ取附クルコトヲ要ス

前項ノ把索ハ良質ノ「マニラ」索ニシテ徑一二ミリメートル以上ノモノヲ使用スルコトヲ要ス

第四十六條　救命艇ニハ左ノ各號ノ條件ニ從ヒ繫索ヲ備フルコトヲ要ス

一　繫索ノ長サハ救命艇ヲ搭載スル甲板ヨリ該船舶ノ最低航海吃水線迄ノ高サニ二メートルヲ加ヘタルモノ以上ナルコト但シ二一八メートルヲ超ユルモノニ在リテハ二一八メートルヨリ長キコトヲ要セザル

第
練上土中ヨリ掛ケテ置キ練リ合ハス
練ノ周リヲ土ニテ囲ミ其ノ中ニ水ヲ入レ
撲ニ際シ又ハ其ノ他ノ場合ニ於テ
索体ノ之ヲ救フ為メニ
索ヲ以テ人ヲ救フ
合ハ救ヒ上ケ
折綱ノ張リ
曲ケ救ヒ上ケ
練ノ周リヲ
ト同ジク
ス
ノ如シ
ニ
ハ
ル
ヲ
ノ
ヲ
ニ
ノ
ヲ
ノ
ヲ
ノ
ヲ

第一條　本令ニ於テ消火器ト稱スルハ船内ニ於ケル火災ノ場合ニ使用スル持運式（揚帶用）及移動式ノ消火器ヲ謂フ

第二條　消火器ヲ分チテ左ノ二種トス

一、液体消火器　消火液ヲ放射スル持運式消火器

二、泡消火器　消火氣泡ヲ放射スル持運式消火器及移動式消火器

第三條　本令ノ規定ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第四條　消火器ハ人爲的ナラザル振動、顚倒其ノ他ニ依リ起動セザルモノナルコトヲ要ス

第五條　消火器ノ重量ハ一人ノ力ヲ以テ之ヲ有效ニ取扱ヒ得ル程度ニシテ且移動式泡消火器ヲ除キ一七キログラムヲ超エザルコトヲ要ス

消火器ノ容量ハ水準線迄測リ五リットル以上ナルコトヲ要ス

水準線以上ノ空氣部ハ容器ノ全容積ノ五%ヨリ小ナルベカラズ

消火器ニハ水準線ヲ明瞭ニ標示スベシ

第六條　消火液及消火氣泡發生液ノ容器ノ形狀ハ圓筒形又ハ圓錐形トス圓筒形ナルトキハ兩端板ヲ、圓錐形ナルトキハ大ナル徑ヲ有スル端板ヲ外方ニ突出シタル皿形トス但スベシ

端板ノ皿ノ內半徑ハ容器ノ端部ノ內徑ヲ超エザルコトヲ要ス

第七條　容器ノ胴板及端板ニハ鋼板又ハ鋼板ヲ使用シ其ノ內面ニハ十分ニ錫引若ハ鉛引ヲ施スベシ

第八條　持運式消火器ノ容器ノ構造及寸法ハ左ノ各號ノ條件ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　接合部ハ累接鉚締トス但シ鑞附トス

コト

二　鉚孔ハ縫捺シ接合ニ於テハ心距ヲ二センチメートル乃至二・五センチメートル

容器ノ外徑	鋼板		銅板	
	厚サ（粍）	鉚孔徑（粍）	厚サ（粍）	鉚孔徑（粍）
一五センチメートル以下	一・二	四・〇	一・〇	四・〇
一五センチメートル超エ二〇センチメートル以下	一・二	四・〇	一・二	四・〇

第九條　裝塡口ハ徑七・五センチメートルヨリ小ナラザルモノトス之ニ螺絲部ノ長サ約二センチメートルヲ有スル鍛金製螺込覆蓋ヲ取附クベシ

覆蓋又ハ裝塡口ノ螺絲部ニハ消火器ヲ起動液ノ放射孔閉塞ノ場合ニ殘留スル瓦斯ノ壓力ヲ洩ス小ナル完全孔一

第十條　藥液機受籠ハ容器ノ掃除及檢査ノ爲容易ニ取出シ得ルモノト爲スベシ

第十一條　消火器ニハ其ノ水壓試驗ヲ行フトキ及起動ノ際器內ニ生ズル壓力ヲ確メントスルトキ壓力計ヲ取附ク爲標準螺絲ヲ有スル壓力計取附口ヲ附シ置クベシ

第十二條　放射孔又ハ放射管ニハ適當ナル遮裝置ヲ取附クベシ

內部放射管ヲ備フル消火器ニ在リテハ溫度ノ變化ニ依リ消火液ガ放射孔ノ方ニ押出サレ取附物ヲ腐蝕シ又ハ放射孔ヲ塡塞スルコトヲ防グ爲適當ノ膨脹室ヲ設クルカ又ハ其ノ他適當ナル裝置ヲ施スベシ

第十四條　蛇管ヲ使用スル消火器ニ在リテハ蛇管ヲ耐久性ノモノナルコトヲ要ス

第十五條　放射口金ノ孔ノ大サハ徑四ミリメートル以上ト爲シ消火液又ハ消火氣泡ノ放射ハ六〇秒時以上連續的ニシテ消火液又ハ消火氣泡ノ到達スル水平距離ハ放射ノ初期ニ於テ九メートル以上、六〇秒時ニ於テ六メートル以上ナルコトヲ要ス

放射口金端ニハ薄膜ヲ其ノ他適當ノ隔壁ヲ附スベシ

第十六條　持運式消火器ニハ其ノ持運及取扱ニ便ナル樣適當ノ固定把手ヲ設クルコトヲ要シ移動式消火器ニハ移動及取扱ニ便ナル樣適當ノ裝置ヲ設クルコトヲ要ス

第十七條　消火器ノ裝塡物ハ左ニ揭グルモノ其ノ他適當ト認ムルモノナルコトヲ要ス

液体消火器

一　重炭酸曹達又ハ炭酸加里ノ溶液及礬

容レタル硫酸又ハ塩酸

二　清水及壓縮炭酸瓦斯

泡消火器

重炭酸曹達ト氣泡劑トノ混合液及礬ニ容レタル硫酸「アルミニューム」溶液

第十八條　裝塡物及空氣部ハ液体ノ溫度三八度ノトキ一切ノ口孔ヲ閉塞シテ起動セシメタル場合ニ生ズル壓力ヲ每平方センチメートル一四キログラム以下ニ調節シタルモノナルコトヲ要ス

第十九條　容器ハ每平方センチメートル二五キログラムノ壓力ヲ五分時持續スル水壓試驗ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

前項ノ壓力ハ兩條ニ揭グル調節セラレタル壓力ノ二倍ニ止ムルモノナルコトヲ要ス

第二十條　貨物搭載場所ニ在ル電氣「サーモスタット」及損傷ヲ受クル虞アル電氣「サーモスタット」ハ適當ニ之ヲ防護スベシ

第二十一條　電源及電路ニハ第二十三條ニ規定スル場合ヲ除クノ外故障音信裝置ヲ備フルコトヲ要ス

故障音信裝置ハ電源又ハ電路ニ故障ヲ生ジタル場合ニ於テハ心距ヲ二センチメートル乃至二・五センチメートル

第二十二條　故障音信裝置ハ一故障音信裝置ヲ備フルコトヲ要ス但シ數箇ノ故障ヲ同一故障音信裝置ヲ以テ表示スルモノナルコトヲ要ス

故障音信裝置ハ電源又ハ電路ニ故障ヲ生ジタル場合ニ於テハ心距ヲ二センチメートル乃至二・五センチメートル

第二十三條　故障音信裝置ハ電源又ハ電路ニ故障ヲ生ジタル場合ニ於テハ心距ヲ二センチメートル乃至二・五センチメートル

第二十四條　火災警報裝置ハ使用スル電源ハ封緘シタル專用ノ蓄電池ニシテ照明系統ノ幹線ヨリ自動的ニ充電セラルルモノナルコトヲ要ス

第二十五條　火災警報裝置ニ使用スル電壓ハ二〇ヴオルト以上六〇ヴオルト以下ナルコトヲ要ス

火災警報裝置ハ其ノ標準電壓ノ八〇%ニテ動作スルモノナルコトヲ要ス

第二十六條　火災警報裝置ニハ使用スル蓄電池ノ充電ヲ更新スルコトナクシテ四八時間以上電流ヲ供給シ得ルモノニシテ其ノ容量ハ一〇アンペア時以上ナルコトヲ要ス

第二十七條　火災警報裝置ニハ容量三アムペア以上六アムペア以下ノ「フューズ」ヲ充電用電流ヲ供給スル幹線又ハ其ノ附近ニ於テ天井トシテ取扱フベシ

梁ニ深サ二五センチメートルヲ超エルトキハ梁ニ依リテ仕切ラレタル各區畫ヲ別個ノ

第十九條　梁ノ構造ガ特殊ノ爲前二條ノ規定ニ依リ難キ場合ニハ電氣「サーモスタット」式火災警報裝置ノ配置ハ當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ルベシ

第二章　電氣「サーモスタット」式火災警報裝置

第二十八條　受信盤及其ノ附屬裝置ハ振動ニ依リ影響ヲ受ケズ又四五度傾キタル場合ニ於テモ動作スルモノナルコトヲ要ス

第二十九條　警報音信號ハ鐘ノ徑一五センチメートルヨリ小ナラザル蔽圍型警鐘ニ依リ發スルモノナルコトヲ要ス

前項ノ音信號ハ適當ノ裝置ニ依リ之ヲ停止シ得ルコトヲ要ス

第三章　空氣管式火災警報裝置

第三十條　空氣管式裝置ノ警報器ハ各警報區域ニ付一箇ノ警燈又ハ表示器ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

前項ノ警報器ハ火災ノ發生シタル警報區域ヲ明ニ表示シ且特ニ人爲的ニ之ヲ復セシメザル限リ指示又ハ動作ヲ繼續スルモノナルコトヲ要ス

第三十一條　警報器ニハ警報中自動的ニ警報音信號ヲ連續鳴響スル警鐘一箇ヲ附屬セシムルコトヲ要ス

第三十二條　長サ一〇〇メートル以上ノ船舶ニハ機關室ニ補助警音裝置ヲ設置スルコトヲ要ス

第三十三條　空氣管式裝置ニ於ケル各空氣管閉路ハ長サ三〇〇メートルヲ超エザルコトヲ要シ且管ハ岐路ヲ有セズ其ノ兩端ヲ一箇ノ檢出器ニ連結スルコトヲ要ス

前項ノ檢出器ハ電線ニ依リ警報器ニ連結スルモノナルコトヲ要ス

第三十四條　空氣管ハ之ヲ各警戒區畫室ハ天井ニ取附クベシ但シ貨物艙以外ノ場所ニ設クル空氣管ニ在リテハ之ヲ仕切壁若ハ隔壁ニ於テ天井ヨリ三〇センチメートル以內ノ位置ニ取附クルコトヲ得

第三十五條　各警戒場所又ハ各室ニハ空氣管圓路ノ全長ノ少クトモ五%ヲ露出セシムルコトヲ要シ且露出部ノ長サハ如何ナル場合ニ於テモ八メートルヨリ少カラザルコトヲ要ス

第三十六條　平面天井ニ在リテハ天井ノ何レノ部分モ空氣管ヨリノ距離三・五メートル

防諦所ニ設置セラルルモノナルコトヲ要ス

第五條　一警報區域ニ合マルル室數ハ五〇ヲ超ユルコトヲ得ズ又一警報區域ノ船首尾方向ノ長サハ四〇メートルヲ超ユルコトヲ得ズ

第六條　水密隔壁又ハ防火隔壁ニテ仕切ラレタル場所ハ之ヲ同一警報區域ニ合マシムルコトヲ得ズ但シ倉庫ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

法規ニ依リ設クベキ支水隔壁ガ暴露甲板ニ到達セザル船ニ在リテハ甲板間ノ場所ハ該隔壁ガ暴露甲板ニ到達セルモノト看做ス

同一甲板上ニ在ラザル場所ハ之ヲ同一警報區域ニ合マシムルコトヲ得ズ但シ船首尾狹部其ノ他ノ場所ニシテ當該官吏ニ於テ差支ナシト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第七條　火災警報裝置ハ一警報區域關係ノ裝置ガ動作不能トナリタル場合ニ於テモ他ノ警報區域關係ノ裝置ヲ動作不能トナラシメザルモノナルコトヲ要ス

火災警報裝置ハ一箇若ハ同時ニ數箇ノ火災警報信號ヲ爲シ得ルモノナルコトヲ要ス

第八條　火災警報裝置ハ火災警報以外ノ信號ノ傳達ニ流用シ得ザルモノナルコトヲ要ス

第九條　火災警報裝置ノ電路ハ電氣的ノ接地ヲ有セザルコトヲ要ス

第十條　火災警報裝置ニ使用スル電源ハ蓄電池、太ヤ、鉛蛇、鎧裝「防護、支持其ノ他一般ニ適當ト認ムル所ニ依ル但シ電線ハ電線式ノ電氣「サーモスタット」ノ電線ヲ除クノ外鉛被ヲ爲シ得ル場合ニ於テハ鎧裝スルコトヲ要ス

第十一條　火災警報裝置ハ其ノ全裝置ニ付耐久試驗ヲ行ヒ故障ナキモノナルコトヲ要ス

第十二條　火災警報裝置ニハ一組每ニ其ノ操作、維持及試驗ニ關スル詳細並ニ豫備品ノ品目及數量ヲ記載シタル揭示用圖表ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ圖表ニハ試驗ノ執行年月日記入ノ爲並ニ試驗ニ立會フ當該船舶職員ノ署名ノ爲餘白欄ヲ存セシメ試驗ノ都度之ヲ記入ニ便ナラシムベシ

第二章　電氣「サーモスタット」式火災警報裝置

第十三條　電氣「サーモスタット」式裝置ノ警報器ハ各警報區域ニ付一個ノ警燈又ハ表示器ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

前項ノ警報器ハ火災ノ發生シタル警報區域ヲ明ニ表示シ且特ニ人爲的ニ之ヲ復セシメザル限リ指示又ハ動作ヲ繼續スルモノナルコトヲ要ス

第十四條　警報器ニハ警報中自動的ニ警報音信號ヲ連續鳴響スル警鐘一箇ヲ附屬セシムルコトヲ要ス

故障音信號ヲ停止スル爲開閉器ヲ設クルモノニ在リテハ別ニ故障燈ヲ備ヘ音信號ヲ停止セシムルト同時ニ自動的ニ故障燈ニ點燈セシメ得ルコトヲ要ス

第十五條　電氣「サーモスタット」ハ之ヲ各警戒區畫室ノ天井ニ取附クベシ但シ貨物艙以外ノ場所ニ設クル電線式ノ電氣「サーモスタット」ヨリモ距離三メートルヲ超エザルコトヲ要ス

電線式ノ電氣「サーモスタット」ニ在リテハ各電路ヲ爲シ三〇〇メートルヲ超エザル電線ヨリ成ルコトヲ要シ之ヲ各警戒區畫室ニ配線シ天井ノ何レノ部分モ電線ヨリノ距離三メートルヲ超エザルコトヲ要ス

第十六條　火災警報裝置ニハ使用スル蓄電池ノ充電ヲ更新スルコトナクシテ四八時間以上電流ヲ供給シ得ルモノニシテ其ノ容量ハ一〇アンペア時以上ナルコトヲ要ス

第二十七條　火災警報裝置ニハ容量三アムペア以上六アムペア以下ノ「フューズ」ヲ充電用電流ヲ供給スル幹線又ハ其ノ附近ニ於テ容易ニ取扱フベシ

第二十八條　火災警報裝置ニハ其ノ全裝置ニ付耐久試驗ヲ行ヒ故障ナキモノナルコトヲ要ス

第二十九條　火災警報裝置ニハ一組每ニ其ノ操作、維持及試驗ニ關スル詳細並ニ豫備品ノ品目及數量ヲ記載シタル揭示用圖表ヲ添附スルコトヲ要ス

前項ノ圖表ニハ試驗ノ執行年月日記入ノ爲並ニ試驗ニ立會フ當該船舶職員ノ署名ノ爲餘白欄ヲ存セシメ試驗ノ都度之ヲ記入ニ便ナラシムベシ

第二章　電氣「サーモスタット」式火災警報裝置

第三十條　電氣「サーモスタット」式裝置ノ警報器ハ各警報區域ニ付一個ノ警燈又ハ表示器ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

前項ノ警報器ハ火災ノ發生シタル警報區域ヲ明ニ表示シ且特ニ人爲的ニ之ヲ復セシメザル限リ指示又ハ動作ヲ繼續スルモノナルコトヲ要ス

第三十一條　警報器ニハ警報中自動的ニ警報音信號ヲ連續鳴響スル警鐘一箇ヲ附屬セシムルコトヲ要ス

第三十二條　長サ一〇〇メートル以上ノ船舶ニハ機關室ニ補助警音裝置ヲ設置スルコトヲ要ス

第三十三條　空氣管式裝置ニ於ケル各空氣管閉路ハ長サ三〇〇メートルヲ超エザルコトヲ要シ且管ハ岐路ヲ有セズ其ノ兩端ヲ一箇ノ檢出器ニ連結スルコトヲ要ス

前項ノ檢出器ハ電線ニ依リ警報器ニ連結スルモノナルコトヲ要ス

第三十四條　空氣管ハ之ヲ各警戒區畫室ノ天井ニ取附クベシ但シ貨物艙以外ノ場所ニ設クル空氣管ニ在リテハ之ヲ仕切壁若ハ隔壁ニ於テ天井ヨリ三〇センチメートル以內ノ位置ニ取附クルコトヲ得

第三十五條　各警戒場所又ハ各室ニハ空氣管圓路ノ全長ノ少クトモ五%ヲ露出セシムルコトヲ要シ且露出部ノ長サハ如何ナル場合ニ於テモ八メートルヨリ少カラザルコトヲ要ス

第三十六條　平面天井ニ在リテハ天井ノ何レノ部分モ空氣管ヨリノ距離三・五メートル

一　型式承認番號（型式承認ヲ受ケタルモノニ限ル）

二　消火器ノ種類

三　製造番號

四　容量

五　重量

六　製造年月

七　製造者ノ氏名又ハ名稱

第二十一條　消火器ニハ裝塡物ニ關スル明細書ヲ添附スベシ

封緘シタル裝塡物ニハ一箇每ニ說明書ヲ添附スベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●火災警報裝置試驗規程

昭和九年二月

遞信令第二十三號

火災警報裝置試驗規程左ノ通定ム

火災警報裝置試驗規程

目　次

第一章　總則

第二章　電氣「サーモスタット」式火災警報裝置

第三章　空氣管式火災警報裝置

第四章　煙管式火災警報裝置

附　則

第一章　總則

第一條　本令ニ於テ火災警報裝置ト稱スルハ船內ニ於ケル火災ヲ自動的ニ警報スル裝置ヲ謂フ

第二條　火災警報裝置ヲ分チテ左ノ三種トス

一　電氣「サーモスタット」式火災警報裝置

二　空氣管式火災警報裝置

三　煙管式火災警報裝置

第三條　本令ノ規定ニ該當セザル火災警報裝置ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第四條　警報器又ハ探知器ハ火災ノ存在又ハ徵候ヲ船具ガ最速ニ認メ得ベキ場所又ハ消

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records

第三十七條　天井ガ深サ二五センチメートル以下ノ梁ニ依リ格子又ハ小間ニ區分セラレタルモノナルトキハ之ヲ平面天井トシテ取扱フベシ

梁ノ深サ二五センチメートルヲ超ユルトキハ梁ニ在リテ仕切ラレタル各區畫ニ少クトモ一條ノ煙氣管ヲ配置スルコトヲ要ス

第三十八條　梁ノ構造ガ特殊ノ爲前二條ノ規定ニ依リ難キ場合ニハ煙氣管ノ配置ハ當該官吏ノ適當ト認ムル所ニ依ル

第三十九條　貨物搭載場所ニ在ル煙氣管及損傷ヲ受クル虞アル煙氣管ハ適當ニ之ヲ防護スベシ

區畫室其ノ他ノ場所ニシテ其ノ用途ノ性質上相當高温トナルコトアルベキ箇所ニ在ル煙氣管ニハ必要ニ應ジ適當ニ防熱裝置ヲ施スベシ

第四十條　電源及電路ニハ第四十二條ニ規定スル場合ヲ除クノ外故障普信裝置ヲ備フルコトヲ要ス

故障普信裝置ハ電源又ハ電路ニ故障ヲ生ジタル場合該故障ヲ修復シ終ル迄明瞭ナル普信裝ヲ自動的ニ連續鳴轉スルモノナルコトヲ要ス

故障普信裝ヲ停止スル爲開閉器ヲ設クルモノニ在リテハ則ニ故障燈ヲ備ヘ普信裝ヲ停止セシムルト同時ニ自動的ニ故障燈ニ點燈セシメ得ルコトヲ要ス

第四十一條　發鐘ニハ故障普信裝置ヲ備フルコトヲ要但シ設備ノ發鐘ヲ使用スルトキハ其ノ一箇ニ限リ之ヲ備フルモ妨ナシ

第四十二條　故障普信裝置ニ使用スル電路及之ニ對スル電源並ニ受信盤上ノ常時開放二次電路ニハ故障普信裝置ヲ備フルコトヲ要セズ

第四十三條　火災發報裝置ニ使用スル電源ハ封緘シタル專用ノ蓄電池ニシテ照明系統ノ幹線ヨリ自動的ニ充電セラルルモノナルコトヲ要ス

第四十四條　火災發報裝置ニ使用スル電壓ハ二〇ヴオルト以上六〇ヴオルト以下ナルコトヲ要ス

火災發報裝置ハ其ノ標準電壓ノ八〇%ニテ動作スルモノナルコトヲ要ス

第四十五條　火災發報裝置ニ使用スル蓄電池排氣ガ腐蝕スベキ臭氣ヲ有スルトキ之ヲ室外ニ誘出シ得ル裝置ヲ設ケ其ノ蓄電池ハ充電ヲ更新スルコトナクシテ四八時間以上電流ヲ供給シ得ル裝置ヲ設ケ其ノ容量ハ一〇アムペア時以上ナルコトヲ要ス

第四十六條　火災發報裝置ニハ容量三アムペア以上六アムペア以下ノ「フューズ」ヲ充電用電流ヲ供給スル發報又ハ其ノ附近ニ於テ蓄電池主放電路中ノ充電盤上ニ裝置スルコトヲ要ス

第四十七條　受信盤及其ノ附屬裝置ハ振動ニ依リ影響ヲ受ケズ又四五度傾キタル場合ニ於テモ動作スルモノナルコトヲ要ス

第四十八條　發報普信裝ハ鐘ノ徑一五センチメートルヨリ小ナラザル蔽圈型發鐘ニ依リ發スルモノナルコトヲ要ス

第五章　標管式火災發報裝置

第四十九條　火災探知器ハ各發減區畫室ヨリ之ニ導キタル煙管ニ依リ火災ニ伴ヒ細微稀薄ナル煙ヲ容易ニ判別シ得ルモノナルコトヲ要シ之ニ附隨スル照明裝置ハ夜間航海ニ支障ヲ來サザルモノナルコトヲ要ス

第五十條　各發減區畫室ニハ火災探知器ニ適合スル標管一箇以上ヲ備フルコトヲ要ス但シ相隣接セル小區畫室ニシテ當該官吏ニ於テ差支ナシト認ムルモノニ在リテハ此等區畫室ヨリノ煙管ハ之ヲ連絡シ一煙管トシテ火災探知器ニ導クモ妨ナシ

標管ハ內徑二〇ミリメートルヨリ小ナラザルモノナルコトヲ要ス

第五十一條　防護區畫ニ數箇ノ標蒐集器ヲ備フル場合ニハ二箇ヨリ多クノ標蒐集器ヲ同一煙管ニ連結セザル構造トシ爲スコトヲ要ス

煙蒐集器ハ各發減區畫室ノ天井ニ裝置シ天井ノ何レノ部分モ標蒐集器ヨリノ距離一二メートルヲ超ユザルコトヲ要ス

標蒐集器ハ通風器ノ開口緣ヨリ開口徑ノ三倍以內ノ箇所ニ取附クベカラズ

第五十一條　排氣ハ煤煙ヲ認メ得ル樣之ヲ火災探知器ヲ備フル室內ニ排出スルコトヲ要ス

第五十二條　吸氣扇ハ二重ニ設ケ何レモ非常點燈用電源ニ依リ動作シ得ル樣開閉器ヲ設クベシ

非常點燈用電源ノ電壓ガ常用ノ點燈用電源ノ電壓ヨリ低キモノナルトキハ吸氣扇ノ內一箇ニ限リ非常點燈用電源ニ依リ動作シ得ザルモ妨ナシ

第五十三條　火災探知器ニハ吸氣扇ガ運轉ヲ停止シタルトキ、吸氣作用ガ停止シタルトキ又ハ煙分照映燈ガ滅ジタルトキ直ニ之ヲ標示スル故障普信裝置ヲ備フルコトヲ要ス

第五十四條　貨物搭載場所其ノ他之ニ準ズル場所ニ在ル標蒐集器及標管ニシテ損傷ヲ受クル虞アルモノハ適當ニ之ヲ防護スベシ

第五十五條　標管ハ適當ノ傾斜ニ之ヲ架設シ其ノ低點ニ當該官吏ノ適當ト認ムル排水口ヲ備フルコトヲ要ス

標管ノ屈曲部ハ其ノ彎曲度ヲ成ルベク緩ニスルコトヲ要ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●防毒面試驗規程

昭和九年二月
遞令第二十四號

防毒面試驗規程左ノ通定ム

防毒面試驗規程

第一條　本令ニ於テ防毒面ト稱スルハ呼氣護及吸氣瓣ヲ備フル覆面、連結管及吸收罐ヨリ成リ船內ニ於ケル火災ノ場合ニ使用スル防毒面ヲ謂フ

第二條　本令ノ規定ニ該當セザル防毒面ハ當該官吏ニ於テ本令ノ規定ニ該當スルモノト同一ノ效力ヲ有スト認ムルモノニ限リ之ヲ本令ニ適合スルモノト看做ス

第三條　防毒面ハ火災ニ伴フ煙、一酸化炭素其ノ他ノ有害物ヲ吸收スル吸收劑ヲ充塡シタルモノナルコトヲ要ス

第四條　防毒面ハ呼氣護ヲ備フル覆面、連結管及吸收罐ヨリ成ルモノナルコトヲ要ス

第五條　防毒面ハ其ノ構造堅牢ニシテ普通ノ取扱ニ於テハ容易ニ損傷セザルモノナルコトヲ要ス

第六條　防毒面ハ寒熱濕乾ニ對シ十分ノ耐久性ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

第七條　防毒面ハ其ノ大サ及重量過大ナラズ且形狀適當ニシテ之ヲ裝着シ易キ作業ヲ妨ゲザルモノナルコトヲ要ス

第八條　覆面、吸收罐、連結管及其ノ接續部ハ氣密ナルコトヲ要ス

第九條　防毒面ハ呼氣瓣ヲ備フル覆面ニ在リテハ呼氣瓣ノ壓力ニ對シ、覆面、連結管及其ノ接續部ノ氣密度ハ水柱一〇〇ミリメートルノ壓力ニ對シ堪フルコトヲ要ス

第十條　防毒面ハ呼氣瓣ノ通氣抵抗ハ每分三〇リットル以下ナルコトヲ要シ呼氣系ノ通氣抵抗ハ每分三〇リットルノ呼氣ニ對シ水柱八ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第十一條　防毒面ヲ裝着シ易キ適當ノ接着劑ヲ使用スル場合ヲ除クノ外顏面ニ適合シ接着良好ニシテ異狀ノ壓迫ヲ感ゼズ且作業ニ依リ其ノ接着ヲ害セラレザルモノナルコトヲ要ス

第十二條　眼鏡ハ位置及大サハ裝面シ易キ場合ニ於テ現品ニ付第四章ノ規定ニ依リ船用品檢定ヲ受クルコトヲ要ス

第三條　別表第二號ニ揭グル船用品ニ付テハ其ノ型式承認ヲ受クルコトヲ要ス

第二條　前條ニ定ムル船用品ノ要部ノ修繕ハ當該船用品又ハ之ト同種類ノモノノ兌許製造人ニ非サル者ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得ズ但シ航海中其ノ他兌許製造人ヲシテ修繕ヲ爲サシムルニ適ス困難ナル事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ修繕ヲ爲サシムル場合ニハ船燈ニ付テハ其ノ合格證明書又ハ船燈檢定證明書ヲ修繕人ニ提示スベシ

第一項但書ノ規定ニ依リ修繕ヲ爲シタルトキハ船舶所有者、船舶管理人、船舶借入人又ハ船長ニ於テ現品ニ付第四章ノ規定ニ依リ船用品修繕檢定ヲ受クルコトヲ要ス

第三條　別表第二號ニ揭グル船用品ニ付テハ其ノ型式承認ヲ受クルコトヲ要ス

第二條　前條ニ定ムル船用品ノ要部ノ修繕ハ當該船用品又ハ之ト同種類ノモノノ兌許製造人ニ非サル者ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得ズ但シ航海中其ノ他兌許製造人ヲシテ修繕ヲ爲サシムルニ適ス困難ナル事情アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ修繕ヲ爲サシムル場合ニハ船燈ニ付テハ其ノ合格證明書ヲ船燈檢定證明書ヲ

船用品ニ付製造兌許ヲ受ケタル者（以下單ニ兌許製造人ト稱ス）其ノ製造兌許船用品ヲ製造シタルトキ又ハ當該船用品若ハ之ト同種類ノモノノ要部ヲ修繕シタルトキハ第四章ノ規定ニ依リ製造兌許船用品檢定又ハ船用品修繕檢定ヲ受クルコトヲ要ス

第四條　第一條ニ定ムル船用品ハ船用品檢査試驗規則ニ依ル型式承認船用品檢定ヲ受クルコトヲ得

第四條　第一條ニ定ムル船用品ハ船用品檢査試驗規則ニ依ル甲號檢印又ハ本令ニ依ル檢印ヲ附シタルモノナルコトヲ要ス

第五條　本令ニ於テ船用品ノ試驗規程ト稱スルハ船燈ニ付テハ船燈試驗規程、信號器ニ付テハ信號器試驗規程、救命器具ニ付テハ救命器具試驗規程、防毒面ニ付テハ防毒面試驗規程、消火器ニ付テハ消火器試驗規程、火災報知裝置ニ付テハ火災報知裝置試驗規程、舵口覆布ニ付テハ舵口覆布試驗規程ヲ謂フ

第六條　本令ニ依リ遞信大臣ニ申請將若ハ屆將ヲ提出シ又ハ證書ヲ返還スル場合ニ於テハ主タル營業所所在地ヲ管轄スル管海官廳ヲ經由スベシ

放屋シタル場合内部屋力ノ上昇水柱一〇ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

呼氣護ノ通氣抵抗ハ每分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱六ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第十四條　吸氣護ハ普通ノ吸氣及呼氣ニ對シ確實鋭敏ニ開閉シ其ノ通氣抵抗ハ每分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱二ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第十五條　連結管ハ伸縮性及屈撓性十分ニシテ管腔容易ニ變形セザルモノナルコトヲ要ス

連結管ノ通氣抵抗ハ每分五〇リットルノ通氣ニ對シ連結管頁直ノ場合水柱一ミリメートル以下、一八〇度屈曲ノ場合水柱三ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第十六條　吸收罐ハ金屬製ヲシ堅牢ニ構成シ火災ニ伴フ煙、一酸化炭素其ノ他ノ有害物ヲ吸收スル吸收劑ヲ充塡シタルモノナルコトヲ要ス

前項ノ吸收劑ハ濕層、鹼水劑、「ホプカリツト」劑及活性炭ト「アルカリ」吸收劑トノ混劑ヲ順次別ノ層トシタルモノヲ以ハ其ノ他適當ノ配劑ノモノニシテ裝面後連續二時間以上ノ使用ニ堪フルモノナルコトヲ要ス

第十七條　吸收罐ノ吸收試驗ニ於テハ通氣每分三〇リットル、温度二〇度、濕度五〇%ニ於テ左記各號ノ試驗ヲ各別箇ノ吸收罐ニ付行セシニ合格スルコトヲ要ス

一　濃度〇・五%ノ「クロルピクリン」瓦斯ヲ一〇分間通過セシメタル後漏洩瓦斯ノ濃度〇・〇〇一%ヲ超ユザルコト

二　濃度一・〇%ノ一酸化炭素瓦斯ヲ二時間通過セシメタル後漏洩瓦斯ノ濃度〇・〇五%ヲ超ユザルコト

三　濃度一立方メートルニ付二〇〇ミリグラムノ煙草ノ煙ヲ通過セシメ煙ノ漏洩二五%ヲ超ユザルコト

第十八條　吸收罐ノ通氣抵抗ハ每分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱二五ミリメートル以下ナルコトヲ要シ且前條ノ規定ニ依ル各吸收試驗後ニ於ケル抵抗ノ增加ハ每分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱五ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第十九條　吸收罐ノ通氣抵抗ハ之ヲ一五分時振盪シタル場合ニ於テ減少セザルコトヲ要シ其ノ增加ハ每分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱五ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第二十條　吸收罐ハ二年以上有效ナルモノナルコトヲ要ス

第二十一條　吸收罐ノ外面ハ紅白二色ヲ以テ上下二層ニ塗裝スベシ

第二十二條　防毒面ノ覆面及吸收罐ニハ左ノ事項ヲ標示スベシ

一　型式承認番號（型式承認ヲ受ケタルモノニ限ル）

二　製造番號

三　製造年月

四　有效期間（吸收罐ニ限ル）

五　㊐ナル記號（吸收罐ニ限ル）

六　製造者ノ氏名又ハ名稱

第二十三條　防毒面ニハ一組每ニ使用方法ヲ詳記シタル說明書ヲ添附スベシ但吸收罐ニハ其ノ取扱說明書ヲ貼附シ置クベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮船用品取締規則

昭和十年二月
總令第二十六號

朝鮮船用品取締規則左ノ通定ム

朝鮮船用品取締規則

船用品ノ取締ニ關シテハ本令ニ規定スルモノノ外昭和九年遞信省令第十七號船用品取締規則ニ依ル但シ第四條、第五條及第三十一條第一項ノ檢印ノ別記樣形ノ規定ハ此ノ限ニ在ラズ

船用品取締規則中遞信大臣トアルハ朝鮮總督、遞信省管船局船舶試驗所又ハ同支所トアルハ管海官廳、船用品檢査試驗規則トアルハ朝鮮船用品檢査試驗規則、船用品ノ試驗規程ハ朝鮮船用品檢査試驗規則、船用品ノ試驗規程、火災報知裝置ニ付テハ火災報知裝置試驗規程、消火器ニ付テハ消火器試驗規程、舵口覆布ニ付テハ舵口覆布試驗規程ヲ謂フ

第一條　法令ニ依リ船舶ニ備フベキ船用品ニシテ別表第一號ニ揭グルモノヲ製造スル者ハ當該船用品ノ型式每ニ第二章ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ製造免許ヲ受クルコトヲ要ス

第十八條　吸收罐ノ通氣抵抗ハ每分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱二五ミリメートル以下ナルコトヲ要シ且前條ノ規定ニ依ル各吸收試驗後ニ於ケル抵抗ノ增加ハ每分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱五ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第十九條　吸收罐ノ通氣抵抗ハ之ヲ一五分時振盪シタル場合ニ於テ減少セザルコトヲ要シ其ノ增加ハ每分三〇リットルノ通氣ニ對シ水柱五ミリメートル以下ナルコトヲ要ス

第二十條　吸收罐ハ二年以上有效ナルモノナルコトヲ要ス

第二十一條　吸收罐ノ外面ハ紅白二色ヲ以テ上下二層ニ塗裝スベシ

第二十二條　防毒面ノ覆面及吸收罐ニハ左ノ事項ヲ標示スベシ

一　型式承認番號（型式承認ヲ受ケタルモノニ限ル）

二　製造番號

三　製造年月

四　有效期間（吸收罐ニ限ル）

五　㊐ナル記號（吸收罐ニ限ル）

六　製造者ノ氏名又ハ名稱

第二十三條　防毒面ニハ一組每ニ使用方法ヲ詳記シタル說明書ヲ添附スベシ但吸收罐ニハ其ノ取扱說明書ヲ貼附シ置クベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●船用品取締規則

昭和九年二月
遞令第十七號

船用品取締規則左ノ通定ム

船用品取締規則

第一章　總則

第一條　法令ニ依リ船舶ニ備フベキ船用品ニシテ別表第一號ニ揭グルモノヲ製造スル者ハ當該船用品ノ型式每ニ第二章ノ規定ニ依リ遞信大臣ノ製造免許ヲ受クルコトヲ要ス

第二章　製造免許

第二條　製造免許ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ遞信大臣ニ申請スベシ

一　製造ノ場所

二　製造ノ設備

三　製造ノ方法

四　製造ノ組織

五　製造ノ檢査

六　製造ノ能力

七　製造ノ開始及休廢ノ豫定期日

八　製造ノ船用品ノ種類

九　製造ノ船用品ノ型式

十　製造ノ船用品ノ標章

十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ方法

十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定價格

十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

三十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

三十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

三十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

三十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

三十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

三十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

三十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

三十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

三十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

三十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

四十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

四十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

四十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

四十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

四十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

四十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

四十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

四十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

四十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

四十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

五十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

五十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

五十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

五十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

五十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

五十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

五十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

五十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

五十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

五十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

六十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

六十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

六十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

六十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

六十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

六十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

六十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

六十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

六十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

六十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

七十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

七十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

七十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

七十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

七十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

七十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

七十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

七十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

七十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

七十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

八十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

八十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

八十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

八十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

八十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

八十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

八十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

八十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

八十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

八十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

九十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

九十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

九十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

九十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

九十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

九十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

九十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

九十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

九十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

九十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百二十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百二十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百二十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百二十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百二十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百二十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百二十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百二十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百二十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百二十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百三十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百三十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百三十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百三十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百三十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百三十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百三十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百三十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百三十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百三十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百四十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百四十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百四十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百四十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百四十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百四十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百四十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百四十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百四十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百四十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百五十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百五十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百五十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百五十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百五十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百五十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百五十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百五十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百五十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百五十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百六十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百六十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百六十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百六十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百六十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百六十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百六十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百六十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百六十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百六十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百七十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百七十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百七十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百七十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百七十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百七十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百七十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百七十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百七十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百七十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百八十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百八十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百八十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百八十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百八十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百八十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百八十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百八十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百八十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百八十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百九十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百九十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百九十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

百九十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

百九十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

百九十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

百九十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

百九十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

百九十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

百九十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百二十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百二十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百二十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百二十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百二十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百二十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百二十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百二十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百二十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百二十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百三十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百三十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百三十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百三十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百三十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百三十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百三十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百三十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百三十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百三十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百四十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百四十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百四十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百四十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百四十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百四十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百四十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百四十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百四十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百四十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百五十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百五十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百五十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百五十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百五十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百五十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百五十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百五十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百五十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百五十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百六十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百六十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百六十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百六十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百六十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百六十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百六十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百六十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百六十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百六十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百七十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百七十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百七十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百七十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百七十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百七十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百七十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百七十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百七十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百七十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百八十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百八十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百八十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百八十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百八十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百八十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百八十六　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百八十七　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百八十八　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百八十九　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定場所

二百九十　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定人員

二百九十一　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定方法

二百九十二　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期間

二百九十三　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定數量

二百九十四　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定區域

二百九十五　製造ノ船用品ノ販賣ノ豫定期日

二百九十六　製造ノ船用品

第七條　本令中船長ニ關スル規定ハ船長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ之ヲ適用ス

第二章　製造免許

第八條　船用品ニ付製造免許ヲ受ケントスルトキハ標本ニ付介格證明書ノ交付ヲ受ケ船用品製造免許申請書（第一號書式）ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ事業資金額、製造所ノ設備、使用人ノ員數、會社其ノ他ノ法人ニ在リテハ定款又ハ之ニ準ズベキモノ及代表者ノ氏名ヲ記載シタル書類竝ニ當該船用品ノ合格證明書ノ寫ヲ添附スベシ

第九條　遞信大臣前條ノ申請ニ依リ船用品ノ製造ヲ免許シタルトキハ船用品製造免許證書（第二號書式）ヲ申請人ニ交付ス

船用品製造免許期間ハ五年以内トス

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遞信大臣ハ製造免許ヲ取消スコトアルベシ

一　本令ノ規定ニ違反シタルトキ

二　標本又ハ製造品ニ關シ不正ノ所爲アリタルトキ

三　製造所ノ設備ノ變更其ノ他ノ事由ニ依リ製造免許船用品ノ製造ヲ爲スニ適セズト認ムルニ至リタルトキ

四　銃砲火藥類取締法ニ依ル火藥類ノ製造ニ關スル許可ヲ取消サレタルトキ

五　第十二條ニ掲グル標本ノ要部ヲ當該品ノ試驗規程ノ改正ニ依リ之ニ適合セザルニ至リタルトキ

六　其ノ他遞信大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキ

第十一條　遞信大臣船用品ノ製造ヲ免許シタルトキ又ハ製造免許ヲ取消シタルトキハ之ヲ告示ス

第十二條　免許製造人ハ製造免許船用品ノ型式每ニ各格證明書ノ交付ヲ受ケタル標本ヲ各製造所ニ保管シ且第二十八條ノ規定ニ依リ製造免許船用品檢定ヲ受ケントスル遞信省管船局船舶試驗所（以下單ニ船舶試驗所ト稱ス）、船舶試驗所支所又ハ管海官廳ニ差出スベシ

前項ノ規定ニ依リ保管シ又ハ差出シタル標本ガ滅失又ハ損傷シタルトキハ免許製造人ハ更ニ標本ヲ當該製造所ニ保管シ又ハ當該船舶試驗所、船舶試驗所支所若ハ管海官廳ニ差出スベシ

第十一條　免許製造人ハ第二項ノ規定ニ依リ差出シタル標本ハ第二十條各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキ之ヲ還付ス

第十三條　免許製造人ハ製造免許船用品ノ標本ノ合格證明書ニ附屬セル明細書ヲ（通數ハ其ノ都度指定ス）ヲ船舶試驗所ニ差出スベシ

第十四條　免許製造人ハ製造品ニ當該官吏ノ適當ト認ムル方法ニ依リ船體、信號器又ハ救命器具ニ在リテハ其ノ品名、型式、製造番號、製造人ノ氏名又ハ名稱及製造年月ヲ、船體部分品ニ在リテハ製造番號及製造人ノ記號ヲ、救命索ニ在リテハ其ノ品名、型式、寸法、製造番號、製造人ノ氏名又ハ名稱及製造年月ヲ標示スベシ

第十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ免許製造人ハ船用品製造免許證書ヲ書換ヘ遞信大臣ニ申請スベシ

一　氏名又ハ名稱ヲ變更シタルトキ

二　主タル督業所ヲ移轉シタルトキ

三　主タル督業所ニ付行政區畫ノ名稱又ハ地番號ヲ變更アリタルトキ

第十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ免許製造人ハ遞信大臣ニ之ヲ屆出ヅベシ

一　事業資金額ヲ變更シタルトキ

二　會社其ノ他ノ法人ニ在リテハ定款若ハ之ニ準ズベキモノ又ハ代表者ヲ變更シタルトキ

三　督業所（主タル督業所ヲ除ク）若ハ製造所ヲ移轉若ハ增減シ又ハ製造所ノ設備ヲ變更シタルトキ

四　銃砲火藥類取締法ニ依ル火藥類ノ製造ニ關スル許可ヲ取消サレタルトキ

第十七條　免許製造人ガ死亡シタルトキハ其ノ相續人ニ限リ其ノ製造ヲ繼續スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ製造ヲ繼續セントスルトキハ相續人ハ第十條各號ノ一ニ該當スルニ至リタル日ヨリ二十日以内ニ遞信大臣ニ申請スベシ

第十八條　船用品製造免許證書ヲ滅失若ハ毀損シタルトキハ當該免許製造人ハ船用品製造免許證書ノ再交付ヲ遞信大臣ニ申請スベシ

第十九條　免許製造人第十五條、第十七條又ハ前條ノ規定ニ依リ船用品製造免許證書ノ交付ヲ受ケタルトキハ之ト引換ニ舊證書ヲ遞信大臣ニ返還スベシ

第二十條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ免許製造人又ハ船用品製造免許證書ノ保管者ハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク船用品製造免許證書ヲ遞信大臣ニ返還スベシ

一　船用品製造免許期間滿了シタルトキ

二　免許製造人廢業シタルトキ

三　續セザルトキ　免許製造人死亡シ其ノ相續人製造ヲ繼

四　製造免許ヲ取消サレタルトキ

五　製造免許ヲ取消シタルトキ

第二十一條　免許製造人ハ其ノ製造品ニ付製造所每ニ每三月中ノ製造販賣高統計表（第三號書式）ヲ作成シ翌月十日迄ニ當該製造所所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ之ヲ屆出ヅベシ

第二十二條　第一條ニ定ムル船用品ヲ販賣スルニ當リテハ船體ニ在リテハ一箇每ニ船體檢定證明書一通ヲ、榴彈ニ在リテハ十二箇又ハ其ノ端數每ニ略圖ヲ附シタル使用法說明書一通及打上筒一箇ヲ、火箭、信號背綿又ハ信號紅焰ニ在リテハ十二箇又ハ其ノ端數每ニ略圖ヲ附シタル使用法說明書一通ヲ、救命胴衣ニ在リテハ二十箇又ハ其ノ端數每ニ圖解ヲ附シタル著用法說明書一通ヲ、救命焰ニ在リテハ一箇每ニ又救命索發射器ニ在リテハ一組每ニ各略圖ヲ附シタル使用法說明書一通ヲ添附スベシ

第二十三條　第一條ニ定ムル船用品ニシテ合格證明書ヲ有スルモノヲ販賣スルニ當リテハ船體ニ在リテハ一箇每ニ合格證明書ヲ添附スベシ其ノ他ノモノニ在リテハ前條ノ規定ヲ準用ス

第三章　型式承認

第二十四條　船用品ニ付型式承認ヲ受ケントスルトキハ船用品型式承認申請書（第四號書式）ヲ遞信大臣ニ提出スベシ

前項ノ申請書ニハ當該船用品ノ合格證明書ノ寫又ハ船用品檢査試驗規則ニ依ル船用品檢査試驗成績書ノ寫ヲ添附スベシ

第二十五條　遞信大臣前條ノ申請ヲ適當ト認ムルトキハ當該船用品ノ型式ヲ承認シ型式承認書（第五號書式）ヲ交付ス

第二十六條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遞信大臣ハ型式承認ヲ取消スコトアルベシ

一　型式承認ヲ受ケタル船用品ノ要部ガ當該品ノ試驗規程ノ制定又ハ改正ニ依リ之ニ適合セザルニ至リタルトキ

二　認メタルトキ　其ノ他遞信大臣ニ於テ特ニ必要アリト

第二十七條　遞信大臣船用品ノ型式ヲ承認シタルトキ又ハ型式承認ヲ取消シタルトキハ之ヲ告示ス

第四章　檢定

第二十八條　製造免許船用品檢定ヲ受ケントスルトキハ申請書（第五號書式）又ハ第六號書式）ヲ現品ト共ニ船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ製造所（當該船用品ガ輸入品ナルトキハ督業所）所在地ヲ管轄スル管海官廳ニ提出スベシ但シ型式承認船用品檢定ノ場合現品ヲ差出シ難キトキハ當該官廳ニ於テ差支ナシト認ムル場合ニ限リ現品ノ所在地ニ於テ檢査ヲ受クルコトヲ得

前項ノ場合第一條ニ定ムル船體ニ付テハ一箇每ニ標本ノ合格證明書ニ附屬セル明細書ヲ添附スベシ

第二十九條　前條第一項負責者ニ依リ檢査ヲ受クル者ハ當該官廳ノ指定スル所ニ從ヒ該船用品檢査ノ爲當該官吏ノ出張ニ要スル成規ノ旅費ヲ納付スベシ

第三十條　船用品修繕檢定ヲ受ケントスルトキハ申請書（第七號書式）ヲ現品ト共ニ船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ最寄管海官廳ニ提出スベシ此ノ場合第一條ニ定ムル船體ニ在リテハ其ノ合格證明書又ハ船體檢定證明書ヲ添附スベシ

第三十一條　第二十八條及前條ノ申請アリタルトキハ船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ管海官廳ハ現品ヲ檢査シ當該船用品ノ試驗規程又ハ型式承認ニ適合スト認メタルトキハ左ノ各號ノ一ニ依リ之ヲ處理ス

一　製造免許船用品又ハ型式承認船用品ノ檢定ノ場合ニ於テハ現品ニ檢印（別記雛形）ヲ附シ之ヲ申請人ニ還付シ尙第一條第一號ニ定ムル船體ニ在リテハ一箇每ニ船體檢定證明書（第八號書式）ヲ、型式承認船用品ニ在リテハ型式承認船用品檢定證明書（第九號書式）ヲ申請人ニ交付ス

二　船用品修繕檢定ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ船體、信號器又ハ救命器具ニ在リテハ其ノ品名、型式、製造番號、製造人ノ氏名又ハ名稱及製造年月ヲ、船體部分品ニ在リテハ製造番號及製造人ノ記號ヲ、救命索ニ在リテハ其ノ品名、型式、寸法、製造番號、製造人ノ氏名又ハ名稱及製造年月ヲ標示スベシ

第三十二條　第一條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第三十三條　前條第二項ノ申請アリタルトキハ船舶試驗所又ハ船舶試驗所支所ハ現品ヲ檢査シ船體檢定證明書ニ有效期限ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラズ別ニ之ヲ告示ス

第三十四條　船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ管海官廳ハ當該官吏ヲシテ免許製造人又ハ船舶試驗所支所ニ提出シ現品ノ押收ヲ爲サシメ若ハ船舶試驗所又ハ製造所ニ就キ第十條又ハ第二十六條ノ適用ニ關シ必要ナル監査ヲ爲サシメ若ハ船舶ニ就キ第一條及第三條ニ定ムル船用品ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　當該官吏ハ前條ノ監査又ハ船舶試驗所又ハ船舶試驗所支所ハ現品ヲ檢査シ船體檢定證明書ヲ有スル者ノ製造シタル船用品ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラズ檢査ヲ省略スルコトヲ得

第四十八條　舊取締規則ニ依ル船體檢定證明書ハ本令ニ依ル船體檢定證明書ト看做ス

乙種檢體及乙種兩色燈ニ附シタル檢印及當該船體檢定證明書ノ有效期限ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラズ別ニ之ヲ告示ス

第四十九條　舊取締規則ニ依ル免許ヲ有スル者ノ製造シタル船用品及舊取締規則ニ依ル檢印ヲ附シタル船用品ノ檢定ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

別記雛形

船舶試驗所及船舶試驗所支所檢印　（船檢）

備考　「船檢」ノ上ニハ船舶試驗所ノモノニ在リテハ「東」、船舶試驗所支所ノモノニ在リテハ其ノ所在地名ノ頭字ヲ冠スルモノトス

管海官廳檢印　（海檢）

備考　「海檢」ノ上ニハ管海官廳所在地名ノ頭字ヲ冠スルモノトス

別表

第一號

品名		檢定手數料	
		製造免許船用品檢定	船體押檢定
船燈	甲種檣燈	五、〇〇〇	五、〇〇〇
	乙種檣燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	甲種舷燈	五、〇〇〇	五、〇〇〇
	乙種舷燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	甲種兩色燈	四、〇〇〇	四、〇〇〇
	乙種兩色燈	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	甲種白燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	乙種白燈	二、〇〇〇	二、〇〇〇
	丙種白燈	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	丁種白燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	紅燈	四、〇〇〇	四、〇〇〇
	水先燈	五、〇〇〇	五、〇〇〇
	三色燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	船尾燈	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	操舵目標燈		

第二十九條　前條第一項負責者ニ依リ檢査ヲ受クル者ハ當該官廳ノ指定スル所ニ從ヒ該船用品檢査ノ爲當該官吏ノ出張ニ要スル成規ノ旅費ヲ納付スベシ

第三十條　船用品修繕檢定ヲ受ケントスルトキハ申請書（第七號書式）ヲ現品ト共ニ船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ最寄管海官廳ニ提出スベシ此ノ場合第一條ニ定ムル船體ニ在リテハ其ノ合格證明書又ハ船體檢定證明書ヲ添附スベシ

第三十一條　第二十八條及前條ノ申請アリタルトキハ船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ管海官廳ハ現品ヲ檢査シ當該船用品ノ試驗規程又ハ型式承認ニ適合スト認メタルトキハ左ノ各號ノ一ニ依リ之ヲ處理ス

一　製造免許船用品又ハ型式承認船用品ノ檢定ノ場合ニ於テハ現品ニ檢印（別記雛形）ヲ附シ之ヲ申請人ニ還付シ尙第一條第一號ニ定ムル船體ニ在リテハ一箇每ニ船體檢定證明書（第八號書式）ヲ、型式承認船用品ニ在リテハ型式承認船用品檢定證明書（第九號書式）ヲ申請人ニ交付ス

二　船用品修繕檢定ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ船體、信號器又ハ救命器具ニ在リテハ其ノ品名、型式、製造番號、製造人ノ氏名又ハ名稱及製造年月ヲ、船體部分品ニ在リテハ製造番號及製造人ノ記號ヲ、救命索ニ在リテハ其ノ品名、型式、寸法、製造番號、製造人ノ氏名又ハ名稱及製造年月ヲ標示スベシ

第三十二條　第一條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ科料ニ處ス

第三十三條　前條第二項ノ申請アリタルトキハ船舶試驗所又ハ船舶試驗所支所ハ現品ヲ檢査シ船體檢定證明書ニ有效期限ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラズ別ニ之ヲ告示ス

第三十四條　船舶試驗所、船舶試驗所支所又ハ管海官廳ハ當該官吏ヲシテ免許製造人又ハ船舶試驗所又ハ製造所ニ就キ第十條又ハ第二十六條ノ適用ニ關シ必要ナル監査ヲ爲サシメ若ハ船舶ニ就キ第一條及第三條ニ定ムル船用品ノ檢査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十五條　當該官吏ハ前條ノ監査又ハ船舶試驗所又ハ船舶試驗所支所ハ現品ヲ檢査シ船體檢定證明書ヲ有スル者ノ製造シタル船用品ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラズ檢査ヲ省略スルコトヲ得

第四十八條　舊取締規則ニ依ル船體檢定證明書ハ本令ニ依ル船體檢定證明書ト看做ス

乙種檣燈及乙種兩色燈ニ附シタル檢印及當該船體檢定證明書ノ有效期限ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラズ別ニ之ヲ告示ス

第四十九條　舊取締規則ニ依ル免許ヲ有スル者ノ製造シタル船用品及舊取締規則ニ依ル檢印ヲ附シタル船用品ノ檢定ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

別記雛形

船舶試驗所及船舶試驗所支所檢印　（船檢）

備考　「船檢」ノ上ニハ船舶試驗所ノモノニ在リテハ「東」、船舶試驗所支所ノモノニ在リテハ其ノ所在地名ノ頭字ヲ冠スルモノトス

管海官廳檢印　（海檢）

備考　「海檢」ノ上ニハ管海官廳所在地名ノ頭字ヲ冠スルモノトス

別表

第一號

品名		檢定手數料	
		製造免許船用品檢定	船體押檢定
船燈	甲種檣燈	五、〇〇〇	五、〇〇〇
	乙種檣燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	甲種舷燈	五、〇〇〇	五、〇〇〇
	乙種舷燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	甲種兩色燈	四、〇〇〇	四、〇〇〇
	乙種兩色燈	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	甲種白燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	乙種白燈	二、〇〇〇	二、〇〇〇
	丙種白燈	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	丁種白燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	紅燈	四、〇〇〇	四、〇〇〇
	水先燈	五、〇〇〇	五、〇〇〇
	三色燈	三、〇〇〇	三、〇〇〇
	船尾燈	一、〇〇〇	一、〇〇〇
	操舵目標燈		

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第二十一號

品部	砂	鉄	鉛	銅	船舶分類	船舶番号
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	蒸気	安宅
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	帆	
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	汽艇	金龍
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	端舟	

第二十二號

品部	救命浮器	救命具	救命艇	信号	煙火	消火器	信号	錨	鎖	索	蒸気管	汽笛	船名
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五

第二十三號

品部	救命浮器	救命具	救命艇	信号	煙火	消火器	信号	錨	鎖	索	蒸気管	汽笛	船名
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五

第二十四號

品部	救命浮器	救命具	救命艇	信号	煙火	消火器	信号	錨	鎖	索	蒸気管	汽笛	船名
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五

第二十五號

品部	救命浮器	救命具	救命艇	信号	煙火	消火器	信号	錨	鎖	索	蒸気管	汽笛	船名
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五

第二十六號

品部	救命浮器	救命具	救命艇	信号	煙火	消火器	信号	錨	鎖	索	蒸気管	汽笛	船名
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五

第二十七號

品部	救命浮器	救命具	救命艇	信号	煙火	消火器	信号	錨	鎖	索	蒸気管	汽笛	船名
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五

第二十八號

品部	救命浮器	救命具	救命艇	信号	煙火	消火器	信号	錨	鎖	索	蒸気管	汽笛	船名
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五

第二十九號

品部	救命浮器	救命具	救命艇	信号	煙火	消火器	信号	錨	鎖	索	蒸気管	汽笛	船名
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五

第三十號

品部	救命浮器	救命具	救命艇	信号	煙火	消火器	信号	錨	鎖	索	蒸気管	汽笛	船名
甲板	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
船倉	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
機関室	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五
居住区域	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五	○・五

提出シ當該官廳ノ指定スル所ニ從ヒ手數料ヲ納付スベシ但シ官廳又ハ公共團體ノ申請ニ係ルモノニ付テハ手數料ヲ徵收セズ

手數料ハ當該官吏ノ臨檢一回毎ニ三十圓トス

手數料ハ其ノ金額ニ相當スル收入印紙ヲ手數料納付書ニ貼附シテ之ヲ納付スベシ

手數料ハ申請者ノ都合ニ依リ其ノ申請ヲ取下ゲタルトキト雖モ當該官吏ガ船舶ニ臨檢シタル後ナルトキハ之ヲ徵收ス

第八條　管海官廳ハ前條ノ申請アリタルトキハ當該官吏ヲシテ船舶ニ臨檢セシメ申請ヲ適當ト認ムルトキハ申請書ノ副本ニ許可ノ奥書ヲ爲シ許可ヲ爲シタル年月日及官廳名ヲ記載シ官廳印ヲ押捺シ之ヲ申請者ニ還付ス

第九條　積荷ノ檢定ヲ行フ公益法人第七條第一項ノ認定ヲ受ケントスルトキハ申請書ニ左ニ揭グル事項ヲ記載シタル書面ヲ添附シテ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

一　積荷ノ檢定ニ關スル規則

二　手數料及旅費ニ關スル規則

三　積荷檢定員ノ氏名及履歷

朝鮮總督ノ認定ヲ受ケタル積荷ノ檢定ヲ行フ公益法人積荷檢定員ヲ選任セントスルトキ又ハ前項第一號若ハ第二號ニ揭グル規則ヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

朝鮮總督ハ第七條第一項ノ認定ヲ爲シタルトキ又ハ其ノ認定ヲ取消シタルトキハ之ヲ告示ス

第十條　甲板ヲ有セザル船舶旅客ヲ搭載スルトキハ火藥類ヲ船積スルコトヲ得ズ

甲板ヲ有スル船舶ト雖モ旅客ヲ搭載スルトキハ雷酸鹽（雷汞ノ類）其ノ他ノ起爆劑及爆藥ヲ裝填シタル火工品ヲ船積スルコトヲ得ズ但シ陸海軍ノ託送ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十一條　潮川港內ニ於テ火藥類ノ船積若ハ陸揚ヲ爲ス船舶又ハ火藥類ヲ積載シ潮川港內ニ於テ航行、碇泊若ハ繫留セントスル船舶ハ船積港、陸揚地、發航地又ハ繫留地ヲ管轄スル管廳ニ申請シ其ノ品名及數量並ニ其ノ日時及場所ヲ屆出ヅベシ

前項ノ規定ハ船舶ノ常用火藥類ニ付テハ之ヲ適用セズ

第十二條　石油類ヲ積載スル船舶ハ他ノ船舶、擾隱室、石炭庫、軸路、旅客室、船員用室又ハ料理室等ニ其ノ發生ガスヲ漏洩セシメザル水密隔壁其ノ他ノ設備ヲ有シ且該船ヲ換氣管ハ二重細目金網製裝置ヲ施シタル貯藏スルコトヲ要ス

石油類ヲ積載シタル船舶內ノ電線ニハ電流ヲ通ズルコトヲ得ズ但シ朝鮮船舶設備規程第二百六條ノ規定ニ依ル電氣設備ヲ有スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十三條　危險物ノ積載、船積又ハ陸揚中ノ船舶ニ於テハ危險ヲ及ボス虞アル修繕工事第二十四條　火藥類ハ旅客ノ乘船又ハ下船ト同時ニ船積又ハ陸揚ヲ爲スコトヲ得ズ

第十五條　火藥類ヲ船積、陸揚又ハ荷繰スルトキハ之ヲ投下シ又ハ激突セシムベカラズ

第十六條　銃砲火藥類取締令施行規則第四十二條第一項各號ニ揭グル以外ノ火藥類ハ所轄警察署長ノ許可ヲ得タル場合ヲ除クノ外日沒ヨリ日出迄ノ間ニ於テ之ヲ船積、陸揚又ハ荷繰スルコトヲ得ズ

第十七條　危險物ノ船積若ハ陸揚ヲ爲ス場所又ハ之ヲ貯藏シタル場所ニ於テハ裸火若ハ燐寸其ノ他發火易キ物品ヲ携帶シ、鐵釘ヲ附シタル靴類ヲ穿チ又ハ喫煙スルコトヲ得ズ

第十八條　火藥類及石油類其ノ他可燃ガスヲ發スル危險物ヲ積載シタル船舶ニ於テハ安全燈ヲ除クノ外懷中電燈其ノ他ノ燈火ヲ使用スルコトヲ得ズ

前項ノ船艙ノ開閉ニ當リ金槌等ヲ使用スル場合ニ於テハ火花ヲ發セザル樣適當ノ措置ヲ爲スベシ

第十九條　危險物ノ船積又ハ陸揚作業ヲ中止シ又ハ完了シタルトキハ直ニ火藥庫又ハ船舶ヲ閉鎖スベシ

附錄樣式

火藥類火藥庫外積載許可申請書

一　船種及船名

二　國籍及船籍港

三　船舶所有者名

四　船積港、發航日時及陸揚港

五　積載火藥品目及數量

六　積載場所及其ノ設備

七　積合セ貨物ノ品目及數量

右火藥庫外積載許可相成度朝鮮危險物船舶運送及貯藏規則第七條ノ規定ニ依リ及申請候也

年　月　日

申請人　船舶所有者又ハ船長

住所（所在地）

氏名（名稱）

管海官廳宛

別表

第一號表

第二十條　銃砲火藥類取締令施行規則第七十四條ノ規定ニ依リ倉庫ニ貯藏スルコトヲ得ベキ數量ヲ超過スル火藥類ヲ積載スル船舶ハ潮川港內ニ於テ航行、碇泊又ハ繫留スルトキハ妻間ハ赤旗ヲ、夜間ハ紅燈一箇ヲ檣頭其ノ他見易キ場所ニ揭グベシ但シ船舶ノ常用火藥類及第二十三條ニ揭グル火藥類ノミヲ積載スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十一條　船舶ニハ其ノ常用外ノ火藥類ヲ貯藏スルコトヲ得ズ但シ業務用トシテ貯藏スル場合又ハ銃砲火藥類取締令施行規則ノ規定ニ依リ繫留船若ハ倉庫船ニ貯藏スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十二條　旅客ハ火藥類ヲ携帶シテ乘船スルコトヲ得ズ但シ船長ノ許可ヲ得テ少量ノ銃用火藥類及玩具用普通火工品ヲ携帶スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十三條　銃用實包、銃用空包、銃用雷管、爆管、信管、門管、緩燃導火線、溫藥（箱內ノ火藥又ハ爆藥ヲ爆發ノ危險ナキニ至迄十分溫潤ノ上箱ヲ密閉シ該箱ノ上ニ溫藥ト明記シタルモノ）、芳香系列ノ硝化物又ハ之ヲ主トスル混和物ニシテ起爆劑ヲ附セザルモノ、硝酸アンモニアヲ主トスル爆藥中ニトログリセリン又ハ硝化纖維素ヲ含有セザルモノニシテ起爆劑ヲ附セザルモノ、煙火及玩具用普通火工品ニハ第十條及第十四條ノ規定ヲ適用セズ

第二十四條　船長ハ船積又ハ積載シタル貨物ガ本令ニ違反スル虞アリト認ムルトキハ何時ニテモ證人立會ノ上之ヲ開封シテ檢査スルコトヲ得

第二十五條　管海官廳又ハ警察署長ハ危險物ノ運送及貯藏ニ關シ必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ當該官吏ヲシテ船舶ニ臨檢シ危險豫防上必要ナル處分ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十六條　第三條、第四條又ハ第二十二條ノ規定ニ違反シタル者ハ三月以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條　船舶所有者又ハ船長第五條、第十條乃至第十四條、第十六條、第二十條又ハ第二十一條ノ規定ニ違反シタルトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十八條　第十七條又ハ第十八條ノ規定ニ違反シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

附則

本令ハ昭和十年三月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　雷酸鹽類（其ノ色（雷汞、雷銀、雷酸カドミウム、窒化鉛、疊化窒素、ヂアゾバークロレート等白色、灰色又ハ黃色樣物質ニシテ爆藥ノ起爆劑ニ應用セラレ爆發力强大ナルモノ）

二　爆藥類ヲ裝填シタル火工品

三　硝酸鹽混合火藥類（硝石ヲ主劑トセル粉狀、粒狀、扁平、圓柱、六稜等ノ緩性火藥類ニシテ摩擦、動搖又ハ衝擊ニ對シ危險ナルモノ）

四　硝基化合火藥類（硝酸エステル、ニトロ化合火藥類ヲ指稱シニトログリセリン及之ヲ主トスル爆發藥及綿藥、芳香系列ノ硝化物及之ヲ主トスル混和物等ニシテ各種ダイナマイト類、トリニトロトルオール、トリニトロフェノール、テトリール等之ニ屬ス）

五　鹽素酸鹽爆藥（綿藥又ハニトログリセリン合有スルモノハ自然發火ノ危險アルヲ以テ溫度及通風ニハ特ニ注意ヲ要スベキモノ）

六　過鹽素酸鹽爆藥（スプレングル氏火藥、鹽斗藥等ニシテ自然發火ノ恨アルヲ以テ溫度及通風ニ注意ヲ要スベキモノ）

七　火工品（爆藥ヲ裝填又ハ加工シタル火工品中比較的安全ナルモノニシテ管、爆管、門管、銃用實包、銃用空包等）

八　普通火工品（緩燃導火線、發雷信管、星火ヲ發スル摺彈、火箭等ノ煙火類似品、打上煙火、ベンガリー煙火、線香花火等ノ玩具用普通火工品）

九　鹽素酸鹽類（鹽素酸ソーダ、鹽素酸バリウム等ニシテ無色結晶體ヲ成シ酸化力極メテ强ク分解スルトキハ酸素ガスヲ多量ニ放出シ衝擊又ハ摩擦ニ因リ發火シ他ノ可燃體ト混ズルトキハ其ノ程度特ニ著シキモノ）

十　過鹽素酸鹽類（過鹽素酸カリ、過鹽素酸ソーダ等ニシテ白色結晶體ヲ成シ其ノ性質鹽素酸鹽類ニ同ジ）

十一　ニトロ染料類（ピクリン酸ノ如ク爆發性ヲ有スルモノ）

十二　黃燐類（燐黃色又ハ赤褐色ノ液ニシテ强ク不快臭アリ空氣ト混ズレバ爆發性ヲ有シ揮發性ヲ有スルモノ）

十三　金屬ナトリウム（銀白色ノ軟金屬ナリ水ニ接スルトキハ反應强烈ニシテ燃燒シ苛性ソーダヲ生ズルモノ）

十四　金屬カリウム（銀白色ノ軟金屬ナリ水ニ接スルトキハ反應强烈ニシテ燃燒シ苛性カリヲ生ズルモノ）

十五　燐化カルシウム（黃燐、石灰、木炭ヲ原料トシテ製造シタル褐色固體ニシテ水ニ接スルトキハ燐化水素ヲ生ジ自然發火スルモノ）

十六　硫化燐（白色又ハ黃色結晶樣物質ニシテ硫黃ヲ含有スルヲ以テ自然發火スルモノ）

十七　過酸化ソーダ（帶黃色ノ粉末ニシテ空氣中ノ濕氣ヲ吸收發熱シ有機質ノ混在ニ因リ發火スルモノ）

十八　過酸化バリウム（白色又ハ灰色ノ塊狀ヲ成シ濕氣ニ接スルトキハ非常ニ燃燒シ易キアセチレンガスヲ發生スルモノ）

二十　硝酸粉（鹽素ガスヲ消石灰中ニ吸收セシメタル白色粉末ニシテ固塊ヲ成スコトアリ鹽素類ニ類似セル强烈ナル刺戟性ノ臭氣トガスヲ發散スルモノ）

二十一　マグネシウム粉末（銀色粉末ニシテ空氣中ノ濕氣ヲ吸收シテ發熱シ自然發火スルモノ）

二十二　ニトロセルローズ及其ノ製劑（ニトロセルローズハセルロイド、コロヂオン等ノ原料ニシテ植物纖維素ヲ濃厚硝酸、硫酸混液ニ因リ硝化セルモノヲ謂ヒ燃燒極メテ早ク摩擦又ハ日光等ニ依リ發火）

（其ノ製劑コロヂオンハニトロセルローズヲアルコール、エーテルノ混和液又ハアセトン溶解セル無色透明粘稠ノ液ニシテ容易ニ引火シ燃燒スルモノ）

（無色透明ナルモヒ之ニ顏料ヲ混ジタルモノアリ樟腦ノ香氣ヲ有シ彈力アル固體ニシテ燃燒シ易キモノ）

（硝石、智利硝石等ニシテ白色結晶體ヲ成シ酸化力强ク容易ニ酸素ヲ放出シ發火スルモノ）

（亞麻仁油等ノ乾燥性油ニ不乾燥性油及動植物油ヲ混ジ塗布シタル防水紙又ハ防水布ニシテ油類ノ自己酸化ニ因リ發火スルモノ）

二十六　酸類

發煙硫酸（硫酸中ニ無水强硫酸ヲ吸收セシメタルモノニシテ硫酸ニ比シ危險度高キモノ）

强硫酸（油狀ノ液ニシテ酸化力强ク有機質、無機質ヲ酸化シ高熱ヲ生ジ自然發火スルモノ）

發煙硝酸（硝酸中ニ次硝酸ヲ吸收セシメタルモノニシテ硝酸ニ比シ危險度高キモノ）

强硝酸（無色又ハ黃褐色ノ液ニシテ强キ酸性ヲ有シ有機質ヲ酸化シ自然發火スルモノ）

二十七　二硫化炭素（無色又ハ帶黃色ノ液體ニシテ揮發シ易ク不快臭アリ空氣ト混ズルトキハ爆發性ヲ有シ攝氏零下二十度ニ於テ引火スルモノ）

二十八　石油類（第一種石油、第二種石油（未製石油及其ノ蒸溜產物又ハ變成石油ニシテアペール又ハペンスキー閉塞發焰試驗器ヲ用ヒ七百六十ミリメートルノ氣壓ニ於テ攝氏二十一度未滿ノ溫度ニテ發焰スルモノヲ第一種石油トシ二十一度以上七十度未滿ノ溫度ニテ發焰スルモノヲ第二種石油トス）

二十九　可燃性液體類（エーテル、メタノール、ベンゾール、トルオール、ソルベントナフサ、アルコール、アセトン、キシロール、テレビン油、アミールアルコール、ブチールアルコール、芳香系列ノ炭化水素等）

三十　壓縮ガス及液化ガス類（カーバイド ニ水ヲ作用セシメテ生ズル無色ガス（石油類ヲ分解シテ得ラルル下級炭化水素ヲ含有スル爆發シ易キモノ）

油ガス（石油類ヲ分解シテ得ラルル下級炭化水素ヲ含有スルモノニシテ瓦斯用ガスナリ）

免許水先人ノ業務ニ專用スル水先汽船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアリテ碇泊セサルトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外前項ノ規定ニ依リ紅燈ヲ增揭スヘシ但シ敍燈ヲ揭クヘカラス

水先船其ノ營業所ニアルモ水先業務ニ從事セサルトキハ其ノ積量ニ相當スル他船ト同樣ノ燈ヲ揭クヘシ

第九條　漁船ハ航行中特ニ本條ニ規定アル場合ヲ除ク外其ノ積量ニ相當スル航行中ノ船舶ニ對シテ規定シタル燈ヲ揭クルカ又ハ之ヲ表示スヘシ

一　無甲板船即チ全部張語メタル甲板ニ固リテ海水ノ浸入ヲ防カサル船夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺以內ナルトキハ周回ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ揭クヘシ

無甲板船夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺ヲ超ユルトキハ周回ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ揭ケ且我船ノ他船ニ近寄リ行クトキ又ハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルトキハ其ノ白燈ノ下方ニ少クモ三尺ヲ隔テ且漁具ノ結束シタル爲メ停留スルトキハ晝間ニアリテハ第十二規定スル晝間信號ヲ引下シ夜間ニアリテハ碇泊船ト同一ノ燈ヲ表示シ又霧中降雪其ノ他暴雨中ハ碇泊船ニ對シテ規定シタル霧中信號ヲ爲スヘシ（第十五條第四項及末項參照）

二　第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外流網ヲ用キテ漁業ニ從事スル船舶ハ網ノ全部又ハ一部水中ニ投下シアル間ハ最モ見得易キ所ニ白燈二箇ヲ揭クヘシ此ノ兩燈ハ上下ノ距離六尺ヨリ少カラス十五尺ヨリ多カラサル程其ノ一燈ヲ他燈ノ

三　第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外延繩ヲ用キテ漁業ニ從事スルニ當リ延繩ヲ結著シ又ハ之ヲ曳入スル船舶ニシテ碇泊セス又ハ第八ニ依リ停留セサルノ八流シ網ヲ用キテ漁業ニ從事スル船舶ト同一ノ燈ヲ揭クヘシ其ノ延繩ヲ延ヘ又ハ曳纜ヲ用ウルモノハ其ノ船ノ種類ニ應シ航行中ノ汽船又ハ帆船ニ對シテ規定シタル燈ヲ揭クヘシ

總積量二十噸未滿ノ帆走漁船ハ地中海及日本國竝韓國ノ沿海ニ於テハ必シモ兩燈中其ノ下燈ヲ揭クルヲ要セス然レトモ之ヲ揭ケサルトキハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ揭ケ且第十一條ニ規定シタル白燈一箇ヲ增揭スヘシ但シ敍燈ヲ揭クヘカラス

四　第一ニ規定シタル甲板船ヲ除ク外延繩ヲ用キテ漁業ニ從事スルニ當リ延繩ヲ結著シ又ハ之ヲ曳入スル船舶ニシテ碇泊セス又ハ第八ニ依リ停留セサルトキハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ揭ケ且我船ノ他船ニ對シ規定シタル燈ヲ揭クヘシ

漁船ハ本條ニ規定シタル燈ヲ揭ケ及之ヲ表示スル外何時ニテモ閃火ヲ用キ且漁業用ノ燈火ヲ用ウルヲ得

長サ百五十尺未滿ノ漁船碇泊中ハ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ揭クヘシ

長サ百五十尺以上ノ漁船碇泊中ノ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ揭ケ且第十一條ニ規定シタル白燈一箇ヲ增揭スヘシ

長サ百五十尺未滿ナルト百五十尺以上トヲ問ハス碇泊中ノ漁船總網其ノ他ノ漁具ヲ結著シタルトキハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルトキ碇泊燈ノ下方少クモ三尺ヲ隔テ且漁網其ノ他ノ漁具ノ方向ニ於テ水平上少クモ五尺ヲ隔テ白燈一箇ヲ增揭スヘシ

漁船漁業ニ從事中漁具ノ岩礁其ノ他障碍物ニ纏著シタル爲メ停留スルトキハ晝間ニアリテハ第十二規定スル晝間信號ヲ引下シ夜間ニアリテハ碇泊船ト同一ノ燈ヲ表示シ又霧中降雪其ノ他暴雨中ハ碇泊船ニ對シテ規定シタル霧中信號ヲ爲スヘシ（第十五條第四項及末項參照）

八　第一ニ規定シタル白燈ノ位置ニ三色ノ燈籠一箇ヲ揭ケ尚其ノ下方六尺ヨリ少カラス十二尺ヨリ多カラサル所ニ白色ノ燈籠一箇ヲ增揭スヘシ此ノ三色燈ハ船ノ正首ヨリ左右各二點マテハ白色其レヨリ各舷正橫後ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ及ホスヘク製造シ且裝置スルヲ要シ又白燈ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シ周回少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

第十一條　長サ百五十尺未滿ノ船舶碇泊中ハ前方ノ最モ見得易クシテ船體上ヨリ二十尺ハ常ニ不同ナキ亮明ノ光ヲ發シ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

長サ百五十尺以上ノ船舶碇泊中ハ前方ノ最モ見得易クシテ船體上四十尺以下ノ所ニ前項ノ白燈一箇ヲ揭ケ且船尾若ハ其ノ最寄ニ於テ前方ノ燈ヨリ少クモ十五尺下方ニ同種ノ白燈一箇ヲ揭クヘシ

本條船舶ノ長サハ其ノ最大長ヲ謂フ

第十二條　本條中短艇トハ大約一秒時間ノ發聲ヲ謂フ

航行中ノ汽船他船ニ近寄リ航路ヲ避セムトスルトキハ汽笛若ハ汽角ヲ以テ左ノ信號ヲ爲シ他船ニ我船ノ航路ヲ通知スヘシ

短聲一發　我船航路ヲ右舷ニ取ル

長聲一發　我船航路ヲ左舷ニ取ル

長聲二發　我船航路ヲ右舷ニ取ル

長聲三發　我船後進ス

汽笛若ハ汽角帆船ニアリテハ號角ヲ用キ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ一聲ノ發シ之ニ續キテ號鑼ヲ鳴ラス

總積量二十噸未滿ノ帆走漁船ハ地中海及日本國竝韓國ノ沿海ニ於テハ必シモ兩燈中其ノ下燈ヲ揭クルヲ要セス然レトモ之ヲ揭ケサルトキハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ同一ノ位置（網又ハ漁具ノ方向ニ於テ）ニ表示スヘシ

第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外延繩ヲ用キテ漁業ニ從事スルニ當リ延繩ヲ結著シ又ハ之ヲ曳入スル船舶ニシテ碇泊セス又ハ第八ニ依リ停留セサルトキハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ同一ノ位置（網又ハ漁具ノ方向ニ於テ）ニ表示スヘシ

打タセ網（總テ海底ニ漁具ヲ曳クモノヲ包含ス）ヲ用キテ漁業ニ從事スル船舶ハ左ノ規定ニ依ルヘシ

甲　汽船ハ第二條第一項ニ規定シタル白燈ノ位置ニ三色ノ燈籠一箇ヲ揭ケ尚其ノ下方六尺ヨリ少カラス十二尺ヨリ多カラサル所ニ白色ノ燈籠一箇ヲ增揭スヘシ此ノ三色燈ハ船ノ正首ヨリ左右各二點マテハ白色其レヨリ各舷正橫後ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ及ホスヘク製造シ且裝置スルヲ要シ又白燈ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シ周回少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

本條ニ依リ特ニ規定シタル燈ヲ揭ケ又之ヲ表示スルヲ要スル船舶ハ第四條第一項及第十一條末項ノ燈ヲ揭クルニ及ハス

第十條　他船ニ追越サレムトスル船舶ハ他船ニ向テ船尾ヨリ白燈ヲ表示シ又ハ閃火ヲ發スヘシ

本條ニ從テ表示スヘキ白燈ハ幾ハク船尾ニ揭ケヲ得然レトモ此ノ燈ハ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノニシテ常ニ不同ナキ亮明ノ光ヲ發シ鹹盛ノ十二點間ヲ照スヘク製造シ船ノ正後ヨリ左右ヘ六點閒宛射光ノ及フヘキ樣隔板ヲ裝置シ成ルヘク敍燈ト同一ノ高サニ揭クヘシ

第十一條　長サ百五十尺未滿ノ船舶碇泊中ハ前方ノ最モ見得易クシテ船體上ヨリ二十尺ヲ超エサル所ニ白燈一箇ヲ揭ケ尚其ノ下方六尺ヨリ少カラス十二尺ヨリ多カラサル所ニ白色ノ燈籠一箇ヲ增揭スヘシ此ノ三色燈ハ船ノ正首ヨリ左右各二點マテハ白色其レヨリ各舷正橫後ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ及ホスヘク製造シ且裝置スルヲ要シ又白燈ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シ周回少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

長サ百五十尺以上ノ船舶碇泊中ハ前方ノ最モ見得易キ所ニ白燈一箇ヲ揭ケ且船尾若ハ其ノ最寄ニ於テ前方ノ燈ヨリ少クモ十五尺下方ニ同種ノ白燈一箇ヲ揭クヘシ

本條船舶ノ長サハ其ノ最大長ヲ謂フ

第十二條　本法航方ニ依リ他船ノ航路ヲ避ケ周回ヲ照スヘク製造シタル白色ノ燈籠一箇ヲ揭ケ且他船ノ我船ニ近寄リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄リ行クトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ橫燈ノ上下方八尺ノ所ニ周回少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキ紅燈一箇ヲ增揭シ且航行中ノ船舶ニ要スル敍燈ヲ揭クヘシ

前項ノ水先汽船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアリテ碇泊スルトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ前項ノ規定ニ依リ紅燈ヲ增揭スヘシ但シ敍燈ヲ揭クヘカラス

水先船其ノ營業所ニアルモ水先業務ニ從事セサルトキハ其ノ積量ニ相當スル他船ト同樣ノ燈ヲ揭クヘシ

第九條　漁船ハ航行中特ニ本條ニ規定アル場合ヲ除ク外其ノ積量ニ相當スル航行中ノ船舶ニ對シテ規定シタル燈ヲ揭クルカ又ハ之ヲ表示スヘシ

一　無甲板船即チ全部張語メタル甲板ニ固リテ海水ノ浸入ヲ防カサル船夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺以內ナルトキハ周回ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ揭ケ且第十一條ニ規定シタル白燈一箇ヲ增揭スヘシ

無甲板船夜間漁業ニ從事スルニ當リ其ノ放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺ヲ超ユルトキハ周回ヨリ見得ヘキ白燈一箇ヲ揭ケ且我船ノ他船ニ近寄リ行クトキ又ハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルトキハ其ノ白燈ノ下方少クモ三尺ヲ隔テ且漁具ノ結束シタル爲メ停留スルトキハ晝間ニアリテハ第十二規定スル晝間信號ヲ引下シ夜間ニアリテハ碇泊船ト同一ノ燈ヲ表示シ又霧中降雪其ノ他暴雨中ハ碇泊船ニ對シテ規定シタル霧中信號ヲ爲スヘシ（第十五條第四項及末項參照）

二　第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外流網ヲ用キテ漁業ニ從事スル船舶ハ網ノ全部又ハ一部水中ニ投下シアル間ハ最モ見得易キ所ニ白燈二箇ヲ揭クヘシ此ノ兩燈ハ上下ノ距離六尺ヨリ少カラス十五尺ヨリ多カラサル程其ノ一燈ヲ他燈ノ

三　

短聲二發　我船鐵路ヲ左舷ニ取ル
短聲三發　我船全速力ニテ後退ス
懈怠ノ責
第二十九條　本法ハ點燈、信號又ハ見張ノ怠リ其ノ他海員ノ常務又ハ臨機ノ處置ニ必要ナル注意ノ怠リヨリ生シタル結果ニ付船、船主、船長海員ヲシテ其ノ責ヲ免レシメサルモノトス
特　例
第三十條　本法ハ行政官廳ニ於テ規定シタル港、川其ノ他内海ノ運航ニ關スル特別規則ノ施行ヲ妨ケス
雜船信號
第三十一條　危難ニ際リテ他船又ハ陸地ヨリ救助ヲ要スル船舶ハ左ノ信號ヲ同時又ハ別別ニ使用スヘシ
晝間信號
一　大約一分時ノ間隙ヲ以テ砲又ハ其ノ他ノ爆裂發火信號ヲ一發ス
二　萬國船舶信號書ニ揭載スルNCノ雜船信號ヲ表示ス
三　方形旗ノ上又ハ下ニ球若ハ之ニ類似ノモノヲ揭クル遠距信號ヲ表示ス
四　霧中信號器ヲ以テ間隙ナク音響ヲ發ス
夜間信號
一　大約一分時ノ間隙ヲ以テ砲又ハ其ノ他ノ爆裂發火信號ヲ一發ス
二　船上ノ發燄（ブンセン燈、詰綿等）
三　星火ヲ發スル榴彈或ハ火箭ヲ一次一發ツヽ度々打揭ク
四　霧中信號器ヲ以テ間隙ナク音響ヲ發ス
附　則
第三十二條　本法中船舶噸其噸數ニ關シ日本形船ハ十石ヲ以テ一噸ニ通算ス
第三十三條　本法ハ明治二十六年一月一日ヨリ施行ス
第三十四條　明治十三年ニ第三十五號布告海上衝突豫防規則同十四年五第三十三號布告同規則追加同十八年八第二十七號布告同規則改正追加ハ本法施行ノ日ヨリ廢止ス

第九款　船舶信號及通報

●朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件

昭和八年九月
總令第百四號

朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件左ノ通定ム

朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ハ遞信省ニ於テ揭載スル國際通信書（萬國通信書、萬國通信書、萬國通信書）又ハ國際通信書（萬國通信書、萬國通信書）ニ依リ普通信號ヲ爲スヘシ

附　則

本令ハ昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第八十六號ハ之ヲ廢止ス

●朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ國際信號旗ノ寸法ニ關スル件

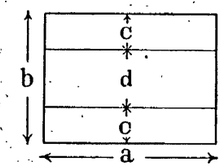
昭和九年一月
總令第八號

朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ國際信號旗ノ寸法ニ關スル件左ノ通定ム

昭和八年朝鮮總督府令第百四號（朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件）ニ依リ朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ガ信號ヲ爲ス場合ニ於テ使用スル國際通信書揭載ノ國際信號旗ハ左ノ寸法ノモノノ中ノ何レカニ依ルヘシ

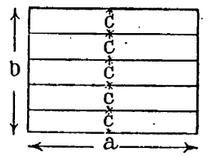
文字旗

D



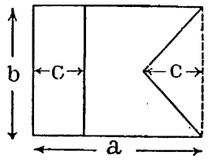
大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎
大	244.0	198.0	49.5	99.0
中	168.0	137.0	34.2	68.6
小	91.0	76.0	19.0	38.0

C



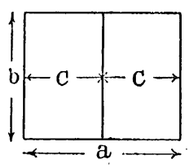
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	89.6
中	168.0	137.0	27.4
小	91.0	76.0	15.2

A 及 B



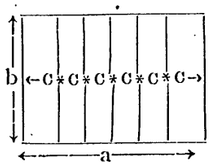
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	81.3
中	168.0	137.0	56.0
小	91.0	76.0	30.3

H 及 K



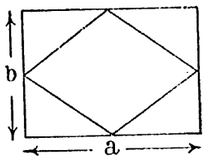
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	214.0	198.0	122.0
中	168.0	137.0	84.0
小	91.0	76.0	45.5

G



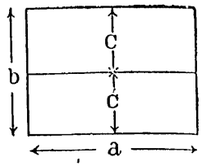
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	40.7
中	168.0	137.0	28.0
小	91.0	76.0	15.2

F



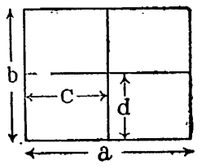
大サ	a 糎	b 糎
大	244.0	198.0
中	168.0	137.0
小	91.0	76.0

E



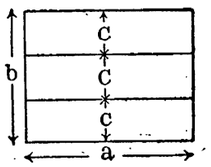
大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	99.0
中	168.0	137.0	68.5
小	91.0	76.0	38.0

L 及 U



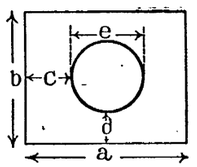
大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎
大	244.0	198.0	122.0	99.0
中	168.0	137.0	84.0	68.5
小	91.0	76.0	45.5	38.0

J



大サ	a 糎	b 糎	c 糎
大	244.0	198.0	66.0
中	168.0	137.0	45.7
小	91.0	76.0	25.3

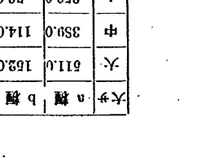
I



大サ	a 糎	b 糎	c 糎	d 糎	e 糎
大	244.0	198.0	66.1	43.1	111.8
中	168.0	137.0	45.9	30.4	76.2
小	91.0	76.0	25.2	17.7	40.6

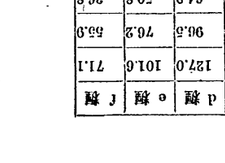
第十八種　表面

Y



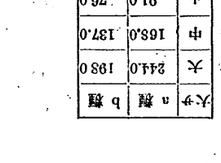
大サ	a 種	b 種	c 種
大	244.0	198.0	33.0
中	168.0	137.0	22.9
小	91.0	76.0	12.7

W



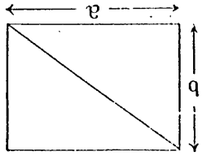
大サ	a 種	b 種	c 種	d 種	e 種	f 種
大	244.0	198.0	99.0	121.9	33.0	16.5
中	168.0	137.0	68.4	83.8	22.9	11.4
小	91.0	76.0	37.8	45.7	12.7	6.4

T



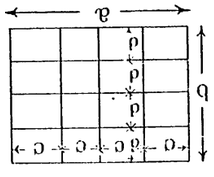
大サ	a 種	b 種	c 種
大	244.0	198.0	81.3
中	168.0	137.0	66.0
小	91.0	76.0	30.3

O



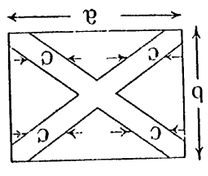
大サ	a 種	b 種
大	244.0	198.0
中	168.0	137.0
小	91.0	76.0

N



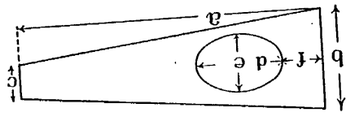
大サ	a 種	b 種	c 種	d 種
大	244.0	198.0	61.0	49.6
中	168.0	137.0	42.0	34.3
小	91.0	76.0	22.8	19.0

MXV



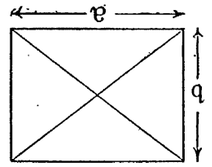
大サ	a 種	b 種	c 種
大	244.0	198.0	33.0
中	168.0	137.0	22.9
小	91.0	76.0	12.7

1 及 2



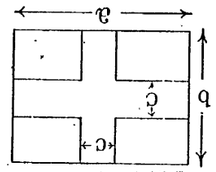
大サ	a 種	b 種	c 種	d 種	e 種	f 種
大	611.0	152.0	46.0	127.0	101.6	71.1
中	350.0	114.0	31.0	96.5	76.2	55.9
小	259.0	76.0	20.0	64.8	50.8	36.8

Z



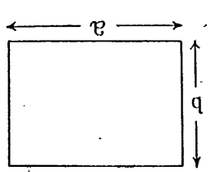
大サ	a 種	b 種
大	244.0	198.0
中	168.0	137.0
小	91.0	76.0

RXX



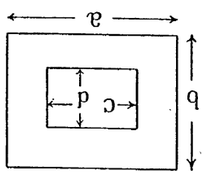
大サ	a 種	b 種	c 種
大	244.0	198.0	49.6
中	168.0	137.0	34.3
小	91.0	76.0	19.1

Q



大サ	a 種	b 種
大	244.0	198.0
中	168.0	137.0
小	91.0	76.0

P 及 S



大サ	a 種	b 種	c 種	d 種
大	244.0	198.0	122.0	82.6
中	168.0	137.0	84.0	67.3
小	91.0	76.0	45.5	31.8

朝鮮船舶通航料表ノ通則ヲ次ニ掲ク

朝鮮船舶通航料ハ本令ノ施行ノ際現ニ所持スル船舶ニ付テハ本令施行ノ日ヨリ滿一箇年ノ間ハ之ヲ徵收セス

朝鮮船舶通航料ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル船舶ニ付テハ之ヲ徵收セス

一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ漁業ニ從事スルモノ

二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ水產物ヲ運搬スルモノ

三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ水產物ヲ製造スルモノ

四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スルモノ

五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スルモノ

六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スルモノ

七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スルモノ

八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

三十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

四十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

五十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

六十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

七十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

八十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

九十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百二十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百三十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百四十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百五十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百六十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百七十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百八十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

百九十九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百一　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百二　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百三　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百四　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百五　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百六　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ貯藏スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百七　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ販賣スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百八　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ運搬スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百九　第一條ニ揭ケタル船舶ニシテ專ラ朝鮮沿海ノ鹽ヲ製造スル目的ヲ以テ朝鮮ニ入港スルモノ

二百十　第一條ニ揭ケタル船舶ニ

一　船名
二　通過時分
三　通過方向

第四條　信號報トハ船舶ノ所有者又ハ貸借人ト船長トノ間ニ於ケル通信ニシテ特ニ指定スル船舶ニ依リ送受スルモノヲ謂フ

第四條ノ二　海難報トハ特ニ指定スル電信局ニ於テ船舶ノ遭難又ハ航行ノ安全ニ關スル無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信（特定人ニ宛ツルモノヲ除ク）ニ依リ知得シタル船舶ノ遭難、乘棄又ハ漂流ニ關スル左ノ事項ヲ和文電報ヲ以テ關係者ニ通知スルモノヲ謂フ

一　船名（必要アルトキハ船舶ノ種類、國籍又ハ所有者名ヲ附記ス）
二　災厄ノ日時（遭難ノ日時又ハ遭難、乘棄若ハ漂流ノ事實ヲ知得シタル日時）
三　船舶ノ位置
四　災厄ノ狀況（遭難、乘棄又ハ漂流ノ別及其ノ狀況）

第五條　通過報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル關係書ヲ通過報ヲ配達スベキ電信局所ニ差出スベシ

一　船名及信號符字
二　國籍
三　船舶所有者名（船舶ガ貸借中ノモノナルトキハ船舶ノ貸借人名以下之ニ同ジ）
四　燈臺名
五　通過方向
六　關係者（關係者ガ受信者ニ非ザルトキハ併セテ受信者）ノ住所氏名

前項ノ場合ニ於テ關係者ガ船舶ノ所有者又ハ貸借人ニ非ザルトキハ當該船舶ニ於テ第二十條ノ規定ニ依リ國旗及信號符字ヲ掲ゲル旨ノ船舶ノ所有者又ハ貸借人ノ承諾書ヲ差出スベシ

臨時ニ通過報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ第一項各號ノ事項ノ外船舶ノ豫定通過日時ヲ記載スベシ

第六條　通過報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ船舶數及請求度數ニ拘ラズ登記料トシテ一會計年度毎ニ二圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スベシ但シ臨時ニ其ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ登記料ハ毎年度分ヲ其ノ前年度ノ末日十五日前迄ニ納付スヘシ但シ初年度分ハ請求書提出ノ際之ヲ納付スヘシ

第十二條　信號報ノ料金左ノ如シ

電報料又ハ郵便料　實費

船舶ヨリ發スル信號報ノ料金ハ之ヲ受信者ヨリ徵收ス

第十三條　船舶ノ所有者又ハ貨借人信號報ヲ發セムトスルトキハ和文電報書法ニ依リ相當事項ヲ記載シ之ヲ第十條ノ電信局所ニ提出スヘシ但シ之ニ關スル郵便切手ハ額面紙ニ貼付スヘカラス

信號報ヲ發セムトスル場合ニ於テ郵便ニ依リ發信ヲ望ムトキハ同時ニ其ノ旨ヲ申出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ適宜ノ用紙ニ記載スルコトヲ得

第十四條　電信局所ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ指定ノ方法ニ依リ之ヲ發信ニ傳送シ發信ニ於テ之ヲ船舶ニ通達ス

第十五條　船舶ニ於テ信號報ヲ發セムトスルトキハ其ノ旨ヲ發信ニ信號スヘシ但シ信號報ノ受信者ハ第十一條ノ登記料ヲ納付シタル者ニ限ル

第十六條　發信ニ於テ前條ノ信號報ヲ受ケタルトキハ和文電報ヲ以テ之ヲ第十條ノ電信局所ニ傳送シ電信局所ハ之ヲ受信者ニ配達ス

第十七條　發信ニ於テ信號報ヲ船舶ニ通達スルハ其ノ到達ノ日ヨリ十日以内ニ限ル

第十八條　信號報ヲ船舶ニ通達シ能ハサルトキハ之ヲ發信者ニ通知ス

前項ノ場合ニ於テ信號料ハ納付人ノ請求ニ依リ之ヲ還付ス

第十九條　發信ニ於テ船舶トノ間ニ於ケル信號ハ晝間ニ限リ之ヲ行ヒ其ノ方法ハ國際通信慣ノ定ムル所ニ依ル但シ船舶ノ所有者又ハ貸借人ノ請求ニ依リ通報ニ限リ發信ニ於テ夜間信號ヲ受クルコトアルヘシ

通過報ノ夜間信號ハ船舶ノ所有者又ハ貸借人ニ於テ特定信號ヲ定メ豫メ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ

第七條　通過報ノ料金ハ一通毎ニ

一　登記料ヲ納付シタル者ニ對シテハ

朝鮮內地、樺太相互間　二十錢
朝鮮內　二十五錢

二　登記料ヲ納付セサル者ニ對シテハ

一通毎ニ
朝鮮內地、樺太相互間　三十錢
朝鮮內　四十錢

夜間（日沒ヨリ日出ニ至ル間ヲ謂フ）通過ノ船舶ニ對スル通過報ノ料金ハ前項料金ノ二倍トス

前二項ノ料金ハ通過報配達ノ際受信者ヨリ之ヲ徵收ス

第八條　第五條第三項ノ請求者豫定通過日時ヲ切迫ノ爲電信局所ヨリ發信ニ電報ヲ以テ通知ヲ要求スルトキハ其ノ電報ノ料金ヲ前納スヘシ

第九條　第五條ノ請求書ニ記載シタル船舶カ發信ノ附近ヲ通過スル場合ト雖該發信ニ於テ其ノ通過ヲ又ハ船名ヲ知リ得サルトキハ當該事項ノ通知ヲ爲サス

第十條　信號報ノ取扱ヲ受ケントスル船舶ノ所有者又ハ貸借人ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ信號報ヲ配達スベキ電信局所ニ差出スベシ

一　船名及信號符字
二　國籍
三　船舶所有者名
四　發信ニ於ケル住所氏名
五　請求者ノ住所氏名

第十一條　信號報ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ船舶數及請求度數ニ拘ラス登記料トシテ一會計年度毎ニ二圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スヘシ但シ初年度分ハ請求書提出ノ際之ヲ納付スヘシ

第十二條　第五條第一項、第十條又ハ第二十條ノ二第一項ノ各號ニ揭ケル事項ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ船舶通報ノ請求者其ノ取扱ヲ廢メントスルトキハ請求書ヲ提出シタル電信局所ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

受信者住所ノ異動ニ依リ配達電信局所ヲ異ニスルニ至リタルトキハ其ノ船舶通報取扱ノ請求ハ消滅シタルモノト看做ス但シ同一府邑面內ニ於ケル受信者住所ノ異動ニ依リ配達電信局所ヲ異ニスルニ至リタルトキハ信局ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第二十條　通過報又ハ信號報ニ關係アル船舶特ニ指定シタル燈臺ニ接近シタルトキハ圖旗及信號符字ヲ揭クヘシ

第二十條ノ二　海難報ノ取扱ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル請求書ヲ海難報ヲ配達スヘキ電信局所ニ差出スベシ

一　船名及信號符字
二　國籍
三　船舶所有者名
四　發信電信局所名
五　請求者ノ住所氏名

海難報ノ取扱ヲ受クベキ船舶ハ之ヲ指定セザルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ請求書ニ其ノ旨ヲ記載スベシ

第二十條ノ三　海難報ノ取扱ヲ受ケントスル者ハ船舶數及海難報ノ配達ヲ受クル度數ニ拘ラズ登記料トシテ一會計年度毎ニ二圓ヲ前條ノ電信局所ニ納付スベシ

前項ノ登記料ハ毎會計年度分ヲ其ノ前年度年度分ハ請求書提出ノ際之ヲ納付スベシ但シ初第二十條ノ四　海難報ノ通知ニ要スル電報ノ料金ハ實費トス

前項ノ料金ハ海難報配達ノ際其ノ受信者ヨリ之ヲ徵收ス

第二十條ノ五　電信局所ニ於テ海難報ニ關スル通知ヲ爲スベキ場合ニ於テ第四條ノ二各號ノ事項ヲ知得シ得ザルトキハ當該事項ノ通知ヲ爲サズ

第二十一條　本令中料金ノ徵收又ハ還付ニ關シ明文ナキ事項ハ總テ電報規則ヲ準用ス

第二十二條　第五條第一項、第十條又ハ第二十條ノ二第一項ノ各號ニ揭ケル事項ニ異動ヲ生シタルトキ又ハ船舶通報ノ請求者其ノ取扱ヲ廢メントスルトキハ請求書ヲ提出シタル電信局所ニ其ノ旨ヲ屆出ツヘシ

受信者住所ノ異動ニ依リ配達電信局所ヲ異ニスルニ至リタルトキハ其ノ船舶通報取扱ノ請求ハ消滅シタルモノト看做ス但シ同一府邑面內ニ於ケル受信者住所ノ異動ニ依リ配達電信局所ヲ異ニスルニ至リタルトキハ

此ノ限ニ在ラス

第二十三條　燈臺以外ノ場所ニ於テ通過報又ハ信號報ノ取扱ヲ爲ストキハ本令ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和六年六月總令第七十六號）

本令ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ燈臺

大正四年三月
總督第六十九號
改正　大正六年八月總令第一八三號、九年六第一八五號、昭和八年一月第一號、二年九第五二號

左記燈臺ニ於テ大正四年四月一日ヨリ朝鮮船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ

但シ夜間通過ノ信號ハ之ヲ取扱ハス

燈臺名	位置
牧ノ島燈臺	慶尙南道牧ノ島
者只島燈臺	全羅南道所安群島
小青島燈臺	黃海道大靑群島
七發島燈臺	全羅南道絹州群島
大革島燈臺	咸鏡北道絹泮港口

（昭和十一年九月總督府告示第三百五十二號及昭和七年朝鮮總督府告示第三百十二號ハ之ヲ廢止ス）

第十款　航路標識

●朝鮮航路標識規則

大正七年十月
總令第百一號
改正　昭和七年三月三〇號

朝鮮航路標識規則左ノ通改正ス

朝鮮航路標識規則

第一條　朝鮮ニ於ケル航路標識ハ航路ノ安寧ヲ保護スル爲朝鮮總督府ニ於テ之ヲ設置ス

第二條　土地ノ狀況ニ因リ公共團體又ハ私人ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置スルコトヲ得

前項ニ依リ航路標識ヲ設置セムトスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受ケシテ設置者ヲ變更シ又ハ航路標識ノ位置若ハ性質ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第三條　航路標識ノ設置ノ許可申請書ニハ左ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

一　位置ヲ記載シタル書面
二　構造方法書
三　工事費概算書
四　工事設計圖
五　位置及附近ノ狀況ヲ示セル圖面
六　最近一年間ニ於ケル通過又ハ出入ノ船舶數調査
七　管理及維持方法書

航路標識ノ位置變更ノ許可申請書ニハ前項第一號及第五號ノ書類及圖面ヲ、性質變更ノ許可申請書ニハ第二號乃至第四號及第七號ノ書類及圖面ヲ添附スヘシ

第四條　航路標識ノ設置又ハ變更ノ許可ヲ受ケタル者供用開始セムトスルトキハ其ノ期日十四日前ニ之ヲ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ

第五條　第二條ノ航路標識ヲ停止又ハ廢止セムトスルトキハ其ノ期日ヲ定メ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

第六條　第二條ノ航路標識ノ看守ニ從事セシムル爲設置者ハ其ノ費用ヲ以テ看守員ヲ置クヘシ

前項ノ航路標識看守員ヲ採用シタルトキハ其ノ履歷書ヲ具シ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ

第七條　第二條ノ航路標識ニ於テ使用スル燈油其ノ他點燈用ノ消耗品ニ付テハ豫メ朝鮮總督府遞信局長ノ承認ヲ受クヘシ

第八條　朝鮮總督ニ於テ第二條ノ航路標識ノ費用ヲ以テ航路標識ヲ設置スルコトヲ得ル者ハ左ノ條件ニ從フヘシ

一　航路標識ノ設置ニ關スル工事ニ着手シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ

二　航路標識ノ設置ニ關スル工事ヲ完了シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ

三　航路標識ノ設置ニ關スル工事ヲ中止シ又ハ廢止セムトスルトキハ豫メ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

四　航路標識ノ設置ニ關スル工事ヲ完了シタル後ハ朝鮮總督ノ檢査ヲ受クヘシ

五　航路標識ノ設置ニ關スル工事ヲ中止シ又ハ廢止シタル場合ニ於テハ朝鮮總督ノ指揮ニ從ヒ原狀ニ回復スヘシ

六　航路標識ノ設置ニ關スル工事ヲ完了シタル後ハ朝鮮總督ノ檢査ヲ受ケ其ノ結果ニ從ヒ朝鮮總督ノ指揮スル所ニ依リ航路標識ヲ變更スヘシ

七　航路標識ノ設置ニ關スル工事ヲ完了シタル後ハ朝鮮總督ノ檢査ヲ受ケ其ノ結果ニ從ヒ朝鮮總督ノ指揮スル所ニ依リ航路標識ヲ變更スヘシ

第九條　朝鮮總督ハ第二條ノ航路標識ニ付必要アリト認ムルトキハ檢査官ヲ派遣シテ檢査ヲ爲サシメ又ハ設置者ニ對シテ報告ノ提出ヲ命スルコトヲ得

第九條　航路標識ヲ損壞シ若ハ移轉シ又ハ其ノ性質ヲ變更シ又ハ之ヲ滅遁スヘキ所爲ヲ爲シ又ハ朝鮮總督ノ指定シタル區域內ニ於テ航路標識ノ燈光若ハ警號ト誤認シ易キ所爲ヲ爲シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條　航路標識ニ船舶其ノ他ノ物ヲ繫留シ若ハ衝突セシメ又ハ蹂躙シ若ハ之ヲ汚穢シタル者ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ大正七年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

●鴨綠江ニ出入スル船舶ノ注意事項

昭和八年一月
總督第二十二號

朝鮮西半鴨綠江ニ出入スル船舶ハ航行上左ノ各號ニ付注意スルコトヲ要ス

大正六年朝鮮總督府告示第二百五十二號及昭和七年朝鮮總督府告示第三百十二號ハ之ヲ廢止ス

一　本江水路ハ大潮又ハ增水ノトキ殊ニ夏季出水時ニハ水深竝ニ沙堆ノ形狀及位置ニ變化ヲ生ズルコトアルコト

二　本江水路ハ平時ニ在リテモ屢變化スルコトアリ且最低潮時ニ於ケル水深〇・六米以下ノ箇所アルヲ以テ干潮時以上ニ達スルニ非ザレバ航行困難ナルコト

三　本江水路ヲ航行セントスル船舶ハ左ニ揭グル吃水ヲ超エザルヲ可トスルコト

(一)　新義州港（又ハ安東縣）ニ至ル水路
高潮時ニ於テ吃水　二・七米

(二)　三道浪頭ニ至ル水路
同　三・三米

(三)　龍岩浦ニ至ル水路
同　四・〇米

(四)　大東灣ニ至ル水路
同　四・九米

(五)　大多沙島錨地ニ至ル水路
低潮時ニ於テ吃水　三・六米

四　本江龍岩浦錨地ハ近時水深ヲ減少シタル結果船舶ノ碇泊困難ナルニ付此ノ附近ニ於テ錨泊セントスル船舶ハ他船ノ航行ヲ妨ゲザルヤウ投錨スルコト

五　本江水路ニ於ケル浮標、立標及導標ハ每年結氷前（十一月中旬前後）一時之ヲ撤去シ解氷後（四月上旬前後）ニ至リ漸次之ヲ設置スルモノナルコト

六　本江水路ノ航路標識ハ風雨、潮浪其ノ他ノ事由ニ因リ移動スルコトアリ此ノ場合ニ於テハ減水シ又ハ風浪ノ風ギタル後ニ至リ之ヲ復舊スルモノナルニ付復舊ニ多少ノ日時ヲ要スルモノナルコト

七　本江水路ニ變化ヲ生ジタルトキハ隨時浮標、立標若ハ導標ノ位置ヲ移動シ又ハ其ノ增減變更ヲ爲ス場合アルコト

八　本江水路ニ於ケル航路標識ハ著シク項ノ位置、構造等ヲ變更シ又ハ增減シタル場合ニ限リ之ヲ告示スルモノナルコト

九　本江水路ノ變化又ハ浮標、立標若ハ導標等ノ流失若ハ毀損等ヲ發見シタル者ハ遠ニ朝鮮總督府遞信局、朝鮮總督府遞信局海事出張所又ハ地方官廳ニ之ヲ通報スルコト

十　本江水路ノ標導ヲ受ケントスル船舶ハ其ノ關係者又ハ船長ヨリ電報其ノ他ノ方法ヲ以テ水先人ノ乘込ヲ要スル場所、日時、水路標導區域及出入別等ヲ共ノ二日前迄ニ安東縣六番通五丁目一番地鴨綠江水先人組合安東出張所ニ申込ミ水先人ヲ得ルノ便宜アルコト

●朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ノ注意事項

大正二年十二月
總督府令第四百十一號

改正　昭和七年第三二號

朝鮮西岸大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ハ左記各項ニ注意スヘシ

一　大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路ノ掛燈浮標並浮標ハ冬年結氷中一時之ヲ撤去シ解氷後ニ至リ之ヲ旋復ス

一　大同江、廣梁灣及漢江ニ於ケル各航路標識ハ之ヲ新設若ハ撤廢シ又ハ燈質若ハ著シク位置等ヲ變更シタル場合ヲ除クノ外之カ告示ヲ爲サス

第十一款　航行及港灣

●商法施行法第百二十二條ニ依リ湖川、港灣及沿岸小航海ノ範圍ニ關スル件

昭和十年二月
總令第三十五號

大正三年朝鮮總督府令第七十八號（商法施行法第百二十二條ニ依リ湖川、港灣及沿岸小航海ノ範圍ニ關スル件）左ノ通改正ス

湖川、港灣ノ範圍ハ朝鮮船舶安全令施行規則第二條ニ規定スル平水區域トス

沿岸小航海ノ範圍ハ全羅南道鬱光郡佛甲川口北岸ヨリ同郡欽香島、同道扵安郡在遠島、同郡飛禽島、同郡薪島、同道珍島郡加沙島、同郡珍島、同道莞島郡甫吉島、同郡者只島、同地青山島、同道麗水郡草島、同郡所里島、慶尙南道統營郡巨濟島及同道釜山府牧ノ島ヲ除キテ同道東萊郡蝟頭末ニ至ル線內トス

附　則

本令ハ大正十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年朝鮮總督府令第六十三號ハ之ヲ廢止ス

●鴨綠江及豆滿江沿岸ニ於ケル外國船舶ノ出入及運送ニ關スル件

大正十二年一月
總令第十二號

大正三年朝鮮總督府令第六十四號左ノ通改正ス

第一條　外國船舶ハ或克船又ハ竭舟其ノ他橈檝ノミヲ以テ運轉スル舟ニ限リ道知事ノ許可ヲ受ケ左ニ掲クル場所ニ出入シ又ハ運送ヲ爲スコトヲ得

一　平安北道新義州府ヨリ上流鴨綠江沿岸但シ新義州府ト義州郡九龍浦トノ間ノ沿岸ヲ除ク

二　咸鏡北道慶興郡鏡西面土里ヨリ上流豆滿江沿岸

前項ノ許可ノ期間ハ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

第二條　前條ノ許可申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一　申請者及船舶所有者ノ國籍、住所、氏名及年齡

二　船舶ノ種類、船名、總噸登又ハ積石數

三　船籍地

四　寄港地

五　航行區域

六　航行期間

第三條　第一條ノ許可ヲ與ヘタルトキハ附錄雛形ノ許可證ヲ交付ス

當可證ハ船內見易キ箇所ニ之ヲ標示スヘシ

第四條　第二條第四號乃至第六號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ税關長ノ許可ヲ受クヘシ

第二條ノ規定ハ前項ノ許可申請ニ付之ヲ準用ス此ノ場合ニ於テハ申請書ニ許可證ヲ添附スルコトヲ要ス

第五條　第二條第一項第一號乃至第三號ノ事項ヲ變更シタルトキハ十日內ニ道知事ニ屆出テ許可證ノ替換ヲ受クヘシ

第六條　道知事許可ヲ受ケタル者法令ニ違反シ又ハ公益上必要アリト認ムルトキハ許可ヲ取消シ又ハ取締上必要ナル指示命令ヲ爲スコトヲ得

第七條　本令ニ依リ道知事ニ提出スル申請書又ハ屆書ハ主タル寄港地ヲ管轄スル警察官署ヲ經由スヘシ

第八條　第三條第二項、第四條第一項、第五條ノ規定若ハ第六條ニ依ル指示命令ニ違反シ又ハ虛僞ノ申請ニ依リ許可ヲ受ケタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

大正三年警務總監部令第二號ハ之ヲ廢止ス

船舶出入（運送）許可證

國籍、住所　氏名　年齡

船種	
船名（號碼數及噸數）	
船籍地名	
寄港地名	

右鴨綠江（又ハ豆滿江）ノ沿岸前記ノ場所ニ出入（運送ニ從事）スルコトヲ許可ス

本許可證ノ有效期間ハ許可ノ日ヨリ　箇月トス

大正　年　月　日

官署名印

●漢江ニ於ケル舟筏ノ航行禁止區域

昭和七年十月
總告第五百七十五號

朝鮮河川令施行規則第三十五條ノ規定ニ依リ漢江ノ左記ノ區域內ニ於ケル舟筏ノ航行ヲ禁止ス

記

一　京畿道金浦郡陽村面樓山里第一號水制標識ヨリ延長二百メートル幅十メートルノ區域

同第二號水制標識ヨリ延長九十メートル幅十メートルノ區域

同第三號水制標識ヨリ延長百メートル幅十メートルノ區域

●船舶法第一條等ノ日本船舶ノ不開港出入ニ關スル件

大正十二年三月
總令第六十三號

船舶法第一條等ノ日本船舶ノ不開港出入ニ關スル件左ノ通定ム

船舶法第一條又ハ汽船ノ不開港出入ニ關スル件

船舶ハ不開港ニ出入シ又ハ各港ノ間ニ於テ運送ヲ爲スコトヲ得但シ得業病豫防上必要アリト認メ朝鮮總督ニ於テ其ノ都度初ノ寄港地ヲ指定シタル場合ニ於テハ指定地以外ニ寄港スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用セサル時間ハ之ヲ使用時間ニ算入セス此ノ場合ニ於テハ使用時間終了後之ニ相當スル時間其ノ使用ヲ繼續スルコトヲ得

第九條　棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用中ハ左ノ行爲ヲ爲スコトヲ得但シ第一號及第二號ノ行爲ヲ爲スコトヲ得ス但シ第一號及第二號ノ行爲ヲ爲スニ付税關長ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一　船舶ノ修繕ヲ爲スコト

二　爆發質若ハ引火質ノ物品、石炭、荷足又ハ他物ヲ汚損スヘキ貨物ノ積卸ヲ爲スコト

三　荷足、灰燼、塵芥、汚物等ヲ水中ニ投棄スルコト

第十條　棧橋ノ使用ニ付テハ左ノ制限ニ依ルヘシ

一　荷重ハ面積一平方メートルニ付千二百キログラムヲ超ユルコトヲ得ス但シ第一埠頭及第二埠頭ノ南北兩側棧橋竝ニ群山稅關支署及木浦稅關支署所屬ノ浮棧橋ヲ、繫船壁トハ元山稅關支署所屬ノ繫船壁ヲ、船渠トハ仁川稅關及鐵商浦稅關支署所屬ノ船渠ヲ謂ヒ、稅關又ハ稅關長トアルハ第六條ニ規定スル場合ヲ除クノ外稅關支署所屬ノ棧橋、繫船壁又ハ船渠ニ付テハ稅關支署又ハ稅關支署長トス

第二條　棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用セムトスル者ハ共ノ前日迄ニ第一號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ稅關ノ承認ヲ受ケタルトキハ使用開始前三時迄ニ申請書ヲ提出スルコトヲ得

定期航行船舶及常時棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用スル船舶ニ付テハ第二號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ屆出ツヘシ

第三條　前條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ使用時間ヲ變更セムトスルトキハ稅關長ノ許可ヲ受クヘシ

第四條　使用時間經過後引續キ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用セムトスル者ハ時間終了前三時迄ニ第一號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

第五條　棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ船舶ノ登簿噸數一噸ニ付使用十二時迄毎ニ一錢ノ割合ヲ以テ使用料ヲ前納スヘシ但シ一噸未滿ノ端數ハ之ヲ計算セス

前條ノ許可ヲ受ケタル場合ニ於テ納付スヘキ使用料ハ最初使用ノ時ヨリ通算シタル使用時間ニ相當スル使用料額ヨリ既納ノ分ヲ控除シタル金額トス

第五條ノ二　使用料ハ收入印紙ヲ以テ之ヲ納付スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ使用料ヲ納付セムトスル者ハ納付書又ハ第一號樣式ノ申請書ニ收入印紙ヲ貼付シテ提出スヘシ

第六條　稅關長ハ定期航行船舶又ハ常時棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用スル船舶ニ付テハ期間ヲ定メ使用料ヲ減額シ又ハ納付方法ヲ定メルコトヲ得

戰時軍用ノ船舶ニ付テハ稅關長ハ使用料ヲ免除スルコトヲ得

第七條　既納ノ使用料ハ之ヲ還付セス但シ使用ノ許可ヲ受ケヘシ但シ稅關ノ承認ヲ受ケタルトキハ使用開始前三時迄ニ申請書ヲ提出スルコトヲ得

第十一條　仁川稅關船渠閘門ノ開閉時ハ稅關長ノ定ムル所ニ依ル

第十二條　本令ニ規定スルモノノ外稅關長ニ於テ必要ト認ムルトキハ棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ニ關シ制限ヲ設クルコトヲ得

第十三條　故意又ハ過失ニ因リ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ毀損シタルトキハ稅關長ハ其ノ毀損者ヲシテ之ヲ修繕セシムルコトヲ得

第十四條　漂流物又ハ沈沒品ニシテ棧橋、繫船壁又ハ船渠ノ使用ニ障害アリト認ムルトキハ稅關長ハ其ノ物件ノ所有者又ハ之ヲ投棄シ若ハ配落セシメタル者ヲシテ除去セシムルコトヲ得

第十五條　棧橋、繫船壁又ハ船渠ヲ使用スル者本令ノ規定又ハ稅關長ノ命令ニ違反シタルトキハ稅關長ハ棧橋、繫船壁又ハ船渠ヨリ其ノ船舶ヲ離脫セシムルコトヲ得

第十六條　第二條第二項ノ許可ヲ受ケタル者臨時代船ヲ使用セムトスルトキハ豫メ稅關ニ屆出ツヘシ

前項ノ臨時代船ノ使用料ハ本船ノ使用料ト同額トス

第十七條　仁川稅關船渠內ニ於テ貨物積卸ノ爲船舶ヲ使用セムトスル者ハ第三號樣式ノ申請書ヲ稅關ニ提出シ許可ヲ受クヘシ

前項ノ船舶ニ對シテハ使用料ヲ徵收セス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ繫船壁ハ大正十一年五月一日ヨリ之カ使用ヲ開始スヘキ釜山稅關棧橋使用規則及仁用船渠使用規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前棧橋又ハ船渠ノ使用ノ許可ヲ受ケタル者及本令施行ノ際現ニ船渠ヲ使用スル者ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

附　則（昭和七年一月十五日總令第七號）

本令ハ昭和七年一月十五日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和七年九月總令第八十二號）

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ許可書及申請書ノ用紙寸法ニ付テハ當分ノ內從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第一號樣式　備考　用紙寸法　川蒸横宝セルロイド　縦宝セルロイド

番號____　船舶使用許可申請書

船積船名		收入印紙貼用欄	稅務課	
船主又ハ傭船者				
積噸數			檢査	
乘客噸數			年月日	
船ノ長及幅			監視課	
吃水			收入	
繫留場所			年月日	
使用時間	日　時　分ヨリ　日　時　分マデ　間			
使用料				
申請者住所氏名	年月日			

第二號樣式

備考　用紙寸法　縦七寸　横一尺一寸　輪廓寸法　許可書申請書共各　縦五寸　横四寸

番號＿＿　曳船使用許可書申請書

船種船名	
船主又ハ艤船者	
曳船使用隻数	
使用料	㊞
曳船使用時間	日 時 分 ヨリ 日 時 分 マテ
申請年月日	
申請者住所氏名捺印	

番號＿＿　曳船使用許可書

船種船名	
船主又ハ艤船者	
曳船使用隻数	
使用料	㊞
曳船使用時間	日 時 分 ヨリ 日 時 分 マテ
申請者住所氏名	
年月日	
税關	

●清津漁港管理規則

昭和十年十二月
總令第百四十三號

清津漁港管理規則左ノ通定ム

清津漁港管理規則

第一條　左ニ掲グル船舶以外ノ船舶ニシテ二十噸以上ノモノ清津漁港（第一號表ノ水面）ニ入港セントスルトキハ道知事ノ許可ヲ受クベシ但シ海難其ノ他已ムヲ得ザル事故アルトキハ此ノ限ニ在ラズ

一　國又ハ公共團體ノ所有ニ屬スル船舶

二　漁船

三　水產製品又ハ漁獲物ノ運搬用船舶

四　水產製品ノ製造又ハ漁業ニ必要ナル物品ノ運搬用船舶

五　造船業ニ必要ナル物品ノ運搬用船舶

六　港內ノ工事ニ從事スル船舶

七　清津漁港ノ附帶地域（第二號表ノ土地）ニ於ケル工事ニ必要ナル物品ノ運搬用船舶

八　海難救護ニ從事スル船舶

第二條　道知事清津漁港ノ保全上、港內ノ工事上其ノ他必要アリト認ムルトキハ船舶ノ入港ヲ禁止又ハ制限スルコトヲ得

第三條　清津漁港ノ附帶地域ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ道知事ノ許可ヲ受ケ之ヲ占用スルコトヲ得

一　漁業ノ經營上必要アルトキ

二　造船業ノ經營上必要アルトキ

三　漁獲物又ハ水產製品ノ製造、取引、保管又ハ運搬ノ爲必要アルトキ

四　前各號ノ外道知事ニ於テ特ニ清津漁港ノ利用上必要アリト認ムルトキ

第四條　前條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケタル者ハ道知事ノ定ムル所ニ依リ料金ヲ納付スベシ

第五條　第三條ノ規定ニ依ル許可ノ期間ハ二十年ヲ超ユルコトヲ得ズ

第六條　第三條ノ規定ニ依ル許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ道知事ニ提出スベシ

一　申請人ノ氏名及住所（法人ニ在リテハ其ノ名稱、事務所ノ所在地竝ニ代表者ノ氏名及住所）

二　占用セントスル土地ノ位置及面積

三　占用ノ目的

四　占用ノ期間

前項ノ申請書ニハ事業計畫書及圖面（占用セントスル土地ノ一般圖、平面圖、求積圖及工作物ヲ設置スル場合ニ在リテハ其ノ構造圖）ヲ添附スベシ

第七條　相續又ハ法人ノ合併ニ因リ第三條ノ規定ニ依ル許可ニ因リテ生ズル權利義務ヲ承繼シタル者ハ遲滯ナク相續又ハ合併アリタルコトヲ證スル書類ヲ添附シ道知事ニ之ヲ屆出ヅベシ

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ道知事ハ占用ノ許可ヲ受ケタル者ニ對シ許可ヲ取消シ、施設シタル工作物其ノ他ノ物件ヲ變更若ハ除却セシメ、原狀回復ヲ爲サシメ又ハ損害ヲ豫防ス爲必要ナル施設ヲ爲サシムルコトヲ得

一　引續キ一年以上占用ノ許可ヲ受ケタル土地ヲ其ノ目的ノ用ニ供セザルトキ

二　本令又ハ本令ニ依リテ爲ス處分若ハ其ノ條件ニ違反シタルトキ

三　清津漁港ノ附帶地域ノ保全上又ハ工事上必要アルトキ

四　法令ニ依リ土地ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得ル事業ノ爲必要アルトキ

五　前各號ノ外道知事ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキ

第九條　第一條ノ規定又ハ第二條ノ禁止若ハ制限ニ違反シタルトキハ當該船舶ノ船長又ハ其ノ職務ヲ行フ者ヲ二百圓以下ノ罰金又ハ拘留若ハ科料ニ處ス

船長又ハ其ノ職務ヲ行フ者ハ其ノ船舶ノ乘組員ガ第一條ノ規定又ハ第二條ノ禁止若ハ制限ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

附　則

本令ハ昭和十一年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

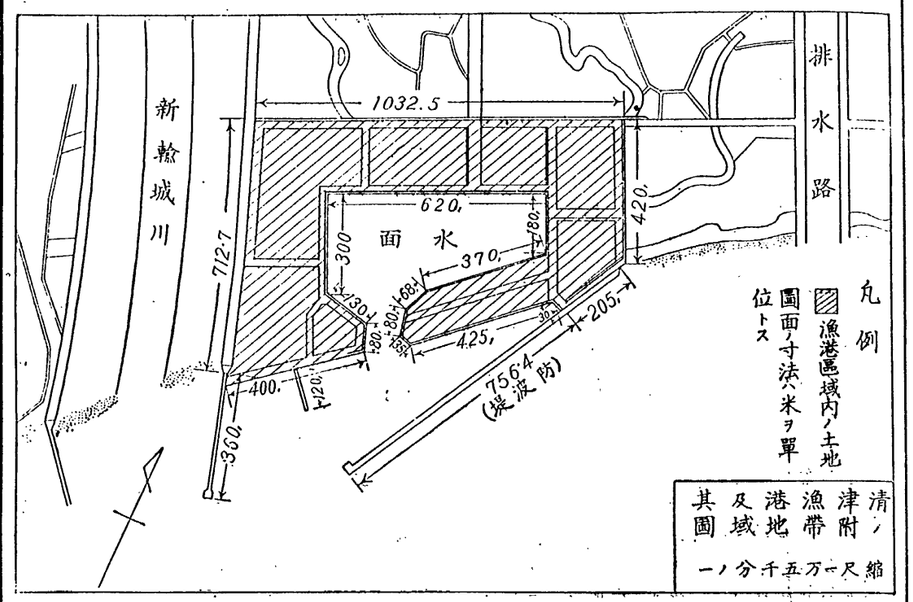
第一號表（清津漁港）

新輸城川導水堤ノ南端ト其ノ東側防波堤ノ南端トヲ連結シタル線內ノ水面（別圖ノ通）

第二號表（清津漁港附帶地域）

清津漁港ノ周圍ノ土地（別圖ノ通）

（附圖）



第十二款　航空

●航空法

大正十年四月
法律第五十四號
改正　昭和二年第三百號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル航空法ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

航空法

第一章　總則

第一條　本法ニ於テ航空機トハ人ノ搭乘シ得ル飛行機、航空船、氣球、滑空機其ノ他航空ノ用ニ供スル機器ヲ謂フ

本法ニ於テ航空ニハ陸上又ハ水上ノ滑走ヲ、離陸又ハ着陸ニハ離水又ハ着水ヲ包含ス

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ノ所有スル航空機ハ之ヲ日本航空機トス

一　日本國又ハ日本ノ公共團體

二　日本臣民

三　日本法令ニ依リ設立シタル會社ニシテ合名會社ニ在リテハ社員ノ全員、合資會社及株式合資會社ニ在リテハ無限責任社員ノ全員、株式會社ニ在リテハ取締役ノ全員ガ日本臣民タルモノ

四　前號ニ掲ゲル法人以外ノ法人ニシテ日本法令ニ依リ設立シ其ノ代表者ノ全員カ日本臣民タルモノ

第三條　本法ハ本章及第四十一條乃至第四十三條ノ規定ヲ除クノ外軍用航空機ニ之ヲ適用セス

國ノ使用ニ供スル航空機ニ付テハ第二十一條、第二十八條乃至第三十條、第三十三條、第三十四條及第四十條ノ規定ニ關シ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

勅令ヲ以テ指定スル航空機ニ付テハ第二章乃至第四章ニ規定スル事項ニ關シ命令ヲ以テ別段ノ規定ヲ爲スコトヲ得

第四條　航空ニ關シ條約又ハ之ニ準ズヘキモノニ別段ノ規定アルトキハ其ノ規定ニ從フ

第二章　航空機ノ檢査及登錄

第五條　航空機ヲ製造スル者ハ其ノ設計、材料、部分品、技功及製品ニ付行政官廳ノ檢査ヲ受クヘシ

堪航證明書ナキ航空機ノ所有者ハ其ノ航空機ニ付行政官廳ノ檢査ヲ受クヘシ

前二項ノ檢査ニ合格シタル航空機ニ對シテハ堪航證明書ヲ交付ス

第一項及第二項ノ規定ハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ許可ヲ受ケタル航空機ニ之ヲ適用セス

第六條　堪航證明書ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ效力ヲ失フ

一　堪航證明書ニ記載シタル有效期間ヲ經過シタルトキ

二　第十四條第一項ノ規定ニ依リ航空機ノ使用ノ禁止ヲ命ジタルトキ

前項第一號ノ有效期間ハ前條ノ檢査ニ合格シタル日ヨリ起算シ六月以內ニ於テ行政官廳之ヲ定ム有效期間ハ第十一條ノ檢査ノ結果ニ依リ檢査ノ日ヨリ起算シ六月以內ニ於テ行政官廳之ヲ延長スルコトヲ得

第七條　第五條ノ檢査ニ合格シタル航空機ノ所有者ハ行政官廳ニ其ノ航空機ノ登錄ヲ申請スルコトヲ得

航空機ノ登錄事項ハ航空機ノ所有者ノ氏名名稱、登錄記號其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項トス

登錄シタル事項ニ變更アリタルトキハ航空機ノ所有者ハ其ノ日ヨリ起算シ十四日以內ニ行政官廳ニ變更ノ登錄ヲ申請スヘシ

登錄シタル航空機ニ對シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ航空機ノ所有者ノ氏名名稱、登錄記號其ノ他ノ登錄事項ヲ記載シタル登錄證明書ヲ交付ス

第八條　航空機カ左ノ各號ノ一ニ該當スル場

第三十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第三十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第三十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第三十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第三十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第三十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第三十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第三十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第三十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第四十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第五十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第六十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第七十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第八十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第九十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百二十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百三十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百四十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百五十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百六十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百七十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十二條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十三條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十四條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十五條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十六條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十七條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十八條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百八十九條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百九十條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ制限ニ違反シテ航行シタル航空機ハ之ヲ没収スルコトヲ得

第百九十一條　第三十條ノ規定ニ依リ航空ノ禁止又ハ制限ヲ為シタル場合ニ於テ其ノ禁止又ハ

第十六條　前條ノ規定ニ依リ船舶ヲ航行セシムル場合ニ於テハ船舶ノ名稱、船籍港、船舶ノ種類、船舶ノ總噸數、船舶ノ長サ、船舶ノ幅、船舶ノ深サ、船舶ノ速力、船舶ノ航海區域、船舶ノ航海ノ目的、船舶ノ航海ノ期間、船舶ノ航海ノ方法、船舶ノ航海ノ經路、船舶ノ航海ノ時期、船舶ノ航海ノ目的港、船舶ノ航海ノ目的港ニ於ケル碇泊ノ場所、船舶ノ航海ノ目的港ニ於ケル碇泊ノ期間、船舶ノ航海ノ目的港ニ於ケル碇泊ノ目的、船舶ノ航海ノ目的港ニ於ケル碇泊ノ目的ヲ定メ遞信大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條　前條ノ許可ヲ受ケタル者其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更セントスルトキハ遞信大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ廢止セントスルトキハ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第二十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第三十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第四十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第五十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第六十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第七十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第八十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第九十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百二十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百三十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百四十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十七條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十八條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百五十九條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百六十條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百六十一條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百六十二條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百六十三條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百六十四條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百六十五條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百六十六條　第十六條ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ許可ヲ受ケタル事項ヲ變更シ又ハ廢止シタルトキハ其ノ船舶ノ船長ヲシテ遞信大臣ニ屆出ツヘシ

第百六十七條　第十六條ノ許可

第五十條　航空機ノ所有者又ハ刑事關係人ハ航空機原簿ノ謄本若ハ抄本ノ交付又ハ航空機原簿ノ閲覽ヲ申請スルコトヲ得

第四十一條　航空機ノ國籍記號ハ羅馬字ノ大文字Jヲ以テ之ヲ表示ス

第五十二條　航空機ノ登錄記號ハ羅馬字ノ大文字ノ下面ノ適當ノ場所ニ之ヲ連記スヘシ

一　飛行機ニ在リテハ主翼ノ上面、下主翼ノ下面及主翼ト尾翼トノ間ノ胴體ノ兩側

二　航空船ニ在リテハ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側及其ノ兩側ヨリ等距離ノ上面

三　氣球ニ在リテハ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側

第五十三條　登錄シタル航空機ニハ其ノ國籍記號及登錄記號ヲ揭記スヘシ

前項ノ記號ハ白地ニ墨色ノ楷書ノ文字ヲ以テ之ヲ揭記スヘシ

第五十四條　國籍記號及登錄記號ハ當該航空機ニ付左ノ場所ニ之ヲ連記スヘシ

一　飛行機ニ在リテハ主翼ノ上面、下主翼ノ下面及主翼ト尾翼トノ間ノ胴體ノ兩側

二　航空船ニ在リテハ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側及其ノ兩側ヨリ等距離ノ上面

三　氣球ニ在リテハ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側

第五十五條　國籍記號ハ當該航空機ニ付左ノ場所ニ之ヲ揭記スヘシ

一　飛行機及航空船ニ在リテハ最下尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ下面ノ左右兩部、最上尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面及方向舵ノ兩面ニ渉ル

二　氣球ニ在リテハ吊籠

第五十六條　第五十四條ニ規定スル場所ニ國籍記號及登錄記號ヲ連記スル方法左ノ如シ

一　飛行機ノ上主翼ノ上面及下主翼ノ下面ニ在リテハ記號ノ文字ノ頂部ヲ共ニ翼ノ前端ニ向ケ國籍記號ト各一箇ヲ連記スヘシ

二　飛行機ノ主翼ト尾翼トノ間ニ於ケル胴體ノ兩側ニ在リテハ記號ノ文字ノ頂部ヲ共ニ翼ノ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號ト各一箇ヲ連記スヘシ

三　部附近ニ於ケル相反スル兩側ニ在リテハ記號ノ文字ノ頂部ヲ共ニ翼ノ上方ニ向ケ國籍記號ト各一箇ヲ連記スヘシ

四　航空船ノ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部附近ニ於ケル兩側ヨリ等距離ノ上面ニ在リテハ船首ヲ左方トシ國籍記號ト登錄記號ト各一箇ヲ連記スヘシ

五　氣球ノ氣嚢ノ水平周圍ノ最大部附近ニ於ケル相反スル兩側ニ在リテハ側方及地上ヨリ認メ得ラルル如ク記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト登錄記號ト各一箇ヲ連記スヘシ

第五十七條　第五十五條ニ規定スル場所ニ國籍記號ヲ揭記スル方法左ノ如シ

一　飛行機及航空船ノ最下尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ下面ノ左右兩部並最上尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面ニ在リテハ記號ノ文字ノ頂部ヲ共ニ翼ノ前端ニ向ケ國籍記號ト各一箇ヲ揭記スヘシ

二　飛行機及航空船ノ最下尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ下面ノ左右兩部並最上尾翼又ハ昇降舵ノ中何レカ大ナルモノノ上面ニ在リテハ記號ノ文字ノ頂部ヲ共ニ翼ノ前端ニ向ケ國籍記號ト各一箇ヲ揭記スヘシ

三　氣球ノ吊籠ニ在リテハ記號ノ文字ノ頂部ヲ上方ニ向ケ國籍記號ト各一箇ヲ揭記スヘシ

第五十八條　航空機ニ揭記スヘキ國籍記號及登錄記號ノ大左ノ如シ

一　飛行機ノ主翼及尾翼並航空船ノ尾翼ニ揭記スヘキ記號ノ文字ノ高ハ各翼幅ノ五分ノ四ナルコトヲ要ス

二　飛行機及航空船ノ昇降舵及方向舵ニ揭記スヘキ記號ノ文字ノ高ハ成ルヘク大ナルコトヲ要ス

三　飛行機ノ胴體又ハ「ナセル」ニ揭記スヘキ記號ノ文字ノ高ハ該記號ヲ揭記スヘキ胴體又ハ「ナセル」ノ部分中ノ最狹部ノ最大高ノ五分ノ四ナルコトヲ要ス

四　航空船ノ氣嚢ニ揭記スヘキ記號ノ文字ノ高ハ少クトモ氣嚢ノ橫斷面ノ最大部ノ周圍ノ十二分ノ一ナルコトヲ要ス

五　氣球ノ吊籠ニ揭記スヘキ記號ノ文字ノ高ハ吊籠ノ高ノ五分ノ四、又球ノ氣嚢ニ揭記スヘキ記號ノ文字ノ高ハ少クトモ氣嚢ノ周圍ノ十二分ノ一ナルコトヲ要ス

六　記號ノ文字ノ幅ハ文字ノ高ノ三分ノ二、文字ノ線幅ハ文字ノ高ノ六分ノ一ナルコトヲ要ス

七　各箇ノ記號ノ文字ノ形狀及大ハ同一シ文字ノ字隔ハ字幅ノ二分ノ一ナルコトヲ要ス

前項第一號乃至第五號ノ場合ニ於テ文字ノ高二、五メートルヲ超ユルトキハ之ヲ二、五メートルト爲スコトヲ得

第五十九條　削除

第六十條　登錄シタル航空機ノ所有者ハ其ノ氏名又ハ名稱及住所並當該航空機ノ國籍記號及登錄記號ヲ刻シタル長七センチメートル幅五センチメートル、金屬板ヲ操縱席ノ外方見易キ場所ニ附著スヘシ

第五章　乘員

第六十一條　航空機ニ乘組マシムヘキ乘員ノ種類及定員ハ第一號表及第二號表ニ依ル

第六十二條　航空機乘員技術證明書ハ左ノ九種トス

一　等飛行機操縱士技術證明書

二　等飛行機操縱士技術證明書

一　等航空船操縱士技術證明書

二　等航空船操縱士技術證明書

三　等航空船操縱士技術證明書

自由氣球操縱士技術證明書

一　等航空士技術證明書

二　等航空士技術證明書

航空機關士技術證明書

技術證明書ハ第十二號書式ニ依ル

第六十三條　航空発狀ハ左ノ九種トス

一　等飛行機操縱士発狀

二　等飛行機操縱士発狀

稱又ハ地番號ハ當然之ヲ變更シタルモノト看做ス字又ハ其ノ名稱ノ變更アリタルトキ亦同シ

第四十三條　航空機所有者登錄ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ知リタルトキハ其ノ旨ヲ疏明シ登錄及登錄證明書ノ訂正ヲ申請スヘシ

遺信大臣登錄ニ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ知リタルトキハ之ヲ訂正シ其ノ旨ヲ航空機所有者ニ通知ス

第四十一條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ登錄ヲ訂正シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條　登錄證明書ヲ亡失シタルトキハ航空機所有者ハ遅滯ナク事由ヲ具シ其ノ旨遺信大臣ニ届出ツヘシ

第四十五條　登錄證明書ヲ亡失又ハ毀損シタル場合ニ於テハ遺信大臣ニ届出ツヘシ

第四十六條　變更登錄ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テ登錄證明書ノ交付ヲ受ケタルトキハ遅滯ナク舊證明書ヲ返付スヘシ第四十三條第三項ノ規定ニ依リ登錄證明書ノ交付アリタルトキ亦同シ

第四十七條　登錄證明書ヲ返付スヘキ場合ニ於テ之ヲ返付スルコト能ハサルトキハ事由ヲ具シ其ノ旨ヲ遺信大臣ニ届出ツヘシ

第四十八條　航空機所有者登錄證明書ニ記載シタルトキハ其ノ旨ヲ疏明シ登錄證明書ノ訂正ヲ申請スヘシ

遺信大臣前項ノ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ知リタルトキハ其ノ旨ヲ航空機所有者ニ通知ス

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ航空機所有者ハ遅滯ナク登錄證明書ノ訂正ヲ申請スヘシ

第四十九條　登錄證明書亡失ノ届出アリタルトキ又ハ之ヲ返付スヘキ場合ニ於テ返付セサルトキハ遺信大臣ハ當該登錄證明書ノ無效ナルコトヲ官報ニ公告ス

一　等航空船操縱士免狀

二　等航空船操縱士免狀

三　等航空船操縱士免狀

自由氣球操縱士免狀

一　等航空士免狀

二　等航空士免狀

航空機關士免狀

航空免狀ハ第十三號書式ニ依ル

第六十四條　技倆證明書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第十四號書式ニ依ル申請書ニ戸籍抄本（現在ノ氏名ヲ記載シ且最近撮影シタル寫眞ヲ貼附シタルモノニ限ル）又ハ本籍ノ記載アル住民票ノ寫眞ヲ添附シ遺信大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第六十五條　遺信大臣前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ學科試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ技倆證明書ヲ交付ス

第六十六條　技倆證明書ノ受有者ハ第三號表ニ依リ技倆證明書ニ對應スル航空免狀ノ交付ヲ申請スルコトヲ得

第六十七條　前條ノ申請ヲ爲サムトスル者ハ第十六號書式ニ依ル申請書ニ技倆證明書寫及最近撮影シタル寫眞（半身脱帽ニシテ縦三センチメートル横二センチメートル以上四センチメートル以下ノモノニ限ル）二葉ヲ添附シ遺信大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第六十八條　遺信大臣前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ體格檢查ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ航空免狀ヲ交付ス

遺信大臣必要アリト認ムルトキハ前項ノ體格檢查ノ外實地試驗又ハ學科試驗ヲ行フコトアルヘシ

第六十九條　一等飛行機操縱士免狀ノ受有者ハ用途ノ如何ニ拘ラス免狀ニ揭ケル飛行機ノ操縱ニ從事スルコトヲ得

二等飛行機操縱士免狀ノ受有者ハ運送替業ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外免狀ニ揭ケル飛行機ノ操縱ニ從事スルコトヲ得

第七十條　一等航空船操縱士免狀ノ受有者ハ容積ノ如何ニ拘ラス免狀ニ揭ケル航空船ノ操縱ニ從事スルコトヲ得

二等航空船操縱士免狀ノ受有者ハ容積二万立方メートル未滿ニシテ免狀ニ揭ケル航空船ノ操縱ニ從事スルコトヲ得

第七十一條　一等航空船操縱士免狀ノ受有者ハ容積ノ如何ニ拘ラス免狀ニ揭ケル航空船ノ操縱ニ從事スルコトヲ得

二等航空船操縱士免狀ノ受有者ハ容積二万立方メートル未滿ニシテ免狀ニ揭ケル航空船ノ操縱ニ從事スルコトヲ得

第七十二條　航空機關士免狀ノ受有者ハ航空機ノ運轉ニ從事スルコトヲ得

第七十三條　航空士免狀ノ受有者ハ航空機ニ搭乘シ位置及針路ノ測定ニ從事スルコトヲ得

第七十四條　飛行機操縱士免狀ノ受有者ハ飛行距離五百キロメートルヲ超ユル地點間海上飛行及飛行距離五百キロメートルヲ超ユル夜間飛行ヲ行フ飛行機並容積二万立方メートル以上ノ航空船ヲ除クノ外航空機ニ搭乘シ位置及針路ノ測定ニ從事スルコトヲ得

第七十五條　遺信大臣前項ノ申請者ニ對シ航空機操縱士免狀ノ受有者ハ航空船操縱士免狀ノ受有者ハ自由氣球ノ操縱ニ從事スルコトヲ得

第七十六條　航空機操縱士免狀ノ受有者ハ自由氣球操縱士免狀ノ受有者ハ航空機ノ運轉ニ從事スルコトヲ得

第七十七條　航空機操縱士免狀ノ受有者ハ航空機關士免狀ノ受有者ハ航空士免狀ノ受有者ハ航空機ノ運轉ニ從事スルコトヲ得

第七十八條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ遺信大臣ハ航空機乘員ノ就業ヲ制限、停止又ハ禁止スルコトアルヘシ

一　地試驗若ハ學科試驗ノ結果航空機乘員タルノ能力ニ關スル所アリト認ムルトキ

二　定期若ハ臨時ノ發格檢查又ハ臨時ノ實地試驗若ハ學科試驗ノ結果航空機乘員タルノ能力ニ關スル所アリト認ムルトキ

第七十九條　技倆證明書ノ受有者ハ其ノ本籍又ハ氏名ニ變更アリタルトキハ遅滯ナク技倆證明書ノ書換ヲ遺信大臣ニ申請スヘシ

第八十條　航空免狀ノ受有者ハ其ノ本籍、住所又ハ氏名ニ變更アリタルトキハ航空免狀ヲ添ヘ遅滯ナク其ノ旨遺信大臣ニ届出ツヘシ

第八十一條　技倆證明書又ハ航空免狀ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ遅滯ナク其ノ旨遺信大臣ニ届出ツヘシ

第八十二條　技倆證明書又ハ航空免狀ヲ亡失若ハ毀損シタル場合ニ於テ其ノ再交付ヲ受ケムトスルトキハ事由ヲ具シ遺信大臣ニ之ヲ申請スヘシ

第八十三條　航空免狀ノ受有者廢業シタルトキハ遅滯ナク其ノ旨ヲ具シ航空免狀ヲ遺信大臣ニ返付スヘシ

第八十四條　航空免狀ノ受有者死亡シタルトキハ其ノ遺族又ハ當該免狀ノ保管者ハ遅滯ナク其ノ旨ヲ具シ遺信大臣ニ届出テ且航空免狀ヲ返付スヘシ

第八十五條　技倆證明書若ハ航空免狀亡失ノ届出アリタルトキ又ハ航空免狀ヲ返付スヘキ場合ニ於テ返付セサルトキハ遺信大臣ハ當該技倆證明書又ハ航空免狀ノ無效ナルコトヲ官報ニ公告ス

第六章　飛行場

第八十六條　飛行場ヲ設置セムトスル者ハ許可申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ遺信大臣ニ之ヲ提出シ且當該飛行場豫定地ヲ管轄スル地方長官ニ其ノ副本ヲ提出スヘシ

一　設置ノ目的

二　經營者ノ氏名又ハ名稱及住所

三　飛行場豫定地所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

四　飛行場名及所在地名

五　陸上、水上又ハ水陸兩用飛行場ノ別

六　面積及地形

七　實測圖（附近ノ地形ヲ明ニシ縮尺千分ノ一乃至二万五千分ノ一ノ間ニ於テ適當ナル縮尺ヲ以テ作製シ且磁針ノ方位ヲ表示シタルモノニシテ飛行場ノ境界、標柱、電燈其ノ他航空ノ安全ニ關スル施設ヲ明ニシ且飛行場ノ境界ヨリ外方三百メートル以内ノ地域ヲ包含スルモノニ限ル）及附近交通圖

八　恒風位

九　設置期間

十　設置費

十一　設備維持方法

十二　既存設備ノ概要

十三　豫定設備ノ概要

十四　工事著手及竣功豫定期日

十五　工事設計書、仕樣書及圖面

第八十七條　飛行場ノ區域ヲ變更セムトスル者ハ變更事項ヲ具シ許可申請書ヲ遺信大臣ニ提出シ且當該飛行場所在地ヲ管轄スル地方長官ニ其ノ副本ヲ提出スヘシ

第八十八條　飛行場ノ設置アリタルトキハ左ノ事項ヲ告示シ且當該飛行場ノ設置ヲ變更アリタルトキ亦同シ

一　目的

二　經營者ノ氏名又ハ名稱及住所

三　用地所有者ノ氏名又ハ名稱及住所

四　飛行場名及所在地名
五　陸上、水上又ハ水陸兩用飛行場ノ別
六　面積及地形
七　風位
八　設備ノ概要

飛行場廢止セラレタルトキハ其ノ旨告示ス

航空法第二十三條ノ二第一項ノ飛行場豫定地ニ付テハ第一項第二號乃至第四號及第六號ノ事項ヲ告示ス

第八十八條ノ二　遞信大臣航空法第二十三條ノ二第一項ノ規定ニ依リ特別地域ヲ指定シタルトキハ左ノ事項ヲ告示ス告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

一　飛行場名
二　飛行場經營者ノ氏名又ハ名稱及住所
三　特別地域ノ區域

第八十八條ノ三　航空法第二十三條ノ二第二項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ許可申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添附シ遞信大臣ニ之ヲ提出スベシ

一　行爲ノ種類及目的
二　行爲ノ場所
三　物件ノ高サヲ示スベキ設計又ハ計畫ノ概要（工事ニ附帶スル臨時ノ工作物ヲ含ム）
四　行爲地ノ位置及面積ヲ示スベキ略圖
五　設置、定繫又ハ植栽ノ期間

第八十九條　公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ廢止セントスルトキハ飛行場ノ經營者ハ其ノ一月前迄ニ理由ヲ具シタル許可申請書ヲ遞信大臣ニ提出シ且其ノ副本ヲ當該飛行場所在地ヲ管轄スル地方長官ニ提出スベシ公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ公共ノ用ニ供セサル飛行場ニ變更セントスルトキ又ハ公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ公共ノ用ニ供セサル飛行場ニ變更セントスルトキ亦同シ

第九十條　公共ノ用ニ供セサル飛行場ヲ廢止セントスルトキハ飛行場ノ經營者ハ豫メ其ノ旨ヲ遞信大臣及當該飛行場所在地ヲ管轄スル地方長官ニ告示スベシ

第九十一條　前條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル期限内ニ答辯書ノ提出ナキトキ又ハ申請書ヲ受理シタルトキハ地方長官前項ノ申請書ヲ交付シ期限ヲ定メ答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

第九十二條　地方長官航空法第二十四條第二項ノ申請ヲ許可シタルトキハ申請書ヲ交付シ且其ノ旨土地又ハ物件ノ占有者ニ通知スベシ其ノ通知ヲ爲サヌトキハ其ノ旨ヲ公告スベシ

第九十三條　前條ノ規定ニ依リ許可證ノ交付ヲ受ケタル者他人ノ土地ニ立入リ若ハ障礙トナルヘキ物件ヲ除去シ又ハ必要ナル土地若ハ物件ヲ使用セントスルトキハ當該許可證ヲ携帶スベシ

第九十四條　地方長官航空法第二十四條第二項ノ申請ヲ許可シタルトキハ申請書ノ副本ヲ其ノ管轄スル地方長官ニ提出スベシ公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ公共ノ用ニ供セサル飛行場ニ變更セントスルトキ又ハ公共ノ用ニ供セサル飛行場ヲ公共ノ用ニ供スル飛行場ニ變更セントスルトキ亦同シ

第九十五條　前條ノ規定ニ依リ許可證ノ交付ヲ受ケタル者他人ノ土地ニ立入リ若ハ障礙トナルヘキ物件ヲ除去シ又ハ必要ナル土地若ハ物件ヲ使用セントスルトキハ當該許可證ヲ携帶スベシ

第九十六條　航空法第二十五條第二項ノ規定ニ依リ補償金額ノ決定ヲ求メントスル者ハ地方長官ニ提出スベシ

地方長官前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ騖ヲ相手方ニ交付シ期限ヲ定メ答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

第九十七條　前條第二項ノ規定ニ依リ地方長官ノ指定シタル期限内ニ答辯書ノ提出ナキトキ又ハ申請書ヲ受理シタルトキハ地方長官前項ノ申請書ヲ交付シ期限ヲ定メ答辯書ヲ提出セシムルコトヲ得

第九十八條　地方長官航空法第二十四條第二項ノ申請ヲ許可シタルトキハ申請書ノ副本ヲ其ノ管轄スル地方長官ニ提出スベシ公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ廢止セントスルトキハ飛行場ノ經營者ハ豫メ其ノ旨ヲ遞信大臣及當該飛行場所在地ヲ管轄スル地方長官ニ告示スベシ

第九十九條　公共ノ用ニ供スル飛行場ヲ廢止セントスルトキハ飛行場ノ經營者ハ豫メ其ノ旨ヲ遞信大臣及當該飛行場所在地ヲ管轄スル地方長官ニ告示スベシ

第百條　飛行場ニハ別ニ定ムル所ニ依リ風向標示設備及信號設備ヲ爲スベシ

第百一條　公共ノ用ニ供スル飛行場ノ經營者ハ飛行場ノ使用ニ對シ使用料ヲ請求セントスルトキハ其ノ種別及金額ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ之ヲ變更セントスルトキ亦同シ

第百二條　航空法第二十九條但書ニ規定スル行政官廳ハ地方長官トス

第百三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場所ニ於テ故ナク航空機ノ運航ヲ爲スコトヲ得ス

一　太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太子妃、皇太孫、皇太孫妃又ハ攝政ノ御泊所ノ上空

二　天皇、太皇太后、皇太后、皇后、皇太子、皇太子妃、皇太孫、皇太孫妃又ハ攝政ノ歯簿ノ上空

第百四條　皇居、禁苑、離宮、神宮又ハ皇陵ハ空中ヨリ之ヲ撮影スルコトヲ得ス

第百五條　市街地又ハ多衆ノ集合スル場所ノ上空ニ於テ航空機ニ依リ曲技飛行ヲ爲スコトヲ得ス但シ地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第百六條　市街地又ハ多衆ノ集合スル場所ノ上空ニ於テ航空機ニ依リ標示シタル投下物件ヲ投下スルコトヲ得ス

第百七條　競技航空、興行航空又ハ觀覽航空ヲ爲サムトスルトキハ其ノ主催者ハ航空ノ日時場所其ノ他計劃ノ詳細ヲ具シ實施豫定期日ノ十日前迄ニ地方長官ニ其ノ許可ヲ申請スベシ

第百八條　削除

第百九條　航空法第十二條ノ規定ニ依リ試驗航空又ハ同法第十九條ノ規定ニ依リ運航練習ノ爲メ航空機ヲ使用スル者ハ其ノ航空機ニ關スル經歷、離著陸場其ノ他計劃ノ詳細ヲ具シ實施豫定期日ノ十五日前迄ニ遞信大臣ニ申請書ヲ提出スベシ

第百十條　地方長官ハ保安上必要アルトキハ其ノ場所ヲ指定シテ航空ヲ制限又ハ禁止スルコトヲ得

第百十一條　故障、避難其ノ他已ムコトヲ得サル事由ニ因リ陸上ニ在リテハ飛行場ニ非サル場所、水上ニ在リテハ命令ヲ以テ禁止スル場所ニ著陸シタルトキハ操縦者又ハ同乘者ハ其ノ理由ヲ具シ遲滯ナク最寄警察官吏又ハ警察官吏ニ申告スベシ

第百十二條　航空機ハ人ノ生命又ハ財産ニ危險ヲ生スルノ虞アル物件ハ航空機ヨリ之ヲ投下スルコトヲ得ス

第百十三條　競技航空、興行航空又ハ觀覽航空ヲ爲サムトスルトキハ其ノ主催者ハ航空ノ日時場所其ノ他計劃ノ詳細ヲ具シ實施豫定期日ノ十日前迄ニ地方長官ニ其ノ許可ヲ申請スベシ

第百十四條　航空法第十二條ノ規定ニ依リ航空機ノ運航ヲ爲サムトスルトキハ其ノ主催者ハ航空ノ日時場所其ノ他計劃ノ詳細ヲ具シ實施豫定期日ノ十日前迄ニ地方長官ニ其ノ許可ヲ申請スベシ

第百十五條　國際航空條約ニ加盟セサル外國ノ航空機ヲ航空ノ用ニ供セントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ遞信大臣ニ許可申請書ヲ提出

スベシ

一　航空機ノ図錄及標識
二　航空ノ目的
三　航空ノ日時
四　出發地、到著地及經過地
五　航空機所屬國ノ下付シ若ハ有效ト認ムル航空證明書又ハ之ニ代ルヘキ書類ノ寫
六　航空免狀又ハ之ニ代ルヘキ書類ノ寫

第八章　運送

第百十六條　航空機ニ依ル運送業ヲ營マントスル者ハ許可申請書ニ左ノ事項ヲ記載シタル書類及航空線路圖ヲ添附シ遞信大臣ニ之ヲ提出スベシ

一　航空線路（起終點及經由地ヲ記載スルコト）
二　旅客、貨物又ハ郵便物運送ノ別
三　發著日時表
四　使用航空機ノ種類、型式、數及貨客積載量

五　航空機乘員ノ種類及數
六　運賃率
七　本店、支店及出張所ノ所在地
八　航空運送業ニ充ツヘキ資金總額及其ノ出資方法
九　起業費豫算
十　事業開始後三年度間ノ收支豫算
十一　運送ニ關スル規程
十二　事業開始豫定期日
十三　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

運送業ヲ營マントスルトキハ事業開始セムトスル十五日前迄ニ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ツヘシ

第百十七條　航空機ニ依ル運送業ノ許可ヲ受ケタル者事業ヲ開始セムトスルトキハ事業開始セムトスル十五日前迄ニ其ノ旨ヲ遞信大臣ニ届出ツヘシ

第百十八條　航空運送業者ハ其ノ使用セムトスル航空機及乘員ヲ定メ豫メ遞信大臣ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第百十九條　航空運送業者ハ其ノ使用セムトスル航空機ニ乘員ヲ定メ豫メ遞信大臣ノ認可ヲ受クヘシ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第百二十條　航空運送業者ハ航空運送ニ關シ重大ナル事故アリタルトキハ其ノ原因、狀況及處置ヲ具シ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十一條　航空運送業者第百十六條第一號乃至第七號又ハ第十一號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ遞信大臣ノ許可ヲ受クヘシ

第百二十二條　航空運送業者其ノ事業ヲ休止又ハ廢止セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ遲滯ナク之ヲ遞信大臣ニ届出ツヘシ

第百二十三條　航空運送業者ハ遞信大臣ノ許可ヲ受クルニ非サレハ其ノ事業ヲ他人ニ譲渡スコトヲ得ス

第百二十四條　航空運送業者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遞信大臣ハ事業ノ停止ヲ命シ又ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

一　故ナク許可ヲ受ケタル日ヨリ一年以内ニ事業ヲ開始セサルトキ
二　事業ヲ繼續スルニ堪ヘス認ムルトキ
三　公安ヲ害スル虞アリト認ムルトキ
四　本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シタルトキ

第百二十五條　乘員ヲ合セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル飛行機ヲ以テ航空運送業用飛行機ニシテ飛行距離二十五キロメートル超ユル無線電信ノ施設ナクシテモ之ヲ航空ノ用ニ供スルコトヲ得但シ特殊ノ事由アル場合ニ於テ遞信大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第九章　雜則

第百二十六條　航空ノ用ニ供スル航空機ニハ航空日誌ヲ備附クヘシ

前項ノ航空日誌ノ記載ノ要領ハ遞信大臣之ヲ定ム

第百二十七條　航空機乘員ハ航空機乘員手帖ヲ所持シ所定ノ事項ヲ之ニ記入スヘシ

前項ノ手帖ノ書式ハ別ニ之ヲ定ム

第百二十八條　本令ニ規定スル地方長官ノ職務ハ第九十六條乃至第九十八條ノ場合ヲ除クノ外東京府ニ在リテハ警視總監之ヲ行フ

附　則

第百二十九條　本令ハ航空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第百三十條　大正十年陸軍省令第十一號航空機檢査規則及航空機操縦士免許規則ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第百三十一條　從前ノ規定ニ依リ交付シタル搭載證明書ハ本令施行後ニ於テモ其ノ有效期間滿了スル迄仍效力ヲ有ス

第百三十二條　從前ノ規定ニ依リ標示シタル機體、發動機又ハ「プロペラ」ノ檢査濟記號ハ本令施行後ニ於テモ仍其ノ效力ヲ有ス

第百三十三條　從前ノ規定ニ依リ飛行機ノ檢査願ヲ提出シ本令施行ノ際尚其ノ檢査ヲ了セサルモノニ付テハ初度檢査願及特別檢査願ハ之ヲ本令ニ依ル特別檢査申請ト看做シ定期檢査願又ハ臨時檢査願ハ夫々之ヲ本令ニ依ル定期檢査申請又ハ臨時檢査申請ト看做ス

第百三十四條　從前ノ規定ニ依リ交付シタル一等又ハ二等飛行機操縦士免狀ハ本令施行ノ日ヨリ三月間仍其ノ效力ヲ有ス

前項ノ期間ヲ經過シタルトキハ前項ノ免狀ヲ受有スル者ノ遲滯ナク當該免狀ヲ遞信大臣ニ返付スヘシ

第百三十五條　從前ノ規定ニ依リ交付シタル一等又ハ二等飛行機操縦士免狀ヲ受有スル者本令施行ノ日ヨリ二月以内ニ申請ヲ爲ストキハ考查ヲ行ハスシテ其ノ免狀ニ相當スル技倆證明書及航空免狀ヲ交付ス

前項ノ規定ニ依リ技倆證明書及航空免狀ノ交付ヲ受ケタル者ハ前項ノ規定ニ依リ受有スル一等又ハ二等飛行機操縦士免狀ヲ遲滯ナク遞信大臣ニ返付スヘシ

第百三十六條　從前ノ規定ニ依リ交付シタル三等飛行機操縦士免狀ハ本令施行後ニ於テモ當分ノ內仍其ノ效力ヲ有ス

遞信大臣ハ本令第五章ニ定ムル航空免狀ノ外當分ノ內三等飛行機操縦士免狀ヲ交付スルコトアルヘシ

三等飛行機操縦士ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第百三十七條　本令施行前地方長官ノ許可ヲ受ケ設置シタル飛行機ノ離著陸場ニシテ本令施行後存續スルモノニ付テハ其ノ許可期間內仍從前ノ例ニ依ル

第百三十八條　本令施行ノ際現ニ航空運送業ヲ營ム者ハ本令施行後六月以內ニ限リ仍從前ノ例ニ依リ運送業ヲ營ムコトヲ得

第百三十九條　本令施行ノ際現ニ航空運送業ヲ營ム者前條ノ期間ヲ超エテ運送業ヲ營マントスルトキハ本令施行後四月以內ニ本令施行ノ際現ニ航空運送業ヲ營ム者前條ノ期間ヲ超エテ運送業ヲ營マントスルトキハ本令施行後四月以內ニ本令ニ依リ許可ヲ申請スヘシ

第百四十條　本令施行ノ際現ニ遞信大臣ノ命令ニ依リ航空運送業ヲ營ム者ハ前二條ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

第百四十一條　本令施行ノ際現ニ航空運送業ヲ營ム者前條ノ期間內本令ニ依リ運送業ノ許可ヲ受ケタルモノト看做ス

附　則（昭和十二年五月遞令第三十九號）

本令ハ昭和十二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二號書式、第三號書式、第四號書式ノ一、第四號書式ノ二、第四號書式ノ三、第七號書式、第八號書式及第九號書式中備考ヲ削ル

第一號裝

飛行機乘員表

飛行距離	飛行機ノ種類	乘員ノ種類	免狀ノ種類	定員
百六十粁未滿	飛行機ノ種類	操縦士	一等飛行機操縦士	一
百六十粁以上	乘員ヲ併セ十人未滿ノ人員ヲ搭載シ得ル運送營業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一
	乘員ヲ併セ十人以上ノ人員ヲ搭載シ得ル運送營業用飛行機	操縦士	一等飛行機操縦士	一

トーメロキ百五

飛行	下以ルトーメロキ百五 飛行	飛行	上飛行	飛行	上飛行	飛行	上飛行
載乗シ員ヲ得ヲル佐運セ送十呑人裳以川上ノ飛行人ノ搜員ヲ搭	貨物運送呑裳川飛行機	載乗シ員ヲ得ヲル佐運セ送十呑人裳以川上ノ飛行人ノ搜員ヲ搭	貨物運送呑裳川飛行機	載乗シ員ヲ得ヲル佐運セ送十呑人裳以川上ノ飛行人ノ搜員ヲ搭	貨物運送呑裳川飛行機	載乗シ員ヲ得ヲル佐運セ送十呑人裳以川上ノ飛行人ノ搜員ヲ搭	貨物運送呑裳川飛行機
操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ
航一一空等飛行機操縦士ニ	航二二空等飛行機操縦士ニ	航二一空等飛行機操縦士ニ	航二二空等飛行機操縦士ニ	航二一空等飛行機操縦士ニ	航二二空等飛行機操縦士ニ	航二一空等飛行機操縦士ニ	航二二空等飛行機操縦士ニ
操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一

種類	航空船ノ種類	メートル	以上ノ六千立方メートル未満ノ容積ヲ有スル飛行船ハ操縦士ニ
甲種	飛行船	一〇〇	操縦士一
乙種	飛行船	一〇〇以上	操縦士ニ
丙種	飛行船	二〇〇以上	操縦士ニ
丁種	飛行船	三〇〇以上	操縦士ニ
戊種	飛行船	四〇〇以上	操縦士ニ
己種	飛行船	五〇〇以上	操縦士ニ
庚種	飛行船	六〇〇以上	操縦士ニ
辛種	飛行船	七〇〇以上	操縦士ニ
壬種	飛行船	八〇〇以上	操縦士ニ
癸種	飛行船	九〇〇以上	操縦士ニ
子種	飛行船	一〇〇〇以上	操縦士ニ
丑種	飛行船	一一〇〇以上	操縦士ニ
寅種	飛行船	一二〇〇以上	操縦士ニ
卯種	飛行船	一三〇〇以上	操縦士ニ
辰種	飛行船	一四〇〇以上	操縦士ニ
巳種	飛行船	一五〇〇以上	操縦士ニ
午種	飛行船	一六〇〇以上	操縦士ニ
未種	飛行船	一七〇〇以上	操縦士ニ
申種	飛行船	一八〇〇以上	操縦士ニ
酉種	飛行船	一九〇〇以上	操縦士ニ
戌種	飛行船	二〇〇〇以上	操縦士ニ
亥種	飛行船	二一〇〇以上	操縦士ニ

第二號表

航空船ノ種類表

種類	航空船ノ種類
甲種	飛行船
乙種	飛行船
丙種	飛行船
丁種	飛行船
戊種	飛行船
己種	飛行船
庚種	飛行船
辛種	飛行船
壬種	飛行船
癸種	飛行船
子種	飛行船
丑種	飛行船
寅種	飛行船
卯種	飛行船
辰種	飛行船
巳種	飛行船
午種	飛行船
未種	飛行船
申種	飛行船
酉種	飛行船
戌種	飛行船
亥種	飛行船

備考

ノモールニ超ヲル

飛行	夜間	上飛行
載乗シ員ヲ得ヲル佐運セ送十呑人裳以川上ノ飛行人ノ搜員ヲ搭	貨物運送呑裳川飛行機	載乗シ員ヲ得ヲル佐運セ送十呑人裳以川上ノ飛行人ノ搜員ヲ搭
操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ
航一一空等飛行機操縦士ニ	航二二空等飛行機操縦士ニ	航二一空等飛行機操縦士ニ
操縦士ニ	操縦士ニ	操縦士ニ
一一	一一	一一

第三號表

以上ノ六千立方メートル未満ノ容積ヲ有スル飛行船ハ操縦士ニ	以上ノ一萬立方メートル未満ノ容積ヲ有スル飛行船ハ操縦士ニ
操縦士ニ	操縦士ニ
航一二空等飛行機操縦士ニ	航二三空等飛行機操縦士ニ
操縦士ニ	操縦士ニ
一一	一一

第一號書式

航空機製造検査申請書

一　航空機ノ種類及型式

二　航空機ノ名称及用途

三　自重及最大搭載量

四　発動機ノ種類及型式

五　発動機ノ馬力及数

六　主要寸法

七　翼面積

八　速度

九　上昇限度

十　滑空比

十一　旋回性

十二　安定性

十三　操縦性

十四　離着陸滑走距離

十五　航続時間又ハ航続距離

十六　搭載燃料ノ容積及種類

十七　搭載油ノ容積及種類

十八　搭載スヘキ無線電信電話ノ種類及其ノ主要目

十九　搭載スヘキ写真機ノ種類及其ノ主要目

二十　搭載スヘキ爆弾ノ種類及其ノ主要目

二十一　搭載スヘキ機関銃ノ種類及其ノ主要目

二十二　搭載スヘキ写真銃ノ種類及其ノ主要目

二十三　搭載スヘキ爆弾投下器ノ種類及其ノ主要目

二十四　搭載スヘキ機関銃用銃架ノ種類及其ノ主要目

二十五　搭載スヘキ写真銃用銃架ノ種類及其ノ主要目

二十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

四十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

五十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

六十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

七十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

八十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

九十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百二十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百三十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百四十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百五十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百六十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百七十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百八十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

百九十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百二十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百三十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百四十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百五十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百六十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百七十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百八十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

二百九十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百二十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百三十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百四十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百五十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十二　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十三　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十四　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十五　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十六　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十七　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十八　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百六十九　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百七十　搭載スヘキ爆弾投下器用銃架ノ種類及其ノ主要目

三百七十一　搭載スヘキ爆弾投下器用銃

検査ヲ受ケムトスル場所及時期

年　月　日

住所

氏名　印

遞信大臣宛

記

一　登錄證明書番號（未登錄ノ航空機ニ在リテハ登錄申請中ナル旨）

二　登錄記號

三　航空機ノ種類及型式

四　前回檢査後ニ於ケル航空時間及主要航空記錄

五　臨時檢査ヲ受クルニ付修繕又ハ改造ヲ爲シタルトキハ其ノ仕様概要

第四號書式ノ二

發動機臨時檢査申請書

左記發動機ノ臨時檢査相受度候ニ付此段申請候也

檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

年　月　日

住所

氏名　印

遞信大臣宛

記

一　裝備航空機ノ種類及型式（檢査濟記號ヲ有スルモノハ其ノ記號ヲ附スルコト）

二　發動機檢査濟記號（檢査濟記號ヲ有スルモノハ其ノ記號ヲ附スルコト）

三　發動機ノ製造者、製造番號、型式及馬力

四　前回檢査後ニ於ケル使用時間

五　臨時檢査ヲ受クルニ付修繕又ハ改造ヲ爲シタルトキハ其ノ仕様概要

第四號書式ノ三

航空機用「プロペラ」臨時檢査申請書

左記航空機用「プロペラ」ノ臨時檢査相受度候ニ付此段申請候也

檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

年　月　日

住所

氏名　印

遞信大臣宛

記

一　航空機ノ種類及型式

二　堪航證明書番號

三　裝備發動機ノ型式及馬力

四　「プロペラ」軸ノ回轉數

五　「プロペラ」ノ型式

六　「プロペラ」ノ翅數

七　「ピッチ」

第五號書式

堪航證明書

150ミリメートル

100ミリメートル

航空機ノ種類及型式	
堪航證明書番號	第　號
國籍及登錄記號	
機體檢査濟記號	
發動機ノ型式及馬力	
用途	
積載	座席數　乘員　人　旅客　人
	貨物　瓩
	油類　瓩
有效期間	自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日
所有者氏名	
制限事項	

遞信省印

第六號書式ノ一（機體檢査濟記號）

1234

7ミリメートル　5ミリメートル

第六號書式ノ二（發動機檢査濟記號）

123

3ミリメートル　3ミリメートル

第六號書式ノ三（「プロペラ」檢査濟記號）

合検

5ミリメートル　5ミリメートル

第七號書式

航空機新規登錄申請書

航空機製造（何國ヨリ輸入等）致候ニ付左記事項航空機原簿ニ新規登錄相成度戸籍抄本（及登記謄本）相添へ此段申請候也

年　月　日

住所

氏名　印

遞信大臣宛

記

一　航空機ノ種類

二　堪航證明書番號

三　機體
　製造者
　製造番號
　型式

四　發動機
　製造者
　製造番號
　型式

第十一號樣式

150ミリメートル

航空機ノ種類	登録番号	登録年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

100ミリメートル

第十二號樣式ノ一

航空機登録証明書

航空機ノ種類	登録番号	登録年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

右航空機登録証明書ノ記載事項ニ変更ヲ生ジタルニ因リ航空機登録令第十二條ノ規定ニ依リ申請ス

昭和　年　月　日

住所
氏名　印

逓信大臣　殿

第十二號樣式ノ二

航空機登録証明書

航空機ノ種類	登録番号	登録年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

右航空機登録証明書ノ記載事項ニ変更ヲ生ジタルニ因リ航空機登録令第十二條ノ規定ニ依リ申請ス

昭和　年　月　日

住所
氏名　印

逓信大臣　殿

第十八條　交通　電氣附屬工事　第二章　運輸　第十二款　航空

第十二號樣式ノ一

航空機飛行機操縦士技能証明書

航空機ノ種類	登録番号	登録年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

右航空機飛行機操縦士技能証明書ノ記載事項ニ変更ヲ生ジタルニ因リ航空法施行規則第百十條ノ規定ニ依リ申請ス

昭和　年　月　日

住所
氏名　印

逓信大臣　殿

第十二號樣式ノ二

航空機飛行機操縦士技能証明書

航空機ノ種類	登録番号	登録年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

右航空機飛行機操縦士技能証明書ノ記載事項ニ変更ヲ生ジタルニ因リ航空法施行規則第百十條ノ規定ニ依リ申請ス

昭和　年　月　日

住所
氏名　印

逓信大臣　殿

第十八條　交通　電氣附屬工事　第二章　運輸　第十二款　航空

第十號樣式

航空機ノ種類

型式	番號	製造者	製造年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	備考

航空機登録原簿

登録年月日	登録番号	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機ノ種類	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
昭和　年　月　日	第　號									

航空機ノ登録番號

番號	登録年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機ノ種類	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
第　號	昭和　年　月　日									

航空機ノ國籍記號

記號	登録年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機ノ種類	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
J—	昭和　年　月　日									

航空機ノ型式

型式	航空機ノ種類	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ製造者

製造者	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ製造番號

製造番號	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ製造年月日

製造年月日	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ所有者

所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ所有者ノ住所

住所	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ定置場

定置場	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ堆航證明書有效期間

堆航證明書有效期間	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日							

航空機ノ堆航證明書番號

番號	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
第　號							

航空機ノ堆航證明書

堆航證明書	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日							

航空機ノ堆航證明書ノ記載事項ニ変更ヲ生ジタルニ因リ航空機登録令第十二條ノ規定ニ依リ申請ス

昭和　年　月　日

住所
氏名　印

逓信大臣　殿

第十號樣式

航空機ノ種類

型式	番號	製造者	製造年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	備考

航空機登録原簿

登録年月日	登録番号	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機ノ種類	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
昭和　年　月　日	第　號									

航空機ノ登録番號

番號	登録年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機ノ種類	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
第　號	昭和　年　月　日									

航空機ノ國籍記號

記號	登録年月日	所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機ノ種類	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
J—	昭和　年　月　日									

航空機ノ型式

型式	航空機ノ種類	航空機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ製造者

製造者	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ製造番號

製造番號	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ製造年月日

製造年月日	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ所有者

所有者ノ氏名又ハ名称及住所	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ所有者ノ住所

住所	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ定置場

定置場	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考

航空機ノ堆航證明書有效期間

堆航證明書有效期間	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日							

航空機ノ堆航證明書番號

番號	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
第　號							

航空機ノ堆航證明書

堆航證明書	航空機ノ種類	航空機ノ型式	発動機ノ種類及型式	発動機製造者ノ氏名又ハ名称及工場	発動機ノ製造番号	発動機ノ製造年月日	備考
自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日							

航空機ノ堆航證明書ノ記載事項ニ変更ヲ生ジタルニ因リ航空機登録令第十二條ノ規定ニ依リ申請ス

昭和　年　月　日

住所
氏名　印

逓信大臣　殿

第十二號様式ノ三

受	
験	貫

航空機乗組員身体検査証明書

番号	第　　号
氏名	
生年月日	年　月　日生
本籍	
住所	
身体検査ノ結果	別紙ノ通リ
有効期間	年　月　日ヨリ　年　月　日マデ
航空身体検査証明書ノ種類	第一種
航空機乗組員ノ種類	操縦士
制限又ハ条件	

年　月　日

航空局長　印

第十二號様式ノ三

航空機乗組員身体検査証明書ノ裏面ニ記載スル事項

年月日	検査ノ種類	検査ノ結果	検査ヲ行ヒタル者ノ氏名

第十二號様式ノ四

航空機乗組員身体検査証明書ノ再交付申請書

航空機乗組員身体検査証明書ヲ滅失シ又ハ汚損シタルニ因リ再交付ヲ受ケタキニ付キ航空法施行規則第百十二条ノ規定ニ依リ左記ノ通リ申請ス

年　月　日

住所　　氏名　　印

記

一　滅失又ハ汚損ノ事由

二　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ番号

三　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ年月日

四　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ際ノ検査ノ結果

五　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ際ノ制限又ハ条件

六　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ際ノ航空機乗組員ノ種類

七　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ際ノ有効期間

第十二號様式ノ五

航空機乗組員身体検査証明書ノ再交付ヲ受ケタル者ノ航空身体検査ノ結果

受	
験	貫

航空機乗組員身体検査証明書

番号	第　　号
氏名	
生年月日	年　月　日生
本籍	
住所	
身体検査ノ結果	別紙ノ通リ
有効期間	年　月　日ヨリ　年　月　日マデ
航空身体検査証明書ノ種類	第一種
航空機乗組員ノ種類	操縦士
制限又ハ条件	

年　月　日

航空局長　印

第十二號様式ノ五

航空機乗組員身体検査証明書ノ裏面ニ記載スル事項

年月日	検査ノ種類	検査ノ結果	検査ヲ行ヒタル者ノ氏名

第十二號様式ノ六

航空機乗組員身体検査証明書ノ再交付申請書

航空機乗組員身体検査証明書ヲ滅失シ又ハ汚損シタルニ因リ再交付ヲ受ケタキニ付キ航空法施行規則第百十二条ノ規定ニ依リ左記ノ通リ申請ス

年　月　日

住所　　氏名　　印

記

一　滅失又ハ汚損ノ事由

二　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ番号

三　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ年月日

四　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ際ノ検査ノ結果

五　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ際ノ制限又ハ条件

六　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ際ノ航空機乗組員ノ種類

七　滅失又ハ汚損シタル航空機乗組員身体検査証明書ノ交付ノ際ノ有効期間

航空法施行ニ關スル件ノ通牒

●航空法施行ニ關スル件

第一條　航空法ノ施行ニ關スル件ハ昭和二十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

本令ハ昭和二十六年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和二六年一〇月一日航令四〇）

本令ハ昭和二十六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

航空法施行ニ關スル件ノ通牒

●航空法施行ニ關スル件

第一條　航空法ノ施行ニ關スル件ハ昭和二十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

本令ハ昭和二十六年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和二六年一〇月一日航令四〇）

本令ハ昭和二十六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

航空法施行ニ關スル件ノ通牒

●航空法施行ニ關スル件

第一條　航空法ノ施行ニ關スル件ハ昭和二十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

本令ハ昭和二十六年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和二六年一〇月一日航令四〇）

本令ハ昭和二十六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

航空法施行ニ關スル件ノ通牒

●航空法施行ニ關スル件

第一條　航空法ノ施行ニ關スル件ハ昭和二十六年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

附　則

本令ハ昭和二十六年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス

附　則（昭和二六年一〇月一日航令四〇）

本令ハ昭和二十六年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

第六條　本令第四條ノ許可申請ニ對シ許可ヲ與ヘタルトキハ許可證ヲ交付ス

許可證ハ行爲ヲ爲ス者必ス携帶シ何時ニテモ檢閱官吏ノ閲覽ニ供スベシ

第七條　航空法第二十六條第二項ノ規定ニ依リ同法第二十五條第二項ニ規定スル補償金額ノ決定ヲ求メントスル者ハ相手方トノ交渉經末ヲ記載シタル申請書ヲ陸軍大臣ニ提出スベシ

陸軍大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ寫ヲ相手方ニ交付シ期限ヲ定メ答辯書ヲ提出セシム

第八條　前條第三項ノ規定ニ依リ指定シタル期限内ニ答辯書ノ提出ナキトキ又ハ申請書寫ノ交付ヲ爲スコト能ハザルトキハ陸軍大臣ハ申請書ノミニ依リ補償金額ヲ決定スルコトヲ得

第九條　陸軍大臣補償金額ヲ決定ヲ爲シタルトキハ決定書ニ理由ヲ附シ之ヲ申請者及相手方ニ交付ス

第十條　航空法第二十六條ノ規定ニ依リ同法第二十五條第二項ノ規定ニ依リ陸軍ノ用ニ供スル飛行場又ハ公示セラレタル飛行場豫定地ニ付特別地域ヲ指定シタルトキハ左ノ事項ヲ告示スル告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ

一　飛行場ノ名稱

二　飛行場（飛行場豫定地）ノ所在

三　飛行場（飛行場豫定地）ノ境界

四　特別地域ノ區域

五　飛行場（飛行場豫定地）ヲ管理スル鎭守府又ハ要港部

第三條　軍事上必要アルトキハ前二條ニ規定スル告示ニ代ヘ現地ニ於テ之ヲ標示スルトキハ前項ノ場合ニ於テ前二條ニ規定スル告示事項ニ關シ其ノ詳細ヲ知ラントスル者ハ海軍省又ハ飛行場（飛行場豫定地）ヲ管理スル鎭守府若ハ要港部ニ照會スベシ

第四條　海軍ノ用ニ供スル飛行場（飛行場豫定地）ニ付指定シタル特別危險區域内ニ於テ航空法第二十三條ノ二第二項及同法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該飛行場（飛行場豫定地）ヲ管理スル鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ヲ經由シ海軍大臣ニ提出スベシ

一　申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ事務所ノ所在地

二　申請事項及目的

三　工作物、船舶、竹木其ノ他ノ物件ヲ設置、定繫又ハ積載セントスル期間、位置及面積ヲ示ス圖面竝ニ物件（臨時ノ物件ヲ含ム）ノ高サヲ示スベキ設計又ハ計畫ノ概要

第五條　鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ハ其ノ管理スル飛行場（飛行場豫定地）ノ特別地域内ニ於テ航空法第二十六條第一項及同法第二十三條ノ二ノ規定ニ依リ物件ノ除去其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルノ要アリト認メタルトキハ事由ヲ具シ海軍大臣ノ認許ヲ經テ之ヲ行フベシ

第六條　航空法第二十五條第二項ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ求メントスル者ハ事由ヲ具シ之ヲ飛行場（飛行場豫定地）ヲ管理スル鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ニ申請スベシ

陸軍大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ寫ヲ相手方ニ交付シ期限ヲ定メ答辯書ヲ提出セシム

第八條　前條第三項ノ規定ニ依リ指定シタル期限内ニ答辯書ノ提出ナキトキ又ハ申請書寫ノ交付ヲ爲スコト能ハザルトキハ陸軍大臣ハ申請書ノミニ依リ補償金額ヲ決定スル

第九條　陸軍大臣補償金額ヲ決定ヲ爲シタルトキハ決定書ニ理由ヲ附シ鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ヲ經テ之ヲ申請者ニ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●航空法施行ニ關スル件

昭和十二年六月
海令第十二號

航空法施行ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　海軍大臣海軍ノ用ニ供スル飛行場豫定地ヲ設定シタルトキハ左ノ事項ヲ告示スル告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ

一　飛行場ノ名稱

二　飛行場（飛行場豫定地）ノ所在

三　飛行場（飛行場豫定地）ノ境界

四　飛行場豫定地ヲ管理スル鎭守府又ハ要港部

第二條　航空法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ陸軍ノ用ニ供スル飛行場又ハ公示セラレタル飛行場豫定地ニ付特別地域ヲ指定シタルトキハ左ノ事項ヲ告示ス告示シタル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ

一　飛行場ノ名稱

二　飛行場（飛行場豫定地）ノ所在

三　飛行場（飛行場豫定地）ノ境界

四　特別地域ノ區域

五　飛行場（飛行場豫定地）ヲ管理スル鎭守府又ハ要港部

第三條　軍事上必要アルトキハ前二條ニ規定スル告示ニ代ヘ現地ニ於テ之ヲ標示スルトキハ前項ノ場合ニ於テ前二條ニ規定スル告示事項ニ關シ其ノ詳細ヲ知ラントスル者ハ海軍省又ハ飛行場（飛行場豫定地）ヲ管理スル鎭守府若ハ要港部ニ照會スベシ

第四條　海軍ノ用ニ供スル飛行場（飛行場豫定地）ニ付指定シタル特別危險區域内ニ於テ航空法第二十三條ノ二第二項及同法第二十六條第一項ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ當該飛行場（飛行場豫定地）ヲ管理スル鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ヲ經由シ海軍大臣ニ提出スベシ

一　申請者ノ氏名又ハ名稱及住所又ハ事務所ノ所在地

二　申請事項及目的

三　工作物、船舶、竹木其ノ他ノ物件ヲ設置、定繫又ハ積載セントスル期間、位置及面積ヲ示ス圖面竝ニ物件（臨時ノ物件ヲ含ム）ノ高サヲ示スベキ設計又ハ計畫ノ概要

第五條　鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ハ其ノ管理スル飛行場（飛行場豫定地）ノ特別地域内ニ於テ航空法第二十六條第一項及同法第二十三條ノ二ノ規定ニ依リ物件ノ除去其ノ他必要ナル措置ヲ命ズルノ要アリト認メタルトキハ事由ヲ具シ海軍大臣ノ認許ヲ經テ之ヲ行フベシ

第六條　航空法第二十五條第二項ノ規定ニ依リ損害ノ補償ヲ求メントスル者ハ事由ヲ具シ之ヲ飛行場（飛行場豫定地）ヲ管理スル鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ニ申請スベシ

陸軍大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ其ノ寫ヲ相手方ニ交付シ期限ヲ定メ答辯書ヲ提出セシム

第八條　前條第三項ノ規定ニ依リ指定シタル期限内ニ答辯書ノ提出ナキトキ又ハ申請書寫ノ交付ヲ爲スコト能ハザルトキハ陸軍大臣ハ申請書ノミニ依リ補償金額ヲ決定スル

第九條　陸軍大臣補償金額ヲ決定ヲ爲シタルトキハ決定書ニ理由ヲ附シ鎭守府司令長官又ハ要港部司令官ヲ經テ之ヲ申請者及相手方ニ交付ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●航空機檢査規則

昭和二年五月
遞令第九號
改正　昭和十二年五月第四一號

航空法特例左ノ通定ム

航空機檢査規則左ノ通定ム

航空機檢査規則

目　次

第一編　總則

第二編　飛行機ノ製造檢査

第一章　機體ノ製造檢査

第一節　機體ノ製造檢査ニ於テハ機體、發動機、「プロペラ」ノ回轉數ト同一ノ回轉數ニ依リ生スル力ヲ用フヘシ

第十五條　機體ノ設計ニ於テハ標準溫度及標準氣壓ヲ用フヘシ

第十六條　主翼ノ各部ノ强度ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ計算シ其ノ何レノ場合ニ於テモ充分ナル强度ヲ有スル樣設計セラルルコトヲ要ス

一　風壓ノ中心カ主翼ノ最前部ニ作用スル場合

此ノ場合ニ於テハ左表ニ揭クル荷重係數ヲ用ヒ主翼各部ノ强度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數
飛行機ノ全備重量千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量千キログラム以上五千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量五千キログラム以上ノ場合
第一種飛行機	五、二五	五、二五乃至三、七五	三、七五
第二種飛行機	三、七五	三、七五乃至三、〇〇	三、〇〇
第三種飛行機	六、七五	六、七五乃至五、二五	五、二五

二　風壓ノ中心カ主翼ノ中部ニ作用スル場合

此ノ場合ニ於テハ左表ニ揭クル荷重係數ヲ用ヒ主翼各部ノ强度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數
飛行機ノ全備重量千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量千キログラム以上五千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量五千キログラム以上ノ場合
第一種飛行機	五、二五	五、二五乃至三、七五	三、七五
第二種飛行機	三、七五	三、七五乃至三、〇〇	三、〇〇
第三種飛行機	六、七五	六、七五乃至五、二五	五、二五

三　風壓ノ中心カ主翼ノ中部ニ作用スル場合

此ノ場合ニ於テハ左表ニ揭クル荷重係數ヲ用ヒ主翼各部ノ强度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數
第一種飛行機	一、五

第七款　降着裝置

第二章　發動機ノ製造檢査

第一節　發動機ノ設計、材料、部分品、技功及製品ノ檢査

第二節　發動機ノ標準品ノ檢査

第一款　通則

第二款　主翼

第三款　胴體、發動機架及尾翼

第四款　操縱裝置

第五款　降着裝置

第二章　發動機ノ製造檢査

第一節　發動機ノ設計、材料、部分品、技功及製品ノ檢査

第二節　發動機ノ標準品ノ檢査

第一款　通則

第二款　主要運轉檢査

第三款　分解檢査

第四款　補助運轉檢査

第三章　「プロペラ」ノ製造檢査

第一節　「プロペラ」ノ設計、材料、部分品、技功及製品ノ檢査

第二節　「プロペラ」ノ標準品ノ檢査

第四章　附屬品ノ製造檢査

第一節　附屬品ノ設計、材料、部分品及技功ノ檢査

第二節　附屬品ノ製品ノ檢査

第一款　高度計

第二款　速度計

第三款　羅針盤

第四款　壓力計

第五款　水溫計

第六款　時計

第七款　回轉計

第八款　傾斜計

第九款　燃料裝置

第十款　氣化器

第十一款　潤滑油裝置

第十二款　冷却水裝置

第十三款　消火裝置

第十四款　始動裝置

第十五款　燈火裝置

第十六款　落下傘

第十七款　救命胴衣

第三編　飛行機ノ特別檢査、定期檢査及臨時檢査

第一章　飛行機ノ特別檢査

第二章　飛行機ノ定期檢査及臨時檢査

第一款　通則

第二款　主翼

第三款　胴體、發動機架及尾翼

第四款　操縱裝置

第五款　降着裝置

第二章　發動機ノ製造檢査

第一節　發動機ノ設計、材料、部分品、技功及製品ノ檢査

第二節　發動機ノ標準品ノ檢査

第一款　通則

第二款　主要運轉檢査

第三款　分解檢査

第四款　補助運轉檢査

第三章　「プロペラ」ノ製造檢査

第一節　「プロペラ」ノ設計、材料、部分品、技功及製品ノ檢査

第二節　「プロペラ」ノ標準品ノ檢査

第四章　附屬品ノ製造檢査

第一節　附屬品ノ設計、材料、部分品及技功ノ檢査

第二節　附屬品ノ製品ノ檢査

第一款　高度計

第二款　速度計

第三款　羅針盤

第四款　壓力計

第五款　水溫計

第六款　時計

第七款　回轉計

第八款　傾斜計

第九款　燃料裝置

第十款　氣化器

第十一款　潤滑油裝置

第十二款　冷却水裝置

第十三款　消火裝置

第十四款　始動裝置

第十五款　燈火裝置

第十六款　落下傘

第十七款　救命胴衣

第三編　飛行機ノ特別檢査、定期檢査及臨時檢査

第一章　飛行機ノ特別檢査

第二章　飛行機ノ定期檢査及臨時檢査

第一節　飛行機ノ種別

飛行機ノ種別	荷重係數
飛行機ノ全備重量千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量千キログラム以上五千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量五千キログラム以上ノ場合
第一種飛行機	五、二五	五、二五乃至三、七五	三、七五
第二種飛行機	三、七五	三、七五乃至三、〇〇	三、〇〇
第三種飛行機	六、七五	六、七五乃至五、二五	五、二五

該飛行機ノ設計書ニ揭クル燃料、潤滑油、冷却水、乘員、貨物及裝備品ヲ滿載シタル場合ニ於ケル飛行機ノ重量ヲ謂フ

第十一條　削除

第二編　飛行機ノ製造檢査

第一章　機體ノ製造檢査

第一節　機體ノ設計ノ檢査

第十二條　機體ノ設計ノ檢査ハ檢査申請者ノ提出シタル設計書及設計圖面ニ依リ之ヲ行フ

前項ノ場合ニ於テ檢査官吏必要アリト認ムルトキハ檢査申請ヲシテ當該設計ニ依ル飛行機ノ模型ノ風洞試驗成績書ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第十三條　機體ハ其ノ各部カ飛行中及地上操作中ニ作用セラルルヘキ最大ノ力ニ堪ヘ得ル樣設計セラルルコトヲ要ス

第十四條　「プロペラ」ノ回轉ニ依リ機體ノ各部ニ作用スル力ハ飛行機ノ速力計算ニ付用フル「プロペラ」ノ回轉數ト同一ノ回轉數ニ依リ生スル力ヲ用フヘシ

第十五條　機體ノ設計ニ於テハ標準溫度及標準氣壓ヲ用フヘシ

第十六條　主翼ノ各部ノ强度ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ計算シ其ノ何レノ場合ニ於テモ充分ナル强度ヲ有スル樣設計セラルルコトヲ要ス

一　風壓ノ中心カ主翼ノ最前部ニ作用スル場合

此ノ場合ニ於テハ左表ニ揭クル荷重係數ヲ用ヒ主翼各部ノ强度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數
飛行機ノ全備重量千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量千キログラム以上五千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量五千キログラム以上ノ場合
第一種飛行機	七	七乃至五	五
第二種飛行機	五	五乃至四	四
第三種飛行機	九	九乃至七	七

二　風壓ノ中心カ主翼ノ中部ニ作用スル場合

此ノ場合ニ於テハ左表ニ揭クル荷重係數ヲ用ヒ主翼各部ノ强度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數
飛行機ノ全備重量千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量千キログラム以上五千キログラム未滿ノ場合	飛行機ノ全備重量五千キログラム以上ノ場合
第一種飛行機	五、二五	五、二五乃至三、七五	三、七五
第二種飛行機	三、七五	三、七五乃至三、〇〇	三、〇〇
第三種飛行機	六、七五	六、七五乃至五、二五	五、二五

三　風壓ノ中心カ主翼ノ最後部ニ作用スル場合

此ノ場合ニ於テハ左表ニ揭クル荷重係數ヲ用ヒ主翼各部ノ强度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數
第一種飛行機	一、五

第二種飛行機	一、二
第三種飛行機	二、五

四　不良ナル著陸ヲ爲ス場合（飛行機カホボ靜止ノ狀態ニ於テ地面ニ接スル場合ニ於ケルガ如キ狀態ヲ以テ著陸ト稱スル場合ヲ含ム）ニ於テハ主翼ノ各部及主翼ニ附屬スル各部ノ重量ニ左ノ荷重係數ヲ乘シ主翼各部ノ强度ヲ計算スヘシ

飛行機ノ種別	荷重係數
第一種飛行機	六、〇
第二種飛行機	四、五
第三種飛行機	六、〇

前項ノ規定ニ依リ主翼ノ各部ノ强度ヲ計算スル場合ニ於テハ「プロペラ」ノ回轉ニ依リ生スル力ハ之ヲ加算セサルモノトス

第十七條　「プロペラ」ノ回轉ニ依リ主翼ノ各部ニ作用スル力ヲ計算スルニハ當該各部ニ對スル前條各號ニ規定スル荷重係數ヲ用フヘシ但シ其ノ荷重係數カ二、五以上ナルトキハ二、五ヲ用フヘシ

第十八條　主翼ノ各部ノ强度ハ第十六條各號ノ場合ニ於テ主翼ノ各部ニ作用スル力ト「プロペラ」ノ回轉ニ依リ主翼ノ各部ニ作用スル力トノ合計カノ之ニ作用スルモノトシテ計算スヘシ

第十九條　主翼ハ前條ニ規定スル强度ヲ有スルノ外左ノ各號ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　第十六條第一號及第二號ノ場合ニ於テ當該荷重係數ノ二分ノ一ヲ附加シ且張線又ハ緊付金具ノ一部ヲ切斷スルモ主翼ノ各部ノ破壞セサル樣設計セラルルコト

二　飛行機カ自力ニ依リ地上ヲ移動スル場合又ハ飛行機ヲ地上ニ靜止セシメタル儘裝備竝發動機ノ一箇、數箇若ハ全部ヲ最大馬力ヲ以テ運轉セシメタル場合ニ於テ主翼ノ各部ニ作用スル力ニ、五ヲ乘シタル力ヲ主翼ノ各部ニ作用スルモノトシテ設計セラルルコト

第二十條　垂直尾翼ノ翼面ニ作用スル力Q_tトハ第一種飛行機及第二種飛行機ニ付テハ左ノ第一式ニ依リ、第三種飛行機ニ付テハ左ノ第二式ニ依リ之ヲ計算スヘシ

第一式　$V=Q_t$

第二式　$V=\frac{4}{3}Q_t$

Vハ km/h ヲ單位トスル最大速力

Q_tハ kg/m² ヲ單位トスル最大速力ニ於ケル垂直尾翼ノ翼面ニ作用スル力ニシテ計算スヘシ

第二十一條　降著裝置ニ作用スル力ハ著陸ニ際シ飛行機ノ全衝重量カ一方ノ降著裝置ニ掛ルモノトシ且左ノ各號ノ力ノ中第一號及第二號ニ揭ケル力カ同時ニ又ハ第一號及第三號ニ揭ケル力カ同時ニ降著裝置ニ作用スルモノトシテ之ヲ計算スヘシ

一　車輪軸承又ハ之ニ相等スル部分ノ中心ニ下方ヨリ垂直ニ働ク力（荷重係數ノ項ニ於テ定ムル）

二　車輪軸承ノ中心又ハ之ニ相等スル部分ノ中心ヨリ前方ヨリ水平ニ働ク力（荷重係數ノ項ニ於テ定ムル）

三　車輪ノ中心又ハ之ニ相等スル部分ノ中心ヨリ地面又ハ水面ト接觸スヘキ點ヲ連ヌル直線ノ中央部ニ外側ヨリ働ク力（荷重係數ノ項ニ於テ定ムル）

以下ナルトキハ之ヲ七〇 kg/m² ノシテ計算スヘシ

第二十二條　旅客室ノ面積ハ其ノ室ノ下面ノ前中後三箇所ノ幅ヲ測リ前後ノ幅ニ中央ノ幅ノ四倍ヲ加ヘ之ヲ六ニテ除シ平均ノ幅トシ之ニ長ヲ乘シタルモノトス

第二十三條　旅客室ノ容積ハ其ノ室ノ前中後三箇所ニ於テ上中下ノ幅ヲ測リ前後上下ノ幅ニ前後ノ中幅及中央上下ノ幅各四倍ト中央ノ中幅十六倍トヲ加ヘ之ヲ三十六ニテ除シ平均ノ幅トシ之ニ長ヲ乘シ總面積トシ之ヨリ其ノ室內ニ於ケル蔽圍シタル場所ノ平均ノ幅ニ長ヲ乘シタルモノヲ減シ其ノ殘リノ面積ニ平均ノ高ヲ乘シタルモノトス

第二十四條　旅客室ノ高ハ一、六メートル以上ナルコトヲ要ス

第二十五條　旅客室ニ於ケル旅客定員一人當リ面積ハ〇、六七五平方メートル以上ナルコトヲ要ス

第二十六條　旅客室ニ於ケル旅客定員一人當リ容積ハ一、〇八立方メートル以上ナルコトヲ要ス

第二十七條　旅客室ニ於ケル座席ノ幅及長ハ一人當リ各五〇〇ミリメートル以上ナルコトヲ要ス

第二十八條　旅客室ノ高、旅客定員一人當リノ面容積竝座席ノ幅及長ハ航空路ノ狀況、飛行繼續時間其ノ他ノ事由ニ因リ檢査官吏差支ナシト認ムルトキハ前四條ノ規定ニ拘ラス之ヲ減スルコトヲ得

第二十九條　乘員室ノ面容積ノ測定ニ付テハ第二十二條及第二十三條ノ規定ヲ準用ス

乘員室ニ於ケル乘員定員一人當リノ面容積竝座席ノ幅及長ニ付テハ前四條ノ規定ヲ準用ス

第三十條　旅客室及乘員室ニハ採光及通風ノ爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第三十一條　貨物室ニハ貨物ノ移動ヲ防ク爲相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第二節　機體ノ材料ノ檢查

第三十二條　機體ノ材料ノ檢查ハ左ノ時期ニ於テ之ヲ行フ

一　材料ニ加工シタル後結合、塗施等ヲ行ハサル前

二　材料ニ加工シタル後結合、塗施等ヲ行ヒ其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムルトキ

三　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第三十三條　機體ノ材料ノ檢查ハ別ニ定ムル材料規格ニ依リ之ヲ行フ但シ檢查官吏ノ適當ト認ムル材料試驗成績書アルトキハ之ニ依リ檢查ヲ行フコトヲ得

第三十四條　機體ノ木部材料ノ檢查ハ前條ノ規定ニ依ルノ外設計書及設計圖面ト對照シ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　形狀、寸度及隣面ノ良否（寸度ニ關スル部分ニ於テハ設計書ノ形狀及寸度ニ注意スルコト）

二　膠著、釘著、螺著等ノ良否

三　變質ノ有無

四　仕上及塗施ノ良否

五　汞拭

六　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第三十五條　機體ノ金屬部材料ノ檢查ハ第三十三條ノ規定ニ依ルノ外設計書及設計圖面ト對照シ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　形狀、寸度及隣面ノ良否（寸度ニ關スル部分ニ於テハ設計書ノ形狀及寸度ニ注意スルコト）

二　鋲著、鉚著、螺著等ノ良否

三　熱取扱ノ良否

四　仕上及塗施ノ良否

五　機能ノ良否

六　重量

七　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第三十六條　機體ノ布部材料ノ檢查ハ第三十三條ノ規定ニ依ルノ外設計書及設計圖面ト對照シ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　蓬著及鉚著ノ良否（特ニ布部ト金屬部トノ接合部ニ注意スルコト）

二　仕上及塗施ノ良否

三　重量

四　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第三節　機體ノ部分品ノ檢查

第三十七條　機體ノ部分品ノ檢查ハ翼類、胴體、降著裝置及艀艙ニ付左ノ時期ニ於テ之ヲ行フ

一　各部ノ組立終了後塗施、被覆等ヲ行ハ

二　各部完成シタルトキ

三　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第三十八條　翼類ノ檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　形狀及寸度ノ良否

二　張線及張絲ノ緊張度ノ良否

三　各部組立ノ良否

四　金具類ノ取付及防錆ノ良否

五　重量

十二　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第三十九條　胴體ノ檢查ハ前條各號ノ事項ノ外左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　操縱席ノ設備ノ良否

二　計器板ノ取付ノ良否

三　油槽、導管其ノ他各種管類取付ノ良否

四　操縱裝置及其ノ機能ノ良否

五　旅客室、乘員室及貨物室ノ設備ノ良否

六　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第四十條　降著裝置ノ檢查ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　形狀及寸度ノ良否

二　張線ノ緊張度ノ良否

三　各部組立ノ良否

四　金具類ノ取付、接著及防錆ノ良否

五　車輪及尾橇ノ取付ノ良否

六　緩衝裝置ノ良否

七　「フロート」ノ傍造ノ良否

八　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第四十一條　旋盤ノ檢查ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第四節　操縱裝置及降著裝置ノ檢查

第四十二條　機體ノ技功及製品ノ檢查ハ第四節ニ規定スルモノノ外左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　仕上ノ良否

二　各部加工ノ良否

三　各部取付ノ良否

四　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第四十三條　機體ノ製品ノ檢查ハ設計書及設計圖面ト對照シ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　重量

二　寸度ノ良否

三　變質ノ有無

四　各部ノ調整、平衡及機能ノ良否

五　其ノ他檢查官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第五節　機體ノ標準品ノ檢查

第一款　通則

第四十四條　同一型式ノ機體ヲ多數製造セムトスル場合ニ於テ製造檢查ノ申請アリタルトキハ本節ノ規定ニ依リ標準品檢查ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ標準品檢查ヲ受ケムトスル者ハ製造檢查申請書ニ其ノ旨附記スヘシ

第四十五條　機體ノ標準品檢查ニ於テハ本章第一節乃至第四節ニ規定スル檢查ノ外主翼、胴體、發動機架、尾翼、操縱裝置及降著裝置ニ付破壞試驗又ハ彈性試驗ヲ行ヒ其ノ强度ヲ檢定ス

第四十六條　破壞試驗ハ機體ノ各部ニ關係ノ使用ニ堪ヘサル程度ノ變形ヲ生セル迄適當ノ荷重ヲ加ヘ機體ノ强度ヲ檢定スルモノトス

彈性試驗ハ機體ノ各部ニ關係ノ使用ニ堪ヘサル程度ノ變形ヲ生セサル限度ニ於テ適當ノ荷重ヲ加ヘ機體ノ强度ヲ檢定スルモノトス

第四十七條　機體ノ標準品檢查ヲ受ケ之ニ合格シタル機體ト同一型式ノ機體ニ付製造檢查ノ申請アリタル場合ニ於テ檢查官吏差支ナシト認ムルトキハ本章第一節乃至第四節ニ規定スル製造檢查ノ一部ヲ省略スルコトアルヘシ

第二款　主翼

第四十八條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ヲ行フ場合ニ於テハ主翼ヲ胴體ニ取付ケタル儘胴體ヲ上下顚倒シ主翼ヲ胴體ノ下面ヲ上方ニ向ケシメ胴體ヲ支持上ニ固定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ荷左ノ各號ノ規定ニ依ルヘシ

一　薩賓ナル方法ヲ以テ

$$K_y^3/K_x^2$$

$K_x K_y$（共ニ飛行機ノ橫力係數ノ最大値ニ相當スル迎角ヲ決定シ

K_y 飛行機ノ揚力係數

K_x 飛行機ノ抗力係數）

二　合成風壓力ノ方向カ鉛直ト爲ル樣主翼ニ附與スヘキ荷度ヲ決定スヘシ

吸遊ニ配置セラレタル屓翼ヲ有スル飛行機ニ付テハ試驗ヲ行フニ當リ順次セサル樣特ニ支持方法ニ注意スヘシ

三　發動機ノ裝備位置ニ依リ機體ノ負荷狀態ニ重大ナル影響アル場合ニ於テハ其ノ位置ニ釣上裝置又ハ押上裝置ヲ施シ上方ニ向ヒ逐次相當ノ荷重ヲ加フヘシ

第五十五條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於テ之ニ加フヘキ荷重ノ計算ハ左式ニ依ルヘシ

$$Q=N(A-B)-C$$

Qハ主翼ニ加フヘキ全荷重 kg

Nハ荷重係數

Aハ飛行機ノ全備重量 kg

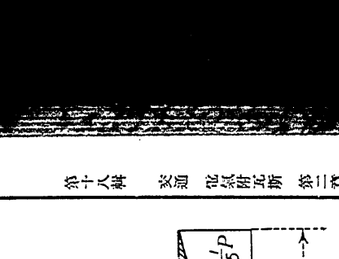
Bハ翼ノ重量 kg

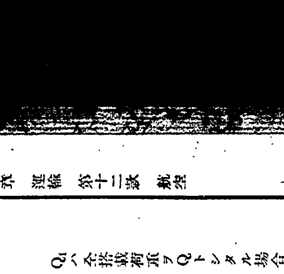
Cハ被覆ヲ剝脫セル翼ノ重量（防禦用合張ヲ含ム）kg

第五十六條　主翼ノ破壞試驗又ハ彈性試驗ニ於ケル荷重ノ配置ハ左ノ各號ノ規定ニ依ルヘシ

一　單葉ノ場合

翼弦ニ沿ヒ加フヘキ荷重ハ翼長ヲ五等分シ左圖ニ依リ配置スヘシ


主桁ノ中央ハ内端
主桁ノ外端
P
P
½P


Q1/3
Q1/3
Q1/6
Q1/6
1/5P
1/5P
1/5P
1/5P
1/5P
P

四　重荷
五　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百十九條　附屬品ノ技功ノ檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ
一　各部精合ノ良否
二　各取付部ノ良否
三　各部ノ調整ノ良否
四　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第一款　高度計

第百二十條　高度計ノ檢査ハ壓力試驗及耐振試驗ヲ以テ之ヲ行フ

第百二十一條　壓力試驗ハ高度計ヲ眞空壜中ニ置キ二分間ニ付千メートルノ割合ニテ上昇又ハ下降スル場合ト同一狀況ニ在ル標氣壓ヲ附減シ水銀氣壓計（中略）ノ檢定ヲ受ケタル時ノ比較シ之ヲ行フ

第百二十二條　耐振試驗ハ振動數毎分千二百回、振幅約二ミリメートルヲ以テ高度計ノ三方向ヲ同時ニ振動セシメ其ノ影響ヲ試驗ス

第百二十三條　高度計ノ壓力試驗及耐振試驗ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ルノ外特ニ左ノ各號ノ事項ニ付試驗ス
一　還元裝置ノ衰損等ニ因ル指針ノ動搖
二　龍頭上部ノ螺子ノ緩解等ニ因ル目盛盤ノ回轉
三　指針ノ離脫

第百二十四條　高度計ノ公表ハ五千メートル未滿ノ高度ニ於テハ正負五十メートル、五千メートル以上ノ高度ニ於テハ正負百メートルナルコトヲ要シ地上ニ復歸後ノ器差ハ正五十メートル以內ナルコトヲ要ス

第二款　速度計

第百二十五條　速度計ノ檢査ハ其ノ風受口及指示器ニ付之ヲ行フ

前項ノ風受口ノ檢査ハ風洞試驗ニ依リ、指示器ノ檢査ハ壓力試驗及耐振試驗ニ依リ之ヲ行フ

第百二十六條　風受口ノ風洞試驗ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ行フ
一　「ピトー」管式速度計ニ付テハ左式ニ依リ之ヲ檢定ス

$$V=\sqrt{\frac{2g}{\rho}p}$$

V　ハ風速　m/s
P　ハ壓力　kg/cm²
ρ　ハ空氣密度　m⁴
g　ハ加速度　九、八m/s²

二　吸氣筒式速度計ニ付テハ正面ヨリ受クル風速ト壓力計ニ受クル負壓トノ關係ニ依リ之ヲ檢定ス

第百二十七條　「ピトー」管式速度計ニ用フル指示器ノ壓力試驗ハ之ニ空氣壓ヲ加ヘ其ノ示度ヲ水柱ノ高ト比較シ之ヲ行フ

吸氣筒式速度計ニ用フル指示器ノ壓力試驗ハ第百二十一條ニ規定スル高度計ノ壓力試驗ニ準シ之ヲ行フ

第百二十八條　速度計ノ耐振試驗ハ第百二十二條ニ規定スル高度計ノ耐振試驗ニ準シ之ヲ行フ

第百二十九條　速度計ノ具盛ノ公差ハ指示器ノ壓力試驗ニ於テハ正負二m/s、航空試驗ニ於テハ正負十m/sナルコトヲ要ス

第三款　羅針盤

第百三十條　羅針盤ノ檢査ハ方位盤ニ依ル偏差ノ試驗及羅牌ノ振動試驗ニ依リ之ヲ行フ

第百三十一條　羅針盤ノ偏差ノ試驗ハ回轉盤上ニ標準羅針盤ヲ載置シ南北線及東西線ヲ定メ試驗品ヲ置換ヘ標準器ト比較シ之ヲ行フ

第百三十二條　羅針盤ノ羅牌ノ振動試驗ハ磁石棒ニ依リ試驗品ニ四十五度又ハ九十度ノ偏倚ヲ生セシメ羅牌ニ振動ヲ與ヘタル上其ノ振幅、週期、振動回數及靜止ノ位置ヲ測定シ之ヲ行フ

第百三十三條　羅針盤ノ偏差ノ公差ハ正負一度、羅牌ノ自然傾斜ハ二度以內、羅牌ノ可能傾斜度ハ三十時以上ナルコトヲ要ス

第四款　壓力計

第百三十四條　壓力計ノ檢査ハ其ノ壓力ノ未滿ノモノニ付テハ水銀柱ト比較シ、五kg/cm²以上ノモノニ付テハ壓力計試驗器ニ依リ重錘ト比較シ之ヲ行フ

第百三十五條　壓力計ノ公差ハ一刻度ノ二分ノ一ナルコトヲ要ス

第五款　水温計

第百三十六條　水温計ノ檢査ハ水温計ヲ恒温槽中ニ置キ標準水銀寒暖計ト比較シ之ヲ行フ

檢査官吏必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依ル外毎分千二百回ノ割合ヲ以テ二時間水温計ヲ上下前後左右ニ振動セシメ其ノ影響ヲ檢査スルコトヲ得

第百三十七條　水温計ノ公差ハ攝氏四十度乃至五十度ニ於テハ正負五度、攝氏五十度乃至百度ニ於テハ正負二度、攝氏百度乃至百十度ニ於テハ正負五度ナルコトヲ要ス

第六款　時計

第百三十八條　時計ノ檢査ハ常温ニ於テ二十四時間、攝氏五十度ニ於テ一時間及攝氏零度以下二十度ニ於テ一時間時計ヲ恒温房中ニ置キ標準時計ト比較シ之ヲ行フ

第百三十九條　時計ノ公差ハ常温ニ於テハ二十四時間ニ正負五十秒以內、攝氏五十度及攝氏零度以下二十度ニ於テハ毎時正負四秒以內ナルコトヲ要ス

第七款　回轉計

第百四十條　回轉計ノ檢査ハ回轉計試驗裝置ニ依リ其ノ回轉數ヲ毎分二百回轉ノ回轉倍數ニ規正シ標準回轉計ト比較シ之ヲ行フ

檢査官吏必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依ルノ外振動機ニ依リ毎分千二百回ノ割合ヲ以テ四時間回轉計ヲ振動セシメ其ノ影響ヲ檢査スルコトヲ得

第百四十一條　回轉計ノ公差ハ毎二百回轉毎ニ正負十ナルコトヲ要ス

第八款　傾斜計

第百四十二條　對比傾斜計ノ檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ
一　曲管ノ曲率
二　感度及敏度
三　振動ニ因ル氣泡ノ動搖及分離ノ狀態
四　膠服及收縮ニ因ル氣泡ノ大小及變化竝液體ノ變色

第九款　燃料裝置

第百四十三條　燃料裝置ノ檢査ハ燃料油槽、發動機ニ附屬セサル燃料油管及其ノ附屬品竝「ポンプ」ニ付之ヲ行フ

第百四十四條　燃料裝置ハ各種ノ飛行狀態ニ於テ燃料槽カ突虛トナル迄給油ヲ繼續シ得ル樣裝置セラルルコトヲ要ス

第百四十五條　燃料油槽ノ標準規格概ネ左ノ如シ
一　油槽ハ毎平方センチメートルニ付〇、三キログラムノ壓力ニ堪ヘ得ルコト
二　油冷却器ハ飛行機カ全備重量ヲ搭載シ最大速力ニ依リ低空飛行ヲ行フ場合ニ於テ發動機ノ潤滑油出口ニ於ケル潤滑油ノ温度大氣ノ温度攝氏三十度ノ時攝氏八十度ヲ超過セサルコト

第百五十五條　發動機ニ附屬セサル潤滑油管及其ノ附屬品ノ標準規格概ネ左ノ如シ
一　管ノ內徑ヨリ小ナラサルコト
二　管ノ接續ハ成ルヘク金屬接手ヲ用フルコト
三、「コック」類ハ操作圓滑ニシテ毎平方センチメートルニ付一、五キログラムノ壓力ニ堪ヘ得ルコト
四　高度調節機能
前項第六號ノ高度調節機能ハ氣化器ヲ適當ナル發動機ニ裝備シ地上ニ於テ高度調節ヲ行ヒ其ノ回轉數ノ減少ノ程度ヲ測定シ之ヲ檢査ス

第十一款　潤滑油裝置

第百五十一條　潤滑油裝置ノ檢査ハ油槽、油冷却器竝發動機ニ附屬セサル油管及其ノ附屬品ニ付之ヲ行フ

第百五十二條　潤滑油裝置ハ各種ノ飛行狀態ニ於テ油槽カ空虛トナル迄給油ヲ繼續シ得ル樣裝置セラルルコトヲ要ス

第百五十三條　油槽ノ標準規格概ネ左ノ如シ
一　油槽ハ毎平方センチメートルニ付〇、五五キログラムノ壓力ニ堪ヘ得ルコト
二　油槽ハ「オイルポンプ」ニ對シ成ルヘク十ミリメートル以上ノ油壓差ヲ有スルコト
三　油槽ヲ發動機ト同室內ニ裝備スル場合ニハ其ノ位置ヲ發動機ヨリ下方ナラシムルコト
四　油槽ノ出口ニハ二十「メッシュ」以上ノ濾過器ヲ裝置スルコト
五　前號ノ濾過器ノ點檢ノ爲容易ニ取外シ得ル樣之ヲ裝備スルコト

第百五十四條　油冷却器ノ標準規格概ネ左ノ如シ
一　油冷却器ハ毎平方センチメートルニ付〇、五五キログラムノ壓力ニ堪ヘ得ルコト
二　油冷却器ハ飛行機カ全備重量ヲ搭載シ最大速力ニ依リ低空飛行ヲ行フ場合ニ於テ發動機ノ潤滑油出口ニ於ケル潤滑油ノ温度大氣ノ温度攝氏三十度ノ時攝氏八十度ヲ超過セサルコト

第百五十五條　發動機ニ附屬セサル潤滑油管及其ノ附屬品ノ標準規格概ネ左ノ如シ
一　管ノ內徑ヨリ小ナラサルコト
二　管ノ接續ハ成ルヘク金屬接手ヲ用フルコト
三、「コック」類ハ操作圓滑ニシテ毎平方センチメートルニ付一、五キログラムノ壓力ニ堪ヘ得ルコト

第百五十六條　發動機ニ附屬セサル燃料油管及其ノ附屬品ノ標準規格概ネ左ノ如シ
一　管類ハ特別ノ場合ヲ除クノ外銅管ヲ用フルコト
二　管ノ接續ハ成ルヘク金屬接手ヲ用フルコト
三　燃料油槽及氣化器ニ近接セル部分ニ一〇〇「メッシュ」以上ノ濾過器及沈澱受ヲ裝置スルコト
四　前號ノ濾過器及沈澱受ハ點檢ノ爲容易ニ取外シ得ル樣之ヲ裝備スルコト
五　「コック」類ハ操作圓滑ニシテ毎平方センチメートルニ付一、五キログラムノ壓力ニ堪ヘ得ルコト

第百五十七條　「ポンプ」ニ依リ燃料ヲ供給スル燃料裝置ニシテ主「ポンプ」カ機械的ニ操作スルモノニ在リテハ主「ポンプ」ノ外飛行中容易且確實ニ操作シ得ル手動「ポンプ」ヲ裝備スヘシ

第百五十八條　壓力ニ依リ燃料ヲ直接氣化器ニ供給スル爲使用セラルル「ポンプ」ニ付テハ其ノ構造及機能ヲ檢査スルノ外之ヲ發動機ニ裝備シ送油量ノ適否、調節ノ良否等ヲ檢査ス

第百五十九條　燃料ヲ主油槽其ノ他ヨリ重力槽ニ送リ更ニ重力ニ依リ之ヲ氣化器ニ給油スル爲使用セラルル「ポンプ」ニ付テハ其ノ構造及機能ヲ檢査スルノ外之ヲ發動機ニ裝備シ送油量ノ適否、調節ノ良否竝「オーバーフローパイプ」及「フローゲージ」ノ機能ヲ檢査ス

第十款　氣化器

第百六十條　氣化器ノ檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ
一　浮繰ノ重量及機能
二　浮繰室ノ針辨ノ機能
三　浮繰室ノ針辨ト浮繰トノ調節部ノ構造及其ノ機能
四　油面ノ調節作用部ノ構造及機能
五　噴口ノ寸度及三百ミリメートル以上ノ水頭ニ於ケル燃料ノ流出量

第百六十一條　著火裝置ノ檢査ハ高壓磁石發電機又ハ高電壓發生スヘキ其ノ他ノ裝置ノ良否竝ニ其ノ他ノ裝置及「プラグ」ニ之ヲ行フ

第百六十二條　高壓磁石發電機又ハ高電壓發生スヘキ其ノ他ノ裝置ハ之ヲ裝置セムトスル發動機ノ回轉數カ毎分二千回轉ノ場合ト同一狀況ニ在ル樣之ヲ塞上ニ裝置シ且三點放電ニテ其ノ火花間隙ヲ六ミリメートルニ調整シ續續一時間運轉シタル後異狀ナキモノナルコトヲ要ス

第百六十三條　「プラグ」ノ檢査ハ每平方センチメートルニ付八キログラムノ壓力ヲ有スル空氣房內ニ之ヲ置キ檢査官吏ノ指示スル回轉數ニ依リ回轉スル高壓磁石發電機ニ接

トモ其ノ百分ノ五ヲ加ヘタル回轉數ニ依リ三分間之ヲ回轉セシメタル上振動ノ有無ニ付之ヲ行フ

第百十二條　「プロペラ」ノ回轉數ハ全備重量ヲ搭載シタル飛行機ニ之ヲ裝備シ其ノ飛行機カ最大速力ニテ飛行スル場合ニ於テ其ノ發動機ニ裝備シ地上ニ於テ高度調節ヲ行ヒ其ノ回轉數ノ減少ノ程度ヲ測定シ之ヲ檢査ス

第二節　「プロペラ」ノ標準品ノ檢査

第百十三條　同一型式ノ「プロペラ」ヲ多數製造セムトスル場合ニ於テ製造檢査ノ申請アリタルトキハ本節ノ規定ニ依リ標準品檢査ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ標準品檢査ヲ受ケムトスル者ハ製造檢査申請書ニ其ノ旨附記スヘシ

第百十四條　「プロペラ」ノ標準品ハ本章第一節ニ規定スル檢査ノ外當該「プロペラ」ヲ使用セムトスル型式ノ發動機ニ之ヲ裝備シ其ノ發動機ノ標準馬力ニ依リ十時間ノ繼續回轉ヲ行ヒ其ノ强度、變歪ノ有無及損傷ノ程度ニ付之ヲ行フ

第百十五條　標準品檢査ヲ受ケ之ニ合格シタル「プロペラ」ト同一型式ノ「プロペラ」ニ付製造檢査ノ申請アリタル場合ニ於テ檢査官吏差支ナシト認ムルトキハ本章第一節ニ規定スル製造檢査ノ一部ヲ省略スルコトアルヘシ

第四章　附屬品ノ製造檢査

第一節　附屬品ノ設計、材料、部分品及技功ノ檢査

第百十六條　附屬品ノ設計ノ檢査ハ檢査申請者ノ提出シタル設計書及設計圖面ニ依リ之ヲ行フ

第百十七條　附屬品ノ材料ノ檢査ハ別ニ定ムル材料規格ニ依リ之ヲ行フ但シ檢査官吏ノ適當ト認ムル材料試驗成績書アルトキハ之ニ依リ檢査ヲ行フコトヲ得

第百十八條　附屬品ノ部分品ノ檢査ハ製造中及仕上後左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ
一　形狀及寸度ノ良否
二　材質ノ良否
三　加工及仕上ノ良否
四　重量
五　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百十九條　附屬品ノ技功ノ檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ
一　各部精合ノ良否
二　各取付部ノ良否
三　各部ノ調整ノ良否
四　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第二節　附屬品ノ製品ノ檢査

第一款　高度計

第百二十條　高度計ノ檢査ハ壓力試驗及耐振試驗ニ依リ之ヲ行フ

第百二十一條　壓力試驗ハ高度計ヲ眞空壜中ニ置キ二分間ニ付千メートルノ割合ニテ上昇又ハ下降スル場合ト同一狀況ニ在ル標氣壓ヲ附減シ水銀氣壓計（中略）ノ檢定ヲ受ケタル時ノ比較シ之ヲ行フ

第百二十二條　耐振試驗ハ振動數毎分千二百回、振幅約二ミリメートルヲ以テ高度計ノ三方向ヲ同時ニ振動セシメ其ノ影響ヲ試驗ス

第百二十三條　高度計ノ壓力試驗及耐振試驗ニ於テハ前二條ノ規定ニ依ルノ外特ニ左ノ各號ノ事項ニ付試驗ス
一　還元裝置ノ衰損等ニ因ル指針ノ動搖
二　龍頭上部ノ螺子ノ緩解等ニ因ル目盛盤ノ回轉
三　指針ノ離脫

第百二十四條　高度計ノ公表ハ五千メートル未滿ノ高度ニ於テハ正負五十メートル、五千メートル以上ノ高度ニ於テハ正負百メートルナルコトヲ要シ地上ニ復歸後ノ器差ハ正五十メートル以內ナルコトヲ要ス

第二款　速度計

第百二十五條　速度計ノ檢査ハ其ノ風受口及指示器ニ付之ヲ行フ

前項ノ風受口ノ檢査ハ風洞試驗ニ依リ、指示器ノ檢査ハ壓力試驗及耐振試驗ニ依リ之ヲ行フ

第百二十六條　風受口ノ風洞試驗ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ之ヲ行フ
一　「ピトー」管式速度計ニ付テハ左式ニ依リ之ヲ檢定ス

$$V=\sqrt{\frac{2g}{\rho}p}$$

V　ハ風速　m/s
P　ハ壓力　kg/cm²
ρ　ハ空氣密度　m⁴
g　ハ加速度　九、八m/s²

二　吸氣筒式速度計ニ付テハ正面ヨリ受クル風速ト壓力計ニ受クル負壓トノ關係ニ依リ之ヲ檢定ス

第百二十七條　「ピトー」管式速度計ニ用フル指示器ノ壓力試驗ハ之ニ空氣壓ヲ加ヘ其ノ示度ヲ水柱ノ高ト比較シ之ヲ行フ

吸氣筒式速度計ニ用フル指示器ノ壓力試驗ハ第百二十一條ニ規定スル高度計ノ壓力試驗ニ準シ之ヲ行フ

第百二十八條　速度計ノ耐振試驗ハ第百二十二條ニ規定スル高度計ノ耐振試驗ニ準シ之ヲ行フ

第百二十九條　速度計ノ具盛ノ公差ハ指示器ノ壓力試驗ニ於テハ正負二m/s、航空試驗ニ於テハ正負十m/sナルコトヲ要ス

第三款　羅針盤

第百三十條　羅針盤ノ檢査ハ方位盤ニ依ル偏差ノ試驗及羅牌ノ振動試驗ニ依リ之ヲ行フ

第百三十一條　羅針盤ノ偏差ノ試驗ハ回轉盤上ニ標準羅針盤ヲ載置シ南北線及東西線ヲ定メ試驗品ヲ置換ヘ標準器ト比較シ之ヲ行フ

第百三十二條　羅針盤ノ羅牌ノ振動試驗ハ磁石棒ニ依リ試驗品ニ四十五度又ハ九十度ノ偏倚ヲ生セシメ羅牌ニ振動ヲ與ヘタル上其ノ振幅、週期、振動回數及靜止ノ位置ヲ測定シ之ヲ行フ

第百三十三條　羅針盤ノ偏差ノ公差ハ正負一度、羅牌ノ自然傾斜ハ二度以內、羅牌ノ可能傾斜度ハ三十時以上ナルコトヲ要ス

第四款　壓力計

第百三十四條　壓力計ノ檢査ハ其ノ壓力ノ未滿ノモノニ付テハ水銀柱ト比較シ、五kg/cm²以上ノモノニ付テハ壓力計試驗器ニ依リ重錘ト比較シ之ヲ行フ

第百三十五條　壓力計ノ公差ハ一刻度ノ二分ノ一ナルコトヲ要ス

第五款　水温計

第百三十六條　水温計ノ檢査ハ水温計ヲ恒温槽中ニ置キ標準水銀寒暖計ト比較シ之ヲ行フ

檢査官吏必要アリト認ムルトキハ前項ノ規定ニ依ルノ外毎分千二百回ノ割合ヲ以テ二時間水温計ヲ上下前後左右ニ振動セシメ其ノ影響ヲ檢査スルコトヲ得

第百三十七條　水温計ノ公差ハ攝氏四十度乃至五十度ニ於テハ正負五度、攝氏五十度乃至百度ニ於テハ正負二度、攝氏百度乃至百十度ニ於テハ正負五度ナルコトヲ要ス

第六款　時計

第百三十八條　時計ノ檢査ハ常温ニ於テ二十

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

積シタル場合ニ於テ完全ニ點火シ得ルモノナルコトヲ要ス

第十四款　始動裝置

第百六十四條　飛行機ニ裝備スヘキ始動裝置ハ乘員ノミニ依リ安全且容易ニ連續六回以上始動シ得ルモノナルコトヲ要ス

第百六十五條　始動裝置ハ前條ノ規定ニ依ルノ外左ノ各號ノ規定ニ適合スルモノナルコトヲ要ス

一　手働始動裝置ハ操作圓滑ニシテ取扱容易ナルコト

二　密氣又ハ壓縮瓦斯ニ依ル始動裝置ハ氣密完全ニシテ振動等ニ因リ密氣又ハ瓦斯ヲ漏洩セサルコト

三　電氣ニ依ル始動裝置ハ接續配線等安全ニシテ短絡又ハ地絡ノ虞ナキコト

第十五款　燈火裝置

第百六十六條　燈火裝置ノ檢査ハ其ノ構造、光種、射光角度及光達距離ニ付之ヲ行フ

第百六十七條　燈火裝置ノ標準規格概ネ左ノ如シ

一　構造簡單ニシテ輕其ナルコト

二　振動ニ因リ電球ノ蹉脫セサルコト

三　振動ニ因リ短絡又ハ斷線ヲ生セサルコト

第百六十八條　各燈火ノ光種及射光角度ハ左ノ各號ノ規定ニ依ルヘシ

一　前燈ハ白色光ニシテ射光角度ハ軸線ヲ中央トシテ二二〇度ナルコト

二　尾燈ハ白色光ニシテ射光角度ハ軸線ヲ中央トシテ一四〇度ナルコト

三　右舷燈ハ綠色光ニシテ射光角度ハ軸線ノ右一一〇度ナルコト

四　左舷燈ハ赤色光ニシテ射光角度ハ軸線ノ左一一〇度ナルコト

第百六十九條　燈火光達距離ハ大氣清澄ナル暗夜ニ於テ前燈ハ五キロメートル以上、尾燈及左右舷燈五キロメートル以上ナルコトヲ要ス

第十六款　落下傘

第百七十條　落下傘ハ成ルヘク輕量且小容積ニシテ自働的ニ展開シ各部ノ作用確實ナルモノナルコトヲ要ス

第百七十一條　落下傘ノ標準規格概ネ左ノ如シ

一　落下距離四十メートル以内ニ於テ展開スルコト

二　糸目ニ捩ミ又ハ撚レ生セサルコト

三　落下速力均齊ニシテ且毎秒五メートル以内ナルコト

四　傘、糸目、中間索、金具及緩衝索ハ輕量且強靱ニシテ充分ナル安全係數ヲ有スルコト

五　落下傘ヲ身體ニ結著スル帶ノ構造ハ傘ノ開キタルトキ成ルヘク身體ニ衝動ヲ感セシメス且迅速ニ離脫シ得ルモノナルコト

第十七款　救命胴衣

第百七十二條　救命胴衣ノ標準規格概ネ左ノ如シ

一　材料ハ「コルク」、「カポック」又ハ檢査官吏ニ於テ之ト同等以上ノ效力ヲ有スト認ムルモノナルコト

二　大人及小兒ニ兼用シ得ヘク且著用法簡易ニシテ前後裏裏兼用シ得ルコト

三　救命胴衣ヲ著用シタルトキ水中ニ於テ身體ヲ略直立セシメ且頭部ヲ水面ニ露出セシメ得ルコト

四　六、五キログラムノ重荷ヲ附シ淡水中ニ四十八時間放置シタル後十五キログラムノ重荷ヲ附シ浮ヒ得ルコト

第三編　飛行機ノ特別檢査、定期檢査及臨時檢査

第一章　飛行機ノ特別檢査

第百七十三條　飛行機ノ機體ノ特別檢査ハ翼類、胴體、降著裝置、操縱裝置及艇體ニ付前回檢査後ノ經過年月、保存ノ狀態等ヲ考慮シ製造後ノ經過年月、保存ノ狀態等ヲ考慮シ製造檢査ニ準シ之ヲ行フ

第百七十四條　翼類ノ特別檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　主翼ノ迎角、翼取付角及翼間隔ノ現狀

二　布共ノ他ノ被覆ノ現狀

三　塗施ノ現狀

四　張線、張索、縞線帶、管帶、「ターンバックル」等ノ現狀

五　支柱及支柱取付金具ノ現狀

六　發動機ヲ主翼ニ裝備スヘキ始動裝置ハ乘員ノミニ依リ安全且容易ニ連續六回以上始動シ得ルモノナルコトヲ要ス

第百七十五條　胴體ノ特別檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　發動機架ノ構造及現狀

二　乘員室、旅客室及貨物室ノ構造及現狀

三　框、縱通材、橫骨及其ノ取付金具ノ現狀

四　張線、張索、縞線帶、管帶、「ターンバックル」等ノ現狀

五　布共ノ他ノ被覆ノ現狀

六　尾部架構ノ構造及現狀

七　「ボンネット」ノ現狀

八　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十六條　降著裝置ノ特別檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　脚部ノ構造及現狀

二　車輪又ハ之ニ代ルヘキ裝置ノ構造及現狀

三　尾橇ノ構造及現狀

四　緩衝裝置ノ構造、機能及現狀

五　「フロート」ノ構造及現狀

六　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十七條　操縱裝置ノ特別檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付製造檢査ニ準シ之ヲ行フ

一　操縱索ノ現狀

二　操縱傳導裝置ノ構造、機能及現狀

三　補助翼、昇降舵或方向舵ノ取付及取付金具ノ現狀

四　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百七十八條　艇體ノ特別檢査ニ付テハ第百七十五條及第百七十六條ノ規定ヲ準用ス

第百七十九條　日本又ハ外國ニ於テ未タ航空ノ用ニ供セラレサル新型式ノ飛行機ノ機體ノ特別檢査ニ於テハ第百七十七條ノ規定ニ準シ之ヲ行フ

第百八十條　飛行機ノ機體ノ特別檢査ニ於テハ第百七十三條乃至前條ノ規定ニ依ルノ外第二編第一章第五節ノ規定ニ準シ彈性試驗ヲ行ヒ其ノ强度ヲ檢定ス

檢査官吏ハ前項ノ規定ニ依リ難キ事由アリト認ムルトキハ計算ノミニ依リ機體ノ强度ヲ檢定スルコトヲ對此ノ場合ニ於テハ該計算ハ使用材料ノ彈性界又ハ破壞界ヲ基礎トシ之ヲ行フヘク且該計算ノ結果ハ如何ナル場合ニ於テモ彈性試驗ニ依リ得ラルヘキ安全度ト同等以上ノ安全度ヲ得ルコトヲ要ス

第百八十一條　機體ノ特別檢査ヲ行フ場合ニ於テ檢査官吏必要アリト認ムルトキハ其ノ被覆ヲ剝脫セシムルコトヲ得

第百八十一條　發動機ノ特別檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付製造後ノ經過年月、保存ノ狀態等ヲ考慮シ製造檢査ニ準シ之ヲ行フ

第百八十四條　發動機ノ「プロペラ」及附屬品ノ定期檢査ハ前回檢査後ノ使用時間、經歷、保存ノ狀態等ヲ考慮シ特別檢査ニ準シ之ヲ行フ

第百八十五條　飛行機ノ適宜ノ高度ニ於テ發動機ノ運轉ヲ停止シ約四十メートルノ高度ヨリ滑空飛行ニ移リ著陸又ハ著水シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二百三條　飛行機ノ飛行中ノ縱方向ノ安定性ハ飛行機カ突速狀態ニ在ル場合又ハ最大水平速力ニ其ノ百分ノ二十五ヲ加ヘタル速力ヲ以テ下向狀態ニ在ル場合ニ於テモ容易ニ通常ノ飛行狀態ニ復シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二百四條　飛行機ノ水平飛行中ノ縱方向ノ平衡性ハ左ノ各號ノ規定ニ該當スルモノナルコトヲ要ス

一　全馬力ヲ以テ發動機ヲ運轉スル場合ニ於テ飛行機ハ上昇ノ姿勢ヲ採ルコト

二　經濟速力ニ應スル出馬力ヲ以テ發動機ヲ運轉スル場合ニ於テ飛行機ハ水平飛行ヲ繼續スルコト

三　發動機ノ出馬力ヲ逐次減減スルニ從ヒ下向ノ姿勢ヲ採ルコト

四　發動機ノ運轉ヲ停止セル場合ニ於テ自然ニ滑空飛行ニ移リ且滑空飛行中平衡狀態良好ナルコト

前各號ノ場合ニ於テ昇降舵ハ之ヲ放置スルモノトス

第二百五條　飛行機ハ飛行中特別ノ注意ヲ要スルコトナク容易ニ直線飛行ヲ繼續シ且滑空飛行中方向舵ヲ放置スルモ直線飛行ヲ爲シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二百六條　補助翼、昇降舵及方向舵ノ作用ハ經濟速力ニ依リ飛行スル場合ニ於テ中庸ニシテ操作ニ過度ノ力ヲ要スルコトヲ要シ且上昇飛行、水平飛行、滑空飛行等各種ノ飛行狀態ニ於ケル操作及壓力ノ差異過大ナラサルコトヲ要ス

規定ニ準シ之ヲ行フ

第四編　飛行機ノ堪航檢査

第一章　通則

第百八十七條　飛行機ノ製造檢査、特別檢査、定期檢査及臨時檢査ニ於ケル堪航性ノ檢査ハ本編ノ規定ニ依リ之ヲ行フ

第百八十八條　堪航檢査ハ左ノ二種トス

一　航空檢査

二　地上檢査

地上檢査ハ地上ニ於テ飛行機ノ整備狀態ヲ、航空檢査ハ飛行機ヲ飛行セシメ其ノ堪航性ヲ檢査ス

第百八十九條　堪航檢査ハ地上檢査、航空檢査ノ順序ニ依リ之ヲ行フ地上檢査ニ合格セサリシ飛行機ニ付テハ航空檢査ヲ行ハス

第百九十條　堪航檢査ヲ行フ場合ニ於テハ堪航證明書ニ掲ケラルヘキ座席數ニ應スル人員、貨物、油類及冷却水並一切ノ裝備品ヲ飛行機ニ搭載シ其ノ重量ヲ全備重量ニ等シカラシムルコトヲ要ス

前項ノ場合ニ於テ止ムコトヲ得サル事由アルトキハ人員、貨物及裝備品ニ代ヘ之ト同一ノ重量ヲ有スル砂嚢其ノ他適當ナル物件ヲ搭載スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル各重量ノ配置ハ成ルヘク實際ノ場合ト同樣ナラシムルコトヲ要ス

第百九十一條　堪航檢査ヲ行フ場合ニ於テハ當備ヘキ計器ノ外自記高度計、自記速度計、自記圓轉計及自記溫度計ヲ裝備スルコトヲ要ス

第百九十二條　堪航檢査ニ於テ檢査官吏必要アリト認ムルトキハ溫度及氣壓ヲ標準溫度及標準氣壓ニ換算シ檢査成績ヲ算定スルコトヲ得

第二章　地上檢査

第百九十三條　地上檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　發動機ノ裝著ノ良否

二　冷却裝置及冷却器補助水槽ノ裝著ノ良否

三　油槽及油管ノ裝著ノ良否

四　電機系統ノ裝著ノ良否

五　計器類ノ裝著ノ良否

六　燈火裝置ノ裝著ノ良否

七　「プロペラ」ノ裝著ノ良否

八　操縱裝置ノ裝著ノ良否

九　各種裝備品ノ裝著ノ良否

十　發動機ノ運轉狀態

十一　重量ノ配置狀態

十二　各運動部相互ノ關係

十三　其ノ他檢査官吏ニ於テ必要アリト認ムル事項

第百九十四條　地上檢査ニ於テハ陸上飛行機ハ前條ノ規定ニ依ルノ外左ノ各號ノ規定ニ適合スルコトヲ要ス

一　飛行機ヲ支持スルコトナク地上ニ靜置シ其ノ全部ノ發動機ヲ始動シタル場合ニ於テモ地上ニ靜止スルコト

二　飛行機ハ滑走中其ノ全部ノ發動機ノ運轉ヲ低速狀態ト爲シタル場合ニ於テ地上ニ靜止スルコト

三　飛行機ニ裝備シタル發動機ノ動力ノミニ依リ靜止狀態ヨリ滑走ヲ開始シ得ルコト

第百九十五條　地上檢査ニ於テハ水上飛行機ハ第百九十三條ノ規定ニ依ルノ外左ノ各號ノ規定ニ適合スルコトヲ要ス

一　耐波性良好ナルコト

二　風力毎秒十メートル、波高〇、五メートルノ程度ノ水面ニ於ケル離着水、旋回又ハ滑走ヲ容易且確實ニ爲シ得ルコト

三　發動機ノ運轉ヲ停止シタル場合ニ於テ風力毎秒十メートル、波高〇、五メートルノ程度ノ水面ニ於テ波浪ノ爲尾部共ノ他ノ部分ヲ毀損セラルルコトナク安全ニ浮泛シ得ルコト

第三章　航空檢査

第百九十六條　航空檢査ハ左ノ各號ノ事項ニ付之ヲ行フ

一　離著陸ノ良否

二　飛行中ノ安全性及平衡性ノ良否

三　操縱性ノ良否

四　飛行速力及上昇狀態

第百九十七條　航空檢査ニ於テ飛行機ノ設備、飛行機ノ構造其ノ他ノ事由ニ因リ危險アリト認ムルトキハ檢査官吏ハ第百九十條ノ規定ニ拘ラス全備重量以下ノ重量ヲ搭載セシメ檢査ヲ行フコトヲ得

第百九十八條　航空檢査ハ檢査ヲ行フヘキ飛行場ノ地面上又ハ水面上五メートル乃至十メートルノ高度ニ於ケル風速毎秒二、五メートル未滿ノ場合ニ於テ之ヲ行フ

第百九十九條　航空檢査ニ於テハ發動機ノ出馬力及回轉數ハ標準馬力及標準回轉數ヲ超過セサルコトヲ要ス

第二百條　第一種陸上飛行機ハ離陸ノ爲滑走ヲ開始セル地點ヨリ七百五十メートル以内ノ距離ニ於テ高二十メートルノ障碍物ヲ飛越シ且離陸後三分間以内ニ三百六十メートル以上ノ高度ニ達シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二種陸上飛行機ハ離陸ノ爲滑走ヲ開始セル地點ヨリ七百五十メートル以内ノ距離ニ於テ高二十メートルノ障碍物ヲ飛越シ且離陸後三分間以内ニ三百六十メートル以上ノ高度ニ達シ得ルモノナルコトヲ要ス

第一種水上飛行機ハ離水ノ爲滑走ヲ開始セル地點ヨリ七百五十メートル以内ノ距離ニ於テ高二十メートルノ障碍物ヲ飛越シ且離水後四分間以内ニ三百六十メートル以上ノ高度ニ達シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二種水上飛行機ハ離水ノ爲滑走ヲ開始セル時刻ヨリ一分間以内ニ高二十メートルノ障碍物ヲ飛越シ且離水後四分間以内ニ三百六十メートル以上ノ高度ニ達シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二百一條　第一種陸上飛行機ハ著陸ノ際滑走距離二百五十メートル以内ニ於テ停止シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二種陸上飛行機ハ著陸ノ際滑走距離四百メートル以内ニ於テ停止シ得ルモノナルコトヲ要ス

第一種水上飛行機ハ著水ノ際滑走距離三百三十メートル以内ニ於テ停止シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二種水上飛行機ハ著水ノ際滑走距離五百三十メートル以内ニ於テ停止シ得ルモノナルコトヲ要ス

補助翼、昇降舵及方向舵ハ最低速力ニ依リ飛行スル場合ニ於テモ確實ナル操縦性ヲ有スルコトヲ要ス

第二百七條　飛行機ハ容易ニ且大差ナク左右旋回ヲ行ヒ得ヘク旋回ニ際シ自然ニ旋回方向ニ傾斜シ且橫辷ヲ生セサルモノナルコトヲ要ス

第二百八條　第三種飛行機ハ垂直旋回、宙返、橫轉、錐揉、失速反轉、急反轉等ノ各種ノ飛行ノ全部又ハ一部ヲ容易且確實ニ爲シ得ルモノナルコトヲ要ス

第二百九條　飛行速力ノ檢査ハ左ノ二種トス

一　高速力試驗

二　經濟速力試驗

高速力試驗ハ飛行機ニ裝備セル發動機ノ標準馬力ノ十分ノ九及標準回轉數ニ依リ之ヲ行フ

經濟速力試驗ハ飛行機ニ裝備セル發動機ノ出馬力ヲ飛行機ノ經濟速力ニ應スル様制限シテ之ヲ行フ

第二百十條　飛行速力試驗ニ於テハ五百メートル以下ノ適當ノ高度ニ於ケル飛行機ノ低空飛行速力ヲ測定ス

第二百十一條　飛行速力ノ測定法ハ第四號表前項ノ場合ニ於テ檢査官吏必要アリト認ムルトキハ特ニ高度ヲ指定シ飛行速力ヲ測定スルコトヲ得

第二百十二條　上昇狀態ノ檢査ニ於テハ高度三千メートル、上昇時間十分間ヲ限度トシ高度千メートル毎ニ其ノ所要上昇時間ヲ測定ス

第二百十三條　尾翼攻撃角變更裝置、「フラップ」、「スロットル」、冷却水、燃料、滑油、冷却水循環裝置等ハ作用完全ニシテ其ノ操作容易且確實ナルモノナルコトヲ要ス

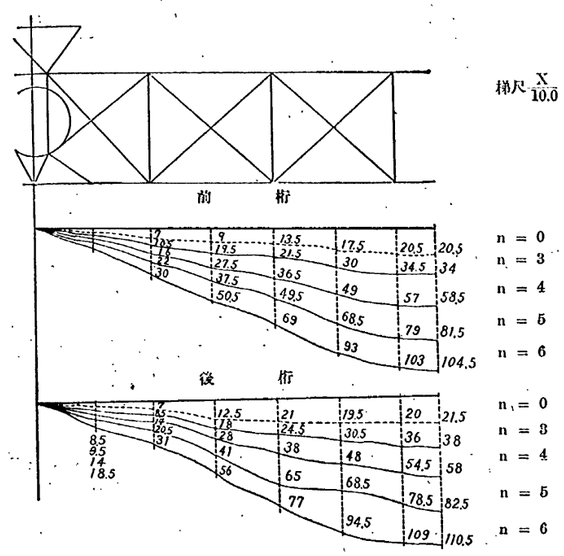
附　則

本令ハ航空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス（昭和十二年五月勅令第四十一號）

本令ハ昭和十二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號表

主翼破壞性試驗成績表



全備重量　；　1471 kg
搭載荷重　；　540 kg
機體自重　；　948 kg

荷重系數	荷重
n 3	3×(1471+540−348)−348=4641 kg
n 4	4×(1471+540−348)−348=6304 kg
n 5	5×(1471+540−348)−348=7967 kg
n 6	6×(1471+540−348)−348=9630 kg

尾翼ノ單位ハ耗トス

後退ハ主翼ノ前桁ニ於ケル外端末支柱ノ節點力後退セル耗數トス

上翼後退試驗

n = 8
n = 7.5
n = 7
n = 6.5
n = 6
n = 5
n = 4
n = 3
n = 2
n = 1

備考　本表ハ成績表記入例ヲ示シタルモノトス

第二號表

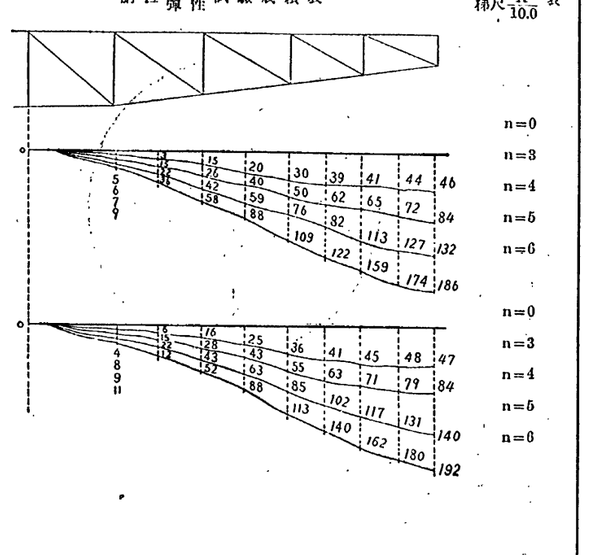
尾翼破壞性試驗成績表

安定機面積　1.m² 52
昇降舵面積　1.m² 45
主翼ノ面積荷重　$\frac{P}{S}$ =41.kg6

n=3　124.8×(1.52+1.45)=370.kg6
n=4　160.4×(1.52+1.45)=404.kg2
n=5　208.0×(1.52+1.45)=617.kg7
n=6　249.6×(1.52+1.45)=741.kg8

屈撓尺ノ單位ハ粍トス

備考　本表ハ成績表記入例ヲ示シタルモノトス



第三號表

飛行機用發動機標準品檢査成績表

式　號　型　馬力　號發動機

一　試驗ノ目的

二　重要寸法表

三　弁開閉期調整表

四　試驗裝置（略圖ヲ添附スヘシ）

(1) 回轉數
(2) 軸馬力
(3) 修正馬力
(4) 潤滑油壓力（略圖ヲ添附スヘシ）
(5) 揮發油壓力
(6) 吸入管內壓力
(7) 大氣壓
(8) 潤滑油溫度
(9) 冷却水溫度
(10) 大氣溫度
(11) 大氣濕度
(12) 燃料油消費量
(13) 潤滑油消費量
(14) 冷却水循環量
(15) 試驗時中使用シタル燃料油及潤滑油

五　試驗成績

六　分解檢査

七　分解檢査後ノ運轉

試驗裝置圖
軸馬力計測裝置圖
冷却水管系統圖
潤滑油管系統圖
燃料油管系統圖

第四號表

三基線速力測定法

飛行機カA點ヨリB點、B點ヨリC點、C點ヨリA點ニ三角形飛行ヲ行ヒAB, BC, CA, 各區間ノ距離、飛行所要時間及飛行速力ヲ次ノ通ト假定ス

区間	距離 (km)	飛行時間 (s)	飛行速力 (km/h)
A B	18.6	366.5	187.8
B C	17.45	474.0	132.6
C A	15.86	311.5	183.3
往復平均			

(二) (一) 地上ヨリ約二メートルノ高サニ於テ北點A及B ヲ通ミ AB 間ノ距離ハ二千メートル以上ヲ(及ルヘク三千メートル前後ヲ可トス)ナラシムヘシ

(二) (二) 北線ヨリ A′C′C, B′D′D ナル二組ノ平行線ヲ作リ C, C′ D, D′ ヲ各AB ニ垂直ニ取リ AA′, BB′ ヲ結ヒ其ノ中心ヨリ AA′ ニ垂直ニ取リ OO′ ヲ求ム

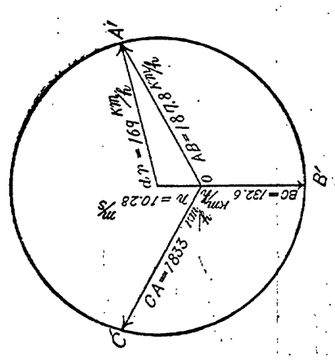
(二) (三) 北線ヲ測定ス

(二) (四) 北線ヲ測定スルニハ AB 間ヲ往復スル飛行ニ要スル時間ヲ測ルヲ以テ足レリトス

(二) (五) 北線ヲ測定スルニハ AB 間ヲ往復スル飛行ニ要スル時間ヲ測ルヲ以テ足レリトス

(二) (六) 北線ヲ測定スルニハ AB 間ヲ往復スル飛行ニ要スル時間ヲ測ルヲ以テ足レリトス

(二) (七) 北線ヲ測定スルニハ AB 間ヲ往復スル飛行ニ要スル時間ヲ測ルヲ以テ足レリトス



(三) (一) 作図ニ依リ飛行機ノ真速力ヲ得ルニハ

(三) (二) 図上任意ノ點O ヲ選定シ

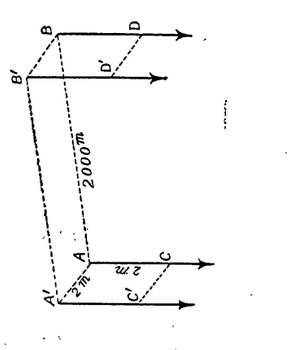
(三) (三) OA′ ヲ AB ノ方向ニ且 AB トヲ平行ニ飛行速力 187.8km/h ニ等シクトリ

(三) (四) OB′ ヲ BC ノ方向ニ且 BC トヲ平行ニ飛行速力 132.6km/h ニ等シクトリ

(三) (五) OC′ ヲ CA ノ方向ニ且 CA トヲ平行ニ飛行速力 183.3km/h ニ等シクトリ

(三) (六) A′B′C′ ノ三點ヲ通ル其ノ中心ヨリ各頂點ニ至ル距離ヲ測リ其ノ平均ヲ求メ此半徑 dA′ ヲ以テ風ノ影響ヲ除去シタル飛行機ノ眞速力ヲ得ルヲ以テ足レリトス

(三) (七) 風ノ方向及風力ヲ知ルニハ



(三) (三) 飛行機ノ位置ヲ測ルニハ

(三) (四) 飛行機ノ位置ヲ測ルニハ前述ノ如ク固定スヘキ二箇ノ測點ヲ以テ一基線ヲ作リ其兩端ヨリ飛行機ヘ向ケ同時ニ方向ヲ測リ其ノ交點ヲ以テ飛行機ノ位置トス

(三) (五) 飛行機ヘ AC, A′C′ ヲ合ム垂直面トBD, B′D′ ヲ合ム垂直面トノ間ヲ基線 AB ニ平行ニ移動スルトキハ其ノ間ニ於ケル飛行機ノ位置ハ常ニ AC, A′C′ ヲ合ム垂直面ト BD, B′D′ ヲ合ム垂直面トノ間ヲ基線 AB ニ平行ニ移動スルモノニシテ

(三) (六) 飛行機ノ位置ヲ測ルニハ AC, A′C′ ヲ合ム垂直面ト BD, B′D′ ヲ合ム垂直面トノ間ヲ基線 AB ニ平行ニ移動スルトキ AC, A′C′ ヲ合ム垂直面ト BD, B′D′ ヲ合ム垂直面トノ間ヲ基線 AB ニ平行ニ移動スル間ニ於ケル飛行機ノ位置ヲ測ルヲ以テ足レリトス

(三) (七) 飛行機ノ位置ヲ測ルニハ AC, A′C′ ヲ合ム垂直面ト BD, B′D′ ヲ合ム垂直面トノ間ヲ基線 AB ニ平行ニ移動スルトキ AC, A′C′ ヲ合ム垂直面ト BD, B′D′ ヲ合ム垂直面トノ間ヲ基線 AB ニ平行ニ移動スル間ニ於ケル飛行機ノ位置ヲ測ルヲ以テ足レリトス

●航空機乗員試験規則

昭和二年五月一日　陸軍省令第三十五號

第一章　總則

第一條　航空機乗員ノ試驗ニ關スル事項ハ本規則ノ定ムル所ニ依ル

第二條　航空機乗員ノ試驗ハ左ノ種類トス

一　操縱士試驗

二　偵察員試驗

三　航空士試驗

四　航空機關士試驗

五　航空機關手試驗

第三條　操縱士ニ關スル試驗ハ左ノ種類トス

一　第一種操縱士試驗

二　第二種操縱士試驗

第四條　偵察員ニ關スル試驗ハ左ノ種類トス

一　第一種偵察員試驗

二　第二種偵察員試驗

第五條　航空士ニ關スル試驗ハ左ノ種類トス

一　第一種航空士試驗

二　第二種航空士試驗

第六條　航空機關士ニ關スル試驗ハ左ノ種類トス

一　第一種航空機關士試驗

二　第二種航空機關士試驗

第七條　航空機關手ニ關スル試驗ハ左ノ種類トス

一　第一種航空機關手試驗

二　第二種航空機關手試驗

第八條　航空機乗員ノ試驗ハ陸軍大臣之ヲ施行ス

第九條　航空機乗員ノ試驗ハ陸軍大臣ノ指定スル地ニ於テ之ヲ施行ス

第十條　航空機乗員ノ試驗ハ陸軍大臣ノ指定スル期日ニ之ヲ施行ス

第十一條　航空機乗員ノ試驗ハ陸軍大臣ノ指定スル航空機ヲ以テ之ヲ施行ス

第十二條　航空機乗員ノ試驗ハ陸軍大臣ノ指定スル航空機ヲ以テ之ヲ施行ス

第二章　操縱士

第十三條　第一種操縱士ノ試驗ハ左ノ種類トス

一　學術試驗

二　實地試驗

第十四條　第二種操縱士ノ試驗ハ左ノ種類トス

一　學術試驗

二　實地試驗

第十五條　學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第十六條　實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

十五　航空機ノ協同動作

第十七條　第一種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第十八條　第二種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第十九條　第一種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第二十條　第二種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

第二十一條　第一種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第二十二條　第二種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第二十三條　第一種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第二十四條　第二種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第二十五條　第一種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第二十六條　第二種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第二十七條　第一種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第二十八條　第二種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第二十九條　第一種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第三十條　第二種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第三十一條　第一種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第三十二條　第二種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第三十三條　第一種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第三十四條　第二種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第三十五條　第一種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第三十六條　第二種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第三十七條　第一種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第三十八條　第二種操縱士ノ學術試驗ハ左ノ科目ニ付筆答ヲ以テ之ヲ行フ

一　航空機關ノ構造及取扱ニ關スル事項

二　航空ニ關スル氣象ノ概要

三　航空ニ關スル航法ノ概要

四　航空ニ關スル通信ノ概要

五　航空ニ關スル法規ノ概要

第三十九條　第一種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第四十條　第二種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ種類トス

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第四十一條　第一種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

第四十二條　第二種操縱士ノ實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　航空機ノ操縱

二　航空機ノ離著陸

三　航空機ノ飛行

四　航空機ノ編隊飛行

五　航空機ノ特性

六　航空機ノ發動機ノ取扱

七　航空機ノ無線電信電話ノ取扱

八　航空機ノ射擊

九　航空機ノ爆撃

十　航空機ノ偵察

十一　航空機ノ曳航

十二　航空機ノ救助

十三　航空機ノ捜索

十四　航空機ノ連絡

七　内燃機關ニ關スル初等智識
八　國内航空法規ノ概要
九　國際航空法規ノ概要

第二十一條　二等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ前條ノ科目ニ付三等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ニ比シ高キ程度ニ於テ之ヲ行フ

第二十二條　一等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ第二十條ノ科目ニ付二等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ニ比シ高キ程度ニ於テ之ヲ行フ

第二十三條　二等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　地球ノ形狀　其ノ圓周及區劃ノ記號
二　地圖及海圖　見方、使用法及航空ニ使用セラルル諸投影法ノ實際的特質
三　地球磁氣　羅針盤ノ構造、用途及調整
四　速度ノ三角形ノ要素ヲ測定シ及算定スル機器ノ使用ニ依ル推測航法
五　方位測定用無線機ノ指示スル方位ニ依ル航空及必要ナル修正法ノ適用ニ依ル航空機ノ位置決定法
六　氣象學　各種氣象觀測ノ原理、航空用氣象報告發表方法、豫報ノ原理竝天氣圖ノ構造及解釋
七　國内航空法規ノ概要
八　國際航空法規ノ概要

第二十四條　一等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　地球ノ形狀　針路及距離ヲ算出スヘキ各種要素竝ニ航法ノ數學的算法
二　地圖及海圖　航空ニ使用セラルル投影法ノ普通形式ノ構造ノ原理
三　潮汐　初等理論及表ノ使用ニ依ル豫測
四　天測航法　航空機ノ位置ヲ決定スル各種ノ方法竝其ノ決定用ニ供セラルル表、「ダイアグラム」及機器ノ使用及保存
五　氣象學　前條第六號ノ科目ニ付二等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ニ比シ高キ程度ノ智識
六　無線電信及航空機用發動機ノ取扱ニ關スル一般智識
七　國内航空法規
八　國際航空法規

第二十五條　航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　内燃機關ニ關スル一般智識
二　航空機用發動機ノ構造、操縦、組立、調整及特性ニ關スル一般智識
三　航空機用發動機ノ故障ノ原因探究及修正
四　航空機ニ對スル空氣抵抗ニ關スル一般智識
五　航空機ノ構造、操縦、調整及取扱法
六　「アロマラ」ノ構造及操縦
七　航空機用計器ノ構造、操縦、調整及取扱法
八　航空機用材料及工作法ニ關スル一般智識
九　航空機用燃料ニ關スル一般智識
十　機燈及信號裝置ノ取扱法
十一　國内航空法規ノ概要
十二　國際航空法規ノ概要

第二十六條　航空免狀交付申請者ニ對シ行フコトアルヘキ學科試驗及航空機乘員臨時檢査ニ於テ行フコトアルヘキ學科試驗ニ付テハ第十七條乃至前條ノ規定ヲ準用ス

附則

本令ハ航空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

受驗履歷表

試驗ノ種類	受驗ノ履歷
二等飛行機操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル實地試驗	五十時間以上自ラ飛行機ヲ操縦シタルコト但シ内十時間ハ二等飛行機操縦士技倆證明書交付申請ノ日ヨリ遡リ一年以内ニ於テ行ヒタルモノナルコト
一等飛行機操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル實地試驗	二等飛行機操縦士免狀受有後百時間以上自ラ飛行機ヲ操縦シタルコト
自由氣球操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	自由氣球ニ依リ晝間ニ於テ指導者ノ同乘指導ノ下ニ自ラ操縦スル航空三回及單獨ノ航空一回竝夜間ニ於テ單獨航空一回ヲ完了シタルコト尚各回ノ航空ハ二時間以上繼續セルモノナルコト
三等航空船操縦士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	航空船ニ依リ一時間以上繼續スル航空二十回ヲ完了シタルコト但シ内三回ハ夜間航空、四回ハ航空時間四時間以下ナルトキハ終始、航空時間四時間ヲ超ユルトキハ少クトモ四時間指導者ノ同乘監督ノ下ニ自ラ航空船ヲ操縦シタルコト
一等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	航空機乘員トシテ二百時間以上ノ航空ヲ完了シタルコト但シ内少クトモ百時間ハ二等航空士トシテ航空ヲ完了シタルコト
二等航空士技倆證明書交付申請者ニ對スル學科試驗	航空機乘員トシテ五十時間以上ノ航空ヲ完了シタルコト

備考　當該技倆證明書交付申請ノ日ヨリ遡リ五年ヲ超ユル以前ノ履歷ハ之ヲ本表ニ掲クル履歷トシテ認ムルコトヲ得ス

●航空機乘員體格檢查規則

昭和二年五月
遞信省令第十一號

航空機乘員體格檢查規則左ノ通定ム

第一條　遞信大臣ハ航空免狀交付申請書ヲ受理シタル場合又ハ航空機乘員ニ對スル定期檢查若ハ臨時檢查ニ於テ體格檢查ヲ行ハムトスルトキハ其ノ日時、場所其ノ他受驗ニ必要ナル事項ヲ受檢者ニ通知ス

第二條　航空免狀交付申請者ハ第一號書式ニ依リ醫師ノ作成シタル體格檢查證ヲ申請書ニ添附シ遞信大臣ニ提出スヘシ

第三條　遞信大臣ハ航空機乘員ニ對スル定期檢查又ハ臨時檢查ニ於テ體格檢查ヲ行ハムトスル場合ニ於テハ當該受檢者ヲシテ第一號書式ニ依リ醫師ノ作成シタル體格檢查證ヲ提出セシムルコトアルヘシ

第四條　遞信大臣ハ體格檢查證ヲ調查シタル上特ニ體格檢查ヲ行フノ必要ナシト認ムルトキハ體格檢查證ニ依リ合格又ハ不合格ヲ決定スルコトアルヘシ

第五條　航空免狀交付申請者體格檢查ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキハ其ノ者ニ對スル體格檢查ハ之ヲ停止ス

航空免狀交付申請者故ナク體格檢查ニ遲刻シ又ハ缺席シタルトキハ其ノ者ニ對スル體格檢查ハ之ヲ停止スルコトアルヘシ

體格檢查終了後第一項ニ該當スル準實ヲ發見シタルトキハ當該受檢者ニ對スル體格檢查ハ之ヲ無效トス

第六條　航空免狀交付申請者ニシテ體格檢查ニ合格セサリシ者又ハ前條ノ規定ニ依リ體格檢查ヲ停止セラレ若ハ無效トセラレタル者ニ付テハ遞信大臣ハ一年以下ノ期間ヲ定メ受驗ヲ禁止スルコトアルヘシ

第七條　體格檢查ニ要スル費用ハ官ニ於テ支出スルモノヲ除クノ外受檢者ノ負擔トス

第八條　二等飛行機操縦士、自由氣球操縦士、二等航空士又ハ航空機關士ノ免狀ノ交付申請者若ハ受有者體格檢查ノ結果左ノ各號ノ一ニ該當スル者ナルトキハ之ヲ不合格トス

一　身長五尺未滿ノ者
二　精神病ノ遺傳的素因ヲ有スル者
三　精神病、癲癇、「ヒステリー」又ハ閃輝暗點症、既往症ヲ有スル者
四　慢性酒精中毒者
五　器質的腦疾患又ハ官能性神經系疾患ヲ有スル者
六　航空機ノ取扱ニ支障ヲ及ホスコトアルヘキ創傷又ハ先天的若ハ後天的畸形ヲ有スル者
七　身體各部ノ發育及能率著シク不均等ナル者
八　循環器若ハ呼吸器ニ異常アル者、循環機能若ハ呼吸機能充分ナラサル者又ハ是等臟器ノ機能ニ障害ヲ及ホスヘキ他ノ臟器ノ疾患ヲ有スル者
九　各眼ノ矯正視力〇、六未滿ノ者、光神、視野、調節力、兩眼視機、眼運球動及眼筋平衡ニ障害ヲ有スル者
十　一メートルノ距離ニ於テ呼語ヲ聽取シ得サル者
十一　聽能ノ左右不均等ナル者又ハ均衡機能ニ障害ヲ有スル者
十二　鼓膜ニ病的變化ヲ呈シ又ハ歐氏管狹窄ヲ有スル者
十三　明暗ノ順應ニ著シク不均等ナル者
十四　鼻腔又ハ鼻腔ニ疾患ヲ有スル者
十五　容易ニ肢體ヲ起スヘキ異常ノ素質ヲ有スル者
十六　感情動搖著シキ者
十七　筋神ノ著シク不敏ナル者
十八　反應時間及認識選擇時間著シク遲延スル者又ハ錯誤過大ナル者
十九　心理學的檢查ニ於テ著シキ異常アル者
二十　其ノ他精神上又ハ身體上ノ疾病若ハ缺陷ヲ有シ航空機乘員タルニ適セサル者

第九條　一等飛行機操縦士、航空船操縦士又ハ一等航空士ノ免狀ノ交付申請者若ハ受有者身體檢查ノ結果前條第一號乃至第八號第十二號及左ノ各號ノ一ニ該當スル者ナルトキハ之ヲ不合格トス

一　各眼ノ裸眼視力一、〇未滿ノ者
二　耳翼面ヨリ一ミリメートルノ距離ニテ地面ニ對シ垂直ニ保持セラルル音叉ノC（每秒六十四振動）、C（每秒二百五十六振動）及C（每秒四千九十六振動）ニ對シ正常ノ聽覺ヲ有セサル者
三　體格檢查執行中不合格ト爲ルヘキ事項ヲ發見シタルトキハ爾後ノ檢查ヲ中止シ不合格ノ決定ヲ爲スコトアルヘシ

第十條　體格檢查執行ニ關シ必要ナル細則ハ航空機乘員體格檢查規則ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本令ハ航空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

航空機乘員體格檢查規則

被檢查者氏名		被檢查者住所		被檢查者生年月日	
遺傳的素因		既往症			
先天的又ハ後天的畸形		創傷又ハ手術創			
一般狀態	身長	メートル	體重	キログラム	胸圍　メートル
	呼吸緊張ノ差	メートル	握力	右　左	關節運動
	循環器		呼吸器		其ノ他ノ內臟
視覺	視力	右　左	矯正視力	右　左	視野　右　左
聽覺	屈折機	右　左	辨色力		眼筋平衡
聽器	聽力	呼語	左	m（　）m（　）	
			右	m（　）m（　）	
鼻咽喉腔	鼻腔	音叉	W	L（　）	
			K	C（　）	
	副鼻腔			F4（　）	
	咽喉腔			歐氏管	
均衡機	兩脚直立				
	單脚直立	右	左	直線的步行運動	
參考事項					

檢查場所

檢查年月日

檢查醫師（住所　氏名）　印

備考

一　受檢者左記各號ノ一ニ該當スル者ナルトキハ其ノ旨參考事項欄ニ記載スヘシ
二　慢性酒精中毒者
三　身體各部ノ發育及能率著シク不均等ナル者
四　容易ニ肢體ヲ起スヘキ異常ノ素質ヲ有スル者
五　感情動搖著シキ者
六　筋神ノ著シク不敏ナル者
七　反應時間及認識選擇時間著シク遲延スル者又ハ錯誤過大ナル者
八　心理學的檢查ニ於テ著シキ異常アル者
九　其ノ他參考ト爲ルヘキ事項

●三等飛行機操縦士免許規則

昭和二年五月
遞令第十二號

三等飛行機操縦士免許規則左ノ通定ム

三等飛行機操縦士免許規則

第一條　三等飛行機操縦士免狀ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ第一號書式ニ依ル申請書ニ戸籍抄本（戸籍謄本ノ寫ヲ含ム）及最近撮影シタル寫眞（タテ四寸ヨコ三寸ノモノ）各二葉、第二號書式ニ依ル履歴書及第三號書式ニ依リ醫師ノ作成シタル體格檢査證ヲ添附シ遞信大臣ニ之ヲ提出スヘシ

第二條　遞信大臣前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ三等飛行機操縦士免狀ヲ交付ス

前項ノ試驗ハ之ヲ分チテ體格檢査、實地試驗及學科試驗トス

三等飛行機操縦士免狀ハ第四號書式ニ依ル

第三條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ハ申請ノ日ヨリ遡リ一年以內ニ十時間以上單獨ニテ飛行機ノ操縦ヲ爲シタル者ナルコトヲ要ス但シ陸軍又ハ海軍ニ於テ三等飛行機操縦士免狀ノ交付ヲ受クルニ必要ナル學科及技術ヲ修得シタル者其ノ他遞信大臣ニ於テ相當ノ資格アリト認ムル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三等飛行機操縦士免狀交付ノ申請ヲ爲スコトヲ得ス

一　年齡滿十七歲ニ達セサル者
二　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
三　精神病者、聾者、唖者又ハ盲者
四　其ノ他遞信大臣ニ於テ不適當ト認ムル者

第五條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル試驗ハ體格檢査、實地試驗、學科試驗ノ順序ニ依リ之ヲ行フ體格檢査ニ合格セサリシ者ニ對シテハ實地試驗ヲ、實地試驗ニ合格セサリシ者ニ對シテハ學科試驗ヲ行ハス

第六條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者カ陸軍又ハ海軍ニ於テ三等飛行機操縦士免狀ノ交付ヲ受クルニ必要ナル學科及技術ヲ修得シタル者其ノ他遞信大臣ニ於テ相當ノ資格アリト認ムル者ナルトキハ實地試驗及學科試驗ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトアルヘシ

第七條　遞信大臣三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル試驗ヲ行ハムトスルトキハ其ノ日時、場所其ノ他受驗ニ必要ナル事項ヲ受驗者ニ通知ス

第八條　受驗者試驗ニ關シ不正ノ行爲アリタルトキハ其ノ者ニ對スル試驗ハ之ヲ停止ス

受驗者故ナク試驗ニ遲刻シ、缺席シ又ハ實地試驗ノ際受驗用器材等ノ整備ヲ怠リタルトキハ其ノ者ニ對スル試驗ハ之ヲ停止スルコトアルヘシ

試驗終了後第一項ニ該當スル事實ヲ發見シタルトキハ當該受驗者ニ對スル試驗ハ之ヲ無效トス

第九條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニシテ試驗ニ合格セサリシ者又ハ前條ノ規定ニ依リ試驗ヲ停止セラレ若ハ無效トセラレタル者ニ付テハ遞信大臣ハ一年以下ノ期間ヲ定メ受驗ヲ禁止スルコトアルヘシ

第十條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニシテ實地試驗ニ合格シタルモ學科試驗ニ合格セサリシ者其ノ實地試驗終了ノ日ヨリ一年以內ニ同一ノ申請ヲ爲シタル場合ニ於テハ實地試驗ヲ免除スルコトアルヘシ

第十一條　試驗ニ要スル費用ハ官ニ於テ支出スルモノヲ除クノ外受驗者ノ負擔トス

第十二條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル體格檢査ハ航空機乘員體格檢査規則ニ依ル二等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル體格檢査ニ準シ之ヲ行フ

遞信大臣體格檢査證ヲ調査シタル上必要ナシト認ムルトキハ特ニ體格檢査ヲ行ハサルコトアルヘシ

第十三條　三等飛行機操縦士免狀交付申請者ニ對スル實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　飛行機體ニ關スル初等智識
二　航空機用發動機ニ關スル初等智識
三　航空及氣象ニ關スル初等智識
四　國內航空法規ノ概要

第十五條　三等飛行機操縦士免狀受有者ハ左ノ各號ノ場所ノ上空ニ限リ運送營業ノ爲ニスル場合ヲ除クノ外免狀ニ揭ケル飛行機ノ操縦ニ從事スルコトヲ得但シ運航ノ爲飛行機操縦士又ハ航空機關士ノ免狀受有者ヲ搭乘セシムル場合ヲ除クノ外他人ヲ同乘セシムルコトヲ得ス

一　飛行場及其ノ周圍五十キロメートル以內ノ場所

二　航空法第二十九條但書及航空法施行規則第百二條ノ規定ニ依リ地方長官ノ許可ヲ受ケタル場所及其ノ周圍五十キロメートル以內ノ場所

前項第一號ノ飛行場カ公共ノ用ニ供スルモノナルトキハ其ノ上空ニ於ケル飛行ニ付テハ遞信大臣ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第十六條　三等飛行機操縦士免狀受有者其ノ免狀ニ揭ケサル飛行機ノ操縦ニ從事セムトスルトキハ第五號書式ニ依ル三等飛行機操縦士免狀效力擴張申請書ヲ遞信大臣ニ提出スヘシ

遞信大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ實地試驗ヲ行ヒ申請者之ニ合格シタルトキハ其ノ受有スル免狀ニ當該飛行機ノ名稱及免許年月日ヲ記入ス

第十七條　前條第二項ノ實地試驗ニ付テハ第七條乃至第九條第十一條及第十三條ノ規定ヲ準用ス

第十八條　三等飛行機操縦士免狀受有者ハ曲技飛行又ハ興行飛行ヲ爲スコトヲ得ス

第十九條　三等飛行機操縦士ノ競技飛行ヲ行ハムトスルトキハ其ノ主催者ハ航空ノ日時、場所其ノ他計劃ノ詳細ヲ具シ實施豫定期日ノ十日前迄ニ地方長官ニ其ノ許可ヲ申請スヘシ

第二十條　遞信大臣必要アリト認ムルトキハ三等飛行機操縦士免狀受有者ニ對シ臨時ニ體格檢査、實地試驗又ハ學科試驗ヲ行フコトアルヘシ

前項ノ體格檢査、實地試驗又ハ學科試驗ニ付テハ第七條乃至第九條第十一條乃至第十四條ノ規定ヲ準用ス

第二十一條　航空法施行規則第三條第七十八條第八十條乃至第八十五條第百二十七條及第百二十八條ノ規定ハ三等飛行機操縦士免狀受有者ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ航空法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

遞信大臣宛

第二號書式

履歷書

本籍
住所　　氏名　　印
年月日生

年月日	事項

一　國籍
二　軍籍
三　學歷
四　操縦術槪況術其ノ他技術作業ニ關スル履歷
……
五　職業
……
六　賞罰
……

右之通相違無之候也

年　月　日

氏　名　印

備考

一　操縦術作業ニ關スル履歷ニハ操縦シタル航空機ノ型式、操縦回數、操縦時間其ノ他ノ事項ヲ詳細ニ記載シ尙技倆證明書又ハ航空免狀ノ受有者ニ在リテハ當該證明書又ハ免狀ノ寫ヲ添附スヘシ

二　槪況術其ノ他ノ特殊技術作業ニ關スル履歷ニハ取扱セタル機關其ノ他技術作業ニ關スル事項ヲ詳細ニ記載シ尙技倆證明書又ハ航空免狀ノ受有者ニ在リテハ當該證明書又ハ免狀ノ寫ヲ添附スヘシ

第三號書式

體格檢査證

被檢査者	氏名		被檢査者	住所		被檢査者	生年月日	
遺傳的素因			既往症					
先天的又ハ後天的時形			創傷又ハ手術創					
一般健康狀態	身長	メートル	體重	キログラム	胸圍	メートル		
	呼吸膨張ノ差	メートル	握力	右	左	關節運動		
	循環器		呼吸器			其ノ他ノ內臟		

視器	視力	右	左	矯正視力	右	左	視野	右	左
槪	屈折機	右	左	辨色力			眼筋平衡		
聽器	聽力	呼語	左						
鼻咽喉腔		右	m ( )	m ( )					
			m ( )	m ( )					
		音叉	$\frac{W}{KL}$	$-( )-$ C $-( )-$ F_4 $-( )-$					
鼻腔	鼻腔								
咽喉腔	咽喉腔								
均衡機	兩脚直立			直線的步行運動					
	單脚直立	右	左						

參考事項	

檢查場所

檢查年月日

檢查醫師（住所　氏名　印）

第四號書式

第　號

三等飛行機操縦士免狀

本籍
住所　　氏名　　年月日生

右者成規ノ試驗ニ合格シタルニ依リ三等飛行機操縦士タルノ技倆ヲ有スルモノト認定ス依テ左記飛行機ニ付三等飛行機操縦士タルコトヲ免許ス

年　月　日　　遞信省印

記

寫眞

記

飛行機　免許年月日　印

制限事項　年　月　日　印

體格檢查成績

檢查年月日　有效期間　印

成績

本籍、住所、氏名變更事項

種別　變更事項　變更年月日　印

第五號書式

三等飛行機操縱士免狀效力擴張申請書

私儀現ニ受有スル三等飛行機操縱士免狀ノ效力擴張致度候ニ付此段申請候也

一　受有三等飛行機操縱士免狀ノ番號

二　試驗ヲ受ケムトスル場所及時期

三　受驗ノ爲使用セムトスル飛行機ノ型式

年　月　日

本籍
住所
氏名　印

通信　臣宛

●航空日誌ノ書式及航空機乘員手帖ノ書式

昭和二年六月總告二百二號

朝鮮總督府令第五十六號ニ依ル昭和二年逓信省令第八號航空法施行規則第百二十六號ノ規定ニ依リ航空日誌ノ書式及同規則第百二十七條ノ規定ニ依リ航空機乘員手帖ノ書式左ノ通定ム

一　航空日誌ノ書式

（表紙）

航空日誌

（其一）

（第一頁）

1

本日誌ハ航空機ニ備附ケヘシ

記入心得

一　第二頁及第三頁ニハ航空機ノ所有者管理者當該事項ヲ記入シ第四頁以下ニハ當該航空ニ從事スル航空士又ハ當該航空士ノ航空ニ關スル事項ヲ記入スヘシ

二　第四頁以下ノ航空ノ種類ハ定期航空、練習航空、夜間航空等ノ區別ヲ記入シ備考欄ニハ天候、航空ニ關スル特別ノ事項ヲ記入スヘシ

三　記入ニハ「インク」ヲ使用スヘシ

（第二頁）

2

航空機要目表

航空機	種類	
	型式	
國籍及登錄記號		
積載量	乘員座席數	
	旅客座席數	
	貨物積載量	
	貨物積載容積	
油槽及燃料	燃料	
	潤滑油	
全馬力飛行時數		
無線通信機	型式	
	波長	

正面圖

側面圖　平面圖

（表　紙）

航　空　日　誌

（二　共）

（第　一　頁）

1

本日誌ハ常ニ之ヲ發動機ニ備附クヘシ

記　入　心　得

一　第二頁乃至第十五頁ニハ發動機ノ所有者又ハ管理者當該事項ヲ記入スヘシ

二　第十六頁以下ニハ當該運轉ニ從事シタル操縱士又ハ機關士運轉終了ノ都度當該事項ヲ記入スヘシ

（第　三　頁）

3

發動機要目表					「プロペラ」要目表				
型式					型式				
重量					回轉數				
標準馬力數					直徑				
標準回轉數					ピッチ				
減速比					翅數				
數					材質				
裝備年月日					數				
					裝備年月日				

附屬品目表

品目	高度計	速度計	羅針儀	壓力計	水温計	時計	回轉計	前後傾斜計	左右傾斜計	温度計	檢油計	落下傘	救命胴衣	消火器	補修用具	道具箱	航空圖								
數																									

（第　四　頁）

4

航空日誌									
年月日	航空ノ種類	乘員氏名	區域	距離	發著時刻	所要時間	製造又ハ特別檢査後ノ航空時間累計	備考	

備考
一　本日誌ノ寸法ハ縱十九センチメートル橫二十四センチメートル
二　第五頁以下ハ第三頁ニ同シ

（第　二　頁）

2

發動機要目表

型式及馬力數			冷却水及潤滑油ヲ含マサル重量		
標準馬力數			分解及手入標準時間		
標準回轉數			製造番號		
回轉方向			檢査濟記號		
著火點	上死點前		製造所名		
最低及最高油壓	最低	最高	製造年月日		
燃料及潤滑油ノ種類	燃料	潤滑油	使用開始年月日		
燃料及潤滑油標準消費量	燃料	潤滑油			

			計畫	實測																
氣筒番號																				
著火順序																				
調整	吸入瓣	開期	上死點																	
		閉期	下死點後																	
	排氣瓣	開期	下死點前																	
		閉期	上死點																	
	間隙	吸氣瓣																		
		排氣瓣																		

（第　三　頁）

3

變更記錄

所有者氏名	裝備航空機ノ型式	裝備航空機ノ國籍及登錄記號	裝備年月日	變更事由

（第　六　頁）

6

發動機修理及部分品取換記錄

修理又ハ取換年月日	修理又ハ取換ヲ爲シタル部分	修理又ハ取換ノ模様

（第　十　六　頁）

16

發動機日誌

年月日	運轉時間 地上	空中	合計	割込後ノ運轉時間累計	分解手入後ノ運轉時間累計	運轉中ニ於ケル事故

備考　一　本日誌ノ寸法ハ縱十九センチメートル橫二十四センチメートルトス

二　第四頁及第五頁ハ第三頁ニ同ジク第七頁乃至第十五頁ハ第六頁ニ同ジク第十七頁以下ハ第十六頁ニ同ジ

（第　六　頁）

6

航　空　記　錄

月日	航空機型式及記號		飛行回數	同累計	飛行時間	同累計
航空機ノ型式						
航空回數累計						
航空時間累計						

（第　三　頁）

（第　七　頁）

7

（昭和　年）

備考			

ノ一ニ屆出ヅルコトヲ得

一　使用飛行場

二　使用日時

三　使用航空機ノ種類、型式及記號並乘員ノ氏名及受有免狀ノ種類

四　飛行機計器機、羅針盤修正表、起重機、給水設備又ハ航空照明設備ノ使用ノ要否

五　航空ノ目的、航空路其ノ他參考ト爲ルベキ事項

第三條　前條ノ規定ニ依リ飛行場使用ノ届出ヲ爲シタル後其ノ使用ヲ必要トセザルニ至リタルトキ又ハ前條各號ノ事項ヲ變更セムトスルトキハ遲滯ナク其ノ旨前條ノ届出ヲ爲シタル飛行場長ニ届出ヅベシ但シ他ノ關係飛行場長ニ届出ヅルヲ利便トスル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ飛行場長ハ飛行場ノ使用ヲ制限、停止若ハ禁止シ又ハ必要ナル措置ヲ爲サシムルコトアルベシ

一　使用ノ爲危害ヲ生ジ又ハ生ゼムトスル虞アルトキ

二　本令ノ規定又ハ本令ニ基ク命令ニ違反シタルトキ

三　其ノ他飛行場長ニ於テ使用セシムルヲ不適當ト認ムルトキ

飛行場長ハ前項ノ處分ニ關シ必要アリト認ムルトキハ使用航空機ノ檢査ヲ爲スコトアルベシ

第五條　使用者又ハ其ノ使用人故意又ハ過失ニ因リ飛行場ノ設備ヲ滅失又ハ毀損シタルトキハ選信大臣ノ命ズル所ニ從ヒ使用者ニ於テ之ガ修繕ヲ爲シ又ハ其ノ損害ヲ賠償スベシ

第六條　朝鮮、關東州又ハ臺灣ノ飛行場ト内地ノ飛行場トヲ併セ使用セムトスル場合ニ於テ朝鮮、關東州又ハ臺灣ニ於ケル當該規則ニ依リ本令第二條又ハ第三條ニ該當スル届出ヲ爲シタルトキハ本令ニ依リ届出ヲ爲シタルモノト看做ス

第七條　飛行場ノ使用ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外飛行場長ノ指示ニ從フベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮航空奬勵規則

昭和十年一月
總令第一號

朝鮮航空奬勵規則左ノ通定ム

朝鮮航空奬勵規則

第一條　朝鮮總督ハ民間ニ於ケル航空ノ發達ヲ圖ル爲本令ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ金品ヲ授與スルコトアルベシ

第二條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ賞狀及賞金又ハ賞品ヲ授與スルコトアルベシ

一　航空機操縱士其ノ他航空機ノ調節若ハ補修ニ從事シ其ノ成績顯著ナル者

二　航空機操縱士又ハ航空機ノ調節若ハ補修ニ從事シ其ノ技術ニ付功勞アリタル者

三　航空機操縱士又ハ航空機ノ調節若ハ補修ニ從事シ其ノ技術ニ付特ニ優秀ナル者

四　優秀ナル航空用機器及所要材料ノ考案又ハ製作ヲ爲シタル者

第三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ特ニ奬勵ノ必要アルモノニハ奬勵金ヲ授與スルコトアルベシ

一　優秀ナル航空用機器及所要材料ノ考案又ハ研究ニ從事スル者

二　航空ニ關スル競技會、共進會又ハ之ニ準ズベキモノノ開設者其ノ他航空知識ノ普及ニ關スル施設ヲ爲ス者

四　航空路ノ開設ニ從事スル者

五　其ノ他航空事業ノ發達ニ必要ナル施設ヲ爲ス者

第四條　朝鮮ニ籍ヲ有スル航空距離ノ制限ナキ飛行機ニシテ其ノ所有者又ハ乘員ノ故意又ハ重大ナル過失ニ因ラズシテ損傷シ其ノ修繕容易ニシテ朝鮮總督ノ適當ト認ムル工場ニ於テ其ノ相當ト認ムル修繕ニテ之ヲ修繕シ且修繕後航空距離ノ制限ナキ飛行機トシテ有效期間六月ノ堪航證明書ヲ發給セラレ更ニ之ヲ航空ノ用ニ供セントスルモノニ付テハ所有者ノ申請ニ依リ維持奬勵金ヲ授與スルコトアルベシ

第五條　朝鮮ニ籍ヲ有スル航空機ノ乘員航空事務ニ從事中自己ノ重大ナル過失ニ因ラズシテ死亡シ又ハ傷痍ヲ受ケ不具廢疾ト爲リタルトキハ之ニ扶助金ヲ交付スルコトアルベシ本人死亡ノ場合ニ於テハ扶助金ハ其ノ遺族ニ之ヲ交付ス

第六條　第二項ニ規定スル賞狀及賞金又ハ賞品ヲ受クベキ者其ノ授與前死亡シタルトキハ之ヲ本人ノ遺族ニ交付ス

第七條　前二條ニ於テ遺族ト稱スルハ本人ノ配偶者、子、父、母、祖父、祖母、兄弟姉妹ニシテ本人死亡ノ當時之ト同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ但シ本人死亡後出生シタル嫡出ノ子ハ之ヲ死亡ノ當時其ノ戸籍内ニ在リタル者ト看做ス

第八條　賞狀及賞品若ハ賞金又ハ扶助金ヲ遺族ニ交付スル場合ニ於テハ其ノ順位ハ前條ニ規定スル遺族ノ順序ニ依リ同順位ノ子數人アルトキハ本人ヲ被相續人トシタル家督相續又ハ戸主相續ノ順位ニ準ジ之ヲ定ム

父母ニ付テハ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス祖父母ニ付テハ養父母ノ父母ヲ先ニシ實父母ノ父母ヲ後ニシ父母ノ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●滑空機規則

昭和十二年五月
遞令第四十號

滑空機規則左ノ通定ム

滑空機規則

目次

第一章　總　則
第二章　檢　査
第三章　記號及番號
第四章　乘　員
第五章　試　驗
第六章　運　航

第一章　總　則

第一條　航空法第六條第二項、第七條、第八條第二項乃至第四項、第九條、第十六條、第十九條、航空法施行規則第二十一條乃至第二十三條、第二十五條、第三十一條乃至第六十八條、第七十四條、第七十七條第一項及第七十九條ノ規定ハ滑空機ニ之ヲ適用セズ

第二條　滑空機ハ左ノ二種トス

一　甲種滑空機、曲技ヲ行ヒ又ハ他ノ航空機ニ曳航セラレ得ル性能及强度ヲ有スル滑空機

二　乙種滑空機、前號ニ掲グルモノ以外ノ滑空機

第二章　檢　査

第三條　航空法施行規則第十二條乃至第十五條ノ規定ニ依ル檢査申請書ニハ滑空機ノ種別ヲ附記スベシ

第四條　選信大臣乙種滑空機ノ製造檢査ニ付必要ナシト認ムルトキハ材料、部分品、技功又ハ製品ノ檢査ヲ省略スルコトアルベシ

第五條　乙種滑空機ノ製造完了シタルトキハ製造者ハ左ニ掲グル事項ニ付試査ヲ行ヒ其ノ成績表ヲ選信大臣ニ提出スベシ

一　重　量

二　寸度ノ良否

三　變歪ノ有無

四　各部ノ調整、平衡及操縱ノ良否

第六條　航空法施行規則第十三條ノ規定ニ依リ特別檢査申請書ニ添附スル書類ニハ滑空機ノ使用回數ヲ附記スベシ

第七條　乙種滑空機ノ定期檢査申請書ニハ滑空機ノ現狀ニ關スル報告書ヲ添附スベシ

第八條　選信大臣乙種滑空機ノ特別檢査、定期檢査又ハ臨時檢査ノ場合ニ於テ申請書其ノ他ニ依リ堪航性ニ支障ナシト認ムルトキハ臨檢ヲ省略スルコトアルベシ

第九條　堪航證明書ノ有效期間ハ製造檢査又ハ特別檢査ニ合格シタル日ヨリ起算シ甲種滑空機ニ在リテハ六月以内、乙種滑空機ニ在リテハ一年以内ニ於テ、乙種滑空機ニ付テハ所有者ノ申請ニ依リ維持奬勵金ヲ授與スルコトアルベシ

第五條　朝鮮ニ籍ヲ有スル航空機ノ乘員航空事務ニ從事中自己ノ重大ナル過失ニ因ラズシテ死亡シ又ハ傷痍ヲ受ケ不具廢疾ト爲リタルトキハ之ニ扶助金ヲ交付スルコトアルベシ本人死亡ノ場合ニ於テハ扶助金ハ其ノ遺族ニ之ヲ交付ス

第六條　第二項ニ規定スル賞狀及賞金又ハ賞品ヲ受クベキ者其ノ授與前死亡シタルトキハ之ヲ本人ノ遺族ニ交付ス

第七條　前二條ニ於テ遺族ト稱スルハ本人ノ配偶者、子、父、母、祖父、祖母、兄弟姉妹ニシテ本人死亡ノ當時之ト同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ但シ本人死亡後出生シタル嫡出ノ子ハ之ヲ死亡ノ當時其ノ戸籍内ニ在リタル者ト看做ス

第八條　賞狀及賞品若ハ賞金又ハ扶助金ヲ遺族ニ交付スル場合ニ於テハ其ノ順位ハ前條ニ規定スル遺族ノ順序ニ依リ同順位ノ子數人アルトキハ本人ヲ被相續人トシタル家督相續又ハ戸主相續ノ順位ニ準ジ之ヲ定ム

父母ニ付テハ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス祖父母ニ付テハ養父母ノ父母ヲ先ニシ實父母ノ父母ヲ後ニシ父母ノ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス

附　則

本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●滑空機規則

昭和十二年五月
遞令第四十號

滑空機規則左ノ通定ム

滑空機規則

目次

第一章　總　則
第二章　檢　査
第三章　記號及番號
第四章　乘　員
第五章　試　驗
第六章　運　航

第一章　總　則

第一條　航空法第六條第二項、第七條、第八條第二項乃至第四項、第九條、第十六條、第十九條、航空法施行規則第二十一條乃至第二十三條、第二十五條、第三十一條乃至第六十八條、第七十四條、第七十七條第一項及第七十九條ノ規定ハ滑空機ニ之ヲ適用セズ

第二條　滑空機ハ左ノ二種トス

一　甲種滑空機、曲技ヲ行ヒ又ハ他ノ航空機ニ曳航セラレ得ル性能及强度ヲ有スル滑空機

二　乙種滑空機、前號ニ掲グルモノ以外ノ滑空機

第二章　檢　査

第三條　航空法施行規則第十二條乃至第十五條ノ規定ニ依リ特別檢査申請書ニハ滑空機ノ種別ヲ附記スベシ

第四條　選信大臣乙種滑空機ノ製造檢査ニ付必要ナシト認ムルトキハ材料、部分品、技功又ハ製品ノ檢査ヲ省略スルコトアルベシ

第五條　乙種滑空機ノ製造完了シタルトキハ製造者ハ左ニ掲グル事項ニ付試査ヲ行ヒ其ノ成績表ヲ選信大臣ニ提出スベシ

一　重　量

二　寸度ノ良否

三　變歪ノ有無

四　各部ノ調整、平衡及操縱ノ良否

第六條　航空法施行規則第十三條ノ規定ニ依リ特別檢査申請書ニ添附スル書類ニハ滑空機ノ使用回數ヲ附記スベシ

第七條　乙種滑空機ノ定期檢査申請書ニハ滑空機ノ現狀ニ關スル報告書ヲ添附スベシ

第八條　選信大臣乙種滑空機ノ特別檢査、定期檢査又ハ臨時檢査ノ場合ニ於テ申請書其ノ他ニ依リ堪航性ニ支障ナシト認ムルトキハ臨檢ヲ省略スルコトアルベシ

第九條　堪航證明書ノ有效期間ハ製造檢査又ハ特別檢査ニ合格シタル日ヨリ起算シ甲種滑空機ニ在リテハ六月以内、乙種滑空機ニ在リテハ一年以内ニ於テ、選信大臣ノ命ズル所ニ從ヒ使用者ニ於テ之ガ修繕ヲ爲シ又ハ其ノ損害ヲ賠償スベシ

第十條　朝鮮、關東州又ハ臺灣ノ飛行場ト内地ノ飛行場トヲ併セ使用セムトスル場合ニ於テ朝鮮、關東州又ハ臺灣ニ於ケル當該規則ニ依リ本令第二條又ハ第三條ニ該當スル届出ヲ爲シタルトキハ本令ニ依リ届出ヲ爲シタルモノト看做ス

第十一條　飛行場ノ使用ニ關シテハ本令ニ定ムルモノノ外飛行場長ノ指示ニ從フベシ

之ヲ定ム

前項ノ有效期間ハ定期檢査又ハ臨時檢査ノ結果ニ依リ檢査ノ日ヨリ起算シ甲種滑空機ニ在リテハ六月以内ニ於テ、乙種滑空機ニ在リテハ一年以内ニ於テ選信大臣之ヲ延長ス

堪航證明書ハ第一號書式ニ依ル

第十條　滑空機ノ牽引裝置ニハ第三條ノ除クノ外第二號書式ニ依ル檢査申請書ヲ選信大臣ニ提出シ檢査ヲ受クベシ

前項ノ檢査ニ合格シタル牽引裝置ニハ第三號書式ニ依ル檢査濟記號ヲ標示ス

第十一條　被牽引者ニ於テ何時ニテモ牽引索ヲ切離シ又ハ離脫シ得ル裝置ヲ備フベシ

第十二條　選信大臣必要アリト認ムルトキハ何時ニテモ牽引裝置ノ檢査ヲ爲スコトアルベシ

第三章　記號及番號

第十三條　製造檢査又ハ特別檢査ニ合格シタル滑空機ニハ主翼ノ上下面及胴體ノ兩側ニ其ノ種別記號及檢査番號ヲ明瞭ニ表示スベシ

第十四條　滑空機ノ種別記號ハ甲種滑空機ニ在リテハ羅馬字ノ大文字A、乙種滑空機ニ在リテハ羅馬字ノ大文字Bヲ以テ之ヲ表示ス

滑空機ノ檢査番號ハ「アラビヤ」數字ヲ以テ之ヲ表示ス

第四章　乘　員

第十五條　滑空機ノ乘員ハ航空法第十五條第二項ノ技倆證明書ヲ有スルコトヲ要セズ

第十六條　滑空機ノ乘員ノ航空免狀ハ一段滑空士免狀及二段滑空士免狀ノ二種トス

第十七條　一段滑空士免狀ノ受有者ニ非ザレバ運送營業ノ爲ニスル滑空ニ從事又ハ他ノ航空機ノ曳航ニ依ル滑空機ノ運航ヲ爲スコトヲ得ズ

第十八條　選信大臣ハ滑空士免狀ノ受有者本令又ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ違反シ又ハ運航練習ノ指導ヲ爲スニ適セズト認ムルトキハ其ノ就業ヲ制限、停止又ハ禁止スルコトアルベシ

前項ノ規定ニ依リ就業ヲ制限又ハ停止セラレタル者ハ遲滯ナク滑空士免狀ヲ選信大臣ニ提出スベシ

第十九條　選信大臣ハ運送營業ニ從事スル一段滑空士免狀受有者ニ對シ免狀交付ノ日ヨリ六月以内毎ニ定期ニ檢査ヲ行フ

第五章　試　驗

第二十條　一段滑空士免狀交付申請者ハ年齡滿十九歲以上、二段滑空士免狀交付申請者ハ年齡滿十七歲以上ノ者ナルコトヲ要ス

第二十一條　一段滑空士免狀交付申請者ハ五分間ヲ超ユル單獨滑空五回以上、一時間ヲ超ユル單獨滑空一回以上及他ノ航空機ノ曳航ニ依ル單獨滑空二回以上ノ履歷ヲ、二段滑空士免狀交付申請者ハ一分間ヲ超ユル單獨滑空五回以上及五分間ヲ超ユル單獨滑空一回以上ノ履歷ヲ有スル者ナルコトヲ要ス

第二十二條　滑空士免狀交付申請者ハ第五號書式ニ依ル申請書ニ戶籍抄本、航空機乘員試驗規則第十條第一號ニ該當セザルコトノ市區町村長其ノ他當該官公吏ノ證明書、最近撮影シタル寫眞「アゲスト」型二葉、第六號書式ニ依ル履歷書及免狀機乘員發給檢查規則第一號書式ニ依リ醫師ノ作成シタル體格檢查證ヲ添附シ選信大臣ニ之ヲ提出スベシ

第二十三條　選信大臣前條ノ申請書ヲ受理シタルトキハ體格檢查、實地試驗及學科試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタル者ニ滑空士免狀ヲ交付ス

第二十四條　一段滑空士免狀及二段滑空士免狀交付申請者ニ對スル體格檢查ニ付航空機乘員發給檢查規則第一條ノ規定ヲ準用ス

第二十五條　滑空士免狀ノ受有者曲技滑空ニ從事セムトスルトキハ第七號書式ニ依ル曲技滑空免許申請書ヲ選信大臣ニ提出スベシ

選信大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ實地試驗ヲ行ヒ申請者之ニ合格シタルトキハ其ノ受有スル滑空士免狀ニ免許ノ年月日ヲ記入ス

第二十六條　一段滑空士免狀交付申請者ニ對スル實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ連續一時間以上滑空スルコト

二　單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ牽引索ヲ離脫シタル時ノ高度ヨリ三百メートル以上ノ上空ニ達スルコト

三　單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ滑空ノ後試驗官ノ指定スル區域内ニ正常ノ著陸ヲ爲スコト

四　單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ他ノ航空機ノ曳航ニ依リ出發ノ場所ヨリ約二十キロメートルヲ隔ツル試驗官ノ指定スル場所ノ上空ニ至リ更ニ出發ノ場所ニ復歸スルコト

第二十七條　二段滑空士免狀交付申請者ニ對スル實地試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ連續五分間以上滑空スルコト

二　單獨ニテ滑空機ニ搭乘シ滑空ノ後試驗官ノ指定スル區域内ニ正常ノ著陸ヲ爲スコト

第二十八條　一段滑空士免狀交付申請者ニ對スル學科試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　滑空機ニ關スル一般智識

二　航空學ニ關スル一般智識

三　航空及氣象ニ關スル一般智識

四　國内航空法規

第二十九條　二段滑空士免狀交付申請者ニ對スル學科試驗ハ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　滑空機ニ關スル一般智識

二　氣象ニ關スル初等智識

三　國内航空法規ノ概要

第三十條　滑空士免狀ノ受有者曲技滑空ニ從事セムトスルトキハ第七號書式ニ依ル曲技滑空免許申請書ヲ選信大臣ニ提出スベシ

選信大臣前項ノ申請書ヲ受理シタルトキハ實地試驗ヲ行ヒ申請者之ニ合格シタルトキハ其ノ受有スル滑空士免狀ニ免許ノ年月日ヲ記入ス

第三十一條　前條ノ實地試驗ハ試驗官ノ指定スル高度ニ滑空機ヲ上昇セシメタル後宙返、急反轉等ノ科目ニ付之ヲ行フ

第六章　運　航

第三十二條　滑空機ハ他ノ航空機ノ曳航ニ依ル場合ヲ除クノ外公共ノ用ニ供スル飛行場ニ於テ離陸又ハ著陸スルコトヲ得ズ但シ選信大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十三條　航空法第十五條第一項ノ規定ハ滑空機ニ搭乘シテ運航練習ヲ爲ス者ニ之ヲ適用セズ

運航練習ハ滑空機ノ乘員ノ指導ヲ受クルニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ但シ二段滑空士免狀ノ受有者他ノ航空機ノ曳航ニ依ル運航練習ヲ爲ス場合、一段滑空士免狀若ハ二段滑空士免狀ノ受有者曲技滑空ノ練習ヲ爲ス場合又ハ選信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條　他ノ航空機ノ曳航ニ依ル滑空機ノ運航練習ノ指導ハ一段滑空士免狀ノ受有者ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

曲技滑空ノ練習ノ指導ハ第三十條ノ規定ニ依ル免許ヲ受ケタル者ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

第三十五條　他ノ航空機ノ曳航ニ依ル滑空機ノ運航練習ハ選信大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外出發ノ場所ノ周圍二十キロメートル以内ノ場所ノ上空ニ於テノミ之ヲ行フコトヲ得

第三十六條　滑空機ニ備附クベキ航空日誌ハ第八號書式ニ依ル

附　則

第三十七條　本令ハ昭和十二年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十八條　本令施行前檢查ニ合格シタル滑空機ハ之ヲ本令ニ依ル檢查ニ合格シタルモノト看做ス

第三十九條　第三章ノ規定ハ本令施行前檢查ニ合格シタル滑空機ニシテ國籍記號及登錄記號ヲ表示シタルモノニ之ヲ適用セズ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第一號書式

滑空機耐航證明書

型式	
耐航證明書番號	
種別記號及檢査番號	
用途	
積載量	座席數
	貨物
有效期間	自昭和　年　月　日 至昭和　年　月　日
交付年月日	昭和　年　月　日
所有者氏名及住所	
制限事項	

（15ミリメートル）

（200ミリメートル）

遞信省印

第二號書式

滑空機牽引裝置檢査申請書

滑空機牽引裝置檢査相受度候ニ付此段申請候也

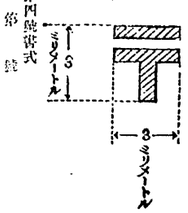
一　製造場所

二　檢査ヲ受ケムトスル場所及時期

年　月　日　住所　氏名　印

遞信大臣宛

第三號書式



第四號書式

第　號

裁滑空士免狀

本籍　住所　氏名　年月日生

寫眞

右者成規ノ體格檢査、實地試驗及學科試驗ニ合格シタリ依テ裁滑空士タルコトヲ免許ス

年　月　日　遞信省印

官廳記載事項

事項	年月日	印

第五號書式

裁滑空士免狀交付申請書

私儀裁滑空士免狀相受度候ニ付關係書類及寫眞相添へ此段申請候也

一　試驗ヲ受ケムトスル場所及時期

二　試驗ノ爲使用セムトスル滑空機ノ型式

年　月　日　本籍　住所　裁滑空士　氏名　印

遞信大臣宛

第六號書式

履歷書

本籍　住所　氏名　年月日生

一　圖錄

二　証書

三　學歷

四　滑空ノ履歷

五　職業

六　賞罰

第七號書式

曲技滑空免許申請書

私儀曲技滑空ヲナス爲免許相受度候ニ付此段申請候也

一　受有滑空士免狀ノ番號

二　試驗ヲ受ケムトスル場所及時期

三　受驗ノ爲使用セムトスル滑空機ノ型式

年　月　日　本籍　住所　裁滑空士　氏名　印

遞信大臣宛

右之通相違無之候也

年　月　日　氏名　印

右第四號記載ノ事項事實ニ相違無之候也

年　月　日　住所　氏名　印

右指導者　裁滑空士　氏名　印

第八號書式

表紙

航空日誌

（滑空機）

右之通相違無之候也

年　月　日　氏名　印

第一頁

1

本日誌ハ常ニ之ヲ滑空機ニ備付ケベシ

記入心得

一　第二頁ニハ滑空機ノ最初ノ所有者又ハ管理者當該事項ヲ記入スベシ

二　第三頁乃至第十五頁ニハ滑空機ノ所有者又ハ管理者修理參了ノ都度當該事項ヲ記入スベシ

三　第十六頁以下ノ備考欄ニハ天候、滑空事故其ノ他滑空ニ關シ參考トナルベキ事項ヲ記入スベシ

無免狀者ノ滑空ニアリテハ指導者ハ備考欄ニ關係書類ヲ添附スベシ

四　寫眞ハ本人ノ署名又ハ捺印スベシ

第二頁

2

滑空機要目表

所有者住所氏名	
型式	
種別	
種別記號及檢査番號	
自重	
積載量	
座席數	
バラストタンク容量	
積載貨物量	
重心許容範圍	前縁ヨリ後方　mmヨリ　mm迄
製造所	
製造年月日	
製造番號	

寫眞

機體ノ型式、種別記號及檢査番號ノ判リ得ル手札型ノモノヲ貼附スベシ

第三頁

3

滑空機破損改造修理記錄

改修年月日	破損シタル部分	改造修理ノ模樣

第六頁

16

滑空機日誌

年月日	操縦者氏名	區域	距離	滑空時間	特別滑空又ハ檢査後ノ滑空時間累計	備考

備考

一　本日誌ノ寸法ハ縦十九センチメートル横二十四センチメートルトス

二　第四頁乃至第十五頁ハ第三頁ニ同ジク第十七頁以下ハ第十六頁ニ同ジ

第十三款　開港

●開港取締規則

慶應大正四年七月十七號月

第一條　開港ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二條　開港ニハ港界ヲ定メ港内ニ船舶ノ碇泊場及ヒ荷物ノ陸揚場ヲ設ケ又ハ指定スヘキ場所ニ於テ船舶ノ碇泊ヲ爲サシムヘシ

第三條　港界ハ陸地ノ部分ト雖モ税關ノ取締ヲ要スル場所ニ於テハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ港界トス

第四條　港界ニ於テ船舶ノ碇泊ヲ爲サシムヘキ場所ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊場トス

第五條　碇泊場ニ於テ船舶ノ碇泊ヲ爲サシムヘキ位置ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊位置トス

第六條　碇泊場ニ於テ船舶ノ碇泊ヲ爲サシムヘキ位置ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊位置トス

第七條　碇泊位置ニ於テ船舶ノ碇泊ヲ爲サシムヘキ船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第四十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第五十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第六十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第七十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第八十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第九十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百二十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百三十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百四十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百五十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百六十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百七十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百八十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第百九十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百二十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百三十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百四十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百五十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百六十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百七十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百八十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第二百九十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百二十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百三十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十三條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十四條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十五條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十六條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十七條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十八條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百四十九條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百五十條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百五十一條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域ヲ以テ碇泊船舶トス

第三百五十二條　碇泊船舶ハ税關ノ指定スル區域

二　船名
三　船主
四　国籍
五　船籍港名
六　總噸數
七　登簿噸數
八　取扱店
九　原發貨地及最後發貨地名並發航年月日
十　當港陸揚貨物個数及噸数
十一　最先到達地及最終到達地名
十二　出港見込日時
右年　月　日時當港ニ入港候間此段及御届候也
年　月　日　（船名）　船長某
釋奈署長宛

（第一號雛式記載事項第一號乃至第十二號ニ準ス）
右年　月　日時當港ニ入港致シ　年　月　日時出港可致候間此段及御届候也
年　月　日　（船名）　船長某
釋奈署長宛

（第二號雛式）
出港届
一　船名
右年　月　日時（何地）ヘ向ケ當港出港可致候間此段及御届候也
年　月　日　（船名）　船長某
釋奈署長宛

（第三號雛式）
寄港届
（第一號雛式記載事項第一號乃至第十二號ニ準ス）
右年　月　日時當港ニ入港致シ　年　月　日時出港可致候間此段及御届候也
年　月　日　（船名）　船長某
釋奈署長宛

●開港ニ於ケル港界表示ノ爲立標及浮標設置ノ件

大正五年二月
總督府令第十九號

開港ニ於ケル港界表示ノ爲立標及浮標ヲ設置ス其ノ立標、浮標及設置ノ場所左ノ如シ

仁川港
立標二　納島、勿淄島
浮標一　勿淄島ノ東端ヲ基準トシテ南微西二分ノ一西（乾方微子）ニ引キタル一線ト納島ノ南端ヨリ西四分ノ三南ニ引キタル一線トノ交叉點

群山港
立標四　所雉串、所雉串ヨリ南四分ノ三東ニ引キタル一線ノ對岸、龍堂堂末
浮標一　堂末ヨリ後望山山頂ニ引キタル一線ト龍堂ヨリ前望山挂燈立標ニ向ケ引キタル一線トノ交叉點

木浦港
立標三　高下島二百四十呎山頂ヨリ四十二呎島ノ山頂ヲ經テ引キタル一線ノ對岸、南角、牙山山頂ヨリ三鶴島ノ東端ヲ經テ引キタル一線ニ當ル務安半島

釜山港
立標四　富民洞南端、大風浦、廣瀨末、浮鳳末

鎭南浦港
立標三　猪島百七十七呎山頂ヨリ北二分ノ一西ニ引キタル一線ノ對岸、望達里埼、望達里埼ヨリ北二分ノ一西ニ引キタル一線ニ當ル無名島

新義州港
立標二　下端洞（龍岩浦ノ東北、三橋川川口

龍岩浦港
立標三　加次島「クルミ」島、細島

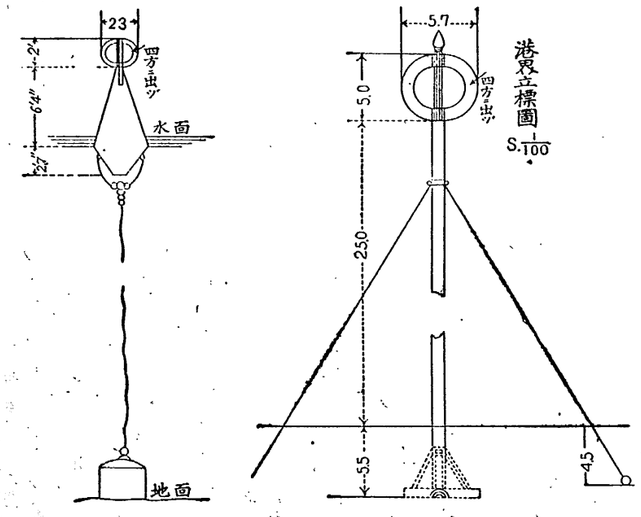
元山港
立標二　陽川川口右岸、德源郡縣面連斗島里百三十六呎ノ山頂

淸津港
立標一　高林山端ヨリ眞方位二百六十七度ニ引キタル一線ニ當ル對岸

城津港
立標一　沙津潟ヨリ厚里津山山頂ニ引キタル一線ニ當ル對岸

雄基港
立標二　琵琶頂島東端及同所ヨリ雄基山千三百三十一呎山頂ニ引キタル一線ニ當ル對岸

羅津港
立標一　城亭端ヨリ小草島南端ニ引キタル一線ニ當ル對岸



●雄基ヲ開港トスルノ件

大正十年五月
總督府令第九十一號

從來ノ開港ノ外咸鏡北道雄基ヲ開港トス

附　則

本令ハ大正十年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

●羅津ヲ開港トスルノ件

昭和十年十月
總督府令第百三十三號

從來ノ開港ノ外昭和十年十一月一日ヨリ咸鏡北道羅津ヲ開港トス

第三章　電氣　附瓦斯

●朝鮮電氣測定令

大正十二年四月
制令第十號

朝鮮電氣測定令明治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮電氣測定令

第一條　電氣ノ測定ニ於テハ電氣抵抗ハ「オーム」、電流ハ「アムペア」、電壓ハ「ヴォルト」、電力ハ「ワット」、電量ハ「クーロム」、電氣容量ハ「ファラッド」、電氣誘導ハ「ヘンリー」、電氣仕事ハ「ジュール」ヲ以テ單位トス

「オーム」ハ氷ノ融解溫度ニ於テ質量一四・四五二一「グラム」ヲ以テ一〇六・三〇〇「センチメートル」ニシテ均一ナル切斷面積ヲ有スル水銀柱ノ不變電流ニ對スル電氣抵抗ヲ謂フ

「アムペア」ハ硝酸銀ノ水溶液ヲ通過シ毎秒〇・〇〇一一八〇〇「グラム」ノ銀ヲ分離スル不變電流ヲ謂フ

「ヴォルト」ハ「オーム」ノ電氣抵抗ヲ有スル導體ニ「アムペア」ノ不變電流ヲ發生セシムル爲要スル不變電壓ヲ謂フ

「ワット」ハ「ヴォルト」ノ電壓ニ於テ「アムペア」ノ不變電流ニ依リ毎秒發サルル電氣勞力ヲ以テ表示スル電力ヲ謂フ

「クーロム」ハ「アムペア」ノ電流ニ依リ一秒間ニ移送サルル電量ヲ謂フ

「ファラッド」ハ「クーロム」ノ電量ニ依リ「ヴォルト」ノ電位ニ充電サルル蓄電器ノ電氣容量ヲ謂フ

「ヘンリー」ハ毎秒一「アムペア」ノ割合ヲ以テ變化スル電流ニ依リ「ヴォルト」ノ電壓ヲ發生スル電路ノ電氣誘導ヲ謂フ

「ジュール」ハ一「アムペア」ノ電流ノ「オーム」ノ電氣抵抗ヲ有スル導體ヲ通過スルトキ一秒間ニ爲ス電氣仕事ヲ謂フ

第二條　不變電流以外ノ場合ニ於ケル電流、電壓及電力ノ計算方法ハ左ノ如シ

一　不變電流以外ノ場合ニ於ケル實效電流ノ不變電流ニ對スル等價及實效電壓ノ不變電壓ニ對スル等價ハ其ノ瞬時値ノ自乘ノ平均ノ平方根ヲ以テ定ム

二　不變電流ノ一「アムペア」ニ相當スル實效電流ヲ一實效「アムペア」ニ相當スル實效不變電壓ヲ一實效「ヴォルト」ト稱シ電力ハ其ノ瞬時値ノ平均ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　電氣單位ノ倍數及分數ノ名稱左ノ如シ

「メグオーム」「オーム」ノ百萬倍
「マイクロオーム」
「オーム」ノ百萬分ノ一
「キロアムペア」
「アムペア」ノ千倍
「ミリアムペア」
「アムペア」ノ千分ノ一
「マイクロアムペア」
「アムペア」ノ百萬分ノ一
「キロヴォルト」
「ヴォルト」ノ千倍
「ミリヴォルト」
「ヴォルト」ノ千分ノ一
「マイクロヴォルト」
「ヴォルト」ノ百萬分ノ一
「キロワット」「ワット」ノ千倍
「マイクロクーロム」
「クーロム」ノ百萬分ノ一
「マイクロファラッド」
「ファラッド」ノ百萬分ノ一
「ミリヘンリー」
「ヘンリー」ノ千分ノ一
「マイクロヘンリー」
「ヘンリー」ノ百萬分ノ一
「ワット」時
「ジュール」ノ三千六百倍
「キロワット」時
「ワット」時ノ千倍

第四條　本令ニ依ル電氣單位ハ主務官廳ニ保管スル標準器ニ依リ之ヲ現示ス

第五條　電氣ノ取引ニ使用スル電氣計器ハ檢定ヲ受クヘシ

電氣測定法ニ依リ檢定ニ合格シタル電氣計器ハ本令ニ依リ檢定ニ合格シタルモノト看做ス

第六條　電氣計器ノ公差及檢定ニ關スル準項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第七條　檢定ニ合格セス又ハ檢定ノ效力ヲ失ヒタル電氣計器ヲ電氣ノ取引ニ使用シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八條　電氣ノ取引ニ於テ其ノ計量ヲ詐ルノ目的ヲ以テ不正ニ電氣計器ヲ使用シタル者ハ前條ニ同シ

附　則

本令施行ノ期日ハ朝鮮總督之ヲ定ム

本令施行前ヨリ引續キ電氣ノ取引ニ使用スル電氣計器ハ朝鮮總督ノ定ムル期間仍之ヲ使用スルコトヲ得

●朝鮮電氣測定令施行規則

大正十二年十月
總令第百二十四號

朝鮮電氣測定令施行規則左ノ通定ム

朝鮮電氣測定令施行規則

第一條　電氣計器ノ檢定ヲ受ケムトスル者ハ第一號雛式ノ申請書ニ計器及附屬器具ヲ添（朝鮮總督府遞信局ニ提出スヘシ

附屬變成器ト共ニ提出シ檢定ニ合格シタル電氣計器ニ付檢定合格證書ノ日附ヨリ六年以內ニ更ニ檢定ノ申請ヲ爲ス場合ニ於テハ附屬變成器ニ異狀ナキ場合ニ限リ前項ノ規定ニ拘ラス附屬器具中附屬變成器ヲ提出セサルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該申請書ニ其ノ旨ヲ附記シ前同ノ檢定合格證書ヲ添附スヘシ

電氣計器附屬變成器ノ二次回路ニ電氣ノ取引ニ關係ナキ他ノ測定器ヲ接續シテ使用セムトスル場合ニハ第一項ノ申請書ニ電線接續圖ヲ添ヘ其ノ測定器ヲモ提出スヘシ

第二條　檢定ニ不合格ト爲リタル電氣計器ヲ修繕又ハ調整シタルトキハ其ノ檢定ノ日ヨリ六月以內ニ第二號書式ニ依リ前條ニ準シ再檢定ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第三條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ檢定有效期間內ニ限リ再封印ノ申請ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第三號書式ノ申請書ニ電氣計器及變成器以外ノ附屬器具並ニ檢定合格證書ヲ添ヘ提出スヘシ

一　檢定濟電氣計器ノ格定ノ主要部分ニ非サル一部分ノ格定ヲ變更シタルトキ

二　檢定濟電氣計器ヲ撤除其ノ他ノ爲封印ヲ解除シ再ヒ使用セムトスルトキ

封印ノ解除ハ朝鮮總督府遞信局ニ於テ之ヲ行フ

再封印ヲ爲シタルトキハ其ノ檢定合格證書ノ裏面ニ其ノ旨ヲ記載ス

第四條　電氣計器ノ公差ハ百分ノ四トス

第五條　檢定ヲ行ヒタル電氣計器左ノ各號ニ該當スルトキハ之ヲ合格トス

一　公差ヲ超エサルモノ

二　遞信大臣ノ承認シタル型式ニ適合スルモノ

三　第七條乃至第九條所定ノ動作及裝置ニ關スル規定ニ適合スルモノ

第六條　積算電氣計器ノ誤差ノ試驗ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ行フ

一　規定電壓ニ於テ（交流ノ場合ニ在リテ

ハ規定電壓、規定周波數及無誘導負荷ニ於テ）規定電流竝其ノ二分ノ一及其ノ十分ノ一ヲ以テ試驗ス

二　規定電壓、規定電流及規定周波數ニ於テ力率二分ノ一ヲ以テ試驗ス但シ特ニ無誘導負荷ニ限リ使用スル計器ニ在リテハ本號ノ試驗ヲ省略ス

積算電氣計器以外ノ電氣計器ノ誤差ノ試驗ハ前項ニ準ジ之ヲ行フ

第七條　積算電氣計器ノ始動電流ハ規定電壓（交流ノ場合ニ在リテハ規定電壓ニ於テ規定周波數及無誘導負荷ニ於テ）規定電流三「アムペア」以下ノモノニ在リテハ規定電流三百分ノ三以下又規定電流三「アムペア」ヲ超ユルモノニ在リテハ規定電流ノ百分ノ二以下タルヘシ

第八條　電氣計器ニハ其ノ外面其ノ他適當ノ箇所ニ製造者名、番號、型ノ記號、電氣方式、電壓及容量又ハ電流竝交流ノ場合ニ在リテハ周波數ヲ表示スヘシ

第九條　電氣計器ハ鉛ヲ以テ封印シ得ル構造ヲ有シ且封印ヲ剝離セシテ電路ニ接續シ得ル樣裝置シタルモノタルヘシ

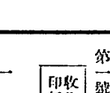
還報ニ際シ可動部分ノ緊束ヲ必要トスル電氣計器ニ在リテハ封印ヲ剝除セシテ外部ヨリ之ヲ緊束シ得ル樣裝置シタルモノタルヘシ

第十條　檢定ニ合格シタル電氣計器ニハ封印ヲ爲シ其ノ檢定申請者ニ第四號書式ノ檢定合格證書ヲ交付ス

第十一條　檢定ニ合格シタル電氣計器ニ施スヘキ封印及附屬金屬片ノ纏形ハ左ノ如シ

表面　裏面

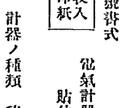
一　封印



表面　裏面

直徑約四分

二　附屬金屬片



長　約八分七厘
幅　約三分五厘

第一條第二項ニ依リ提出セル電氣計器ニハ前項ノ封印及金屬片ノ外前回檢定ノ金屬片ヲモ附ス

第一條第三項ニ依リ提出セル測定器ニハ第一項雛形ノ金屬片ヲ附シ檢定合格證書ノ裏面ニ第五號書式ニ依リ其ノ測定器ノ種類、製造者名及番號ヲ記載ス

第十二條　檢定ノ有效期間ハ檢定合格證書ノ日附ヨリ五年トス但シ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ檢定ハ其ノ效力ヲ失フ

一　計器ノ種類
二　製造者名
三　計器番號
四　型式番號
五　計器ノ型
六　格　定　數
七　係
八　附屬器具
九　前回申請月日

右朝鮮電氣測定令施行規則第二條ニ依リ電氣計器ノ再檢定ヲ申請候也

住　所
申請者名　㊞

大正　年　月　日

朝鮮總督府遞信局長宛

注意

一　封印破損シタルトキ
二　第五條第一號又ハ第三號ニ該當セサルニ至リタルトキ

第十三條　檢定合格證書ヲ亡失又ハ毀損シタル者ハ第六號書式ニ依リ再交付ノ申請ヲ爲スコトヲ得

第十四條　第一條乃至第三條又ハ第十三條ノ規定ニ依ル申請ヲ爲ス者ハ左ノ區別ニ從ヒ手數料ヲ納付スヘシ

一　第一條ノ規定ニ依ル檢定ノ申請ヲ爲ストキ

甲　積算電氣計器

イ　基本手數料　一箇ニ付　二圓

ロ　規定電流及電壓ニ依リ基本手數料ニ左ノ手數料ヲ附加ス

規定電流

十「アムペア」以下　一圓
二十「アムペア」以下　二圓
五十「アムペア」以下　三圓
百「アムペア」以下　四圓
三百「アムペア」以下　六圓
五百「アムペア」以下　八圓
千「アムペア」以下　十二圓
二千「アムペア」以下　十七圓
三千「アムペア」以下　二十二圓
五千「アムペア」以下　三十圓
七千「アムペア」以下　三十八圓
一萬「アムペア」以下　五十圓

規定電壓三百「ヴォルト」ヲ超ユルモノニ在リテハ千「ヴォルト」以下一圓ヲ增ス每ニ

乙　指示電力計、力率計　一箇ニ付　二圓

甲ノ手數料ノ二分ノ一

丙　最大負荷表示器、電流計　一箇ニ付　五十錢

甲ノ手數料ノ四分ノ一

丁　電壓計　一箇ニ付　五十錢

イ　基本手數料　一箇ニ付　五十錢

規定電壓ニ依リ基本手數料ニ左ノ手數料ヲ附加ス

三百「ヴォルト」以下　五十錢

電壓ニ依リ附屬變成器ヲ使用スル場合ニハ附屬器具ノ欄ニ其ノ旨附記スルコト

第二號書式

電氣計器再檢定申請書

收入印紙　貼付シタル收入印紙ノ額　何圓何錢

第一號書式

電氣計器檢定申請書

收入印紙　貼付シタル收入印紙ノ額　何圓何錢

本令ハ朝鮮電氣測定令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一　計器ノ種類
二　製造者名
三　計器番號
四　型式番號
五　計器ノ型
六　格　定　數
七　係
八　附屬器具
九　前回申請月日

右朝鮮電氣測定令施行規則第二條ニ依リ電氣計器ノ再檢定ヲ申請候也

住　所
申請者名　㊞

大正　年　月　日

朝鮮總督府遞信局長宛

注意

一　朝鮮電氣測定令施行規則第一條第二項ノ規定ニ依リ附屬變成器ヲ提出セサル場合ニハ附屬器具ノ欄ニ其ノ旨附記スルコト

第二號書式

電氣計器再檢定申請書

收入印紙　貼付シタル收入印紙ノ額　何圓何錢

第三號書式

電氣計器再封印申請書

收入印紙　貼付シタル收入印紙ノ額　何圓何錢

一　計器ノ種類
二　製造者名
三　計器番號
四　型式番號
五　計器ノ型
六　格　定　數
七　變更格定
八　係
九　附屬器具

十　證書番號

右朝鮮電氣測定令施行規則第三條ニ依リ電氣計器ノ再封印ヲ申請候也

住　所
申請者名　㊞

大正　年　月　日

朝鮮總督府遞信局長宛

注意

記載例ハ第一號書式ニ準據スルコト

第四號書式

朝檢第　號

電氣計器檢定合格證書

檢定申請者

計器ノ種類

計器製造者

計器番號　第　號

型式番號　第　號

計器ノ型

計器ノ格定　電氣方式　流相　線式

電壓　「ヴォルト」

電流　「アムペア」

周波數　「サイクル」

負荷ノ性質

附屬器具

檢定有效期間　自大正　年　月　日　至大正　年　月　日

本計器ハ朝鮮電氣測定令第五條ノ檢定ニ合格シタルコトヲ證ス

大正　年　月　日

朝鮮總督府遞信局　㊞

第五號書式

本計器檢定ノ際附屬變成器ノ二次回路ニ接續シタル測定器左ノ如シ

測定器	電壓計	電流計	指示電力計
製造者	、、、	、、、	、、、
測定器番號	第　號	第　號	第　號

前記測定器ハ檢定ヲ行ハサルモノトス

第六號書式

牧人印紙

電氣計器檢定合格證書再交付申請書

貼付シタル牧入印紙ノ額
何圓何錢

一　計器ノ種類
二　製造者名
三　計器番號
四　型式番號
五　型器ノ型
六　格　定

七　係　數
八　附屬器具
九　檢定番號

右朝鮮電氣測定令施行規則第十三條ニ依リ電氣計器檢定合格證書ノ再交付ヲ申請候也

住所
申請者名　㊞

大正　年　月　日

朝鮮總督府遞信局長殿

注意
記載例ハ第一號書式ニ準拠スルコト

第七號書式

計器檢定

計器檢定

檢定期日	檢定番號	計器種類	計器番號	製造者名	格				定			使用場所	備考
					電氣方式	電壓	電流	周波數	負荷ノ性質	負荷			

計器檢定

注意

一　計器ノ種類番號ニ□印ヲ記入スヘシ

一　未檢定又ハ型式未承認ノモノハ其ノ旨備考欄ニ記載スヘシ

一　指定檢定使用場所異動ノ都度記載ヲ更スルヲ以テ相當空欄ヲ存シ置クコト

第八號書式

●朝鮮電氣測定令施行期日及附則第二項ノ期間ニ關スル件

大正十二年十月
總令第百二十三號

朝鮮電氣測定令施行期日及附則第二項ノ期間ニ關スル件左ノ通定ム

朝鮮電氣測定令ハ大正十二年十一月十六日ヨリ之ヲ施行ス

朝鮮電氣測定令附則第二項ノ期間ハ前項ノ日ヨリ三年トス

●朝鮮電氣事業令

昭和七年二月
制令第一號

朝鮮電氣事業令別治四十四年法律第三十號第一條及第二條ニ依リ勅裁ヲ得テ玆ニ之ヲ公布ス

朝鮮電氣事業令

第一條　本令ニ於テ電氣事業ト稱スルハ左ニ揭グルモノヲ謂フ

一　一般ノ需用ニ應ジ電氣ヲ供給スル事業
二　一般運送ノ用ニ供スル鐵道又ハ軌道ノ動力ニ電氣ヲ使用スル事業
三、第一號又ハ前號ノ事業ニ電氣ヲ供給スル事業

第二條　本令ニ於テ電氣工作物ト稱スルハ電氣ノ供給又ハ使用ノ爲施設スル水路、貯水池、器具、機械、電線路其ノ他ノ工作物ニシテ電氣事業ノ用ニ供スルモノヲ謂フ

前項ニ於テ電線路ト稱スルハ電氣ノ得喪ニ用フル電氣導體及之ヲ支持シ又ハ保藏スル工作物ヲ謂フ

電氣ノ得喪ニ關シ必要ナル保安通信ニ用フル電氣導體及之ヲ支持シ又ハ保藏スル工作物ハ之ヲ第一項ノ電線路ト看做ス

第三條　電氣事業ヲ營マントスル者ハ左ノ事項ヲ具シ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

一　起業目論見書
二　工事設計書
三　工事費概算書
四　事業上ノ收支概算書

調數箇器計電氣

在現日一十三月三年正大

電氣事業者名㊞

計器種類					
型式番號	第　號				
格定	電氣方式	法相線式			
	電壓	「ヴォルト」			
	電流	「アムペア」			
	周波數	「サイクル」			
	負荷ノ性質	負荷			
附屬器具					
檢定番號		第　號乃至第　號			
箇數					
備考					

電氣事業者前項ノ背類ニ揭グル事項ニシテ朝鮮總督ノ定ムルモノヲ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クヘシ

第四條　電氣事業者ハ朝鮮總督ノ指定スル期間内ニ工事施行ノ認可ヲ申請シ、工事ニ著手シ及其ノ事業ヲ開始スヘシ

朝鮮總督ハ正當ノ事由アリト認ムルトキハ電氣事業者ノ申請ニ依リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第五條　電氣事業者ハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ工事ヲ施行シ又ハ電氣工作物ヲ使用スルコトヲ得ズ

第六條　電氣事業者ハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ他人ノ土地ニ立入リ電氣工作物ノ施設ニ關スル調査若ハ測量ヲ爲シ又ハ工事ノ爲他人ノ土地ニ立入ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ少クトモ五日前ニ府尹邑面長ニ其ノ日時及場所ヲ通知シ府尹邑面長ハ之ヲ告示シ又ハ其ノ旨ヲ土地ノ占有者ニ通知スヘシ

電氣事業者ハ電氣工作物ノ修理又ハ巡視ノ爲必要アルトキハ其ノ工作物ヲ施設シタル他人ノ土地又ハ建造物ニ立入ルコトヲ得但シ日沒ヨリ日出迄ノ間ニ於テハ危險急迫ノ場合ニ非ザレバ占有者ノ意ニ反シテ邸宅又ハ建造物ニ立入ルコトヲ得ズ

第七條　電氣事業者ハ必要アルトキハ電線路ノ施設又ハ保守ニ障害ヲ及ボスベキ植物ヲ伐除シ又ハ移植スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ電氣事業者ハ植物ノ所有者ト協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ行政官廳ノ許可ヲ受ケ之ヲ伐除シ又ハ移植スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ電氣事業者ハ豫メ其ノ旨ヲ植物ノ所有者ニ通知スベシ

危險急迫ノ場合ニ於テハ電氣事業者ハ前項ノ規定ニ拘ラズ直ニ植物ヲ伐除シ又ハ移植スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ遲滯ナク其ノ旨ヲ行政官廳ニ届出デ且植物ノ所有者ニ通知スベシ

第八條　電氣事業者ハ道路、橋梁、溝渠、河川、堤防其ノ他公共ノ用ニ供セラルル土地ノ地上又ハ地中ニ電線路ヲ施設スル必要アルトキハ其ノ效用ヲ妨ゲザル限度ニ於テ其ノ管理者ノ許可ヲ受ケテ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ電氣事業者ハ管理者ノ定ムル所ニ依リ使用料ヲ納ムベシ

管理者正當ノ事由ナクシテ第一項ノ許可ヲ拒ミタルトキ又ハ管理者ノ定メタル使用料ノ額ヲ不相當ナリトスルトキハ朝鮮總督ハ電氣事業者ノ申請ニ依リ使用ヲ許可シ又ハ使用料ノ額ヲ定ムルコトヲ得

第九條　電氣事業者ハ必要アルトキハ現在ノ使用方法ヲ妨ゲザル限度ニ於テ他人ノ地上ノ衆間若ハ地中ニ電線路ヲ施設シ又ハ建造物ノ存在セザル他人ノ土地ニ電線ノ支持物ヲ建設スルコトヲ得

電氣事業者前項ノ規定ニ依リ他人ノ土地ヲ使用セントスル場合ニ於テハ其ノ所有者及占有者ト協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ其ノ使用ノ範圍ヲ定メ豫メ道知事ノ許可ヲ受ケテ其ノ工事ニ著手スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ少クトモ五日前ニ其ノ旨ヲ土地ノ所有者及占有者ニ通知スベシ

第十條　第六條、第七條及前條ノ場合ニ於テ損失ヲ生ジタルトキハ通常生ズベキ損失ニ限リ電氣事業者之ヲ補償スベシ

前項ノ補償金額ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ許可ヲ爲シタル行政官廳之ヲ裁定ス裁定ニ不服アル者ハ訴願スルコトヲ得

行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ電氣事業者ヲシテ損失ノ補償ニ充ツベキ金額ヲ供託セシムルコトヲ得

第十一條　電線路ヲ施設シタル土地ノ近接地又ハ第九條ノ規定ニ依リ電線路ヲ施設シタル土地ノ所有者又ハ占有者ハ土地ノ使用方法ヲ變更スル爲必要アルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ電氣事業者ニ對シ障害ノ豫防又ハ除却ニ必要ナル方法ヲ施スコトヲ請求スルコトヲ得

前項ノ工事ニ要スル費用ハ朝鮮總督別段ノ定ヲ爲ス場合ヲ除クノ外電氣事業者ノ負擔トス但シ其ノ工事ヲ爲シタル後正當ノ事由ナクシテ豫定ノ變更ヲ爲サザルトキハ請求者ノ負擔トス

第十二條　電氣事業者正當ナル事由ニ因リ前條第一項ノ工事ヲ爲スコト能ハザルトキニ限リ土地收用令ニ依リ當該土地ニ關スル所有權其ノ他ノ權利ヲ收用スルコトヲ得

第十三條　電氣事業者ハ地中電氣工作物ヲ施設スル場合ニ於テ他人ニ屬スル地中電氣工作物其ノ他地中工作物ノ位置ヲ變更スル必要アルトキハ當該工作物ノ效用ヲ妨ゲザル限度ニ於テ其ノ位置ヲ變更シ又ハ其ノ工作物ノ所有者ヨシテ其ノ變更ヲ爲サシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ電氣事業者ハ工作物ノ所有者ト協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十四條　電氣事業者ハ瓦斯、上水道、下水道其ノ他公共ノ利益ト爲スベキ事業ヲ營ム者ガ其ノ事業ノ用ニ供スル地中工作物ヲ施設スル爲地中電氣工作物ノ位置ヲ變更スル必要アル場合ニ於テ當該地中電氣工作物ノ效用ヲ妨ゲザル限度ニ於テ其ノ位置ヲ變更セントスルトキ又ハ電氣事業者ニ對シ其ノ地中電氣工作物ノ位置ヲ變更スベキ旨ヲ請求シタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テハ前項ノ事業ヲ營ム者ハ電氣事業者ト協議スベシ協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督ノ許可ヲ受クベシ

第十五條　電氣工作物相互間及電氣工作物ト其ノ他ノ工作物トノ間ニ於ケル障害防止ノ爲必要アル施設ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十六條　前三條ニ規定スル工事又ハ施設ニ關スル費用ノ負擔、損失ノ補償其ノ他ノ事項ハ朝鮮總督ノ定ムルモノヲ除クノ外當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ朝鮮總督ノ裁定ヲ求スルコトヲ得

第十七條　電氣事業者ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ電氣ノ供給ヲ拒ムコトヲ得ズ

電燈ノ光度、供給點ニ於ケル保持スベキ電壓電流其ノ他供給業務ニ關スル事項竝ニ周波數及電氣工作物ニ關スル事項ハ朝鮮總督之ヲ定ム

第十八條　電氣事業者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ供給事業ノ全部又ハ一部ヲ休止シ又ハ廢止スルコトヲ得ズ

第十九條　第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社ノ解散ノ決議又ハ組織ノ同意ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第二十條　電氣事業者電氣料金其ノ他供給條件ヲ設定シ又ハ變更セントスルトキハ朝鮮總督ノ定ムル所ニ依リ朝鮮總督ノ認可ヲ受クベシ

朝鮮總督ハ公益上必要アリト認ムルトキハ電氣事業者ニ對シ電氣料金其ノ他供給條件ノ設定、變更其ノ他必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社ハ事業擴張ノ場合ニ於テ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル電氣工作物施設ノ費用ニ充ツル爲株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得

第二十二條　第一條第一號又ハ第三號ノ電氣事業會社ハ朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ其ノ事業ニ屬スル電氣工作物施設ノ費用ニ充ツル爲朝鮮民事會社ニ於テ依ルコトヲ定メタル商法第二百條ノ規定ニ依リ制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得但シ社債ノ總額ハ拂込ミタル株金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ズ

最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財產ガ拂込ミタル株金額ニ滿タザルトキハ前

（ロ）水道ノ種類ニ依リ給水ヲ制限シ又ハ停止スルコトアルヘキ場合

（ハ）給水ヲ制限シ又ハ停止スルニ付テノ手続

（ニ）給水ヲ制限シ又ハ停止シタル場合ニ於ケル料金ノ減額又ハ返還ノ方法

（ホ）給水装置ノ検査ニ関スル事項

（ヘ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ト）水道ノ使用ニ関シ禁止スヘキ事項

（チ）水道ノ使用ニ関シ違反者ニ対スル処分

（リ）水道ノ使用ニ関シ違反者ニ対スル罰則

（ヌ）其ノ他水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ル）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ヲ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ワ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（カ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ヨ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（タ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（レ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ソ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ツ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ネ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ナ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ラ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ム）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ウ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ノ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（オ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ク）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ヤ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（マ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ケ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（フ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（コ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（エ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（テ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ア）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（サ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（キ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ユ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（メ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ミ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（シ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ヒ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（モ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（セ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ス）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ン）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ロ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ハ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ニ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ホ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ヘ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ト）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（チ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（リ）水道ノ使用ニ関シ必要ナル事項

（ヌ）

第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ府尹邑面長ノ告示スベキ事項ハ左ニ掲グルモノトス

一　電氣事業者名
二　前條第二項各號ノ事項
告示ハ府廳邑面事務所ノ掲示場ニ掲示シテ之ヲ爲スベシ

第二十七條　第十六條第一項ノ規定ニ依リ府尹邑面長ノ通知ハ第一項各號ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ

第二十八條　火藥類其ノ他爆發性ノ物質ヲ製造シ又ハ貯藏スル場所ニ施設シタル電氣工作物ヲ使用セントスルトキハ其ノ工事方法ヲ具シ所轄道知事ニ認可ヲ申請スベシ

第二十九條　第二十六條ノ規定ニ依ル申請アリタル場合ニ於テ當該電氣工作物檢査ノ爲派遣セラレタル檢査吏員ニ於テ工事設計ニ適合シ且危險ナシト認メタルトキハ遲滯ナク前條ノ規定ニ依リ當該電氣工作物ノ使用ノ認可ヲ申請スベシ

第二十八條　火藥類其ノ他爆發性ノ物質ヲ製造シ又ハ貯藏スル場所ニ施設シタル電氣工作物ヲ使用セントスルトキハ其ノ工事方法ヲ具シ所轄道知事ニ認可ヲ申請スベシ

第二十九條　第二十六條ノ規定ニ依ル申請アリタル場合ニ於テ當該電氣工作物檢査ノ爲派遣セラレタル檢査吏員ニ於テ工事設計ニ適合シ且危險ナシト認メタルトキハ遲滯ナク前條ノ規定ニ依リ當該電氣工作物ノ使用ノ認可ヲ申請スベシ

第三十條　第二十六條ノ規定ニ依リ電氣工作物ノ使用認可ヲ受ケベキ場合ニ於テハ同時ニ第四號様式ノ電氣工作物變功明細書ヲ遞信局長ニ提出スベシ但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ檢査ヲ受ケズシテ使用ヲ認可セラレタルトキハ直ニ電氣工作物變功明細書ヲ遞信局長ニ提出シ當該電氣工作物ノ檢査ノ爲檢査吏員ヲ派遣セラレタルトキハ檢査吏員ヲ遞信局長ニ提出スベシ

第三十一條　第二十六條第一項ノ規定ニ依リ電氣工作物ノ使用認可ヲ受ケベキ場合ニ於テハ同時ニ第四號様式ノ電氣工作物變功明細書ヲ遞信局長ニ提出スベシ但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ニ於テ檢査ヲ受ケズシテ使用ヲ認可セラレタルトキハ直ニ電氣工作物變功明細書ヲ遞信局長ニ提出シ當該電氣工作物ノ檢査ノ爲檢査吏員ヲ派遣セラレタルトキハ檢査吏員ヲ遞信局長ニ提出スベシ

前二項ノ規定ハ電氣工作物ノ施設又ハ變更ニ依リ電氣工作物變功明細書中ノ事項ニ變更ヲ生ジタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十二條　第二十條第一項、第二十一條第一項、第二十二條、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ府尹邑面長ノ告示シタル事項ニ變更ヲ生ジタル場合ニ之ヲ準用ス

第三十三條　第二十二條第一項、第二十三條又ハ第二十四條ノ規定ニ依リ府尹邑面長ノ告示シタル事項ニ變更ヲ生ジタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章　電氣工作物ノ施設ニ關スル權利義務竝ニ裁定

第三十三條　事業令第六條第一項及第七條第二項、第三項ノ行政官廳ハ道知事トス

第三十四條　事業令第六條第一項ノ規定ニ依リ土地立入ノ許可ヲ受ケントスルトキハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ提出スベシ

一　立入ノ目的
二　電氣事業及電氣工作物ノ種類
三　立入ベキ土地ノ區域
四　立入ベキ時期及期間

第五節　電氣附瓦斯

第三章　電氣附瓦斯

第十八編　家屋

ン線路ニ於ケル最大勾配ハ千分ノ四十ニシテ最小曲線半徑ハ百二十五米ナリ

一　設計　本線ハ單線トシ將來複線ニ改メ得ルノ餘地ヲ存ス

二　軌條　軌條ハ重量一米ニ付三十瓩ノ鋼製ニシテ其ノ斷面ハ第百二十二圖ニ示ス如シ

三　軌間　軌間ハ一米ニシテ曲線ニ於テモ擴大ヲ施サス

四　車輛　車輛ハ客車二輛及貨車二輛ヲ備フ

客車ハ定員三十人ノ開放式ニシテ其ノ構造ハ第百二十三圖ニ示ス如シ

貨車ハ積載量二噸ノ木造ニシテ其ノ構造ハ第百二十四圖ニ示ス如シ

五　運轉　運轉ハ一日往復二回トス

六　運賃　運賃ハ一哩ニ付客車ハ一等二錢五厘二等一錢五厘三等一錢貨車ハ一噸ニ付一哩ニ付一錢五厘トス

七　運轉時間　運轉時間ハ左ノ如シ

	上り	下り
第一回	午前七時	午前八時
第二回	午後一時	午後二時

八　運轉速度　運轉速度ハ一時ニ付十哩トス

九　運轉方法　運轉ハ列車ノ前後ニ赤色ノ標燈ヲ附シ且ツ汽笛ヲ吹鳴シテ之ヲ行フ

十　運轉取扱心得　運轉取扱ニ關シテハ左ノ心得ヲ設ケタリ

一　運轉ハ總テ時間表ニ從ヒ之ヲ行フヘシ

二　運轉ニ從事スル者ハ常ニ注意ヲ怠ラス且ツ相互ニ信號ヲ確實ニスヘシ

三　運轉ニ從事スル者ハ酒氣ヲ帶ヒ又ハ疲勞シテ業務ヲ執ルニ堪ヘサルトキハ其ノ業務ヲ執ルヘカラス

四　運轉ニ從事スル者ハ制服ヲ着用シ且ツ其ノ職務ヲ明ニスル徽章ヲ附スヘシ

五　運轉ニ從事スル者ハ乘客ニ對シ親切ヲ旨トシ其ノ取扱ニ注意スヘシ

六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ乘車スヘシ

七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

四十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

五十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

六十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

七十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

八十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

九十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百二十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百三十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百四十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百五十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百六十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百七十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百八十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

百九十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百二十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百三十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百四十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百五十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百六十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百七十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百八十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

二百九十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百二十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百三十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百四十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百五十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十四　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十五　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十六　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十七　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十八　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百六十九　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百七十　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百七十一　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百七十二　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置クヘシ

三百七十三　乘客ハ車掌ノ指定シタル場所ニ荷物ヲ置ク

（第一號樣式）

工事費概算書

項目	單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
水力發電所工事費（發電所毎＝記載スルコト）	—キロワット	円		円	円	
用地						
地物						
道路						
水路又ハ池						
調整池						
堰堤						
閘門						
機械器具						
雜設備						
共ノ他						
汽力發電所工事費（發電所毎＝記載スルコト）	—キロワット	円		円	円	
用地						
地物						
蒸汽發生設備						
復水冷却及水道設備						
雜設備						
共ノ他						
內燃力發電所工事費（發電所毎＝記載スルコト）	—キロワット	円		円	円	
用地						
地物						
機械器具						
雜設備						
共ノ他						

項目	單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
送電線路工事費（送電線路毎＝記載スルコト）	—キロメートル	円		円	円	
用地						
地物						
架空電線路						
地中電線路						
開閉所						
獨立電話線路	—キロメートル					
共ノ他						
變電所工事費（變電所毎＝記載スルコト）	—キロワットアンペア					
用地						
地物						
機械器具						
共ノ他						
配電線路工事費	—キロメートル					
架空配電線路						
地中配電線路						
特約供給配電線路						
需用者屋內工事費						
電燈用配線	—一燈					
電力用配線	—キロワット					
電熱用配線	〃					
雜器						
電氣鐵道工事費	—キロメートル					
何々						
合計						

送電所工事費、送電線路工事費及變電所工事費（直流變電所工事費ヲ除ク）ヲ合マズ

（第二號樣式）

工事費概算書

年　月　日　　主任技術者　氏　　名　㊞

注意

1　本紙ノ項目ヘ別記電氣事業會計規程第三條ノ規定＝依ル勘定科目ノ內容＝準ジ左ノ記載スベシ

2　本紙ヘ電氣供給事業ト電氣鐵道事業ト各別＝之ヲ調製スベシ

3　一變電所＝隣屬セザル幾ツカノ水力發電所工事費＝準ジ記載スベシ

4　獨立モル受電所工事費ニ準ジ記載スベシ

事業上ノ收支概算書

利益ノ部

項目	單位	單價	數量	金額 計	金額 合計	備考
電燈料		圓		圓	圓	
定額	燈一箇一月					（從量燈一燈一月平均使用キロワット時ヲ附記スルコト）
從量	燈一箇一月					
臨時	燈一箇一時					
電力料	キロワット					
定額	馬力一月					（從量電力一キロワット一月平均使用キロワット時ヲ附記スルコト）
從量	キロワット一時					
契約	キロワット一月					
臨時	キロワット一時					
電燈料ノ他ノ供給料金						
何々						
計器料	一箇一月					
器具料	一箇一月					
設備料						
供給線建設						
器具及工事						
共ノ他						
電氣鐵道收益						
共ノ他						
合計						

項目	單位	單價	數量	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
堰堤							
可動堰	コンクリート	円					
取水口	〃	〃					
閘門	〃	〃					
洗砂池	〃	〃					
水路橋	〃	〃					
水路隧道	〃	〃					
水路暗渠	〃	〃					
沈砂池	〃	〃					
水路接合部	〃	〃					
水壓管路	〃	〃					
放水路	〃	〃					
土木雜工事	〃	〃					
假排水路							
假締切堰堤	〃	〃					
假水路	〃	〃					
假道路	〃	〃					
假橋梁	〃	〃					
假建物	〃	〃					
假設備	〃	〃					
假排水路工事費							
假道路工事費							
假橋梁工事費							
假建物費							
假設備費							
假排水路假道路假橋梁假建物假設備雜

項	目	單位	數量	單價	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
汽力發電所工事費（發電所毎ニ記載スルコト）	假設備費			圓	錢	錢	錢	
	雜係							
	何々							
	用地	一キロワット						
	建物	平方メートル						
	蒸汽發生設備							
	汽罐	箇						
	給炭機							
	微粉炭燃燒裝置							
	節炭器	箇						
	空氣豫熱器	〃						
	温水及淨水裝置							
	汽罐給水「ポンプ」	箇						
	汽管及水管							
	通風裝置							
	煙突及煙道	基						
	運炭及灰捨裝置							
	諸機械器具							
	基礎							
	運搬費							
	据附費							
	雜係							
	電氣發生設備							
	汽機	箇						
	發電機	〃						
	復水器	〃						
	內燃發電機及汽機所用復水器	箇						
	主要變壓器							
	配電盤及開閉裝置							
	諸機械器具							
	基礎							
	運搬費							
	据附費							
	雜係							
	冷却及水道設備							
	冷却用水設備							
	貯水池							
	水道							
	雜係							
	雜設備							
	運搬設備							
	修繕及試驗裝置							
	何々							
	備品費							
	總係費							
	調量費							
	監督費							
	假設備費							
	雜係							

項	目	單位	數量	單價	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
内燃力發電所工事費（發電所毎ニ記載スルコト）	用地	一キロワット		圓	錢	錢	錢	
	建物	平方メートル						
	機械器具							
	瓦斯發生器	箇						
	瓦斯溜又ハ貯油槽	〃						
	内燃機	〃						
	發電機	〃						
	主要變壓器							
	配電盤及開閉裝置							
	冷却用水設備							
	諸機械器具							
	基礎							
	運搬費							
	据附費							
	雜係							
	雜設備品費							
	總係費							
送電線路工事費（送電線路毎ニ何間ト記載スルコト）	何……何間	一キロメートル						
	用地	平方メートル						
	建物							
	架空電線路	一キロメートル						
	鐵塔	基本						
	鐵柱	〃						
	鐵筋「コンクリート」柱	箇						
	木柱	キログラム						
	電線	〃						
	地線							
	安全及開閉裝置							
	電話線							
	架線費							
	補償費							
	雜係	一キロメートル						
	地中電線路							
	管路	メートル						
	電纜	〃						
	電話機械係							
	雜							
	開閉所（各別ニ記載スルコト）							
	屋外鐵構							
	開閉裝置具							
	諸機械器具係							
	雜							
	獨立電話線路	一キロメートル						
	支持物線路係							
	電纜雜							
	備品							

項	目	單位	數量	單價	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
變電所工事費（變電所毎ニ記載スルコト）	總係費							
	測量費							
	監督費							
	何々係							
	雜							
	用地	一キログラムアムペア						
	建物	平方メートル						
	機械器具							
	主要變壓器	箇						
	調相變換機	〃						
	周波數調整機	〃						
	電壓調整機	〃						
	電動發電機	〃						
	廻轉變流機	〃						
	水銀整流器							
	冷却用水設備							
	配電盤及開閉器							
	諸機械器具							
	基礎費							
	運搬費							
	据附費							
	雜係							
	備品							
配電線路工事費（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	總係費							
	架空配電線路	一キロメートル						
	〃	〃						
	支持物	本						（材料費及工費ヲ附記スルコト）
	電線	キログラム						
	電力用電線	〃						
	變壓器	箇						
	電力用變壓器	〃						
	保安及開閉裝置							
	引込線	引込口						
	電力用引込線	〃						
	添架電話線							
	架線費							
	雜係							
	地中配電線路	一キロメートル						（材料費及布設費ヲ附記スルコト）
	電纜	メートル						（同上）
	電力用電纜	〃						
	變壓器	箇						
	電力用變壓器	〃						
	保安及開閉裝置							
	引込線	引込口						
	電力用引込線	〃						
	雜係							
	特約供給配電線路（各別ニ記載スルコト）	一キロメートル						（材料費及工費ヲ附記スルコト）

項	目	單位	數量	單價	金額 小計	金額 計	金額 合計	備考
需用者屋內工事費（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	配線							
	電燈用配線	燈						（材料費及工費ヲ附記スルコト）
	電力用配線	キロワット						（同上）
	電熱用配線	〃						（同上）
	器具							
	電球	箇						
	電計器	〃						
	電熱器	〃						
	扇風機	〃						
	電動機	〃						
	諸機械器具	一キロメートル						發電所工事費、送電線路工事費及變電所工事費（直流變電所工事費ヲ除ク）ヲ含マズ
電氣鐵道工事費	何々設備費	〃						
合計								

卒刀日　　主任技術者

氏名　㊞

注意

1　本表ノ項目ハ朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スベシ
2　本表ハ電氣供給事業ト電氣鐵道事業ト各別ニ之ヲ調製スベシ
3　一發電所ニ隸屬セザル貯水池工事費アルトキハ水力發電所工事費ニ準ジ記載スベシ
4　獨立セル受電所工事費アルトキハ變電所工事費ニ準ジ記載スベシ
5　水路、調整池又ハ貯水池ノ堰堤、取水口、暗渠、蓋渠、隧道、沈砂池、水槽、水壓管路等ニ付テハ工事費內譯書ヲ添附シ更ニ「コンクリート」工、積石工、水路掘鑿工等ノ單價ノ內譯ヲ表示スベシ

（第四號樣式）

電氣工作物竣功明細書

送電關係一覽圖ノ部ニ依ル

一　平面圖（第五條第二號ニ掲ゲタルモノニ限ル）

二　發電設備（發電所ニ關スル部ニ依ル）

三　(一)　發電所ノ名稱及位置（道府郡島區町村大字及地番ヲ記載スベシ）

(二)　原動力設備

(三)　水力設備

(甲)　(イ)　明細表（第一表ニ依ル）

(ロ)　說明書（說明圖ヲ添附スベシ）

イ　堰堤ニ付テハ材料、施工方法、伸縮接手ノ構造、地質、岩盤ノ試驗又ハ試掘ノ成績、セメント、汁注入ノ成績、使用材料試驗成績、流末路、魚道等ノ附帶設備

ロ　導水路ノ隧道ニ付テハ地質ノ大要、機械掘、手掘ノ別、導坑一日掘進最大長及平均長、湧水ノ狀況及其ノ處理方法

ハ　貯水池、調整池ニ在リテハ其ノ使用方法及水位ト有效容量トノ關係

ニ　治水ノ爲ノ施設、水利事業ノ爲ノ施設、流木舟筏ノ通航ノ爲ノ施設、漁業ニ對スル施設及工事用設備、道路（鐵道、軌道又ハ運河ノ設備ニテ道路ニ準ズベキ程度ノモノヲ有スルモノヲ含ム）等ノ變更ニ關スル工事ノ概要

ホ　堰堤ニ因ル背水ノ影響及其ノ影響ニ對スル施設

(乙)　汽力設備

(イ)　明細表（第二表ニ依ル）

(ロ)　計算書及說明圖

イ　汽機及補助機用蒸汽又ハ熱消費量ニ損失量ヲ加算シタル發電所總蒸汽又ハ熱消費量ノ計算書

ロ　發電所用力三千キロワット以上ノモノニ在リテハ發電所熱特算圖（第七號樣式ニ依ル）

(丙)　內燃力設備

明細表（第三表ニ依ル）

(四)　電氣設備

(甲)　明細表

(イ)　發電機及變壓器（第四表ニ依ル）

(ロ)　發電設備（發電所ニ關スル部ニ依ル）

(ハ)　電動發電機、變換機、整流器、周波數變換機、調相機、蓄電池等（第七表ニ準ジ調製スベシ）

(ニ)　變壓器（第八表ニ依ル）

(ホ)　開閉器（第九表ニ依ル）

(ヘ)　避雷器（第十表ニ依ル）

(ト)　保護繼電器（第十一表ニ依ル）

(チ)　計器（第十二表ニ依ル）

(リ)　調速機（第十三表ニ依ル）

(ヌ)　蓄電池（第十四表ニ依ル）

(ル)　其ノ他ノ電氣設備

(乙)　說明書（說明圖ヲ添附スベシ）

(イ)　自動制御裝置又ハ遠方制御裝置ニ在リテハ其ノ大要

(ロ)　發電機、調相機其ノ他ノ機械ノ勵磁方式（自動制御裝置又ハ遠方制御裝置ヲ有スルモノニ限ル）

(ハ)　非方式（制御裝置又ハ遠方制御裝置ヲ有スルモノニ限ル）

(ニ)　負荷時ニ「タップ」ヲ切リ換ヘ得ル變壓器ニ在リテハ其ノ裝置

(ホ)　保安裝置（種類、構造ノ大要（發電機、母線及變壓器ノ遮電線等ノ保安裝置ニ在リテハ其ノ大要）及製造者名）

(ヘ)　圖面

イ　發電所一般平面圖（構內ニ施設セル建物及各種設備ノ配置ヲ示シタルモノ）

ロ　水路、貯水池、調整池ノ竣功平面圖、竣功縱斷面圖及竣功橫斷面圖（第十一條第一項第二號乃至第三號ニ準ズ）

ハ　水力各工作物ノ構造圖及機械器具裝置圖（水路及調壓水槽等ニ於ケル水位ノ關係ヲ記入スルコト）

ニ　竣工所內機械器具ノ裝置圖（平面圖、正面圖、側面圖及斷面圖（寸法ヲ記入スルコト）

ホ　水車及吸出管ノ斷面圖

ヘ　汽罐及水管ノ配置圖

ト　汽罐火爐ノ斷面圖

チ　石炭及灰塵運搬設備圖

リ　復水器冷却用水路ノ說明圖

ヌ　消音裝置及瓦斯發生裝置ノ斷面圖

ル　冷却池又ハ冷却塔ノ說明圖

ヲ　建物及主機ノ基礎竝ニ煙突ノ構造圖

(ト)　電線接續圖

(チ)　受電設備（電氣事業者ニ於テ設備スベキモノヲ含ム）

(リ)　受電地點ノ名稱、位置（道府郡島區町村大字及地番ヲ記載スベシ）

(ヌ)　受電地點ノ構內ニ施設セル建物ノ配置ヲ示シタルモノ

(ル)　負荷ノ種類及其ノ容量

(ヲ)　受電方式（電流、電壓、相及數）

(ワ)　受電電壓

(カ)　供給方式（電流、電壓、相及數）

(ヨ)　供給電壓

(タ)　供給者ノ構內ニ施設スル變壓器ノ容量、個數及結線方法

(レ)　供給者ノ構內ニ施設スル電壓調整裝置ノ種類及容量

(ソ)　供給者ノ構內ニ施設スル力率調整裝置ノ種類及容量

(ツ)　供給者ノ構內ニ施設スル保安裝置ノ種類及其ノ動作電壓

(ネ)　供給者ノ構內ニ施設スル保護繼電器ノ種類及其ノ動作電壓

(ナ)　供給者ノ構內ニ施設スル避雷器ノ種類及其ノ放電電壓

(ラ)　供給者ノ構內ニ施設スル開閉器ノ種類及其ノ容量

(ム)　供給者ノ構內ニ施設スル遮斷器ノ種類及其ノ容量

(ウ)　供給者ノ構內ニ施設スル計器ノ種類及其ノ容量

(ヰ)　供給者ノ構內ニ施設スル蓄電池ノ種類及其ノ容量

(ノ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ種類及其ノ太サ

(オ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ接續方法

(ク)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ支持方法

(ヤ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ保護方法

(マ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ絶縁方法

(ケ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ接地方法

(フ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ識別方法

(コ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ色別方法

(エ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ名稱

(テ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ支持物ノ種類及其ノ施設方法

(ア)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ支持物ノ名稱

(サ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ支持物ノ高サ及其ノ施設方法

(キ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ支持物ノ徑間

(ユ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ弛度

(メ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留方法

(ミ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ種類及其ノ施設方法

(シ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ名稱

(ヒ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ高サ及其ノ施設方法

(モ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ徑間

(セ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留方法

(ス)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ種類及其ノ施設方法

(ン)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ名稱

(ヒ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ高サ及其ノ施設方法

(モ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ徑間

(セ)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留方法

(ス)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ種類及其ノ施設方法

(ン)　供給者ノ構內ニ施設スル電線ノ引留支持物ノ名稱

五　送電設備（送電設備ニ關スル部ニ依ル）

(一)　明細表

(二)　架空電線路（第五表ニ依ル）

(三)　地中電線路又ハ水底電線路（第六表ニ依ル）

(四)　供給者ノ構內ニ施設スル電線路

(五)　電線接續圖

(六)　供給者ノ構內ニ施設スル電線路ノ配置ヲ示シタルモノ

(七)　供給者ノ構內ニ施設スル電線路ノ支持物ノ種類及其ノ施設方法ヲ示シタルモノ

(八)　供給者ノ構內ニ施設スル電線路ノ引留支持物ノ種類及其ノ施設方法ヲ示シタルモノ

(九)　供給者ノ構內ニ施設スル電線路ノ交差又ハ接近ノ狀況ヲ示シタルモノ

(十)　供給者ノ構內ニ施設スル電線路ノ保護方法ヲ示シタルモノ

(十一)　供給者ノ構內ニ施設スル電線路ノ接地方法ヲ示シタルモノ

(十二)　供給者ノ構內ニ施設スル電線路ノ絶縁方法ヲ示シタルモノ

六、變電設備（變電所ニ關スル部ニ依ル）

(一)　明細表

(二)　電氣設備ノ說明圖ヲ添附スベシ

(三)　圖面

(イ)　變電所一般平面圖（構內ニ施設セル建物及各種設備ノ配置ヲ示シタルモノ）

(ロ)　機械器具裝置圖（平面圖、正面圖、側面圖、寸法ヲ記入スルコト）

七　配電設備

(一)　明細表

(二)　電線接續圖

(三)　圖面

(イ)　變電所一般平面圖（構內ニ施設セル建物及各種設備ノ配置ヲ示シタルモノ）

(ロ)　特別高壓電線路（第八表ニ依ル）

(ハ)　特別高壓變壓器（第五表又ハ第六表ニ準ジ調製スベシ）

(ニ)　特別高壓電線路（一線路每ニ第五表又ハ第六表ニ準ジ調製スベシ）

(ホ)　保安裝置（種類、構造ノ大要及製造者名）

(ヘ)　開閉器（第九表ニ依ル）

(ト)　避雷器（第十表ニ依ル）

(チ)　保護繼電器（第十一表ニ依ル）

(リ)　計器（第十二表ニ依ル）

(ヌ)　蓄電池（第十四表ニ依ル）

(ル)　其ノ他ノ電氣設備

(ヲ)　說明書（說明圖ヲ添附スベシ）

(ワ)　電線接續圖

(カ)　配置圖

(ヨ)　電壓調整裝置ノ種類及容量

(タ)　力率調整裝置ノ種類及容量

(レ)　保護繼電器ノ種類及其ノ動作電壓

(ソ)　避雷器ノ種類及其ノ放電電壓

(ツ)　開閉器ノ種類及其ノ容量

(ネ)　遮斷器ノ種類及其ノ容量

(ナ)　計器ノ種類及其ノ容量

(ラ)　蓄電池ノ種類及其ノ容量

(ム)　其ノ他ノ電氣設備

(ウ)　電線接續圖

(ヰ)　配置圖

(ノ)　電壓調整裝置ノ種類及容量

(オ)　力率調整裝置ノ種類及容量

(ク)　保護繼電器ノ種類及其ノ動作電壓

(ヤ)　避雷器ノ種類及其ノ放電電壓

(マ)　開閉器ノ種類及其ノ容量

(ケ)　遮斷器ノ種類及其ノ容量

(フ)　計器ノ種類及其ノ容量

(コ)　蓄電池ノ種類及其ノ容量

(エ)　其ノ他ノ電氣設備

(テ)　電線接續圖

(ア)　配置圖

(サ)　電壓調整裝置ノ種類及容量

(キ)　力率調整裝置ノ種類及容量

(ユ)　保護繼電器ノ種類及其ノ動作電壓

(メ)　避雷器ノ種類及其ノ放電電壓

(ミ)　開閉器ノ種類及其ノ容量

(シ)　遮斷器ノ種類及其ノ容量

(ヒ)　計器ノ種類及其ノ容量

(モ)　蓄電池ノ種類及其ノ容量

(セ)　其ノ他ノ電氣設備

(ス)　電線接續圖

(ン)　配置圖

(ヒ)　電壓調整裝置ノ種類及容量

(モ)　力率調整裝置ノ種類及容量

(セ)　保護繼電器ノ種類及其ノ動作電壓

(ス)　避雷器ノ種類及其ノ放電電壓

(ン)　開閉器ノ種類及其ノ容量

(ヒ)　遮斷器ノ種類及其ノ容量

(モ)　計器ノ種類及其ノ容量

(セ)　蓄電池ノ種類及其ノ容量

(ス)　其ノ他ノ電氣設備

(ン)　電線接續圖

(ヒ)　配置圖

(モ)　電壓調整裝置ノ種類及容量

(セ)　力率調整裝置ノ種類及容量

(ス)　保護繼電器ノ種類及其ノ動作電壓

(ン)　避雷器ノ種類及其ノ放電電壓

(ヒ)　開閉器ノ種類及其ノ容量

(モ)　遮斷器ノ種類及其ノ容量

(セ)　計器ノ種類及其ノ容量

(ス)　蓄電池ノ種類及其ノ容量

(ン)　其ノ他ノ電氣設備

(ヒ)　電線接續圖

(モ)　配置圖

(セ)　電壓調整裝置ノ種類及容量

(ス)　力率調整裝置ノ種類及容量

(ン)　保護繼電器ノ種類及其ノ動作電壓

(ヒ)　避雷器ノ種類及其ノ放電電壓

(モ)　開閉器ノ種類及其ノ容量

(セ)　遮斷器ノ種類及其ノ容量

(ス)　計器ノ種類及其ノ容量

(ン)　蓄電池ノ種類及其ノ容量

(ヒ)　其ノ他ノ電氣設備

(モ)　電線接續圖

(セ)　配置圖

(ス)　電壓調整裝置ノ種類及容量

(ン)　力率調整裝置ノ種類及容量

(ヒ)　保護繼電器ノ種類及其ノ動作電壓

(モ)　避雷器ノ種類及其ノ放電電壓

(セ)　開閉器ノ種類及其ノ容量

(ス)　遮斷器ノ種類及其ノ容量

(ン)　計器ノ種類及其ノ容量

(ヒ)　蓄電池ノ種類及其ノ容量

(モ)　其ノ他ノ電氣設備

(セ)　電線接續圖

(ス)　配置圖

(ン)　電壓調整裝置ノ種類及容量

(ヒ)　力率調整裝置ノ種類及容量

(モ)　保護繼電器ノ種類及其ノ動作電壓

(セ)　避雷器ノ種類及其ノ放電電壓

(ス)　開閉器ノ種類及其ノ容量

(ン

1 本様式ニ掲載セザル事項ト雖モ著シキモノアルトキハ適宜別欄ヲ設ケ記載スベシ
2 各欄中ニ表示シ難キ事項ニ關シテハ別ニ說明書ヲ添附スベシ
3 取水量ノ欄ニハ期間ヲ限ラレタルモノアルトキハ其ノ旨ヲ附記スベシ
4 吸出管型式ノ欄ニハ直立型及彎曲型ノ別ヲ記載シ特殊ノ形狀ヲ有スルモノニ付テハナルベク其ノ型式ヲ附記スベシ
5 吸出管吸出高ノ欄ニハ水車中心點ト平均放水面トノ間ノ高低差ヲ記載スベシ
6 水車種類ノ欄ニハ衝動及反動ノ別ヲ記載スベシ
7 水車型式ノ欄ニハ竪軸、横軸ノ別及單放渦卷水車、雙放渦卷水車、「プロペラー」水車等ノ別ヲ記載シ「プロペラー」水車ニ付テハ固定翼及可動翼ノ別ヲ附記スベシ
8 水車能率ノ欄ニハ定格キロワット數又ハ其ノ部分負荷ニ對スル保證能率ヲ記載スベシ實測シタル場合ニハ其ノ値ヲモ記載スベシ

第二表　汽力設備　何發電所

汽機	機械番號				
	種類				
	型式				
	キロワット數				
	汽壓				
	汽溫				
	眞空度又ハ背壓				
	回轉數				
	蒸汽消費量又ハ瓦斯消費量	負荷（キロワット）			
			%		
			%		
			%		
	蒸汽抽出	段數			
		位置			
		汽壓(全負荷時)			
	總膨脹段數				
	材料	車室			
		噴口			
		隔板			
		靜翼及動翼			
	筒數	常用			
		豫備			
	製造者名				
	製造年月				
汽罐	種類				
	型式				
	汽壓				
	汽溫				
	蒸發量				
	加熱面積				
	過熱面積				
	有效火床面積				
	火爐	容積			
		壁ノ構造			
	給水溫度				
	筒數	常用			
		豫備			
	製造者名				
	製造年月				
蒸汽貯藏品	種類				
	貯藏容積				
	使用壓力ノ範圍				
	筒數				
	製造者名				
	製造年				
燃料	種類				
	火床ノ幅及長(下方給炭機ニ在リテハ「レトルト」ノ數)				
	設計燃燒容量				
	一纏ニ對スル揚附筒數				
	給炭機	製造者名			
		製造年月			
		原動機	種類		
			キロワット數及筒數		
			製造者名		
	微粉炭乾燥機	種類			
		乾燥容量及筒數			
		製造者名			
		原動機	種類		

燃燒裝置	炭燃燒裝置	煤動機	キロワット數及筒數		
			製造者名		
		石炭粉碎機	種類		
			粉碎容量及筒數		
			製造者名		
			原動機	種類	
				キロワット數及筒數	
				製造者名	
		微粉炭輸送裝置	種類		
			輸送容量及筒數		
			製造者名		
			原動機	種類	
				キロワット數及筒數	
				製造者名	
	火口	種類			
		燃燒容量			
		一纏ニ對スル取附筒數			
		製造者名			
		附屬機器			
	油又ハ瓦斯燃燒用噴燃器	種類			
		燃燒容積			
		一纏ニ對スル取附筒數			
		製造者名			
		附屬機器			
		自動燃燒調節裝置	種類		
			取附纏數		
			製造者名		
燃料標準	種類				
	發熱量				
汽罐給水設備	給水ポンプ	種類			
		容量揚程			
		回轉數			
		筒數	常用		
			豫備		
		製造者名			
		原動機	種類		
			キロワット數及筒數		
			製造者名		
	貯水設備	種類			
		容量及筒數			
		製造者名			
補給水	種類				
	可能取水量				
汽罐給水ノ加熱及	節炭器	種類			
		加熱面積及筒數			
		加熱前後ノ給水溫度			
		製造者名			
	溫水器	種類			
		加熱面積及筒數			
		加熱前後ノ給水溫度			
		製造者名			
	淨水	種類			
		容量及筒數			
		製造者名			
		附機			

通風設備	押込通風機	種類			
		通風量及筒數			
		風壓			
		回轉數			
		製造者名			
		原動機	種類		
			キロワット數及筒數		
			製造者名		
	誘導通風機	種類			
		通風量及筒數			
		風壓			
		回轉數			
		製造者名			
		原動機	種類		
			キロワット數及筒數		
			製造者名		
	煙突	種類			
		口徑			
		高サ	地表面上		
			汽罐火床面上		
		基數			
		製造者名			
貯炭場	面積				
	貯炭容量				
石炭運搬設備	種類				
	容量及筒數				
	製造者名				
	原動機	種類			
		キロワット數及筒數			
		製造者名			
灰燼運搬設備	種類				
	容量及筒數				
	製造者名				
	原動機	種類			
		キロワット數及筒數			
		製造者名			
其ノ他附屬設備					

清淨裝置	洗氣器	揚器			
	脫氣器	種類			
		筒數			
		製造者名			
		附機			
		屬器			
復水裝置	復水器	種類			
		冷汽面積			
		冷汽容積			
		冷却水標準溫度			
		筒數			
		製造者名			
	冷却水「ポンプ」	種類			
		容量及筒數			
		製造者名			
		原動機	種類		
			キロワット數及筒數		
			製造者名		
	空氣「ポンプ」	種類			
		容量及筒數			
		製造者名			
		原動機	種類		
			キロワット數及筒數		
			製造者名		
	復水「ポンプ」	種類			
		筒數			
		製造者名			
	冷却水用除芥機	種類			
		容量			
		筒數			
		製造者名			
		附屬機器			
	冷却池又ハ冷却塔	種類			
		容量			
		筒數			
		製造者名			
		附屬機器			
煙道内設備	空氣豫熱器	種類			
		加熱面積及筒數			
		豫熱前後ノ空氣溫度			
		製造者名			
	煙道瓦斯集塵裝置	種類			
		筒數			
		製造者名			
		附屬機器			

注意

1 汽筒ガ二箇以上ニ分割セラレタル汽機ノ總膨脹段數ハ各汽筒別ニ之ヲ記載スベシ
2 再熱器ヲ有スル汽罐ニ在リテハ汽溫關ニ再熱前後ノ汽溫ヲ附記スベシ
3 汽罐ノ加熱及過熱面中火爐壁ニ配置セルモノノ面積ハ分割シテ之ヲ記載スベシ
4 微粉炭燃燒裝置、油又ハ瓦斯燃燒裝置、淨水器、脫氣器、冷却水用除芥機、冷却池又ハ冷却塔及煙道瓦斯集塵裝置ノ附屬機器ニ付テハ適宜別欄ヲ設ケテ其ノ種類、容量、キロワット數、箇數及製造者名ヲ記入スベシ

第三表

内燃力設備

何發電所

内燃機	機械番號			
	種類			
	キロワット數			
	「サイクル」數			
	氣筒數			
	氣筒ノ内徑及衝程			
	回轉數			
	筒數	常用		
		豫備		
	燃料消費量（一キロワット時ニ付）	負荷	%	
			%	
			%	
			%	
	製造者名			
	製造年月			
瓦斯發生裝置	種類			
	發生容量			
	筒數			
	製造者名			
	製造年月			
消滓裝置	構造			
	材料			
	大サ			
	箇數			
	製造者名			
瓦斯貯溜槽	種類			
	容量			
	箇數			
	製造者名			
燃料標準	種類			
	發熱量			
内燃機冷却	冷却水「ポンプ」	種類		
		容量		
		揚程		
		箇數		
		製造者名		
		原動機 種類		
		原動機 容量		
		原動機 箇數		
		原動機 製造者名		
	冷却池 構造			
	冷却池 容量			
	冷却池 箇數			
	冷却池又ハ冷却塔附屬機器 製造者名			
	煙突 種類			
	煙突 口徑			
	煙突 地表面上ノ高サ			
	煙突 基數			
	煙突 製造者名			
其ノ他附隨設備				

注意

冷却池又ハ冷却塔ノ附屬機器ニ付テハ適宜別欄ヲ設ケテ其ノ種類、容量、キロワット數、箇數及製造者名ヲ記入スベシ

第四表

發電所電氣設備

				原動力	
發電機	發電所名				
	番號				
	種類				
	型				
	キロワット數又ハキログヴォルトアムペア數及力率				
	電壓				
	相				
	周波數				
	回轉數				
	結線法				
	冷却方式				
	原動機トノ連結方法				
	箇數	常用			
		豫備			
	製造者名				
	製造年月				
	中性點接地	種類			
		オーム數			
		容量（電流及時間）			
		製造者名			
勵磁機	種類				
	キロワット數又ハキロヴォルトアムペア數				
	電壓				
	回轉數				
	勵磁法				
	電線種類				
	電線太サ				
	電線條數				
	電線延長（粁）				
	電線地表上ノ最低ノ高サ（米）				
	電線ト支持物トノ最小距離（米）（懸垂碍子ノ場合）				
徑間	最大（米）				
	標準（米）				
	平均（米）				
支持物	鐵塔 標準鐵塔重量（瓩）				
	鐵塔 平均鐵塔重量（瓩）				
	鐵塔 基數				
	鐵塔 製造者名				
	鐵柱 標準重量（瓩）				
	鐵柱 平均重量（瓩）				
	鐵柱 基數				
	鐵柱 製造者名				
	鐵筋「コンクリート」柱ノ數				
	木柱 木材ノ種類及注入、不注入ノ別				
	木柱 標準柱 単柱、耳柱等ノ別				
	木柱 標準柱 末口ノ太サ（糎）				
	木柱 基數				
碍子	懸垂型 大サ				
	懸垂型 試驗電壓及試驗時間				
	懸垂型 一連ノ箇數 懸垂				
	懸垂型 一連ノ箇數 耐張				
	懸垂型 總箇數				
	懸垂型 製造者名				
	「ピン」型 大サ				
	「ピン」型 試驗電壓及試驗時間				
	「ピン」型 總箇數				
	「ピン」型 製造者名				
招弧角（又ハ招弧環）ノ有無					
架地空線	材料				
	太サ				
	條數				
保安通信設備	電話機設置場所ノ數				
	獨立、添架ノ別及回線數				
	回線ノ方式				
	延長（粁）				
	電話線 種類				
	電話線 太サ				
	搬送式電話ノ區間				
開閉所數、收容所數					
中性點接地	位置				
	種類（抵抗又ハ「リアクトル」）				
	オーム數				

第五表

架空送電線路

送電線路ノ名稱		
區間		
延長（粁）		
回線數		
電氣方式（直流、交流ノ別、相及線式）		
最大電壓		
周波數		
送電容量（キロワット		

標準支持物ニ於ケル電線及地線配置概略圖 （線間距離記入）			

注意

1　送電容量ハ電壓六萬ヴォルト以上ニシテ亙長五十キロメートル以上ノ送電線路ニ限リ之ヲ記載スベシ

2　電線及架空地線ノ太サハ單線ニ在リテハ其ノ徑、撚線ニ在リテハ其ノ公稱切斷面積及構造ヲ記載スベシ

3　電線延長ハ電線ノ太サ及種類ヲ異ニスル毎ニ之ヲ區別シ記載スベシ

第六表　地中水底送電線路

送電線路ノ名稱				
種類（地中、水底ノ別）				
區間				
亙長		（粁）		
回線數				
電氣方式（直流、交流ノ別、相及線式）				
最大電壓				
周波數				
送電容量（キロワット）				
電纜	種類及型式			
	定格電壓			
	心線數			
	心線ノ太サ			
	絕緣物ノ種類			
	鎧裝ノ有無及種類			
	外徑			
	電纜ノ條數			
	製造者名			
布設方法（引入式、直接埋設式ノ別）				
地中函數、開閉所數				
中性點ノ接地	位置			
	種類（抵抗又ハリアクトル）			
	オーム數			
保安通信設備	電話機設置場所ノ數			
	架空、地中ノ別			
	回線ノ方式			
	回線數			
	亙長（粁）			
	電話線	種類		
		太サ（粍）		
		被覆絕緣物ノ種類		

第七表　變電所設備

變電所ノ名稱			
位置			
目的			
出力			
變壓器	型		
	キロヴォルトアムペア數		
	電壓 一次		
	電壓 二次		
	相		
	周波數		
	結線法		
	冷却法		
	「バンク」數 常用		
	「バンク」數 豫備		
	個數 常用		
	個數 豫備		
	製造者名		
	製造年月		
	中性點ノ接地 種類		
	中性點ノ接地 オーム數		
	中性點ノ接地 容量（電流及時間）		
	中性點ノ接地 製造者名		
電動發電機	種類		
	電動機側 電氣方式（直流、交流ノ別、相）		
	電動機側 電壓		
	電動機側 容量		
	電動機側 回轉數		
	電動機側 周波數		
	發動 電氣方式（直流、交流ノ別、相）		
	發動 電壓		
交ヘン周波數變換機	機側 容量		
	機側 回轉數		
	機側 周波數		
	個數 常用		
	個數 豫備		
	製造者名		
	製造年月		
	勵磁機 種類		
	勵磁機 電壓		
	勵磁機 キロワット數		
	起動電動機 種類		
	起動電動機 キロワット數		
	起動電動機 回轉數		
調相	種類		
	キロヴォルトアムペア數 進		
	キロヴォルトアムペア數 遲		
	電壓		
	周波數		
	回轉數		
	結線法		
	冷却方式		
	個數 常用		
	個數 豫備		
	製造者名		
	製造年月		
	勵磁機 キロワット數		

第八表　高圧配電線路

配電区域	
電気方式（直流、交流ノ別、相及線式）	
最大電圧	高圧
	低圧
常用者ノ端子電圧	
架空	電線種類 高圧
	低圧
	太サ 高圧
	低圧
地中	電線種類 高圧
	低圧
	太サ 高圧
	低圧

第九表　電気鉄道設備

電気鉄道ノ名称				
起点				
終点				
複線単線ノ別				
互長	哩（粁）			
電気機関方式				
電車線（又ハ第三軌条）ノ電圧				
電気方式				
架空線	電線	種類		
		太サ		
		延長		
	電車線	種類		
		数		
		標準径間		
		単独添架ノ別		
地中電線路	電線	種類		
		心線数		
		心線ノ太サ		
		延長		
	接続箱	製造者名		
		布設法		
線路	電線	種類		
		太サ		
		条数		
	互長			

第十表　発電所　変電所　鉄道定規

線路	支持物	径間		
	最大使用張力			
地水中底電線路	電線	種類	高圧	
			低圧	
	接続箱ノ種類		高圧	
			低圧	
	布設方法			
架空地線	電線設置場所ノ数			
	架空、地中ノ別			
	同線ノ方式			
	同線数			
	互長（粁）			
設備	電話線	種類		
		太サ（粍）		
	接続線物ノ種類			

注意

1. 配電区域ノ欄ニハ配電工事ヲ施行シタル区域ヲ記載シ電線路ノ互長、高圧、低圧、
   誘導部分ヲ通ズルシタル総互長ヲ架空、地中、水底ノ別毎ニ記載スルコト）及配電用変圧
   器ノ個数（予備線用、地中線用、常用者御内用ノ別）並ニ其ノ総容量（キロヴォルトア
   ンペア）ヲ附記スベシ
2. 最大電圧ノ欄ニハ配電用変圧器ノ一次電圧ニ次電圧ヲ附記スベシ
3. 架空電線ノ欄ニハ電線ノ延長（高圧、低圧ノ別）及支持物ノ本数ヲ、地中、水底電
   線路ノ欄ニハ電線ノ延長（高圧、低圧ノ別）ヲ附記スベシ

種別	方式	電圧	線路延長	径間	電線	電線ノ太サ	電線ノ張力	支持物	支持物ノ種類	支持物ノ高サ	支持物ノ埋込深サ	支持物ノ間隔	引留箇所ニ於ケル支持物ノ強度	摘要

種別	方式	電圧	線路延長	径間	電線	電線ノ太サ	電線ノ張力	支持物	支持物ノ種類	支持物ノ高サ	支持物ノ埋込深サ	支持物ノ間隔	引留箇所ニ於ケル支持物ノ強度	摘要

（第五號様式）

工事費格算書

目		格		算		額			摘要	備考
		単位	単価	数量	小計	計	合計			
水利権	買収費									
	補償費									
土地	発電所用地	㎡								
	〃附属用地	〃								
	〃水路用地	〃								
	〃調整池又ハ貯水池用地	〃								
工作物	発電所建物	坪								
	〃附属建物	〃								
	〃屋外設備	式								
	水路	間								
	堰堤	〃								
	取入口	箇所								
	沈砂池	〃								
	水槽	〃								
	水圧鉄管	本								
	鉄管支持装置	〃								
	鉄管基礎	〃								
	鉄管伸縮継手	〃								
	鉄管止水輪	〃								
	鉄管ノ塗装	平方メートル								
	発電所建物ノ基礎	箇所								
	水車	台								
	発電機	〃								
	変圧器	〃								
	開閉器	〃								
	避雷器	〃								
	計器	〃								
	継電器	〃								
	配電盤	〃								
	蓄電池	〃								
	起重機	〃								
	発電所建物ノ屋根瓦葺	坪								
	〃ノ壁	〃								
	〃ノ窓	箇所								
	〃ノ扉	〃								
	〃ノ床	坪								
	〃ノ天井	〃								
	〃ノ塗装	〃								
	〃ノ建具	箇所								
	〃ノ硝子	〃								
	〃ノ装飾	〃								
	〃ノ電灯設備	〃								
	〃ノ動力設備	〃								
	〃ノ暖房設備	〃								
	〃ノ衛生設備	〃								
	〃ノ避雷針	〃								
	〃ノ接地	〃								
	〃ノ消火設備	〃								
	〃ノ昇降機	〃								
	〃ノ起重機	〃								
	〃ノ屋外設備	式								
	発電所ノ外構	〃								
	発電所ノ門	箇所								
	〃ノ塀	間								
	〃ノ柵	〃								
	〃ノ生垣	〃								
	〃ノ植込	坪								
	〃ノ道路	〃								
	〃ノ排水溝	間								
	〃ノ橋梁	箇所								
	〃ノ門扉	〃								
	〃ノ照明	〃								
	〃ノ植樹	〃								
	〃ノ芝張	坪								
	〃ノ其ノ他ノ外構	式								
水路	堰堤	箇所								
	水門	〃								
	土砂吐	〃

項目			精算額 単位	精算額 単価	精算額 数量	精算額 金額 小計	精算額 金額 計	精算額 金額 合計	較比ノ豫算額 増減額 数量	較比ノ豫算額 増減額 金額 計	較比ノ豫算額 増減額 金額 合計	備考
建物	發電所建物			円		円	円	円		円	円	
	附屬建物											
	屋外鐵構											
	雜係											
蒸汽發生設備	汽罐		箇									
	給炭機											
	復扮炭燃熱裝置											
	節炭器		箇									
	空氣豫熱器		〃									
	温水及淨水裝置											
	汽罐給水「ポンプ」		箇									
	汽管及水管											
	通風裝置											
	煙突及煙道		基									
	運炭及灰捨裝置											
	諸機械器具											
	基礎											
	運搬費											
	据附費											
	雜係											
電氣發生設備	汽機		箇									
	發電機		〃									
	水車		〃									
	復水器											
	所內及主要變壓器用汽機及發電機用水車		箇									
	配電盤及開閉器裝置											
	諸機械器具											
	基礎											
	運搬費											
	据附費											
	雜係											
冷却及水道設備	水用水冷却設備											
	貯水池											
	雜係											
雜設備	運搬及試驗設備											
	修繕費											
	何々											
備品費												
總係費												
	測量費											
	監督費											
	假設備費											
	雜											
内燃力發電所（發電所毎ニ記載スルコト）			一キロワット									

項目			精算額 単位	精算額 単価	精算額 数量	精算額 金額 小計	精算額 金額 計	精算額 金額 合計	較比ノ豫算額 増減額 数量	較比ノ豫算額 増減額 金額 計	較比ノ豫算額 増減額 金額 合計	備考
土木	開渠		メートル	円		円	円	円		円	円	
	閘渠		〃									
	隧道		〃									
	水路橋		〃									
	水路管		〃									
	沈砂池											
	水槽											
	餘水路		メートル									
	水壓管路		〃									
	放水路											
	土捨場											
	工事雜係											
	堰堤											
	可動堰											
	魚道											
	流木路											
	舟筏路											
	側面及底面工事											
	雜工事											
	雜係											
機械器具	水車		箇									
	發電機		〃									
	主要變壓器											
	配電盤及開閉器裝置											
	諸機械器具											
	基礎											
	運搬費											
	据附費											
	雜係											
雜設備	動力及電燈用電線											
	通信設備											
	運材設備											
	何々											
備品費												
總係費												
	測量費											
	監督費											
	補償費											
	假設備費											
	雜		一キロワット									
用地			平方メートル									
	發電所用地		〃									
	附屬用地		〃									
	雜係											
汽力發電所（發電所毎ニ記載スルコト）												

項目			精算額 単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	増減額 数量	増減額 金額 計	増減額 金額 合計	備考
用地	用地	発電所用地	坪	10	3	30	30	30		30	30	
		附属用地	〃									
		雑係	〃									
建物	建物	発電所建物										
		附属建物										
	構築物	屋外鉄構										
		雑係										
機械器具	発生貯油器		個									
	瓦斯発生及瓦斯溜ホルダー		〃									
	瓦斯機関	内燃機	〃									
		発電機	〃									
	開閉装置	主要変圧器及配電盤										
		冷却水設備										
		諸機器										
	基礎											
	運搬装置											
	雑											
雑設備品												
備品	総係											
送電線路 何……何間（送電線路ニ記載スルコト）	用地	線路用地	坪	10	3	30	30	30		30	30	
		開閉所用地	〃									
		附属用地	〃									
		雑係	〃									
	建物	諸建物										
		雑係										
	架空電線路	鉄塔	基	100	1	100	100	100		100	100	
		鉄筋「コンクリート」柱	〃									
		木柱	本	10	1	10	10	10		10	10	
		碍子	箇	1	3	3	3	3		3	3	
		線	キログラム									
		地線										
		保安及開閉装置										
		架空電話線										
		添架（架線工事）										
		補償										
		雑										
	地中電線路	管路	一キロメートル	1000	0.1	100	100	100		100	100	
		鉄	〃									

項目			精算額 単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	増減額 数量	増減額 金額 計	増減額 金額 合計	備考
用地	用地	発電所用地	坪	10	4	40	40	40		40	40	
		附属用地	〃									
		雑係	〃									
建物	建物	発電所建物										
		附属建物										
	構築物	屋外鉄構										
		雑係										
機械器具	発生貯油器		個									
	瓦斯発生及瓦斯溜ホルダー		〃									
	瓦斯機関	内燃機	〃									
		発電機	〃									
	開閉装置	主要変圧器及配電盤										
		冷却水設備										
		諸機器										
	基礎											
	運搬装置											
	雑											
雑設備品												
備品	総係											
送電線路 何……何間（送電線路ニ記載スルコト）	用地	線路用地	坪	10	4	40	40	40		40	40	
		開閉所用地	〃									
		附属用地	〃									
		雑係	〃									
	建物	諸建物										
		雑係										
	架空電線路	鉄塔	基	100	1	100	100	100		100	100	
		鉄筋「コンクリート」柱	〃									
		木柱	本	10	1	10	10	10		10	10	
		碍子	箇	1	4	4	4	4		4	4	
		線	キログラム									
		地線										
		保安及開閉装置										
		架空電話線										
		添架（架線工事）										
		補償										
		雑										
	地中電線路	管路	一キロメートル	1000	0.1	100	100	100		100	100	
		鉄	〃									

項目			精算額 単位	単価	数量	金額 小計	金額 計	金額 合計	増減額 数量	増減額 金額 計	増減額 金額 合計	備考
電話電信係	雑係		一キロメートル	4		4	40	40		4	40	
開閉所（各別ニ記載スルコト）	屋外鉄構											
	開閉装置											
	諸機械器具											
	雑係											
独立電話線路	支持物											
	電線											
	雑係											
備品費												
総係費												
測量費												
監督費												
何々係雑												
変電所（変電所ニ記載スルコト）	用地	地係	一キロヴアムペア									
		用地	坪									
		所用地	〃									
		電所附属地	〃									
	建物	物係										
		建物										
		鉄構										
	機械器具	器										
		整流器										
		変圧器										
		調相設備										
		変圧器										
		及開閉装置										
		機										
		整流器用水銀回転変圧機										
		冷却設備										
		配電盤										
		諸装置										
	雑設備品	基礎										
		運搬装置										
		附属雑										
備品	総係費											
配電線路（本店、支店等店位別ニ本数単位ヲ記載スルコト）	架空配電線路	物	一キロメートル									
		支持	〃									
		電線	本 キログラム									

（第六號樣式）

電氣事故届

第一表

(一) 事故發生工作物ノ種類	
(二) 事故發生ノ日時及天候	
(三) 事故發生ノ場所	
(四) 事故ノ狀況	
(五) 事故ノ原因	
(六) 事故發生ノ際ニ於ケル各部保安裝置ノ指示又ハ狀況	
(七) 事故發生前ニ於ケル關係工作物ノ狀態	
(八) 事故發生工作物ノ應急修理	
(九) 復舊ノ日時又ハ其ノ見込	
(十) 事故ノ結果	
(1) 他ニ及ボシタル災害又ハ障害	
イ 災害又ハ障害ノ種類	
ロ 災害又ハ障害ノ狀況	
ハ 應急ノ處置	
(2) 供給支障	
イ 供給支障ノ種類	
ロ 供給支障ヲ及ボシタル區域又ハ需用者	
ハ 供給支障電力ノキロワット數	
ニ 供給支障繼續時間	
ホ 應急ノ處置	
(十一) 備考	

注意

1 事故發生工作物ノ種類關ニハ故障又ハ運轉使用ニ關スル事故ヲ生ジタル電氣工作物ヲ發電所ノ原動力設備（水力、汽力、內燃力ノ別）若ハ電氣設備、受電設備、送電線路（架空、地中、水底ノ別、特別高壓、高壓、低壓ノ別）、變電設備、配電線路（架空、地中、水底ノ別、特別高壓、高壓、低壓ノ別）、鎖電線路（架空、地中ノ別）、電車線路、需用者屋內電氣工作物又ハ電車（電氣機關車ヲ含ム）ニ區別シ記載スベシ

2 電氣工作物ノ損害大ナルトキハ損害概算高ヲ事故ノ狀況欄ニ附記スベシ

3 電線ノ切斷シタルトキハ其ノ電線ノ種類、太サ、支持物ノ徑間及切斷ノ直接原因等ヲ各相當欄ニ記載スベシ

4 電線ノ混觸又ハ他ノ工作物トノ接觸ヲ生ジタルトキハ電線ノ種類、太サ、支持物ノ徑間及兩電線間又ハ電線ト他ノ工作物トノ距離等ヲモ各相當欄ニ記載スベシ

5 特別高壓電線路ノ碍子損壞シタルトキハ其ノ種類及箇數等ヲ各相當欄ニ記載スベシ

6 事故ノ原因欄ニハ其ノ原因ガ機械、器具、電線、碍子其ノ他ノ不良又ハ施設方法ノ不完全ナルニ因ルヤ否、操業者又ハ其ノ他ノ者ノ過失若ハ故意、天災其ノ他不可抗力ニ因ルヤ否等ヲモ記載スベシ

7 死傷者ヲ生ジタルトキハ其ノ數、公衆又ハ操業者ノ別、致死又ハ負傷ノ原因ヲモ事故ノ結果欄ノ各相當欄ニ詳記シ且死傷者ニ對スル醫師ノ診斷書又ハ檢案書ノ寫ヲ添附スベシ

8 供給支障ノ種類ハ送電停止、電壓變動、周波數變動等ニ區別シ記載スベシ

9 說明上必要アル場合ハ圖面ヲモ添附スベシ

第二表　（　年　月分）

事故發生工作物ノ種類	事故ノ種類	事故發生日時及天候	事故發生場所	送電停止區域又ハ需用者	送電停止電力ノキロワット數	送電停止時間	備考

注意

1 本表ハ送電線路又ハ配電線路（變壓器ヲ含ム）ノ事故ニシテ第一表以外ノモノニ限リ之ヲ記載スベシ

2 事故發生工作物ノ種類欄ニハ故障又ハ運轉使用ニ關スル事故ヲ生ジタル電線路ニ付架空、地中又ハ水底ノ別及電壓ヲ記載スベシ

3 事故ノ種類欄ニハ電線接地、電線切斷、支持物倒壞、電機破損、變壓器燒損等ノ種類ヲ記載スベシ

4 電線ノ切斷シタルトキハ其ノ電線ノ種類、太サ及碍子ノ種類（特別高壓ノモノニ限ル）ヲ備考欄ニ記載スベシ

5 支持物ノ倒壞シタルトキハ支持物ノ種類ヲ備考欄ニ記載スベシ

項目			精算額 単位	精算額 單價	精算額 數量	精算額 金額 小計	精算額 金額 計	精算額 金額 合計	豫算額トノ比較增減額 數量	豫算額トノ比較增減額 金額 計	豫算額トノ比較增減額 金額 合計	備考
				圓				圓			圓	
需用家屋內設備（本店、支店等營業單位別ニ記載スルコト）	地中配電線路	電力用電線	キログラム									
		變壓器	箇									
		電力用變壓器	〃									
		保安及開閉裝置										
		引込線	引込口									
		電力用引込線	〃									
		添架電話線（架線費）										
		雜係										
	特約供給配電線路（各別ニ記載スルコト）	電纜	一キロメートル									
		電力用電纜	〃									
		變壓器	箇									
		電力用變壓器	〃									
		保安及開閉裝置										
		引込線	引込口									
		電力用引込線	〃									
		雜係										
	配線	電燈用配線	一キロメートル									
		電燈用配線	燈									
		電力用配線	キロワット									
		電熱用配線	〃									
	器具	電球	箇									
		計器	〃									
		電熱器	〃									
		扇風機	〃									
		電動機	〃									
		諸機械器具										
電氣鐵道設備			一キロメートル									所內變壓所ヨリ營業用電車線迄（CT變ノ合
建設利息	何々間建設費		〃									
	發電設備	何發電所										
		何發電所										
	送電設備	何送電線路										
		何送電線路										
	何々											
合計												

注意

1 本表ノ項目ハ朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スベシ

2 一發電所ニ隸屬セザル貯水池アルトキハ水力發電所ニ準ジ記載スベシ

3 獨立セル受電所アルトキハ變電所ニ準ジ記載スベシ

4 豫算額ニ比シ著シキ增減アル項目ニ付テハ其ノ事由ヲ附記スベシ

5 豫算額トノ比較增減額ノ減ハ朱書スベシ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

（第七號樣式）

收支實績書

利益ノ部

種別			自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	備考
電氣供給事業利益	電燈料	何店區域 定額料金	㊀	取附數燈	一燈一月 ㊃	㊁		㊂	㊄		㊅	
		何店區域 從量料金		消費量キロワット時	一キロワット時當							
		何店區域 臨時料金										
		何店區域 不定時料金		取附數燈	一燈一月							
		何店區域 計器損料		箇	一箇一月							
		何店區域 設備損料		箇	一箇一月							
		何店區域 小計										
		計										
	電力料	何店區域 定額料金		取附數キロワット	一キロワット一月							
		何店區域 從量料金		消費量キロワット時	一キロワット時當							
		何店區域 臨時料金										
		何店區域 不定時料金		取附數キロワット	一キロワット一月							
		何店區域 特約料金		取附數キロワット	一キロワット一月							
		何店區域 休止中料金		キロワット	一キロワット一月							
		何店區域 計器損料		箇	一箇一月							
		何店區域 器具損料										
		何店區域 小計										
		計										
	電熱其ノ他ノ供給料金	何店區域 電熱料		取附數キロワット	一キロワット一月							
		何店區域 電扇料		取附數盞	一盞一月							
		何店區域 何々										
		何店區域 計器損料										
		何店區域 器具損料										
		何店區域 設備損料										
		何店區域 小計										
		計										
	供給雜益	何店區域 踏工料										
		何店區域 器具賣上益										
		何店區域 雜收										
		何店區域 送電線路使用料										
		何店區域 配電線路使用料										
		何店區域 小計										
		計										
	合計											

種別			自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	備考
他事業利益	電氣鐵道收益		㊇		㊈	㊉		㊊	㊋		㊌	
	從業收益	何業收益										
	從業收益	何業收益										
	從業收益	合計										
事業外經常利益	有價證券利息及配當金											
	受入利息											
	其ノ他											
	合計											
臨時利益												
總計												

損失ノ部

種別			自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	自 年 月 日 至 年 月 日 金額	數量	單價	備考
電氣發電所費	水力發電所費	(何)給料手當	㊍	年延人員 人	一人一月 ㊎	㊏		㊐	㊑		㊒	
		油脂類費										
		修繕費		出力キロワット	一キロワット當							
		特別費										
		諸費										
		小計										
		(何)(貯水池)										
	汽力發電所費	(何)給料手當		年延人員 人	一人一月							
		燃料費		キログラム	一キログラム當							
		油脂類費及用水料										
		修繕費		出力キロワット	一キロワット當							
		特別費										
		諸費										
		小計										
	內燃力發電所費	(何)給料手當		年延人員 人	一人一月							
		燃料費		キログラム	一キログラム當							
		油脂類費										
		修繕費		出力キロワット	一キロワット當							
		特別費										
		諸費										
		小計										
		計										
		(何)給料手當		年延人員 人	一人一月							

種別			自至 年月日 金額	數量	單價	自至 年月日 金額	數量	單價	自至 年月日 金額	數量	單價	備考
損失	購入電力料	(何)受電地點	圓	第一入舌キロワット(又ハ)キロワット時	一キロワット(又ハ)キロワット時 圓	圓		圓	圓		圓	
		(何)受電地點										
		計										
	減價銷却	發電設備										
		送電設備										
		變電設備										
		配電設備										
		需用者屋內設備										
		建設利息										
		計										
合計												
電力費損替額(控除)												
差引												

種別		自至 年月日 金額	自至 年月日 金額	自至 年月日 金額	備考
他事業損失	電氣鐵道費	圓	圓	圓	
	兼業費 何業費				
	何業費				
	合計				
事業外經常	總係費 役員費				
	給料手當 金額				
	給料手當 數量	年延人員 人			
	給料手當 單價	一人一月			
	修繕費				
	保健費				
	諸費				
	減價銷却				
	合計				
	所得及營業稅 所得稅				
	營業稅				
	合計				
	退職給與金引當				
	支拂利子 社債利息				
	借入金利息				
	何々				

種別			自至 年月日 金額	數量	單價	自至 年月日 金額	數量	單價	自至 年月日 金額	數量	單價	備考
供給費	送電費	送電線路費 修繕費	圓	瓦長 キロメートル	一キロ圓 メートル當			圓	圓		圓	
		特別費										
		諸費										
		何々										
		小計										
		計										
	變電費	(何)變電所費 給料手當		年延人員 人	一人一月							
		油脂類費										
		修繕費		カキログオルトアムペア	一キログオルトアムペア當							
		特別費										
		諸費										
		小計										
		計										
	配電費	(何)店區域 給料手當		年延人員 人	一人一月							
		修繕費		瓦長 キロメートル	一キロメートル當							
		特別費										
		諸費										
		何々										
		小計										
		計										
	需用者屋內費	(何)店區域 給料手當		年延人員 人	一人一月							
		電球取換費		取換數 箇	一箇當							
		修繕費										
		諸費										
		小計										
		計										
事業	業務費	(何)店區域 給料手當										
		需用開拓費										
		集金費		需用者 戶	一戶一月							
		修繕費										
		諸費										
		小計										
		計										
以上合計												

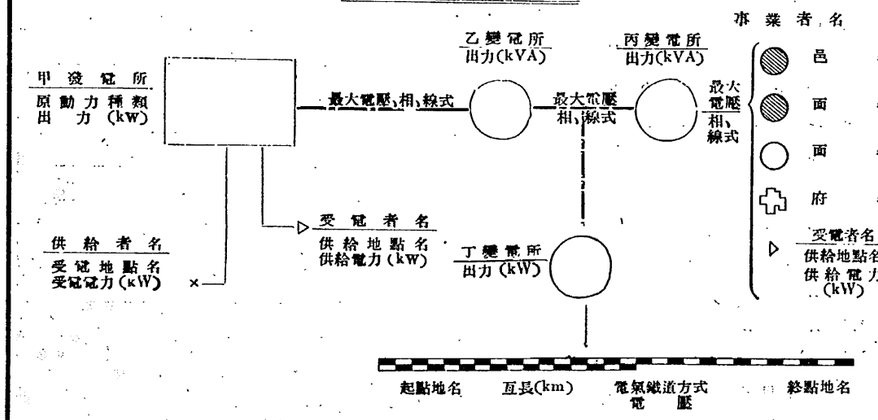
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

種別			自至 年月日 年月日 金額	自至 年月日 年月日 金額	自至 年月日 年月日 金額	備考
損失	利息	合計				
	社債差金及發行費償却					
	雜損失	電氣供給業者貸倒損				
		其ノ他				
		合計				
臨時損失	創業費償却					
	固定資產偶發損					內容ヲ附記スルコト
	何々					
	合計					
總計						
差引純利益						
處分	法定積立金					
	別途積立金					
	何積立金					
	役員賞與金					
	配當金					拂込資本金トノ割合ヲ附記スルコト
	後期繰越利益					

注意
1　本表ノ項目ハ朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スベシ
2　本表ノ「自年月日至年月日」トアルハ一事業年度ヲ示ス
3　金額、數量、單價ニシテ增減著シキモノハ其ノ事由ヲ附記スベシ

（第八號樣式）

送電系統圖



年　月　日

主任(擔當)技術者　氏　名　㊞

注意　既設又ハ工事施行認可申請中ノ事業アルトキハ第九號樣式ニ依ル圖面及附表ヲ調製シ之ニ新ニ申請セル送電系統ヲ此ノ方式ニ依リ記載スベシ

第八號樣式
第九號樣式　凡例

記號	名稱
G	交流發電機
M G	電動發電機
RC	迴轉變流機
MR	水銀整流器
C	調相機
	變壓器バンク
	蓄電池
—×—	開閉器又ハ遮斷器
	低壓又ハ高壓架空電線路
	低壓又ハ高壓地中（水底）電線路
	特別高壓架空電線路
	特別高壓地中（水底）電線路
	電燈電力供給區域（府）
	電燈電力供給區域（邑面）
	電力供給區域（府）
	電力供給區域（邑面）
	供給關係

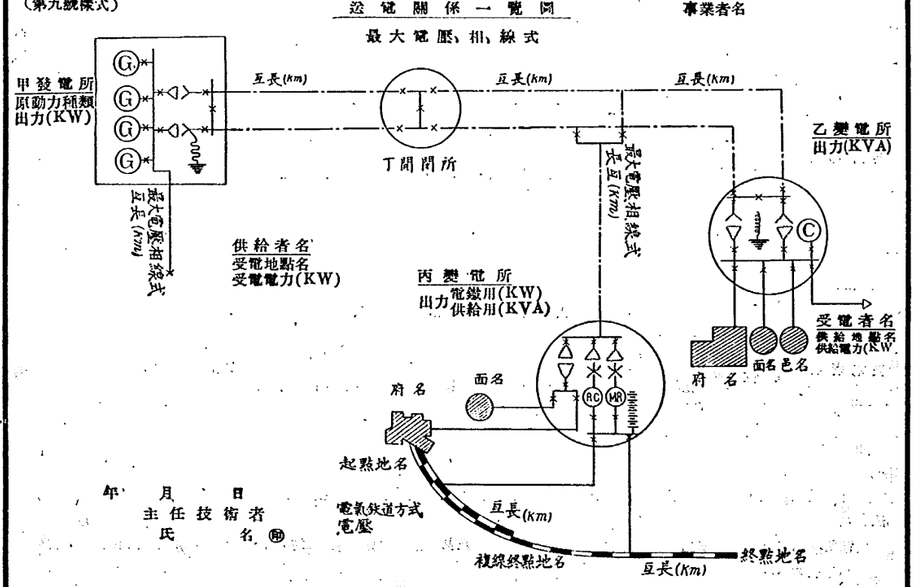
注意
一　發電所、受電地點、變電所、供給區域等ノ關係位置ハ實際ト一致スルヤウ記載スベシ
二　特別高壓電線路中三萬五千ヴォルトヲ超過スルモノハ太線三萬五千ヴォルト以下ノモノハ細線ヲ以テ之ヲ記載スベシ
三　申請又ハ屆出部分、既設部分、既許可又ハ既許可未落成部分及別途申請中部分ハ色別其ノ他ノ方法ニ依リ之ヲ區別シ表示スベシ

（第九號樣式）

送電關係一覽圖

最大電壓、相、線式

事業者名



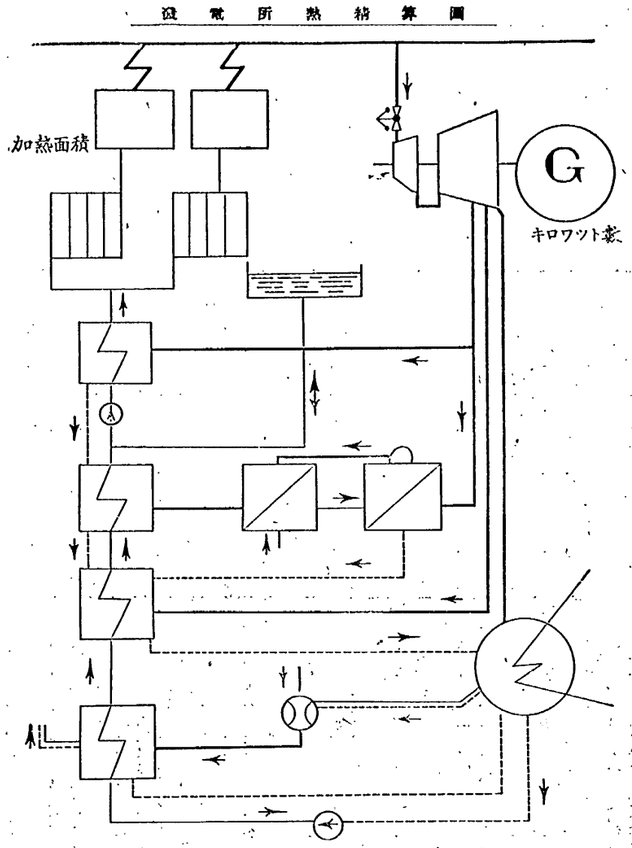
年　月　日

主任技術者
氏　名　㊞

注意　別記樣式ニ依ル附表ヲ添附スベシ但シ本圖面ノ餘白ニ記載シ又ハ本圖面中各設備ノ傍ニ其ノ事項ヲ分チ記載スルコトヲ妨ゲズ

（第十號樣式）

發電所熱結算圖



年　月　日　　主任技術者　氏名　㊞

記號	名稱	記號	名稱
	節炭器		開放型汽鑵給水槽
	過熱器附汽鑵		給水「ポンプ」
	汽鑵		蒸氣「ポンプ」
	連結セズ		蒸氣噴射表面復水器
	連結ス		蒸氣「タービン」
	空氣管		蒸化器
	水管		密閉型温水器
	復水管		開放型温水器（水中ニ噴氣）
	蒸氣管		汽鑵給水加熱器

第十號樣式　凡例

注意

一　蒸氣管ニハ蒸氣量、汽壓、汽温、蒸氣ノ保有熱量ノ明ナルモノヲ記載スベシ

二　復水管及水管ニハ水量、水壓、水温ノ明ナルモノヲ記載スベシ

三　竝列又ハ變更等ノ場合ニ於テハ其ノ部分ト既設ノ部分トヲ適宜ノ色分ヲ以テ表示スベシ

送電關係一覽圖附表

發電所設備一覽

發電所名	原動力	水系及河川名	出力(kw) 最大尖頭	常時尖頭	常時	特殊	補給	豫備	發電機 種類	容量(kVA又ハkW)	電壓(V)	周波數	箇數 常用	箇數 豫備	變壓器 容量(kVA)	相	周波數	電壓(V) 一次	電壓(V) 二次	電壓(V) 三次	箇數 常用	箇數 豫備	備考

變電所設備一覽

變電所名	出力 供給用(kVA)	出力 電鐵用(kw)	變壓器 容量(kVA)	相	周波數	電壓(V) 一次	電壓(V) 二次	電壓(V) 三次	箇數 常用	箇數 豫備	整流機又ハ電動發電機 種類	容量(kW)	電壓(V) 交流	電壓(V) 直流	箇數 常用	箇數 豫備	調相機 種類	容量(kVA)	電壓(V)	箇數 常用	箇數 豫備	備考

送電線路一覽

送電線路名	區間	電壓(V)	亙長(km)	電線又ハ電纜 種類	電線又ハ電纜 太サ	支持物種類	備考

受電關係一覽

供給者名	受電地點名及位置	受電電力(kW) 最大尖頭	常時尖頭	常時	特殊	補給	豫備	融通	受電時間	備考

供給關係一覽

受電者名	供給地點名及位置	供給電力(kW) 最大尖頭	常時尖頭	常時	特殊	補給	豫備	融通	供給時間	備考

注意

發電所設備又ハ變電所設備ニシテ本樣式ニ記載ナキ事項及其ノ他ノ設備ニシテ必要ト認メラルル事項ハ適宜別關ヲ設ケ之ヲ記載スベシ

第十八章　電気鉄道

第三章　軌条及其ノ接続

第一節　軌条

第一款　通則

第十一条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第十二条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第十三条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第十四条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第十五条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第十六条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第十七条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第十八条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第十九条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十一条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十二条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十三条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十四条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十五条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十六条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十七条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十八条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二十九条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第三十条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第三十一条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第三十二条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第三十三条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第三十四条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第三十五条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第三十六条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第三十七条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第二節　軌条ノ接続

第三十八条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第三十九条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十一条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十二条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十三条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十四条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十五条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十六条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十七条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十八条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第四十九条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十一条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十二条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十三条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十四条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十五条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十六条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十七条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十八条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第五十九条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十一条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十二条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十三条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十四条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十五条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十六条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十七条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十八条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第六十九条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第七十条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

三　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ広底軌条

四　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ溝付軌条

五　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ平底軌条

六　公称質量毎メートル二十五キログラム以上ノ鋼製ノ特殊軌条

第七十一条　軌条ハ左ノ各号ノ一ニ適合スルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　公称質量毎メートル三十キログラム以上ノ鉄製ノ広底軌条

二　公称質量毎メートル三十キログラム以上

第二節　接地　電極及接地線ノ規定

第二百十四條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十五條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十六條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十七條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十八條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十九條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十一條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十二條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十三條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十四條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十五條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十六條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十七條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十八條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十九條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百三十條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二節　接地　電極及接地線ノ規定

第二百十四條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十五條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十六條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十七條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十八條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百十九條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十一條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十二條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十三條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

七　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

第二百二十四條　地中ニ施設スル金属体ニハ接地工事ヲ為スコトヲ要ス但シ次ノ各号ノ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

一　直流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体

二　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

三　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

四　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

五　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶縁ヲ施シタル部分ノ電圧ニ対シ絶縁耐力ヲ有スルモノ

六　交流ニ対シ絶縁ヲ施シタル金属体ニシテ其ノ絶

第

四　徑用上鋼線ヲ以テ之ニ代用スルコトヲ得

徑ハ鋼線ノ場合ニ比シ稍大ナルヲ要ス

第

四　徑ハ鋼線ノ場合ニ比シ稍大ナルヲ要ス

第

三

二　點檢シ得ル掩蔽場所（細第七十五條）

(イ)　導子引隱蔽工事（第一種金屬線ヲ使用スルモノニ限ル）

(ロ)　移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓粗線ヲ使用スルコト

第百二十二條　電球線及移動シテ使用スル低壓電線ノ接續ハ危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第八十條）

第百二十三條　瀦氣アル場所（細第八十二條）

(魚屑、八百屋等ノ水ヲ取扱フ土間又ハ洗場ノ如キ場所ヲ除ク）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　導子引工事ニ依ルトキハ第四種絕緣電線ヲ使用シ電線相互間六糎以上、電線ト造營材トノ間隔三糎以上ヲ離隔スルコト

二　開閉器、自動遮斷器、粗絞接續器其ノ他ノ器具ニハ適當ナル防瀝裝置ヲ施スコト

第百二十四條　塵埃アル場所（細第八十三條）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ且危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設（細第八十四條）スルコトヲ要ス

一　配線ハ導子引工事ニ依ルコト

二　導子引工事ニ依ルトキハ第三種絕緣電線ヲ使用シ電線相互間六糎以上、電線ト造營材トノ間三糎以上ヲ離隔スルコト

三　開閉器、自動遮斷器、粗絞吊具ノ他ノ器具ニハ適當ナル防塵裝置ヲ施スコト

四　電球承口ニハ無鍵承口ヲ使用スルコト

第百二十五條　腐蝕性瓦斯又ハ溶液ノ發散スル場所（細第八十五條）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ瓦斯又ハ溶液ノ發散スル場所ニ於テ低壓電線ヲ使用スルトキハ展開セル場所ニ於テ操業者ノ外人ノ容易ニ觸ルヽ樣施設スルコトヲ要ス

第百二十六條　爆發又ハ燃燒シ易キ危險ノ物ヲ貯藏シ、製造又ハ貯藏スル場所（細第八十六條）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ且危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設（細第八十七條）スルコトヲ要ス

(イ)　電線相互間及金屬線ト造營材トノ間隔ハ六糎以上ノ距離ヲ保持スルコトヲ要ス但シ乾燥シタル場所ニ限リ工事上已ムヲ得ザルトキハ「ゴムテープ」ヲ以テ得管ニ代用スルコトヲ得（細第七十六條）

第百十六條　露出工事ニ依ル低壓屋內配線ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ハ第二種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テ人ノ觸ルル虞アル場所ニ施設スル電線ニハ第三種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト

二　電線相互間ハ三糎以上ヲ離隔スルコト

三　電線ト造營材トハ六糎以上ヲ離隔スルコト

第百十七條　隱蔽工事ニ依ル低壓屋內配線ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第二種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ點檢シ能ハザル掩蔽場所（細第七十五條）ニ施設スル電線ニハ第三種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト

二　工事上已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外電線ヲ造營材ノ側面又ハ下面ニ取付クルコト

三　造營材ノ面ニ沿ヒテ電線ヲ取付クルトキハ電線支持點間ノ距離ヲ一米以下ト爲スコト

四　電線相互間ノ距離及電線ト造營材トノ距離ハ左記ニ依ルコト

電線相互間ノ距離　電線ト造營材トノ距離

第二種絕緣電線ヲ造營材ノ側面又ハ下面ニ取付クルトキ　十二糎以上　三糎以上

第二種絕緣電線ヲ造營材上部ニ取付クルトキ　十二糎以上　十糎以上

第三種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スル電線ヲ使用スルトキ　六糎以上　三糎以上

第百十八條　木裏線樋工事ニ依ル低壓屋內配線ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス（細第七十七條）

一　電線ニハ第四種絕緣電線ヲ使用スルコト

二　電線相互間ハ十二糎以上、電線ト線樋ヲ取付クル造營材トハ六糎以上及電線ト線樋ヲ取付クル木「ネジ」トハ六糎以上ノ距離ヲ離隔スルコト

三　線樋內ニ於テ電線ニ接續點ヲ設ケザルコト

第百十九條　金屬管工事（細第七十八條）及金屬線樋工事（細第七十九條）ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第四種絕緣電線ヲ使用スルコト但シ短小ナル管若ハ樋內ニ於テ電線ニ接續點ヲ設ケザルコト

第百二十條　屋內ニ施設スル低壓用ノ開閉器及自動遮斷器ハ前二條ノ規定ニ依ル場合ノ外一キロワット以下ノ低壓二線式屋內電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニシテヲ裝置スルコトヲ得

第百二十一條　電球線及移動シテ使用スル低壓電線ノ接續ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第二種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ點檢シ能ハザル掩蔽場所（細第七十五條）ニ施設スル電線ニハ第三種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト

二　電線ハ導子引隱蔽工事（第一種金屬線ヲ使用スルモノニ限ル）又ハ金屬線樋工事及金屬管工事ニ依リ施設スルコト

三　造營材ノ面ニ沿ヒテ電線ヲ取付クルトキハ電線支持點間ノ距離ヲ一米以下ト爲スコト

四　電線相互間ノ距離及電線ト造營材トノ距離ハ左記ニ依ルコト

電線相互間ノ距離　電線ト造營材トノ距離

第二種絕緣電線ヲ造營材ノ側面又ハ下面ニ取付クルトキ　十二糎以上　三糎以上

第二種絕緣電線ヲ造營材上部ニ取付クルトキ　十二糎以上　十糎以上

第三種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スル電線ヲ使用スルトキ　六糎以上　三糎以上

第百二十六條　木裏線樋工事ニ依ル低壓屋內配線ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス（細第七十七條）

一　電線ニハ第四種絕緣電線ヲ使用スルコト

二　電線ハ第四種絕緣電線ヲ使用スルコト但シ一回路ノ長サ十二米以下ニシテ電線ノ斷面積ノ合計ガ線樋ノ斷面積ノ二割以下ナルトキハ此ノ限ニアラズ

三　線樋內ニ於テ電線ニ接續點ヲ設ケザルコト

第百二十七條　金屬管工事（細第七十八條）ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ニハ第四種絕緣電線ヲ使用スルコト但シ短小ナル管若ハ樋內ニ於テ電線ニ接續點ヲ設ケザルコト

第百二十八條　金屬管工事ニ依ル低壓屋內配線ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　電線ハ第二種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ一回路ノ長サ十二米以下ニシテ電線ノ斷面積ノ合計ガ管ノ內部斷面積ノ三十二分ノ三以下ナルトキハ此ノ限ニアラズ

二　電線ハ導子引隱蔽工事（第一種金屬線ヲ使用スルモノニ限ル）又ハ金屬線樋工事ニ依リ施設スルコト

三　電線ハ導子引隱蔽工事（第一種金屬線ヲ使用スルモノニ限ル）又ハ金屬線樋工事及金屬管工事ニ依リ施設スルコト

四　一回路ノ容量五キロワットヲ超ユル家庭用電氣器具其ノ他ノ屋內電氣機械器具用電線ハ各機械器具毎ニ分岐スルコト

前項ノ場合ニ於テ二箇以上ノ分岐回路ノ總ワット數ガ前項第一號乃至第三號ノ制限ヲ超過セザルトキハ此等各回路ニ共同ノ開閉器及自動遮斷器ヲ使用スルコトヲ得

前二項ノ開閉器及自動遮斷器ハ特殊ノ場合（細第七十四條）ヲ除クノ外各極ニ之ヲ裝置スルコトヲ要ス

第百二十三條　屋內ニ施設スル低壓用ノ開閉器及自動遮斷器ハ前二條ノ規定ニ依ル場合ヲ除クノ外一キロワット以下二線式屋內電路ニ使用スルモノニ限リ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

第百二十四條　低壓屋內配線ハ共ノ施設場所ニ從ヒ左ニ掲グル工事ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　展開シタル場所

(イ)　導子引隱蔽工事（第一種金屬線ヲ使用スルモノニ限ル）

(ロ)　木裏線樋工事及金屬線樋工事（金屬線ヲシテ管ニ代用スル場所ニ限ル）

(ハ)　金屬管工事及電纜工事

絕緣軟銅撚線ヲ使用スルコトヲ得

(ロ)　移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓粗線ヲ使用スルコト

第百二十二條　電球線及移動シテ使用スル低壓電線ノ接續ハ危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第八十條）

第百二十三條　瀦氣アル場所（細第八十二條）

(魚屑、八百屋等ノ水ヲ取扱フ土間又ハ洗場ノ如キ場所ヲ除ク）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

(イ)　絕緣抵抗ハ電線相互間及金電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ擾械器具ヲ除キタルトキ最大供給電流ノ二萬分ノ一ヲ超過セシメザルコト

(ロ)　電線ニ家庭用電氣器具（暖時溫水器ノ如ク大地ヨリ絕緣セズシテ使用スルモノヲ除ク）其ノ他ノ屋內電氣擾械器具ヲ接續シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ擾械器具ヲ除キタルモノト大地トノ間ニ在ラズ

(ハ)　電線ニ家庭用電氣器具（暖時溫水器ノ如ク大地ヨリ絕緣セズシテ使用スルモノヲ除ク）其ノ他ノ屋內電氣擾械器具ヲ接續シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ一萬分ノ一ヲ超過セシメザルコト

第百二十四條　塵埃アル場所（細第八十三條）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ且危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設（細第八十四條）スルコトヲ要ス

一　配線ハ導子引工事ニ依ルコト

二　導子引工事ニ依ルトキハ第三種絕緣電線ヲ使用シ電線相互間六糎以上、電線ト造營材トノ間三糎以上ヲ離隔スルコト

三　開閉器、自動遮斷器、粗絞吊具ノ他ノ器具ニハ適當ナル防塵裝置ヲ施スコト

四　電球承口ニハ無鍵承口ヲ使用スルコト

第百二十五條　腐蝕性瓦斯又ハ溶液ノ發散スル場所（細第八十五條）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ瓦斯又ハ溶液ノ發散スル場所ニ於テ低壓線ヲ使用スルトキハ展開セル場所ニ於テ操業者ノ外人ノ容易ニ觸ルヽ樣施設スルコトヲ要ス

第百二十六條　爆發又ハ燃燒シ易キ危險ノ物ヲ貯藏シ、製造又ハ貯藏スル場所（細第八十六條）ニ施設スル低壓電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ且危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設（細第八十七條）スルコトヲ要ス

(イ)　電線相互間及金電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ノ絕緣抵抗ハ電球及附屬物ヲ含ミ電球承口一箇ニ付二メグオーム以上

二　自熱電燈ト家庭用電氣器具トニ併セ供給スル場合

(イ)　電線相互間及金電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ノ絕緣抵抗ハ電氣器具ヲ除キタルトキ電球及附屬物ヲ含ミ電球及電氣器具承口一箇ニ付二メグオーム以上ナルコト

(ロ)　電線ニ電氣器具（暖時溫水器ノ如ク大地ヨリ絕緣セズシテ使用スル電氣擾械器具ヲ除ク）ヲモ接續シタルトキ其ノ絕緣抵抗ハ全電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ電球及電氣器具承口一箇ニ付一メグオーム以上ナルコト

三　家庭用電氣器具其ノ他ノ屋內電氣機械器具ノミニ供給スル場合

(イ)　絕緣抵抗ハ電線相互間及金電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ擾械器具ヲ除キタルトキ最大供給電流ノ二萬分ノ一ヲ超過セシメザルコト

(ロ)　電線ニ家庭用電氣器具（暖時溫水器ノ如ク大地ヨリ絕緣セズシテ使用スルモノヲ除ク）其ノ他ノ屋內電氣擾械器具ヲ接續シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ一萬分ノ一ヲ超過セシメザルコト

興行場ノ舞臺、奈落、音樂室及映寫室ニ施設シタル低壓電線ノ絕緣抵抗ハ前項各號ノ數値ノ二倍以上ナルコトヲ要ス

前二項ノ絕緣抵抗ハ興行場ニ於テハ每年二回以上、其ノ他ノ場所ニ於テハ每年一回以上試驗シ其ノ成績ヲ記錄スルコトヲ要ス但シ夙行場、病院又ハ灑氣若ハ塵埃ノ充チ易キ箇所ヲ除クノ外絕緣ノ試驗ヲ省略スルコトヲ得

第三節　隧道、坑道其ノ他之ニ類スル場所ノ工事

第百三十一條　鐵道又ハ軌道ノ專用隧道內ノ電氣工作物ハ左ノ各號ニ依リ施設スルコトヲ要ス

一　低壓電線ニハ一・六粍ノ第二種絕緣軟銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ、太サ及效力ヲ有スル電線ヲ使用シ之ヲ軌條面上二米以上ノ高サニ保持スルコト

電氣工作物ハ第百二十六條（第一號ヲ除ク）ノ規定ニ準ジ危險ノ虞ナキ樣適當ニ施設スルコトヲ要ス

第百三十五條　金屬管工事ニ用フル金屬管及電纜ノ被覆ニ用フル金屬體ハ之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコトヲ要ス

第百三十六條　電球線又ハ移動シテ使用スル低壓電線ニハ左ニ揭グルモノヲ使用スルコトヲ要ス

一　電球線ニハ第三種乙可撓紐線ヲ使用スルコト但シ長サ路面ニ達セザル電球線ニシテ移動セザルモノニ在リテハ第三種甲可撓紐線、長サ路面上二米以下ニ達セザルモノニ在リテハ一粍以上ノ第四種紐線軟銅撚線ヲ使用スルコトヲ得

二　移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓紐線ヲ使用スルコト但シ容シク外傷ヲ受クル虞アル場合之ヲ可撓金屬管ニ藏メ又ハ之ニ强靱ナル外裝ヲ施ス場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊ノ電線ヲ使用スルコト

第百三十七條　電線ト弱電流電線、水管其ノ他ノ金屬體トガ接近シ又ハ並行スル場合ハ左ノ距離ヲ保持シテ施設スルコトヲ要ス

一　低壓電線ニ在リテハ十五糎以上但シ電線ヲ充分ナル長サノ碍管内ニ藏メル場合、電線ヲ厚サ一粍以上ノ金屬管ヲ用フル金屬管工事ニ依リ施設スル場合又ハ鎧裝電纜ヲ用フル電纜工事ニ依リ施設スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

二　高壓電線ニ在リテハ鎧裝電纜ヲ用フル場合ハ三十糎以上、其ノ他ノ場合ハ六十糎以上

第百三十八條　電線路ハ左ノ絕緣抵抗又ハ絕緣耐力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

一　低壓電線路ノ絕緣部分ト大地トノ間ノ絕緣抵抗ハ因線ノ全電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ千分ノ一ヲ超過セシメザル樣保持スルコト

二　高壓電線路ト大地トノ間ノ絕緣耐力ハ最大使用電壓ノ一・五倍ノ電壓ヲ以テ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト但シ多心電纜ノ場合ニ在リテハ其ノ心線相互間ノ絕緣耐力ヲモ試驗スルモノトス

第四節　臨時工事

第百三十九條　第百四十條乃至第百四十二條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ハ施設後一月ヲ限リ使用スルコトヲ得但シ第百四十一條ニ依ル工事ニシテ第二種絕緣電線ヲ使用スルモノ又ハ第三種絕緣電線、第三種絕緣電線ヲ使用スルモノニ在リテハ第三種甲可撓紐線、長サ路面上二米以下ニ達セザルモノニ在リテハ一粍以上ノ第四種絕緣軟銅撚線ヲ使用スルコトヲ得

二　移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓紐線ヲ使用スルコト但シ容シク外傷ヲ受クル虞アル場合之ヲ可撓金屬管ニ藏メ又ハ之ニ强靱ナル外裝ヲ施ス場合ヲ除クノ外之ト同等以上ノ效力ヲ有スル特殊ノ電線ヲ使用スルコト

第百三十七條　電線ト弱電流電線、水管其ノ他ノ金屬體トガ接近シ又ハ並行スル場合ハ左ノ距離ヲ保持シテ施設スルコトヲ要ス

一　低壓電線ニ在リテハ十五糎以上但シ電線ヲ充分ナル長サノ碍管内ニ藏メル場合、電線ヲ厚サ一粍以上ノ金屬管ヲ用フル金屬管工事ニ依リ施設スル場合又ハ鎧裝電纜ヲ用フル電纜工事ニ依リ施設スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

二　高壓電線ニ在リテハ鎧裝電纜ヲ用フル場合ハ三十糎以上、其ノ他ノ場合ハ六十糎以上

第百三十八條　電線路ハ左ノ絕緣抵抗又ハ絕緣耐力ヲ有スルモノナルコトヲ要ス

一　低壓電線路ノ絕緣部分ト大地トノ間ノ絕緣抵抗ハ因線ノ全電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニ於テ使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ最大供給電流ノ千分ノ一ヲ超過セシメザル樣保持スルコト

二　高壓電線路ト大地トノ間ノ絕緣耐力ハ最大使用電壓ノ一・五倍ノ電壓ヲ以テ試驗シ十分間以上之ニ耐フルコト但シ多心電纜ノ場合ニ在リテハ其ノ心線相互間ノ絕緣耐力ヲモ試驗スルモノトス

第四節　臨時工事

第百三十九條　第百四十條乃至第百四十二條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ハ施設後一月ヲ限リ使用スルコトヲ得但シ容易ニ取外シ又ハ容易ニ運搬シ得ル電氣工作物ニシテ第二種絕緣電線、第三種絕緣電線ヲ使用スルトキハ施設後四月ヲ限リ使用スルコトヲ得

短時日ヲ限リ使用スル目的ヲ以テ臨時ニ施設スル電氣工作物ニ關シテハ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ本節ニ規定スル施設制限ヲ緩和スルコトヲ得

第百四十條　屋内ノ乾燥シタル廣間場所ニ臨時施設スル使用電壓二百五十ヴォルト以下ノ電線ハ電線相互間及電線ト造營材トノ間ヲ離隔セズシテ之ヲ施設スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ電線ニハ第三種絕緣電線又ハ之ト同等以上ノ效力ヲ有スル絕緣ヲ使用シ特ニ遞信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百四十一條　使用電壓百五十ヴォルト以下ノ電線ヲ軒下其ノ他家屋ノ外面ニ沿ヒ臨時ニ施設スル場合ニ於テハ左記各號ニ依ルコトヲ要ス

一　電線ニハ一・六粍ノ軟銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル電線ヲ使用スルコトヲ要ス但シ危險ノ虞ナキ場合ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百四十二條　電線ニ在リテハ十粍、低壓ニ在リテハ八粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强サヲ有スル電線ヲ使用スルコトヲ要ス但シ危險ノ虞ナキ場合ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百四十三條　電線ト造營材トノ間ヲ離隔セシムル爲左ノ區別ニ依リ離隔スルコト

電線ノ種類	電線相互間ノ距離	電線ト造營材トノ距離
(イ) 第二種絕緣六糎以上	三糎以上	
(ロ) 第三種絕緣電線 三糎以上	六粍以上	
(ハ) 第四種絕緣電線ヲ雨露ニ暴露セズ且外物ノ爲損傷スル虞ナキ樣適當ニ施設スル場合ハ電線相互間及電線ト造營材トノ間ヲ離隔セズシテ施設スルコトヲ得		

第百四十四條　電車線ニ使用スル電壓ハ直流低壓トス但シ專用敷地内ニ施設スル電氣鐵道ノ電車線ニ限リ直流高壓ヲ使用スルコトヲ得

特殊ノ設計ニ依ル場合ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百四十五條　直流單線式電氣鐵道用架空電線路ト架空弱電流電氣線路ト並行スル場合ニ於テハ誘導作用ニ依ル通信上ノ障害ヲ及ボサザル樣電線相互ノ距離ヲ四米以上離隔スルコトヲ要ス但シ弱電流電線路管理者ノ承諾ヲ得タルトキハ此ノ距離ヲ六十糎迄ニ短縮スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ施設スル電氣鐵道用架空電線路ト架空弱電流電線路ニ對シ障害ヲ及ボス虞アルトキハ更ニ之ヲ除却スベキ樣適當ニ施設スルコトヲ要ス（細第九十條）

第百四十六條　電氣鐵道用直流電線路及歸線ハ磁力觀測所ニ對シ觀測上ノ障害ヲ及ボサザル樣離隔シ又ハ其ノ他ノ適當ナル防止方法ヲ施スコトヲ要ス

第二節　電車線路及第三軌條

第百四十七條　道路ニ施設スル電車線ハ市街地ニ在リテハ一粍以下每、市街地外ニ在リテハ適當ノ長サニ之ヲ區劃シ且各區劃部分ニ對スル絕緣ヲ獨立ニ遮斷シ得ル施設ヲ爲スコトヲ要ス但シ市街地ニ在リテハ土地ノ狀況ニ依リ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザル事ヲ得

第百四十八條　電車線ハ高壓ニ在リテハ十粍、低壓ニ在リテハ八粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル電線ヲ使用スルコトヲ要ス但シ危險ノ虞ナキ場合ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百四十九條　電車線路ノ支持物ニハ事業者名又ハ略稱、支持物番號及建設年月ヲ表示スルコトヲ要ス但シ電氣鐵道ノ專用敷地内ニ建設スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第百五十條　道路ニ施設スル電車線支持物ノ徑間ハ四十米以下ト但シ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得ザル場合ニ於テハ此ノ制限ヲ六

十米迄ニ延長スルコトヲ得

特殊ノ事由アル場合ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百五十一條　高壓電車線ハ「カテナリー」式ニ依リテ架設シ其ノ垂吊子ノ間隔ヲ四・五米以下ニ保持スルコトヲ要ス但シ工事上已ムヲ得ズ特殊ノ施設（細第九十四條）ニ依ル場合又ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第百五十二條　電車線ノ軌條面上ノ高サハ五米以上トス但シ隧道内、橋梁ノ下部其ノ他之ニ類スル場所ニ施設スルモノハ工事上已ムヲ得ザル場合ニ限リ三・五米迄ニ短縮スルコトヲ得

山地ノ狀況其ノ他特殊ノ事由アル場合ニ於テハ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前二項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百五十三條　電車線及之ニ接續スル吊架用線ト架空弱電流電線トガ交叉シ又ハ接近スル部分ニ於テハ相互ノ電氣的接觸ヨリ生ズル危險ヲ防止スル爲電氣鐵道專業者ニ於テ適當ノ施設（細第九十二條）ヲ爲スコトヲ要ス

第百五十四條　饋電線ヨリ分岐シテ電車線ニ連スル電線ハ之ヲ吊架スル金屬線ヨリ碍子又ハ之ニ類スル絕緣體ヲ以テ絕緣シ且金屬線ハ之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコトヲ要ス

電車線ノ張線ハ電車線間及電車線ヨリ六十糎以内ニ在ル部分ヲ除クノ外第三種地線工事ニ依リ之ヲ接地スルコトヲ要ス但シ特殊ノ事由アル場合（細第九十三條）ハ此ノ限ニ在ラズ

市街地ニ於ケル電氣鐵道ノ專用敷地内又ハ市街地外ニ於テ電車線路ニ接近シテ弱電流電線ノ架設シアラザル場所ニ在リテハ其ノ架設セラルル迄前二項ノ施設ヲ省略スルコトヲ得

第百五十五條　第三軌條ハ地下鐵道、高架鐵道其ノ他人ノ容易ニ立入ラザル專用敷地内ノ鐵道ニ限リ之ヲ施設スルコトヲ得

特殊ノ設計ニ依ル場合ハ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第百五十六條　第三軌條ハ人ノ容易ニ接觸セザル樣之ヲ防護スルコトヲ要ス

第百五十七條　饋電線ト第三種地線及第三軌條相互ヲ接續スル電線（「ボンド」ヲ含マズ）ニハ鎧裝電纜又ハ鉛被電纜ヲ使用スルコトヲ要ス

第百五十八條　電車線路又ハ第三軌條ノ絕緣部分ノ絕緣抵抗ハ其ノ最大使用電壓ニ對スル漏洩電流ヲシテ軌道ノ延長一粁ニ付電車線ニ在リテハ百ミリアムペアヲ超過セザル樣保持スルコトヲ要ス

前項ノ絕緣抵抗ハ架空複線式電車線ニ在リテハ兩電線ヲ一括シタルモノト大地トノ間ニテ之ヲ測定スルモノトス

第一項ノ漏洩電流ガ軌道ノ延長一粁ニ付電車線ニ在リテハ二百五十ミリアムペア、第三軌條ニ在リテハ一アムペアヲ超過シ二十四時間ヲ過グルモ之ヲ除去スルコト能ハザルトキハ送電ヲ繼續スルコトヲ得ズ

絕緣抵抗ハ已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外每日送電前之ヲ測定シ其ノ成績ヲ記錄スルコトヲ要ス

第三節　歸線

第百五十九條　第三節ニ歸線（架空單線式又ハ第三軌條式電氣鐵道ノ軌條又ハ其ノ軌條ニ接續スル電線ヲ謂フ以下之ニ同ジ）ハ軌條間及軌條ノ外側三十糎以内ニ敷設スル部分ヲ除クノ外總テ之ヲ絕緣シ且之ヲ大地ト絕緣シ得ル狀況ニ依リ遞信局長ノ認可ヲ受ケテ此ノ制限ニ依ラザルコトヲ得

第一項ノ場合ニ於テハ前條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

第百六十條　架空絕緣歸線ハ架空饋電線路ニ準ジ施設スルコトヲ要ス

第百六十一條　歸線シタル軌條ハ熔接（纖目板ノ熔接ヲ含ム）又ハ特殊ノ方法（細第九十六條）ニ依リ之ヲ施スコト但シ軌條ノ纖目五箇以下每ニ一回ノ割合ヲ以テ兩軌條ヲ八粍ノ銅線又ハ之ト同等以上ノ導電力ヲ有スルモノヲ以テ接續スルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二　歸線ノ不絕緣部分ニ其ノ一年間ノ平均電流ヲ通ズルトキ生ズル電位ノ差ハ當該區域内ニ於テ當該地中管路ヨリ二粁以内ノ距離ニ在ル一ノ連續シタル歸線ノ部分ヲ謂フ但シ第一項ノ場合ニ於テハ前條第三項及第四項ノ規定ヲ準用ス

第一項ニ依リ施設スルモ猶障害ヲ及ボス虞アルトキハ更ニ適當ナル防止方法ヲ施スコトヲ要ス

第百六十五條　歸線ハ其ノ不絕緣部分及之ト地中ノ間ニ生ズル最大電位ノ差ニ依リ路切其ノ他公衆ノ通行スル場所ニ於テ人畜ニ危險ヲ及ボス虞アルトキハ之ヲ防止スル爲

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

適當ナル施設（期第九十七條）ヲ爲スコトヲ要ス

第百六十六條　地中管路管理者ノ氏名アリタルトキハ遲滯ナク其ノ變更ヲ通知スルコトヲ要ス

第百六十七條　地中管路管理者ノ氏名アリタルトキハ遲滯ナク其ノ變更ヲ通知スルコトヲ要ス

第百六十八條　車輛內ニ於テ電流ノ通ズル部分ハ操業者ノ外容易ニ人ノ觸ルル虞ナキ樣施設スルコトヲ要ス

第二編　細則

第一章　總則

第一節　機械及器具

第一條　低壓又ハ高壓用ノ器具ヲ取付クル盤ハ不可燃質物又ハ耐水性不易燃質ノ資料ヲ施シタル堅緻ナル木材ヲ以テ製作シタルモノナルコトヲ要ス但シ低壓三十アンペア以下ノ需用者屋內配電盤ハ此ノ限ニ在ラズ

特別高壓用ノ器具ヲ取付クル盤ハ絕緣性不可燃質物ヲ以テ製作シタルモノナルコトヲ要ス

第二條　配電盤ニ取付クル器具及接續電線（管內ニ敷メタル電線及鎧裝電纜ヲ除ク）ハ容易ニ點檢シ得ル樣施設スルコトヲ要ス但シ低壓三十アンペア以下ノ需用者屋內配電盤ニシテ造營材ト三糎以上ヲ離隔シテ施設シ且其ノ裏面ノ接續電線ニ第四種絕緣電線ヲ使用シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

盤ノ裏面ニ高壓若ハ特別高壓用器具又ハ接續電線ヲ施設スルトキハ取扱者ニ危險ヲ及ボサザル樣盤ノ裏面ト對壁トノ間ニ充分ナル通路ヲ設クルコトヲ要ス

特別高壓用ノ器具及接續電線ヲ取付クル盤ノ前方ニ取扱者ノ爲適當ナル絕緣臺ヲ設置スルコトヲ要ス

第三條　開閉器、自動遮斷器、抵抗器其ノ他充電スル導體ニ接スル器具ハ不易燃質物ヲ以テ絕緣シタルモノナルコトヲ要ス

第四條　開閉器、自動遮斷器、抵抗器其ノ他之ニ類スル器具ニハ其ノ使用電流及電壓ヲ表示スルコトヲ要ス但シ細則第十一條第一號ノ可搬片ハ此ノ限ニ在ラズ

第五條　本則第九條第一項ノ特殊ノモノトハ「ネオン」管燈用變壓器ノ如キモノヲ謂フ

第六條　本則第十一條第一項ノ適當ニ施設スルトハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　特別高壓側ニ開閉器及自動遮斷器ヲ設置スルコト

二　變壓器ノ二次電壓ガ高壓ノ場合ハ變壓器ヲ設置シタル場所ニ隣接シテ監視人ヲ常置スル詰所ヲ設置シ高壓側ノ檢溫器ヲ其ノ內ニ取リ付クルコト

三　變壓器ノ二次電壓ガ高壓ノ場合ハ高壓側ニ地上ヨリ容易ニ開閉シ得ル油入開閉器ヲ設備スルコト

第七條　本則第十二條第三項ノ適當ニ施設シタル場合トハ左ノ如キ場合ヲ謂フ

一　需用者ノ構內ニ設置スル架空線用變壓器ニシテ人ノ接觸ヲ防止スル充分ナル構造ヲ設クル場合

二　地中線用變壓器ヲ變壓器塔上ニ施設スル場合ニシテ變壓器及其ノ高壓側ノ充電部分ヲ地表上三米以上ノ高サニ保持シ且變壓器ノ外函竝ニ電纜及附屬物ヲ藏メタル金屬管ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スル場合

第八條　本則第十三條ノ特殊ノ場合トハ左ノ如キ場合ヲ謂フ

一　電氣爐又ハ之ニ類スルモノニ供給スル爲使用スル場合

二　發電所、變電所、開閉所等ニ於テ所內用トシテ使用スル場合

本則第十三條但書ノ適當ニ施設トハ使用電壓一萬ヴォルト以上ノ變壓器ニ在リテハ變壓器內部ノ故障ニ因リ自動的ニ變壓器ヲ電路ヨリ遮斷シ得ル保安裝置ヲ設備スル如キヲ謂フ

第九條　本則第十四條第一項但書ノ適當ノ施設ヲ爲シタル場合トハ左ノ如キ場合ヲ謂フ

一　鐵骸又ハ外函ノ周圍ニ作業者ノ絕緣臺ヲ設置シタル場合

二　高壓用柱上變壓器ヲ人ノ觸ルル虞ナキ樣設置シタル場合

三　低壓用ノ擾械器具ヲ乾燥セル木製ノ床其ノ他之ニ類スル絕緣性ノ物ノ上ヨリ取扱フ樣施設シタル場合

第十條　本則第十七條第一項ノ非包裝可熔片ハ左ノ試驗（使用場所ニ取付前ノ試驗）ニ適合スルモノトス

一　低壓ニ使用スル定格電流二百アムペア以下ノ非包裝可熔片ハ之ヲ水平ニ取付ケテ（板狀可熔片ハ板面ヲ水平ト爲スコト）試驗シ五分間以上定格電流ノ一、四五倍ノ電流ニ依リ熔斷スルコト

二　高壓ニ使用スル非包裝可熔片ハ二分間以內ニ定格電流ノ二倍ノ電流ニ依リ熔斷スルコト

第十一條　本則第十七條第二項ノ特殊ノモノハ左ノ如キモノヲ謂フ

一　組線吊內ニ裝置スル定格電流五アムペア以下ノ非包裝可熔片

二　硬キ金屬性ニシテ其ノ兩端ヲ端片ニ代用得ル板狀可熔片

三　硬キ金屬性ニシテ左ノ長サ以上ノ非包裝可熔片

定格電流　長サ（端子間）

十アムペア未滿　十粍

二十アムペア未滿　十二粍

三十アムペア未滿　十五粍

第二節　電線、電路及附屬設備

第十二條　第一種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル撚絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ一回緊密ニ絹組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ一、五粍以上ノモノトス

第二種絕緣電線ハ電線ヲ良質且强靱ナル撚絲其ノ他之ト同等以上ノ物質ヲ以テ一回緊密ニ絹組シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノニシテ其ノ被覆物ノ厚サ一、五粍以上ノモノトス

第十四條　第一種及第二種絕緣電線ハ左ノ各號ノ試驗ニ適合スルモノトス

一　供試線ヲ白色濾紙上ニ載セ攝氏六十度ノ炭氣中ニ三十分間放置スルモ紙面上ニ油狀ノ斑點ヲ印セザルコト

二　供試線ヲ攝氏零下十五度ノ生塞劑中ニ三十分間浸漬スルモ混和物ハ其ノ表面ニ罅裂ヲ生ゼザルコト

三　五粍以下ノ單線ニ在リテハ攝氏十度乃至三十度ノ溫度ニ於テ之ヲ其ノ仕上リ外徑ノ三倍ノ直徑ヲ有スル圓棒上ニ緊密ニ十回以上纏捲スルモ其ノ編組被覆物ニ異狀ナク混和物ハ粉末狀ヲ呈セズ且離脫セザルコト

第十五條　第三種絕緣電線ハ電線ヲ被「ゴム」二十「パーセント」以上ヲ含有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ去裝ノ厚サ以上ニ被覆シ更ニ〇・五粍以上ノ厚サニ燃絲絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シタル後完全ニ硫化ヲ施シ且絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス但シ導體ガ撚線又ハ三、二粍以上ノ單線ナル場合ニ於テハ「ゴム」混合物ノ上ヲ去表ノ厚サ以上ノ「ゴム」引綿「テープ」ヲ以テ重複纏捲シタル後完全ニ硫化ヲ施シ其ノ上ニ編組ヲ施スモノトス

第三種絕緣電線ハ一卷ノ儘十二時間浸水シ直流百ヴォルト以上ノ電壓ヲ以テ一分間充電ノ後試驗シ攝氏十五度ノ溫度ニ於テ去表ニ示ス值以上ノ絕緣抵抗ヲ有スルモノトス

第三種絕緣電線ハ一卷ノ儘十二時間浸水シタル後去表ニ示ス交流電壓ヲ以テ絕緣耐力ヲ試驗シ一分間以上之ニ耐フルモノトス

第一項ノ「ゴム」混合物ハ左ノ各號ニ依ル化學的及物理的性質ヲ有スルモノトス

一　「アセトン」ニテ浸出シタルトキ其ノ浸出液ヲ蒸發シ殘留物ヲ「アセトン」ニテ溶解シタル後

第四種絕緣電線（撚線ノ部）

導體 公稱斷面積（平方粍）	導體 構造（粍）	「ゴム」混合物ノ厚サ*（粍）	「テープ」ノ厚サ（粍）	絕緣抵抗 15°c（メグオーム/粁）	耐電壓試驗（ヴオルト）
1000	127/3.2	4.0	0.5	400	3500
850	127/2.9	3.8	〃	〃	〃
725	91/3.2	3.6	〃	〃	〃
600	91/2.9	3.5	〃	〃	〃
500	61/3.2	3.3	〃	〃	〃
400	61/2.9	3.2	〃	〃	〃
325	61/2.6	3.1	〃	〃	〃
250	61/2.3	2.8	〃	〃	3000
200	37/3.0	2.6	0.35	〃	〃
150	37/2.3	2.4	〃	〃	〃
125	19/2.9	2.2	〃	〃	〃
100	19/2.6	2.1	〃	500	2500
80	19/2.3	1.9	〃	〃	〃
60	19/2.0	1.8	〃	〃	〃
50	19/1.6	1.7	〃	〃	〃
38	7/2.6	1.5	〃	600	2000
30	7/2.3	1.5	0.25	〃	〃
22	7/2.0	1.4	〃	〃	〃
14	7/1.6	1.2	〃	〃	〃
8	7/1.2	1.1	〃	800	1500
5.5	7/1.0	1.1	〃	〃	〃
3.5	7/0.8	1.1	〃	〃	〃
2.0	7/0.6	1.1	〃	〃	〃
1.4	7/0.5	1.0	〃	〃	〃
0.9	7/0.4	1.0	〃	〃	〃

＊「ゴム」混合物ノ厚サノ公差ハ標準ノ厚サノ±十パーセント

第十七條　第一種可撓絕緣線ハ錫鍍シタル〇・一八粍ノ軟銅線三十五本以上又ハ〇・二三粍ノ軟銅線八十四本以上ヨリ成ル導體ヲ細キ絲又ハ紙帶ニテ絡捲シ更ニ純「ゴム」三十「パーセント」以上ヲ含有シ且一・五以上ノ比重ヲ有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ導體ノ太サニ從ヒ表ノ厚サ以上ニ被覆シ更ニ紙帶ヲ重複縛捲シ完全ニ硫化ヲ施シ其ノ上ヲ絹絲「カタン」絲絹絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ編組シタルモノトス

導體 公稱斷面積（平方粍）	導體 構造（粍）	「ゴム」混合最小厚（粍）
133/0.23	5.5	1.00
84/0.23	3.5	1.00
70/0.18	2.0	0.80
55/0.18	1.4	0.80
35/0.18	0.9	0.65

第一種可撓絕緣線ハ左ノ各號ノ試驗ニ適合セルモノトス

一　一卷ノ儘浸水セザル狀態ニ於テ兩導體間ノ絕緣耐力ヲ交流三千ヴオルトノ電壓ヲ以テ試驗シ一分間以上之ニ耐フルコト

二　長サ一米ノ供試線ヲ二十四時間浸水シタル後交流千ヴオルトノ電壓ヲ以テ試驗シ一分間以上之ニ耐フルコト

第十八條　第二種可撓絕緣線ハ前條ニ規定シタル構造ヲ有スル線心ニ更ニ「ゴム」引絹「テープ」ヲ纏捲シ（此ノ場合ハ「ゴム」被覆上ノ紙帶ヲ省略スルコトヲ得）又ハ綿絲ヲ以テ打揚組ヲ施シタルモノニ依ヲ綿絲其ノ他ノ軟性纖維質物ト共ニ撚合セ圓壔形ニ仕上ゲ之ニ絹絲「カタン」絲絹絲又ハ之ト同等以上ノ物質ヲ以テ緊密ニ上打揚組ヲ施シタルモノニシテ前條第二項ノ絕緣耐力試驗ニ適合スルモノトス

第十九條　第三種甲可撓絕緣線ハ第一種可撓絕緣線（綿絲ノ揚組ヲ施シタルモノノ揚組被覆ニ絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス

第二十條　第三種乙可撓絕緣線ハ第二種可撓絕緣線（綿絲ノ揚組ヲ施シタルモノノ揚組被覆ニ絕緣性耐水質混和物ヲ充分ニ滲透シ其ノ表面ヲ平滑ナラシメタルモノトス

第二十一條　第四種可撓絕緣線ハ錫鍍シタル〇・一六粍ノ軟銅線二十本ヨリ成ル導體ヲ細キ綿絲ニテ縛捲シ更ニ純「ゴム」三十「パーセント」以上ヲ含有シ且一・五以上ノ比重ヲ有スル品質均一ナル「ゴム」混合物ヲ以テ線心相互間ヲ容易ニ離別シ得ルモノトス

第二十二條　細則第十七條、第十八條及前條ノ「ゴム」混合物ハ供試線ヨリ「ゴム」混合物ヲ約百粍抽出シ其ノ中央ニ五十粍ノ長サヲ印シ之ヲ二倍ノ長サニ伸長シ其ノ儘一分間支持シタル後放置シ十分間經過後ニ於テ永久伸長率二十「パーセント」以下ナルモノトス

第二十三條　本則第二十條ニ依ル絕緣線及可撓紐線ノ安全電流ハ左表ヲ以テ標準トス

絕緣線及可撓紐線安全電流表

單線 太サ（粍）	安全電流（アムペア） 第一種及第二種絕緣線	第三種及第四種絕緣線	撚線 構成（粍）	撚線 公稱斷面積（平方粍）	安全電流（アムペア） 第一種及第二種絕緣線	第三種及第四種絕緣線
12.0	300	210	127/3.2	1000	1540	900
10.0	230	165	127/2.9	850	1310	840
9.0	200	145				
8.0	170	120	91/3.2	725	1210	770
7.0	140	100	91/2.9	600	1050	670
6.5	130	90				
6.0	115	80	61/3.2	500	900	580
5.5	105	75	61/2.9	400	790	510
5.0	90	65	61/2.6	325	670	440
4.5	80	55	61/2.3	250	570	370
4.0	65	50				
3.5	55	40	37/2.6	200	470	320
3.2	50	35	37/2.3	150	400	270
2.9	45	32				
2.6	40	30	19/2.9	125	340	240
2.3	35	25	19/2.6	100	290	200
2.0	30	20	19/2.3	80	250	170
1.8	25	18	19/2.0	60	210	145
1.6	21	15	19/1.8	50	175	120
1.4	18	12				
1.2	15	10	7/2.6	38	145	100
1.0	12	8	7/2.3	30	120	85
			7/2.0	22	100	75
			7/1.6	14	75	55
			7/1.0	8	50	35
			7/0.8	5.5	40	30
			7/0.6	3.5	30	20
			7/0.5	2.0	22	15

可撓紐線

太サ（粍）	心線構成（粍）	安全電流（アムペア）
5.5	133/0.23	30
3.5	84/0.23	20
2.0	79/0.13	15
1.4	55/0.18	12
0.9	35/0.18	8

備考

一　「ゴム」絕緣線ヲ碍子引工事ニ用フルトキハ其ノ安全電流ハ前表ノ數値ノ二割以内ヲ限リ增加スルコトヲ得

二　第四種絕緣線ヲ同一線樋又ハ管内ニ四本以上施設スル場合ハ其ノ安全電流ハ前表ノ數値ヲ適當ニ減少スルコト

三　特ニ周圍温度高キ場所ニ施設スル電線ニ在リテハ其ノ安全電流ハ前表ノ數値ヲ適當ニ減少スルコト

第二十四條　電線ニ接續點ヲ設クルトキハ左ノ各號ニ依ルコトヲ要ス

一　電線ノ電氣抵抗ヲ增加セシメザルコト

二　電線ノ强サヲ二割以上減少セシメザルコト

三　接續管又ハ特殊ノ方法ニテ接續スル場合ヲ除クノ外接續部分ヲ鹽署スルコト

第二十五條　本則第二十三條ノ檢漏器ハ漏電ノ程度ヲ常ニ自動的ニ表示スルモノナルコトヲ要ス但シ千ヴオルト以下ノ電路ニ於テ一時間ニ六回以上漏電ヲ檢スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

本則第二十三條ノ必要ナル箇所トハ左ノ如キ箇所ヲ謂フ

一　發電所又ハ變電所ノ引出用母線

二　本則第十一條ノ特別高壓變壓器設置箇所ノ高壓側電路

三　他ヨリ供給ヲ受クル受電點

前項第三號ノ受電點ヲ之ニ供給スル發電所、變電所等ニ隣接スルトキ又ハ受電シタル電氣ヲ受電點ニ依リ變成スルトキ又ハ受電シタル電氣ヲ受電點ニ隣接スル場所ニ於テ使用スルトキハ該受電點ノ檢漏器ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二十六條　本則第二十四條第一項ノ必要ナル箇所トハ左ノ如キ箇所ヲ謂フ

一　發電所又ハ變電所ノ架空電線引込口若ハ引出口又ハ母線

二　温水器、電氣鑵、電氣汽罐、電解槽等ノヲ危險ノ虞ナキ樣施設スル場合

第三十一條　本則第三十條第一項ノ接地線ニハ第一種及第三種地線工事ニ在リテハ二・六粍以上ノ銅線、第二種地線工事ニ在リテハ變壓器容量ニ從ヒ左ノ太サヲ有スル銅線（特別高壓ノ場合ニアリテハ撚線）ヲ使用スルコトヲ要ス

變壓器容量	接地線ノ太サ
特別高壓ノ場合	高壓ノ場合 二・六粍以上
四粍以上	二・六粍以上
五粍以上	五粍以上

二十キロヴオルトアムペア未滿

二十キロヴオルトアムペア以上

第一種及第二種地線工事ニ用フル接地線ヲ人ノ觸ルル虞アル場所ニ施設スル場合ニ於テハ地板ヨリ地上下一・五米以上ノ深サニ埋設シ地板ヨリ地上六十糎ニ至ル部分ニハ第四種絕緣電線ヲ用ヒ竹又ハ木ノ如キ不導體ノ樋ヲ以テ之ヲ覆ヒ接地線ト樋トノ間ニ絕緣性混合物ヲ塡充シ且人ノ接觸又ハ他動的損傷ヲ防止スル爲地上二・五米ノ高サ迄木樋ヲ以テ保護スルコトヲ要ス

前項ノ接地線ヲ人ノ觸ルル虞アル場所ニ於テ鐵柱ノ如キ金屬體ニ沿ヒテ施設スル場合ハ前項ノ規定ニ依ルノ外地板ヲ地中ニ於テ該金屬體ヨリ一米以上離隔シテ埋設シ且接地線全部ニ第四種絕緣電線ヲ用ヒ之ト同等以上ノ效力ヲ有スルモノヲ用ヒテ該金屬體ヨリ絕緣スルコトヲ要ス

第三種地線工事ニ依リ接地スペキ金屬體ト大地トノ接續良好ニシテ其ノ電氣抵抗ガ百オーム以下ナルトキハ接地線ヲ省略スルコトヲ得

第二項ノ接地線ヲ施設シタル支持物ニハ避雷用地線ヲ取付クルコトヲ得

第二章　送電線路、配電線路及饋電線

第一節　通則

第三十二條　本則第三十三條ノ第一區、第二區ト左ニ揭グル地方ヲ謂フ

第一區　京釜道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尙北道、慶尙南道、黃海道、平安南道

第二區　平安北道、江原道、咸鏡南道、咸鏡北道

第三十三條　電線ノ抗張力ハ左記ヲ以テ標準トス

電線ノ種類	抗張力（一平方粍ニ付）
硬銅線	三十五瓩
銅心「アルミニウム」線	別表ニ依ル
硅銅線	五十六瓩
「アルミニウム」線	十六瓩
鐵線	三十五瓩
鋼線（特殊ノ場合）	五十六瓩

絕緣硬銅線ノ抗張力ハ心線ノ切斷面積一平方粍ニ付三十五瓩ヲ以テ標準トス

心ニ條ノ間隙ヲ充分ニ塡充シ且〇・五粍以上ノ厚サニ被覆シテ圓壔形ニ仕上ゲ完全ニ硫化ヲ施シタル後之ニ絹絲「カタン」絲、絹絲又ハ之ト同等以上ノモノヲ以テ緊密ニ上打揚組ヲ施シタルモノトス

第四種可撓絕緣線ハ外部ノ「ゴム」被覆ト線心相互間ヲ容易ニ離別シ得ルモノトス

第四種可撓絕緣線ハ細則第十七條第二項ノ絕緣耐力試驗ニ適合スルモノトス

鋼心「アルミニウム」撚線抗張力表

抗張力（瓲）	撚線構成 撚線數/素線直徑(粍) 鋼心	撚線構成 撚線數/素線直徑(粍) 「アルミニウム」	撚線斷面積（公稱サイズ）（粍）	撚線斷面積（平方粍） 「アルミニウム」
11260	7/3.08	54/3.08	795000	402.3
10110	7/2.92	54/2.92	715000	361.6
9480	7/2.82	54/2.82	666600	337.3
9030	7/2.76	54/2.76	636000	323.1
8580	7/2.69	54/2.69	605000	306.9
8880	7/2.89	26/3.72	556500	282.6
10810	7/3.46	30/3.46	556500	282.1
9720	7/3.28	30/3.28	500000	253.5
7570	7/2.68	26/3.44	477000	241.7
9250	7/3.20	30/3.20	477000	241.3
6200	7/2.44	26/3.14	397500	201.3
7750	7/2.93	30/2.93	397500	202.3
5840	7/2.25	26/2.89	336400	170.6
6540	7/2.69	30/2.69	336400	170.5
4750	7/2.12	26/2.73	300000	152.2
5830	7/2.54	30/2.54	300000	152.0
3780	7/1.79	6/5.35	266800	134.9
4220	7/2.00	26/2.57	266800	134.9
3410	1/4.78	6/4.78	0000	107.7
2680	1/4.24	6/4.24	000	84.72
2140	1/3.79	6/3.79	00	67.69
1690	1/3.37	6/3.37	0	53.52

備考　抗張力ノ計算式次ノ如シ

$T=100A_s+15A_a$

但シ T ハ抗張力（瓲ヲ單位トス）

A_s ハ鋼心ノ切斷面積（平方粍ヲ單位トス）

A_a ハ「アルミニウム」ノ切斷面積（平方粍ヲ單位トス）

第三十四條　鐵柱及鐵塔ノ部材ニ日本標準規格第二十號ニ依ル構造用壓延鋼材（大正十五年商工省告示第二十三號ニ依ルモノ）ヲ使用スル場合ハ其ノ許容應力ハ左記ヲ以テ標準トス

一　應壓力及彎曲應力　有效切斷面積一平方粍ニ付千二百五十瓲

二　應壓力　左ノ公式ニ依ル

$p=1,250-\frac{l}{r}$

p ハ全切斷面積ニ對スル應壓力（一平方粍ニ付瓲ヲ單位トス）

l ハ部材ノ長サ（粍ヲ單位トス）

r ハ使用斷面ノ最小環動半徑（粍ヲ單位トス）

三　應剪力　「ボルト」及「リベット」ニ對シ一平方粍ニ付千瓲

四　支壓力　「ボルト」及「リベット」ニ對シ一平方粍ニ付二千瓲

抗壓材ニ在リテハ其ノ長サト最小環動半徑トノ比ハ左ノ制限ニ依ルモノトス

一　最大使用電壓六萬ヴォルト以上ニシテ電線ノ切斷面積硬銅線換算百五十平方粍以上、鋼心「アルミニウム」線ニ在リテハ百二十平方粍以上ノ場合　主脚材　百五十以下　其ノ他ノ部材　二百以下

二　前號以外ノ場合　主脚材　二百以下　其ノ他ノ部材　二百五十以下

第三十五條　鐵柱及鐵塔ニ用フル支線ニハ地中ノ部分及地表上三十糎ニ至ル部分ニ亞鉛鍍セル鐵棒ヲ使用シ之ヲ容易ニ腐蝕シ難キ根枷ニ堅牢ニ取付クルコトヲ要ス

第三十六條　鐵柱又ハ鐵筋コンクリート柱ニ用フル支線ニハ地中ノ部分及地表上三十糎ニ至ル部分ニ亞鉛鍍セル鐵棒ヲ使用シ之ヲ容易ニ腐蝕シ難キ根枷ニ堅牢ニ取付クルコトヲ要ス

第三十七條　木柱ノ彎曲ニ對スル破壞強度ハ左記ヲ以テ標準トス

木材ノ種類　破壞強度（一平方糎ニ付瓲）

杉　四百瓲

檜　落葉松　五百瓲

木柱ノ強度計算ニ於テ直徑增加率ハ杉及檜ニ在リテハ百分ノ一、落葉松ニ在リテハ百四十分ノ一ヲ以テ標準トス

第三十八條　木柱強度ハ左ニ示ス表又ハ公式ニ依リ計算スルモノトス

S（柱間距離（米ヲ單位トス）但シ兩側電柱間ノ距離相等シカラザル場合ニ於テハ兩柱間距離ノ各二分ノ一宛ヲ加ヘタルモノトス）

e　ハ電線又ハ地線等ノ直徑（粍ヲ單位トス）但シ第二區ノ場合ハ氷雪ノ附著シタル値ヲ採ルモノトス

h_1　ハ電線又ハ地線等ノ支持點ノ地表上ノ高サ（米ヲ單位トス）

H　ハ木柱地表上ノ高サ（米ヲ單位トス）

D, D　ハ木柱ノ末口（粍ヲ單位トス）

D_0　ハ木柱地表面ニ於ケル直徑（粍ヲ單位トス）

$D_0=D+RH$

R　ハ直徑增加率ノ百倍トス（杉及檜ニ在リテハ一、落葉松ニ在リテハ七分ノ五トス）

P　ハ木柱材料ノ破壞強度（一平方粍ニ付瓲ヲ單位トス）（細第三十七條）

F　ハ木柱ノ安全係數

K　ハ係數

甲種風壓荷重ノ場合（第一區　K=1.0　第二區　K=0.5）

乙種風壓荷重ノ場合　K=0.5

一　支線ヲ有セザル單柱

(イ)　表ニ依ル場合ハ第一表ヨリ得タル數値（杉及檜ニ在リテハ第一表(イ)、落葉松ニ在リテハ第二表ヨリ得タル數値ノ和ガ第三表ヨリ得タル數値ヲ超過セザルコト

(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

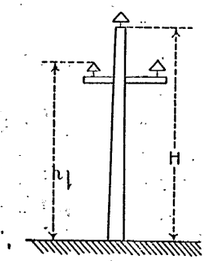
$P/F\geqq K\{459D_0^2H-206RH^3+78.5S(2eh_1)\}+D_0^3$

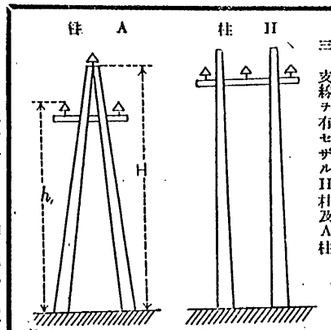
二　支線ヲ用ヒテ强度ノ一部ヲ分擔セシムル單柱

(イ)　表ニ依ル場合ハ第一表ヨリ得タル數値（杉及檜ニ在リテハ第一表(ロ)、落葉松ニ在リテハ第一表(ロ)ノ數値ニ依ル）ト第二表ヨリ得タル數値ノ二分ノ一ト第二表ヨリ得タル數値ノ二分ノ一トノ和ガ第三表ヨリ得タル數値ヲ超過セザルコト

(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

$P/F\geqq K\{459D_0^2H-206RH^3+78.5S(2eh_1)\}+D_0^3$





(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

$P/F\geqq K\{459D_0^2H-153RH^3+38.25S(2eh_1)\}+D_0^3$

本號ノ支線ハ左ノ公式ニ依リ計算スルモノトス

$A=0.01K\{0.6445(\Sigma e)+2.55D_0H-2.575\Sigma RH_1\}\cos\theta$

$\theta=45°$ ナルトキ

$A=0.01K\{0.0075(\Sigma e)+5.452D_0H-2.687\Sigma RH_1\}$

A　ハ鐵線ヲ用ヒ其ノ安全係數ヲ三トンタル場合ノ支線ノ切斷面積（平方粍ヲ單位トス）

θ　ハ支線ガ電柱ト爲ス角度

N　ハθガ四十五度ニシテ四粍ノ鐵線ヲ支線トシテ用ヒタル場合ノ標準數

三　支線ヲ有セザルH柱及A柱

(イ)　表ニ依ル場合ハ第一表ヨリ得タル數値（杉及檜ニ在リテハ第一表(イ)、落葉松ニ在リテハ第一表(イ)ノ數値ニ依ル）ト第二表ヨリ得タル數値ノ二分ノ一ト和ガ第三表ヨリ得タル數値ヲ超過セザルコト

(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

$P/F\geqq K\{459D_0^2H-153RH^3+19.125(2eh_1)\}+D_0^3$

四　支線ヲ用ヒテ强度ノ一部ヲ分擔セシムルH柱及A柱

(イ)　表ニ依ル場合ハ第一表ヨリ得タル數値（杉及檜ニ在リテハ第一表(イ)、落葉松ニ在リテハ第一表(イ)ノ數値ニ依ル）ト第二表ヨリ得タル數値ノ二分ノ一ト第二表ヨリ得タル數値ノ二分ノ一ト和ガ第三表ヨリ得タル數値ヲ超過セザルコト

(ロ)　公式ニ依ル場合ハ左記ニ依ルコト

$P/F\geqq K\{229.5D_0^2H-153RH^3+19.125(2eh_1)\}+D_0^3$

本號ノ支線ハ左ノ公式ニ依リ計算スルモノトス

$A=0.01K\{0.6445(\Sigma e)+7.710D_0H-5.143\Sigma RH_1\}\cos\theta$

$\theta=45°$ ナルトキ

$A=0.01K\{0.9078(\Sigma e)+10.905D_0H-67.275\Sigma RH_1\}$

$N=0.001K\{0.75(\Sigma e)+4.53D_0H-775\Sigma RH_1\}$

(イ)　表

H / D_0	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0
20	33.1	33.0	43.1	48.4	53.9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
21	30.3	24.9	39.7	44.6	49.7	54.0	60.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
22	27.9	32.2	36.6	41.3	46.0	50.9	55.9	61.0	66.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
23	25.8	29.8	33.9	38.2	42.7	47.3	52.0	56.8	61.7	66.5	71.6	—	—	—	—	—	—	—	—
24	23.9	27.6	31.4	35.5	39.7	44.0	48.5	53.0	57.5	62.3	67.0	71.7	75.5	—	—	—	—	—	—
25	22.2	25.7	29.3	33.1	37.0	41.0	45.2	49.5	53.9	58.	62.8	67.4	71.9	76.5	81.1	—	—	—	—
26	20.7	23.9	27.3	30.8	34.6	38.4	42.3	46.4	50.5	54.7	59.0	63.3	67.7	72.1	76.5	80.9	85.4	—	—
27	19.3	22.4	25.5	28.9	32.3	35.9	39.7	43.5	47.4	51.5	55.5	59.6	63.8	68.0	72.2	76.5	80.8	85.0	89.2
28	18.1	20.9	23.9	27.1	30.3	33.8	37.7	40.9	44.6	48.4	52.3	56.3	60.2	64.3	68.3	72.4	76.5	80.6	84.7
29	17.0	19.7	22.4	25.4	28.5	31.7	35.0	38.5	42.0	45.7	49.4	53.1	56.9	60.8	64.7	68.6	72.5	76.5	80.5
30	15.9	18.5	21.1	23.9	26.9	29.9	33.1	36.3	39.7	43.1	46.7	50.2	53.9	57.5	61.3	65.1	68.9	72.7	76.5
31	15.0	17.3	19.9	22.5	25.3	28.2	31.2	34.3	37.5	40.8	44.1	47.6	51.0	54.6	58.1	61.8	65.4	69.1	72.6
32	14.1	16.4	18.8	21.3	23.9	26.6	29.5	32.5	35.5	38.6	41.8	45.1	48.4	51.8	55.2	58.7	62.3	65.8	69.4
33	13.4	15.5	17.7	20.1	22.7	25.2	27.9	30.8	33.6	36.6	39.7	42.8	6.0	49.2	52.5	55.9	59.3	62.6	66.1
34	12.6	14.6	16.8	19.1	21.5	23.9	26.5	29.2	32.0	34.8	27.7	40.7	43.7	46.8	50.0	53.2	56.5	59.8	63.2
35	11.9	13.9	15.9	18.1	20.3	22.7	25.1	27.7	333.	33.1	35.9	38.7	41.6	41.6	47.6	50.7	53.9	57.0	60.2
36	11.3	13.1	15.1	17.2	19.3	21.5	23.3	26.3	28.9	31.4	34.1	36.9	39.7	42.5	45.5	48.4	51.5	54.5	57.6
37	10.8	12.5	14.3	16.3	18.4	20.3	22.7	25.1	27.5	30.0	32.6	35.2	37.9	40.6	43.4	46.4	49.1	52.3	55.1
38	10.3	11.9	13.7	15.5	17.5	19.6	21.7	23.9	26.3	28.7	31.1	33.6	36.2	38.8	41.5	44.3	46.9	49.8	52.7
39	9.8	11.3	13.1	14.8	16.7	18.6	20.7	22.8	25.1	27.3	29.6	32.1	34.6	37.1	39.7	42.3	45.0	47.7	50.5
40	9.3	10.8	12.5	14.1	15.9	17.8	16.7	21.8	23.7	26.1	28.4	30.7	33.1	5.5	38.0	40.5	43.1	45.8	48.4

（例）　$D_0=30.$　　H＝10.0＝對スル數ハ33.7トス

アジア経済資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第　一　表　(イ)

D° \ H	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	11.0	11.5	12.0	12.5	13.0	13.5	14.0	14.5	15.0
20	35.4	41.0	46.8	53.1	59.5	66.2	73.1	80.3	87.6	95.0	102.7	110.4	—	—	—	—	—	—	—
21	32.4	37.5	42.9	48.6	54.6	60.8	67.2	73.8	80.6	87.6	94.7	101.9	109.3	116.8	124.3	—	—	—	—
22	29.7	34.5	39.5	44.7	50.2	56.0	61.9	68.1	74.4	80.9	87.6	94.4	101.2	108.3	115.4	122.6	129.8	137.1	—
23	27.4	31.7	36.4	41.3	46.4	51.7	57.2	63.0	68.9	75.0	81.2	87.6	94.1	100.7	107.4	114.2	121.0	127.9	134.9
24	25.3	29.3	33.6	38.2	42.9	47.9	53.1	58.4	64.0	69.6	75.5	81.5	87.6	93.8	100.1	106.5	113.0	119.6	126.2
25	23.4	27.2	31.2	35.4	39.9	44.5	49.3	54.7	59.5	64.9	70.3	76.0	81.7	87.6	93.5	99.6	105.7	112.0	118.3
26	21.8	25.3	29.0	33.0	37.1	41.5	46.0	50.7	55.5	60.5	65.7	71.0	76.4	81.9	87.6	93.3	99.1	105.0	111.0
27	20.3	23.6	27.1	30.8	34.6	38.7	42.9	47.4	51.9	56.6	61.5	66.5	71.6	76.8	82.1	87.6	93.1	98.7	104.4
28	18.9	22.0	25.3	28.8	32.4	36.2	40.2	44.3	48.6	53.1	57.7	62.4	67.2	72.1	77.2	82.3	87.6	92.9	98.3
29	17.7	20.1	23.7	26.9	30.4	34.0	37.7	41.6	45.7	49.9	54.2	58.6	63.2	67.9	62.6	77.5	82.5	87.6	92.7
30	16.6	19.3	22.2	25.3	28.5	31.9	35.4	39.1	43.0	46.9	51.0	55.2	59.5	64.0	68.5	73.1	77.9	82.7	87.6
31	15.6	18.2	20.9	23.8	26.8	30.0	33.4	36.8	40.5	44.2	48.1	52.1	56.2	60.4	64.7	69.1	73.6	78.2	82.7
32	14.7	17.1	19.7	22.4	25.3	28.3	31.5	34.8	38.2	41.7	45.4	49.2	53.1	57.1	61.2	65.4	69.6	74.0	48.5
33	13.9	16.1	18.6	21.2	23.9	26.7	29.7	32.9	36.1	39.5	42.9	46.5	50.2	54.0	57.9	61.9	66.0	70.2	74.4
34	13.1	15.3	17.6	20.0	22.6	25.3	28.1	31.1	34.2	37.4	40.7	44.1	47.6	51.2	54.9	58.7	62.6	66.6	70.7
35	12.4	14.4	16.6	18.9	21.4	24.0	26.7	29.5	32.4	35.4	38.6	41.8	45.2	48.6	52.2	55.8	59.5	63.3	67.2
36	11.7	13.7	15.8	18.0	20.3	22.7	25.3	28.0	30.8	33.6	36.7	39.8	42.9	46.2	49.6	53.1	56.6	60.2	64.0
37	11.1	13.0	15.0	17.0	19.3	21.6	24.0	26.6	29.2	32.0	34.9	37.8	40.9	44.0	47.2	50.5	53.9	57.4	60.9
38	10.6	12.3	14.2	16.2	18.3	20.5	22.9	25.3	27.8	30.5	33.2	36.0	38.9	41.9	45.0	48.2	51.4	54.8	58.1
39	10.1	11.7	13.5	15.4	17.4	19.6	21.8	24.1	26.5	29.0	31.6	34.3	37.1	40.0	42.9	46.0	49.1	52.3	55.5
40	9.6	11.2	12.9	14.7	16.6	18.6	20.8	23.0	25.3	27.7	30.2	32.8	35.4	38.2	41.0	43.9	46.9	50.0	53.1

(例)　$D_0=30$.　$H=10.0$ニ對スル數ハ42.9トス。

第　二　表

D° \ S(Σeh₁)	500	1000	2000	3000	4000	5000	6000	7000	8000	9000	10000	20000	30000	40000	50000
20	4.8	9.6	19.1	28.7	38.3	47.8	57.4	67.0	76.5	86.1	95.6	191.3	286.9	382.5	478.1
21	4.1	8.3	16.5	24.8	33.1	41.3	49.6	57.8	66.1	74.3	82.6	165.2	247.8	330.5	413.0
22	3.6	7.2	14.4	21.6	28.7	35.9	43.1	50.3	57.5	64.7	71.9	143.7	215.6	287.4	359.3
23	3.1	6.3	12.6	18.9	25.2	31.4	37.7	44.0	50.3	56.6	62.9	125.8	198.6	251.5	314.4
24	2.8	5.5	11.1	16.6	22.1	27.7	33.2	38.7	44.3	49.8	55.4	110.7	166.1	221.3	276.7
25	2.5	4.9	9.8	14.7	19.6	24.5	29.4	34.3	39.2	44.1	49.0	68.0	146.9	195.8	244.8
26	2.2	4.4	8.7	13.1	17.4	21.8	26.1	30.5	34.8	39.2	43.5	87.0	130.6	174.1	217.7
27	1.9	3.9	7.8	11.7	15.6	19.4	23.3	27.2	31.1	35.0	38.9	77.7	116.6	155.5	194.3
28	1.7	3.5	7.0	10.5	13.9	17.4	20.9	24.4	27.9	31.4	34.9	69.7	104.6	139.4	174.2
29	1.6	3.1	6.3	6.4	12.6	15.7	18.8	22.0	25.1	28.2	31.4	62.7	94.1	12.55	156.8
30	1.4	2.8	5.7	8.5	11.3	14.2	17.0	19.8	22.7	25.5	28.4	56.7	85.0	113.3	141.7
31	1.3	2.6	5.1	7.7	10.3	12.8	15.4	18.0	20.6	23.1	25.7	51.4	77.0	102.8	128.4
32	1.2	2.3	4.7	7.0	9.3	11.7	14.0	16.4	18.7	21.0	23.3	46.7	70.1	93.1	116.7
33	1.1	2.1	4.3	6.4	8.5	10.6	12.8	14.9	17.0	18.8	21.3	42.6	63.8	85.1	106.4
34	1.0	2.0	3.9	5.8	7.5	9.7	11.7	13.7	15.6	17.6	19.5	38.9	58.4	77.9	97.4
35	0.9	1.8	3.6	5.4	7.1	8.9	10.7	12.5	14.3	16.1	17.9	35.7	53.6	71.4	89.3
36	0.8	1.6	3.3	4.9	6.6	8.2	9.8	11.5	13.1	14.8	16.4	32.8	49.2	65.6	82.0
37	0.8	1.5	3.0	4.5	6.0	7.6	9.1	10.6	12.1	13.6	15.1	0.2	45.3	60.4	75.5
38	0.7	1.4	2.8	4.2	5.6	7.0	8.4	9.8	11.2	12.5	4.0	27.9	41.9	55.8	69.7
39	0.7	1.3	2.6	3.9	5.2	6.5	7.7	9.0	10.4	11.6	12.9	25.8	38.7	51.6	64.5
40	0.6	1.2	2.4	3.6	4.8	6.0	7.2	8.4	9.6	10.7	11.9	23.9	35.9	47.9	59.8

(例)　$D°=30$ $S(\Sigma eh_1)=18200$ニ對スル數ハ$S(\Sigma eh_1)$ノ10000ノ欄ト8000ノ欄ト2000ノ欄ノ十分ノ一トノ和51.7トス

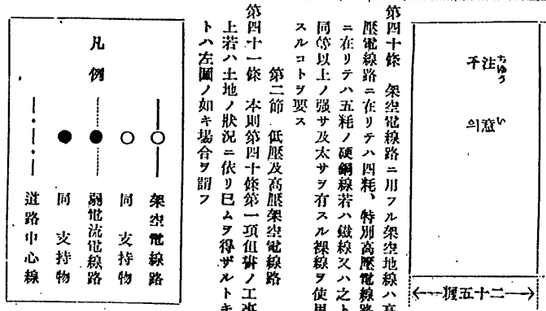
第　三　表

	安全係數	甲種風壓荷重 第一區	甲種風壓荷重 第二區	乙種風壓荷重
杉材	4	100	200	200
	5	80	160	—
	6	67	133	—
	7.5	54	108	—
檜、落葉松材	4	125	250	250
	5	100	200	—
	6	84	168	—
	7.5	67	133	—

第三十九條　本則第三十六條第二項ノ適當ナル表示トハ左ノ如キモノヲ謂フ

一　高壓架空電線路ニ在リテハ碍子ノ表面ノ見易キ部分幅約二糎又ハ腕木ノ表面ヲ赤色ト爲スモノ

二　特別高壓架空電線路ニ在リテハ建造物、道路（交通頻繁ナラザル道路ヲモ含ム）又ハ架空弱電流電線路ヨリ約三百米以内ニ在ル支持物ノ外部ヲ地表上二、五米ノ高サニ於テ縱幅三十糎以上赤色ト爲シ且五十米以内ニ在ル支持物ニ左ノ注意札又ハ之ニ類スル標札ヲ掲グルモノ但シ鐵塔ニ在リテハ赤色表示ハ之ヲ省略スルコトヲ得



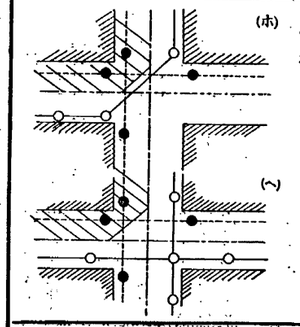
第四十條　架空電線路ニ用フル架空地線ハ高壓電線路ニ在リテハ四粍、特別高壓電線路ニ在リテハ五粍ノ硬鋼線若ハ鐵線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル裸線ヲ使用スルコトヲ要ス

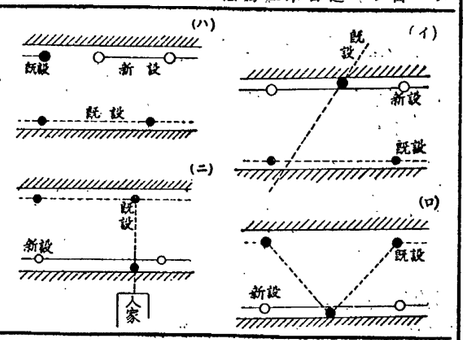
第二節　低壓及高壓架空電線路

第四十一條　本則第四十條第一項但書ノ工事上若ハ土地ノ狀況ニ依リ已ムヲ得ザルトキトハ左圖ノ如キ場合ヲ謂フ

本則第四十條第一項第二號ノ道路ノ兩側ニ跨ラズトハ道路ニ沿ヒ建設スル電線路ノ中心線ガ當該道路ノ中心線ト交叉セザル樣施設スルヲ謂フ

道路ノ交叉點ニ於ケル電線路ト弱電流電線路及道路中心線トノ關係ハ左圖ニ準ズルモノトス





第四十二條　本則第四十條第一項、第四十二條第一項但書及第四十三條第二項ノ架空引込線ニ隣接スル部分トハ左ノ如キモノヲ謂フ

一　一構內專用ノ低壓配電線路ノ電線ニシテ當該構內ノミニ施設シタルモノ

二　配電幹路ヨリ分岐シ架空引込線ニ接續スル低線ニシテ終端ノ引込柱ヨリ長サ六十米以內ノモノ

前項第二號ノ電線ハ之ヲ道路ニ沿ヒ道路上ニ施設スルコトヲ得ズ

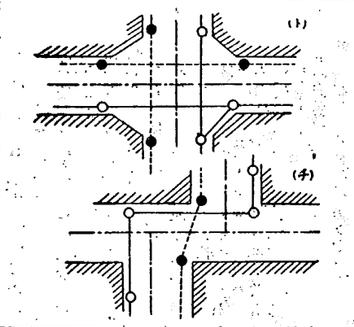
第四十三條　本則第四十一條第三項ノ適當ニ施設スルトハ左ノ如ク施設スルヲ謂フ

一　架空電線ト架空弱電流電線トノ相互間ノ離隔距離ヲ增加スルコト

二　交流式架空電線ノ場合ニ於テハ電線ヲ適當ノ距離ニ於テ捻架スルコト

三　電線ト弱電流電線トヲ交叉シ又ハ接近スル場合ニ在リテハ其ノ交叉又ハ接近部分ニ於テ電線相互間ニ四粍ノ硬鋼線若ハ鐵線又ハ之ト同等以上ノ强サ及太サヲ有スル金屬線二條以上ヲ施設シ之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

第四十四條　本則第四十四條第一項但書ノ危險ノ虞ナキ樣取付ケタル電線トハ左ノ如キ



モノヲ謂フ

一　工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テ低壓引込線又ハ之ニ隣接スル部分（細第四十二條）ノ電線ヲ分岐スル爲之ヲ高壓用腕木ニ堅牢ニ取付ケタルモノ

二　配電變壓器ノ高壓側導線ニ二・六粍以上ノ第三種又ハ第四種絕緣銅線ヲ使用シ且低壓電線ト接觸ノ虞ナキ樣之ヲ支持物又ハ腕木ニ堅牢ニ取付ケタルモノ

第四十五條　本則第四十六條第一項及第二項、第五十五條第一項第三號及第五十六條第一項第五號ノ堅牢ニ建設スルハ鐵柱及鐵筋「コンクリート」柱ニ在リテハ其ノ基礎ヲ特ニ堅固ニシ木柱ニ在リテハ地盤ガ特ニ堅キ場合ヲ除クノ外其ノ根入ヲ左ノ如ク爲スヲ謂フ

	根入
木柱全長十五米未滿	木柱全長ノ六分ノ一以上
十五米以上二十米以上	二・五米以上

水田其ノ他地盤軟弱ナル箇所ニ於テハ堅牢ナル根枷ヲ施スコトヲ要ス

第四十六條　本則第四十八條第一項ノ適當ニ施設スルトハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　交叉箇所ニ在リテハ電車線ト交叉ノ場合ヲ除クノ外高壓電線ヲ低壓電線ノ上部ニ施設スコト

二　工事上已ムヲ得ズ前號ニ依リ難キ場合又ハ低壓電線ガ高壓電線ノ上部ニ於テ竝行シ又ハ接近シテ相互間ノ水平距離二・五米以下ナル場合ハ該低壓電線ニ五粍ノ硬銅撚線若ハ四粍ノ第三種絕緣硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ、太サ及效力ヲ有スルモノヲ使用スルコト但シ水平距離一・二米以上ニシテ垂直距離其ノ一・五倍以下ナル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

三　前號ノ場合ニ於テ低壓電線路支持物ノ強度ハ本則第四十六條第一項ニ準ジ計算シタルモノヲ以テコト但シ木柱ニ在リテハ末口十二糎以上ヲ爲スコト、

第四十七條　本則第五十條但書、第五十四條第二號及第五十五條第一項第五號ノ適當ノ施設トハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　架空電線ガ架空弱電流電線ノ下部ニ於テ四十五度ヲ超ユル角度ヲ以テ交叉スルトキハ架空電線ノ上部ニ保護網ヲ施設スルコト

三　保護網又ハ保護線ト架空電線又ハ架空弱電流電線トノ垂直距離ハ六十糎以上ヲ爲スコト但シ保護網又ハ保護線ト架空電線トノ距離ハ工事上已ムヲ得ザル場合ニ於テハ三十糎迄ニ、保護網又ハ保護線ト架空弱電流電線トノ垂直距離ハ弱電流電線路管理者ノ承諾ヲ得テ三十糎迄ニ短縮スルコトヲ得

前項ノ裝置ハ弱電流電流ニ第四種絕緣電線若ハ五粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用スル場合ハ之ヲ省略スルコトヲ得

第四十八條　前條第一號ノ保護網ハ第三種地線工事ニ依リ接地シタル鐵線又ハ硬銅線製ノ網狀裝置トシ且左ノ各號ニ準ジ施設スルコトヲ要ス

一　縱線ノ太サ四粍以上　縱線相互ノ間隔一・五米以下

二　橫線ノ太サ二・六粍以上　橫線相互ノ間隔一・五米以下

三　保護網ガ架空電線ノ外部ニ張出スル幅員ハ保護網ト電線トノ垂直距離ノ二分ノ一以上但シ三十糎以上トス

前項ノ保護網ハ之ヲ運轉頻繁ナル蒸汽鐵道線路上ニ架設スル場合ニ於テハ硬銅線其ノ他容易ニ腐蝕シ難キ金屬線ヲ以テ構成スルコトヲ要ス

第四十九條　細則第四十七條第二號ノ保護線ハ第三種地線工事ニ依リ接地シタル二條以上ノ鐵線又ハ硬銅線トシ且左ノ各號ニ準ジ施設スルコトヲ要ス

一　保護線ノ太サ四粍以上

二　保護線相互ノ間隔七十五糎以下

三　保護線ガ架空電線ノ外部ニ張出スル幅員ハ保護線ト電線トノ垂直距離ノ二分ノ一以上但シ三十糎以上トス

前項ノ保護線ヲ運轉頻繁ナル蒸汽鐵道線路上ニ架設スル場合ニ於テハ之ニ硬銅線其ノ他容易ニ腐蝕シ難キ金屬線ヲ使用スルコトヲ要ス

第五十條　本則第五十五條第一項第五號及第五十六條第一項第六號ノ適當ノ施設トハ架空電線ノ兩外線直下部ニ於テ電線ト弱電流電線トノ間ニ第三種地線工事ニ依リ接地シタル五粍以上ノ鐵撚線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スル金屬線ヲ弱電流電線ト六十糎以上ノ距離ヲ保持シテ架設スルヲ謂フ

前項ノ金屬線ハ左ノ場合ニ於テハ之ヲ省略スルコトヲ得

一　弱電流電線ニ第四種絕緣電線若ハ五粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用シタル場合

二　裸電線ト弱電流電線トノ垂直距離十米以上ナル場合

三　弱電流電線ノ上部ニ於テ交叉スル二條以上ノ低壓又ハ高壓被覆電線（本則第四十二條ニ適合スルモノ）ヲ裸電線ノ下部ニ添架シタル場合

第一項ノ金屬線ヲ運轉頻繁ナル蒸氣鐵道線路上ニ架設スル場合ニ於テハ之ニ硬銅線其ノ他容易ニ腐蝕シ難キ金屬線ヲ以テ構成スルコトヲ要ス

第五十一條　特別高壓架空電線路

第三節　特別高壓架空電線路

第五十一條　特別高壓架空電線路（ケーブル）線路ヲ除ク）ニ對シ常時靜電誘導作用ニ因リ通信上ノ障害ヲ及ボサザル爲其ノ使用電壓ニ從ヒ左ノ各號ノ一ニ適合スル樣離隔スルコトヲ要ス

一　最大使用電壓一萬五千ヴォルトヲ超過スル場合

(イ)　最大使用電壓六萬ヴォルト以下ノ場合ニ在リテハ電話線路ノ亙長毎十二粁ニ付左ノ公式ニ依リ計算シタル誘導電流ガ二マイクロアムペアヲ超過セザル範圍内ニ、最大使用電壓六萬ヴォルトヲ超過スル場合ニ在リテハ電話線路ノ亙長毎四十粁ニ付左ノ公式ニ依リ計算シタル誘導電流ガ三マイクロアムペアヲ超過セザル範圍内ニ電線路ト電話線路ノ間ノ距離及接近部分ノ亙長ヲ保持スルコト

$$i_T = V_K D_1 \times 10^{-3} \left\{ 0.35 n + 2.2 \frac{l_1}{b_1 b_2} \right\}$$

i_T ハ受話器ニ通ズル誘導電流（マイクロアムペア單位トス）

V_K ハ電線路ノ最大使用電壓（千ヴォルト單位トス）

D_1 ハ電線路ノ線間距離（米ヲ單位トス）

$b_1 b_2 b_3$ ハ電線ト電話線トノ間ノ距離（米ヲ單位トス）

l_1 ハ $b_1 b_2$ 間、l_2 ハ $b_2 b_3$ 間、l_3 ハ $b_3 b_4$ 間ノ電話線路ノ亙長（米ヲ單位トス）電話線路ト電話線路トガ交叉スルトキハ最大使用電壓六萬ヴォルト以下ノ場合ニ在リテハ交叉點ノ前後各五十米、最大使用電壓六萬ヴォルトヲ超過スル場合ニ在リテハ交叉點ノ前後各百米ノ部分ハ此ノ計算ニ加ヘザルコト

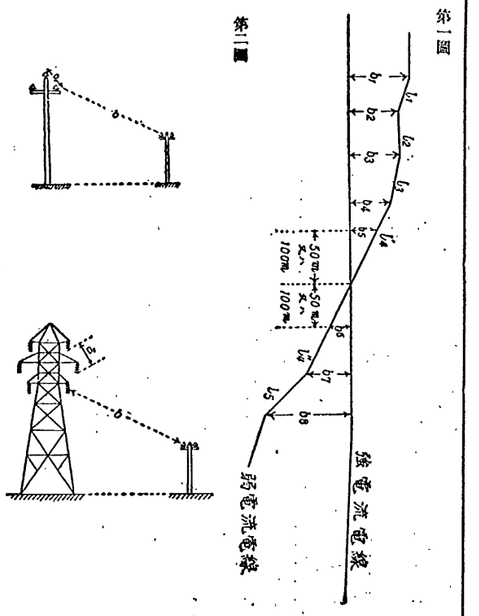
n　ハ交叉點ノ數

(ロ)　前記公式ノ適用方法左ノ如シ

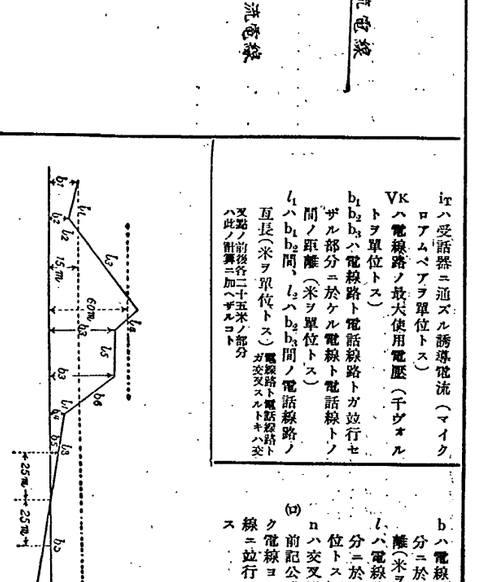
弱電流電線路トソ間ヲ充分離隔シ若ハ故障ノ際ニ於ケル地絡電流ヲ制限シ又ハ他ノ適當ナル方法ニ依リ施設スルコトヲ要ス

第五十三條　本則第六十三條第一項ノ規定ニ依ル電線ノ弛度ハ硬銅線ヲ使用シ且電線ノ兩支持點ニ高低差ナキ場合ハ左表ニ依ルモノトス

第一圖



第二圖



$$\frac{l_1}{b_1 b_2} = \frac{l_1}{b_1 b_2} + \frac{l_2}{b_2 b_3} + \frac{l_3}{b_3 b_4} + \frac{l_4}{b_4 b_5} + \frac{l_5}{b_5 b_6} + \frac{l_6}{b_6 b_7} + \frac{l_7}{b_7 b_8} + \cdots$$

最大使用電壓ノ區別ニ從ヒ既設架空電線路上ノ距離以上離隔シタル電線路ノ部分ハ本計算ニ於テ之ヲ省略スルコトヲ得	最大使用電壓	電線ト電話線トノ間ノ距離
	二萬五千ヴォルト以下	六十米
	三萬五千ヴォルト以下	百米
	五萬ヴォルト以下	百五十米
	六萬ヴォルト以下	百八十米
	七萬ヴォルト以下	二百米
	八萬ヴォルト以下	二百五十米
	十二萬ヴォルト以下	三百五十米
	十六萬ヴォルト以下	四百五十米
	二十萬ヴォルト以下	五百米

(ハ)　最大使用電壓一萬五千ヴォルト以下ノ場合

(イ)　電話線路ノ亙長毎四粁ニ付左ノ公式ニ依リ計算シタル誘導電流ガ一・五マイクロアムペアヲ超過セザル範圍内ニ於テハ之ヲ省略スルコトヲ得

第五十二條　中性點ヲ接地シタル特別高壓架空電線路ハ故障ノ際ニ於ケル地絡電流ノ電線路及接近部分ノ亙長ヲ保持スルコト

$$i_T = \sqrt{2.5 n^2 + 2.76 \Sigma \left(\frac{l}{b_2 - b_1} \log \frac{b_2}{b_1} + 1.2 \frac{l}{b} + 18 \frac{l}{b_1 b_2} + 18 \frac{l}{b_2} \right)}$$

$$\Sigma \frac{l}{b_2} = \frac{l_1}{b_2} + \frac{l_2}{b_3} + \frac{l_3}{b_4} + \cdots + \frac{l_n}{b_{n+1}}$$

$$n = 1$$

i_T ハ受話器ニ通ズル誘導電流（マイクロアムペア單位トス）

V_K ハ電線路ノ最大使用電壓（千ヴォルト單位トス）

$b_1 b_2 b_3$ ハ電線路ト電話線路トガ竝行セザル部分ニ於ケル電線ト電話線トノ間ノ距離（米ヲ單位トス）

l_1 ハ電線路ト電話線路トガ竝行スル部分ニ於ケル電話線路ノ亙長（米ヲ單位トス）

n ハ交叉點ノ數

(ロ)　前記公式ノ適用方法ハ左圖ニ示ス如ク電線ヨリ十五米及六十米ノ箇所ニ電線ニ竝行スル二線ヲ引キ左ノ如ク計算ス

不竝行部分	竝行部分	不竝行部分
十五米以下		

表度弛線銅硬

第一區（最低温度、無荷重）（一）

安全係數	電線		徑間（米）														
	稱呼	撚構	40	50	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300
2.2	5.0粍		0.11	0.17	0.26	0.50	0.86	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.5〃		0.11	0.17	0.25	0.48	0.81	1.28	1.89	—	—	—	—	—	—	—	—
	6.0〃		0.11	0.17	0.25	0.47	0.7	1.21	1.77	2.46	—	—	—	—	—	—	—
	6.5〃		0.11	0.17	0.24	0.46	0.7	1.16	1.67	2.32	3.08	—	—	—	—	—	—
	7.0〃		0.10	0.16	0.24	0.45	0.74	1.12	1.61	2.21	2.99	3.75	—	—	—	—	—
	8.0〃		0.10	0.16	0.24	0.44	0.71	1.07	1.52	2.06	2.71	3.45	4.29	5.23	—	—	—
2.0	市方粍																
	22〃	7/2.0	0.11	0.18	0.2.	0.52	0.92	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30〃	7/2.3	0.11	0.17	0.26	0.49	0.84	1.32	1.95	—	—	—	—	—	—	—	—
	38〃	7/2.6	0.11	0.17	0.25	0.47	0.79	1.22	1.78	2.47	3.29	—	—	—	—	—	—
	45〃	7/2.9	0.11	0.1.	0.25	0.46	0.76	1.16	1.67	2.29	3.04	3.89	4.86	—	—	—	—
	55〃	7/3.2	0.11	0.17	0.25	0.45	0.74	1.11	1.59	2.17	2.86	3.65	4.54	5.54	6.63	7.82	9.09
	70〃	7/3.5	0.10	0.16	0.24	0.45	0.72	1.08	1.53	2.08	2.72	3.46	4.30	5.26	6.26	7.37	8.58
	90〃	7/4.0	0.10	0.16	0.24	0.44	0.70	1.04	1.46	1.97	2.56	3.25	4.01	4.87	5.81	6.84	7.95
	110〃	7/4.5	0.10	0.16	0.24	0.43	0.69	1.02	1.42	1.90	2.46	3.10	3.82	4.63	5.51	6.47	7.51
	125〃	19/2.9	0.10	0.16	0.24	0.43	0.69	1.01	1.41	1.88	2.42	3.05	3.76	4.54	5.40	6.31	7.35
	150〃	19/3.2	0.10	0.16	0.24	0.43	0.68	1.00	1.38	1.84	2.36	2.97	3.64	4.39	5.22	6.11	7.08
	180〃	19/3.5	0.10	0.16	0.24	0.43	0.67	0.99	1.36	1.81	2.32	2.90	3.56	4.28	5.08	5.94	6.88
	240〃	19/4.0	0.10	0.16	0.24	0.42	0.67	0.97	1.34	1.77	2.26	2.83	3.46	4.15	4.91	5.74	6.63
	300〃	19/4.5	0.10	0.16	0.24	0.42	0.66	0.96	1.32	1.75	2.23	2.78	3.36	4.06	4.80	5.60	6.46
2.5	125〃	19/2.9	0.13	0.21	0.30	0.56	0.90	1.33	1.86	2.49	3.22	4.04	4.97	5.97	7.03	8.23	9.56
	150〃	19/3.2	0.13	0.21	0.30	0.55	0.88	1.30	1.81	2.41	2.11	3.90	4.78	5.74	6.80	7.95	9.18
	180〃	19/3.5	0.13	0.21	0.30	0.54	0.87	1.28	1.77	2.36	3.03	3.79	4.63	5.57	6.59	7.69	8.88
	20〃	19/4.0	0.13	0.21	0.30	0.54	0.85	1.25	1.73	2.29	2.93	3.66	4.47	5.35	6.33	7.38	8.51
	300〃	19/4.5	0.13	0.20	0.30	0.53	0.84	1.23	1.70	2.24	2.87	3.57	4.35	5.21	6.16	7.17	8.26

（二）第二區（最低温度、無荷重）

安全係數	電線		徑間（米）														
	稱呼	撚構	40	50	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	260	280	300
2.0	5.0粍		0.12	0.22	0.37	0.91	1.82	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5.5〃		0.12	0.20	0.32	0.73	1.45	2.43	3.63	—	—	—	—	—	—	—	—
	6.0〃		0.11	0.19	0.29	0.63	1.21	2.03	3.07	4.29	—	—	—	—	—	—	—
	6.5〃		0.11	0.18	0.28	0.57	1.05	1.84	2.68	3.74	4.98	—	—	—	—	—	—
	7.0〃		0.11	0.18	0.27	0.53	0.96	1.56	2.35	3.32	4.43	5.70	—	—	—	—	—
	8.0〃		0.11	0.17	0.25	0.49	0.83	1.32	1.96	2.76	3.68	4.74	5.93	7.24	—	—	—
2.0	市方粍																
	22〃	7/2.0	0.12	0.22	0.35	0.86	1.70	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30〃	7/2.3	0.12	0.19	0.30	0.66	1.26	2.12	3.18	—	—	—	—	—	—	—	—
	38〃	7/2.6	0.11	0.18	0.28	0.57	1.03	1.71	2.58	3.62	4.83	—	—	—	—	—	—
	45〃	7/2.9	0.11	0.18	0.27	0.52	0.91	1.46	2.19	3.08	4.12	5.34	6.61	—	—	—	—
	55〃	7/3.2	0.11	0.17	0.26	0.49	0.84	1.32	1.93	2.72	3.64	4.68	5.85	7.14	8.55	10.03	11.72
	70〃	7/3.5	0.11	0.17	0.25	0.47	0.79	1.23	1.79	2.48	3.30	4.24	5.30	6.47	7.76	9.15	10.64
	90〃	7/4.0	0.11	0.17	0.25	0.46	0.75	1.13	1.62	2.22	2.93	3.76	4.68	5.71	6.84	8.07	9.39
	110〃	7/4	0.11	0.17	0.24	0.45	0.72	1.08	1.53	2.08	2.72	3.46	4.30	5.23	6.26	7.37	8.58
	125〃	19/2.	0.11	0.17	0.24	0.44	0.71	1.06	1.50	2.04	2.64	3.35	4.16	5.05	6.04	7.11	8.27
	150〃	19/3.2	0.11	0.17	0.24	0.44	0.70	1.04	1.45	1.95	2.53	3.20	3.95	4.79	5.72	6.72	7.83
	180〃	19/3.5	0.10	0.16	0.24	0.43	0.69	1.02	1.42	1.90	2.45	3.09	3.81	4.61	5.49	6.44	7.48
	240〃	19/4.0	0.10	0.16	0.24	0.43	0.68	1.00	1.38	1.84	2.37	2.97	3.64	4.40	5.22	6.12	7.09
	300〃	19/4.5	0.10	0.16	0.24	0.43	0.67	0.98	1.36	1.80	2.31	2.89	3.54	4.26	5.06	5.92	6.84
2.5	125〃	19/2.9	0.13	0.21	0.31	0.58	0.95	1.44	2.04	2.76	3.59	4.53	5.58	6.73	7.99	9.36	10.82
	150〃	19/3.2	0.13	0.21	0.31	0.57	0.92	1.38	1.95	2.62	3.40	4.28	5.27	6.36	7.54	8.82	10.20
	180〃	19/3.5	0. 3	0.21	0.31	0.56	0.90	1.34	1.88	2.53	3.27	4.10	5.04	6.08	7.20	8.43	9.74
	240〃	19/4.0	0.13	0.21	0.30	0.55	0.88	1.30	1.81	2.42	3.11	3.90	4.78	5.75	6.81	7.95	9.19
	300〃	19/4.5	0.13	0.21	0.30	0.54	0.87	1.27	1.77	2.35	3.02	3.77	4.61	5.54	6.56	7.65	8.83

第五十四條　本則第六十四條ノ堅牢ニ建設スルトハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　木柱根入ハ地盤ガ特ニ堅キ場合ヲ除クノ外左記ニ依ルコト

木柱全長	根入
十五米未滿	木柱全長ノ六分ノ一以上
十五米以上二十米以上	二・五米以上

水田其ノ他地盤軟弱ナル箇所ニ於テハ堅牢ナル根枷ヲ施スコト

二　電線路ノ直線部分（五度以内ノ角度ヲ有スル部分ヲ含ム）ニ於ケル木柱ニハ左ノ支線ヲ電線路ト直角ノ方面ニ於テ其ノ兩側ニ施設シ又ハ之ト同等以上ノ強サヲ有スル支柱ヲ設クルコト但シ二萬五千ヴオルト以下ノ電線路ハ此ノ限ニ在ラズ

徑間	支線
五十米以下ナル場合	四粍以上ノ鐵線
五十米ヲ超過スル場合	三條以上五條以上

三　電線路ノ直線部分（五度以内ノ角度ヲ有スル部分ヲ含ム）ニ於ケル木柱ニハ左ノ支線ヲ電線路ノ方向ニ於テ其ノ兩側ニ設クルコト

徑間	支線
四柱間以下毎ニ	四粍以上ノ鐵線 三條以上
五十米ヲ超過スル場合	三柱間以下毎ニ四粍以上ノ鐵線五條以上

第五十五條　特別高壓架空電線路ニ用フル鐵柱、鐵塔及鐵筋「コンクリート」柱ハ左ノ五種トス

一　標準型（標準鐵柱、標準鐵塔又ハ標準鐵筋「コンクリート」柱以下之ニ倣フ）　鐵線路ノ直線部分ニ於テ標準徑間ヲ超過セザル箇所ニ使用スルモノ

二　角度型　電線路中角度ヲ爲シ標準徑間ヲ超過セザル箇所ニ使用スルモノ

三　耐張型　電線路中ニ保安ノ爲耐張用トシテ使用スルモノ

四　引留型　電線路ノ終端等ニ於テ完全ナル引留ヲ爲ス箇所ニ使用スルモノ

五　特殊型　電線路中川越、谷越等徑間大ナル箇所其ノ他特殊ノ箇所ニ使用スルモノ

第五十六條　鐵柱、鐵塔及鐵筋「コンクリート」柱ニ依ル特別高壓架空電線路中ニハ左記ニヨリ耐張型支持物ヲ建設スルコトヲ要ス

電線路ノ支持物	耐張型支持物ノ種類
一　鐵塔	第二種耐張鐵塔 三粍以下
二　可搬鐵塔	第三種耐張鐵塔 一・五粍以下
三　鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱	第一種耐張鐵柱、第一種耐張鐵柱又ハ第一種耐張鐵筋「コンクリート」柱 一粍以下
四　可搬鐵柱	第二種耐張鐵柱、第二種耐張鐵筋「コンクリート」柱 七百米以下

第五十七條　本則第六十七條第一項ノ適當ニ建設スルトハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　二萬五千ヴオルトヲ超過スル電線路ノ木柱、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニハ四粍以上ノ鐵線五條以上ヨリ成ル支線ヲ電線路ト直角ノ方向ニ設クルコト但シ木柱ノ場合ニ在リテハ之ト同等以上ノ強サヲ有スル支柱ヲ施設シ、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ場合ニ在リテハ第一種耐張型ノモノヲ用ヒテ本號ノ支線ヲ省略スルコトヲ得

二　腕木ニハ堅牢ナル金屬製ノモノヲ使用シ且之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

三　「ピン」碍子ヲ直接木柱ニ取付クル場合ニ於テハ碍子心棒ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

第五十八條　本則第六十八條第一項ノ適當ニ施設スルトハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　建造物ト接近シ又ハ其ノ上部ヲ架渉スル場合

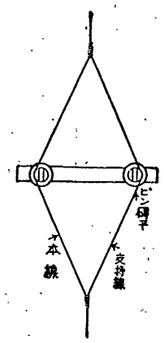
(イ)　木柱、鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ニハ四粍以上ノ鐵線五條以上ヨリ成ル支線ヲ支持物ト建造物トノ關係位置ニ從ヒ電線路ノ方向又ハ之ト直角ノ方向ニ設クルコト但シ木柱ノ場合ニ在リテハ之ト同等以上ノ強サヲ有スル支柱ヲ施設シ鐵柱又ハ鐵筋「コンクリート」柱ノ場合ニ在リテハ第一種耐張型ノモノヲ用ヒテ本號ノ支線ヲ省略スルコトヲ得

(ロ)　腕木ニハ堅牢ナル金屬製ノモノヲ使用シ且之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

(ハ)　「ピン」碍子ヲ直接木柱ニ取付クル場合ニ於テハ碍子心棒ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

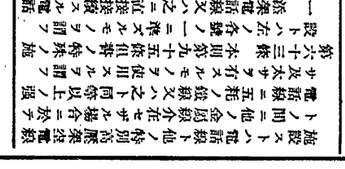
(ニ)　左圖ノ例ニ倣ヒ二筒以上又ハ二顆以上ノ碍子ヲ以テ電線ヲ支持スルコト

第一圖



第二圖

第三図



第四図

(イ)　雨露ニ曝露セザル場所ニ施設スル場合

電線ノ種類	電線ト造營材トノ距離
第二種絕緣電線	六糎以上
第三種絕緣電線	三糎以上
(ロ)　雨露ニ曝露スル場所ニ施設スル場合	六粍以上
電線ノ種類	電線相互間ノ距離
第二種絕緣電線	十五糎以上
第三種絕緣電線	十糎以上
第四種絕緣電線	六糎以上
	三糎以上

使用電壓二百五十ボルト以下ノ電線ニ二粍ノ硬銅線又ハ之ト同等以上ノ強サ及太サヲ有スルモノヲ使用シ電線ト造營材トガ接觸ノ虞ナキ樣充分離隔スル場合ニ限リ第一種絕緣電線ヲ使用シ且支持點間ノ距離ヲ一米以上ト爲スコトヲ得

二　金屬管工事ニ依ルトキハ本則第百十九條及和則第七十八條ニ準ジ施設シ且雨露ニ曝露スル場所ニ施設スル場合ニ於テハ單極ニ之ヲ裝置スルコトヲ得

三　電纜工事ニ依ルトキハ電纜ノ被覆ニ用フル金屬體ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト

四　開閉器、自動遮斷器其ノ他之ニ類スル器具ハ屋內ニ裝置シ又ハ適當ナル防濕裝置ヲ施スコト

五　家屋ノ外面ニ於ケル電氣使用ヲ目的トシテ施設スル電路ハ工事上已ムヲ得ザル場合ヲ除クノ外一キロワット以下毎ニ分岐シ且分岐點ニ近キ箇所ニ於テ各分岐回路毎ニ各極ニ開閉器及自動遮斷器ヲ裝置スルコト

六　前號ノ開閉器及自動遮斷器ハ專用ノモノトシ屋內電路用ノモノト兼用セザルコト

七　電球承口其ノ他ノ承口ニハ陶器又ハ絕緣性耐火質物ヲ以テ製作シタル防水型ノモノヲ使用スルコト

第六十七條　本則第百二條ノ適當ニ施設ストハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　屈撓性ヲ有スル金屬管ヲ使用シ造營材ト直接接觸セザル樣施設スルコト

二　金屬管工事ニ依ルトキハ電線ハ絕緣性ノ堅牢ナル管ヲ使用シ且其ノ兩端ニ於テ電氣的ニ完全ニ接續シ且金屬管ニ有效ニ接地スルコト

三　金屬管ハ屈曲箇所及其ノ兩端ニ於テ電氣的ニ完全ニ接續シ且金屬管ニ有效ニ接地スルコト

四　金屬管ハ著シキ凹凸ヲ生ゼザル樣ニ屈曲シ且其ノ內面ハ電線ヲ損傷スル虞ナキ樣平滑ナルコト

五　金屬管ハ著シキ凹凸ヲ生ゼザル樣ニ屈曲シ且其ノ內面ハ電線ヲ損傷スル虞ナキ樣平滑ナルコト

六　金屬管ハ著シキ凹凸ヲ生ゼザル樣ニ屈曲シ且其ノ內面ハ電線ヲ損傷スル虞ナキ樣平滑ナルコト

七　金屬管ハ著シキ凹凸ヲ生ゼザル樣ニ屈曲シ且其ノ內面ハ電線ヲ損傷スル虞ナキ樣平滑ナルコト

八　管ノ屈曲箇所ニ於ケル內側ノ半徑ハ管ノ內徑ノ六倍以上ニシテ且造營材ニ固定スル場合ニ於テハ其ノ固定點間ニ於ケル管ノ屈曲箇所ノ數ハ二箇所以下ニシテ且其ノ屈曲箇所ノ內側ノ半徑ハ管ノ內徑ノ六倍以上ニシテ且造營材ニ固定スル場合ニ於テハ其ノ固定點間ニ於ケル管ノ屈曲箇所ノ數ハ三箇所以下ニシテ且其ノ屈曲箇所ノ內側ノ半徑ハ管ノ內徑ノ六倍以上ニシテ且造營材ニ固定スル場合ニ於テハ其ノ固定點間ニ於ケル管ノ屈曲箇所ノ數ハ四

ヲ施設スルコト

四　電球ニハ氣密ナル外球ヲ裝置シ且堅固ナル外裝ヲ施スコト

五　電動機ハ火花ヲ發スル部分ヲ有セザルモノヌハ火花ヲ發スル部分ニ特ニ適當ナル保安裝置ヲ施シタルモノヲ使用スルコト

六　發熱要素ノ露出シタル電熱器ヲ使用セザルコト

第八十八條　本則第百二十八條ノ適當ニ施設ストハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　舞臺、奈落、音樂室、映寫室及道具類又ハ人ノ觸ルル虞アル場所ニ施設スル電線ニシテ導子引工事ニ依ルモノニハ第四種絕緣電線ヲ使用シ且外物ノ接觸ニ因ル損傷ヲ防止スル樣適當ノ裝置ヲ爲スコト

二　「ボーダーライト」ト屋內配線トノ接續線ニハ第二種可撓紐線ヲ使用シ且之ヲ皮革又ハ「ズック」ノ類ヲ以テ外裝スルコト但シ「ボーダーライト」ヲ移動セザル樣裝置シタル場合ニ在リテハ電線ニ一・六粍以上ノ第四種絕緣軟銅撚線ヲ東ネタルモノヲ使用スルコトヲ得

三　第一號ノ場所ニ使用スル電球線ニハ奈落ニ在リテハ第三種乙可撓紐線其ノ他ノ場所ニ在リテハ第二種可撓紐線ヲ使用スルコト

四　第一號ノ場所ニ於テ移動シテ使用スル電線ニハ第三種乙可撓紐線ヲ使用スルコト但シ床上ヲ引摺リ又ハ外傷ヲ受クル虞アル場合ハ之ヲ可撓金屬管、「ゴム」管ニ藏メ若ハ皮革、「ズック」ノ類ヲ以テ外裝シ又ハ麻絲其ノ他强靱ナル物質ヲ以テ更ニ綢組シタルモノヲ使用スルコト

五　舞臺、奈落、音樂室及映寫室ノ電路ニハ他ノ屋內配線ト獨立ニ之ヲ遮斷シ得ル樣開閉器及自動遮斷器ヲ適當ナル箇所ニ裝置スルコト

六　電球、抵抗器其ノ他溫度過昇ノ虞アル器具類ハ可燃質物ト容易ニ接觸セザル樣適當ニ施設スルコト

第八十九條　本則第百二十九條ノ適當ノ構造及施設トハ左記ノ如キヲ謂フ

一　電熱器ハ左記ニ依ルコト

(イ)　交流一キロワット、直流五百ワットヲ超過スル電熱器又ハ之ニ接近シテ各極ニ適當ナル開閉器ヲ裝置スルコト但シ電熱器ニ接續スル電線又ハ可撓紐線ニ插込型接續器ヲ使用スル場合ハ此ノ限リニ在ラズ

(ロ)　電熱器ト電線又ハ可撓紐線トノ接續部分ハ熱ノ爲電線又ハ可撓紐線ヲ損傷セザル構造ト爲スコト但シ接續部分ニ於テ溫度過昇ノ虞アル場合ハ電熱器ニ接續スル電線又ハ可撓紐線ニハ耐熱構造ノモノヲ使用スルコト

(ハ)　固定セル電熱器ハ周圍ノ可燃質物ト適當ニ離隔シ又ハ適當ナル耐熱裝置ヲ施スコト

(ニ)　百五十ヴォルト以上ノ電熱器ノ金屬製外函ハ之ヲ第三種地線工事ニ依リ接地スルコト但シ使用電壓二百五十ヴォルト以下ニシテ中性點ヲ接地シタル電路ニ接續シテ使用スルモノハ此ノ限ニ在ラズ

(ホ)　本號(ニ)ノ接地線ヲ可撓紐線內ニ編込ム場合ニ於テハ其ノ部分ノ接地線ニハ一粍以上ノ軟銅撚線ヲ使用スルコトヲ得

(ヘ)　保溫電熱器(庶務課、船舶、ニハ危險ナル程度ノ溫度上昇ヲ爲サザル樣自動的ニ溫度ヲ制限シ又ハ電流ヲ遮斷スル裝置ヲ施スコト

(ト)　電熱器ニハ其ノ使用電壓、ワット數(又ハ電流)及製造者名ヲ表示スルコト

二　電鈴、豆電球等ニ使用スル豆變壓器ハ左記ニ依ルコト

(イ)　單卷變壓器ヲ使用セザルコト

(ロ)　變壓器ハ一次電壓百五十ヴォルト以下、二次電壓十ヴォルト以下ノモノナルコト

(ハ)　變壓器ハ其ノ一次端子ノ充電部分ニ容易ニ觸レザル樣施設スルコト

(ニ)　變壓器ニハ其ノ一次側及二次側端子ヲ容易ニ識別シ得ル樣適當ノ記號ヲ附スルコト

(ホ)　變壓器ノ二次側ニハ適當ノ場所ニ自動遮斷器ヲ裝置スルコト

(ヘ)　變壓器ニハ一次電壓、二次電壓、二次短絡電流及製造者名ヲ表示スルコト

第四章　電氣鐵道

第一節　通則

第九十條　本則第四十一條第三項及第百四十五條第二項ノ適當ニ施設ストハ左ノ如ク施設スルヲ謂フ

一　架空電線ト架空弱電流電線トノ離隔距離ヲ增加スルコト

二　直流饋源ノ電壓波形ヲ平滑ナラシムル裝置ヲ爲スコト

三　歸線ノ不絕緣部分及大地ニ通ズル電流ヲ減少セシムルコト

四　弱電流電線ノ地板ト電氣鐵道ノ歸線トノ距離ヲ增加スルコト

第二節　電車線路及第三軌條

第九十一條　高壓電車線ガ道路ヲ橫斷スル筒所ニ於テハ公衆ヲシテ注意ヲ爲サシムル樣適當ナル施設ヲ爲スコトヲ要ス

第九十二條　本則第百五十三條ノ適當ノ施設トハ左ノ各號ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　電車線及之ニ接續スル吊架用線ト弱電流電線トガ四十五度以下ノ角度ヲ以テ交又シ又ハ水平距離低壓ニ在リテハ二・五米以下、高壓ニ在リテハ四米以下ニ於テ竝行スルトキハ電車線又ハ吊架用線ノ上部ニ細則第四十八條ニ規定スル保護網ヲ設クルコト但シ水平距離低壓ニ在リテハ一・二米以上、高壓ニ在リテハ二米以上ニシテ垂直距離各其ノ一・五倍以下ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

二　電車線及之ニ接續スル吊架用線ト弱電流電線トガ四十五度ヲ超過スル角度ヲ以テ交又スルトキハ電車線又ハ吊架用線ノ上部ニ細則第四十九條ニ規定スル保護線ヲ設クルコト

三　保護網又ハ保護線ト電車線若ハ之ニ接續スル吊架用線又ハ弱電流電線トノ垂直距離ヲ低壓ニ在リテハ一・二米以上トス但シ保護網ト弱電流電線ノ垂直距離ヲ增加スルコト

第九十二條　本則第百五十四條ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ五米以上六米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ五米以上ニ保ツ場合ニ於テハ其ノ高サヲ四米以上ニ保ツコトヲ得

三　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ五米以上ニ保ツ場合ニ於テハ其ノ高サヲ四米以上ニ保ツコトヲ得

四　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ四米以上ニ保ツ場合ニ於テハ其ノ高サヲ三・五米以上ニ保ツコトヲ得

第九十三條　本則第百五十五條ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ五米以上六米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ四米以上五米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ四米以上五米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第九十四條　本則第百五十六條ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ五米以上六米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ四米以上五米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ四米以上五米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第九十五條　本則第百五十七條ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ五米以上六米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

二　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ四米以上五米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

三　電車線ハ其ノ高サ軌條面ヨリ四米以上五米以下トスルコト但シ地形ノ關係其ノ他ニ因リ特別ノ設備ヲ爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第九十六條　本則第百六十四條第一項第一號ノ特殊ノ方法トハ左ノ如キ方法ヲ謂フ

一　「ボンド」ニ切斷面積百五十平方粍以上ノ銅撚線ヲ使用シ之ヲ壓接ニ依リ堅固ニ取付クルコト

二　獨立セル二箇以上ノ「ボンド」ヲ堅固ニ取付ケ前號ト同等以上ノ導電力ヲ有セシムルコト

第九十七條　本則第百六十五條ノ適當ノ施設トハ左ノ各號ノ一ニ準ジ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ側面ニ絕緣シテ堅固ニ取付ケタル導體ニ電氣的ニ接續シタル銅帶ヲ使用スルコト

二　軌條ノ底面ニ絕緣シテ堅固ニ取付ケタル導體ニ電氣的ニ接續シタル銅帶ヲ使用スルコト

三　軌條ノ側面ニ絕緣シテ堅固ニ取付ケタル導體ニ電氣的ニ接續シタル銅帶ヲ使用シ且其ノ上面ヲ軌條ノ頂面ヨリ低カラシメ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第九十八條　本則第百六十六條ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第九十九條　本則第百六十七條ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百條　本則第百六十八條ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百一條　本則第百六十九條ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二條　本則第百七十條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三條　本則第百七十一條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四條　本則第百七十二條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百五條　本則第百七十三條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百六條　本則第百七十四條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百七條　本則第百七十五條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百八條　本則第百七十六條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百九條　本則第百七十七條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十條　本則第百七十八條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十一條　本則第百七十九條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十二條　本則第百八十條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十三條　本則第百八十一條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十四條　本則第百八十二條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十五條　本則第百八十三條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十六條　本則第百八十四條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十七條　本則第百八十五條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十八條　本則第百八十六條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百十九條　本則第百八十七條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十條　本則第百八十八條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十一條　本則第百八十九條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十二條　本則第百九十條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十三條　本則第百九十一條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十四條　本則第百九十二條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十五條　本則第百九十三條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十六條　本則第百九十四條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十七條　本則第百九十五條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十八條　本則第百九十六條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百二十九條　本則第百九十七條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十條　本則第百九十八條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十一條　本則第百九十九條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十二條　本則第二百條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十三條　本則第二百一條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十四條　本則第二百二條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十五條　本則第二百三條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十六條　本則第二百四條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十七條　本則第二百五條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十八條　本則第二百六條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百三十九條　本則第二百七條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十條　本則第二百八條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十一條　本則第二百九條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十二條　本則第二百十條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十三條　本則第二百十一條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十四條　本則第二百十二條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十五條　本則第二百十三條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十六條　本則第二百十四條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十七條　本則第二百十五條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十八條　本則第二百十六條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百四十九條　本則第二百十七條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百五十條　本則第二百十八條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百五十一條　本則第二百十九條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第百五十二條　本則第二百二十條第一項ノ適當ニ施設スルヲ謂フ

一　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ熔接ニ依ルコト

二　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ壓接ニ依ルコト

三　軌條ノ繼目ニ於ケル導體ノ接續ハ銅帶ヲ使用シ且其ノ兩端ヲ軌條ノ兩端ヨリ內方ニ收メタルモノヲ使用スルコト

第

(二) 原動力設備
(㈠) 水力設備
(イ) 水路工作物
堰堤(構造、材料、可動堰、堰上扉ノ設置、土砂吐)、取水口ノ構造、導水路(勾配、横断、中心、位置、延長)、沈砂池ノ構造、水槽ノ構造、水壓管路(水壓管ノ構造、水壓管ヲ支持スル施設ノ位置)、放水路(勾配、中心、位置)、貯水池、調整池(有效容量、利用方法)、水車(種類、キロワット數(二個以上ノ變更ニ限ル)、回轉數)
(ロ) 汽力設備
(イ) 汽機(種類、キロワット數(二個以上ノ變更ニ限ル)、汽壓又ハ汽溫(二個以上ノ變更ニ限ル)、汽罐ニ在リテハキロワット數(二個以上ノ變更ニ限ル)、周波數)
(ロ) 汽罐(種類、汽壓又ハ汽溫(二個以上ノ變更ニ限ル)、加熱面積(二個以上ノ變更ニ限ル)、蒸氣貯藏器(種類、容量)
(ハ) 燃料燃燒裝置(燃料ノ種類、燃燒方法)
(ニ) 內燃力設備
(イ) 內燃機關(種類、キロワット數(二個以上ノ變更ニ限ル)、回轉數)
(ロ) 瓦斯發生裝置(種類、キロワット數(二個以上ノ變更ニ限ル)、瓦斯發生方法)
(ハ) 消音裝置(構造、個數)
(三) 電氣設備
(イ) 發電機(種類、キロワット數(二個以上ノ變更ニ限ル)、電壓(二個以上ノ變更ニ限ル)、電流(二個以上ノ變更ニ限ル)、相數、周波數、回轉數、勵磁方式)
(ロ) 變壓器(キロワット又ハ容量(二個以上ノ變更ニ限ル)、相數、周波數、回轉數)
(ハ) 回轉變流機(種類、キロワット數(二個以上ノ變更ニ限ル)、電壓(二個以上ノ變更ニ限ル)、電流(二個以上ノ變更ニ限ル)、回轉數)
(ニ) 變換機、整流器(種類、容量(二個以上ノ變更ニ限ル)、電壓(二個以上ノ變更ニ限ル)、電流(二個以上ノ變更ニ限ル)、周波數)
(ホ) 蓄電池(種類、容量(二個以上ノ變更ニ限ル)、電壓(二個以上ノ變更ニ限ル)、電流(二個以上ノ變更ニ限ル)、個數)
(ヘ) 制御裝置(手動式又ハ自動式ノ別)
(ト) 中性點接地方法(接地箇所、接地種類又ハ接地抵抗)
(チ) 制御裝置(手動式又ハ自動式ノ別)

第三章　電氣工作物使用

第二十一條　第六條ノ規定ニ依リ施設シタル電氣工作物ヲ使用セントスルトキハ當該官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十四條第一項、第十六條第一項、第十七條、第十八條又ハ第十九條ノ規定ニ依リ施設シ又ハ變更シタル電氣工作物ヲ使用セントスルトキ亦前項ニ同ジ但シ當該官廳ニ於テ別段ノ指示ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ此ノ場合ニ於テハ使用開始前其ノ旨ヲ當該官廳ニ届出ヅベシ

第二十二條　第八條第一項ノ規定ニ依リ期限ヲ指定セラレタル工事落成シタルトキハ遲滯ナク當該電氣工作物ニ付前條ノ手續ヲ爲スベシ

第二十三條　第二十一條ノ規定ニ依リ認可申請アリタル場合ニ於テ當該電氣工作物檢査ノ爲派遣セラレタル檢査吏員ニ於テ工事設計ニ適合シ且危險ナシト認メタルトキハ當該官廳ハ直ニ其ノ假使用ヲ認可スルコトヲ得

前項ノ假使用認可ノ有效期間ハ六十日トス

第十四條第一項、第十六條第一項、第十七條、第十八條又ハ第十九條ノ規定ニ依リ施設スル電氣工作物ニ付テハ當該官廳ハ已ムコトヲ得ザル事由アリト認メタル場合ニ限リ電氣工作物施設者ノ申請ニ依リ其ノ假使用ヲ認可スルコトヲ得

第二十四條　第二十一條ノ規定ニ依リ認可ヲ受クベキ電氣工作物ハ試驗ノ爲必要アル場合ニ限リ其ノ認可前之ヲ使用スルコトヲ得但シ特別高壓電線路ニ關シテハ遞信局長又ハ認可ヲ受クベシ

前項ノ場合ニ於テハ使用前左ノ事項ヲ所轄逓知事ニ届出ヅベシ

一　使用セントスル電氣工作物

二　使用ノ期間及目時

三　使用方法

四　保安方法

第二十五條　第二十一條第一項ノ規定ニ依リ電氣工作物ノ使用認可ヲ受クベキ場合ニ於テハ同時ニ電氣工作物竣功則細書(施行規則第六號樣式ニ準ジ作成スベシ)ヲ當該官廳ニ提出スベシ但シ已ムコトヲ得ザル事由アル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

前項但書ノ場合ニ於テ檢査ヲ受ケズシテ使用ヲ認可セラレタルトキハ直ニ電氣工作物竣功則細書ヲ當該官廳ニ提出シ當該電氣工作物ノ檢査ノ爲檢査吏員ヲ派遣セラレタルトキハ檢査吏員ヲ經テ之ヲ當該官廳ニ提出スベシ

前二項ノ規定ハ電氣工作物ノ施設又ハ變更ニ依リ電氣工作物竣功則細書中ノ事項ニ變更ヲ生ジタル場合ニ之ヲ準用ス

第四章　主任技術者

第二十六條　電氣工作物ノ施設者ハ工事著手前ニ主任技術者ヲ選任シ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムベシ

第二十七條　第二種電氣工作物ノ主任技術者ハ左ノ區別ニ依リ相當ノ資格ヲ有スル者又ハ電氣技術ニ關シ知識經驗ヲ有スル者ニ就キ之ヲ選任スルコトヲ要ス

電氣工作物ノ種類　主任技術者

各種ノ電氣工作物　第一種

使用電壓三萬五千ヴオルト以下ノ電氣工作物又ハ構內ニ施設スル各種ノ電氣工作物　第二種

低壓又ハ高壓ノ電氣工作物(構外ニ施設スル電氣鐵道ヲ除ク)及構內ニ施設スル電氣鐵道ヲ除ク)　第三種

萬五千ヴオルト以下ノ電氣工作物

低壓電氣工作物(構外ニ施設スル電氣鐵道ヲ除ク)及構內ニ施設スル高壓電氣工作物

左ニ掲グル第二種電氣工作物ニ關シテハ前項ノ規定ニ拘ラズ當該使用場所ノ技術者ニシテ其ノ電氣施設ニ付相當知識經驗ヲ有スルモノニ主任技術者ヲ選任スルコトヲ得

第三十條　選信局長又ハ道知事ハ前項ノ規定ニ依リ電氣工作物ノ保安ニ關シテハ前項ノ主任技術者ガ其ノ職務ヲ忠リ又ハ其ノ職務ヲ行フニ當リ不當ナル行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ解任ヲ命ズルコトヲ得

第三十一條　電氣工作物ノ施設者ハ主任技術者ヲ選任シタルトキハ履歷書ヲ添ヘ選滯ナク其ノ旨ヲ第六條ノ規定ニ準ジ選信局長又ハ所轄逓知事ニ届出ヅベシ之ヲ變更シタルトキ亦同ジ

第三十條　選信局長又ハ道知事ハ

一　工事上電線路ノ共用ヲ已ムコトヲ得ズト認メタルトキ

二　天災其ノ他臨時事故ニ因ル電氣事業用電氣工作物ノ障害ヨリ生ズベキ電氣ノ供給又ハ使用ノ停止ヲ豫防セシムル爲公益上電氣ノ流用ヲ已ムコトヲ得ズト認メタルトキ

第三十七條　前條ノ命令ニ因リ必要ヲ生ジタル工事費用ノ負擔其ノ他ノ事項ハ當事者間ノ協議ニ依ル協議調ハズ又ハ協議ヲ爲スコト能ハザルトキハ朝鮮總督之ヲ裁定ス

前項ノ規定ニ依ル裁定ニ關シテハ朝鮮電氣事業令施行規則第四十三條及第四十四條ノ規定ヲ準用ス

第三十八條　電氣工作物ニ對スル檢査及命令ニ關シテハ施行規則第九十五條、第九十六條、第九十八條及第九十九條ノ規定ヲ準用ス但シ施行規則第九十六條中遞信局長及施行規則第九十八條中朝鮮總督トアルハ遞信局長又ハ道知事トス

第七章　雜則

第三十九條　電氣工作物ノ施設者ハ電氣工作物ノ施設者若ハ其ノ代表者ニ異動アリタルトキ又ハ電氣工作物ノ使用ヲ開始シ、休止シ若ハ廢止シタルトキハ遲滯ナク第六條ノ規定ニ準ジ遞信局長又ハ所轄道知事ニ之ヲ屆出ヅベシ

第四十條　第二種電氣工作物ノ施設者ハ毎年十二月末日現在ニ於テ別ニ告示スル所ニ依リ電氣工作物施設狀況報告書ヲ調製シ翌年二月末日迄ニ之ヲ遞信局長ニ提出スベシ

第四十一條　發電ノ原動力トシテ水力ヲ使用スル電氣工作物ノ施設者ニシテ朝鮮總督ノ指定スルモノハ河川流水其ノ他ノ事項ニ關スル報告書ヲ調製シ之ヲ朝鮮總督ニ提出スベシ

第四十二條　準用事業ノ認定ヲ受ケタル事業ニ關シテハ朝鮮電氣事業令施行規則第三十三條乃至第三十五條、第五十二條、第六十三條、第六十四條、第九十三條第三號及第四號、第百條乃至第百五條及第百十九條ノ規定ヲ準用ス

第四十三條　本令ニ依リ朝鮮總督ニ提出スベキ書類及圖面ハ總テ遞信局長ヲ經由スベシ

第四十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　認可ヲ受ケズシテ認可ヲ受ケベキ工事ニ着手シタル者

二　認可ヲ受ケベキ電氣工作物ヲ使用認可又ハ假使用認可ヲ受ケズシテ使用シタル者

三　本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シ又ハ正當ノ事由ナクシテ檢査ヲ拒ミ、妨ゲ若ハ忌避シタル者

第四十五條　本令ノ規定ニ依ル屆出、通知又ハ報告書ノ提出ヲ怠リタル者ハ科料ニ處ス

第四十六條　電氣工作物ノ施設者ハ其ノ代理人、戶主、家族、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ施設ニ關シ本令若ハ本令ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第四十七條　本令ニ依リ電氣工作物ノ施設者ニ適用スベキ罰則ハ電氣工作物ノ施設者法人ナルトキハ取締役其ノ他法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ督業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第九章　國ニ於テ施設スル電氣工作物

第四十八條　國ニ於テ電氣工作物ヲ施設セントスルトキハ當該官廳ハ工事施行前第七條ニ揭グル書類及圖面ヲ具シ其ノ旨ヲ遞信局長ニ報告スベシ但シ電氣工作物ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノナルトキハ遞信局長ニ協議スベシ

一　特別高壓電氣ヲ使用スルモノ

二　構外ニ亙リ施設スルモノ

第四十九條　前條ノ規定ニ依リ報告ヲ爲シ又ハ協議ヲ爲シタル後ニ於テ電氣工作物ノ施設ノ變更ニ關シテハ左ノ區別ニ從ヒ遞信局長ニ報告ヲ爲シ又ハ協議ヲ爲スベシ

一　協議ヲ爲シタル事項中前號以外ノ事項若ハ第十六條第一項ニ規定スル事項ヲ變更シ又ハ第十七條若ハ第十八條ノ規定ニ該當スル場合ハ報告ヲ爲スコト

二　協議ヲ爲シタル事項ヲ變更シタルトキハ協議ヲ爲スコト

三　報告ヲ爲シタル電氣工作物ニ關シ第十四條ニ揭グル事項ヲ變更シタルトキハ報告ヲ爲スコト

第五十條　第十九條ニ揭グル場合ニ於テハ當該官廳ハ工事施行前工事方法ヲ具シ遞信局長ニ之ヲ報告スベシ

第五十一條　第四十八條又ハ第四十九條ノ規定ニ依リ協議ヲ爲シテ電氣工作物ノ施設又ハ變更ヲ爲ス場合ニ於テ其ノ工事落成シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ遞信局長ニ報告スベシ

第五十二條　國ニ施テ施設スル電氣工作物ノ使用ヲ廢止シタルトキハ當該官廳ハ直ニ其ノ旨ヲ遞信局長ニ報告スベシ

第五十三條　第四十八條ノ規定ニ依リ協議ヲ爲シテ國ニ於テ施設シタル電氣工作物ニ關シテハ當該官廳ハ第四十條ノ規定ニ準ジ電氣工作物施設狀況報告書ヲ遞信局長ニ提出スベシ

第五十四條　國ニ於テ施設スル電氣工作物ニ關シテハ第九條乃至第十三條、第十五條、第二十條、第三十六條及第三十七條ノ規定ニ準用ス

第五十五條　國ニ於テ施設スル電氣工作物ニ關シ第五十條ノ認定ヲ受ケタル事項ニ關シテハ朝鮮電氣事業令施行規則第三十三條乃至第五十二條及第百條乃至第百五條ノ規定ヲ準用ス

附　則

本令ハ昭和八年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ニ依リ認可ヲ受ケ若ハ協議ヲ爲シ又ハ屆出若ハ報告ヲ爲スベキ事項ニシテ本令施行ノ際現ニ存スルモノハ之ヲ本令ニ依リ認可ヲ受ケ若ハ協議ヲ爲シ又ハ屆出若ハ報告ヲ爲シタルモノト看做ス

本令施行前從前ノ規定ニ依リ爲シタル認可又ハ承認ノ申請其ノ他ノ手續ニシテ本令中之ニ相當スル規定アルモノハ之ヲ本令ニ依リ爲シタルモノト看做ス但シ本令ノ規定ニ依リ必要ナル書類及圖面ハ之ヲ補充セシムルコトアルベシ

●朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル標準光度及標準光束

朝鮮電氣事業令施行規則第六十二條第二號ノ標準光度及標準光束別表ノ通定ム

昭和八年十月
總督府令第五百二十三號

（別表）

電球ノ種類	電球ノ大サ	公稱光度	標準光度	標準光束
眞空電球	七・五ワット	五三・二	六〇・八	五三・二ルーメン
	一一・二	一〇五・〇	一二〇・〇	一〇五・〇
	一一・二	二四・〇	二七・四	二四・〇
	一一・二	五三・二	六〇・八	五三・二
瓦斯入電球	四〇	三五〇・〇	四〇・〇	三五〇・〇
	六〇	五〇〇・〇	五七・七	五〇〇・〇
	一一〇	一〇〇〇・〇	一一五・四	一〇〇〇・〇
	一一〇	一三〇〇・〇	一四九・〇	一三〇〇・〇
	一一〇	一九四〇・〇	二二三・一	一九四〇・〇
	一一〇	二七〇〇・〇	三一〇・七	二七〇〇・〇
	一一〇	三五〇〇・〇	四〇一・三	三五〇〇・〇
	一一〇	五〇〇〇・〇	五七六・五	五〇〇〇・〇
	一一〇	七〇〇〇・〇	八〇一・三	七〇〇〇・〇
	一一〇	一〇〇〇〇・〇	一一五四・七	一〇〇〇〇・〇

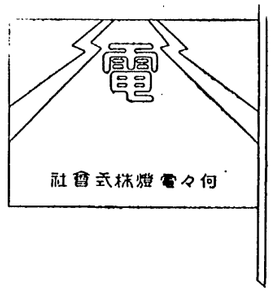
●朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル標旗及標燈

昭和八年十月
總督府令第五百二十四號

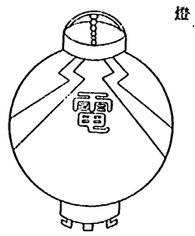
朝鮮電氣事業令施行規則第七十三條第三項ノ標旗及標燈別記樣式ノ通定ム

別記樣式

標旗



標燈



注意

一　地色　白

二　形狀　丸形弓張提燈

三　標章色　赤

四　標章ノ下ニ電氣事業者ノ商號又ハ名稱ヲ記載スベシ

注意

一　地色　白

二　縱　四十五センチメートル

三　橫　六十センチメートル

四　標章色　赤

五　標章ノ下ニ電氣事業者ノ商號又ハ名稱ヲ記載スベシ

●朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル電氣事業報告書樣式及其ノ調製方法

昭和八年十月
總督府令第五百二十五號

朝鮮電氣事業令施行規則第九十條ノ規定ニ依ル電氣事業報告書樣式及其ノ調製方法別記ノ通定ム

別記

電氣事業報告書調製方法

一　本報告書ノ用紙ハ縱二百九十七粍、橫二百十粍ノモノヲ使用スルコト

二　本報告書ハ左綴綴薄ト爲スコト

三　本報告書ハ每事業年度末現在及同年度中ノ事項ニ就キ之ヲ調製スルコト

四　本報告書ノ記載ハ橫書トシアラビヤ數字ヲ使用スルコト

五　本報告書ニ記載スベキ計數中キロワット、キロヴォルトアムペア、圓、厘ヲ單位トスルモノハ其ノ小數一位迄ヲ記載シ合其ノ未滿ハ四捨五入スルコト但シ其ノ單位ニ滿タザルモノアル場合ニハ貳數ヲ記載スルコト

六　本報告書ノ記載事項ニシテ前年度ニ比シ著シキ增減アリタル場合ニハ當該表中ニ其ノ事由ヲ附記スルコト

七　本報告書ハ別記樣式ニ依リ之ヲ調製スルコト但シ樣式中該當事項ナキ表及各表中該當事項ナキ欄ハ之ヲ省略シ各欄中記載事項ナキ場合ニハ「——」印ヲ記載スルコト

（次）

目次

順位	名稱	頁
第 1表	架空電線路	
第 2表	地中電線路	
第 3表	數地別電線路	
第 4表	地中電纜	
第 5表	府郡島別配電線路	
第 6表	府郡島別電燈取附數及需用家數	
第 7表	府郡島別電力供給契約數及需用家數	
第 8表	府郡島別電熱其ノ他ノ供給契約數及需用家數	
第 9表	大口電力需用家	
第10表	內鮮人其ノ他別需用家數竝ニ供給區域內人口及戶數	
第11表	用途別電力	
第12表	發電電力計箇數	
第13表	鐵道瓦長及延長	
第14表	電氣鐵道用電力量	
第15表	電車運轉賃錢及車輛數	
第16表	發電及受電實績	
第17表	發電用燃料	
第18表	私設通信設備	
第19表	從業者	
第20表	固定資產	
第21表	有價證券、貯藏品及事業未收入金	
第22表	損益表	
第23表	送電系統圖	

注意

1　當該事項ナキ爲表ノ調製ヲ省略スル場合ニハ頁ノ欄ニ「無」ト附記スルコト

2　公共團體ダル電氣事業者ニシテ第 20 表乃至第 22 表ヲ別ニ提出セントスル場合ニハ頁ノ欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

樣式

（表紙）

電氣事業報告書

第何期　自　年　月　日
　　至　年　月　日

所在地
事業者名

（注意　本報告書ヲ提出スル場合ニハ「電氣事業報告書ヲ在封」ト明記スルコト）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

第1表

架空電線路

年　月　日現在

種別			送電線路	配電線路	饋電線路	電車線路	合計	實數
電線路亙長(粁)	低壓及高壓	低壓						
		高壓						
		低壓及高壓併架						
		計						
	特別高壓	何ヴォルト						
		何ヴォルト						
		何ヴォルト／何ヴォルト 併架						
		計						
	合計							
回線延長(粁)	低壓							
	高壓							
	特別高壓	何ヴォルト						
		何ヴォルト						
		計						
	合計							
支持物數	木柱							
	鐵柱							
	鐵塔							
	鐵筋「コンクリート」柱							
	合計							

注意

1　同一ノ電線路ニ送電線、配電線、饋電線又ハ電車線併架ノ部分アル場合ニハ其ノ送電線、配電線、饋電線又ハ電車線ヲ各別ニ計算セル亙長ノ合計及支持物數ノ合計ハ實際ノ數量ト異ルニ付實數欄ニハ此等ヲ區別セザル實際ノ亙長及支持物數ヲ記載スルコト

2　電線路亙長及回線延長ニシテ特別高壓ノモノハ各其ノ電壓ノ異ル毎ニ電壓ノ低キモノヨリ順次記載スルコト

3　特別高壓電線路亙長中電壓(低壓及高壓ヲ含ム)ヲ異ニスルモノヲ併架セル部分ハ當該電壓ノ欄ニ含マシメズ別ニ電壓種別欄ニ其ノ電壓ヲ併記シテ記載スルコト

4　他人ノ支持物ニ自己ノ電線ヲ併架セル部分アルトキハ電線路亙長ノ當該欄ニ「他」ト冠シテ別記シ合計ニ算入セザルコト

5　第三軌條式ノモノニ在リテハ電車線路ノ欄ニ「第三軌條」ト冠シ記載スルコト

6　木柱ニ於ケル耳柱又ハ鐵柱ニ於ケル「カントリータワー」等ハ各一基トシテ記載スルコト

第2表

地中電線路

年　月　日現在

種別			送電線路	配電線路	饋電線路	合計	實數
電線路亙長(粁)	低壓及高壓	低壓					
		高壓					
		低壓及高壓併設					
		計					
	特別高壓	何ヴォルト					
		何ヴォルト					
		何ヴォルト／何ヴォルト 併設					
		計					
	合計						

第3表

敷地別電線路

年　月　日現在

種別			總數	内譯		
				道路	官公有地	民有地
何ノ道	架空	電線路亙長(粁)				
		支持物數				
		内譯 木柱				
		内譯 鐵柱				
		内譯 鐵塔				
		内譯 鐵筋「コンクリート」柱				
	地中	電線路亙長(粁)				

種別			送電線路	配電線路	饋電線路	合計	實數
回線延長(粁)	低壓						
	高壓						
	特別高壓	何ヴォルト					
		何ヴォルト					
		計					
	合計						
支持物數	鐵塔						
	鐵筋「コンクリート」柱						
	合計						

注意

1　同一ノ電線路ニ送電線、配電線、饋電線又ハ電車線併架ノ部分アル場合ニハ其ノ送電線、配電線、饋電線又ハ電車線ヲ各別ニ計算セル亙長ノ合計及支持物數ノ合計ハ實際ノ數量ト異ルニ付實數欄ニハ此等ヲ區別セザル實際ノ亙長及支持物數ヲ記載スルコト

2　電線路亙長及回線延長ニシテ特別高壓ノモノハ各其ノ電壓ノ異ル毎ニ電壓ノ低キモノヨリ順次記載スルコト

3　特別高壓電線路亙長中電壓(低壓及高壓ヲ含ム)ヲ異ニスルモノヲ併架セル部分ハ當該電壓ノ欄ニ含マシメズ別ニ電壓種別欄ニ其ノ電壓ヲ併記シテ記載スルコト

4　他人ノ支持物ニ自己ノ電線ヲ併架セル部分アルトキハ電線路亙長ノ當該欄ニ「他」ト冠シテ別記シ合計ニ算入セザルコト

5　第三軌條式ノモノニ在リテハ電車線路ノ欄ニ「第三軌條」ト冠シ記載スルコト

6　木柱ニ於ケル耳柱又ハ鐵柱ニ於ケル「カントリータワー」等ハ各一基トシテ記載スルコト

第2表

地中電線路

年　月　日現在

種別			送電線路	配電線路	饋電線路	合計	實數
電線路亙長(粁)	低壓及高壓	低壓					
		高壓					
		低壓及高壓併設					
		計					
	特別高壓	何ヴォルト					
		何ヴォルト					
		何ヴォルト／何ヴォルト 併設					
		計					
	合計						

合計	架空	電線路亙長(粁)				
		支持物數				
		内譯 木柱				
		内譯 鐵柱				
		内譯 鐵塔				
		内譯 鐵筋「コンクリート」柱				
	地中	電線路亙長(粁)				

注意

自己ノ所有スル土地ニ施設セルモノアルトキハ「自」ト冠シテ別記スルコト

第4表

地中電纜

年　月　日現在

電壓	製造者名	種類	心線數	心線ノ太サ(平方粍)	回線延長(粁)

注意

1　本表ニハ特別高壓ノモノニ在リテハ電壓及製造者ノ異ル毎ニ、低壓及高壓ノモノニ在リテハ電壓ノ異ル毎ニ記載スルコト

2　水底電纜アル場合ニハ「水」ト冠シ記載スルコト

3　種類ノ欄ニハ鎧裝、非鎧裝ノ別及絶緣物ノ種類等ヲ記載スルコト

第5表

府郡島別電燈電力需給路

年　月　日現在

種別				電線路延長(粁)				配電用変圧器	
				高圧線	低圧線	回数	高圧線	低圧線	計	個数	容量(キロヴォルトアムペア)
何府(又ハ何郡何島)	電燈用	架									
		地									
	電力用	架									
		地									
	電燈電力併用	架									
		地									
	計	架									
		地									
	貸数	架									
		地									
合計	電燈用	架									
		地									
	電力用	架									
		地									
	電燈電力併用	架									
		地									
	計	架									
		地									
	貸数	架									
		地									
総計	電燈用	架									
		地									

注　意

1 配電用変圧器ノ欄ニハ柱上変圧器共ノ他之ニ類スルモノヲ記載スルコト

2 水底電線路アル場合ニハ地中線ノ欄ニ「水」ト冠シテ記スルコト

3 特別高圧配電線路ヲ有スル場合ニハ高圧ノ欄ニ「特」ト冠シテ別記スルコト

4 電燈電力併用ノ欄ニハ同一回線ニ依リ電燈電力ヲ供給スルモノヲ記載スルコト

5 同一電線路ニ高圧及低圧配線路ヲ作架又ハ併設セル場合ニハ此等ヲ各別ニ計算セル五段ノ合計ハ貸数ノ数並ニ界ルニ付貸数欄ニハ此等ヲ区別セザル貸数ノ五段ヲ記載スルコト

第6表

府郡島別電燈ノ取附数及需用家数

年　月　日現在

種別				何府	何郡(又ハ何島)	合計	総計
定額	一需用家ノ取附燈数別	何燈以下	需用家数				
			取附燈数				
			取附キロワット数				
		定額従量併用需用家ノ定額	需用家数				
			取附燈数				
			取附キロワット数				
		計	需用家数				
			取附燈数				
			取附キロワット数				

取附二燈　取附五燈以上

取附三燈以上　取附七燈以上

取附五燈以上　取附八燈以上

取附七燈以上　取附十燈以上

取附八燈以上　取附二十燈以上

取附十燈以上　取附三十燈以上

取附二十燈以上　取附五十燈以上

取附三十燈以上　取附百燈以上

2 定額燈ノワット又ハ場所別ハ電気供給規程ノ定ムル所ニ依ルコト但シ百ワット又ハ百ワットヲ超過スルモノニ付テハ下記ノ区別ニ依ルコト

三百ワット又ハ三百燭以下

五百ワット又ハ五百燭以下

一千ワット又ハ一千燭以下

一千ワット又ハ一千燭ヲ超過スルモノ

燭ニ依ルモノハ相当ワット数ヲ附記スルコト

3 電燈種類別ノ欄ニハ真空タングステン線条電球、瓦斯入タングステン線条電球、炭素線条電球、弧光燈、放電燈等種類別ニ依掲スルコト

4 定額ト従量トヲ併用スル需用家ニ在リテハ其ノ定額ニ付テハ総テ定額従量併用需用家ノ定額燈ノ欄ニ記載シ従量ニ付テハ従量ノ各相当欄ニ記載スルコト

5 不定燈ニハ休止中ノモノヲモ含マシメ、取附燈数ハ装置燈、臨季燈等共ノ種類別ニ記載スルコト

6 休止燈ニハ不定時燈ノ休止中ノモノヲ含マシメザルコト

7 無料燈ニハ事業用ヲ除キ官用共ノ他無料ニテ供給スルモノヲ記載スルコト

8 臨時燈ノ本期間及大取附燈数ニハ其ノ期間ニ於ケル始日ノ取附燈数中最大ナルモノヲ記載シ本期間一日平均取附燈数ニハ其ノ期間ニ於ケル毎日ノ取附燈数ノ合計ヲ其ノ期間ノ総日数ニテ除シタルモノヲ記載スルコト

9 電燈料金ニ依リ小型電気器具等ニ電力ヲ供給スルモノハ其ノ水口数ヲ燈数ト看做シテ各別欄ニ記載シ其ノ総水口数ヲ総計ノ内小型電気器具水口数欄ニ内掲スルコト

10 事業用ノ欄ニハ自己ノ営電所、変電所、事務所等ニ使用スルモノヲ記載スルコト

第7表　府県別電燈電力需給概況

1 一需用家当取附燈数別ニハ下記ノ区別ニ依ルコト

(定額)　(従量)

取附一燈　取附四燈以下

第7表

府郡島別電力供給契約數及需用家數

年　月　日現在

種別				何道 何府				何道 何郡(又ハ何島)				何道 合計				總計			
				晝間	夜間	晝夜間	計	晝間	夜間	晝夜間	計	晝間	夜間	晝夜間	計	晝間	夜間	晝夜間	計
定時	定額	一契約當キロワット數別	何キロワット未滿	契約口數															
				契約キロワット數															
			計	契約口數															
				契約キロワット數															
		需用家數																	
	從量	一契約當キロワット數別	何キロワット未滿	契約口數															
				契約キロワット數															
				本期間供給キロワット時數															
			計	契約口數															
				契約キロワット數															
				本期間供給キロワット時數															
		需用家數																	
	合計	契約口數																	
		契約キロワット數																	
		需用家實數																	
不定時	一契約當キロワット數別	何キロワット未滿	契約口數																
			契約キロワット數																
			計	契約口數															
				契約キロワット數															
		需用家數																	
總計		契約口數																	
		契約キロワット數																	
		需用家實數																	
		特約電力	再掲	定額	契約口數														
					契約キロワット數														
				從量	契約口數														
					契約キロワット數														
					本期間契約キロワット時數														
休止		契約口數																	
		契約キロワット數																	
		需用家數																	
		再掲	契約全部休止ノ口數																
			同上ニ對スルキロワット數																
臨時	本期間最大	契約口數																	
		契約キロワット數																	
	本期間一日平均	契約口數																	
		契約キロワット數																	
事業用	取附	數																	
	キロワット	數																	

注意

1 本表ニハ契約電力百キロワット未滿ノ電燈及電力供給ニ依ラサル電熱、電氣扇等ノ供給ニ就キ記載スルコト

2 一契約當キロワット數別ハ下記ノ區別ニ依ルコト

(定額及不定時)	(從量)
百ワット未滿	一キロワット未滿
五百ワット未滿	三キロワット未滿
一キロワット未滿	五キロワット未滿
三キロワット未滿	十キロワット未滿
五キロワット未滿	二十キロワット未滿
十キロワット未滿	三十キロワット未滿
二十キロワット未滿	五十キロワット未滿
三十キロワット未滿	百キロワット未滿
五十キロワット未滿	
百キロワット未滿	

3 總計ノ內特約電力再掲ノ欄ニハ電氣供給規程ニ依ラサル電力供給ノミヲ再掲スルコ

4 不定時、休止、臨時及事業用ニ付テハ第6表(府郡島別電燈取附數及需用家數)注意 5. 6. 8. 10ニ準ズルコト

5 深夜間、避尖頭時等ニ於テ供給スルモノアルトキハ適宜他ト區別シ記載スルコト

第8表

府郡島別電熱其ノ他ノ電氣供給契約數及需用家數

年　月　日現在

種別				何道 何府				何道 何郡(又ハ何島)				何道 合計				總計			
				晝間	夜間	晝夜間	計	晝間	夜間	晝夜間	計	晝間	夜間	晝夜間	計	晝間	夜間	晝夜間	計
定時	定額	一契約當キロワット數別	何ワット未滿	契約口數															
				契約キロワット數															
			計	契約口數															
				契約キロワット數															
		需用家數																	
	從量	一契約當キロワット數別	何ワット未滿	契約口數															
				契約キロワット數															
				本期間供給キロワット時數															
			計	契約口數															
				契約キロワット數															
				本期間供給キロワット時數															
		需用家數																	
	合計	契約口數																	
		契約キロワット數																	
		需用家實數																	
不定時	一契約當キロワット數別	何ワット未滿	契約口數																
			契約キロワット數																
			計	契約口數															
				契約キロワット數															
		需用家數																	
總計		契約口數																	
		契約キロワット數																	
		需用家實數																	
		電熱以外	扇風機	契約口數															
				契約キロワット數															
			何々																
休止		契約口數																	
		契約キロワット數																	
		需用家數																	

注意

1 本表ニハ契約電力百キロワット未滿ノ電燈及電力供給ニ依ラサル電熱、電氣扇等ノ供給ニ就キ記載スルコト

2 一契約當キロワット數別ハ下記ノ區別ニ依ルコト

(定額及不定時)	(從量)
百ワット未滿	一キロワット未滿
五百ワット未滿	三キロワット未滿
一キロワット未滿	五キロワット未滿
三キロワット未滿	十キロワット未滿
五キロワット未滿	二十キロワット未滿
十キロワット未滿	三十キロワット未滿
二十キロワット未滿	五十キロワット未滿
三十キロワット未滿	百キロワット未滿
五十キロワット未滿	
百キロワット未滿	

3 電熱以外再掲ノ欄ニハ扇風機、「ラヂオ」、單相電動機、放電燈等電氣供給規程ノ種類別ニ再掲スルコト

4 以上ノ外第7表(府郡島別電力供給契約數及需用家數)注意 4.5ニ準ズルコト

第 9 表

大口電力需用家

年　月　日現在

需用家																		備考
氏名又ハ商號	工場又ハ作業場ノ名稱及所在地	電氣ヲ使用スル目的	電氣ヲ使用スル場所ノ名稱及所在地	電氣ヲ使用スル場所ノ數	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ構造	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ延坪數	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ階數	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ高サ	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ周圍ニ空地アルトキハ其ノ幅員	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ周圍ニ空地アルトキハ其ノ面積	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ周圍ニ空地アルトキハ其ノ境界	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ周圍ニ空地アルトキハ其ノ所有者	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ周圍ニ空地アルトキハ其ノ使用關係	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ周圍ニ空地アルトキハ其ノ使用ノ目的	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ周圍ニ空地アルトキハ其ノ使用ノ期間	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ周圍ニ空地アルトキハ其ノ使用ノ條件	電氣ヲ使用スル場所ノ建物ノ周圍ニ空地アルトキハ其ノ使用ノ條件	

注意

一、本表ハ電力需用家ニ關スル供給ノ概況ヲ明ニスル爲ノモノナリ

二、本表ハ一需用家ニ付一枚ヲ作成スルモノトス

三、本表ハ毎年一月末日現在ニ於ケル狀況ヲ記載スルモノトス

四、本表ハ毎年二月末日迄ニ提出スルモノトス

五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

四十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

五十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

六十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

七十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

八十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

九十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百二十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百三十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百四十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百五十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百六十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百七十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百八十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

百九十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百二十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百三十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百四十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百五十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百六十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百七十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百八十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

二百九十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百二十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百三十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百四十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百五十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百六十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十三、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十四、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十五、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十六、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十七、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十八、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百七十九、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百八十、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百八十一、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百八十二、本表ハ電氣事業法第四十條ノ規定ニ依リ提出スルモノトス

三百八十三、本表ハ電氣

第12表

設備容量力計個数

年　月　日現在

種別		官庁	公業者持	需用者持	合計
電灯	何アムペア以下				
動力	何アムペア以下				
	何アムペア以下				
	計				
電熱	何アムペア以下				
何アムペア以下					
その他の用	計				
合計					

注意

1　本表ニ入渠ニ取切ニ使用スル設備ヲ含ムモノノ個数ヲ計上スルコト

2　容量別ハ下記ノ区別ニ依ル

五アムペア以下
十アムペア以下
二十アムペア以下
三十アムペア以下
五十アムペア以下
七十五アムペア以下
百アムペア以下
百五十アムペア以下
二百アムペア以下
三百アムペア以下
五百アムペア以下
五百アムペア超過スルモノ

第13表

鉄道及軌道延長及営業キロ

年　月　日現在

私設鉄道及軌道ノ別	電気鉄道方式	電車線又ハ第三軌条電圧（ボルト）	延長（粁）			営業キロ（粁）	
			取扱線	複線	計	本線	側線
合計							

注意

1　私設鉄道軌道ノ別欄ノ記載方ハ下記ニ依ルコト

　　鉄軌条電圧ハ公称ノモノ……鉄
　　架線電圧ハ公称ノモノ……ボルト

2　本表ニハ電気鉄道方式及電車線又ハ第三軌条ノ電圧ヲ異ニスルモノ毎ニ記載スルコト

第14表

電気供給用電力量

自　年　月　日
至

種別	電力量（キロワット時）						最大需要月日時間（キロワット）	年平均力率（%）
	月	月	月	月	月	合計	本契期間中ノ最大需要月日時間	本契期間中ノ平均力率（%）
何某電気所								
何某電気所								
合計								

注意

1　発電所ニ在リテハ所ノ直接需電スルモノニ限リ記載スルコト

| 化工原料品 | 製造業 | | | | | | | |

2　發電所ニシテ一般供給事業ト共用スルモノニ在リテハ電氣鐵道ニ使用セル電力量ノミヲ記載スルコト
3　電力量ハ直流側ニ於テ計量セルモノニ依ルコト但シ直流側ニ於テ計量スルコト不可能ノ場合ニハ交流側ニ於テ計量シ其ノ旨ヲ附記スルコト
4　本期間平均電力ノ欄中使用時間平均ハ電力量ノ合計ヲ使用時間數ニシ除シタルモノヲ、總時間平均ハ電力量ノ合計ヲ本期間ノ總時間數（總暦日數ニ二十四ヲ乘ジタルモノ）ニテ除シタルモノヲ記載スルコト
5　本期間最大電力ノ算出ニ付テハ第16表發電及受電實績）注意3ニ準ズルコト

第15表　電車運轉實績及車輛數

自　年　月　日
至　年　月　日

種別			
本期間營業日數			日
本期間運轉時間數			時間
本期間走行粁數	電氣機關車		
	客車		
	貨車		
	計		
本期間乘客數			
本期間貨貨量（噸）			
本期間使用電力量（キロワット時）	總量		
	一車一粁平均		

車輛（期末現在）	種類		車輛數	車輛取附電動機 總箇數	車輛取附電動機 總キロワット數
	電氣機關車				
	客車	電動車			
		附隨車			
		計			
	貨車	電動車			
		附隨車			
		計			
	合計				

第16表　發電及受電實績

自　年　月　日
至　年　月　日

何發電所（注意1ノ別ニ依リ記入スルコト）	原動力ノ別	認可出力（キロワット） 最大	常時尖頭	常時	特殊	補給	豫備	融通

種別	發（受）電日數	發（受）電時間數	發（受）電電力量（キロワット時）	最大發（受）電電力（キロワット）	平均最大發（受）電電力（キロワット）	平均發（受）電電力（キロワット）	負荷率平均（%）	利用率（%）	備考
月									
月									
月									
月									
月									
月									
本期間									

注意

1　本表ハ各發電所、各受電地點（供給者名ヲ附記スルコト）、水力發電合計、汽力發電合計、內燃力發電合計、水力汽力內燃力發電合計及受電地點合計並ニ發受電總計ニ就キ各別ニ之ヲ調製スルコト但シ受電地點異ルモ此等ノ地點ノ合成最大電力ニテ受電契約ヲ爲セル場合ニハ之ヲ一表ト爲スコト
2　火力發電所ノ發電電力量及發電電力ニ付テハ所內用電力ヲ除外セルモノヲ記載スルコト
3　最大發（受）電電力トハ積算電力計ニ依リ三十分毎ニ計量セル電力量ヲ二倍セルモノノ中其ノ月（又ハ其ノ期間）中ノ最大ナルモノヲ謂フ但シ三十分毎ニ計量スルコト困難ナル場合ニハ一時間毎ノ電力量ニ依ル此ノ場合ニハ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト
4　平均最大發（受）電電力トハ其ノ月（又ハ其ノ期間）ニ於ケル毎日ノ最大發（受）電電力ノ合計ヲ其ノ月（又ハ其ノ期間）ノ總暦日數ニテ除シタルモノヲ謂フ
5　平均發（受）電電力トハ其ノ月（又ハ其ノ期間）ノ總發（受）電電力量ヲ其ノ月（又ハ其ノ期間）ノ總時間數（總暦日數ニ二十四ヲ乘ジタルモノ）ニテ除シタルモノヲ謂フ
6　負荷率平均トハ毎日ノ平均發（受）電電力ヲ其ノ日ノ最大發（受）電電力ニテ除シタルモノヲ其ノ月（又ハ其ノ期間）ヲ通ジテ平均シタルモノヲ謂フ
7　利用率トハ平均發（受）電電力ヲ發電所又ハ受電地點ノ認可最大出力ニテ除シタルモノヲ謂フ
8　合計表及總計表ノ最大發（受）電電力ノ欄ニハ其ノ月（又ハ其ノ期間）ニ於ケル毎日ノ合成最大發（受）電電力ノ中最大ナルモノヲ、平均最大發（受）電電力ノ欄ニハ其ノ月（又ハ其ノ期間）ニ於ケル毎日ノ合成最大發（受）電電力ノ平均ヲ記載スルコト
合成最大發（受）電電力トハ水力發電合計ニ在リテハ各發電所ノ同時刻ニ於ケル發電電力ノ和ノ中其ノ月（又ハ其ノ期間）ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ汽力發電合計、內燃力發電合計、水力汽力內燃力發電合計、受電合計、發受電總計ニ在リテモ亦之ニ準ズ
9　各合計表及總計表ニ於テハ發（受）電日數、發（受）電時間數及利用率ハ之ガ記載ヲ要セザルコト
10　積算電力計ヲ有セザル場合ニハ指示電力計ニ依リ指示電力計ヲモ有セザル場合ニハ電壓計及電流計ニ依リ下記ノ方法ヲ以テ發（受）電電力量及最大發（受）電電力ヲ算出シ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト
（イ）　指示電力計ニ依ル場合ニハ指示電力計ヲ三十分（若ハ一時間）毎ニ讀ミ算出スルコト
（ロ）　電壓計及電流計ニ依ル場合ニハ電壓計及電流計ヲ三十分（若ハ一時間）毎ニ讀ミ負荷ノ種別ニ依リ力率ヲ適當ニ考慮シ算定スルコト此ノ場合ニハ其ノ力率ヲモ備考欄ニ附記スルコト

第17表　發電用燃料

自　年　月　日
至　年　月　日

何發電所	原動力ノ別	認可出力（キロワット） 常時	補給	豫備	備考

本期間發電日數		本期間發電電力量（キロワット時）	供給用
本期間發電時間數			所內用
本期間最大發電力（キロワット）			合計
本期間平均最大發電力（キロワット）		本期間燃料消費高	總消費量（噸）
本期間平均發電力（キロワット）			總價額（圓）
發電時間中平均發電力（キロワット）			平均價額（圓/噸）
		供給用キロワット時當平均	燃料消費量（瓲）
			燃料費（厘）

燃料	種類	標準發熱量キロカロリー（瓲）	一瓲當價額（圓） 平均	最高	最低	消費量（瓲）	價額（圓）
	何々						

注意

1　本表ハ各汽力發電所及各內燃力發電所ニ就キ各別ニ之ヲ調製スルコト
2　所內用發電機ヲ有スルモノニ在リテハ其ノキロワット數ヲ「所內用」ト區シ備考欄ニ記載スルコト
3　本期間發電日數及本期間發電時間數ニハ所內用ノミニ使用スル爲發電セル場合ノ發電日數及發電時間數ヲ含マシメザルコト
4　本期間最大發電電力、本期間平均最大發電電力ノ算出ニ付テハ第16表（發電及受電實績）注意3.4.5ニ準ズルコト但シ所內用發電機ヲ有スルモノニ在リテハ其ノ發電電力ト主要發電機ノ發電電力トノ合成電力ニ依ルコト
5　發電時間中平均發電電力トハ本期間總發電電力量ヲ本期間總發電時間數ニテ除シタルモノヲ謂フ
6　本期間發電電力量ノ供給用トハ本期間總發電電力量ヨリ本期間ノ所內用電力量ヲ控除シタルモノヲ謂フ
7　燃料ノ種類ハ粉炭、切込炭、塊炭、無煙炭、瓦斯、「コークス」、木炭、重油等ニ區別シテ記載シ石炭及重油ニ在リテハ其ノ產地名ヲ附記スルコト

第18表　私設通信設備

年　月　日現在

種類		線路亙長（粁） 强電流電線路ニ添架ノモノ	獨立電線路	回線延長（粁）	電話機個數
有線通信設備	朝鮮電氣工作物規程本則第九十條ノ規定ニ依ルモノ				
	私設電氣電話規則第一條第一號ニ依ルモノ				
	其ノ他				
	合計				

搬送式電話設備	搬送線路亙長（粁）	電話機接續箇所	電話機箇數

注意

1　同一ノ强電流電線路又ハ獨立電線路ニ各種ノ電話線ヲ添架セル部分アルトキハ種別毎ニ計上セル線路亙長ノ合計ハ實際ノ數量ト異ルニ付合計欄ニハ此等ヲ區別セザル實數ヲ記載スルコト
2　從前私設電信電話規則第一條第一號又ハ同條第三號ニ依ルモノトシテ許可セラレタルモノト雖モ現ニ朝鮮電氣工作物規程本則第九十條ノ規定ニ該當スルモノハ當該欄ニ之ヲ計上スルコト

第19表

従業者　名

年　月　日　現在

科目	合計(又ハ小計)欄ノ区別	電気供給事業												電気鉄道事業				乗合業				総計
		送電所	変電所	送電線路	配電線路	帯用者屋内設備工事ノ為メ作業ニ従事スル人夫	計	総数	運転手	車掌	何々	計	運転手	車掌	何々	計	運転手	車掌	何々	計	総計ニ対スル百分率
雑給																						
工務																						
計																						

注意

1　電気鉄道事業ノ送電線路、変電所等アル場合ニハ此等ノ従業者ヘ夫々区別シ再掲スルコト

2　総係数ニ関スル人員ノ内ニ役員又ハ管理者ヲ合マシメザルコト

第20表

固定資産

年　月　日　現在

種別			帳価	償却額	減価償却累計額	備考
設備	水	力				
	汽	力				
	内	力				
電気設備	燃	力				
	計					
送電線路	三萬五千ヴォルト超過スルモノ	空				
		地				
	三萬五千ヴォルト以下ノモノ	中				
		小				
	計					
変電所	何々					
	計					
営業所	何					
	計					
建設工事中ノ固定資産	電気鉄道線路					
	何々					
	計					

注意

1　本表ノ項目ヘ鉄道事業令計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ之ヲ記載スルコト

2　減価償却ノ累計額ヘ現存資産ニ対スルモノヲ記載スルコト（鉄道電気事業令計規程施行前ノ減価償却累計ヘ之ヲ記載スルノ要ナキモ若之ヲ記載スルトキヘ同規程施行後ノモノト区別シ表示スルコト）

3　三萬五千ヴォルトヲ超過スル変電設備トハ三萬五千ヴォルトヲ超過スル送電線路ニ接続スルモノヲ謂フ

4　兼用者屋内設備ノ備考欄ニハ事業者持ノ配線ニ関スル電燈取付数及電力取付キロワット数ヲ何百（減極ニ記載スルコト

5　電気鉄道設備中ニ変圧ノ電力設備（送電設備、変電設備等）アル場合ニハ本表電気供給設備ノ内訳ニ準ジ記載スルコト

6　建設工事中勘定ノ備考欄ニハ送電線路名ヲ夫々附記スルコト

第21表

有形固定資産、貯蔵品及休業未収入金

年　月　日　現在

科目			期首現在高	当期増加額	当期減少額	期末現在高	備考
有形固定資産	所有	土地					
		建物					
		構築物					
		機械及装置					
		船舶					
		車両及運搬具					
		工具、器具及備品					
		計					
	無形固定資産						
	投資						
	繰延資産						
貯蔵品							
休業未収入金							

科目	合計(又ハ小計)欄ノ区別	電気供給事業												電気鉄道事業				乗合業				総計
		送電所	変電所	送電線路	配電線路	帯用者屋内設備工事ノ為メ作業ニ従事スル人夫	計	総数	運転手	車掌	何々	計	運転手	車掌	何々	計	運転手	車掌	何々	計	総計ニ対スル百分率
雑給																						
工務																						
計																						

注意

1　電気鉄道事業ノ送電線路、変電所等アル場合ニハ此等ノ従業者ヘ夫々区別シ再掲スルコト

2　総係数ニ関スル人員ノ内ニ役員又ハ管理者ヲ合マシメザルコト

第20表

固定資産

年　月　日　現在

種別			帳価	償却額	減価償却累計額	備考
設備	水	力				
	汽	力				
	内	力				
電気設備	燃	力				
	計					
送電線路	三萬五千ヴォルト超過スルモノ	空				
		地				
	三萬五千ヴォルト以下ノモノ	中				
		小				
	計					
変電所	何々					
	計					
営業所	何					
	計					
建設工事中ノ固定資産	電気鉄道線路					
	何々					
	計					

注意

1　本表ノ項目ヘ鉄道事業令計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ之ヲ記載スルコト

2　減価償却ノ累計額ヘ現存資産ニ対スルモノヲ記載スルコト（鉄道電気事業令計規程施行前ノ減価償却累計ヘ之ヲ記載スルノ要ナキモ若之ヲ記載スルトキヘ同規程施行後ノモノト区別シ表示スルコト）

3　三萬五千ヴォルトヲ超過スル変電設備トハ三萬五千ヴォルトヲ超過スル送電線路ニ接続スルモノヲ謂フ

4　兼用者屋内設備ノ備考欄ニハ事業者持ノ配線ニ関スル電燈取付数及電力取付キロワット数ヲ何百（減極ニ記載スルコト

5　電気鉄道設備中ニ変圧ノ電力設備（送電設備、変電設備等）アル場合ニハ本表電気供給設備ノ内訳ニ準ジ記載スルコト

6　建設工事中勘定ノ備考欄ニハ送電線路名ヲ夫々附記スルコト

第21表

有形固定資産、貯蔵品及休業未収入金

年　月　日　現在

科目			期首現在高	当期増加額	当期減少額	期末現在高	備考
有形固定資産	所有	土地					
		建物					
		構築物					
		機械及装置					
		船舶					
		車両及運搬具					
		工具、器具及備品					
		計					
	無形固定資産						
	投資						
	繰延資産						
貯蔵品							
休業未収入金							

科目	期係会社		期首現在高	当期増加額	当期減少額	期末現在高	備考
証券	社債(又ハ公債)	特定資産					
		流動資産					
	合計						
	偶発債務	借入有価証券					
	受託有価証券						
	総計						
貯蔵品	供給事業用						
	営店商品						
	電気鉄道事業用						
	何事業用						
	合計						
事業未収入金	電、燈料						
	電力料						
	電気鉄道設備中ノ電力設備ニ対スル料金						
	供給雑収						
	計						
	其ノ他						
	合計						

注意

本表ノ項目ヘ鉄道事業令計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ内容ニ準ジ之ヲ記載スルコト

損益表

自　年　月　日
至　年　月　日

損失

種別			金額															備考
			給料手當	修繕費	諸稅	公用物使用料	借地及借家料	火災保險料	油脂類費	燃料費	需用開拓費	集金費	電球取換費	其ノ他	(四) 合計			
電氣供給事業	發電費	水力																
		汽力																
		內燃力																
		計																
	送電費	三萬五千ヴォルトヲ超過スルモノ																
		三萬五千ヴォルト以下																
		計																
	變電費	三萬五千ヴォルトヲ超過スルモノ																
		三萬五千ヴォルト以下																
		計																
	配電費	何店區域																
		計																
	需用者屋內費	何店區域																
		計																
	業務費	何店																
		計																
合計																		
購入電力料																		
減價償却	營業設備																	
	發電設備																	
	送電設備																	
	變電設備																	
	配電設備																	
	需用者屋內設備																	
	建設利息																	
	計																	
以上合計																		
電力費振替額(控除)																		
差引合計																		

第22表

損益表

自　年　月　日
至　年　月　日

利益

種別			金額												備考
			定額金	從量金	臨時金	不定時金	特約金	休止中料金	計器損料	設備損料	器具損料	(四) 合計			
電氣供給事業利益	電燈料	何店區域													
		計													
	電力料	何店區域													
		計													
	電熱其ノ他ノ供給料金	何店區域													
		計													
	何店區域給雜益	賄工料													
		器具賣上益													
		其ノ他													
		小計													
		計													
合計															
他事業利益	電氣鐵道收益														
	雜業收益	何業收益													
		合計													
事業外經常利益	有價證券利息及配當金														
	受入利息														
	其ノ他														
	合計														
臨時利益															
總計															

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

種別			金額(圓)	備考
他事業損失	電氣鐵道費	電氣鐵道費		
		內電力費振替分擔費	( )	
		內電力費 何々	( )	
		計	( )	
	乘業費	何々業費		
		合計		
		內電力費振替分擔費	( )	
事業外經常損失	總係費	役員費		
		給料手當		
		修繕費		
		保險費		
	諸費	諸稅		
		借地及借家料		
		火災保險料		
		其ノ他		
	減價償却計			
	合計			
所得及營業稅	所得稅			
	營業稅			
	合計			
退職給與金引當				
支拂利息	社債利息			
	借入金利息			
	何々			
	合計			
社債差金及發行費償却				
雜損失	電氣供給事業貸倒損			
	其ノ他			
	合計			
臨時損失				
總計				

注意

1　本表ノ項目ハ朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スルコト

2　汽力發電所ニ於ケル汽罐用水料ハ油脂類費中ニ含マシメ之ガ金額ヲ備考欄ニ附記スルコト

3　電氣鐵道費中ノ電力費ニシテ專屬ノ購入電力料、送電費、變電費等アル場合ニハ本表電氣供給事業損失ノ內譯ニ準ジ記載スルコト

4　當該事業年度ニ於テ分割シタル關係費ハ其ノ內譯ヲ附記說明スルコト

5　電力費振替額ノ內容ヲ附記說明スルコト

第 23 表

送電系統圖

年　月　日現在

注意

1　本表ハ朝鮮電氣事業令施行規則第八號樣式(送電系統圖)ニ依リ之ヲ調製スルコト

2　本表ニ使用スル用紙ハ規定ノ寸法ニ依ラザルコトヲ得

●朝鮮電氣事業令施行規則ニ依ル發電及送電豫定計畫資料樣式及其ノ調製方法

昭和八年十月
總督令第百二十七號

朝鮮電氣事業令施行規則第百五條ノ規定ニ依ル發電及送電豫定計畫資料樣式及其ノ調製方法別記ノ通定ム

別記

一　發電及送電豫定計畫資料調製方法

本資料ノ用紙ハ第一表發電及受電實績旬報及第四表負荷實績旬報ハ縱二百九十七粍、橫二百十粍、縱二百九十七粍、橫四百二十粍又ハ縱四百二十粍、橫五百九十四粍ノモノヲ、其ノ他ハ圖面ヲ除クノ外縱五百九十七粍、橫二百十粍又ハ縱二百九十七粍、橫四百二十粍ノモノヲ使用スルコト但シ縱及橫ノ寸法ヲ互ニ變更シテ使用スルコトヲ得

二　本資料ハ別記樣式ニ依リ之ヲ調製スルコト但シ提出スベキ表中該當事項ナキ場合ニハ「無」ト記載シ各表中該當事項ナキ欄ハ之ヲ省略シ各欄中記載事項ナキ場合ニハ「——」印ヲ記載スルコト

様式
第 I 表

朝鮮電氣事業會計規程第三條ノ規定ニ依ル勘定科目ノ內容ニ準ジ之ヲ記載スルコト

營業者名

年　月　旬報

種別		發電及受電電力(キロワット)												送電電力(キロワット)											
		發電所何々發電所						計	受電					計	送電所何々變電所						計	受電			
		水力			火力				何々會社		合計		總計		何々變電所							何々會社		合計	總計
日	計畫	常時	最大	最小	常時	最大	最小		常時	最大	常時	最大			常時	最大	最小	常時	最大	最小		常時	最大	常時	最大
1日																									
2																									
3																									
4																									
5																									
6																									
7																									
8																									
9																									
0																									
計																									
合計																									
平均																									
一ヶ月最大ノ日ノ發電又ハ受電回數																									

種別	發電及受電最大發電電力(キロワット)												合成最大電力(キロワット)											
	水力			火力			計						水力			火力			合成					
	何々發電所何々變電所			何々發電所何々變電所				受電		總計	備考		何々發電所何々變電所			何々發電所何々變電所				受電		總計	備考	
	常時	最大	時刻	常時	最大	時刻	常時	最大	時刻	常時	最大	時刻	常時	最大	時刻	常時	最大	時刻	常時	最大	時刻	常時	最大	時刻
1日																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
0																								
計																								
合計																								
平均																								
一ヶ月最大ノ日ノ發電又ハ受電回數																								

備考

注　意

1　本表ハ總出力(最大出力)一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ限リ之ヲ調製スルコト

2　本表ハ次ノ各期ノ末日迄ニ之ヲ提出スルコト

3　二以上ノ供給者ヨリ受電スル場合ニハ供給者別ニ記載シ受電地點ト計量地點ト異ル場合ニハ兩者ヲ附記スルコト

4　受電電力中ニ融通電力アル場合ニハ當該欄ニ「融通」ト附記スルコト

5　平均電力トハ毎日ノ電力量ヲ二十四時間ニテ除シタルモノヲ謂フ

6　最大發電電力又ハ最大受電電力トハ各發電所又ハ各受電地點ニ於テ積算電力計ニ依リ三十分毎ニ計量セル發電電力量又ハ受電電力量ヲ二倍セルモノノ中一日中ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ但シ三十分毎ニ計量スルコト困難ナル場合ニハ一時間毎ノ電力量ニ依ル此ノ場合ニハ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

7　合成最大電力ハ水力、火力、水火力(水火力合成)、受電及此等ノ總體(總合成)ノ各ニ就キ之ヲ求ムルコト

水力ノ合成最大電力トハ各水力發電所ノ同時刻ニ於ケル發電電力ノ和ノ中一日中ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ火力、水火力、受電及此等ノ總體ノ合成最大電力亦之ニ準ズ

8　積算電力計ノ設備ヲ有セザル場合ニハ指示電力計ニ依リ、指示電力計ノ設備ヲモ有セザル場合ニハ電壓計及電流計ニ依リ下記ノ方法ヲ以テ發電電力量又ハ受電電力量及最大發電電力又ハ最大受電電力ヲ算出シ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

イ　指示電力計ニ依ル場合ニハ指示電力計ヲ三十分(若ハ一時間)毎ニ讀ミ算出スルコト

ロ　電壓計及電流計ニ依ル場合ニハ電壓計及電流計ヲ三十分(若ハ一時間)毎ニ讀ミ負荷ノ種別ニ依リ力率ヲ適當ニ考慮シテ算定スルコト

9　出力三千キロワット以上ノ火力發電所ニ在リテハ發電電力量ノ欄ニ毎日ノ發電時間數ヲ附記スルコト

10　合成最大電力ノ發生時刻ハ其ノ合成最大電力ガ例ヘバ午後六時ヨリ同六時三十分ニ至ル三十分間ノ電力量ニ依リ決定セラレタルモノナルトキハ之ヲ六時三十分ト記入スルコト

11　發電電力量又ハ受電電力量及最大發電電力又ハ最大受電電力ノ一箇月ノ合計、平均及最大五日ノ平均並ニ一箇月ノ發電又ハ受電時間數ハ各月下旬ノ旬報ノミニ記載スルコト

最大五日ノ平均トハ各月ノ毎日ノ最大電力ノ最大ナルモノヨリ順次五日分ヲ採リ之ヲ平均セルモノヲ謂フ

12　事故其ノ他ノ事由ニ因リ發電電力若ハ受電電力ノ低下又ハ運轉若ハ受電ヲ休止セル場合ニハ備考欄ニ其ノ事由、休止時間等ヲ附記スルコト

第2表

發電及受電實績月報

事業者名　　年　月分

種別		發(受)電日數	發(受)電時間數	發(受)電電力量(キロワット時)	最大發(受)電電力(キロワット)	平均最大發(受)電電力(キロワット)	最大五日ノ平均發(受)電電力(キロワット)	平均發(受)電電力(キロワット)	負荷率平均(%)	利用率(%)	備考
水力	何々發電所										
	何々發電所										
	合計										
火力	何々發電所										
	何々發電所										
	合計										
受電	何々會社										
	何々會社										
	合計										
總計											

注　意

1　本表ハ總出力(最大出力)一千キロワット未滿ノ電氣事業者ニ限リ毎月調製シ翌月ノ二十日迄ニ之ヲ提出スルコト

2　最大發(受)電電力トハ積算電力計ニ依リ三十分毎ニ計量セル電力量ヲ二倍セルモノノ中其ノ月中ノ最大ナルモノヲ謂フ但シ三十分毎ニ計量スルコト困難ナル場合ニハ一時間毎ノ電力量ニ依ル此ノ場合ニハ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

3　平均最大發(受)電電力トハ其ノ月ニ於ケル毎日ノ最大發(受)電電力ノ合計ヲ其ノ月ノ總曆日數ニテ除シタルモノヲ謂フ

4　最大五日ノ平均發(受)電電力トハ各月ニ於ケル毎日ノ最大電力ノ中最大ナルモノヨリ順次五日分ヲ採リ之ヲ平均セルモノヲ謂フ

5　平均發(受)電電力トハ其ノ月ノ總發(受)電電力量ヲ其ノ月ノ總時間數(總曆日數ニ二十四ヲ乘ジタルモノ)ニテ除シタルモノヲ謂フ

6　負荷率平均トハ毎日ノ平均發(受)電電力ヲ其ノ日ノ最大發(受)電電力ニテ除シタルモノヲ其ノ月ヲ通ジテ平均シタルモノヲ謂フ

7　利用率トハ平均發(受)電電力ヲ發電所又ハ受電地點ノ認可最大出力ニテ除シタルモノヲ謂フ

8　合計及總計ノ最大發(受)電電力ノ欄ニハ其ノ月ニ於ケル毎日ノ合成最大發(受)電電力ノ中最大ナルモノヲ、平均最大發(受)電電力ノ欄ニハ其ノ月ニ於ケル毎日ノ合成最大發(受)電電力ノ平均ヲ記載スルコト

合成最大發(受)電電力トハ水力發電合計ニ在リテハ各水力發電所ノ同時刻ニ於ケル發電電力ノ和ノ中一日中ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ火力發電合計、受電合計及總計亦之ニ準ズ

9　積算電力計ノ設備ヲ有セザル場合ニハ指示電力計ニ依リ、指示電力計ノ設備ヲモ有セザル場合ニハ電壓計及電流計ニ依リ下記ノ方法ヲ以テ發(受)電電力量及最大發(受)電電力ヲ算出シ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

イ　指示電力計ニ依ル場合ニハ指示電力計ヲ三十分(若ハ一時間)毎ニ讀ミ算出スルコト

ロ　電壓計及電流計ニ依ル場合ニハ電壓計及電流計ヲ三十分(若ハ一時間)毎ニ讀ミ負荷ノ種別ニ依リ力率ヲ適當ニ考慮シテ算定スルコト此ノ場合ニハ其ノ力率ヲモ備考欄ニ附記スルコト

第3表

第三水曜日發電及受電實績表

事業者名　　年　月　日分

種別			發電 水力	發電 火力	受電 何々會社	受電 計	合計	備考
發電	午前	時 分 0.30						
		1. 0						
		1.30						
		2. 0						
		2.30						
		3. 0						
		3.30						
		4. 0						
		4.30						
		5. 0						
		5.30						
		6. 0						
		6.30						
		7. 0						
		7.30						
		8. 0						
		8.30						
		9. 0						
		9.30						
		10. 0						
		10.30						
		11. 0						
		11.30						
		12. 0						
電力量(キロワット時)	午後	0.30						
		1. 0						
		1.30						
		2. 0						
		2.30						
		3. 0						
		3.30						
		4. 0						
		4.30						
		5. 0						
		5.30						
		6. 0						
		6.30						
		7. 0						
		7.30						
		8. 0						
		8.30						
		9. 0						
		9.30						
		10. 0						
		10.30						
		11. 0						
		11.30						
		12. 0						
	合計							
平均電力(キロワット)								
最大電力(キロワット)								
負荷率(%)								

注　意

1　本表ハ毎月調製シ總出力(最大出力)一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ在リテハ其ノ月中旬分ノ發電及受電實績旬報ト共ニ、一千キロワット未滿ノ電氣事業者ニ在リテハ其ノ月ノ發電及受電實績月報ト共ニ提出スルコト

2　0時30分トアル欄ニハ零時ヨリ零時三十分ニ至ル三十分間ノ電力量ヲ、1時30分トアル欄ニハ零時三十分ヨリ一時ニ至ル三十分間ノ電力量ヲ記載スルコト以下之ニ準ズ

3　受電電力ハ各供給者毎ニ記載スルコト

4　第三水曜日ガ祝祭日等ニ該當シ負荷ノ著シク增減スル場合ニハ第三水曜日ノ外第三木曜日ノ實績ニ就キテモ調製スルコト

5　本表ニハ水力、火力、受電及總合成ニ對スル負荷曲線圖(階段式ニ依リ調製スルコト)ヲ添附スルコト

R011

第4表　　負荷實績旬報

事業者名　　年　月　旬

種別		何々方面 供給電力量（キロワット時） 電燈電力 何々變(發)電所	何々變(發)電所	計	電氣鐵道 何々變(發)電所	何々變(發)電所	計	合計	電氣事業者ニ對スル供給 何々會社	何々會社	合計	總計	平均電力（キロワット） 電燈電力	電氣鐵道	計	電氣事業者ニ對スル供給	合計	總計 供給電力量（キロワット時） 電燈電力	電氣鐵道	計	電氣事業者ニ對スル供給	合計	平均電力（キロワット） 電燈電力	電氣鐵道	計	電氣事業者ニ對スル供給	合計
計盤點電壓																											
晝	1																										
	2																										
	3																										
	4																										
	5																										
	6																										
	7																										
	8																										
	9																										
	0																										
合計																											
平均																											
一箇月	合計																										
	平均																										

種別		最大供給電力（キロワット） 電燈電力 何々變(發)電所	何々變(發)電所	合成	時刻	電氣鐵道 何々變(發)電所	何々變(發)電所	合成	時刻	電燈電力電氣鐵道合成	時刻	電氣事業者ニ對スル供給 何々會社	何々會社	合成	時刻	總合成	時刻	負荷率（%） 電燈電力	電氣鐵道	電燈電力電氣鐵道合成	電氣事業者ニ對スル供給	總合成	總計 合成最大供給電力（キロワット） 電燈電力	時刻	電氣鐵道	時刻	電燈電力電氣鐵道合成	時刻	電氣事業者ニ對スル供給	時刻	總合成	時刻	負荷率（%） 電燈電力	電氣鐵道	電燈電力電氣鐵道合成	電氣事業者ニ對スル供給	總合成
晝	1																																		
	2																																		
	3																																		
	4																																		
	5																																		
	6																																		
	7																																		
	8																																		
	9																																		
	0																																		
合計																																			
平均																																			
一箇月	合計																																		
	平均																																		
	最大五日平均																																		
供給電力量（キロワット時）	本旬																																		
	一箇月																																		

備考

注意

1　本表ヲ調製シベキ電氣事業者及其ノ提出期間ハ第1表（發電及受電實績旬報）ト同樣ナルコト但シ發電及受電實績旬報ヲ以テ本表ヲ兼用シ得ル場合ニハ本表ノ調製ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニハ發電及受電實績旬報ノ備考欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

2　電氣事業者ニ對スル供給電力中ニ融通電力アル場合ニハ第1表注意4ニ依ルコト

3　供給電力量及供給電力ハ電氣事業者ニ供給スルモノニ在リテハ供給地點、其ノ他ノモノニ在リテハ直接配電スル發電所、變電所又ハ之ニ準ズル箇所ニ於テ計量スルコト

4　最大供給電力トハ積算電力計ニ依リ三十分毎ニ計量セル供給電力最ヲ二倍セルモノノ中一日中ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ但シ三十分毎ニ計量スルコト困難ナル場合ニハ一時間毎ノ電力最ニ依ル此ノ場合ニハ其ノ旨ヲ備考欄ニ附記スルコト

5　電氣鐵道ノ供給電力量及最大供給電力ハ直流側ニテ計量セルモノヲ記載シ且供給電力量ノ毎旬ノ合計及一箇月合計ノ欄ニハ交流側ニテ計量セル電力量ヲモ括弧ニテ併記スルコト但シ直流側ニテ計量シ難キトキハ交流側ニテ計量セルモノヲ記載シ且備考欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

6　最大供給電力ノ合成ハ電燈電力、電氣鐵道、電燈電力及電氣鐵道、電氣事業者ニ對スル供給及此等ノ總計（總合成）ノ各ニ就キ之ヲ求ムルコト
最大供給電力ノ電燈電力ノ合成ノ欄ニハ電燈電力ニ供給セル各發電所、變電所ノ同時刻ニ於シル供給電力ノ和ノ中一日中ニ於ケル最大ナルモノヲ記載スルコト電氣鐵道、電燈電力及電氣鐵道、電氣事業者ニ對スル供給及此等ノ總計ノ合成ノ欄亦之ニ準ジ記載スルコト
總計ノ欄ニ於ケル合成最大供給電力ハ各方面ヲ通ジタルモノニ就キ前項ニ準ジ記載スルコト

7　負荷率トハ平均電力ト之ニ對應スル合成最大電力トノ比ノ百分率ヲ謂フ
最大五日ノ平均ニ對スル負荷率ノ欄ニハ一箇月ノ平均電力ト最大五日ノ平均最大電力トノ比ノ百分率ヲ記載スルコト

8　以上ノ外第1表注意5. 8. 10. 11. 12.ニ依ルコト

第5表　事業者名　　第三水曜日負荷實績表　　年　月　日分

種別		時分	何々方面 電燈電力	電氣鐵道	電氣事業者ニ對スル供給 何々會社		計	合計	備考
供給電力量（キロワット時）	午前	0.30							
		1.0							
		1.30							
		2.0							
		2.30							
		3.0							
		3.30							
		4.0							
		4.30							
		5.0							
		5.30							
		6.0							
		6.30							
		7.0							
		7.30							
		8.0							
		8.30							
		9.0							
		9.30							
		10.0							
		10.30							
		11.0							
		11.30							
		12.0							
	午後	0.30							
		1.0							
		1.30							
		2.0							
		2.30							
		3.0							
		3.30							
		4.0							
		4.30							
		5.0							
		5.30							
		6.0							
		6.30							
		7.0							
		7.30							
		8.0							
		8.30							
		9.0							
		9.30							
		10.0							
		10.30							
		11.0							
		11.30							
		12.0							
	合計								
平均電力（キロワット）									
最大電力（キロワット）									
負荷率（%）									

注意

1　本表ヘ總出力（最大出力）一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ限リ毎月調製シ其ノ月中何分ノ負荷實績旬報ト共ニ之ヲ提出スルコト但シ第3表（第三水曜日發電及受電實績表）ヲ以テ本表ヲ兼用シ得ル場合ニハ本表ノ調製ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニハ第3表ノ備考欄ニ其ノ旨ヲ附記スルコト

2　本表ヘ方面別及其合計ニ就キ記載スルコト

3　電氣事業者ニ對スル供給ハ各受電者別ニ記載スルコト

4　以上ノ外第1表注意2.4.ニ依ルコト

5　本表ニハ電燈電力、電氣鐵道及總合成ニ對スル負荷曲線圖（階段式ニ依リ調製スルコト）ヲ添附スルコト

第6表　　水力發電力調書

事業者名　　年自　月分　至　月分

水系名及河川名		合計
發電所名		

R011

第7表

火力発電所燃料受払状況

事業者名　　年　月末現在

区分	原重油	灯油	軽油	揮発油	石炭	合計
受入数量						
消費数量						
在庫数量						

水銀回収状況（グラム）

区分	数量
受入	
消費	
在庫	

発電実績

区分	発電力量（kWh）	所内消費力量（kWh）	所内率（%）	燃料消費量	発熱量	備考
1月						
2月						
3月						
合計						

区分	発電力量（kWh）	揚水動力量（kWh）	揚水効率（%）	揚水量（m³）	揚程（m）	備考
1月						
2月						
3月						
合計						

| 区分 | 発電力量（kWh） | 発電電力量（kWh） | 所内率（%） | 発電水量（m³） | 有効落差

注意

1　本表ハ總出力(最大出力)一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ限リ毎月第三水曜日ニ於ケル調査ニ依リ之ヲ提出スルコト但シ第三水曜日ガ祝祭日等ニ該當シ負荷ノ著シク增減スル場合ニハ第三水曜日ノ外第三水曜日ニ於ケル調査ニ依リ之ヲ提出スルコト

2　發電所、變電所、受電地點及供給地點ノ表示ハ下記ニ依ルコト

發電所　□　　變電所　○

受電地點　×　　供給地點　▽

3　發電所ノ狀態內ニハ原動力種別(水力、汽力、內燃力ノ別)及最大ノ出力キロワット數ヲ記載スルコト

4　變電所ノ狀態內ニハ變電所出力(供給用ノモノニ在リテハキロヴォルトアムペア數、從屬用ノモノニ在リテハキロワット數)ヲ記載スルコト

5　電力ノ流レノ方向ハ矢印ニテ表示シ且電源ノ系統ヲ異ニスルモノニ在リテハ色別又ハ矢印ヲ異ニシテ之ヲ明確ナラシムルコト

6　發電電力、發電電力及供給電力ハ合成最大電力ノ最大ナル時刻ノ電力ヲ記載スルコト

7　發電線路ハ其ノ回數絡ト同數ノ線ニテ表示(例ヘバ二回線ナラバ二ホノ線)シ各回線獨立ニテ發電セル場合ニハ回線毎ニ發電電力ヲ記載スルコト

8　供給區域內ニ之ガ變更ヲ豫定セル場合ハ其ノ他ニ記載シ其ノ他ニ準ズルコトヲ得

第9表

豫定計畫表

注意

1　本表ハ翌年十二月末日ニ於ケル向フ六年間ノ電力需用ノ豫想及設備(落成又ハ廢止スベキモノ)ノ豫定ニ就キ調製シ翌年二月末日迄ニ之ヲ提出スルコト

2　水表中ニ(水力發電所)乃至6(變電設備)ニハ落成又ハ廢止スベキ年月ノ近キモノヨリ順次記載スルコト

1　電力需用豫想調査

事業者名

種別		年	年	年	年	年	年
何々	需用電力(キロワット)						
方面	前年ニ對スル增加電力(キロワット)						
同上ノ增加割合(%)							

注意

1　本表ハ豫定計畫ノ期間ニ於ケル各年十二月ノ最大需用電力ノ豫想ニ就キ記載スルコト但シ十二月以外ニ於ケル需用電力ガ十二月ノ最大需用電力ヲヨリ大ナルモノアルトキハ其ノ月及其ノ電力ヲモ記載スルコト

2　本需用豫想ハ總出力(最大出力)一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ在リテハ第4表(負荷狀態ノ報)ニ記載セル各方面別ニ、一千キロワット以上ノ電氣事業者ニ在リテハ全供給區域(電氣線路事業者ニ在リテハ電氣線路ノ全區間)ニ就キ記載スルコト但シ一方面若ハ全供給區域(又ハ電氣線路ノ全區間)ヲ更ニ區分スル必要アル場合ニハ其ノ區分セル方面別(又ハ電氣線路ノ區間別)ニ記載スルコト

3　本表ニハ下記說明書ヲ添附スルコト

イ　各年ニ於ケル需用電力ノ內譯

方面別(總出力一千キロワット未滿ノ電氣事業者ニ在リテハ全供給區域、電氣線路事業者ニ在リテハ電氣線路全區間)下記用途別ニ就キ記載スルコト

一般電燈電力供給用(一千キロワット以上ノ新規又ハ增加ノ大口需用電力アル場合ニハ各口毎ニ說明スルコト)

電氣鐵道事業用

ロ　需用豫想ニ關スル計算ノ根據及方法

需用ヲ豫想スルニ當リ過去ノ需用實績ヲ用ヒタル場合ニハ其ノ實績(發電所又ハ變電所ニ於ケル最大電力、平均最大電力及平均電力ノ各合計、合成最大電力等)ヲ記載シ且其ノ使用方法ヲ說明スルコト

ハ　各方面ニ於ケル需用ノ豫想ニ當リ特ニ考慮セラレタル事項

2　水力發電所

事業者名

發電所名稱	發電所位置	發電方式	水系及河川名	取水口位置	取水口	貯水池又ハ調整池ノ有效容量(立方米)	使用水量(立方米)最大	使用水量(立方米)常時	有效落差(米)	最大理論キロワット數	發電所出力(キロワット)最大	常時尖頭	常時	特殊	周波數	工事費概算(圓)水力工事費	電氣工事費	工事著手年月	工事成落年月豫定	官廳ニ手續スル造歩ノ模樣

注意

1　貯水池又ハ調整池ヲ有スル發電所ニ在リテハ豐水期及渴水期ニ於ケル豫想負荷曲線圖ヲ添附スルコト

2　目下工事中ノ發電所ニ在リテハ工事著手年月ノ欄ニ工事進歩ノ程度ヲ附記スルコト

3　官廳ニ對スル手續進歩ノ模樣ノ欄ニハ下記各號ノ別ニ從ヒ記載スルコト

イ　水利使用許可出願計畫中

ロ　水利使用許可出願中(發電所新設許可申請中ノモノ及未申請ノモノヲ含ム)

ハ　水利使用許可

A　發電所新設許可未申請　　B　發電所新設許可申請中

ニ　發電所新設許可

A　工事施行認可未申請　　B　工事施行認可申請中　　C　工事施行既認可

4　既許可又ハ既認可ノ未落成發電所ニシテ變更計畫アルモノハ新計畫ニ依ルモノヲ記載シ且其ノ旨ヲ官廳ニ對スル手續進歩ノ模樣欄ニ附記スルコト

5　既設發電所ニ在リテハ出力、周波數、貯水池又ハ調整池ノ施設ニ就キ變更セントスル場合及發電所ヲ廢止セントスル場合ニ限リ記載シ官廳ニ對スル手續進歩ノ模樣ノ欄ニハ第三號ニ準ジ記載スルコト尙水利使用變更許可ヲ要スルモノニ在リテハ既許可、未許可ノ別ヲ明ナラシムルコト

前項ノ場合ニ於テ出力ヲ變更セントスル場合ニハ變更前ノ出力ヲモ併記スルコト

3　火力發電所

事業者名

發電所名稱	發電所位置	原動力(汽力、內燃力ノ別)	使用燃料種類	發電所出力(キロワット)常時	補給	豫備	原動機單位容量(キロワット)	箇數	周波數	工事費概算(圓)	工事著手年月	工事落成年月豫定	官廳ニ手續スル造歩ノ模樣

注意

1　官廳ニ對スル手續進歩ノ模樣ノ欄ニハ下記各號ノ別ニ從ヒ記載スルコト

イ　新設許可申請計畫中

ロ　新設許可申請中

ハ　新設既許可

A　工事施行認可未申請　　B　工事施行認可申請中　　C　工事施行既認可

2　第一期、第二期等ニ分割シテ工事ヲ行ハントスルモノニ在リテハ各期毎ニ記載シ且最終ノ出力ニ關シテモ說明スルコト

3　本表ニハ下記準項ニ關スル說明書ヲ添附スルコト但シ五年以後ニ落成スベキ豫定アルモノニ就キテハ「ロ」及「ハ」ヲ省略スルコトヲ得

イ　出力決定ノ根據　　ロ　每年ノ發電所豫想負荷狀況　　ハ　發電原價及其ノ計算ノ根據

4　既設發電所ニ在リテハ出力ヲ變更セントスル場合及發電所ヲ廢止セントスル場合ニ限リ記載スルコト

5　以上ノ外ニ(水力發電所)ノ注意2.4.5ニ準ズルコト

4　受電設備

事業者名

受電地點ノ名稱	受電地點ノ位置	供給者名	受電地點出力(キロワット)最大	常時尖頭	常時	特殊	補給	豫備	融通	受電時間	周波數	電壓(ヴォルト)受電	開始豫定年月	官廳ニ手續スル造歩ノ模樣

注意

1　特殊出力及補給出力ノ受電ニ就キテハ受電期間及其ノ使用目的ヲ記載スルコト

2　備給契約書アルモノハ其ノ寫ヲ添附スルコト

3　既設受電設備ニ在リテハ受電地點ノ出力ヲ變更セントスル場合及受電設備ヲ廢止セントスル場合ニ限リ記載スルコト

以上ノ外2(水力發電所)ノ注意4.5及3(水力發電所)ノ注意1ニ準ズルコト

5　送電線路

事業者名

送電線路名称	区間	亘長（粁）	回線数	最大電圧（ヴォルト）	送電容量（キロワット）	工事費概算（円）	工事着手年月	工事落成予定年月	官庁ニ対スル手続並ニ歩調ノ概様

注意

1　送電容量ニ関シテハ計算書ヲ提出シ得ルモノハ之ヲ添附シ其ノ他ノモノニ在リテハ将来ニ於ケル予定送電電力ヲ記載スルコト但将来送電電圧ヲ高メントスル計画アルモノニ在リテハ電圧変更後ノ送電容量ニ就キテモ記載スルコト

2　既設送電線路ニ在リテハ区間、回線数、電圧又ハ送電容量ヲ変更セントスル場合及送電線路ヲ廃止セントスル場合ニ限リ記載スルコト

3　以上ノ外2(水力発電所)ノ注意2.4.5及3(火力発電所)ノ注意1ニ準ズルコト

6　変電設備

事業者名

名称（変電所又ハ開閉所ノ名称）	位置	容量（キロヴォルトアムペア）	電圧（ヴォルト）一次	電圧（ヴォルト）二次		工事費概算（円）	工事着手年月	工事落成予定年月	官庁ニ対スル手続並ニ歩調ノ概様

注意

1　既設変電設備ニ在リテハ容量及電圧ヲ著シク変更セントスル場合及変電設備ヲ廃止セントスル場合ニ限リ記載スルコト

2　以上ノ外2(水力発電所)ノ注意2.4.5及3(火力発電所)ノ注意1.2ニ準ズルコト

7　平面図

事業者名

注意

1　本表ハ朝鮮総督府縮尺二十万分ノ一地図ニ本項定計画書ニ記載セル発電所、変電所、受電地点及電気事業者ニ対スル供給地点ノ位置並ニ送電線路ノ中心線ヲ下記ニ依リ表示シ且既設設備トソ接続関係ヲ明ナラシムルコト

発電所 □　変電所 ○　受電地点 ×

供給地点 ◁　送電線路（三万五千ヴォルト超過スルモノ）——　送電線路（三万五千ヴォルト以下ノモノ）——

2　前号ノ場合ニ於テ未許可ノモノハ黄色、既許可未認可及既許可既認可ノモノハ赤色、既設ノモノハ白色又ハ黒色ニ区別スルコト

8　送電系統図

事業者名

注意

本表ハ朝鮮電気事業令施行規則第八号様式(送電系統図)及7(平面図)ニ準ジ調製スルコト

9　電力潮流豫想図

事業者名

注意

1　本表ハ総出力(最大出力)一千キロワット以上ノ電気事業者ニ限リ之ヲ調製スルコト

2　本表ハ豫定計画ノ期間ニ於ケル各年ノ豊水期及渇水期ニ於テ三万ヴォルト以上ノ送電線路及之ニ接続スル発電所、変電所及受電地点ニ於ケル電力潮流状況ニ就キ第8表(電力潮流実績図)ニ準ジ調製スルコト

●朝鮮自家用電気工作物施設規則ニ依ル電気工作物施設状況報告書様式及其ノ調製方法

朝鮮自家用電気工作物施設規則第四十条ノ規定ニ依ル電気工作物施設状況報告書様式及其ノ調製方法別記ノ通定ム

昭和参拾五年百二年十九号

別記

電気工作物施設状況報告書調製方法

一　本報告書ノ記載ハ総テシアラビヤ数字ヲ使用スルコト

二　本報告書ニ記載スベキ計数中キロワット、キロワット時、円、厘ヲ単位トスルモノハ共ノ単位ノ小数一位迄ヲ記載シ各其ノ単位ニ満タザルモノハ四捨五入スルコト但シ其ノ小数一位迄ヲ記載スル場合ニ於テ端数ヲ生ジタルトキハ其ノ位ニ応ジ記載スルコト

三　本報告書ノ記載ハ頭ニシテ前年度ニ比シ著シキ増減アリタル場合ニハ該当年度ニ共ノ旨ヲ附記スルコト

四　本報告書ハ別記様式ニ依リ之ヲ調製シ「——」印ヲ記載スル欄ハ該当事項ナキ場合ニハ其ノ旨ヲ記載スルコト

発電及受電状況

自　年　月　日
至　年　月　日

自家用電気工作物施設者名　　所在地名

種別	発電 何発電所（カ） 出力（キロワット）	発電 何発電所（カ） 最大 特殊	発電 何発電所（カ） 常時尖頭 補給	発電 何発電所（カ） 常時 予備	発電 合計	受電 何会社 出力（キロワット）	受電 何会社 常時 補給	受電 何会社 特殊 予備	受電 合計	総計
1月										
2月										
3月										
4月										
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
本年中										

種別	発電日数	発電時間数	発電電力量（キロワット時）	最大発電力（キロワット）	平均最大発電電力（キロワット）	最大五日ノ平均発電力（キロワット）	平均発電力（キロワット）	負荷率平均（%）	発電電力量（キロワット時）	最大発電力（キロワット）	平均最大発電電力（キロワット）	最大五日ノ平均発電力（キロワット）	平均発電力（キロワット）	負荷率平均（%）	受電日数	受電時間数	受電電力量（キロワット時）	平均受電力（キロワット）	受電電力量（キロワット時）	平均受電力（キロワット）	受電電力量（キロワット時）	平均受電力（キロワット）
1月																						
2月																						
3月																						
4月																						
5月																						
6月																						
7月																						
8月																						
9月																						
10月																						
11月																						
12月																						
本年中																						

種別	燃料ノ種類	標準発熱量（キロカロリー/瓩）	消費量（瓲）	価額（圓）	平均価額（圓/瓲）	一キロワット時常平均 燃料消費量（瓲）	一キロワット時常平均 燃料ノ費（銭）
何発電所	何々						
	計						
何発電所	何々						
	計						

注意

1　本表ハ毎年一月ヨリ十二月ニ至ル一箇年分ニ就キ調製スルコト

2　各発電所ニハ原動力ノ種別(水力、汽力、内燃力ノ別)ヲ附記スルコト

3　最大発電電力トハ積算電力計ニ依リ一時間毎ニ計量セル電力量ノ中其ノ月(又ハ其ノ年)中ノ最大ナルモノヲ謂フ

4　平均最大発電電力トハ其ノ月(又ハ其ノ年)ニ於ケル毎日ノ最大発電電力ノ合計ヲ其ノ月(又ハ其ノ年)ノ総日数ニテ除シタルモノヲ謂フ

5　最大五日ノ平均発電電力トハ其ノ月ニ於ケル毎日ノ最大発電電力ノ中最大ナルモノヨリ順次五日分ヲ採リ之ヲ平均セルモノヲ謂フ

6　平均發(受)電電力トハ其ノ月(又ハ其ノ年)ノ總發(受)電電力最ヲ其ノ月(又ハ其ノ年)ノ總時間數(總暦日數ニ二十四ヲ乘ジタルモノ)ニテ除シタルモノヲ謂フ

7　負荷率平均トハ毎日ノ平均發電電力ヲ其ノ日ノ最大發電電力ニテ除シタルモノヲ其ノ月(又ハ其ノ年)ヲ通ジテ平均シタルモノヲ謂フ

8　發電合計ノ最大發電電力ノ欄ニハ其ノ月(又ハ其ノ年)ニ於ケル毎日ノ合成最大發電電力ノ中最大ナルモノヲ、平均最大發電電力ノ欄ニハ其ノ月(又ハ其ノ年)ニ於ケル毎日ノ合成最大發電電力ノ平均ヲ、最大五日ノ平均發電電力ノ欄ニハ毎日ノ合成最大發電電力ノ中最大ナルモノヨリ順次五日分ヲ採リ之ヲ平均セルモノヲ記載スルコト
合成最大發電電力トハ各發電所ノ同時刻ニ於ケル發電電力ノ和ノ中其ノ月(又ハ其ノ年)ニ於ケル最大ナルモノヲ謂フ

9　積算電力計ヲ有セザル場合ニハ指示電力計ニ依リ、指示電力計ヲモ有セザル場合ニハ電壓計及電流計ニ依リ下記ノ方法ヲ以テ發(受)電電力及最大發電電力ヲ算出シ其ノ旨ヲ附記スルコト

イ　指示電力計ニ依ル場合ニハ指示電力計ヲ一時間毎ニ讀ミ算出スルコト

ロ　電壓計及電流計ニ依ル場合ニハ電壓計及電流計ヲ一時間毎ニ讀ミ負荷ノ種別ニ依リ力率ヲ適當ニ考慮シテ算定シ其ノ力率ヲ附記スルコト

10　發電用燃料ハ一箇年分ヲ取纏メ記載スルコト

11　燃料ノ種類ハ粉炭、切込炭、塊炭、無煙炭、瓦斯「コークス」、木炭、重油等ニ區別シテ記載シ石炭及重油ニ在リテハ其ノ產地名ヲ附記スルコト

第2表

電力使用狀況

自家用電氣工作物施設者名

電力ノ主タル用途

自　年　月　日
至　年　月　日

使用電力量(單位キロワット)	種別	電燈電力	電車	他人ニ對スル供給 何々	他人ニ對スル供給 何々	他人ニ對スル供給 計	合計
	1月						
	2月						
	3月						
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	計						

年　月　日現在

電力使用設備	種別		取附箇數	取附キロワット數
	電燈			
	電力	電動機		
		電熱		
		其ノ他		
	電車		軌道瓦哩(粁)	車輛數 / 車輛取付電動機キロワット數

注意

1　本表ハ毎年一月ヨリ十二月ニ至ル一箇年分ニ就キ調製スルコト但シ電力使用設備ニ在リテハ十二月末日現在ノモノニ就キ記載スルコト

2　電力ノ主タル用途ニハ紡績業、製絲業、原動機製造業、製藥業、製材業、印刷業、採炭業等其ノ主タル用途ヲ記載スルコト

●朝鮮電氣工作物規程ニ依ル逓信局ノ管理ニ屬スル通信事業用工作物ノ承諾及立會請求ニ關スル件

昭和八年十月二十五日　鐵道局達第三百八十八號

朝鮮電氣工作物規程第四十一條第一項ノ規定ニ依リ逓信局ノ管理ニ屬スル通信事業用工作物ノ承諾及立會請求ニ關スル件ヲ別紙ノ通定メ昭和八年十月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

●朝鮮電氣事業令等ノ規定ニ依ル檢查吏員ノ携帶證票

昭和八年十月二十五日　總督府令第百三十六號

朝鮮電氣事業令施行規則第四十五條第一項、朝鮮電氣事業令第二十六條第一項、朝鮮電氣工作物規程第四十九條第一項ノ規定ニ依リ檢查吏員ノ携帶スル證票ノ樣式ヲ定メ昭和八年十月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

別紙樣式

表面

第　號	
電氣事業檢查吏員之證	
官職氏名	
年	二線縮注
月	六九センチメートル
日	交通局印印刷

裏面

朝鮮電氣事業令第二十六條第一項ノ檢查吏員ノ携帶スル證票ハ左ノ通ニ定ム

昭和八年十月二十五日　交通局

朝鮮電氣工作物規程第二條ノ規定ニ依ル檢查ノ方法

第一條　朝鮮電氣工作物規程第二條ノ規定ニ依ル檢查ハ本令ノ定ムル所ニ依リ電氣工作物ノ施設ニ關シ其ノ工事ノ方法ヲ檢查シ且ツ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查シ又ハ檢查ノ爲必要ナル試驗ヲ爲スモノトス

第二條　檢查ハ左ノ各號ニ掲グル場合ニ於テ之ヲ行フ

一　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合

二　電氣工作物ノ施設ヲ廢止シ又ハ休止シタル電氣工作物ヲ使用スル場合

三　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ工事ノ方法ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

四　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

五　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

六　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

七　場合ニ依リ檢查ヲ爲スヘキ旨ヲ指定シタル場合ニ於テ其ノ指定シタル時期ニ至リ檢查ヲ爲ス必要アリト認メラルル場合

第三條　檢查ハ左ノ各號ニ掲グル場合ニ於テ之ヲ行フ

一　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

二　電氣工作物ノ施設ヲ廢止シ又ハ休止シタル電氣工作物ヲ使用スル場合

三　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

四　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

五　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

六　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

第四條　檢查ハ左ノ各號ニ掲グル場合ニ於テ之ヲ行フ

一　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

二　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

三　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

四　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

五　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

六　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

七　場合ニ依リ檢查ヲ爲スヘキ旨ヲ指定シタル場合ニ於テ其ノ指定シタル時期ニ至リ檢查ヲ爲ス必要アリト認メラルル場合

第五條　檢查ハ左ノ各號ニ掲グル場合ニ於テ之ヲ行フ

一　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

二　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

三　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

四　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

五　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

六　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

七　場合ニ依リ檢查ヲ爲スヘキ旨ヲ指定シタル場合ニ於テ其ノ指定シタル時期ニ至リ檢查ヲ爲ス必要アリト認メラルル場合

第六條　檢查ハ左ノ各號ニ掲グル場合ニ於テ之ヲ行フ

一　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

二　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

三　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

四　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

五　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

六　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

七　場合ニ依リ檢查ヲ爲スヘキ旨ヲ指定シタル場合ニ於テ其ノ指定シタル時期ニ至リ檢查ヲ爲ス必要アリト認メラルル場合

第七條　檢查ハ左ノ各號ニ掲グル場合ニ於テ之ヲ行フ

一　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

二　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

三　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

四　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

五　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

六　電氣工作物ノ施設ヲ開始シ又ハ變更シタル場合ニ於テ其ノ施設ノ狀況ヲ檢查スル爲必要アリト認メラルル場合

七　場合ニ依リ檢查ヲ爲スヘキ旨ヲ指定シタル場合ニ於テ其ノ指定シタル時期ニ至リ檢查ヲ爲ス必要アリト認メラルル場合

（第二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第四十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第五十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第六十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第七十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第八十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第九十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百二十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百三十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百四十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百五十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百六十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百七十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百八十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第百九十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百二十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百三十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百四十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百五十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百六十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百七十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百八十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第二百九十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百二十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百三十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十七號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十八號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百四十九號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百五十號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百五十一號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百五十二號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百五十三號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百五十四號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百五十五號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　日　住所　氏名　㊞

（第三百五十六號樣式）

朝鮮電氣事業令施行規則

年　月　

事業者ニ對シ料金ノ制限其ノ他瓦斯供給ノ條件ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

第十三條　瓦斯事業者ハ需用者ニ對シ正當ノ理由ナクシテ瓦斯ノ供給ヲ拒絕スルコトヲ得ス

第十四條　瓦斯事業者ハ毎事業決算期ニ於テ瓦斯事業報告書ヲ副製シ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ但シ決算期ノ定メナキモノハ一年毎ニ屆出ツヘシ

第十五條　瓦斯事業者ニ因リ損害其ノ他故障ヲ生シタルトキハ其ノ日時、場所、原因其ノ他必要ナル事項ヲ具シ直ニ地方長官ニ屆出ツヘシ瓦斯ノ供給ヲ復舊シタルトキ亦同シ

第十六條　朝鮮總督ハ當該官吏ヲシテ瓦斯工作物又ハ事業經營ノ實況ヲ監査セシムルコトアルヘシ

第十七條　朝鮮總督ハ公益上必要ト認ムルトキハ瓦斯事業者ヲシテ其ノ設備ヲ以テ瓦斯工作物又ハ瓦斯ノ成分、壓力、光力若ハ熱力ニ關シ必要ナル試驗ヲ行ハシムルコトアルヘシ

第十八條　朝鮮總督ハ公益上必要ト認ムルトキハ瓦斯事業者ニ對シ瓦斯工作物ノ改修、撤去若ハ使用ノ停止ヲ命シ又ハ瓦斯ノ成分、壓力、光力若ハ熱力ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトアルヘシ

第十九條　地方長官ハ公益上必要ト認ムルトキハ瓦斯事業ノ實況ヲ監査シ且危險豫道ノ爲メ必要ナル措置ヲ命スルコトアルヘシ

第二十條　瓦斯事業者瓦斯事業ヲ讓渡サムトスルトキハ當事者連署ノ上朝鮮總督ニ許可ヲ申請スヘシ

前項ノ讓渡ヲ爲シタルトキハ當事者ヨリ直ニ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ瓦斯事業ヲ相續シタルトキ亦同シ

第二十一條　瓦斯事業ヲ讓受又ハ相續シタル者ハ讓渡人又ハ被相續人カ本令ニ依リテ有スル權利義務ヲ承繼ス

第二十二條　瓦斯事業ヲ經營スル會社ノ合併ニ付テハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第二十三條　瓦斯事業者ハ朝鮮總督ノ許可ヲ受クルニ非サレハ事業ヲ廢止スルコトヲ得ス

第二十四條　瓦斯事業者ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ事業ノ全部又ハ一部ノ休止ヲ爲スコトヲ得ス

第二十五條　瓦斯事業者ハ學識經驗アル技術者ヲ選任シ技術ニ關スル事項ヲ擔任セシムヘシ

第二十六條　瓦斯事業者主任技術者ヲ選任又ハ改任シタルトキハ直ニ履歷書ヲ添ヘ朝鮮總督府遞信局長ニ屆出ツヘシ

朝鮮總督府遞信局長ハ不適任ト認ムルトキニ因リ主任技術者ノ改任ヲ命スルコトアルヘシ

第二十七條　左ノ場合ニハ瓦斯事業ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

一　指定ノ期間內ニ第四條ノ認可ノ申請ヲ爲ササルトキ

二　指定ノ期間內ニ第四條ノ認可ヲ受ケタルニ工事ニ著手セサルトキ

第二十八條　左ノ場合ニハ朝鮮總督ハ瓦斯事業ノ許可ノ全部又ハ一部ヲ取消スコトアルヘシ

一　不實ノ申告ヲ爲シテ許可又ハ認可ヲ受ケタルトキ

二　六月以上瓦斯ノ供給ヲ休止シタルトキ

三　竣工期限內ニ第四條又ハ第五條ノ認可ヲ受ケタル工事竣工セサルトキ

第二十九條　前條ノ外瓦斯事業者本令又ハ本令ニ依リテ發スル命令ニ違反シ其ノ他公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ朝鮮總督ハ瓦斯事業ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ

第三十條　本令ニ依ル許可、認可又ハ屆出ニ關スル書類及圖面中技術ニ關スルモノハ主任技術者之ニ署名捺印スヘシ主任技術者ノ選任前ニ在リテハ擔當技術者之ニ署名捺印スヘシ

第三十一條　朝鮮總督、朝鮮總督府遞信局長又ハ地方長官ハ許可若ハ認可ニ條件ヲ附シ又ハ必要ト認ムル書類若ハ圖面ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第三十二條　本令ニ依リ朝鮮總督又ハ朝鮮總督府遞信局長ニ書類又ハ圖面ヲ提出スヘキ場合ハ同時ニ其ノ副本ヲ地方長官ニ提出スヘシ

第三十三條　地方長官ハ許可、認可若ハ命令シタル事項又ハ瓦斯事業者ヨリ屆出タル事項ヲ其ノ都度朝鮮總督府遞信局長ニ報告スヘシ

第三十四條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

一　本令ニ依リ許可若ハ認可ヲ受ケテ爲スヘキ事項ヲ許可若ハ認可ヲ受ケスシテ爲シ又ハ許可若ハ認可ノ條件ニ違反シタルトキ

二　不實ノ申告ヲ爲シテ許可又ハ認可ヲ受ケタルトキ

三　本令ノ規定ニ依ル監督官廳ノ命令ニ違反シタルトキ

四　第十三條ニ違反シタルトキ

第三十五條　左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一　本令ノ規定ニ依ル監査ヲ拒ミ又ハ之ヲ妨ケタルトキ

二　本令ノ規定ニ依ル屆出ヲ怠リ又ハ不實ノ屆出ヲ爲シタルトキ

附　則

本令ハ大正九年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ瓦斯事業ヲ經營スル者ハ本令ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做シ其ノ現ニ使用スル瓦斯工作物ハ本令ニ依リ使用ヲ認可セラレタルモノト看做ス

前項ノ瓦斯事業者ハ本令施行ノ日ヨリ三月內ニ第二條第一項第一號乃至第五號及第四條第一項第一號乃至第十號ノ事項ヲ朝鮮總督ニ屆出ツヘシ

年別索引

年別索引

明治三年
太政官
布 一 忌服ノ節除服出仕當下ヲ止メ忌服
　　屆出及忌濟日出仕方……(三)　二六六
明治五年
太政官
布一七六 一 僧尼服忌ノ例……(三)　二六六
明治六年
太政官
布 二 一 休暇日……(三)　二六〇
布 五二 各省奏任官除服出仕違シ方……(三)　二六六
布三四七 遠地出張在勤官吏忌服中出仕方……(三)　二六六
達三一八 官員父母祭日休暇……(三)　二六〇
明治七年
太政官
布一〇八 一 服忌令京家ノ制及流儒混穢廢止……(三)　二六六
明治八年
太政官
達 一〇 一 地方官員除服出仕方……(三)　二六六
達一一四 一 各廳屬等日給ノ者休暇日ニモ給額
　　支給……(三)　一四四
達一五二 一 不用品拂下ノトキ其ノ官廳所屬官
　　吏ノ入札禁止……(三)　二九七
明治九年
太政官
達 二七 一 日曜日休暇……(三)　二六〇
明治十年
太政官
達 九七 一 大勳位菊花大綬章菊花章ノ圖式……(三)　二四四
明治十三年
太政官
布 三六 一 舊刑法……(三)　二六六
明治十四年
太政官
布 六三 一 褒章條例……(三)　二六六
明治十五年
太政官
布 三六 一 戒嚴令……(三)　六
布 四三 一 徵發令……(三)　二六六
達 二六 一 徵發事務條例……(三)　三三
明治十七年
太政官
布 三二 一 爆發物取締罰則……(三)　三四四
明治十八年
太政官
布 三五 一 外國勳章佩用願規則……(三)　二
明治十九年
勅令
勅 四四 一 陸軍軍人軍屬逃警罰處分例……(三)　四六六
勅 五一 一 本初子午線經度計算方及標準時ノ
　　法……(三)　二九
勅 一 日米兩國犯罪人引渡條約……(三)　三
內閣
令 二三 一 官吏傳染病豫防救治ノ公務上感染
　　死亡ノ手當金給與方……(三)　一四四
勅 一六 一 黃綬褒章臨時制定……(三)　一四四
勅 三九 一 官吏服務紀律……(三)　二六八
勅 四三 一 逃亡犯罪人引渡條例……(三)　三四七
明治二十一年
勅令
勅 一 一 各種勳章等級褒式及大勳位菊花章
　　頸飾製式……(三)　二
勅 七六 一 勳章佩用式……(三)　一〇
內閣
令 二一 一 各種勳章及大勳位菊花章頸飾圖樣……(三)　三
明治二十二年
大日本帝國憲法……(一)　一
皇室典範……(一)　三
法律
法 二五 一 海軍軍人軍屬逃警罰處分例……(三)　四六六
法 三四 一 決鬪罪ニ關スル件……(三)　三三五
勅令
勅 三八 一 勳章還納ノ件……(三)　一一
勅 八四 一 物品税計規則……(三)　二八二
內閣 附賞勳局
令 九 一 勳章還納手續……(三)　一一
令 一二 一 歲入歲出豫算組定順序……(三)　三六九
令 一九 一 豫定經費算出概則……(三)　三六九
閣 官吏職務外ニ公衆ニ對シ演說又ハ
　　筵述スルヲ得……(三)　二九七
勅 一 勳章記章佩用心得……(三)　一〇
勅 二 略章略綬佩用心得……(三)　一〇
大藏省
令 一 一 年額又ハ月額ノ手當金支給方……(三)　二四四
閣 二一 一 歲入概算書樣式……(三)　三六九

明治二十三年

勅語
教育勅語……（六）　一

法律
保管金規則……（三）　一
軍港要港ニ關スル件……（三）　一
裁判所構成法……（一四）　一
民事訴訟法……（一四）　二
水路測量標條例……（一七）　二
執達吏規則……（一八）　二
電信線電話線建設條例……（一九）　二
民事訴訟費用法……（二五）　二
民事訴訟用印紙法……（二五）　二
商事非訟事件印紙法……（二五）　二
軍港要港規則違犯者處分ノ件……（三）　四
命令ノ條項違犯ニ關スル罰則ノ件……（三）　七
訴願法……（三）　二
商法ニ關スル法律施行期限……（三）　二

勅令
金鵄勳章ノ等級製式及佩用式……（五）　二
稅關監吏賞牌規則……（三）　二
判事檢事及裁判所書記制服……（四）　二

明治二十四年

勅令
土木工事起業者保證金ノ件……（一二）　三
宿直又ハ徹夜勤務者食料及特別文具ニ關スル件……（三）　六

大藏省
歲入調定濟額ニシテ翌年六月末日マテニ收入整理ヲ了セサルモノ取扱方……（一二）　三

明治二十五年

法律
五一　海上衝突豫防法……（八）　七

明治二十六年

勅令
八〇　官吏療治料給與ノ件……（九）　二

大藏省
令一　文官俸給支給細則……（一）　一
二五　收入金繰越手續……（一）　一
三〇　出納官吏檢查規程……（一）　一
三五　檢查員休日又ハ退職後臨檢スルモ檢查ニ應スヘキノ件……（一）　一

明治二十七年

法律
一五一　出版法……（一〇）　一

勅令
備員俸給及備員其ノ他ニ給スル諸手當支給方……（三）　一
官吏ノ勤續ニ關スル件……（三）　一
政府ノ債務ニ對シ差押命令ヲ受ケル場合命令ニ上ノ規程……（一四）　一

司法省
四一　辯護士職服……（一）　一

明治二十八年

法律
一三　古物商取締法……（一〇）　一
一四　質屋取締法……（一〇）　一
二八　通貨及證券模造取締法……（一四）　一

勅令
七一　傳染病豫防救治ニ從事スル官吏准官吏及備員月手當支給ノ件……（三）　一
標準時ニ關スル件……（一〇）　一

明治二十九年

法律
六八　船舶職員法……（八）　六
六九　海員懲戒法……（八）　六
八九　民法（第一編第二編第三編）……（一四）　一

明治三十年

法律
一五　保稅倉庫法……（一一）　一
一六　貨幣法……（一一）　一
二一　國稅徵收法……（一一）　一

勅令
特別會計ノ第一豫備金支出ニ關スル件……（一二）　二

明治三十一年

法律
九　民法（第四編第五編）……（一五）　二
一〇　法例……（一五）　二
一一　民法施行法……（一五）　二
一三　人事訴訟手續法……（一五）　二
一四　非訟事件手續法……（一五）　二
一五　競賣法……（一五）　二

勅令
民法等施行期日……（一五）　二
憲兵令……（一五）　二

明治三十二年

法律
供託法……（一）　一
不動產登記法……（一）　一
著作權法……（一〇）　一
失火ノ責任ニ關シ民法適用……（一五）　一
船舶法……（一八）　二
商法……（一八）　二
商法施行法……（一八）　二
外國人ノ署名捺印及訴訟上無資力證明方……（一八）　二
印紙稅法……（一二）　二
閱稅法……（一二）　二
水先法……（一二）　二
明治三十二年法律第六十七號（外國人ノ抵當權ニ關スル法律）……（一五）　二
外國籍商船ノ建造修繕ニ關スル奬勵法……（一六）　二
遺失物法……（一〇）　二
埋稅法……（一二）　二
水雜救護法……（九）　二
要塞地帶法……（一五）　二

勅令
中學校令……（一六）　三
實業學校令……（一六）　三
高等女學校令……（一六）　三
文官分限令……（三）　三
文官懲戒令……（三）　三
關稅令施行期日……（三）　三
明治三十二年法律第五十號施行ノ件……（一五）　一

明治三十三年

法律
一三　軍人軍屬ノ遺言確認請求ニ關スル件……（一五）　一
一五　飲食物其ノ他ノ衛生上危險ノ物品取締ニ關スル件……（一〇）　一
一七　商法中署名スヘキ場合ニ關スル件……（一五）　一
三〇　傳染病豫防救治ニ從事スル者ノ手當金ニ關スル件……（九）　一
三一　汚物掃除法……（一二）　一
三三　未成年者喫煙禁止法……（一二）　一
五一　救育所ニ在ル孤兒ノ後見職務執行ニ關スル件……（一二）　一
五二　法人ニ於テ租稅ニ關シ事犯アリタルトキノ處罰ニ關スル件……（一二）　一
五四　郵便法……（一二）　一
五五　郵便爲替法……（一二）　一
五六　鐵道船舶郵便法……（一二）　一
五九　電信法……（一二）　一
六五　鐵道營業法……（一二）　一
六七　間接國稅犯則者處分法……（一二）　一
八六　外國ヨリ輸入スル鹹魚燻製魚粕ニ關スル件……（一二）　一
八七　外國ニ於テ鐵道ヲ敷設スル帝國社ニ關スル件……（一二）　一

勅令
陸海軍准士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合俸給支給方……（三）　一
准士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合諸給與及納金計算方……（三）　一
救恤又ハ技術奬勵寄附金ノ保管出納ノ件……（三）　一
小學校令……（四）　一

勅四〇二　幣察賞與規則……（四）　一
勅四五六　公立學校職員教育其他教育ニ從事スル文官相互間轉任ニ關スル件……（八）　二
勅四〇九　相續人缺ノ場合ニ於テ國庫ニ歸屬シタル財產ノ引渡ニ關スル件……（一五）　一

文部省

令　三四　公立私立學校認定ニ關スル規則……（六）　一

明治三十三年

法律
一三　軍人軍屬ノ遺言確認請求ニ關スル件……（一五）　一
一五　飲食物其ノ他ノ衛生上危險ノ物品取締ニ關スル件……（一〇）　一
一七　商法中署名スヘキ場合ニ關スル件……（一五）　一
三〇　傳染病豫防救治ニ從事スル者ノ手當金ニ關スル件……（九）　一
三一　汚物掃除法……（一二）　一
三三　未成年者喫煙禁止法……（一二）　一
五一　救育所ニ在ル孤兒ノ後見職務執行ニ關スル件……（一二）　一
五二　法人ニ於テ租稅ニ關シ事犯アリタルトキノ處罰ニ關スル件……（一二）　一
五四　郵便法……（一二）　一
五五　郵便爲替法……（一二）　一
五六　鐵道船舶郵便法……（一二）　一
五九　電信法……（一二）　一
六五　鐵道營業法……（一二）　一
六七　間接國稅犯則者處分法……（一二）　一
八六　外國ヨリ輸入スル鹹魚燻製魚粕ニ關スル件……（一二）　一
八七　外國ニ於テ鐵道ヲ敷設スル帝國社ニ關スル件……（一二）　一

勅令
陸海軍准士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合俸給支給方……（三）　一
准士官以下ノ受恩給者文官ニ任用ノ場合諸給與及納金計算方……（三）　一
救恤又ハ技術奬勵寄附金ノ保管出納ノ件……（三）　一
小學校令……（四）　一

内閣　附賞勳局

令　四　地方官官制……（三）　二
五　官印寸法……（六）　二
勳章記章褒章等受領者諸屆出手續……（三）　三

大藏省

訓　一二　繰越計算表……（三）　三

明治三十二年

法律
供託法……（一）　一
不動產登記法……（一）　一
著作權法……（一〇）　一
失火ノ責任ニ關シ民法適用……（一五）　一
船舶法……（一八）　二
商法……（一八）　二
商法施行法……（一八）　二
外國人ノ署名捺印及訴訟上無資力證明方……（一八）　二
印紙稅法……（一二）　二
閱稅法……（一二）　二
水先法……（一二）　二
明治三十二年法律第六十七號（外國人ノ抵當權ニ關スル法律）……（一五）　二
外國籍商船ノ建造修繕ニ關スル奬勵法……（一六）　二
遺失物法……（一〇）　二
埋稅法……（一二）　二
水雜救護法……（九）　二
要塞地帶法……（一五）　二

勅令
中學校令……（一六）　三
實業學校令……（一六）　三
高等女學校令……（一六）　三
文官分限令……（三）　三
文官懲戒令……（三）　三
關稅令施行期日……（三）　三
明治三十二年法律第五十號施行ノ件……（一五）　一

明治三十四年

法律
一五　不動產登記法……（一）　一
二四　著作權法……（一〇）　一
三九　失火ノ責任ニ關シ民法適用……（一五）　一
四〇　船舶法……（一八）　二
四六　商法……（一八）　二
四八　商法施行法……（一八）　二
四九　外國人ノ署名捺印及訴訟上無資力證明方……（一八）　二
五〇　印紙稅法……（一二）　二
五四　閱稅法……（一二）　二
六一　水先法……（一二）　二
六三　明治三十二年法律第六十七號（外國人ノ抵當權ニ關スル法律）……（一五）　二
六七　外國籍商船ノ建造修繕ニ關スル奬勵法……（一六）　二
六八　遺失物法……（一〇）　二
八七　埋稅法……（一二）　二
八八　水雜救護法……（九）　二
九五　要塞地帶法……（一五）　二
一〇五　……（一五）　二

勅令
二八　實業學校令……（一六）　三
二九　高等女學校令……（一六）　三
三一　文官分限令……（三）　三
六二　文官懲戒令……（三）　三
六三　關稅令施行期日……（三）　三
三一七　明治三十二年法律第五十號施行ノ件……（一五）　一

陸軍省

令　一四　要塞地帶法施行規則……（一五）　二

海軍省

令　七　軍港要港規則……（一三）　四
一六　要塞地帶法施行規則……（一三）　四

明治三十四年

法律
二八　稅關貨物取扱人法……（一二）　一

勅令
巡查看守退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者ヲ判任待遇以上ノ官職ニ任用ノトキ通報方ノ件……（三）　三
一四九　巡查看守療治料、給助料及弔祭料給與令……（九）　二

内務省

訓　一三　巡查看守退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者ヲ判任待遇以上ノ官職ニ任用ノトキ通報方ノ件……（三）　三

司法省

訓　六　巡查看守退隱料ヲ受クル者又ハ受クヘキ者ヲ判任待遇以上ノ官職ニ任用ノトキ通報方ノ件……（三）　三

文部省

令　一五　文部省直轄學校外國人特別入學規程……（一六）　二

明治三十五年

法律
四九　國勢調查ニ關スル件……（六）　一

法　五〇一　年賠計算ニ關スル件……（一四）　四六

勅令

勅　二七　官國幣社職制……（二）　一
勅　二八　官國幣社神宮神部署神職任用令……（二）　一

内閣

告　二一　大勲位菊花章頸飾略綬章ノ佩用方及圖式……（五）　二

明治三十六年

勅令

勅　六一　專門學校令……（一六）　一五
勅二八五　初敍官等ノ制限ヲ受ケサル高等文官他ノ高等文官ト爲ル場合ノ官等ニ關スル件……（二）　二

司法省

令　七一　監獄判任待遇職員懲戒規程……（三）　三

明治三十七年

法律

法　一七　記名ノ國債ヲ目的トスル質權ノ設定ニ關スル件……（一四）　四

勅令

勅　一二　鐵道軍事供用令……（三）　一
勅　一九　軍事郵便物ニ關スル件……（八）　一
勅　三三　戰時事變ノ際省官休職ニ關スル件……（三）　二

大藏省

閣　三一　收入官吏ハ歲入歲出外現金出納ノ職務ヲ兼掌スルノ件……（三）　四

陸軍省

勅二〇六　軍事郵便貯金ニ關スル件……（三）　一

明治三十八年

法律

法　二三　郵便貯金法……（七）　一
法　五二　擔保附社債信託法……（七）　一
法　五三　鐵道抵當法……（七）　一
法　五四　工場抵當法……（七）　一
法　五五　鐵業抵當法……（七）　一
法　六三　外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法……（一四）　七
法　六五　外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券僞造變造及模造ニ關スル件……（一五）　三
法　六六　外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券僞造變造及模造ニ關スル件……（一五）　三

勅令

勅　三一　服制ノ地質ニ關スル件……（一）　一
勅一六六　郵便貯金利子割合ノ件……（三）　一
勅一七九　政府ヨリ恩給ヲ受ケル者召集中手當支給ノ件……（三）　一

法律

法　五　官職ニ於テ印刷局製造品買入ニ關スル件……（二）　一
法　三四　租稅其ノ他ノ收入徵收處分嘱託ニ關スル件……（二）　一
法　四五　刑法……（一四）　一

勅令

勅一八四　朝鮮總督府及所屬官署ノ民事訴訟ニ關シ國ヲ代表スルノ件……（一）　一
勅二一二　行賞賜金ニ對シ特別郵便貯金及特別證券保管通帳交付ノ件……（三）　一
勅二九一　巡査給與令……（一）　一
勅二六一　加工爲輸入スル物品ニ關スル件……（一）　一
勅二六二　關東州ノ生產ニ係ル物品ノ輸入稅率ニ關スル件……（一）　一
勅三〇四　支那ノ生產ニ係ル物品ノ輸入稅率ニ關スル件……（一）　一

統監府

令　一〇　保安規則……（一）　一
令　三八　朝鮮總督府及所屬官署ニ於テ徵收スル手數料ノ收入印紙ヲ以テ納付スヘキ種目……（一）　一
　　電報料金後納規則……（一）　一
　　電信電話建築官吏及料金滯納者財產差押官吏證票……（一）　一
令　四〇　軌道ノ抵當ニ關スル件……（一）　一
告　六五　種痘法……（一）　一
　　印紙犯罪處斷法……（一）　一

勅令

勅　一二〇　刑法施行後施行ノ命令ニ揭ケタル刑法ノ刑名ニ關スル件……（三）　一
　　電信電話施設ニ關シ寄附ヲ受クル件……（三）　一
　　朝鮮總督府幾判所令……（三）　一
　　朝鮮總督府監獄官制……（三）　一
　　奏任及判任待遇朝鮮總督府監獄職員給與令……（三）　一

明治四十年（光武十年）

皇室令

皇　二　華族令……（三）　一
皇　一五　官內官分限令……（三）　一
皇　一六　官內官懲戒令……（三）　一

法律

法　五　官職ニ於テ印刷局製造品買入ニ關スル件……（二）　一
法　三四　租稅其ノ他ノ收入徵收處分嘱託ニ關スル件……（二）　一
法　四五　刑法……（一四）　一

勅令

勅　六　公式令……（一）　一
勅一七七　官吏待遇者ノ懲戒ニ關スル件……（三）　一
勅二四四　月俸七十五圓未滿ノ判任官待遇者ノ俸給ニ關スル件……（三）　一
　　鐵道株式會社ノ株券ヲ國債證券ニ代用ノ件……（三）　一

統監府

告　六一　水底電線路區域……（八）　一

舊韓國政府

法　一　新聞紙法……（一〇）　一
法　二　保安法……（一〇）　一
法　四　國有未墾地利用法……（一一）　一

明治四十一年（隆熙二年）

法律

法　一七　陸海軍召集應需繕特支辨ニ關スル法律……（一）　一
　　監獄法……（一四）　一
法　二八　刑法施行法……　一

舊韓國政府

法　二　移民保護法……（七）　一
農令四四　移民保護法施行細則……（七）　一

明治四十年（光武十一年）

皇室令

皇　一　皇室典範增補……（一）　一

法律

法　二三　郵便貯金法……（七）　一
法　五二　擔保附社債信託法……（七）　一
法　五三　鐵道抵當法……（七）　一
法　五四　工場抵當法……（七）　一
法　五五　鐵業抵當法……（七）　一
法　六三　外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法……（一四）　七
法　六五　外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券僞造變造及模造ニ關スル件……（一五）　三
法　六六　外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券僞造變造及模造ニ關スル件……（一五）　三

勅令

勅　三一　服制ノ地質ニ關スル件……（一）　一
勅一六六　郵便貯金利子割合ノ件……（三）　一
勅一七九　政府ヨリ恩給ヲ受ケル者召集中手當支給ノ件……（三）　一

法律

法　五　官職ニ於テ印刷局製造品買入ニ關スル件……（二）　一
法　三四　租稅其ノ他ノ收入徵收處分嘱託ニ關スル件……（二）　一
法　四五　刑法……（一四）　一

勅令

勅　六　公式令……（一）　一
勅一七七　官吏待遇者ノ懲戒ニ關スル件……（三）　一
勅二四四　月俸七十五圓未滿ノ判任官待遇者ノ俸給ニ關スル件……（三）　一
　　鐵道株式會社ノ株券ヲ國債證券ニ代用ノ件……（三）　一

統監府

告　六一　水底電線路區域……（八）　一

舊韓國政府

法　一　新聞紙法……（一〇）　一
法　二　保安法……（一〇）　一
法　四　國有未墾地利用法……（一一）　一

明治四十一年（隆熙二年）

法律

法　一七　陸海軍召集應需繕特支辨ニ關スル法律……（一）　一
　　監獄法……（一四）　一
法　二八　刑法施行法……　一

舊韓國政府

法　二　移民保護法……（七）　一
農令四四　移民保護法施行細則……（七）　一

明治四十年（光武十一年）

皇室令

皇　二　華族令……（三）　一
皇　一五　官內官分限令……（三）　一
皇　一六　官內官懲戒令

勅二三五　朝鮮旧刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件……（一）　二五〇
勅二三七　臨時恩賜ニ充ツル爲債券ヲ發行ノ件……（一五）　二五二
勅二二九　臨時恩賜公債證券ニ關スル件……（一五）　二五二
勅二三四　舊韓國勳章及紀章ノ佩用ニ關スル件……（一六）　二五二
勅二三五　特許法等ノ朝鮮ニ施行スルノ件……（一七）　二五二
勅二三六　特許法、意匠法及實用新案法ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件……（一九）　二五二
勅二三七　商標法ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件……（一九）　二五三
勅二三八　著作權法ヲ朝鮮ニ施行スルコトニ關スル件……（一〇）　二五三
勅二三九　韓國特許辨理士令ニ依ル登錄ハ特許辨理士令ニ依ル登錄ト看做スノ件……（一〇）　二五八
勅二四〇　入札又ハ契約ノ保證金ニ關スル件……（一〇）　二五八
勅二五四　朝鮮總督府官制……（二）　二五九
勅二五五　朝鮮總督府中樞院官制……（二）　二五九
勅二五七　朝鮮總督府地方官官制……（三）　二六〇
勅二七四　朝鮮總督府關官制……（三）　二六〇
勅二七四　朝鮮人タル奏任官及判任官ノ增俸ニ關スル件……（三）　二六一
勅三八五　朝鮮總督府職員ノ交際手當ニ關スル件……（三）　二六一
勅三九二　朝鮮總督府及所屬官署職員ノ宿舍料ニ關スル件……（三）　二六二
勅三九六　朝鮮人タル官吏ノ特別任用ニ關スル件……（三）　二六二
勅四〇六　朝鮮總督府特別會計ニ關スル件……（三）　二六三
勅四〇七　朝鮮總督府特別會計規則……（三）　二六三
勅四一二　朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件……（三）　二六四
勅四三八　叙奏官吏及消防官吏ノ功勞紀章ニ關スル件……（三）　二六四
勅四五五　明治二十三年法律第二號及同年法律第八十三號ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（三）　二六五

内閣

令一六　朝鮮總督府及其ノ所屬官廳ノ執務時間ニ關スル件……（三）　二六五

宮内省

令五　宮内官内閣旅費令施行規則……（三）　二六七
令一六　李王職判任官ノ定員……（三）　二六七

大藏省

令二六　寄託又ハ供託ニ係ル國債ノ償還元金代リ新公債交付ニ關スル特別取扱規程……（七）　二六八
令四二　恩賜公債規程……（一〇）　二六九

統監府

出版規則……（一）　二七〇
制令公布式……（一）　二七〇
條約ニ依リ居住ノ自由ヲ有セサル外國人ニ關スル件……（一〇）　二七一
水道土木保護規則……（一〇）　二七一
勳章、勳記、功記、年金證書又ハ國勳章佩用免許證ヲ沒收シタルトキ犯人ノ本籍地戸籍吏ニ通知方……（一四）　二七二
朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件施行手續……（一四）　二七二
令二〇　醫等任用ノ件……（一五）　二七二
令五〇　統監府巡查及巡查補ノ勤續ニ關スル件……（一五）　二七二
令五二　條約ニ依リ居住ノ自由ヲ有セサル外國人ニ關スル件……（一六）　二七三
令六一　勳章、勳記、年金證書又ハ國勳章佩用免許證ヲ沒收シタルトキ犯人ノ本籍地戸籍吏ニ通知方……（一七）　二七三
訓一七　朝鮮舊刑所犯ノ罪囚ニ對シ大赦ヲ行フノ件施行手續……（一七）　二七三

朝鮮總督府

制一　朝鮮ニ於ケル法令ノ效力ニ關スル件……（一）　二七四
令一一　朝鮮總督府判事及檢事ノ任用ニ關スル件……（一）　二七四
制六　朝鮮人タル朝鮮總督府判事及檢事ノ任用ニ關スル件……（二）　二七四
制七　明治四十三年制令第一號ニ依ル命令ノ區分ニ關スル件……（二）　二七四
制一〇　犯罪即決例……（二）　二七四
令一一　民事爭訟調停ニ關スル件……（二）　二七四
令一三　朝鮮總督府令公文式……（二）　二七四
令二二　朝鮮總督府道令公文式……（二）　二七四
令五　朝鮮總督府ニ提出スル願届書ニ關スル件……（二）　二七四
令九　朝鮮總督府裁判所ノ名稱、位置及管轄區域……（三）　二七五
監獄及監獄分監ノ名稱、位置……（三）　二七五
朝鮮總督府監獄官制施行ノ際監獄官等任用ノ件……（三）　二七五
令一六　朝鮮總督府特別會計規則……（三）　二七五
令一七　朝鮮總督府特別會計規則ニ據リ同令別ニ要スル府郡歲入徵收官ノ徵收簿ハ明治三十一年大藏省訓令第十一號徵收簿ノ樣式ニ依ルノ件……（三）　二七五
令四三　貸付金取扱規程……（三）　二七五
朝鮮總督府特別會計規則ニ據リ同令別ニ要スル府郡歲入徵收官ノ徵收簿ハ明治三十一年大藏省訓令第十一號徵收簿ノ樣式ニ依ルノ件……（三）　二七五

大藏省

令一七　李王職職員ノ進退及朝鮮ニ於ケル李王職ノ事務ニ關スル件……（三）　二七五

文部省

令一六　朝鮮人留學生ノ特別入學ニ關スル件……（三）　二七六

朝鮮總督府

制一　海港檢疫ニ關スル件……（三）　二七六
制一二　朝鮮總督府船舶國籍ヲ有スヘキ朝鮮總督府幾判所……（三）　二七六
令四九　懸賞富籤類似其ノ他投票募集等取締ニ關スル件……（四）　二七六
令五二　巡查看守廢治料、給助料及弔祭料給與令準用ニ關スル件……（四）　二七六
令五八　朝鮮總督府看守採用規則……（四）　二七六
令六三　朝鮮總督府監獄所屬職員中奏任待遇者ノ懲戒ニ關スル件……（四）　二七六
令七三　經學院規程……（四）　二七六
令七四　森林令施行規則……（四）　二七六
令七五　宿泊及居住規則……（四）　二七六
令七六　朝鮮警察官吏試驗規則……（四）　二七六
令七九　土地收用令施行規則……（四）　二七六
令八〇　國有未墾地利用法施行規則……（四）　二七六
令八一　僧用告知棄取締規則……（四）　二七六
令八二　寺刹令施行規則……（四）　二七六
令八四　稅關特許手數料ニ關スル件……（四）　二七六
令八六　森林令施行期日……（四）　二七六
令九〇　集金郵便振替貯金拂込規則……（四）　二七六
令一〇二　貯備電話規則……（四）　二七六
令一〇四　朝鮮人ノ姓名改稱ニ關スル件……（四）　二七六
令一二四　鴨綠江橋梁步道取締規則……（四）　二七六
令一二八　鴨綠江橋梁步道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件……（四）　二七六
令一二九　衛生上有害飲食物及有害物品取締規則……（四）　二七六
令一三三　清涼飲料水及氷雪營業取締規則……（四）　二七六
令一三四　私設電信電話規則……（四）　二七六
令一三九　官廳用電信電話規則……（四）　二七六
令一四〇　清酒ノ製造又ハ貯藏ニ關シ及其ノ他ニ付「サリチール」酸ニ限リ當分ノ內衛生上有害飲食物及有害物品取締規則第八條ノ規定ヲ適用セサル件……（四）　二七六
令一四五　國稅徵收令施行規則……（四）　二七六
訓三　臨時恩賜金ノ收支ニ關スル規程……（九）　二七九
訓五　臨時恩賜金管理規則第三條ニ依ル銀行指定……（九）　二七九
訓六　海港檢疫手續……（一〇）　二七九
訓一三　官報通牒欄ニ同文通牒掲載ニ關スル件……（一〇）　二七九

舊韓國政府

度訓一二　【宮内府】ヨリ特許シタル鎭山ニ對シ上納金徵收方ニ關スル件……（一三）　二八〇

明治四十四年

法律

法二　公共團體ニ對スル工事補助費繰越使用ニ關スル件……（一三）　二七九

法三〇　朝鮮ニ施行スヘキ法令ニ關スル件……（一）　二八一
法四六　工場法……（一五）　二八二
法四八　朝鮮銀行法……（一九）　二八四
法五一　間島ニ於ケル領事官ノ裁判ニ關スル件……（二）　二八八
法五二　司法事務共助法……（二）　二八九
法五八　租稅外諸收入金整理ニ關スル件……（二）　二八九

勅令

勅六三　保管金規則ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（二）　二九〇
勅一二〇　朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル法律ニ關スル件……（二）　二九二
勅一二一　明治四十四年法律第五十八號施行規則……（二）　二九二
勅一三〇　官國幣社以下神社奉幣供進使服制……（二）　二九二
勅一三八　朝鮮總督府親學官特別任用令……（三）　二九二
勅一六七　關東州及帝國カ治外法權ヲ行使スルコトヲ得ル外國ニ於ケル特許權、意匠權、商標權及著作權ノ保護ニ關スル件……（七）　二九三
勅一八八　朝鮮ニ於ケル稅關特許手數料ニ關スル件……（九）　二九三
勅一九一　警務費俸給陳算定額內ニ於テ嘱託又ハ囑ヲ置クコトヲ得ル件……（三）　二九四
勅二〇二　朝鮮總督府看守ノ療治料、給助料及弔祭料給與ニ關スル件……（九）　二九四
勅二六八　司法事務ノ共助ニ關スル費用並受刑者及刑事被告人ノ護送ニ關スル件……（一〇）　二九五
勅二七二　明治三十三年法律第十五號及同年法律第三十號ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（九）（一〇）　二九五

條約

條一二　逃亡犯罪人引渡條約……（七）　二九六
協約　國境列車直通運轉ニ關スル日清協約……（七）　二九六

宮内省

令一六　朝鮮總督府監獄官制施行ノ際監獄官等任用ノ件……（三）　二九七
令二四　朝鮮總督府旅費規則……（三）　二九七
令二六　朝鮮總督府郵便切手類模造取締規則……（三）　二九八
令二七　臨時恩賜金管理規則……（九）　二九八
令三四　外國旅券規則……（七）　二九九
令四二　朝鮮總督府遞信書記補試驗規則……（三）　二九九
令六六　本府所屬官署ノ司掌事務ニ係ル民事訴訟ニ付國ヲ代表スル件……（三）　二九九
令六七　民事爭訟調停取扱規則……（三）　二九九
訓四六　臨時恩賜金配與ノ件……（九）　二九九
訓四八　外國旅券規則取扱手續……（三）　二九九
訓六二　財務官吏職務執行ノ際注意ノ件……（三）　二九九
訓七一　民事爭訟調停取扱手續……（三）　二九九
訓七二　犯罪即決例施行手續……（三）　二九九
告九　朝鮮總督府郵便、電信及電話局所取扱事務……（三）　二九九
告一二　朝鮮總督府遞信官署徽章及航路標識用船旗章……（四）　二九九
告一六　臨時恩賜金配與ノ件……（九）　二九九
告一二三　同一ノ旅券ヲ以テ數次往復シ得ヘキ地……（七）　二九九
告三八　電報規則ニ於ケル市內地域……（七）　二九九
告四〇　臨時恩賜金公債證書ヲ【韓國銀行】ニ於テ買收ノ件……（一一）　二九九
告四五　朝鮮總督府稅關所屬船ノ旗章……（四）　二九九
警令三　集會取締……（一〇）　二九九

舊韓國政府

訓一　【宮内府】ヨリ特許シタル鎭山ニ對シ上納金徵收方ニ關スル件……（一三）　二九九

法律

法二　公共團體ニ對スル工事補助費繰越使用ニ關スル件……（一三）　二九九

令四九　鮮總督府幾判所……（一四）　三〇〇
令五二　懸賞富籤類似其ノ他投票募集等取締ニ關スル件……（一〇）　三〇一
令五八　巡查看守廢治料、給助料及弔祭料給與令準用ニ關スル件……（九）　三〇一
令六三　朝鮮總督府看守採用規則……（三）　三〇一
令七三　朝鮮總督府監獄所屬職員中奏任待遇者ノ懲戒ニ關スル件……（三）　三〇一
令七四　經學院規程……（四）　三〇一
令七五　森林令施行規則……（四）　三〇一
令七六　宿泊及居住規則……（四）　三〇一
令七九　朝鮮警察官吏試驗規則……（四）　三〇一
令八〇　土地收用令施行規則……（四）　三〇一
令八一　國有未墾地利用法施行規則……（四）　三〇一
令八二　僧用告知棄取締規則……（四）　三〇一
令八四　寺刹令施行規則……（四）　三〇一
令八六　稅關特許手數料ニ關スル件……（四）　三〇一
令九〇　森林令施行期日……（四）　三〇一
令一〇二　集金郵便振替貯金拂込規則……（四）　三〇一
令一〇四　貯備電話規則……（四）　三〇一
令一二四　朝鮮人ノ姓名改稱ニ關スル件……（三）　三〇一
令一二八　鴨綠江橋梁步道取締規則……（四）　三〇一
令一二九　鴨綠江橋梁步道ニ依ル輸出入貨物ノ取締ニ關スル件……（四）　三〇一
令一三三　衛生上有害飲食物及有害物品取締規則……（四）　三〇一
令一三四　清涼飲料水及氷雪營業取締規則……（四）　三〇一
令一三九　私設電信電話規則……（四）　三〇一
令一四〇　官廳用電信電話規則……（四）　三〇一
令一四五　清酒ノ製造又ハ貯藏ニ關シ及其ノ他ニ付「サリチール」酸ニ限リ當分ノ內衛生上有害飲食物及有害物品取締規則第八條ノ規定ヲ適用セサル件……（四）　三〇一
令一五七　國稅徵收令施行規則……（四）　三〇一
訓三　臨時恩賜金ノ收支ニ關スル規程……（九）　三〇二
訓五　臨時恩賜金管理規則第三條ニ依ル銀行指定……（九）　三〇二
訓六　海港檢疫手續……（一〇）　三〇二
訓一三　官報通牒欄ニ同文通牒掲載ニ關スル件……（一〇）　三〇二

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

ル件……（一）
朝鮮總督府遞信官署會計事務章程……（一）
朝鮮總督府遞信官署物品出納規程……（一）
朝鮮總督府遞信官署郵便切手類及收入印紙出納規程……（一）
朝鮮總督府遞信官署收入印紙消印ノ件……（一）
朝鮮總督府看守精勤證書授與規則……（二）
經學院ニ關スル件……（二）
留置中ノ囚人及刑事被告人ニ給與スル食料額……（二）
森林令施行手續……（二）
郵電主收入收納規程……（二）
官立學校長職務規程……（三）
鮮滿鐵道聯絡稅關事務ニ從事シ又ハ其ノ事務監督ノ爲出張スル稅關官吏ノ旅費額……（三）
朝鮮總督府及所屬官署文官禮式……（三）
朝鮮總督府監獄書類保存規程……（六）
臨時恩賜公債證書ノ讓渡又ハ質入許可稟請方……（三）
明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依ル指定學校……（三）
一等道路及二等道路……（三）
警察旗章及警察門燈竝提灯徽章ノ件……（四）
森林令及森林令施行規則ニ依ル出願其ノ他ノ樣式……（三）
朝鮮ノ標準時……（三）
衛生上有害飲食物及有害物品試驗方法……（三）
牛乳營業取締規則……（三）
牛乳ノ比重及脂肪量ノ檢定方法……（三）

明治四十五年

法律

法二一　臘虎膃肭獸獵獲禁止ニ關スル件……（七）

勅令

勅二一　朝鮮總督府遞信官署官制……（三）
勅三〇　朝鮮總督府中央試驗所官制……（三）
勅三六　朝鮮總督府遞信官署官制……（三）
勅四三　海國併合記念章制定ノ件……（四）
勅五六　朝鮮關稅訴願審查委員會官制……（三）
勅八四　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（三）
勅一三五　朝鮮貴族ニ關スル審查委員會規程……（三）
勅一二　法例ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（三）
勅三〇　朝鮮總督府遞信官署官制……（三）
勅三六　朝鮮總督府中央試驗所官制……（三）
勅四三　海國併合記念章制定ノ件……（四）
勅五六　朝鮮關稅訴願審查委員會官制……（三）
勅八四　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（三）
勅一三五　朝鮮貴族ニ關スル審查委員會規程……（三）
勅一二　朝鮮總督府遞信官署會計事務章程……（三）
勅三〇　朝鮮總督府中央試驗所官制……（三）
勅三六　朝鮮總督府遞信官署官制……（三）
勅四三　海國併合記念章制定ノ件……（四）
勅五六　朝鮮關稅訴願審查委員會官制……（三）
勅八四　明治四十五年法律第二十一號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（三）
勅一三五　朝鮮貴族ニ關スル審查委員會規程……（三）

宮内省

勅一二　宮内職員俸給支給細則……（三）

陸軍省

告九一　陸軍軍人軍屬乘船手續……（三）

文部省

令一二　他學校ヘ入學轉學ノ關係ニ就キ朝鮮公立小學校兒童及卒業者ノ取扱方……（三）

朝鮮總督府

制二三　古物商ノ取締ニ關スル件……（三）
制七　質屋ノ取締ニ關スル件……（三）
制九　朝鮮民事令……（三）
制一一　朝鮮不動產登記令……（三）
制一四　朝鮮刑事令……（三）
制一六　朝鮮監獄令……（三）
制二〇　朝鮮登錄稅令……（三）
制二一　朝鮮關稅定率令（抄）……（三）
【朝鮮關稅令】及明治四十四年第二號ニ基ク訴願ニ關スル件……（三）
藥品及藥品營業取締令……（三）
道路取物其ノ他ノ物件ニ關スル件……（三）
鐵道、【輕便鐵道】及軌道ノ營業ニ關スル件……（三）
朝鮮輕便鐵道令……（三）
司法警察事務竝令狀執行ニ關スル件……（三）
郵便、電信、電話ニ關スル滯納金徵收規則……（三）
朝鮮貴族ニ關スル審查委員會規程……（三）
古物商取締ニ關スル制令施行規則……（三）
質屋取締ニ關スル制令施行規則……（三）
朝鮮總督府裁判所及檢事局事務章程……（三）
法人及夫婦財產契約登記取扱規則……（三）
商業登記取扱規則……（三）
小商人、公告、確定日附簿及日附アル印章ニ關スル件……（三）
假出獄取締規則……（三）
朝鮮監獄令施行規則……（三）
不動產其ノ他ノ登記簿ノ謄本、抄本ノ請求等ニ關スル手數料及私署證書確定日附ノ手數料ニ關スル件……（三）
警察犯處罰規則……（三）
死亡ノ申告ヲ爲サシテ埋葬ヲ爲シタル者等ニ關スル制則……（三）
藥品及藥品營業取締令施行規則……（三）
海事ニ關スル事務ヲ分掌スル朝鮮總督府遞信局海事出張所ノ設置竝其ノ名稱、位置及分掌區域……（三）
朝鮮總督府遞信官署ノ出納員ニ關スル件……（三）
法人ノ設立及監督ニ關スル規程……（三）
健全證書交付手續……（三）
遺失物其ノ他ノ物件ニ關スル制令施行ニ關スル件……（三）
衛生上有害飲食物及有害物品取締規則第九條、清涼飲料水及氷雪營業取締規則第十條ニ依ル警務總長、警務部長ノ職權中警察署長、警察分署長及警察署ノ事務ヲ取扱フ憲兵分隊、憲兵分遣所ノ長ヲシテ行ハシムル事項……（三）
教科用圖書檢定規程……（三）
朝鮮輕便鐵道令施行規則……（三）
朝鮮輕便鐵道運輸規程……（三）
輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件……（三）
メチールアルコホル（木精）取締規則……（三）
墓地、火葬場、埋葬及火葬取締規則……（三）

令一二　古物商取締ニ關スル制令施行規則……（三）
令二三　質屋取締ニ關スル制令施行規則……（三）
令二八　朝鮮總督府遞信官署官制……（三）
令二九　法人及夫婦財產契約登記取扱規則……（三）
令三〇　商業登記取扱規則……（三）
令三一　小商人、公告、確定日附簿及日附アル印章ニ關スル件……（三）
令三三　假出獄取締規則……（三）
令三四　朝鮮監獄令施行規則……（三）
令三六　不動產其ノ他ノ登記簿ノ謄本、抄本ノ請求等ニ關スル手數料及私署證書確定日附ノ手數料ニ關スル件……（三）
令三八　警察犯處罰規則……（三）
令四〇　死亡ノ申告ヲ爲サシテ埋葬ヲ爲シタル者等ニ關スル制則……（三）
令四一　藥品及藥品營業取締令施行規則……（三）
令五五　海事ニ關スル事務ヲ分掌スル朝鮮總督府遞信局海事出張所ノ設置竝其ノ名稱、位置及分掌區域……（三）
令六一　朝鮮總督府遞信官署ノ出納員ニ關スル件……（三）
令六四　法人ノ設立及監督ニ關スル規程……（三）
令七一　健全證書交付手續……（三）
令八七　遺失物其ノ他ノ物件ニ關スル制令施行ニ關スル件……（三）
令九七　衛生上有害飲食物及有害物品取締規則第九條、清涼飲料水及氷雪營業取締規則第十條ニ依ル警務總長、警務部長ノ職權中警察署長、警察分署長及警察署ノ事務ヲ取扱フ憲兵分隊、憲兵分遣所ノ長ヲシテ行ハシムル事項……（三）
令一〇八　教科用圖書檢定規程……（三）
令一一七　朝鮮輕便鐵道令施行規則……（三）
令一一八　朝鮮輕便鐵道運輸規程……（三）
令一一九　輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件……（三）
令一二一　メチールアルコホル（木精）取締規則……（三）
令一二三　墓地、火葬場、埋葬及火葬取締規則……（三）

船舶積貨測度互認……（八）
勅語謄本頒布ノ件……（四）
森林由野及未墾地國有私有區分標準……（一）
電報規則第四條第二項ニ依リ局報ヲ發送ノ得ル場合……（八）
極印使用規程……（一）
陸地棉栽培奬勵ニ關スル件……（九）
畜牛ノ改良增殖ニ關スル件……（九）
米作ノ改良奬勵ニ關スル件……（一）
蠶業改良奬勵ニ關スル件……（一）
朝鮮總督府管規、警部ノ地方法院支廳檢事ノ職務取扱ニ關スル件……（一）
刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程……（一）
假出獄及假出場ニ關スル取扱手續……（一）
朝鮮總督府遞信局事務分掌規程……（一）
朝鮮總督府稅關事務分掌規程……（一）
朝鮮總督府裁判所及檢事局處務規程……（一）
郵便物通關手續……（一）
朝鮮總督府公文書規程……（一）
朝鮮總督府現金取扱規程……（一）
朝鮮關稅訴願審查委員會審查規程……（一）
朝鮮、內地間ニ於テ明治四十四年勅令第二百六十八號ニ依リ受刑者及刑事被告人ヲ護送スルニ當リ相互ニ送致スヘキ地點……（一）
水底電線路區域……（一）
汽車中ニ在ル者ニ宛テタル電報ノ交付取扱ニ關スル件……（一）
明治四十三年勅令第三百九十六號第五條ニ依ル認定學校……（一）
メチールアルコホル（木精）取締規則中酒類ニ於ケル「メチールアルコホル」試驗方法……（一）
船舶積貨測度互認……（一）
牛乳中ニ移行スヘキ毒藥、劇藥處方ニ關スル件……（一）

令一二五　船舶積貨測度互認……（八）
勅一　勅語謄本頒布ノ件……（四）
勅四　森林由野及未墾地國有私有區分標準……（一）
勅五　電報規則第四條第二項ニ依リ局報ヲ發送ノ得ル場合……（八）
勅七　極印使用規程……（一）
勅八　陸地棉栽培奬勵ニ關スル件……（九）
勅九　畜牛ノ改良增殖ニ關スル件……（九）
勅一〇　米作ノ改良奬勵ニ關スル件……（一）
勅一一　蠶業改良奬勵ニ關スル件……（一）
勅一三　朝鮮總督府管規、警部ノ地方法院支廳檢事ノ職務取扱ニ關スル件……（一）
勅一五　刑ノ執行猶豫ニ關スル取扱規程……（一）
勅一六　假出獄及假出場ニ關スル取扱手續……（一）
勅二〇　朝鮮總督府遞信局事務分掌規程……（一）
勅二二　朝鮮總督府稅關事務分掌規程……（一）
勅二八　朝鮮總督府裁判所及檢事局處務規程……（一）
勅三二　郵便物通關手續……（一）
勅三六　朝鮮總督府公文書規程……（一）
勅五六　朝鮮總督府現金取扱規程……（一）
勅五七　朝鮮關稅訴願審查委員會審查規程……（一）
勅七二　朝鮮、內地間ニ於テ明治四十四年勅令第二百六十八號ニ依リ受刑者及刑事被告人ヲ護送スルニ當リ相互ニ送致スヘキ地點……（一）
告一九〇　水底電線路區域……（一）
告二〇九　汽車中ニ在ル者ニ宛テタル電報ノ交付取扱ニ關スル件……（一）
告二四二　明治四十三年勅令第三百九十六號第五條ニ依ル認定學校……（一）
告二六〇　メチールアルコホル（木精）取締規則中酒類ニ於ケル「メチールアルコホル」試驗方法……（一）
告二六九　船舶積貨測度互認……（一）
令六　牛乳中ニ移行スヘキ毒藥、劇藥處方ニ關スル件……（一）

大正元年

勅令

勅五　朝鮮人ノ【氏名】【改稱及】見習ニ關スル件……（一）
勅六　朝鮮國有森林未墾地及森林產物特別處分令……（一）
勅一〇　恩赦令……（一）
勅一三　明治三十九年法律第三十四號、同四十二年法律第八號及同年法律第九號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（一）
勅四八　朝鮮總督府【警部官及】事務官ノ特別任用ニ關スル件……（一）
勅五三　神宮神嘉殿側……（一）

條約

條一　工業所有權相互保護ニ關スル條約實施期日……（一）
條二　清國ニ於ケル工業所有權相互保護ニ關スル日韓條約實施期日……（一）

外務省

告一　工業所有權相互保護ニ關スル條約實施期日……（一）
告二　清國ニ於ケル工業所有權相互保護ニ關スル日韓條約實施期日……（一）

朝鮮總督府

制一　供託ニ關スル件……（一）
制二　土地調查令……（一）
制三　銃砲火藥類取締令……（一）
制四　租稅ニ關シ事犯アリタルトキノ處置ニ關スル件……（一）

令二　道議入收納緊便振着貯金特別取扱規則……（八）
令三　刑事判決ノ正本、謄本及抄本ノ手數料ニ關スル件……（一）
令六　土地調查令施行規則……（一）
令八　大正元年制令第四號第二條ノ間接國稅……（一）
令一〇　朝鮮國有森林未墾地及森林產物特別處分令ニ依ル重要物產、緣故者製造業者及木材業者ノ査格……（一）
令二〇　恩赦令施行規則……（一）
令三八　指定供託所供託物取扱規則……（一）
訓九　地方僞要市街地ノ市區改正又ハ擴張ヲ爲サムトスル場合認可ヲ受ク（キノ件……（一）
訓一三　自作農民ノ保護增殖ニ關スル件……（一）
訓一二　森林山野ノ取締ニ關シ警察官吏ヘ訓令……（一）
訓一三　森林山野ノ管理保護ニ關シ道長官ヘ訓令……（一）
訓二六　交通機關ノ整備ニ關シ警察官吏ヘ訓令……（一）
告四七　朝鮮ニ船籍港ヲ有シ明治四十三年四月一日以後交付シタル船舶（假船舶）國籍證書又ハ船鑑札ヲ有スル船舶ニ就キテ爲ス英吉利國外六箇國ノ取扱方……（一）
告七八　京城市區改修定計畫路線……（一）
告八四　稅關ノ休暇日……（一）
告一一三　大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所……（一）

大正二年

皇室令

皇　初叙官等ノ制限ヲ受ケサル宮内高等官他ノ宮内高等官トナリ又ハ初叙官等ノ制限ヲ受ケサル高等文官初叙官等ノ制限ヲ受クル宮内高等官トナル場合ノ官等ニ關スル件……(三)　一〇〇

勅令

勅　一九　國境ニ於ケル朝鮮總督府稅關出張所在勅ノ監視監吏ノ特別任用ニ關スル件……(三)　三三
令二六一　文官任用令……(三)　三三
勅二六二　任用分限又ハ官等ノ初叙陞叙ノ規定ヲ適用セサル文官ニ關スル件……(三)　三五
勅二八三　朝鮮ニ施行スル法律ニ關スル件……(三)　三九
勅二八四　要塞地帶法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行ノ件……(三)　四六
勅三一三　水路測量標條例ノ一部ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……(三)　一
勅三一五　朝鮮、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニ於テ水路測量標建設ノ爲官有地ヲ使用スルノ件……(三)　三

文部省

京城中學校附屬臨時小學校教員養成所、京城高等普通學校附設臨時教員養成所第二部ヲ文官任用令ニ依リ認定……(三)　二五

朝鮮總督府

朝鮮公證令……(三)　六
學校組合令……(九)　一〇
書畫骨董營業取締規則……(三)　一三
私設學術講習會ニ關スル件……(三)　一三
朝鮮公證令施行規則……(三)　一五
朝鮮公證手數料規則……(三)　三
京城中學校附屬臨時小學校教員養成所、京城高等普通學校附設臨時教員養成所第二部ヲ文官任用令ニ依リ認定……(三)　二五
朝鮮總督府及所屬官署職員ノ加俸ニ關スル件……(三)　二六

令　四一　朝鮮總督府濟生院規則……(三)　一
令　四五　朝鮮總督府司法官試補實務修習及試驗規則……(三)　二
道路取締規則……(三)　三
荷車取締規則……(三)　四
藥品巡視規則……(三)　五
浩岸貿易又ハ漁業ニ從事スル船舶ニ關スル件……(三)　七
令　五三　醫師規則……(三)　一〇
令　五四　齒科醫師規則……(三)　一〇
令　七四　醫生規則……(三)　一一
令　九二　公醫規則……(三)　一二
令　一〇〇　郵便振替貯金小切手拂込規則……(三)　一三
令　一〇一　位置、管轄區域及府郡ノ名稱、位置ノ件……(三)　一四
令　一〇二　齒科醫師規則……(三)　一四
令　一〇三　荷車取締規則……(三)　一五
令　一〇七　藥品巡視規則……(三)　一五
令　一一一　郵便振替貯金小切手拂込規則……(三)　一六
勅　七　刑ノ執行停止者取締ニ關スル件……(三)　一六
勅　八　朝鮮總督府郵便所長服務規程……(三)　一六
勅　九　朝鮮總督府郵便所長手當金支給規程……(三)　一七
令　一三　朝鮮總督府及所屬官署賄料支給規程……(三)　一七
令　一二　經學院ノ院務ニ關スル件……(三)　一八
令　一三　外國在留鮮人ノ身分取扱ニ關スル件……(三)　一八
令　四〇　朝鮮總督府官舍規程……(三)　一九
訓　四四　朝鮮總督府會計監査規程……(三)　一九
訓　五五　寺刹ヨリ行政官廳ニ提出スル願届ハ本寺ヲ經由セシムル件……(三)　一九
訓　六〇　朝鮮總督府及所屬官署船舶乘組雇員被服貸與規程……(三)　二〇
告　三　水底電線路區域……(三)　二〇
告　九　害蟲驅除豫防規則第二條第一項ニ依リ驅除豫防ノ方法……(三)　二一
告　九九　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依リ指定學校……(三)　二二
告三九六　郵便振替貯金小切手拂込規則第一條ニ依リ指定銀行及指定受入郵便局所……(三)　二三
訓　一三　水底電線路區域……(三)　二三
告四一一　朝鮮總督府官舍規程……(三)　二四
訓　一四　朝鮮船舶積量測度令……(三)　二四
訓　一五　朝鮮船舶ノ登記其ノ他ノ手續ニ關スル件……(三)　二四
訓　二三　朝鮮總督府會計事務章程……(三)　二四
訓　二四　朝鮮總督府及所屬官署船舶乘組雇員被服貸與規程……(三)　二五
訓　四一　朝鮮總督府官舍規程……(三)　二五
訓　四二　朝鮮總督府會計監査規程……(三)　二五
訓　四四　寺刹ヨリ行政官廳ニ提出スル願届ハ本寺ヲ經由セシムル件……(三)　二五
訓　五五　朝鮮總督府及所屬官署船舶乘組雇員被服貸與規程……(三)　二六
訓　六〇　水底電線路區域……(三)　二六
告　三　害蟲驅除豫防規則第二條第一項ニ依リ驅除豫防ノ方法……(三)　二六
告　九　明治四十三年制令第七號第一條ノ規定ニ依リ指定學校……(三)　二七
告　九九　郵便振替貯金小切手拂込規則第一條ニ依リ指定銀行及指定受入郵便局所……(三)　二七
告三九六　水底電線路區域……(三)　二七
告四一一　朝鮮船舶積量測度令……(三)　二七

大正三年

法律

法　二六　戶籍法……(三)　二九
法　三四　船舶積量測度法……(三)　二九

勅令

勅　一〇　官國幣社以下神社祭祀令……(三)　一
勅　四九　海上衝突豫防法ヲ朝鮮ニ施行ノ件……(三)　七三

內閣

告　六一　叙勳者等族籍氏名變更届出方……(三)　一〇

宮內省

令　一六　勅任待遇奏任待遇官內職員ノ懲戒ニ關スル件……(三)　二〇
令　一七　判任待遇官內職員ノ懲戒ニ關スル件……(三)　二〇
訓　一三　屬員ノ俸給ニ關スル規程……(三)　二一

朝鮮總督府

制　一　地稅令……(三)　一
制　四　災害地地稅免除ニ關スル件……(三)　三
制　七　朝鮮船舶令……(三)　四
制　一〇　朝鮮船舶職員令……(三)　四
制　一二　朝鮮水難救護令……(三)　九
制　一四　朝鮮船舶積量測度令……(三)　一〇
制　一六　土地調査令ニ依リ査定又ハ裁決ヲ於ケル各航路ヲ航行スル船舶ノ注意事項……(三)　七

令　一六四　俘虜郵便物發着規則……(三)　一
　　學校組合令施行規則……(三)　一
　　稅關官吏ノ檢查服……(三)　二
　　朝鮮總督府濟生院見從業給與金規程……(三)　三
　　國有、牧用又ハ公用、公共用ノ土地ニ關スル通知ノ件……(三)　三
　　朝鮮船舶鐵札規則施行手續……(三)　四
　　朝鮮水難救護令取扱手續……(三)　四
　　醫師試驗委員規程……(三)　五
　　朝鮮總督府及所屬官署會計事務章程……(三)　五
　　船舶ノ登記其ノ他ノ手續ニ關スル件……(三)　六
　　朝鮮間接國稅犯則者處分令……(三)　六
　　朝鮮產婆規則……(三)　七
　　朝鮮產婆試驗規則……(三)　七
　　印鑑證明規則……(三)　七
　　醫師試驗規則……(三)　八
　　金融組合登記取戾規則……(三)　八
　　朝鮮間接國稅犯則者處分令施行規則……(三)　八
　　俘虜郵便物發着規則……(三)　一
　　學校組合令施行規則……(三)　一
　　地方法院出張所設置ニ關スル件……(三)　一
　　行政執行令……(三)　一
　　朝鮮間接國稅犯則者處分令……(三)　一
　　取扱區域……(三)　一
　　恩賜罹災救助基金管理規則……(三)　一
　　朝鮮總督府簡易氣象觀測規程……(三)　一
　　土地收用令……(三)　一
　　朝鮮不動產登記令施行期日及地域……(三)　一
　　永代借地登記規則……(三)　一
　　永代借地地震根規則……(三)　一
　　災害地ノ地稅又ハ市街地稅免除ニ關スル施行方……(三)　一
　　朝鮮船舶令施行規則……(三)　一
　　朝鮮船舶鐵札規則……(三)　一
　　商法第五百六十二條第一項ノ海員名簿ノ書式ニ關スル件……(三)　一
　　朝鮮總督府海員審判所事務章程……(三)　一
　　朝鮮水難救護令施行規則……(三)　一
　　朝鮮船舶登記規則……(三)　一
　　朝鮮產婆規則……(三)　一
　　朝鮮產婆試驗規則……(三)　一
　　印鑑證明規則……(三)　一
　　醫師試驗規則……(三)　一
　　金融組合登記取戾規則……(三)　一
　　朝鮮間接國稅犯則者處分令施行規則……(三)　一

告　六九　朝鮮船舶通報ニ關スル事務ヲ取扱フ證書……（八）　七三
告一四二　水底電線路區域……（八）　二九五
告一五一　朝鮮總督府始政記念日……（八）　二九六
告二二七　公文書ニ用ヰル森林樹木ノ名稱……（一一）　三〇
告二九六　道路規則第六條第一項但書ノ府指定……（八）　二九八
幣令　五　朝鮮總督府博物館設置ノ件……（一〇）　三〇
　　代書業取締規則……（一〇）　三〇

大正五年

法律

法　二　國庫出納金端數計算法……（二）　一
法一〇　證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル件……（二）　一
　　海底電信線保護萬國聯合條約……（二）　一
法二〇　簡易生命保險法……（二）　一
法四二　華族世襲財産法……（二）　一

勅令

勅一四　朝鮮臺灣關東州又ハ樺太ニ居住スル者ノ徴兵猶豫ニ關スル件……（二）　一
　　國庫出納金端數計算法ヲ適用セサル件……（二）　一
勅五六　朝鮮鑛業令施行規則……（二）　一
勅五七　國庫出納金端數計算法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行ノ件……（二）　一
勅一三四　朝鮮總督府關書館長特別任用ニ關スル件……（八）　九
勅一三五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二〇〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二〇九　朝鮮鑛業登録稅令施行規則……（二）　一
勅二三一　大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金保管ノ件……（八）　九
勅二五五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二六〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二六一　朝鮮鑛業令施行規則……（二）　一
勅二六二　大正三、四年臨時事件ニ關スル一時賜金保管ノ件……（八）　九
勅二六三　朝鮮總督府關書館長特別任用ニ關スル件……（八）　九
勅二六四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二六五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二六六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二六七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二六八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二六九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二七九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二八九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅二九九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三〇九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三一九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三二九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三三九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三四九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三五九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三六九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三七九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三八九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅三九九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四〇九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四一九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四二九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四三九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四四九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四五九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四六九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四七九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四八九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅四九九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五〇九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五一九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五二九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五三九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五四九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五五九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五六九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五七九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五八九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅五九九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六〇九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六一九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六二九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六三九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六四九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六五九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六六九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六七九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六八九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅六九九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七〇九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七一九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七二九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三八　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七三九　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七四〇　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七四一　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七四二　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七四三　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七四四　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七四五　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七四六　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（二）　一
勅七四七　朝鮮不動産登記令施行期日及地域……（

法律

法 二三 舊韓國貨幣ノ處分ニ關スル件……(二)　四六
法 三九 共通法……(一)　六

勅令

勅 八 普通試驗令……(三)　三九
勅 九 高等試驗委員及普通試驗委員官制……(三)　三九
勅 三一 朝鮮總督府獸疫血清製造所官制……(三)　一〇六
勅 六〇 貨幣法ヲ朝鮮ニ施行ノ件……(一二)　四五
勅一一〇 朝鮮總督府林野調查委員令官制……(三)　七
勅二九九 朝鮮軍人及朝鮮軍人遺族扶助令……(三)　八
勅三四七 保健技師、保健技手、藥劑師、敎諭師、敎師、作業技師及作業技手ノ官等俸給竝ニ官等俸給ニ關スル件……(三)　一四
勅三五〇 公共團體ニ對スル工事補助費ノ超過ノ場合ニ於ケル國庫補助ニ關スル法律ヲ朝鮮ニ施行スル件……(一二)　一九
勅三五八 國勢調查施行令……(六)　一四
勅三六六 保健技師、保健技手、藥劑師、敎諭師、敎師、作業技師及作業技手ノ休職ニ關スル件……(三)　五六
勅三八二 備人扶助令……(三)　六四
勅三八八 大學令……(六)　六五

軍令

軍陸 三 師團司令部條例……(三)　七〇
軍陸 四 朝鮮軍司令部條例……(三)　七三

内閣

令 一 高等試驗令施行細則……(三)　三九
【軍需工業動員法第十六條】ノ規定ニ依リ職務執行ノ證票ニ關スル件……(三)　一九
令 五 勳章記章又ハ褒章ヲ有スル者制服著用ノ節略綬佩用方……(三)　三

海軍省

告 三 海軍軍人軍屬減俸乘船手續……(三)　一八
告 五 恤兵品取扱規程……(九)　一二三

文部省

令 三 高等試驗令第七條及第八條ニ關スル件……(三)　四六
告一一八 私立東洋協會京城專門學校ヲ官立京城高等商業學校ニ變更シ竝ニ官制ヲ定ム……(一)　六

朝鮮總督府

制 一 紙幣類似證券取締ニ關スル件……(三)　三九
制 五 朝鮮林野調查令……(三)　六
制 七 朝鮮疫病血清製造所官制……(三)　一〇六
制 七 朝鮮銀行令……(三)　四五
制 一六 朝鮮電信線建設令……(三)　七
制 一六 肺病豫防ニ關スル件……(三)　八
令 四 勞働者募集取締規則……(三)　一〇
令 六 朝鮮不動產登記令施行期日及地域……(三)　一四
令 七 外國人渡來ニ關スル件……(三)　一四
令 一四 畜犬規則……(三)　一八
令一八 朝鮮不動產登記令施行期日及地域……(三)　一九
令一九 朝鮮林野調查令施行規則……(三)　二三
令 三八 稅關所屬曳船使用規則……(三)　二四
令 四八 朝鮮不動產登記令施行期日及地域……(三)　五三
令 五三 水產製品檢查規則……(三)　五六
令 五六 朝鮮不動產登記令施行期日及地域……(三)　六四
令 六四 地方法院出張所ノ名稱、位置及事務取扱區域表……(三)　六五
令 六八 鴨綠江及豆滿江ノ漂流材木ニ關スル件……(三)　七〇
令 七〇 府公金受拂郵便振替貯金特別取扱規則……(三)　七三
令 七三 地稅令施行規則……(三)　七八
令 七八 朝鮮軍人及朝鮮軍人遺族扶助令施行規則……(三)　八〇
令 八〇 工場法ノ適用ヲ受クル工場ノ徒弟等民精無償證明ノ件……(三)　八四
令一〇〇 朝鮮航路標識規則……(三)　八四
令一〇〇 人事訴訟手續法第一條第三項ニ依リ訟事件手續法第二條第三項ニ依リ京城府指定……(三)　八四
令一一〇 朝鮮總督府裁判所及檢事局管類保存規程……(三)　八四
訓 一 審道規則發布ニ關スル件……(三)　一四
訓 一五 朝鮮總督府巡查及朝鮮總督府道巡查配置及勤務規程……(三)　一四
訓 二九 朝鮮總督府地質調查所事務分掌規程……(三)　六
訓 四二 外國貨物鐵道運送手續……(三)　七二
訓 四七 朝鮮總督府統計事務取扱方……(三)　三
訓 五九 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　四
訓 二六 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　八
訓 八八 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　九
訓 九六 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　九
訓 九七 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　九
告一二六 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　九
告一五六 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　一〇
告一五九 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　一〇
告一八一 道路規則第六條第一項但書ノ府指定……(三)　一〇
告一八三 朝鮮林野調查令第三條ニ依ル申告心得……(三)　一一
告一九一 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　一二
告二一三 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　一二
告二三〇 金融組合令第九條ニ依ル指定銀行……(三)　一三
告二五三 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　一三
告二六六 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　一三
告三〇五 道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　一三

大正八年

法律

法 一五 公債金特別會計法……(三)　三
法 四八 司法書士法……(三)　二四
法 五二 地方鐵道法……(八)　三七

勅令

勅 二三 朝鮮總督府保健技師、保健技手、敎諭師、敎師及作業技手ノ官等俸給令……(三)　四一
勅二三二 婦人ノ勳勞アル者ニ瑞寶章ヲ賜フノ件……(三)　四一
勅三五四 警察官署ニ拘禁セラルル者ノ食料ニ關スル件……(三)　一三
勅三八八 朝鮮總督府警察官講習所官制……(三)　一四
勅三九二 朝鮮總督府道知事ノ發スル命令ノ罰則ニ關スル件……(一)　七
勅四〇二 陸海軍武官ニシテ朝鮮總督又ハ憲兵總督ノ官職ニ在ル者ノ分限ニ關スル件……(三)　二三
勅四〇三 朝鮮總督府及所屬官署職員服制廢止ノ件……(三)　二三
勅四〇八 現役將校下士官兵等ノ服役ニ關スル件……(三)　一七
勅四六九 朝鮮總督府道港務官等ノ服制ニ關スル件……(三)　一七
勅四九二 戰役又ハ事變ニ際シ功勞アル者ニ一時賜金又ハ金銀木杯若ハ錦地ヲ賜與スルノ件……(三)　二四

内閣

告一一二 朝鮮神社創立竝其ノ社格……(二)　一
告一一四 賞寶章略綬付與ノ件……(三)　一三

陸軍省

令 二六 恤兵品補規程……(三)　一四
令 二七 朝鮮憲兵隊附憲兵下士又ハ上等兵ノ服務ニ關スル件……(三)　一四

朝鮮總督府

制 四 砂糖消費稅令……(三)　二四
制 六 印紙稅令……(三)　二四
制 七 政治ニ關スル犯罪處斷ノ件……(三)　二四
制 八 朝鮮財團抵當令……(三)　二四
制 一四 朝鮮鑛業令施行規則……(三)　二五
制一〇一 酒稅、煙草消費稅等ノ徵收ニ關スル件……(三)　二五
制一一〇 執達吏手數料規則ニ依ル手數料立替金增額ニ關スル件……(三)　二五
令 三 朝鮮阿片取締令施行規則……(三)　二五
令 三五 砂糖消費稅令施行規則……(三)　二五
令 三六 印紙稅令ニ依ル稅印押捺申請方……(三)　二五
令 四四 電信電話線持依託規則……(三)　二六
令 五三 私立病院取締規則……(三)　二六
令 五九 學校傳染病豫防及消毒方法……(三)　二六
令 六〇 傳染病豫防令第二十二條ニ依ル地方公共團體ノ義務ニ關スル件……(三)　二六
令 六一 水利組合補助規程……(三)　二六
令 七一 大正八年朝令第十一號施行ニ關スル件……(三)　二六
令 七六 朝鮮鑛業令施行規則……(三)　二六
令 八〇 道原鑛種製造所及鑛業取締所設置ニ關スル件……(三)　二六
令 八四 朝鮮私設鐵道及軌道取扱規則……(三)　二六
令 八三 大正八年制令第十四號ニ依ル執達吏ノ職務ヲ行フ者ノ手數料及立替金增額ニ關スル件……(三)　二六
令 九八 財團抵當登記取扱規則……(三)　二六
令 九九 朝鮮阿片取締令施行規則……(三)　二六
令一〇〇 電話規則……(三)　二六
令一一六 朝鮮總督府林業森林主事及朝鮮總督府郡島森林主事特別任用規程……(三)　二六
令一一八 朝鮮總督府遞信局海員養成所規程……(三)　二六
令一二二 朝鮮總督府警務總長ノ命令ヲ以テ定ムベキ事項ニ關スル件……(三)　二六
令一三二 朝鮮總督府遞信局海員養成所位置……(三)　二六
令一三八 道森林主事ノ服制……(三)　二六
令一四八 時間外電報ノ取扱ヲ爲サザル件……(三)　二六
令一八四 屠場規則……(三)　二六
令一九五 朝鮮林野調查令第十二條ニ依リ召喚スル利害關係人、證人、鑑定人ノ旅費及鑑定人ノ手當支給方……(三)　二六
令二〇三 行旅病人行旅死亡人及其ノ同伴者ノ救護又ハ取扱ニ關スル費用繰替支辨ニ關スル件……(九)　二七
學校消潔方法……(三)　九
朝鮮鑛業令施行事務取扱規程……(三)　九
鑛業登記令施行細則……(三)　二七
朝鮮總督府巡查部長ニ關スル件……(三)　二七
朝鮮總督府看守非番勤務手當及特別手當支給規則……(三)　二七
朝鮮總督府道巡查精勤證書授與規則……(三)　二七
朝鮮總督府道巡查非番勤務手當支給規則……(三)　二七
朝鮮總督府林野調查委員會事務章程……(三)　八
朝鮮林野調查令附則第二項ノ地域……(三)　九
道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　二七
道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(三)　二七
水底電線路區域……(三)　二七
朝鮮鑛業令施行心得……(三)　二七
政府ニ於テ買下クヘキ醫藥用阿片ノ價格竝其ノ定價……(三)　二七
朝鮮阿片取締令附則第四項ニ依リ政府ニ納付スル阿片ノ賠償金ヲ交付スヘキ「モルヒネ」合量及賠償金額……(三)　二七
醫藥用阿片及製藥用ノ阿片ノ容器ニ貼附スヘキ封緘紙ノ雛形……(三)　二七
朝鮮煙草銀行令第二十六條ノ銀行指定……(三)　二七
朝鮮總督府遞信局海員養成所位置……(三)　二七

告二〇一　朝鮮阿片取締令第三條ニ依ル指業栽培區域……(一〇)
告二三八　郵便局所ノ郵便、電信、電話及郵便爲替、郵便貯金其ノ他各種ノ現金受拂取扱時間……(三)
告二五〇　郵便物ニ徴號ヲ附記スルコトヲ得ルノ件……(一八)
告三五六　郵便貯金規則ニ依リ郵便貯金ニ預入スルコトヲ得ル證券ノ種類……(一八)
勅令一一　私立病院構造設備標準……(一〇)

大正九年

法律

法一　平和條約ノ實施ニ伴フ流通證券及工業所有權ニ關スル件……(一七)
法六　小額紙幣發行ニ關スル件……(一五)
法一一　所得稅法ノ施行ニ關スル件……(一三)
法一二　朝鮮ニ於ケル國勢調査ニ關スル件……(六)
法三五　內地、臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件……(一三)
法五二　朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル物品ノ內地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル件……(一三)
法五三　關稅法關稅定率法保稅倉庫法及假置場法等ノ朝鮮ニ於ケル特例ニ關スル件……(一三)

勅令

勅九　工業所有權戰時法ニ依ル專用權ニ關スル件……(一七)
勅四八　獨逸國等ニ屬スル財產管理ノ件……(一五)
勅一〇七　混合仲裁裁判所ノ囑託ニ因リ司法裁判所ノ爲ス法律上ノ補助ニ關スル件……(一四)

勅一五八　辯護士タル者ヲ判事檢事ニ任用スル場合ニ於ケル官等ニ關スル件……(一三)
勅一六〇　奏任文官特別任用令……(一三)
勅一七一　同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件……(一三)
勅一九〇　印紙ヲ以テスル歲入金納付ニ關スル件……(一三)
勅二〇〇　學位令……(一三)
勅二二二　朝鮮總督府裁判所職員服制……(一三)
勅二四八　地方待遇職員令……(一三)
勅二六二　敍官及技術官ノ俸給ニ關スル件……(一三)
勅三〇六　關稅法等ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……(一三)
勅三一一　內地、臺灣又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件……(一三)
勅三一二　法律施行ニ關スル件……(一三)
勅三一八　朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル內地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル件……(一三)
勅三五七　朝鮮又ハ樺太ヨリ朝鮮ニ移入スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件……(一三)
勅三六七　三等郵便局長等ノ任用ニ關スル件……(一三)
勅四〇五　交通至難ノ場所ニ在勤スル職手當給與ノ件……(一三)
勅四八三　朝鮮總督府部內臨時職員設置制……(一三)
勅四九七　朝鮮又ハ臺灣ヨリ移出シタル內地又ハ樺太ニ於ケル取締ニ關スル件……(一三)
勅五三二　擔保附社債信託法施行規則……(一三)
勅五三三　朝鮮總督府裁判所職員定員令……(一三)
勅五三四　同盟及聯合國ト奧地利國トノ平和條約ニ依ル財產處理ニ關スル件……(一三)
勅五四一　朝鮮地方待遇職員令……(一三)
勅五四五　勳勞手當給與令……(一三)
勅五六七　朝鮮總督府裁判所職員定員令……(一三)
勅五六九　司法官試補及朝鮮總督府司法官試補ニ關スル件……(一三)
勅五七四　朝鮮總督府遞信官署現業員共濟組合ニ關スル件……(九)

宮內省

令四　【故李王妃】及公族ニ分屬スル李王職判任官ノ定員……(三)
令六　宮內省外國旅費臨時增賜等ノ件……(三)
令一五　宮內官朝鮮臺灣樺太及千島國旅費規則……(三)

大藏省

令一一　大正九年勅令第四十八號ニ依ル管理財產タル國債ニ關スル取扱手續……(一五)
令一六　內國旅費規則第二條ニ依ル鐵道賃及船賃……(三)

遞信省

令七五　船用品檢查試驗規則……(八)
令七六　鑛鎖業試驗規程……(八)

朝鮮總督府

制七　會社令廢止ニ關スル件……(一七)
制八　朝鮮私設鐵道令……(一八)
制一一　朝鮮總督府判事ノ特別任用ニ關スル件……(三)
制一四　朝鮮學校費令……(九)
制一八　朝鮮噸稅令……(一三)
制一九　朝鮮ニ移入スル物品ノ移入稅等ニ關スル件……(一三)
制二一　朝鮮出港稅令……(一三)
制二四　紅蔘專賣令……(一三)
制二五　朝鮮穀物檢查令……(一三)
令二一　私立學校規則……(一〇)
【徵兵事務條例附則第三項】ニ依リ學校長ノ交付スル在學證明書ニ關スル規程……(一三)

令六八　同盟及聯合國ト獨逸國トノ平和條約ニ基ク損害申告ニ關スル件……(五)
令八三　辯護士職規程……(四)
令八九　中等教員委託生規則……(六)
令九〇　瓦斯事業取締規則……(八)
令九一　鄕校財產管理規則……(九)
令一〇四　朝鮮學校設置令施行規則……(三)
令一〇八　朝鮮總督府判事特別任用考試規則……(三)
令一一三　關稅法及大正九年法律第五十三號施行規則……(一一)
令一一五　朝鮮噸稅令施行規則……(一二)
令一一八　朝鮮出港稅令施行規則……(一二)
令一一九　大正九年勅令第十九號施行ニ關スル件……(一二)
令一二一　陸接國境ニ於ケル貨物ノ輸出入ニ關スル件……(一二)
令一二二　保稅地域間ノ運送通路ニ關スル件……(一二)
令一二五　關稅定率法第八條第一號ニ依ルコトヲ得ヘキ物品ニ關スル件……(一二)
令一二六　關稅定率法第八條第二號ニ依リ輸入稅ヲ免除スヘキ輸入貨物ノ容器指定……(一二)
令一二七　關稅定率法第八條第二號ノ二ニ依リ輸入稅ヲ免除スヘキ物品指定……(一二)
令一五三　朝鮮總督府郵便所長手當金年額……(三)
令一六〇　刑死者ノ墳墓祭祀骨像等ノ取締ニ關スル件……(一〇)
令一六八　紅蔘專賣令施行規則……(一二)
令一六九　朝鮮總督府守長特別任用學術試驗及實務考查規程……(三)
令一七一　朝鮮私設鐵道令及大正九年制令第九號施行期日……(八)
令一七二　朝鮮私設鐵道施行規則……(八)
令一七三　朝鮮專用鐵道規程……(八)
令一七四　朝鮮私設鐵道建設規程……(八)
令一七五　朝鮮私設鐵道運輸信號保安規程……(八)
令一七六　朝鮮私設鐵道係員職制……(八)

輕便鐵道及軌道ノ建設、運輸其ノ他業務ニ關スル件廢止……(八)
擔保附社債信託法施行規則……(一四)
內地產繭寸ノ輸出取締規則……(一三)
朝鮮總督府警察官旅費規則……(一三)
朝鮮總督府道警部及道警部補任用ニ關スル考試規程……(一三)
土地改良事業補助規則……(一三)
朝鮮總督府遞信官署現業員共濟組合規則……(九)
警察巡閱規則……(一三)
朝鮮總督府官報編纂規程……(一三)
鄕校財產管理規程改正ニ關スル件……(一三)
出港稅取扱手續……(一三)
警察官署ノ標札……(一三)
陸接國境地方ニ在勤スル朝鮮總督府及所屬官署職員臨時特別手當給與規程……(一三)
朝鮮總督府警察官訓授規程……(一三)
警察官駐在所ニ警部補配置ノ件……(一三)
朝鮮總督府警察官敎養規程……(一三)
朝鮮總督府警察官講習所規程……(一三)
司法警察官カ大正六年府令第八十五號ニ基キ公費ニ死體又ハ傷痍鑑定ヲ命シタル場合ニ於ケル料金布敎規則ニ依ル布敎團等ノ標式……(一三)
朝鮮總督府遞信官署現業員共濟組合規則ニ依ル看護婦養成所指定……(一〇)
大正元年制令第一號ニ依ル指定ニ關スル件……(一三)
道界ニ於ケル官有ノ道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(一三)
道界ニ於ケル官有外ノ道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……(一三)
朝鮮私設鐵道令施行規則第四十八條ノ鐵道廳ノ標式……(一三)
朝鮮總督府及其ノ所屬官署職員ノ四十九條ノ鐵道廳ノ標式……(一三)

皇室令

皇五　宮內奏任官及同判任官ノ俸遇ニ關スル件……(三)
皇七　宮內省官制……(三)
皇一八　宮內官官等俸給令……(三)
皇一九　宮內官任用令……(三)

法律

法三三　徵兵補ノ恩給ニ關スル件……(三)
法三四　朝鮮私設鐵道補助法……(八)
法四二　會計法……(一三)
法四三　國有財產法……(一三)
法五四　航空法……(八)
法五七　公有水面埋立法……(一三)
法六〇　水產會法……(一三)
法六八　刑事訴訟費用法……(一三)
法八五　陸軍軍法會議法……(一三)
法八六　朝鮮軍法會議ニ關スル件……(一三)
法九一　海軍軍法會議法……(一三)
法九二　刑事交涉法……(一三)
法九六　特許法……(一三)
法九七　實用新案法……(一三)
法九八　意匠法……(一三)
法九九　商標法……(一三)
法一〇〇　辨理士法……(一三)
法一〇二　定年ニ因ル退職判事檢事ノ恩給ニ關スル件……(三)

勅令

勅五　朝鮮人ノ多數在留スル地方ヲ管轄スル領事館職員ノ特別任用ニ關スル件……(三)
勅二六　朝鮮總督府事務官等ノ特別任用ニ關スル件……(三)
勅三四　朝鮮總督府及其ノ所屬官署職員ノ俸給令ニ關スル件……(三)

朝鮮總督府監獄職員服制……（一四）　三〇
勅四〇　陳烈三年勅令第六十八號ニ依ル恩給ノ增給ニ關スル件……（五）　四五
勅四三　朝鮮總督府專賣局官制……（三）　三三
勅五三　朝鮮陸接國境地方ニ在勤スル官吏、官吏ノ待遇ヲ受クル者、憲兵補助ノ臨時特別手當給與ニ關スル件……（三）　一六
勅六二　憲兵補ノ俸級ニ關スル件……（四）　四
勅七〇　朝鮮臺灣關東州ニ於ケル官立公立學校教官ニシテ一年現役ニ服スル者ノ給與ニ關スル件……（三）　二五
勅八九　朝鮮總督府水產試驗場官制……（三）　一〇
勅二〇〇　奏任文官及判任文官ノ俸遇ニ關スル件……（三）　二
勅二二三　朝鮮總督府專賣局現業員共濟組合ニ關スル件……（九）　三六
勅二三六　關稅定率法第九條ニ依ル命令ノ件……（三）　四
勅二三八　關稅定率法第十條ニ依ル命令ノ件……（三）　四
勅二四三　朝鮮總督府稅關職員服制……（四）　八
勅三七四　政府ヨリ貸拂ノ代金ノ延納ニ關スル件……（三）　三
勅四〇一　外國旅費規則……（三）　一九
勅四〇二　南洋群島關東州南滿洲旅費規則……（三）　二三
勅四五九　特許法等改正法律施行期日……（一二）　四三
勅四六〇　特許法施行令……（一二）　四三
勅四六一　特許登錄令……（一二）　四三
勅四六二　軍事上秘密ヲ要スル實用新案竝實用新案ニ關スル登錄ニ關スル件……（一二）　四三
勅四六三　意匠ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件……（一二）　四三
勅四六四　商標ニ關スル審判其ノ他ノ手續ノ費用及登錄ニ關スル件……（一二）　四三
勅四六五　特許、意匠、商標及實用新案ニ關スル手數料ノ件……（一二）　四三
勅四六六　辨理士法施行令……（一二）　四三
勅四八六　令計法施行期日……（一二）　四三
令一　土地測量規程……（一一）　三七
訓一四　交通至難ノ場所ニ於ケル燈臺ニ在勤スル朝鮮總督府遞信技手及航路標識看守月手當給與細則……（三）　一六
訓一七　朝鮮總督府專賣局事務分掌規程……（三）　一三
訓二六　朝鮮總督府中樞院議事規則……（三）　一三
訓三一　朝鮮總督府水產試驗場事務分掌規程……（三）　一〇
訓四三　朝鮮總督府道廳部補ニシテ通譯ヲ兼掌スル者ニ對スル特別手當支給ニ關スル件……（三）　一三
訓五九　統監部稟裁取扱規程……（三）　一四
訓六五　朝鮮總督府道事務分掌規程……（三）　一三
訓七一　指紋取扱規程……（一四）　四七
告一四　關稅定率法第七條第二十三號ニ依リ輸入稅ノ免除ヲ受クルコトヲ得ヘキ產業ニ關スル法人……（一二）　三九
告二一　土地改良事業補助規則ニ依リ提出スヘキ書類ノ樣式……（一一）　三五
告三七　大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所……（一四）　四五
告八二　地方專賣局出張所名稱及位置……（三）　一〇
告一〇五　專門學校入學者檢定規程ニ依リ指定シタル者……（一三）　四二
告一三〇　大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所……（一四）　四五
告一三四　府制施行規則第十一條ノ二第一項ノ規定ニ依ル府稅指定……（九）　三五
告一四二　原蠶種配付規程……（一四）　四五
告一四三　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一八）　六七
告一五一　水底電信線路區域……（一八）　六七
告一五九　大正元年制令第一號ニ依ル指定供託所……（一四）　四五
告一七二　朝鮮總督府觀測所天氣圖ノ發行及發賣ニ關スル件……（一四）　四五
告一七三　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一八）　六七
告二七三　輸入製造煙草ニ貼附スル證票……（一三）　四二
告二八〇　通信日附印ノ形式……（一八）　六七

大正十一年

法律

法二〇　未成年者飲酒禁止法……　一四三
法四〇　盜命法……　一四三
法五〇　內地、朝鮮、臺灣又ハ樺太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル件……　一四三
法六二　借託法……　一四三
法七一　破產法……　一四三
法七二　和議法……　一四三
法七五　刑事訴訟法……　一四三

勅令

勅一　會計規則……　一四三
勅五　國庫ヨリ俸給ヲ受クル府縣ノ官吏ニ對シ府縣費ヨリ旅費支出ニ關スル件……　一四三
勅六　在外研究員規程……　一四三
勅九　辨理士法ヲ朝鮮及臺灣ニ施行スル件……　一四三
勅一五　國有財產法施行令……　一四三
勅二八　供託法中改正法律施行ニ關スル件……　一四三
勅六九　朝鮮總督府供託局官制……　一四三
勅七五　供託物ノ還付又ハ取戻ヲ請求スル場合ニ關スル件……　一四三
勅七八　陸軍法會議法、海軍軍法會議法及刑事裁判法等ノ施行期日ニ關スル件……　一四三
勅八六　陸軍法會議法及海軍軍法會議法施行前ヨリ施行セラルル勅令中、主理等ノ名稱ニ關スル件……　一四三
勅九八　陸軍法務官及海軍法務官任用令……　一四三
勅一〇二　海軍法會議法第一條第二項ノ規定ニ依リ除外スヘキ者ニ關スル件……　一四三
勅一〇三　陸軍法會議法ニ依リ市町村ノ行フヘキ職務ニ關スル件……　一四三
勅一〇四　海軍法會議法ニ依リ市町村ノ行フヘキ職務ニ關スル件……　一四三
勅一五一　朝鮮總督府諸學校官制……　一四三
勅一五二　朝鮮公立學校官制……　一四三
勅一九三　公有水面埋立法施行期日……　一四三
勅二三五　朝鮮總督府警察官吏ノ職務應援ニ關スル件……　一四三
勅二九四　大正十一年法律第五十號施行期日……　一四三
勅三七九　朝鮮、臺灣ニ於ケル官立、公立ノ學校ニ樺太廳中學校、同高等女學校又ハ南洋廳公學校ノ教員ニシテ倉庫事務ニ從事スル者ノ手當給與ニ關スル件……　一四三
勅三八七　朝鮮總督府林業試驗場官制……　一四三
勅四三一　陸軍准士官下士ヲ判任文官ニ任用ノ件……　一四三
勅四三二　海軍准士官及下士官ヲ判任文官ニ任用ノ件……　一四三
勅四三八　奏任及判任待遇監獄職員給與令……　一四三
勅四四〇　監獄官吏ノ功勞記章ニ關スル件……　一四三

宮內省

令七　大正十一年皇室令第四號施行ノ際ニ於ケル皇族ニ分屬ス宮內屬及李王職屬ノ官等ニ關スル件……　一四三

外務省

告一八一　日丁間國間船積貨測度證書互認……　一四三

大藏省

令一二　支出官事務規程……　一四三
令五　出納官吏事務規程……　一四三
令六　保管金取扱規程……　一四三
令七　預金部預金取扱規程……　一四三
令八　政府所有有價證券取扱規程……　一四三
令九　政府保管有價證券取扱規程……　一四三
令一〇　供託有價證券取扱規程……　一四三
令一一　日本銀行國庫金取扱規程……　一四三
令一二〇　會計規則及各特別會計規則ノ規定ニ依リ調製スルコトヲ要スル帳簿ノ樣式及記入ノ方法竝書類ノ樣式……　一四三
令三三　會計規則第九十六條ノ規定ニ依リ一般ノ競爭ニ加ラムトスル者ニ必要ナル資格ニ關スル件……　一四三

令四二　商標登錄規則……　一四三
告三一〇　特許、實用新案、意匠及商標ニ關スル明細書、說明書、圖面、雛形及見本ノ調製心得……　一四三

遞信省

令五六　外國郵便規則……　一三

朝鮮總督府

側五　朝鮮煙草專賣令……　一三
側六　朝鮮煙草專賣令施行規則……　一三
側一〇　朝鮮地方官制通則……　一三
令二四　朝鮮教育令……　一三
令二七　齒科醫師試驗規則……　一三
令三二　官廳用無線電信無線電話規則……　一三
令四九　朝鮮煙草專賣令施行規則……　一三
令五一　地方專賣局ノ管轄區域……　一三
令五二　朝鮮煙草專賣令ニ依ル徵收物件ノ申告、鑑定人等ニ關スル件……　一三
令九〇　朝鮮煙草專賣令第四十七條及同第四十八條ノ交付金交付ニ關スル件……　一三
令九一　雜基ヲ開港トスルノ件……　一三
令一一三　自轉車取締規則……　一三
令一二一　專賣局官吏證票樣式……　一三
令一二三　官廳ノ所管ニ係ル不動產登記ノ嘱託ニ關スル件……　一三
令一二七　葉煙草ノ輸出ニ關スル件……　一三
令一三五　大正十年勅令第二百三十九號第一條第四號ニ依ル物品認許ニ關スル件……　一三
令一四四　痘苗販賣規則……　一三
令一五三　朝鮮辯護士試驗規則……　一三
訓七　叙位條例施行細則又ハ勳章褫奪令施行細則ニ依ル申牒及勳章年金支給細則第十三條ニ依ル通知ニ關スル件……　一三
令四〇　意匠登錄規則……　一三
令四二　齒科醫師試驗委員規則……　一三

令 三八 歲入年度等誤謬ノ場合訂正手續……(三)　三五
令 四三 會計法規ニ基ク出納計算ノ數字及記載事項ノ訂正ニ關スル件……(三)　三八
訓 一五 政府ト私人トノ債務ノ相殺アリタル場合ニ於ケル歲入徵收官ノ事務取扱方……(三)　三九
達 二 一般會計歲入徵收官……(三)　三九

遞信省

令 六一 技術試驗規程……(八)　五四

會計檢查院

達 一一 計算證明規程……(三)　四五

朝鮮總督府

制 九 地稅免除ノ期間ニ關スル件……(三)　三
令 一 物件費拂代金延納規則……(三)　三
令 九 實業學校規程……(三)　三
令 一一 幼稚園規程……(三)　三
令 二一 公立私立專門學校規程……(三)　三
令 二六 朝鮮總督府專賣局現業員共濟組合規則……(九)　三
令 二八 私立學校敎員ノ資格及員數ニ關スル規程……(三)　三
令 三四 朝鮮總督府供託局供託物取扱規則……(三)　三
令 三六 供託金ノ利息……(三)　三
令 三七 大正十一年制令第二號ノ施行前ニ爲シタル供託ニ關スル件……(三)　三
令 三八 供託事務取扱店……(三)　三
令 四一 朝鮮總督府供託局ノ名稱及位置……(三)　三
令 四四 在內地給費生規程……(三)　三
令 四七 稅關棧橋、繫船場及船渠使用規則……(三)　三
令 四九 京城法學專門學校規程……(三)　三
令 五〇 京城醫學專門學校規程……(三)　三
令 五一 京城高等工業學校規程……(三)　三
令 五二 水原高等農林學校規程……(三)　三
令 五三 京城高等商業學校規程……(三)　三

大正十二年

皇室令

皇 一二 外國ニ出張ヲ命セラレタル者ノ渡切旅費ニ關スル件……(三)　三
宮內省恩給令……(三)　六

法律

法 四八 一 恩給法……(三)　一
勅 五六 海軍區令……(三)　一九
勅 五八 鎭海要港ノ境域……(三)　一九
勅 二〇八 朝鮮總督府、臺灣總督府及關東局ノ監獄官吏ノ功勞記章ニ關スル件……(三)　六
勅 三〇〇 陸軍軍法會議法及海軍軍法會議法中時效ニ關スル規程等施行期日……(三)　三
勅 三〇五 大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得サル費途ノ件……(三)　四六
勅 三六七 恩給法施行令……(三)　二六
勅 三六九 恩給令與規則……(三)　二六
勅 三八二 朝鮮總督府感化院官制……(三)　二六
勅 四三九 恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則……(三)　四〇
勅 四九三 朝鮮總督府圖書館官制……(三)　一四

內閣

令 五 增額恩給中內閣恩給局長ノ管掌ニ係ルモノノ更正手續……(三)　二六
令 七 國庫ノ支辨ニ屬スル恩給中內閣恩給局長ノ管掌ニ係ルモノノ給與細則……(三)　二六
令 一一 恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則ノ規定ニ依ル裁定要項通知書書式……(三)　二六
告 二 恩給法第九十二條第一項ノ規定ニ依ル加算ノ地域及期間……(三)　二六

宮內省

令 二二 宮內省恩給令施行規則……(三)　二六
令 一四 宮內省恩給與規則……(三)　二六
令 一五 宮內省恩給令ノ規定ニ依リ增額スヘキ恩給ノ更正手續……(三)　二六

大藏省

令 三〇 恩給金額分擔及國庫納金收入等取扱規則細則……(三)　二六

文部省

令 一一 朝鮮敎育令ニ依リ設立セル學校ノ生徒兒童竝卒業者ノ他ノ學校ヘ入學轉學ニ關スル規程……(三)　一九
令 一九 朝鮮敎育令ニ依ル中學校、高等普通學校、專門學校ヲ文官任用令ニ依リ認定……(三)　一九
令 二六 朝鮮總督府、臺灣總督府及關東局ノ監獄官吏ノ功勞記章ニ關スル件……(三)　六
令 二七 朝鮮水產令施行規則……(三)　二七
令 三〇 「ラノリンレカンパニー」(檀木)輸移出取締ニ關スル件……(三)　三〇
令 三一 朝鮮總督府道消防手服制……(三)　三一
令 四三 朝鮮總督府道消防手給與品及貸與品規則……(三)　四三
令 四八 府尹又ハ面長ノ管掌スル戶籍事務ノ費用負擔ニ關スル件……(三)　四八
令 五五 朝鮮卜內地、臺灣、樺太又ハ南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル制令施行規則……(三)　五五
令 六一 朝鮮出張所ノ名稱、位置……(三)　六一
令 六三 船舶法第一條等ノ日本船舶ノ不開港出入ニ關スル件……(三)　六三
令 六八 地方交劑職員ニ關スル件……(三)　六八
令 七五 朝鮮種痘令施行規則……(三)　七五
令 七六 公立小學校又ハ普通學校ノ訓導ニシテ一年現役ニ服スル者ノ俸給補助ニ關スル件……(三)　七六
令 八六 船舶積量測度互認……(三)　八六
令 八七 豫約新聞通話規則……(三)　八七
令 一〇三 恩給法第百一條又ハ第百二條ノ規定ニ依リ增額スヘキ恩給中朝鮮總督又ハ道知事ノ管掌ニ係ルモノノ更正手續……(三)　一〇三
令 一一一 恩給法第百三條ノ規定ニ依リ裁定又ハ改定スヘキ恩給中朝鮮總督又ハ道知事ノ管掌ニ係ルモノノ裁定又ハ改定ノ手續……(三)　一一一
令 一一二 朝鮮總督府感化院規則……(三)　一一二
令 一一三 朝鮮電氣測定令施行期日及附則第二項ノ期間ニ關スル件……(三)　一一三
令 一二四 朝鮮電氣測定令施行規則……(三)　一二四
令 一二五 朝鮮總督ノ管掌ニ係ル恩給ノ裁定ニ關スル件……(三)　一二五

令　一二八　私立學校教員資格認定ニ關スル件……(一三)　一二九
訓　一五　朝鮮戸籍令施行手續……(一三)　一二八
訓　一九　警察官署及稅關監視署取扱ニ係ル……(一三)　一二九
訓　二四　積荷目錄送付方……(一三)　一三〇
訓　二七　朝鮮總督府巡査及朝鮮總督府道巡……(一三)　一三一
訓　四二　間島、琿春、安東地方ヘ出張スル者……(一三)　一三〇
訓　四四　ノ旅費ニ關スル件……(一三)　一三〇
訓　五二　私立學校教員資格認定委員會規程……(一三)　九
訓　五五　種痘法第八條ニ依ル符號記入方……(一三)　一三一
告　二三　朝鮮總督府裁判所及檢事局令狀取……(一三)　一三八
告　三四　扱規程……(一三)　一三八
告　九三　看護婦規則ニ依ル看護婦養成所指……(一三)　一三
告　九四　定……(一三)　一三六
告　九七　朝鮮總督府醫師規則第一條第一項第二號ニ依リ醫學校指定……(一三)　一四
告　一二二　朝鮮總督府官報ノ發賣並廢告ニ關スル件……(一三)　一三
告　一八四　教科用圖書等ノ翻刻及發行ニ關スル件……(一三)　一三九
告　一八五　無線電信機ヲ裝置スル電信局所ノ呼出符號……(一三)　一三九
告　二三三　朝鮮總督府醫院官制……(一三)　一三六

大正十三年

法律

法　二　海軍軍需品制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル件……(一八)　一五七
法　二四　貴澤品等ノ輸入稅ニ關スル件……(一三)　一六〇

勅令

勅　七　臭太字結婚禮當日官國幣社以下神社ニ於テ行フヘキ祭祀ニ關スル件……(一三)　一六

勅　一六　稅務署長、收稅官吏等ノ朝鮮煙草專賣令犯則處分ニ關スル職權ノ件……(一三)　一二〇
勅　一〇三　京城帝國大學官制……(一三)　一二〇
勅　一〇四　京城帝國大學學部……(一三)　一二〇
勅　一〇五　京城帝國大學ニ關スル件……(一三)　一二〇
勅　一六八　大正十三年法律第二十四號ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スル件……(一三)　一二一
勅　一九一　海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スル等ノ件……(一三)　一二一
勅　一九三　土耳其國ノ生產ニ係ル物品ノ輸入稅率ニ關スル件……(一三)　一二一
勅　二〇二　朝鮮銀行法第三十七條ノ二ノ規定ニ依リ大藏大臣ノ職務ニ屬スル事項ヲ朝鮮總督ヲシテ行ハシムル件……(一三)　一二二
勅　二〇三　稅關管轄區域……(一三)　一二二
勅　二〇四　奏任及判任待遇朝鮮總督府監獄職員定員……(一三)　一二二
訓　一　朝鮮總督府警察職式ニ關スル件……(一三)　一二三
訓　九　恩給法施行令ニ依リ加算又ハ除算ヲ爲スヘキ者アルトキノ取扱方ノ件……(一三)　一二三
令　二　銃砲火藥類取締ニ關スル取扱手續……(一三)　一二三
訓　二七　內務局土木出張所所屬船還信局海事出張所所屬船及警察官署所屬船ノ稅關所屬船相互使用ノ件……(一三)　一二六
訓　五八　土地收用規則ニ依リ林野圖ヲ以テ地籍圖ト看做ス地域……(一三)　一二六
告　六〇　染料輸入許可申請方……(一三)　一二四
告　一七五　染料輸入制限ニ關スル該當番號及品名……(一三)　一二四
告　一八三　產婆規則及看護婦規則ニ依ル產婆、看護婦養成所ノ指定……(一三)　一二四
告　一九〇　水底電信線路區域……(一三)　一二四
告　一九五　郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ於テ購入及保管スヘキ證券ノ種類……(一三)　一二五
告　二六六　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル港船ノ管理廳指定……(一三)　一二六
令　三七　朝鮮總督府及所屬官署ノ執務時間……(一三)　一二〇
令　四五　染料輸入許可ニ關スル件……(一三)　一二〇
令　四六　銃砲火藥類取締令施行規則……(一三)　一二〇
令　四八　時事、音樂其ノ他ノ事項ヲ放送シ又ハ之ヲ聽取スル爲施設スル私設無線電話ニ關スル件……(一三)　一二一
令　五三　朝鮮戸籍令ニ依ル警察官ノ職務ニ關スル件……(一三)　一二八
令　六八　令監獄事務ニ從事スル者等ニ給スヘキ手當額及支給方法ニ關スル件……(一三)　一二八
令　七七　朝鮮公有水面埋立令ニ依リ朝鮮總督ノ權限ニ屬スル事項中地方長官ヲシテ行ハシムルノ件……(一三)　一二五
令　七九　稅關管轄區域……(一三)　一二五
令　八六　奏任及判任待遇朝鮮總督府監獄職員定員……(一三)　一二五
訓　一　朝鮮總督府警察職式ニ關スル件……(一三)　一二三
訓　九　恩給法施行令ニ依リ加算又ハ除算ヲ爲スヘキ者アルトキノ取扱方ノ件……(一三)　一二三
訓　二七　銃砲火藥類取締ニ關スル取扱手續……(一三)　一二三
訓　五八　內務局土木出張所所屬船還信局海事出張所所屬船及稅關所屬船相互使用ノ件……(一三)　一二六
告　六〇　土地收用規則ニ依リ林野圖ヲ以テ地籍圖ト看做ス地域……(一三)　一二六
告　一七五　染料輸入許可申請方……(一三)　一二四
告　一八三　染料輸入制限ニ關スル該當番號及品名……(一三)　一二四
告　一九〇　產婆規則及看護婦規則ニ依ル產婆、看護婦養成所ノ指定……(一三)　一二四
告　一九五　水底電信線路區域……(一三)　一二四
告　二六六　郵便貯金規則ニ依リ郵便官署ニ於テ購入及保管スヘキ證券ノ種類……(一三)　一二五
令　三五　道界ニ於ケル等外道路ヲ接續スル港船ノ管理廳指定……(一三)　一二六

大正十四年

法律

法　一三　大藏省預金部特別會計法……(一三)　一二九
法　一八　朝鮮鐵道用品資金會計法……(一三)　一二九
法　二五　預金部預金法……(一三)　一三〇
法　四二　外國人土地法……(一三)　一三一
法　四六　治安維持法……(一三)　一三〇
法　五一　關東州ノ生產ニ係ル物品ノ輸入稅免除ニ關スル件……(一三)　一三〇

勅令

勅　四八　朝鮮鐵道用品資金會計規則……(一三)　一三六
勅　五四　大藏省預金部特別會計規則……(一三)　一三六
勅　五五　預金部資金運用規則……(一三)　一三六
勅　五六　貴澤品等ノ輸入稅ニ關スル件中貴石、半貴石又ハ號稍ノ輸入稅一部免除ニ關スル件……(一三)　一三六
勅　八四　朝鮮總督府鐵道局官制……(一三)　一三六
勅　八六　朝鮮道立醫院官制……(一三)　一三六
勅　九六　朝鮮總督府鐵道局職員特別任用令第一條又ハ第四條ノ規定ニ依リ朝鮮總督府鐵道局ノ參事又ハ副參事ニ任用セラルル者ノ官等ニ關スル件……(一三)　一三六
勅　一〇三　朝鮮總督府鐵道局職員特別任用令……(一三)　一三三
勅　一一六　朝鮮總督府鐵道局現業員ノ共濟組合ニ關スル件……(一三)　一三三
勅　一三五　陸軍現役將校學校配屬令施行規程……(一三)　一二九
勅　一六九　天皇皇后結婚當日官國幣社以下神社ニ於テ行フヘキ祭祀ニ關スル件……(一三)　一二五
勅　一七五　治安維持法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……(一三)　一二六
勅　二一八　朝鮮史編修會官制……(一三)　一二七
勅　二三二　大正十四年法律第五十一號ニ依ル生產品ノ製產原地證明ニ關スル件……(一三)　一二七
勅　二四六　文部大臣所轄外ノ學校ニ陸軍現役將校ヲ配屬スルノ件……(一三)　一二七
勅　二六〇　關東州ノ生產ニ係ル物品ノ輸入稅免除ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……(一三)　一二七
勅　二六五　朝鮮陸揚貨物運送取扱人ノ營業ニ關スル件……(一三)　一二七
勅　二六七　朝鮮總督府及其ノ所屬官署ノ職員又ハ其ノ遺族ニ一時金ヲ給スルノ件……(一三)　一二七
勅　二七六　朝鮮總督府及所屬官署ノ職員ニ退隱料、遺族扶助料及一時金ヲ給スル件……(一三)　一二八
勅　三〇三　朝鮮總督府巡查ノ給與ニ關スル件……(一三)　一二八
勅　三〇五　朝鮮神宮職員令……(一三)　一二八
告　六　朝鮮神宮改稱……(一三)　一二八
告　九　官幣大社朝鮮神宮鎭座祭及例祭日……(一三)　一二八
告　二八　大藏省
遞信省
文部省
陸軍省
內閣
朝鮮總督府

法　一三　大藏省預金部特別會計法……(一三)　一二九
法　一八　朝鮮鐵道用品資金會計法……(一三)　一二九
法　二五　預金部預金法……(一三)　一三〇
法　四二　外國人土地法……(一三)　一三一
法　四六　治安維持法……(一三)　一三〇
法　五一　關東州ノ生產ニ係ル物品ノ輸入稅免除ニ關スル件……(一三)　一三〇

勅　四八　朝鮮鐵道用品資金會計規則……(一三)　一三六
勅　五四　大藏省預金部特別會計規則……(一三)　一三六
勅　五五　預金部資金運用規則……(一三)　一三六
勅　五六　貴澤品等ノ輸入稅ニ關スル件中貴石、半貴石又ハ號稍ノ輸入稅一部免除ニ關スル件……(一三)　一三六
勅　八四　朝鮮總督府鐵道局官制……(一三)　一三六
勅　八六　朝鮮道立醫院官制……(一三)　一三六
勅　九六　朝鮮總督府鐵道局職員特別任用令第一條又ハ第四條ノ規定ニ依リ朝鮮總督府鐵道局ノ參事又ハ副參事ニ任用セラルル者ノ官等ニ關スル件……(一三)　一三六
勅　一〇三　朝鮮總督府鐵道局職員特別任用令……(一三)　一三三
勅　一一六　朝鮮總督府鐵道局現業員ノ共濟組合ニ關スル件……(一三)　一三三
勅　一三五　陸軍現役將校學校配屬令施行規程……(一三)　一二九
勅　一六九　天皇皇后結婚當日官國幣社以下神社ニ於テ行フヘキ祭祀ニ關スル件……(一三)　一二五
勅　一七五　治安維持法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……(一三)　一二六
勅　二一八　朝鮮史編修會官制……(一三)　一二七
勅　二三二　大正十四年法律第五十一號ニ依ル生產品ノ製產原地證明ニ關スル件……(一三)　一二七
勅　二四六　文部大臣所轄外ノ學校ニ陸軍現役將校ヲ配屬スルノ件……(一三)　一二七
勅　二六〇　關東州ノ生產ニ係ル物品ノ輸入稅免除ニ關スル法律ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……(一三)　一二七
勅　二六五　朝鮮陸揚貨物運送取扱人ノ營業ニ關スル件……(一三)　一二七
勅　二六七　朝鮮總督府及其ノ所屬官署ノ職員又ハ其ノ遺族ニ一時金ヲ給スルノ件……(一三)　一二七
勅　二七六　朝鮮總督府及所屬官署ノ職員ニ退隱料、遺族扶助料及一時金ヲ給スル件……(一三)　一二八
勅　三〇三　朝鮮總督府巡查ノ給與ニ關スル件……(一三)　一二八
勅　三〇五　朝鮮神宮職員令……(一三)　一二八
令　六　朝鮮神宮改稱……(一三)　一二八
令　九　官幣大社朝鮮神宮鎭座祭及例祭日……(一三)　一二八
令　二八　大藏省
遞信省
文部省
陸軍省
內閣
朝鮮總督府

例令 令 令

告 條 勅 一 五九 勅 一 王族公族ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ身位ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範 一
告 條 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 條 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一

告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一

告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一
告 四 勅 二 一 五九 勅 一 王族公族ノ身位ニ關スル件ノ施行ニ關スル件 三 令 一 王族公族ノ喪儀ニ關スル件 三 詔 一 皇室典範ノ施行ニ關スル件 一

告 三 勅 一 六六 法 一 法律ノ公布式ニ關スル件 一 令 一 皇室會議令 一 詔 一 皇室典範ノ增補ニ關スル件 一
告 三 勅 一 六六 法 一 法律ノ公布式ニ關スル件 一 令 一 皇室會議令 一 詔 一 皇室典範ノ增補ニ關スル件 一
告 三 勅 一 六六 法 一 法律ノ公布式ニ關スル件 一 令 一 皇室會議令 一 詔 一 皇室典範ノ增補ニ關スル件 一

告 三 勅 一 六六 法 一 法律ノ公布式ニ關スル件 一 令 一 皇室會議令 一 詔 一 皇室典範ノ增補ニ關スル件 一

朝鮮簡易生命保險審査會規程……（三）　勅三〇八　令一〇二
朝鮮警察共濟組合令……（九）　勅三一七　令一〇七
資源調査施行期日……（一六）　勅三二六　令一〇八
資源調査法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（一六）　勅三二七　令一〇八
資源調査令……（一六）　勅三二九　令一〇九

內閣

高等試驗施行要綱……（三）　告一　令一一三
從軍加算及擾亂地勤務加算ニ關スル件……（三）　告三　令一一四
資源調査令別表ニ基ク指定……（六）　告五　令一一五

遞信省

飛行場使用規則……（八）　令一〇一　令一一七

拓務省

拓務省所管旅費規則……（三）　令二　令一一八
拓務省所管總費支辨ニ關スル各廳員朝鮮、臺灣及樺太內旅費規則……（三）　令三　令一一九
拓務省所管總費支辨待遇官吏以下外國旅費規則……（三）　令五　令一二二

朝鮮總督府

朝鮮漁業令……（七）　制一　令一二三
朝鮮簡易生命保險令……（九）　制五　令一三七
府尹ノ交際費ニ關スル件……（三）　令一九　令一四四
稅關組合業務監督規程……（三）　令二二　令一四五
金融組合業務監督規程……（三）　令三八　令一四六
飛行場ノ使用ニ關スル件……（八）　令三九　令一四七
道立醫學講習所規程……（六）　令五四　令一四八
貯蓄銀行令施行規則……（七）　令六二　令一四九
船舶積載重量測度互認……（八）　令六五　令一五〇
稅關支署ノ名稱、位置及管轄區域……（三）　令六七　令一五一
保稅工場法第五條第一項但書ノ規定ニ依ル外國貨物……（三）　令七五　令一五二
船舶積載重量測度互認……（八）　令七六　令一五三
朝鮮簡易生命保險規則……（九）　令七八　令一五四
朝鮮地方選舉取締規則……（九）　令八三　令一五五
朝鮮簡易生命保險審査會規程施行細則……（三）　令八八　令一五八

朝鮮總督府

朝鮮商工會議所令……（三）　制一　令一五九
朝鮮家畜傳染病豫防令……（一〇）　制六　令一六〇
府制……（九）　制一二　令一六一
邑面制……（九）　制一三　令一六二
道制……（九）　制一五　令一六三
明治四十四年朝鮮總督府告示第二百四十五號ノ改正ニ伴フ漁業ノ免許及漁業權ノ效果……（七）　令一六四
朝鮮醫師及醫師試驗規則……（一〇）　令一六五
朝鮮藥劑師及藥劑師試驗規則……（一〇）　令一六六
朝鮮漁業組合設立認可規則……（一〇）　令一六七
朝鮮漁業組合登記規則……（一〇）　令一六八
郵便切手類及收入印紙賣捌規則……（八）　令一七〇
昭和五年制令第一號ニ依ル鹽ノ輸入又ハ移入ニ關スル件……（一一）　令一七一
朝鮮私設鐵道資源調査規則……（八）　令一七二
從前ノ朝鮮關稅定率令ノ例ニ依リ加工又ハ製造ノ爲移入スル物品ニ關スル件……（一一）　令一七三
朝鮮船舶職員令施行規則……（八）　令一七四
朝鮮船舶職員試驗規則……（八）　令一七五
鹽ニ關スル專賣支局ノ管轄區域……（三）　令一七六
昭和五年制令第一號施行期日……（一一）　令一七七
朝鮮水產物纖維製造營業取締規則……（一一）　令一七八
重貨物ノ重量標示ニ關スル件……（八）　令一七九
船舶ニ依ル阿片運送取締規則……（八）　令一八〇
朝鮮商工會議所令施行規則……（一一）　令一八七
邑面及邑面長ニ關スル規程……（九）　令一九五
府制施行規則……（九）　令二〇三
邑面制施行規則……（九）　令二〇四
府制、學校組合及朝鮮學校費令改正經過規程……（九）　令二〇五
官等ニ關スル件……（三）　令二〇八
朝鮮總督府道廳學官特別任用令……（三）　勅二一一

遞信省

船舶職員法施行規則……（八）　令一　令一一六
船舶職員試驗規程……（八）　令一一　令一一七

朝鮮總督府

鹽ノ輸入又ハ移入ニ關スル件……（一一）　令一二　令一二三
朝鮮商工會議所令……（一一）　令一六　令一二五
朝鮮家畜傳染病豫防令……（一〇）　令一一　令一二六
府制……（九）　令一二　令一二七
邑面制……（九）　令一三　令一二八
道制……（九）　令一四　令一二九
明治四十四年朝鮮總督府告示第二百四十五號ノ改正ニ伴フ漁業ノ免許及漁業權ノ效果……（七）　令一六　令一三一
朝鮮醫師及醫師試驗規則……（一〇）　令一八　令一三二
藥種商營業取締規則……（一〇）　令一九　令一三三
朝鮮漁業組合登記規則……（一〇）　令二〇　令一三四
郵便切手類及收入印紙賣捌規則……（八）　令二二　令一三五
昭和五年制令第一號ニ依ル鹽ノ輸入又ハ移入ニ關スル件……（一一）　令二三　令一三六
朝鮮私設鐵道資源調査規則……（八）　令二四　令一三七
從前ノ朝鮮關稅定率令ノ例ニ依リ加工又ハ製造ノ爲移入スル物品ニ關スル件……（一一）　令二五　令一三八
朝鮮船舶職員令施行規則……（八）　令二六　令一三九
朝鮮船舶職員試驗規則……（八）　令二七　令一四〇
鹽ニ關スル專賣支局ノ管轄區域……（三）　令二八　令一四一
昭和五年制令第一號施行期日……（一一）　令二九　令一四二
朝鮮水產物纖維製造營業取締規則……（一一）　令三〇　令一四三
重貨物ノ重量標示ニ關スル件……（八）　令三一　令一四四
船舶ニ依ル阿片運送取締規則……（八）　令三二　令一四五
朝鮮商工會議所令施行規則……（一一）　令三三　令一四六
邑面及邑面長ニ關スル規程……（九）　令三四　令一四七
府制施行規則……（九）　令三五　令一四八
邑面制施行規則……（九）　令三六　令一四九
府制、學校組合及朝鮮學校費令改正經過規程……（九）　令三八　令一五〇

昭和六年

法律

特別會計ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルコトニ關スル法律……（二）　告一一三　勅二
重要産業ノ統制ニ關スル法律……（一）　告一一四　勅五
自動車交通事業法……（八）　告一二五　勅五二
入營者職業保障法……（九）　告一三七　勅五七
刑事補償法……（一〇）　告一四一　勅六〇

勅令

二以上ノ俸給ヲ受クル官吏及待遇官吏ノ減俸ニ關スル件……（二）　告一七一　勅一四三
朝鮮總督府專賣局販賣所長給與令……（二）　告一七二　勅一五六
特別會計ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルルコトニ關スル法律ノ施行ニ關スル件……（二）　告一八五　勅二〇三
入營者職業保障法施行令……（九）　告二〇七　勅二六一
入營者職業保障法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（九）　告二〇八　勅二六二
朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル學位授與ニ關スル件……（一〇）　告二三九　勅二六八
軍事扶助法施行令……（九）　告二四〇　勅二八四

內閣

號外

資源ニ關スル標準用語ノ使用普及ニ關スル件……（八）　告一　令一二五
藥品標準用語……（八）　告一六　令一二六
資源調査令別表中陸軍省及海軍省ノ部ニ規定スル軍需品ノ製造又ハ修理ノ能力ノ調査報告擔任廳ニ關スル件……（八）　令一二七

大藏省

水盆メートルノ檢定費用ニ關スル件……（七）　告四二五　勅一四五
朝鮮商工會議所令施行規則ニ依リ特別議員ヲ置ク商工會議所及其ノ定數……（一〇）　告五二〇　勅一五九

勅令

官吏ノ俸給ヲ受クル官吏及待遇官吏ノ減俸ニ關スル件……（二）　勅一八一　勅一八一
朝鮮總督府專賣局販賣所長給與令……（二）　勅一八五　勅一八五
特別會計ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルルコトニ關スル法律ノ施行ニ關スル件……（二）　勅二〇三　勅二〇三
入營者職業保障法施行令……（九）　勅二六一　勅二六一
入營者職業保障法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（九）　勅二六二　勅二六二
朝鮮、臺灣、關東州及南滿洲鐵道附屬地ニ於ケル學位授與ニ關スル件……（一〇）　勅二六八　勅二六八
軍事扶助法施行令……（九）　勅二八四　勅二八四

內閣

號外

資源ニ關スル標準用語ノ使用普及ニ關スル件……（八）　告一　告一
藥品標準用語……（八）　告一六　告一六
資源調査令別表中陸軍省及海軍省ノ部ニ規定スル軍需品ノ製造又ハ修理ノ能力ノ調査報告擔任廳ニ關スル件……（八）　告二九三　告二九三

令　二七　特別会計ノ恩給負擔金ヲ一般会計ニ繰入ルルコトニ關スル法律施行事務取扱細則……（一二）　三〇三

陸軍省

告　四二　陸軍鐵道輸送手續……（一二）　一九
海軍省
告　四　海軍軍人軍屬鐵道乘車並ニ軍需品輸送手續……（一二）　一八三
遞信省
令　二一　外國郵便拔幷規則……（一〇）　一八四

朝鮮總督府

制　一　朝鮮骨牌稅令……（一二）　二〇七
制　五　朝鮮取引所令……（一二）　二〇七
制　七　朝鮮無盡業令……（一二）　二〇七
制　八　朝鮮信託業令……（一二）　二〇七
制　一四　朝鮮農業倉庫業令……（一二）　二〇九
制　三〇　府邑面、學校費及學校組合ノ吏員等ノ服務紀律、賠償責任、身元保證及事務引繼ニ關スル件……（九）　二〇九
令　四五　朝鮮骨牌稅令施行規則……（一二）　二〇八
令　五〇　郵便ニ依リ輸入又ハ移入スル酒類、砂糖、精蜜、精水又ハ骨牌ノ課稅ニ關スル件……（一二）　二〇八
令　五七　府邑面、學校費、學校組合ノ廢置又ハ區域變更等ノ場合ニ於ケル事務及財産ニ關スル件……（九）　二〇九
令　五九　引火貨物取締規則……（一〇）　二一一
令　六一　朝鮮漁業組合規則ニ依リ朝鮮總督ノ指定シタル漁業組合ノ理事並ニ漁業組合聯合會ノ理事長及理事ノ身元保證ニ關スル件……（一〇）　二一二
令　六三　朝鮮總督府濟生院ノ訓導ニシテ寄宿舍ノ事務ニ從事スル者ノ手當給與ニ關スル件……（一二）　二一二
令　六七　無線通信士資格檢定規則……（一二）　二一三
令　七〇　朝鮮庶務學校及産婆養成所指定規則……（一〇）　二一四
令　七四　朝鮮無盡業令施行規則……（一二）　二一四
令　七五　朝鮮無盡業令第四十三條ノ規定ニ依リ銀行ノ名稱、位置及管轄區域……（一二）　二一五

勅　三〇　朝鮮總督府種馬牧場官制……（一二）　二一五
勅　三八　朝鮮總督府醫務官服制……（一四）　九

一　條　約

告　三　恩給法第九十二條第一項ノ規定ニ依ル加算ノ地域及期間……（一二）　六六
告　五　燃料、油脂、塗料及顏料標準用語……（六）　二三五

陸軍省

令　二二　兵役法施行令第四十四條第三項ノ規定ニ依ル徵募區及檢査區ノ區域……（一二）　二四〇

文部省

告　一五七　高等試驗令第八條ニ依ル指定學校……（一二）　二四〇
告　一五八　高等試驗令第八條ニ依ル指定學校……（一二）　二四〇

遞信省

令　三四　日清兩國間ノ郵便物、郵便爲替及電報ノ取扱ニ關スル件……（一二）　二四〇

朝鮮總督府

朝鮮電氣事業令……（一二）　七六
制　一　朝鮮穀物檢査令……（一二）　七六
制　二　朝鮮競馬令……（一二）　七六
制　三　朝鮮不動産融資及損失補償令……（一二）　七六
制　四　朝鮮小作調停令……（一二）　七六
制　五　上海及揚子江方面ト朝鮮トノ間ニ發着スル軍事郵便物ノ取扱ニ關スル件……（一二）　七六
令　一八　天災ニ依リ地稅附加稅ヲ免除セラレタル者ノ選擧ニ關スル資格要件ニ關スル件……（一二）　七六
令　三八　燃料選鑛研究所分析、試驗及鑑定規則……（一二）　七六
令　四二　治療藥品檢定規程……（一二）　七六
令　四六　郵便爲替特別取扱規則……（一二）　七六
令　四七　朝鮮簡易船積量測度規程……（一二）　七六
令　五二　普通火藥類製造取締規則……（一二）　七六
令　六五　諮委員會等ノ旅費支給規則……（一二）　七六
令　六七　朝鮮總督府牧場官制……（一二）　七七
勅　二〇　朝鮮總督府警察官服制……（一二）　七七

一　條　約

告　九一　昭和七年九月十五日ノ日滿議定書……（七）　三七

內　閣

告　三一

昭和八年

皇室令

皇二　恩給ノ増額等ニ關スル件……（三五）　九條

法律

法一一　船舶安全法……（八）
法一六　舊韓國起業公債證書ノ元利支拂ノ爲ノ資金ノ交付ニ關スル法律……（一二）
法二四　米穀統制法……（一二）
法二八　外國爲替管理法……（一三）
法四二　身元保證ニ關スル法律……（一五）
法五四　法律事務取扱ノ取締ニ關スル法律……（一四）
法五七　小切手法……（一五）

勅令

勅一三　巡査分限令……（三）
勅一五　巡査懲戒令……（三）
勅一六　朝鮮總督府、臺灣總督府、關東局、樺太廳及南洋廳部内ノ巡査竝ニ判任官ノ待遇ヲ受クル朝鮮總督府道及關東局消防手ノ分限及懲戒ニ關スル件……（三）
勅一八　警部補ノ俸給及給與ニ關スル件……（三）
勅六六　外國爲替管理法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（一三）
勅七六　現役若ハ召集中ノ陸海軍兵又ハ其ノ家族危篤又ハ死亡ノ際出頭又ハ歸省スル者ニ旅費支給ノ件……（三）
勅一一三　昭和七年法律第四號ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（一三）
勅二二四　朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存令ノ制……（三）
勅二五八　朝鮮總督ノ管理ニ屬スル鐵道ノ一部ノ業務ノ委託ニ關スル件……（一八）
勅二七九　樺太ニ施行スルノ件……（一七）

令一五　關門橋歩道取締規則……（一八）
令一一七　朝鮮電氣事業令施行規則……（一八）
令一一八　朝鮮電氣工作物規程……（一八）
令一一九　朝鮮電氣事業會計規程……（一三）
令一二〇　朝鮮自家用電氣工作物施設規則……（一八）
令一二九　米穀統制法第七條ノ規定ニ依ル米穀ノ輸入又ハ輸出ノ制限ニ關スル件……（一七）
令一三六　朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行規則……（一六）
令一四六　拒絶證書規則……（一五）
令一四七　小切手ノ呈示期間ノ特例ニ關スル件……（一五）
令一四八　朝鮮民事令ニ於テ依ルコトヲ定メタル手形法及小切手法ノ規定ニ依ル手形交換所……（一五）
勅二　臨時朝鮮米穀調査委員會規程……（三）
勅三　刑事補償事務取扱規程……（一五）
勅四　府、邑、面、學校費及學校組合ノ豫算決算關係樣式及豫算調製ニ關スル心得……（九）
勅五　道會議員ノ選舉ニ關スル規程……（九）
勅一三　朝鮮總督府鐵道局事務分掌規程……（三）
勅一八　特別稅故森林處分審査會規程……（三）
勅二六　朝鮮總督府地方官官制ニ據ル判任官以下ノ俸令式ニ關スル件……（三）
勅二七　地方行政事務檢閲規程……（三）
勅四一　朝鮮總督府報告例……（六）
勅四二　朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令施行手續……（一六）
勅四三　朝鮮總督府寶物古蹟名勝天然記念物保存會議事規則……（一五）
勅四六　道ノ豫算、決算、繼續費及財産表ニ關スル樣式……（九）
告　九　特別稅用河川……（一一）
告二二　鴨緑江ニ出入スル船舶ノ注意事項……（一八）
告二三　隣接道區劃ノ境界ニ在ル一等道路及二等道路ニ付當時ノ維持修繕ヲ施行スベキ道知事指定……（一八）
告二九　道制施行規則第三條第一項但書ニ規定スル邑……（九）
告三〇　昭和八年朝鮮總督府令第四條ノ利率及遲延利息ノ制合……（一七）
告四九　朝鮮商品券取締令施行規則第二項ニ依ル百貨店……（一七）
告一六四　特別準用河川……（一三）
告一九五　朝鮮總督府鐵道局事務所及工場ノ名稱、位置及管轄區域……（一三）
告二一八　道界ニ於ケル幹外道路ヲ接續スル渡船ノ管理廳指定……（一八）
告二五七　低品位金鑛石資鑛奬勵金ヲ交付スベキ金鑛及奬勵金額……（一三）
告三四〇　水底電線路區域……（一五）
告三九四　朝鮮輸移出入植物檢査規則第一條ニ依リ檢査ヲ受クベキ植物檢査規則ニ依リ檢査ヲ行フ程關……（一五）
告三九五　朝鮮總督府令第二十號第二項ニ依ル法人指定……（一七）
告四〇八　朝鮮金融組合聯合會令第十七條ノ規定ニ依ル法業ニ關スル法律施行規則ニ依ル電報ノ料金ノ割合……（一七）
告四〇九　朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則ニ關スル法律施行規則ニ依ル電報ノ料金ノ割合……（一七）
告四一〇　朝鮮總督府鐵道局事務所、建設事務所及工場ノ名稱、位置及管轄區域……（一三）
告四五六　朝鮮總督府報告例……（六）
告五二五　朝鮮總督府鐵道局事務分掌規程……（三）
告五二七　朝鮮總督府鐵道局事務所、建設事務所及工場ノ名稱、位置及管轄區域……（一三）
告五二八　朝鮮總督府令第二十號第二項ニ依ル百貨店……（一七）
告五二九　朝鮮總督府鐵道局事務所、建設事務所及工場ノ名稱、位置及管轄區域……（一三）
告五七七　朝鮮總督府令第二十號第二項ニ依ル百貨店……（一七）

勅令

勅八六　朝鮮府郡島小作委員會官制……（三）
勅一一一　朝鮮總督府稅務官署官制……（三）
勅一一八　昭和九年法律第四十五號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（一七）
勅一九六　石油業法施行令……（一七）
勅一九八　石油業法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（一七）
勅二二五　昭和六年乃至九年事變從軍記章令……（三）
勅二四二　朝鮮總督府種羊場官制……（三）

昭和九年

法律

法一四　不正競爭防止法……（一七）
法二二　昭和九年法律第二十二號（地方鐵道法又ハ軌道法ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル法律）……（一三）
法二六　石油業法……（一七）
法三九　軍用電氣通信法……（一八）
法四五　貿易調節及通商擁護ニ關スル法律……（一七）

勅令

勅八六　朝鮮府郡島小作委員會官制……（三）
勅一一一　朝鮮總督府稅務官署官制……（三）
勅一一八　昭和九年法律第四十五號ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（一七）
勅一九六　石油業法施行令……（一七）
勅一九八　石油業法ヲ朝鮮、臺灣及樺太ニ施行スルノ件……（一七）
勅二二五　昭和六年乃至九年事變從軍記章令……（三）
勅二四二　朝鮮總督府種羊場官制……（三）

勅二八〇　米穀統制法施行令……（一七）
勅二八三　米穀統制法第九條ノ規定ニ依リ米穀其ノ他ノ輸入稅增加ノ件……（一七）

條約

條一〇一　國際電氣通信條約……（七）

内閣

閣一　朝鮮商品券取締令……（一七）
閣六　朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令……（一七）
閣七　朝鮮金融組合聯合會令……（一七）
閣一七　朝鮮砂防事業令……（一一）
閣一九　朝鮮自動車交通事業令……（一八）
閣一　内鮮電話通話規則……（一八）
令五　朝鮮商品券取締令施行規則……（一七）
令一二　昭和八年制令第二號附則第二項ノ規定ニ依ル出願手續……（一七）
令一五　道制施行規則……（九）
令一六　道吏員服務紀律……（九）
令一七　道制ノ施行ニ關スル件……（九）
令二〇　朝鮮不動産融資及損失補償令第一條ニ依ル委金融通ニ關スル件……（一七）
令三六　朝鮮總督府巡査及朝鮮總督府道巡査給與品及貸與品規則……（三）
令四〇　外國爲替管理法ニ基ク命令ノ件……（一三）
令四一　外國爲替管理法ニ關スル施行手續……（一三）
令四七　蓄音機「レコード」取締規則……（一〇）
令六〇　船舶輸入許可規則……（一八）
令七六　寄附金品募集取締規則……（一〇）
令七九　朝鮮輸移出入植物檢査規則……（一七）
令八三　朝鮮金融組合聯合會令施行規則……（一七）
令八四　朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則……（一七）
令八九　朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件……（一八）
令一〇四　昭和八年法律第五十號附則ニ依リ更正スベキ扶助料中朝鮮總督ノ管掌ニ係ルモノノ更正手續……（一五）
令一〇七　内地人タル朝鮮總督府道巡査ノ採用ニ關スル件……（三）
令一一三　國際電氣通信條約附屬追加無線通信規則……（七）

朝鮮總督府

朝　朝鮮商品券取締令……（一七）
朝　朝鮮寶物古蹟名勝天然記念物保存令……（一七）
朝　朝鮮金融組合聯合會令……（一七）
朝　朝鮮砂防事業令……（一一）
朝　朝鮮自動車交通事業令……（一八）
朝　内鮮電話通話規則……（一八）
朝　朝鮮商品券取締令施行規則……（一七）
朝　昭和八年制令第二號附則第二項ノ規定ニ依ル出願手續……（一七）
朝　道制施行規則……（九）
朝　道吏員服務紀律……（九）
朝　道制ノ施行ニ關スル件……（九）
朝　朝鮮不動産融資及損失補償令第一條ニ依ル委金融通ニ關スル件……（一七）
朝　朝鮮總督府巡査及朝鮮總督府道巡査給與品及貸與品規則……（三）
朝　外國爲替管理法ニ基ク命令ノ件……（一三）
朝　外國爲替管理法ニ關スル施行手續……（一三）
朝　蓄音機「レコード」取締規則……（一〇）
朝　船舶輸入許可規則……（一八）
朝　寄附金品募集取締規則……（一〇）
朝　朝鮮輸移出入植物檢査規則……（一七）
朝　朝鮮金融組合聯合會令施行規則……（一七）
朝　朝鮮金融組合聯合會登記取扱規則……（一七）
朝　朝鮮ニ船籍港ヲ有スル日本船舶ノ信號ニ關スル件……（一八）
朝　昭和八年法律第五十號附則ニ依リ更正スベキ扶助料中朝鮮總督ノ管掌ニ係ルモノノ更正手續……（一五）
朝　内地人タル朝鮮總督府道巡査ノ採用ニ關スル件……（三）

陸軍省

令一五一　陸軍諸學校生徒採用規則……（一七）

遞信省

遞　鉛口覆布試驗規程……（一七）
遞　日滿電報規則……（一七）
遞　日滿無線電報規則……（一七）
遞　外國電報規則……（一七）
遞　外國無線電報規則……（一七）
遞　國際電氣通信條約附屬電信規則……（一七）
遞　國際電氣通信條約附屬電話規則……（一七）
遞　國際電氣通信條約附屬一般無線通信規則……（一七）

法律
令
勅
条約
陸軍省
海軍省
内閣
枢密院
大蔵省
文部省
農林省
商工省
逓信省
鉄道省
拓務省
朝鮮総督府
台湾総督府
関東庁
南洋庁

令　三五　商法施行法第百二十二條ニ依リ湖川、港灣及沿岸小航海ノ範圍ニ關スル件……（一七）　一四八
令　三九　私設無線電信無線電話規則……（一八）　一四九
令　四〇　無線方位測定規則……（一八）　一五〇
令　五二　實業補習學校規程……（一八）　一五三
令　六二　朝鮮瘟豫防令施行規則……（一〇）　一五五
令　六三　朝鮮臨時種痘令施行規則……（一〇）　一五五
令　六五　朝鮮重要輸出品檢查規則……（一〇）　一五六
令　六八　水防組規則……（一〇）　一五七
令　七四　農地移住奬勵補助規則……（一〇）　一五七
令　七五　朝鮮昭和十年國勢調査施行規則……（一〇）　一五八
令　七六　朝鮮昭和十年國勢調査特別地域調査規則……（一〇）　一五八
令　九九　朝鮮麻藥取締令施行規則……（一〇）　一五八
令一〇八　海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲ノ國際條約及國際滿蒙吃水線條約ニ依ル證書ニ關スル件……（一一）　一五九
令一二七　朝鮮製絲業令施行規則……（一一）　一六〇
令一三三　羅津ヲ開港トスルノ件……（一一）　一六〇
令一三五　朝鮮總督府郵便所通信手規程……（一一）　一六一
令一三七　氣象信號規程……（一一）　一六一
令一三九　輸出冊檢ノ取締ニ關スル件……（一一）　一六二
令一四三　清津漁港管理規則……（一一）　一六二
令一四五　殖產奬令施行規則……（一一）　一六三
令一四九　殖產奬令第記取扱規則……（一一）　一六三
令一五三　海難其ノ他ノ事實屆出ニ關スル件……（一一）　一六四
調　一四　査委員令規程……（一二）　一六四
調一五　國勢調ノ本義明徵ニ關スル件……（一二）　一六五
調一八　朝鮮自動車交通事業令取扱手續……（一二）　一六五
調　一九　朝鮮總督府鐵道局官吏及待遇官吏服裝規則……（一二）　一六六
調　二〇　朝鮮昭和十年國勢調査地方事務取扱規程……（一二）　一六六
調二七　國勢調査員心得……（一二）　一六七
調三一　林野測量規程……（一二）　一六七
調三六　巡査宿舍料支給ニ關スル土地ノ等級……（一二）　一六八
　　國債ノ江國奠ヲ通過スル鐵道懸賞貨物通關手續……（一三）　一六八
　　朝鮮總督府遞信官署職員表彰規程……（一三）　一六九

條約
一　日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定……（一七）　一七〇
五　滿洲國ニ於ケル日本國臣民ノ居住及滿洲國ノ課稅等ニ關スル日本國滿洲國間條約……（一七）　一七一

內閣
告　金屬類、鑛物類及土石類標準用語……（一八）　一七二
二　從軍加算及暴亂地勤務加算ニ關スル件……（一八）　一七二

大藏省
令一一二　供託又ハ寄託セル國債ノ償還金ヲ以テ爲スベキ國債ノ買入ニ關スル特別取扱規程……（一一）　一七三

陸軍省
令　一一　帝國在總軍人會規程……（一二）　一七四

遞信省
令　三　日滿郵便爲替規則……（一八）　一七五
令六六　日滿郵便振替規則……（一八）　一七五
告　四三　日本國滿洲國間郵便業務ニ關スル條約ニ基ク業務協定……（一八）　一七六
告二六四　日本國及「カナダ」間郵便爲替交換ニ關スル約定ノ施行規則……（一八）　一七六

朝鮮總督府
令　一　朝鮮土地測量標令……（一一）　一七七
制　三　朝鮮私設鐵道令ニ依リ交付スル國債證券ニ關スル件……（一三）　一七七
制　四　朝鮮辯護士令……（一三）　一七七
制　五　法律事務取扱ノ取締ニ關スル件……（一四）　一七八
制　七　陸軍ニ關スル國債ノ償還金ヲ以テ爲スベキ國債ノ買入ニ關スル件……（一四）　一七八
制　八　鮮滿拓殖株式會社令……（一五）　一七八
制一三　朝鮮汚物掃除令……（一五）　一七九
制一五　朝鮮不穩文書臨時取締令……（一五）　一七九
制一六　朝鮮海員懲戒令……（一五）　一七九
令　一　朝鮮思想犯保護觀察令……（一五）　一七九
令　五　地方稅ノ賦課ニ關スル件……（一五）　一七九
令一六　南滿洲鐵道株式會社ニ對スル件……（一五）　一七九
令　二四　稅ノ賦課ニ關スル件……（一五）　一七九
令三二　商業登記事務ノ委任ニ關スル件……（一五）　一七九
令三七　朝鮮辯護士試補實務修習令……（一五）　一七九
令三八　朝鮮辯護士試補考試規則……（一五）　一七九
令三九　朝鮮辯護士名簿登錄規則……（一五）　一七九
令四〇　外國人辯護士認可規則……（一五）　一七九
令五七　水原高等農林學校附屬農業教員養成所規程……（一五）　一七九
令六二　朝鮮土地測量標令施行規則……（一五）　一七九
令六八　朝鮮總督府令中專賣支局ヲ改稱ノ件……（一五）　一七九
令六九　支局出張所ヲ改稱ノ件……（一五）　一七九
令七〇　國幣社祭式……（一五）　一七九
令七一　國幣社神職奏任……（一五）　一七九
令七二　國幣社神職服裝規則……（一五）　一七九
令七三　國幣社神職俸給規則……（一五）　一七九
令七四　國幣社出仕ニ關スル件……（一五）　一七九
令七六　國幣社會計規則……（一五）　一七九
令七七　國幣社有補助金交付規則……（一五）　一七九
令七八　神社規則……（一五）　一七九
令　七八　神職ノ俸給其ノ他ノ給與ニ關スル件……（一五）　一七九
令　八一　官國幣社以外ノ神社ニ供進スベキ幣帛料ノ金額……（一五）　一七九
令　八九　寺院規則……（一五）　一七九
令　八四　朝鮮船舶氣象觀測報告規則……（一五）　一七九
令　八七　朝鮮總督府地方官吏奏成所規程……（一五）　一七九
令一一一　朝鮮簡易保險健康相談所規程……（一五）　一七九
令一一六　魔弔電報規則……（一五）　一七九
令一二四　朝鮮汚物掃除令施行規則……（一五）　一七九
令一二八　朝鮮思想犯保護觀察令施行規則……（一五）　一七九
令一二九　朝鮮總督府保護觀察所ノ名稱、位置及管轄區域……（一五）　一七九
令一三〇　保護觀察費用規則……（一五）　一七九
　　藥品及藥品營業取締令第十三條ノ規定ニ依ル毒藥及劇藥ノ品目……（一五）　一七九
　　昭和十一年勅令第四百七十四號ノ施行手續ニ關スル件……（一五）　一七九
　　朝鮮總督府登守ノ宿舍料支給ニ關スル件……（一五）　一七九
　　朝鮮總督府訓令中專賣支局又ハ專賣支局出張所ヲ改稱ノ件……（一五）　一七九
　　國幣社ニ於テ恒例トシテ行フ式及其ノ式次第竝ニ遙拜祠、祓物及大祓詞ノ格例……（一五）　一七九
　　國幣社處務規程……（一五）　一七九
　　官國幣社以下神社ノ幣帛供進使隨員（判任待遇以上ヲ除ク）服制……（一五）　一七九
　　臨時災害對策調査委員令規程……（一五）　一七九
　　朝鮮總督府專賣局職員褒彰規程……（一五）　一七九
　　治水調査委員令規程……（一五）　一七九
　　遭難船舶ノ通報竝ニ海難其ノ他非實取調手續……（一五）　一七九
　　境界ニ於ケル一等道路ノ橋梁管理廳指定……（一五）　一七九
　　境界ニ於ケル三等道路ノ橋梁管理廳指定……（一五）　一七九
　　稅印ノ押捺ヲ申請スベキ稅務署……（一五）　一七九
　　特別準用河川……（一五）　一七九
　　朝鮮總督府告示中專賣支局又ハ專賣支局出張所ヲ改稱ノ件……（一五）　一七九
　　昭和十一年勅令第二百五十三號第一條第二項ニ依リ道又ハ府邑面ヨリ神饌幣帛料ヲ供進スルコトヲ得ベキ神社指定……（一五）　一七九
　　寺院規則ニ依ル寺院創立願、同財產屆ノ樣式……（一五）　一七九
　　朝鮮簡易生命保險規則第七十二條ノ規定ニ依リ保險契約者ニ對スベキ保險料額……（一五）　一七九

訓　四六　陸軍ニ關スル後備事務ノ細則……（一五）　一七九
告　三〇　特別準用河川……（一七）　一八〇
告　四八　朝鮮水產組合規則第六條第三項ノ規定ニ依ル水產組合指定……（一七）　一八〇
告　九四　船舶檢查執行地ニ關スル件……（一七）　一八一
告　九五　近海區域外ニシテ臨時旅客ヲ搭載シ得ル區域……（一七）　一八一
告　九六　漁船ノ第一種從業制限ニ關スル件……（一七）　一八一
告一四二　私設無線電信無線電話規則ニ依ル無線通信監視局……（一七）　一八二
告一四三　朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章指定……（一七）　一八二
告一四五　私設ノ電信、電話、無線電信及無線電話ノ檢查吏員ニ携帶セシムル證票ニ關スル件……（一七）　一八二
告一九六　特別準用河川……（一七）　一八三
告二三〇　無線方位測定規則ニ依ル無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信……（一七）　一八三
告二五八　朝鮮ニ於ケル官國幣社以外ノ神社ノ神饌幣帛料供進ニ關スル件……（一七）　一八三
告二六九　朝鮮重要輸出品檢查規則ニ依ル重要輸出品指定……（一七）　一八四
告二八六　朝鮮水利組合令施行規則第六項及第六十八條ノ規定ニ依ル指定……（一七）　一八四
告二九八　水利組合驛合令指定……（一七）　一八四
告三〇四　國債ノ江國奠ヲ通過スル列車直通運輸及稅關手續ニ關スル協定ニ關スル件……（一七）　一八五
告三二四　朝鮮總督府海員審判所官制……（一七）　一八五
告三五八　朝鮮總督府海員審判所職員ノ任用ニ關スル件……（一七）　一八五
告三六二　帝國在鄉軍人會令……（一七）　一八六
告三八九　海軍現役武官商船學校等配屬令……（一七）　一八六
勅四三二　朝鮮總督府保護觀察所官制……（一七）　一八七
勅四三四　朝鮮總督府保護觀察審查會官制……（一七）　一八七
勅四六五　朝鮮總督府及所屬官署ノ船舶乘組員ニ食卓料及航海日當給與ノ件……（一七）　一八七
勅七〇　外國人土地法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（一七）　一八八
勅四七四　昭和九年法律第四十五號第一條ノ

昭和十一年

法律

米穀自治管理法……（一七）　一八八
思想犯保護觀察法……（一七）　一八八
不穩文書臨時取締法……（一七）　一八九

勅令

朝鮮總督ノ管理ニ屬スル官有財產ノ貸付又ハ使用ニ關スル件……（一七）　一八九
「シリア」及「レバノン」ノ生產ニ係ル物品ノ輸入移率ニ關スル件……（一七）　一八九
朝鮮ニ於ケル官國幣社以外ノ神社ノ神饌幣帛料供進ニ關スル件……（一七）　一九〇
國有財產法ヲ朝鮮ニ施行令……（一七）　一九〇
米穀自治管理法施行令……（一七）　一九〇
朝鮮總督府海員審判所官制……（一七）　一九〇
朝鮮麻藥取締令第三條ノ規定ニ依ル麻藥ノ指定……（一七）　一九〇
朝鮮麻藥取締令施行規則第六條第三項ノ規定ニ依ル水產組合指定……（一七）　一九一
朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章指定……（一七）　一九一
私設ノ電信、電話、無線電信及無線電話ノ檢查吏員ニ携帶セシムル證票ニ關スル件……（一七）　一九一
特別準用河川……（一七）　一九一
無線方位測定規則ニ依ル無線標識局及無線標識業務ヲ取扱フ陸上無線電信……（一七）　一九二
朝鮮ニ於ケル官國幣社以外ノ神社ノ神饌幣帛料供進ニ關スル件……（一七）　一九二
朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章指定……（一七）　一九二
私設ノ電信、電話、無線電信及無線電話ノ檢查吏員ニ携帶セシムル證票ニ關スル件……（一七）　一九二
朝鮮不正競爭防止令ニ依ル外國ノ官ノ監督用又ハ證明用ノ印章指定……（一七）　一九三
朝鮮麻藥取締令施行規則第六條第三項ノ規定ニ依ル水產組合指定……（一七）　一九三
朝鮮水利組合令施行規則第六項及第六十八條ノ規定ニ依ル指定……（一七）　一九三
水利組合驛合令指定……（一七）　一九三
國債ノ江國奠ヲ通過スル列車直通運輸及稅關手續ニ關スル協定ニ關スル件……（一七）　一九四
朝鮮總督府海員審判所官制……（一七）　一九四
朝鮮總督府海員審判所職員ノ任用ニ關スル件……（一七）　一九四
帝國在鄉軍人會令……（一七）　一九五
海軍現役武官商船學校等配屬令……（一七）　一九五
朝鮮總督府保護觀察所官制……（一七）　一九五
朝鮮總督府保護觀察審查會官制……（一七）　一九五
朝鮮總督府及所屬官署ノ船舶乘組員ニ食卓料及航海日當給與ノ件……（一七）　一九六
外國人土地法ヲ朝鮮ニ施行スルノ件……（一七）　一九六
昭和九年法律第四十五號第一條ノ

令 令 令

令 三二一 大蔵省
小額紙幣発行及引換規程 明三三 勅 三一 内閣
依命令ヲ以テ定ムベキ事項ニ関スル件 明三三 勅 三一
明治十三年勅令第三百八十六号ヲ廃止シ及同年勅令第三百八十七号ヲ改正シ並ニ同年勅令第三百八十八号ヲ廃止スル勅令 明三三 勅 三一
明治十三年勅令第三百八十六号ヲ廃止シ及同年勅令第三百八十七号ヲ改正シ並ニ同年勅令第三百八十八号ヲ廃止スル勅令ノ施行ニ関スル件 明三三 勅 三一
朝鮮総督府官制 明四三 勅 三一
朝鮮総督府官制中改正ノ件 明四四 勅 三〇
朝鮮総督府官吏懲戒令 明四四 勅 三〇
朝鮮総督府官吏懲戒令施行規則 明四四 勅 三〇
朝鮮総督府官吏懲戒令ノ件ヲ審査スル為ノ委員会官制 明四四 勅 三〇
朝鮮総督府官吏懲戒令ノ件ヲ審査スル為ノ委員会官制ニ依リ委員ヲ命ズル件

訓一九　假釋放審査規程……（一五）　四〇八
訓二二　朝鮮總督府貯蓄奬勵委員令規程……（三）　一三
訓二四　朝鮮總督府鐵鋼統制協議令規程……（三）　一三
告一〇二　昭和十三年勅令第七十七號復興令ニ依リ復興シタル者ノ證明申出方ノ件……（一四）　三九三
告一五三　鑛業技術實習生規程……（一四）　三九三
告一五六　昭和十三年朝鮮總督府令第二十二號第二條第三項ノ規定ニ依ル標識……（一七）　三二一
告二八五　政府ニ於テ賑貸スル度量衡器、度量衡器ノ修覆材料及計量器ノ種類、名稱、價格……（一七）　三九八
告三三〇　朝鮮船員令ノ規定ニ依ル管海官廳ノ事務ヲ行フ郵便局……（八）　六二八
告三六二　郵便禁制品……（八）　一四一
告三六四　遠達郵便物ノ取扱地域……（八）　一七
告三九九　昭和十三年朝鮮總督府令第九十四號ニ依ル物品指定……（一七）　三二〇
告四二五　朝鮮臨時船舶管理法施行規則ニ於テ依ルコトヲ定メタル臨時船舶管理法施行規則第十八條ノ規定ニ依ル船舶職員ニ代ヘシムルコトヲ得ル者……（一八）　六四四
告四三九　朝鮮穀物檢査令施行規則第十三條第三項ノ記號……（一七）　四三
告四四四　朝鮮總督府營繕工業成所規程……（一七）　三〇三

昭和十三年十一月八日印刷
昭和十三年十一月十日發行

朝鮮法令輯覽
下卷

朝鮮總督府

定價金參拾五圓
【送料壹圓貳拾錢】

發行所　株式會社　帝國地方行政學會朝鮮本部

發行者　京城府太平通二丁目四十三番地　取締役社長　大谷仁兵衛

印刷者　京城府南米倉町百五十九番地　大谷保

印刷所　京城府南米倉町百五十九番地　行政學會印刷所

京城府太平通二丁目四十三番地
株式會社　帝國地方行政學會朝鮮本部
電話本局一五八・一五九・二七七二番
振替口座京城八一五番